チューリッヒ アプリケーションをビルドまたは変更する

最終更新日: **2025**年**12**月**17**日

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

これらの資料は、翻訳ソフトウェアを使用してお客様の便宜のために翻訳されています。正確な翻訳をご提供できるよう相当な努力を払っておりますが、いかなる自動翻訳も人間の翻訳者に代わることはなく、そのようなことは意図されておりません。翻訳は「現状のまま」提供されています。他言語への翻訳の的確性、信頼性または正確性については、明示または黙示を問わず、いかなる保証も行われません。翻訳ソフトには限界があるため、一部のコンテンツが正確に翻訳されていない場合があります。これらの資料の公用言語は英語です。翻訳の際に生じる相違または不一致は、コンプライアンスまたは履行の目的に関しては拘束力を有さず、法的効力はないものとします。

ここで示したいくつかの例と図は、説明の目的でのみ提供されています。ServiceNow 製品またはサービスへの実際の関連付けやつながりは意図されておらず、推測されるものではありません。

ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の商標または登録商標です。その他の会社名および製品名は、それぞれの所有者の商標です。

下記の ServiceNow ウェブサイト利用規約をお読みください。 www.servicenow.com/terms-of-use.html

自動翻訳

本社
2225 Lawson Lane
Santa Clara, CA 95054
United States
(408) 501-8550

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

servicenow

目次

アプリケーションのビルド....5
での開発について学ぶ ServiceNow AI Platform....8
ServiceNow 開発者向け製品をすばやく検索....8
プログラミングの基礎....30
アプリケーションの構造....32
個人開発者インスタンスガイド....47
Early Availability ガイド....61
ローコード開発とプロコード開発....63
アプリケーションの変更とビルド....67
ServiceNow® UI エクスペリエンスを理解する....67
開発者向けのサポート....69
アプリケーションコラボレーション....70
コンテキスト開発環境....75
ライセンス....114
アプリケーションスコープにわたる作成制限....114
管理アプリ開発....116
App Engine 管理センター....117
アプリケーションの計画立案....181
アプリ開発のためのアイデアの送信....182
アプリケーションのデータを指定....184
委託開発....185
チーム開発....201
アプリケーションの開発....236
App Engine 製品とサービス....240
カスタムアプリケーションの AI....240
ノーコードアプリケーションのビルド....260
ローコードアプリケーションのビルド....500
ServiceNow スタジオ....1056
プロコードアプリケーションのビルド....1299
開発者サンドボックス....1675
ビルダーライブラリ....1695
アプリケーションのテストとデバッグ....2320
自動テストフレームワーク (ATF) (ATF)....2321
テスト生成....2759
パフォーマンスアナライザー....2767
アプリケーションの展開....2771
リリース運用....2774
システムアップデートセット....2800
アプリケーションの管理....2845

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アプリケーションのメンテナンス..... 2878

自動翻訳

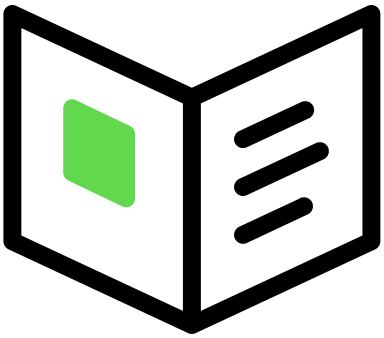
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アプリケーションのビルド

ServiceNow AI Platform ローコードツールを使用してアプリケーション開発者になる方法を学びます。知識のある所から始めて、再利用可能なコンポーネントと公開済みアプリケーションのライブラリを使用して、従来のプロセスを最新化するようにしてください。

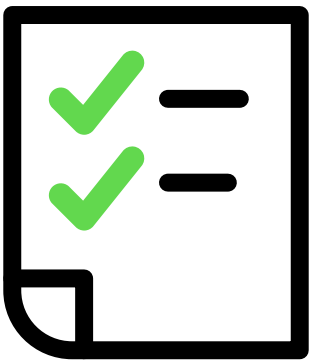
開始

アプリケーションの作成について学ぶ



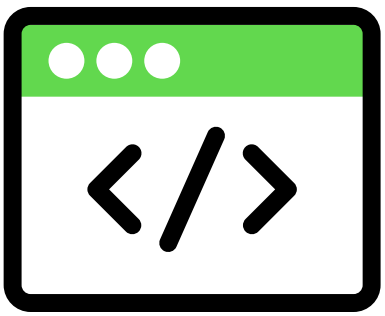
アプリケーション開発に関する基本情報を学習します。

フェーズ **1:**アプリケーションの計画立案



アプリケーションの動作を計画します。

フェーズ **2:**アプリケーションの開発

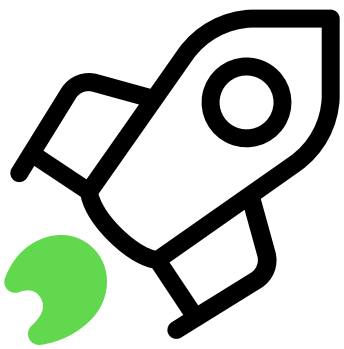


コンポーネントとコンテンツをアプリケーションに追加します。

フェーズ **3:**アプリケーションのテストとデバッグ

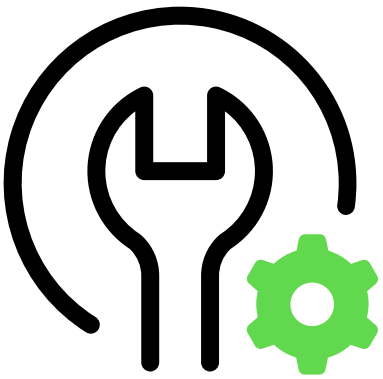
アプリケーションがビジネス要件を満たしていることを確認します。

フェーズ **4:**アプリケーションの展開



アプリケーションを本番環境に展開します。

フェーズ **5:**アプリケーションのメンテナンス



アプリケーションのステータスを確認し、必要に応じて変更します。

最新情報

新しい ServiceNow スタジオにより、アプリをよりスマートに構築し、より迅速に提供できます。ServiceNow スタジオ は、プラットフォーム開発者が ServiceNow AI Platformに基づいて構築す

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

るための最新の統一された環境を開発者に提供します。 ServiceNow スタジオ は、アプリケーションとメタデータへの簡素化されたナビゲーション、統合されたローコードツール、開発プロセスを加速し、生産性を向上させる開発作業の効率的な追跡とパッケージ化を備えています。

アプリ開発フェーズ

アプリケーション作成についての学習

新しいアプリケーションをビルドするか、既存のアプリケーションを拡張するかを決定します。既存のソリューションについては、ServiceNow Store と ServiceNow コミュニティ を確認してください。

最初のアプリケーションを構築する前に、アプリケーション開発に関する基本情報を理解しておく必要があります。このフェーズはオプションであり、他のフェーズの作業中にいつでも完了することができます。

- ServiceNow AI Platform がテーブルとレコードでどのように構成されているか。スプレッドシートをレコードデータに変換する方法を学習します。
- アプリケーションの作成を練習するために開発インスタンスの取得方法。
- サブスクリプションが必要なアプリケーション機能のライセンスを確認する方法。
- アプリケーション開発について質問するための開発者向けのサポートへの連絡方法。

フェーズ 1：アプリケーションの計画立案

アプリケーション開発プロセスは計画立案から始まります。そのアプリケーションがどのように機能するか、誰が使用するか、それによってユーザーエクスペリエンスがどのように向上するかを検討してください。アプリケーション計画では、次の質問に答える必要があります。

- アプリケーションの目標、目的、および出力は何ですか？
- 誰がアプリケーションを使用しますか？
- アプリケーションのパーツにアクセスできるのは誰ですか？
- ユーザーはアプリケーションを使用してどのようなタスクを実行しますか？
- データをどこから取得しますか？
- ユーザーはどのような方法でアプリケーションを操作しますか？
- アプリケーションはどのようなプロセスをサポートする必要がありますか？
- アプリケーションはどのような UI エクスペリエンスを使用しますか？
- 使用または拡張できる ServiceNow Store または ServiceNow コミュニティ で利用可能な既存のアプリケーションはありますか？
- アプリケーションにはどのサブスクリプションが必要ですか？

フェーズ 2：アプリケーションの開発

開発フェーズでは、アプリケーションのコンポーネントとコンテンツを追加します。ほとんどのアプリケーションは、次の要素で構成されています。

データ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

情報は、構成したテーブルを介してアプリケーションに保存されます。たとえば、従業員の電話番号やオフィスの場所などです。

エクスペリエンス

エクスペリエンスは、ユーザーが操作するグラフィカルインターフェイスです。たとえば、ユーザーが情報を検索し、要求を送信し、ビジネスタスクを実行できるポータルを作成できます。

ロジックと自動化

ロジックと自動化を追加することで、アプリケーションのすべての作業を自動化します。たとえば、誰かが要求を行ったときにアドミニストレーターに通知を送信するフローをビルドできます。

セキュリティ

ロールとアクセス制御を構成して、アプリケーションを使用できるユーザーを限定します。たとえば、アプリケーションデータへのアクセスを、特定のロールを持つユーザーに制限できます。

アプリケーションが提供するユーザーエクスペリエンスのタイプに一致するビルダーを選択してください。

- ローコード開発の詳細については、「App Engine Studio を使用したアプリのビルド」を参照してください。
- ワークフロースタジオ または プレイブック を使用した自動化の作成については、「Build workflows」を参照してください。
- 特殊なアプリケーションリソースについては、「ビルダーライブラリ」を参照してください。

フェーズ 3：アプリケーションのテストとデバッグ

アプリケーションがビジネス要件を満たしていることを確認します。 テストには次の要素を含める必要があります。

- 作成、読み込み、更新、削除などのレコード操作
- ビューや UI ポリシーなどのユーザーインターフェイス要素
- ビジネスルールやイベントスクリプトアクションなどの実行時の操作

フェーズ 4：アプリケーションの展開

アプリケーションをテストしたら、ビルダーツールを使用して本番環境に展開します。

- App Engine 管理センター を使用したアプリ開発の管理 の詳細については、「App Engine 管理センター」を参照してください。
- ServiceNow アプリケーションリポジトリ の詳細については、「アプリケーションリポジトリ」を参照してください。
- 更新セットを使用した従来の展開については、「システムアップデートセット」を参照してください。

フェーズ 5：アプリケーションのメンテナンス

フェーズ 2 ビルダーツールを使用して、アプリケーションを更新および変更します。フェーズ 3 テストツールを使用して、アプリケーションが引き続き正常に機能することを検証します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

アプリケーションと機能

- での開発について学ぶ ServiceNow AI Platform
- アプリケーションの計画立案
- アプリケーションの開発
- アプリケーションのテストとデバッグ
- アプリケーションの展開
- アプリケーションのメンテナンス

での開発について学ぶ **ServiceNow AI Platform**

ServiceNow の Creator Workflow 製品を使用すると、強力な ServiceNow AI Platform で実行される直感的なエクスペリエンスを作成できます。

このドキュメントの内容

このドキュメントを使用して、次の方法を確認します。

- すべて検索 ServiceNow 開発者製品
- ローコードとプロコードの開発を理解する
- 理解 ServiceNow ライセンス
- 開発者としてサポートを受ける
- さまざまな理解 ServiceNow ユーザーインターフェイス
- 開発者としての基礎を学ぶ

読者フィードバック機能を使用して、他のトピックを提案してください。

最新情報

新しい ServiceNow スタジオにより、アプリをよりスマートに構築し、より迅速に提供できます。ServiceNow スタジオ は、プラットフォーム開発者が ServiceNow AI Platformに基づいて構築するための最新の統一された環境を開発者に提供します。 ServiceNow スタジオ は、アプリケーションとメタデータへの簡素化されたナビゲーション、統合されたローコードツール、開発プロセスを加速し、生産性を向上させる開発作業の効率的な追跡とパッケージ化を備えています。

ServiceNow 開発者向け製品をすばやく検索

ServiceNow AI Platform で優れた製品を構築するのに役立つ ServiceNow 開発者向け製品を検索します。

必要な開発者向け製品を見つける

ServiceNow 開発者向け製品を検索するには、次のツールを使用します。

- ServiceNow ウィジェット 開発者製品へのガイド
- ServiceNow テーブル 開発者製品をリストします

どこから始めればよいかわからない場合は、営業担当者にお問い合わせください。解決しようとしている問題とその解決方法を理解するのに役立ちます。

自動翻訳

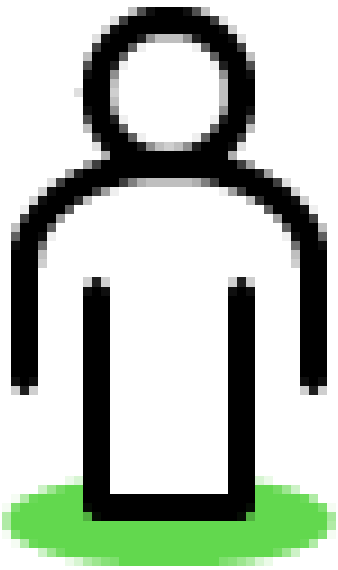
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ServiceNow 開発者向け製品の検索

次のウィジェットを使用して、強力な ServiceNow AI Platform で実行されるアプリケーションの作成に役立つ ServiceNow 開発者向け製品を検索します。

アプリケーションのビルドに役立つ製品を検索

適切な ServiceNow 開発者向け製品と情報を見つけるには、次のいずれかのタイルを選択します。

コーディングに慣れています	私はコーディングもスクリプトも書きません
	
カスタムコードを使用して ServiceNow アプリをビルドします。	ローコード環境内で ServiceNow アプリをビルドします。

App Engine 開発者製品

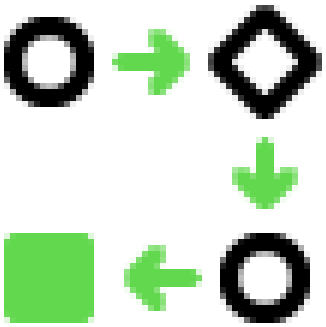
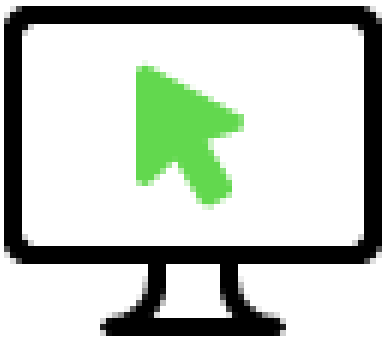
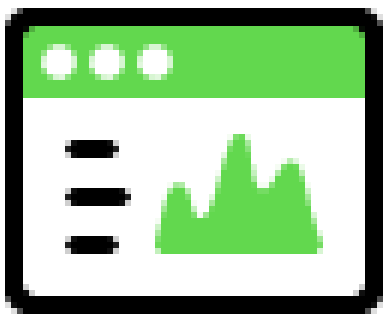
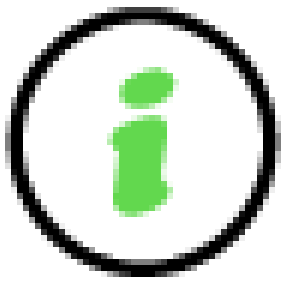
App Engine開発者向け製品のリストについては、「App Engine 製品とサービス」を参照してください。

プロコードツール:アプリをビルドするためにできること

以下のオプションを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アプリの構築	自分のアプリを管理する	顧客へのエンゲージメント
		
ServiceNowプラットフォームでの開発について説明します。	ServiceNow アプリケーションをカスタマイズします。	ServiceNowプラットフォームを使用して顧客とコミュニケーションを取る方法について説明します。
レポートの作成	**ServiceNowプラットフォームについて学ぶ**	**ヘルプ**
		
ServiceNow プラットフォームでデータを使用してレポートを作成します。	ServiceNowプラットフォームで何ができるかを確認してください。	ServiceNowプラットフォームに役立つリソースを検索

プロコードツールを使用したアプリのビルド

ServiceNow プラットフォームを使用してアプリをビルドします。

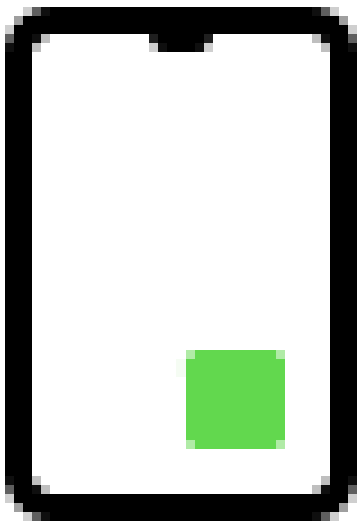
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ServiceNow スタジオ

統合されたビルダーとツールを 1 か所で使用して、カスタムアプリケーションをビルドします。

モバイルアプリビルダー

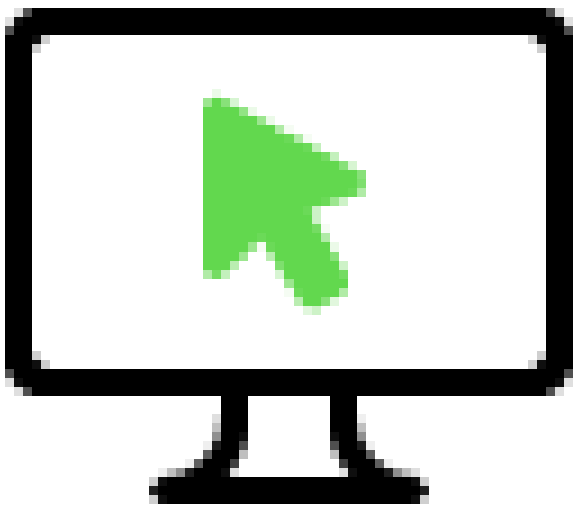


ServiceNowモバイルアプリケーションをビルドします。

VS Code 拡張

VS Code 向け ServiceNow 拡張を活用して、Visual Studio Code で ServiceNow アプリケーションを編集します。

AES



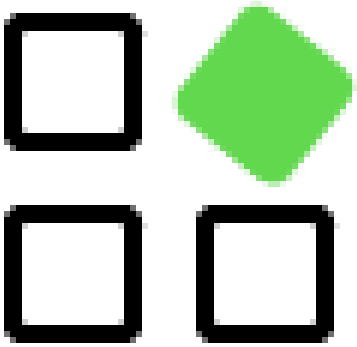
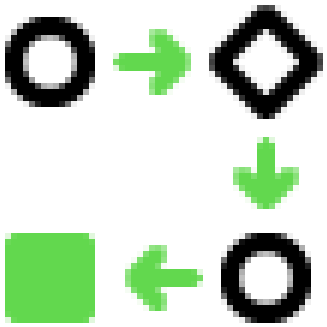
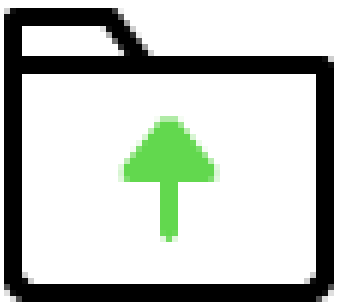
開発と展開を迅速に行うため、構造化された環境でアプリをビルドします。

プロコードツールでアプリを管理する

ServiceNow アプリを管理します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自分のアプリのカスタマイズ  ServiceNowプラットフォームでアプリをカスタマイズします。	自分のアプリを自動化  ServiceNowアプリケーションを自動化します。	アプリのセキュリティ保護 ServiceNowアプリケーションを保護します。
自分のアプリのテスト ServiceNowプラットフォームでアプリをテストします。	自分のアプリの展開  ServiceNowプラットフォームでアプリを展開します。	自分のアプリのメンテナンス ServiceNowプラットフォームでアプリを管理します。

自動翻訳

プロコードツールを使用したアプリのカスタマイズ

ServiceNow アプリをカスタマイズします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

UI ビルダー

ServiceNow プラットフォームでカスタムエクスペリエンスを作成する方法について説明します。

テーブルビルダー

テーブルビルダー を使用してデータをカスタマイズします。

ワークスペースビルダー

ワークスペースビルダーを使用してデータをカスタマイズします。

スクリプト

ServiceNowプラットフォームでカスタムスクリプトを使用します。

プロコードツールでアプリを自動化する

ServiceNow アプリを自動化します。

オートメーションディスカバリー

ServiceNowプラットフォーム上のワークフローの自動化機会を特定します。

ワークフロースタジオ のフロー

プロセスオーナーがServiceNow プラットフォームでの作業を自動化できるようにします。

ディシジョンビルダー

開発者は意思決定ルールを作成して維持することで、意思決定ロジックをコードから切り離すことができます。

プレイブック

プロセスオーナーが、企業間ワークフローを作成し、単一の統一されたプロセスを作成できるようにします。

ビジネスルール

ビジネスルールを作成して、特定の条件が満たされたときにフォームフィールドの値を自動的に変更するなどのタスクを実現します。

プロコードツールでアプリを保護する

ServiceNow アプリを保護します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

App Engine Studio ロールと権限

アプリの使用または編集を許可するユーザーを制御します。

エッジ暗号化

社内の機密データを暗号化してから、インスタンスをインターネット経由で送信します (送信中に暗号化)。

UI ポリシー

フォーム上の情報の動作を動的に変更し、タスクのカスタムプロセスフローを制御します。

ロール

アプリケーションおよびモジュールの機能へのアクセスを制御します。

アクセス制御

インスタンスにアクセスできるカスタマーサービスおよびサポートの従業員とそのタイミングをコントロールします。

ユーザーとグループ

システムにユーザーとして定義することで、インスタンスにアクセスできる個人を管理します。

プロコードツールでアプリをテストする

ServiceNow アプリをテストします。

自動テストフレームワーク (ATF)

自動テストを作成して実行し、インスタンスが変更後も正常に動作することを確認します。

テスト管理

テストプロセスの管理を簡素化し、ソフトウェア製品をより効率的かつ少ないエラー数で提供できるようにします。

スクリプトデバッガ

セッションログと ServiceNow AI Platform デバッグツール (ウォークスルースクリプトデバッガーや UI に表示されるエラーメッセージなど) を使用して、スクリプトをデバッグします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スクリプトトレーサー デバッグの検索をフィルタリングして、スクリプトの問題を素早く絞り込みます。 	セッションログ ビジネスルール、スクリプトインクルード、およびカスタム UI のセッションログを表示およびダウンロードします。 	ユーザーの代理操作 テスト目的で他の認証されたユーザーの代理操作を行い、代理操作ログを表示します。
NOW コマンドラインインターフェイス **(CLI)** コマンドラインインターフェイスでローカルシステムからインスタンス操作を実行します。		

プロコードツールを使用したアプリの展開

ServiceNow アプリを展開します。

Next Experience

App Engine 管理センター

本番インスタンスで App Engine 管理センター (AEMC) を使用して、アプリの要求、展開、アプリケーション、共同開発者を追跡および管理します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

コア UI 技術スタック

アプリケーションリポジトリ

ServiceNowプラットフォームでの開発について説明します。

クラウドプロビジョニングとガバナンス

ServiceNow® クラウドプロビジョニングとガバナンス アプリケーションは、クラウドリソースにアクセスし、クラウド製品をカタログに公開し、それらのリソースの使用状況を管理するための単一のインターフェイスを提供します。

プロコードツールでアプリを維持する

ServiceNow アプリをメンテナンスします。

Next Experience

システムアップデートセット

この機能により、アドミニストレーターは一連の変更を名前付きセットにグループ化し、テストまたはデプロイメントのために別のシステムにユニットとして移動できます。

サービスマッピング

ServiceNow® サービスマッピング アプリケーションは、組織内のすべてのアプリケーションサービスを検出し、それらのアプリケーションサービスで使用するすべてのデバイス、アプリケーション、および構成プロファイルの包括的なマップをビルドします。

プロコードツールで顧客を惹きつける

ServiceNow アプリを使用して顧客とやり取りします。

チャットボット

仮想エージェントデザイナー

ServiceNowプラットフォームを使用して、仮想エージェントトピックを作成および管理します。

仮想エージェント ダッシュボード

対話型アナリティクスダッシュボードは、会話データに関する詳細なインサイトを提供することで、ユーザーとの 仮想エージェント インタラクションを改善するのに役立ちます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

人工知能

自然言語理解 **(NLU)** ワークベンチ	プラットフォームアナリティクス	予測インテリジェンス
NLU ワークベンチを使用して、人間の言語の形態学的表現を作成します。	プラットフォームアナリティクス、仮想エージェント、機械学習を使用してプロセスを最適化し、生産性を向上させます。	ServiceNowアプリケーション全体の機能を強化する人工知能のレイヤーを提供して、より良い作業エクスペリエンスを提供します

プロコードアプリからのデータに関するレポート

作成するほとんどのアプリケーションには、ある程度のレポート要件があります。レポートは、変更を促進するためにアクション可能である必要があります。

「レポート」とは、一般的にインシデント [incident] のようなファクトテーブル内のデータを表示することです。パフォーマンスアナリティクス アプリケーションを使用して、重要業績評価指標 *(KPI)* を作成して、このデータの変化を経時的に追跡することもできます。

現在、 ServiceNow AI Platform® は次の情報を表示するための 2 つのユーザーインターフェイス間を移行中です。

- 古い コア UI テクノロジー。この UI には、テーブルから直接のデータのみを表示するレポートアプリケーションと、 パフォーマンスアナリティクス インジケーターからのデータを表示する PA ウィジェットが含まれています。レポートと PA ウィジェットの両方を コア UI レスポンシブ ダッシュボードに配置できます。詳細については、「Reporting, dashboards, and Performance Analytics in the Core UI」を参照してください。
- 新しい プラットフォームアナリティクス テクノロジー。この UI には、任意のソースからのデータについてレポートできるデータの可視化が含まれています。これらの可視化は、プラットフォームアナリティクスフィルターとともにプラットフォームアナリティクスダッシュボードに配置できます。詳細については、「Platform Analytics experience」を参照してください。

  プラットフォームアナリティクスオブジェクトはすべてネクストエクスペリエンス UI フレームワークにルート付けられており、開発者が使用できます。ただし、開発者以外の場合でも、UI ビルダー を使用せずに、プラットフォームアナリティクスエクスペリエンスを通じて独自のオブジェクトをビルドできます。詳細については、「Platform Analytics experience」を参照してください。

注:
「レポート」は一般的な用語ですが、このドキュメントでは通常、曖昧さを解消するために、コア UI Reporting アプリケーションを指すために「レポート」と「レポート」を使用し、 プラットフォームアナリティクス データの視覚化を指すときに「可視化」または「可視化」を使用します。

レポートまたはデータの可視化をビルドするときは、次のガイドラインに従ってください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 大きなテーブルでレポートや可視化を作成すると、パフォーマンスに悪影響を与える可能性があります。テーブルのすべてのレコードを表示するのではなく、日付範囲またはその他の制限基準でフィルタリングしてください。
- 多くの値を含む可能性があるフィールドでグループ化すると、パフォーマンスに悪影響を与える可能性があります。
- レポートまたは可視化をロードするときに「 長時間実行トランザクションタイマー 」メッセージが表示される場合は、データフィルターをさらに追加してロード時間を短縮することを検討してください。
- レポート、データの可視化、またはダッシュボードを定期的にエクスポートする必要がある場合は、エクスポートをスケジュールしてメールで送信します。

プラットフォームアナリティクスでは、1 ページに複数のデータ表示方法をいくつか使用できます。

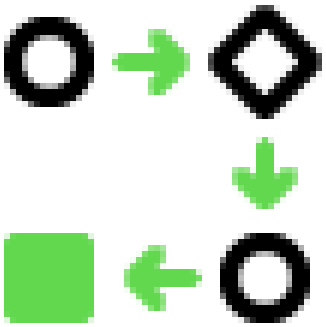
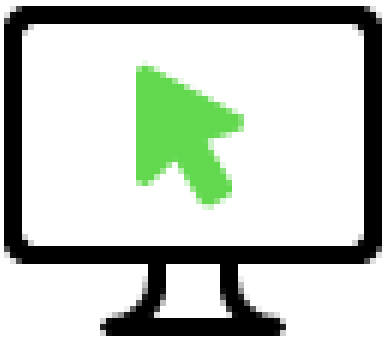
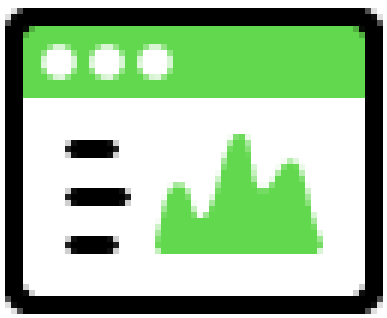
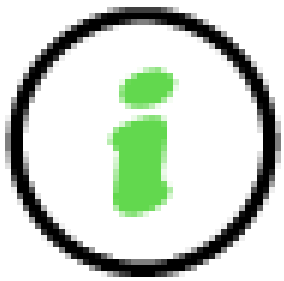
- データの可視化とダッシュボードはすべて プラットフォームアナリティクス エクスペリエンス内で作成します。このアプローチには開発者ロールや特別な技術的知識は必要ないため、より複雑なソリューションを試す前に検討する必要があります。
- 汎用 UI ビルダー ページに、フィルターやその他のコンポーネントとともにデータビジュアル化コンポーネントを作成します。このアプローチでは、開発者として最も自由度が高くなりますが、最も多くの構成が必要になります。
- プラットフォームアナリティクスエクスペリエンス内にデータの可視化とダッシュボードを作成し、ダッシュボードページテンプレートを使用してダッシュボードをUI ビルダーページ内に配置します。このアプローチにより、 プラットフォームアナリティクス エクスペリエンスの利便性を利用して、独自のエクスペリエンス/ワークスペースでダッシュボード、データの可視化、フィルターを作成できます。また、ページ構成を部分的にカスタマイズすることもできます。詳細については、「Creating Platform Analytics pages in your own workspace」を参照してください。
- テクニカルダッシュボードを作成し、UI ビルダー内に入力します。このアプローチは、独自の UI ビルダー ページを最初から作成するのとほぼ同じですが、ダッシュボードはダッシュボードライブラリで使用でき、ダッシュボードの詳細があり、他のダッシュボードと同様に共有できます。詳細については、「Technical dashboards」を参照してください。

ローコードツールとノーコードツール:アプリを構築するためにできること

ローコードアプリを構築するときは、アプリをカスタマイズしたり、使用状況に関するレポートを作成したりできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

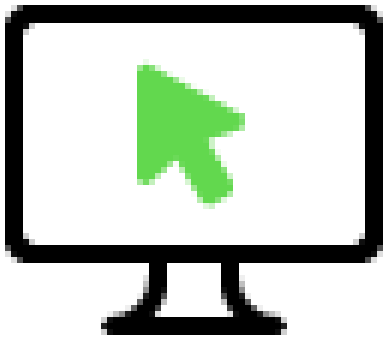
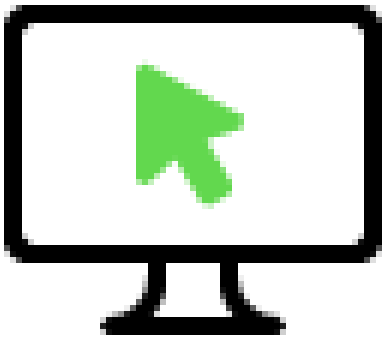
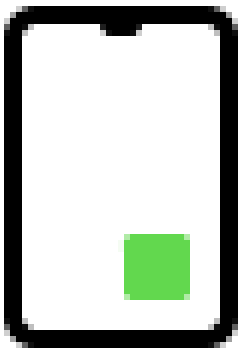
アプリの構築	自分のアプリを管理する	顧客へのエンゲージメント
		
ServiceNowプラットフォームでの開発について説明します。	ServiceNow アプリケーションをカスタマイズします。	ServiceNowプラットフォームを使用して顧客とコミュニケーションを取る方法について説明します。
レポートの作成	**ServiceNowプラットフォームについて学ぶ**	**ヘルプ**
		
ServiceNow プラットフォームでデータを使用してレポートを作成します。	ServiceNowプラットフォームで何ができるかを確認してください。	ServiceNowプラットフォームに役立つリソースを検索

ローコードツールとノーコードツールでアプリをビルドする

ServiceNow プラットフォームを使用してアプリをビルドします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クリエータースタジオ	AES	モバイルアプリビルダー
		
コーディングの経験がなくても要求実行アプリをビルドします。	開発と展開を迅速に行うため、構造化された環境でアプリをビルドします。	ServiceNowモバイルアプリケーションをビルドします。

ローコードツールでアプリを管理する

ServiceNow アプリを管理します。

自分のアプリのカスタマイズ	自分のアプリを自動化	アプリのセキュリティ保護
ServiceNowプラットフォームでアプリをカスタマイズします。	ServiceNowアプリケーションを自動化します。	ServiceNowアプリケーションを保護します。
自分のアプリのテスト	**自分のアプリの展開**	**自分のアプリのメンテナンス**
ServiceNowプラットフォームでアプリをテストします。	ServiceNowプラットフォームでアプリを展開します。	ServiceNowプラットフォームでアプリを管理します。

ローコードツールを使用したアプリのカスタマイズ

ServiceNow アプリをカスタマイズします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

UI ビルダー

ServiceNow プラットフォームでカスタムエクスペリエンスを作成する方法について説明します。

テーブルビルダー

テーブルビルダー を使用してデータをカスタマイズします。

ワークスペースビルダー

ワークスペースビルダーを使用してデータをカスタマイズします。

ローコードツールでアプリを自動化する

ServiceNow アプリを自動化します。

オートメーションディスカバリー

ServiceNowプラットフォーム上のワークフローの自動化機会を特定します。

ワークフロースタジオ のフロー

プロセスオーナーがServiceNow プラットフォームでの作業を自動化できるようにします。

ディシジョンビルダー

開発者は意思決定ルールを作成して維持することで、意思決定ロジックをコードから切り離すことができます。

プレイブック

プロセスオーナーが、企業間ワークフローを作成し、単一の統一されたプロセスを作成できるようにします。

ビジネスルール

ビジネスルールを作成して、特定の条件が満たされたときにフォームフィールドの値を自動的に変更するなどのタスクを実現します。

ローコードツールでアプリを保護する

ServiceNow アプリを保護します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

App Engine Studio ロールと権限

アプリの使用または編集を許可するユーザーを制御します。

エッジ暗号化

社内の機密データを暗号化してから、インスタンスをインターネット経由で送信します (送信中に暗号化)。

UI ポリシー

フォーム上の情報の動作を動的に変更し、タスクのカスタムプロセスフローを制御します。

ロール

アプリケーションおよびモジュールの機能へのアクセスを制御します。

アクセス制御

インスタンスにアクセスできるカスタマーサービスおよびサポートの従業員とそのタイミングをコントロールします。

ユーザーとグループ

システムにユーザーとして定義することで、インスタンスにアクセスできる個人を管理します。

ローコードツールでアプリをテストする

ServiceNow アプリをテストします。

自動テストフレームワーク (ATF)

自動テストを作成して実行し、インスタンスが変更後も正常に動作することを確認します。

テスト管理

テストプロセスの管理を簡素化し、ソフトウェア製品をより効率的かつ少ないエラー数で提供できるようにします。

スクリプトデバッガ

セッションログと ServiceNow AI Platform デバッグツール (ウォークスルースクリプトデバッガーや UI に表示されるエラーメッセージなど) を使用して、スクリプトをデバッグします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スクリプトトレーサー デバッグの検索をフィルタリングして、スクリプトの問題を素早く絞り込みます。 	セッションログ ビジネスルール、スクリプトインクルード、およびカスタム UI のセッションログを表示およびダウンロードします。 	ユーザーの代理操作 テスト目的で他の認証されたユーザーの代理操作を行い、代理操作ログを表示します。
NOW コマンドラインインターフェイス **(CLI)** コマンドラインインターフェイスでローカルシステムからインスタンス操作を実行します。		

ローコードツールを使用したアプリの展開

ServiceNow アプリを展開します。

Next Experience

App Engine 管理センター

本番インスタンスで App Engine 管理センター (AEMC) を使用して、App Engine Studio、クリエータースタジオ、ServiceNow スタジオの要求、展開、アプリケーション、共同開発者を追跡および管理します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

コア UI 技術スタック

アプリケーションリポジトリ

ServiceNowプラットフォームでの開発について説明します。

クラウドプロビジョニングとガバナンス

ServiceNow® クラウドプロビジョニングとガバナンス アプリケーションは、クラウドリソースにアクセスし、クラウド製品をカタログに公開し、それらのリソースの使用状況を管理するための単一のインターフェイスを提供します。

ローコードツールでアプリを管理する

ServiceNow アプリをメンテナンスします。

Next Experience

システムアップデートセット

この機能により、アドミニストレーターは一連の変更を名前付きセットにグループ化し、テストまたはデプロイメントのために別のシステムにユニットとして移動できます。

サービスマッピング

ServiceNow® サービスマッピング アプリケーションは、組織内のすべてのアプリケーションサービスを検出し、それらのアプリケーションサービスで使用するすべてのデバイス、アプリケーション、および構成プロファイルの包括的なマップをビルドします。

ローコードツールで顧客を惹きつける

ServiceNow アプリを使用して顧客とやり取りします。

チャットボット

仮想エージェントデザイナー

ServiceNowプラットフォームを使用して、仮想エージェントトピックを作成および管理します。

仮想エージェント ダッシュボード 対話型アナリティクスダッシュボードは、会話データに関する詳細なインサイトを提供することで、ユーザーとの 仮想エージェント インタラクションを改善するのに役立ちます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

人工知能

自然言語理解 **(NLU)** ワークベンチ	プラットフォームアナリティクス	予測インテリジェンス
NLU ワークベンチを使用して、人間の言語の形態学的表現を作成します。	プラットフォームアナリティクス、仮想エージェント、機械学習を使用してプロセスを最適化し、生産性を向上させます。	ServiceNowアプリケーション全体の機能を強化する人工知能のレイヤーを提供して、より良い作業エクスペリエンスを提供します

ローコードアプリからのデータに関するレポート

作成するほとんどのアプリケーションには、ある程度のレポート要件があります。レポートは、変更を促進するためにアクション可能である必要があります。

「レポート」とは、一般的にインシデント [incident] のようなファクトテーブル内のデータを表示することです。パフォーマンスアナリティクス アプリケーションを使用して、重要業績評価指標 *(KPI)* を作成して、このデータの変化を経時的に追跡することもできます。

現在、 ServiceNow AI Platform® は次の情報を表示するための 2 つのユーザーインターフェイス間を移行中です。

- 古い コア UI テクノロジー。この UI には、テーブルから直接のデータのみを表示するレポートアプリケーションと、 パフォーマンスアナリティクス インジケーターからのデータを表示する PA ウィジェットが含まれています。レポートと PA ウィジェットの両方を コア UI レスポンシブ ダッシュボードに配置できます。詳細については、「Reporting, dashboards, and Performance Analytics in the Core UI」を参照してください。
- 新しい プラットフォームアナリティクス テクノロジー。この UI には、任意のソースからのデータについてレポートできるデータの可視化が含まれています。これらの可視化は、プラットフォームアナリティクスフィルターとともにプラットフォームアナリティクスダッシュボードに配置できます。詳細については、「Platform Analytics experience」を参照してください。

  プラットフォームアナリティクスオブジェクトはすべてネクストエクスペリエンス UI フレームワークにルート付けられており、開発者が使用できます。ただし、開発者以外の場合でも、UI ビルダー を使用せずに、プラットフォームアナリティクスエクスペリエンスを通じて独自のオブジェクトをビルドできます。詳細については、「Platform Analytics experience」を参照してください。

注:
「レポート」は一般的な用語ですが、このドキュメントでは通常、曖昧さを解消するために、コア UI Reporting アプリケーションを指すために「レポート」と「レポート」を使用し、 プラットフォームアナリティクス データの視覚化を指すときに「可視化」または「可視化」を使用します。

レポートまたはデータの可視化をビルドするときは、次のガイドラインに従ってください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 大きなテーブルでレポートや可視化を作成すると、パフォーマンスに悪影響を与える可能性があります。テーブルのすべてのレコードを表示するのではなく、日付範囲またはその他の制限基準でフィルタリングしてください。
- 多くの値を含む可能性があるフィールドでグループ化すると、パフォーマンスに悪影響を与える可能性があります。
- レポートまたは可視化をロードするときに「 長時間実行トランザクションタイマー 」メッセージが表示される場合は、データフィルターをさらに追加してロード時間を短縮することを検討してください。
- レポート、データの可視化、またはダッシュボードを定期的にエクスポートする必要がある場合は、エクスポートをスケジュールしてメールで送信します。

プラットフォームアナリティクスでは、1 ページに複数のデータ表示方法をいくつか使用できます。

- データの可視化とダッシュボードはすべて プラットフォームアナリティクス エクスペリエンス内で作成します。このアプローチには開発者ロールや特別な技術的知識は必要ないため、より複雑なソリューションを試す前に検討する必要があります。
- 汎用 UI ビルダー ページに、フィルターやその他のコンポーネントとともにデータビジュアル化コンポーネントを作成します。このアプローチでは、開発者として最も自由度が高くなりますが、最も多くの構成が必要になります。
- プラットフォームアナリティクスエクスペリエンス内にデータの可視化とダッシュボードを作成し、ダッシュボードページテンプレートを使用してダッシュボードをUI ビルダーページ内に配置します。このアプローチにより、 プラットフォームアナリティクス エクスペリエンスの利便性を利用して、独自のエクスペリエンス/ワークスペースでダッシュボード、データの可視化、フィルターを作成できます。また、ページ構成を部分的にカスタマイズすることもできます。詳細については、「Creating Platform Analytics pages in your own workspace」を参照してください。
- テクニカルダッシュボードを作成し、UI ビルダー内に入力します。このアプローチは、独自の UI ビルダー ページを最初から作成するのとほぼ同じですが、ダッシュボードはダッシュボードライブラリで使用でき、ダッシュボードの詳細があり、他のダッシュボードと同様に共有できます。詳細については、「Technical dashboards」を参照してください。

問題を解決する **ServiceNow** 製品

このテーブルを使用して、問題の解決に役立つ ServiceNow 製品を検索します。

したいこと	使用	ServiceNow 製品またはトピック
開発の概要を把握する		• 定義説明 ServiceNow？ • 開発インスタンスの取得 • デモ • How the ServiceNow AI Platform works • ライセンス • ローコード開発とは？
アプリケーション開発の支援を受ける		• Getting started on the ServiceNow AI Platform • ServiceNow 開発者コミュニティ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

したいこと	使用	ServiceNow 製品またはトピック
		• カスタマーサポート • ナレッジベース • Customer Success Center • ServiceNow トレーニング • 追加サポート • 既知のエラーポータル
アプリケーションの作成を計画する		• 委託開発 • での委託開発 クリエータースタジオ • App Engine Studio での委託開発 • ソースコントロール • Common Service Data Model
アプリケーションを作成	• ノーコード • Next Experience	• クリエータースタジオ • App Engine Studio
	• コーディングとスクリプティング • コア UI 技術スタック • フォームとリスト	• ServiceNow スタジオ • Visual Studio Code 向けの ServiceNow 拡張 • REST API • ガイド付きアプリケーションクリエーター • ServiceNow AI Platform® forms, fields, and lists
	Mobile Platform	• モバイルアプリビルダー • モバイルカードビルダー
アプリケーションをカスタマイズする	UI ページ	• UI ビルダー • Workspace Builder (App Engine Studio 内のみ)
	データ、テーブル	テーブルビルダー
	スクリプト	• ノーコードスクリプティング (ワークフロースタジオ - カスタムアクションのビルド) • ServiceNow スタジオ • Code editor

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

したいこと	使用	ServiceNow 製品またはトピック
		• クライアント側スクリプティング • サーバー側スクリプティング • スクリプトデバッガー • ServiceNow CLI
	サービスポータル	• を使用したページの作成と編集 サービスポータル デザイナー • サービスポータルウィジェット • 構成： ネクストエクスペリエンス テーマと設定
自動化を追加		• Automation Discovery • Workflow Studio • Exploring Decision Tables • プレイブック • ジャーニーデザイナー • Classic Business rules
ServiceNow と自分のアプリケーションを統合する	自動化とフロー	• 統合ハブ • のフロー ワークフロースタジオ
	API	• REST API reference • Server API reference • Client API reference • Browse APIs by product • ワークフロースタジオ - カスタムアクションのビルド • 統合ハブ リモートプロセス同期
アプリケーションを保護	ノーコード (App Engine Studio のみ)	AES のペルソナとロールの構成
	コーディングとスクリプティング、コア UI 技術スタック	• エッジ暗号化 • Using UI policies • Managing roles • ServiceNow® access control • User administration

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

したいこと	使用	ServiceNow 製品またはトピック
顧客へのエンゲージメント	チャットボットダイアログのカスタマイズ	• の開始 仮想エージェントデザイナー • 会話型アナリティクスダッシュボード
	人工知能	• ビジネスプロセスの分析と最適化 Now Intelligence • 予測インテリジェンス
アプリケーションのテスト	App Engine Studio アプリの場合	自動テストフレームワーク (ATF)
	コーディング、コア UI 技術スタック	• 自動テストフレームワーク (ATF) • テスト管理アプリケーション • スクリプトデバッガー • スクリプトトレーサー • セッションログ • Impersonate a user • ServiceNow CLI
アプリケーションの展開	ノーコード (App Engine Studio のみ)	App Engine 管理センター
	コーディング、コア UI 技術スタック	• ServiceNow アプリケーションリポジトリ • クラウドプロビジョニングとガバナンス
アプリケーションのメンテナンス		• Maintaining and monitoring the ServiceNow AI Platform • Maintaining and monitoring the ServiceNow AI Platform システムアップデートセット • サービスマッピング • インスタンスデータレプリケーション (IDR) • メトリックベース
レポートの作成		• CMDB ワークスペースの CMDB 360 ビュー • ビジネスプロセスの分析と最適化 - パフォーマンスアナリティクスレポート • アナリティクスハブ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

したいこと	使用	ServiceNow 製品またはトピック
		• アナリティクスセンター • 会話型アナリティクスダッシュボード
インスタンスのコピー		インスタンスデータレプリケーション (IDR)
エクスペリエンスのパーソナライズ		Personalize your experience

プログラミングの基礎

通常、ソフトウェア開発には標準的な一連のステップが含まれます。アプリケーションの開発が初めての場合は、このまま読み進めてください。

開発者としての仕事

アプリケーション開発が初めてで、コーディング方法さえ知らない場合、 ServiceNow には クリエータースタジオ これにより、基本的な要求実行アプリケーションを作成できます。開発を初めて行う方にも、ローコードツールは簡単に使用できます。ためらわずにアプリを開発してください。

ソフトウェア開発者は多くのことを行いますが、共通しているのはコンピューターコードを使用して問題を解決することです。ServiceNow は、コーディング経験、中程度のコーディング経験、および専門的なコーディング経験を必要としないコーディングプラットフォームを提供します。必要なコーディングが少ないほど、コーディングプラットフォームが行う作業が多くなります。したがって、経験豊富なソフトウェア開発者でさえ、次のような低レベルおよび中レベルのコーディングプラットフォームを高く評価するでしょう。 クリエータースタジオ および App Engine Studio。

ソフトウェア開発ライフサイクル

アプリケーション開発の一般的なステージは次のとおりです。

1. 問題を定義します。
2. ソリューションを計画します。
3. ソリューションをコーディングします。
4. アプリケーションをテストします。
5. アプリケーションを展開します。
6. アプリケーションを文書化します。

これらのステップは、一般にソフトウェア開発ライフサイクルと呼ばれます。 ServiceNow 開発者ドキュメント は次の手順に従ってグループ化されます。

本当に新しいアプリケーションを作成する必要があるか

最初のステップは、アプリケーションの作成が必要かどうかを判断することです。次の点を考慮してください。

- 新しいアプリケーションを作成する代わりに、既存のアプリケーションを拡張できますか？
- アプリケーションは何人のユーザーにサービスを提供しますか？多くない場合、取り組む価値はありますか？

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 時間の経過とともに変化するアプリケーションをメンテナンスしますか？
- どのくらいの頻度でこのアプリケーションを使用しますか？頻繁でない場合、取り組む価値はありますか？

新しいアプリケーションを作成することに意味がある場合は、次に進みます。

問題の定義

アプリケーションの作成を計画している場合は、何を実行するのかについての考えが必要です。ただし、ソリューションの詳細なアイデアがない場合があります。少なくとも、以下を詳細に定義する必要があります。

- 必要なアプリケーション出力
- アプリケーションに入るデータ

取り込まれるデータは通常、データのテーブルから取得されます。テーブル名とその中のデータのタイプを知る必要があります。Table Builder などの ServiceNow ツールを使用して、データを格納およびカスタマイズできます。

目的とする出力は、ダッシュボード、テーブルに格納されているデータ、または従業員に送信される機器です。出力を決定する前に、出力のモックアップを多くの人に示して、出力の改善を提案できるかどうかを確認します。このステップをスキップしないでください。

ソリューションの計画立案

必要な出力を生成するアルゴリズムを作成するには、さまざまな方法があります。最も簡単な方法は、入力データから始まり、出力につながるプロセスの各ステップを示すフローチャートを使用することです。フローチャートを使用すると、実行したいことの全体像に焦点を当て、それを実行する方法を避けることができます。フローチャートを注意深く見てプロセスを最適化します。

データのテーブルを使用するための権限、またはアプリケーションを作成するための権限が必要になる場合があります。たとえば、市民開発者には App Engine 管理センターを通じてアプリ開発権限が付与されます。

ServiceNow 計画立案ツールの詳細については、「アプリケーションの計画立案」を参照してください。

アプリケーションのコーディング

アプリケーションをコーディングするには、以下を使用します。

- App Engine Studio などのローコードServiceNowツール。
- 次のような中堅およびプロコード ServiceNow ツール ServiceNow スタジオ.
- ServiceNow IDE や ServiceNow SDK などの Pro-dev ソースコードツール。

ServiceNow コーディングプラットフォームの詳細については、「アプリケーションの開発」を参照してください。

アプリケーションのテスト

アプリケーションをテストするには、結果が正確であることを確認するためのデータを入力する必要があります。誤ったデータであっても大量のデータを入力して、アプリケーションが正しい入力と誤った入力をどの程度処理するかを確認することが重要です。大きすぎるデータまたは間違ったタイプのデータを入力してください。データをまったく入力しないでください。ユーザーによる中断を防ぐため、アプリケーションの中断を試みてください。エラー条件を適切に処理することは、優れたカスタマーエクスペリエンスにとって重要です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ServiceNow テストツールの詳細については、「アプリケーションのテストとデバッグ」を参照してください。

アプリケーションの展開

アプリケーションのテストが完了したので、顧客が使用できるように展開します。アプリケーションの展開は、開発者ではなくシステムアドミニストレーターが行います。

ServiceNow 展開ツールの詳細については、「アプリケーションの展開」を参照してください。

アプリケーションのメンテナンス

アプリケーションのメンテナンスでは、サーバーの過負荷、アプリケーションエラー、機能の更新などの問題に対処します。機能の更新を管理するのは開発者の仕事です。アプリケーションの動作状況を確認するのはシステムアドミニストレーターの仕事です。

アプリケーションのメンテナンスに役立つ ServiceNow ツールの詳細については、「アプリケーションのメンテナンス」を参照してください。

アプリケーションの文書化

アプリケーション開発は、アプリケーションが文書化されるまで完了しません。アプリケーションを文書化する理由は多数あります。

- 内部メモは、他の開発者がアプリケーションで作業するのに役立ちます。プログラミングの決定と方法論の背後にある理由を理解するには、多くの時間がかかります。これらを文書化すると、将来の開発者がアプリケーションをメンテナンスするのに役立ちます。
- ユーザーはアプリケーションの使用方法を知る必要があります。アプリケーションの透明性を高くしたつもりでも、使用しようとすると不満を感じる人も少なくありません。アプリケーションとドキュメントのユーザビリティテストを実行して、ユーザーが問題に遭遇する箇所を確認します。対象者が広いほど、アプリケーションが重要になり、ドキュメントが重要になります。経験豊富なテクニカルライターを使用してドキュメントを作成することを検討してください。

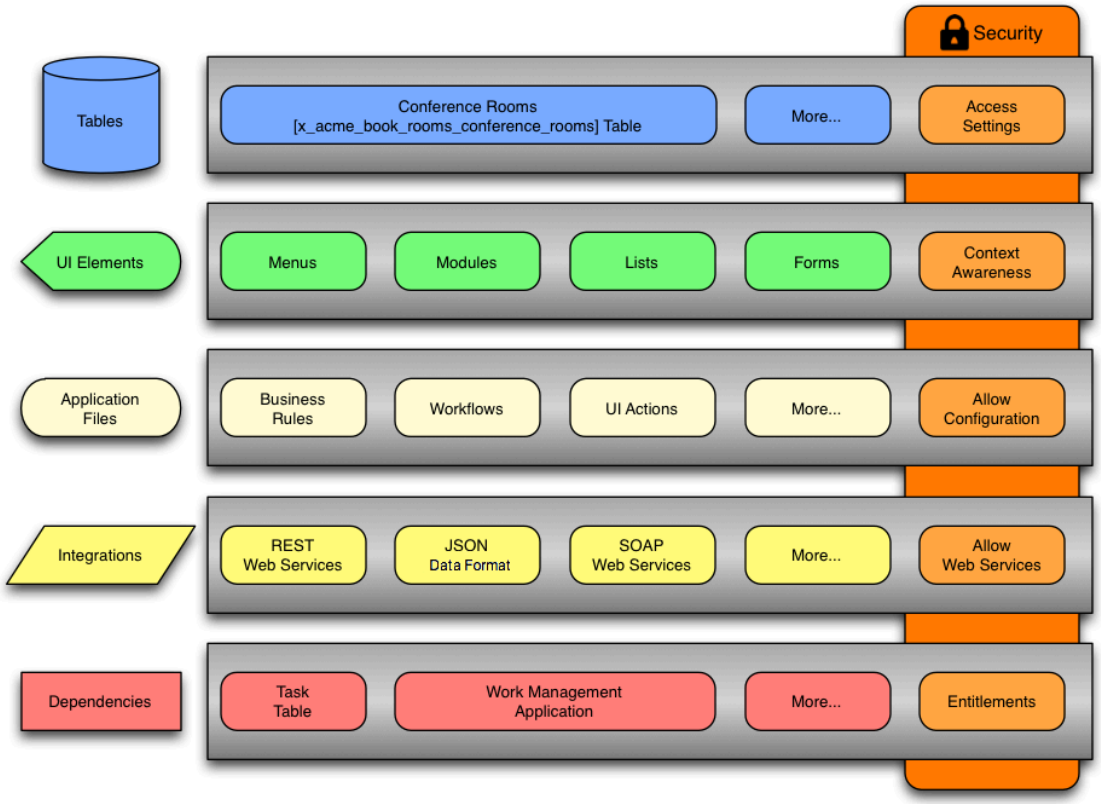
アプリケーションの構造

アプリケーションは、いくつかのタイプのファイルとレコードで構成されており、それらの集合としてサービスを提供します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アプリケーションモデル



カスタムアプリケーションレコード

カスタムアプリケーションレコードは、アプリケーションとそれに関連するすべてのアーティファクトを定義し、識別します。

これは、アプリケーションの最新の構成が格納される点で、テーブルや列のシステムディクショナリーレコードと似ています。カスタムアプリケーションレコードは、アプリケーション作成のプロセス中に自動的に作成されます。アプリケーション開発者は、このレコードを使用して次のタスクを実行できます。

- アプリケーション名を変更する。
- アプリケーションのバージョンを変更する。
- アプリケーションファイルと設定レコードを識別するためにシステムが使用するスコープを表示する。
- スコープ指定管理を有効にする。
- アプリケーションの設計時および実行時のアクセスを管理する。
  - アプリケーションでサポートする JavaScript 標準を選択する。
  - 実行時の API 操作の追跡方法を選択する。
  - テーブルに対する他のアプリケーションからのアクセスを許可または制限する。
- サブスクリプションを監視または適用する。
- アプリケーション モジュールを表示するデフォルトのメニューを選択する。
- アプリケーションに対するアクセスに必要なユーザーロールを設定する。
- ロゴを追加または更新する。
- すべてのアプリケーションファイルを表示する。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- アプリケーションが依存する他のアプリケーションのリソースを表示する。
- アプリケーションがアクセスを許可されている実行時リソースを表示する。
- アプリケーションがアクセスを許可されている設計時リソースを表示する。

アプリケーションバージョン

インストールされる各アプリケーションには、アプリケーション開発者がカスタムアプリケーションレコードに定義したバージョンが設定されます。

システムは、このバージョン情報を使用して、ServiceNow アプリケーションリポジトリまたは ServiceNow Store から入手可能な更新があるかどうかを判断します。

アプリケーションスコープ

アプリケーションスコープは、アプリケーションファイルやデータに対するアクセスを識別して制限することによって、アプリケーションを保護します。

管理者は、あるアプリケーションについて他のアプリケーションがアクセスできる部分を指定できます。

- カスタムアプリケーションレコード。
- 各アプリケーション テーブル レコード。

たとえば、会議室予約アプリケーションをそのアプリケーション独自のアプリケーションスコープで作成するとします。デフォルトでは、そのアプリケーションはアプリケーション自体のテーブルとビジネスロジックにアクセスして変更できますが、他のアプリケーションは、明示的な権限が付与されないかぎり、それらのテーブルやビジネスロジックにアクセスして変更することはできません。アプリケーションスコープにより、次のことが保証されます。

- 会議室予約アプリケーションがコアビジネスサービスを中断しない。
- 他のアプリケーションによって、このアプリケーションの通常機能が妨げられることはありません。

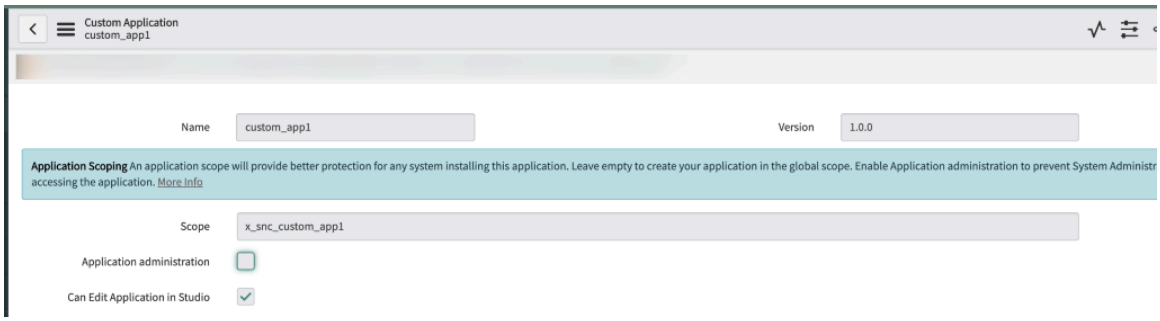
デフォルトでは、すべてのカスタムアプリケーションにプライベートスコープがあり、アプリケーション自体とその関連アーティファクトが名前空間識別子によって一意に識別されます。アプリケーションスコープにより命名の競合を防止し、コンテキスト開発環境では、許可する変更 (変更がある場合) を判断することができます。アプリケーション開発者は、アプリケーションを作成するときにアプリケーションスコープを指定します。

> **ヒント:**
> グローバルアプリが、変更したくないデータを変更する可能性があります。スコープ対象のアプリを活用して新しいテーブルを作成し、古いテーブルをスコープ対象のアプリに移行することを検討する必要があります。これにより、委託開発で責任を分割できます。委任開発の詳細については、「委託開発 の探索」を参照してください。

[スタジオでアプリケーションの編集が可能] オプションを選択しても、インスタンスで開発中のカスタムアプリケーションまたはグローバルアプリケーションには影響しません。アプリケーションの所有者がアプリケーションの公開を選択した場合は、Studio でのカスタマイズの開発を制限できます。**[Studio** でアプリケーションの編集が可能] を false に設定してから公開すると、アプリケーションを自分のインスタンスにダウンロードしたユーザーは、そのアプリケーションを Studio で編集できなくなります。ただし、Studio 内の 従来 - ソースコントロールの統合 機能にはアクセスできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



関連情報

アプリケーションテーブルへの実行時アクセス

グローバルスコープ

グローバルスコープは、アプリケーションスコープが実装される前に開発されたアプリケーションや、他のすべてのグローバルアプリケーションにアクセスできることを意図したアプリケーションを識別する、特別なアプリケーションスコープです。

グローバル スコープ内のアプリケーションでは、アプリケーション名に一意の名前空間識別子が付加されません。開発者が複数のグローバル アプリケーションを同じ名前で作成すると、グローバル アプリケーション間で命名の競合とデータの衝突が起こる可能性があります。

すべてのグローバルアプリケーションは同じスコープ内にあるため、スコープ保護をバイパスします。グローバル アプリケーションでは、他のグローバル アプリケーションがテーブルにアクセスして以下の処理を実行できます。

- レコードを読み取る。
- API リクエストを実行する。
- 設定レコードを作成する。

グローバルスコープ内には、通常、ServiceNow が提供するアプリケーションのみが属します。ただし、アプリケーションスコープが実装される前に作成されたカスタムアプリケーションもまた、グローバルスコープ内に属します。さらに、sn_g_app_creator.app_creator ロールを持つ開発者は、グローバルスコープ内でアプリケーションを作成できます。

グローバルスコープ内のアプリケーションは、ServiceNow Store ではなく、アプリケーションリポジトリへのアップロードが適しています。

関連情報

アプリケーションリポジトリへのアプリケーションの公開

ServiceNow Store にアプリケーションを公開する

名前空間識別子

システムにより、テーブル、スクリプト、および設定レコードなどのアプリケーションアーティファクトの先頭に名前空間識別子が付加されます。

この識別子は、変更したりアプリケーション アーティファクトから削除したりすることはできません。それにより、常に正しいアプリケーションに関連付けられ、一意な名前を持つことが保証されます。

システムは、以下の情報から名前空間識別子を生成します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前空間識別子を生成するために使用される要素

要素	要件	サンプル値
スコープ対象のアプリケーションのプリフィックス文字	スコープ対象のアプリケーションは常にプリフィックス x_ で始まります。	x_
お客様のインスタンスプリフィックス (glide.appcreator.company.code)	この文字列の長さは 2 ～ 5 文字です。ServiceNow が顧客ごとにこのプリフィックスを生成します。インスタンスは、プリフィックスを *glide.appcreator.company.code* システム プロパティに格納します。	ACME
アプリケーション ID	この文字列の長さは最大 40 文字です。文字列が 18 文字を超える場合、アプリケーション名は切り捨てられ、プリフィックス x_<glide.appcreator.company.code>_ に追加されます。アプリケーション開発者が、アプリケーションを作成するときにこの ID を設定します。デフォルトでは、システムによってアプリケーション名が使用されます。	book_rooms

このサンプル値からは、x_acme_book_rooms という名前空間識別子が生成されます。

名前空間識別子の例

次の例は、アプリケーション、テーブル、およびフィールドの名前空間識別子の生成を示しています。

名前空間識別子の例

アクション	生成される要素	説明
1. Book Rooms と呼ばれるプライベート スコープ アプリケーションの名前空間識別子を生成する。	x_acme_book_rooms	これは、ベンダー プリフィックスとアプリケーション ID の組み合わせです。
2. Marketing Events と呼ばれるグローバル スコープ アプリケーションの名前空間識別子を生成する。	なし	グローバル アプリケーションについては、システムによって名前空間プリフィックスは生成されません。
3. Book Rooms アプリケーションに conference rooms テーブルを追加する。	x_acme_book_rooms_conference_rooms	このテーブルは Book Rooms のスコープ内にあるため、先頭に名前空間識別子が付加されます。
4. グローバル アプリケーショ	u_marketing_event	グローバル スコープ内のカスタム テーブルには、常に名前空間識別子 u_ が使用されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前空間識別子の例 (続く)

アクション	生成される要素	説明
ンに Marketing Event テーブルを追加する。		
5. アプリケーション ピッカーで Book Rooms を選択し、conference room テーブルに キャパシティ フィールドを追加する。	capacity	このフィールドはテーブルと同じスコープ内にあるため、独自の名前空間識別子はありません。ただし、スクリプトでこのフィールドをドット連結する場合、x_acme_book_rooms_conference_rooms.capac のように、テーブルの名前空間識別子を含む完全パスを使用します。
6. アプリケーション ピッカーで Book Rooms を選択し、Marketing Event テーブルに **Theme** フィールドを追加する。	x_acme_book_rooms_theme	このフィールドはテーブルとは異なるスコープ内にあるため、名前空間識別子 x_acme_book_rooms がプリフィックスとして付加されます。スクリプトでこのフィールドをドット連結する場合、u_marketing_event.x_acme_book_rooms_theme のように、フィールドの名前空間識別子を含む完全パスを使用します。 **注:** この例では、Marketing Event テーブルで、他のアプリケーションスコープでのフィールドの追加が許可されていることを前提としています。
7. アプリケーション ピッカーで Marketing Events を選択し、Marketing Event テーブルに **Theme** フィールドを追加する。	u_theme	グローバルスコープ内のカスタムフィールドには、プリフィックス **u_** が使用されます。スクリプトでこのフィールドをドット連結するには、u_marketing_event.u_theme を使用します。

アプリケーション テーブル

アプリケーション開発者は、ユーザーがレコードを追加および更新できるように、テーブルと、それに関連付けられたリストとフォームを作成します。

アプリケーションはテーブルの所有者であり、他のアプリケーションがそのテーブルのリソースにアクセスできるかどうかを決定します。たとえば、Book Rooms アプリケーションは、conference room データを Conference Rooms [x_acme_book_rooms_conference_rooms] テーブルに保存し、他のアプリケーションがこのデータを読み取ることを許可できます。

システムは、標準のアクセスコントロールを使用して、アプリケーションデータに対するユーザーアクセスを管理します。開発者は、アプリケーションの作成時に、これらのアクセスコントロールにアプリケーション固有のユーザーロールを指定できます。また、アプリケーションのアクセス設定を使用して、アプリケーションテーブルに対するランタイムアクセスおよび設計時アクセスを管理することもできます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
特定の ServiceNow AI Platform サブスクリプションには、カスタムテーブルエンタイトルメントが含まれています。任意の目的で、最大でサブスクリプションのエンタイトルメント制限まで、カスタムテーブルを作成できます。作成したカスタムテーブルを使用アドミニストレーターがサブスクリプションにマッピングする方法の詳細については、「Map custom tables to a product subscription in Subscription Management」を参照してください。

次のデータベースの制限に注意してください。

- システムがテーブルごとに設定できるのは最大で 1000 列です。1000 列が指定された制限ですが、この制限はテーブル内に物理的に 1000 列を持つことができるという意味ではありません。テーブル内の列数は、ServiceNow AI Platform ではなく ServiceNow データセンターで使用されるデータベースによって定義されます。
- ストレージエンジンに関係なく、すべてのテーブルの最大行サイズは 65,535 バイトです。ストレージエンジンでは、この制限に追加の制約が課せられ、有効な最大行サイズが減少する場合があります。
- システムは、単一のテーブルに対して中程度の長さ以上の文字列フィールドを 10 を超えて持つことはできません。11 個以上の文字列フィールドに多数の文字を保存しようとすると、次のエラーが発生する可能性があります:データベースによって検出された構文エラーまたはアクセスルール違反 [行サイズが大きすぎる (> 8126)]。
- フィールドを作成すると、u_ プリフィックスが自動的に列名に追加されます。入力した列ラベルの先頭に数字が含まれている場合は、u_ プリフィックスに置き換えられます。

データベースの制限と ServiceNow インスタンス内のテーブルに関する一般的な質問の詳細については、KB0749585 を参照してください。

関連情報

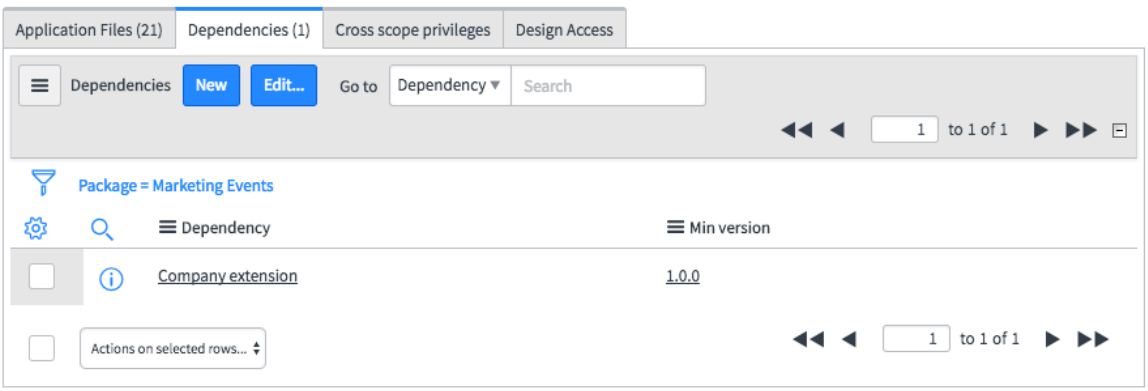
アプリケーションのアクセス設定

カスタムアプリケーションの依存関係

すべてのカスタムアプリケーションレコードには、他のアプリケーションとの依存関係を識別する関連リストが含まれます。

アドミニストレーターは、このリストをレビューして、アプリケーションが既存のプロセスやデータにリスクを与えるかどうかを判断できます。アプリケーション開発者は、このリストを使用して、アプリケーションに他のアプリケーションに対する正当なアクセス権限を持たせることができます。

アプリケーション依存関係の例



アプリケーションファイル

アプリケーションファイルは、開発者がアプリケーションの機能を拡張できるようにする設定レコードです。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

アプリケーション開発者は、ビジネスルール、ワークフロー、スクリプトインクルードなど、アプリケーション ロジックの設定レコードを追加するときに、アプリケーションファイルを作成します。スコープ対象のアプリケーションは、これらのテーブルの所有者ではありませんが、これらのテーブル内のレコード (ファイル) の所有者です。たとえば、使用可能な部屋を Conference Room テーブルで確認するビジネス ルールを追加すると、ビジネス ルール [sys_script] テーブルにアプリケーション ファイルが追加されます。アプリケーション開発者は、カスタムアプリケーションレコードからアプリケーションファイルの完全なリストを表示できます。

アプリケーション ファイル [sys_metadata] テーブルは、設定レコードを含むすべてのテーブルの親テーブルです。これは、設定レコードの属性を定義する一連の標準フィールドを提供します。設定レコードを含むテーブルは、アプリケーションファイルテーブルを拡張します。たとえば、ビジネスルール [sys_script] テーブルは、アプリケーション ファイル テーブルを拡張します。

開発者が、アプリケーションファイルテーブルからアプリケーションファイルレコードを直接作成することはありません。そうではなく、設定レコードを作成または変更すると、関連するアプリケーションファイルレコードがシステムによって作成または変更されます。ほとんどの設定レコードテーブルでは、アプリケーションファイルテーブルの参照フィールドまたは関連リストは表示されません。デフォルトでは、アプリケーション ファイル テーブルへの参照が存在するのは、アプリケーション [sys_scope] とテーブル [sys_db_object] のみです。

システムは、更新セットのアプリケーションファイルレコードも追跡します。アプリケーション ファイル レコードまたは関連する設定レコードが変更されるたびに、対応するレコードがシステムによってカスタマー アップデート [sys_update_xml] テーブルに追加されます。システムは、単一の更新レコードを使用することで、インスタンス間でアプリケーションを転送するときに設定レコードとそのアプリケーションファイルの同期が維持されるようにします。衝突を避けるために、別の更新セットで以前に編集されたアプリケーションファイルを編集するときに警告が表示されます。

アドミニストレーターは、以下の操作を実行できます。

- 設定レコードのファイル プロパティを表示する。
- アップグレード中にアプリケーションファイルが変更されないようにする。
- 設定レコード間の親子関係を表示する。

関連情報

従来 - アプリケーションにアプリケーションファイルを追加

ファイルプロパティの表示

アドミニストレーターは、1 つのレコードのアプリケーションファイルプロパティを表示できます。

始める前に

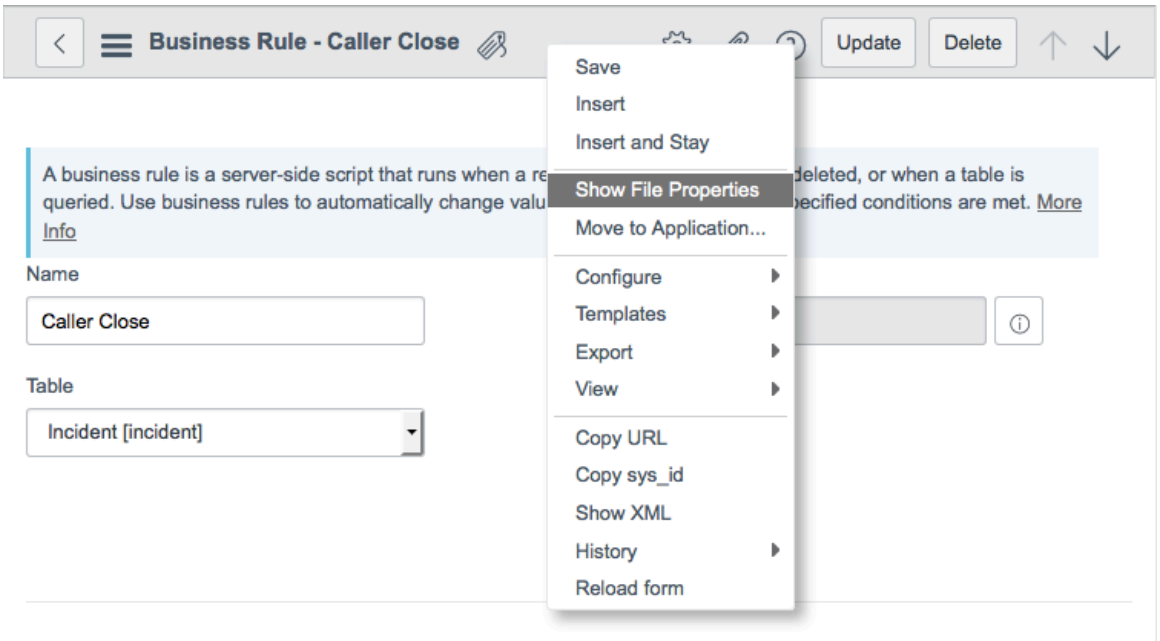
必要なロール：admin

手順

1. 設定レコードのフォーム ビューに移動します。
   たとえば、 すべて > システム定義 > ビジネスルール をクリックし、インシデントテーブルのビジネスルールを選択します。
2. フォーム ヘッダーを右クリックし、 を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

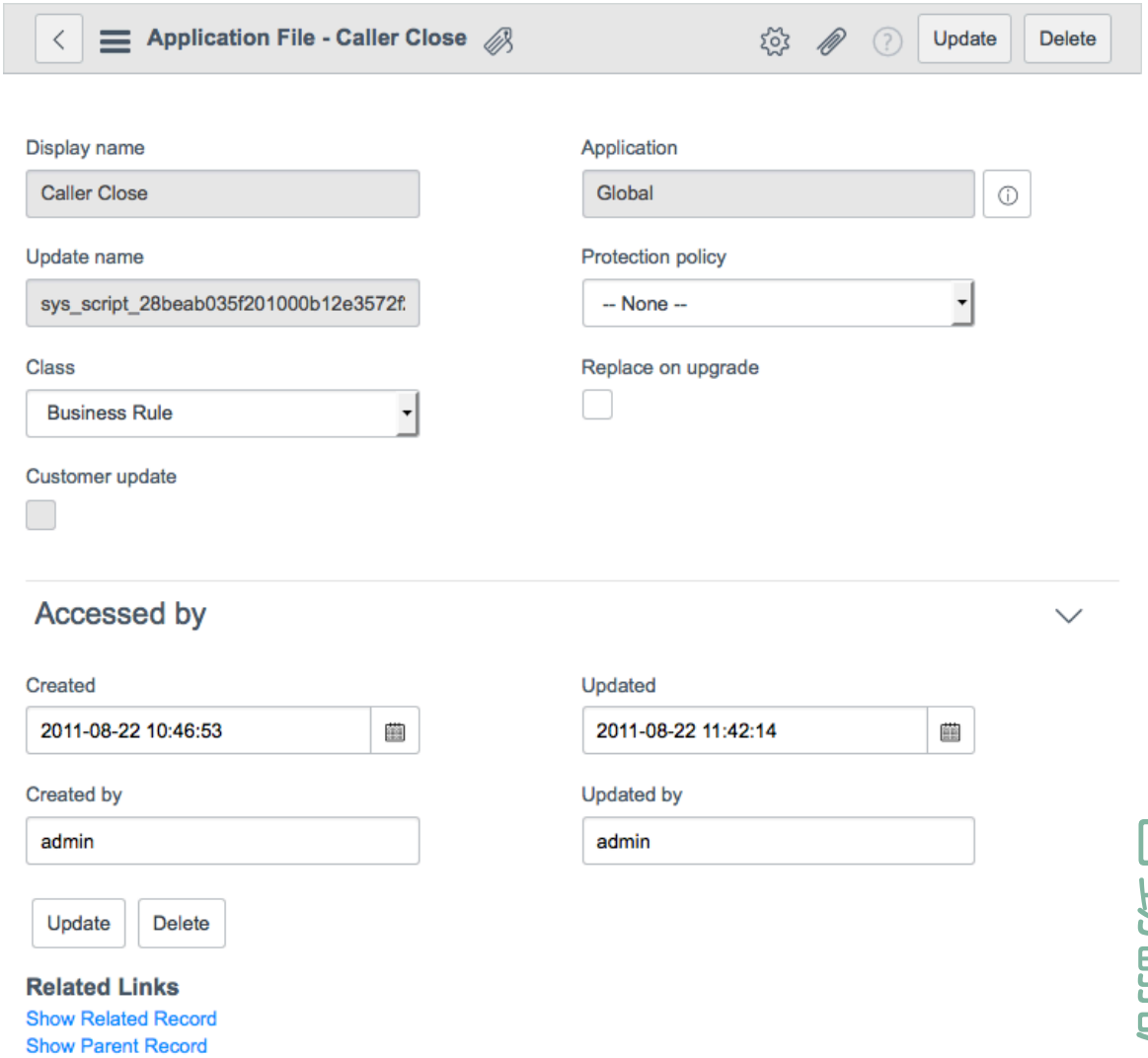


アプリケーションファイルテーブルは、設定レコードの属性を定義する一連の標準フィールドを提供します。

3. 設定レコードのビューに戻るには、 関連リンクをクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



自動翻訳

4. カスタマーアップデートレコード、ファイルプロパティビュー、および設定レコード ビューの間を移動します。

オプション	説明
関連リンク	設定レコードに移動します。
関連リンク	現在の設定レコードの親レコードに移動します。
関連リンク	フィールドラベルの翻訳など、子の設定レコードを表示します。

アプリケーションファイルフォーム

アプリケーションファイルフォームを使用して、アプリケーションと設定レコードの関係を表示します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アプリケーションファイルフォームのフィールド

フィールド	説明
表示名	設定レコードの表示名です。
更新名	この設定レコードに対する一意の識別子です。この値は、レコードのバージョンと更新を識別するために使用されます。
クラス	この設定レコードを含むテーブルです。
アプリケーション	この設定レコードを含むアプリケーションです。
保護ポリシー	設定レコードが変更から保護されているかどうかを判別するポリシーです。詳しくは「保護されたアプリケーションファイル」を参照してください。
作成日時	この設定レコードの作成日です。
作成者	この設定レコードを作成したユーザーです。
更新日時	この設定レコードの最終更新日です。
更新者	この設定レコードを最後に更新したユーザーです。
関連するレコード バージョン	関連する設定レコードのバージョン レコードです。バージョン レコードは、ユーザーが関連レコードを変更するたびに作成されます。このリストを使用して、設定レコードのバージョンを比較したり、以前のバージョンに戻したりします。詳しくは「バージョン」を参照してください。
関連するレコードの更新	関連する設定レコードのローカル更新レコードです。更新レコードは、特定の更新セット内にある関連レコードに対する最新の変更について作成されます。詳しくは「更新セット」を参照してください。

注:
このフォームに [所有者] (owned_by) フィールドを手動で追加すると便利な場合があります。アプリケーションごとに、IT 内の誰がアプリケーションを所有し、それに関する情報の管理責任を担っているかを示します。データ認定機能は、このフィールドを使用して、四半期ごとまたは設定された任意の時間間隔で認定タスクを送信します。認定タスクを他のユーザーにアサインできますが、このフィールドを使用すると構成作業が制限されます。フォームへのフィールドの追加とデータ認定の詳細については、「Using the form designer」および「Data Certification」を参照してください。

アプリケーションファイル保護ポリシー

読み取り専用の保護ポリシーは、アプリケーションファイルまたはその関連レコードが変更されないようにします。

ServiceNow システムに付属する一部のアプリケーション コードには特別な保護が必要です。この保護ポリシーを変更し、アプリケーションファイルやその関連レコードを変更できるのは、ServiceNow の従業員のみです。ServiceNow の従業員は、このポリシー指定を変更してからでないと、保護されたファイルを編集できません。

カスタマイズした内容がシステムのアップグレードによって上書きされないようにするため、アップグレード プロセスでは、顧客が更新したレコードに対する変更を自動的にスキップします。アップグレード時に後から読み取り専用と指定されたアプリケーションファイルまたは関連レコードを変

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

更すると、アプリケーションファイルは、デフォルトの保護ポリシーである書き込みのまま維持します。このため、既存の変更を維持したまま、レコードを引き続き変更できます。

注:
カスタマイズされたファイルをベースライン状態に戻すと、レコードは新しい保護ポリシーも継承します。たとえば、レコードが書き込みの保護ポリシーから読み取り専用の保護ポリシーに変更されます。

設定レコード間の関係

アプリケーションファイルタイプテーブルは、設定レコード間の親子関係を定義します。

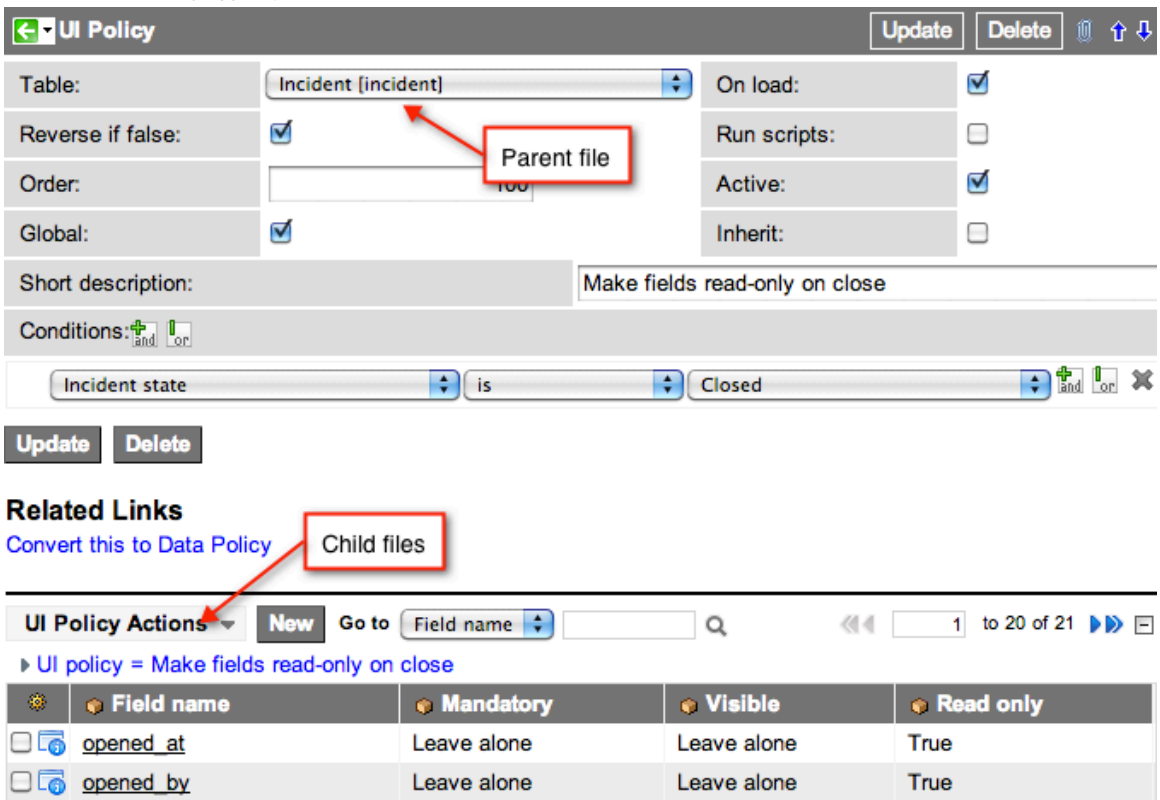
システムは、この構造を使用して、通常は同じアプリケーション内にまとめられる設定レコードを保持します。

注:
アプリケーションファイルタイプテーブルは、システム機能を提供するものであるため変更しないでください。

たとえば、UI ポリシーの親子関係を考えてみましょう。

- UI ポリシーは、アプリケーション テーブルの子である。
- UI ポリシー アクションは、UI ポリシーの子である。
- UI ポリシー アクションには、親にあたる UI ポリシーと祖父母にあたるアプリケーション テーブルがある。
- UI ポリシー アクションと UI ポリシーは、すべてアプリケーション テーブルの子孫である。

設定レコードの関係の例



© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

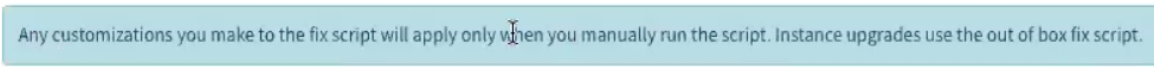
修復スクリプト

修正スクリプトは、アプリケーションのインストールまたはアップグレード後に実行するサーバー側 JavaScript コードです。

修正スクリプトは、アプリケーションのデータ完全性や製品安定性に必要な変更を加えるために含めます。

アドミニストレーターは、修正スクリプトを作成、管理、および実行できます。script_fix_admin ロールを持つユーザーは、修正スクリプトを作成および管理できますが、修正スクリプトを実行することはできません。

注:
既存の修正スクリプトを開くか、新しい修正スクリプトを作成すると、次のメッセージを含む注釈が表示されます。



修正スクリプトの作成

修正スクリプトを作成して、システムがアプリケーションを適切にインストールまたは更新できるようにします。

始める前に
必要なロール： script_fix_admin または admin

このタスクについて
修正スクリプトを使用して、ルール、スクリプト、プロパティ設定を含むデータを追加、更新、および削除します。

手順

1. 移動先 すべて > システム定義 > 修復スクリプト.
2. [**New**] をクリックします。
3. フォームのフィールドに入力して、修正スクリプトを定義します。

フィールド	説明
名前	修正スクリプトの一意の分かりやすい名前。
読み込み不能	修正スクリプトの実行時に顧客アップデートレコード [sys_update_xml] を作成するオプション。 修正スクリプトテストでは、[読み込み不能] オプションが強制されます。
前	アプリケーションをインストールまたはアップグレードする前に修正スクリプトを実行するオプション。
ロールバック用に記録	必要に応じて元に戻せるように、スクリプトの実行を記録するオプション。
説明	修正スクリプトの説明。
スクリプト	修正スクリプトのコード。

4. [送信] をクリックします。
5. 修正スクリプトをテストし、必要な変更を行います。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

修正スクリプトのテスト

修正スクリプトをテストして、期待どおりにアプリケーションがインストールまたは更新されることを確認します。

始める前に
必要なロール：admin

このタスクについて
修正スクリプトでは、ルール、スクリプト、プロパティ設定を含むデータが追加、更新、削除されます。

> **注:**
> 本番インスタンスで修正スクリプトをテストしないでください。

手順

1. 修正スクリプト レコードを開きます。
2. コード設計をレビューして、同じシステム上で複数回実行しても支障を与えないようにします。たとえば、デフォルトでプロパティにロールを追加する修正スクリプトを記述することが考えられます。最初のインストール後にスクリプトを再実行する必要がない場合でも、既存のデータを上書きせずに同じシステム上で複数回実行できるようにスクリプトを設計してください。
3. 関連リンクをクリックします。
   テストでは [読み込み不能] オプションを強制します。
4. スクリプトの実行方法を確認します。

オプション	説明
バックグラウンドで進行	実行に時間が掛かるスクリプトの場合、または予想される実行時間がわからない場合は、このオプションを使用します。
続行	スクリプトを直ちに実行し、結果を確認ウィンドウに表示する場合は、このオプションを使用します。

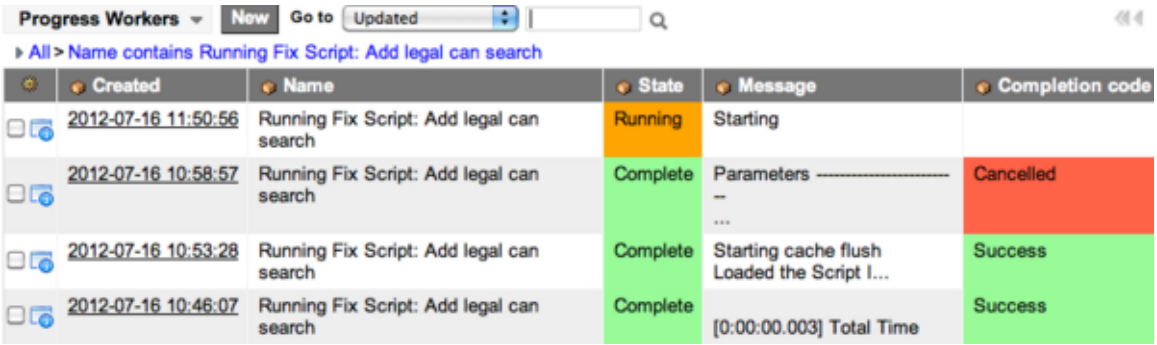
5. 関連リストで結果をレビューし、必要な変更を行います。
6. 実行中の修正スクリプトを手動で停止するには、次の操作を実行します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. 関連リストから 状態のワーカーを選択します。

b. 関連リンクを選択します。



修正スクリプトの実行

修正スクリプトは、最初のインストール時に実行されるか、アプリケーションに追加された後に更新されます。ただし、以前の修正スクリプトは後続のアプリケーションの更新では実行されないため、必要な修正スクリプトを手動で実行する必要があります。

始める前に
必要なロール：admin

このタスクについて
修正スクリプトを実行するには、次の操作を実行します。

手順

1. 移動先 すべて > システム定義 > 修復スクリプト.

2. フィルターを編集してアプリケーション名を検索します。
たとえば、 | [次の値に等しい] | [Book Rooms] のように指定します。

3. 修正スクリプト レコードを開きます。

4. [修正スクリプトの実行] をクリックします。

フルフィルメントテーブル

本番インスタンスで ServiceNow Store アプリの使用資格を適用できるようにするには、レコードの所有者または登録済みアプリのユーザーだけが更新できるテーブルを構成します。

カスタムアプリケーションをサポートするために開発者が作成または拡張するすべてのテーブルについて、そのテーブルをフルフィルメントテーブルとして指定できます。フルフィルメントテーブルでは、登録済みの履行者ユーザーのみが履行者アクション (一般には、所有していないレコードの作成/更新/削除) を実行できます。

これに対し、フルフィルメントテーブルではないテーブルの場合、登録していないユーザーであっても依頼者として関与できます。その目的は、使用アドミニストレーターが、そのアプリケーションを実装しているすべての本番インスタンスでサブスクリプションを適用できるようにすることです。

フルフィルメントテーブルのレコードの所有権
履行者アクションをシステムが識別できるようにするために、テーブル内のレコードの所有権を決定する方法を定義します。 アプリケーション開発者は、ユーザーがレコードを所有しているかどうかを判断する一連の条件を指定します。たとえば、*UserA* がレコードを開いたか、別のリソースが *UserA* の代わりにレコードを開いた場合、*UserA* はタスクテーブルのレコードを所有します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サブスクリプションが必要なタスク拡張テーブル、タイムカード、アプリの場合、テーブルはデフォルトでフルフィルメントテーブルとして設定され、所有権条件が自動で割り当てられます。アプリをサポートするために作成したテーブルでは、テーブルをフルフィルメントテーブルとしてマーク付けし、所有権条件を指定できます (たとえば、フィルター **[opened_by][is][currentUser] OR [caller_id][is][currentUser]** を使用します)。

システムのデフォルトの所有権条件

アクション	所有権条件 **[owner_condition]**
タスク拡張	opened_by (読み取り専用)
カタログ要求	requested_for (読み取り専用)
サブスクリプションが必要なアプリ内の他のテーブル	sys_created_by (読み取り専用)
サブスクリプションが必要なアプリに対して開発者が作成したテーブル	開発者によって指定

テーブルがフルフィルメントテーブルであることの指定

テーブルをフルフィルメントテーブルとして設定すると、アプリに登録していないユーザーによる更新を防止できます。ServiceNow Store アプリでは、テーブルをフルフィルメントテーブルとして設定し、フルフィルメントの使用をサブスクリプション使用ポリシーに準拠させることができます。

始める前に
必要なロール：usage_admin、admin

手順

1. テーブルを操作しているときに、[テーブルサブスクリプション構成] 関連リストを開きます。
2. [フルフィルメントテーブル] を選択します。
3. レコードを所有するエンドユーザーと登録済みの履行者ユーザーの両方がレコードを更新できるように、システムがテーブル内のレコードの所有権を決定する方法を指定します。所有権条件を指定します。
   たとえば、フィルターを **[opened_by]**[次の値に等しい **(=)][currentUser] OR [caller_id]**[次の値に等しい **(=)][currentUser]** と指定します。

個人開発者インスタンスガイド

ServiceNow® では、開発者プログラムのメンバーに無料の個人開発者インスタンス (PDI) を提供し、ServiceNow AI Platform を学習、探索、および試用できるようにします。

ServiceNow® では、ServiceNow AI Platform® でアプリケーションを開発したりスキルを向上させたりしたい開発者プログラムメンバーに、無料の個人開発者インスタンス (PDI) を提供しています。PDI は、 ServiceNow AI Platform を試してビジネスに大きな価値をビルドするためのサンドボックス環境をメンバーに提供します。ServiceNow 開発者プログラムでは、各メンバーがインスタンスを 1 つだけ持つことができ、すべての開発者プログラムメンバーがこの貴重なリソースを最大限に活用できます。

個人開発者インスタンス (PDI) を使用すると、顧客またはパートナーのインスタンスに影響を与えることなく、アプリケーションのアイデアをテストできます。PDI の使用目的は、ServiceNow AI Platform の学習、探索、および試用です。PDI は、ビジネス目的または本番目的での使用を意図したものではありません。ビジネスまたは本番で PDI を使用することは、ServiceNow 開発者プログラムの契約に違反します。PDI を使用すると、ServiceNow AI Platform が提供するすべての機能

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

に対するアドミンレベルのアクセス権が付与されます。PDI を継続的に使用すれば、永久に使用できます。

詳細については、 ServiceNow 開発者サイト .

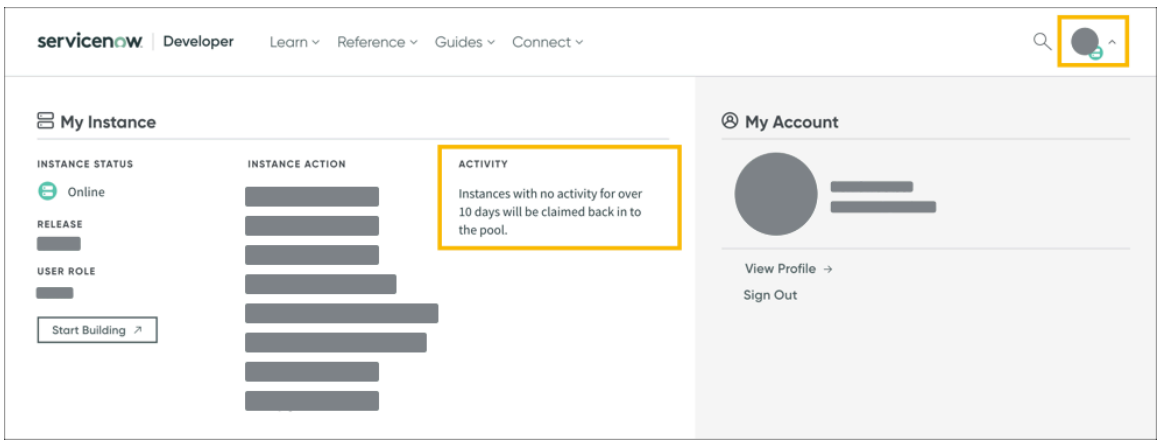
PDI について

PDI では、特定のリリースを選択し、一貫した使用を維持して休止状態を回避する必要があります。

開発者サイトにサインインして、PDI をアクティブなままにします。一定期間非アクティブになると、インスタンスは再利用されます。データの損失を防ぐために、定期的に作業をバックアップしてください。

注:
作業を保存するには、作業をソースコントロールにコミットするか、更新セットを作成します。保存されていない作業は、インスタンスの再利用によって失われる可能性があります。

PDI が再利用されると、インスタンスのアサインが解除され、元の状態にリセットされて別の開発者プログラムのメンバーに再アサインされます。インスタンスを再利用することで、開発者プログラムは無料のインスタンスでアクティブなプログラムメンバーをサポートできます。開発者サイトヘッダーの [アカウント] メニューの [アクティビティ] セクションには、非アクティブ状態が 10 日間継続していることを示すリマインダーが含まれています。



インスタンスでサインインするか、次のような開発者タイプのアクティビティを実行して、PDI をアクティブな状態に保ちます。

- アプリケーションの作成
- テーブルの作成
- テーブルへのフィールドの追加
- スクリプトインクルードの作成

休止状態

開発者プログラムを無料に保ち、PDI を必要とするすべてのユーザーに PDI を提供するために、インスタンスはアイドル状態のときに休止状態になります。PDI が休止状態になると、コンピューティングリソースを節約するためにデータベースとアプリケーションサーバーがシャットダウンされます。PDI が休止状態になったときは、すべてのデータが保持されます。開発者サイトにサインインすることで、休止状態のインスタンスを起動させることができます。インスタンスを休止状態から起動させると、10 日間の非アクティブカウントダウンがリセットされます。

さらに、次の点にも注意する必要があります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

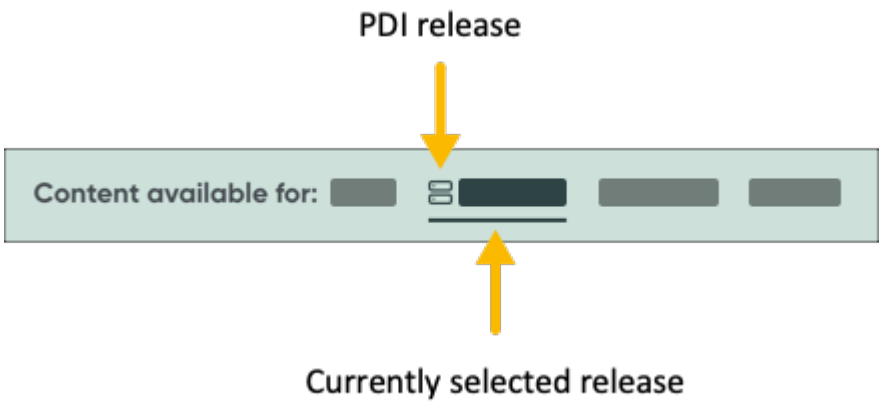
- PDI は、10 日間使用されない場合、利用可能なインスタンスのプールに返されます。期間は空き状況により変更される場合があります。
- 空き状況は保証されません。
- PDI は、顧客またはパートナーのインスタンスのクローンターゲットまたはクローンソースにすることはできません。
- PDI は ServiceNow® に属しているため、チーム開発を介して顧客またはパートナーのインスタンスにリンクすることはできません。
- PDI は、ServiceNow アプリケーションリポジトリや ServiceNow® ストアにアプリケーションを公開することはできません。
- PDI は、機械学習、インスタンスデータレプリケーション (IDR)、またはメトリックベースでは機能しません。
- 多くの ServiceNow® Store アプリケーションは PDI にインストールできません。

メンテナンス

ServiceNow® は、PDI に関連付けられた基礎となるインフラストラクチャのメンテナンスを実行する必要がある場合があります。メンテナンスには、ソフトウェア、ファームウェアの更新とパッチ適用、およびハードウェアの交換が含まれます。メンテナンス中は、PDI にアクセスできない場合があります。メンテナンスに必要な時間は、メンテナンスのタイプによって異なります。利用可能な場合、[自分のインスタンス (My Instance)] ページには、計画済みメンテナンスの予想完了時間が表示されます。PDI の作業とデータは、計画済みメンテナンスの影響を受けません。

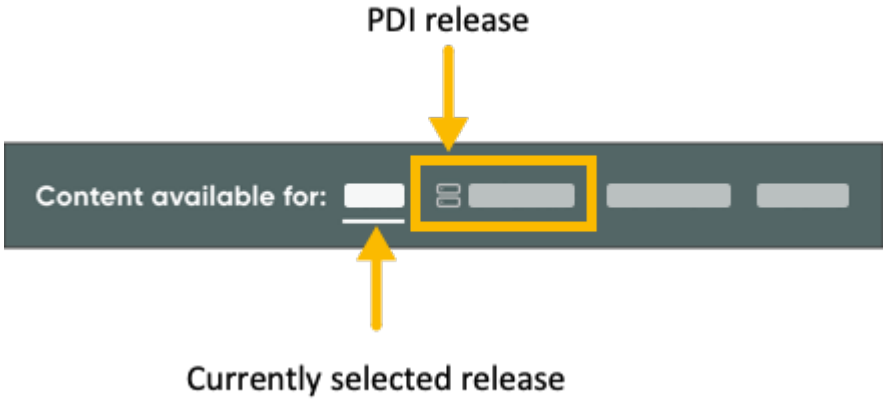
PDI とリリースセレクター

さまざまなリリースのコンテンツが利用可能な場合は、リリースセレクターを使用してリリースを選択します。リリース名の横にあるサーバーアイコンは、PDI のリリースを示します。リリース名の下のバーは、選択したリリースを示します。PDI で作業するときは、コンテンツが PDI と一致していることを確認してください。



コンテンツが PDI リリースと一致しない場合は、サーバーアイコンのあるリリースをクリックして、PDI のリリースと一致するコンテンツを表示します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



セレクターには、コンテンツが PDI リリースで利用できない場合を除き、コンテンツの現在のページが利用可能なリリースのみが表示されます。コンテンツが PDI リリースで利用できない場合、PDI リリースはグレー表示され、選択できません。

PDI が最新リリースでない場合は、PDI のアップグレード手順に従って最新リリースを入手してください。

開発インスタンスの取得

アプリケーションをビルドおよびテストするための個人開発インスタンスを要求します。

始める前に

必要なロール：なし

このタスクについて

無料の ServiceNow 個人開発者インスタンス (PDI) を取得します。サンドボックス内でアプリケーションをビルドして、アプリケーションビルダーと展開戦略をテストします。

手順

1. に移動します 開発者サイト ブラウザーで。
2. ServiceNow 開発者アカウントがない場合は、[サインイン] または [サインアップしてビルドを開始 **(Sign up and Start Building)]** を選択します。
3. ServiceNow 開発者サイトにログインした後、[ガイド] を選択します。
4. [ガイドの概要 **(Guides Overview)]**を選択します。
5. サイドナビゲーションで [個人開発者インスタンス **(PDI)** ガイド **(Personal Developer Instance (PDI) Guide)]** を選択します。
6. 指示に従って、個人開発者インスタンスを取得します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

PDI の取得

新しいインスタンスを取得して、最新の一般提供リリースで PDI を実行します。

始める前に

必要なロール：なし

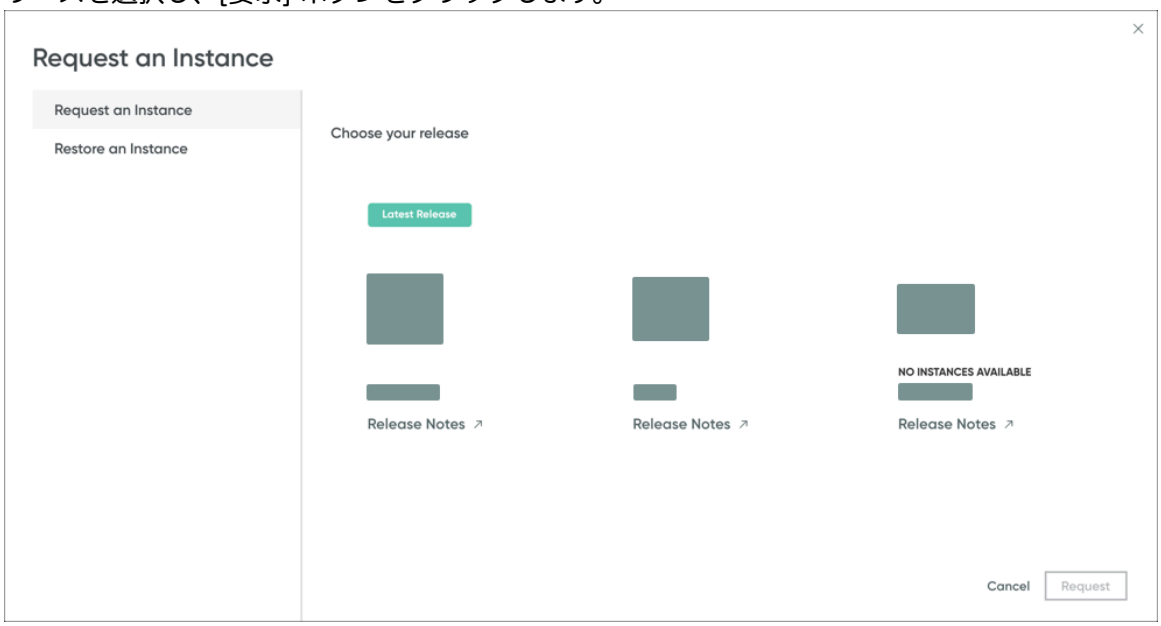
このタスクについて

開発者サイトに初めてサインインすると、最新の一般提供リリースを実行している PDI が提供されます。この PDI は、アクティブにしておく限り使用できます。以前のリリースを実行している PDI が必要な場合は、PDI をリリースして新しいインスタンスを要求します。

PDI をリリースしたか、10 日間以上アクティビティがなかったために PDI がない場合は、が新しいインスタンスを要求できます。

手順

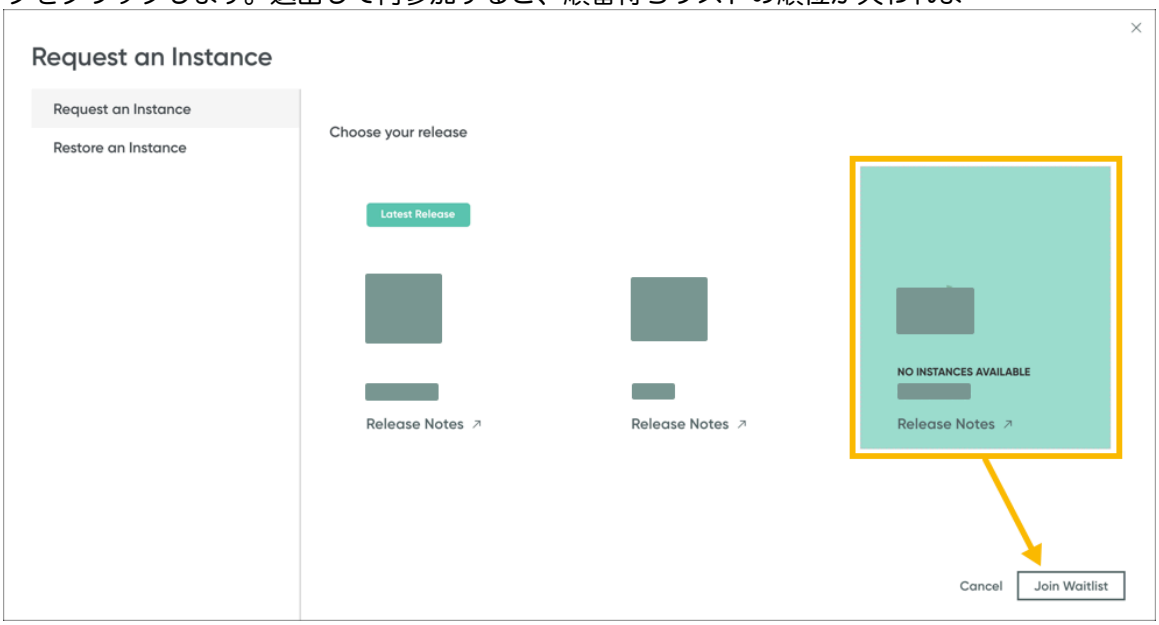
1. へのサインイン 開発者サイト .
2. ヘッダーの [インスタンスの要求] ボタンをクリックします。
3. [インスタンスの要求 **(Request an Instance)]** ダイアログで、インスタンスの ServiceNow® リリースを選択し、[要求] ボタンをクリックします。



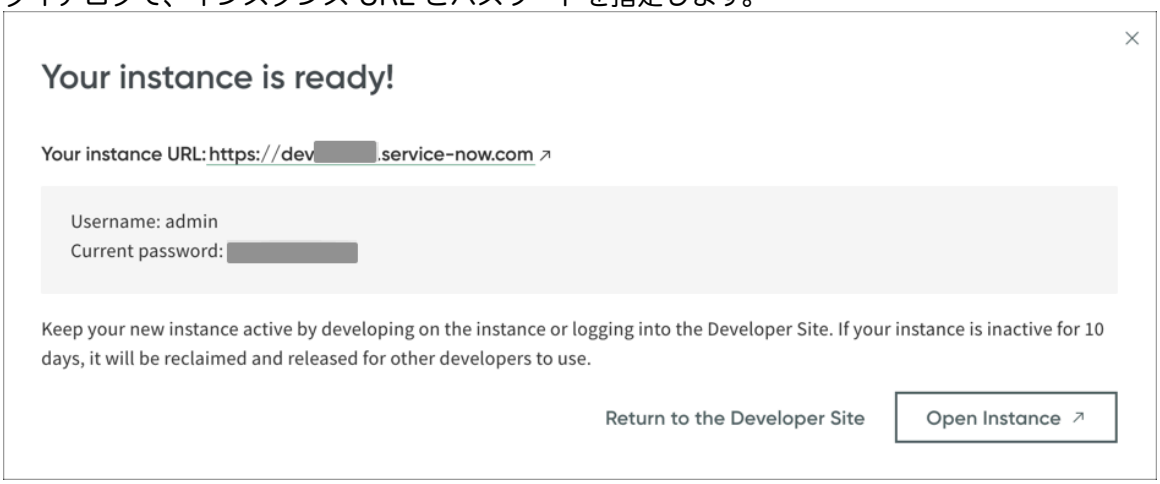
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- PDI は限られたリソースです。目的のリリースで利用可能な PDI がない場合は、リリースのリリースカードを選択し、[順番待ちリストに参加 **(Join Waitlist)]** ボタンをクリックします。PDI が利用可能になると通知されます。
- 順番待ちリストから退出するには、ヘッダーの [順番待ちリストから退出 **(Leave Waitlist)]** リンクをクリックします。退出して再参加すると、順番待ちリストの順位が失われます。



4. インスタンスがアサインされると、 [インスタンスの準備ができました **(Your instance is ready!)]** ダイアログで、インスタンス URL とパスワードを指定します。



5. [インスタンスを開く] ボタンをクリックして、新しいブラウザータブでインスタンスを開きます。

PDI へのアクセス

PDI を開き、インスタンスでビルドを開始します。

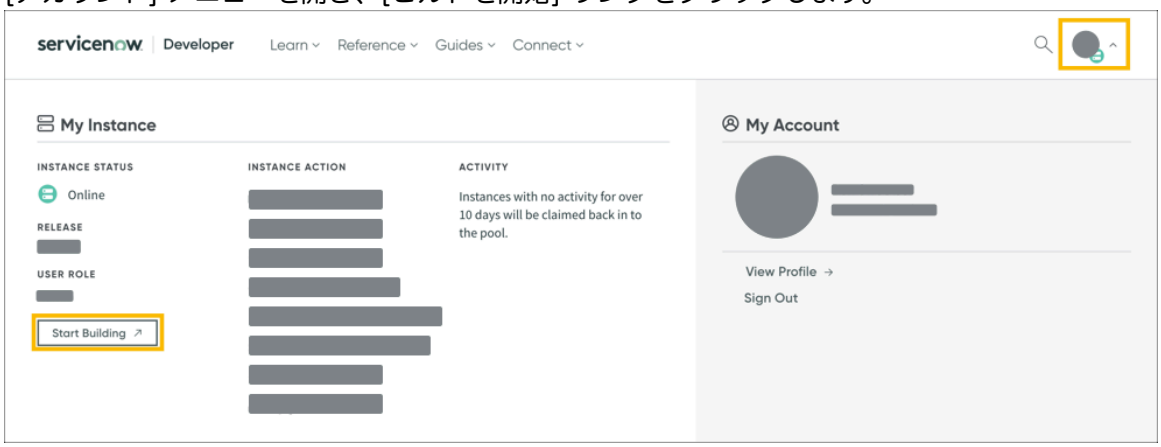
始める前に
必要なロール：なし

このタスクについて
PDI を取得したら、[アカウント] メニューからインスタンスを開くことができます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 開発者サイトにサインインします。
2. [アカウント] メニューを開き、[ビルドを開始] リンクをクリックします。



3. PDI が休止中の場合は、PDI が起動してアクセスできるようになるまで数分待ちます。
   開発者サイトにサインインすると、PDI は自動的に休止状態から起動します。
4. 開発者サイトにサインインしている間に PDI が休止状態になった場合は、[インスタンスを更新] インスタンスアクションを選択し、[インスタンスを起動 **(Wake Instance)]** ボタンをクリックして、PDI を休止状態から起動させます。
5. インスタンスがメンテナンス中の場合は、メンテナンスが完了するまで待ってから PDI にアクセスする必要があります。
6. PDI へのアクセスに問題がある場合は、このガイドの「インスタンスのサポートを受ける」セクションで実行できる手順を確認してください。

PDI からのプラグインのアクティブ化

インスタンスの使用を開始する 1 つのオプションは、PDI のプラグインを直接アクティブ化することです。

始める前に
必要なロール：なし

このタスクについて
ほとんどのプラグインは PDI で直接アクティブ化できます。Activate a plugin の指示に従います。

手順

1. PDI で、 すべての > システム定義 > プラグイン.
2. [検索] フィールドに、<インストールするプラグインの名前> (app engine studio など) を入力します。
3. プラグインのカードで、[インストール/すべて更新] ボタンをクリックします。
4. オプション：[インストール] ダイアログで、[デモデータのロード] オプションを選択して、プラグインのサンプルデータをインストールします。
5. [インストール] ボタン選択します。
6. インストールが完了したら、[インストール] ダイアログの [閉じる] ボタンをクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

開発者サイトからの **PDI** プラグインのアクティブ化

開発者サイトから PDI プラグインを有効にして、インスタンスでの作業を開始します。

始める前に

必要なロール：なし

このタスクについて

一部のプラグインは、会社およびパートナーのインスタンスで ServiceNow® 担当者によるアクティブ化が必要です。プラグインリストからこれらのプラグインをアクティブ化することはできません。これらのプラグインは、[アカウント] メニューの [自分のインスタンス **(My Instance)**] セクションから有効にできる場合があります。

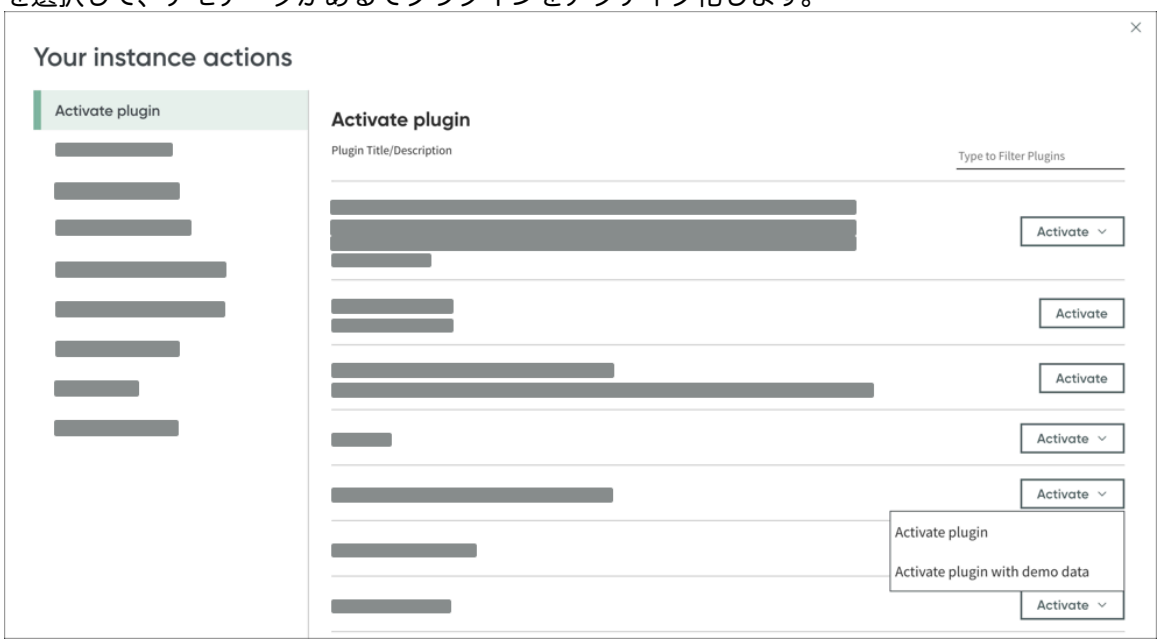
注:
多くの ServiceNow® Store アプリケーションは PDI にインストールできません。

手順

1. [アカウント] メニューを開き、[自分のインスタンス **(My Instance)**] セクションにアクセスします。
2. [プラグインのアクティブ化] インスタンスアクションをクリックします。
3. [インスタンスアクション **(Your instance actions)**] ダイアログで、プラグインを見つけて [アクティブ化] ボタンをクリックします。
4. プラグインにデモデータがある場合は、次の手順を実行します。

   a. [プラグインのアクティブ化] メニュー項目を選択して、デモデータがないプラグインをアクティブ化します。

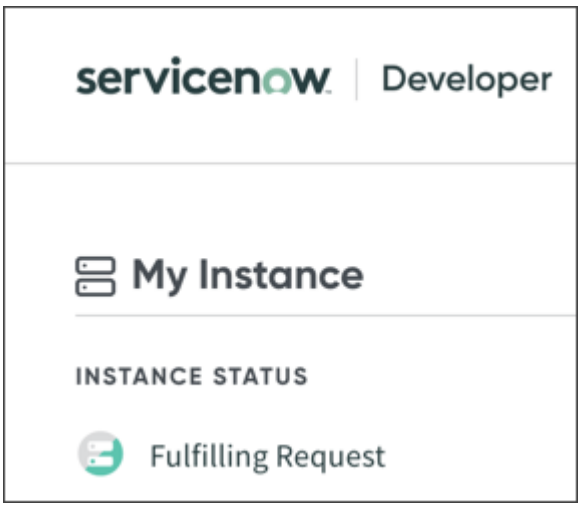
   b. [デモデータがあるプラグインのアクティブ化 **(Activate plugin with demo data)**] メニュー項目を選択して、デモデータがあるでプラグインをアクティブ化します。



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プラグインがアクティブになっている間は、他のインスタンスアクションを実行できません。プラグインがアクティブになっている間は、[インスタンスステータス] は [要求の実行中 **(Fulfilling Request)]** です。



タスクの結果
プラグインのアクティブ化が完了すると、開発者サイトからメールを受信します。ServiceNow® 担当者によるアクティブ化が必要なプラグインは、PDI のプラグインリストに表示されません。[利用可能なプラグイン] ダイアログにプラグインのアクティブ化ステータスが表示されません。

プラグインを使用するには、PDI にログインしたブラウザーウィンドウを再ロードします。

PDI のメールプロパティの管理

PDI 内のプロパティを設定して、メールの送受信を開始します。

始める前に
必要なロール：なし

このタスクについて
ServiceNow® インスタンスはメールを送受信できます。メールの構成は通常、アプリケーション開発者ではなくシステムアドミニストレーターの責任です。PDI でメールを送受信するには、メールの送受信を設定する必要があります。

残念ながら、個人開発者インスタンス (PDI) は、スパムメールを送信するために誤って悪意を持って使用されてきました。スパムを防止しつつ PDI での通知を許可するために、メールサーバーの送信先を単一ドメイン guerrillamail.com に制限しました。PDI は、guerrillamail.com を除くすべてのドメインからメールを受信できます。

手順

1. 開発者サイトからのメール送受信を有効にするには、次の手順を実行します。

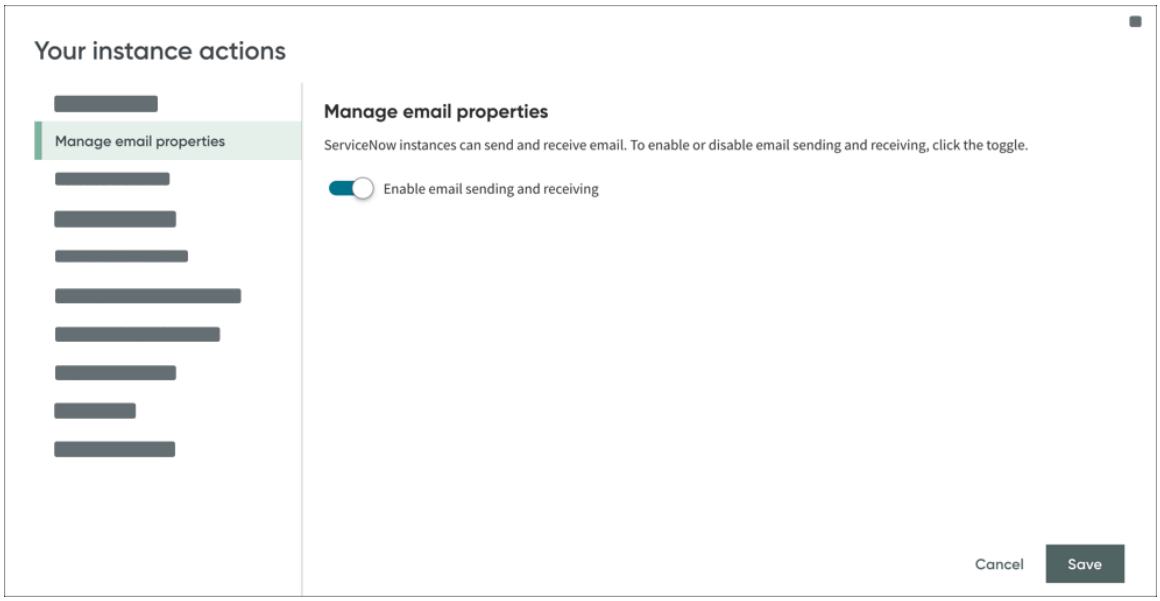
   a. [アカウント] メニューを開き、[自分のインスタンス **(My Instance)]** セクションにアクセスします。

   b. [メールプロパティの管理] インスタンスアクションをクリックします。

   c. [インスタンスアクション **(Your instance actions)]** ダイアログで、[メールの送受信を有効にする **(Enable email sending and receiving)]** トグルを有効にします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



d. [保存] ボタンをクリックします。

2. メールの送受信を無効にするには、[メールの送受信を有効にする **(Enable email sending and receiving)]**トグルを無効にします。

PDI のリリース

PDI をリリースしてインスタンスのアサインを解除し、元の状態にリセットして、別の開発者プログラムのメンバーに再アサインします。

始める前に
必要なロール：なし

このタスクについて
PDI が不要になった場合、または長期間使用できない場合は、作業を保存してインスタンスをリリースします。PDI がリリースされると、インスタンスのアサインが解除され、元の状態にリセットされて別の開発者プログラムのメンバーに再アサインされます。インスタンスを要求するか、インスタンスを復元すると、異なるインスタンス名と URL の PDI を受け取ります。

手順

PDI をリリースするには、次の手順を実行します。

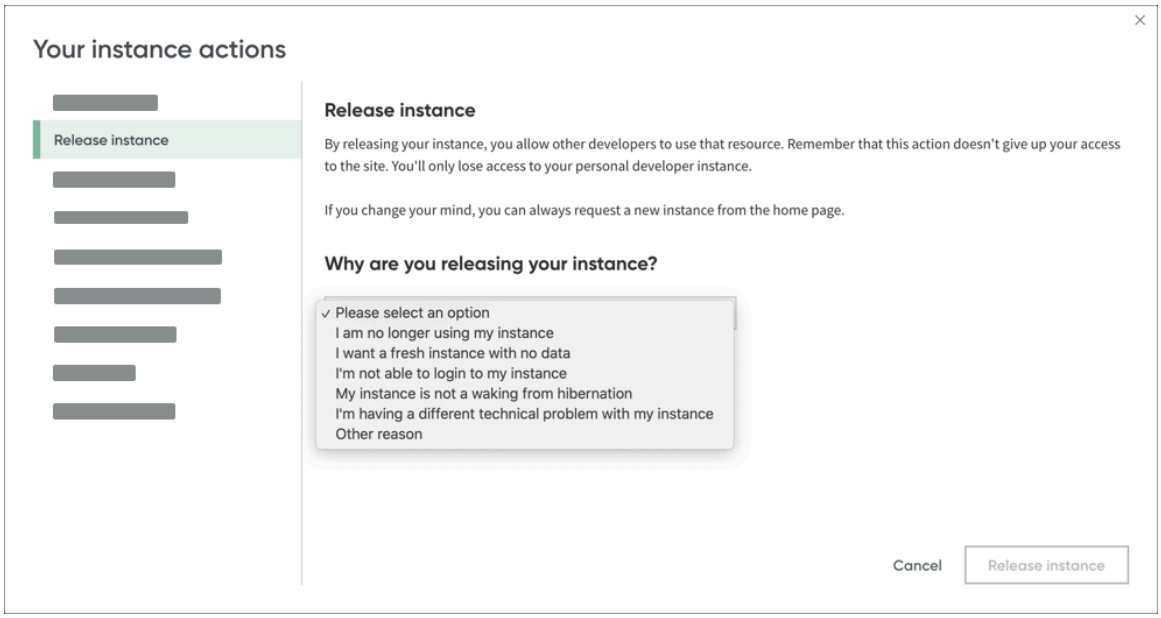
a. [アカウント] メニューを開き、[自分のインスタンス **(My Instance)]** セクションにアクセスします。

b. [リリースインスタンス] インスタンスアクションをクリックします。

c. [インスタンスアクション **(Your instance actions)]** ダイアログで詳細を読み、選択リストからインスタンスをリリースする理由を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



d. [インスタンスをリース **(Release instance)]** ボタンをクリックします。

インスタンスのユーザーロールの変更

さまざまなビューとアクセスレベルを使用するには、PDI ユーザーロールを App Engine Studio 作成者またはアドミニストレーターに変更します。

始める前に
必要なロール：なし

このタスクについて
学習またはテストのニーズに応じて、PDI のユーザーロールを変更する必要があります。

手順

1. ユーザーロールを変更するには、次の手順を実行します。

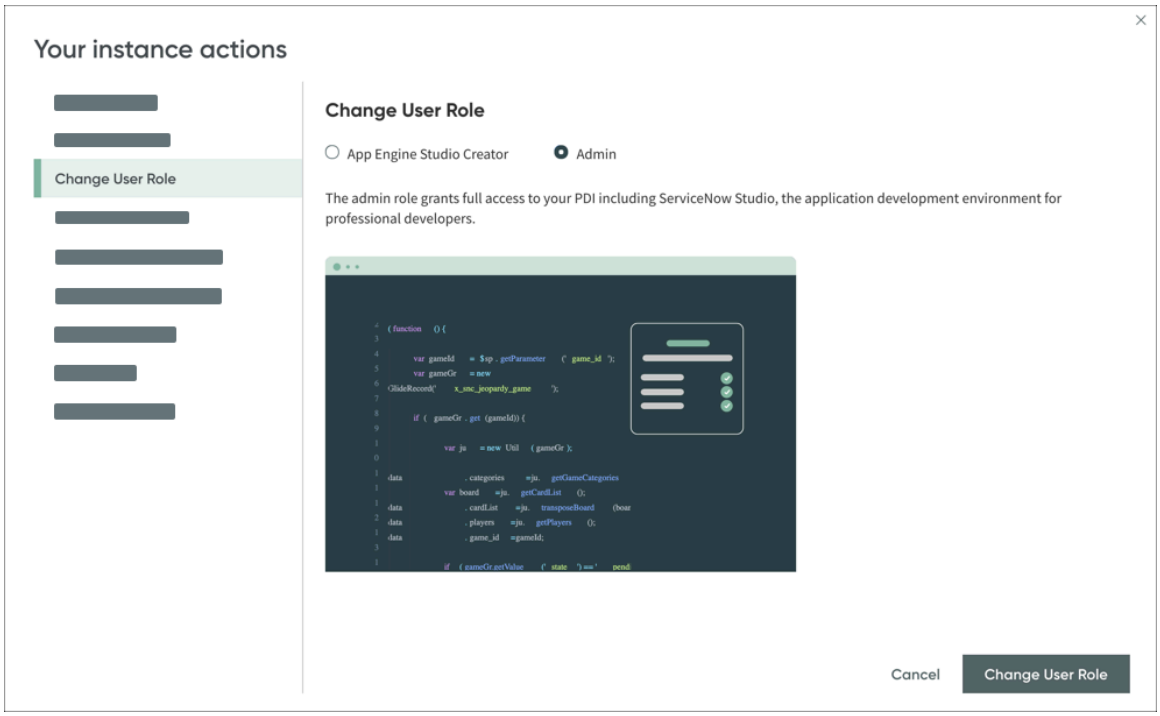
a. [アカウント] メニューを開き、[自分のインスタンス **(My Instance)]** セクションにアクセスします。

b. [ユーザーロールを変更 **(Change User Role)]** インスタンスアクションをクリックします。

c. [インスタンスアクション **(Your instance actions)]** ダイアログで、**[App Engine Studio** 作成者 **(App Engine Studio Creator)]** または [アドミン] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



d. [ユーザーロールを変更 **(Change User Role)]** ボタンをクリックします。

e. ユーザーロールの変更要求が正常に完了すると、メッセージが表示されます。

2. ユーザーロールの変更を表示するには、次の手順を実行します。

a. 開いている PDI ブラウザータブをすべて閉じます。

b. [アカウント] メニューの [ビルド開始 **(Start building)]** ボタンをクリックして、PDI を再起動します。

PDI からのデモデータの削除

デフォルトで含まれている PDI のデモデータが不要な場合は、PDI から削除します。

始める前に

必要なロール：なし

このタスクについて

デフォルトでは、PDI にはデモデータが含まれています。開発者サイトで PDI からデモデータを削除できます。

手順

1. [アカウント] メニューを開き、[自分のインスタンス **(My Instance)]** セクションにアクセスします。

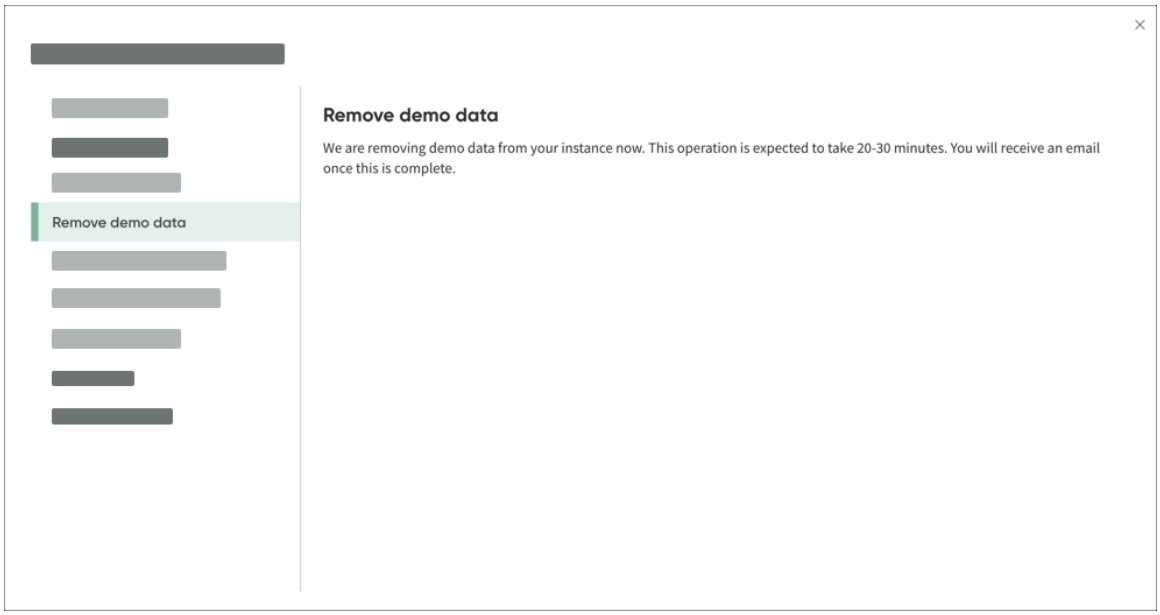
2. [デモデータの削除] インスタンスアクションをクリックします。

3. [インスタンスアクション **(Your instance actions)]** ダイアログで説明を読み、デモデータを復元できないことを確認し、[デモデータの削除] ボタンをクリックします。

タスクの結果

デモデータの削除には 20 ～ 30 分かかります。プロセスが完了すると、開発者サイトからメールが送信されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



PDI の初期状態へのリセット

PDI を初期状態にリセットして、新しいインスタンスで作業を開始します。

始める前に

必要なロール：なし

このタスクについて

新しいアプリケーションで作業を開始する場合、または新しいインスタンスで作業する場合は、PDI を初期状態にリセットできます。

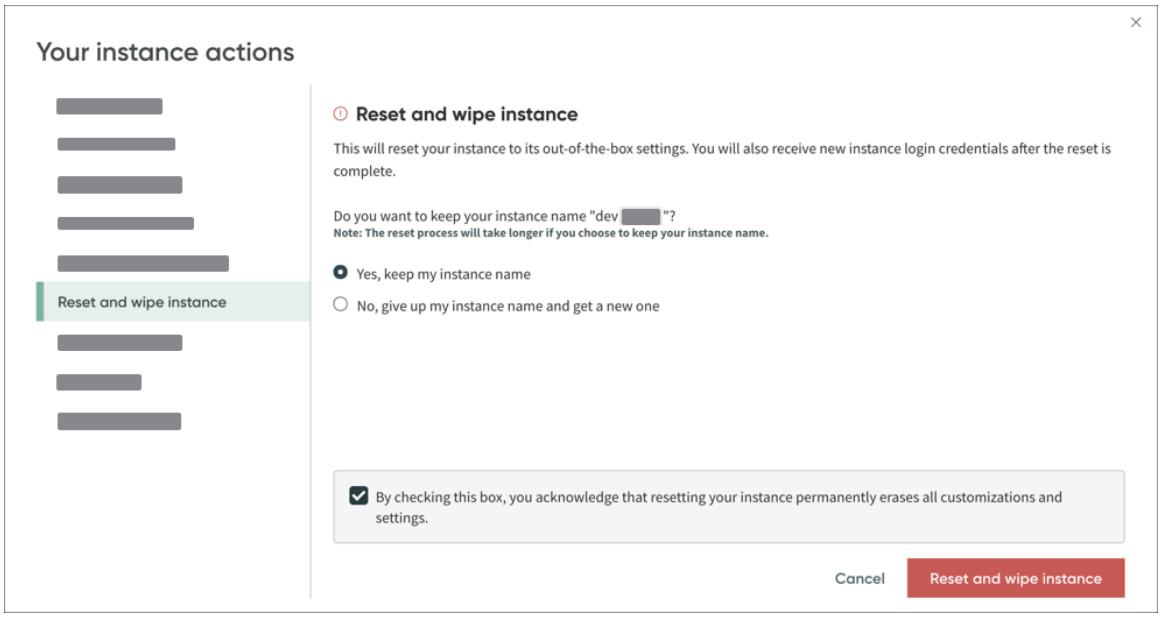
> **注:**
> インスタンスをリセットしてワイプすると、PDI に対して行ったカスタマイズと構成が失われます。作業をソースコントロールにコミットするか、更新セットを作成して、保存したい作業を必ずバックアップしてください。

手順

1. [アカウント] メニューを開き、[自分のインスタンス **(My Instance)**] セクションにアクセスします。
2. [インスタンスをリセットおよびワイプ **(Reset and wipe instance)**] インスタンスアクションをクリックします。
3. [インスタンスアクション **(Your instance actions)**] ダイアログで、インスタンスをリセットする方法を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



- [はい、インスタンス名を保持します **(Yes, keep my instance name)**]：インスタンスをデフォルトステータスにリセットします。インスタンスのリセットとワイプが完了するまでに数時間かかる場合があります。プロセスが完了すると、メールが届きます。
- [いいえ、インスタンス名を破棄し、新しいインスタンス名を取得します **(No, give up my instance name and get a new one)**]：リセットプロセスを待たずに新しいインスタンスを取得します。

4. [このボックスをオンにすると、インスタンスをリセットするとすべてのカスタマイズと設定が完全に消去されることを確認したことになります **(By checking this box, you acknowledge that resetting your instance permanently erases all customizations and settings)**] 免責事項を選択します。
5. [インスタンスをリセットおよびワイプ **(Reset and wipe instance)**] ボタンをクリックします。

PDI のアップグレード

インスタンスにパッチまたは新しいリリースを適用して、PDI をアップグレードします。

始める前に

必要なロール：なし

このタスクについて

ServiceNow がパッチと新しいリリースをリリースしたら、開発者サイトからパッチまたはリリースを PDI に適用できます。PDI のアップグレードには 2 つのオプションがあります。

> **注:**
> ServiceNow パッチ適用プログラム へのコンプライアンスを維持するために、リリースのパッチは、最大で月に 1 回 PDI に自動的に適用されます。通常のパッチ適用スケジュール以外にパッチを適用できるようになる場合があります。[インスタンスをアップグレード **(Upgrade instance)**] オプションを使用して、パッチを手動で適用します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. [アカウント] メニューを開き、[自分のインスタンス **(My Instance)]** セクションにアクセスします。
2. [インスタンスをアップグレード **(Upgrade instance)]** インスタンスアクションをクリックします。
3. [インスタンスアクション] ダイアログで、PDI に適用するパッチまたはリリースを選択し、[インスタンスをアップグレード **(Upgrade instance)]** ボタンをクリックします。

タスクの結果
インスタンスのアップグレードが完了するまでに数時間かかる場合があります。アップグレードを実行する時間ができるまで、アップグレードを実行しないでください。

アップグレードが完了すると、メールを受信します。

インスタンスのサポートを受ける

インスタンスへのアクセスに関する一般的な問題についてサポートを受け、フィードバックを提供します。

PDI にアクセスできない場合、または [インスタンスは現在オフラインです **(Your instance is currently offline)]** ページが表示される場合は、PDI が休止状態から起動処理中か、PDI がパッチ適用を完了したばかりで再起動が必要である可能性があります。PDI は 5 分以内に利用可能になります。

5 分経っても PDI が利用できない場合は、 開発者サイト にサインインし、アバターの横にある矢印を選択して、[自分のインスタンス] ページを確認して、PDI がまだメンテナンス中かどうかを確認します。

Early Availability ガイド

Early Availability では、市場投入によりすべての顧客が使用できるようになる 1 か月以上前に、最新リリースに独占的にアクセスできます。

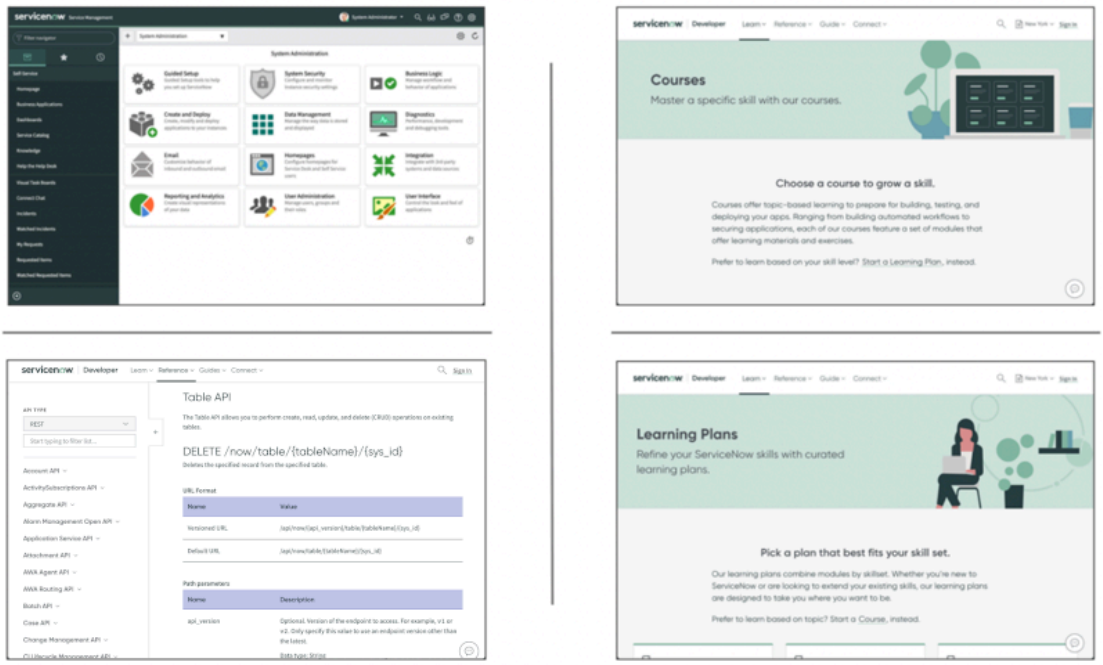
ServiceNow 開発者プログラムは、プレリリースバージョンに対する Early Availability を提供します。ServiceNow 開発者サイトから、プレリリースバージョンとリソースにアクセスできます。開発者プログラムのメンバーは、Early Availability によって、市場投入によりすべての顧客が使用できるようになる 1 か月以上前に、最新の ServiceNow リリースに独占的にアクセスできます。Early Availability には次のものが含まれます。

- 個人開発者インスタンス (PDI)
- 学習計画
- トレーニングコース
- API 一覧
- ドキュメント

開発者プログラムのメンバーは、Early Availability を通じて最新の ServiceNow リリースに最初に精通することができます。Early Availability では、業界の他の開発者とは一線を画すスキルを学ぶ機会を提供します。最新の機能とアップグレードを活用して、新しいアプリケーションをビルドできます。

自動翻訳

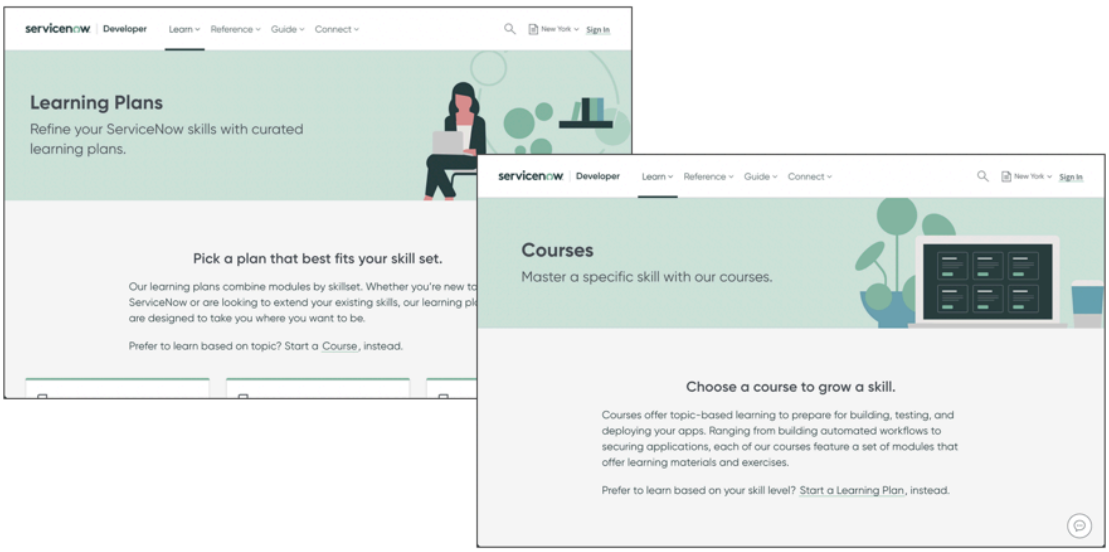
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



Early Availability 学習計画とトレーニングコース

Early Availability では、最新リリース専用の学習計画とトレーニングコースにアクセスできます。

開発者プログラムでは、自分のペースでリリースを調べるために必要なトレーニングを提供します。Early Availability では、最新リリース専用の学習計画とトレーニングコースにアクセスできます。現在の知識と経験に基づいて、わかりやすいトレーニングコースまたは学習計画から選択してください。どちらを選択しても、最新の ServiceNow AI Platform でアプリケーション開発スキルをビルドまたは向上させることができます。



Early Availability API ドキュメント

Early Availability には、最新リリースの API ドキュメントへのアクセスが含まれます。

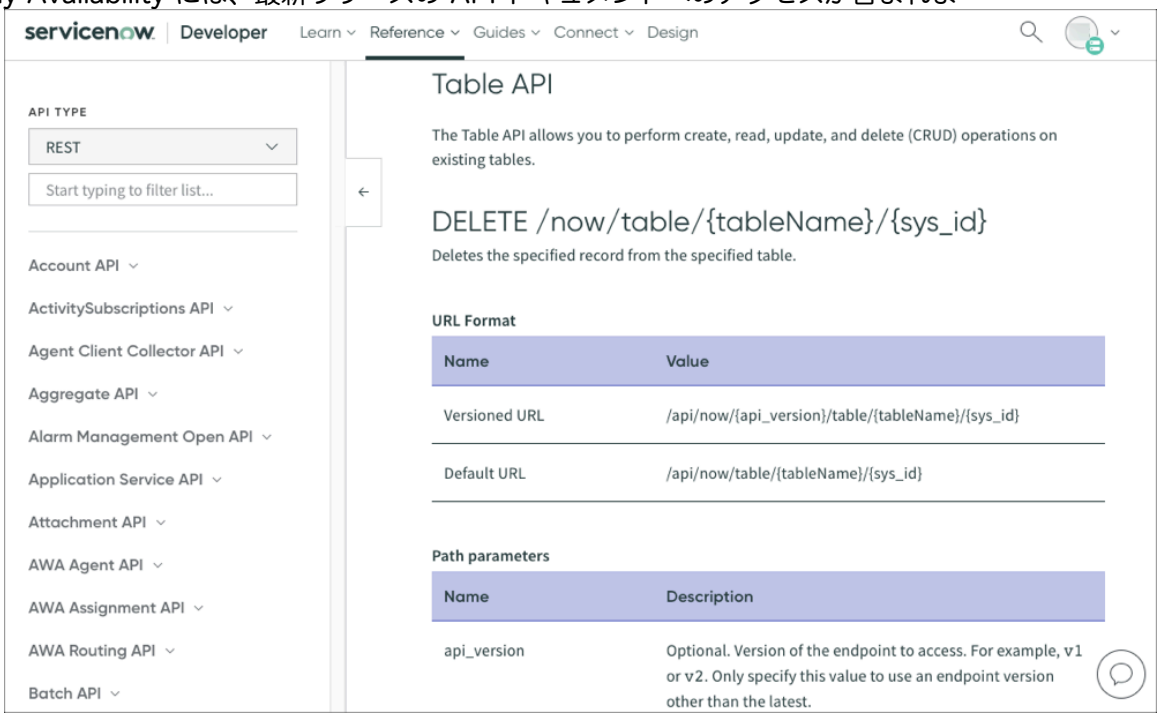
開発者プログラムには、以下に関する API ドキュメントも含まれています。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- サーバーサイド API (スコープ対象およびグローバル)
- クライアントサイド API
- REST API
- Now Experience UI フレームワーク

サーバーサイドのスコープ対象の API は、スコープ対象のアプリケーション内で使用するためのものであり、グローバルスコープ内では動作が異なる場合があります。サーバーサイドの従来の API は、グローバルスコープでの開発作業用に文書化されています。新しいアプリケーションは、スコープ対象の API を使用してビルドする必要があります。

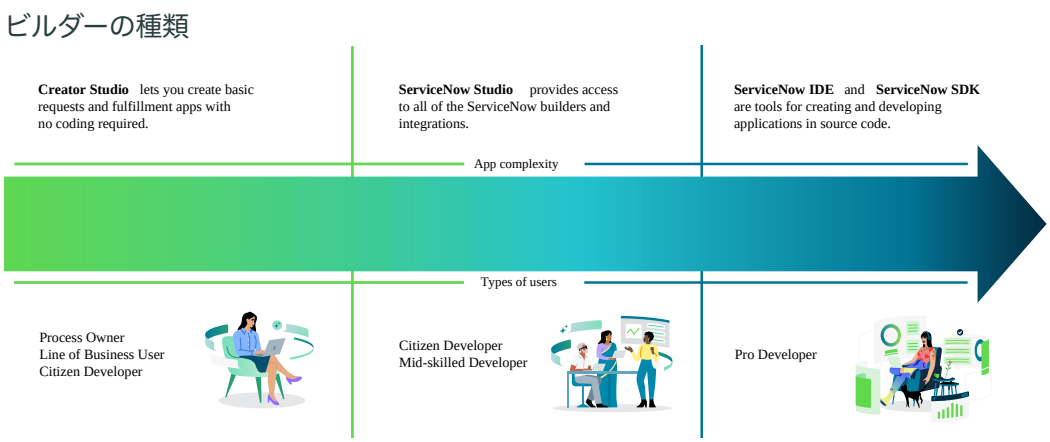
Early Availability には、最新リリースの API ドキュメントへのアクセスが含まれます。



ローコード開発とプロコード開発

ServiceNow AI Platform でのローコードとプロコードのソリューションの違いについて学習します。

アプリの作成に使用すべきビルダー



© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

コードなしで簡単にアプリをビルドしたい場合

クリエータースタジオ は、コードを書かずに要求を履行するアプリケーションの作成を支援することに特化しています。たとえば、フォームに入力して事務用品を要求するアプリケーションで、誰かが要求を承認または拒否するなどです。詳細については、「クリエータースタジオ の探索」を参照してください。

より一般的なアプリが必要だけれどローコードオプションが必要な場合

App Engine Studio を使用すると、プログラミングのプロでなくても、クリエータースタジオ よりも幅広いアプリをビルドできます。詳細については、「App Engine Studio の探索」を参照してください。

一元化されたユーザーインターフェイスでより詳細に制御したい開発者の場合

新しい ServiceNow スタジオにより、アプリをよりスマートに構築し、より迅速に提供できます。ServiceNow スタジオ は、プラットフォーム開発者が ServiceNow AI Platformに基づいて構築するための最新の統一された環境を開発者に提供します。 ServiceNow スタジオ は、アプリケーションとメタデータへの簡素化されたナビゲーション、統合されたローコードツール、開発プロセスを加速し、生産性を向上させる開発作業の効率的な追跡とパッケージ化を備えています。詳細については、「ServiceNow スタジオ の探索」を参照してください。

業界標準の開発ツールやプロセスを使用したい開発者の場合

ServiceNow IDE と ServiceNow SDK は、ServiceNow Fluent を使用したソースコードでのアプリケーション開発、JavaScript モジュールの作成、およびサードパーティライブラリの使用をサポートしています。ServiceNow Fluent は、コードでアプリケーションメタデータを作成するためのドメイン固有のプログラミング言語です。

ServiceNow IDE は、ServiceNow AI Platform 上の Visual Studio Code for the Web の実装です。ServiceNow SDK は Visual Studio Code Desktop をローカルで使用します。詳細については、「ソースコードでアプリケーションをビルドする」を参照してください。

ローコード開発とは？

ローコード開発は、コーディング経験が少ないユーザーでも強力なアプリを作成できる、アプリ作成の新しいアプローチです。ローコード開発プラットフォームは、手動でのコーディングではなく、グラフィカルインターフェイスと構成に依存しています。これらの新しいローコード開発プラットフォームにより、より多くのユーザーがアプリを迅速かつ効率的に作成して展開できるようになります。

ローコード開発のメリット

ローコードアプリ開発により、開発プロセスが簡素化され、より多くのアプリをより迅速にビルドできます。ローコードソリューションでは、開発者数が少なくて済み、開発者以外のユーザーもアプリをビルドできます。ビルド済みのテンプレートを使用すると、開発者はアプリのビルドをすぐに開始できます。システムアドミニストレーターは、アプリ開発を一元管理し、他の開発者と共同作業を行うことができます。ServiceNow AI Platform で事前定義されたワークフローを使用して、アプリの展開にかかる時間を短縮します。

ServiceNow ノーコードおよびローコード開発ツール

- クリエータースタジオ
- App Engine Studio
- UI ビルダー
- ガイド付きアプリケーションクリエーター

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

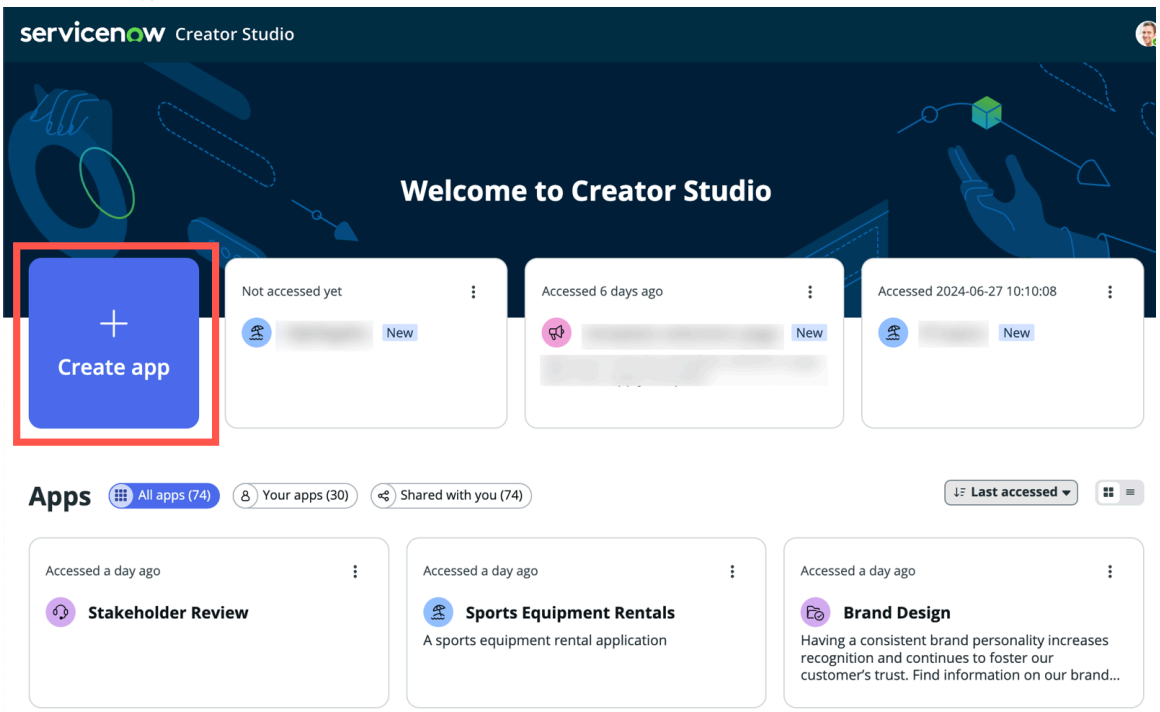
- テーブルビルダー
- のフロー ワークフロースタジオ
- ワークスペースビルダー
- Exploring Decision Tables

ローコード開発ツールの詳細については、「ローコードアプリケーションのビルド」を参照してください。

ノーコード開発ツールの例

クリエータースタジオ では、基本的な要求補完アプリの作成を簡単な手順に分割することで、アプリの作成が容易になります。ユーザーがカタログアイテムを要求するためのフォームを作成し、フォーム送信を使用して自動化されたプレイブックを開始できます。詳細については、「クリエータースタジオ」をご覧ください。

でアプリを作成する クリエータースタジオ



MID コード開発とは

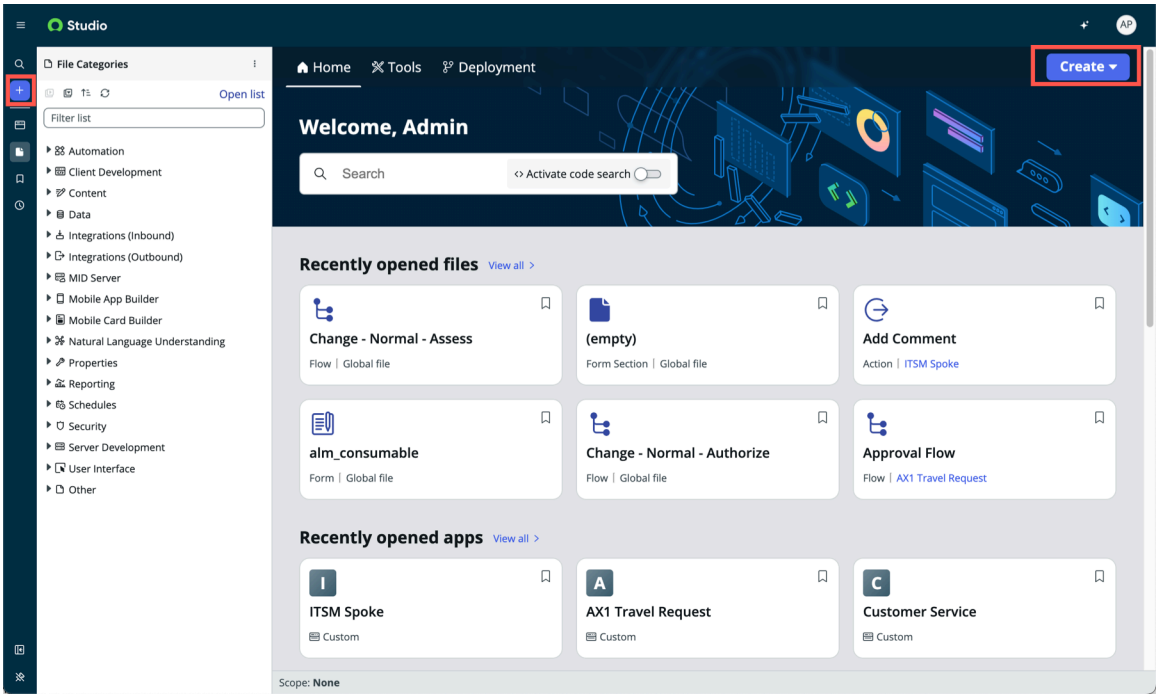
ServiceNow AI Platformと一部の開発ツールに慣れている場合は、新しい ServiceNow スタジオ すべてのビルダーと開発ツールに 1 か所でアクセスできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

MID コード開発ツールの例

ServiceNow スタジオ でのアプリの作成



プロコード開発とは？

プロコード開発は、開発者がローコードツールではビルドできない複雑なアプリを作成するために使用します。従来、プロコード開発は、カスタムコードを使用してゼロからアプリを作成し、ビジネスニーズを解決するために使用されました。開発者には、コーディングの知識と、アプリをビルドするためのプログラミング言語の使用方法が必要です。

プロコード開発のメリット

プロコード開発の利点は、ツールの制限なしでカスタムアプリを作成できることです。ビジネスニーズに合わせた独自のカスタムアプリを無制限にビルドできます。開発者は、会社のブランディングに合わせたカスタムルックアンドフィールでアプリを作成できます。

ServiceNow プロコード開発ツール

- ServiceNow IDE
- ServiceNow SDK
- スクリプティング
- REST APIs
- Visual Studio Code 向けの ServiceNow 拡張

プロコード開発ツールの詳細については、「プロコードアプリケーションのビルド」を参照してください。

ローコードとノーコード

ローコードとノーコードという用語は同じ意味で使用される傾向がありますが、まったく同じものではありません。ローコードとノーコードのソリューションはどちらもアプリ開発を簡素化するためのツールを提供しますが、その違いは考慮する価値があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ローコード

ローコードプラットフォームは、プロの開発者や技術者以外のビジネスユーザー向けに設計されています。トレーニングや経験はほとんど必要なく、ビジュアルベースのモデリングを使用して開発プロセスを簡素化します。また、コーディング経験があるユーザーは、必要に応じて手動でコーディングすることもできます。

ノーコード

ノーコードプラットフォームは開発経験を必要とせず、市民開発者とビジネスユーザー向けに特別に設計されています。ノーコードソリューションは、実質的にすべてのユーザーにアプリ開発を可能にしますが、シャドー IT (組織内の認可されていないアプリ開発) につながる可能性があります。

アプリケーションの変更とビルド

アプリケーションのライフタイムには、新しいアプリケーションを作成して古いアプリケーションを置き換えた方が合理的であるというタイミングがあります。新しいアプリで利用可能なコスト削減、メンテナンスの労力、および機能は、新しいアプリケーションをビルドするか既存のアプリケーションを変更するかを判断するのに役立ちます。

次の理由から、新しいアプリケーションをビルドすることを検討してください。

- 既存のアプリケーションが古いため、新しいハードウェアで正常に動作しません。
- 新しいアプリケーションをビルドすると、既存のアプリケーションを更新および維持するよりもコストを削減できます。
- 既存のアプリケーションは基本的にビジネスニーズを満たしていません。
- 既存のアプリケーションの機能を新しいアプリケーションに簡単に移行できます。
- 既存のアプリケーションを更新すると、追加する機能がサポートされていないため、UI とワークフローが大幅に中断されます。
- 新しいアプリケーションは、既存のアプリケーションよりも UI が更新され、機能が多く、使いやすいため、より多くのユーザーに支持されます。
- App Engine Studio (AES) のようなローコードプラットフォームでは、既存のアプリケーションを管理するよりも、新しいアプリケーションをビルドする方が迅速で簡単です。

詳細は、以下のトピックを参照してください。

- カスタマイズの代わりに App Engine を使用します
- によるカスタマイズと構成 ServiceNow スタジオ

ServiceNow® UI エクスペリエンスを理解する

Next Experience UI、ワークスペース UI、クラシック環境、およびコア UI の ServiceNow AI Platform ユーザーインターフェイスで開発できます。このトピックでは、これらのユーザーインターフェイスについて説明します。

次の表の情報を使用して、自分とチームに最適な UI エクスペリエンスを選択してください。

での **UI** エクスペリエンス **ServiceNow AI Platform**

UI エクスペリエンス	メリット
Next Experience UI	統一ナビゲーション

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

での UI エクスペリエンス ServiceNow AI Platform (続く)

UI エクスペリエンス	メリット
	• 使用しているアプリケーションに関係なく、コンテキストアプリピル、メニューアイテム、検索などのアプリシェルアイテムに、プラットフォーム全体を通じて 1 つの場所からアクセスできます。 • ナビゲーションメニューを固定および固定解除して、メニューアイテムにアクセスしたり、画面のスペースを解放したりします。 その他のメニュー • [お気に入り]、 [履歴]、および [ワークスペース] メニューアイテムを使用して、重要なリソースに移動して固定します。 • コア UI アプリケーションと構成可能なワークスペースを簡単に切り替えることができます。 • 1 つのメニューで最近表示したアイテムを検索します。 • エンドユーザー向けのカスタムメニューを作成します。詳細については、「Configure custom menus for Unified Navigation」を参照してください。
Configurable Workspace UI	エージェントの効率向上 最適化された直感的なレイアウトで複数の問題を同時に処理します。 迅速な解決 機械学習を利用した自動提案により、問題を迅速に解決します。 重大なインシデントの予測 問題の頻度と影響度に基づいて、潜在的な重大インシデントを通知します。 エージェントの可視化の向上 ライブアクティビティフィードと分析により、最新情報を常に把握し、重要なインサイトを得ることができます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

での **UI** エクスペリエンス **ServiceNow AI Platform** (続く)

UI エクスペリエンス	メリット
Working in the classic environment	リストとフォームでの作業 従来の ServiceNow AI Platform 環境で作業し、レコードからリストを作成します。 強力なアプリの作成と開発 ServiceNow AI Platform のすべての機能を使用してアプリケーションを作成します。
Working in Core UI	コア UI インターフェイスは、外観を更新し使いやすさを向上させます。 注目すべき機能には、リアルタイムのフォーム更新、ユーザープレゼンス、[お気に入り] タブと [履歴] タブを備えた再設計されたアプリケーションナビゲーター、改善されたアクティビティストリームなどがあります。コア UI は、新しいインスタンスのデフォルトのユーザーインターフェイスです。アップグレードされたインスタンスの場合、アドミニストレーターはコア UI を有効にする必要があります。

開発者向けのサポート

ServiceNow 開発者がサポートを受けられる場所は次のとおりです。

開発者サポートを受けられる場所

リソース	説明

ServiceNow コミュニティ	• 製品ハブ：製品エリアを選択します。
	  ○ リソースに接続し、統合について学習します。
	  ○ エキスパートおよびピアのアドバイスを取得します。
	  ○ ピアとのネットワーク。
	• 開発者ディスカッション - 開発者とつながり、質問したり、ソリューションを提供したり、一緒にビルドしたりできます。
	• 開発者ブログ - 開発者支援チームの意見を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

開発者サポートを受けられる場所 (続く)

リソース	説明
開発者サイト	• サインアップして、無料アカウントで ServiceNow AI Platform の構築を開始します。 • ServiceNow 開発者プログラムに参加します。 • 学習リソースにアクセスします。 • 製品およびリリースのドキュメント、API、CLI、およびコンポーネントのドキュメントにアクセスします。 • ServiceNow AI Platform の概要と、新規または経験豊富な開発者向けの開始方法に関するガイドにアクセスします。 • 同様の問題に取り組んでいる他のユーザーとつながり、協力する方法を学びます。
ServiceNow トレーニング	トレーニングと認定を開始します。
ServiceNow 開発者ビデオ	ServiceNow 開発者プログラムの YouTube チャネルにアクセスします。

アプリケーションコラボレーション

アドミン権限を持つユーザーは、アプリケーションで共同作業する開発者の権限を管理できます。

コラボレーション記述子

アクティベーションを行う標準の事前定義されたコラボレーション記述子を使用するか、カスタムのコラボレーション記述子を作成できます。コラボレーション記述子を使用すると、委託開発権限をアサイン、管理、および監視できます。

コラボレーション記述子

記述子	説明
所有者	他の協力者を管理し、アプリケーションを削除できるアプリケーションの所有者。
編集者	協力者を招待するための標準記述子。
カスタム	ユーザーによって作成された非標準 (カスタム) 記述子。

開発権限

権限を設定することで、システムの制御を保持できます。開発者 (またはアプリケーションを展開するユーザー) に権限をアサインして、アプリケーションを開発または展開できるようにします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

開発権限

権限	説明
アプリケーション管理	アプリケーションおよびバージョンのソースコントロールアクセスを削除する機能。
ファイルタイプアクセス	ユーザーがアクセスできるファイルタイプ。
セキュリティ/エンタイトルメント	アプリケーションセキュリティを管理する機能。
プログラミングツール	スクリプトフィールドにアクセスするための機能。
展開	展開機能。

アプリケーションコラボレーションユーザー

アプリコラボレーションユーザーを作成することで、個々のユーザーにコラボレーション記述子をアサインできます。ユーザーには、任意のアプリケーションの 1 つのコラボレーション記述子のみをアサインできます。

アプリケーションコラボレーショングループ

アプリコラボレーショングループを作成することで、ユーザーのグループにコラボレーション記述子をアサインできます。グループには、任意のアプリケーションの 1 つのコラボレーション記述子のみをアサインできます。

アプリコラボレーションアプリケーションのインストール

UI でコラボレーション機能を表示できるように、アプリコラボレーションアプリケーションをインストールします。

始める前に

コラボレーション機能を表示できるように、アプリコラボレーションアプリケーションをダウンロードします。

App Engine ライセンスが必要です 。

必要なロール：admin

手順

1. 移動先 システムアプリケーション > 利用可能なすべてのアプリケーション > すべて.
2. 画面の中央にある検索アイコン ( ) をクリックして、アプリケーションコラボレーションアプリケーションを検索します。
3. [インストール]をクリックします。

   注:
   アプリコラボレーションがすでにインストールされている場合、[インストール] ボタンは非アクティブです。

4. [アクティブ化] をクリックします。

タスクの結果

アプリコラボレーション機能がアクティブになります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アプリコラボレーションプラグインをインストールしてアクティブ化すると、委任されたすべての開発者は、現在の権限とアプリケーションに基づいてカスタムコラボレーション記述子を受け取ります。ベースシステムテーブルは、コラボレーション機能で使用される標準の所有者および編集者のコラボレーション記述子を提供します。

アプリケーション用の App Engine Studio (AES) なしでこのプラグインをインストールする場合は、このプラグインを使用して委託開発権限を管理するか、以前の [開発者の管理] 画面を使用して権限を管理する必要があります。委託開発権限を管理するために、プラグインと [開発者の管理] 画面の両方を使用しないでください。

以前の [開発者の管理] 画面を使用するには、アプリケーションを選択し、フォームの関連リンクで [開発者の管理] を選択します。

権限をアサインするためのコラボレーション記述子の作成

ユーザーまたはグループに権限をアサインできるように、コラボレーションアプリケーションで記述子を作成します。

始める前に
必要なロール：admin

このタスクについて

> **注:**
> グローバルスコープの [オーナー] と [エディター] 以外に、コラボレーション記述子を作成する必要があります。AES でコラボレーション記述子を表示して使用する場合は、その記述子を standard = TRUE に設定する必要があります。AES はカスタムスコープで作成されたコラボレーション記述子をサポートしないため、非標準のコラボレーション記述子は AESでレンダリングされません。

アクティブ化を行う標準の事前定義されたコラボレーション記述子を使用するか、カスタムコラボレーション記述子を作成します。コラボレーション記述子を使用すると、アプリケーションごとに、または複数のアプリケーションにわたり均一に、委託開発権限をアサイン、管理、および監視できます。1 つのアプリケーションで 1 つのコラボレーション記述子を各協力者にアサインできます。ただし、コラボレーション記述子がすでにアサインされているグループにユーザー属している場合、そのユーザーは同時に複数のコラボレーション記述子を保持できます。

手順

1. 移動先 すべて > **App Engine** > コラボレーション > 記述子.
2. [**New**] をクリックします。
3. フォームのフィールドに入力します。

アプリコラボレーション記述子フォーム

フィールド	説明
名前	記述子の名前。
説明	権限機能を含む記述子の説明。次に例を示します。 ○ 所有者 ○ 編集者
アプリケーション	コラボレーション記述子のスコープ。現在、すべてのコラボレーション記述子をグローバルスコープに作成する必要があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
標準	このロールを持つ他の協力者を招待するためのオプション。

4. [送信] をクリックします。

コラボレーション記述子への権限の追加

コラボレーション記述子に権限を追加して、アプリケーションの削除や協力者の管理など、ユーザーの機能を管理します。

始める前に
必要なロール：admin

手順

1. 移動先 すべて > **App Engine** > コラボレーション > 記述子.
2. 権限を変更するには、関連リストからコラボレーション記述子を選択します。
3. 権限のオプションを表示するには、関連リストで [編集...] をクリックします。
4. 記述子の権限を追加または削除するには、矢印をクリックします。
   権限のリストについては、「コラボレーション権限」を参照してください。
5. [保存] または [更新] をクリックします。

ユーザーへのコラボレーション記述子のアサイン

特定のアプリケーションのコラボレーション記述子をユーザーにアサインし、これらのユーザーの特定の権限を定義できるようにします。

始める前に
必要なロール：admin

手順

1. 関連リストで、[アプリケーションコラボレーションユーザー] をクリックします。
2. [新規] をクリックします。
3. フォームのフィールドに入力します。

コラボレーションユーザーフォーム

フィールド	説明
コラボレーションアプリケーション	ユーザーが作業するアプリケーション。
コラボレーションユーザー	アプリケーションで作業するユーザー。
コラボレーション記述子	このアプリケーションのユーザーの記述子。

4. [送信] をクリックします。

グループへのコラボレーション記述子のアサイン

特定のアプリケーションのユーザーグループにコラボレーション記述子をアサインし、これらのユーザーグループの特定の権限を定義できるようにします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
必要なロール：admin

手順

1. 関連リストで、[アプリケーションコラボレーショングループ] をクリックします。
2. [新規] をクリックします。
3. フォームのフィールドに入力します。

コラボレーショングループフォーム

フィールド	説明
コラボレーションアプリケーション	グループが作業するアプリケーション。
コラボレーショングループ	コラボレーショングループの名前。
コラボレーション記述子	このアプリケーションのグループの記述子。

4. [送信] をクリックします。

コラボレーション権限

権限を割り当てて、協力者ができることを定義します。

コラボレーション権限

権限	説明
プレイブック	プレイブック 設計環境を操作してプロセスを作成するためのアクセス権を付与します。アクティビティサブフローまたはアクションを編集するには、フローデザイナー権限が必要です。
すべてのメタデータ	すべてのメタデータを操作するためのアクセス権を付与します。
統合	Web サービス API、REST API、データソース、および 統合ハブ - インポートへのアクセス権を付与します。
UI ビルダー	UI ビルダー を使用してより複雑なインターフェイスをビルドするためのアクセス権を付与します。
モバイルビルダー	モバイルアプリビルダー などを使用してモバイルエクスペリエンスをビルドするためのアクセス権を付与します。
セキュリティ管理	アクセス制御リストやロールなどのセキュリティ管理ファイルへのアクセス権を付与します。
サービスポータル	サービスポータル のエディターとツールを操作するためのアクセス権を付与します。
Notifications	自動電子メール通知を作成し、電子メールテンプレートを操作するためのアクセス権を付与します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

コラボレーション権限 (続く)

権限	説明
協力者を招待	開発者をアプリで共同作業するよう招待するためのアクセス権を付与します。
ワークフロー	ワークフローエディターおよびアクティビティクリエーターへのアクセス権を付与します。
Reporting	レポートおよびスケジュール済みレポートへのアクセス権を付与します。
ワークフロースタジオ	フローとアクションを作成するための ワークフロースタジオ 設計環境へのアクセス権を付与します。
サービスカタログ	カタログアイテム、レコードプロデューサー、変数などのカタログ関連のファイルタイプを操作して、カタログアイテムをアプリに追加するためのアクセス権を付与します。
テーブルとフォーム	テーブル列、フォームレイアウト、リストレイアウトなど、モデルおよびレイアウト関連のファイルタイプへのアクセス権を付与します。
ディシジョンテーブル	ディシジョンテーブル を操作して、複数の if-then ルールに基づいて意思決定ロジックを作成するためのアクセス権を付与します。

コンテキスト開発環境

このプラットフォームは、コンテキスト開発環境であり、現在選択されているアプリケーションを表示する、すべてのアプリケーション アーティファクトのスコープを特定する、アプリケーションのアクセス設定に違反する変更を防ぐことができます。

アプリケーション開発者は、コンテキスト開発環境を使用して以下のことを実行できます。

- アプリケーション コンテキストを決定する。
- アプリケーションを表示および選択する。
- アプリケーションのバージョン標準を適用する。
- アプリケーション リソースの抑制を実施する。
- スクリプト保護ポリシーを実施する。

アプリケーションコンテキスト

アプリケーション開発者が新しいレコードを作成すると、アプリケーション ピッカー内で現在選択されているアプリケーションに対して自動的にレコードが割り当てられます。

アプリケーション開発者が既存のレコードを変更しようとしたときは、現在選択されているアプリケーションがアプリケーション アーティファクトのスコープと一致するかどうかがチェックされます。一致した場合、アプリケーション開発者はアーティファクトに変更を保存できます。異なる場合、システムによってユーザーインターフェイスが次のように変更されます。

- 現在のレコードのすべてのフィールドが読み取り専用になる。
- アプリケーションアーティファクトが別のスコープに属しているという警告メッセージが表示される。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アプリケーションのアクセス設定

アプリケーションのアクセス設定によって、あるアプリケーションが別のアプリケーションのリソースにアクセスできるかどうかが決まります。

アプリケーションのアクセス設定は、特定のリソースに対するアクセスを制限できる点でアクセスコントロール (ACL) と似ていますが、ユーザーに対してテーブルやレコードを制限するのではなく、他のアプリケーションに対してアプリケーション リソースを制限します。クロススコープ アクセスを設定する方法はいくつかあります。

設定タイプ	使用方法	説明	アクセス設定場所
アプリケーションの設計時と実行時の設定	アプリケーションまたはアプリケーション スクリプトがクロススコープ リソースにアクセスする必要があります。	アプリケーション設計者は、アプリケーション全体に対して以下のアプリケーション アクセス設定を設定できます。 • 設計時のアクティビティでクロススコープ テーブルを選択できるかどうかを指定します。 • クロススコープ リソースでスクリプトを実行できるタイミングを指定します。 • アプリケーションでサポートする JavaScript 標準を指定します。	呼び出し元アプリケーションが所有するクロススコープ権限レコードによって決定されるアクセス
テーブルの設計時と実行時の設定	クロススコープ アプリケーションまたは Web サービスがテーブルの CRUD 操作を実行するためのアクセス権限を必要とします。	アプリケーション開発者は、個々のテーブルのアプリケーション アクセス設定を設定することもできます。 • テーブルを他のアプリケーションスコープで使用できるかどうかを指定します。 • テーブルがサポートする、他のアプリケーションスコープからの実行時の操作を指定します。 • 設計時のアクティビティでテーブルを選択できるかどうかを指定します。 • Web サービスからテーブルにアクセスできるかどうかを指定します。	ターゲット テーブルでの設定によって決定されるアクセス
限定呼び出し元アクセス特権の設定	クロススコープ アプリケーションまたはスクリプトがアプリケーションまたはアプリケーション リソースにアクセスする必要があります。	アドミンユーザーは、アプリケーションスコープまたはアプリケーションリソースの全体に対して以下のアプリケーションアクセス設定を設定できます。 • クロススコープスクリプトがアプリケーションスコープまたはアプリケーションリソースにアクセスできるかどうかを指定します。	ターゲットアプリケーションが所有する制限付きの申請者アクセスレコードによって決定されるアクセス。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

設定タイプ	使用方法	説明	アクセス設定場所
		• アプリケーション リソースに対するアクセスのクロススコープ要求を追跡します。 • アプリケーション リソースにアクセスするためのクロススコープ要求を承認または拒否します。	

アプリケーションの設計時と実行時の設定

アプリケーションの設計時と実行時の設定によって、アプリケーションがクロススコープ リソースにアクセスできるかどうかが決まります。

設計時および実行時のフィールド

フィールド	説明
JavaScript モード	アプリケーションがサポートする JavaScript 標準。**ECMAScript 2021 (ES12)** を選択して ECMAScript 12th エディションの機能をサポートするか、**ES5 Standards Mode** を選択して ECMAScript 5th エディションの機能をサポートします。互換モードを選択すると初期の ECMAScript エディションをサポートします。詳細については、「Set the JavaScript mode for an application」を参照してください。
実行環境アクセス追跡	他のアプリケーションのリソースに対するスクリプト アクセス要求をこのアプリケーションでどのように処理するかを指定します。無しを選択するとログインなしで全てのクロススコープリソースにアクセスする権限を与えます。 を選択すると、クロススコープ リソースに対するすべてのアクセス要求をログに記録して許可します。 を選択すると、クロススコープ リソースに対するアクセス要求をログに記録しますが、アドミニストレーターが各要求を許可する必要があります。
テーブル選択を制限	アプリケーションの設計時のクロススコープ テーブルの可用性です。そのオプションをクリアすると、アプリケーションが他のアプリケーションスコープからテーブルを見ることを許します。そのオプションを選択すると、設計の選択を同じアプリケーション内のテーブルのみに制限できます。

実行時のアクセストラッキング

アドミニストレーターは、実行時のアクセス追跡により、実行を許可するスクリプト操作とターゲットのリストを作成して、アプリケーション リソースに対するスクリプト アクセスを管理できます。

実行時のアクセス追跡には、次のオプションがあります。

実行時のアクセス追跡のオプション

オプション	追跡内容	許可内容	結果
なし	システムは、実行時のアクセス要求を追跡しません。	システムは、アクセス要求を実行するのに許可を必要としません。	アプリケーション スクリプトは、テーブルレベルのアクセス設定で許可されている限り、他のアプリケーションのリソースにアクセスできます。
追跡中	開発中は、システムが実行時のアクセス要求ごとにクロススコープ特権レコードを作成します。	システムは、クロススコープ権限レコードのステータスを に設定します。	システムは、テーブルレベルのアクセス設定で許可されている限り、追跡された操作を実行します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

実行時のアクセス追跡のオプション (続く)

オプション	追跡内容	許可内容	結果
	インストール後は、システムが新たに実行時のアクセス要求を追跡することはありません。		
強制	開発中は、システムが実行時のアクセス要求ごとにクロススコープ特権レコードを作成します。 インストール後は、システムが新たに実行時のアクセス要求を追跡することはありません。	システムは、クロススコープ権限レコードのステータスを [要求済み] に設定します。	アドミニストレーターがステータスを手動で に変更し、かつ、テーブルレベルのアクセス設定で許可されていない限り、追跡された操作は実行されません。

開発中に、アプリケーション設計者は、アプリケーションのスクリプトロジックをすべて実行して、他のアプリケーションに対するアクセス要求が追跡され許可されるようにする必要があります。

クロススコープ特権レコード

実行時のアクセス追跡では、クロススコープ特権レコードを使用して、システムが実行を許可するスクリプト操作とターゲットを特定します。

システムは、以下の場合にクロススコープ権限レコードを作成します。

- 実行時のアクセス追跡が または に設定されているとき。
- スクリプトが別のアプリケーションに対するアクセスを試みたとき。

クロススコープ特権 [sys_scope_privilege] テーブルの各クロススコープ特権レコードには、次の情報が含まれます。

クロススコープ特権フィールド

フィールド	説明
ソース スコープ	他のアプリケーションのリソースに対して実行時アクセスを要求するアプリケーション。
ターゲットスコープ	リソースが要求されているアプリケーション。
ターゲット名	要求されているテーブル、スクリプトインクルード、またはスクリプト オブジェクトの名前。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クロススコープ特権フィールド (続く)

フィールド	説明
ターゲットタイプ	要求のタイプ：テーブル、スクリプトインクルード、またはスクリプト オブジェクト。
操作	スクリプトがターゲットに対して実行する操作。ターゲット タイプによって、使用可能な操作が決まります。テーブルでは、読み取り、書き込み、作成、および削除の操作がサポートされます。スクリプトインクルードおよびスクリプトオブジェクトでは、API 実行操作のみがサポートされます。
ステータス	このレコードの許可：要求済み、許可、または拒否。

アドミニストレーターは、アクセスするクロススコープ リソースをアプリケーション開発者に伝える前に、開発者のクロススコープ特権レコードを手作業で作成できます。たとえば、これらのクロススコープ特権レコードを作成することで、インシデント管理のリソースに対するアクセスをアプリケーション開発者に許可することができます。

クロススコープ特権レコードの例

ソース スコープ	ターゲットスコープ	ターゲット名	操作	ステータス
自分のアプリケーション	グローバル	incident	読み取り	許可
自分のアプリケーション	グローバル	incident	書き込み	許可
自分のアプリケーション	グローバル	ScopedGlideRecord	API の実行	許可

アプリケーション開発者は、テスト中にアプリケーション スクリプト ロジックをすべて実行して、必要なクロススコープ特権レコードがシステムによって確実に作成されるようにする必要があります。アプリケーションの公開後は、有効なクロススコープ特権レコードを持つ実行時要求のみが実行を許可されます。

注:
テーブル特権の付与は、最大でテーブルオブジェクト (sys_db_object) レコードに設定されている権限に制限されます。たとえば、インシデントのテーブルオブジェクトで「スコープの削除可能」が許可されていない場合、テーブルインシデントに削除するスコープ特権を付与することはできません。

アプリケーション設計時アクセス レコード

アドミニストレーターは、アプリケーション設計時アクセス レコードを使用して、アプリケーション作成中に開発者が使用できるその他のアプリケーションを指定します。

アドミニストレーターがアプリケーションのテーブル選択を制限する場合、アプリケーション設計時アクセス レコードを作成して、選択したアプリケーションのテーブルに対するアクセスを開発者に対して許可できます。

各アプリケーション設計時アクセス レコードには、以下の情報が含まれています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アプリケーション設計時アクセス フィールド

フィールド	説明
ソース スコープ	他のアプリケーションのテーブルに対して設計時アクセスを要求するアプリケーション。
ターゲットパッケージ	設計時アクセスの対象にできるテーブルを持つアプリケーション。
アプリケーション	このレコードが属するアプリケーション。

アドミニストレーターは、アプリケーション設計時アクセス レコードを使用して、アプリケーション開発者が使用できるリソースを完全にコントロールすることができます。アプリケーション開発者が設定レコードを作成するときに、別のアプリケーションからテーブルを選択できるのは、そのアプリケーションに対するアクセスを許可するアプリケーション設計時アクセス レコードがある場合に限定されます。たとえば、アドミニストレーターは、次のアプリケーション設計時アクセスレコードを作成することで、インシデント管理と問題管理のテーブルに対するアクセスを開発者に対して許可できます。

アプリケーション設計時アクセス レコードの例

ソース スコープ	ターゲットパッケージ
自分のアプリケーション	インシデント
自分のアプリケーション	問題管理

開発者が他のアプリケーションに対する設定レコードを作成すると、システムではこれらのアプリケーションが依存関係があるものとして表示されます。

テーブルの設計時と実行時の設定

アプリケーション アクセス フィールドは、設計時または実行時の操作中に他のアプリケーションからテーブルにアクセスできるかどうかを決定します。

アプリケーション アクセス フィールド

フィールド	説明
他のアプリケーションスコープからの読み取りアクセスを許可	このチェック ボックスをオンにすると、他のアプリケーションスコープのスクリプト オブジェクトがこのテーブルに格納されているレコードを読み取ることができます。このオプションは実行時保護を提供します。たとえば、別のアプリケーション内のスクリプトでこのテーブルのデータに対するクエリを実行できます。他の API レコード操作を許可するには、先に読み取りアクセスを選択する必要があります。
書き込み可能	このチェックボックスをオンにすると、他のアプリケーションスコープのスクリプト オブジェクトがこのテーブルに格納されているレコードを変更することができます。このオプションは実行時保護を提供します。たとえば、別のアプリケーション内のスクリプトでこのテーブルのフィールド値を変更できます。このオプションは、[他のアプリケーションスコープからの読み取りアクセスを許可] チェック ボックスがオンになっている場合にのみ使用できます。 このチェックボックスをオフにすると、他のアプリケーションスコープのスクリプト オブジェクトはこのテーブルに格納されているデータを変更できなくなります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

アプリケーション アクセス フィールド (続く)

フィールド	説明
他のアプリケーションスコープからの作成アクセスを許可	このチェックボックスをオンにすると、他のアプリケーションスコープのスクリプトオブジェクトがこのテーブルにレコードを作成することができます。このオプションは実行時保護を提供します。たとえば、別のアプリケーション内のスクリプトでこのテーブルに新しいレコードを挿入できます。このオプションは、[他のアプリケーションスコープからの読み取りアクセスを許可] チェック ボックスがオンになっている場合にのみ使用できます。 このチェックボックスをオフにすると、他のアプリケーションスコープのスクリプトオブジェクトはこのテーブルにレコードを作成できなくなります。
他のアプリケーションスコープからの削除アクセスを許可	このチェックボックスをオンにすると、他のアプリケーションスコープのスクリプトオブジェクトがこのテーブルからレコードを削除することができます。このオプションは実行時保護を提供します。たとえば、別のアプリケーション内のスクリプトでこのテーブルからレコードを削除できます。このオプションは、[他のアプリケーションスコープからの読み取りアクセスを許可] チェック ボックスがオンになっている場合にのみ使用できます。 このチェックボックスをオフにすると、他のアプリケーションスコープのスクリプトオブジェクトはこのテーブルからレコードを削除できなくなります。
Web サービスでのやり取りを許可	このチェック ボックスをオンにすると、ユーザーはこのテーブルに対して受信 Web サービス クエリを実行することができます。このオプションは設計時保護と実行時保護の両方を提供します。このチェック ボックスをオンにしている場合でも、クエリを実行するユーザーは、このテーブルにアクセスするための適切な権限を持っている必要があります。 このチェック ボックスをオフにすると、ユーザーはこのテーブルに対して Web サービス クエリを実行できません。

アプリケーションテーブルへの実行時アクセス

実行時アクセスでは、API または Web サービスの呼び出しをアプリケーション テーブルに対して実行できるかどうかを決定します。

以下のアクセスポイントに対してアクセス権限を設定できます。

実行時アクセスポイント

アクセスポイント	説明
スクリプト API	GlideRecord 呼び出しなど、スコープ指定のシステム API からの、サポートされているオブジェクトまたはメソッドの呼び出し。
Web サービス	REST、JSON、SOAP Web サービスなど、サポートされている Web サービスの呼び出し。

システムは、アプリケーション テーブルに対する API または Web サービスの呼び出しを作成できないようにするのではなく、その API または Web サービスの呼び出しをアプリケーション テーブルに対して実行できるかどうかを判断します。アプリケーション テーブルのアクセス権限に違反する API または Web サービスの呼び出しが行われると、エラーになります。たとえば、保護された

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アプリケーションテーブルに対して Web サービス呼び出しを行うと、403 Forbidden の HTTP エラーが発生します。

デフォルトの実行時アクセス権限

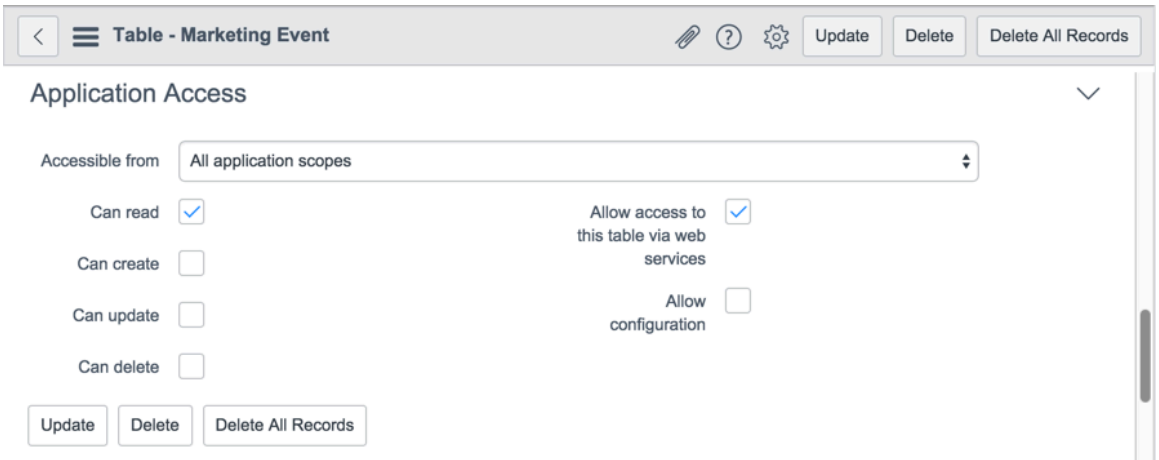
デフォルトの実行時アクセス権限は、新しいアプリケーション データ テーブルに適用されます。

デフォルトでは、新しいアプリケーション テーブルでは、他のアプリケーションスコープからの読み取りアクセスのみが許可されます。

デフォルトの実行時アクセス

フィールド	値
Accessible from	すべてのアプリケーションスコープ
他のアプリケーションスコープからの読み取りアクセスを許可	有効
他のアプリケーションスコープからの作成アクセスを許可	無効
他のアプリケーションスコープからの書き込みアクセスを許可	無効
他のアプリケーションスコープからの削除アクセスを許可	無効
Web サービスでのやり取りを許可	有効

テーブル レコードのアプリケーション アクセス権限



アプリケーション テーブルへの実行時アクセスの設定

これらのアクセス権限は、実行時にアプリケーション テーブルを保護するために設定します。

始める前に
必要なロール：admin

手順

1. 移動先 すべて > システムアプリケーション > アプリケーション.
2. 編集するアプリケーション タイプのボタンをクリックします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

オプション	説明
開発	このインスタンスに作成されたアプリケーションを表示します。
ダウンロード	このインスタンスにダウンロードされたアプリケーションを表示します。

3. 操作するアプリケーション名またはアプリケーションの ボタンをクリックします。
4. 関連リストから、アクセス権限を設定するテーブルを選択します。
5. セクションで、実行時アクセス権限を設定します。
6. [更新] をクリックします。

テーブルへのすべての実行時アクセスを拒否する例

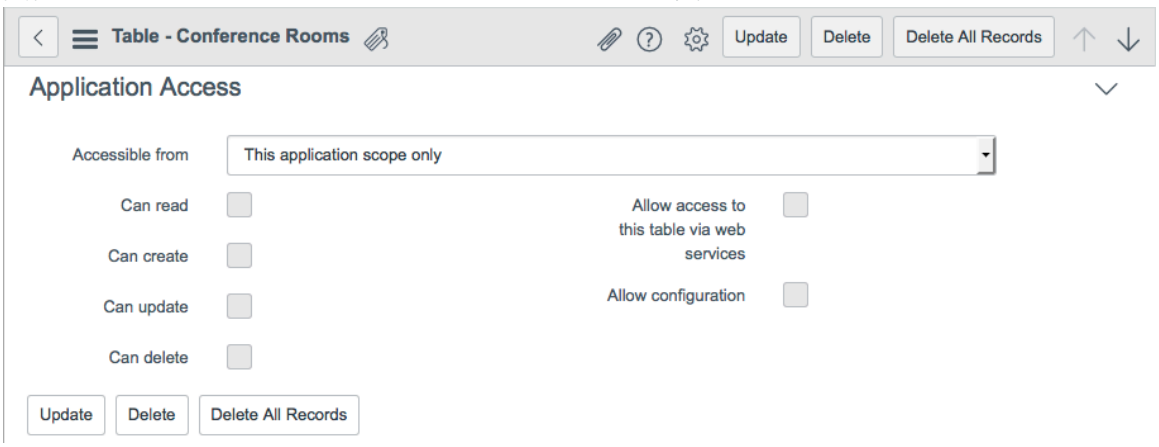
他のアプリケーションスコープからのスクリプト API および Web サービスの呼び出しを防ぐことができます。

通常、これは他のアプリケーションがテーブル内のデータを作成または変更するのを防ぐことを目的とします。アクセスを拒否するためには、テーブル レコードに次の値を設定する必要があります。

すべての実行時アクセスの拒否

フィールド	値
Accessible from	このアプリケーションスコープのみ
他のアプリケーションスコープからの読み取りアクセスを許可	無効
他のアプリケーションスコープからの作成アクセスを許可	無効
他のアプリケーションスコープからの書き込みアクセスを許可	無効
他のアプリケーションスコープからの削除アクセスを許可	無効
Web サービスでのやり取りを許可	無効

実行時アクセスをこのアプリケーションスコープのみに制限する

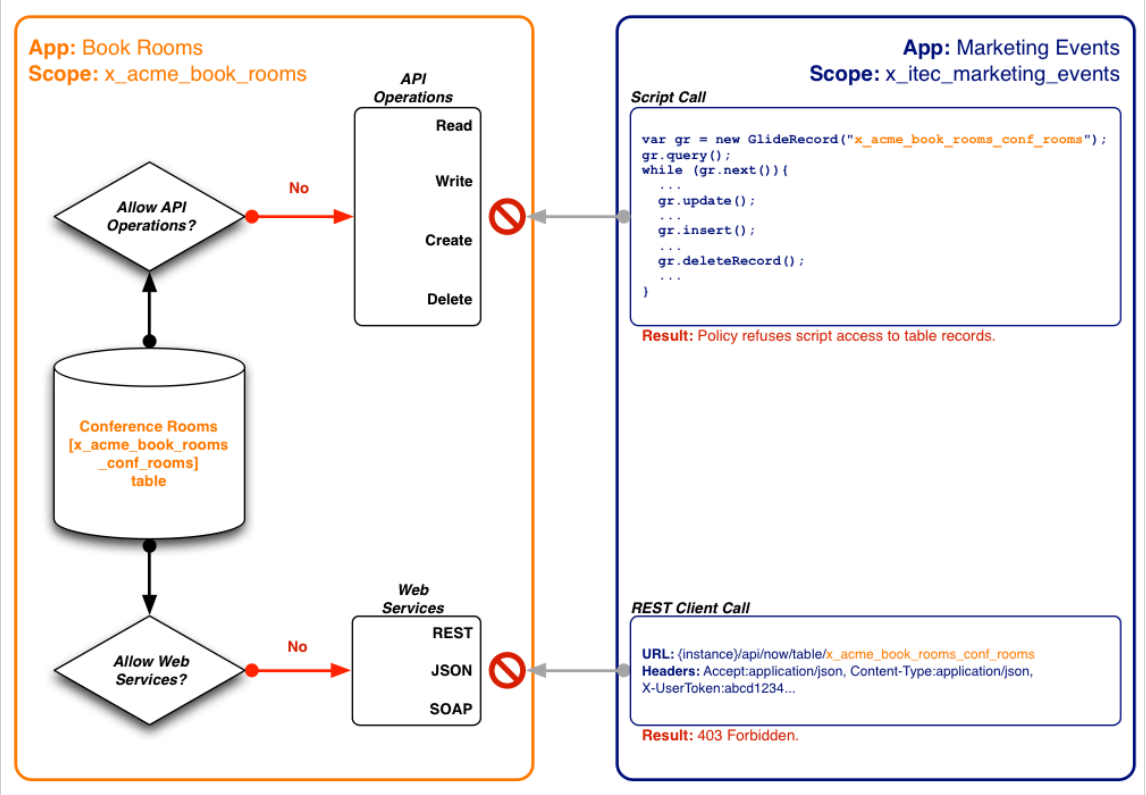


次の図は、他のアプリケーションスコープがスクリプト API と Web サービスの呼び出しからアプリケーション テーブルにアクセスするのを拒否する場合の影響を示します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

アプリケーション テーブルに対するすべての実行時アクセス権限を拒否する



テーブルへのすべての実行時アクセスを許可する例

他のアプリケーションスコープからの実行時スクリプト API および Web サービスの呼び出しを、一部またはすべて許可することができます。

アクセスを許可するには、テーブル レコードに次の値を設定する必要があります。

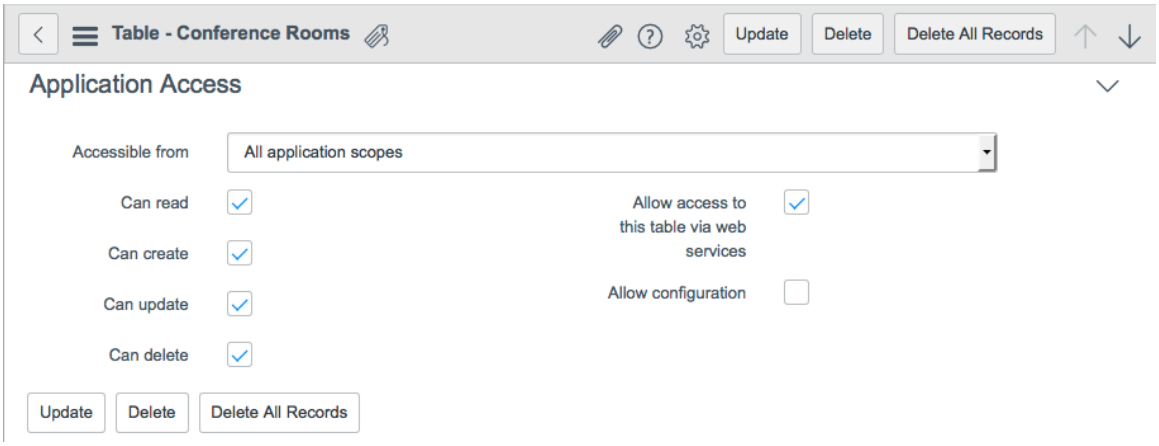
すべての実行時アクセスの許可

フィールド	値
Accessible from	すべてのアプリケーションスコープ
他のアプリケーションスコープからの読み取りアクセスを許可	有効
他のアプリケーションスコープからの作成アクセスを許可	有効
他のアプリケーションスコープからの書き込みアクセスを許可	有効
他のアプリケーションスコープからの削除アクセスを許可	有効
Web サービスでのやり取りを許可	有効

自動翻訳

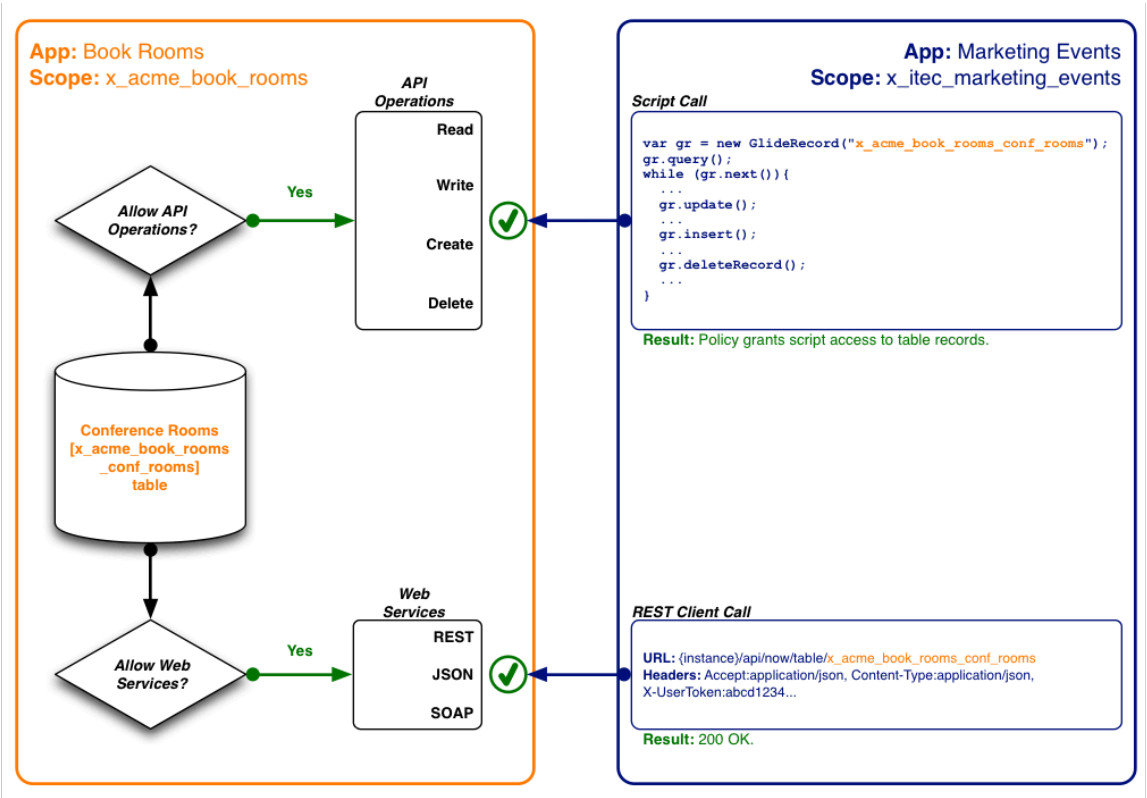
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

他のアプリケーションスコープにすべての実行時アクセス権限を許可する



次の図は、他のアプリケーションスコープが API コールと Web サービスからアプリケーションテーブルにアクセスするのを許可する場合の影響を示します。

アプリケーションテーブルへの許可されたアクセス



アプリケーションテーブルへの設計時アクセス

アプリケーション開発者は、設定レコードを作成する権限を他のアプリケーションに対して付与または拒否することができます。設定レコードは、アプリケーションの機能を拡張するもので、アプリケーションファイルとも呼ばれます。

この権限は、次のような、アプリケーション データ テーブルの機能を拡張するあらゆるプラットフォーム機能に適用されます。

- ビジネスルール
- UI アクション
- クライアントスクリプト

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

これらのアクセス権限によって、設計時にアプリケーション データ テーブルが保護されます。システムは、 フィールドのオプションとしてアプリケーション データ テーブルを表示しないことで、設定レコードを作成できないようにします。たとえば、保護されたアプリケーション テーブルは、UI アクションやクライアントスクリプトなどの設定レコードを作成するときにオプションとして表示されません。

設定レコードを作成する権限が付与されている場合でも、一部の設定レコードには、他のアプリケーションスコープからの不要な変更からアプリケーションデータを保護するための追加の制限事項があります。

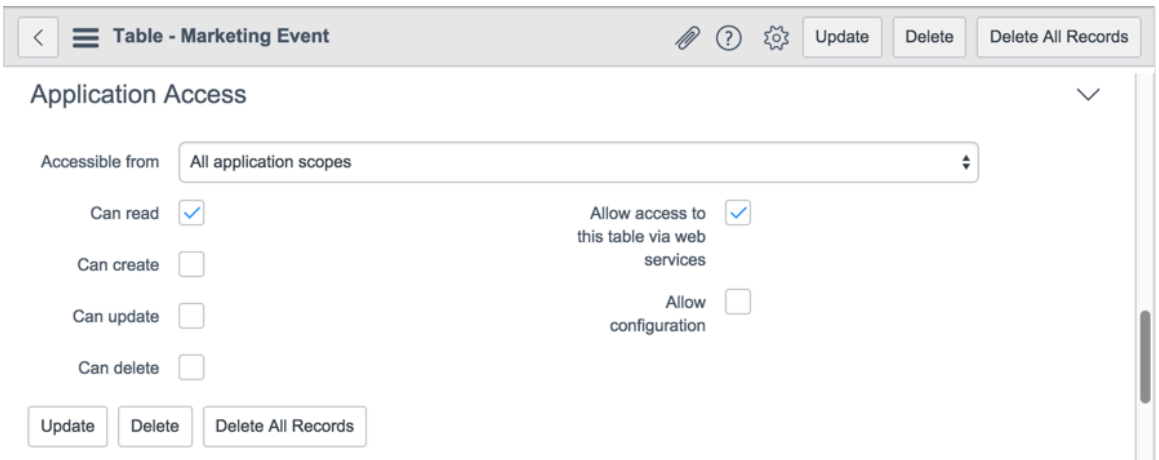
デフォルトの設計時アクセス権限

デフォルトでは、新しいアプリケーション テーブルでは、他のアプリケーションスコープがアプリケーション データ テーブルに設定レコードを作成することはできません。これにより、他のアプリケーションがテーブルの機能を変更するのを防ぐことができます。

デフォルトの設計時アクセス

フィールド	値
Accessible from	すべてのアプリケーションスコープ
他のアプリケーションスコープからの読み取りアクセスを許可	有効
他のアプリケーションスコープからの作成アクセスを許可	無効
他のアプリケーションスコープからの書き込みアクセスを許可	無効
他のアプリケーションスコープからの削除アクセスを許可	無効
Web サービスでのやり取りを許可	有効
構成を許可	無効

設定レコードに対するデフォルトのアクセス権限



アプリケーションテーブルへの設計時アクセスの設定

これらのアクセス権限は、設計時にアプリケーション テーブルを保護するために設定します。

始める前に
必要なロール：admin

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて
実行時アクセス権限を設定するには、次のように操作します。

手順

1. 移動先 すべて > システムアプリケーション > 会社のアプリケーション.
2. 編集するアプリケーション タイプのボタンをクリックします。

オプション	説明
開発	このインスタンスに作成されたアプリケーションを表示します。
ダウンロード	このインスタンスにダウンロードされたアプリケーションを表示します。

3. 操作するアプリケーション名またはアプリケーションの ボタンをクリックします。
4. 関連リストから、アクセス権限を設定するテーブルを選択します。
5. セクションで、設計時アクセス権限を設定します。
6. [更新] をクリックします。

関連情報

テーブルへのすべての設計時アクセスを拒否する例

テーブルの設定レコードを許可する例

テーブルへのすべての設計時アクセスを拒否する例

他のアプリケーションスコープがアプリケーション データ テーブルに設定レコードを作成するのを拒否することができます。

通常、これは他のアプリケーションがテーブルの機能を変更しないようにするのが目的です。アクセスを拒否するためには、テーブル レコードに次の値を設定する必要があります。

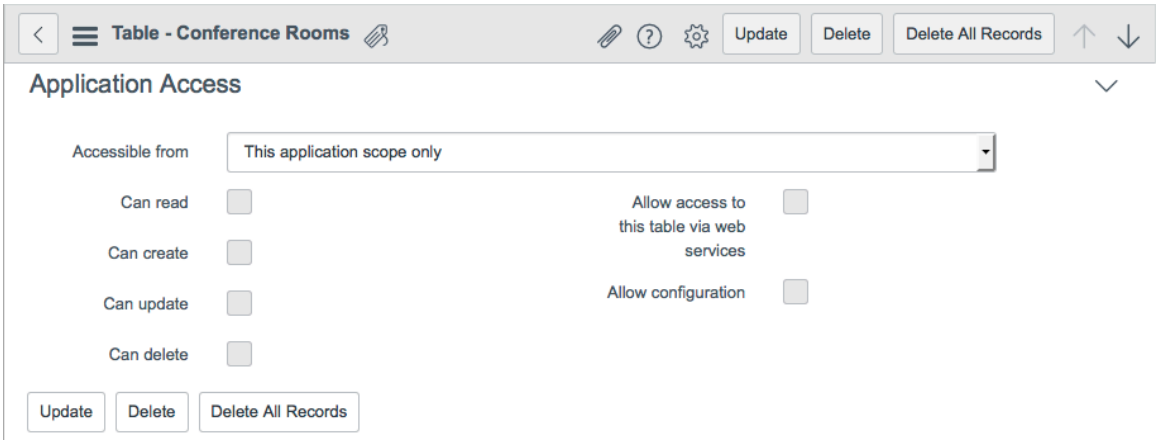
すべての設計時アクセスの拒否

フィールド	値
Accessible from	このアプリケーションスコープのみ
他のアプリケーションスコープからの読み取りアクセスを許可	無効
他のアプリケーションスコープからの作成アクセスを許可	無効
他のアプリケーションスコープからの書き込みアクセスを許可	無効
他のアプリケーションスコープからの削除アクセスを許可	無効
Web サービスでのやり取りを許可	無効
構成を許可	無効

自動翻訳

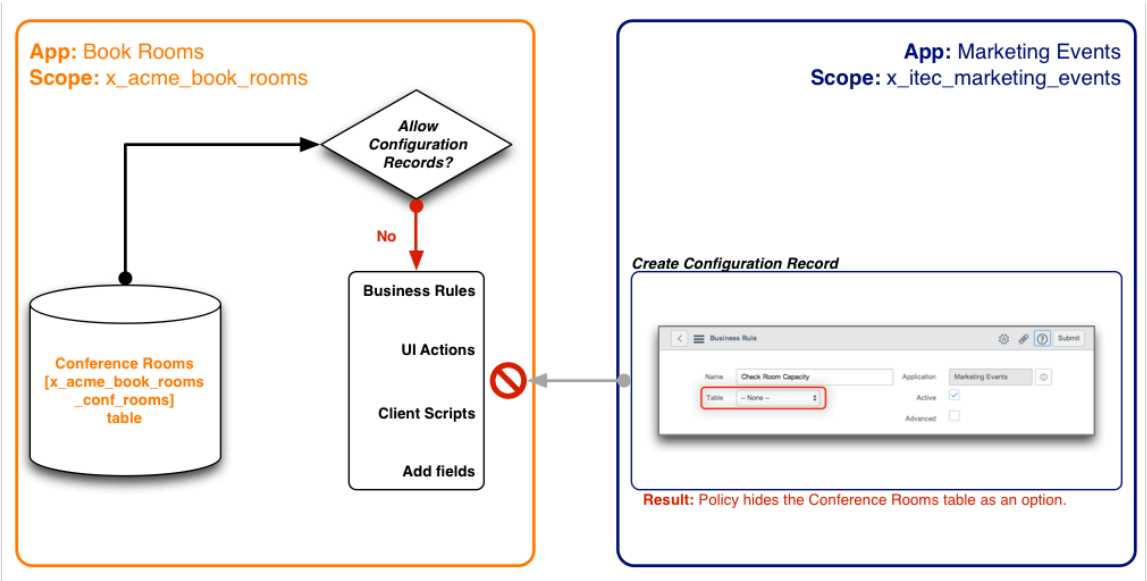
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

設計時アクセスをこのアプリケーションスコープのみに制限する



次の図は、他のアプリケーションスコープによる設定レコードの作成を拒否する場合の影響を示しています。

設計時アクセスをこのアプリケーションスコープのみに制限する



テーブルの設定レコードを許可する例

他のアプリケーションスコープがアプリケーション データ テーブルに設定レコードを作成するのを許可することができます。

これらの設定を使用して、次の設定レコードに対するアクセスを許可できます。

設定レコードに対するアクセスの許可

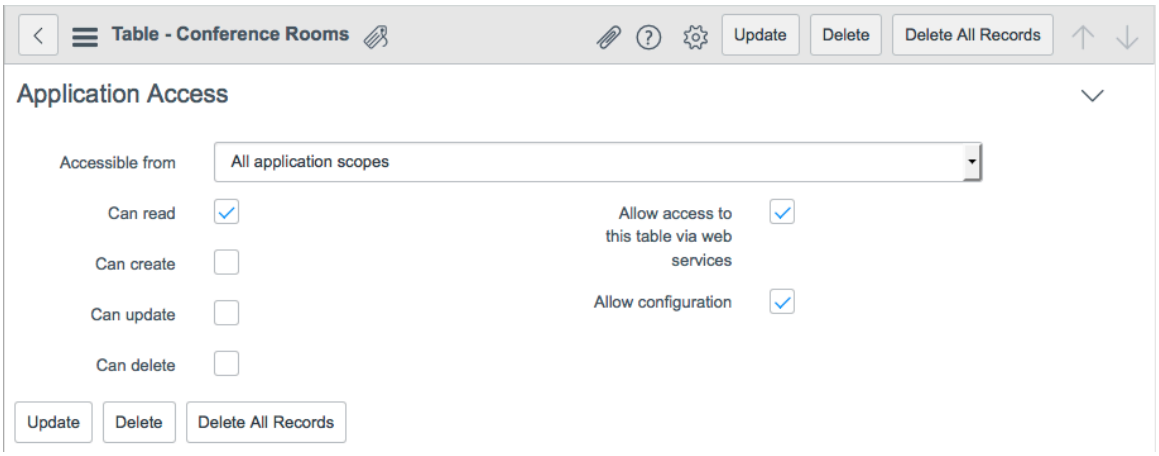
設定レコード	アクセスを許可するために必要な設定
アクセス制御	• [アクセス可能] を [すべてのアプリケーションスコープ] に設定 • [他のアプリケーションスコープからの読み取りアクセスを許可] をオン
ビジネスルール	

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

設定レコードに対するアクセスの許可 (続く)

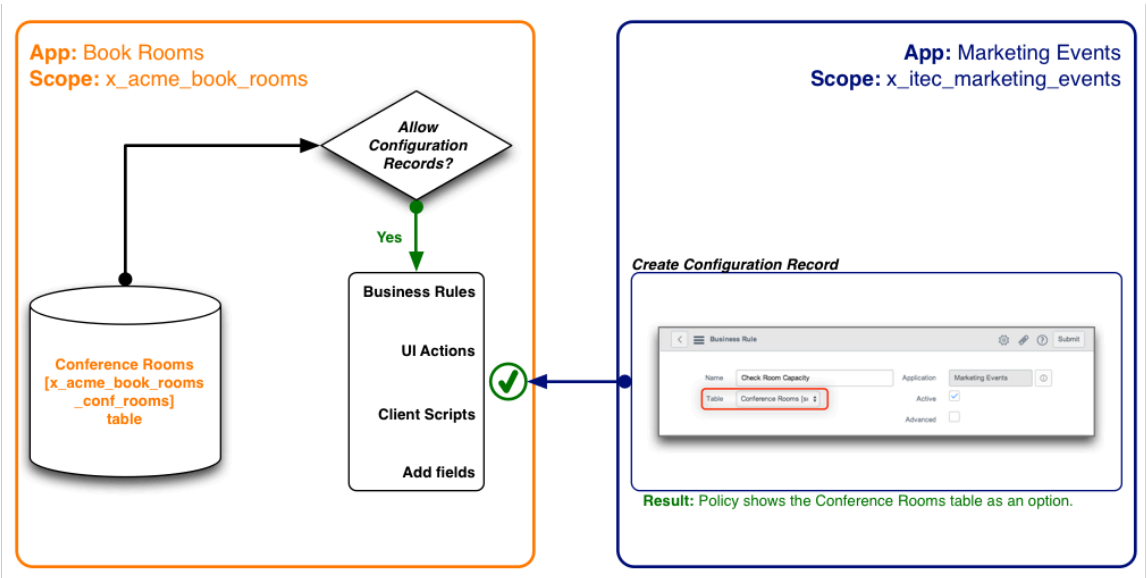
設定レコード	アクセスを許可するために必要な設定
クライアントスクリプト	• [アクセス可能] を [すべてのアプリケーションスコープ] に設定 • [他のアプリケーションスコープからの読み取りアクセスを許可] をオン • をオン
ディクショナリー エントリー (新しいフィールドのみ)	
UI アクション	

他のアプリケーションスコープに設計時アクセスを許可



次の図は、他のアプリケーションスコープによる設定レコードの作成を許可する場合の影響を示しています。

設定レコードへのアクセスの許可



限定呼び出し元アクセス特権の設定

アプリケーション、アプリケーションリソース (アクセス制御ロール、ビジネスルール、UI アクション、スクリプトインクルードなど)、またはイベントへのクロススコープアクセスを定義します。これらの設定を使用して、アクセス要求を許可または拒否することもできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

限定呼び出し元アクセス特権の設定の概要

限定呼び出し元アクセス [sys_restricted_caller_access] レコードは、ServiceNow AI Platform でのアプリケーション、アプリケーションリソース、またはイベントに対するアクセスを要求するクロススコープアプリケーションやスクリプトを追跡します。ServiceNow AI Platform は、次のいずれかのアクションが発生したときに sys_restricted_caller_access レコードを作成します。

- 呼び出し元アクセスが または に設定されているとき。
- クロススコープ スクリプトがアプリケーション リソースまたはイベントに対してアクセスを試みたとき。

> **注:**
> システムスコープ対ターゲットスコープは、クロススコープの一例です。

これらのレコードを使用して、次のタスクを実行できます。

- アプリケーション リソースに対するアクセスのクロススコープ要求を追跡する。アクセス要求を使用して、他のアプリケーションスコープのリソースとデータにアクセスする必要があるアプリケーションを特定できます。
- アプリケーション リソースまたはイベントに対するアクセスに対するクロススコープ要求を承認または拒否する。たとえば、限定呼び出し元アクセスレコードを作成して、すべてのスコープ対スコープ要求についてアクセスを許可できる。

詳細については、「要求された制限付きの申請者アクセス (RCA)」を参照してください。

限定呼び出し元アクセス特権の設定の組み合わせ

限定呼び出し元アクセスの特権設定のさまざまな組み合わせを定義し、関係ごとにアクセスを許可するか制限するかを指定できます。このプロセスにより、アプリケーションに、不要なスコープではなく、正しいスコープにアクセスするための特権を確保します。次の設定のさまざまな組み合わせを定義できます。

スコープ
: 選択したソース スコープまたはターゲット スコープ内にあるすべてのアプリケーション リソースアプリケーションスコープの詳細については、「アプリケーションスコープ」を参照してください。

ソース
: 選択したソース スコープ内にある特定のアプリケーション リソース

ターゲット
: 選択したターゲット スコープ内にある特定のアプリケーション リソース

これらの限定呼び出し元アクセス特権設定の組み合わせには、次の組み合わせが含まれますが、これらに限定されません。

- スコープ対スコープ
- スコープ対ターゲット
- ソース対スコープ
- ソース対ターゲット

> **注:**
> これらのアクセス設定の組み合わせの詳細と、各組み合わせの作成方法については、「 アプリケーションスコープ、アプリケーションリソース、およびイベントへのアクセスの設定」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

アプリケーション限定呼び出し元アクセスのアクティブ化

次のいずれかの方法で、アプリケーション限定呼び出し元アクセスをアクティブ化できます。

- スコープ対象のアプリケーション限定呼び出し元アクセス プラグイン (com.glide.scope.access.restricted_caller) をアクティブ化する。
- HR サービスデリバリ (HRSD) または セキュリティインシデントレスポンス のアプリケーションを要求する。これらのアプリケーションでは、限定呼び出し元アクセスはデフォルトでアクティブ化されている。
- ワークフロースタジオ の限定呼び出し元アクセスシステムプロパティをアクティブ化します。

詳細については、「アプリケーションの制限付きの申請者アクセスのアクティブ化」を参照してください。

アプリケーションの制限付きの申請者アクセスのアクティブ化

admin ロールがある場合は、スコープ指定アプリケーション限定呼び出し元アクセス プラグイン (com.glide.scope.access.restricted_caller) をアクティブ化できます。

始める前に
必要なロール：admin

手順

1. 移動先 すべて > システムアプリケーション > 利用可能なすべてのアプリケーション > すべて.
2. フィルター基準と検索バーを使用してプラグインを検索します。

   名前または ID でプラグインを検索できます。プラグインが見つからない場合は、ServiceNow 担当者から要求する必要があります。
3. [インストール] を選択して、インストールプロセスを開始します。

   注:
   ドメインセパレーションと代理アドミンがインスタンスで有効になっている場合、管理ユーザーはグローバルドメインに含まれている必要があります。それ以外の場合、次のエラーが表示されます： 「別の操作が実行されているため、アプリケーションのインストールは利用できません： <プラグイン名> のプラグインの有効化 (Application installation is unavailable because another operation is running: Plugin Activation for <plugin name>)」

   インストールが完了するとメッセージが表示されます。プラグインとともにインストールされるコンポーネントの詳細については、「 アプリケーションとともにインストールされているコンポーネントの検索 」を参照してください。

関連情報

プラグインのリスト (madrid)

アプリケーションリソースへのクロススコープアクセスの定義

アプリケーションリソースへのアクセスのクロススコープ要求を追跡し、要求を承認または拒否します。

始める前に
ターゲットアプリケーションのアプリケーション管理が有効である場合、アプリケーションに対するアクセスを設定できるのはターゲットアプリケーションのアプリケーションアドミニストレーターのみです。アプリケーション管理が有効でない場合、アドミンユーザーがアプリケーションに対するアクセスを設定できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

必要なロール：admin または application admin

注:
アプリケーション固有のアドミンロールと委任開発の詳細については、「アプリケーション管理アプリのアクセス制御ルール」および「委託開発 の探索」を参照してください。

手順

1. アプリケーション リソースに対するアクセスを定義するには、アプリケーション リソース レコードに移動します。
   利用可能なアプリケーションリソースには、次のオプションが含まれます。
   - テーブル
   - スクリプトインクルード
2. [アクセス可能] フィールドを [すべてのアプリケーションスコープ] に設定します。
   [このアプリケーションスコープのみ] に設定されている場合、他のアプリケーションスコープはリソースにアクセスできません。
3. [呼び出し元アクセス] フィールドで適切なアクセス レベルを選択します。

オプション	説明
なし	リソースに対するクロススコープ呼び出しは、 フィールドの値に基づいて承認または拒否されます。
申請者制限	リソースに対する呼び出しは手動で承認する必要があります。アクセス要求は、 ステータスを使用して限定呼び出し元アクセス テーブルで追跡されます。
申請者追跡	リソースに対する呼び出しは自動的に承認されます。呼び出しは、 ステータスを使用して限定呼び出し元アクセス テーブルで追跡されます。

4. 呼び出し元アプリケーションからのアクセス要求を許可または拒否します。
   クロススコープアプリケーションが [申請者制限] に設定されたリソースにアクセスしようとすると、システムはリソースへのアクセスを拒否し、 [要求済み] ステータスのレコードを [制限付きの申請者アクセス] テーブルに作成します。アドミンユーザーまたはアプリケーションアドミニストレーターは、要求を許可または拒否する必要があります。アクセスが許可されると、以後のすべてのアクセス試行は制限付きのリソースへのアクセス権を取得します。

   申請元のリソースが変更された場合 (ビジネスルールのスクリプトが変更された場合など)、制限付きの申請者アクセスレコードのステータスは [無効] に変わります。アドミンユーザーまたはアプリケーションアドミニストレーターは、ステータスを更新して または にする必要があります。

   a. アプリケーション レコードで、 タブに移動します。

   b. ステータスが [要求済み] のレコードを確認します。
      それぞれの制限付きの申請者アクセス特権レコードには、実行された操作、コールソースに関する情報、および要求されたターゲットリソースに関する情報がリストされます。

   c. 列で、値を から または に設定します。

   コールソースが許可されると、以後のすべてのコールが許可されます。

アプリケーションスコープ、アプリケーションリソース、およびイベントへのアクセスの設定

限定呼び出し元アクセス特権 [sys_restricted_caller_access] テーブルにレコードを作成して、クロススコープリソースアクセス要求を設定します。ソーススコープまたはソーススコープのアプリ

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ケーションリソースからターゲットスコープまたはターゲットスコープのアプリケーションリソースへの要求を承認または拒否します。

始める前に
ターゲットアプリケーションのアプリケーション管理が有効である場合、アプリケーションに対するアクセスを設定できるのはターゲットアプリケーションのアプリケーションアドミニストレーターのみです。アプリケーション管理が有効でない場合、アドミンユーザーがアプリケーションに対するアクセスを設定できます。

必要なロール：application admin または admin

注:
アプリケーション固有のアドミンロールと委任開発の詳細については、「アプリケーション管理アプリのアクセス制御ルール」および「委託開発 の探索」を参照してください。

このタスクについて
次の限定呼び出し元アクセス特権設定の組み合わせを設定できます。

- スコープ対スコープ
- スコープ対ターゲット
- ソース対スコープ
- ソース対ターゲット

注:
Rome リリースでは、リソースへのアクセスを許可するために RCA 権限レコードがターゲットアプリケーションに存在する必要があります。つまり、ターゲットスコープがアプリケーションスコープと一致する必要があります。

手順

1. 移動先 すべて > システムアプリケーション > アプリケーションの制限付き発信者アクセス.
2. フォームで、フィールドに入力します。

限定呼び出し元アクセスのフィールド

フィールド	説明
操作	ターゲットリソースで実行された操作 ○ 読み取り ○ 書き込み ○ 作成 ○ 削除 ○ API の実行
ソース	制限付きのアプリケーションリソースにアクセスしているクロススコープレコード。
ソース スコープ	呼び出し元アプリケーションスコープ
ソーステーブル	ソース レコードを含むテーブル
ソースタイプ	アプリケーションリソースを呼び出すレコードのタイプ： ○ ACL ○ ビジネスルール

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	○ ドキュメントタイトル ○ フロー ○ フローアクション ○ GlideScopedEvaluator ○ 受信メールスクリプト ○ オーケストレーション RunScript アクティビティ ○ レコードプロデューサースクリプト ○ サービスポータルウィジェット ○ スケジュール設定済みスクリプト ○ スコープ ○ スクリプトインクルード ○ UI アクション ○ UI マクロ ○ UI ページ ○ ワークフローアクティビティ たとえば、アプリケーション全体からのアクセスを許可するには、[スコープ] を選択します。
ステータス	アクセス要求のステータス： ○ 要求済み ○ 拒否 ○ 許可 ○ 無効 **注:** 呼び出し元のリソースが変更された場合、限定呼び出し元アクセス レコードのステータスは に変化します。アプリケーション管理を有効にした場合、要求のステータスを更新できるのはターゲットアプリケーションのアプリケーションアドミニストレーターのみです。
ターゲット	要求されたリソースのレコード
ターゲットスコープ	要求されたリソースのスコープ
ターゲットテーブル	ターゲット レコードを含むテーブル
ターゲットタイプ	要求されたリソースのタイプ

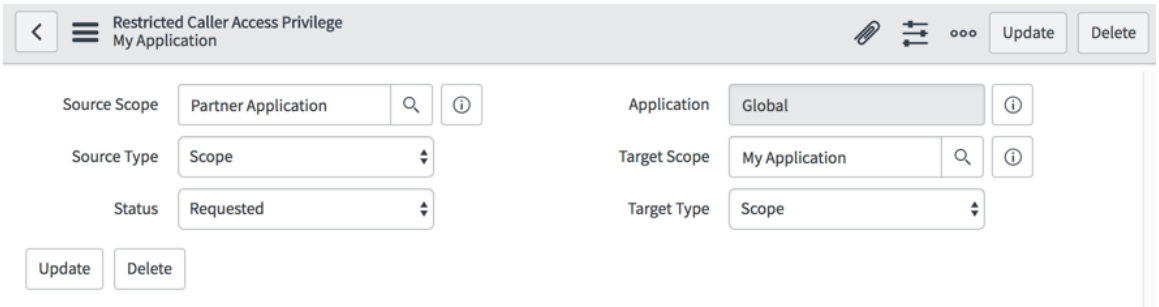
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	○ イベント **注:** イベントは、限定呼び出し元アクセスのターゲットの特別なタイプです。ターゲットスコープ内のイベントを選択することにより、ターゲットアプリケーションの一部として登録されたイベントをソースアプリケーションがキューに入れることを許可します。ただし、イベント登録の申請者アクセスを [なし] に設定すると、イベントへのクロススコープアクセス呼び出しは阻止されます。この設定の組み合わせは 1 対 1 の関係です。イベントとその機能の詳細については、「イベント」を参照してください。イベント登録で申請者アクセスを [なし] に設定した場合、イベントへのクロススコープアクセス呼び出しは拒否されます。 ○ スコープ ○ テーブル ○ スクリプトインクルード たとえば、アプリケーション全体に対するアクセスを許可するには、[スコープ] を選択します。

スコープ対スコープ設定

ソーススコープ内にあるすべてのアプリケーションリソースからターゲットスコープ内にあるすべてのアプリケーションリソースに対するアクセスを許可または拒否します。この設定の組み合わせは、多対多の関係です。



スコープ対スコープの限定呼び出し元アクセスの次のフィールド設定を入力します。

フィールド	エントリ
ソース スコープ	ソースアプリケーションリソースを含む呼び出し元アプリケーションのスコープ
ソースタイプ	アプリケーション リソースを呼び出すレコードのタイプアプリケーション全体からのアクセスを許可するには、[スコープ] を選択します。
ステータス	アクセス要求のステータス [許可] を選択してアクセスを許可するか、[拒否] を選択してこのソースとターゲットのリソース関係のアクセスを制限します。
ターゲットスコープ	ソースアプリケーションリソースがアクセスを要求するターゲットアプリケーションリソースを含む要求されたリソースのスコープ。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

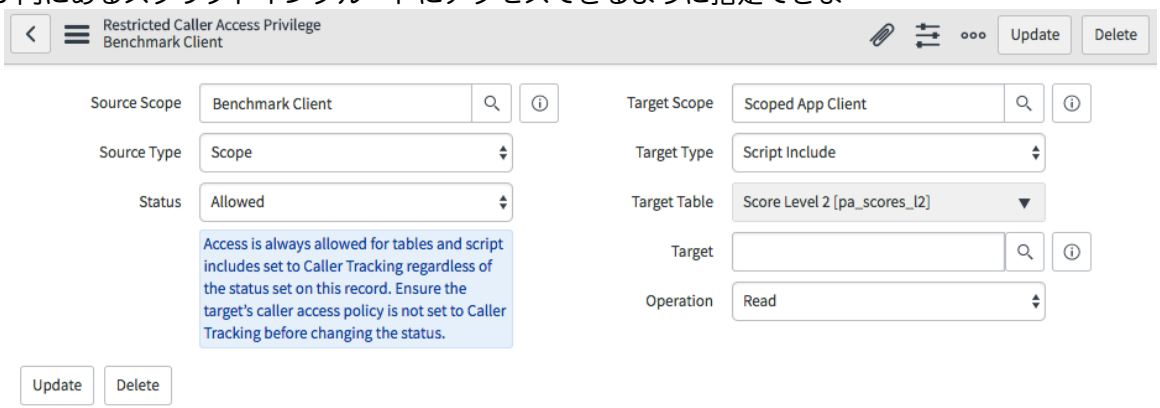
自動翻訳

フィールド	エントリ
ターゲットタイプ	要求されたリソースのタイプ ターゲットスコープにすべてのアプリケーションリソースを含めるには、[スコープ] を選択します。

スコープ対ターゲット設定

ソーススコープ内にあるすべてのアプリケーションリソースからターゲットスコープ内にある特定のアプリケーションリソース (ビジネスルール、テーブル、スクリプトインクルード、イベントなど) へのアクセスを許可または拒否します。

この設定の組み合わせは、多対 1 の関係です。たとえば、ソーススコープ A 内にあるすべてのアプリケーションリソースが、ターゲットスコープ B 内にあるスクリプトインクルードにアクセスできるように指定できます。



スコープ対ターゲットの限定呼び出し元アクセスの次のフィールド設定を入力します。

フィールド	エントリ
ソース スコープ	ソースアプリケーションリソースを含む呼び出し元アプリケーションのスコープ
ソースタイプ	アプリケーション リソースを呼び出すレコードのタイプソーススコープにすべてのアプリケーションリソースを含めるには、[スコープ] を選択します。
ステータス	アクセス要求のステータス [許可] を選択してアクセスを許可するか、[拒否] を選択してこのソースとターゲットのリソース関係のアクセスを制限します。
ターゲットスコープ	ソースアプリケーションリソースがアクセスを要求するターゲットアプリケーションリソースを含む要求されたリソースのスコープ。
ターゲットタイプ	要求されたリソースのタイプソースアプリケーションリソースがアクセスを要求する、特定のアプリケーションリソース (ビジネスルール、スクリプトインクルード、UI ページ、イベントなど) を選択します。
操作	ソースアプリケーションリソースがアクセスを要求する、ターゲットアプリケーションリソースにおける操作のタイプ (読み取り、書き込みなど)。

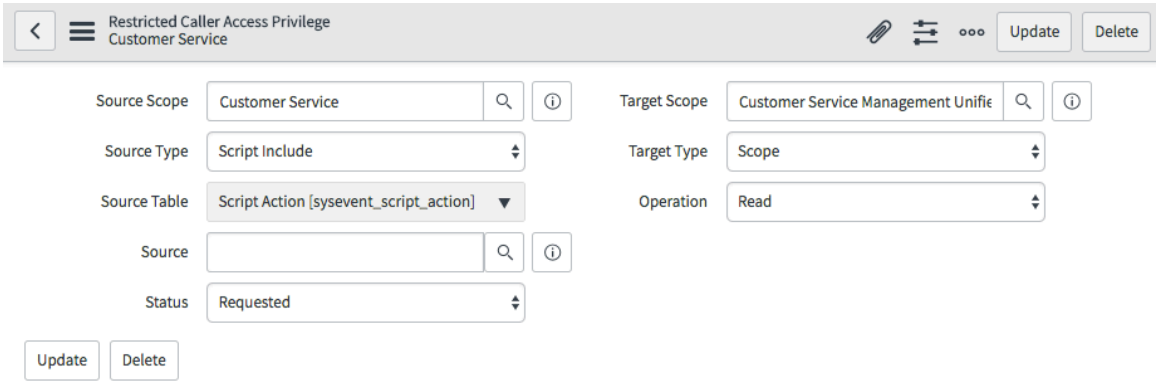
ソース対スコープ設定

ソーススコープ内にある特定のアプリケーションリソースからターゲットスコープ内にあるすべてのアプリケーションリソースに対するアクセスを許可または拒否します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

この設定の組み合わせは 1 対多の関係です。たとえば、ソーススコープ A 内にある特定のビジネスルールが、ターゲットスコープ B 内にあるすべてのアプリケーションリソースにアクセスできるように指定できます。



ソース対スコープの限定呼び出し元アクセスの次のフィールド設定を入力します。

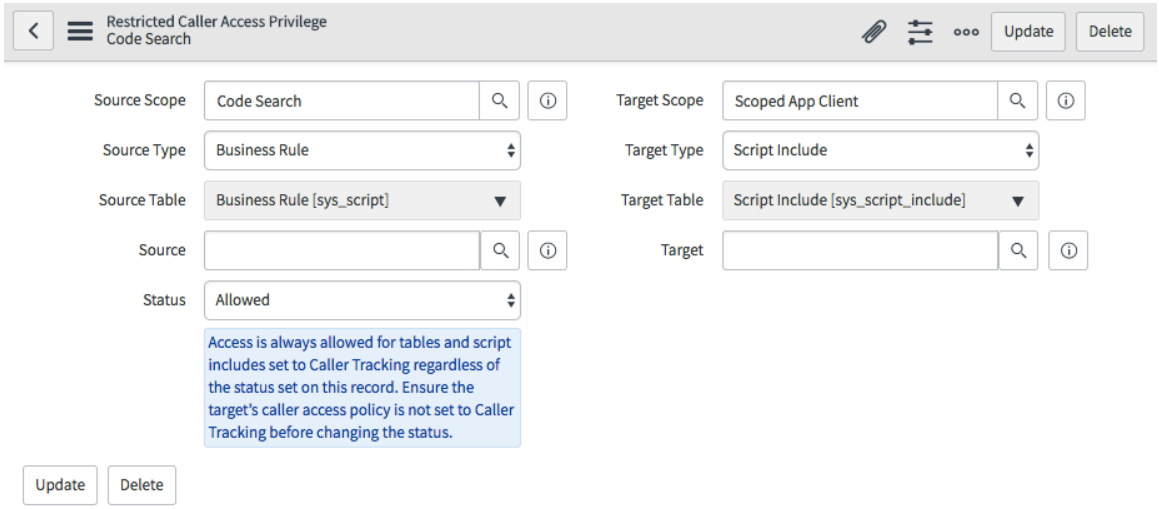
フィールド	エントリ
ソース スコープ	ターゲットスコープアプリケーションリソースに対するアクセスを要求するソースアプリケーションリソースを含む呼び出し元アプリケーションのスコープ。
ソースタイプ	アプリケーション リソースを呼び出すレコードのタイプ指定したターゲットスコープアプリケーションリソースに対するアクセスを要求する、特定のアプリケーションリソース (ビジネスルールやスクリプトインクルードなど) を選択します。
ステータス	アクセス要求のステータス [許可] を選択してアクセスを許可するか、[拒否] を選択してこのソースとターゲットのリソース関係のアクセスを制限します。
ターゲットスコープ	ソースアプリケーションリソースがアクセスを要求するターゲットアプリケーションリソースを含む要求されたリソースのスコープ。
ターゲットタイプ	要求されたリソースのタイプ選択したターゲットスコープにすべてのアプリケーションリソースを含めるには、[スコープ] を選択します。
操作	ソースアプリケーションリソースがアクセスを要求する、ターゲットアプリケーションリソースにおける操作のタイプ (読み取り、書き込みなど)。

ソース対ターゲット設定

ソーススコープ内にある特定のアプリケーションリソースからターゲットスコープ内にある特定のアプリケーションリソースに対するアクセスを許可または拒否します。

この設定の組み合わせは 1 対 1 の関係です。 、ソーススコープ A 内の特定のビジネスルールが、ターゲットスコープ内の特定のアプリケーションリソース (ビジネスルール、テーブル、スクリプトインクルード、イベントなど) にアクセスできるように指定できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



ソース対ターゲットの限定呼び出し元アクセスの次のフィールド設定を入力します。

フィールド	エントリ
ソース スコープ	ソースアプリケーションリソースを含む呼び出し元アプリケーションのスコープ
ソースタイプ	アプリケーション リソースを呼び出すレコードのタイプ指定したターゲットスコープアプリケーションリソースに対するアクセスを要求する、特定のアプリケーションリソース (ビジネスルール、スクリプトインクルード、UI ページなど) を選択します。
ステータス	アクセス要求のステータス [許可] を選択してアクセスを許可するか、[拒否] を選択してこのソースとターゲットのリソース関係のアクセスを制限します。
ターゲットスコープ	ソースアプリケーションリソースがアクセスを要求するターゲットアプリケーションリソースを含む要求されたリソースのスコープ。
ターゲットタイプ	要求されたリソースのタイプソースアプリケーションリソースがアクセスを要求する、特定のアプリケーションリソース (ビジネスルール、スクリプトインクルード、イベントなど) を選択します。

要求された制限付きの申請者アクセス (RCA)

要求済み RCA を使用して、次のファミリリリースを待たずに、 ServiceNow AI Platform の保護されたリソースへのアクセスをストアアプリに付与できます。システムアドミニストレーターまたはアプリケーションアドミニストレーターロールを保持している場合は、要求済み RCA をレビューして、それらを承認または拒否できます。

RCA は次の 2 つのカテゴリに分類されます。

- 実際の RCA：sys_scope==target_scope
- 要求済み RCA：sys_scope!=target_scope

例：実際の RCA レコードは、アプリケーションスコープとターゲットスコープが一致するレコードです。要求済み RCA は、ターゲットスコープへのアクセスの承認を待機中のレコードです。

アプリケーションをインストールすると、スケジュール済みジョブによって、ソースアプリケーションにパッケージ化されている要求済み RCA レコードごとに、ターゲットアプリケーションで [要求済み] ステータスの RCA レコードが生成されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
アップグレードサマリが実行されると、ジョブが生成されます。

ストアアプリがテーブルにアクセスする方法の例

HR 統合フレームワークというストアアプリが人事コアケーステーブルにアクセスするとします。このテーブルは、[統合サービス] テーブルの「ケースの検索」と呼ばれるビジネスルールにあります。

アクセスを要求するために、HR 統合フレームワークアプリでは、次のように RCA 特権が専用のスコープにパッケージ化されている必要があります。

- sys_scope = HR 統合フレームワーク
- ターゲット = 人事コアケース
- ステータス = 許可
- target_scope = 人事：コア
- ソース = ケースの検索

開発者向けのアプリ開発の例

アプリケーションの開発中に、ターゲットに申請者制限がある場合、実際の RCA が [要求済み] ステータスで生成されます。ターゲットに申請者トラッキングがある場合、ステータスは [許可] になります。開発者は、アプリケーションが機能するために必要なすべての実際の RCA レコードをレビューして確定できます。たとえば、ステータスが [許可] の RCA などです。

開発者は、関連リンクの [現在のアプリで **RCA** 権限を生成] をクリックして、現在のアプリケーションにパッケージ化されている要求済み RCA を生成できます。要求済み RCA は実際の RCA と同期されます。つまり、実際の RCA が更新または削除されると、要求済み RCA も更新または削除されます。

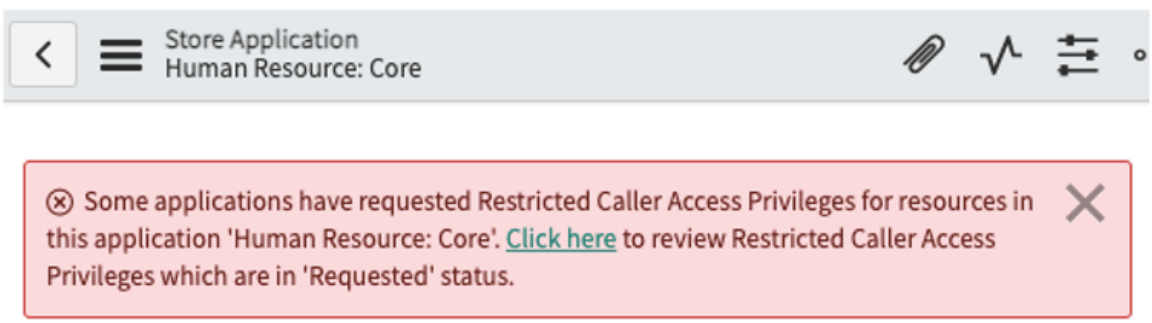
これで、HR 統合フレームワークアプリケーションをパッケージ化し、お客様のインスタンスにインストールできるようになりました。

アドミン向けのアプリインストール例

お客様のインスタンスにアプリをインストールすると、ターゲットアプリケーションに実際の RCA が生成されます。実際の RCA には、ステータスが [要求済み] の [人事：コア] が含まれます。このプロセスは、スケジュール済みジョブで非同期に実行されるため、遅延時間が発生する可能性があります。

RCA のレビュー待ちについてターゲットアプリアドミニストレーターに通知するために、メッセージがアプリケーションページに追加されました。次に例を示します。

RCA レビュー待ちメッセージ



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ストアアプリの下位互換性

ストアアプリに互換性があり、Rome より前のインスタンスにインストールできる場合は、ステータスが [許可] の専用スコープ内の RCA レコードをパッケージ化する必要があります。

注:
このプロセスにより、ストアアプリは確実にすべてのバージョンで機能するようになります。

Rome にアップグレードする場合は、1 回限りの修正スクリプトを構成して、ソーススコープ内の RCA をターゲットスコープに移動できます。Rome では、ターゲットアプリに必要な RCA レコードがすでに存在する場合、ソースアプリによってパッケージ化される RCA の RCA レコードは生成されません。

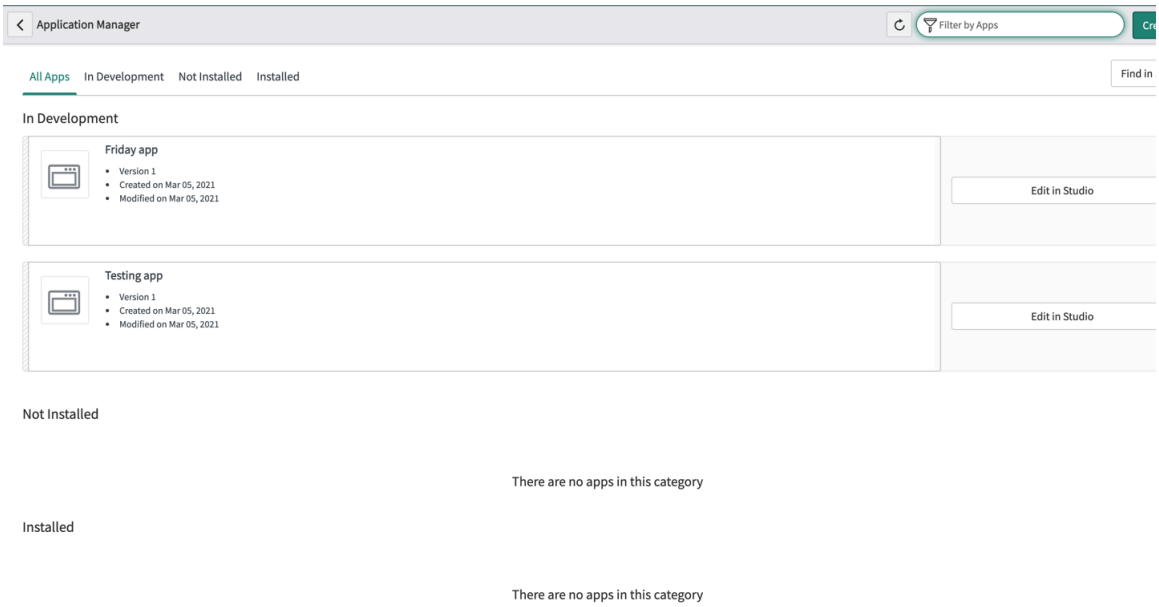
アプリケーションリスト

アプリケーションリストを使用すると、アプリケーション開発者はアプリケーションを表示および選択できます。

アプリケーション開発者は、アプリケーション リストを使用してカスタムアプリケーション レコードを開くことができます。別のアプリケーションスコープでアプリケーション アーティファクトを編集していることがコンテキスト開発環境によって検出された場合は、警告メッセージが表示され、別のアプリケーションに切り替えるために使用できます。

アドミニストレーターは、アプリケーション リストから次のオプションを選択できます。

アプリケーション リストの例



アプリケーション リストのオプション

タブ名	使用可能なオプション	アプリケーション ソース
開発	• 新規アプリケーションの作成 • 既存アプリケーションの編集	このインスタンスで開発されたアプリケーション

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アプリケーション リストのオプション (続く)

タブ名	使用可能なオプション	アプリケーション ソース
	• アプリケーションの共有 • アプリケーションを削除します	
ダウンロード	• インストール • インストールされたファイルの表示 • インストールされたファイルの編集 • アンインストール	• 会社のアプリケーションリポジトリで共有されるアプリケーション • 共有されるアプリケーション ServiceNow Store
更新	• 更新 • バージョン情報の表示	• 会社のアプリケーションリポジトリで共有されるアプリケーション • 共有されるアプリケーション ServiceNow Store

アプリケーション リストには、次の情報が表示されます。

アプリケーション リスト

タイプ	説明
開発	このインスタンスに作成されたアプリケーションを表示します。
ダウンロード済み	このインスタンスにダウンロードされたアプリケーションを表示します。
更新	このインスタンスにダウンロードされたアプリケーションで使用可能な更新を表示します。

アプリケーションピッカー

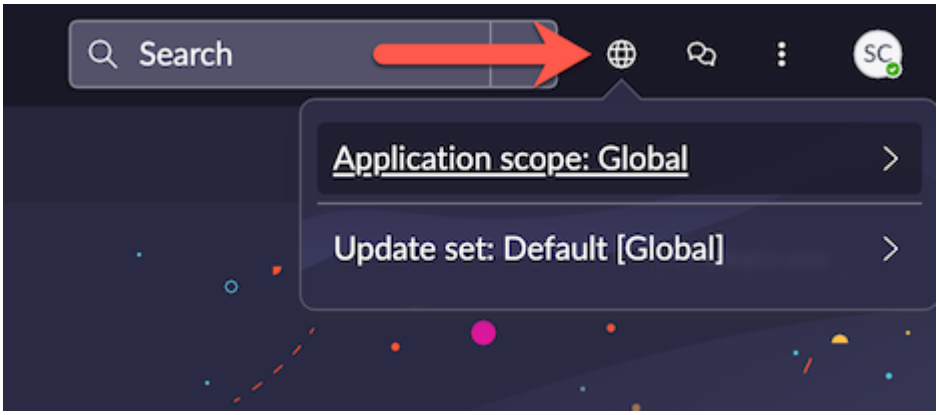
アプリケーションピッカーを使用すると、アプリケーション開発者は、変更が適用されるアプリケーションスコープを表示および選択できます。

アプリケーションピッカーは 統一ナビゲーション メニューにあります。ピッカーアイコン ( ) を選択し、[アプリケーションスコープ] を選択して、アクセスできるアプリケーションスコープのリストを開きます。

アプリケーションスコープが非グローバルスコープに設定されている場合、ピッカーアイコンに赤いリング ( ) が表示されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

統一ナビゲーションのアプリケーションスコープピッカー



リソース

アプリケーションピッカーは ネクストエクスペリエンス ピッカーの一部です。詳細については、「Exploring Next Experience pickers」を参照してください。

アプリケーションスコープの詳細については、「アプリケーションスコープ」を参照してください。

スコープ対象のアプリケーションのリストとフォーム

スコープ対象のアプリケーションのリストやフォームを操作するときに使用できるカスタマイズやフォーム設計のオプションは、現在のアプリケーションコンテキストによって決まります。

ユーザーインターフェイスでは、ビジュアルインジケーターを使用して、同一または異なるアプリケーションスコープ内のリストまたはフォームを特定します。

使用可能なレイアウトと設計アクション

カスタムアプリケーションのリストまたはフォームを操作する際は、次のレイアウトおよび設計のアクションが可能です。

使用可能なレイアウトと設計アクション

アクション	許可されるアクセス	メモ
リスト ビューを作成する	常に許可	このアクションは、カスタマイズ機能にアクセスできるユーザーは常に使用できます。
フォーム ビューを作成する	常に許可	このアクションは、カスタマイズ機能にアクセスできるユーザーは常に使用できます。
フォームセクションの作成	常に許可	このアクションは、カスタマイズ機能にアクセスできるユーザーは常に使用できます。
ビューに表示するフィールドを選択する	現在のスコープと一致するビュー内のセクションに対してのみ許可されます。	この制限は、ユーザーのロールとは関係ありません。アドミニストレーターもこの制限はバイパスできません。
ビュー内のセクションの順序を変更する	現在のスコープと一致するビューに対してのみ許可されます。	この制限は、ユーザーのロールとは関係ありません。アドミニストレーターもこの制限はバイパスできません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

使用可能なレイアウトと設計アクション (続く)

アクション	許可されるアクセス	メモ
セクションに表示するフィールドを選択する	現在のスコープと一致するセクションに対してのみ許可されます。	この制限は、ユーザーのロールとは関係ありません。アドミニストレーターもこの制限はバイパスできません。
セクションの列を追加または削除する	現在のスコープと一致するセクションに対してのみ許可されます。	この制限は、ユーザーのロールとは関係ありません。アドミニストレーターもこの制限はバイパスできません。
フォーム セクションを削除する	現在のスコープと一致するセクションに対してのみ許可されます。	この制限は、ユーザーのロールとは関係ありません。アドミニストレーターもこの制限はバイパスできません。
新規フィールドを作成する	オプションが有効な場合に、現在のスコープと一致するセクションに対してのみ許可されます。	この制限は、ユーザーのロールとは関係ありません。アドミニストレーターはこの制限をバイパスできません。

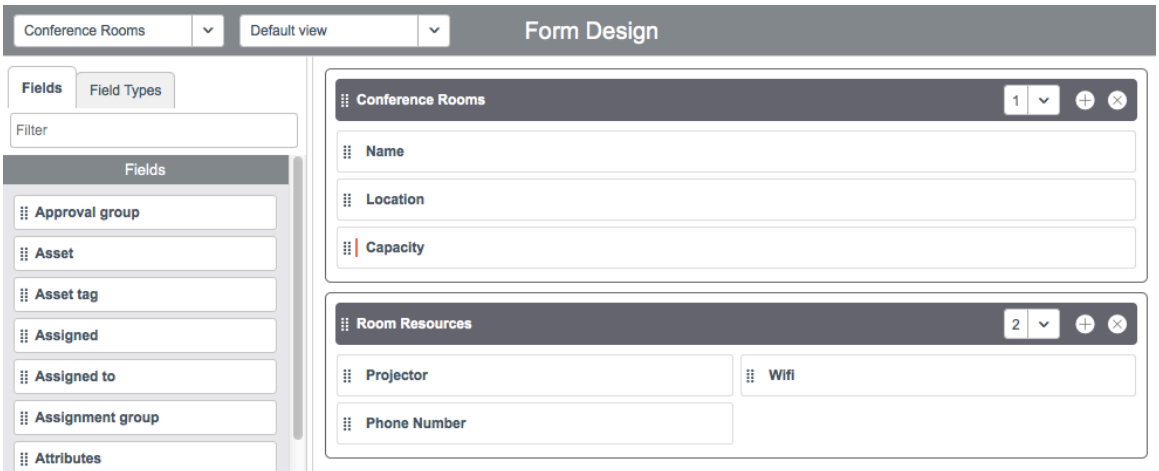
フォーム設計のビジュアルインジケーター

カスタムアプリケーションでフォームを設計するときは、UI に次の視覚的インジケーターが表示されます。

ビューとセクションは、フォームと同じアプリケーションスコープ内にある場合にのみ編集できます。編集可能なセクションには次の項目が表示されます。

- 単色の背景を持つセクション見出し
- セクションの周りの実線
- 列数を設定するコントロール
- ボタン
- セクション見出しの横にあるグリップ アイコン
- フィールドの横にあるグリップ アイコン

編集可能なセクションの視覚的インジケーター

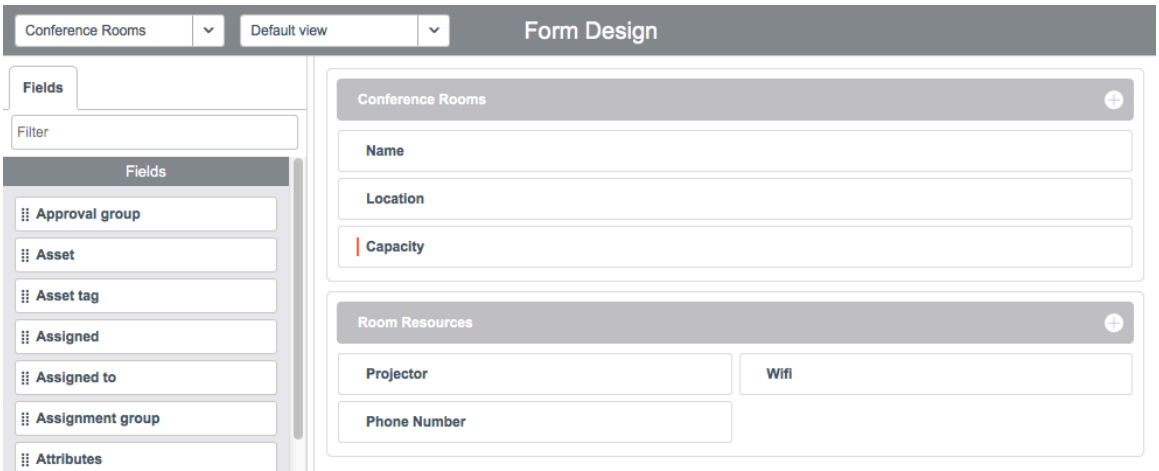


別のアプリケーションスコープ内にあるビューとセクションは、読み取り専用として表示されます。読み取り専用のセクションには次の項目があります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- グレーの背景を持つセクション見出し
- セクションの周りのグレーの線
- 列数を設定するコントロールはありません
- ボタンはありません
- セクション見出しの横にグリップ アイコンはありません
- フィールドの横にグリップ アイコンはありません

読み取り専用セクションのビジュアルインジケーター



デフォルトのフォームデザイン権限

新しいアプリケーション データ テーブルには、デフォルトで次のフォーム設計のアクセス権限が設定されます。

デフォルトのフォームデザイン権限

フォーム設計アクション	権限設定
別のアプリケーションスコープに属するテーブルに新しいセクションを作成する。	許可
同じアプリケーションスコープに属するセクションに新しいフィールドを作成する。	デフォルトは拒否。アプリケーション テーブルの場合は、アプリケーション設計者が に設定する必要があります。
同じアプリケーションスコープに属するセクションのフィールドを追加または削除する。	許可
同じアプリケーションスコープに属するセクションのフィールドの順序を変更する。	許可
同じアプリケーションスコープに属するセクションの順序を変更する。	許可
別のアプリケーションスコープに属するセクションのフィールドを追加または削除する。	拒否

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

デフォルトのフォームデザイン権限 (続く)

フォーム設計アクション	権限設定
別のアプリケーションスコープに属するセクションのフィールドの順序を変更する。	拒否
別のアプリケーションスコープに属するセクションの順序を変更する。	拒否
別のアプリケーションスコープに属するセクションに新しいフィールドを作成する。	拒否

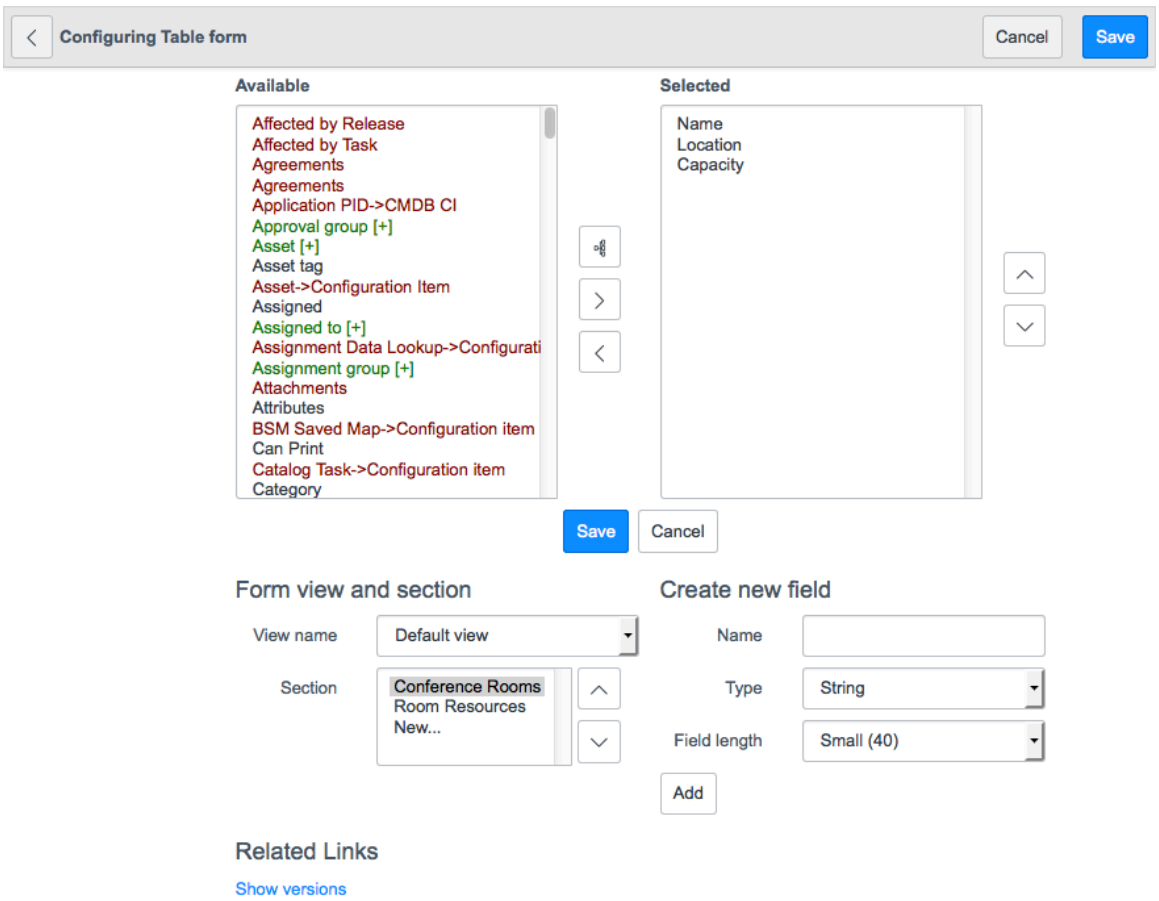
レイアウトのビジュアルインジケーター

カスタムアプリケーションのリストまたはフォームのレイアウトを設定するときは、UI に次の視覚的インジケーターが表示されます。

フォームと同じアプリケーションスコープ内にいる場合は、フィールド、ビュー、およびセクションのみを編集できます。編集可能なセクションには次の項目が表示されます。

- 白色の背景を持つフィールド選択。
- フィールドを追加または削除するボタン。
- 青色の背景の ボタン。
- セクションの編集可能なフィールド。

編集可能なセクションの視覚的インジケーター

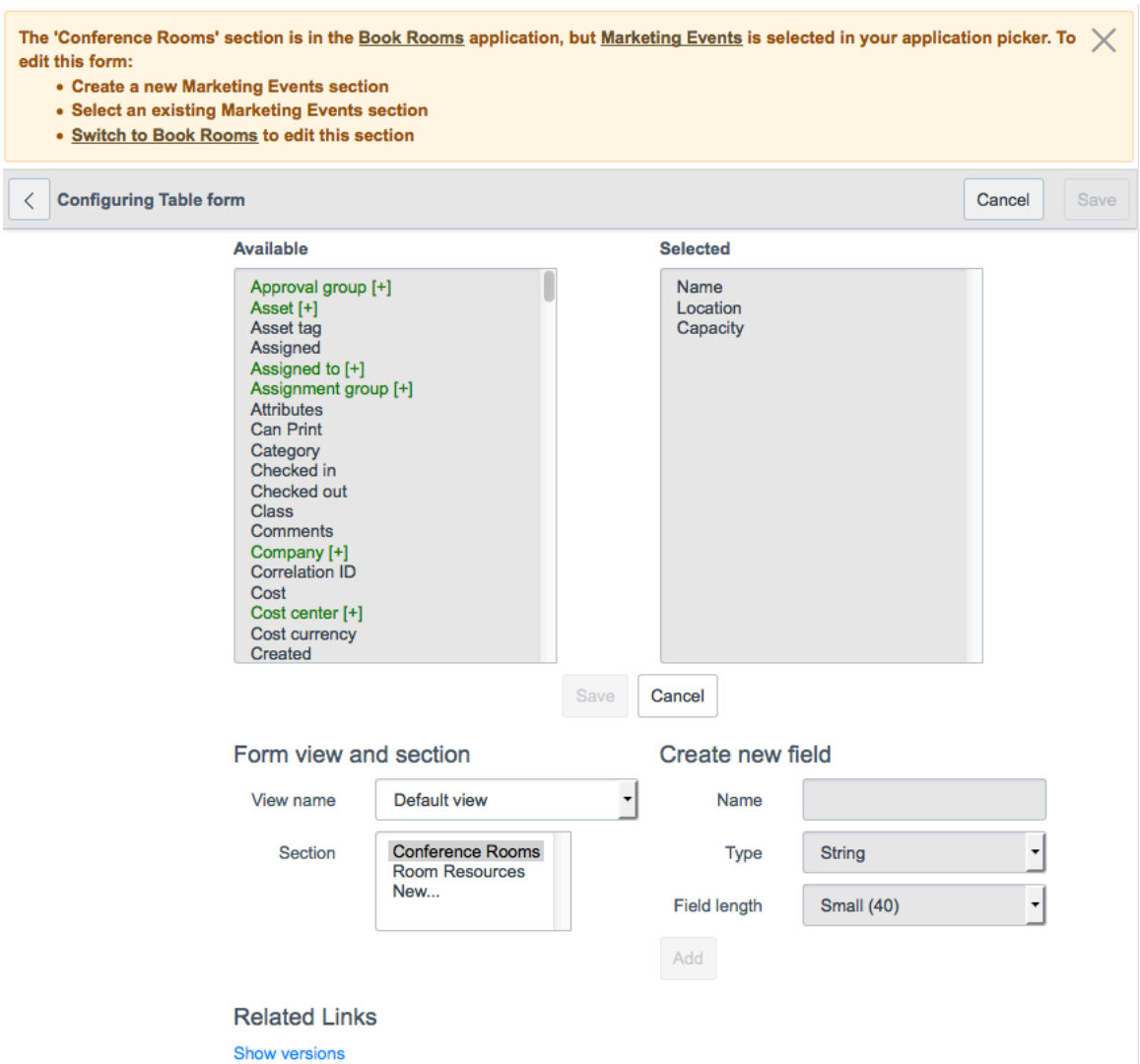


© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

別のアプリケーションスコープ内にあるビューとセクションは、読み取り専用として表示されます。読み取り専用のセクションには次の項目があります。

- 現在選択されているアプリケーションスコープとフォームのスコープに関する警告メッセージ。
- グレーの背景を持つフィールド選択。
- フィールドを追加または削除するボタンはない。
- グレーの背景の ボタン。
- セクションの読み取り専用フィールド。

読み取り専用セクションのビジュアルインジケーター



関連情報

スコープ対象のアプリケーションのリストとフォーム

使用可能なレイアウトと設計アクション

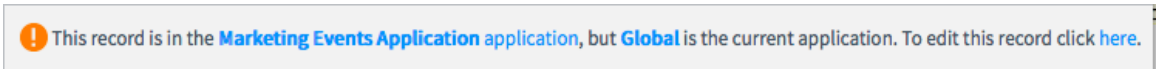
フォーム設計のビジュアルインジケーター

コンテキスト開発の編集メッセージ

別のアプリケーションスコープにいるときに、ストアアプリケーションレコードを編集しようとすると、プラットフォームからメッセージが表示されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アプリケーション コンテキスト編集メッセージ



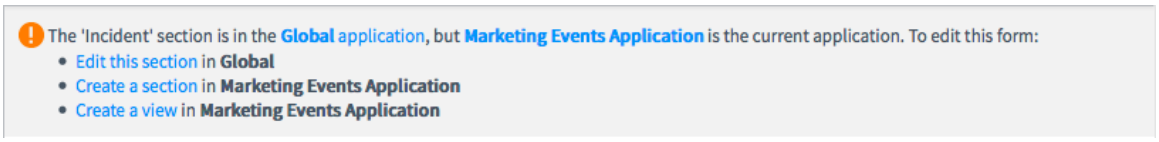
このメッセージは次の目的で使用できます。

- 現在の設定レコードが属するアプリケーションを開く。
- アプリケーション ピッカーで現在選択されているアプリケーションのアプリケーションを開く。
- 現在の設定レコードが属するアプリケーションに一時的に切り替えて編集する。

注:
レコードを保存またはキャンセルすると、現在のアプリケーション コンテキストに戻ります。

ユーザーが別のアプリケーションスコープから作業しているときにリストまたはフォーム レイアウトを設定しようとした場合も、メッセージが表示されます。

フォームのレイアウトまたは設計のアプリケーション コンテキストの編集メッセージ



このメッセージには、有効なオプションのリストが表示されます。

- 現在のセクションを所有するアプリケーションに一時的に切り替えて、現在のセクションを編集する。
- 現在のアプリケーション コンテキストに新しいセクションを作成する。
- 現在のアプリケーション コンテキストで新しいビューを作成する。

注:
レコードを保存またはキャンセルすると、現在のアプリケーションコンテキストに戻ります。

スクリプト保護ポリシー

アプリケーション開発者は、カスタムアプリケーションの一部として公開されているスクリプトインクルードの保護ポリシーを設定できます。このポリシーは、アプリケーションをインスタンスにインストールした後に、スクリプトインクルードを表示または編集できるようにするかどうかを決定します。

アプリケーション開発者は、カスタムアプリケーションのスクリプトインクルードを保護するために次のオプションを使用できます。

スクリプトインクルードの保護ポリシーのオプション

保護ポリシー	説明
なし	他のアプリケーション開発者がスクリプトインクルードをカスタマイズできるようにするには、このオプションを選択します。
読み取り専用	他のアプリケーション開発者がスクリプト ロジックを表示できるが変更はできないようにするには、このオプションを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スクリプトインクルードの保護ポリシーのオプション (続く)

保護ポリシー	説明
保護	他のアプリケーション開発者が知的財産を変更できないようにするには、このオプションを選択します。

アプリケーション管理

アプリケーション管理を使用してユーザーがアプリケーション固有のロールを取得する方法を制限することにより、機密のアプリケーションデータを保護します。

アプリケーション管理の機能

アプリケーション管理を使用して以下を行うことができます。

- 権限のないユーザーが財務記録や個人特定可能な情報などの機密データにアクセスするのを防止する。
- アプリケーション固有のロール (アプリケーションのアドミニストレーターおよび指定された開発者など) を割り当てることができるユーザーを制限する。
- システムレベルの admin ロールを持つユーザーが以下の操作をできないようにする。
  - 保護されたアプリケーション ロールを自分自身に割り当てる。
  - 保護されたアプリケーション ロールを含むグループを自分自身に割り当てる。
  - アクセス制御を作成して、保護されたアプリケーションに対する既存のアクセス制御をバイパスする。
  - 保護されたアプリケーション ロールを持つユーザーのパスワードを変更する。
  - 開発者またはアドミニストレーターが保護されたアプリケーションロールを持っていない場合に、そのロールを持つユーザーとして代理操作を行う。
  - 保護されたアプリケーションロールを継承する。
  - 保護されたアプリケーションに対する既存のアクセスコントロールを上書きする。
  - 保護されたアプリケーション レコードにアクセスするスクリプトを実行する。

⚠ 警告:

アプリケーション管理では、スクリプトアクセス権を持つユーザーによるスクリプト実行によるアクセスおよびデータへのアクセスは防止されません。

アプリケーション管理におけるロール

[ロール構成 (Role Configuration)] で [アプリケーションアドミニストレーター] チェックボックスをオンにすると、任意のロールをアプリケーション固有のアドミニストレーターにすることができます。詳細については、「アプリケーションへのアクセスの制限」を参照してください。慣例により、次のロールを作成します。

アプリケーション管理ロール

ロール名	説明
アプリケーション固有のアドミン	このロールを持つユーザーは、他のユーザーをそのアプリケーションのアプリケーション固有のロールに割り当てることができます。た

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アプリケーション管理ロール (続く)

ロール名	説明
	とえば、 my_application.admin という名前のロールを作成できます。アプリケーションの admin ロールであることを示すサフィックス「admin」を付けて、制限付きのアプリケーションの名前を含める必要があります。
アプリケーション固有の開発者	このロールを持つユーザーは、制限付きアプリケーションにアクセスできます。たとえば、my_application.developer という名前のロールを作成できます。アプリケーションの開発者ロールであることを示すサフィックス「developer」を付けて、制限付きのアプリケーションの名前を含める必要があります。開発者ロールには、アプリケーションファイルを変更するためのアプリケーションアドミニストレーターと委任開発の両方の権限が必要です。 詳細については、「委託開発 の探索」と「開発権限の担当者への委任」を参照してください。

アプリケーション固有の **admin** ロール

アプリケーション固有の admin ロールにより、ユーザーは特定のアプリケーションにアクセスできますが、その他のアドミン権限をユーザーに付与することはできません。ユーザーが次のタスクを実行できるようにするには、システムレベルの admin ロールをユーザーにアサインします。

- フォームとリストのレイアウトを設定する。
- アプリケーションのテーブルとフィールドを変更します。
- 新しいユーザーにアプリケーション固有の admin ロールを割り当てる。

アプリケーション固有の admin ロールを持つユーザーにシステムレベルの admin ロールを付与しない場合は、以下のようにします。

- システムレベルの admin ロールをユーザーに割り当てない。アプリケーション固有の admin ロールのみを割り当てる。
- ユーザーが自分自身にアプリケーション固有の開発者ロールを割り当てる。

アプリケーション固有のアドミニストレーターは、システムレベルの admin ロールを持たなくても管理タスクのサブセットを実行できます。

注:
アプリケーション固有の admin ロールを複数のユーザーに割り当てます。これにより、アプリケーション固有の admin ロールを持つユーザーが退職しても、アプリケーションを変更できます。

アプリケーション管理の有効化とアプリケーション固有のロールの割り当て

アプリケーションレコードからアプリケーションのアプリケーション管理を有効にし、ユーザーロールレコードからのアプリケーション固有のロールの割り当てを制限することができます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

> **注:**
> アプリケーションの開発を完了した後、アプリケーションレコードを追加する前にアプリケーション管理を有効にし、アプリケーション固有のロールを割り当ててください。このプラクティスにより、アプリケーションレコード内の機密データが権限のないユーザーによるアクセスから保護されます。

ターゲットインスタンスには、アプリケーション固有の admin ロールを持つ承認されたユーザーが少なくとも 1 人必要です。

- アプリケーションのアプリケーション管理を有効にしても、アプリケーション固有のロールを割り当てない場合、ユーザーはアプリケーションにアクセスできません。
- アプリケーション固有のロールを 1 つだけアサインした場合、そのロールは削除できません。

アプリケーションのアプリケーション管理を有効にしても、アプリケーションのロールのアサインに必要なアプリケーション固有の admin ロールを持つユーザーがいない場合は、警告が表示されます。この警告により、アプリケーションのアドミニストレーターおよび開発者のアプリケーション固有のロールを割り当てるよう通知されます。

複数のユーザーがアプリケーション固有の admin ロールを保持することを必須にするには、*[scoped_app_name].min_admin_count property* を設定します。アプリケーション固有の admin ロールを複数のユーザーにアサインすると、スコープ対象のアプリケーションからロックアウトされるリスクが軽減されます。*[scoped_app_name].min_admin_count* プロパティには次の制限事項があります。

- プロパティに無効な値を指定すると、少なくとも 1 人のアプリケーション固有のアドミンをアサインするというデフォルト要件が適用されます。
- プロパティに有効な値を指定すると、指定された値を超えない限り、アプリケーション固有のアドミンを削除することはできません。たとえば、値を 2 に指定し、アプリケーション固有のアドミニストレーターが 3 人いる場合は、そのうちの 1 つのロールのみを削除できます。
- アサインされたアプリケーション固有のアドミンの実際の数よりも大きい値を指定できます。ただし、指定された値を超えないかぎり、アプリケーション固有のアドミニストレーターは削除できません。たとえば、値を 6 に指定しても、アプリケーション固有のアドミニストレーターが 3 人しかいない場合、それらのいずれのロールも削除できません。

手順については、「アプリケーションへのアクセスの制限」を参照してください。

アプリケーション管理によるアプリケーションの開発

アプリケーション管理によって保護されているアプリケーションを展開するには、開発者インスタンスと本番インスタンスの両方でシステムレベルの admin ロールが必要です。プロセスについては、以降のステップで概説します。

1. 開発インスタンス上でアプリケーションを開発します。
2. アプリケーション固有の admin ロールを作成します。
3. アプリケーション固有の admin ロールをシステムレベルのすべてのアドミンユーザーに付与します。
4. アプリケーションレコードを更新してアプリケーション管理を有効にし、アプリケーションへのアクセスを制限します。
5. アプリケーションをアプリケーションリポジトリに公開します。
6. 本番インスタンスから、アプリケーションリポジトリのアプリケーションをインストールします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

7. 本番インスタンスにおけるシステムレベルのアドミニストレーターとして、アプリケーション固有の admin ロールを適切なユーザーに付与します。
8. システムレベルの admin ロールを持つすべてのユーザーからアプリケーション固有の admin ロールを削除します。

アプリケーション管理を有効にしてアプリケーション固有のロールの割り当てを制限する手順については、「アプリケーションへのアクセスの制限」を参照してください。

トレーニング

ServiceNow® 開発者サイト には「アプリケーションの保護」のトレーニングがあります。

関連情報

委託開発 の探索

アプリケーションへのアクセスの制限

権限のないユーザーがアプリケーションに管理権限を割り当てたり、アプリケーションレコード内の機密情報にアクセスしたりすることを防止するために、アプリケーションの管理とそのアプリケーションへのアクセスを制限します。

始める前に

- 必要なレコード：
  - アプリケーション固有の admin ロールとしてロールを指定するロールレコード
  - アプリケーション固有の admin ロールをユーザーに割り当てるユーザーレコード
  - 特定のアプリケーションに対してアプリケーション管理を有効にするアプリケーションレコード
- 必要なロール：admin

アプリケーション固有の admin ロールがまだ存在しない場合は、この手順を開始する前にそのロールを作成します。たとえば、制限付きアプリケーションの名前にサフィックス "admin" を付けた my_application.admin という名前のロールを作成して、それがアプリケーションの admin ロールであることを示すことができます。

手順

1. 移動先 すべて > システムセキュリティ > ユーザーとグループ > ロール または ユーザー管理 > ロール.
2. アプリケーション固有の admin ロールのロールレコードを開きます。
3. フォームを設定して フィールドを追加します。

   注:
   [アプリケーションアドミニストレーター] チェックボックスが [アサイン担当者] フィールドに取って代わっています。デフォルトでは、Jakarta 以前のリリースを Kingston 以降のリリースにアップグレードすると、[アサイン担当者] フィールドにあったロールはアプリケーション固有の admin ロールとして定義され、[アプリケーションアドミニストレーター] チェックボックスが選択されます。

4. ロールレコードで、[アプリケーションアドミニストレーター] チェックボックスをオンにして、[更新] をクリックします。
5. 移動先 システムセキュリティ > ユーザーとグループ > ユーザー.
6. アドミンユーザーのユーザーレコードを開きます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

7. [ロール] タブで、アプリケーション固有のロールを追加します。
アプリケーション固有の admin ロールを持つユーザーのみがアプリケーションのアプリケーション管理を有効にすることができます。

   注:
   アプリケーション固有の admin ロールを複数のユーザーに割り当てます。これにより、アプリケーション固有の admin ロールを持つユーザーが退職しても、アプリケーションの変更を実行できます。

8. [更新] をクリックします。
9. ログアウトしてから、アプリケーション固有の admin ロールでログインします。
10. 移動先 システムアプリケーション > 会社のアプリケーション.
11. アプリケーション管理を有効にするアプリケーションを選択します。
12. アプリケーションレコードで、[アプリケーション管理 **(Application administration)]** を選択します。
13. [更新] をクリックします。
以下の要件が満たされていることがシステムによって確認されます。
    - アプリケーション固有の admin ロールがあること ([アプリケーションアドミニストレーター] がオンになっているロールが少なくとも 1 つあること)。
    - 現在のユーザーがアプリケーション固有の admin ロールを持っていること。

    確認に合格すると、システムによってアプリケーション レコードが更新します。それ以外の場合、次のエラーメッセージが表示され、アプリケーションレコードは更新されません。

    ```
    Application Administration uses the 'Application Administrator' role to define what users are application administrators. None of the roles defined by this application have 'Application Administrator' enabled.
    ```

14. オプション: 関連リンクから、次のいずれかのオプションを選択できます。

関連リンク	説明
開発者管理	アプリケーション固有のアドミニストレーターが次のタスクを管理できるようにするモーダル ○ アプリケーションの開発者を指定する。 ○ 自分自身を委任開発者にする。アプリケーション固有のアドミニストレーターが委任開発者になると、アプリケーション固有のアドミニストレーターはシステムレベルの admin ロールを持たなくても管理タスクのサブセットを実行できます。 詳細を見る： 委託開発 の探索
すべてのアドミニストレーターにアプリケーション管理を付与。	システムレベルの admin ロールの包含ロール [sys_user_role_contains] レコードを作成するモーダル。これにより、アプリケーション固有の admin ロールがシステムレベルの admin ロールの包含ロールとして追加されます。 注: このレコードを使用してアプリケーションを公開すると、アプリケーション固有の admin ロールを持つユーザーは、インストール後にアプリケーションにアクセスできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アプリケーション管理アプリのアクセス制御ルール

デフォルトでは、スコープ対象のアプリケーションに対してアプリケーション管理が有効になっている場合、スコープ対象のアプリケーションの ACL ルールが適用されます。スコープ対象のアプリケーションの ACL ルールが見つからない場合は、グローバル ACL ルールを適用できます。

この動作は、アプリケーション ファイル [sys_metadata] テーブルを拡張するテーブルに作成された設定レコードにのみ適用されます。デフォルトの動作を変更することもできます。

アプリケーション管理アプリのアクセスコントロール (ACL) ルールが定義されていない場合、アプリケーション管理アプリの設定レコードにグローバル ACL ルールを適用できます。詳細については、「アプリケーションファイル」を参照してください。

注:
すべてのアプリケーションがグローバル ACL ルールを使用するわけではありません。想定どおりにアクションを実行できない場合は、アプリケーションがグローバル ACL ルールを許可していることを確認してください。そうでない場合は、一部のアプリケーションに対して特定の ACL ルールを作成する必要があります。

アプリケーション管理アプリのテーブルがグローバル ACL ルールを継承できるようにするには、 システムのプロパティが true であることを確認し、アプリケーション管理アプリのテーブルがグローバル ACL ルールを継承するための構成 で説明されている手順に従います。

- glide.security.scoped_administration.honor_global_acl システム プロパティ：スコープ指定の ACL ルールが定義されていない場合、アプリケーション管理アプリはグローバル ACL ルールを継承できる。デフォルトでは、このプロパティは、新しいインスタンスとアップグレードされたインスタンスに対して有効。
- アプリケーション管理 ACL の継承 [sys_scoped_admin_acl_inheritance] テーブル：アプリケーション管理アプリの ACL ルールが見つからない場合、このリストに追加されたテーブルはグローバル ACL ルールを継承する。この構成テーブルのアプリケーション管理アプリが所有するレコードの追加、削除、読み取りを実行できるのは、アプリケーション管理アプリのアドミンのみ。

アプリケーション管理アプリのテーブルがグローバル **ACL** ルールを継承するための構成

アプリケーションでグローバル ACL (アクセス制御ルール) が重複しないようにするため、スコープ対象のアプリケーションの ACL ルールが見つからない場合はグローバル ACL を継承するように、アプリケーション管理アプリのアプリケーションファイルテーブルを設定できます。

始める前に
必要な役割：アプリケーションの admin ロール

手順

1. ナビゲーション フィルターに sys_scoped_admin_acl_inheritance.list と入力します。
   アプリケーション管理 ACL の継承テーブル [sys_scoped_admin_acl_inheritance] が開きます。
2. [新規] をクリックします。
3. [テーブル] フィールドで、アプリケーション管理アプリからアプリケーション ファイル テーブル (アプリケーション ファイル [sys_metadata] テーブルを拡張するテーブル) を選択します。
   この設定テーブルのアプリケーション管理アプリが所有するレコードの追加、削除、読み取りを実行できるのは、アプリケーション管理アプリのアドミンのみです。
4. [送信] をクリックします。
   アプリケーション管理アプリの ACL ルールが見つからない場合、このリストに追加されたテーブルはグローバル ACL ルールを継承します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ServiceNow Store アプリのアクセス適用

すべての本番インスタンスは、ServiceNow Store アプリの使用パターンに関するレポートを監視、生成します。サブスクリプションの適用が有効になっていると、アプリに登録していないユーザーは、アプリで履行者アクションを実行できません。

ServiceNow Storeアクセスの概要

本番インスタンスで、利用資格に基づく ServiceNow Store アプリの使用を強制できるようにするには、次のアクションが必要です。

1. 組織の使用アドミニストレーターは、サブスクリプション管理 アプリケーションを使用して、履行者ユーザーをサブスクリプションに割り当てることができます。
2. 次のいずれかの強制モードを決定します。
   - 強制なしで使用状況を監視および報告する (デフォルト)
   - 使用状況のモニタリングとレポートに加えて、すべての使用状況は登録済み履行者ユーザーによるものでなければならないことを強制します。
3. 登録済みユーザーのみの使用を強制するには、レコード所有者または登録済み履行者ユーザーのみが更新できるテーブルをフルフィルメント テーブルとして設定します。

ライセンス

ServiceNow アプリケーションで利用可能なさまざまなタイプのソフトウェアライセンスとサブスクリプションを理解します。

ライセンス

注:
契約に固有の情報については、ライセンスについて ServiceNow アカウント担当者と話し合ってください。

アプリケーションのエンタイトルメントを取得するにはライセンスが必要です。特定のアプリのエンタイトルメントがある場合は、ServiceNow Store でアクティブ化できます。

すべてのソフトウェアライセンスは、著作権法を侵害することなくソフトウェアを使用する方法を正確に示しています。ソフトウェアライセンスにはさまざまなサブカテゴリがあります。これらのカテゴリは必ずしも排他的ではありません。異なる種類のソフトウェアが重複することがよくあります。

さまざまなタイプのソフトウェアライセンスの詳細については、「ソフトウェアライセンスとは？」を参照してください。

サブスクリプション

サブスクリプションを使用すると、ServiceNow Store とやり取りせずにファミリーリリースをアップグレードできます。たとえば、Tokyo を使用中でアプリのサブスクリプションを持っている場合、Yokohama が一般リリースになった時点で自動アップグレードされます。

サブスクリプションのタイプによって、ユーザーの割り当て、アプリケーションへのアクセス、カスタムアプリケーションとテーブルのエンタイトルメントが決まります。ServiceNow アプリケーションで利用可能なサブスクリプションのタイプの詳細については、「Types of subscriptions in Subscription Management」を参照してください。

アプリケーションスコープにわたる作成制限

現在のアプリケーションスコープが設定レコードのターゲットテーブルのアプリケーションスコープと一致しない場合は、一部の設定レコードの作成が制限されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

これらの制限は、ターゲットテーブルが別のアプリケーションに属している設定レコードを作成する場合にのみ適用されます。これらの制限は、ターゲット テーブルが別のアプリケーションに属している設定レコードを作成する場合にのみ適用されます。同じアプリケーションスコープに属する設定レコードには、これらの制限はありません。

開発者が別のアプリケーションスコープに属する設定レコードを追加すると、常に以下の作成制限が適用されます。

設定レコードの作成制限

設定レコードのタイプ	ターゲットテーブルが別のアプリケーションスコープ内にある場合の作成制限
アクセス制御	• ロールベースの要件を持つフィールドレベルのアクセスコントロールのみを作成できます。 • 別のアプリケーションスコープ内のテーブル用のテーブルレベルのアクセスコントロールを作成することはできません。 • すべてのフィールドに適用されるフィールドレベルのアクセスコントロールを作成することはできません。 • 条件を使用するアクセスコントロールを作成することはできません。 • スクリプトベースの条件を使用するアクセスコントロールは作成できません。
ビジネスルール	• 次のいずれかのオプションを使用して、 が のルールを作成できます。 ◦ 、、および のデータベース操作。 は選択できない。 ◦ アクションとスクリプト (フィールド)。 • 次のいずれかのオプションを使用して、[時期] が [次の前] であるルールを作成できます。 ◦ 、、および のデータベース操作。 は選択できない。 ◦ アクションのみ。データポリシー
計算されたフィールド	別のアプリケーションスコープ内のテーブル用に計算されたフィールドを作成することはできません。
データ ポリシー	• 別のアプリケーションスコープ内のフィールド用にデータポリシールールを作成することはできません。 • フィールドを必須にすることはできません。
フィールドスタイル	別のアプリケーションスコープ内のフィールド用にフィールドスタイルを作成することはできません。
フォームセクション	• 別のアプリケーションスコープ内で作成された既存のフォームセクションは変更できません。 • 新しいフォームセクションを作成できます。
レコードプロデューサー	レコードプロデューサーからレコードを作成するには、アプリケーションテーブルに対する作成アクセス権限が必要です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

設定レコードの作成制限 (続く)

設定レコードのタイプ	ターゲットテーブルが別のアプリケーションスコープ内にある場合の作成制限
UI ポリシー	• 別のアプリケーションスコープ内のフィールド用に UI ポリシールールを作成することはできません。 • フィールドを必須にすることはできません。
UI スクリプト	スコープ対象のアプリケーションからグローバル UI スクリプトを作成することはできません。
ビュー	• 新しいビューを作成できます。 • 別のアプリケーションスコープ内で作成された既存のビューは変更できません。

管理アプリ開発

カスタムアプリケーションで最大限の価値を実現するには、適切なガバナンスを導入する必要があります。ServiceNow App Engine 管理センターと関連機能を使用すると、アプリ開発を 1 つの一元化された場所で簡単かつ効率的に管理できます。

組織が独自のワークフローとビジネスニーズをサポートするカスタムアプリケーションを構築することを決定した場合、次のステップはアプリケーション開発のガバナンスを設定することです。アプリケーション開発におけるガバナンスとは、ビルドされるアプリの監視に関与するユーザーとプロセスを指します。カスタムアプリケーションを構築する際に考慮すべき重要なガバナンスには、戦略的、技術的、ポートフォリオの 3 種類があります。次の表では、各タイプのガバナンス、関係者、および組織のビジネスニーズがどのようにサポートされるかについて説明します。

ガバナンスのタイプ	説明	関係するチームとステークホルダー
戦略的	戦略的ガバナンスにより、デジタルトランスフォーメーションの目標に沿ったアプリを確実に開発できます。戦略的ガバナンスは、ビルドするアプリケーション、アプリケーションの成功を定義および監視する方法、および組織の予算とリソースに基づいてアプリケーションをビルドできるユーザーを通知します。	• エグゼクティブスポンサー • 基幹業務 (LOB) のリーダーシップ • 最高情報責任者 (CIO) • エンタープライズサービス管理ディレクター • プログラムマネージャーとビジネスアナリスト

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ガバナンスのタイプ	説明	関係するチームとステークホルダー
技術的	技術ガバナンスでは、次のようなアプリ開発の技術的側面を管理する方法を特定します。 • 開発プラクティスの定義 • テストと展開のための権限の確立 • アプリ開発担当者のトレーニング	• プラットフォームアーキテクト • プラットフォームオーナー • セキュリティおよびコンプライアンスリード
ポートフォリオ	ポートフォリオガバナンスは、アプリケーションの取り込みと要求のプロセスを確立します。ポートフォリオガバナンスでは、アプリのサポート、メンテナンス、更新の要件と、アプリを廃止するタイミングも定義します。	• ポートフォリオオーナーとサービスオーナー • ベンダーマネージャー • 品質保証リード

App Engine 管理センターを使用してアプリ開発を管理する

関連するチームと利害関係者が組織のアプリ ガバナンス モデルを決定したら、 App Engine 管理センター を使用してガバナンス モデルを大規模にシームレスに実装できます。App Engine 管理センターは、アプリ開発が組織のガバナンスモデルに準拠していることを確認するために必要なすべてを提供します。新しいアプリケーションの取り込み要求の管理から、エンタープライズ環境全体でのカスタムアプリケーションのテストと展開まで、この App Engine 管理センター により、組織内でスケーラブルで効率的かつコンプライアンスに準拠したカスタムアプリの開発が可能になります。

App Engine 管理センターの詳細を確認し、組織のガバナンスモデルの実装を開始するには、「App Engine 管理センター」を参照してください。

App Engine 管理センター

App Engine 管理センター (AEMC) は、カスタムアプリ開発のライフサイクル全体を管理するための革新的なエクスペリエンスを提供します。AEMCを使用して、アプリケーションの取り込み、パイプラインの構成、開発者の生産性の監視、開発環境全体のカスタムアプリケーションに関するインサイトの表示をすべて 1 か所で行うことができます。

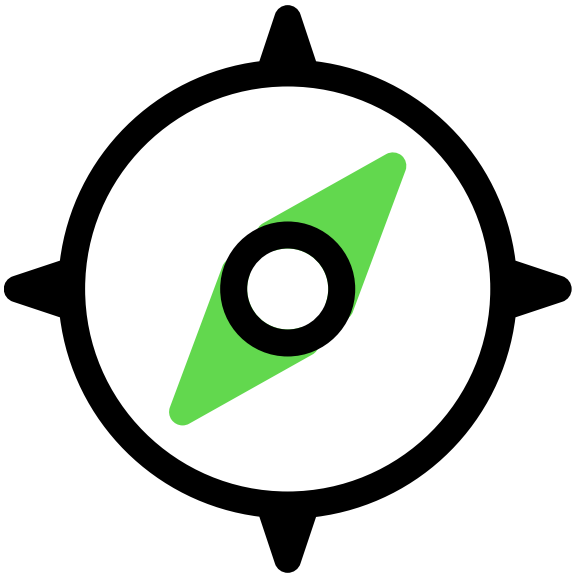
App Engine 管理センター (AEMC) は、IT アドミニストレーターと開発者がServiceNow環境内のカスタムアプリケーションのライフサイクル全体を処理するために設計された包括的なツールです。AEMCは、アイデアの送信から展開、継続的な監視に至るまで、アプリ開発タスクを管理するための単一の一元化された場所として機能します。AEMC、開発プロセスの効率化、ガバナンスの強化、 組織全体のカスタムアプリ開発に関するより明確なインサイトを提供します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

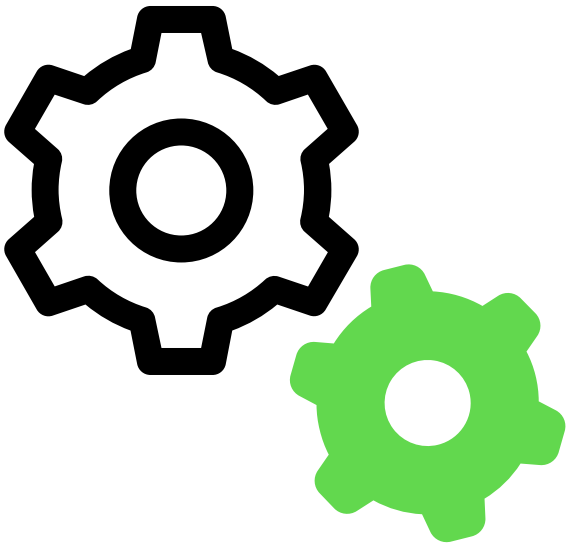
開始

探索



AEMCの概念と機能について説明します。

構成



AEMC、アプリケーション取り込み、およびパイプラインと展開を構成します。

使用方法

AEMCを使用して、アプリの開発と展開を管理します。

のその他のリソース **App Engine** 管理センター

上のアプリガバナンス製品ハブ ServiceNow コミュニティ

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ServiceNow コミュニティ

構築と自動化: App Engine

App Engine 管理センターを使用して大規模なローコードアプリ開発を管理する

クリエーターツールボックス

クリエーターツールボックス |App Engine 管理センター

デモライブラリ

アプリ管理センターを使用して大規模なローコードアプリ開発を管理する

App Engine 管理センター の詳細

App Engine 管理センター (AEMC) が、大規模なアプリケーション開発とガバナンスの一元化と簡素化にどのように役立つかについて説明します。

App Engine 管理センターの概要

App Engine 管理センター (AEMC) は、アプリケーション開発とガバナンスのエクスペリエンスを革新し、統合する強力なツールです。AEMCには、アイデアの送信から展開まで、組織内のアプリケーション開発を管理するために必要なすべての機能が含まれています。

App Engine 管理センターユーザー

ユーザー

ユーザー	説明
市民開発者とプロの開発者	• 市民開発を申請して、新しいアプリケーションのアイデアを提出します。 • コラボレーション要求を送信して、関連するステークホルダーがアプリケーション開発プロセスに参加できるようにします。 • レビューのためにアプリケーションを送信します。
App Engine アドミン	• 組織固有のニーズに合わせて調整されたパイプラインを構成します。 • アプリケーションの取り込みとコラボレーション要求を確認して、開発ツールにアクセスできるユーザーグループを管理します。 • アプリケーションの展開要求とテストを管理し、アプリケーションをステージングインスタンスと本番インスタンスに移動する準備ができていることを確認します。

App Engine 管理センターワークフロー

App Engine 管理センターを使用してアプリ開発を管理するためのワークフローの概要を次の一覧に示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

1. 開発者は、ビルドする新しいアプリケーションのアイデアを送信します。
2. App Engine アドミニストレーターは、アプリケーション取り込み要求をレビューして承認します。
3. 開発者と協力者は、 App Engine 製品オファリングを使用してカスタムアプリケーションをビルドします。
4. アプリの準備ができたら、開発者はレビューのためにアプリを送信します。
5. App Engine アドミニストレーターは展開要求をレビューして承認し、組織固有のパイプラインを介してアプリを移動します。
6. App Engine アドミニストレーターは、テストスイートのログをレビューして、アプリケーションを本番インスタンスに展開する準備ができていることを確認します。
7. App Engine アドミニストレーターは、本番インスタンスへのアプリの展開を承認します。

次に探索する内容

App Engine 管理センター の構成と使用の詳細については、以下を参照してください。

- AEMCの構成
- AEMC の使用
- [store-future: BEGIN review][End]

App Engine 管理センター ユーザーインターフェイス

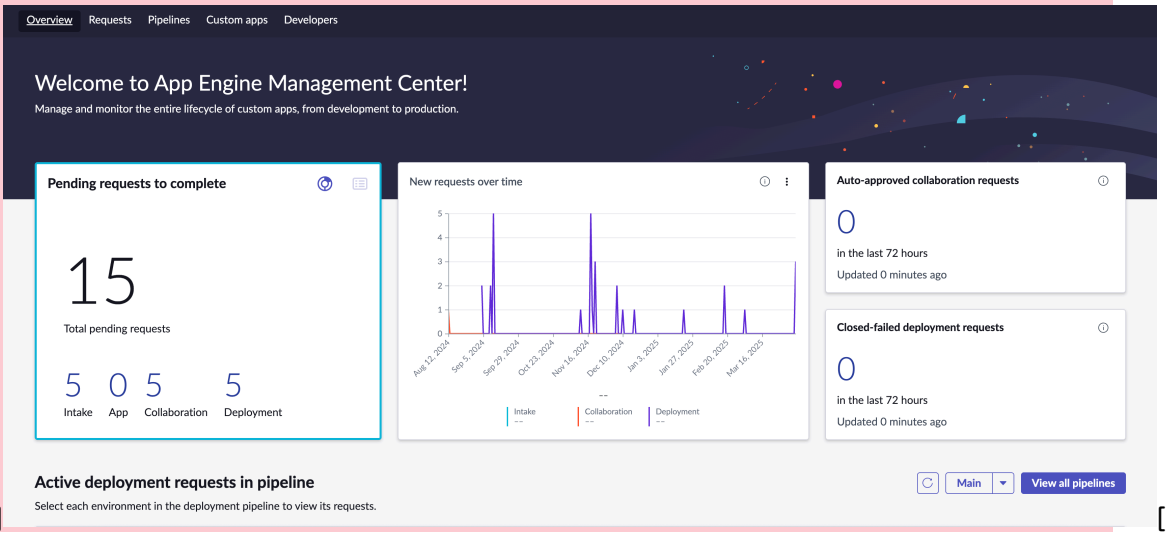
App Engine 管理センター のユーザーインターフェイスについて説明します。

App Engine 管理センターは、アプリケーション開発とガバナンスのすべてのタスクに一元化されたエクスペリエンスを提供します。

AEMC の概要ページ

AEMCの概要ページには、取り込み、アプリ、コラボレーション、および展開の要求の概要ビューと、過去 90 日間の各タイプの新しい要求を示すグラフが表示されます。また、パイプラインとアプリケーション測定基準の概要を表示することもできます。

[store-future: BEGIN review]



[End]

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

AEMC のナビゲーション

プライマリナビゲーションバーのアイコンを選択すると、[AEMC の概要] ページから、[要求]、[パイプライン]、[カスタムアプリ]、および [開発者] の 4 つの追加ビューに移動できます。

AEMC プライマリナビゲーションバー

ページ	説明
要求	承認ステータス別に分類された各要求タイプの完全なリストです。
パイプライン	各インスタンスおよび各パイプライン内のオープンな展開要求の数の概要ビューです。パイプラインまたはパイプライン内の環境を選択すると、すべてのアクティブな展開要求が表示されます。 **注:** 本番インスタンスの展開要求を表示すると、その環境のすべての [クローズ済み (公開済み)] の展開要求が一覧表示されます。
カスタムアプリケーション	アクティブなアプリケーションのステータスを示すチャートとグラフ、および開発中または本番環境のすべてのカスタムアプリのリスト。使用情報、展開履歴、協力者など、個々のアプリの詳細を表示できます。
開発者	開発者の総数とアクティブ開発者、および部門別の開発者を示すチャートおよびグラフです。協力者として関与したアプリや要求履歴など、個々の開発者の詳細を表示できます。

自動翻訳

での展開プロセス **AEMC**

AEMC の展開プロセスについて説明します。

展開の概要

AEMC の展開プロセスは、変更の展開を可能にするいくつかの部分で構成されています。次のセクションでは、各部分と、さまざまな部分がどのように連携して AEMC内のより大きな展開プロセスをサポートするかについて説明します。

展開のためのアプリケーションの送信

展開プロセスは、開発者がアプリケーションを App Engine Studio、 クリエータースタジオ、または ServiceNow スタジオ で送信すると、開発インスタンスで開始されます。アプリケーションが展開のために送信されると、展開要求が作成され、アドミニストレーターはアプリケーションの変更を確認して承認できます。詳細については、「での展開要求 AEMC」を参照してください。

パイプライン

アプリケーションが送信され、展開要求が作成されると、アプリケーションは組織に指定されたパイプラインの移動を開始します。パイプラインは、アプリケーションがAEMC内で従う展開構造です。パイプラインは、複数のインスタンス (通常は開発インスタンス、テストインスタンス、本番インスタンス) と、本番環境に展開する前にアプリケーションが安定していて互換性があることを確認するために組織が設定したテストスイートとフレームワークで構成されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

AEMCを使用すると、組織の特定のニーズに合わせてカスタマイズされたパイプラインを構成できます。AEMC は、各パイプライン内の任意の数のインスタンスと、組織に必要な数のパイプラインをサポートします。たとえば、組織で、本番環境に展開する前に追加の非本番インスタンスを介して変更を移動する必要がある場合は、必要な各環境を反映するようにパイプラインを構成できます。パイプラインの構成の詳細については、「 パイプラインと展開 の構成」を参照してください。

変更管理 統合

既存の 変更管理 プログラムをアプリ展開プロセスと統合して、展開に監視を追加し、スケジュールされた変更時間帯に従ってアプリを展開できます。詳細については、「展開要求の管理」を参照してください。

アプリケーションリポジトリ

AEMC は、パイプラインと展開 を使用して、さまざまなインスタンスを介してアプリケーションを展開します。パイプラインと展開 は、アプリケーションリポジトリ を使用してこれらの展開を管理します。アプリケーションリポジトリ の詳細については、「ServiceNow アプリケーションリポジトリ」を参照してください。

AEMCでは、パイプラインは展開のフローです。

各アプリケーションは、アプリケーションリポジトリ または システムアップデートセット を使用して展開できます。過去に更新セットを使用していても、アプリケーションリポジトリ を使用するように切り替えたい場合は、代わりに アプリケーションリポジトリ を使用して 1 回限りの変換を行い、アプリを展開できます。すべてのアプリが同じ展開に従う必要はありません。詳細については、「アプリケーションリポジトリでカスタムアプリケーションを変換してアップグレードする」と「システムアップデートセット」を参照してください。

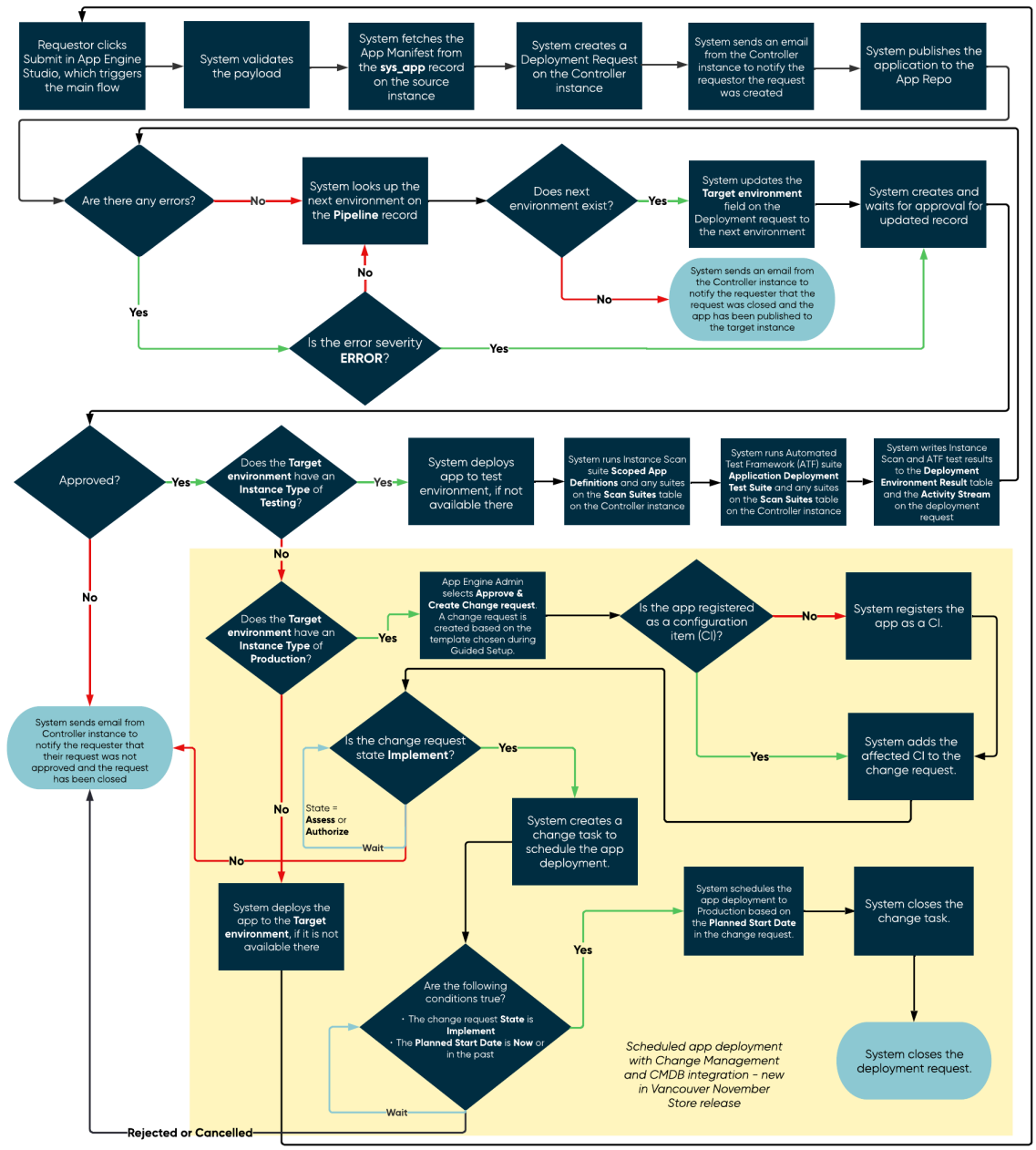
パイプラインと展開 ワークフローバージョン **24.1.2**

App Engine 管理センター (AEMC) でアプリ展開の要求を管理するときは、このワークフローを使用して、2023 年 11 月リリースのバージョン 24.1.2 でアプリ展開がパイプラインをどのように移動するかを把握します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パイプラインと展開 のワークフロー



このワークフローの場合：

1. 要求者は、App Engine Studio、クリエータースタジオ、または ServiceNow スタジオ で [送信] を選択すると、メインフローがトリガーされます。
2. システムは、バックグラウンドで次のタスクを実行します。
   a. ペイロードを検証します。
   b. ソースインスタンスの **sys_app** レコードからアプリマニフェストをフェッチします。
   c. コントローラーインスタンスで展開要求を作成します。
   d. コントローラーインスタンスからメールを送信して、要求が作成されたことを要求者に通知します。
   e. アプリケーションを アプリケーションリポジトリ に公開します。
3. 公開中にエラーがあるかどうかに応じて、システムは異なるアクションを実行します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. アプリの公開にエラーがあり、エラーの重大度が 「エラー」の場合、システムは更新されたレコードを作成して承認を待機します。

b. エラーがない場合、またはエラーはあるがエラーの重大度が エラーでない場合、システムはパイプラインレコードで次の環境を検索します。

i. 次の環境がない場合、システムはコントローラーインスタンスからメールを送信して、要求がクローズされ、アプリがターゲットインスタンスに公開されたことを要求者に通知します。このアクションにより、ワークフローが終了します。

ii. 次の環境がある場合、システムは展開要求の [ターゲット環境 **(Target environment)]** フィールドを次の環境に更新します。次に、システムは更新されたレコードを作成し、承認を待ちます。

4. 新しいレコードが承認されたかどうかに応じて、システムはさまざまなアクションを実行します。

a. レコードが承認されない場合、システムはコントローラーインスタンスからメールを送信して、要求が承認されず、クローズされたことを要求者に通知します。このアクションにより、ワークフローが終了します。

b. レコードが承認され、 ターゲット環境 が テスト環境の場合、システムは次のアクションを実行します。

i. アプリがテスト環境で利用できなければ、アプリをテスト環境に展開します。

ii. テストインスタンスのスキャンスイート [[scan_suites]] テーブルにあるスコープ対象アプリ定義インスタンススキャンおよびその他のスイートを実行します。

> **注:**
> コントローラーインスタンスで Scan Suites テーブルに入力する必要があります。

iii. アプリケーション展開テストスイート、自動テストフレームワーク (ATF) スイート、およびテストインスタンスのスキャンスイート [scan_suites] テーブルのすべてのスイートを実行します。

iv. インスタンススキャンと ATF テスト結果を展開要求の [展開環境の結果] テーブルとアクティビティストリームに書き込みます。

v. ワークフローをステップ 3 に戻して、エラーがないかをチェックします。

c. レコードが承認され、[ターゲット環境] が [本番] の場合、アプリは変更管理統合でスケジュール設定済み展開プロセスを開始します。

i. App Engineアドミンが [変更要求の承認と作成] を選択します。ガイド付きセットアップで選択したテンプレートに基づいて変更要求が作成されます。

ii. アプリが構成アイテム (CI) として登録されているかどうかに応じて、システムはさまざまなアクションを実行します。

1. アプリが CI として登録されていない場合、システムはアプリを CI として登録し、影響を受ける CI を変更要求に追加します。

2. アプリが CI として登録されている場合、システムは影響を受ける CI を変更要求に追加します。

iii. 変更要求が [実装] ステータスにあるかどうかに応じて、システムはさまざまなアクションを実行します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

1. 変更要求状況が [実装] ではなく、ステータスが [評価] でも [許可] でもない場合、システムはコントローラーインスタンスからメールを送信して、要求が承認されず、クローズされたことを要求者に通知します。これにより、ワークフローが終了します。
2. 変更要求状況が [実装] ではなく、ステータスが [評価] または [許可] である場合、システムはステータスが [実装] になるまで待機します。
3. 変更要求状況が [実装] である場合、システムは変更タスクを作成してアプリの展開をスケジュールします。

iv. 変更要求状況が [実装] であり、[開始予定日] が [今] でも過去の日付でもない場合、システムはこれら 2 つの条件が満たされるまで待機します。

v. 変更要求状況が [実装] であり、[開始予定日] が [今] または過去の日付であるが、要求が [却下] または [キャンセル] である場合、システムはコントローラーインスタンスからメールを送信して、要求が承認されず、クローズされたことを要求者に通知します。これにより、ワークフローが終了します。

vi. 変更要求状況が [実装] であり、[開始予定日] が [今] または過去の日付である場合、システムは変更要求の [開始予定日] に基づいて本番へのアプリの展開をスケジュールします。システムは変更タスクをクローズしてから、展開要求をクローズします。これにより、ワークフローが終了します。

d. レコードが承認され、ターゲット環境がテスト環境でも本番環境でもない場合、ターゲット環境でアプリを利用できない場合は、システムによってアプリが展開されます。

   要求者が App Engine Studio、クリエータースタジオ、または ServiceNow スタジオ で [送信] を再度選択すると、ワークフローが再開されます。

での展開要求 **AEMC**

AEMC を使用すると、展開要求を通じて本番環境に変更を展開できます。展開要求の概要と、AEMCでそれらを表示する場所の詳細について説明します。

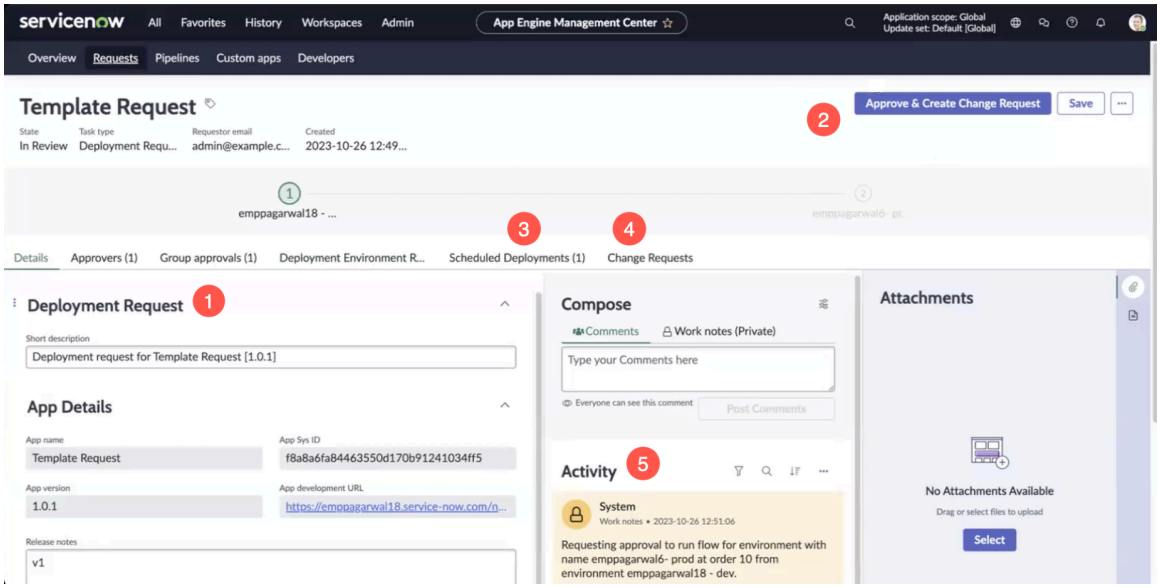
展開要求

開発者が App Engine Studio、 クリエータースタジオ、または ServiceNow スタジオ でアプリケーションを送信すると、展開要求が作成されます。展開要求は、送信されたアプリケーションのレビューを追跡するためのレコードです。

レビュー担当者は、App Engine 管理センター を使用して、アプリをテスト環境に展開、却下、または公開できます。既存の 変更管理プログラムを AEMC と統合し、アプリを本番に展開する準備ができている場合は、変更要求を作成し、指定された変更時間帯内にアプリを展開できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

展開要求



1. 展開要求と展開中のアプリケーションの詳細を表示します。
2. アプリの展開の準備ができたら、[変更要求の承認と作成 **(Approve & Create Change Request)**] を選択します。このアクションにより、ガイド付きセットアップを使用して構成した 変更管理 プロセスが開始されます。

   注:
   パイプラインと展開 と統合された既存の 変更管理 プログラムがない場合は、[アプリを承認して展開 **(Approve & Deploy app)**] を選択して、展開を次のステージに移動します。

3. [スケジュール済み展開 **(Scheduled Deployments)**] タブで展開の詳細を表示および編集します。
4. [変更要求] タブで変更要求の詳細を表示します。ロールによっては、要求の詳細を変更できる場合があります。
5. [アクティビティ] ストリームで、テスト結果、変更要求の進捗状況、その他の展開の詳細を確認します。

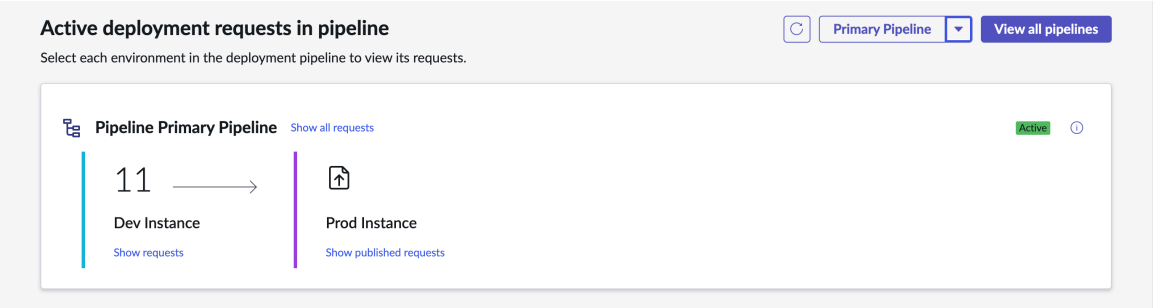
注:
パイプライン内のすべてのインスタンスをアップグレードせずに展開要求を送信した場合は、既存のパイプラインが引き続き使用されます。

展開要求のレビューの詳細については、「 パイプラインと展開 アプリの [展開要求] フォーム 」および「 展開要求の管理」を参照してください。

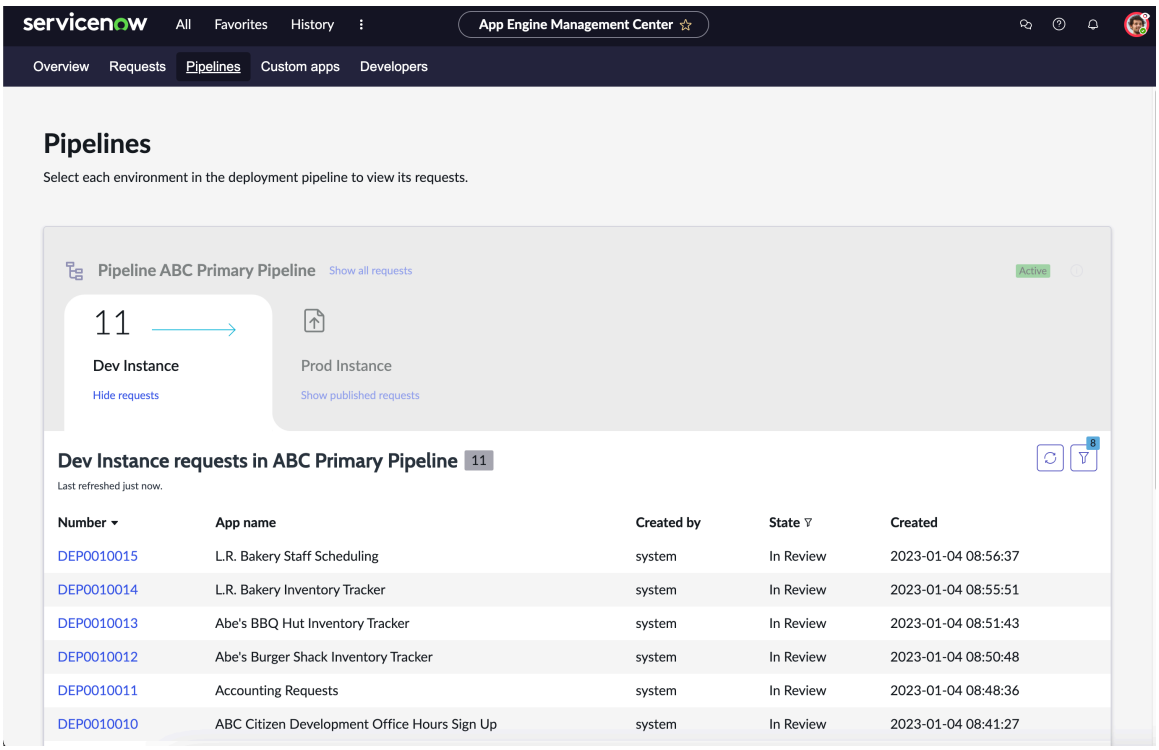
アクティブな展開要求

AEMC 概要ページの [パイプライン] セクションのアクティブな展開要求には、各パイプライン内の各展開段階でのアプリの数が表示されます。対応するセクションの横にある [すべての要求を表示]、[要求を表示]、または [公開要求を表示] を選択すると、要求の各グループの概要を表示できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



すべてのパイプライン展開要求の全体像については、AEMCの [パイプライン] ページにアクセスしてください。すべてのパイプラインを表示し、各展開要求レコードにすばやくアクセスし、各パイプラインセクションをフィルタリングして、基準に一致する要求のみを表示します。



自動翻訳

でのアプリケーションのテスト **AEMC**

アプリケーションをテストすると、本番インスタンスでの変更の実行可能性を確認できます。AEMCでのテストの仕組みと、展開プロセス中に自動的に実行されるさまざまな種類のテストについて説明します。

アプリケーションのテスト

送信されたアプリケーションを公開する前に、非本番インスタンスでテストします。テストを開始するには、アドミニストレーターが展開要求を開いて [承認] を選択する必要があります。パイプラインレコードを読み取って、要求の次のステータスを決定します。

アプリケーションをテストする目的は、本番インスタンスの実行可能性を確認することです。アプリが [テスト中] ステータスに移行すると、適切なプロパティがアクティブ化されている場合に ServiceNow 自動テストフレームワーク (ATF) のテストが実行されます。

アプリケーションがテストに合格しない場合は、展開要求を却下します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テスト環境への展開

アプリケーションをテスト環境に展開またはインストールすると、次の 2 つのジョブが自動的に実行されます。

- アプリケーション展開テストスイート
- スコープ対象アプリ定義のインスタンススキャン

これらのテストは、アドミニストレーターがアプリを展開する前に問題を診断するのに役立ちます。アプリケーション展開中の詳細については、「パイプラインと展開 ワークフローバージョン 24.1.2」を参照してください 。

展開中に自動的に実行されるジョブ

ジョブ	説明
アプリケーション展開テストスイート	自動テストフレームワーク (ATF) の一連のテストです。このスイートは、[ログ] と呼ばれる単一のテストで構成されています。テストが実行されると、スキャン結果がテスト結果 [sys_atf_test_result] テーブルに記録されます。 **注:** アプリケーション展開テストスイートを実行するには、次の 2 つのシステムプロパティをアクティブ化する必要があります。 • sn_atf.runner.enabled • sn_atf.schedule.enabled これらがアクティブ化されていない場合は、インスタンススキャンのみが実行されます。詳細については、「自動テストフレームワーク (ATF) のプロパティをアクティブ化する」を参照してください。
スコープ対象アプリ定義のインスタンススキャン	インスタンススキャンは、非本番インスタンスの健全性の問題を診断し、ベストプラクティスに対応するのに役立ちます。詳細については、次を参照してください。 インスタンススキャン . インスタンススキャンでは、タスク [task] を拡張するアプリ内のすべてのテーブルがチェックされます。

アドミニストレーターは、展開要求の [展開環境の結果] タブを選択することで、トラブルシューティングのためにスキャンの結果を表示できます。

インスタンスのレコードを開くだけです。結果は 3 つのタブに分割されます。

- **ATF** の結果
  - テストスイート名
  - テスト URL

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

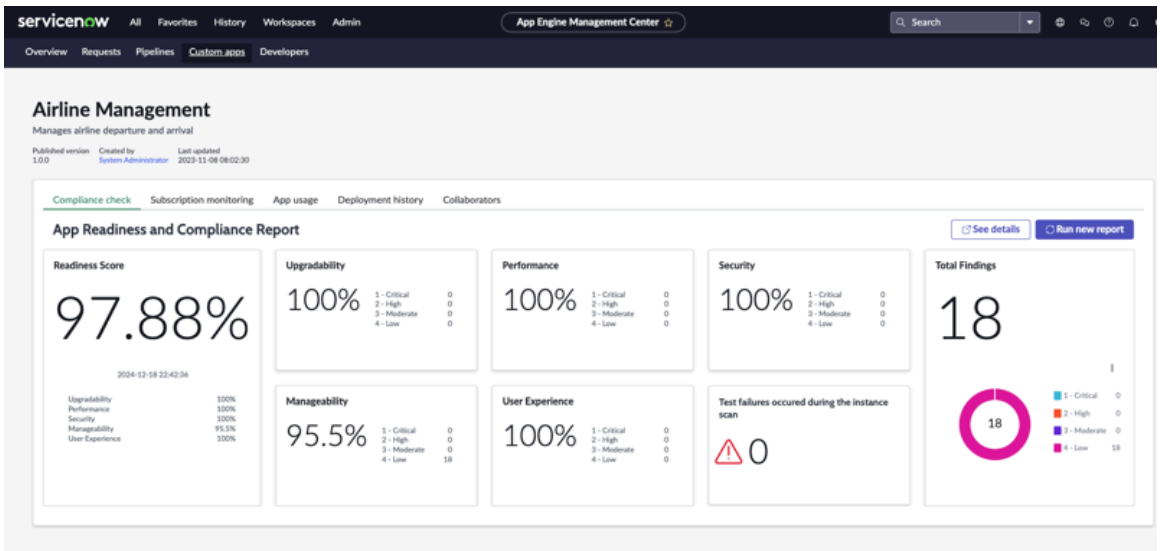
- 成功と失敗の件数
- 全体のエラー数

- インスタンススキャン結果
  - スキャンスイート名
  - スキャン URL
  - スキャンの結果数
- [結果 **(JSON)**] には、ATF のフォーマットされていない JSON コードとインスタンスのスキャン結果、およびスキャン中に特定されたすべてのエラーが含まれます。この JSON は [メモ **(Notes)**] 関連リストにもあります。

アプリの準備状況とコンプライアンスレポート

App Engine 管理者は、[アプリの準備状況とコンプライアンスレポート] ダッシュボードを使用して、作成しているアプリが本番稼働の準備ができているかどうかを確認できます。

App Engine 管理者は、App Engine 管理センター (AEMC) 内の [アプリの準備状況とコンプライアンスレポート] ダッシュボードを使用して、作成しているアプリがライブリリースの準備が整っていることを確認できます。このダッシュボードは、製品インスタンススキャンからの詳細なインサイトを提供し、アプリの稼働前に対処する必要がある問題や要件を特定するのに役立ち、スムーズでコンプライアンスに準拠した展開プロセスを促進します。



準備状況スコアのテストと検証のカテゴリ

準備状況スコアは、次のカテゴリのテストと検証を評価します。

準備状況スコア

準備状況スコアは、検証チェック全体のインジケーターとして機能します。システムまたは製品がさまざまなカテゴリで必要な基準をどの程度満たしているかを包括的に評価します。

管理性

構成、カスタマイズ、変更管理など、効果的な管理とメンテナンスのプラクティスを確認します。

セキュリティ

アクセス制御、パスワードポリシー、暗号化、およびセキュリティコンプライアンスを評価することによって脆弱性を特定します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ユーザーエクスペリエンス

UI パフォーマンス、アプリの応答性、およびアクセシビリティを評価して、スムーズなユーザーエクスペリエンスを提供します。

アップグレード性

廃止された機能と潜在的なブレークポイントを検証して、ServiceNow のアップグレードの準備状況を確認します。

パフォーマンス

システムのボトルネックを特定し、データベースのパフォーマンス、スクリプトの効率、および負荷の応答性を最適化します。

テスト障害数

実行に失敗したインスタンススキャンチェックの数を表示します。

注:
たとえば、スキャンのチェックを作成または変更できます。 すべて > インスタンススキャン > スイート > ベストプラクティス - 親.

新しいアプリ準備レポートを実行する

新しいアプリの準備状況レポートを実行するには、ダッシュボードの [新しいレポートの実行] ボタンを選択します。レポートを生成した後、アプリの準備状況ステータスを確認できます。

App Engine 管理センター のヘルプ

App Engine 管理センター、ServiceNowインスタンス、プラグイン、権限などに関するサポートを受けるには、短いビデオを視聴して、会社で働くServiceNowアドミンにお問い合わせください。

Now Supportアドミニストレーターから今すぐサポートを受ける

社内の ServiceNow アドミンは、プラグインのアクティブ化、アップグレードの開始、アカウントのロック解除、ユーザー権限の更新などをサポートします。

https://player.vimeo.com/video/1056112088?h=1a5cd3b245&badge=0&autopause=0&player_id=0&app_id=58479

役に立つリソース

役立つ情報を提供できる ServiceNow リソースは次のとおりです。

- 上のアプリガバナンス製品ハブ ServiceNow コミュニティ
  ServiceNow コミュニティ
- Customer Success Center
  Customer Success Center
- ディベロッパー
  developer.servicenow.com
- Impact
  http://impact.servicenow.com
- ServiceNow University
  ServiceNow University
- Now Create

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

Now Create

パートナー

https://www.servicenow.com/partners.html

ServiceNow

http://servicenow.com

ServiceNow Store

http://servicenow.com

支える

- https://support.servicenow.com/now
- 既知のエラーポータル

AEMCの構成

AEMCの構成プロセスについて説明します。

AEMC の構成の概要

AEMCの使用を開始するには、インスタンスにAEMCをインストールし、AEMCおよび関連機能 (アプリケーションの取り込みやパイプラインと展開など) を構成する必要があります。

次のリストは、 AEMC および関連機能を構成するプロセスの概要を示しています。

1. AEMC をインストールAEMC開発および展開パイプラインに参加する各インスタンス (開発、テスト、本番など) で。
2. App Engine 管理センターの構成 ガイド付きセットアップを完了する。
3. アプリケーションの取り込み の構成 を使用して、新しいアプリケーションの要求を送信できるユーザーと、アプリケーション入力フォームに表示される質問を設定します。
4. パイプラインと展開 の構成 を使用して、組織の展開ニーズを満たす独自のパイプラインを設定します。
5. 非本番インスタンスで App Engine 管理センター 機能をテストする 本番環境への変更の展開を開始する前に、 AEMC が期待どおりに機能していることを確認します。

AEMC をインストール

ServiceNow Store から、または アプリケーションマネージャー を使用してAEMCをインストールします。

始める前に
必要なロール：admin

手順

移動先 すべて > > .

App Engine 管理センターの構成

App Engine 管理センター (AEMC) ガイド付きセットアップを使用して、アプリケーションの取り込み および パイプラインと展開 アプリケーションの初期設定を行います。アプリケーションの取り込み ガイド付きセットアップはオプションですが、AEMC を使用する場合は、パイプラインと展開 ガイド付きセットアップが必要です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
必要なロール：admin

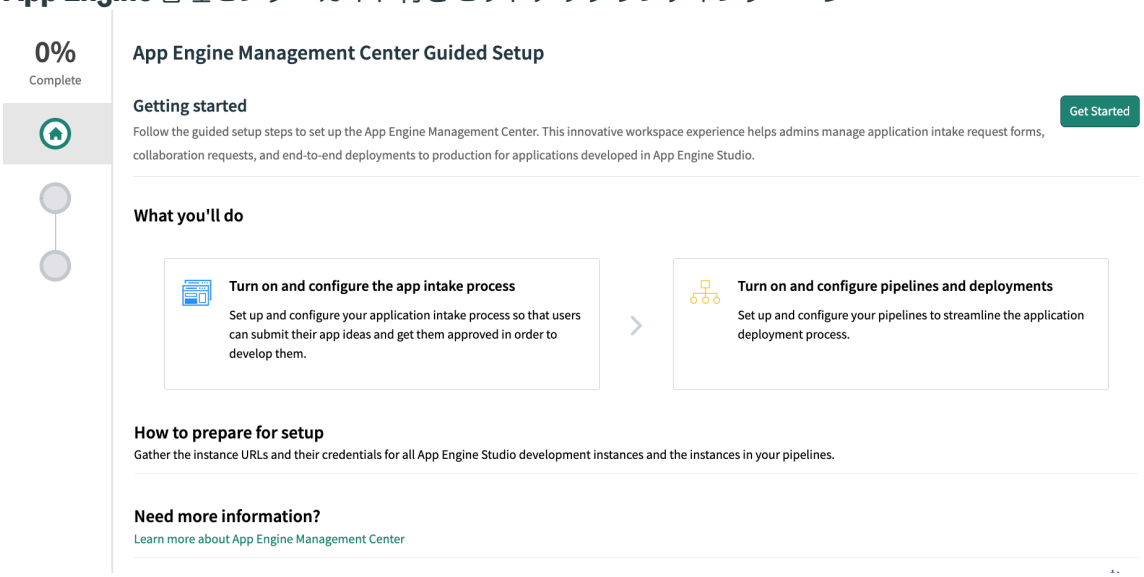
AEMC が本番インスタンスとすべての非本番インスタンス (開発、テストなど) にインストールされていることを確認します。詳細については、「AEMC をインストール」を参照してください。

このタスクについて
基本的に、 AEMC ガイド付きセットアップには、 アプリケーションの取り込み アプリケーションと パイプラインと展開 アプリケーションの両方のセットアップ手順が含まれています。これらのアプリケーションのいずれかまたは両方を既に構成している場合は、ガイド付きセットアップ内のこれらの手順をスキップできます。

手順

1. 本番インスタンスで、 すべて > **App Engine** > アドミニストレーション > ガイド付きセットアップ.
   ランディングページには、構成する必要がある 2 つのアプリケーション (アプリケーションの取り込み と パイプラインと展開) に関する情報が表示されます。

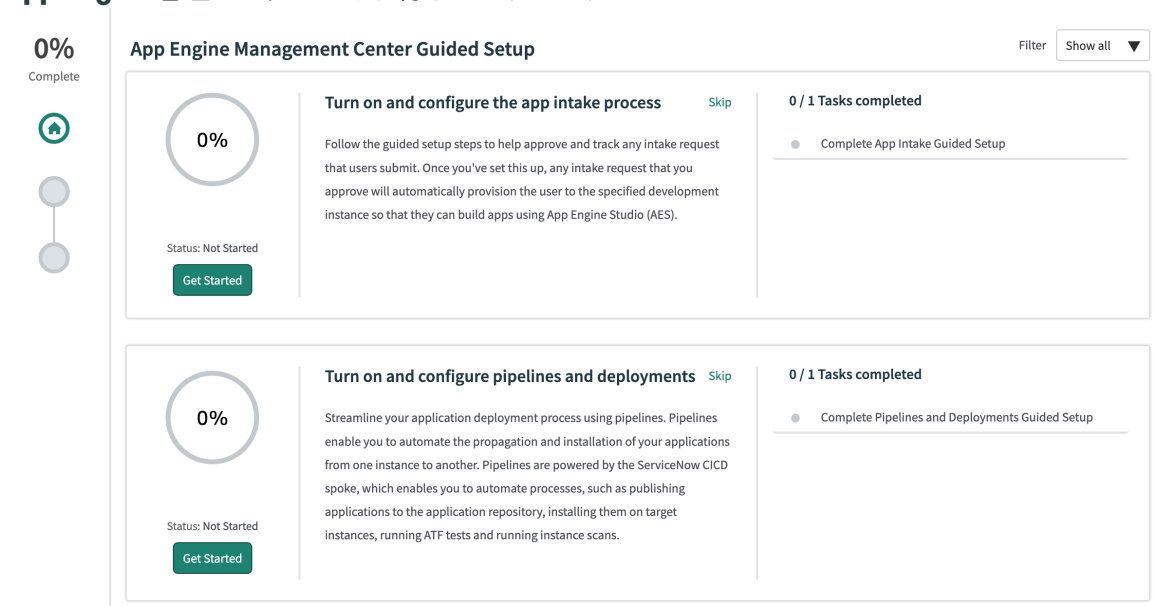
App Engine 管理センターガイド付きセットアップランディングページ



2. ガイド付きセットアップを開始するには、[開始] を選択します。
   [App Engine 管理センター ガイド付きセットアップ] カテゴリページには、AEMC を使用する前に完了する必要があるさまざまなカテゴリのタスクのリストが表示されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

App Engine 管理センターガイド付きセットアップカテゴリページ



注:
以前にいずれかのガイド付きセットアップタスクを開始し、完了せずに終了した場合、[開始] ボタンには [続行] というラベルが付けられます。

3. 最初の [開始] ボタンを選択して、アプリケーションの取り込み のガイド付きセットアップを開始します。
   完了する必要があるいくつかのアプリケーションの取り込み 構成タスクがあります。
   a. [市民開発の申請] カタログアイテムのアクティブ化。
   b. App Engine アドミングループへのユーザーの追加。
   c. 開発環境レコードの作成。
   このカテゴリのすべてのタスクを完了すると、[カテゴリ] 画面が再び表示されます。
4. 次の [開始] ボタンを選択して、パイプラインと展開 のガイド付きセットアップを開始します。
   完了する必要があるいくつかのパイプラインと展開 構成タスクがあります。

   本番インスタンス：

   a. 環境認証情報の構成。
   b. パイプライン環境の構成。
   c. パイプラインの構成。
   d. App Engine アドミングループへのユーザーの追加。
   e. テスト用の ATF およびインスタンススキャンスイートの追加。

   注:
   ATF およびインスタンススキャンスイートをテスト用に追加できるのは、それらを既に作成してテストインスタンスを設定している場合のみです。まだ行っていない場合は、このステップに戻る必要があります。

   f. 変更管理 統合の有効化。
   g. 変更管理 を統合するプロパティの構成。

   テストインスタンスで次の手順を実行します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. 環境認証情報の構成。

b. コントローラーインスタンスの構成。

c. 自動テストフレームワーク (ATF) のプロパティをアクティブ化する。

d. 自動テストフレームワーク (ATF) スイートを構成します。

e. インスタンススキャンスイートを構成します 。

他の非本番インスタンスで次の手順を実行します。

a. 環境認証情報の構成。

b. コントローラーインスタンスの構成。
2 番目のカテゴリのタスクを完了すると、[カテゴリ] ページが再び表示されます。これで、App Engine 管理センター のガイド付きセットアップを完了しました。

5. オプション: AEMC でシステムの動作を制御するために使用する追加のプロパティを構成します。

非本番インスタンスで App Engine 管理センター 機能をテストする

本番環境に移行する前に、非本番インスタンスで App Engine 管理センター (AEMC) をテストして、すべてが期待どおりに機能していることを確認します。

始める前に
必要なロール：admin

このタスクについて
本番環境に進む前に AEMC とパイプラインをテストするには、テスト目的で 2 つの非本番インスタンスを選択します。これらの非本番インスタンスの 1 つが本番インスタンスであるかのように、パイプラインと展開 ガイド付きセットアップに従います。システムは、環境レコードのインスタンスタイプが実際に本番インスタンスであることを確認しないため、2 番目の非本番インスタンスのインスタンスタイプを [本番] 環境に設定できます。

手順

1. 「パイプラインと展開 構成タスク」の説明に従って、パイプラインと展開 ガイド付きセットアップタスクを開始します。
2. パイプライン環境を構成するタスクを開始したら、非本番インスタンスの 1 つを選択し、パイプライン環境レコードで本番インスタンスとして指定します。
通常のプロセスの詳細については、「パイプライン環境の構成」を参照してください。
3. AEMC とパイプラインの機能をテストします。
4. テストが完了したら、非本番パイプライン環境レコードの [インスタンスタイプ] を正しいタイプのインスタンスに変更します。

アプリケーションの取り込み の構成

App Engine Studio (AES) アプリケーションの取り込み ガイド付きセットアップを使用して、アプリケーションの取り込み アプリケーションの初期設定を行います。各ステップの詳細な手順については、製品ドキュメントの後続のセクションを参照してください。

始める前に
アプリケーションの取り込みを使用してアプリケーションのアイデアを送信する前に、 App Engine Studio アプリケーションがインストールされました.

必要なロール：admin

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて
アプリケーションの取り込み ガイド付きセットアップには一連のタスクがあり、ServiceNow AI Platform で アプリケーションの取り込み アプリを構成するために役立ちます。各タスクの詳細については、「アプリケーションの取り込み 構成タスク」を参照してください。

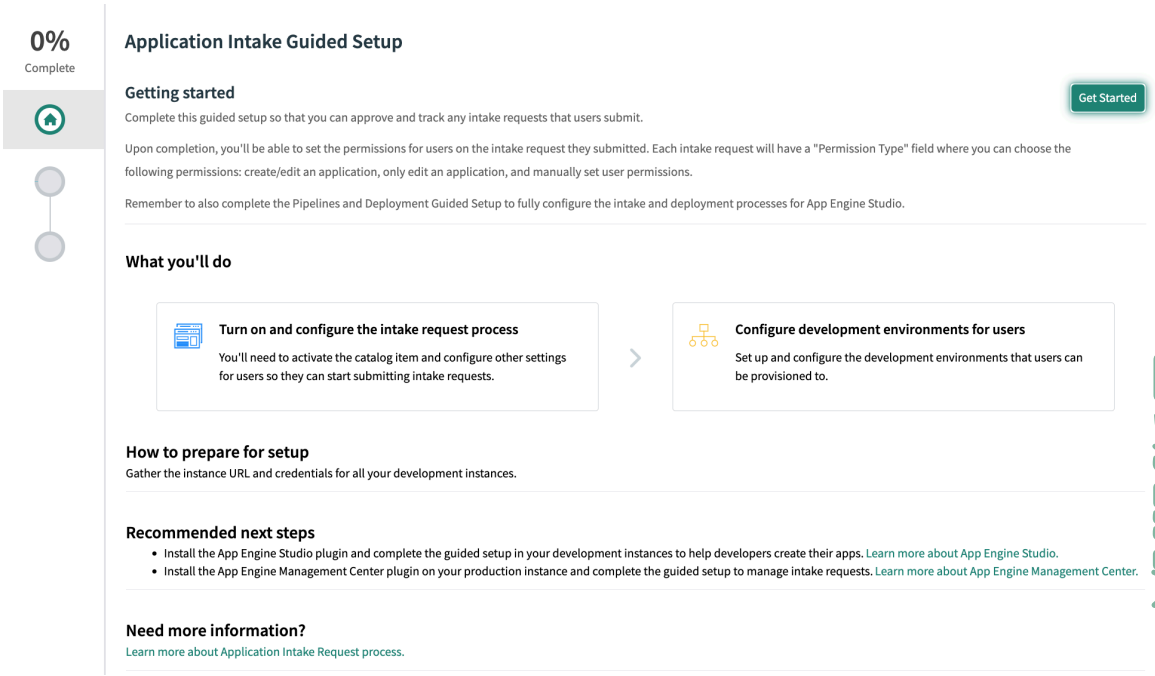
ガイド付きセットアップの詳細については、「Guided Setup」を参照してください。

手順

1. 移動先 すべて > **App Engine** > アプリケーションの取り込み > ガイド付きセットアップ.

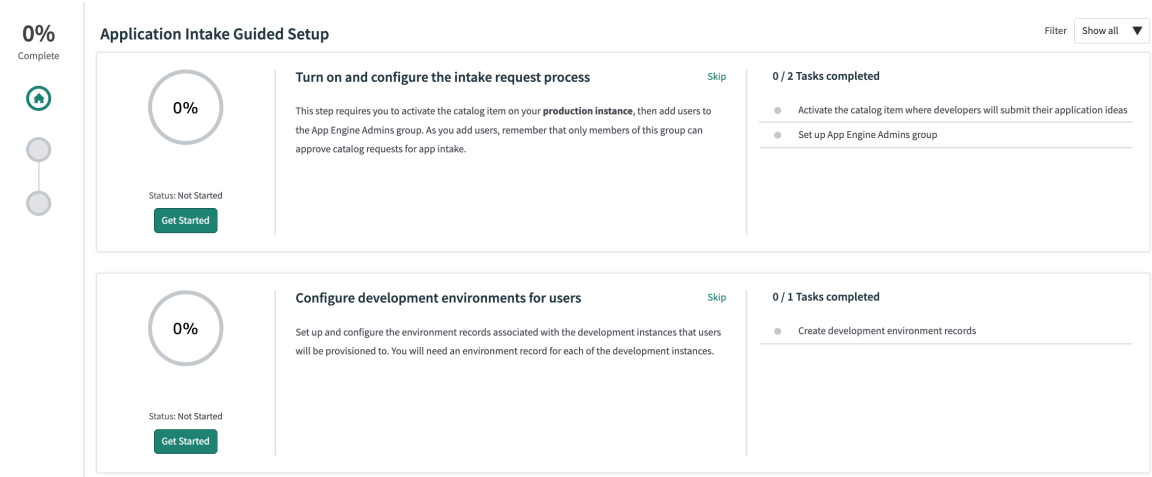
   ランディングページには、さまざまなカテゴリ、ツール、ユーザーアクセスに関する情報が表示されます。

アプリケーション取り込みガイド付きセットアップのランディングページ



2. ガイド付きセットアップを開始するには、[開始] を選択します。
   [アプリケーションの取り込み ガイド付きセットアップ] ページには、アプリケーション取り込みを使用して要求を送信する前に完了する必要がある、さまざまなタスクのリストが表示されます。

[アプリケーション取り込みガイド付きセットアップ] カテゴリページ



© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

> **注:**
> 以前にいずれかのガイド付きセットアップタスクを開始し、完了せずに終了した場合、[開始] ボタンには [続行] というラベルが付けられます。

3. 最初の [開始] ボタンを選択して、アプリケーションの取り込み ガイド付きセットアップを開始します。
   完了する必要があるいくつかのアプリケーションの取り込み 構成タスクがあります。
   a. [市民開発の申請] カタログアイテムのアクティブ化。
   b. App Engine アドミングループへのユーザーの追加。
   このカテゴリのすべてのタスクを完了すると、[カテゴリ] 画面が再び表示されます。
4. 次の [開始] ボタンを選択して、ユーザーの開発環境を構成するタスクの実行を開始します。
   本番インスタンスで、ユーザーをプロビジョニングする開発インスタンスごとに開発環境レコードを作成します。このプロセスにより、本番インスタンスを開発インスタンスに接続できるようになります。

> **注:**
> これらのレコードがパイプラインと展開のガイド付きセットアップですでに設定されている場合は、この手順をスキップできます。2 番目のカテゴリのタスクを完了すると、[カテゴリ] 画面が再び表示されます。

おめでとうございます! これで、アプリケーションの取り込みのガイド付きセットアップを完了しました。

アプリケーションの取り込み 構成タスク

App Engine Studio (AES) アプリケーションの取り込み ガイド付きセットアップの手順を実行するときに、さまざまな構成タスクを実行する必要があります。

取り込み要求プロセスのアクティブ化と構成、および開発環境の設定

アプリケーションの取り込み を構成するためのタスクと、それらを完了するための詳細な手順へのリンクを以下に示します。

アプリケーションの取り込み 構成タスク

タスク	説明
開発者がアプリケーションアイデアを送信するカタログアイテムをアクティブ化する	市民開発者がアプリケーションのアイデアを送信できるように、[市民開発の申請] カタログアイテムをアクティブ化します。 詳細な手順については、「[市民開発の申請] カタログアイテムのアクティブ化」を参照してください。
[市民開発の申請] カタログアイテムの設定	迅速にセットアップして使用するには、カタログビルダーで事前定義された [市民開発の申請] カタログアイテムを使用します。アプリ取り込みフォームをカスタマイズするには、[市民開発の申請] カタログアイテムを更新するか、AES アプリの取り込みテンプレートを開始点として使用し、必要に応じて質問とフィールドを追加します。 詳細な手順については、「カタログビルダーのアプリ取り込みフォームのカスタマイズ」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アプリケーションの取り込み 構成タスク (続く)

タスク	説明
App Engine アドミングループへのユーザーの追加	App Engine アドミングループにユーザーを追加します。App Engine アドミングループのメールアドレスが構成されると、メンバーはアプリ開発関連の要求 (アプリケーション取り込み要求など) の通知を受信できます。 **注:** すでに AES ガイド付きセットアップ または パイプラインと展開 の構成 ガイド付きセットアップを使用して本番インスタンスにユーザーを追加している場合は、この手順をスキップできます。 詳細な手順については、「App Engine アドミングループへのユーザーの追加」を参照してください。
開発環境レコードの作成	本番インスタンスで、ユーザーをプロビジョニングする開発インスタンスごとに「開発」タイプの環境レコードを作成します。これにより、本番インスタンスを開発インスタンスに接続できるようになります。 **注:** これらのレコードがパイプラインと展開のガイド付きセットアップですでに設定されている場合は、この手順をスキップできます。 詳細な手順については、「パイプライン環境の構成」を参照してください。

ガイド付きセットアップ アプリケーションの取り込み 完了したら、に進みます パイプラインと展開 ガイド付きセットアップ App Engine Studioを完全に構成します。

[市民開発の申請] カタログアイテムのアクティブ化

市民開発者がアプリケーションのアイデアを送信できるようにするには、[市民開発の申請] カタログアイテムをアクティブ化します。これは、App Engine Studio (AES) アプリケーションの取り込みアプリを構成する最初のステップです。

始める前に

必要なロール：admin

手順

1. 移動先 すべて > **App Engine** > アプリケーションの取り込み > ガイド付きセットアップ.
   詳細については、「App Engine Studio の構成」を参照してください。
2. プロセスを開始するか、進行中のプロセスを続行します。
   - プロセスを開始するには、[ようこそ] を選択します。
   - それまでに 1 つ以上のタスクを完了している場合は、[続行] を選択します。
3. [取り込み要求プロセスをオンにして構成する] セクションで、[開始] を選択します。
4. [開発者がアプリケーションのアイデアを送信するカタログアイテムを有効にする] セクションで、[構成] を選択します。
5. [市民開発の申請]カタログアイテムレコードで、[アクティブ] チェックボックスを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

6. [更新] を選択します。
7. ブラウザーウィンドウを閉じて、アプリケーションの取り込み ガイド付きセットアップに戻ります。

カタログビルダーのアプリ取り込みフォームのカスタマイズ

カタログビルダーの App Engine Studio (AES) [アプリ取り込み] フォームのフィールドと質問を編集して、組織のカスタムアプリ取り込みエクスペリエンスを作成します。

始める前に
必要なロール：admin

このタスクについて
このカタログアイテムに関連付けられ、すぐに利用可能な変数は、読み取り専用に設定されています。[アプリ取り込み (App Intake)] フォームを編集するには、既存の [市民開発の申請] カタログアイテムのコピーを作成する必要があります。次に、元のカタログアイテムを無効にし、[市民開発の申請のコピー **(Copy of Apply for Citizen Development)]** カタログアイテムの編集を続けます。詳細については、「Copy a catalog item」を参照してください。

手順
1. 移動先 すべて > サービスカタログ > カタログビルダー.
2. [カタログアイテム] タブで、作成した [市民開発の申請] のコピーを選択します。
3. [編集] を選択します。
4. [質問] タブの [アプリの取り込み] フォームで質問を定義します。
5. 変更するフォームのその他の設定を編集します。
6. [レビューと送信] タブで、フォームのプレビューを確認し、[プレビュー] を選択して必要な修正を行います。
7. 変更内容を保存します。
   - フォームを送信せずに変更を保存するには、[保存] を選択します。
   - フォームを送信するには、[送信] を選択します。

アプリ取り込みフォームの質問の順番の変更

質問が表示される順番を変更して、[アプリ取り込み] フォームをカスタマイズします。

始める前に
必要なロール：admin

手順
1. 移動先 すべて > サービスカタログ > カタログビルダー.
2. [カタログアイテム] タブで、カタログアイテムのリストから [市民開発の申請] を選択します。
3. [編集] を選択します。
4. [質問] タブで、移動する質問をポイントします。
5. 質問の左側で、行のドラッグアンドドロップグリッパーアイコン (アイコン) を選択し、質問を新しい位置にドラッグします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

既存の [アプリ取り込み] フォームの質問の動的動作を定義する

他の質問への回答に基づいて、[アプリ取り込み] フォームで質問の動的動作を定義します。

始める前に

必要なロール：admin

このタスクについて

ユーザーが [アプリ取り込み] フォームの 1 つの質問に対して特定の回答をした場合、さらに情報を収集するためにフォローアップの質問が必要になることがあります。たとえば、ServiceNow トレーニングを受けたかどうかを尋ね、その回答が「いいえ」の場合、ユーザーは次の表示されている質問に進みます。回答が「はい」の場合、完了したトレーニングコースを尋ねる別の質問が表示されます。このタイプの動的な動作を定義するには、次の手順を使用します。

手順

1. 移動先 すべて > サービスカタログ > カタログビルダー.
2. [カタログアイテム] タブで、カタログアイテムのリストから [市民開発の申請] を選択します。
3. [編集] を選択します。
4. [質問] タブで、更新する質問をポイントします。
5. 更新する質問の横にある [動的な動作を追加] アイコン ( ) を選択します。
6. [新しい動作を定義] を選択します。
7. [アクション] タブで、特定の条件が満たされたときの質問の動作を指定します。

[アクション] タブ

フィールド	説明
トリガー条件が満たされたときのこの質問の動作を指定します	
質問を必須にする	次のオプションを使用して、動的動作設定がフィールドの必須ステータスにどのように影響するかを指定します。 ○ 何もしない ○ あり ○ いいえ
質問を表示する	次のオプションを使用して、動的動作設定がフィールドの表示ステータスにどのように影響するかを指定します。 ○ 何もしない ○ あり ○ いいえ
質問を読み取り専用にする	次のオプションを使用して、動的動作設定がフィールドの読み取り専用ステータスにどのように影響するかを指定します。 ○ 何もしない ○ あり ○ いいえ
値をクリア	質問値をクリアするオプション。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

8. [条件] タブで、この質問に対するアクションをトリガーする条件を指定します。条件をビルドするステートメントの詳細については、「Condition builder」を参照してください。
9. [設定] タブで、動作設定が適用されるシナリオを指定します。

設定タブ

フィールド	説明
適用	
この動的な動作が適用されるシナリオ	
アイテムが要求されているときに適用 (Applies when the item is being requested)	アイテムが要求されているときに動的な動作を適用するかどうかを指定するオプション。
要求の送信後、カタログタスクを表示するときに適用 (Applies while viewing the catalog tasks after the request is submitted)	要求の送信後、カタログタスクを表示するときに動的な動作を適用するかどうかを指定するオプション。
要求の送信後、要求されたアイテムレコードを表示するときに適用されます	送信されたレコードを表示するときに動的な動作を適用するかどうかを指定するオプション。

10. [動作を追加] を選択します。

アプリ取り込みフォームからの質問の非アクティブ化

[アプリ取り込み] フォームからの質問を非アクティブ化します。

始める前に
必要なロール：admin

手順

1. 移動先 すべて > サービスカタログ > カタログビルダー.
2. [カタログアイテム] タブで、カタログアイテムのリストから [市民開発の申請] を選択します。
3. [編集] を選択します。
4. [質問] タブで、削除する質問をポイントします。
5. [質問の非アクティブ化] アイコン (⊗) を選択して、フォームから質問を削除します。
6. [非アクティブ化] を選択します。

アプリケーションの取り込み のユーザーグループを管理する

アプリケーションの取り込み プロセス中に、アドミンが クリエータースタジオ および App Engine Studio アプリ開発権限を付与できるユーザーグループを制御します。これらのグループは、ユーザーグループ権限タイプ [sn_app_intake_permission_type] テーブルで管理されます。

始める前に
必要なロール：admin

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > **sn_app_intake_permission_type.list**.
2. リスト内のレコードを選択して更新します。
3. グループレコードで、[アクティブ] オプションのステータスを変更して、アプリケーションの取り込み ガイド付きセットアップでグループを使用できるかどうかを制御します。

次のタスク
App Engine 管理センター のアプリケーション要求に正しいアクティブグループが表示されていることを確認します。

パイプラインと展開 の構成

パイプラインと展開ガイド付きセットアップを使用して、パイプラインと展開の初期構成を段階的に実行します。各ステップの詳細な手順については、製品ドキュメントの後続のセクションを参照してください。

始める前に
必要なロール：admin

このタスクについて
パイプラインと展開 ガイド付きセットアップには一連のタスクがあり、ServiceNow AI Platform で パイプラインと展開 を構成するために役立ちます。各タスクの詳細については、「パイプラインと展開 構成タスク」を参照してください。

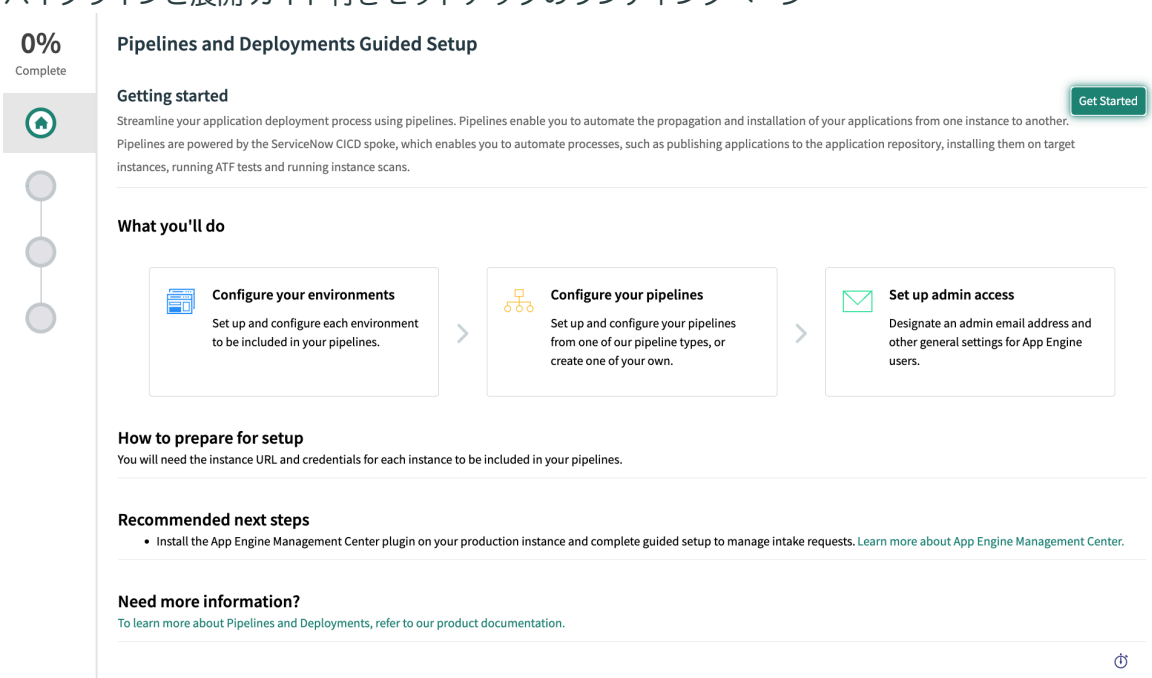
ガイド付きセットアップの詳細については、「ガイド付きセットアップの使用」を参照してください。

手順

1. 移動先 すべて > **App Engine** > **Pipelines and Deployments** (パイプラインと展開) > ガイド付きセットアップ.

   ランディングページには、さまざまなカテゴリ、ツール、ユーザーアクセスに関する情報が表示されます。

パイプラインと展開 ガイド付きセットアップのランディングページ



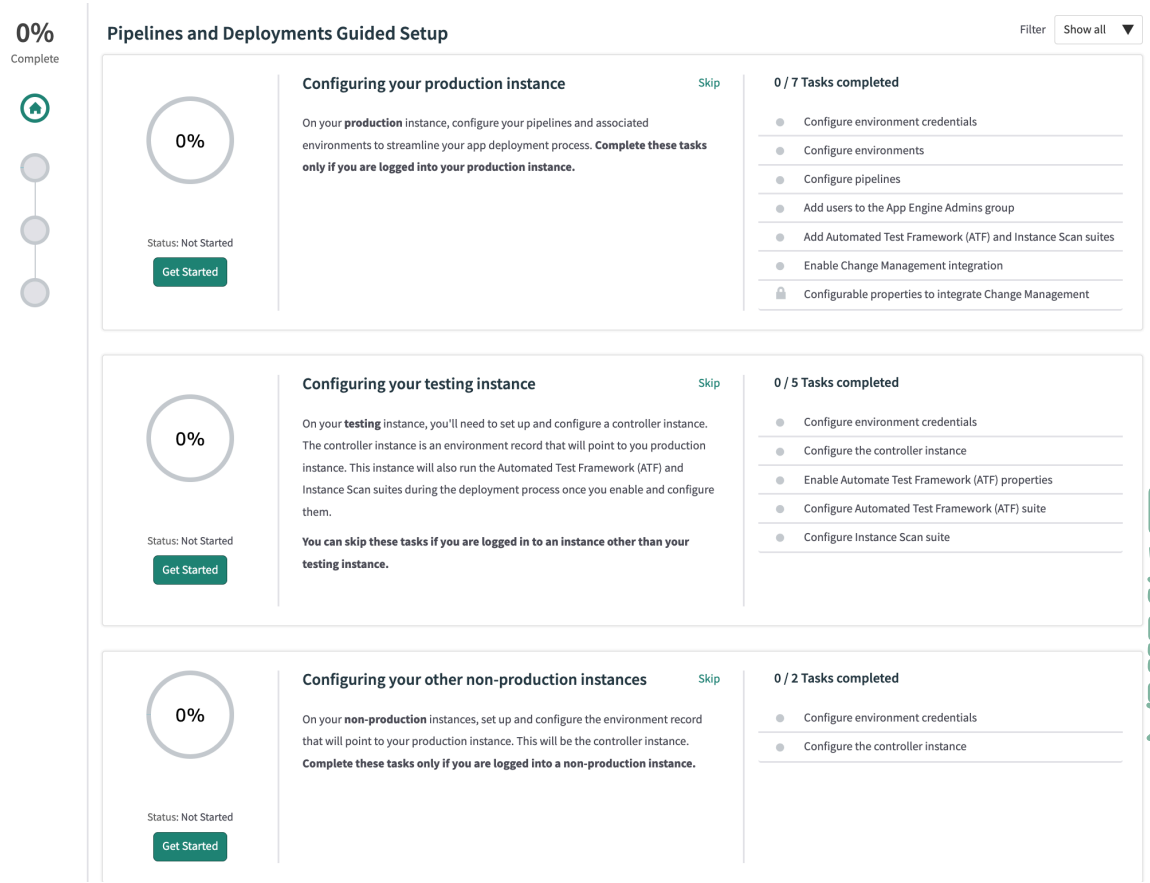
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

2. ガイド付きセットアップを開始するには、[開始] を選択します。

[パイプラインと展開 ガイド付きセットアップ] カテゴリページには、パイプラインと展開を使用する前に完了する必要があるさまざまなカテゴリのタスクのリストが表示されます。

注:
以前にいずれかのガイド付きセットアップタスクを開始し、完了せずに終了した場合、[開始] ボタンには [続行] というラベルが付けられます。

パイプラインと展開 ガイド付きセットアップのカテゴリページ



重要:
ここに表示されている各カテゴリのタスクは、パイプライン内のさまざまな環境で実行されることに注意してください。

3. 最初の [開始] ボタンを選択して、本番環境で構成タスクの実行を開始します。

a. 環境認証情報の構成。

b. パイプライン環境の構成。

c. パイプラインの構成。

d. App Engine アドミングループへのユーザーの追加。

e. テスト用の ATF およびインスタンススキャンスイートの追加。

注:
ATF およびインスタンススキャンスイートをテスト用に追加できるのは、それらを既に作成してテストインスタンスを設定している場合のみです。まだ行っていない場合は、このステップに戻る必要があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

f. 変更管理 統合の有効化。

g. 変更管理 を統合するプロパティの構成。

このカテゴリのすべてのタスクを完了すると、ガイド付きセットアップ画面が再び表示されます。

4. 次の [開始] ボタンを選択して、テスト環境で構成タスクの実行を開始します。

a. 環境認証情報の構成。

b. コントローラーインスタンスの構成。

c. 自動テストフレームワーク (ATF) のプロパティをアクティブ化する。

d. 自動テストフレームワーク (ATF) スイートを構成します。

e. インスタンススキャンスイートを構成します。

このカテゴリのすべてのタスクを完了すると、ガイド付きセットアップ画面が再び表示されます。

5. 最後の [開始] ボタンを選択して、パイプラインの他のすべての非本番 (テスト、開発、ステージングなど) インスタンスのタスクの実行を開始します。

a. 環境認証情報の構成。

b. コントローラーインスタンスの構成。
おめでとうございます! これで、パイプラインと展開アプリケーションのガイド付きセットアップを完了しました。

パイプラインと展開 構成タスク

パイプラインと展開ガイド付きセットアップで作業する際は、各インスタンスで異なる構成タスクを実行する必要があります。

環境、パイプラインレコード、ユーザーアクセスの設定

パイプラインと展開 を構成するためのタスクと、それらを完了するための詳細な手順へのリンクを以下に示します。これらのタスクは相互にビルドされているため、ガイド付きセットアップに一覧表示されている順序で完了することが重要です。

パイプラインと展開 構成タスク

インスタンス	タスク	説明
本番	環境認証情報を構成する。	AEMCが使用するフローがパイプライン内のインスタンスにアクセスできるように、パイプライン内の各インスタンスの認証情報を構成します。 詳細については、「環境認証情報の構成」を参照してください。
	環境を構成する。	各インスタンスへのアクセスに使用する URL と認証情報を追加して、本番環境と非本番環境 (開発、テスト、ステージングなど) を設定します。 詳細については、「パイプライン環境の構成」を参照してください。
	パイプラインを構成します。	各パイプラインを構成および構成するために、パイプラインに名前を付け、そのパイプラインに関連付

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パイプラインと展開 構成タスク (続く)

インスタンス	タスク	説明
		けられるそれぞれの環境を特定し、そのパイプライン内の環境間にアプリを展開する順番を指定します。 詳細については、「パイプラインの構成」を参照してください。
	App Engine アドミングループにユーザーを追加する。	このタスクのフローに関連するユーザーを App Engine アドミングループに追加します。 **注:** すでに AES ガイド付きセットアップ または アプリケーションの取り込み の構成 ガイド付きセットアップ を使用して本番インスタンスにユーザーを追加している場合は、この手順をスキップできます。 詳細については、「App Engine アドミングループへのユーザーの追加」を参照してください。
	自動テストフレームワーク (ATF) (ATF) およびインスタンススキャンスイートを追加します。	AEMC の標準であるインスタンススキャンおよび ATF テストスイートに加えて、カスタマイズされたテストスイートをアプリケーション展開の一部として追加します。 詳細については、「テスト用の ATF およびインスタンススキャンスイートの追加」を参照してください。
	変更管理 統合の有効化	既存の 変更管理 プログラムと AEMC を接続すると、変更要求状況と予定されている変更時間帯に基づいて、パイプラインから本番環境への展開が自動的にスケジュールされます。 詳細については、「変更管理 統合の有効化」を参照してください。
	変更管理 を統合するプロパティの構成	変更要求と構成アイテム (CI) は、既存の 変更管理 プログラムで設定された仕様を使用して作成されます。アプリの展開中に使用される変更モデル、変更テンプレート、または CI 作成サブフローを変更する場合は、ガイド付きセットアップでこれらのプロパティを構成する必要があります。 詳細については、「変更管理 を統合するプロパティの構成」を参照してください。
テスト	環境認証情報の設定	詳細については、「環境認証情報の構成」を参照してください。
	コントローラーインスタンスの構成	パイプライン展開フローを含むコントローラーインスタンスと、パイプラインに関連付けられているすべてのデータを特定します。各インスタンスは、アサインされたタスクを完了すると、コントローラーイ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パイプラインと展開 構成タスク (続く)

インスタンス	タスク	説明
		ンスタンスと通信して展開の次のステージの実行場所を決定します。 **注:** 本番インスタンスはコントローラーとして特定されます。 詳細については、「コントローラーインスタンスの構成」を参照してください。
	タイプがテストのインスタンスで ATF のプロパティをアクティブ化する。	展開プロセス中に ATF スイートを実行できるようにするシステムプロパティをアクティブ化します。これらのプロパティをアクティブ化しない場合、展開プロセス中に警告が表示されますが、展開は続行できます。 **注:** 本番インスタンスを 1 つ以上の非本番インスタンスにクローンする場合は、これらの設定のデータプリザーバーを作成するか、本番インスタンスでこれらの設定をアクティブ化する必要があります。詳細については、「システムクローン」を参照してください。 詳細については、「自動テストフレームワーク (ATF) のプロパティをアクティブ化する」を参照してください。
	自動テストフレームワーク (ATF) (ATF) スイートを構成	詳細については、「自動テストフレームワーク (ATF) の探索」を参照してください。
	インスタンススキャンスイートを構成	詳細については、「Configuring Instance Scan 」を参照してください。
タイプがテストではない非本番インスタンス	環境認証情報の設定	詳細については、「環境認証情報の構成」を参照してください。
	非本番インスタンスでコントローラーインスタンスを構成する	詳細については、「変更管理 を統合するプロパティの構成」を参照してください。

環境認証情報の構成

App Engine 管理センター (AEMC) で使用されるフローが異なるインスタンスにアクセスできるように、本番インスタンスで認証情報を構成します。

始める前に

パイプラインで使用する認証情報を作成するには、アドミン権限を持つ機能ユーザーアカウントを使用する必要があります。このユーザーアカウントには、次の特性が必要です。

- 組織内のユーザーに関連付けることはできません。
- パスワードを定期的にリセットする必要はありません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- アドミニストレーターが制御する必要があります。
- パイプライン内のすべてのインスタンスに対するアドミン権限が必要です。

パイプライン認証情報専用の新しい機能ユーザーアカウントを作成するか、これらの特性を持つ以前に作成したアカウントを使用できます。いずれにせよ、パイプライン認証情報を作成する前に、このユーザーアカウントを作成する必要があります。このユーザーの作成の詳細については、「Create a user」を参照してください。

必要なロール：admin

このタスクについて

[sys_users] テーブルで作成した機能ユーザーアカウントを使用して、パイプライン認証情報を作成します。たとえば、Pipeline Runner というユーザーアカウントを作成し、アドミン権限を付与します。このアカウントのユーザー名とパスワードは、認証情報レコードの設定に使用されます。

手順

1. 移動先 すべて > 接続 **&** 認証情報 > 接続と認証情報エイリアス.
2. **[New** (新規)] を選択します。
3. フォームで、[タイプ] を [認証情報] に変更します。
   タイプを変更すると、いくつかのフィールドがフォームから削除されます。
4. フォームの残りのフィールドに入力します。

フィールド	説明
名前	認証情報レコードの一意の名前。「Pipeline Credentials (パイプライン認証情報)」など。
アプリケーション	レコードが作成されるスコープ。これはグローバルである必要があります。
ID	認証情報レコードの一意の ID。このフィールドは名前に基づいて自動的に入力されます。ID は [scope_name.credential_name] の形式で記述されます。アプリケーションがグローバルスコープ内にある場合を除き、ID は単なる認証情報名です。

5. [送信] を選択します。
   [接続および資格情報エイリアス] テーブルが再度開きます。
6. 作成した認証情報を開き、認証情報レコードを追加します。
7. [認証情報] タブで、[新規] を選択します。
8. [作成する認証情報の種類は？**(What kind of Credentials would you like to create?)]** リストから [基本認証情報 **(Basic Auth Credentials)]** を選択します。

   注:
   パイプラインで代わりに OAuth 認証情報を使用する場合は、「パイプラインと展開 で使用する OAuth 認証情報の構成」を参照してください。

9. フォームのフィールドに入力します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明
名前	基本認証情報レコードの一意の名前。「Pipeline Credentials (パイプライン認証情報)」など。
順序	使用しているフローが認証情報レコードを読み取る順序。たとえば、バックアップ用の認証情報が複数ある場合は、100、200、300 のように並べます。フローはリストの一番上から読み取ります。
ユーザー名	機能アカウントのユーザー名。例：pipeline.runner
パスワード	機能ユーザーアカウントのパスワード。
アクティブ	レコードを有効にするオプション。
認証情報エイリアス	認証情報レコード ID から繰り返されるレコードのエイリアス。エイリアスが存在するのは、特定のユーザーのみがユーザー名とパスワードを確認できるようにするためです。フローが実行されると、アプリをインストールできるように認証情報エイリアスが使用されます。

10. [送信] を選択します。
11. パイプライン内の各非本番インスタンスでこのプロセスを繰り返します。
認証情報レコードには、パイプラインが本番インスタンスにアクセスするために使用するユーザー名とパスワードを使用します。

パイプラインと展開 で使用する **OAuth** 認証情報の構成

パイプラインで OAuth 認証情報を使用して、パイプラインに別のレベルのセキュリティを追加します。このタスクは、パイプラインで使用する OAuth 認証情報を作成および構成するのに役立ちます。

始める前に

インスタンスの右上で、アプリケーションスコープが [グローバル] に設定されていることを確認します。個別のブラウザタブですべてのインスタンス (開発、テスト、本番など) を開きます。次のタスクは、3 つのインスタンスの環境の手順を示しています。ただし、他の非本番インスタンス (ステージなど) を使用する場合は、そのインスタンスでタスクを繰り返す必要があることを詳述するステップがあります。

必要なロール：admin

このタスクについて

OAuth 認証情報の作成と接続は、指定された順序で完了する必要があるいくつかのタスクで構成されています。各ステップで正しいインスタンスを操作するように注意してください。詳細については、「OAuth 2.0」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 指定されたインスタンスの 外部クライアント用の OAuth API エンドポイントの作成 の下にあるすべての手順を完了します。
2. 指定されたインスタンスの サードパーティ OAuth プロバイダーレコードの作成 の下にあるすべての手順を完了します。
3. 指定されたインスタンスの OAuth を使用してパイプライン認証情報を作成する の下にあるすべての手順を完了します。

次のタスク
パイプライン環境の構成 のときは、構成しているインスタンスの正しいインスタンス認証情報レコードを選択していることを確認してください。

外部クライアント用の **OAuth API** エンドポイントの作成

OAuth API エンドポイントを作成して、コントローラーインスタンスが非本番インスタンスと双方向通信できるようにします。指定されたインスタンスで各ステップを慎重に実行してから、サードパーティ OAuth プロバイダーレコードの作成に進みます。

外部クライアント用の OAuth API エンドポイントの作成方法のデモ

始める前に
インスタンスの右上で、アプリケーションスコープが [グローバル] に設定されていることを確認します。

個別のブラウザータブですべてのインスタンス (開発、テスト、本番など) を開きます。

必要なロール：admin

このタスクについて
外部クライアント用の OAuth API エンドポイントを作成して、パイプラインで OAuth を使用するには、パイプライン内の異なるインスタンスでそれぞれ複数のレコードを作成する必要があります。本番インスタンスであるコントローラーインスタンスで開始します。

手順

1. 本番インスタンスで、 すべて > システム **OAuth** > アプリケーションレジストリー.
2. **[New** (新規)] を選択します。
3. [外部クライアント用の **OAuth API** エンドポイントを作成します] を選択します。
4. フォームのフィールドに入力します。

アプリケーションレジストリフォーム

フィールド	アクション
名前	「Pipeline Controller Client」と入力します。
リダイレクト URL	**a.** フィールドをロック解除します。 **b.** 本番インスタンス、開発インスタンス、およびテストインスタンスの URL を入力します。それぞれにバックスラッシュの後に oauth_redirect.do を付けます。 **c.** フィールドをロックします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	アクション
	3 つの URL はそれぞれカンマとスペースで区切ります。例：https://<production instance name>.service-now.com/oauth_redirect.do, https://<development instance name>.service-now.com/oauth_redirect.do, https://<test instance name>.service-now.com/oauth_redirect.do

5. [送信] を選択します。

> **重要:**
> 開発インスタンスの次の手順を完了します。

6. 開発インスタンスで、 すべて > システム **OAuth** > アプリケーションレジストリー.
7. **[New** (新規)] を選択します。
8. [外部クライアント用の **OAuth API** エンドポイントを作成します] を選択します。
9. フォームのフィールドに入力します。

アプリケーションレジストリフォーム

フィールド	アクション
名前	「Pipeline Development Client」と入力します。
リダイレクト URL	**a.** フィールドをロック解除します。 **b.** 本番インスタンスと開発インスタンスの URL を入力します。それぞれにバックスラッシュの後に oauth_redirect.do を付けます。 **c.** フィールドをロックします。 2 つの URL はカンマとスペースで区切ります。例：https://<production instance name>.service-now.com/oauth_redirect.do, https://<development instance name>.service-now.com/oauth_redirect.do

10. [送信] を選択します。

> **重要:**
> テストインスタンスの次の手順を完了します。

11. テストインスタンスで、 すべて > システム **OAuth** > アプリケーションレジストリー.
12. **[New** (新規)] を選択します。
13. [外部クライアント用の **OAuth API** エンドポイントを作成します] を選択します。
14. フォームのフィールドに入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アプリケーションレジストリフォーム

フィールド	アクション
名前	「Pipeline Test Client」と入力します。
リダイレクト URL	**a.** フィールドをロック解除します。 **b.** 本番インスタンスとテストインスタンスの URL を入力します。それぞれにバックスラッシュの後に oauth_redirect.do を付けます。 **c.** フィールドをロックします。 2 つの URL はカンマとスペースで区切ります。例：https://<production instance name>.service-now.com/oauth_redirect.do, https://<test instance name>.service-now.com/oauth_redirect.do

15. [送信] を選択します。
16. オプション: 他の非本番インスタンス (ステージングなど) について、このプロセスの手順 11 ~ 15 を繰り返します。

次のタスク
指定されたインスタンスで、サードパーティ OAuth プロバイダーレコードの作成の手順に従います。

サードパーティ **OAuth** プロバイダーレコードの作成

サードパーティ OAuth プロバイダーレコードを作成して、作成した API エンドポイントに各インスタンスがアクセスできるようにします。

始める前に
外部クライアント用の OAuth API エンドポイントの作成のタスクを完了します。

インスタンスの右上で、アプリケーションスコープが [グローバル] に設定されていることを確認します。

個別のブラウザタブですべてのインスタンス (開発、テスト、本番など) を開きます。本番インスタンスで以下の手順を開始します。

必要なロール：admin

手順

1. 本番インスタンスで、 すべて > システム **OAuth** > アプリケーションレジストリー.
   ここでは、3 つのインスタンス (開発、テスト、本番) のそれぞれに 1 つずつ、合計 3 つのレコードを作成する必要があります。追加の非本番インスタンス (ステージングなど) がある場合は、ここに示す方法に従って、それぞれのインスタンスのレコードを作成します。

   本番インスタンスで最初の 3 つのレコードを作成する方法のデモンストレーション
2. **[New** (新規)] を選択します。
3. [サードパーティ **OAuth** プロバイダーに接続します] を選択して、開発インスタンスのレコードを作成します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

4. フォームのフィールドに入力します。

アプリケーションレジストリフォーム

フィールド	アクション
名前	「Dev Instance Connection」と入力します。
クライアント ID	**a.** 開発インスタンスで、[アプリケーションレジストリ] リスト (すべて > システム **OAuth** > アプリケーションレジストリー) を開きます。 **b.** [パイプライン開発クライアント] レコードを開きます。 **c.** クライアント **ID** をコピーします。 **d.** 本番インスタンスで、開発インスタンスからクライアント ID を [クライアント **ID]** フィールドに貼り付けます。
クライアントシークレット	**a.** 開発インスタンスで、[アプリケーションレジストリ] リスト (すべて > システム **OAuth** > アプリケーションレジストリー) を開きます。 **b.** [パイプライン開発クライアント] レコードを開きます。 **c.** [クライアントシークレット] フィールドのロックを解除し、テキストをコピーします。 **d.** 本番インスタンスで、開発インスタンスからクライアントシークレットを [クライアントシークレット] フィールドに貼り付けます。
デフォルトの権限許可タイプ	[認証コード] に変更します。
認証 URL	**a.** フィールドをロック解除します。 **b.** 開発インスタンスの URL を入力し、その後に「oauth_auth.do」と入力します。 **c.** フィールドをロックします。 例：https://<development instance name>.service-now.com/oauth_auth.do
トークン URL	**a.** フィールドをロック解除します。 **b.** 開発インスタンスの URL を入力し、その後に「oauth_token.do」と入力します。 **c.** フィールドをロックします。 例：https://<development instance name>.service-now.com/oauth_token.do

5. [送信] を選択します。
6. **[New** (新規)] を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

7. [サードパーティ **OAuth** プロバイダーに接続します] を選択して、テストインスタンスのレコードを作成します。
8. フォームのフィールドに入力します。

アプリケーションレジストリフォーム

フィールド	アクション
名前	「Test Instance Connection」と入力します。
クライアント ID	**a.** テストインスタンスで、アプリケーションレジストリリスト (すべて > システム **OAuth** > アプリケーションレジストリー) を開きます。 **b.** [パイプラインテストクライアント] レコードを開きます。 **c.** クライアント **ID** をコピーします。 **d.** 本番インスタンスで、テストインスタンスからクライアント ID を [クライアント **ID**] フィールドに貼り付けます。
クライアントシークレット	**a.** テストインスタンスで、アプリケーションレジストリリスト (すべて > システム **OAuth** > アプリケーションレジストリー) を開きます。 **b.** [パイプラインテストクライアント] レコードを開きます。 **c.** [クライアントシークレット] フィールドのロックを解除し、テキストをコピーします。 **d.** 本番インスタンスで、テストインスタンスからクライアントシークレットを [クライアントシークレット] フィールドに貼り付けます。
デフォルトの権限許可タイプ	[認証コード] に変更します。
認証 URL	**a.** フィールドをロック解除します。 **b.** テストインスタンスの URL を入力し、その後に「oauth_auth.do」と入力します。 **c.** フィールドをロックします。 例：https://<test instance name>.service-now.com/oauth_auth.do
トークン URL	**a.** フィールドをロック解除します。 **b.** テストインスタンスの URL を入力し、その後に「oauth_token.do」と入力します。 **c.** フィールドをロックします。 例：https://<test instance name>.service-now.com/oauth_token.do

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

9. [送信] を選択します。
10. [アプリケーションレジストリ] リストで、[パイプラインコントローラークライアント] レコードを選択します。
11. クライアント **ID** をコピーし、メモアプリケーションなどの場所に貼り付けます。
12. [クライアントシークレット] フィールドのロックを解除し、テキストをコピーして、クライアント ID とともにメモに貼り付けます。
13. [アプリケーションレジストリ] リストに戻って、[新規] を選択します。
14. [サードパーティ **OAuth** プロバイダーに接続します] を選択して、本番インスタンスのレコードを作成します。
15. フォームのフィールドに入力します。

アプリケーションレジストリフォーム

フィールド	アクション
名前	「Prod Instance Connection」と入力します。
クライアント ID	**a.** メモしたクライアント **ID** をコピーします。 **b.** クライアント ID を [クライアント **ID**] フィールドに貼り付けます。
クライアント シークレット	**a.** メモしたクライアントシークレットをコピーします。 **b.** [クライアントシークレット] フィールドのロックを解除し、テキストをフィールドに貼り付けます。
デフォルトの権限許可タイプ	[認証コード] に変更します。
認証 URL	**a.** フィールドをロック解除します。 **b.** 本番インスタンスの URL を入力し、その後に「oauth_auth.do」と入力します。 **c.** フィールドをロックします。 例：https://<production instance name>.service-now.com/oauth_auth.do
トークン URL	**a.** フィールドをロック解除します。 **b.** 本番インスタンスの URL を入力し、その後に「oauth_token.do」と入力します。 **c.** フィールドをロックします。 例：https://<production instance name>.service-now.com/oauth_token.do

16. [送信] を選択します。

> **重要:**
> 開発インスタンスの次の手順を完了します。

17. 開発インスタンスで、 すべて > システム **OAuth** > アプリケーションレジストリー.

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

開発インスタンスとテストインスタンスの両方で本番インスタンス用のレコードを作成する方法のデモンストレーション

18. **[New** (新規)] を選択します。
19. [サードパーティ **OAuth** プロバイダーに接続します] を選択して、本番インスタンスのレコードを作成します。
20. フォームのフィールドに入力します。

アプリケーションレジストリフォーム

フィールド	アクション
名前	「Prod Instance Connection」と入力します。
クライアント ID	**a.** メモしたクライアント **ID** をコピーします。 **b.** クライアント ID を [クライアント **ID]** フィールドに貼り付けます。
クライアント シークレット	**a.** メモしたクライアントシークレットをコピーします。 **b.** [クライアントシークレット] フィールドのロックを解除し、テキストをフィールドに貼り付けます。
デフォルトの権限許可タイプ	[認証コード] に変更します。
認証 URL	**a.** フィールドをロック解除します。 **b.** 本番インスタンスの URL を入力し、その後に「oauth_auth.do」と入力します。 **c.** フィールドをロックします。 例：https://<production instance name>.service-now.com/oauth_auth.do
トークン URL	**a.** フィールドをロック解除します。 **b.** 本番インスタンスの URL を入力し、その後に「oauth_token.do」と入力します。 **c.** フィールドをロックします。 例：https://<production instance name>.service-now.com/oauth_token.do

21. [送信] を選択します。

> **重要:**
> テストインスタンスの次の手順を完了します。

22. テストインスタンスで、 すべて > システム **OAuth** > アプリケーションレジストリー.
23. **[New** (新規)] を選択します。
24. [サードパーティ **OAuth** プロバイダーに接続します] を選択して、本番インスタンスのレコードを作成します。
25. フォームのフィールドに入力します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

アプリケーションレジストリフォーム

フィールド	アクション
名前	「Prod Instance Connection」と入力します。
クライアント ID	**a.** メモしたクライアント **ID** をコピーします。 **b.** クライアント ID を [クライアント **ID]** フィールドに貼り付けます。
クライアント シークレット	**a.** メモしたクライアントシークレットをコピーします。 **b.** [クライアントシークレット] フィールドのロックを解除し、テキストをフィールドに貼り付けます。
デフォルトの権限許可タイプ	[認証コード] に変更します。
認証 URL	**a.** フィールドをロック解除します。 **b.** 本番インスタンスの URL を入力し、その後に「oauth_auth.do」と入力します。 **c.** フィールドをロックします。 例：https://<production instance name>.service-now.com/oauth_auth.do
トークン URL	**a.** フィールドをロック解除します。 **b.** 本番インスタンスの URL を入力し、その後に「oauth_token.do」と入力します。 **c.** フィールドをロックします。 例：https://<production instance name>.service-now.com/oauth_token.do

26. [送信] を選択します。

27. オプション: 他の非本番インスタンス (ステージングなど) について、手順 22 ~ 26 を繰り返します。

次のタスク

OAuth を使用するための事前作業が完了したので、指定されたインスタンスでOAuth を使用してパイプライン認証情報を作成するのすべての手順を完了します。

OAuth を使用してパイプライン認証情報を作成する

各インスタンスで認証情報レコードを作成し、パイプラインでそれを OAuth で使用できるようにします。

始める前に

外部クライアント用の OAuth API エンドポイントの作成とサードパーティ OAuth プロバイダーレコードの作成のタスクを完了します。

インスタンスの右上で、アプリケーションスコープが [グローバル] に設定されていることを確認します。

個別のブラウザータブですべてのインスタンス (開発、テスト、本番など) を開きます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

必要なロール：admin

このタスクについて
認証情報を正しく構成するには、本番インスタンスで本番インスタンスと非本番インスタンスのそれぞれのレコードを作成する必要があります。次に、非本番インスタンスのそれぞれに本番インスタンスのレコードを作成し、それらをすべて接続する必要があります。各セクションのビデオを使用して、手順を実行します。本番インスタンスで開始します。

手順

1. 本番インスタンスで、 すべて > 接続 **&** 認証情報 > 接続と認証情報エイリアス.
   本番インスタンスで認証情報レコードを作成します
2. [新規] を選択します。
3. [タイプ] を [認証情報] に変更します。
4. [名前] フィールドに「Pipeline Dev OAuth」と入力します。
5. [送信] を選択します。
6. 作成したレコード (Pipeline Dev OAuth) を再び開きます。
7. [認証情報] 関連リストで、[新規] を選択します。
8. **[OAuth 2.0** 認証情報] を選択します。
9. フォームのフィールドに入力します。

OAuth 2.0 認証情報フォーム

フィールド	アクション
名前	「Dev OAuth」と入力します。
OAuth エンティティプロファイル	[開発インスタンス接続のデフォルトプロファイル **(Dev Instance Connection default profile)]**を検索して選択します。

10. [送信] を選択します。
11. **[Dev OAuth]** 認証情報レコードを再び開きます。
    予想されるエラーが表示され、OAuth 構成を確認し、**[OAuth** トークンを取得] を選択して新しいトークンを要求するように指示されます。
12. [関連リンク] から、**[OAuth** トークンの取得] を選択します。
    開発インスタンスが開き、ServiceNow アカウントへの接続を要求されます。
13. [許可] を選択します。
14. [接続および資格情報エイリアス] リストに戻ります (すべて > 接続 **&** 認証情報 > 接続と認証情報エイリアス) を開きます。
15. **[New** (新規)] を選択します。
16. [タイプ] を [認証情報] に変更します。
17. [名前] フィールドに「Pipeline Test OAuth」と入力します。
18. [送信] を選択します。
19. 作成したレコード (Pipeline Test OAuth) を再び開きます。
20. [認証情報] 関連リストで、[新規] を選択します。
21. **[OAuth 2.0** 認証情報] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

22. フォームのフィールドに入力します。

OAuth 2.0 認証情報フォーム

フィールド	アクション
名前	「Test OAuth」と入力します。
OAuth エンティティプロファイル	[テストインスタンス接続のデフォルトプロファイル **(Test Instance Connection default profile)]**を検索して選択します。

23. [送信] を選択します。
24. [Test OAuth] 認証情報レコードを再び開きます。
予想されるエラーが表示され、OAuth 構成を確認し、**[OAuth** トークンを取得] を選択して新しいトークンを要求するように指示されます。
25. [関連リンク] から、**[OAuth** トークンの取得] を選択します。
テストインスタンスが開き、ServiceNow アカウントへの接続を要求されます。
26. [許可] を選択します。
27. [接続および資格情報エイリアス] リストに戻ります (すべて > 接続 **&** 認証情報 > 接続と認証情報エイリアス) を開きます。
28. **[New** (新規)] を選択します。
29. [タイプ] を [認証情報] に変更します。
30. [名前] フィールドに「Pipeline Prod OAuth」と入力します。
31. [送信] を選択します。
32. 作成したレコード (Pipeline Prod OAuth) を再び開きます。
33. [認証情報] 関連リストで、[新規] を選択します。
34. **[OAuth 2.0** 認証情報] を選択します。
35. フォームのフィールドに入力します。

OAuth 2.0 認証情報フォーム

フィールド	アクション
名前	「Prod OAuth」と入力します。
OAuth エンティティプロファイル	[本番インスタンス接続のデフォルトプロファイル **(Prod Instance Connection default profile)]**を検索して選択します。

36. [送信] を選択します。
37. [Prod OAuth] 認証情報レコードを再び開きます。
予想されるエラーが表示され、OAuth 構成を確認し、**[OAuth** トークンを取得] を選択して新しいトークンを要求するように指示されます。
38. [関連リンク] から、**[OAuth** トークンの取得] を選択します。
本番インスタンスが開き、ServiceNow アカウントへの接続を要求されます。
39. [許可] を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

40. オプション: 他の非本番インスタンス (ステージングなど) がある場合は、上記の方法を使用して、本番インスタンスでそれぞれの認証情報レコードを作成します。

> **重要:**
> 本番インスタンスで上記の手順を完了したら、以下の手順に従って、非本番インスタンスのそれぞれに 1 つの認証情報レコードを作成し、本番インスタンスに接続します。開発インスタンスの次の手順を完了します。

41. 開発インスタンスで、 すべて > 接続 **&** 認証情報 > 接続と認証情報エイリアス.
開発インスタンスで認証情報レコードを作成し、本番に接続します。
42. [新規] を選択して、開発インスタンスを本番インスタンスに接続するレコードを作成します。
43. [タイプ] を [認証情報] に変更します。
44. [名前] フィールドに「Pipeline Prod OAuth」と入力します。
45. [送信] を選択します。
46. 作成したレコード (Pipeline Prod OAuth) を再び開きます。
47. [認証情報] 関連リストで、[新規] を選択します。
48. **[OAuth 2.0** 認証情報] を選択します。
49. フォームのフィールドに入力します。

OAuth 2.0 認証情報フォーム

フィールド	アクション
名前	「Prod OAuth」と入力します。
OAuth エンティティプロファイル	[本番インスタンス接続のデフォルトプロファイル **(Prod Instance Connection default profile)]**を検索して選択します。

50. [送信] を選択します。
51. [Prod OAuth] 認証情報レコードを再び開きます。
予想されるエラーが表示され、OAuth 構成を確認し、**[OAuth** トークンを取得] を選択して新しいトークンを要求するように指示されます。
52. [関連リンク] から、**[OAuth** トークンの取得] を選択します。
本番インスタンスが開き、ServiceNow アカウントへの接続を要求されます。
53. [許可] を選択します。

> **重要:**
> テストインスタンスの次の手順を完了します。

54. テストインスタンスで、 すべて > 接続 **&** 認証情報 > 接続と認証情報エイリアス.
テストインスタンスで認証情報レコードを作成し、本番に接続します。
55. [新規] を選択して、テストインスタンスを本番インスタンスに接続するレコードを作成します。
56. [タイプ] を [認証情報] に変更します。
57. [名前] フィールドに「Pipeline Prod OAuth」と入力します。
58. [送信] を選択します。
59. 作成したレコード (Pipeline Prod OAuth) を再び開きます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

60. [認証情報] 関連リストで、[新規] を選択します。
61. **[OAuth 2.0** 認証情報] を選択します。
62. フォームのフィールドに入力します。

OAuth 2.0 認証情報フォーム

フィールド	アクション
名前	「Prod OAuth」と入力します。
OAuth エンティティプロファイル	[本番インスタンス接続のデフォルトプロファイル **(Prod Instance Connection default profile)]**を検索して選択します。

63. [送信] を選択します。
64. [Prod OAuth] 認証情報レコードを再び開きます。
予想されるエラーが表示され、OAuth 構成を確認し、**[OAuth** トークンを取得] を選択して新しいトークンを要求するように指示されます。
65. [関連リンク] から、**[OAuth** トークンの取得] を選択します。
本番インスタンスが開き、ServiceNow アカウントへの接続を要求されます。
66. [許可] を選択します。
67. オプション: 他の非本番インスタンス (ステージングなど) がある場合は、手順 54 ～ 66 を使用して、そのインスタンス上で本番用の認証情報レコードを作成します。

次のタスク
インスタンスを接続するすべての認証情報レコードを作成したので、それらのレコードを使用してパイプライン環境を構成できます。詳細については、「パイプライン環境の構成」を参照してください。

パイプライン環境の構成

各インスタンスへのアクセスに使用する URL と認証情報を追加して、アプリ開発の本番環境と非本番環境 (開発、テスト、ステージングなど) を設定します。

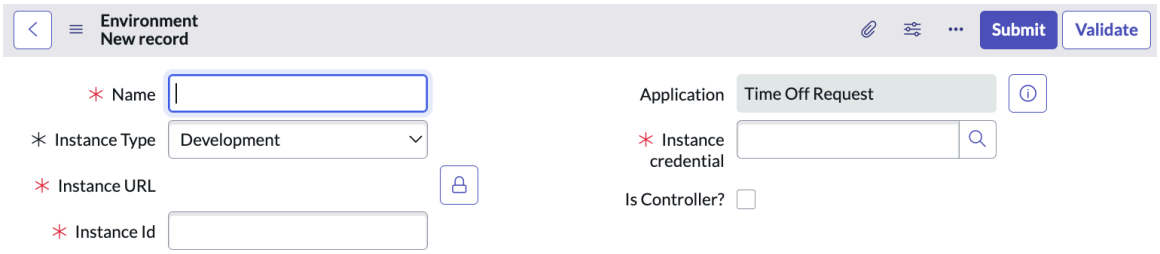
始める前に
必要なロール：admin

> **注:**
> システムアドミニストレーター (admin) ロールを持つユーザーのみが、 環境のインスタンス認証情報を定義できます。App Engine アドミン [sn_app_eng_notify.app_engine_admin] ロールを持つユーザーは、環境レコードを表示できます。ただし、[インスタンス認証情報] フィールドは表示されません。

手順
1. 本番インスタンスで、 すべて > **App Engine** > **Pipelines and Deployments** (パイプラインと展開) > 環境.
2. **[New** (新規)] を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

環境 - 新規レコード



3. フォームのフィールドに入力します。

[環境] フォーム

フィールド	説明
名前	環境の名前。開発、テスト、または本番環境としてインスタンスを区別する名前を入力します。たとえば、開発環境を定義する場合は、名前に Dev を含めることができます。
インスタンスタイプ	定義する環境のタイプ： ○ サンドボックス ○ 開発 ○ テスト ○ ステージング ○ 本番
インスタンス URL	ServiceNow インスタンスの Web アドレス。
インスタンス ID	インスタンスの instance_id sys_property。 **注:** 他のすべてのフィールドに入力して [検証] を選択すると、インスタンス ID が自動的に生成されます。
アプリケーション	環境のアプリケーションスコープ。
インスタンス認証情報	環境として構成しているインスタンスに関連する認証データ。 **注:** OAuth 2.0 認証情報を使用している場合は、インスタンスレコードの適切な認証情報を選択します。たとえば、開発インスタンスレコードでは OAuth 開発認証情報を選択し、テストインスタンスレコードでは OAuth テスト認証情報を選択します。
コントローラーとは？	このインスタンスがコントローラーかどうかを示します。これは、展開要求を管理する予定の本番環境レコードに対して選択する必要があります。詳細については、「コントローラーインスタンスの構成」を参照してください。

4. [送信] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

5. パイプラインの残りの各環境を定義するときには、それまでの手順を繰り返します。
たとえば、本番環境を定義した場合は、手順をもう一度繰り返して開発環境を定義します。次に、その手順をもう一度繰り返してテスト環境を定義します。

パイプラインの構成

アドミニストレーターがアプリケーションをある環境から別の環境にすばやく移動できるように、アプリ開発パイプラインを構成します。

始める前に

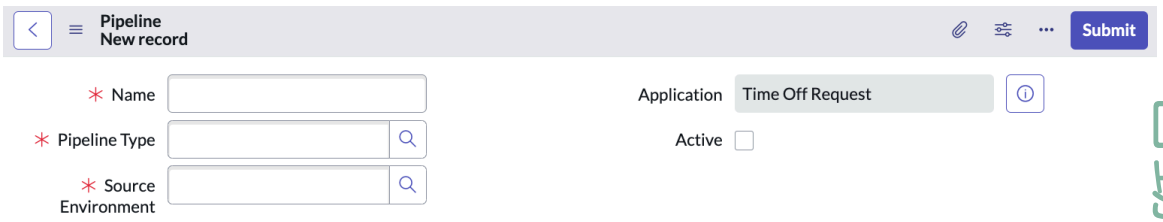
これらの手順を完了する前に、すべてのパイプライン環境レコードを作成する必要があります。詳細については、「パイプライン環境の構成」を参照してください。

必要なロール：admin または app_engine_admin

手順

1. 本番インスタンスで、 すべて > **App Engine** > **Pipelines and Deployments** (パイプラインと展開) > パイプライン.
2. **[New** (新規)] を選択します。

パイプライン - 新規レコード



3. フォームのフィールドに入力します。

[パイプライン] フォーム

フィールド	説明
名前	パイプラインの名前。このパイプラインを他のパイプラインと区別する名前を入力します。
パイプラインタイプ	定義しているパイプラインのタイプ。パイプラインの最も一般的なユースケースは [アプリケーションの展開] を選択することですが、必要に応じて他のタイプを定義できます。
ソース環境	このパイプラインの環境 (通常は開発環境)。
アプリケーション	パイプラインのアプリケーションスコープ。
有効	このパイプラインをアクティブ化するには、このチェックボックスをオンにします。

4. [送信] を選択します。
5. 作成したパイプラインレコードを再度開きます。
6. [パイプライン環境注文] セクションで、[ソース環境] を除くパイプラインの環境を選択し、パイプラインを介してアプリを展開する順番を指定します。
7. [更新] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

コントローラーインスタンスの構成

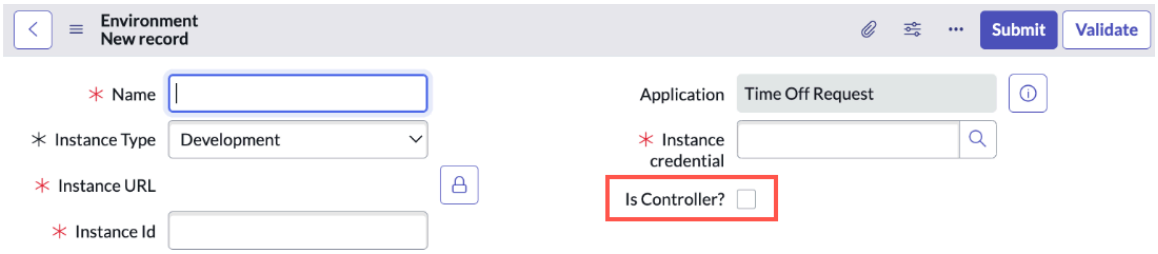
アプリ開発パイプライン内のインスタンスの 1 つを コントローラー インスタンスとして指定する必要があります。パイプライン内のアプリケーションの展開順番を含む、パイプラインのインスタンス間のすべての通信は、コントローラーインスタンスで行われます。

始める前に
必要なロール：admin

このタスクについて
通常、本番インスタンスがコントローラーインスタンスとして特定されます。すべての要求レコードと承認レコードは、コントローラーインスタンスに保存されます。

手順

1. 移動先 すべて > **App Engine** > **Pipelines and Deployments** (パイプラインと展開) > 環境.
2. パイプライン環境を構成するときは、コントローラーとして使用するインスタンスを決定し、そのインスタンスの [コントローラーとは？] チェック ボックスをオンにします。



3. [保存] を選択します。
   パイプラインのワークフローが実行されると、非本番インスタンスはコントローラーインスタンスと通信して、次にアプリを展開するインスタンスを決定します。

テスト用の **ATF** およびインスタンススキャンスイートの追加

AEMC の標準であるインスタンススキャンおよび自動テストフレームワーク (ATF) テストスイートに加えて、カスタマイズされたテストスイートをアプリケーション展開の一部として追加します。

始める前に
ATF およびインスタンススキャンスイートはテストインスタンスにのみ存在するため、このタスクを完了するにはパイプラインを設定する必要があります。詳細については、「パイプライン環境の構成」を参照してください。

必要なロール：admin

手順

1. 本番インスタンスで、 すべて > **App Engine** > **Pipelines and Deployments** (パイプラインと展開) > スキャンスイート.
2. このテーブルを初めて表示する場合は、[デフォルトのスイートを入力] を選択して、ServiceNow が提供するインスタンスと ATF スキャンスイートをロードします。
3. [新規] を選択して、新しいスキャンスイートを追加します。
4. フォームのフィールドに入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スキャンスイートフォーム

フィールド	説明
スイート	テストインスタンスに存在するすべての ATF およびインスタンススキャンスイートを含むテーブル。
エラーの重大度	テストに合格しないスキャンスイートの重大度を示すエラーオプション。
インスタンスタイプ	スキャンスイートが実行されるインスタンスのタイプ。このフィールドは [テスト] に設定する必要があります。

5. [送信] を選択します。
   追加したスイートは、テスト中に選択したインスタンスにインストールされているアプリで実行されます。

自動テストフレームワーク (ATF) のプロパティをアクティブ化する

パイプラインと展開 には、アプリケーション展開テストスイートと呼ばれるアプリケーションテストフレームワーク (ATF) スイートが含まれています。2 つのシステムプロパティが、アプリがテスト環境に展開されるたびにテストを自動的に実行するかどうかを制御します。

始める前に
必要なロール：admin

このタスクについて
アプリケーション展開テストスイートのテストは本番インスタンスで実行できます。ただし、ベースシステムに含まれるフローは非本番 (テスト) インスタンスでのみ実行されます。また、テストは [テスト中] の [インスタンスタイプ] で定義されたインスタンスでのみ実行する必要があります。詳細については、「パイプライン環境の構成」を参照してください。

> **注:**
> 本番インスタンスを 1 つ以上の非本番インスタンスにクローンする場合は、これらの設定のデータプリザーバーを作成するか、本番インスタンスでこれらの設定をアクティブ化する必要があります。詳細については、「システムクローン」を参照してください。

手順

1. ナビゲーションフィルターに「sys_properties.list」と入力して **Enter** キーを押して、[システムのプロパティ] テーブルにアクセスします。
2. 次の 2 つのプロパティを見つけます。
   - sn_atf.runner.enabled
   - sn_atf.schedule.enabled
3. アプリをテストインスタンスに展開するたびに、これらのテストを非本番インスタンスで自動的に実行する場合は、各プロパティレコードを開き、[値] フィールドを [true] に変更して [更新] を選択します。

変更管理 統合の有効化

変更管理 と AEMC の統合を有効にすると、変更要求状況と予定されている変更時間帯に基づいて、パイプラインから本番環境への展開が自動的にスケジュールされます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
必要なロール：admin

このタスクについて
このタスクは、ガイド付きセットアップシステム内で完了できます。[構成] を選択すると、このタスクがガイド付きセットアップ内で開きます。必要であれば、以下の手順に従って、ガイド付きセットアップの外部で同じ構成タスクにアクセスできます。

手順

1. ナビゲーションフィルターに「sys_properties.list」と入力して **Enter** キーを押して、[システムのプロパティ] テーブルにアクセスします。
2. プロパティ sn_deploy_pipeline.change_management.enabled を見つけます。
3. [値] フィールドを true に変更して、既存の 変更管理 プロセスを AEMC に接続します。
4. [更新] を選択します。
5. パイプラインと展開 ガイド付きセットアップで、[完了としてマーク] を選択します。
   イネーブルメントステップを完了としてマークすると、変更モデル、変更テンプレート、CI 作成サブフローなど、変更管理 統合に関連するプロパティを構成できます。詳細については、「変更管理 を統合するプロパティの構成」を参照してください。

変更管理 を統合するプロパティの構成

パイプラインと展開 のガイド付きセットアップで事前定義されたプロパティを構成し、会社のニーズに合わせて 変更管理 と AEMC の統合をカスタマイズします。これらのプロパティの構成はオプションです。

変更モデルの構成

アプリケーションの展開時に使用する変更モデルを構成します。構成されていない場合は、通常の変更モデルがデフォルトで使用されます。

始める前に
必要なロール：admin

このタスクについて
特定のユースケースの変更アクティビティとフローの調整に使用できる変更モデルがいくつかあります。各タイプのモデルの詳細については、「Change models」を参照してください。以下の手順を使用して、アプリの展開中に使用する変更モデルを選択します。

このタスクは、ガイド付きセットアップシステム内で完了できます。[構成] を選択すると、このタスクがガイド付きセットアップ内で開きます。必要であれば、以下の手順に従って、ガイド付きセットアップの外部で同じ構成タスクにアクセスできます。

手順

1. ナビゲーションフィルターに「sys_properties.list」と入力して **Enter** キーを押して、[システムのプロパティ] テーブルにアクセスします。
2. プロパティ sn_deploy_pipeline.change_management.default.model を見つけます。
   このプロパティの値、つまり使用されているモデルを変更するには、切り替え先の変更モデルの **sys_id** を特定する必要があります。
   a. 移動先 すべて > 変更管理 > アドミニストレーション > 変更モデル.
   b. アプリ展開のデフォルトにする変更モデル ([標準] など) を選択します。
   c. レコードのヘッダーバーを右クリックして、**[sys_id** のコピー] を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

3. **sn_deploy_pipeline.change_management.default.model** プロパティで、コピーした sys_id を [値] フィールドに貼り付け、現在の内容を置き換えます。
4. [更新] を選択します。
5. パイプラインと展開 のガイド付きセットアップの [変更モデルの構成 **(Configure Change Model)]** セクションで、[完了としてマーク] を選択します。

変更テンプレートの構成

アプリケーションの展開中に変更要求を作成するために使用するデフォルトの変更テンプレートを構成します。

始める前に
必要なロール：admin

このタスクについて
変更要求を作成するためのデフォルトテンプレートとして使用できるテンプレートがいくつかあります。詳細については、「Create a change request template」を参照してください。次の手順を使用して、アプリの展開中に使用する変更テンプレートを選択します。

このタスクは、ガイド付きセットアップシステム内で完了できます。[構成] を選択すると、このタスクがガイド付きセットアップ内で開きます。必要であれば、以下の手順に従って、ガイド付きセットアップの外部で同じ構成タスクにアクセスできます。

手順

1. ナビゲーションフィルターに「sys_properties.list」と入力して **Enter** キーを押して、[システムのプロパティ] テーブルにアクセスします。
2. プロパティ sn_deploy_pipeline.change_management.default.template を見つけます。
   このプロパティの値、つまり変更要求に使用されるデフォルトテンプレートを変更するには、切り替え先の変更テンプレートで参照されているテンプレートの **sys_id** を特定する必要があります。
   a. 移動先 すべて > 変更管理 > 標準的な変更 > すべてのテンプレート.
   b. リストヘッダーから [カスタマイズリストの更新] アイコン ( ) を選択します。
   c. [利用可能] 列で [テンプレート] を選択し、移動アイコン ( ) を使用して [選択済み] 列に追加します。
   d. **[OK]** を選択します。
   e. アプリ展開のデフォルトにする変更テンプレートの [テンプレート] フィールドで値を選択します。
   f. テンプレートレコードのヘッダーバーを右クリックし、[**sys_id**のコピー] を選択します。
3. **sn_deploy_pipeline.change_management.default.template** プロパティで、コピーしたsys_id を [値] フィールドに貼り付け、現在の内容を置き換えます。
4. **[Update** (更新)] を選択します。
5. パイプラインと展開 のガイド付きセットアップの [変更テンプレートの構成 **(Configure Change Template)]** セクションで、[完了としてマーク] を選択します。

CI 作成サブフローの構成

AEMC を使用して、アプリケーション展開中に構成アイテム (CI) を作成する方法をカスタマイズします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
必要なロール：admin

このタスクについて
デフォルトでは、**[CMDB CI が存在しない場合は作成 (Create CMDB CI if not present)]** サブフローが展開中に自動的に実行され、アプリケーションの CI が存在しない場合は作成されます。ただし、次の手順を使用して、展開中に構成アイテム (CI) を作成する方法を変更できます。

手順

1. ナビゲーションフィルターに「sys_properties.list」と入力して **Enter** キーを押して、[システムのプロパティ] テーブルにアクセスします。
2. プロパティ sn_deploy_pipeline.change_management.config_ci_creation_subflow を見つけます。
   このプロパティの値、つまり使用されているテンプレートを変更するには、切り替え先のサブフローの **sys_id** を特定する必要があります。

   a. 移動先 すべて > フローデザイナー.

   b. [サブフロー] タブを選択します。

   c. [名前] 列で、[テンプレート: CMDB CI が存在しない場合は作成 (Template: Create CMDB CI if not present)]、または [CMDB CI が存在しない場合は作成 (Create CMDB CI if not present)] を検索して開きます。

   d. [その他のアクション] メニューアイコン (⋮) を選択し、[サブフローのコピー] を選択します。

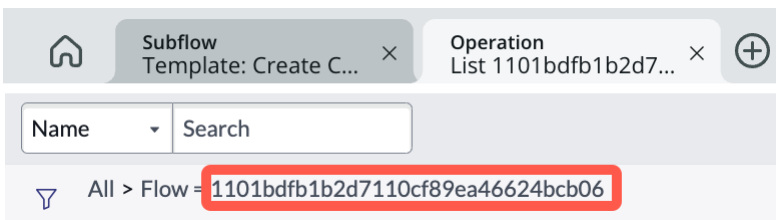
   e. サブフローの名前を入力し、アプリケーションが展開パイプラインスコープ内にあることを確認します。

   f. コピー を選択します。

   g. サブフローを変更し、[保存] を選択します。

   h. サブフローの sys_id を見つけるには、[その他のアクション] メニューアイコン (⋮) を選択し、[実行] を選択します。

   i. sys_id をコピーします。
   sys_id は、[すべて] **>** [フロー**= (Flow=)]** の後、ページの上部に表示されます。



3. **sn_deploy_pipeline.change_management.config_ci_creation_subflow** プロパティで、コピーした sys_id を [値] フィールドに貼り付け、現在の内容を置き換えます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

4. [更新] を選択します。
5. パイプラインと展開 のガイド付きセットアップの **[CI 作成サブフローを構成 (Configure CI Creation Subflow)]** セクションで、[完了としてマーク] を選択します。

AEMC の使用

AEMC を使用すると、アプリの開発と展開をすべて 1 か所で一元的に管理できます。AEMCを使用して組織のアプリ開発を管理する方法について説明します。

の目的 AEMC

App Engine 管理センター (AEMC) は、管理アプリ開発を容易にするために必要なすべてのツールをApp Engineアドミンが利用できるように設計されています。AEMC は、アイデアの送信から展開まで、アプリケーション開発のすべてのステージを管理するための統一されたエクスペリエンスを提供します。アドミニストレーターは、 AEMC を使用して新しいアプリの要求を管理し、開発とコラボレーションの権限を委任できます。アドミニストレーターは、個々の展開要求、テストスイート、およびスケジュール済みの展開に関するインサイトを使用して、展開プロセス全体を監視することもできます。次の一覧は、 AEMC が実現に役立つタスクの概要を示しています。

- 新しいアプリに対して開発者が送信した取り込み要求を管理します。
- ノーコード開発者が送信したアプリ要求を クリエータースタジオ 内から管理します。
- 新しいアプリで作業している開発者が送信したコラボレーション要求を管理します。
- パイプラインを介して移動する準備ができているアプリの展開要求を管理します。
- アプリの展開をスケジュールします。
- ServiceNow環境内の開発者とカスタムアプリに関するインサイトを表示します。

App Engine 管理センター を使用したアプリ開発の管理

本番インスタンスで App Engine 管理センター (AEMC) を使用して、カスタムアプリケーションの要求、展開、アプリケーション、共同開発者を追跡および管理します。

AEMCを使用して、取り込み、コラボレーション、展開要求のレビューなど、組織のアプリ開発を管理できます。AEMCを使用して、組織のカスタムアプリの使用状況に関するインサイトを表示することもできます。

AEMC を使用した要求の管理

App Engine 管理センター (AEMC) を使用して、取り込み、アプリ、コラボレーション、および展開要求を追跡、承認、または却下できます。

より効率的に作業するために、要求をフィルタリングして検索することもできます。

取り込み要求の管理

App Engine 管理センター (AEMC) ダッシュボードの App Engine Studio で、開発者によって送信された取り込み要求の詳細を表示し、それらを承認または拒否します。

始める前に
取り込み要求を AEMC に表示する前に、アプリケーションの取り込み アプリケーションが適切に構成されていることを確認する必要があります。詳細については、「アプリケーションの取り込み の構成」を参照してください。取り込み要求を送信する方法の詳細については、「アプリ開発のためのアイデアの送信」を参照してください。

クリエータースタジオ の制限付きユーザーから送信されたアプリ要求は、[要求] ページの [アプリ] タブで管理されます。詳細については、「クリエータースタジオ からのアプリ要求の管理」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

必要なロール：sn_app_eng_notify.app_engine_admin

手順

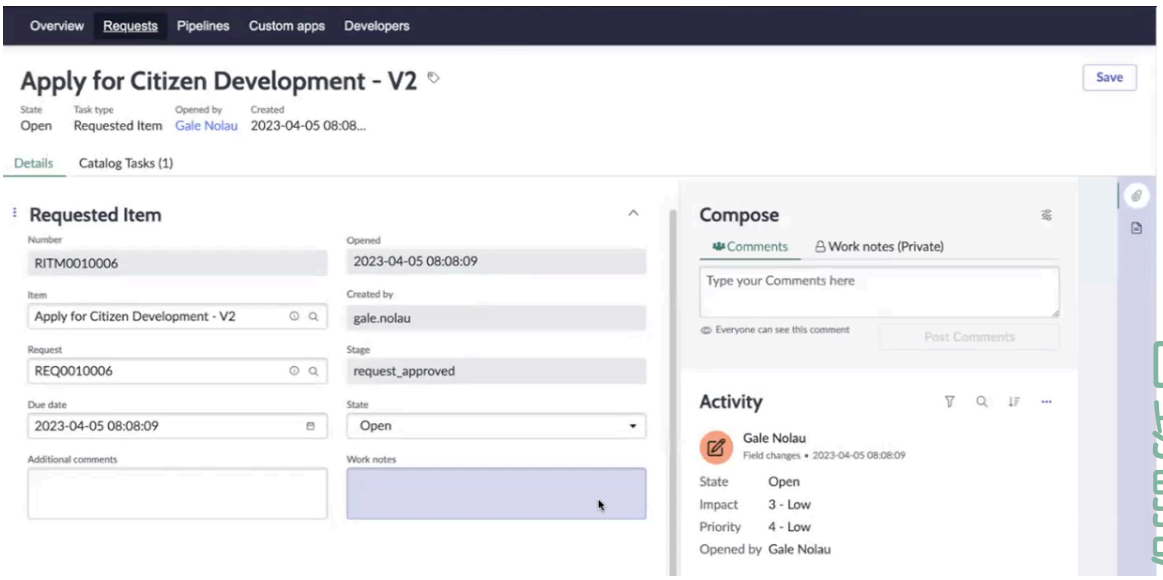
1. 移動先 すべて > **App Engine** > アドミニストレーション > **App Engine** 管理センター.

   AEMC ダッシュボードには、処理待ちの取り込み要求の数が表示されます。

   > **注:**
   > すべての取り込み要求のリストを表示するには、要求の数を選択するか、[要求] ページを選択します。

2. 取り込み要求を選択して、その詳細を確認します。

   処理待ちの取り込み要求

3. [詳細] タブに戻って要求を確認します。

   > **注:**
   > [アドミニストレーション] セクションには [開発インスタンス] フィールドが含まれています。開発者が使用する予定の開発インスタンスが選択されていることを確認します。また、ユーザーがそのインスタンスで定義されていない場合は、メッセージが表示され、そのインスタンスにユーザーを手動で追加する必要があります。詳細については、「Create a user」を参照してください。

4. [管理] セクションの [権限タイプ] リストを使用して、このアプリケーションにグループをプロビジョニングするため、次のいずれかのオプションを選択します。

5. その要求を承認または却下します。
   - 要求が承認されると、ユーザーは App Engine Studio ユーザーグループに追加され、App Engine Studio ユーザーロールが付与されます。AES ユーザーロールにより、開発者は承認されたインスタンスで AES のアプリケーションの作成を開始できます。ユーザーは、プロビジョニングされたインスタンスへのリンクを含むメール通知も受信します。AES ユーザーロールの詳細については、「App Engine Studio とともにインストールされるコンポーネント (Components installed with App Engine Studio)」を参照してください。
   - 要求が却下された場合は、却下メールがユーザーに送信されます。ユーザーは新しい要求を送信できます。ただし、却下された要求は編集できません。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クリエータースタジオ からのアプリ要求の管理

クリエータースタジオ 制限付きロール (sn_creator_studio_restricted_user) を持つユーザーが作成するアプリに関して送信する、App Engine 管理センター (AEMC) での新しいアプリ要求を表示および管理します。

始める前に
必要なロール：sn_app_eng_notify.app_engine_admin

手順

1. 移動先 すべて > **App Engine** > アドミニストレーション > **App Engine** 管理センター.
2. [要求] ページで [アプリ] タブを選択して、すべてのアプリ要求を表示します。
3. アプリ要求を選択すると、詳細が表示されます。
4. 要求を承認または却下します。
   - アプリが組織にとって有用な場合は、要求を承認します。
   - アプリ要求に問題がある場合は、要求を却下します。アプリ要求が拒否された場合、元の要求者は、再検討のための変更を反映したアプリの新しい要求を入力する必要があります。

コラボレーション要求の管理

アドミニストレーターは、アプリケーションのビルドを支援する開発者からの App Engine 管理センター (AEMC) のコラボレーション要求を表示、承認、または却下します。

始める前に
AEMC でコラボレーション要求を表示するには、最初に本番インスタンスでパイプラインと展開を設定する必要があります。そうしないと、要求は元のインスタンス (App Engine Studio (AES) がインストールされたインスタンス) で作成されます。

必要なロール：sn_app_eng_notify.app_engine_admin

このタスクについて
コラボレーション権限を持つ開発者は、アプリケーションの特定の部分にアクセスして開発できます。コラボレーションの要求は、App Engine Studio または クリエータースタジオ から送信される場合があります。

協力者からの要求は、協力者がすでに持っている権限またはロールに応じて、自動的に承認される場合があります。

- AES のコラボレーション要求の場合、AES ユーザーロールを持つユーザーは自動的に承認されます。
- 既にアプリを作成している (または作成したことがある) クリエータースタジオ ユーザーには委託開発権限があり、他のアプリでのコラボレーションが自動的に承認されます。
- クリエータースタジオ ユーザーロールまたは クリエータースタジオ 制限付きユーザーロールを持たない現在の委任開発者は、クリエータースタジオ でのコラボレーションを自動的に承認されます。

コラボレーションと権限の管理の詳細については、「他の開発者とのコラボレーション」を参照してください。

手順

1. 移動先 すべて > **App Engine** > アドミニストレーション > **App Engine** 管理センター.

   AEMC ダッシュボードには、処理待ちのコラボレーション要求の数が表示されます。

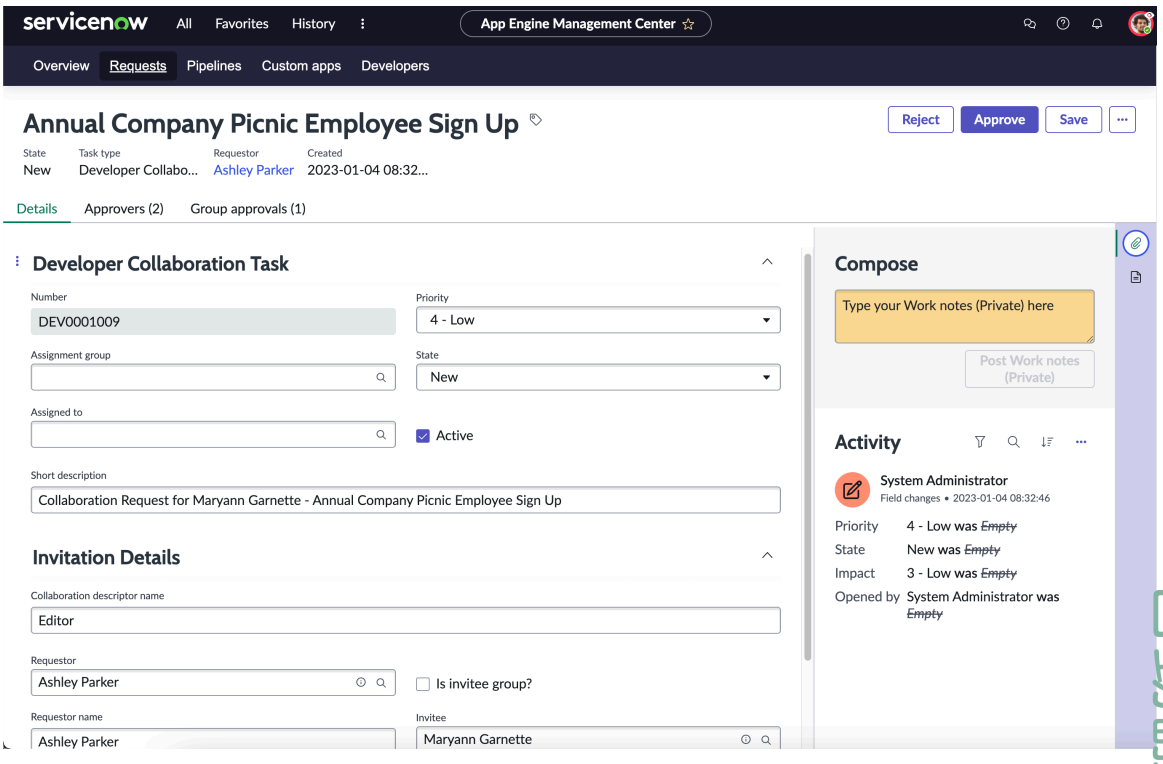
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
すべてのコラボレーション要求のリストを表示するには、要求の数を選択するか、[要求] ページを選択します。

2. コラボレーション要求を選択して、その詳細を確認します。

処理待ちのコラボレーション要求レコード



3. [詳細] タブに戻って要求を確認します。
4. その要求を承認または却下します。
   - 要求が承認されると、協力者として招待されたユーザーが指定されたアプリに開発者として追加されます。その協力者は、コラボレーション記述子で定義されたアプリの一部で作業できるようになりますが、AES で同時に他のアプリを開発することはできません。AES ユーザーロールの詳細については、「App Engine Studio とともにインストールされるコンポーネント (Components installed with App Engine Studio)」を参照してください。
   - 要求が却下された場合、その要求はクローズされ、プライマリ開発者にメールで通知されます。

展開要求の管理

アプリケーションが開発から本番に移行するときに、 App Engine 管理センター (AEMC) で展開要求を確認し、承認または却下します。

始める前に
必要なロール：sn_app_eng_notify.app_engine_admin

このタスクについて
AEMC で展開要求を表示するには、パイプラインを正しく構成する必要があります。詳細については、「パイプラインと展開 の構成」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

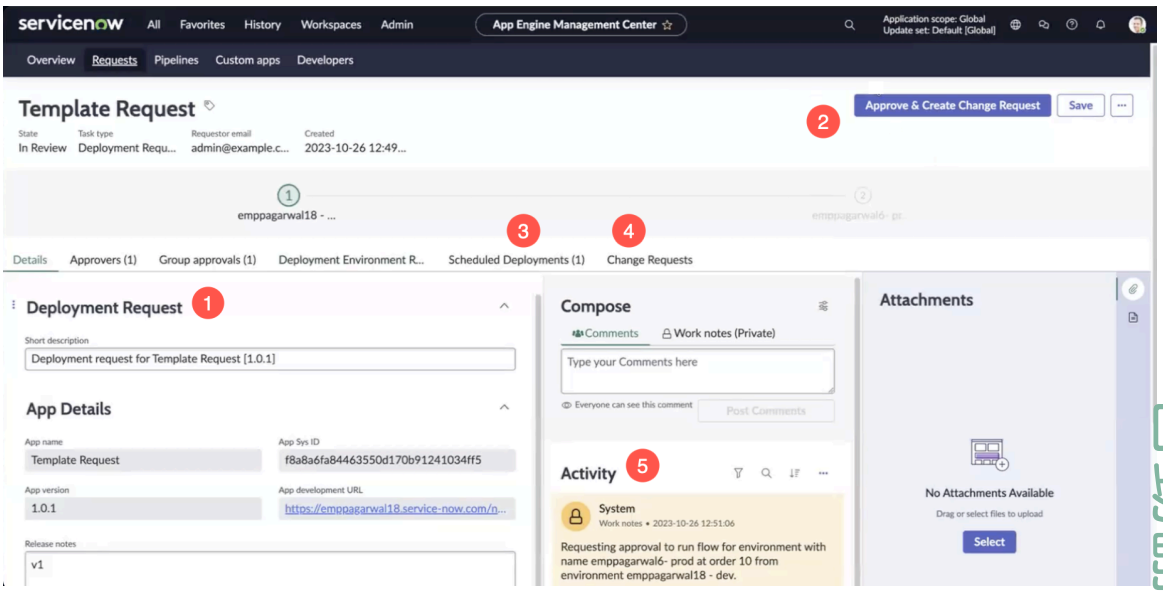
1. 移動先 すべて > **App Engine** > アドミニストレーション > **App Engine** 管理センター.

   AEMC ダッシュボードには、展開要求の数が表示されます。

   > **注:**
   > すべての展開要求のリストを表示するには、要求の数を選択するか、[要求] ページを選択します。

2. 展開要求を選択して、その詳細を確認します。

   処理待ちの展開要求レコード



3. 展開要求の詳細を確認しますが、それにはアプリケーション、展開を要求した開発者、展開プロセスについての詳細などが含まれます。

   各展開要求の上部には、パイプライン内のアプリの現在の位置が表示されます。

   > **注:**
   > 要求がテスト環境にある場合は、アクティビティストリームまたは [展開環境の結果] タブで、自動テストフレームワーク (ATF) (ATF) テストとインスタンススキャンの結果を確認できます。

4. アプリマニフェストのメモとアプリケーションアクティビティ、および開発者が追加した重要な詳細を確認します。
5. 別の App Engine Studio (AES) アドミニストレーターがその展開要求を確認する必要がある場合は、要求のアサイニーを更新して [保存] を選択します。
6. その要求を承認または却下します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- アプリケーションを次の展開ステージに移動するには、[アプリを承認して展開 **(Approve & Deploy app)]** を選択します。
- 既存の 変更管理 プロセスを AEMC と統合している場合は、[変更要求の承認と作成 **(Approve & Create Change Request)]** を選択します。このアクションにより変更要求が作成され、[変更要求] タブで表示および監視できます。
- アプリケーションの準備ができていないか、次の展開ステージに移行した場合に問題が発生する可能性がある場合は、[却下] を選択します。[作業メモ] を追加して、却下された理由と、アプリケーションを展開するために必要な変更を特定します。

注:
変更管理 ロールがアサインされていない限り、[変更要求] タブのほとんどの情報は読み取り専用です。変更要求を監視し、ステータスの変化を確認できます。ただし、変更管理 権限がある場合は、開始予定日と終了予定日、ステータスなど、変更要求の特定のフィールドを更新できる場合があります。

AEMC での要求のフィルタリングと検索

App Engine 管理センター (AEMC) アプリケーションには、要求を見つけるためのツールがあります。要求レコードのグローバル検索を実行するか、現在の要求のリストをフィルタリングして、作業する要求を見つけることができます。

要求のフィルタリング

[要求]、[パイプライン]、[カスタムアプリ]、および [開発者] のページでは、いくつかの異なる基準で要求のリストをフィルタリングできます。

フィルターを作成するには、フィルターアイコン ( ) を選択し、[詳細ビュー] を選択して、基準を追加します。フィールド、演算子、および値を含む条件を追加して、フィルターを作成します。既存のフィルターを使用して作成した内容を保存し、フィルターを使用できるユーザーを制限することができます。**[or]** および **[and]** コネクタを使用して、より複雑なフィルターを作成します。必要な数のフィルターを追加し、[更新] を選択します。

[パイプライン] タブでフィルタリングすると、フィルタリング基準に一致する要求があるインスタンスのみで情報が表示されます。たとえば、パイプラインの 3 つのインスタンスで要求データが表示される場合、そのうちの 1 つのインスタンスでのみ使用されるアプリ名でフィルタリングすると、そのインスタンスのみが結果を返します。

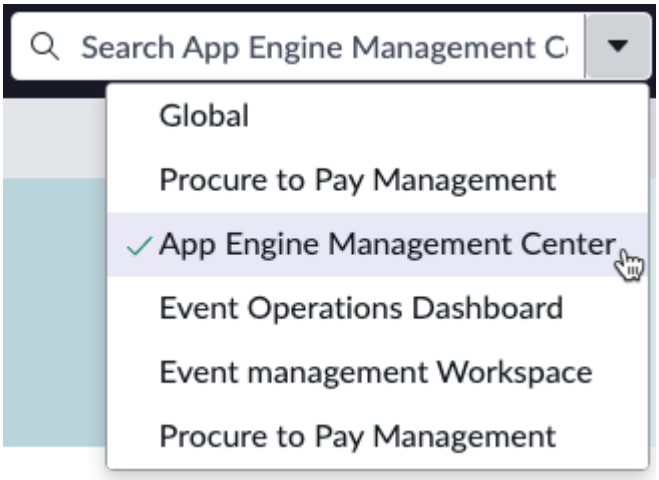
要求の検索

任意の AEMC 画面の上部にある [検索] フィールドを使用して、送信された要求を検索できます。要求番号の全部または一部 (アスタリスクのワイルドカード文字を使用) を入力し、[結果を表示] を選択します。

自動翻訳

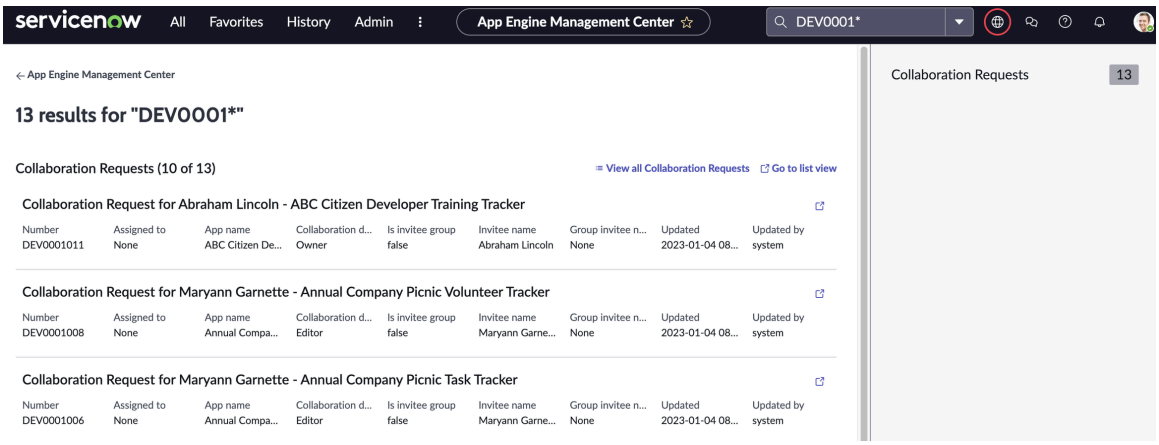
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

検索



たとえば、「DEV0001*」と入力して [結果を表示] を選択すると (または単に **Enter** キーを押すと)、DEV0001 で始まるすべてのコラボレーション要求のリストが返されます。

検索結果



次に、レビューするレコードを選択できます。

AEMC を使用したカスタムアプリの管理

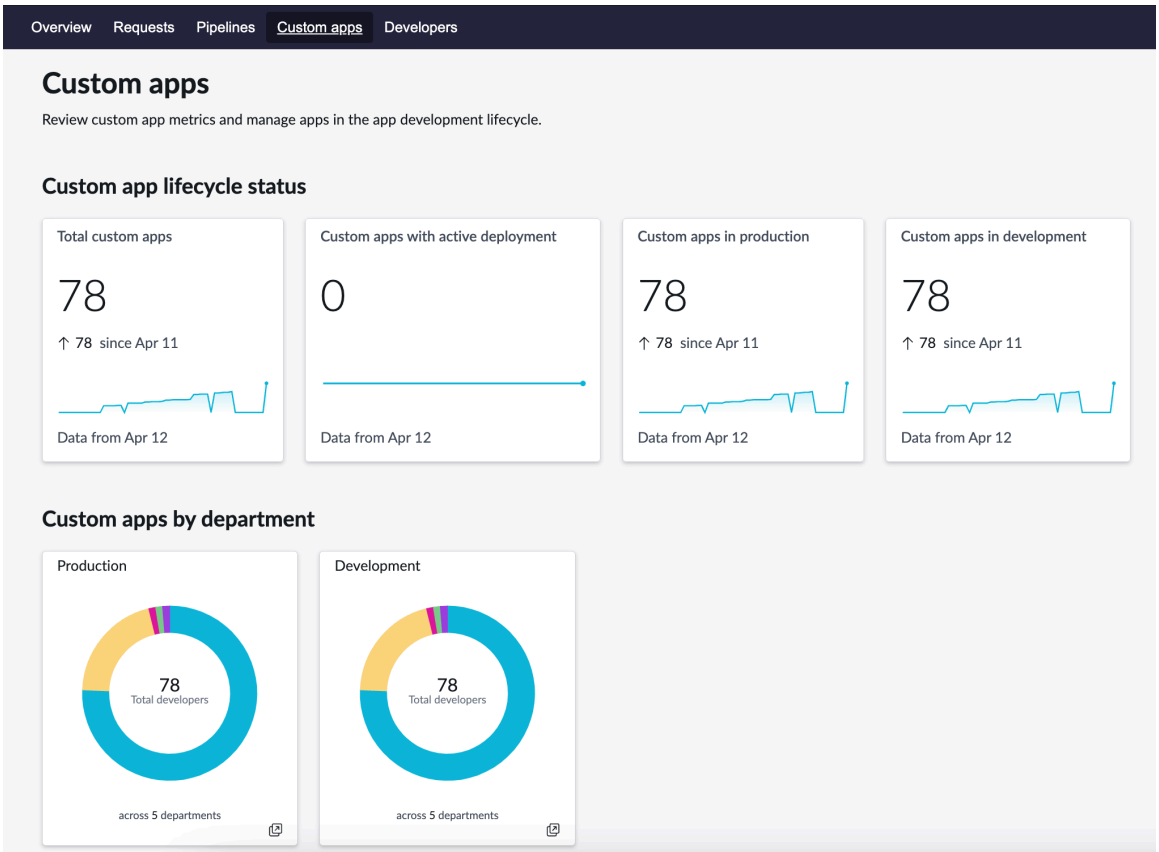
App Engine 管理センター (AEMC) を使用して、カスタムアプリのメトリクスを確認し、開発ライフサイクルを通じてアプリを管理します。

AEMC 概要ページの App Engine 定着メトリクスセクションには、開発環境と本番環境にあるアプリの数が表示されます。各 [カスタムアプリ] カードで大きな番号を選択して、より多くの情報にアクセスします。

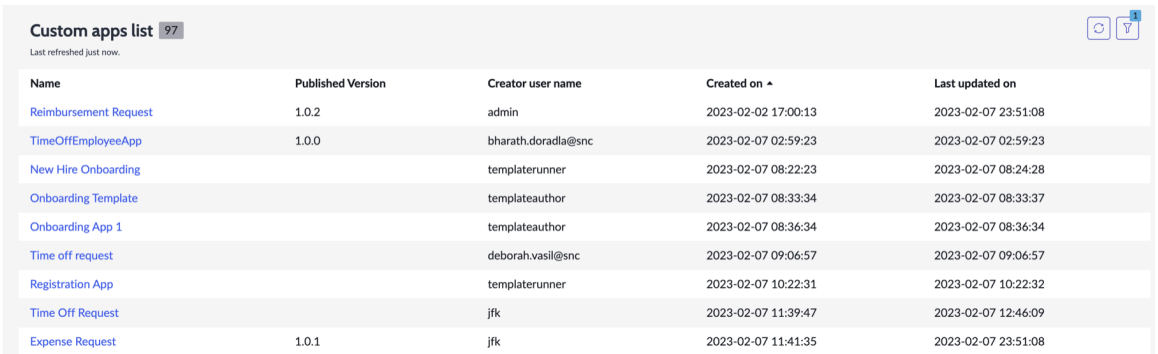
AEMC の [カスタムアプリ] ページには、より詳細なメトリクスとアプリケーションの完全なリストが表示されます。[カスタムアプリのライフサイクル状況 (Custom app lifecycle status)] セクションの各タイルには、過去 90 日間の傾向データが表示されます。[カスタムアプリ] リスト内のすべてのアプリを表示するか、フィルターを使用して特定のタイプのアプリケーションのみに制限することができます。傾向グラフを選択して、これらの基準でリストをフィルタリングします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



また、[カスタムアプリ] ページには、すべてのアプリケーションが個別にリストされ、アプリケーションごとに 1 つのレコードが表示されます。アプリが本番環境に公開されている場合は、[発行済みのバージョン] 列にバージョン番号が表示されます。[発行済みのバージョン] 列が空白の場合、アプリは開発中には存在しますが、本番環境に公開されていません。



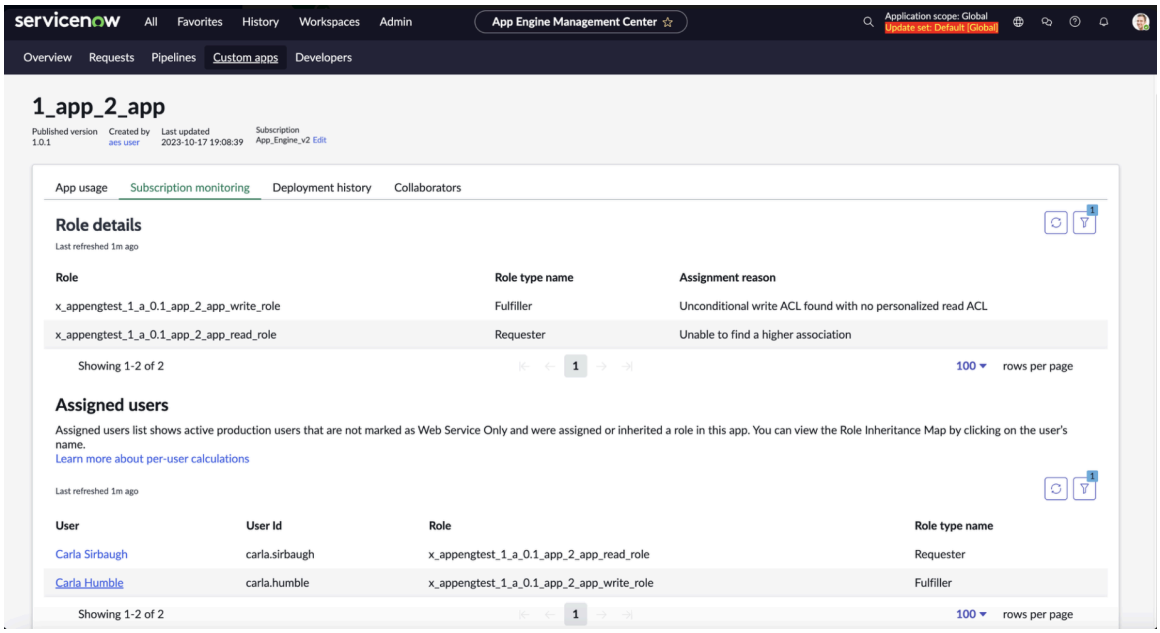
Custom apps list 97

Last refreshed just now.

Name	Published Version	Creator user name	Created on ▲	Last updated on
Reimbursement Request	1.0.2	admin	2023-02-02 17:00:13	2023-02-07 23:51:08
TimeOffEmployeeApp	1.0.0	bharath.doradla@snc	2023-02-07 02:59:23	2023-02-07 02:59:23
New Hire Onboarding		templaterunner	2023-02-07 08:22:23	2023-02-07 08:24:28
Onboarding Template		templateauthor	2023-02-07 08:33:34	2023-02-07 08:33:37
Onboarding App 1		templateauthor	2023-02-07 08:36:34	2023-02-07 08:36:34
Time off request		deborah.vasil@snc	2023-02-07 09:06:57	2023-02-07 09:06:57
Registration App		templaterunner	2023-02-07 10:22:31	2023-02-07 10:22:32
Time Off Request		jfk	2023-02-07 11:39:47	2023-02-07 12:46:09
Expense Request	1.0.1	jfk	2023-02-07 11:41:35	2023-02-07 23:51:08

リストからアプリケーション名を選択すると、アプリの使用率データ、サブスクリプション監視の詳細、展開履歴、協力者 (存在する場合) が表示されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



[App Engine Studio で開く] を選択してアプリのコンテンツを表示し、詳細情報にアクセスします。App Engine Studio アプリケーションが新しいブラウザーウィンドウで開きます。

アプリ使用率

[アプリ使用率] タブを選択して、本番インスタンスのアプリの使用率データの概要を表示します。データには、現在の月に集計されたユーザー数、挿入数、および更新数が含まれます。

- ユーザー数：アプリケーションにアクセスしたユーザーの数。
- 挿入数：アプリケーション内のテーブルの新しいレコードの数。
- 更新数：更新されたアプリケーション内のレコードの数。

アプリケーションの使用率データを知ることには、いくつかのメリットがあります。

- アプリが使用されているかどうかを検出します。ユーザーはアプリを使用していますか？レコードを作成していますか？そうでない場合は、アプリを更新または削除することを検討してください。
- アプリの問題を調査して修正します。データがいつどのように変更されたかを知ることで、問題が発生した場所を特定できます。
- アプリのトラフィックが常に増加する可能性がある状況を確認して、インスタンスの処理能力を負荷分散する必要があるかどうかを判断します。

[ユーザーエクスペリエンスアナリティクス] ダッシュボードセクションでエクスペリエンスを選択すると、アクティブなユーザー、セッション、ページビューなどの詳細データを表示します。このデータを理解して使用する方法の詳細については、「ユーザーエクスペリエンスアナリティクスを使用する」を参照してください。

サブスクリプション監視

カスタムアプリケーションで使用されるロールと、ライセンスとサブスクリプションへの影響を理解します。このセクションのデータには、各ロールと、各ロールにアサインされているユーザーの詳細が含まれています。

各アプリケーションのサブスクリプションとライセンスのデータ情報を知ることには、いくつかのメリットがあります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- カスタムアプリケーションでアクティブなロールを検出します。
- 各ロールがアサインされているユーザーと、そのユーザーが持つ権限レベルを検出します。
- 各ライセンスタイプのコストへの影響と、アプリ内での使用場所を確認します。

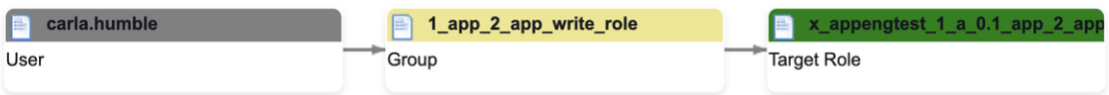
システムアドミニストレーターは、アプリがマッピングされているサブスクリプションを確認し、サブスクリプションを変更できます。いくつかの要因がこのセクションの内容に影響します。

- アプリが App Engine サブスクリプションにマッピングされている場合は、[サブスクリプション監視 **(Subscription Monitoring)]** タブが表示されます。
- アプリが ITSM など別のサブスクリプションにマッピングされている場合は、[サブスクリプション監視 **(Subscription Monitoring)]** タブが表示されません。
- アプリが App Engine にマッピングされ、別のサブスクリプションに切り替わり、さらに App Engine に戻った場合は、[サブスクリプション監視 **(Subscription Monitoring)]** タブが再度表示されます。

App Engine アドミニストレーターには、サブスクリプションを変更する権限がありません。ただし、アプリが本番環境にあり、[サブスクリプション監視 **(Subscription Monitoring)]** タブがある場合、App Engine アドミニストレーターはアプリが App Engine サブスクリプションにマッピングされていると推測できます。[サブスクリプション監視 **(Subscription Monitoring)]** タブがない場合、そのアプリは App Engine にマッピングされていません。

[割り当てられたユーザー **(Assigned Users)]** セクションでユーザーの名前を選択すると、ロール継承マップを表示できます。このマップは、このユーザーが親ロール、グループアサイン、または別の継承のいずれから、どのようにロールを継承したかを示します。この情報は、いずれかのユーザーに不適切なロールがアサインされており、それを変更したい場合に対応するのに役立ちます。

ロール継承マップ



アプリの展開

[展開履歴] タブで、アプリが実行した展開のリストを表示します。

展開履歴情報を知ることには、いくつかのメリットがあります。

- アプリが本番環境に展開されたときに欠陥がある場合は、アプリがいつ展開されたかをすばやく確認し、問題を追跡できます。
- アプリが複数回展開されている場合は、複数回の展開にわたって変更内容をすばやく追跡できます。
- アプリが本番環境に展開されている場合は、アプリの展開を承認したユーザーをすばやく確認できます。

アプリ協力者

[協力者] タブを選択して、アプリの協力者を表示します。すべての協力者は開発インスタンスに保存されます。

問題や欠陥を修正するためにアプリケーションでクイックアクションを実行する必要がある場合は、アプリを変更できるユーザーとその権限をすばやく確認できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

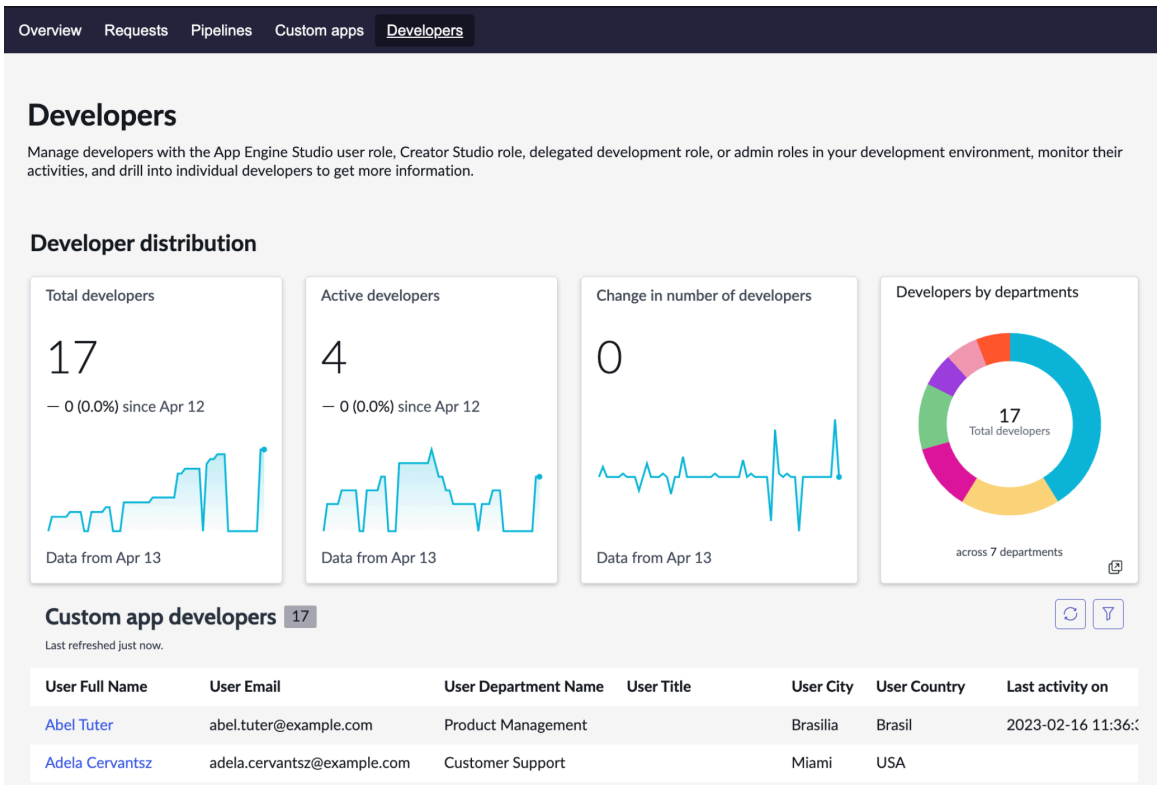
AEMC を使用した開発者の管理

App Engine 管理センター (AEMC) を使用して、App Engine Studio と クリエータースタジオ のアプリで作業している開発者の詳細を表示します。

AEMC 概要ページの App Engine 定着メトリクスセクションには、App Engine Studio (AES) で作業している開発者の数とその部門が表示されます。[開発者] ページを選択して、より多くの情報にアクセスします。

AEMC の [開発者] ページには、開発環境で AES ユーザーロール、AES ユーザー制限付きロール、クリエータースタジオ ユーザーロール、クリエータースタジオ 制限付きユーザーロール、 または委託開発ロールを持つすべての開発者が表示されます。このページでは、アクティビティを監視し、個々の開発者を選択して詳細情報を取得できます。

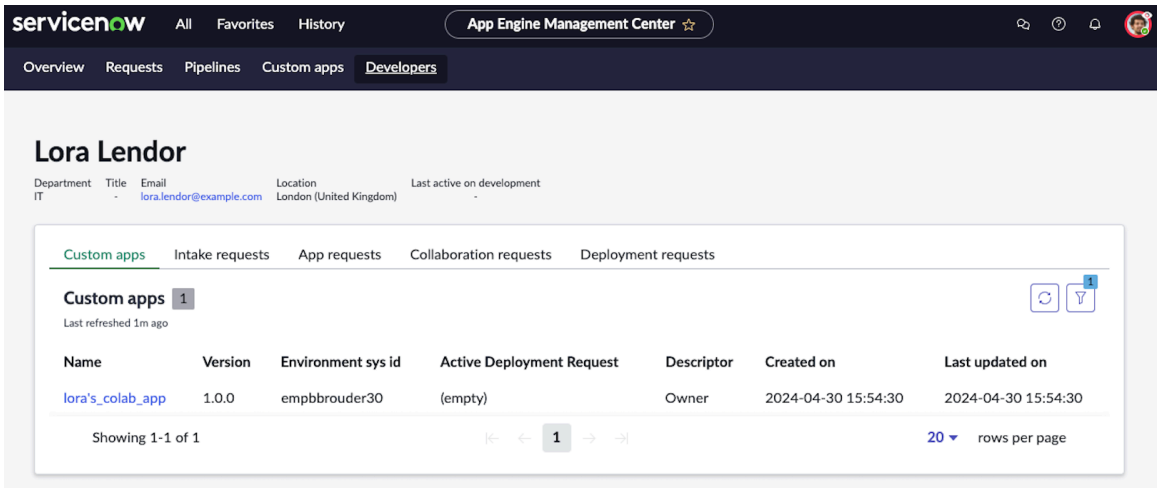
注:
開発者タブから開発者を削除するには、クリエータースタジオ、App Engine Studio、委託開発、およびアドミンロールのすべての権限を取り消すか、開発インスタンスでアカウントを非アクティブ化します。



開発者レコードを選択すると、作成したカスタムアプリとその取り込み要求、アプリ要求、コラボレーション要求、および展開要求に関する詳細情報が表示されます。各タブのコンテンツをフィルタリングして特定の結果を探したり、このページからアプリを選択して、その使用率、展開履歴、および協力者を表示したりできます。表示されたレコードのいずれかを選択して、履歴を表示するか、要求を承認、却下、または削除します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



パイプラインと展開 を使用した展開の管理

App Engine 管理センター (AEMC) でパイプラインと展開を使用して展開を管理します。

AEMC でのアプリの展開のスケジュール

App Engine 管理センター (AEMC) を使用し、システムの負荷を分散するために、後で本番環境にアプリを展開するようにスケジュールします。

始める前に

必要なロール：admin または app_engine_admin

このタスクについて

パイプラインを介してアプリを展開するには、ある程度の処理能力が必要です。組織のニーズに応じて、他の場所で必要な処理能力が少ないときや、一般的に都合の良いときに展開をスケジュールすることができます。

手順

1. 移動先 すべて > **App Engine** > アドミニストレーション > **App Engine** 管理センター.
2. [要求] ページで、本番環境に移行する準備ができているアプリケーションの展開要求を選択します。
3. [アプリを展開] を選択します。
4. 今すぐアプリを展開するか、将来の展開時間を設定します。
   - 今すぐ展開するには、[展開] を選択します。
   - 将来展開するには、[後で使用するためにスケジュール] を選択します。
5. オプション: 後で展開をスケジュールした場合は、日時ピッカーを使用してアプリを展開するタイミングを選択し、**[OK]** を選択して、[展開] を選択します。
   アクティビティストリームには、展開の詳細と、選択した日時に展開されるアプリのバージョンが表示されます。アプリは、選択した展開時間の 15 分以内に展開されます。この期間を変更する場合は、次の場所に移動して、展開ワークフローがスケジュール済み展開レコードをチェックする頻度を更新します すべて > システム定義 > スケジュール済みジョブ > スケジュール済みの展開.
6. **[Save** (保存)] を選択します。

AEMC での展開要求の更新

App Engine 管理センター (AEMC) で展開要求の詳細を変更します。

始める前に

必要なロール：admin

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > **App Engine** > アドミニストレーション > **App Engine** 管理センター.
2. [要求] ページで、更新する展開要求を選択します。
3. [スケジュール済み展開] タブで、更新する展開レコードを選択します。
4. [スケジュール済み展開日] フィールドで、アプリを本番環境に展開する更新された日時を選択します。
5. [保存] を選択します。

AEMC でのスケジュール済み展開のキャンセル

アプリを本番環境に展開する必要がなくなった場合は、App Engine 管理センター (AEMC) でスケジュール済みのアプリの展開をキャンセルします。スケジュール済みの展開要求をキャンセルすると、スケジュール済みの展開と要求自体もキャンセルされます。

始める前に
必要なロール：admin

手順

1. 移動先 すべて > **App Engine** > アドミニストレーション > **App Engine** 管理センター.
2. [要求] ページで、更新する展開要求を選択します。
3. 展開要求で、[展開をキャンセル] を選択します。

パイプラインと展開 アプリの [展開要求] フォーム

[展開要求] フォームには、App Engine 管理センターの [パイプラインと展開] セクション内からアクセスします。

[展開要求] フォームを表示するには、次の場所に移動します: すべて > **App Engine** > アドミニストレーション > **App Engine** 管理センター. 次に、[要求] ページを選択し、レコードを開きます。

展開要求フォームに含まれるフィールドを次の表に示します。

[展開要求] フォーム

フィールド	説明
数値	展開要求を追跡する番号。
アサイン先グループ	展開要求がアサインされているグループ。
ステータス	展開要求のステータス。すべての状況は、パイプラインフローによって自動的に更新されます。 新規 送信された要求は新規です。 レビュー中 送信された要求はレビューする準備ができています。 クローズ済み (公開済み) 送信された要求が本番インスタンスに展開されました。 却下してクローズ 送信された要求は公開する準備ができていません。展開プロセス中に関連する承認レコードで [却下] を選択すると、こ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[展開要求] フォーム (続く)

フィールド	説明
	のステータスが有効になります。申請が却下される理由を入力するように求められます。これらのコメントは、[要求者の詳細] 関連リストの [要求者メール] フィールドに含まれているアドレスにメールで送信されます。 クローズ済み (失敗) このステータスは、何らかの理由でパイプラインフローまたはサブフローが失敗した場合に有効になります。 キャンセル 送信された要求がキャンセルされました。
アサイン先	この要求がアサインされているアサイン先グループのユーザー。
簡単な説明	要求の簡単な説明。
リリースノート	公開後にこのアプリケーションの ServiceNow Store に表示されるテキスト。
アプリの詳細	
アプリ名	送信されたアプリケーションの名前。
アプリバージョン	送信されたアプリケーションのバージョン。
アプリの Sys ID	送信されたアプリケーションのシステム ID。
App Development URL	App Engine Studio、クリエータースタジオ、または ServiceNow スタジオ のアプリへのリンク。
要求者の詳細	
要求者の姓名	アプリの展開を要求したユーザーの姓名。
要求者ユーザー ID	アプリの展開を要求したユーザーの ID。
要求者メール	アプリの展開を要求したユーザーのメールアドレス。
展開の詳細	
作成元環境	作成元環境のインスタンス。
パイプライン	展開に使用されているパイプライン。
現在の環境	アプリのターゲット環境。
メモ	
追加コメント (顧客に表示)	アプリのマニフェストなど、顧客と共有する追加のコメント。アプリ内の各ファイルタイプの数が一覧表示され、ATF またはインスタンスのスキャン結果が表示されます。
作業メモ	内部メモ。

フォームを保存すると、承認関連の情報用の追加タブが表示されます。App Engine アドミンは、これらのタブを使用して要求を承認できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アプリケーションの計画立案

アプリケーション開発プロセスは計画立案から始まります。そのアプリケーションがどのように機能するか、誰が使用するか、それによってユーザーエクスペリエンスがどのように向上するかを検討してください。

ネクストエクスペリエンス での計画立案

アプリ取り込み

入念に計画されたアイデアがあれば、App Engine Studio (AES) で承認および開発するために アプリケーションの取り込み 経由で送信する準備ができています。

アプリケーションレコードのテーブルとフィールドの定義

アプリケーションは、テーブルとレコードを使用して、インシデント、問題、CMDB などのデータとプロセスを管理します。

セキュリティ：App Engine Studio のロールと権限

アドミニストレーターはロールを割り当てて、AES を構成または使用する権限をチームメンバーに付与します。

UI16 での計画立案

委託開発

委託開発により、システムアドミニストレーターのロールを持たない指定ユーザーが、ServiceNow AI Platform でアプリケーションを開発または展開できるようになります。

テーブルのスキーママップ

スキーママップは、テーブルの詳細とテーブル間の関係を視覚的に表示し、アドミニストレーターがデータベーススキーマのさまざまな部分を表示して、簡単にアクセスできるようにします。

テーブルアドミニストレーション

アドミニストレーターは、テーブルアドミニストレーションを使用してデータベース構造を表示および変更できます。

チーム開発

チーム開発 は、複数の非本番 ServiceNow インスタンス上の並列開発をサポートします。

関連アプリケーションと機能

セキュリティ：アクセス制御

デフォルトでは、スコープ対象のアプリケーションに対してアプリケーション管理が有効になっている場合、スコープ対象のアプリケーションのアクセス制御 (ACL) ルールが適用されます。スコープ対象のアプリケーションの ACL ルールが見つからない場合は、グローバル ACL ルールを適用できます。

セキュリティ：エッジ暗号化

ServiceNow® エッジ暗号化は、社内の機密データを暗号化し (送信中に暗号化)、インターネット経由で ServiceNow インスタンスに送信します。インスタンスでは保存時もデータは暗号化されたままです。

セキュリティ：ロール

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

UI ビルダー インスタンスのセキュリティとロールを設定します。UI ビルダー のセキュリティとロールは、アプリケーションスコープ、ドメインセパレーション、および保護ポリシーの設定によって制御されます。

セキュリティ：UI ポリシー

UI ポリシーを作成して、タスクのカスタムプロセスフローを定義します。

セキュリティ：ユーザーとグループ

ServiceNow AI Platform ユーザー管理機能を使用して、新しいユーザーとグループを作成します。

ServiceNow アプリケーションリポジトリ

カスタムアプリケーションを開発してテストした後、アプリケーションを ServiceNow アプリケーションリポジトリに公開することで、会社のインスタンスで使用できるようにすることができます。

ソースコントロールの統合

アプリケーション開発者が Git ソースコントロールリポジトリと統合できるようにします。非本番インスタンスから、アプリケーションの複数のバージョンを保存および管理します。

アプリ開発のためのアイデアの送信

入念に計画されたアイデアがあれば、App Engine Studio (AES) で承認および開発するためにアプリケーション取り込み経由で送信する準備ができています。

始める前に

まだ [市民開発の申請] 標準カタログアイテムをアクティブ化していない場合は、この手順を実行する前にアクティブ化する必要があります。

必要なロール：なし

このタスクについて

取り込み要求プロセスは、アプリ開発のアイデアの送信を簡素化します。アプリケーション取り込みを使用すると、アイデアはレビューのために App Engine Studio アドミニストレーターと共有されます。アドミニストレーターは、アイデアのビジネス価値の販売実績に基づいて、要求を承認または拒否します。

アイデアが承認されると、開発者は App Engine Studio が提供するガイド付きの直感的なアプリ開発環境を使用してアプリをビルドできます。

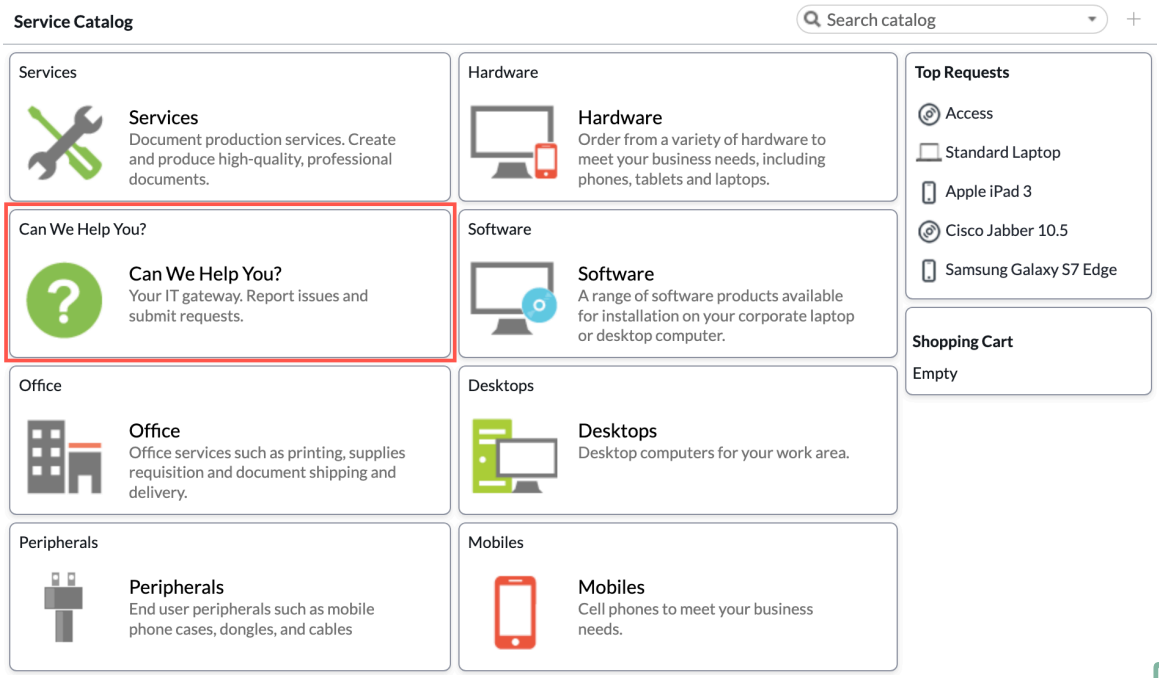
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

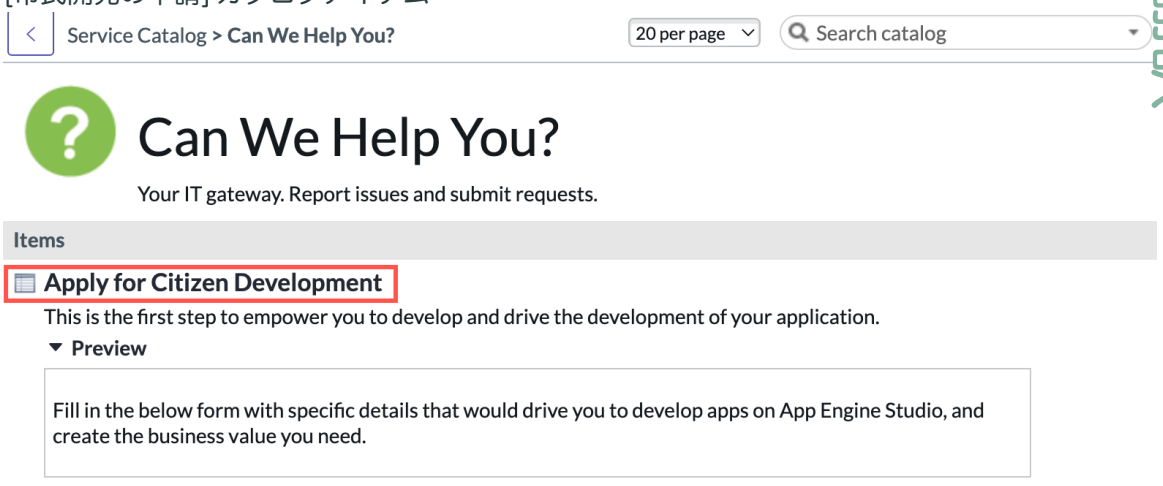
1. 移動先 すべて > セルフサービス > サービスカタログ.

サービスカタログ



2. サービスカタログ で [何かお困りですか？] カテゴリを選択します。

[市民開発の申請] カタログアイテム



3. [市民開発の申請] カタログアイテムを選択して、[アプリケーション取り込み] フォームを開きます。
4. フォームのフィールドに入力します。

[市民開発の申請] フォームのフィールド

フィールド	説明
アプリケーション名	アプリの一意の名前。
アイデアの簡単な説明	アプリケーションの簡単な説明。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
プロセスは繰り返し可能ですか？	アプリのアイデアをビジネスの他の領域で使用できるかどうかを示すオプション。
メールまたは Excel ベースのプロセスはありますか？	このアプリケーションで置き換える既存のプロセスがあるかどうかを示すオプション。
これには何人のユーザーが関与していますか？	作成されたアプリケーションを使用するユーザーの数。
これに機密/PII データは含まれますか？	アプリケーションがユーザーの健康、財務、または個人識別情報を使用するかどうかを示すオプション。
他の部門のデータが必要ですか？	他の部門がアプリケーションにデータを提供する必要があるかどうかを示すオプション。
このアプリケーションのデータにアクセスできるユーザーは誰ですか？	アプリケーションへのアクセスを必要とするユーザーまたはグループ。

5. [今すぐ注文] を選択します。

タスクの結果

アドミニストレーターが要求を承認すると、App Engine Studio でアプリのビルドを開始できます。アプリをビルドするためのアクセス権を含む確認メールが届きます。

要求を承認するアドミンの場合は、「AEMC 要求の管理」の詳細を参照してください。

アプリケーションのデータを指定

最も基本的な形式では、ServiceNow AI Platform でアプリケーションをビルドすることは、何らかの方法でデータを格納して使用することを意味します。アプリケーションのデータモデルの定義はユーザー次第であり、ビルドするアプリケーションのタイプに基づいています。

次の 3 つの方法を自由に組み合わせて、アプリケーションのデータモデルを定義できます。

- 既存のテーブルとフィールドを再利用してレコードデータを格納します。たとえば、既存のタスクテーブルを使用して、インシデントや問題などの既存のレコードタイプを処理します。通常、このオプションは、グローバルスコープ内のテーブルまたはすべてのアプリケーションスコープでデータを使用できるようにするテーブルでのみ使用できます。
- 既存のテーブルを拡張してレコードデータを格納します。たとえば、タスクテーブルを拡張して VIP インシデントを作成します。拡張テーブルは親テーブルからフィールドを継承しますが、必要に応じて新しいフィールドを追加できます。
- 新しいテーブルとフィールドを作成してレコードデータを格納します。利用可能なさまざまなツールを使用して、新しいテーブルを作成できます。App Engine Studio へのアクセス権がある場合は、アプリケーションをビルドするときに テーブルビルダー を使用して新しいテーブルとフィールドを作成します。または、ServiceNow AI Platform の基本的なテーブルアドミニストレーションを使用して、アプリケーション開発とは別にテーブルとフィールドを作成できます。

その他のリソース

これらの概念については、App Engine Studio、テーブルビルダー、およびテーブルアドミニストレーションのドキュメントで詳しく説明されています。

アプリケーションのデータモデルの作成

App Engine Studio でビルドするアプリにデータを追加します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テーブルアドミニストレーション

現在、テーブルアドミニストレーションには、テーブルを管理するためのより包括的な機能とオプションが含まれています。

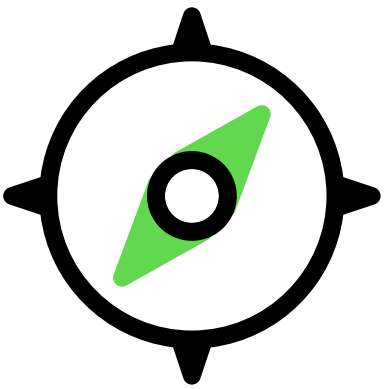
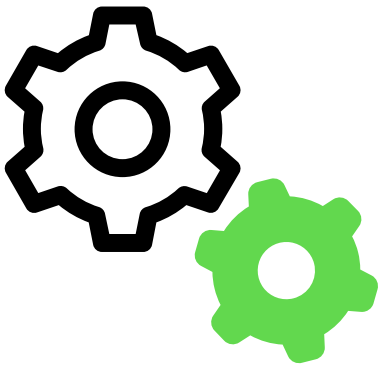
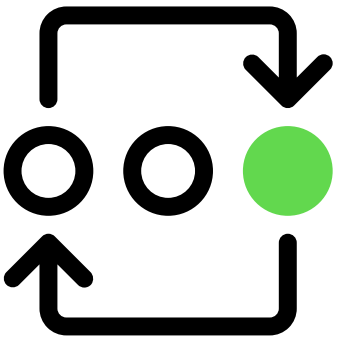
Table Builder

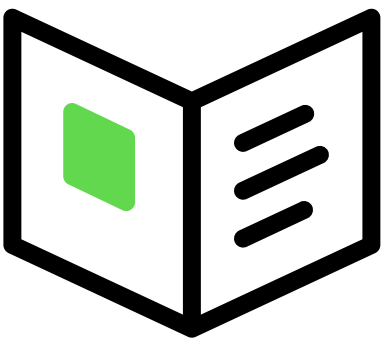
テーブルビルダー を使用すると、ServiceNow AI Platform でテーブルとフォームを視覚的にビルドできます。

委託開発

委託開発 は、プラットフォーム、開発者権限、アプリケーションリソース、およびデータアクセスに関するガバナンスを維持しながら、IT 以外のアプリケーション開発を可能にします。システムアドミニストレーターロールを持たない指定ユーザーは、 ServiceNow AI Platformでアプリケーションを開発または展開できます。

開始するには

探索	構成	管理
		
委託開発機能と概念について説明します。	権限とユーザーを構成します。	権限とユーザーを管理します。

参照

委託開発展開とリリースのステータスに関する詳細を取得します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

トラブルシューティングとサポート

- について質問し、他のリソースを調べる 委任開発 の ServiceNow コミュニティ
- 既知のエラーポータルで既知のエラー記事を検索する
- 連絡先 カスタマーサービス & サポート

役に立つリソース

役立つ情報を提供できる ServiceNow リソースは次のとおりです。

ServiceNow コミュニティ

ServiceNow コミュニティ

Customer Success Center

Customer Success Center

ディベロッパー

developer.servicenow.com

Impact

http://impact.servicenow.com

ServiceNow University

ServiceNow University

Now Create

Now Create

パートナー

https://www.servicenow.com/partners.html

ServiceNow

http://servicenow.com

ServiceNow Store

http://servicenow.com

支える

- https://support.servicenow.com/now
- 既知のエラーポータル

委託開発 の探索

委託開発により、システム admin のロールを持たない指定されたユーザーが、ServiceNow AI Platform でアプリケーションを開発または展開できるようになります。

委託開発の概要

アプリケーション固有の admin ロールまたはシステムレベルの admin ロールがある場合は、アプリケーションレベルで指定された開発者にアプリケーション開発を委任することができます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

委託開発 ユーザー

ユーザー

ユーザー	説明
システムアドミン	システムアドミニストレーターは、アドミン、開発者、または展開リソースをアプリケーションに委任できます。
代理管理者	代理アドミニストレーターは、開発者または展開リソースをアプリケーションに委任できます。
アプリケーションアドミニストレーター	アプリケーション管理 が有効になっている場合、ターゲットアプリケーションのアプリケーションアドミニストレーターのみが開発者をアプリケーションに委任できます。アプリケーション管理が有効になっていない場合、アドミンユーザーが開発者を委任できます。
委任開発者	委任開発者は、このプラットフォームでアプリケーションを開発できます。
展開リソース	展開リソースは、プラットフォーム上で委託開発者によって開発されたアプリケーションを展開できます。

委託開発 のメリット

委託開発 のユースケース

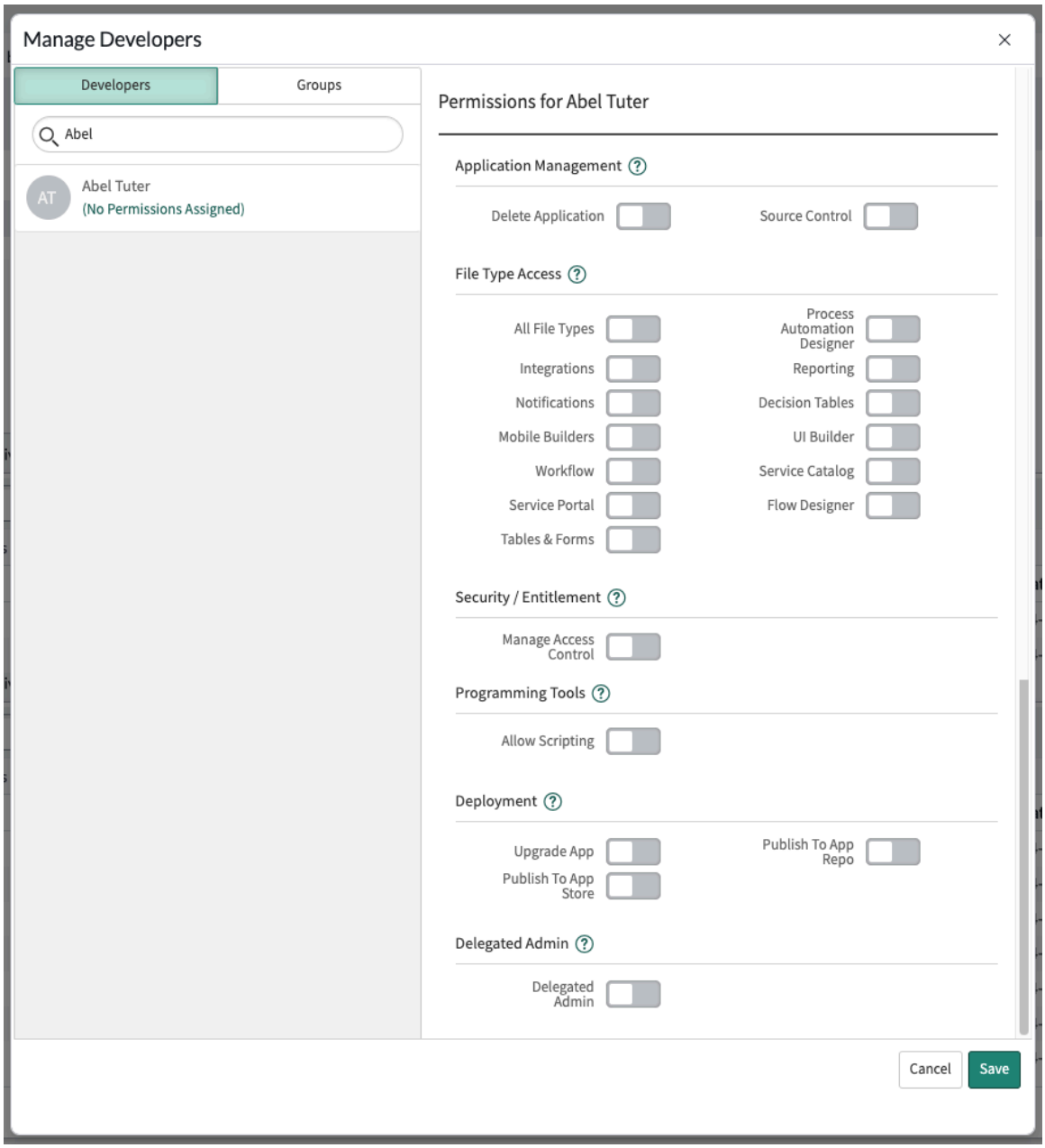
利益	機能	ユーザー
ユーザーがすべての委託開発機能にアクセスするための個別のロールを追加する必要がなくなります。	ユーザーに 代理アドミン ロールを割り当てて、すべての権限へのアクセス権を一度に付与できます。	システムアドミン
開発の保護 • ソースコントロール権限のアサイン • 削除権限のアサイン	技術標準を管理して、アプリリソースにアクセスできるユーザーとグループを指定できます。	• システムアドミン • 代理管理者
インスタンス固有の展開ユーザーロール	アドミン以外のユーザーが特定のインスタンスのすべてのアプリケーションをインストールまたはアップグレードできるようにするロールをアサインできます。	展開リソース
ユーザー権限 • 委託開発 の管理 • 開発者権限	個人またはグループが admin ロールなしでアプリをビルドできるようにする開発者権限を割り当てることができます。	• システムアドミン • 代理管理者

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

開発者権限と展開権限の例

システムアドミニストレーターは、開発インスタンス内の特定のアプリケーションに対して、特定の開発者権限と展開権限を割り当てることができます。開発者権限と展開権限の詳細については、「開発権限の担当者への委任」を参照してください。



次に探索する内容

委託開発を構成して使用する方法の詳細については、以下を参照してください。

- 委託開発の構成
- 委託開発 の管理

関連情報

アプリケーションファイル

Install a ServiceNow Store application

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

Install an update to a ServiceNow Store application

アプリケーションの共有

委託開発アプリケーション固有の権限

開発者権限と展開権限は、アプリケーション固有です。アドミニストレーターは、各アプリケーションの開発者権限 (およびオプションで展開権限) を設定する必要があります。

アプリケーション固有の権限

あるアプリケーションのすべてのファイルタイプにアクセスする権限を持っている開発者が、別のアプリケーションの開発者権限を持っているとは限りません。アドミニストレーターは、開発者権限を設定するためには、アプリケーションファイルとシステムテーブルの構造に精通している必要があります。たとえば、詳細なビジネスルールを作成することが想定される開発者には、[すべてのファイルタイプ] と [スクリプティングを許可] の両方の開発者権限が必要です。

重要:
アプリケーション管理が有効になっている場合、ターゲットアプリケーションのアプリケーションアドミニストレーターのみが、アプリケーションの開発者を委任できます。アプリケーションアドミニストレーターにはシステムアドミニストレーター権限がありません。委任された開発者が開発者権限で付与された機能を実行できるようにするには、委任された開発者にもアプリケーションアドミニストレーターロールが付与されている必要があります。

各権限を設定すると、1 つ以上のシステム管理の委託開発ロールが付与され、システムアドミンはシステムの制御を保持できます。システムアドミニストレーターは、アプリケーションの開発や展開を可能にするためにシステムアドミニストレーターロールをアサインする必要はありません。

委任開発者のタスク

展開タスク (アプリケーションの公開、初回インストール、または更新) を、開発者またはアドミン以外のユーザー (変更管理担当者など) に委任できます。

委任展開タスク

展開タスクは、アプリケーションレベルで特定のユーザーに委任することも、インスタンスレベルで特定のユーザーロールをアサインすることで委任することもできます。

割り当て方法	適用先	利用可能なオプション
で展開権限を設定します。「開発権限の担当者への委任」を参照してください。	特定のアプリケーション	特定のアプリケーションの公開とアップグレード。公開オプションには、アプリケーションリポジトリ、ServiceNow Store、更新セットも含まれます。
特定のユーザーに展開ユーザーロールを割り当てます。「インスタンス固有の展開ユーザーロール」を参照してください。	ローカル非本番インスタンス (開発や QA など)	現在のインスタンスと同じ会社を含むすべてのアプリケーションの初回インストールおよびアップグレード。 たとえば、ABC 社と XYZ 社のアプリケーションは [アプリケーションクライアント] ページに表示されます。このロールを持つユーザーは、XYZ 社のインスタンスにログインしている場合にのみ、XYZ 社のアプ

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

割り当て方法	適用先	利用可能なオプション
		リケーションをインストールできます。このユーザーは ABC 社のアプリケーションをインストールすることはできません。

委託開発の構成

権限をアサイン、削除、表示、または非表示にする 委託開発 を設定します。

構成の概要

- ソースコントロール権限のアサイン

  特定のスコープのソースコントロールへのフルアクセス権を委任開発者に割り当てることができます。

- 削除権限のアサイン

  アプリケーションを削除する機能を委任開発者にアサインすることができます。

- 委託開発システムのプロパティ

  [更新セットに発行] 権限と [更新セットの管理] 権限の可視化を制御するシステムプロパティを使用して、権限を表示または非表示にすることができます。デフォルトでは、更新セットの展開権限は両方とも非表示になっています。

- インスタンス固有の展開ユーザーロール

  アドミン以外のユーザーが特定のインスタンスのすべてのアプリケーションをインストールまたはアップグレードできるようにするロールをアサインできます。これらのタスクを委任するには、特定のユーザーロールをインスタンスに手動でアサインします。

委託開発 のアクティブ化

admin ロールで 委託開発 プラグイン (com.glide.delgated_development) をアクティブ化します。

始める前に

必要なロール：admin

手順

1. 移動先 すべて > システムアプリケーション > 利用可能なすべてのアプリケーション > すべて.
2. フィルター基準と検索バーを使用してプラグインを検索します。
   名前または ID でプラグインを検索できます。プラグインが見つからない場合は、ServiceNow 担当者に要求する必要が生じる場合があります。
3. インストールプロセスを開始するには、**[Install** (インストール)] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
ドメインセパレーションと代理アドミニストレーターがインスタンスで有効になっている場合は、 グローバル ドメインに存在する必要があります。それ以外の場合、次のエラーが表示されます： 「別の操作が実行されているため、アプリケーションのインストールは利用できません： <プラグイン名> のプラグインの有効化 (Application installation is unavailable because another operation is running: Plugin Activation for <plugin name>)」

インストールが完了すると、メッセージが表示されます。プラグインとともにインストールされるコンポーネントの詳細については、「アプリケーションとともにインストールされているコンポーネントの検索」を参照してください。

ソースコントロール権限のアサイン

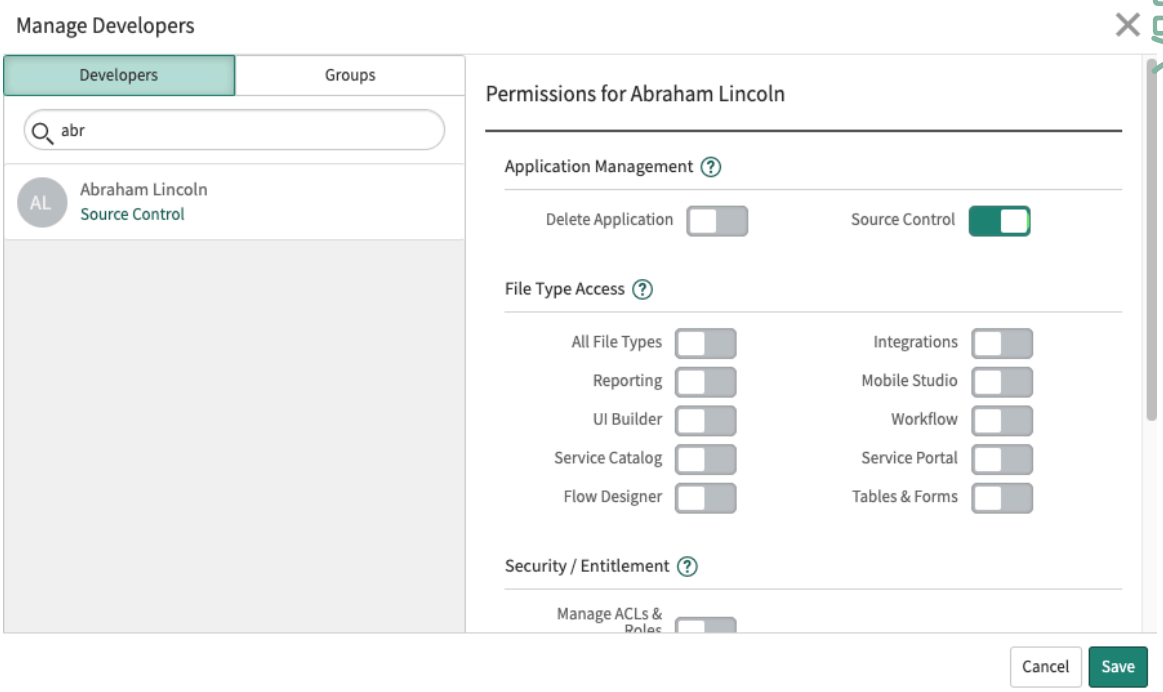
特定のスコープのソースコントロールへのフルアクセス権を委任開発者にアサインする機能。[ソースコントロール] メニューは、使用しているアプリケーションの適切な権限を持っている場合にのみ表示されます。

始める前に
必要なロール：admin

手順

1. 移動先 すべて > システムアプリケーション > 会社のアプリケーション.
2. 委任開発者権限をアサインするアプリケーションを開きます。
3. システムアドミニストレーターとして、 ファイル > 開発者マネージャー.
4. 委任開発者権限を適用する開発者を選択します。
5. [ソースコントロール] をオンにして、[保存] を選択します。

ソースコントロール



6. 委任開発者は、[ソースコントロール] メニューオプションにアクセスできるようになりました。ソースコントロールのオプションの詳細については、「従来 - 利用可能なソースコントロール操作」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

削除権限のアサイン

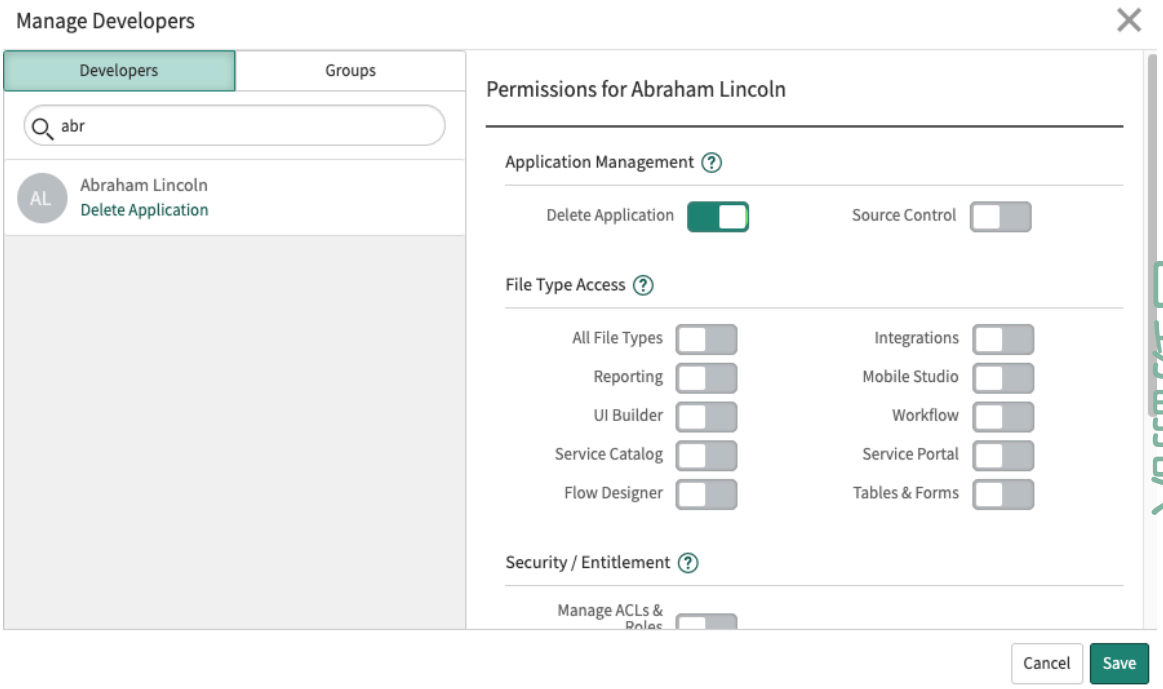
アプリケーションを削除する機能を委任開発者にアサインする機能。

始める前に
必要なロール：admin

手順

1. 移動先 すべて > システムアプリケーション > 会社のアプリケーション.
2. 委任開発者権限をアサインするアプリケーションを開きます。
3. システムアドミニストレーターとして、 ファイル > 開発者マネージャー.
4. 委任開発者権限を適用する開発者を選択します。
5. [アプリケーションを削除] をオンにして、[保存] を選択します。

アプリケーションを削除



6. 委任開発者がアプリケーションを削除できるようになりました。

委託開発 の管理

委託開発で管理業務を実行します。

委託開発 の概要

- 開発権限の担当者への委任

  システムアドミンは、アドミニストレーター以外のユーザーまたはグループを、特定のアプリケーションの開発者または展開リソースとして割り当てることができます。特定の権限を設定して、アサインされたユーザーが現在のインスタンスで実行できる特定のアクションを指定できます。

- 展開権限の委任

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

システムアドミニストレーターは、アドミニストレーター以外のユーザーまたはグループを特定のアプリケーションの展開リソースとして割り当てることができます。特定の権限を設定して、アサインされたユーザーが現在のインスタンスで実行できる特定のアクションを指定できます。

- 開発者権限

  アドミニストレーターは、特定のアプリケーションについて、グループまたはユーザーに 1 つ以上の開発者権限と展開権限を割り当てることができます。

  すべての権限へのアクセスを許可することもできます。

- 開発者の削除

  ユーザーを開発者として削除すると、現在のインスタンスで誤ってアプリケーションを開発、変更、または展開することを防ぐことができます。

開発権限の担当者への委任

システムアドミニストレーターは、アドミニストレーター以外のユーザーまたはグループを特定のアプリケーションの開発者としてアサインできます。割り当てられたユーザーが現在のインスタンスで実行できる特定のアクションを指定する権限を設定できます。ユーザーを代理管理者にして、すべての権限へのアクセス権を一度に付与することもできます。

始める前に

- 必要なロール：admin または application administrator

  アプリケーション管理が有効になっている場合は、ターゲット アプリケーションのアプリケーションアドミニストレーターのみが、アプリケーションに開発者を委任できます。アプリケーション管理が有効になっていない場合、アドミンユーザーが開発者を委任できます。

- 必要なレコード：
  - アプリケーション
  - ユーザー
  - グループ

手順

1. 移動先 すべて > システムアプリケーション > 会社のアプリケーション.
2. 開発者を追加するアプリケーションの名前を選択します。
   アプリケーション レコードが開きます。
3. [開発者の管理] を選択します。

   注:
   アプリコラボレーションコンポーネントがインストールされている場合、リンクは [協力者の管理] として表示されます。

   [開発者権限] ウィンドウが表示されます。

   注:
   [開発者権限] は、グローバルアプリではなく、スコープ対象アプリでのみ使用できます。

4. 割り当てる開発者 (またはシステムアドミンロールを持たないユーザー) のタイプを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

5. [開発者名] または [グループ名] に、開発者権限を付与するユーザーまたはグループの名前を入力します。
6. アプリケーションのカスタム開発者権限を選択するか、[代理アドミン] を選択してアプリケーションのすべての権限へのアクセス権を付与します。
   詳細については、「開発者権限」を参照してください。
7. [保存] を選択します。
   アプリケーションの指定された開発者権限と展開権限がアサインされます。

開発者の削除

ユーザーを開発者として削除すると、現在のインスタンスで誤ってアプリケーションを開発、変更、または展開することを防ぐことができます。

始める前に

必要なロール：admin または application administrator

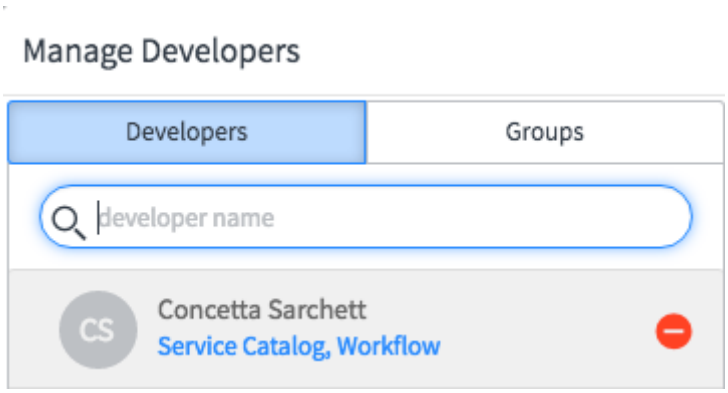
アプリケーション管理が有効になっている場合は、ターゲット アプリケーションのアプリケーションアドミニストレーターのみが、アプリケーションに開発者を委任できます。アプリケーション管理が有効になっていない場合、アドミンユーザーが開発者を委任できます。

手順

1. 移動先 すべて > システムアプリケーション > アプリケーション.
2. 開発者を削除するアプリケーションのアプリケーション名を選択します。
   アプリケーション レコードが開きます。
3. [開発者の管理] を選択します。

   注:
   アプリコラボレーションコンポーネントがインストールされている場合、リンクは [協力者の管理] として表示されます。

   [開発者権限] ウィンドウが表示されます。
4. 削除する開発者にカーソルを合わせます。
   開発者名の横にマイナスアイコンが表示されます。



5. 開発者名の横にあるマイナスアイコンを選択します。
   開発者および関連するすべてのアプリケーションロールが削除されます。

展開権限の委任

システムアドミニストレーターは、アドミニストレーター以外のユーザーまたはグループを特定のアプリケーションの展開リソースとして割り当てることができます。アサインされたユーザーが現在の

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インスタンスで実行できる特定のアクションを指定する特定の権限を設定することも、すべての権限にアクセス権を付与することもできます。

始める前に

- 必要なロール：admin または application administrator

  アプリケーション管理が有効になっている場合、ターゲットアプリケーションのアプリケーションアドミニストレーターのみが展開リソースをアプリケーションに委任できます。アプリケーション管理が有効になっていない場合、アドミンユーザーは展開リソースを委任できます。

- [更新セットに公開] および **[Update Sets** の管理 **(Manage Update Sets)]** 権限の可視化は、システムプロパティによって制御されます。デフォルトでは、更新セットの展開権限は両方とも非表示になっています。「委託開発システムのプロパティ」を参照してください。

- 必要なレコード：
  - アプリケーション
  - ユーザー
  - グループ

手順

1. 移動先 すべて > システムアプリケーション > 会社のアプリケーション.
2. 展開リソースを追加するアプリケーションの名前を選択します。
   アプリケーション レコードが開きます。
3. [開発者の管理] を選択します。

   注:
   アプリコラボレーションコンポーネントがインストールされている場合、リンクは [協力者の管理] として表示されます。

   [開発者権限] ウィンドウが表示されます。

   注:
   [開発者権限] は、グローバルアプリではなく、スコープ対象アプリでのみ使用できます。

4. 割り当てる開発者 (またはシステムアドミンロールを持たないユーザー) のタイプを選択します。
5. [開発者名] または [グループ名] に、デプロイのアクセス許可を付与するユーザーまたはグループの名前を入力します。
6. アプリケーションのカスタム展開権限を選択するか、[代理アドミン] を選択してアプリケーションのすべての権限へのアクセス権を付与します。
   詳細については、「開発者権限」を参照してください。
7. **[Save** (保存)] を選択します。
   アプリケーションに対して指定された展開権限がアサインされます。

インスタンス固有の展開ユーザーロール

アドミン以外のユーザーが特定のインスタンスですべてのアプリケーションをインストールまたはアップグレードできるようにするロールをアサインします。これらのタスクを委任するには、特定のユーザーロールをインスタンスに手動でアサインします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

たとえば、変更管理担当者にユーザーロールをアサインして、非本番 (開発または QA) インスタンスでアプリケーションをインストールできるようにすることができます。

重要:
インストールおよびアップグレードのユーザーロールを誰に、どのインスタンスで割り当てるかについては、慎重に検討してください。これらのロールを、非本番インスタンス (開発や QA など) の非システムアドミンにのみ割り当てて、本番インスタンスでは割り当てないようにすることもできます。アプリケーションのインストールとアップグレードの潜在的な影響を考慮して、本番インスタンスでのインストールとアップグレードの責任をシステムアドミニストレーターに任せたい場合もあります。

ユーザーごとのサブスクリプション管理の詳細については、「Managing per-user subscriptions in Subscription Management」を参照し、アカウント担当者にお問い合わせください。

展開ユーザーロールの追加

システムアドミンは、最初のアプリケーションのインストールのみを実行できるようにするユーザーロールや、ローカル インスタンスでアプリケーションをインストールおよびアップグレードできるようにするユーザーロールを、特定の担当者に割り当てることができます。

始める前に
必要なロール：admin

手順

1. 移動先 すべて > ユーザー管理 > ユーザー をクリックし、ユーザーレコードを開きます。

   注:
   ユーザーにロールを割り当てる方法の詳細については、「ユーザーロールの割り当て」を参照してください。

2. [ロール] 関連リストで、[編集] を選択します。
3. [コレクション] リストで目的の展開ロールを選択し、[追加] を選択します。

委任展開ロール

ユーザーロール	説明
sn_appclient.app_client_company_installer	指定されたユーザーが、現在のインスタンスと同じ会社を含む、[アプリケーション クライアント] ページに表示されているアプリケーションの初回インストールを実行できるようにします。このロールを持つユーザーは、別の会社のアプリケーションをインストールすることはできません。 たとえば、ABC 社と XYZ 社のアプリケーションは [アプリケーションクライアント] ページに表示されます。このロールを持つユーザーは、XYZ 社のインスタンスにログインしている場合にのみ、XYZ 社のアプリケーションをインストールできます。このユーザーは ABC 社のアプリケーションをインストールすることはできません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ユーザーロール	説明
	注: このロールではユーザーにアプリケーションのアップグレード権限は付与されませんが、初回インストールの実行後に委任開発者にアップグレード ロールが自動的に追加されます。その後、ユーザーはローカル インスタンス内でアプリケーションのアップグレードを実行できます。詳細については、「システム管理の開発者ロールと展開ロール」を参照してください。
sn_appclient.app_client_user	指定されたユーザーが、[アプリケーション クライアント] ページに表示されているすべてのアプリケーションをインストールおよびアップグレードできるようにします。

4. [保存] を選択します。

委託開発の参照

参照トピックには、システムユーザーロールとドメインセパレーションのサポートに関する情報が記載されています。

開発者権限

アドミニストレーターは、開発者管理を使用して、特定のアプリケーションについて、グループまたはユーザーに 1 つ以上の開発者権限と展開権限を割り当てることができます。これらの権限は、割り当てられたユーザーがアプリケーションに対して実行できる特定のアクションを指定します。

開発者権限

注:
アプリコラボレーションコンポーネントがインストールされている場合、リンクは [協力者の管理] として表示されます。

権限	説明
アプリケーションを削除	スコープ対象アプリ内でアサインされた開発者がアプリケーションを削除できるようにします。
ソースコントロール	アサインされた開発者がソースコントロールにフルアクセスできるようにします。
すべてのファイルタイプ	アサインされた開発者が、他のオプションで付与されないものも含めて、すべてのアプリケーションファイルタイプにアクセスできるようにします。この権限は、ユーザーに admin ロールを付与するのと同じですが、いくつかの制限があります。具体的には、Application Creator の [開発者の管理] タスクを使用して、アプリケーションで設定されているすべてのファイルタイプへのアクセスを提供します。
プレイブック	アサインされた開発者がプレイブック設計環境にアクセスし、プロセスを作成できるようにします。アクティビティサブフローまたはアクションを編集するには、フローデザイナー権限が必要です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

権限	説明
統合	アサインされた開発者が Web サービス API、REST API、データソース、および統合ハブ - インポートにアクセスできるようにします。
レポート	アサインされた開発者がレポートおよびスケジュール済みレポートにアクセスできるようにします。
通知	アサインされた開発者のアクセスが自動メール通知を処理できるようにします。
ディシジョンテーブル	アサインされた開発者がディシジョンテーブルにアクセスし、複数の if-then ルールに基づいて意思決定ロジックを作成できるようにします。
モバイルビルダー	割り当てられた開発者がモバイルアプリビルダーなどのモバイルビルダーにアクセスできるようにします。
UI ビルダー	アサインされた開発者がエクスペリエンスのページを作成するための UI ビルダーにアクセスできるようにします。
ワークフロー	アサインされた開発者がワークフローエディターおよびアクティビティクリエーターにアクセスできるようにします。
サービスカタログ	アサインされた開発者が、カタログアイテム、レコードプロデューサー、変数などのカタログ関連のファイルタイプにアクセスできるようにします。
サービスポータル	アサインされた開発者がサービスポータルのエディターとツールにアクセスできるようにします。
ワークフロースタジオ	アサインされた開発者がワークフロースタジオの設計環境にアクセスし、フローとアクションを作成できるようにします。スクリプトアクションのステップでは、[スクリプティングを許可 (Allow Scripting)] 権限が必要です。
テーブルとフォーム	テーブル列、フォームレイアウト、リストレイアウトなど、モデルおよびレイアウトに関連するファイルタイプにアサインされた開発者がアクセスできるようにします。
ACL とロールの管理	アクセス制御やユーザーロールなどのセキュリティ関連のファイルタイプに、アサインされた開発者がアクセスできるようにします。
スクリプティングを有効化	ビジネスルール、クライアントスクリプト、ワークフロースタジオのスクリプトアクションステップなどにあるスクリプトフィールドへの書き込みアクセス権がアサインされた開発者に付与されます。手記： SNC スクリプトロールも追加されます。
協力者の管理	アサインされた開発者がユーザーとグループを招待して管理できるようにします。この権限により、委任開発者は他の開発者をアプリケーションに招待して管理できます。
協力者を招待	アサインされた開発者がユーザーとグループを招待できるようにします。この権限により、委任開発者は他の開発者をアプリケーションに招待できます。
代理管理者	すべての委託開発権限へのアクセスを有効にして、個別に権限を付与する必要がないようにします。手記： SNC スクリプトロールも追加されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

展開権限

[展開]、[協力者の管理]、および [協力者の招待] 委託開発権限セットは、開発者協力者機能でのみ使用できます。[開発者管理] には表示されません。

権限	説明
アプリをアップグレード	委任開発者ロールの権限がアサインされたユーザーが、現在のインスタンスにインストールされた後、関連アプリケーションをアップグレードできるようにします。
更新セットに公開	委任開発者ロールの権限がアサインされたユーザーが、関連アプリケーションを現在のインスタンスの更新セットに公開できるようにします。 **注:** この権限を持つユーザーは、 更新セットの管理 権限も持つことはできません .
アプリストアに公開	委任開発者ロールの権限がアサインされたユーザーが、関連アプリケーションを現在のインスタンスの ServiceNow Store に公開できるようにします。 **注:** デフォルトでは、[アプリをアップグレード]、[アプリリポジトリに公開]、および [アプリストアに公開] 権限が表示されます。[更新セットに公開] 権限は、システムアドミニストレーターが手動でアクティブ化した場合にのみ表示されます。
更新セットの管理	委任開発者ロールの権限がアサインされたユーザーが、ローカルおよび取得された更新セットを管理できるようにします。この権限により、ユーザーはローカル更新セットの作成、更新、削除、および取得した更新セットのプレビュー、競合の解決、およびコミットを行うことができます。 **注:** この権限を持つユーザーは、[更新セットに公開] 権限を持つことはできません。
アプリリポジトリに公開	委任開発者ロールの権限がアサインされたユーザーが、関連アプリケーションを現在のインスタンスのアプリケーションリポジトリに公開できるようにします。
展開の送信	委任開発者ロールの権限がアサインされたユーザーが、レビューと展開のために関連アプリケーションを送信できるようにします。

委託開発システムのプロパティ

更新セットの展開権限はデフォルトでは非表示になっており、システムアドミニストレーターがシステムのプロパティで有効にする必要があります。

展開システムプロパティ

システムプロパティ	説明
com.snc.dd.manage_update_set_enabled	**[Update Sets** の管理 **(Manage Update Set)]** 権限の表示を有効または無効にします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

展開システムプロパティ (続く)

システムプロパティ	説明
	このシステムプロパティのデフォルト値は **false** です。この権限の表示を有効にするには、この値を **true** に設定します。
com.snc.dd.publish_to_app_repo_enabled	[アプリリポジトリに公開] 権限の表示を有効または無効にします。 このシステム プロパティのデフォルト値は **true** です。この権限の表示を無効にするには、この値を **false** に設定します。
com.snc.dd.publish_to_app_store_enabled	[アプリ ストアに公開] 権限の表示を有効または無効にします。 このシステム プロパティのデフォルト値は **true** です。この権限の表示を無効にするには、この値を **false** に設定します。
com.snc.dd.publish_to_update_set_enabled	権限の表示を有効または無効にします。 このシステム プロパティのデフォルト値は **false** で、この権限の表示は無効になっています。この権限の表示を有効にするには、この値を **true** に設定します。
com.snc.dd.upgrade_app_enabled	権限の表示を有効または無効にします。 このシステム プロパティのデフォルト値は **true** です。この権限の表示を無効にするには、この値を **false** に設定します。

自動翻訳

システム管理の開発者ロールと展開ロール

システムアドミニストレーターは引き続きユーザーロールを手動でアサインおよび削除できますが、次の委任開発者ロールはシステムで管理することをお勧めします。

ユーザーごとのサブスクリプション管理の詳細については、「Managing per-user subscriptions in Subscription Management」を参照し、アカウント担当者にお問い合わせください。

ロール	説明
delegated_developer	ユーザーに 1 つ以上の開発者権限があります。
プリフィックス sn_dd で始まるロール (sn_dd_<app_name>_upgrade_app など)	ユーザーにアプリケーション固有の開発者権限があります。ロール名は、適用されるアプリケーションスコープを示します。 たとえば、sn_appclient.app_client_company_installer ロールを持つユーザーが会社のアプリケーションをインストールすると、sn_dd_<app_name>_upgrade_app という委任展開ロールが自動的に付与されます。このロールを使

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ロール	説明
	用すると、将来の更新が [アプリケーションクライアント] ページに公開されたときにアプリケーションをアップグレードできます。
glide.security.add_admin_contained_roles_to_system	デフォルト値：true プロパティが true の場合、admin ロールに直接的または間接的に含まれるすべてのロール (scoped-admin ロールを含む) がシステムユーザーに追加されます。 **注:** プロパティを false に設定すると、システムユーザーは admin ロールを持ちますが、admin ロールに含まれる scoped-admin ロールはなくなります。 例：admin ロールに *sn_templated_snip.template_snippet_admin* ロールが含まれている 以前の動作:システムユーザーには *sn_templated_snip.template_snippet_admin* ロールがありません。 新しい動作：システムユーザーは、*sn_templated_snip.template_snippet_admin* ロールとそれに含まれる他のスコープ対象のロールを保持します。

注:
委任開発者ロールを持つユーザーは、システムアドミンロールを追加または削除できません。

ドメインセパレーションと委託開発

委託開発機能ではドメインセパレーションはサポートされていません。 ドメインセパレーションでは、データ、プロセス、および管理タスクをドメインと呼ばれる論理的なグループに分けることができます。どのユーザーがデータを表示できるか、データにアクセスできるかなど、このアプリケーションのいくつかの側面を制御できます。

サポートレベル: サポートなし

- ドメインフィールドがデータテーブル に存在している可能性がありますが、データを管理するロジックがありません。
- このレベルでは、ドメイン分割は考慮されません。

サポートレベルの詳細については、「アプリケーションでのドメインセパレーションのサポート」を参照してください。

関連情報

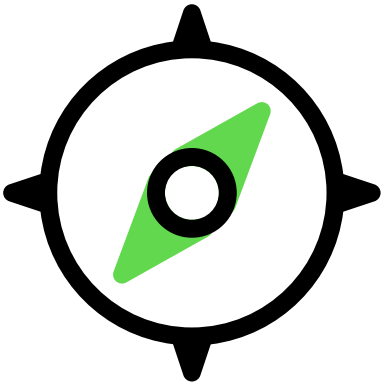
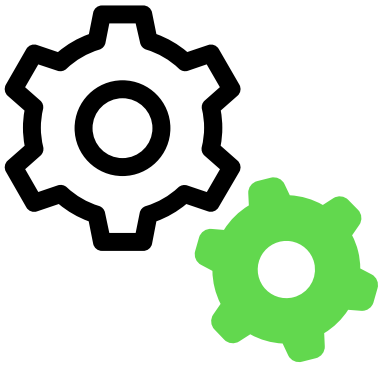
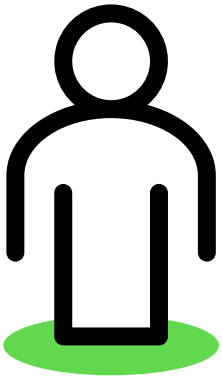
サービスプロバイダーのドメインセパレーション

チーム開発

チーム開発 は、複数の非本番 ServiceNow インスタンスでの並列開発をサポートします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

開始するには

探索	構成	管理
		
チーム開発機能と概念について説明します。	チーム開発 をセットアップおよび設定します。	インスタンスでの並列開発をサポートするために、 チーム開発 で管理業務を実行します。

役に立つリソース

役立つ情報を提供できる ServiceNow リソースは次のとおりです。

- ServiceNow コミュニティ
  ServiceNow コミュニティ
- Customer Success Center
  Customer Success Center
- ディベロッパー
  developer.servicenow.com
- Impact
  http://impact.servicenow.com
- ServiceNow University
  ServiceNow University
- Now Create
  Now Create
- パートナー
  https://www.servicenow.com/partners.html
- ServiceNow
  http://servicenow.com
- ServiceNow Store
  http://servicenow.com

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

支える

- https://support.servicenow.com/now
- 既知のエラーポータル

チーム開発 の探索

チーム開発 は、複数の非本番 ServiceNow インスタンスでの並列開発をサポートします。

チーム開発の概要

チーム開発 を使用すると、開発者は開発プロセス全体でコードを共有し、競合を解決しながら、別々の開発インスタンスで作業できます。

インスタンス階層を設定すると、ローカル開発インスタンスの変更を開発できます。チームダッシュボードを使用して、次のような チーム開発 アクティビティを管理します。

- ローカルな変更を追跡し、親開発インスタンスに昇格する変更を決定する。
- 親インスタンスからの変更を引き出し、ローカル変更を伴う競合があれば解決する。
- インスタンスを他の開発インスタンスと比較し、他の開発プロジェクトとの競合があれば解決する。
- ある機能がテストされ、親開発インスタンスに昇格する準備ができると、変更をプッシュする。
- インスタンス間のレコードバージョンのプッシュとプルを含む分岐操作。
- すべての チーム開発 アクティビティの中心的なダッシュボード。

開発インスタンスと親インスタンスへのアドミンアクセス権を持つ開発者は、 チーム開発を使用できます。別のアクセス設定については、「 https://servicenow.com/docs/bundle/xanadu-application-development/page/build/team-development/reference/r_GrantingAccessRightsToDevelopers.html 」を参照してください。

チーム開発 ユーザー

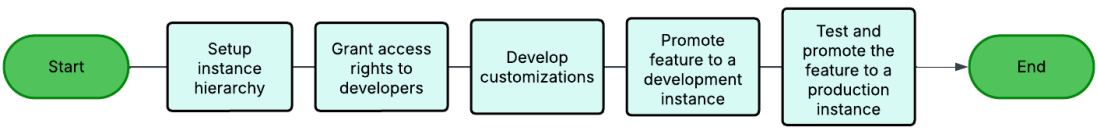
ユーザー

ユーザー	説明
管理者	チーム開発を構成します。
開発者	チーム開発を使用します。

チーム開発 のワークフロー

このワークフローは、チーム開発アドミンワークフローを表示します。

チーム開発アドミンワークフロー



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

1. インスタンス階層を設定するに述べたように開発インスタンスの階層を設定します。
   a. ターゲットインスタンスと同じソフトウェアバージョンで開発インスタンスを使えるようにします。たとえば、本番インスタンスで実行されているソフトウェアバージョンを使用します。
   b. [推奨]ターゲットを開発インスタンスにクローンします。
   c. 各インスタンスについて、親インスタンスを定義します。
   d. [オプション]各インスタンスに対して、ピアインスタンスを定義します。
   e. 各インスタンスについて、すべての変更を親インスタンスからプルします。
2. サブ開発インスタンスの場合は、適切な開発者にアクセス権を与えます。
3. サブ開発インスタンスのカスタマイズを開発します。
   - 他のサブ開発インスタンスからプッシュされたバージョンなど、親インスタンスからバージョンをプルします。必要に応じて、現在のローカルバージョンとの競合を調整します。
   - ローカル変更を追跡します。親開発インスタンスにプッシュする準備ができている変更をキューに入れます。
   - ピアインスタンスのバージョンを比較します。競合を調整します。
4. 機能が親開発インスタンスに昇格する準備ができると、カスタマイズされたレコードの現在のバージョンをプッシュします。
5. (オプション)コードレビュー担当者に、プッシュされたバージョンを承認または却下してもらいます。「」を参照してください。
6. テストおよびリリース管理プロセスに従って、機能をテストし、プロダクションにプロモートする。

使用するタイミング チーム開発

展開オプション	適する場面	今後の検討事項
更新セット	ベースシステムまたはインストールされたアプリケーションに変更を保存する。 特定のバージョンのアプリケーションを保存して適用する。 エクスポート用のファイルを作成する。	特定のアプリケーションバージョンを格納する更新セットを手動で作成できます。 更新セットを使用して、インストールされているアプリケーションへのパッチまたは変更を展開します。 **注:** アプリケーションをインストールするために更新セットを使用しないでください。代わりに、アプリケーションリポジトリまたは ServiceNow Store を使用してアプリケーションをインストールします。
アプリケーションリポジトリ	すべての会社インスタンスでのアプリケーションのインストールと更新。 アプリケーション更新セットを自動的に管理する。	アプリケーションを ServiceNow Store にアップロードして他のユーザーと共有することを検討してください。 最新のアプリケーションバージョンのみのインストールと更新を許可します。 更新セットを使用して、以前のアプリケーションのバージョンを保存します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

展開オプション	適する場面	今後の検討事項
	同じ会社にアプリケーションへのアクセスを制限する。 完成したアプリケーションをエンドユーザーに展開します。	注: チーム開発と使用する場合は、親インスタンスからアプリケーションのみを発行します。

次に探索する内容

チーム開発を構成して使用する方法の詳細については、以下を参照してください。

- チーム開発の構成
- チーム開発 の管理

除外ポリシー

除外ポリシーを作成すると、特定のファイルを変更追跡から除外できます。

変更が除外ポリシーと一致する場合、変更はローカル変更リストにレコードを生成しません。この変更は、ローカルバージョンレコードと更新セットレコードを正常として生成します。除外ポリシーの作成を参照してください。

注:
除外ポリシーは、調整操作中に特定された変更に適用します。比較検証後に除外ポリシーを作成すると、チーム開発は引き続き次の調整まで変更を追跡します。

除外ポリシーを作成

アプリケーション開発者は、チーム開発階層内の特定のインスタンスへのプッシュまたはプルを防止するための除外ポリシーを作成できます。

手順

1. 移動先 すべて > チーム開発 > 除外ポリシー.
2. [**New**] をクリックします。
3. 除外ポリシーのフォームを完了します(表を参照ください)。
4. [送信] をクリックします。

除外ポリシーフォーム

フィールド	説明
名前	ポリシーのユニークな記述を入力します。
ポリシー	ポリシーが適用されるときに選択します。次のオプションが含まれます。 ○ プッシュのみ ○ プッシュおよびプル ○ プルのみ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
リモートインスタンス	[オプション]プル操作中からの変更を無視する特定のリモートインスタンスを選択します。このフィールドを空白のままにすると、すべてのリモートインスタンスからの変更を無視します。
テーブル	変更を無視するテーブルを選択します。
条件	変更が表名以外を無視するために満たさなければならない追加条件を選択します。このフィールドは、ポリシーがプッシュのみの時にのみ表示されます。

チームダッシュボード

チームダッシュボードは、開発インスタンス上のすべてのチーム開発アクティビティを管理するための中心的な場所を提供します。

ローカル変更を追跡し、ローカルインスタンスと親インスタンス間で変更をプルおよびプッシュし、ローカルインスタンスを他の開発インスタンスと比較して、競合を解決することができます。また、現在の親インスタンスと調整したり、親インスタンスを変更することもできます。

ダッシュボードにアクセスするには、次に移動します: チーム開発 > チームダッシュボード.

左上のコントロールパネルは、ステータスインジケーターとチーム開発アクションを提供します。

- 親：親インスタンスへの接続の状態を示す。問題または警告が検知された場合は、インジケータにポイントしてエラーメッセージを表示するか、インジケータをクリックしてリモートインスタンスレコードを開く。
- 変化 ：親インスタンスを変更する。親インスタンスの変更を見る。
- 照合 ：開発インスタンスを親インスタンスと比較する。照合を参照。
- プル準備完：ローカルインスタンスにプルされていない親の変更の数を示す。
- プル ：プルを開始する。プルバージョン を見る。
- プッシュ ：プッシュ前に変更内容を確認できるページが開く。プッシュバージョンを見る。
- リフレッシュ ：コントロールパネルの状態インジケーターを更新する。ダッシュボードは、ページをリロードまたは更新するときにのみ更新する。
- ローカル：別のインスタンスとの最新の比較の状態を示す。競合が検知された場合は、インジケータをクリックしてリストを開き、競合を解決する。「チーム開発での衝突の解決」を参照してください。
- 競合：ローカルの変更が親から引き出されたバージョンと競合し、競合の数を示す場合にのみ表示される。インジケータをクリックしてリストを開き競合を解決する。「チーム開発での衝突の解決」を参照してください。
- 比較する ：ローカルインスタンスと比較して別の開発インスタンスを選択できる。ピアインスタンスとの比較を参照。
- プッシュ準備完：次のプッシュのためにキューに入れられたローカル変更の数を示す。キューイングとローカル変更の無視を見る。
- ローカル変更：キューに入れられていないか無視されていないローカル変更の数を示す。インジケータをクリックすると、これらの変更のリストが表示される。
- 無視：ローカルの変更が無視され、無視された変更の数を示す場合にのみ表示される。インジケータをクリックすると、これらの変更のリストが表示される。

チームダッシュボードには、ローカルの変更を追跡したり、チーム開発アクティビティの履歴を表示するためのリストが含まれています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- ローカル変更：キューに入れられていないか無視されていないローカル変更が表示される。
- プッシュとプル：プッシュとプルの履歴を提供する。行を展開して、プッシュまたはプルの一部としてバージョンが転送されカスタマイズされたレコードを表示する。
- インスタンス比較：他の開発インスタンスとの比較履歴を提供する。
- 競合：次のプルまたはプッシュ前に解決する必要がある競合をリストする。行を右クリックして競合を解決する。競合の解決を参照。
- プッシュの準備でき：次のプッシュのためにキューに入れられたローカル変更をリストする。
- 無視：すべてのプッシュに対して無視されるローカルの変更をリストする。

関連情報

チーム開発 の管理

バージョンをプル

例外をプルする

チーム開発での衝突の解決

複数の競合を解決する

ローカル変更

ローカル変更リスト

プッシュのローカル変更をキューに入れる

ローカル変更を無視する

ローカル変更を取り消す

バージョンをプッシュ

プッシュを承認または却下する

プッシュされた変更のレビューステータスを確認します

コードレビュー要求をキャンセル

ピアインスタンスと比較

親インスタンスを変更

変更を検証する

親インスタンスを変更

インスタンス階層を変更する必要が生じた場合は、開発インスタンスの親を変更できます。

このタスクについて

親を変更すると、開発インスタンスと新しい親インスタンスの完全な比較を開始します。比較速度を最適化してその後にレビューが必要な競合とローカル変更の数を減らすには、新しい親インスタンスが適切なインスタンス(たとえば、本番インスタンスなど)から最近クローンされたことを確認します。親インスタンスを変更する前に、変更が変更管理プロセスまたは他の開発努力と競合していないことを確認します。

開発インスタンスの親を変更するには：

手順

1. 開発インスタンスで、 チーム開発 > チームダッシュボード.
2. コントロールパネルで、変更をクリックします。
3. 親として使用するリモートインスタンスを選択し、 選択 をクリックします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

別の方法として、新しいリモートインスタンスを定義するへのリンクをクリックします。次に、手順1～3を繰り返し、定義したリモートインスタンスを選択します。

システムは、ローカルインスタンスを親と比較してローカル変更のリストを生成し、親からプルする準備ができた変更の数を計算する調整を開始します。

4. 完了ページで、チームダッシュボードをクリックします。
5. 親インスタンスからプルバージョンしそして競合があれば解決します。
6. ローカル変更リストをレビューし、適切に 変更をキューまたは無視する。

ローカル変更を無視する

ローカル変更を無視すると、レコードの更新によってローカル変更リストに新しいバージョンが生成されなくなります。

このタスクについて

無視されたローカル変更は常にレコードの現在のバージョンを指します。無視されたレコードを別のインスタンスにプッシュすることはできません。

ローカル変更アクションリスト

アクション	結果
プッシュのためにキューに入れられたバージョンを持つレコードを無視する。	キューに入れられた変更は削除されます。
コードレビューのためにキューに入れられたバージョンを持つレコードを無視する。	キューに入れられた変更は削除されます。
無視されたレコードの変更をプルする。	衝突
親バージョンを採用して競合を解決する。	無視するローカル変更がなくなります。
ローカルバージョンを維持して競合を解決する。	無視された変更はローカルインスタンスに残ります。

手順

1. 移動先 すべて > チーム開発 > チームダッシュボード.
2. ローカル変更リストをフィルタリングして無視したい変更のみを表示します。

   たとえば、リストをフィルタリングして、デフォルトの更新セットのすべての変更を表示します。
3. 全無視をクリックします。
4. [無視] リストをレビューし正しい変更が無視されることを確認します。
   このステップは推奨されるベストプラクティスです。

オプション	説明
変更の無視を停止するには	行の横にあるチェックボックスをオンにして、行動選択リストから無視しないを選択します。
変更を無視するのを止めその代りにそれらをキューに追加するには	行の横にあるチェックボックスをオンにして、行動選択リストからプッシュをキューを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

バージョンをプッシュ

プッシュは、開発インスタンスから親インスタンスへの変更を促進し、開発インスタンス上のカスタマイズされたレコードの現バージョンを親インスタンスの現バージョンとして収容します。

始める前に
必要なロール：admin

このタスクについて
プッシュは、すべての開発バージョンではなく、現開発バージョンのみを親に追加します。

注:
異なるアプリケーションからのレコードの更新は、同じプッシュ/プルでプッシュ/プルすることはできません。他のアプリケーションへの更新が混在しているケースでエラーを解決するには、他のアプリケーションへの更新を戻しキューします。1 アプリケーションのプッシュ1つのアプリケーションへの更新を再キューします。プッシュしてから、必要に応じて繰り返します。

プッシュすると、完了したとマークされた親にローカル更新セットを作成します。プッシュされた変更は、親のローカルの変更としても追跡します。したがって、更新セットを転送するか、ローカルの変更をプッシュすることで、開発およびテストの階層構造を通じて変更を促進できます。各プッシュは、開発インスタンスのプッシュまたはプルテーブルに記録します。

手順

1. 移動先 すべて > チーム開発 > チームダッシュボード.
2. プッシュする準備ができているローカルの変更をキューに入れます。
3. 親インスタンスからプルバージョンしそして競合があれば解決します。

   競合が検知された場合、親インスタンスに変更をプッシュすることはできません。
4. コントロールパネルで、プッシュをクリックします。
   のページが開きます。
5. 変更のために名を提供します。
6. 変更のリストをレビューして、正しい変更がインクルードされていることを確認します。

オプション	説明
プッシュしたくない変更を削除するには	行の横にあるチェックボックスをオンにして、行動選択リストからプッシュしないを選択します。
変更を追加するには	キャンセルをクリックし、ステップ2 から手順を繰り返します。

7. オプション: 名前を編集。
   名前は、開発インスタンスのプッシュレコードと、親インスタンスのローカル更新セットレコードを識別します。
8. オプション: コメントを入力。
   コメントは、開発インスタンスのプッシュレコードと親インスタンスのローカル更新セットレコードに追加します。
9. プッシュ変更をクリック。

   システムはプッシュを開始して、プッシュが進む前に競合がないことを確認します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 競合が検知された場合、プッシュは自動的にキャンセルされ、ステップ3 から手続きを繰返す必要があります。
- 競合が検知されない場合、変更は親インスタンスでステージングされます。親では、各バージョンは検証され、レコード間の依存関係を維持するために正しい順序で収容されます。たとえば、新しいテーブルがそのテーブルのフィールドの前に収容され、そのテーブル上のフィールドが正しく作成されていることを確認します。

> **注:**
> インスタンス間にバージョンの競合がある、またはプッシュするインスタンスにコードレビューを待つステージにある変更がある場合にはプッシュできません。

10. 完了ページで、結果を示す をクリックします。
11. エラーまたはスキップされた変更のプッシュレコードをレビューします。
    - プッシュされた状態の変化は親インスタンスで収容されます。
    - スキップされた状態を持つ変化は親インスタンスで収容されず、開発インスタンスでローカル変更としてキューに入ったままになります。
12. スキップされた各変更について、ログメッセージを確認して、変更がスキップされた理由を判断します。

    親インスタンスで目的のバージョンを収容するために必要な変更を開発し、それをプッシュします。変更がスキップされる理由の例は次を含みます：
    - テーブルは、開発インスタンス上でプラグインをアクティブ化したときに作成されたため、親には存在しません。親でそのプラグインが有効になっていることを確認し、変更を再度プッシュします。
    - プッシュ中にエラーが発生したもう一度プッシュしてみます。
    - 現在のバージョンは無効以前のバージョンに戻して、バージョンが有効であることを確認するために再度変更を行います。
    - プッシュ中に親にエラーが発生したプッシュレコードのログフィールドは例外メッセージを含みます。親インスタンスのシステムログをレビューし、インスタンスの問題のトラブルシューティングを行います。

変更を検証する

最初に比較検証すると、ローカルインスタンスを親と比較し、それからローカル変更のリストを生成し、親からプルする準備ができた変更の数を計算します。

始める前に
必要なロール：admin

このタスクについて
比較検証は、親インスタンスを選択すると自動的に行われます。クローンやフェールオーバーなど、親インスタンスで外部からの障害イベントが発生した後に手動で比較検証する必要がある場合があります。

> **注:**
> このプロセスは、インスタンスのサイズと経過時間に応じて完了するまでに時間がかかることがあります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > チーム開発 > チームダッシュボード.
2. コントロールパネルで、をクリックします。比較検証をクリックします。
3. 確認ダイアログボックスで **OK**をクリックします。

   キューに入れられていないか無視されたローカル変更のリストが再作成されます。以前にローカル変更をキューまたは無視していた場合、その指定は維持されます。
4. オプション: 完了ページで、結果を示す をクリックします。

   インスタンス比較レコードをレビューします。
   - リモートでローカルではない関連リストには、親から引き出す準備ができているバージョンが表示されます。
   - ローカルで、リモートではない関連リストにはキューまたは無視する準備ができているローカルバージョンが表示されます。
5. チームダッシュボードをクリックします。
6. 親インスタンスからプルバージョンし競合があれば解決します。
7. ローカル変更リストをレビューし、適切に 変更をキューまたは無視する。

チーム開発の構成

インスタンスの チーム開発 を設定します。

構成の概要

1. 開発者のアクセス権

   複数の非本番インスタンスで並列開発を可能にするために、アドミニストレーターは チーム開発 インスタンス階層を設定し、開発者にアクセス権を付与できます。
2. 除外ポリシーを作成

   アプリケーション開発者は、チーム開発階層内の特定のインスタンスへのプッシュまたはプルを防止するための除外ポリシーを作成できます。
3. リモートインスタンスを定義

   階層内の他のインスタンスをリモートインスタンスとして定義します。
4. コードレビューを有効にする

   インスタンスにプッシュされたすべての変更のコードレビューを要求できます。
5. 親インスタンスを選択する

   インスタンスは、複数のピアインスタンスを持つことができますが、親インスタンスは1つのみです。
6. インスタンス階層を設定する

   開発ライフサイクルを最もよくサポートするインスタンス階層を設定します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インスタンス階層

チーム開発は、複数のServiceNow各インスタンスがソースリポジトリまたはブランチとして機能するインスタンスの間で分散バージョンコントロールシステムを設定するのを許可します。

開発者は、別々のインスタンスを使用して、異なる機能、アプリケーション、または製品リリースを同時に処理します。チーム開発を使用すると、開発者はこれらのインスタンス間でコードを共有し、開発プロセス全体で競合を解決できます。

チーム開発はインスタンス間の階層関係を確立する必要に応じて更新セットプロセスと統合するインスタンス間の変更を転送するためのメカニズムを提供するのを可能とします。チーム開発インスタンス階層では、各非本番インスタンスには親インスタンスがあります。親インスタンスが同じインスタンスはピアインスタンスです。共有親インスタンスは中央ハブまたはリポジトリになり、そしてすべてのピアインスタンスがそれに同期する。

開発者のアクセス権

チーム開発を使用するには、アプリケーション開発者はチーム開発階層内の各インスタンスの認証情報セットを持っていることが必要です。

チーム開発の階層内のインスタンスの配置は必要とする認証情報を決定します。

チーム開発アクセスの認証情報

希望するアクセス	認証情報の要件
チーム開発アプリケーションへのアクセス	アクセスしているインスタンスでアドミンロールを持つユーザー
リモートインスタンスを登録するための権利	次の内のいずれか: • 登録しているインスタンスでアドミンロールを持つユーザー • 登録しているインスタンスでteamdev_userロールを持つユーザー
開発インスタンスから親インスタンスへの変更をプッシュする権利	次の内のいずれか: • 親インスタンスでadminロールを持つユーザー • 親インスタンス上のteamdev_userロールを持つユーザー
登録されたリモートインスタンスと比較する権利	次の内のいずれか: • 登録された開発インスタンスのアドミンロールを持つユーザー • 登録された開発インスタンスでteamdev_userロールを持つユーザー
コードレビューリクエストモジュールへのアクセス	次の内のいずれか: • 親インスタンスでアドミンロールを持つユーザー • 親インスタンスに対するteamdev_code_reviewer ロールを持つユーザー

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
teamdev_user ロールはチーム開発アプリケーションへのアクセスを許可しません。また、開発者がローカル開発インスタンスで作業することを意図していません。親インスタンスやピア開発インスタンスなどのリモートインスタンスへの非アドミンアクセスを開発者に付与することを目的としている。

リモートインスタンスを定義

各インスタンスについて、階層内の他のインスタンスをリモートインスタンスとして定義します。

このタスクについて

たとえば、Sub-Dev 1のリモートインスタンスを設定するには：

手順

1. IP アドレスアクセスコントロールが有効な場合は、リモートインスタンスにログインし、Sub-Dev 1を例外として追加します。
2. Sub-Dev 1で、 チーム開発 > リモートインスタンス.
3. [**New**] をクリックします。
4. フォームを完了することによって、Dev-Parentなどのリモートインスタンスを定義します(表参照)。
5. [**Submit** (送信)] を選択します。
6. このインスタンスがプッシュしてプルする必要がある階層内の各インスタンス(Sub-Dev 2やSub-Dev 3など)に対してステップ1 からステップ5 までを繰り返します。

リモートインスタンスフォーム

フィールド	説明
名前	インスタンスを説明する一意の名前を入力します。
タイプ	リモートインスタンスが開発、テスト、またはUATインスタンスのいずれであるかを指定します。
有効	ローカルインスタンスがチーム開発のメンバーとしてリモートインスタンスと通信するかどうかを指定します。インスタンス間の変更の比較や親インスタンスの選択などのチーム開発操作は、アクティブなリモートインスタンスでのみ使用できます。
URL	適切な転送プロトコルを使用してリモートインスタンスのURLを指定します。各リモートインスタンスレコードにはユニークなURLが必要です。同じURLを持つ重複レコードを作成すると、エラーが発生する可能性があります。
ユーザー名	インスタンスに対するチーム開発操作を認可するリモートインスタンスにユーザーを入力します。このユーザーアカウントには、リモートインスタンスに対して適切なロールが必要です。
パスワード	承認ユーザーのパスワードを入力します。
簡単な説明	[オプション]リモートインスタンスに関するその他の関連情報を入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

親インスタンスを選択する

インスタンスは、複数のピアインスタンスを持つことができますが、親インスタンスは1つのみです。

このタスクについて

親インスタンスは、そこから変更をプルしそして変更をプッシュできる唯一のインスタンスです。

親インスタンスは、ローカルインスタンスと同じリリースファミリになければなりません。たとえば、Genevaリリースファミリの開発インスタンスには、Genevaリリースファミリの親インスタンスも必要です。異なるリリースファミリから親を選択すると、チーム開発ダッシュボードにエラーメッセージが表示され、変更をプルし比較検証することはできなくなります。別のパッチリリースから親を選択した場合、ダッシュボードには警告メッセージが表示されますが、変更を取り込んで調整できます。

プロダクションインスタンスまたはテストインスタンスでチーム開発を使用しません。

- テストまたは本番インスタンスをチーム開発の親インスタンスとして使用しない。
- どのインスタンスも本番インスタンスの親としない。
- 本番インスタンスは親を持ってはいけない。

チーム開発インスタンス上の変更を取り消す場合、その変更をソースインスタンス上の仕事を戻すことを含めて、その連鎖の最後に戻るまで取り消します。この行動はテストと本番インスタンスに重要な問題を引き起こすかもしれません。

手順

1. 移動先 すべて > チーム開発 > チームダッシュボード.
2. コントロールパネルで、適切なリンクをクリックします。

チームダッシュボードコントロールパネルのオプション

オプション	説明
<instance name and URL> を使用する	最後に定義されたリモートインスタンスを親インスタンスとして選択します。
別のインスタンスを選択	別のリモートインスタンスを選択したり、新しいリモートインスタンスを定義したりするためのダイアログボックスを開きます。
新しいインスタンスを登録するか、すべてのリモートインスタンスをリスト表示する	新しいインスタンスを定義できるリモートインスタンスフォームまたはリストを開きます。これらのオプションは、リモートインスタンスが定義されていない場合に使用できます。

3. 手順2で新しいリモートインスタンスを定義した場合は、ステップ1 からステップ2 までを繰り返しそして定義したリモートインスタンスを選択します。

   システムは、ローカルインスタンスを親と比較する比較検証を開始します。その後、ローカル変更のリストを生成し、親から引き出す準備ができた変更の数を計算します。比較検証は、インスタンスのバージョンも検証します。

4. 両方のインスタンスが同じリリースファミリにある場合は、親インスタンスからすべての変更をプルします。

   注:
   親インスタンスは、 `glide.apps.hub.current` システムプロパティに保存する。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インスタンス階層を設定する

開発ライフサイクルを最もよくサポートするインスタンス階層を設定します。

このタスクについて

この例では、いくつかのピアサブ開発インスタンスが同じ親開発インスタンスを持つインスタンス階層を設定する方法を提示しますが、複数のプロジェクトチームや他の顧客要件を処理するためにより複雑な構成が必要な場合があります。

プロダクションインスタンスまたはテストインスタンスでチーム開発を使用しません。

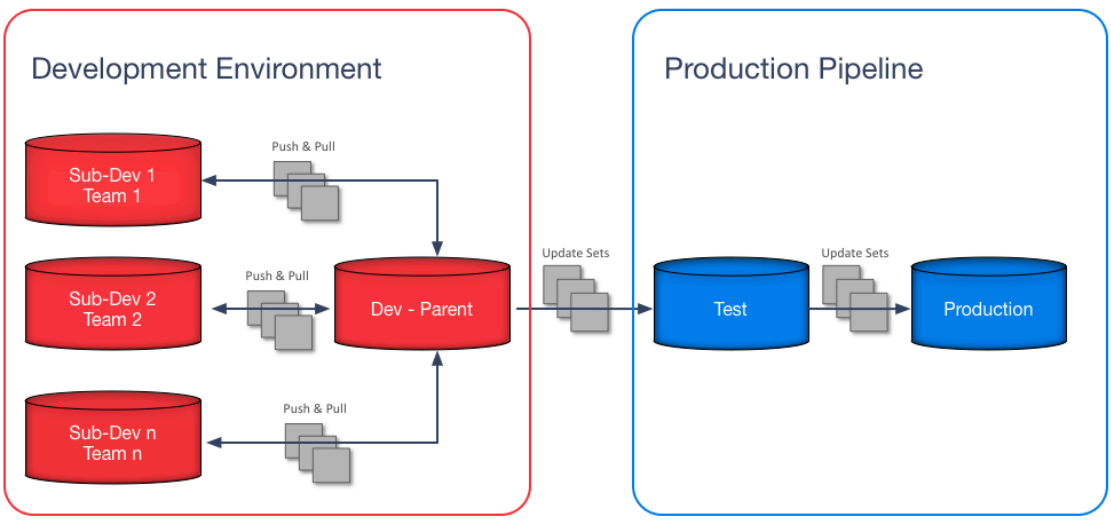
- テストまたは本番インスタンスをチーム開発の親インスタンスとして使用しない。
- どのインスタンスも本番インスタンスの親としない。
- 本番インスタンスは親を持ってはいけない。

チーム開発インスタンス上の変更を取り消す場合、その変更をソースインスタンス上の仕事を戻すことを含めて、その連鎖の最後に戻るまで取り消します。この行動はテストと本番インスタンスに重要な問題を引き起こすかもしれません。

手順

1. プロダクションなどのターゲットインスタンスとして、Dublin などの同じソフトウェアバージョンで親開発インスタンスを使えるようにします。
2. 本番インスタンスを親開発インスタンスにクローンします。
   このステップは推奨されるベストプラクティスです。
3. 親開発インスタンスと同じソフトウェアバージョンのサブ開発インスタンスを使えるようにします。
4. オプション: 親開発インスタンスにログインし、サブ開発インスタンスにクローンします。
5. 各サブ開発インスタンスで：

   a. リモートインスタンス接続をこのインスタンスがプッシュおよびプルする必要がある階層内の他のインスタンスに向けて定義します。
   b. 親インスタンスを定義します。
   c. すべての変更を親インスタンスからプルします。
   d. 適切な開発者にアクセス権を与えます。



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

チーム開発 の管理

インスタンス内で チーム開発 を管理して、インスタンスを比較したり、レコードバージョンをプッシュまたはプルしたり、チーム開発ダッシュボードを表示したりします。

チーム開発 の概要

チーム開発は次の機能を提供します。

- インスタンス間のレコードバージョンのプッシュとプルを含む分岐操作。
- 開発インスタンスを他の開発インスタンスと比較する機能。
- すべての チーム開発 アクティビティの中心的なダッシュボード。

- コードレビュー
- コードレビューの通知
-
- 除外ポリシー
- インスタンス階層
- プッシュおよびプル
- チーム開発 プロセス

ローカル変更

ローカル変更テーブルは、カスタマイズされたレコードのうち、現在のバージョンが開発インスタンスに存在し、親インスタンスには存在しないものを追跡します。

ローカル変更を使用して、プッシュの準備の変更を収集します。

プッシュする準備ができているローカル変更をキューします。各開発インスタンスは、変更を開発またはキューに入れる人に関係なく、単一のキューを維持します。プッシュしたくないローカル変更を無視します。たとえば、開発インスタンスと本番インスタンスを視覚的に区別するカラースキームの変更を無視したいかもしれません。変更をキューから削除するか、変更を無視して停止できます。

親インスタンスまたは調整を変更すると、キューに入れられていないか無視されているローカル変更のリストを再作成します。以前にローカル変更をキューまたは無視していた場合、その指定は維持されます。

ローカル変更リスト

チームダッシュボードでは、ローカル変更リストには、次のプッシュのためにキューに入れられていないか、すべてのプッシュに対して無視されたローカルの変更を表示します。

プッシュ準備完了リストには、キューに入れられた変更が表示され、無視された リストは無視された変更を示します。これらの方法のいずれかを使用して、ローカル変更のリストをナビゲートします。

ローカル変更

アクション	オプション
行の横にある参照アイコンをクリックする。	ローカル変更レコード自体を開きます。
最初の列のリンクをクリックする。	カスタマイズしたレコードを開きます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ローカル変更 (続く)

アクション	オプション
行を右クリックし、最後のプルから変更を表示するを選択する。以前のバージョンが存在しないケースでは (たとえば、新しく作成されたレコードの場合)、エラーメッセージが表示されます。以前のバージョンが利用可能な場合は、比較ウィンドウからそのバージョンに戻すことができます。	現在のローカルバージョンと、最近親から取得または親にプッシュされたバージョンとの比較を表示します。
行を右クリックし、アプリケーションファイルを表示するを選択する。	カスタマイズされたレコードのアプリケーションファイルを開きます。
行を右クリックし、バージョンを表示するを選択する。	現在のバージョンレコードを開きます。

プッシュおよびプル

開発者は、カスタマイズされたレコードのバージョンをプルおよびプッシュし、親インスタンスと開発インスタンスのバージョン間の競合を解決することによって、インスタンスを親インスタンスに同期させます。

開発者は、バージョンを親インスタンスにプッシュする前に、ピアインスタンスを互いに比較し、コードを共有したり、競合を解決したりすることができます。

親からプルすると、カスタマーアップデートを含むレコードのバージョンが取得されます。プルでは、履歴インスタンスを含む、開発インスタンスにまだプルされていないすべてのバージョンが取得されます。プルするバージョンを選択することはできません。さらにプルまたはプッシュする前に、競合があれば解決する必要があります。

親にプッシュすると、すべての開発バージョンではなく、現在の開発バージョンのみが親に追加されます。親にプッシュする変更を選択できます。プッシュすると、完了したとマークされた親にローカル更新セットを作成します。プッシュされたバージョンは、親のローカル変更としても追跡されます。したがって、更新セットを転送するか、ローカルの変更をプッシュすることで、開発およびテストの階層構造を通じて変更を促進できます。

比較することで、2つのピアインスタンスの違いをレポートします。ピアインスタンスからプルするバージョンを選択できます。

チームダッシュボードの [プッシュとプル] 関連リストには、変更を作成したユーザーと、変更が作成されたリモートインスタンスが表示されます。

プッシュのローカル変更をキューに入れる

アプリケーション開発者はプッシュのローカル変更をキューに入れ、変更が他の開発者に利用可能であることを保証するプッシュをします。

手順

1. 移動先 すべて > チーム開発 > チームダッシュボード.
2. ローカル変更リストをフィルタリングして、プッシュする準備ができた変更のみを表示します。

   たとえば、リストをフィルタリングして、特定のアプリケーションに関連付けられた変更のみを表示します。
3. すべてをプッシュのキューをクリックします。
4. [プッシュの準備完了] リストをレビューし、キューに正しい変更が含まれていることを確認します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このステップは推奨されるベストプラクティスです。

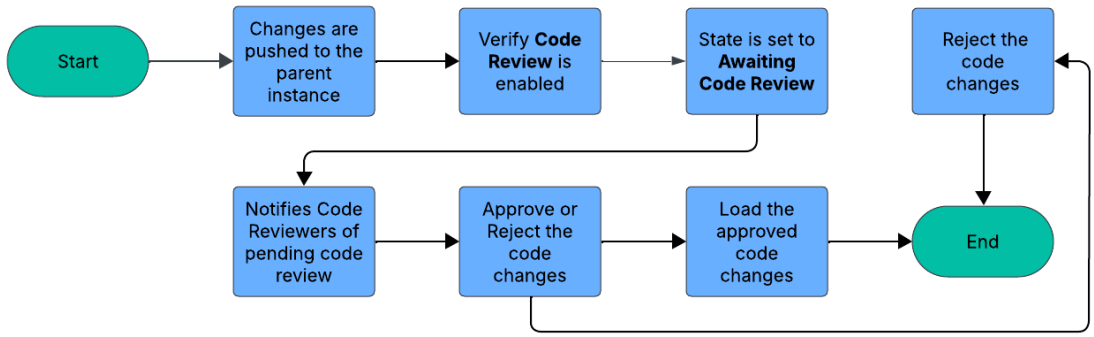
オプション	説明
キューから変更を削除するには	行の横にあるチェックボックスをオンにして、行動選択リストから プッシュしないを選択します。
変更をキューから削除し、代わりに無視することを選択するには	行の横にあるチェックボックスをオンにして、行動選択リストから この変更を無視するを選択します。

コードレビュー

チーム開発アドミニストレーターは、プッシュを受け入れる前にプッシュをコードレビューする必要があります。

コードレビューが有効になっている場合、変更を親インスタンスにプッシュすると、コードレビューワークフローをトリガします。デフォルトでは、teamdev_code_reviewerロールを持つユーザーは変更を確認するための通知を受け取り、変更を承認または拒否できます。チーム開発コード査読者には、teamdev_code_reviewer ロールがあります。

コードレビューワークフロー



1. 変更が親インスタンスにプッシュされたときに開始する。
2. コードレビュープロパティが親インスタンスでアクティブであることを検証する。
3. 承認が必要な変更の状態を [コードレビュー待ち] に設定します。
4. プッシュされた変更をレビューするようにチーム開発コードレビュー担当者グループに通知します (設定されている場合)。
5. 承認された変更をロードするか、ステータスを コード変更拒否に設定します。

変更の詳細

各変更について、査読者は以下の情報を見ることができます。

- どのリモートインスタンスからプッシュされた変更が来ているか。
- 誰が変更を親にプッシュしたのか。
- 何が変わったのか。
- いつ変更が作成されたのか。
- 変更に含まれるバージョン。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

査読者はチーム開発アプリケーションからのプッシュを承認または拒否する必要があります。

子インスタンスの制限

変更が親インスタンスでレビューされている間、子インスタンスは親インスタンスに関連する次のアクティビティを実行できません：

- 親インスタンスへ変更をプッシュする。
- 親インスタンスからの変更をプルする。
- 親インスタンスで変更を比較検証する。
- 親インスタンスを別のインスタンスに変更する。
- 親インスタンスのリモートインスタンスレコードを削除する。

コードレビュー要求をキャンセル

開発者はコードレビューを待つステージにある提出したプッシュをキャンセルできます。

このタスクについて

要求を取り消すと、プッシュを提出するインスタンス上でコードレビュー要求がキャンセルされたステージに設定します。サブミット インスタンスはプッシュのバージョン履歴を保持しますが、親インスタンスは保持しません。

手順

1. 変更をプッシュしたインスタンスにログインします。
2. 移動先 チーム開発 > プッシュおよびプル.
3. 取り消したいプッシュをフィルターします。

   注:
   承認または拒否されているプッシュはキャンセルできません。

4. プッシュまたはプルレコードを選択します。
5. コードレビューをキャンセルをクリックする。

コードレビューを有効にする

インスタンスにプッシュされたすべての変更のコードレビューを要求できます。

手順

1. 移動先 すべて > チーム開発 > プロパティ.
2. このプロパティが*Yes*に設定されている場合、このインスタンスにプッシュする前にコードレビューが必要であるのチェックボックスにはいを選択します。
   (com.snc.teamdev.requires_codereview)。
3. [保存] をクリックします。

   このプロパティを設定すると、コードレビューリクエストモジュールがアプリケーションメニューに追加され、このインスタンスにプッシュされたすべての変更がコードレビューを待つステージにチーム開発コード審査員グループの誰かがそれらを承認するまで留まる。

コードレビューの通知

コードレビュー通知を送付するには、そのインスタンスのコードレビューが必要なインスタンスで電子メール通知を有効にする必要があります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

チーム開発コードレビューワークフローは、次の場合にチーム開発コード審査員グループのメンバーに通知を送ります。

- プッシュにはコードレビューが必要です。
- ユーザーはプッシュをキャンセルします。

変更をプッシュしたユーザーが、コードレビューが必要なインスタンスに電子メールアドレスを持つユーザーレコードがある場合、ユーザーは承認ステージが完了 (承認済み)またはコード変更拒否 に設定されたときに通知を受け取ります。

コードレビュー通知には、次の情報が含まれています。

コードレビュー通知テーブル

通知の名称	テーブル	コンテンツ
開発者向けコードレビューの更新	プッシュまたはプル [sys_sync_history]	• プッシュ名 • プッシュの承認段階(承認済みまたは却下済み) • コードレビュー要求が行われたインスタンスへのリンク
キャンセルされたレビューのコードレビュー担当者に通知する	プッシュまたはプル [sys_sync_history]	• レビューをキャンセルしたユーザー • キャンセルされたプッシュ

プッシュを承認または却下する

コードレビュー担当者はチーム開発アプリケーションからのプッシュを承認または拒否する必要があります。

このタスクについて

レビュー担当者は、プッシュ内で個々のバージョンを確認できますが、プッシュ全体を承認または拒否する必要があります。

手順

1. コードレビューが必要な親インスタンスにログインします。
2. 移動先 チーム開発 > コードレビュー要求.
3. コードレビューを待つステージにある変更を選択します。
4. プッシュまたはプルバージョン関連リストにある変更をレビューします。
5. 承認または却下をクリックします。
6. オプション: コメントにコメントコメントを入力。
   これらのコメントは、プッシュとプルの履歴を見れる人には見えます。
7. 承認するまたは拒否 のいずれかを適切にクリックします。

プッシュされた変更のレビューステータスを確認します

親インスタンスでプッシュされた変更がコードレビューを受ける必要がある場合、変更はコードレビューを待つステージに置かれます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて
通知を提出するように親インスタンスを構成した場合、プッシュされた変更が承認または拒否されたときに、提出する開発者に通知を送ります。開発者は、提出するインスタンス上のプッシュとプルモジュールからプッシュされた変更の状態を手動で確認することもできます。

手順

1. レビューのためにコードを提出したインスタンスにログインします。
2. 移動先 チーム開発 > プッシュおよびプル.
3. レビューしたいプッシュをフィルタリングします。
   - 完了ステージでのプッシュは承認され、親インスタンスに適用されます。
   - 競合したステージでのプッシュは競合のために拒絶されます。
   - コードレビューを待つステージにあるプッシュはレビューを待っています。
   - コード変更拒否ステージにあるプッシュは審査員によって拒絶されます。
   - コードレビュー要求がキャンセルされたステージにあるプッシュは、提出する開発者によってキャンセルされます。
4. レビュー関連のリストをクリックして以下の情報を見ます。
   - 誰がレビュー決定を提出しましたか。
   - 決定はどちらだったか：承認か拒否ですか。
   - 査読者が提供した場合コメントは何ですか。

プッシュされたバージョンとローカルバージョンを比較する

コードレビュー担当者は、プッシュされたバージョンとローカルバージョンを比較して、変更の可能性ある影響を確認できます。

手順

1. コードレビューが必要なインスタンスにログインします。
2. 移動先 チーム開発 > コードレビュー要求.
3. コードレビューを待つステージにある変更を選択します。
4. プッシュまたはプルバージョン関連リストにある変更をレビューします。
5. リスト内の行を右クリックし、そして現在と比較をクリックします。
   プッシュされたバージョンとローカルバージョンの違いの比較が表示される。

関連情報

- 結合用ツール
- 現在のバージョンと比較
- 記事の 2 つのバージョンの比較
- 個々のレコードの競合の解決
- チーム開発での衝突の解決
- 変更を元に戻す
- カスタマイズを表示し現バージョンと比較する

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プッシュを取り消す

アプリケーション開発者は、望ましくない変更を削除するためにプッシュを取り消せます。

手順

1. チーム開発>プッシュとプルに行きます。
2. 取り消すプッシュを選択します。
3. 取り消しをクリックします。
4. 確認メッセージが表示されるとOKをクリックする。

バージョンをプル

プルは、カスタマイズされたバージョンのレコードを親インスタンスから取り出し、それらを開発インスタンスに追加します。プルでは、システムのアップグレードによって変更されたバージョンは取得しないが、現在のバージョンだけでなく、ユーザーが行った変更のすべてのバージョンを取得します。

このタスクについて

プルは、まだ開発インスタンスにプルされていないユーザーが行った変更のすべてのバージョンを取得しますが、プルするバージョンを選択することはできません。親インスタンスから初めてプルすると、ユーザーが行った変更のすべてのバージョンを取得します。その後のプルでは、最後のプルから新しいバージョンを取得します。各プルは開発インスタンスのsys_sync_history テーブルのプッシュまたはプルで記録されます。履歴バージョンは、履歴 の状態で保存します。

手順

1. 移動先 すべて > チーム開発 > チームダッシュボード.
2. コントロールパネルで、プルをクリックします。
3. 完了ページで、結果を示す をクリックします。
   [プッシュまたはプル] フォームの [プッシュおよびプルのバージョン] 関連リストは、バージョンが取得されたカスタマイズされたレコードを表示し、プルの例外が存在するかどうかを示します。
4. 競合を解決します。

例外をプルする

特定の条件が発生したときにプルするとバージョンを無視します。

プル例外テーブル

問題	説明
一致する除外ポリシー	除外ポリシーは、ポリシー条件に一致するレコードの変更をプルするのを防ぎます。プルは変更を識別するが、これらのレコードのバージョンは含みません。
プライベートプロパティ	プライベートプロパティは、全ての更新セットから除外され、プルします。
競合	プルされたバージョンと現在のローカルバージョンの両方に同じレコードに対する変更が含まれている場合、競合が検知されます。プッシュする前に競合を解決しなければなりません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プル例外テーブル (続く)

問題	説明
以前に解決済みの競合	プルされたバージョンまたはローカルバージョンのレコードを受け入れて競合を解決したとき、プルはその決定を記憶し、「以前に解決された競合」として示したバージョンを受け入れます。
スキップ	バージョンが壊れているか欠落しているなど、バージョンレコードに問題がある場合は、バージョンをスキップする。

競合の解決

チーム開発における衝突を解決します。

チーム開発での衝突の解決

競合はプルされたバージョンと現在のローカルバージョンが別のバージョンの変更である場合に検知され、他の誰かがあなたが変更した同じレコードを変更したことを示します。チームダッシュボードには、ローカルインスタンスと親インスタンスの間の競合の数が表示されます。

始める前に
必要なロール：admin

このタスクについて
変更が他の開発作業と競合しないようにするには、競合が特定されるとすぐに解決する必要があります。プッシュする前に競合を解決しなければなりません。

手順

1. 移動先 すべて > チーム開発 > チームダッシュボード.
2. コントロールパネルで、競合をクリックするかまたは競合数をクリックします。
   競合のリストが開きます。
3. 行を右クリックし、競合を解決するを選択します。
   または、レコードを開いて、[競合を解決 **(Resolve Collision)]** 関連リンクをクリックします。
   [競合を解決 (Resolve Collision)] ページには、親から取得したバージョンとローカルレコードの比較が表示されます。そのページには違いが強調表示されています。
4. 違いを確認し、アクションを実行します。
   システムはそのアクションを実行し、将来のプッシュ/プルについても競合をクリアします。
5. 残りの競合ごとにこのプロセスを繰り返します。

タスクの結果
システムはマージされた変更を保存し、競合を解決する。

関連情報

- 現在のバージョンと比較
- プッシュされたバージョンとローカルバージョンを比較する
- 記事の 2 つのバージョンの比較
- 個々のレコードの競合の解決
- 変更を元に戻す
- カスタマイズを表示し現バージョンと比較する

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

レコードの更新に関する制限

現在と競合の解決ページを比較して違いを解決する間に、結合できないレコードがいくつかあります。

プルしたまたは現在のレコードを元に戻すか受け入れるかだけを選択できるレコードタイプ

次のレコードタイプでは、個々の値を結合することはできません。代わりに、次のレコードタイプに関連する違いは、読み取り専用の比較を表示し、更新と復帰のどちらかを選択できます：

- sys_choice [選択]
- sys_choice_set [選択セット]
- sys_ui_form [フォーム]
- sys_ui_list [リスト]
- sys_ui_related_list [関連リスト]
- sys_ui_section [フォームセクション]
- wf_workflow [ワークフロー]
- wf_workflow_version [ワークフローバージョン]

チーム開発、競合の解決ページ： プルしたバージョンの使用そしてローカルバージョンを使用するオプション。

アップグレード履歴、現在のページと比較：非現在の更新バージョンと現在の更新バージョンの比較。ベースシステムに戻すオプションのみ許可します。

結合をサポートしないフィールド型

次のフィールドタイプは、バージョンまたは更新の個々の結合をサポートしていません：

- auto_increment [自動インクリメント]
- auto_number [自動番号]
- breakdown_element [ブレークダウン要素]
- catalog_preview [カタログプレビュー]
- collection [コレクション]
- color_display [カラー表示]
- composite_field [複合フィールド]
- compressed [圧縮]
- counter [カウンター]
- currency [通貨]
- data_array [アレイデータ]
- data_object [オブジェクトデータ]
- data_structure [構造データ]
- date
- datetime
- days_of_week [曜日]

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- document_id [ドキュメントID]
- due_date [期限日付]
- Email [電子メール]
- external_names [外部名]
- field_list [フィールドリスト]
- float [浮動小数点数]
- glide_action_list [UIアクションリスト]
- glide_precise_time [正確な時刻]
- glide_var [グライド変数]
- image
- index_name [インデックス名]
- int
- integer_time [整数時間]
- ip_address [IPアドレス]
- journal [定期報告]
- journal_input [ジャーナル入力]
- journal_list [ジャーナルリスト]
- long
- mask_code [マスクコード]
- metric_absolute [メトリクス絶対]
- metric_counter [メトリクスカウンタ]
- metric_derive [メトリクス導出]
- metric_gauge [メトリクスゲージ]
- mid_config [MID サーバー構成]
- month_of_year [年中の月]
- multi_small [複数行小テキストエリア]
- name_values [名前/値]
- nl_task_int1 [NL タスク整数1]
- order_index [指数インデックス]
- password [パスワード (1 方向暗号化)]
- percent_complete [パーセント 完全]
- ph_number [電話番号]
- phone_number [電話番号 (使用せず)]
- phone_number_e164 [電話番号(E164)]
- price [価格]
- reference_name [参照名]
- related_tags [関連タグ]

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- reminder_field_name [リマインダーフィールド名]
- repeat_count [繰り返し回数]
- repeat_type [繰り返しタイプ]
- replication_payload [レプリケーションペイロード]
- schedule_date_time [スケジュールの日付/時刻]
- short_field_name [ショート フィールド名]
- short_table_name [短いテーブル名]
- Slushbucket [スクラッシュ バケット]
- source_id [ソース ID]
- source_name [ソース名]
- source_table [ソーステーブル]
- string_boolean [<なし>]
- sys_class_name [システムクラス名]
- sysrule_field_name [システムルールフィールド名]
- table []
- text []
- time []
- timer [タイマー]
- translated [翻訳された]
- tree_code [ツリーコード]
- tree_path [ツリーパス]
- user_image [画像]
- user_input [ユーザー入力]
- variables [変数]
- version [バージョン]
- video [ビデオ]
- week_of_month [月の週]
- wide_text [幅広テキスト]
- wms_job [WMS ジョブ]
- workflow [ワークフロー]

関連情報

チーム開発での衝突の解決

複数の競合を解決する

ローカルとプルされたバージョンの違いをレビューすることなく、複数の競合を解決できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > チーム開発 > チームダッシュボード.
2. コントロールパネルで、競合回数をクリックします。
   競合のリストが開きます。
3. 解決したい行の横にあるチェックボックスをオンにします。
4. [アクション *(Actions)*] 選択リストで、次のいずれかの方法を使用して競合を解決します。

オプション	説明
親から引き出されたバージョンを、選択されたすべての競合の現在のバージョンとして読み込みます。	プルされたバージョンを使用を選択します。
選択したすべての競合の現バージョンとしてローカル バージョン(ローカル レコード)を維持します。 プルされたバージョンは、レコードのバージョン履歴に追加します。	ローカルバージョンを使用を選択します。

ローカル変更を取り消す

すべてのローカル変更を取り消して、親インスタンスとの最新のバージョンを回復します。

手順

1. 親インスタンスを定義します。
2. 親インスタンスからの変更をプルします。
3. 移動先 チーム開発 > チームダッシュボード.
4. ローカル変更リストをフィルターして、元に戻す変更のみを表示します。
5. 次のいずれかのアクションを実行します。
   - すべてを取り戻す をクリックします。
   - 取り消したいローカルの変更を右クリックし、取り消し をクリックします。

ピアインスタンスと比較

ローカルインスタンスを他のリモートインスタンスと比較し、開発インスタンスのリモートインスタンスから現在のバージョンを収容できます。

このタスクについて
比較すると、共通の親にプッシュしなくてもインスタンス間でコードを共有できます。

インスタンスを比較しても、ローカルインスタンスのバージョンは自動的に収容されません。リモートインスタンスのすべての変更とローカルインスタンスのすべての変更の完全比較を開始し、どのカスタマイズされたレコードが異なった現バージョンを持っているかを報告します. リモートインスタンスからバージョンを選択的に収容するか、ローカルインスタンスのバージョンと比較することができます。差異の評価が終了すると、インスタンス比較レコードを削除できます。

ローカル インスタンスとピア インスタンスを比較するには、次のようにします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. ピアインスタンスがリモートインスタンスとして定義されるのを確認します。
2. 移動先 チーム開発 > チームダッシュボード.
3. コントロールパネルで、比較する をクリックします。
4. ローカルインスタンスと比較するピアインスタンスを選択し、比較 をクリックします。
5. 完了ページで、結果を示す をクリックします。
   インスタンス比較レコードが開きます。
6. そのリモートでローカルではないに関連するリストをレビューし，ピアインスタンスの現在のバージョンがローカルインスタンスにない所のカスタマイズされたレコードを表示します。

   カスタマイズされたレコードごとに、以下を行えます。

   - 現在のリモートバージョンと現在のローカルバージョンを比較するには、行を右クリックして、現在と比較を選択します。
   - 現在のリモートバージョンを現在のローカルバージョンとしてロードするには、行を右クリックし、この変更をロードするを選択する。

チーム開発 プロセス

基本的な チーム開発 プロセスは、インスタンス階層を設定し、開発者にアクセス権を付与し、開発インスタンスからテストインスタンスへの開発変更の移動を管理し、アプリケーションを本番インスタンスに昇格させます。

始める前に
必要なロール：admin

手順

1. インスタンス階層を設定するに述べたように開発インスタンスの階層を設定します。

   a. ターゲットインスタンスと同じソフトウェアバージョンで開発インスタンスを使えるようにします。たとえば、本番インスタンスで実行されているソフトウェアバージョンを使用します。
   b. [推奨]ターゲットを開発インスタンスにクローンします。
   c. 各インスタンスについて、親インスタンスを定義します。
   d. [オプション]各インスタンスに対して、ピアインスタンスを定義します。
   e. 各インスタンスについて、すべての変更を親インスタンスからプルします。
2. サブ開発インスタンスの場合は、適切な開発者にアクセス権を与えます。
3. サブ開発インスタンスのカスタマイズを開発します。

   チームダッシュボードを使用して開発活動を追跡します。

   - 他のサブ開発インスタンスからプッシュされたバージョンなど、親インスタンスからバージョンをプルします。必要に応じて、現在のローカルバージョンとの競合を調整します。
   - ローカル変更を追跡します。親開発インスタンスにプッシュする準備ができている変更をキューに入れます。
   - ピアインスタンスのバージョンを比較します。競合を調整します。
4. 機能が親開発インスタンスに昇格する準備ができると、カスタマイズされたレコードの現在のバージョンをプッシュします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

5. オプション: コードレビュー担当者に、プッシュされたバージョンを承認または却下してもらいます。
6. テストおよびリリース管理プロセスに従って、機能をテストし、プロダクションにプロモートする。

関連情報

チーム開発

開発者のアクセス権

バージョンをプッシュ

チーム開発 ロール

チーム開発を使用するには、開発者が開発インスタンスへのアドミンアクセス権を持っている必要があります。

親インスタンスにプッシュを許可するには、リモートインスタンス接続は親インスタンスへの管理アクセス権を持つユーザーアカウントで定義する必要があります。

開発者の親インスタンスへのアクセスを制限するには、開発者にアクセス権を与えるを参照下さい。

コードレビュー機能を使用するには、teamdev_code_reviewerロールが必要です。コードレビューを参照してください。

バージョン

バージョンレコードは、アドミニストレーターが後で特定のバージョンと比較したり元に戻したりできるように、カスタマイズされたレコードの変更を時間とともに追跡します。

アドミニストレーターは、更新セットまたはチーム開発を使用してインスタンス間でバージョンを転送できる。

バージョンレコードナビゲーション

オブジェクトのバージョンのリストを表示するには、さまざまな方法があります。

- フォームの場合は、ヘッダーを右クリックして 構成 > フォームレイアウト.
- リストには、リストバージョンに合わせて適切なアクションを実行する。
  - リスト v2:ヘッダーを右クリックして、 構成 > リストレイアウト.
  - リスト V3: リストタイトルメニューを開き、リストレイアウト選択する。
- バージョンの表示関連リンクをクリックする。
- update_synchプロパティを使用するテーブルの場合は、 バージョンに関連するリストをフォームに追加する。このリストは、ビジネスルール、UIアクション、クライアントスクリプトなど、デフォルトでいくつかの形式で表示されます。
- カスタマイズ可能なオブジェクトの場合は、フォームヘッダーを右クリックし、アプリケーションファイルを表示し、次にスクロールダウンして関連レコード バージョン関連リストに行く。

バージョン レコードから次のものに行ける:

- カスタマイズされたオブジェクト： 関連レコードを表示関連リンクをクリックする。
- オブジェクトのアプリケーションファイルレコード： アプリケーションファイルを表示する関連リンクをクリックする。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

転送するバージョン

アドミニストレーターは、更新セットまたはチーム開発アプリケーションでカスタマイズを移動して、インスタンス間でバージョンレコードを転送します。

- 更新セット：更新セットを収容するとバージョンが追加となる。更新セットの各更新には、更新に対応するバージョンがローカルインスタンスに追加される。
- チーム開発:
  - プルすると、親インスタンスから、まだプルされていないカスタマイズされたレコードのすべてのバージョンが取得され、ローカルインスタンスに追加される。
  - プッシュすると、すべてのローカルバージョンではなく、現在のローカルバージョンのみが親インスタンスに追加される。
  - ピアインスタンスから変更をロードすると、選択したバージョンがローカルインスタンスに追加される。

バージョンレコード

更新バージョン [sys_update_version] テーブルには、特定の時間にカスタマイズ可能なオブジェクトの状態を表すレコードが含まれています。

カスタマイズ可能なレコードは、ビジネスルールやスクリプトインクルードなど、更新セットによって追跡されるオブジェクトです。ユーザーがカスタマイズ可能なレコードを変更するか、カスタマイズ可能なレコードのアプリケーションファイルを変更するたびに、新しいバージョンレコードが自動的に作成されます。

レコードは、最新のアップグレードで提供されたベースシステムオブジェクトのバージョンを表します。ベースラインバージョンは、ユーザーによって変更されたオブジェクトに対してのみ作成され、システムがアップグレードされるたびに更新されます。

更新バージョンテーブル

フィールド	説明
名前	同様にカスタマイズされたレコードのバージョンを統合するための一意の識別子。
レコード名	カスタマイズされたレコードの名前。
ソース	インスタンスにバージョンがどのように追加されたかを示すインジケータ。 • システムアップグレード：ソフトウェアアップグレード(ベースラインバージョン)から。 • 更新セット：インスタンス上で作成または収容された更新セットから。 • プルヒストリー：チーム開発のプルから。
状況	そのバージョンがインスタンスにロードされているかどうかを示すインジケータ。 • 現在：バージョンが現在ロードされています。 • 以前：以前にバージョンがインスタンスにロードされていました。現在のバージョンが新しいバージョンに置き換えられると、それは以前のバージョンになります。 • 履歴：バージョンはインスタンスにはロードされたことはなく、チーム開発で親からバージョンを取得するなど、来歴上の目的でのみ挿入されました。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

更新バージョンテーブル (続く)

フィールド	説明
アプリケーション	それがアプリケーションに割り当てられている場合のカスタマイズされたレコードのためのアプリケーション。
ペイロード	このバージョンのカスタマイズされたレコードのデータ。
リストビューの追加フィールド	
戻す前	このバージョンが古いバージョンに戻すことで作成された場合、古いバージョンのレコードへの参照。
フォームを構成することによって追加できるフィールド	
インスタンス名	バージョンが最初に作成されたリモートインスタンスの名前。
インスタンスID	元々バージョンが作成されたリモートインスタンスのURL。
フォームビューでの関連したリスト	
バージョンリスト	インスタンスで使用可能なカスタマイズされたレコードのすべてのバージョン。

関連情報

チーム開発

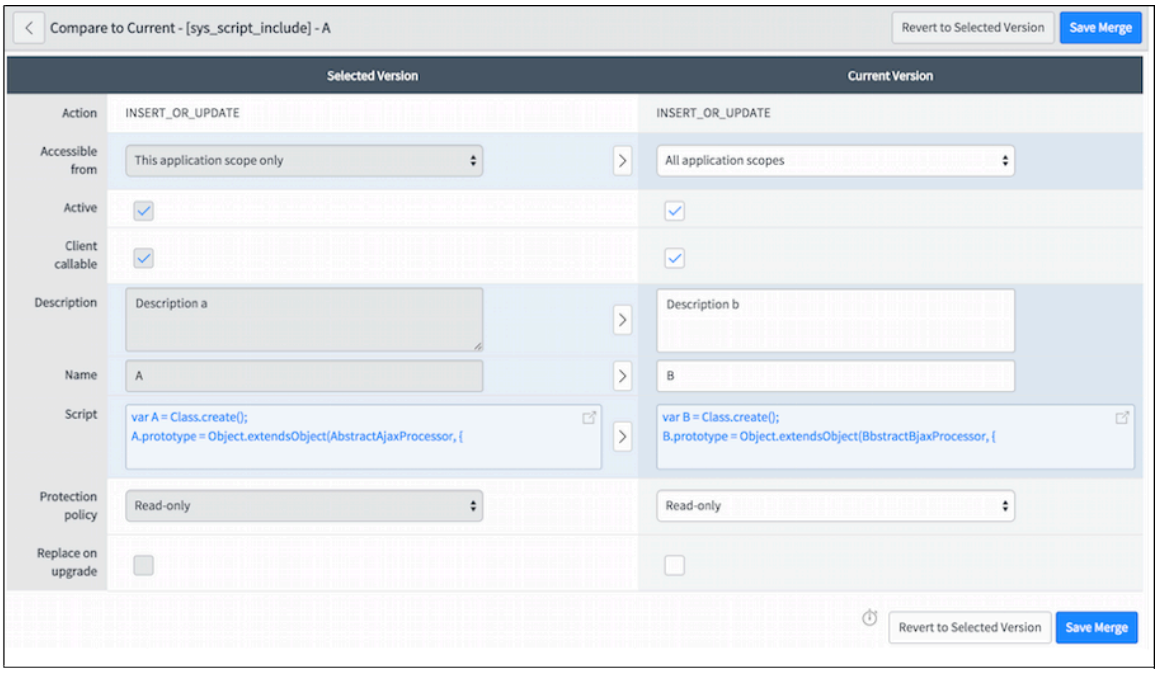
結合用ツール

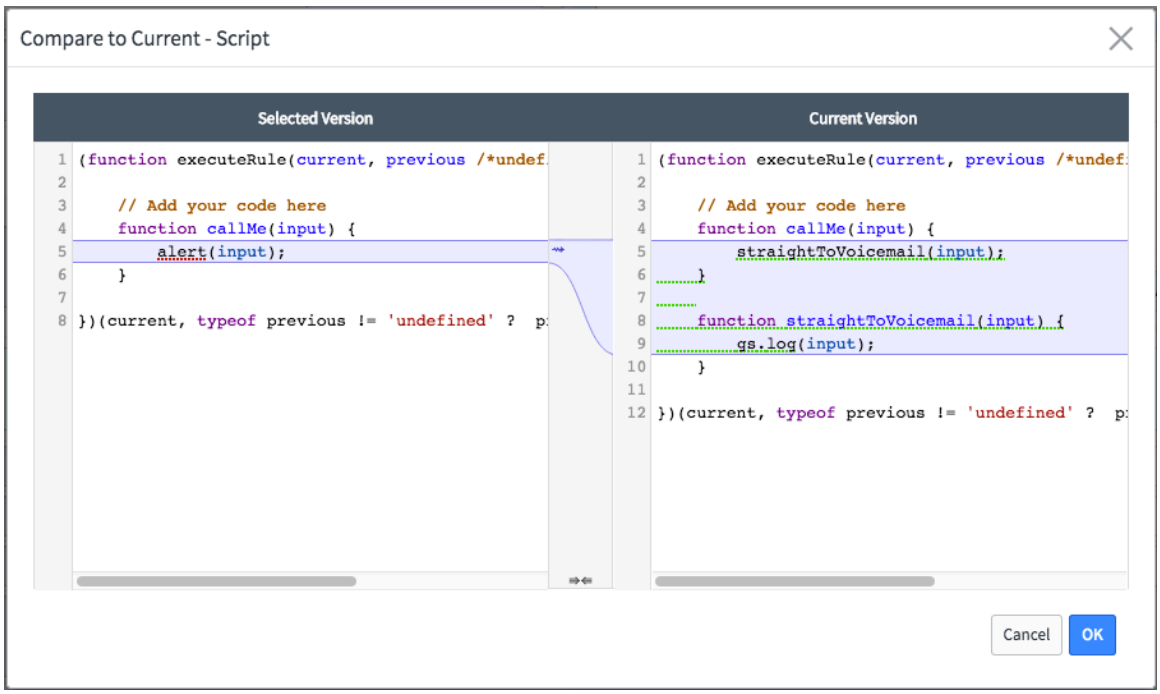
差異結合ツールを使用すると、管理ユーザーはレコードの2つのバージョン間の相違点を比較できます。

アドミニストレーターは、2つのバージョン間のフィールドレベルの変更を比較したり、Move Rightフィールドレベルのコピー機能を使用して変更を適用し、その後で結果を結合したり、非現行バージョンに戻せます。差異結合ツールには、開発中またはアップグレード後にバージョンの比較、競合の解決、または競合の解決によってアクセスできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。





アクセス可能性機能

このプラットフォームは、ウェブコンテンツアクセスアクセシビリティガイドライン (WCAG) 2.0 レベル A に対応し、障害のあるユーザーがインターフェイスにアクセスできるようにするアクセシビリティ機能が含まれています。これらの機能により、プラットフォーム機能にアクセスする際のユーザーエクスペリエンスがアクセシビリティ機能の使用によって向上します。

一般的に、次の一連の標準的なキーボードナビゲーション機能を使用できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- タブを押すことでモジュール内の標準インターフェイスコントロール(フィールドとリスト)間の移動、タブ内のレコード間の移動など、あらかじめ定義された順序で主要なグループをナビゲートできます。
- シフトタブを押すと、あらかじめ定義された順序で逆方向に移動します。

視覚障害のあるユーザーは、差異結合ツールでナビゲートできます。画面リーダーはすべての重要なページのコンテンツを読めます。クリティカルなセクションを読む必要がある場合は、すべてのリンクとボタンにアクセスできます。ボイスオーバーで可聴な手がかりは、読み上げる必要のあるセクションの内容を述べます。

アクセス可能性機能を有効にするには、アドミニストレーターは次のsys_propertiesを設定する必要があります。

1. **glide.ui.javascript_editor** をfalseに設定すると、次の関数がアクセス可能になります。
   - スクリプトフィールド(Script Includeなど)。
   - サイドバイサイドスクリプトの比較。
2. sys_propertiesのカラー設定を設定すると、コントラストの高い視認性が得られ、視覚障害のあるユーザーが左右の列にアクセスしやすくなり、読みやすくなります。
   - **mergetool.bg.left.highlight** - バージョン間で値が異なる場合は、左列のセルを着色します。
   - **mergetool.bg.right.highlight** - バージョン間で値が異なる場合は、右側のセルを着色します。
   - **mergetool.bg.left** - バージョン値が同じ場合、左列のセルを着色します。
   - **mergetool.bg.right** - バージョン値が同じ場合は、右列のセルを着色する。

関連情報

現在のバージョンと比較

プッシュされたバージョンとローカルバージョンを比較する

記事の 2 つのバージョンの比較

個々のレコードの競合の解決

チーム開発での衝突の解決

変更を元に戻す

カスタマイズを表示し現バージョンと比較する

現在のバージョンと比較

フォームレイアウトやビジネスルールなど、ユーザーが変更したカスタマイズ可能なオブジェクトのバージョンを現在のバージョンと比較できます。チーム開発では、オブジェクトのローカルおよび現在のプルバージョンを比較できます。アドミニストレーターは特定のテーブルのバージョンを非表示にできる。

このタスクについて

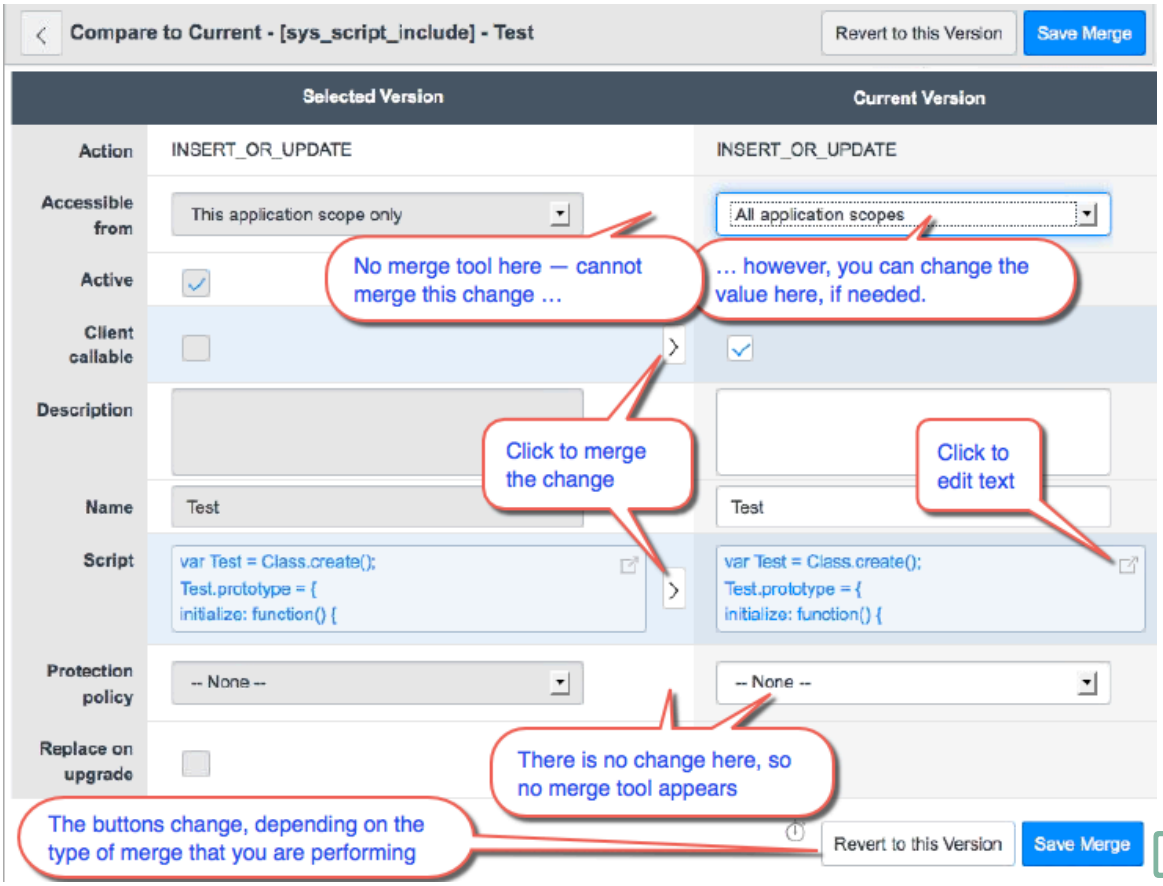
バージョンをオブジェクトの現在のバージョンと比較するには：

手順

1. 次のテーブルに示すいずれかの方法を使用して、[現在と比較] ページを開きます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳



2. [現在と比較] ページで、異なるフィールドを確認します。

関連情報

- 結合用ツール
- 現在のバージョンと比較
- プッシュされたバージョンとローカルバージョンを比較する
- 記事の 2 つのバージョンの比較
- 個々のレコードの競合の解決
- チーム開発での衝突の解決
- 変更を元に戻す
- カスタマイズを表示し現バージョンと比較する

変更を元に戻す

古いバージョンに戻すことで、カスタマイズしたレコードの変更を元に戻せます。

手順

1. オブジェクトのバージョンレコードリストを表示します。
2. オプション: 現在のバージョンと古いバージョンを比較して、必要な変更を元に戻すことを確認します。
3. 古いバージョンを右クリックし、このバージョンに戻すを選択します。
   確認ダイアログ ボックスが表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このバージョンに戻すと、データベーススキーマが変更されるためにデータが失われる場合、ダイアログボックスに警告メッセージが表示されます。

4. **OK** をクリックするとそのアクションを確認します。
   - 現在のバージョンは以前のバージョンとしてマークされます。
   - 前の手順で選択したバージョンを複製した新しいバージョンレコードが追加されます。この新しいバージョンは現在のバージョンとしてマークされます。

   注:
   最新のベースラインバージョンに戻せます。古いベースラインバージョンには戻せない。

関連情報

結合用ツール

現在のバージョンと比較

記事の 2 つのバージョンの比較

プッシュされたバージョンとローカルバージョンを比較する

チーム開発での衝突の解決

個々のレコードの競合の解決

カスタマイズを表示し現バージョンと比較する

バージョンを表示しない

アドミニストレーターは、[sys_update_version] 表のバージョンのカスタマイズを追跡しないようにテーブルを構成できます。

このタスクについて

警告:
テーブルのバージョンを非表示にすると、チーム開発が正しく動作しない可能性があり、テーブルのレコードのバージョンを比較したり元に戻すことができない場合があります。

手順

1. **sys_properties.list** に移動します。
2. 新しいプロパティを作成します。
   - 名：glide.update.suppress_update_version
   - タイプ：文字列
   - 値：テーブルのコンマ分離リストデフォルト値：sys_user、sys_import_set_row

バージョンとローカル変更

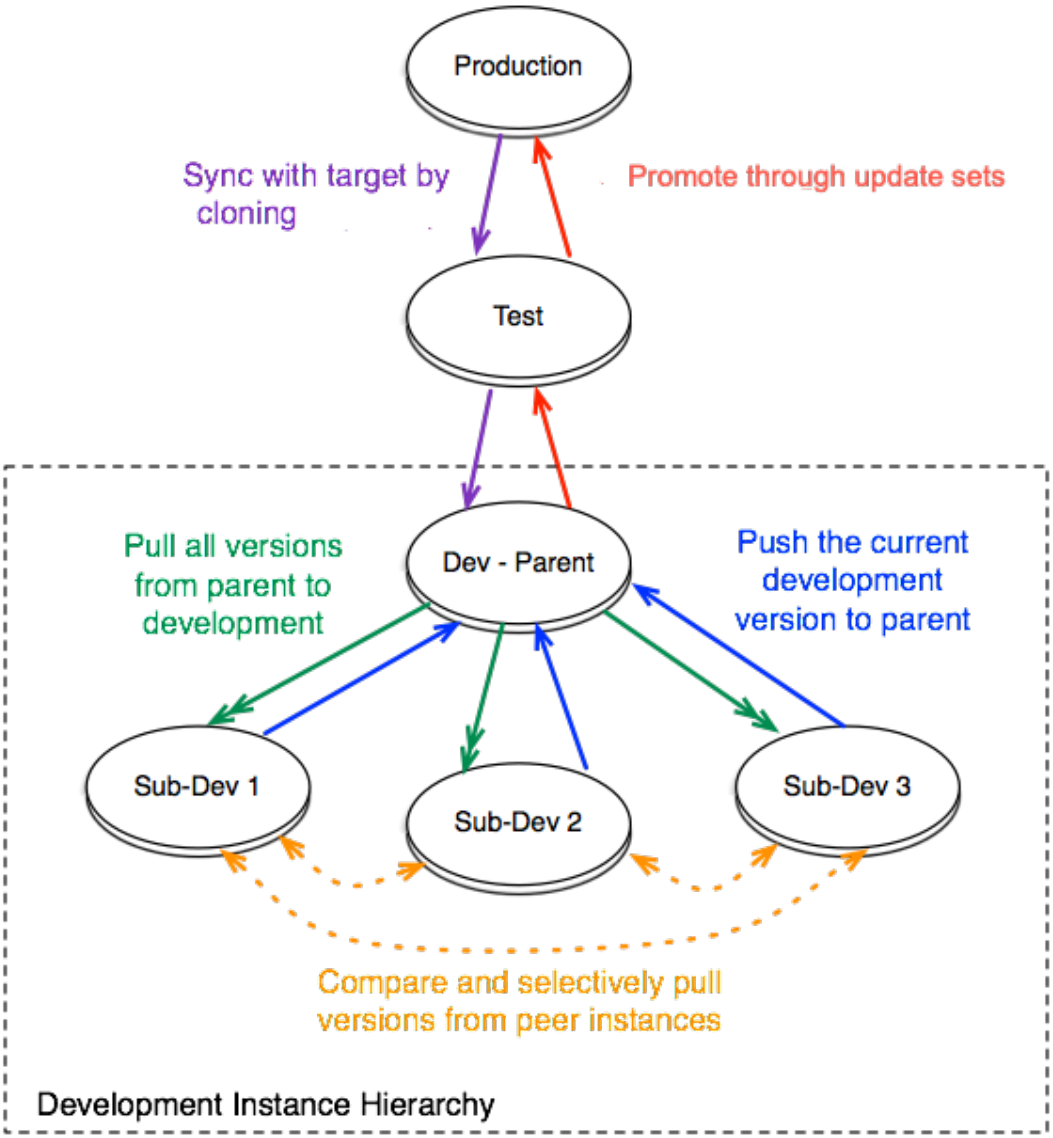
バージョンレコードは、後で特定のバージョンと比較または元に戻すことができるように、カスタマイズ可能なレコードへの変更を追跡します。

開発者がカスタマイズ可能なレコードを変更するたびにバージョンレコードが作成されるため、単一のレコードに複数のバージョンレコードを関連付けできます。開発者がカスタマイズ可能なレコードを変更するたびに、現在のバージョンを参照するようにローカルの変更レコードが作成または更新されるため、１つのレコードに関連付けられたローカルの変更レコードは１つだけです。

ローカル変更レコードは、カスタマイズされたレコードが親インスタンスにない開発インスタンスの変更を追跡するので、プッシュの準備のために変更を収集できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



開発者は、カスタマイズ可能なレコードの以前のバージョンを回復するために、ローカルの変更を取り消せます。取り消しアクションは、ローカルのカスタマイズ可能レコードを、調整アクションによって識別された最後のリビジョンに設定します。

チーム開発の参照

参照トピックには、システムユーザーロールとドメインセパレーションのサポートに関する情報が記載されています。

チーム開発システムプロパティ

これはチーム開発システムのプロパティページです。

アプリケーションの開発

組織のビジネスニーズを満たすカスタムアプリケーションをビルドします。作成するユーザーエクスペリエンスまたはワークフローのタイプに適したビルダーを選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

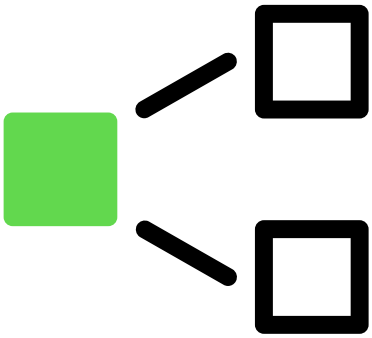
カスタムアプリケーションでの AI 機能の使用

生成 AI 機能とエージェント AI 機能を使用してカスタムアプリ開発とユーザーエクスペリエンスを強化し、効率とビジネス成果を推進します。

クリエータースタジオ でノーコードアプリケーションをビルドする

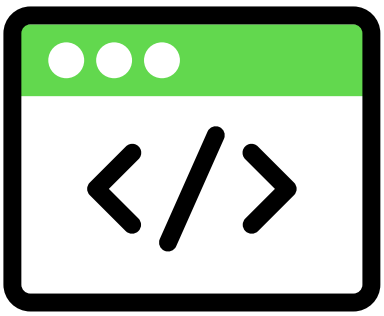
シンプルなノーコード環境でカスタムアプリケーションを作成および管理します。

App Engine でのローコードアプリケーションのビルド



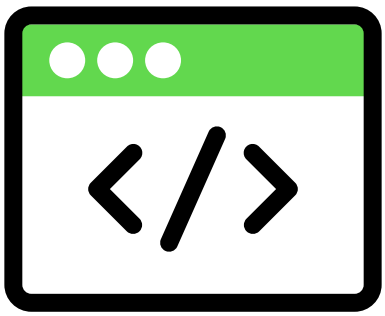
作成者を増やし複雑さを軽減してイノベーションを加速します。あらゆるスキルレベルの開発者が大規模にアプリケーションをビルドできるようにします。

でのアプリケーションのビルド ServiceNow スタジオ



統合されたビルダーとツールを使用して、ServiceNow AI Platform 上に構築するための最新の統一された環境を開発者に提供します。

プロコードアプリケーションのビルド



既存のアプリケーションとユーザーエクスペリエンスを拡張または維持します。企業全体のアプリケーションとデータを接続します。

ビルダーライブラリ

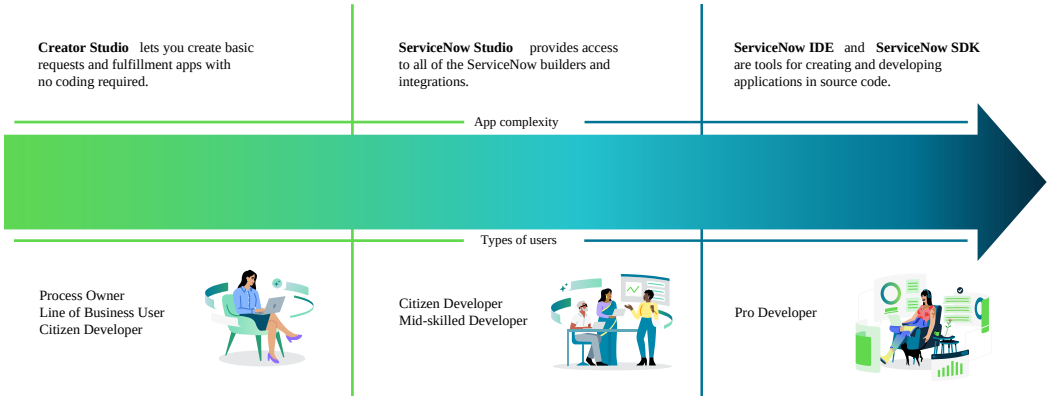
ビルダーツールを選択して、アプリケーションを迅速に開発します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アプリの作成に使用すべきビルダー

ビルダーの種類



コードなしで簡単にアプリをビルドしたい場合

クリエータースタジオ は、コードを書かずに要求を履行するアプリケーションの作成を支援することに特化しています。たとえば、フォームに入力して事務用品を要求するアプリケーションで、誰かが要求を承認または拒否するなどです。詳細については、「クリエータースタジオ の探索」を参照してください。

より一般的なアプリが必要だけれどローコードオプションが必要な場合

App Engine Studio を使用すると、プログラミングのプロでなくても、クリエータースタジオ よりも幅広いアプリをビルドできます。詳細については、「App Engine Studio の探索」を参照してください。

一元化されたユーザーインターフェイスでより詳細に制御したい開発者の場合

新しい ServiceNow スタジオにより、アプリをよりスマートに構築し、より迅速に提供できます。ServiceNow スタジオ は、プラットフォーム開発者が ServiceNow AI Platformに基づいて構築するための最新の統一された環境を開発者に提供します。 ServiceNow スタジオ は、アプリケーションとメタデータへの簡素化されたナビゲーション、統合されたローコードツール、開発プロセスを加速し、生産性を向上させる開発作業の効率的な追跡とパッケージ化を備えています。詳細については、「ServiceNow スタジオ の探索」を参照してください。

業界標準の開発ツールやプロセスを使用したい開発者の場合

ServiceNow IDE と ServiceNow SDK は、ServiceNow Fluent を使用したソースコードでのアプリケーション開発、JavaScript モジュールの作成、およびサードパーティライブラリの使用をサポートしています。ServiceNow Fluent は、コードでアプリケーションメタデータを作成するためのドメイン固有のプログラミング言語です。

ServiceNow IDE は、ServiceNow AI Platform 上の Visual Studio Code for the Web の実装です。ServiceNow SDK は Visual Studio Code Desktop をローカルで使用します。詳細については、「ソースコードでアプリケーションをビルドする」を参照してください。

カスタムアプリケーションでの **AI** 機能の使用

内でアプリを生成するための Now Assist を使用してアプリを生成します ServiceNow スタジオ

Now Assistと会話して、ServiceNow スタジオ でアプリケーションを作成します。作成するアプリについて説明し、会話を続行してアプリをさらに絞り込み、編集します。

でのアプリのコンテンツの要約 ServiceNow スタジオ

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

アプリの要約を使用して、アプリの簡単な説明として使用する ServiceNow スタジオ 、アプリケーションのコンテンツをすばやく確認して要約します。

を使用してカスタムアプリケーションで AI エージェントとスキルを活用 App Engine 向け Now Assist

App Engine 向け Now Assistを使用して、AI エージェントとスキルでApp Engineアプリケーションを強化します。

Generate code with AI-powered code generation

AI によるコード生成を使用して、テキスト、コード、またはその両方の組み合わせからスクリプトを生成します。

クリエータースタジオ でノーコードアプリケーションをビルドする

コーディングなしでアプリケーションを作成

クリエータースタジオ で、コードを使用せずに、シンプルな環境で要求実行アプリケーションをビルドします。

App Engine でのローコードアプリケーションのビルド

ローコードアプリを迅速にビルドし、作成者を増やし、複雑さを軽減します。ユーザーが必要とする企業間エクスペリエンスを安全に拡張します。

作成者を支援

ミッションクリティカルなタスクのために、Creator Workflows アプリを迅速に本番環境に移行します。包括的なローコード開発エクスペリエンスに含まれるガイダンスとテンプレートを使用して設計します。

ローコード開発のスケール

ビジネスと IT でローコードアプリ開発のコラボレーション、管理、および統制を可能にします。 開発ガードレールの設定、標準の適用、コンプライアンスのチェックを一元的に行います。

プロセスの自動化の促進

ネイティブ統合とローコードにより、プロセスを迅速に自動化し、価値を迅速に示します。ワークフローをシンプルなものから複雑なものに拡張し、企業全体で一貫性を保ちます。

ユーザーのエンゲージメント

わかりやすく統一された最新のエクスペリエンスでユーザーを引き付けます。直感的なローコードデザイナーを使用して、モバイルファーストのエクスペリエンスをビルドします。

新しい **ServiceNow** スタジオ

新しい ServiceNow スタジオにより、アプリをよりスマートに構築し、より迅速に提供できます。ServiceNow スタジオ は、プラットフォーム開発者が ServiceNow AI Platformに基づいて構築するための最新の統一された環境を開発者に提供します。 ServiceNow スタジオ は、アプリケーションとメタデータへの簡素化されたナビゲーション、統合されたローコードツール、開発プロセスを加速し、生産性を向上させる開発作業の効率的な追跡とパッケージ化を備えています。

プロコードアプリケーションのビルド

きめ細かな制御を設定したアプリをビルドし、展開します。コードをデバッグし、ソースコントロールを管理し、中央ハブからアプリを公開します。

アプリの迅速なビルド

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

すべての作業を一元的に行うことで、コーディングから展開までのプロセスを迅速化できます。

ソースコードのアプリケーションの開発

統合開発環境でアプリケーションメタデータを定義するコードを記述します。

ソースの管理

統合されたソースコントロールを使用して、Git リポジトリーにコミット、分岐、および結合します。

チームとしての作業

特定のアプリケーションリソースへの個々の開発者アクセスを提供して、コラボレーションを強化します。

サンドボックス環境での開発

開発者サンドボックスを使用して、ユーザーがServiceNow AI Platformで並行して開発できる分離された開発環境を作成します。サンドボックスは、競合を減らし、本番稼働までの時間を短縮することで、最新のソフトウェア開発ライフサイクルの Git ベースのワークフローを強化するのに役立ちます。

ビルダーライブラリ

各ビルダーは、ディシジョンビルダー、UI ビルダー、ワークスペースビルダー などの特定のニーズを満たしたり、特定タイプのデータを生成したりします。ビルダーの全リストについては、「ビルダーライブラリ」を参照してください。

App Engine 製品とサービス

App Engine は、ワークフローを自動化することで生産性を向上させる ServiceNow AI Platform® 製品スイートです。スターターバージョンと App Engine Enterprise バージョンで利用できます。

App Engine製品の完全なリストについては、 ServiceNow 製品サイト .

カスタムアプリケーションでの AI 機能の使用

ServiceNow AI Platformで利用可能な生成 AI 機能とエージェント AI 機能を使用して、開発を迅速化し、カスタムアプリケーションを強化します。

ServiceNow AI Platform でカスタムアプリケーションを開発する場合、さまざまなツールを使用して AI 機能を備えたカスタムアプリケーションを作成および拡張できるため、開発プロセスの迅速化と生産性の向上に役立ちます。

クリエーターの Now Assist

クリエーターの Now Assistには、ServiceNow AI Platformでの開発をより効率的にできる生成 AI スキルと自律型 AI ビルドエージェントが含まれています。自然言語を使用すると、 ServiceNow スタジオ のアプリ生成スキルを使用した新しいアプリケーションや、 クリエータースタジオ のフォーム生成スキルを使用したアプリケーションの新しいフォームなど、作成したいものを記述できます。クリエーターの Now Assist を使用すると、カスタムアプリケーションとユーザーエクスペリエンスを簡単に作成、変更、拡張できるため、開発期間を短縮し、価値実現までの時間を短縮できます。

次の表は、カスタムアプリケーションをビルドするときに使用できる生成 AI スキルとビルドエージェント機能クリエーターの Now Assist概要を示しています。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クリエーターの **Now Assist** カスタムアプリケーションを構築するための生成 **AI** スキルと **AI** エージェント

スキル	説明
アプリ生成	AI が生成したテーブル、エクスペリエンス、およびロールをテキストプロンプトに合わせて調整して、簡素化されたアプリを生成します。
アプリの要約	生成 AI を使用してアプリの実行内容を要約します。
ビルドエージェント	コアロジックとユーザーインターフェイスコンポーネントを含む、完全な ServiceNow スコープ対象のアプリケーションを ServiceNow IDEで生成します。
Now Assist for Code	テキストプロンプトまたはコードプロンプトに基づいて AI が生成したコードを使用して、スクリプトをすばやく記述するためのヘルプを得ます。
フォーム生成	自然言語を使用して必要なものを記述してフォームを作成します。
テスト生成	AI を利用したテスト生成により、簡単な説明からテストの作成を自動化します。
UI 生成	自然言語を使用して希望を記述し、エクスペリエンスを作成します。

クリエーターの Now Assist の詳細については、「Now Assist for Creator」を参照してください。

App Engine 向け Now Assist

App Engine 向け Now Assist を使用すると、アプリケーションユーザーが実行時に利用できる AI エージェントとスキルを使用して、カスタムアプリケーションを拡張できます。App Engine 向け Now Assist で利用可能なNow Assist AI エージェントとスキルを使用できます。または、アプリケーション固有のワークフローに合わせてカスタマイズされた Now Assist スキルキット と AI エージェントスタジオ を使用して、カスタム AI エージェントとスキルをビルドすることもできます。

たとえば、 ServiceNow スタジオ 年にスポーツ用品小売会社のカスタムアプリケーションをビルドしたとします。このアプリを使用すると、店舗の従業員は店内の商品在庫を管理し、不良品などの問題を報告できます。問題が報告されると、アプリは、製品の品質保証、サプライチェーン、ベンダー関係など、解決を担当する適切なチームに自動的に通知します。App Engine 向け Now Assistを使用すると、アプリの履行者が手動で実行しなければならない時間のかかるタスクの一部を処理する AI エージェントを AI エージェントスタジオ で作成できます。AI エージェントは、他の店舗の場所で製品で同様の問題が報告されているかどうかを確認し、繰り返し発生する製品の欠陥を特定し、過去の解決策に基づいて次のステップを提案できます。また、ベンダーへの働きかけのために問題のサマリーを作成したり、緊急のケースを適切なチームにエスカレーションしたりして、運用を簡素化し、解決時間を短縮することもできます。

App Engine 向け Now Assist で利用可能な AI 機能の詳細については、「App Engine 向け Now Assist」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

AI 機能を使用するタイミングと場所

カスタムアプリケーションを開発するときは、 クリエーターの Now Assist と App Engine 向け Now Assist の両方を使用できます。AI 機能をどこにどのように実装するかは、組織のワークフローと開発しているカスタムアプリケーションによって異なります。

クリエーターの Now Assist は主に、非本番インスタンスでカスタムアプリケーションを開発、拡張、またはテストするときに使用されます。作成者と開発者は、 クリエーターの Now Assist スキル とビルドエージェント を使用して、アプリケーションとアプリケーション要素を迅速にビルドし、本番インスタンスに展開できます。

App Engine 向け Now Assist で利用可能な AI 機能は、非本番インスタンスでカスタムアプリケーションを開発するときにも使用されます。作成者と開発者は、 App Engine 向け Now Assist 生成 AI 機能とエージェント AI 機能を使用して、アプリのワークフローに固有のカスタムスキルと AI エージェントでアプリケーションを強化できます。アプリケーションが本番インスタンスに展開されると、アプリケーションユーザーはエージェントとスキルを活用してワークフローを簡素化し、効率を向上させることができます。

アプリケーション開発ライフサイクルで **AI** 機能を使用するタイミング

ペルソナ	利益	アプリケーションライフサイクルのステージ	AI 機能
開発者	生成 AI スキル と自律型 AI ビルドエージェントを使用して、アプリケーションとアプリケーション要素を迅速にビルドしてテストします。	開発、テスト	Now Assist for Creator
開発者	ベースシステムの AI エージェントとスキルを使用してカスタムアプリケーションを拡張するか、カスタム AI エージェントとスキルをビルドします。	開発、テスト	App Engine 向け Now Assist
要求者、履行者、カスタムアプリケーションユーザー	実行時にカスタムアプリケーションで AI エージェントとスキルを活用して、生産性と効率を向上させます。	リリース、リリース後	App Engine 向け Now Assist

App Engine 向け Now Assist

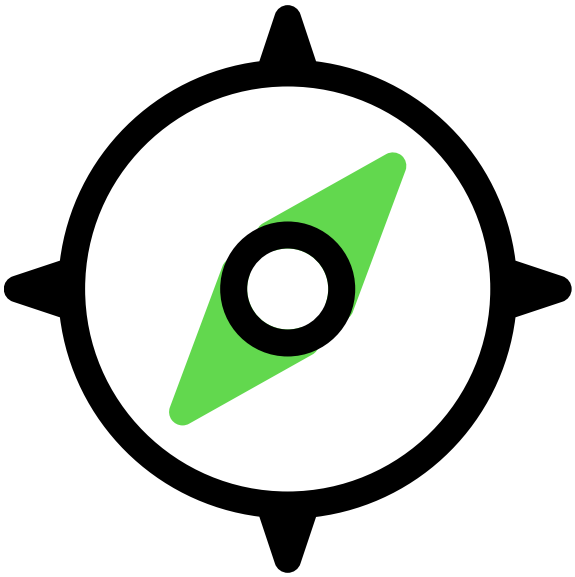
App Engine 向け Now Assistを使用して、AI エージェントとスキルでカスタムアプリケーションを強化します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

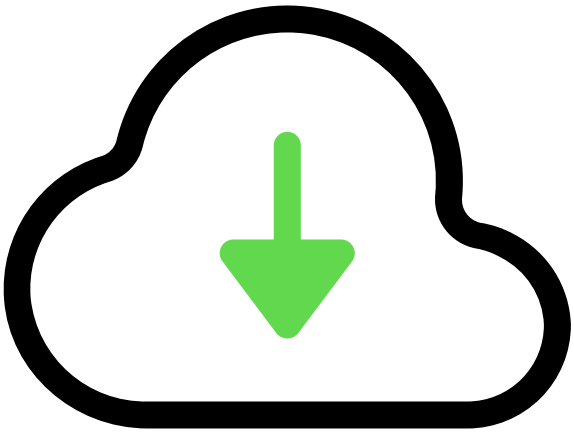
開始

探索



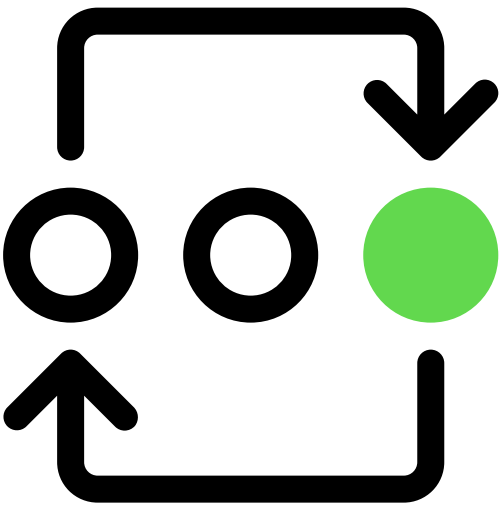
App Engine 向け Now Assistの概念と機能について説明します。

インストール



App Engine 向け Now Assistをインストールします。

使用方法



App Engine 向け Now Assist を使用します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

重要:

- 国内の SKU をお持ちのお客様は、すべてのモデルプロバイダーを利用できるわけではなく、一部の Now Assist 製品/機能は現在、国内のお客様はご利用いただけません。詳細については、Now Support ナレッジベースの KB1584492 記事を参照してください。将来のリリースでモデルプロバイダーの可用性の更新を必ず確認してください。
- 現在、 Now Assist 製品/機能の一部は、FedRAMP、NSC DOD IL5、オーストラリアの IRAP で保護されたデータセンターのお客様、セルフホスト型のお客様、またはその他の制限された環境ではご利用いただけません。詳細については、Now Support ナレッジベース記事「KB0743854」を参照してください。将来のリリースで可用性の更新を必ず確認してください。
- 現在、一部の Now Assist 製品/機能は一部の地域の顧客のみが利用できます。将来のリリースで可用性の更新を必ず確認してください。

トラブルシューティングとサポート

- について質問し、他のリソースを調べる App Engine 向け Now Assist の ServiceNow コミュニティ
- 既知のエラーポータルで既知のエラー記事を検索する
- 連絡先 カスタマーサービス & サポート

AI の制限事項

このアプリケーションは、データ内のパターンに基づいて予測を生成する急速に進化している研究分野である人工知能 (AI) と機械学習を使用しています。その結果、このアプリケーションは必ずしも正確、完全、または適切な情報を生成するとは限りません。さらに、このアプリケーションがユースケースに合わせて完全にトレーニングまたはテストされているという保証はありません。これらの問題を軽減するために、ユースケースに対する正確性、害、および適切性について、このアプリケーションの使用をテストおよび評価し、出力を人間が監視し、意思決定の目的で AI で生成された出力のみに依存しないようにするのは、ユーザーの責任です。これは、医療、ファイナンス、法務、雇用、セキュリティ、インフラストラクチャなど、結果が影響を与える分野にこのアプリケーションを展開することを選択した場合に特に重要です。ServiceNow の AI 利用規定 に従うことに同意するものとします。このポリシーは ServiceNow によって更新される場合があります。

データ処理

このアプリケーションでは、ServiceNow 顧客の個々のインスタンスから一元化された ServiceNow 環境にデータを転送する必要があります。この環境は、インスタンスが存在するデータセンターとは異なるデータセンターリージョンに配置されている可能性があり、場合によっては Microsoft Azure などのサードパーティクラウドプロバイダーにも転送されます。このデータは、コアコンプライアンスポータル から利用可能なポリシーを含む、ServiceNow の内部ポリシーと手順に従って処理されます。

データコレクション

ServiceNow は、このアプリケーションの入力、出力を収集して使用し、出力を編集して、ServiceNow モデルや AI 製品などの ServiceNow テクノロジーを開発および改善します。お客様は、「」で説明されているように、いつでも将来のデータコレクションをオプトアウトできます。 Now Assist オプトアウトページ .

App Engine 向け Now Assist の探索

App Engine 向け Now Assist を使用してカスタムアプリケーションを AI で拡張するための AI 機能、ユーザー、メリット、ワークフローについて説明します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

App Engine 向け Now Assistの概要

App Engine 向け Now Assist は、AI 機能を使用してカスタムアプリケーションを強化するために必要なツールとアプリケーションを開発者に提供するために設計された強力なアプリケーションです。既存のカスタムアプリケーションを AI 機能で拡張する場合でも、最初から AI 機能を備えた新しいアプリケーションを作成する場合でも、AI エクスペリエンスの開発をシームレスにするために必要なものがすべて揃っています App Engine 向け Now Assist 。

App Engine 向け Now Assist を使用すると、 ServiceNow AI Platformの生成 AI 機能とエージェント AI 機能を活用できます。App Engine 向け Now Assistで使用できるツールの詳細については、「に含まれるツール App Engine 向け Now Assist」を参照してください。

App Engine 向け Now Assistを使用すると、スキル、AI エージェント、エージェントワークフローなど、いくつかの AI 機能を使用してカスタムアプリケーションを拡張できます。これらの各機能の詳細については、「 カスタムアプリケーションを強化するための AI 機能」を参照してください。カスタムアプリケーションに最適な機能を判断するには、「 適切な AI 機能の選択」を参照してください。

App Engine 向け Now Assist ユーザー

App Engine 向け Now Assist ユーザー

ユーザー	タスク
開発者	• カスタム AI エージェント、スキル、およびエージェントワークフローを構築し、既存のカスタムアプリケーションに埋め込みます。 • AI スキル、エージェント、エージェントワークフローを通じて、タスクを自動化し、カスタムアプリワークフロー内で作業します。
要求者と履行者	実行時にカスタムアプリケーション内の AI エージェントとスキルを活用して、タスクを完了します。

App Engine 向け Now Assist のワークフロー

次のリストは、 App Engine 向け Now Assistを使用してスキルを作成してカスタムアプリケーション内に埋め込むための開発者ワークフローの概要を示しています。

1. 既存またはまったく新しいカスタムアプリケーション内のスキルとして自動化するタスクを特定します。
2. Now Assist スキルキットを使用してスキルを設計します。
3. 大規模言語モデル (LLM) を選択し、入力を定義し、スキルのプロンプトテキストを作成します。
4. ワークフローまたはサブフロー内でのデータの取得やタスクの自動化などのツールをスキルに追加します。
5. Now Assist データキットを使用してスキルをテストおよび検証し、スキルの正確性を最適化します。
6. AI エージェント、UI アクション、フローアクション、または Now Assist パネルを使用して、スキルをアクティブ化し、カスタムアプリケーション内に埋め込みます。

AI エージェントまたはエージェントワークフローをビルドしてカスタムアプリケーション内に埋め込むプロセスは似ています。開発者は AI エージェントスタジオ を使用してツールを作成、定義し、AI

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

エージェントに追加します。その後、AI エージェントを展開して、 Now Assist パネルまたはエージェントワークフロー内で使用できます。

App Engine 向け Now Assist を使用したスキル、AI エージェント、エージェントワークフローの作成の詳細については、「App Engine 向け Now Assist の使用」を参照してください。

App Engine 向け Now Assist のメリット

App Engine 向け Now Assistのメリット

利益	ユーザー
生成 AI エージェントとスキルを使用して既存のカスタムアプリケーションを最新化します。	開発者
複雑で非決定論的な意思決定ロジックを処理できるスキル、AI エージェント、エージェントワークフローを作成します。	開発者
AI エージェントとスキルを活用してタスクを完了することで、生産性と効率を向上させます。	要求者と履行者
手動の反復タスクを AI エージェントとエージェントワークフローにオフロードします。	履行者

次に探索する内容

App Engine 向け Now Assistの詳細については、以下を参照してください。 インストール App Engine 向け Now Assist および 使用方法 App Engine 向け Now Assist.

カスタムアプリケーションを強化するための AI 機能

スキル、AI エージェント、エージェントワークフローなど、カスタムアプリケーションを拡張するために使用できる App Engine 向け Now Assist で利用可能な AI 機能について説明します。

App Engine 向け Now Assistを使用してカスタムアプリケーションに追加できる AI 機能にはいくつかの種類があります。

- スキル
- AI エージェント
- エージェント型ワークフロー

次のセクションでは、各機能の概要と、それを使用してカスタムアプリケーションを拡張する方法について説明します。カスタムアプリケーションのユースケースに最適な AI 機能については、「 適切な AI 機能の選択」を参照してください。

スキル

ServiceNow AI Platformでは、スキルは、サマリーや推奨事項の生成など、ユースケースの特定のタスクを完了する方法に関する指示を含む生成 AI 機能です。

スキルにはいくつかの重要な要素があります。

- 入力は、スキルが出力を生成するために分析するデータです。通常、 ServiceNow AI Platformでは、入力はテーブルのレコードです。
- プロンプトは、基礎となる大規模言語モデル (LLM) への指示で、入力の処理方法をスキルに指示します。プロンプトは、出力のタスク、トーン、および構造を定義します。
- 出力は、プロンプトと入力に基づいて LLM から生成された応答です。出力は、スキルの構成方法に応じて、プレーンテキスト、構造化データ、または書式設定された応答にすることができます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スキルには、 ServiceNow AI Platformでスキルにアクセスする方法を定義するアクティブ化方法も含まれています。スキルは、 Now Assist パネル、UI アクション、および 仮想エージェントとの会話を通じて会話で呼び出すことができます。スキルのアクティブ化の詳細については、「 Activate a skill 」を参照してください。

> **注:**
> 一部のスキルは、アクティブ化する前にデータスチュワードによるレビューと承認が必要になる場合があります。

Now Assist プラットフォームスキルとカスタムスキル

App Engine 向け Now Assistでは、次のものにアクセスできます Now Assist プラットフォームスキル は、ドキュメント抽出、ダッシュボードと可視化のエクスポートなどの基本システムスキルです。ただし、カスタムアプリケーションで Now Assist プラットフォームスキルを使用する場合は制限があります。カスタムアプリケーションに合わせて Now Assist スキルを構成するには、カスタムスキルを構築するよりも時間がかかることがよくあります。

多くの場合、 Now Assist スキルキットを使用してカスタムスキルをビルドしたり、既存のスキルを複製して再構成したり、カスタムアプリ内にスキル機能を統合したりする方が簡単で実用的です。次のリソースを使用して、カスタムスキルのビルドの詳細を確認してください。

- General guidelines for Now Assist Skill Kit
- Create a skill

AI エージェント

AI エージェントは、大規模言語モデル (LLM) 命令のセットと特定のタスクを実行するためのツールを含む生成 AI 機能です。ServiceNow AI Platformでは、AI エージェントは多くの場合、エージェントワークフローの一部であり、複雑なタスクを実行するようにオーケストレーションできます。エージェントワークフローの詳細については、次のセクションを参照してください。

AI エージェントにはいくつかの重要なコンポーネントがあります。

- *AI* エージェントロールは、AI エージェントの機能と責任を定義します。ロールにより、AI エージェントは必要なアクションを実行できます。
- ステップのリストは、AI エージェントがその役割を果たす際に従う必要なステップを記述する、大規模言語モデル (LLM) に送信される指示です。
- ツールは、AI エージェントにそのロールを遂行するために提供できるスキルやデータソースなどの追加リソースです。
- トリガーは、AI エージェントのアクティブ化方法を定義します。
- 可用性によって、AI エージェントを Now Assist パネルまたは仮想エージェントに表示する方法が決まります。

AI エージェントの詳細については、「 AI Agent Studio 」を参照してください。

エージェント型ワークフロー

エージェントワークフローには、目標を実行できる 1 つ以上の AI エージェントを含む一連の大規模言語モデル (LLM) 命令が含まれています。エージェントワークフローは、タスクの分類やタスクのメールの処理など、特定のビジネス成果を達成するように調整されます。

エージェントワークフローは、AI エージェント間の作業フローを調整する *AI* エージェントオーケストレーター によって制御されます。さらに、 *AI* エージェントコミュニケーター は、ワークフロー内の AI エージェントオーケストレーターと AI エージェント間の通信を容易にするのに役立ちます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

エージェントワークフローの詳細については、「General guidelines for creating AI agents and agentic workflows」を参照してください。

Now Assist AI エージェント、プラットフォームエージェントワークフロー、カスタム AI エージェントとエージェントワークフロー

App Engine 向け Now Assistを使用すると、カスタムアプリケーションを次のように拡張できます。 Now Assist AI エージェント と Platform agentic workflows は、事前設定された AI エージェントとエージェントワークフローです。ただし、 Now Assist スキルと同様に、カスタムアプリケーションに合わせて Now Assist AI エージェントとプラットフォームエージェントワークフローを構成するには、多くの場合、カスタム AI エージェントとエージェントワークフローを構築するよりも時間がかかります。

多くの場合、 AI エージェントスタジオ を使用してカスタム AI エージェントとエージェントワークフローを構築し、それらの機能をカスタムアプリ内に統合する方が簡単で実用的です。次のリソースを使用して、カスタム AI エージェントとエージェントワークフローの構築の詳細を確認してください。

- Create an AI agent
- Create an agentic workflow
- General guidelines for creating AI agents and agentic workflows

に含まれるツール App Engine 向け Now Assist

App Engine 向け Now Assist に含まれるツールとアプリケーションについて説明します。

App Engine 向け Now Assist を使用すると、ユーザーは ServiceNow AI Platform の生成 AI 機能とエージェント AI 機能を活用できます。App Engine 向け Now Assistを使用すると、Now Assist スキルキット を使用してカスタムスキルを作成してアクティブ化したり、AI エージェントスタジオを使用してカスタム AI エージェントを構築したり、Now Assist データキット を使用してスキルと AI エージェントをテストするための合成データを生成したりできます。

次の表は、App Engine 向け Now Assist でカスタムアプリケーションを拡張するために使用できるServiceNow AI Platformツールとアプリケーションの一部を示しています。

> **注:**
> エンタイトルメントを確認して、次のツールやアプリケーションにアクセスできるかどうかを確認してください。

で利用可能なツール App Engine 向け Now Assist

ツール	説明	追加情報のリソース
AI エージェントスタジオ	App Engineユースケースに対応する柔軟で適応性のある AI エージェントを作成します。	AI Agent Studio
Now Assist スキルキット	App Engineアプリケーションで使用できるカスタムスキルを開発します。	Now Assist Skill Kit
Now Assist データキット	データセットを構築して管理し、カスタムスキルを評価します。	Now Assist Data Kit
ドキュメントインテリジェンス (DocIntel)	生成 AI 機能をフローとプレイブックに組み込みます。	Now Assist in Document Intelligence

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

で利用可能なツール **App Engine** 向け **Now Assist** (続く)

ツール	説明	追加情報のリソース
仮想エージェント	生成 AI を利用したチャットボットを作成します。	Now Assist in Virtual Agent

App Engine 向け Now Assistのツールとスキルの完全なリストについては、 ServiceNow Store .

適切な **AI** 機能の選択

カスタムアプリケーションに適した AI 機能を選択することが重要です。スキル、AI エージェント、エージェントワークフローの違い、それぞれのユースケース、および機能を選択するタイミングについて説明します。

カスタムアプリケーションに AI 機能を追加する場合、選択する機能は、ワークフローの複雑さやタスクに必要な人間の監視の度合いなど、いくつかの要因によって異なります。

スキルを追加するタイミング

スキルは、レコードの要約や要求の分類など、明確に定義された特定のタスクに適しています。スキルはさまざまなコンテキストやアプリケーションで再利用できるため、入力と出力が予測可能で複雑な意思決定を必要としない状況にはスキルが最適です。また、スキルは人間による高度な監視と制御を提供するため、組織のワークフローに AI 機能を導入する実用的な方法となります。

AI エージェントを追加するタイミング

AI エージェントは、ある程度の推論、計画、および応答を伴う、より複雑で具体的なタスクに適しています。たとえば、小売会社のアプリの AI エージェントは、製品商品で繰り返し発生する問題を特定し、解決を担当する適切なチームに問題をエスカレートするようにトレーニングできます。AI エージェントには複数のツールとスキルを含めることができるため、タスクに対して完全に自動化されたソリューションが必要な場合や、手作業の負荷を軽減する場合に役立ちます。AIエージェントは、スキルよりも人間の監視が少なく、必要に応じて透明性と人間の介入を提供します。

エージェントワークフローを追加するタイミング

エージェントワークフローは、プロセスのいくつかのステップで人間の監督を必要とする、複雑で知識集約型のタスクに適しています。エージェントワークフローはプロセスをエンドツーエンドで完了できるため、エージェントワークフローは、定期的な承認や要求の処理など、リスクの低いプロセスに役立ちます。

[store-future: BEGIN review]

既存のアプリケーションに **AI** 機能を追加する際の考慮事項

既存のカスタムアプリケーションに AI 機能を追加する前に、次の考慮事項を確認してアプリケーションを準備し、最良の結果を達成できるようにしてください。

[End]

App Engine 向け **Now Assist**のインストール

admin ロールを持っている場合は、App Engine 向け Now Assist をインストールできます。

始める前に
必要なロール：admin

ServiceNow Storeを使用すると、コア製品とアプリケーションをダウンロードできます。製品には、グループとしてライセンスされる 1 つ以上のアプリケーションが含まれています。たとえ

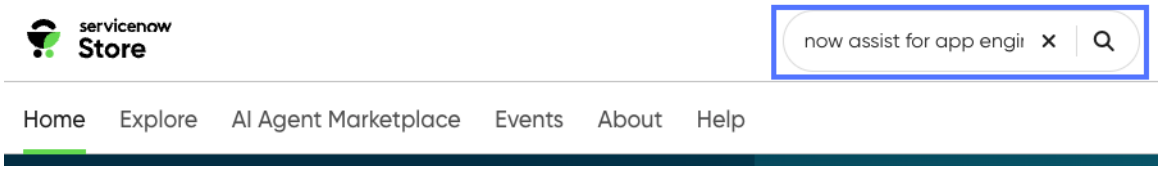
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

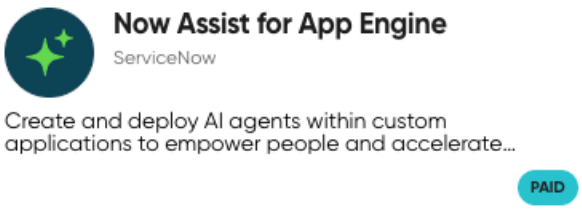
ば、App Engine 向け Now Assist は、ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) のAI エージェントスタジオやNow Assistなど、多数のツールとスキルを含む製品です。

手順

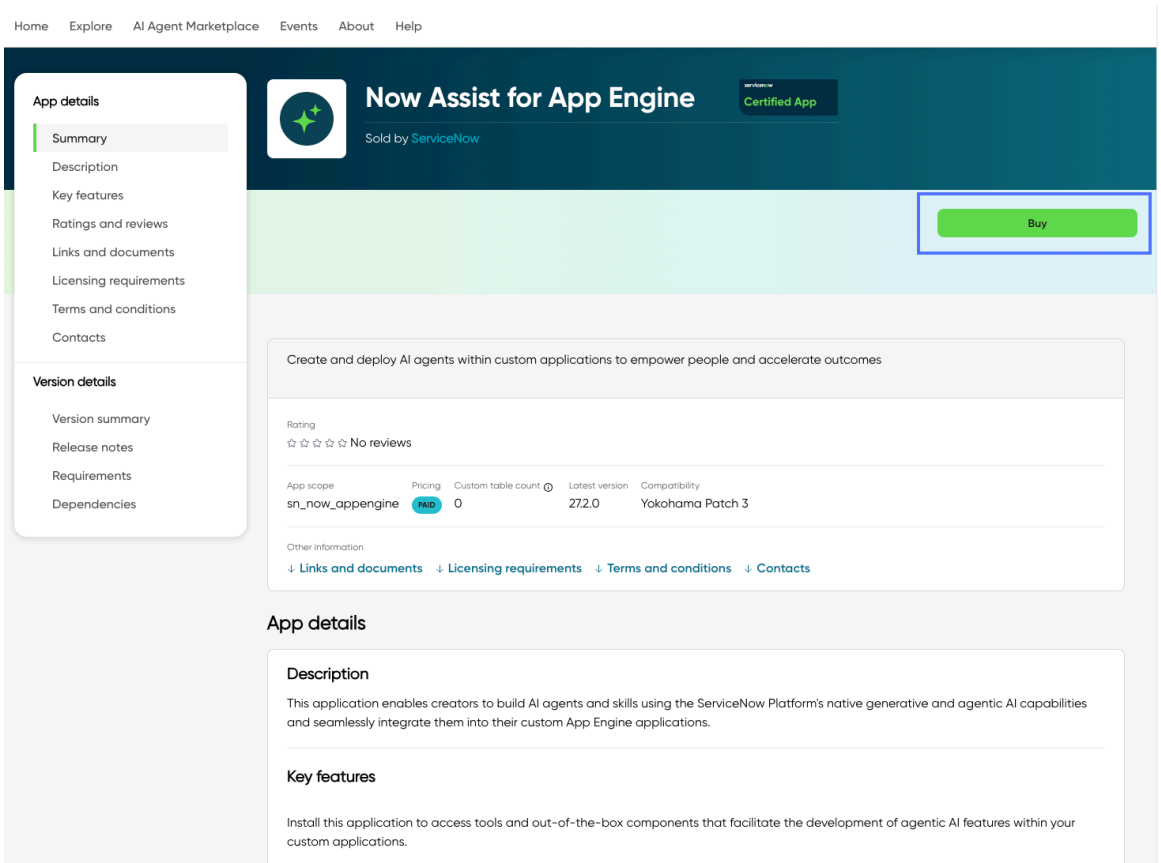
1. ServiceNow Store の Web サイトを開きます。
2. [検索] に「App Engine 向け Now Assist」と入力し、キーボードの Enter キーまたは Return キーを押します。



3. *App Engine 向け Now Assist* タイルを選択します。



4. App Engine 向け Now Assistに関する情報に目を通します。
5. [購入] を選択します。



6. ServiceNow ユーザー ID でログインします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

App Engine 向け Now Assist の使用

生成 AI 機能とエージェント AI 機能でカスタムアプリケーションを強化します。

App Engine 向け Now Assistを使用すると、スキル、AI エージェント、エージェントワークフローなど、いくつかの AI 機能を使用してカスタムアプリケーションを拡張できます。アプリのワークフローに応じて、カスタムアプリ内に任意の数と組み合わせの AI 機能を実装できます。App Engine 向け Now Assist で実装できる AI 機能の種類の詳細については、「カスタムアプリケーションを強化するための AI 機能」を参照してください。

特定のアプリワークフローは、AI エージェントおよびエージェントワークフローに適している場合があります。他のワークフローは、スキルを使用して処理するのが最適です。ユースケースに最適な AI 機能については、「 適切な AI 機能の選択」を参照してください。

実装スキル

次のリストは、カスタムアプリケーション内にスキルを実装するプロセスの概要を示しています。

1. Create a skill または、アプリのユースケースに合わせて Now Assist プラットフォームスキルを構成します。
2. Create a prompt を使用して、使用するスキル入力とツールの種類を選択します。
3. プロンプトをテストし て、スキルをアクティブ化する前に予想されるプロンプト結果が表示されていることを確認します。
4. プロンプトを評価し て、スキルプロンプトの有効性を評価します。
5. スキルをファイナライズして公開 し、 Now Assist アドミンがアクティブ化できるようにします。
6. スキルをアクティブ化 して、UI 内でスキルをトリガーできるようにします。
7. カスタムアプリケーションでスキルを使用します。

> **注:**
> 一部のスキルは、アクティブ化する前にデータスチュワードによるレビューと承認が必要になる場合があります。

AI エージェントとエージェントワークフローの実装

次のリストは、カスタムアプリケーション内に AI エージェントとエージェントワークフローを実装するプロセスの概要を示しています。

1. Create an AI agent または 、AI エージェントを複製 して、アプリのユースケースに合わせて 変更します 。
2. AI エージェントにツールを追加して さまざまな機能を有効にし、AI エージェントが目的を達成できるようにします。
3. AI エージェントをテストし て、定義したとおりに機能することを確認します。
4. Create an agentic workflow または、AI エージェントが調整して複雑な問題を解決できるように、 エージェントワークフローを変更します 。
5. 定義した指示を実行しながら、エージェントワークフローをテストし てパフォーマンスを分析します。
6. エージェントワークフローを評価し てパフォーマンスを監視し、さまざまなベンチマークに対して評価します。
7. カスタムアプリケーションで AI エージェントまたはエージェントワークフローを使用します。

自動翻訳

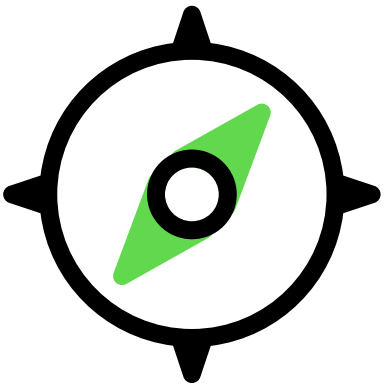
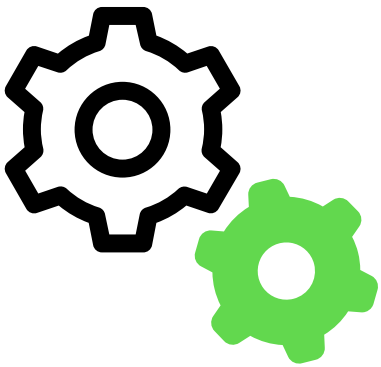
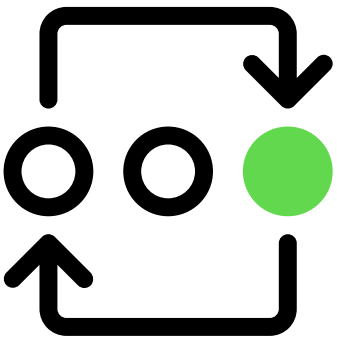
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ビルドエージェント

ServiceNow アプリケーションを作成および更新するには、自律型 AI エージェントであるビルドエージェントを使用します。

> **注:**
> ビルドエージェントは現在、グローバルスコープまたはグローバルアプリケーションをサポートしていません。

開始

探索	構成	使用方法
		
ビルドエージェントについて学習します。	ビルドエージェントをインストールして、その機能を利用します。	ビルドエージェントを使用して、ServiceNow アプリケーションを自律的に作成および更新します。

ビルドエージェントの詳細

ビルドエージェントを使用すると、開発者はユーザーインターフェイスとバックエンドコンポーネントの両方を含むフルスタック ServiceNow アプリケーションを作成、編集、および展開できます。

ビルドエージェント の概要

ビルドエージェントは、ServiceNow 統合開発環境 (IDE) 内の開発者向けに設計された AI ツールです。これは、完全な ServiceNow スコープ対象のアプリケーションを個別に生成できる自律型 AI エージェントとして機能します。

ServiceNow IDE内のチャットパネルとして、使いやすいマルチターン会話インターフェイスを介してビルドエージェントとやり取りできます。

目的のアプリケーションを平易な英語で説明するだけで、エージェントが自動的に作成します。必要なコードをすべて生成し、ファイルを明確に整理し、アプリケーションのコアロジックとユーザーインターフェイスコンポーネントの両方を管理します。

Build Agent は、自然言語プロンプトを理解し、フルスタックアプリケーションを自律的に生成し、ビルドプロセス全体を監視し、フィードバックに応答することができます。

アプリケーションの作成と更新はビルドエージェントの主なユースケースですが、その機能はそれだけではありません。テーブルの書き換え、コードの説明、既存アプリケーションの検証と拡張、アプリケーションエラーの修正など、さまざまなコード関連タスクを実行できます。たとえば、Build

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Agent は Run Query ツールを使用して、インスタンス内の特定のテーブルをクエリし、上位 5 つのレコードを返したり、特定のインサイトを導き出したりできます。

> **重要:**
> ビルドエージェントは、ServiceNow Fluent でサポートされているメタデータのみを作成します。詳細については、「 ServiceNow Fluent」を参照してください。

ビルドエージェント のメリット

ビルドエージェントは、 ServiceNow AI Platformでのアプリケーション開発を加速します。Build Agent は、これまで開発者が手作業で行わなければならなかった多くの反復的で時間のかかるタスクを自動化します。その結果、次のことが実現します。

- 開発者の生産性の向上
- 開発バックログの削減
- 新しいビジネスアプリケーションの迅速な展開
- 全体的な開発コストの削減

次に探索する内容

ビルドエージェントの構成と使用の詳細については、以下を参照してください。

- ビルドエージェントのインストール
- ビルドエージェントを使用

ビルドエージェントのインストール

ビルドエージェントを取得するには、ServiceNow Storeからクリエーターの Now Assistアプリケーションをインストールします。

始める前に

- 次のものをレビュー クリエーターの Now Assist 依存関係、ライセンスやサブスクリプションの要件、およびリリースの互換性については、 ServiceNow Store のアプリケーションリスト。
- ビルドエージェントのデフォルトのモデルプロバイダーは Anthropic Claude on AWS です。

> **注:**
> ビルドエージェントは、 Now LLM サービス、 Azure OpenAI、 Google Geminiではサポートされていません。

必要なロール：admin

手順

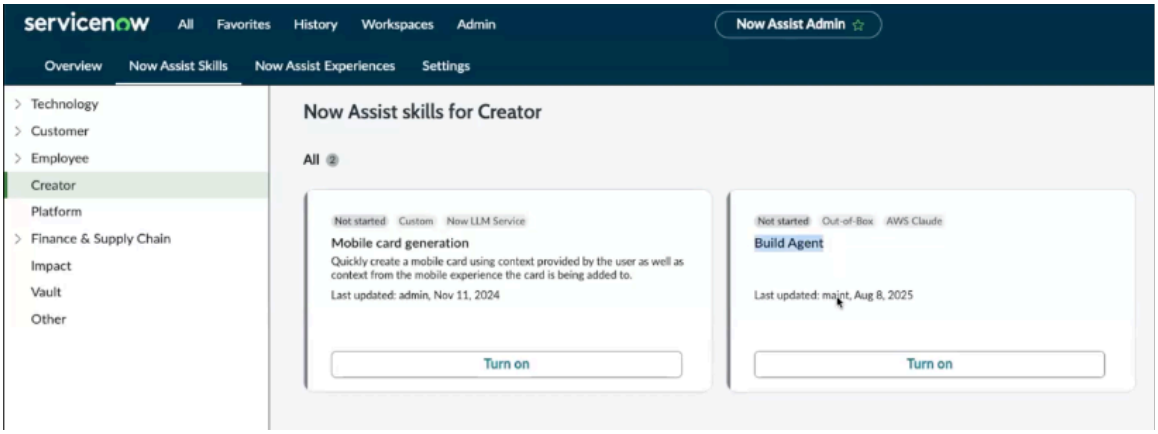
1. ServiceNow Store の クリエーターの Now Assist アプリケーション ページで、購入 を選択します。
2. 承認が付与されたら、インスタンスで すべて > システムアプリケーション > 利用可能なすべてのアプリケーション > すべて.
3. 検索バーを使用して、クリエーターの Now Assist アプリケーション (sn_now_creator) を検索します。
4. **[Install** (インストール)] を選択します。
5. ビルドエージェントスキルを有効にします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. 移動先 管理者 > *Now Assist* アドミン.

b. [Now Assist スキル] タブに移動し、[作成者] を選択しま



す。

c. [オンにする] を選択してスキルを有効にします。
スキルはすべてのユーザーに対して有効になります。

関連情報

Install Now Assist for Creator

ビルドエージェントを使用

ビルドエージェントを使用して、 ServiceNow アプリケーションを自律的に作成および更新します。

ビルドエージェントを使用したアプリケーションの作成

ビルドエージェントを使用して、新しい ServiceNow アプリケーションを開発します。

始める前に

ビルドエージェントをインストールして有効にします。詳細については、「ビルドエージェントのインストール」を参照してください。

ワークスペースを作成します。詳細については、「ServiceNow IDE でワークスペースを作成する」を参照してください。

ビルドエージェントには ServiceNow SDK 少なくともバージョン 4.0 が必要です。古いバージョンを使用している場合、Build Agent は ServiceNow SDK 4.0 にアップグレードするように求めます。

注:
ビルドエージェントは現在、グローバルスコープまたはグローバルアプリケーションをサポートしていません。

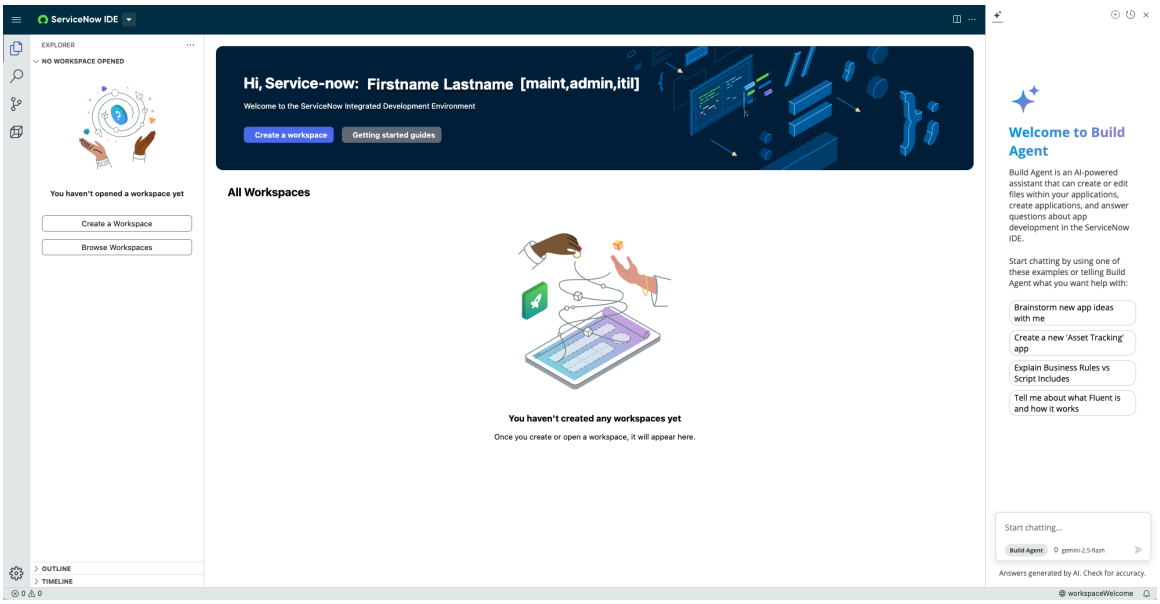
必要なロール：admin

手順

1. 移動先 すべて > アプリ開発 > **ServiceNow IDE**.
[ビルドエージェント] パネルはデフォルトで開いています。

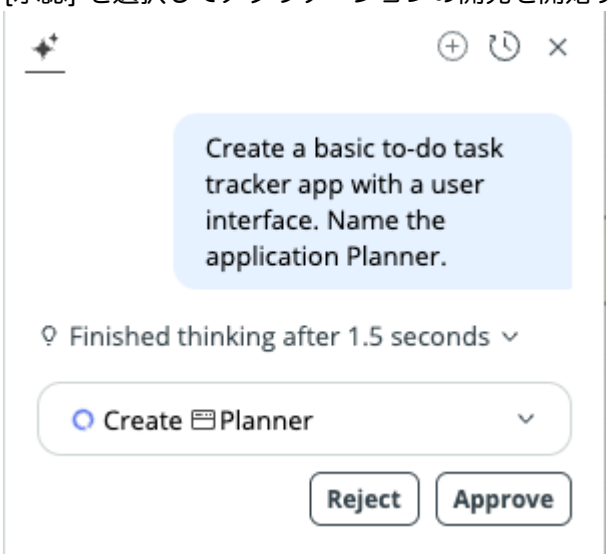
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



ヒント:
[ビルドエージェント] パネルが開いていない場合は、右下隅のステータスバーから [ビルドエージェントを開く] を選択して、ビルドエージェントを起動します。

2. チャットパネルで、作成するアプリケーションをわかりやすい英語で説明します。
要件を確認した後、ビルドエージェントはアプリケーションの作成を続行するための確認を要求します。
3. [承認] を選択してアプリケーションの開発を開始するようにビルドエージェントに指示します。



ビルドエージェントは、 ServiceNow の ナレッジソースとツールにアクセスして、アプリケーションの学習、分析、作成を行うことができます。

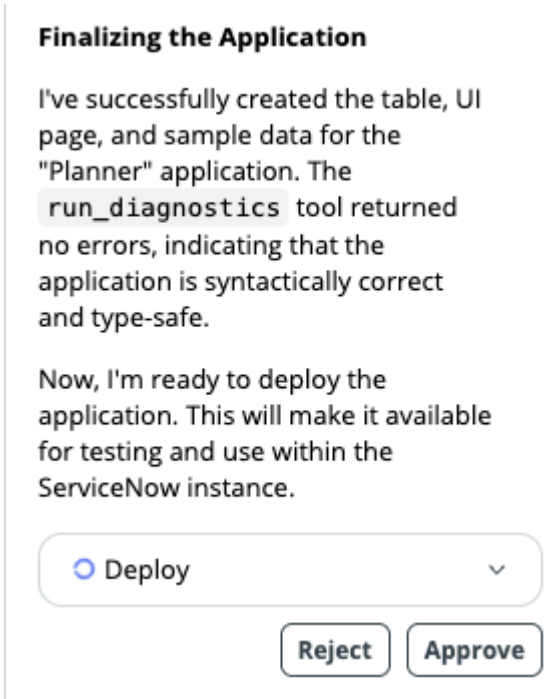
アプリケーションの作成後、ビルドエージェントはアプリケーションをビルドし、展開の確認を求めます。

注:
承認前にコードファイルをプレビューできます。 ただし、実際のメタデータ出力を確認するには、アプリケーションをビルドしてインスタンスにインストールする必要があります。

自動翻訳

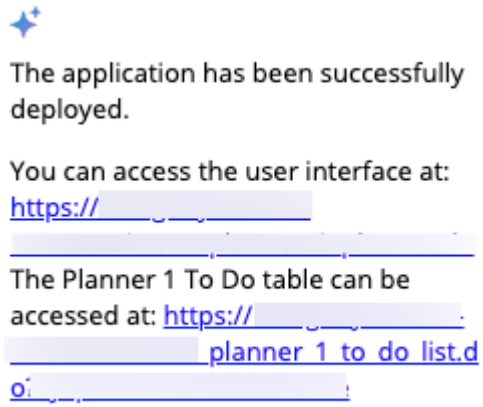
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

4. [承認] を選択してアプリケーションを展開するようにビルドエージェントに指示します。



> **注:**
> このプロセスは標準的ですが、ビルドエージェントがインタラクティブに機能するため必ず画面の指示に従ってください。

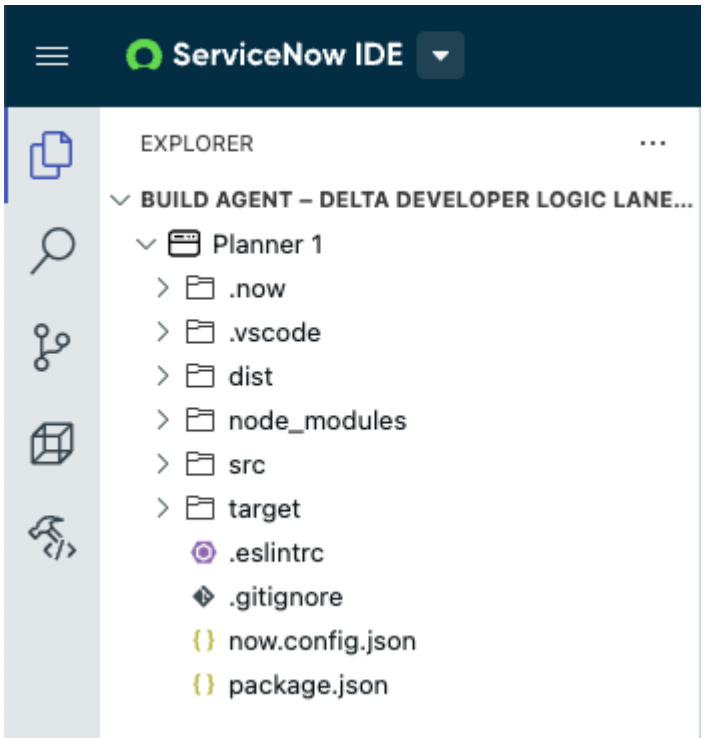
タスクの結果
アプリケーションがビルドおよびインストールされると、ビルドエージェントに成功メッセージが表示されます。例:



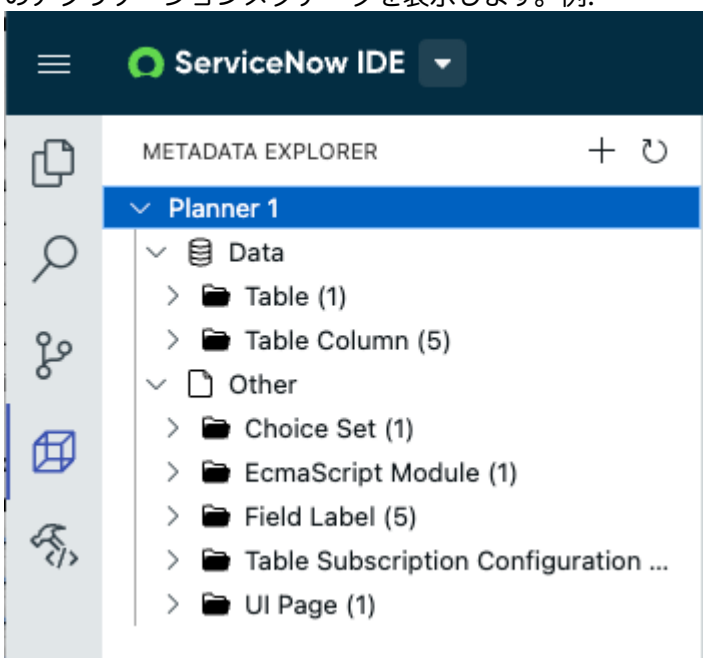
アクティビティバーから、[ファイルエクスプローラー] ビュー ( ) を選択して、src ディレクトリ内のServiceNow Fluentアプリケーションコードとその他のソースコードを表示します。例:

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



アクティビティバーから、[メタデータエクスプローラー] ビュー ( ) を選択して、インスタンスのアプリケーションメタデータを表示します。例:



Trouble?

ビルドエージェントの問題のトラブルシューティング

問題	説明	ソリューション
ビルドが展開されていません	ビルドエージェントは、最新の成功したビルドのみをデプロイします。デプロイ後に更新プログラムが使用できない場合は、	ビルドステータスを確認し、エラーメッセージを書き留めます。これらのエラーメッセージをチャットパネルに貼り付け、

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ビルドエージェントの問題のトラブルシューティング (続く)

問題	説明	ソリューション
	デプロイが成功した場合でも、ビルドが失敗したことを示している可能性があります。	ビルドの問題を解決してアプリケーションを再デプロイするようにビルドエージェントに依頼します。
空の UI ページ	複雑な UI ページで作業する場合、ビルドエージェントに空のページが表示されることがあります。	ブラウザーコンソールを開き、エラーメッセージをコピーしてチャットパネルに貼り付けます。次に、ビルドエージェントに UI ページの修正を依頼します。ビルドエージェントは、アプリケーションの作成とデバッグの両方を支援します。
コンテキスト制限を超えました	アプリケーションの作成中または更新中に問題が発生した場合は、再試行することもできます。ビルドエージェントはセッションの履歴を保持し、エラーの時点から再開できます。ただし、チャットウィンドウがコンテキスト制限を超えると、「コンテキストウィンドウが超過しました」というエラーが表示されます。	新しいチャットウィンドウを開き、作成するアプリケーションについてもう一度説明します。ビルドエージェントは前のチャットセッションからのコンテキストを保持しませんが、既に完了した作業を確認し、停止した場所から続行します。
レート制限エラー	発生する可能性のあるもう 1 つのエラーは、「レート制限エラー」です。これは、LLM プロバイダーが受信する要求が多すぎて処理できない場合に発生します。	1 分か 2 分待ってから、もう一度やり直してください。

自動翻訳

ビルドエージェントを使用した既存のアプリケーションの編集

ビルドエージェントを使用して ServiceNow アプリケーションを更新または拡張する方法について説明します。

始める前に

ビルドエージェントをインストールして有効にします。詳細については、「ビルドエージェントのインストール」を参照してください。

必要なロール：admin

このタスクについて

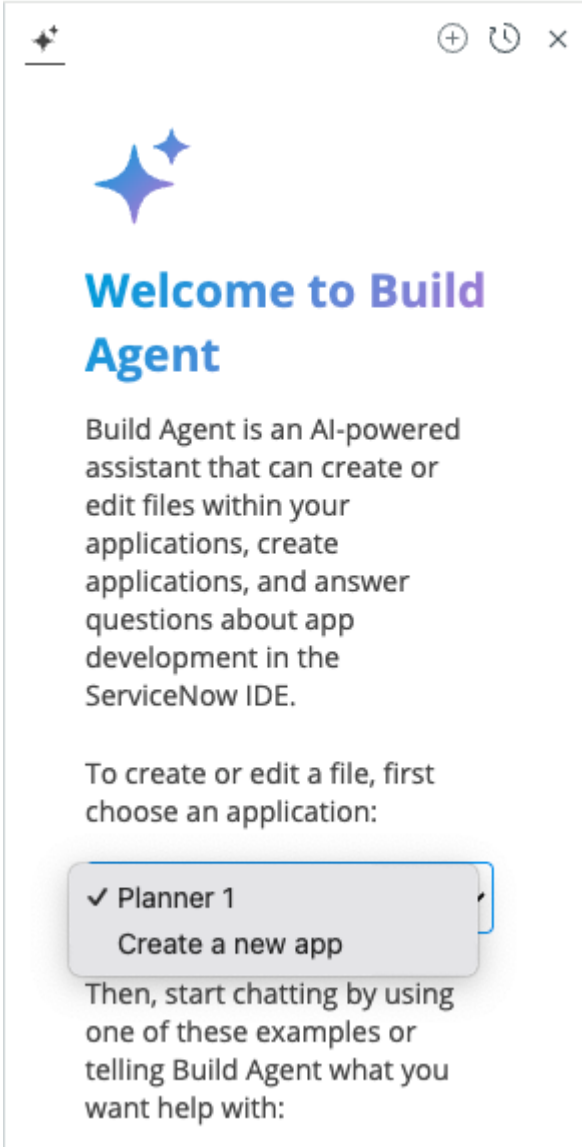
Build Agent でアプリケーションを編集するには、 ServiceNow IDEのワークスペースでアプリケーションを開く必要があります。ワークスペースにアプリケーションを追加する方法は次のとおりです。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- ビルドエージェントで作成されたアプリケーションは、それらが作成されたワークスペースに自動的に追加されます。また、 ServiceNow IDE内の他のワークスペースで開くこともできます。
- ServiceNow IDEまたは ServiceNow SDKで作成されていないアプリケーションの場合は、アプリケーションを変換する必要があります。詳細については、「でアプリケーションを変換する ServiceNow IDE」を参照してください。
- Git リポジトリから、 ServiceNow IDE または ServiceNow SDK で作成された既存のアプリケーションのクローンを作成します。詳細については、「ServiceNow IDE で Git リポジトリのクローンを作成する」を参照してください。

手順

1. 移動先 すべて > アプリ開発 > **ServiceNow IDE**.
   [ビルドエージェント] パネルはデフォルトで開いています。
2. [アプリケーション] リストから、編集するアプリケーションを選択します。



   アプリケーションを ServiceNow Fluent コードに変換した場合は、[アプリケーション] リストにも表示されます。
3. アプリケーションで変更する内容をわかりやすい英語で記述し、[送信] を選択します。

   ビルドエージェントがアプリケーションの更新を開始します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

4. 変更を承認します。
   a. メッセージが表示されたら、[すべての編集を確認] を選択して変更を表示します。
   b. 変更問題がなければ承認] を選択します。
5. チャットパネルで、アプリケーションをビルドして展開するようにビルドエージェントに指示するメッセージを入力します。
   承認前にコードファイルをプレビューできますが、実際のメタデータ出力を表示するには、アプリケーションをビルドしてインスタンスにインストールする必要があります。
6. [承認] を選択してアプリケーションをuildして展開します。
   アプリケーションがビルドされ、インストールされます。

> **注:**
> このプロセスは標準的ですが、ビルドエージェントはインタラクティブに機能するため、必ず画面の指示に従ってください。

タスクの結果

アクティビティバーから、[ファイルエクスプローラー] ビュー ( ) を選択して src ディレクトリ内のServiceNow Fluentアプリケーションコードとその他のソースコードを表示するか、[メタデータエクスプローラー] ビュー ( ]) を選択してインスタンス上のアプリケーションメタデータを表示します。

ノーコードアプリケーションのビルド

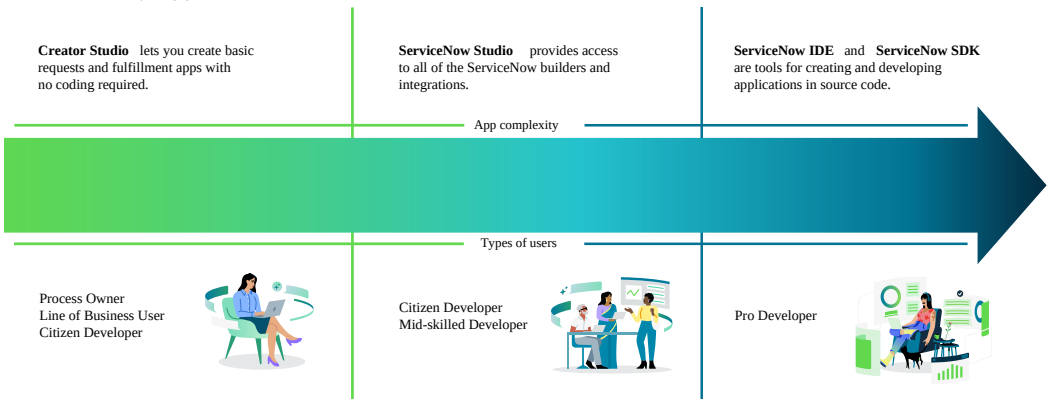
シンプルなノーコード環境でカスタムアプリケーションを作成および管理します。

クリエータースタジオ

アプリケーションを作成したいのにコーディング方法がわからなかった、という経験はありますか？クリエータースタジオが最適です！

アプリの作成に使用すべきビルダー

ビルダーの種類



コードなしで簡単にアプリをビルドしたい場合

クリエータースタジオ は、コードを書かずに要求を履行するアプリケーションの作成を支援することに特化しています。たとえば、フォームに入力して事務用品を要求するアプリケーションで、誰かが要求を承認または拒否するなどです。詳細については、「クリエータースタジオ の探索」を参照してください。

より一般的なアプリが必要だけれどローコードオプションが必要な場合

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

App Engine Studio を使用すると、プログラミングのプロでなくても、クリエータースタジオ よりも幅広いアプリをビルドできます。詳細については、「App Engine Studio の探索」を参照してください。

一元化されたユーザーインターフェイスでより詳細に制御したい開発者の場合

新しい ServiceNow スタジオにより、アプリをよりスマートに構築し、より迅速に提供できます。ServiceNow スタジオ は、プラットフォーム開発者が ServiceNow AI Platformに基づいて構築するための最新の統一された環境を開発者に提供します。 ServiceNow スタジオ は、アプリケーションとメタデータへの簡素化されたナビゲーション、統合されたローコードツール、開発プロセスを加速し、生産性を向上させる開発作業の効率的な追跡とパッケージ化を備えています。詳細については、「ServiceNow スタジオ の探索」を参照してください。

業界標準の開発ツールやプロセスを使用したい開発者の場合

ServiceNow IDE と ServiceNow SDK は、ServiceNow Fluent を使用したソースコードでのアプリケーション開発、JavaScript モジュールの作成、およびサードパーティライブラリの使用をサポートしています。ServiceNow Fluent は、コードでアプリケーションメタデータを作成するためのドメイン固有のプログラミング言語です。

ServiceNow IDE は、ServiceNow AI Platform 上の Visual Studio Code for the Web の実装です。ServiceNow SDK は Visual Studio Code Desktop をローカルで使用します。詳細については、「ソースコードでアプリケーションをビルドする」を参照してください。

アプリの内容 **ServiceNow**

ServiceNowアプリは、指定されたユーザーグループに対して特定のタスクを実行するパッケージです。アプリは、アクセスおよび編集できるユーザーに関する一連のルールを持つコンテナと考えてください。たとえば、 ServiceNow アプリには、API、テーブル、ワークスペース、フォーム、フロー、またはそれらの任意の組み合わせを含めることができます。

クリエータースタジオアプリでは、フォームと自動化を使用して、ユーザーが何かを要求し、承認プロセスを通じて要求を移動できるようにします。クリエータースタジオでは、アプリの要求アプリワークスペースの履行者ビューを表示することもできます。

関連アプリケーションと機能

App Engine 管理センター

App Engine 管理センター (AEMC) を使用して、クリエータースタジオ の要求、展開、アプリケーション、共同開発者を追跡および管理します。

App Engine Studio

AES で クリエータースタジオ アプリを開いて、メール通知や追加のセキュリティなど、さらに多くのカスタムエクスペリエンスをビルドします。

Catalog Builder

視覚的なガイド付きエクスペリエンスを使用して、カタログアイテムを作成または編集します。

フォームビルダー

フォームビルダー のフォームエディターを使用して、ユーザー向けのさまざまなフォームビューを視覚的に作成、構成、カスタマイズします。

Workflow Studio

ワークフローの作成、構成、および監視を単一のページエクスペリエンスに統合します。

ワークスペース

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ワークスペースで顧客の要求や問題に対処します。ワークスペースには、エージェント、ケースマネージャー、ヘルプデスク担当者、マネージャーがツールを使用して顧客のニーズを解決するためのツール群が用意されています。

クリエータースタジオ

アプリケーションを作成したいのに、コーディング方法がわからない場合は、クリエータースタジオが最適です！

https://player.vimeo.com/video/1024834247?badge=0&autopause=0&player_id=0&app_id=58479

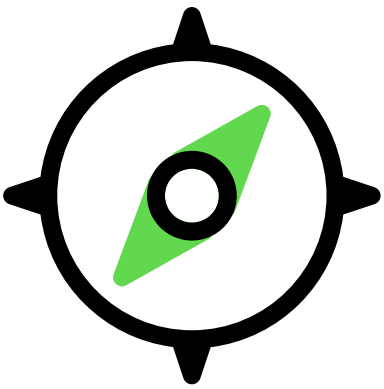
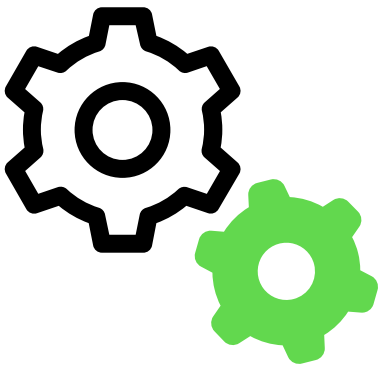
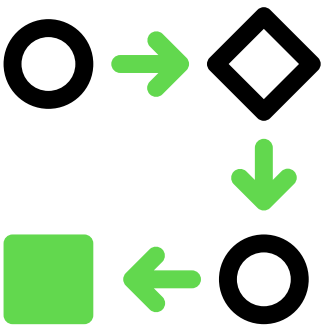
クリエータースタジオ は、会社のサービスデスクなど、要求実行アプリケーションの作成を支援することに特化しています。サービスデスクアプリを使用すると、ユーザーは要求を送信したり、問題を報告したり、社内のサービスに関連するサポートにアクセスしたりできます。 この種のアプリでは、ある人が新しいキーボードが欲しいなどの要求を行い、別の人がその要求に応えてキーボードを提供します。

キーボード、自動車部品、表彰ギフトカードなど、従業員が会社で申請して使用するすべてのアイテムを想像してください。出張の承認、新しい機器の受領、購入、休暇取得の許可などの要求をアプリで処理できます。アプリでは、誰かが要求を確認、承認、拒否することもできます。

クリエータースタジオ では次回の月面着陸モジュール用のアプリケーションを記述することはできませんが、その目的を考えれば多くのことができます。

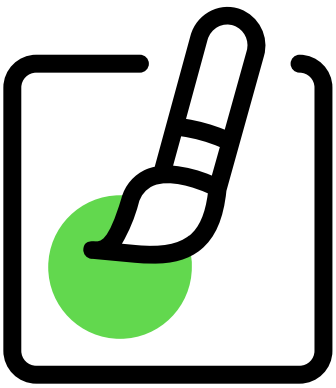
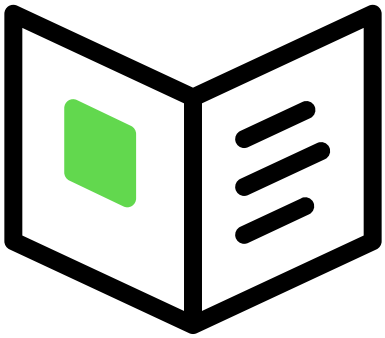
アプリケーションの作成が初めてでも心配する必要はありません。あらゆる段階で皆さんをガイドします。作成に飛び込む準備はできていますか？

開始

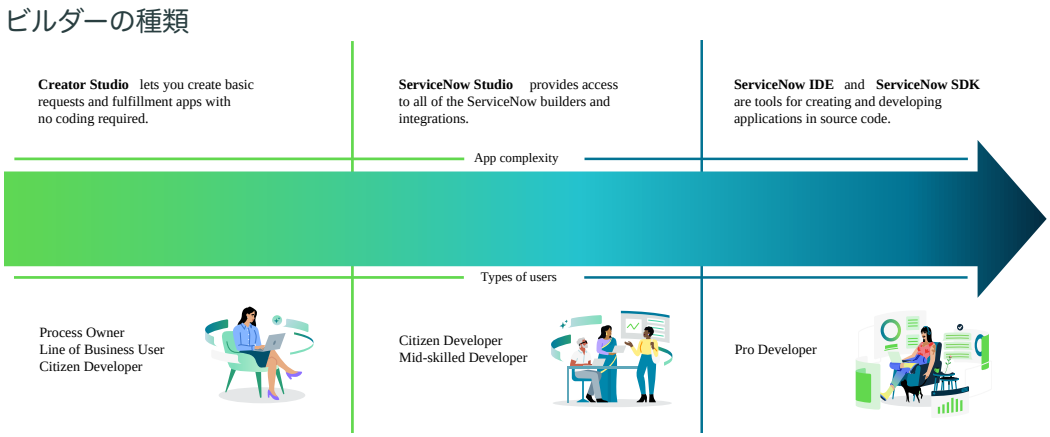
探索	構成	管理
		
クリエータースタジオの概念と機能について説明します。	クリエータースタジオツールをインストールして構成し、アクセスします。	クリエータースタジオの要求と展開を管理します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ビルド	参照	
		
クリエータースタジオのフォームと自動化を使用してアプリをビルドします。	フィールド、テーブル、プロパティなどのクリエータースタジオコンポーネントの詳細を取得します。	

アプリの作成に使用すべきビルダー



コードなしで簡単にアプリをビルドしたい場合

クリエータースタジオ は、コードを書かずに要求を履行するアプリケーションの作成を支援することに特化しています。たとえば、フォームに入力して事務用品を要求するアプリケーションで、誰かが要求を承認または拒否するなどです。詳細については、「クリエータースタジオ の探索」を参照してください。

より一般的なアプリが必要だけれどローコードオプションが必要な場合

App Engine Studio を使用すると、プログラミングのプロでなくても、クリエータースタジオ よりも幅広いアプリをビルドできます。詳細については、「App Engine Studio の探索」を参照してください。

一元化されたユーザーインターフェイスでより詳細に制御したい開発者の場合

新しい ServiceNow スタジオにより、アプリをよりスマートに構築し、より迅速に提供できます。ServiceNow スタジオ は、プラットフォーム開発者が ServiceNow AI Platformに基づいて構築するための最新の統一された環境を開発者に提供します。 ServiceNow スタジオ は、アプリケーションとメタデータへの簡素化されたナビゲーション、統合されたローコードツール、開発プロセスを

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

加速し、生産性を向上させる開発作業の効率的な追跡とパッケージ化を備えています。詳細については、「ServiceNow スタジオ の探索」を参照してください。

業界標準の開発ツールやプロセスを使用したい開発者の場合

ServiceNow IDE と ServiceNow SDK は、ServiceNow Fluent を使用したソースコードでのアプリケーション開発、JavaScript モジュールの作成、およびサードパーティライブラリの使用をサポートしています。ServiceNow Fluent は、コードでアプリケーションメタデータを作成するためのドメイン固有のプログラミング言語です。

ServiceNow IDE は、ServiceNow AI Platform 上の Visual Studio Code for the Web の実装です。ServiceNow SDK は Visual Studio Code Desktop をローカルで使用します。詳細については、「ソースコードでアプリケーションをビルドする」を参照してください。

アプリの内容 **ServiceNow**

ServiceNowアプリは、指定されたユーザーグループに対して特定のタスクを実行するパッケージです。アプリは、アクセスおよび編集できるユーザーに関する一連のルールを持つコンテナと考えてください。たとえば、 ServiceNow アプリには、API、テーブル、ワークスペース、フォーム、フロー、またはそれらの任意の組み合わせを含めることができます。

クリエータースタジオアプリでは、フォームと自動化を使用して、ユーザーが何かを要求し、承認プロセスを通じて要求を移動できるようにします。クリエータースタジオでは、アプリの要求アプリワークスペースの履行者ビューを表示することもできます。

クリエータースタジオでアプリをビルドした後にできること

クリエータースタジオで単純なアプリをビルドし、後でそれを複雑にしたい場合は、他の ServiceNow ビルダーのいずれかでアプリを開くことができます。

たとえば、ワークフロースタジオ でより複雑な自動化を追加したり、ServiceNow スタジオ で別のインターフェイスを追加したりできます。クリエータースタジオ ホームページにあるアプリのタイルから **[ServiceNow Studio** で開く] を選択すると、アプリをすばやく開くことができます。

クリエータースタジオ試してみる

クリエータースタジオ を試してみませんか？独自の個人開発インスタンス (PDI) を使用してテストできます。これには、 開発者サイト へのサインインが必要です。PDI の詳細については、 個人開発者インスタンスガイドをご覧ください。

PDI で クリエータースタジオ を試すには、このボタンを選択します

Try Creator Studio today

PDI で今すぐ クリエータースタジオ お試しください! ログインが必要です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クリエータースタジオ の探索

クリエータースタジオ は、アプリの作成をシンプルな手順に分割することで、アプリの作成を容易にします。このセクションでは、それぞれの手順について説明します。

すべてのステップに要求が伴います。そこで、まず クリエータースタジオ が要求を保存する方法について説明します。

サマリー:
このセクションを読むと、次のことが理解できるようになります。

- 要求の保存方法
- 要求の入力方法
- アプリが自動的に処理を行う仕組み

要求の保存について

ユーザーが要求を行った場合、後で誰かがレビューできるように、それをどこかに保存する必要があります。

テーブルが要求を保持する

クリエータースタジオは要求をテーブルに保存します。そのテーブルの各行が要求です。以下は、3 つの要求が含まれるテーブルの簡略化されたバージョンです。

ユースケース:

- モニターが動作しなくなりました。新しいものが必要です。
- 自宅とオフィスで使用できるように、新しいマウスを要求しています。
- 私のラップトップは 4 年以上前のものです。交換を要求したいと思います。

ユーザーがフォームを使用して要求を入力する

最終的にアプリのテーブルに保存される要求を、ユーザーはどのように入力するのでしょうか？ユーザーは皆さんのアプリを使用してフォームに記入します。フォームの質問には、履行者が必要とする情報が含まれています。

このアプリのテーブルでは、質問はフォーム上のすべての情報で構成されるレコードの一部として保存されます。

要求	名前	メール	要求日
新しいモニターが必要です。	Sushma Singh	SushmaSingh@example.com	04-05-2024
新しいラップトップが必要です。	Peter Smith	PeterSmith@example.com	05-01-2024

この例では、フォームに 4 つのフィールドがあります。

- 要求
- 要求者の名前
- 要求者のメールアドレス
- 要求日

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

これらのフィールドには、レビュー担当者が要求を承認または拒否するために必要なすべての情報が含まれています。レビュー担当者の意思決定に必要な情報をすべて把握する必要があります。後で、セクション クリエータースタジオ でのフォームの操作 で (Now Assist を使用して、または自分でフォームを作成する方法を紹介します。

主要な用語:

要求者

機器や何かの実施許可など、何かを要求する人。

履行者

要求に対応する人。履行者は、アプリの承認の自動化に応じて、要求を承認または拒否することもできます。

ここまで、要求者がフォームに入力して要求を作成し、 クリエータースタジオ それらの要求をアプリのテーブルに保存することを理解しました。

PDI で クリエータースタジオ を試す

パーソナル開発インスタンス (PDI) で クリエータースタジオ を試してみませんか？PDI の アプリケーションマネージャー から自動的にインストールされます。詳細については、「個人開発者インスタンスガイド」を参照してください。

でビルドできるサンプルアプリ クリエータースタジオ

クリエータースタジオ を使用すると、ユーザーが要求できるアプリをビルドできます。

サービスデスクアプリ

クリエータースタジオを使用して、日常的に発生する部門プロセスをサポートするサービスデスクアプリをビルドできます。サービスデスクの詳細については、「 サービスデスクと クリエータースタジオ」を参照してください。

サンプルアプリのリスト

クリエータースタジオ でビルドできるサービスデスクアプリの例を次に示します。これらの例では、標準的な ServiceNow オファリングの範囲外のアドホック要求をサポートし、非定型的なビジネスプロセスのギャップを埋めます。

- マーケティング関連資料の要求
- 出張承認および予約アプリ
- 資産の借入と返却 (オフィス用の会社アートの借入など)
- 新入社員ギフトボックス
- 従業員表彰の受賞と承認
- 製品の使用に関するヘルプ
- 顔写真の要求
- 休暇中の人をカバーするためにボランティアで参加できるバックアップ補償アプリ
- 退職パーティーなどの 1 回限りの資金調達要求
- 誕生日パーティーの企画
- 内部スキル共有:部門がプロジェクトに必要なスキルのアプリを作成し、ユーザーがサインアップできるようにします

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

カスタマイズの代わりに **App Engine** を使用します

App Engineクリエータースタジオなどの開発ツールは、ServiceNow AI Platform上の既存のアプリケーションをカスタマイズする優れた代替手段を提供します。

会社がServiceNow AI Platformに新しい機能を追加する必要がある場合は、IT Service Management (ITSM) などの既存のアプリケーションをカスタマイズしたり、App Engine Studio、クリエータースタジオ、ServiceNow スタジオ などのApp Engine開発者製品を使用して新しいアプリケーションを作成したりできます。選択するパスの簡単なガイドラインは次のとおりです。

- カスタマイズによってアプリケーションの意図した目的が拡張される場合は、カスタマイズした方が効果的です。たとえば、 ITSMに IT 機能を追加できます。
- カスタマイズによってアプリケーションの意図した目的が拡張されない場合は、 App Engine 開発者製品を使用して新しいアプリケーションを作成する方が効果的です。たとえば、出張要求ワークフローを追加するために ITSM ワークフローを再利用しないでください。

使用例 **App Engine**

ServiceNow 製品は、意図したとおりに使用すると最適に機能します。アプリケーションを再利用するために大幅にカスタマイズする場合は、 App Engine 開発者製品を使用して新しいアプリケーションを作成することをお勧めします。

次のシナリオは、既存の ServiceNow アプリケーションを大幅にカスタマイズするよりも、新しいアプリケーションを作成する方がうまく機能することを示しています。

- 会社には、既存の製品機能を拡張するビジネスプロセスがありますが、まったく同じワークフローに従っていません。
- どの製品ワークフローにも合わないアプリの新しいユースケースがあります。
- すぐに利用可能なアプリケーションを大幅にカスタマイズすることで構築できるユースケースがあるが、既存のアプリケーションで意図されていたことと一致していない。

最後のユースケースを詳しく見ていきましょう。

既存製品の転用に関する問題

ServiceNow アプリケーションには、ユースケースに合わせて特別に調整されたロール、プロセス、およびフローが付属しています。たとえば、 ITSM アプリは、IT ユーザー、IT の問題、IT レポート、IT ケースに役立ちます。

ITSMに似ているが、正確には一致しないアプリのアイデアがあるかもしれません。ITSMは出発点であるため、ITSMをカスタマイズして新しい機能を追加したくなるかもしれません。たとえば、ITSM IT の問題を追跡し、作成する旅行アプリで出張要求を追跡することができます。ワークフローは似ているように聞こえますが、実際には、使用するデータ、ユーザーインターフェイスが大きく異なり、各ワークフローの詳細も大きく異なります。ITSMを大幅にカスタマイズして再利用するのではなく、次の理由でApp Engine開発者製品を使用することをお勧めします。

- 2 つのワークフローを組み合わせると競合が生じます。
- アプリケーションのカスタマイズには影響があります。

2 つのワークフローを組み合わせると競合が生じます

ITSM例では、移動ワークフローを含めるためのITSMの再利用では、ITSMとは異なるデータ、異なるテーブル、異なるロール、および異なるワークフローを使用します。ITSM、ITSMカスタマイズ、および移動ワークフローは時間の経過とともに増加します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- それらの特徴は分岐し続けるでしょう。
- 一方のワークフローで新しい機能を追加したり問題を修正したりすると、もう一方のワークフローに悪影響を与える可能性があります。
- ITSMのパフォーマンスが低下する可能性があります。
- コード ベースが拡大し、 ITSM の 2 つの目的により、トラブルシューティングがより困難になります。
- 品質エンジニアには、2つの異なるテストフレームワークが必要です。

これらの問題はすべて、不必要な複雑さ、パフォーマンスの低下、アップグレードの遅延、およびソフトウェアの問題を引き起こす可能性があります。

アプリケーションのカスタマイズには影響があります

ServiceNow AI Platformは、カスタマイズと構成を受け入れるようにビルドされています。ServiceNow AI Platformは、会社のビジネスニーズに合わせて十分な柔軟性を備えています。ただし、 ServiceNow アプリケーションをどのようにカスタマイズするかは、 ServiceNow サポート、将来の ServiceNow AI Platform バージョンへのアップグレード、およびプラットフォームの機能に大きな影響を与える可能性があります。

まず、カスタマイズと構成を区別することから始めましょう。

- カスタマイズとは、 ServiceNow インスタンスのベースラインインストールの一部であるコードに加えられた変更です。コードを使用してアプリケーションをカスタマイズします。
- 構成とは、 ServiceNow インスタンスのベースラインインストールのコードに触れない製品の動作に加える変更です。システムプロパティ、 ServiceNow 製品、またはコードを使用して、アプリケーションを構成できます。

アプリケーションのカスタマイズによる影響の一部を次に示します。

- アプリケーションにコードを追加する場合は、 ServiceNow インスタンスのベースラインインストールのコードを変更するかどうかにかかわらず、そのアプリケーションを所有します。
- プラットフォームでは、すべてのカスタマイズがマークされ、新しいバージョンのプラットフォームに更新するとスキップされます。つまり、カスタマイズを手動で更新する必要があります。これは、新しいプラットフォームバージョンへの更新に必要な時間とリソースに大きな影響を与える可能性があります。
- ServiceNow AI Platformは、タスクの処理方法、複数のブラウザでのフォームのレンダリング方法、および全体的なユーザーエクスペリエンスにおいてアプリケーションをサポートするフレームワークを使用します。カスタマイズを導入すると、このフレームワークに意図しない結果が生じる可能性があります。
- カスタムコードをテストし、それがプラットフォームの機能に影響を与えるかどうかを判断する責任はあなたにあります。
- ServiceNow カスタマーサポートは、カスタムコードまたはカスタムコードによって発生した問題のトラブルシューティングを行うことはできません。

カスタマイズは、 ServiceNow AI Platformの重要な機能の 1 つです。ただし、アプリケーションを過度にカスタマイズして再利用すると、カスタムコードが新しいプラットフォームバージョンに簡単に移行できない可能性があるため、技術的負債が発生し、アップグレードサイクルが長くなり、将来のプラットフォームのアップグレードが複雑になる可能性があります。

結び

カスタマイズと構成は、企業が特定のニーズに合わせてワークフローをカスタマイズできるようにする ServiceNow AI Platform の特徴です。これらのタスクを次の順序で続行します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

1. ServiceNowアプリケーションをカスタマイズする前に、できるだけ構成してください。
2. アプリケーションのインテントを拡張する場合にのみ、アプリケーションをカスタマイズします。
3. アプリケーションをカスタマイズして当初の目的に沿わない機能を作成するのではなく、App Engine Studio、クリエータースタジオ、ServiceNow スタジオ などのApp Engine開発者製品を使用して新しいアプリケーションを作成します。

を使用したカスタマイズと構成 クリエータースタジオ

ServiceNowアプリケーションのカスタマイズと構成には重要な違いがあります。ServiceNowプラットフォームはカスタマイズと構成を受け入れるように構築されていますが、その方法は、ServiceNowサポート、将来のServiceNowプラットフォームバージョンへのアップグレード、およびServiceNowプラットフォームの機能に大きな影響を与える可能性があります。

カスタマイズに関する一般的なルールは次のとおりです。

- アプリケーションの本来の意図を拡張する場合にのみ、アプリケーションをカスタマイズします。たとえば、IT 機能を ITSM に追加しますが、移動ワークフローは追加しません。アプリケーションを過度にカスタマイズするのではなく、クリエータースタジオ や ServiceNow スタジオ などのApp Engine製品を使用して新しいアプリケーションを作成します。
- アプリケーションをカスタマイズする前に、できるだけ多くの構成を行います。
- すぐに利用可能な機能にコードを追加したり、その他の変更を加えたりすると、それらの機能を所有することになります。

構成とは

構成とはServiceNowServiceNowインスタンスへのベースラインインストールの一部であるフローやコードを変更することなく、組み込みのツールと機能を使用してアプリケーションの動作を変更するプロセスです。

構成は、 ServiceNow 組み込みツールを使用してテーブルなどを追加したり、インスタンス全体のパラメーターを設定したり、コードを使用してビジネスニーズに合わせてアプリケーションの機能を拡張したりします (コードがベースラインコードのインストールを変更しない限り)。プラットフォーム全体は、構成コードを追加するように設計されています。

ワークフロースクリプトなどのコードを追加する場合は、ベースラインコードのインストールを変更しなくても、そのコードを所有することになります。これには、 ServiceNow プラットフォーム全体に与える影響を所有することも含まれます。コードの追加によって発生する問題は、デバッグに対する ServiceNow サポートの範囲を超えています。

構成を元に戻すためにベースラインコードを変更する必要はありません。

構成の例を次に示します。

- フォーム:テーブル、フィールド、データタイプ、デフォルト値、およびフィールドの依存関係を構成して、キャプチャして表示するデータを構成します。
- UI 要素:レイアウトの変更、関連リストの追加、ボタンの追加、フィールド名の変更を行います。
- サービスカタログ:顧客がサービスや製品オファリングなどのカタログアイテムを要求できるポータルを構成します。
- ACL:権限のないユーザーによるフォームやデータへのアクセスを制限します。
- システムプロパティ値:すべてのユーザーに対するアプリケーションのエクスペリエンスを変更します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

カスタマイズとは

カスタマイズとは、 ServiceNow インスタンスへのベースラインインストールの一部であるフローまたはコードに加えられた変更です。アプリケーションをカスタマイズするには ServiceNow 製品またはコードを使用します。

コードを追加すると、ベースラインのインストールを変更しなくても、そのコードを所有することになります。これには、 ServiceNow プラットフォーム全体に与える影響を所有することも含まれます。

カスタマイズの例は次のとおりです。

- スクリプティング:JavaScript を使用してスクリプティングすることで ServiceNow をカスタマイズします。これには、クライアントスクリプト、サーバーサイドスクリプト、およびベースラインコードを変更する複雑なロジックを含むビジネスルールの作成が含まれます。
- カスタムテーブル:標準のテーブルに収まらない特殊なデータに対応するカスタムテーブルを開発します。
- 統合:シームレスなデータ交換のために、API や Web サービスなどの外部システムとの統合をカスタマイズします。
- ウィジェットとポータル:カスタムウィジェットとポータルを作成して、独自の機能とユーザーエクスペリエンスを提供します。
- ワークフロー: ワークフロースタジオを使用してワークフローを作成および変更します。1 つの設計環境からプレイブック、フロー、アクション、ディシジョンテーブル、統合を作成および管理して、タスクを自動化します。新しいバージョンのフローにアップグレードするには、カスタマイズを再適用する必要があります。

カスタマイズと構成のためのツール

ServiceNow には、 ServiceNow アプリケーションのすぐに利用可能な動作を変更するための、ビジネスルールなどの多くのツールと機能が用意されています。アプリケーションをカスタマイズまたは構成するかどうかは、使用方法によって異なります。これらのツールを使用してインストールされているコードベースを変更すると、カスタマイズが構成されます。これらのツールを使用して、フローを変更しないコードを追加するか、インストールされたコードベースを追加すると構成が構成されます。どちらの場合も、追加するコードと、それが ServiceNow プラットフォームに与える影響を所有します。

ServiceNow ツールには次のものが含まれます。

- UI ポリシー:ユーザーの入力に従って、フォーム上のフィールドと属性の表示を動的に変更します。
- ビジネスルール:指定された条件に基づいてアクションを自動的にトリガーします。
- UI アクション:クリックされたときに特定のアクションを実行するボタン、コンテキストメニューアイテム、またはその他の UI 要素を追加して、フォームとリストを拡張およびカスタマイズします。
- クライアントサイドスクリプト:フォームまたは UI ページで特定のアクションが発生したときに、ユーザーのブラウザー内で実行されるスクリプト。
- サーバーサイドスクリプト:ServiceNow サーバーまたはデータベースで実行されるスクリプト。たとえば、データベースクエリの実行時にレコードフィールドを更新します。

パーソナライゼーションとは

パーソナライズとは、ユーザーがすぐに利用可能なアプリケーションツールを使用して、アプリケーションのルックアンドフィールを自分だけに変更することです。アドミニストレーターはすべての

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ユーザーのルックアンドフィールを変更でき、これは構成と見なされます。パーソナライズの例としては、ユーザーがダークモードの使用を選択したり、表示するテーブル列を選択したりします。

カスタマイズでは、 ServiceNow インスタンスへのベースラインコードのインストールは変更されません。そのため、カスタマイズがカスタマーサポートに影響を与えたり、新しい ServiceNow バージョンへのアップグレードを妨げたりすることはありません。

ServiceNow 製品のカスタマイズの影響

ServiceNowプラットフォームは非常に柔軟性が高く、幅広いビジネス要件を満たすためのカスタマイズと構成を受け入れるように構築されています。ただし、 ServiceNow アプリケーションをどのようにカスタマイズするかは、 ServiceNow サポート、将来の ServiceNow プラットフォームバージョンへのアップグレード、およびプラットフォームの機能に大きな影響を与える可能性があります。ServiceNowアプリケーションをカスタマイズする代わりに、クリエータースタジオやServiceNow スタジオなどのApp Engine開発製品を使用して新しいアプリケーションを作成することを検討してください。

ServiceNowプラットフォームは、タスクの処理方法、複数のブラウザでのフォームのレンダリング方法、および全体的なユーザーエクスペリエンスにおいてアプリケーションをサポートするフレームワークを使用します。ServiceNow、一貫した方法で開発およびサポートを提供するために、フレームワークの整合性に依存しています。カスタマイズすると、このフレームワークが損なわれ、プラットフォームの機能が変更され、ワークフローとアップグレード性が損なわれる可能性があります。

カスタマイズにより、プラットフォームがトリガーされてsys_update_xmlレコードが作成され、このレコードは顧客アップデートテーブルに保存されます。ServiceNowプラットフォームの新しいバージョンに更新すると、プラットフォームはすべてのカスタマイズをマークし、カスタマイズされたレコードをスキップします。つまり、カスタマイズを手動で更新する必要があります。これは、新しいプラットフォームバージョンへの更新に必要な時間とリソースに大きな影響を与える可能性があります。

> **注:**
> Customer Update テーブルには、新しいカタログアイテムや新しいワークフローの作成など、構成メタデータに対する変更または追加も含まれています。

詳細については、「Customer Updates table」を参照してください。カスタマイズの数が増えると、カスタマイズのメンテナンスの複雑さが劇的に増すことに注意してください。

インストールされたコードベースのカスタマイズは、コストがかかり、技術的負債が発生し、アップグレードサイクルが長くなり、カスタムコードが新しいプラットフォームバージョンに簡単に移行できない場合があるため、将来のプラットフォームのアップグレードを複雑にする可能性があります。カスタムコードは、意図しない方法で ServiceNow プラットフォームの標準機能を変更する可能性があります。カスタマイズの要求を慎重に評価し、明確なビジネス価値があり代替手段がない場合にのみカスタマイズに頼る。可能な限り、カスタマイズを避けるため、代わりに構成を使用してください。

製品をカスタマイズする場合:

- 今後のカスタマイズを維持する責任があります。
- カスタマーサービス & サポート はカスタムコードによる問題はサポートしません。これが問題の原因である場合、サポート チームは、すぐに使用できるコードに戻すようにアドバイスする可能性があります。

カスタマイズのサポートに関する カスタマーサービス & サポート スタンスは何ですか?

カスタマイズに対する ServiceNow カスタマーサービス & サポート スタンスは、コードを追加する場合は、コードとその結果を所有するということです。どうしてですか？カスタマーサポートはカスタムビジネスロジックに精通しておらず、予期される動作がどうあるべきかがわからず、すぐに利

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

用可能なインスタンスで問題を再現できず、カスタマーサポートエンジニアは認定の実装スペシャリストではないため、カスタマイズされたコードロジックをレビューする認定を受けていません。

カスタマイズの代替手段

拡張の要件やアイデアがある場合は、インストールされているコードベースをカスタマイズする代わりに、次のことができます。

- カスタマイズではなく構成を使用します。
- 拡張要求を ServiceNow 開発チームに送信します。各要求が評価され、承認された場合は将来のリリースに組み込まれます。
- App Engine開発者製品を使用してアプリを作成し、必要な機能を処理します。

カスタマイズする代わりに **App Engine** 開発者製品を使用する場合

会社が ServiceNow プラットフォームに新しい機能を追加する必要がある場合は、ITSM などの既存のアプリケーションをカスタマイズしたり、クリエータースタジオ や ServiceNow スタジオ などのApp Engine開発者製品を使用して新しいアプリケーションを作成したりできます。選択するパスの簡単なガイドラインは次のとおりです。

- カスタマイズによってアプリケーションの意図した目的が拡張される場合は、カスタマイズした方が効果的です。たとえば、 ITSMに IT 機能を追加できます。
- カスタマイズによってアプリケーションの意図した目的が拡張されない場合は、 App Engine 開発者製品を使用して新しいアプリケーションを作成する方が効果的です。たとえば、出張要求ワークフローの作成に ITSM ワークフローを再利用しないでください。

たとえば、 ITSM は IT の問題を処理するように設計されています。出張要求を処理するようにカスタマイズすることは、 ITSMの本来の意図を超えています。IT 部門と出張要求ではワークフローが異なるため、ITSMをカスタマイズするのではなく、クリエータースタジオ や ServiceNow スタジオ などのApp Engine開発者ツールを使用して出張要求アプリを作成することをお勧めします。

詳細については、「クリエータースタジオ」を参照してください。

App Engine開発者製品を使用するケースの例

ServiceNow 製品は、意図したとおりに使用すると最適に機能します。アプリケーションを再利用するために大幅にカスタマイズする場合は、 App Engine 開発者製品を使用して新しいアプリケーションを作成することをお勧めします。

次のシナリオは、既存の ServiceNow アプリケーションを大幅にカスタマイズするよりも、新しいアプリケーションを作成する方がうまく機能することを示しています。

- どの製品ワークフローにも合わないアプリの新しいユースケースがあります。
- すぐに利用可能なアプリケーションを大幅にカスタマイズすることで構築できるユースケースがあるが、既存のアプリケーションで意図されていたことと一致していない。
- 会社に、OOTB 製品ワークフローとは別のユーザーグループまたはビジネスプロセスがある。

ServiceNow 製品のカスタマイズに関するガイドライン

カスタマイズする必要がある場合は、次の提案を検討してください。

- まず、構成オプションを最大化します。
- オブジェクトのコピーは避けてください。代わりに、 サービスポータル ウィジェットや再利用するように指定されたその他のアイテムを除き、可能な限りその場でオブジェクトを更新します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- デフォルトは「編集前に追加」です。つまり、たとえば、既存のフィールドのタイプを変更するのではなく、フォームにフィールドを追加する必要があります。追加するときは、すぐに利用可能なオブジェクト、メソッド、またはクラスと同じ名前を使用しないでください。
- フォームに追加するフィールドの数を最小限に抑えます。フォームのフィールドが多いほど、ロードに時間がかかることがあります。
- カスタマイズする前に、元のレコードをバックアップとしてエクスポートします。将来復元する必要がある場合に備えて、すぐに使用できるsys_idを追跡します。
- スコープ対象のアプリケーションを新しいカスタム開発のデフォルトとして使用します。
- すべてのカスタマイズを文書化します。カスタマイズの理由を説明するコメントを追加します (ビジネス上の根拠を含む)。アップグレードする前にすべてのコメントを確認して、すぐに利用可能なコードに戻せるかどうかを確認してください。
- すべてのカスタマイズのテストを作成します。可能な場合は、すべてのカスタマイズに対して自動テストフレームワーク (ATF) テストを記述します。
- ヘルススキャンを定期的に使用して、不要なカスタマイズを特定します。
- 必要に応じてベースラインオブジェクトをカスタマイズして、競合の解決と意思決定を更新に適切に記録できるようにする必要があります。非表示のカスタマイズにより、復元または結合が必要になった場合に、アドミニストレーターが今後のアセスメントで更新を見落とす可能性があります。
- すべてのユースケースでカスタマイズをテストします。パフォーマンステストと意図しない結果の導入を含めます。
- アドミニストレーターは、 ServiceNow プラットフォームのアップグレード後にカスタマイズが機能することを確認し、どのようなカスタマイズが行われたかを追跡する責任があります。

アップグレード時のカスタマイズの処理

カスタマイズにより、プラットフォームがトリガーされ、顧客アップデートテーブルに保存されるsys_update_xmlレコードが作成されます。これらのレコードは、プラットフォームバージョンのアップグレード中に更新されません。ServiceNowServiceNow アップグレードモニターでスキップされたレコードとしてマークします。アップグレードされたインスタンスに正常に移植されたことを確認するには、スキップされた変更を手動で処理する必要があります。詳細については、「Customer Updates table」を参照してください。

ビジネス上の根拠を含め、すべてのカスタマイズを文書化したと仮定して、文書化されたインベントリを取得し、アップグレードモニターで特定されたスキップされたレコードと比較します。スキップされたレコードの原因となった低リスクの変更 (フィールドラベルやフォームレイアウトなど) を除外した後、次のいずれかを決定する必要があります。

- 各カスタマイズを保持
- デフォルト設定に戻す
- カスタマイズをベースシステムと結合して競合を解決する

クリエータースタジオ で最初のアプリを作成する

クリエータースタジオ を使用すると、アプリをより小さな部分に分割して作成できます。それぞれの部分で専門の処理を実施します。順番に取り組んでいきましょう。

サマリー:
このセクションを読むと、次のことが理解できるようになります。

- アプリをビルドするための一般的なワークフロー
- アプリのアイデアに盛り込まれるもの
- 誰にサポートを求めるか

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

各部分で何をするのか、概要を説明しましょう。

1. 始めましょう。いくつかの簡単な手順でアプリを作成してから、ビルドを始めましょう。詳細については、 クリエータースタジオ でのアプリの作成をご覧ください。
2. または、他の人のアプリで作業できるよう依頼します！作業したいのにアクセス権がないというアプリが見つかった場合は、そのアプリへのアクセス権を要求できます。または、アドミンにアプリの作成を依頼し、それで作業することもできます。クリエータースタジオ でアプリの開発を依頼するまたはクリエータースタジオ でアドミンにアプリの作成を依頼するでその方法をご覧ください。
3. 情報を収集するフォームを追加します。フォームは、質問をすることで情報を収集する場所ですが、最初にフォームをアプリに追加する必要があります。詳細については、 でアプリにフォームを追加する クリエータースタジオ を参照してください。
4. 必要な情報を求めます。デフォルトのカタログテンプレートをカスタマイズして、履行者が必要とする特定の情報を要求します。どのようなカスタマイズを行うべきか、どうやって判断しますか？履行者が要求を履行するためにどのような情報を必要とするか、自問してください。「クリエータースタジオ でアプリのフォームをカスタマイズする」でフォームフィールドを追加、削除、および変更する方法を説明します。
5. フォームを利用できるようにします。フォームの準備ができたら、それを公開して、要求者がアクセスできるようにします。このプロセスは簡単です。「クリエータースタジオでアプリのフォームを公開する」で説明します。
6. フォームがトリガーする自動アクションを指定します。要求者がフォームを送信または修正したときに、アプリで何らかのアクションを実行するようにする必要があります。たとえば、新しい要求によってマネージャーからの承認がトリガーされるなど。別のアクションとしては、要求者に電子メールを送信して、要求送信を確認し、トラッキング番号を提供することが考えられます。「クリエータースタジオ で自動化を操作する」で、さらに自動化の可能性を調べてみてください。
7. 履行者が使用するワークスペースをカスタマイズします。 クリエータースタジオ 履行者が要求を処理するワークスペースカテゴリを自動的に作成します。は、ワークスペースはそのまま使用できますが、ニーズに合わせて微調整できます。その方法については「フォーム送信用のワークスペースリストとレコードの構成」を参照してください。
8. アプリをテストして、準備ができているかどうかを確認します。アプリの準備ができていると思いますか? テストして、フォームの質問に対する回答と、アプリが生成するレコードの自動化結果を確認します。アプリのフォームの 1 つをテストするで詳細を取得します。
9. アプリを本番環境に展開します。アプリが改良され、テストされ、準備が整ったら、実際のユーザーがアプリを使用して要求を行えるように、アドミンにアプリを本番環境に移行するよう依頼します。その方法については「クリエータースタジオ から本番環境へのアプリの展開を要求する」を参照してください。

ユースケース:

Example Company での Sam の仕事は、オフィス機器に対する従業員の要求に応えることです。メールを受信し、スプレッドシートで要求、要求者、機器、価格、日付、履行内容を保管することで、この作業を何年も行ってきました。Sam の会社は成長しており、現在では要求の数が膨大になっています。「要求の確認にすべての時間を費やしていて、自分の他の仕事はまったくできません」Sam は、人々がオフィス機器を要求できるようにし、要求の確認メールを自動的に送信し、要求を保存し、ボタンをクリックするだけで要求を実行または拒否できるアプリを作成したいと考えています。人生で 1 行もコードを書いたことがなくても、クリエータースタジオ を使用すると希望どおりのアプリケーションを作成できます。

クリエータースタジオ クイックスタート

このクイックスタートでは、クリエータースタジオ で最初のアプリをビルドし、その展開を要求するプロセスについて説明します。

少なくとも、アプリを作成してから、ユーザーがフルフィルメント要求を送信するフォームを追加およびカスタマイズする必要があります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

最初のアプリをビルドすることは、クリエータースタジオ でどの程度簡単にアプリを作成できるかを理解する良い方法です。

ギフト カード要求アプリをビルドする詳細なチュートリアルについては、「 クリエータースタジオのチュートリアル」を参照してください。

システムアドミニストレーターは、ユーザーを クリエータースタジオ ユーザーグループに追加する必要があります。

クイックスタートパート **1:**アプリを作成する

最初にアプリを作成します。後で、私たちはそれを構築し続けます。

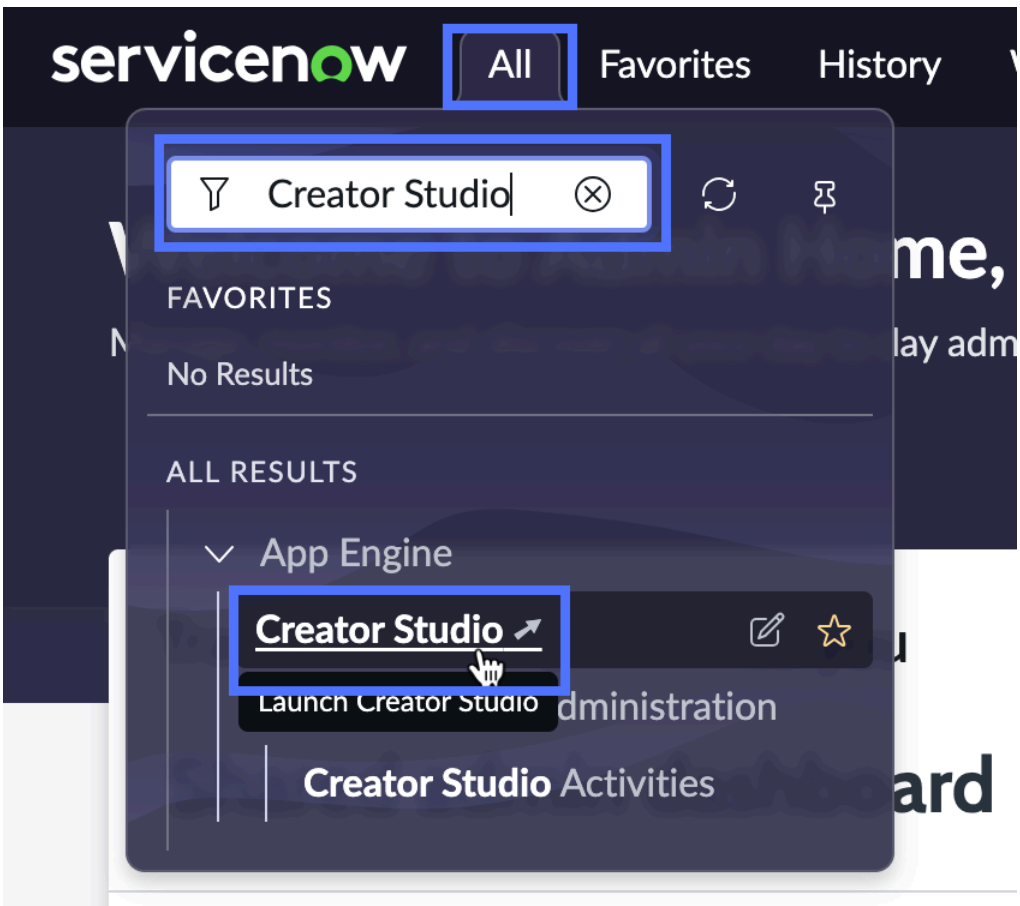
始める前に
システムアドミニストレーターは、ユーザーを クリエータースタジオ ユーザーグループに追加する必要があります。

> **注:**
> 自分でアプリを作成する権限がない場合は、アドミンにアプリの作成を依頼できます。方法については、 クリエータースタジオ でアドミンにアプリの作成を依頼する を参照してください。

手順

1. クリエータースタジオホームページに移動して、 すべて > **App Engine** > クリエータースタジオ.

クリエータースタジオ の起動



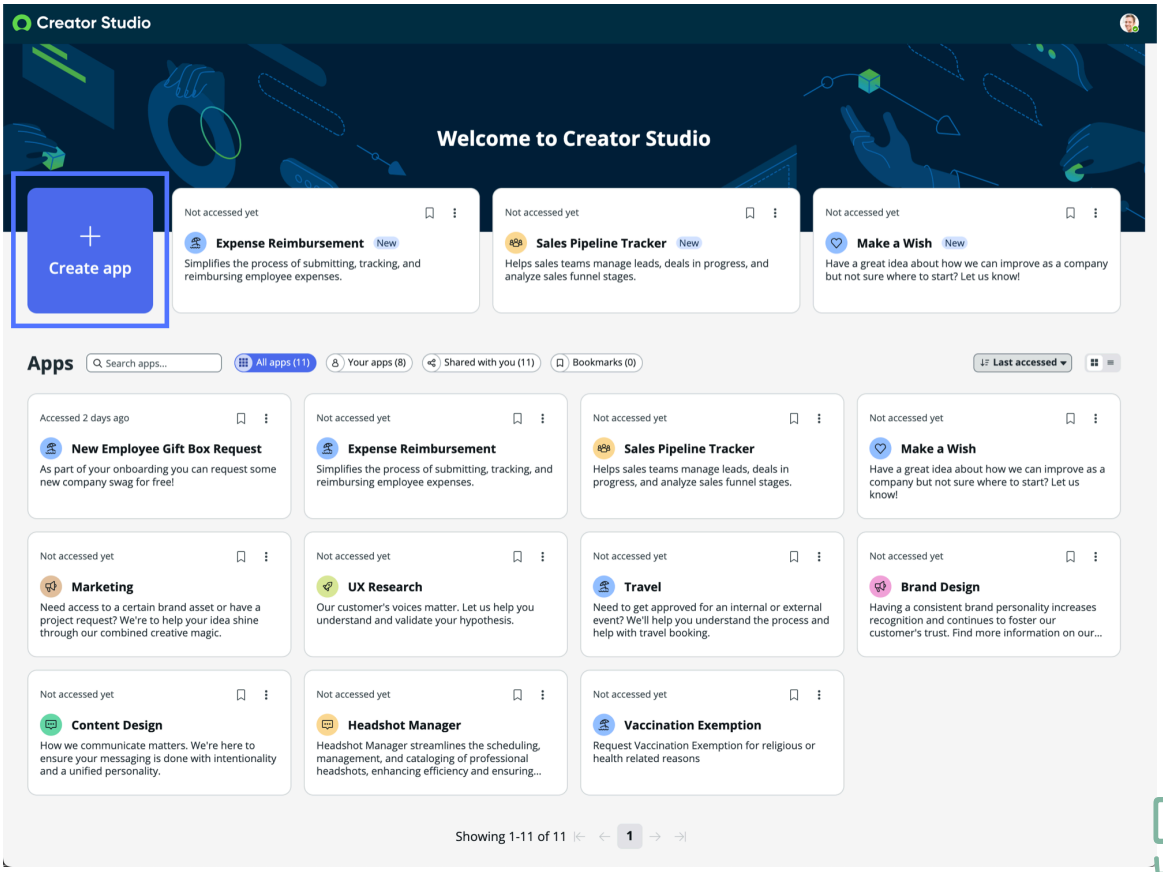
クリエータースタジオ ホームページが表示されます。ホームページでの作業の詳細については、「クリエータースタジオ での既存アプリの検索」を確認してください。

2. [アプリを作成] ボタンを選択して、アプリの作成プロセスを開始します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

[アプリを作成] ボタン



- システムアドミニストレーターの場合は、「アプリケーションコラボレーション」でこのトピックの詳細を読むことができます。
- アドミンにアプリの作成を要求する方法を知りたい場合は、「クリエータースタジオ でアドミンにアプリの作成を依頼する」を確認してください。

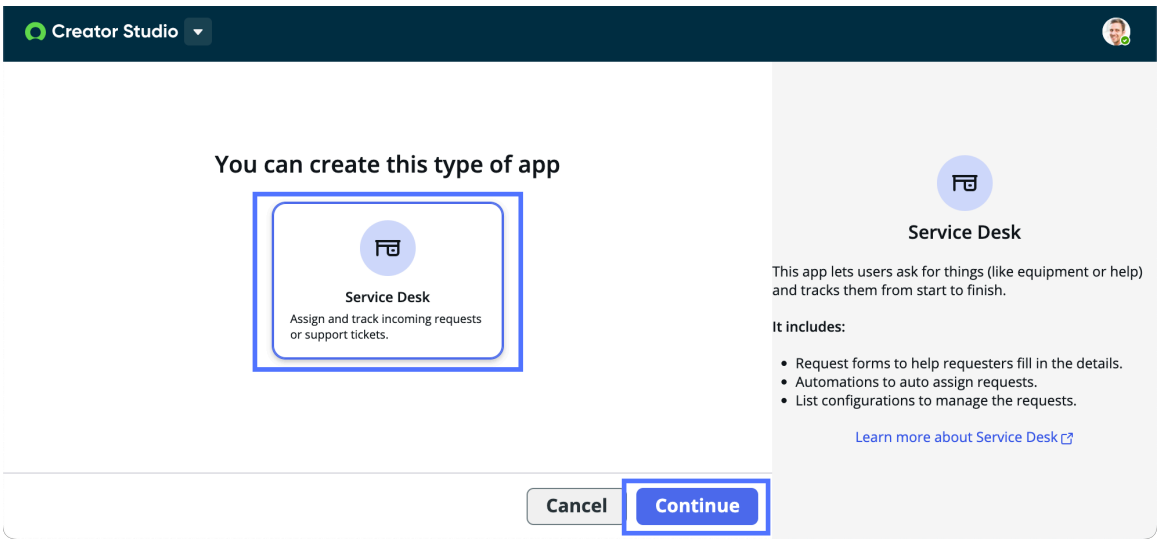
3. サービスデスクなど、ビルドするアプリのタイプを選択します。
   サービスデスクアプリを使用すると、ユーザーは要求を送信したり、問題を報告したり、社内のサービスに関連するサポートにアクセスしたりできます。

> **注:**
> アドミンがこのページを非表示にしている可能性があります。

自動翻訳

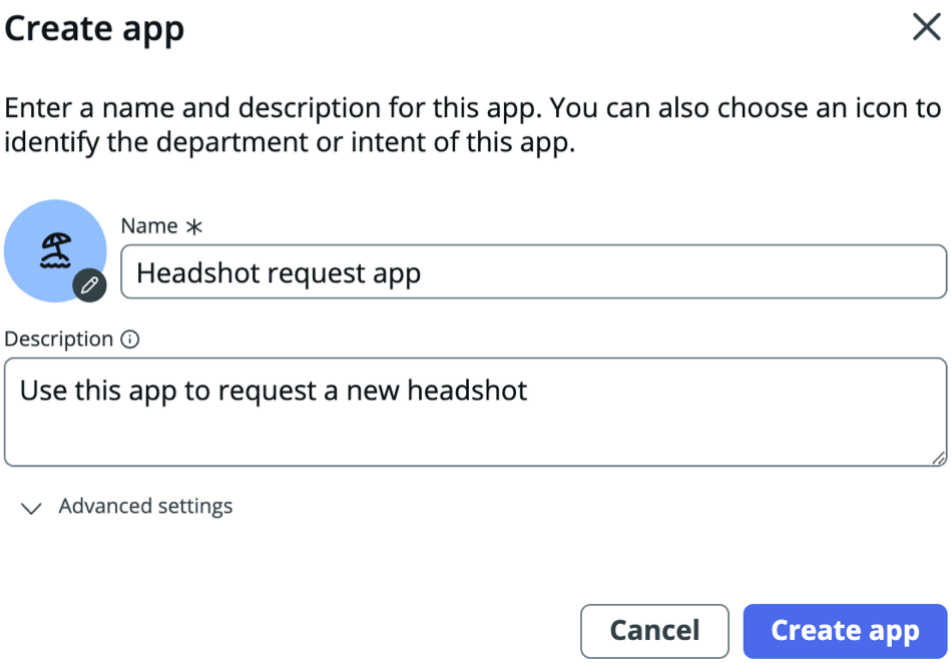
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アプリタイプを選択



4. [**Continue**] ボタンをクリックします。
5. 表示されるページで、 アプリの目的の [名前] と簡単な [説明] を入力します。

アプリを作成



6. [アプリを作成] を選択します。

タスクの結果
これで、独自のアプリケーションの開始部分を作成できました！名前を付けて説明を入力しました。
それでは、フォームを追加しましょう。

クイックスタートパート **2:**フォームを追加する

ユーザーが要求を実行できるようにフォームを追加しましょう。 フォームには、ユーザーがサービスデスク要求を送信するときに回答する質問が含まれています。

自動翻訳

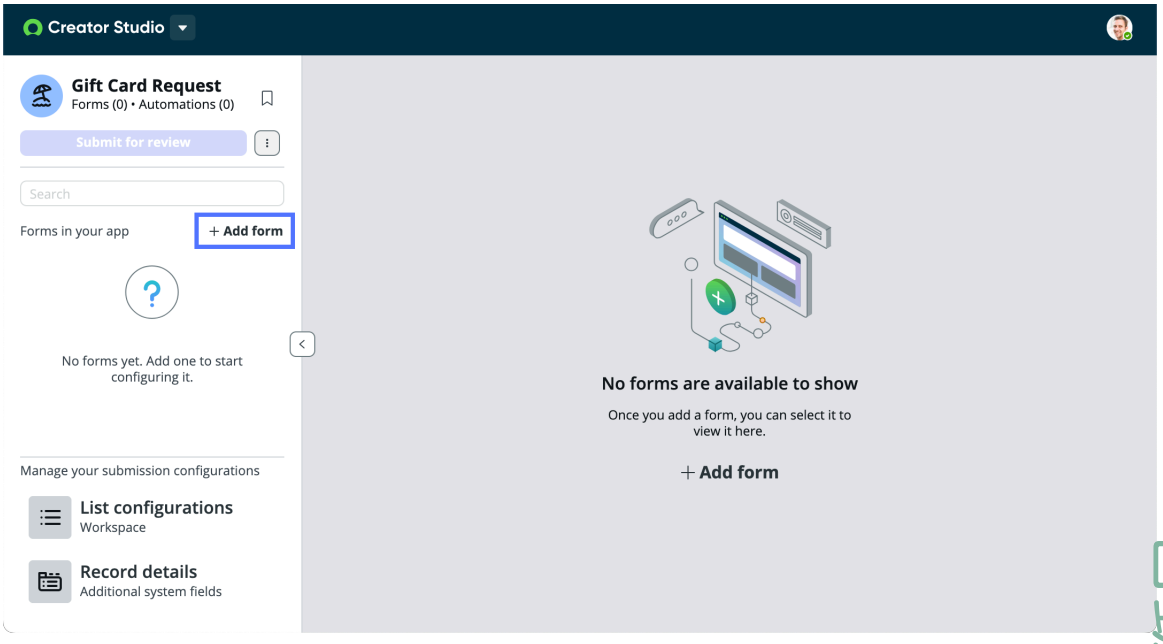
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
システムアドミニストレーターは、ユーザーを クリエータースタジオ ユーザーグループに追加する必要があります。

手順

1. [+ フォームを追加] を選択して開始します。

フォームを追加する場合に選択



2. アドミンがカスタマイズできるカタログテンプレートをリストから選択し、[テンプレートを適用] を選択して続行します。

必要なカタログテンプレートが表示されない場合があります。最も近いものを選択してください。近いものがない場合は、アドミンが削除していない場合、[クリエータースタジオのデフォルトテンプレート **(Creator Studio Default Template)]** オプションを選択します。それが最善策です。

ヒント:
カタログテンプレートのリストを自由にクリックしてみてください。希望のものを選択するのにプレビューが役立ちます。

選択できる他のカタログテンプレートが表示されなくても心配はいりません。アドミンがまだカスタムカタログテンプレートを作成していない可能性があります。

3. フォームの作成方法を選択します。

- Now Assistを使用するには、[**Now Assist** を使用したビルド **(Build with Now Assist)]** タブにとどまり、必要なフォームの指示を入力します。詳細については、「でのフォームの生成 Now Assist」を参照してください。

注:
[例を試す] を選択すると、使用可能な経路の例が表示されます。フォームがどのように表示されるかの簡単なモックアップを表示するには、[フォームプレビューの生成] ボタンを選択します。別のフォームが必要な場合は、表示される方向を変更し、[プレビューを再生成] を選択してすばやく確認できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- フォームを手動でビルドするには、[**Build on your own**] タブを選択し、フォームの情報を入力します。

  フォームの詳細

フィールド	説明
フォーム名	フォームのわかりやすい名前。
簡単な説明	フォームの使用目的に関する情報。
詳しい説明	フォームのその他の詳細。画像やその他の情報源へのリンク (ナレッジベース記事など) などのコンテンツを含めることができます。

[Now Assist でビルド] タブのオプションが表示されない場合は、アドミンに確認してください。フォーム生成用の Now Assist をインストールするには、「 でのフォーム生成の構成 クリエータースタジオ」を参照してください。

4. [フォームを保存して編集] を選択します。

次のタスク

アプリにフォームを追加したので、次はカスタマイズします。注意: 必要に応じて、アプリに複数のフォームを追加できます。

クイックスタートパート **3:**フォームに質問を追加して公開する

フォームに質問を追加し、その質問の内容を定義して、履行者が要求を評価するために必要な情報を収集します。その後、それを公開してカタログアイテムを利用可能にすることができます。

始める前に

システムアドミニストレーターは、ユーザーを クリエータースタジオ ユーザーグループに追加する必要があります。

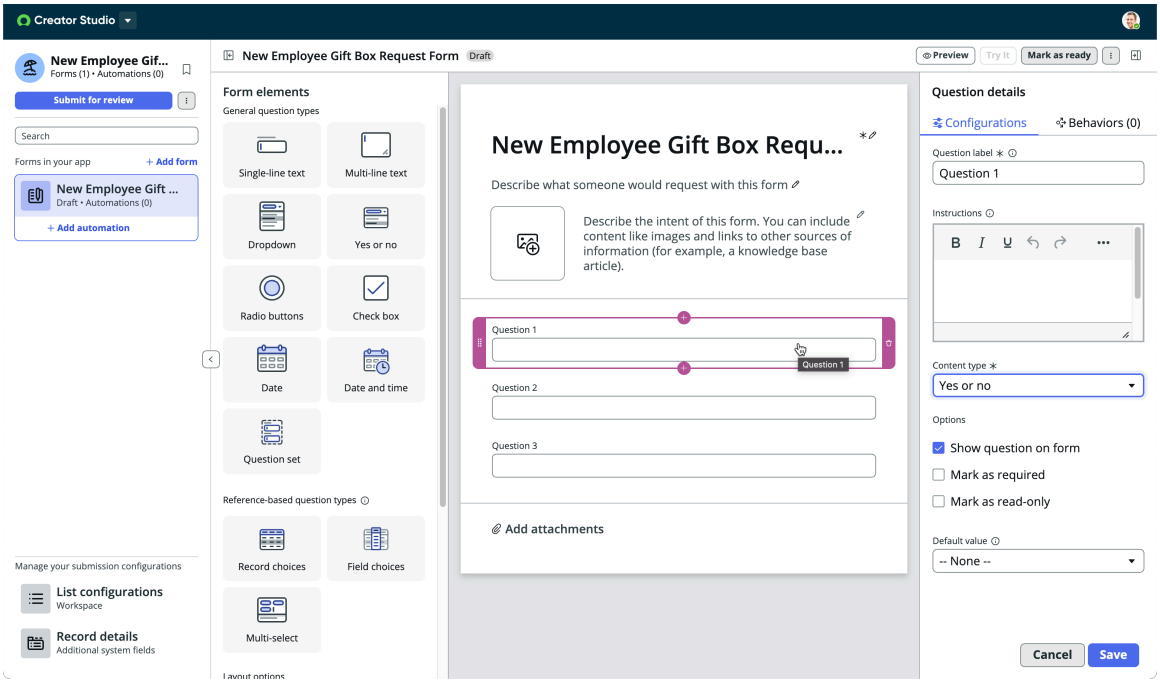
手順

1. カスタマイズする質問を選択します。
   質問を選択すると、フォーム上でその質問がハイライト表示されるため、作業内容を把握できます。

自動翻訳

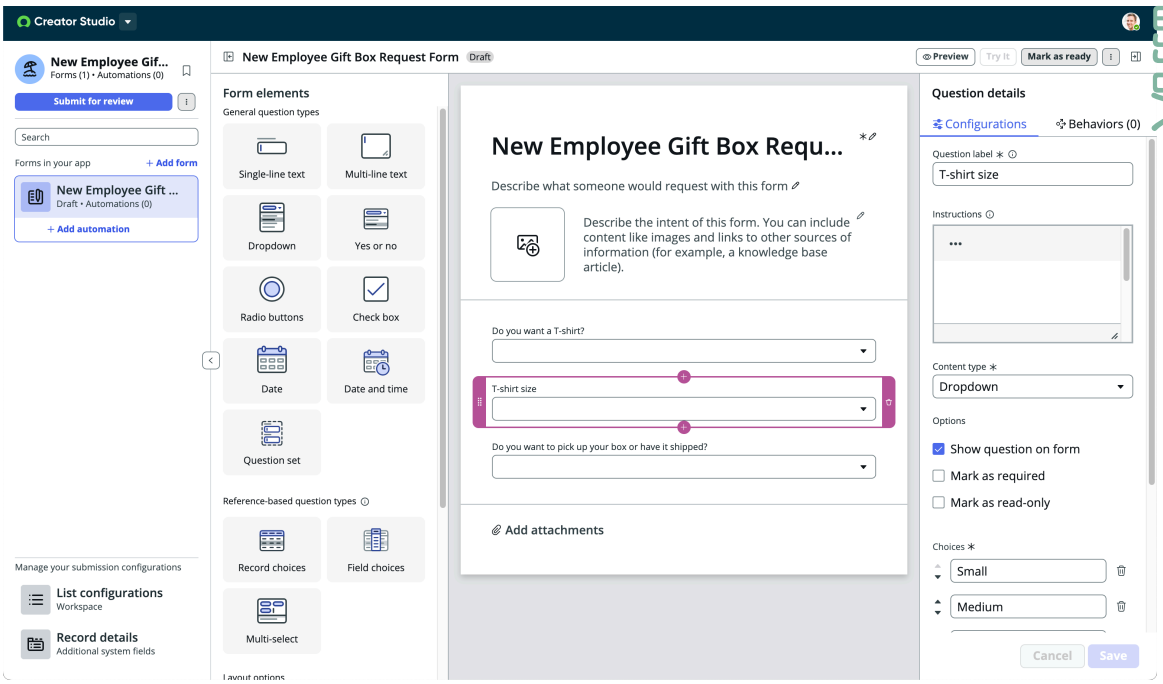
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

作業する質問を選択



2. [質問の詳細] パネルの [構成] タブで、質問の内容のラベルや、要求者がフォームを送信するために回答が必要かどうかなど、追加した質問に関する情報を指定します。
詳細は質問タイプによって異なります。たとえば、[ドロップダウン] の質問を追加する場合は、選択するオプションを指定する必要があります。

フォームの質問の詳細



3. オプション: [動作] タブで動的な動作を追加して、ユーザーの回答方法に基づいてフォームの外観を変更します。
たとえば、ユーザーが参加するイベントの T シャツが欲しいと言った場合、 **T** シャツサイズ フィールドを必須にすることができます。の応答に基づいてフォームを変更する クリエータースタジオ でのダイナミックの追加に関する詳細を取得します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

4. [オートフィルを追加] オプションを選択すると、フォーム上の別の質問への回答に基づいて質問の回答が自動的に入力されます (レコード選択肢の質問のみ)。
たとえば、フォームで [ギフトボックスの受信者を選択 **(Choose the gift box**)] フィールドのユーザーを選択し、ユーザーテーブルからその値を取得できます。追加の [希望する名前] フィールドは、[ユーザー] テーブルの選択の [名] フィールドから自動的に入力できますが、ニックネームが希望する場合は編集できます。

   [オートフィルを追加] オプションは、フォームにレコード選択肢の質問がある場合にのみ使用できます。次のフィールドにも入力する必要があります。

   レコード選択肢の回答に基づく質問の自動入力の詳細

フィールド	説明
依存質問を選択	回答によって現在の質問が自動的に入力される質問。
値フィールドを選択	現在の質問に対する回答として使用する値を含む、レコード選択肢の質問のソーステーブル内のフィールド。 [編集] アイコン ( ) を選択し、自動入力された回答を含むソーステーブルのフィールドに移動して、[適用] を選択する必要があります。テーブル内のフィールドの選択について詳しくは、「 Dot-walking to data in related tables 」をご覧ください。

5. 質問の変更が完了したら、[保存して閉じる] を選択します。
6. オプション: 別の質問を追加するには、必要な質問のタイプを [フォーム要素] パネルからフォームにドラッグし、キャンバス上の目的の場所にドロップします。
フォーム上の既存の質問をクリックすると表示される [追加] アイコン (+) を選択して、質問を追加することもできます。事前設定された [質問セット] を追加する場合は、質問セットをフォームにドラッグしたときに表示されるモーダルから質問セットを選択する必要があります。

   質問タイプとその使用方法の説明については、「クリエータースタジオ で利用可能な質問のタイプ」を参照してください。
7. オプション: 質問タイプを変更するには、質問を選択し、[質問の詳細] パネルの [コンテンツタイプ] フィールドで新しい質問タイプを選択します。
新しいタイプを選択すると、新しい値を指定しなければならない場合があります。

   質問を作成する際は、次の仕様を念頭に置いてください。
   - 既存の質問を質問セットに変更することはできません。質問セットをフォームに含めるには、その質問セットをフォームに新たに追加する必要があります。
   - フォームに 2 つのチェックボックスの質問を並べて配置すると、セクションが作成されます。そのセクションに他のタイプの質問を追加することはできません。
8. それでは、フォームに追加した質問と画像を配置しましょう。

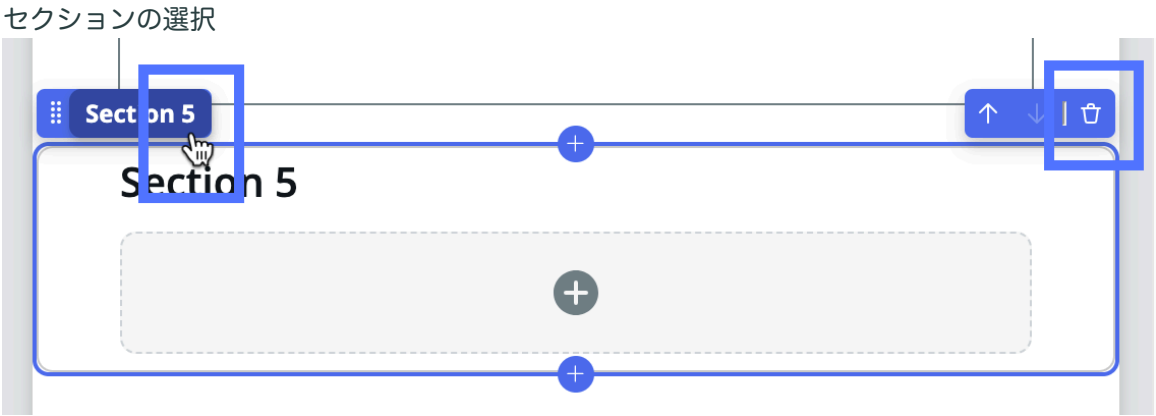
   a. [フォーム要素] パネルから、目的のレイアウトオプションをフォームでドラッグし、表示する場所 ([分割線]など) にドロップします。
   レイアウトが気に入らなくても心配はいりません。別のレイアウトをフォームのキャンバスにドラッグして試してみてください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

b. [セクションの詳細] または [質問の詳細] パネル (作業中のレイアウトによって異なります) を使用して、選択したフォームレイアウトを変更します。テキストを太字にしたり、リンクを追加したりできます。

> **注:**
> セクションを編集または削除するには、セクション名にカーソルを合わせて [セクション] を選択し、プロパティパネルにセクションの詳細と削除アイコンを表示する必要があります。



詳細については、「クリエータースタジオにおけるフォームのレイアウトオプション」を参照してください。

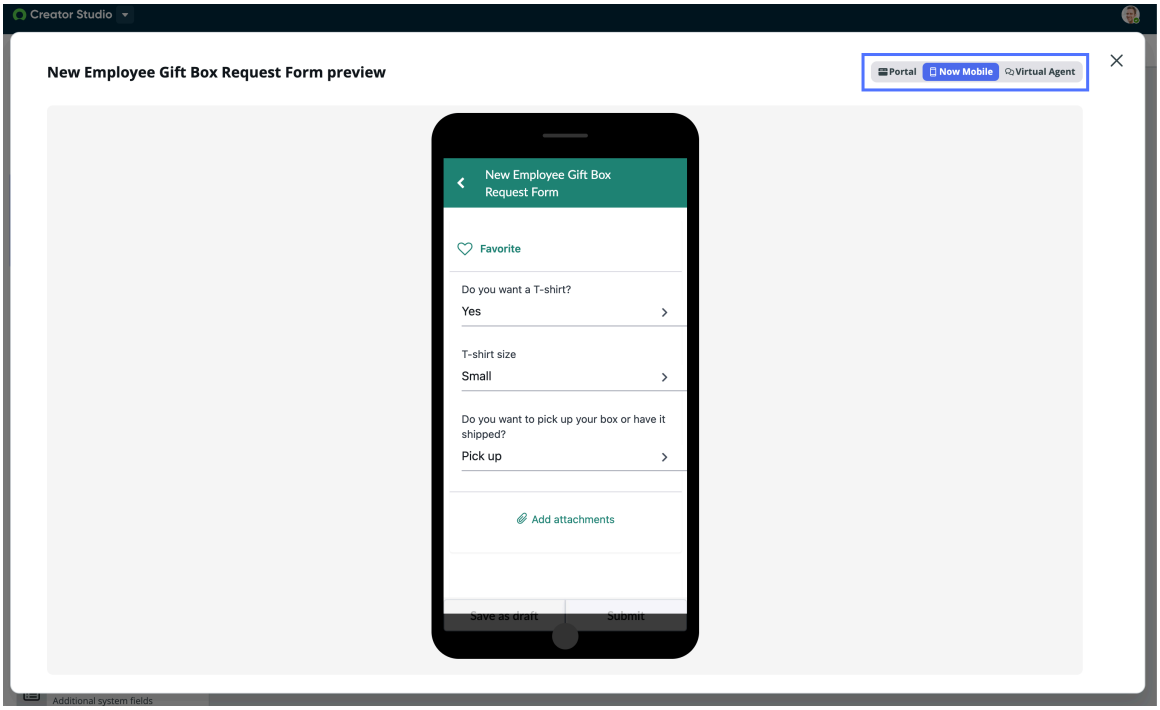
c. フォームのレイアウトの変更が完了したら、[セクションの詳細]/[質問の詳細] パネルで [保存] を選択します。

9. オプション: [プレビュー] ボタンを選択して、さまざまなエクスペリエンスでフォームがどのように表示されるかを確認します。
ポータル (従業員ポータル など)、**Now Mobile**、または仮想エージェントを選択すると、フォームの現在のバージョンがさまざまなエクスペリエンスでどのように表示されるかのプレビューを表示できます。プレビュー時にフォームに入力することはできますが、[送信] ボタンを選択してもタスクレコードは生成されません。

自動翻訳

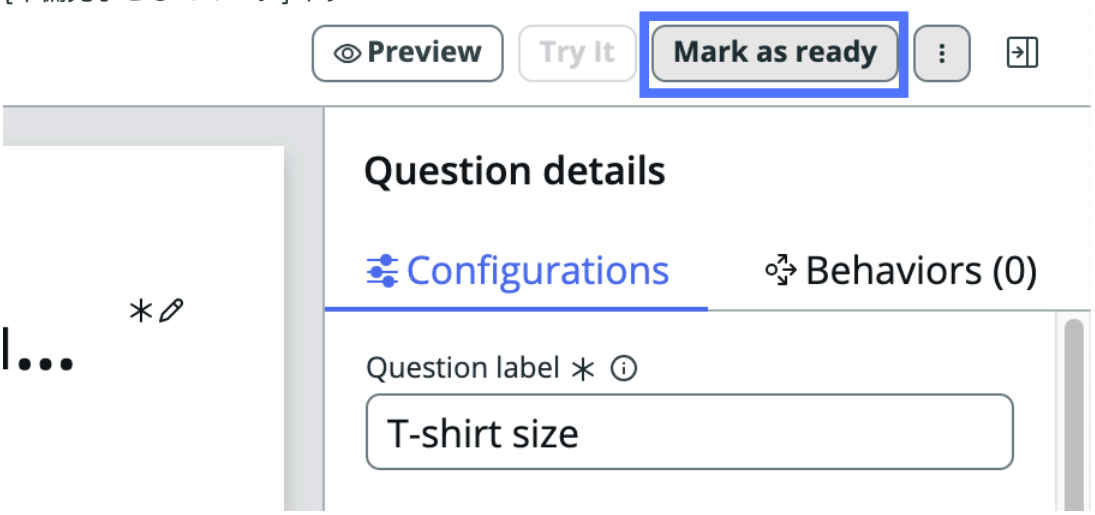
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フォームのプレビュー



10. 準備ができたら、[準備完了としてマーク] ボタンを選択してフォームを公開します。
フォームを公開すると、関連するアプリが展開された後に、本番インスタンスでカタログアイテムとして使用できるようになります。

[準備完了としてマーク] ボタン



タスクの結果
フォームがカタログアイテムとして利用可能になったので、それを使用して自動化されたプレイブックを作成できます。

クイックスタートパート **4:**プレイブックを追加する

プレイブックを追加して、承認のためにマネージャーにレコードを自動的にアサインするなど、アプリの自動化を作成します。

始める前に
自動化を追加するフォームは、既に公開されている必要があります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

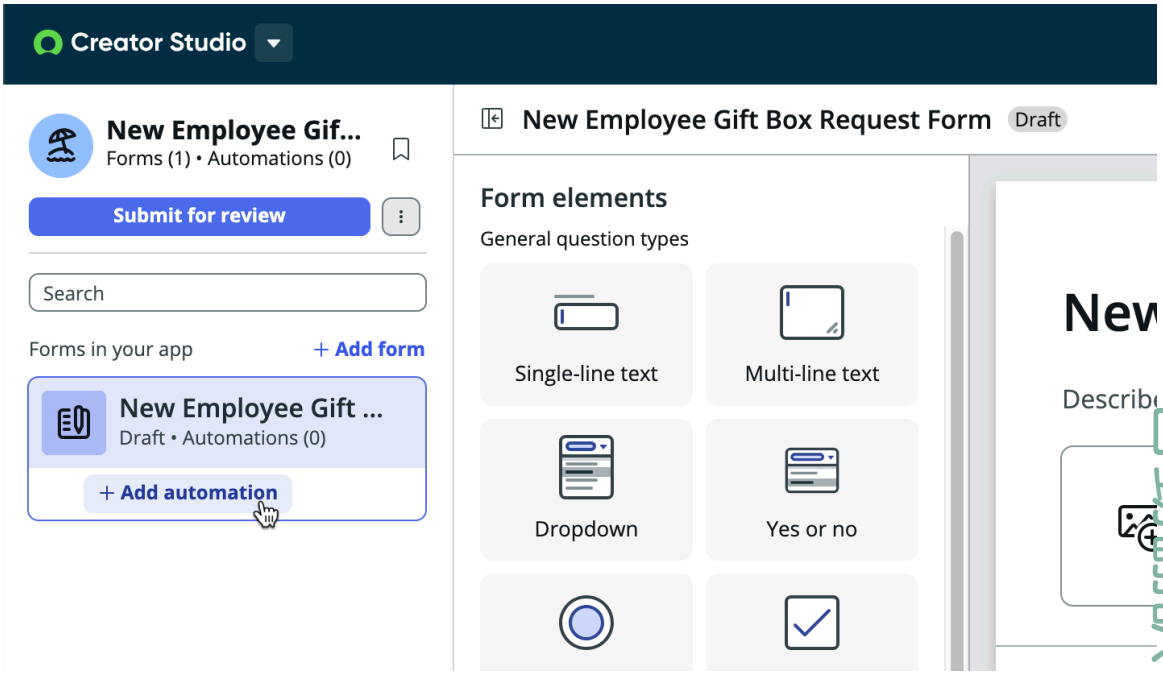
システムアドミニストレーターは、ユーザーを クリエータースタジオ ユーザーグループに追加する必要があります。

手順

1. プレイブックを追加するフォームのナビゲーションパネルで **[+** 自動化を追加] を選択します。

> **注:**
> フォームがまだ公開されていない場合は、最初に準備完了としてマークする必要があります。詳細については、「クリエータースタジオでアプリのフォームを公開する」を参照してください。

自動化を追加



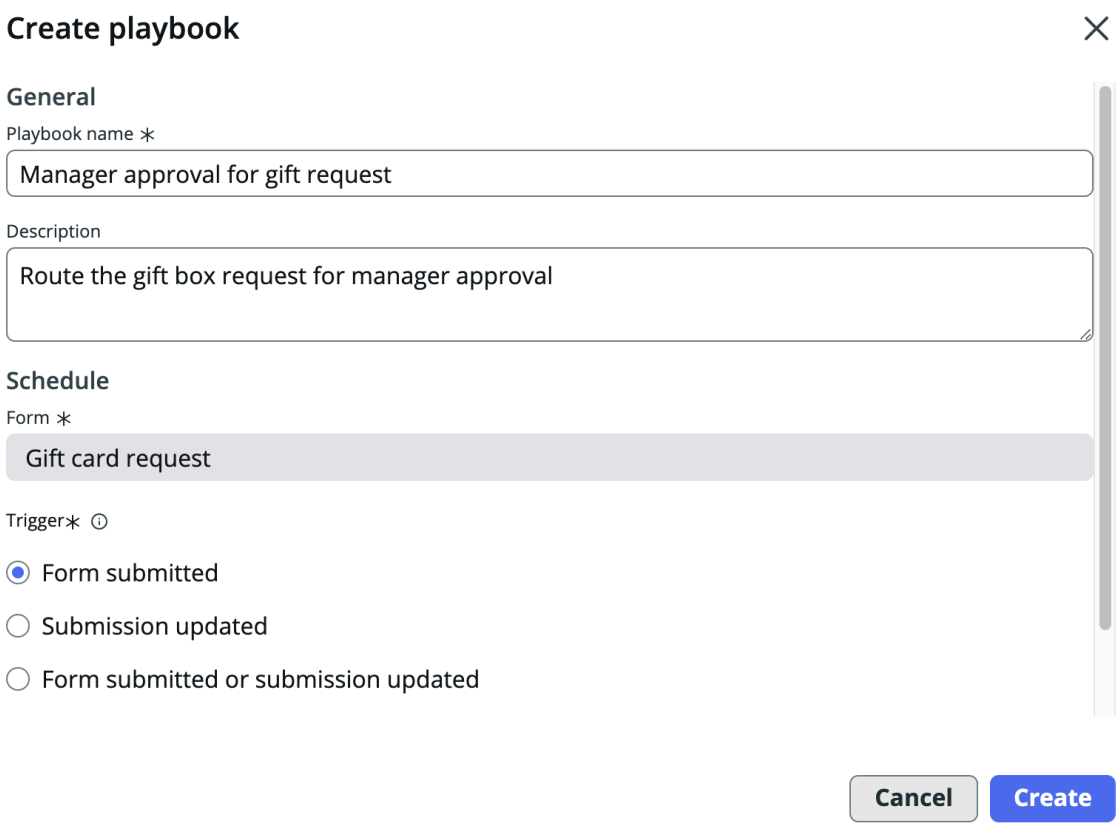
2. [プレイブックを作成 (Create playbook)] モーダルでプレイブックの一般的な属性を指定します。

一般的なプレイブック定義フィールド

フィールド	説明
プレイブック名	作成するプレイブックのわかりやすい名前。
説明	プレイブックが実行する内容の短い説明 (レコードタイプの最終目標など)。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プレイブックを作成



3. プレイブックのスケジュールを指定します。

a. プレイブックを開始する [トリガー] のタイプを選択します。

プレイブックトリガーのオプション

トリガー	説明
フォームが送信されました	選択したフォームをユーザーが送信すると、プレイブックの実行が開始されます。
フォームが更新されました	選択したフォームをユーザーが更新すると、プレイブックの実行が開始されます。
フォームが送信または更新された (Form submitted or updated)	選択したフォームをユーザーが送信または更新すると、プレイブックの実行が開始されます。

注:
プレイブックの作成が完了した後は、プレイブックのトリガータイプを変更することはできません。代わりに、別のトリガーを使用して新しいプレイブックを作成します。

ただし、質問に対する特定の回答に基づいて条件付きでプレイブックを実行するなど、トリガー条件を編集することはできます。詳細については、「クリエータースタジオでプレイブックのトリガーを編集する」を参照してください。

b. 更新中のフォームを含むトリガーを選択した場合は、アプリがプレイブックを実行する頻度を指定します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

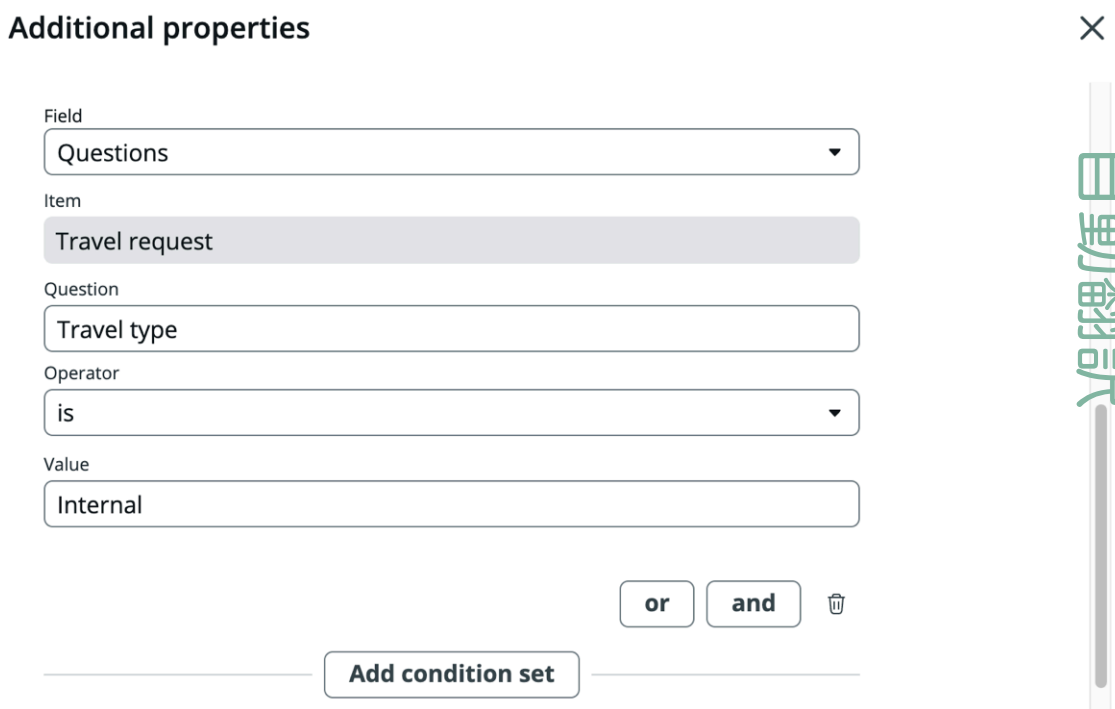
オプションは次のとおりです。

- **1**回
- **For each unique change** (それぞれ一意の変更の場合)
- 現在実行されていない場合のみ
- 更新ごと

c. [条件を追加] を選択して、プレイブックの実行を開始するために満たす必要がある条件を指定します。

- テーブルの列の値に基づいてプレイブックをトリガーする場合は、トリガーする [フィールド] 、およびその条件 [演算子] と特定のトリガー [値] を選択します。たとえば、[開始日] が [日付] の [後] である必要がある場合など。
- フォームからの応答に基づいてプレイブックをトリガーする場合は、トリガー [フィールド] として [質問] を選択します。次に、[質問] フィールドで目的の質問を選択し、条件の [演算子] と回答の [値] を選択します。

自動化のトリガーとしての質問の回答



必要なだけ条件を追加します。詳細については、「Create a condition statement using the condition builder」を参照してください。

d. **[Create** (作成)] を選択します。

タスクの結果

次に、アクティビティをプレイブックに追加して、自動化の実行内容を定義します。

クイックスタートパート **5:**アクティビティを追加してプレイブックをアクティブ化する

プレイブックにアクティビティを追加して、自動化の実行内容を定義します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
システムアドミニストレーターは、ユーザーを クリエータースタジオ ユーザーグループに追加する必要があります。

このタスクについて
アクティビティの状況を定義するために if/then ステートメントを含める場合は、意思決定を追加します。詳細については、「クリエータースタジオでアプリのプレイブックに意思決定を追加する」を参照してください。

手順

1. 作成したプレイブックが表示されていることを確認します。
2. アクティビティを追加するコネクタ上の [追加] アイコン を選択し、表示されるメニューに表示されり四角い [アクティビティを追加] アイコン を選択します。
3. [アクティビティライブラリ (Activity library)] ポップアップから必要なアクティビティのタイプを選択します。

注:
次の標準アクティビティに加えて、アドミンが作成したカスタムアクティビティが表示される場合があります。

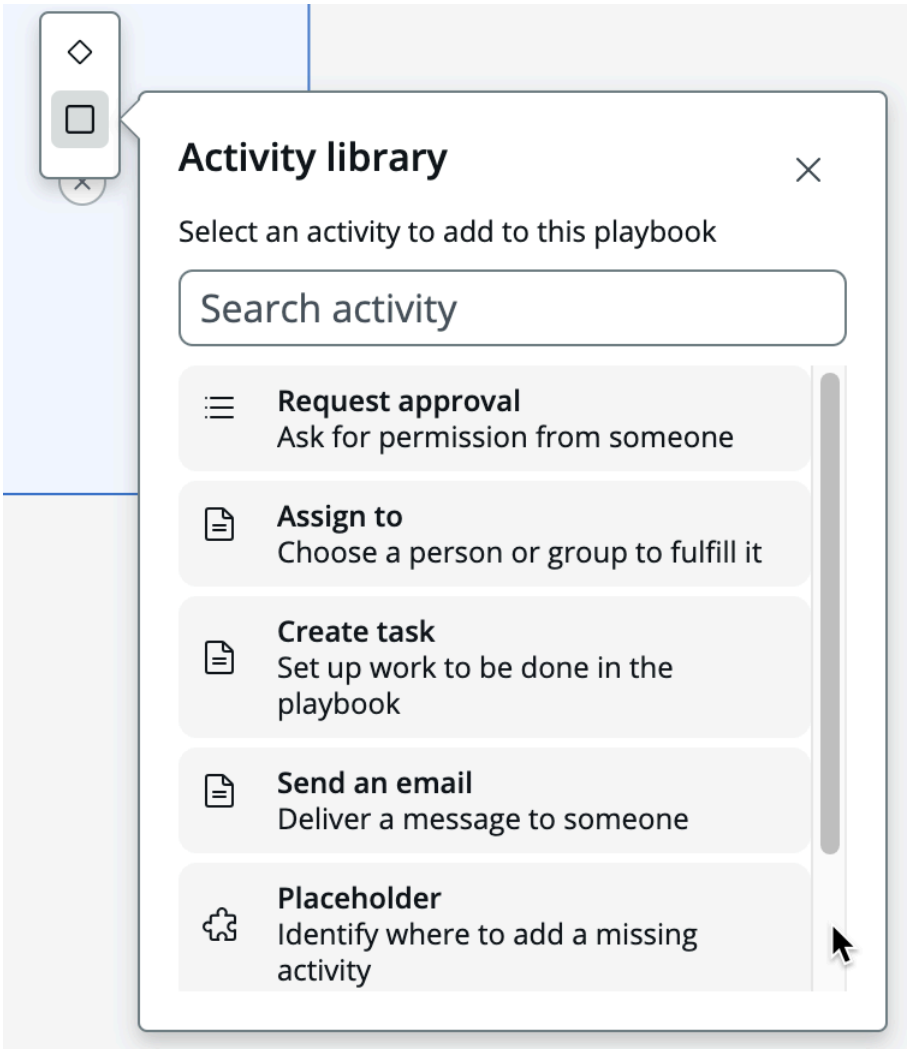
アクティビティのタイプ

アクティビティタイプ	説明
承認を要求	タスクを実行するために誰かに許可を求めます。
アサイン先	タスクを履行する必要がある人を選択します。
タスクの作成	プレイブックの一部として実行する必要があるプロセスを指定します。
メールの送信	1 人または複数の人にメールを送信します。自動的に送信されるメールの画像を指定したり、テキストを充実させたりすることができます。
プレースホルダー	後で指定する未定義のアクティビティ、またはアクティビティ完了時のメール通知など、より高度なアクティビティを設定します。 プレースホルダーアクティビティにはまだロジックがアサインされていないため、ワークフロースタジオで編集する必要があります。または、後で クリエータースタジオ の別のタイプのアクティビティと入れ替えることもできます。
送信を更新	ユーザーがフォームを送信したときにフォームが生成するレコードの指定されたフィールドの値を更新します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プレイブックのアクティビティライブラリ



自動翻訳

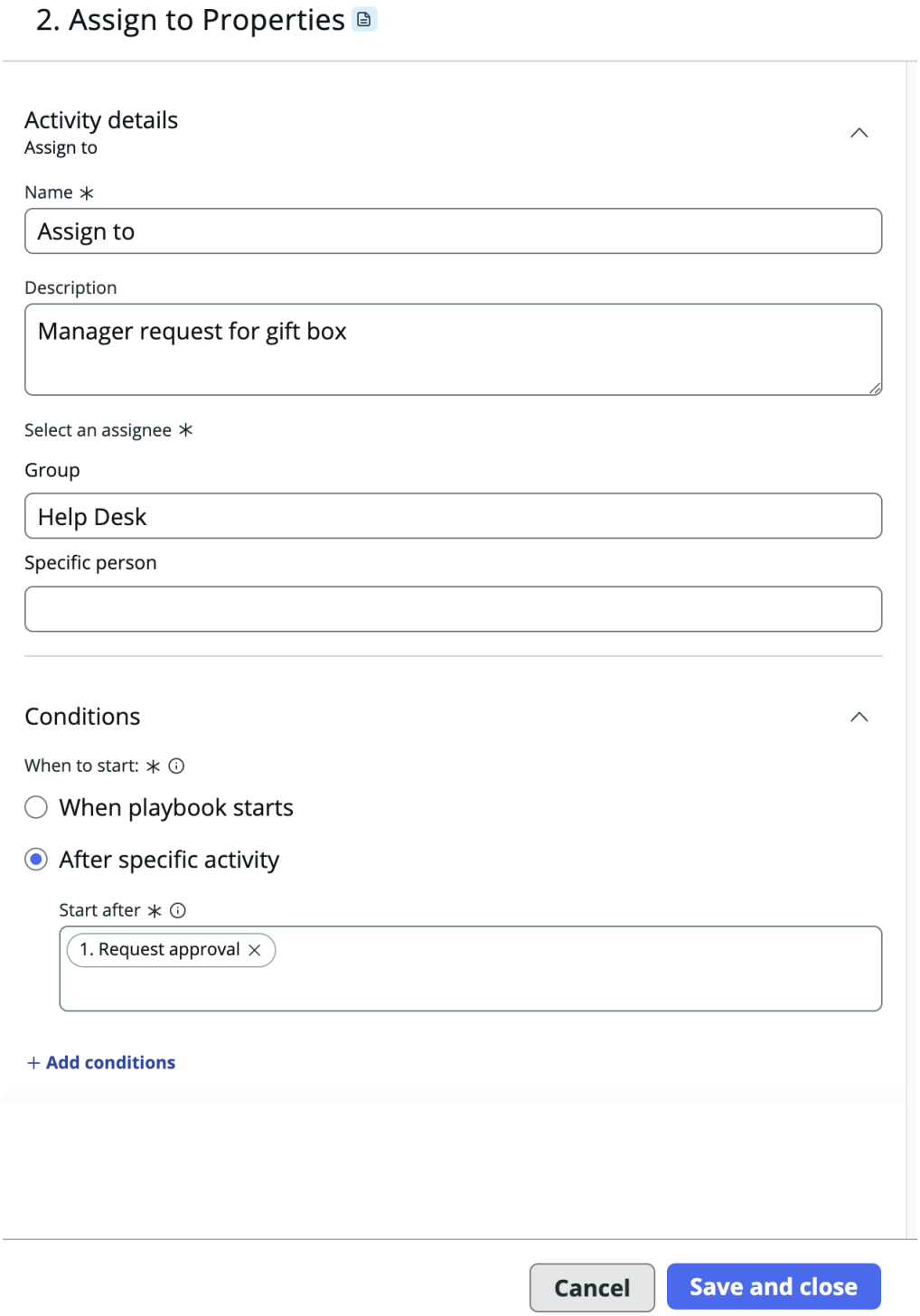
4. アクティビティの基本的な詳細を入力します。

一般的なアクティビティの詳細

フィールド	説明
ラベル	アクティビティの一意のユーザー向けの名前。プレイブックの実行中にエージェントと履行者に表示されます。
説明	アクティビティが達成する内容に関するオプションの詳細。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アクティビティの詳細パネル



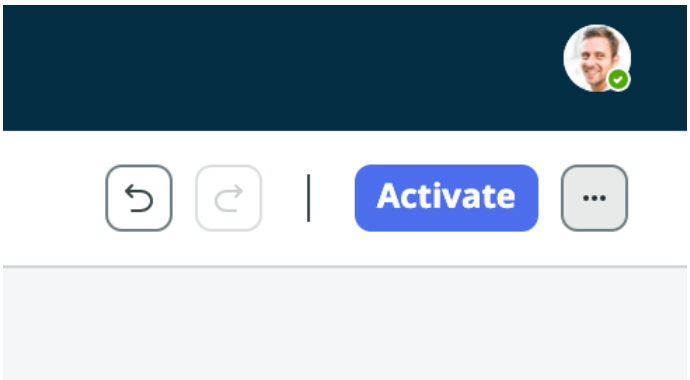
5. アクティビティの作成を完了する方法に関する クリエータースタジオ でアプリのプレイブックにアクティビティを追加する を使用して、アクティビティの詳細を入力します。
6. [保存して閉じる] ボタンを選択して、アクティビティの設定を終了します。
7. 自動化が完了したら、[アクティブ化] ボタンを選択してアクティブ化します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プレイブックをアクティブ化すると、非本番の開発インスタンスで関連フォームが作成または更新されたときに実行できるようになります。

プレイブックをアクティブ化する



タスクの結果

これで、アプリを本番環境に展開する準備ができました。このクイックスタートガイドの最後のステップで、展開を要求しましょう。

クイック スタート パート **6:** 展開のためにアプリを送信する

アプリを作成したら、アドミンが承認して展開できるよう、レビュー用に送信します。

始める前に

システムアドミニストレーターは、ユーザーを クリエータースタジオ ユーザーグループに追加する必要があります。

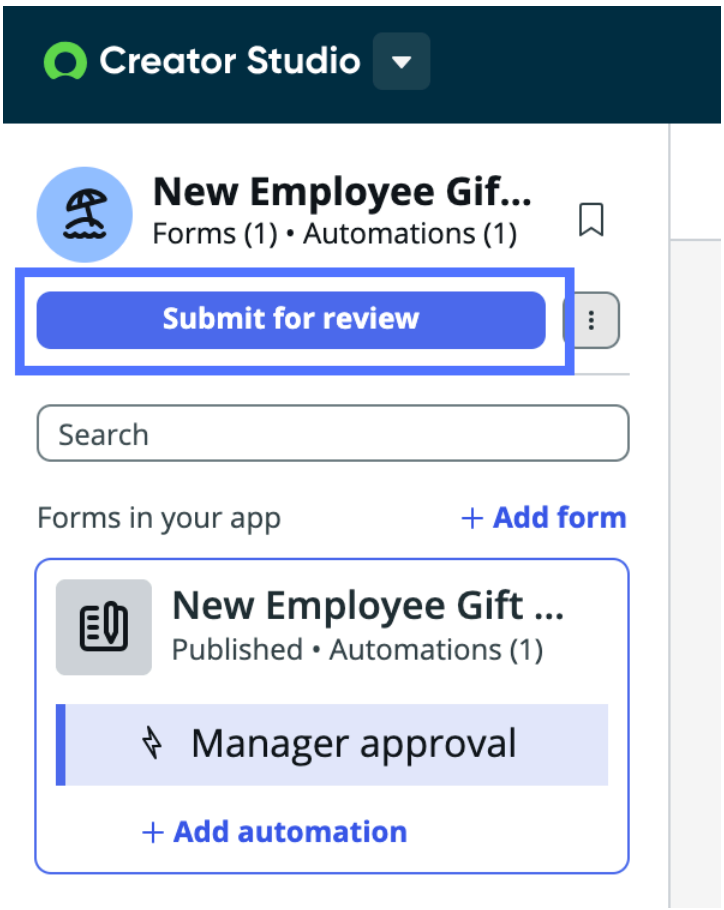
手順

1. オプション: [**Try it**] ボタンを選択してフォームをテストします。
   次に、フィールドにテスト値を入力し、[送信] を選択して、フォーム送信で作成したレコードを表示できます。
2. ナビゲーションパネルで、[レビューのため送信] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

レビューのため送信

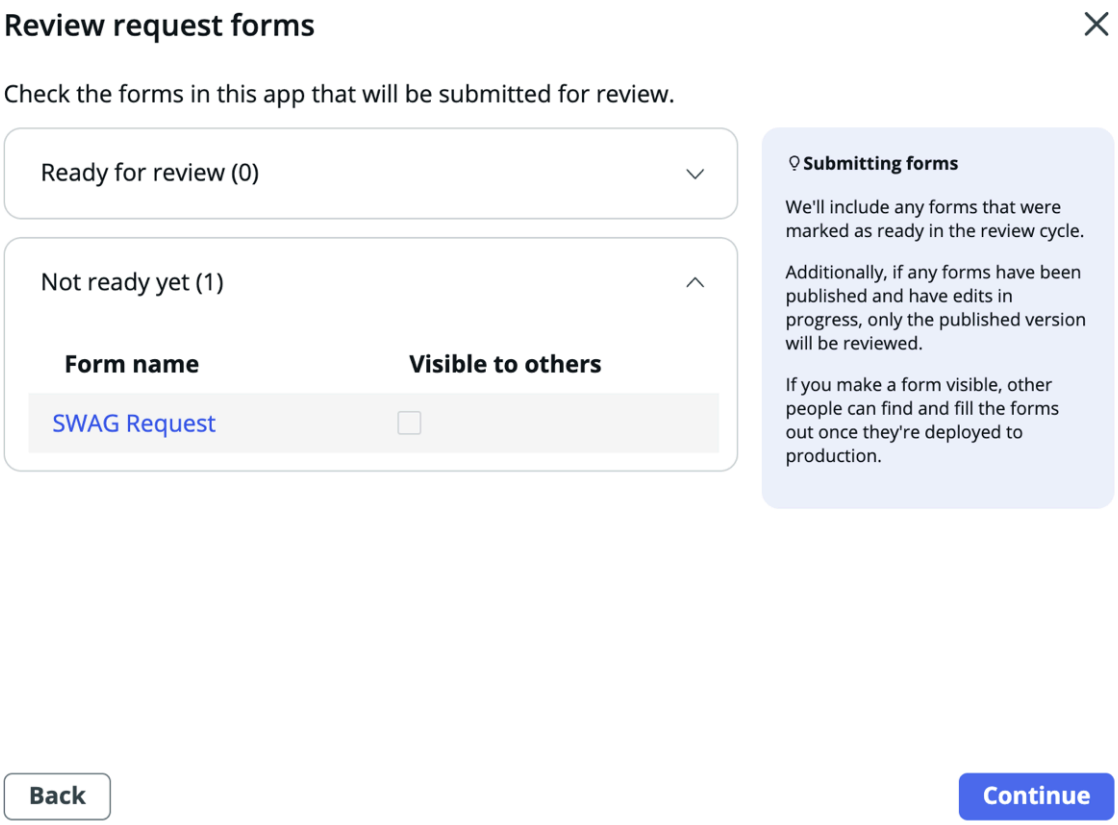


3. [レビューのためアプリを送信 (Submit app for review)] モーダルで [続行] を選択します。
4. 次に、カタログでユーザーに表示する公開済みフォームを選択する必要があります。[レビュー要求フォーム] モーダルの [レビュー準備完了] セクションで、[他のユーザーに表示] オプションを選択して、アプリの公開済みフォームのうち、アプリの展開後に使用できるようにするフォームを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

展開のための要求フォームのレビュー



5. 本番環境に展開されるフォームに問題がなければ、[続行] を選択します。
6. 次に、アプリのアクティブ化されたプレイブックのうち、アプリの展開後に本番環境で実行するものを決定する必要があります。プレイブックのレビューモーダルで、アプリが生成するレコードで実行する各プレイブックの [本番環境で実行 **(Run on production)]** オプションを選択します。

   注:
   プレイブックを選択できない場合は、クリエータースタジオ の [自動化] セクションに戻ってアクティブ化する必要があります。これについて復習する必要がある場合は、「クリエータースタジオ でプレイブックをアクティブ化する」を確認してください。

7. 本番環境で実行するために展開されるプレイブックに問題がなければ、[続行] を選択します。
8. 最後に、公開されたアプリのすべてのリリースの詳細が正しいことを確認します。

展開のためのバージョニングオプション

フィールド	説明
新しいバージョン	展開を要求しているアプリのバージョン番号。クリエータースタジオ は更新されたバージョン番号を自動的に生成しますが、これを変更できます。 組織のバージョニングガイドラインに従うか、x.y.z 形式を使用します (x = メジャーアップデート、y = マイナーアップデート、z = パッチ)。

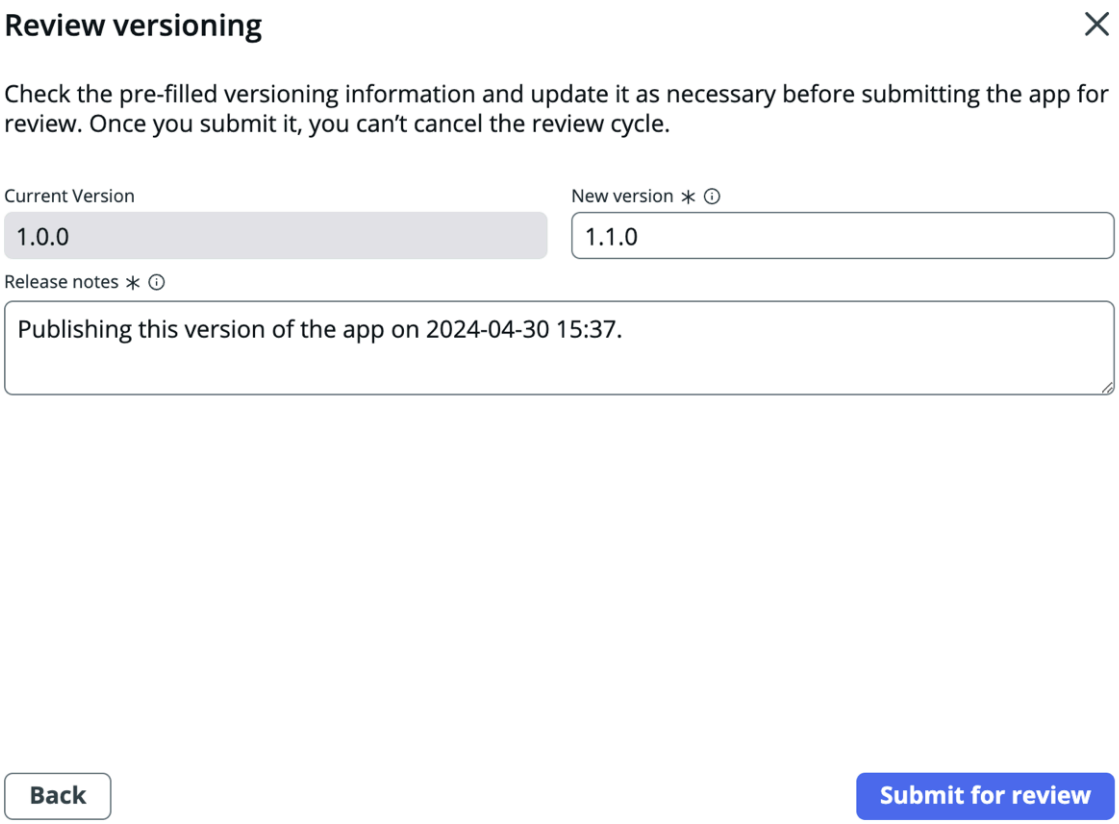
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
リリースノート	アプリのこの新しいバージョンでの変更点の詳細、またはこれが最初のバージョンの場合はアプリの機能の一般的な説明。

展開の要求の手順の詳細については、「クリエータースタジオ アプリのバージョン管理とリリースノート」を参照してください。

アプリのバージョン情報



9. すべて正しく、アドミンがレビューして展開する準備ができたら、[レビューのため送信] を選択します。

タスクの結果

おめでとうございます:
やりました！アプリを作成し、フォームをカスタマイズし、自動化を追加して、レビュー用に送信しました。アドミンがアプリをレビューして展開すると、ユーザーは新しいアプリを使用して要求を行います。

クリエータースタジオ のヘルプ

クリエータースタジオ、ServiceNowインスタンス、プラグイン、権限などに関するサポートを受けるには、短いビデオを視聴して、会社で働くServiceNowアドミンにお問い合わせください。

Now Supportアドミニストレーターから今すぐサポートを受ける

社内の ServiceNow アドミンは、プラグインのアクティブ化、アップグレードの開始、アカウントのロック解除、ユーザー権限の更新などをサポートします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

https://player.vimeo.com/video/1056112088?h=1a5cd3b245&badge=0&autopause=0&player_id=0&app_id=58479

役に立つリソース

役立つ情報を提供できる ServiceNow リソースは次のとおりです。

ビデオ

ウォッチ でアプリを迅速にビルド クリエータースタジオ .

ServiceNow コミュニティ

クリエータースタジオ コミュニティ

FAQ

クリエータースタジオ FAQ

ServiceNow University

ServiceNow University

支える

- https://support.servicenow.com/now
- 既知のエラーポータルで既知のエラー記事を検索する

開発経験の選択

ノーコード開発者向けに設計された クリエータースタジオよりも堅牢な環境でアプリを開発する場合は、 クリエータースタジオ内から直接別のエクスペリエンスを選択できます。

あらゆるレベルの開発環境

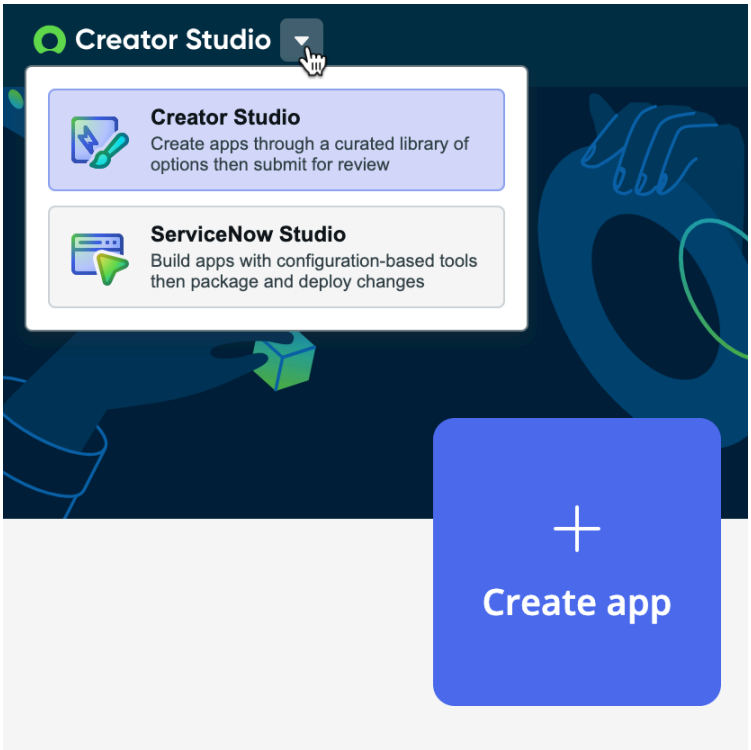
エクスペリエンススイッチャーを使用すると、[すべて] メニューに移動することなく、クリエータースタジオ内の次の開発環境から直接選択できます。

重要:
ロール (admin ロールと委任開発者ロールを含む) に関係なく、 クリエータースタジオ ロールのいずれかを持っている場合は、 ServiceNow スタジオ または ServiceNow IDE にアクセスできません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

のエクスペリエンススイッチャー クリエータースタジオ



開発経験

開発経験	レベル	説明
クリエータースタジオ	ノーコード	直感的なガイド付き環境で基本的なアプリケーションをすばやく作成できるため、初心者や迅速な結果が必要な人に最適です。
ServiceNow スタジオ	プラットフォーム開発者	シンプルさとパワーのバランスが取れており、ナビゲート可能なインターフェイス内でメタデータと統合ビルダーの開発と管理を容易にします。
ServiceNow IDE	プロコード	高度な開発者に、VS Code を使用してメタデータを直接編集するプロフェッショナルなコーディング環境を提供し、複雑で詳細なアプリケーション開発に適しています。

開発エクスペリエンスを簡単に切り替えることができるため、開発ツールの断片化が解消され、混乱が解消され、開発アクティビティがすべてのスキルレベルに集中化されます。

たとえば、 クリエータースタジオ で基本的な要求アプリをビルドしてから、 ServiceNow スタジオ に切り替えて、より堅牢な機能を追加できます。

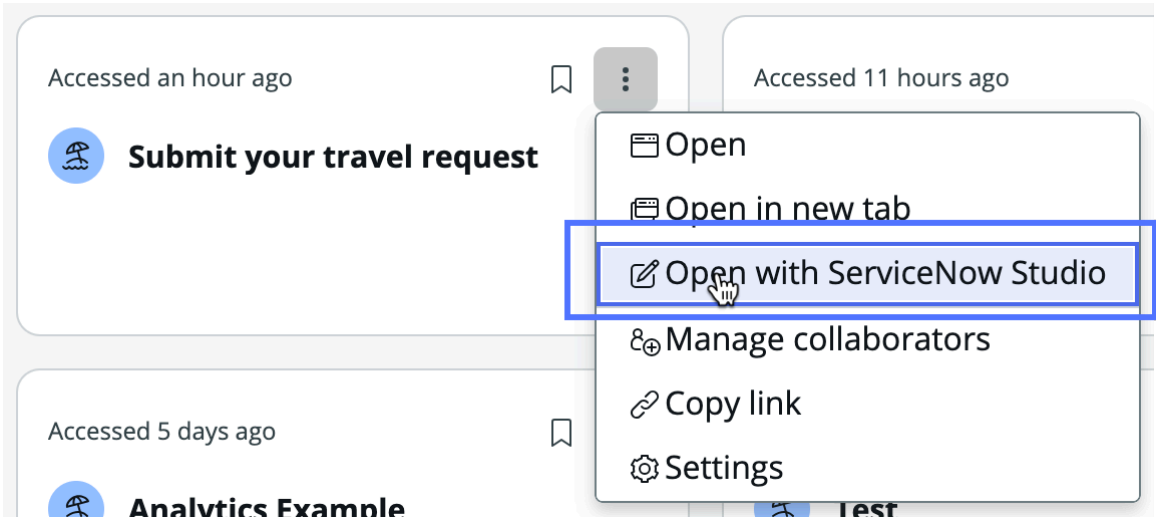
エクスペリエンスの切り替えの詳細については、「 開発エクスペリエンスを変更」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

で直接アプリを開く **ServiceNow** スタジオ

ServiceNow スタジオ へのアクセス権がある場合は、ホームページのその他のアクションアイコン を選択し ( ) 、[**ServiceNow Studio** で開く] を選択することで、そこでアプリを開くことができます。

[ServiceNow Studio で開く] リンク



ナビゲーションパネルでその他のアクションアイコン ( ) を選択し、[**ServiceNow Studio** で開く] を選択することもできます。

開発エクスペリエンス間でのアプリの共有

クリエータースタジオ で作成されブックマークされたすべてのアプリはブックマークされ、ServiceNow スタジオ で作業できるようになります。ただし、 ServiceNow スタジオ で作成されたアプリは、 クリエータースタジオ では機能しません。

エクスペリエンススイッチャーでスタジオにアクセスできるユーザー

エクスペリエンススイッチャーは、 クリエータースタジオ、 ServiceNow スタジオ、 ServiceNow IDEへのアクセスを提供できます。ただし、これらすべてを表示および選択できるかどうかは、ロールまたはアクセスレベルによって異なります。詳細については、「エクスペリエンススイッチャーへのアクセスの管理」を参照してください。

注:
エクスペリエンススイッチャーを表示するには、 クリエータースタジオに加えて、少なくとも 1 つの他の製品 (ServiceNow スタジオ または ServiceNow IDE) にアクセスできる必要があります。

次に、エクスペリエンススイッチャーへのデフォルトのロールアクセスについて説明します。

- アドミンと委任開発者は、アプリの管理または開発を委任された製品にアクセスする必要があるため、エクスペリエンススイッチャーを使用できます。
- クリエータースタジオ ユーザーと制限付き クリエータースタジオ ユーザーは、アドミニストレーターによってキュレーションされたエクスペリエンスに制限されるため、通常はエクスペリエンススイッチャーにアクセスできません。

サービスデスクと クリエータースタジオ

サービスデスクアプリを使用すると、ユーザーは IT 機器や出張予約などを要求し、その履行を追跡できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

通常、サービスデスクアプリには、 従業員センター などのポータルまたはサービスカタログからアクセスします。

サービスデスクアプリの構成要素

サービスデスクアプリには、次の部分が含まれています。

- 要求に関する情報をユーザーから収集するフォーム
- 自動化されたプレイブック (要求が行われたときのルーティング承認や自動メール通知の送信など)
- 履行者が要求を処理できるワークスペースの構成を一覧表示します。ここでは、履行者が次の操作を実行できます。
  - 要求者とやり取りし、ワークスペースでアクセスするレコードにメッセージを格納します
  - 要求に関連する添付ファイルを保存します
  - 要求を実行するときに、さまざまな部門の他の従業員とメモを共有する
  - 自動化結果を表示

サービスデスクカタログアイテムの例

カタログとそのアイテムの例

サービスカタログ	サンプルアプリ	サンプルカタログアイテム
HR セルフサービス	ヒューマンリソース (HR) グローバル人材ポータルアプリ	• 福利厚生に関する質問 • 休暇要求 • 必要な住所の変更
ブランディングリソース	マーケティングおよびブランディングアプリ	• PowerPoint テンプレート • 承認済みの Zoom 背景 • ロゴファイル
IT フルフィルメント	ハードウェア要求アプリ	• マウスデバイス • ヘッドセット • 交換用充電ケーブル

その他の種類のアプリ

アプリに関する他のあまり繰り返されないアイデアについては、 でビルドできるサンプルアプリ クリエータースタジオ を参照してください。

サービスクリエーターから クリエータースタジオ への移行

クリエータースタジオ は、オーストラリアリリースで廃止される古いサービスクリエーターツールに代わるものです。

注:
古いバージョンのサービスクリエーターの詳細については、以前のリリースのドキュメントを参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サービスクリエーターの代わりに クリエータースタジオ を使用すべき理由

クリエータースタジオ には、サービスクリエーターよりも最新のインターフェイスがあります。 クリエータースタジオ はレコードプロデューサーを直接使用し、プレイブックを使用してワークフローを実装し、ワークスペースを介した実行を可能にします。また、展開パイプラインと統合して、クリエータースタジオ で作成されたアプリケーションを本番環境に昇格させます。

お試し方法 クリエータースタジオ

現在サービスクリエーターを使用していて、 クリエータースタジオを試すには、次の手順に従います。

- インスタンスがパッチ 3 Xanadu 以上実行されていることを確認します。
- App Engine Enterpriseライセンスを購入します。
- ServiceNow Storeからクリエータースタジオをダウンロードします。詳細については、「ServiceNow Store から クリエータースタジオ をインストールする」を参照してください。
- クリエータースタジオをアクティブ化します。

プレイブックとワークフロー

クリエータースタジオ は、ワークフローの代わりにプレイブックを使用して、ビルドしたアプリのプロセスを自動化します。

プレイブック は、イベントによってトリガーされる一連のステップです。必要に応じて、複数のプレイブックをアプリに追加できます

アクティビティと意思決定を含む クリエータースタジオ プレイブックのステップは、サービスクリエーターがサービス構成を定義するために使用した方法に代わるものです。

サービスクリエーターでは、最初にサービスカテゴリを作成してから、サービスとそのテーブルを定義する必要がありました。クリエータースタジオでは、アプリを作成するときにテーブルが自動的に作成され、カテゴリの選択プロセスが簡素化されます。

詳細については、 クリエータースタジオ で自動化を操作するをご覧ください。

とのアプリの互換性 クリエータースタジオ

ビルトインアプリクリエータースタジオ他のServiceNow製品でアプリを開くことができますが、クリエータースタジオで開くことができるのはクリエータースタジオビルトインアプリのみです。

他の製品で クリエータースタジオ アプリを開く

クリエータースタジオ でアプリをビルドした後、他のいくつかの製品で開くことができます。たとえば、 クリエータースタジオ でアプリをビルドし、ホームページのアプリから **[ServiceNow Studio** で開く] リンクを使用して ServiceNow スタジオ で開き、そこで自動化でさらに複雑なフローを追加できます。

別のビルダーでアプリに複雑な機能を追加し、 クリエータースタジオでアプリを再度開くと、適切なコンテキストで警告が表示されます。たとえば、 クリエータースタジオ でサポートされていないプレイブックに複雑さを追加すると クリエータースタジオ 、プレイブックまたはアクティビティの最小バージョンが表示され、 ワークフロースタジオで開くように指示されます。

詳細については、次の製品を参照してください。

- ServiceNow スタジオ
- Catalog Builder

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

で他の製品に組み込まれたアプリを開く クリエータースタジオ

クリエータースタジオ でクリエータースタジオ外部で作成されたアプリを開くことはできません。たとえば、クリエータースタジオで組み込まれたアプリをServiceNow スタジオ開くことはできません。

ただし、 クリエータースタジオ でアプリを作成し、 クリエータースタジオ 外部から (たとえば、サービスカタログから) フォームを追加した場合、 クリエータースタジオ 外部フォームを表示しようとします。

クリエータースタジオ アプリとテーブル

クリエータースタジオではカタログテンプレートを使用して、アプリの作成プロセスを簡素化します。アプリはデフォルトで要求タスクテーブルを使用し、送信された要求ごとに新しい行を生成しますが、アドミニストレーターはアプリの基礎となるテーブルを変更できます。

サマリー:
このセクションを読むと、次のことが理解できるようになります。

- アプリをビルドするための構成要素
- アプリからの要求の宛先
- 要求を格納するためにテーブルを使用する方法

アプリビルドの構成要素

アプリには、次の構成要素の 1 つまたはすべてが含まれています。

アプリの構成要素

機能	説明
フォーム	フォームに入力すると、関連するタスクまたはワークフローを含むレコードが ServiceNow AI Platform に作成されます。
自動化	自動化にはプレイブックまたは限定されたアクションを含む自動化プロセスが含まれており、ユーザーがレコードを更新し、複数のアクティビティにわたるタスクを完了できるようにします。
ワークスペースリストの構成とレコードの詳細	標準およびカスタマイズ可能なフィルター済みリストとともに、 クリエータースタジオ組み込まれたアプリの要求を表示するワークスペース構成。[リスト構成] セクションでレコードを選択すると、レコードが表示されます。レコードは、クリエータースタジオで操作して、どのように表示されるかを確認できます。

アドミンは、フォームビルドプロセスをガイドするカタログテンプレートを作成できます。詳細については、「クリエータースタジオ でのフォームの操作」を参照してください。

アプリからの要求の宛先

クリエータースタジオのすべてのアプリは、ユーザーがアプリを使用したときに開いているすべてのレコードが格納されるテーブルを自動的に作成します。デフォルトでは、クリエータースタジオアプリが生成するテーブルは、クリエータースタジオ に付属する要求タスクテーブルを拡張し、タスク

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

テーブルを拡張します。アドミンはテーブルの基礎となるアプリを変更できますが、それでもタスクテーブルを拡張する必要があります。

注:
アプリの基になるテーブルが、要求タスクテーブルを拡張しないテーブルに変更された場合、自動化は機能しません。

テーブルを拡張するということは、新しいテーブルが親 (拡張) テーブルの列とそのビジネスロジックを継承することを意味します。タスクテーブルの詳細については、「Working with the Task table」を参照してください。

システムアドミン専用:クリエータースタジオに組み込まれているすべてのアプリは、アプリが使用するテーブルを含む要求アプリ構成テーブルにレコードを追加します。アドミンはアプリのテーブルを変更できます。詳細については、「 アプリの基になるテーブルの管理 」を参照してください。テーブルの名前は、x_snc_02_03_request などのscope_request形式に従います。

主要な用語:

レコード

レコードは、アプリを介して送信された要求ごとにServiceNow AI Platformが生成するものです。各レコードは、アプリの要求タスクまたは基になるテーブルの行に対応します。

フォーム、自動化、アプリの公開、アクティブ化、および展開のワークフロー

クリエータースタジオ でアプリをビルドする場合、フォームと自動化を作成する必要があります。すべてが本番環境に展開される前に履行者が使用するワークスペースリストの構成とレコードをカスタマイズすることもできます。

クリエータースタジオ でアプリを開発する際、次のセクションを順番に進める必要があります。たとえば、アプリの [自動化] セクションで作業を開始する前に、クリエータースタジオ の [フォーム] セクションでアプリのすべてのフォームを準備完了としてマークする必要があります。

1. フォームの作成が完了したら、準備完了としてマークして、公開します。

   公開されたフォームは、開発に使用している非本番インスタンスのカタログで使用できるようになります。

2. 自動化されたプレイブック (作成済みのフォームに基づく) の準備ができたら、アクティブ化します。

   公開されたプレイブックは、開発に使用している非本番インスタンスでフォームが作成または更新されたときにトリガーできます。

3. アプリの履行者ワークスペースは、テストとカスタマイズのために開発に使用している非本番インスタンスで既に利用可能です。さらに、[リスト構成] セクションでレコードを選択することで、テストレコードを操作できます。その後、ナビゲーションパネルの [レコードの詳細] を使用して、レコードの表示方法を変更できます。
4. [**Try it**] ボタンを使用してフォームの送信をテストします。
5. すべて問題がなく、アプリを本番環境に展開する準備ができたら、レビュー用に送信します。
6. アドミンがアプリを本番環境に展開すると、アクセス権が付与されたロールを持つユーザーがアプリを利用できるようになります。本番インスタンスにおいて：
   - ユーザーがアプリを利用できます
   - カタログには、公開されているすべてのフォームが含まれます
   - アクティブ化されたプレイブックが該当するレコードでトリガーされます

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 非アクティブ化されたプレイブックは展開されますが、実行する前にアドミンがアクティブ化する必要があります
- ユーザーはワークスペースにアクセスして、アプリの送信された要求を確認できます

7. 公開されたアプリを更新するには、非本番インスタンスで変更を行い、更新されたアプリを本番環境に再展開するようアドミンに要求します。

クリエータースタジオの構成

アドミンは、ユーザーがアプリのビルド開始を構成できるようにする前に、クリエータースタジオをインストールする必要があります。

構成の概要

以下は、クリエータースタジオ のインストールと構成の一般的な概要です。

1. インスタンス戦略、たとえば開発 (非本番) インスタンスと本番インスタンスについて、を決定します。詳細については、「クリエータースタジオ 開発インスタンス戦略」を参照してください。
2. ServiceNow Store から クリエータースタジオ をダウンロードして、インストールします。詳細については、「ServiceNow Store から クリエータースタジオ をインストールする」を参照してください。
3. ガイド付きセットアップ を実行して、管理とコラボレーションを構成します。詳細については、「ガイド付きセットアップ を使用して クリエータースタジオを構成する」を参照してください。
4. アクセス権が必要なすべてのユーザーに正しいロールがあることを確認します。詳細については、「クリエータースタジオ のロールとペルソナ」を参照してください。

ガイド付きセットアップ による クリエータースタジオ の実装

ガイド付きセットアップ には一連のタスクがあり、ご利用の ServiceNow インスタンスで クリエータースタジオ を設定するのに役立ちます。現在、ガイド付きセットアップ は次の設定に役立ちます。

- 誰が クリエータースタジオ を管理できるかを定義するアドミングループ
- アプリのオーナーやエディターが実行できることを管理するためのコラボレーション記述子
- クリエータースタジオ でアプリを作成するための完全アクセス権と制限付きアクセス権を持つユーザー

クリエータースタジオ用のガイド付きセットアップを開くには、 すべて > **App Engine** > ガイド付きセットアップ:共有済み.

詳細については、「Guided Setup」を参照してください。

クリエータースタジオ のカタログ構成要件

フォームがユーザーに正しく表示されるようにするには、非本番インスタンスと本番インスタンスのサービスカタログ とそのすべてのカテゴリが同じである必要があります。

仮想エージェント チャットボットプレビューの構成

仮想エージェント チャットボットにフォームを表示するには、必要なプラグインをインストールする必要があります。詳細については、「Activate Virtual Agent」を参照してください。

ServiceNow Store から クリエータースタジオ をインストールする

ServiceNow Store から クリエータースタジオ をインストールすると、ユーザーがインスタンス上でアプリをビルドできるようになります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

クリエータースタジオ をインストールして構成するには、会社に App Engine Enterprise ライセンスが必要です。

ServiceNow Store からクリエータースタジオおよび他の製品をインストールする手順については、「Install a ServiceNow Store application」を参照してください。

注:
仮想エージェント チャットボットにフォームを表示するには、必要なプラグインをインストールする必要があります。詳細については、「Activate Virtual Agent」を参照してください。

クリエータースタジオがインスタンスにインストールされたら、アドミンはそれを構成する必要があります。これを行う最も簡単な方法はガイド付きセットアップを使用することです。その方法は「ガイド付きセットアップ を使用して クリエータースタジオを構成する」を参照してください。

クリエータースタジオ試してみる

クリエータースタジオ を試してみませんか？独自の個人開発インスタンス (PDI) を使用してテストできます。これには、 開発者サイト へのサインインが必要です。PDI の詳細については、 個人開発者インスタンスガイドをご覧ください。

PDI で クリエータースタジオ を試すには、このボタンを選択します

Try Creator Studio today

PDI で今すぐ クリエータースタジオ お試しください! ログインが必要です。

クリエータースタジオ 開発インスタンス戦略

本番インスタンスを含め、ユーザーがアプリケーションを構築するすべての ServiceNow インスタンスに クリエータースタジオ をインストールしてください。

インスタンス戦略の決定

社内の クリエータースタジオ へのアクセスを管理する方法を決定する必要があります。次のオプションを検討してください。

- オープンアクセス：社内の全員が クリエータースタジオ を使用してアプリを作成できるようにします。
- 制限されたアクセス：アクセスを特定のユーザーグループに制限します。
- 要求ベースのアクセス：ユーザーがアクセスを申請できるフォームを設定します。アドミニストレーターはこれらの要求を確認し、アクセスを許可するかどうかを決定します。

開発および本番インスタンスへの展開

本番インスタンスと同様に構成された非本番インスタンスが、テスト環境の最適な候補です。これにより、アプリケーションを本番環境に展開した場合に発生する可能性のある問題をより正確に見つけることができます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

開発者が非本番インスタンスで、クリエータースタジオ のアプリをビルドし、準備ができて承認されたアプリを本番環境に展開する必要があります。

アプリを展開すると、レコードは本番インスタンスのストアアプリ [sys_store_app] テーブルで参照されます。ただし、アプリを開発しているときは、レコードはシステムアプリケーション [sys_app] テーブルで参照されます。したがって、本番環境で開発する場合は、[sys_store_app] ではなく [sys_app] テーブルを使用して開発しています。

インスタンス戦略を確立したら、承認またはレビューのプロセスを確立して自動化する必要があります。クリエータースタジオ は非本番環境で実行され、アドミンが本番環境にアプリを展開します。展開プロセスの詳細については、「クリエータースタジオ アプリを展開する」を参照してください。

組織に複数の非本番環境がある場合は、クリエータースタジオ を実行する非本番環境を決定する必要があります。また、どのパイプラインを使用して特定の非本番インスタンスからテストインスタンスにアプリを昇格させるか、そして最終的にそのアプリの実際の本番環境に昇格させるか、決定する必要があります。詳細については、「パイプラインと展開」を参照してください。

クリエータースタジオ のカタログ構成要件

フォームがユーザーに正しく表示されるようにするには、非本番インスタンスと本番インスタンスのサービスカタログ とそのすべてのカテゴリが同じである必要があります。

開発者ロールとインスタンスでのアプリのテスト

sn_creatorstudio.user または sn_creatorstudio.restricted_user の クリエータースタジオ ロールを持っている場合、非本番インスタンスの要求アプリワークスペースでビルドしたアプリをテストすることはできません。クリエータースタジオ のアプリプレビューを使用して、非本番インスタンスでアプリをテストできるはずです。本番環境に展開されたアプリのワークスペースで、履行者としてアプリをテストできます。

ユースケース:

あるユーザーは クリエータースタジオ ユーザーグループに属しているため、アプリをビルドすると、そのアプリの委託開発権限が付与されます。その後、このユーザーは要求フォームを公開でき、フォームに必要なロールがない場合は、フォームを使用して要求を送信できます。

ただし、このユーザーは x_acme_user_app.agent ロールを持たず、そのロールを自分自身に付与できないため、要求を履行し、要求アプリワークスペースにアクセスすることはできません。アドミニストレーターは、必要に応じて追加のロールをアサインする必要があります。

クリエータースタジオとともにインストールされるコンポーネント

クリエータースタジオ プラグインをアクティブ化すると、テーブルやユーザーロールなどのさまざまなコンポーネントが自動的にインストールされます。

注:
アプリケーションファイルテーブルには、このアプリケーションとともにインストールされたコンポーネントがリストされています。このテーブルへのアクセス手順については、「アプリケーションとともにインストールされているコンポーネントの検索」を参照してください。

クリエータースタジオ をアクティブ化するのに必要なプラグイン

クリエータースタジオ に次のプラグインをインストールする必要があります。

- クリエータースタジオ [sn_creatorstudio]
- クリエータースタジオ - Global [com.glide.creator_studio.global]

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

クリエータースタジオ とともにインストールされるプロパティ

com.glide.creator_studio.template_deny_list

ユーザーがアプリを作成するときに App Engine Studio テンプレートが表示されないようにします。

- タイプ: 文字列
- デフォルト値:211f71ca73202010ae42d31ee2f6a785
- [値] フィールドにシステム値 (テンプレートのsys_id) をカンマで区切って追加して、追加のテンプレートを非表示にします。sys_idの詳細については、「 Unique record identifier (sys_id) 」を参照してください。

詳細については、「AESテンプレートを表示」を参照してください。

sn_creatorstudio.history_record_limit

最近アクセスした履歴 (最近のアプリや クリエータースタジオ ホームページでのソートなど) を制限します。

- タイプ：整数
- デフォルト値：1000
- 制限を無効にするには、この値を -1 に設定します
- ホームページのロード速度が十分でない場合は、この値をデフォルトから減らします

クリエータースタジオとともにインストールされるロール

次の表に、クリエータースタジオ とともにインストールされるすべてのロールを示します。ロールと クリエータースタジオ の連携の詳細については、「クリエータースタジオ のロールとペルソナ」を参照してください。

クリエータースタジオ と一緒にインストールされるロール

ロール	説明	ロールを含む
sn_creatorstudio.user	• クリエータースタジオ へのアクセスを提供します • ユーザーは新しいアプリを作成できます	• catalog_builder_editor • sn_collab_request.basic_write • sn_udc.basic_read • sn_creatorstudio.basic_read • sn_collab_request.basic_read • app_template_runner • sn_g_app_creator.app_creator
sn_creatorstudio.restricted_user	• クリエータースタジオ へのアクセスを提供します • ユーザーは新しいアプリを作成できません	• catalog_builder_editor • sn_creatorstudio.app_requestor • sn_collab_request.basic_write • sn_udc.basic_read • sn_creatorstudio.basic_read

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クリエータースタジオ と一緒にインストールされるロール (続く)

ロール	説明	ロールを含む
		• sn_collab_request.basic_read • app_template_runner
sn_creatorstudio.basic_read	クリエータースタジオ リソースへのプリミティブ読み取りアクセス	
sn_creatorstudio.basic_write	クリエータースタジオ リソースへのプリミティブ書き込みアクセス	
sn_creatorstudio.admin	クリエータースタジオ へのアドミン書き込みアクセス **注:** App Engine このロールを持つアドミン (app_engine_admin) は、エクスペリエンススイッチャーの ServiceNow スタジオ へのアクセスを制限されません。	sn_creatorstudio.admin_write
sn_creatorstudio.admin_write	クリエータースタジオ へのアドミン書き込みアクセス	• sn_creatorstudio.basic_read • sn_creatorstudio.basic_write
sn_creatorstudio.app_requestor	クリエータースタジオリソースへのプリミティブアプリリクエスターアクセス	
sn_creatorstudio.basic_fulfiller	一部の履行者に以下を提供します。 • 要求アプリワークスペースへのアクセス • sn_creatorstudio_task テーブルの一部のフィールドを編集する機能	canvas_user

クリエータースタジオ とともにインストールされるテーブル

インストールされるテーブル

テーブル	説明
要求サブタスク [sn_creatorstudio_child_task]	タスクテーブルを拡張します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インストールされるテーブル (続く)

テーブル	説明
新規アプリケーションアドミンタスク [sn_creatorstudio_new_application_admin_task]	タスクテーブルを拡張します。
新規アプリケーションタスク [sn_creatorstudio_new_application_task]	タスクテーブルを拡張します。
要求アプリ構成 [sn_creatorstudio_request_app_config]	アプリケーションファイルテーブルを拡張します。
要求タスク [sn_creatorstudio_task]	クリエータースタジオ で行われたアプリからのすべての要求が保存されるテーブル。 注: • 要求タスクテーブルが、非本番インスタンスだけでなく本番インスタンスにもインストールされている必要があります。 • アドミニストレーターは、 クリエータースタジオ の各アプリが使用する基になるテーブルを変更できます。ただし、このトピックのテーブルは引き続きデフォルトでインストールされます。
クリエータースタジオ アクティビティ [sn_creatorstudio_activity]	クリエータースタジオ自動化のすべての標準アクティビティとカスタムアクティビティが保存されるテーブル。 注: このテーブルは、 クリエータースタジオ ユーザーと委任開発者が読むことができます。

自動翻訳

ガイド付きセットアップ を使用して クリエータースタジオを構成する

これで、インスタンスにクリエータースタジオがインストールされました。次のステップは以下のとおりです。ユーザーがアプリのビルドを開始する前に、構成する必要があります。

始める前に

クリエータースタジオを構成する前に、インスタンスにインストールする必要があります。詳細については、「ServiceNow Store から クリエータースタジオ をインストールする」を参照してください。

フォームがユーザーに正しく表示されるようにするには、非本番インスタンスと本番インスタンスのサービスカタログ とそのすべてのカテゴリが同じである必要があります。

必要なロール：admin

このタスクについて

ガイド付きセットアップでは、クリエータースタジオの構成を簡素化し、完了した内容が追跡されるため、設定を中断しても、その時点から再開できます。

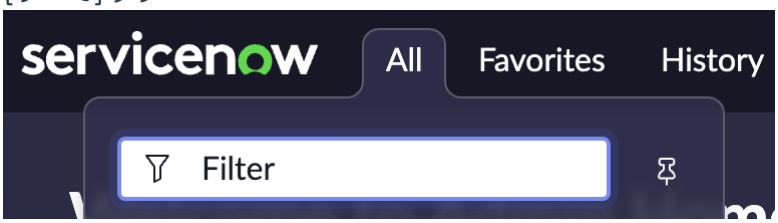
このガイド付きセットアップでは、ユーザーアクセスとコラボレーション設定を構成して、クリエータースタジオで誰が何を実行できるかを制御します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. ガイド付きセットアップを開いてみましょう。インスタンスで [すべて] タブを選択します。

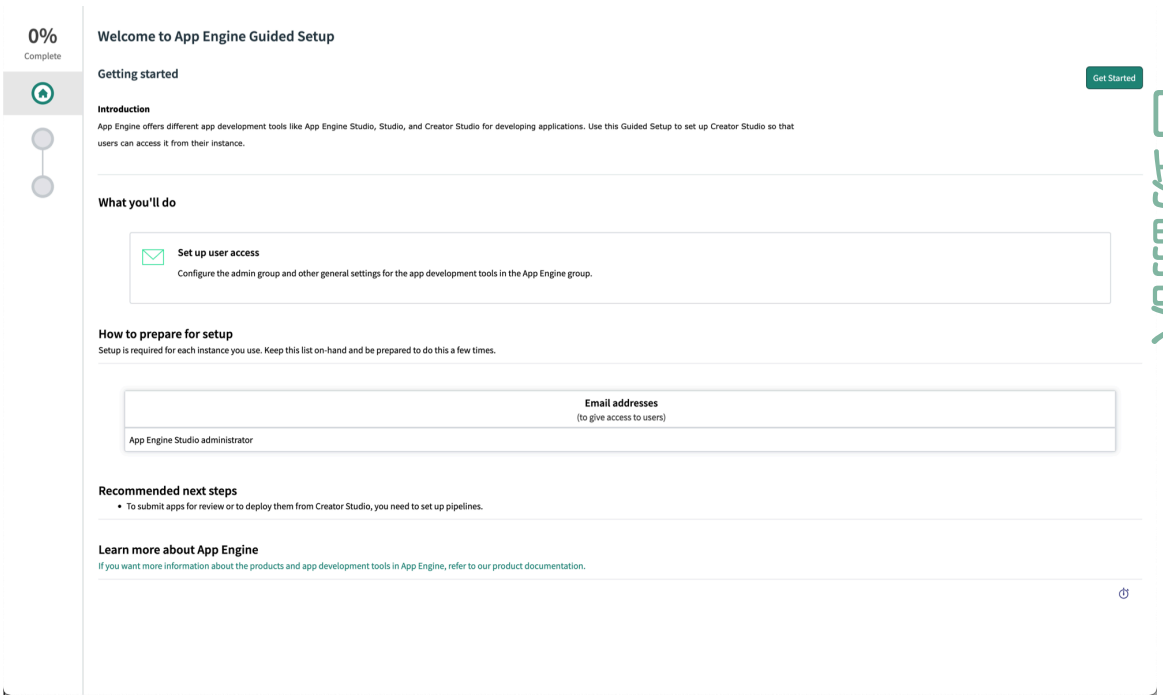
[すべて] タブ



このタブでは、インスタンスにインストールされているすべてのアプリを確認できます。

2. 白いテキストフィールドに「App Engine」と入力します。
テキストボックスの下に表示されるアプリのリストは、App Engine のみに関連するようになりました。
3. リストで、「ガイド付きセットアップ：共有 **(Guided Setup – Shared)**」を選択すると、構成プロセスが開始されます。
ガイド付きセットアップアプリが開き、いくつかの基本的な構成を行います。

ガイド付きセットアップ



4. [開始] ボタンを選択して、セットアッププロセスを開始します。
5. **[App Engine** ガイド付きセットアップの開始 **(Welcome to App Engine Guided Setup)]** ブレッドクラムリンクを選択して、ガイド付きセットアップのメインページに戻ります。

次のタスク

クリエータースタジオ の構成が完了したら、パイプラインと展開 を構成して、クリエータースタジオ に組み込まれたアプリをビルドして本番環境に展開できます。方法については、「パイプラインと展開 の構成」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クリエータースタジオ アドミングループの設定

ServiceNow アドミニストレーターがアクセスしてクリエータースタジオを操作および構成できるように、アドミングループを設定します。

始める前に
ガイド付きセットアップ を使用して クリエータースタジオを構成するの説明に従ってガイド付きセットアップを開始します。

始める前に
必要なロール：admin

手順

1. [ユーザーアクセスの設定] セクションで [開始] ボタンを選択します。
2. [アドミングループを設定する (Set up the admin group)] セクションの [構成] ボタンを選択します。
3. App Engine アドミングループに変更を加えます。
   App Engine アドミニストレーターは、制限されたユーザーがアプリを作成する必要がある場合など、アプリ開発のタスクを承認します。
4. レコードを更新して変更を保存します。
5. ガイド付きセットアップページの [完了としてマーク] ボタンを選択して、このステップが完了したことを示します。

次のタスク
次に、 クリエータースタジオコラボレーション記述子の設定。

クリエータースタジオコラボレーション記述子の設定

コラボレーション記述子を設定して、アプリのオーナーとエディターのコラボレーションタイプがクリエータースタジオで実行できることを管理します。

始める前に
ガイド付きセットアップ を使用して クリエータースタジオを構成するの説明に従ってガイド付きセットアップを開始します。

必要なロール：admin

手順

1. [ユーザーの機能を管理するためのコラボレーション記述子の設定 (Set up collaboration descriptors to manage your user's capabilities)] セクションの [構成] ボタンを選択します。
   デフォルトでは、オーナーはアプリ上で何でもできるのに対し、エディターはできることが制限されています。詳細については、「での他のユーザーとのコラボレーションによるアプリのビルド クリエータースタジオ」を参照してください。
2. コラボレーションロールをカスタマイズするか、新しいロールを追加します。
   詳細については、「アプリケーションコラボレーション」を参照してください。
3. レコードを更新して変更を保存します。
4. ガイド付きセットアップページの [完了としてマーク] ボタンを選択して、このステップが完了したことを示します。

次のタスク
次に、 クリエータースタジオフルアクセスユーザーの設定。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クリエータースタジオフルアクセスユーザーの設定

クリエータースタジオにフルアクセスできるユーザーを設定して、クリエータースタジオアプリで作業するためのフルアクセス権を持つユーザーと、より制限された機能を持つユーザーを決定します。

このタスクについて
たとえば、制限されたユーザーは、アドミンに新しいアプリを作成するように要求する必要があります。詳細については、「クリエータースタジオ のロールとペルソナ」を参照してください。

始める前に
ガイド付きセットアップ を使用して クリエータースタジオを構成するの説明に従ってガイド付きセットアップを開始します。

必要なロール：admin

手順
1. [クリエータースタジオへのアクセスを設定する] セクションの [開始する] ボタンを選択します。
2. [クリエータースタジオのユーザーへのフルアクセスの付与 (Grant full Creator Studio access to users)] セクションの [構成] ボタンを選択して、ユーザーにフルアクセス権を設定します。
3. クリエータースタジオユーザーグループにユーザーを追加します。
   クリエータースタジオユーザーグループのユーザーはアプリを操作するためのフルアクセス権を持ち、アドミンの助けを必要とせずにアプリを作成できます。
4. レコードを更新して変更を保存します。
5. ガイド付きセットアップページの [完了としてマーク] ボタンを選択して、このステップが完了したことを示します。

次のタスク
次に、 クリエータースタジオ制限付きアクセスユーザーの設定。

クリエータースタジオ制限付きアクセスユーザーの設定

クリエータースタジオユーザーに制限付きアクセス権を設定します。クリエータースタジオの制限付きユーザーグループのユーザーは、アプリを操作するための制限付きアクセス権を持ち、アドミンにアプリの作成を要求する必要があります。

始める前に
ガイド付きセットアップ を使用して クリエータースタジオを構成するの説明に従ってガイド付きセットアップを開始します。

必要なロール：admin

手順
1. 移動先 すべて > > .
2. [ユーザーへの制限付きアクセスの付与 (Grant クリエータースタジオ Restricted access to users)] セクションの [構成] ボタンを選択します。
3. クリエータースタジオの制限付きユーザーグループにユーザーを追加します。
4. レコードを更新して変更を保存します。
5. ガイド付きセットアップページの [完了としてマーク] ボタンを選択して、このステップが完了したことを示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

カスタム通知メール クリエータースタジオ 設定する

クリエータースタジオユーザーがアプリのプレイブックに追加できるように、カスタマイズされたメール通知を構成します。

始める前に

ガイド付きセットアップ を使用して クリエータースタジオを構成するの説明に従ってガイド付きセットアップを開始します。

必要なロール：admin

手順

1. [メール通知の構成 (Configure Email Notifications クリエータースタジオ Requests)] セクションの [構成] ボタンを選択します。
2. クリエータースタジオの制限付きユーザーグループにユーザーを追加します。
   クリエータースタジオのすべてのメール通知がテーブルに表示されます。
3. カスタマイズするメール の [名前] を選択します。
   たとえば、「 要求がオープンされました」などです。

   > **注:**
   > スコープによっては、変更を行うために [クリエータースタジオ 構成] スコープに切り替える必要がある場合があります。

4. メールの内容を更新およびカスタマイズします。
   次のいずれかのタブを選択して、詳細を編集できます。
   a. 送信時
   b. 受信者
   c. 内容

   ServiceNow AI Platformでの通知の編集の詳細については、「Create an email notification」を参照してください。
5. レコードを更新して変更を保存します。
6. ガイド付きセットアップページの [完了としてマーク] ボタンを選択して、このステップが完了したことを示します。

クリエータースタジオ に組み込まれたアプリを展開するための パイプラインと展開 の構成

パイプラインと展開 をインストールし、コントローラーインスタンスを構成して、クリエータースタジオ に組み込まれたアプリを本番インスタンスに展開できます。

パイプラインと展開 の設定方法に関する詳細については、「パイプラインと展開 の構成」を参照してください。

クリエータースタジオ のロールとペルソナ

ロールは、一緒に作業する全員がクリエータースタジオで何を実行できるかを制御します。アドミニストレーターはロールを割り当てて、クリエータースタジオ を構成または使用する権限をチームメンバーに付与します。

クリエータースタジオの 2 つのロールは、新しいアプリの作成からのアクセスを制限するために使用され、インスタンスが冗長なアプリ、計画外のアプリ、または未使用のアプリで満杯にならないようにするために役立ちます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クリエータースタジオ を使用するペルソナ

ペルソナは明示的に クリエータースタジオ の一部ではありませんが、アドミニストレーターはロールをアサインして、チームメンバーに クリエータースタジオ を構成または使用する権限を付与します。

ローコード/市民開発者

ローコード/市民開発者は技術に精通しており、アプリの作成に興味があります。正式なコーディングやアプリ開発のトレーニングを受けていない場合でも、市民開発者は新しいアプリのアイデアを送信し、承認された場合は クリエータースタジオを使用してビルドできます。

ローコード/市民開発者は、sn_creatorstudio.user ロールまたは sn_creatorstudio.restricted_user ロールを持っています。

App Engine アドミン

App Engine アドミンは、クリエータースタジオ のアプリ開発に関連するすべてのプロセスを管理します。通常は App Engine 管理センター で、新しいアプリのアイデアをレビューし、アプリの展開を処理し、協力者を管理します。

App Engine アドミンは app_engine_admin ロールを持ち、app_engine_admin グループに属している必要があります。

セキュリティアドミン

セキュリティアドミンは、アプリのロールとアクセス制御リストを作成および変更します。このロールはプラットフォームレベルで設定され、クリエータースタジオ のロールを更新するために必要です。

システムアドミニストレーター

システムアドミニストレーターは、セキュリティ上の制約に関係なく、すべてのシステム機能、機能、およびデータにアクセスできます。この権限は慎重に付与してください。保護する必要がある HR レコードなどの機密情報がある場合は、その領域のカスタム admin ロールを作成し、それらのレコードを表示する権限を持つユーザーをアドミニストレーターとしてトレーニングする必要があります。

ロールとそのロールがクリエータースタジオでできること

次のテーブルのロールに加えて、admin ロールと delegated_developer ロールを持つユーザーも クリエータースタジオ にアクセスできます。

各ロールに含まれるロールの詳細については、「クリエータースタジオとともにインストールされるコンポーネント」を参照してください。

クリエータースタジオ ロール

ロール	名前	説明
クリエータースタジオ ユーザー	sn_creatorstudio.user	• ユーザーは、クリエータースタジオでアプリを作成できます。 • ユーザーはアプリのオーナーとして自動的に委任されます。詳細については、「委託

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クリエータースタジオ ロール (続く)

ロール	名前	説明
		開発 の探索」を参照してください。 • sn_g_app_creator.app_creator が含まれます。 **注:** このロールには、アプリの作成時またはアクセス時に delegated_developer ロールがアサインされます。
クリエータースタジオ 制限付きユーザー	sn_creatorstudio.restricted_user	• ユーザーは、クリエータースタジオでアプリを作成できません。 • ユーザーは、アプリの作成やアプリでの作業を要求できます。 • ユーザーは、開発者として指定されたアプリで作業できます。 • アプリでの作業をアサインされると、このユーザーはそのアプリの delegated_developer ロールを取得します。
App Engineアドミン	app_engine_admin	• 制限されたユーザーからのアプリ作成要求を承認します。 • コラボレーション要求を承認します。 • エクスペリエンススイッチャーから他の開発環境を選択します。 • アドミンが承認する必要があるアプリを確認できるようにするための sn_creator_studio.admin_write と sn_creator_studio.basic_write が含まれています。
クリエーターの Now Assist	now.assist.creator	クリエータースタジオでフォームを作成するためのクリエーターの Now Assistスキルへの

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クリエータースタジオ ロール (続く)

ロール	名前	説明
		アクセス権をユーザーに付与します。

注:

ユーザーがインスタンスバージョンに関係なくコラボレーション承認ワークフローを使用できるようにするには、アドミンは catalog_builder_editor ロールをクリエータースタジオユーザーグループにアサインする必要があります。

ユーザーグループとそのユーザーグループがクリエータースタジオでできること

グループは、ユーザーを追加することでクリエータースタジオへのアクセスを迅速に制御できる標準機能です。

クリエイタースタジオのユーザーグループ

グループ	説明
クリエータースタジオ ユーザー	• ユーザーは、クリエータースタジオでアプリを作成することを自動的に承認されます。 • sn_creatorstudio.user が含まれます。
クリエータースタジオ 制限付きユーザー	• このグループのユーザーは、自分に代わってクリエータースタジオでアプリケーションを作成するように要求する必要があります。 • sn_creatorstudio.restricted_user が含まれます。

開発者ロールとインスタンスでのアプリのテスト

sn_creatorstudio.user または sn_creatorstudio.restricted_user の クリエータースタジオ ロールを持っている場合、非本番インスタンスの要求アプリワークスペースでビルドしたアプリをテストすることはできません。クリエータースタジオ のアプリプレビューを使用して、非本番インスタンスでアプリをテストできるはずです。本番環境に展開されたアプリのワークスペースで、履行者としてアプリをテストできます。

ユースケース:

あるユーザーは クリエータースタジオ ユーザーグループに属しているため、アプリをビルドすると、そのアプリの委託開発権限が付与されます。その後、このユーザーは要求フォームを公開でき、フォームに必要なロールがない場合は、フォームを使用して要求を送信できます。

ただし、このユーザーは x_acme_user_app.agent ロールを持たず、そのロールを自分自身に付与できないため、要求を履行し、要求アプリワークスペースにアクセスすることはできません。アドミニストレーターは、必要に応じて追加のロールをアサインする必要があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

異なるバージョンでのコラボレーションロールとインスタンス

アドミンがクリエータースタジオを実装する際、クリエータースタジオのない旧バージョンの ServiceNow AI Platform 上に本番インスタンスがあるにもかかわらず、非本番インスタンスにインストールすることがあります。このインスタンスバージョンの不一致は、非本番インスタンスをソースとして、本番インスタンスをコントローラーとして指定するコラボレーション承認ワークフローに影響します。クリエータースタジオをサポートするバージョンのコラボレーションプラグインがコントローラーにない場合、コラボレーションはサポートされません。

ユーザーがインスタンスバージョンに関係なくコラボレーション承認ワークフローを使用できるようにするには、アドミンは catalog_builder_editor ロールをクリエータースタジオユーザーグループにアサインする必要があります。

ロールとアプリ開発のコラボレーション

ロールは、クリエータースタジオへのユーザーアクセスを定義します。個々のアプリで作業する権限は、アプリごとに制御されます。つまり、他の市民開発者を招待してアプリで一緒に作業したり他の人のアプリへの参加を要求したりすることで、アプリごとに協力者を管理する必要があります。詳細については、「での他のユーザーとのコラボレーションによるアプリのビルド クリエータースタジオ」を参照してください。

クリエータースタジオ とドメインセパレーション

Domain Separation は クリエータースタジオ ではサポートされません。つまり、ServiceNow AI Platform 内で、データ、プロセス、および管理タスクをドメインと呼ばれる個別のグループに分離することはできません。

ドメインセパレーションはサポートされていません

クリエータースタジオ が使用するデータテーブルでドメインが指定されている場合がありますが、クリエータースタジオ ではドメインに基づくデータの特別な処理は提供されません。

サポートレベルの詳細については、「アプリケーションでのドメインセパレーションのサポート) 」を参照してください。

関連情報

- サービスプロバイダーのドメインセパレーション

でのフォーム生成の構成 クリエータースタジオ

クリエータースタジオ にクリエーターの Now Assistをインストールして構成します。

構成の概要

クリエータースタジオアプリケーションにクリエーターの Now Assistをインストールすると同時に、カタログアイテム生成スキルとアプリ生成スキルを有効にする必要があります。

関連情報

- Install Now Assist plugins
- Activate a Now Assist skill

でのフォーム生成用の **Now Assist** のインストール クリエータースタジオ

ServiceNow® Store から クリエーターの Now Assist アプリケーションをインストールして、クリエータースタジオ でNow Assistを取得します。

始める前に
次のものをレビュー クリエーターの Now Assist 依存関係、ライセンス、サブスクリプションの要件、およびリリースの互換性について学習するためのServiceNow Storeのアプリケーションリ

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

スト。 クリエーターの Now Assistクリエータースタジオでフォーム生成用のNow Assistをインストールします。

必要なロール：admin

手順

1. に移動します クリエーターの Now Assist アプリケーションServiceNow Store
2. クリエーターの Now Assist アプリケーションページで、[アプリを要求] を選択します。
3. 要求が承認されたら、次に移動します: すべて > システムアプリケーション > 利用可能なすべてのアプリケーション > すべて.
4. フィルター基準と検索バーを使用して、クリエーターの Now Assist アプリケーション (sn_now_creator) を検索します。
5. クリエーターの Now Assist がインストールされていることを確認します。

   a. 移動先 すべて > *Now Assist* アドミン > 機能.

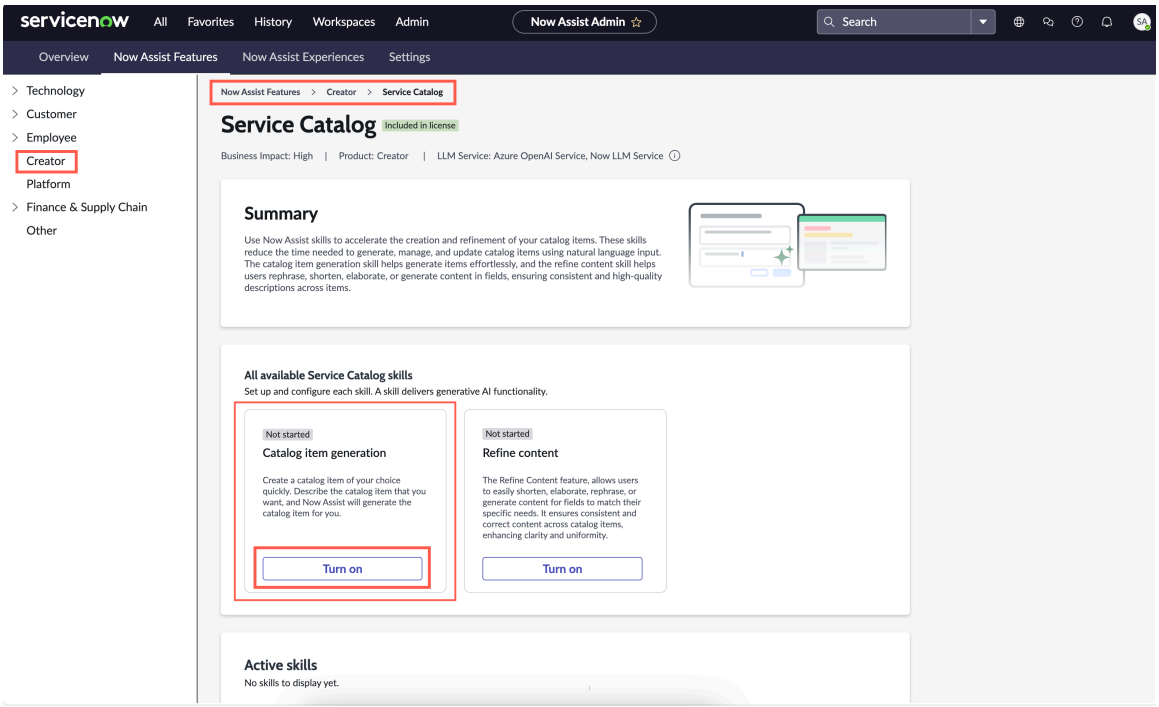
   b. ワークフローリストで、[作成者] を選択します。

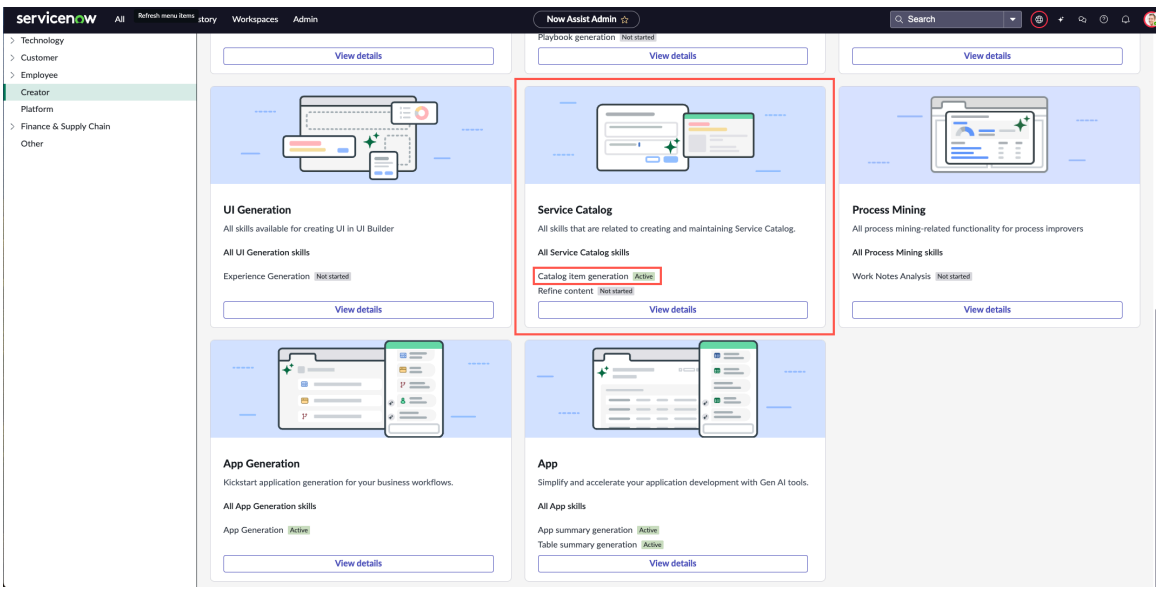
   c. サービスカタログカードで、カタログアイテム生成スキルがアクティブであることを確認します。

      注:
      サービスカタログカードにカタログアイテム生成スキルの [未開始] または [非アクティブ] と表示されている場合は、スキルをアクティブ化する必要があります。詳細については、「Activate a Now Assist skill 」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。





Now Assist アドミンコンソールを使用して Now Assist アプリケーションの設定、構成、監視に関する情報にアクセスする方法の詳細については、「Now Assist アドミンコンソール」を参照してください。

次のタスク
クリエータースタジオ ユーザーに now.assist.creator ロールを付与し、クリエータースタジオNow Assistを使用してフォームを作成します。詳細については、「Assign a role to a user」と「クリエータースタジオ のロールとペルソナ」を参照してください。

クリエータースタジオ の管理

アドミンには、通常のユーザーにはない、クリエータースタジオ でタスクを承認および更新する特別な権限があります。

アドミニストレーターが クリエータースタジオ に対してできることには、次のようなものがあります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- 権限のないユーザーのためのアプリを作成します。
- エクスペリエンススイッチャーにアクセスできる管理者。
- コラボレーション要求を管理します。
- フォームのテンプレートを作成および編集します。
- アプリが使用するテーブルを変更します。
- プレイブックのカスタムアクティビティを構成します。
- [アプリタイプ] ページを管理します。
- アプリを本番環境に展開します。
- 展開されたアプリへのユーザーアクセスを構成します。

クリエータースタジオ要求を承認してアプリを作成する

自分でアプリを作成できないユーザーによるアプリ作成要求に応答し、組織内にアプリが多すぎたり冗長になったりしないようにします。

始める前に

必要なロール：app_engine_admin

このタスクについて

クリエータースタジオ制限付きユーザーロールを持つユーザーは、自分でアプリを作成することはできませんが、アドミンが [要求アプリ管理 (Request App Administration)] の [アプリケーションタスク (Application Tasks)] テーブルで作成を承認した後は、アプリを操作することができます。

組織に App Engine 管理センターがある場合は、そこで要求を承認することもできます。詳細については、「クリエータースタジオ からのアプリ要求の管理」を参照してください。

手順

1. 移動先 すべて > **App Engine** > 要求アプリアドミニストレーション > アプリケーションタスク.
   アプリ作成要求を通知する受信メール内のリンクを選択することもできます。
2. 承認または拒否する要求を見つけます。
   要求を探しにくい場合は、列でフィルターするか検索バーを使用します。
3. 確認する要求の番号を選択します。
4. [承認] または [却下] ボタンを選択して、アプリ作成要求を承認または拒否します。

タスクの結果

要求を行ったユーザーには、承認結果がメール通知されます。承認すると、ユーザーはクリエータースタジオでアプリのビルドを開始できます！

エクスペリエンススイッチャーへのアクセスの管理

エクスペリエンススイッチャーは、 クリエータースタジオ、 ServiceNow スタジオ、 ServiceNow IDEへのアクセスを提供できます。ただし、これらすべてを表示および選択できるかどうかは、ロールまたはアクセスレベルによって異なります。

エクスペリエンススイッチャーから選択できるものを決定する要因はいくつかあります。ロール、選択したスタジオがインスタンスにインストールされているかどうか、インストールされているバージョンです。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ロールによるアクセスの決定

ユーザーグループやセキュリティレベルなど、所有しているロールによってエクスペリエンススイッチャーで製品にアクセスできます。

次に、エクスペリエンススイッチャーへのデフォルトのロールアクセスについて説明します。

- アドミンと委任開発者は、アプリの管理または開発を委任された製品にアクセスする必要があるため、エクスペリエンススイッチャーを使用できます。
- クリエータースタジオ ユーザーと制限付き クリエータースタジオ ユーザーは、アドミニストレーターによってキュレーションされたエクスペリエンスに制限されるため、通常はエクスペリエンススイッチャーにアクセスできません。

アドミニストレーターは、エクスペリエンス構成テーブル [sn_udc_experience_configuration] をチェックして、エクスペリエンススイッチャーの各製品にアクセスできるデフォルトロールを確認できます。このテーブルには、 クリエータースタジオ がインストールされていない場合、またはエクスペリエンススイッチャーに必要な最小バージョンでない場合に表示される検出ページが表示されるロールも表示されます。

エクスペリエンススイッチャーの製品へのアクセス権をロールに付与する場合は、エクスペリエンスの可視化コントロールテーブル [sn_udc_experience_visibility_control] で行う必要があります。詳細については、「エクスペリエンススイッチャーへのロールのアクセス権を編集する」を参照してください。

製品のインストールによるアクセスの決定

エクスペリエンススイッチャーから選択するには、インスタンスにアプリケーションがインストールされている必要があります。

たとえば、 ServiceNow スタジオ または ServiceNow IDE で作業しているが、 クリエータースタジオ がインストールされていない場合は、エクスペリエンススイッチャーで [クリエータースタジオ] を選択すると、 クリエータースタジオの使用方法の詳細を確認できるページが表示されます。

製品バージョンによるアクセスの決定

エクスペリエンススイッチャーに表示するには、少なくともすべての製品が Yokohama バージョンである必要があります。

たとえば、エクスペリエンススイッチャーで [クリエータースタジオ] を選択していても、クリエータースタジオ のXanaduバージョンがインストールされている場合、それを選択すると、バージョンを更新するように指示するページが表示されます。

エクスペリエンススイッチャーへのロールのアクセス権を編集する

エクスペリエンスの可視化コントロールテーブル [sn_udc_experience_visibility_control] にロールを追加して、エクスペリエンススイッチャー内の他の製品 (ServiceNow スタジオなど) へのアクセス権を付与します。

始める前に
必要なロール：admin

このタスクについて
このトピックは、エクスペリエンススイッチャーにデフォルト以外のロールを付与するためのものです。デフォルトでは、次のロールが既に割り当てられています。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- アドミンと委任開発者は、アプリの管理または開発を委任された製品にアクセスする必要があるため、エクスペリエンススイッチャーを使用できます。
- クリエータースタジオ ユーザーと制限付き クリエータースタジオ ユーザーは、アドミニストレーターによってキュレーションされたエクスペリエンスに制限されるため、通常はエクスペリエンススイッチャーにアクセスできません。

手順

1. 移動先 すべて > **sn_udc_experience_visibility_control.list**.
2. **[New** (新規)] ボタンをクリックします。
3. ロールを構成するエクスペリエンスを入力します。
   たとえば、「 cre 」と入力して「 クリエータースタジオ」を選択します。
4. エクスペリエンスにアクセスするロールを指定します。
   a. ロックアイコン ( ) を選択して、[ロールに利用可能 **(Available for roles**)] フィールドのロックを解除します。
   b. 入力を開始し、アクセス権を付与するロールの名前を選択します。
   c. ロック解除アイコン ( ) を選択して、[ロールに利用可能] フィールドをロックします。
5. エクスペリエンスにアクセスできないロールを指定します。
   a. ロックアイコン ( ) を選択して、[ロールに利用不可] フィールドのロックを解除します。
   b. 入力を開始し、アクセスを制限しているロールの名前を選択します。
   c. ロック解除アイコン ( ) を選択して、[ロールに利用不可] フィールドをロックします。
6. [送信] を選択して変更を保存します。

クリエータースタジオ でのコラボレーションの管理

クリエータースタジオ では、アドミニストレーターまたは App Engine アドミンとして、プロジェクトでのユーザーの共同作業方法を管理できます。

コラボレーション要求を承認して、委任された開発者がアプリで連携するようにできます。

コラボレーション記述子は、ユーザーがアプリで実行できることを定義する権限レベルのようなものです。アドミンは、コラボレーション記述子をアサイン、カスタマイズできます。

クリエータースタジオ では次のコラボレーション記述子を使用できます。

コラボレーション記述子

権限	説明	アプリでできること
協力者の管理	アプリにアクセスできるユーザーと実行できることを制御できます。	• ユーザーとグループの権限を変更する。 • アプリでの作業からユーザーを削除する。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

コラボレーション記述子 (続く)

権限	説明	アプリでできること
協力者を招待	アプリで作業する新しいユーザーを呼び込むことができます。	• ユーザーやグループをアプリに参加するよう招待する。 • 招待されたユーザーはアプリのエディターになり、変更を加えることができる。

コラボレーション要求を承認する

アドミンと App Engine アドミンは、クリエータースタジオ でアプリの開発に参加するユーザーの要求を確認して承認 (または却下) できます。

始める前に

コントローラーインスタンスが構成されている場合は、クリエータースタジオ の非本番インスタンスではなく、コントローラーインスタンスでコラボレーション要求を承認する必要があります。通常、コントローラーインスタンスは本番インスタンスですが、パイプラインと展開 アプリケーションの構成方法によって異なる場合があります。詳細については、「コントローラーインスタンスの構成」を参照してください。

必要なロール：app_engine_admin

このタスクについて

注:
委任開発者ロールを持つユーザーは、コラボレーションのために自動的に承認されます。

手順

1. 移動先 すべて > *App Engine* > コラボレーション > コラボレーションタスク.
2. コラボレーションテーブルの [番号] 列でコラボレーション要求を選択します。
   [アプリ名] または [招待者の名前] 列を検索またはフィルタリングすると、要求をより速く見つけることができます。
3. [状況] フィールドの承認ステータスを更新します。
   - 承認してクローズ
   - クローズ済み (却下済み)
   - キャンセル
   - クローズ済み (失敗)
4. レコードを更新して変更を保存します。

ServiceNow AI Platform での クリエータースタジオ コラボレーション権限の管理

クリエータースタジオ では、コラボレーション記述子と呼ばれる権限を設定することで、ユーザーがアプリで共同作業する方法を制御できます。これらの記述子は、ユーザーができることとできないことを定義します。

始める前に

必要なロール：app_engine_admin、および協力者を管理する権限

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて
協力者を管理する権限を持つユーザーは、自分が所有するアプリで共同作業を行えるユーザーを調整できます。詳細については、「クリエータースタジオでアプリの協力者を管理する」を参照してください。

> **注:**
> コラボレーション権限の表示方法は、インスタンスに App Engine Studio がインストールされているかどうかによって異なる場合があります。

手順

1. 移動先 すべて > *App Engine* > コラボレーション > 記述子.
2. 所有者や編集者などのコラボレーション記述子の権限を編集します。
   a. 変更する記述子の名前を見つけて選択します。
   b. [サービスカタログ] などの [開発権限セット] を選択して、その権限を更新します。
   権限のリストについては、「コラボレーション権限」を参照してください。
   c. [保存] と [更新] を選択します。
3. 更新された記述子をユーザーまたはグループにアサインします。
   a. 記述子の [名前] ([オーナー]や[エディター]など) を選択します。
   b. 該当するいずれかのタブを選択して、ユーザーまたはグループをアサインします。
      - [アプリコラボレーションユーザー] タブ：個々のユーザー用
      - [アプリコラボレーショングループ] タブ：ユーザーグループ用
   c. [新規] ボタンを選択します。
   d. フォームのフィールドに入力します。
   詳細は、以下のトピックを参照してください。
      - ユーザーへのコラボレーション記述子のアサイン
      - グループへのコラボレーション記述子のアサイン
   e. [保存] を選択します。
4. オプション: 新しいコラボレーション記述子が必要な場合は、カスタムコラボレーション記述子を作成します。
   a. [新規] ボタンを選択します。
   b. フォームのフィールドに入力します。

アプリコラボレーション記述子フォーム

フィールド	説明
名前	記述子の名前。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
Description (説明)	記述子が実行できることの説明。次に例を示します。 ▪ 所有者 ▪ 編集者
アプリケーション	コラボレーション記述子のスコープ。現在、すべてのコラボレーション記述子をグローバルスコープで作成する必要があります。
標準	このロールを持つ他の協力者を招待するためのオプション。

c. [送信] を選択します。

タスクの結果

コラボレーション記述子を設定し、権限を定義して、特定のアプリのユーザーとグループにロールをアサインしました。コラボレーションアプリの使用の詳細については、「アプリケーションコラボレーション」を参照してください。

クリエータースタジオでカスタマイズされたアプリコラボレーション権限

コラボレーション権限をカスタマイズすると、ユーザーがクリエータースタジオで操作できるより詳細なアクションやアプリの部分を選択できます。

これらの権限は、アドミンまたはアプリオーナーとしてコラボレーションを管理するときに使用します。詳細は、以下のトピックを参照してください。

- ServiceNow AI Platform での クリエータースタジオ コラボレーション権限の管理
- クリエータースタジオでアプリの協力者を管理する

ファイルタイプのカスタムコラボレーション権限

ファイルタイプのコラボレーション権限

権限	説明	オーナーのデフォルト設定	エディターのデフォルト設定
すべてのファイルタイプ	他のオプションでは付与されない追加のファイルタイプを含む、すべてのタイプのファイルを操作するためのアクセス権を付与します。	はい	はい
統合	Web サービス API、REST API、データソース、および 統合ハブ - インポートへのアクセス権を付与します。	はい	はい
レポート	レポートおよびスケジュール済みレポート	はい	はい

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ファイルタイプのコラボレーション権限 (続く)

権限	説明	オーナーのデフォルト設定	エディターのデフォルト設定
	へのアクセス権を付与します。		
モバイルビルダー	モバイルアプリビルダー などを使用してモバイルエクスペリエンスをビルドするためのアクセス権を付与します。	はい	はい
UI ビルダー	UI ビルダー を使用してより複雑なインターフェイスをビルドするためのアクセス権を付与します。	はい	はい
ワークフロー	ワークフローエディターおよびアクティビティクリエーターへのアクセス権を付与します。	はい	はい
サービスポータル	サービスポータル のエディターとツールを操作するためのアクセス権を付与します。	はい	はい
ワークフロースタジオ	フローとアクションを作成するための ワークフロースタジオ 設計環境へのアクセス権を付与します。	はい	はい
サービスカタログ	カタログアイテム、レコードプロデューサー、変数などのカタログ関連のファイルタイプを操作して、カタログアイテムをアプリに追加するためのアクセス権を付与します。	はい	はい
テーブルとフォーム	テーブル列、フォームレイアウト、リストレイアウトなど、モデルおよびレイアウト関連のファイルタイプへのアクセス権を付与します。	はい	はい
ディシジョンテーブル	ディシジョンテーブルを操作して、複数の if-else ルールに基づいて意思決定ロジックを作	はい	はい

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ファイルタイプのコラボレーション権限 (続く)

権限	説明	オーナーのデフォルト設定	エディターのデフォルト設定
	成するためのアクセス権を付与します。		
プレイブック	プレイブック 設計環境を操作してプロセスを作成するためのアクセス権を付与します。アクティビティサブフローまたはアクションを編集するには、フローデザイナー権限が必要です。	はい	はい
通知	自動電子メール通知を作成し、電子メールテンプレートを操作するためのアクセス権を付与します。	はい	はい

セキュリティ/権限のカスタムコラボレーション権限

[アクセスコントロールの管理 **(Manage access control)]** は、アクセス制御リストやロールなどのセキュリティ管理ファイルへのアクセス権を付与します。

オーナーとエディターの両方のデフォルト設定が選択されます。

プログラミングツールのカスタムコラボレーション権限

[スクリプティングを許可 **(Allow Scripting)]** は、[ビジネスルール]、[UI アクション]、[クライアントスクリプト] などにあるスクリプトフィールドへのアクセス権を付与します。

オーナーとエディターの両方のデフォルト設定が選択解除されます。

アプリケーション管理のカスタムコラボレーション権限

アプリケーション管理のコラボレーション権限

権限	説明	オーナーのデフォルト設定	エディターのデフォルト設定
アプリケーションを削除します	アプリを削除するためのアクセス権を付与します。	はい	いいえ
協力者の管理	アプリで共同作業する開発者とその権限を変更するためのアクセス権を付与します。	はい	いいえ
ソースコントロール	ソースコントロールツール統合を操作するためのアクセス権を付与します。	いいえ	いいえ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アプリケーション管理のコラボレーション権限 (続く)

権限	説明	オーナーのデフォルト設定	エディターのデフォルト設定
協力者を招待	開発者をアプリで共同作業するよう招待するためのアクセス権を付与します。	はい	はい

展開のカスタムコラボレーション権限

展開のコラボレーション権限

権限	説明	オーナーのデフォルト設定	エディターのデフォルト設定
アプリをアップグレード	アプリケーションをアップグレードするためのアクセス権を付与します。	いいえ	いいえ
展開の送信	アプリの展開を要求するためのアクセス権を付与します。	はい	いいえ
アプリをリポジトリに公開	アプリをリポジトリに公開するためのアクセス権を付与します。	いいえ	いいえ
アプリストアに公開	アプリをアプリストアに公開するためのアクセス権を付与します。	いいえ	なし

自動翻訳

クリエータースタジオ のテンプレートとフォームの管理

アドミンは、カスタムテンプレートと事前設定された質問を作成して、ユーザーが クリエータースタジオ でアプリをビルドするのを簡素化およびガイドすることができます。

App Engine Studioテンプレートをユーザーに表示するように選択することもできます。

の記事をチェックアウトする のカタログテンプレートの作成 クリエータースタジオ .

クリエータースタジオ アプリで使用するカタログテンプレートの作成

ServiceNow アドミンは、サービスカタログ でカスタマイズしたカタログテンプレートを作成し、クリエータースタジオ にフォームを追加する方法をユーザーにガイドできます。

たとえば、ユーザーが IT フルフィルメント用に複数のアプリをビルドする場合は、IT サービス要求のみを含むカタログテンプレートを作成できます。

ユーザーが クリエータースタジオ でフォームを作成できるようにカタログテンプレートを追加する場合は、次の構成を使用する必要があります。

- レコードプロデューサーテンプレートを作成します。
- [宛先テーブル] (クリエータースタジオでは [レコード送信テーブル] と呼ばれます) は未定義のままにしておきます。
- クリエータースタジオユーザーグループがテンプレートにアクセスできることを確認します。テンプレートはすべてのユーザーが利用できるようにすることもできます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

さらに、カタログテンプレートを使用して、アプリの作成時にユーザーが選択できるカタログを制限することもできます。

カタログテンプレートを追加する方法の詳細については、「Creating or editing catalog item template」を参照してください。

の記事をチェックアウトする のカタログテンプレートの作成 クリエータースタジオ.

クリエータースタジオ フォームで使用する質問セットの作成

アドミンは、クリエータースタジオ で変更することなく、複数のフォームで再利用できる事前設定された質問セットを作成できます。

質問セットを使用して、アドミンはキュレーションされた編集不可能な質問を作成し、ユーザーがコンテンツの微調整することなくフォームに含めることができます。

さらに、複数の再利用可能な質問を常にグループ化する場合は、複数の質問を含む質問セットを作成できます。

サービスカタログ で質問セットを作成する方法については、「Create a variable set and add it to an item」を参照してください。

AESテンプレートを表示

デフォルトでは非表示になっている App Engine Studio (AES) テンプレートを、ユーザーが クリエータースタジオ でアプリを作成するときに表示させることができます。

始める前に
必要なロール：admin

手順

1. [すべて] メニューを開きます。
2. 「sys_properties.list」と入力し、Enter キーを押します。
3. [名前] 列に「`com.glide.creator_studio.template_deny_list`」と入力し、Enter キーを押します。
4. [値] フィールドのエントリをクリアします。
   他のテンプレートを非表示にする場合は、そのシステム値 (テンプレートごとにsys_id) を [値] フィールドにカンマで区切って入力します。sys_idの詳細については、「 Unique record identifier (sys_id)」を参照してください。

アプリの基になるテーブルの管理

アドミニストレーターは、ビルトインされたアプリが要求を保存するデフォルトのテーブルを変更できます クリエータースタジオ 。

アプリのテーブルの変更

アドミニストレーターは、 クリエータースタジオ組み込まれたアプリの基礎となるテーブルを変更できます。つまり、アプリが要求を保存するテーブルを変更できます。

アプリ設定 の データ管理 タブを選択して、アプリの現在のテーブルを表示します。詳細については、「クリエータースタジオでアプリの設定を編集する」を参照してください。

アプリのテーブルを変更する理由

アプリのテーブルを変更する理由には、次のようなものがあります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- ビジネスロジックまたは特定のフィールドの処理を含む既存のテーブルがある場合は、アプリでそのテーブルに書き込むようにして、既存のロジックを使用できます。
- [アプリを要求] テーブルを広範囲に変更することはできないため、より複雑な変更を加えて別のテーブルを使用することもできます。
- フェデレーションアプリからコンポーネントを継承するテーブルを使用する。
- 大規模なフェデレーション アプリケーションが既にあり、新しい クリエータースタジオ からそのフェデレーション アプリ テーブルにデータを配置する必要があります。

アプリのテーブルを変更するための要件

アプリのテーブルを変更する前に、アプリを既に作成しておく必要があります。

一般的なガイドラインでは、要求タスクテーブルを拡張するテーブルを使用します。

- アプリのテーブルを要求タスク拡張テーブルを拡張しないテーブルに変更すると、自動化に影響を与える可能性があります。
- 新しいテーブルに **request_type** フィールドがない場合、アプリの自動化は正しくトリガーされません。
- 新しいテーブルのrequest_typeフィールドには、ラベルが [要求タイプ] になり、レコードプロデューサーテーブルへの参照になります。
- 新しいテーブルがアプリと同じスコープ内にない場合、テーブルのスコープは他のスコープからの更新を許可する必要があります。

タスクテーブルの詳細については、「 Working with the Task table 」を参照してください。

アプリのテーブルを変更した場合の影響

次の表は、 クリエータースタジオ でアプリをビルドするさまざまな部分が、アプリのテーブルを変更することによってどのように影響を受けるかを示しています。

テーブルの変更がアプリの一部にどのように影響するか

アプリ構築の一部	効果
フォーム	フォームの作成後にアプリのテーブルを変更すると、ユーザーがアプリの現在のテーブルとは異なるテーブルに対して作成されたフォームを表示するとエラーが発生します。 その場合は、テーブルを元のテーブルに戻すか、ユーザーが新しいテーブルを使用する新しいフォームを作成する必要があります。
自動化	テーブルを **[request_type**] フィールドのないテーブルに変更すると、ユーザーはプレイブックをアプリに追加できなくなります。
ワークスペースリスト構成	ユーザーがフィルター済みリストを作成した後にテーブルを変更した場合、フィルター済みリストは元のテーブルを保持します。 複数のフィルター済みリストが異なるテーブルを使用している場合、ユーザーはそれらの不一致に基づいてエラーを取得します。たとえば、

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テーブルの変更がアプリの一部にどのように影響するか (続く)

アプリ構築の一部	効果
	編集アクセス権のないテーブルの列を管理することはできません。

クリエータースタジオ アプリのテーブルを変更する

アプリの基になるテーブルを変更します。

始める前に

アプリのテーブルを変更する前に、アプリを既に作成しておく必要があります。

テーブルを変更するための一般的なガイドラインは次のとおりです。

- アプリのテーブルを要求タスク拡張テーブルを拡張しないテーブルに変更すると、自動化に影響を与える可能性があります。
- 新しいテーブルに **request_type** フィールドがない場合、アプリの自動化は正しくトリガーされません。
- 新しいテーブルのrequest_typeフィールドには、ラベルが [要求タイプ] になり、レコードプロデューサーテーブルへの参照になります。
- 新しいテーブルがアプリと同じスコープ内にない場合、テーブルのスコープは他のスコープからの更新を許可する必要があります。

必要なロール：admin

このタスクについて

フォームと自動化を確実に機能させるには、一般的なガイドラインとして、テーブルを要求タスクテーブルを拡張するテーブルに変更します。

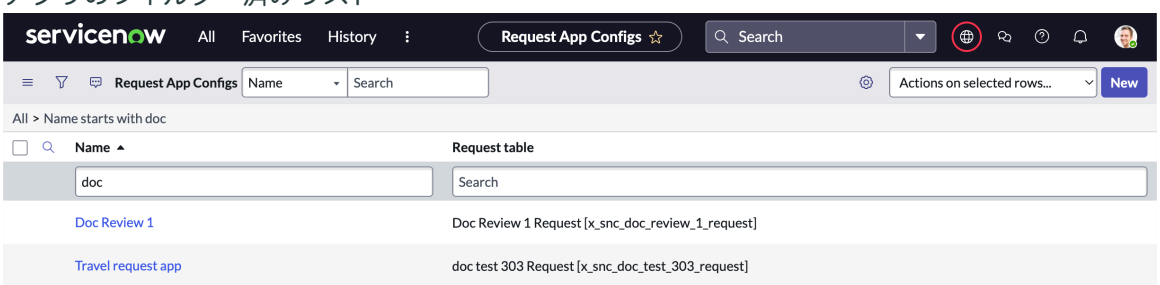
手順

1. ユーザー すべて メニューをクリックし、「 sn_creatorstudio_request_app_config.list」と入力します。
2. [名前] 列の検索ボックスにアプリ名を入力し、Enter キーを押します。

   注:
   アプリ名に続く単語ではなく、アプリ名の最初の単語を入力する必要があります。

3. リストからアプリを選択します。

アプリのフィルター済みリスト



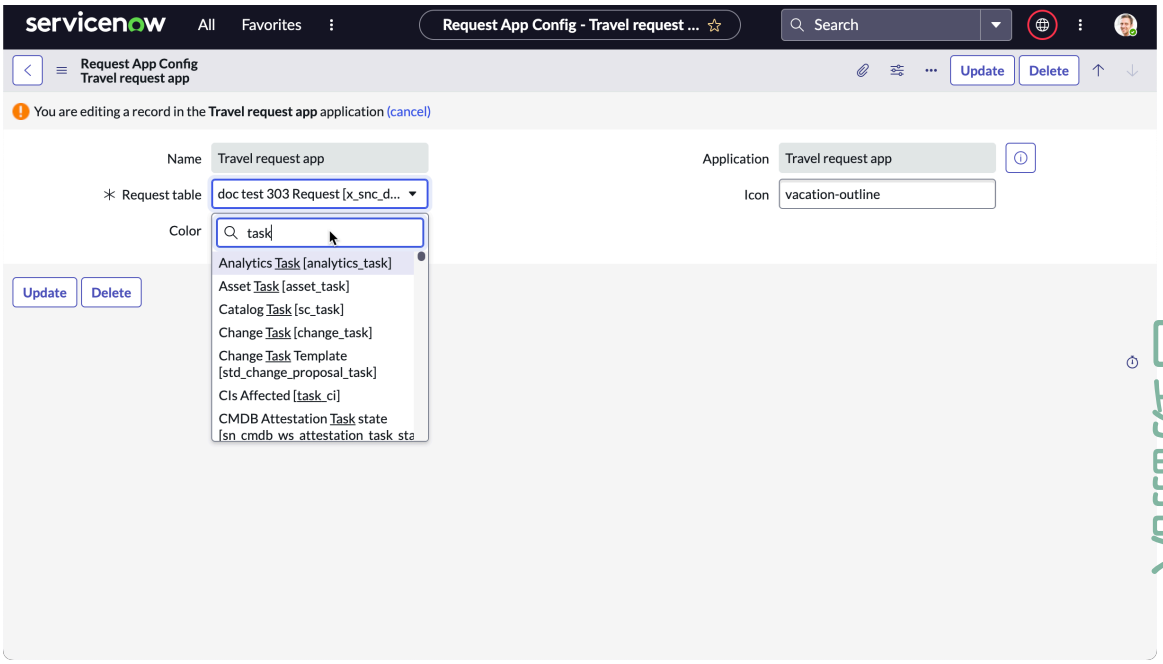
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

4. オプション: 正しいスコープ内にいない場合は、スコープをアプリのスコープまたはグローバルスコープに変更します。
   スコープは、次のいずれかの方法で変更できます。
   - 「レコードを編集するにはここをクリックしてください」というメッセージで 「ここ 」を選択します。
   - アプリケーションスコープアイコン ( ) を選択し、適切なスコープを選択します。

   スコープの詳細については、「アプリケーションスコープ」を参照してください。
5. アプリが書き込むテーブルの名前を [要求テーブル] フィールドに入力します。
   テーブルは [要求タスク] テーブルを拡張し、[**request_type**] フィールドを含む必要があります。使用できるテーブルの詳細については、「 アプリのテーブルを変更するための要件」を参照してください。

アプリテーブルを変更する



6. [更新] を選択して、変更を保存します。

での通知メールの管理 クリエータースタジオ

アドミニストレーターは、既存のメール通知をカスタマイズし、 クリエータースタジオ ユーザーがプレイブックに追加できる新しいメール通知のテンプレートを作成できます。たとえば、要求がオープンされたことを通知するメールにブランディングを追加できます。

メール通知をカスタマイズする方法

アドミニストレーターは、次の 2 つの方法で通知メールをカスタマイズできます。

1. ガイド付きセットアップを使用。
2. [sysevent_email_action] テーブルを使用します。

メール通知のスコープ

次のデフォルトのメール通知はパブリックスコープ内にあるため、すべてのアドミニストレーターが編集できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

1. 自分にアサインされた要求
2. 自分のグループにアサインされた要求
3. 要求はクローズされました
4. 要求がオープンされた

> **注:**
> スコープによっては、変更を行うために [クリエータースタジオ 構成] スコープに切り替える必要がある場合があります。

上記のメールに加えて、プレイブックの実行時に ServiceNow AI Platform 送信するカスタムメール通知を作成できます。

でのアクティビティの管理 クリエータースタジオ

アドミニストレーターは、カスタムアクティビティを定義して クリエータースタジオ で使用できるようにしたり、既存のアクティビティを非表示にして、ユーザーがアプリに自動化を追加するときにガイドすることができます。

複雑なワークフローや会社固有のワークフロー用にカスタムアクティビティを作成できます。たとえば、次のようになります。

- 標準の [承認要求] アクティビティには [要求者のマネージャー] オプションがありますが、代わりに 部門マネージャー が必要な場合があります。
- クリエータースタジオ自動化で簡単にビルドできるよりも複雑な意思決定ロジックを含む承認またはフローが必要になる場合があります。ワークフロースタジオを使用してそのフローをビルドし、それを呼び出すカスタムアクションを作成することができます。
- 標準のメール通知アクティビティよりも多くの通知タイプが必要な場合があります。MS Teams 統合に通知を送信するフローを作成し、そのフローを呼び出すアクティビティを作成できます。

でカスタムアクティビティを作成する手順 クリエータースタジオ

クリエータースタジオ自動化で使用するカスタムアクティビティを追加するには、複数の手順があります。

まったく新しいアクティビティを追加する

プレイブックのカスタムアクティビティを作成する手順は次のとおりです。

1. フロー、サブフロー、またはアクションを作成する:アドミンまたは適切なロールを持つユーザーが、最初にフロー、サブフロー、またはアクションを ワークフロースタジオで作成する必要があります。詳細については、「General guidelines for Workflow Studio flows, subflows, and actions」を参照してください。
2. アクティビティを定義する:次に、アドミニストレーターはアクティビティを [アクティビティ定義] テーブルに追加し、フロー/サブフロー/アクションをプレイブックアクティビティに割り当てることによってアクティビティを定義します。このステップは、 クリエータースタジオ プレイブックのアクティビティ設定でフィールドとして利用できる入力をアドミンが指定する場合でもあります。詳細については、「Activity definitions」と「Create an activity definition」を参照してください。

   > **注:**
   > 必要なアクティビティのアクティビティ定義が既に存在する場合は、この手順をスキップできます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

3. アクティビティをクリエータースタジオで利用できるようにする: App Engine アドミンがアクティビティを [クリエータースタジオ アクティビティ] テーブルに追加します。詳細については、「でカスタムアクティビティをプレイブックで利用できるようにする クリエータースタジオ」を参照してください。

で既存のアクティビティとプレイブックを利用できるようにする クリエータースタジオ

アドミニストレーターは、アクティビティを定義して [クリエータースタジオアクティビティ] テーブルに追加することで、既存のフロー、サブフロー、およびアクションを クリエータースタジオ で使用できるようにすることができます (前のステップ 2 および 3)。

アドミニストレーターは、既存のプレイブックアクティビティを [クリエータースタジオアクティビティ] テーブルに追加することで、既存のプレイブックアクティビティをクリエータースタジオで利用できるようにすることもできます (前のステップ 3)。

注:
クリエータースタジオ アドミニストレーターは、デフォルトでアクティビティ定義 [sn_pd_activity_definition] テーブルを表示できます。これにより、 ワークフロースタジオで プロセスを管理することもできます。

でカスタムアクティビティをプレイブックで利用できるようにする クリエータースタジオ

カスタムアクティビティは、ユーザーがアプリをビルドするときにプレイブックに追加する前に、 クリエータースタジオ アクティビティテーブル [sn_creatorstudio_activity] に追加する必要があります。

このタスクについて

複雑なワークフローや会社固有のワークフロー用にカスタムアクティビティを作成できます。たとえば、次のようになります。

- 標準の [承認要求] アクティビティには [要求者のマネージャー] オプションがありますが、代わりに 部門マネージャー が必要な場合があります。
- クリエータースタジオ自動化で簡単にビルドできるよりも複雑な意思決定ロジックを含む承認またはフローが必要になる場合があります。ワークフロースタジオを使用してそのフローをビルドし、それを呼び出すカスタムアクションを作成することができます。
- 標準のメール通知アクティビティよりも多くの通知タイプが必要な場合があります。MS Teams 統合に通知を送信するフローを作成し、そのフローを呼び出すアクティビティを作成できます。

始める前に

カスタムアクティビティを クリエータースタジオ で利用できるようにするには、次のステップを完了する必要があります。

1. フロー、サブフロー、またはアクションを作成する:アドミンまたは適切なロールを持つユーザーが、最初にフロー、サブフロー、またはアクションを ワークフロースタジオで作成する必要があります。詳細については、「General guidelines for Workflow Studio flows, subflows, and actions」を参照してください。
2. アクティビティを定義する:次に、アドミニストレーターはアクティビティを [アクティビティ定義] テーブルに追加し、フロー/サブフロー/アクションをプレイブックアクティビティに割り当てることによってアクティビティを定義します。このステップは、 クリエータースタジオ プレイブックのアクティビティ設定でフィールドとして利用できる入力をアドミンが指定する場合でもあ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ります。詳細については、「Activity definitions」と「Create an activity definition」を参照してください。

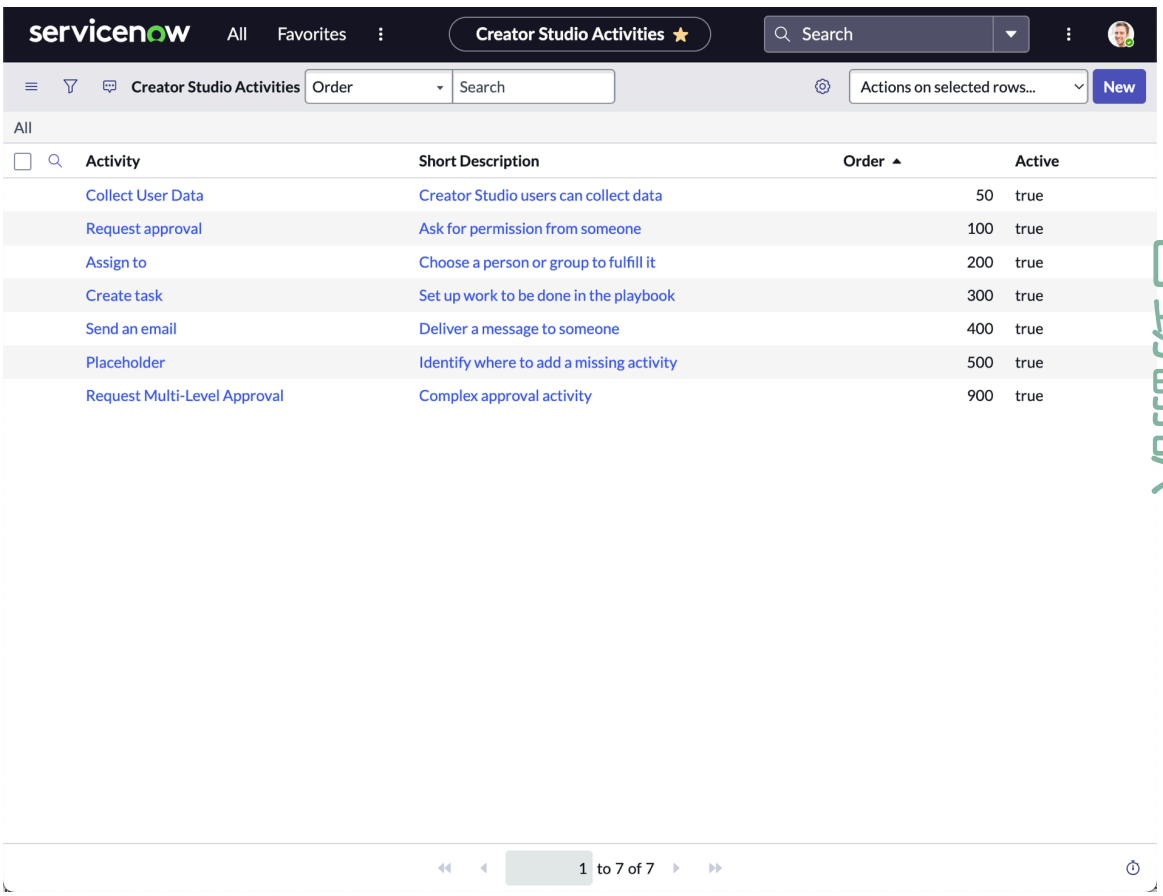
> **注:**
> 必要なアクティビティのアクティビティ定義が既に存在する場合は、この手順をスキップできます。

必要なロール：admin または app_engine_admin

手順

1. 移動先 すべて > *App Engine* > 要求アプリアドミニストレーション > クリエータースタジオ アクティビティ.
   カスタムアクティビティだけでなく、すべての標準 クリエータースタジオ アクティビティがリストに表示されます。
   [クリエータースタジオ アクティビティ] テーブルが表示されます。

   クリエータースタジオ アクティビティテーブル



2. 新しいアクティビティの基礎を作成します。

   a. **[New** (新規)] ボタンをクリックします。

   b. レコードのフィールドに入力します。

フィールド	説明
アクティビティ	カスタムアクティビティの基礎となるアクティビティのタイプを検索して選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	たとえば、[マルチレベル承認を要求] を選択して複雑な承認アクティビティを作成します。 **注:** アクティビティを選択したら、情報アイコン (ⓘ) を選択して、そのアクティビティ定義レコードをプレビューできます。
順序	アクティビティが クリエータースタジオ アクティビティピッカーリストに表示される順番。 たとえば、順序番号が 400 のアクティビティは、順序番号が 500 のアクティビティの前に表示されます。
簡単な説明	アクティビティピッカーに表示されるカスタムアクティビティの簡単な説明。

利用可能なすべてのアクティビティのリストを表示するには、以下を追加できます。

- すべての標準アクションについては、「 Workflow Studio actions 」を参照してください。
- すべてのフローのリストについては、「 Workflow Studio flow logic 」を参照してください。
- ワークフロースタジオで利用可能なすべてのサブフローのリストを表示します。

c. アクティビティが クリエータースタジオ に表示されるように [アクティブ] オプションが選択されていることを確認します。

d. [Submit (送信)] を選択します。

3. プレイブックアクティビティのプロパティパネルに表示するフィールドを指定します。

注:
表示されるフィールドは、アクティビティを定義するプロセスで既に設定されている可能性があります。その場合は、次の手順に従って、使用可能なフィールドが正しいことを確認します。

a. [クリエータースタジオアクティビティ] テーブルの [アクティビティ] 列から、新しく作成されたアクティビティの定義を開きます。

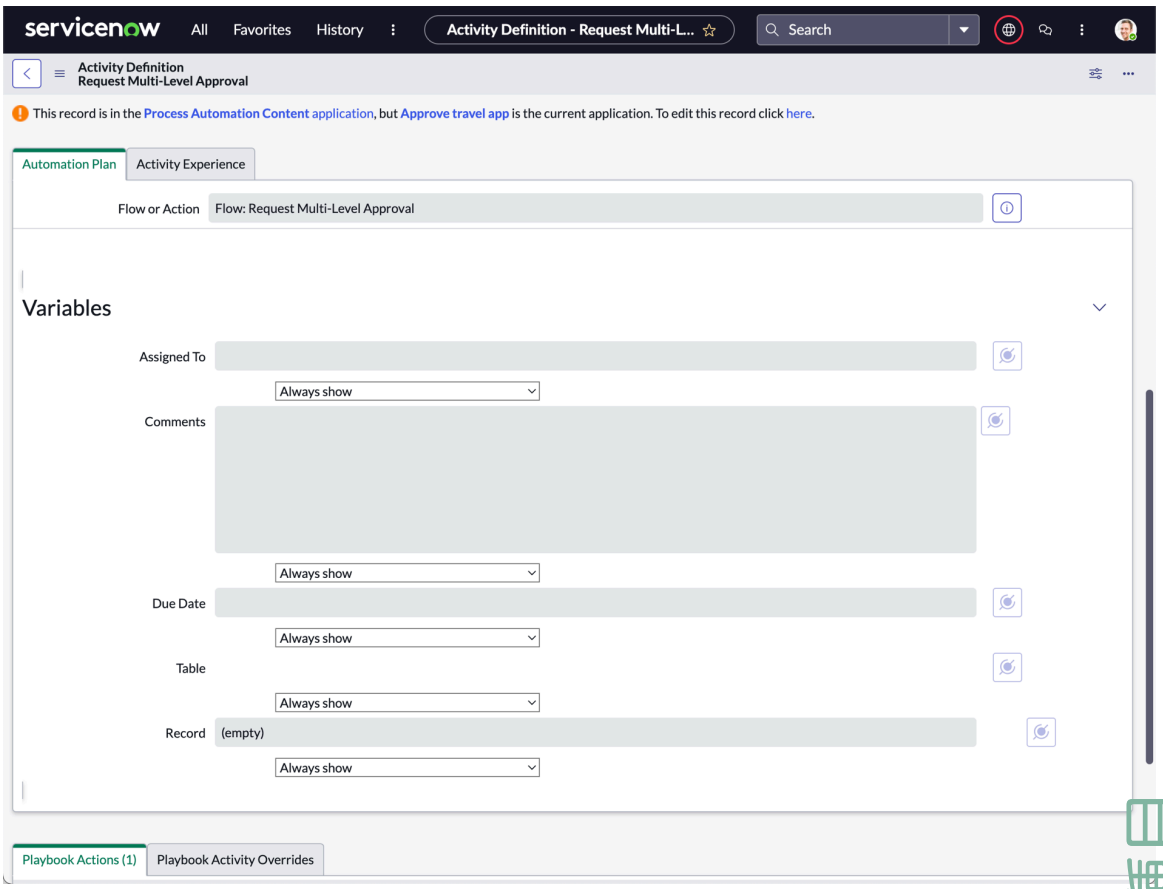
b. [自動化プラン] タブが選択されていることを確認します。

c. [常に表示] を選択して、アクティビティのプロパティのフィールドをクリエータースタジオに表示するようにします。
たとえば、[アサイン先] フィールドを クリエータースタジオ でプレイブックをビルドするユーザーに常に表示に設定します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

アクティビティの入力



詳細については、「Add dynamic inputs to an activity」を参照してください。

d. オプション: プロパティを [アドミンのみの追加プロパティとして表示] に設定して、フィールドを非表示にします。

e. プロパティパネルに表示するすべてのフィールドについて、これらの手順を繰り返します。

f. レコードを保存します

4. [クリエータースタジオ アクティビティ] テーブルに戻ります。

5. [簡単な説明] フィールドを選択して、クリエータースタジオアクティビティレコードを確認します。

6. [アクティブ] オプションが選択されており、他のすべてが正しいことを確認します。

7. オプション: [更新] ボタンを選択して追加の変更を加えた場合は、レコードを保存します。

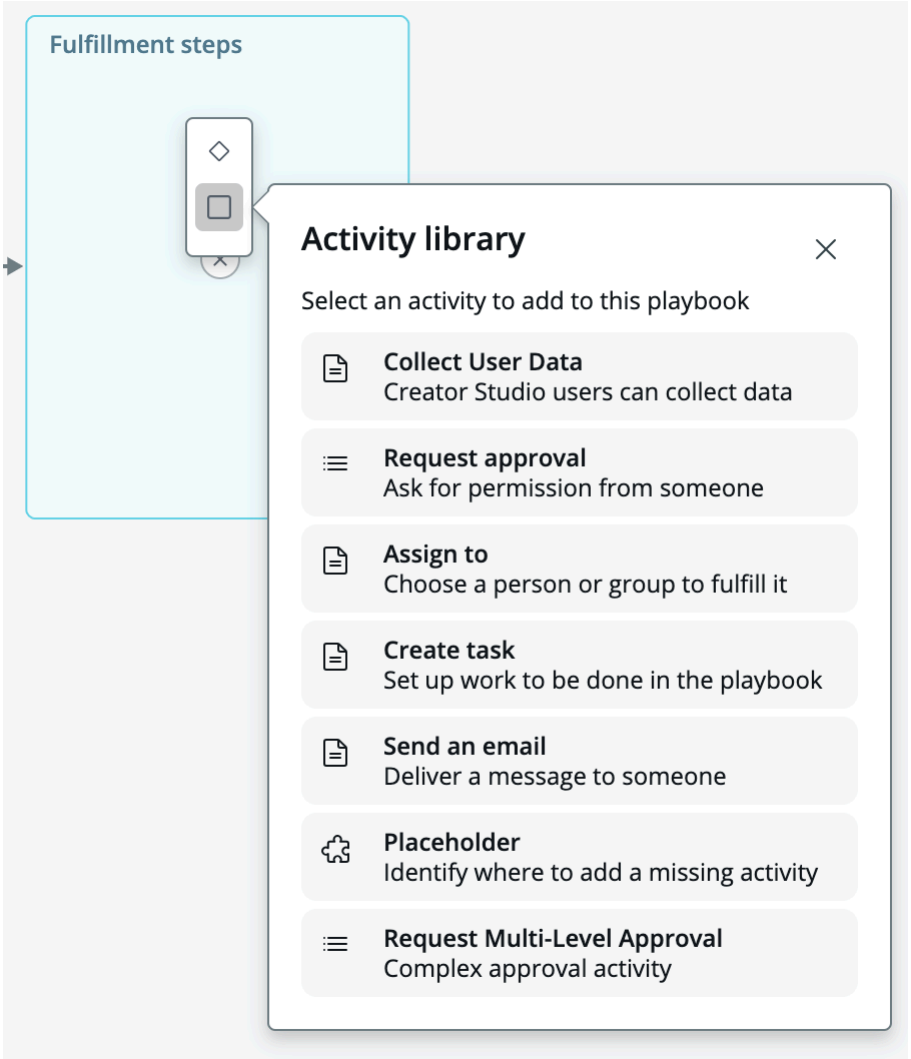
タスクの結果

新しいアクティビティが クリエータースタジオ のアクティビティピッカーに表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

新しいアクティビティがアクティビティピッカーに表示されます



プレイブックのアクティビティピッカーでのアクティビティの表示方法を並べ替える

クリエータースタジオのアクティビティピッカーに表示されるアクティビティの順序を変更して、希望する順序で表示します。

始める前に

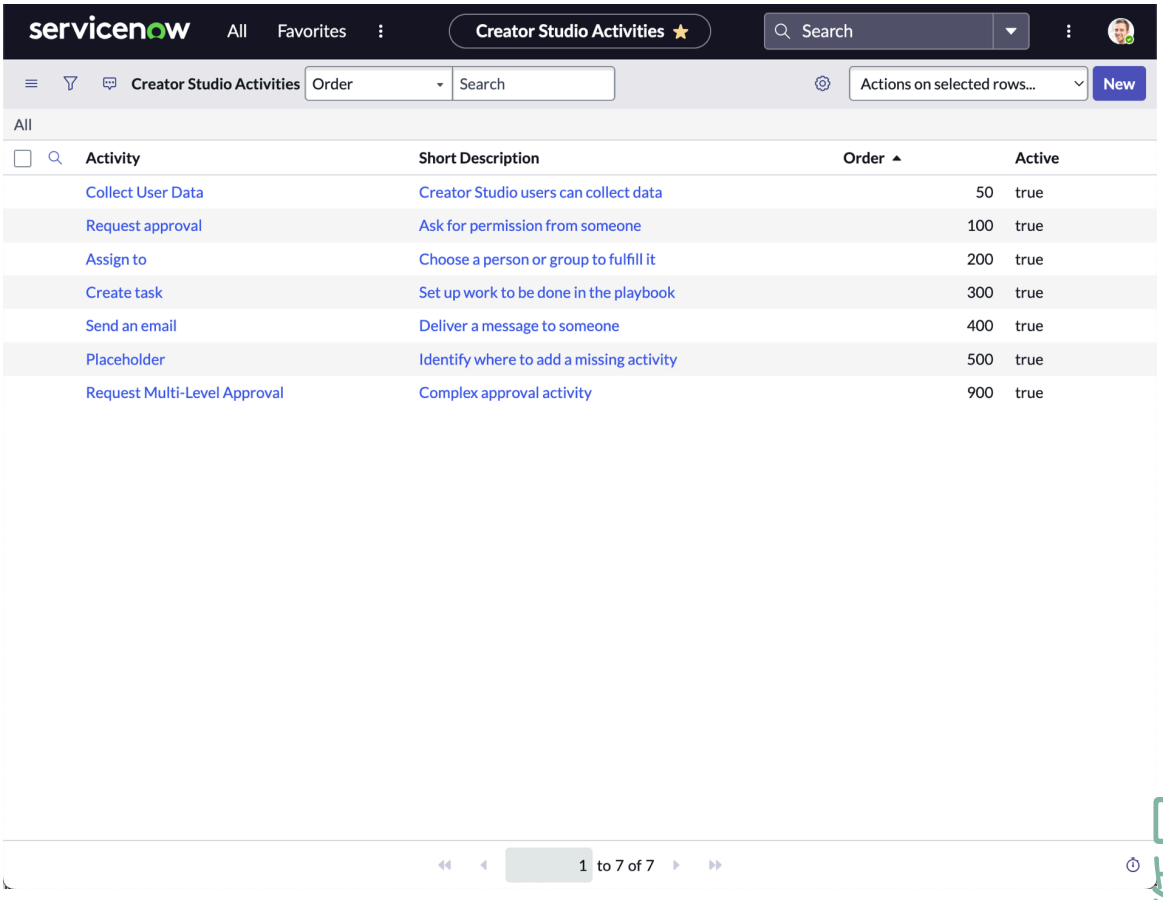
必要なロール：admin または app_engine_admin

手順

1. 移動先 すべて > *App Engine* > 要求アプリアドミニストレーション > クリエータースタジオ アクティビティ.
   カスタムアクティビティだけでなく、すべての標準 クリエータースタジオ アクティビティがリストに表示されます。
   [クリエータースタジオ アクティビティ] テーブルが表示されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クリエータースタジオ アクティビティテーブル



自動翻訳

2. 順序を変更するアクティビティの [順序] 列を選択します。
3. アクティビティピッカーリストのどこにアクティビティを表示するかを表す番号を入力します。

   たとえば、順序番号が 400 のアクティビティは、順序番号が 500 のアクティビティの前に表示されます。

4. 保存アイコン ( ) を選択して更新を完了します。
5. 必要なすべてのアクティビティ の順番 を変更します。

次のタスク

または、各 クリエータースタジオ アクティビティレコードを開き、一度に 1 つのレコードで 注文を更新することもできます。

プレイブックでアクティビティを使用不可にする

アクティビティを非アクティブ化して、ユーザーが クリエータースタジオ でプレイブックに追加できないようにします。

始める前に

たとえば、ワークフローに関連しない場合は、メールの送信などの基本システムアクティビティを非表示にすることができます。

注:
アクティビティを非表示にしても、そのアクティビティを使用するプロセスについては何も変わりません。アクティビティを非表示にすると、 クリエータースタジオで利用できなくなるだけです。

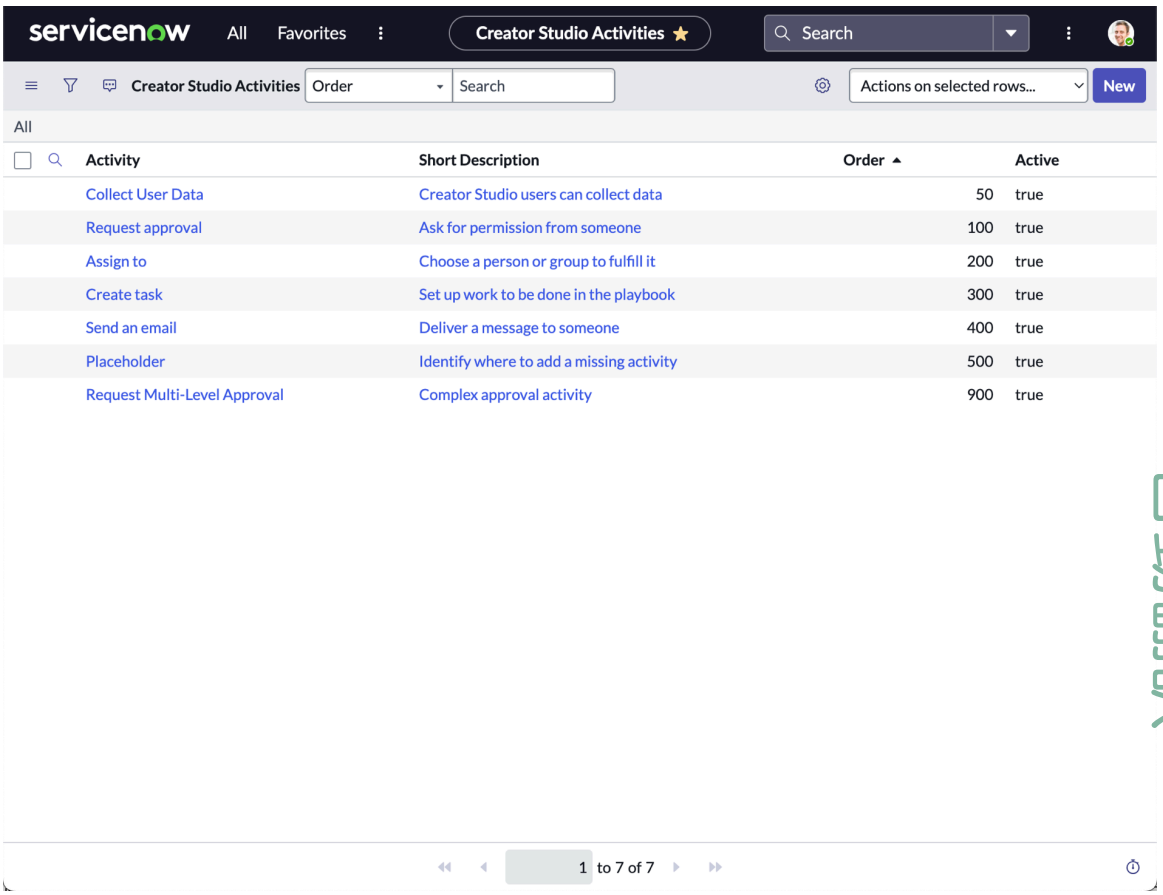
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

必要なロール：admin または app_engine_admin

手順

1. 移動先 すべて > *App Engine* > 要求アプリアドミニストレーション > クリエータースタジオ アクティビティ.
   カスタムアクティビティだけでなく、すべての標準 クリエータースタジオ アクティビティがリストに表示されます。
   [クリエータースタジオ アクティビティ] テーブルが表示されます。

クリエータースタジオ アクティビティテーブル

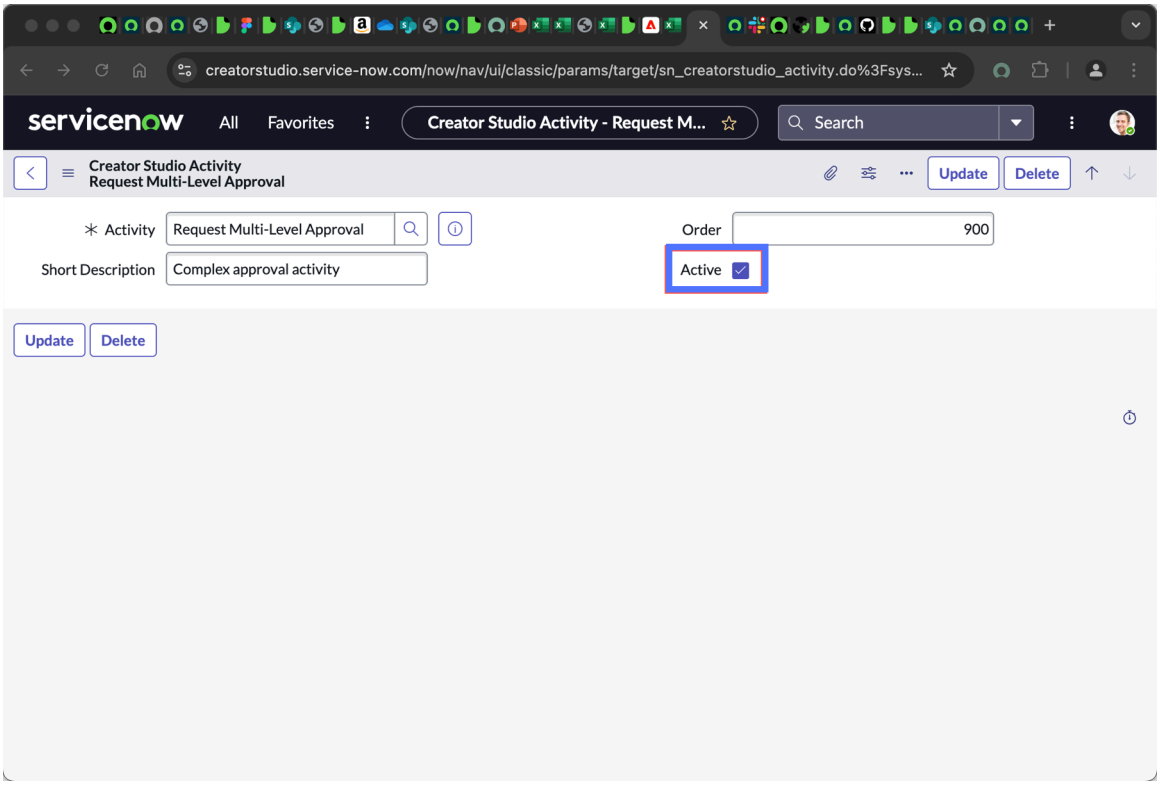


2. [簡単な説明] フィールドを選択して、非表示にするアクティビティのクリエータースタジオアクティビティレコードを開きます。
3. [アクティブ] チェックボックスをオフにして、アクティビティを非表示にします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クリエータースタジオ アクティビティレコード



4. [更新] をクリックしてレコードを保存します。

の [アプリタイプ] ページの無効化 クリエータースタジオ

システムプロパティを追加してアプリの作成を選択したときに表示される [アプリタイプ] ページを非表示にして、アプリの作成プロセスを簡素化します。

始める前に

スコープをグローバルに変更する必要があります。詳細については、「グローバルスコープ」を参照してください。

必要なロール：admin

手順

1. [すべて] メニューを開きます。

2. 「sys_properties.list」と入力し、Enter キーを押します。

3. **[New** (新規)] ボタンをクリックします。

4. フォームで、フィールドに入力します。

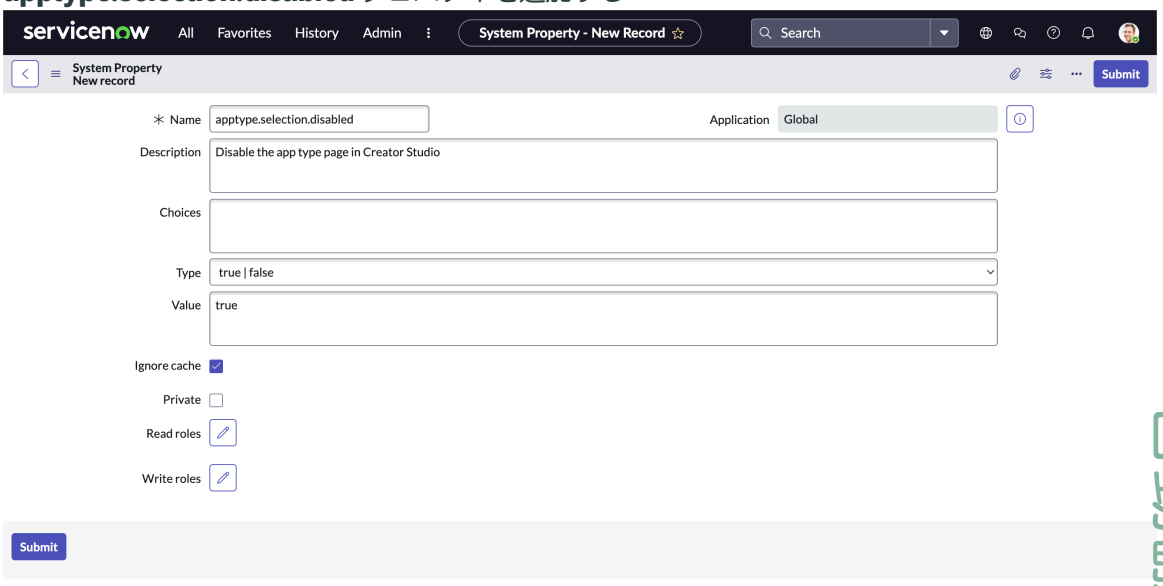
プロパティの値

フィールド	説明
名前	「apptype.selection.disabled」と入力します。
説明	クリエータースタジオ でアプリタイプページを無効にします。
選択肢	空白のままにします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
タイプ	[**True	False**] を選択します。
値	「true」と入力します。
キャッシュを無視	そのままにしておきます。
プライベート	そのままにしておきます。
読み込みロール	そのままにしておきます。
書き込みロール	そのままにしておきます。

apptype.selection.disabled プロパティを追加する



5. **[Submit** (送信)] を選択します。

タスクの結果
インスタンスのユーザーは、アプリの作成を開始すると、そのアプリタイプ選択ページが表示されなくなります。

[アプリの種類] ページを復元するには、 *`apptype.selection.disabled`* プロパティを `false` に設定するか、単に削除します。

クリエースタジオ の展開の管理とアプリの使用状況の監視

ユーザーは、アプリを作成したら、アドミンがレビューおよび展開するためにそのアプリを送信します。どのように展開するかは、インスタンスに App Engine 管理センター (AEMC) がインストールされているかどうかによって異なります。

AEMC を使用したアプリの展開の管理

アプリはクリエータースタジオから直接展開されません。代わりに、App Engine 管理センター (AEMC) を使用します。

詳しくは、App Engine 管理センター でのアプリの展開に関する詳細をご覧ください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

AEMC を使用しないアプリの展開の管理

AEMC がインストールされていない場合は、パイプラインと展開 と展開タスクテーブルを使用して アプリケーションリポジトリ に公開できます。詳細については、「パイプラインと展開 ワークフローバージョン 24.1.2」を参照してください。

パイプラインと展開 の [スケジュール済み展開 **(Scheduled Deployments)**] タブで展開の詳細を表示および編集できます。詳細については、「パイプラインと展開 を使用した展開の管理」を参照してください。

展開されたアプリの使用状況の監視

アプリを本番環境に展開した後、カタログアイテム/レコードプロデューサーまたはスコープ対象アプリの場合と同じ方法で、各要求フォームの使用状況、アダプション、および応答率を監視できます。

たとえば、AEMC を使用してアプリを監視できます。詳細については、「AEMC を使用したカスタムアプリの管理」を参照してください。

展開された クリエータースタジオ アプリのユーザーアクセスの管理

ユーザーが クリエータースタジオ でアプリをビルドし、本番環境に展開した後、アドミンはそれらのアプリへのアクセス権をユーザーに付与する責任があります。

本番環境でユーザーアクセスをアサインする

アプリケーションは本番インスタンスに展開する必要があり、ここでユーザーアクセスをアサインします。

エージェントロールを持つユーザーは履行者で、クリエータースタジオ に組み込まれたアプリに自動的にアクセスできます。

ユーザーにアプリのスコープのエージェントロールをアサインします。たとえば、スコープが `x_snc_jd_it_fulf_0` のアプリの場合、`x_snc_jd_it_fulf_0.agent` など。ユーザーにロールをアサインする方法の詳細については、「Managing roles」を参照してください。

フォームへのユーザーアクセスの制限

デフォルトでは、本番インスタンスのすべてのユーザーが クリエータースタジオ でビルドされたフォームにアクセスできますが、クリエータースタジオ の開発者は、アクセスを制限する場合、既存のアクセス基準から選択できます。[利用可能] および [利用不可] フォームの設定は、ユーザー基準レコードのリストです。詳細については、「Set security for items and categories」を参照してください。

開発者はアドミンと協力して、アプリのフォームに新しいアクセス基準を定義し、クリエータースタジオ 内からの適切なアクセスを定義できます。詳細については、「クリエータースタジオでフォームの設定を編集する」を参照してください。

クリエータースタジオ でビルドされたアプリのペルソナ

要求者
: 機器や何かの実施許可など、何かを要求する人。

履行者
: 要求に対応する人。履行者は、アプリの承認の自動化に応じて、要求を承認または拒否することもできます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ユーザーがアプリを作成したときに クリエータースタジオ が生成するアーティファクト

ユーザーが クリエータースタジオ でアプリを作成すると、 ServiceNow AI Platform はテーブルなどいくつかのメタデータアーティファクトを作成します。

ユーザーが クリエータースタジオ にアプリを追加すると、次のアーティファクトが ServiceNow AI Platform に追加されます。

作成した各アプリとともにインストールされるもの

アーティファクト	詳細
ベース要求タスクテーブルから拡張された新しいテーブル	• 名前：[スコープ]_request (例：x_snc_marketing_request) • ラベル：[アプリ名] + 要求 (例：マーケティング要求) **注:** すべてのフォームの質問は、アプリの要求タスクテーブルにカタログ変数として保存されます。ただし、アドミンはアプリの基礎となるテーブルを変更できます。詳細については、 アプリの基になるテーブルの管理 を参照してください。
履行者ロール	• 名前：[スコープ].agent • アプリによって作成されたテーブルへのアクセスを提供
アクセス制御リスト (ACL)	履行者ロールと要求者ロールに新しいテーブルへの CRUD アクセス権を付与します。
新しいアプリのワークスペースのカテゴリ	名前：[アプリ名] + 要求
新しいワークスペースカテゴリのデフォルトリスト	• オープン (active=true) • オープン - 未アサイン (active=true^assigned_toISEMPTY) • クローズ済み (active=false) • すべて (条件なし)
新しいワークスペースカテゴリのダッシュボード	ダッシュボード名：[アプリ名] + 要求 コンテンツ：

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

作成した各アプリとともにインストールされるもの (続く)

アーティファクト	詳細

	• 単一スコアの行：
	  ○ オープンの要求 (active=true)
	  ○ 未アサインの要求 (active=true かつアサイン先が空)
	  ○ 過去 30 日間にクローズ済み (30 日以上前にクローズ済み)
	• すべてのオープンの要求を表示する簡易リスト

クリエータースタジオ のチュートリアル

このチュートリアルを使用してギフトカード要求アプリを作成し、チームに評価を提供するプロセスを簡素化します。

チュートリアルの目的

このチュートリアルでは、アプリを作成して展開するために次のロールを想定します。

- マーケティングマネージャーは、チームに評価を提供するプロセスを合理化したいと考えているため、ギフトカード要求アプリを作成します。
- アプリケーション開発アドミニストレーターは、新しいアプリを承認して本番環境に展開します。
- aマーケティングマネージャーは、ライブアプリを使用して認識要求を送信します。

チュートリアルのシナリオ

あなたは、急速に拡大しているチームを持つマネージャーです。現在まで、チームは四半期ごとに目標を上回っています。あなたは彼らに報酬を与え、その認識の一部としてギフトカードを提供したいと考えています。しかし、金銭的報奨金の承認を確保することは、数時間に及ぶ複雑なプロセスであり、多くのシステムや上層部との繰り返しのやり取りを伴う可能性があります。

この問題に対処するには、IT アドミンに問い合わせて、ギフトカードを要求するアプリを作成できることを確認します。アドミンは、既存のビジネスプロセスに関する知識を活用した新しいエンドツーエンドアプリの作成を喜んでお手伝いします。これを有効にするには、アドミンが非本番インスタンスの クリエータースタジオ ユーザーグループにユーザーを追加します。

> **注:**
> このチュートリアルを完了するには、2 人の異なるユーザーとして クリエータースタジオ にログインするか、2 人のユーザー (1 人は クリエータースタジオ ユーザーグループ、もう 1 人は管理者) の代理操作を行う必要があります。

簡単なアプリの作成に取り掛かる時が来ました。

チュートリアルパート **1:**アプリを作成する

まず、 クリエータースタジオ ホームページからアプリを作成します。

始める前に

必要なロール: クリエータースタジオ ユーザー

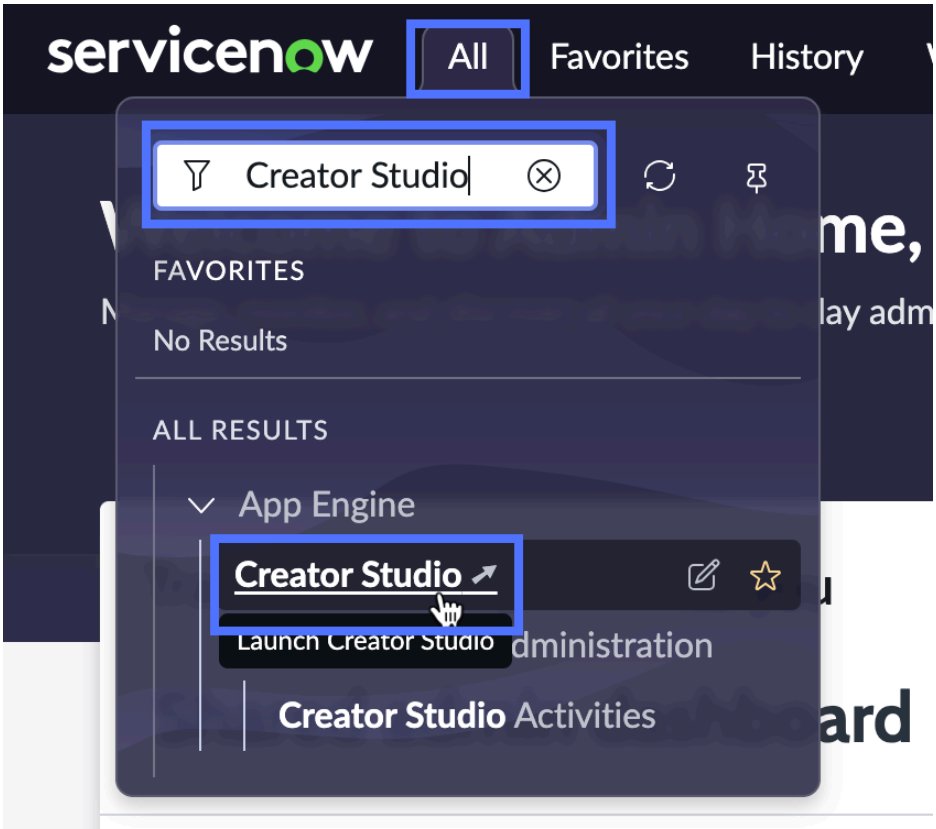
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 検索項目 すべて > **App Engine** > クリエータースタジオ.

クリエータースタジオ の起動

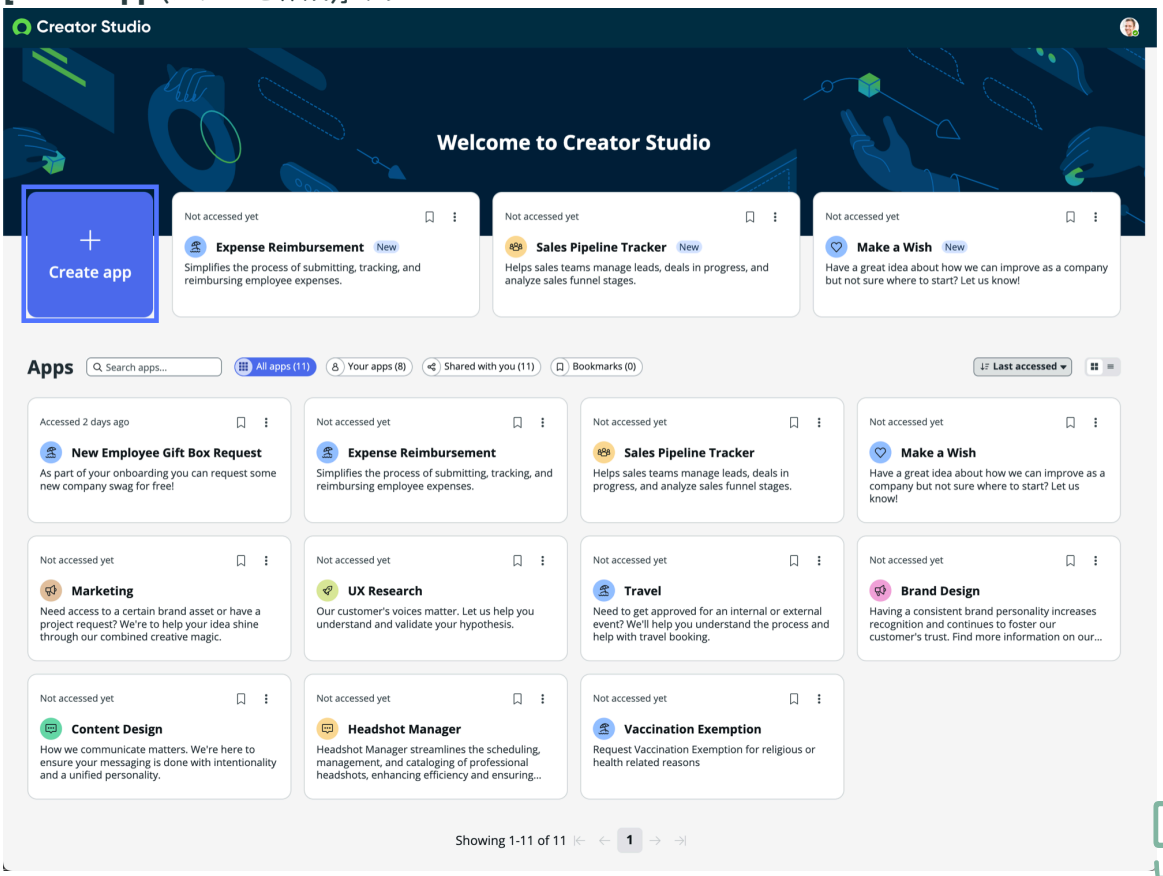


2. [アプリを作成] ボタンを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[Create app (アプリを作成)] ボタン



- システムアドミニストレーターの場合は、「アプリケーションコラボレーション」でこのトピックの詳細を読むことができます。
- アドミンにアプリの作成を要求する方法を知りたい場合は、「クリエータースタジオ でアドミンにアプリの作成を依頼する」を確認してください。

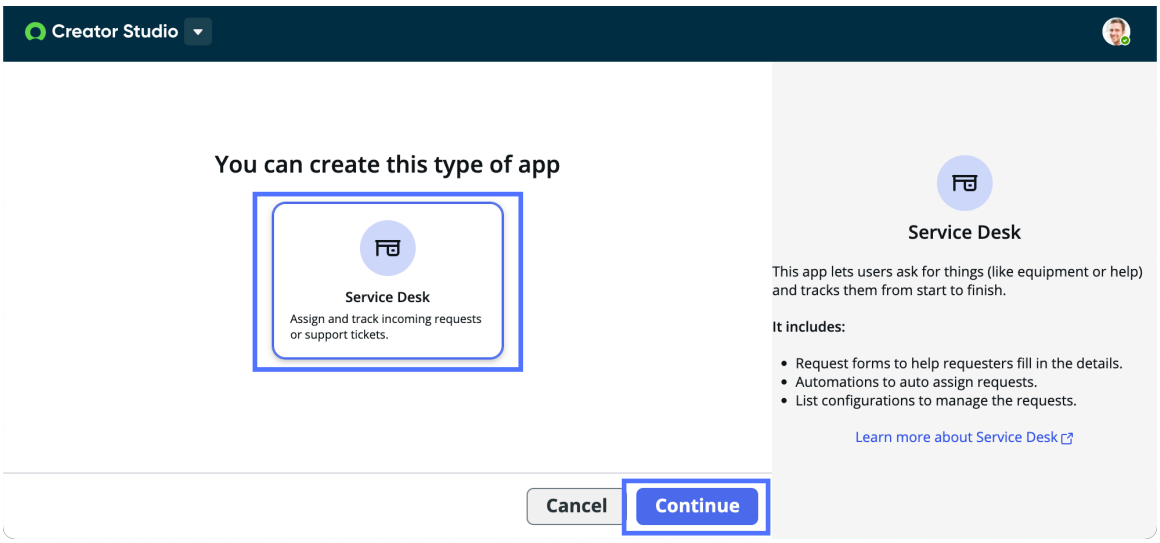
3. サービスデスクなど、ビルドするアプリのタイプを選択します。
   サービスデスクアプリを使用すると、ユーザーは要求を送信したり、問題を報告したり、社内のサービスに関連するサポートにアクセスしたりできます。

   注:
   アドミンがこのページを非表示にしている可能性があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アプリタイプを選択



4. [**Continue**] ボタンをクリックします。
5. [アプリを作成] ページで次の値を入力します。

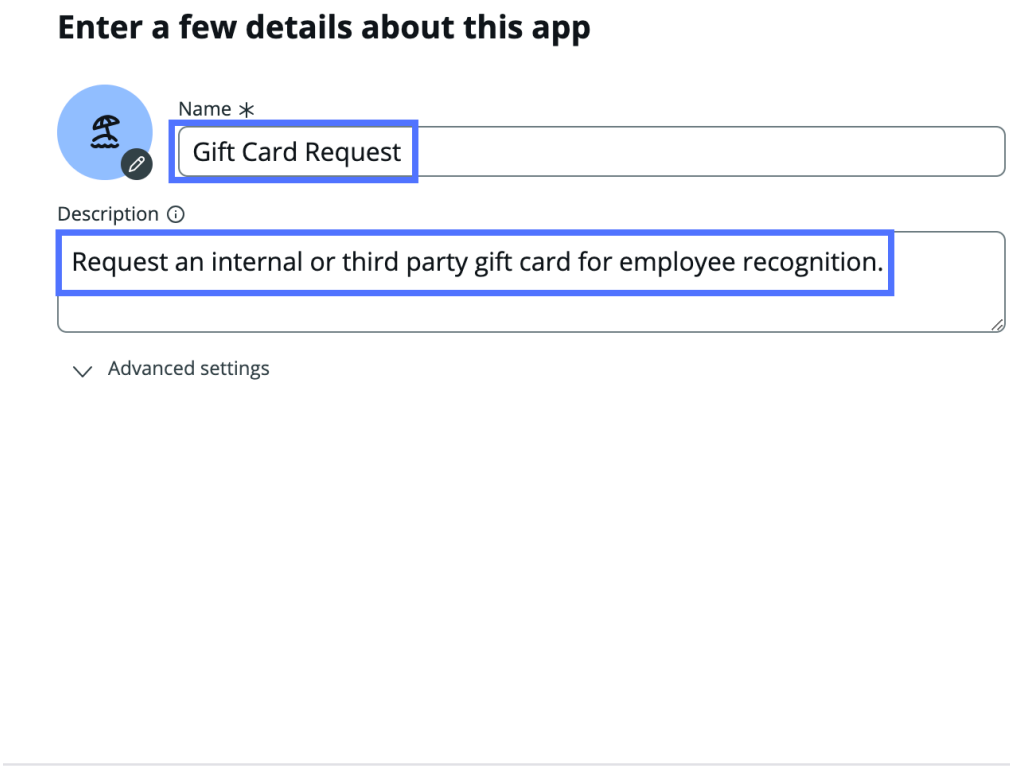
[アプリを作成] モーダルのフィールド

フィールド	値
名前	ギフトカードの要求
説明	従業員表彰用の内部またはサードパーティのギフトカードを要求します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ギフトカード要求アプリの基本情報を追加



自動翻訳

6. [アプリを作成] ボタンを選択します。

次のタスク
次に、アプリにフォームを追加しましょう。

チュートリアルパート **2:**フォームを追加する

フォームを追加すると、ユーザーは要求を行うことができます。 フォームには、ユーザーがサービスデスク要求を送信するときに回答する質問が含まれています。

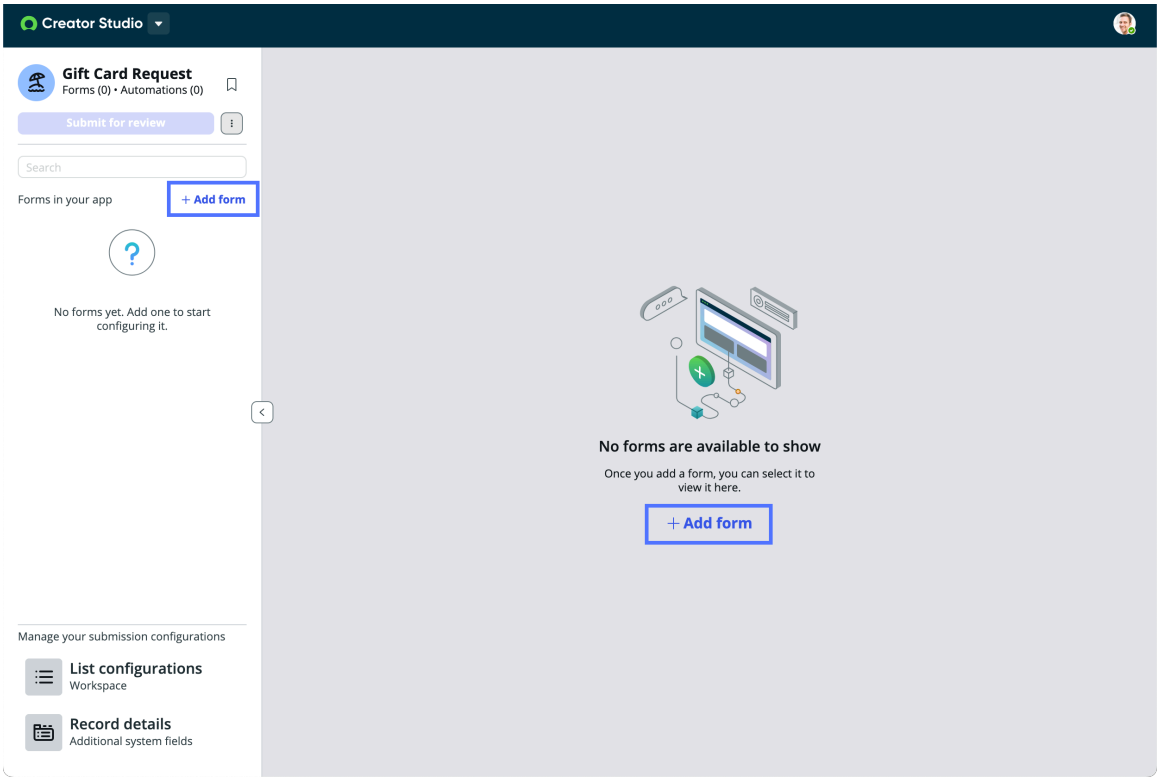
始める前に
必要なロール: クリエータースタジオ ユーザー

手順

1. アプリ内で **[+** フォームの追加] を選択します。
ナビゲーションパネルまたはアプリキャンバスのいずれかで **[+** フォームを追加] を選択できます。

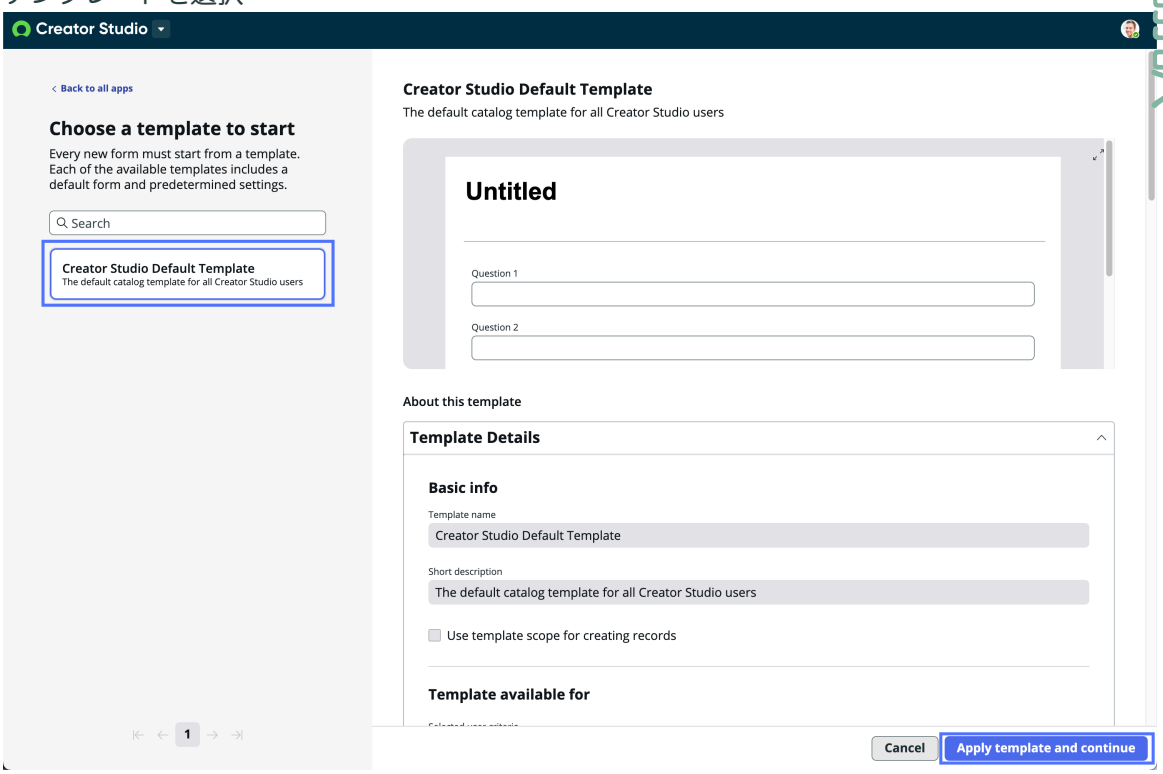
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フォームの追加を開始



2. テンプレートページで、 クリエータースタジオのデフォルトテンプレート が選択されていることを確認します。

テンプレートを選択



3. [テンプレートを適用して続行] ボタンを選択します。
次に、質問を追加してフォームをカスタマイズしましょう。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

チュートリアルパート **3:**フォームをカスタマイズする

質問を手動で入力して、ギフトカード要求アプリのフォームをカスタマイズします。完了したら、フォームを公開準備完了としてマークできます。

始める前に

必要なロール: クリエータースタジオ ユーザー

このタスクについて

[Now Assist を使用したビルド **(Build with Now Assist)]** タブのクリエーターの Now Assistを使用して、フォームをカスタマイズすることもできます。ただし、このチュートリアルでは、質問を手動で入力します。

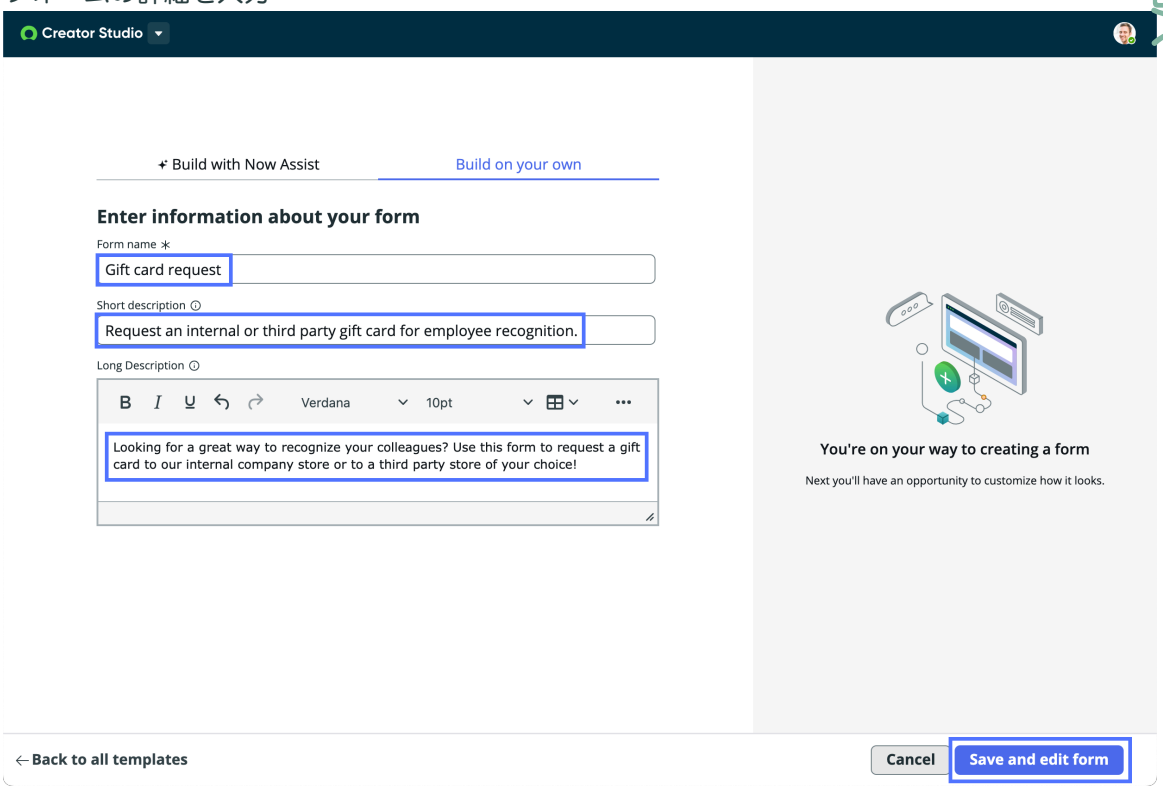
手順

1. [独自に構築] タブを選択します。
2. フォームに次の情報を入力します。

フォーム詳細値

フィールド	値
フォーム名	Gift card request (ギフトカード要求)
簡単な説明	従業員表彰用の内部またはサードパーティのギフトカードを要求します。
詳しい説明	同僚を表彰する素晴らしい方法をお探しですか? このフォームを使用して、社内ストアまたは選択したサードパーティストアへのギフトカードをリクエストしてください。

フォームの詳細を入力



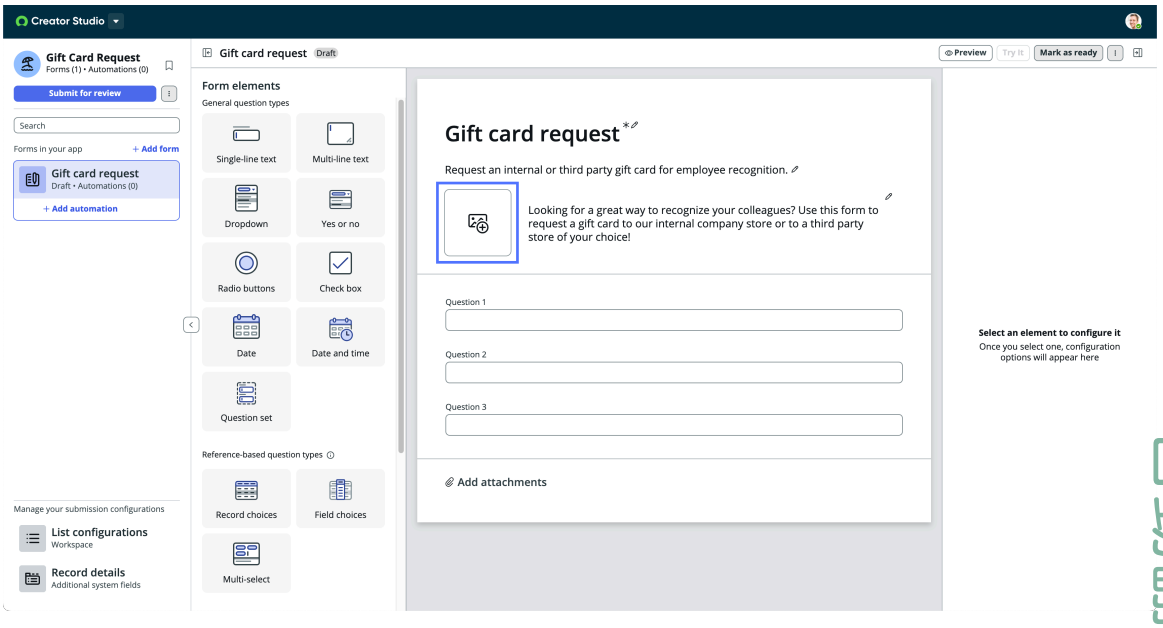
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

注:
このページでは、最初のフォームの詳細を指定できます。フォームが生成された後、アプリ内から名前や説明などのフォームの詳細を編集することもできます。

3. [フォームを保存して編集] ボタンを選択します。
次に、フォームの内容を操作します。
4. アイコンを選択して適切な画像をアップロードすることで、フォームを装飾するためのアイコンを追加します。
好きな画像を使用できます。

画像を追加



a. 画像を追加アイコン ( ) を選択します。

b. フォームに追加する画像を検索して選択します。

5. ユーザーがギフトカードを注文できるようにする最初の質問を作成します。

a. [質問 **1]** を選択します。

b. 表示される [質問の詳細] パネルに次の値を入力します。

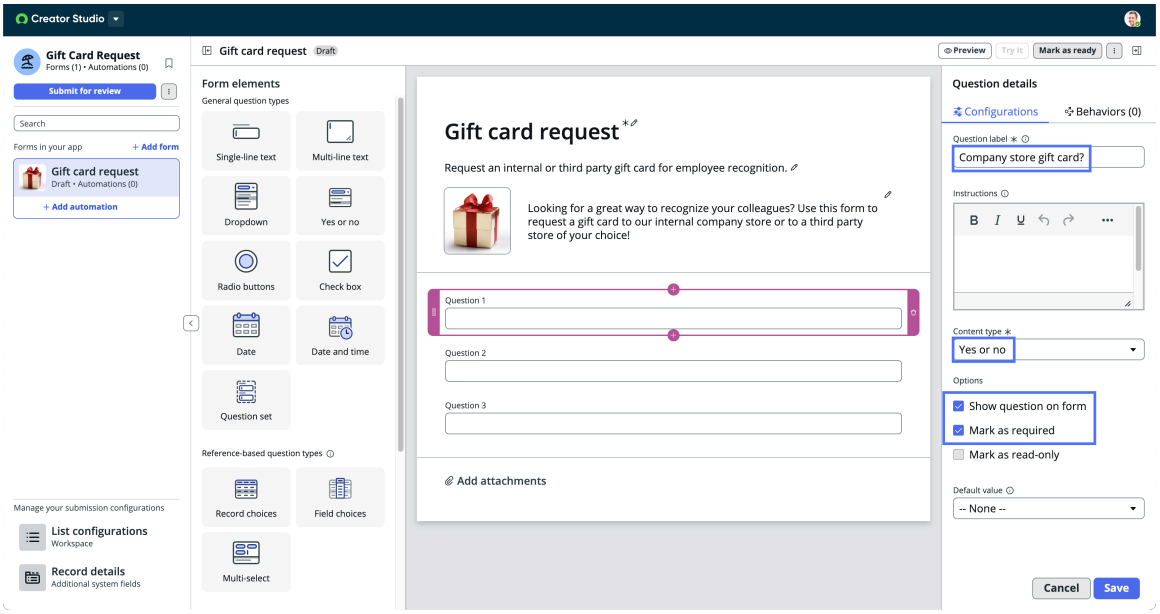
質問 **1** の値

フィールド	値
質問ラベル	Company store gift card? (会社はギフトカードを保管しているか？)
コンテンツタイプ	イエスかノーか答えてください
フォームに質問を表示	オプションを選択します。
必須としてマーク	オプションを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

最初の質問を追加



c. [**Save**] ボタンをクリックします。

6. ギフトカードの金額を指定する 2 番目の質問を作成します。

a. [質問 **2**] を選択します。

b. 表示される [質問の詳細] パネルに次の値を入力します。

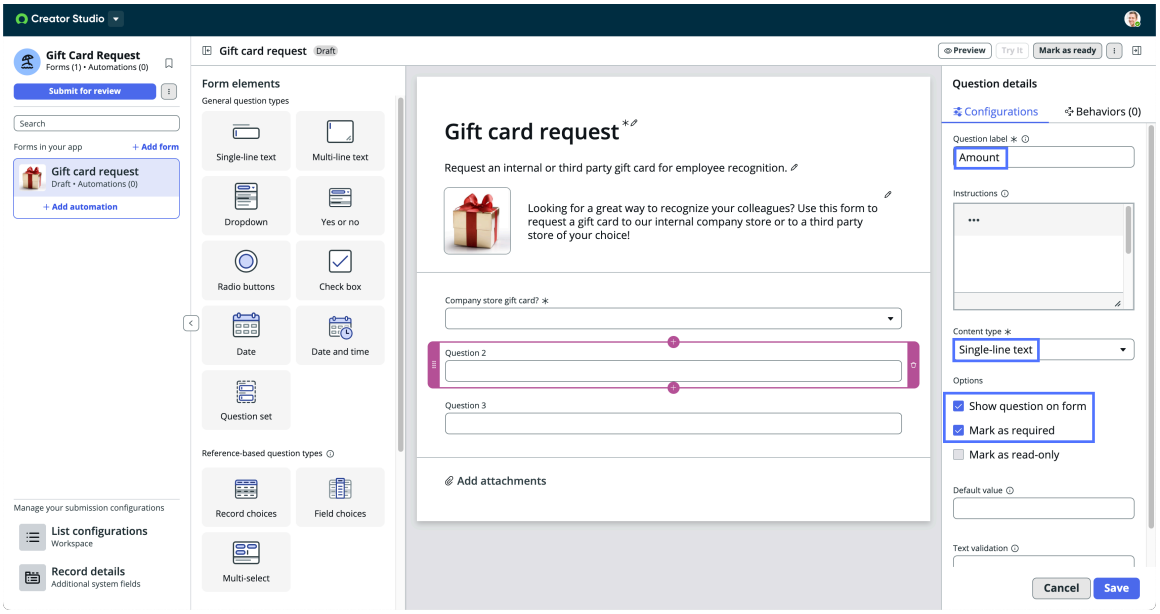
質問 **2** の値

フィールド	値
質問ラベル	総計
コンテンツタイプ	選択をそのままにする **1** 行テキスト
フォームに質問を表示	オプションを選択します。
必須としてマーク	オプションを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

2 番目の質問を追加



c. [**Save**] ボタンをクリックします。

7. ギフトカードの受信者を定義する 3 番目の質問を作成します。

a. [質問 **3**] を選択します。

b. 表示される [質問の詳細] パネルに次の値を入力します。

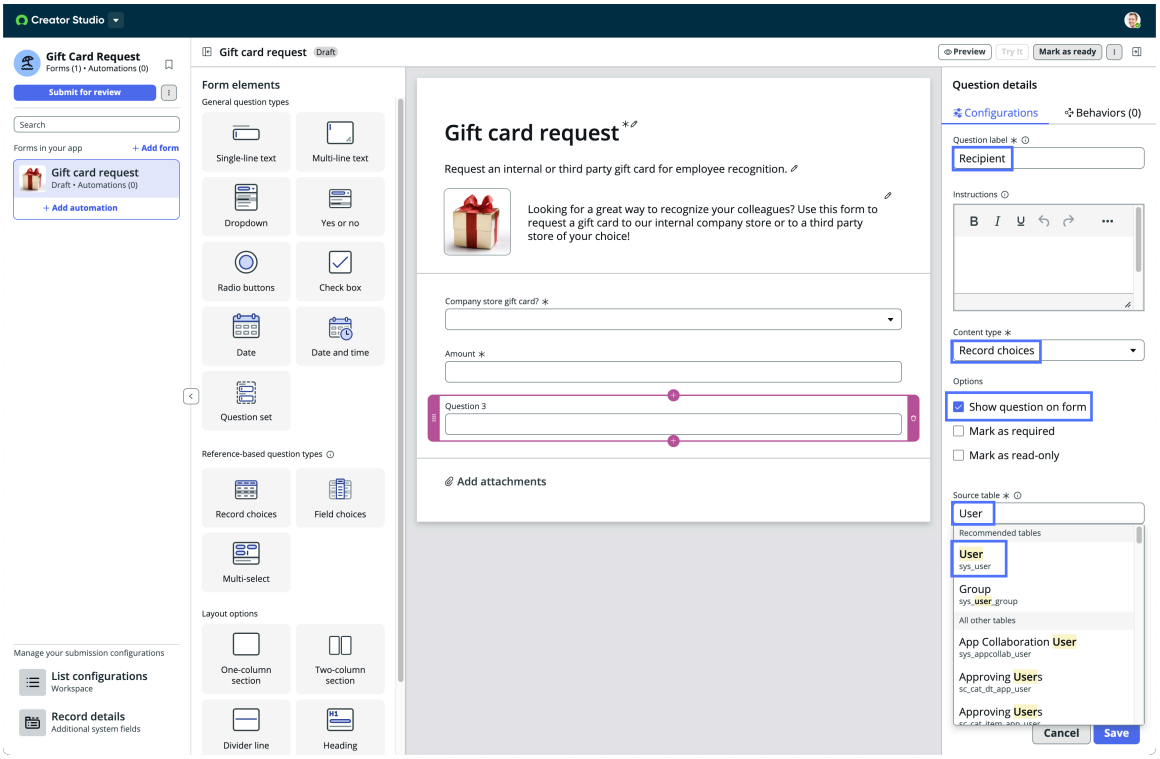
質問 **3** の値

フィールド	値
質問ラベル	受信者
コンテンツタイプ	**Record choices** (レコードの選択肢)
フォームに質問を表示	オプションを選択します。
ソーステーブル	User (sys_user)

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

3 番目の質問を追加



c. [**Save**] ボタンをクリックします。

8. ユーザーがギフトカードの理由を入力できるように、4 番目の質問を追加します。

a. [複数行テキスト] フォーム要素をドラッグして、フォームの 3 番目の質問の下に追加します。

b. 表示される [質問の詳細] パネルに次の値を入力します。

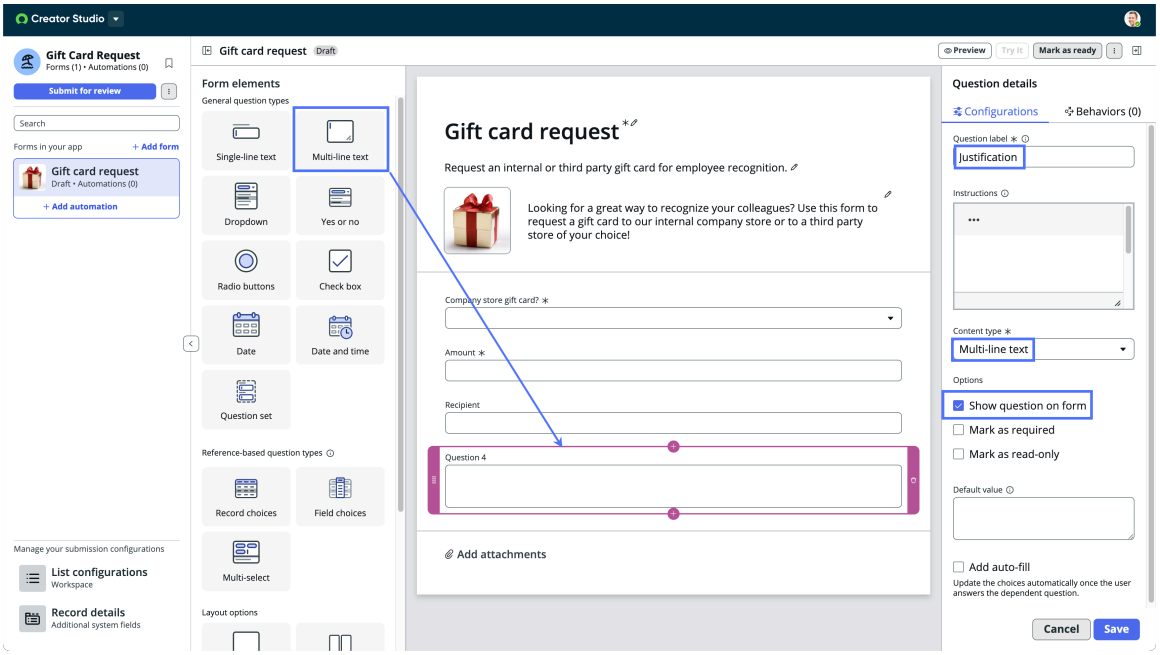
質問 **4** の値

フィールド	値
質問ラベル	正当な理由
コンテンツタイプ	残す 複数行テキスト
フォームに質問を表示	オプションを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

4 番目の質問を追加します



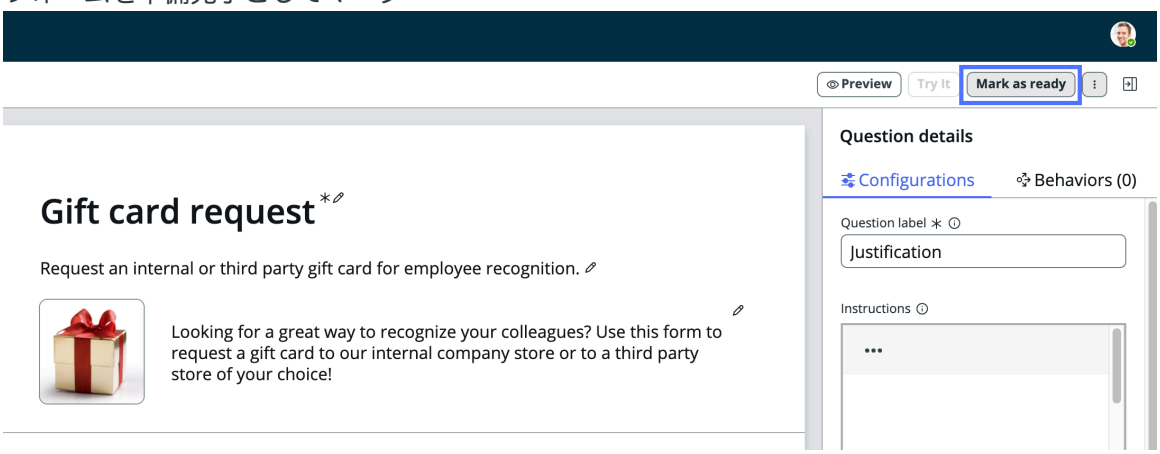
c. [**Save**] ボタンをクリックします。

9. [フォームを公開する 準備完了としてマーク] を選択します。

フォームの編集が完了したら、フォームを準備完了としてマークします。これにより、フォームは [公開済み] ステータスになります。このバージョンのフォームは、指定されたアイテムのカタログに表示されます。

注:
公開されたフォームは、アプリを開発している非本番インスタンスにのみ表示されます。フォームを本番インスタンスのカタログに表示するには、アドミンにアプリを本番環境に展開するように要求する必要があります。

フォームを準備完了としてマーク

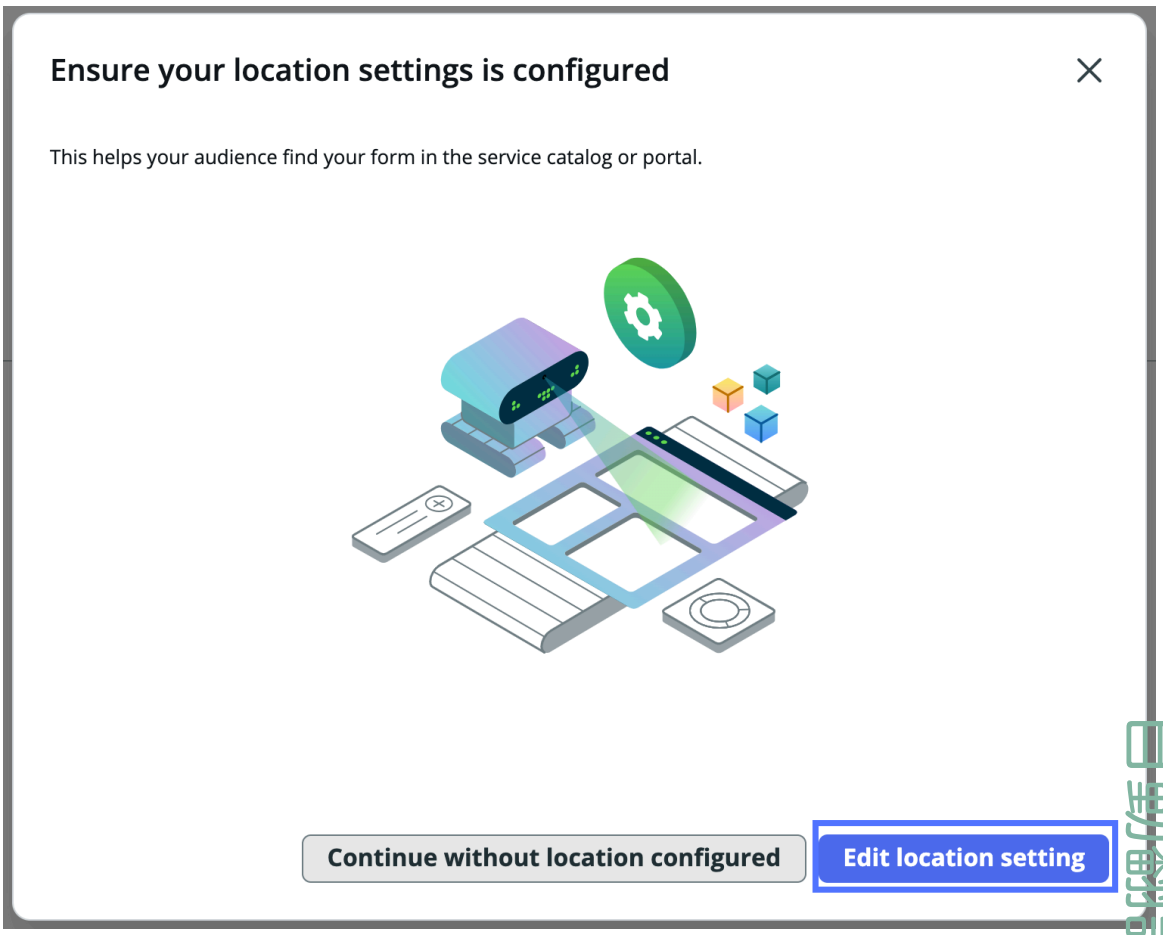


10. ユーザーが サービスカタログ および 従業員センターでフォームにアクセスできる場所を指定します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. [場所の設定を編集] ボタンを選択します。

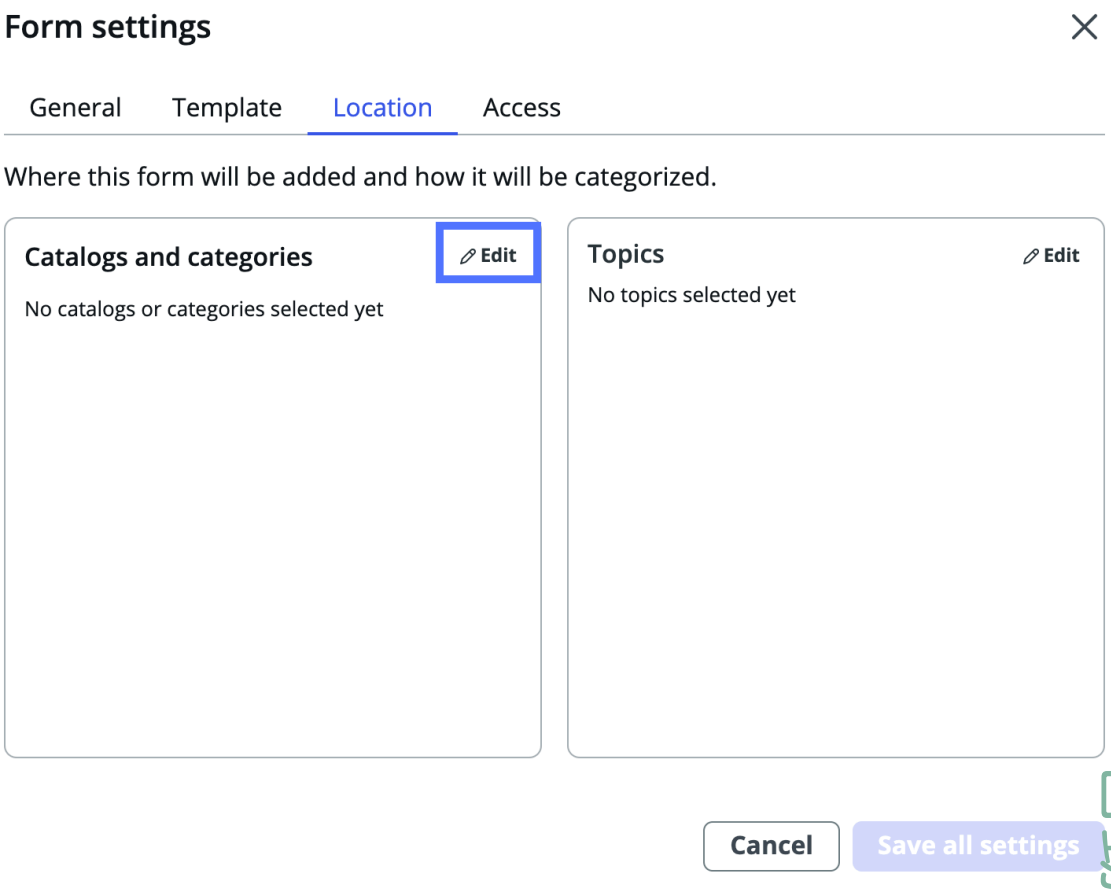
場所の設定の警告を編集



b. [編集] ボタンを選択して、フォームを サービスカタログ トピックに追加します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フォームの設定モーダル

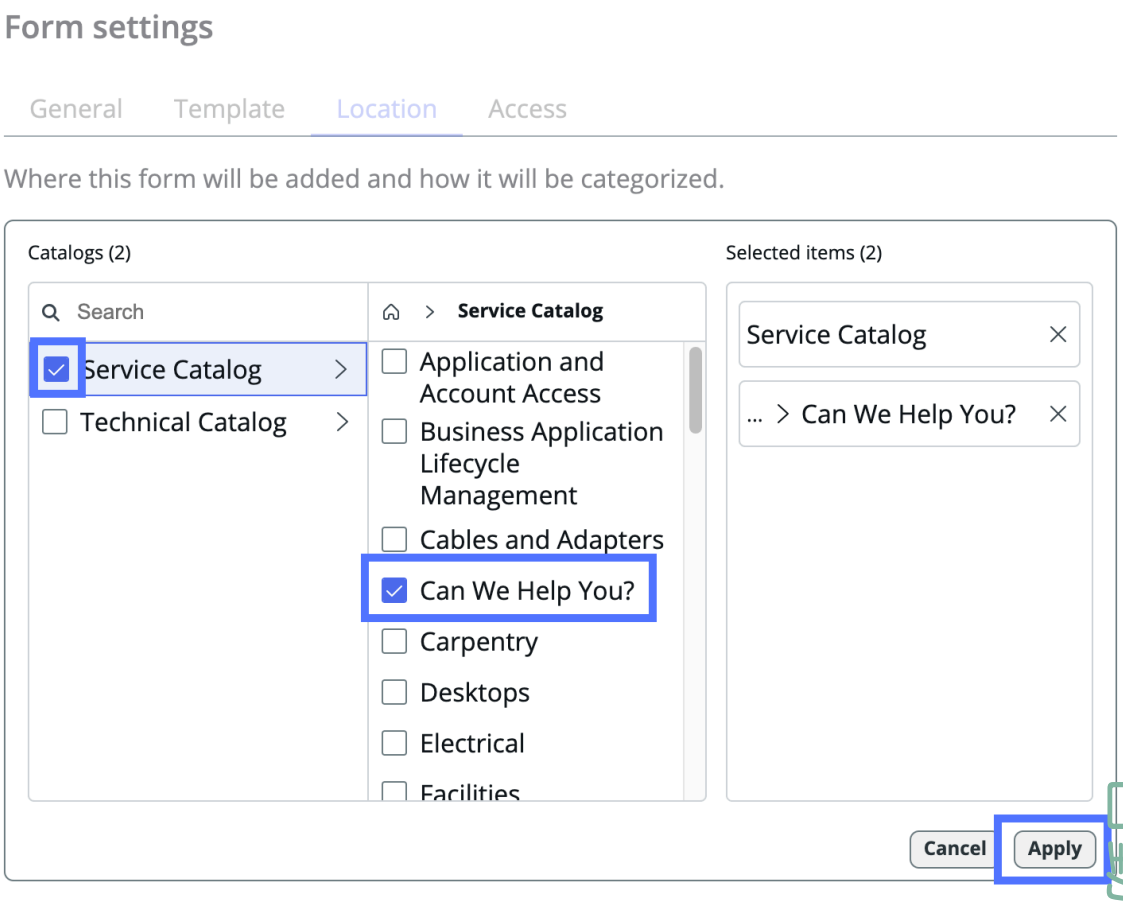


c. アプリが使用するビジネスエリアを表すカタログを選択します。
たとえば、 サービスカタログ を展開して、[何かお困りですか?] カテゴリを選択できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フォーム設定モーダル カタログ



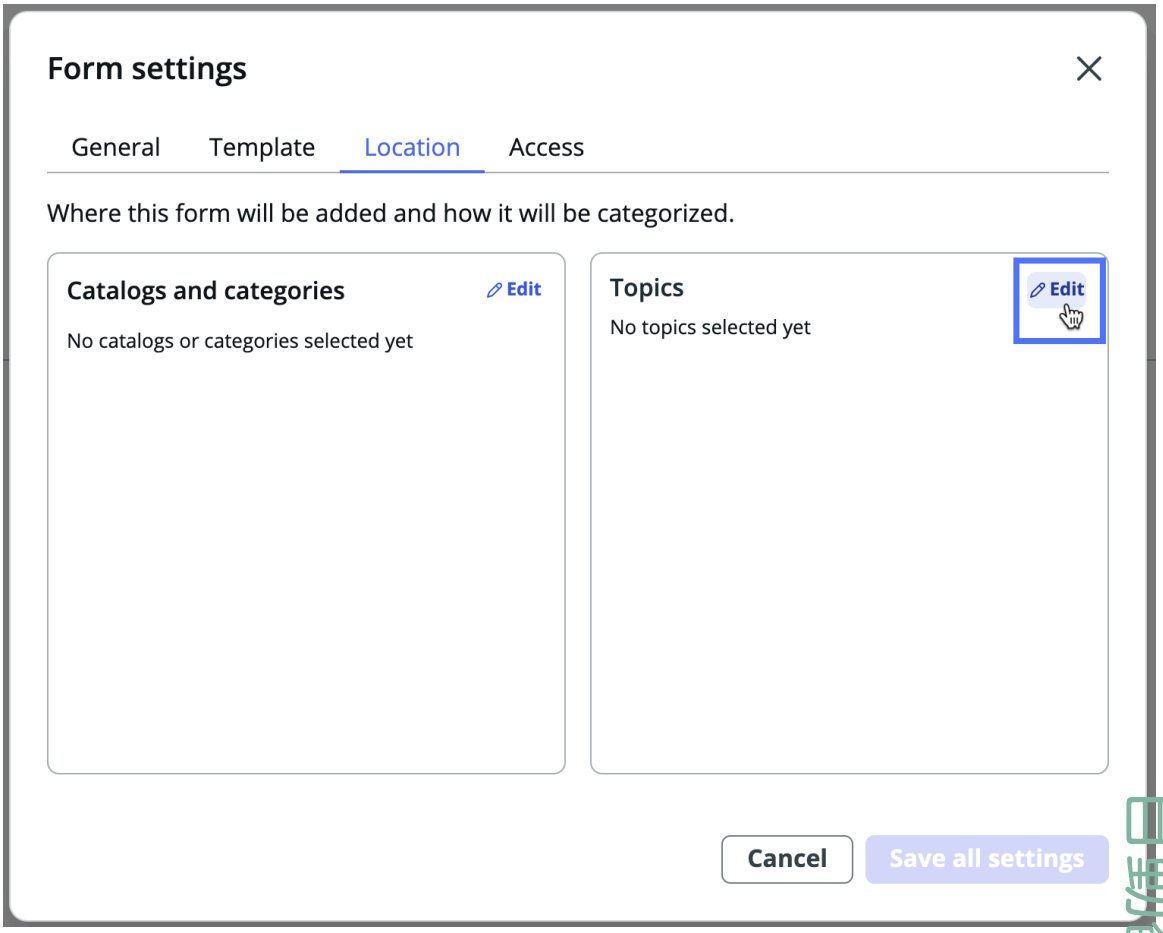
d. [適用] ボタンを選択して変更を保存します。

e. [編集] ボタンを選択して、フォームを 従業員センター トピックに追加します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

従業員センタートピックでトピックを選択

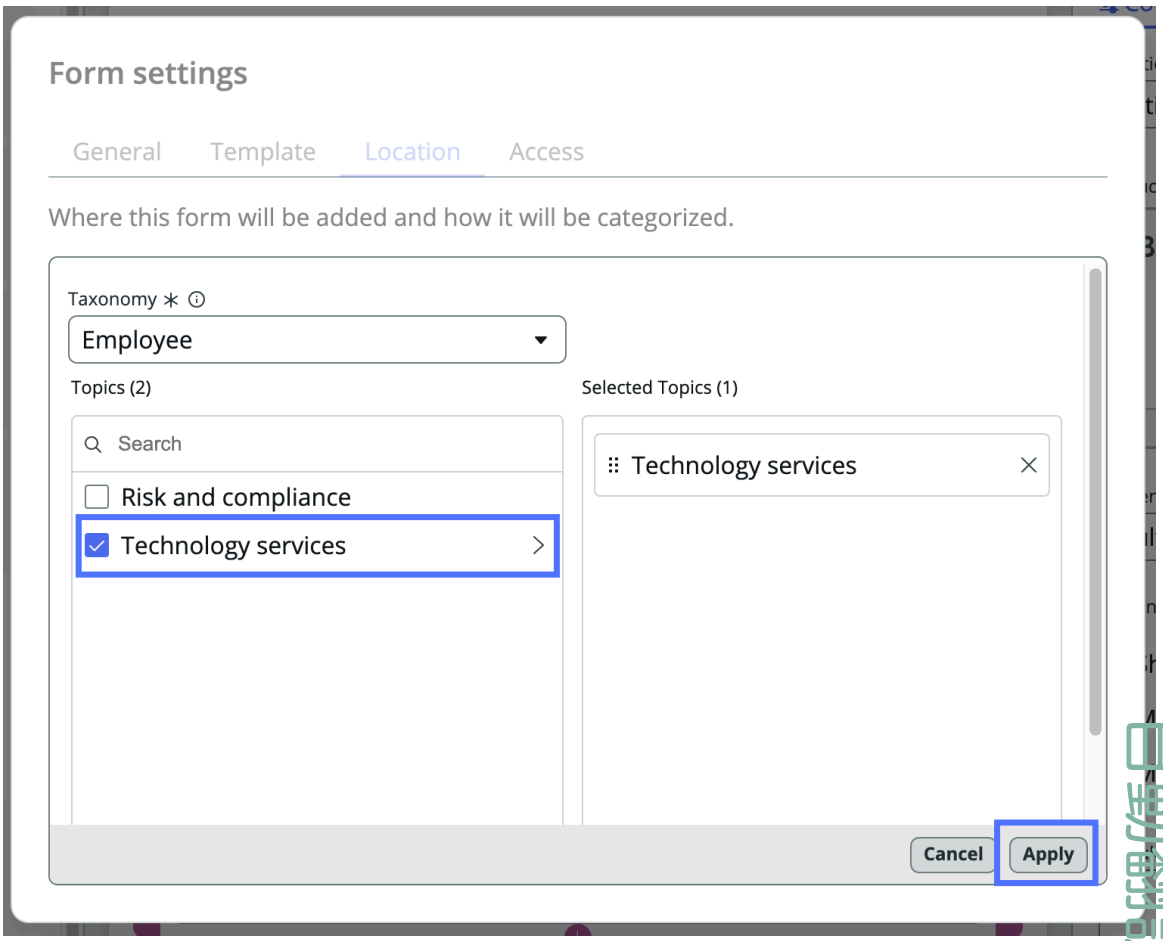


自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

f. フォームを配置する 従業員センター セクションを選択します。

従業員センタートピックを選択

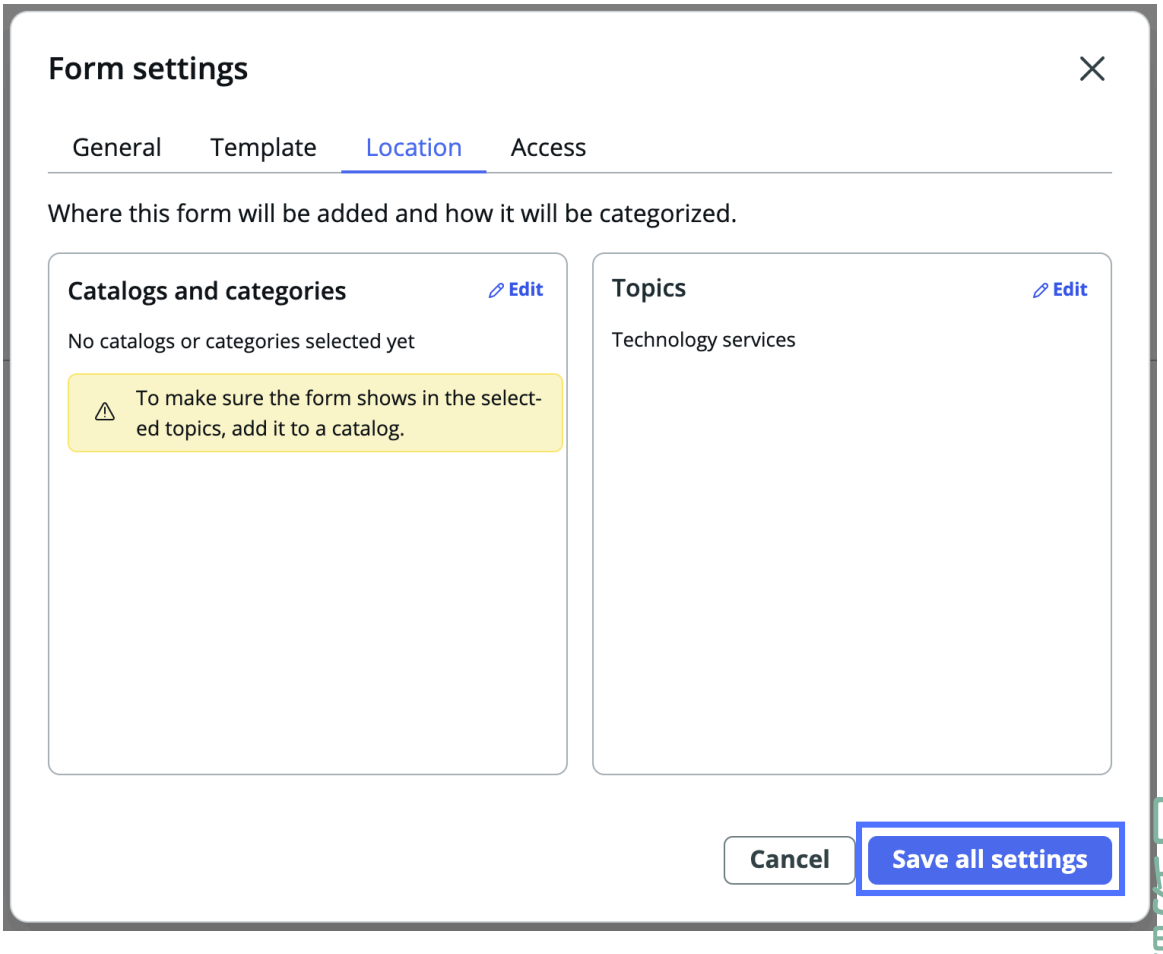


11. [適用] ボタンを選択します。

12. [すべての設定を保存] ボタンを選択して、変更を保存します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

すべての場所の設定を保存

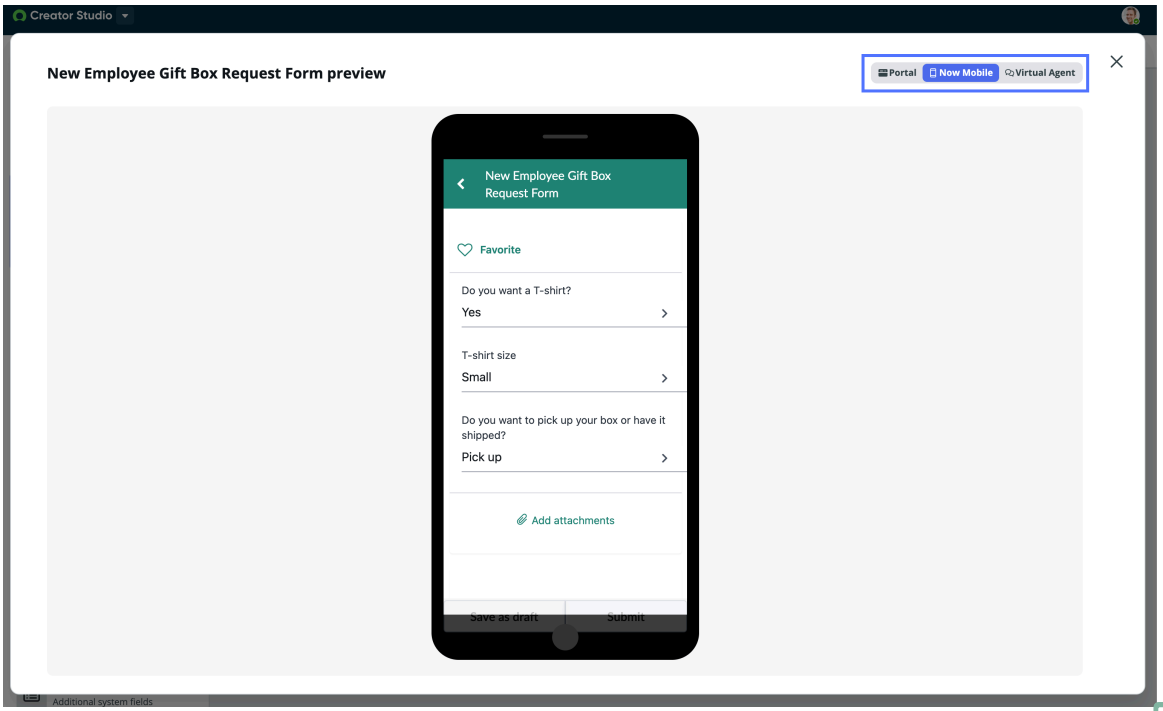


13. オプション: [プレビュー] ボタンを選択して、フォームがどのように表示されるかを確認します。
ポータル (従業員ポータル など)、**Now Mobile**、または仮想エージェントを選択すると、フォームの現在のバージョンがさまざまなエクスペリエンスでどのように表示されるかのプレビューを表示

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

できます。プレビュー時にフォームに入力することはできますが、[送信] ボタンを選択してもタスクレコードは生成されません。

フォームのプレビュー



チュートリアルパート**4:** 自動プレイブックを追加する

作成したフォームを使用するプレイブックを追加して、ギフトカード要求アプリの承認を自動化します。

始める前に

必要なロール: クリエータースタジオ ユーザー

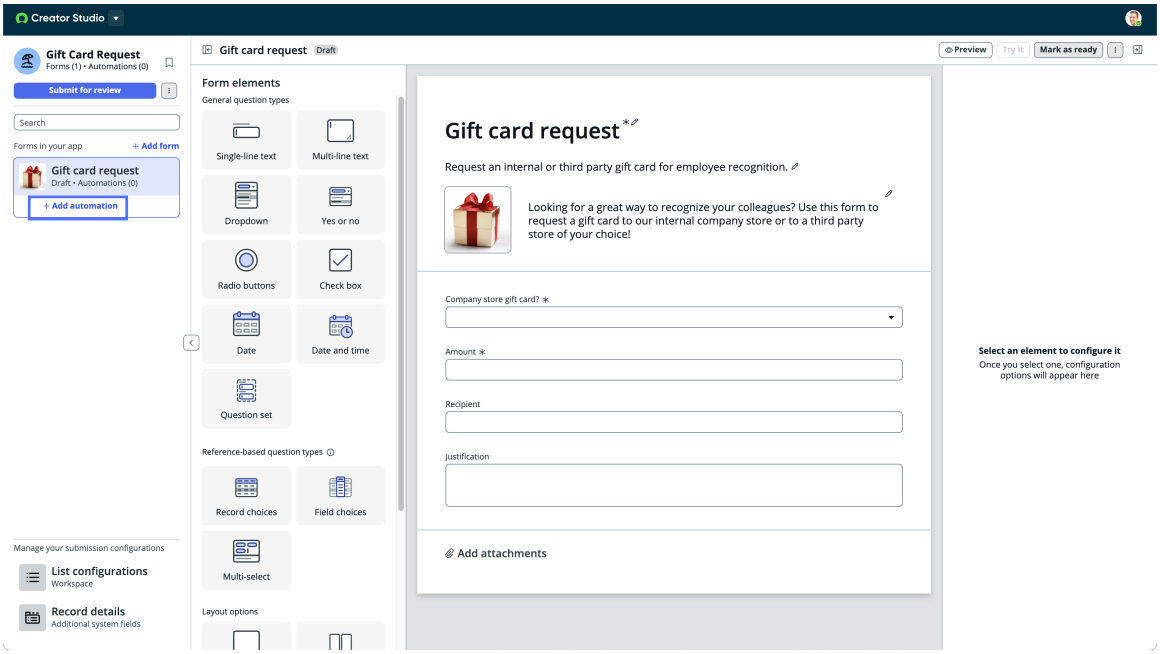
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. [ギフトカード要求] フォームの **[+** 自動化を追加] を選択します。

自動化を追加する場合に選択



2. [プレイブックを作成] モーダルに次の値を入力します。

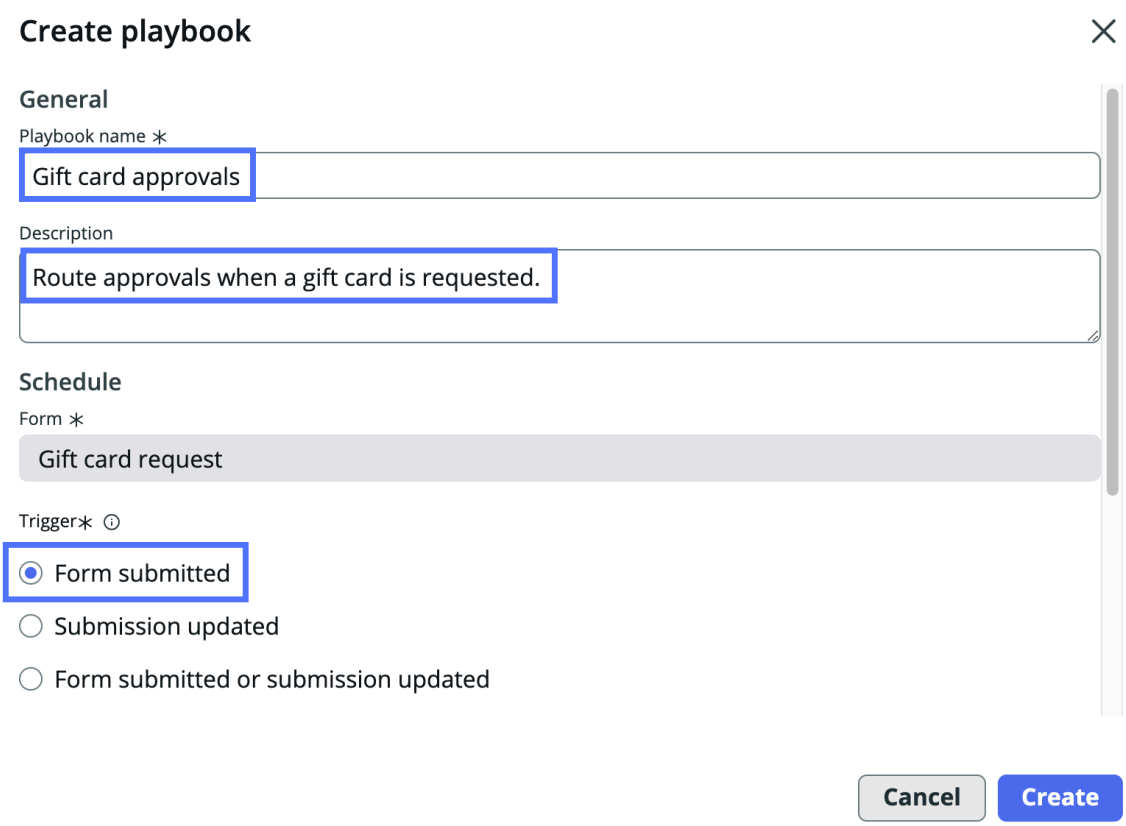
プレイブックモーダルの値の作成

フィールド	値
プレイブック名	ギフトカードの承認
説明	ギフトカードが要求されたときに承認をルーティングします。
フォーム	作成したフォームの名前 (ギフトカード要求) が選択されていることを確認します。
トリガー	トリガーは [フォームが送信されました] のままにします。

自動翻訳

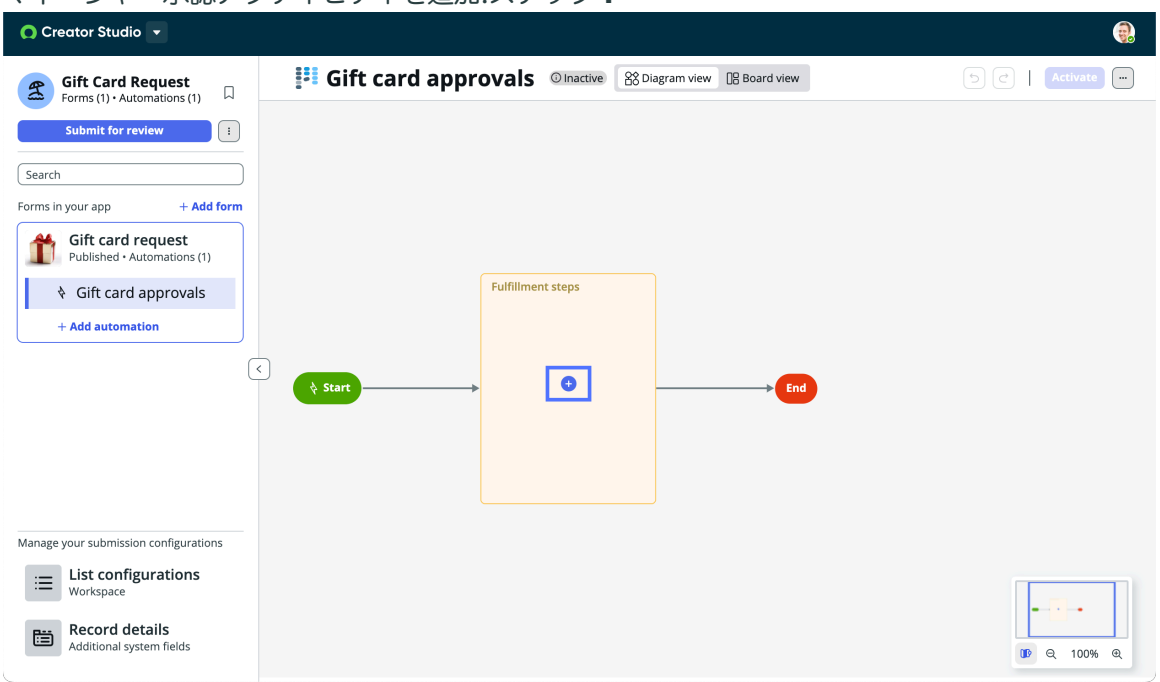
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プレイブックの詳細を入力



3. [**Create**] ボタンをクリックします。
4. マネージャー承認アクティビティを追加します。
   a. 追加アイコン ( ) を選択します。

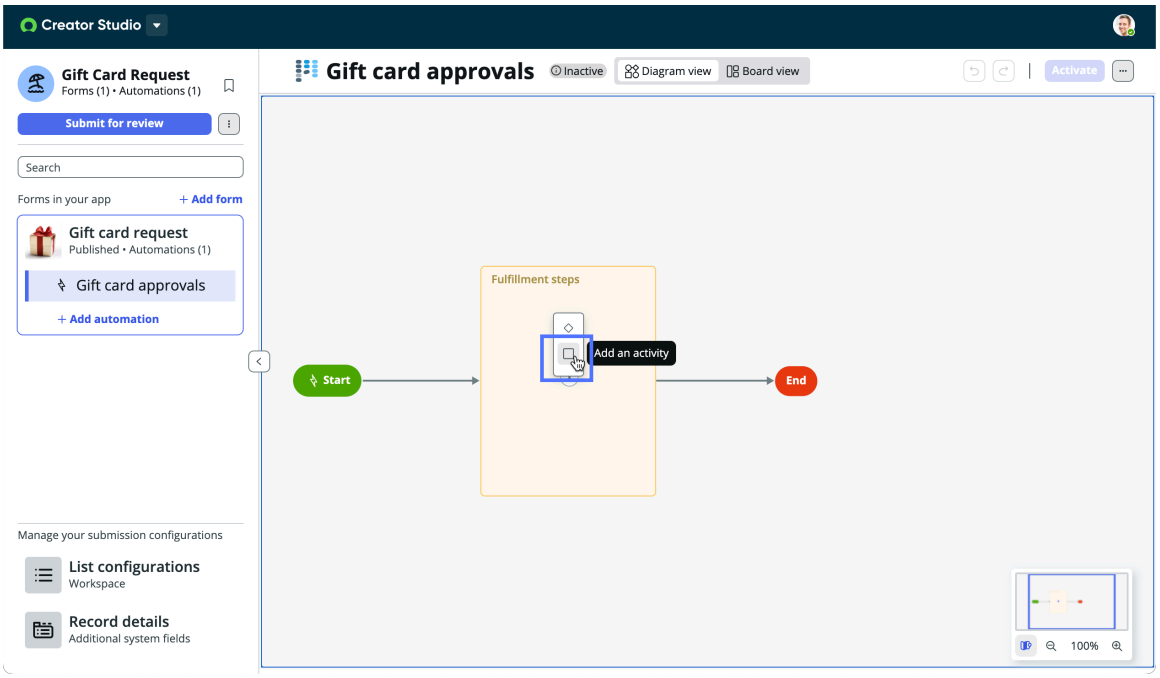
マネージャー承認アクティビティを追加:ステップ **1**



© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

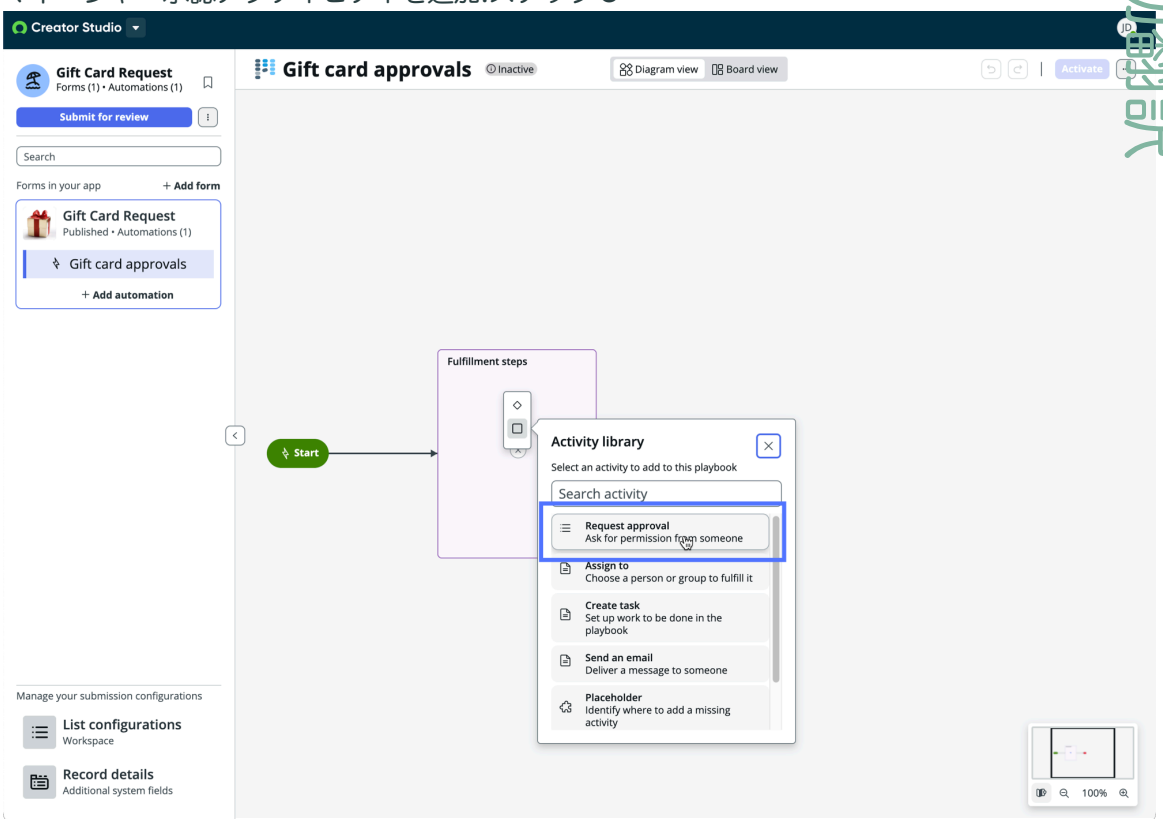
b. [アクティビティを追加] アイコン (☐) を選択します。

マネージャー承認アクティビティを追加:ステップ **2**



c. [承認を要求] アクティビティを選択します。

マネージャー承認アクティビティを追加:ステップ **3**



[承認を要求] プロパティパネルが表示され、アクティビティを定義できます。

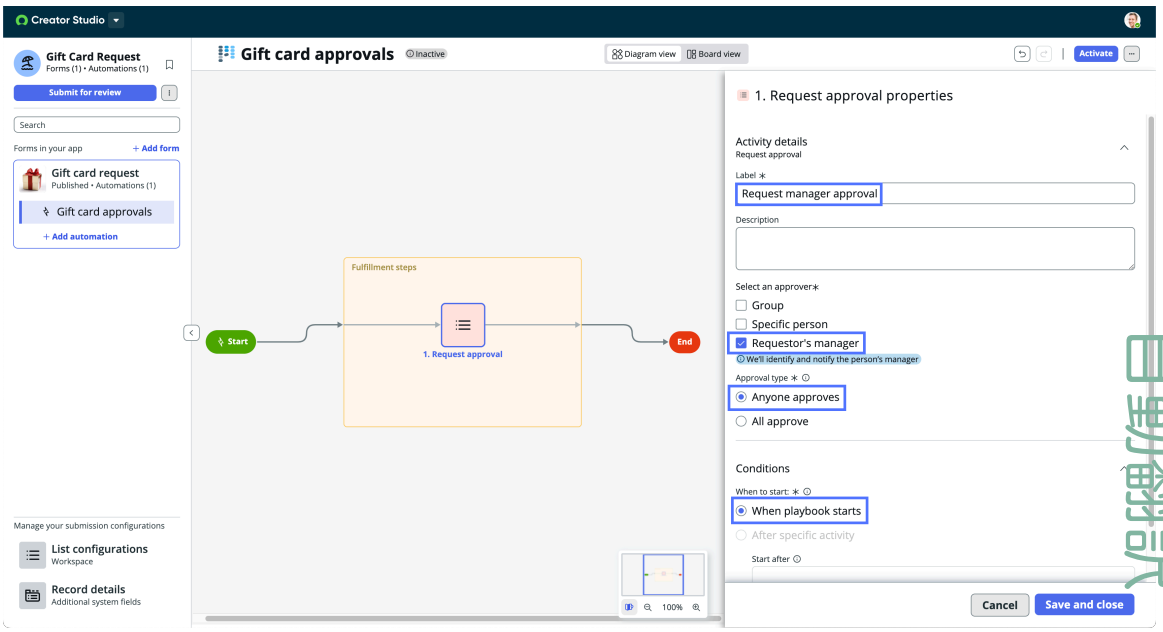
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

d. 次のアクティビティの詳細を入力します。

マネージャー承認アクティビティの詳細値

フィールド	値
ラベル	マネージャーの承認を要求
要求者のマネージャー	このオプションを選択します。
承認タイプ	[誰でも承認] のままにします。
条件	[プレイブックが起動したとき] を選択します。

マネージャーの承認の詳細を要求



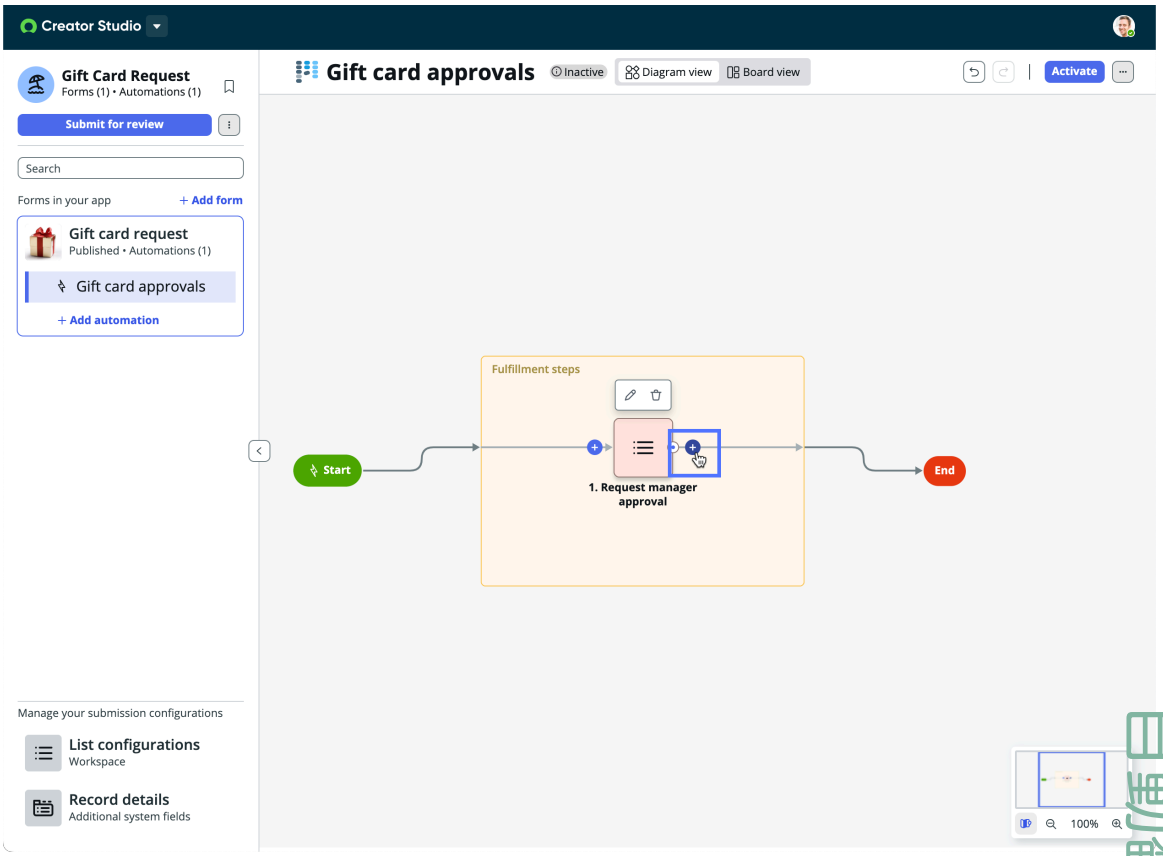
e. [Save and close (保存して閉じる)] を選択します。

5. ファイナンス承認アクティビティを追加します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. 追加アイコン ( ) を選択します。

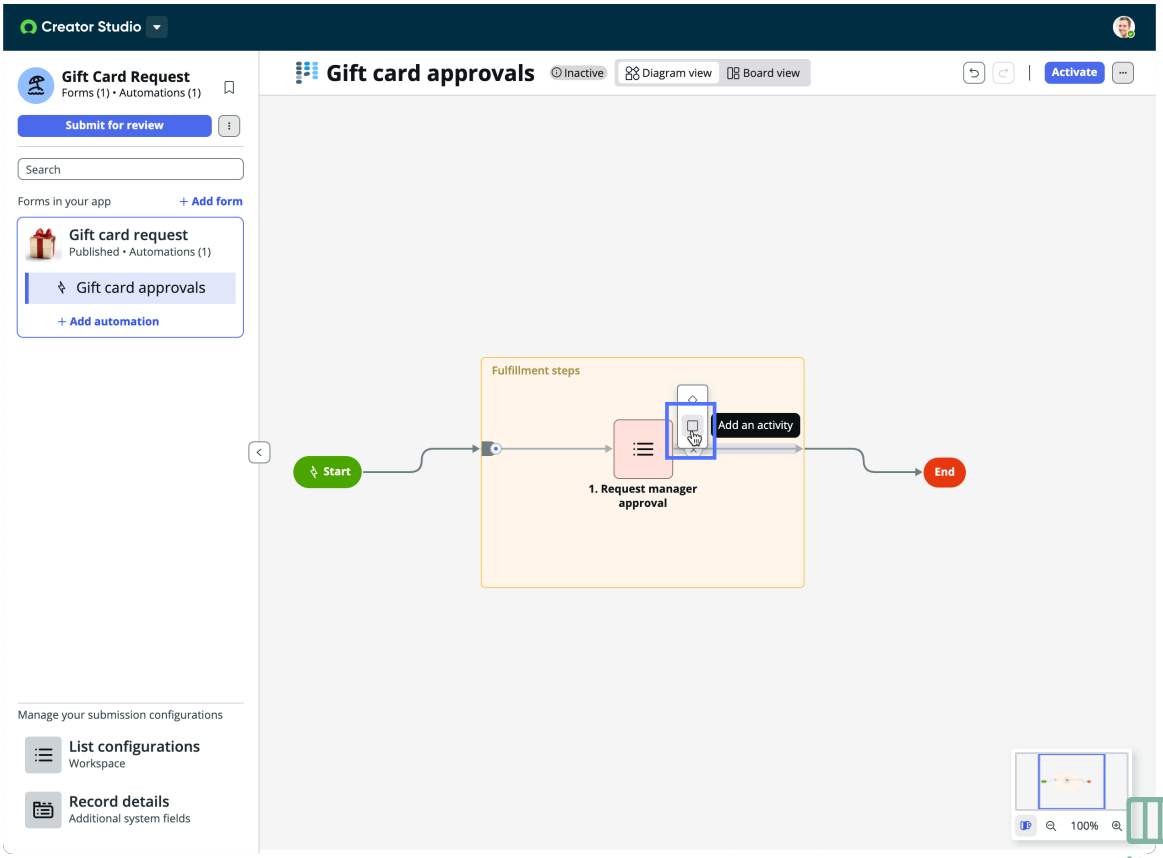
ファイナンス承認アクティビティの追加:ステップ **1**



b. [アクティビティを追加] アイコン ( ) を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ファイナンス承認アクティビティの追加:ステップ 2

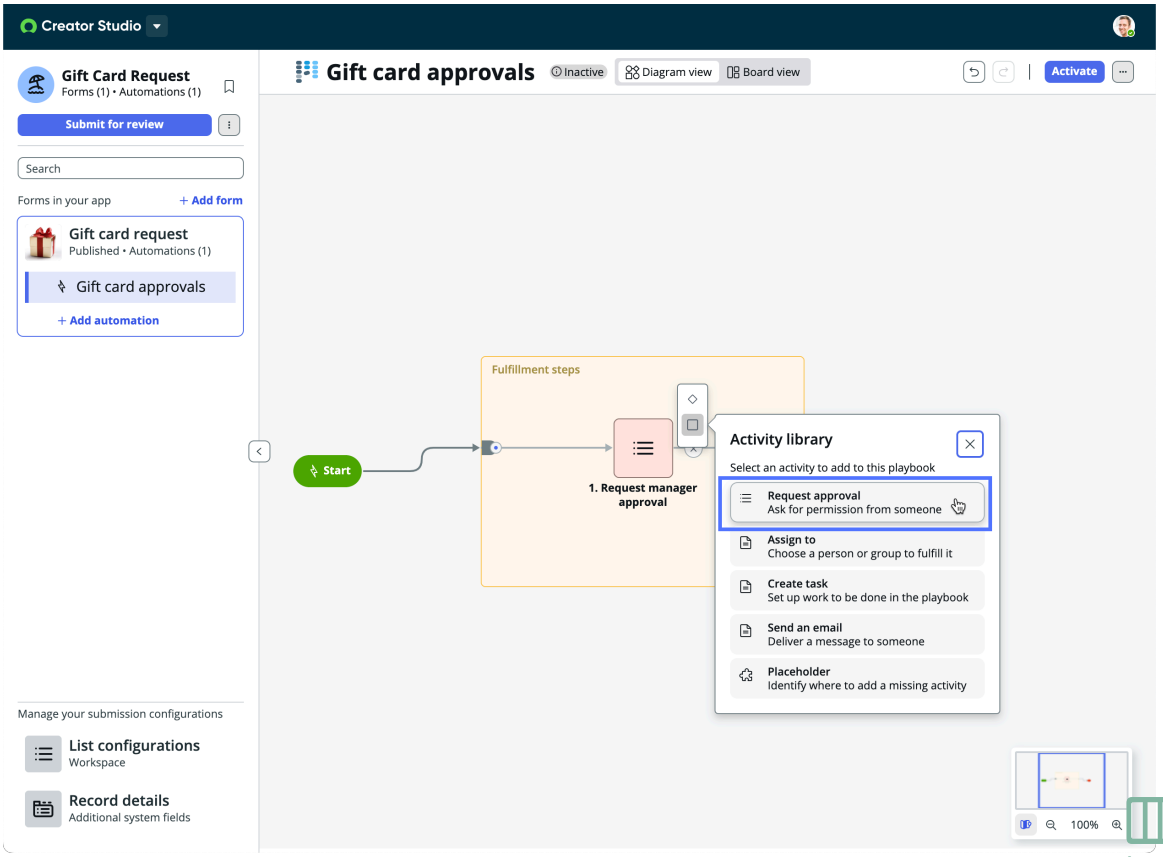


c. [承認を要求] アクティビティを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ファイナンス承認アクティビティの追加:ステップ 3



[承認を要求] プロパティパネルが表示され、アクティビティを定義できます。

d. 次のアクティビティの詳細を入力します。

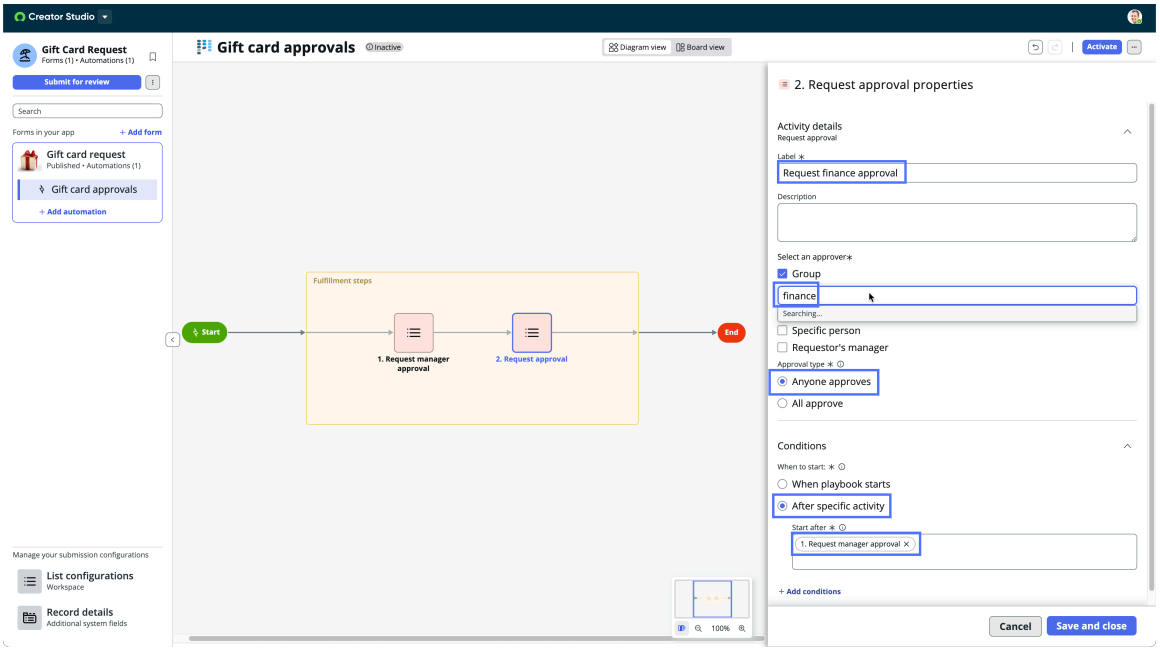
ファイナンス承認アクティビティ詳細値

フィールド	値
ラベル	「 財務承認を要求」と入力します。
グループ	このオプションを選択します。
グループ	[財務グループ] に入ります。
承認タイプ	[誰でも承認] のままにします。
条件	[特定の アクティビティの後] として残し、[マネージャーの承認を要求] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

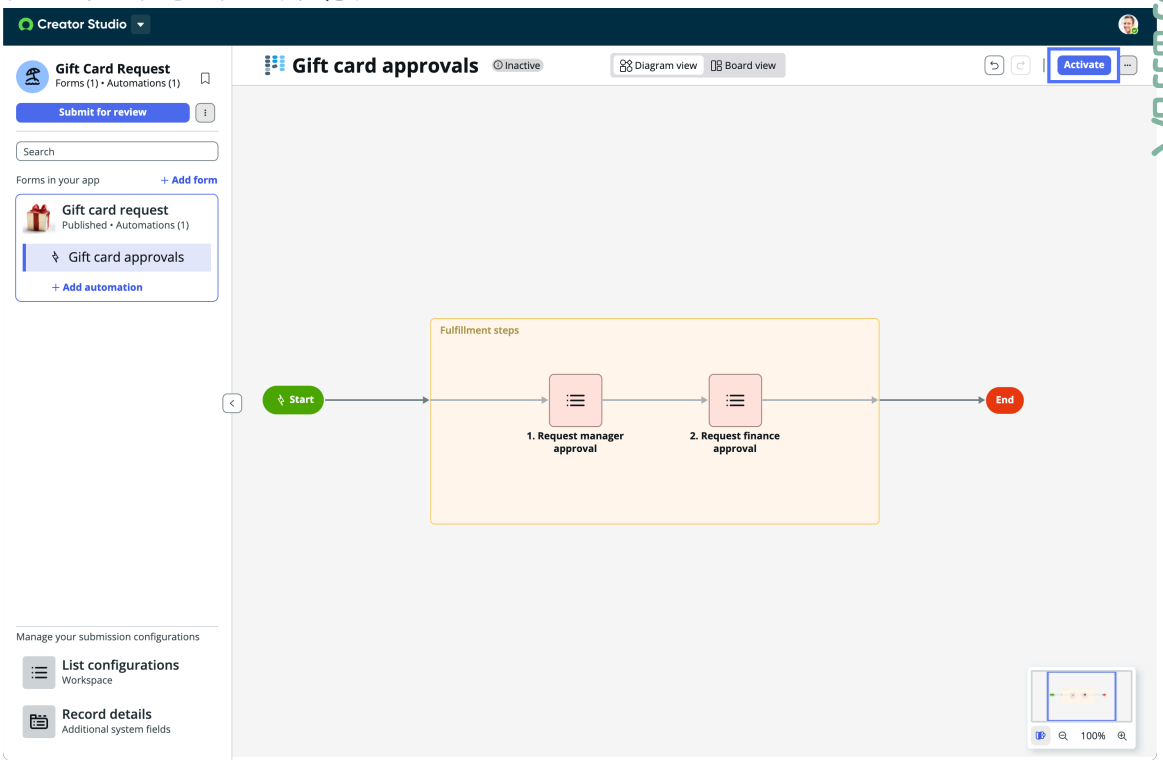
ファイナンス承認の詳細を要求



e. [Save and close (保存して閉じる)] を選択します。

6. [アクティブ化] ボタンを選択して、フォームが送信されたときに実行できるようにプレイブックをアクティブ化します。

プレイブックをアクティブ化する



タスクの結果

素晴らしい！プレイブックの追加が完了しました。次に、履行者が送信された要求を処理するワークスペース構成をカスタマイズできます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

チュートリアルパート **5:**フルフィルメントワークスペース構成のカスタマイズ

履行者がからギフトカード要求を処理できるワークスペースのリストと送信済みレコードをカスタマイズします。このリストのカスタマイズでは、アサイン先グループを表示する列を追加します。

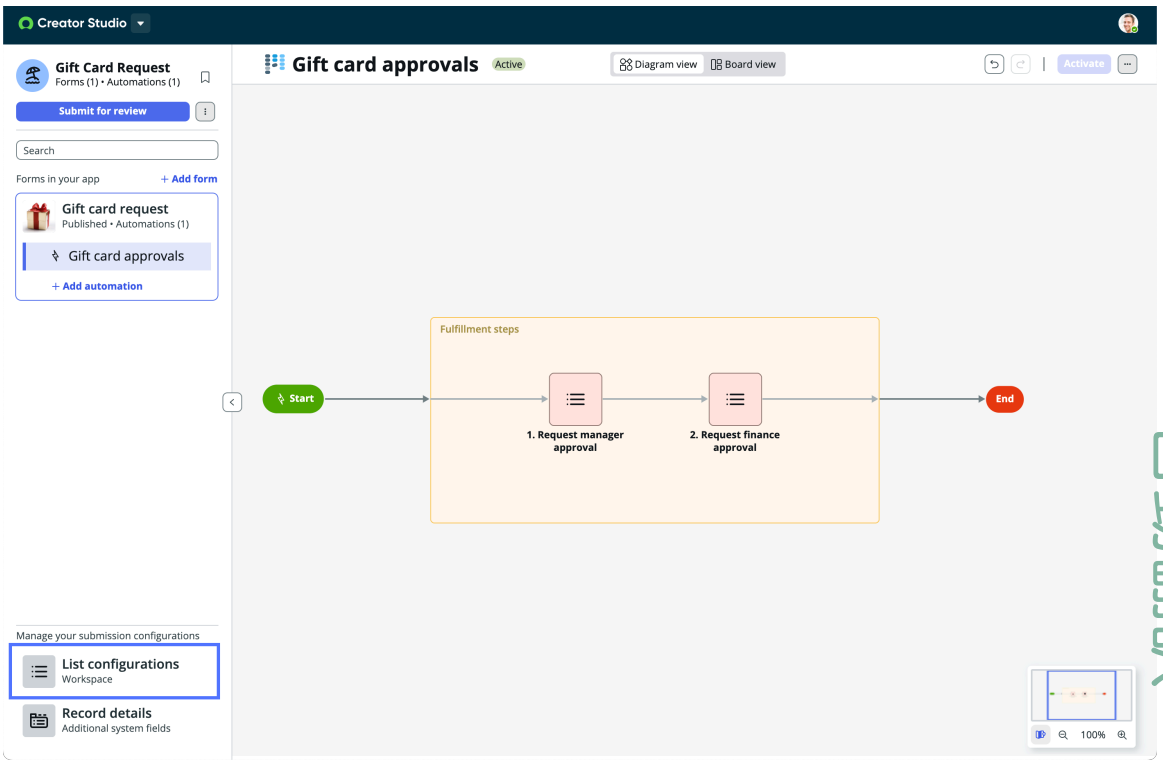
始める前に

必要なロール: クリエータースタジオ ユーザー

手順

1. ナビゲーションパネルの [リスト構成] セクションを選択します。

ナビゲーションパネルのリスト構成

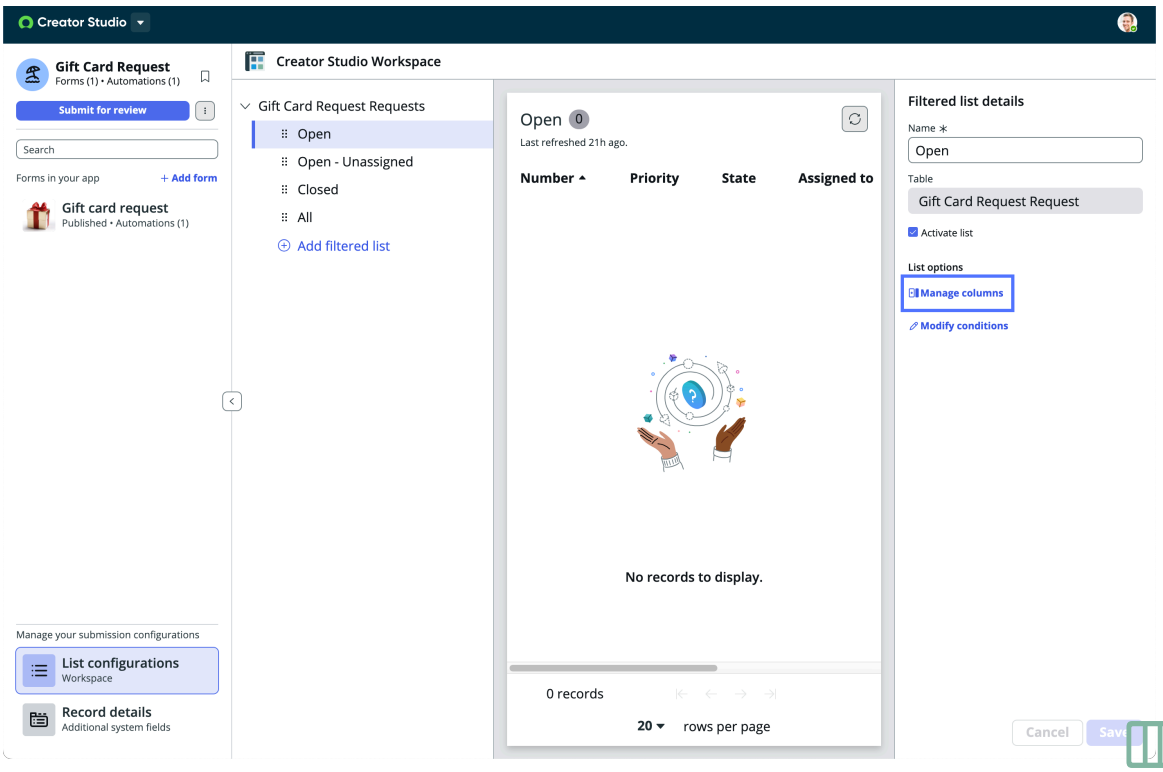


2. アサイン先グループをワークスペースに追加します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. [フィルター済みリストの詳細] パネルで [列の管理] リンクを選択します。

列の管理リンク



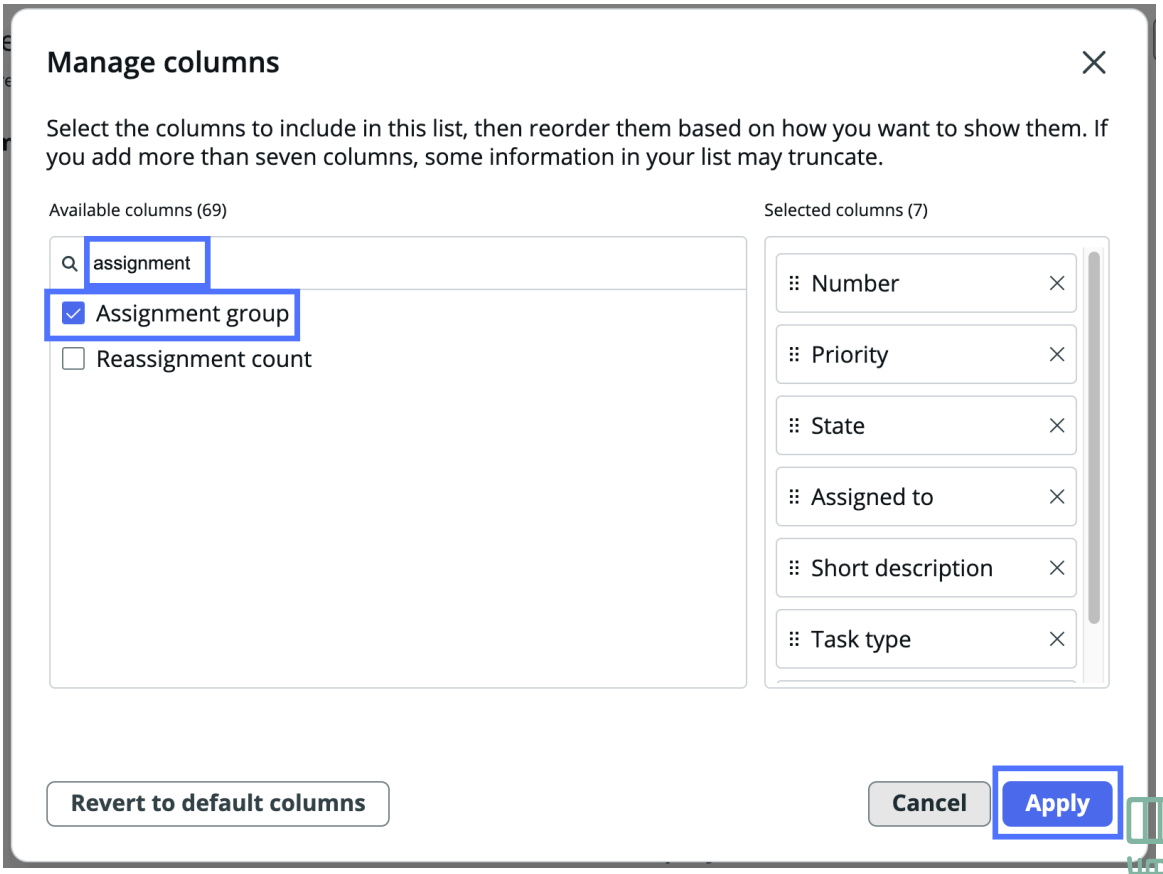
b. [利用可能] 列で [アサイン先グループ] を検索します。

c. アサイン先グループを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

列を管理して列を追加します



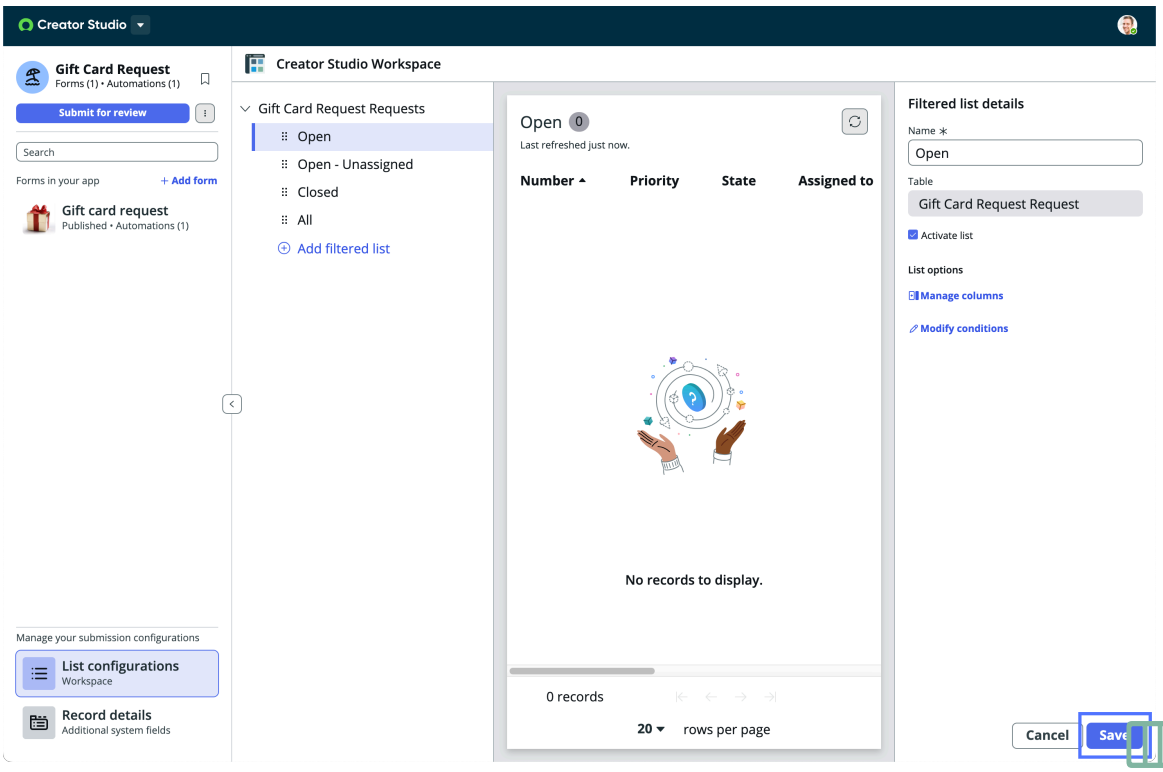
d. [適用] ボタンを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

e. [フィルター済みリストの詳細] パネルで [保存] ボタンを選択します。

ワークスペース構成への変更を保存 フォーム



タスクの結果
これでアプリを作成できました。次に、レビューと展開のために送信します。

チュートリアルパート**6:** レビューのためにアプリをテストして送信する

アプリをテストし、アプリをレビューして本番環境に展開するようアドミンに要求します。

始める前に
ギフトカードアプリをレビューのために送信する前に、展開のパイプラインを構成する必要があります。

必要なロール: クリエータースタジオ ユーザー

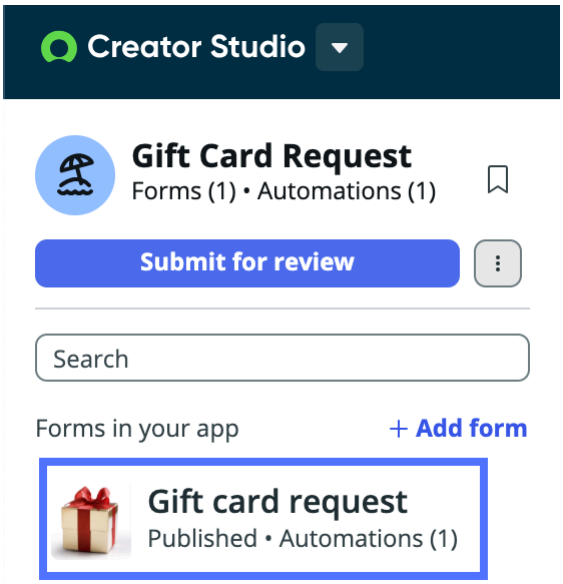
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. アプリの動作をテストして、準備ができていることを確認するには、[試してみる] ボタンを選択します。

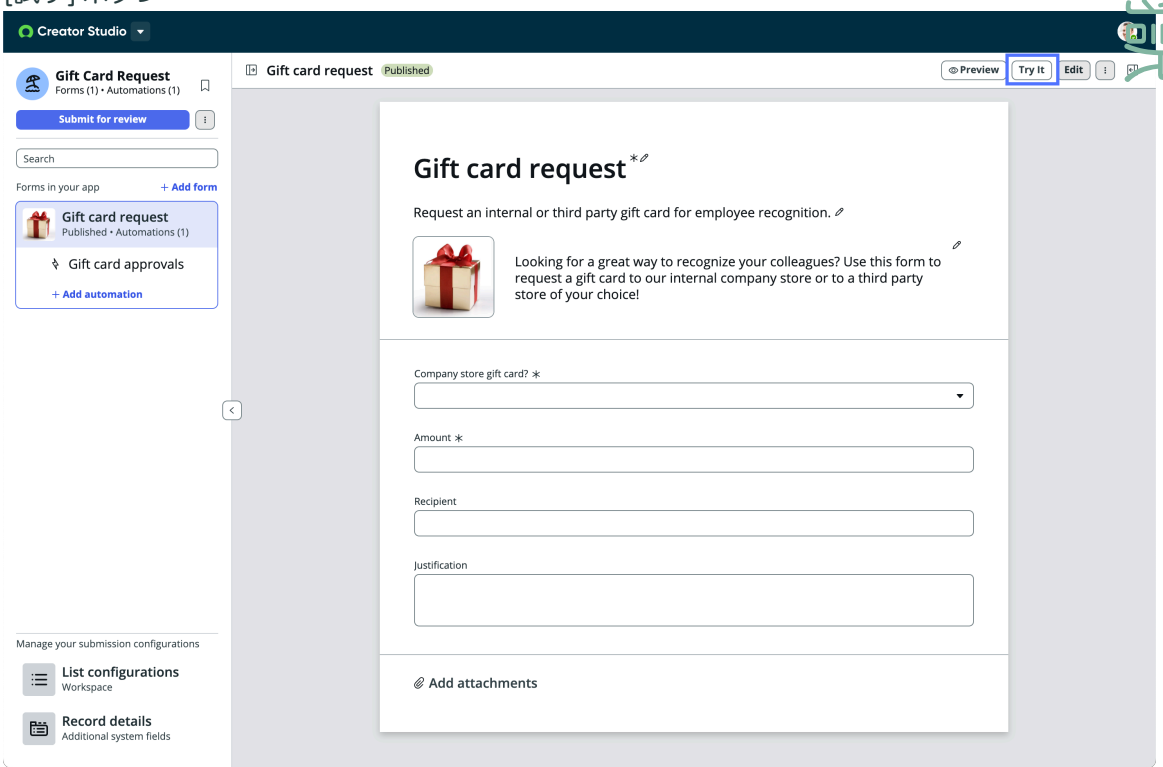
   a. ナビゲーションパネルから [ギフトカード要求] フォームを選択します。

テストするフォームを選択します



   b. **[Try it]** ボタンを選択します。

[試す] ボタン



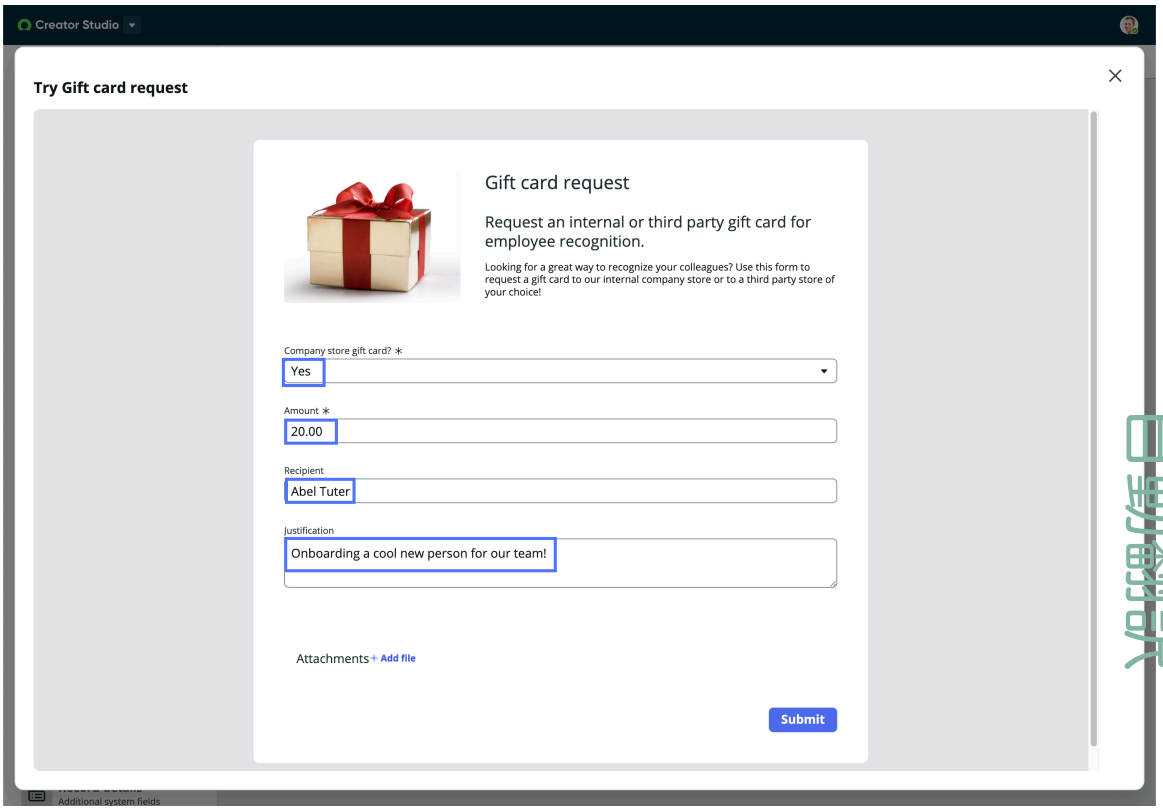
   c. 各フィールドに次の値を入力して、フォームに入力します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ギフトカード要求フォームの [お試し] の値

フィールド	値
会社のギフトストアカード?	Yes (あり)
総計	20.00
受信者	ユーザーのリストから受信者を選択します。
理由	私たちのチームのためにクールな新しい人をオンボーディングします!

フォームのテスト



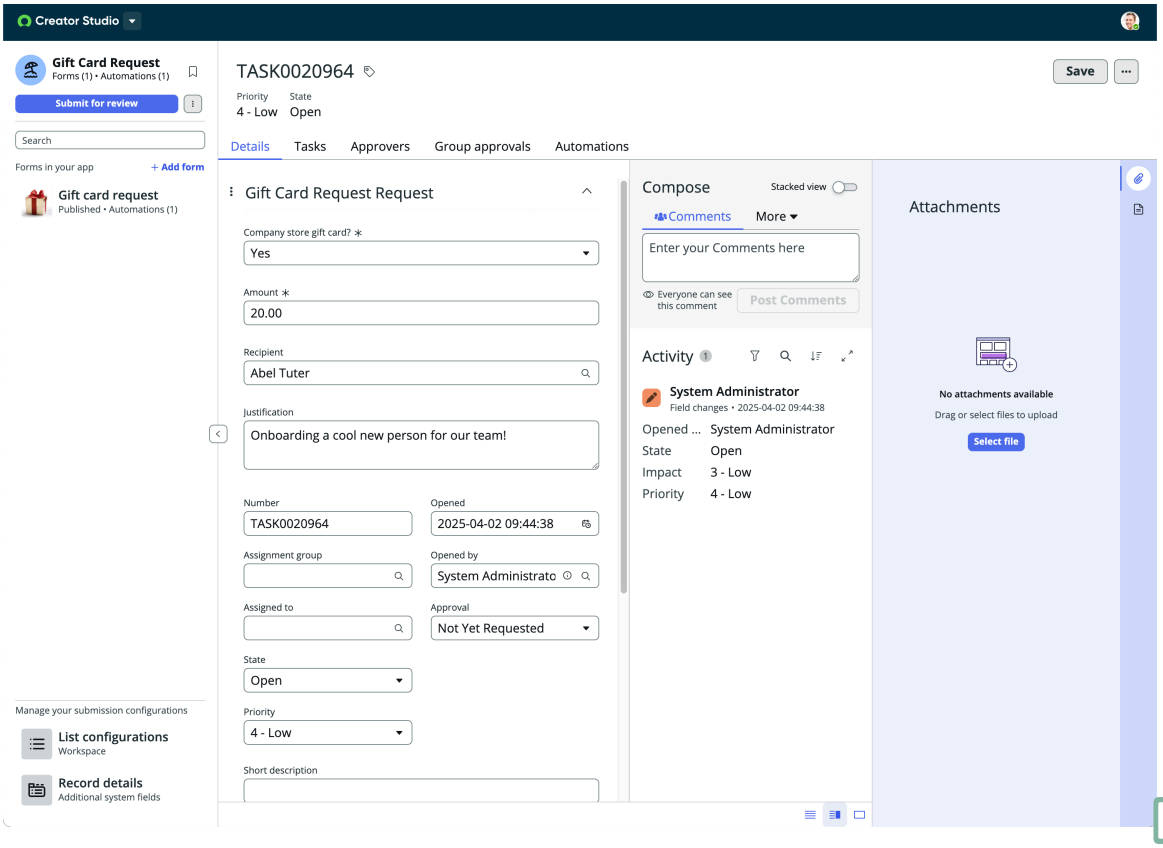
d. 完了したら、[送信] ボタンを選択します。

回答を送信すると、 ServiceNow AI Platform フォームに関連付けられたプレイブックを実行します。

送信したフォームで作成したレコードが クリエータースタジオ に表示されます。プレイブックの結果を表示し、レコードを操作して要求アプリワークスペースにどのように表示されるかを確認できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

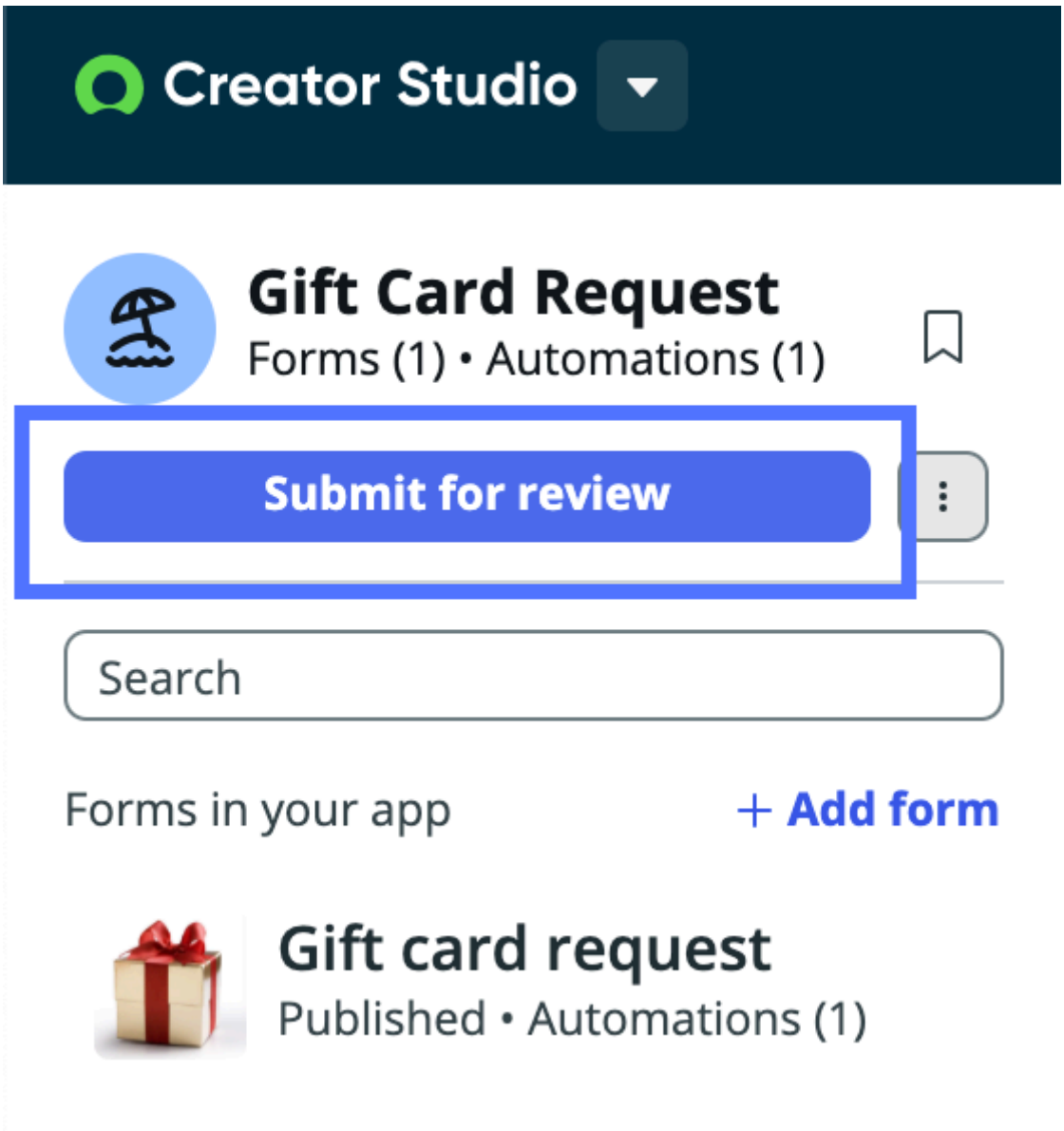
送信されたレコードを表示



2. [レビューのため送信] ボタンを選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

レビューのためにアプリを送信する

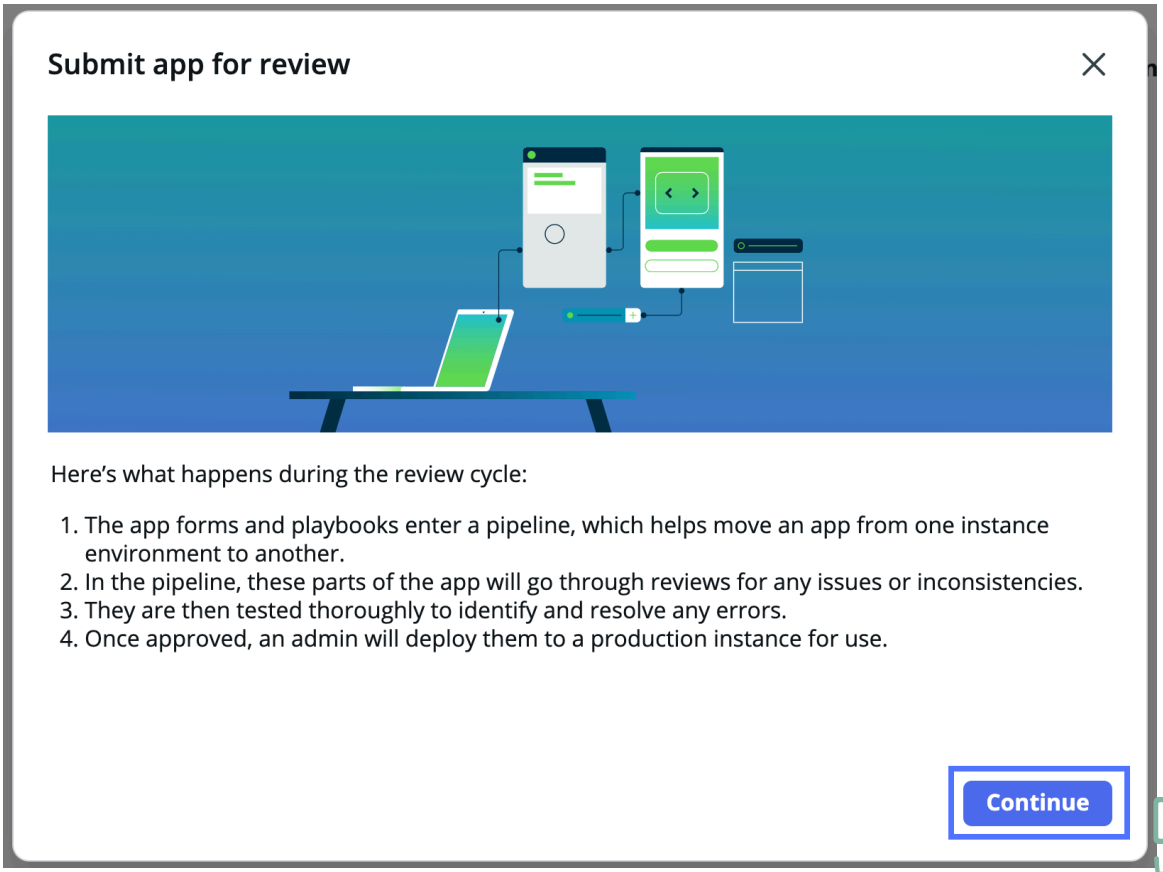


3. [レビューのためアプリを送信 (Submit app for review)] モーダルで [続行] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

レビューのため送信プロセスを開始する

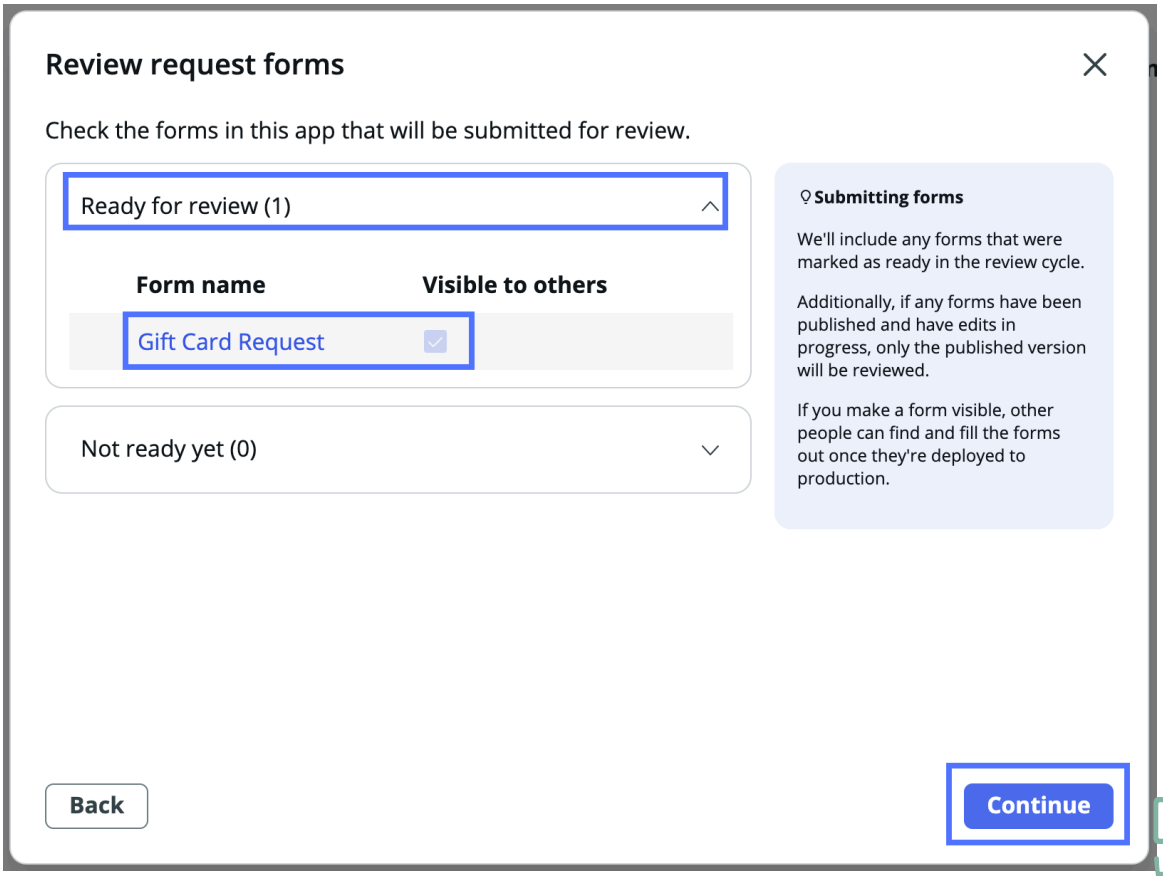


4. [要求フォームのレビュー (Review request forms)] モーダルで、展開についてレビューするフォームを確認します。
   a. [レビュー準備完了] セクションを展開します。
   b. [ギフトカード要求] フォームで [他のユーザーに表示] オプションが選択されていることを確認します。
   c. **[Continue** (続行)] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

展開するフォームにチェックを入れます

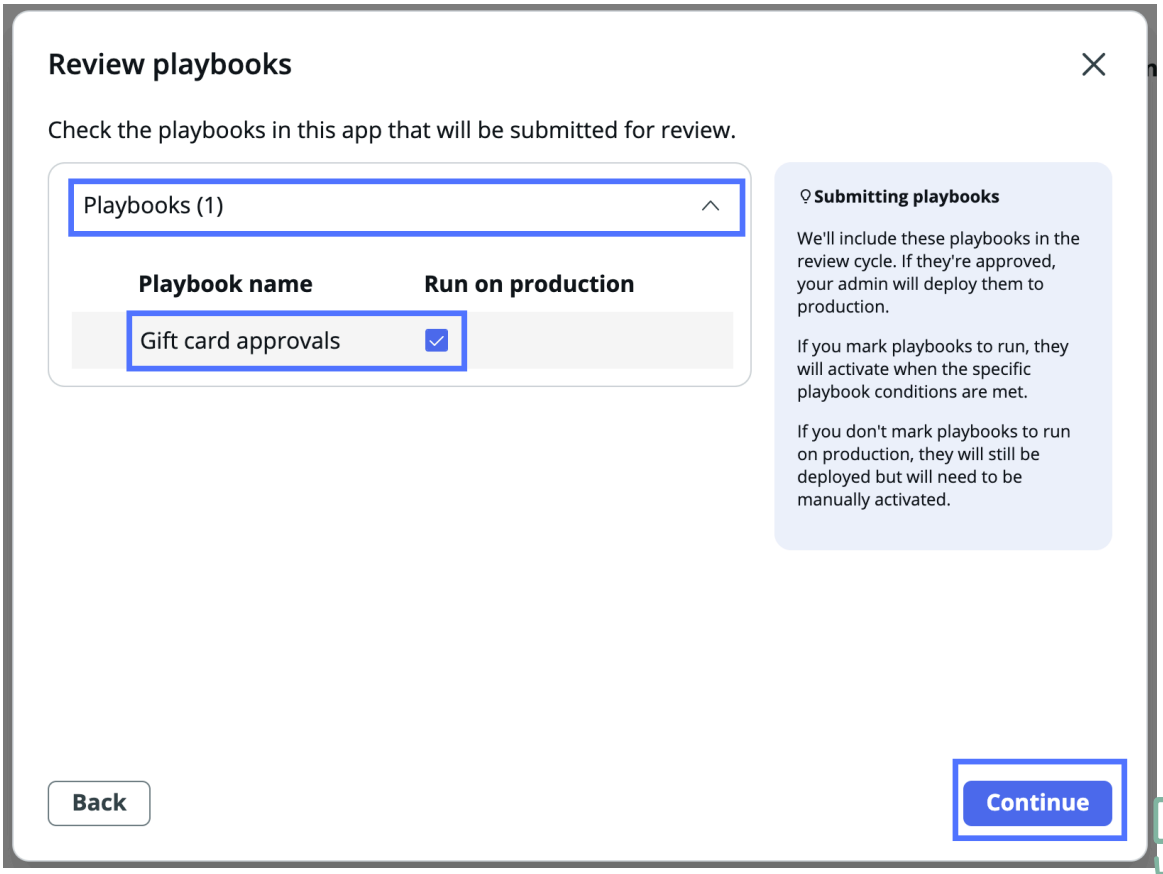


5. [プレイブックのレビュー (Review playbooks)] モーダルで、展開についてレビューするフォームを確認します。
   a. [プレイブック] セクションを展開します。
   b. [ギフト カード承認] フォームで [本番環境で実行] オプションが選択されていることを確認します。
   c. **[Continue** (続行)] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

展開するプレイブックを確認

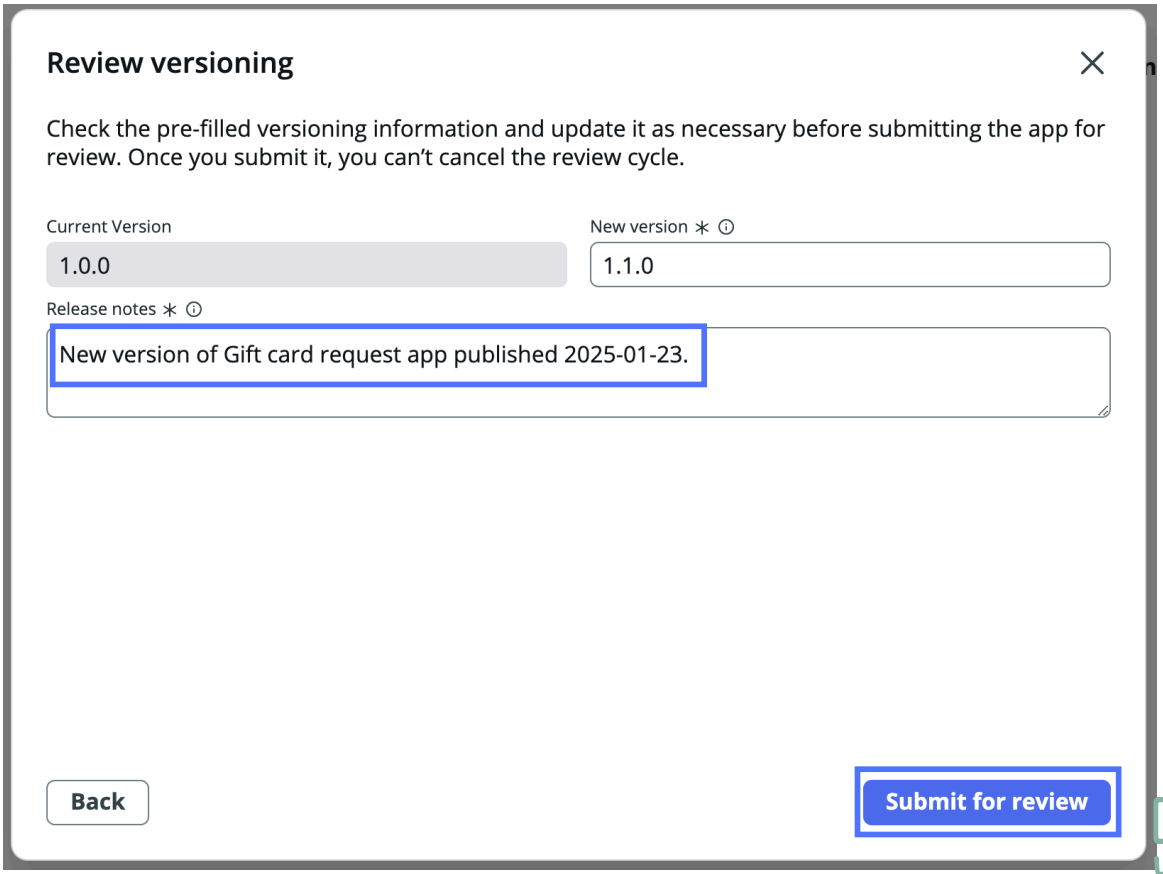


6. [バージョニングのレビュー] モーダルの情報が正しいことを確認し、 リリースノートを追加します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

リリースバージョンを確認して更新し、レビューのために送信します



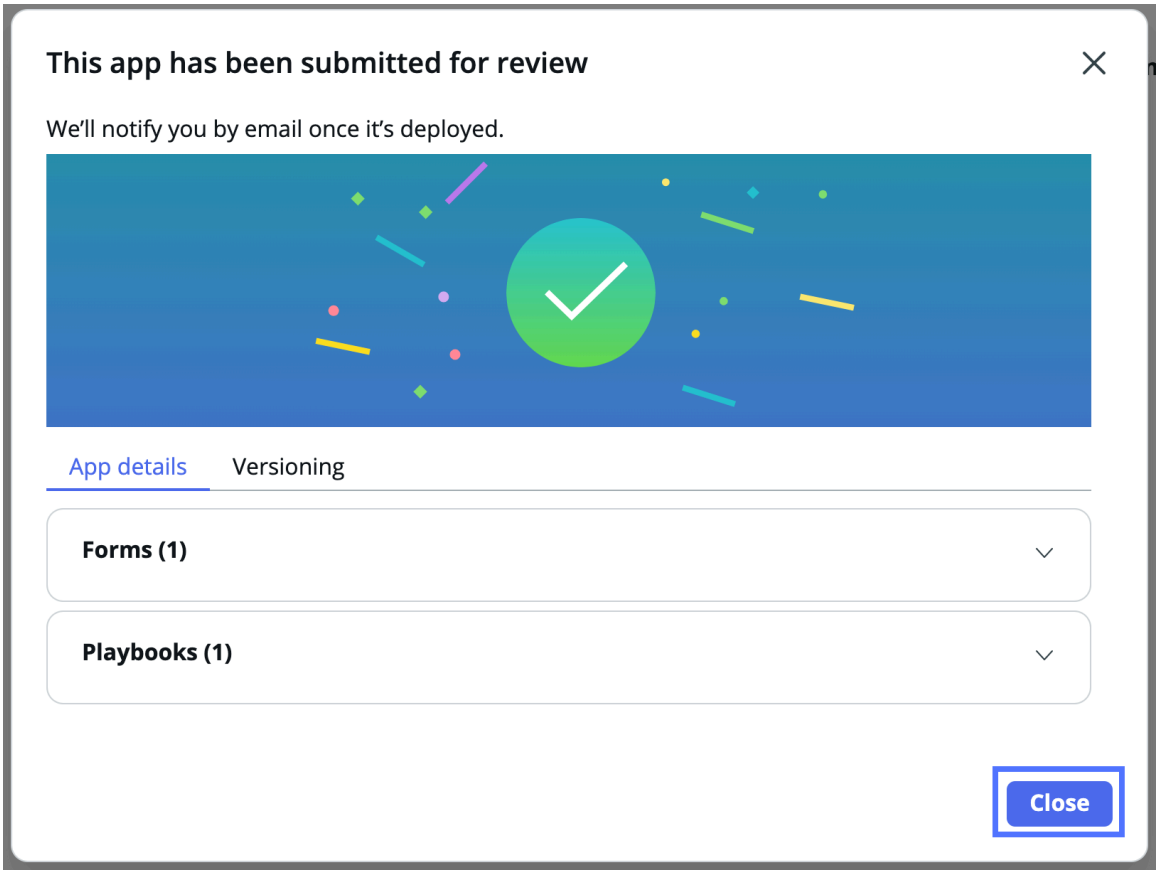
7. [レビューのため送信] を選択します。

タスクの結果
おめでとうございます。ギフトカードリクエストアプリが作成されました! ここで、アドミンがレビューして展開する必要があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

レビュー送信の確認



チュートリアルパート **7:** アドミンによるアプリの展開

アドミンを代理操作して、作成したギフトカード要求アプリを展開します。

始める前に
アドミンの代理操作ができない場合は、ローカルアドミンにアプリの展開を依頼してください。

必要なロール：admin

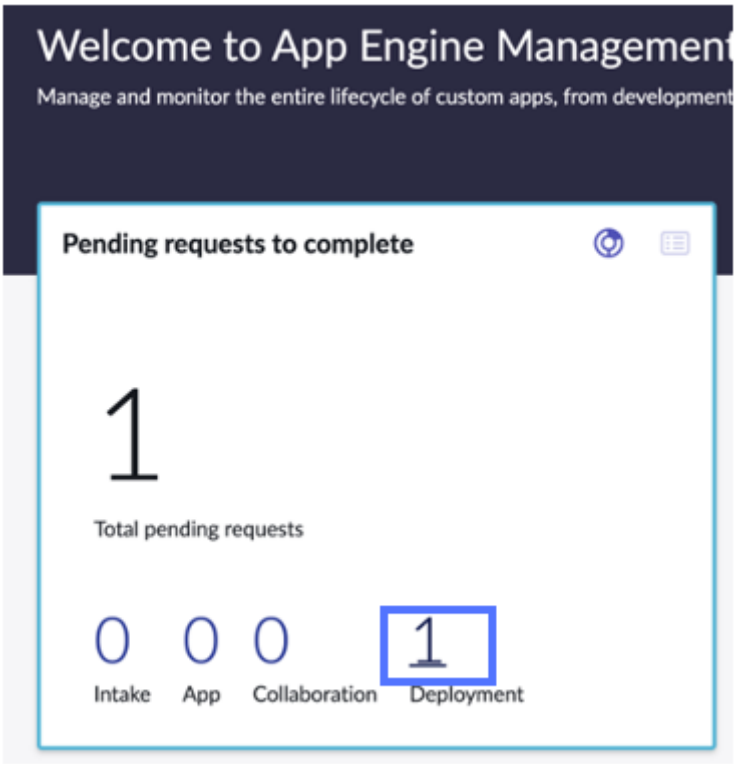
手順

1. ServiceNow AI Platformアプリケーションバナーで、プロファイルアイコンを選択し、アドミンの代理操作を行います。
2. 移動先 すべて > **App Engine** > **App Engine** 管理センター.
3. [完了までの保留中の要求] セクションで数字の **1** を選択します。

自動翻訳

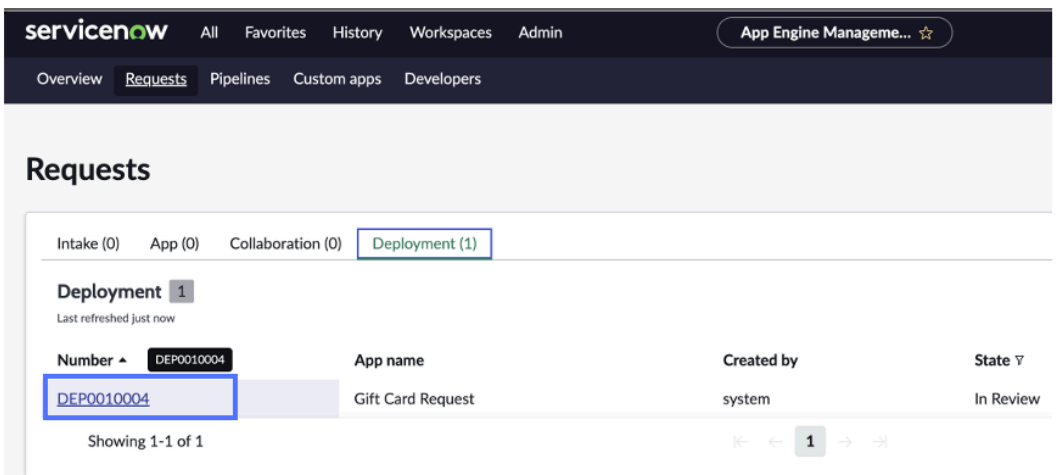
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アプリの展開準備完了



4. 展開レコードの 番号を選択して開きます。

展開するアプリのリスト

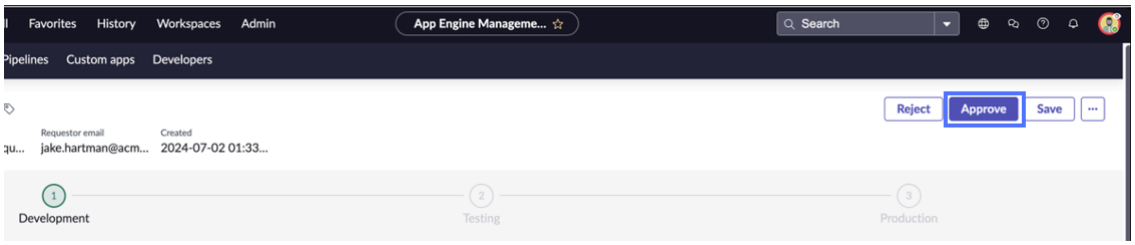


5. [承認] ボタンを選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

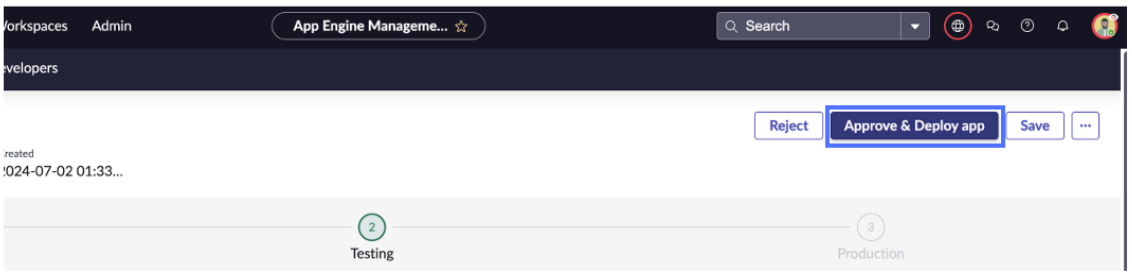
自動翻訳

展開の [承認] ボタン



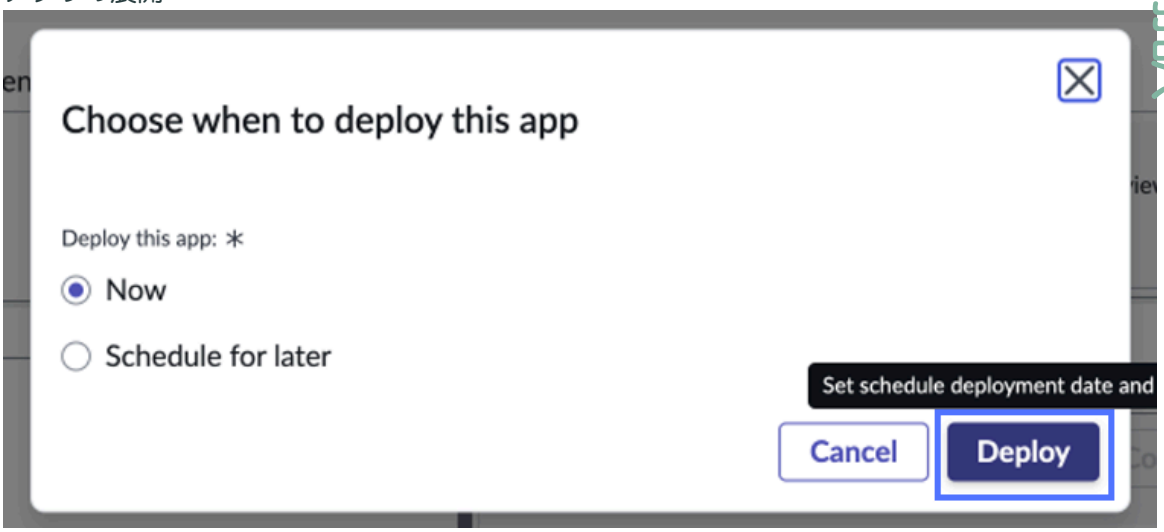
6. **[Save** (保存)] を選択します。
7. このページをリロードします。
8. [アプリを承認して展開] ボタンを選択します。

展開の [承認して展開] ボタン



9. [展開] ボタンを選択します。

アプリの展開

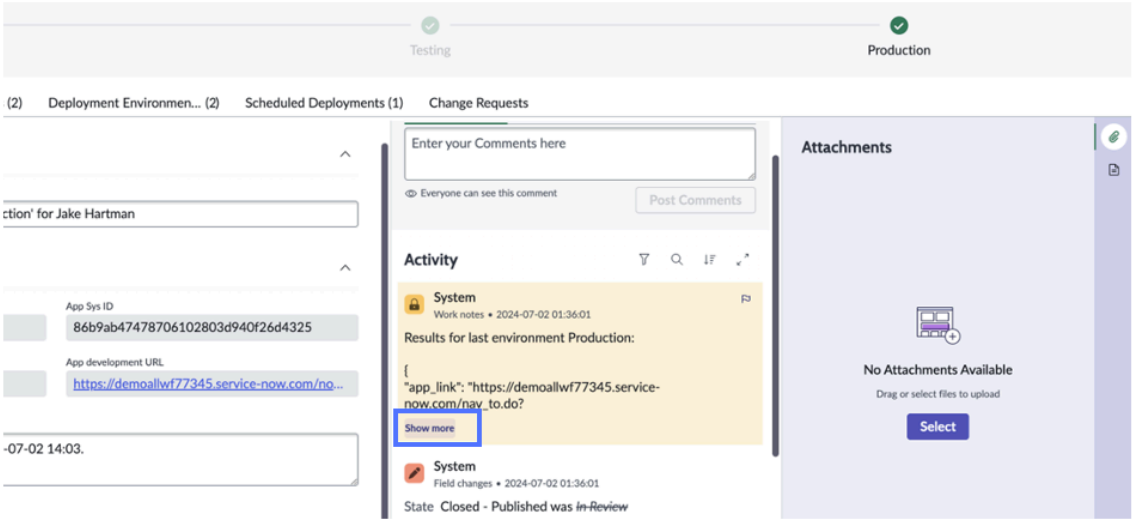


タスクの結果
アプリが本番環境に展開されました。アプリの詳細を表示する場合は、アクティビティ セクションで [さらに表示] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

展開の詳細の確認



今すぐアドミンの代理操作を終了できます。

チュートリアルパート8: アプリを使用してギフトカードを要求する

作成した展開済みのギフトカード要求アプリを使用して、ギフトカードを要求します。

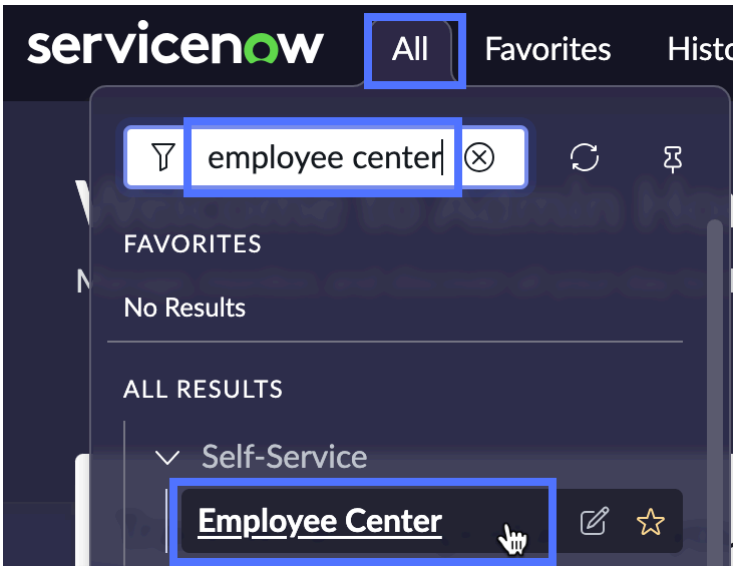
始める前に

必要なロール：ServiceNow AI Platform ユーザー

手順

1. 移動先 すべて > セルフサービス > 従業員センター.

作成者 従業員センター

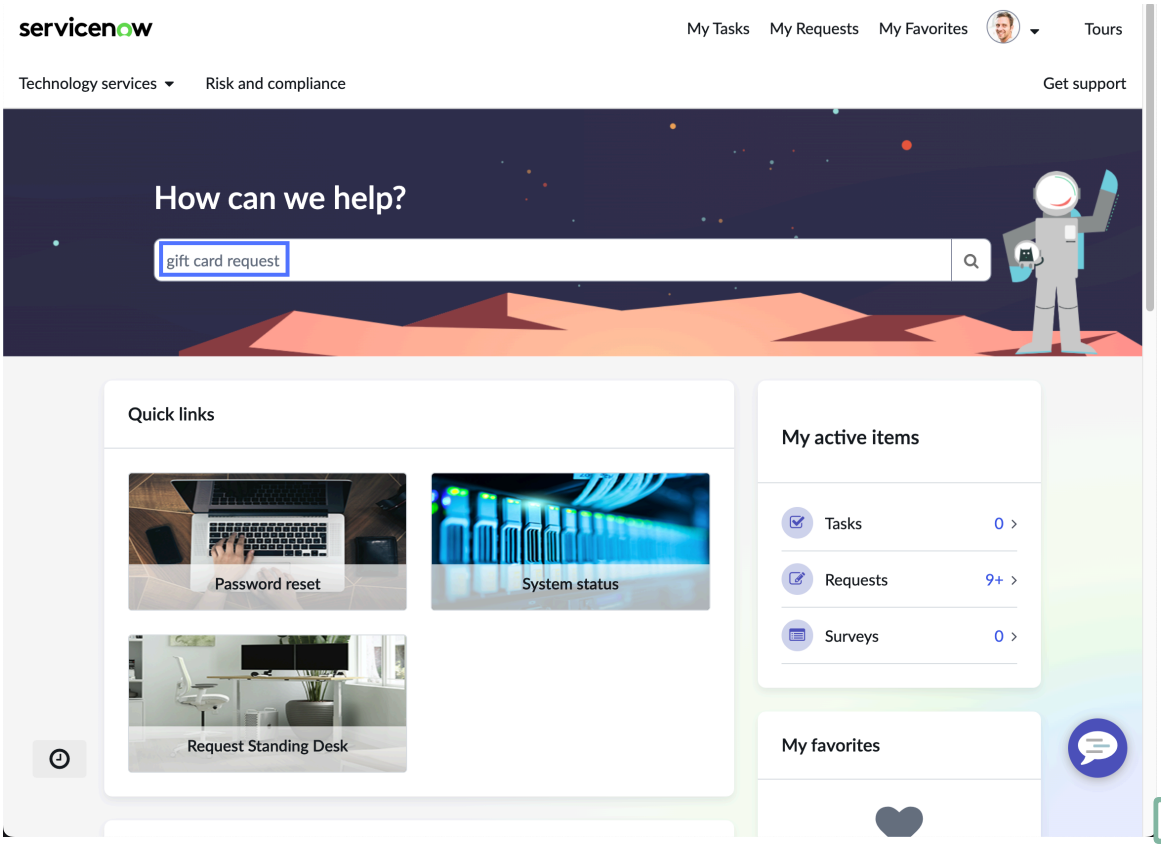


2. 検索バーで 「ギフトカード要求 」を検索します。

自動翻訳

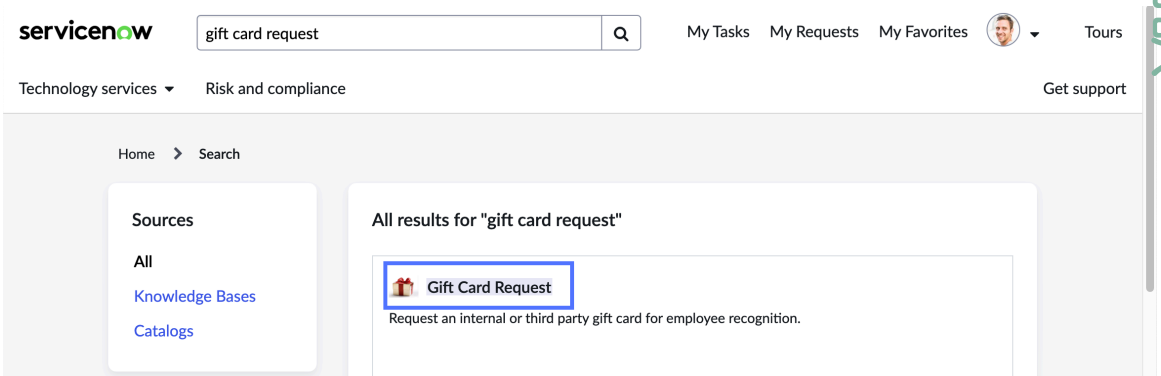
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ギフトカード要求アプリを検索する



3. 検索結果に表示される ギフトカード要求 アプリを選択します。

アプリを開く

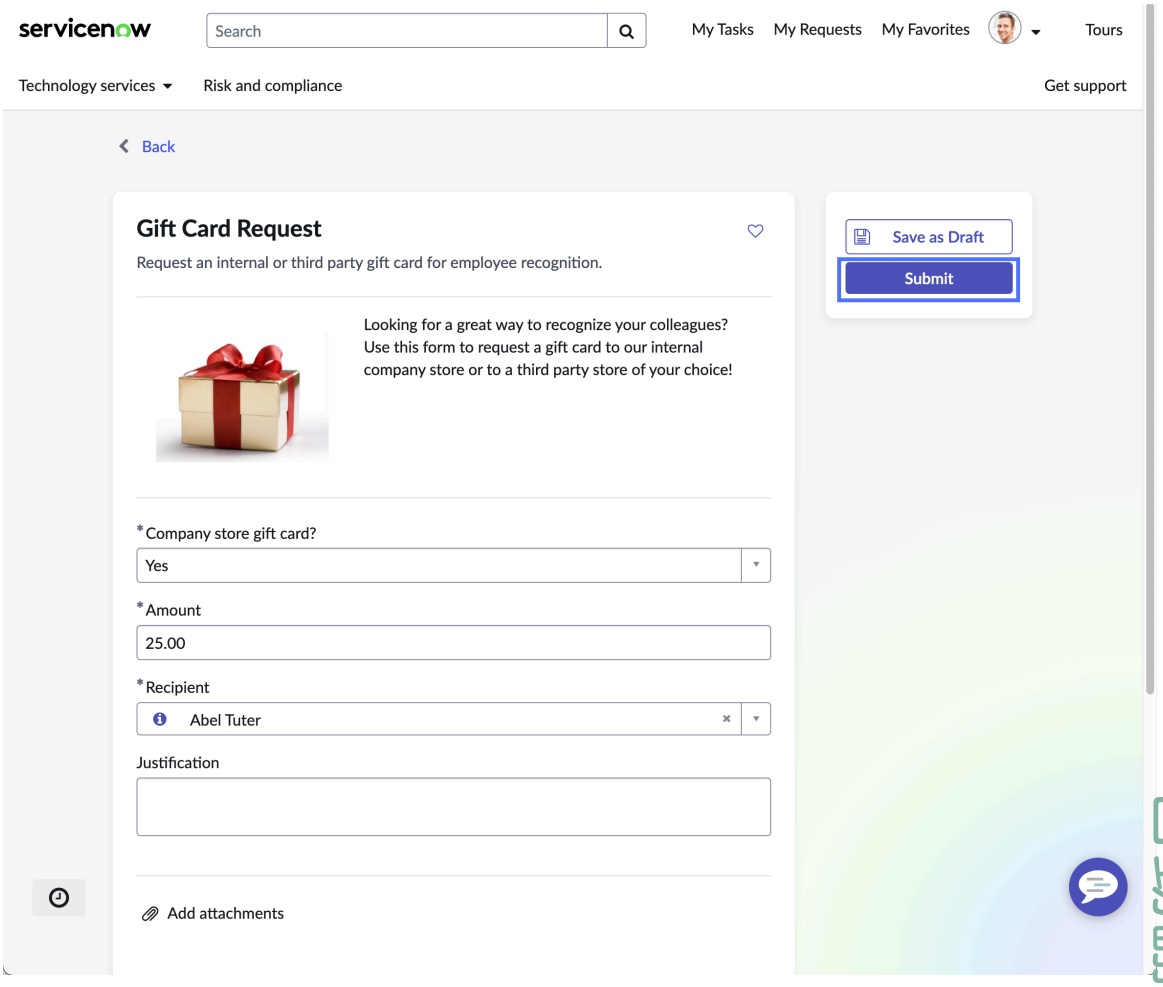


4. ギフトカードをリクエストするには、ギフトカードリクエストフォームに必要事項を記入してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ギフトカードをリクエストする



5. [Submit (送信)] ボタンを選択します。

チュートリアルパート**9:** ギフトカード要求を確認する

送信したギフトカード要求を表示するには、要求アプリワークスペースを確認して、アプリが動作していることを確認します。

始める前に

必要なロール:admin またはアプリのエージェントロール (x_snc_app_name.agent など)

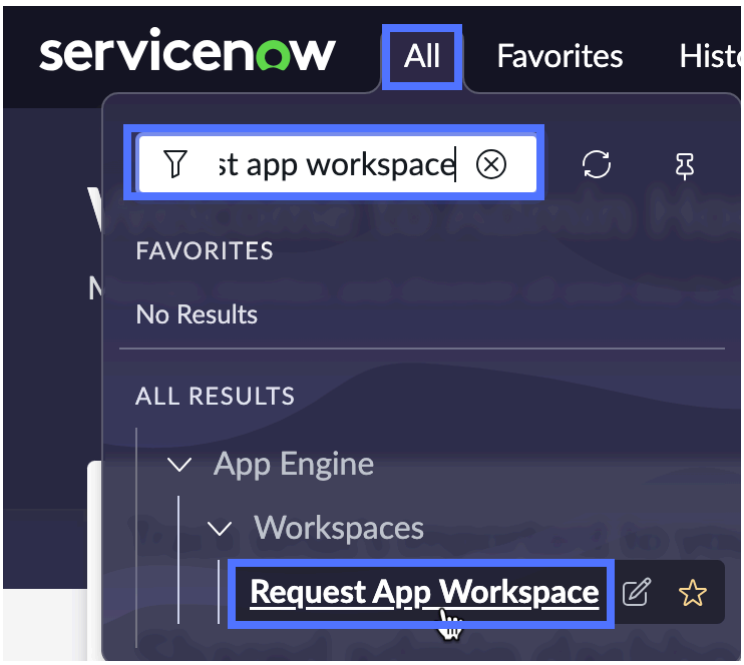
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > ワークスペース > 要求アプリワークスペース.

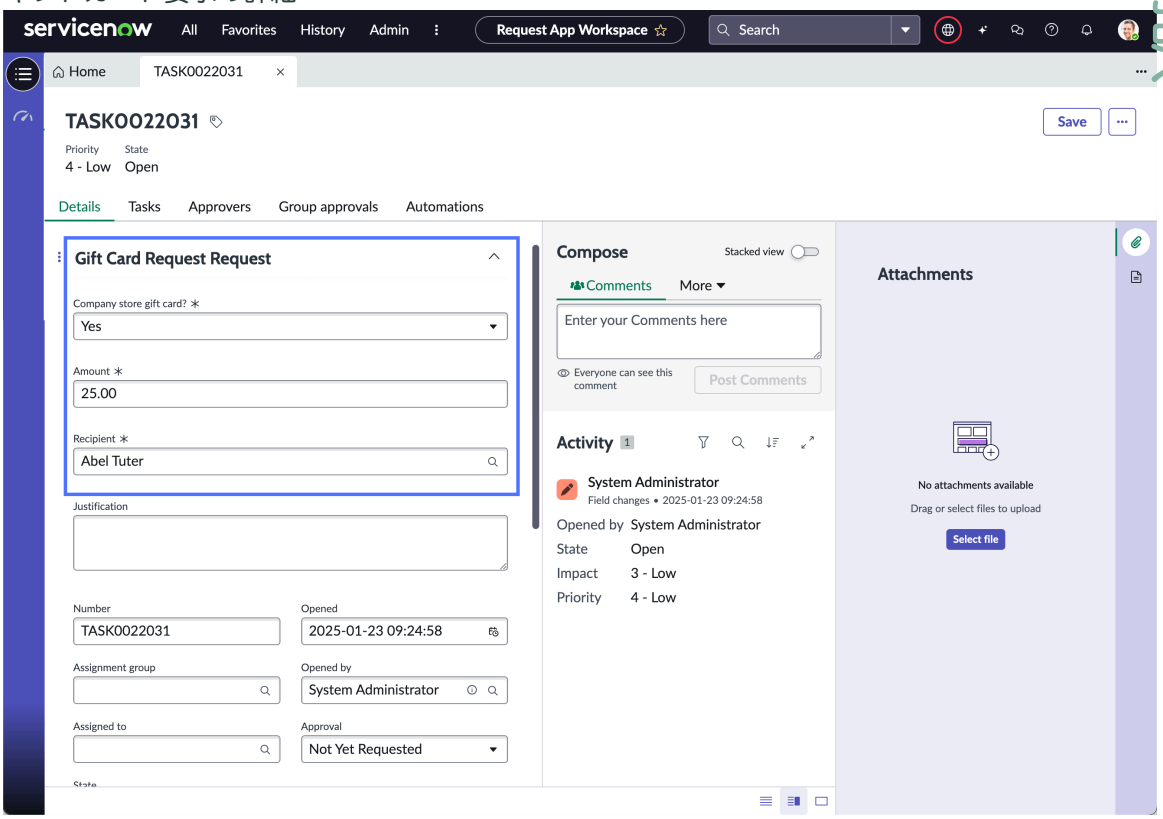
要求アプリワークスペースを開く



2. 送信したギフトカード要求を見つけ、その 番号 を選択して開きます。

3. ギフトカード要求の詳細を表示します。

ギフトカード要求の詳細



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タスクの結果
やりました！ギフトカード要求アプリのチュートリアルが完了しました。

クリエータースタジオ でのアプリのビルド

これまで、システムアドミンが クリエータースタジオ を設定し、アプリをビルドする権限が付与され、要求実行アプリの素晴らしいアイデアが浮かびました。クリエータースタジオ を使用してアプリを作成する場合、どのように考える必要がありますか？

アプリの内容 **ServiceNow**

ServiceNowアプリは、指定されたユーザーグループに対して特定のタスクを実行するパッケージです。アプリは、アクセスおよび編集できるユーザーに関する一連のルールを持つコンテナと考えてください。たとえば、 ServiceNow アプリには、API、テーブル、ワークスペース、フォーム、フロー、またはそれらの任意の組み合わせを含めることができます。

クリエータースタジオアプリでは、フォームと自動化を使用して、ユーザーが何かを要求し、承認プロセスを通じて要求を移動できるようにします。クリエータースタジオでは、アプリの要求アプリワークスペースの履行者ビューを表示することもできます。

要求情報を収集するフォームを作成する

完成すると、アプリはユーザーが要求できるアイテムのカタログのようになります。アプリを作成するには、次の手順を実行します。

1. 利用可能ないずれかのカタログテンプレートを選択します。
2. WYSIWYG エディターを使用して、カタログに含めるフォームをカスタマイズします。

   フォームには、カタログ内の 1 つのアイテムの説明が表示されます。ラップトップのモデル番号など、要求者が希望する内容の詳細を指定するための質問用のスペースを提供します。カタログに複数のアイテムが必要な場合は、複数のフォームを作成できます。

   > **注:**
   > Now Assistを使用してフォームを作成できます。詳細については、「でのフォームの生成 Now Assist」を参照してください。

プレイブックを使用してワークフローを自動化してタスクを簡素化する

要求実行プロセスの簡素化は、単なる情報収集にとどまりません。クリエータースタジオ では、強力なプレイブックを使用してタスクを自動化できます。これらは、フォームが送信された後に開始される、事前にプログラムされたワークフローと考えてください。

プレイブックで実行できることは次のとおりです。

- 簡単な承認ルーティング：承認のために要求を適切な担当者に自動的にルーティングし、手動のステップとボトルネックをなくします。ラップトップの要求が自動的に IT マネージャーに送信され、承認されることを想像してみてください。
- 直感的なプレイブックビルダー：コーディングは不要です。使いやすいエディターを使用してカスタムプレイブックを作成します。

作成するプレイブックでは、ユーザーがフォームに入力するときに提供する情報が使用されます。そのため、要求する詳細が多ければ多いほど、プロセスはよりスムーズに実行されます。

ワークスペースは履行者が要求に対応する場所を提供

アプリが展開されると、独自のワークスペースカテゴリに配置され、履行者が要求に簡単に回答できるようになります。ワークスペースをカスタマイズすることも、そのまま使用することもできます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

システムアドミン専用:クリエータースタジオに組み込まれているすべてのアプリは、アプリが使用するテーブルを含む要求アプリ構成テーブルにレコードを追加します。アドミンはアプリのテーブルを変更できます。詳細については、「 アプリの基になるテーブルの管理 」を参照してください。テーブルの名前は、x_snc_02_03_request などのscope_request形式に従います。

クリエータースタジオ での既存アプリの検索

他のユーザーが作成したアプリで作業する権限が与えられている場合や、アプリのカタログに新しいアイテムを追加したい場合があります。クリエータースタジオ ホームページは中心的なハブとして機能し、社内のユーザーが クリエータースタジオ を使用してビルドしたすべてのアプリをリストします。

始める前に

サマリー:
このトピックでは、次の方法について説明します。

- クリエータースタジオ でアプリを検索する。
- 既存のアプリを開く。
- アプリを開かずにアクションを実行する。

権限を取得する

アプリで作業するには、システムアドミニストレーターが sn_creatorstudio.user または sn_creatorstudio.restricted_user ロールをそのユーザーにアサインする必要があります。

このタスクについて

技術的な詳細:
クリエータースタジオ のホームページにリストされているすべてのアプリには、要求アプリ構成テーブル (sn_creatorstudio_request_app_config) のエントリがあります。

アプリのブックマークも使用できます

このトピックで詳しく説明する検索に加えて、ブックマークを使用して保存し、探しているアプリをすばやく見つけることができます。詳細については、 でブックマークされたアプリを操作する クリエータースタジオ を確認してください。

作業するアプリを検索する

クリエータースタジオ ホームページには多くのアプリがリストされている可能性があります。ここでは、作業したいアプリを見つける方法をご紹介します。

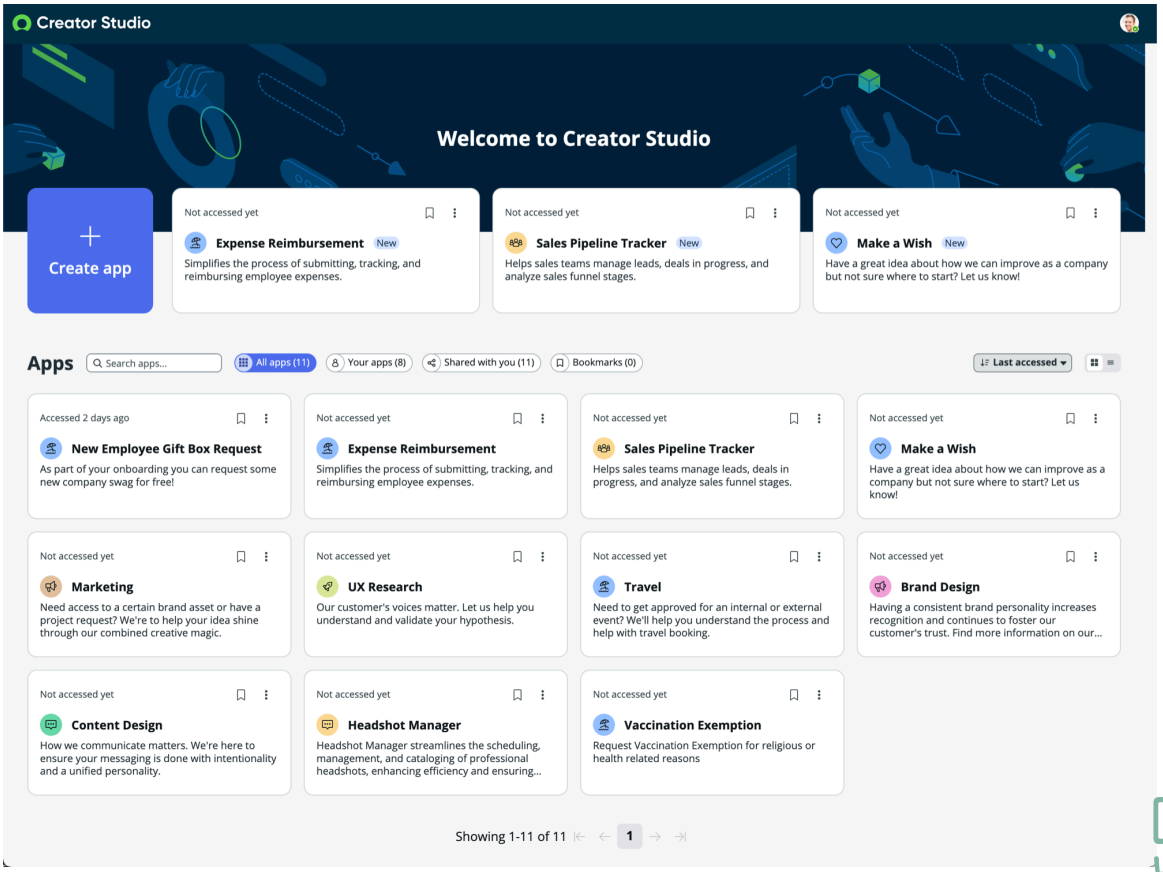
手順

1. 検索項目 すべて > **App Engine** > クリエータースタジオ.
   クリエータースタジオ のホームページが表示され、クリエータースタジオ を使用して会社の全員が最近作成したアプリが表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ホームページで利用可能なアプリを表示する

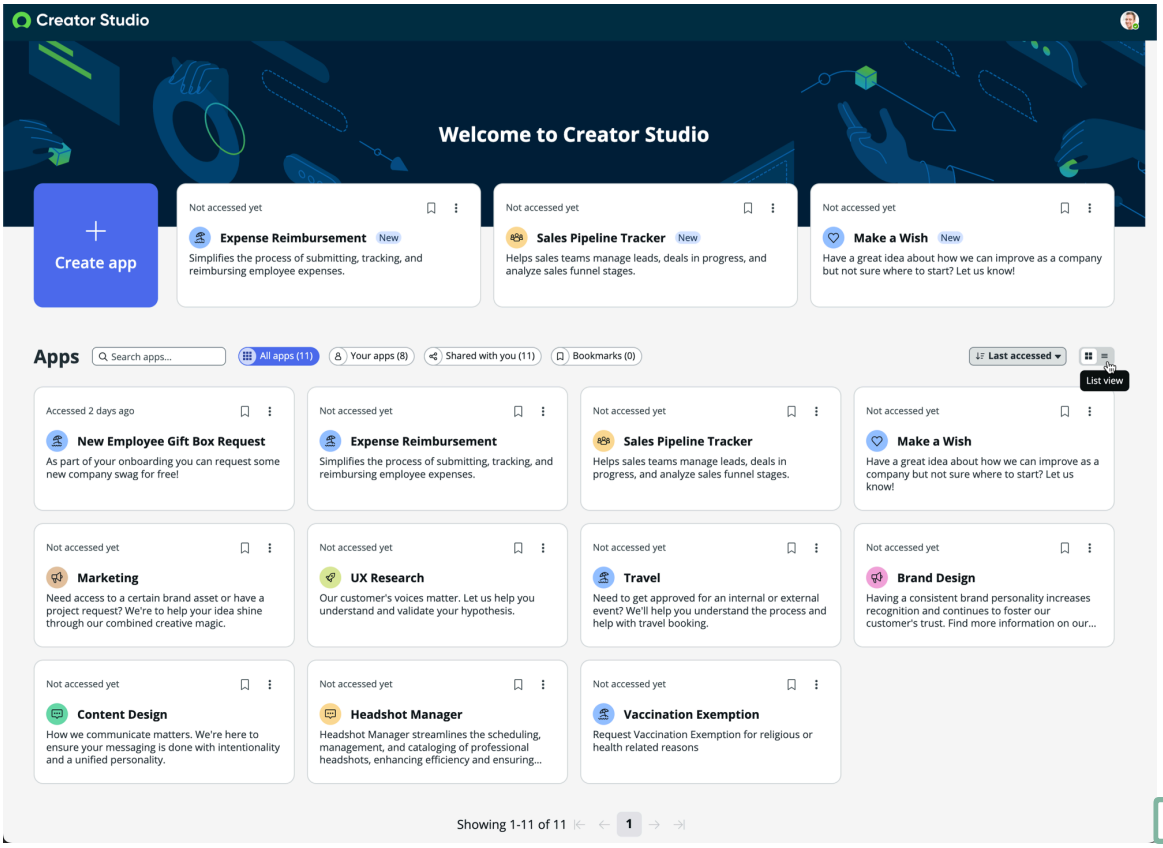


2. オプション: アプリをカードとして表示するのではなく、リストで表示しますか？[ビュー] アイコン ( ) を選択し、[リストビュー] に切り替えます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ホームページのアプリのリストビュー



3. 探しているアプリの名前がわかっている場合は、検索バーへの入力を開始します。
検索条件でアプリをフィルタリングするには、 クリエータースタジオ に少なくとも 3 文字を入力する必要があります。

> **注:**
> 検索バーにテキストを入力すると、すべてのピル ([アプリ] や [ブックマーク] など) も検索用語に基づいてフィルター処理されます。

4. オプション: 次のいずれかを選択して、表示されるアプリのリストを絞り込みます。

- [すべてのアプリ]：クリエータースタジオ を使用して会社のすべてのユーザーが作成したすべてのアプリが表示されます。
- [自分のアプリ **(Your apps)**]：自分が作成したアプリのみが表示されます。(作成したアプリの所有権は自分にあります。)
- [あなたと共有 **(Shared with you)**]：自分は作成していないけれど、オーナーが作業可能と言ったアプリのみが表示されます。

  アプリでの共同作業の詳細については、「委託開発 の探索」を参照してください。

5. オプション: ドロップダウンのソートメニューを選択し、次のいずれかのオプションを選択して、表示されているアプリのリストをソートします。

- [前回アクセス]：最後に作業した時間に基づいて、表示されるアプリをリストします。最も最近アクセスしたアプリがリストの最初に表示されます。
- [最新]：アプリを作成日の順に新しいものから古いものの順にリストします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- [最も前]：アプリを作成日の古いものから新しいものの順にリストします。
- **[A-Z]** または **[Z-A]**：表示されたアプリを選択した順序でアルファベット順にリストします。

> **注:**
> 検索バーにテキストを入力した場合、フィルタリングされた検索条件に従ってソートされます。

6. オプション: 5. アプリを選択して クリエータースタジオ で開くか、[その他のアクション] アイコン (…) を選択して、次のいずれかを選択します。
   - [新しいタブで開く]：別のブラウザタブでアプリを開きます。
   - **ServiceNow Studio** で開く: ServiceNow スタジオ でアプリを開いて、より詳細な編集を行います。

     > **注:**
     > このオプションを表示するには、 ServiceNow スタジオ へのアクセス権を持っている必要があります。ServiceNow スタジオの詳細については、「ServiceNow スタジオ の使用」を参照してください。

   - [協力者の管理]：アプリの所有者は、他のユーザーを招待して、一緒にアプリで作業できます。詳細については、「クリエータースタジオでアプリの協力者を管理する」を参照してください。
   - [リンクのコピー]：協力者にアプリへのリンクを送信して、協力者が見つけられるようにします。
   - [設定]：アプリの画像やその他の設定を更新します。詳細については、「クリエータースタジオでアプリの設定を編集する」を参照してください。
7. オプション: [アクセスの要求] を選択して、作業するアクセス権限のないアプリを開きます。アプリを開くには、自分がアプリを所有しているか、所有者から権限を与えられている必要があります。アクセスの要求の詳細については、「クリエータースタジオ でアプリの開発を依頼する」を参照してください。

タスクの結果

> **おめでとうございます:**
> お疲れさまでした。アプリを見つけて開けたか、アプリでアクションを実行できました。次に、そこでの作業方法を見ていきます。

でブックマークされたアプリを操作する クリエータースタジオ

アプリをブックマークして、 クリエータースタジオや ServiceNow スタジオですばやく見つけられるようにします。

このタスクについて

クリエータースタジオ で作成されブックマークされたすべてのアプリはブックマークされ、ServiceNow スタジオ で作業できるようになります。ただし、 ServiceNow スタジオ で作成されたアプリは、 クリエータースタジオ では機能しません。

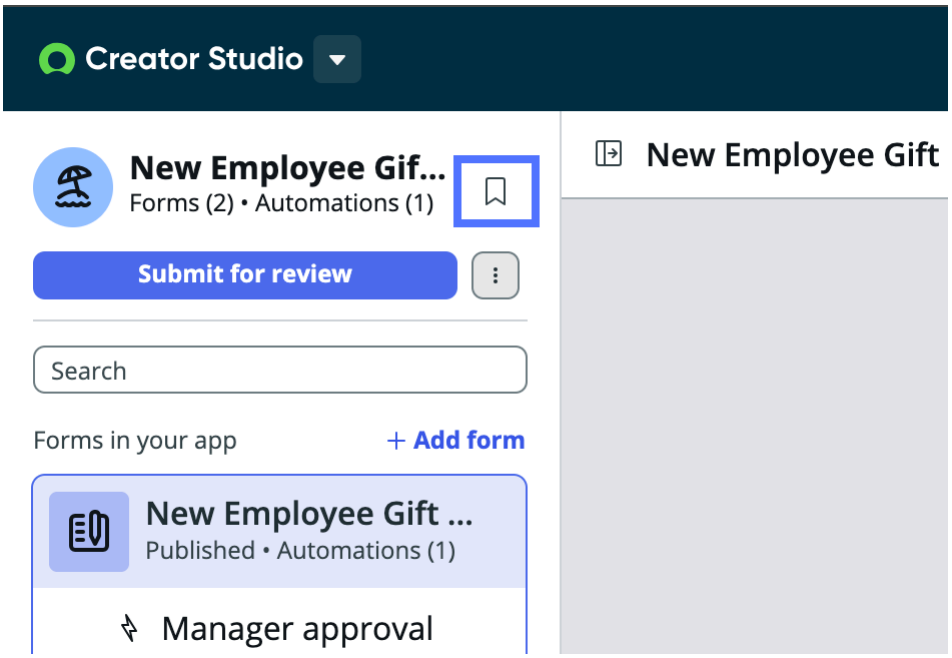
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:

既にアプリを開いている場合は、ナビゲーションパネルのブックマークアイコン ( ) を選択します。

ナビゲーションパネルのブックマークアイコン

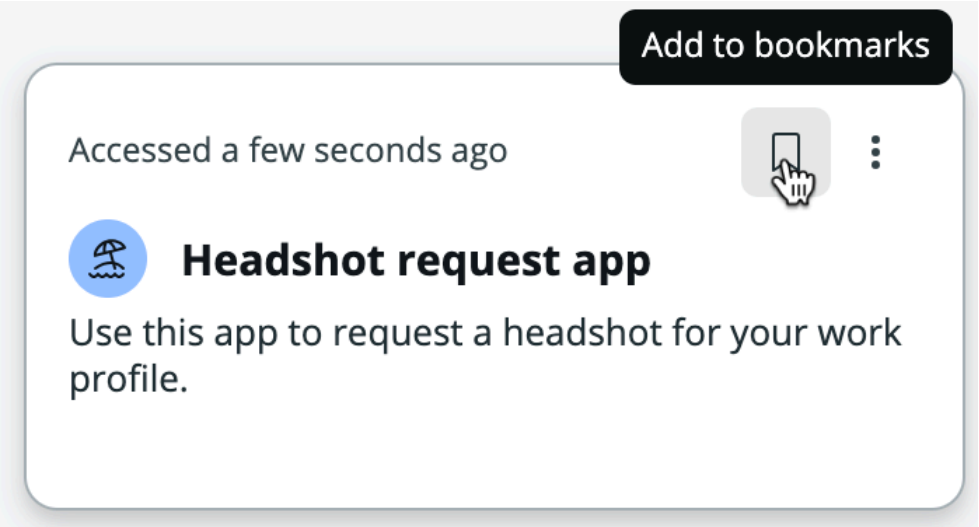


始める前に
アプリで作業するには、システムアドミニストレーターが sn_creatorstudio.user または sn_creatorstudio.restricted_user ロールをそのユーザーにアサインする必要があります。

手順

1. では すべて > **App Engine** > クリエータースタジオ.
   クリエータースタジオ に組み込まれているすべてのアプリがホームページに表示されます。
2. ブックマークするアプリを見つけます。
   詳細については、 クリエータースタジオ での既存アプリの検索を確認してください。
3. ブックマークするアプリのブックマークアイコン ( ) を選択します。

ブックマークアイコンを選択します

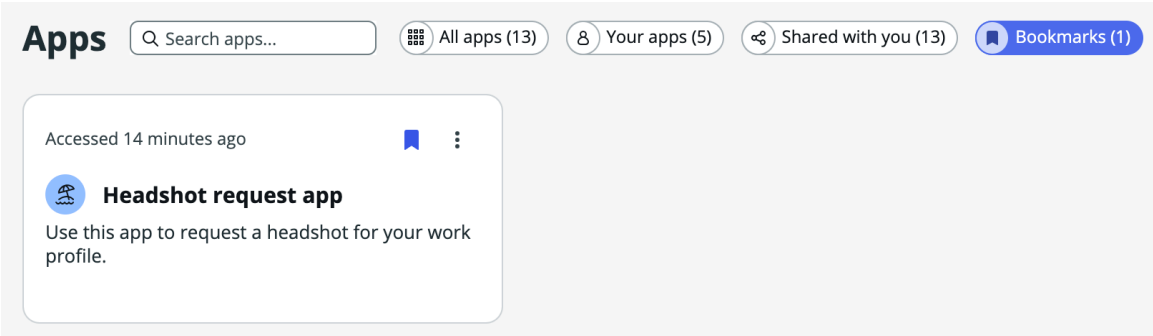


自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タスクの結果
クリエータースタジオ ホームページで [ブックマーク] ピルを選択して、ブックマークしたアプリを見つけます。

ホームページ上のブックマーク済みアプリ



注:
検索バーにテキストを入力した場合、検索条件に一致しない限り、ブックマークされたアプリは表示されません。ブックマークされたすべてのアプリを表示するには、検索バーをクリアしていることを確認してください。

開発エクスペリエンスを変更

クリエータースタジオ でエクスペリエンススイッチャーを使用して、より堅牢な環境が必要な場合は、別の開発エクスペリエンスを選択してください。

始める前に
エクスペリエンススイッチャーを使用するには、 ServiceNow スタジオ や ServiceNow IDE などの他の開発環境で作業する権限が必要です。

必要なロール:admin、委任開発者、またはアドミニストレーターがアクセス権を付与した追加ロール

注:
委任開発者ロールを持っていても、クリエータースタジオユーザーロールまたはクリエータースタジオ制限付きユーザーロールも持っている場合は、エクスペリエンススイッチャーは表示されません。

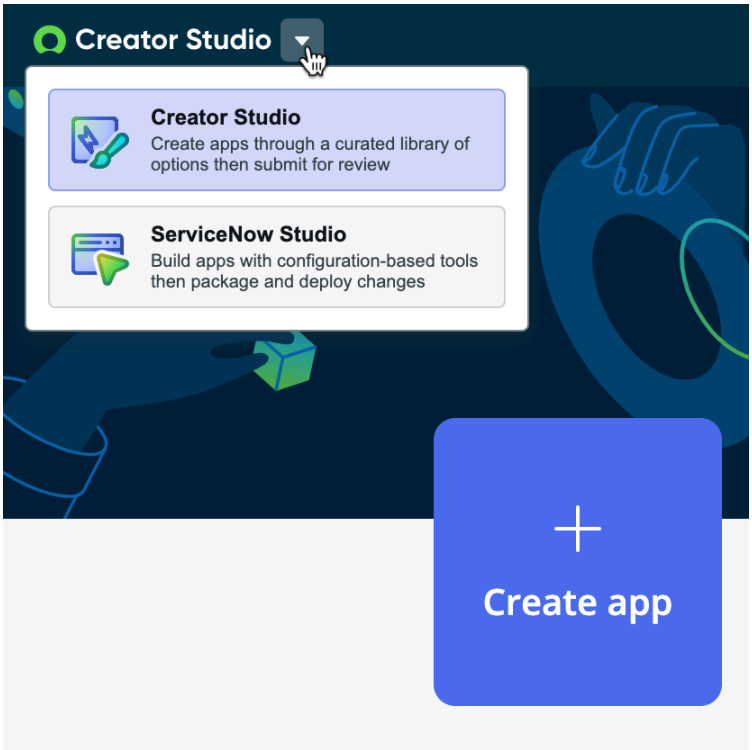
手順

1. では すべて > **App Engine** > クリエータースタジオ.
   クリエータースタジオ に組み込まれているすべてのアプリがホームページに表示されます。
2. クリエータースタジオ の任意のページの上部にあるバナーのクリエータースタジオロゴの横にある矢印アイコン ( ) を選択して、エクスペリエンススイッチャーを表示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

のエクスペリエンススイッチャー クリエータースタジオ



3. 切り替え先の開発エクスペリエンスを選択します。
   たとえば、[ServiceNow スタジオ] を選択します。

   注:
   選択できる開発エクスペリエンスは、権限によって異なります。サポートが必要な場合は、アドミニストレーターにお問い合わせください。

タスクの結果
選択した開発エクスペリエンスが同じブラウザタブで開きます。

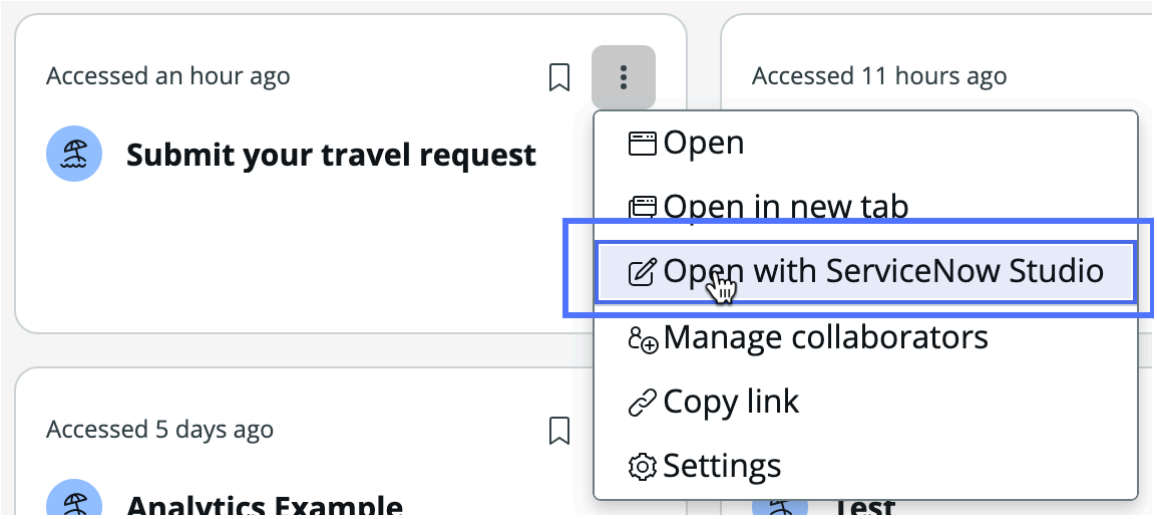
または、次の方法で ServiceNow スタジオ 特定のアプリを開くことができます。

- ホームページで、アプリのタイルにあるその他のアクションアイコン ( ) を選択し、[**ServiceNow Studio** で開く] を選択します。
- ナビゲーションパネルでその他のアクションアイコン ( ) を選択してアプリを開いた後、[**ServiceNow Studio** で開く] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[ServiceNow Studio で開く] リンク



クリエータースタジオでのアプリ作成

独自のアプリを作成することを夢見たことはありませんか？クリエータースタジオ を使って、思ったよりすぐに実現できるかもしれません。次のリンクから、このガイドの各セクションに移動できます。ここでは、手順を順を追って説明します。

アプリを作成する権限はありますか？

自分でアプリをビルドする権限がない場合は、アドミンに問い合わせてください。アドミンに権限を与えてもらうか、アドミンにアプリ名と簡単な説明を与えてアドミンがアプリを起動することができます。その後、後から参加して編集できます。

アプリをゼロからビルドしない

アプリケーションを最初から作成するには時間がかかる場合があります。クリエータースタジオ が基本的な作業をすべて行うのはそのためです。フォームテンプレート(スターターキットなど)を選択し、基本的な情報(名前など)を入力するか、 Now Assist を使用してフォームを作成します。後ほど、アプリをカスタマイズする方法を紹介します。

アプリのルックアンドフィールを編集する

アプリを目立たせたいですか？設定を編集することで、一意の名前、目を引く画像、その他の優れた機能を与えることができます。

クリエータースタジオ でのアプリの作成

クリエータースタジオ でビルドするアプリの基本情報を指定して、アプリの作成を開始します。

始める前に
アプリを作成する権限がない場合は、チームメイトにアプリの作成を要求できます。詳細については、「クリエータースタジオ でアドミンにアプリの作成を依頼する」を参照してください。

アドミニストレーターは、ユーザーを クリエータースタジオ ユーザーグループに追加する必要があります。

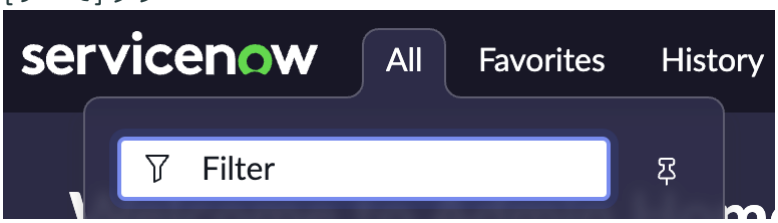
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. クリエータースタジオを開きましょう。インスタンスで [すべて] タブを選択します。

[すべて] タブ

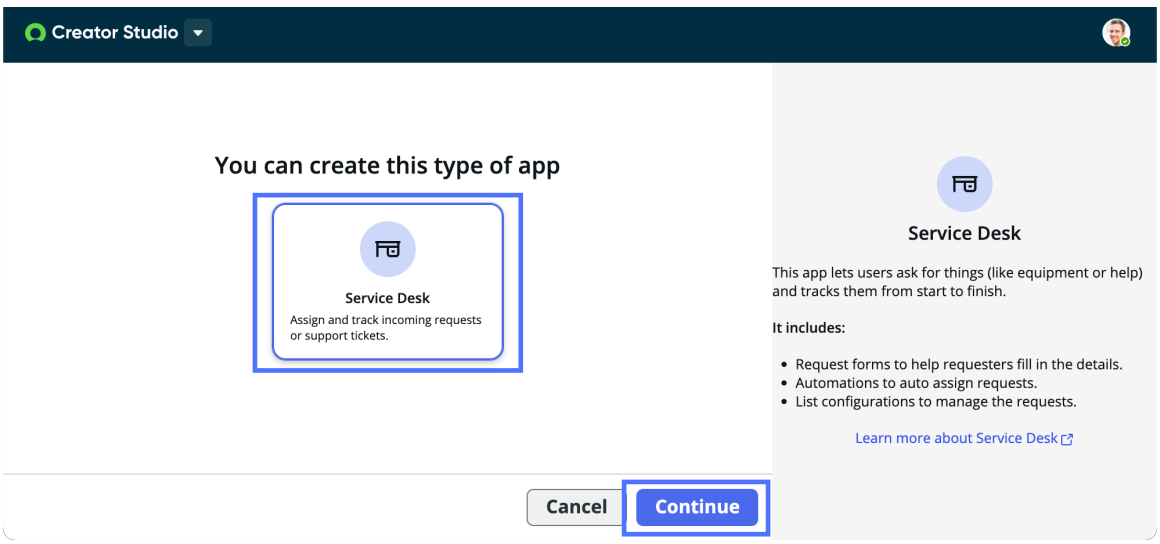


このタブでは、インスタンスにインストールされているすべてのアプリを確認できます。

2. 白いテキストフィールドに「 `クリエータースタジオ`」と入力します。
テキストボックスの下に表示されるアプリのリストは、 App Engineのみに関連するようになりました。
3. リストで、[クリエータースタジオ] を選択します。
これがクリエータースタジオを開く方法です！ホームページにたどり着きました。[アプリ] の下には、ユーザーがすでに作成したすべてのアプリが表示されています。
4. [アプリを作成] を選択してジャーニーを開始します。
   - システムアドミニストレーターの場合は、「アプリケーションコラボレーション」でこのトピックの詳細を読むことができます。
   - アドミンにアプリの作成を要求する方法を知りたい場合は、「クリエータースタジオ でアドミンにアプリの作成を依頼する」を確認してください。
5. サービスデスクなど、ビルドするアプリのタイプを選択します。
サービスデスクアプリを使用すると、ユーザーは要求を送信したり、問題を報告したり、社内のサービスに関連するサポートにアクセスしたりできます。

> **注:**
> アドミンがこのページを非表示にしている可能性があります。

アプリタイプを選択

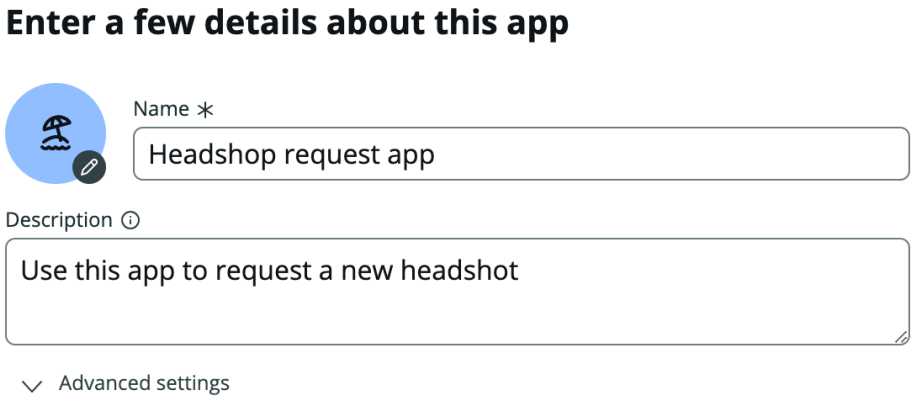


6. [**Continue**] ボタンをクリックします。
7. 表示される [アプリを作成] ページのフィールドに入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アプリを作成



自動翻訳

a. アプリに名前を付けます。これは、わかりやすく直感的なものでなければなりません。

b. アプリの実行内容を [説明] に記述します。

たとえば、This app enables a person to request office equipment. と入力します。

c. オプション: [詳細設定] を選択し、[スコープ] を指定して、アプリの名前とテーブルが一意であることを確認します。
スコープの詳細については、「アプリケーションスコープ」を参照してください。

d. [アプリを作成] を選択します。

タスクの結果

おめでとうございます:
アプリの作成が完了しました! 次に、テンプレートを使用して、ユーザーがアプリで要求を記入するために使用するフォームを追加します。その方法については、 でアプリにフォームを追加する クリエータースタジオ を確認してください。

アプリをビルドするときにアプリ所有者として実行できるすべての操作については、「アプリケーションコラボレーション」を参照してください。

システムアドミン専用:クリエータースタジオに組み込まれているすべてのアプリは、アプリが使用するテーブルを含む要求アプリ構成テーブルにレコードを追加します。アドミンはアプリのテーブ

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ルを変更できます。詳細については、「 アプリの基になるテーブルの管理 」を参照してください。テーブルの名前は、x_snc_02_03_request などのscope_request形式に従います。

クリエータースタジオ でアドミンにアプリの作成を依頼する

アプリをビルドする権限がない場合、基本的なアプリの作成から開始できるよう、アドミンに依頼してください。名前を伝え、アプリで何をしたいかを伝えるだけです。アドミンが作成を開始したら、それを引き継いで変更します。

始める前に

アプリの作成を要求するには、アドミンから sn_creatorstudio.restricted_user ロールをアサインしてもらう必要があります。

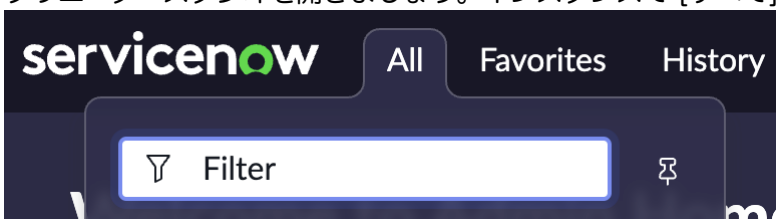
このタスクについて

アドミンにアプリの作成を依頼すると、自動的にそのアプリのオーナーになります。詳細については、「での他のユーザーとのコラボレーションによるアプリのビルド クリエータースタジオ」を参照してください。

アドミンにアプリの作成を依頼する方法は次のとおりです。

手順

1. クリエータースタジオを開きましょう。インスタンスで [すべて] タブを選択します。



   このタブでは、インスタンスにインストールされているすべてのアプリを確認できます。

2. 白いテキストフィールドに「App Engine」と入力します。
   テキストボックスの下に表示されるアプリのリストは、App Engine のみに関連するようになりました。
3. リストで、[クリエータースタジオ] を選択します。
   これがクリエータースタジオを開く方法です！ホームページにたどり着きました。[アプリ] の下には、ユーザーがすでに作成したすべてのアプリが表示されています。
4. 要求を開始するには、[アプリを作成] を選択します。
5. 表示されたモーダルのフィールドに入力します。

   a. アプリに名前を付けます。これは、わかりやすく直感的なものでなければなりません。

   b. アプリの処理内容を [説明] に記述します。

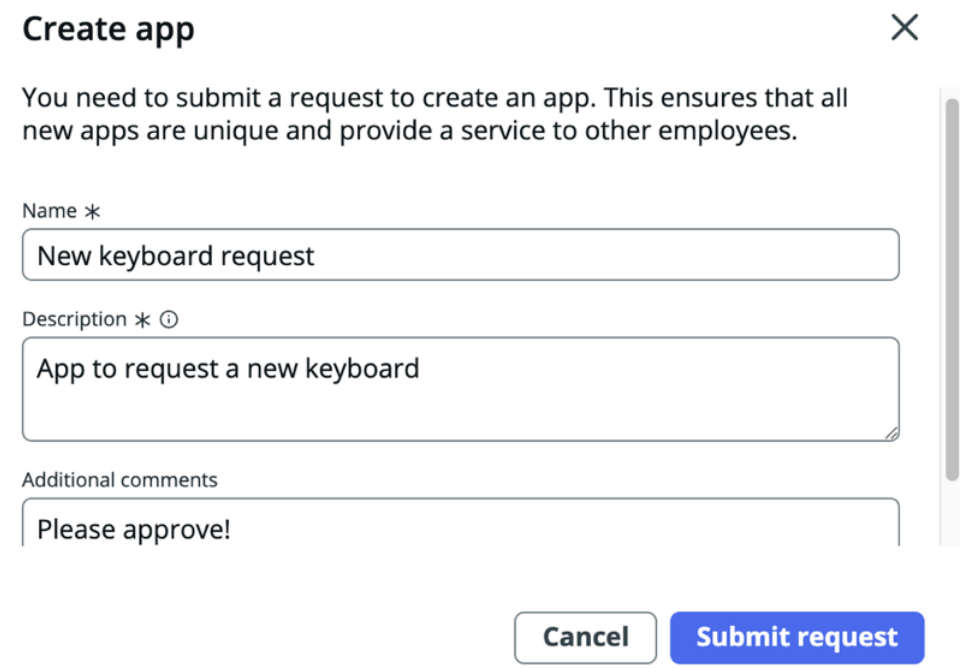
      例: オフィス機器を要求するアプリ

   c. アドミンが要求を承認するときに知らせる追加のコメントを入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アプリの作成を要求



6. [要求を送信] ボタンを選択します。

タスクの結果

アドミンにアプリの作成を依頼すると、アドミンが要求を確認して承認します。アドミンがアプリの詳細を必要とする場合があります。アドミンが承認して作成すると、メール通知が届きます。その時点では、あなたがアプリのオーナーです。クリエータースタジオ でアプリを見つけて、アプリのフォーム、自動化、ワークスペースカテゴリのビルドを開始できます。

アプリをビルドするときにアプリ所有者として実行できるすべての操作については、「アプリケーションコラボレーション」を参照してください。

アドミン向け:

- クリエータースタジオ でビルドされるすべてのアプリは、要求アプリ構成テーブルにレコードを追加します。テーブルの名前は、scope_request の形式に従います (例：x_snc_02_03_request)。 ただし、アプリのテーブルは作成後に変更できます。詳細については、 アプリの基になるテーブルの管理をご覧ください。
- [要求アプリ管理 (Request App Administration)] アプリの [アプリケーションタスク (Application Tasks)] テーブルで、アプリ要求を確認して承認します。

クリエータースタジオでアプリの設定を編集する

たとえば、新しい名前を付けたり、説明を微調整したり、新しい画像を入れ替えたりして、アプリを少し華やかにしたい場合があります。設定を数回クリックするだけで、実現できます。技術の専門家でなくても、それをどのようにできるかを詳しく見ていきましょう。

始める前に

アプリの設定を編集するには、アプリで作業する権限を付与されている必要があります。

このタスクについて

テーブルやスコープなど、アプリの作成後に変更できないものがいくつかあります。大きく変えたい場合は、新しいアプリでゼロから始める必要があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

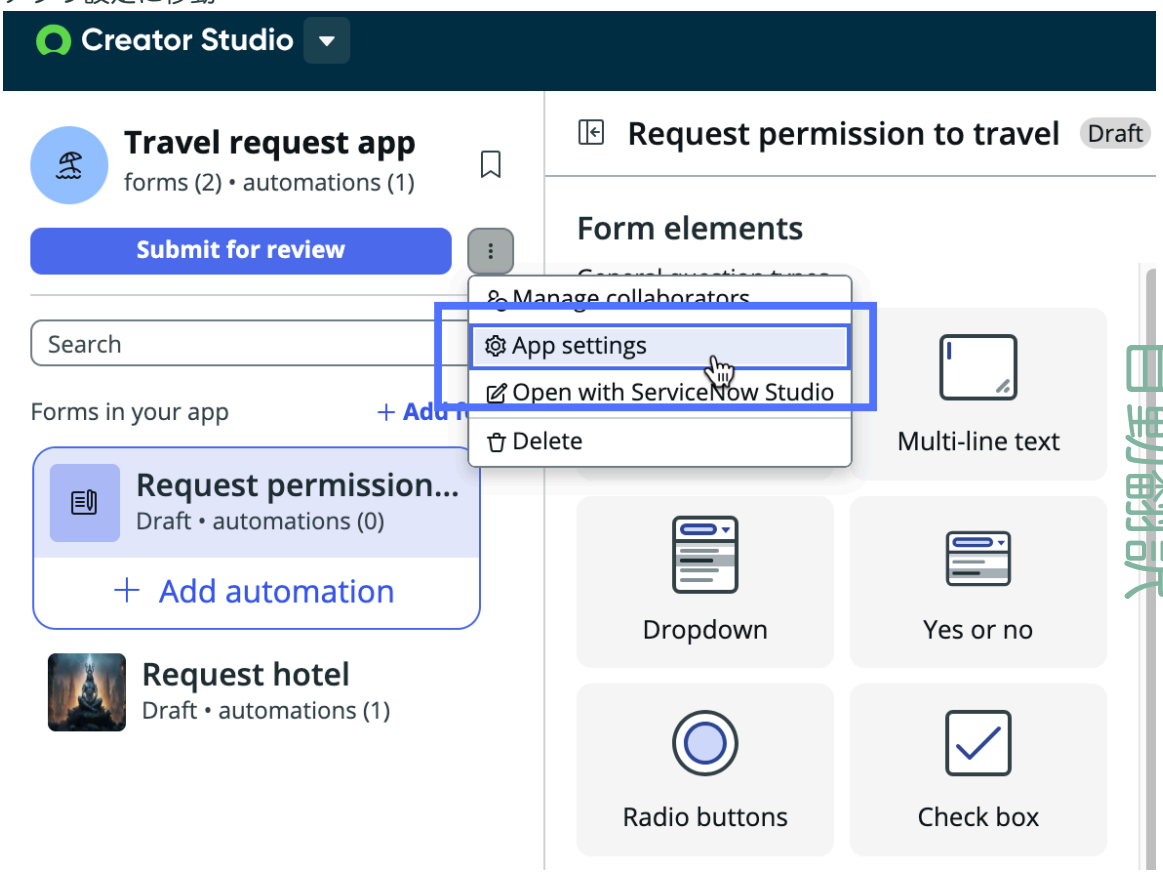
手順

1. クリエータースタジオホームページに移動して、 すべて > **App Engine** > クリエータースタジオ.
   ホームページにすべてのアプリのリストが表示されます。
2. 作業するアプリを選択します。
   画面が開き、変更を開始できます。
3. アプリ設定モーダルを開きます。

   a. ナビゲーションパネルでその他のアクションアイコン ( ) を選択します。

   b. [アプリの設定] を選択します。

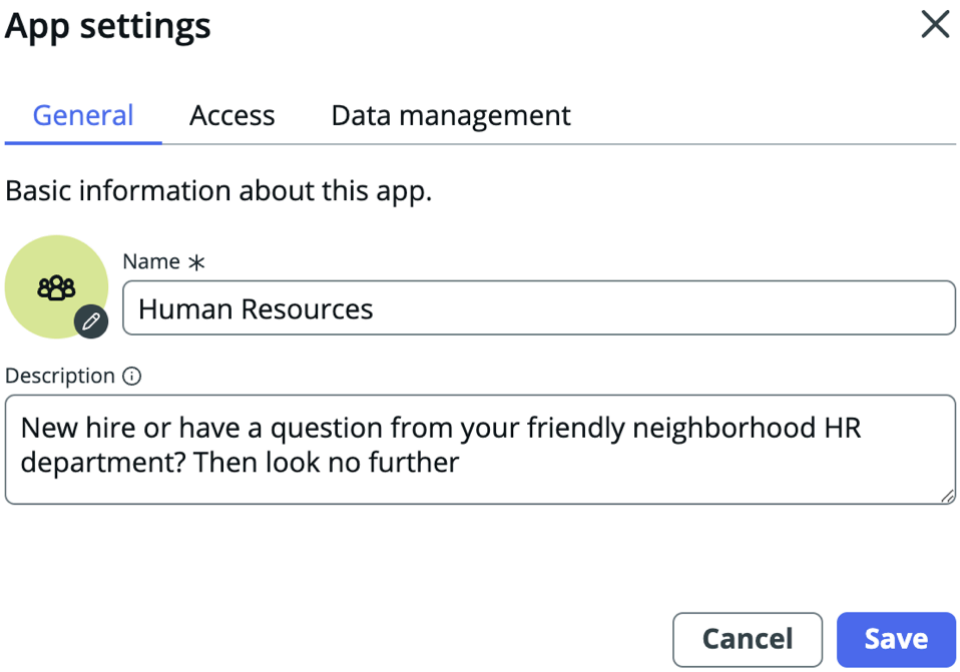
アプリ設定に移動



4. [一般 **(General)**] タブで、アプリの画像の更新などの変更を加えます。
   アプリの作成後は、[アクセス] タブのセキュリティ設定を変更することはできません。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アプリの設定



5. すべてが完了したら、[保存] ボタンを選択します。

タスクの結果

これで完了です。簡単な手順で、アプリをまったく新しい雰囲気に変えることができました。創造力を発揮して、自分のアプリを作成しましょう！

でのアプリの削除 クリエータースタジオ

アプリを削除して クリエータースタジオから削除します。

始める前に

アプリを削除するには、アプリを削除する権限が付与されている必要があります。詳細については、「クリエータースタジオでカスタマイズされたアプリコラボレーション権限」を参照してください。

手順

1. 検索項目 すべて > **App Engine** > クリエータースタジオ をクリックして、 クリエータースタジオ ホームページにすべてのアプリを表示します。

2. 削除するアプリを開きます。

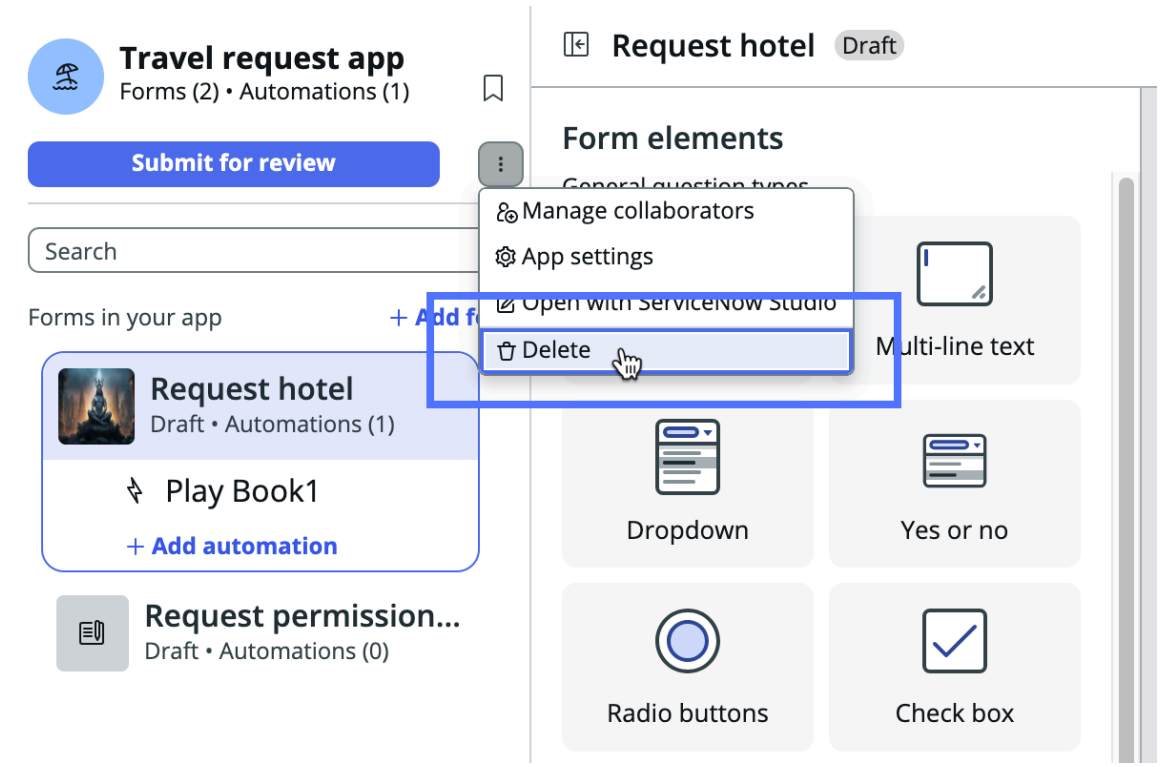
3. ナビゲーションパネルでその他のアクションアイコン ( ) を選択します。

4. 表示されるメニューから [削除] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アプリの削除



5. 表示されるモーダルに 「Delete 」と入力します。

6. [**Delete**] ボタンをクリックします。

タスクの結果
アプリは クリエータースタジオ から削除されますが、展開されていた場合、展開されたアプリは引き続き使用できます。

での他のユーザーとのコラボレーションによるアプリのビルド クリエータースタジオ

アプリの構築にサポートが必要な場合がありますが、問題ありません。また、他の人がアプリの構築であなたのサポートを必要とすることもありますが、それは素晴らしいことです。そこで登場するのがコラボレーションです。

編集する権限を要求することで、自分が所有していないアプリでコラボレーションでき、また共に作業している他のユーザーを招待して、自分のアプリでコラボレーションできます。

コラボレーション (委託開発とも呼ばれます) は、ServiceNow AI Platform に設定されている既存の委託開発機能に基づいてビルドされます。これにより、開発者は他の開発者をアプリに招待し、共同でアプリを作成、開発できるようになります。権限に応じて、アプリでコラボレーションするように他の人を招待したり、他の人のアプリへの参加を要求したりできます。

注:
コラボレーションを最大限に活用するには、App Engine Enterprise ライセンスが必要です。

ServiceNow AI Platform コラボレーションアプリは、クリエータースタジオとともに自動的にインストールされます。コラボレーションアプリの詳細については、「アプリケーションコラボレーション」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

コラボレーション記述子：オーナーとエディター

アプリについてサポートが必要なことや、他のユーザーがアプリをビルドするのをサポートする必要があることに気付いたとします。次のステップは何でしょうか？適切なコラボレーションロールが必要です。

他の人とアプリを共同開発する場合、標準的な協力者にはオーナーとエディターの 2 種類があります。これら 2 つのロールは、コラボレーション記述子と呼ばれます。ユーザーにアサインされているコラボレーション記述子によって、委託開発権限をアサイン、管理、監視できるかどうかが決まります。たとえば、オーナーであるユーザーは、エディターのコラボレーションタイプのユーザーよりも多くのことができます。

必要に応じて、アドミンは、クリエータースタジオ ガイド付きセットアップまたはコラボレーションアプリで協力者を管理するときに選択するカスタムコラボレーション記述子を定義できます。カスタム記述子の詳細については、「ガイド付きセットアップ を使用して クリエータースタジオを構成する」および「権限をアサインするためのコラボレーション記述子の作成」を参照してください。

デフォルトのコラボレーション記述子

記述子	説明
Owner (所有者)	アプリケーションのオーナー。 • アプリを作成した場合は、自動的にオーナーになります。 • オーナーは、アプリの他の協力者を管理できます。 • オーナーはアプリの削除権限を持ち、名前、説明、アイコンなどのアプリ設定を編集できます。 • オーナーは、アプリの delegated_developer ロールを自動的に取得します。
エディター	• エディターは協力者を招待できます。 • エディターがアプリを編集する機能は限られています。

コラボレーション開発者権限

アプリでオーナーとエディターを指定しましたが、次はどうすればよいでしょうか？アプリで作業する他の協力者を招待する必要があります。

コラボレーション権限により、クリエータースタジオ でアプリをビルドするユーザーを制御できます。開発者 (またはアプリケーションを展開するユーザー) に権限をアサインして、アプリケーションを開発および展開できるようにします。

アプリでのコラボレーションに誰かを招待し、その人が委任開発者 (delegated_developer) ロールを持っていない場合、App Engine アドミンはコラボレーション要求を承認する必要があります。詳細については、「委託開発 の探索」を参照してください。

ユーザーまたはグループを追加すると、バックグラウンドでコラボレーションタスクが生成され、承認フローが開始されます。App Engine 管理センター (AEMC) がインストールされている場合、アドミンはそこでこれらのコラボレーション要求タスクを確認して承認/拒否できます。AEMCがイン

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ストールされていない場合、アドミニストレーターは すべて > *App Engine* > コラボレーション > コラボレーションタスク.

アドミンに送信されるコラボレーションタスクは、開発者がどのアプリケーションに追加され、どの権限が付与されるかについての情報を提供します。承認者は、開発者をアプリケーションに追加する前に、これらのタスクレコードを確認しなければならない場合があります。

オーナーとエディターができること

クリエータースタジオユーザーグループに属している場合は、アプリでコラボレーションしているすべてのユーザーとグループ、およびそのコラボレーション記述子を表示できます。

ユーザーとグループが表示されない場合は、より制限のある別の権限が設定されている可能性があります。でも心配は無用です。アプリの担当者について質問がある場合は、いつでもアドミンにお問い合わせください。

次のテーブルは、オーナーとエディターが クリエータースタジオ で実行できることの一般的なデフォルトのリストです。

注:
オーナーとエディターの協力者のデフォルトのコラボレーションタイプ権限のリストについては、「クリエータースタジオでカスタマイズされたアプリコラボレーション権限」を参照してください。

クリエータースタジオ 機能のコラボレーション

クリエータースタジオ の機能	オーナー	エディター
協力者を招待	はい	はい
協力者の管理	はい	いいえ
名前、説明、アイコンなどのアプリ設定を編集する	はい	いいえ
フォームを作成、編集、削除する	はい	はい
自動化を作成、編集、削除する	はい	はい
履行者ワークスペースのリスト構成とレコードの管理	はい	はい
アプリを展開用に送信する	はい	いいえ
アプリを削除	はい	いいえ

異なるバージョンでのコラボレーションロールとインスタンス

アドミンがクリエータースタジオを実装する際、クリエータースタジオのない旧バージョンの ServiceNow AI Platform 上に本番インスタンスがあるにもかかわらず、非本番インスタンスにインストールすることがあります。このインスタンスバージョンの不一致は、非本番インスタンスをソースとして、本番インスタンスをコントローラーとして指定するコラボレーション承認ワークフローに影響します。クリエータースタジオをサポートするバージョンのコラボレーションプラグインがコントローラーにない場合、コラボレーションはサポートされません。

ユーザーがインスタンスバージョンに関係なくコラボレーション承認ワークフローを使用できるようにするには、アドミンは catalog_builder_editor ロールをクリエータースタジオユーザーグループにアサインする必要があります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

クリエータースタジオ でアプリの開発を依頼する

アプリで作業したいけれど、アプリにアクセスできない場合はどうすればよいですか？心配ありません。アクセスを依頼する方法を説明します。

始める前に

まず最初に、参加するには適切なアクセス権が必要です。システムアドミニストレーターに、sn_creatorstudio.user または sn_creatorstudio.restricted_user ロールを付与してもらう必要があります。

このタスクについて

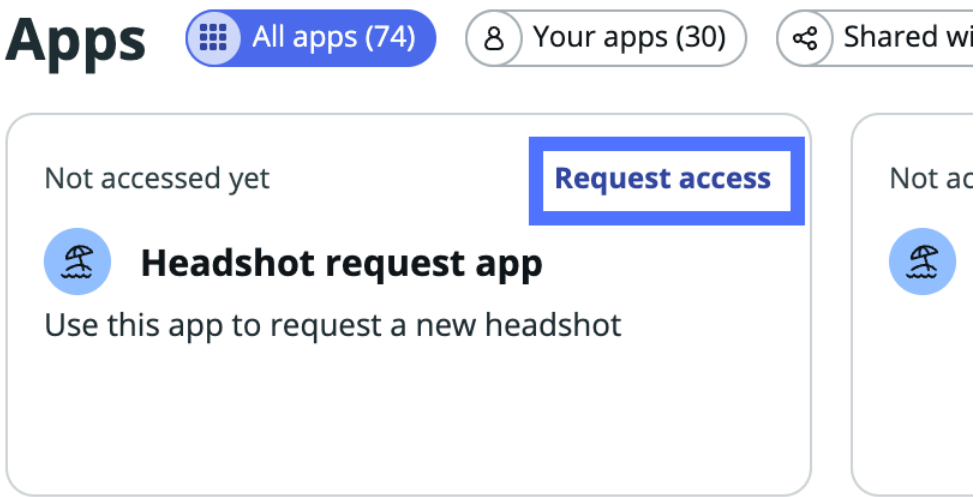
アプリ開発作業の権限を付与されると、その開発を委任され、協力して開発を進められます。詳細については、「委託開発 の探索」を参照してください。

> **注:**
> アドミンにはすべてのアプリへのアクセスが許可されているため、 [アクセスの要求] オプションは表示されません。

手順

1. 次の場所に移動して クリエータースタジオ に向かいます すべて > **App Engine** > クリエータースタジオ.
   クリエータースタジオ に組み込まれているすべてのアプリのリストがホームページに表示されます。
2. サポートするアプリを探し、そのアプリの [アクセスの要求] リンクを選択します。

   アクセスの要求



3. オプション: アプリへの参加に関心がある理由を説明する簡単なメモを残すには、[オプションのメッセージを入力 **(Enter an optional message)]** フィールドを使用します。素晴らしいアイデアが浮かんだり、単にプロセスを知りたいだけの場合もあります。
4. 準備ができたら、[アクセスの要求] ボタンを選択します。

タスクの結果

運が良ければ、App Engine アドミンが要求を承認し、参加できます。次に、積極的にアプリの作業を開始します。

> **注:**
> 委任開発者ロールを持つユーザーは、コラボレーションのために自動的に承認されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次のタスク

> **重要:**
> アプリへの参加要求が承認されたら、アプリにアクセスするには、ServiceNow AI Platform からサインアウトしてから再度サインインする必要があります。

組織で App Engine 管理センター (AEMC) を使用している場合、App Engine アドミンはそこでコラボレーション要求を承認します。

組織に AEMC がない場合、アドミンはコラボレーションタスクテーブルのアプリへの参加要求を承認します。詳細については、「コラボレーション要求を承認する」を参照してください。

クリエータースタジオでアプリの協力者を管理する

[協力者の管理] オプションを使用して、アプリで作業できるユーザーを追加または削除したり、アプリに対する権限を変更したりできます。

始める前に

システムアドミニストレーターに、協力者の管理権限をアサインしてもらう必要があります。アドミンはまた、協力者を管理することもできます。

このタスクについて

各アプリの権限に応じて、協力者を招待または管理できます。たとえば、協力者の管理権限を持っている場合、エディターや所有者など、既存の協力者の協力者タイプを変更することはできません。

手順

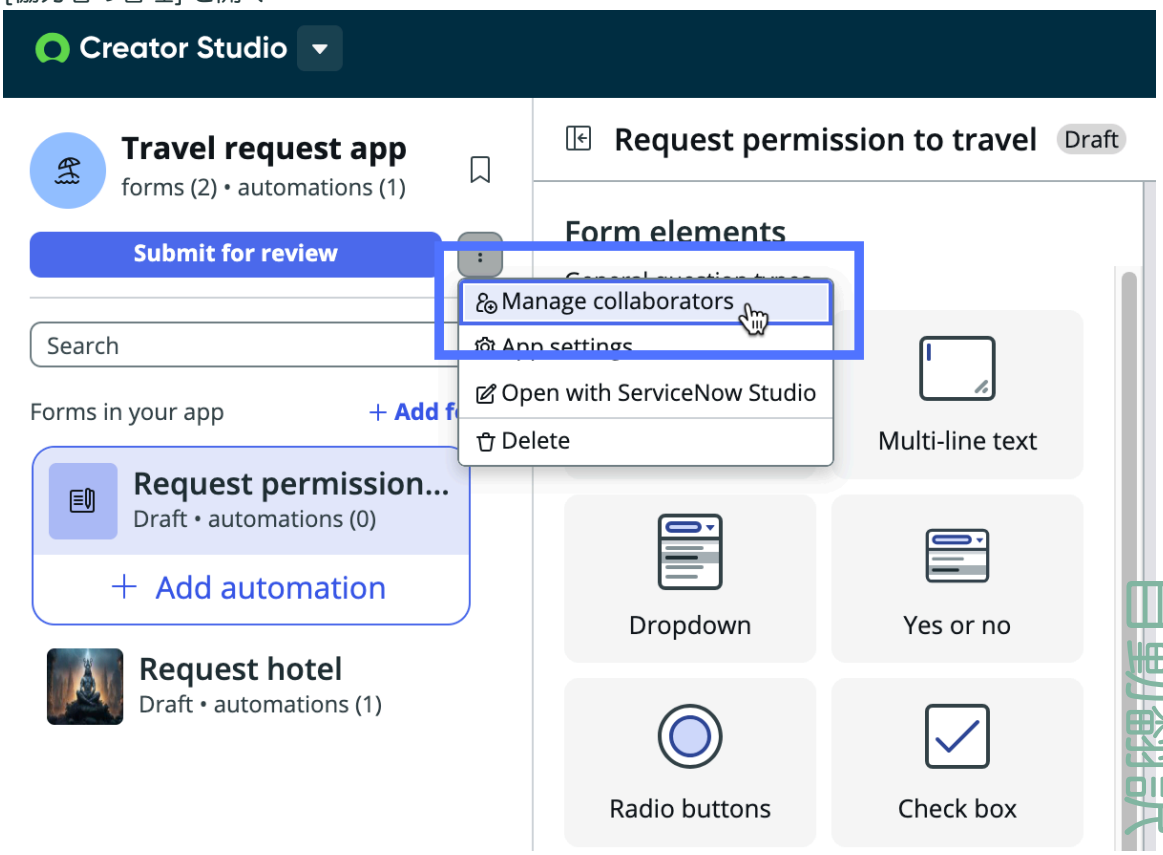
1. 検索項目 すべて > **App Engine** > クリエータースタジオ をクリックして、 クリエータースタジオ ホームページにすべてのアプリを表示します。
2. 協力者を管理するアプリを見つけます。
3. 次の 2 つの方法のいずれかで、[他のユーザーとの協力者 (Collaborators with others)] モーダルにアクセスします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- クリエータースタジオホームページから、アプリのその他のアクションアイコン ( ) を選択し、表示されるメニューから [協力者の管理] を選択します。
- アプリを開き、ナビゲーション パネルで [その他のアクション] アイコン ( ) を選択して、表示されるメニューから [協力者の管理] を選択します。

[協力者の管理] を開く



4. [記述子を選択] フィールドを使用して、[協力者] セクションで既存の協力者の権限を変更します。
   - [所有者] は、ユーザーまたはグループをアプリの所有者に変更します。
   - [エディター] は、ユーザーまたはグループをアプリのエディターに変更します。
   - [権限をカスタマイズ] では、ユーザーがアプリで実行できる特定の処理を選択できます。詳細については、「クリエータースタジオでカスタマイズされたアプリコラボレーション権限」を参照してください。
   - [削除] は、ユーザーまたはグループがアプリで作業するアクセス権を取り消します。

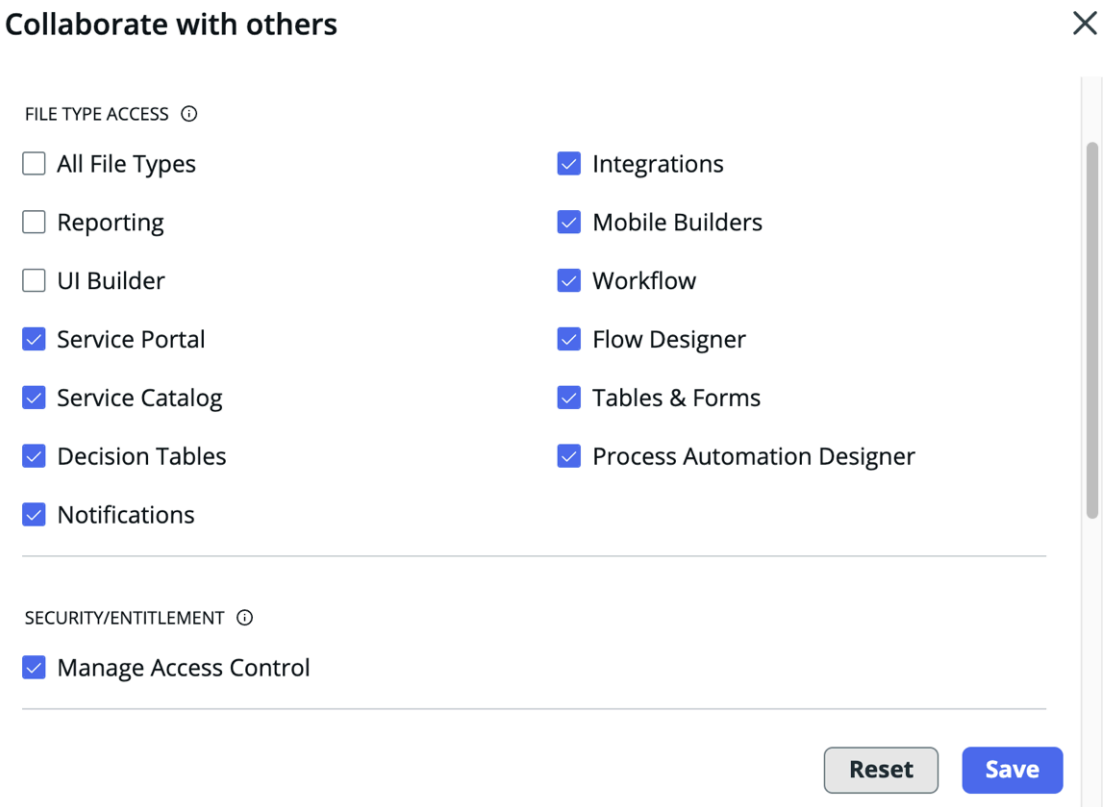
   注:
   他のユーザーが使用するには、コラボレーション記述子がグローバルスコープ内にある必要があります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

コラボレーション権限をカスタマイズする

5. [権限をカスタマイズ] を選択し、ユーザーに付与する必要がある権限を選択して、コラボレーション権限をカスタマイズします。

コラボレーション権限をカスタマイズする



6. オプション: 追加の協力者があれば追加します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. [名前またはグループでユーザーを招待] フィールドに、招待するユーザーまたはグループを入力し始めます。

b. [記述子を選択] フィールドでコラボレーションレベルを指定します。

c. [送信] ボタンを選択して承認プロセスを開始します。
必要な数のユーザーとグループを指定できます。

タスクの結果
[保存] ボタンが必要な権限をカスタマイズしていない限り、[他のユーザーとのコラボレーション] モーダルを閉じると、変更内容が自動的に保存されます。

次のタスク
App Engine アドミンは、協力者に対する変更を承認する必要があります。

クリエータースタジオ でのフォームの操作

アイテムまたはサービスをカタログに追加するには、要求されているものごとに異なるフォームを作成する必要があります。

サマリー:
このトピックを読むと、次のことが理解できるようになります。

- フォームテンプレートを使用して独自のフォームの作成を開始する方法。
- フォームのレイアウトと質問をカスタマイズする方法。
- フォーム (別名カタログアイテム) をアプリに表示する方法。
- フォームがアプリに表示されないようにする方法。

フォームとは何ですか。

フォームは、要求を行うためにユーザーが回答する質問のリストです。ユーザーが、キーボードやノートパソコン、休暇の許可などを求めるかもしれません。これらの質問に対する回答は、要求を実行するために必要なすべての情報を履行者に提供します。たとえば、誰かがラップトップを要求した場合、履行者はサイズ、モデル番号、オペレーティングシステムなどを知る必要があります。

フォームには、質問の他に、質問を説明する画像、見出し、テキストによる説明を含めることができます。

要求者が要求できるアイテムまたは要求のタイプごとに異なるフォームが必要になります。どうしてですか？キーボードについて尋ねる必要がある質問は、要求者に休暇を取る許可を与えるために尋ねる必要がある質問とは異なるためです。そのため、ユーザーが作成できる要求の種類ごとに 1 つのフォームがあります。フォームはカタログアイテムを表すと考えることができます。

アプリには複数のフォームがあり、要求者が要求できるものは複数あります。フォームのコレクションをアイテムのカタログと呼びます。

主要な用語:

アイテム
: 要求者が要求できるもの。各アイテムには独自のフォームが必要です。

カタログ
: 要求者が要求できるすべてのアイテムを表すアイテムのコレクション。

カタログとアイテムの例

次の表は、3 つのカタログを示しています。最後の列には、各カタログのアイテムの名前が表示されます。アイテムが 3 つある場合は、3 つのフォームが必要です。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

カタログとそのアイテムの例

サービスカタログ	サンプルアプリ	サンプルカタログアイテム
HR セルフサービス	ヒューマンリソース (HR) グローバル人材ポータルアプリ	• 福利厚生に関する質問 • 休暇要求 • 必要な住所の変更
ブランディングリソース	マーケティングおよびブランディングアプリ	• PowerPoint テンプレート • 承認済みの Zoom 背景 • ロゴファイル
IT フルフィルメント	ハードウェア要求アプリ	• マウスデバイス • ヘッドセット • 交換用充電ケーブル

クリエータースタジオ で有利なスタートを

テンプレートを選択してフォームの作成を開始すると、 クリエータースタジオ は、使用する可能性のある質問を含むフォームを作成します。質問とレイアウトでフォームが構成されます。

主要な用語:

フォームテンプレート

クリエータースタジオ が提供するフォームに配置された一連の質問。

クリエータースタジオ が提供するフォームテンプレートは、クリエータースタジオのデフォルトテンプレートと呼ばれます。開始するための 3 つの質問が含まれています。フォームで質問をカスタマイズ、追加、削除することができます。

注:
Now Assistを使用してフォームを作成できます。詳細については、「でのフォームの生成 Now Assist」を参照してください。

アドミニストレーターは、デフォルトのテンプレートを削除したり、追加のフォームテンプレートを作成したり、フォームに入力できるユーザーを制限したりすることができます。アドミニストレーターの場合は、「 クリエータースタジオ アプリで使用するカタログテンプレートの作成」でこのトピックの詳細を読むことができます。

要求者が入力するフォームを保存するために、 クリエータースタジオ はデフォルトでテーブルを作成します。1 つの行は、入力された 1 つのフォームを表します。

注:
アプリケーションには、必要な数のフォームを含めることができます。

フォームを作成すると、 クリエータースタジオ はアプリの要求テーブルを使用して、各フォームに対して送信された回答を保持します。アプリのすべてのフォームからのすべての要求は、同じテーブルに保存されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

質問のタイプ

要求者に尋ねる質問を選択できます。 クリエータースタジオ では、次の 2 種類の質問を使用できます。

- 一般的な質問 では、簡単な回答 (名前やメールなど) を書き込むための空のボックスや、選択肢のリスト (ドロップダウンメニューや記入する小さな丸など) を提供します。
- [参照ベースの質問 **(Reference-based question)]** は、テーブルで定義する選択肢のリストを指定します。

アドミンによって事前設定されたフォームに質問を追加できます。フォームは編集できません。[質問セット] 要素をフォームに追加して、キュレーションされたオプションから選択できます。

ユーザーが質問に回答する方法に基づいて、いくつかの方法でフォームを変更できます。

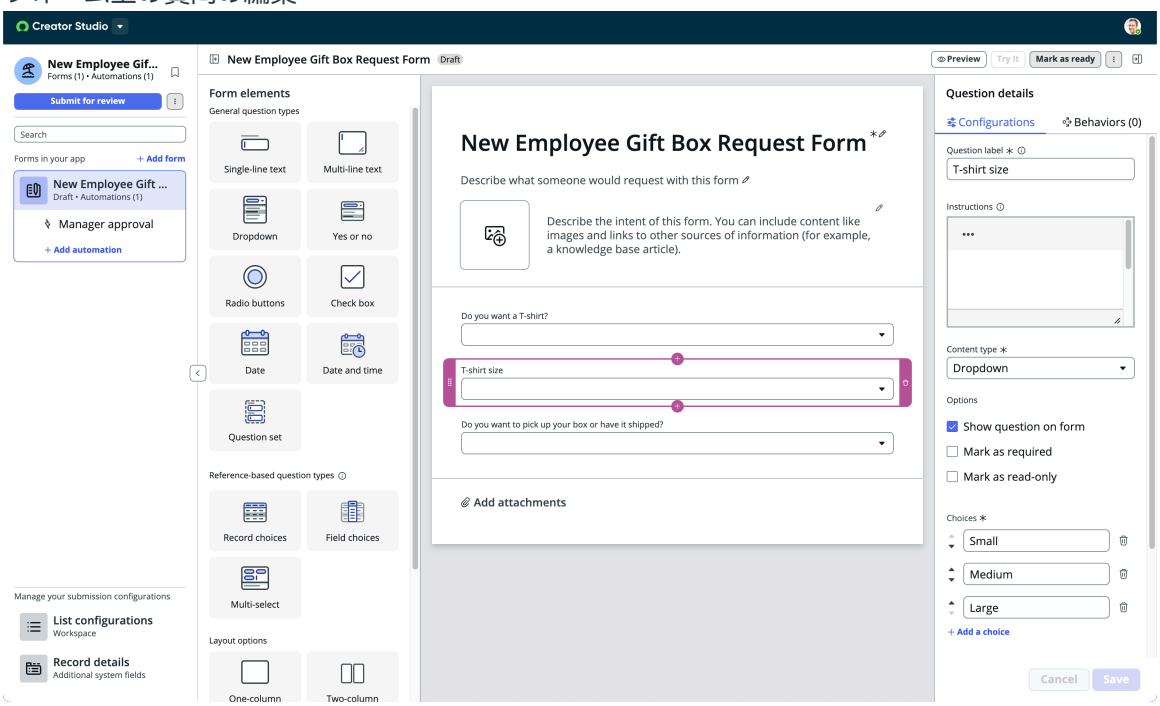
- フォームでは、ユーザーの回答方法に基づいて質問の表示方法 (または非表示) を自動的に更新できます。これを 動的動作と呼びます。 たとえば、ユーザーが参加するイベントの T シャツが欲しいと言った場合、 **T** シャツサイズ フィールドを必須にすることができます。
- フォームでは、レコード選択式の質問への回答に基づいて回答を自動的に入力できます。 たとえば、フォームで [ギフトボックスの受信者を選択 **(Choose the gift box**)] フィールドのユーザーを選択し、ユーザーテーブルからその値を取得できます。追加の [希望する名前] フィールドは、[ユーザー] テーブルの選択の [名] フィールドから自動的に入力できますが、ニックネームが希望する場合は編集できます。

質問のレイアウト

クリエータースタジオ はデフォルトフォームの初期レイアウトを提供します。列、画像、区切り線などを使用して、フォーム上の質問のレイアウトをカスタマイズできます。フォームをカスタマイズするために使用できる手順は 2 つあります。

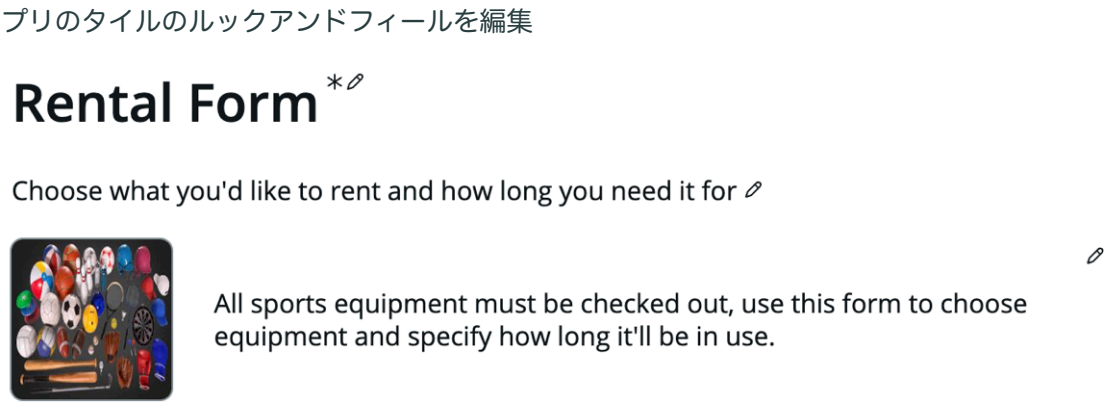
- 質問の変更 – 質問の数や質問内容を変更し、フォーム上の質問の表示場所を調整します。クリエータースタジオ でアプリのフォームをカスタマイズするの質問の変更に関する情報を検索します。

フォーム上の質問の編集



© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- フォームのルックアンドフィールを変更する – 画像を追加し、質問を説明するテキストを記述でき、質問がスムーズに流れるように移動することもできます。これについては、「クリエータースタジオ でアプリのレコードのレイアウトを変更する」を参照してください。



フォームを確認できる場所

展開後、アプリはフォームの作成時に指定した サービスカタログ とカテゴリにフォームとして表示されます。

ユーザーは、これらのフォームに サービスカタログで直接アクセスできるほか、 サービスポータルや 従業員センターにもアクセスできます。

アプリのフォームを 1 つ以上のトピックに関連付けると、従業員センター の動的に作成された関連するトピックページに、そのフォームが表示されます。 トピックの詳細は「Associate a catalog item with a taxonomy topic in Employee Center」を、分類方法である分類の詳細については、「Unified Taxonomy for Employee Center」を参照してください。

注:
フォームがどのように見えるかを確認し、それに対する回答の送信をテストする場合は、フォームが公開された後に試すことができます。フォームを試すと、回答が送信され、関連する自動化がトリガーされます。詳細については、「アプリのフォームの 1 つをテストする」を参照してください。

アプリでフォームを使用できるようにする

フォームには次の 2 つのステータスがあります。

- ドラフト
- 公開済み

フォームを [ドラフト] ステータスにしておくと、完了するまで作業できます。フォームが完成したら、[準備完了としてマーク] ボタンを選択して公開します。そうすることでのみ、アプリケーションに表示されます (アプリが展開されていると仮定します)。

公開されたフォームは、オファリングのカタログにアイテムとして表示されます。たとえば、サイトで要求者がコンピューター、マウス、モニター、キーボード、テクニカルサポートなどを要求できるようにする場合があります。アイテムごとに異なるフォームが必要で、アプリでは異なるカタログアイテムとして表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

主要な用語:
アプリの展開とフォームの公開を混同しないでください。

- フォームを公開すると、そのフォームはアプリが展開された後にのみカタログアイテムとして表示されます。そのため、ボタンのラベルは [準備完了としてマーク] になっています。
- アプリの展開は、ユーザーがアプリを使用できるようにするためにシステムアドミンが行うことです。

でアプリにフォームを追加する クリエータースタジオ

作成したアプリにフォームを追加します。 フォームには、ユーザーがサービスデスク要求を送信するときに回答する質問が含まれています。

始める前に

必要なロール:自分がアドミンであるか、アドミニストレーターがユーザーを クリエータースタジオ ユーザーグループに追加する必要があります。

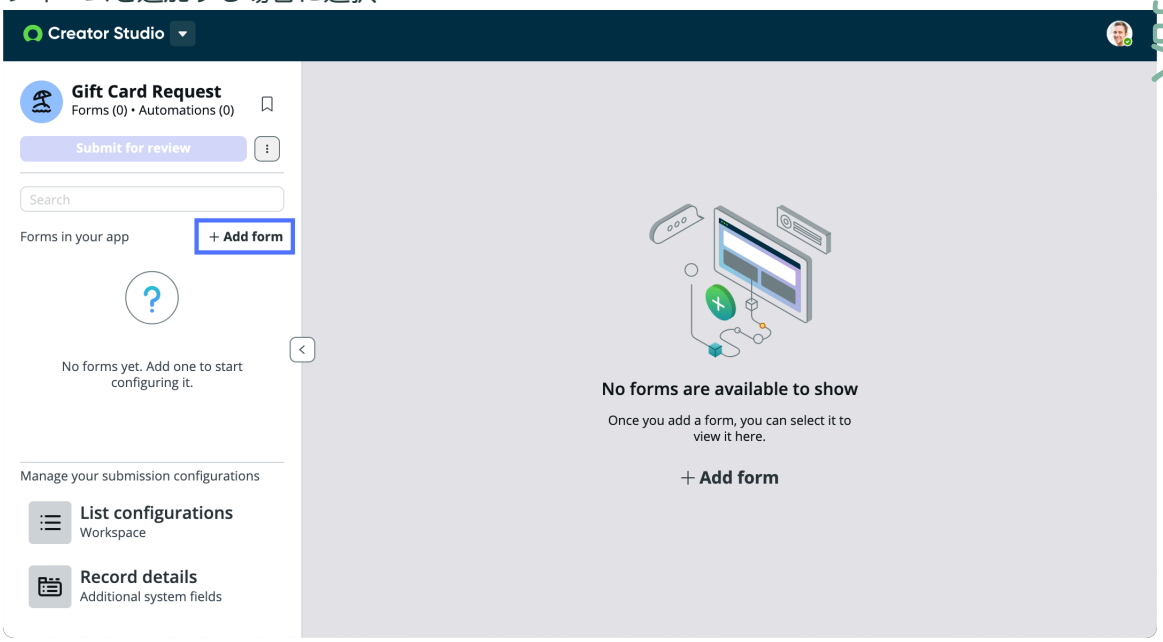
手順

1. では すべて > **App Engine** > クリエータースタジオ.
   クリエータースタジオ に組み込まれているすべてのアプリがホームページに表示されます。

   注:
   アプリを作成したばかりの場合、このトピックはアプリを作成した直後に取り上げられるため、手順 3 にスキップできます。

2. フォームを追加するアプリケーションを開きます。
3. **[+** フォームを追加] を選択して開始します。

フォームを追加する場合に選択



4. アドミンがカスタマイズできるカタログテンプレートをリストから選択します。

   必要なカタログテンプレートが表示されない場合があります。最も近いものを選択してください。近いものがない場合は、アドミンが削除していない場合、[クリエータースタジオのデフォルトテンプレート **(Creator Studio Default Template)]** オプションを選択します。それが最善策です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ヒント:
カタログテンプレートのリストを自由にクリックしてみてください。希望のものを選択するのにプレビューが役立ちます。

選択できる他のカタログテンプレートが表示されなくても心配はいりません。アドミンがまだカスタムカタログテンプレートを作成していない可能性があります。

5. [テンプレートを適用] を選択して続行します。
6. フォームの作成方法を選択します。
   - Now Assistを使用するには、[**Now Assist** を使用したビルド **(Build with Now Assist)]** タブにとどまり、必要なフォームの指示を入力します。詳細については、「でのフォームの生成 Now Assist」を参照してください。

     注:
     [例を試す] を選択すると、使用可能な経路の例が表示されます。フォームがどのように表示されるかの簡単なモックアップを表示するには、[フォーム プレビューの生成] ボタンを選択します。別のフォームが必要な場合は、表示される方向を変更し、[プレビューを再生成] を選択してすばやく確認できます。

   - フォームを手動でビルドするには、[**Build on your own**] タブを選択し、フォームの情報を入力します。

     フォームの詳細

フィールド	説明
フォーム名	フォームのわかりやすい名前。
簡単な説明	フォームの使用目的に関する情報。
詳しい説明	フォームのその他の詳細。画像やその他の情報源へのリンク (ナレッジベース記事など) などのコンテンツを含めることができます。

   このページでは、最初のフォームの詳細を指定できますが、生成後にアプリ内からフォームの詳細を指定したり、名前や説明などの詳細を編集したりすることもできます。
7. フォームの編集を開始するには、[フォームを保存して編集] を選択します。

次のタスク
アプリにフォームを追加したので、次はカスタマイズします。注意: 必要に応じて、アプリに複数のフォームを追加できます。

クリエータースタジオ でアプリのフォームをカスタマイズする

フォームは、新しいキーボードや休暇の許可など、必要なことについて尋ねるのに役立ちます。クリエータースタジオ でアプリを作成するときに追加されるデフォルトのフォームは、ニーズに合わせていくつかの変更が必要です。たとえば、要求に関する情報を収集するために質問ラベルを追加する必要があります。

始める前に
フォームをカスタマイズするには、アプリで作業する権限が付与されている必要があります。

このタスクについて
必要に応じて、アプリケーションにフォームを追加できます。追加のフォームは、アプリの同じテーブルに保存されます。現時点ではこれらのテーブルについて心配する必要はありませんが、アプリの

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

作成時に生成されたフォーム以外のフォームを追加する方法を知りたい場合は、クリエータースタジオでアプリにフォームを追加する を確認してください。

サマリー:
次の手順を完了すると、次のことについて理解できます。

- アプリ作成時に自動生成されたフォームを開く方法。
- フォームに質問や画像を追加する方法。
- 追加した質問と画像を配置します。

フォームを開いてカスタマイズしましょう。

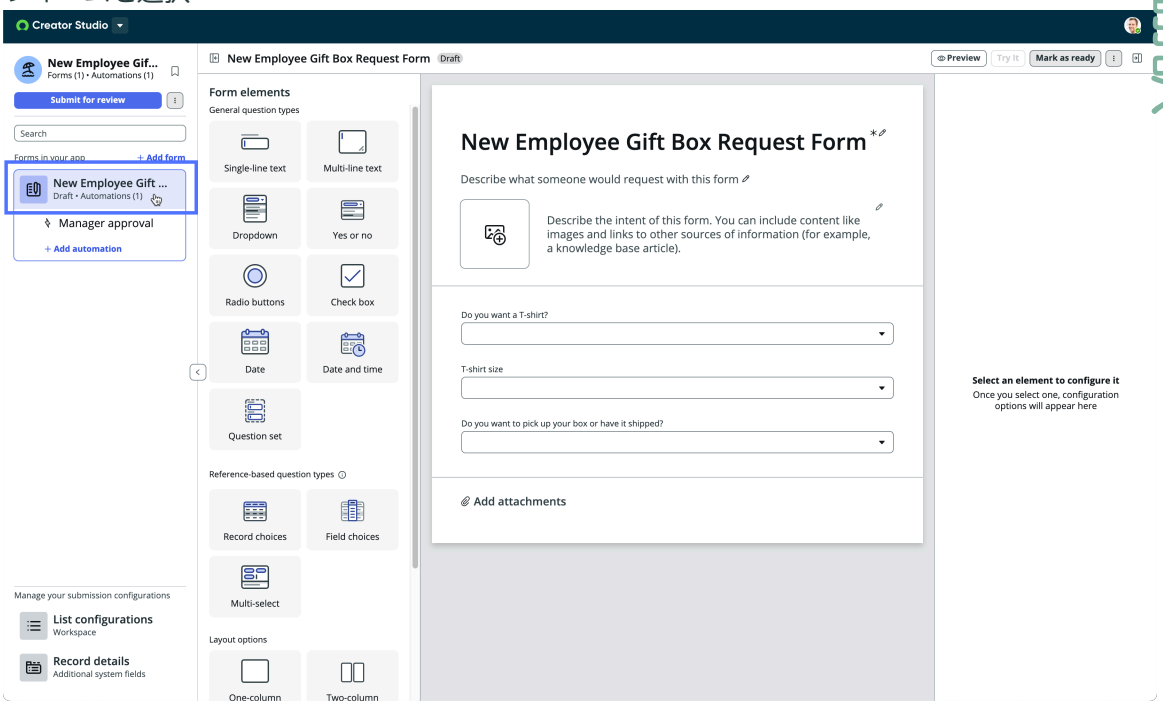
注:
たとえば、食事の好みやアクセシビリティのニーズなどの質問を含む、会社のイベントへの登録に使用するフォームを作成できます。

手順

1. では すべて > **App Engine** > クリエータースタジオ.
   クリエータースタジオ に組み込まれているすべてのアプリがホームページに表示されます。
2. カスタマイズするフォームを含むアプリケーションを開きます。
3. ナビゲーションパネルでカスタマイズするフォームを選択します。

   注:
   アプリに多数のフォームがある場合は、ナビゲーションパネルの検索ボックスを使用して特定のフォームを検索できます。

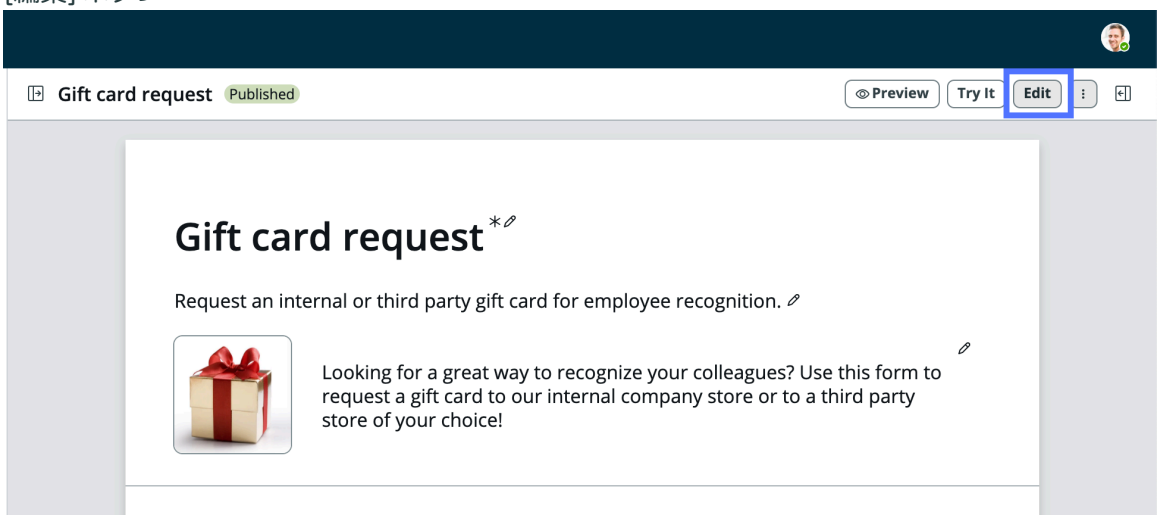
フォームを選択



4. オプション: 既に公開されているフォームで作業する場合は、[編集] ボタンを選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[編集] ボタン



5. 次のオプションの手順を 1 つ以上実行して、フォームをカスタマイズしましょう。

a. フォームに表示される画像を追加または変更するには、[画像を追加] アイコンを選択 ( ) し、画像を選択します。

b. フォームのタイトル、簡単な説明、その他のテキストを変更するには、フォームの各部分を選択して変更内容を入力します。
リッチテキストを使用して、フォントの変更やサイズ変更など、長い [説明] の表示方法を強化できます。

6. 次に、履行者が要求を評価するために必要な質問をフォームに追加します。質問を追加してカスタマイズするには、次の手順を実行します。

a. 別の質問を追加するには、必要な質問のタイプを [フォーム要素] パネルからフォームにドラッグし、キャンバス上の目的の場所にドロップします。
フォーム上の既存の質問をクリックすると表示される [追加] アイコン (+) を選択して、質問を追加することもできます。事前設定された [質問セット] を追加する場合は、質問セットをフォームにドラッグしたときに表示されるモーダルから質問セットを選択する必要があります。

質問タイプとその使用方法の説明については、「クリエータースタジオ で利用可能な質問のタイプ」を参照してください。

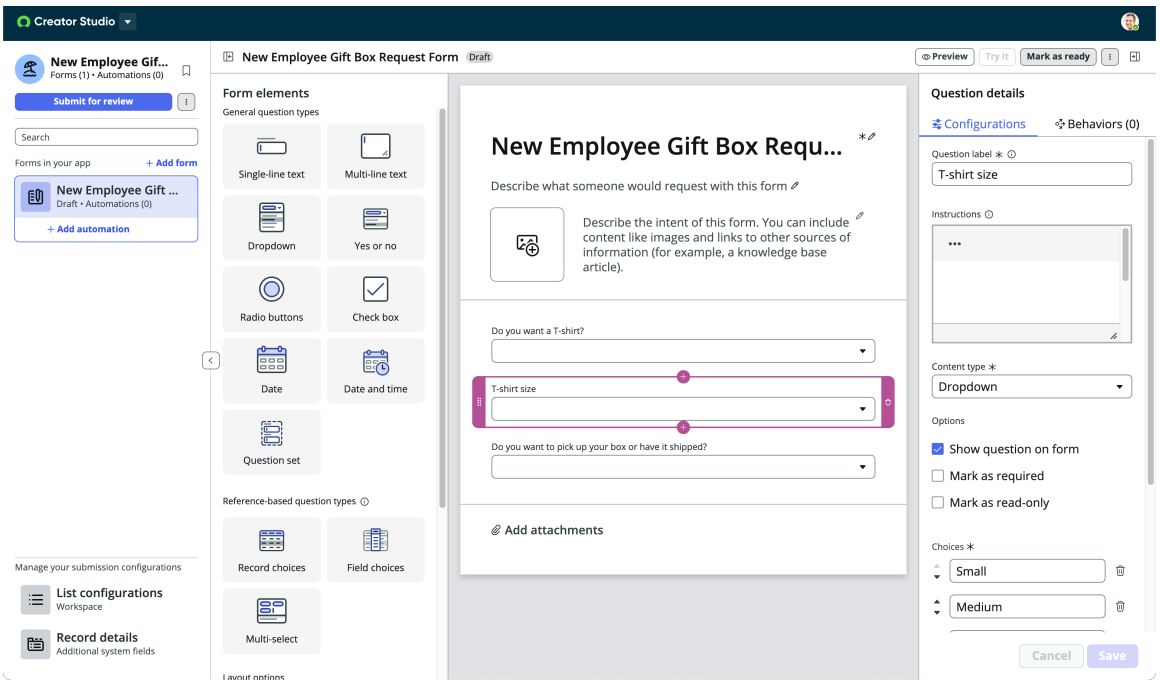
b. 質問を選択します。
質問を選択すると、フォーム上でその質問がハイライト表示されるため、作業内容を把握できます。

c. [質問の詳細] パネルの [構成] タブで、質問の内容のラベルや、要求者がフォームを送信するために回答が必要かどうかなど、追加した質問に関する情報を指定します。
詳細は質問タイプによって異なります。たとえば、[ドロップダウン] の質問を追加する場合は、選択するオプションを指定する必要があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フォームの質問の詳細



d. オプション: [動作] タブで動的な動作を追加して、ユーザーの回答方法に基づいてフォームの外観を変更します。
たとえば、ユーザーが参加するイベントの T シャツが欲しいと言った場合、 **T** シャツサイズ フィールドを必須にすることができます。の応答に基づいてフォームを変更する クリエータースタジオ でのダイナミックの追加に関する詳細を取得します。

e. オプション: [オートフィルを追加] オプションを選択すると、フォーム上の別の質問への回答に基づいて質問の回答が自動的に入力されます (レコード選択肢の質問のみ)。
たとえば、フォームで [ギフトボックスの受信者を選択 **(Choose the gift box**)] フィールドのユーザーを選択し、ユーザーテーブルからその値を取得できます。追加の [希望する名前] フィールドは、[ユーザー] テーブルの選択の [名] フィールドから自動的に入力できますが、ニックネームが希望する場合は編集できます。

[オートフィルを追加] オプションは、フォームにレコード選択肢の質問がある場合にのみ使用できます。次のフィールドにも入力する必要があります。

レコード選択肢の回答に基づく質問の自動入力の詳細

フィールド	説明
依存質問を選択	回答によって現在の質問が自動的に入力される質問。
値フィールドを選択	現在の質問に対する回答として使用する値を含む、レコード選択肢の質問のソーステーブル内のフィールド。 (Optional) [編集] アイコン ( ) を選択し、自動入力された回答を含むソーステーブルのフィールドに移動して、[適用] を選択する必要があります。テーブル内のフィールドの選択について詳しくは、「 Dot-walking to data in related tables 」をご覧ください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

f. 質問の変更が完了したら、[保存して閉じる] を選択します。

g. この手順を使用して、フォームの質問を修正するか、フォームに質問を追加します。質問タイプを変更するには、質問を選択してから、[質問の詳細] パネルの [コンテンツタイプ] フィールドで新しい質問タイプを選択します。新しいタイプを選択すると、新しい値を指定しなければならない場合があります。
質問を作成する際は、次の仕様を念頭に置いてください。

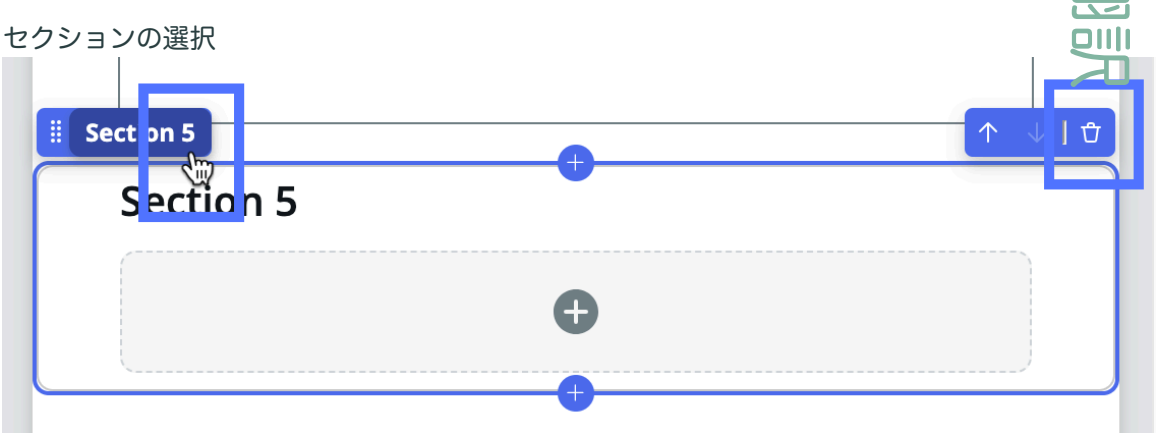
- 既存の質問を質問セットに変更することはできません。質問セットをフォームに含めるには、その質問セットをフォームに新たに追加する必要があります。
- フォームに 2 つのチェックボックスの質問を並べて配置すると、セクションが作成されます。そのセクションに他のタイプの質問を追加することはできません。

7. それでは、フォームに追加した質問と画像を配置しましょう。

a. [フォーム要素] パネルから、目的のレイアウトオプションをフォームでドラッグし、表示する場所 ([分割線]など) にドロップします。
レイアウトが気に入らなくても心配はいりません。別のレイアウトをフォームのキャンバスにドラッグして試してみてください。

b. [セクションの詳細] または [質問の詳細] パネル (作業中のレイアウトによって異なります) を使用して、選択したフォームレイアウトを変更します。テキストを太字にしたり、リンクを追加したりできます。

> **注:**
> セクションを編集または削除するには、セクション名にカーソルを合わせて [セクション] を選択し、プロパティパネルにセクションの詳細と削除アイコンを表示する必要があります。



詳細については、「クリエータースタジオにおけるフォームのレイアウトオプション」を参照してください。

c. フォームのレイアウトの変更が完了したら、[セクションの詳細]/[質問の詳細] パネルで [保存] を選択します。

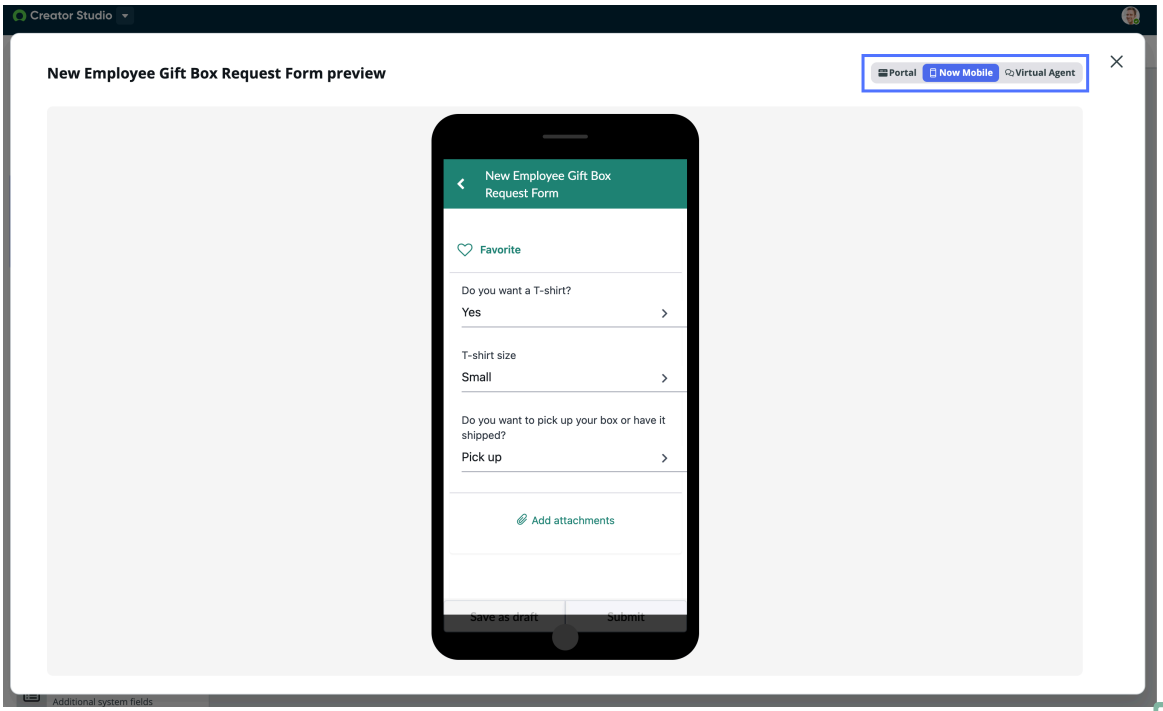
8. オプション: [プレビュー] ボタンを選択して、さまざまなエクスペリエンスでフォームがどのように表示されるかを確認します。
ポータル (従業員ポータル など)、**Now Mobile**、または仮想エージェントを選択すると、フォームの現在のバージョンがさまざまなエクスペリエンスでどのように表示されるかのプレビューを表示

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

できます。プレビュー時にフォームに入力することはできますが、[送信] ボタンを選択してもタスクレコードは生成されません。

フォームのプレビュー



9. オプション: [**Try it**] ボタンを選択し、フォームとフォームで生成されるレコードを使用してテストします。

   (Optional) フォームをテストするときに、更新内容をメモし、フォームを公開する前にフォームに変更を加えます。詳細については、「アプリのフォームの 1 つをテストする」を参照してください。

タスクの結果

おめでとうございます:
お疲れさまでした。アプリに付属するデフォルトのフォームをカスタマイズしました。

次のタスク
次に、フォームを公開準備完了としてマークし、アプリで使用できるようにする必要があります。クリエータースタジオでアプリのフォームを公開する でフォームを公開する方法をご覧ください。

フォーム ヘッダーの [その他のオプション] アイコン ( ) にある [すべての変更を元に戻す **(Undo all change)]** オプションを選択すると、フォームを最後に公開されたバージョンにリセットできます。

でのフォームの生成 **Now Assist**

Now Assist in Creator アプリケーションが、クリエータースタジオ でフォームを作成するのにどのように役立つかを説明します。

Now Assistクリエータースタジオの概要で

クリエータースタジオ でアプリを作成するときに、必要なフォームを記述すると、フォームが生成されますNow Assist。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アプリケーションは、カタログアイテムの生成やアプリの生成などのクリエイタースキルの Now Assist を使用してフォームを生成します。

注:
Now Assist を使用してフォームを作成するには、now.assist.creator ロールがアサインされている必要があります。

Now Assistクリエータースタジオのメリット

Now Assist を使用してクリエータースタジオでフォームを生成するメリットは次のとおりです。

- 選択したフォームは、方向だけですばやく作成されます。
- 指示を記述するときにフォームの詳細を入力すると、 Now Assist ニーズに合わせて特別にフォームを生成できます。
- フォームの生成に利用できる指示で、事前に利用可能な例を使用することもできます。

Now Assist 言語可用性の通知

重要:

- 国内の SKU をお持ちのお客様は、すべてのモデルプロバイダーを利用できるわけではなく、一部の Now Assist 製品/機能は現在、国内のお客様はご利用いただけません。詳細については、Now Support ナレッジベースの KB1584492 記事を参照してください。将来のリリースでモデルプロバイダーの可用性の更新を必ず確認してください。
- 現在、 Now Assist 製品/機能の一部は、FedRAMP、NSC DOD IL5、オーストラリアの IRAP で保護されたデータセンターのお客様、セルフホスト型のお客様、またはその他の制限された環境ではご利用いただけません。詳細については、Now Support ナレッジベース記事「KB0743854 」を参照してください。将来のリリースで可用性の更新を必ず確認してください。
- 現在、一部の Now Assist 製品/機能は一部の地域の顧客のみが利用できます。将来のリリースで可用性の更新を必ず確認してください。

AI の制限事項

このアプリケーションは、データ内のパターンに基づいて予測を生成する急速に進化している研究分野である人工知能 (AI) と機械学習を使用しています。その結果、このアプリケーションは必ずしも正確、完全、または適切な情報を生成するとは限りません。さらに、このアプリケーションがユースケースに合わせて完全にトレーニングまたはテストされているという保証はありません。これらの問題を軽減するために、ユースケースに対する正確性、害、および適切性について、このアプリケーションの使用をテストおよび評価し、出力を人間が監視し、意思決定の目的で AI で生成された出力のみに依存しないようにするのは、ユーザーの責任です。これは、医療、ファイナンス、法務、雇用、セキュリティ、インフラストラクチャなど、結果が影響を与える分野にこのアプリケーションを展開することを選択した場合に特に重要です。ServiceNow の AI 利用規定 に従うことに同意するものとします。このポリシーは ServiceNow によって更新される場合があります。

データ処理

このアプリケーションでは、ServiceNow 顧客の個々のインスタンスから一元化された ServiceNow 環境にデータを転送する必要があります。この環境は、インスタンスが存在するデータセンターとは異なるデータセンターリージョンに配置されている可能性があり、場合によっては Microsoft Azure などのサードパーティクラウドプロバイダーにも転送されます。このデータは、コアコンプライアンスポータル から利用可能なポリシーを含む、ServiceNow の内部ポリシーと手順に従って処理されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

データコレクション

ServiceNow は、このアプリケーションの入力、出力を収集して使用し、出力を編集して、ServiceNow モデルや AI 製品などの ServiceNow テクノロジーを開発および改善します。お客様は、「」で説明されているように、いつでも将来のデータコレクションをオプトアウトできます。 Now Assist オプトアウトページ.

の応答に基づいてフォームを変更する クリエータースタジオ

ユーザーが動的な動作を使用して質問に回答する方法に基づいてフォームを更新します。 たとえば、ユーザーが参加するイベントの T シャツが欲しいと言った場合、 **T** シャツサイズ フィールドを必須にすることができます。

始める前に

動的な動作を追加する前に、フォームに名前を付ける必要があります。

フォームに動的な動作を追加するには、アプリで作業する権限が付与されている必要があります。

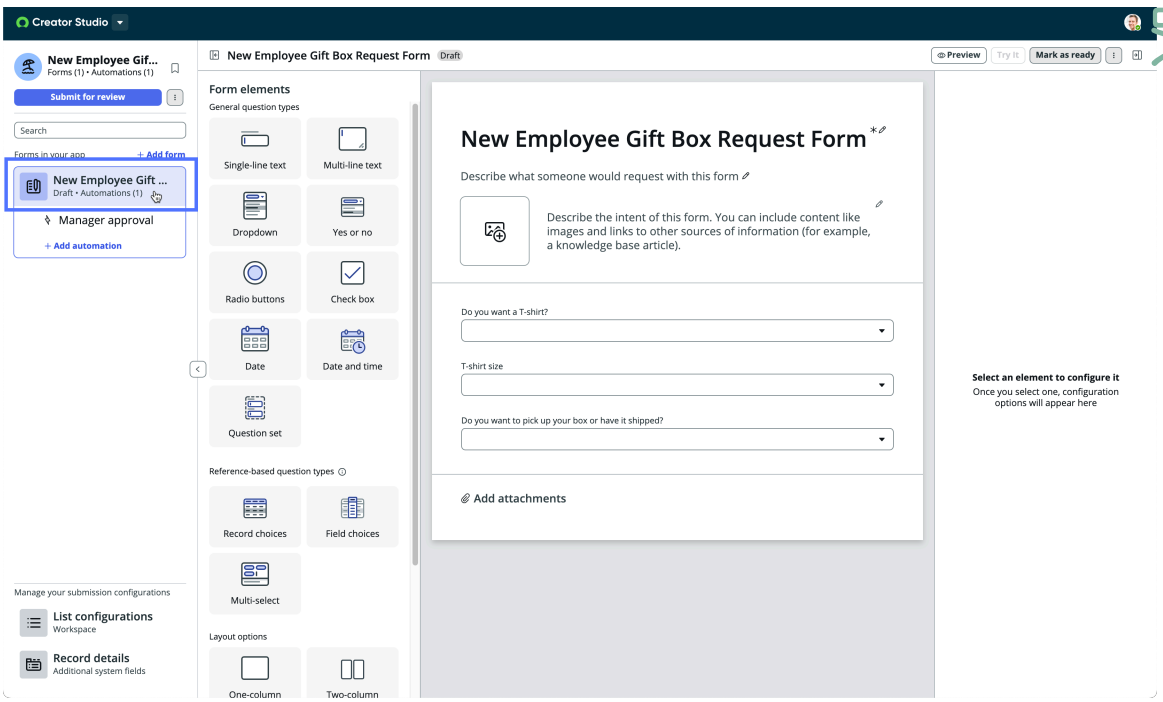
このタスクについて

フォームを変更する別の方法として、フォーム上の別の質問に対するユーザーの回答に基づいて質問が自動的に入力されるようにする方法があります。詳細については、「クリエータースタジオ でアプリのフォームをカスタマイズする」を参照してください。

手順

1. 検索項目 すべて > **App Engine** > クリエータースタジオ をクリックして、 クリエータースタジオ ホームページにすべてのアプリを表示します。
2. 動的な動作を追加するフォームを含むアプリケーションを開きます。
3. ナビゲーションパネルで作業したいフォームを選択します。

フォームを選択



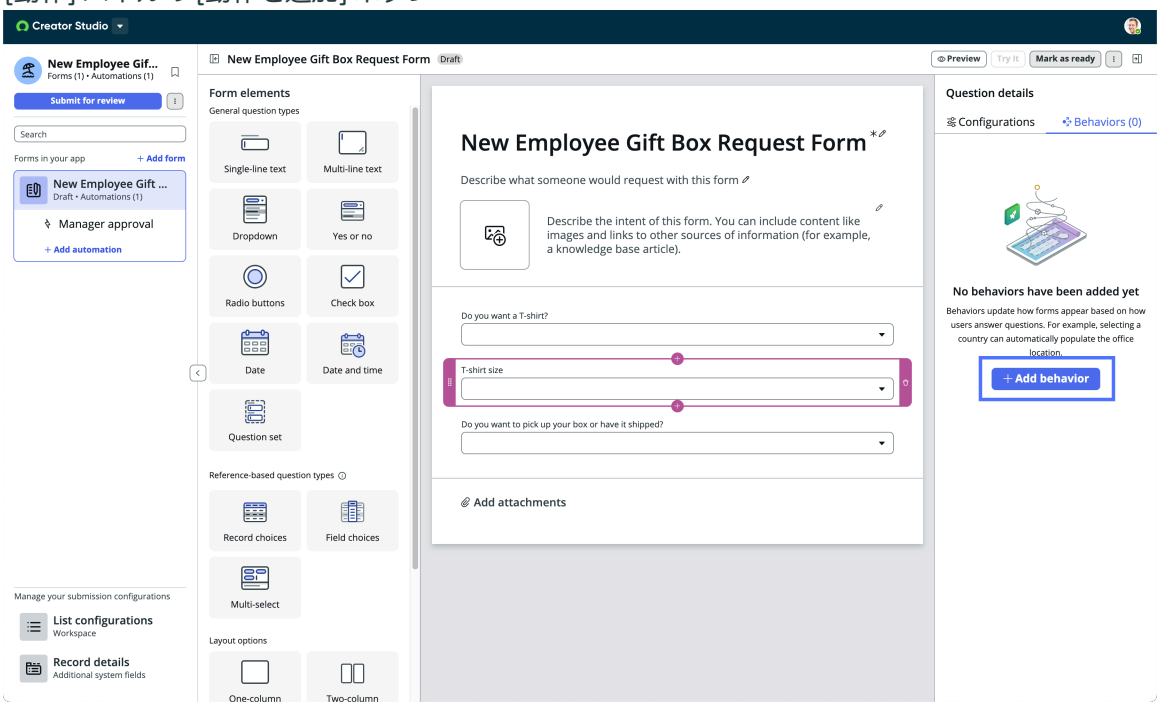
4. ユーザーが以前の 1 つ以上の質問にどのように回答するかによって影響を受ける質問を選択します。
   たとえば、[**T** シャツサイズ] フィールドを選択して、ユーザーが **[T** シャツが欲しいですか?] の質問に「はい」と答えた場合に必須にします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

5. 設定パネルの [動作] タブを選択します。

[動作] パネルの [動作を追加] ボタン



6. フォームを変更する条件を [条件] セクションで定義します。

a. [フィールド] フィールドで [質問] を選択して、フォームから質問を選択するように指定します。
フォームの名前が [アイテム] フィールドに自動的に表示されます。

b. [質問] フィールドで、その回答が動的な動作をトリガーする質問を選択します。
たとえば、「 **T** シャツが欲しいですか?」 という質問を選択します。

c. 条件 演算子 を選択して、動的な動作をトリガーする選択したフィールドのステータスを決定します。
たとえば、[**T** シャツが欲しいですか?] フィールドの演算子として [次の条件に一致] を選択できます。

詳細については、「Condition builder」を参照してください。

d. トリガーの質問に対するユーザーの応答の値を入力または選択します。
たとえば、T シャツが必要な場合は、値を [はい] にすることができます。

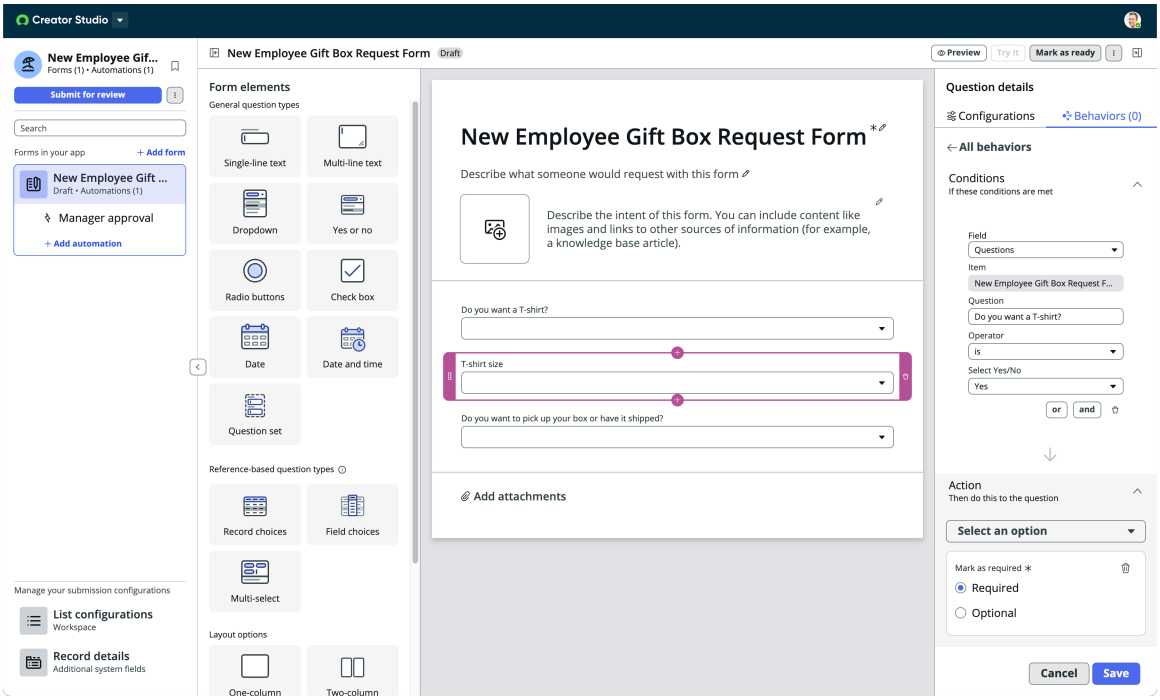
e. オプション: 別のフィールドと値を指定して、 **or** ボタンまたは **AND** ボタンを選択して、より複雑なトリガー条件のセットを作成します。

f. オプション: [条件セットを追加] ボタンを選択し、手順 a-e を繰り返して、別の条件セットを作成します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

動的動作の例



7. [動作] パネルの [アクション] セクションで定義した条件に応じてフォームがどのように変化するかを定義します。

a. [オプションを選択] フィールドでトリガー条件が満たされたときのフォームの動作を選択します。
作成した条件に応じて、次のアクションが使用可能になる場合があります。

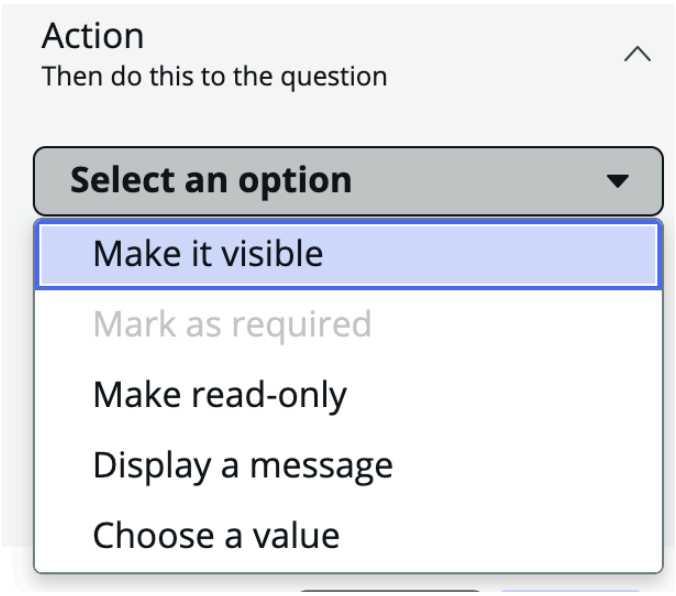
- 表示できるようにする
- 必須としてマーク
- 読み取り専用にする
- メッセージを表示
- 値を選択

複数のアクションを追加できますが、動的な動作のセットごとに追加できるアクションのタイプは 1 つだけです。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

動的動作アクション



b. 選択した各アクションの動作を選択します。
たとえば、[メッセージを表示する] を選択した場合は、 それを [情報]、[警告]、または [エラー メッセージ] にすることができ、表示されるメッセージを入力する必要があります。

8. [Save (保存)] を選択します。

タスクの結果

質問には動的な動作があることを示す動的アイコン ( ) が表示されます。

動的な動作は、設定パネルの [動作] タブのカードに表示されます。いつでもカードを選択して詳細を表示または編集したり、[動作を追加] ボタンを選択して別の動的な動作を追加したりできます。

クリエータースタジオ のフォームの開発ステータス

アプリは、アイテムのカタログを含むオンラインストアと考えてください。何かを要求するには、フォームに入力する必要があります。クリエータースタジオ を使用して、カタログ内の各アイテムのフォームを作成しカスタマイズします。

サマリー:
フォームには次の 2 つのステータスがあります。

ドラフト

編集時のフォームのステータス。新しいフォームまたは公開済みフォームの可能性があります。このステータスのフォームはカタログに表示されません。

公開済み

カタログに表示される、すべてデザインされたフォームのステータス。

準備が整ったときにのみフォームを公開し、作業中の中途半端なバージョンは公開しません。フォームにステータスがあるのはそのためです。

フォームの [ドラフト] ステータス

[ドラフト] ステータスのフォームは、アイテムのカタログに表示されません。つまり、オンラインカタログに影響を与えることなく作業できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

編集するフォームは、新しいフォーム、または既に公開されているフォームのコピーの場合があります。このステータスでは、フォームを好きなだけ変更できますが、フォームを公開するまで、変更内容はバックグラウンドで保持されます。そのため、[ドラフト] ステータスのときにフォームが未完成のままになる心配はありません。

フォームの [公開済み] ステータス

フォームの編集が完了したら、フォームを準備完了としてマークします。これにより、フォームは [公開済み] ステータスになります。このバージョンのフォームは、指定されたアイテムのカタログに表示されます。

> **注:**
> 公開されたフォームは、アプリを開発している非本番インスタンスにのみ表示されます。フォームを本番インスタンスのカタログに表示するには、アドミンにアプリを本番環境に展開するように要求する必要があります。

公開されているフォームを編集すると、クリエータースタジオ がフォームのコピーを作成し、そのコピーを [ドラフト] ステータスにするので、それで作業できます。フォームの公開済みバージョンは、フォームの変更済みのコピーを送信し、公開済みフォームを置き換えるまで、オンラインカタログで引き続き利用されます。

クリエータースタジオでアプリにフォームを追加する

アプリのカタログアイテムを作成するために必要なだけフォームを追加します。たとえば、駐車スペースの要求用、机の要求用、会議室の予約用の 3 つの異なるフォームを備えたオフィス予約アプリを作成できます。

始める前に

フォームをアプリに追加するには、アプリで作業する権限が付与されている必要があります。

このタスクについて

> **注:**
> たとえば、IT フルフィルメントアプリには、ハードウェアアクセサリ (マウスやヘッドフォンなど) を要求するためのフォームがすでに 1 つあり、ソフトウェアアプリケーションを要求するための 2 つ目のフォームを追加できます。

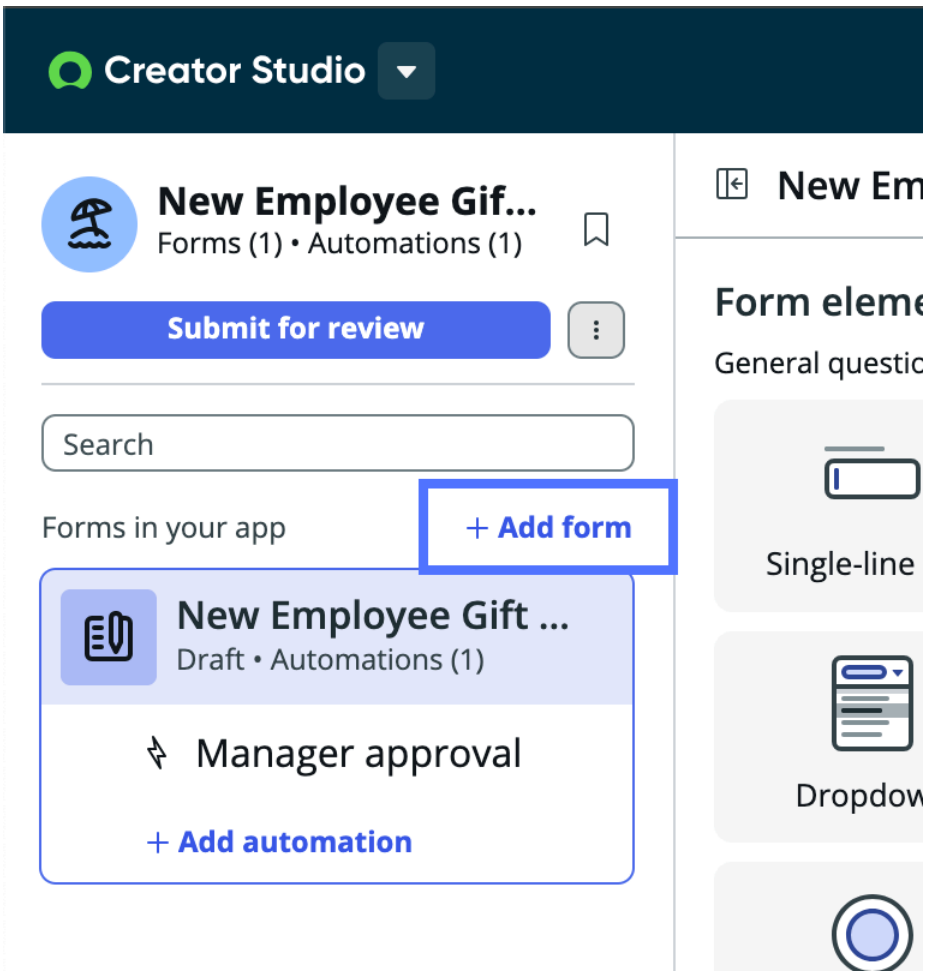
手順

1. 検索項目 すべて > **App Engine** > クリエータースタジオ をクリックして、 クリエータースタジオ ホームページにすべてのアプリを表示します。
2. 別のフォームを追加するアプリを開きます。
3. ナビゲーションパネルで **[+** フォームを追加] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フォームを追加



4. フォームの作成に使用するカタログテンプレートをリストから選択します。
5. [テンプレートを適用して続行] ボタンを選択します。
6. フォームの作成方法を選択します。
   - Now Assistを使用するには、[**Now Assist** を使用したビルド] タブにとどまり、指示を入力して必要なフォームの説明を入力します。詳細については、「でのフォームの生成 Now Assist」を参照してください。

     注:
     [例を試す] を選択すると、使用可能な経路の例が表示されます。フォームがどのように表示されるかの簡単なモックアップを表示するには、[フォーム プレビューの生成] ボタンを選択します。別のフォームが必要な場合は、表示される方向を変更し、[プレビューを再生成] を選択してすばやく確認できます。

   - フォームを手動でビルドするには、[**Build on your own**] タブを選択し、フォームの情報を入力します。

フォームの詳細

フィールド	説明
フォーム名	フォームのわかりやすい名前。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
簡単な説明	フォームの使用目的に関する情報。
詳しい説明	フォームのその他の詳細。画像やその他の情報源へのリンク (ナレッジベース記事など) などのコンテンツを含めることができます。

7. [フォームを保存して編集] ボタンを選択します。

タスクの結果

おめでとうございます:
やりました！アプリに別のフォームが追加されました。

次のタスク

次に、フォームを編集して質問を入力し、レイアウトをカスタマイズできます。詳細については、「クリエータースタジオ でアプリのフォームをカスタマイズする」を参照してください。

クリエータースタジオでフォームの設定を編集する

関連する画像や添付ファイルが許可されているなど、基本属性を変更する必要がある場合は、フォーム設定を編集します。

始める前に

フォームの設定を編集するには、アプリで作業する権限が付与されている必要があります。

このタスクについて

注:
アプリを作成した後、その[テンプレート] を編集することはできません。変更する場合は、別のカタログテンプレートを使用して新しいフォームを作成します。

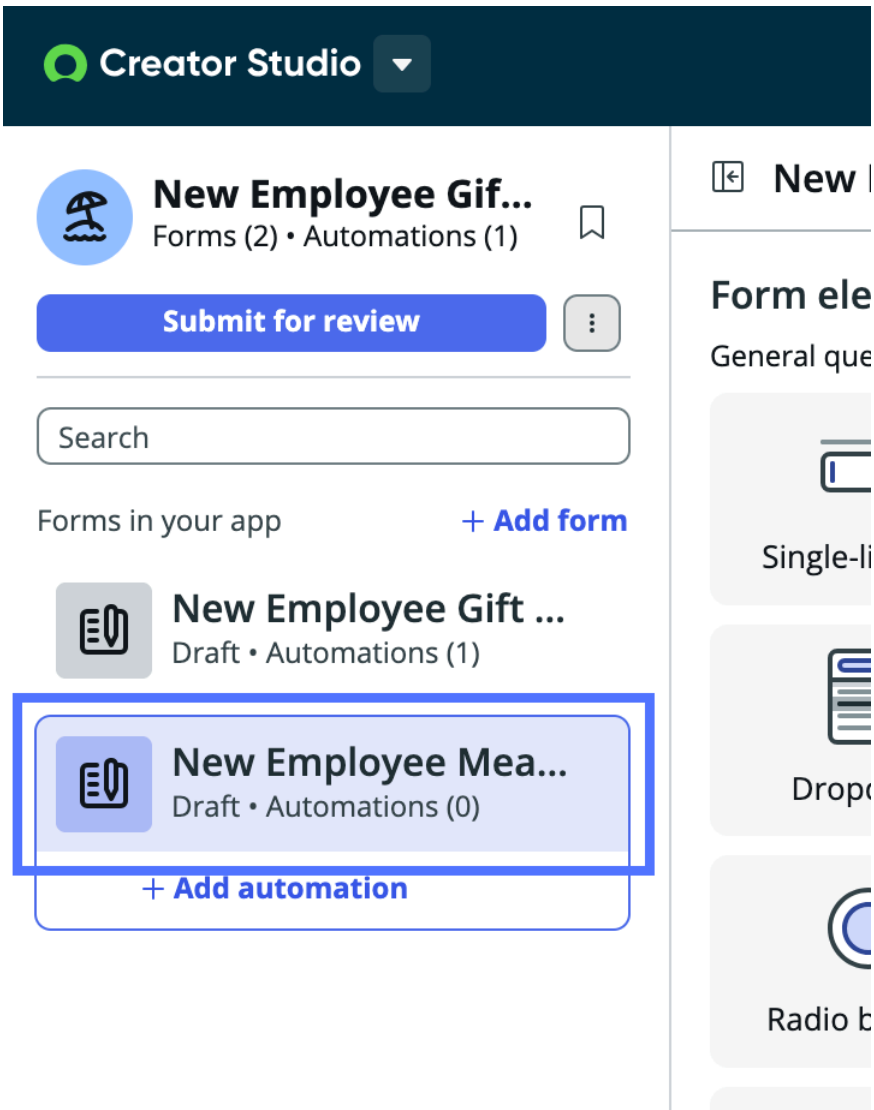
手順

1. 検索項目 すべて > **App Engine** > クリエータースタジオ をクリックして、 クリエータースタジオ ホームページにすべてのアプリを表示します。
2. 編集するフォームを含むアプリケーションを開きます。
3. ナビゲーションパネルで作業したいフォームを選択します。
   複数のフォームがある場合は、設定を編集するフォームを必ず選択してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フォームを選択



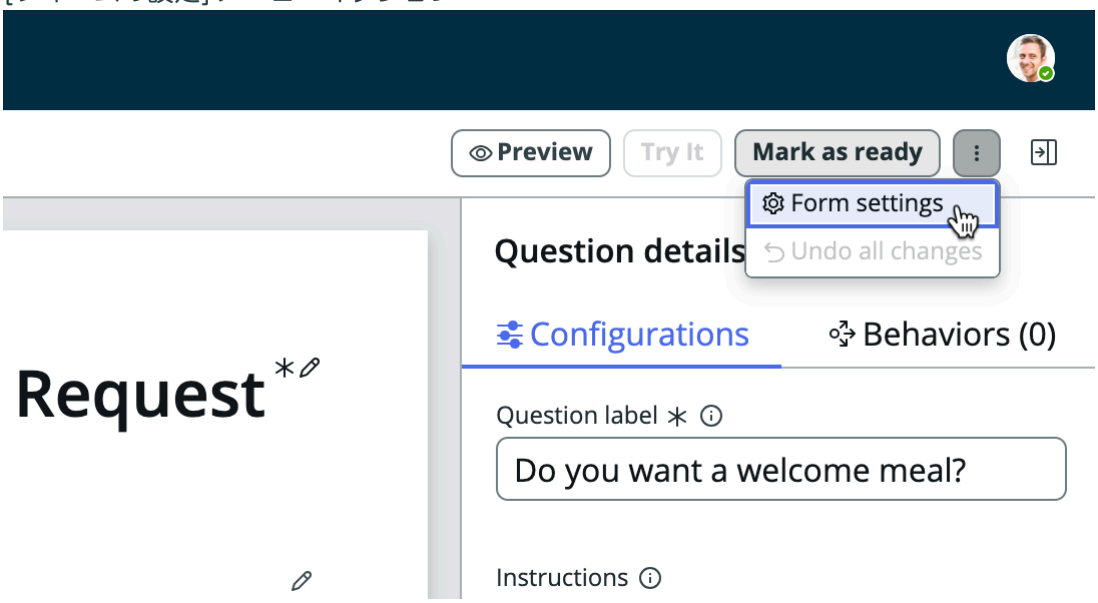
4. [その他のアクション] アイコン[...]を選択します。

5. [フォームの設定] を選択します。

自動翻訳

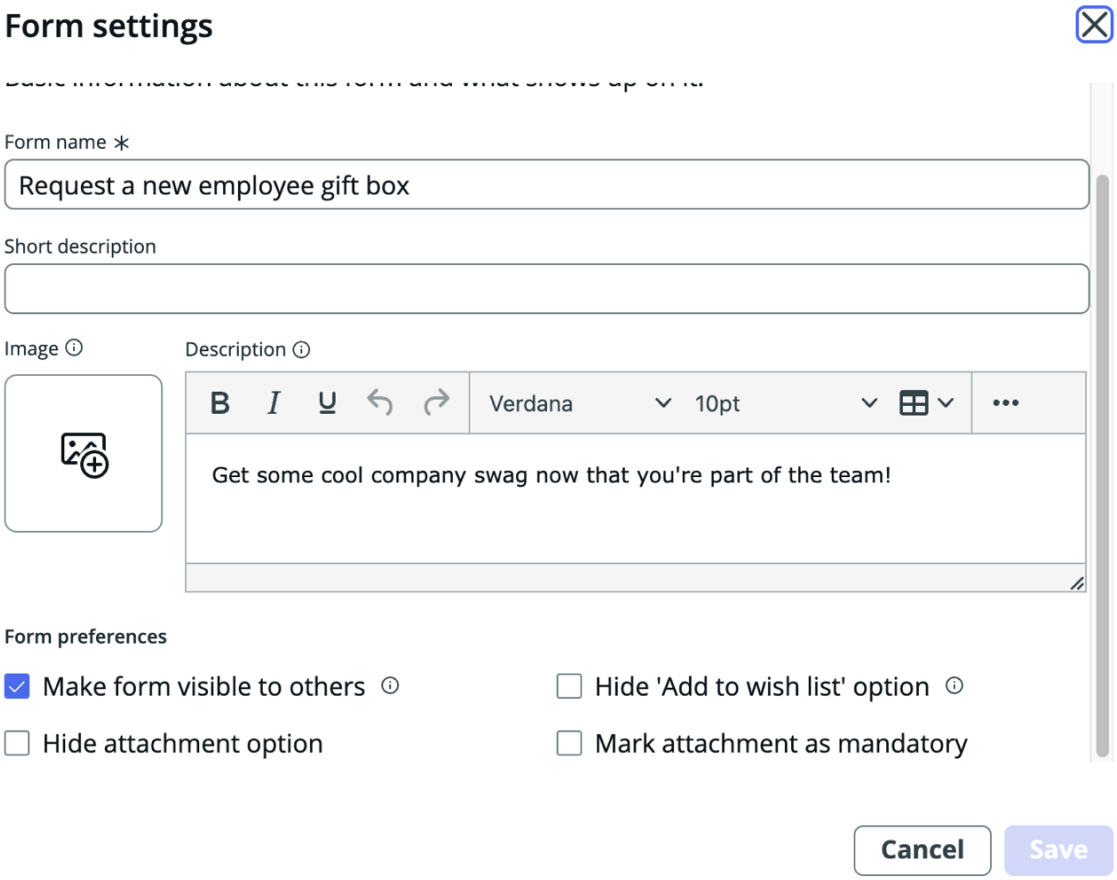
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[フォームの設定] メニューオプション



6. [全般] タブの設定を更新します。
   具体的なフォーム設定の詳細については、「クリエータースタジオ のフォーム設定」を参照してください。

フォームの設定モーダル



7. [場所] タブを選択して、カタログでのフォームの表示場所、分類方法、および表示されるトピックを更新します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. [カタログとカテゴリ] カードの編集アイコン (Edit) を選択します。

b. アプリが使用するビジネスエリアを表すカタログを選択します。
たとえば、IT フルフィルメントアプリ用のソフトウェアやラップトップケーブルを含むサービスカタログを選択できます。

c. 各カタログのキャレットを展開すると、そのサブカタログが表示されます。

d. カタログ内のアイテムを必要なだけ選択します。

e. [適用] ボタンを選択して変更を保存します。

f. トピックカードの編集アイコン (Edit) を選択します。

g. フォームを表示する[分類] ページ ([従業員] など) を選択します。
分類は、従業員センター が使用する分類の方法です。

h. フォームを表示する 従業員センター 領域を表すトピックを選択します。
たとえば、テクノロジーサービスを含むトピックを選択し、そのカラットを展開してサブトピックを表示します。 トピックの詳細は「Associate a catalog item with a taxonomy topic in Employee Center」を、分類方法である分類の詳細については、「Unified Taxonomy for Employee Center」を参照してください。

i. フォームを表示するトピックを必要な数だけ選択します。

j. [適用] ボタンを選択して変更を保存します。

8. [アクセス] タブを選択して、フォームを表示および送信できるロールとグループを変更します。

a. [編集] アイコン (Edit) を選択して、フォームを利用可能にするユーザーを編集します。

b. フォームにアクセスできるロールとグループを選択します。

c. [適用] ボタンを選択して変更を保存します。

d. [編集] アイコン (Edit) を選択して、フォームを利用不可にするユーザーを編集します。

e. フォームにアクセスできないロールとグループを選択します。
アドミンと協力して、非本番環境および本番環境でこの設定のロールとグループへのアクセスを制限または提供します。詳細については、「展開された クリエータースタジオ アプリのユーザーアクセスの管理」を参照してください。

f. [適用] ボタンを選択して変更を保存します。

9. [すべての設定を保存 **(Save all settings)**] を選択します。

タスクの結果

フォームの設定が更新されます。注意: 選択したフォームの設定を更新しただけで、アプリのフォームに複数ある場合は、すべてのフォームの設定を更新したわけではありません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クリエータースタジオでアプリのフォームを公開する

フォームの準備を整えて公開すると、公開されたアプリの本番インスタンスでカタログアイテムとして使用できるようになります。

始める前に

フォームを公開するには、アプリで作業する権限が付与されている必要があります。

このタスクについて

フォームを公開すると、作業中のインスタンス上の指定したカタログでそのフォームを使用できるようになります。ただし、ユーザーがフォームにアクセスできるように、アプリを本番インスタンスに展開する必要があります。詳細については、「クリエータースタジオ アプリを展開する」を参照してください。

手順

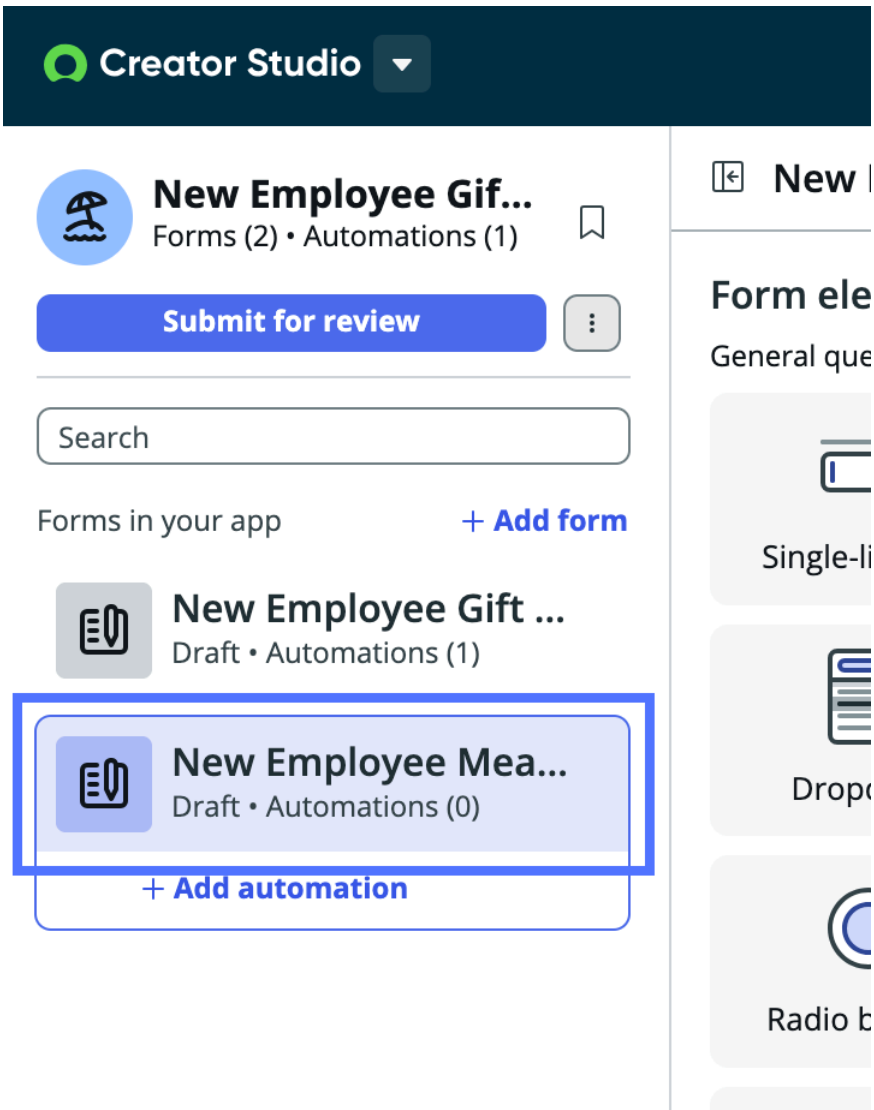
1. 検索項目 すべて > **App Engine** > クリエータースタジオ をクリックして、 クリエータースタジオ ホームページにすべてのアプリを表示します。
2. 公開するフォームを含むアプリケーションを開きます。
3. ナビゲーションパネルで公開するフォームを選択します。
   複数のフォームがある場合は、公開するフォームを選択してください。

   注:
   アプリに多数のフォームがある場合は、ナビゲーションパネルの検索ボックスを使用して特定のフォームを検索できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フォームを選択

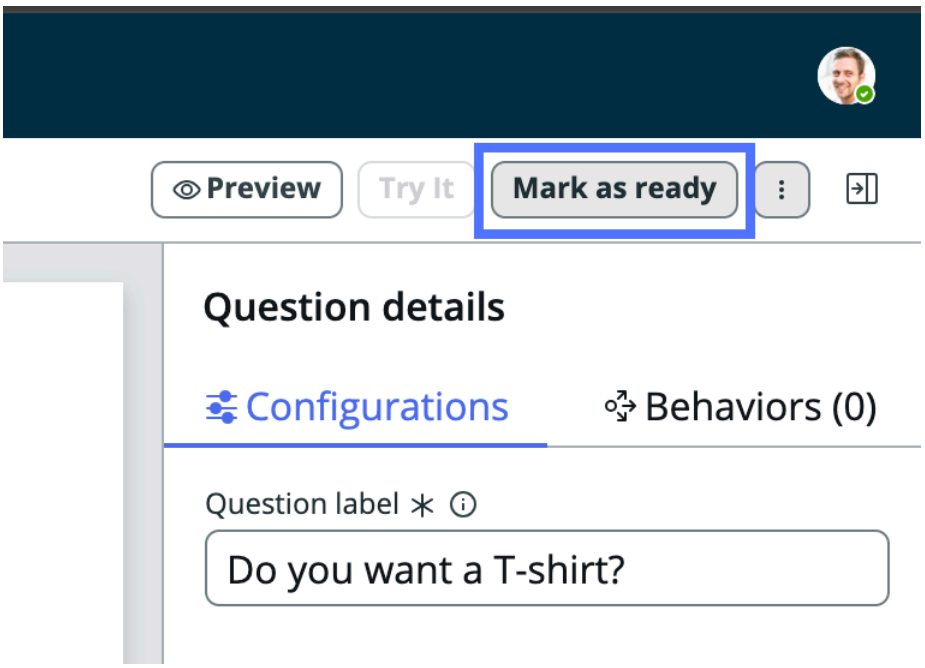


4. [準備完了としてマーク] ボタンを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フォームの公開



注:
カタログや 従業員センターなど、フォームを配置する場所を指定していない場合は、 場所の設定を編集するように求められます。詳細については、「クリエータースタジオでフォームの設定を編集する」を参照してください。

タスクの結果
フォームのカタログアイテムをアプリとともに展開する準備ができました。アプリが展開されると、関連するサービスカタログでフォームが使用できるようになります。フォームのアプリが展開されていない場合は、それを展開する必要があります。

注:
フォームを公開して編集した場合、編集中のバージョンを (たとえば自動化のトリガーとして) プレイブックの条件で使用することはできません。ただし、フォームの公開済みバージョンを使用することも、編集しているバージョンを公開することもできます。これにより、その質問の回答をプレイブックの条件で使用できるようになります。

公開されたフォームの操作

フォームが公開された後、フォームを更新したり、変更を元に戻したり、表示できないように非表示にしたり、削除したりできます。

公開済みフォームの変更

これは避けられません。アプリを展開して、フォームの質問を修正する必要があることがわかりました。大丈夫です！フォームを作成したときと同じように編集するだけです。

フォームを編集すると、フォームの新しいドラフトバージョンが作成され、それを更新して、完了したら[準備完了としてマーク] することができます。ドラフトバージョンに保存した変更は、展開されたアプリのカタログアイテムには影響しません。展開されたアプリのフォームを更新するには、アプリを再展開する必要があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フォームの変更を元に戻す

フォーム ヘッダーの [その他のオプション] アイコン (…) にある [すべての変更を元に戻す **(Undo all change)]** オプションを選択すると、フォームを最後に公開されたバージョンにリセットできます。

フォームの非表示

アプリのフォームのカタログアイテムを非表示にすると、フォームを効果的に非アクティブにできます。非表示のフォームは、アプリとそれが属するカタログの両方で使用できません。

公開済みフォームの削除

[ドラフト] ステータスでも [公開済み] ステータスでも、フォームは削除できません。

- [ドラフト] ステータスの場合は、 準備完了としてマークしないでください。
- フォームが [公開済み] ステータスの場合は、非表示にしてカタログに表示されないようにすることができます。フォームの非表示の詳細については、 ServiceNow AI Platform の クリエータースタジオで使用できないようにフォームを非表示にする を参照してください。

ServiceNow AI Platform の クリエータースタジオで使用できないようにフォームを非表示にする

アプリのフォームのカタログアイテムを非表示にすると、フォームを効果的に非アクティブにできます。非表示のフォームは、アプリとそれが属するカタログの両方で使用できません。

始める前に

フォームを非表示にするには、アプリで作業する権限が付与されている必要があります。

このタスクについて

クリエータースタジオではフォームを削除することができません。代わりに、ワークフローが損なわれないようにフォームを非表示にします。

すでに公開されているフォームのみを非表示にできます。詳細については、「クリエータースタジオアプリを展開する」を参照してください。

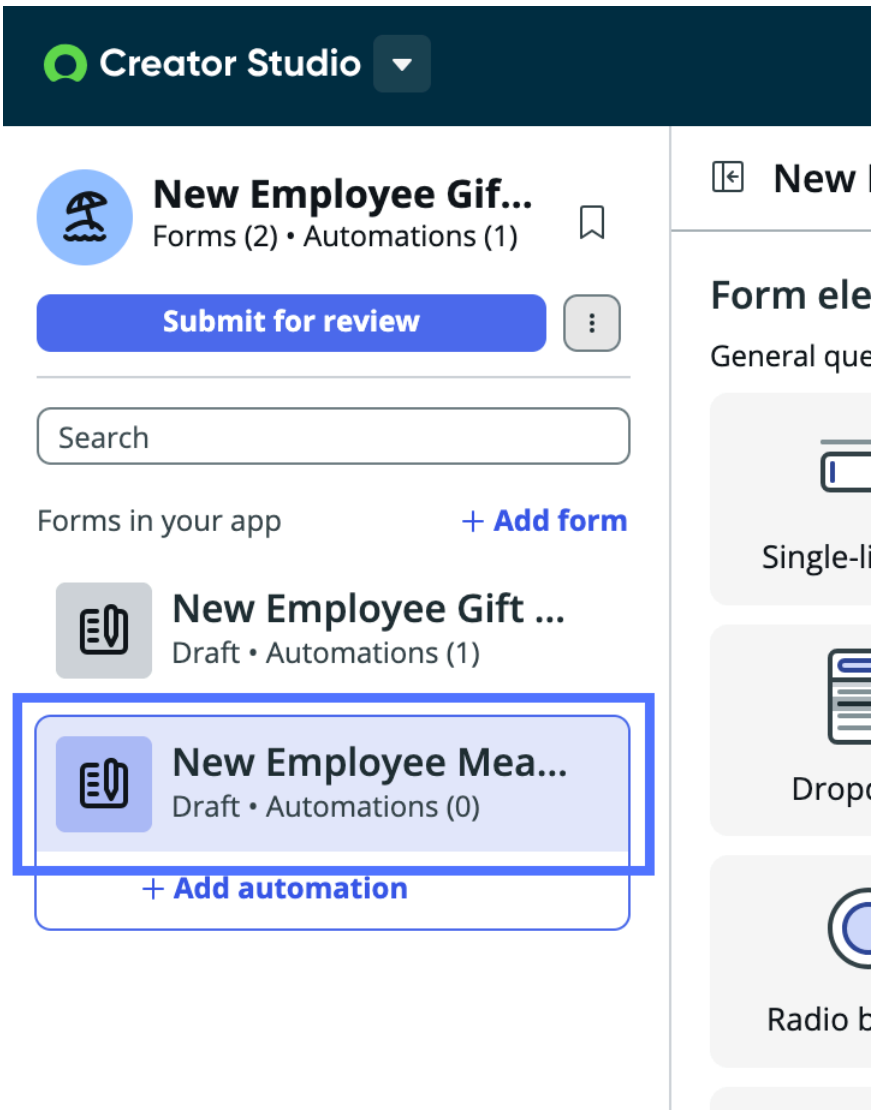
手順

1. 検索項目 すべて > **App Engine** > クリエータースタジオ をクリックして、 クリエータースタジオ ホームページにすべてのアプリを表示します。
2. 非表示にするフォームが含まれているアプリを開きます。
3. ナビゲーションパネルで非表示にするフォームを選択します。
   複数のフォームがある場合は、非表示にするフォームを選択してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フォームを選択



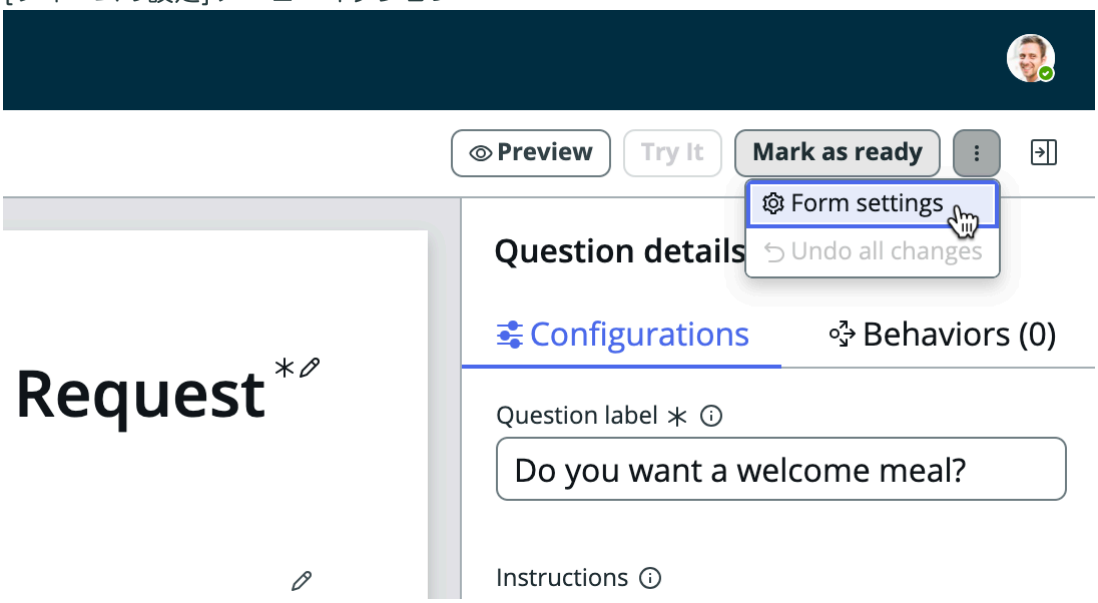
4. [その他のアクション] アイコン (…) を選択します。

5. [フォームの設定] を選択します。

自動翻訳

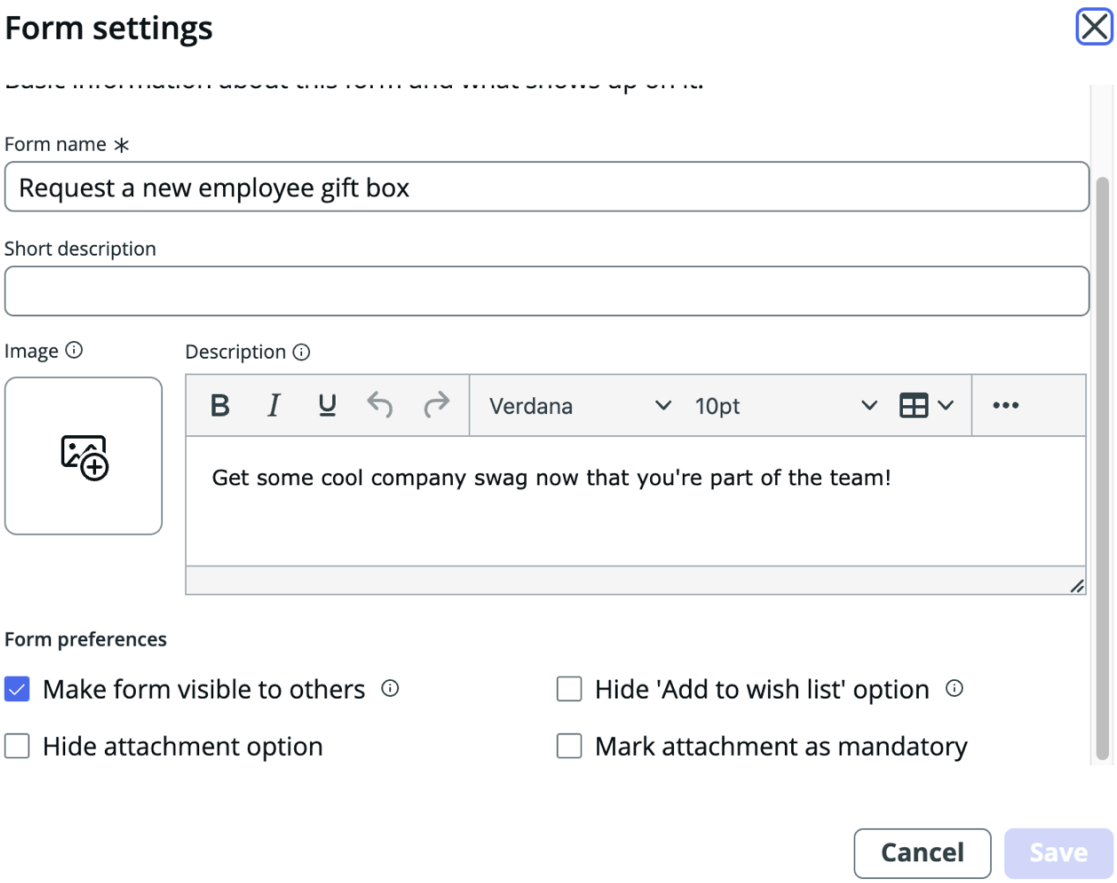
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[フォームの設定] メニューオプション



6. [他のユーザーがフォームを表示できるようにする **(Make form visible to others)]** オプションの選択を解除します。

フォームの設定モーダル



7. **[Save** (保存)] を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次のタスク
本番インスタンスで非アクティブなフォーム (カタログアイテム) を非表示にするには、アドミンがアプリを再展開する必要があります。

クリエータースタジオ で自動化を操作する

履行者のタスクをどのように簡素化および合理化しますか？自動化を活用しましょう！たとえば、要求のタイプに基づいてタスクを自動的に誰かにアサインすることができます。プレイブックを使用して、この自動化をアプリに追加します。

サマリー:
このセクションを読むことで、自動化を使用した次の方法を理解できます。

- プレイブックを使用して、エージェントと履行者にプロセスを最初から最後までガイドし、カスタマーエクスペリエンスとタスクの実行方法を改善します。
- タスクまたはアクティビティを実行するための一貫したプロセスを作成する。
- 組織全体でビジネス上の意思決定とプロセスを統合する。

注:
プレイブックはフォームに基づいているため、プレイブックの作成に使用する前にフォームを公開する (準備完了としてマークする) 必要があります。詳細については、「クリエータースタジオでアプリのフォームを公開する」を参照してください。

プレイブック は、イベントによってトリガーされる一連のステップです。必要に応じて、複数のプレイブックをアプリに追加できます

主要な用語:

アクティビティ
: プレイブックのアクティビティは、承認の取得、レコードのアサイン、メールの送信などの自動化されたタスクを完了します。

自動化
: 手動介入なしでワークフロー内を移動するタスクまたは要求。

プレイブック
: トリガーと呼ばれる開始アクションに基づく一連のアクション。

レコード
: 対応する必要があるタスクまたは要求。ServiceNow テーブルのすべての行は個別のレコードです。レコードのステータスは、実行されたアクションによって異なります。

トリガー
: プレイブックの実行を開始するイベント。

ワークフロー
: レコードの作成から完了までのパス。

自動化とは何か？

クリエータースタジオ の自動化により、基本的な自動ワークフローである簡略化されたプレイブックを作成できます。シンプルなプレイブックは、トリガー (レコードのステータス変更、ユーザーによる質問に対する特定の回答の選択など) とアクティビティ (レコードが新しいユーザーにアサインされるなど) で構成されます。プレイブックでは、以下を追加できます。

- ワークフローのパスを定義するための自動化アクティビティ。
- 意思決定の結果に応じて、異なるパスまたは分岐を作成する意思決定。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- アドミンまたは ServiceNow AI Platform 所有者によって定義されたカスタムアクティビティ。
- フォーム送信によって生成されたレコードの一部のフィールドを更新します。

プレイブックにより、タスクのアサインを推測する必要がなくなり、ユーザーは自分の仕事にとって重要なタスクと情報に集中できるようになります。適切に設計されたプレイブックでは、次のことができます。

- タスクアサインなどのさまざまなタイプのレコードや、送信されたフォームのレコードの特定のフィールドの変更を自動的に開始またはトリガーします。
- 既に作成した他のワークフローのアクティビティとビジネス上の意思決定を再利用する。
- 履行者がレコードのライフサイクルを完了する次のステップに進むために実行する必要がある次のステップを明確に示す。

プレイブックに追加できるアクティビティにはいくつかの種類があります。これらのアクティビティを意思決定と組み合わせることで、タスクに取り組むときに次に何をすべきかを手動で考える必要がなくなります。構成に応じて追加できるアクティビティには、次のようなものがあります。

- タスクの承認を要求する
- タスクを他のユーザーにアサインする
- 次のステップとして新しいタスクを作成する
- メール送信
- アドミンが設定したカスタムアクションを選択します
- 送信されたフォームのレコードのフィールドを更新する

注:
カスタムアクティビティの作成に加えて、アドミンは標準アクティビティを非表示にすることもできるため、上記のすべてのオプションが表示されない場合があります。

プレイブックの関連フォームの回答を使用して、アクティビティを強化することもできます。たとえば、誰かがギフトボックスを要求していて、「肉を食べますか?」という質問に「はい」と答えた場合、アサイン先アクティビティを作成して、ギフトボックスをフルフィルメントのために精肉部門にルーティングできます。

プレースホルダーアクティビティは、クリエータースタジオ の外部で設定する必要があるより複雑なアクティビティや、後で別のアクティビティをスワップインするためにも使用できます。複雑なアクティビティは、ワークフロースタジオ と呼ばれる別のツールで構成されます。

自動化のビルドの要素

クリエータースタジオ の自動化には、次の部品が含まれます。

自動化の部品

コンセプト	説明
プレイブック	レコードのステータス変更に基づいてユーザーにタスクをガイドする自動ワークフロー。プレイブックの作成の詳細は、クリエータースタジオ でアプリに自動プレイブックを追加する をご覧ください。
トリガー	フォームが送信されたとき、または特定のステータスに更新されたときなど、プレイブックの実行を開始するタイミングを指定するイベン

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

自動化の部品 (続く)

コンセプト	説明
	ト。詳細については、クリエータースタジオでプレイブックのトリガーを編集する をご確認ください。
アクティビティ	タスクのアサインや承認の要求など、プレイブック中に行われること。 **注:** プレイブックのオプションのアクティビティに既に慣れている場合は、それでよいでしょう。ただし、自動化を簡素化してシンプルに保つために、クリエータースタジオ はオプションのアクティビティをサポートしていません。オプションのアクティビティを作成する必要がある場合は、 クリエータースタジオ でプレースホルダーアクティビティを追加し、 ワークフロースタジオ でプレースホルダーを編集するか、 クリエータースタジオで別のアクティビティと入れ替えることができます。 さらに、アドミニストレーターは、ユーザーがプレイブックに含めるカスタムアクティビティを作成できます。 アクティビティを追加する方法については、「クリエータースタジオ でアプリのプレイブックにアクティビティを追加する」を参照してください。
決定	意志決定の結果に基づいてユーザーが従うさまざまな分岐または条件付きパスを作成する一連の入力、条件、および結果。意思決定の追加に関しては、「クリエータースタジオでアプリのプレイブックに意思決定を追加する」を参照してください。
分岐	意思決定の結果からの明確なパス、または意思決定で可能な各選択肢で起きること。詳細については、「クリエータースタジオでアプリのプレイブックに意思決定を追加する」を参照してください。
並列処理	アクティビティの別の分岐と並行して実行される、アクティビティおよびステージの分岐。並列処理については、「クリエータースタジオ でアプリのプレイブックに並列処理を追加する」を参照してください。
コネクタ	プレイブック内のアクティビティと意思決定を接続する線。アクティビティ、意志決定、並列処理をさらに追加できます。アクティビティ間でコネクタをドラッグして、並列アクティビティを作成できます。

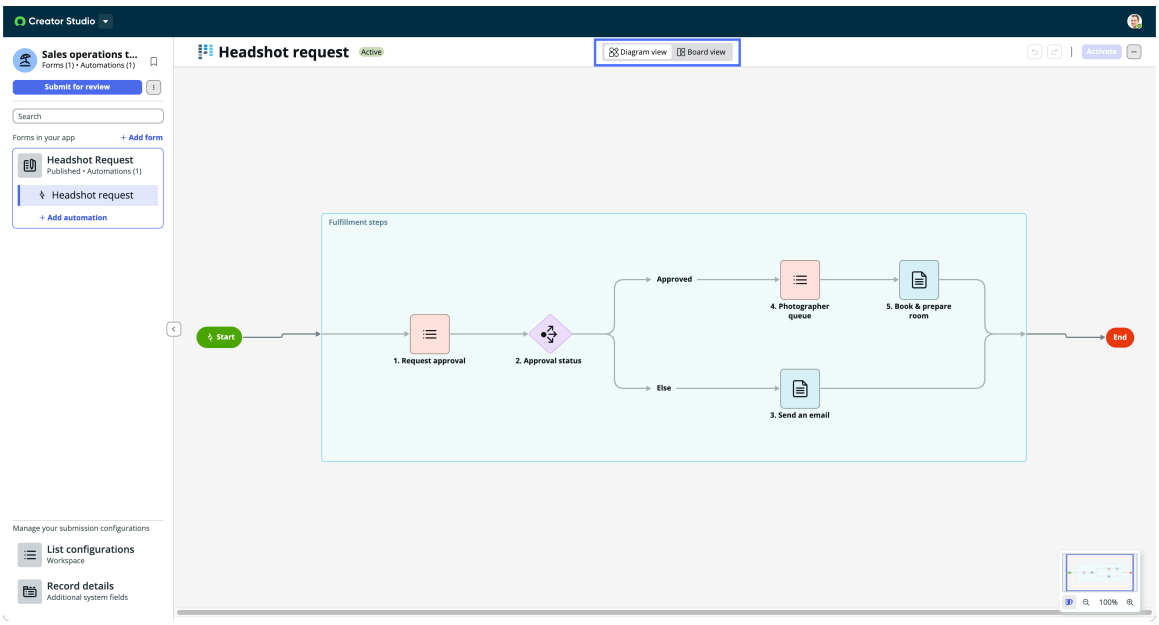
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プレイブックのボードビューとダイアグラムビュー

クリエータースタジオには、プレイブックを操作する 2 つの方法として、ボードビューとダイアグラムビューが用意されています。

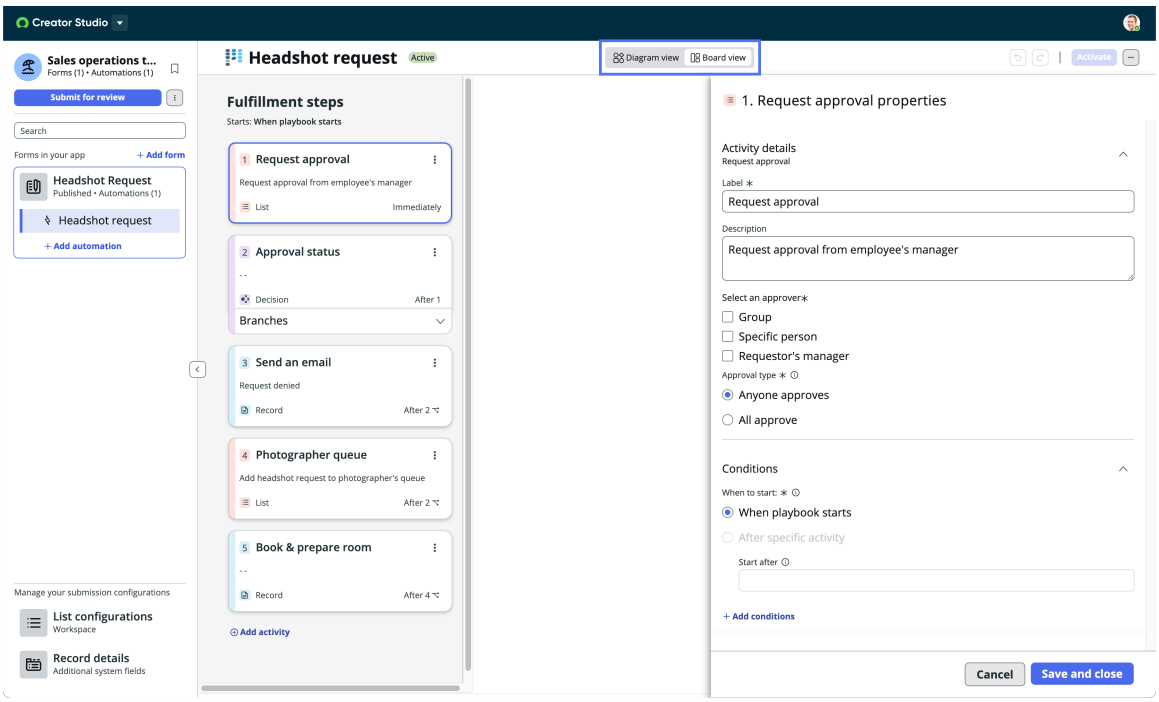
ダイアグラムビューは、プレイブック内でアクティビティが発生する順序を示す、視覚的に直感的なダイアグラムです。トリガーや意思決定などのアクティビティを選択すると、詳細を編集できるモーダルがポップアップ表示されます。意思決定を追加するには、ダイアグラムビューを使用する必要があります。

プレイブックのダイアグラムビュー



ボードビューは、より伝統的なレイアウトで、各アクティビティがナビゲーションパネルにカードとして表示されます。タスクなどのアクティビティを選択すると、その編集可能な詳細がキャンバスに表示され、操作できるようになります。アクティビティを再配置するには、ボードビューを使用する必要があります。

プレイブックのボードビュー



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このヘルプドキュメントでは、主にダイアグラムビューを使用した手順を説明し、ボードビューで自動化タスクを完了する方法についての別の手順も説明します。

ServiceNow AI Platform でプレイブックが実行される場所

ユーザーは、ServiceNow AI Platform の要求アプリワークスペースで要求を処理します。このワークスペースには、各要求のレコードがリストされます。プレイブックは、アプリのワークスペースカテゴリ内の指定されたレコードで実行されます。

具体的には、レコード詳細の [カタログタスク] タブで、タスクを完了してレコードをクローズするために必要なアクティビティをユーザーに案内します。

クリエータースタジオで自動化を作成するためのワークフロー

自動化されたプレイブックをアプリに追加することで、アプリから生成されたレコードに対処する際のガイダンスを組織の履行者に提供します。

始める前に

注:
プレイブックはフォームに基づいているため、プレイブックの作成に使用する前にフォームを公開する (準備完了としてマークする) 必要があります。詳細については、「クリエータースタジオでアプリのフォームを公開する」を参照してください。

自動化を操作するには、アプリで作業する権限が付与されている必要があります。

手順

1. アプリを作成します。
   作成したいものに近い既存のプレイブックがある場合は、それを複製して編集できます。これは、まったく新しいプレイブックを作成するよりも速い場合があります。詳細については、「クリエータースタジオで自動化されたプレイブックをコピーする」を参照してください。
2. 自動化されたプレイブックをアプリに追加します。
   詳細については、「クリエータースタジオ でアプリに自動プレイブックを追加する」を参照してください。
3. アクティビティをプレイブックに追加します。
   詳細については、「クリエータースタジオ でアプリのプレイブックにアクティビティを追加する」を参照してください。
4. プレイブックに意思決定を追加して、プレイブックのさまざまな分岐を作成します。
   詳細については、「クリエータースタジオでアプリのプレイブックに意思決定を追加する」を参照してください。
5. オプション: プレイブックで同時に実行する並列プロセスを作成します。
   詳細については、「クリエータースタジオ でアプリのプレイブックに並列処理を追加する」を参照してください。
6. プレイブックのトリガーに他の変更を加えます。
   詳細については、「クリエータースタジオでプレイブックのトリガーを編集する」を参照してください。
7. プレイブック設定に他の変更を加えます。
   詳細については、「クリエータースタジオでプレイブックを編集する」を参照してください。
8. 準備ができたら、プレイブックをアクティブ化します。
   詳細については、「クリエータースタジオ でプレイブックをアクティブ化する」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クリエータースタジオ でアプリに自動プレイブックを追加する

自動化されたプレイブックを作成します。これは、アプリの指定されたフォームによってレコードが作成または更新されるたびに実行されるプロセスです。

始める前に

プレイブックは、アプリ用に作成したカタログアイテムによって生成されたレコードで実行されるため、自動化を追加する前にアプリにフォームを追加する必要があります。公開されたフォーム (準備完了としてマークされたフォーム) のみを使用して、自動化を作成できます。詳細については、「クリエータースタジオ でのフォームの操作」を参照してください。

プレイブックを追加するには、アプリで作業する権限が付与されている必要があります。

このタスクについて

注:
たとえば、さまざまなタイプの出張の許可を求めると、承認のために要求が自動的にマネージャーにルーティングされる出張要求アプリを構築できます。

手順

1. 検索項目 すべて > **App Engine** > クリエータースタジオ をクリックして、 クリエータースタジオ ホームページにすべてのアプリを表示します。
2. 自動化を追加するアプリを開きます。
3. プレイブックを追加するフォームの **[+** 自動化を追加] を選択します。

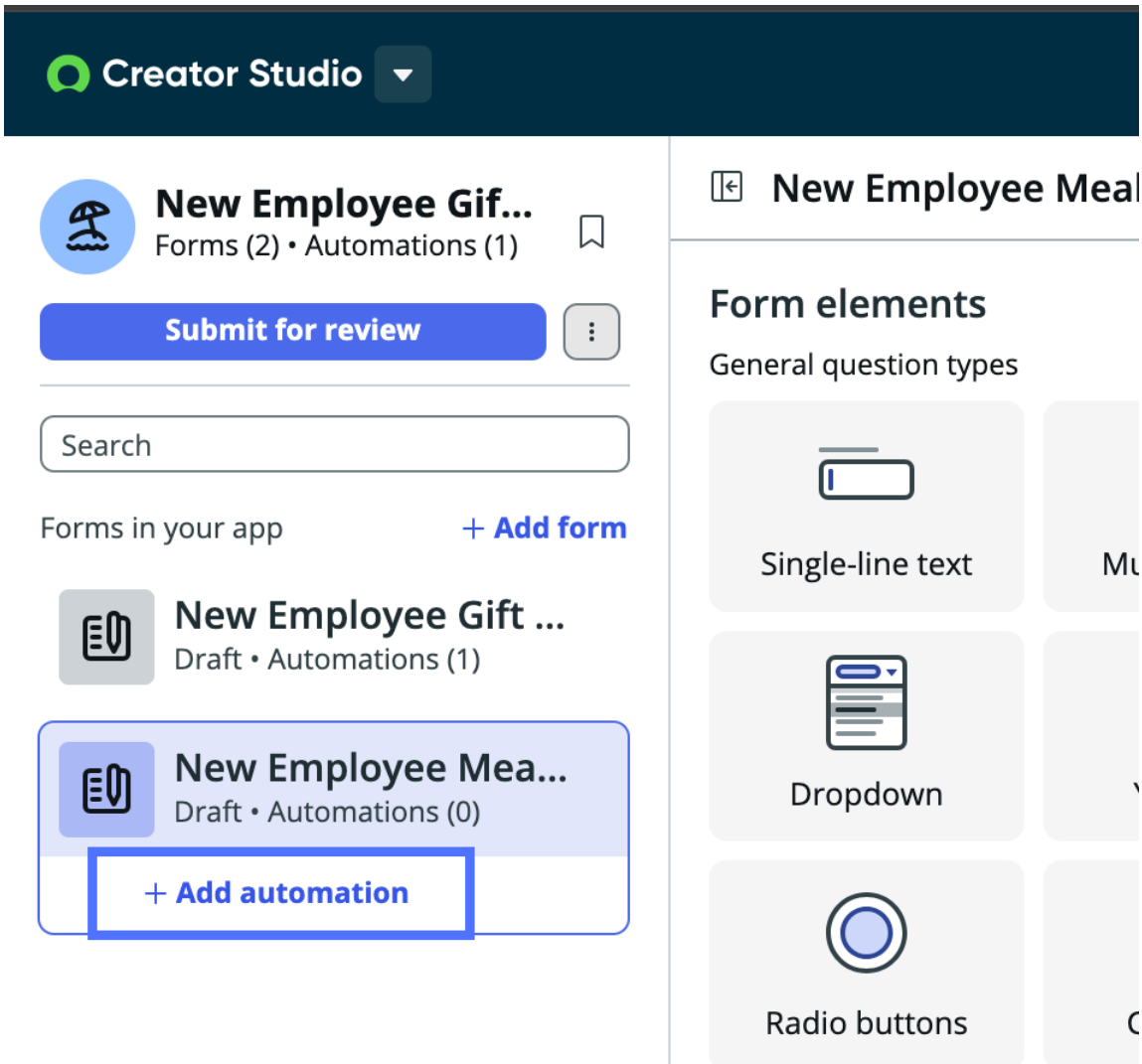
   注:
   アプリに多数のフォームがある場合は、ナビゲーションパネルの検索ボックスを使用して特定のフォームを検索できます。

   次のルールが適用されます。

   - フォームがまだドラフトである場合は、最初にフォームを公開する必要があることを示すメッセージがポップアップ表示されます。詳細については、クリエータースタジオでアプリのフォームを公開する をご確認ください。
   - プレイブックを実行する公開済みフォームのみを選択できます。フォームを公開して編集した場合、編集中のバージョンを (たとえば自動化のトリガーとして) プレイブックの条件で使用することはできません。ただし、フォームの公開済みバージョンを使用することも、編集しているバージョンを公開することもできます。これにより、その質問の回答をプレイブックの条件で使用できるようになります。
   - 選択したフォームのテーブルは、アプリの基になるテーブルであり、アプリの作成時に指定されます。ただし、アドミンはテーブルを変更できます。詳細については、 アプリの基になるテーブルの管理 を参照してください。プレイブックを作成できないというメッセージが表示された場合は、アドミンに連絡してアプリのテーブルを確認してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



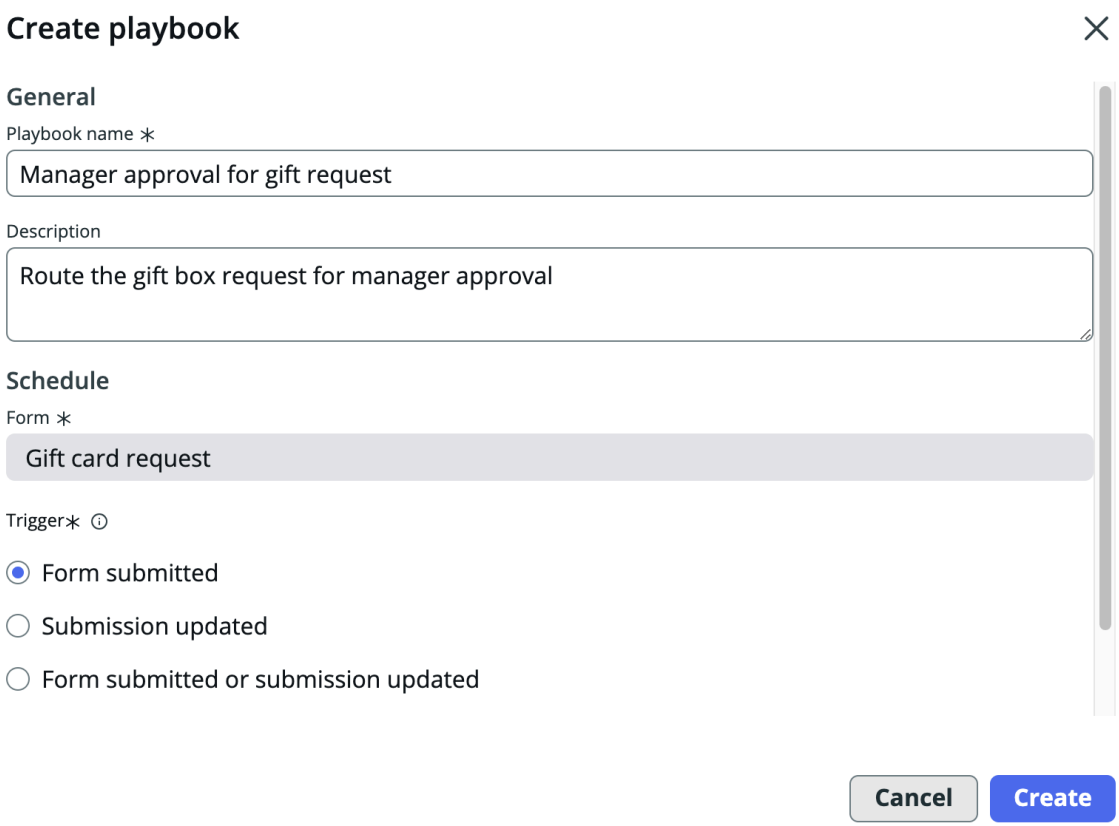
4. [プレイブックを作成 (Create playbook)] モーダルでプレイブックの一般的な属性を指定します。

一般的なプレイブック定義フィールド

フィールド	説明
プレイブック名	作成するプレイブックのわかりやすい名前。
説明	プレイブックが実行する内容の短い説明 (レコードタイプの最終目標など)。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プレイブックを作成



5. プレイブックのスケジュールを指定します。

a. プレイブックを開始する [トリガー] のタイプを選択します。

プレイブックトリガーのオプション

トリガー	説明
フォームが送信されました	選択したフォームをユーザーが送信すると、プレイブックの実行が開始されます。
フォームが更新されました	選択したフォームをユーザーが更新すると、プレイブックの実行が開始されます。
フォームが送信または更新された (Form submitted or updated)	選択したフォームをユーザーが送信または更新すると、プレイブックの実行が開始されます。

注:
プレイブックの作成が完了した後は、プレイブックのトリガータイプを変更することはできません。代わりに、別のトリガーを使用して新しいプレイブックを作成します。

ただし、質問に対する特定の回答に基づいて条件付きでプレイブックを実行するなど、トリガー条件を編集することはできます。詳細については、「クリエータースタジオでプレイブックのトリガーを編集する」を参照してください。

b. 更新中のフォームを含むトリガーを選択した場合は、アプリがプレイブックを実行する頻度を指定します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

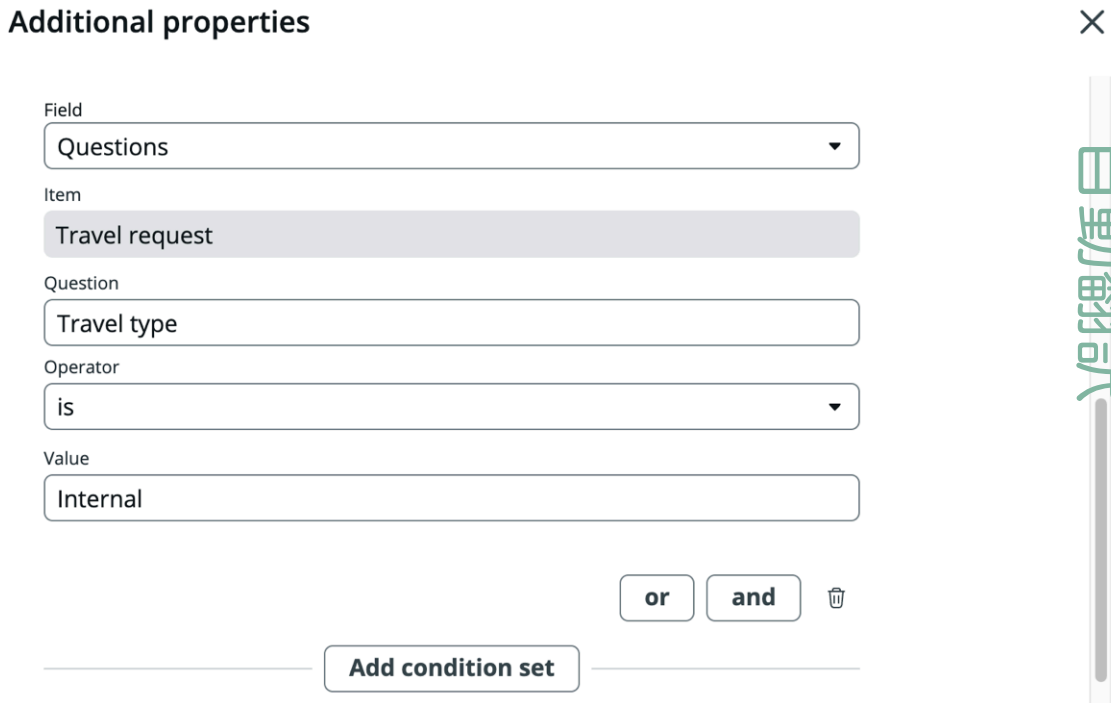
オプションは次のとおりです。

- **1**回
- **For each unique change** (それぞれ一意の変更の場合)
- 現在実行されていない場合のみ
- 更新ごと

c. [条件を追加] を選択して、プレイブックの実行を開始するために満たす必要がある条件を指定します。

- テーブルの列の値に基づいてプレイブックをトリガーする場合は、トリガーする [フィールド] 、およびその条件 [演算子] と特定のトリガー [値] を選択します。たとえば、[開始日] が [日付] の [後] である必要がある場合など。
- フォームからの応答に基づいてプレイブックをトリガーする場合は、トリガー [フィールド] として [質問] を選択します。次に、[質問] フィールドで目的の質問を選択し、条件の [演算子] と回答の [値] を選択します。

自動化のトリガーとしての質問の回答



必要なだけ条件を追加します。詳細については、「Create a condition statement using the condition builder」を参照してください。

d. **[Create** (作成)] を選択します。

タスクの結果

おめでとうございます:
おめでとうございます。自動化が作成されました！

次のタスク

次に、アクティビティをプレイブックに追加する必要があります。詳細については、「クリエーター スタジオ でアプリのプレイブックにアクティビティを追加する」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クリエータースタジオで自動化されたプレイブックをコピーする

既存の プレイブック を複製し、それに小さな変更を加えます。まったく新しい自動化されたプレイブックを作成するよりも、この方が速い場合があります。

始める前に

プレイブックはフォームに基づいているため、プレイブックの作成に使用する前にフォームを公開する (準備完了としてマークする) 必要があります。詳細については、「クリエータースタジオでアプリのフォームを公開する」を参照してください。

プレイブックをコピーするには、アプリで作業する権限が付与されている必要があります。

手順

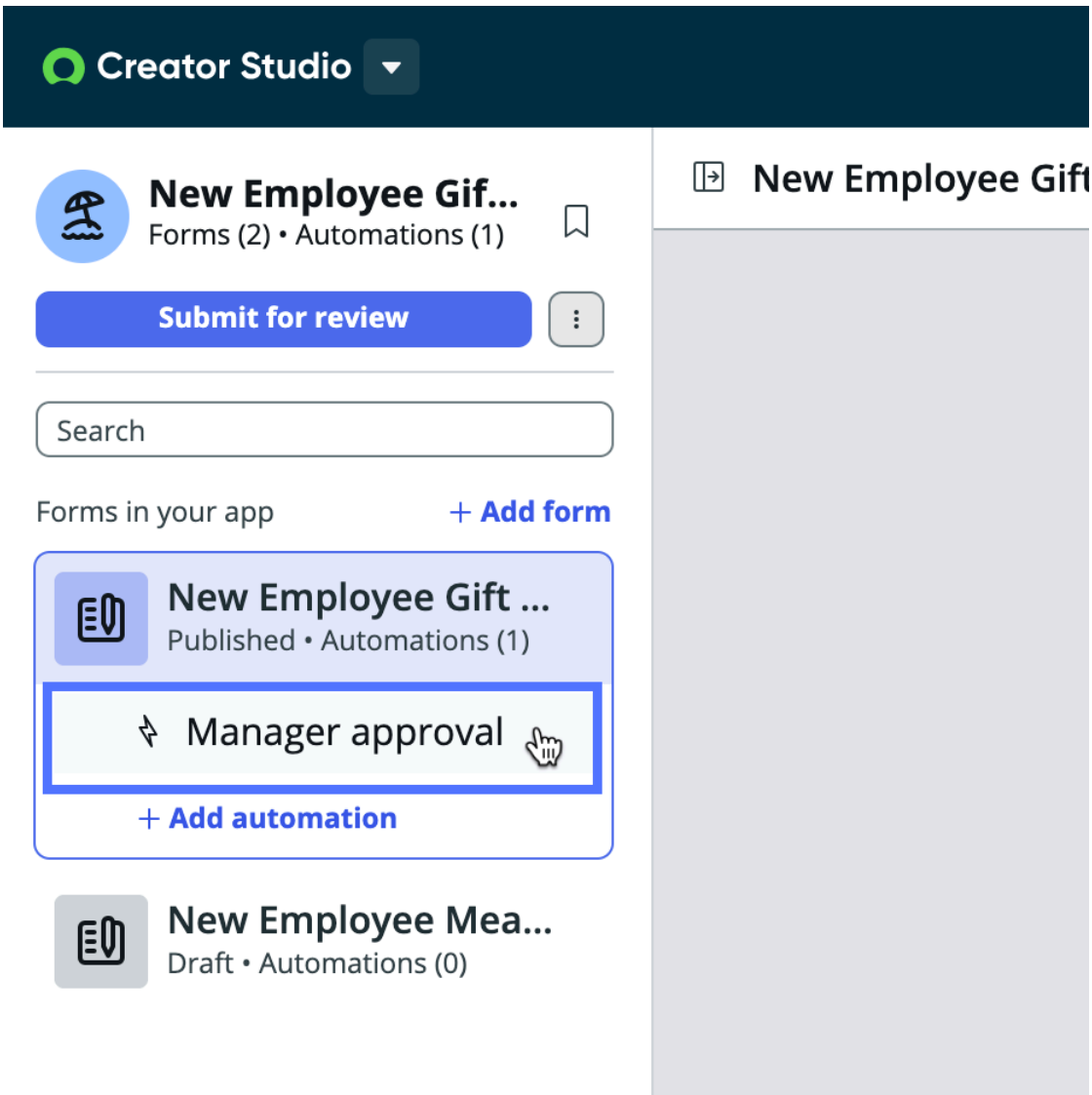
1. 検索項目 すべて > **App Engine** > クリエータースタジオ をクリックして、 クリエータースタジオ ホームページにすべてのアプリを表示します。
2. コピーするプレイブックが含まれるアプリを開きます。
3. コピーする自動化を含むフォームを選択します。
4. コピーする自動化を選択します。

> **注:**
> アプリに多数のフォームがある場合は、ナビゲーションパネルの検索ボックスを使用して特定のフォームを検索できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

コピーする自動化を選択



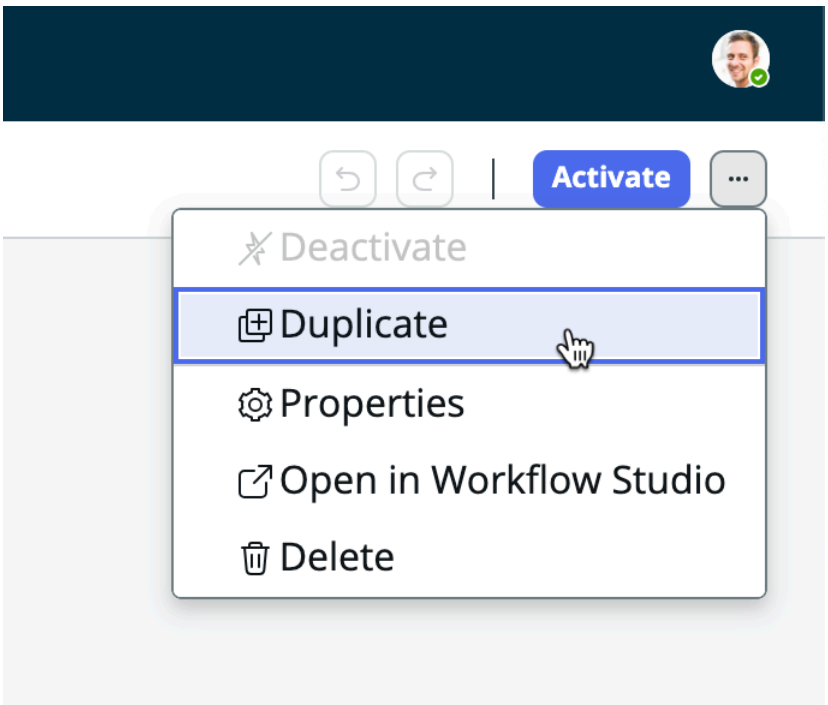
5. [その他のアクション] メニューアイコン (···) を選択します。

6. [複製] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プレイブックのコピー



7. 確認モーダルで [複製] ボタンを選択します。

タスクの結果
複製されたプレイブックが開き、元のプレイブックの下のナビゲーションパネルに表示されます。

クリエータースタジオ でアプリのプレイブックにアクティビティを追加する

アプリのプレイブックにアクティビティを追加して、指定されたレコードタイプに対して自動化が実行する内容を指定します。アクティビティは、プレイブックの実行時に実際に何が発生するかを定義します。

始める前に
プレイブックにアクティビティを追加するには、アプリで作業する権限が付与されている必要があります。

このタスクについて
プレイブックに追加できるアクティビティは、組織に適切なアクティビティを使用できるようにアドミニストレーターによって制限されています。選択可能なカスタムアクティビティをアドミンが作成しているか、一部の標準アクティビティを非表示にしている場合があります。

手順

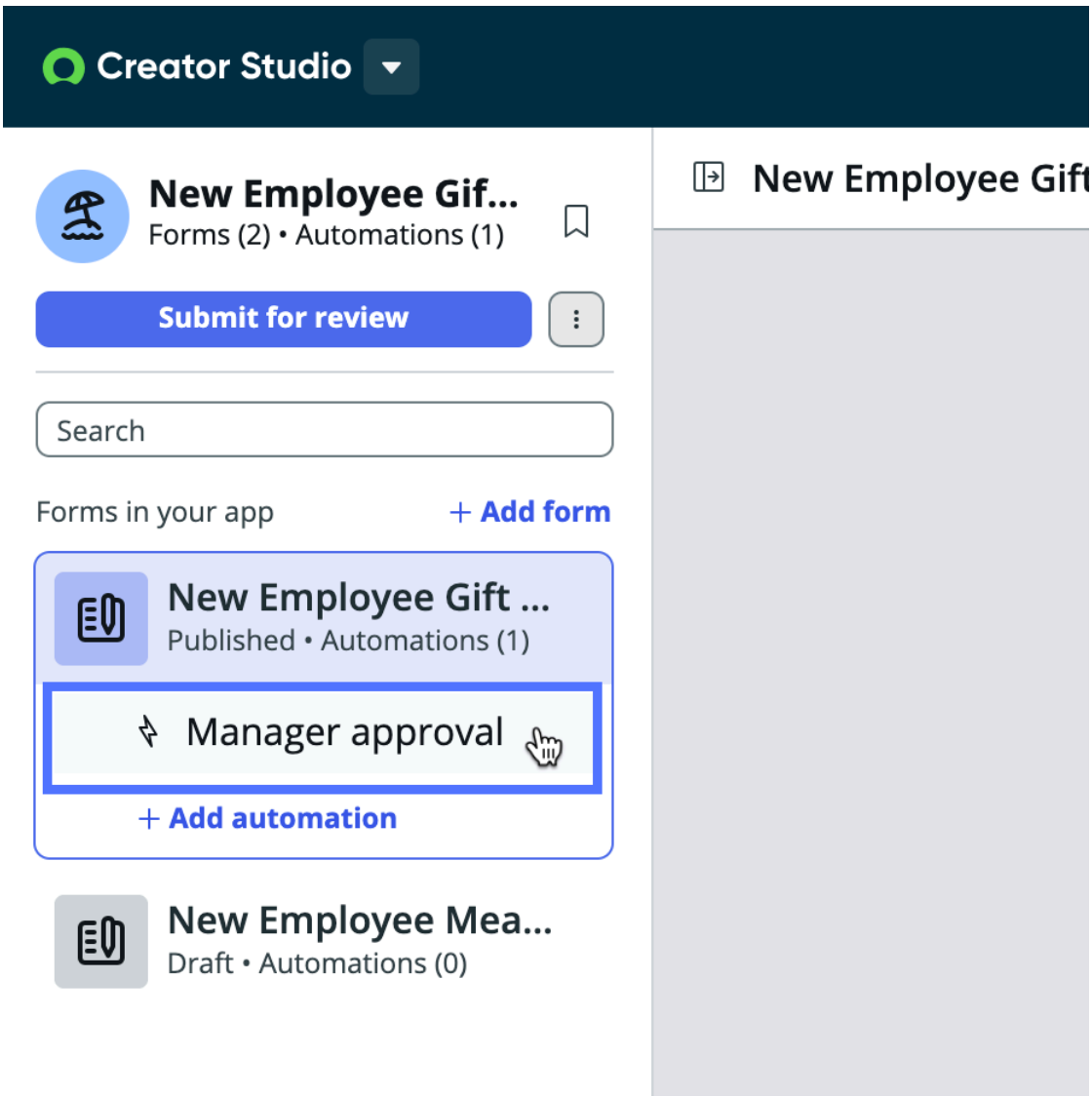
1. 検索項目 すべて > **App Engine** > クリエータースタジオ をクリックして、 クリエータースタジオ ホームページにすべてのアプリを表示します。
2. アクティビティを追加するプレイブックが含まれているアプリを開きます。
3. アクティビティを追加するプレイブックが含まれているフォームを選択します。
4. アクティビティを追加するプレイブックが含まれている自動化を選択します。

> **注:**
> アプリに多数のフォームと自動化がある場合は、ナビゲーションパネルの検索ボックスを使用して、特定の自動化を検索できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プレイブックがある自動化を選択する



5. アクティビティを追加するコネクタ上の [追加] アイコン を選択し、表示されるメニューに表示されり四角い [アクティビティを追加] アイコン を選択します。

ボードビューとダイアグラムビューでアクティビティを追加する方法

ビュー	ステップ
図	**a.** ステージの **[+]** アイコンを選択します。 **b.** ミニピッカーで、正方形のアイコン ( ) を選択してアクティビティを追加します。
ボード	**[+** アクティビティを追加] を選択します。

6. [アクティビティライブラリ (Activity library)] ポップアップから必要なアクティビティのタイプを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
次の標準アクティビティに加えて、アドミンが作成したカスタムアクティビティが表示される場合があります。

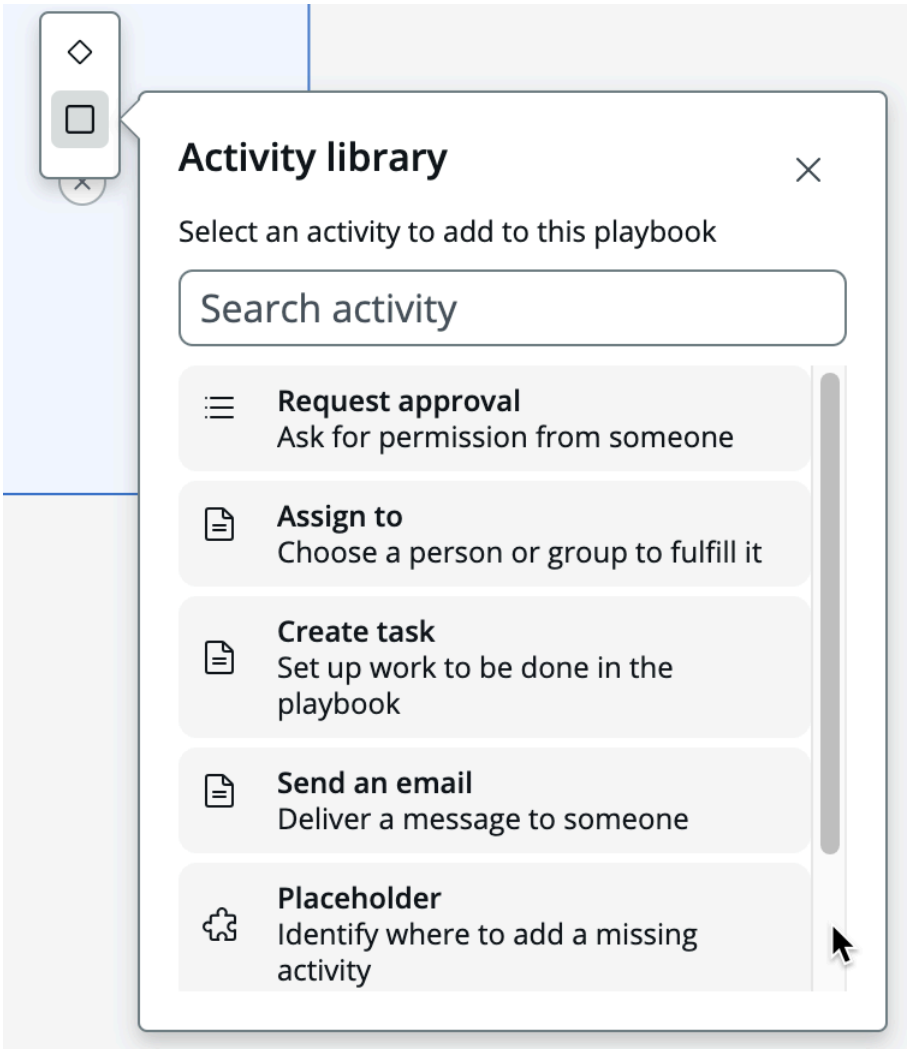
アクティビティのタイプ

アクティビティタイプ	説明
承認を要求	タスクを実行するために誰かに許可を求めます。
アサイン先	タスクを履行する必要がある人を選択します。
タスクの作成	プレイブックの一部として実行する必要があるプロセスを指定します。
メールの送信	1 人または複数の人にメールを送信します。自動的に送信されるメールの画像を指定したり、テキストを充実させたりすることができます。
プレースホルダー	後で指定する未定義のアクティビティ、またはアクティビティ完了時のメール通知など、より高度なアクティビティを設定します。 プレースホルダーアクティビティにはまだロジックがアサインされていないため、ワークフロースタジオで編集する必要があります。または、後で クリエータースタジオ の別のタイプのアクティビティと入れ替えることもできます。
送信を更新	ユーザーがフォームを送信したときにフォームが生成するレコードの指定されたフィールドの値を更新します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プレイブックのアクティビティライブラリ



新しいアクティビティとその [アクティビティのプロパティ] パネルが表示され、そこでアクティビティの内容を定義します。

7. アクティビティの基本的な詳細を入力します。

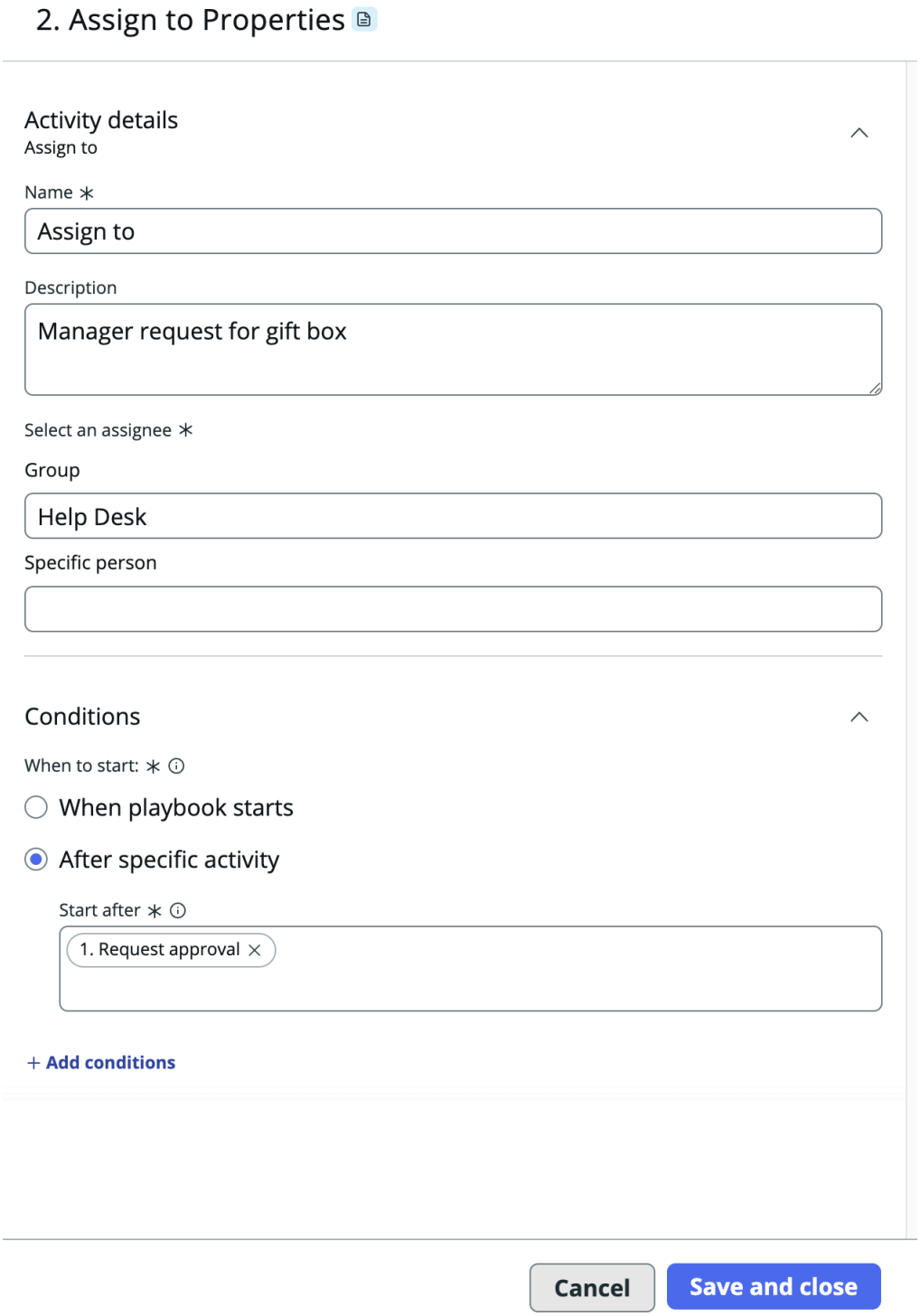
一般的なアクティビティの詳細

フィールド	説明
ラベル	アクティビティの一意のユーザー向けの名前。プレイブックの実行中にエージェントと履行者に表示されます。
説明	アクティビティが達成する内容に関するオプションの詳細。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アクティビティの詳細パネル



8. 必要に応じて、[承認者を選択 **(Select an approver)]** または [アサイニーを選択] フィールドで、承認者またはアサイニーを指定します。
承認者とアサイニーは、タスクを承認する必要がある人、またはタスクがアサインされる人です。
オプションは次のとおりです。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- [グループ]：表示されるフィールドに 1 つ以上のユーザーグループを入力します。たとえば、「App Engine アドミン」。
- [特定のユーザー **(Specific person)**]：ServiceNow AI Platform に表示されるユーザーの名前を入力します。グループを入力した場合は、指定したグループ内のユーザーのみを選択できます。
- 要求者のマネージャー:(要求承認アクティビティのみ) 承認を、要求を行っているユーザーのマネージャーに自動的にルーティングします。

9. 特定のタイプのアクティビティの詳細を入力します。

a. 要求承認アクティビティの場合のみ、[承認タイプ] を指定します。
承認タイプは、1 人の承認者が必要か、全員が要求を承認する必要があるかを定義します。オプションは次のとおりです。

- [誰でも承認可能]:指定された承認者のうち 1 人だけが要求を承認する必要があります。
- [すべて承認]：指定された承認者の全員が要求を承認する必要があります。

  このオプションを選択し、グループを指定した場合は、グループのすべてのメンバーが要求を承認する必要があります。

b. [タスクの作成] アクティビティで、[優先度]を指定します。
オプションは次のとおりです。

- 重大
- 高
- 中
- 低
- 計画立案

c. メールを送信アクティビティで、メールの受信者と内容を指定します。

- メールを受信するユーザーの名前 (ServiceNow AI Platform ユーザーの場合) またはメールアドレスを [宛先] フィールドと **[CC]** フィールドに入力します。

  [宛先] または **[CC]** フィールドで [要求者] オプションを選択して、メールの受信者に要求を行ったユーザーを含めます。

- [件名] フィールドにメールの件名を入力します。
- テキストボックスにメールの本文を入力します。[追加のツールバー] ボタンアイコン ( ) を選択して、その他の書式設定オプションを表示します。たとえば、画像、表、リンクをメールに追加できます。

d. [送信アクティビティを更新] で、送信されたフォームのレコードでアクティビティが更新するフィールドを選択します。
更新するフィールドを次のフィールドから選択します。

- 説明
- **Priority** (優先度)
- 簡単な説明
- 状況

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

10. [条件] セクションの [開始時期] フィールドで、アクティビティの実行を開始する時期を選択します。
オプションは次のとおりです。
    - **[**プレイブックの開始時]：承認要求はトリガーが発生したときに実行されます。トリガーは、フォームのレコードの作成または更新です。
    - [具体的なアクティビティの後 **(After specific activity)]**：承認要求は 1 つ以上のアクティビティの実行後に実行されます。アクティビティを [次以降に開始] フィールドで指定する必要があります。作業中のアクティビティの前に連続して発生するアクティビティのみを選択できます。

      注:
      このオプションは、プレイブックの最初のアクティビティでは使用できません。

11. オプション: **[+** 条件を追加] を選択して、アクティビティが発生するために満たす必要がある追加の条件を定義します。
表示される条件ビルダーを使用して、アクティビティを実行するために必要なその他の設定を指定します。詳細については、「Create a condition statement using the condition builder」を参照してください。

    関連付けられたフォームの回答を使用して、アクティビティを強化できます。たとえば、誰かが「肉を食べますか?」という質問に「はい」と答えた場合に、ギフトボックスを履行するために [アサイン先] アクティビティを食肉部門に割り当てるように指定できます。フォームからの応答を条件として使用するには、次の手順を実行します。

    a. [フィールド] フィールドで [質問] を選択します。
    b. [質問] フィールドから、条件として使用するフォームの質問を選択します。
    c. 条件の 演算子 と回答 の値を指定します。
    d. 条件の定義が完了したら、[適用] を選択します。

12. [保存して閉じる] ボタンを選択して、アクティビティの設定を終了します。

次のタスク
引き続きアクティビティと意思決定、必要に応じてコネクタと並列プロセスを追加して、プレイブックの作成を完了します。意思決定の詳細については、「クリエータースタジオでアプリのプレイブックに意思決定を追加する」を参照してください。

クリエータースタジオでアプリのプレイブックに意思決定を追加する

if/then 条件である意思決定を追加して、クリエータースタジオで自動化のプレイブックの分岐または別のパスを定義します。

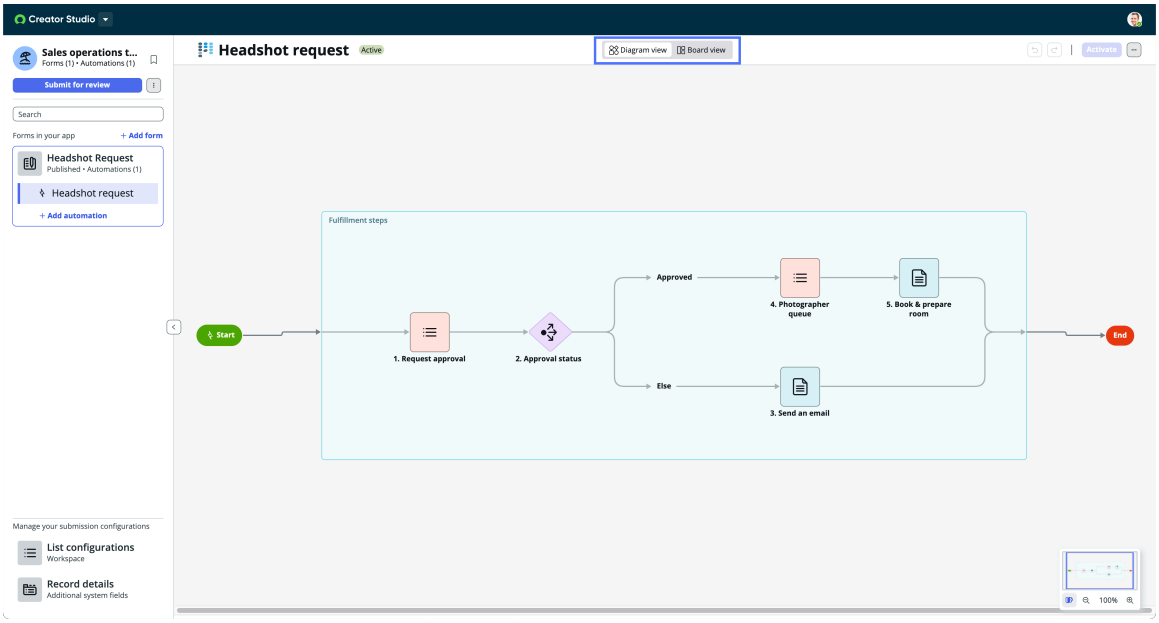
始める前に
プレイブックに意思決定を追加するには、アプリで作業する権限が付与されている必要があります。

このタスクについて
各意思決定には少なくとも 2 つの分岐があり、各分岐は意思決定の考えられる結果を表します。2 番目の分岐は ELSE 分岐にすることができますが、これは必須です。他の分岐の他のすべての条件が false の場合、ELSE 分岐に従います。else 分岐は、意思決定の予備的なケースと考えてください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

分岐を持つ意思決定の例



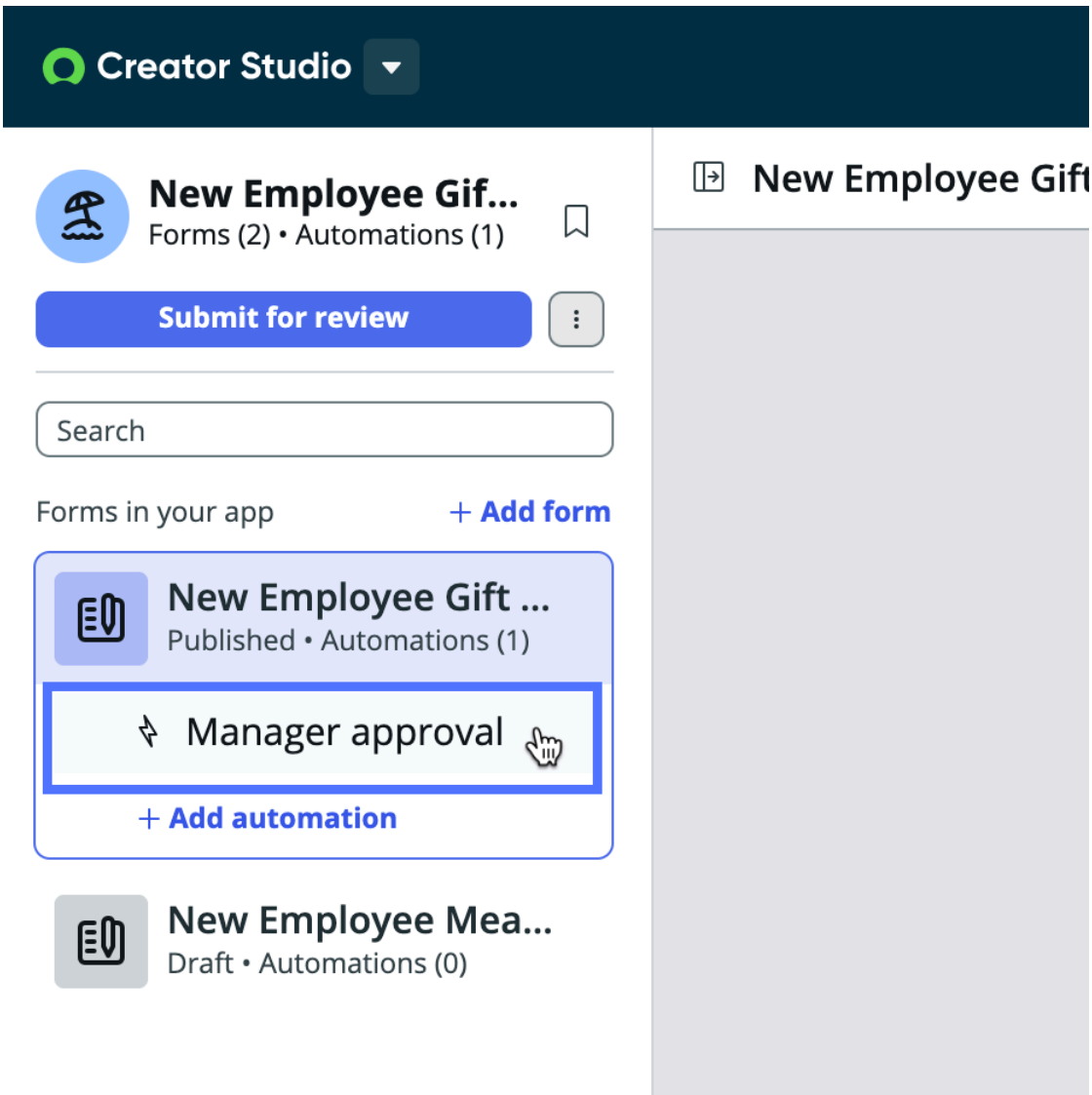
手順

1. 検索項目 すべて > **App Engine** > クリエータースタジオ をクリックして、 クリエータースタジオ ホームページにすべてのアプリを表示します。
2. 意思決定を追加するプレイブックが含まれているアプリを開きます。
3. 意思決定を追加するプレイブックが含まれているフォームを選択します。
4. 意思決定を追加するプレイブックを含む自動化を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プレイブックがある自動化を選択する



5. 意思決定を追加するコネクタ上で [追加] アイコン ( ) を選択し、表示されるメニューでダイヤモンド形の [意思決定の追加] アイコン ( ) を選択します。

   注:
   意思決定を追加するには、ダイアグラムビューにいる必要があります。

6. 表示される [意思決定のプロパティ (Decision properties)] パネルの [詳細] タブで意思決定の基本属性を指定します。

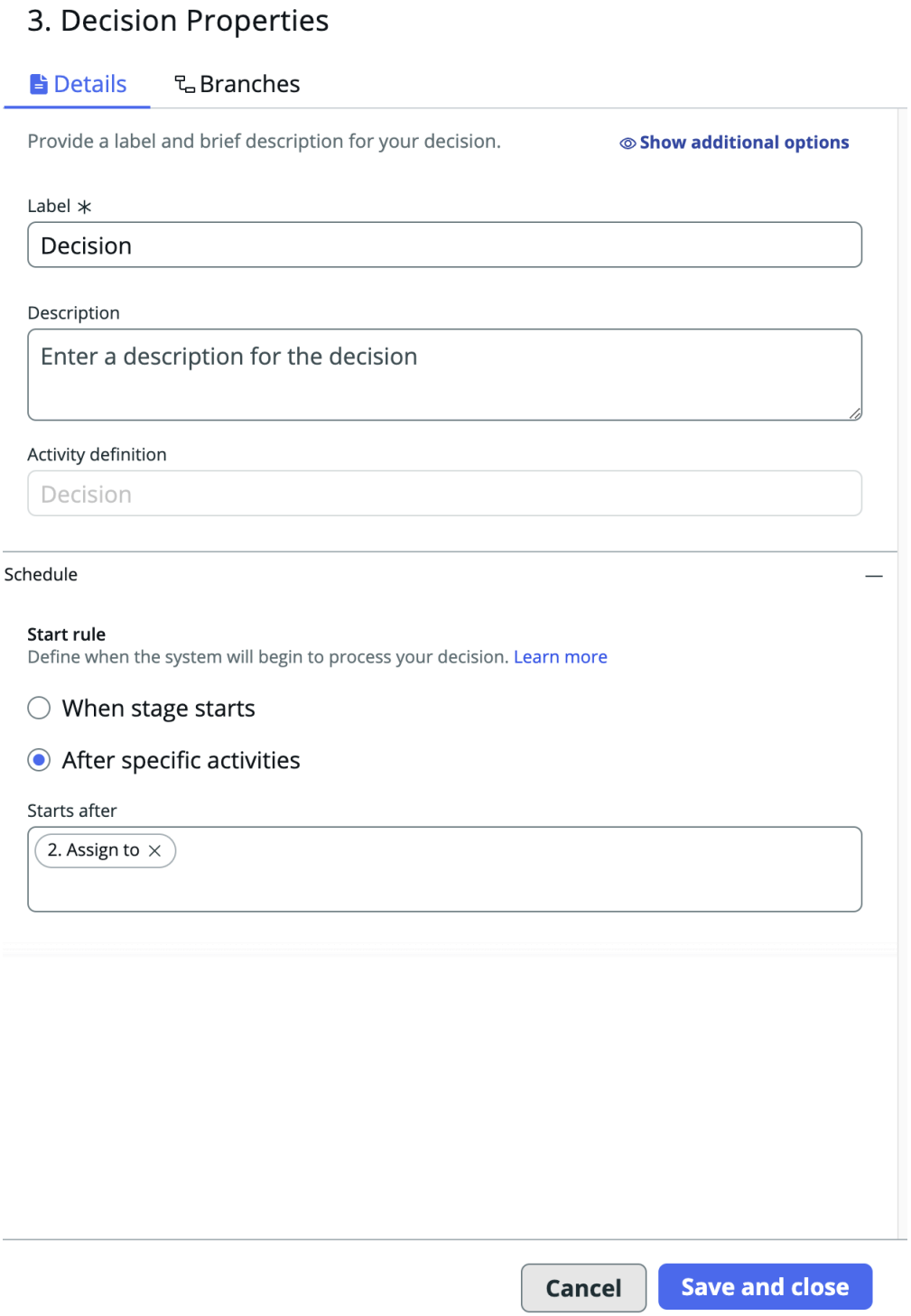
   意思決定の基本的なオプション

フィールド	説明
プレイブック名	意思決定の一意のユーザー向けの名前。プレイブックの実行中にエージェントと履行者に表示されます。
説明	意思決定が達成する内容に関するオプションの詳細。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プレイブックの意思決定プロパティ



7. 意思決定のスケジュールを定義します。

意思決定スケジュールのオプション

フィールド	説明
開始ルール	アクティビティの実行を開始するタイミングを選択します。オプションは次のとおりです。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	○ [ステージ開始時 **(When stage starts)**]：ステージの実行が開始されるとすぐに、意思決定の実行が開始されます。これにより、プレイブックがトリガーされます。 ○ [具体的なアクティビティの後]：指定したアクティビティの実行が終了した後に意思決定の実行が開始されます。
次以降に開始	意思決定が発生するために実行を終了する必要があるアクティビティを選択します。このフィールドは、[具体的なアクティビティの後] ルールを開始することを選択した場合にのみ編集可能です。プレイブックでこの意思決定の前に発生するアクティビティのみを選択できます。

8. オプション: [他のオプションを表示] を選択して、遅延があるかどうかなど、意思決定のためのスケジュール条件をさらに指定します。

意思決定スケジュールの他のオプション

フィールド	説明
表示順序	このアクティビティがプレイブックの実行時に発生する順番。
遅延から開始	開始ルールが満たされた後、意思決定を実行する前に ServiceNow AI Platform が一定時間待機することを指定する場合に切り替えます。遅延時間を指定する方法の詳細については、「Start with delay input properties」を参照してください。
再起動ルール	プレイブックが再起動されたときに意思決定で何を実行するか。オプションは次のとおりです。 ○ [再起動時にスキップ **(Skip on restart)**]：プレイブックの実行が再起動による場合は、この意思決定をスキップします。 ○ [常に実行]：最初の実行を含め、この意思決定を常に実行します。 ○ [初回実行時にスキップ **(Skip on first run)**]：初回実行中はこの意思決定をスキップします。 詳細については、「Restart a playbook」を参照してください。

9. [意思決定のプロパティ (Decision properties)] パネルの [分岐] タブで、各分岐の条件、または意思決定の考えられる結果を作成します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. [分岐ラベル] フィールドに分岐の名前を入力します。

b. [条件を追加] ボタンを選択し、分岐を有効にするために満たす必要がある条件を指定します。関連付けられたフォームの回答を使用して、意思決定分岐の条件を定義できます。これを行うには、次の手順を実行します。

i. [フィールド] フィールドで [質問] を選択します。

ii. [質問] フィールドから、条件として使用するフォームの質問を選択します。

iii. 条件の 演算子 と回答 の値を指定します。

iv. 条件の定義が完了したら、[適用] を選択します。

条件の操作の詳細については、「 Create a condition statement using the condition builder 」を参照してください。

c. オプション: [新しい分岐を追加] ボタンを選択し、必要な数のブランチを追加します。

d. 複数の分岐を追加する場合は、意思決定アクティビティでさまざまな分岐を実行する方法を選択します。

分岐処理の指示

オプション	説明
true であるすべての分岐を処理する	アプリは、条件を満たすすべての分岐を処理します。
true である最初のもののみを処理します	アプリは、条件を満たす最初にリストされた分岐のみを処理します。 このオプションを選択した場合は、最初に処理する分岐を一番上にドラッグします。

e. オプション: 必要に応じて、分岐を新しい位置にドラッグして、分岐の順序を調整します。

10. [Save and close (保存して閉じる)] を選択します。

クリエータースタジオ でアプリのプレイブックに並列処理を追加する

クリエータースタジオ で並列処理を作成して、アプリ内で同時に処理を実行します。

始める前に

並列処理をプレイブックに追加するには、アプリで作業する権限が付与されている必要があります。

このタスクについて

プロセスの並列分岐のアクティビティは、指定された他の並列アクティビティと同時に実行されます。意思決定アクティビティとは異なり、並列上のアクティビティとステージは他の分岐と同じ条件で実行できます。

手順

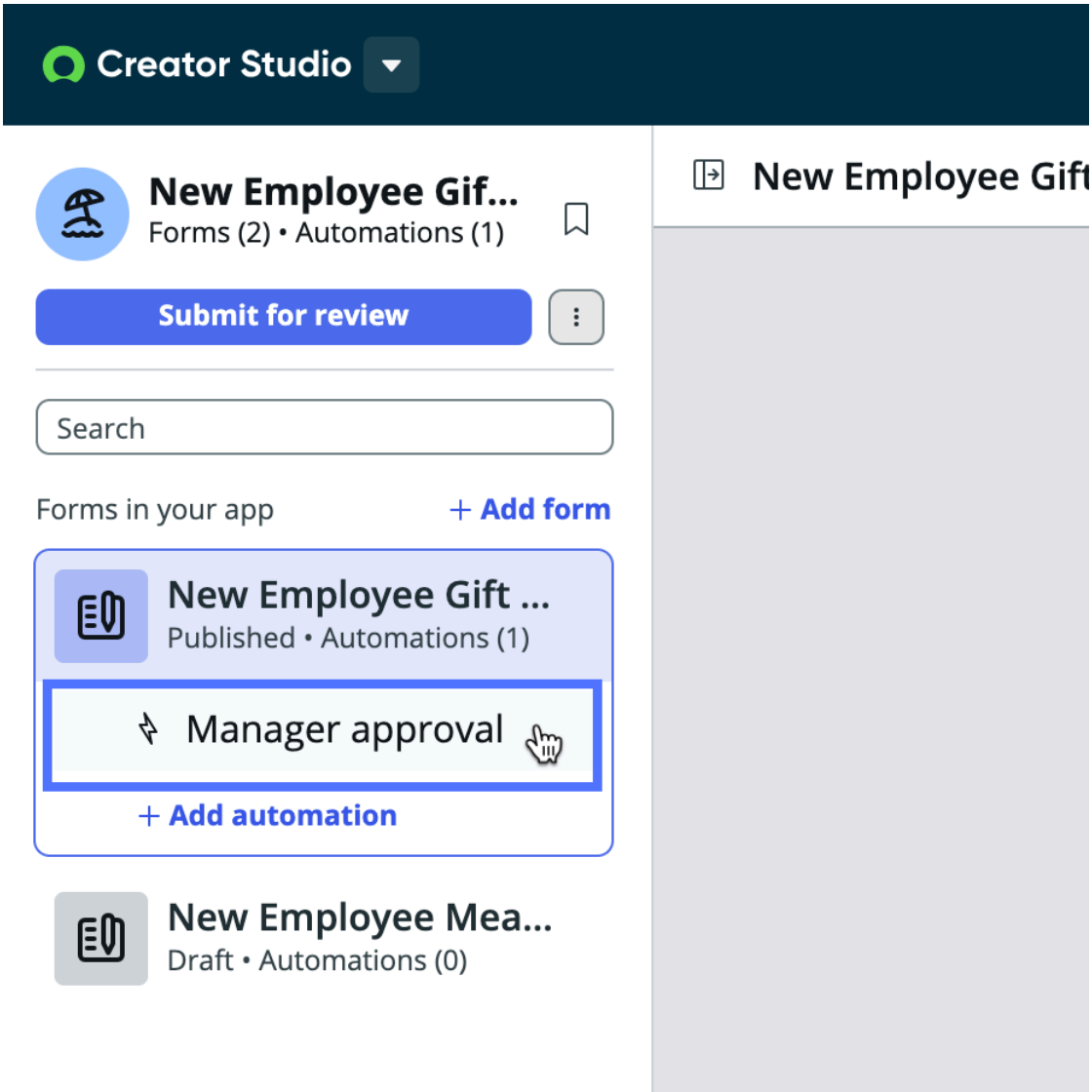
1. 検索項目 すべて > **App Engine** > クリエータースタジオ をクリックして、 クリエータースタジオ ホームページにすべてのアプリを表示します。
2. 並列処理を追加するプレイブックが含まれているアプリを開きます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

3. 並列プロセスを追加するプレイブックが含まれているフォームを選択します。
4. 並列プロセスを追加するプレイブックが含まれている自動化を選択します。

プレイブックがある自動化を選択する

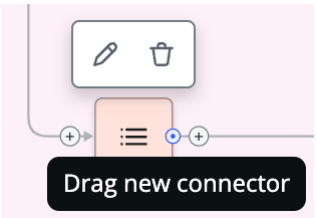


5. 次のいずれかの方法を選択して、ダイアグラムビューに並列分岐を追加します。
   - [追加] アイコン ( ) を選択し、表示されるメニューで [並列パスを追加 **(Add a parallel path)**] アイコン ( ) を選択します。
   - 並列プロセスの開始アクティビティの [新しいコネクタをドラッグ (Drag new connecter)] ドットアイコン ( ) を選択し、それを並列処理の終了点となるアクティビティまたは意思決定にドラッグします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
[新しいコネクタをドラッグ] ドットアイコンが表示されない場合は、表示するためにアクティビティにカーソルを合わせる必要があります。



6. 必要に応じて、アクティビティを並列分岐に追加します。
詳細については、「クリエータースタジオ でアプリのプレイブックにアクティビティを追加する」を参照してください。
7. プレイブックがトリガーされたらすぐに複数のアクティビティを並行処理で実行する場合は、次の手順を実行します。
   a. ボードビューを表示します。
   b. プレイブックのトリガー時に並行して発生するアクティビティごとに、アクティビティのカードを選択し、[開始時期] フィールドを [プレイブックが起動するタイミング **(When playbook starts)]** に設定します。
   c. [保存して閉じる] ボタンを選択します。

クリエータースタジオでプレイブックのトリガーを編集する

プレイブックのトリガーをクリエータースタジオで定義して、プレイブックの実行を開始する要因を指定します。

始める前に

トリガーは、アプリのフォームのいずれかで実行するプレイブックを開始します。たとえば、ユーザーが質問に対する特定の回答を選択すると、プレイブックの実行が開始されます。選択するフォームは、トリガー用に選択できるように設定されています。

プレイブックのトリガーを編集するには、アプリで作業する権限が付与されている必要があります。

このタスクについて

注:
プレイブックの作成後にプレイブックのトリガー (プレイブックを開始するためにフォームが送信されるのか更新されるのか) や実行頻度を変更することはできません。代わりに、別のトリガーを使用して新しいプレイブックを作成します。

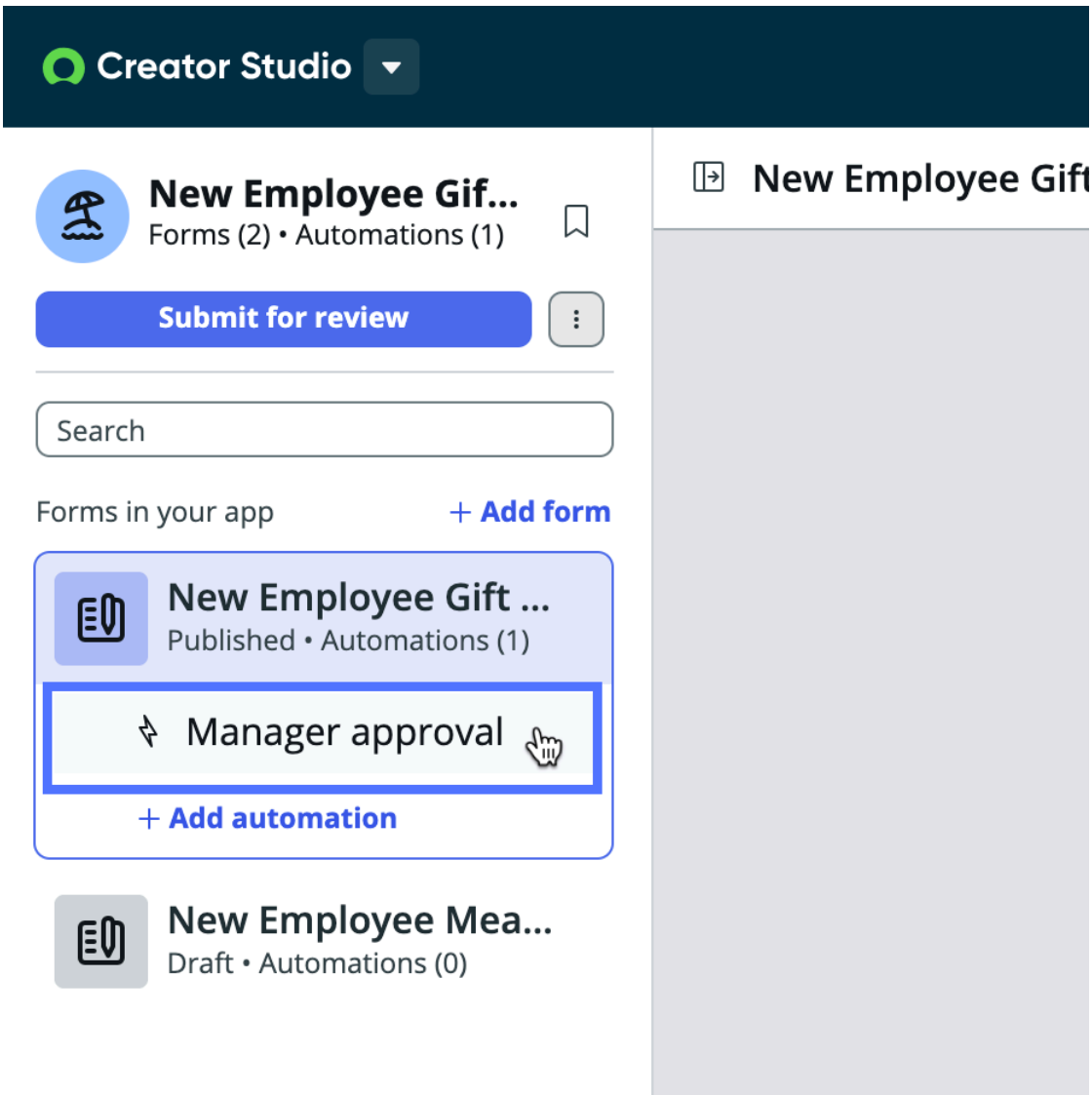
手順

1. 検索項目 すべて > **App Engine** > クリエータースタジオ をクリックして、 クリエータースタジオ ホームページにすべてのアプリを表示します。
2. アクションを追加するプレイブックが含まれているアプリを開きます。
3. トリガーを編集するプレイブックが含まれているフォームを選択します。
4. トリガーを編集するプレイブックが含まれている自動化を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プレイブックがある自動化を選択する



5. [トリガー] (Trigger) を選択します。
   [追加のプロパティ] モーダルが表示され、トリガーの設定の一部を編集できます。
6. トリガーの一般的な属性を変更します。

一般的なプレイブック定義フィールド

フィールド	説明
プレイブック名	編集中のプレイブックのわかりやすい名前。
説明	プレイブックが実行する内容の短い説明 (レコードタイプの最終目標など)。

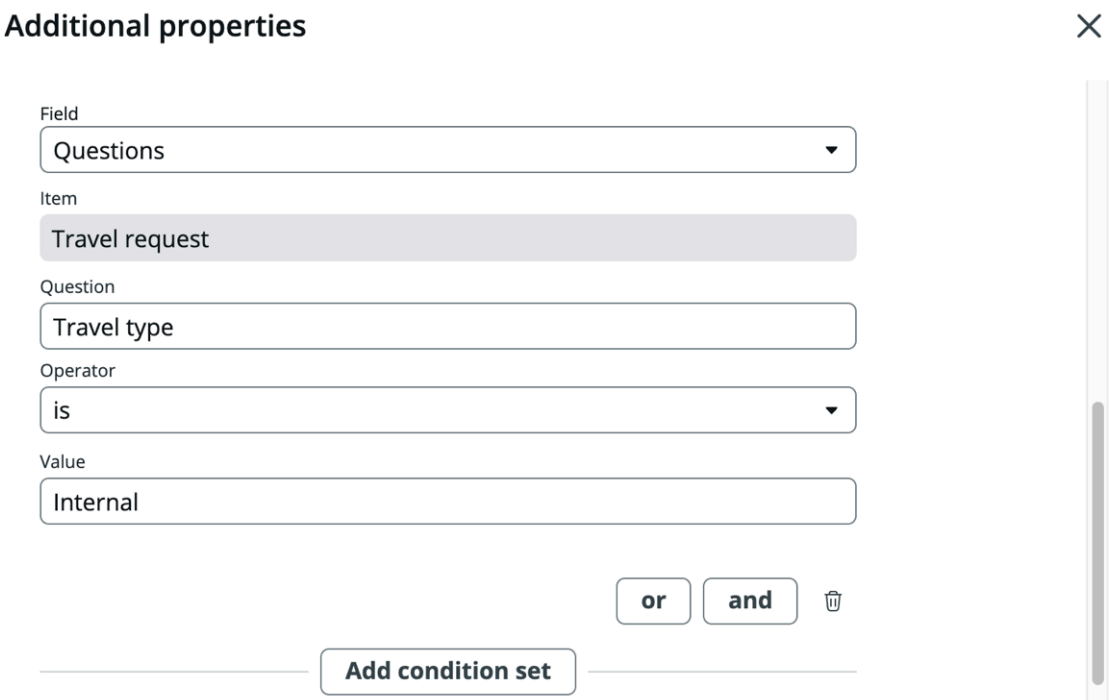
7. 必要に応じて、プレイブックを実行するレコードタイプを生成するカタログアイテムを持つ[フォーム] を変更します。
8. [条件セットを追加] を選択して、プレイブックの実行を開始するために満たす必要がある条件を変更します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- テーブルの列の値に基づいてプレイブックをトリガーする場合は、トリガーする [フィールド] 、およびその条件 [演算子] と特定のトリガー [値] を選択します。たとえば、[開始日] が [日付] の [後] である必要がある場合など。
- フォームからの応答に基づいてプレイブックをトリガーする場合は、トリガー [フィールド] として [質問] を選択します。次に、[質問] フィールドで目的の質問を選択し、条件の [演算子] と回答の [値] を選択します。

自動化のトリガーとしての質問の回答



必要なだけ条件を追加します。詳細については、「Create a condition statement using the condition builder」を参照してください。

9. [完了] ボタンを選択して変更を保存します。

クリエータースタジオでプレイブックを編集する

プレイブックを更新して設定を変更したり、タスクを再配置または削除したりして、アプリで機能するようにします。

始める前に

プレイブックを編集するには、アプリで作業する権限が付与されている必要があります。

このタスクについて

注:

プレイブックに追加できるすべてのアイテム (通知など) が クリエータースタジオ でサポートされているわけではありません。

複雑でサポートされていないアイテム (オプションのアクティビティ、複数のステージ、以前のアクティビティからのデータピルなど) をプレイブックに追加する場合は、ワークフロースタジオ でそのプレイブックを開いて編集する必要があります。ワークフロースタジオ でプレイブックを編集した後は、クリエータースタジオ で編集できなくなります。ただし、アプリの残りの部分はクリエータースタジオで引き続き作業できます。

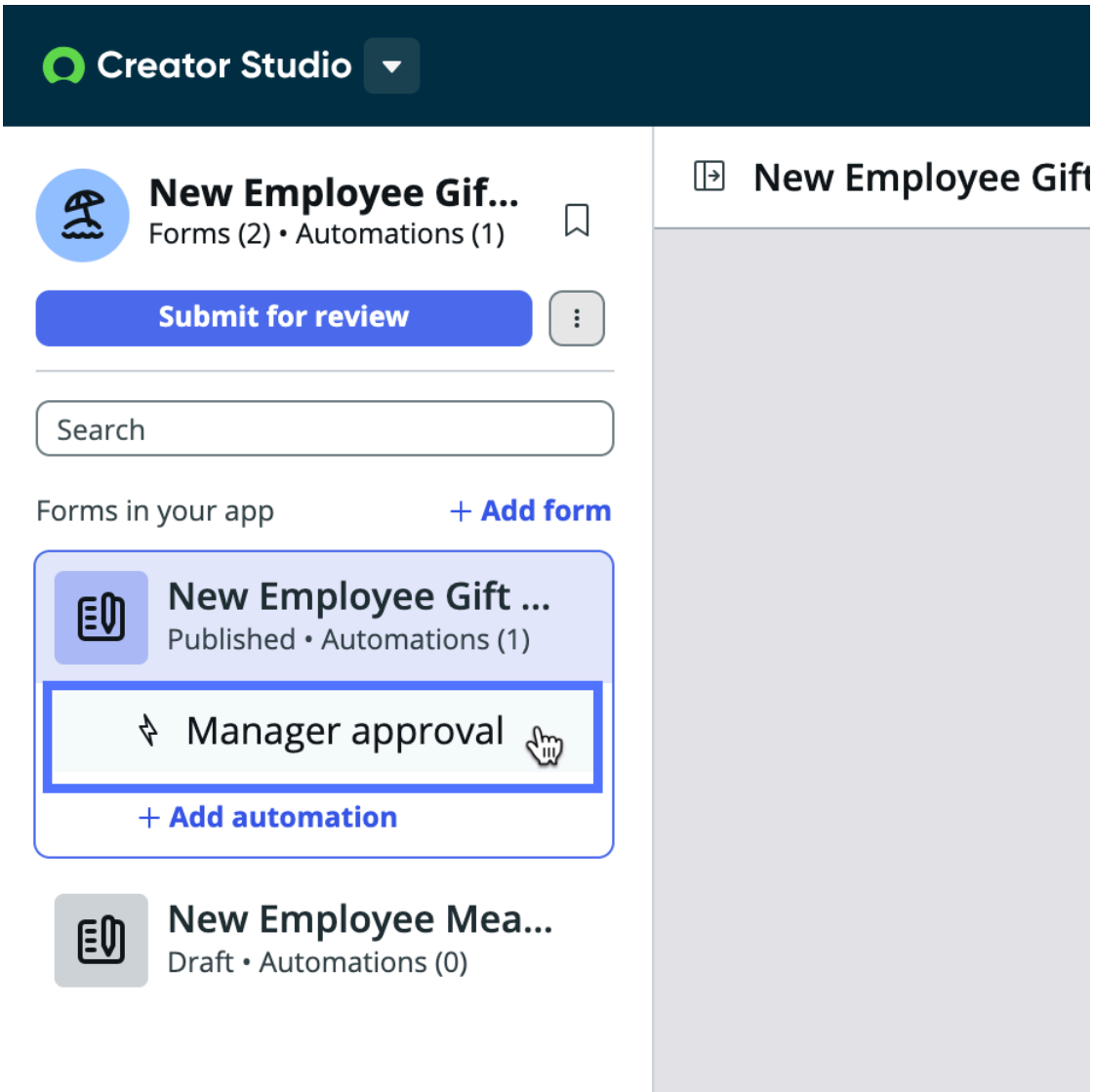
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 検索項目 すべて > **App Engine** > クリエータースタジオ をクリックして、 クリエータースタジオ ホームページにすべてのアプリを表示します。
2. 編集するプレイブックを含むアプリを開きます。
3. 編集するプレイブックが含まれているフォームを選択します。
4. 編集するプレイブックを含む自動化を選択します。

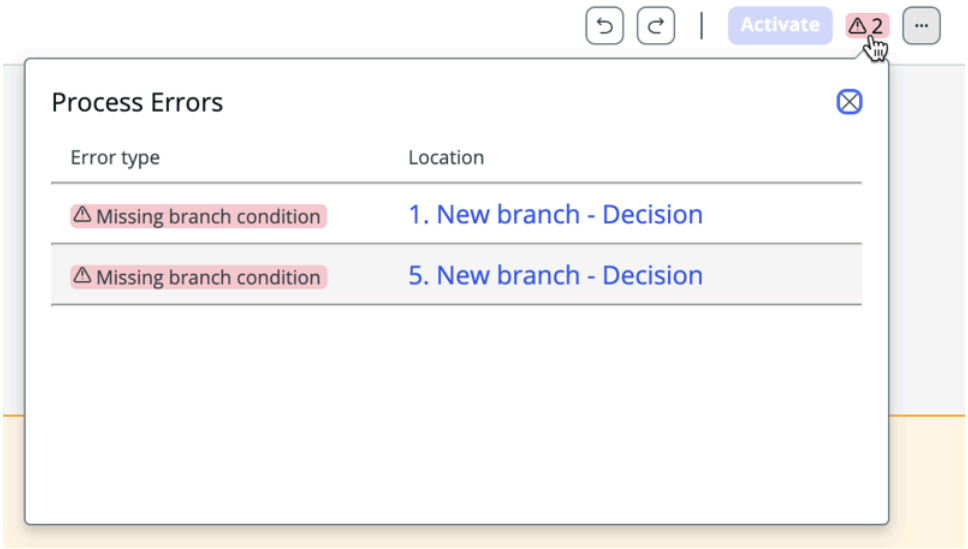
プレイブックがある自動化を選択する



5. エラーメッセージアイコンを選択して、プレイブックのロジック内のエラーに対処します。
表示されるエラートレイで [場所] リンクを選択すると、プロパティを開いて各エラーを修正できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



6. プレイブックの設定を編集します。

   a. [その他のアクション] アイコン ( ) を選択し、[プロパティ] を選択します。

   b. 設定を更新します。

      注:
      プレイブックの作成後にプレイブックのトリガー (プレイブックを開始するためにフォームが送信されるのか更新されるのか) や実行頻度を変更することはできません。代わりに、別のトリガーを使用して新しいプレイブックを作成します。

   c. **[Done** (完了)] ボタンをクリックします。

7. 必要に応じてタスクの順序を並べ替えます。

   a. プレイブックのボードビューを表示します。

   b. 各アクティビティのカードを希望の順序にドラッグします。
   クリエータースタジオによって変更が自動的に保存されます。

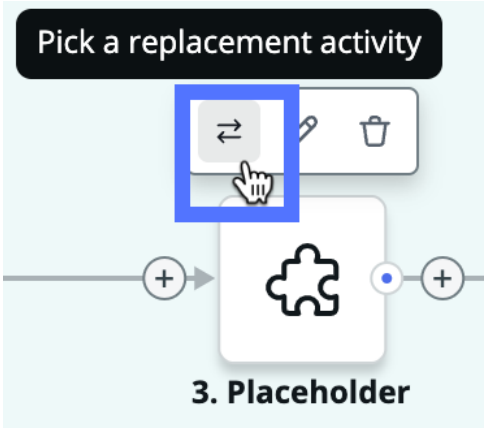
8. プレースホルダーアクティビティを別のアクティビティタイプに置き換える場合は、プレースホルダーアクティビティを入れ替えます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. プレースホルダーアクティビティにカーソルを合わせ、[アクティビティを置換] アイコン (⇄) を選択して、アクティビティピッカーを直接開きます。

プレースホルダーアクティビティをスワップする



b. アクティビティピッカーから新しいアクティビティを選択します。

c. オプション: 必要に応じて [ラベル] と [説明] を更新するか、アクティビティの他のプロパティを更新します。
詳細については、「クリエータースタジオ でアプリのプレイブックにアクティビティを追加する」を参照してください。

9. 不要なアクティビティを削除するには、そのアクティビティの上にマウスを置き、[削除] アイコン ( )を選択します。

10. [その他のアクション] アイコン ( ) を選択し、[ワークフロースタジオで開く **(Open in Workflow Studio)]** を選択し、ワークフロースタジオ で詳細な編集を行います。

クリエータースタジオ でプレイブックをアクティブ化する

プレイブックをアクティブ化すると、非本番環境の開発インスタンスで関連フォームが作成または更新されたときに実行されるようになります。ただし、アプリを本番環境に展開する必要があります。

始める前に

プレイブックをアクティブ化する前に、プレイブック内のエラーを解決する必要があります。

プレイブックをアクティブ化するには、アプリで作業する権限が付与されている必要があります。

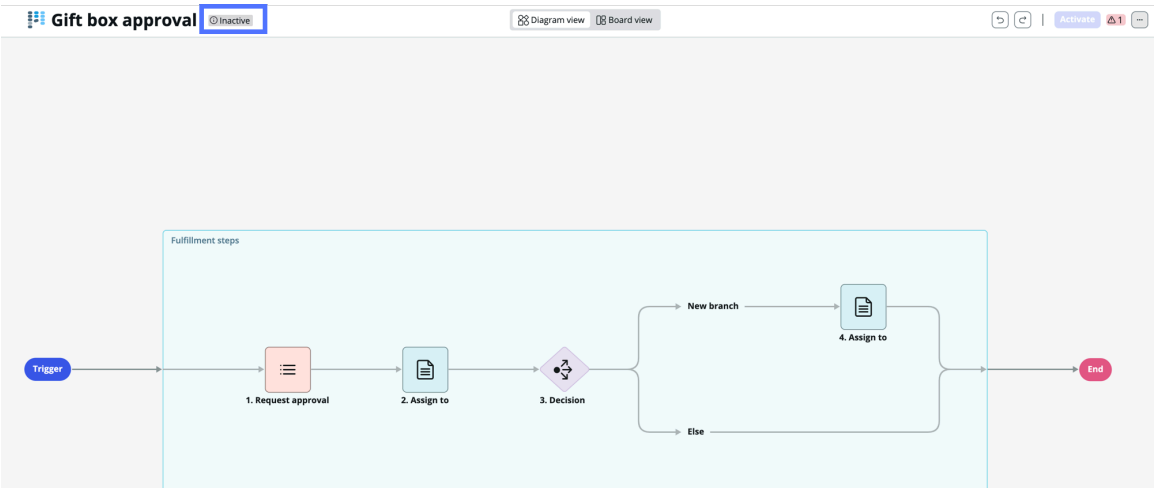
このタスクについて

プレイブックのアクティブ化ステータスは、アプリヘッダーでいつでも確認できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プレイブックのアクティブ化ステータス



プレイブックをアクティブ化せず、そのアプリが本番環境に展開されている場合、該当するレコードでは自動化が実行されません。ただし、App Engine アドミンは展開されたプレイブックを有効にすることができます。

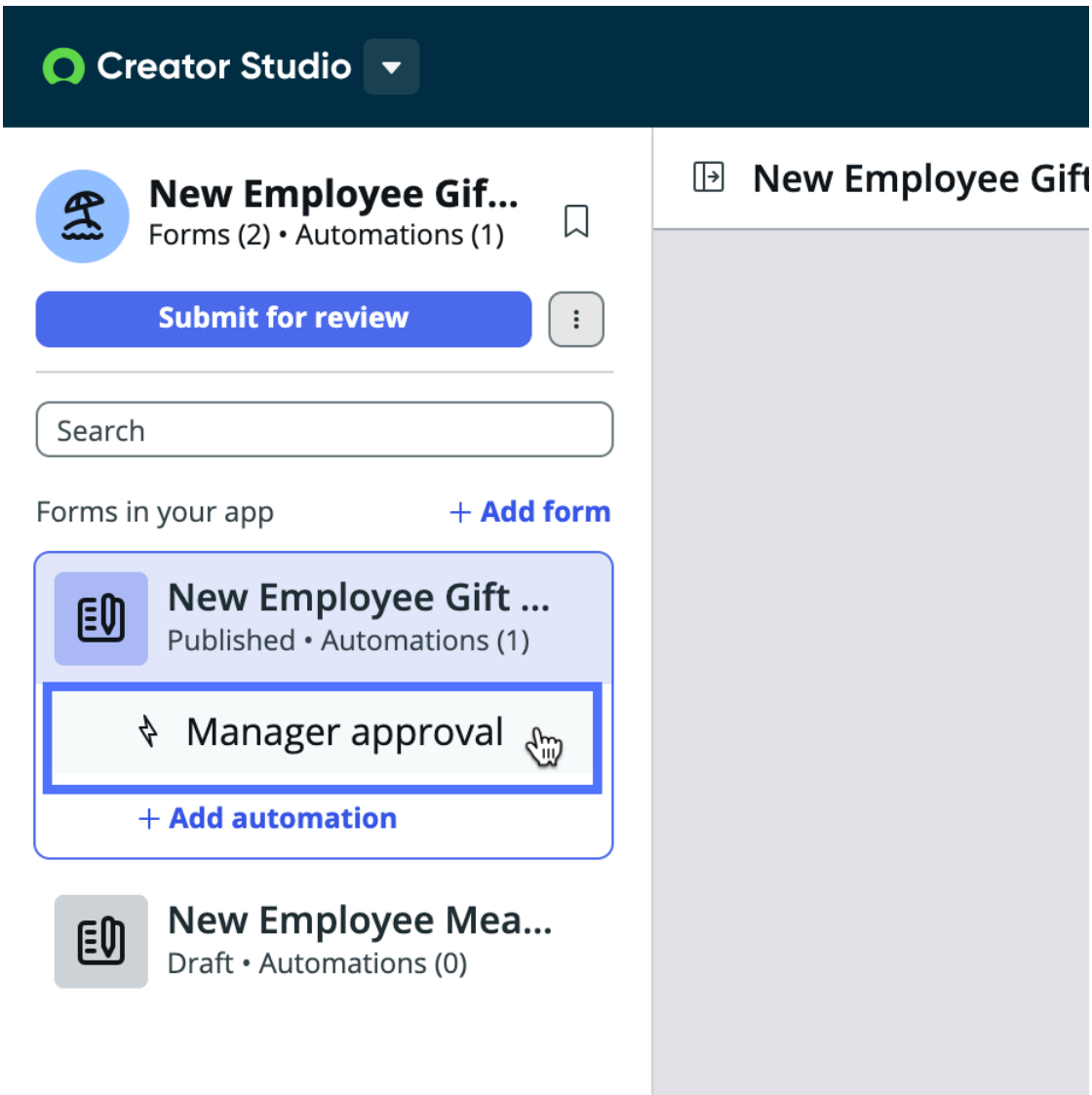
手順

1. 検索項目 すべて > **App Engine** > クリエータースタジオ をクリックして、 クリエータースタジオ ホームページにすべてのアプリを表示します。
2. アクティブ化するプレイブックが含まれているアプリを開きます。
3. アクティブ化するプレイブックが含まれているフォームを選択します。
4. アクティブ化するプレイブックが含まれている自動化を選択します。

自動翻訳

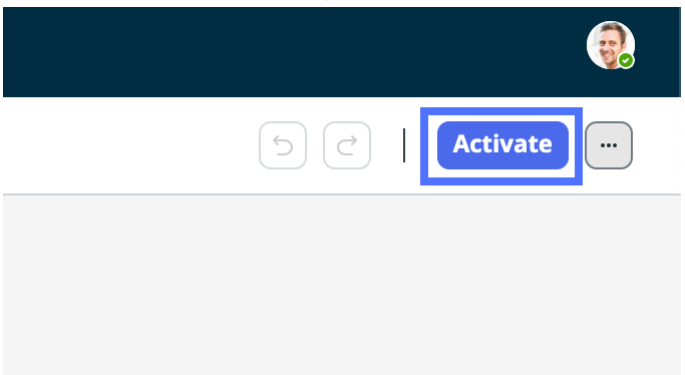
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プレイブックがある自動化を選択する



5. [**Activate**] ボタンをクリックします。

プレイブックをアクティブ化する



タスクの結果
アプリヘッダーに表示されるステータスが [非アクティブ] から [保存中] に更新され、変更が行われたときに通知されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プレイブックをアプリとともに展開する準備ができました。アプリが展開されると、関連するサービスカタログでフォームが使用できるようになります。フォームのアプリが展開されていない場合は、それを展開する必要があります。

クリエータースタジオでプレイブックを削除する

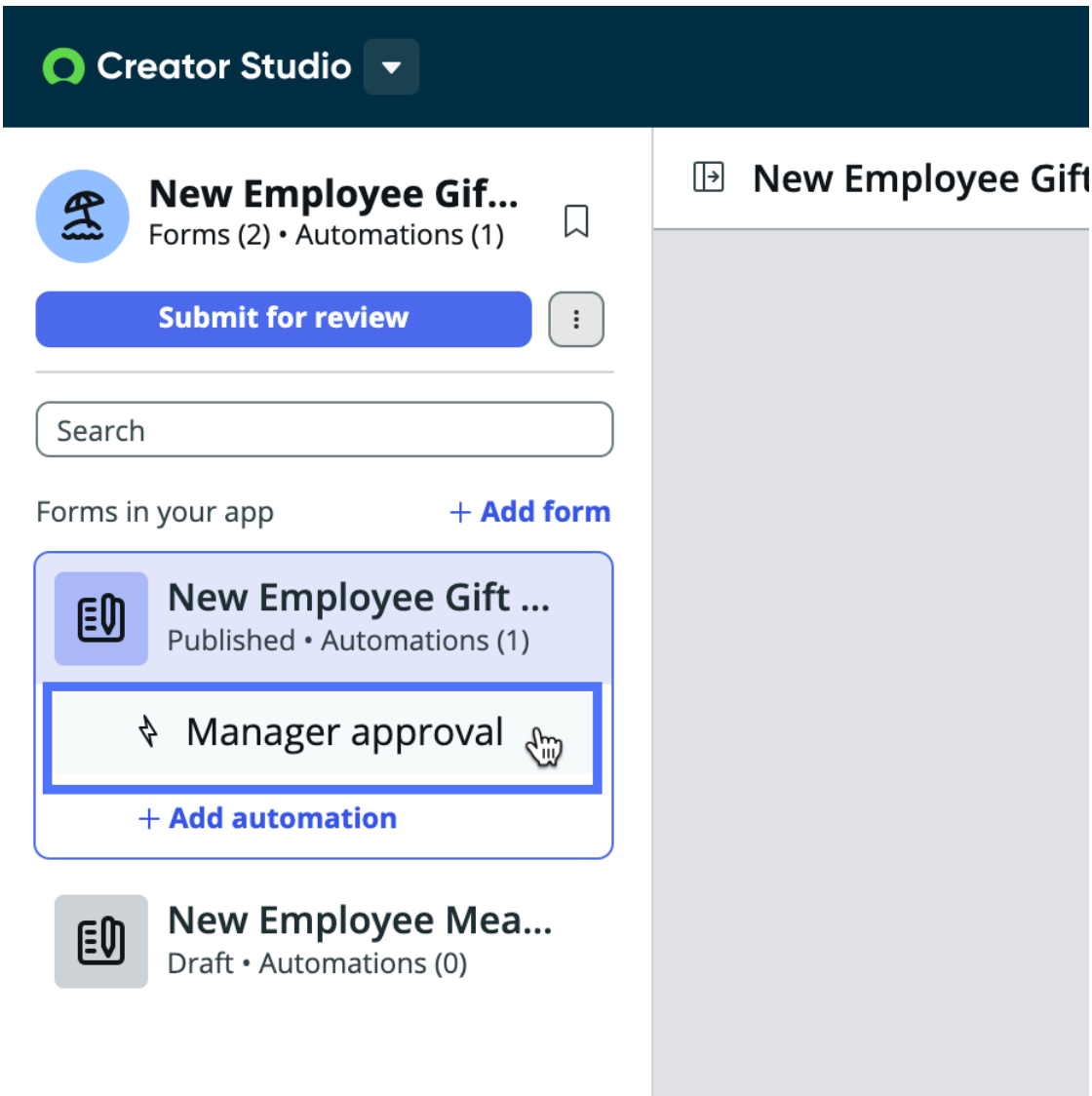
プレイブックを削除すると、プレイブックがアプリから完全に削除されます。

始める前に
プレイブックを削除するには、アプリで作業する権限が付与されている必要があります。

手順

1. 検索項目 すべて > **App Engine** > クリエータースタジオ をクリックして、 クリエータースタジオ ホームページにすべてのアプリを表示します。
2. 削除するプレイブックが含まれているアプリを開きます。
3. アクティブ化するプレイブックが含まれているフォームを選択します。
4. 削除するプレイブックが含まれている自動化を選択します。

プレイブックがある自動化を選択する



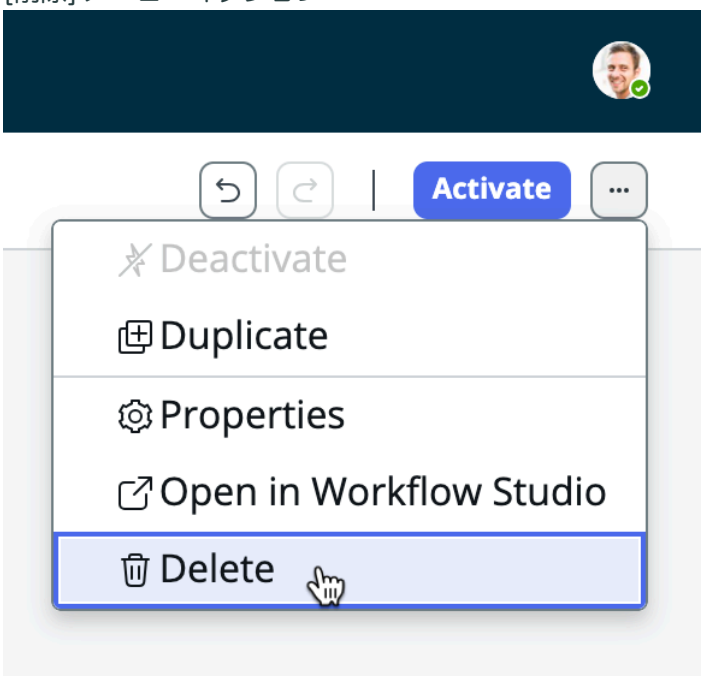
5. [その他のアクション] アイコン ( ) を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

6. [削除] を選択します。

[削除] メニューオプション



7. 確認モーダルで、[削除] ボタンを選択します。

フォーム送信用のワークスペースリストとレコードの構成

アプリをビルドし、ユーザーがそれを介して要求を送信しました。ただし、これらの要求が送信された後、どこに行くのか疑問に思われるかもしれません。これらのフォームはワークスペースのリストに表示され、履行者は送信されたフォームを操作できます。ニーズに合わせて クリエータースタジオ でカスタマイズできます。

ワークスペースについて

要求アプリワークスペースには、各アプリからのフォーム送信が保持されます。履行者 (要求を処理するユーザー) は、ServiceNow AI Platform を介してワークスペースにアクセスし、アサインされているすべてのアプリの送信を確認できます。

要求アプリワークスペースはインスタンスごとに 1 つのみ存在します。クリエータースタジオ でビルドする各アプリには、要求アプリワークスペースに独自のカテゴリがあり、フォームや自動化の数に関係なく、構成した数だけリストがあります。

アプリオーナーは、アプリの履行者が使用するワークスペースリストのルックアンドフィールに責任を負います。ありがたいことに、ワークスペースはすぐに使用できるはずですが、クリエータースタジオ のアプリのナビゲーション パネルの [リスト構成] セクションでカスタマイズすることもできます。

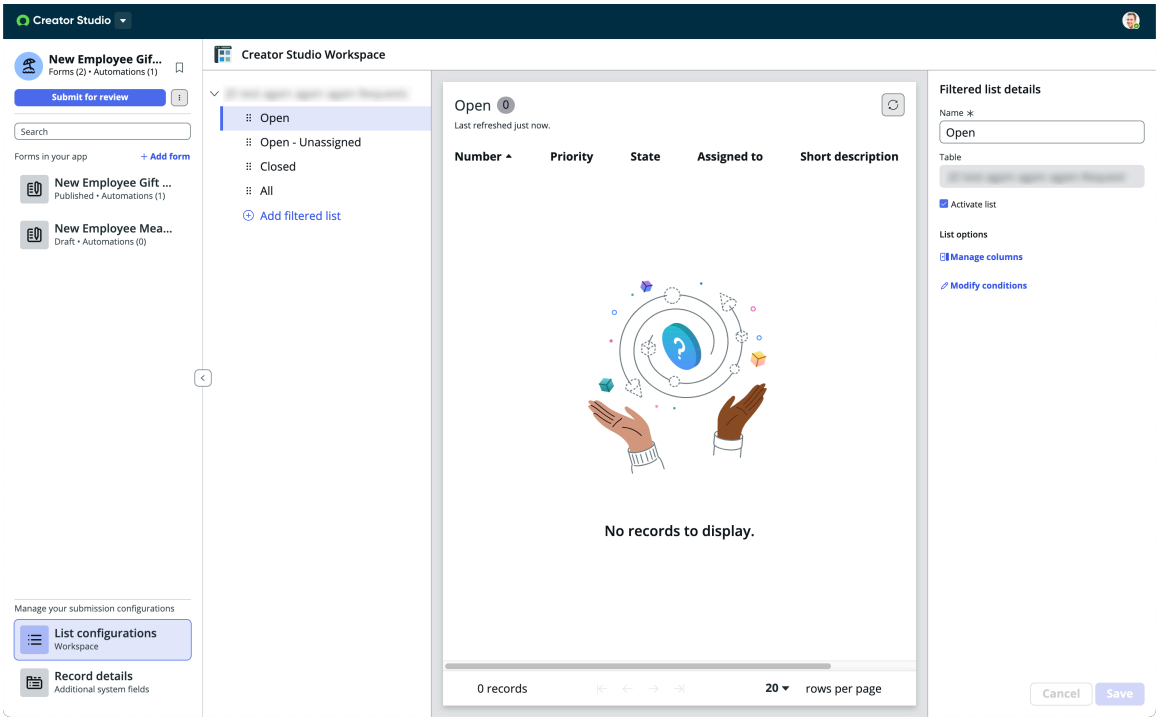
[リスト構成] タブを開くと、既定のワークスペースに表示されるフィルター処理されたリストがいくつか表示されます。これらのフィルター済みリスト ([オープン]、[オープン - 未アサイン]、[クローズ済み]、[すべて]) は、履行者がすべてのフォーム送信をすばやく確認できるようにするためのものです。必要に応じて、フィルター済みリストを追加できます。たとえば、アプリのフォームごとにフィルター済みリストを追加したり、キャンセルされた要求に対してフィルター済みリストを追加したりできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

履行者が追加のカテゴリを持てるようサポートする場合は、ServiceNow AI Platform のリストカテゴリ [sys_ux_list_category] テーブルを使用してカテゴリを追加するようアドミンに依頼する必要があります。

[リスト構成] セクション



複数のフォームをサポートするリストの作成

履行者がワークスペースを開いてアプリのフォーム送信を表示すると、デフォルトの [オープン] リストには、アプリを通じて行われたすべてのオープン中の要求が表示されます。ただし、アプリに複数のフォームがある場合は、履行者は、アプリ内のフォームごとに個別の [開く] リストを用意する方が簡単であると考える場合があります。その場合は、個別のフォームごとに異なるリストを作成し、それぞれにフォームにちなんだ名前を付ける必要があります。その方法については「クリエータースタジオでフィルター済みリストをワークスペースに追加する」を参照してください。

履行者は、 ワークスペース の「自分のリスト」機能を使用して、ニーズに合ったカスタムリストを作成できます。Create My Lists in workspace チェックアウトして方法を教えてください。

履行者が送信されたフォームにアクセスする方法

履行者は、 ServiceNow AI Platform のデフォルトワークスペースにアクセスするには、次の場所に移動します すべて > **App Engine** > 要求アプリワークスペース. 要求アプリワークスペースには、各アプリのカテゴリと、デフォルトと追加したエクストラの両方のレコードのフィルターされたリストが表示されます。次に、履行者はレコードを選択して要求の詳細を表示し、必要に応じて更新を行います。

> **注:**
> アプリの所有者として要求アプリワークスペースにアクセスすることはできませんが、アドミンまたは該当するエージェントロールも持っている場合はアクセスできます。アプリのエージェントロールは、<app scope>.agent (例:x_snc_app_name.agent) です。

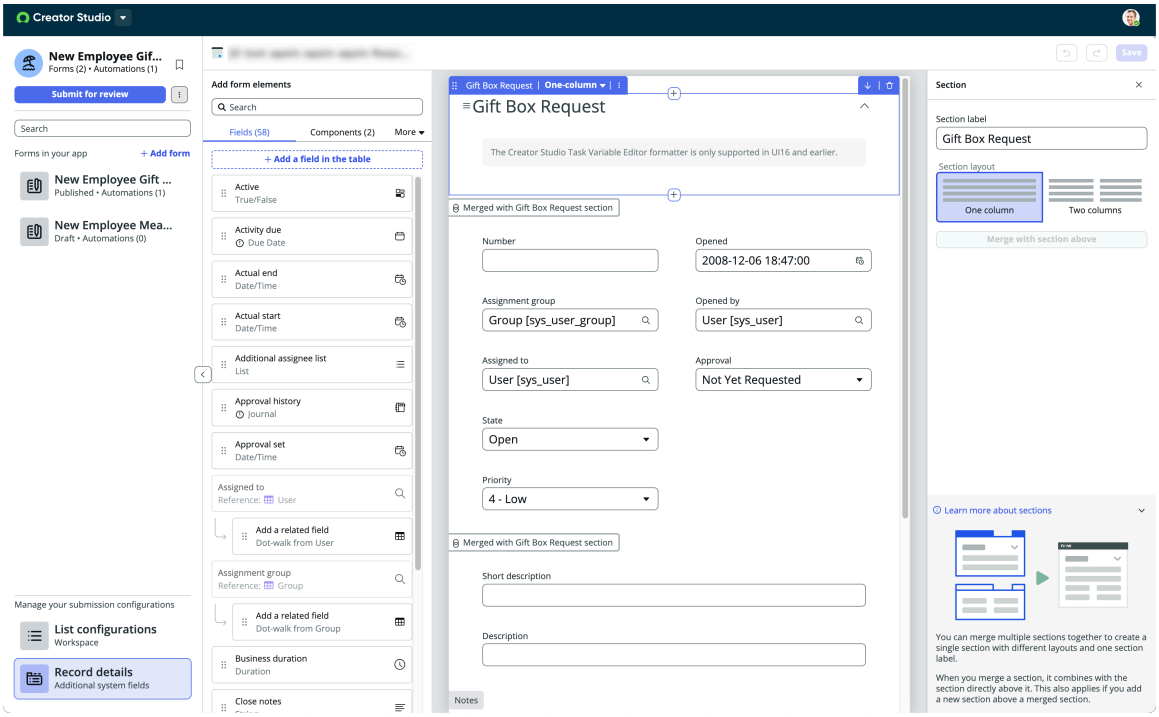
ナビゲーションパネルの [リストカテゴリ] セクションに移動してレコードを選択すると、クリエータースタジオ内で直接、レコードがワークスペースカテゴリにどのように表示されるかをプレビューして操作できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- フォームの質問 (カタログ変数) に対する回答は、送信されたレコードの [詳細] タブに表示されます。フォームの質問の詳細については、「 クリエータースタジオ でのフォームの操作」を参照してください。
- プレイブックの結果は、送信されたレコードの [自動化] タブに表示されます。プレイブックの詳細については、「 クリエータースタジオ で自動化を操作する」を参照してください。

ナビゲーションパネルの [レコードの詳細] セクションに移動して、フォームで生成されるレコードの表示方法を編集します。

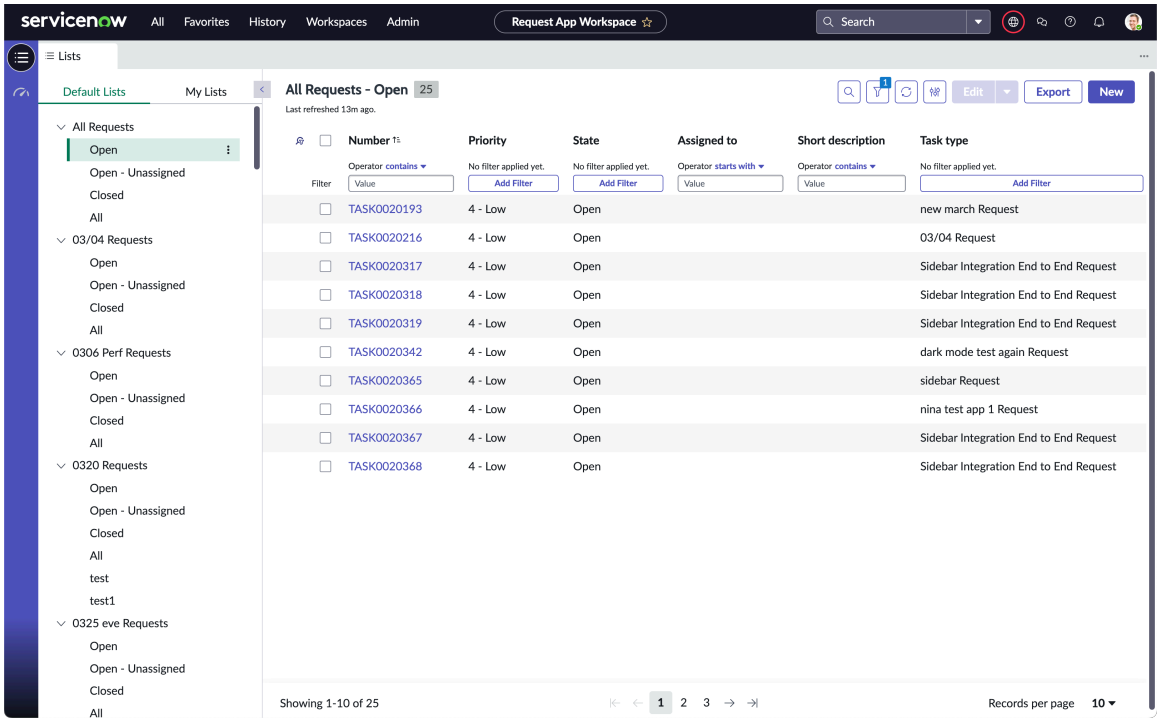
送信されたレコードの表示方法の編集



履行者がワークスペースリストに表示できる内容は、権限によって異なります。たとえば、アドミンは、クリエータースタジオ に組み込まれているすべてのアプリのワークスペースカテゴリを表示できます。ただし、ほとんどのユーザーには、特定のアプリのワークスペースカテゴリのみが表示されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求アプリワークスペース



履行者がワークスペース内のレコードを表示すると、[カタログタスク] タブに クリエータースタジオ で構成した プレイブック が表示されます。

履行者またはアドミンは、要求が届いたときにアプリのパフォーマンスを監視することもできます。ここで、要求アプリワークスペースの ダッシュボードの概要 が役立ちます。[ダッシュボードの概要] タブには、各アプリ独自のアナリティクスダッシュボードがあり、未解決の要求の数やアプリに関連するタスクなど、適用可能なデータが表示されます。ここにはたくさんの役立つ情報があります。データの操作の詳細は、Analytics Center を参照してください。

クリエータースタジオでフィルター済みリストをワークスペースに追加する

アプリ送信ワークスペースでカスタムのフィルター済みリストを作成して、特定の条件を満たすレコードを表示します。たとえば、アプリに複数のフォームがある場合、レコードタイプでフィルターすることにより、各フォームのリストを作成できます。

始める前に

ワークスペース構成にリストを追加するには、アプリで作業する権限が付与されている必要があります。

このタスクについて

注:
フィルター済みリストを作成して、特定のユーザーにアサインされたオープン中のレコード、またはキャンセルされたすべての要求を表示できます。

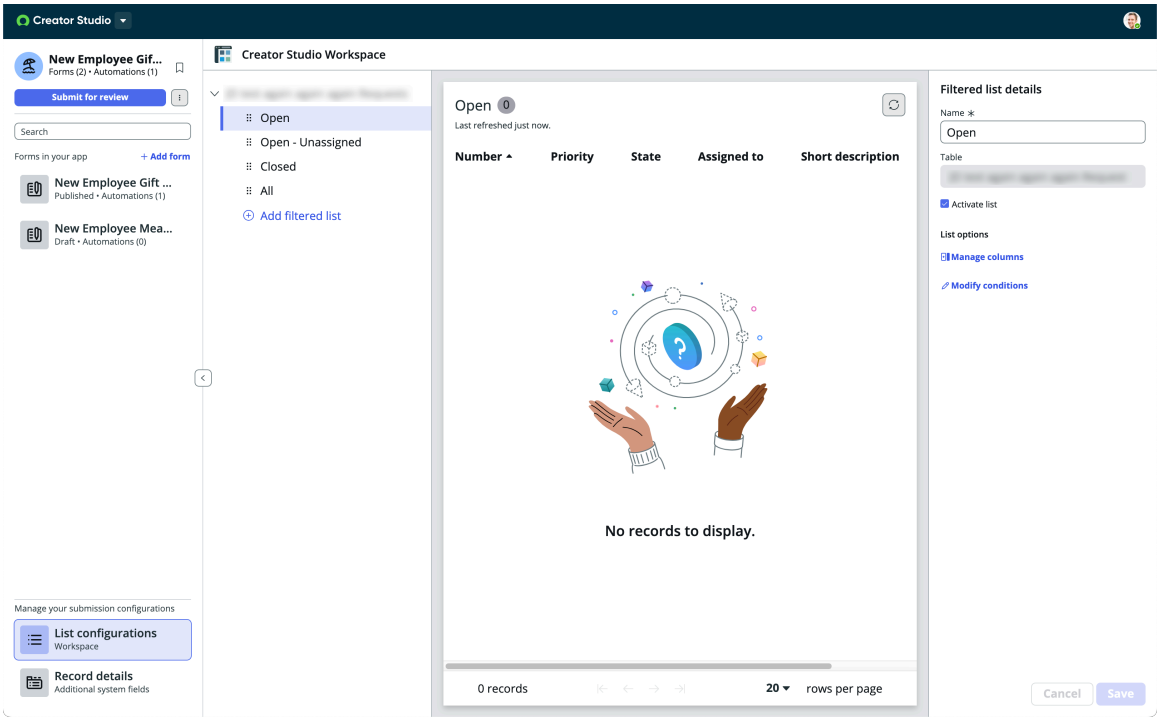
手順

1. 検索項目 すべて > **App Engine** > クリエータースタジオ をクリックして、 クリエータースタジオ ホームページにすべてのアプリを表示します。
2. リストを追加するリスト構成が含まれているアプリを開きます。
3. ナビゲーションパネルの [リスト構成] セクションを選択します。

   [試行] ボタンを使用してレコードの送信をテストした場合は、生成されたレコードがワークスペースに表示され、それを表示できます。

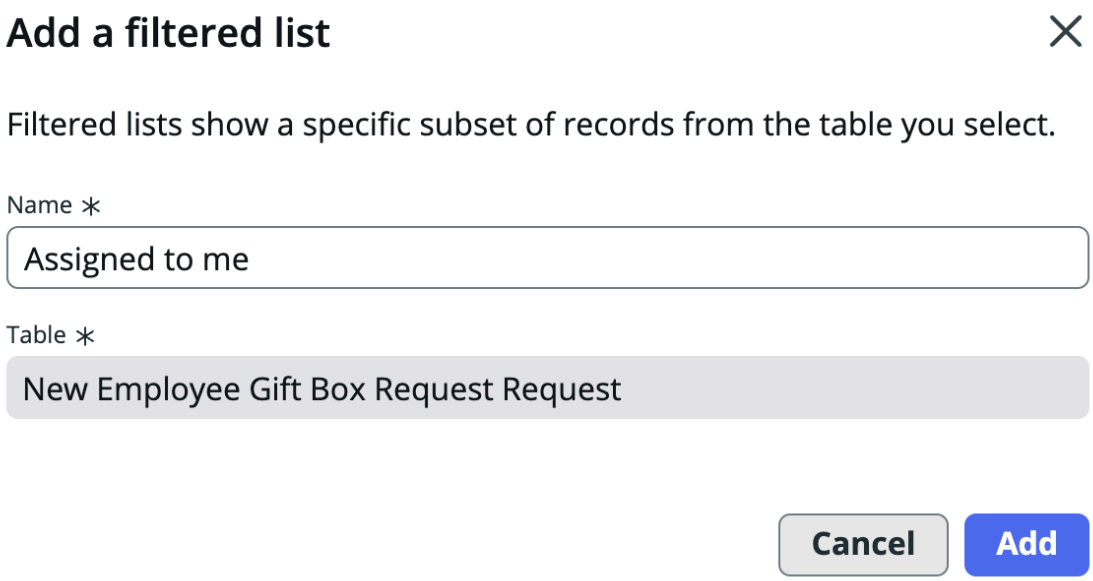
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クリエータースタジオのリスト構成



4. [フィルター済みリストを追加] を選択します。

フィルタリングされたリストを追加



5. 表示されるモーダルに、新しいリストの [名前] を入力します。

HR timeoff requests など、ユーザーがワークスペースのカテゴリを簡単に識別できるような名前を選択します。

注:
ワークスペースのテーブルはアプリにリンクされているため、変更できません。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

6. [追加] ボタンを選択します。
   新しいリストがカテゴリの下に表示され、その詳細が [フィルター済みリストの詳細 (Filtered list details)] パネルに表示されます。
7. [フィルター済みリストの詳細 (Filtered list details)] パネルで [条件を適用] を選択し、条件ビルダーを使用してリストに含めるレコードのタイプを指定し、完了したら [適用] を選択します。
   たとえば、フィールドとして [緊急度]、値として [高] を選択すると、リストに緊急のレコードのみが表示されます。詳細については、「Create a condition statement using the condition builder」を参照してください。

   たとえば、次の条件はオープン中の要求とクローズ済み要求を指定します。
   - [アクティブ][は次の値に等しい][True] は、オープン中のレコードのみを指定します。
   - [アクティブ][は次の値に等しい][False] は、クローズ済みのレコードのみを指定します。
8. オプション: [列を管理] を選択して、表示される列とその表示順序を変更します。
   a. [列の管理] ダイアログボックスで、列を [利用可能な列] から [選択した列] に移動します。
   b. ドラッグして列を並べ替えます。
   c. [適用] を選択します。
9. [リストをアクティブ化] オプションが選択されていることを確認します。

タスクの結果
新しいリストは、アドミンが展開した後、要求アプリワークスペースに表示されます。

でのアプリのワークスペース構成のカスタマイズ クリエータースタジオ

クリエータースタジオ に組み込まれたアプリから送信された要求を履行者がレビューするアプリのワークスペースカテゴリを変更して、表示方法を調整します。たとえば、リスト内の列を並べ替え、要求アプリによって生成されたレコードの外観をカスタマイズできます。

始める前に
アプリのワークスペースリストの表示方法をカスタマイズするには、アプリで作業する権限が付与されている必要があります。

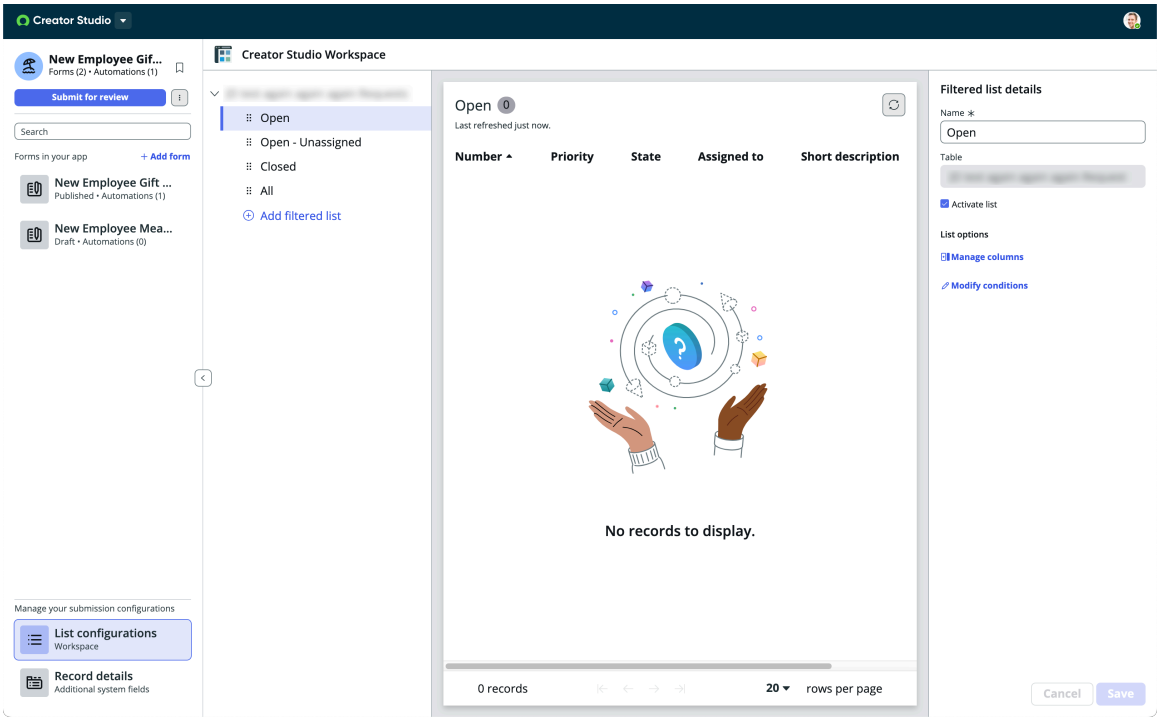
手順
1. 検索項目 すべて > **App Engine** > クリエータースタジオ をクリックして、 クリエータースタジオ ホームページにすべてのアプリを表示します。
2. 編集するワークスペースリスト構成が含まれているアプリを開きます。
3. ナビゲーションパネルの [リスト構成] セクションを選択します。

   [試行] ボタンを使用してレコードの送信をテストした場合は、生成されたレコードがワークスペースに表示され、それを表示できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

クリエータースタジオのリスト構成



4. ワークスペースリスト構成のカスタマイズに必要な編集を行います。

ワークスペースリスト構成に加えることができる編集

更新	プロセス
フィルター済みリストの名前を編集する	**a.** リストナビゲーションパネルでリストを選択します。 **b.** 表示される [フィルター済みリストの詳細 (Filtered list details)] パネルでリストの名前を更新します。 **c.** [保存] を選択します。
列を管理して、表示される列とその表示順序を変更します。	**a.** [列の管理] ダイアログボックスで、列を [利用可能な列] から [選択した列] に移動します。 **b.** ドラッグして列を並べ替えます。 **c.** [適用] ボタンを選択して更新を保存します。
リストに表示されるレコードのタイプを更新する	たとえば、フィールドとして [緊急度]、値として [高] を選択すると、リストに緊急のレコードのみが表示されます。詳細については、「Create a condition statement using the condition builder」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

更新	プロセス
	a. [フィルター済みリストの詳細 (Filtered list details)] パネルで [条件を変更 **(Modify conditions)]** を選択します。 **b.** 条件ビルダーを使用して、リストに含める必要があるレコードのタイプを更新します。 **c.** [適用] ボタンを選択して更新を保存します。
リストを削除する	**a.** リストナビゲーションパネルで、削除するリストの上にマウスを置きます。 **b.** 表示される削除アイコン ( ) を選択します。 **c.** [削除] ボタンを選択して表示されるモーダルで、削除を確認します。

5. [フィルター済みリストの詳細 (Filtered list details)] パネルで [保存] ボタンを選択して、すべての更新が保存されるようにします。

クリエータースタジオ でアプリのレコードのレイアウトを変更する

フィールドの表示順序など、アプリが生成する送信済みレコードの外観を調整します。

始める前に

履行者ワークスペース構成でアプリの送信済みレコードのレイアウトを変更するには、アプリで作業する権限が付与されている必要があります。

このタスクについて

アプリの基礎となるテーブルのすべての列は、レコードページのフィールドとして使用できますが、調整することもできます。たとえば、[優先度] フィールドを移動してレコード上でより目立つように表示し、履行者が要求の重要性を認識できるようにすることができます。その後、優先度が高に変更されたときに実行される自動化されたプレイブックをビルドできます。

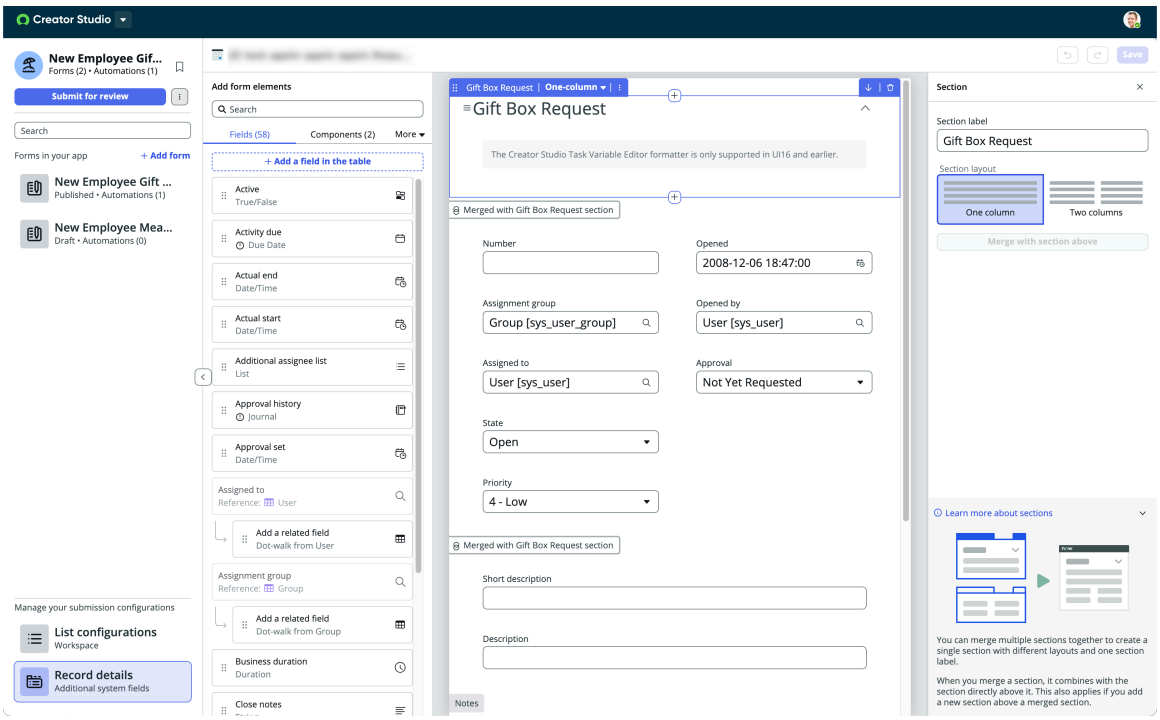
> **注:**
> UI ポリシーを編集したり、クリエータースタジオ内のフォームに対してより高度な編集を行ったりすることはできません。高度な編集を行うには、テーブルビルダー内のレコードを開きます。詳細については、「テーブルビルダー のフォーム」を参照してください。

手順

1. 検索項目 すべて > **App Engine** > クリエータースタジオ をクリックして、 クリエータースタジオ ホームページにすべてのアプリを表示します。
2. 編集するワークスペースレコードの詳細が含まれているアプリを開きます。
3. ナビゲーションパネルで [レコードの詳細] セクションを選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

レコード詳細



4. フィールドを移動するなど、レコードの表示方法に追加の変更を加えます。
   最も一般的に使用される操作可能なフィールドとその定義のリストについては、「Important Task table fields」を確認してください。
5. **[Save** (保存)] を選択します。

次のタスク
アプリのレコードの表示方法をカスタマイズしたら、 クリエータースタジオに留まりながら、要求アプリワークスペースでどのように表示されるかを確認できます。詳細については、「アプリのレコードがどのように表示されるかをプレビューする」を参照してください。

要求アプリワークスペースを使用した要求の実行

ユーザーが クリエータースタジオに組み込まれたアプリを使用して要求を送信した後、履行者は要求アプリワークスペースで要求の送信済みレコードを処理します。

要求アプリワークスペースはアプリ要求を保持します

要求アプリワークスペースには、各アプリからのフォーム送信が保持されます。履行者 (要求を処理するユーザー) は、ServiceNow AI Platform を介してワークスペースにアクセスし、アサインされているすべてのアプリの送信を確認できます。

要求アプリワークスペースはインスタンスごとに 1 つのみ存在します。クリエータースタジオ でビルドする各アプリには、要求アプリワークスペースに独自のカテゴリがあり、フォームや自動化の数に関係なく、構成した数だけリストがあります。

履行者は、 ServiceNow AI Platform のデフォルトワークスペースにアクセスするには、次の場所に移動します すべて > **App Engine** > 要求アプリワークスペース. 要求アプリワークスペースには、各アプリのカテゴリと、デフォルトと追加したエクストラの両方のレコードのフィルターされたリストが表示されます。次に、履行者はレコードを選択して要求の詳細を表示し、必要に応じて更新を行います。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

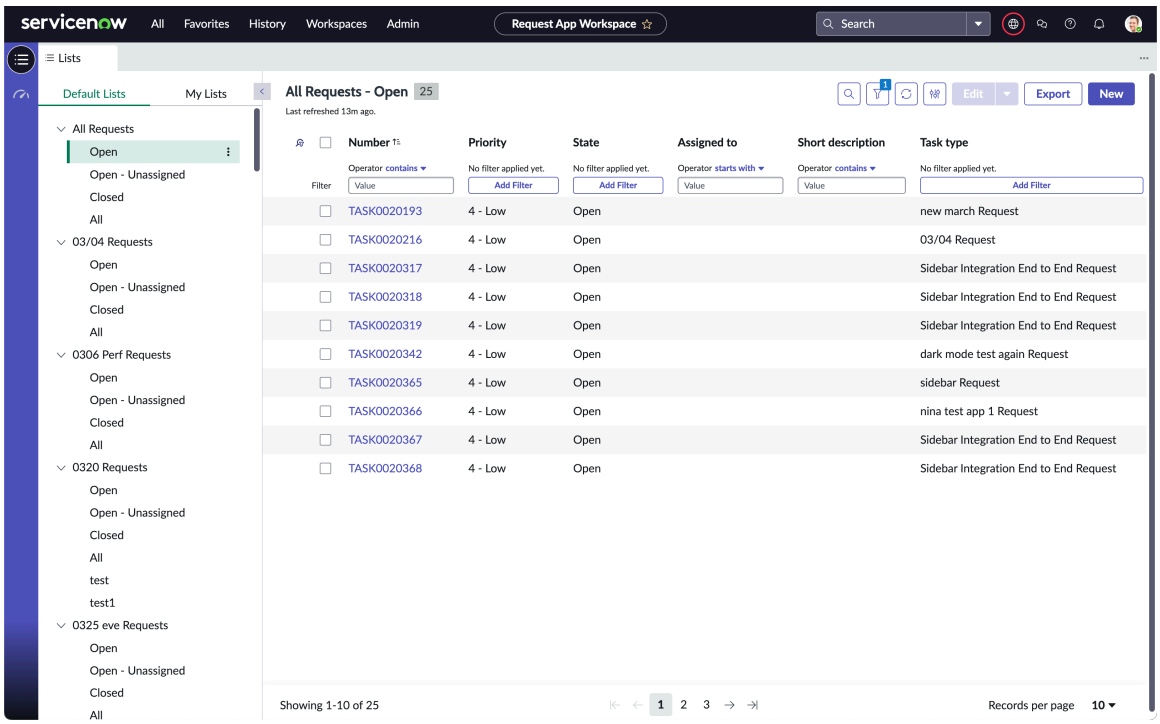
注:
要求アプリワークスペースにアクセスするには、 クリエータースタジオに組み込まれたアプリの履行者ロールが必要です。たとえば、スコープが x_snc_it_req のアプリの場合は x_snc_it_req.agent です。

各アプリのワークスペースには独自のセクションがあり、リストを使用してさまざまな状況の送信済み要求レコードをフィルタリングできます。

リストを使用してさまざまな状況のチケットを検索する

各アプリのセクションには、 未解決 の要求などのリストと、アドミンまたはアプリ作成者が構成したリストが含まれています。 履行者は、 ワークスペース の「自分のリスト」機能を使用して、ニーズに合ったカスタムリストを作成できます。Create My Lists in workspace チェックアウトして方法を教えてください。

要求アプリワークスペース



リストビューには、[デフォルトリスト] と [自分のリスト] の 2 つのタブが含まれています。リストの操作の詳細については、「 Using lists to find work to do 」を参照してください。

ダッシュボードを使用した要求実行の分析

ダッシュボードの概要ビューには、 クリエータースタジオで作成されたすべての (アクセスできる) アプリのダッシュボードが含まれています。

アプリのダッシュボードを選択すると、すべてのアクティブなタスクの分析と、アドミンが設定したさまざまな状況のレコードの数を表示できます。アナリティクスダッシュボードの操作の詳細については、次を参照してください。 Dashboards in Platform Analytics

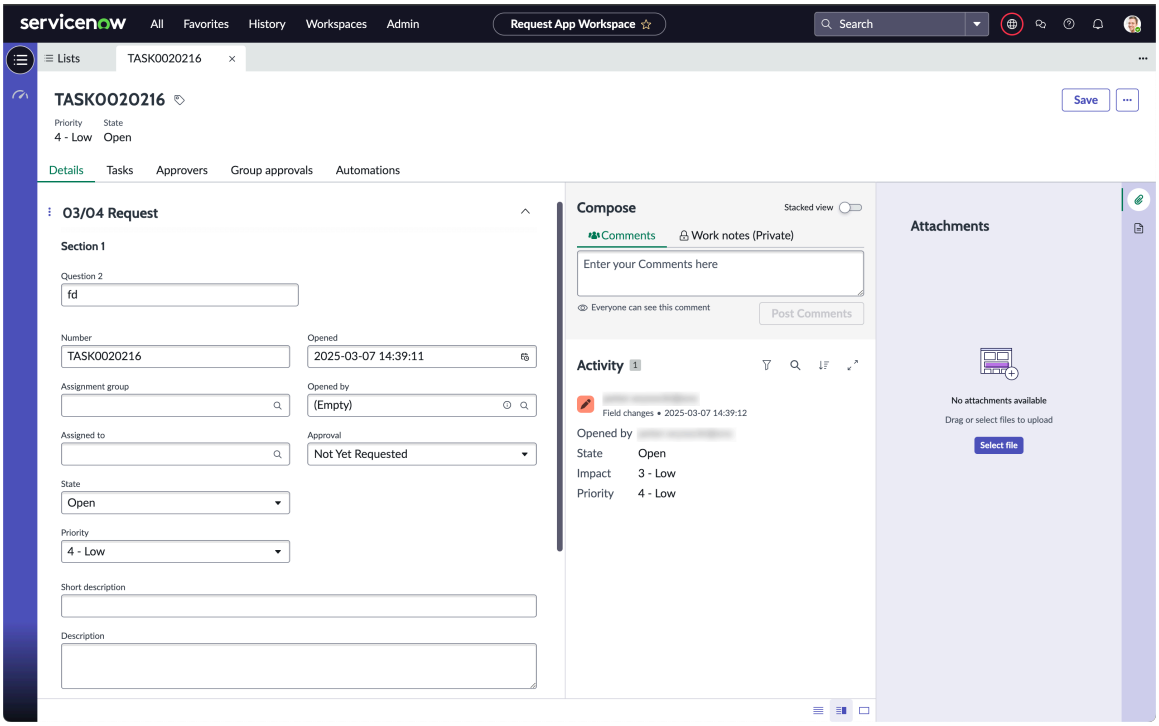
ワークスペースでの未解決の要求の処理

自分にアサインされている未解決の要求など、必要な要求のサブセットを見つけたら、タスクレコード の [名前] を選択してレコードを開くことができます。自分にアサインされている未解決の要求など、必要な要求のサブセットを見つけたら、レコード の [名前] を選択してレコードを開くことができます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求アプリワークスペースの要求レコード



送信された要求レコードには、作業に役立つさまざまなタブがあります。レコードを使用して要求を実行する方法の詳細については、次のトピックを参照してください。

- Working on records in your Workspace
- Responding to issues in an open record in Workspace

クリエータースタジオアプリとレコードのテストとプレビュー

アプリの展開を要求する前に、フォームの送信をテストし、作成されたレコードで関連する自動化結果を操作できます。

アプリのフォームの1つをテストする

[要求フォーム] タブの [試行] ボタンを使用して要求を送信すると、関連するプレイブックがトリガーされ、クリエータースタジオで操作できるレコードが作成されます。

このタスクについて
フォームを試すと、 クリエータースタジオ で初めてアプリを表示したときに表示されるプレビューと次の点で異なります。

- プレビューではフォームは送信されないため、フォーム送信からレコードは生成されません。
- プレビューすると、ポータル、モバイル、 仮想エージェントなどのさまざまな場所でアクセスしたときにフォームがどのように表示されるかを確認できます。
- フォームはいつでもプレビューできますが、[試す] ボタンを使用してテストするには、フォームを公開する必要があります。
- **[Try it]** ボタンを使用してフォームをテストすると、プレイブックが実行され、レコードが生成されます。
  - フォームに関連付けられた自動化 (プレイブック) はフォームの送信後に実行され、生成されたレコードで結果が利用可能になります。
  - その後、 クリエータースタジオ で開くそのレコードを使用して、要求アプリワークスペースでユーザーに対してレコードがどのように表示され、機能するかをテストできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

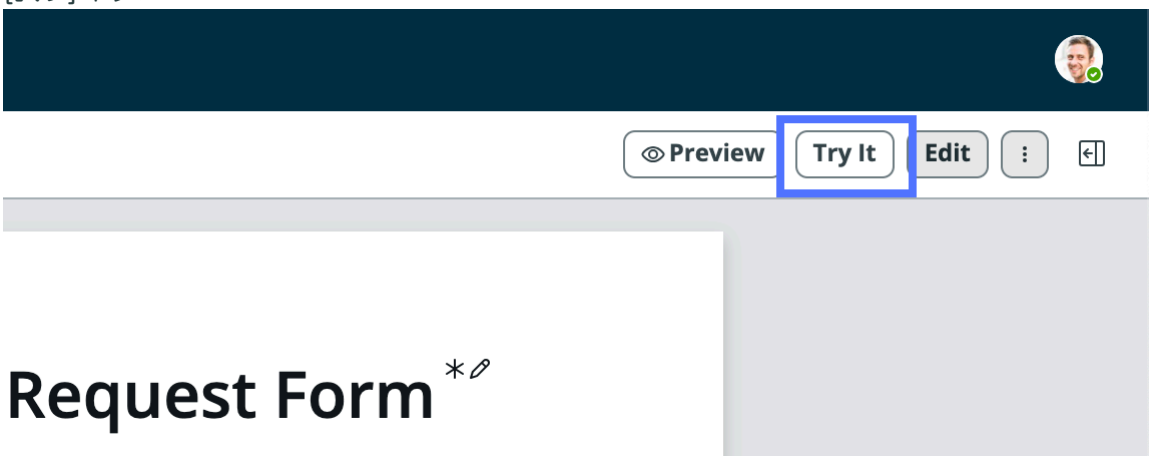
始める前に
[**Try it**] ボタンを使用してテストするには、まずフォームを作成して公開 (準備完了としてマーク) する必要があります。詳細については、「クリエータースタジオでアプリのフォームを公開する」を参照してください。

アプリをテストするには、アプリで作業する権限が付与されている必要があります。

手順

1. 次に向かう すべて > **App Engine** > クリエータースタジオ.
   クリエータースタジオ に組み込まれているすべてのアプリがホームページに表示されます。
2. 試してみるフォームを含むアプリケーションを開きます。
3. **[Try it]** ボタンを選択します。

[試す] ボタン



   表示される Try フォームは、どのユーザーが要求を受け取るかを示します。たとえば、アドミニストレーターなどです。
4. フォームの各質問のフィールドに入力します。
5. 完了したら、[送信] ボタンを選択します。

タスクの結果
回答を送信すると、 ServiceNow AI Platform フォームに関連付けられたプレイブックを実行します。

送信したフォームで作成したレコードが クリエータースタジオ に表示されます。プレイブックの結果を表示し、レコードを操作して要求アプリワークスペースにどのように表示されるかを確認できます。

- フォームの質問 (カタログ変数) に対する回答は、送信されたレコードの [詳細] タブに表示されます。フォームの質問の詳細については、「 クリエータースタジオ でのフォームの操作」を参照してください。
- プレイブックの結果は、送信されたレコードの [自動化] タブに表示されます。プレイブックの詳細については、「 クリエータースタジオ で自動化を操作する」を参照してください。

詳細については、「アプリのレコードがどのように表示されるかをプレビューする」を参照してください。

アプリのレコードがどのように表示されるかをプレビューする

アプリによって生成された送信済みレコードを クリエータースタジオ で直接プレビューして操作できます。これは、アプリのワークスペースカテゴリで履行者に表示される内容を模倣します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
プレビューでテストする前に、レコードの表示方法をカスタマイズできます。詳細については、「クリエータースタジオ でアプリのレコードのレイアウトを変更する」を参照してください。

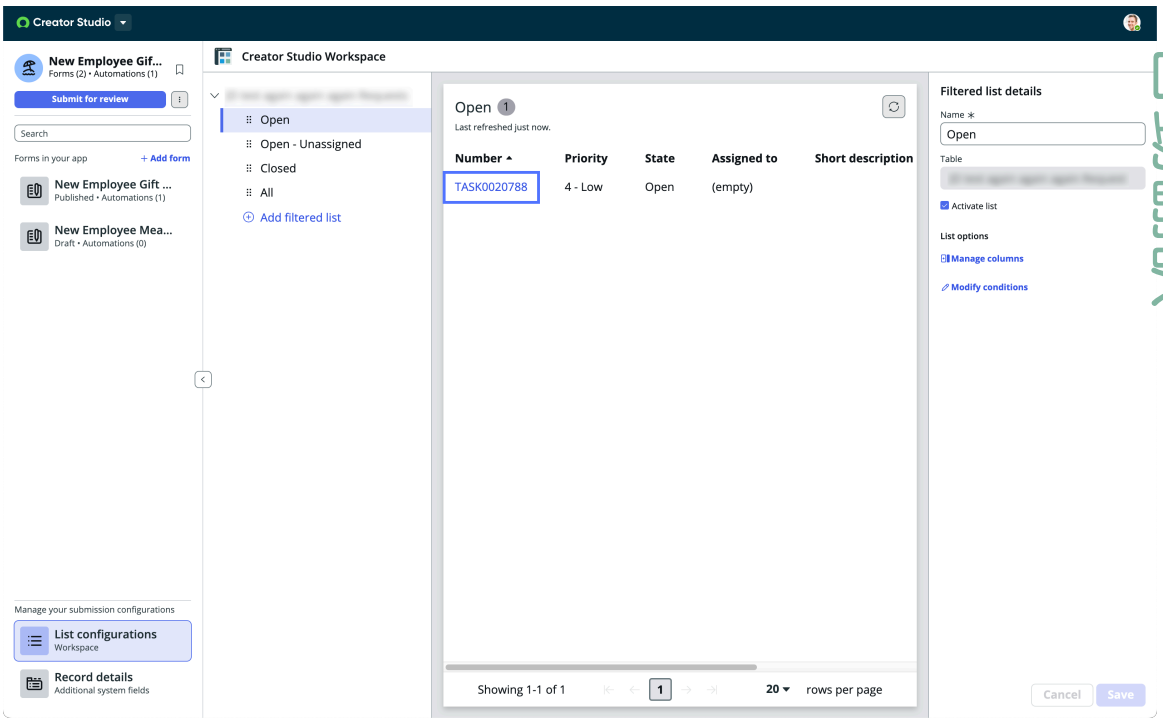
[試行] ボタンでフォームをテストすることで、送信されたレコードを作成してプレビューできます。フォームをテストすると、回答が記録され、関連するプレイブックが実行され、自動化の結果を含む新しいレコードが生成されます。詳細については、「アプリのフォームの 1 つをテストする」を参照してください。

アプリの送信済みレコードがワークスペース構成にどのように表示されるかをプレビューするには、アプリで作業する権限が付与されている必要があります。

手順

1. 検索項目 すべて > **App Engine** > クリエータースタジオ をクリックして、 クリエータースタジオ ホームページにすべてのアプリを表示します。
2. 編集するワークスペース構成が含まれているアプリを開きます。
3. アプリケーションヘッダーの [リスト構成] セクションを選択します。
4. [オープンレコード] リストなどのレコードを含むフィルター済みリストを選択します。
5. キャンバスでレコードを選択してプレビューします。

送信されたレコードを開いてプレビューします



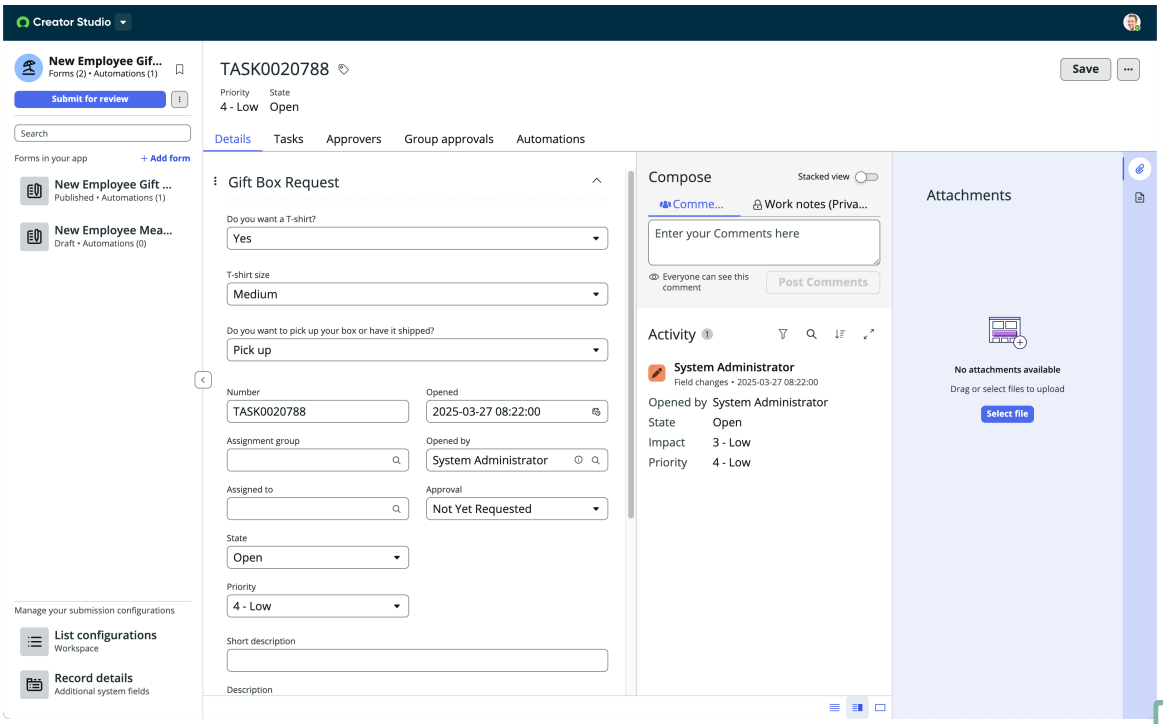
レコードが クリエータースタジオ で開きます。

6. レコードをいじって、その部分がどのように表示されるかを確認します。
たとえば、レコードの [承認者] タブを選択して、承認者リストの表示方法を表示できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[試す] ボタンを使用して生成されたレコードをプレビューする場合は、フォームの質問 (カタログ変数) が [詳細] タブに表示されます。プレイブックの結果は [自動化] タブに表示されます。

レコードの表示方法のプレビュー



タスクの結果

表示されているものが気に入らない場合は、レコードの外観を微調整できます。その方法については「クリエータースタジオ でアプリのレコードのレイアウトを変更する」を参照してください。

クリエータースタジオ アプリを展開する

おめでとうございます。アプリをビルドし、最初のバージョンを世界と共有する準備が整いました。素晴らしいです！展開は、プロセスの次のステップです。

展開とは、アプリを開発や QA などの非本番インスタンスから本番に移行するプロセスを表す用語です。本番は、顧客に表示されるインスタンス、つまり「ライブ」インスタンスです。このプロセスを開始するには、非本番インスタンスでアプリをビルドし、準備ができたら本番インスタンスに展開するようアドミンに依頼する必要があります。

アプリを展開すると、アプリだけでなく、そこに含めた公開済みのフォームやアクティブ化されたプレイブックもすべて本番インスタンスに自動的に公開されます。

展開では、パイプラインと展開で構成されたパイプラインを使用します。パイプラインが構成されていない場合、クリエータースタジオホームページにアラートが表示され、アドミンにパイプラインの設定を依頼するよう提案されます。

ServiceNow AI Platform は アプリケーションリポジトリ を使用してインスタンス間でアプリを移動するため、リリースノートとバージョン番号が必要です。詳細については、「クリエータースタジオ アプリのバージョン管理とリリースノート」をご覧ください。

本番環境へのアプリ展開の要求

アプリとそのすべての公開されたフォーム、およびアクティブ化されたプレイブックを、非本番インスタンスでテストする必要があります。準備ができたら、本番環境に展開するためにアプリを送信できます。詳細については、「クリエータースタジオ から本番環境へのアプリの展開を要求する」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アプリはクリエータースタジオから直接展開されません。代わりに、アドミンがパイプラインと展開を使用します。アドミンは パイプラインと展開 を使用した展開の管理 を確認する必要があります。

アプリとフォームや自動化の同時展開

この時点で、アプリが実際に準備ができているかどうか躊躇するかもしれません。小さなステップを踏んで、必要なフォームとアクティブ化されたプレイブックだけを展開要求に含めることができます。

アプリを展開用に送信すると、アプリの公開済みフォームとアクティブ化されたプレイブックがすべて展開可能になります。ただし、展開を要求する場合は、次のことを指定できます。

- アプリが本番環境に展開された後にカタログに表示したくない公開済みフォーム。
- アプリが本番環境に展開された後、ユーザーがアプリによって生成されたレコードを表示するときに表示したくないアクティブ化されたプレイブック。

プレイブックをアクティブ化せず、そのアプリが本番環境に展開されている場合、該当するレコードでは自動化が実行されません。ただし、App Engine アドミンは展開されたプレイブックを有効にすることができます。

展開されたアプリへのユーザーのアサイン

アプリが正式に公開され、使用される準備が整いました。おめでとうございます。しかし、誰がそれを使用し、その人たちはアクセスできるのでしょうか？アドミンがこれについて責任を負います。

アドミンは、アプリを本番環境に展開した後、アプリにアクセスできるユーザーとグループをアサインする必要があります。つまり、展開/公開プロセスでユーザーアクセスをアサインすることはできません。アプリの公開された部分のアクセスする場所の詳細については、「クリエータースタジオでアプリをビルドした後のステップ」をご覧ください。

クリエータースタジオ アプリのバージョン管理とリリースノート

アプリの展開された各バージョンには、アドミニストレーターがアプリの使用状況と変更を追跡するのに役立つバージョン番号とリリースノートが必要です。

アプリのバージョン番号

バージョン番号を使用して、アドミンは各インスタンスに展開されているアプリのバージョンを追跡できます。 組織のバージョニングガイドラインに従うか、x.y.z 形式を使用します (x = メジャーアップデート、y = マイナーアップデート、z = パッチ)。

クリエータースタジオ は、展開されたアプリを更新すると、次のバージョンを自動的に更新します (たとえば、1.0.0 から 1.1.0、次に 1.2.0 など)。

アプリのリリースノート

リリースノートは、アドミンがアプリのバージョン間の変更点を追跡するのに役立ちます。展開するアプリを送信する際、アプリのバージョン間の違いを理解するのに役立つ情報を指定します。

クリエータースタジオ から本番環境へのアプリの展開を要求する

開発インスタンスなどの非本番インスタンス、アプリのフォーム、プレイブック、ワークスペースカテゴリをテストした後、本番インスタンスに展開します。それにより、ユーザーがアクセスできます。

始める前に

レビューのためにアプリを送信する前に、アドミンが展開パイプラインを設定する必要があります。パイプラインを構成する必要がある場合は、アドミンにお問い合わせください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

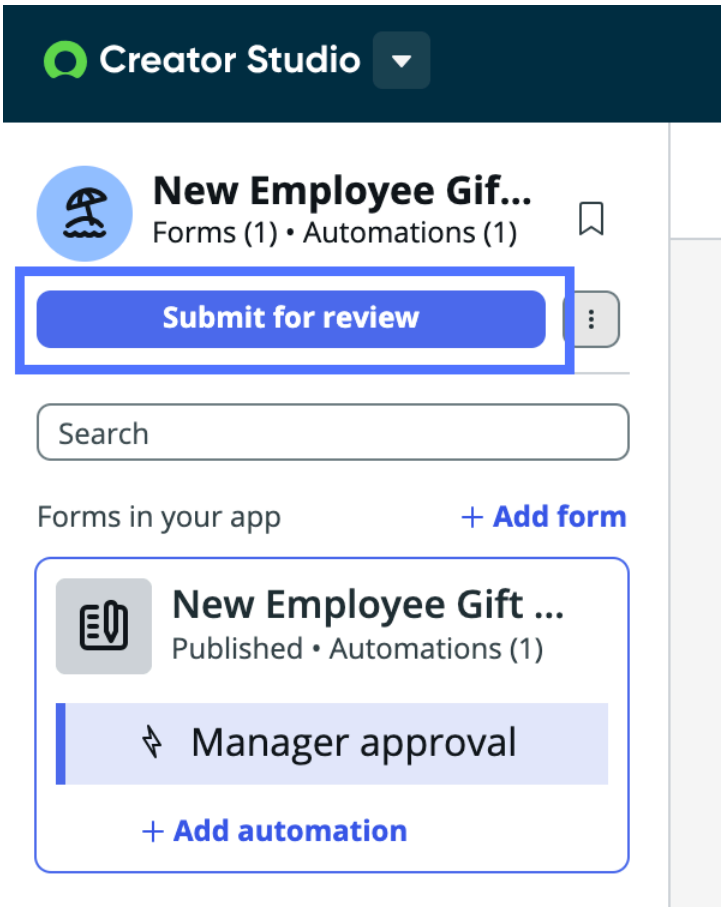
アプリの本番環境への展開を要求するには、アプリで作業する権限が付与されている必要があります。

このタスクについて
展開レビューのためにアプリを送信した後はレビューサイクルをキャンセルすることはできないため、アプリの準備が整っていることを確認してください。

手順

1. 検索項目 すべて > **App Engine** > クリエータースタジオ をクリックして、 クリエータースタジオ ホームページにすべてのアプリを表示します。
2. 本番環境に展開するアプリを開きます。
3. ナビゲーションパネルで、[レビューのため送信] を選択します。

レビューのため送信

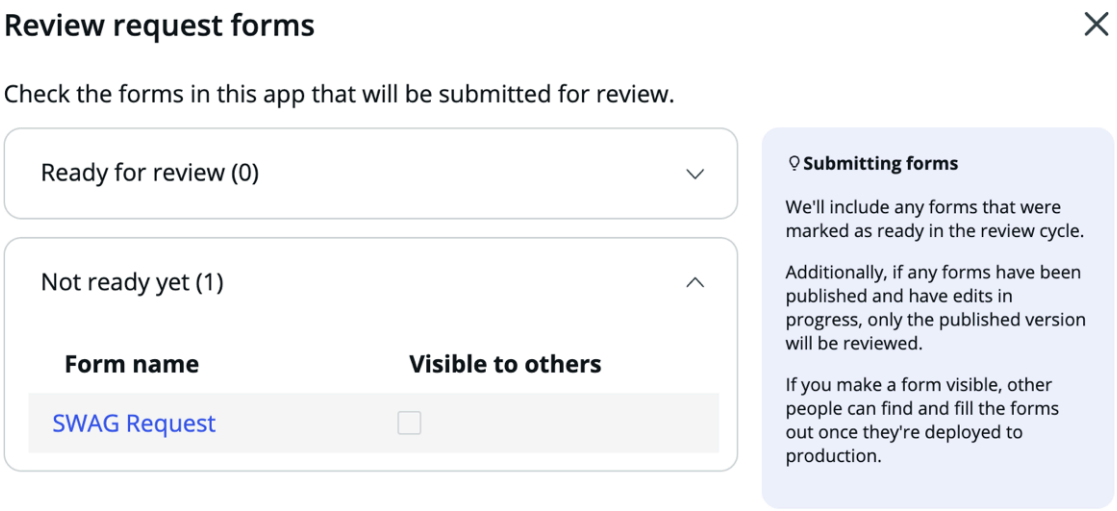


4. [レビューのためアプリを送信 (Submit app for review)] モーダルで [続行] を選択します。
5. 次に、カタログでユーザーに表示する公開済みフォームを選択する必要があります。[レビュー要求フォーム] モーダルの [レビュー準備完了] セクションで、[他のユーザーに表示] オプションを選択して、アプリの公開済みフォームのうち、アプリの展開後に使用できるようにするフォームを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

展開のための要求フォームのレビュー



6. 本番環境に展開されるフォームに問題がなければ、[続行] を選択します。
7. 次に、アプリのアクティブ化されたプレイブックのうち、アプリの展開後に本番環境で実行するものを決定する必要があります。プレイブックのレビューモーダルで、アプリが生成するレコードで実行する各プレイブックの [本番環境で実行 **(Run on production)]** オプションを選択します。

   注:
   プレイブックを選択できない場合は、クリエータースタジオ の [自動化] セクションに戻ってアクティブ化する必要があります。これについて復習する必要がある場合は、「クリエータースタジオ でプレイブックをアクティブ化する」を確認してください。

   アクティブ化されていないプレイブックは、アプリと共に本番環境に展開されますが、アドミンが本番環境でアクティブ化するか、プレイブックがアクティブ化された状態でアプリを再展開しない限り、レコードでは実行されません。
8. 本番環境で実行するために展開されるプレイブックに問題がなければ、[続行] を選択します。
9. 最後に、公開されたアプリのすべてのリリースの詳細が正しいことを確認します。

展開のためのバージョニングオプション

フィールド	説明
新しいバージョン	展開を要求しているアプリのバージョン番号。クリエータースタジオ は更新されたバージョン番号を自動的に生成しますが、これを変更できます。 組織のバージョニングガイドラインに従うか、x.y.z 形式を使用します (x = メジャーアッ

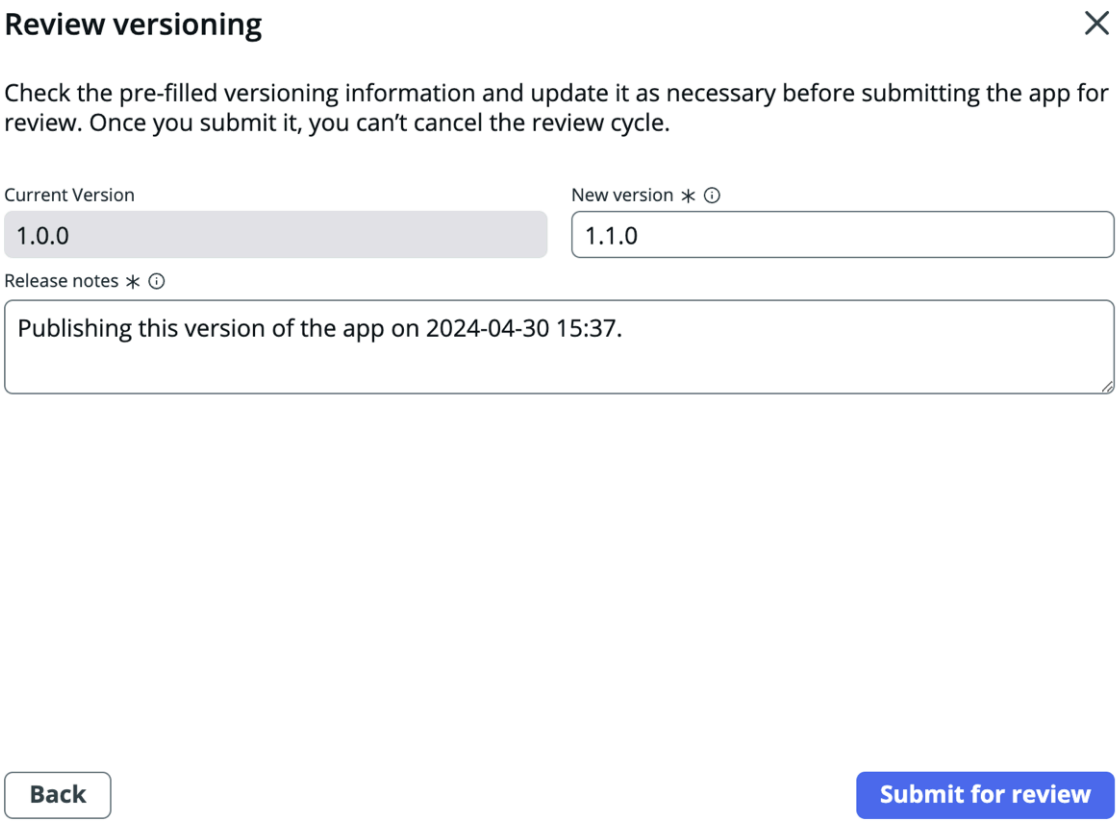
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	プデート、y = マイナーアップデート、z = パッチ)。
リリースノート	アプリのこの新しいバージョンでの変更点の詳細、またはこれが最初のバージョンの場合はアプリの機能の一般的な説明。

展開の要求の手順の詳細については、「クリエータースタジオ アプリのバージョン管理とリリースノート」を参照してください。

アプリのバージョン情報



自動翻訳

10. すべて正しく、アドミンがレビューして展開する準備ができたら、[レビューのため送信] を選択します。

タスクの結果
そのとおりです！アプリの展開をレビューする準備ができました。

次のタスク
アドミンはパイプラインと展開を使用して、アプリを本番環境に展開します。アプリの展開後も変更を加えることができます。必要なのは、準備ができたときに再展開を要求することだけです。

アドミンの場合は、アプリの展開のスコープについて、「パイプラインと展開 を使用した展開の管理」を確認してください。

クリエータースタジオ でアプリをビルドした後のステップ

アプリにフォームと自動化を追加し、ワークスペースリストの構成をカスタマイズしました。次のステップは以下のとおりです。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

レビューのためにアプリを送信後に行われること

アプリの作成が完了し、[レビューのため送信] を選択すると、アドミンが展開要求を受け取ります。その後、アドミンがアプリの展開要求を確認し、アプリを本番環境に移行します。

アプリが本番環境に展開されると、ServiceNow AI Platform でフォームが使用できるようになります。

展開後のアプリを確認できる場所

展開後、アプリはフォームの作成時に指定した サービスカタログ とカテゴリにフォームとして表示されます。

ユーザーは、これらのフォームに サービスカタログで直接アクセスできるほか、 サービスポータルや 従業員センターにもアクセスできます。

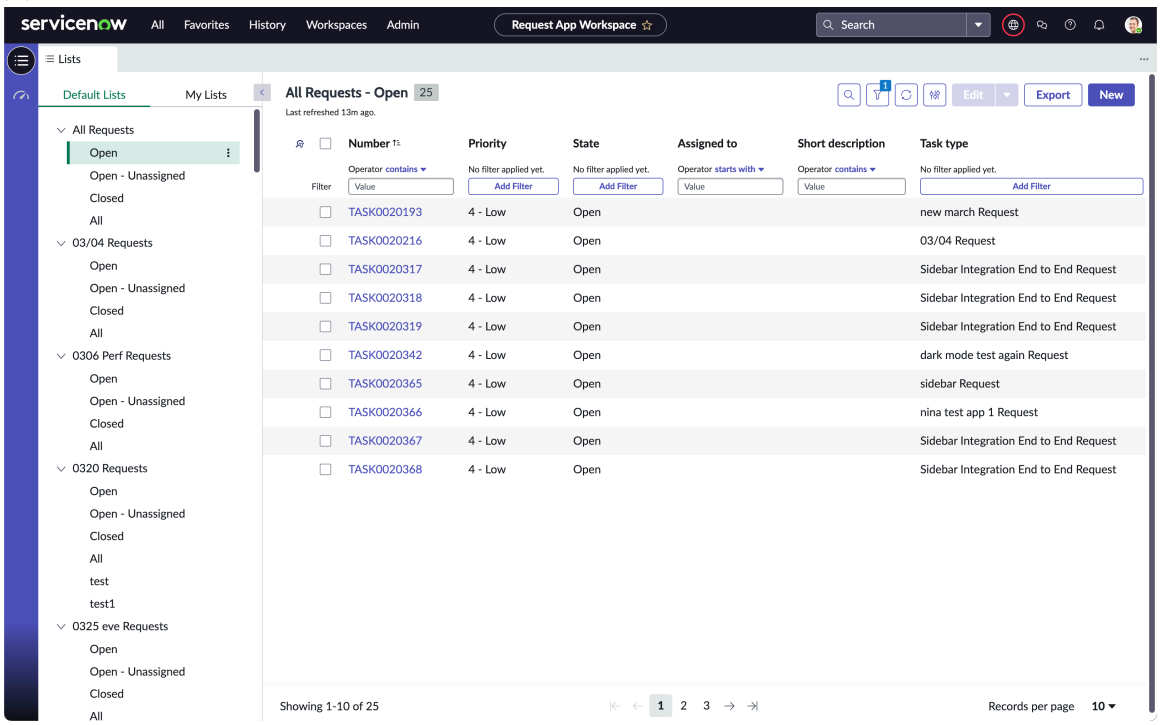
アプリのフォームを 1 つ以上のトピックに関連付けると、従業員センター の動的に作成された関連するトピックページに、そのフォームが表示されます。 トピックの詳細は「Associate a catalog item with a taxonomy topic in Employee Center」を、分類方法である分類の詳細については、「Unified Taxonomy for Employee Center」を参照してください。

送信されたフォームを履行者が処理する場所

履行者は、 ServiceNow AI Platform のデフォルトワークスペースにアクセスするには、次の場所に移動します すべて > **App Engine** > 要求アプリワークスペース. 要求アプリワークスペースには、各アプリのカテゴリと、デフォルトと追加したエクストラの両方のレコードのフィルターされたリストが表示されます。次に、履行者はレコードを選択して要求の詳細を表示し、必要に応じて更新を行います。

注:
アプリの所有者として要求アプリワークスペースにアクセスすることはできませんが、アドミンまたは該当するエージェントロールも持っている場合はアクセスできます。アプリのエージェントロールは、<app scope>.agent (例:x_snc_app_name.agent) です。

要求アプリワークスペース



© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ナビゲーションパネルの [リストカテゴリ] セクションに移動してレコードを選択すると、クリエータースタジオ内で直接、レコードがワークスペースカテゴリにどのように表示されるかをプレビューして操作できます。

他の **ServiceNow AI Platform** ビルダーでアプリの開発を続行できるか

クリエータースタジオ アプリを他のビルダーで開くことができます。たとえば、ServiceNow スタジオ でアプリを開くと、エクスペリエンスや複雑な自動化を追加できます。クリエータースタジオ ホームページのアプリのタイルから利用できる **[ServiceNow Studio** で開く] リンクを使用すると、ServiceNow スタジオ のアプリに直接移動できます。

ヘルプと **FAQ** を確認する

他に質問がありますか？「Assigned to」フィールドに入力すると クリエータースタジオ コミュニティサイトの FAQ！

アドミンに連絡する方法に関するクイックビデオを視聴し、役立つリソースを確認することもできます。

クリエータースタジオの要求のクローズとアプリ通知

フォームの入力時にアプリが作成するレコードは自動的にクローズされません。また、一部の通知は自動ではないため、構成する必要があります。

クリエータースタジオアプリによって生成される要求のクローズ

アプリの自動化が完了し、要求が履行された後、ユーザーは要求アプリワークスペースで要求レコードを手動で閉じる必要があります。履行者が要求を手動で閉じると、ServiceNow AI Platform はその要求を作成した人にメールで要求がクローズされたことを通知します。

さらに、アプリでプレイブックを作成して、要求がクローズされたときに要求者に自動的にメールを送信することもできます。詳細については、「クリエータースタジオ でアプリのプレイブックにアクティビティを追加する」を参照してください。

クリエータースタジオでビルドされたアプリのデフォルト通知

クリエータースタジオで作成されたアプリは、デフォルトで次の通知を送信します。

デフォルトのアプリ通知

イベント	受信者	トリガー
要求がオープンされた	アプリからの要求を開いたユーザー	アプリのタスクテーブルまたは基になるテーブルにレコードが作成されます。
要求がユーザーにアサインされた	要求がアサインされたユーザー	アプリのタスクテーブルまたは基になるテーブルのレコードが作成または更新されます。
要求がグループにアサインされた	要求がアサインされたグループ内のすべてのユーザー	アプリのタスクテーブルまたは基になるテーブルのレコードが作成または更新されます。
要求がクローズされた*	要求をオープンしたユーザー	レコードは、[完了] や [キャンセル] などのクローズ済みステータスに更新されます。

* 要求レコードは手動でクローズする必要があることに注意してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

アドミニストレーターは、上記のテーブルにリストされているイベントのデフォルトの通知メールをカスタマイズできるようになりました。詳細については、「での通知メールの管理 クリエータースタジオ」を参照してください。

ServiceNow AI Platform からの通知の詳細については、「Create an email notification」を参照してください。

アプリのビルドに関してクリエータースタジオが送信する通知

デフォルトのアプリ通知

イベント	受信者
クリエータースタジオ制限付きユーザーが新しいアプリ要求を送信する	App Engine 管理グループ
要求されたアプリがアドミンによって承認され、作成された	アプリの作成を要求したクリエータースタジオ制限付きユーザー
アプリ作成要求が履行された	App Engine 管理グループ

クリエータースタジオの参照

考えられるすべてのタイプの質問の説明やフォームのレイアウトオプションなど、クリエータースタジオ のアプリのビルドの部品の詳細を確認してください。

クリエータースタジオ のフォーム設定

クリエータースタジオ で、アプリのフォームの設定をいつでも編集できます。たとえば、アクセス可能なユーザーを変更する場合などです。

全般的なフォーム設定

[全般] タブでは、フォームの基本情報とフォーム上での表示方法を定義します。

アプリ設定の [全般] タブ

フィールド	説明
フォーム名	フォームの名前。アプリには、複数のフォームを含めることができます。別のフォームの設定を編集する場合は、ナビゲーションパネルでそのフォームを選択します。
簡単な説明	フォームの使用目的の短い説明。たとえば、「ラップトップ要求フォーム」などです。
イメージ	フォームに表示される画像。ロゴを選択し、アップロードする JPG、PNG、または SVG ファイルに移動します。
説明	このフォームを使用する必要がある理由を説明する情報。ビデオ、画像、その他のソースへのリンク (ナレッジベース記事など) といったコンテンツを含めることができます。
他のユーザーがフォームを表示できるようにする (Make form visible to others)	フォームをアプリの外部 (たとえば、指定したカタログ内) で使用できるようにするオプション。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アプリ設定の [全般] タブ (続く)

フィールド	説明
	このオプションは、公開済みのフォームに対してのみ編集できます。 **注:** また、アプリを展開する準備ができたら、展開後にフォームを表示するかどうかを指定することもできます。「クリエータースタジオ から本番環境へのアプリの展開を要求する」でその方法をご覧ください。
[ウィッシュリストに追加] を非表示にする (Hide "Add to wish list" option)	ユーザーがウィッシュリストでフォームをお気に入りに登録できないようにするオプション。フォームをお気に入りに設定すると、見つけやすくなります。
添付ファイルオプションを非表示にする	ユーザーがフォームに添付ファイルを追加できないようにするオプション。
添付を必須としてマーク	フォームに添付ファイルを要求するオプション。[添付ファイルオプションを非表示にする **(Hide attachment option)]** 設定を選択した場合、この設定は選択できません。

編集できないフォーム設定

アプリを作成した後、その[テンプレート] を編集することはできません。変更する場合は、別のカタログテンプレートを使用して新しいフォームを作成します。

カタログの場所のフォーム設定

場所の設定では、フォームがカタログ内のどこに表示されるか、どのように分類されるか、どのトピックに表示されるかを定義します。カタログとトピックの設定を変更するには、[編集] アイコン (Edit) を選択する必要があります。

アプリが使用するビジネスエリアを表すカタログを選択します。 たとえば、IT フルフィルメントアプリ用のソフトウェアやラップトップケーブルを含むサービスカタログを選択できます。 各カタログのキャレットを展開すると、そのサブカタログが表示されます。次に、カタログから必要な数のアイテムを選択します。

アプリのフォームを 1 つ以上のトピックに関連付けると、従業員センター の動的に作成された関連するトピックページに、そのフォームが表示されます。 トピックの詳細は「Associate a catalog item with a taxonomy topic in Employee Center」を、分類方法である分類の詳細については、「Unified Taxonomy for Employee Center」を参照してください。

ユーザーアクセスのフォーム設定

[編集] アイコン (Edit) を選択して、次のロールとグループのアクセスを定義します。

- [利用可能]：フォームにアクセスできるロールとグループを検索して選択します。
- [利用不可]：フォームにアクセスできないロールとグループを検索して選択します。

クリエータースタジオ で利用可能な質問のタイプ

クリエータースタジオ内のフォームでさまざまな種類の質問を使用してアプリをビルドします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

要求者に尋ねる質問を選択できます。 クリエータースタジオ では、次の 2 種類の質問を使用できます。

- 一般的な質問 では、簡単な回答 (名前やメールなど) を書き込むための空のボックスや、選択肢のリスト (ドロップダウンメニューや記入する小さな丸など) を提供します。
- [参照ベースの質問 **(Reference-based question)]** は、テーブルで定義する選択肢のリストを指定します。

[質問の詳細] パネルの [コンテンツタイプ] フィールドで選択した質問のタイプによって、表示される質問の設定が変わります。

一般的な質問のタイプ

一般的な質問タイプのフォーム要素

コンテンツタイプ	説明
短い回答 ([1 行テキスト])	1 行の質問。
複数行テキスト	複数行にわたる長い質問も入るスペースを提供する、より長いオプション。
ドロップダウン	事前定義された回答のリストを含み、ユーザーがドロップダウンメニューから選択する形式の質問。ユーザーは回答を 1 つだけ選択できます。
ラジオボタン	事前定義された回答のリストを含み、ユーザーがラジオボタンを選択する形式の質問。ユーザーは回答を 1 つだけ選択できます。
チェックボックス	ユーザーが該当するチェックボックスを選択して回答する正誤問題。 **注:** フォームに 2 つのチェックボックスの質問を並べて配置すると、セクションが作成されます。そのセクションに他のタイプの質問を追加することはできません。
はい/いいえ	ユーザーが回答として [はい] または [いいえ] を選択する質問。
日付	ユーザーがカレンダーから日付を選択する形式の質問。
日時	ユーザーが日時を指定する形式の質問。
質問セット	変更できない事前設定された質問。 アドミンが サービスカタログ で質問セットを作成します。詳細については、「Service catalog variable sets」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

一般的な質問タイプのフォーム要素 (続く)

コンテンツタイプ	説明
	注: • 既存の質問を質問セットに変更することはできません。質問セットをフォームに含めるには、その質問セットをフォームに新たに追加する必要があります。 • フォームに 2 つのチェックボックスの質問を並べて配置すると、セクションが作成されます。そのセクションに他のタイプの質問を追加することはできません。

参照ベースの質問のタイプ

参照ベースの質問は、[ソーステーブル]として指定する必要があるテーブルから可能な値を取得します。

参照ベースの質問フォームの要素

コンテンツタイプ	説明
レコードの選択肢 (Record choices)	定義する必要のあるフィルター条件が満たされた場合に、指定された追加のテーブルから回答が取得される質問。 インシデントテーブルを使用するフォームなど、別のフォームのデータを参照するフォームでこの質問を使用します。「関連インシデントを選択」はレコード選択の質問の例で、可能な回答の選択肢としてインシデントのフィルター済みリストを使用できます。 フォームに [レコードの選択肢] の質問がある場合、フォームで他の質問を構成すると [オートフィルを追加] オプションが表示されます。[オートフィルを追加] オプションを選択して、[レコードの選択肢] 質問のテーブルから値を選択すると、質問の回答が自動的に入力されます。 たとえば、フォームで [ギフトボックスの受信者を選択 **(Choose the gift box**)] フィールドのユーザーを選択し、ユーザーテーブルからその値を取得できます。追加の [希望する名前] フィールドは、[ユーザー] テーブルの選択の [名] フィールドから自動的に入力できますが、ニックネームが希望する場合は編集できます。
フィールド選択肢 (Field choices)	フィルター条件 (これも定義する必要があります) が満たされた場合に、指定されたテーブルのフィールドから回答が取得される質問。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

参照ベースの質問フォームの要素 (続く)

コンテンツタイプ	説明
	たとえば、「国」フィールドを持つテーブルにフィールド選択の質問を作成し、ユーザーがそれを使用して国を選択できます。
複数選択	フィルター条件 (これも定義する必要があります) が満たされた場合に、指定されたテーブルから取得される複数の回答を選択できる質問。 この質問は、複数の個別のインシデントテーブルから回答を取得するフォームなど、他の複数のフォームのデータを参照するフォームで使用します。

質問の詳細

フォームに追加する質問のタイプに応じて、次の詳細の一部を指定する必要があります。

質問タイプの詳細

フィールド	説明	利用可能 **(Available for)**
質問ラベル	質問、または質問の内容を説明する記述。	すべての質問タイプ
ヘルプテキスト	ユーザーが情報アイコンの上にマウスを移動したときに、ユーザーをガイドするツールチップとして表示される追加情報。	すべての質問タイプ
フォームに質問を表示 (Show questions on form)	このオプションを選択しないままにすると、フォームから質問が非表示になります。 このオプションを使用すると、アプリの基になるテーブルにデータを追加することで、データをバックグラウンドでフォームに関連付けることができます。	すべての質問タイプ
必須としてマーク (Mark as required)	ユーザーがフォームを送信する前に質問を必須にするオプション。	すべての質問タイプ
読み取り専用としてマーク (Mark as read-only)	質問を読み取り専用にするオプション。 たとえば、ユーザーのロールをフォームのテーブルに自動的に取り込まない場合は、デフォルト値がユーザーのロール (営業など) である 1 行テキストの質問を作成し、それを非表示にす	すべての質問タイプ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

質問タイプの詳細 (続く)

フィールド	説明	利用可能 **(Available for)**
	ることができます。フォームから質問を非表示にして、データ交換がユーザーに見えないようにすることもできます。	
デフォルト値	フォームを開いたときに質問の回答に自動入力される値。 ソーステーブルを指定する参照ベースの質問では、[デフォルト値] フィールドで値を検索するときに、ワイルドカードとしてアスタリスク (*) を使用する必要があります。 たとえば、質問がユーザーテーブルを参照していて、「Abel Tuter」を探している場合、`Tuter` と入力してもそのユーザーは見つかりませんが、`*Tuter` と入力すると見つかります。	すべての質問タイプ
選択肢	質問に対するカスタマイズ可能な回答。ドラッグして新しい順序に並べ替えることができます。	• ドロップダウン • ラジオボタン
選択肢として「なし」を含める (Include "None" as a choice)	質問の考えられる回答として [なし] を含めるオプション。	• ドロップダウン • ラジオボタン • フィールド選択肢 (Field choices)
デフォルトの最初の選択肢 (Default to the first choice)	ユーザーが質問を表示したときに、最初の選択肢を考えられる回答として表示するオプション。	ラジオボタン
ソーステーブル	質問に対する回答のデータを提供するテーブルの場所。	• レコードの選択肢 (Record choices) • フィールド選択肢 (Field choices) • 複数選択
フィールド	考えられる回答が取得される、指定されたソーステーブル内のフィールド。	フィールド選択肢 (Field choices)

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

質問タイプの詳細 (続く)

フィールド	説明	利用可能 **(Available for)**
フィルター条件	特定の選択肢を表示するために満たさなければならない条件。[条件を追加] を選択し、条件ビルダーを使用してフィルターを作成します。詳細については、「Condition builder」を参照してください。	• レコードの選択肢 (Record choices) • フィールド選択肢 (Field choices) • 複数選択

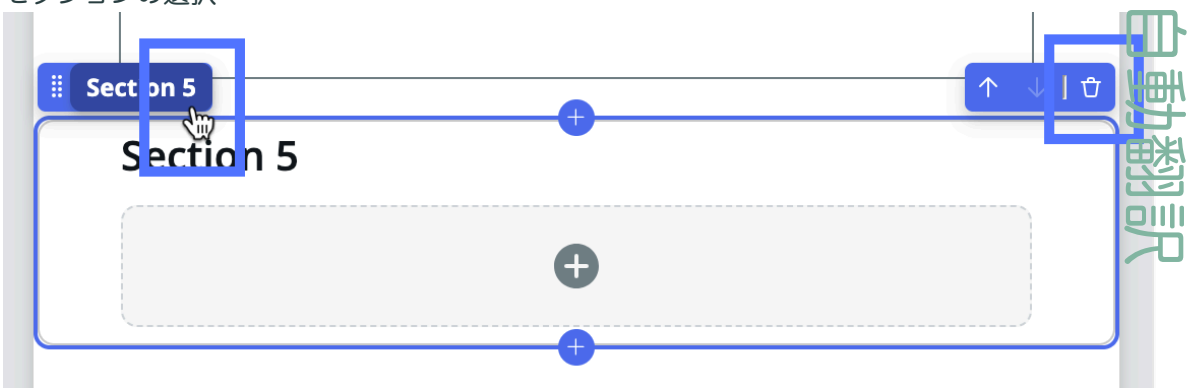
クリエータースタジオにおけるフォームのレイアウトオプション

レイアウトオプションを使用して、カタログアイテムを作成するフォームがクリエータースタジオ内でどのように表示されるかを調整します。

レイアウトオプションを使用して、[フォーム要素] パネルからフォームキャンバスにドラッグして、フォームをデザインできます。レイアウトオプションをドラッグして並べ替えることもできます。

注:
セクションを編集または削除するには、セクション名にカーソルを合わせて [セクション] を選択し、プロパティパネルにセクションの詳細と削除アイコンを表示する必要があります。

セクションの選択



自動翻訳

レイアウトオプション

要素	説明	詳細
1 列セクション	オプションのヘッダー (ラベル) を持つセクション。フォームのそのセクション内のすべての質問が 1 つの列に表示されます。	• セクションにヘッダーを付けるには、[セクションラベル] を指定します。 • セクションヘッダーを表示するには、[フォームにセクションラベルを表示 **(Show section label on form)]** を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

レイアウトオプション (続く)

要素	説明	詳細
2 列セクション	オプションのヘッダー (ラベル) を持つセクション。フォームのそのセクション内のすべての質問が 2 つの列に表示されます。	• セクションにヘッダーを付けるには、[セクションラベル] を指定します。 • セクションヘッダーを表示するには、[フォームにセクションラベルを表示 **(Show section label on form)]** を選択します。
分割線	質問またはセクションの間に線を表示します。	該当なし
見出し	ユーザーにフォームでの入力を求める情報の種類に基づいた質問またはステートメントなど、ヘッダーテキストを表示します。	[名前] フィールドでヘッダーテキストを指定します。
リッチテキスト	リンク、さまざまなフォント、箇条書きや表などのオプションを使用して強調できる長いテキストを表示します。	リッチテキストエディターを使用して、次の文字体裁で補足テキストを強調します。 • 太字/斜体/下線 • フォントフェイスとサイズ • フォントの色と背景色 • テーブル • リンク • 画像 • スクリプティングを含むソースコード • 位置調整 • 箇条書きリスト • 番号付きリスト

クリエータースタジオ の用語集

クリエータースタジオ で使用される用語と概念について説明します。

アクティビティ

プレイブックのアクティビティは、承認の取得、レコードのアサイン、メールの送信などの自動化されたタスクを完了します。

自動化

手動介入なしでワークフロー内を移動するタスクまたは要求。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ボードビュー

プレイブックを表示する伝統的なレイアウトで、各アクティビティがナビゲーションパネルのカードとして表示されます。タスクなどのアクティビティを選択すると、その編集可能な詳細がキャンバスに表示され、操作できるようになります。

カタログ

要求者が要求できるすべてのアイテムを表すアイテムのコレクション。

コラボレーション記述子

開発者にアサインされた共同アクセスのレベル。ユーザーにアサインされているコラボレーション記述子によって、委託開発権限をアサイン、管理、監視できるかどうかが決まります。たとえば、アプリのオーナーであるユーザーは、エディターのコラボレーションタイプのユーザーよりも多くのことができます。

委託開発

開発者が他のユーザーをアプリに招待し、そのユーザーが共同でアプリを作成および開発できるようにする共同プロセス。

展開

開発や QA などの非本番インスタンスから本番に移行するアプリのプロセス。本番は、顧客に表示されるインスタンス、つまり「ライブ」インスタンスです。

ダイアグラムビュー

プレイブックでアクティビティが発生する順序を示す、視覚的に直感的なダイアグラム。トリガーや意思決定などのアクティビティを選択すると、詳細を編集できるモーダルがポップアップ表示されます。

ドット連結

関連するテーブルごとにドットで区切られた 1 つ以上の参照フィールドを含む変数の構造を記述します。

動的な動作

カタログアイテムのフォームは、動的な動作を使用して、ユーザーの回答方法に基づいて自動的に更新できます。たとえば、ユーザーが参加するイベントで昼食を食べたくないと言った場合、[食事] 設定 フィールドを非表示にすることができます。

注:
動的な動作は、カタログ UI ポリシーとも呼ばれます。

テーブルの拡張

既存のテーブルに基づいてテーブルを作成する場合。テーブルを拡張するということは、新しいテーブルが親 (拡張) テーブルの列とそのビジネスロジックを継承することを意味します。通常、 クリエータースタジオ 組み込まれたアプリは要求タスクテーブルを拡張します。

field

クリエータースタジオのフィールドは、アプリの基になるテーブルの列です。条件ビルダーを使用している場合、フィールドはテーブルの列またはフォームからの質問のいずれかになります。

フォーム

データベーステーブルの単一レコードのフィールドと値を表示するコンテンツページ。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フォームテンプレート

クリエータースタジオ が提供するフォームに配置された、事前定義された一連の質問。

履行者

要求に対応する人。履行者は、アプリの承認の自動化に応じて、要求を承認または拒否することもできます。

アイテム

新しいコンピュータ機器や休暇など、要求者が要求できるもの。各アイテムには、クリエータースタジオ の独自のフォームが必要です。

プレイブック

トリガーに基づいて発生する一連の自動化されたアクティビティ。たとえば、要求が承認されたときにメールを送信するなどです。プレイブックは、フォームが送信された後に開始される、事前にプログラムされたワークフローと考えてください。これらは、if/then ステートメントのようなもので、もしこれが起きたら、次にそれが起きます。

レコード

対応する必要があるタスクまたは要求。アプリのそのテーブルのすべての行は個別のレコードです。レコードのステータスは、実行されたアクションによって異なります。

参照ベースの質問

定義したテーブルから可能な回答を取得するフォーム上の質問。

リリースノート

展開されたアプリの新しいバージョンごとに含まれるものに関する情報。リリースノートは、アドミニストレーターがアプリのバージョン間の変更点を追跡するのに役立ちます。

要求者

機器などのもの、または休暇の取得など何かを行うための許可を要求する人。

ターゲットテーブル

クリエータースタジオ で作成されたアプリが要求を保存するテーブル。アドミニストレーターは、アプリがデータを保存するテーブルを変更できます。詳細については、「アプリの基になるテーブルの管理」を参照してください。

トリガー

自動化プレイブックの実行を開始するイベント。たとえば、要求を送信すると、その要求が自動的にマネージャーにアサインされるなど。

バージョン番号

アプリに割り当てられ、その後展開されるたびに増加する番号。

ワークフロー

セールスと注文管理のプロセスを自動化する一連のステップを定義しました。

ローコードアプリケーションのビルド

シンプルなローコード環境でカスタムアプリケーションを作成および管理します。

ServiceNow スタジオ

ServiceNow スタジオ を使用して、統合ツールを使用したアプリとアプリ ファイルのビルド、スコープ対象アプリとグローバル アプリのメタデータへのアクセスと編集、

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

展開のためのアプリの変更のパッケージ化など、すべてを 1 つの強力な開発ツールで行うことができます。

App Engine Studio

ガイド付きローコード開発に App Engine Studio を使用して、カスタムアプリをゼロから、またはテンプレートを使用してビルドします。

クリエータースタジオ

クリエータースタジオ を使用して、サービスカタログ で便利なテンプレートを使用して要求/実行アプリをすばやく作成します。

ERP 向けゼロコピーコネクタ

ERP 向けゼロコピーコネクタ を使用して、ERP (エンタープライズリソースプランニング) システムに接続し、ERP モデルを作成し、ERP システムからデータ (受注、データレコード、購買ドキュメントなど) を抽出します。これで、ServiceNow AI Platform でローコードアプリをビルドするときに ERP データを使用できるようになります。

ERP セマンティックマイニング

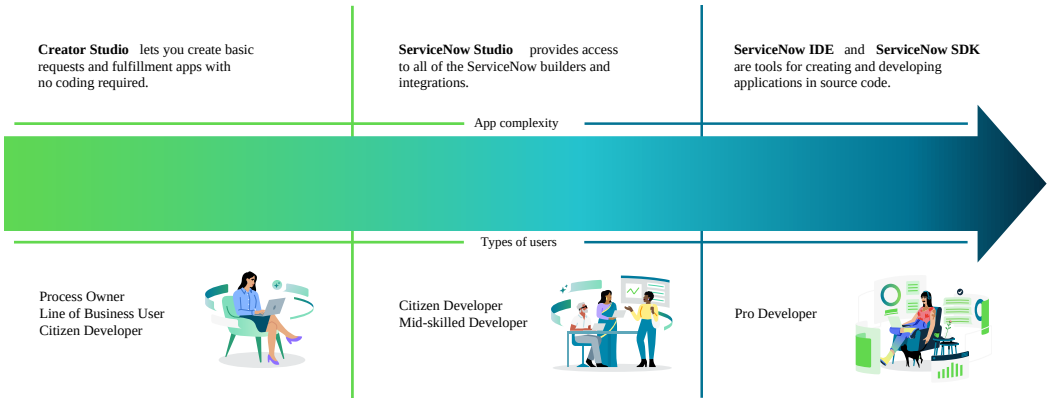
ERP セマンティックマイニング を使用して、SAP から ServiceNow AI Platform へのプラットフォーム移行など、ERP システムのカスタムアプリケーションを検索します。

ServiceNow CLI

ServiceNow CLI を使用すると、カスタムコマンドを作成して、ローカルシステムのコマンドラインからアプリケーションを管理できます。

アプリの作成に使用すべきビルダー

ビルダーの種類



コードなしで簡単にアプリをビルドしたい場合

クリエータースタジオ は、コードを書かずに要求を履行するアプリケーションの作成を支援することに特化しています。たとえば、フォームに入力して事務用品を要求するアプリケーションで、誰かが要求を承認または拒否するなどです。詳細については、「クリエータースタジオ の探索」を参照してください。

より一般的なアプリが必要だけれどローコードオプションが必要な場合

App Engine Studio を使用すると、プログラミングのプロでなくても、クリエータースタジオ よりも幅広いアプリをビルドできます。詳細については、「App Engine Studio の探索」を参照してください。

一元化されたユーザーインターフェイスでより詳細に制御したい開発者の場合

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

新しい ServiceNow スタジオにより、アプリをよりスマートに構築し、より迅速に提供できます。ServiceNow スタジオ は、プラットフォーム開発者が ServiceNow AI Platformに基づいて構築するための最新の統一された環境を開発者に提供します。 ServiceNow スタジオ は、アプリケーションとメタデータへの簡素化されたナビゲーション、統合されたローコードツール、開発プロセスを加速し、生産性を向上させる開発作業の効率的な追跡とパッケージ化を備えています。詳細については、「ServiceNow スタジオ の探索」を参照してください。

業界標準の開発ツールやプロセスを使用したい開発者の場合

ServiceNow IDE と ServiceNow SDK は、ServiceNow Fluent を使用したソースコードでのアプリケーション開発、JavaScript モジュールの作成、およびサードパーティライブラリの使用をサポートしています。ServiceNow Fluent は、コードでアプリケーションメタデータを作成するためのドメイン固有のプログラミング言語です。

ServiceNow IDE は、ServiceNow AI Platform 上の Visual Studio Code for the Web の実装です。ServiceNow SDK は Visual Studio Code Desktop をローカルで使用します。詳細については、「ソースコードでアプリケーションをビルドする」を参照してください。

関連アプリケーションと機能

Exploring Decision Tables

ディシジョンビルダー を使用して、意思決定テーブルを作成および管理します。ビジネスロジックを一連の if-then 意思決定ルールに埋め込みます。

ServiceNow スタジオ

ServiceNow スタジオ を使用すると、開発者はアプリ開発ビルダーとツールにすべて 1 か所でアクセスできます。

のフロー ワークフロースタジオ

ワークフロースタジオ は、プロセスと反復作業を自動化し、効率とエクスペリエンスを向上させます。

テーブルビルダー

テーブルビルダー を使用して、単一のユーザーインターフェイスにより視覚的にテーブル、フォーム、およびフローを設計します。

UI ビルダー

UI ビルダー を使用して、CSM 構成可能ワークスペース、App Engine Studio によって生成されたワークスペースとポータル、または ネクストエクスペリエンスのコンポーネント とカスタム Web コンポーネントを使用するカスタム Web エクスペリエンスのための Web ユーザーインターフェイスをビルドします。

Workflow Studio

ワークフローの作成、構成、および監視を単一のページエクスペリエンスに統合します。

ワークスペースビルダー

ワークスペースビルダー for App Engine により、App Engine Studio (AES) からカスタムワークスペースを迅速かつ効率的に作成できます。

App Engine Studio を使用したアプリのビルド

ServiceNow App Engine Studio (AES) はガイド付きのローコードツールで、情報を格納し、ビジネスプロセスを自動化し、ビジネス上の課題を解決するリッチな Web アプリケーションを開発するためのものです。かつてアドミニストレーターにアサインされていた作業は、AES を使用したトレーニングをほとんどまたはまったく受けていない社員に委任できるようになりました。

次のビデオでは、 App Engine Studioを使用したアプリ作成プロセスの概要を視覚的に示しています。

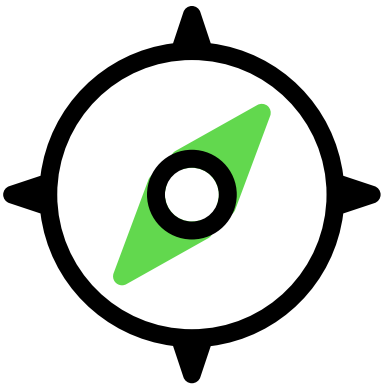
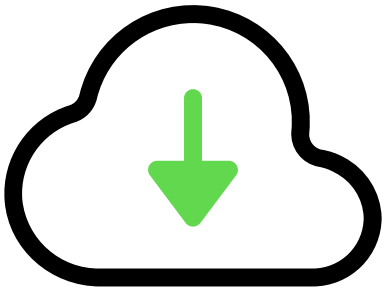
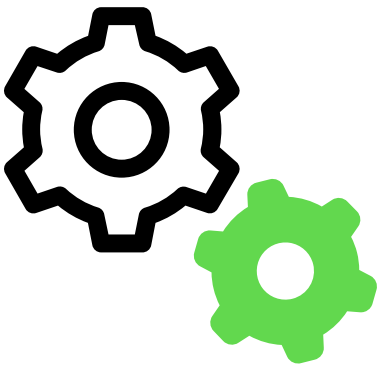
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

開始するには

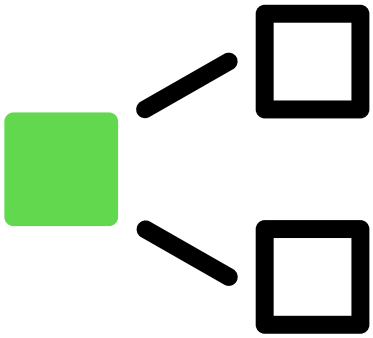
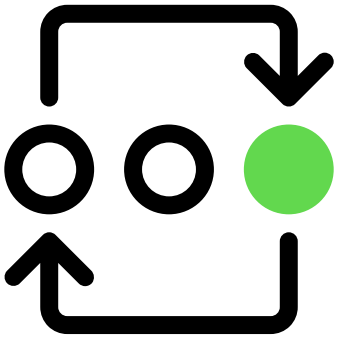
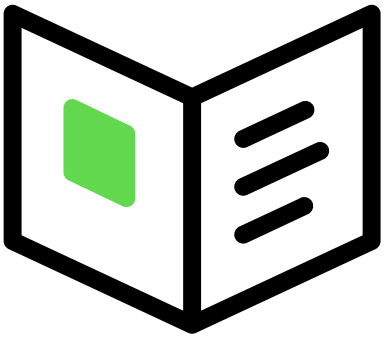
組織内の市民開発者に開発を委任することで、アドミニストレーターはより戦略的なシステム全体の優先事項に取り組むことができます。AES は、次のことを行うのに役立ちます。

- ガイド付きワークフローやテンプレートなどの一連の開発ツールを使用して、あらゆるビジネスニーズに合わせて強力なアプリを迅速にビルドします。
- カタログビルダー、ワークフロースタジオ、ワークスペースビルダー、モバイルアプリビルダー、およびその他の統合ツールを使用して、ユーザーに好まれるエクスペリエンスを作成します。
- App Engine 管理センター (AEMC) などの、市民開発者とプロ開発者の両方をサポートする簡単なガバナンスとツールを使用して、スプロール化することなくアプリを拡張します。

探索	インストール	構成
		
App Engine Studioの概念と機能について説明します。	App Engine Studio とそれに関連するアプリをインストールします。	環境、ツール、およびユーザーアクセスを構成します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

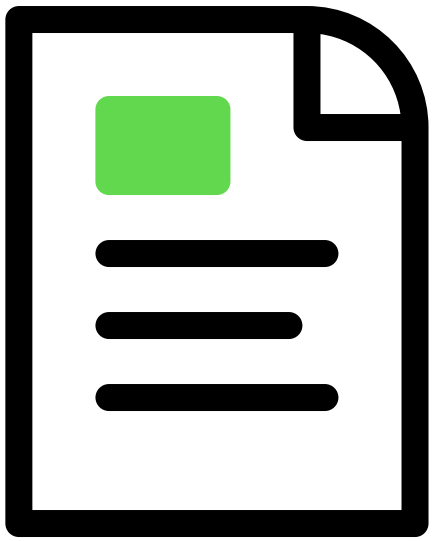
ビルド	展開	参照
		
App Engine Studioを使用してアプリケーションをビルドします。	App Engine 管理センターを使用して、開発から本番まで、パイプライン内のインスタンスにアプリケーションを展開します。	フィールド、テーブル、プロパティなどの App Engine Studio コンポーネントの詳細を取得します。

App Engine Studio のその他のリソース

App Engine Studio に関する詳細	**ServiceNow** のリソース
App Engine Studio はガイド付きのローコードツールで、情報を格納し、ビジネスプロセスを自動化し、ビジネス上の課題を解決するリッチな Web アプリケーションを開発するためのものです。	 App Engine Studio でアプリを迅速に作成

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

App Engine Studio に関する詳細	**ServiceNow** のリソース
	 App Engine でアプリを迅速にビルド
	 App Engine Studio を使い始める

ストアで **AES** を要求する

ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート」を参照してください。

AES を使用する前に、ServiceNow Store からダウンロードする必要があります。ダウンロードが完了したら、インスタンスに表示する前にローカルキャッシュをクリアする必要があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

App Engine Studio のヘルプ

- ユーザーアカウントのロック解除または追加、復元または zBoot の実行などについては、会社のカスタマーアドミンにお問い合わせください。

  会社のカスタマーアドミンにお問い合わせください

- で質問や回答をする App Engine Studio コミュニティフォーラム
- 既知のエラーポータルで既知のエラー記事を検索する
- 独自のアプリを作成する方法の詳細については、開発者サイトを参照してください。
- 連絡先 カスタマーサービス & サポート

App Engine Studio の探索

ローコードアプリ開発ツールである App Engine Studio (AES) を使用して、ガイド付きセットアップ、事前定義されたテンプレート、およびワークフローを使用して強力なアプリケーションをビルドする方法について説明します。

このビデオでは、App Engine Studio を使用したアプリ作成プロセスの概要を視覚的に示しています。

App Engine Studio の概要

App Engine Studioユーザー

ユーザー

ユーザー	説明
市民開発者	プログラミングの経験がない市民開発者でも、グラフィカルインターフェイスとテンプレートを使用するシンプルなローコード、ノーコードのプラットフォームで、アプリケーションを効率的に作成できます。参入障壁が低いということは、あらゆるスキルレベルの開発者がアプリケーションをビルドできることを意味します。
プロコード開発者	プロコード開発者は、プログラミング言語を使用してアプリケーションをビルドすることに精通しています。
App Engine Studio アドミン	App Engine Studio アドミンは、AES のアプリケーション開発に関連するプロセスを管理します。通常は App Engine 管理センター で、新しいアプリケーションのアイデアをレビューし、アプリケーションの開発と展開を管理し、協力者のアクセスを管理します。

App Engine Studio を使用してアプリを作成するためのワークフロー

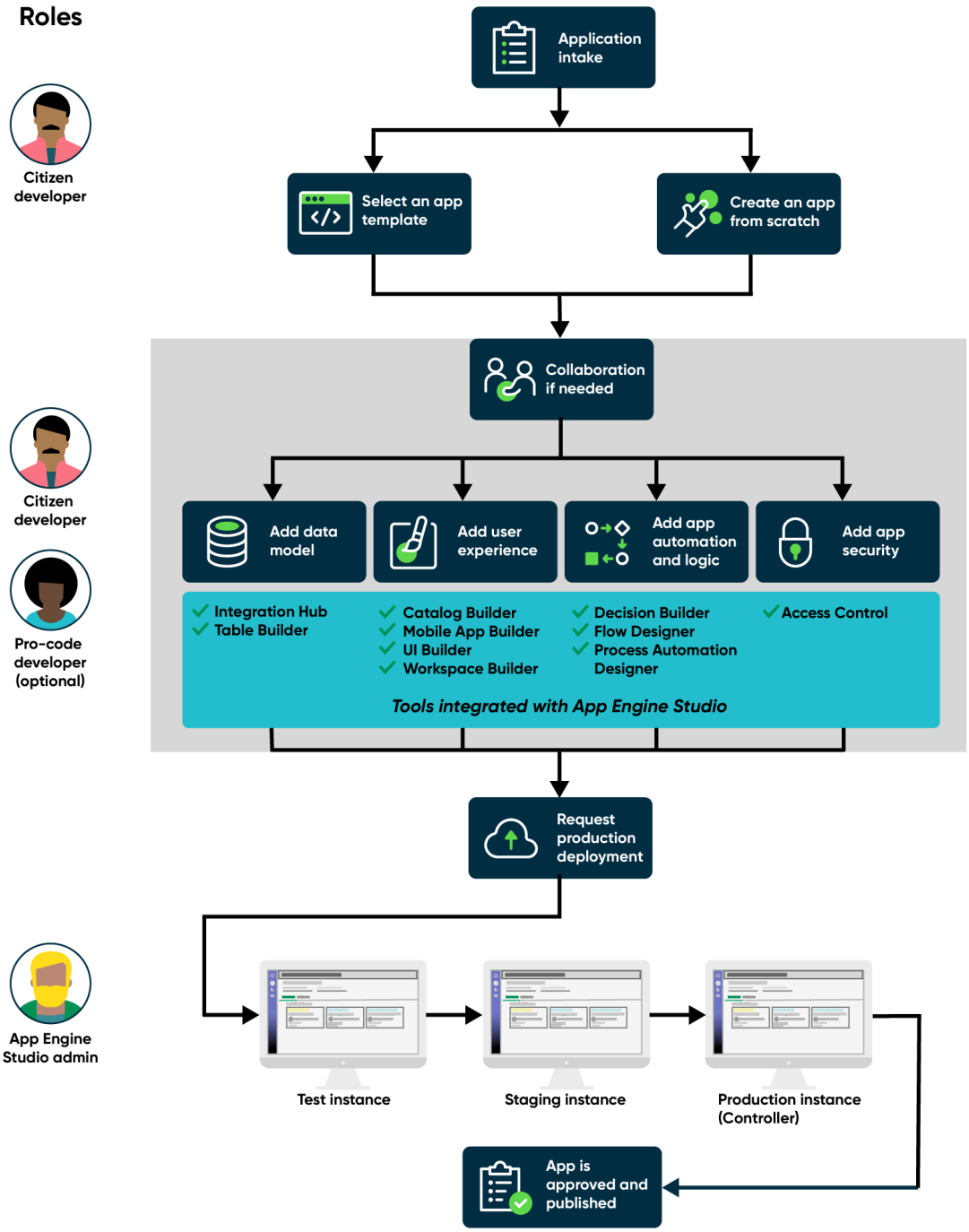
次の図は、App Engine Studio を使用したアプリの作成に関連する基本的なタスクを示しています。詳細な手順については、「App Engine Studio でのアプリのビルド」を参照してください。

注:
画像を選択すると拡大されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

AES を使用したアプリケーション作成プロセス



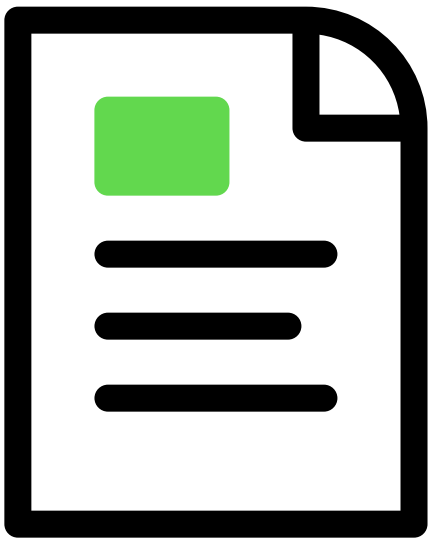
App Engine Studio でアプリを作成するためのワークフローは次のとおりです。

1. 市民開発者は、AES の承認と開発のために、アプリケーション取り込みからアプリの計画を提出します。
2. AES アドミニストレーターが取り込み要求をレビューします。却下された場合、要求はクローズされます。ただし、いつでもアイデアを更新して新しい要求を提出できます。
3. 要求が承認されたら、事前定義されたテンプレートを使用してアプリを作成するか、ゼロから作成するかを決定する必要があります。利用可能なテンプレートを探索する必要があります。テンプレートにより時間を大幅に節約できます。
4. 次に、自分でアプリをビルドするためのリソースがあるかどうかを判断する必要があります。支援が必要な場合は、コラボレーションを要求することもできます。また、AES アドミニストレーターにコラボレーションする開発者をアサインしてもらうこともできます。

自動翻訳

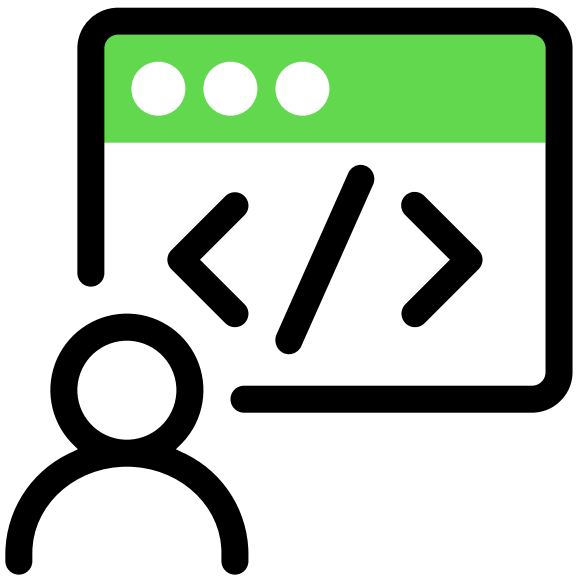
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは、米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各社の商標である可能性があります。

App Engine Studio のその他のリソース

App Engine Studio に関する詳細	ServiceNow のリソース
App Engine Studio はガイド付きのローコードツールで、情報を格納し、ビジネスプロセスを自動化し、ビジネス上の課題を解決するリッチな Web アプリケーションを開発するためのものです。 **注:** AES には App Engine サブスクリプションまたはそれがパッケージ化された製品が必要です。詳細については、「App Engine Studioのインストール」を参照してください。詳細については、アカウント担当者にお問い合わせください。	 App Engine Studio プレイリスト  App Engine Studio とStudio

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

App Engine Studio に関する詳細	**ServiceNow** のリソース
	 ServiceNow コミュニティサイト
	 初めての App Engine Studio アプリケーションのビルド - ServiceNow Developer サイト

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

App Engine Studio に関する詳細	**ServiceNow** のリソース
	 App Engine 移行アセスメント

AES の紹介

AES は、ローコード開発者が ServiceNow AI Platform の機能を活用できるようにして、企業のローコード開発のニーズに対応するように設計されています。ガイダンス主導型のフローとカスタマイズしやすいテンプレートにより、市民開発者はすぐに使い始めることができます。

市民開発者は、スキルレベルに関係なく、AES を使用することで生産性が向上します。カスタムアプリをゼロからビルドする場合でも、テンプレートを使用する場合でも、AES の簡素化されたローコードエクスペリエンスにより、ServiceNow AI Platform での開発がスピードアップします。

AES の主な機能は次のとおりです。

- 初めてのユーザー向けのガイド付きエクスペリエンス： AES開発者向けのガイド付きエクスペリエンスを備えているため、環境を簡単にナビゲートできます。初めてガイダンスを使用するときは、アプリケーションを作成するプロセス全体を直線的に進めます。その後、作業している内容に関連する支援がガイダンスに表示されます。ガイダンスを非表示にするには、[今後これを表示しない] を選択してポップアップを終了します。
- アプリテンプレート：アプリテンプレートはアプリ開発プロセスを簡素化します。実証済みのユースケースに基づくテンプレートを使用することで、開発者は学習曲線なしで強力なアプリを作成できます。
- ガードレール： 市民開発者は、途中でツールヒントと推奨事項を受け取りながら作業を進めます。承認のためにアプリを提出することで、品質も保証されます。
- コラボレーション：あらゆるスキルレベルの開発者が、AES のローコード環境でアプリ開発にシームレスに協力できます。
- 統合ツール：AES が複数との統合である場合に、なぜ複数のローコードツールを使用するのでしょうか？テーブルの設計からカタログのビルド、カスタムフローの作成まで、AES にはすべてが揃っています。

App Engine Studio のメリット

App Engine Studio には次のメリットがあります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

メリット	機能	ロール
アプリのアイデアを送信し、アドミニストレーターが承認します。	アプリ開発のためのアイデアの送信	市民開発者
新しいアプリをすばやく作成してカスタマイズするための開始点として、Procurement ポータルや休暇申請などの標準的なアプリケーションタイプのテンプレートを使用します。	アプリケーションテンプレートを使用したアプリの作成	市民開発者
テーブルビルダー や ワークスペースビルダー など、1 つのインターフェイスで複数の開発ツールにアクセスします。	AES の統合開発ツール	市民開発者
展開前にアプリケーションをレビューおよびテストするプロセスを維持しながら、開発を拡張します。	App Engine 管理センター を使用したアプリ開発の管理	アドミニストレーター

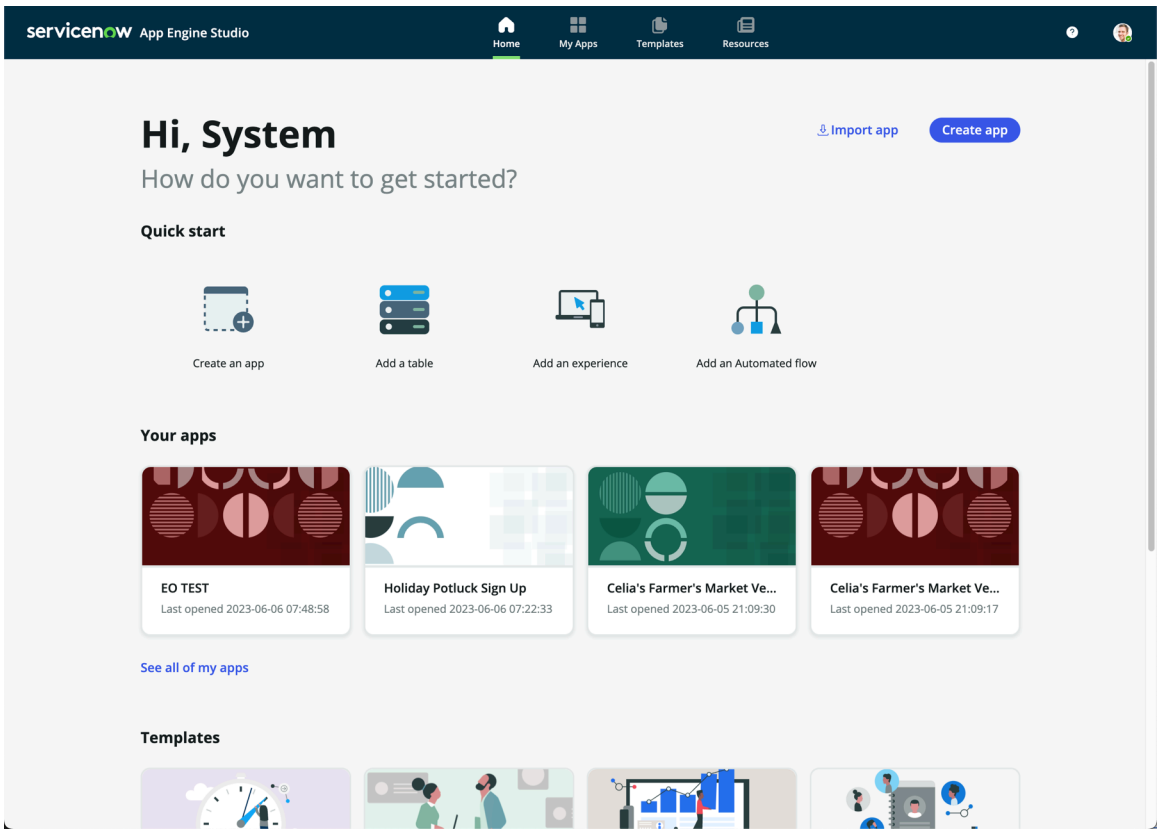
AES でローコード開発を促進

App Engine Studio のローコード開発環境を使用すると、市民開発者は高品質のアプリを迅速にビルドできます。市民開発者とは、組織内の個人であり、経験豊富なプログラマーではありませんが、アプリ作成のためのアイデアを持っている該当分野の専門家です。承認されたアイデアを使用して、市民開発者はアプリテンプレートを選択し、いくつかのパラメーターを入力して AES アプリをビルドします。作成されたアプリケーションには、データ、エクスペリエンス、ロジックと自動化、およびセキュリティが含まれ、すべて組織のニーズに合わせてカスタマイズできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

AES ランディングページ



テンプレートから作成されたアプリは、市民開発者が定義した要件を満たすように簡単に変更できます。また、新しいアプリを最初から作成することもできます。

AES を使用して作成されたアプリをカスタマイズするには、次のタスクを実行できます。

タスク	説明
データ基盤を簡単に作成	App Engine Studio テンプレートには、ベースシステムアプリ機能を提供するために必要なものがすべて組み込まれたデフォルトのデータテーブルがあります。AES に組み込まれている テーブルビルダー アプリを使用すると、新しいテーブルの編集または追加、列の追加と削除、テーブルタイプの変更などを行うことができます。 スプレッドシートから既存のデータをインポートして、既存の手動でのスプレッドシート主導型のワークフローを簡単に自動化することもできます。
優れたエクスペリエンスの提供	エクスペリエンスは、エンドユーザーがアプリを操作するためにアクセスするロールベースのユーザーインターフェイスです。AES には、構成可能なワークスペース、ポータル、カタログアイテム、モバイルエクスペリエンスなど、いくつかの異なるエクスペリエンスタイプが含まれています。 いくつかの簡単な手順に従って、エクスペリエンスを追加できます。たとえば、名前と説明、URL、およびワークスペースにアクセスできるロールを追加して、ワークスペースをすばやく作成できます。次に、AES 内の ワークスペースビルダー ツールを使用して、組織のニーズに合わせてワークスペースエクスペリエンスを調整できます。より高度な構成は UI ビルダー で編集できます。
ワークフローテンプレートを使用し	AES テンプレートには、ユーザーエクスペリエンスを簡素化し、生産性を向上させ、ビジネスプロセスを強化するために使用できる、一連の強力なデジタルワークフローが含まれています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タスク	説明
たアプリの自動化	一般的な自動化アクティビティのリストから選択するだけで、ウィザードに従ってワークフローの構成をすばやく行うことができます。テンプレートで生成されたワークフローをニーズに合わせるには、ワークフロースタジオ アプリを起動してワークフローを編集します。
アプリのセキュリティの維持	AES にロールを追加することで、アプリを使用するユーザーに対する制御を維持できます。アプリテンプレートには事前定義されたロールが含まれているため、セキュリティ面で有利なスタートを切ることができます。既存のロールを追加または削除したり、セキュリティニーズを満たすロールを作成したりできます。

監視を維持しながらの開発の拡張

App Engine Studio を使用すると、ガードレールを確立して維持しながら、組織全体での開発を拡張できます。AES へのアクセスを制御できます。市民開発者によって作成されたアプリを、パイプライン経由で移動させて本番環境に公開する前にレビューすることもできます。このレビュープロセスにより、作成、リリース、および展開するアプリの品質を信頼性の高いものにできます。

次に探索する内容

App Engine Studioを構成して使用する方法の詳細については、以下を参照してください。

- App Engine Studio および関連アプリの構成
- App Engine Studio でのアプリのビルド
- App Engine Studioの参照

AES ユーザーインターフェイス

App Engine Studio (AES) ユーザーインターフェイスについて説明します。

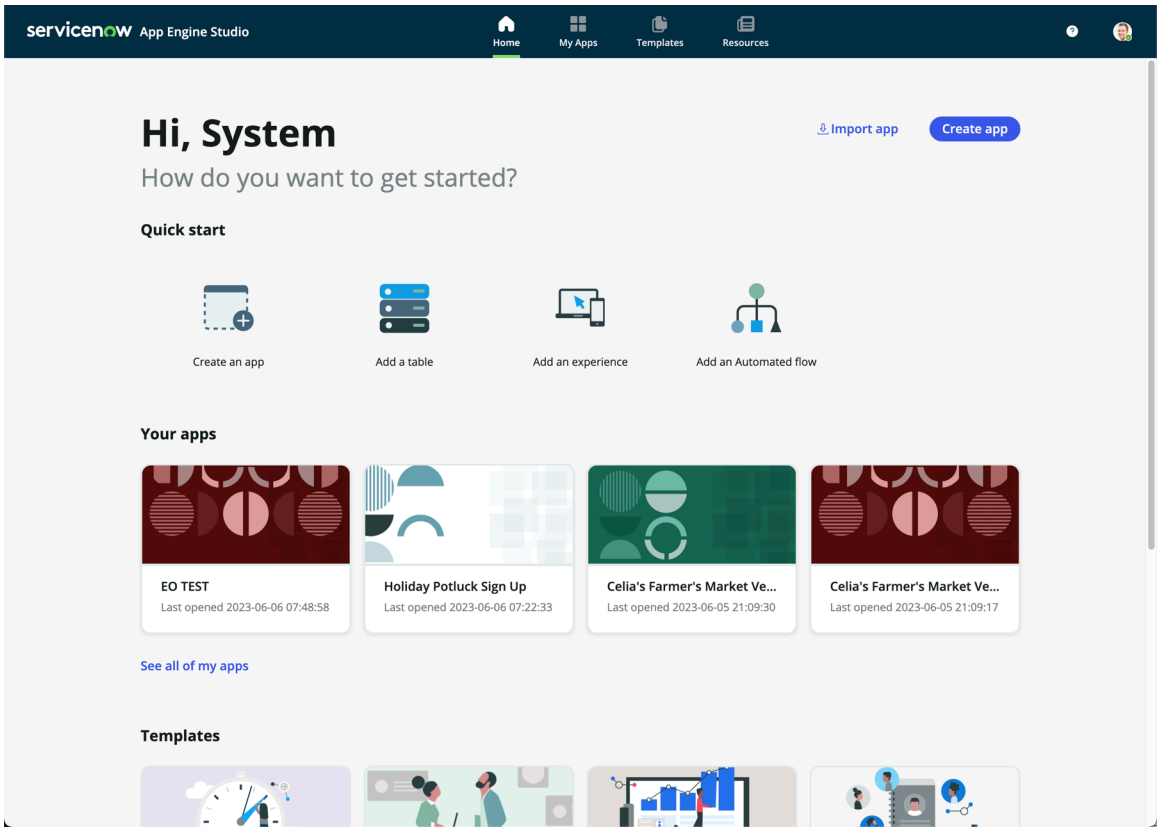
AES は組織のカスタムアプリケーションをビルドするための Web ユーザーインターフェイスです。組織のニーズに合わせてカスタマイズできるテンプレートを使用して、アプリケーションをビルドできます。

App Engine Studio ホーム

App Engine Studio のホームページでは、アプリの作成、アプリの表示、クイックスタートアクション、およびテンプレートに簡単にアクセスできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



上部のナビゲーションバーを使用すると、アプリの表示、アプリテンプレートへのアクセス、ヘルプリソースの検索ができます。右上の を選択して、Help Center にアクセスすることもできます。

ユーザーは、AES では次の操作にアクセスできます。

- [アプリを作成]：アプリケーションを最初から作成します。
- [クイックスタート]：アプリへのオブジェクトの追加、アプリテンプレートの参照、および App Engine Studio ツールの詳細確認のためのリンクです。
- [最近のアプリ]：App Engine Studio を使用して最近アクセスしたアプリケーションのリストです。
- [テンプレート]：事前設定されたデータ、エクスペリエンス、ロジックと自動化、およびセキュリティを使用してアプリケーションを作成するために使用できるテンプレートのリストです。

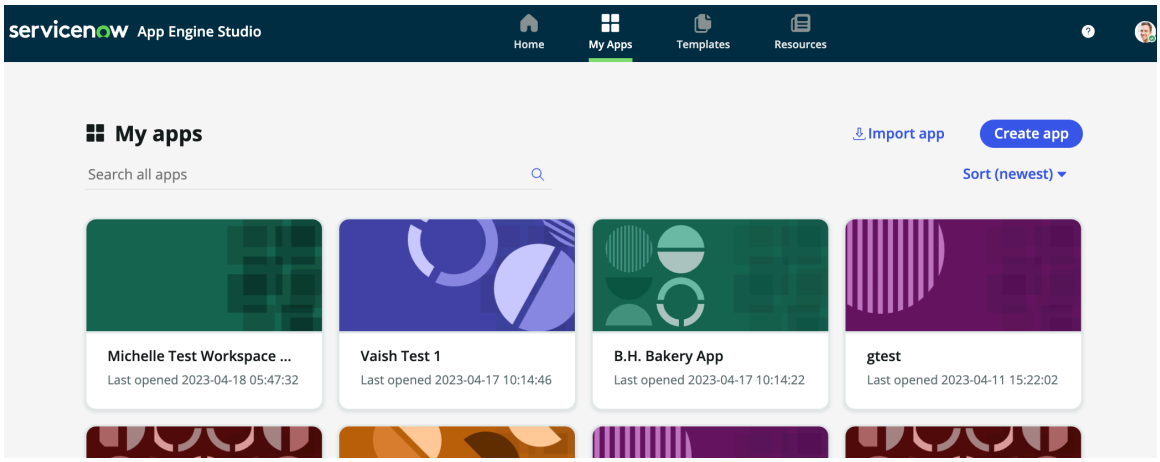
> **注:**
> App Engine Studio ユーザー制限グループに属している場合、このタブにテンプレートは表示されません。

[自分のアプリ] タブ

自分が作成したアプリケーションを表示および検索します。

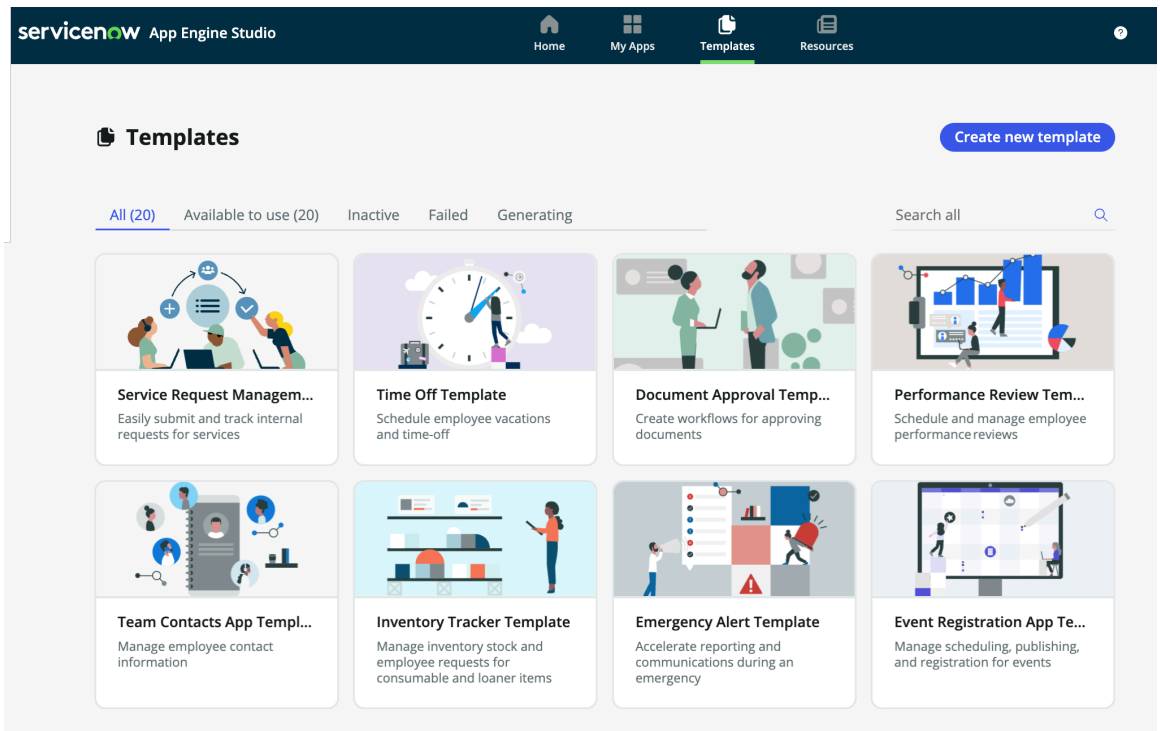
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



[テンプレート] タブ

利用可能なアプリテンプレートのリストを示します。

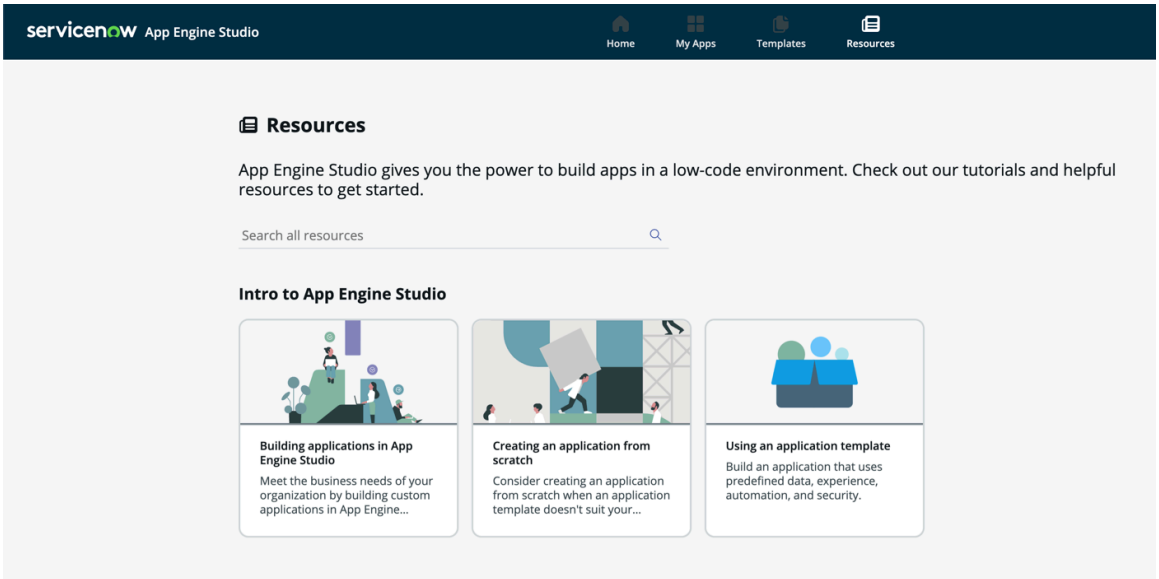


[リソース] タブ

AES を開始するためのチュートリアルと役に立つリソースを表示します。

自動翻訳

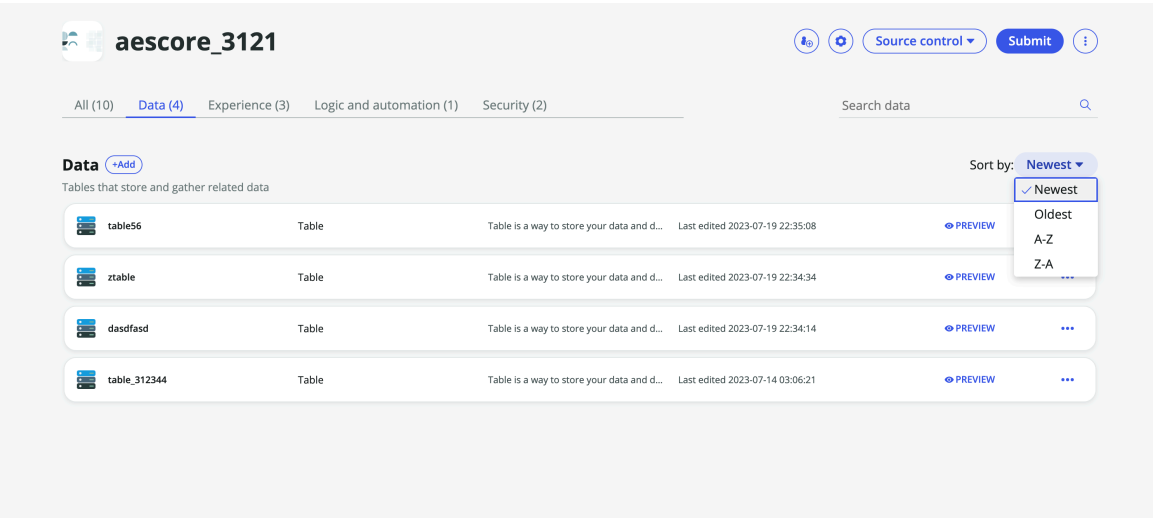
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



アプリホーム

アプリホームでは、アプリにデータ、エクスペリエンス、ロジックと自動化、およびセキュリティを追加します。

注:
AESでアプリのホームページを表示しているときに、3 つを超えるアイテムを含むセクション (テーブルやエクスペリエンスなど) にタブ移動した場合、[ソート基準] オプションを使用して、アルファベット順または一時的に、[新しい順] または [古い順] でアイテムを表示できます。



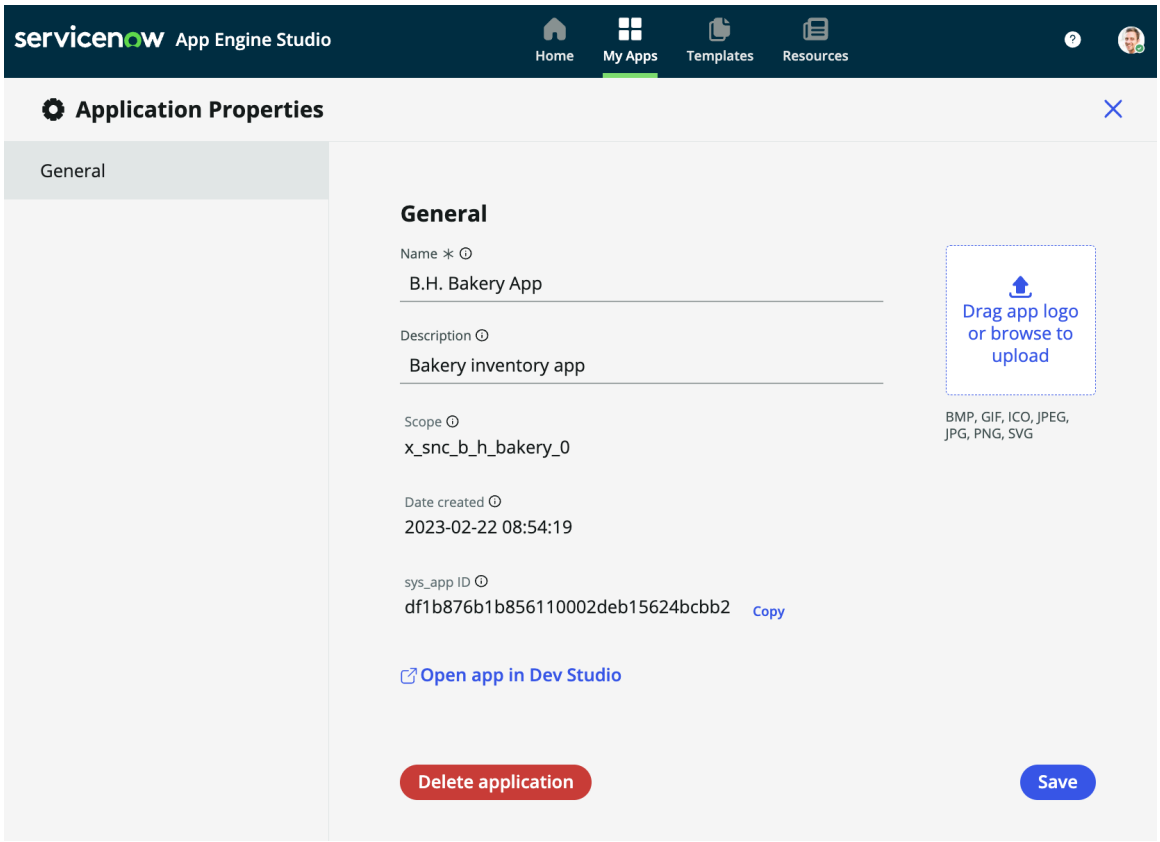
ロールに応じて、一部のオブジェクトにアクセスする必要があります。[システムアドミニストレーターにお問い合わせください] を選択して委任開発者になると、アクセス権を要求できます。委任開発者ロールの詳細については、「AES を使用する開発者の委任」を参照してください。

アプリケーションプロパティ

名前、説明、ロゴなど、アプリケーションの全般設定を表示します。また、ServiceNow スタジオでは自分のアプリケーションを開いたり、削除したりできます。

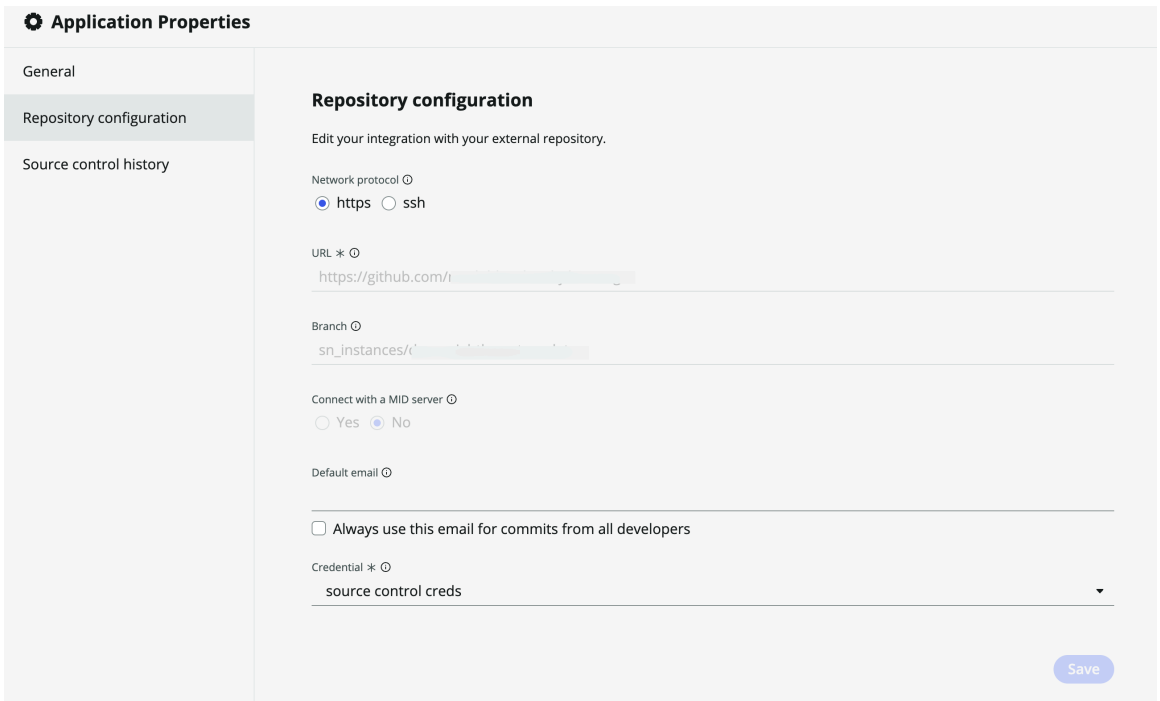
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



リポジトリ構成

アプリケーションのソースコントロールリポジトリ設定を表示および編集します。



カスタマイズの代わりに **App Engine** を使用します

App EngineApp Engine Studioなどの開発ツールは、ServiceNow AI Platform上の既存のアプリケーションをカスタマイズする優れた代替手段を提供します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

会社がServiceNow AI Platformに新しい機能を追加する必要がある場合は、IT Service Management (ITSM) などの既存のアプリケーションをカスタマイズしたり、App Engine Studio、クリエータースタジオ、ServiceNow スタジオ などのApp Engine開発者製品を使用して新しいアプリケーションを作成したりできます。選択するパスの簡単なガイドラインは次のとおりです。

- カスタマイズによってアプリケーションの意図した目的が拡張される場合は、カスタマイズした方が効果的です。たとえば、 ITSMに IT 機能を追加できます。
- カスタマイズによってアプリケーションの意図した目的が拡張されない場合は、 App Engine 開発者製品を使用して新しいアプリケーションを作成する方が効果的です。たとえば、出張要求ワークフローを追加するために ITSM ワークフローを再利用しないでください。

使用例 **App Engine**

ServiceNow 製品は、意図したとおりに使用すると最適に機能します。アプリケーションを再利用するために大幅にカスタマイズする場合は、 App Engine 開発者製品を使用して新しいアプリケーションを作成することをお勧めします。

次のシナリオは、既存の ServiceNow アプリケーションを大幅にカスタマイズするよりも、新しいアプリケーションを作成する方がうまく機能することを示しています。

- 会社には、既存の製品機能を拡張するビジネスプロセスがありますが、まったく同じワークフローに従っていません。
- どの製品ワークフローにも合わないアプリの新しいユースケースがあります。
- すぐに利用可能なアプリケーションを大幅にカスタマイズすることで構築できるユースケースがあるが、既存のアプリケーションで意図されていたことと一致していない。

最後のユースケースを詳しく見ていきましょう。

既存製品の転用に関する問題

ServiceNow アプリケーションには、ユースケースに合わせて特別に調整されたロール、プロセス、およびフローが付属しています。たとえば、 ITSM アプリは、IT ユーザー、IT の問題、IT レポート、IT ケースに役立ちます。

ITSMに似ているが、正確には一致しないアプリのアイデアがあるかもしれません。ITSMは出発点であるため、ITSMをカスタマイズして新しい機能を追加したくなるかもしれません。たとえば、ITSM IT の問題を追跡し、作成する旅行アプリで出張要求を追跡することができます。ワークフローは似ているように聞こえますが、実際には、使用するデータ、ユーザーインターフェイスが大きく異なり、各ワークフローの詳細も大きく異なります。ITSMを大幅にカスタマイズして再利用するのではなく、次の理由でApp Engine開発者製品を使用することをお勧めします。

- 2 つのワークフローを組み合わせると競合が生じます。
- アプリケーションのカスタマイズには影響があります。

2 つのワークフローを組み合わせると競合が生じます

ITSM例では、移動ワークフローを含めるためのITSMの再利用では、ITSMとは異なるデータ、異なるテーブル、異なるロール、および異なるワークフローを使用します。ITSM、ITSMカスタマイズ、および移動ワークフローは時間の経過とともに増加します。

- それらの特徴は分岐し続けるでしょう。
- 一方のワークフローで新しい機能を追加したり問題を修正したりすると、もう一方のワークフローに悪影響を与える可能性があります。
- ITSMのパフォーマンスが低下する可能性があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- コード ベースが拡大し、 ITSM の 2 つの目的により、トラブルシューティングがより困難になります。
- 品質エンジニアには、2つの異なるテストフレームワークが必要です。

これらの問題はすべて、不必要な複雑さ、パフォーマンスの低下、アップグレードの遅延、およびソフトウェアの問題を引き起こす可能性があります。

アプリケーションのカスタマイズには影響があります

ServiceNow AI Platformは、カスタマイズと構成を受け入れるようにビルドされています。ServiceNow AI Platformは、会社のビジネスニーズに合わせて十分な柔軟性を備えています。ただし、 ServiceNow アプリケーションをどのようにカスタマイズするかは、 ServiceNow サポート、将来の ServiceNow AI Platform バージョンへのアップグレード、およびプラットフォームの機能に大きな影響を与える可能性があります。

まず、カスタマイズと構成を区別することから始めましょう。

- カスタマイズとは、 ServiceNow インスタンスのベースラインインストールの一部であるコードに加えられた変更です。コードを使用してアプリケーションをカスタマイズします。
- 構成とは、 ServiceNow インスタンスのベースラインインストールのコードに触れない製品の動作に加える変更です。システムプロパティ、 ServiceNow 製品、またはコードを使用して、アプリケーションを構成できます。

アプリケーションのカスタマイズによる影響の一部を次に示します。

- アプリケーションにコードを追加する場合は、 ServiceNow インスタンスのベースラインインストールのコードを変更するかどうかにかかわらず、そのアプリケーションを所有します。
- プラットフォームでは、すべてのカスタマイズがマークされ、新しいバージョンのプラットフォームに更新するとスキップされます。つまり、カスタマイズを手動で更新する必要があります。これは、新しいプラットフォームバージョンへの更新に必要な時間とリソースに大きな影響を与える可能性があります。
- ServiceNow AI Platformは、タスクの処理方法、複数のブラウザでのフォームのレンダリング方法、および全体的なユーザーエクスペリエンスにおいてアプリケーションをサポートするフレームワークを使用します。カスタマイズを導入すると、このフレームワークに意図しない結果が生じる可能性があります。
- カスタムコードをテストし、それがプラットフォームの機能に影響を与えるかどうかを判断する責任はあなたにあります。
- ServiceNow カスタマーサポートは、カスタムコードまたはカスタムコードによって発生した問題のトラブルシューティングを行うことはできません。

カスタマイズは、 ServiceNow AI Platformの重要な機能の 1 つです。ただし、アプリケーションを過度にカスタマイズして再利用すると、カスタムコードが新しいプラットフォームバージョンに簡単に移行できない可能性があるため、技術的負債が発生し、アップグレードサイクルが長くなり、将来のプラットフォームのアップグレードが複雑になる可能性があります。

結び

カスタマイズと構成は、企業が特定のニーズに合わせてワークフローをカスタマイズできるようにする ServiceNow AI Platform の特徴です。これらのタスクを次の順序で続行します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

1. ServiceNowアプリケーションをカスタマイズする前に、できるだけ構成してください。
2. アプリケーションのインテントを拡張する場合にのみ、アプリケーションをカスタマイズします。
3. アプリケーションをカスタマイズして当初の目的に沿わない機能を作成するのではなく、App Engine Studio、クリエータースタジオ、ServiceNow スタジオ などのApp Engine開発者製品を使用して新しいアプリケーションを作成します。

AES の統合開発ツール

App Engine Studio (AES) を使用すると、ServiceNow AI Platform 開発スイートで利用可能ないくつかのツールにすぐにアクセスできます。

[store-future: BEGIN review]New[End] App Engine Studio を使用してアプリを作成すると、これらの強力な開発ツールで機能を拡張できます。

App Engine Studio の開発ツールと機能

ツール	説明	参照
[store-future: BEGIN review]New[End]アクセス制御	アプリケーションのアクセス制御とロールを操作します。	「アプリケーションセキュリティの追加」を参照してください。
カタログビルダー	サービスカタログをビルドするためのガイド付きツールに、レコードプロデューサーカタログアイテムを追加します。	「標準カタログアイテムの追加」を参照してください。
の意思決定テーブル ワークフロースタジオ	意思決定テーブルを使用して、意思決定ルールを追加して意思決定ロジックをコードから切り離します。	「意思決定の追加」を参照してください。
メール通知	レコードが作成または更新されたときに自動的に送信されるメール通知を作成および編集します。メール通知は、フローで参照として使用されるか、またはイベントによってトリガーすることもできます。	「メール通知の追加」を参照してください。
ERP 向けゼロコピーコネクタ	ERP (エンタープライズリソースプランニング) データモデルをビルドし、ERP システムからデータを抽出します。	「ERP 向けゼロコピーコネクタ」を参照してください。
ERP セマンティックマイニング	ERP システムのすべてのカスタマイズを特定します。	「ERP セマンティックマイニング」を参照してください。
のフロー ワークフロースタジオ	フローを追加してアプリケーションプロセスを自動化します。	「フローを最初から追加」を参照してください。
Integration Hub - インポート	データをインポートして既存のテーブルにマッピングします。	「データ統合を作成する」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

App Engine Studio の開発ツールと機能 (続く)

ツール	説明	参照
モバイルアプリビルダー	モバイルエクスペリエンスを追加します。	「モバイルエクスペリエンスの追加」を参照してください。
プロセスオートメーションデザイナー	部門横断型プロセスを編集し、自動化されたタスク指向のビューに統合します。	「プロセスを編集する」を参照してください。
テーブルビルダー	表形式のデータモデルを操作します。テーブルビルダー は App Engine Studio 専用であり、アプリの作成に必要です。	「空白のテーブルを作成する」を参照してください。
UI ビルダー	高度に構成可能な UI 開発ツールを使用して、ワークスペースとポータルエクスペリエンスを編集します。	「ワークスペースの追加」および「ポータルの追加」を参照してください。
Workspace Builder	カスタムワークスペースをすばやくビルドして、ユーザーがサービスデスクのようなエクスペリエンスでチケットを管理できるようにします。	次のトピックを参照してください。 • ワークスペースビルダー の使用 • でのワークスペースの編集 ワークスペースビルダー • ワークスペースビルダー でのワークスペース設定の構成 • でのワークスペースホームページのカスタマイズ ワークスペースビルダー • でのワークスペースのレコードページの追加 ワークスペースビルダー • でのワークスペースのリストの作成 ワークスペースビルダー • でワークスペースの分析を有効にする ワークスペースビルダー

App Engine および App Engine Studio

ServiceNow® App Engine Studio (AES) は、さまざまなスキルレベルの作成者が組織の当面のニーズを満たすアプリケーションをビルドするための開発ツールです。App Engine Enterpriseバージョンには、ローコードアプリをビルドするためのApp Engine Studio (AES) が含まれています。

App Engine によるアプリ開発の簡素化

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

App Engine スターターバージョンとエンタープライズバージョン

App Engine スターターはすべての製品に含まれています (つまり、無料です)。App Engine Starter 以外の追加機能にアクセスするには、有料の App Engine Enterprise ライセンスが必要です。

App Engine Enterpriseバージョンでは、ユーザーは無制限のカスタムアプリと無制限のカスタムテーブルの履行者として機能できます。顧客のエンタイトルメントは、購入した App Engine サブスクリプションのタイプによって異なる場合があります。エンタイトルメントの確認については、アカウントチームまたは会社の ServiceNow アドミンにお問い合わせください。

App Engine製品の完全なリストについては、 ServiceNow 製品サイト .

App Engine に関する追加情報

App Engine に関する詳細	追加の ServiceNow リソース
ServiceNow は App Engineに関するいくつかの追加リソースを提供します。	App Engine Enterprise の購入概要とバージョンの比較

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

App Engine に関する詳細	追加の ServiceNow リソース
	 App Engine Enterprise データシート (PDF)
	 サブスクリプション製品のエンタイトルメント

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

App Engine に関する詳細	追加の ServiceNow リソース
	 カスタムテーブルガイド (PDF)

App Engine Studio の使用を開始するための学習計画

ServiceNow は、市民開発者に App Engine Studio (AES) でローコードアプリのビルドを開始するためのいくつかのクイックトレーニングモジュールを提供します。

ServiceNow 開発者サイトでは、AES でアプリを開発するための多数のリソースを提供しています。

次の学習モジュールを使用すると、アプリをビルドする方法をすぐに確認できます。

ServiceNow 開発者サイトの学習モジュール

コース	説明
初めての App Engine Studio アプリケーションのビルド	AES を使用してコレクションを追跡するアプリケーションを作成します。アプリケーションは安全で自動化され、魅力的なユーザーエクスペリエンスを提供します。
アプリとデータモデルの作成	アプリケーションで使用されるデータモデルを含む AES を使用して、ゼロからアプリケーションを作成します。データモデルは、他の学習モジュールでアプリケーションにユーザーエクスペリエンス、ロジック、自動化、およびセキュリティを追加する方法を学習するための基盤です。
レコードプロデューサーのユーザーエクスペリエンスの作成	AES にレコードプロデューサーカタログアイテムを作成します。ユーザーは、サービスポータルのサービスカタログアイテムを使用して、要求を送信したり、タスクを作成したりできます。
ワークスペースのユーザーエクスペリエンスの作成	AES で作成されたアプリケーションでデータをレポートおよび管理するためのワークスペースを作成します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ServiceNow 開発者サイトの学習モジュール (続く)

コース	説明
モバイルのユーザーエクスペリエンスの作成	AES でモバイルエクスペリエンスを作成してテストし、ユーザーがどこからでもアプリケーションにアクセスできるようにします。
フローによるプロセスの自動化	AES でフローを作成して、ビジネスプロセスを自動化します。フローは人為的なミスを減らし、効率を向上させ、アプリの動作を改善します。
安全なアプリとデータ	AES を使用して、ロールを作成し、ユーザーにロールを割り当て、アプリケーションデータへのユーザーアクセスをテストすることで、アプリケーションを保護します。

その他の学習リソース

アプリケーション開発の詳細を見る
市民開発者がイノベーションを創出する方法 については、ServiceNow ブログで学ぶことができます。
アプリケーションリソースへのクロススコープアクセスの定義と要求の承認または拒否の詳細については、「アプリケーションリソースへのクロススコープアクセスの定義」を参照してください。

App Engine Studio および関連アプリの構成

App Engine Studio (AES) のガイド付きセットアップでは、実装プロセスが 1 ステップずつ説明されます。各セットアップ手順を終了すると、次の手順を開始するように求められます。

AES の構成が完了したら、AES に関連する他の製品を構成することもできます。

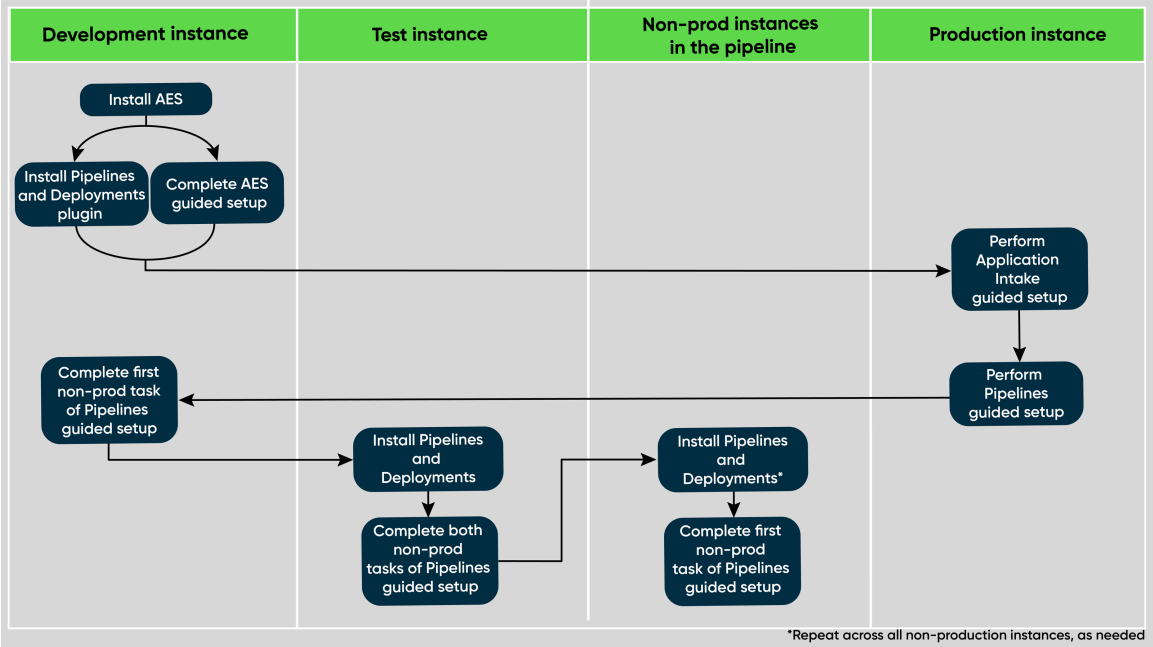
- App Engine 管理センター (AEMC)
- アプリケーションの取り込み
- パイプラインと展開

これらの各製品には、それぞれのガイド付きセットアップがあります。1 つまたは複数の製品を構成済みで、それを再度構成するように求められた場合は、その指示を無視してかまいません。次の図は、AES および関連アプリケーションを実装するための推奨方法を示しています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

AES の実装



AES 通常、実装は次の手順に従います。

1. 開発インスタンスで、AES と パイプラインと展開 プラグインをインストールします。詳細については、「App Engine Studioのインストール」を参照してください。
2. AES ガイド付きセットアップを完了します。詳細については、「App Engine Studio の構成」を参照してください。
3. 本番インスタンス：
   a. アプリケーション取り込みガイド付きセットアップを完了します。詳細については、「アプリケーションの取り込み の構成」を参照してください。
   b. パイプラインと展開 ガイド付きセットアップを完了します。詳細については、「パイプラインと展開 の構成」を参照してください。
4. 開発インスタンスで、パイプラインと展開 ガイド付きセットアップの最初の非本番タスクを完了します。
5. テストインスタンスで、パイプラインと展開 をインストールします。
6. テストインスタンスで、パイプラインと展開 ガイド付きセットアップの両方の非本番タスクを完了します。
7. パイプライン内の他のすべての非本番インスタンス：
   a. パイプラインと展開 をインストールします。
   b. パイプラインと展開 ガイド付きセットアップの最初の非本番タスクを完了します。
8. 必要に応じて、すべての非本番インスタンスでステップ 7 を繰り返します。
9. パイプライン内の各インスタンスに AEMC プラグインをインストールします。詳細については、「App Engine 管理センターの構成」を参照してください。

   AEMC を使用すると、アドミニストレーターはアプリ開発を取り込みから本番インスタンスでの本番稼働まで管理できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
本番インスタンスを 1 つ以上の非本番インスタンスにクローンする予定の場合は、クローン作成の前に、AES 製品も本番インスタンスにインストールする必要があります。詳細については、「」と「AES によるインスタンスのクローン作成」を参照してください。

AES とドメインセパレーション

App Engine Studio (AES) ではドメインセパレーションはサポートされていません。 ドメインセパレーションでは、データ、プロセス、および管理タスクをドメインと呼ばれる論理的なグループに分けることができます。どのユーザーがデータを表示できるか、データにアクセスできるかなど、このアプリケーションのいくつかの側面を制御できます。

サポートレベル: サポートなし

- ドメインフィールドがデータテーブル に存在している可能性がありますが、データを管理するロジックがありません。
- このレベルでは、ドメイン分割は考慮されません。

サポートレベルの詳細については、「アプリケーションでのドメインセパレーションのサポート)」を参照してください。

関連情報

サービスプロバイダーのドメインセパレーション

App Engine Studioのインストール

admin ロールを持っている場合は、App Engine Studio (AES) アプリケーション (com.snc.app-engine-studio) をインストールできます。このアプリケーションは、関連する ServiceNow Store アプリケーションとプラグインをインストールします (まだインストールされていない場合)。

AES の試用版

ライセンスを購入する前に AES を試すには、ライセンスを個人開発者インスタンスにインストールします。詳細については、を参照してください。 ServiceNow 開発者プログラム .

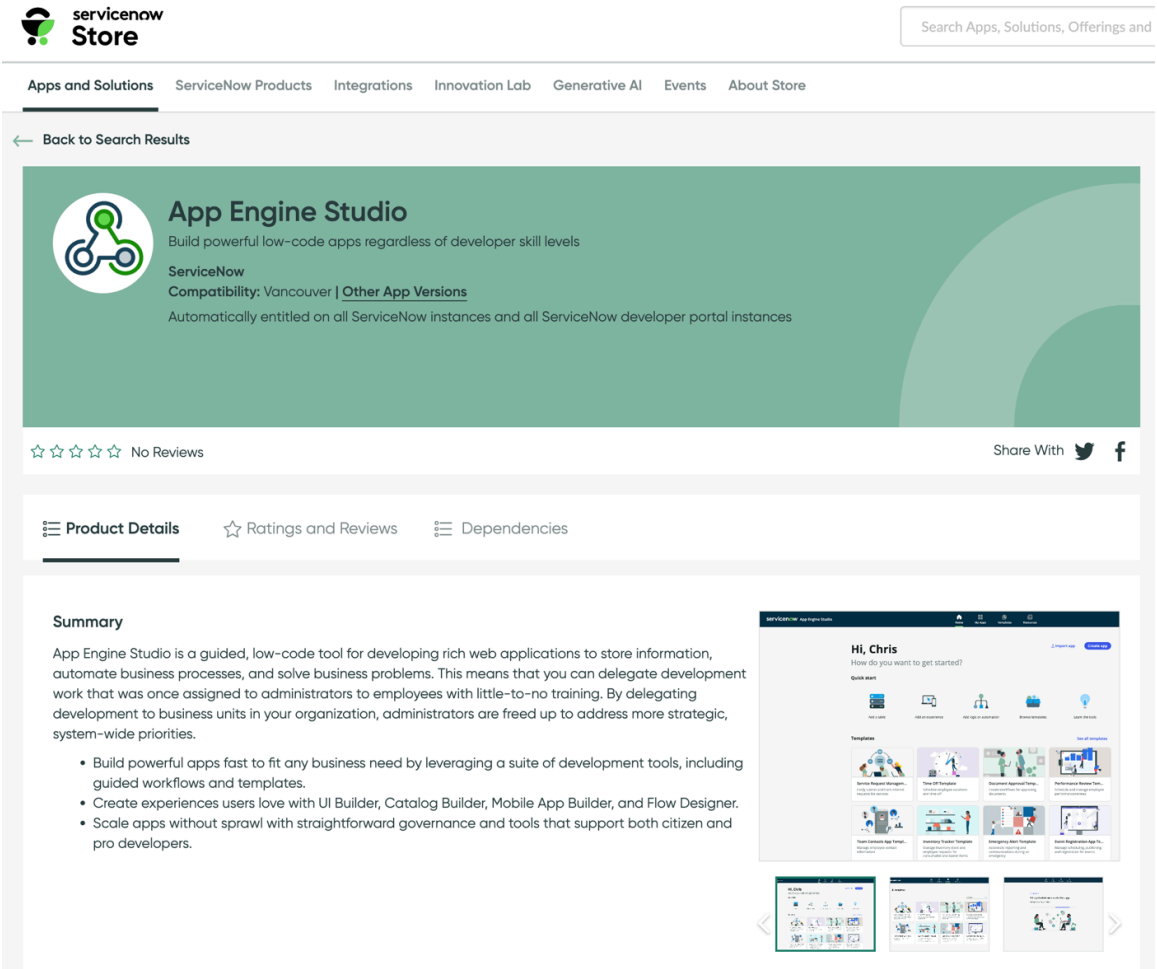
注:
本番インスタンスまたは非本番インスタンスにインストールするには、App Engine Studio のサブスクリプションが必要です。詳細は、ServiceNow 担当者にお問い合わせください。

ServiceNow Store による AES のインストール

ServiceNow Store を使用すると、コア製品とアプリケーションをダウンロードできます。製品には、グループとしてライセンスされる 1 つ以上のアプリケーションが含まれています。たとえば、App Engine Studio は、テーブルビルダー や モバイルアプリビルダー などの多数のツールやアプリケーションを含む製品です。完全な AES 製品ではなく、基本的な AES アプリケーションをインストールした場合、すべての機能とツールを使用することはできません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



アプリケーションとその関連するすべての ServiceNow Store アプリケーションに有効な ServiceNow エンタイトルメントがあることを確認してください。詳細については、「AES アプリのエンタイトルメントの取得」を参照してください。

AES をインストールすると、次の関連アイテムもインストールされます。

- ロールとグループ
- テーブル
- プラグイン

詳細については、「AESとともにインストールされるコンポーネント」を参照してください。

AES のインストールワークフロー

AES を初めてインストールするときに実行する必要があるタスクの概要は、次のとおりです。

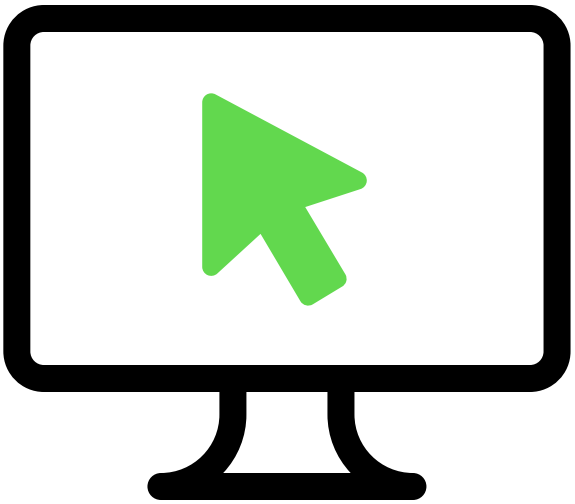
1. 開発 のインスタンス戦略 AES.
2. のエンタイトルメントを取得 AES ライセンスがあることを確認します。
3. インストール AES (アプリケーションではなく完全な製品) は、 ServiceNow Store の製品です。 App Engine Studio は、 テーブルビルダー や モバイルアプリビルダー などの多数のツールとアプリケーションを含む製品です。完全なAES製品ではなく、基本的なAESアプリケーションをインストールした場合、その機能とツールの完全なスイートは利用できません。
4. をインストールする AES 統合とプラグイン.

または、次の手順を実行して、既存の AES インストールを更新することもできます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- 以前にインストールした AES バージョンの更新
- AES インスタンスの次のファミリリリースへのアップグレード

AES インストールの詳細	追加の ServiceNow リソース
ServiceNow には、App Engine Studio のインストールと管理に関する追加リソースがいくつかあります。	 App Engine Studio release notes ServiceNow コミュニティサイト

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

AES インストールの詳細	追加の ServiceNow リソース
	ServiceNow ユニバーシティ の概要 App Engine Studio オンデマンドコース

AES のインスタンス戦略

ユーザーがアプリケーションを開発するすべての ServiceNow インスタンスに、App Engine Studio (AES) をインストールする必要があります。

AES に対する会社のインスタンス戦略を確立する必要があります。次のようなことを決定する必要があります。

- 社内の誰もが AES にアクセスしてアプリのビルドを開始できるようにするかどうか。
- 選択したユーザーグループにアクセス権を付与するかどうか。
- 個人がビルドしようとしているアプリに関する情報を入力できるフォームを設定して、ケースバイケースでアクセス権を付与するかどうか。その後、IT が、それらの個人にそのアプリをビルドするためのアクセス権を付与するかどうかを決定します。

本番インスタンスと同様に構成された非本番インスタンスが、テスト環境の最適な候補です。これにより、アプリケーションを本番環境に展開した場合に発生する可能性のある問題をより正確に見つけることができます。

> **注:**
> 本番インスタンスを 1 つ以上の非本番インスタンスにクローンする予定の場合は、クローン作成の前に、AES 製品も本番インスタンスにインストールする必要があります。詳細については、「」と「AES によるインスタンスのクローン作成」を参照してください。

インスタンス戦略を確立したら、承認またはレビューのプロセスを確立して自動化する必要があります。AES は非本番環境で実行される製品です。複数の非本番環境を運用する組織では、どの非本番環境で AES を実行するか決定する必要があります。また、どのパイプラインを使用して特定の非本番インスタンスからテストインスタンスにアプリを昇格させるか、そして最終的にそのアプリの実際の本番環境に昇格させるか、決定する必要があります。詳細については、「パイプラインと展開」を参照してください。

AES および ServiceNow Store

App Engine Studio (AES) を使用すると、新しい機能や更新された機能をより迅速に取得できます。AES を使用する前に、そのためのエンタイトルメントがあること、つまり使用するため

自動翻訳

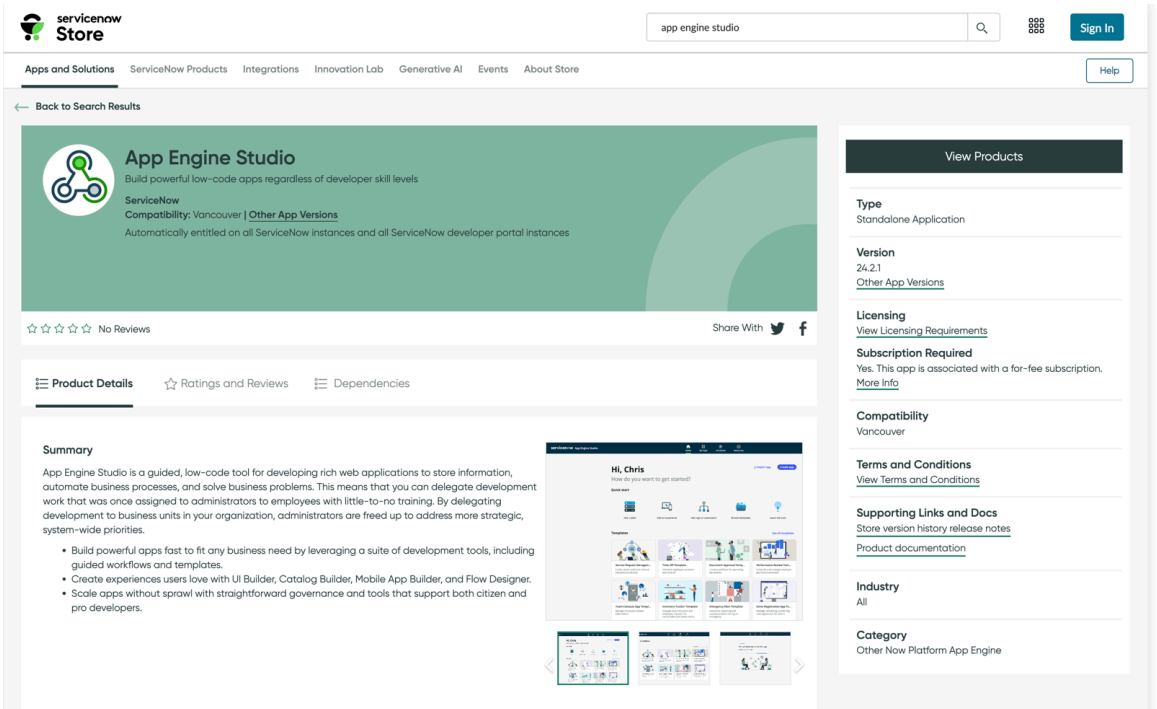
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

の有効なライセンスがあることを確認する必要があります。続いて、AES とそのプラグインを ServiceNow Store からインストールできます。

ストアでアプリを要求する

ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート」を参照してください。

ServiceNow Store の AES リスト



AES のインストール方法

AES を取得するために使用するプロセスは、初めて AES をインストールしているか、以前に ServiceNow Store からインストールした AES のバージョンを更新しているか、またはあるファミリリリースから次のファミリリリースにアップグレードしているかによって異なります。

AES アプリのエンタイトルメントの取得

アプリケーションまたは製品に有効な ServiceNow エンタイトルメントがあることを確認して、App Engine Studio (AES) をインストールします。エンタイトルメントとは、その製品をインストールするライセンスがあることを意味します。

このビデオでは、次の手順を実行する方法を紹介します。

AES アプリのエンタイトルメントを取得する

始める前に

注:
本番インスタンスまたは非本番インスタンスにインストールするには、App Engine Studio のサブスクリプションが必要です。詳細は、ServiceNow 担当者にお問い合わせください。

エンタイトルメントを実行する個人には、Now Support アカウントと、検討中のインスタンスのアプリケーションを要求する権限が必要です。

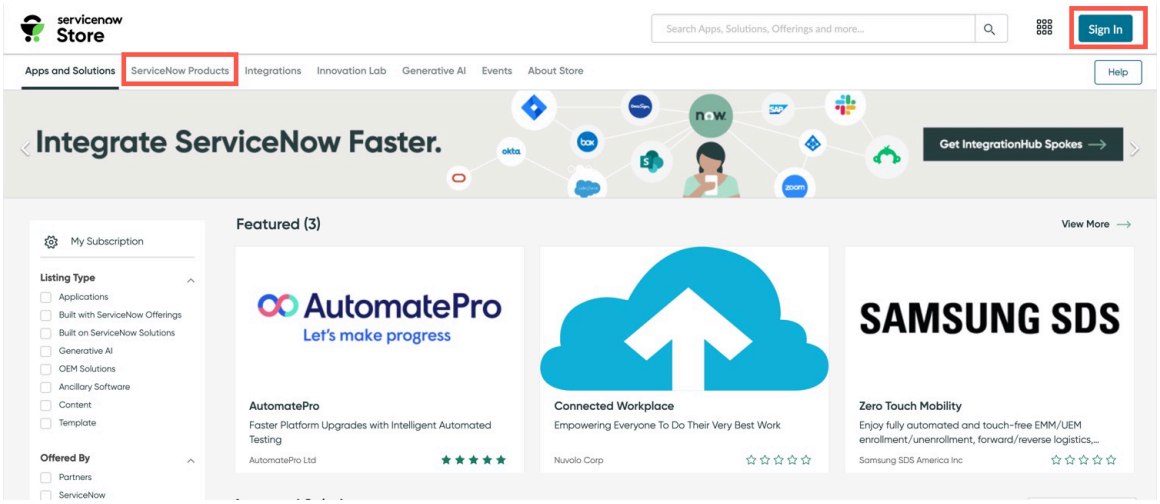
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

必要なロール：admin

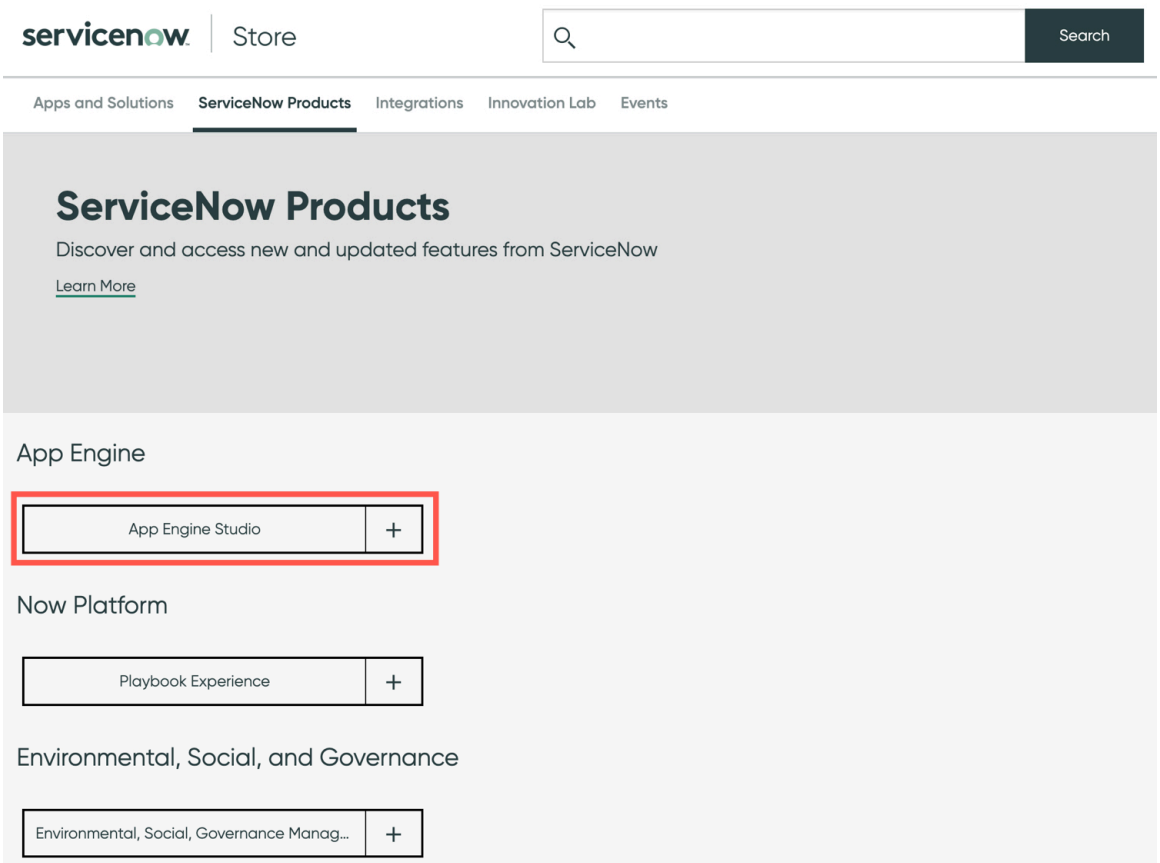
手順

1. に移動します ServiceNow Store .
2. [サインイン] を選択し、Now Support 認証情報を使用してログインします。



統合とその他のタイプのコンテンツが [認定アプリ **(Certified Apps)]** タブに表示されます。

3. **[ServiceNow** 製品] タブを選択して、利用可能なすべての ServiceNow 製品を表示します。

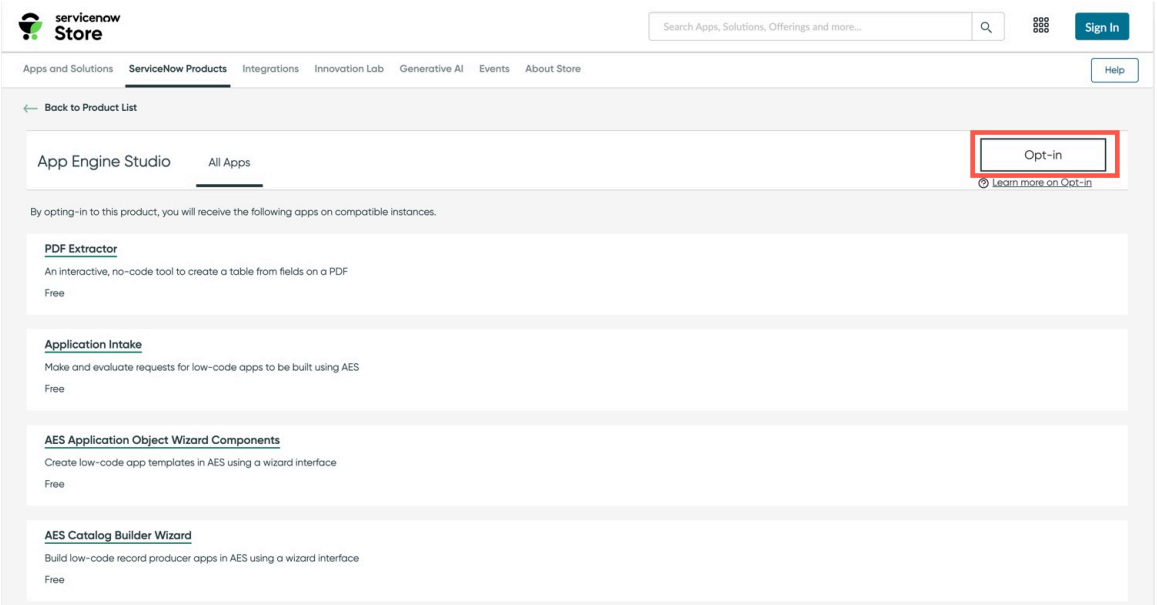


4. **[App Engine Studio]** を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

> **注:**
> コア製品のエンタイトルメントを取得すると、その下にリストされているアプリケーションについてもエンタイトルメントを取得します。



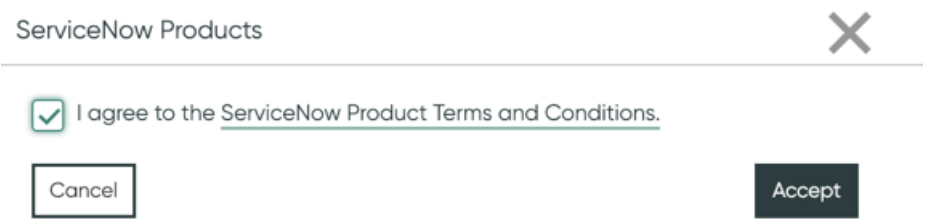
このページには、エンタイトルメントを取得している AES 製品に関連付けられているすべてのアプリケーションが一覧表示されます。

5. [オプトイン] を選択して、製品とアプリケーションのエンタイトルメントがあることを確認します。

> **注:**
> AES サブスクリプションを購入しない限り、[オプトイン] ボタンは使用できません。

6. ServiceNow Store で ServiceNow の契約条件を読んで同意することを求められたら、チェックボックスをオンにして [承認] を選択します。

エンタイトルメントについてのオプトインは、製品ごとに 1 回限りのプロセスです。



製品名の横にチェックマークが表示され、[エンタイトルメントを管理 **(Manage Entitlements)**] ボタンが表示されます。このボタンは、ユーザーが製品とその関連アプリケーションに登録されていることを示します。

7. [エンタイトルメントを管理 **(Manage Entitlements)**] ボタンを選択し、次のいずれかのオプションを指定して、エンタイトルメントを持つアプリケーションの影響を受けるインスタンスを変更します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- すべてのエンタイトルメントを解除する **(Remove all existing entitlements)**
- すべてのインスタンスにエンタイトルメント **(Entitle all instances)**
- 選択したインスタンスにエンタイトルメント **(Entitle selected instances)**

タスクの結果
AES をインストールしてアクティブ化します。移動先 すべて > 会社のアプリケーション をクリックし、[App Engine Studio] を選択します。

ServiceNow Store から初めて **AES** をインストールする

ServiceNow Store から App Engine Studio (AES) を初めてインストールします。インストールにはいくつかの簡単な手順が含まれます。ServiceNow Store で実行される手順と、ServiceNow AI Platform のインスタンスで実行される手順があります。

始める前に
必要なロール：admin

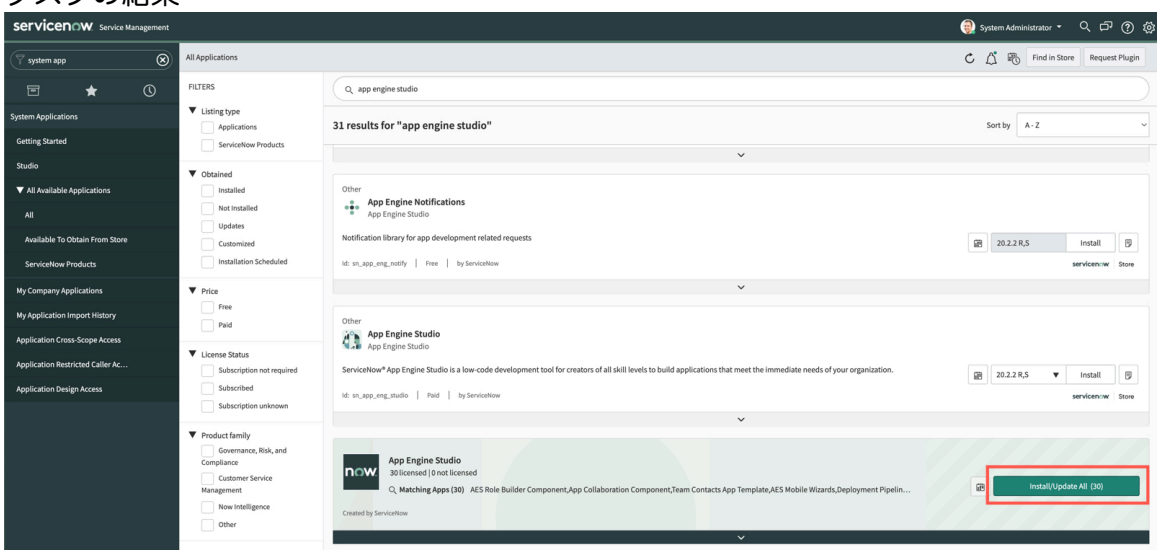
このタスクについて
ServiceNow Store を使用すると、コア製品とアプリケーションをダウンロードできます。製品には、グループとしてライセンスされる 1 つ以上のアプリケーションが含まれています。たとえば、App Engine Studio は、テーブルビルダー や モバイルアプリビルダー などの多数のツールやアプリケーションを含む製品です。完全な AES 製品ではなく、基本的な AES アプリケーションをインストールした場合、すべての機能とツールを使用することはできません。

AES 製品とともにインストールされるすべての依存関係とツールのリストについては、ServiceNow Store のリストを参照してください。

手順

1. ServiceNow Store で、製品とその依存アプリケーションに対するエンタイトルメント (またはライセンス) があることを確認します。
2. から AES をインストールする ServiceNow Store .
3. インスタンスでインストールを実行し、すべてのプラグインを承認します。

タスクの結果



AES 製品と統合のインストール

App Engine Studio (AES) 製品をインストールして、すべての依存関係、統合、ツール (テンプレートやビルダーなど) を取得したことを確認します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

始める前に
ストアのインストールには Now Support アカウントが必要です。サポートしているインスタンスのアプリケーションを要求する権限も必要です。

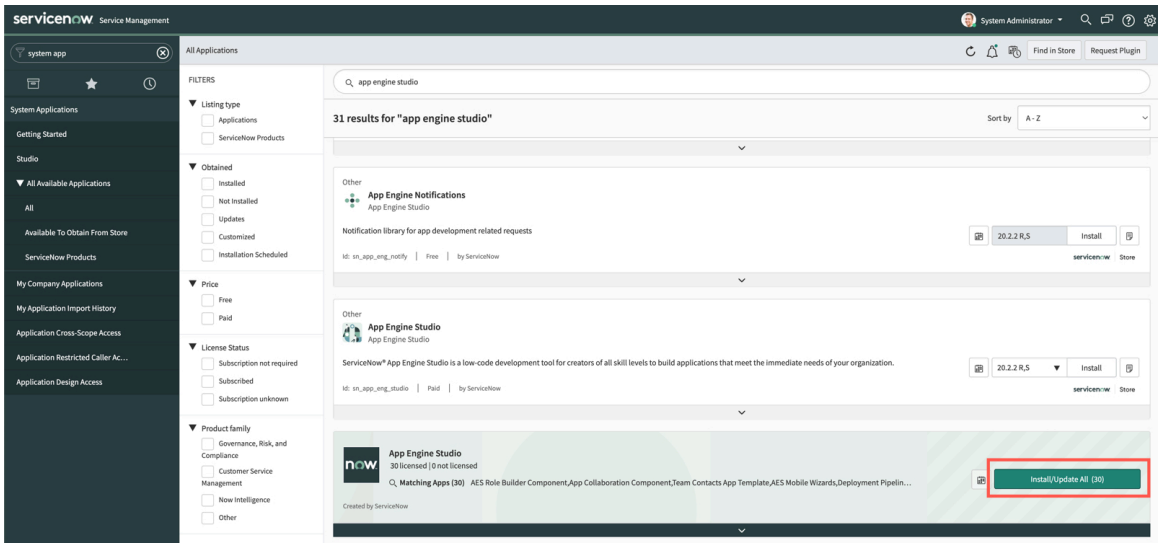
必要なロール：admin

手順

1. 移動先 すべて > システムアプリケーション > 利用可能なすべてのアプリケーション > すべて.
2. App Engine Studio 製品 (アプリケーションではなく) を見つけて、[インストール] をクリックします。

   ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート」を参照してください。

   注:
   アプリケーションではなく、AES 製品を選択する必要があります。



3. [インストール] ダイアログボックスで、インストールするアプリケーションと依存関係のリストを確認します。
   依存するプラグインとアプリケーションがインストールされている場合、現在インストールされている場合、またはインストールする必要がある場合は、リストに表示されます。インストールする必要があるプラグインまたはアプリケーションがある場合は、App Engine Studio をインストールする前にインストールする必要があります。
4. オプション: 利用できるデモデータをインストールするには、[デモデータのロード] チェックボックスをオンにします。
   デモデータは、一般的なユースケース向けのアプリケーション機能を説明するサンプルレコードです。開発またはテストインスタンスで初めてアプリケーションをインストールする場合は、デモデータを読み込みます。
5. **[Install** (インストール)] を選択します。

タスクの結果
App Engine Studio が使用しているインスタンスにインストールされます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

以前にインストールした AES バージョンの更新

以前に ServiceNow Store から App Engine Studio (AES) をインストールしていて、新しいバージョンが利用可能な場合は、インスタンスのバージョンを更新します。

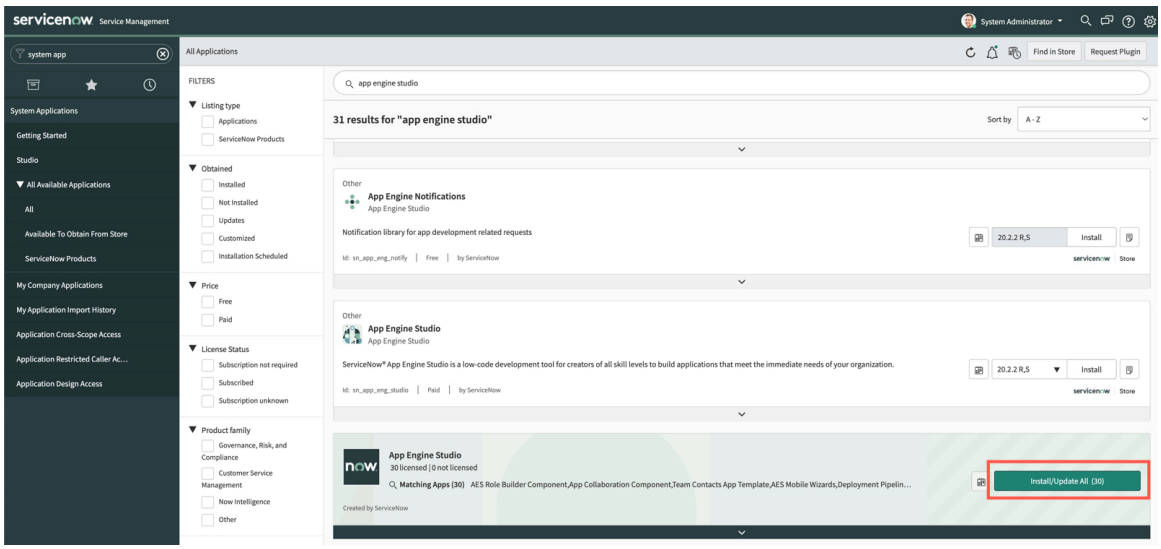
始める前に

> **注:**
> AESを更新するときに、基盤となるアプリケーションやコードベースに変更があってはなりません。

必要なロール：admin

手順

1. 移動先 すべて > システムアプリケーション > 利用可能なすべてのアプリケーション > すべて.
2. App Engine Studio を検索します。



3. 更新するバージョンを選択し、[更新] または [インストール/すべて更新 **(Install/Update All)**] を選択します。

タスクの結果

App Engine Studio は、インスタンス上で自動的に更新されます。

AES インスタンスの次のファミリリリースへのアップグレード

現在ファミリリリース (Rome など) を実行していて、App Engine Studio (AES) を次のリリースにアップグレードする場合は、ServiceNow Store からアプリケーションを取得する必要はありません。

プラットフォームが必要な最低バージョンに更新されると、アプリケーションが自動的に更新されます。

AESとともにインストールされるコンポーネント

いくつかのタイプのコンポーネント (テーブル、ユーザーロールなど) が、App Engine Studio (AES) プラグインのアクティブ化とともにインストールされます。

> **注:**
> アプリケーションファイルテーブルには、このアプリケーションとともにインストールされたコンポーネントがリストされています。このテーブルへのアクセス手順については、「アプリケーションとともにインストールされているコンポーネントの検索」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インストールされるロール

ロール タイトル [名前]	説明	ロールを含む
App Engine Studio admin [app_engine_admin]	ユーザー、アプリ構成、その他の管理タスクを含む AES を管理します。 このロールは、App Engine Studio アドミングループのユーザーに自動的にアサインされます。	• sn_request_read • sn_request_write • sn_app_eng_studio.user
App Engine Studio アプリテンプレートアドミン [app_template_admin]	テンプレートの使用、共有、アクティブ化または非アクティブ化を管理します。 このロールは、アドミニストレーターによって個々のユーザーに割り当てられます。詳細については、「テンプレートアクセスの管理」を参照してください。	• app-template-author • app-template-runner • flow-designer • flow-operator
App Engine Studio ユーザー [sn_app_eng_studio.user]	App Engine Studio でアプリケーションをビルドします。 このロールは、App Engine Studio ユーザーグループのユーザーに自動的にアサインされます。詳細については、「AES へのユーザーアクセスの許可」を参照してください。	• catalog_builder_editor • app_template_runner • sn_g_app_creator.app_creator

インストールされるテーブル

テーブル	説明
アプリの詳細 [sn_app_eng_studio_app_details]	開発者が App Engine Studio でアプリケーションを作成するために使用した操作の詳細。このテーブルは、開発者が App Engine Studio でアプリケーションをビルドすると自動的に更新されます。
プロジェクト内のアプリケーション [sn_app_eng_studio_project_application_m2m]	開発者が App Engine Studio で作成するアプリケーション。このテーブルは、開発者が App Engine Studio でアプリケーションをビルドすると自動的に更新されます。
環境	アプリケーションの開発、テスト、または起動に使用するインスタンス。App Engine

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テーブル	説明
[sn_pipeline_environment]	Studio の環境を定義するときに、このテーブルを更新します。
展開要求 [sn_deploy_pipeline_deployment_request]	App Engine Studio で開発者が作成したアプリケーションのレビューと公開を要求します。レビュー担当者は、展開要求フォームで、アプリケーションをさまざまな環境に展開したり、アプリケーションを承認または却下したり、開発者にフィードバックを送信したりできます。詳細については、「パイプラインと展開 アプリの [展開要求] フォーム」を参照してください。
パイプライン [sn_pipeline_pipeline]	アプリケーションをさまざまな環境に展開するための構成。一度にアクティブ化できるパイプラインは 1 つだけです。App Engine Studio からアプリケーションを展開するためのパイプラインを作成するときに、このテーブルを更新します。詳細については、「パイプラインと展開 を使用した展開の管理」を参照してください。
プロジェクト管理 [sn_app_eng_studio_project]	App Engine Studio 開発セッションの詳細。開発者が App Engine Studio でアプリケーションを作成すると、プロジェクトが自動的に作成されます。このテーブルは、開発者が App Engine Studio でアプリケーションをビルドすると自動的に更新されます。
リソースコンテンツ [sn_app_eng_studio_resources_content]	App Engine Studio で開発者がアクセスできるヘルプリソース。このテーブルには、App Engine Studio のデフォルトのユーザーエクスペリエンスをサポートする構成が含まれています。
リソースコンテンツのトピック [sn_app_eng_studio_resources_content_topic]	App Engine Studio のヘルプリソースの分類。このテーブルには、App Engine Studio のデフォルトのユーザーエクスペリエンスをサポートする構成が含まれています。
分類 [sn_app_eng_studio_taxonomy]	App Engine Studio で開発者が作成するアプリケーションファイル。このテーブルは、開発者が App Engine Studio でアプリケーションをビルドすると自動的に更新されます。
分類カテゴリ [sn_app_eng_studio_taxonomy_category]	App Engine Studio のアプリケーションファイルの分類。デフォルトでは、アプリケーションファイルはデータ、エクスペリエンス、ロジックと自動化、またはセキュリティとして分類されます。このテーブルには、App Engine

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テーブル	説明
	Studio のデフォルトのユーザーエクスペリエンスをサポートする構成が含まれています。
分類の詳細 [sn_app_eng_studio_taxonomy_details]	App Engine Studio で開発者が作成するアプリケーションファイルの詳細。このテーブルには、App Engine Studio のデフォルトのユーザーエクスペリエンスをサポートする構成が含まれています。

注:
パイプラインに関連するテーブルに、次のデータプリザーバーが追加されます。

- 環境
- パイプライン
- パイプライン環境注文
- パイプラインタイプ

データプリザーバーは、非本番インスタンスでのクローン作成中に、これらのテーブルのレコードが上書きされないようにします。詳細については、「クローン作成ターゲットインスタンスのデータ保持」を参照してください。

App Engine Studio の構成

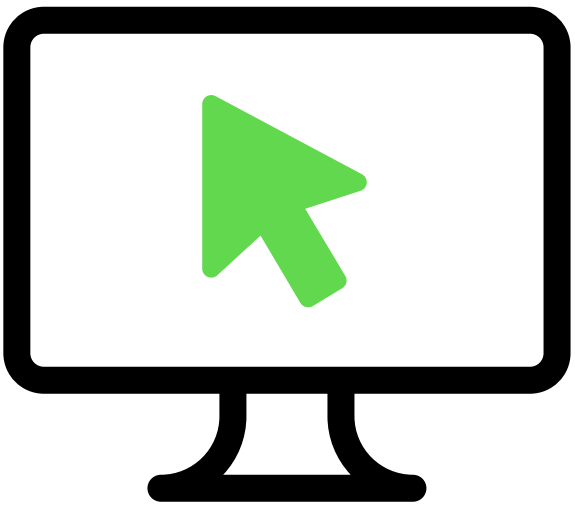
App Engine Studio (AES) のガイド付きセットアップには一連のタスクがあり、使用している ServiceNow インスタンスで AES を構成するために役立ちます。

App Engine Studio は、アプリケーションを開発する予定のインスタンスにインストールする必要があります。以前のバージョンでは、パイプライン内のすべてのインスタンスに AES をインストールする必要がありました。

本番インスタンスを 1 つ以上の非本番インスタンスにクローンする予定の場合は、クローン作成の前に、AES 製品も本番インスタンスにインストールする必要があります。詳細については、「システムクローン」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

AES 構成の詳細	追加の ServiceNow リソース
ServiceNow には、App Engine Studio の構成と管理に関するいくつかの追加リソースがあります。	 App Engine Studio release notes ServiceNow コミュニティサイト

自動翻訳

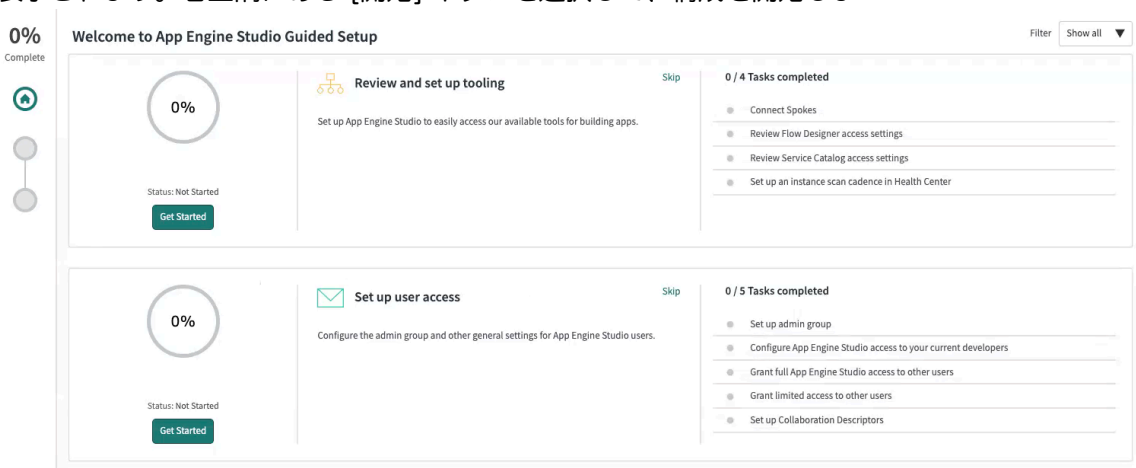
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

AES 構成の詳細	追加の ServiceNow リソース
	 セキュリティの追加に関する App Engine Studio ビデオ

AES を構成するためのガイド付きセットアップ

ガイド付きセットアップを開くにはApp Engine Studio すべて > **App Engine** > **App Engine Studio** > 構成 > ガイド付きセットアップ.

ランディングページには、さまざまなツールとユーザーアクセスに関する情報が表示されます。右上隅にある [開始] ボタンを選択して、構成を開始します。



App Engine Studio の [ガイド付きセットアップ] ページには、さまざまなカテゴリのリストが表示されます。各カテゴリの下にある [開始] ボタンを選択して、App Engine Studio の構成を開始します。

注:
以前にいずれかのガイド付きセットアップタスクを開始し、完了せずに終了した場合、[開始] ボタンには [続行] というラベルが付けられます。

ガイド付きセットアップから開始されたタスクの詳細な手順については、「AES 構成タスクの実行」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

AES のペルソナとロールの構成

スタッフの責任は、各メンバーにアサインされるロールによって制御されます。ペルソナは明示的に App Engine Studio (AES) の一部ではありませんが、アドミニストレーターはロールをアサインして、チームメンバーに AES を構成または使用する権限を付与します。

ローコード/市民開発者

ローコード/市民開発者は技術に精通しており、アプリの作成に興味があります。正式なコーディングやアプリ開発のトレーニングを受けていない場合でも、市民開発者は新しいアプリのアイデアを送信し、承認された場合は AESを使用してビルドできます。

App Engine Studio admin

App Engine Studio アドミニストレーターは、AES のアプリ開発に関連するすべてのプロセスを管理します。通常は App Engine 管理センターで、新しいアプリのアイデアをレビューし、アプリ開発と展開を管理し、協力者を管理します。

アプリテンプレートアドミン

アプリテンプレートアドミニストレーターは、App Engine Studio のアプリ開発用に適切なユーザーが事前定義されたカスタムテンプレートにアクセスできるようにします。

アプリテンプレート作成者

アプリテンプレート作成者は、App Engine Studio でカスタムアプリテンプレートを作成および編集し、他のユーザーまたはグループと共有できます。

セキュリティアドミン

セキュリティアドミンは、アプリのロールとアクセス制御リストを作成および変更します。このロールはプラットフォームレベルで設定され、App Engine Studio のロールを更新するために必要です。

システムアドミニストレーター

システムアドミニストレーターは、セキュリティ上の制約に関係なく、すべてのシステム機能、機能、およびデータにアクセスできます。この権限は慎重に付与してください。保護する必要がある HR レコードなどの機密情報がある場合は、その領域のカスタム admin ロールを作成し、それらのレコードを表示する権限を持つユーザーをアドミニストレーターとしてトレーニングする必要があります。

プロフェッショナルの ServiceNow 開発者

プロフェッショナルの ServiceNow 開発者は、通常は市民開発者の協力者として App Engine Studio で作業できます。ただし、コーディングの知識と開発の経歴により、より複雑なビルドツールを使用して ServiceNow AI Platformでアプリをビルドおよびカスタマイズする可能性が高くなります。

AES のペルソナ

ペルソナ	必要なロール	役割
ローコード/市民開発者	App Engine Studio ユーザーグループ (sn_app_eng_studio.user)	• App Engine Studio でビルドする新しいカスタムアプリケーションの要求を送信します。 • ServiceNow およびアプリケーション開発のベストプラクティスを理解します。 • App Engine Studio でアプリケーションをビルドおよびテストします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

AES のペルソナ (続く)

ペルソナ	必要なロール	役割
		• IT レビューのために App Engine Studio アプリケーションを送信します。 • 取り込みプロセス中に決定された場合、アプリケーションをライフサイクル中に管理および変更します。
	App Engine Studio ユーザー制限グループ (sn_app_eng_studio.user)	• 表示する権限を与えられたアプリケーションで他のユーザーとコラボレーションします。 • IT レビューのために App Engine Studio アプリケーションを送信します。 • ServiceNow およびアプリケーション開発のベストプラクティスを理解します。 **注:** App Engine Studio ユーザー制限グループのユーザーは新しいアプリを作成できません。
App Engine Studio 管理グループ	• atf_test_designer • scan_admin • app_engine_admin	• App Engine Studio のプロセスとプロパティを管理します。 • システムアドミニストレーターによって定義された取り込みガードレールに基づいて、送信されたアプリケーション要求をレビューして承認/却下します。 • App Engine Studio ユーザーアクセスをプロビジョニングします。 • 送信された App Engine Studio アプリケーションをレビューします。 • 展開要求を管理します。 • インスタンス全体で App Engine Studio アプリケーションの昇格を管理します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

AES のペルソナ (続く)

ペルソナ	必要なロール	役割
		• テストインスタンスで ATF テスト/スイートを実行します。 • インスタンススキャンが適切な定義で実行されていることを確認します。 • システムアドミニストレーターと協力して、プラットフォームで発生するアプリケーションの競合を解決します。
アプリテンプレートアドミン	app_template_admin	• カスタムテンプレートと事前定義されたテンプレートへのアクセスを制御します。 • テンプレートをアクティブ化または非アクティブ化します。 • テンプレートをグローバルに共有するか、ユーザーやグループと共有します。
アプリテンプレート作成者	app_template_author	• App Engine Studio でカスタムテンプレートを作成および編集します。 • カスタムテンプレートをユーザーまたはグループと共有します。
セキュリティアドミン	security_admin	• ロールとアクセス制御リストを作成および変更します。 • App Engine Studio のロールを更新するために必要です。
システムアドミニストレーター	管理	• App Engine Studio とその依存アプリをインストールして構成します。 • 環境を定義します。 • パイプラインを構成します。 • App Engine Studio アドミングループへのアクセスをプロビジョニングします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

AES のペルソナ (続く)

ペルソナ	必要なロール	役割
		• App Engine Studio アプリケーションをアップグレードします (該当する場合)。 • AES アドミニストレーターがアプリケーション取り込み要求を承認または却下できるガードレールを定義します。 • プロフェッショナルの ServiceNow 開発者と協力して、プラットフォームのインスタンススキャン定義を作成します。 • AES アドミニストレーターと協力して、プラットフォームで発生するアプリケーションの競合を解決します。
プロフェッショナルの ServiceNow 開発者	• atf_test_admin • delegated_developer • scan_admin • sn_app_eng_studio.user	• ServiceNow スタジオ および App Engine Studioでアプリケーションをビルドおよびテストします。 • 必要に応じて市民開発者と協力して、App Engine Studio でアプリケーションを展開します。これには次のタスクが含まれます。 ○ 市民開発者が、アプリケーション開発と組織のベストプラクティスに従うことを確認します。 ○ 送信された App Engine Studio アプリケーションのレビューとテストを支援します。 ○ UI ビルダー、モバイルアプリビルダー、ワークフロースタジオ、またはその他のビルダーツールを使用して複雑な構成をビルドします。 • アプリケーションの ATF テスト/スイートを作成します。 • システムアドミニストレーターと協力して、プラットフォームのインスタンススキャン定義を作成します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

AES 構成タスクの実行

App Engine Studio (AES) ガイド付きセットアップの手順を実行するときに、さまざまな構成タスクを実行する必要があります。

環境、ツール、ユーザーアクセスの設定

App Engine Studio を構成するためのタスクと、それらを完了するための詳細な手順へのリンクを以下に示します。

App Engine Studio 構成タスク

タスク	説明
開発インスタンスに App Engine Studio をインストールします。	admin ロールを持っている場合は、App Engine Studio アプリケーション (com.snc.app-engine-studio) をインストールできます。 このアプリケーションは、関連する ServiceNow® Store アプリケーションとプラグインをインストールします (まだインストールされていない場合)。 詳細な手順については、「App Engine Studioのインストール」を参照してください。
インスタンス認証情報を設定します。	使用しているインスタンスごとに、接続情報と認証情報エイリアスを作成します。エイリアスタイプが [接続および認証情報]ではなく、[認証情報] であることを確認します。 詳細な手順については、「インスタンス認証情報の設定」を参照してください。
プレイブックをアクティブ化します。	App Engine Studio でプロセスを編集できますが、開始するには、App Engine Studio の プレイブック を有効にし、**APP** エンジンのプロセスオートメーションデザイナー **[com.glide.pad.license]** プラグインを有効にする必要があります。 詳細については、「Activate playbooks」を参照してください。
IntegrationHub スポークを設定します。	スポークをアクティブ化して、統合専用のコンテンツで ワークフロースタジオ および App Engine Studio エクスペリエンスを向上させます。 App Engine Studio では次のスポークを使用できます。 • Gmail スポーク • Google Sheets Spoke • Jira スポーク • Microsoft 365 Excel Spoke • Microsoft Teams スポーク • Slack スポーク • Twilio スポーク

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

App Engine Studio 構成タスク (続く)

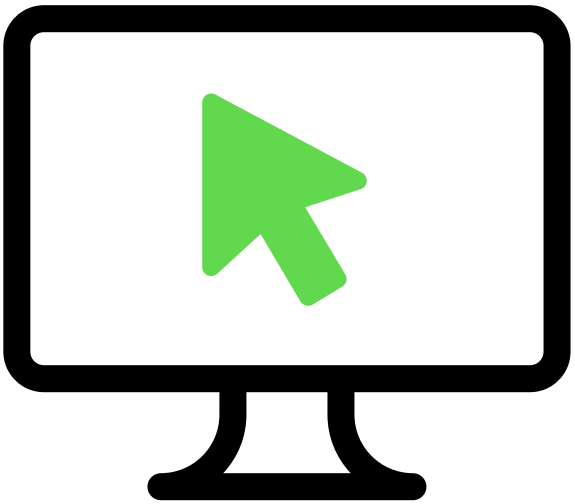
タスク	説明
	• X Spoke (formerly Twitter Spoke) • Zoom スポーク
開発インスタンスでワークフローデザイナーのアクセス設定を確認します。	開発者が最適な編集機能を使用できるようにします。 詳細な手順については、「フローデザイナーのアクセス設定を確認」を参照してください。
カタログビルダーのアクセス設定を確認します。	開発者が適切なカタログとカテゴリにアイテムを追加できるようにします。 詳細な手順については、「カタログビルダーのアクセス設定の確認」を参照してください。
Health Center でインスタンスのスキャン周期を設定します。	App Engine Studio でのアプリケーション開発で発生する可能性のある問題を特定できるように、インスタンスの定期的なスキャンをスケジュールします。 詳細な手順については、「Health Center でのインスタンスのスキャン周期の設定」を参照してください。
本番インスタンスで、App Engine Studio アドミングループにユーザーを追加します。	メンバーをグループに追加して、アプリや展開に関連する要求をレビューできるようにします。また、グループの連絡先のメールアドレスを定義します。 詳細な手順については、「App Engine アドミングループへのユーザーの追加」を参照してください。
開発インスタンスで、App Engine Studio ユーザーグループに開発者を追加します。	組織内の開発者が App Engine Studio でアプリケーションをビルドできるようにします。 詳細な手順については、「AES へのユーザーアクセスの許可」を参照してください。
開発インスタンスで、App Engine Studio ユーザー制限グループにユーザーを追加します。	組織内の開発者が App Engine Studio で作成したアプリケーションで共同作業できるようにします。 詳細な手順については、「AES へのユーザーアクセスの許可」を参照してください。
コラボレーション記述子の設定	App Engine Studio で使用するグローバルスコープ内のカスタムコラボレーション記述子を設定します。 詳細な手順については、「カスタムコラボレーション記述子の設定」を参照してください。
非本番インスタンスで、アプリテンプレートアドミンを指定します。	App Engine Studio でテンプレートのアクティブ化、非アクティブ化、共有を管理するユーザーに、app_template_admin ロールを付与します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

App Engine Studio 構成タスク (続く)

タスク	説明
	詳細な手順については、「テンプレートアクセスの管理」を参照してください。

AES 構成の詳細	追加の ServiceNow リソース
ServiceNow には、App Engine Studio の構成と管理に関するいくつかの追加リソースがあります。	 App Engine Studio release notes ServiceNow コミュニティサイト

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

AES 構成の詳細	追加の ServiceNow リソース
	セキュリティの追加に関する App Engine Studio ビデオ

App Engine アドミングループへのユーザーの追加

本番インスタンスの App Engine アドミングループにユーザーを追加して、App Engine Studio (AES) に対する管理権限を付与します。グループの連絡先のメールアドレスも指定する必要があります。App Engine アドミングループのメールアドレスを構成すると、メンバーはアプリ開発関連の要求 (アプリ取り込み要求など) の通知を受信できます。

始める前に
必要なロール：admin

このタスクについて
パイプラインを使用していない場合は、開発インスタンスの App Engine アドミングループにもユーザーを追加する必要があります。

手順

1. 移動先 すべて > ユーザー管理 > グループ.
2. App Engine アドミングループを開きます。
3. [グループメンバー] 関連リストを選択し、[編集] を選択します。
4. [コレクション] リストで 1 つ以上の名前を選択します。
5. また、グループの連絡先のメールアドレスを入力します。
6. [追加] を選択します。
7. [保存] を選択します。

AES へのユーザーアクセスの許可

AESユーザーグループまたは AES ユーザー制限グループにユーザーを追加して、App Engine Studio (AES) でアプリケーションをビルドできるユーザーを制御します。

始める前に
必要なロール：user_admin または管理者

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて
組織の開発インスタンスの App Engine Studio ユーザーグループにユーザーを追加することで、AES 内でアプリケーションをビルドするためのアクセス権を付与します。各グループメンバーには、sn_app_eng_studio.user ロールが自動的にアサインされます。

ユーザーのアクセスを制限して、App Engine Studio での作業はできるものの、アプリの作成やテンプレートの表示はできないようにするには、ユーザーを App Engine Studio ユーザー制限グループに追加します。

App Engine Studio ユーザーグループと App Engine Studio ユーザー制限グループの違いの詳細については、「AES のペルソナとロールの構成」を参照してください。

手順

1. 移動先 すべて > ユーザー管理 > グループ.
2. **[App Engine Studio** ユーザー] グループまたは **[App Engine Studio** ユーザー制限] グループを選択して、ユーザーを追加します。
   a. [グループメンバー] 関連リストで、[編集] を選択します。
   b. [メンバーの編集] ページで、各開発者を [コレクション] から [グループメンバーリスト **(Group Members List)]** に移動します。
   c. [保存] を選択します。
   d. グループレコードで、[更新] を選択します。

関連情報

AESとともにインストールされるコンポーネント

テンプレートアクセスの管理

app_template_admin ロールを使用して、どのユーザーが App Engine Studio (AES) のテンプレートにアクセスできるか制御します。アプリテンプレートのアドミニストレーターは、テンプレートをアクティブ化および非アクティブ化し、他のユーザーにテンプレートを共有するためのアクセス権を付与します。

始める前に
必要なロール：admin

このタスクについて
アドミニストレーターは、テンプレートのアクティブ化、非アクティブ化、共有を管理するユーザーに、app_template_admin ロールを付与します。このロールは、App Engine Studio ユーザーがテンプレートを作成および使用する非本番インスタンスで付与する必要があります。

AES でアプリを作成してテンプレートを操作するには、ユーザーがアドミニストレーターまたは App Engine Studio ユーザーグループに属している必要があります。AES ユーザー制限グループに属している場合は、既存のアプリの編集のみが可能で、新しいアプリの作成はできません。

手順

1. 移動先 すべて > ユーザー管理 > ユーザー.
2. app_template_admin ロールを付与するユーザーを選択します。
3. [ロール] 関連リストで、[編集] を選択します。
4. **app_template_admin** を [コレクション] リストから [ロール] リストに移動します。
5. [保存] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

カスタムコラボレーション記述子の設定

ガイド付きセットアップを使用して、App Engine Studio (AES) にリストする開発協力者のセットをカスタマイズします。

始める前に
必要なロール：admin

このタスクについて
所有者と編集者のコラボレーション記述子は AES ですぐに利用可能で、特別な機能があります。各記述子に含まれる開発権限は、プラットフォームのニーズに合わせて構成できます。AES で使用できるように、グローバルスコープでカスタム記述子を作成することもできます。

> **注:**
> グローバルスコープの [オーナー] と [エディター] 以外に、コラボレーション記述子を作成する必要があります。AES でコラボレーション記述子を表示して使用する場合は、その記述子を standard = TRUE に設定する必要があります。AES はカスタムスコープで作成されたコラボレーション記述子をサポートしないため、非標準のコラボレーション記述子は AES でレンダリングされません。

協力者を招待するアドミニストレーターまたは委任開発者は、これらの記述子を使用してさまざまなタイプの作業を委任できます。

手順

1. 移動先 すべて > **App Engine** > **App Engine Studio** > ガイド付きセットアップ.
2. **[Get Started** (開始する)] を選択します。

> **注:**
> 以前にいずれかのガイド付きセットアップタスクを開始し、完了せずに終了した場合、[開始] ボタンには [続行] というラベルが付けられます。

3. [ユーザーアクセスの設定] セクションで、[コラボレーション記述子の設定] を選択します。
4. [コラボレーション記述子の設定] セクションで、[構成] を選択します。
5. [新規] を選択します。
6. 新しいアプリコラボレーション記述子に名前と説明を付けます。
7. [送信] を選択します。

次のタスク
App Engine Studio で協力者の権限をさらにカスタマイズします。詳細については、「協力者の権限の変更」を参照してください。

AES を使用する開発者の委任

委託開発により、システムアドミニストレーターのロールを持たない指定ユーザーが、ServiceNow AI Platform でアプリケーションを開発または展開できるようになります。これにより、アドミニストレーターと委任開発者が連携して、App Engine Studio (AES) を用いてカスタムアプリケーションを提供できます。

アドミニストレーターは要求をレビューしてから、組織の開発環境で App Engine Studio を開くリンクを開発者に提供することで、開発作業を委任します。アドミニストレーターは、以下の操作を実行できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- リンクをメールで開発者に直接送信する
- ポータルページにリンクを投稿する
- 委任開発者が App Engine Studio へのアクセスを要求するためのカタログアイテムを作成する

AES の委任開発者ロール

委任開発者ロールを使用すると、アドミンは App Engine Studio の特定のアクセス権を持つ専用ロールにユーザー権限を昇格させることができます。

委任開発者が持つ権限は、ユーザーよりも多いですが、アドミンよりは少なくなります。委任開発者にはそれぞれ独自の権限があります。

1 人のアドミニストレーターに複数の委任開発者がいて、それぞれが独自の権限セットを持つ場合があります。たとえば、休暇申請を作成するために指定された開発者と、サポートチケットを作成するための別の権限を持つ他の開発者が必要な場合があります。

権限によっては、委任開発者が AES の一部の機能にアクセスできない場合があります。ロールにより、オブジェクトへのアクセスとその編集、追加が可能です。App Engine Studio の機能を利用できない場合は、システムアドミニストレーターにお問い合わせください。

委託開発とアクセス権の詳細については、「委託開発 の探索」を参照してください。

アプリを作成する制限付き機能

委託開発に加えて、アドミニストレーターは、AES ユーザーがアプリを作成できるか、既存のアプリでのみ作業できるかを定義できます。

- 組織の開発インスタンスの App Engine Studio ユーザーグループにユーザーを追加することで、AES 内でアプリケーションをビルドするためのアクセス権を付与します。各グループメンバーには、sn_app_eng_studio.user ロールが自動的にアサインされます。
- ユーザーのアクセスを制限して、App Engine Studio での作業はできるものの、アプリの作成やテンプレートの表示はできないようにするには、ユーザーを App Engine Studio ユーザー制限グループに追加します。

Git ソースコントロールリポジトリと AES の統合

アプリケーション開発者が App Engine Studio (AES) を Git ソースコントロールリポジトリと統合し、非本番インスタンスから複数のバージョンのアプリケーションを保存および管理できるようにします。

アプリケーションをソースコントロールにリンクすると、非本番インスタンスですべてのアプリケーション開発者が次の操作を実行できます。

- Git リポジトリからアプリケーションをインポートします。
- Git リポジトリからリモート変更をプルして適用します。
- インスタンスのすべてのローカル変更を Git リポジトリにコミットします。
- 指定されたバージョンのアプリケーションに永続的にリンクするタグを作成します。
- 分岐を作成して、アプリケーションの複数のバージョンを同時に管理します。

統合の要件

アプリケーションをソースコントロールにリンクするには

- ユーザーにはアドミンロールが必要です。
- 非本番インスタンスには、Git リポジトリへのネットワークアクセスが必要です。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- 各アプリケーションは、それ自体の Git リポジトリ内に存在する必要があります。
- リポジトリユーザーの認証情報は、読み取りおよび書き込みアクセス権を付与する必要があります。

注:
インスタンス上のすべてのアプリケーション開発者は、リポジトリごとに 1 組の認証情報を共有します。

App Engine Studio で利用可能なオプション

アプリケーションをソースコントロールにリンクした後に、アプリケーション開発者は、App Engine Studioをリポジトリ管理に使用できます。開発者は App Engine Studio から次のことができます

- アプリケーションリポジトリの認証情報を編集します。
- インスタンスのすべてのローカル変更をコミットします。
- リポジトリからのリモート変更を適用します。
- 分岐を作成します。
- 分岐を切り替えます。
- リモートリポジトリからアプリケーションをインポートします。

ソースコントロール統合は、本番インスタンスでのアプリケーションの管理をサポートしていません。代わりに、アプリケーションリポジトリ、更新セット、または App Engine Studio を使用して、本番インスタンスでアプリケーションを管理できます。本番インスタンスでのアプリケーション管理の詳細については、「アプリケーションの共有」を参照してください。

Git リポジトリから利用可能なオプション

ServiceNow プラットフォームには、インスタンス外のリンクされたアプリケーションファイルを変更するための限定的なサポートがあります。開発者は Git から次の操作を実行できます。

- アプリケーションファイルを別の Git ディレクトリ構造に移動します。
- App Engine Studio の外部でアプリケーションファイルを編集します。

リポジトリのルートレベルで、sn_source_control.properties と呼ばれるプロパティテキストファイルが生成されます。アプリケーションファイルを別の Git ディレクトリ構造に移動するために、アプリケーション開発者は *path* パラメーターを設定して、アプリケーションファイルを含むサブフォルダーパスを指定できます。たとえば、アプリケーションを src/app サブフォルダーに移動した場合は、*path* を path=src/app に設定します。

システムは、App Engine Studio の外部でアプリケーションファイルが変更されたかどうかを判断するために、Git リポジトリに checksum.txt ファイルを生成します。ファイルのチェックサム値が現在のチェックサム値と一致する場合、統合は検証とサニタイズのプロセスをスキップします。チェックサム値が一致しない場合、統合はソースコントロール操作の一部としてアプリケーションファイルを検証してサニタイズします。サニタイズプロセス：

- 実行されたサニタイズアクションごとに、アップグレードログエントリを作成します。
- サポートされていないフォルダーとファイルをリポジトリから削除します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- システムアプリケーションファイルが XML スキーマの検証に失敗した場合、すべてのソースコントロール操作を中止します。たとえば、データベースディクショナリレコードが XML スキーマの検証に失敗した場合、システムはすべての操作を中止します。
- 非システムアプリケーションファイルが XML スキーマの検証に失敗した場合、現在のソースコントロール操作をスキップします。

Git 統合は、sn_source_control.properties ファイルにリストされているアプリケーションパス内のコンテンツのみをサニタイズします。アプリケーションパス外のリポジトリコンテンツは無視されます。

MID サーバーのサポート

既存の MID サーバーを使用して、ソースコントロールリポジトリに接続します。MID サーバーを介してアプリケーションを接続すると、ファイアウォールの背後にあるリポジトリにアクセスできます。

ソースコントロール権限

ロールと協力者の詳細については、「アプリケーションコラボレーション」を参照してください。

アプリケーションまたはアプリケーションのカスタマイズ内容をソースコントロールにリンク

アプリケーションまたはアプリケーションのカスタマイズをソースコントロールにリンクすると、アプリケーション開発者は Git リポジトリから App Engine Studio (AES) の変更を管理できます。

始める前に

- アプリケーションのカスタマイズの管理 の詳細を確認してください。
- アプリケーションの専用 Git リポジトリを作成します。セキュリティを強化するには、Git リポジトリに対するマルチファクター認証をアクティブ化します。
- 認証情報レコードを作成しながら、パスワードとマルチファクター認証パスキーの代わりにソースコントロール統合で使用できるアクセストークンを生成します。個人アクセストークンを GitHub または GitLab で検索する。
- アクセストークンの権限を制限して、Git リポジトリへの読み取りおよび書き込みアクセス権を付与します。
- 非本番インスタンスに Git リポジトリへのネットワークアクセスがあることを検証します。
- ユーザーが Git リポジトリへのコミットで使用するそれぞれのユーザーテーブル (ServiceNow sys_user) レコードに、メールアドレスを追加していることを確認します。
- 必要なロール：admin

このタスクについて

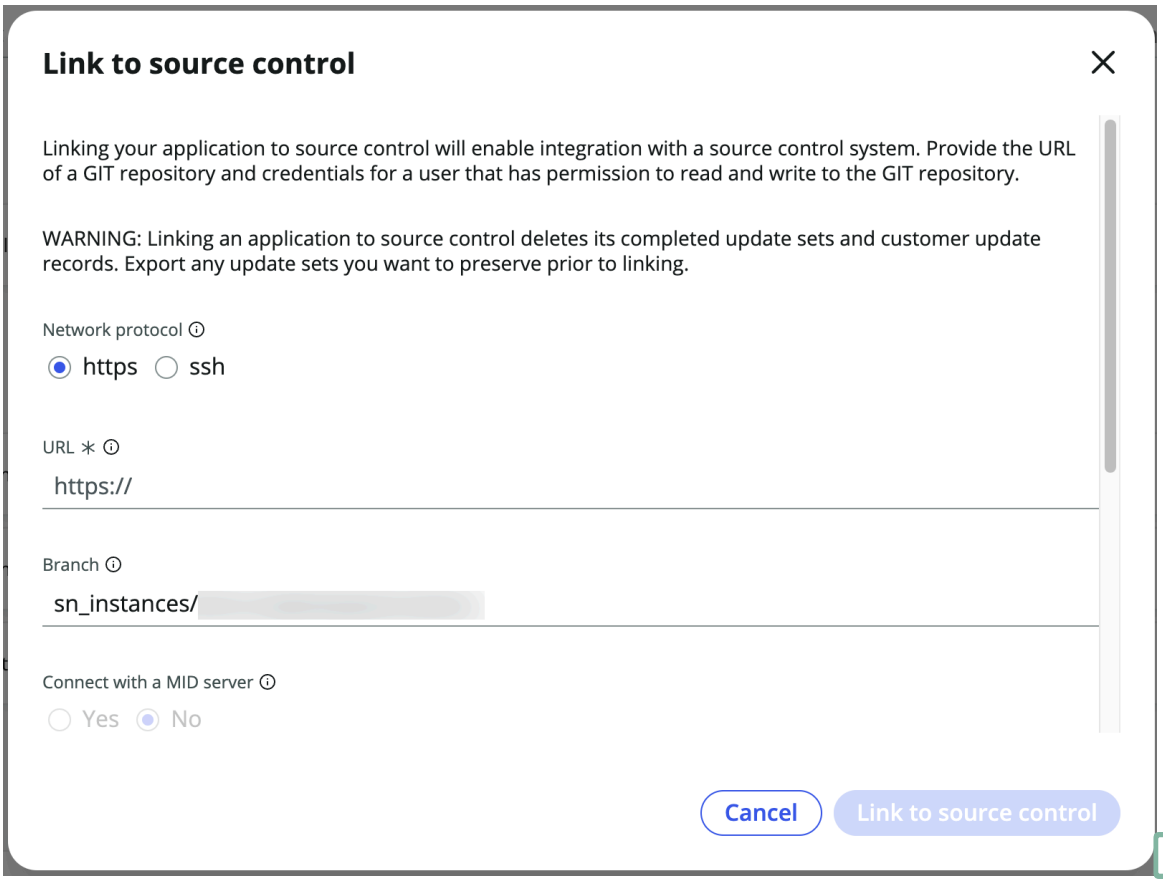
ソースコントロール統合は、本番インスタンス上のアプリケーションまたはカスタマイズへのリンクをサポートしません。代わりに、アプリケーションリポジトリ、更新セット、または App Engine Studio から本番インスタンス上にアプリケーションをインストールします。

手順

1. 移動先 すべて > **App Engine** > **App Engine Studio**.
2. [自分のアプリ] ページからアプリケーションを開きます。
3. 選択 ソースコントロール > ソースコントロールにリンク.
   App Engine Studio に [ソースコントロールにリンク] ダイアログボックスが表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



4. Git リポジトリの接続の詳細を入力します。

ソースコントロール接続の詳細

フィールド	説明
ネットワークプロトコル	セキュリティ保護されたチャネルデータ交換を可能にする HTTPS または SSH 認証情報タイプ。
URL	アプリケーションファイルを保存する Git リポジトリの URL。SSH プロトコルの場合は、コマンドを使用して秘密キー ssh-keygen -t rsa -m PEM -b 4096 -C "email@address" を生成します。 **注:** Git サーバーが提供する SSH の Git リポジトリ URL が機能しない場合は、Git サーバーのオーナーまたはプロバイダーに正しい URL を確認してください。Git リポジトリ URL が機能するために、追加仕様 (スキームプロトコルプリフィックス、ポート番号など) が必要な場合があります。
分岐	アプリケーション内で機能するリポジトリ分岐。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: この分岐はコミットに使用されます。リモートリポジトリにまだ設定されていない場合、デフォルトの分岐は「メイン」に設定されます。リモートの Git リポジトリにデフォルトの分岐がない場合、インスタンスは「メイン」という名前の新しいデフォルトの分岐を作成します。これは、glide.source_control.git_default_branch システムのプロパティを使用して構成されます。
MID サーバー名	リンクが経由する既存の MID サーバーの名前。 注: ディスカバリー アクティビティとの競合を防ぐために、個別の MID サーバーを使用します。 MID サーバーのユーザーが sys_attachment テーブルにファイルを作成でき、そのテーブルが「バンドル」タイプのファイルを受け入れることができることを確認してください。 MID サーバーを介したリンクまたはアプリケーションを使用すると、ファイアウォールの背後にあるリポジトリにアクセスできます。詳細については、「MID Server」を参照してください。
デフォルトのメール	コミット担当者のメールアドレスは、sys_user レコードによって定義されます (利用可能な場合)。ただし、コミット担当者の sys_user レコードメールフィールドが空の場合、システムは代替メール (username@instancename.service-now.com) を生成します。デフォルトのメールアドレスを入力して、後で変更することもできます。すべてのケースでそのデフォルトのメールアドレスを使用する場合は、このチェックボックスをオンにします。
認証情報	選択したプロトコルで使用する認証情報。認証情報の作成の詳細については、「Get started with credentials」を参照してください。 注: SSH ネットワークプロトコルを選択した場合は、SSH 秘密キータイプの有効な認証情報を入力します。https プロトコルを選択した場合は、基本認証情報タイプの有効な認証情報を入力します。
コミットのコメント	リポジトリまたはアプリケーションの付随的説明

注:
インスタンス上のすべてのアプリケーション開発者は、1 組のリポジトリ認証情報を共有します。

5. [ソースコントロールにリンク] を選択します。
システムは接続とユーザーの認証情報を検証し、成功メッセージを表示します。

インスタンスのすべてのアプリケーション開発者は、リンクされた Git リポジトリを使用して変更を管理できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

関連情報

MID サーバー

認証情報の開始

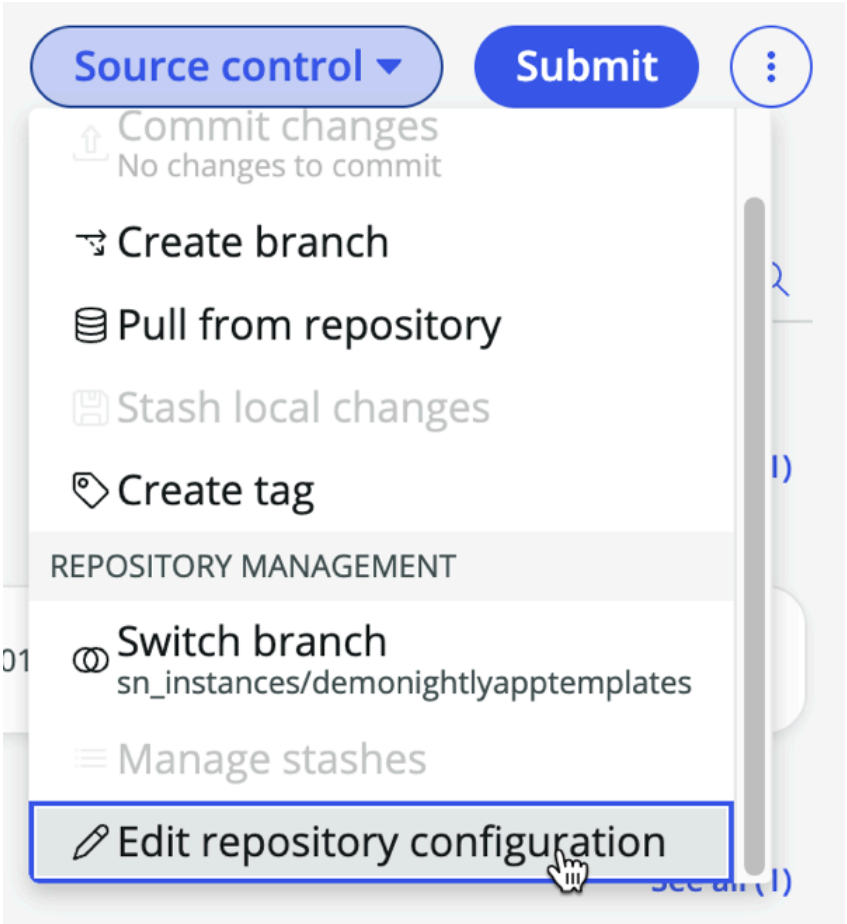
Git リポジトリ構成の編集

Git リポジトリの App Engine Studio (AES) との 統合を編集して、ネットワークプロトコルの選択、認証情報、またはその他のフィールドエントリを変更できます。

始める前に
必要なロール：admin

手順

1. 移動先 すべて > **App Engine** > **App Engine Studio**.
2. [自分のアプリ] ページからアプリケーションを開きます。
3. 選択 ソースコントロール > リポジトリ構成を編集.



4. フォームのフィールドに入力します。

リポジトリ構成フィールド

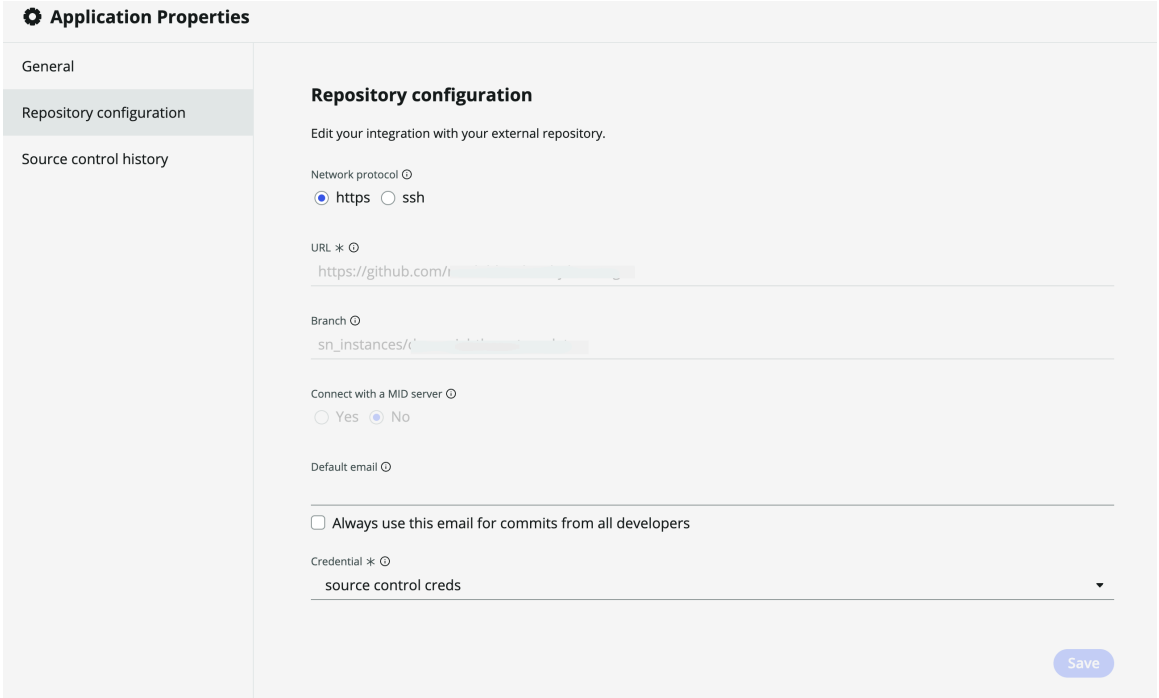
フィールド	定義
ネットワークプロトコル	ソースコントロールのプロトコル (**https** または **ssh**)。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	定義
URL	リポジトリの URL アドレス。
分岐	リポジトリの現在の分岐。
MID サーバーに接続する	ファイアウォールの背後にあるリポジトリへのアクセスを可能にする MID サーバー接続を使用するかどうか。 **注:** MID サーバー名がない場合は、ドロップダウンリストから新しい名前を選択できます。新しい MID サーバーを選択する場合は、[ソースコントロール] メニューで選択してからその後のソースコントロール操作を行って、エラーを回避します。
デフォルトのメール	コミット担当者のメールアドレスは、sys_user レコードによって定義されます (利用可能な場合)。 コミット担当者の sys_user レコードメールフィールドが空の場合、システムは代替メール (username@instancename.service-now.com) を生成します。デフォルトのメールアドレスを入力し、[すべての開発者からのコミットには常にこのメールを使用します] チェックボックスをオンにして、後で変更することもできます。
認証情報	ソースコントロール接続に使用する保存済み認証情報。 インスタンス上のすべてのアプリケーション開発者は、リポジトリごとに 1 つの認証情報のセットを共有します。認証情報の操作の詳細については、「Get started with credentials」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



5. [保存] を選択します。

AES によるインスタンスのクローン作成

システムクローンを使用して本番環境から非本番環境にインスタンスをコピーするときに、App Engine Studio で作成したデータ、テーブル、およびテンプレートを保護する方法について説明します。

クローン作成時のデータとテーブルの保持

AES を使用してインスタンスをクローンするための要件は次のとおりです。

1. すべての AES プラグインがすべてのインスタンスにインストールされていることを確認します。
2. 本番インスタンスをクローンする場合は、 自動テストフレームワーク (ATF) (ATF) および インスタンススキャン プロパティを保持するために、ターゲットインスタンスにデータプリザーバーが設定されていることを確認します。データプリザーバーの詳細については、「 Preserving data from target instances during clones 」を参照してください。

> **重要:**
> デフォルトでは、ATF システムプロパティは無効になっており、実稼働システムではこれらのテストを誤って実行しないようになっています。データの破損や機能停止の可能性があるため、本番インスタンスでの ATF の実行は推奨もサポートもされていません。

3. 開発および展開データを収集する場合は、App Engine 管理センター (AEMC) プラグインをすべてのインスタンスにインストールする必要があります。

本番インスタンスから非本番インスタンスにデータとテーブルをクローン作成すると、非本番テーブルのデータが上書きされる可能性があります。開発環境でデータが失われないようにするには、コラボレーション用のクローン作成戦略を作成します。

1. 次のテーブルには、インスタンス間でテーブルが正しくクローンされるようにデータが保持されています。

> **注:**
> 次のテーブルの場合、保持はグローバルスコープのみに適用されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- コラボレーション記述子テーブル：
  - アプリコラボレーション記述子 (sys_appcollab_descriptor)
  - アプリコラボレーション記述子の権限 (sys_appcollab_permission_m2m)
- コラボレーションユーザーおよびグループテーブル：
  - アプリコラボレーションユーザー (sys_appcollab_user)
  - アプリコラボレーショングループ (sys_appcollab_group)

データ保持により、開発インスタンスのテーブルにデータが確実に保持されます。

2. 次のテーブルにはクローン除外があります。
   - コラボレーション記述子テーブル：
     - アプリコラボレーション記述子 (sys_appcollab_descriptor)
     - アプリコラボレーション記述子の権限 (sys_appcollab_permission_m2m)
   - コラボレーションユーザーおよびグループテーブル：
     - アプリコラボレーションユーザー (sys_appcollab_user)
     - アプリコラボレーショングループ (sys_appcollab_group)

   クローン除外により、本番インスタンスのデータが開発インスタンスにコピーされないようにします。
3. AES が認証情報テーブルを使用する唯一のアプリケーションである場合は、認証情報エイリアス、基本認証、およびディスカバリー認証情報のデータプリザーバーを作成することを検討してください。それ以外の場合は、本番インスタンスを非本番インスタンスにクローンするときにこれらのテーブルが上書きされないようにする必要があります。
4. 次のユーザーは、クローン作成後にロールを再アサインされる必要があります。
   - AES ユーザーグループのユーザー
   - AES ユーザー制限グループのユーザー
   - 非本番インスタンスで sn_app_eng_studio.user ロールを持つユーザー
5. クローン後、[コラボレーション権限を再同期] クローン後クリーンアップスクリプトが自動的に実行されるため、本番インスタンスと開発インスタンスで同じだったアプリケーションには、自動的に協力者が同期されます。開発者はすぐに開発を再開できます。

   注:
   クローンされたインスタンスでは、コラボレーションプラグインが有効化されている必要があります。

6. 一部のアプリケーションがクローン作成前にバックアップされ、クローン作成後に取得された場合は、sys_app レコードの [コラボレーション権限を再同期] 関連リンクを使用して、ユーザーとグループを適切な委託開発権限に再アサインできます。
7. クローン後にコラボレーション記述子がユーザーまたはグループに関連付けられなくなった場合 (開発アプリがソースインスタンス内になかったためにクローン中にワイプされた場合)、[空の参照のあるレコードをクリーンアップ] 関連リンクを選択して、参照されていないユーザーまたはグループをコラボレーションテーブルから削除します。この UI アクションは、クローン作成が完了し、保持されているすべてのアプリケーションが取得された後 ([コラボレーション権限を再同期] が既に実行されているとき) に実行する必要があります。

次のテーブルには、インスタンス間でテーブルが正しくクローンされるようにデータが保持されています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- パイプラインインスタンス
- 認証要求キー
- 展開要求
- 展開環境の要求

クローン作成時にアプリテンプレートを保持

アドミニストレーターは、クローンプロセス中にカスタムテンプレートが上書きされないように保護する必要があります。保護しないと、AES で作成されたテンプレート (既存のアプリケーションから作成したものと最初から作成したものの両方) がクローン作成中に消えてしまう可能性があります。

AES でテンプレートを作成すると、インスタンスのカスタムアプリケーション [sys_app.list] テーブルにスコープ対象のアプリが自動的に生成されます。内容は異なりますが、テンプレートアプリケーションと標準カスタムアプリケーションは ServiceNow AI Platform で同様に扱われます。そのため、システムクローン作成中のアプリテンプレートの保存は、アプリケーションの保存と同じように機能します。

非本番インスタンスでアプリテンプレートを保護するには、「システムクローン中の開発におけるアプリケーションとカスタマイズの保持」のプロセスに従います。

クローン作成とデータ保持に関する詳細情報

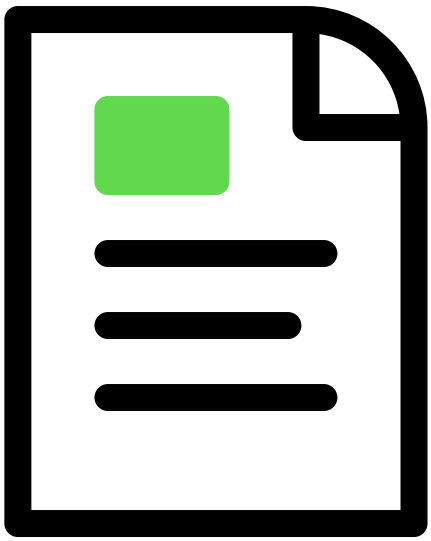
クローン作成とデータ保持の詳細については、次のトピックを参照してください。

- システムクローン ツールの使用の詳細については、「システムクローン」を参照してください。
- データ保持の詳細については、「クローン作成ターゲットインスタンスのデータ保持」を参照してください。
- AES を使用したインスタンスのクローン作成の詳細については、ServiceNow University の『App Engine Studio System Administrator Guide (システムアドミニストレーターガイド)』を参照してください。

AES でのインスタンスのクローン作成の詳細	追加の ServiceNow リソース
ServiceNow は、App Engine Studio を使用したインスタンスのクローン作成に関する追加リソースをいくつか提供しています。	クローン作成の基本に関するナレッジ記事

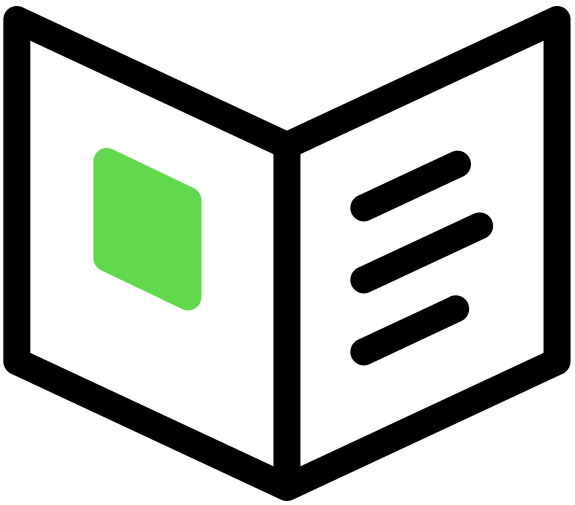
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

AES でのインスタンスのクローン作成の詳細	追加の ServiceNow リソース
	 ンスタンスのクローン作成のヒントとコツに関するナレッジ記事
	 インスタンスのクローン作成に関する広範な FAQ のナレッジ記事

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

AES でのインスタンスのクローン作成の詳細	追加の ServiceNow リソース
	 App Engine Enterprise - Data Preservation During System Clone Whitepaper (システムクローン中のデータ保持に関するホワイトペーパー) 注: このリソースにアクセスするには、ServiceNow University にログインする必要があります。

App Engine Studio でのアプリのビルド

App Engine Studio (AES) でカスタムアプリケーションをビルドして、組織のビジネスニーズを満たします。

App Engine Studio のビルドプロセス

高いレベルでは、App Engine Studio で新しいアプリケーションをビルドする主な手順は 7 つあります。各ステップを選択すると、詳細が表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アプリケーションビルドプロセス

1. アプリ開発の計画
2. アプリ開発のためのアイデアの送信
3. AES を使用する開発者の委任
4. アプリの作成
5. 他の開発者とのコラボレーション

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

6. 承認と公開のためのアプリの送信
7. パイプラインと展開 を使用した展開の管理

考慮事項

App Engine Studio でアプリケーションをビルドする際に念頭におく必要があるいくつかの考慮事項があります。

- App Engine Studioにアクセスするには、 **App Engine Studio** > **App Engine Studio** または次の Web アドレスで <instance-name>.service-now.com/now/appenginestudio。有効なリンクがない場合は、アドミニストレーターにお問い合わせください。
- App Engine Studio で異なるアプリケーション間を移動すると、それに応じてアプリケーションスコープが変更されます。

データ、エクスペリエンス、自動化、およびセキュリティの操作

App Engine Studio を使用すると、必要な数のデータテーブル、エクスペリエンスのタイプ、ロジックと自動化、セキュリティロールを必要に応じて追加できます。ただし、アプリが必要としない場合は、4 つのカテゴリすべてをアプリに追加する必要はありません。

アプリ作成のチュートリアル

このチュートリアルシリーズでは、 ServiceNow AI Platformで利用可能なローコードツールを使用してアプリケーションを構築するプロセス全体について説明します。

ビジネス上の問題を解決できるアプリケーションを構築する場合は、アプリ作成チュートリアルがアプリケーションを最初から最後まで構築するためのガイドです。このチュートリアルでは、計画からビルド、テストまで、アプリ開発の各手順について説明します。また、強力なローコードアプリ開発ツールである App Engine Studio とその統合ツールスイートを使用して、アプリケーションを簡単にビルドおよび拡張する方法も学習します。

このチュートリアルのユースケースは単純で、組織の従業員の出張要求プロセスを自動化するアプリケーションを作成します。そのために、アプリケーションのデータモデル、ユーザーエクスペリエンス、ロジックと自動化、セキュリティなど、アプリケーションを段階的にビルドします。

チュートリアルの各手順では、アプリ開発の 1 つの側面を示します。チュートリアルを順番に進めることも、最も関連性の高い手順にスキップすることもできます。アプリ作成チュートリアルと関連リソースを使用して、独自のアプリケーションをビルドします。

チュートリアルを完了する

ステップ **1**	アプリケーションの計画立案
ステップ **2**	アプリを作成
ステップ **3**	データモデルの構築
ステップ **4**	ユーザーエクスペリエンスの作成
ステップ **5**	ロジックと自動化の追加
ステップ **6**	アプリケーションのテスト

アプリケーションの計画立案

開発プロセスを最小限に抑えるために、ビルドする前にアプリケーションを計画します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アプリケーションを構築する場合、最初に行う必要があるのは、アプリの計画を作成することです。計画には、アプリケーションの機能の概要を説明し、アプリケーションを使用するユーザーを特定することが含まれます。アプリケーションを計画することで、アプリケーションの目的をよりよく理解し、開発を開始する前に潜在的な問題に対処できます。

これは、アプリ作成チュートリアルの最初のステップです。組織の従業員の出張要求を管理するアプリケーションの計画を策定します。

ステップ **1**	○	アプリケーションの計画立案
ステップ **2**	○	アプリを作成
ステップ **3**	○	データモデルの構築
手順 **4**	○	ユーザーエクスペリエンスの作成
ステップ **5**	○	ロジックと自動化の追加
ステップ **6**	○	アプリケーションのテスト

https://player.vimeo.com/video/964898255?badge=0&autopause=0&player_id=0&app_id=58479

ビデオセクション

タイムスタンプ	セクション
0:17	アプリケーションのユースケースを特定します。
0:21	アプリケーションのワークフローを可視化します。
0:42	アプリの機能要件の概要を説明します。

ステップ **1:**アプリケーションのユースケースを特定する

まず、アプリケーションのユースケースを特定します。このチュートリアルでは、組織の従業員の出張要求を管理するアプリケーションを作成します。このアプリは出張要求プロセス全体を自動化し、必要に応じて従業員、マネージャー、地域責任者、トラベルデスクエージェントなどのユーザーを関与させます。

アプリケーションで解決しようとしている問題を検討します。ユースケースがこのチュートリアルで取り上げるツールに適しているかどうかを判断するには、「 アプリ開発の計画」を参照してください。

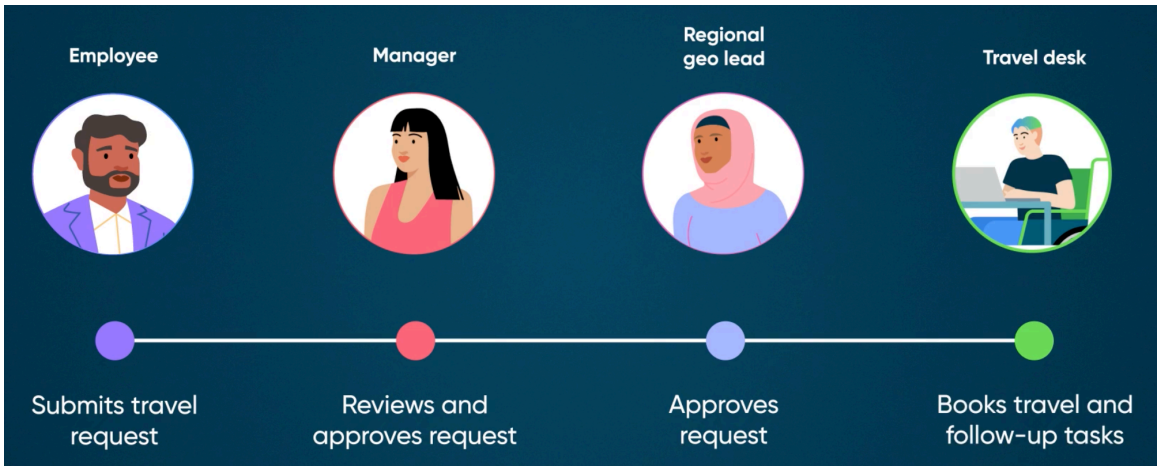
ステップ **2:**アプリケーションのワークフローを可視化する

アプリケーションのユースケースを特定したら、アプリケーションのエンドツーエンドのワークフローを可視化します。エンドツーエンドのワークフローは、アプリケーションがタスクまたはプロセスを完了するために従う一連のアクションです。

次の可視化は、チュートリアルの従業員の出張要求アプリケーションのエンドツーエンドのワークフローを示しています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



アプリケーションのエンドツーエンドのワークフローを可視化するには、アプリケーションの実行内容を最初から最後まで綿密に計画します。ワークフローの前のステップに戻るループと、ワークフローを終了する原因となるアクションをすべて含めます。

手順 3: アプリの機能要件の概要を説明する

また、アプリケーションの機能要件を考慮することも重要です。アプリケーションの機能要件には、アプリケーションを使用するユーザー、ユーザーがアプリで実行するタスク、およびこれらのタスクをサポートするためにアプリが収集する必要があるデータが含まれます。

次のプロンプトを使用して、アプリケーションの機能要件の概要を説明します。

1. アプリケーションを使用するペルソナを特定し、実行するタスクを検討します。

   このチュートリアルでは、従業員の出張要求アプリケーションとそれに関連するタスクを使用するペルソナは次のとおりです。

ペルソナ	タスク
従業員	出張要求の送信
マネージャーと地域責任者	出張要求の承認または拒否
トラベルデスクエージェント	出張の予約とフォローアップタスクの完了

2. アプリケーションで収集する必要があるデータを決定します。

   たとえば、このチュートリアルのアプリケーションは、従業員の出張要求に関する次のような詳細を収集する必要があります。

   - 従業員の出張元と出張先
   - 出張が発生するタイミング
   - 出張費

3. ロジックと自動化を使用して、アプリケーションのワークフローで自動化するプロセスを選択します。

   次の表で、チュートリアルアプリケーションでロジックと自動化をどのように使用するかを確認してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

	機能	チュートリアルアプリケーションでの例
ロジック	アプリケーションワークフローで特定のアクションがいつどのように発生するかをコントロールします。	従業員の出張要求が、マネージャーと地域責任者の両方によって承認された後にのみトラベルデスクに転送されることを確認します。
自動化	定義したロジックに基づいて自動プロセスを設定します。	従業員の出張要求ケースのステータスを更新し、出張要求が却下されるたびにメール通知を送信します。

4. アプリケーションのロールと権限を検討します。

   ロールは、ユーザーがアプリケーションコンテンツにアクセスできるかどうかを決定します。権限は、作成、読み取り、更新、削除など、ユーザーがアプリケーションコンテンツ内で持つ個々の機能です。アプリケーションのロールを決定し、各ロールの権限は、チュートリアルの後のステップで構成できます。App Engine Studioのロールの詳細については、「AES のペルソナとロールの構成」を参照してください。

5. アプリケーションによって収集されたデータをどのように整理するかを考えてください。

   アプリケーションが収集するデータは、自動的にテーブルに保存されます。アプリケーションが完了するプロセスに応じて、さまざまなテーブル間でデータを整理することができます。アプリケーションのデータを整理する方法は、チュートリアルの後のステップで決定できます。App Engine Studio でのデータ編成の詳細については、「アプリケーションのデータモデルの作成」を参照してください。

次のステップ

アプリケーションの計画を作成したら、 App Engine Studio でアプリケーションの構築を開始できます。次の手順に進みます: アプリを作成。

アプリを作成

アプリケーションの構築を開始する準備ができたら、 App Engine Studio でアプリケーションの作成を開始します。

始める前に

注:
AES でアプリを作成するには、アドミンであるか、App Engine Studio ユーザーグループに所属している必要があります。App Engine Studio ユーザー制限グループに属している場合、既存のアプリの編集のみ可能で、新しいアプリを作成することはできません。

必要なロール：admin、sn_app_eng_studio.user

このタスクについて

アプリケーションの計画を作成したら、 App Engine Studio でビルドを開始できます。 App Engine Studio は、ローコード環境で堅牢なアプリケーションを開発できる強力なツールです。

これは、アプリ作成チュートリアルの 2 番目のステップです。App Engine Studio でアプリケーションを作成しましょう。

ステップ 1		アプリケーションの計画立案

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステップ **2**	○	アプリを作成
ステップ **3**	○	データモデルの構築
手順 **4**	○	ユーザーエクスペリエンスの作成
ステップ **5**	○	ロジックと自動化の追加
ステップ **6**	○	アプリケーションのテスト

https://player.vimeo.com/video/953654187?badge=0&autopause=0&player_id=0&app_id=58479

ビデオセクション

タイムスタンプ	セクション
0:06	[App Engine Studio] を開きます。
0:10	アプリケーションを作成する。
0:14	アプリケーションに名前を付け、追加の詳細を入力します。
0:24	ロールを確認、追加、カスタマイズします。
0:36	アプリケーションダッシュボードに移動します。

自動翻訳

手順

1. 移動先 すべて > **App Engine** > **App Engine Studio**.
2. App Engine Studio ホームページで、 アプリを作成.
3. アプリケーションの一意の [名前] と [説明] を入力します。
   チュートリアルでは、アプリケーションの次の詳細を入力します。

フィールド	値
Name (名前)	出張要求
説明	従業員が出張要求を送信できるようにします

4. オプション: アプリケーションのロゴをアップロードするには、画像を [アプリのロゴをドラッグするか、参照してアップロード する] フィールドにドラッグするか、フィールドを選択してファイル ディレクトリから画像を選択して [開く] を選択します。

   ヒント:
   後で [アプリケーションのプロパティ] メニューを使用して、アプリケーションのロゴを追加できます。

5. [続行] を選択します。
6. ロールを確認、追加、またはカスタマイズして、アプリケーションのコンテンツにアクセスできるユーザーを制御します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

デフォルトでは、 App Engine Studio はアドミンロールとユーザーロールを提供します。アプリケーションにロールをさらに追加するには、 [ロールの追加] を選択し、ロールの名前と説明を入力します。
このチュートリアルでは、デフォルトのロールと権限を使用します。ロールは追加されません。

7. **[Continue** (続行)] を選択します。
8. 概要画面で、 [アプリ ダッシュボードに移動] を選択して、アプリケーションの設定を続行します。
アプリケーションダッシュボードには、 データ、 エクスペリエンス、 ロジックと自動化、 セキュリティなど、アプリケーションの各部分が表示されます。アプリのこれらの部分は、チュートリアルの後の手順で構成します。

タスクの結果

App Engine Studio でアプリケーションが作成されました。アプリケーションは空で、構成の準備ができています。

次のタスク

アプリケーションが作成されたので、アプリケーションのデータモデルの構築を開始できます。
チュートリアルの次のステップ「 データモデルの構築」に進みます。

データモデルの構築

アプリケーションを作成したら、アプリケーションのデータモデルの構築を開始します。データモデルの概要と、チュートリアルアプリケーションのデータモデルの構築方法について説明します。

App Engine Studio でアプリケーションを作成したら、アプリケーションの各部分の構成を開始できます。このチュートリアルでは、まずアプリケーションのデータモデルから始めます。

これは、アプリ作成チュートリアルの 3 番目のステップです。このステップでは、データモデルについて学習し、従業員の出張要求アプリケーションのデータモデルを構築します。

ステップ **1**	✓	アプリケーションの計画立案
ステップ **2**	✓	アプリを作成
ステップ **3**	○	データモデルの構築
手順 **4**	○	ユーザーエクスペリエンスの作成
ステップ **5**	○	ロジックと自動化の追加
ステップ **6**	○	アプリケーションのテスト

データモデルの概要

アプリケーションのデータモデルは、アプリケーションが読み取りおよび書き込みするデータと、データの格納方法を記述します。データモデルをビルドするために、アプリケーションのデータを格納するテーブルを作成できます。各テーブルには、個々のレコードを表す行と、各レコード内の情報のタイプを定義する列が含まれています。アプリケーションに必要な数のテーブルを作成し、テーブル間の関係を定義できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

App Engine Studio でデータモデルを構築する方法の詳細については、「アプリケーションのデータモデルの作成」を参照してください。

チュートリアルデータモデル

このチュートリアルでは、アプリケーションのデータモデルに、従業員の出張先や出張費など、従業員の出張要求に関する情報が保存されます。

チュートリアルでは、アプリケーションのデータモデルを次の 3 つのフェーズで構築します。

フェーズ 1	データテーブルを作成する
フェーズ 2	データテーブルの構成
フェーズ 3	テーブル間でデータを共有

次のステップ

アプリケーションのデータモデルの構築を開始します。次のステップ データテーブルを作成するに進みます。

データテーブルを作成する

アプリケーションのデータを格納するテーブルを作成します。

始める前に
必要なロール:admin、sn_app_eng_studio.user、または委任開発者

このタスクについて
従業員の出張要求アプリケーションのデータモデルをビルドする最初のフェーズは、テーブルの作成です。このチュートリアルでは、タスクテーブルを拡張する空白のテーブルを作成します。

フェーズ **1**	○	データテーブルを作成する
フェーズ **2**	○	データテーブルの構成
フェーズ **3**	○	テーブル間でデータを共有

この手順では、チュートリアルビデオで示されているタスクの最初の部分について説明します。手順の残りの部分については、次のトピック データテーブルの構成で説明します。

手順に従って、従業員の出張要求アプリケーションのテーブルを作成します。

https://player.vimeo.com/video/967024604?badge=0&autopause=0&player_id=0&app_id=58479

ビデオセクション

タイムスタンプ	セクション
0:10	データテーブルを作成します。
0:14	タスクテーブルを拡張してテーブルを作成します。

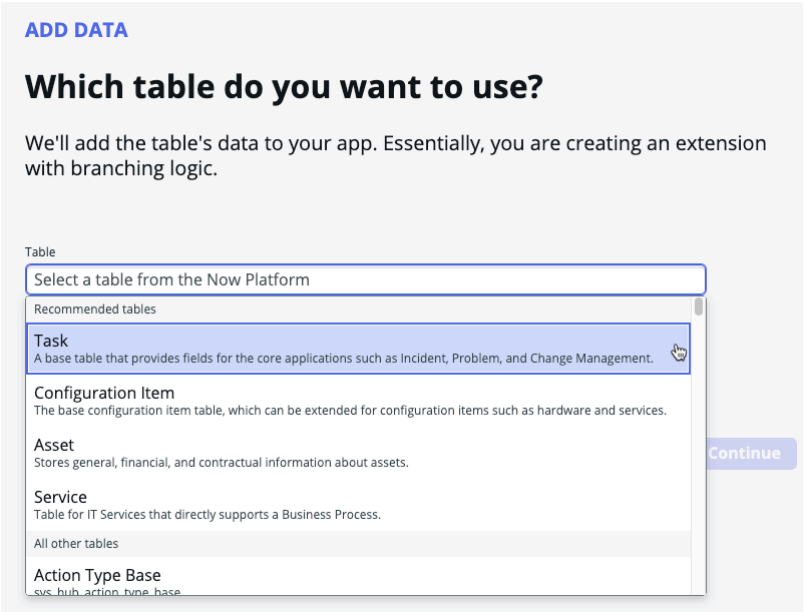
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ビデオセクション (続く)

タイムスタンプ	セクション
0:21	テーブルのプロパティを定義します。
0:33	テーブルに権限を追加します。

手順

1. 移動先 すべて > **App Engine** > **App Engine Studio**.
2. 出張要求アプリケーションを選択します。
3. アプリケーション ダッシュボードで、 [データ] の横にある **[+** 追加] を選択します。
4. [空のテーブルの作成] を選択します。
   空白のテーブルを使用すると、テーブルのフィールド、行、列を最初から作成できます。スプレッドシートや PDF などの既存のデータをインポートして、アプリケーションのテーブルを作成できます。
5. **[Continue** (続行)] を選択します。
6. [拡張可能なテーブルから作成] を選択します。
   拡張可能なテーブルは、新しいテーブルを作成するために使用できる機能が組み込まれたテーブルです。拡張可能なテーブルからテーブルを作成しない場合は、 新しいテーブルの作成 を選択して最初からテーブルを作成できます。
7. [テーブル] リストから [タスク] を選択します。



   タスクテーブルは、 ServiceNow AI Platform内で一般的に拡張されるテーブルの 1 つです。タスクテーブルには、チュートリアルアプリケーションのテーブルに必要な承認とアサインのためのビルトイン機能が含まれています。

8. **[Continue** (続行)] を選択します。
9. 新しいテーブルのプロパティを定義します。
   このチュートリアルでは、テーブルに次のプロパティを定義します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テーブルのプロパティ

フィールド	説明	チュートリアルテーブルのプロパティ
テーブルラベル	テーブルを識別する一意のラベル。	出張要求
テーブル名	テーブルのデータベース名。指定した テーブルラベル に基づいて自動入力されます。	必要なアクションはありません
テーブル名のプリフィックス	テーブルのデータベースプリフィックス。テーブルを作成したアプリケーションに基づいて自動入力されます。	必要なアクションはありません
拡張性を高める	他のテーブルがこのテーブルのデータを共有できるようにするオプション。詳細については、「テーブル拡張」を参照してください。	必要なアクションはありません
自動番号	一意の番号でテーブルレコードを追跡するオプション。	チェックマークを選択します
敬称	レコード番号の先頭に追加するテーブルの省略名。	TRA
開始番号	テーブルに作成された最初のレコードを識別する番号。	必要なアクションはありません
桁数	レコード番号の最大桁数。	必要なアクションはありません

10. **[Continue** (続行)] を選択します。
11. 既存の各ロールに権限を追加するか、新しいロールを作成して、テーブルのコンテンツにアクセスできるユーザーを制御します。

    注:
    テーブルをプレビューするには、少なくとも 1 つのロールに読み取りアクセス権が必要です。

このチュートリアルでは、アドミンロールとユーザーロールに次の権限を付与します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ロール	権限
管理者	すべて
ユーザー	○ 作成 ○ 読み取り

12. [続行] を選択して、ロールを新しいテーブルに追加します。

13. [テーブルの編集] を選択して、新しいテーブルの設定を続行します。

タスクの結果
アプリケーションのテーブルが作成されました。

次のタスク
次のフェーズに進んで、テーブルのセットアップを完了します。 データテーブルの構成

データテーブルの構成

アプリケーションに必要なデータをキャプチャするようにテーブルを構成します。

始める前に
必要なロール:admin、sn_app_eng_studio.user、または委任開発者

このタスクについて
従業員の出張要求アプリケーションのデータモデルをビルドする 2 番目のフェーズでは、場所、出張日、航空運賃の予定など、従業員の出張要求に必要なデータを収集するようにテーブルを構成します。

フェーズ **1**	✓	データテーブルを作成する
フェーズ **2**	○	データテーブルの構成
フェーズ **3**	○	テーブル間でデータを共有

この手順では、チュートリアルビデオで示されているタスクの 2 番目の部分について説明します。手順の最初の部分については、前のトピック データテーブルを作成するで概説しました。

従業員の出張要求アプリケーションに必要なデータを格納するテーブルを構成します。

https://player.vimeo.com/video/967024604?badge=0&autopause=0&player_id=0&app_id=58479

ビデオセクション

タイムスタンプ	セクション
0:48	テーブルの編集を開始します。
0:54	テーブルにフィールドを追加して構成します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

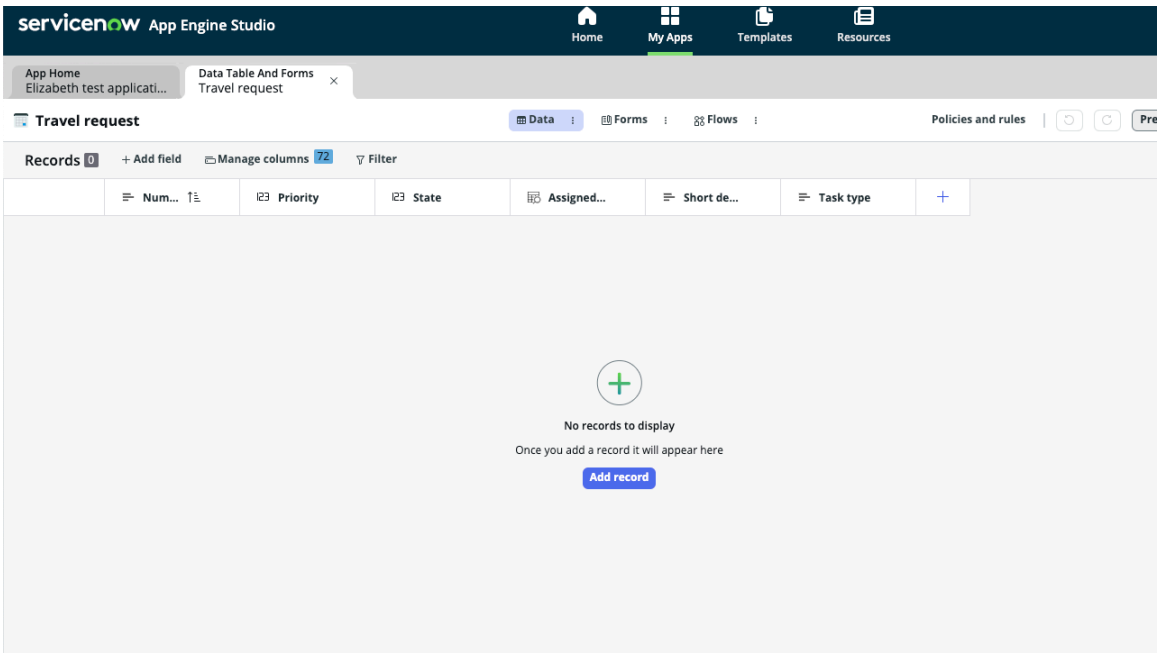
ビデオセクション (続く)

タイムスタンプ	セクション
2:32	データフォームレイアウトを変更します。
2:39	変更内容を保存します。

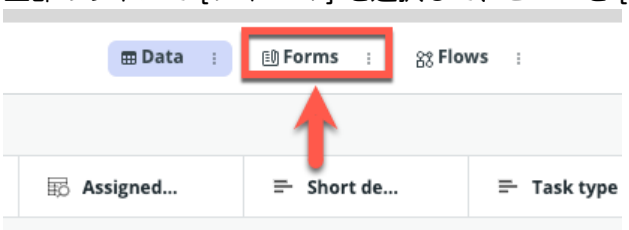
手順

1. 従業員の出張要求テーブルが開いていることを確認します。
   - インスタンスのホームページからテーブルを開くには、 すべて > **App Engine** > **App Engine Studio**. 次に、アプリケーションを選択し、構成するテーブルを選択します。
   - 作成したテーブルを開くには、[テーブルの編集] を選択します。

   テーブルを開くと、キャンバススペースに表示されます。



2. 上部のリボンで [フォーム] を選択して、ビューを [フォーム] ビューに変更します。



フォーム ビューでは、テーブルをフォームとして作成できます。テーブルに格納されるデータのタイプに応じて、他のビューを選択できます。

3. テーブルから不要なフィールドを削除するには、フィールドにカーソルを合わせ、[フィールドを削除] アイコン ( ) を選択します。

> **注:**
> 拡張テーブルからテーブルを作成する場合、テーブルには事前設定されたフィールドが付属しています。独自のテーブルの事前設定されたフィールドを保持するか削除するかを選択できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

このチュートリアルでは、次のフィールドを削除します。

- **Priority** (優先度)
- 構成アイテム
- 親
- アサイン先

4. **[Save** (保存)] を選択します。
5. テーブルの新しいフィールドを作成します。
   従業員の出張要求に関する詳細を収集するには、いくつかのフィールドを作成する必要があります。

   a. [フォーム要素を追加] パネルのテーブルで **[+** フィールドを追加] を選択します。

   b. [列ラベル] フィールドに「出発日」と入力します。

   > ヒント:
   > [列名] フィールドは、入力した列ラベルに基づいて自動入力されます。

   c. [タイプ] フィールドで、[日付] を選択します。

   d. オプション: フィールドの追加のプロパティを設定するには、[詳細設定] を選択します。
   このチュートリアルでは、フィールドの追加プロパティは設定しません。フィールドタイプと詳細設定の詳細については、「 テーブルビルダー のフィールド構成」を参照してください。

   e. [Add (追加)] を選択します。

   f. オプション: [別のものを追加] を選択して、追加のフィールドを作成します。

   g. ステップ a～f のプロセスを繰り返して、必要な数のフィールドを追加します。
   従業員の出張要求に関する追加情報を収集するために、さらにフィールドを追加します。次の表は、テーブルに追加する追加フィールドの概要を示しています。

列ラベル	タイプ
返却日	日付
航空運賃の目安 (Estimated Airfare)	10 進数
出張の理由 (Reason for Travel)	文字列

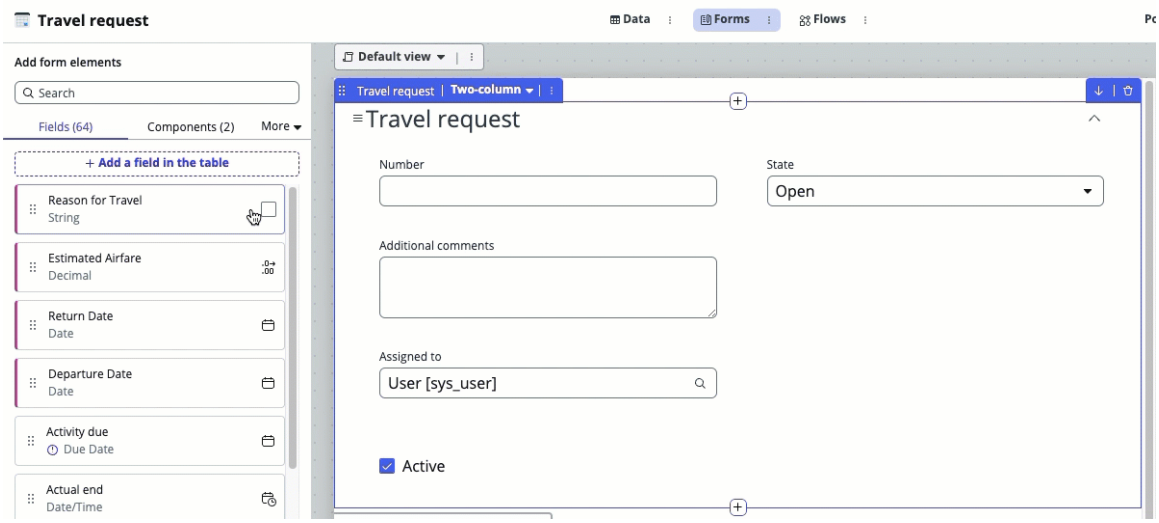
   h. 必要な新しいフィールドをすべて追加したら、[完了] を選択します。
   追加したフィールドが [フォーム要素を追加] パネルに表示されます。

   i. フォームにフィールドを追加するには、フィールドを選択し、既存のフィールドとともに デフォルトビュー パネルにドラッグします。

自動翻訳

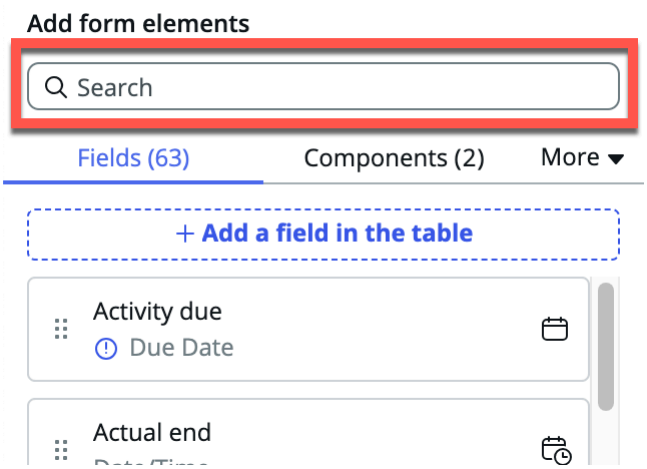
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ヒント:
一度に複数のフィールドをテーブルに追加するには、フィールドにカーソルを合わせ、各フィールドのチェックマークを選択して、フィールドを [デフォルトビュー] パネルにドラッグします。



6. **[Save** (保存)] を選択します。
7. 既存のフィールドをテーブルに追加します。

   a. 検索バーにフィールドの名前を入力して、追加するフィールドを検索します。



   このチュートリアルでは、次のフィールドをテーブルに追加します。

   - 承認
   - 作成者

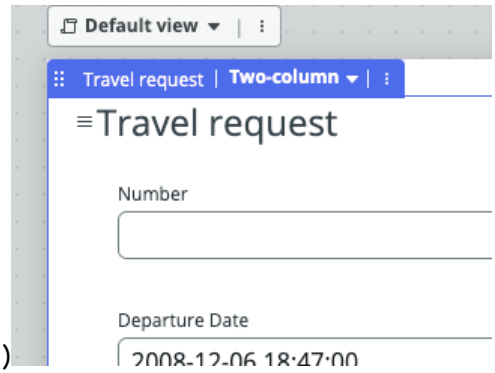
   b. [フォーム要素を追加] パネルでフィールドを選択し、フィールドを [デフォルトビュー] パネルにドラッグします。

8. オプション: フォームのレイアウトを変更します。

   a. デフォルトのビューパネルでテーブルを選択します。
   選択すると、テーブルが青色の境界線で表示されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

(Optional)



b. [セクションのカスタマイズ] パネルで、[**1** 列]、[**2** 列] の順に選択して、フォームフィールドを 2 列レイアウトに均等に配置します。

> **ヒント:**
> [セクション] パネルで使用できるカスタマイズオプションの詳細については、「テーブルビルダー でのフォームレイアウトのカスタマイズ」を参照してください。

9. オプション: フィールドを移動して、テーブルフィールドを表示させたい順序に配置します。
このチュートリアルでは、フィールドを次の順序で配置します。

a. 番号

b. 作成者

c. 出発日 (Departure Date)

d. 返却日

e. 出張の理由 (Reason for Travel)

f. 航空運賃の目安 (Estimated Airfare)

g. 承認

h. ステータス

10. **[Save** (保存)] を選択します。

11. オプション: [プレビュー] を選択して、フォームがどのように表示されるかを確認します。

タスクの結果
テーブルは、従業員の出張要求に必要なデータをキャプチャするように構成されます。

次のタスク
従業員の出張要求アプリケーションのデータモデルを完成させるには、出張要求テーブルを空港データを格納する別のテーブルに接続する必要があります。次のステップ「 テーブル間でデータを共有」に進みます。

テーブル間でデータを共有

テーブル間でデータを共有してデータの重複を回避します。

始める前に
必要なロール:admin、sn_app_eng_studio.user、または委任開発者

次のリンクを選択して、アプリ作成チュートリアルのこの手順に必要な資料をダウンロードします。

アプリ作成チュートリアル空港スプレッドシート

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて
従業員の出張要求アプリケーションのデータモデルをビルドする最後のフェーズでは、空港データを格納する別のテーブルに出張要求テーブルをリンクします。これにより、従業員は出張要求を完了するときに使用する空港を選択できます。

フェーズ **1**	✓	データテーブルを作成する
フェーズ **2**	✓	データテーブルの構成
フェーズ **3**	○	テーブル間でデータを共有

データを複数のテーブルに格納すると、データを整理してモジュール化できます。テーブル間でデータを共有する場合は、データを複製せずにテーブル間でレコードをプルする参照フィールドを作成できます。

空港スプレッドシートをダウンロードし、チュートリアルに従って、従業員の出張要求テーブルと空港テーブルの間に参照フィールドを作成します。

https://player.vimeo.com/video/967025312?badge=0&autopause=0&player_id=0&app_id=58479

ビデオセクション

タイムスタンプ	セクション
0:03	参照するデータを格納するテーブルを作成します。
0:26	テーブルを構成します。
1:05	既存のテーブルを開きます。
1:13	既存のテーブルに新しいフィールドを追加します。
1:19	フィールドタイプを [参照] に設定し、データをプルするテーブルを選択します。
1:36	変更内容を保存します。
1:38	フォームビューでテーブルに新しい参照フィールドを追加します。
1:59	フォームレイアウトをカスタマイズします。
2:10	変更内容を保存します。

手順

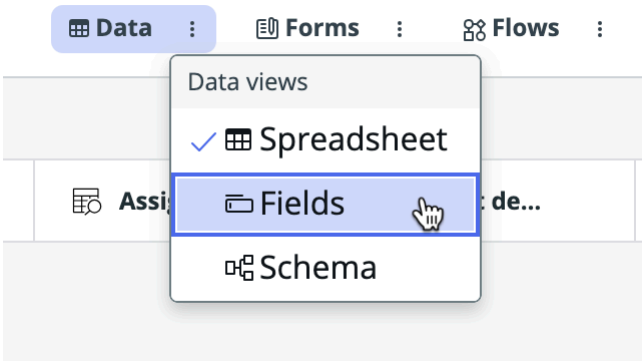
1. 空港情報を格納する新しいテーブルを作成します。
   このチュートリアルでは、空港情報を格納するスプレッドシートから新しいテーブルを作成します。チュートリアルを進めるには、 空港スプレッドシートをダウンロードしてください 。次に、「 スプレッドシートをインポート 」および「 スプレッドシートのインポートから新しいテーブルを作成する 」の手順を使用して、空港スプレッドシートから新しいテーブルを作成します。
2. 参照する情報が表示されるようにテーブルをカスタマイズします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. App Engine Studio のアプリケーションダッシュボードから空港テーブルを選択します。

b. テーブルのランディングページで、上部のリボンの データ の横にあるその他の (⋮) を選択し、フィールド を選択します。



c. フィールド ページの 名前 フィールドで、表示 スイッチ ( ) をオンに切り替えて、他のテーブルが空港名を参照できるようにします。

> **重要:**
> 他のテーブルから参照されるフィールドは 1 つだけ選択できます。複数のフィールドを選択しようとすると テーブルビルダー 、変更を保存するときに選択内容のうち 1 つだけが保持されます。

d. **[Save** (保存)] を選択します。

3. App Engine Studio のアプリケーションダッシュボードに移動します。
4. 従業員の出張要求テーブルを選択し、空港テーブルからデータをプルする参照フィールドを作成します。
5. テーブルのランディングページで、[データ] の横にある [⋮) を選択し、[フィールド] を選択します。
6. 参照フィールドを作成します。
   このチュートリアルでは、2 つの参照フィールドを作成して、従業員の出張要求の空港の選択肢を収集します。

   a. フィールド ページで、**+** テーブルにフィールドを追加する を選択します。

   b. [列ラベル] フィールドに「Travel From」と入力します。
   [列名] フィールドは、入力したラベルに基づいて自動入力されます。

   c. [種類] 列で [参照] を選択し、一覧から airport テーブルを選択します。
   このチュートリアルでは、従業員の出張先をキャプチャするための別の参照フィールドを作成します。このフィールドに は [移動先] というラベルを付けます。

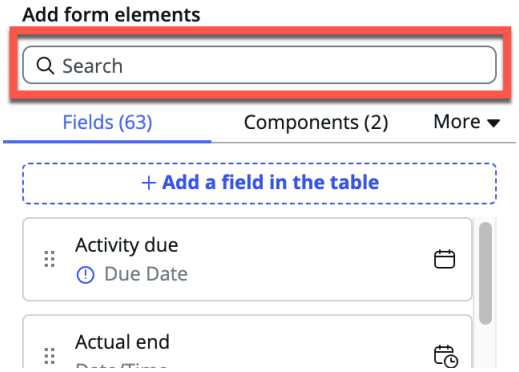
7. **[Save** (保存)] を選択します。
8. テーブルのフォームビューに参照フィールドを追加します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. 上部のリボンで [フォーム] を選択します。

b. 検索バーに参照フィールドのラベルを入力します。
このチュートリアルでは、参照フィールドに は [移動元] と [移動先] というラベルが付けられています。



c. [フォーム要素を追加] パネルから [デフォルトビュー] パネルに参照フィールドをドラッグします。

9. オプション: ステップ 6 ～ 8 のプロセスを繰り返して、必要な数の参照フィールドを追加します。

10. **[Save** (保存)] を選択します。

タスクの結果
従業員の出張要求アプリケーションのデータモデルが完成しました。

次のタスク
アプリ作成チュートリアルの次のステップ「 ユーザーエクスペリエンスの作成」に進んで、従業員の出張要求アプリケーションのビルドを続行します。

ユーザーエクスペリエンスの作成

アプリケーションのユーザーエクスペリエンスを作成します。App Engine Studio のエクスペリエンスと、従業員の出張要求アプリケーションのユーザーエクスペリエンスの構築方法について説明します。

ユーザーエクスペリエンスを作成することで、アプリケーションの構築を続行します。

これは、アプリ作成チュートリアルの 4 番目の手順です。このステップでは、ユーザーエクスペリエンスについて学習し、従業員の出張要求アプリケーションにエクスペリエンスを追加します。

ステップ **1**	✓	アプリケーションの計画立案
ステップ **2**	✓	アプリを作成
ステップ **3**	✓	データモデルの構築
手順 **4**	○	ユーザーエクスペリエンスの作成

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステップ **5**	○	ロジックと自動化の追加
ステップ **6**	○	アプリケーションのテスト

ユーザーエクスペリエンスの概要

ユーザーエクスペリエンス (インターフェイス) によって、ユーザーがアプリケーションコンテンツにアクセスして操作するためのオプションが決まります。レコードプロデューサーやポータルなど、アプリケーションに追加できるエクスペリエンスにはいくつかの種類があります。App Engine Studio のエクスペリエンスの詳細については、「アプリケーションエクスペリエンスの追加」を参照してください。

チュートリアルのユーザーエクスペリエンス

このチュートリアルでは、 App Engine Studio で利用可能なアプリケーションエクスペリエンスの 1 つであるレコードプロデューサーを追加します。レコードプロデューサーは、従業員が出張要求を送信するために使用するフォームを作成します。

アプリケーションのエクスペリエンスは、次の 2 つのフェーズでビルドされます。

フェーズ 1	レコードプロデューサーの追加
フェーズ 2	レコードプロデューサーの構成

次のステップ

従業員の出張要求アプリケーションである レコードプロデューサーの追加 のユーザーエクスペリエンスの構築を開始します。

レコードプロデューサーの追加

レコードプロデューサーを作成して、従業員の出張要求アプリケーションのユーザーエクスペリエンスの構築を開始します。

始める前に
必要なロール：admin または catalog_admin

このタスクについて
従業員の出張要求アプリケーションのユーザーエクスペリエンスをビルドする最初のフェーズは、エクスペリエンスの選択です。このチュートリアルでは、レコードプロデューサーを追加します。これにより、従業員が出張要求を送信するために使用するフォームを作成できます。

フェーズ **1**	◉	レコードプロデューサーの追加
フェーズ **2**	○	レコードプロデューサーの構成

この手順では、チュートリアルビデオで示されているタスクの最初の部分について説明します。手順の残りの部分については、次のトピック レコードプロデューサーの構成で説明します。

チュートリアルに従って、従業員の出張要求アプリケーションにレコードプロデューサーを追加します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

https://player.vimeo.com/video/953207342?badge=0&autopause=0&player_id=0&app_id=58479

ビデオセクション

タイムスタンプ	セクション
0:06	エクスペリエンスを追加します。
0:10	レコードプロデューサーエクスペリエンスを選択します。
0:14	レコードプロデューサーの名前と説明を入力します。
0:20	レコードプロデューサーを作成します。

手順

1. 移動先 すべて > **App Engine** > **App Engine Studio**.
2. 出張要求アプリケーションを選択します。
3. アプリケーション ダッシュボードで、 [エクスペリエンス] の横にある **[+** 追加] を選択します。
4. [レコードプロデューサー] を選択し、[開始] を選択します。
5. レコードプロデューサーのプロパティを定義します。
   a. [名前] フィールドに「出張要求を提起する」と入力します。
   b. オプション: [簡単な説明] フィールドに、レコードプロデューサーの次の説明を入力します。
   この要求は、出張要求の承認を求めている従業員向けです。
6. **[Continue** (続行)] を選択します。
7. [レコードプロデューサーを編集] を選択して、レコードプロデューサーの設定を続行します。

タスクの結果
アプリケーションにレコードプロデューサーを追加しました。レコードプロデューサーを構成する準備ができました。

次のタスク
次のフェーズ「 レコードプロデューサーの構成」に進んで、レコードプロデューサーのセットアップを完了します。

レコードプロデューサーの構成

従業員の出張要求に必要な質問が含まれるようにレコードプロデューサーを構成します。

始める前に
必要なロール：admin または catalog_admin

このタスクについて
従業員の出張要求アプリケーションのユーザーエクスペリエンスをビルドする 2 番目のフェーズでは、レコードプロデューサーを構成します。レコードプロデューサーは、出張日、場所、航空運賃の予定など、従業員の出張要求に必要な質問が含まれるように構成します。

フェーズ **1**	✓	レコードプロデューサーの追加
フェーズ **2**	○	レコードプロデューサーの構成

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

この手順では、チュートリアルビデオで示されているタスクの 2 番目の部分について説明します。手順の最初の部分については、前のトピック レコードプロデューサーの追加で概説しました。

従業員の出張要求アプリケーションのレコードプロデューサーを設定します。

https://player.vimeo.com/video/953207342?badge=0&autopause=0&player_id=0&app_id=58479

ビデオセクション

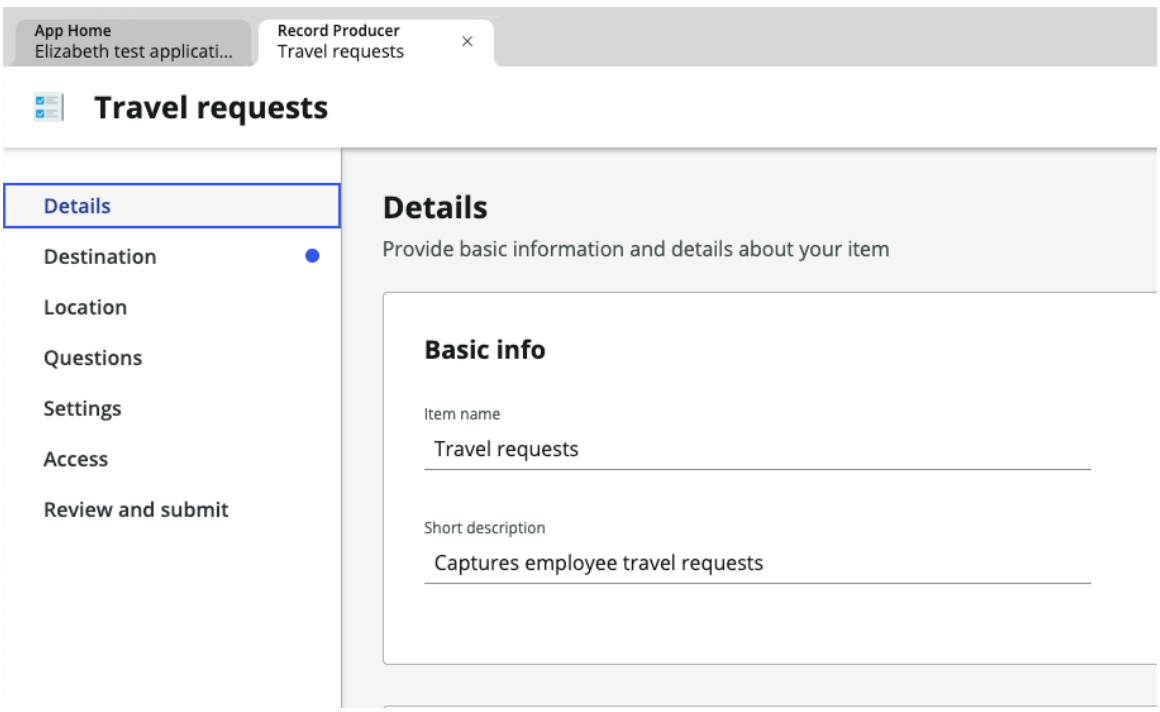
タイムスタンプ	セクション
0:21	宛先テーブルを指定します。
0:32	場所を選択します。
0:42	質問コンテナを作成します。
1:01	質問を挿入します。
3:49	レコードプロデューサーをプレビューします。
3:58	設定を構成します。
4:05	ユーザーアクセスを選択します。
4:10	レコードプロデューサーをレビューおよび送信します。

手順

1. 出張要求レコードプロデューサーが開いていることを確認します。

- インスタンスのホームページからレコードプロデューサーを開くには、次の場所に移動しますすべて > *App Engine* > *App Engine Studio*. 次に、アプリケーションを選択し、設定するレコードプロデューサーを選択します。
- 作成したレコードプロデューサーを開くには、[レコードプロデューサーの編集] を選択します。

レコードプロデューサーを開くと、キャンバススペースに表示されます。



© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

2. オプション: [アイテム名] フィールドまたは [簡単な説明] フィールドで、レコードプロデューサーの詳細を編集または追加します。
3. [宛先に進む] を選択して、レコードプロデューサーがレコードを作成するテーブルを指定します。
4. [レコード送信テーブル] フィールドに出張要求と入力し、リストから従業員の出張要求テーブルを選択します。
   出張要求テーブルを宛先テーブルとして設定すると、レコードプロデューサーを介して送信された出張要求が従業員の出張要求テーブルのレコードになります。
5. レコードプロデューサーの場所を指定するには、[場所に続ける] を選択します。

   > **注:**
   > 場所によって、ユーザーがレコードプロデューサーを見つけることができる場所が決まります。レコードプロデューサーは、 サービスカタログなどのカタログで見つけることができます。カタログは、ユーザーが注文できる一連のビジネスおよび技術製品、サービス、オファリングです。ナレッジベース記事などのトピックを使用してレコードプロデューサーを見つけることもできます。レコードプロデューサーの場所の詳細については、「 Creating or editing catalog item template 」を参照してください。

   このチュートリアルでは、従業員が従業員の出張要求フォームに簡単にアクセスできるように、サービスカタログでレコードプロデューサーを見つけます。
6. カタログ カードで、参照 を選択します。
7. [利用可能なオプション] リストから [サービスカタログ] を選択し、移動アイコン ( ) を使用して [選択したカタログ] リストに追加します。
8. [**Save selections**] をクリックします。
9. [質問に進む] を選択して、フォームの質問の作成を開始します。
10. フォームの質問のコンテナーまたはセクションを作成します。
    a. [新しい質問を挿入] ボタンの矢印) を選択して、利用可能な質問タイプのメニューを展開します。
    b. リストから [単一列コンテナ] を選択します。
    c. [タイトル] フィールドに「一般情報」と入力します。
    d. **[Submit** (送信)] を選択します。
    e. ステップ a-d の手順を繰り返して、必要な数のコンテナを作成します。
    このチュートリアルでは、フォームの質問用に次の仕様の別のコンテナーを作成します。

コンテナタイプ	タイトル
2 列コンテナ	出張の詳細

11. フォームに質問を追加します。

    > **注:**
    > レコードプロデューサーに対してさまざまなタイプの質問を作成できます。カタログビルダーで使用可能な質問タイプの完全なリストについては、「Create a question for a catalog item in Catalog Builder 」を参照してください。

    このチュートリアルでは、従業員の出張要求に関する詳細を収集するために、いくつかの質問を作成します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. 正しい質問コンテナで、プラスアイコン (⊕) にカーソルを合わせ、[+ 挿入] を選択します。
このチュートリアルでは、この質問を一般情報コンテナーに挿入します。

b. [新しい質問] を選択します。

c. 新しい質問に対して次の値を選択して入力します。

質問タイプ	質問のサブタイプ	テーブルの特定のフィールドにマップ	テーブルフィールド	質問ラベル	名前	必須
Choice (選択肢)	ドロップダウン (固定値)	はい	出張理由	旅行の理由は何ですか?	reason_for_travel	はい

d. [選択肢に進む] を選択して、質問の追加構成を完了します。

e. [利用可能な選択肢] セクションで、プラスアイコン (⊕) にカーソルを合わせ、[+ 挿入] を選択します。

f. [表示名] フィールドに「Customer meeting」と入力します。

g. ステップ e と f のプロセスを繰り返して、選択肢を追加します。
このチュートリアルでは、2 つの選択肢を追加します。次のリストには、追加される各選択肢の名前が含まれています。

- 内部会議
- トレーニング

h. [質問の挿入] を選択します。

12. ステップ 11 で概説した手順を繰り返して、必要な数の質問を作成します。
このチュートリアルでは、Travel Details コンテナーのフォームに次の質問を追加します。

a. 従業員の退職日を決定する質問を追加します。

質問タイプ	質問のサブタイプ	テーブルの特定のフィールドにマップ	テーブルフィールド	質問ラベル	名前	必須	その他の構成
日時	日付	はい	出発日	いつ出発しますか?	departure_date	はい	なし。[質問の挿入] を選択します。

b. 従業員の復帰日を決定する質問を追加します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

質問タイプ	質問のサブタイプ	テーブルの特定のフィールドにマップ	テーブルフィールド	質問ラベル	名前	必須	その他の構成
日時	日付	はい	返却日	いつ戻ってきますか?	return_date	はい	なし。[質問の挿入] を選択します。

c. 従業員の出張元を決定するための質問を追加します。

質問タイプ	質問のサブタイプ	テーブルの特定のフィールドにマップ	テーブルフィールド	質問ラベル	名前	必須	その他の構成
Choice (選択肢)	レコード参照	はい	出張元	どこから旅行するのですか?	travel_from	はい	選択 ソーステーブル > 空港.

d. 従業員の出張先を決定するための質問を追加します。

質問タイプ	質問のサブタイプ	テーブルの特定のフィールドにマップ	テーブルフィールド	質問ラベル	名前	必須	その他の構成
Choice (選択肢)	レコード参照	はい	出張先	どこに旅行しますか?	travel_to	はい	選択 ソーステーブル > 空港.

e. 出張の推定コストを決定する質問を追加します。

質問タイプ	質問のサブタイプ	テーブルの特定のフィールドにマップ	テーブルフィールド	質問ラベル	名前	必須	その他の構成
テキスト	**1** 行	はい	航空運賃の目安	航空運賃の目安はいくらですか?	estimated_airfare	はい	選択 テキスト検証 > 番号.

13. オプション: [プレビュー] を選択して、フォームをプレビューします。

14. フォームを完成させる準備ができたら、[設定に進む] または [サイド パネル の設定] タブ を選択します。

15. 次のいずれかのポータル設定の横にあるチェックボックスをオンにします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このチュートリアルでは、[ウィッシュリストに追加] ボタン と [添付ファイルを非表示にする] ボタンの横にあるチェックボックスをオンにします。これらの設定は、レコードプロデューサーで選択または選択解除できます。

- ユーザーがレコードプロデューサーアイテムをウィッシュリストに保存できないようにするには、[ウィッシュリストに追加] ボタンの横にあるチェックボックスをオンにします。
- ユーザーがレコードプロデューサーフォームで添付ファイルを提供できるようにするコンポーネントを非表示にするには、[添付ファイルボタンを非表示] の横にあるチェックボックスをオンにします。
- サービス要求の領収書やスクリーンショットなどの添付ファイルの提供をユーザーに要求するには、[添付ファイルを必須にする] の横にあるチェックボックスをオンにします。

16. [続行] を選択してアクセスします。
17. オプション: 次のオプションから選択して、フォームにアクセスできるユーザーまたはグループを定義します。

> **重要:**
> アクセスを許可または拒否するユーザーまたはグループを選択しない場合は、すべてのユーザーがフォームを使用できます。

このチュートリアルでは、ユーザーまたはグループへのアクセスを許可または拒否しません。

- 特定のユーザーまたはグループがフォームを利用できるようにするには、[利用可能 **(Available for)**] カードで [参照] を選択し、アクセス権を付与するユーザーまたはグループを検索します。移動アイコン ( ) を使用して、ユーザーまたはグループを [利用可能なオプション] リストから [許可されたアクセスを許可されたユーザー基準] リストに移動します。
- 特定のユーザーまたはグループがフォームを使用できないようにするには、[利用不可 **(Unavailable for)**] カードで [参照] を選択し、アクセスを拒否するユーザーまたはグループを検索します。移動アイコン ( ) を使用して、ユーザーまたはグループを [利用可能なオプション] リストから [ユーザー基準の拒否] アクセスリストに移動します。

18. [続行] を選択してレビューし、送信 してフォームをレビューして確定します。
19. **[Submit** (送信)] を選択します。

タスクの結果
レコードプロデューサーが構成され、テストの準備ができました。

次のタスク
次のステップ「 ロジックと自動化の追加」に進んで、従業員の出張要求アプリケーションの作成を続行します。

ロジックと自動化の追加

アプリケーションにロジックと自動化を追加します。App Engine Studioのロジックと自動化、および従業員の出張要求アプリケーションを自動化する方法について説明します。

ロジックと自動化を追加して、従業員の出張要求アプリケーションの構築を続行します。

これは、アプリ作成チュートリアルの 5 番目のステップです。このステップでは、 App Engine Studio のロジックと自動化について学習します。ディシジョンテーブルを作成し、従業員の出張要求アプリケーションのフローを作成します。

ステップ **1**	✓	アプリケーションの計画立案

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステップ **2**	✓	アプリを作成
ステップ **3**	✓	データモデルの構築
手順 **4**	✓	ユーザーエクスペリエンスの作成
ステップ **5**	○	ロジックと自動化の追加
ステップ **6**	○	アプリケーションのテスト

ロジックと自動化の概要

ロジックと自動化により、アプリケーションが実行するアクションと、それらのアクションをトリガーする条件を定義できます。ロジックは、特定のアクションをいつ実行するかを定義するのに役立ちます。たとえば、アプリケーションロジックで、サポートチケットが「重大」としてマークされているかどうかを判断できます。自動化は、アプリケーションが実行するアクションを定義します。たとえば、サポートチケットが「重大」としてマークされている場合、アプリケーション自動化によってそれらのチケットがキューの一番上に移動されます。

App Engine Studioにロジックと自動化を実装するには、いくつかの方法があります。このチュートリアルでは、ディシジョンテーブルとフローに焦点を当てています。App Engine Studio のロジックと自動化機能の全容については、「ロジックと自動化の追加」を参照してください。

チュートリアルのロジックと自動化

このチュートリアルでは、ディシジョンテーブルとフローを作成して、従業員の出張要求アプリケーションのロジックと自動化を保存します。ディシジョンテーブルを使用すると、コードとは別にアプリケーションでビジネスロジックを設定および管理できます。このチュートリアルのディシジョンテーブルは、従業員の地理的な場所に基づいて出張要求を受け取る地域の責任者を決定します。

フローは、トリガー、アクション、およびロジックを使用してアプリケーションの動作を定義する自動化されたプロセスです。このチュートリアルのフローは、出張要求が作成された後に従業員の出張要求アプリケーションが完了する一連のアクションを定義します。

アプリケーションにロジックと自動化を 2 つのフェーズで追加します。

フェーズ 1	ディシジョンテーブルの構築
フェーズ 2	フローを作成する

次のステップ

従業員の出張要求アプリケーションへのロジックと自動化の追加を開始します: ディシジョンテーブルの構築。

ディシジョンテーブルの構築

出張要求をルーティングする地域の責任者を決定する、従業員の出張要求アプリケーションのディシジョンテーブルを作成します。

始める前に

必要なロール:admin、decision_table_admin、または委任開発者権限

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて
従業員の出張要求アプリケーションにロジックと自動化を追加する最初のフェーズは、ディシジョンテーブルをビルドすることです。ディシジョンテーブルは、従業員の所在地を評価し、その情報を使用して出張要求をルーティングする地域の責任者を決定します。

フェーズ **1**	○	ディシジョンテーブルの構築
フェーズ **2**	○	フローを作成する

ディシジョンテーブルの使用の詳細については、「 Create decision tables in Workflow Studio 」を参照してください。

チュートリアルに従って、従業員の出張要求アプリケーションのディシジョンテーブルをビルドします。

https://player.vimeo.com/video/953653842?badge=0&autopause=0&player_id=0&app_id=58479

ビデオセクション

タイムスタンプ	セクション
0:05	ディシジョンテーブルを作成します。
0:12	新しいディシジョンテーブルを作成します。
0:13	一意の名前を入力し、ディシジョンテーブルのスコープを選択します。
0:28	入力を追加します。
0:36	条件列を追加します。
0:52	条件を追加します。
0:59	結果列を追加します。
1:09	結果を追加します。
1:16	条件をさらに追加します。
1:34	変更内容を保存します。
1:36	ディシジョンテーブルがアプリケーションに追加されたことを確認します。

手順

1. 移動先 すべて > **App Engine** > **App Engine Studio**.

2. 出張要求アプリケーションを選択します。

3. アプリケーション ダッシュボードで、 [ロジックと自動化] の横にある **[+** 追加] を選択します。

4. [**Decision**] を選択し、[**Begin]** を選択します。

5. [新しいディシジョンテーブルの作成] を選択します。

6. ディシジョンテーブルのプロパティを定義します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. [名前] フィールドに「Regional head approvals」と入力します。

b. [アクセス可能] フィールドで、[このアプリケーションスコープのみ] を選択して、ディシジョンテーブルのロジックを選択したアプリケーションのみに適用します。
ディシジョンテーブルのロジックをすべてのアプリケーションに適用する場合は、[すべてのアプリケーションスコープ] を選択します。

c. **[Continue** (続行)] を選択します。

7. ディシジョンテーブルの設定を続行するには、[ディシジョンテーブルを編集] を選択します。

8. ディシジョンテーブルに入力を追加します。

> **注:**
> 入力は、ディシジョンテーブルで評価されるデータを定義します。

このチュートリアルでは、ディシジョンテーブルが各出張要求に関連付けられた従業員情報を評価できるように、入力を出張要求テーブルとして設定します。

a. **[+** 入力を追加] を選択します。

b. [タイプ] フィールドで [参照] を選択し、リストから出張要求テーブルを選択します。

c. [ラベル] フィールドに「従業員の出張要求」と入力します。

d. オプション: この手順を繰り返して、ディシジョンテーブルに必要な数の入力を作成します。
このチュートリアルでは、追加の入力は作成しません。

9. ディシジョンテーブルに条件列を追加します。

> **注:**
> 条件列は、ディシジョンテーブルで評価される値を指定することで入力データを絞り込むフィルターとして機能します。

このチュートリアルでは、条件列で入力データを絞り込み、従業員の国コードのみを評価します。従業員の国コードによって、出張要求のルーティング先の地域責任者が決定されます。

a. **[+** 条件列の追加] を選択します。

b. [条件] 列ラベルに「 従業員地域」と入力します。

c. [入力] フィールドで、出張要求テーブルの入力を選択します。

d. [評価するデータ] で [フィールド] を選択します。

e. [フィールド] フィールドで、 作成者 > 国コード.

f. [既定の演算子] フィールドで、[次のいずれか] を選択します。

g. **[Done** (完了)] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

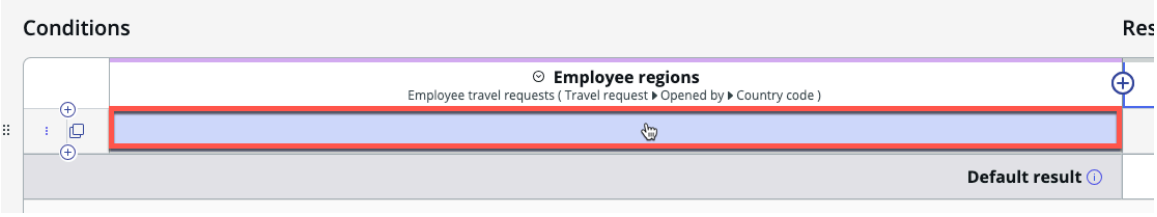
h. オプション: この手順を繰り返して、ディシジョンテーブルに必要な数の条件列を作成します。
このチュートリアルでは、追加の条件列は作成しません。

10. 条件列の個々の条件を定義します。

> **注:**
> 条件は、ディシジョンテーブルが結果を返すために評価する個々の値を表します。

このチュートリアルでは、定義する条件は、異なる地域ヘッドに対応する各国を表します。南北アメリカ (AMS) 地域、アジア太平洋 (APAC) 地域、およびヨーロッパ、中東、アフリカ (EMEA) 地域を構成する国々の個々の条件を定義します。

a. 条件列の空のボックスを選択します。



b. [次の値に等しい] を選択し、次にリストから [いずれか] を選択します。

c. 下の空白スペースに、[**Brazil**] と **[United States]** のいずれかを選択します。

d. [OK] を選択します。

e. [+ 新しい意思決定行を追加] を選択して、条件列に条件を追加します。

f. オプション: ステップ a～e のプロセスを繰り返して、追加の条件を定義します。
このチュートリアルでは、APAC および EMEA 地域を構成する国に対して 2 つの追加条件を定義します。次の表は、設定した条件列の値の概要を示しています。

演算子	値
次の値のいずれか	▪ 中国 ▪ 日本
次の値のいずれか	▪ フランス ▪ ドイツ ▪ イタリア ▪ スペイン ▪ 英国

11. ディシジョンテーブルに結果列を追加します。

> **注:**
> 結果列は、入力値と条件値を評価した後に返すデータのタイプを決定します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このチュートリアルでは、結果列によって、出張要求のルーティング先のリージョン ヘッドが決定されます。リージョンヘッドはシステム内の個々のユーザーであるため、結果列はユーザー [sys_user] テーブルを参照します。

a. **[+** 結果列の追加] を選択します。

b. [結果] 列のラベルフィールドに「Regional heads」と入力します。

c. オプション: [説明] フィールドに、結果列の説明を入力します。

d. [タイプ] フィールドに「参照」と入力し、リストから [参照] を選択します。

e. [参照テーブル] フィールドに「ユーザー」と入力し、リストから [ユーザー **[sys_user]** を選択します。

f. **[Done** (完了)] を選択します。

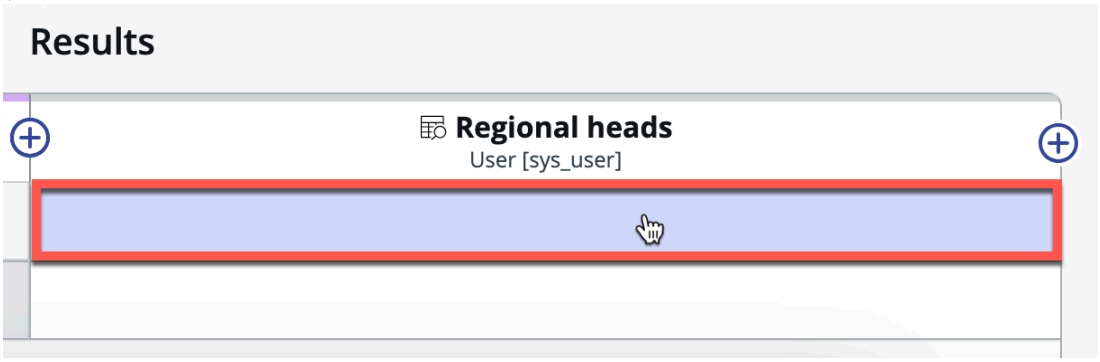
g. オプション: ディシジョンテーブルに追加の結果を定義する場合は、この手順を繰り返して、必要な数の結果列を作成します。
このチュートリアルでは、追加の結果列は作成しません。

12. 結果列の結果を定義します。

> **注:**
> 結果は、ディシジョンテーブルで定義された入力、条件、および結果に基づいて生成される個々の値または意思決定です。

このチュートリアルでは、結果は各地域の地域ヘッドを表します。

a. 結果列の空のボックスを選択します。



b. 空のフィールドに、地域責任者の名前を入力します。
南北アメリカ (AMS) 地域の場合は、「 Lucius Bagnoli」と入力します。

c. リストからリージョンヘッドを選択し、Enter キーを選択します。

d. オプション: ステップ a～c のプロセスを繰り返して、ディシジョンテーブルに必要な数の結果を作成します。
このチュートリアルでは、APAC と EMEA の地域責任者に対して 2 つの追加結果を作成します。次の表に、各リージョンのリージョンヘッドユーザー情報の概要を示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

地域	ユーザー
アジアパシフィック (APAC)	ロブ・フィル
欧州、中東、およびアフリカ (EMEA)	Abel Tuter

13. **[Save** (保存)] を選択します。
14. オプション: ディシジョンテーブルがアプリケーションに追加されたことを確認します。
    a. アプリケーションのホームページに移動します。
    b. ディシジョンテーブルが [ロジックと自動化] セクションに表示されることを確認します。

タスクの結果
アプリケーションのディシジョンテーブルを作成しました。

次のタスク
従業員の出張要求アプリケーションにロジックと自動化を追加する次のフェーズである フローを作成するに進みます。

フローを作成する

フローを作成して、従業員の出張要求アプリケーションのワークフローを自動化します。

始める前に
必要なロール：admin または flow_designer

このタスクについて
従業員の出張要求アプリケーションにロジックと自動化を追加する 2 番目のフェーズは、フローの作成です。作成するフローは、従業員の出張要求が作成された後のアプリケーションのワークフローを自動化します。

フェーズ **1**	✓	ディシジョンテーブルの構築
フェーズ **2**	○	フローを作成する

フローの詳細については、「 Building flows 」を参照してください。

次のチュートリアルを使用して、従業員の出張要求アプリケーションのフローを作成します。

https://player.vimeo.com/video/953653961?badge=0&autopause=0&player_id=0&app_id=58479

ビデオセクション

タイムスタンプ	セクション
0:09	アプリケーションにフローを追加します。
0:14	フローをゼロからビルドします。
0:17	フローの一意の名前と説明を入力します。
0:22	フローの設定を続行します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ビデオセクション (続く)

タイムスタンプ	セクション
0:25	トリガーを作成します。
0:41	「承認を求める」アクションの追加。
1:09	If フローロジックを追加。
1:25	ディシジョンテーブルの統合。
1:48	重複する繰り返しアクション。
2:17	[レコードの更新] アクションの追加。
2:38	Else フローロジックを追加。
2:50	[メール送信] アクションの追加。
4:14	[終了フローを追加] フローロジック。
4:19	フローを図として表示します。
4:22	変更内容を保存します。

手順

1. 移動先 すべて > **App Engine** > **App Engine Studio**.
2. 従業員の出張要求アプリケーションを開きます。
3. アプリケーション ダッシュボードで、 [ロジックと自動化] の横にある **[+** 追加] を選択します。
4. [フロー] を選択し、[開始] を選択します。
5. **[Build your flow from scratch**] を選択します。
   また、 Now Assistを使用してフローをビルドすることもできます。詳細については、「Create a flow with Now Assist」を参照してください。
6. フローのプロパティを定義します。
   a. [名前] フィールドに「 Approvals workflow」と入力します。
   b. [説明] フィールドに「 マネージャーおよび地域責任者の承認ワークフロー」と入力します。
   c. **[Continue** (続行)] を選択します。
7. [このフローを編集] を選択して、フローの設定を続行します。
8. フローにトリガーを追加します。

   注:
   「トリガー」は、フローを実行するタイミングを指定します。トリガー条件が満たされると、トリガーによって提供されたデータを使用してフローが実行されます。

   このチュートリアルでは、従業員が出張要求を送信するたびにフローを実行するトリガーを作成します。

   a. [トリガー] セクションで、 **[+** トリガーの追加] を選択します。

   b. [トリガー] フィールドで、 レコード > 作成日時.
   トリガータイプの詳細については、「 Workflow Studio flow trigger types」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

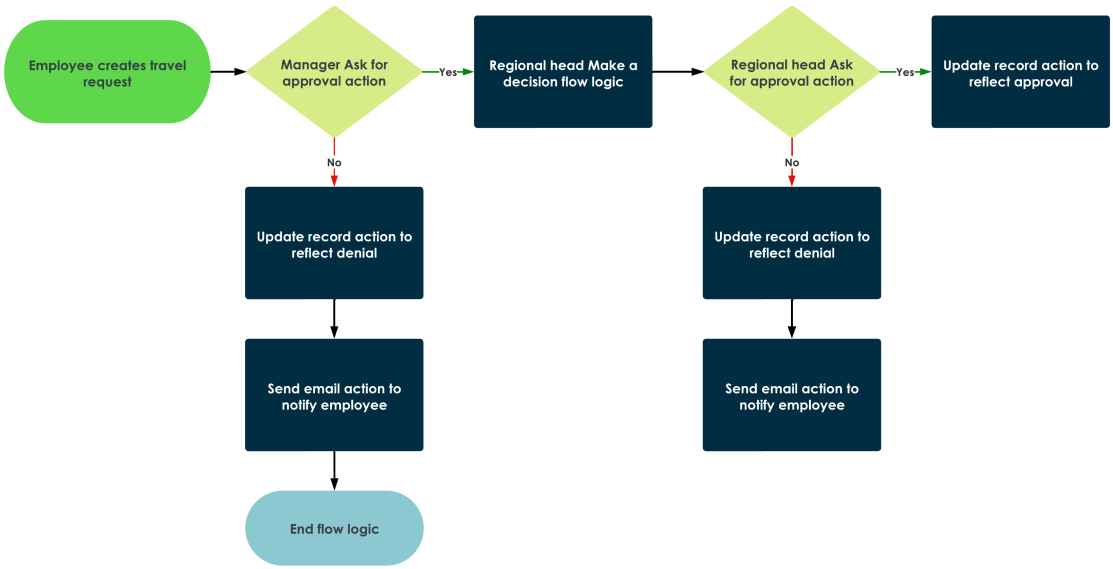
c. [テーブル] フィールドに出張要求テーブルの名前を入力し、リストから選択します。

d. [Done (完了)] を選択します。

9. アクション、フローロジック、およびサブフローをフローに追加します。

> **注:**
> アクション、フローロジック、およびサブフローを追加して、フローで目的のアクションを実行できるようにすることができます。たとえば、アプリケーションでメールを自動的に送信できるようにするアクションを作成できます。

このチュートリアルでは、従業員の出張要求プロセスを自動化するために、いくつかのアクションとフローロジックの分岐を追加します。次の図は、チュートリアルで作成するフローを示しています。



チュートリアルで示されているアクションとフローロジックを追加する手順については、次のトピックで概説します。

10. オプション: [表示] の横にあるスイッチを切り替えて、フローが図としてどのように表示されるかを確認します。

11. [Save (保存)] を選択して変更を保存します。

タスクの結果
従業員の出張要求アプリケーションのエンドツーエンドのワークフローを自動化するフローが作成されました。

次のタスク
従業員の出張要求アプリケーションのフローのビルドを続行します。次のステップ「「承認を求める」アクションの追加」に進みます。

「承認を求める」アクションの追加

フローに「承認を求める」アクションを追加して、任意のレコードの承認を要求します。

始める前に
必要なロール：admin または flow_designer

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて
「承認を求める」アクションは、簡単に承認を要求できる ServiceNow Core アクションテンプレートです。承認が必要なレコードを指定し、レコードを承認または却下するユーザーをアサインできます。

このチュートリアルでは、「承認を求める」アクションを使用して、従業員の出張要求についてマネージャーと地域責任者の両方に承認を要求します。この手順では、マネージャーにルーティングする「承認を求める」アクションの概要を説明します。リージョナルヘッドにルーティングする「承認を求める」アクションを作成する手順については、 重複する繰り返しアクションで説明します。

「承認を求める」アクションの詳細については、「 Ask for Approval action 」を参照してください。

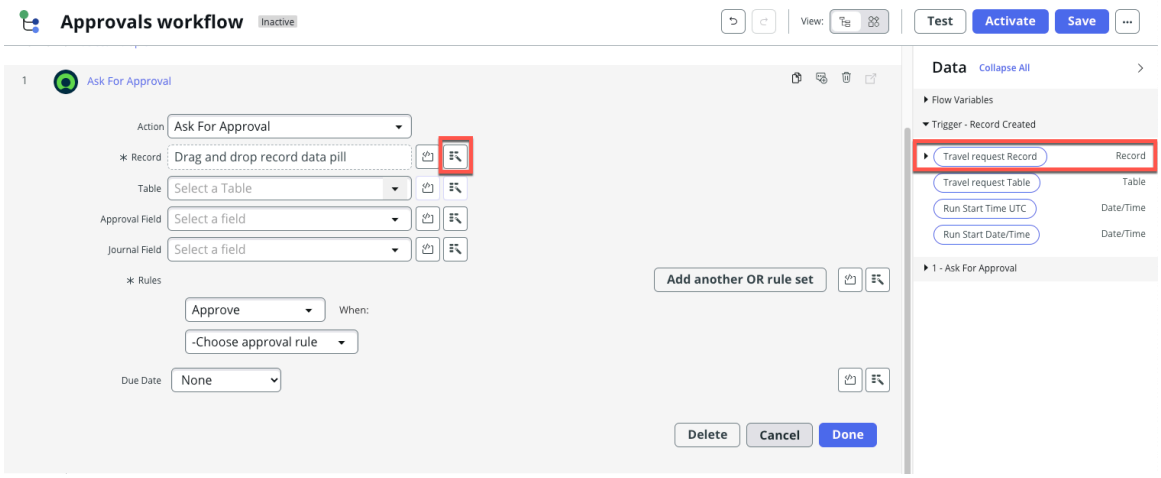
手順

1. フロー内の正しい場所で、[+ アクション、フローロジック、またはサブフローを追加] を選択します。
   このチュートリアルでは、マネージャーにルーティングする「承認を求める」アクションは、トリガーの直後に発生します。チュートリアルのフローで「承認を求める」アクションが発生する場所を確認するには、「 フローを作成する」の図を参照してください。
2. [**Action** (アクション)] をクリックします。
3. **[ServiceNow Core**] オプションから、[承認を求める] を選択します。
4. 次のいずれかのオプションを選択して、アクションを適切なトリガーに接続します。

   注:
   一部のフローには複数のトリガーがあるため、アクションに対応するトリガーを指定する必要があります。

   このチュートリアルでは、出張要求レコードトリガーを [レコード] フィールドに追加して、従業員が出張要求を送信するたびにアクションが実行されるようにします。

   - [承認を求める] ダイアログ内でトリガーを追加するには、 データピルピッカー ( ) を選択し、リストからトリガーを選択します。
   - [データ] パネルからトリガーを追加するには、トリガーを含むデータピルを [レコード] フィールドにドラッグします。



5. アクションのルールを設定します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

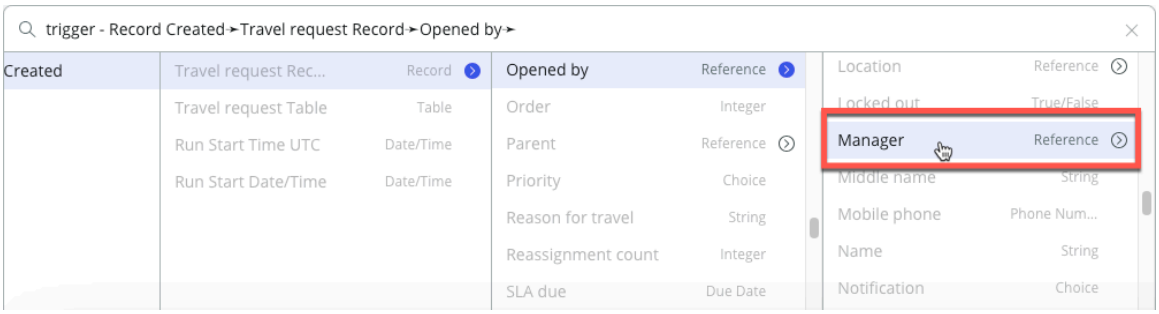
注:
ルールは、どのユーザーが要求を承認または却下できるか、および承認または却下後に何が実行されるかを決定します。「承認を求める」アクションで使用可能なルールの詳細については、「 Ask for Approval action 」を参照してください。

このチュートリアルでは、要求を送信したユーザーのマネージャーに出張要求を送信するように、「承認を求める」アクションのルールを構成します。その後、マネージャーは要求を承認または拒否できます。

a. [承認] フィールドを選択し、リストから [承認] または [却下] を選択します。

b. [承認ルールの選択] フィールドを選択し、[すべてのユーザーによる承認または却下] を選択します。

c. データピルピッカー ( )、ユーザーを追加アイコン (アイコン)、 グループを追加アイコン (グループ)、 手動承認者を追加アイコン ( ) を使用するか、[データ] パネルからフィールドにデータピルをドラッグして、承認アクションを完了できるユーザーまたはグループを選択します。
このチュートリアルでは、「承認を求める」アクションを出張要求を送信したユーザーのマネージャーにルーティングします。ここでは トリガー - レコードが作成されました > 出張要求レコード > 作成者 > マネージャー.



重複する繰り返しアクションで作成する 2 番目の「承認を求める」アクションは、承認を地域責任者にルーティングします。

6. **[Done** (完了)] を選択します。

7. **[Save** (保存)] を選択します。

次のタスク
次のステップ「 If フローロジックを追加」に進みます。

If フローロジックを追加

If フローロジックを使用して、特定の条件に基づいてアクションを実行するようにフローに指示します。

始める前に
必要なロール：admin または flow_designer

このタスクについて
If フローロジックをフローに追加して、特定の条件が満たされた場合にのみアプリケーションがアクションを実行するようにします。フローロジックが、条件が満たされた場合にのみ実行されるフロー内で特定のパスまたは分岐を作成する場合。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

このチュートリアルでは、If フローロジックを使用して、出張要求が承認された場合にアプリケーションが実行する処理を定義します。たとえば、出張要求が地域責任者によって承認された場合は、出張要求 レコードのステータスを [完了してクローズ] に変更する必要があります。

アプリ作成チュートリアルのフローには、If フローロジックの 2 つのインスタンスがあります。1 つはマネージャーの承認を表し、もう 1 つはリージョナルヘッドの承認を表します。この手順では、マネージャー承認を表す分岐の作成について説明します。この手順を使用して、リージョンヘッド承認を表す分岐を作成し、それに応じて 列ラベル と 条件 フィールド の値を調整できます。

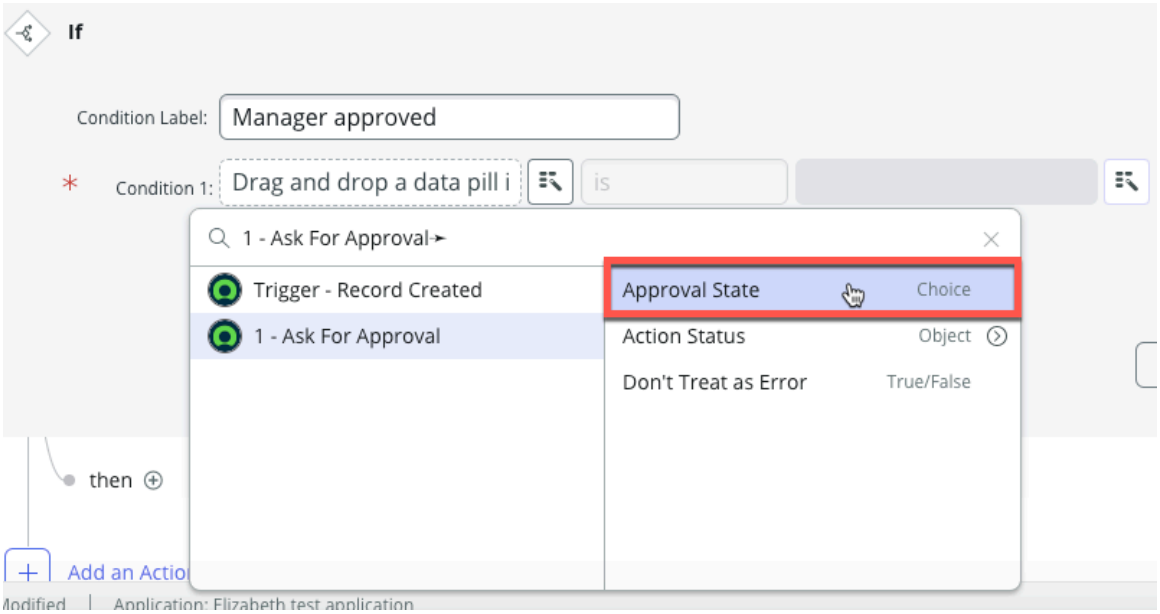
If フローロジックの使用の詳細については、「 If flow logic 」を参照してください。

手順

1. フロー内の正しい場所で、[+ アクション、フローロジック、またはサブフローを追加] を選択します。
   マネージャーの承認を表す If フローロジックは、最初の「承認を求める」アクションの直後に発生します。If フローロジックがチュートリアルフローのどこにあるかを確認するには、「 フローを作成する」の図を参照してください。
2. [フローロジック] を選択します。
3. **[If]** を選択します。
4. オプション: [条件ラベル] フィールドに、分岐が表す条件を説明する説明を入力します。
   このチュートリアルでは、この分岐はマネージャーが出張要求を承認したことを表すため、「 マネージャー承認済み」と入力します。
5. データピルピッカー ( ) を使用するか、[データ] パネルから [条件 **1**] フィールドにデータピルをドラッグして、分岐を実行する条件を選択します。

   > **注:**
   > 条件は、分岐を実行するかどうかを決定するときにフローが評価するデータコンテナーです。If フローロジックで 1 つまたは複数の条件を定義できます。

   このチュートリアルでは、マネージャーが出張要求を承認した場合に何が起こるかをフローのこの分岐で表す必要があるため、条件を [承認状態] に設定します。



6. [条件 **1**] の横のフィールドを選択し、適切な値を選択して、分岐の実行を可能にする条件ステータスを定義します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
条件ステータスは、分岐を実行するタイミングを定義する条件の実際の値です。

この場合、この分岐は出張要求がマネージャーによって承認されたときに実行する必要があります。そのため、条件ステータスを **[is**] および **[Approved]** に設定します。

7. **[Done** (完了)] を選択します。
8. **[Save** (保存)] を選択します。

タスクの結果
デフォルトでは、If フローロジックには出力がありません。これは単に、条件が満たされているか満たされていないかを評価するだけです。If フローロジックの条件が満たされたときにフローがアクションを完了するようにするには、分岐アクションまたはフローロジックを追加する必要があります。

次のタスク
次のステップ「 ディシジョンテーブルの統合」に進みます。

ディシジョンテーブルの統合

Make a decision フローロジックを使用してディシジョンテーブルをフローに統合します。

始める前に
必要なロール：admin または flow_designer

このタスクについて
Make a decision フローロジックを使用すると、フロー内で意思決定テーブルを簡単に統合できます。Make a decision フローロジックはディシジョンテーブルを実行して結果を返します。結果は、フローの分岐または [データ] パネルのデータピルとして表示できます。

このチュートリアルでは、従業員の出張要求は、マネージャーの承認を得た後、地域の責任者に送信されます。Make a decision フローロジックを使用して、フローを地域責任者ディシジョンテーブルに接続し、正しい地域情報を取得します。

Make a decision フローロジックの詳細については、「 Make a decision flow logic 」を参照してください。

手順
1. フロー内の正しい場所で、[**+** アクション、フローロジック、またはサブフローを追加] を選択します。
   マネージャーの承認を表す If フローロジックの分岐の下に Make a decision フローロジックを追加します。チュートリアルフローで Make a decision フローロジックを追加する場所を確認するには、「 フローを作成する」の図を参照してください。
2. [フローロジック] を選択します。
3. **[** 決定を下す] を選択します。
4. [ディシジョンテーブル] フィールドを選択し、リストから適切なディシジョンテーブルを選択します。
   このチュートリアルでは、リージョンヘッド承認ディシジョンテーブルを選択します。
5. [分岐を使用] のチェックボックスをオンまたはオフにします。

注:
[分岐を使用] のチェックボックスをオンにすると、フローでは考えられる各ディシジョンテーブルの結果が個別の分岐として表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このチュートリアルでは、承認プロセスは各地域責任者で同じであるため、[分岐を使用] の選択を解除します。特定の地域の従業員に対して従業員の出張要求プロセスが異なる場合は、[分岐を使用] を選択して、地域に基づいてさまざまなプロセスを表すことができます。

6. データピルピッカー ( ) を使用するか、[データ] パネルからフィールドにデータピルをドラッグして、ディシジョンテーブルの入力フィールドに正しいトリガーを追加します。

   ヒント:
   ディシジョンテーブルをフローに統合する場合は、フローのコンテキスト内で評価するディシジョンテーブルのデータ値を指定する必要があります。

   このチュートリアルでは、出張要求トリガーに関連付けられているユーザー情報を評価するためのディシジョンテーブルが必要です。そのため、 ディシジョンテーブルの入力 フィールドにトリガーを追加します。

7. **[Done** (完了)] を選択します。

タスクの結果
Make a decision フローロジックは、フローで使用できるディシジョンテーブルから結果を生成します。

次のタスク
次のステップ「 重複する繰り返しアクション」に進みます。

重複する繰り返しアクション

フロー内で繰り返されるアクションの場合は、アクションを複製し、必要に応じて値を調整することで、時間を節約できます。

始める前に
必要なロール：admin または flow_designer

このタスクについて
アクションを複製することで、フローをより迅速かつ効率的にビルドできます。

このチュートリアルでは、従業員の出張要求フロー内で繰り返されるいくつかのアクションがあります。

- [承認を求める] アクションが繰り返され、従業員の出張要求についてマネージャーと地域責任者の両方に承認が要求されます。
- [レコードを更新] アクションは、要求がマネージャーによって却下された場合など、フロー内のいくつかの場所で出張要求レコードを更新します。
- [メール送信] アクションは 2 か所で発生し、出張要求がマネージャーまたは地域責任者によって却下されたことを従業員に通知します。

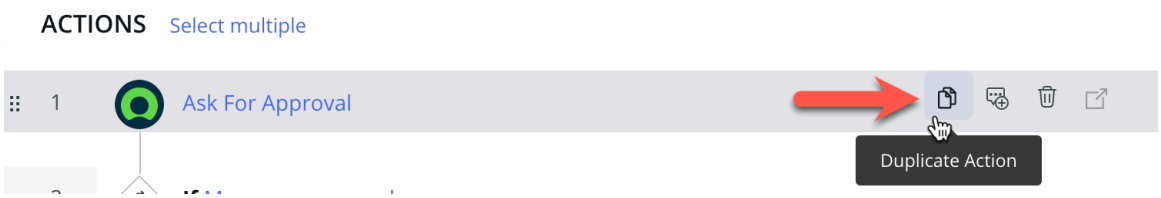
この手順では、[承認を求める] アクションを複製してリージョンの責任者の承認を要求する手順について説明します。ここで説明する手順を使用して、繰り返される他のアクションを複製し、それに応じてアクションの場所とフィールド値を調整できます。

手順

1. 複製するアクションにカーソルを合わせ、アクション複製アイコン (アクション複製) を選択します。
   このチュートリアルでは、「承認を求める」アクションを複製します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



2. アクションにカーソルを合わせ、ドラッグアイコン (⠿) を選択して、アクションを正しい場所にドラッグして、複製したアクションをフロー内の正しい場所に移動します。
重複した [承認を求める] アクションを、地域の責任者情報を返す Make a decision フローロジックの下に移動します。

3. 必要に応じて、アクションの値を調整します。

   a. 複製したアクションを選択して、アクションダイアログを開きます。

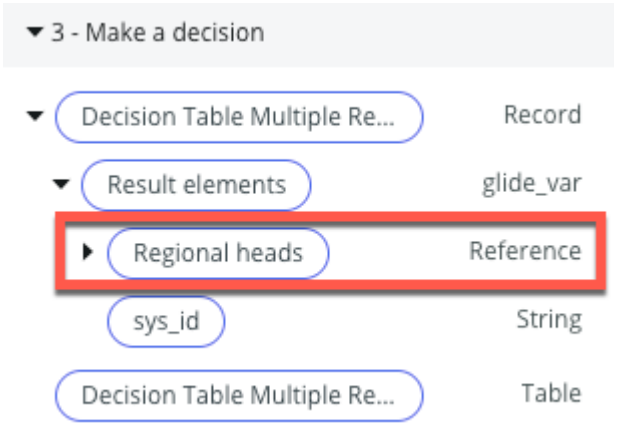
   b. 削除アイコン (⊗) を選択して、変更する必要があるフィールド値を削除します。
   このチュートリアルでは、「承認を求める」のルーティング先ユーザーを変更する必要があります。ここでは、マネージャーユーザー情報を含むデータピルの削除アイコン (⊗) を選択します。

   c. データピルピッカー (⠿) を選択するか、[データ] パネルからフィールドにデータピルをドラッグして、正しいフィールド値を指定します。
   「承認を求める」アクションを正しいリージョンヘッドにルーティングするには、リージョンヘッド情報を含むデータピルを追加する必要があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- データピルピッカー ( ) を使用して、 意志決定 > ディシジョンテーブルの複数の結果レコード > 結果要素 > 地域責任者.
- [**Data**] パネルを使用して、リージョンヘッドデータピルを選択し、フィールドにドラッグします。



4. **[Save** (保存)] を選択します。
5. オプション: この手順を繰り返して、フローで必要な数のアクションを複製します。
   このチュートリアルでは、[レコードの更新] アクションと [メール送信] アクションも複製します。

次のタスク
次のステップ「 [レコードの更新] アクションの追加」に進みます。

[レコードの更新] アクションの追加

[レコードの更新] アクションを使用して、フロー内のレコードの更新を自動化します。

始める前に
必要なロール：admin または flow_designer

このタスクについて
「レコードの更新」アクションは、フローに追加して既存のレコードを更新できる ServiceNow コアアクションテンプレートです。

このチュートリアルでは、[レコードの更新] アクションを使用して、出張要求レコードが承認または却下された後にレコードを更新します。この手順では、出張要求がマネージャーと地域責任者によって承認された場合に [レコードを更新] アクションを作成する方法について説明します。この手順を使用して、他の [レコードの更新] アクションを作成し、必要に応じてフィールドとフィールド値を変更できます。

[レコードを更新] アクションの詳細については、「 Update Record action 」を参照してください。

手順

1. フロー内の正しい場所で、[**+** アクション、フローロジック、またはサブフローを追加] を選択します。
   マネージャーとリージョナルヘッドの承認を表す [レコードの更新] アクションを、リージョナルヘッド承認の If フローロジック分岐の下に追加します。チュートリアルフローで [レコードを更新] アクションを追加する場所を確認するには、「 フローを作成する」の図を参照してください。
2. [**Action** (アクション)] をクリックします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

3. **[ServiceNow Core]** オプションから、[**Update Record**] を選択します。
4. データピルピッカー ( ) を選択するか、[データ] パネルから [レコード] フィールドにデータピルをドラッグして、更新するレコードを選択します。
   このチュートリアルでは、出張要求レコードを更新するため、出張要求トリガーを [レコード] フィールドに追加します。
5. [フィールド値の追加] を選択し、リストから更新するフィールドを選択して、レコードで更新するフィールドを選択します。
   このチュートリアルでは、出張要求がマネージャーと地域責任者によって承認された後、出張要求レコードのいくつかのフィールドを更新する必要があります。次のフィールドを選択します。
   - 承認
   - **Assignment group** (アサイン先グループ)
   - 状況
6. [選択] フィールドの任意の場所を選択し、リストから正しい値を選択して、追加した各フィールドの目標値を設定します。
   このチュートリアルでは、追加したフィールドに次の値を設定します。

フィールド	値
承認	承認済み
アサイン先グループ	トラベルデスク
状況	完了してクローズ

7. **[Done** (完了)] を選択します。
8. **[Save** (保存)] を選択します。

次のタスク
次のステップ「 Else フローロジックを追加」に進みます。

Else フローロジックを追加

If フローロジックを含むフローでは、Else フローロジックを追加して、条件が満たされない場合に代替パスを作成します。

始める前に
必要なロール：admin または flow_designer

このタスクについて
Else フローロジックを追加して、If フローロジック条件が満たされない場合にフローが実行するアクションを定義します。Else フローロジックは、[If] フローロジック条件が満たされていない場合にのみ実行されるパスをフローに作成します。

このチュートリアルでは、Else フローロジックを追加して、出張要求がマネージャーまたは地域責任者によって却下された場合の動作を指定します。

手順
1. フロー内の正しい場所で、[**+** アクション、フローロジック、またはサブフローを追加] を選択します。
   フロー内の 2 つの場所に Else フローロジックを追加します。1 つはマネージャーの承認を表すフロー分岐の下、もう 1 つは地域の責任者の承認を表す分岐の下です。チュートリアルフローで

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

Else フローロジックを追加する場所を確認するには、「 フローを作成する」の図を参照してください。

2. [フローロジック] を選択します。
3. [フローロジックを検索] リストで、[それ以外の場合] を選択します。
4. **[Save** (保存)] を選択します。

タスクの結果

デフォルトでは、Else フローロジックには出力がありません。If フローのロジック条件が満たされない場合に実行するフローの分岐が作成されるだけです。Else フローロジックブロックでフローがアクションを完了するようにするには、分岐アクションまたはフローロジックを追加する必要があります。

次のタスク

次のステップ「 [メール送信] アクションの追加」に進みます。

[メール送信] アクションの追加

[メール送信] アクションを使用してメール通知の送信を自動化します。

始める前に

必要なロール：admin

このタスクについて

[メール送信] アクションは、指定したユーザーまたはグループへのメール送信を自動化するためにフローに追加できる ServiceNow コアアクションテンプレートです。

このチュートリアルでは、出張要求が却下されたことを従業員に通知するメール送信アクションを追加します。この手順では、出張要求が地域責任者によって却下されたことを従業員に通知する [メール送信] アクションについて説明します。この手順を使用して、マネージャー却下に対する他の [メール送信] アクションを作成し、それに応じてフィールド値を調整することができます。

[メール送信] アクションの詳細については、「 Send Email action 」を参照してください。

手順

1. フロー内の正しい場所で、[**+** アクション、フローロジック、またはサブフローを追加] を選択します。
   リージョンヘッド却下を表す Else フローロジックの下に [メール送信] アクションを追加します。
   チュートリアルフローで [メール送信] アクションを追加する場所を確認するには、「 フローを作成する」の図を参照してください。
2. [**Action** (アクション)] をクリックします。
3. **[ServiceNow Core**] オプションから、[**Send Email**] を選択します。
4. データピルピッカー ( ) を使用するか、[データ] パネルからデータピルをドラッグして、メールが関連付けられているレコードを [ターゲットレコード] フィールドに追加します。
   このチュートリアルでは、トリガーの出張要求レコードにメールを関連付けます。
5. データピルピッカー ( ) を使用するか、[データ] パネルからデータピルをドラッグして、[宛先] フィールドにメールの受信者を追加します。
   このチュートリアルでは、出張要求を作成したユーザーがメールを受信するようにします。ユーザー情報は、 トリガー - レコードが作成されました > 出張要求レコード > 作成者.
6. オプション: **[CC**] フィールドと **[BCC**] フィールドにメールに受信者を追加します。
   このチュートリアルの [メール送信] アクションには受信者を追加しません。
7. [件名] フィールドにメールの件名を入力します。
   このチュートリアルでは、メールの件名「 出張要求が却下されました」を入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

8. [本文] フィールドにメールメッセージの内容を入力します。

   ヒント:
   動的に作成されたコンテンツ、またはフロー内で生成されたコンテンツを [メール送信] アクションに追加できます。動的コンテンツを追加するには、データピルを [データ] パネルからメールの 本文 にドラッグします。

   このチュートリアルでは、メールの本文で、出張要求が却下されたことと、追加情報についてマネージャーに連絡するよう従業員に通知します。

9. **[Done** (完了)] を選択します。
10. **[Save** (保存)] を選択します。

次のタスク
次のステップ「 [終了フローを追加] フローロジック」に進みます。

[終了フローを追加] フローロジック

終了フローフローロジックを追加して、現在のフローの実行を停止します。

始める前に
必要なロール：admin

このタスクについて
特定の条件が満たされたときにフローを終了する場合は、End Flow フローロジックを追加できます。終了フローロジックは、If、Else If、Else フローロジックなどの条件付きフローロジックブロック内に含めることができます。終了フローロジックは、現在のフローの実行を停止します。

このチュートリアルでは、出張要求が却下された場合にフローを終了するための [終了フロー] フローロジックを追加します。

[終了フロー] フローロジックの詳細については、「 End Flow flow logic 」を参照してください。

手順

1. フロー内の正しい場所で、[**+** アクション、フローロジック、またはサブフローを追加] を選択します。
   出張要求に対するマネージャーの却下を表す分岐に [End Flow] フローロジックを追加します。
   チュートリアルフローのどこに End Flow ロジックを追加するかについては、「 フローを作成する」の図を参照してください。
2. [フローロジック] を選択します。
3. [フローロジックを検索] リストで、[フローの終了] を選択します。
4. **[Save** (保存)] を選択します。

次のタスク
従業員の出張要求アプリケーションのロジックと自動化が完了しました。アプリ作成チュートリアルの最後のステップ「 アプリケーションのテスト」に進みます。

アプリケーションのテスト

公開前に、アプリケーションのエクスペリエンスとフローをテストして、アプリケーションが意図したとおりに動作することを確認します。

始める前に
必要なロール：admin または flow_designer

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて
アプリケーションビルドの最後のステップはテストです。アプリケーションをテストするには、ユーザーエクスペリエンスをシミュレートする、フロー実行を実行してすべてが期待どおりに動作することを確認するなど、いくつかの方法があります。

これは、アプリ作成チュートリアルの最後の手順です。この手順では、レコードプロデューサーにテストレコードを作成し、実行するフローがトリガーされることを確認します。また、承認が適切なユーザーにルーティングされること、およびレコードの更新など、定義したアクションがフローで実行されることも確認します。

ステップ **1**	✓	アプリケーションの計画立案
ステップ **2**	✓	アプリを作成
ステップ **3**	✓	データモデルの構築
手順 **4**	✓	ユーザーエクスペリエンスの作成
ステップ **5**	✓	ロジックと自動化の追加
ステップ **6**	○	アプリケーションのテスト

アプリケーションのテストの詳細については、「 アプリケーションのテストとデバッグ」を参照してください。

チュートリアルに従って、従業員の出張要求アプリケーションをテストします。

https://player.vimeo.com/video/953653889?badge=0&autopause=0&player_id=0&app_id=58479

ビデオセクション

タイムスタンプ	セクション
0:07	フローを有効化します。
0:10	インスタンスのホームページに移動します。
0:15	ユーザーの代理操作を行ってユーザーエクスペリエンスをテストします。
0:20	レコードプロデューサーを見つけて開きます。
0:26	テストレコードを作成します。
0:42	代理操作を終了します。
0:45	フローに戻ります。
0:48	作成したテストレコードを使用してフローをテストします。
0:56	フロー実行の詳細を確認します。
1:00	追加のテストを実行して、分岐アクションとフローロジックが正しく実行されることを確認します。

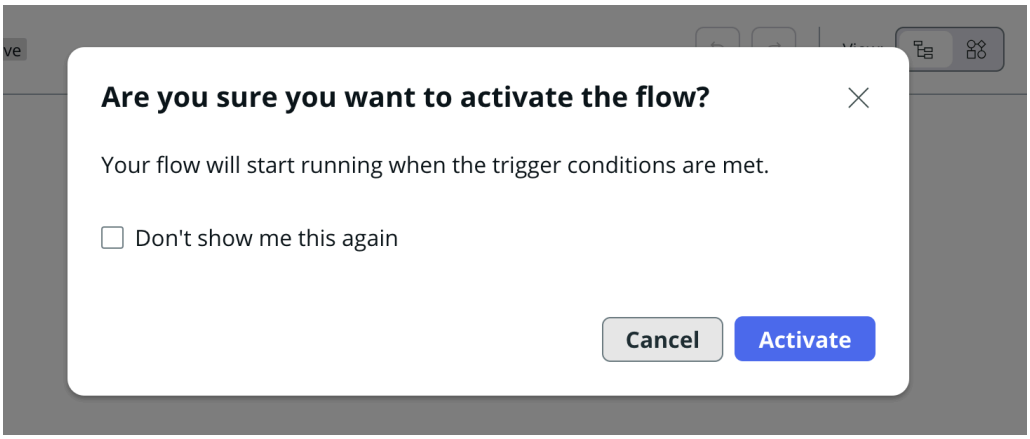
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > **App Engine** > **App Engine Studio**.
2. アプリケーションのフローを開きます。
   - アプリケーションがまだ開いていない場合は、次に移動します: すべて > **App Engine** > *App Engine Studio*. 次に、アプリケーションを開き、[ロジックと自動化] 見出しの下にあるフローを選択します。
   - フローが既に開いている場合は、変更が保存されていることを確認します。
3. アクティブ化 を選択し、もう一度 アクティブ化 を選択してフローを実行できるようにします。

   注:
   ワークフロースタジオ内でテストレコードを作成することで、フローを有効化せずにテストすることもできます。フローをアクティブ化する前のテストの詳細については、「 Test a flow 」を参照してください。

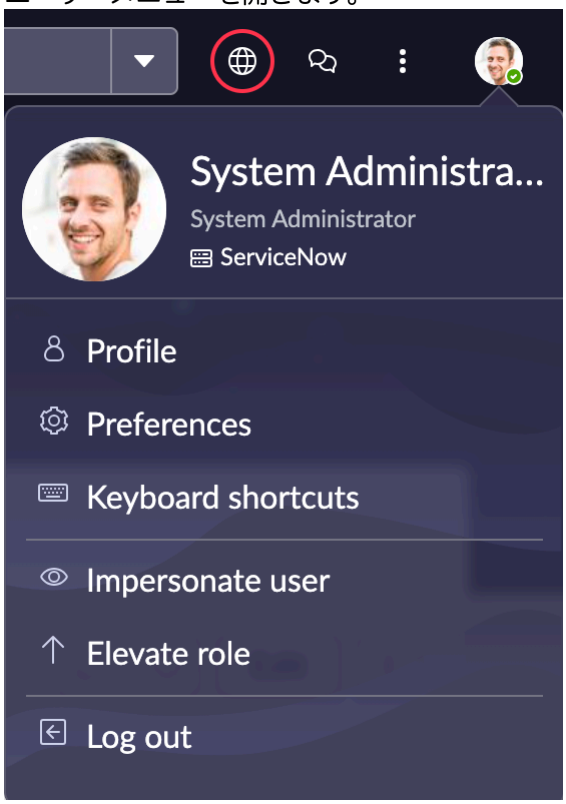


4. ServiceNow AI Platform インスタンスのホームページに移動します。
5. ユーザーの代理操作を行って、レコードプロデューサーが意図したとおりに機能することをテストします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. ユーザーメニューを開きます。



b. **[Impersonate user** (ユーザーの代理操作)] を選択します。

c. [最近の代理操作] リストからユーザーを選択するか、ユーザー選択フィールドに別のユーザーの名前を入力します。
アプリケーションをテストするときは、テストしている機能にアクセスするために必要な権限を持つユーザーを代理操作する必要があります。
このチュートリアルでは、テストしているレコードプロデューサーにすべてのユーザーがアクセスできるため、通常のユーザー権限を持つユーザーを選択します。

d. **[Impersonate user** (ユーザーの代理操作)] を選択します。
ユーザーメニューとダッシュボードが更新され、代理操作しているユーザーの正しい情報が反映されます。

6. ホームページで、次の場所に移動します: すべて > セルフサービス > サービスカタログ.
7. [サービス] を選択します。
8. リストからレコードプロデューサーを選択します。
このチュートリアルでは、「 Raise a travel request (出張要求の作成)」というレコードプロデューサーを選択します。
9. レコードプロデューサーのフィールドに入力して、テストレコードを生成します。
10. **[Submit** (送信)] を選択します。
11. 代理操作を終了します。
    a. ユーザーメニューを開きます。
    b. [代理操作の終了] を選択します。
12. アプリケーションのフローを再度開きます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. 移動先 すべて > **App Engine** > *App Engine Studio*.

b. アプリケーションを開きます。

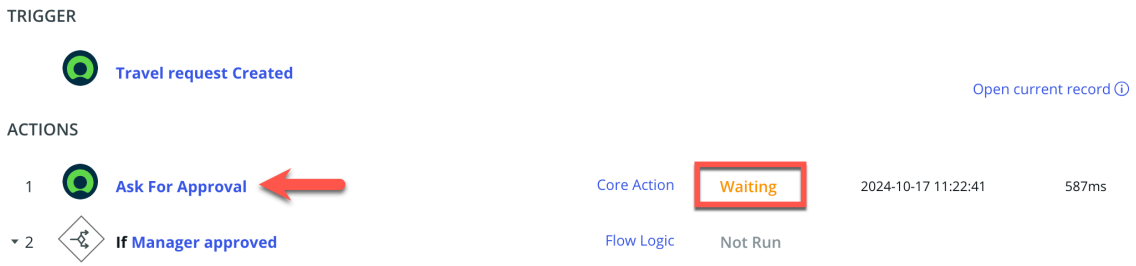
c. [ロジックと自動化] 見出しの下でフローを選択します。

13. [**Test**] をクリックします。
14. [テストフロー] ダイアログでレコードフィールドを選択し、代理操作中に作成したレコードを選択します。
15. **[Run Test** (テストを実行)] をクリックします。
選択したテストレコードに基づいてフローが実行されます。
16. [テストの実行が終了しました。フロー実行の詳細を表示します。**(View the flow execution details.)**
17. フロー実行の詳細を確認して、フローが意図したとおりに実行されていることを確認します。
フロー実行の詳細ページでは、実行時間、現在のステータス、実行されたアイテム、生成された値など、アクションまたはフローに関する詳細情報を表示できます。フロー実行の詳細については、「 Flow execution details 」を参照してください。
18. オプション: 追加のテストを実行して、フローが必要なすべてのアクション分岐とフローロジックを完了することを確認します。

    (Optional) たとえば、特定の条件が満たされた後にのみフローがアクションを実行する場合は、それらの条件を作成して、分岐アクションとロジックが正しく実行されることを確認できます。

    このチュートリアルでは、マネージャーの承認をシミュレートして、分岐アクションとフローロジックをテストします。

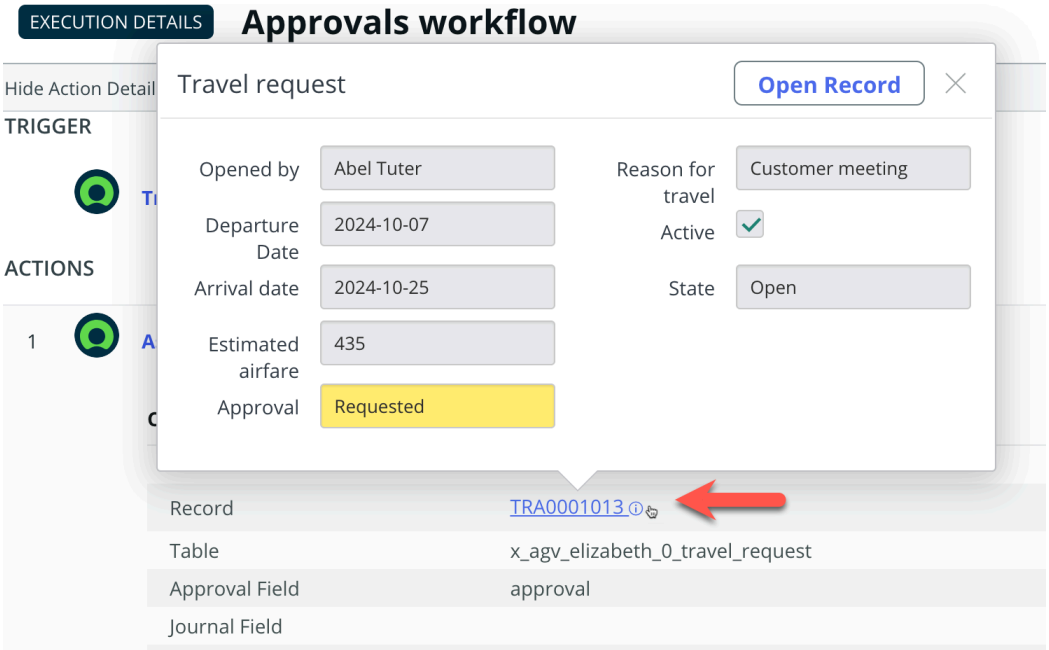
    a. 待機ステータスのアクションを選択して、アクションの詳細を表示します。



    b. アクションの詳細で、テストレコードを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



c. [レコードを開く **(Open Record)]** を選択します。

d. [承認者] リストのリストアイテムを選択して、承認レコードを開きます。

> ヒント:
> テストレコードページに 承認者 リストが表示されない場合は、ページ構成を調整して、表示したいリストを表示できます。レコードページに表示されるリストを設定するには、次の手順を実行します。
>
> **i.** レコードページで、[他のアクション] アイコン ( ) を選択します。
>
> **ii.** 選択 構成 > 関連リスト.
>
> **iii.** レコードページに表示する 承認者 リストアイテムまたはその他のリストを選択し、[利用可能] リストから [選択済み] リストに移動します。
>
> **iv. [Save** (保存)] を選択します。

e. 承認レコードページで、[承認] を選択してマネージャーの承認をシミュレートします。

f. フローに戻ります。

g. リフレッシュアイコン ( ) を選択して、フローを更新します。

h. 実行した追加のテストに基づいて、フローで分岐アクションまたはフローロジックが実行されたことを確認します。

19. オプション: この手順を完了して、フローのすべての分岐が正しく実行されることを確認するために必要な数の追加テストを実行します。

タスクの結果

従業員の出張要求アプリケーションをテストし、期待どおりに機能することを確認しました。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次のタスク
おめでとうございます! アプリケーションを計画、ビルド、およびテストすることで、アプリ作成チュートリアルを完了しました。これで、 *App Engine Studio* で独自のアプリケーションの構築を開始する準備ができました。

アプリの展開の発行や管理など、アプリケーションのビルド後に実行できるタスクを確認するには、「 アプリの公開」を参照してください。

アプリ開発の計画

[store-future: BEGIN review] New [End]
App Engine Studio (AES) のアプリケーション開発プロセスは、次の効果的なアプリのアイデアを出すことから始まります。ビジネスに利益を提供するアプリを開発するには、慎重に計画することが重要になります。

ServiceNow AI Platform への適合性

アプリケーションの特性を考慮して、ServiceNow AI Platform に適しているかどうかを判断します。

適合性が高い場合	適合性が低い場合
• 簡易フォーム • タスク管理 • 要求管理 • スプレッドシート駆動のプロセス • 繰り返し可能なプロセス • サードパーティ統合 • 複数のシステムのオーケストレーション • 複数のシステムの機能からの単一のエクスペリエンス • 同じアプリとデータへの Web およびモバイルアクセス	• 非構造化データ • 繰り返し不可能なプロセス • グラフィック処理が必要なコンテンツ • ストリーミングオーディオまたはビデオ • 高度にカスタマイズされたユーザーインターフェイス

ビルド前の計画

アプリケーションをビルドするには、ServiceNow インスタンスと、そのインスタンスのアドミニストレーターまたは委任開発者ロールにアクセスする必要があります。委任開発者権限を持っている場合、アプリケーションを開発できますが、アドミンよりも権限は少なくなります。

基本的に、アプリケーションはユーザーのタスクをサポートするデジタルプログラムです。アプリを計画する際は、次の表の質問を考慮してください。

質問	回答と考慮事項
アプリケーションの目標、目的、および出力は何ですか？どのようなビジネス上の問題を解決しようとしていますか？	明確な事業達成目標がないと、アプリケーションの成功を評価したり、組織内での継続的な使用を正当化したりすることが困難になる可能性があります。
スプレッドシートを ServiceNow アプリケーションに変換しますか、それともアプリケーションは別の場所に存在しますか？	この質問に対する回答は、作業をサポートするために ServiceNow AI Platform 内で使用するツールを決定するのに役立ちます。
アプリケーションを使用するのは誰ですか？	対象者を明確にすることは、アプリケーションに含める機能、キャプチャすることを選択する

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名、製品名は、関連する各社の商標である場合があります。

自動翻訳

質問	回答と考慮事項
のユーザーよりも増やしたり減らしたりする必要がありますか？	
アプリケーションの主な使用目的は何ですか？ アプリケーションは、情報の提供、情報の収集、情報のルーティング、情報の検索、要求、または情報の共同作業に使用されていますか？	アプリケーションの目的を特定することで、アプリケーションにビルドする必要がある機能を確立できます。
アプリケーションで情報を入力する必要がありますか？ それともアプリケーション内のデータが ServiceNow インスタンス (つまりユーザーデータ) に存在しますか？データは外部ソースからインポートされますか？	利用可能なデータソースを可能な限り使用して、データの重複を回避し、ビジネスゴールを達成するために必要なデータがアプリケーションに含まれるようにします。
ユーザーはアプリケーションをどのように操作しますか？ユーザーはコンピューターまたはモバイルデバイスを使用してアプリケーションにアクセスしますか？	ユーザーがアプリケーションにアクセスする手段を把握することは、アプリケーションの機能のビルド方法に影響します。
アプリケーションについてステークホルダーにどのようにレポートしますか？	アプリケーションがビジネス目的を満たしている場合は、アプリケーションに関連する使用状況、定着、および主要な事業達成目標を示すレポートを提供する必要があります。
このアプリケーションをどのように維持しますか？	アプリケーションのメンテナンスを最初に計画することで、開発プロセスの障害を防ぐことができます。

これらの質問に対する回答は、事前定義されたテンプレートに基づいてアプリケーションを作成するか、または新規にアプリを作成するかを決定するために役立ちます。

不可逆的な考慮事項

アプリケーションのビルド時に実行する一部のアクションは、取り消すことができません。そういったアクションを意識して事前に計画してください。

アクション	考慮事項
スコープ対象のアプリケーションまたはグローバルアプリケーションの作成	アプリケーションを作成するときは、プライベートスコープ (スコープ対象のアプリケーション) またはグローバルスコープ (グローバルアプリケーション) のどちらで作成するかを選択できます。スコープ対象のアプリケーションには、開発、アプリケーション展開、およびデータセキュリティを管理するための追加機能があります。デフォルトでは、すべてのアプリケーションはプライベートスコープで作成されます。 市民開発者は通常、スコープ対象のアプリケーションを操作する必要があります。
異なるインスタンスの使用	概念実証 (PoC) アプリケーションは、以下から取得した個人開発者インスタンス (PDI) でビルドできます。 ServiceNow 開発者サイト.

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アクション	考慮事項
	• PDI 名は dev12345.service-now.com のようになります。 • PoC アプリケーションは PDI で再ビルドできます。PoC アプリを PDI にインポートしないでください。 組織が使用する本番アプリケーションは、組織のテストおよび展開プロセスに従うことができるように、開発インスタンスで作成する必要があります。最終的に組織の本番インスタンスに展開されるアプリケーションの開発に使用するインスタンスについては、ServiceNow アドミニストレーターにお問い合わせください。
アプリケーション名の選択	オートコンプリートは、アプリケーションの表示名に基づいて、アプリケーションスコープとも呼ばれる内部名の提案を表示します。アプリケーションスコープは x_[会社コード]_[app_name] の形式で記述され、たとえば x_acme_legal_request のようになります。 アプリケーションで作成されたすべてのプロパティはアプリケーションスコープ名を継承するため、アプリケーションの開発を開始する前に慎重に選択してください。 **注:** アプリケーションの表示名はいつでも変更できますが、アプリケーションスコープ名は変更できません。
テーブル名とフィールドの選択	アプリケーションを作成したら、テーブルとフィールドの作成を開始します。テーブルとフィールドには、作成時にのみ編集する必要がある内部データベース名があります。

アプリケーション取り込みプロセス

組織のメンバーは、アプリケーション取り込みと呼ばれるプロセスを通じてアプリ開発のアイデアを送信できます。アイデアが送信されて承認されると、開発者は App Engine Studio のガイド付きの直感的なアプリ開発環境を使用してアプリのビルドを開始できます。

アプリケーション取り込み要求プロセスには、次のメリットがあります。

- アプリのアイデアを要求、承認、追跡、保存するプロセスを簡素化します。
- すべてのアプリアイデアを可視化することで、計画を強化します。
- 繰り返しの要求を除外するための効率的なプロセスを提供します。

詳細については、「アプリ開発のためのアイデアの送信」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

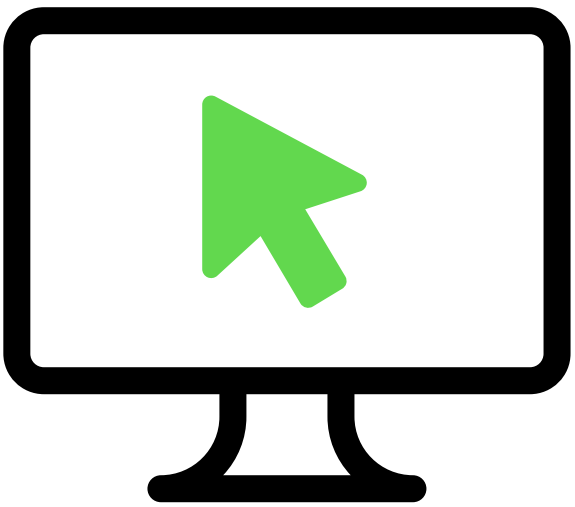
- 取り込み要求フォームは、標準 サービスカタログ から入手できます。このフォームを変更する方法については、「サービスカタログアイテム」を参照してください。
- 取り込み要求プロセスはワークフロースタジオでフローを使用して承認フローを決定します。承認フローを調整する場合は、「フロー」を参照してください。
- アドミニストレーターは、次で取り込みアプリケーション要求をレビューします：App Engine 管理センター 。詳細については、「App Engine 管理センター を使用したアプリ開発の管理」を参照してください。

アプリケーションテンプレート

アプリケーションテンプレートは、特定の目的をサポートするための事前定義されたコンテンツを提供します。たとえば、出張要求テンプレートは、従業員の出張要求を送信および承認するためのアプリケーションコンテンツを提供します。アプリケーションの目標に最も適したテンプレートを選択してください。

利用可能なテンプレートがアプリケーションの目的に適合しない場合は、最初からアプリを作成し、開発プロセスのすべての側面を制御できます。

アプリ開発の計画に関するその他のリソース

アプリ開発の計画について詳しく見る	ServiceNow リソース
ServiceNow はアプリ開発の計画に関するその他のリソースを提供します	 効果的な市民開発プログラムの立ち上げ

アプリの作成

App Engine Studio (AES) のテンプレートを使用して、データ、エクスペリエンス、ロジックと自動化、セキュリティをアプリケーションに自動的に組み込みます。または、最初からアプリを作成し、必要に応じてカスタマイズします。

注:
アプリを作成する前に、アプリ開発の計画 を行ってください。

App Engine Studio でアプリケーションをビルドするには、次のコンテンツを追加します。

データ

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

アプリケーションに保存されている情報です。たとえば、従業員の電話番号やオフィスの場所などです。テーブルを使用してアプリケーションデータを設定します。

エクスペリエンス

ユーザーが操作するグラフィカルインターフェイスです。たとえば、ユーザーが情報を検索し、要求を送信し、ビジネスタスクを実行できるポータルを作成できます。

ロジックと自動化

ロジックと自動化を追加することで、アプリケーションのすべての作業を自動化します。たとえば、誰かが要求を行ったときにアドミニストレーターに通知を送信するフローをビルドできます。

セキュリティ

アプリケーションを使用できるユーザーを限定するロールとアクセス制御です。

注:
AES でアプリを作成するには、アドミンであるか、App Engine Studio ユーザーグループに所属している必要があります。App Engine Studio ユーザー制限グループに属している場合、既存のアプリの編集のみ可能で、新しいアプリを作成することはできません。

アプリケーションテンプレートを使用する場合、1 つ以上のこれらのアイテムがアプリケーションに自動的に追加されます。その後でそれらを編集して、特定のビジネスニーズに合わせてカスタマイズできます。テンプレートを使用して作成したアプリケーションに、さらにデータ、エクスペリエンス、ロジックと自動化、またはセキュリティを追加することもできます。

アプリケーションを新規にビルドするには、データ、エクスペリエンス、ロジックと自動化、セキュリティをアプリケーションに追加し、それぞれを編集します。

アプリケーションテンプレートを使用したアプリの作成

事前定義されたデータ、エクスペリエンス、ロジックと自動化、およびセキュリティを使用するアプリケーションを App Engine Studio (AES) でビルドします。アプリをテンプレートコンテンツに追加し、組織に合わせてカスタマイズします。

始める前に

注:
AES でアプリを作成するには、アドミンであるか、App Engine Studio ユーザーグループに所属している必要があります。App Engine Studio ユーザー制限グループに属している場合、既存のアプリの編集のみ可能で、新しいアプリを作成することはできません。

必要なロール：admin、sn_app_eng_studio.user

このタスクについて

App Engine Studio でテンプレートを使用すると、アプリケーション作成の時間と労力を節約できます。ServiceNow Store からいくつかのテンプレートをダウンロードすることも、既存のアプリケーションからテンプレートを作成することもできます。PDI にテンプレートをインストールするには、「PDI からのプラグインのアクティブ化」を参照してください。

このビデオでは、次の手順を実行する方法を紹介します。

テンプレートからアプリを作成する短いビデオ

手順

1. 移動先 すべて > **App Engine** > **App Engine Studio**.
2. [テンプレート] タブで、利用可能なテンプレートを参照します。
3. 使用するテンプレートにカーソルを合わせ、[テンプレートを使用] を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

4. アプリケーションの名前と説明を入力します。
5. オプション: 画像を AES ページにドラッグするか、コンピューターでファイルを参照して、ロゴを追加します。
6. [続行] を選択します。
7. サマリー画面で、[アプリホームに移動] を選択します。
8. アプリホームから、テンプレートを使用して作成されたデータ、エクスペリエンス、ロジックと自動化、およびセキュリティを確認します。
   ビジネスニーズに合わせてアプリケーションをカスタマイズするために、これらの事前定義されたアイテムを編集したり、独自のアイテムを追加したりできます。詳細については、「アプリの拡張」を参照してください。

次のタスク
アプリケーションのビルドが完了したら、承認のためにアプリケーションを送信し、アドミニストレーターにレビューと展開を実施してもらいます。詳細については、「承認と公開のためのアプリの送信」を参照してください。

利用可能なテンプレート

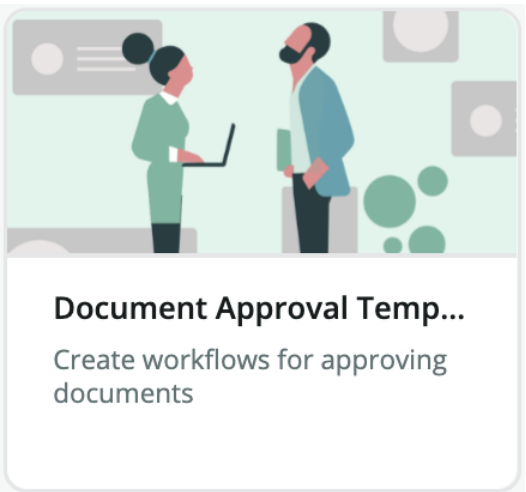
App Engine Studio (AES) でアプリケーションテンプレートを使用して、事前設定されたデータ、エクスペリエンス、ロジックと自動化、セキュリティを使用してアプリケーションを作成します。

テンプレートは、ビルドする可能性のある多くのアプリケーションの出発点として利用できます。テンプレートを使用してアプリケーションを開始し、アプリケーションをカスタマイズすることもできます。以下のテンプレートのいずれかを使用して、本格的なアプリケーションをビルドできます。またこれらのテンプレートを、ニーズに合わせてカスタマイズしたアプリを作成する出発点として使用することもできます。

ドキュメント承認テンプレート

ドキュメント承認テンプレートを使用して App Engine Studio (AES) でアプリケーションをビルドし、組織内のドキュメントの承認を管理します。

ドキュメント承認テンプレートを使用するには、ServiceNow Store からこのアプリケーションをインストールします。



ドキュメント承認アプリを使用すると、ユーザーがドキュメント承認ワークフローをすばやく作成して使用できます。ドキュメント所有者と送信者は、承認が必要なドキュメントをアップロードし、それらの承認の進捗状況を確認できます。指定された承認者は、ドキュメントを承認または却下するか、コメントを付けて返すことができます。

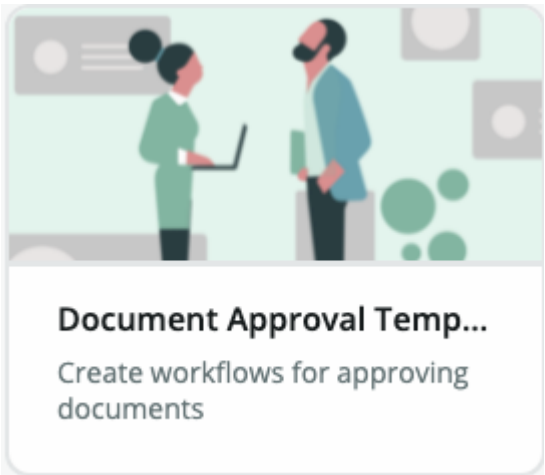
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

アドミニストレーターは、ドキュメント承認アプリケーションを使用して、ドキュメントタイプごとに異なるワークフローを作成できます。

このアプリテンプレートは、ドキュメントを処理するための内部ワークフローを迅速かつ効率的に作成するための方法として理想的です。ドキュメント所有者と送信者は、独自のワークフローを介して自動的に送信を行うシンプルなアップロード機能を使用して、承認が必要なドキュメントをポータルにアップロードできます。ドキュメントが受信されると、指定されたユーザーがドキュメントを承認、却下、または編集のために返却する間、送信者はドキュメントの進捗状況をフォローします。送信者と承認者はどちらも、コメントを使用して、今後の参照のためにシステムに保存されるメモとフィードバックを送信に追加します。このアプリをさらに多様化するために、アドミニストレーターは、各ドキュメントタイプとユーザー向けにカスタマイズされたワークフローを無制限に作成し、ドキュメントカテゴリに必要な内容に応じて複数のステージと承認者を設定できます。

ドキュメント承認テンプレート



テンプレートを使用したアプリケーションの作成については「アプリケーションテンプレートを使用したアプリの作成」を参照してください。

ドキュメント承認テンプレートのコンテンツ

次のテーブル、エクスペリエンス、自動ワークフロー、ロールは、App Engine Studio (AES) のドキュメント承認テンプレートに含まれています。

ドキュメント承認アプリテンプレートのテーブル

テーブルラベル **[name]**	説明
ドキュメント承認者テーブル [x_ <company-code>_ <document_approver>]	ドキュメント承認者、そのコメント、およびドキュメントのステータスを追跡します。
ドキュメント承認カテゴリテーブル [x_ <company-code>_ <document_approval_category>]	ドキュメント承認要求のカテゴリを追跡します。
ドキュメント承認テーブル [x_ <company-code>_ <document_approval>]	ドキュメント承認要求を追跡します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ドキュメント承認アプリテンプレートでのエクスペリエンス

エクスペリエンス	エクスペリエンスタイプ	説明
ドキュメント承認	デフォルトビュー	フォーム	ドキュメント承認要求を作成するためのフォーム。
ドキュメント承認	ポータル	フォーム	ドキュメント承認要求を作成するためのシンプルなフォーム。
ドキュメント承認カテゴリ	デフォルトビュー	フォーム	ドキュメント承認レコードにフローを添付するためのフォーム。
ドキュメント承認カテゴリ	ワークスペース	フォーム	ドキュメント承認レコードにフローを添付するためのフォーム。
アプリ名ワークスペース	ワークスペース	メインのドキュメント承認アプリワークスペースでは、ワークスペースでドキュメントのアップロード、承認ステータスの確認、ドキュメントの編集、送信の表示を行うことができます。承認者は、アサインされた承認を表示し、以前の送信を表示して、送信を承認または却下できます。
ドキュメント承認者	ワークスペース	フォーム	ドキュメント承認者をレコードにアサインするためのフォーム。
ドキュメント承認	ワークスペース	フォーム	ドキュメント承認要求を作成するためのフォーム。
ドキュメント承認者	デフォルトビュー	フォーム	承認者は、アサインされた承認を表示し、送信を承認または却下できます。
アプリ名ポータル	ポータル	承認のためにドキュメントを送信し、以前の送信を管理するためのメインポータル。
ドキュメント承認モバイルエクスペリエンス	モバイル体験	従業員とマネージャーが承認ステータスを確認し、ドキュメントを承認または却下して、組織の iOS または Android アプリを使用して送信を表示できるモバイルアプリ。

ドキュメント承認アプリテンプレートの自動ワークフロー

ワークフロー名	ワークフロータイプ	説明
ドキュメント承認 - マスターフロー	フロー - レコード	新しいドキュメント承認レコードが送信されたときに実行されます。その後で、ドキュメント

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ワークフロー名	ワークフロータイプ	説明
		カテゴリから実行するフローを取得して実行します。
ドキュメント承認通知	メール	ドキュメント承認の変更をユーザーに通知します。
単一ステージ承認	フロー	ユーザーのマネージャーが承認者になり、承認、返却、または却下時に基本的なメール通知を生成できるようにします。

ドキュメント承認アプリテンプレートのロール

ロールタイトル [名前]	説明	ロールを含む
承認者 [x_<company-name>_<document_approval_app>.approver]	承認者は、すべてのドキュメントの作成、読み取り、削除、およびドキュメント承認カテゴリテーブの読み取りを行うことができます。	作成、読み取り (すべて)、編集 (すべて)
アドミン [x_<company-name>_<document_approval_app>.admin]	アドミニストレーターは、ドキュメント承認 [x_ <company-code>_<document_approval>] およびドキュメント承認カテゴリ [x_ <company-code>_<document_approval_category>] テーブルで、作成、読み取り、書き込み、および削除を行うことができます。	作成、読み取り (すべて)、編集 (すべて)、削除 (すべて)
送信者 [x_<company-name>_<document_approval_app>.submitter]	送信者は、ドキュメントの作成し、自分のドキュメントの読み取り、ステータスが送信済み以外の場合に自分のドキュメントの編集、自分のドキュメントの削除を実行できます。ドキュメント承認カテゴリからデータを読み取ることもできます。	作成、読み取り (自分のもの)、編集 (ステータスが送信済み以外で自分のもの)、削除 (自分のもの)

緊急アラートテンプレート

緊急アラートテンプレートを使用して App Engine Studio (AES) でアプリケーションをビルドし、緊急時に通信を管理し、重要なリソースを追跡します。

緊急アラートテンプレートを使用するには、ServiceNow Store からこのアプリケーションをインストールします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

緊急アラートアプリを使用すると、自然災害や COVID-19 などの感染症の際に、組織が従業員に情報を提供し、接続を維持できます。

緊急アラートテンプレートを使用して、コマンドセンターのダッシュボードとモバイルアプリを作成し、最新のニュースを監視して従業員に通知できます。従業員は、自分のステータスを自己報告し、在宅勤務または休暇を申請し、緊急時に指示を受けることができます。マネージャーは、それぞれのチームへの影響の評価、要求の承認または却下、ステータスの要求を行い、さらに緊急時に実行するアクションに関する指示を自動的に受け取ることができます。

テンプレートを使用したアプリケーションの作成については「アプリケーションテンプレートを使用したアプリの作成」を参照してください。

緊急アラートテンプレートのコンテンツ

次のテーブル、エクスペリエンス、自動ワークフロー、ロールは、App Engine Studio (AES) の緊急アラートテンプレートに含まれています。

緊急アラートアプリテンプレートのテーブル

テーブルラベル **[name]**	説明
ステータスレポート要求テーブル [x_<company>_<my emergency_alert_app>_status_report_requests]	従業員によってレポートされた緊急事態の重大度を追跡します。たとえば、ステータス、危険レベルに関連付けられた色、条件などです。
セルフレポートテーブル [x_<company>_<my emergency_alert_app>_status_report]	従業員またはマネージャーによって作成されたレポート済みの緊急事態を追跡します。たとえば、緊急事態の詳細、ステータス、期間、感染した個人などです。
緊急アラートテーブル [x_<company>_<my emergency_alert_app>_emergency_alert]	会社の緊急アラートを追跡します。たとえば、緊急タイプ、アラートの作成者、アラートの閲覧者などです。
作業ステータス要求タスクテーブル [x_<company>_<my emergency_alert_app>_work_status_request_task]	緊急の作業ステータス要求を追跡します。たとえば、要求者、アサイニー、作業のステータスなどです。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

緊急アラートアプリテンプレートでのエクスペリエンス

エクスペリエンス	エクスペリエンスタイプ	説明
緊急アラート | SendEmergency AlertWS	フォーム	新しい緊急アラートレコードを作成するフォーム。
セルフレポート | 従業員ビュー	フォーム	従業員が緊急事態をレポートするためのフォーム。
セルフレポート | デフォルトビュー	フォーム	従業員が緊急事態をレポートするためのフォーム。
緊急アラート - ポータル	ポータル	従業員が、レポートされた緊急事態やチームのステータスを表示し、セルフレポートを送信できるポータル。
緊急アラート | デフォルトビュー	フォーム	新しい緊急アラートを作成し、ナレッジリソースをそれに接続するフォーム。
セルフレポート | レポートを更新	フォーム	従業員が自身の健康状態を自己報告するためのフォーム。
セルフレポート | アクティビティビュー	フォーム	セルフレポートに関するコメントを追加するフォーム。
セルフレポート | RequestReportWS	フォーム	特定の期間内の緊急事態を自己報告するフォーム。
ステータスレポート要求 | デフォルトビュー	フォーム	緊急事態に関する最新情報と時間と場所の詳細を送信するフォーム。
セルフレポート | ステータスレポートを更新	フォーム	緊急事態に関する最新情報を追加するフォーム。
アプリ名ワークスペース	ワークスペース	アドミニストレーターが通知を設定および送信し、ダッシュボードを表示し、リストとフォームを構成できるワークスペース。
作業ステータス要求タスク | デフォルトビュー	フォーム	作業ステータス要求について従業員に最新情報を通知するフォーム。

緊急アラートアプリテンプレートの自動ワークフロー

ワークフロー名	ワークフロータイプ	説明
Emergency report/update state for managers	メール	ソースが空の場合に緊急レポートを更新するようにマネージャーに通知します。
Emergency Alert App - Please report or update status	フロー - レコード	作業のステータス更新を要求します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ワークフロー名	ワークフロータイプ	説明
Emergency Alert App - Status request for employees from manager	フロー - レコード	マネージャーによってステータス要求が行われたことを従業員に通知します。
Self report submitted without manager	メール	従業員がマネージャーをリストせずに経費要求を送信したことを通知します。
Emergency Alert App - Create Work Status Task When Self Report is created	フロー - レコード	セルフレポートの緊急事態が送信されたときに作業ステータスタスクを開始します。
Emergency Alert App - Create Status Report Requests for Affected	フロー	ステータスレポート要求を作成または更新します。
Emergency alert app - Create App Self Reports	フロー - レコード	レポート要求が作成または更新されたときに通知を送信します。
Emergency Alert App - Request for WFH/Time off submitted	フロー - レコード	在宅勤務または休暇申請の承認フローを開始します。
Emergency instructions for employees	メール	ステータスの更新が要求された場合にユーザーに通知します。
Emergency Alert App - Employee emergency report changes to submitted	フロー - レコード	従業員のセルフレポートが送信されたときに通知を送信します。
Emergency Alert App - Request for WFH/Time off approved/denied	フロー - レコード	在宅勤務申請や休暇申請が承認または拒否されたときに従業員に通知を送信します。
Emergency Alert App - Employee emergency report request response submitted	フロー - レコード	従業員の緊急レポートが送信されたときに通知を送信します。
Request for WFH approved	メール	在宅勤務の要求が承認されたことを従業員に通知します。
Emergency alert app - Emergency instructions for employees	フロー - レコード	緊急時に従う指示を従業員に送信します。
Please report/update status of employee	メール	従業員のステータスに関する情報を要求します。
Self-report submitted for manager	メール	緊急アラートが作成され、レビューが必要であることをマネージャーに通知します。
Emergency Instructions for managers	メール	要求が作成され、要求に関する情報がチームに送信されることをマネージャーに通知します。
Please report/update status	メール	ステータスの変更がコミットされたときに通知を送信します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ワークフロー名	ワークフロータイプ	説明
Request for WFH/Time off submitted	メール	在宅勤務または休暇の申請が正常に送信されたことを従業員に通知します。
Employee Emergency report submitted	メール	緊急レポートが正常に送信されたことを従業員に通知します。
Emergency Alert App - Manager emergency request submitted	フロー - レコード	マネージャーの緊急レポートが送信されたときに通知を送信します。
Emergency Alert App - Employee emergency report submitted	フロー - レコード	従業員が緊急レポートの変更を送信したときに通知を送信します。
KB 記事を作成	フロー - レコード	新しい緊急アラートが作成されたときにナレッジベース記事を作成します。
Employee emergency report request submit	メール	ステータスの要求が送信され、マネージャーに通知されることを従業員に通知します。
Emergency Alert App - Cancel work status task if self report closed	フロー - レコード	セルフレポートがクローズされた場合に作業ステータス要求をキャンセルします。
Manager emergency request submitted	メール	緊急レポートが送信されたことをマネージャーに通知します。
Please report/update status of employee	メール	セルフレポートに対して必要なアクションを従業員に通知します。
Request for WFH denied	メール	在宅勤務の要求が拒否されたことを従業員に通知します。
Emergency Alert App - Emergency report/update state for managers	フロー - レコード	緊急アラートレポートの変更に基づいて通知を送信します。

緊急アラートアプリテンプレートのロール

ロールタイトル [名前]	説明	ロールを含む
緊急アラートアドミン [x_<company-code>_ <my emergency_alert_app>.emergency_alert_admin]	アドミニストレーターはアプリを管理し、ダッシュボードを設定します。	作成、読み取り (すべて)、編集 (すべて)、削除
緊急アラートマネージャー [x_<company-code>_ <my emergency_alert_app>.manager]	マネージャーは、要求の承認または却下、ダッシュボードへのアクセス、通知の送信を行うことができます。	作成、読み取り (すべて)、編集 (すべて)
緊急アラート従業員	緊急アラートのセルフレポート	作成、読み取り (自分のもの)、編集 (自分のもの)

自動翻訳

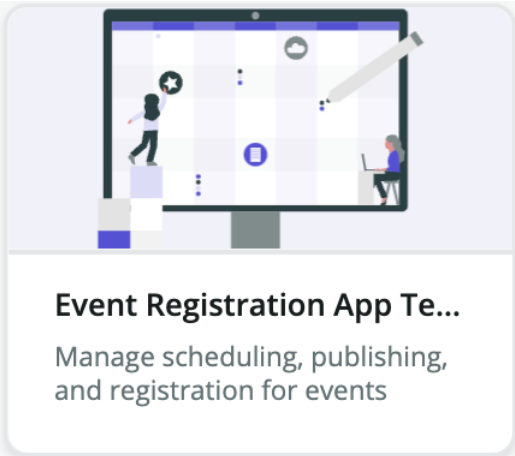
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ロールタイトル [名前]	説明	ロールを含む
[x_<company-name>_ <my emergency_alert_app>.emergency_alert_employee]		
アドミン	システムアドミニストレーターロール。このロールは、セキュリティ上の制約に関係なく、システムの機能とデータすべてにアクセスできます。	作成、読み取り (すべて)、編集 (すべて)、削除
公開	public ロールで機能にアクセスするのにログインは必要ありません。	デフォルトではアクセスできません。

イベント登録テンプレート

イベント登録テンプレートを使用して App Engine Studio (AES) でアプリケーションをビルドし、会社のイベントのスケジュール、予約、および登録を管理します。

イベント登録テンプレートを使用するには、ServiceNow Store からこのアプリケーションをインストールします。



内部イベント登録アプリを使用すると、イベント主催者はイベントのリストを従業員に公開し、一元化されたデータベースで出席者を集めることができます。このアプリは、イベントの検出と登録のプロセスを簡素化するのに役立ちます。

イベント主催者は、イベントと順番待ちリストを管理し、新しいイベントを公開し、登録済みユーザーの詳細を表示できます。従業員と参加者は、イベントのリストを表示し、イベント情報を表示して、ポータルで参加を登録できます。主催者はイベントのサイズを設定することができ、要求者は自動的に順番待ちリストに追加されます。

テンプレートを使用したアプリケーションの作成の詳細については、「アプリケーションテンプレートの使用」を参照してください。

イベント登録テンプレートのコンテンツ

次のテーブル、エクスペリエンス、自動ワークフロー、ロールは、App Engine Studio (AES) のイベント登録テンプレートに含まれています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

イベント登録アプリテンプレートのテーブル

テーブルラベル **[name]**	説明
出席者テーブル [x_<company-code>_<attendee>]	名前、ステータス、送信日などのイベント出席者の情報を追跡します。
イベントテーブル [x_<company-code>_<event>]	イベント名、イベントの日付、キャパシティなどのイベント情報を追跡します。
イベントの場所テーブル [x_<company-code>_<event_location>]	キャパシティや場所などのイベントの場所の詳細を追跡します。

イベント登録アプリテンプレートでのエクスペリエンス

エクスペリエンス	エクスペリエンスタイプ	説明
イベントの場所 | ワークスペース	フォーム	主催者とアドミニストレーターがイベントを設定し、イベントアプリケーションを作成して、リストを表示できるワークスペース。
アプリ名ポータル	ポータル	主催者がイベントの詳細を作成および表示するためのメインポータル。
出席者 | デフォルトビュー	フォーム	出席者がイベント名を表示し、ステータスを変更して、イベントに関するメモを取ることができるフォーム。
イベント | デフォルトビュー	フォーム	主催者がイベントを作成するために使用できるフォーム。
アプリ名ワークスペース	ワークスペース	ユーザーがイベントに登録することができ、アドミン/主催者が登録情報を管理できるワークスペース。
イベントの場所 | デフォルトビュー	フォーム	主催者がイベントの場所名、住所、ステータス、およびキャパシティを追加するためのフォーム。
イベント | ワークスペース	フォーム	主催者がイベント名、場所の詳細、タイムライン、およびコメントを追加するためのフォーム。
出席者 | ワークスペース	フォーム	出席者がイベントに登録し、イベントに関するメモを追加するためのフォーム。
主催者向けモバイルアプリ	モバイル体験	主催者は、組織の iOS または Android アプリを使用して、イ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

エクスペリエンス	エクスペリエンスタイプ	説明
		ベントを表示または編集し、出席者を表示できます。

イベント登録アプリテンプレートの自動ワークフロー

ワークフロー名	ワークフロータイプ	説明
Event Details Have Changed	メール	イベントの変更をユーザー/出席者に通知します。
Event Reminder - Confirmed attendees	メール	イベントに関するリマインダーを確認済みの出席者に送信します。
Attendee registered confirmed	メール	確認済みの登録を出席者に通知します。
Send Event Reminder Email	フロー	イベント出席者にリマインダーメールを送信します。
Send Event Details Changed Email	フロー - レコード	イベントの詳細が変更された場合、またはイベントがキャンセルされた場合に、すべての確認済みおよび順番待ちリストに登録された出席者にメールを送信します。
Send Waitlist Confirmation Email	フロー - レコード	出席者がイベントの順番待ちリストに追加されたときにメールを送信します。
イベント登録キャンセル済みイベント	フロー - レコード	イベントがキャンセルされたときに出席者レコードを更新します。
Update Event Registration attendee records	フロー	イベントがキャンセルされたときまたは終了日が過ぎたときに出席者レコードを更新します。
Attendee waitlisted confirmed	メール	イベント順番待ちリストに登録された出席者を確認します。
Event Registration expired events	フロー	イベントの終了後に [イベント状況] フィールドを [期限超過] に設定し、[出席者] フィールドを [イベント終了] に設定します。
Send On Hold Confirmation	フロー - レコード	出席者がイベントへの参加を保留しているときに、主催者が出席者にメールを送信できるようにします。
Event Registration Confirmation Email	フロー - レコード	出席者がイベントへの参加を確定したときに出席者にメールを送信します。
Attendee registration on hold	メール	登録が保留中であることを出席者に通知します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ワークフロー名	ワークフロータイプ	説明
Event Has Been Cancelled	メール	イベントのキャンセルをユーザーに通知します。
Event Registration Process Flow	フロー	すべての要求処理待ちを処理します。

イベント登録アプリテンプレートのロール

ロールタイトル [名前]	説明	ロールを含む
主催者 [x_<company-name>_<my events app>.organizer]	主催者がイベントを作成および管理します。	作成、読み取り (すべて)、更新 (すべて)。
出席者 [x_<company-name>_<my events app>.attendee]	出席者は、イベントの検索、サインアップ、および出欠の返信を行うことができます。	作成、読み取り (すべて)、更新 (自分のもの)。
アドミン [x_<company-name>_<my events app>.admin]	アドミニストレーターは、イベントの場所とアプリケーションを設定します。	作成、読み取り (すべて)、更新 (すべて)、削除。
公開 [x_<company-name>_<my events app>.public]	public ロールで機能にアクセスするのにログインは必要ありません。	デフォルトではアクセスできません。

経費事前承認テンプレート

経費事前承認テンプレートを使用して App Engine Studio (AES) でアプリケーションをビルドし、組織内で計画される経費を作成、追跡、および管理します。

経費事前承認テンプレートを使用するには、ServiceNow Store からこのアプリケーションをインストールします。

Expense Pre-Approval Te...

Create, track, and manage planned expenses in your organization

従業員は、経費事前承認アプリケーションを使用して予定経費を簡単に送信し、複数レベルの承認を受けることができます。マネージャーは、送信されたすべての要求をレビューできます。承認済み

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

の要求は予算レビューグループにアサインされます。そこで要求を承認または却下できます。従業員は、要求の最終ステータスを示す通知を受け取ります。

コンプライアンスを確保してファイナンシャルプランを改善するために、アドミニストレーターは意思決定テーブルを使用して既存のフローと承認のレベルをカスタマイズできます。詳細については、「Exploring Decision Tables」を参照してください。

テンプレートを使用したアプリケーションの作成については「アプリケーションテンプレートを使用したアプリの作成」を参照してください。

経費事前承認テンプレートのコンテンツ

次のテーブル、エクスペリエンス、自動ワークフロー、ロールは、App Engine Studio (AES) の経費事前承認テンプレートに含まれています。

経費事前承認アプリテンプレートのテーブル

テーブルラベル **[name]**	説明
予算定義 [x_<company-code>_<expense_approval_app>_budget_definition]	すべての予算の説明。
経費要求 [x_<company-code>_<expense_approval_app>expense_request]	従業員によって送信された経費要求。
経費ラインアイテム [x_<company-code>_<expense_approval_app>_expense_line_item]	経費要求の各経費ラインアイテム。

経費事前承認アプリテンプレートでのエクスペリエンス

エクスペリエンス	エクスペリエンスタイプ	説明
経由要求 | デフォルトビュー	フォーム	新しい経費要求を作成するためのフォーム。
予算定義 | デフォルトビュー	フォーム	指定された期間の予算を定義するフォーム。
予算レビュー担当者	モバイル体験	予算レビュー担当者のモバイルエクスペリエンスを定義する方法。
経費要求 | ワークスペース	フォーム	新しい経費要求を作成するためのフォーム。
経費要求 | コスト承認	フォーム	アドミンからの新しい経費要求を作成するフォーム。
マネージャー	モバイル体験	マネージャーのモバイルエクスペリエンスを定義する方法。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

エクスペリエンス	エクスペリエンスタイプ	説明
予算定義 | ワークスペース	フォーム	指定された期間の予算を定義するワークスペースビューのフォーム。
アプリ名 - 予算ワークスペース	ワークスペース	すべての予算要求の概要を構成する方法。
経費要求	レコードプロデューサー	従業員が経費要求を送信する方法。
経費ライン | デフォルトビュー	フォーム	経費要求に経費ラインアイテムを追加するフォーム。
経費要求 SLA | デフォルトビュー	フォーム	Service Level Agreement (SLA) の違反に基づいて経費要求を作成するためのフォーム。
予算定義 | コスト承認	フォーム	指定された期間の予算を定義するコスト承認ビューのフォーム。
アプリ名 - マネージャーワークスペース	ワークスペース	マネージャーがアサインされた経費要求を承認または却下できるワークスペース。
コスト承認モバイルアプリ	モバイル体験	次のアクションに使用される iOS または Android アプリ： • 経費要求の承認または却下。 • 予算と経費要求を比較するための履歴データを表示するダッシュボードの表示。 • 予算レビュー担当者による予算の作成または変更。
コスト承認ワークスペース - 予算レビュー担当者	ワークスペース	予算レビュー担当者は、次のアクションにワークスペースを使用できます。 • 経費要求の承認または却下。 • 予算の作成または変更。 • 割り当て済み、消費済み、利用可能、および将来のために割り当てられた予算資金に関するデータの表示。 • 予算と経費要求を比較するための履歴データを表示するダッシュボードの表示。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

経費事前承認アプリテンプレートの自動ワークフロー

ワークフロー名	ワークフロータイプ	説明
Expense request approved - reviewer	メール	経費要求が承認されたことをユーザーに通知します。
Expense Request Assigned	メール	経費要求がアサインされたことをユーザーに通知します。
Expense request - SLA breached	メール	Service Level Agreement (SLA) に違反していることをユーザーに通知します。
Budget Creation	フロー - レコード	予算レビュー担当者が予算を作成するときに実行されます。経費要求の開始日をチェックし、要求を対応する期間の予算に関連付けます。
Expense request - SLA-close to due	メール	Service Level Agreement (SLA) の期日が近いことをユーザーに通知します。
Expense Request Reassigned	メール	要求が再アサインされたことをユーザーに通知します。
Expense request comment added - Assigned	メール	要求に追加されたコメントについてユーザーに通知します。
New Expense Request or manager approval	メール	新しい経費要求についてユーザーに通知します。
Expense request reject	メール	要求が却下されたことをユーザーに通知します。
Budget state update	フロー	優先度別に各予算レコードを更新します。
Expense Request Inserted - Requestor	メール	要求が正常に作成されたことをユーザーに通知します。
Expense Request Approved	メール	要求が承認されたことをユーザーに通知します。
Expense request work note added	メール	要求に作業メモが追加されたことをユーザーに通知します。
通知チーム - 作業メモを追加	メール	要求に作業メモが追加されたことをチームに通知します。
Expense request comment added - Employee	メール	要求にコメントが追加されたことをユーザーに通知します。
Expense Request Rejected	メール	要求が却下されたことをユーザーに通知します。
Budget Updation	フロー - レコード	予算レビュー担当者が予算を変更するときに実行されます。予算が変更された後に、このフローは対応する経費要求の [予算] フィールドを更新します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ワークフロー名	ワークフロータイプ	説明
Notify Requestor - Comments added	メール	要求にコメントが追加されたことをユーザーに通知します。
SLA Notification - Expense Request - warning	フロー - レコード	潜在的な Service Level Agreement (SLA) の問題についてアドミニストレーターに警告します。
Budget Approval Process	フロー - レコード	次のシナリオで経費承認を取得するために実行されます。 • 従業員がマネージャーの承認を得るために経費要求を送信した場合。 • マネージャーの承認後、経費要求は最終レベルの承認のために予算レビュー担当者に送信されます。
Budget Calculations	フロー	予算レビュー担当者が次のいずれかのアクションを実行したときに、費やされた予算と利用可能な予算を再計算します。 • 予算を作成する • 既存の予算を変更する • 経費要求を承認する

経費事前承認アプリテンプレートのロール

ロールラベル [名前]	説明
予算レビュー担当者 [x_<company-code>_<expense_approval_app>.Budget reviewer]	予算レビュー担当者は、予算を作成または変更し、経費要求に対して最終レベルの承認を提供できます。
マネージャー [x_<company-code>_<expense_approval_app>.Manager]	マネージャーは、第 1 レベルで経費要求を送信、表示、承認、または却下できます。
従業員 [x_<company-code>_<expense_approval_app>.Employee]	従業員は経費要求を送信および追跡できます。
アドミン	システムアドミニストレーターロール。このロールは、セキュリティ上の制約に関係なく、システムの機能とデータすべてにアクセスできます。

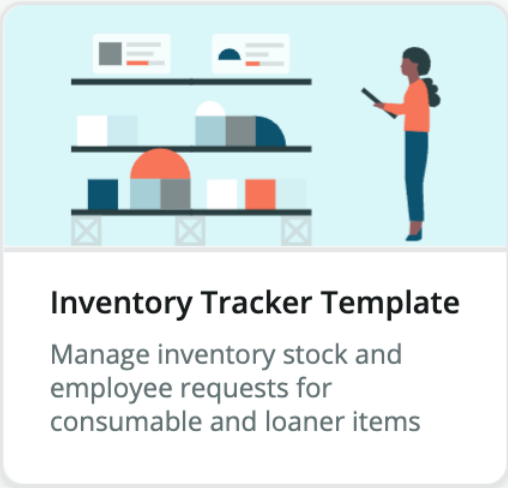
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インベントリトラッカーテンプレート

インベントリトラッカーテンプレートを使用して App Engine Studio (AES) でアプリケーションをビルドし、インベントリと資産のステータスを追跡します。

インベントリトラッカーテンプレートを使用するには、ServiceNow Store からこのアプリケーションをインストールします。



インベントリトラッカーアプリを使用すると、会社とチームが、何を持っているか、どこにあるか、誰が持っているかを簡単に追跡できます。いつでも、どこでも、どのデバイスでも。会社がアイテムの在庫を追跡する必要がある場合は、このアプリを自宅または倉庫でインベントリ管理ツールまたはインベントリトラッカーとして使用できます。

このアプリは、消耗品、貸与、製造中止の 3 つのインベントリユースケースをカバーしています。従業員は、モバイルアプリまたは Web ポータルを介して任意の倉庫からアイテムを要求できます。インベントリマネージャーは再注文レベルを設定でき、アイテムの在庫が減少した場合に自動的に通知されます。未処理の在庫がある製造中止アイテムは引き続き要求できますが、インベントリマネージャーに再注文を要求することはありません。インベントリマネージャーは、手動で、またはスプレッドシートをアップロードして、アイテムを作成できます。

テンプレートを使用したアプリケーションの作成については「アプリケーションテンプレートを使用したアプリの作成」を参照してください。

在庫トラッカーテンプレートのコンテンツ

次のテーブル、エクスペリエンス、自動ワークフロー、ロールは、App Engine Studio (AES) の在庫トラッカーテンプレートに含まれています。

インベントリトラッカーアプリテンプレートのテーブル

テーブルラベル **[name]**	説明
インベントリ管理テーブル [inventory_ x_<company-code>_<my_inventory_tracker_app>_inventory_control]	ビジネスで使用するアイテムの在庫を追跡します。たとえば、アイテム名、メーカー、画像、カテゴリ、場所などです。
インベントリ要求テーブル [x_<company-code>_<my_inventory_tracker_app>_inventory_request]	従業員によって送信されたインベントリ要求を追跡します。たとえば、要求者の名前と部門、在庫の場所、数、要求日、返却日などです。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テーブルラベル [name]	説明
在庫の場所テーブル [x_<company-code>_<my_inventory_tracker_app>_stock_location]	在庫アイテムの場所を追跡します。たとえば、名前、住所、インベントリマネージャーなどです。

在庫トラッカーアプリテンプレートのエクスペリエンス

エクスペリエンス	エクスペリエンスタイプ	説明
インベントリ管理 | ポータル	フォーム	アドミンおよびマネージャーがインベントリアイテムを追加し、在庫数量を表示し、在庫の場所を追加するためのフォーム。
インベントリ要求 | ワークスペース	フォーム	従業員がインベントリ要求を送信および管理するためのフォーム。
インベントリ管理 | デフォルトビュー	フォーム	アドミンおよびマネージャーがインベントリアイテムを管理し、在庫数量を表示し、在庫の場所を管理するためのフォーム。
アプリ名 | ポータル	ポータル	すべてのユーザーがインベントリ要求と追跡を管理できるポータル。
インベントリ要求 | デフォルトビュー	フォーム	アドミンおよびマネージャーが、インベントリアイテム、在庫数量、在庫の場所を表示し、メモを追加するためのフォーム。
インベントリ要求 | ポータル	フォーム	アドミンおよびマネージャーがインベントリアイテムを要求するためのフォーム。
アプリ名 | ワークスペース	ワークスペース	すべてのインベントリトラッカーアプリ構成を管理するワークスペース。
在庫の場所 | ワークスペース	フォーム	インベントリマネージャーが在庫名、住所、および説明を追加するためのフォーム。
在庫の場所 | デフォルトビュー	フォーム	インベントリマネージャーが在庫名、住所、説明、部門を追加するためのフォーム。
インベントリ管理 | ワークスペース	フォーム	アドミンおよびマネージャーがインベントリアイテムを管理し、在庫数量と在庫の場所を表示するためのフォーム。
インベントリトラッカーアプリ	フォーム	従業員が、組織の iOS または Android アプリを使用して、イ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

エクスペリエンス	エクスペリエンスタイプ	説明
		ンベントリリストを表示、在庫数の確認、アイテムの要求、要求のステータスの確認を行うためのフォーム。

在庫トラッカーアプリテンプレートの自動ワークフロー

ワークフロー名	ワークフロータイプ	説明
インベントリトラッカー要求を完了：アドミン/マネージャー	フロー - レコード	インベントリ要求が完了したときに通知を送信します。
Request Update as Submitted - Manager	メール	要求アイテムに新しい更新があることをマネージャーに通知します。
アイテムが在庫切れ：アドミン	メール	在庫切れのアイテムをアドミニストレーターに通知します。
Return Date Updated - Manager	メール	更新された返却日をマネージャーに通知します。
Inventory Tracker Request Submitted - Manager	フロー - レコード	在庫要求が送信されたときにマネージャーに通知します。
Inventory Tracker Inventory track Created - Admin	フロー - レコード	インベントリ追跡が作成されたときにアドミニストレーターに通知します。
Stock Location Updated - Admin	メール	更新された在庫の場所をアドミニストレーターに通知します。
インベントリトラッカーをチェックアウト：従業員	フロー - レコード	アイテムがチェックアウトされたときに従業員に通知します。
Request Overdue - Manager	メール	期限切れの要求をマネージャーに通知します。
Item Returned - Manager	メール	返却されたアイテムをマネージャーに通知します。
Request Completed - Manager	メール	完了した要求をマネージャーに通知します。
インベントリトラッカー要求の承認：従業員/アドミン/マネージャー	フロー - レコード	インベントリ要求が承認されたときに従業員、アドミン、マネージャーに通知します。
インベントリトラッカー要求を送信：従業員	フロー - レコード	インベントリ要求が送信されたときに従業員に通知します。
Checked Out - Employee	メール	チェックアウトされたアイテムを従業員に通知します。
Inventory Tracker Out of Stock - employee	フロー - レコード	在庫アイテムが在庫切れの場合に従業員に通知します。
返却日を更新：アドミン	メール	更新された返却日をアドミニストレーターに通知します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ワークフロー名	ワークフロータイプ	説明
Request Canceled - Manager	メール	要求がキャンセルされたときにマネージャーに通知します。
Inventory Tracker Stock Location Updated - Admin	フロー - レコード	在庫の場所が更新されたときにアドミニストレーターに通知します。
Item Out of Stock - Manager	メール	アイテムが在庫切れになったときにマネージャーに通知します。
Inventory Tracker Item Returned - Employee/ Manager	フロー - レコード	アイテムが返却されたときに従業員またはマネージャーに通知します。
Inventory Tracker Inventory track updated- Admin	フロー - レコード	インベントリ追跡が更新されたときにアドミニストレーターに通知します。
Item returned - Employee	メール	返却されたアイテムを従業員に通知します。
要求を却下：アドミン	メール	拒否された要求をアドミニストレーターに通知します。
Inventory Tracker Stock Location Created - Admin	フロー - レコード	在庫の場所が作成されたときにアドミニストレーターに通知します。
製造中止のインベントリアイテム：アドミン	メール	製造中止になったアイテムをアドミニストレーターに通知します。
Request Approved - Manager	メール	承認された要求をマネージャーに通知します。
インベントリアイテムを更新：アドミン	メール	更新されたインベントリアイテムをアドミニストレーターに通知します。
インベントリトラッカーインベントリ追跡を作成：アドミン	フロー - レコード	在庫追跡が作成されたときにアドミニストレーターに通知します。
Out of stock - Employee	メール	在庫切れになったアイテムを従業員に通知します。
インベントリトラッカー要求を却下：アドミン	フロー - レコード	インベントリ要求が却下されたときにアドミニストレーターに通知します。
Request Approved - Employee	メール	承認された要求を従業員に通知します。
インベントリトラッカーアイテムが在庫切れ：アドミン/マネージャー	フロー - レコード	在庫アイテムが在庫切れの場合にアドミニストレーターとマネージャーに通知します。
Request Approved - Admin	メール	承認された要求をアドミニストレーターに通知します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ワークフロー名	ワークフロータイプ	説明
Request submitted - Manager	メール	送信された要求をアドミニストレーターに通知します。
要求が期限切れ：アドミン	メール	期限切れになった要求をアドミニストレーターに通知します。
Request Denied - Manager	メール	拒否された要求をマネージャーに通知します。
在庫の場所を作成：アドミン	メール	在庫の場所が作成されたときにアドミニストレーターに通知します。
Overdue - Employee	メール	期限切れになったアイテムを従業員に通知します。
インベントリトラッカー要求を更新：マネージャー	フロー - レコード	在庫要求が更新されたときにマネージャーに通知します。
Request Denied - Employee	メール	拒否された要求を従業員に通知します。
Inventory Tracker Inventory Discontinued - Admin	フロー - レコード	インベントリアイテムが製造中止になったときに通知を送信します。
インベントリトラッカー返却日が変更：アドミン/マネージャー	フロー - レコード	返却日が変更されたときにアドミニストレーターとマネージャーに通知を送信します。
Comments Added - Manager	メール	追加されたコメントについてマネージャーに通知します。
コメントを追加：アドミン	メール	追加されたコメントについてアドミニストレーターに通知します。
インベントリトラッカー要求を却下：従業員	フロー - レコード	在庫要求が拒否されたときに従業員に通知を送信します。
Request Submitted - Employee	メール	従業員が要求を送信したときに従業員に通知します。
Request created - Admin	メール	要求が作成されたときにアドミニストレーターに通知します。
Inventory Tracker Comments Added - Admin/Manager	フロー - レコード	インベントリ要求にコメントが追加されたときにアドミニストレーターとマネージャーに通知を送信します。
Request Canceled - Admin	メール	キャンセルされた要求をアドミニストレーターに通知します。
Inventory Tracker Request Overdue - Employee/ Manager/Admin	フロー	要求が期限切れになった場合に従業員、マネージャー、アドミニストレーターに通知を送信します。
インベントリアイテムを作成：アドミン	メール	インベントリアイテムが作成されたときにアドミニストレーターに通知します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ワークフロー名	ワークフロータイプ	説明
要求を完了：アドミン	メール	要求が完了したときにアドミニストレーターに通知します。
インベントリトラッカー要求をキャンセル：アドミン/マネージャー	フロー - レコード	従業員が在庫要求をキャンセルしたときにアドミニストレーターとマネージャーに通知を送信します。
Inventory tracker Request Created - Admin	フロー - レコード	インベントリ要求が作成されたときにアドミニストレーターに通知を送信します。

在庫トラッカーアプリテンプレートのロール

ロールタイトル [名前]	説明	ロールを含む
従業員 [x_<company-name>_<my_inventory_tracker_app>.employee]	従業員は、インベントリリストの表示、在庫の確認、アイテムの要求、要求のステータスの確認を行うことができます。	作成、読み取り (自分のもの)、更新 (自分のもの)
アドミン [x_<company-name>_<my_inventory_tracker_app>.admin]	アドミニストレーターは、複数のインベントリマネージャーと在庫の場所を設定できます。	作成、読み取り (すべて)、更新 (すべて)、削除
インベントリマネージャー [x_<company-name>_<my_inventory_tracker_app>.inventory_manager]	インベントリマネージャーは、インベントリアイテムの作成、アイテムのタイプの定義、インベントリレベルの監視、ベンダー情報の更新を行うことができます。	作成、読み取り (すべて)、更新 (すべて)
公開 [x_<company-name>_<my_inventory_tracker_app>.public]	公開ユーザーは、public ロールで機能にアクセスするためにログインする必要はありません。	ロールを含みません。

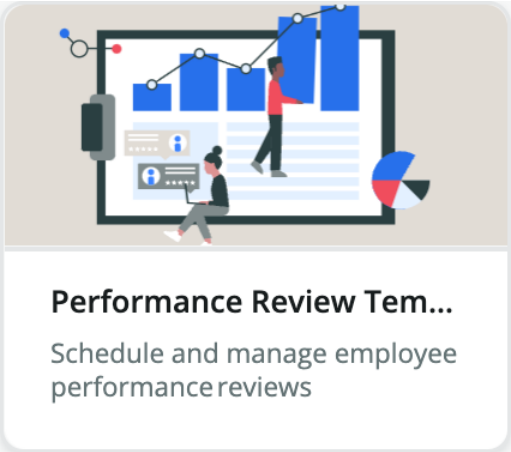
パフォーマンスレビューテンプレート

パフォーマンスレビューテンプレートを使用して App Engine Studio (AES) でアプリケーションをビルドし、パフォーマンスレビューのスケジュール、通知、およびフィードバックを自動化します。

パフォーマンスレビューテンプレートを使用するには、ServiceNow Store からこのアプリケーションをインストールします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



パフォーマンスレビューアプリは、年次または四半期レビューのスケジュール設定、従業員のパフォーマンスのレビュー、マネージャーのフィードバックの提供のプロセスを自動化します。アプリにはデフォルトでレポート情報が表示され、マネージャーは従業員のパフォーマンスレビューを表示、更新、要求できます。

従業員は、Web ポータルを介して自己評価を完了し、ステータスを監視し、評価を確認できます。アプリは、自動的に従業員とマネージャーに評価を送信するように通知します。

マネージャーは、自己評価の更新の要求、マネージャー評価の送信、評価の確認を行い、さらにポータルを介してチームの送信のステータスを監視することができます。

HR/admin ロールは、年ごと、半年ごと、または四半期ごとのレビュープロセススケジュールを選択し、自己評価テンプレートとマネージャー評価テンプレートの両方を編集できます。HR/アドミンは、部門、組織、またはマネージャー別のすべての評価ステータスを監視できます。

次の機能を組み込むことで、このテンプレートを改善できます。

- 継続オプションをレビュープロセスとして追加する
- プレイブックを使用してレビュースケジュールを管理する
- セルフレビューとマネージャーレビューの両方に HR レビュー/エスカレーションプロセスを含める
- ピアレビュープロセスを追加する
- 目標設定または目標と主要な結果 (OKR) を追加する
- HR ソフトウェアとのデータ連携を追加する
- スキルセットアセスメントメトリクスを追加する
- パフォーマンス改善計画 (PIP) プロセス/個々の開発計画を追加する
- 報酬情報/年次パフォーマンス評価 (APR) を含める

テンプレートを使用したアプリケーションの作成については「アプリケーションテンプレートを使用したアプリの作成」を参照してください。

パフォーマンスレビューテンプレートのコンテンツ

次のテーブル、エクスペリエンス、自動ワークフロー、ロールは、App Engine Studio (AES) のパフォーマンスレビューテンプレートに含まれています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パフォーマンスレビューアプリテンプレートのテーブル

テーブルラベル **[name]**	説明
パフォーマンスレビューテーブル [x_<company-code>_<my performance_review_app>_performance_review]	従業員とマネージャーによって作成されたパフォーマンス評価を追跡します。たとえば、従業員の名前、レビューのステータス、マネージャーのフィードバックなどです。

パフォーマンスレビューアプリテンプレートのエクスペリエンス

エクスペリエンス	エクスペリエンスタイプ	説明
パフォーマンスレビュー	設定の編集	フォーム	マネージャーがパフォーマンスレビュー設定を構成し、通知を追加できるフォーム。
アプリ名	ワークスペース	ワークスペース	アドミニストレーターとマネージャーがレビュースケジュールを設定し、評価テンプレートを更新し、すべての評価のステータスを監視できるワークスペース。
パフォーマンスレビューテスト	従業員マネージャーのフィードバック	フォーム	マネージャーが従業員評価の質問を作成し、ステータスを監視し、フィードバックを残すためのフォーム。
パフォーマンスレビュー	マネージャーレビュー	フォーム	マネージャーが質問を含め、従業員の回答をレビューし、フィードバックを残すために使用できるフォーム。
パフォーマンスレビュー	セルフレビュー WS	フォーム	従業員がセルフレビューの質問に入力するためのフォーム。
パフォーマンスレビュー	ワークスペース	フォーム	マネージャーがチームの送信のステータスを監視するためのフォーム。
アプリ名	ポータル	ポータル	従業員が評価を送信、更新、レビュー、および確認できるポータル。
パフォーマンスレビュー	デフォルトビュー	フォーム	マネージャーと従業員がパフォーマンスレビューを表示するために使用できるフォーム。
パフォーマンスレビュー	セルフレビュー	フォーム	従業員とマネージャーが自分のパフォーマンスの自己評価を送信するために使用できるフォーム。
モバイルアプリ	モバイル体験	従業員は、組織の iOS または Android アプリを使用してパフォーマンスレビューにアクセスできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パフォーマンスレビューアプリテンプレートの自動ワークフロー

ワークフロー名	ワークフロータイプ	説明
Perf Review - Send PR Employee Update Self-Eval email	フロー - レコード	PR 従業員更新の自己評価メールをトリガーします。
PR Employee Manager - Eval submitted	メール	評価が送信されたことをマネージャーに通知します。
Perf Review - Send PR Employee Complete Evaluation email	フロー - レコード	PR 従業員評価完了メールをトリガーします。
PR Employee Manager - Eval submitted DJ	メール	自己評価が送信されたことをマネージャーに通知します。
PR Admin Eval Deadline Passed	メール	評価期限が過ぎたときにアドミニストレーターに通知します。
PR Reminder: Manager need to submit eval	メール	マネージャーに評価を送信するように通知します。
PR Manager Self Evaluation Submitted	メール	マネージャーが自己評価を送信したことをアドミニストレーターに通知します。
Perf Review - Send PR Employee Manager - Eval submitted	フロー - レコード	PR Employee Manager - Eval submitted メールをトリガーします。
PR Reminder - Employee Self Evaluation	メール	自己評価を送信するように従業員に通知します。
Perf Review - Send deadline email	フロー	システムのプロパティで指定された日付に期限リマインダーメールをトリガーします。
PR Employee Complete Evaluation	メール	評価が完了したことを従業員に通知します。
PR Employee Update Self Evaluation	メール	自己評価を更新する必要があることを従業員に通知します。
Perf Review - Main Flow	フロー	レビューのトリガー、メールのリマインダー、およびレビュー期間の終了のタイミングを制御します。これは、毎日トリガーされるメインフローです。
Perf Review - Send reminder emails	フロー	sys_properties で指定された日付にリマインダーメールをトリガーします。
Perf Review - Create records	フロー	sys_properties で指定された日付にレビューレコードをトリガーします。
Perf Review - Set review inactive	フロー	sys_properites で指定されたレビュー期間の終了日にレビューを無効にします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ワークフロー名	ワークフロータイプ	説明
PR Admin Self - Eval Submitted w/o Manager	メール	マネージャーまたは役職なしで自己評価が送信された場合にアドミニストレーターに通知します。
PR Reminder Employee Update Self Eval	メール	自己評価を更新するように従業員に通知します。
Perf Review - Send Manager/Admin Self-Evaluation Submitted email	フロー - レコード	マネージャーなしで PR Admin Self-Evaluation Submitted メールをトリガーするか、PR Manager Self Evaluation Submitted メールをトリガーします。

パフォーマンスレビューアプリテンプレートのロール

ロールタイトル [名前]	説明	ロールを含む
従業員 [x_<company-name>_ <my performance_review_app>.employee]	従業員は自己評価を完了/更新し、評価を確認できます。	読み取り (自分のもの) および更新 (自分のもの)
HR/アドミン [x_<company-name>_ <my performance_review_app>.admin]	HR/アドミンは、レビューのスケジュール設定 (年ごと、半年ごと、カスタム、または手動)、自己評価およびマネージャー評価テンプレートの編集、すべてのレビューのステータスの監視を行うことができます。	作成、読み取り (自分のもの)、更新 (自分のもの)、削除 (すべて)
マネージャー [x_<company-name>_ <my performance_review_app>.manager]	マネージャーは、自己評価の更新を要求し、マネージャー評価を送信し、評価の送信に関連する問題を監視することができます。	読み取り (自分のチーム) および更新 (自分のチーム)

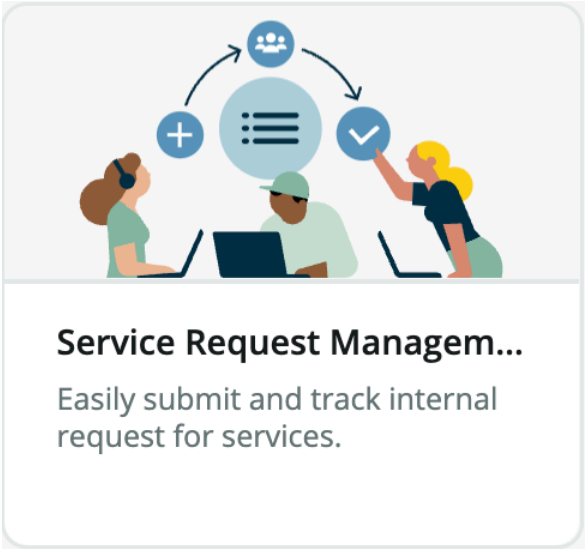
サービス要求管理テンプレート

サービス要求管理テンプレートを使用して App Engine Studio (AES) にアプリケーションをビルドし、組織内のサービス要求を作成、追跡、管理します。

サービス要求管理テンプレートを使用するには、 アプリケーションを ServiceNow Store からインストールします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳



サービス要求管理テンプレートのペルソナ

このテンプレートには、何らかの形でアプリを使用する可能性がある個人またはグループに対応するいくつかの重要なロールが含まれています。次の情報は、各ペルソナがビルドするアプリケーションとやり取りする方法について説明しています。各ロールに含まれる権限の詳細については、「セキュリティ」セクションを参照してください。

要求者

要求を持っている人です。

問題：職務を完了するためにサービスまたは物理的なアイテムが必要です。要求が進行中であることを確認し、進行していることを確認する必要があります。質問がある場合や要求が変更された場合は、要求の作業者にそのことを伝える必要があります。

アプリの目標：必要な情報は何か、などのプロセスを通じて従業員を支援すること。承認プロセスを透明にし、要求のステータスと結果を常に最新の状態に保ちます。

履行者

タイムリーにタスクを完了する必要がある個人またはチームです。

問題：タスクをアサインするタイミングを、タスクを実行する準備ができている場合、つまり、必要な承認または依存タスク (関連する場合) がクローズされた後のみに限定してほしいと思っています。特に SLA に準拠している場合は、要求が適切なタイミングでクローズされるようにする必要があります。

アプリの目標：履行者の注意を自分とそのチームにアサインされたタスクに向けること。要求情報や SLA などの必要な情報を提供することで、顧客を支援します。

履行者のマネージャー

実行チームのマネージャーであり、タスクを実行できます。

問題：チームによってタスクが効率的にクローズされていることを確認する必要があります。サービス要求が多すぎてタスクのバックログができる、履行者のパフォーマンスが低い、承認が遅いため履行者がタスクを完了できない、などのボトルネックを特定したいと思っています。

アプリの目標：SLA が満たされるように、履行者のマネージャーに即時の対応が必要なタスクを指示すること。必要に応じて作業の優先順位を変更できるように、チームの作業内容を明確に示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サービスオーナー

アプリ内のサービスの所有者です。

問題：サービスの実行状況を分析し、注意が必要なサービスを特定する必要があります。必要に応じて、プロセスの改善を推奨するのに役立つ情報が必要です。

アプリの目標：解像度と応答時間で測定された各サービスのパフォーマンスを示す集計情報を提供すること。

承認者

ゲートキーパーであり、要求に応答または拒否することで、履行者の時間を節約できます。

問題：要求を実行チームに割り当てる前にレビューして、チケットが適切であることを確認する必要があります。

アプリの目標：承認が必要な要求に承認者の注意を向けること。要求や SLA 情報などの必要な情報を提供することで、顧客を支援します。

関連概念

サービス要求管理アプリケーションのサービスを設定する方法については、「サービスカタログのセットアップ」を参照してください。

サービス要求管理テンプレートのコンテンツ

次のテーブル、エクスペリエンス、自動ワークフロー、ロールは、App Engine Studio (AES) のサービス要求管理テンプレートに含まれています。

サービス要求管理 アプリテンプレートのテーブル

テーブルラベル **[name]**	説明
プライマリ [x_ <company-code>_<primary>]	タスクテーブルを拡張し、サービス要求管理：プライマリカタログアイテムに対して発生した要求の詳細を格納するテーブル。新しいサービスとテーブルを作成するには、この [プライマリ] テーブルを拡張します。
要求の例 [x_ <company-code>_<example_request>]	出張要求カタログアイテムから送信された詳細を格納する [プライマリ] テーブルを拡張して作成された [要求] テーブルの例。
履行者タスク [x_ <company-code>_<fulfiller_task>]	履行者タスクを格納し、アドミニストレーターがサービス要求を整理するのを支援します。

サービス要求管理アプリテンプレートのエクスペリエンス

エクスペリエンス	エクスペリエンスタイプ	説明
出張要求 | 履行者ビュー	フォーム	履行者が出張要求レコードを作成するためのフォーム。
プライマリ | 履行者ビュー	フォーム	履行者がサービス要求レコードを作成するためのフォーム。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

エクスペリエンス	エクスペリエンスタイプ	説明
履行者タスク	デフォルトビュー	フォーム	ユーザーが履行者タスクを作成するためのフォーム。
履行者ワークスペース	ワークスペース	履行者が注意の必要な要求を確認し、要求を作成し、要求のアサインを表示し、要求に関連するデータと分析を確認するためのワークスペース。
承認者ワークスペース	ワークスペース	承認者が承認待ちの要求を表示し、要求を承認または拒否し、要求に関連するデータと分析を確認するためのワークスペース。
履行者タスク	履行者タスクビュー	フォーム	ユーザーが履行者タスクを作成するためのフォーム。
サービス要求管理：プライマリ	レコードプロデューサー	サービス要求に関連する情報を追加し、ドキュメントを添付するための質問が含まれています。
出張要求	レコードプロデューサー	出張要求に関連する情報を追加し、ドキュメントを添付するための質問が含まれています。
プライマリ	デフォルトビュー	フォーム	ユーザーがサービス要求レコードを作成するためのフォーム。
履行者のマネージャー	ワークスペース	履行者のマネージャーが、承認待ちの要求を表示し、要求を作成し、要求を承認または拒否し、自分やチームの要求に関連するデータや分析を確認するためのワークスペース。
出張要求	デフォルトビュー	フォーム	ユーザーが出張要求レコードを作成するためのフォーム。

サービス要求管理アプリテンプレートでの自動化ワークフロー

ワークフロー名	ワークフロータイプ	説明
履行者タスク作業メモを追加	メール	履行者タスクに作業メモが追加されたときに、[アサイン先] フィールド、[作業メモ] リスト、および [ウォッチリスト] のユーザーに通知します。
履行プロセスのトリガー	メール	履行者タスクが作成されたが、デフォルトの履行者または履行アサイン先グループがない場合に、サービスオーナーに通知します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ワークフロー名	ワークフロータイプ	説明
空の挿入時のアサイン先	メール	要求レコードが作成され、アサイニーがいない場合にアサイン先グループに通知します。
挿入時/アサイン先の変更	メール	要求レコードがアサインされたことをユーザーに通知します。
アサインプロセス	フロー - レコード	アサイン、承認、および実行プロセスを移動するときに、新しいレコードを作成および更新します。
履行者の意思決定	ディシジョンテーブル	各サービスのデフォルトの履行者ユーザーと履行者アサイン先グループを定義します。
承認プロセス	フロー	承認プロセスを通じてレコードを移動します。
承認者の意思決定	ディシジョンテーブル	各サービスのデフォルトの承認者と承認者アサイン先グループを定義します。
履行プロセス	フロー	履行プロセスを通じてレコードを移動します。
追加された子作業メモ	メール	出張要求タスクに作業メモが追加されたときに、[アサイン先] フィールド、[作業メモ] リスト、および [ウォッチ] リストで指定されたユーザーに通知します。
プライマリ作業メモを追加	メール	[プライマリ] テーブルの要求レコードに作業メモが追加されたときに、[アサイン先] フィールド、[作業メモ] リスト、ウォッチリストのユーザーに通知します。

サービス要求管理アプリテンプレートでのロール

ロールタイトル [名前]	説明
承認者 [x_<company-name>_<app_name>.approver]	承認者ワークスペースへのアクセス権を提供し、プライマリ [x_ <company-code>_<primary>] および出張要求 [x_<company-code>_<travel_request>] テーブルへの読み取りおよび書き込みアクセスを提供します。
アプリアドミン [x_<company-name>_<app_name>.app_admin]	サービス要求管理データおよびワークスペースへの完全なアクセス権を付与します。
履行者のマネージャー	履行者マネージャーワークスペースへのアクセス権を提供し、プライマリ [x_

自動翻訳

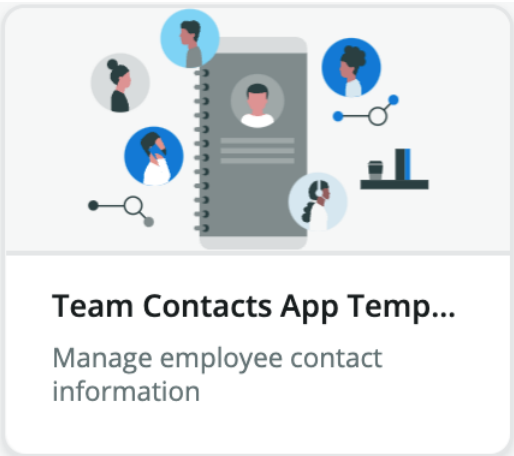
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ロールタイトル [名前]	説明
[x_<company-name>_ <app_name>.fulfillers_manager]	<company-code>_<primary>]、出張要求 [x_ <company-code>_<travel_request>] テーブル、および履行者タスク [x_ <company-code>_<fulfiller_task>] テーブルへの読み取りおよび書き込みアクセスを提供します。
リクエスタ [x_<company-name>_ <app_name>.requestor]	サービスポータルからデフォルトレコードプロデューサーの要求を送信するためのアクセスを提供し、プライマリ [x_ <company-code>_<primary>] および出張要求 [x_ <company-code>_<travel_request>] テーブルへの読み取りおよび書き込みアクセスを提供します。
履行者 [x_<company-name>_ <app_name>.fulfiller]	履行者ワークスペースへのアクセス権を提供し、プライマリ [x_ <company-code>_<primary>]、出張要求 [x_ <company-code>_<travel_request>] テーブル、および履行者タスク [x_ <company-code>_<fulfiller_task>] テーブルへの読み取りおよび書き込みアクセスを提供します。
admin [x_<company-name>_ <app_name>.admin]	システムアドミニストレーターロール。このロールは、セキュリティ上の制約に関係なく、システムの機能とデータすべてにアクセスできます。

チーム連絡先テンプレート

チーム連絡先テンプレートを使用して App Engine Studio (AES) でアプリケーションをビルドし、組織内のユーザーの連絡先情報を管理します。

チーム連絡先テンプレートを使用するには、ServiceNow Store からこのアプリケーションをインストールします。



チーム連絡先アプリは、モバイルエクスペリエンスを使用して、従業員の連絡先情報を表示し、お気に入りにタグを付け、プライバシーメモを追加します。アプリでは、デフォルトでレポート情報を表示し、従業員が従業員を検索したり、従業員プロファイルを表示したり、お気に入りの従業員の連絡先リストを作成したりできます。

テンプレートを使用したアプリケーションの作成については「アプリケーションテンプレートを使用したアプリの作成」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

チーム連絡先テンプレートのコンテンツ

次のテーブル、エクスペリエンス、自動ワークフロー、ロールは、App Engine Studio (AES) のチーム連絡先テンプレートに含まれています。

チーム連絡先アプリテンプレートのテーブル

テーブルラベル **[name]**	説明
連絡先の関係性テーブル [x_<company-code>_<team_contact>_relationship_contact]	従業員の連絡先情報を追跡します。たとえば、連絡先名、作成日、お気に入り、更新などです。
リマインダーテーブル [x_<company-code>_<team_contact>_relationship_contact_reminders]	チームによって作成されたリマインダーを追跡します。たとえば、リマインダーを送信するタイミングとリマインダーの件名などです。
関係メモテーブル [x_<company-code>_<team_contact>_relationship_notes]	従業員が相互に作成するメモを追跡します。たとえば、従業員の名前、連絡先の理由、HTML メモ、連絡先をお気に入りとしてマークするオプションなどです。

チーム連絡先アプリテンプレートのエクスペリエンス

エクスペリエンス	エクスペリエンスタイプ	説明
従業員モバイルエクスペリエンス	モバイル体験	従業員が組織の iOS または Android アプリを使用して、従業員ディレクトリおよび関係メモにアクセスできるようにします。
チーム連絡先	ポータル	従業員とマネージャーが、Web サイトを使用して従業員プロファイルを表示し、お気に入りの連絡先をマークし、関係メモを追加できるポータル。チーム連絡先ポータルには、サインインページ、ホームページ、および関係メモを追加するためのページが含まれています。
メモ | デフォルトビュー	フォーム	連絡先情報にメモを追加するフォーム。
連絡先の関係性	フォーム	連絡先情報を表示するフォーム。
リマインダー | ポータル	フォーム	従業員とマネージャーがリマインダーを設定するためのフォーム。
リマインダー | デフォルトビュー	フォーム	従業員とマネージャーがリマインダーを設定するためのフォーム。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

エクスペリエンス	エクスペリエンスタイプ	説明
メモ | ポータル	フォーム	マネージャーと従業員が連絡先にメモを追加するためのフォーム。

チーム連絡先アプリテンプレートの自動ワークフロー

ワークフロー名	ワークフロータイプ	説明
Team Contact Reminder Push	メール	リマインダープッシュを従業員に送信します。
通知コンタクトリマインダー	フロー - レコード	従業員が関係メモに設定したリマインダーに関する通知を送信します。通知には、関係メモの詳細が含まれています。
Team Contact Reminder Notification	メール	リマインダーを従業員に送信します。
Team Contact Reminder Ackn Notification	メール	通知を確認するためのリマインダーを従業員に送信します。

チーム連絡先アプリテンプレートのロール

ロールタイトル [名前]	説明	ロールを含む
マネージャー [x_<company-name>_ <app-name>.manager]	マネージャーは、プロファイル情報を表示し、関係メモを追加し、直属の部下を確認できます。	作成、読み取り (自分のもの)、更新 (自分のもの)、削除 (自分のもの)
アドミン [x_<company-name>_ <app-name>.admin]	マネージャーは、チーム連絡先アプリを設定し、アプリへのアクセス権を付与できます。	読み取り (すべて)、更新 (すべて)、削除
従業員 [x_<company-name>_ <app-name>.employee]	従業員は、チームに関する情報の表示、従業員の検索、従業員プロファイルの表示、お気に入りの連絡先のマーク付けを行うことができます。	作成、読み取り (自分のもの)、更新 (自分のもの)、削除 (自分のもの)
キャンバスユーザー	キャンバスコアアプリケーションのユーザーロール	

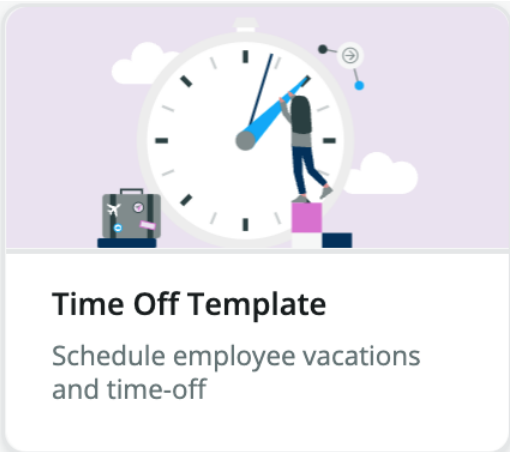
休暇テンプレート

休暇申請テンプレートを使用して App Engine Studio (AES) でアプリケーションをビルドし、従業員の休暇をスケジュールできるようにします。

休暇テンプレートを使用するには、ServiceNow Store からこのアプリケーションをインストールします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



休暇申請を作成して、従業員が単一のモバイルまたは Web ベースのフォームで休暇を申請するプロセスを簡素化します。要求が送信されると、マネージャーにメールで通知されます。モバイルアプリまたは Web ベースのポータルを使用して、従業員またはチーム全体の要求の履歴および要求処理待ちを月別または年別に表示できます。これにより、マネージャーは情報に基づいた意思決定を行い、今後の作業の計画を改善し、シフトをカバーする必要がある部分を特定できます。要求が承認または却下されると、その理由とともに従業員に自動的に通知されます。計画の変更や承認済みの要求の更新が必要な場合、従業員はポータルを使用して要求を編集し、承認を得るために再送信できます。

テンプレートを使用したアプリケーションの作成については「アプリケーションテンプレートを使用したアプリの作成」を参照してください。

休暇テンプレートのコンテンツ

次のテーブル、エクスペリエンス、自動ワークフロー、ロールは、App Engine Studio (AES) の休暇テンプレートに含まれています。

休暇アプリテンプレートのテーブル

テーブルラベル **[name]**	説明
休暇申請テーブル [x_<company-code>_<my_time_off_request_app>_request]	Time Off Request アプリを使用して、従業員が作成した休暇申請を追跡します。たとえば、従業員名、作成日、マネージャー、要求された休暇、休暇申請のステータスなどです。

休暇アプリテンプレートのエクスペリエンス

エクスペリエンス	エクスペリエンスタイプ	説明
休暇申請 | デフォルトビュー	フォーム	マネージャーおよびアドミニストレーターが休暇申請のテンプレートとして使用するフォーム。
休暇申請 | ワークスペース	フォーム	マネージャーが休暇申請を表示、送信、承認または却下できるワークスペース。ワークスペースには、チーム、従業員、および時間別に表示できる履歴レコードも含まれています。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

エクスペリエンス	エクスペリエンスタイプ	説明
アプリ名 | ポータル	ポータル	マネージャーおよびアドミニストレーターが休暇申請を表示、送信、承認または却下し、従業員が休暇申請を表示、編集、レビュー、またはキャンセルするためのポータル。
アプリ名 | ワークスペース	ワークスペース	マネージャーおよびアドミニストレーターが休暇申請を表示、送信、承認または却下するために使用できるワークスペース。
休暇申請 ｜レコード	フォーム	マネージャーが休暇申請を表示、送信、承認、または却下するために使用できるフォーム。
休暇申請 | 新規	フォーム	ユーザーは、休暇申請の新規作成 (保存、送信、またはキャンセル)、更新 (保存、送信、削除、またはキャンセル)、およびレビュー (承認または却下) を行うことができます。
モバイルアプリ	モバイル体験	従業員は休暇を申請し、その申請にアクセスできます。マネージャーは、組織の iOS または Android アプリを使用して、休暇申請を送信、表示、更新、承認、または却下できます。
ダッシュボード	モバイル体験	マネージャーおよびアドミニストレーターは、組織の iOS または Android アプリを使用して、休暇申請を表示できます。

休暇アプリテンプレートの自動ワークフロー

ワークフロー名	ワークフロータイプ	説明
Time off request - Send comments	フロー - レコード	休暇申請にコメントが追加されたときに、従業員またはマネージャーに通知を送信します。
Daily Time Off inactivating records	フロー	残り日数が 0 に設定されるまで休暇申請レコードの残り時間を更新します。
Time Off Req Approved	メール	承認された休暇申請を従業員に通知します。
Time Off Req Updated/ resubmitted	メール	更新/再送信された休暇申請をマネージャーに通知します。
Time Off Comments	メール	休暇申請にコメントが追加されたことを従業員またはマネージャーに通知します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ワークフロー名	ワークフロータイプ	説明
Time Off requests - Send notifications	フロー - レコード	休暇申請のステータスが変更されたときに、従業員またはマネージャーに通知を送信します。通知には、休暇申請の詳細が含まれています。
Time Off Request Cancelled	メール	休暇申請がキャンセルされたことを従業員またはマネージャーに通知します。
Time Off Request Rejected	メール	却下された休暇申請を従業員に通知します。
Time Off Request - updated/ resubmitted	フロー - レコード	休暇申請が更新/再送信されたことの通知を従業員またはマネージャーに送信します。
Time Off Req Submitted	メール	休暇申請が送信されたときにマネージャーに通知します。
休暇申請	メール	従業員は休暇申請をドラフト作成、要求、承認、却下、およびキャンセルできます。

休暇アプリテンプレートのロール

ロールタイトル [名前]	説明	ロールを含む
マネージャー [x_<company-name>_ <my time_off_request_app>.manager]	マネージャーは休暇申請を送信、表示、承認、または却下することができます。	作成、読み取り (すべて)、編集 (すべて)
従業員 [x_<company-name>_ <my time_off_request_app>.employee]	従業員は休暇申請を送信、表示、編集、キャンセルできます。	作成、読み取り (自分のもの)、編集 (自分のもの)、削除 (自分のもの)
アドミン [x_<company-name>_ <my time_off_request_app>.admin]	アドミニストレーターは休暇アプリを管理し、すべてのレコードを表示できます	作成、読み取り (すべて)、編集 (すべて)、削除 (すべて)
公開	公開ユーザーは、アプリケーションの機能にアクセスするためにログインする必要はありません。	デフォルトでは、ロールにはアクセス権がありません。

カスタムテンプレートのビルド

App Engine Studio (AES) には、事前定義されたさまざまなアプリケーションテンプレートがあります。ただし、あるアプリケーションのタイプを複数回作成する場合は、カスタムテンプレートを作成すると本番稼働までの時間を短縮できます。

カスタムテンプレートを最初から作成することも、既存のコンテンツを開始点として使用することもできます。事前定義された AES テンプレートにニーズに近いものがある場合は、そのテンプレートを拡張し、ニーズに合わせてカスタマイズすることを検討してください。データ、エクスペリエン

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ス、ロジックと自動化、アクセスのためのセキュリティロールを追加およびカスタマイズして、テンプレートを完成させます。

既存のアプリケーションからのカスタムテンプレートのビルド

既存のアプリケーションを開始点として使用して、App Engine Studio (AES) でカスタムテンプレートをビルドします。アプリケーションの既存のデータ、エクスペリエンス、ロジックと自動化、およびセキュリティロールが、カスタムテンプレートに自動的に追加されます。

始める前に

必要なロール：admin、app_template_author

手順

1. 移動先 すべて > **App Engine** > **App Engine Studio**.
2. [テンプレート] ページで、[新規テンプレートを作成] を選択します。
3. [既存のアプリ] を選択し、[続行] を選択します。
4. [アプリの選択] 画面でカスタムテンプレートを作成用の既存のアプリケーションを選択し、[続行] を選択します。
   次の結果が考えられます。
   - [すべてのアイテムがサポートされています (All items are supported)]：カスタムテンプレートが作成されます。すべてのオブジェクトがカスタムテンプレートとそのカスタムテンプレートから作成されたアプリで使用できます。
   - [一部のアイテムはサポートされていません]：テンプレートの作成は続行できますが、このカスタムテンプレートで使用できないアイテムがあります。カスタムテンプレートや、そのテンプレートから作成されたアプリには影響しません。
   - [一部のアイテムが拒否されました (Some items are denied)]：カスタムテンプレートの作成者にはエラーメッセージが表示され、そのエラーを修正するまで続行できません。 作成者は、アプリを既存のアプリから作成した場合はアプリを変更し、最初から作成した場合はテンプレートを変更する必要があります。

   注:
   詳細については、「カスタムテンプレートでサポートされている機能とメタデータ」を参照してください。
5. カスタムテンプレートの名前と説明を入力します。
6. アプリケーションのロゴを承認または変更します。
   - 既存のアプリケーションに SVG 形式のロゴがある場合は、同じロゴがカスタムテンプレートに適用されます。
   - ロゴがないか、あっても SVG 以外の形式の場合は、**[SVG** 画像を参照またはドラッグする] フィールドに画像をドラッグするか、そのフィールドを選択してファイルディレクトリから画像を選択してから [開く] を選択して、カスタムテンプレートの SVG ロゴをアップロードします。
7. [続行] を選択します。
8. このテンプレートにアクセスできるユーザーまたはグループを指定します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

オプション	説明
特定のユーザーとグループとの共有	**a.** [共有先] リストから、[特定のユーザーとグループ] を選択します。 **b.** ユーザーを個別またはグループで追加します。 **c.** [アクセス権を付与] を選択します。 **d.** [続行] を選択します。
すべてのユーザーおよびグループと共有する	**a.** [共有先] リストから、[すべてのユーザーとグループ] を選択します。 **b.** [続行] を選択します。

テンプレートの共有と権限の詳細については、「アプリテンプレートの共有」を参照してください。

9. 次のいずれかの方法で、カスタムテンプレートにアクセスします。

タスクの結果

カスタムテンプレートが作成され、使用できるようになりました。カスタムテンプレートがアクティブ化され、アクセス権を持つ App Engine Studio ユーザーが使用できるようになります。

カスタムテンプレートを最初からビルドする

事前定義された App Engine Studio (AES) テンプレートがどれもビジネスニーズに合わない場合、または開始点になるような既存のアプリケーションがない場合は、カスタムテンプレートを最初からビルドします。

始める前に

必要なロール：admin、app_template_author

手順

1. 移動先 すべて > **App Engine** > **App Engine Studio**.
2. [テンプレート] ページで、[新規テンプレートを作成] を選択します。
3. [最初から開始] を選択し、[続行]を選択します。
4. カスタムテンプレートの名前と説明を入力します。
5. オプション: **[SVG** 画像を参照またはドラッグする] フィールドに画像をドラッグするか、そのフィールドを選択してファイルディレクトリから画像を選択してから [開く] を選択して、カスタムテンプレートにロゴを追加します。
6. [続行] を選択します。
   空のカスタムテンプレートが作成されると、進行状況メッセージが表示されます。
7. このテンプレートにアクセスできるユーザーまたはグループを指定します。

オプション	説明
特定のユーザーとグループとの共有	**a.** [共有先] リストから、[特定のユーザーとグループ] を選択します。 **b.** ユーザーを個別またはグループで追加します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

オプション	説明
	c. [アクセス権を付与] を選択します。 **d.** [続行] を選択します。
すべてのユーザーおよびグループと共有する	**a.** [共有先] リストから、[すべてのユーザーとグループ] を選択します。 **b.** [続行] を選択します。

テンプレートの共有と権限の詳細については、「アプリテンプレートの共有」を参照してください。

8. [テンプレートの詳細] 画面で、[テンプレートダッシュボードに移動します] を選択します。
9. カスタムテンプレートに、データ、エクスペリエンス、ロジックと自動化、セキュリティ対策を追加します。
   詳細は、以下のトピックを参照してください。
   - アプリケーションのデータモデルの作成
   - アプリケーションエクスペリエンスの追加
   - ロジックと自動化の追加
   - アプリケーションセキュリティの追加
10. [保存] を選択します。

次のタスク

カスタムテンプレートの概要を指定し、テンプレートをアクティブ化して、テンプレートライブラリから App Engine Studio ユーザーが使用できるようにします。詳細については、「カスタムテンプレートのコンテンツとプロパティの更新」を参照してください。

アプリテンプレート作成エラーの特定と修正

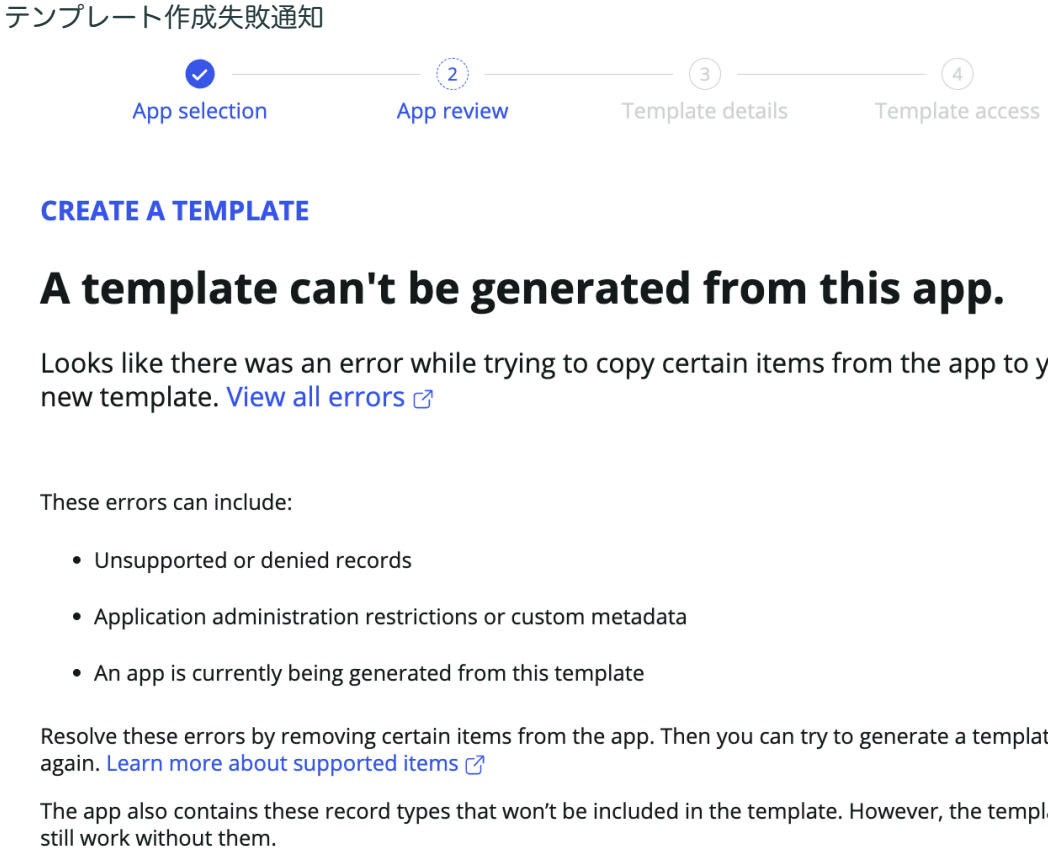
サポートされていない機能またはメタデータが App Engine Studio (AES) のテンプレート作成プロセスを停止した場合に、アプリを特定して修正する方法について説明します。

サポートされていない機能

カスタムテンプレートを作成したソースアプリケーションのアイテムが、テンプレートでサポートされていない場合があります。アプリケーションからテンプレートを作成する前に、サポートされていないアイテムを削除する必要があります。

テンプレートの作成プロセス中にエラーが発生すると、エラーメッセージが表示されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



自動翻訳

[すべてのエラーを表示] を選択すると、アプリケーションのどの要素がテンプレートの作成プロセスを失敗させているかを特定できます。これにより、スキャン失敗 [sys_app_scan_failure] テーブルが表示されます。テーブル内のエラーとその原因の詳細については、「スキャン失敗テーブルのテンプレート作成エラー」を参照してください。

スキャン失敗テーブルのテンプレート作成エラー

スキャン失敗 [sys_app_scan_failure] テーブルに表示されるカスタムテンプレートの作成中に発生したエラーとその原因。

エラーメッセージ

許可およびスキップされるレコードのタイプの詳細については、「カスタムテンプレートでサポートされている機能とメタデータ」を参照してください。

エラーメッセージ	定義	詳細
Unsupported_table	許可ルールがなく、不明なレベルのサポートがあるレコードクラス。	1 つ以上のサポートされていないレコードが App Engine Studio によって認識されません。テンプレートの作成プロセスを続行するには削除する必要があります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

エラーメッセージ	定義	詳細
Denied_table	拒否ルールがあり、テンプレートの作成がサポートされていないレコードクラス。	レコードクラスは明示的に拒否され、テンプレートの作成プロセスを続行するには削除する必要があります。
Scripted_record	アプリ内の各レコードで実行されるスクリプト化されたルール。	現在のスクリプト化された拒否ルールには次のものが含まれます。 • カスタムメタデータ：アプリには sys_metadata テーブルを拡張するテーブルがあります。 • スコープ指定管理：アプリでスコープ指定管理がオンになっています。 • テンプレート実行中：ソースアプリに関連付けられたテンプレートが現在実行されています。
Scripted_app	アプリに対して 1 回実行されるスクリプト化されたルール。	

カスタムテンプレートを公開する権限のアサイン

カスタムテンプレートをアプリケーションリポジトリまたは ServiceNow Store に公開するための権限を開発者にアサインします。特定のカスタムテンプレートを公開するか、App Engine Studio (AES) の既存のすべてのカスタムテンプレートを公開する権限を付与できます。

個別のカスタムテンプレートを公開する権限のアサイン

個別の App Engine Studio (AES) カスタムテンプレートをアプリケーションリポジトリまたは ServiceNow Store に公開するための権限を開発者にアサインします。

始める前に

必要なロール：admin

手順

1. 移動先 すべて > **App Engine** > テンプレート > アプリケーションテンプレート.
2. [リストをカスタマイズ] アイコン (⚙) を選択します。
3. [パッケージ] 列を追加するには、[パッケージ] の値を [対応可能] リストから [選択されました] リストに移動し、**[OK]** を選択します。
4. [パッケージ] 列から、カスタムテンプレートのパッケージリンクを選択します。
5. [関連リンク] 見出しで、[協力者の管理]を選択します。
6. 新規または既存の協力者に権限をアサインします。

タスクの結果

これで、指定されたユーザーまたはグループが、個別のカスタムテンプレートを公開する権限を持ちます。

カスタムテンプレートおよびアプリを公開する権限のアサイン

カスタムの App Engine Studio (AES) テンプレートおよびアプリケーションをアプリリポジトリまたは ServiceNow Store に公開するための権限を開発者にアサインします。

始める前に

必要なロール：admin

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > **App Engine** > コラボレーション > 記述子.
2. [すべてのコラボレーション記述子 (All Collaboration Descriptors)] ページの [名前] フィールドで、[所有者 **(Owner)]** を検索して選択します。
3. [開発権限セット] タブで、[編集] を選択します。
4. [アプリリポジトリに公開 **(Publish To App Repo)]** および [アプリストアに公開 **(Publish To App Store)]** の値を [コレクション] リストから [開発権限セット] リストに移動します。
5. [保存] を選択します。

タスクの結果
これで、アプリケーションを所有する開発者は、すべてのカスタムテンプレートを自分のアプリケーションリポジトリまたは ServiceNow Store に公開するためのプラットフォームレベルの権限を持つことになります。

カスタムテンプレートの公開

App Engine Studio (AES) を使用して、ゼロから、または既存のアプリケーションからビルドされたカスタムテンプレートを公開できます。

始める前に
カスタムテンプレートを公開するには、権限が必要です。詳細については、「カスタムテンプレートを公開する権限のアサイン」を参照してください。

必要なロール：admin、app_template_author

手順

1. 移動先 すべて > **App Engine** > **App Engine Studio** > テンプレート.
2. カスタムテンプレートをポイントし、[その他のアクション] アイコン (••• アイコン) を選択して、[プロパティ] を選択します。
3. [全般] タブで、[このテンプレートをアクティブ化] チェックボックスをオンにします。
4. [テンプレートを公開] を選択します。
5. オプション: カスタムテンプレートをゼロから作成する場合は、[公開する] を選択します。

   (Optional) App Engine Studio に[テンプレートを公開] フィールドが表示されます。
6. フィールドに入力します。

バージョン番号とリリースノートを入力してください

フィールド	説明
バージョン	カスタムテンプレートの新しいバージョン番号を入力します。
リリースノート	カスタムテンプレートに加えられた変更の簡単な説明を入力します。
オプションを公開	カスタムテンプレートを公開する場所を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	○ テンプレートを自分のアプリケーションリポジトリに公開するには、[自分のアプリケーションリポジトリ (アプリを自分のインスタンスで使用可能にします)] を選択します。 ○ テンプレートを ServiceNow Store に公開するには、**[ServiceNow Store** (レビューのためにこのアプリを **ServiceNow Store**に送信してください)] を選択します。

7. [続行] を選択します。
8. 確認画面で、[クローズ] を選択します。

タスクの結果
カスタムテンプレートが公開され、アプリテンプレートアドミニストレーターと共有しているユーザーがそれを使用できるようになります。

カスタムテンプレートのコンテンツとプロパティの更新

App Engine Studio (AES) のコンテンツまたはプロパティを更新して、カスタムテンプレートの有効性を向上させます。

始める前に
必要なロール：admin、app_template_author

手順
1. 移動先 すべて > **App Engine** > **App Engine Studio**.
2. [テンプレート] タブを選択します。
3. テンプレートのさまざまな側面を変更して、ニーズに合わせてより役立つようにします。

テンプレートのアクティブ化の管理

テンプレートのアクティブ化と非アクティブ化を管理して、App Engine Studio (AES) でアプリを作成するユーザーがニーズに最適なアプリケーションテンプレートにアクセスできるようにします。

始める前に
必要なロール：app_template_admin

このタスクについて
アプリテンプレートアドミニストレーターは、非本番インスタンスでアクティブなテンプレートを管理し、どのユーザーがそれらのテンプレートを表示および使用できるか決定します。アドミニストレーターは、会社の標準から逸脱したカスタムテンプレートやユーザーのニーズに合わないカスタムテンプレートを非アクティブ化することもできます。

手順
1. 移動先 すべて > **App Engine** > テンプレート > アプリケーションテンプレート.
2. アクティブ化または非アクティブ化するテンプレートをリストから選択します。
3. テンプレートを編集するには、表示されるメッセージの [ここ] を選択します。
4. テンプレートをアクティブ化または非アクティブ化します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- テンプレートをアクティブ化するには、[アクティブ **(Active)]** チェックボックスをオンにします。
- テンプレートを非アクティブ化するには、[アクティブ **(Active)]** チェックボックスをオフにします。

5. [更新] を選択します。

アプリテンプレートの共有

App Engine Studio (AES) で事前定義されたテンプレートとカスタムテンプレートにアクセスできるユーザーとグループを指定します。

暗黙的な共有

テンプレートは組織内の一部のユーザーと暗黙的に共有されます。つまり、共有を決定する共有レコードは存在しません。暗黙的な共有を管理する 3 つのルールは次のとおりです。

- インスタンスアドミニストレーターは、すべてのテンプレートを表示して使用できます。
- アプリテンプレートアドミン (app_template_admin ロールを持つユーザー) も、すべてのテンプレートを表示して使用できます。
- アプリテンプレート作成者 (app_template_author ロールを持つユーザー) は、テンプレートが存在するスコープを編集する権限を持っている場合に、共有されていないテンプレートを表示できます。

これらの共有ルールは、テンプレートがアクティブかどうかに関係なく適用されます。

明示的な共有

組織内の任意のユーザーとアプリテンプレートを共有するには、そのユーザーまたはグループの共有レコードを作成します。ただし、共有権限に関係なく、そのユーザーまたはグループは、テンプレートを表示して使用するための sn_app_eng_studio.user ロールを持っている必要があります。テンプレートを共有する 3 つの方法は次のとおりです。

- 組織内のすべてのユーザーとグローバルに共有する
- 指定されたユーザーグループと共有する
- 指定された 1 人のユーザーと共有する

> **注:**
> 個別のユーザーとのテンプレートの共有を停止しても、そのユーザーがそのテンプレートを共有しているグループに含まれる場合、そのユーザーは引き続きそのテンプレートを表示および使用できます。

テンプレート共有権限の管理

App Engine Studio (AES) テンプレートをグローバル、グループ、または個別のユーザーと共有して、それらのユーザーが適切なテンプレートにアクセスできるようにします。

始める前に

必要なロール：app_template_admin

手順

1. 移動先 すべて > **App Engine** > テンプレート > アプリケーションテンプレート.

2. 共有権限を変更するテンプレートを選択します。

3. [テンプレート共有権限] 関連リストで、[新規] を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

4. 共有オプションを選択します。

5. [送信] を選択します。

アプリケーションのゼロからの作成

App Engine Studio (AES) で利用可能なアプリケーションテンプレートがアプリケーションの目的に適合しない場合は、データ、エクスペリエンス、ロジック、自動化、およびセキュリティを追加できる空のアプリケーションを作成します。

始める前に

> **注:**
> AES でアプリを作成するには、アドミンであるか、App Engine Studio ユーザーグループに所属している必要があります。App Engine Studio ユーザー制限グループに属している場合、既存のアプリの編集のみ可能で、新しいアプリを作成することはできません。

必要なロール：admin、sn_app_eng_studio.user

手順

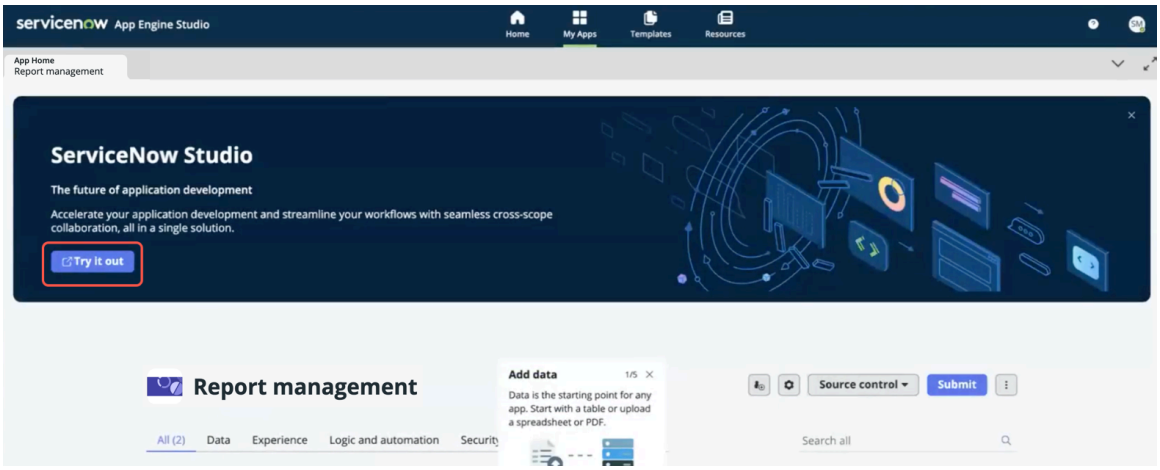
1. 移動先 すべて > **App Engine** > **App Engine Studio**.
2. [アプリを作成] を選択します。
3. アプリケーションの名前と説明を入力します。
4. オプション: [アプリのロゴをアップロードするには、ドラッグまたは参照します] フィールドに画像をドラッグするか、そのフィールドを選択してファイルディレクトリから画像を選択してから [開く] を選択して、ロゴを追加します。
5. [続行] を選択します。
6. ロールを追加またはカスタマイズすることで、アプリケーションのコンテンツを作成、読み取り、書き込み、削除するアクセス権を持つユーザーを制御します。
   アプリにセキュリティロールを追加するには、[ロールを追加] を選択し、ロールの名前と説明を入力します。

   > **注:**
   > アプリケーションセキュリティを更新するには、少なくとも 1 つのロールに読み取りアクセス権が必要です。

7. [続行] を選択します。
8. サマリー画面で、[アプリダッシュボードに移動します] を選択します。
9. オプション: より高度なアプリ開発環境で作業する場合は、バナーで [試す] を選択して、従来 - ServiceNow Studio でアプリを開くことができます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



10. オプション: ウィンドウの左下隅にある [ガイダンス] トグル ( ) をアクティブ化して、アプリケーションの各セクションのガイド情報を確認します。
11. データ、エクスペリエンス、ロジックと自動化、セキュリティをアプリに追加して、アプリケーションのビルドを続行します。
詳細は、以下のトピックを参照してください。
    - アプリケーションのデータモデルの作成
    - アプリケーションエクスペリエンスの追加
    - ロジックと自動化の追加
    - アプリケーションセキュリティの追加

次のタスク

アプリケーションのビルドが完了したら、承認のためにアプリケーションを送信し、アドミニストレーターにレビューと展開を実施してもらいます。詳細については、「承認と公開のためのアプリの送信」を参照してください。

承認を受けるアプリの準備

アプリの名前の変更、アプリの説明の編集、アプリの画像の置換などの必要な変更を加えて、承認プロセスに対してアプリを準備します。間違えて処理した場合は、そのアプリを App Engine Studio (AES) から削除することもできます。

始める前に

必要なロール：admin、sn_app_eng_studio.user

このタスクについて

自分の権限に基づいて、アプリケーションの特定の機能を変更できます。削除する権限を要求するには、アドミニストレーターにお問い合わせください。

手順

1. 移動先 すべて > **App Engine** > **App Engine Studio**.
2. [自分のアプリ] ページからアプリケーションを開きます。
3. アプリホームから、[アプリケーションプロパティの編集] アイコン (アイコン) を選択します。
4. アプリケーションプロパティを更新します。
    - アプリケーションの名前を変更するには、[名前] フィールドを更新します。
    - アプリケーションの説明を書き換えるには、[説明] フィールドを更新します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

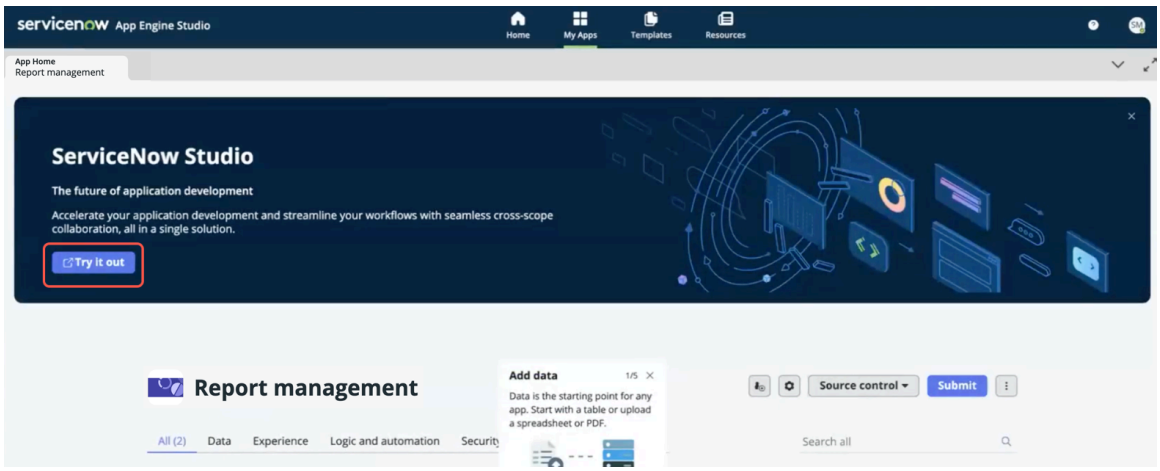
- 画像を置き換えるには、[画像の削除] を選択してから新しい画像を追加します。
- アプリケーションを削除するには、[アプリケーションを削除] を選択し、「削除」と入力して選択を確定し、[削除] を選択します。

5. [保存] を選択します。

アプリの拡張

App Engine Studio (AES) でテンプレートを使用する場合もゼロからアプリを作成する場合も、データモデル、ユーザーエクスペリエンス、ロジックと自動化、セキュリティを作成してアプリを拡張する必要があります。

AES でアプリを作成している場合は、権限に応じて ServiceNow スタジオ でアプリを開くことができます。AES でアプリを開いたときにServiceNow スタジオバナーが表示される場合は、[試してみる] を選択します。



アプリケーションをビルドするときは、次のトピックをガイドとして使用してください。

アプリを拡張するためのリソース

データ、エクスペリエンス、ロジックと自動化、およびセキュリティをアプリケーションに追加するときには、ServiceNow AI Platform のさまざまな部分を操作する可能性があります。次の表のリンクは、App Engine Studio、テーブルビルダー、UI ビルダー、ディシジョンビルダー、App Engine 管理センター、ServiceNow AI Platform にコンテンツを追加するためのリソースを示しています。

アプリケーションにコンテンツを追加するためのリソース

データを追加	エクスペリエンスの追加	ロジックと自動化の追加	セキュリティの追加
App Engine Studio でアプリケーションにデータを追加します。 • アプリケーションのデータモデルの作成 • 空白のテーブルを作成する • スプレッドシートを使用してデータを追加する	App Engine Studio で作業して、アプリケーションにエクスペリエンスを追加します。 • アプリケーションエクスペリエンスの追加 • レコードプロデューサーの追加 • 標準カタログアイテムの追加 •	App Engine Studio でアプリケーションにロジックと自動化をビルドします。 • ロジックと自動化の追加 • テンプレートを使用したビルド済みフローの追加 • フローを最初から追加 • 意思決定の追加	App Engine Studio でアプリケーションのセキュリティを管理するロールを構成します。 • アプリケーションセキュリティの追加 • アプリケーションの新しいロールのビルド • アプリケーションに対する既存のロールの使用

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アプリケーションにコンテンツを追加するためのリソース (続く)

データを追加	エクスペリエンスの追加	ロジックと自動化の追加	セキュリティの追加
• PDF を使用してデータテーブルを作成する • データ統合を作成する • アプリケーションデータテーブルの変更	• ワークスペースの追加ポータルの追加 • モバイルエクスペリエンスの追加 • App Engine Studio でのエクスペリエンスの編集	• メール通知の追加 • プロセスを編集する	• 他の開発者とのコラボレーション • ロールのアクセス設定の変更 • ロールの削除
Table Builder の使用にシームレスに移行して、アプリケーションのデータを拡張します。 • テーブルビルダー の詳細 • テーブルビルダー 内のデータ • テーブルビルダー のフォーム • テーブルビルダー でのポリシーとルール • テーブルビルダー のフロー	ワークスペースビルダー と UI ビルダー を使用して、アプリケーションのエクスペリエンスをさらに強化します。 • ワークスペースの追加 • でのワークスペースの編集 ワークスペースビルダー • UI ビルダー および構成可能なワークスペース • UI ビルダー でユーザーがアプリケーションをどのように操作するかを構成する • コンポーネントを使用した UI ビルダーページのカスタマイズ	ディシジョンビルダーを使用すると、アプリケーションのビジネスロジックを簡単に管理できます。 • ワークフロースタジオに意思決定テーブルを作成 • Manage decision tables in Excel • ワークフロースタジオでのディシジョンテーブル構造の変更 • ワークフロースタジオでのディシジョンテーブルルールの変更	ServiceNow AI Platform と App Engine 管理センターを使用して、組織とアプリケーションのロールを構成および管理します。 • AES のペルソナとロールの構成 • Configure users and groups • App Engine アドミングループへのユーザーの追加 • AES を使用する開発者の委任 • AEMC を使用した開発者の管理 • コラボレーション要求の管理

アプリケーションのデータモデルの作成

アプリケーションデータを収納するテーブルを作成することで、アプリケーションのデータモデルを App Engine Studio (AES) に作成します。新規にテーブルを作成するか、スプレッドシートまたは PDF をアップロードするか、既存のテーブルをテンプレートとして使用して、アプリケーションで使用するデータテーブルを作成します。スプレッドシートをアプリケーションの既存のテーブルにマッピングすることで、データインポートを作成してスケジュール設定することもできます。

データモデルを作成してユーザーインターフェイスにデータを入力することは、新しいアプリケーションでは絶対に必要な出発点です。ユーザーはフォームに入力するときに名前や電話番号などのデータを入力でき、他のユーザーは要求を実行するときにそのデータを参照できます。

App Engine Studio では、アプリケーションデータがテーブル形式で格納されます。ユーザーがアプリケーションデータを更新すると、テーブルに行が作成されるか、既存の行が変更されます (各行はデータレコードとも呼ばれます)。既存の ServiceNow AI Platform テーブル、またはスプレッド

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

シートや PDF からテーブルを作成することも、アプリケーションでレコードを保存するためのまったく新しいテーブルをカスタマイズすることもできます。

アプリケーションに保存されるデータレコードは、複数のソースから取得される場合があります。あるテーブルには、アプリケーションを使用しているユーザーが入力したデータレコードが格納される場合があります。別のテーブルには、スプレッドシートからのデータのインポートとマッピング、または別の ServiceNow AI Platform テーブルからのデータでデータレコードを更新するスクリプトを介して入力される場合があります。

アプリケーションテンプレートとデータ

アプリケーションテンプレートは、自動的にアプリケーションにデータを追加します。テンプレートを使用してアプリケーションを作成する場合は、追加されたテーブルを編集したり、さまざまなテーブルを追加したりすることができます。

フォーム

アプリにデータを追加すると、関連するフォームビューがアプリの [エクスペリエンス] セクションに表示されます。フォームを編集するには、[エクスペリエンス] セクションでフォームを選択します。フォームビューは、テーブルビルダー の [フォーム] タブで編集できます。詳細については、「テーブルビルダー のフォーム」を参照してください。

テーブル拡張

組織が他のアプリケーションですでに使用している可能性があるテーブルがいくつかあります。たとえば組織では、構成データを格納するアプリケーションとして構成アイテム [cmdb_ci] テーブルを使用することがあります。このような既存のテーブルを拡張することで、自分のアプリケーションのテーブルを作成できます。

テーブル拡張を使用すると、テーブルのフィールドとレコードを親テーブルと共有できます。ユーザーがアプリケーションのさまざまなフォームビューで同様のフィールドに入力することが想定される場合は、テーブルを拡張することもできます。たとえば、チケットタイプのテーブルを作成するには、タスク [task] テーブルを拡張します。タスクテーブルには、[番号] や [担当者 **(Assigned to)**] など、ほとんどの作業チケットに標準的なフィールドが含まれています。

多くの組織では、市民開発者がアプリを設計するときに使用するための拡張可能な標準化されたテーブルを作成します。これにより、開発者は組織内の複数のアプリケーションでデータを使用する方法を標準化できます。

アプリケーションのテーブルを拡張可能にするには、テーブルの作成時に [拡張性を高める] を選択します。既存のテーブルを拡張した後、列を追加してその新しいテーブルをさらにカスタマイズできます。

次の表は、ServiceNow AI Platform で一般的に拡張されるテーブルのリストです。一般的に拡張されるテーブルおよび拡張用のモデルの詳細については、「Table extension and classes」を参照してください。

一般的に拡張されるテーブル

テーブル	簡単な説明	説明
タスク	タスク	Incident Management、問題管理、変更管理などのコアアプリケーションのフィールドを格納します。タスクを拡張する各テーブルで使用される、一連の標準フィールドがあります。タ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

一般的に拡張されるテーブル (続く)

テーブル	簡単な説明	説明
		スクテーブルを拡張するテーブルはいずれも、タスクを推進するためにタスク固有の機能を利用できます。
cmdb_ci	構成アイテム	構成アイテムを格納します。このテーブルは、ハードウェアやサービスなどの構成アイテム用に拡張できます。
sn_customerservice _case	カスタマーサービスケース	カスタマーサービスケースレコードを保存します。
sm_order	サービスオーダー	実行する必要がある作業を定義および管理するデータを格納します。
sm_task	サービスタスク	1 つのセッション (1 つの場所で 1 回) で 1 人のユーザーが実行する作業のユニットを格納します。
planned_task	計画タスク	計画されたマルチステージプロセスの一環として、時間と労力に関連するタスクの追加フィールドを格納します。
cmn_location	ロケーション	場所情報を格納します。
cmdb_serviceorder _product_model	サービスオーダーモデル	サービスオーダーテンプレートを格納します。
cmdb_servicetask _product_mode	サービスタスクモデル	サービスタスクテンプレートを格納します。
cmdb_qb_result _base	クエリ結果	CMDB クエリビルダーによって作成されたクエリ結果を格納します。
alm_asset	資産	資産に関する一般的、財務的、契約上の情報を格納します。
cmdb_ci_service	ビジネスサービス	ビジネスプロセスを直接サポートする IT サービスデータを格納します。
sys_user	ユーザー	ユーザーデータを格納します。ユーザーテーブルには、すべてのシステムユーザーとその関連部門のリストが表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

一般的に拡張されるテーブル (続く)

テーブル	簡単な説明	説明
sys_user_group	ユーザーグループ	共通の目的を共有する一連のユーザーを格納してグループ化します。グループは、変更要求の承認、インシデントの解決、メール通知の受信、作業指示タスクの実行などのタスクを実行できます。
core_company	会社	会社の情報を格納します。
cmn_schedule	スケジュール	タイムゾーンとスケジュールのタイプを指定し、1 つ以上のスケジュールエントリを使用するレコードを格納します。
cmn_department	部門	すべての部門と関連する事業部門のリストを格納します。
cmn_cost_center	コストセンター	コストセンターレコードを格納します。これは、財務システムと IT の間の参照です。コストセンターレコードはビジネスエンティティを表し、コストセンターのビジネスサービス消費を測定する CI コストセンターリレーションシップの関連リストがあります。
cmdb_model	製品モデル	特定のバージョンまたはさまざまな構成の資産です。モデルは、製品カタログ、資産管理、Procurement などのさまざまな ServiceNow プラットフォーム資産アプリケーションを通じて、資産の管理や追跡をするために使用されます。
life_cycle_stage	ライフサイクルステージ	CI のライフサイクルステージを追跡するための標準フィールドと値を格納します。これらの標準値をアプリケーション全体で使用することで、ライフサイクルの移行を通じて効率よく資産を追跡することができます。
life_cycle_stage _status	ライフサイクル状況	CI のライフサイクルステージステータスを追跡するための標準フィールドと値を格納します。これらの標準値をアプリケーション全体で使用することで、ライフサイクルの移行を通じて効率よく資産を追跡することができます。
incident	インシデント	予想される運用基準からの逸脱を格納します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

一般的に拡張されるテーブル (続く)

テーブル	簡単な説明	説明
sysapproval	承認	作業が終了する前に、タスクに関する承認を要求できるようにするデータを格納します。すべてのタスクに対して承認を定義し、ユーザーまたはグループをタスクに関連付けてそれらを承認または却下することができます。

[store-future: BEGIN review]

ERP セマンティックマイニング で抽出されたカスタムデータテーブルの使用

SoR (SAP など) でテーブル内のフィールドがカスタマイズされている場合、アドミニストレーターは ERP セマンティックマイニング (ERP-CM) を使用してそのフィールドをマッピングできます。

マッピングすると、AES を使用してカスタムデータでアプリを簡単に作成できます。SoR に存在するカスタムフィールドは ServiceNow AI Platform を使用してビルドしたアプリで活用できますが、SoR には残ります。

詳細については、「ERP セマンティックマイニング」を参照してください。

[End]

以下にリストされている方法を使用して、データモデルを作成し、アプリケーションにデータを追加します。

空白のテーブルを作成する

自分または他のユーザーが以前に作成した既存のテーブルから、またはゼロからアプリケーションにデータテーブルを追加します。

始める前に

必要なロール：admin、sn_app_eng_studio.user、または delegated_developer

手順

1. 移動先 すべて > **App Engine** > **App Engine Studio**.
2. [自分のアプリ] ページからアプリケーションを開きます。
3. [データ] 見出しの横にある追加アイコン (⊕) を選択します。
4. [空白のテーブルを作成する] を選択し、[続行] を選択します。
5. 次の選択肢から選択します。

オプション	説明
新テーブルの作成	空白のテーブルを最初から作成するには、このオプションを選択します。 **a.** [新テーブルの作成] を選択します。 **b.** [続行] をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

オプション	説明
拡張可能なテーブルから作成	ServiceNow AI Platform の既存の拡張可能テーブルから新しい空のテーブルを作成するには、このオプションを選択します。 **a.** [拡張可能なテーブルから作成] を選択します。 **b.** 既存のテーブルを検索して選択します。 **注:** 既にアプリにあるテーブルがリストの最初に表示され、次に推奨される ServiceNow AI Platform テーブルが、テーブルに格納されている情報のタイプの簡単な説明とともに表示されます。 **c.** [続行] を選択します。

6. フォームで、新しいテーブルのプロパティを入力します。

フィールド	説明
テーブル ラベル	テーブルを識別する一意のラベル。
テーブル名	テーブルのデータベース名。テーブルラベルを入力すると、列名が自動的に作成されます。必要に応じてその名前を編集できます。
拡張性を高める	他のテーブルがこのテーブルのデータを共有できるようにするオプション。テーブルの拡張の詳細については、「テーブル拡張」を参照してください。
自動番号	一意の番号でテーブルレコードを追跡するオプション。このオプションを選択する場合は、[プリフィックス]、[開始番号]、および [桁数] を定義します。
プリフィックス	レコード番号の先頭に追加するテーブルの省略名。たとえば、「Laptop」テーブルを作成する場合、プリフィックスは「LPTP」または「LT」のようになります。
開始番号	テーブルに作成された最初のレコードを識別する番号。
桁数	レコード番号の最大桁数。この値は、最大のレコード番号を決定します。たとえば、「7」と入力した場合、最大値は 9999999 です。

7. [続行] を選択します。

8. 既存のロールに対して、新規ロールを追加したり、作成、読み取り、書き込み、削除権限を必要に応じて定義することで、このテーブルのコンテンツを作成、読み取り、書き込み、および削除するアクセス権を持つユーザーを制御します。

テーブルで作成したロールはアプリケーション全体で保持され、追加した他のテーブルでさらに定義できます。セキュリティ権限の仕組みの詳細については、「アプリケーションセキュリティの追加」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

> **注:**
> テーブルをプレビューするには、少なくとも 1 つのロールに読み取りアクセス権が必要です。

9. [続行] を選択して新しいテーブルを追加します。
10. アプリケーションのホームページに戻るか、テーブルの編集を続行します。
    - [完了] を選択すると、アプリケーションのホームページに戻ります。
    - [テーブルの編集] を選択し、テーブルビルダー で、テーブルに追加された列を確認して編集を続行します。
11. 編集を続行する場合は、新しいタブを開いてテーブルの列を確認します。

    各テーブル列は テーブルビルダー では行として表示されます。

    拡張されたテーブルの列の横に、ロックアイコン ( ) が表示されます。これらの列は変更できません。
12. テーブルの列を追加してテーブルをカスタマイズします。

    a. テーブルビルダー で、**[+** 新しいフィールドを追加] を選択します。

    b. 空の行で、フィールドに入力します。

テーブル列のプロパティ

フィールド	説明
列ラベル	列の一意のラベル。
列名	列のデータベース名。
タイプ	列に含まれる情報のタイプ。たとえば、列にプレーンテキストを含める場合は、[文字列] を選択します。 選択したタイプによっては、他のフィールドに入力してテーブル列をさらに定義します。たとえば、[文字列] を選択した場合は、文字列入力の文字数制限を定義します。または、[選択肢] を選択した場合は、ユーザーが選択できる選択肢を定義します。 「フィールドタイプ」を参照してください。
参照	列に関連付けられているテーブル。このフィールドは、列タイプが [参照] の場合にのみ適用されます。
最大長	ユーザーがフィールドに入力できる最大文字数。
デフォルト値	新しいレコードが作成された後にフィールドに自動的に入力される値。
表示	その列をテーブルの表示値として設定するオプション。 参照フィールドには、参照先のテーブルの表示値が表示されます。たとえば、タスクテーブルの [オープン者 **(Opened by)]** 列はユーザーテーブルを参照します。ユーザーテーブルの表示値はユーザー名であるため、[オープン者 **(Opened by)]** フィールドには「**Beth Anglin**」や「**Joe Employee**」のように表示されます。表示値を選択するとき

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	は、個々のレコードの適切なタイトルとして機能するテーブル列を選択します。 テーブルの表示値として機能できるのは 1 つの列のみです。

13. [保存] を選択します。

次のタスク
テーブルビルダー の詳細については、「テーブルビルダー」を参照してください。

スプレッドシートを使用してデータを追加する

Microsoft Excel スプレッドシートをアップロードして、アプリケーションにデータテーブルとレコードを追加します。

次の手順でスプレッドシートをアップロードし、それを使用してデータテーブルを作成し、データレコードをインポートします。最初にスプレッドシートをインポート手順を使用してスプレッドシートをアップロードし、必要に応じてスプレッドシートのインポートからデータテーブルを作成します。

スプレッドシートをインポート

Microsoft Excel スプレッドシートをアップロードし、それを使用してアプリケーションデータモデルを作成します。

始める前に
スプレッドシートが次の要件を満たしていることを確認します。

- 水平列とそれぞれのヘッダーラベルでフォーマットされている
- XLSX ファイルタイプとして保存されている

> **注:**
> アップロードする Excel スプレッドシートには複数のワークシートタブを含めることができますが、そのいずれもデータテーブルの作成に使用できます。複数のワークシートが存在する場合は、ファイルのアップロード後にどのワークシートのタブを使用してテーブルを作成するかの選択を求められます。

必要なロール：admin、sn_app_eng_studio.user または委任開発者権限。詳細については、「AES を使用する開発者の委任」を参照してください。

手順

1. 移動先 すべて > **App Engine** > **App Engine Studio**.
2. [自分のアプリ] ページからアプリケーションを開きます。
3. [データ] 見出しの横にある追加アイコン (⊕) を選択します。
4. [スプレッドシートをインポート] を選択した後、[続行] を選択します。
5. スプレッドシートをアップロードした後、[続行] を選択します。

   スプレッドシートファイルを App Engine Studio にドラッグするか、コンピューターを参照できます。

6. 次のいずれかのパスが表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- スプレッドシートのワークシートタブが 1 つしかない場合は、次のステップに進みます。
- スプレッドシートに複数のワークシートタブがある場合は、シートのリストが表示されて、そこから選択します。このシートのリストから、最初にアプリケーションにテーブルとして追加するワークシートタブを選択できます。

a. [テーブルヘッダーの行数を入力します] フィールドに、シートの列ヘッダーの行番号を入力します。
たとえば、ヘッダーが 2 行目にある場合は、「2」と入力します。

b. オプション: シートの列ヘッダーの下にある情報 (すなわちスプレッドシートのデータ) をアップロードするには、[スプレッドシートデータをインポート] オプションを選択します。
列ヘッダーのみをアップロードするには、このチェックボックスをオフのままにします。このテーブルをテンプレートとして使用し、他のデータを自分の AES テーブルに追加しない場合は、ヘッダーのみをアップロードします。

7. 次のいずれかを選択します。

- 複数のワークシートタブを含む Excel ファイルをアップロードした場合は、[テーブルに変換します] を選択して、選択したワークシートタブをテーブルに変換してから、次のステップに進みます。
- 単一のワークシートタブを含む Excel ファイルをアップロードした場合は、[続行] を選択します。

ファイルのインポート先のオプションが表示されます。

8. スプレッドシートデータで何を実行するかに基づいて、次のいずれかの手順に移動して続行します。

オプション	説明
スプレッドシートのインポートから直接新しいテーブルを作成する	次の手順については、「スプレッドシートのインポートから新しいテーブルを作成する」を参照してください。
既存のテーブルを拡張して新しいテーブルを作成し、スプレッドシートのインポートを使用して更新する	次の手順については、「拡張可能なテーブルとスプレッドシートのインポートから新しいテーブルを作成する」を参照してください。
スプレッドシートのインポートを使用して既存のアプリケーションテーブルを更新する	次の手順については、「スプレッドシートのインポートを使用して既存のテーブルを変更する」を参照してください。

スプレッドシートのインポートから新しいテーブルを作成する

Microsoft Excel スプレッドシートのインポートから直接新しいテーブルを作成します。

始める前に

- スプレッドシートを App Engine Studio にインポートします。「スプレッドシートをインポート」を参照してください。

必要なロール：admin、sn_app_eng_studio.user または委任開発者権限。詳細については、「AES を使用する開発者の委任」を参照してください。

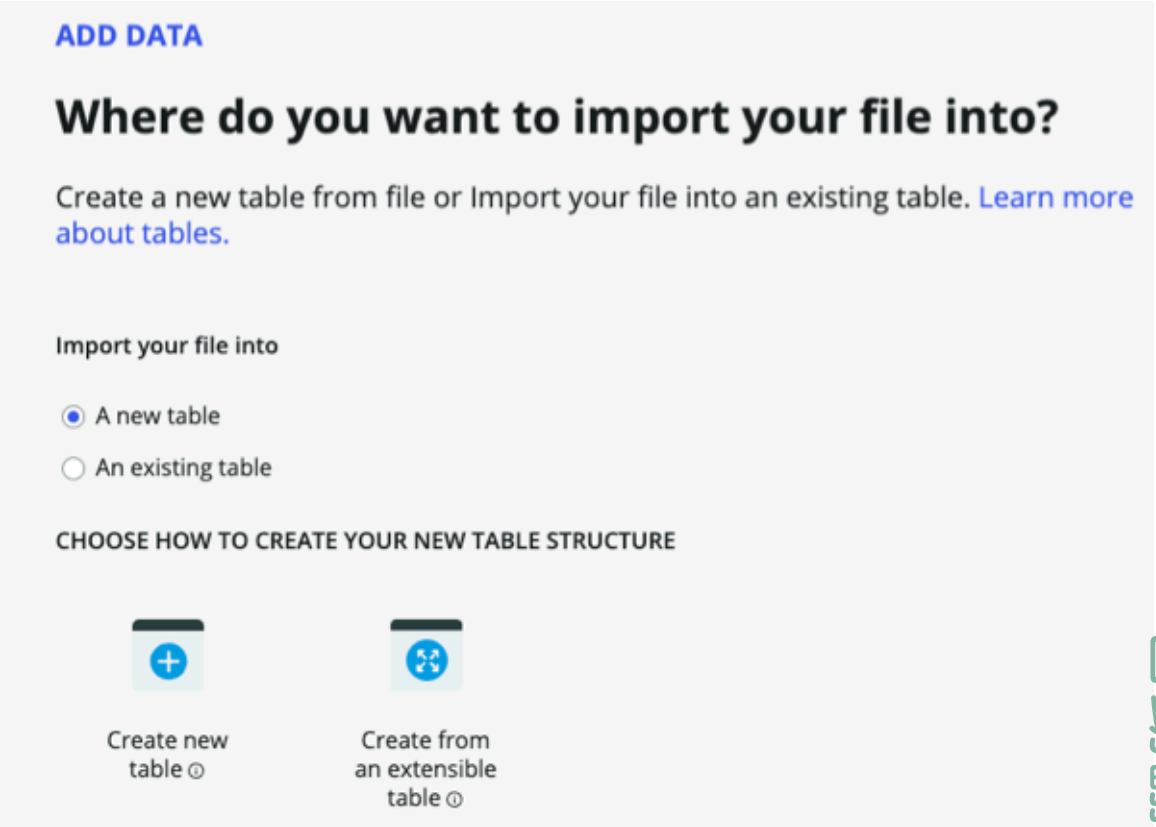
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

手順

1. スプレッドシートをインポート の説明に従ってスプレッドシートをアップロードした後、表示されたウィザードで、インポートされたデータで実行する処理を選択します。

スプレッドシートから新しいテーブルを作成する



   a. [新しいテーブル] を選択します。
   b. [新テーブルの作成] を選択します。
2. [続行] を選択します。
3. [オプションを展開します]ドロップダウンを使用してさらにプロパティを表示して、各列ヘッダーのプロパティを確認します。

列ヘッダープロパティ	説明
フィールドラベル	列の一意のラベル。
フィールド名	列のデータベース名。
タイプ	列に含まれる情報のタイプ。たとえば、列にプレーンテキストを含める場合は、[文字列] を選択します。 選択したタイプによっては、他のフィールドに入力してテーブル列をさらに定義します。たとえば、[文字列] を選択した場合は、文字列入力の文字数制限を定義します。または、[選択肢] を選択した場合は、ユーザーが選択できる選択肢を定義します。 「Field types reference」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

列ヘッダープロパティ	説明
文字数制限	格納できる文字列の最大長。
表示	その列をテーブルの表示値として設定するオプション。 参照フィールドには、参照先のテーブルの表示値が表示されます。たとえば、タスクテーブルの [オープン者 **(Opened by)]** 列はユーザーテーブルを参照します。ユーザーテーブルの表示値はユーザー名であるため、[オープン者 **(Opened by)]** フィールドには「**Beth Anglin**」や「**Joe Employee**」のように表示されます。表示値を選択するときは、個々のレコードの適切なタイトルとして機能するテーブル列を選択します。 テーブルの表示値として機能できるのは 1 つの列のみです。
必須	新しいレコードを保存する前に、その列が値を持つ必要があるかどうかのオプション。

テーブルに別の列を追加するには、[新しいフィールドを追加] を選択します。

列を削除するには、ごみ箱アイコン (🗑) を選択します。

4. [続行] を選択してテーブルのプロパティを定義します。
5. フォームのフィールドに入力します。

フィールド	説明
テーブル ラベル	テーブルを識別する一意のラベル。
テーブル名	テーブルのデータベース名。テーブルラベルを入力すると、列名が自動的に作成されます。必要に応じてその名前を編集できます。
拡張性を高める	他のテーブルがこのテーブルのデータを共有できるようにするオプション。テーブルの拡張の詳細については、「テーブル拡張」を参照してください。
自動番号	一意の番号でテーブルレコードを追跡するオプション。このオプションを選択する場合は、[プリフィックス]、[開始番号]、および [桁数] を定義します。
プリフィックス	レコード番号の先頭に追加するテーブルの省略名。たとえば、「Laptop」テーブルを作成する場合、プリフィックスは「LPTP」または「LT」のようになります。
開始番号	テーブルに作成された最初のレコードを識別する番号。
桁数	レコード番号の最大桁数。この値は、最大のレコード番号を決定します。たとえば、「7」と入力した場合、最大値は 9999999 です。

6. [続行] を選択します。
7. 既存のロールに対して、新規ロールを追加したり、作成、読み取り、書き込み、削除権限を必要に応じて定義することで、このテーブルのコンテンツを作成、読み取り、書き込み、および削除するアクセス権を持つユーザーを制御します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

テーブルで作成したロールはアプリケーション全体で保持され、追加した他のテーブルでさらに定義できます。セキュリティ権限の仕組みの詳細については、「アプリケーションセキュリティの追加」を参照してください。

> **注:**
> テーブルをプレビューするには、少なくとも 1 つのロールに読み取りアクセス権が必要です。

8. [続行] を選択して、スプレッドシートから作成した新しいテーブルをアプリに追加します。
9. オプション: ファイルに複数のワークシートタブが含まれている場合は、残りのワークシートを変換します。
   - **注:**
     変換するシートごとに [テーブルに変換] を選択し、この手順の手順を繰り返すか、追加のワークシートに対して別の経路を選択する必要があります (手順については 拡張可能なテーブルとスプレッドシートのインポートから新しいテーブルを作成する または スプレッドシートのインポートを使用して既存のテーブルを変更する を参照)。
   - 複数のワークシートがない場合は、次の手順に進みます。
10. サマリー画面で、[完了] を選択します。
    または、テーブルビルダー でテーブルを表示するには、サマリー画面で [テーブルの編集] を選択します。

次のタスク

テーブルビルダー でのデータテーブルの編集の詳細については、「テーブルビルダー」を参照してください。

拡張可能なテーブルとスプレッドシートのインポートから新しいテーブルを作成する

既存のテーブルを拡張して新しいテーブルを作成し、Microsoft Excel スプレッドシートのインポートを使用して更新またはカスタマイズします。

始める前に

- スプレッドシートを App Engine Studio にインポートします。「スプレッドシートをインポート」を参照してください。

必要なロール：admin、sn_app_eng_studio.user、データのインポートとマッピングのオプションを表示するには、「統合」の委任開発者権限が必要です。詳細については、「AES を使用する開発者の委任」を参照してください。

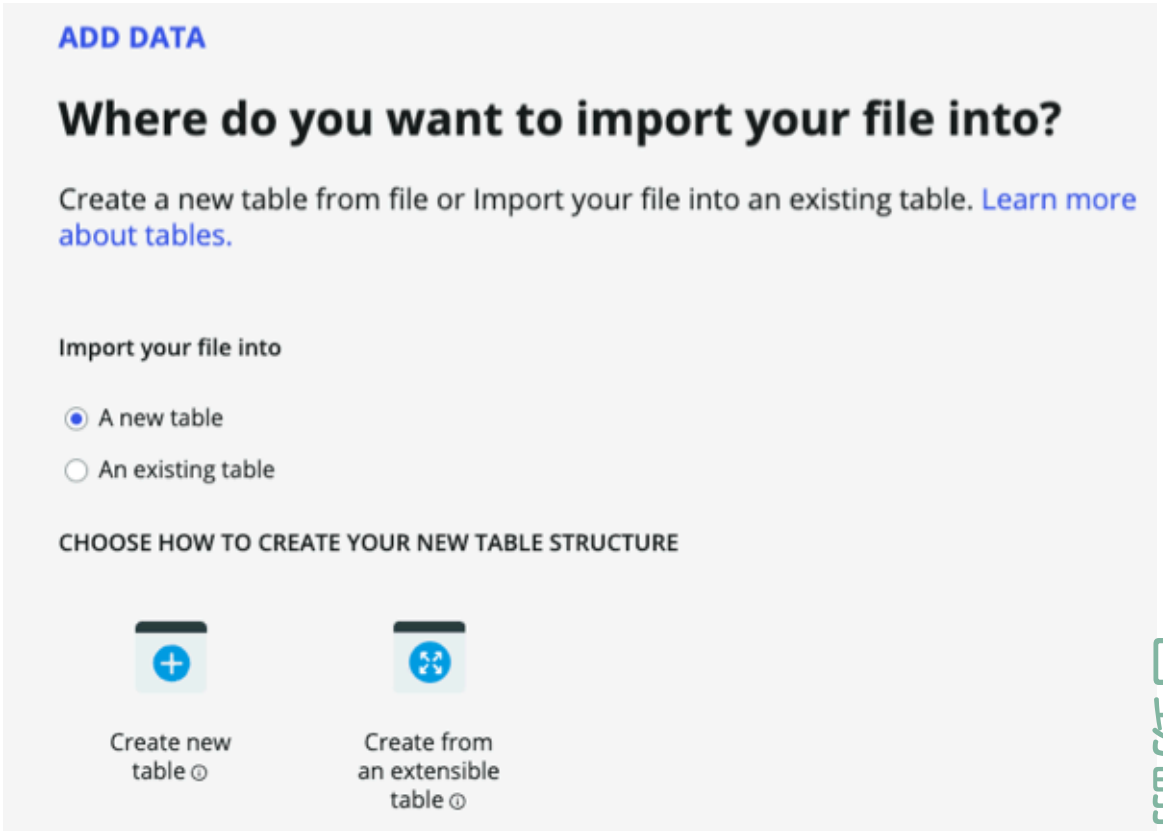
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. スプレッドシートをインポート の説明に従ってスプレッドシートをアップロードした後、表示されたウィザードでファイルをインポートする場所を選択します。

新しいデータテーブルへのインポート



自動翻訳

   a. [新しいテーブル] を選択します。
   b. [拡張可能なテーブルから作成] を選択します。
2. [続行] を選択します。
3. 既存の [テーブル] を検索して、そのテーブルのデータをアプリに追加し、分岐ロジックを使用して拡張を作成します。

   注:
   既にアプリにあるテーブルがリストの最初に表示され、次に推奨される ServiceNow AI Platform テーブルが、テーブルに格納されている情報のタイプの簡単な説明とともに表示されます。

4. [続行] を選択します。
5. フォームのフィールドに入力します。

フィールド	説明
テーブル ラベル	テーブルを識別する一意のラベル。
テーブル名	テーブルのデータベース名。テーブルラベルを入力すると、列名が自動的に作成されます。必要に応じてその名前を編集できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
拡張性を高める	他のテーブルがこのテーブルのデータを共有できるようにするオプション。テーブルの拡張の詳細については、「テーブル拡張」を参照してください。
自動番号	一意の番号でテーブルレコードを追跡するオプション。このオプションを選択する場合は、[プリフィックス]、[開始番号]、および [桁数] を定義します。
プリフィックス	レコード番号の先頭に追加するテーブルの省略名。たとえば、「Laptop」テーブルを作成する場合、プリフィックスは「LPTP」または「LT」のようになります。
開始番号	テーブルに作成された最初のレコードを識別する番号。
桁数	レコード番号の最大桁数。この値は、最大のレコード番号を決定します。たとえば、「7」と入力した場合、最大値は 9999999 です。

6. [続行] を選択します。
7. 既存のロールに対して、新規ロールを追加したり、作成、読み取り、書き込み、削除権限を必要に応じて定義することで、このテーブルのコンテンツを作成、読み取り、書き込み、および削除するアクセス権を持つユーザーを制御します。

   テーブルで作成したロールはアプリケーション全体で保持され、追加した他のテーブルでさらに定義できます。セキュリティ権限の仕組みの詳細については、「アプリケーションセキュリティの追加」を参照してください。

   注:
   テーブルをプレビューするには、少なくとも 1 つのロールに読み取りアクセス権が必要です。

8. [続行] を選択します。

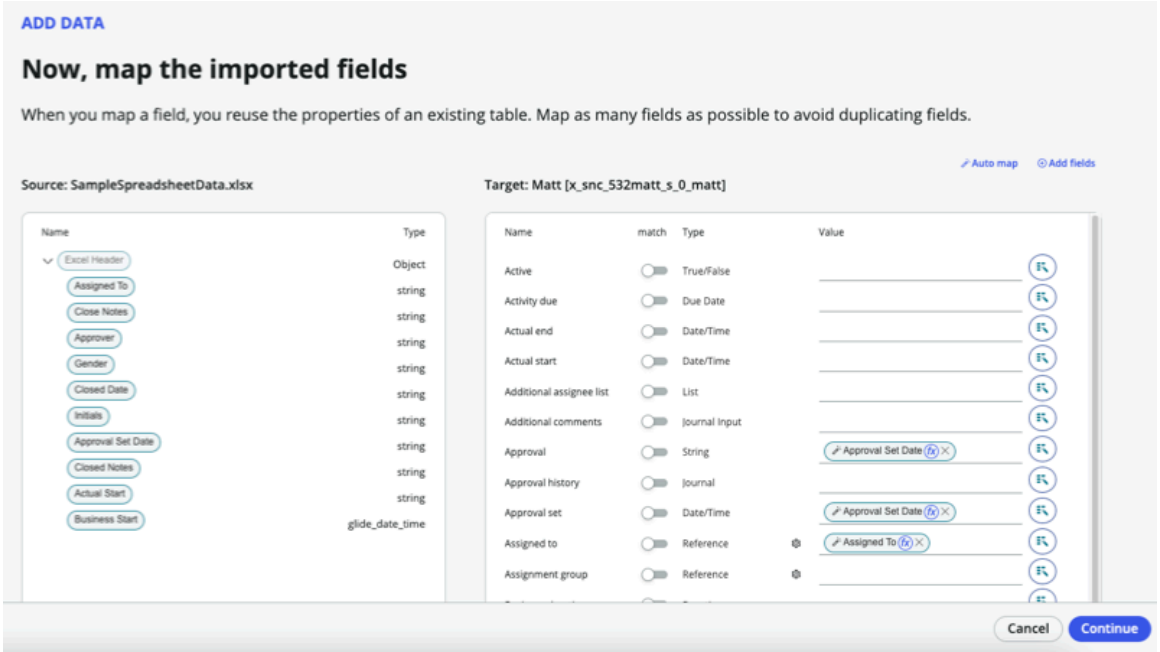
   注:
   これでテーブルにデータを格納する準備ができました。次のステップでは、インポートのフィールドが新しく拡張されたテーブルのフィールドと照合されます。マッピングを調整するか、インポートから新しいフィールドを作成することができます。

9. [続行] を選択してマッピングフィールドに進みます。
   左側のソーススプレッドシートのフィールド列を、右側に作成した新しく拡張されたターゲットテーブルのフィールド列にマッピングできる画面が表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インポートされたフィールドのマッピング



10. このステップでは、次の選択肢を使用できます。

オプション	説明
自動マッピングを使用したフィールドのバッチマッピング	スプレッドシートのフィールドを選択したターゲットテーブルの表示されたフィールドに自動的にマッピングするには、[自動マッピング] を選択します。自動マッピングは、ソースエンティティを同様の名前のターゲットエンティティにマッピングします。既にマッピングされているターゲットエンティティの場合、[自動マッピング] を選択してもその値は変更されません。自動マッピングされたフィールドには、データピルに杖のアイコンがあります。
ドラッグアンドドロップによるフィールドのマッピング	インポートされたスプレッドシートの列を表すデータピルをターゲットテーブルの [値] 列にドラッグして、インポートからターゲットテーブルにフィールドをマッピングします。各ターゲットテーブルフィールドの右側にあるピルピッカーを使用して、フィールドをマッピングすることもできます。
データピッカーを使用したフィールドのマッピング	ターゲットテーブルの右側にあるピルピッカー ( ) を使用してデータをマッピングします。[値] 列には複数の値を入力でき、テキストを入力することもできます。
変換オプション	右側のペインで FX アイコン ( ) をクリックして、マッピングされた個々のスプレッドシートフィールドの変換オプションを追加します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

オプション	説明
	たとえば、大文字変換機能を使用して、入力文字列をすべて大文字に変換できます。これらを使用してインポートされたスプレッドシートフィールドのデータをトリミングする方法については、「Transform functions」を参照してください。 **注:** フローデザイナーで利用可能なすべての変換関数が利用できるわけではありません。
データレコードの照合をアクティブ化する	システムが一致するデータをチェックする必要があるフィールドを指定し、見つかった場合は、ターゲットテーブルで [一致] トグルをアクティブ化して、新しいレコードを作成する代わりに既存のレコードを更新します。たとえば、ターゲットテーブルに [注文番号] フィールドと注文番号が 743 のレコードがある場合、一致する可能性のあるものを処理するためのオプションが 2 つあります。 ○ [注文番号] フィールドの [一致] トグルスイッチがオンの場合、システムは一致するデータをチェックします。ソースデータに同じ注文番号のレコードがある場合、システムはターゲットテーブルの既存のレコードを更新します。 ○ [注文番号] フィールドの [一致] トグルスイッチがオフの場合、システムは一致するデータをチェックしません。ソースデータに同じ注文番号のレコードがある場合、システムはターゲットテーブルに新しいレコードを作成します。この場合、ターゲットテーブルには 2 つのレコードがあり、どちらも注文番号は 743 です。
参照および選択肢フィールドの動作の構成	[選択肢] および [参照] フィールドタイプの動作を構成します。 **a.** 歯車アイコン (⚙) をクリックします。 **b.** [フィールド] で、ターゲットテーブルの受信レコード値を照合するフィールド列を選択します。 **c.** [一致するレコードがない場合は、次の操作を行います] で、そのレコードがターゲットテーブルに見つからない場合の対処方法を指定します。 ▪ [新しい選択肢/レコードを作成]：フィールドにインポートされたデータから、ターゲットテーブルの一致するフィールド列に選択肢またはレコードを作成します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

オプション	説明
	▪ [このフィールドを無視]：ターゲットテーブルのそのフィールドを無視し、null のままにします。 ▪ [このレコードをスキップ]：ターゲットテーブルのレコード (行) 全体の追加をスキップします。 **d.** [完了] をクリックします。
ターゲットテーブルへの新しいフィールド列の追加	インポートからターゲットテーブルにマッピングされていないフィールド列を追加するか、ターゲットテーブルに新しいフィールドを作成します。 **a.** 右側のターゲットテーブルの上にある [フィールドを追加] を選択します。 **b.** 左側のチェックボックスをオンにしてターゲットテーブルに追加するフィールドを選択するか、[すべて] を選択してすべてのフィールドを選択します。 **c.** 次の機能を実行することもできます。 ▪ インポートされたフィールドの [フィールドラベル] を編集します。 ▪ インポートされたフィールドのフィールドプロパティを編集するには、[編集] アイコン ( ) を選択します。 ▪ ウィンドウの右上隅にある [新規フィールドの作成] をクリックして、新しいフィールドを作成します。 **d.** [フィールドを追加] を選択して、選択したフィールドをターゲットテーブルに追加します。

11. [続行] を選択してデータインポートマッピングを作成し、ターゲットテーブルを更新します。
12. オプション: ファイルに複数のワークシートタブが含まれている場合は、残りのワークシートを変換します。
    - **注:**
      変換するシートごとに [テーブルに変換] を選択し、この手順の手順を繰り返すか、追加のワークシートに対して別の経路を選択する必要があります (手順については スプレッドシートのインポートから新しいテーブルを作成する または スプレッドシートのインポートを使用して既存のテーブルを変更する を参照)。
    - 複数のワークシートがない場合は、次の手順に進みます。
13. サマリー画面で、[完了] を選択します。
    または、テーブルビルダー でテーブルを表示するには、サマリー画面で [テーブルの編集] を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

次のタスク
テーブルビルダー でのデータテーブルの編集の詳細については、「テーブルビルダー」を参照してください。

スプレッドシートのインポートを使用して既存のテーブルを変更する

Microsoft Excel スプレッドシートのインポートを使用して、既存のアプリケーションテーブルを更新します。

始める前に

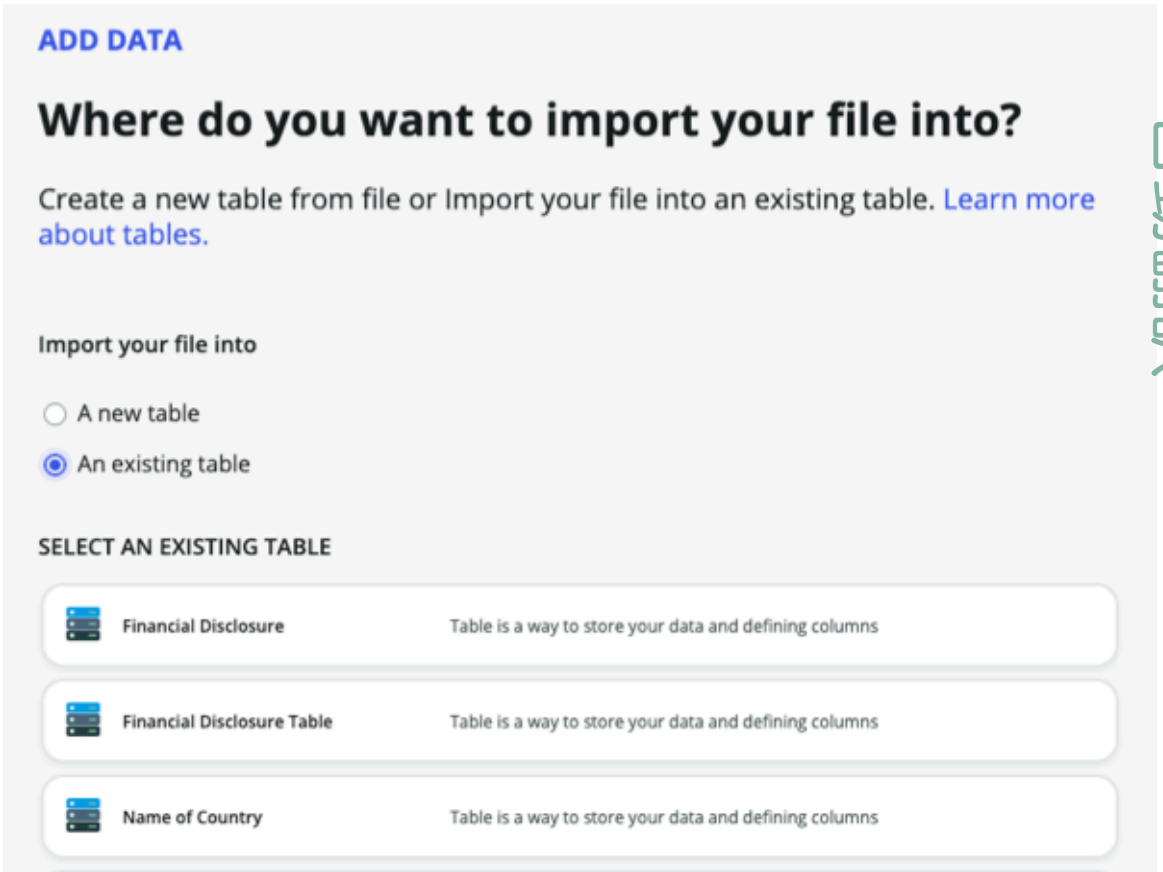
- スプレッドシートを App Engine Studio にインポートします。「スプレッドシートをインポート」を参照してください。

必要なロール：admin、sn_app_eng_studio.user または委任開発者権限。詳細については、「AES を使用する開発者の委任」を参照してください。

手順

1. スプレッドシートをインポート の説明に従ってスプレッドシートをアップロードした後、表示されたウィザードでファイルをインポートする場所を選択します。

   既存のアプリケーションテーブルへのインポート



   a. [既存のテーブル] を選択します。

   b. 表示されるリストから既存のアプリケーションテーブルを選択します。

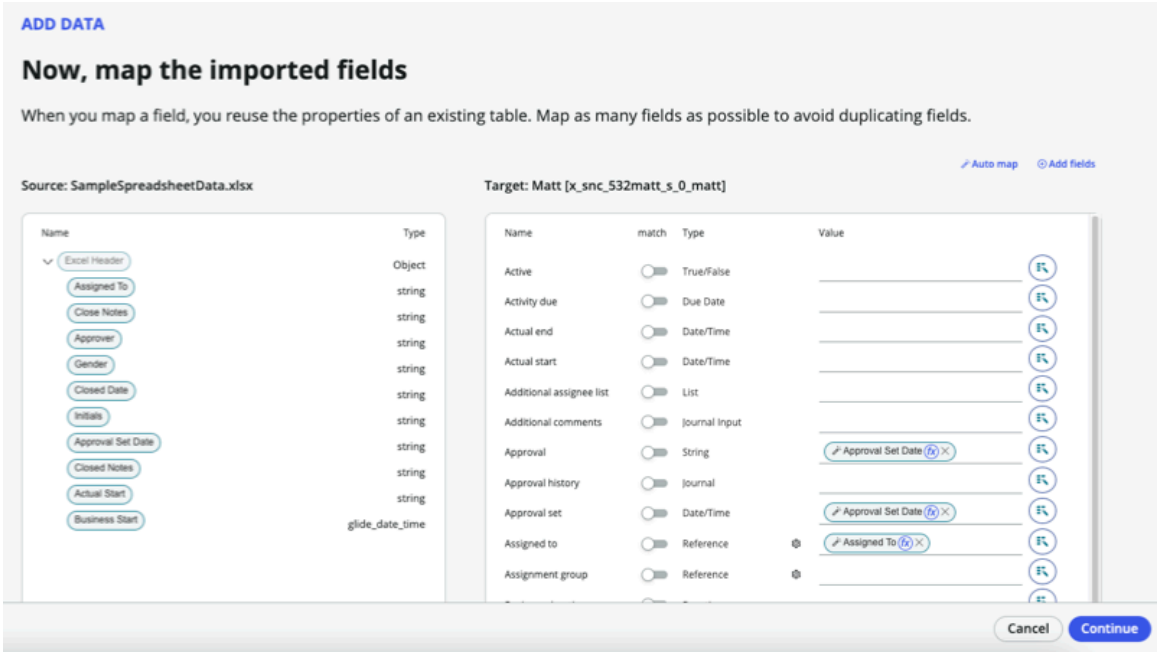
2. [続行] を選択します。
   左側のソーススプレッドシートのフィールド列を、右側の既存のターゲットアプリケーションテーブルのフィールド列にマッピングできる画面が表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
マッピングを調整するか、インポートから新しいフィールドを作成することができます。

インポートされたフィールドのマッピング



3. このステップでは、次のアクションを使用できます。

オプション	説明
自動マッピングを使用したフィールドのバッチマッピング	スプレッドシートのフィールドを選択したターゲットテーブルの表示されたフィールドに自動的にマッピングするには、[自動マッピング] を選択します。自動マッピングは、ソースエンティティを同様の名前のターゲットエンティティにマッピングします。既にマッピングされているターゲットエンティティの場合、[自動マッピング] を選択してもその値は変更されません。自動マッピングされたフィールドには、データピルに杖のアイコンがあります。
ドラッグアンドドロップによるフィールドのマッピング	インポートされたスプレッドシートの列を表すデータピルをターゲットテーブルの [値] 列にドラッグして、インポートからターゲットテーブルにフィールドをマッピングします。各ターゲットテーブルフィールドの右側にあるピルピッカーを使用して、フィールドをマッピングすることもできます。
データピッカーを使用したフィールドのマッピング	ターゲットテーブルの右側にあるピルピッカー ( ) を使用してデータをマッピングします。[値] 列には複数の値を入力でき、テキストを入力することもできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

オプション	説明
変換オプション	右側のペインで FX アイコン (fx) をクリックして、マッピングされた個々のスプレッドシートフィールドの変換オプションを追加します。たとえば、大文字変換機能を使用して、入力文字列をすべて大文字に変換できます。これらを使用してインポートされたスプレッドシートフィールドのデータをトリミングする方法については、「Transform functions」を参照してください。 **注:** フローデザイナーで利用可能なすべての変換関数が利用できるわけではありません。
データレコードの照合をアクティブ化する	システムが一致するデータをチェックする必要があるフィールドを指定し、見つかった場合は、ターゲットテーブルで [一致] トグルをアクティブ化して、新しいレコードを作成する代わりに既存のレコードを更新します。たとえば、ターゲットテーブルに [注文番号] フィールドと注文番号が 743 のレコードがある場合、一致する可能性のあるものを処理するためのオプションが 2 つあります。 ○ [注文番号] フィールドの [一致] トグルスイッチがオンの場合、システムは一致するデータをチェックします。ソースデータに同じ注文番号のレコードがある場合、システムはターゲットテーブルの既存のレコードを更新します。 ○ [注文番号] フィールドの [一致] トグルスイッチがオフの場合、システムは一致するデータをチェックしません。ソースデータに同じ注文番号のレコードがある場合、システムはターゲットテーブルに新しいレコードを作成します。この場合、ターゲットテーブルには 2 つのレコードがあり、どちらも注文番号は 743 です。
参照および選択肢フィールドの動作の構成	[選択肢] および [参照] フィールドタイプの動作を構成します。 **a.** 歯車アイコン (⚙) をクリックします。 **b.** [フィールド] で、ターゲットテーブルの受信レコード値を照合するフィールド列を選択します。 **c.** [一致するレコードがない場合は、次の操作を行います] で、そのレコードがターゲットテーブルに見つからない場合の対処方法を指定します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

オプション	説明
	▪ [新しい選択肢/レコードを作成]：フィールドにインポートされたデータから、ターゲットテーブルの一致するフィールド列に選択肢またはレコードを作成します。 ▪ [このフィールドを無視]：ターゲットテーブルのそのフィールドを無視し、null のままにします。 ▪ [このレコードをスキップ]：ターゲットテーブルのレコード (行) 全体の追加をスキップします。 **d.** [完了] をクリックします。
ターゲットテーブルへの新しいフィールド列の追加	インポートからターゲットテーブルにマッピングされていないフィールド列を追加するか、ターゲットテーブルに新しいフィールドを作成します。 **a.** 右側のターゲットテーブルの上にある [フィールドを追加] を選択します。 **b.** 左側のチェックボックスをオンにしてターゲットテーブルに追加するフィールドを選択するか、[すべて] を選択してすべてのフィールドを選択します。 **c.** 次の機能を実行することもできます。 ▪ インポートされたフィールドの [フィールドラベル] を編集します。 ▪ インポートされたフィールドのフィールドプロパティを編集するには、[編集] アイコン ( ) を選択します。 ▪ ウィンドウの右上隅にある [新規フィールドの作成] をクリックして、新しいフィールドを作成します。 **d.** [フィールドを追加] を選択して、選択したフィールドをターゲットテーブルに追加します。

4. [続行] を選択してデータインポートマッピングを作成し、ターゲットテーブルを更新します。

> **注:**
> スプレッドシートにマッピングされていないフィールドが残っている場合は、プロンプトが表示されます。これらのフィールドをマッピングすることも、マッピングせずに続行することもできます。

5. オプション: ファイルに複数のワークシートタブが含まれている場合は、残りのワークシートを変換します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 注:
  変換するシートごとに [テーブルに変換] を選択し、この手順の手順を繰り返すか、追加のワークシートに対して別の経路を選択する必要があります (手順については スプレッドシートのインポートから新しいテーブルを作成する または 拡張可能なテーブルとスプレッドシートのインポートから新しいテーブルを作成する を参照)。

- 複数のワークシートがない場合は、次の手順に進みます。

6. サマリー画面で、[完了] を選択します。
   または、テーブルビルダー でテーブルを表示するには、サマリー画面で [テーブルの編集] を選択します。

次のタスク

テーブルビルダー でのデータテーブルの編集の詳細については、「テーブルビルダー」を参照してください。

PDF を使用してデータテーブルを作成する

App Engine Studio の PDF エクストラクターツールを使用して、PDF フォームからテーブルを作成します。

注:
この機能は、ライセンスによって「専用ローコード機能」が付与され、App Engine のテーブルビルダー がインストールされている場合にのみ使用できます。詳細については、ソリューションコンサルタントにお問い合わせください。

PDF からのテーブル作成の概要

App Engine Studio の PDF エクストラクターを使用すると、PDF をアップロードしてから、カスタムアプリで使用するテーブルフィールドを抽出できます。これにより、フィールドラベルを手動で入力する必要がなくなるため、既存の PDF フォームからアプリケーションデータテーブルをビルドするプロセスが簡素化されます。

注:
ServiceNow AI Platform に既に存在するテーブルの再作成について、十分考慮するようにしてください。たとえば、ユーザーの人口統計データを含む PDF で、PDF から新しいテーブルを作成せずに既存のユーザーデータテーブルを参照するかどうかを決定します。

一般的なナビゲーション

次の表は、PDF エクストラクターツール内の他の基本的なナビゲーション要素の一部のリストを示しています。

PDF エクストラクターのナビゲーション要素

ナビゲーション要素	説明
折りたたみ/展開アイコン ( )	これらのアイコンを選択して、PDF ペインとテーブルペインの折りたたみと展開を切り替えます。
[選択] ボタン	[選択] ボタンをクリックして、テキスト選択モードに切り替えます。PDF 内のフレーズをクリックして、テキストをフィールド名として抽出します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

PDF エクストラクターのナビゲーション要素 (続く)

ナビゲーション要素	説明
( )	
[移動] ボタン ( )	ドキュメントが拡大されたら、[移動] を選択して移動モードに切り替えます。移動モードでは、マウスでクリックしてドラッグすることで、PDF 内を簡単に移動できます。ドキュメントがページに合わせて縮小されると、[移動] ボタンがグレー表示になります。
ページコントロール ( )	PDF の下部にある矢印を使用して、ドキュメントを 1 ページずつ移動するか、ドキュメントの最初または最後に直接移動します。
ズームコントロール ( )	ズームコントロールを使用して、PDF をズームインまたはズームアウトします。
[新しいフィールドを追加] アイコン ( )	**[+** 新しいフィールドを追加] を選択してテーブルにフィールド列を追加し、詳細を直接入力します。テーブルビルダー の [データ] タブでフィールドを追加する方法に似ています。
[参照テーブルを追加] アイコン ( )	右側のパネルで [参照テーブルを追加] を選択して、新しいテーブルを指す参照フィールドをテーブルに追加します。
[データテーブルとフォームを開く] アイコン ( )	[データテーブルとフォームを開く] を選択して、テーブルビルダー 内の選択したテーブルを開きます。
テーブルの他のアクションリスト ( )	テーブルの他のアクションメニューを使用してテーブルの基本プロパティを編集するか、参照テーブルを追加した場合は [削除] を選択してテーブルを削除します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

PDF エクストラクターのナビゲーション要素 (続く)

ナビゲーション要素	説明
ゴミ箱アイコン (🗑)	テーブルからフィールドを削除するには、ゴミ箱アイコン (🗑) を選択します。

PDF 解析の制限

現在、このツールを使用して PDF をアップロードする場合は、次の制限があります。

- PDF は画像から変換できません。
- PDF は 25 ページを超えることはできません。
- PDF ファイルサイズは 5 MB を超えることはできません。
- 現在、英語とフランス語以外の言語はサポートされていません。

PDF フォームからのテーブルの作成

App Engine Studio で PDF をアップロードして、アプリケーションにデータテーブルを追加します。

始める前に

注:
この機能は、ライセンスによって「専用ローコード機能」が付与され、App Engine のテーブルビルダー がインストールされている場合にのみ使用できます。詳細については、ソリューションコンサルタントにお問い合わせください。

PDF が次の要件を満たしていることを確認します：

- PDF は画像から変換できません。
- PDF は 25 ページを超えることはできません。
- PDF ファイルサイズは 5 MB を超えることはできません。
- 現在、英語とフランス語以外の言語はサポートされていません。

必要なロール：admin、sn_app_eng_studio.user、または delegated_developer

手順

1. 移動先 すべて > **App Engine** > **App Engine Studio**.
2. [自分のアプリ] ページからアプリケーションを開きます。
3. [データ] 見出しの横にある追加アイコン (⊕) を選択します。
4. [空白のテーブルを作成する] を選択し、[続行] を選択します。
5. **[PDF** をアップロード] を選択した後、[続行] を選択します。
6. PDF を選択してアップロードします。

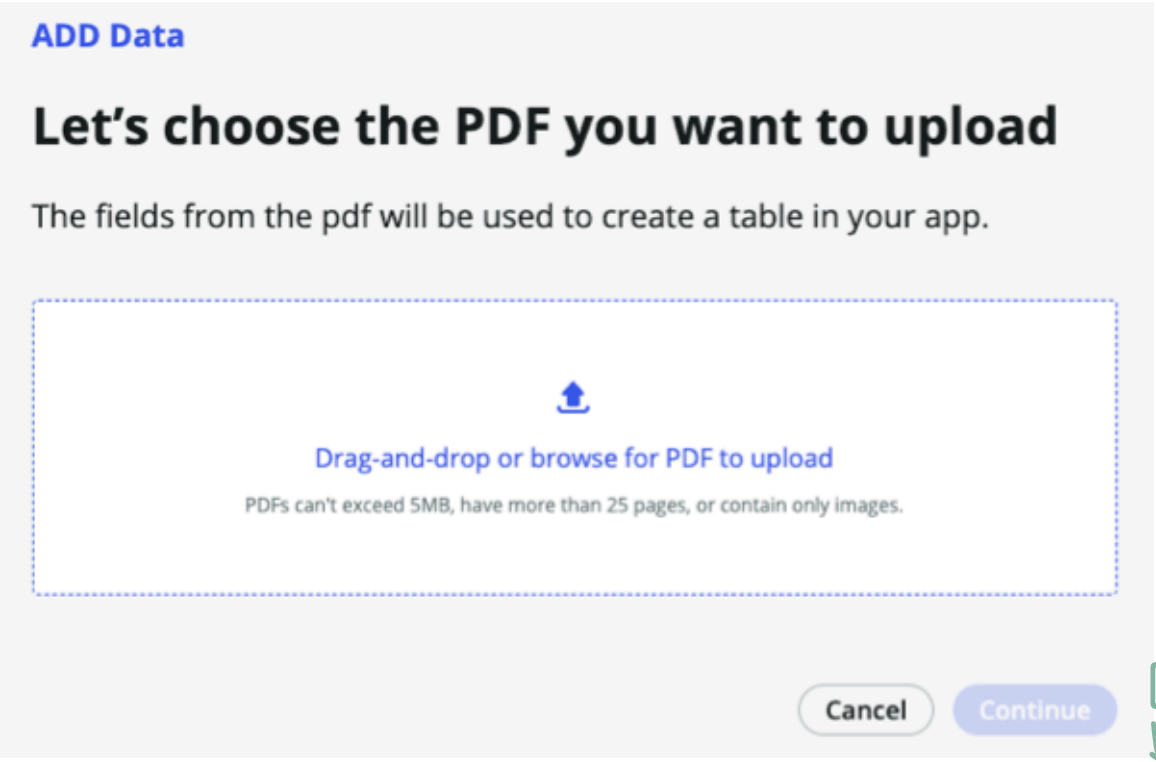
   PDF ファイルを App Engine Studio にドラッグすることも、コンピューターを参照することもできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
PDF のロードに少し時間がかかる場合があります。ゴミ箱アイコン (🗑) を選択して、PDF の選択を解除します。

アップロードする **PDF** を選択する



7. [続行] を選択します。

注:
PDF の解析には最大 1 分かかる場合があります。

8. 新しいテーブルのプロパティを定義します。

プロパティ	説明
テーブル ラベル	テーブルを識別する一意のラベル。
テーブル名	テーブルのデータベース名。テーブルラベルを入力すると、列名が自動的に作成されます。これが作成されると、このフィールドは読み取り専用になります。
拡張性を高める	他のテーブルがこのテーブルのデータを共有できるようにするオプション。テーブルの拡張の詳細については、「テーブル拡張」を参照してください。
自動番号	一意の番号でテーブルレコードを追跡するオプション。このオプションを選択する場合は、[プリフィックス]、[開始番号]、および [桁数] を定義します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ	説明
プリフィックス	レコード番号の先頭に追加するテーブルの省略名。たとえば、「Laptop」テーブルを作成する場合、プリフィックスは「LPTP」または「LT」のようになります。

9. [続行] を選択します。
   新しいデータテーブルの権限を構成できるようになりました。
10. 既存のロールに対して、新規ロールを追加したり、作成、読み取り、書き込み、削除権限を必要に応じて定義することで、このテーブルのコンテンツを作成、読み取り、書き込み、および削除するアクセス権を持つユーザーを制御します。

    テーブルで作成したロールはアプリケーション全体で保持され、追加した他のテーブルでさらに定義できます。セキュリティ権限の仕組みの詳細については、「アプリケーションセキュリティの追加」を参照してください。

    注:
    テーブルをプレビューするには、少なくとも 1 つのロールに読み取りアクセス権が必要です。

11. テーブルの権限を構成したら、[続行] を選択します。
12. **[PDF** エクストラクターに移動] を選択して、PDF エクストラクターで PDF を開きます。

次のタスク

次に、アップロードされた PDF からフィールドを追加します。PDF フォームからの新しいフィールドの追加 の手順に従って、新しいデータテーブルにフィールド列を入力します。

PDF フォームからの新しいフィールドの追加

App Engine Studio の PDF エクストラクターを使用して、フィールド列をデータテーブルに追加します。

始める前に

注:
この機能は、ライセンスによって「専用ローコード機能」が付与され、App Engine のテーブルビルダー がインストールされている場合にのみ使用できます。詳細については、ソリューションコンサルタントにお問い合わせください。

必要なロール：admin、sn_app_eng_studio.user、または delegated_developer

手順

1. 次のいずれかのオプションを選択します。
   - 前の手順で説明した手順に従って、PDF をアップロードします (PDF フォームからのテーブルの作成 を参照)。
   - 既に PDF をアップロードしている場合は、テーブルビルダー の [フォーム] タブまたは [テーブル] タブで **[PDF** エクストラクターツールを開く] 要素を選択して、PDF エクストラクターツールを起動します。

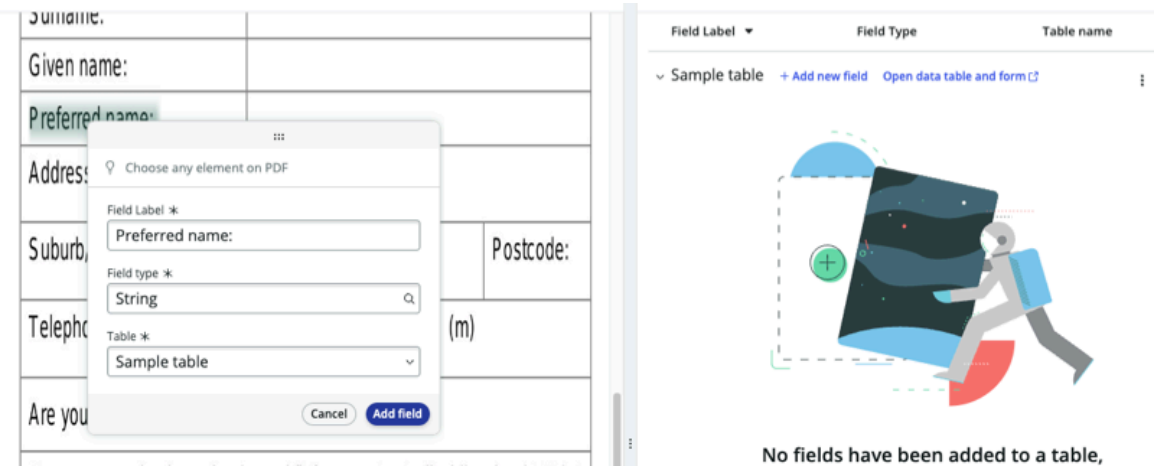
   PDF フォームが表示されます。
2. PDF を確認します。
   [PDF] ペインのナビゲーションコントロールを使用して、フィールドの追加を開始します。「一般的なナビゲーション」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

3. [選択] をクリックしてテキスト選択モードにします。
4. PDF で、フィールドまたはテキストフレーズをクリックしてハイライト表示し、新しいフィールドの基礎として使用します。

PDF からのフィールドの追加



5. 必要に応じて、追加する新しいフィールドの [フィールドラベル] で抽出されたテキストを編集します。
6. [フィールドタイプ] を選択します。

   フィールドタイプは、新しい列に格納されるデータのタイプを参照します。たとえば、列にプレーンテキストを格納する場合は、[文字列] を選択します。基本的なフィールドプロパティを理解するには、「 Add and customize a field in a table」を参照してください。

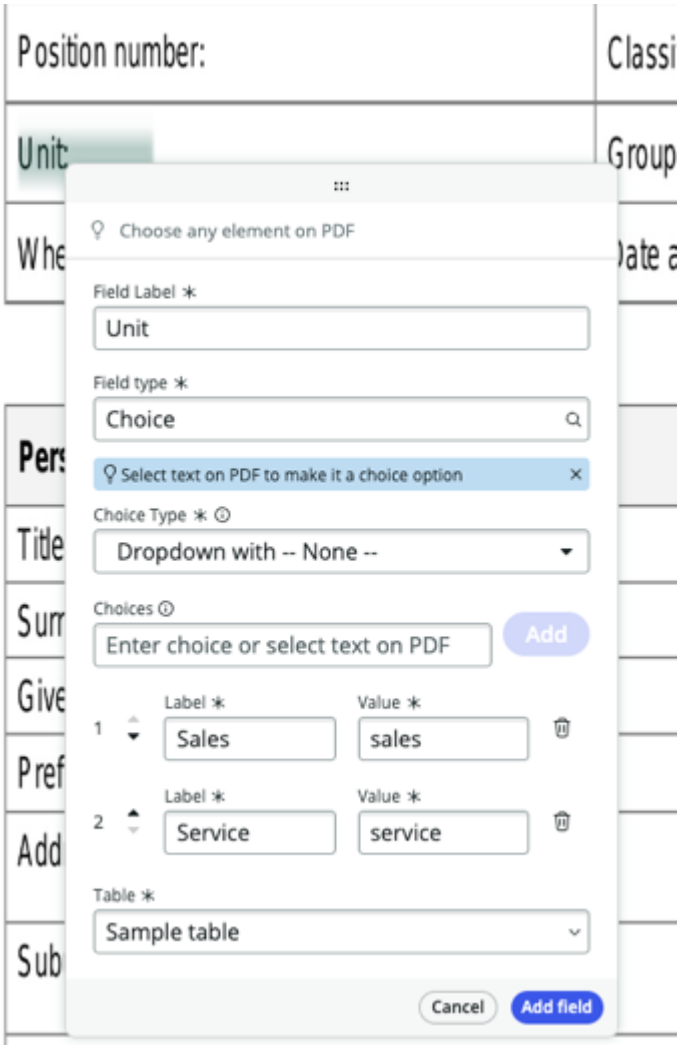
   選択したタイプによっては、テーブルの列をさらに定義するために、他のフィールドへの入力が必要になる場合があります。たとえば、参照フィールドタイプを使用して、参照する適切なデータテーブルを検索して選択します。

   a. オプション: 選択肢フィールドの作成を選択した場合は、次のアクションを実行して選択肢フィールドのオプションを入力します。
      i. メニューから [選択肢タイプ] を選択します。これは、リストにオプションとして [なし] があるかどうかをコントロールします。
      ii. [選択肢] フィールドをクリックし、テキストを手動で入力するか、PDF のテキストを選択して自動的に抽出します。
      iii. [追加] をクリックして、選択内容をリストに追加します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

選択肢フィールドの追加



b. オプション: 選択肢フィールドにすべての選択肢が追加されるまで、前の手順を繰り返します。

7. 新しいフィールドを追加する [テーブル] を選択します。
参照テーブルを追加した場合は、複数のオプションが表示されることがあります。デフォルトでは、元のテーブルが選択されています。

8. [フィールドを追加] を選択して、右側のテーブルのフィールドのリストにフィールドを追加します。

> **注:**
> 右側のテーブルに追加したフィールドは、PDF 内で緑色で強調表示されたままになり、それらから関連フィールドを作成したことがわかります。右側のテーブルからフィールドを削除すると、抽出されたテキストはハイライト表示されなくなります。

9. PDF から追加するすべてのフィールドを追加するまで、上記の手順を繰り返します。

> **注:**
> 右側のテーブルで [+新しいフィールドを追加] をクリックし、テーブルビルダー の [テーブル] タブでフィールドを追加するのと同じように詳細を直接入力することで、フィールドを手動で追加することもできます。

10. テーブルのフィールドを確認し、必要に応じて編集します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テーブルペインのアクション

アクション	説明
テーブル間でのフィールドの移動	PDF エクストラクター内のテーブル間でフィールドを移動するには、選択した [テーブル名] を目的のテーブルの場所に変更します。
参照テーブルを削除	テーブルの右上隅にある [他のアクション] リスト (⋮) から [削除] を選択して、追加した他の参照テーブルを削除します。
新しいフィールドを追加	[+ 新しいフィールドを追加] を選択してテーブルにフィールド列を追加し、詳細を直接入力します。テーブルビルダー の [データ] タブでフィールドを追加する方法に似ています。
フィールドを編集	フィールドのプロパティ (フィールドタイプなど) を編集するには、フィールドのプロパティをクリックして選択し、編集します。
フィールドを削除する	テーブルからフィールドを削除するには、ゴミ箱アイコン (🗑) を選択します。
テーブルビルダー 内でテーブルを開く	[データテーブルとフォームを開く] を選択して、テーブルビルダー 内の選択したテーブルを開きます。

11. [保存] を選択します。

次のタスク

テーブルビルダーでデータテーブルを開くには、表示されたテーブルの上にある [データテーブルとフォームを開く] を選択します。テーブルビルダー でのデータテーブルの編集の詳細については、「テーブルビルダー」を参照してください。

参照テーブルを追加するには、「PDF フォームからの参照テーブルの追加」を参照してください。

PDF フォームからの参照テーブルの追加

App Engine Studio の PDF エクストラクターを使用して、新しい参照データテーブルにフィールドを移動します。

始める前に

注:
この機能は、ライセンスによって「専用ローコード機能」が付与され、App Engine のテーブルビルダー がインストールされている場合にのみ使用できます。詳細については、ソリューションコンサルタントにお問い合わせください。

必要なロール：admin、sn_app_eng_studio.user、または delegated_developer

このタスクについて

フォーム情報の一部を、元のテーブルから参照され、他のテーブルから参照できる個別のテーブルに追加する場合があります。たとえば、保険会社で働いている場合、情報が単一の PDF フォームから

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

抽出されていても、別々のデータテーブルとして参照できる別々のデータテーブルを作成することができます。

参照フィールドを追加し、対応する参照データテーブルを App Engine Studio の PDF エクストラクターから直接作成できます。

> **注:**
> アプリの新しい参照テーブルを作成する前に、ServiceNow AI Platform に既に存在するテーブルを誤って再作成していないことを確認することをお勧めします。

手順

1. 次のいずれかのオプションを選択します。
   - 前の手順で説明した手順に従って、PDF をアップロードします (PDF フォームからのテーブルの作成 を参照)。
   - 既に PDF をアップロードしている場合は、テーブルビルダー の [フォーム] タブまたは [テーブル] タブで **[PDF** エクストラクターツールを開く] 要素を選択して、PDF エクストラクターツールを起動します。

   PDF フォームが表示されます。
2. 右側のパネルで [参照テーブルを追加] を選択して、参照テーブルをテーブルに追加します。
3. 参照テーブルの次のプロパティを入力します。

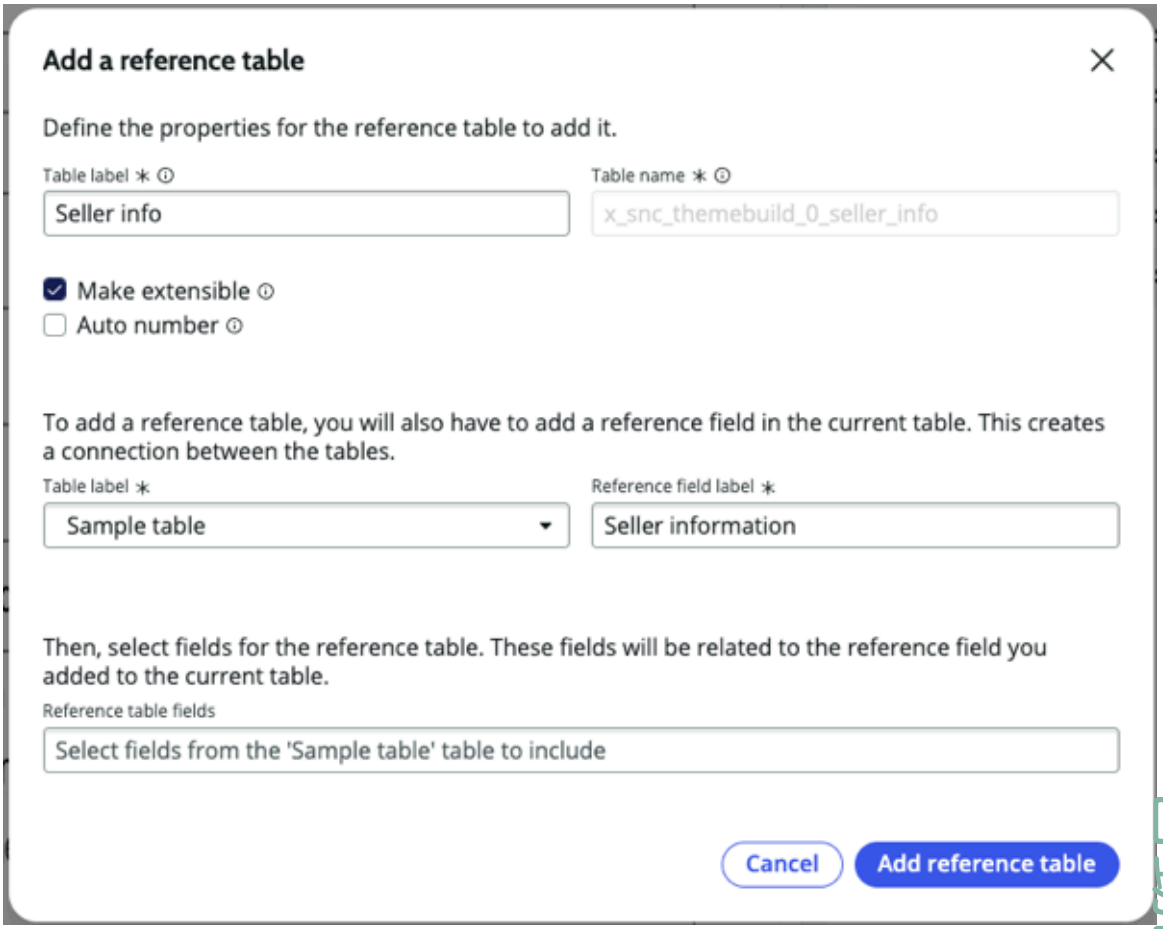
列ヘッダープロパティ	説明
テーブル ラベル	参照テーブルの一意のラベル。
テーブル名	参照テーブルのデータベース名。
拡張性を高める	他のテーブルがこのテーブルのデータを共有できるようにするオプション。テーブルの拡張の詳細については、「テーブル拡張」を参照してください。
自動番号	一意の番号でテーブルレコードを追跡するオプション。このオプションを選択する場合は、[プリフィックス]、[開始番号]、および [桁数] を定義します。

   次に、編集している元のテーブルに参照フィールドを追加します。これにより、テーブル間の接続が作成されます (「販売者情報」など)。
4. 参照フィールドを追加するテーブルの [テーブルラベル] を選択します (デフォルトでは元のテーブルが選択されています)。
   [テーブルラベル] フィールドでは、デフォルトで元のテーブルが選択されています。
5. この新しい参照フィールドの [参照フィールドラベル] (「販売者情報」など) を入力します。
6. 元のテーブルからフィールドを選択して、新しい参照テーブルに追加します。
   これらのフィールドは、現在のテーブルに追加した参照フィールドに関連しています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

参照テーブルを追加



7. [参照テーブルを追加] を選択します。
   参照テーブルが、元のテーブルで選択したフィールドが含まれた状態で下に表示されます。
8. フィールドとテーブルのプロパティを確認し、必要に応じて編集します。

テーブルペインのアクション

アクション	説明
テーブル間でのフィールドの移動	PDF エクストラクター内のテーブル間でフィールドを移動するには、選択した [テーブル名] を目的のテーブルの場所に変更します。
参照テーブルを削除	テーブルの右上隅にある [他のアクション] リスト (⋮) から [削除] を選択して、追加した他の参照テーブルを削除します。
新しいフィールドを追加	**[+** 新しいフィールドを追加] を選択してテーブルにフィールド列を追加し、詳細を直接入力します。テーブルビルダー の [データ] タブでフィールドを追加する方法に似ています。
フィールドを編集	フィールドのプロパティ (フィールドタイプなど) を編集するには、フィールドのプロパティをクリックして選択し、編集します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アクション	説明
フィールドを削除する	テーブルからフィールドを削除するには、ゴミ箱アイコン (🗑) を選択します。
テーブルビルダー 内でテーブルを開く	[データテーブルとフォームを開く] を選択して、テーブルビルダー 内の選択したテーブルを開きます。

テーブルペインのその他のナビゲーションコントロールの詳細については、「一般的なナビゲーション」を参照してください。

9. [保存] を選択します。

次のタスク

テーブルビルダーでデータテーブルを開くには、表示されたテーブルの上にある [データテーブルとフォームを開く] を選択します。テーブルビルダー でのデータテーブルの編集の詳細については、「テーブルビルダー」を参照してください。

データ統合を作成する

統合ハブ の機能を使用してアプリケーション内の既存のテーブルにインポートすることで、新しい情報または更新された情報を現在のデータセットに追加します。特定の時刻にデータを追加するために、将来のインポートをスケジュールします。

このビデオでは、次の手順を実行する方法を紹介します。

https://player.vimeo.com/video/982217306?badge=0&autopause=0&player_id=0&app_id=58479

始める前に

- アプリケーションに既存のテーブルが必要です。詳細については、「空白のテーブルを作成する」を参照してください。

  注:
  現在、ユーザーがアップロードできるデータ形式は Excel ファイルのみです。

- 必要なロール：admin、sn_app_eng_studio.user、または delegated_developer。詳細については、「AES を使用する開発者の委任」を参照してください。

手順

1. 移動先 すべて > **App Engine** > **App Engine Studio**.
2. [自分のアプリ] ページからアプリケーションを開きます。
3. [データ] 見出しの横にある追加アイコン (⊕) を選択します。
4. [データ統合を作成する] を選択します。

データインポートソースを構成

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

5. 次の手順を実行して、データインポートソースを構成します。

   a. データ統合のフィールドに入力します。

フィールド	説明
名前	統合の名前
簡単な説明	統合の説明。
アプリケーション	統合のアプリケーションスコープの名前。

   b. [保存して続行] を選択します。

   c. データソースタイプを選択するための [ソースタイプ] メニューを使用します。

   - Excel ファイルまたは CSV ファイルを選択するには、次を選択します **AD-HOC** > > ファイルをクリックし、 次に **Excel** または **CSV** のいずれかを選択します。[ファイルのアップロード] セクションで、XLSX、XLS、CSV または ZIP ファイルをアップロードします。
   - データストリームアクションを選択するには、[スポーク] を選択します。アクティブ化されているデータストリームがスポーク別に整理され、アルファベット順にリストされます。[接続] セクションで、接続エイリアスを選択します。接続エイリアスを使用するデータストリームアクションでは、デフォルトの接続エイリアスをその子エイリアスで上書きできます。詳細については、「接続および資格情報エイリアスの作成」を参照してください。

   d. データソースの設定

   - Excel スプレッドシートを設定するには、使用するシートとヘッダーに使用する行番号を指定します。1 つのシートと 1 つのヘッダーのみを指定できます。
   - CSV ファイルを設定するには、区切り文字を選択します。
   - データストリームアクションを設定するには、必要な入力項目を入力します。このセクションは、データストリームアクションに入力すべき項目がある場合にのみ表示されます。入力のあるデータストリームアクションには一意の入力があるため、このセクションのフィールドは、選択されたデータストリームアクションとその設定によって異なります。スポーク入力によって既に設定されているデフォルト値は、事前に入力されています。データストリームアクションの詳細を表示するには、その横にある情報アイコン ( ) をクリックします。このアイコンをクリックすると、データストリームアクションの設定ページが開きます。

6. [**Save**] ボタンを選択します。

ターゲットテーブルを選択し、インポートオプションを構成します

7. [ターゲットにマッピング] タブを選択します。
8. 作成するデータ統合のターゲットテーブルとオプションを選択します。
   ソースデータをターゲットテーブルにマッピングすることで、アップロードしたデータをシステムでどのように処理するかを制御できます。

   a. [ソースからターゲットテーブルへのデータマッピング] ページで、[テーブルを追加する] をクリックします。

   b. マッピングプロパティウィンドウで、次のフィールドに入力します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明
ターゲットテーブル	データの変換先のテーブルの名前。
インポート時にテーブルのビジネスルールを実行する	データをインポートするときにターゲットテーブルのビジネスルールを実行するオプション。
インポートを同期的に実行	インポートを同期的に実行するオプション。データが並列変換され、特定の結合値を持つ複数のソースレコードが存在する場合、このオプションをオンにすると、その結合値を持つレコードが一度に 1 つだけ挿入されます。詳細については、「同時インポート」ページの「挿入を同期する」セクションを参照してください。

c. [保存] を選択します。

統合には複数のターゲットテーブルを追加できます。追加するターゲットテーブルごとに、ステップ 4a ~ 4c を繰り返します。

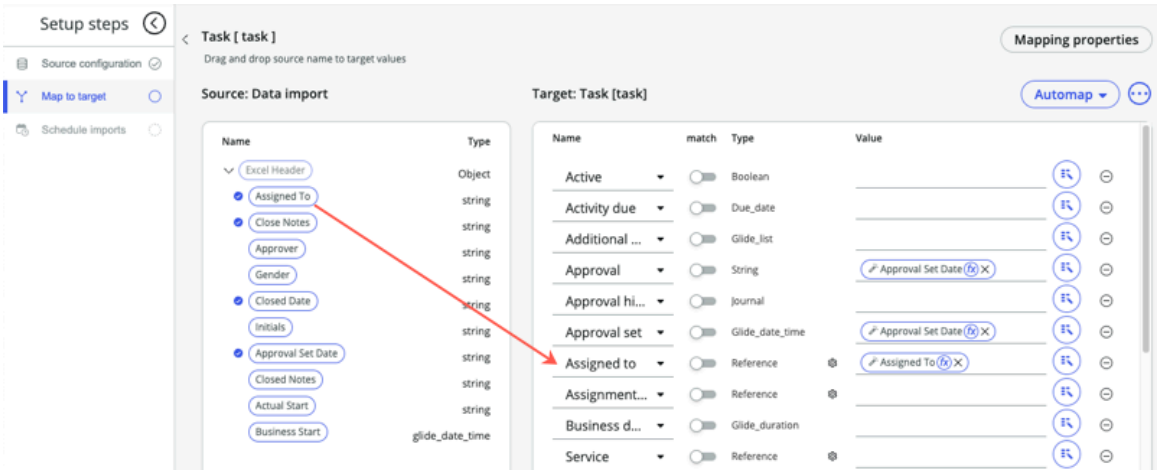
テーブルは、追加された順に一覧表示されます。各テーブルカードの左側にあるドラッグアイコン を使用してカードを別の位置にドラッグすると、順序を変更できます。テーブルカードの順序によって、実行時にデータがターゲットテーブルに変換される順序が決まります。

> **注:**
> 同じテーブルを複数回選択することはできません。また、拡張テーブルまたは既に統合に含まれているテーブルの親テーブルを選択することもできません。

インポートフィールドをターゲットテーブルにマッピング

9. 次のアクションを実行して、インポートのフィールドをターゲットテーブルにマッピングします。

ターゲットテーブルへのデータのマッピング



a. [ソースからターゲットテーブルへのデータマッピング] ページで、マッピング先のターゲットテーブルのボタンを選択します。
これにより、テーブルのデータマッピングセクションが開きます。ページの左側にはソースデータが表示されます。右側はターゲットテーブル用です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

b. [フィールドを追加 **(Add a field)]**、[すべてのフィールドを追加] または [自動マッピング] ボタンを使用して、ターゲットサイドを設定し、マッピングデータを開始します。

- ターゲットテーブルのすべてのフィールドを追加するには、[すべてのフィールドを追加] を選択します。フィールドはアルファベット順に追加されます。
- フィールドを個別に追加するには、[フィールドを追加 **(Add a field)]** を選択し、リストからフィールド名を選択します。フィールドは 1 回のみ追加できます。
- フィールドを追加して自動的にマッピングするには、[自動マッピング] を選択します。自動マッピングは、ソースエンティティを同様の名前のターゲットエンティティにマッピングします。[自動マッピング] ボタンには 2 つのオプションがあります。
  - [ターゲットテーブル内のすべての一致フィールド] に、すべてのフィールドが追加され、一致するフィールドがマッピングされます。
  - [ターゲット選択でマッピングされていないすべてのフィールド] は、既に追加されているがまだマッピングされていないフィールドのみをマッピングします。フィールドがまだ追加されていない場合、このオプションは使用できません。
- 既にマッピングされているターゲットエンティティの場合、[自動マッピング] を選択してもその値は変更されません。自動マッピングされたフィールドには、データピルに杖のアイコンがあります。

  デフォルトでは、自動マップは最大 1 つのソースエンティティをターゲットエンティティにマッピングします。これを変更するには、*glide.ih.automap.extractone* プロパティを false に設定します。

  自動マッピングは、80% 以上一致する列名を探して、ソースとターゲットのエンティティを照合します。これは、*glide.ih.automap.minimum.score* のプロパティで変更できます。たとえば、60% の類似性に基づいて照合するには、*glide.ih.automap.minimum.score* を 60 に設定します。

c. データをマッピングするには、データピルをソースからターゲットテーブルの [値]列にドラッグします。

ターゲットテーブルの右側にあるピルピッカー ( ) を使用してデータをマッピングすることもできます。[値] 列には複数の値を入力でき、テキストを入力することもできます。

ソースフィールドをターゲットフィールドにマッピングすると、ソースフィールド名の横に小さなチェックマークアイコン ( ) が表示されます。カーソルをチェックマークに移動すると、ソースフィールドがマッピングされているターゲットフィールド (最大 5 つのフィールド) がツールヒントに一覧表示されます。

d. オプション: [一致] トグルスイッチを使用して、一致するデータをシステムがチェックするフィールドを指定し、見つかった場合は、新しいレコードを作成する代わりに既存のレコードを更新します。

(Optional) たとえば、ターゲットテーブルに [注文番号] フィールドと注文番号が 743 のレコードがある場合、一致する可能性のあるものを処理するためのオプションが 2 つあります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- [注文番号] フィールドの [一致] トグルスイッチがオンの場合、システムは一致するデータをチェックします。ソースデータに同じ注文番号のレコードがある場合、システムはターゲットテーブルの既存のレコードを更新します。
- [注文番号] フィールドの [一致] トグルスイッチがオフの場合、システムは一致するデータをチェックしません。ソースデータに同じ注文番号のレコードがある場合、システムはターゲットテーブルに新しいレコードを作成します。この場合、ターゲットテーブルには 2 つのレコードがあり、どちらも注文番号は 743 です。

e. オプション: 選択フィールドと参照フィールドでは、データのマッピング先の列を指定します。

i. 歯車アイコン (⚙) を選択します。

ii. [フィールド] で、マッピング先の列を選択します。

iii. [一致するレコードがない場合は、次の操作を行います] で、その列が利用できない場合の対処方法を指定します。

- [新しい選択肢/レコードを作成]：ターゲットテーブルに選択肢またはレコードを作成します。
- [このフィールドを無視]：ターゲットテーブルのそのフィールドのみを無視します。
- [このレコードをスキップ]：ターゲットテーブルのレコード全体をスキップします。

iv. [完了] を選択します。

f. オプション: 変換機能を適用して、データを変更または修正します。
たとえば、大文字変換機能を使用して、入力文字列をすべて大文字に変換できます。詳細については、「変換機能」を参照してください。

> **注:**
> フローおよびサブフローの作成時に利用可能なすべての変換機能が 統合ハブ - インポート で利用できるわけではありません。

i. 変換機能アイコン (fx) を選択します。

ii. メニューから変換機能を選択し、**[OK]** を選択します。

iii. 追加の変換関数を適用するには、[新しい変換を追加] を選択します。変換機能は、選択された順序で適用されます。

iv. すべての変換機能を追加したら、[完了] を選択します。

10. マッピングが完了したら、[保存] をクリックします。

ファイルのインポート、またはデータインポートのスケジュール

11. 作成してマッピングしたデータインポートの処理方法を選択します。

- アップロードしたデータセットを今すぐインポートするには、[インポート実行] を選択します。
- データを後でインポートするように設定するには、[インポートをスケジュール] を選択します。「Run or schedule a data import」を参照してください。

12. オプション: インポートを実行した場合は、テーブルをプレビューして追加のコンテンツが表示されることを確認するために、ターゲットテーブルに戻り、ブラウザー画面を更新して、[プレビュー] をクリックします。

13. オプション: インポート中に新しい列を追加してそれらをターゲットテーブルに表示する場合は、[リストをカスタマイズ] を選択して表示される列を編集します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アプリケーションデータテーブルの変更

テーブルビルダーを使用して、アプリケーションで使用されるデータテーブルを変更します。

必要なロール：admin、sn_app_eng_studio.user、または delegated_developer

アプリケーションに関連付けられたデータテーブルを変更するには：

1. 移動先 すべて > **App Engine** > **App Engine Studio**.
2. [自分のアプリ] ページからアプリケーションを開きます。
3. [データ] 見出しで、アプリケーションの既存のテーブルの [他のアクション] アイコン (•••) を選択し、[編集] を選択します。

データテーブルをクリックするか、[他のアクション] メニュー (•••) の [編集] を選択してアプリケーションのデータを編集すると、テーブルビルダー が起動します。テーブルビルダー は、アプリケーションに追加したデータテーブルを編集するためのツールです。

テーブルビルダー では次のアクションを実行できます。

- [データ] タブでアプリケーションデータテーブルを管理します。
  - テーブルのフィールドを管理します。
  - テーブルとフィールドの列のプロパティを編集します。
  - データテーブル間のスキーマ関係を表示します。

    注:
    この機能は、ライセンスによって「専用ローコード機能」が付与され、App Engine のテーブルビルダー がインストールされている場合にのみ使用できます。詳細については、ソリューションコンサルタントにお問い合わせください。

- フォームビューを作成および管理し、[フォーム] タブのテーブルに関連付けられているロジックを表示します。
- [フロー] タブでテーブルの更新時または作成時にトリガーされるフローを作成および管理します。

  注:
  この機能は、ライセンスによって「専用ローコード機能」が付与され、App Engine のテーブルビルダー がインストールされている場合にのみ使用できます。詳細については、ソリューションコンサルタントにお問い合わせください。

テーブルビルダー でのテーブルの編集の詳細については、「テーブルビルダー 内のデータ」を参照してください。

注:
アプリケーションからテーブルを削除するには、アプリケーションの既存のテーブルの [他のアクション] アイコン (•••) を選択し、[削除] を選択して指示に従います。

アプリケーションエクスペリエンスの追加

App Engine Studio (AES) を使用してエクスペリエンスをアプリに追加します。エクスペリエンスは、ユーザーがアプリを操作する方法のインターフェイスまたはラッパーです。

アプリケーションテンプレートは、自動的にアプリケーションにエクスペリエンスを追加します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

エクスペリエンスのタイプ

エクスペリエンス	定義	例	参照
標準カタログアイテム	標準カタログアイテムは、アイテムまたはサービスを要求するフォームなど、ユーザーが要求を作成するために入力できるフォームを表示します。標準カタログアイテムは、要求テーブルを利用して要求レコードを生成します。さらに、生成された要求アイテムは、ワークフロー、カタログタスク、および関連する承認にリンクされます。ユーザーは、標準カタログアイテムを使用して、複数のアイテムをカートに追加し、要求されたアイテムごとに要求を生成できます。サービスカタログフォームで要求を生成し、ワークフロー、承認、タスクなどを入力する場合は、カタログアイテムを使用します。	休暇を要求するためのフォームなどのカタログアイテムフォームを作成します。そのフォームを送信すると、マネージャーが承認または却下するための要求が作成されます。	• 標準カタログアイテムの追加 • 標準カタログアイテムのサンプル
レコードプロデューサー	レコードプロデューサーは、ユーザーが入力するフォームを表示する簡易タイプのカタログアイテムです。入力して送信されたフォームでは、設定した選択したカスタムターゲットテーブルに新しいデータレコードが挿入されます。このタイプのカタログアイテムを使用すると、ユーザーはインシデントレコードなどのタスクベースのレコードを作成できます (要求の作成など、標準カタログアイテムの使用に伴うより複雑な機能はありません)。サービスカタログフォームで、要求ではない簡易タイプ	要求の代わりに、インシデントなどのタスクレコードを生成するサービスカタログフォームを作成します。	• レコードプロデューサーの追加 • レコードプロデューサーのサンプル

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

エクスペリエンスのタイプ (続く)

エクスペリエンス	定義	例	参照
	のレコード (インシデント、変更、拡張などのタスクレコードなど) を作成する場合は、レコードプロデューサーを使用します。		
ワークスペース	ワークスペースは、エージェント、ケースマネージャー、ヘルプデスク担当者、その他マネージャーが、顧客の質問に回答し、顧客の問題を解決する際に役立つツール群です。	従業員がラップトップやその他のアイテムを要求できる機器フルフィルメントダッシュボードを作成します。ワークスペースはポータルに似ていますが、範囲が限定されます。	• ワークスペースの追加 • ワークスペースビルダー の使用 • でのワークスペースの編集 ワークスペースビルダー • ワークスペースビルダー でのワークスペース設定の構成 • でのワークスペースホームページのカスタマイズ ワークスペースビルダー • でのワークスペースのレコードページの追加 ワークスペースビルダー • でのワークスペースのリストの作成 ワークスペースビルダー • でワークスペースの分析を有効にする ワークスペースビルダー • ビルドできるサンプルワークスペース
ポータル	ポータルは、組織内のユーザーが情報を検索し、要求を送信し、ビジネスタスクを実行できるサイトです。	従業員が要求を行いナレッジベースを参照するためのセルフサービスポータル、またはエントリーポイントを作成します。これにより、追加のワークスペースとカタログを設定できます。	• ポータルの追加 • ビルドできるサンプルポータル

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

エクスペリエンスのタイプ (続く)

エクスペリエンス	定義	例	参照
モバイル	モバイルエクスペリエンスを使用すると、ユーザーは ServiceNow ネイティブモバイルアプリからアプリケーションにアクセスできます。その後、アプリにデータを入力する必要があります。	モバイル用の休暇要求アプリケーションを作成して、マネージャーがモバイルデバイスの Now Mobile アプリで要求を承認または却下できるようにします。	• モバイルエクスペリエンスの追加 • モバイルエクスペリエンスのサンプル

レコードプロデューサーとカタログアイテムの選択

App Engine Studio (AES) のレコードプロデューサーと標準カタログアイテムの両方が、ユーザーがサービスポータルを介して要求を送信できるエクスペリエンスを作成します。ただし、レコードプロデューサーはより拡張性が高く、ユーザーが任意のテーブルにレコードを作成できます。

カスタマイズのレベルの検討

レコードプロデューサーを使用すると、より多くのカスタマイズが可能になり、App Engine ツールを最大限に活用してエクスペリエンスを新規にビルドできます。

カタログアイテムは、ユーザーが要求できるサービスまたはアイテムを表します。すべてのアイテムのカタログはサービスカタログと呼ばれ、サービスカタログ管理の一部です。

レコードプロデューサーと標準カタログアイテムの比較

機能エリア	レコードプロデューサー	カタログアイテム
目的	App Engine 自動化ツールを使用して、カスタム履行エクスペリエンスを作成します。	IT ハードウェアとソフトウェアの要求など、事前定義された承認および認定プロセスが存在するシンプルな要求管理アプリケーションをサポートします。
拡張性	カスタマイズ可能。	事前定義済み。
例	パスワードリセット要求を作成するパスワードリセットフォーム。	駐車許可を要求するフォーム。
開発モデル	プロセスは次のとおりです。 **1.** ビジネスに焦点を当てたデータモデルを設定します。 **2.** ユーザーが利用するエクスペリエンスの種類を定義します。 **3.** 自動化またはビジネスロジックを定義します。 **4.** アプリを使用するユーザーロールを定義します。	カタログアイテムは、正確で一貫した中心的なデータソースである サービスカタログ で定義されたアイテムを履行するための要求実行プロセスに大きく依存しています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

機能エリア	レコードプロデューサー	カタログアイテム
レポート	専用のデータモデルを使用すると、ダッシュボードを簡単に作成できます。	データベースビューを作成し、変数を他のテーブルに収集して特定のレポートを構成するためのスクリプトを作成する必要があります。
スケーラビリティ	ビジネスに焦点を当てたアプリを使用すると、より簡単にローコード環境でリソースを見つけてアプリを変更することができます。	通常は、各カタログを管理する専任チームによるサービスカタログ管理運用の一部です。
セキュリティ	スコープ対象のアプリを使用すると、アドミンでなくとも権限を柔軟に管理できます。	カタログアイテムは通常、特定のスコープでビルドされ、柔軟性が低くなります。

レコードプロデューサーと標準カタログアイテムに関するヘルプトピック

詳細は、以下のトピックを参照してください。

- レコードプロデューサー：
  - レコードプロデューサーの追加
  - レコードプロデューサーのサンプル
- 標準カタログアイテム：
  - 標準カタログアイテムの追加
  - 標準カタログアイテムのサンプル

レコードプロデューサーの追加

レコードプロデューサーを使用すると、ユーザーが要求を作成せずに、App Engine Studio (AES) で作成したアプリでインシデントレコードなどのタスクベースのレコードを作成できるようになります。簡素化されたフォームを使用して要求を標準化することで、エンドユーザーのエクスペリエンスを向上させることができます。

始める前に

ユーザーがフォームに入力したときにレコードプロデューサーが新しいレコードを追加するデータテーブルを作成します。詳細については、「アプリケーションのデータモデルの作成」を参照してください。

必要なロール：sn_app_eng_studio.user または delegated_developer。詳細については、「AES を使用する開発者の委任」を参照してください。

このタスクについて

レコードプロデューサーは、ユーザーが入力するフォームを表示する簡易タイプのカタログアイテムです。入力して送信されたフォームでは、設定した選択したカスタムターゲットテーブルに新しいデータレコードが挿入されます。このタイプのカタログアイテムを使用すると、ユーザーはインシデントレコードなどのタスクベースのレコードを作成できます (要求の作成など、標準カタログアイテムの使用に伴うより複雑な機能はありません)。サービスカタログフォームで、要求ではない簡易タイプのレコード (インシデント、変更、拡張などのタスクレコードなど) を作成する場合は、レコードプロデューサーを使用します。 レコードプロデューサーを追加すると、レコードプロデューサーの基本バージョンが作成されます。展開する準備ができるまで、カタログビルダーで編集を続ける必要があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

> **注:**
> テンプレートを使用してアプリケーションを作成した場合は、レコードプロデューサーがすでにアプリケーションに追加されている可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > **App Engine** > **App Engine Studio**.
2. [自分のアプリ] ページからアプリケーションを開きます。
3. アプリケーションで、[エクスペリエンス] の横にある [追加] を選択します。
4. [レコードプロデューサー] を選択して [開始] を選択します。
5. フォームのフィールドに入力します。

レコードプロデューサーフォーム

フィールド	説明
名前	レコードプロデューサーの名前。
簡単な説明	レコードプロデューサーの簡単な概要。

6. [レコードプロデューサーを編集] を選択します。
7. カタログビルダーで、必要な情報を指定します。
   各ステップを完了したら、[保存] を選択します。

カタログビルダーのステップ

ステップ	説明
詳細	○ 基本情報：レコードプロデューサー名と簡単な説明。 ○ アイテムの詳細：レコードプロデューサーの説明。 **注:** グラフィック、画像、ビデオ、または外部ソースの情報へのリンクなどのファイルを添付することができます。
移動先	レコードプロデューサーがレコードを作成するテーブル。
ロケーション	○ カタログ：レコードプロデューサーが属するカタログの名前。 ○ カテゴリ：レコードプロデューサーにリンクできる使用可能なカテゴリ。 ○ トピック:標準カタログアイテムに接続できる利用可能なトピック。トピックの詳細については、「Associate a catalog item with a taxonomy topic in Employee Center」を参照してください。
質問	レコードプロデューサーの質問。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステップ	説明
	[新しい質問の挿入] リストから、追加の質問セット、質問、非アクティブ化した質問、1 列コンテナー、2 列コンテナー、改行を含めることができます。質問とサポートされている質問タイプの作成については「Create a question for a catalog item in Catalog Builder」を参照してください。 質問には動的フォーム動作も追加できます。動的フォーム動作の追加については「Edit a question in Catalog Builder」を参照してください。 注: ○ 質問セット内の質問は編集できません。質問セットは、ドラッグ & ドロップすることで並べ替えることができます。 ○ テンプレートで指定された質問セットは削除できませんが、ユーザーが追加した質問セットは削除できます。 ○ 質問セットを削除してもアイテムに対する関連付けが削除されるだけで、質問セットは削除されません。 ○ 1 列の質問セットは、1 列または 2 列のコンテナーに追加できます。2 列の質問セットはコンテナに追加できません。
設定	レコードプロデューサーの動作をカスタマイズするオプション。 ○ [ウィッシュリストに追加] ボタンを非表示：レコードプロデューサーの [ウィッシュリストに追加] ボタンを非表示にするオプション。 ○ [添付ファイル] ボタンを非表示：レコードプロデューサーの [添付ファイル] ボタンを非表示にするオプション ○ 添付を必須に設定：レコードプロデューサーの [添付ファイル] フィールドを必須にするオプション。
アクセス	レコードプロデューサーを使用可能または使用不可能なグループまたは個々のユーザー。
レビューと送信	レコードプロデューサーをレビューおよび送信します。

8. ポータルまたは Now Mobile でカタログアイテムをプレビューするには、[プレビュー] をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

> **注:**
> アイテムをプレビューする際は、アイテムを操作できますが送信できません。

a. ポータルでアイテムをプレビューするには、[次での表示] フィールドで [ポータル] を選択します。

> **注:**
> ポータルプレビューは、カタログビルダー用に構成されたポータル URL に基づいて表示されます。

b. Now Mobile でアイテム表現を表示するには、[次での表示] フィールドで **[Now Mobile]** を選択します。

c. 新しいタブでプレビューを開くには、[新しいタブでプレビューを開く] を選択します。

> **注:**
> アイテムを変更して保存すると、開いているタブでプレビューが動的に更新されます。

9. [送信] を選択します。

次のタスク
編集するレコードプロデューサーのメニューアイコン (•••) を選択し、[編集] を選択します。

レコードプロデューサーのサンプル

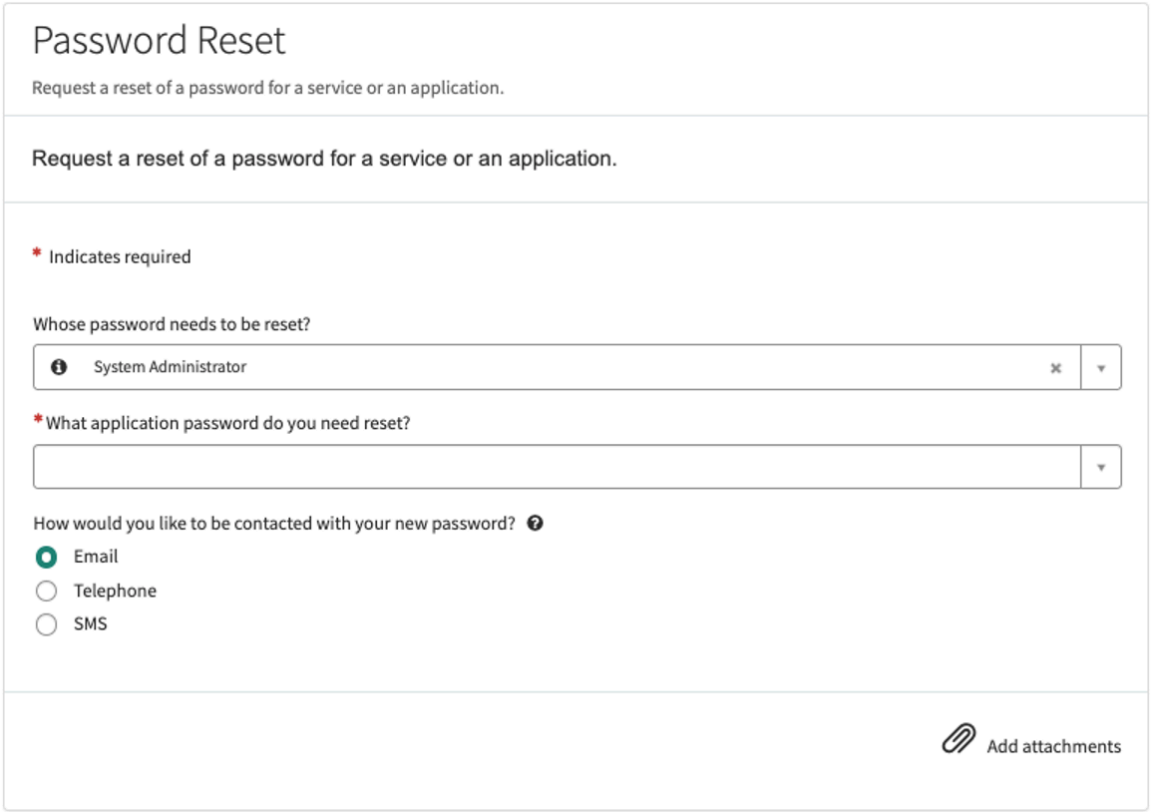
App Engine Studio (AES) で作成するレコードプロデューサーエクスペリエンスは、要求ではなくタスクレコード (インシデントなど) を生成するサービスカタログフォームです。

レコードプロデューサーの例

次に、パスワードリセット要求を作成するレコードプロデューサーの例を示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



自動翻訳

標準カタログアイテムの追加

App Engine Studio (AES) でアプリケーションに標準カタログアイテムを追加して、ユーザーがサービスとオファリングの要求を送信できるようにします。

始める前に

必要なロール：sn_app_eng_studio.user または delegated_developer。詳細については、「AES を使用する開発者の委任」を参照してください。

このタスクについて

標準カタログアイテムは、アイテムまたはサービスを要求するフォームなど、ユーザーが要求を作成するために入力できるフォームを表示します。標準カタログアイテムは、要求テーブルを利用して要求レコードを生成します。さらに、生成された要求アイテムは、ワークフロー、カタログタスク、および関連する承認にリンクされます。ユーザーは、標準カタログアイテムを使用して、複数のアイテムをカートに追加し、要求されたアイテムごとに要求を生成できます。サービスカタログフォームで要求を生成し、ワークフロー、承認、タスクなどを入力する場合は、カタログアイテムを使用します。 標準カタログアイテムを追加するときは、カタログアイテムの基本バージョンを作成します。これを展開できるようにするには、カタログビルダーで編集を続行する必要があります。

> **注:**
> テンプレートを使用してアプリケーションを作成した場合は、標準カタログアイテムがすでにアプリケーションに追加されている可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > **App Engine** > **App Engine Studio**.
2. [自分のアプリ] ページからアプリケーションを開きます。
3. アプリケーションで、[エクスペリエンス] の横にある [追加] を選択します。
4. [標準カタログアイテム] を選択し、[開始] を選択します。
5. フォームのフィールドに入力します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[ADD EXPERIENCE] フォーム

フィールド	説明
名前	標準カタログアイテムの名前。
簡単な説明	標準カタログアイテムの簡単な概要。

6. [カタログアイテムの編集] を選択します。
7. 必要な情報を指定します。

   各ステップを完了したら、[保存] を選択します。

   カタログビルダーのステップ

ステップ	説明
詳細	○ 基本情報：標準カタログアイテム名と簡単な説明。 ○ アイテムの詳細：標準カタログアイテムの説明。 **注:** グラフィック、画像、ビデオ、または外部ソースの情報へのリンクなどのファイルを添付することができます。
ロケーション	○ カタログ：標準カタログアイテムが属するカタログの名前。 ○ カテゴリ：標準カタログアイテムとリンクできる利用可能なカテゴリ。
質問	標準カタログアイテムに対する質問。 [新しい質問の挿入] リストから、追加の質問セット、質問、非アクティブ化した質問、1 列コンテナー、2 列コンテナー、改行を含めることができます。質問とサポートされている質問タイプの作成については「Create a question for a catalog item in Catalog Builder」を参照してください。 質問には動的フォーム動作も追加できます。動的フォーム動作の追加については「Edit a question in Catalog Builder」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステップ	説明
	注: ○ 質問セット内の質問は編集できません。質問セットは、ドラッグ & ドロップすることで並べ替えることができます。 ○ テンプレートで指定された質問セットは削除できませんが、ユーザーが追加した質問セットは削除できます。 ○ 質問セットを削除してもアイテムに対する関連付けが削除されるだけで、質問セットは削除されません。 ○ 1 列の質問セットは、1 列または 2 列のコンテナーに追加できます。2 列の質問セットはコンテナに追加できません。
設定	要求の方法に基づいて標準カタログアイテムを構成します。 要求の方法： ○ 注文：この方法は、企業のラップトップ要求などのシナリオ、で使用します。 ○ 要求：この方法は、コードアクセス要求などのシナリオ、で使用します。 ○ 送信：この方法は、パスワードのリセット要求などのシナリオ、で使用します。 その他のオプション： ○ [カートに追加] ボタンを非表示：標準カタログアイテムの [カートに追加] ボタンを非表示にするオプション。このオプションは、[要求の方法] が [要求] または [送信] の場合は自動的に選択されます。 ○ [ウィッシュリストに追加] ボタンを非表示：標準カタログアイテムで [ウィッシュリストに追加] ボタンを非表示にするオプション。 ○ 数量セレクターを非表示：標準カタログアイテムで [数量] リストを非表示にするオプション。 ○ 配送日時を非表示：標準カタログアイテムで [配送日時] フィールドを非表示にするオプション。このオプションは、[要求の方法] を [送信] に設定した場合は自動的に選択されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステップ	説明
	○ [添付ファイル] ボタンを非表示：標準カタログアイテムで [添付ファイル] ボタンを非表示にするオプション。 ○ 添付を必須に設定：標準カタログアイテムで [添付ファイル] フィールドを必須にするオプション。
アクセス	標準カタログアイテムを利用できるまたは利用できないグループまたは個々のユーザーを指定します。
達成	標準カタログアイテムを関連付けられるフロー。このフローは、標準カタログアイテムの履行プロセスを定義します。フローの詳細については、「フロー」を参照してください。
レビューと送信	標準カタログアイテムを確認して送信します。

8. ポータルまたは Now Mobile でカタログアイテムをプレビューするには、[プレビュー] をクリックします。

   注:
   アイテムをプレビューする際は、アイテムを操作できますが送信できません。

   a. ポータルでアイテムをプレビューするには、[次での表示] フィールドで [ポータル] を選択します。

      注:
      ポータルプレビューは、カタログビルダー用に構成されたポータル URL に基づいて表示されます。

   b. Now Mobile でアイテム表現を表示するには、[次での表示] フィールドで **[Now Mobile]** を選択します。

   c. 新しいタブでプレビューを開くには、[新しいタブでプレビューを開く] を選択します。

      注:
      アイテムを変更して保存すると、開いているタブでプレビューが動的に更新されます。

9. [送信] を選択します。

次のタスク
編集する標準カタログアイテムのメニューアイコン (•••) を選択し、[編集] を選択します。

標準カタログアイテムのサンプル

標準カタログアイテムは、アイテムまたはサービスを要求するフォームなど、ユーザーが要求を作成するために入力できるフォームを表示します。標準カタログアイテムは、要求テーブルを利用して要求レコードを生成します。さらに、生成された要求アイテムは、ワークフロー、カタログタスク、および関連する承認にリンクされます。ユーザーは、標準カタログアイテムを使用して、複数のアイテムをカートに追加し、要求されたアイテムごとに要求を生成できます。サービスカタログフォームで要求を生成し、ワークフロー、承認、タスクなどを入力する場合は、カタログアイテムを使用します。

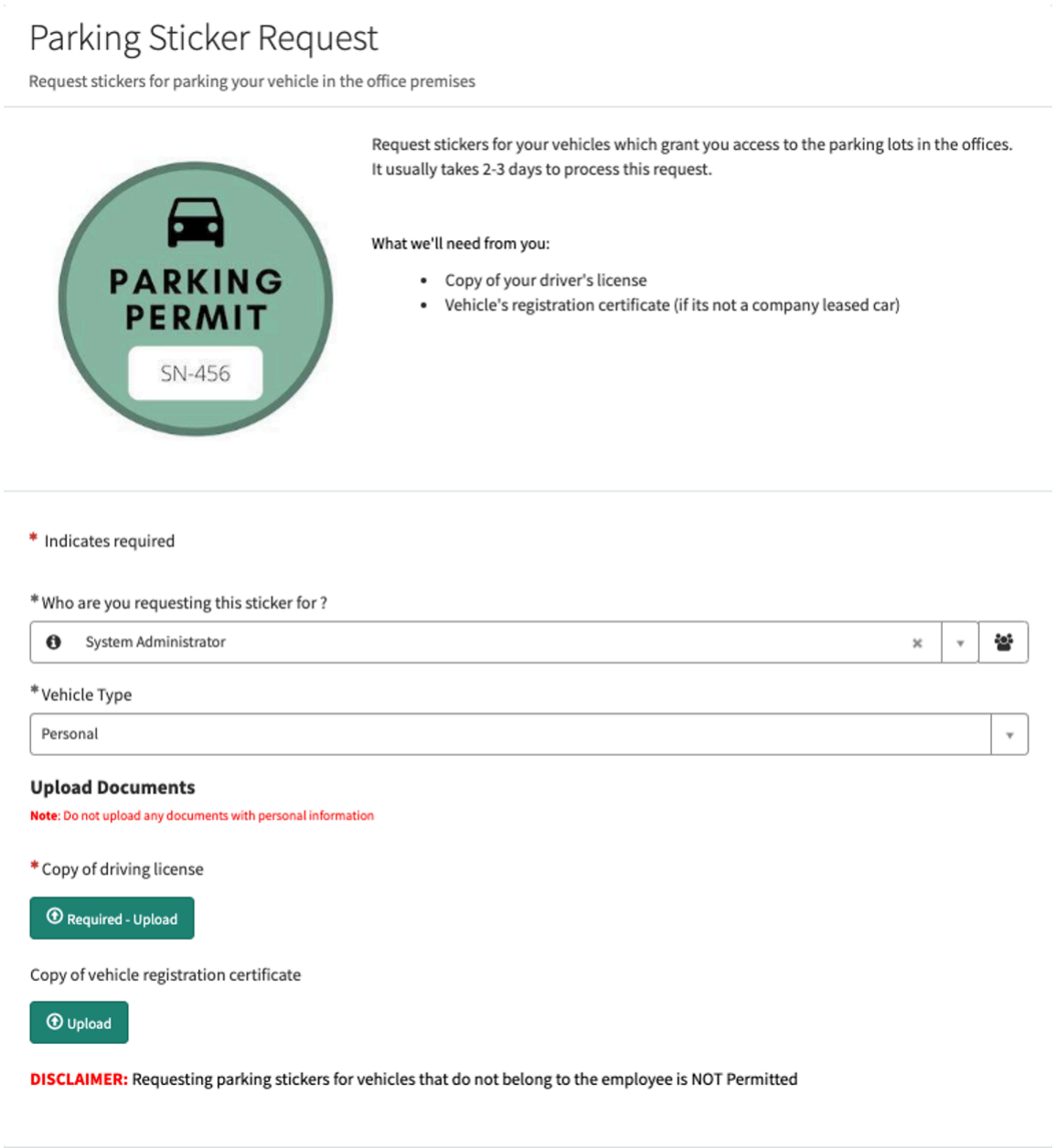
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

たとえば、従業員は [カタログアイテム] フォームに入力して休日の休暇を申請できます。そのフォームを送信すると、マネージャーが承認または却下するための要求が作成されます。

標準カタログアイテムの例

次に、駐車許可を要求するための標準カタログアイテムの例を示します。



ワークスペースの追加

App Engine Studio (AES) でワークスペースビルダーを使用してワークスペースを作成します。ワークスペースは、エージェント、ケースマネージャー、ヘルプデスクプロフェッショナル、およびマネージャーに、顧客の質問に回答し、顧客の問題を解決するのに役立つツールを提供します。

始める前に

必要なロール：sn_app_eng_studio.user または delegated_developer。詳細については、「AES を使用する開発者の委任」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて
ワークスペースは主に、チケットを管理するサービスデスクなどの要求および履行プロセスに使用されます。

ワークスペースを追加するときは、その基本バージョンを作成します。これを展開できるようにするには、ワークスペースビルダー で編集を続行する必要があります。 より複雑なカスタマイズを行うには、UI ビルダー でワークスペースを編集します。

App Engine Studio のワークスペースエクスペリエンステンプレートからワークスペースを作成すると、ワークスペースビルダー でホームページ、リスト、レコードページを編集できます。ただし、アプリケーションテンプレートを使用してワークスペースを作成する場合は、UI ビルダー でそのワークスペースのページとオブジェクトの一部を編集する必要があります。

手順

1. 移動先 すべて > **App Engine** > **App Engine Studio**.
2. [自分のアプリ] ページからアプリケーションを開きます。
3. アプリケーションで、[エクスペリエンス] の横にある [追加] を選択します。
4. [ワークスペース] を選択し、[開始] を選択し ます。
5. フォームで、フィールドに入力します。

フィールド	説明
名前	ユーザーに表示されるワークスペースの名前。デフォルトでは、ワークスペースはアプリケーションと同じ名前を共有します。 ヒント: 他のエクスペリエンスからそのワークスペースを一意に識別できる名前を使用します。たとえば、「Office art requests workspace (オフィスのアート要求ワークスペース)」などです。
説明	ワークスペースの説明。
URL	ワークスペースの一意の Web アドレス。デフォルトでは、ワークスペースの URL はアプリケーション名に基づいていますが、編集可能です。
ロール	ワークスペースにアクセスできるユーザーを限定するユーザーロール。 ○ ワークスペースへのアクセス権を付与するには、少なくとも 1 つのロールを指定する必要があります。 ○ ワークスペースに対してカスタムロールを使用するには、最初に [セキュリティ **(Security)**] で作成する必要があります。 詳細については、「アプリケーションセキュリティの追加」を参照してください。

6. [続行] を選択してワークスペースのデータを定義します。
7. フォームのフィールドに入力します。

フィールド	説明
[プライマリ] テーブル	ワークスペースユーザーが表示または更新するデータテーブル。
セカンダリテーブル	ワークスペースユーザーが表示および更新する追加データテーブル。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

> **注:**
> デフォルトビューのテーブルのみを選択できます。 アプリで既に利用可能なテーブルと、アプリスコープ外のすべてのテーブルの 2 つのセクションから選択できます。

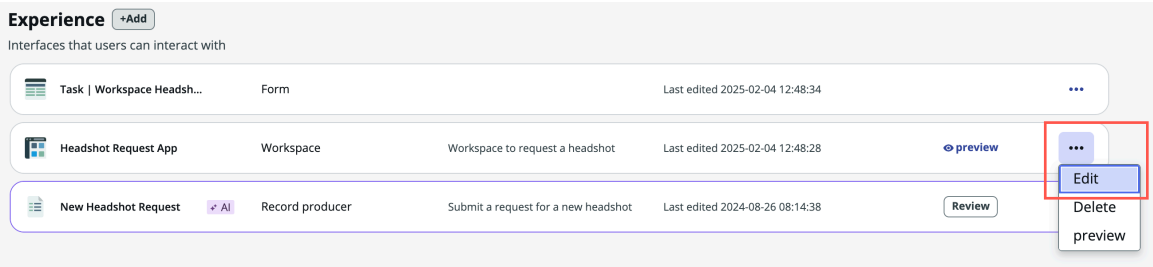
ワークスペースビルダー は、選択したテーブルのレコードページを自動的に生成します。

8. [続行] を選択し、[完了] を選択します。
AES でワークスペースを作成した後、各ページでコンポーネントを追加または構成して、ワークスペースビルダーでワークスペースを編集する必要があります。

9. 作成したワークスペースの横にある [他のアクション] アイコン (•••) を選択し、[編集] を選択します。

アプリの [エクスペリエンス] セクションで、そのワークスペースを一覧表示するバーを選択してもかまいません。

ワークスペースの編集



10. オプション: [プレビュー] を選択して、インラインエディターでワークスペースホームページを編集します。

    a. ワークスペースのホームページで、[編集] を選択します。
    [編集] が表示されない場合は、そのワークスペースホームページの編集に必要な権限がない可能性があります。

    b. ワークスペースにアクセス制御リスト (ACL) がない場合は、[ユーザーロールを追加して続行 (Add user roles to continue)] モーダルにアクセスする必要があるロールを入力し、[ロールの追加] ボタンを選択します。
    詳細については、「ワークスペースビルダー でのワークスペース設定の構成」と「Access Control List Rules」を参照。

    c. サイズ変更、再編成、または再構成して、ホームページの要素とウィジェットを調整します。

    ワークスペースのホームページの編集は、ワークスペースでのダッシュボードの編集と同様に機能します。詳細については、「Edit Platform Analytics dashboards」を参照してください。

    > **注:**
    > ワークスペースが Tokyo より前に作成された場合は、UI ビルダー で編集する必要があります。詳細については、「UI ビルダー」を参照してください。

    テクニカルダッシュボードが含まれるワークスペースを作成した場合、ワークスペースを編集しようとすると、ワークスペースビルダー は **UI** ビルダーで開くように求めます。

    d. [新しい要素を追加] を選択して、ワークスペースのホームページにアイテムを追加します。

    e. [編集モードを終了] を選択して、インラインエディターでの編集を停止します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

11. ワークスペースビルダー でワークスペースを編集します。詳細については、「でのワークスペースの編集 ワークスペースビルダー」を参照してください。

    必要に応じて、ワークスペースにさらにレコードページを追加することもできます。

    > **注:**
    > デフォルトのワークスペースレコードページは読み取り専用であり、編集することはできません。各レコードページのコンテンツを変更するには、ページのバリアントを作成し、そのバリアントを編集します。

ポータルの追加

App Engine Studio (AES) でポータルを作成して、ユーザーが情報を検索し、要求を作成し、ビジネスタスクを完了できるサイトを提供します。

始める前に
必要なロール：sn_app_eng_studio.user または delegated_developer。詳細については、「AES を使用する開発者の委任」を参照してください。

このタスクについて
ポータルを追加するときは、その基本バージョンを作成します。これを展開できるようにするには、UI ビルダー で編集を続行する必要があります。

> **注:**
> テンプレートを使用してアプリケーションを作成した場合は、ポータルがすでにアプリケーションに追加されている可能性があります。

ほとんどの会社は最大 3 つのポータルを実装し、そこにカタログを追加します。

手順

1. 移動先 すべて > **App Engine** > **App Engine Studio**.
2. [自分のアプリ] ページからアプリケーションを開きます。
3. アプリケーションで、[エクスペリエンス] の横にある [追加] を選択します。
4. [ポータル **(Portal)**] を選択し、[開始] を選択します。
5. フォームのフィールドに入力します。

フィールド	説明
名前	ポータルの名前。デフォルトでは、ポータルはアプリケーションと同じ名前を共有します。 **ヒント:** 他のエクスペリエンスからそのポータルを一意に識別できる名前を使用します。たとえば、「Office art portal (オフィスのアートポータル)」などです。
説明	ポータルの説明。
URL	ポータルの Web アドレス。デフォルトでは、URL はアプリケーション名に基づきます。
ロール	ポータルにアクセスできるユーザーを限定するユーザーロール。ポータルに対してカスタムロールを使用するには、最初に [セキュリティ

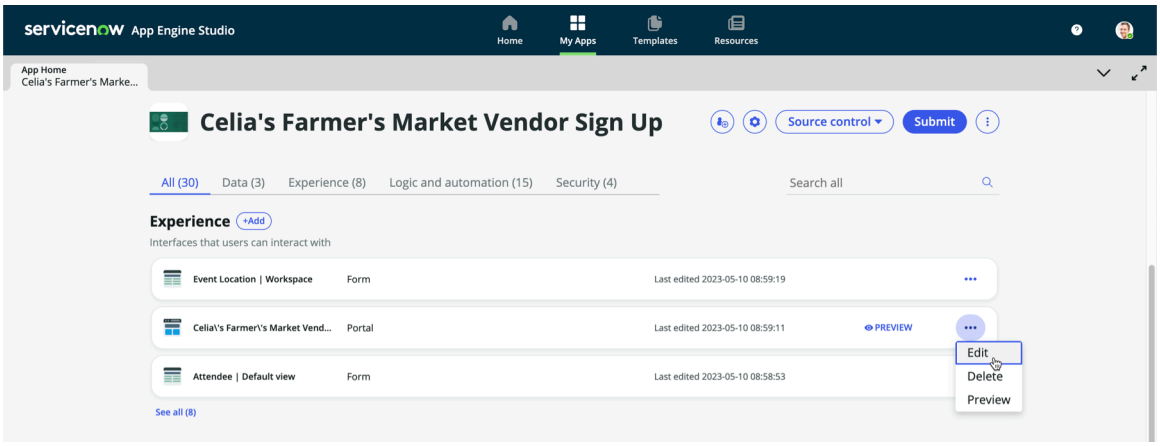
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明
	(Security)] で作成する必要があります。詳細については、「アプリケーションセキュリティの追加」を参照してください。

6. [続行] を選択し、[完了] を選択します。
   AES でポータルを作成した後、UI ビルダー で、各ページでコンポーネントを追加または構成してそのポータルを編集する必要があります。
7. 作成したポータルの横にあるメニューアイコン (•••) を選択し、[編集] を選択します。

ポータルの編集



8. UI ビルダー で、各ページでコンポーネントを追加または構成してそのポータルを編集します。
   必要に応じて、ポータルにさらにページを追加することもできます。

> **注:**
> デフォルトのポータルページは読み取り専用であり、編集はできません。各ページのコンテンツを変更するには、ページのバリアントを作成し、そのバリアントを編集します。

次のタスク
UI ビルダー を使用してポータルを編集する方法の詳細については、「UI ビルダー」を参照してください。

ビルドできるサンプルポータル

ポータルは、組織内のユーザーが情報を検索し、要求を送信し、ビジネスタスクを実行できるサイトです。

App Engine Studio で作成するポータルには、いくつかのデフォルトページが含まれています。これらのページをそのまま使用することも、ビジネスニーズに合わせて編集することもできます。

- 記事ページ
- カタログアイテムページ
- ランディング ページ
- ログイン
- 注文の成功
- レコードページ (要求)
- レコードページ (タスク)
- 検索ページ
- 設定ページ

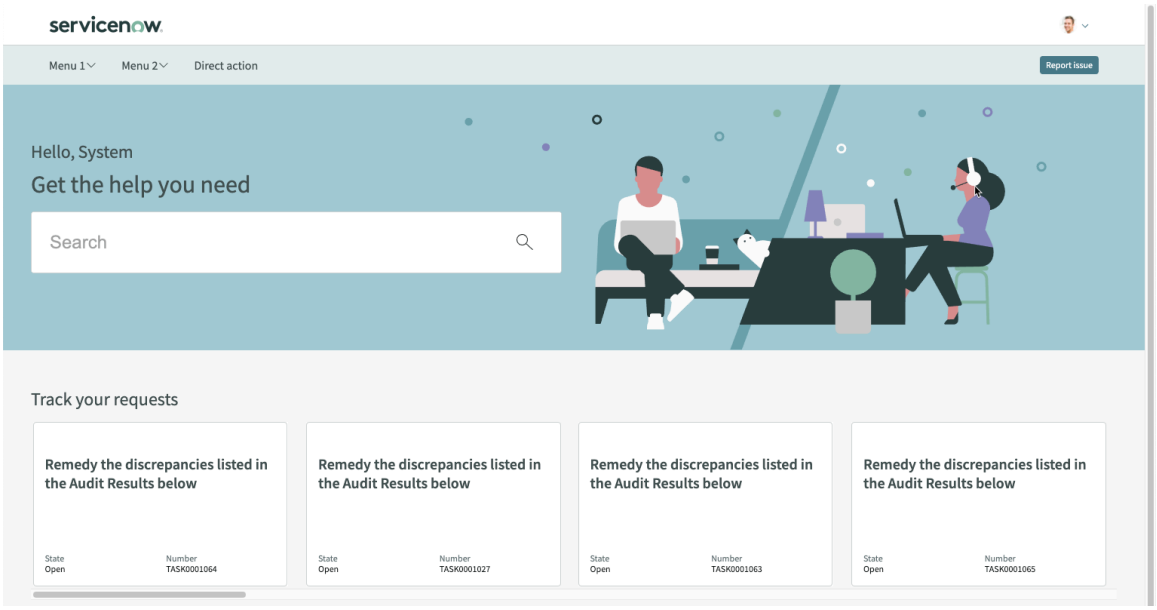
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- タスク承認済み
- 却下されたタスク

注:
サービスポータル とは異なり、App Engine Studio で作成できるポータルは ネクストエクスペリエンス UI フレームワーク にビルドされます。UI ビルダー でページとコンポーネントを構成して、ポータルを編集します。

ホームページへ。



モバイルエクスペリエンスの追加

モバイルエクスペリエンス (インターフェイス) を追加して、ユーザーが ServiceNow ネイティブモバイルアプリからアプリケーションにアクセスできるようにします。

始める前に

必要なロール：sn_app_eng_studio.user または delegated_developer。詳細については、「AES を使用する開発者の委任」を参照してください。

このタスクについて

モバイルエクスペリエンスを追加するときは、そのモバイルアプリの基本バージョンを作成します。これを展開できるようにするには、モバイルアプリビルダー で編集を続行する必要があります。

モバイルアプリビルダー を使用して、AES でビルドしたモバイルアプリ内でワークフローを構成する画面とレコードをビルドして管理します。たとえば、電話アプリでタブとして表示される Web ページやリストを追加できます。

手順

1. 移動先 すべて > **App Engine** > **App Engine Studio**.
2. [自分のアプリ] ページからアプリケーションを開きます。
3. アプリケーションで、[エクスペリエンス] の横にある [追加] を選択します。
4. [モバイル体験] を選択し、[開始] を選択します。
5. 追加するモバイルエクスペリエンスの種類を選択し、[続行] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- モバイルエージェント
- Now Mobile

モバイルエクスペリエンスのオプションとモバイルエクスペリエンスを選択する際の重要な考慮事項の詳細については、「 Design considerations for mobile apps」を参照してください。

6. フォームで、フィールドに入力します。

[ADD EXPERIENCE] フォーム

フィールド	説明
アイコンを追加	この画面の内容を最もよく反映しているアイコン。
エクスペリエンスのラベル	画面の説明。
ロール	画面にアクセスできるロール。複数のロールを指定できますが、[ロール] フィールドへの入力を開始すると表示されるリストから、1 つずつ選択する必要があります。 **注:** ロールを指定しない場合、すべてのユーザーがモバイルエクスペリエンスにアクセスできます。
オフラインで利用可能	エクスペリエンスをオフラインで利用できるようにするオプション。 **注:** オフラインエクスペリエンスは モバイルエージェント アプリでのみ利用できます。

7. [続行] を選択します。
8. 追加する画面のタイプを選択し、[続行] を選択します。

画面のタイプのオプション

オプション	説明
リスト	既存のデータテーブルから取得した情報を一覧表示する画面です。これは次のステップで選択します。 **注:** リスト画面を作成すると、データテーブルのすべての値がモバイルエクスペリエンスに追加されます。
Web ページ	既存の Web ページを表示する画面で、次のステップで URL を指定します。

9. モバイルエクスペリエンスにリストページを追加するには、次の操作を行います。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. 画面にリストとして表示されるテーブルを選択します。
データテーブルを選択すると、そのコンテンツの一部がページに表示されます。

b. テーブルを条件付きにするには、[このテーブルの条件を設定] を選択し、条件ビルダーを使用してデータを表示するための条件を定義します。

詳細については、「Condition builder」を参照してください。

c. [続行] を選択します。

d. テーブルから抽出されたデータの属性を指定し、[続行] を選択します。

テーブルデータの識別子

フィールド	説明
アイコンを追加	テーブル内のデータを反映しているアイコン。
画面ラベル	リスト画面を説明する簡単なラベル。

10. モバイルエクスペリエンスに Web ページを追加するには、次の操作を行います。

a. テーブルデータの属性を指定し、[続行] を選択します。

テーブルデータの識別子

フィールド	説明
アイコンを追加	Web ページを反映するアイコン。
画面ラベル	Web ページを説明する簡単なラベル。
URL	Web ページの絶対 URL または相対 URL。

11. 操作を完了したかどうかに応じて、次のいずれかを実行します。
- モバイルエクスペリエンスへの画面の追加が完了したら、[画面の追加が完了しました] を選択します。
- モバイルエクスペリエンスにさらに画面を追加するには、[画面をさらに追加] を選択します。

12. モバイルエクスペリエンスの作成を終了するには、[完了] を選択します。
AES でモバイルエクスペリエンスを作成した後、モバイルアプリビルダー で編集する必要があります。

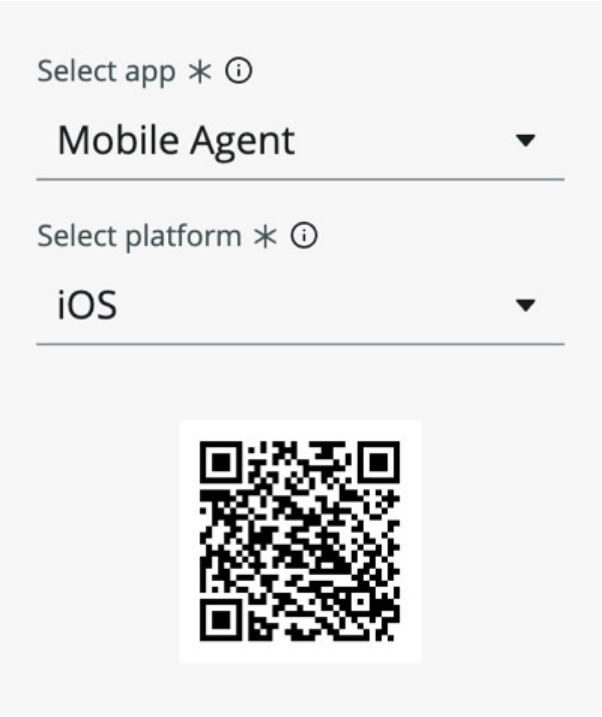
13. 作成したモバイルエクスペリエンスの横にあるメニューアイコン (•••) を選択し、[編集] を選択します。

14. モバイルアプリビルダー でモバイルエクスペリエンスを編集します。
詳細については、「Mobile App Builder」を参照してください。

次のタスク
[アプリを選択] フィールドと [プラットフォームを選択] フィールドを使用して、モバイルエクスペリエンスの QR コードをスキャンまたはコピーします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



モバイルエクスペリエンスの変更の詳細については、「Mobile App Builder」を参照してください。

モバイルエクスペリエンスのサンプル

モバイルエクスペリエンスを使用すると、ユーザーは ServiceNow ネイティブモバイルアプリからアプリケーションにアクセスできます。

モバイルエクスペリエンスの例

次の例は、App Engine Studio で モバイルアプリビルダー 統合を使用してビルドできるモバイルエクスペリエンスのサンプルを示しています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ビルドできるモバイルエクスペリエンスのその他の例については、「ネイティブモバイルの例」を参照してください。

App Engine Studio でのエクスペリエンスの編集

モバイルアプリやカタログアイテムなどのインターフェイスを App Engine Studio (AES) でビルドすることで、ビジネスニーズに合わせてアプリのエクスペリエンスをカスタマイズします。

ワークスペースの編集：ワークスペースビルダー

ワークスペースビルダー は、AES に組み込まれたカスタムワークスペースをすばやく簡単に構成できる、簡素化されたノーコードツールです。ワークスペースビルダーの使用に関する詳細については、ワークスペースビルダー の使用を参照してください。 より複雑なカスタマイズを行うには、UI ビルダー でワークスペースを編集します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テーブルビルダー で作成されたフォームの編集

アプリにデータを追加すると、関連するフォームビューがアプリの [エクスペリエンス] セクションに表示されます。フォームを編集するには、[エクスペリエンス] セクションでフォームを選択します。フォームビューは、テーブルビルダー の [フォーム] タブで編集できます。詳細については、「テーブルビルダー のフォーム」を参照してください。

エクスペリエンスのプレビュー

App Engine Studio (AES) に組み込まれたアプリケーションエクスペリエンスをブラウザーでプレビューして、ユーザーにどのように表示されるかを確認します。

始める前に

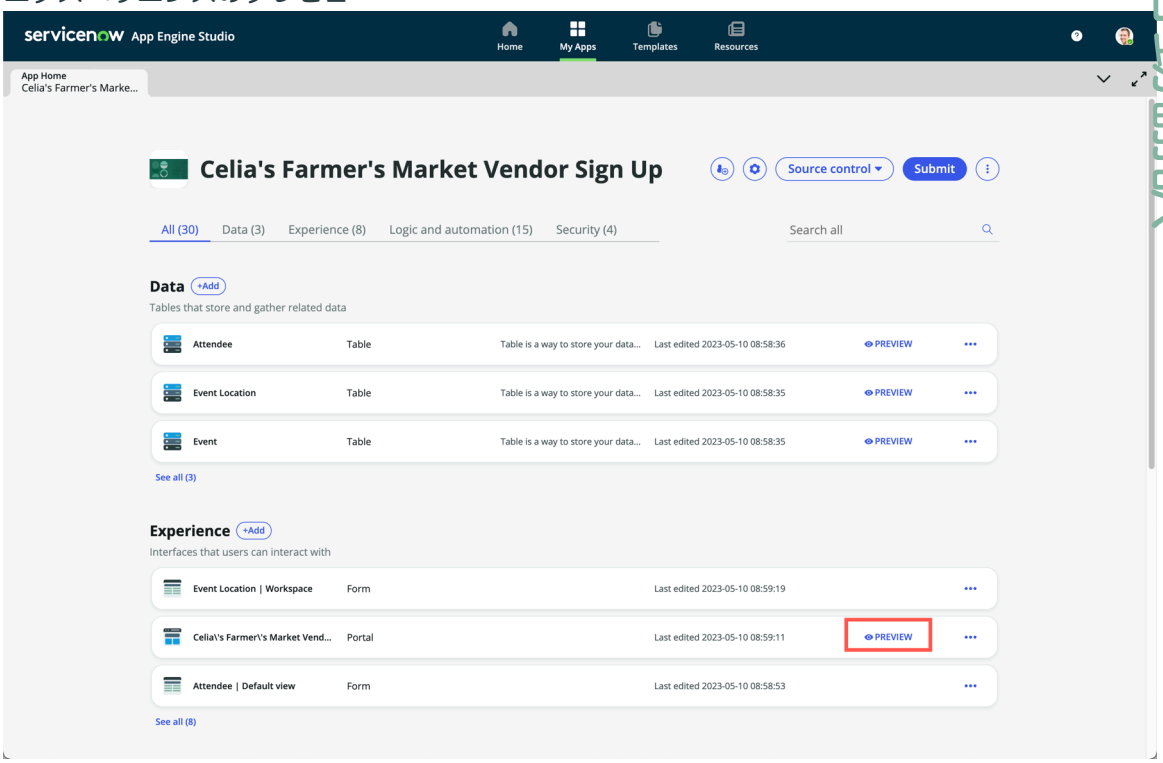
アプリケーションにエクスペリエンスを追加します。詳細については、「アプリケーションエクスペリエンスの追加」を参照してください。

必要なロール：sn_app_eng_studio.user または delegated_developer。詳細については、「AES を使用する開発者の委任」を参照してください。

手順

1. 移動先 すべて > **App Engine** > **App Engine Studio**.
2. [自分のアプリ] ページからアプリケーションを開きます。
3. エクスペリエンスの横にある [プレビュー] を選択します。

エクスペリエンスのプレビュー



4. ブラウザータブが開いたら、エクスペリエンスを確認します。

次のタスク

エクスペリエンスの外観や動作が予想と異なる場合は、エクスペリエンスを編集します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

エクスペリエンスの削除

App Engine Studio (AES) 内で不要になったエクスペリエンス (ポータルやレコードプロデューサーフォームなど) を削除します。

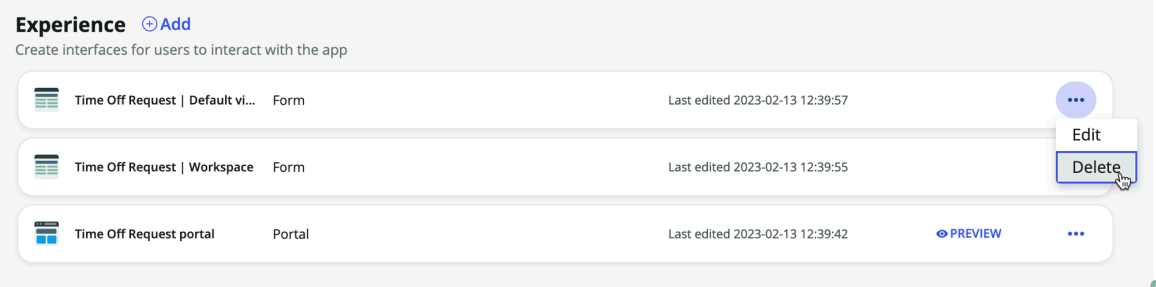
始める前に

必要なロール：sn_app_eng_studio.user または delegated_developer。詳細については、「AES を使用する開発者の委任」を参照してください。

手順

1. 移動先 すべて > **App Engine** > **App Engine Studio**.
2. [自分のアプリ] ページからアプリケーションを開きます。
3. エクスペリエンスの横にあるメニューアイコン (•••) を選択し、[削除] を選択します。

エクスペリエンスの削除



4. 表示されるダイアログボックスで、「delete」と入力し、[削除] を選択します。

ロジックと自動化の追加

App Engine Studio (AES) でアプリにロジックと自動化を追加することで、手動作業を置き換えます。

アプリケーションテンプレートは、自動的にアプリケーションにロジックと自動化を追加します。

自動化のタイプ

自動化	定義	例	参照
決定	既存のレコード、外部データソース、または実行時に提供されるデータからデータを評価する入力など、意思決定ルールを作成することでコードからロジックを切り離す決定です。	注文個数の増加に基づいて、さまざまな製品に対して自動的にカスケード割引を適用します。	• 意思決定の追加 • Modify decision table structure in Workflow Studio
メール通知	通知は、指定された条件が満たされたときに自動的に送信されるメールです。	新しいサポートレコードが作成されたときに、メールを自動的に送信します。	• メール通知の追加 • メール通知の変更
フロー	フローは一連の再利用可能なアクションで、トリガーイベントに	インシデントがクローズされたときに自動的に Twitter の投稿を生成したり、特定のテー	• フローを最初から追加 • フローの変更

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動化のタイプ (続く)

自動化	定義	例	参照
	よって開始され、アクション間で変数を渡します。	ブルのレコードが更新または作成されたときにメールを送信したりします (レコードベースのフロー)。	• Table Builder でのレコードベースのフローの操作 注: この機能は、ライセンスによって「専用ローコード機能」が付与され、App Engine のテーブルビルダーがインストールされている場合にのみ使用できます。詳細については、ソリューションコンサルタントにお問い合わせください。
プロセス	プロセスは、単一の統一されたプロセスを作成できるようにする企業間ワークフローです。プロセスには複数のフローを含めることができます。	エージェントが VIP ユーザーとのチャットインタラクションを処理する方法を標準化および自動化します。	• Create a playbook • プロセスを編集する

注:
ソースコントロールを使用して他の開発者と共同作業している場合、他の開発者はチェックインされた変更のみを使用できます。たとえば、アドミニストレーターが Git にリンクされているアプリの新しいフローを作成した場合、アドミニストレーターがフローを Git にチェックインするまで、他の AES ユーザーは新しいフローをアプリで使用できません。

テンプレートを使用したビルド済みフローの追加

ビルド済みのフローを使用して、App Engine Studio (AES) でビルド中のアプリの手動作業を迅速に自動化します。

始める前に

必要なロール：sn_app_eng_studio.user または delegated_developer。詳細については、「AES を使用する開発者の委任」を参照してください。

手順

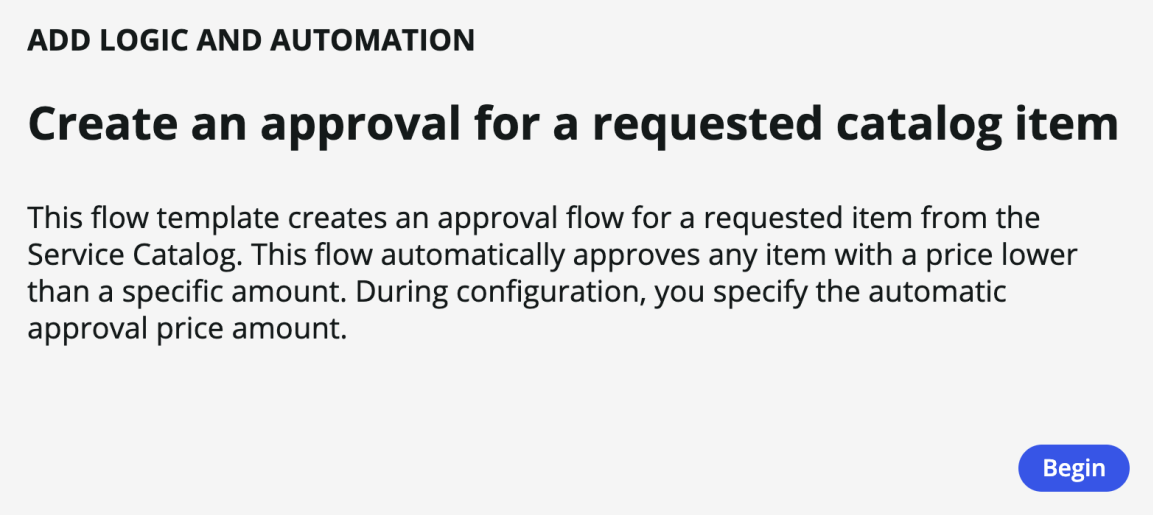
1. 移動先 すべて > **App Engine** > **App Engine Studio**.
2. [自分のアプリ] ページからアプリケーションを開きます。
3. アプリケーションの [ロジックと自動化] セクションで [追加] を選択します。
4. [フロー] のカードを選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

5. 自動化テンプレートのギャラリーで、テンプレートを選択して [開始] を選択します。

テンプレートの自動化



6. 選択したテンプレートのウィザードを完了します。
7. サマリー画面で、[完了] を選択します。

次のタスク

フローを編集して、ビジネスニーズに合わせて調整できます。自動化の操作の詳細については、「フローの変更」を参照してください。

フローを最初から追加

既存の自動化テンプレートがアプリケーションの目的に合致しない場合は、App Engine Studio (AES) で新しいフローをビルドして、カスタム自動化を定義します。

始める前に

必要なロール：sn_app_eng_studio.user または delegated_developer。詳細については、「AES を使用する開発者の委任」を参照してください。

このタスクについて

ビルド済みのフローがすでに存在する場合は、そのテンプレートをアプリに簡単に追加してカスタマイズできます。詳細については、「テンプレートを使用したビルド済みフローの追加」を参照してください。

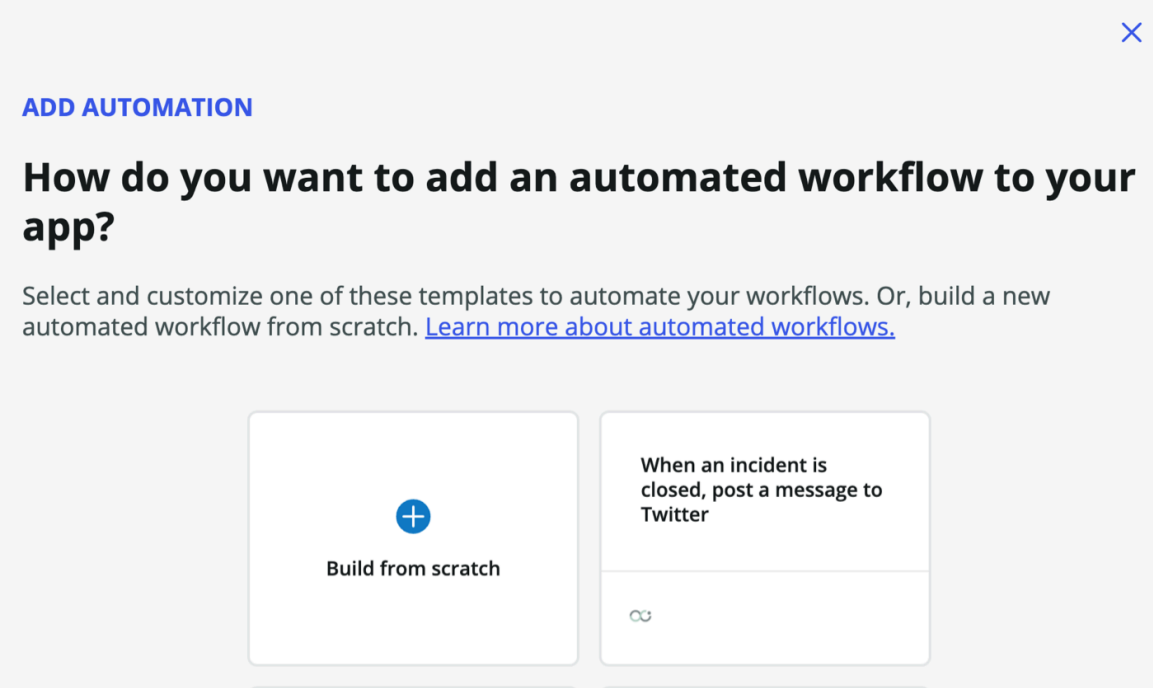
手順

1. 移動先 すべて > **App Engine** > **App Engine Studio**.
2. [自分のアプリ] ページからアプリケーションを開きます。
3. アプリケーションの [ロジックと自動化] セクションで [追加] を選択します。
4. [フロー] のカードを選択します。
5. [ゼロからビルドします] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ゼロからビルドします



6. フォームでフィールドに入力し、[続行] を選択します。

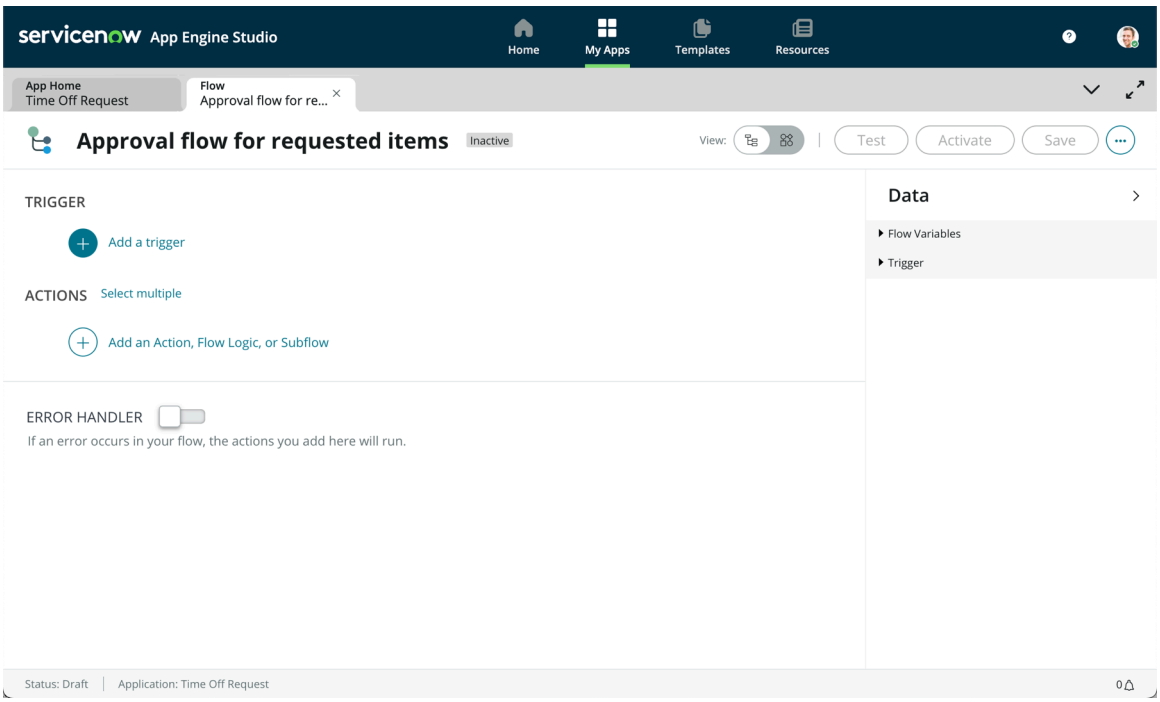
フィールド	説明
名前	フローを識別する名前です。
説明	フローの説明です。
保護	フローのアクセス設定です。次のいずれかのオプションを選択できます。 -- なし -- 他のユーザーがフローを編集できるようにするオプション。 読み取り専用 他のユーザーがフローを表示できても編集できないようにするオプション。
実行方法	そのフローをシステムユーザーとして実行するか、セッションを開始したユーザーとして実行するかを指定する選択肢です。フローをトリガーしたユーザーから更新を実行する必要がある場合は、[セッションを開始するユーザー] を選択します。たとえば、現在のユーザーからのインシデントレコードに関するコメントや、承認者から送信された承認メールが必要な場合です。
ロールを使用して実行	フローを実行するロールです。[実行方法 **(Run as)]** が [セッションを開始するユーザー] に設定されている場合にのみ、このオプションを利用できます。 フローに対してカスタムロールを使用するには、最初に [セキュリティ **(Security)]** で作成する必要があります。詳細については、「アプリケーションセキュリティの追加」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

7. [サマリー (summary)] 画面で、[このフローを編集します] を選択してフローを開きます。

フローデザイナー



フローのビルド方法の例については、「フローデザイナーで最初のフローをビルドする」を参照してください。

8. フローにトリガーを追加します。

a. [トリガー] セクションで [トリガーを追加] を選択します。

b. [トリガー] リストから、フローの実行を開始するトリガーを選択します。
トリガー タイプの詳細については、「Workflow Studio flow trigger types」を参照してください。
選択したトリガーのタイプに応じて、一連のフィールドが表示されます。

c. フィールドに入力してトリガーを設定します。
たとえば、レコードベースのトリガーの場合、テーブルを選択し、フィールド条件を設定します。この条件が満たされると、フローの実行が開始されます。

d. [完了] をクリックします。

9. アクション、フロー、サブフロー、またはフローロジックを追加するには、[アクション、フローロジック、またはサブフローを追加] を選択します。

a. オプションを選択します。

オプション	説明
アクション	目的のアクションを選択します。ワークフロースタジオ には、フローとサブフローで使用可能な Workflow Studio actions が含まれています。または、action_designer ロールを持つユーザーは、フローに追加するアク

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

オプション	説明
	ションを作成できます。Integration Hub プラグインと Spokes プラグインは、追加のアクションをインストールします。 [その他のアクション] メニューからドラフトアクションを追加するには、[ドラフトアクションを表示] を **true** に設定します。 ServiceNow Store で利用可能なスポークを表示するには、 [その他のアクション] メニューから [ストアスポークを表示] を **true** に設定します。 注: [スポークが未インストール] の下に、ServiceNow のバージョンとの互換性や ワークフロースタジオ のアプリケーションの依存関係に基づいて ServiceNow Store で利用可能なスポークが表示されます。
フローロジック	条件付き操作または繰り返し操作を指定するオプションを選択します。
サブフロー	公開されたサブフローを選択し、入力値を定義します。フローアクションとしてサブフローを追加することに加えて、[その他のアクション] メニューから [トリガーフローを表示] オプションを有効にして、有効になったフローを選択し、必要な入力を定義することができます。トリガーされたフローを実行すると、そのトリガー条件は無視され、すべてのアクションが実行されます。

フロー内のアクションの順序を変更するには、アクションの左側にあるハンドルを目的の場所にドラッグします。

選択したオプションに応じて、一連のフィールドが表示されます。

b. アクション、フローロジック、またはサブフローを設定するには、フィールドに入力します。

c. [完了] を選択します。

d. 完了するまでアクションの追加を繰り返します。

10. アプリでのエラー処理方法を指定するには、[エラーハンドラー **(ERROR HANDLER)]** スイッチをアクティブ化してフィールドに入力します。
フローでのエラー処理方法の構成の詳細については、「フローエラーハンドラー」を参照してください。

11. [保存] を選択します。
ServiceNow AI Platform によって、フロー、トリガー、アクションのドラフトが保存されます。

次のタスク

フローをアクティブ化する準備ができるまで、フローをテストします。フローのテストおよび編集の詳細については、「フローをアクティブ化する」を参照してください。

注:
アプリケーションは、アクティブ化されたフローのみをトリガーできます。

フローの変更

App Engine Studio (AES) でビルドしたアプリの既存のフローを更新または変更するには、編集します。

始める前に

必要なロール：sn_app_eng_studio.user または delegated_developer。詳細については、「AES を使用する開発者の委任」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

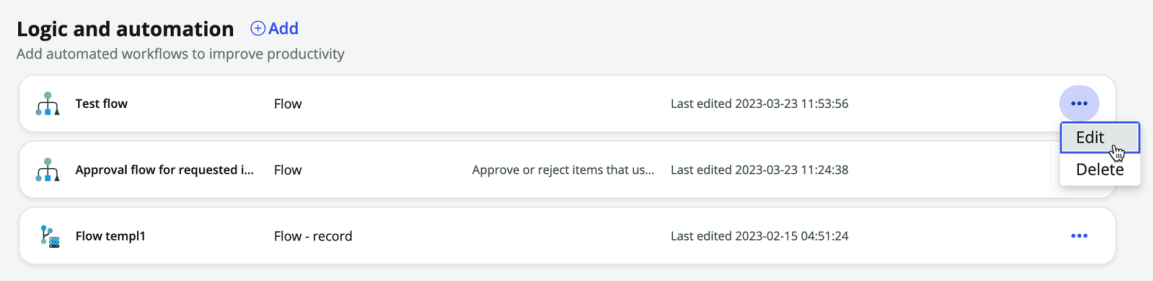
自動翻訳

アプリケーションにロジックと自動化を追加します。テンプレートを使用してアプリケーションを作成した場合は、ロジックと自動化がすでにアプリケーションに追加されている可能性があります。カスタムロジックと自動化の追加の詳細については、「ロジックと自動化の追加」を参照してください。

手順

1. 移動先 すべて > **App Engine** > **App Engine Studio**.
2. [自分のアプリ] ページからアプリケーションを開きます。
3. フローの横にあるメニューアイコン (•••) を選択し、[編集] を選択します。

フローを編集する



注:
データテーブルでのレコードの作成または更新によってフローがトリガーされる場合、そのフローはレコードベースのフローと呼ばれます。レコードベースのフローは、ロジックと自動化のリスト上に個別のアイコン ( ) で表示されます。これらのフローは、App Engine のテーブルビルダー のライセンスがあり、インストールされている場合、テーブルビルダーの [フロー] タブ内で開きます。詳細については、アカウントチームにお問い合わせください。テーブルビルダー のフロー機能の詳細については、「テーブルビルダー のフロー」を参照してください。

4. 該当する操作を実行してフローを編集します。

オプション	説明
フロー名、説明、またはロールを変更する	メインヘッダーで [プロパティ] を選択し、該当するフィールドに適切な値を入力して [更新] を選択します。
トリガーを編集するには	フローでトリガーの説明を選択し、必要に応じてフィールドに入力して [完了] を選択します。 **注:** トリガーを変更すると、参照されているアクション構成が削除される可能性があります。
既存のアクションを編集するには	フローでアクションの説明を選択し、必要に応じてフィールドに入力して [完了] を選択します。
新しいアクションを追加するには	フローで [アクション] セクションのプラスアイコンを選択し、新しいフローにアクションを追加する場合と同じように続行します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フローの編集の詳細については、「フローを編集する」を参照してください。

5. 変更を保存するには、[保存] を選択します。

次のタスク

フローをテストして、想定どおりに機能することを確認します。フローのテストの詳細については、「フローをテストする」を参照してください。

意思決定の追加

App Engine Studio (AES) で意思決定の自動化を作成します。自動化は、意思決定ルールを作成および管理できるようにすることで、意思決定ロジックをコードから切り離します。

始める前に

必要なロール：sn_app_eng_studio.user または delegated_developer。詳細については、「AES を使用する開発者の委任」を参照してください。

手順

1. 移動先 すべて > **App Engine** > **App Engine Studio**.
2. [自分のアプリ] ページからアプリケーションを開きます。
3. アプリケーションの [ロジックと自動化] セクションで [追加] を選択します。
4. [ロジックと自動化を追加] 画面で、[決定] を選択してから [開始] を選択します。
5. ディシジョンテーブルの名前とスコープを指定します。

ディシジョンテーブルフォーム

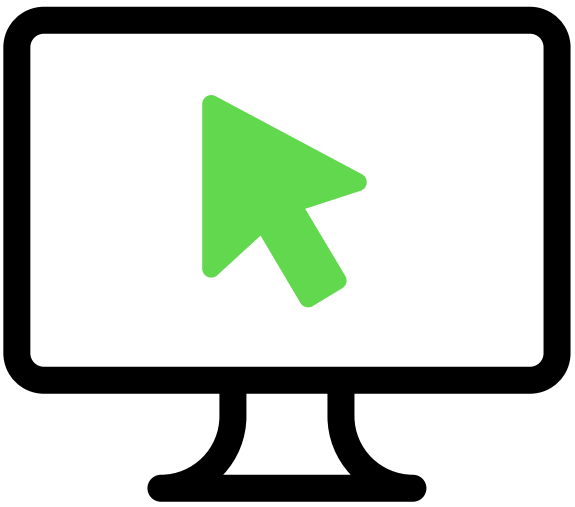
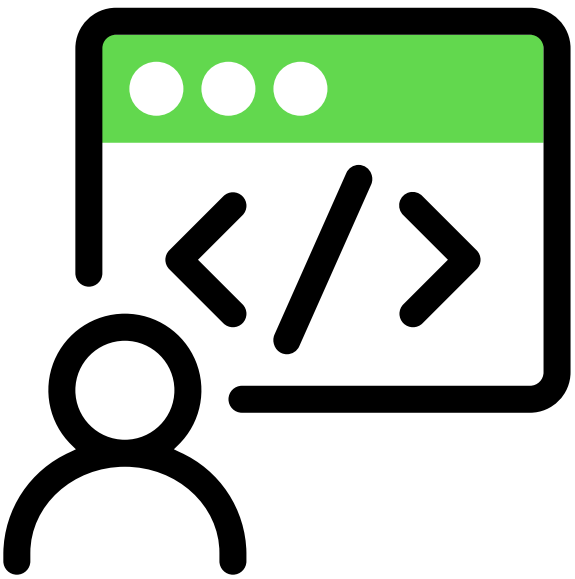
フィールド	説明
名前	ディシジョンテーブルの名前。
アクセス可能	ディシジョンテーブルを使用できるスコープ。 可能な値： ○ すべてのアプリケーションスコープ ○ このアプリケーションスコープのみ

6. [完了] を選択します。

次のタスク

ディシジョンテーブルを作成したら、それを編集して入力とトリガーを指定する必要があります。意思決定テーブルの編集に関する詳細については、「Modify decision table structure in Workflow Studio」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

AES での意思決定に関する詳細	追加の ServiceNow リソース
ServiceNow は、App Engine Studio で意思決定を追加するための追加リソースを提供しています。	 ディシジョンビルダー YouTube ビデオを開始する  初めての App Engine Studio アプリケーションのビルド

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

AES での意思決定に関する詳細	追加の ServiceNow リソース
	 ServiceNow ユニバーシティ の概要 App Engine Studio オンデマンドコース

決定の編集

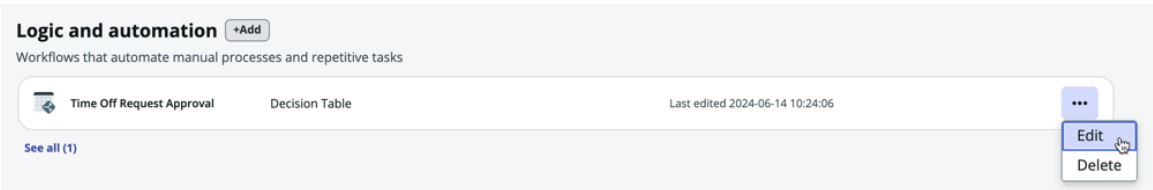
App Engine Studio (AES) でビルドしたアプリの既存の意思決定を更新または変更するには、ワークフロースタジオ で編集します。

始める前に
アプリケーションにロジックと自動化を追加します。テンプレートを使用してアプリケーションを作成した場合は、ロジックと自動化がすでにアプリケーションに追加されている可能性があります。カスタムロジックと自動化の追加の詳細については、「ロジックと自動化の追加」を参照してください。

必要なロール：sn_app_eng_studio.user または delegated_developer。詳細については、「AES を使用する開発者の委任」を参照してください。

手順

1. 移動先 すべて > **App Engine** > **App Engine Studio**.
2. [自分のアプリ] ページからアプリケーションを開きます。
3. 意思決定の横にあるメニューアイコン (•••) を選択し、[編集] を選択します。



4. 該当するアクションを実行して、意思決定を編集します。
   意思決定テーブルの編集に関する詳細については、「Modify decision table structure in Workflow Studio」を参照してください。
5. 変更を保存するには、[保存] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

メール通知の追加

App Engine Studio (AES) の通知の作成は、テンプレートまたはカスタムメッセージを使用してイベントの自動メール通知を作成します。

始める前に

アプリケーションのアドミニストレーターまたは開発者は、このタスクを実行できます。必要な開発者権限は、[すべてのファイルタイプ] です。アプリケーションの開発者であることの詳細については、「Delegated development in App Engine Studio (App Engine Studio の委託開発)」を参照してください。

必要なロール：admin または delegated_developer

このタスクについて

メール通知を使用すると、インシデントの更新や変更要求など、システム内の特定のアクティビティについて、選択したユーザーにメールを送信できるようになります。

注:
現在、他のタイプ (SMS メッセージなど) の自動通知を作成することはできません。

メール通知を作成するときに、送信時期、受信者、内容を指定できます。

アドミニストレーターが ServiceNow AI Platform でメールテンプレートを作成してある場合は、それをそのまま使用することも、内容を上書きすることもできます。メールテンプレートの詳細については、「メールテンプレート」を参照してください。また、アドミニストレーターに問い合わせて、ヘッダー、本文、フッターを制御するためにメールレイアウトを使用しているかどうかを確認してください。メールレイアウトの詳細については、「 Email layouts」を参照してください。

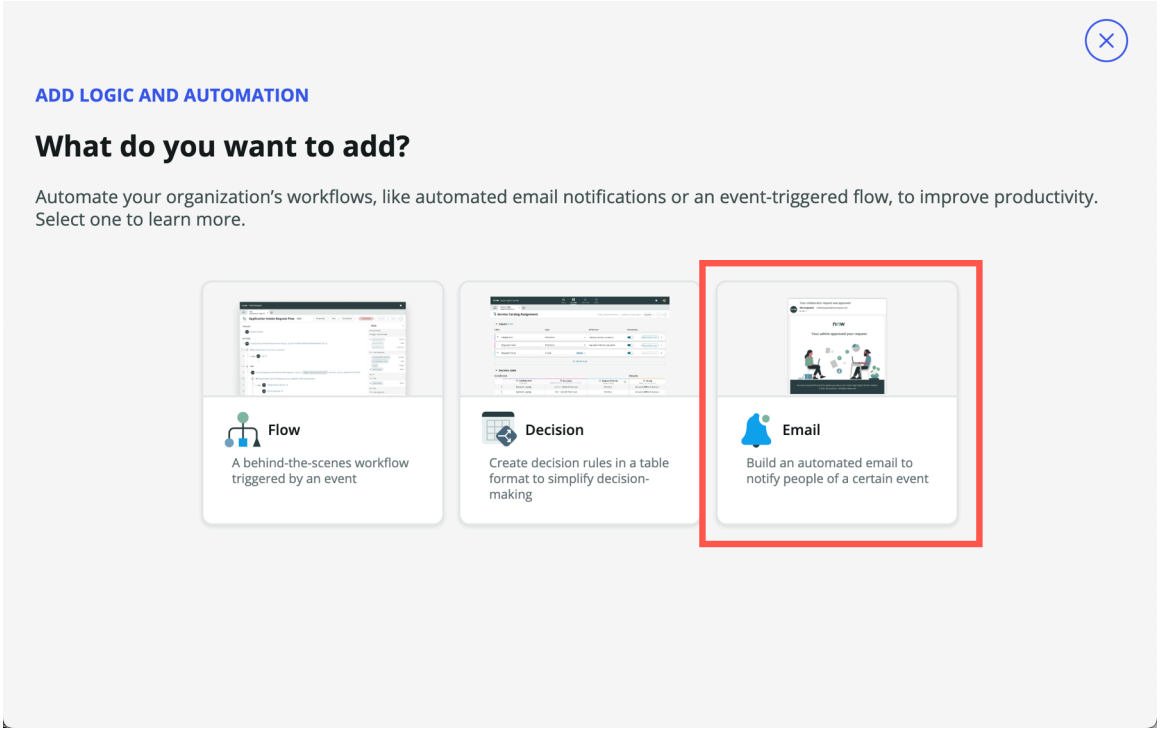
手順

1. 移動先 すべて > **App Engine** > **App Engine Studio**.
2. [自分のアプリ] ページからアプリケーションを開きます。
3. アプリケーションの [ロジックと自動化] セクションで [追加] を選択します。
4. [メール] のカードを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

メール通知の追加



5. フォームで、基本設定のフィールドに入力します。

通知フォームの基本設定の追加

フィールド	説明
名前	メール通知の名前。記述的な名前はメール通知の目的を特定するのに役立ちます。たとえば、「Incident Opened & Unassigned (未アサインのオープンインシデント)」などです。
簡単な説明	通知の目的の簡単な説明。

6. フォームの [通知トリガー設定] セクションで、フィールドに入力します。

通知フォームの [通知トリガー設定] の追加

フィールド	説明
メール通知の送信	通知が送信される状況 (何かが発生した後やテーブルが変更された場合など) です。選択肢は次のとおりです。 ○ レコードが作成または更新されたとき ○ レコードが作成された場合のみ ○ レコードが更新された場合のみ ○ フローアクションを介してトリガーされたとき ○ イベントが発生したとき

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	このフィールドは自動的に [レコードが作成または更新されたとき] に設定されます。 フローアクション をトリガーとしてメール通知を作成した後、ワークフロースタジオ でフローを作成するときにその通知を指定します。詳細については、「「通知」ステップ 」を参照してください。
テーブル	通知トリガーのリンク先のレコードをホストするデータベーステーブル。たとえば、インシデント [incident] テーブルです。 [メール通知の送信] フィールドを次のいずれかの値に設定する場合は、テーブルが必要です。 ○ レコードが作成または更新されたとき ○ レコードが作成された場合のみ ○ レコードが更新された場合のみ アプリで既に利用可能なテーブルと、アプリスコープ外のすべてのテーブルの 2 つのセクションから選択できます。
イベント名	通知をトリガーするイベント。このフィールドは、[メール通知の送信] フィールドで [イベントが発生した場合] を選択した場合にのみ表示されます。

同じトリガーが複数の通知を生成する場合、通知は 1 つだけ送信されます。他のすべての通知は、件名と本文が異なる場合でもシステムで重複しているとみなされます。「重複を無視する」のビジネス ルールで、この機能を制御します。

7. 条件ビルダーを使用してトリガーを条件付きにします。

   通知トリガーで満たす必要がある条件セットと値を定義します。詳細については、「条件ビルダー」を参照してください。

   > **注:**
   > 通知トリガーがフローアクションであることを指定した場合、条件ビルダーは使用できません。

8. フォームの [受信者] セクションで、通知の受信者を指定します。

   以下のことを行うことができます。

   ○ ユーザーとグループの検索。

   ○ [追加] を選択して動的受信者を定義します。その場合は通知トリガーの詳細でテーブルを指定する必要があります。

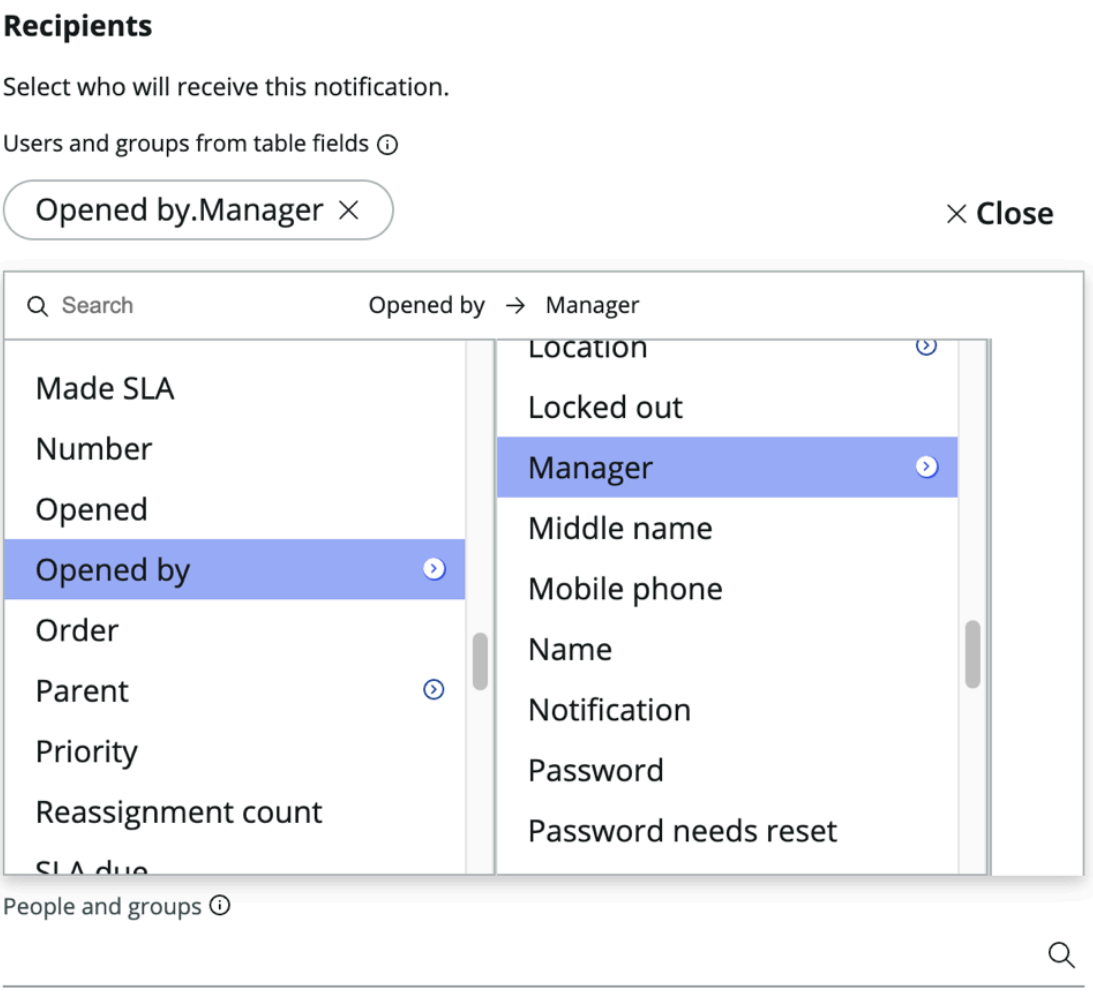
   通知フォームの [受信者設定] の追加

フィールド	説明
テーブルフィールドからのユーザーとグループ (Users and groups from table fields)	テーブルに基づいてメールを受信する動的なユーザーとグループ。たとえば、通知でインシ

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明
	デント [incident] テーブルが使用されている場合は、[開始者] フィールドを選択すると、インシデントを開始したユーザーまたはグループに通知を送信できます。一部のフィールドでは、次のような参照フィールドに含まれる値を選択することもできます 作成者 > マネージャー. [追加] ボタンを選択して、指定したテーブルのフィールドに基づいて動的なユーザーとグループを検索します。 **注:** テーブルを指定しない場合、[追加] ボタンは使用できません。
人とグループ (People and groups)	メール通知を受信するユーザーとグループの静的アドレス。ユーザーとグループを検索することもできます。



9. フォームの [メールコンテンツ] セクションで、テンプレートを選択するか、独自のコンテンツを記述します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

通知フォームの [メールコンテンツ設定 **(Email content settings)]** の追加

フィールド	説明
メールテンプレート	既存のコンテンツを適用するために使用できる事前定義されたメールテンプレートで、上書きもできます。次の条件に該当するテンプレートのみを選択できます。 ○ 通知と同じテーブル ○ テーブルが指定されていない テンプレートを使用して上書きしない場合、アドミニストレーターがそのテンプレートを更新すると、それを使用したメール通知の内容も自動的に更新されます。
テンプレートを上書き	選択したメールテンプレートの内容を上書きするオプション。 メールテンプレートを使用する場合、そのテンプレートに含まれる画像は、それを上書きするかどうかにかかわらず引き続きテンプレートに属します。アドミニストレーターがテンプレートを更新すると、通知に含まれる画像も自動的に更新されます。 メールテンプレートを上書きして選択したテンプレートを変更すると、上書きが削除され、新しいテンプレートのコンテンツに置き換えられます。
件名	メールの件名。 件名を動的にするには、[メールメッセージ] の横にある [メール変数] フィールドを使用してメッセージ本文に変数構文を生成します。次に、変数構文をコピーして件名に貼り付けます。 空の場合は、[メール テンプレート] の [件名] の値が使用されます。このフィールドに値を入力すると、テンプレートが上書きされます。
メールメッセージ	メール通知メッセージの内容で、変数を含めることができます。 リッチテキストエディターのアイコンを使用して、メールメッセージの内容を書式設定できます。 空の場合は、[メール テンプレート] の [メッセージ **(Message)]** の値が使用されます。このフィールドに値を入力すると、入力値でテンプレートの値が上書きされます。

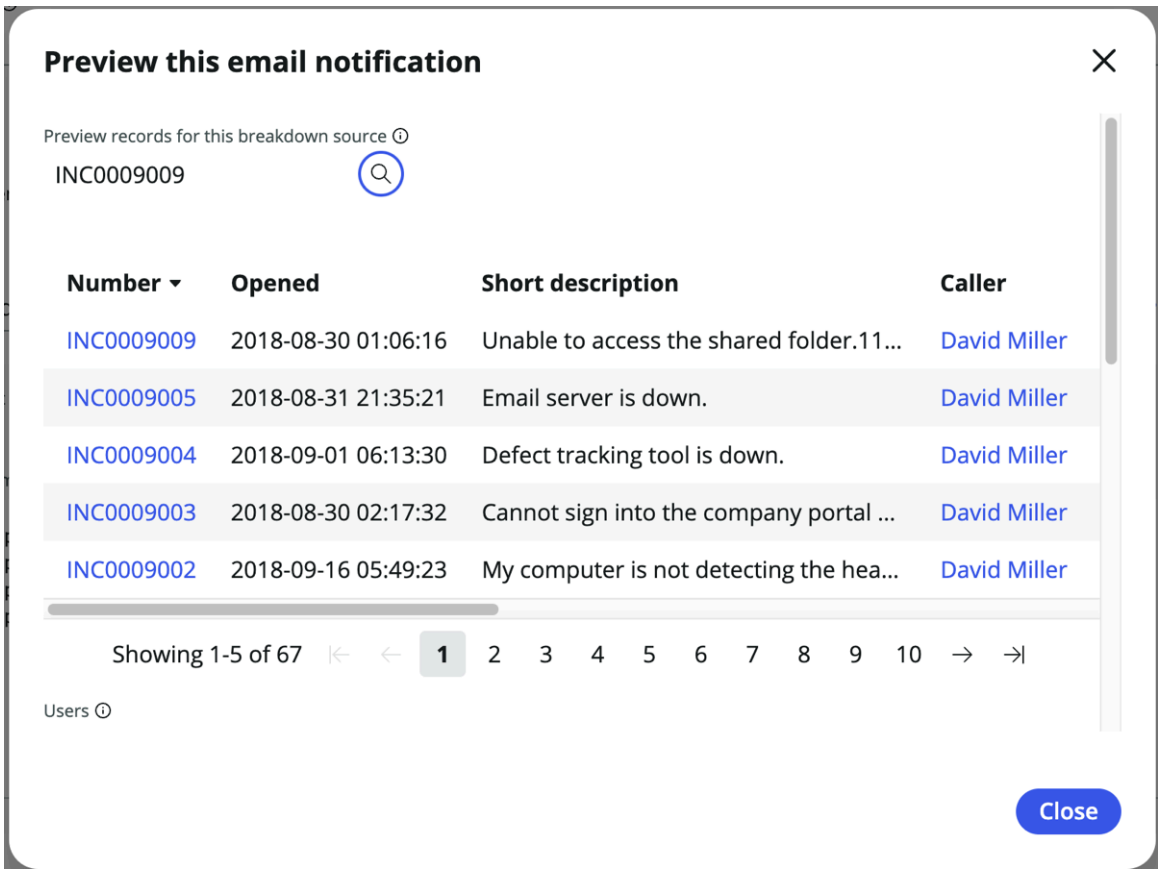
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
変数を追加	指定されたテーブルのフィールドから派生した動的変数または値。 **注:** [変数を追加] ボタンを表示するには、テーブルを指定する必要があります。 [メール変数] フィールドで変数を選択し、矢印を使用してそれらを [メールメッセージ] に移動します。 変数を使用して、インシデントの短い説明やコメント、作業メモなど、テーブルのレコードの値を含めることができます。変数は、指定されたテーブルの利用可能なフィールドです。

10. [作成] を選択します。
    通知が保存され、プレビューできます。
11. [プレビュー] を選択して、メール通知がどのように表示されるかを確認します。

    表示されるプレビューを確認します。通知がどのように表示されるかを確認するには、プレビューで検索アイコンを選択し、プレビューするレコードを選択します。



タスクの結果
AES で通知を作成すると、その通知は現在ビルドしているアプリケーションにのみ保存されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

メール通知の変更

App Engine Studio (AES) でアプリ用に作成されたメール通知を編集して変更します。たとえば、メール通知を送信するタイミング、受信者、内容を変更します。

始める前に

アプリケーションのアドミニストレーターまたは開発者は、このタスクを実行できます。必要な開発者権限は、[すべてのファイルタイプ] です。アプリケーションの開発者であることの詳細については、「Delegated development in App Engine Studio (App Engine Studio の委託開発)」を参照してください。

必要なロール：admin または delegated_developer

手順

1. 移動先 すべて > **App Engine** > **App Engine Studio**.
2. [自分のアプリ] ページからアプリケーションを開きます。
3. 通知の横にあるメニューアイコン (•••) を選択し、[編集] を選択します。
4. 適切なアクションを実行して通知を編集します。
   通知フィールドの操作の詳細については、「メール通知の追加」を参照してください。
5. 使用しているテンプレートを変更します。

   a. [メールテンプレート] フィールドから別のテンプレートを選択します。

      メールテンプレートを上書きして選択したテンプレートを変更すると、上書きが削除され、新しいテンプレートのコンテンツに置き換えられます。

   b. 表示されるダイアログボックスで [変更テンプレート] を選択して、以前のテンプレートを上書きして行った変更がなくなることを確認します。

6. 変更を保存するには、[保存] を選択します。

プロセスを編集する

App Engine Studio (AES) でビルドしたアプリの既存のプロセスを更新または変更するには、プレイブック で編集します。

始める前に

プロセスを編集する前に、プレイブック にプロセスを追加する必要があります。詳細については、「プロセス定義の作成」を参照してください。

App Engine Studio でプロセスを編集できますが、開始するには、App Engine Studio の プレイブック を有効にし、**APP** エンジンのプロセスオートメーションデザイナー **[com.glide.pad.license]** プラグインを有効にする必要があります。 詳細については、「Activate playbooks」を参照してください。

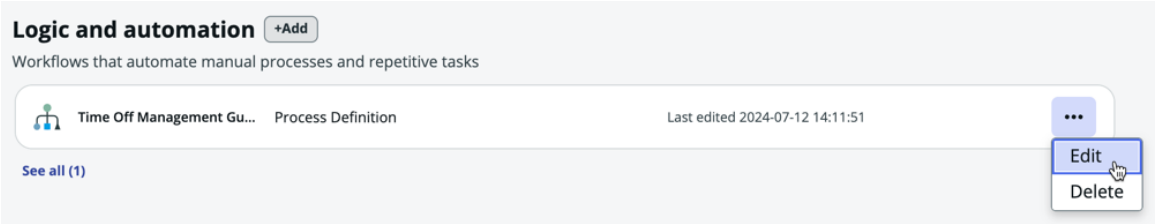
必要なロール：sn_app_eng_studio.user または delegated_developer。詳細については、「AES を使用する開発者の委任」を参照してください。

手順

1. 移動先 すべて > **App Engine** > **App Engine Studio**.
2. [自分のアプリ] ページからアプリケーションを開きます。
3. プロセスの横にある [メニュー] アイコン (•••) を選択し、[編集] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



4. 該当するアクションを実行して、プロセスを編集します。
5. 変更を保存するには、[保存] を選択します。

次のタスク
プロセスをテストして、想定どおりに機能することを確認します。プロセスのテストの詳細については、「プロセスをテストする」を参照してください。

アプリケーションセキュリティの追加

App Engine Studio (AES) でロールを設定して、アプリケーションの使用または編集を許可するユーザーを制御します。

App Engine Studio、UI ビルダー、カタログビルダーでのセキュリティの追加

ロールの操作

ロールを定義することで、アプリケーションにセキュリティを追加します。ロールは、アプリケーションへのアクセスを制限および制御するために使用されます。ロールに対して定義したアクセス権は、そのロールにアサインされるすべてのユーザーに付与されます。

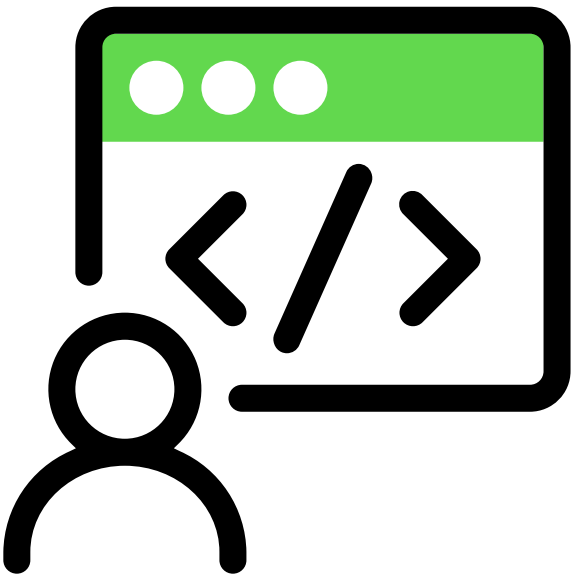
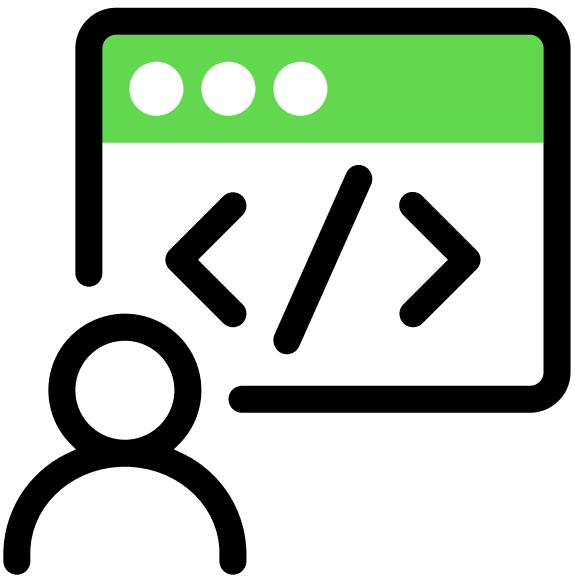
> **注:**
> アプリのロールを操作する権限がない場合は、[セキュリティ] セクションの [追加] ボタンが表示されますが、選択することはできません。

アドミニストレーターは、ロールが許可する作業の種類に基づいて、適切なユーザーにロールをアサインします。たとえば、マネージャーが従業員の要求を読み取って承認できるようにするには、アドミニストレーターが、関連するテーブルのレコードを読み取って更新するためのアクセス権を持つロールをアサインします。このロールには、マネージャーが要求を表示するポータルまたはワークスペースへのアクセス権も必要です。

アプリケーションテンプレートは、自動的にアプリケーションにセキュリティを追加します。テンプレートを使用してアプリケーションを作成する場合は、追加されたロールを編集したり、さまざまなロールを追加したりすることができます。

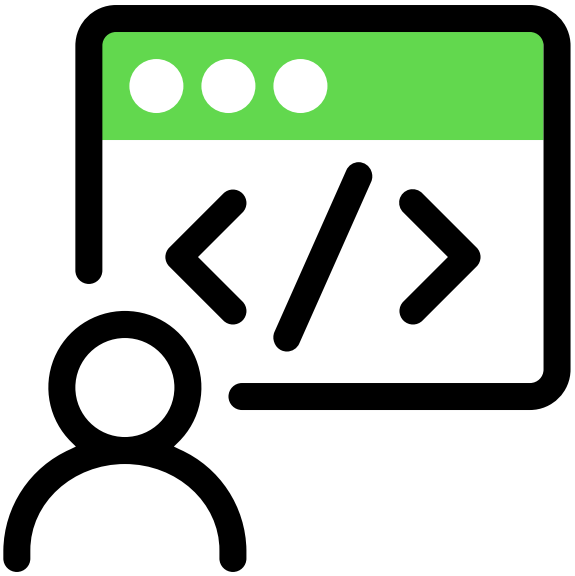
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

AES のロールとセキュリティの詳細	追加の ServiceNow リソース
App Engine Studio には、アプリケーションに使用できるデフォルトのロールが含まれています。 または、アプリケーションのカスタムロールをビルドすることもできます。 ユーザーがアプリケーションを送信した後に、アドミニストレーターが、定義されたロールをアサインすることで要求元のチームをオンボーディングします。	 セキュリティとは- ServiceNow 開発者サイト  セキュリティとロール - ServiceNow 開発者サイト

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

AES のロールとセキュリティの詳細	追加の ServiceNow リソース
	 特権の昇格 - ServiceNow 開発者サイト

アプリケーションの新しいロールのビルド

App Engine Studio (AES) で、アプリケーションのカスタムロールを作成します。

始める前に
必要なロール：admin、security admin、または delegated_developer ([セキュリティ管理] 権限を含む)

注:
アドミンの場合は、必ず自分のロールを昇格してください。

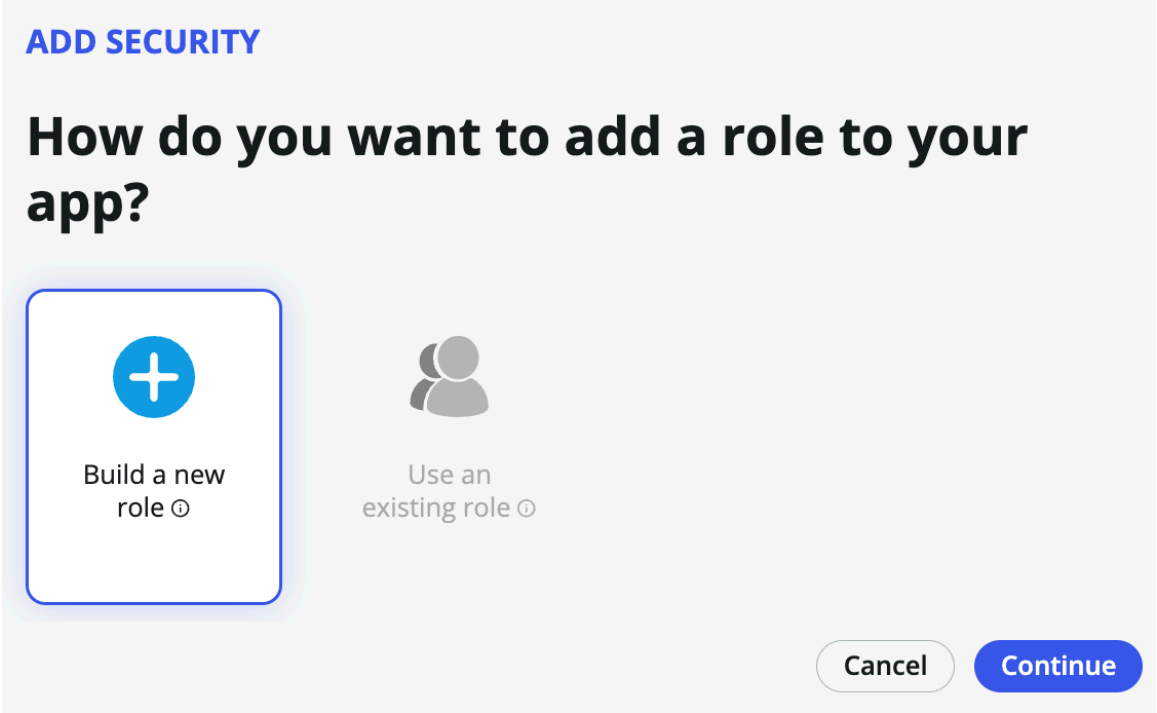
手順

1. 移動先 すべて > **App Engine** > **App Engine Studio**.
2. [自分のアプリ] ページからアプリケーションを開きます。
3. アプリケーションで、[セキュリティ (Security)] の横にある追加アイコン (⊕) をクリックします。
4. [新しいロールをビルドします] を選択し、[続行] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

新しいロールをビルドするオプション



5. ロールの名前と説明を入力し、[続行]を選択します。

   ヒント:
   既存のロール名との一貫性を保つために、ロール名はすべて小文字でスペースの代わりにアンダースコアを使用してください。たとえば、オフィスのアート要求者ロールの場合は、「office_art_requester」と入力します。

6. アプリケーションのテーブルごとに、このロールのアクセス制御を 1 つ以上選択します。

   作成
   このロールを持つユーザーは、データテーブルに新しいレコードを作成できます。

   読み取り
   このロールを持つユーザーは、テーブルに格納されているデータを読み込むことができます。

   書き込み
   このロールを持つユーザーは、テーブルの既存のレコードを更新できます。

   削除
   このロールを持つユーザーは、テーブルのレコードを削除できます。

7. [エクスペリエンス] タブを選択し、このロールを持つユーザーがアクセスできるエクスペリエンスを選択します。
8. [続行] を選択し、[サマリー (summary)] 画面で [完了] を選択します。

アプリケーションに対する既存のロールの使用

App Engine Studio (AES) で、以前に作成したロールをアプリケーションに使用します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
既存のロールを追加するには、アプリケーションにデータまたはエクスペリエンスのいずれかが含まれている必要があります。アプリケーションにデータまたはエクスペリエンスを追加する方法の詳細については、次のガイダンスを参照してください。

- アプリケーションのデータモデルの作成
- アプリケーションエクスペリエンスの追加

必要なロール：admin、sn_app_eng_studio.user、または delegated_developer

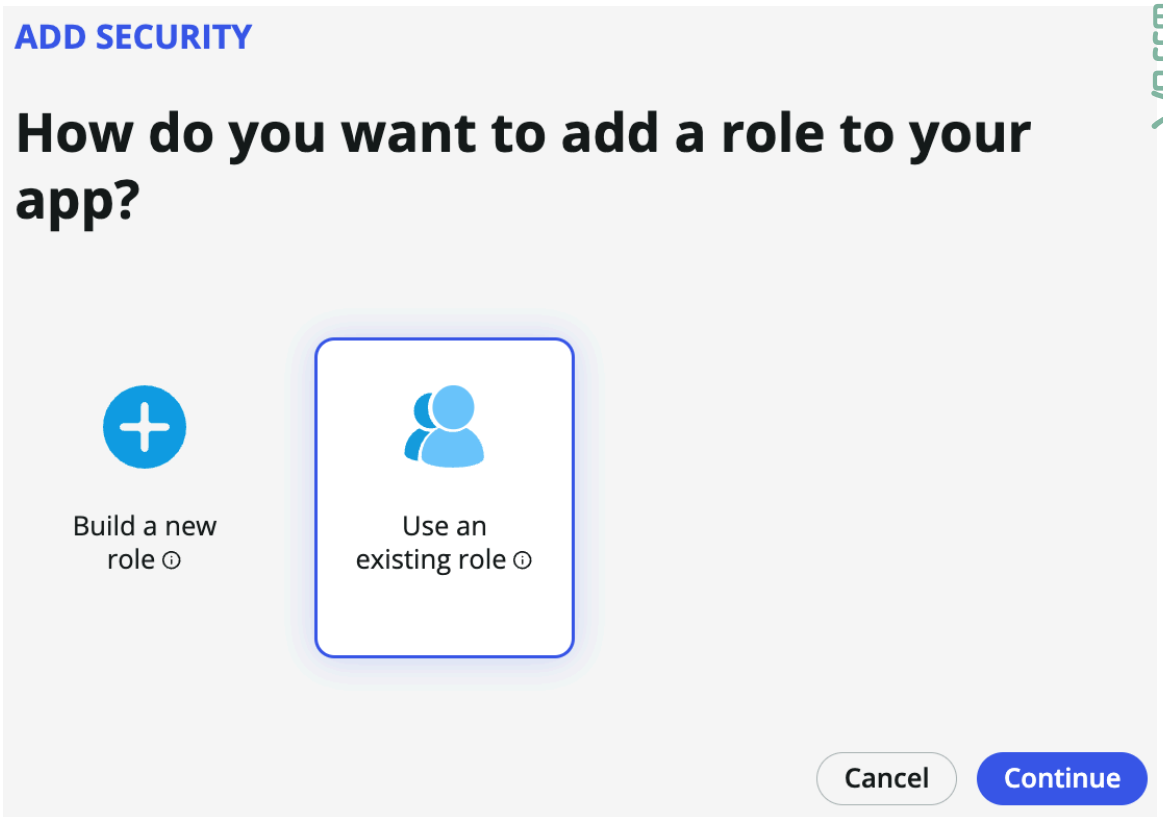
このタスクについて
App Engine Studio には、アプリケーションに使用できるデフォルトのロールが含まれています。デフォルトのロールに関する詳細については、「Base system roles」を参照してください。

手順

1. 移動先 すべて > **App Engine** > **App Engine Studio**.
2. [自分のアプリ] ページからアプリケーションを開きます。
3. アプリケーションで、[セキュリティ (Security)] の横にある追加アイコン ( ) をクリックします。
4. [既存のロールを使用します] を選択し、[続行] を選択します。

> **重要:**
> アプリケーションにデータまたはエクスペリエンスが含まれていない場合は、[既存のロールを使用] オプションが表示されますが、選択することはできません。

既存のロールを使用するためのオプション



5. 検索フィールドを選択し、リストからロールを選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

6. [編集] を選択します。
既存のロールのアクセス制御を設定するための新しいタブが開きます。
7. [エクスペリエンス] セクションで、このロールを持つユーザーがアクセスできるエクスペリエンスを選択します。
8. [データ] セクションで、利用可能な各テーブルのアクセス制御を設定します。

   作成
   このロールを持つユーザーは、データテーブルに新しいレコードを作成できます。

   読み取り
   このロールを持つユーザーは、テーブルに格納されているデータを読み込むことができます。

   書き込み
   このロールを持つユーザーは、テーブルの既存のレコードを更新できます。

   削除
   このロールを持つユーザーは、テーブルのレコードを削除できます。

9. [保存] を選択します。

ロールのアクセス設定の変更

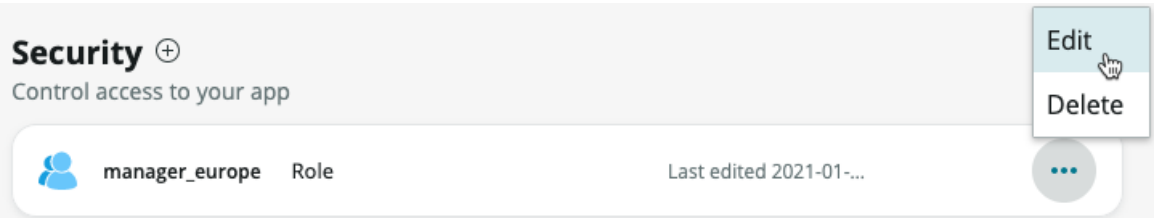
App Engine Studio (AES) でロールのアプリケーション権限を制御します。

始める前に
必要なロール：admin、sn_app_eng_studio.user、または delegated_developer

手順

1. 移動先 すべて > **App Engine** > **App Engine Studio**.
2. [自分のアプリ] ページからアプリケーションを開きます。
3. ロールの横にあるメニューアイコン (•••) を選択し、[編集] を選択します。

   ロールの編集



   ロールを編集するための新しいタブが開きます。
4. [エクスペリエンス] セクションで、このロールを持つユーザーがアクセスできるエクスペリエンスを選択します。
5. [データ] セクションで、利用可能な各テーブルのアクセス制御を設定します。

   作成
   このロールを持つユーザーは、データテーブルに新しいレコードを作成できます。

   読み取り
   このロールを持つユーザーは、テーブルに格納されているデータを読み込むことができます。

   書き込み

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このロールを持つユーザーは、テーブルの既存のレコードを更新できます。

削除

このロールを持つユーザーは、テーブルのレコードを削除できます。

6. [保存] を選択します。

ロールの削除

App Engine Studio (AES) で不要になったロールを削除します。

始める前に
必要なロール：admin、sn_app_eng_studio.user、または delegated_developer

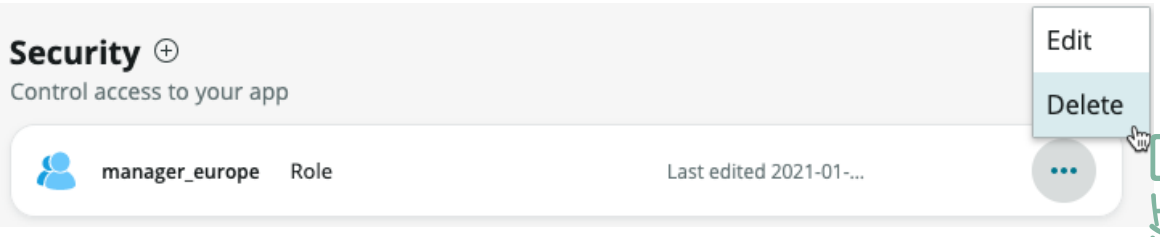
手順

1. 移動先 すべて > **App Engine** > **App Engine Studio**.

2. [自分のアプリ] ページからアプリケーションを開きます。

3. ロールの横にあるメニューアイコン (•••) を選択し、[削除] を選択します。

ロールの削除



4. 表示されるダイアログボックスで、「delete」と入力し、[削除] を選択します。

他の開発者とのコラボレーション

App Engine Studio (AES) では、アプリケーションについて協力者になるユーザーやグループを追加または削除できます。

ユーザーは、コラボレーション機能のアクションについてさまざまなレベルの権限を持ちます。高レベル：

次の権限を持つユーザーは	次のアクションを実行できます
アプリケーションについての協力者の委託開発の管理の権限	可能な操作： • 協力者とその記述子のリストの表示 • ユーザーとグループの検索 • ユーザーまたはグループのコラボレーション記述子の選択または変更 (ただし、ユーザーはカスタマイズされたユーザーまたはグループを変更できず) • 招待の送信による協力者の追加 • ユーザーまたはグループの削除 (ただし、ユーザーはカスタマイズされたユーザーまたはグループを削除できず)

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次の権限を持つユーザーは	次のアクションを実行できます
	不可能な操作： • ユーザーまたはグループの権限のカスタマイズ • 更新セットを介した展開
アプリケーションについての協力者の委託開発への招待の権限	可能な操作： • 協力者とその記述子のリストの表示 • ユーザーとグループの検索 • 招待の送信による協力者の追加 不可能な操作： • ユーザーまたはグループのコラボレーション記述子の選択または変更 • ユーザーまたはグループの削除 • ユーザーまたはグループの権限のカスタマイズ
アプリケーションに対する協力者関連のロールがない	協力者とその記述子の読み取り専用リストを表示できます。 不可能な操作： • ユーザーとグループの検索 • ユーザーまたはグループのコラボレーション記述子の選択または変更 • 招待の送信による協力者の追加 • ユーザーまたはグループの削除 • ユーザーまたはグループの権限のカスタマイズ
アドミニストレーター	コラボレーション機能を使用するには、アドミニストレーターが security_admin ロールに昇格する必要があります。詳細については、「Elevated privilege roles」を参照してください。 アドミニストレーターは、以下の操作を実行できます。 • 協力者とその記述子のリストの表示 • グループのメンバーの表示/非表示 • ユーザーとグループの検索 • ユーザーまたはグループのコラボレーション記述子の選択または変更 (カスタマイズされたユーザーまたはグループの変更、および所有者の変更を含む) • 招待の送信による協力者の追加

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次の権限を持つユーザーは	次のアクションを実行できます
	• ユーザーまたはグループの削除 (カスタマイズされたユーザーおよびグループの削除、および所有者が 1 人のみの場合の所有者の削除を含む) • ユーザーまたはグループの権限のカスタマイズ

注:
グローバルスコープの [オーナー] と [エディター] 以外に、コラボレーション記述子を作成する必要があります。AES でコラボレーション記述子を表示して使用する場合は、その記述子を standard = TRUE に設定する必要があります。AES はカスタムスコープで作成されたコラボレーション記述子をサポートしないため、非標準のコラボレーション記述子は AES でレンダリングされません。

ユーザーまたはグループを追加すると、コラボレーションタスクが生成され、承認フローが開始されます。すべてのコラボレーションタスクを検索するには、次に移動します: すべて > **App Engine** > コラボレーション > コラボレーションタスク. コラボレーションタスクは、開発者がどのアプリケーションに追加され、どの権限が付与されるかについての情報を提供します。承認者は、開発者をアプリケーションに追加する前に、これらのタスクレコードを確認しなければならない場合があります。

アドミンは、コラボレーション要求フローを変更できます。ベースシステムのコラボレーション要求フローは、次のようにコラボレーション要求を処理します。

- ユーザーが AES または委任開発者権限を持ち、そのプラットフォームを以前に使用したことがある場合、コラボレーション要求承認レコードは自動承認されます。
- ユーザーが AES または委任開発者権限を持たず、そのプラットフォームを初めて使用する場合は、承認が必要です。

アドミニストレーターは、開発者が委託開発権限をアサインするために使用するコラボレーション記述子を変更できます。ベーステーブルには、所有者と編集者のコラボレーション記述子があります。デフォルトでは、所有者には「協力者の委託開発の管理」権限が設定され、編集者には「協力者の委託開発への招待」権限が設定されています。

注:
ソースコントロールを使用して他の開発者と共同作業している場合、他の開発者はチェックインされた変更のみを使用できます。たとえば、アドミニストレーターが Git にリンクされているアプリの新しいフローを作成した場合、アドミニストレーターがフローを Git にチェックインするまで、他の AES ユーザーは新しいフローをアプリで使用できません。

ユーザーまたはグループのコラボレーションへの追加

コラボレーション機能を使用して、App Engine Studio (AES) で他の開発者と共同作業する権限をユーザーまたはグループに付与します。

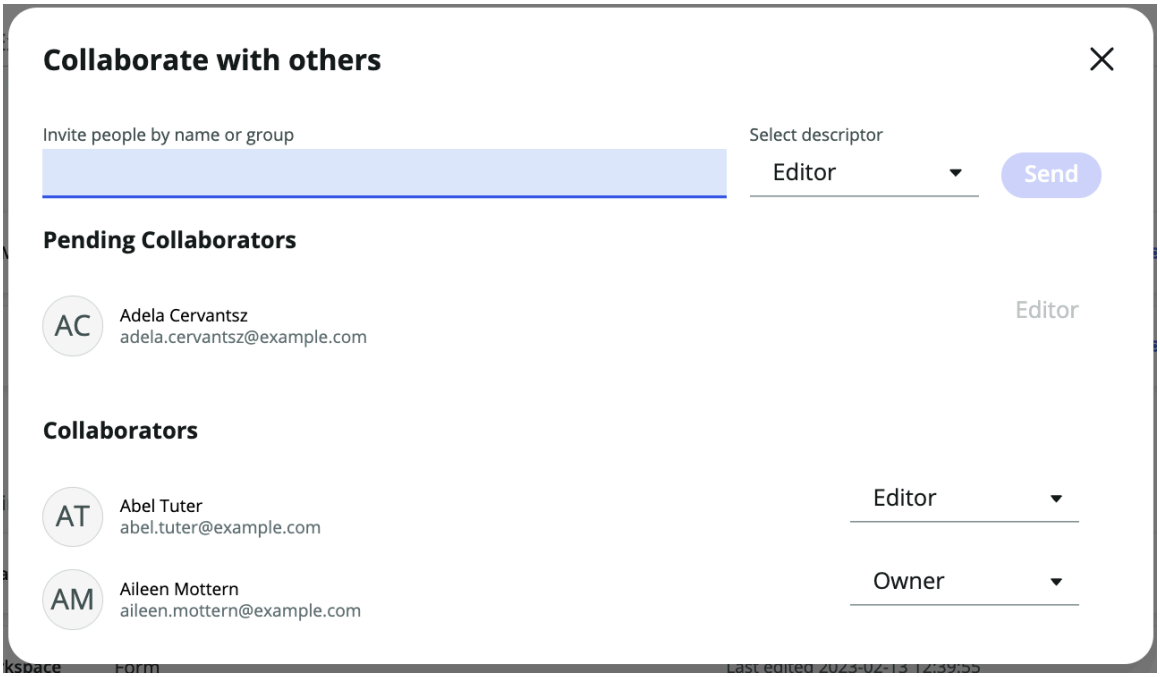
始める前に
必要なロール：admin、協力者の委任開発の管理ロール、または協力者の委任開発への招待ロール

手順

1. 移動先 すべて > **App Engine** > **App Engine Studio**.
2. [自分のアプリ] ページからアプリケーションを開きます。
3. [協力者の管理] ボタンを選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

他のユーザーとのコラボレーション



4. 別のユーザーまたはグループを協力者として追加するには、[名前またはグループでユーザーを招待] フィールドにユーザー名またはグループ名を入力します。
5. 名前の最初の数文字を入力して、特定のユーザーまたはグループを検索します。
一致するユーザー名とグループのドロップダウンリストが表示され、追加するユーザーまたはグループを選択できます。ドロップダウンリストに表示されているユーザーまたはグループを選択できない場合は、既に協力者として追加されており、再度選択することはできません。
6. 追加するユーザーまたはグループのコラボレーション記述子を選択します。
コラボレーション権限のリストについては、「委託開発およびコラボレーション権限」を参照してください。

   注:
   [協力者を招待] 権限を持つユーザーはこれを行うことができず、デフォルトで [エディター] オプションが使用されます。

   グローバルスコープで定義され、標準オプションが選択されているアプリコラボレーション記述子のみがリストに表示されます。

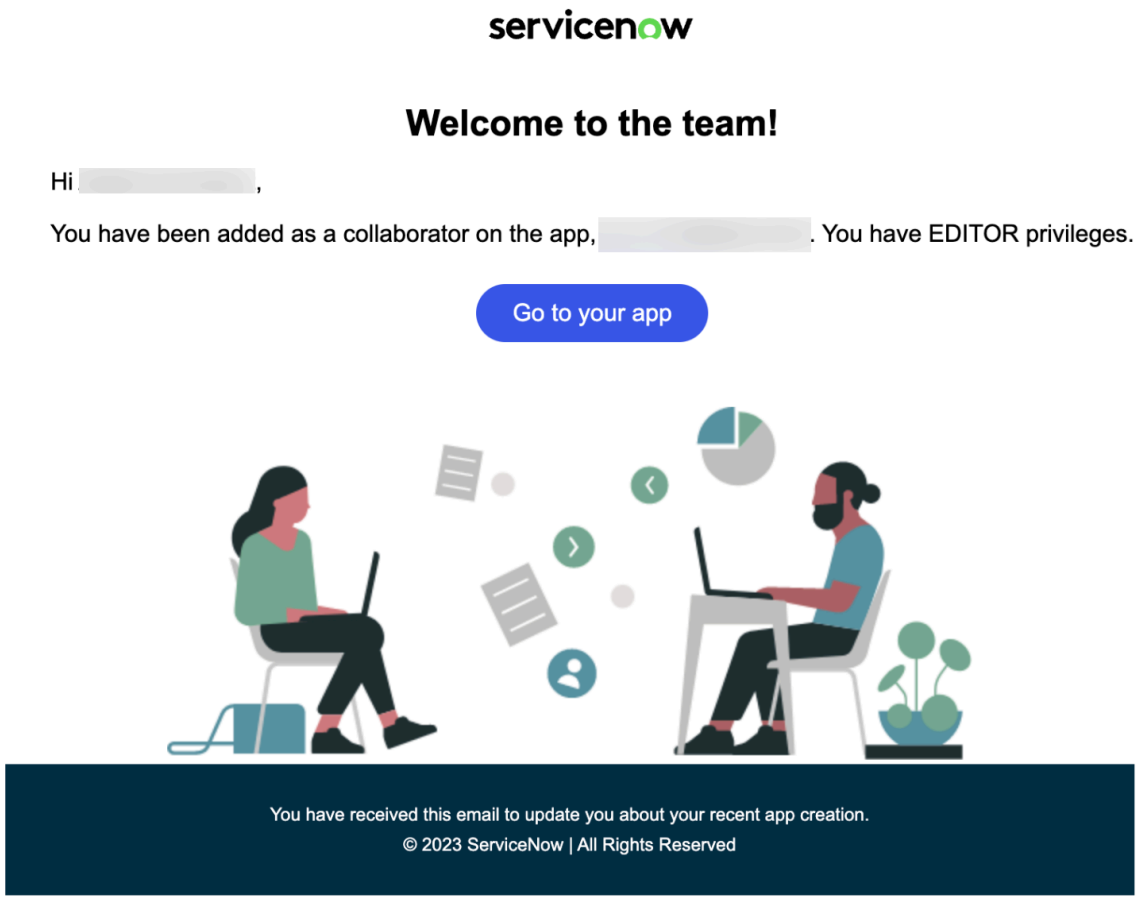
7. [送信] を選択します。

   - ユーザーが AES または委任開発者権限を持ち、そのプラットフォームを初めて使用する場合、そのユーザーは [要求処理待ち] セクションにリストされ、承認が必要になります。要求が承認されると、要求者とユーザーの両方

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

に、ユーザーがアプリケーションに追加されたことを示すメールが送信されま



す。

- ユーザーが AES または委任開発者権限を持ち、そのプラットフォームを以前に使用したことがある場合、コラボレーション要求は自動承認されます。要求者とユーザーの両方に、ユーザーがアプリケーションに追加されたことを示すメールが送信されます。

> **注:**
> コラボレーション要求の作成元のインスタンスで有効なコントローラーが構成されている場合、そのコントローラーインスタンスにコラボレーション要求タスクが作成されます。作成元のインスタンスがコントローラーで構成されていない場合、承認が付与される前にインスタンスを構成する必要があることを示す作業メモが、要求レコードに自動的に追加されます。作成元インスタンスがコントローラーであるか、有効なコントローラーが構成されていない場合、コラボレーション要求タスクは要求インスタンスに作成されます。詳細については、「コントローラーインスタンスの構成」を参照してください。

協力者の権限の変更

協力者に割り当てられている権限を変更するか、カスタムコラボレーション権限を作成して、App Engine Studio (AES) でユーザーができることを有効にします。

始める前に

必要なロール：admin または協力者の委任開発の管理ロール

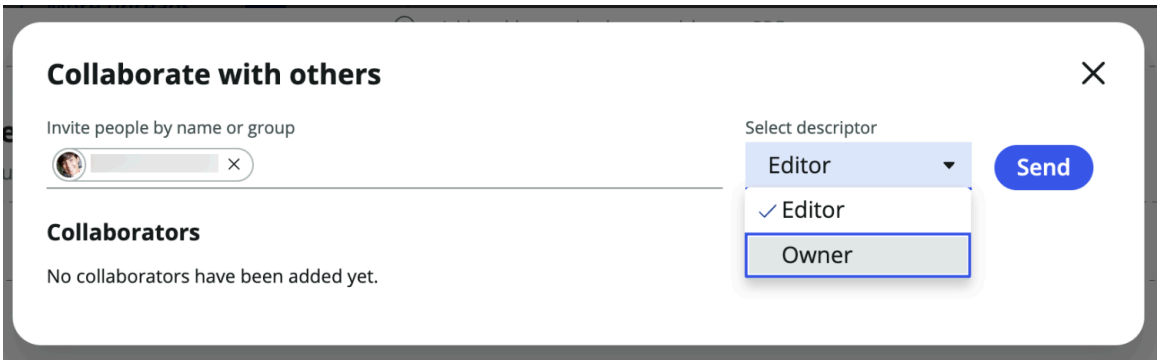
手順

1. 移動先 すべて > **App Engine** > **App Engine Studio**.
2. [自分のアプリ] ページからアプリケーションを開きます。
3. [協力者の管理] ボタンを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

4. 変更するユーザーまたはグループについて、ドロップダウンリストから別の協力者記述子を選択します。



カスタマイズされたユーザーとグループは、アドミン以外は編集できません。

5. アドミンのみ：アプリケーションの特定のユーザーに対してカスタム コラボレーション権限を作成します。

   a. AES で、ユーザーの名前の横にあるドロップダウンリストから [権限をカスタマイズ] を選択します。

   b. ユーザーまたはグループの委任開発の権限を選択またはクリアします。
   コラボレーション権限のリストについては、「委託開発およびコラボレーション権限」を参照してください。

   別の標準的なコラボレーション記述子の選択と一致する選択をした場合は、続行する前にプロンプトが表示されます。各委託開発権限の詳細については、「開発と展開の権限を担当者に委任する」を参照してください。

6. [保存] を選択します。

委託開発およびコラボレーション権限

コラボレーション権限は、App Engine Studio (AES) でユーザーが実行できる内容を定義します。

ファイルタイプのアクセス権限

ファイルタイプのアクセス権限は、アプリケーションファイルタイプにアクセス権を付与します。

ファイルタイプのアクセス権限

権限	説明
すべてのファイルタイプ	すべてのファイルタイプで共同作業するためのアクセス権を付与します。 **注:** このオプションには、個別の権限にリストされていない追加のファイルタイプへのアクセスが含まれます。
統合	Web サービス API、REST API、データソース、および 統合ハブ - インポートへのアクセス権を付与します。
Reporting	レポートおよびスケジュール済みレポートへのアクセス権を付与します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ファイルタイプのアクセス権限 (続く)

権限	説明
モバイルビルダー	モバイルアプリビルダー などを使用してモバイルエクスペリエンスをビルドするためのアクセス権を付与します。
UI ビルダー	UI ビルダー を使用してより複雑なインターフェイスをビルドするためのアクセス権を付与します。
ワークフロー	ワークフローエディターおよびアクティビティクリエーターへのアクセス権を付与します。
サービスポータル	サービスポータル のエディターとツールを操作するためのアクセス権を付与します。
ワークフロースタジオ	フローおよびアクションを作成するための ワークフロースタジオ フロー設計環境へのアクセス権を付与します。スクリプトアクションのステップでは、[スクリプティングを許可 **(Allow Scripting)]** 権限が必要です。
サービスカタログ	カタログアイテム、レコードプロデューサー、変数などのカタログ関連のファイルタイプを操作して、カタログアイテムをアプリに追加するためのアクセス権を付与します。
テーブルとフォーム	テーブル列、フォームレイアウト、リストレイアウトなど、モデルおよびレイアウト関連のファイルタイプへのアクセス権を付与します。
プレイブック	プレイブック 設計環境を操作してプロセスを作成するためのアクセス権を付与します。アクティビティサブフローまたはアクションを編集するには、フローデザイナー権限が必要です。
ディシジョンテーブル	ディシジョンテーブル を操作して、複数の if-then ルールに基づいて意思決定ロジックを作成するためのアクセス権を付与します。
通知	アプリで自動メール通知を作成するためのアクセス権を付与します。

セキュリティ/エンタイトルメント権限

[ACL とロールの管理] 権限は、アクセス制御リストやロールなどのセキュリティ管理ファイルへのアクセス権を付与します。

プログラミングツールの権限

[スクリプティングを許可 **(Allow scripting)]** 権限は、ビジネスルール、UI アクション、クライアントスクリプトなどのスクリプトフィールドへのアクセス権を付与します。

アプリケーション管理権限

アプリケーション管理権限は、協力者の管理などの基本的なアプリ管理機能へのアクセス権を付与します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

アプリケーション管理権限

権限	説明
アプリケーションを削除	スコープ対象のアプリ内で協力者に、アプリケーションを削除する権限を付与します。
協力者の管理	アプリの協力者を管理および招待するためのアクセス権を付与します。
ソースコントロール	ソースコントロールを使用するためのフルアクセス権を付与します。
協力者を招待	開発者をアプリで共同作業するよう招待するためのアクセス権を付与します。

展開権限

展開権限は、アプリのインストール、アップグレード、および公開へのアクセス権を付与します。

展開権限

権限	説明
アプリをアップグレード	現在のインスタンスにインストールされた後、関連アプリケーションをアップグレードするためのアクセス権を付与します。
展開の送信	レビューおよび展開のために関連アプリケーションを送信するためのアクセス権を付与します。
アプリリポジトリに公開	関連アプリケーションを現在のインスタンスのアプリケーションリポジトリに公開するためのアクセス権を付与します。
アプリストアに公開	関連アプリケーションを現在のインスタンスの ServiceNow Store に公開するためのアクセス権を付与します。

ユーザーまたはグループのコラボレーションからの削除

コラボレーションからユーザーとグループを削除して、アプリの所有や編集を制限します。

始める前に

必要なロール：admin または協力者の委任開発の管理ロール

このタスクについて

アプリの最終的な所有者と編集者を削除できます。アプリに所有者がなく、所有者が必要な場合は、アドミニストレーターが追加する必要があります。

手順

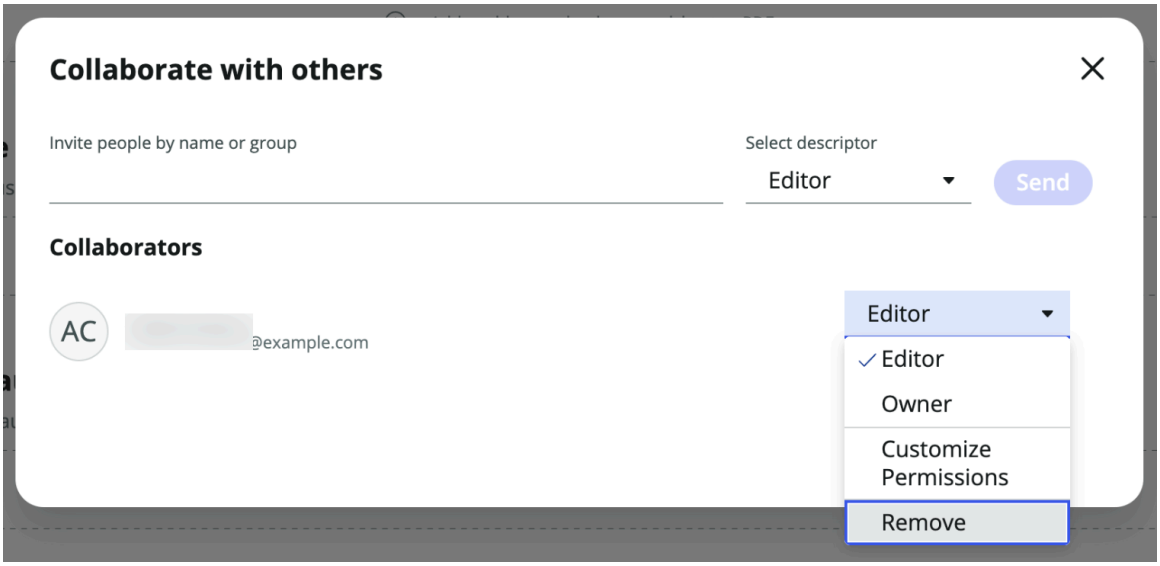
1. 移動先 すべて > **App Engine** > **App Engine Studio**.
2. [自分のアプリ] ページからアプリケーションを開きます。
3. [協力者の管理] ボタンを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[他のユーザーとコラボレーション] モーダルに、現在の協力者のリストが表示されます。

4. ユーザーまたはグループを協力者として削除するには、ドロップダウンリストから [削除] を選択しま



す。

AES と Git ソースコントロールリポジトリの使用

App Engine Studio (AES) で作業するアプリ開発者は、さまざまな方法でデータリポジトリを管理できます。

アドミニストレーターがアプリケーションをソースコントロールにリンクすると、非本番インスタンスのすべてのアプリケーション開発者が次のアクションを実行できます。

- Git リポジトリからアプリケーションをインポートします。
- Git リポジトリからリモート変更をプルして適用します。
- インスタンスのすべてのローカル変更を Git リポジトリにコミットします。
- 指定されたバージョンのアプリケーションに永続的にリンクするタグを作成します。
- 分岐を作成して、アプリケーションの複数のバージョンを同時に管理します。

> **注:**
> ソースコントロールを使用して他の開発者と共同作業している場合、他の開発者はチェックインされた変更のみを使用できます。たとえば、アドミニストレーターが Git にリンクされているアプリの新しいフローを作成した場合、アドミニストレーターがフローを Git にチェックインするまで、他の AES ユーザーは新しいフローをアプリで使用できません。

App Engine Studio で利用可能なオプション

アプリケーションをソースコントロールにリンクした後に、アプリケーション開発者は App Engine Studio を使用してリポジトリを管理できます。開発者は App Engine Studio から次のことができます

- アプリケーションリポジトリの認証情報を編集します。
- インスタンスのすべてのローカル変更をコミットします。
- リモートリポジトリからのリモート変更を適用します。
- 分岐を作成します。
- 分岐を切り替えます。
- リモートリポジトリからアプリケーションをインポートします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ソースコントロール統合は、本番インスタンスでのアプリケーションの管理をサポートしていません。代わりに、アプリケーションリポジトリ、更新セット、または App Engine Studio を使用して、本番インスタンスでアプリケーションを管理できます。本番インスタンスでのアプリケーション管理の詳細については、「アプリケーションの共有」を参照してください。

Git リポジトリから利用可能なオプション

ServiceNow プラットフォームには、インスタンス外のリンクされたアプリケーションファイルを変更するための限定的なサポートがあります。開発者は Git から次の操作を実行できます。

- アプリケーションファイルを別の Git ディレクトリ構造に移動します。
- App Engine Studio の外部でアプリケーションファイルを編集します。

リポジトリのルートレベルで、sn_source_control.properties と呼ばれるプロパティテキストファイルが生成されます。アプリケーションファイルを別の Git ディレクトリ構造に移動するために、アプリケーション開発者は *path* パラメーターを設定して、アプリケーションファイルを含むサブフォルダーパスを指定できます。たとえば、アプリケーションを src/app サブフォルダーに移動した場合は、*path* を path=src/app に設定します。

システムは、App Engine Studio の外部でアプリケーションファイルが変更されたかどうかを判断するために、Git リポジトリに checksum.txt ファイルを生成します。ファイルのチェックサム値が現在のチェックサム値と一致する場合、統合は検証とサニタイズのプロセスをスキップします。チェックサム値が一致しない場合、統合はソースコントロール操作の一部としてアプリケーションファイルを検証してサニタイズします。サニタイズプロセス：

- 実行されたサニタイズアクションごとに、アップグレードログエントリを作成します。
- サポートされていないフォルダーとファイルをリポジトリから削除します。
- システムアプリケーションファイルが XML スキーマの検証に失敗した場合、すべてのソースコントロール操作を中止します。たとえば、データベースディクショナリレコードが XML スキーマの検証に失敗した場合、システムはすべての操作を中止します。
- 非システムアプリケーションファイルが XML スキーマの検証に失敗した場合、現在のソースコントロール操作をスキップします。

ソースコントロール統合は、sn_source_control.properties ファイルにリストされているアプリケーションパス内のコンテンツのみをサニタイズします。アプリケーションパス外のリポジトリコンテンツは無視されます。

MID サーバーのサポート

既存の MID サーバーを使用して、ソースコントロールリポジトリに接続します。MID サーバーを介してアプリケーションにアクセスすると、ファイアウォールの背後にあるリポジトリにアクセスできます。

App Engine Studio でのソースコントロールの操作

ソースコントロール統合は、主に App Engine Studio (AES) から操作をサポートしますが、一部の操作を直接 Git リポジトリからサポートすることもできます。

利用可能なソースコントロール操作

操作	説明	入手先
ソースコントロールからインポート	アプリケーションをリポジトリからローカルインスタンスにインポートします。詳細については、「アプリケーションまたはアプリケーションのカスタマイズ内容をソースコントロールからインポート」を参照してください。	App Engine Studio

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

利用可能なソースコントロール操作 (続く)

操作	説明	入手先
ソースコントロールにリンク	開発者は Git リポジトリからアプリケーションの変更を管理できます。詳細については、「アプリケーションまたはアプリケーションのカスタマイズ内容をソースコントロールにリンク」を参照してください。	App Engine Studio
リポジトリ構成を編集	Git リポジトリのユーザー認証情報を更新します。詳細については、「Git リポジトリ構成の編集」を参照してください。	App Engine Studio
リモート変更を適用	リポジトリのバージョンと一致するようにアプリケーションのローカルバージョンを更新します。詳細については、「リポジトリからの変更のプル」を参照してください。	App Engine Studio
変更を収容	ローカルバージョンと一致するように、アプリケーションのリポジトリバージョンを更新します。詳細については、「リポジトリに変更をコミット」を参照してください。	App Engine Studio
ローカルな変更を隠す	後で作業するためにローカルの変更を削除して保存します。詳細については、「ローカル変更をスタッシュ」を参照してください。	App Engine Studio
分岐を切り替え	アプリケーションのローカルバージョンを更新して、リポジトリ分岐バージョンと一致させます。詳細については、「分岐の切り替え」を参照してください。	App Engine Studio
分岐を作成	リポジトリに分岐を作成して、異なるバージョンのアプリケーションを保存します。詳細については、「ブランチを作成」を参照してください。	• App Engine Studio • Git リポジトリ
タグを作成	特定のアプリケーションバージョンにリンクするようタグをリポジトリに作成します。詳細については、「特定のアプリケーションバージョンにリンクするためのタグを作成する」を参照してください。	• App Engine Studio • Git リポジトリ
しまいこみを管理	開発者がしまい込んだ変更を適用または削除できるようにします。詳細については、「スタッシュを管理」を参照してください。	App Engine Studio
リポジトリを作成する	アプリケーションの変更を保存するリポジトリを作成します。	Git リポジトリ
認証情報の作成	リポジトリへの認証情報を作成します。	Git リポジトリ
リポジトリへのア	特定の認証情報セットに関連付けられたリポジトリへの読み書きアクセスを提供します。	Git リポジトリ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

利用可能なソースコントロール操作 (続く)

操作	説明	入手先
クセスを許可する		

アプリケーションまたはアプリケーションのカスタマイズ内容をソースコントロールからインポート

このインスタンスで開発を続行するために、ソースコントロールリポジトリからアプリまたはアプリのカスタマイズを App Engine Studio (AES) にインポートします。

始める前に

- 必要なロール：admin
- 非本番インスタンスに Git リポジトリへのネットワークアクセスがあることを検証します。
- リポジトリに有効なアプリケーションが含まれていることを確認する。
- ユーザーが Git リポジトリへのコミットで使用するそれぞれのユーザーテーブル [sys_user] レコードに、メールアドレスを追加していることを確認します。
- アプリケーションのカスタマイズの詳細については、「アプリケーションのカスタマイズの管理」を参照してください。

このタスクについて

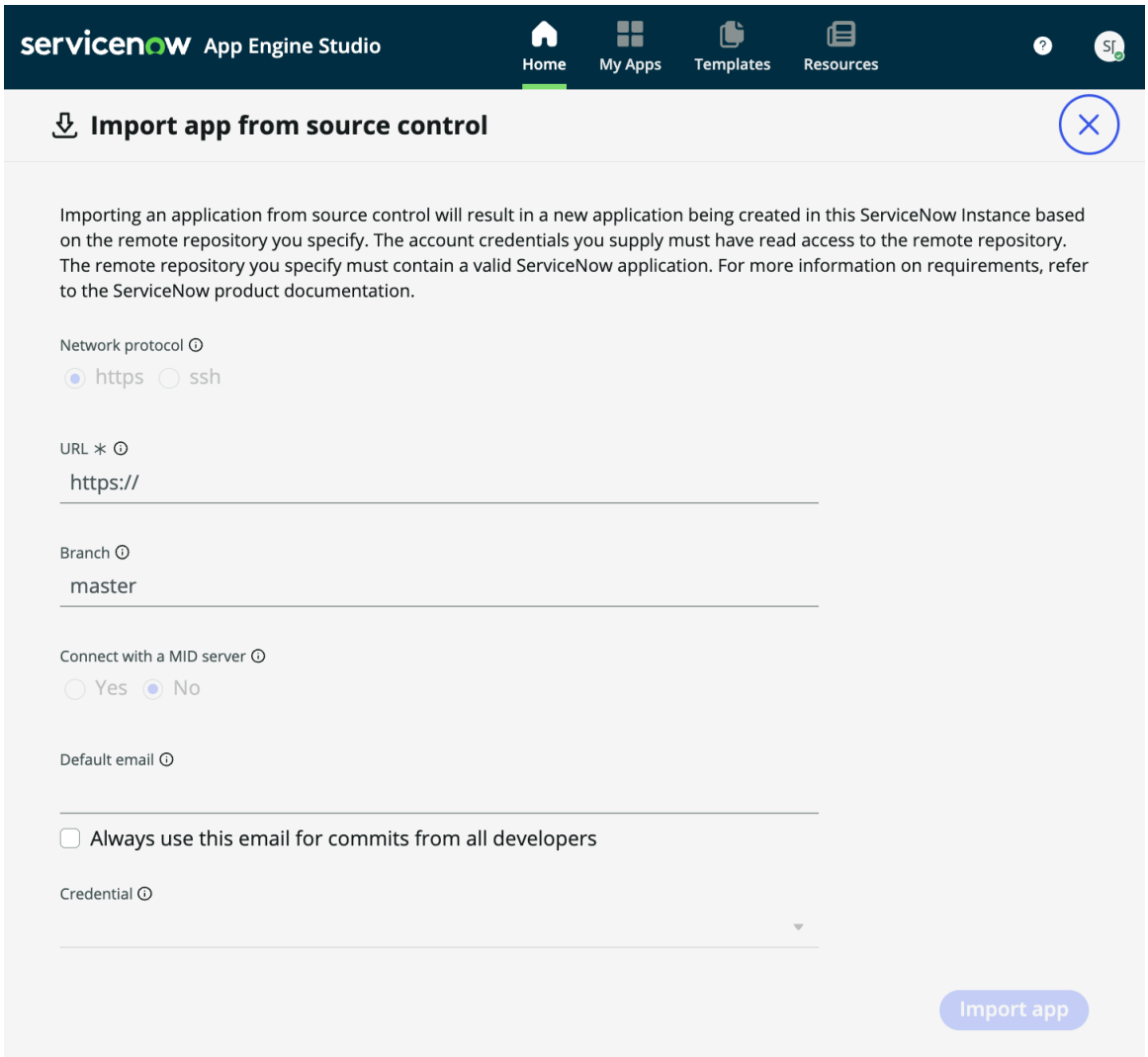
ソースコントロール統合では、制作インスタンス上のアプリケーションのインポートはサポートされていません。代わりに、アプリケーションリポジトリ、更新セット、または App Engine Studio から制作インスタンス上にアプリケーションをインストールします。

手順

1. 移動先 すべて > **App Engine** > **App Engine Studio**.
2. [アプリをインポート] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



3. フォームのフィールドに入力します。

ソースコントロールフィールドからのインポート

フィールド	説明
ネットワークプロトコル	セキュリティ保護されたチャネルデータ交換を可能にする https または ssh 認証情報タイプ。
URL	アプリケーションファイルが存在する Git リポジトリの URL。 **注:** Git サーバーが提供する SSH の Git リポジトリ URL が機能しない場合は、Git サーバーのオーナーまたはプロバイダーに正しい URL を確認してください。Git リポジトリ URL が機能するために、追加仕様 (スキームプロトコルプリフィックス、ポート番号など) が必要な場合があります。
分岐	アプリケーション内で機能するリポジトリ分岐。 **注:**

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	デフォルトの分岐には、インスタンスの名前が付けられます。名前を選択しない場合、分岐はデフォルトで [マスター] になります。
MID サーバー名	既存の MID サーバーを選択して、企業ファイアウォールの背後に格納されている Git リポジトリにリンクします。 **注:** ディスカバリー アクティビティとの競合を防ぐために、個別の MID サーバーを使用します。 詳細については、「MID Server」を参照してください。
デフォルトのメール	コミット担当者のメールアドレスは、sys_user レコードによって定義されます (利用可能な場合)。ただし、コミット担当者の sys_user レコードメールフィールドが空の場合、システムは代替メール (username@instancename.service-now.com) を生成します。デフォルトのメールアドレスを入力して、後で変更することもできます。すべてのケースでそのデフォルトのメールアドレスを使用する場合は、このチェックボックスをオンにします。
認証情報	Git リポジトリの認証情報を選択します詳細については、「認証情報の開始」を参照してください。 **注:** ssh ネットワークプロトコルを選択した場合は、[SSH プライベートキー] タイプの有効な認証情報を入力します。https プロトコルを選択した場合は、基本認証情報タイプの有効な認証情報を入力します。

注: インスタンス上のすべてのアプリケーション開発者は、Git リポジトリをアプリケーションにリンクするための認証情報を共有します。

4. [アプリをインポート] を選択します。
   checksum.txt ファイル内のチェックサムが、現在のチェックサムと比較されます。チェックサム値が一致すると、統合は検証をスキップしてアプリケーションをインポートします。チェックサム値が一致しない場合、統合は最初にアプリケーションファイルを検証してサニタイズしてから、それらをインポートします。
5. [アプリケーションを選択] を選択します。
   App Engine Studio アプリケーションをウィンドウに新しい選択肢として表示します。

次のタスク

- インポート中にアプリケーションファイルに適用されたサニタイズのアップグレードログを確認します。
- インポートしたアプリケーションを選択して編集する。

関連情報

MID サーバー

認証情報の開始

Git での変更の操作

App Engine Studio (AES) を使用する開発者は、Git リポジトリで変更をプルおよびコミットできます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

注:
ソースコントロールを使用して他の開発者と共同作業している場合、他の開発者はチェックインされた変更のみを使用できます。たとえば、アドミニストレーターが Git にリンクされているアプリの新しいフローを作成した場合、アドミニストレーターがフローを Git にチェックインするまで、他の AES ユーザーは新しいフローをアプリで使用できません。

リポジトリからの変更のプル

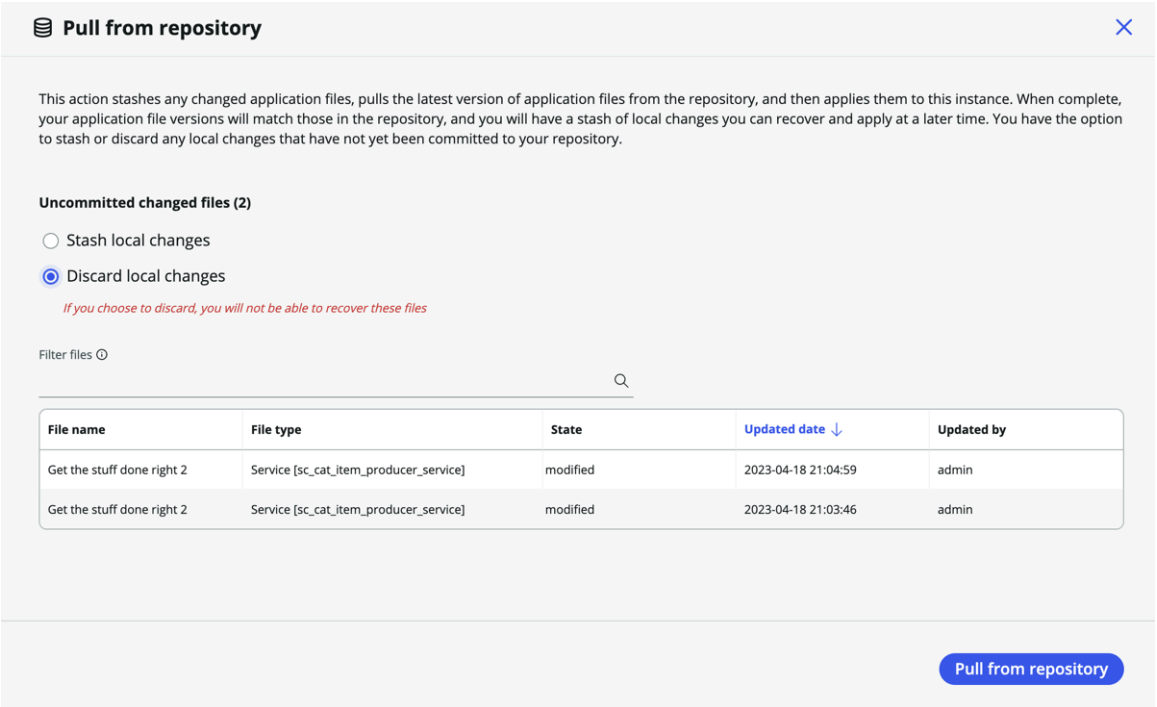
App Engine Studio (AES) を使用するアプリ開発者は、リンクされた Git リポジトリから変更をプルして、リモート変更をローカルインスタンスに適用できます。

始める前に

- 必要なロール：admin
- アプリケーションまたはアプリケーションのカスタマイズ内容をソースコントロールにリンク

手順

1. 移動先 すべて > **App Engine** > **App Engine Studio**.
2. [自分のアプリ] ページからアプリケーションを開きます。
3. 選択 ソースコントロール > リポジトリからプル.
4. コミットされていないファイルを確認し、[ローカル変更をスタッシュ] または [ローカル変更を破棄] を選択します。



5. [リポジトリからプル] を選択します。
次の操作が行われます：
   - システムは、リモートリポジトリから最新の変更を取ってくる。
   - システムは、リモート変更をインスタンスに適用する。
   - システムは解決を必要とする変更の競合を特定する。
競合が発生した場合、システムは競合を解決するためのウインドウを表示します。

   システムプロパティのデフォルトでデルタロードがアクティブ化されているため、データは削除されません。データを自動的に削除する場合は、この機能を無効にします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

次のタスク
変更の競合を解決します。

リポジトリに変更をコミット

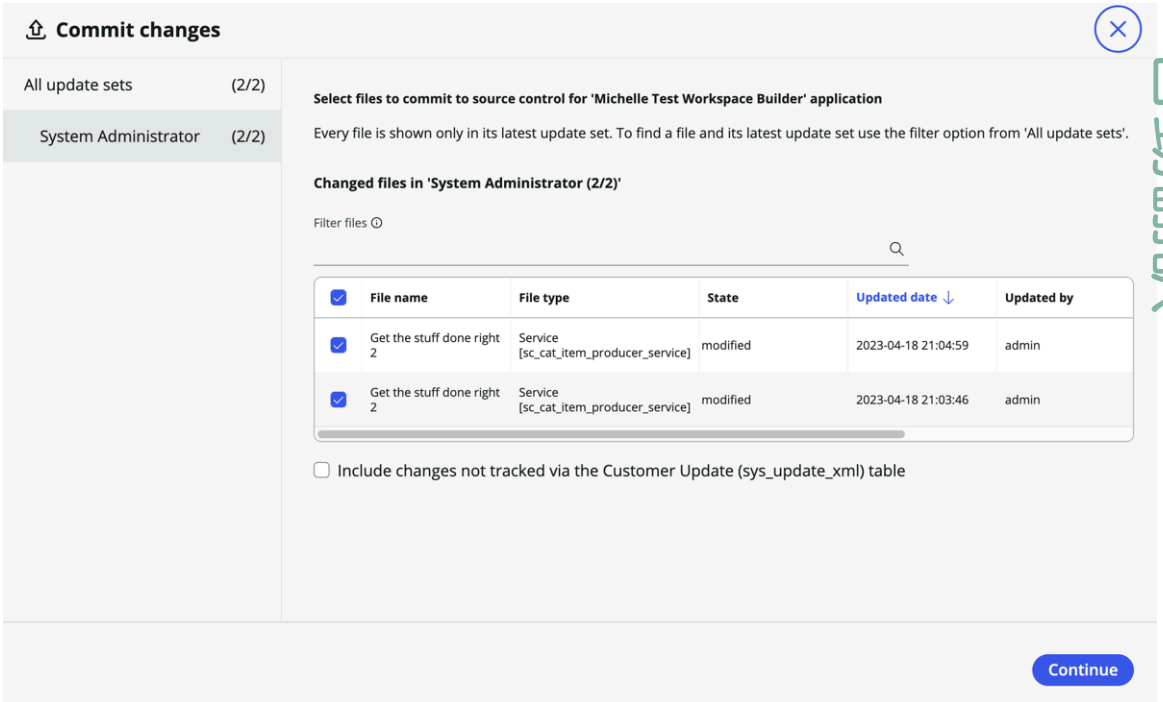
App Engine Studio (AES) でアプリケーションに加えられた変更を、リンクされた Git リポジトリにコミットします。変更をいくつか選択してコミットすることも、インスタンスに対するすべての変更を一度にコミットすることもできます。

始める前に

- 必要なロール：admin
- アプリケーションまたはアプリケーションのカスタマイズ内容をソースコントロールにリンク

手順

1. 移動先 すべて > **App Engine** > **App Engine Studio**.
2. [自分のアプリ] ページからアプリケーションを開きます。
3. 選択 ソースコントロール > 変更をコミット.
   [ソースコントロールにコミットするファイルを選択] ウィンドウが表示されます。すべての更新セットからのファイル変更が表示されます。デフォルトでは、現在の更新セットからのファイル変更が表示されます。



4. コミットするファイル変更を選択します。
5. 追跡されていない変更を含めるには、[顧客アップデート **[sys_update_xml]** テーブルを介して追跡されない変更を含める] チェックボックスをオンにします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- このチェックボックスのデフォルトは、**[glide.sourcecontrol.default_commit_mode]** プロパティを介して設定されます。
  - プロパティは、**[include_untracked]** または **[exclude_untracked]** に設定できます。
  - **[include_untracked]** モードは、sys_update_xml レコードを生成しないアプリケーションに対する更新とともに、ユーザーが選択した更新をコミットします。
  - **[exclude_untracked]** モードでは、[ソースコントロールにコミットするファイルを選択] ダイアログでユーザーが選択した更新のみがコミットされます。
- プロパティのベースシステム設定は **[exclude_untracked]** です。
- チェックボックスを非表示にして **[glide.sourcecontrol.default_commit_mode]** プロパティの値を使用するには、**[sn_devstudio.vcs.allow_commit_mode_selection]** プロパティを作成して [false] に設定します。
- このチェックボックスをオンにすると、パフォーマンスが低下する可能性があります。

注:

次の場合、コミットは常に **[include_untracked]** モードで発生します。

- 初めてソースコントロールにリンクするとき (詳細については、「アプリケーションまたはアプリケーションのカスタマイズ内容をソースコントロールにリンク」を参照してください)。
- App Engine Studio からソースコントロールにリンクされたアプリケーションを公開するとき。
- 選択的コミットモードが無効のとき。

6. [続行] を選択します。
7. [コメントをコミット] に、変更のコメントを入力します。
8. [コミットファイル] を選択します。
   次の操作が行われます：
   - システムは全てのローカルな変更を識別します。
   - システムは、リモートリポジトリにすべてのローカル変更を収容します。

注:
顧客更新レコードがなく、追跡もされていない既知のファイルのリストについては、「Customer Updates table」を参照してください。

Git でのバージョンと分岐の作成

App Engine Studio (AES) を使用するアプリ開発者は、Git リポジトリにバージョンと分岐を作成できます。

特定のアプリケーションバージョンにリンクするためのタグを作成する

App Engine Studio (AES) の特定のアプリバージョンにリンクするためのタグをリポジトリに作成します。

始める前に

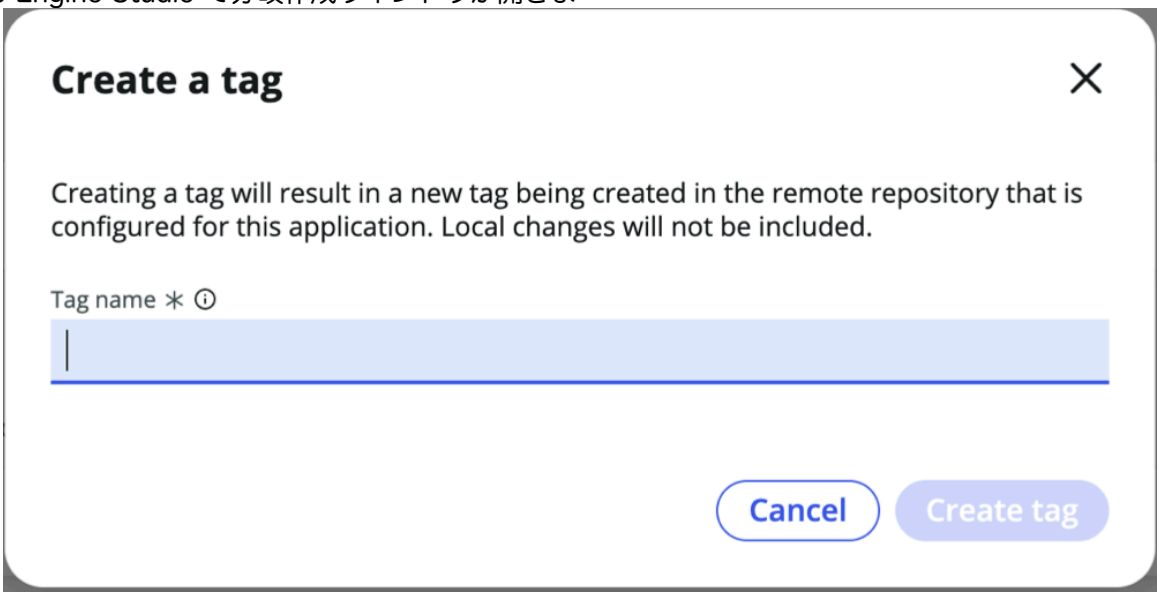
- 必要なロール：admin または sn_group_creator.app_creator
- アプリケーションまたはアプリケーションのカスタマイズ内容をソースコントロールにリンク

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > **App Engine** > **App Engine Studio**.
2. [自分のアプリ] ページからアプリケーションを開きます。
3. 選択 ソースコントロール > タグを作成.
   App Engine Studio で分岐作成ウィンドウが開きま



す。

4. [タグ名] を入力します。
5. [タグを作成] を選択します。
   App Engine Studio でタグが作成されます。
6. [クローズ] を選択します。

次のタスク
新しい分岐への変更をコミットします。

分岐の切り替え

アプリケーション開発者は App Engine Studio (AES) を使用して、別のリポジトリ分岐に切り替えて、アプリケーションの別のバージョンで作業できます。

始める前に

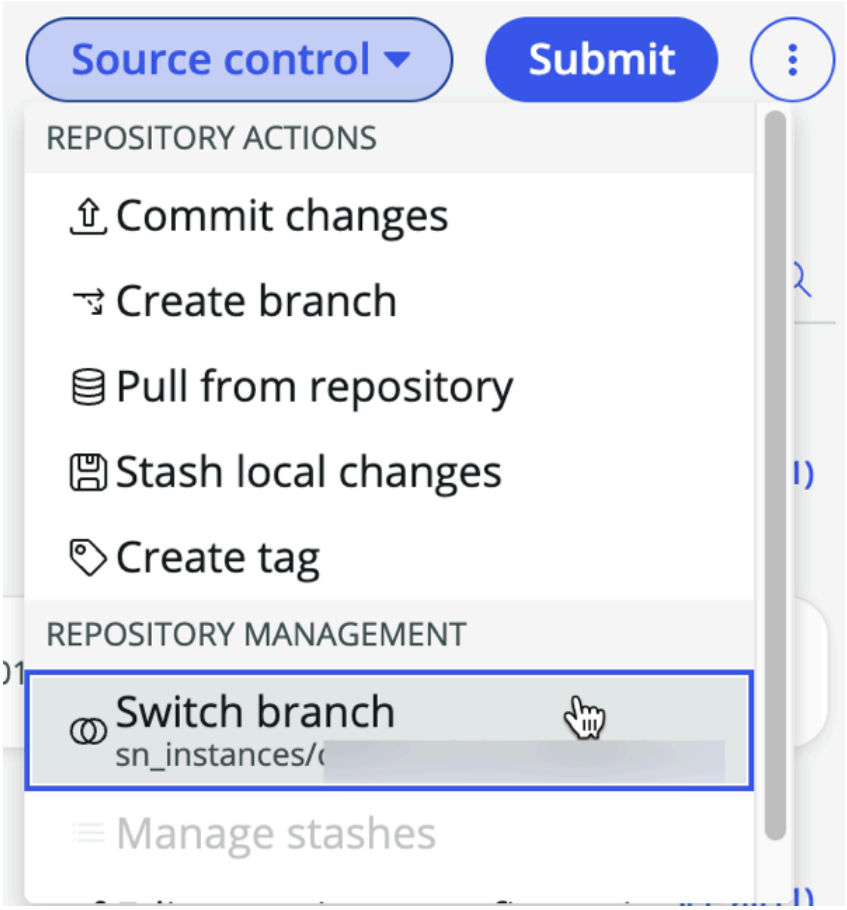
- 必要なロール：admin
- 1 つ以上の利用可能な分岐を持つ Git リポジトリ

手順

1. 移動先 すべて > **App Engine** > **App Engine Studio**.
2. [自分のアプリ] ページからアプリケーションを開きます。
3. 選択 ソースコントロール > 分岐を切り替え.

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



[分岐を切り替え] ウィンドウが表示されます。

4. オプション: インスタンスにローカルで変更があった場合は、それらを保存または破棄できます。

   注:
   ローカルな変更を破棄するときは注意します。すべてのアプリケーション開発者はリポジトリの認証情報を共有するため、1 組のユーザー変更だけを破棄する方法はありません。後で破棄した変更を回復することはできません。

5. 切り替え先の分岐を選択します。
6. [分岐を切り替え] を選択します。
   App Engine Studio ではリポジトリからの分岐バージョンと一致するようにローカルアプリケーションが更新されます。

ブランチを作成

アプリケーション開発者は、App Engine Studio (AES) で分岐を作成して、既存のアプリの新しいバージョンで作業できます。

始める前に

- 必要なロール：admin または sn_group_creator.app_creator
- アプリケーションまたはアプリケーションのカスタマイズ内容をソースコントロールにリンク

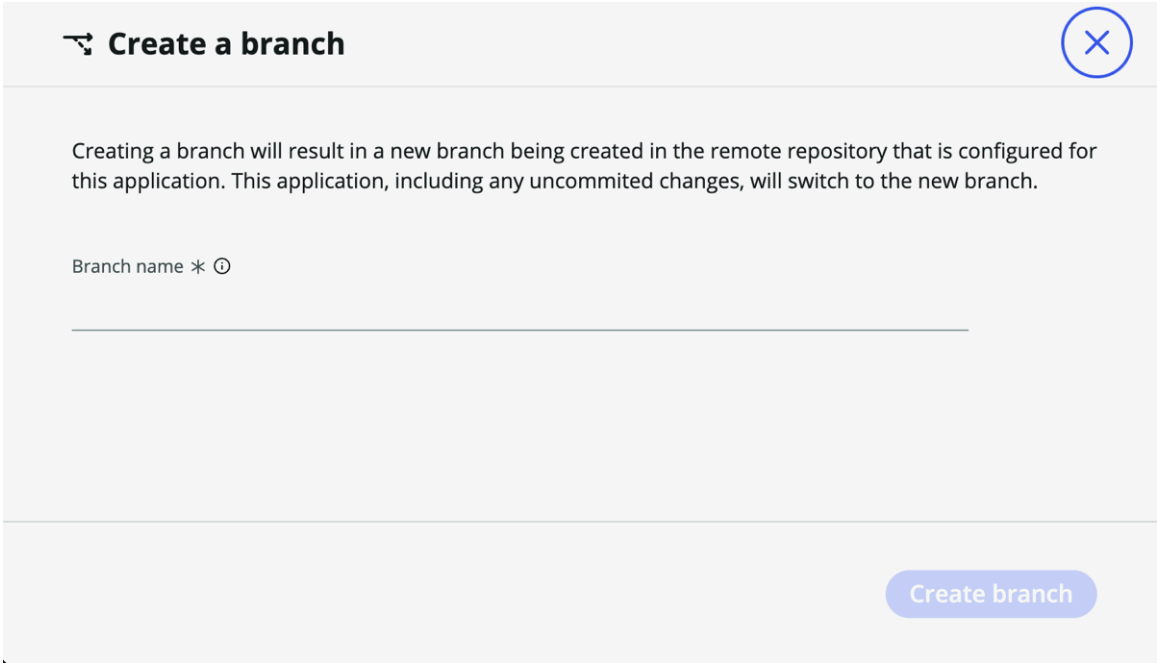
手順

1. 移動先 すべて > **App Engine** > **App Engine Studio**.
2. [自分のアプリ] ページからアプリケーションを開きます。

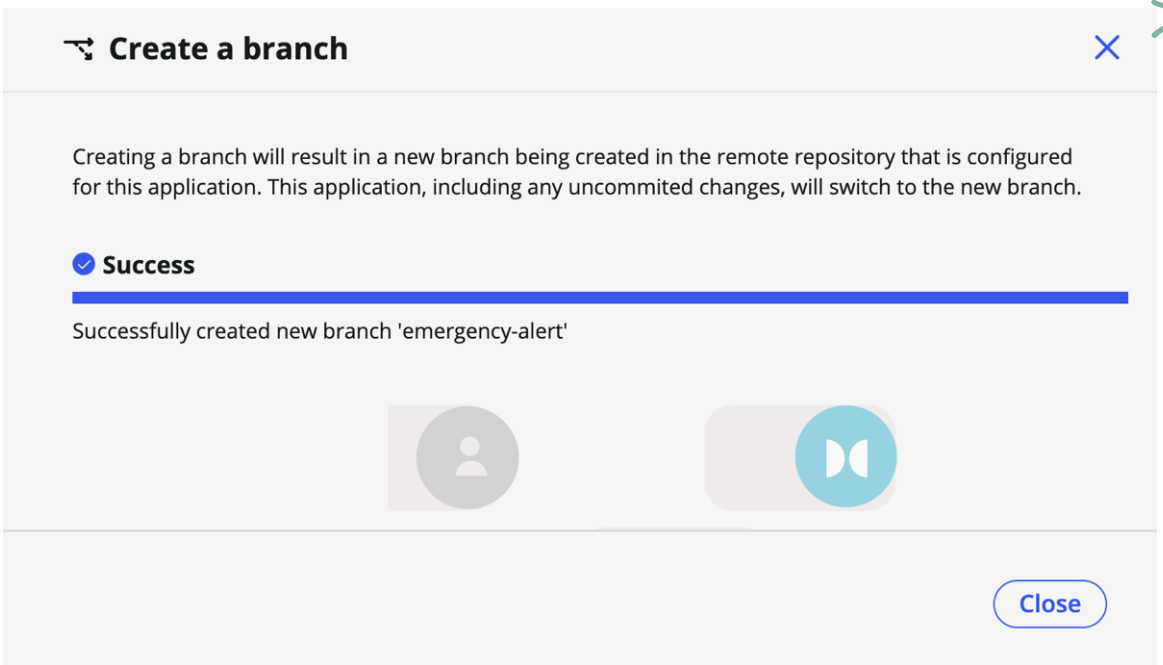
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

3. 選択 ソースコントロール > ブランチを作成.
   App Engine Studio で分岐作成ウィンドウが開きます。



4. [分岐名] を入力します。
5. オプション: タグから分岐を作成するには、[タグから作成] ドロップダウンリストを選択して既存のタグを選択します。
6. [分岐を作成]を選択します。
   App Engine Studio で分岐が作成されます。



7. [クローズ] を選択します。

次のタスク
新しい分岐への変更をコミットします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

デフォルト分岐の設定

新しい変更またはメインの App Engine Studio (AES) 開発リポジトリとしてメイン以外の分岐を使用する場合は、デフォルト分岐を設定します。

始める前に

- 必要なロール：admin
- アプリケーションまたはアプリケーションのカスタマイズ内容をソースコントロールにリンク

手順

1. Add a system property の手順に従ってください。
2. **[glide.source_control.default_branch_name]** プロパティを追加し、(プル要求、コードコミットなどの) 作業をする Git ソースコントロールリポジトリのデフォルト分岐の名前を指定します。アプリケーション開発者の作業は、特に指定されていない限り、デフォルトの分岐から管理され、そこに保存されます。変更されない限り、この値のデフォルトは「sn_instances/<instance_name>」に設定されます。

スタッシュの変更

開発者は App Engine Studio (AES) から、変更を削除して後で適用するためにローカルに保存し、スタッシュされた変更を管理できます。

ローカル変更をスタッシュ

アプリ開発者は App Engine Studio (AES) で、変更を削除して後で適用するためにローカルに保存できます。

始める前に

- 必要なロール：admin
- アプリケーションをソースコントロールにリンクする
- 1つまたは複数のアプリケーションファイルを変更する。

このタスクについて

変更をしまい込むと、現アプリケーションからその変更が除去され、後ほど開発者が適用または削除するために保存します。

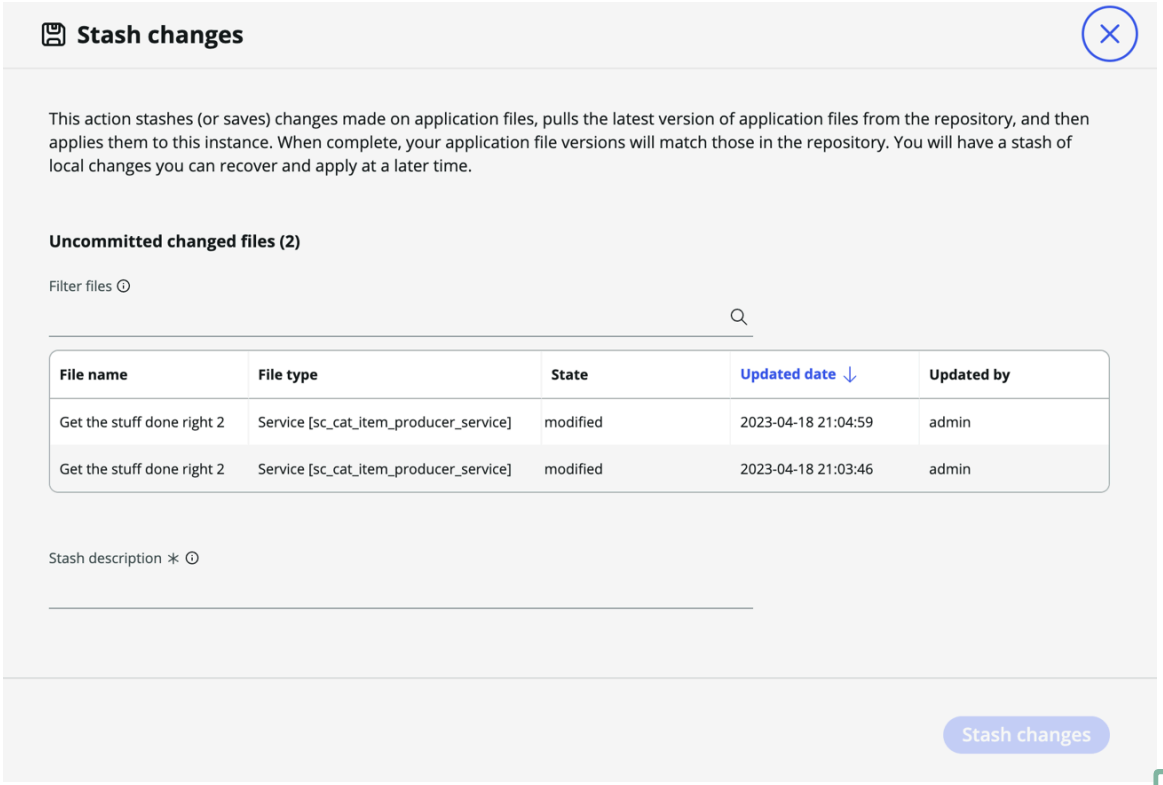
手順

1. 移動先 すべて > **App Engine** > **App Engine Studio**.
2. [自分のアプリ] ページからアプリケーションを開きます。
3. 選択 ソースコントロール > ローカル変更をスタッシュ.
   システムがローカルで変更されたファイルのリストを表示します。
4. 説明を入力します。
5. [スタッシュの変更] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

システムは現在の変更を保存し、成功メッセージを表示します。



次のタスク

- ダイアログを閉じる
- スタッシュを管理

詳細については、「認証情報の開始」を参照してください。

スタッシュを管理

アプリ開発者は App Engine Studio (AES)から、スタッシュされた変更を適用または削除できます。

始める前に

- 必要なロール：admin
- アプリケーションをソースコントロールにリンクする。
- １つまたは複数のアプリケーションファイルの変更をしまい込む。

手順

1. 移動先 すべて > **App Engine** > **App Engine Studio**.
2. [自分のアプリ] ページからアプリケーションを開きます。
3. 選択 ソースコントロール > スタッシュを管理.
   システムはローカルにしまい込まれた変更のリストを表示します。
4. 管理するスタッシュの横にあるアクションをクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

オプション	説明
適用	アプリケーションにしまい込まれた変更を収容し、競合をチェックします。
削除	しまい込まれた変更を削除する。

競合の解決

アプリ開発者は、App Engine Studio (AES) でリモートの変更またはスタッシュされた変更を適用するときに使用する、アプリファイルのバージョンを選択できます。

始める前に

- 必要なロール：admin
- アプリケーションをソースコントロールにリンクする
- しまい込んだ変更の適用

このタスクについて

競合は、同じアプリケーションファイルに複数の変更バージョンがある場合に発生します。1 つはリモートまたはスタッシュされたバージョンの変更セットで、もう 1 つはローカルバージョンの変更セットです。App Engine Studio では、開発者はリモートまたはスタッシュされた変更を適用する前に競合を解決する必要があります。

手順

1. 移動先 すべて > **App Engine** > **App Engine Studio**.
2. [自分のアプリ] ページからアプリケーションを開きます。
3. リポジトリからプルするか、ローカル変更をスタッシュします。
   システムが競合を識別すると、[競合の解決] ダイアログを表示します。
4. 競合を解決する方法を選択します。

オプション	説明
アクションを選択	すべてのしまい込み変更を適用または破棄します。ステップ 3 に進みます。
変更を手動で合併	適用する変更を個別に選択します。ステップ 6 に進みます。

5. 全てのしまい込まれた変更を適用または破棄したい場合には、アクションを選択します。

オプション	説明
しまい込んだ変更を取得	しまい込んだ変更からアプリケーションファイルのバージョンを適用します。
しまい込んだ変更を破棄	リポジトリから最新引出したものからアプリケーションファイルのバージョンを適用します。

6. [スタッシュされた変更を適用] を選択します。
   選択した変更を適用します。
7. [ダイアログを閉じる] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

8. 競合する変更を結合する場合は、[手動で適用] を選択します。
   バージョン差異のリストをフィールド毎に表示します。
9. 合併されたアプリケーションファイルに含めたいフィールドの値を選択します。
10. [結合の保存] を選択します。
    選択した変更が適用されます。

収容の履歴を表示

アプリ開発者は App Engine Studio (AES) で、ソースコントロールリポジトリにリンクされているアプリのコミット履歴を表示できます。

始める前に

- 必要なロール：admin
- Git リポジトリへの既存のリンク

手順

1. 移動先 すべて > ソースコントロール > 履歴を表示.
   履歴ウィンドウを表示します。
2. ソートの注文タイプの収容を選択します。

オプション	説明
日付	収容日付でソートします。
コミット担当者	ユーザー名でソートします。

3. ソート順の方向を選択します。

オプション	説明
降順	最も新しい日付から最も古い日付までにソートします。ユーザー名を逆アルファベット順でZからAに並べ替えます。
昇順	最も古い日付から最新の日付までにソートします。アルファベット順でAからZにユーザー名をソートします。

   システムは、選択したソート順で収容をソートします。
4. 収容を選択します。
   選択した収容の収容の詳細が表示されます。
5. 収容の詳細を確認します。

収容の詳細

フィールド	説明
コミット担当者	変更を収容したユーザー
日付	収容の日時スタンプ
SHA-1	リポジトリ内のこの収容を識別する確実なハッシュ値
メッセージ	この収容に関連する収容メッセージ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
ファイル	この収容で変更されたアプリケーションファイルのリスト

6. 履歴ウィンドウを閉じます。

Git リポジトリのアプリケーションファイルの移動

App Engine Studio (AES) での作業時に、ソースコントロールにリンクされたアプリケーションファイルをリポジトリの任意のフォルダーに移動します。アプリケーション開発者は、サポートするアプリケーションと同じリポジトリに自動テストなどのサポートコンテンツを保存できます。

始める前に

- アプリケーションまたはアプリケーションのカスタマイズ内容をソースコントロールにリンク
- 必要なロール：書き込みアクセス権を持つソースコントロール認証情報

このタスクについて

アプリケーションをソースコントロールにリンクすると、リポジトリのルートレベルで、sn_source_control.properties と呼ばれるプロパティテキストファイルが生成されます。そのプロパティファイルは、アプリケーションファイルを含むフォルダーを指定します。統合は checksum.txt ファイルを生成することで、これらのアプリケーションファイルに対する変更を追跡します。チェックサムが一致する場合、統合は検証とサニタイズのプロセスをスキップします。チェックサムが一致しない場合、統合はソースコントロール操作の一部としてアプリケーションファイルを検証してサニタイズします。統合は、アプリケーションパス外のすべてのリポジトリコンテンツを無視します。

注:
システムのプロパティ **[glide.source_control.checksum_required]** を設定すると、オプションのチェックサムの検証とサニタイズが有効になり、**[glide.source_control.checksum_quick_install]** を設定すると、チェックサムが一致したときにサニタイズのステップをバイパスできます。詳細については、「Available system properties」を参照してください。

手順

1. アプリケーションにリンクされたソースコントロールリポジトリにログインします。
2. アプリケーションファイルの移動先フォルダーを作成します。

   Example
   たとえば、src/app フォルダーを作成します。
3. アプリケーションファイルを含むフォルダーを移動先フォルダーに移動します。

   Example
   たとえば、demo_my_app フォルダーを src/app に移動します。
4. リポジトリのルートレベルに移動します。
5. テキストエディターで sn_source_control.properties テキストファイルを開きます。
6. `path=` プロパティには、アプリケーションファイルを移動したフォルダーパスを入力します。

   Example
   たとえば、「`path=src/app`」と入力します。
7. プロパティファイルを保存します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次のタスク
インスタンスにログインし、App Engine Studio からApp Engine Studio でのソースコントロールの操作を実行します。

アプリの公開

App Engine Studio (AES) でアプリが完成したら、承認と公開のために提出する必要があります。使用するプロセスは、自分がソースコントロールにリンクされているかどうかによって異なります。

承認と公開のためのアプリの送信

App Engine Studio (AES) でビルドしたアプリケーションをアドミンレビューのために送信して、公開するプロセスを開始します。

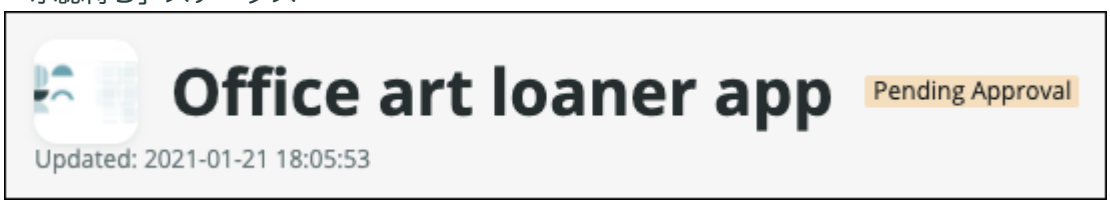
始める前に
必要なロール：権限 (目的のアクションに応じて、[展開の送信 **(Submit for deployment)]**、 [アプリリポジトリに公開 **(Publish to app repo)]**、または [アプリストアに公開 **(Publish to app store)]**) を持つ委任開発者

手順

1. 移動先 すべて > **App Engine** > **App Engine Studio**.
2. [自分のアプリ] ページからアプリケーションを開きます。
3. アプリホームから、[送信] を選択します。
4. 表示されるダイアログボックスで、送信の詳細を確認し、[送信] を選択します。

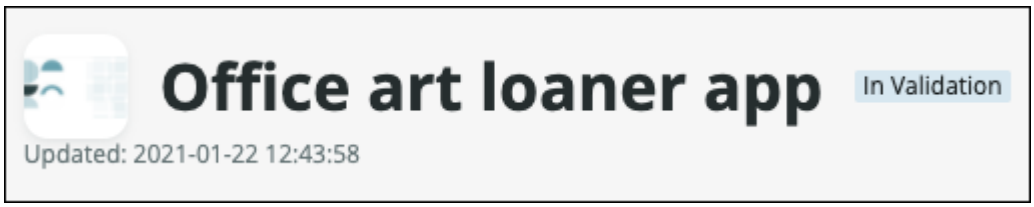
次のタスク
アドミニストレーターは送信されたアプリケーションをレビューし、潜在的な問題がないかチェックします。アプリケーションのステータスは、App Engine Studio のアプリケーションホームから確認できます。

「承認待ち」ステータス



レビュー担当者がアプリケーションのテストを開始すると、ステータスが [検証中] に変わります。

「検証中」ステータス



アドミニストレーターは、アプリケーションのさまざまなロール用のテストアカウントを提供する場合があります。これらの各アカウントでログインし、アプリケーションが想定どおりに機能することを確認します。

レビュー担当者がアプリケーションを却下すると、ステータスが [却下] に変わります。レビュー担当者のコメントを含むメールを受け取ることもあります。フィードバックを使用してアプリケーションを改善してから、アプリケーションを再送信します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

「却下」ステータス

アプリケーションがテストに合格すると、アドミニストレーターがアプリケーションを公開し、ステータスが [公開] に変更されます。アドミニストレーターがアプリケーションを要求したチームをオンボーディングします。たとえば、アプリケーションに特定のセキュリティロールを指定した場合、アドミニストレーターはそのロールを関連するユーザーに割り当てます。

「公開」ステータス

関連情報

AES を使用する開発者の委任

App Engine Studio からのアプリの公開 (ソースコントロールにリンクされている場合)

ソースコントロールにリンクされている場合、App Engine Studio (AES) からカスタムアプリケーションを公開できます。

始める前に
必要なロール：admin

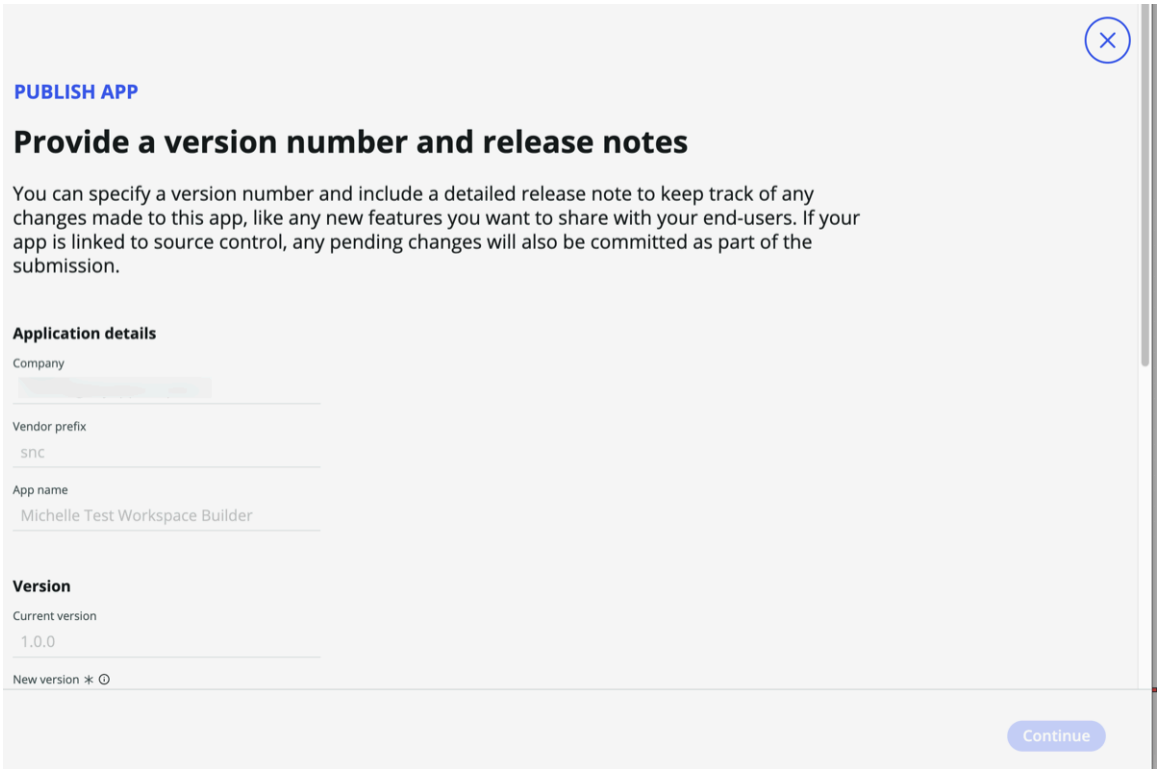
このタスクについて
ソースコントロールにリンクされている App Engine Studio からアプリケーションを公開すると、sys_app または sys_store_app の [公開] 関連リンクを介して公開する場合とは異なる結果になります。

手順

1. 移動先 すべて > **App Engine** > **App Engine Studio**.
2. [自分のアプリ] ページからアプリケーションを開きます。
3. アプリホームから、[公開] を選択します。
   App Engine Studio に [アプリを公開] フィールドが表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



4. 次のフィールド値を入力します。

バージョン番号とリリースノートを入力してください

フィールド	説明
バージョン	現在のアプリバージョンを表示し、アプリケーションの新しいバージョン番号を入力します。 **注:** バージョン番号を変更するには、[展開の送信 **(Submit for deployment)]**、[アプリリポジトリに公開 **(Publish to app repo)]**、または [アプリストアに公開 **(Publish to app store)]** のいずれかの展開権限が必要です
リリースノート	アプリケーションに加えた変更の簡単な説明を入力します。
オプションを公開	アプリケーションをアプリケーションリポジトリまたは ServiceNow Store に公開するかどうかを選択します。

注:
インスタンス上のすべてのアプリケーション開発者は、Git リポジトリをアプリケーションにリンクするための認証情報を共有します。

5. [続行] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

6. 追跡されていない変更やコミットされていない変更を含む、アプリケーションの現在のステータスがソースコントロールにコミットされます。
[glide.sourcecontrol.default_commit_mode] プロパティの値は無視されます。
これは、アプリケーションが公開されるときに、追跡されない変更やコミットされない変更もすべて公開されるために発生します。したがって、Git リポジトリ内のアプリケーションのステータスは、公開されているものと一致します。**[glide.sourcecontrol.default_commit_mode]** プロパティの詳細については、「リポジトリに変更をコミット」のトピックを参照してください。
7. 新しいバージョンのソースコントロールタグが作成され、アプリケーションが公開されます。
必要に応じて、sys_app レコードが新しいストア相関 ID で更新されます。

> **注:**
> アプリケーションがソースコントロールにリンクされ、App Engine Studio の外部で新しいバージョンを公開すると、ソースコントロールのコミットとタグは作成されません。

App Engine Studio からのアプリの削除

適切な権限がある場合は、App Engine Studio (AES) からアプリケーションを削除できます。

始める前に

必要なロール：admin、アプリケーション削除、または権限を持つ委任開発者詳細については、「AES を使用する開発者の委任」を参照してください。

このタスクについて

委任開発者は、権限に基づいてアプリケーションを削除できます。削除する権限を要求するには、アドミニストレーターにお問い合わせください。

手順

1. 移動先 すべて > **App Engine** > **App Engine Studio**.
2. [自分のアプリ] ページからアプリケーションを開きます。
3. アプリケーションで、[アプリケーションプロパティの編集] アイコン (アイコン) を選択します。
4. [アプリケーションを削除] を選択します。
5. ダイアログボックスに、「削除」と入力してから、[削除] を選択します。

App Engine 管理センターを使用する

本番インスタンスで App Engine 管理センター (AEMC) を使用して、要求、展開、アプリケーション、共同開発者を追跡および管理します。さらに、AEMC を使用すると、アドミニストレーターはアプリ開発を取り込みから本番まで管理できます。

Xanadu ストア 2 リリースの時点では、 App Engine 管理センター (AEMC) を使用して、 App Engine Studio、 クリエータースタジオ、 ServiceNow スタジオ でビルドされたカスタムアプリのアプリ開発を管理できます。AEMCを使用したアプリ開発の管理の詳細については、「App Engine 管理センター を使用したアプリ開発の管理」を参照してください。

App Engine Studioの参照

参照トピックには、App Engine Studio (AES) を構成および管理するために使用しているリストとフォームに関する追加情報があります。

AES の用語集

App Engine Studio (AES) 固有の用語や概念について説明します。

アプリケーションテンプレート

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

特定のユースケースをサポートするために、事前定義されたデータ、エクスペリエンス、ロジックと自動化、セキュリティを提供します。たとえば、出張要求テンプレートは、従業員の出張要求を送信および承認するためのアプリケーションコンテンツを提供します。

使用可能なテンプレートの詳細については、「利用可能なテンプレート」を参照してください。

ロジックと自動化

ロジックと自動化を追加することで、アプリケーションのすべての作業を自動化します。たとえば、誰かが要求を行ったときにアドミニストレーターに通知を送信するフローをビルドできます。

データ

アプリケーションに保存されている情報です。たとえば、従業員の電話番号やオフィスの場所などです。テーブルを使用してアプリケーションデータを設定します。

展開要求

送信されたアプリケーションのレビューを追跡するチケットです。レビュー担当者は、展開要求フォームで、アプリケーションをさまざまな環境に展開したり、アプリケーションを承認または却下したり、開発者にフィードバックを送信したりできます。

環境

アプリケーションの開発、テスト、起動に使用するインスタンスです。App Engine Studio を設定するには、環境として使用している各インスタンスで、環境を定義する必要があります。

エクスペリエンス

ユーザーが操作するグラフィカルインターフェイスです。たとえば、ユーザーが情報を検索し、要求を送信し、ビジネスタスクを実行できるポータルを作成できます。使用可能なアプリケーションエクスペリエンスの詳細については、「アプリケーションエクスペリエンスの追加」を参照してください。

パイプライン

アプリケーションをさまざまな環境に展開するための構成です。

セキュリティ

アプリケーションを使用できるユーザーを限定するロールとアクセス制御です。

AESのプロパティ

システムプロパティは、システムの動作を制御します。このセクションのプロパティは、App Engine Studio (AES) アプリケーションに固有のものです。AESのシステムプロパティにアクセスするには、次に移動します: すべて > **App Engine Studio** > 構成 > プロパティ.

sn_app_eng_studio.show_servicenow_studio_banner

App Engine Studioホームページに試行ServiceNow スタジオバナーを表示するかどうかを制御します。true に設定するとバナーが表示され、false に設定するとバナーが非表示になります。

- タイプ：true | false
- デフォルト値：true

sn_app_eng_studio.aes_admin_contact

App Engine Studio アドミンの連絡先メールを定義します。システムは、このプロパティにリストされている各メールアドレスに展開要求通知を送信します。詳細については、「App Engine アドミングループへのユーザーの追加」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- タイプ：文字列
- デフォルト値：なし

sn_app_eng_studio.illustration_supported_content_types

分類カテゴリの図のサポートされているコンテンツタイプを定義します。このプロパティは読み取り専用です。

- タイプ：文字列
- デフォルト値：image/svg+xml

sn_app_intake.instance_can_provision_users

現在のインスタンスがユーザーのプロビジョニングをサポートできるかどうかを決定します。このインスタンスのユーザーは別のインスタンスにプロビジョニングされます。ユーザーのプロビジョニングの詳細については、「アプリケーションの取り込み の構成」を参照してください。

- タイプ：true | false
- デフォルト値：false

カスタムテンプレートでサポートされている機能とメタデータ

App Engine Studio (AES) のカスタムテンプレートは、テーブル、フォーム、ロール、ACL、レコードプロデューサー、シンプルなワークスペース、フロー、アクションなど、ほとんどの機能とメタデータをサポートしています。

カスタムテンプレートは、ゼロから作成するか、既存のスコープ対象アプリケーションを開始点として使用して作成できます。

カスタムテンプレートを作成すると、事前スキャンでアプリケーションのすべてがサポートされていることが確認されます。考えられる結果は次の 3 つです。

- [すべてのアイテムがサポートされています (All items are supported)]：カスタムテンプレートが作成されます。すべてのオブジェクトがカスタムテンプレートとそのカスタムテンプレートから作成されたアプリで使用できます。
- [一部のアイテムはサポートされていません]：テンプレートの作成は続行できますが、このカスタムテンプレートで使用できないアイテムがあります。カスタムテンプレートや、そのテンプレートから作成されたアプリには影響しません。
- [一部のアイテムが拒否されました (Some items are denied)]：カスタムテンプレートの作成者にはエラーメッセージが表示され、そのエラーを修正するまで続行できません。 作成者は、アプリを既存のアプリから作成した場合はアプリを変更し、最初から作成した場合はテンプレートを変更する必要があります。

注:
ワークスペースを含むアプリケーションを使用した AES テンプレートの作成はサポートされていません。

テンプレートの作成プロセスの詳細については、「カスタムテンプレートのビルド」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

サポートされているメタデータ

ラベル	名前
アクセス制御	sys_security_acl
アクセス許可ロール	sys_security_acl_role
アクションのアサイン	sys_declarative_action_assignment
アクションカテゴリ	sys_hub_category
アクション定義	sys_declarative_action_definition
アクションの除外	sys_workspace_declarative_action_exclusion
アクションの入力	sys_hub_action_input
アクションインスタンス	sys_hub_action_instance
アクションアイテム	sys_sg_write_back_action_item
アクションモデルフィールド	sys_declarative_action_model_field
アクションの出力	sys_hub_action_output
アクション パラメーターのマッピング	sys_sg_action_param_map
アクションペイロード定義	sys_declarative_action_payload_definition
アクションペイロードフィールド	sys_declarative_action_payload_field
アクションペイロードマッピング	sys_declarative_action_payload_mapping
アクションタイプ	sys_hub_action_type_definition
アクティビティ定義	sys_pd_activity_definition
アクティビティストリーム画面	sys_sg_activity_stream_screen
アナリティクスプレビュー	sys_sg_chart
アナリティクスセクション	sys_sg_chart_section
アプリケーションメニュー	sys_app_application
アプリケーションメニュー	sys_ui_application
アプリケーション検索ソース	m2m_search_context_config_search_source
対象者	sys_ux_applicability
基本認証構成	sys_auth_profile_basic
ビルダーテンプレート	sys_uib_template
ビジネスルール	sys_script
カード	sys_sg_view_config
カード要素	sys_sg_view_config_element
カード要素の属性	sys_sg_view_config_element_attribute
カードテンプレート	sys_sg_view_template
カードテンプレート要素	sys_sg_view_template_slot
カードテンプレート要素の属性	sys_sg_view_template_slot_attribute

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ラベル	名前
カタログクライアントスクリプト	catalog_script_client
カタログアイテム	sc_cat_item
利用可能なカタログアイテム	sc_cat_item_user_criteria_mtom
カタログアイテムカテゴリ	sc_cat_item_category
利用不可のカタログアイテム	sc_cat_item_user_criteria_no_mtom
カタログアイテムカタログ	sc_cat_item_catalog
カタログ UI ポリシー	catalog_ui_policy
カタログ UI ポリシーアクション	catalog_ui_policy_action
カタログ変数セット	io_set_item
カテゴリプロパティ	sys_properties_category_m2m
チャートの色	sys_report_chart_color
チャート画面	sys_sg_chart_screen
選択肢	sys_choice
選択肢セット	sys_choice_set
クライアントスクリプト	sys_script_client
色定義	sys_report_color
複合オブジェクト	sys_complex_object
復号データブローカー	sys_ux_data_broker_composite
含まれているロール	sys_user_role_contains
クロススコープ権限	sys_scope_privilege
データブローカースクリプトレット	sys_ux_data_broker_scriptlet
データブローカーサーバースクリプト	sys_ux_data_broker_transform
データ アイテム	sys_sg_data_item
データパラメーター	sys_sg_item_parameter
データポリシー	sys_data_policy2
データポリシールール	sys_data_policy_rule
意思決定	sys_decision_question
意思決定条件	sn_decision_table_decision_condition
意思決定の入力	sys_decision_input
ディシジョンテーブル	sys_decision
ディシジョンテーブルの複数の結果	sys_decision_multi_result
画面の詳細	sys_sg_details_screen
辞書エントリ	sys_dictionary
辞書エントリに上書きする	sys_dictionary_override
動的フィルターオプション	sys_filter_option_dynamic

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ラベル	名前
Email Address Filter	sys_email_address_filter
メールアドレスフィルタードメイン	sys_email_address_filt_domain
メールクライアントの構成	sys_email_client_configuration
メールクライアントの送信元アドレス	sys_email_client_from_address
メールクライアントテンプレート	sys_email_client_template
メールフィルター	sys_email_filter
メールレイアウト	sys_email_layout
メール返信セパレーター	sys_email_reply_separator
Email スクリプト	sys_script_email
メールテンプレート	sysevent_email_template
埋め込みヘルプロール優先度	sys_embedded_help_role
空ステータス	sys_sg_empty_state
EVAM データフィルター	sys_ux_composite_data_filter
EVAM データソースフィルター	sys_ux_composite_datasource_filter
EVAM データソース	sys_ux_composite_datasource
EVAM データソース M2M	sys_ux_composite_data_m2m_datasource
EVAM 定義	sys_ux_composite_data
EVAM ビュー構成	sys_ux_composite_data_template_predicate
EVAM ビュー構成アクションアサイン M2M	sys_ux_predicate_m2m_action_assignment
EVAM ビュー構成バンドル	sys_ux_composite_data_template_predicate_bundle
EVAM ビュー構成バンドル M2M	sys_ux_composite_data_m2m_predicate_bundle
イベント登録	sysevent_register
エクスポート定義	sys_export_definition
エクスポートセット	sys_export_set
エクスポートターゲット	sys_export_target
拡張フローロジック入力	sys_hub_flow_logic_ext_input
拡張ステップ入力変数	sys_hub_step_ext_input
拡張ステップ出力変数	sys_hub_step_ext_output
拡張インスタンス	sys_extension_instance
拡張ポイント	sys_extension_point
ファセット	sys_search_facet
フィールドラベル	sys_documentation
フィールドマップ	sys_impex_entry
フィルター	sys_filter
フィルターアクション	sys_email_filter_action

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ラベル	名前
フロー	sys_hub_flow
フローカタログ変数	sys_flow_cat_variable
フロー入力	sys_hub_flow_input
フローロジックインスタンス	sys_hub_flow_logic
フロースナップショット	sys_hub_flow_snapshot
フローステージ	sys_hub_flow_stage
フロー変数	sys_hub_flow_variable
フォーム	sys_ui_form
フォームヘッダー	sys_aw_form_header
フォームセクション	sys_ui_section
関数	sys_sg_button
機能インスタンス	sys_sg_button_instance
GraphQL データブローカー	sys_ux_data_broker_graphql
ハイライト表示される値	sys_highlighted_value
ハイライト表示される値の条件	sys_highlighted_value_condition
HTTP ヘッダー	sys_rest_message_headers
HTTP ヘッダー	sys_rest_message_fn_headers
HTTP メソッド	sys_rest_message_fn
REST メッセージ関数パラメーター定義	sys_rest_message_fn_param_defs
アイコン	sys_sg_icon
アイコンセクション宛先ランチャー	sys_sg_navigation_section_destination_applet_launcher
イメージ	db_image
インポートエクスポートマップ	sys_impex_map
受信メールアクション	sysevent_in_email_action
インデックス	sys_index
ランチャーのヘッダータイトル	sys_sg_applet_launcher_header
ランチャー画面	sys_sg_applet_launcher
ランチャーのセクションマッピング	sys_sg_applet_launcher_m2m_section
[ランチャー] タブ	sys_sg_applet_launcher_tab
レイアウト適用性	sys_ux_applicability_m2m_layout
従来のカード	sys_sg_item_view
従来のアイコンセクション	sys_sg_icon_section
リスト	sys_ui_list
リスト適用性	sys_ux_applicability_m2m_list
リストコントロール	sys_ui_list_control

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ラベル	名前
リストアイテム構成	sys_sg_master_item
リスト画面	sys_sg_list_screen
リストストリーム	sys_sg_item_stream
M2M アクションアサインの UX アクション構成	sys_ux_m2m_action_assignment_action_config
M2M ワークスペースヘッダーの UX ヘッダー構成	sys_ux_m2m_workspace_header_ux_header_config
多対多リレーションの定義	sys_m2m
メッセージ	sys_ui_message
モバイル UI ルール	sys_sg_ui_rule
モバイル UI ルールのアクション	sys_sg_ui_rule_action
モジュール	sys_ui_module
モジュール	sys_app_module
ナビゲーションタブマップ	sys_sg_navigation_tab_map
新規レコード メニュー アイテム	sys_aw_new_menu_item
通知	sys_notification
通知	sysevent_email_action
通知カテゴリ	sys_notification_category
通知の一般的なコンテンツ	sys_notification_common_content
通知ルート	notification_route
通知ワークスペースのコンテンツ	sys_notification_workspace_content
番号	sys_number
プレイブックアクティビティの上書き	sys_playbook_activity_renderer
プレイブックアクティビティ UI	sys_playbook_experience_activity_ui
プレイブックエクスペリエンスアクション割り当てマップ	sys_playbook_experience_action_assignment_map
プレイブックエクスペリエンスレコードジェネレーター	sys_playbook_experience_record_generator
プレイブックエクスペリエンス	sys_playbook_experience
プロセス定義	sys_pd_process_definition
プロセス定義スイムレーン画像	sys_pd_swim_lane_image
プロセスフロートリガープラン	sys_flow_trigger_plan
公開ページ	sys_public
プッシュ通知	sys_sg_push_notification
プッシュ通知インストール	sys_push_notif_app_install
プッシュ通知メッセージ	sys_push_notif_msg
プッシュ通知メッセージコンテンツ	sys_push_notif_msg_content

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ラベル	名前
質問の選択肢	question_choice
クイックアクションメニュー	sys_sg_alp_quick_action_map
受信者の修飾子	sys_recipient_qualifier
レコードプロデューサー	sc_cat_item_producer
レコード画面	sys_sg_form_screen
レコード画面セグメント	sys_sg_form_segment
レコードセクション	sys_sg_item_section
リダイレクト宛先フィールド	sys_sg_redirect_dest_field
関連リスト	sys_ui_related_list
関係	sys_relationship
関係性データアイテム	sys_sg_relationship_data_item
レポート	sys_report
レポートユーザーおよびグループ	sys_report_users_groups
REST データブローカー	sys_ux_data_broker_rest
REST メッセージ	sys_rest_message
結果	sys_decision_multi_result_element
ロール	sys_user_role
ルート構成	sys_ux_dynamic_route_config
ルートマッピング	sys_ux_dynamic_route_mapping
スケジュール済みスクリプト実行	sysauto_script
画面適用性	sys_ux_applicability_m2m_screen
画面の各フィールド	sys_sg_screen_field
画面パラメーターのマッピング	sys_sg_screen_param_map
画面セグメント	sys_sg_item_stream_segment
[画面] タブ	sys_sg_applet_tab
画面 UI ポリシー	sys_sg_ui_policy
スクリプトアクション	sysevent_script_action
スクリプトインクルード	sys_script_include
Scripted REST API	sys_ws_definition
スクリプト化済み REST クエリパラメーター	sys_ws_query_parameter
スクリプト化済み REST クエリパラメーターの関連性	sys_ws_query_parameter_map
スクリプト化済み REST リソース	sys_ws_operation
アプリケーション構成を検索	sys_search_context_config
検索構成	sys_sg_global_search
M2M アイテム構成の検索	sys_sg_global_search_m2m_master_item

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ラベル	名前
検索ソース	sys_search_source
セカンダリ値	sys_aw_form_header_secondary_values
サービス遂行の承認ステップ	sc_service_fulfillment_approval_step
サービス遂行ステージ	sc_service_fulfillment_stage
サービス遂行手順	sc_service_fulfillment_step
サービス遂行タスクのステップ	sc_service_fulfillment_task_step
サービスオファリング SLA	service_offering_sla
SLA 定義	contract_sla
SLA タイマー構成	sla_timer_config
SLA タイマー構成マッピング	sla_timer_config_mapping
ステップインスタンス	sys_hub_step_instance
ストリーム M2M アイテム構成	sys_sg_item_stream_m2m_master_item
ストリーム M2M セグメント	sys_sg_item_stream_m2m_segment
スタイル	sys_ui_style
サブフローインスタンス	sys_hub_sub_flow_instance
サブフローインスタンス入力	sys_hub_sub_flow_instance_inputs
提案リーダーと提案リーダーグループの関係	m2m_sys_suggestion_reader_sys_suggestion_reader_group
提案リーダーグループ	sys_suggestion_reader_group
システム UX M2M アクションレイアウトアイテム	sys_ux_m2m_action_layout_item
システム UX M2M のハイライト表示される値の構成	sys_ux_m2m_highlighted_value_config
Sys Ux M2m ワークスペースビュールール Ux ビュールール構成	sys_ux_m2m_workspace_view_rule_ux_view_rule_config
システムのプロパティ	sys_properties
システムプロパティカテゴリ	sys_properties_category
テーブル	sys_db_object
タスクリレーションシップタイプ	task_rel_type
許可されたタスクリレーションシップ	task_rel_allowed
テンプレート	sys_template
変換スクリプト	sys_transform_script
トリガー定義	sys_pd_trigger_definition
トリガーの実行	sys_flow_trigger_auto_script
トリガーインスタンス	sys_hub_trigger_instance
UI アクション	sys_ui_action
UI アクションのレイアウト	sys_aw_form_uiaction_layout

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ラベル	名前
UI アクションロール	sys_ui_action_role
UI フォーマッター	sys_ui_formatter
UI ページ	sys_ui_page
UI のパラメーター	sys_sg_ui_parameter
UI ポリシー	sys_ui_policy
UI ポリシーアクション	sys_ui_policy_action
UI ポリシー ルール	sys_sg_ui_policy_rule
UI スクリプト	sys_ui_script
UI ビュー	sys_ui_view
UIB 画面テスト値	sys_uib_screen_test_values
UX アクション構成	sys_ux_action_config
UX アドオンイベントマッピング	sys_ux_addon_event_mapping
UX アプリ構成	sys_ux_app_config
UX アプリルート	sys_ux_app_route
UX アプリのテーマ	m2m_app_config_theme
UX アプリケーション	sys_ux_page_registry
UX アプリケーションカテゴリ M2M	sys_ux_registry_m2m_category
UX 資産	sys_ux_lib_asset
UX クライアントスクリプト	sys_ux_client_script
UX クライアントスクリプトインクルード	sys_ux_client_script_include
ユーザーエクスペリエンスカスタムコンテンツ拡張	sys_ux_custom_content_root_elem
UX ダッシュボードのルート権限	sys_ux_route_permission
UX イベント	sys_ux_event
UX フォームアクション	sys_ux_form_action
UX フォームアクションレイアウト	sys_ux_form_action_layout
UX フォームアクションレイアウトグループ	sys_ux_form_action_layout_group
UX フォームアクションレイアウトアイテム	sys_ux_form_action_layout_item
UX ヘッダー構成	sys_ux_header_config
UX のハイライト表示される値の構成	sys_ux_highlighted_value_config
UX リスト	sys_ux_list
UX リストカテゴリ	sys_ux_list_category
UX リストメニュー構成	sys_ux_list_menu_config
UX Macroponent 定義	sys_ux_macroponent
ユーザーエクスペリエンスページ要素の権限	sys_ux_page_element_m2m_role
ユーザーエクスペリエンスページプロパティ	sys_ux_page_property

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ラベル	名前
UX リボン構成	sys_ux_ribbon_config
UX 画面	sys_ux_screen
UX 画面コレクション	sys_ux_screen_type
UX 画面条件	sys_ux_screen_condition
UX テーマ	sys_ux_theme
UX テーマ資産	sys_ux_theme_asset
UX テーマ資産	sys_ux_theme_m2m_asset
UX ビュールール構成	sys_ux_view_rules_configuration
変数	item_option_new
変数セット	item_option_new_set
SOAP メッセージパラメーター	sys_rest_message_fn_parameters
表示ルール	sysrule_view_workspace
表示ルール	sysrule_view
ビューテンプレート	sys_ux_composite_data_template
ワークスペース	sys_aw_master_config
ワークスペース グローバル検索の構成	sys_aw_global_search_config
ワークスペースリスト	sys_aw_list
ワークスペース リスト カテゴリ	sys_aw_list_category
ワークスペースモジュール	sys_aw_module

自動翻訳

スキップされる機能とメタデータ

テンプレート作成プロセスは、テンプレートまたはテンプレートから作成されたアプリに影響を与えないアイテムのみをスキップします。

ラベル	名前
アクティビティデザイナー	wf_element_activity
アクティビティ変数	wf_activity_variable
コンテンツリンク	content_link
コンテンツテーマ	content_theme
コンテンツタイプ	content_type
データベースビュー	sys_db_view
詳細ページ	content_type_detail
詳細コンテンツ	content_block_detail
実行中のテンプレートが存在する場合、「最初から作成」テンプレートを再テンプレート化することを禁止する	
ダイナミックコンテンツ	content_block_programmatic

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ラベル	名前
Flash ムービー	content_block_flash
フローテンプレートマッピング	sys_app_flow_template_mapping
IFrames	content_block_iframe
入力の詳細	sys_app_template_input_detail
コンテンツリスト	content_block_lists
ログインルール	content_page_rule
メニューアイテム	menu_item
メニューセクション	menu_section
メタタグ	content_page_meta
ナビゲーションメニュー	content_block_menu
ページ	content_page
ペイロード	sys_app_scan_payload
ペイロードローダールール	sys_app_payload_loader_rule
ペイロードルール	sys_app_payload_unloader_rule
プロセッサ	sys_processor
サイト	content_site
スポークの構成	sys_app_template_spoke_configuration
ステージのデフォルト	wf_stage_default
スタティック コンテンツ	content_block_static
スタイルシート	content_theme_css
サブテンプレート	sys_app_subtemplate
テンプレート	sys_app_template
テンプレートの依存関係	sys_app_template_dependency
テンプレート依存関係定義	sys_app_template_dependency_definition
テンプレートの詳細	sys_app_template_detail
テンプレート機能タイプ	sys_app_template_function_type
テンプレート入力変数	sys_app_template_input_var
テンプレートマニフェスト	sys_app_template_manifest
テンプレート出力変数	sys_app_template_output_var
テンプレートページ	sys_app_template_page
テンプレートページの構成	sys_app_template_page_configuration
テンプレートウィザード	sys_app_template_wizard
変数	sys_app_scan_variable
変数タイプ	sys_app_scan_variable_type
ビューフィールド	sys_db_view_table_field

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ラベル	名前
ビューテーブル	sys_db_view_table
ワークフロー	wf_workflow
ワークフローアクティビティ定義	wf_activity_definition
ワークフローインスタンス	wf_workflow_instance
ワークフロー SC 変数	wf_variable
ワークフロースケジュール	wf_workflow_schedule
ワークフロー UI ポリシー	wf_ui_policy

ServiceNow CLI

ServiceNow CLI は、ローカルシステムからインスタンス操作を実行できるコマンドラインインターフェイスです。CLI を拡張して、アプリケーションのニーズを満たす新しいコマンドを含めることができます。

利点

ServiceNow CLI では次のことができます。

- インスタンス内のレコードに対して基本的な CRUD 操作を実行します。
- カスタムコンポーネントを開発し、インスタンスに展開して UI をカスタマイズします。
- コマンドラインからカスタムアプリケーションを管理できるようにするカスタムコマンドを作成します。
- スクリプトで ServiceNow CLI を使用すると、セットアップタスクと運用アクティビティが簡素化されます。

アーキテクチャ

コマンドは、接続先のインスタンスのテーブルに保存されます。ServiceNow CLI がインスタンスに接続すると、そのインスタンスでサポートされているすべての利用可能なコマンドを受け取ります。

コマンドは、非同期で実行される REST エンドポイントにマッピングされます。詳細については、「ServiceNow CLI でのカスタムコマンドの作成」を参照してください。

ServiceNow CLI のアクティブ化

ServiceNow Store から要求することで、ServiceNow CLI をインストールします。 ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

構成ファイル

ServiceNow CLI は、デフォルトでは次のパスのホームディレクトリに格納される config.json ファイルにプロファイル情報を格納します。

- Linux および Mac：~/.snc/config.json
- Windows：%USERPROFILE%\.snc\config.json

CLI はこのファイルを使用して、インスタンスへの接続に使用する情報と、出力の生成に使用する設定を決定します。デフォルトでは、ServiceNow CLI はデフォルトのプロファイルの設定を使用してインスタンスに接続します。別の設定を使用する場合は、追加の名前付きプロファイルを作成して参照することができます。 詳細については、「ServiceNow CLI 接続プロファイルの構成と管理」を参照してください。

次の例は、デフォルトプロファイルと名前付きプロファイルを含む構成ファイルを示しています。各プロファイルは、異なる認証情報を使用し、異なるホストと出力形式を指定できます。

```
{
  "profiles":{
    "default":{
      "host":"https://myinstance.service-now.com",
      "loginmethod":"basic",
      "username":"admin",
      "output":"json",
      "hostversion":"Paris",
      "appversion":"1.0"
      },
    "user1":{
      "host":"https://otherinstance.service-now.com",
      "loginmethod":"basic",
      "username":"user1",
      "output":"yaml",
      "hostversion":"Paris",
      "appversion":"1.0"
      }
    }
}
```

注:
機密の認証情報は OS キーチェーンにのみ保存され、構成ファイルには保存されません。

コマンド構造

ServiceNow CLI コマンドは次の構造に従います。

1. `snc` プログラムへの基本呼び出し。
2. トップレベルのコマンドグループとそれに続く子コマンドグループ。
3. 実行する操作を指定するコマンド。
4. 操作に必要な一般的な CLI 引数。引数は任意の順序で指定できます。

```
$ snc <command-group> <command> [arguments]
```

引数は、数値、文字列、JSON オブジェクトなどのさまざまなタイプの入力値を取ることができます。サポートされるタイプは、指定するコマンドによって異なります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

引数の値

ServiceNow CLI 内の引数の値の多くは、次の例のテーブルやテーブル名のように、単純な文字列または数値です。

```
$ snc record create --table incident --data "{short_description: 'New Incident'}"
```

スペース文字を含まない文字列も、引用符で囲むことができます (任意)。ただし、1 つ以上のスペース文字を含む文字列は、引用符で囲む必要があります。

出力の形式

ServiceNow CLI は次の 4 つの出力形式をサポートしています。

- `json`：出力は JSON としてフォーマットされます。これがデフォルトです。

```
{
  "default": {
    "appversion": "1.0.8",
    "host": "https://myinstance.service-now.com",
    "hostversion": "Paris",
    "loginmethod": "basic",
    "output": "json",
    "username": "admin"
  },
  "user1": {
    "appversion": "1.0.8",
    "host": "https://otherinstance.service-now.com",
    "hostversion": "Paris",
    "loginmethod": "basic",
    "output": "yaml",
    "username": "admin"
  }
}
```

- `yaml`：出力は YAML としてフォーマットされます。YAML を使用して、YAML 形式の文字列を発行または使用するサービスおよびツールで出力を処理します。

```
default:
  appversion: 1.0.8
  host: https://myinstance.service-now.com
  hostversion: Paris
  loginmethod: basic
  output: json
  username: admin
user1:
  appversion: 1.0.8
  host: https://otherinstance.service-now.com
  hostversion: Paris
  loginmethod: basic
  output: yaml
  username: admin
```

- `text`：出力は、タブ区切りの文字列値の複数の行としてフォーマットされます。この出力は、grep、sed、awk などの従来の UNIX テキストツールと、PowerShell によって実行されるテキスト処理で使用します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
default   https://myinstance.service-now.com   Paris   1.0.8   basic   admin   json
user1   https://otherinstance.service-now.com   Paris   1.0.8   basic   admin   yaml
```

- table：出力は、人間が判読可能な形式で情報が表示されるテーブルとしてフォーマットされます。

```
NAME   HOST   HOST   VERSION   APP   VERSION   LOGIN   METHOD   USERNAME
 OUTPUT
-------------------------------------------------------------------------------
default   myinstance   Paris   1.0.8   basic   admin   json
user1   otherinstance   Paris   1.0.8   basic   admin   yaml
```

- none：CLI は出力をコンソールに出力しません。成功、エラー、および進捗状況のメッセージは引き続き表示されます。

コマンド出力は、次の 2 とおりの方法で指定できます。

構成ファイルの名前付きプロファイルで output オプションを使用する

次の例では、デフォルトの出力形式をテキストに設定します。

```
{
   "profiles":{
     "default":{
       "output":"text"
     }
}
```

コマンドラインで --output 引数を使用する

次の例では、単一のコマンドの出力を JSON に設定します。コマンドのこのオプションは、構成ファイルに現在設定されている値を上書きします。

```
$ snc record query --table incident --query 'active=true' --output json
```

ServiceNow CLI をインストールする

Mac、Windows、または Linux マシンへの ServiceNow CLI のインストール

ServiceNow CLI の最新バージョンは 1.1.0 です。インストールされているバージョンを見つけて更新する必要があるかどうかを確認するには、snc version を実行します。

ServiceNow CLI のインストールには次のものが必要です。

- マシンにソフトウェアをインストールするためのアドミン権限。
- ダウンロードしたパッケージを展開または解凍するためのソフトウェア。

すべての CLI 機能をサポートするには、sn_cl_metadata プラグインをインスタンスにインストールする必要があります。

必要なロール：admin

次のオペレーティングシステムで使用できます。

- Mac
- Windows
- Linux

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ServiceNow CLI の Mac へのインストール

インストーラーを使用して Mac OS に ServiceNow CLI をインストールします。

始める前に
Apple がサポートする Mac OS (64 ビットバージョン) が必要です。
必要なロール：admin

手順

1. ブラウザーで、 からインストーラーバンドルをダウンロードします ServiceNow Store.
2. OS 固有のインストーラーを展開します。
3. snc-1.0.0-osx-installer ファイルを開きます。
4. 画面の指示に従います。
   a. プロンプトが表示されたら、[パスに追加 **(Add to PATH)]** オプションが選択されていることを確認します。
   このオプションには、ルートアカウントアクセスが必要です。
5. インストールが成功したことを確認するには、次のコマンドを使用します。

```
$ which snc

/usr/local/bin/snc
```

```
$ snc version

{
 "extensions": {},
 "snc": "1.0.0"
}
```

ServiceNow CLI の Windows へのインストール

インストーラーを使用して Windows OS に ServiceNow CLI をインストールします。

始める前に
Windows 10 以降 (64 ビットバージョン) が必要です。
必要なロール：admin

手順

1. ブラウザーで、 からインストーラーバンドルをダウンロードします ServiceNow Store.
2. OS 固有のインストーラーを展開します。
3. snc-1.0.0-windows-x64-installer.exe ファイルを開きます。
4. 画面の指示に従います。
   デフォルトでは、CLI は C:\Program Files\ServiceNow CLI にインストールされます。
5. インストールを確認するには、次のコマンドを使用してコマンドラインでバージョンを確認します。

```
C:\>snc version

{
 "extensions": {},
```

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
 "snc": "1.0.0"
}
```

Windows がプログラムを見つけることができない場合は、コマンドプロンプトウィンドウを閉じてから再度開き、パスを更新します。

ServiceNow CLI の Linux へのインストール

インストーラーを使用して Linux マシンに ServiceNow CLI をインストールします。

始める前に
CentOS または Ubuntu の最新のディストリビューション (64 ビットバージョン) が必要です。
必要なロール：admin

手順

1. ブラウザーで、 からインストーラーバンドルをダウンロードします ServiceNow Store.
2. OS 固有のインストーラーを展開します。
3. snc-1.0.0-linux-x64-installer.run ファイルを開きます。
4. 画面の指示に従います。
   a. プロンプトが表示されたら、[パスに追加 **(Add to PATH)]** オプションが選択されていることを確認します。
   このオプションには、ルートアカウントアクセスが必要です。
5. インストールが成功したことを確認するには、次のコマンドを使用します。

```
$ which snc

~/ServiceNow CLI/bin/snc
```

```
$ snc version

{
 "extensions": {},
 "snc": "1.0.0"
}
```

ServiceNow CLI 接続プロファイルの構成と管理

接続プロファイルを作成して、インスタンスへの接続、接続プロファイルの表示、接続および利用可能なコマンドの更新、または不要になったプロファイルの削除を行います。

ServiceNow CLI は、デフォルトでは次のパスのホームディレクトリに格納される config.json ファイルにプロファイル情報を格納します。

- Linux および Mac：~/.snc/config.json
- Windows：%USERPROFILE%\.snc\config.json

CLI はこのファイルを使用して、インスタンスへの接続に使用する情報と、出力の生成に使用する設定を決定します。デフォルトでは、ServiceNow CLI はデフォルトのプロファイルの設定を使用してインスタンスに接続します。別の設定を使用する場合は、追加の名前付きプロファイルを作成して参照することができます。 詳細については、「ServiceNow CLI 接続プロファイルの構成と管理」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次の例は、デフォルトプロファイルと名前付きプロファイルを含む構成ファイルを示しています。各プロファイルは、異なる認証情報を使用し、異なるホストと出力形式を指定できます。

```
{
  "profiles":{
    "default":{
      "host":"https://myinstance.service-now.com",
      "loginmethod":"basic",
      "username":"admin",
      "output":"json",
      "hostversion":"Paris",
      "appversion":"1.0"
      },
    "user1":{
      "host":"https://otherinstance.service-now.com",
      "loginmethod":"basic",
      "username":"user1",
      "output":"yaml",
      "hostversion":"Paris",
      "appversion":"1.0"
      }
    }
}
```

デフォルトプロファイルの作成

ServiceNow CLI がデフォルトで使用する接続プロファイルを作成します。インスタンスとの CLI の初期接続を設定するには、デフォルトのプロファイルを作成する必要があります。

このタスクについて

デフォルトでは、使用するプロファイルを明示的に指定していないコマンドを実行すると、このプロファイルの情報が使用されます。

> **注:**
> 機密の認証情報は OS キーチェーンにのみ保存され、構成ファイルには保存されません。

手順

1. システムのコマンドラインツールを開き、このコマンドを実行します。

   ```
   $ snc configure profile set
   ```

   CLI では、詳細情報の入力を求められます。

2. 要求された値を入力します。
   情報の入力を求めるときに、CLI は現在の値を角括弧 [ ] で囲んで表示します。既存の値を保持するには、Enter キーを押します。

要求された情報	説明
ホスト	接続するインスタンスのホスト名。完全な URL (https://my-instance.service-now.com) またはホスト名のみ (my-instance) の両方をサポートします。
ログイン方法	インスタンスへの接続に使用するログイン方法。基本、OAuth、および OAuth + MFA をサポートします。
ユーザー名	インスタンスへの接続に使用するユーザー名。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求された情報	説明
パスワード	インスタンスへの接続に使用するパスワード。
クライアント ID	ログイン方法が OAuth または OAuth + MFA の場合にインスタンスへの接続に使用するクライアント ID。
クライアントシークレット	ログイン方法が OAuth または OAuth + MFA の場合にインスタンスへの接続に使用するクライアントシークレット。
認証コード	ログイン方法が OAuth + MFA の場合にインスタンスへの接続に使用する認証コード。
デフォルトの出力形式	コマンドの結果のフォーマット方法を指定します。オプションは json、yaml、text、および table です。

Example

```
$ snc configure profile set

Host:
https://myinstance.service-now.com

Login Method (Basic, OAuth, OAuth + MFA):
Basic

Username:
myusername

Password:
mypassword
```

3. コマンドから `--profile` 属性を省略して、デフォルトのプロファイルで指定された値を使用してコマンドを実行します。

Example

```
$ snc record create
```

このコマンドは、指定された接続オプションを使用して、デフォルトプロファイルで指定されたインスタンスにレコードを作成します。

名前付きプロファイルの作成

特定のコマンドで使用する名前付き接続プロファイルを作成します。これにより、特定のコマンドに異なるインスタンスまたは接続プロトコルを指定できます。

始める前に

インスタンスと通信するには、まずデフォルトのプロファイルが存在している必要があります。

このタスクについて

注:
機密の認証情報は OS キーチェーンにのみ保存され、構成ファイルには保存されません。

手順

1. システムのコマンドラインツールを開き、このコマンドを実行します。
2. *`profile-name`* 引数に名前付きプロファイルの名前を指定します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
$ snc configure profile set [--profile profile-name]
```

CLI では、詳細情報の入力を求められます。

3. 要求された値を入力します。
情報の入力を求めるときに、CLI は現在の値を角括弧 [ ] で囲んで表示します。既存の値を保持するには、Enter キーを押します。

要求された情報	説明
ホスト	接続するインスタンスのホスト名。完全な URL (https://my-instance.service-now.com) またはホスト名のみ (my-instance) の両方をサポートします。
ログイン方法	インスタンスへの接続に使用するログイン方法。基本、OAuth、および OAuth + MFA をサポートします。
ユーザー名	インスタンスへの接続に使用するユーザー名。
パスワード	インスタンスへの接続に使用するパスワード。
クライアント ID	ログイン方法が OAuth または OAuth + MFA の場合にインスタンスへの接続に使用するクライアント ID。
クライアントシークレット	ログイン方法が OAuth または OAuth + MFA の場合にインスタンスへの接続に使用するクライアントシークレット。
認証コード	ログイン方法が OAuth + MFA の場合にインスタンスへの接続に使用する認証コード。
デフォルトの出力形式	コマンドの結果のフォーマット方法を指定します。オプションは json、yaml、text、および table です。

Example

```
$ snc configure profile set --profile user1

Host:
https://mytestinstance.service-now.com

Login Method (Basic ,OAuth ,OAuth + MFA):
Basic

Username:
myusername

Password:
mypassword
```

4. コマンドに --profile <profile-name>属性を追加して、名前付きプロファイルで指定された値を使用してコマンドを実行します。

Example

```
$ snc record create --profile user1
```

このコマンドは、指定された接続オプションを使用して、user1 プロファイルで指定されたインスタンスにレコードを作成します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロファイルの表示

構成ファイルに設定されているすべての接続プロファイルを表示するか、特定のプロファイルに関する情報を表示します。

始める前に
インスタンスと通信するには、まずデフォルトのプロファイルが存在している必要があります。

このタスクについて
プロファイルごとに、CLI にホスト情報、バージョンの詳細、ユーザー名、ログイン方法、優先出力形式が表示されます。パスワードやクライアント ID などの機密情報は表示されません。

手順

システムのコマンドラインツールを開き、このコマンドを実行します。

単一のプロファイルの接続情報を表示するには、[--profile profile-name] 引数を含めます。それ以外の場合、CLI はすべてのプロファイルの情報をリストします。

```
$ snc configure profile list [--profile profile-name]
```

Example

このコマンドは、構成されているすべてのプロファイルを表示します。

```
$ snc configure profile list
```

CLI は次の出力を提供します。

```
{
  "profiles":{
    "default":{
    "host":"https://myinstance.service-now.com",
    "loginmethod":"basic",
    "username":"admin",
    "output":"json",
    "hostversion":"Paris",
    "appversion":"1.0"
  }
}
```

プロファイルの削除

不要になった名前付き接続プロファイルを構成ファイルから削除します。

始める前に
インスタンスと通信するには、まずデフォルトのプロファイルが存在している必要があります。

このタスクについて
このコマンドを使用してデフォルトの接続プロファイルを削除することはできません。デフォルトの接続プロファイルを削除するには、構成ファイルを手動で編集します。

手順

1. システムのコマンドラインツールを開き、このコマンドを実行します。
2. *profile-name* 引数に名前付きプロファイルの名前を指定します。

```
$ snc configure profile remove [--profile profile-name]
```

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タスクの結果
CLI は、指定されたプロファイルを構成ファイルから削除します。

接続のリフレッシュ

指定されたプロファイルのインスタンスから利用可能なコマンドを更新します。CLI を最新の状態に保つために、対応するインスタンスのいずれかのコマンドを変更した後は接続を更新します。

始める前に
インスタンスと通信するには、まずデフォルトのプロファイルが存在している必要があります。

手順

システムのコマンドラインツールを開き、このコマンドを実行します。

名前付きプロファイルからの接続情報をリフレッシュするには、[--profile profile-name] 引数を含めます。引数を含めない場合、CLI はデフォルトのプロファイルをリフレッシュします。

```
$ snc configure profile refresh [--profile profile-name]
```

タスクの結果
CLI は指定された接続プロファイルのインスタンスに接続し、変更された可能性があるコマンドを更新します。

ServiceNow CLI のヘルプ

利用可能なコマンド、コマンドオプション、例を表示するか、デバッグログ出力を生成します。

始める前に

- ServiceNow CLI をインストールする
- ServiceNow CLI 接続プロファイルの構成と管理
- 必要なロール：なし

このタスクについて
デバッグログ出力オプションに加えて、CLI は次の場所にあるログファイルにすべてのコマンド実行を記録します。

- Linux および Mac： ~/.snc/.logs。
- Windows：%USERprofile%\.snc\.logs。

手順

1. 利用可能なコマンドと引数を表示するには、システムのコマンドラインツールを開き、ヘルプを参照したいコマンドを入力し、続けて --help 引数を指定します。

   Example

   次の例では、使用可能なトップレベルのコマンドのヘルプを表示しています。

   ```
   $ snc --help
   ```

   Example

   次の例では、使用可能なプロファイル固有のコマンドを表示しています。

   ```
   $ snc configure profile --help
   ```

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

CLI は、要求されたコマンドのヘルプを 8 つのセクションに分割して表示します。

名前

コマンドの名前。

```
Name
    set
```

説明

コマンドの実行内容とその戻り値の説明。

```
Description
    Configure connection profiles. This command is interactive and will prompt
you for each configuration value.
```

概要

コマンドとそのオプションを使用するための基本的な構文。

```
Synopsis
    snc configure profile set [arguments]
```

利用可能なコマンド

現在のコマンドグループで使用可能なコマンド。

```
Available Commands
list    : Lists the configured connection profiles.
refresh : Updates the available commands from the instance for the given
profile.
remove  : Removes the specified connection profile.
set     : Configures connection profiles in order to communicate with an
instance.
```

コマンドグループ

現在のコマンドグループで使用可能なコマンドグループ。

```
Command Groups
    profile : Set, view, and remove connection profiles.
```

引数

コマンドが受け入れる各引数の説明。

```
Arguments
    -p, --profile string : Use a specific connection profile when executing a
command.
```

グローバル引数

コマンドが受け入れるグローバル引数。

```
Global Arguments
    -d, --debug Print logs to console.
    -h, --help Display detailed help information.
    -o, --output string Set the format for printing command output.
```

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

例

要求されるコマンドの例。

```
Examples
  Create a new profile to save as the default:
    $ snc configure profile set
      Host:
      Login method:
      Username:
      Password:
      Client id:
      Client secret:
```

2. デバッグログ出力を生成するには、システムのコマンドラインツールを開き、デバッグするコマンドに続けて --debug 引数を入力します。

Example

次の例では、操作を実行しようとすると、デバッグログ出力が生成されます。

```
$ snc record delete --table incident --sysid 552c48888c033300964f4932b03eb092 --debug
```

CLI は、コマンドを実行するとデバッグログ出力を生成します。

ServiceNow CLI を使用したレコード操作の実行

ServiceNow CLI コマンドラインツールを使用して、インスタンスのレコードの作成、読み取り、更新、削除、クエリを行います。

- ServiceNow CLI をインストールする
- ServiceNow CLI 接続プロファイルの構成と管理

注:
レコード操作を実行するには、接続先のインスタンスの ServiceNow Store から CLI メタデータアプリケーションをインストールします。

レコードを作成

指定されたテーブルに単一のレコードを挿入します。

始める前に
必要なロール：sn_cli_metadata.cli_admin、sn_cli_metadata.cli_user、または admin

このタスクについて

注:
このコマンドを使用して複数のレコードを挿入することはできません。

手順

システムのコマンドラインツールを開き、このコマンドを実行します。

```
$ snc record create [--table table --data data]
```

これらの引数に値を渡します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター	説明
table	必須です。レコードを保存するテーブルの名前。
data	必須です。指定されたレコードで JSON 文字列形式で定義するフィールド名と各フィールドの関連値。

タスクの結果
指定されたテーブルにレコードが作成され、新しいレコードのフィールドと値のペアが返されます。

Example:

```
$ snc record create --table incident, --data "{'short_description': 'Unable to open file',
 'impact':'3'}"
```

レコードは JSON 形式で返されます。

```
{
  "result": {
    "active": "true",
    "activity_due": "",
    "additional_assignee_list": "",
    "approval": "not requested",
    "approval_history": "",
    "approval_set": "",
    "assigned_to": "",
    "assignment_group": "",
    "business_duration": "",
    "business_service": "",
    "business_stc": "",
    "calendar_duration": "",
    "calendar_stc": "",
    "caller_id": "",
    "category": "inquiry",
    "caused_by": "",
    "child_incidents": "0",
    "close_code": "",
    "close_notes": "",
    "closed_at": "",
    "closed_by": "",
    "cmdb_ci": "",
    "comments": "",
    "comments_and_work_notes": "",
    "company": "",
    "contact_type": "",
    "contract": "",
    "correlation_display": "",
    "correlation_id": "",
    "delivery_plan": "",
    "delivery_task": "",
    "description": "",
    "due_date": "",
    "escalation": "0",
    "expected_start": "",
    "follow_up": "",
    "group_list": "",
    "hold_reason": "",
```

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    "impact": "3",
    "incident_state": "1",
    "knowledge": "false",
    "location": "",
    "made_sla": "true",
    "notify": "1",
    "number": "INC0010005",
    "opened_at": "2021-01-27 22:49:11",
    "opened_by": {
      "link":
"https://my-instance.service-now.com/api/now/table/sys_user/6816f79cc0a8016401c5a33be04be441",
      "value": "6816f79cc0a8016401c5a33be04be441"
    },
    "order": "",
    "parent": "",
    "parent_incident": "",
    "priority": "5",
    "problem_id": "",
    "reassignment_count": "0",
    "reopen_count": "0",
    "reopened_by": "",
    "reopened_time": "",
    "resolved_at": "",
    "resolved_by": "",
    "rfc": "",
    "route_reason": "",
    "service_offering": "",
    "severity": "3",
    "short_description": "Unable to open file",
    "sla_due": "",
    "state": "1",
    "subcategory": "",
    "sys_class_name": "incident",
    "sys_created_by": "admin",
    "sys_created_on": "2021-01-27 22:49:11",
    "sys_domain": {
      "link": "https://my-instance.service-now.com/api/now/table/sys_user_group/global",
      "value": "global"
    },
    "sys_domain_path": "/",
    "sys_id": "6a6a4f5cdbcae850d7055268dc9619d4",
    "sys_mod_count": "0",
    "sys_tags": "",
    "sys_updated_by": "admin",
    "sys_updated_on": "2021-01-27 22:49:11",
    "task_effective_number": "INC0010005",
    "time_worked": "",
    "universal_request": "",
    "upon_approval": "proceed",
    "upon_reject": "cancel",
    "urgency": "3",
    "user_input": "",
    "watch_list": "",
    "work_end": "",
    "work_notes": "",
    "work_notes_list": "",
```


自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    "work_start": ""
  }
}
```

レコードの削除

指定されたテーブルから指定されたレコードを削除します。

始める前に

必要なロール：sn_cli_metadata.cli_admin、sn_cli_metadata.cli_user、または admin

手順

システムのコマンドラインツールを開き、このコマンドを実行します。

```
$ snc record delete [--table table --sysid sys_id]
```

これらの引数に値を渡します。

パラメーター	説明
table	必須です。レコードを削除するテーブルの名前。
sysid	必須です。削除するレコードの sys_id。

Example:

```
$ snc record delete --table incident --sysid 552c48888c033300964f4932b03eb092
```

レコードの取得

指定された sys_id に基づいて指定されたテーブルから単一のレコードを取得します。

始める前に

必要なロール：sn_cli_metadata.cli_admin、sn_cli_metadata.cli_user、または admin

手順

システムのコマンドラインツールを開き、このコマンドを実行します。

```
$ snc record get [--table table --sysid sys_id]
```

これらの引数に値を渡します。

パラメーター	説明
table	必須です。レコードの取得元のテーブルの名前。
sysid	必須です。取得するレコードの sys_id。

Example:

```
$ snc record get --table incident --sysid 552c48888c033300964f4932b03eb092
```

レコードは JSON 形式で返されます。

```
{
  "result": {
```

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    "active": "true",
    "activity_due": "",
    "additional_assignee_list": "",
    "approval": "not requested",
    "approval_history": "",
    "approval_set": "",
    "assigned_to": "",
    "assignment_group": "",
    "business_duration": "",
    "business_service": "",
    "business_stc": "",
    "calendar_duration": "",
    "calendar_stc": "",
    "caller_id": {
      "link":
"https://my-instance.service-now.com/api/now/table/sys_user/005d500b536073005e0addeeff
7b12f4",
      "value": "005d500b536073005e0addeeff7b12f4"
    },
    "category": "inquiry",
    "caused_by": "",
    "child_incidents": "0",
    "close_code": "",
    "close_notes": "",
    "closed_at": "",
    "closed_by": "",
    "cmdb_ci": "",
    "comments": "",
    "comments_and_work_notes": "",
    "company": "",
    "contact_type": "",
    "contract": "",
    "correlation_display": "",
    "correlation_id": "",
    "delivery_plan": "",
    "delivery_task": "",
    "description": "",
    "due_date": "",
    "escalation": "0",
    "expected_start": "",
    "follow_up": "",
    "group_list": "",
    "hold_reason": "",
    "impact": "3",
    "incident_state": "1",
    "knowledge": "false",
    "location": "",
    "made_sla": "true",
    "notify": "1",
    "number": "INC0010112",
    "opened_at": "2019-07-29 18:48:43",
    "opened_by": {
      "link":
"https://my-instance.service-now.com/api/now/table/sys_user/6816f79cc0a8016401c5a33be
04be441",
      "value": "6816f79cc0a8016401c5a33be04be441"
    },
```


自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    "order": "",
    "parent": "",
    "parent_incident": "",
    "priority": "5",
    "problem_id": "",
    "reassignment_count": "0",
    "reopen_count": "0",
    "reopened_by": "",
    "reopened_time": "",
    "resolved_at": "",
    "resolved_by": "",
    "rfc": "",
    "route_reason": "",
    "service_offering": "",
    "severity": "3",
    "short_description": "Assessment :  ATF Assessor",
    "sla_due": "",
    "state": "1",
    "subcategory": "",
    "sys_class_name": "incident",
    "sys_created_by": "admin",
    "sys_created_on": "2019-07-29 18:49:28",
    "sys_domain": {
      "link": "https://my-instance.service-now.com/api/now/table/sys_user_group/global",
      "value": "global"
    },
    "sys_domain_path": "/",
    "sys_id": "552c48888c033300964f4932b03eb092",
    "sys_mod_count": "0",
    "sys_tags": "",
    "sys_updated_by": "admin",
    "sys_updated_on": "2019-07-29 18:49:28",
    "task_effective_number": "INC0010112",
    "time_worked": "",
    "universal_request": "",
    "upon_approval": "proceed",
    "upon_reject": "cancel",
    "urgency": "3",
    "user_input": "",
    "watch_list": "",
    "work_end": "",
    "work_notes": "",
    "work_notes_list": "",
    "work_start": ""
  }
}
```


レコードのクエリ

指定されたテーブルから複数のレコードを取得します。

始める前に

必要なロール：sn_cli_metadata.cli_admin、sn_cli_metadata.cli_user、または admin

手順

システムのコマンドラインツールを開き、このコマンドを実行します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
$ snc record query [--displayvalue displayValue --fields fields --limit limit --offset offset
 --query query --table table]
```

これらの引数に値を渡します。

パラメーター	説明
displayValue	参照フィールドと選択フィールドの表示値をデータベースから取得するには、--displayvalue を含めます。実際の値を取得するためにこのパラメーターを含めないでください。
フィールド	データベースから返すカンマで区切られたフィールド名のリストです。
limit	返されるレコードの最大数。
offset	レコード取得を開始する開始レコードインデックス。この値を使用して、レコード取得をページネーションします。
クエリ	必須です。次の形式で結果セットをフィルタリングするために使用されるエンコードされたクエリ： --query '<column_name><operator><value>'
table	必須です。レコードのクエリを実行するテーブルの名前。

Example:

```
$ snc record query --displayvalue --fields short_description,state --query
'123TEXTQUERY321=email' --table incident
```

CLI はクエリに一致するレコードを返します。

```
{
  "result": [
    {
      "short_description": "Unable to connect to email",
      "state": "Closed"
    }
  ]
}
```

レコードを更新

指定されたレコードを指定されたデータ属性で更新します。

始める前に
必要なロール：sn_cli_metadata.cli_admin、sn_cli_metadata.cli_user、または admin

手順

システムのコマンドラインツールを開き、このコマンドを実行します。

```
$ snc record update [--sysid sys_id --table table --data data]
```

これらの引数に値を渡します。

パラメーター	説明
table	必須です。レコードを保存するテーブルの名前。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター	説明
sysid	必須です。更新するレコードの sys_id。
data	必須です。指定されたレコードで JSON 文字列形式で定義するフィールド名と各フィールドの関連値。

Example:

```
$ snc record update --sysid 9ef81de2db0d6090d7055268dc961978 --table incident --data
 "{'short_description': 'Email servers down', 'urgency':'1'}"
```

更新されたレコードのフィールドと値のペアが返されます。


```
{
  "result": {
    "active": "true",
    "activity_due": "",
    "additional_assignee_list": "",
    "approval": "not requested",
    "approval_history": "",
    "approval_set": "",
    "assigned_to": "",
    "assignment_group": {
      "link":
 "https://my-instance.service-now.com/api/now/table/sys_user_group/287ebd7da9fe198100f9
2cc8d1d2154e",
      "value": "287ebd7da9fe198100f92cc8d1d2154e"
    },
    "business_duration": "",
    "business_service": "",
    "business_stc": "",
    "calendar_duration": "",
    "calendar_stc": "",
    "caller_id": "",
    "category": "inquiry",
    "caused_by": "",
    "child_incidents": "0",
    "close_code": "",
    "close_notes": "",
    "closed_at": "",
    "closed_by": "",
    "cmdb_ci": "",
    "comments": "",
    "comments_and_work_notes": "",
    "company": "",
    "contact_type": "",
    "contract": "",
    "correlation_display": "",
    "correlation_id": "",
    "delivery_plan": "",
    "delivery_task": "",
    "description": "",
    "due_date": "",
    "escalation": "0",
    "expected_start": "",
    "follow_up": "",
    "group_list": "",
```


自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    "hold_reason": "",
    "impact": "2",
    "incident_state": "1",
    "knowledge": "false",
    "location": "",
    "made_sla": "true",
    "notify": "1",
    "number": "INC0010003",
    "opened_at": "2020-12-15 21:17:05",
    "opened_by": {
      "link":
"https://my-instance.service-now.com/api/now/table/sys_user/6816f79cc0a8016401c5a33be04be441",
      "value": "6816f79cc0a8016401c5a33be04be441"
    },
    "order": "",
    "parent": "",
    "parent_incident": "",
    "priority": "2",
    "problem_id": "",
    "reassignment_count": "0",
    "reopen_count": "0",
    "reopened_by": "",
    "reopened_time": "",
    "resolved_at": "",
    "resolved_by": "",
    "rfc": "",
    "route_reason": "",
    "service_offering": "",
    "severity": "3",
    "short_description": "Email servers down",
    "sla_due": "",
    "state": "1",
    "subcategory": "",
    "sys_class_name": "incident",
    "sys_created_by": "admin",
    "sys_created_on": "2020-12-15 21:17:05",
    "sys_domain": {
      "link": "https://my-instance.service-now.com/api/now/table/sys_user_group/global",
      "value": "global"
    },
    "sys_domain_path": "/",
    "sys_id": "9ef81de2db0d6090d7055268dc961978",
    "sys_mod_count": "1",
    "sys_tags": "",
    "sys_updated_by": "admin",
    "sys_updated_on": "2021-01-27 22:56:33",
    "task_effective_number": "INC0010003",
    "time_worked": "",
    "universal_request": "",
    "upon_approval": "proceed",
    "upon_reject": "cancel",
    "urgency": "1",
    "user_input": "",
    "watch_list": "",
    "work_end": "",
    "work_notes": "",
```


自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    "work_notes_list": "",
    "work_start": ""
  }
}
```

ServiceNow CLI でのカスタムコマンドの作成

ServiceNow CLI でカスタムコマンドを作成して、コマンドラインからカスタムアプリケーションを管理します。

始める前に
必要なロール：admin

このタスクについて
ServiceNow CLI コマンドは、エンドポイント [sn_cl_metadata_end_point] テーブルのスクリプト化された REST エンドポイントにマッピングされます。スクリプト化された REST エンドポイントを定義してカスタムアプリケーションで機能を実行するか、既存の REST エンドポイントを使用できます。次に、CLI コマンドをマッピングして REST 呼び出しを実行します。

手順

1. ServiceNow CLI コマンドで REST エンドポイントを使用できるようにします。

   a. 移動先 コマンドラインインターフェイス **(CLI)** > エンドポイント.

   b. [新規] を選択し、フォームに入力します。

フィールド	説明
リソースパス	必須です。コマンドのマッピング先のインスタンス上のエンドポイントへのパス。受信 REST API またはスクリプト化された REST API へのパスを指定できます。例：api/now/table/{table}/{sysid}。詳細については、「利用可能な REST API」および「スクリプト済み REST API」を参照してください。
HTTP メソッド	必須です。ユーザーが関連付けられたコマンドを実行するときに使用する HTTP メソッド。
アプリケーション	エンドポイントの読み取り専用アプリケーションスコープです。

2. オプション: コマンドグループを作成します。
   または、既存のコマンドグループに新しいコマンドを追加することもできます。

   a. 移動先 コマンドラインインターフェイス **(CLI)** > コマンドグループ.

   b. [新規] を選択し、フォームに入力します。

フィールド	説明
名前	必須です。コマンドグループの名前。
親グループ	親コマンドグループ。
参照グループ	参照するコマンドグループ。たとえば、既存のコマンドグループのエイリアスとして新しいコマンドグループを作成できます。ユーザーが新しいコマンドグループを使用して参照したコマンドを呼び出すと、元のコマンドが実行されます。これにより、新しいコマンドと既存のコマンドの両方

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	を含むカスタムアプリケーションに固有のコマンドグループを作成できます。
簡単な説明	必須です。コマンドグループの簡単な説明。
説明	ユーザーがコマンドグループで `--help` コマンドを実行するときにヘルプテキストとして使用されるコマンドグループの説明。
アプリケーション	コマンドグループの読み取り専用アプリケーションスコープ。
有効	選択すると、コマンドグループがアクティブになります。

3. コマンドを作成します。

a. 移動先 コマンドラインインターフェイス **(CLI)** > コマンド.

b. [新規] を選択し、フォームに入力します。

フィールド	説明
名前	必須です。コマンドの名前。
コマンドグループ	必須です。コマンドが属するコマンドグループ。
参照コマンド	参照するコマンド。たとえば、既存のコマンドのエイリアスとして新しいコマンドを作成できます。ユーザーが新しいコマンドを呼び出すと、元のコマンドが実行されます。これにより、既存の機能を実行するカスタムアプリケーションに固有のコマンドを作成できます。 **注:** コマンドは、別のコマンドを参照するコマンド、または子孫コマンド、先祖コマンド、またはコールバックコマンドを参照することはできません。
API エンドポイント	必須です。ユーザーがコマンドを実行するときに実行する API 呼び出し。
簡単な説明	必須です。コマンドの簡単な説明。
アプリケーション	コマンドの読み取り専用アプリケーションスコープ。
有効	選択すると、コマンドがアクティブになります。
コールバックコマンドである	true の場合、コマンドをコールバックコマンドとして指定します。CLI クライアントからのコマンドを非表示にして、ユーザーがコマンドラインからそのコマンドを呼び出せないようにするには、このオプションを選択します。 このフィールドは、プライマリコマンドの [コールバック] セクションで使用します。コールバックコマンドは、プライマリコマンドが完了すると実行されます。
ヘルプテキスト	
説明	ユーザーが `--help` コマンドを実行するときにヘルプテキストとして使用されるコマンドの説明。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
例	ユーザーが `--help` コマンドを実行するときにヘルプテキストとして使用されるコマンドの例。
式	
成功の式	サーバーからの応答を評価し、コマンドが成功したかどうかを判断するために使用される式。例：`result.code = 1`。
失敗の式	サーバーからの応答を評価し、コマンドが失敗したかどうかを判断するために使用される式。
メッセージ	
成功メッセージ	コマンドが成功したときに CLI クライアントに表示されるメッセージ。
進行状況メッセージ	コマンドの処理中に CLI クライアントに表示されるメッセージ。
失敗メッセージ	コマンドが失敗したときに CLI クライアントに表示されるメッセージ。
コールバック	
コールバック式	コールバックコマンドを実行するかどうかを決定するために使用される式。たとえば、実行時間の長いプロセスをチェックする式を記述できます。式が特定の結果を生成すると、コールバックが実行されます。
コールバックコマンド	[コールバック式] が満たされたときに実行するコマンド。[コールバックコマンドである] フィールドが選択されたコマンドである必要があります。
コールバック間隔	コールバックコマンドの実行間隔。 単位：ミリ秒 デフォルト：1,000
最大再試行回数	コールバックコマンドを実行する最大回数。 デフォルト：10

c. [コマンド引数] 関連リストで、コマンドに必要なコマンド引数を作成します。

コマンド引数を作成して、ユーザーがコマンドの実行時にオプションを設定できるようにします。

フィールド	説明
名前	必須です。コマンド引数の名前 (例： `data`)。
短い名前	コマンド引数の短い名前 (例：`d`)。
データタイプ	必須です。コマンド引数の想定されるデータタイプ。次のオプションが含まれます。 ▪ 文字列：ユーザーが文字列を入力できるようにします。 ▪ 整数：ユーザーが数値を入力できるようにします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明
	▪ ブーリアン：ユーザーが入力として `true` または `false` を入力できるようにします。 ▪ ファイル入力：ユーザーが入力としてファイルをアップロードできるようにします。次のステップで、この引数を [API エンドポイント引数] 関連リストの本文の [パラメータータイプ] にマッピングします。ユーザーは、プレーンテキスト、YAML、JSON、または REST API で受け入れられる別のファイルタイプを渡すことができます。ユーザーが YAML ファイルを送信すると、CLI クライアントはデフォルトで JSON 形式にファイルを変換します。[前処理をスキップ **(Skip Pre-processing)**] フィールドを使用して、この動作を無効にします。 ▪ パスワード：ユーザーがパスワードを安全に入力できるようにします。 **注:** ファイル入力データタイプの場合、ファイルサイズ制限はデフォルトで 10 MB です。ただし、*glide.rest.scripted.max_inbound_content_length_mb* システムのプロパティを使用してこの制限を変更できます。
前処理をスキップ (Skip Pre-processing)	CLI クライアントが YAML ファイルを要求で送信する前に JSON 形式に変換しないようにするには、このフラグを設定します。[データタイプ] が [ファイル入力] に設定されている場合、ユーザーが YAML ファイルを送信すると、デフォルトでは、CLI クライアントはコマンドを実行する前にファイルを JSON に変換します。 **注:** [データタイプ] が [ファイル入力]に設定されている場合にのみ適用されます。
デフォルト値	ユーザーが値を渡さない場合に使用するデフォルト値。
簡単な説明	必須です。コマンド引数の簡単な説明。ユーザーが `--help` コマンドを実行するときにヘルプテキストとして使用されます。
アプリケーション	引数の読み取り専用アプリケーションスコープ。
コマンド	必須です。引数の適用先のコマンド。
必須	選択した場合、ユーザーは関連付けられたコマンドを実行するときに引数の値を入力する必要があります。
プロンプト	ユーザーからの情報を要求するためのプロンプト。ユーザーがコマンドに必要な引数を含めていない場合、CLI で情報の入力を求められます。
可視化の式	CLI が引数を要求するかどうかを決定するために使用される式。通常、前の引数に指定された値に基づいて引数を表示するために使用されます。
順番	引数の入力を要求する順番。

d. [API エンドポイント引数] 関連リストで、コマンドに必要な任意の API エンドポイント引数を作成します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

[コマンド引数] 関連リストのコマンド引数を、REST エンドポイントのパラメーターにマッピングします。

フィールド	説明
名前	必須です。引数の名前。
値	必須です。REST エンドポイントに渡すコマンドの値。静的な値、または {flags.table} などの式を渡すことができます。コマンド引数にアクセスするには、flags グローバル変数を使用します。
パラメータタイプ	必須です。[値] を渡す REST エンドポイントのパラメーターのタイプ。たとえば、[本文] を選択すると、CLI は [値] フィールドの値 を REST エンドポイント本文に渡します。次のオプションが含まれます。 ▪ 本文 ▪ ヘッダー ▪ パス ▪ クエリ
アプリケーション	引数の読み取り専用アプリケーションスコープ。
コマンド	必須です。引数の適用先のコマンド。

e. [戻り値] 関連リストで、コマンドに必要な戻り値を作成します。

応答から特定のキーのみを返す戻り値を作成します。

フィールド	説明
パス式	必須です。返すキーへのパスを表す式。
エイリアス	戻り値を割り当てる変数名。
アプリケーション	コマンドの読み取り専用アプリケーションスコープ。
コマンド	必須です。戻り値が適用されるコマンド。

タスクの結果

ユーザーが ServiceNow CLI コマンドを実行すると、関連付けられた REST API 呼び出しが実行され、結果が ServiceNow CLI に返されます。

ServiceNow CLI 拡張の管理

ServiceNow CLI に拡張を追加して、追加の機能やコマンドをロードしたり、既存の拡張を更新したり、不要になった拡張を削除したりします。

手順

1. 利用可能な拡張を検索します。

a. システムのコマンドラインツールを開き、このコマンドを実行します。

```
$ snc extension list-available -o table
```

利用可能な拡張と関連付けられた詳細がリストされます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
NAME      DESCRIPTION                          VERSION          INSTALLED
-------------------------------------------------------------------------------
ui-component      Build and deploy components          19.0.0-alpha.15     false
```

2. 拡張をインストールします。

   a. システムのコマンドラインツールを開き、このコマンドを実行します。

   ```
   $ snc extension add --name <extension-name>
   ```

3. オプション: 拡張を更新します。

   a. システムのコマンドラインツールを開き、このコマンドを実行します。

   ```
   $ snc extension update --name <extension-name>
   ```

4. オプション: 拡張を削除します。

   a. システムのコマンドラインツールを開き、このコマンドを実行します。

   ```
   $ snc extension remove --name <extension-name>
   ```

ServiceNow CLI の利用可能なコマンド

ベースシステム ServiceNow CLI で使用可能なコマンドとコマンド引数。

グローバルコマンド引数

コマンド引数を使用して、任意の CLI コマンドのオプションを設定します。

--help

説明、サポートされている引数、例を含む、指定されたコマンドのヘルプ情報を提供します。詳細については、「ServiceNow CLI のヘルプ」を参照してください。

```
$ snc --help
```

--debug

コマンドの実行時に、デバッグログ記録出力を提供します。詳細については、「ServiceNow CLI のヘルプ」を参照してください。

```
$ snc record delete --table incident --sysid 552c48888c033300964f4932b03eb092
 --debug
```

--profile

コマンドに使用する名前付きプロファイルを指定します。詳細については、「ServiceNow CLI 接続プロファイルの構成と管理」を参照してください。

```
$ snc configure profile set --profile <profilename>
```

--output

コマンドに使用する出力形式を指定します。ServiceNow CLI は次の出力形式をサポートしています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- `json`：出力は JSON としてフォーマットされます。これがデフォルトです。

```
{
  "default": {
    "appversion": "1.0.8",
    "host": "https://myinstance.service-now.com",
    "hostversion": "Paris",
    "loginmethod": "basic",
    "output": "json",
    "username": "admin"
  },
  "user1": {
    "appversion": "1.0.8",
    "host": "https://otherinstance.service-now.com",
    "hostversion": "Paris",
    "loginmethod": "basic",
    "output": "yaml",
    "username": "admin"
  }
}
```

- `yaml`：出力は YAML としてフォーマットされます。YAML を使用して、YAML 形式の文字列を発行または使用するサービスおよびツールで出力を処理します。

```
default:
  appversion: 1.0.8
  host: https://myinstance.service-now.com
  hostversion: Paris
  loginmethod: basic
  output: json
  username: admin
user1:
  appversion: 1.0.8
  host: https://otherinstance.service-now.com
  hostversion: Paris
  loginmethod: basic
  output: yaml
  username: admin
```

- `text`：出力は、タブ区切りの文字列値の複数の行としてフォーマットされます。この出力は、grep、sed、awk などの従来の UNIX テキストツールと、PowerShell によって実行されるテキスト処理で使用します。

```
default  https://myinstance.service-now.com  Paris  1.0.8  basic  admin  json
user1  https://otherinstance.service-now.com  Paris  1.0.8  basic  admin
 yaml
```

- `table`：出力は、人間が判読可能な形式で情報が表示されるテーブルとしてフォーマットされます。

```
NAME  HOST  HOST  VERSION  APP  VERSION  LOGIN  METHOD
 USERNAME  OUTPUT
--------------------------------------------------------------------------------
```

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
default   myinstance   Paris   1.0.8   basic   admin   json
user1   otherinstance   Paris   1.0.8   basic   admin   yaml
```

- none：CLI は出力をコンソールに出力しません。成功、エラー、および進捗状況のメッセージは引き続き表示されます。

```
$ snc record query --table incident --query 'active=true' --output json
```

--no-interactive

CLI がユーザーに引数値の入力を要求しないようにします。ユーザーが必須引数の値を渡さない場合は、デフォルト値が使用されます。デフォルト値が定義されていない場合は、エラーがスローされます。

--no-verbose

コマンドはメッセージなしでサイレント実行されます。自動テストシナリオでは、この引数を使用します。

プロファイルの設定

接続プロファイルを作成して、インスタンスへの接続、接続プロファイルの表示、接続および利用可能なコマンドの更新、または不要になったプロファイルの削除を行います。 プロファイルの設定の詳細については、「ServiceNow CLI 接続プロファイルの構成と管理」を参照してください。

デフォルトプロファイルの設定

ServiceNow CLI がデフォルトで使用する接続プロファイルを作成します。インスタンスとの CLI の初期接続を設定するには、デフォルトのプロファイルを作成する必要があります。

```
$ snc configure profile set
```

次の情報の入力を求められます。

要求された情報	説明
ホスト	接続するインスタンスのホスト名。完全な URL (https://my-instance.service-now.com) またはホスト名のみ (my-instance) の両方をサポートします。
ログイン方法	インスタンスへの接続に使用するログイン方法。基本、OAuth、および OAuth + MFA をサポートします。
ユーザー名	インスタンスへの接続に使用するユーザー名。
パスワード	インスタンスへの接続に使用するパスワード。
クライアント ID	ログイン方法が OAuth または OAuth + MFA の場合にインスタンスへの接続に使用するクライアント ID。
クライアントシークレット	ログイン方法が OAuth または OAuth + MFA の場合にインスタンスへの接続に使用するクライアントシークレット。
認証コード	ログイン方法が OAuth + MFA の場合にインスタンスへの接続に使用する認証コード。
デフォルトの出力形式	コマンドの結果のフォーマット方法を指定します。オプションは json、yaml、text、および table です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前付きプロファイルの設定

特定のコマンドで使用する名前付き接続プロファイルを作成します。これにより、特定のコマンドに異なるインスタンスまたは接続プロトコルを指定できます。

```
$ snc configure profile set [--profile profile-name]
```

次の情報の入力を求められます。

要求された情報	説明
ホスト	接続するインスタンスのホスト名。完全な URL (https://my-instance.service-now.com) またはホスト名のみ (my-instance) の両方をサポートします。
ログイン方法	インスタンスへの接続に使用するログイン方法。基本、OAuth、および OAuth + MFA をサポートします。
ユーザー名	インスタンスへの接続に使用するユーザー名。
パスワード	インスタンスへの接続に使用するパスワード。
クライアント ID	ログイン方法が OAuth または OAuth + MFA の場合にインスタンスへの接続に使用するクライアント ID。
クライアントシークレット	ログイン方法が OAuth または OAuth + MFA の場合にインスタンスへの接続に使用するクライアントシークレット。
認証コード	ログイン方法が OAuth + MFA の場合にインスタンスへの接続に使用する認証コード。
デフォルトの出力形式	コマンドの結果のフォーマット方法を指定します。オプションは json、yaml、text、および table です。

プロファイルの表示

構成ファイルに設定されているすべての接続プロファイルを表示するか、特定のプロファイルに関する情報を表示します。

```
$ snc configure profile list [--profile profile-name]
```

プロファイルの削除

不要になった名前付き接続プロファイルを構成ファイルから削除します。

```
$ snc configure profile remove [--profile profile-name]
```

プロファイルのリフレッシュ

指定されたプロファイルのインスタンスから利用可能なコマンドを更新します。CLI を最新の状態に保つために、対応するインスタンスのいずれかのコマンドを変更した後は接続を更新します。

```
$ snc configure profile refresh [--profile profile-name]
```

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

レコード操作の実行

ServiceNow CLI コマンドラインツールを使用して、インスタンスのレコードの作成、読み取り、更新、削除、クエリを行います。 レコード操作の実行の詳細については、「 ServiceNow CLI を使用したレコード操作の実行」を参照してください。

レコードを作成

指定されたテーブルに単一のレコードを挿入します。

```
$ snc record create [--table table --data data]
```

これらの引数に値を渡します。

パラメーター	説明
table	必須です。レコードを保存するテーブルの名前。
data	必須です。指定されたレコードで JSON 文字列形式で定義するフィールド名と各フィールドの関連値。

レコードの削除

指定されたテーブルから指定されたレコードを削除します。

```
$ snc record delete [--table table --sysid sys_id]
```

これらの引数に値を渡します。

パラメーター	説明
table	必須です。レコードを削除するテーブルの名前。
sysid	必須です。削除するレコードの sys_id。

レコードの取得

指定された sys_id に基づいて指定されたテーブルから単一のレコードを取得します。

```
$ snc record get [--table table --sysid sys_id]
```

これらの引数に値を渡します。

パラメーター	説明
table	必須です。レコードの取得元のテーブルの名前。
sysid	必須です。取得するレコードの sys_id。

レコードのクエリ

指定されたテーブルから複数のレコードを取得します。

```
$ snc record query [--displayvalue displayValue --fields fields --limit limit --offset
 offset --query query --table table]
```

これらの引数に値を渡します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター	説明
displayValue	参照フィールドと選択フィールドの表示値をデータベースから取得するには、--displayvalue を含めます。実際の値を取得するためにこのパラメーターを含めないでください。
フィールド	データベースから返すカンマで区切られたフィールド名のリストです。
limit	返されるレコードの最大数。
offset	レコード取得を開始する開始レコードインデックス。この値を使用して、レコード取得をページネーションします。
クエリ	必須です。次の形式で結果セットをフィルタリングするために使用されるエンコードされたクエリ： --query '<column_name><operator><value>'
table	必須です。レコードのクエリを実行するテーブルの名前。

レコードを更新

指定されたレコードを指定されたデータ属性で更新します。

```
$ snc record update [--sysid sys_id --table table --data data]
```

これらの引数に値を渡します。

パラメーター	説明
table	必須です。レコードを保存するテーブルの名前。
sysid	必須です。更新するレコードの sys_id。
data	必須です。指定されたレコードで JSON 文字列形式で定義するフィールド名と各フィールドの関連値。

拡張の操作

ServiceNow CLI に拡張を追加して、追加の機能やコマンドをロードしたり、既存の拡張を更新したり、不要になった拡張を削除したりします。詳細については、「ServiceNow CLI 拡張の管理」を参照してください。

利用可能な拡張の検索

```
$ snc extension list-available -o table
```

拡張のインストール

```
$ snc extension add --name <extension-name>
```

拡張の更新

```
$ snc extension update --name <extension-name>
```

拡張の削除

```
$ snc extension remove --name <extension-name>
```

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

UI コンポーネント拡張の使用

UI コンポーネント拡張の追加

UI コンポーネントエクステンション を ServiceNow CLI に追加します。

```
$ snc extension add --name ui-component
```

プロジェクトの設定

コンポーネントプロジェクトと、コンポーネントの開発に必要なファイルのセットを作成します。インスタンスに接続してコンポーネントのアプリケーションスコープを作成するか、後で検証するためにスコープを予約することができます。

```
$ snc ui-component project [--name name --description description --scope scope
 --offline]
```

これらの引数に値を渡します。

名前	説明
name	必須です。プロジェクト名。有効な一意の npm パッケージ名である必要があります。
説明	npm レジストリとインスタンスのプラグインリストで使用できるプロジェクトの説明。
scope	このプロジェクトとそのコンポーネントにアサインする提案されたアプリケーションスコープ。指定されている場合、インスタンスは名前を検証します。 インスタンスでのアプリケーション開発には、名前空間識別子のガイドラインを使用します。詳細については、「アプリケーションスコープ」を参照してください。 最大：18 文字。 ケース：スネークケース。 デフォルト：x_customerprefix_componentname、ここで： • customerprefix は、インスタンスの *glide.appcreator.company.code* システムのプロパティの値です。 • componentname は、プロジェクトの作成時にコンポーネントの name パラメーターで指定された値です。 または、now-ui.json ファイルで scopeName パラメーターに値を追加することもできます。
offline	true の場合、インスタンスから切断されている間にコンポーネントを作成してスキャフォールディングします。指定されたスコープ名の検証をスキップします。 デフォルト値：false。

開発サーバーの実行

コンポーネントコードを追加し、ローカルの開発サーバーを使用してテストします。

```
$ snc ui-component develop [--entry entry --open --port port --host host]
```

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

これらの引数に値を渡します。

名前	説明
エントリー	コンポーネントプロジェクト内のテストモジュールへのパス。 デフォルト： example/index.js。
open	デフォルトのブラウザーを開き、テストページに移動します。 デフォルト値：false。
port	開発サーバーが実行されているポート。 デフォルト：8081。
host	ローカル開発サーバーを他のユーザーが外部からアクセスできるようにする場合に使用するホストアドレス。通常は `0.0.0.0` に設定します

インスタンスへのコンポーネントの展開

アプリケーションプラグインとしてインスタンスに表示するコンポーネントを展開します。

```
$ snc ui-component deploy [--open --force]
```

これらの引数に値を渡します。

名前	説明
open	true の場合、デフォルトのブラウザーが開き、インスタンスの UI ビルダー に移動します。 デフォルト値：false
force	コンポーネントの変更を展開し、既存のコンポーネントレコードを上書きします。 デフォルト値：false。

CMDB アプリケーションの **CLI** および **API** とともにインストールされるコマンド

app-cmdb-api-cli プラグインがインストールされている場合に ServiceNow CLI で使用できるコマンドとコマンドグループ。

ストアでアプリを要求する

ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート」を参照してください。

企業全体の自動化をサポートする重要な操作をスクリプト化するために、ユーザーインターフェイスを使用する代わりに、API を活用するか、CMDB アプリケーション CLI および API ストアアプリが提供するコマンドライン操作を実行できます。CMDB アプリケーション CLI および API ストアア

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

プリは、アプリケーションサービスに関連するすべての API と、それらの API へのインターフェイスにアクセスできるようにするコマンドラインを統合する堅牢なフレームワークを提供します。

CMDB アプリケーションの CLI および API コマンドは、次のタスクを有効にします。

- アプリケーションサービスの登録と作成、およびアップストリームの関係の確立
- 指定されたアプリケーションサービスとそのアップストリームの関係の詳細の取得
- ビジネスアプリケーションやビジネスサービスオファリングなどの上位レベルの構成要素の接続
- 指定された入力タイプのアプリケーションサービスへの入力
- アプリケーションサービスのステータスの変更

REST API ソリューションについては、「SG サービス API」を参照してください。

アプリケーションサービスへの変換

手動または空のタイプのアプリケーションサービスを計算されたアプリケーションサービスに変換します。変換中、アプリケーションサービスレコードは新しくアサインされたクラスとともに [cmdb_ci_service_calculated] テーブルに移動します。

コマンドグループ：

- 親グループ：service-graph
- 子グループ：app-service

必要なロール

app_service_admin

サービスマッピング関連サービスを使用する場合、ユーザーはそのサービスマッピング関連サービスに必要なロールを持っている必要があります。

Mac OS のコマンド構造

```
snc service-graph app-service convert --data '{JSON}'
```

Windows OS のコマンド構造

```
snc service-graph app-service convert --data "{JSON}"
```

引数

このコマンドは、*data* パラメーターを使用して JSON オブジェクトを渡します。

CI を識別する以下のプロパティは、次のように優先されます。

1. sys_id – sys_id の場合、システムは sys_id のみを使用し、追加の値は無視します。
2. 数値 – sys_id なしで指定された場合、システムは数値のみを使用し、追加の値は無視します。
3. <IRE field name> – sys_id または数値が指定されていない場合のみ、システムはこれらの値を使用します。

JSON オブジェクトのプロパティ

名前	説明
<IRE field name>	アプリケーションサービスを特定する 1 つ以上の IRE フィールド。たとえば、名前やバージョン。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

JSON オブジェクトのプロパティ (続く)

名前	説明
	データタイプ：文字列
levels	変換に含めるレベルの数。 データタイプ：文字列
number	アプリケーションサービスを特定する一意の番号。 データタイプ：文字列
sys_id	アプリケーションサービスの sys_id。 データタイプ：文字列

Mac OS での例

```
snc service-graph app-service convert --data '{"name":"Test
 Register","environment":"Test","version":"1.0","levels":8}'
```

Windows OS での例

```
snc service-graph app-service convert --data "{"name":"Test
 Register","environment":"Test","version":"1.0","levels":8}"
```

値を返す

```
{
  "result": {
  "status": "success"
  }
}
```

アプリケーションサービス関係の作成

ビジネスアプリケーション、ビジネスサービスオファリング、その他のアプリケーションサービスなどのアップストリームの関係をビルドします。 このコマンドを実行すると、1 つの親と対応する子オブジェクトを含む入力を取得して、関係が作成されます。

コマンドグループ：

- 親グループ：service-graph
- 子グループ：app-service

必要なロール

app_service_admin

サービスマッピング関連サービスを使用する場合、ユーザーはそのサービスマッピング関連サービスに必要なロールを持っている必要があります。

Mac OS のコマンド構造

```
snc service-graph app-service create-relationship --data '{JSON}'
```

Windows OS のコマンド構造

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
snc service-graph app-service create-relationship --data "{JSON}"
```

引数

このコマンドは、*data* パラメーターを使用して JSON オブジェクトを渡します。

CI を識別する以下のプロパティは、次のように優先されます。

1. sys_id – sys_id の場合、システムは sys_id のみを使用し、追加の値は無視します。
2. 数値 – sys_id なしで指定された場合、システムは数値のみを使用し、追加の値は無視します。
3. <IRE field name> – sys_id または数値が指定されていない場合のみ、システムはこれらの値を使用します。

JSON オブジェクトのプロパティ

名前	説明

child	関係を作成する子アプリケーションサービスを特定する情報。子はサービスインスタンス [cmdb_ci_service_auto] テーブルにあります。
	
	動的 CI グループは子として追加できますが、親になることはできません。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"child": {`
	`"<IRE field name>": "String",`
	`"number": "String",`
	`"sys_id": "String"`
	`}`

child.<IRE field name>	子アプリケーションサービスを特定する 1 つ以上の IRE フィールド。たとえば、名前やバージョン。 データタイプ：文字列
child.number	子アプリケーションサービスを特定する一意の番号。 データタイプ：文字列
child.sys_id	サービスインスタンス [cmdb_ci_service_auto] にリストされている子アプリケーションサービスのSys_id。 データタイプ：文字列

parent	関係の作成に使用する親アプリケーションサービスを特定する詳細情報。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"parent": {`
	`"<IRE field name>": "String",`
	`"number": "String",`
	`"sys_id": "String",`
	`"class_name": "String"`
	`}`

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

JSON オブジェクトのプロパティ (続く)

名前	説明
parent.<IRE field name>	アプリケーションサービスを特定する 1 つ以上の IRE フィールド。たとえば、名前やバージョン。 データタイプ：文字列
parent.number	アプリケーションサービスを特定する一意の番号。 データタイプ：文字列
parent.sys_id	サービスインスタンス [cmdb_ci_service_auto] にリストされているアプリケーションサービスのSys_id。 データタイプ：文字列
parent.class_name	アプリケーションサービスを含むクラスの名前。 親クラス名は、次のいずれかのテーブルからのものである必要があります。 • cmdb_ci_service_auto • cmdb_ci_service_discovered • cmdb_ci_service_by_tags • cmdb_ci_service_calculated • service_offering • cmdb_ci_business_app デフォルト：cmdb_ci_service_auto データタイプ：文字列

Mac OS での例

```
snc service-graph app-service create-relationship --data
 '{"child":{"name":"wdfsdf","environment":"Test","version":"1.0"},"parent":{"sys_id":
"abcdefg","name":"business App1","class_name":"service_offering"}}'
```

Windows OS での例

```
snc service-graph app-service create-relationship --data
 "{"child":{"name":"wdfsdf","environment":"Test","version":"1.0"},"parent":{"sys_id"
:"abcdefg","name":"business App1","class_name":"service_offering"}}"
```

値を返す

```
{
  "result": {
  "status": "success"
  }
}
```

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アプリケーションサービスの削除

アプリケーションサービスを削除します。

コマンドグループ：

- 親グループ：service-graph
- 子グループ：app-service

必要なロール

app_service_admin

サービスマッピング関連サービスを使用する場合、ユーザーはそのサービスマッピング関連サービスに必要なロールを持っている必要があります。

Mac OS のコマンド構造

```
snc service-graph app-service delete --data '{JSON}'
```

Windows OS のコマンド構造

```
snc service-graph app-service delete --data "{JSON}"
```

引数

このコマンドは、*data* パラメーターを使用して JSON オブジェクトを渡します。

CI を識別する以下のプロパティは、次のように優先されます。

1. sys_id – sys_id の場合、システムは sys_id のみを使用し、追加の値は無視します。
2. 数値 – sys_id なしで指定された場合、システムは数値のみを使用し、追加の値は無視します。
3. <IRE field name> – sys_id または数値が指定されていない場合のみ、システムはこれらの値を使用します。

JSON オブジェクトのプロパティ

名前	説明
<IRE field name>	アプリケーションサービスを特定する 1 つ以上の IRE フィールド。たとえば、名前やバージョン。 データタイプ：文字列
number	アプリケーションサービスを特定する一意の番号。 データタイプ：文字列
sys_id	サービスインスタンス [cmdb_ci_service_auto] テーブルにリストされているアプリケーションサービスのSys_id。 データタイプ：文字列

Mac OS での例

```
snc service-graph app-service delete --data '{"name":"Test
 Register","environment":"Test","version":"1.0"}'
```

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Windows OS での例

```
snc service-graph app-service delete --data "{"name":"Test
 Register","environment":"Test","version":"1.0"}"
```

値を返す

```
{
  "result": {
  "status": "success"
  }
}
```

アプリケーションサービス関係の削除

アプリケーションサービスのアップストリームの関係を削除します。

コマンドグループ：

- 親グループ：service-graph
- 子グループ：app-service

必要なロール

app_service_admin

サービスマッピング関連サービスを使用する場合、ユーザーはそのサービスマッピング関連サービスに必要なロールを持っている必要があります。

Mac OS のコマンド構造

```
snc service-graph app-service delete-relationship --data '{JSON}'
```

Windows OS のコマンド構造

```
snc service-graph app-service delete-relationship --data "{JSON}"
```

引数

このコマンドは、*data* パラメーターを使用して JSON オブジェクトを渡します。

CI を識別する以下のプロパティは、次のように優先されます。

1. sys_id – sys_id の場合、システムは sys_id のみを使用し、追加の値は無視します。
2. 数値 – sys_id なしで指定された場合、システムは数値のみを使用し、追加の値は無視します。
3. <IRE field name> – sys_id または数値が指定されていない場合のみ、システムはこれらの値を使用します。

JSON オブジェクトのプロパティ

名前	説明
child	サービスアプリケーションから削除する子の関係を説明する情報。 データタイプ：オブジェクト

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

JSON オブジェクトのプロパティ (続く)

名前	説明

	<pre>"child": {
	  "<IRE field name>": "String",
	  "number": "String",
	  "sys_id": "String"
	}</pre>

child.<IRE field name>	子アプリケーションサービスを特定する 1 つ以上の IRE フィールド。たとえば、名前やバージョン。 データタイプ：文字列
child.number	子アプリケーションサービスを特定する一意の番号。 データタイプ：文字列
child.sys_id	サービスインスタンス [cmdb_ci_service_auto] にリストされている子アプリケーションサービスのSys_id。 データタイプ：文字列

parent	関係の削除元となる親アプリケーションサービスを特定する詳細情報。
	
	データタイプ：オブジェクト
	<pre>"parent": {
	  "<IRE field name>": "String",
	  "number": "String",
	  "sys_id": "String",
	  "class_name": "String"
	}</pre>

parent.<IRE field name>	アプリケーションサービスを特定する 1 つ以上の IRE フィールド。たとえば、名前やバージョン。 データタイプ：文字列
parent.number	アプリケーションサービスを特定する一意の番号。 データタイプ：文字列
parent.sys_id	サービスインスタンス [cmdb_ci_service_auto] テーブルにリストされているアプリケーションサービスのSys_id。 データタイプ：文字列
parent.class_name	アプリケーションサービスを含むクラスの名前。 親クラス名は、次のいずれかのテーブルからのものである必要があります。 • cmdb_ci_service_auto • cmdb_ci_service_discovered • cmdb_ci_service_by_tags

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

JSON オブジェクトのプロパティ (続く)

名前	説明
	• cmdb_ci_service_calculated • service_offering • cmdb_ci_business_app デフォルト：cmdb_ci_service_auto データタイプ：文字列

Mac OS での例

```
snc service-graph app-service delete-relationship --data '{"child":{"name":"Test
 Register","environment":"Test","version":"1.0"},"parent":{"name":"business
 Service Offering1","class_name":"service_offering"}}'
```

Windows OS での例

```
snc service-graph app-service delete-relationship --data "{"child":{"name":"Test
 Register","environment":"Test","version":"1.0"},"parent":{"name":"business
 Service Offering1","class_name":"service_offering"}}"
```

値を返す

```
{
  "result": {
  "status": "success"
  }
}
```

アプリケーションサービスの検索

指定されたアプリケーションサービスとそのアップストリームの関係の詳細を検索します。

コマンドグループ：

- 親グループ：service-graph
- 子グループ：app-service

必要なロール

app_service_admin – このロールは、アプリケーションサービスを無制限に表示できます。

app_service_user – このロールは、運用ステータスのアプリケーションサービスのみを表示できます。

サービスマッピング関連サービスを使用する場合、ユーザーはそのサービスマッピング関連サービスに必要なロールを持っている必要があります。

Mac OS のコマンド構造

```
snc service-graph app-service find --data '{JSON}'
```

Windows OS のコマンド構造

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
snc service-graph app-service find --data "{JSON}"
```

引数

このコマンドは、*data* パラメーターを使用して JSON オブジェクトを渡します。

CI を識別する以下のプロパティは、次のように優先されます。

1. sys_id – sys_id の場合、システムは sys_id のみを使用し、追加の値は無視します。
2. 数値 – sys_id なしで指定された場合、システムは数値のみを使用し、追加の値は無視します。
3. <IRE field name> – sys_id または数値が指定されていない場合のみ、システムはこれらの値を使用します。

JSON オブジェクトのプロパティ

名前	説明
<IRE field name>	アプリケーションサービスを特定する 1 つ以上の IRE フィールド。たとえば、名前やバージョン。 データタイプ：文字列
number	アプリケーションサービスを特定する一意の番号。 データタイプ：文字列
sys_id	サービスインスタンス [cmdb_ci_service_auto] テーブルにリストされているアプリケーションサービスのSys_id。 データタイプ：文字列

Mac OS での例

```
snc service-graph app-service find --data '{"name" : "Test App Service1"}'
```

Windows OS での例

```
snc service-graph app-service find --data "{"name" : "Test App Service1"}"
```

値を返す


```
{
  "result": {
    "aliases": null,
    "asset": null,
    "asset_tag": null,
    "assigned": "",
    "assigned_to": null,
    "assignment_group": null,
    "attestation_score": null,
    "attested": "0",
    "attested_by": null,
    "attested_date": "",
    "attributes": null,
    "bucket": null,
    "business_contact": null,
    "business_need": null,
```


自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
"business_relation_manager": null,
"business_unit": null,
"busines_criticality": "4 - not critical",
"can_print": "0",
"category": null,
"change_control": null,
"checked_in": "",
"checked_out": "",
"checkout": null,
"comments": null,
"company": null,
"compatibility_dependencies": null,
"consumer_type": "internal",
"correlation_id": null,
"cost": null,
"cost_cc": "USD",
"cost_center": null,
"delivery_date": "",
"delivery_manager": null,
"department": null,
"discovery_source": "Manual Entry",
"dns_domain": null,
"due": "",
"due_in": null,
"duplicate_of": null,
"end_date": "",
"environment": null,
"fault_count": "0",
"first_discovered": "2021-07-19 20:09:48",
"fqdn": null,
"gl_account": null,
"hide_from_dashboard": "0",
"install_date": "",
"install_status": "1",
"invoice_number": null,
"ip_address": null,
"justification": null,
"last_discovered": "2021-07-19 20:09:48",
"last_review_date": "",
"layer": null,
"lease_id": null,
"life_cycle_stage": null,
"life_cycle_stage_status": null,
"location": null,
"mac_address": null,
"maintenance_schedule": null,
"managed_by": null,
"managed_by_group": null,
"manufacturer": null,
"model_id": null,
"model_number": null,
"monitor": "0",
"monitoring_requirements": null,
"name": "Test App Service1",
"number": "SNSVC0001014",
"operational_status": "2",
"order_date": "",
```


自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
"owned_by": null,
"parent": null,
"portfolio_status": "pipeline",
"po_number": null,
"prerequisites": null,
"price_model": "per_unit",
"price_unit": null,
"published_ref": null,
"purchase_date": "",
"schedule": null,
"serial_number": null,
"service_classification": "Application Service",
"service_level_requirement": null,
"service_owner_delegate": null,
"service_status": "requirements",
"severity": null,
"short_description": null,
"skip_sync": "0",
"sla": null,
"spm_service_portfolio": null,
"spm_taxonomy_node": null,
"stakeholders": null,
"start_date": "",
"state": null,
"subcategory": null,
"supported_by": null,
"support_group": null,
"sys_class_name": "cmdb_ci_service_auto",
"sys_class_path": "/!!/!7/!(",
"sys_created_by": "admin",
"sys_created_on": "2021-07-19 20:09:48",
"sys_domain": "global",
"sys_domain_path": "/",
"sys_id": "a2f0618040697410f87713b656474255",
"sys_mod_count": "0",
"sys_updated_by": "admin",
"sys_updated_on": "2021-07-19 20:09:48",
"unit_description": null,
"unverified": "0",
"used_for": "Production",
"user_group": null,
"vendor": null,
"version": null,
"view_service": "61e1cb757f23220002d31ccebefa9120",
"warranty_expiration": "",
"relationships": [
 {
  "name": "Test Biz App1",
  "sys_id": "0250a94040697410f87713b656474250",
  "number": "APM0001001",
  "class_name": "cmdb_ci_business_app",
  "relationship": "Consumes::Consumed by"
 },
 {
  "name": "Tech Service Offering1",
  "sys_id": "98d0ed4040697410f87713b6564742ef",
  "number": "BSN0001005",
```


自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      "class_name": "service_offering",
      "relationship": "Contains::Contained by"
    }
  ]
 }
}
```

アプリケーションサービスの入力

サービスの作成方法を使用して、アプリケーションサービスを設定します。

コマンドグループ：

- 親グループ：service-graph
- 子グループ：app-service

必要なロール

app_service_admin

サービスマッピング関連サービスを使用する場合、ユーザーはそのサービスマッピング関連サービスに必要なロールを持っている必要があります。

Mac OS のコマンド構造

```
snc service-graph app-service populate --data '{JSON}'
```

Windows OS のコマンド構造

```
snc service-graph app-service populate --data "{JSON}"
```

引数

このコマンドは、*data* パラメーターを使用して JSON オブジェクトを渡します。

CI を識別する以下のプロパティは、次のように優先されます。

1. sys_id – sys_id の場合、システムは sys_id のみを使用し、追加の値は無視します。
2. 数値 – sys_id なしで指定された場合、システムは数値のみを使用し、追加の値は無視します。
3. <IRE field name> – sys_id または数値が指定されていない場合のみ、システムはこれらの値を使用します。

JSON オブジェクトのプロパティ

名前	説明
<IRE field name>	アプリケーションサービスを特定する 1 つ以上の IRE フィールド。たとえば、名前やバージョン。 データタイプ：文字列
番号	アプリケーションサービスを特定する一意の番号。 データタイプ：文字列

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

JSON オブジェクトのプロパティ (続く)

名前	説明
population_method	必須。入力するコンテンツを識別するための入力方法とそれに付随するプロパティを識別します。 タイプごとに 1 つの付随オブジェクトのみが有効です。 データタイプ：オブジェクト

population_method.group_id	cmdb_group 入力タイプで構成された CMDB グループのグループ ID。
	
	データタイプ：「文字列」
	
	`"population_method": {`
	`"group_id": "String",`
	`"type": "cmdb_group"`
	`}`
	
	関連付けられた入力タイプ：cmdb_group

population_method.levels	サービスのビルドに使用するレベルの数。レベル値が指定されていない場合、システムは値の sys_property をチェックします。svc.manual.convert.levels.default_value が入力されていない場合は、デフォルト値の 3 が使用されます。
	
	データタイプ：数値
	
	`"population_method": {`
	`"levels": Number,`
	`"type": "dynamic_service"`
	`}`
	
	関連する入力タイプ：dynamic_service
	
	デフォルト：sys_property にレベル値が設定されていない場合は 3

population_method.service_candidate	サービス候補の一意の識別子。
	
	データタイプ：文字列
	
	`"population_method": {`
	`"service_candidate": "String",`
	`"type": "tag_based_service_family"`
	`}`
	
	関連する入力タイプ：tag_based_service_family

population_method.service_relations	アプリケーションサービス内の CI の階層データを含むオブジェクトのリスト。すべての CI

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

JSON オブジェクトのプロパティ (続く)

名前	説明

	は親および子 CI とのペアを形成します。アプリケーションサービスのエントリーポイントと呼ばれるトップレベル CI には親 CI がありません。
	
	データタイプ：アレイ
	
	`"population_method": {`
	
	`"service_relations":[`
	`{`
	`"child": "String",`
	`"parent": "String"`
	`}`
	`],`
	
	`"type": "service_hierarchy"`
	`}`
	
	関連する入力タイプ： service_hierarchy

population_method.service_relations.child	CI に関連する子 CI の名前。 データタイプ：文字列
population_method.service_relations.parent	CI に関連する親 CI の名前。 データタイプ：文字列

population_method.tags	CI に関連付けるタグを含むオブジェクトのリスト。この情報は、キー値 [cmdb_key_value] テーブルにあります。
	
	データタイプ：アレイ
	
	`"population_method": {`
	
	`"tags": [`
	`{`
	`"tag": "String",`
	`"value": "String"`
	`}`
	`],`
	
	`"type": "tag_list"`
	`}`
	
	関連付けられた入力タイプ：tag_list

population_method.tags.tag	タグ名。 データタイプ：文字列
population_method.tags.value	タグ値。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

JSON オブジェクトのプロパティ (続く)

名前	説明
	データタイプ：文字列
population_method.type	必須。アプリケーションサービスに追加する入力タイプ。 データタイプ：オブジェクト 有効な値： • cmdb_group • service_hierarchy • dynamic_service • tag_list • tag_based_service_family
sys_id	サービスインスタンス [cmdb_ci_service_auto] テーブルにリストされているアプリケーションサービスの Sys_id。 データタイプ：文字列

Mac OS での例

```
snc service-graph app-service populate --data '{"name":"Test
 Register","environment":"Test","version":"1.0","population_method":{"group_id":"S
tring","type":"cmdb_group"}}'
```

Windows OS での例

```
snc service-graph app-service populate --data "{"name":"Test
 Register","environment":"Test","version":"1.0","population_method":{"group_id":"S
tring","type":"cmdb_group"}}"
```

値を返す

```
{
  "result": {
  "status": "success"
  }
}
```

アプリケーションサービスの登録

アプリケーションサービス、タグを作成し、ビジネスアプリケーション、ビジネスサービスオファリング、その他のアプリケーションサービスなどのアップストリームの関係をビルドします。

コマンドグループ：

- 親グループ：service-graph
- 子グループ：app-service

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

必要なロール

app_service_admin

サービスマッピング関連サービスを使用する場合、ユーザーはそのサービスマッピング関連サービスに必要なロールを持っている必要があります。

Mac OS のコマンド構造

```
snc service-graph app-service register --data '{JSON}'
```

Windows OS のコマンド構造

```
snc service-graph app-service register --data "{JSON}"
```

引数

このコマンドは、*data* パラメーターを使用して JSON オブジェクトを渡します。

CI を識別する以下のプロパティは、次のように優先されます。

1. sys_id – sys_id の場合、システムは sys_id のみを使用し、追加の値は無視します。
2. 数値 – sys_id なしで指定された場合、システムは数値のみを使用し、追加の値は無視します。
3. <IRE field name> – sys_id または数値が指定されていない場合のみ、システムはこれらの値を使用します。

JSON オブジェクトのプロパティ

名前	説明
<IRE field name>	アプリケーションサービスを特定する 1 つ以上の IRE フィールド。たとえば、名前やバージョン。 データタイプ：文字列
number	アプリケーションサービスを特定する一意の番号。 データタイプ：文字列

relationships	タイプ別に分類されたアップストリームの関係。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"relationships": {`
	`"business_app": [Array],`
	`"business_service_offering": [Array],`
	`"parent_app_service": [Array],`
	`"technical_service_offering": [Array]`
	`}`
	
	関係の最大数は 25 です。

relationships.business_app	ビジネスアプリケーション関係タイプを表すオブジェクトのリスト。これらの値

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

JSON オブジェクトのプロパティ (続く)

名前	説明
	は、次のいずれかのアイテムをキーと値のペアとして使用して定義できます。 • <IRE field name> • number • sys_id データタイプ：アレイ
relationships.business_service_offering	ビジネスサービスオファリング関係タイプを表すオブジェクトのリスト。これらの値は、次のアイテムをキーと値のペアとして使用して定義できます。 • <IRE field name> • number • sys_id データタイプ：アレイ
relationships.parent_app_service	アプリケーションサービス関係タイプを表すオブジェクトのリスト。これらの値は、次のアイテムをキーと値のペアとして使用して定義できます。 • <IRE field name> • number • sys_id データタイプ：アレイ
relationships.technical_service_offering	テクノロジー管理オファリング (旧称テクニカルサービスオファリング)関係タイプを表すオブジェクトのリスト。これらの値は、次のアイテムをキーと値のペアとして使用して定義できます。 • <IRE field name> • number • sys_id データタイプ：アレイ
sys_id	サービスインスタンス [cmdb_ci_service_auto] テーブルにリストされているアプリケーションサービスのSys_id。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

JSON オブジェクトのプロパティ (続く)

名前	説明
	データタイプ：文字列
tags	キーと値のペアとしてのタグ定義を含むオブジェクトのリスト。 `"tags": [ { "key": "String", "value": "String" }]` データタイプ：アレイ
tags.key	タグカテゴリ名。 データタイプ：文字列
tags.value	タグ値。 データタイプ：文字列

Mac OS での例

```
snc service-graph app-service register --data '{"name":"Test
 Register","environment":"Test","version":"1.0","number":"
 SNSVC0001014","relationships":{"business_application":[{"sys_id":"0250a9404069
7410f87713b656474250"},{"number":"APM0001002"},{"name":"Test Biz
 App1"}],"business_service_offering":[{"sys_id":"ed32e98040697410f87713b656474
259"}],"technical_service_offering":[{"sys_id":"80e12d8040697410f87713b6564742
1c"},{"number":"BSN0001005"},{"name":"Tech Service
 Offering2"}],"parent_app_service":[{"sys_id":"a2f0618040697410f87713b65647425
5"}]},"tags":[{"key":"key1","value":"value1"},{"key":"key2","value":"value2"}]}'
```

Windows OS での例

```
snc service-graph app-service register --data "{"name":"Test
 Register","environment":"Test","version":"1.0","number":"
 SNSVC0001014","relationships":{"business_application":[{"sys_id":"0250a9404069
7410f87713b656474250"},{"number":"APM0001002"},{"name":"Test Biz
 App1"}],"business_service_offering":[{"sys_id":"ed32e98040697410f87713b656474
259"}],"technical_service_offering":[{"sys_id":"80e12d8040697410f87713b6564742
1c"},{"number":"BSN0001005"},{"name":"Tech Service
 Offering2"}],"parent_app_service":[{"sys_id":"a2f0618040697410f87713b65647425
5"}]},"tags":[{"key":"key1","value":"value1"},{"key":"key2","value":"value2"}]}"
```

値を返す

```
{
  "result": {
    "app_service": {
      "sys_id": "99b2a5404069 7410f87713b6564742ad",
      "name": "Test Register",
      "number": "SNSVC0001014"
    },
```

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  "message": "Service registered successfully",
  "status": "INSERT"
 }
}
```

アプリケーションサービスの更新

提供された既存のアプリケーションサービスを更新し、指定されたアプリケーションサービスのタグを作成します。

コマンドグループ：

- 親グループ：service-graph
- 子グループ：app-service

必要なロール

app_service_admin

サービスマッピング関連サービスを使用する場合、ユーザーはそのサービスマッピング関連サービスに必要なロールを持っている必要があります。

Mac OS のコマンド構造

```
snc service-graph app-service update --data '{JSON}'
```

Windows OS のコマンド構造

```
snc service-graph app-service update --data "{JSON}"
```

引数

このコマンドは、*data* パラメーターを使用して JSON オブジェクトを渡します。

CI を識別する以下のプロパティは、次のように優先されます。

1. sys_id – sys_id の場合、システムは sys_id のみを使用し、追加の値は無視します。
2. 数値 – sys_id なしで指定された場合、システムは数値のみを使用し、追加の値は無視します。
3. <IRE field name> – sys_id または数値が指定されていない場合のみ、システムはこれらの値を使用します。

JSON オブジェクトのプロパティ

名前	説明
<fields or tags to update>	キーと値のペアを使用して、更新する各フィールドまたはタグを特定します。 基本的な情報のみを更新できます。アップストリームの関係は更新できません。 データタイプ：文字列
<IRE field name>	アプリケーションサービスを特定する 1 つ以上の IRE フィールド。たとえば、名前やバージョン。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

JSON オブジェクトのプロパティ (続く)

名前	説明
番号	アプリケーションサービスを特定する一意の番号。 データタイプ：文字列
sys_id	サービスインスタンス [cmdb_ci_service_auto] にリストされているアプリケーションサービスのSys_id。 データタイプ：文字列

Mac OS での例

```
snc service-graph app-service update --data '{"name": "Test Register", "version":
 "2.0"}'
```

Windows OS での例

```
snc service-graph app-service update --data "{"name": "Test Register", "version":
 "2.0"}"
```

値を返す

```
{
  "result": {
    "sys_id": "99b2a5404069741 0f87713b6564742ad",
    "name": "Test Register",
    "number": "SNSVC0001014",
    "version": "2.0"
  }
}
```

アプリケーションサービスステータスの更新

アプリケーションサービスのライフサイクル状況をアクティブ化、非アクティブ化、または廃止に変更します。

コマンドグループ：

- 親グループ：service-graph
- 子グループ：app-service

必要なロール

app_service_admin

サービスマッピング関連サービスを使用する場合、ユーザーはそのサービスマッピング関連サービスに必要なロールを持っている必要があります。

Mac OS のコマンド構造

```
snc service-graph app-service update-state --data '{JSON}'
```

Windows OS のコマンド構造

```
snc service-graph app-service update-state --data "{JSON}"
```

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

引数

このコマンドは、*data* パラメーターを使用して JSON オブジェクトを渡します。

CI を識別する以下のプロパティは、次のように優先されます。

1. sys_id – sys_id の場合、システムは sys_id のみを使用し、追加の値は無視します。
2. 数値 – sys_id なしで指定された場合、システムは数値のみを使用し、追加の値は無視します。
3. <IRE field name> – sys_id または数値が指定されていない場合のみ、システムはこれらの値を使用します。

JSON オブジェクトのプロパティ

名前	説明
<IRE field name>	アプリケーションサービスを特定する 1 つ以上の IRE フィールド。たとえば、名前やバージョン。 データタイプ：文字列
番号	アプリケーションサービスを特定する一意の番号。 データタイプ：文字列

state	必須です。アプリケーションサービスのライフサイクル状況。これらの値は、サービスインスタンス [cmdb_ci_service_auto] テーブルで更新されます。
	
	有効な値：
	• ACTIVATE – ライフサイクルが運用中で、使用中です。
	  ○ operational_status=Operational
	  ○ life_cycle_stage=Operational
	  ○ life_cycle_stage_status=In Use
	• DEACTIVATE – ライフサイクルが運用されておらず、設計段階です。
	  ○ operational_status=Non-Operational
	  ○ life_cycle_stage=Design
	  ○ life_cycle_stage_status=Build
	• 廃止 – 提供終了。
	  ○ operational_status=Retired
	  ○ life_cycle_stage=End Of Life
	  ○ life_cycle_stage_status=Retired
	
	データタイプ：文字列

sys_id	サービスインスタンス [cmdb_ci_service_auto] にリストされているアプリケーションサービスのSys_id。 データタイプ：文字列

Mac OS での例

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
snc service-graph app-service update-state --data '{"name":"Test
 Register","environment":"Test","version":"1.0"}'
```

Windows OS での例

```
snc service-graph app-service update-state --data "{"name":"Test
 Register","environment":"Test","version":"1.0"}"
```

値を返す

```
{
  "result": {
  "status": "success"
  }
}
```

ServiceNow AI Platform を使用した ERP 用 App Engine

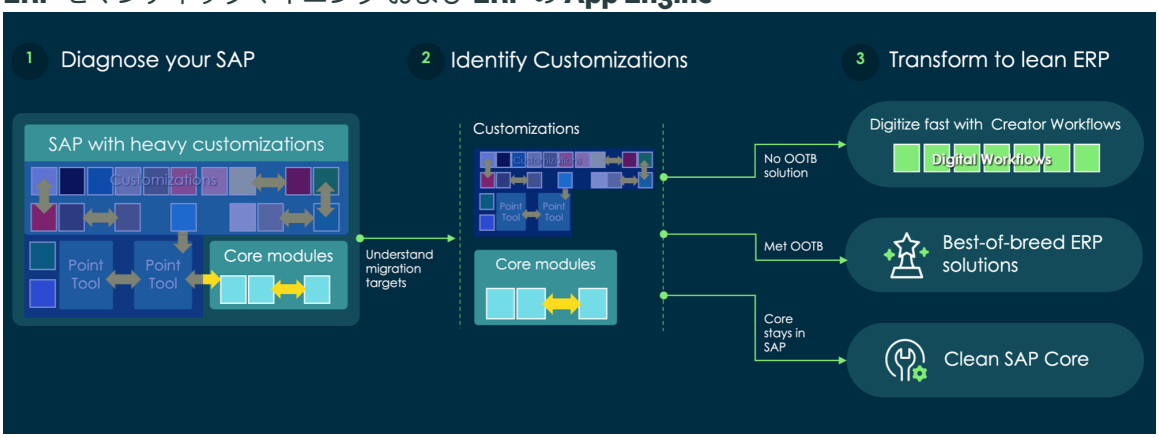
ERP 向けゼロコピーコネクタを使用して従来の ERP (エンタープライズリソースプランニング) システムを読み取り、更新し、ERP セマンティックマイニングでカスタマイズを特定します。その後、App Engine Studio (AES) などの追加の ServiceNow AI Platform アプリを使用して、ERP データを整理および再プラットフォーム化できます。

再プラットフォーム化は、従来の ERP システムコードをスキャンして、新しいアプリとして ServiceNow AI Platform インスタンスに移行する潜在的な候補を見つけるプロセスです。ERP システムからのデータを、ServiceNow AI Platform 上にビルドされたアプリのソースとして使用し、パフォーマンスの向上、 セキュリティの強化、メンテナンスの削減を実現できます。

ERP 向けゼロコピーコネクタ と ERP セマンティックマイニング の統合のメリットを組み合わせてアプリを再プラットフォーム化する

SAP などの従来の SoR には、古くて複雑なカスタムコードとデータが含まれている場合があります。古い情報では、新しいバージョンの SoR に移行するためにより多くの時間と労力が必要になります。ERP 向けゼロコピーコネクタ と ERP セマンティックマイニング を使用して SoR をスキャンし、カスタムコードを見つけてデジタル化されたワークフローに置き換えることで、クリーンな ERP コアを実現します。

ERP セマンティックマイニング および ERP の App Engine



レガシーコードの再プラットフォーム化により、レガシーシステムの知識がなくても SoR 上でイノベーションが可能になります。これにより、データベースアドミニストレーターと開発者は、SoR でデータベースビューやエンドポイントを作成するという時間のかかる作業から解放されます。その後、データベース管理者と開発者は、移行などの他のプロジェクトに取り組むことができます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

再プラットフォーム化されたデータはすぐに利用でき、管理しやすいテーブルやアプリに反映されます。ユーザーは、数週間かかる可能性のあるデータベースアドミニストレーターに情報を要求する必要がなくなります。 再プラットフォーム化されたアプリは、ERP SoR をライブデータソースとして使用します。

ERP 向けゼロコピーコネクタ および ERP セマンティックマイニング のワークフロー

ソリューション統合コンサルタントは、ERP 向けゼロコピーコネクタ と ERP セマンティックマイニング を併用することで、次のワークフローを実装できます。

1. アドミニストレーターは 接続情報と認証情報 アプリを使用して、ERP 向けゼロコピーコネクタ を ERP SoR に接続するための認証情報を構成します。詳細については、「Connections and Credentials」を参照してください。
2. 構成した接続および資格情報エイリアスを使用して、ERP 向けゼロコピーコネクタ で ERP システムを作成します。詳細については、「ERP 向けゼロコピーコネクタ での ERP システムの作成」を参照してください。
3. ERP 向けゼロコピーコネクタ では、開発インスタンスで ERP システム、ERP モデル、テーブルをビルドします。
   a. SoR 内の指定された ERP モジュールで利用可能なテーブルとフィールドをスキャンする ERP モデルを作成またはクローンします。抽出テーブルとリモートテーブルで使用する ERP モデルのテーブルとフィールドに注意してください。詳細については、「ERP 向けゼロコピーコネクタ での ERP モデルのクローン」を参照してください。
   b. ERP モデルに追加のデータを含めるための新しいテーブル、フィールド、テーブル結合を追加します。詳細は、以下のトピックを参照してください。
      - モデルが ERP システムを読み取りおよび更新する方法の管理
      - ERP テーブル間の結合の追加
   c. 必要に応じて、ERP システム上のデータを更新するための BAPI (ビジネスアプリケーションプログラミングインターフェイス) を使用して、更新操作を作成します。
   d. App Engine Studio でアプリをビルドする場合などに、リモートテーブルをビルドしてカスタマイズし、データソースとして使用できるようにします。リモートテーブルは、外部データソースに対して関連スクリプトを実行することでレコードを取得します。詳細については、以下を参照してください。
      - ERP 向けゼロコピーコネクタ での ERP リモートテーブルの詳細の表示と編集
      - ERP 向けゼロコピーコネクタ で ERP リモートテーブルのフィールドをカスタマイズする
      - ERP 向けゼロコピーコネクタ を使用したリモートテーブルのクエリ
   e. ETL 抽出テーブルを使用して、SoR を定期的にスキャンし、データをステージングテーブルに抽出します。 抽出テーブルは、スケジュール済みクエリを使用して大量のデータを取得し、変換テーブルを使用して ServiceNow AI Platformで使用するデータを処理します。
      - サポートされている国ごとに 1 つずつなど、必要に応じて個別の抽出テーブルを作成します。詳細については、「ERP 向けゼロコピーコネクタ でのデータの抽出と変換」を参照してください。
      - 最初に、(SoR 上の) ソーステーブルを ServiceNow AI Platform の Glide テーブルに接続するテーブル変換マップを作成する必要があります。テーブル変換マップの作成の詳細については、「Create a transform map」を参照してください。
      - 抽出プロセスは、それらを使用する ServiceNow アプリで構成されます 。ワークフロースタジオ など。
      - 抽出プロセスの実行後、インポートセットを使用して、インポートされたデータを ServiceNow AI Platform テーブルにマッピングします。詳細については、「Import sets」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

4. ERP セマンティックマイニング を使用してモダナイズおよび再プラットフォーム化する従来の ERP システムのカスタマイズを特定します。
5. ERP 向けゼロコピーコネクタ システム、ERP モデル、テーブルの準備ができたら、本番環境に移行します。詳細については、「ERP 向けゼロコピーコネクタ で ERP 開発パイプラインを管理する」を参照してください。
   a. 顧客と面談し、顧客の ERP SoR で ERP セマンティックマイニング を使用して分析を実行することに同意します。
   b. ERP 向けゼロコピーコネクタ を使用して、顧客の ERP SoR を ServiceNow インスタンスに接続します。

      注:
      ほとんどの顧客は独自のインスタンスを持っています。

      ERP セマンティックマイニング は、ERP 向けゼロコピーコネクタ で構成されたシステム接続を使用します。詳細については、「ERP 向けゼロコピーコネクタ での ERP システムの操作」を参照してください。

   c. ERP 向けゼロコピーコネクタ を使用して、前のワークフローステップで指定した利用可能なリモートテーブルのフィールドから ERP モデルをビルドします。
   d. ERP セマンティックマイニング を実行して候補を検索します。候補は、ServiceNow アプリで置き換えることができる、SoR 内のカスタムコードです。詳細については、「ERP セマンティックマイニング で候補の概要を参照する」を参照してください。
   e. 再プラットフォーム化する候補を選択します。詳細については、「再プラットフォーム化の潜在的な候補の保存」を参照してください。
   f. ERP セマンティックマイニング 内の候補の詳細を、候補に関連するコメントを入力して添付ファイルを保存する中心的な場所として使用します。詳細については、「ERP セマンティックマイニング で候補の詳細を表示して操作する」を参照してください。
   g. 候補の詳細で、再プラットフォーム化された単一アプリに結合できる類似の候補を特定します。詳細については、「候補スコアと潜在能力の決定」を参照してください 。
   h. ERP 向けゼロコピーコネクタ に戻って、リモートテーブルと抽出テーブルを使用してデータモデルのビルドを続行します。必要なすべてのデータが ServiceNow AI Platform で利用可能であることを確認します。詳細については、「ERP データを操作する ERP モデルのビルドと管理」を参照してください。
6. ServiceNow AI Platform でアプリをビルドするときには、次のような、データソースとして使用できる ERP データを使用します。
   - App Engine Studio：詳細については、「アプリケーションのデータモデルの作成」を参照してください。
   - ワークフロースタジオのフロー：詳細については、「Configuring flows」を参照してください。
   - テーブルビルダー：詳細については、「テーブルビルダー 内のデータ」を参照してください。
   - UI ビルダー：詳細については、「UI ビルダーページでデータを動的に公開する (高度な機能)」を参照してください。
   - ワークフロースタジオ：詳細については、「Configuring flows」を参照してください。
   - ワークスペースビルダー：詳細については、「でのワークスペースのレコードページの追加 ワークスペースビルダー」を参照してください。
7. お好みの分析ツールで適用可能なメトリクスとパラメーターを使用して、新しいアプリのパフォーマンスを測定および監視します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ERP 向けゼロコピーコネクタ と ERP セマンティックマイニング を統合するための要件

1. ERP 向けゼロコピーコネクタ のインストール要件は次のとおりです。
   - 有効なライセンス
   - ServiceNow AI Platform プラグイン
   - MID サーバー構成
   - スポークの統合
   - SAP 構成

   詳細については、「ERP 向けゼロコピーコネクタ のインストール要件」を参照してください。
2. ERP セマンティックマイニング のインストール要件は次のとおりです。
   - ライセンスとエンタイトルメント。詳細については、「ERP 向けゼロコピーコネクタ をインストール」を参照してください。
   - ServiceNow AI Platform プラグイン。詳細については、「ERP 向けゼロコピーコネクタ をインストール」を参照してください。
   - SAP 構成。詳細については、「SAP を ERP セマンティックマイニング 用に構成する」を参照してください。

ERP 向けゼロコピーコネクタ と ERP セマンティックマイニング を使い始める

以下のタスクを完了することで、ERP 向けゼロコピーコネクタ と ERP セマンティックマイニング を使い始めることができます。

1. ERP 向けゼロコピーコネクタ をインストールして設定します。詳細については、「ERP 向けゼロコピーコネクタの構成」を参照してください。
2. ERP セマンティックマイニング をインストールして設定します。詳細については、「ERP セマンティックマイニングの構成」を参照してください。
3. 次のような、ERP データを使用する追加の ServiceNow AI Platform アプリとビルダーをインストールして構成します。
   - App Engine Studioのインストール
   - でのフローの構成 ワークフロースタジオ
   - テーブルビルダー の詳細
   - プレイブックの開始
   - UI ビルダークイックスタート
   - Workflow Studio
   - ワークスペースビルダー

ERP 向けゼロコピーコネクタ

ERP 向けゼロコピーコネクタ (エンタープライズリソースプランニング) は ServiceNow のスコープ対象アプリで、SAP など、SoR からの ERP データを取得および更新できます。

注:
このスコープ対象のアプリケーションは、以前は「ERP データハブと ERP キャンバス」という名前でした。

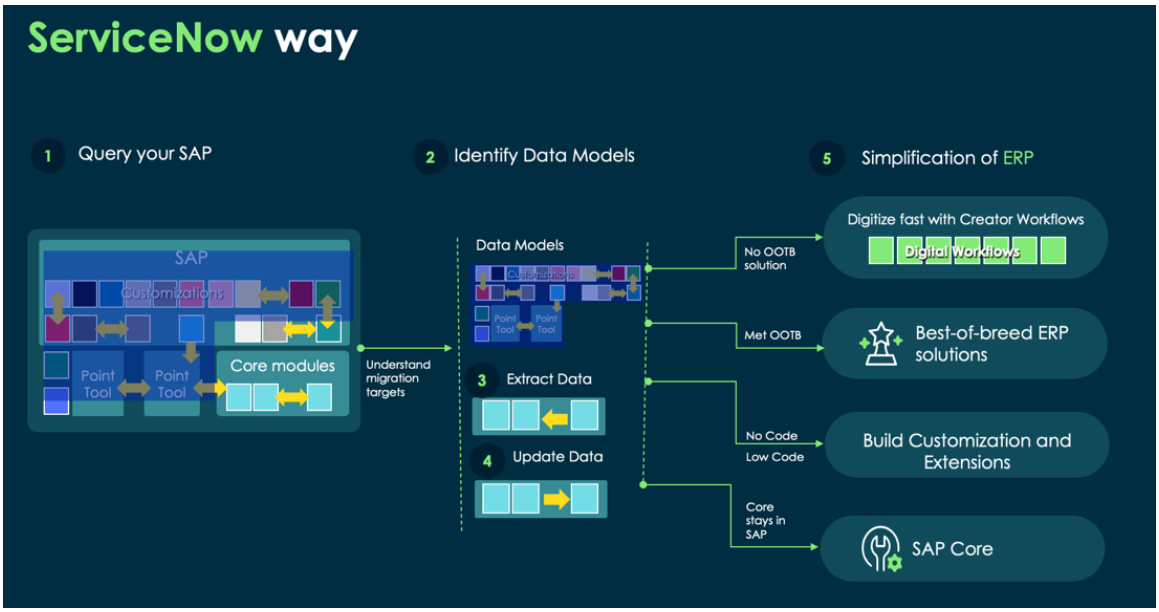
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

SAP などの従来の SoR には、古くて複雑なカスタムコードとデータが含まれている場合があります。古い情報では、新しいバージョンの SoR に移行するためにより多くの時間と労力が必要になります。ERP 向けゼロコピーコネクタ と ERP セマンティックマイニング を使用して SoR をスキャンし、カスタムコードを見つけてデジタル化されたワークフローに置き換えることで、クリーンな ERP コアを実現します。

レガシーコードの再プラットフォーム化により、レガシーシステムの知識がなくても SoR 上でイノベーションが可能になります。これにより、データベースアドミニストレーターと開発者は、SoR でデータベースビューやエンドポイントを作成するという時間のかかる作業から解放されます。その後、データベース管理者と開発者は、移行などの他のプロジェクトに取り組むことができます。

ERP 向けゼロコピーコネクタ



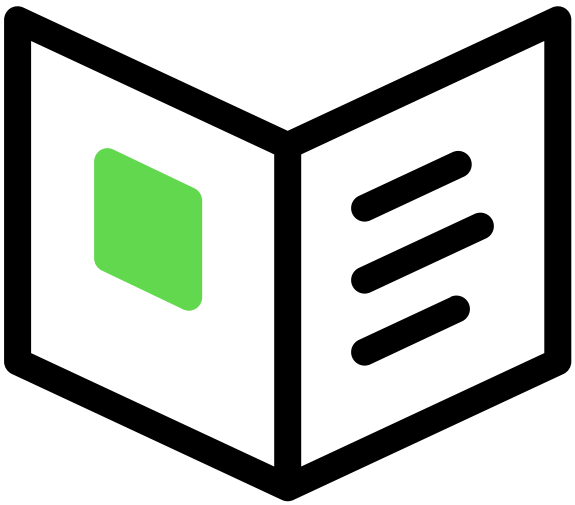
ERP アプリのデータ基盤として ERP モデルを使用します。これらのモデルには、リモートテーブルと抽出テーブルの ERP システムデータが含まれます。このモデルを使用すると、ERP システムの読み取りと更新を行うことができます。ERP モデルを作成したら、抽出および変換されたデータを使用して、ERP モデルにアクセスするアプリをビルドできます。たとえば、 ServiceNow スタジオ や クリエータースタジオ を使用してアプリをビルドしたり、 ワークフロースタジオ 内のフローで ERP データを使用したりします。

注:
Yokohama リリースの新機能と更新された機能の詳細については、「Zero Copy Connector for ERP リリースノート」を参照してください。

自動翻訳

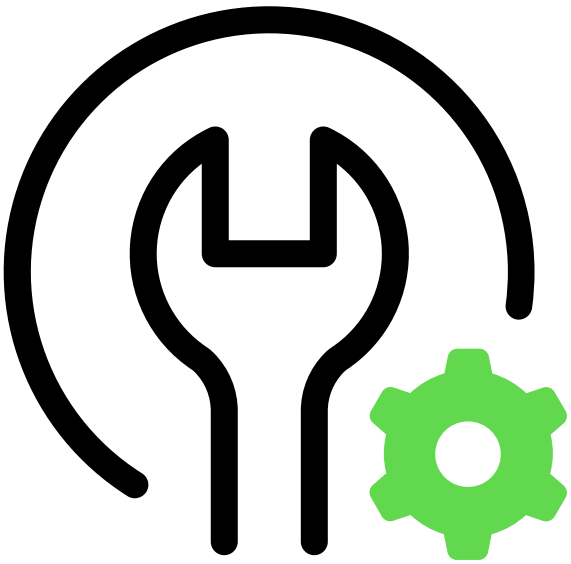
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

探索



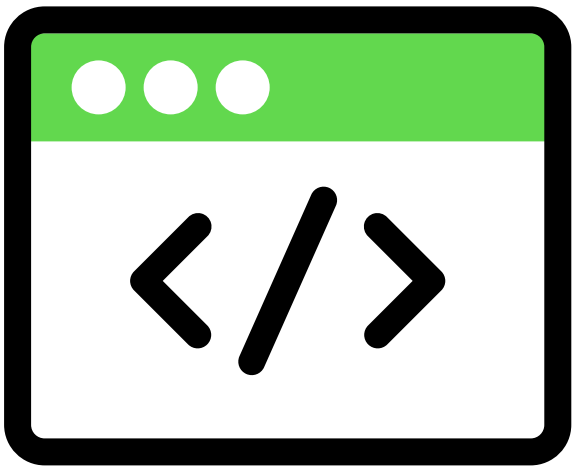
ERP 向けゼロコピーコネクタの概念と機能について説明します。

構成



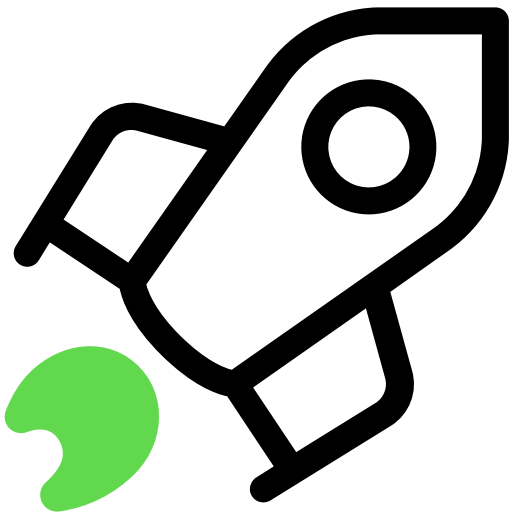
ERP 向けゼロコピーコネクタリモートテーブルと接続をインストールして構成します。

使用中



ERP 向けゼロコピーコネクタ を使用し、リモートテーブルと抽出テーブルを使用して ERP モデルをビルドします。

参照

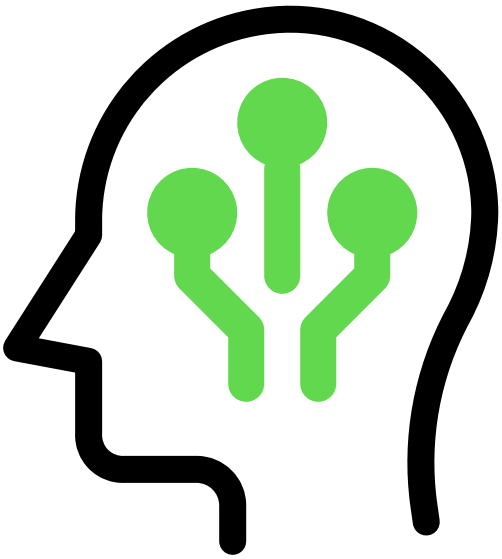


テーブル、用語などの ERP 向けゼロコピーコネクタ コンポーネントの詳細を取得します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動化

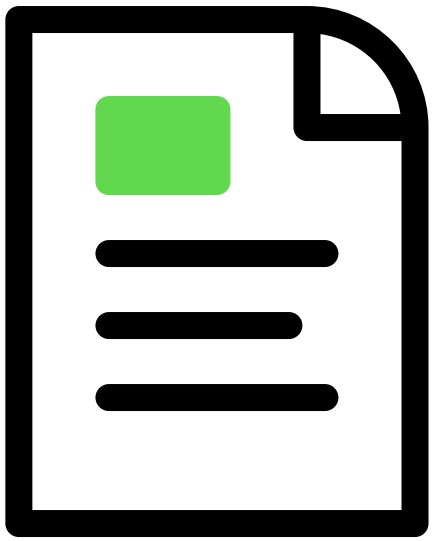


ERP 向けゼロコピーコネクタ で Now Assist を使用して、生成 AI でユーザーの生産性と効率を向上させます。

ERP 向けゼロコピーコネクタ の学習リソース

ERP 向けゼロコピーコネクタ に関する詳細	ServiceNow リソース
ERP 向けゼロコピーコネクタには、始めるためのトレーニングと学習リソースが複数あります。(これらのリソースの一部は、 ServiceNow University サイトにログインする必要があります。	 Partner Essentials：Clean Core for App Engine (App Engine のクリーンコア)

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ERP 向けゼロコピーコネクタ に関する詳細	ServiceNow リソース
	 ERP Fundamentals 向け App Engine
	 ERP の最新化：クリーンなコアに向けた取り組み

自動翻訳

ストアで **ERP** 向けゼロコピーコネクタ を要求する

ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート」を参照してください。

ERP 向けゼロコピーコネクタ を使用する前に、まず ServiceNow Store からアプリケーションをダウンロードする必要があります。ダウンロードの完了後にインスタンスに ERP 向けゼロコピーコネクタ が表示されない場合は、ローカルキャッシュをクリアしてください。

ERP 向けゼロコピーコネクタ の探索

ERP 向けゼロコピーコネクタ を使用すると、ERP (エンタープライズリソースプランニング) システムに接続して、更新を送信し、データをリモートテーブルと抽出テーブルに抽出して ServiceNow AI Platformで使用できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ERP 向けゼロコピーコネクタ の概要

ERP 向けゼロコピーコネクタ は ServiceNow 内のプラットフォームとして機能し、ERP システムの統一データモデルが提供されます。ERP 向けゼロコピーコネクタ を使用すると、ERP モデル内でグループ化された標準フィールドとカスタムフィールドの両方を含むテーブルを管理できます。SoR の ERP テーブルに更新を送信し、ERP テーブルからデータを抽出できます。データセットのサイズと更新のニーズに応じて、抽出されたデータをリモートテーブルまたは抽出テーブルに格納します。

- リモートテーブルは、外部データソースに対して関連スクリプトを実行することでレコードを取得します。
- 抽出テーブルは、スケジュール済みクエリを使用して大量のデータを取得し、変換テーブルを使用して ServiceNow AI Platformで使用するデータを処理します。

データの取得に加えて、 ERP 向けゼロコピーコネクタ BAPI (ビジネスアプリケーションプログラミングインターフェイス) または OData と HTTP 接続を使用して ERP システムを更新することもできます。

ServiceNow AI Platform の統一データモデルは、ERP データをServiceNow AI Platformにシームレスに統合するのに役立ちます。ERP 向けゼロコピーコネクタ ERP データ管理を簡素化し、ServiceNow AI PlatformおよびServiceNowインスタンス内でアクセス可能で実用的なものにします。

> **注:**
> ERP 向けゼロコピーコネクタ は ServiceNow AI Platform にデータを複製しません。ERP SoR に存在するデータをミラーリングするため、データはそこで保護されたままになります。

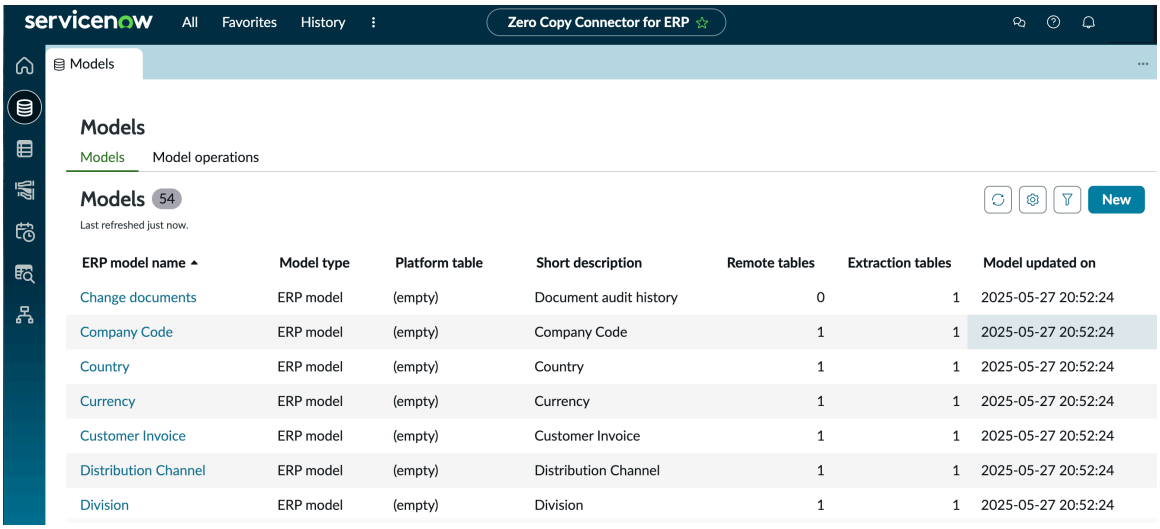
ERP 向けゼロコピーコネクタ のワークフロー

1. アドミニストレーターは 接続情報と認証情報 アプリを使用して、ERP SoR に接続するための認証情報を構成します。詳細については、「ERP 向けゼロコピーコネクタ の認証情報と接続の構成」を参照してください。
2. 構成した接続および資格情報エイリアスを使用して、ERP 向けゼロコピーコネクタ で ERP システムを作成します。詳細については、「ERP 向けゼロコピーコネクタ での ERP システムの作成」を参照してください。

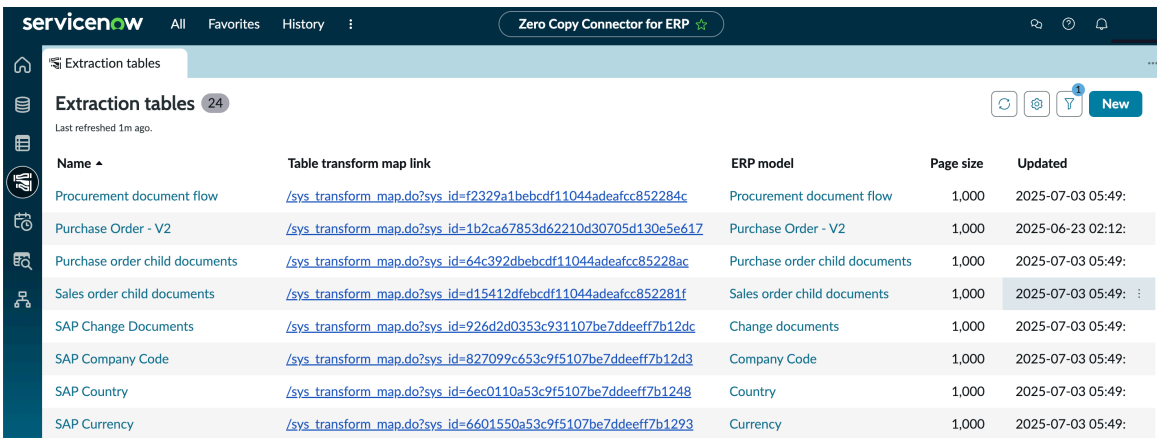
   > **注:**
   > 残りのワークフローの手順は ERP 向けゼロコピーコネクタ にあります。開発インスタンスで ERP システム、ERP モデル、およびテーブルをビルドし、準備ができたらそれらを本番インスタンスに昇格させます。詳細については、「パイプラインと展開 を使用した展開の管理」を参照してください。

3. SoR 内の指定された ERP モジュールで利用可能なテーブルとフィールドをスキャンする ERP モデルをクローンまたは作成します。抽出テーブルとリモートテーブルで使用する ERP モデルのテーブルとフィールド、および SoR を読み取って更新するためのマッピングパラメーターに注意してください。詳細については、「ERP 向けゼロコピーコネクタ での ERP モデルのクローン」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



4. ERP モデルに追加のデータを含めるために、テーブルを追加し、フィールドをマッピングし、テーブル結合をビルドすることで、ERP システムに接続するための読み取りおよび更新操作を作成します。詳細は、以下のトピックを参照してください。
   - モデルが ERP システムを読み取りおよび更新する方法の管理
   - ERP テーブル間の結合の追加
5. App Engine Studio でアプリをビルドする場合などに、リモートテーブルを操作してデータソースとして使用できるようにします。リモートテーブルは、外部データソースに対して関連スクリプトを実行することでレコードを取得します。詳細は、以下のトピックを参照してください。
   - ERP 向けゼロコピーコネクタ での ERP リモートテーブルの詳細の表示と編集
   - ERP 向けゼロコピーコネクタ で ERP リモートテーブルのフィールドをカスタマイズする
   - ERP 向けゼロコピーコネクタ を使用したリモートテーブルのクエリ
6. ETL 抽出テーブルを操作して SoR を定期的にスキャンし、データをステージングテーブルに抽出します。 抽出テーブルは、スケジュール済みクエリを使用して大量のデータを取得し、変換テーブルを使用して ServiceNow AI Platformで使用するデータを処理します。



   - サポートされている国ごとに 1 つずつなど、必要に応じて個別の抽出テーブルを作成します。詳細については、「ERP 向けゼロコピーコネクタ でのデータの抽出と変換」を参照してください。
   - 最初に、(SoR 上の) ソーステーブルを ServiceNow AI Platform の Glide テーブルに接続するテーブル変換マップを作成する必要があります。テーブル変換マップの作成の詳細については、「Create a transform map」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 抽出プロセスは、抽出プロセスを使用する ServiceNow アプリ (ワークフロースタジオ など) で構成されます。
- 抽出プロセスの実行後、インポートセットを使用して、インポートされたデータを ServiceNow AI Platform テーブルにマッピングします。詳細については、「Import sets」を参照してください。

7. ワークフロースタジオ でフローをビルドして、ERP (エンタープライズリソースプランニング) システムをクエリまたは更新するときの詳細を指定します。詳細については、「ERP システムを読み取りまたは更新するフローのビルド」を参照してください。
8. ERP システム、ERP モデル、テーブル、操作、フローの準備ができたら、本番環境に移行します。詳細については、「ERP 向けゼロコピーコネクタ で ERP 開発パイプラインを管理する」を参照してください。
9. 次を使用して ServiceNow AI Platform でアプリをビルドする場合は、ERP データをデータソースとして使用します。
   - App Engine Studio：詳細については、「アプリケーションのデータモデルの作成」を参照してください。
   - ワークフロースタジオのフロー：詳細については、「Configuring flows」を参照してください。
   - ワークフロースタジオ のプレイブック：詳細については、「Getting started with Process Automation」を参照してください。
   - テーブルビルダー：詳細については、「テーブルビルダー 内のデータ」を参照してください。
   - UI ビルダー：詳細については、「UI ビルダーページでデータを動的に公開する (高度な機能)」を参照してください。
   - ワークスペースビルダー：詳細については、「でのワークスペースのレコードページの追加 ワークスペースビルダー」を参照してください。

ERP 向けゼロコピーコネクタ のメリット

ERP 向けゼロコピーコネクタ の主な特長

メリット	機能	ロール
SoR への接続を構成する	ERP 向けゼロコピーコネクタ での ERP システムの操作	sn_erp_integration.erp_admin
ERP モデルをビルドして、読み取りおよび更新操作を作成し、ミラーリングされた ERP データを整理します	ERP データを操作する ERP モデルのビルドと管理	sn_erp_integration.erp_admin
リモートテーブルを操作し、クエリを実行して SoR の ERP データを表示する	ERP 向けゼロコピーコネクタ での ERP リモートテーブルの使用	• リモートテーブルを変更するには：sn_erp_integration.erp_admin • リモートテーブルを読み取るには：sn_erp_integration.erp_user
標準リモートテーブルへのアクセス	ERP 向けゼロコピーコネクタ の標準リモートテーブル	• sn_erp_integration.erp_user • 追加のテーブル固有ロールが必要です。詳細については、

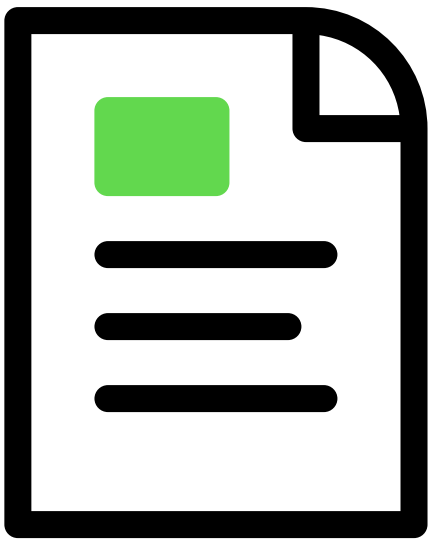
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ERP 向けゼロコピーコネクタ の主な特長 (続く)

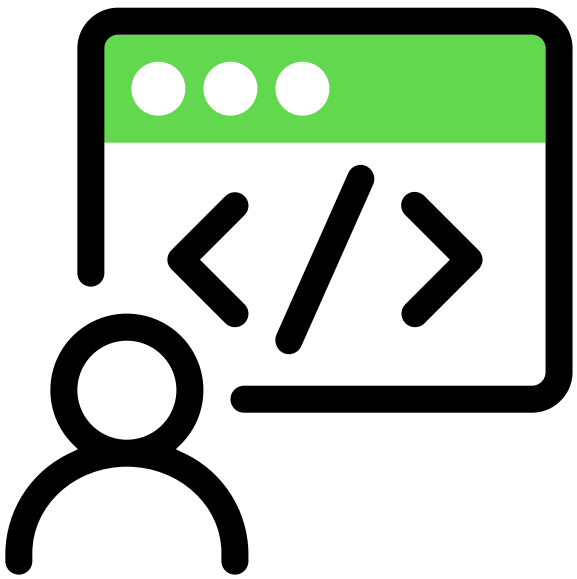
メリット	機能	ロール
		「ERP 向けゼロコピーコネクタ ロール」を参照してください。
ERP システムからカスタムデータを定期的にプルするように抽出テーブルを構成する	ERP 向けゼロコピーコネクタでのデータの抽出と変換	sn_erp_integration.erp_admin

ERP 向けゼロコピーコネクタ のその他のリソース

ERP 向けゼロコピーコネクタ に関する詳細	ServiceNow リソース
ERP 向けゼロコピーコネクタ は ServiceNow アプリで、SAP など、SoR の ERP データの使用を簡素化できます。	 App Engine for ERP の概要: ServiceNow University 注: このリソースにアクセスするには、ServiceNow University にログインする必要があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ERP 向けゼロコピーコネクタ に関する詳細	ServiceNow リソース
	 ServiceNow コミュニティサイト
	 ビデオ：ERP システムの可能性を最大限に引き出す

自動翻訳

再プラットフォーム化する **ERP** 候補の特定 **ERP** 向けゼロコピーコネクタ

ERP 向けゼロコピーコネクタ を使用すると、ERP (エンタープライズリソースプランニング) SoR に接続し、そのデータを整理できます。

従来の **ERP** アプリの **ServiceNow AI Platform** への再プラットフォーム化

再プラットフォーム化は、従来の ERP システムコードをスキャンして、新しいアプリとして ServiceNow AI Platform インスタンスに移行する潜在的な候補を見つけるプロセスです。ERP システムからのデータを、ServiceNow AI Platform 上にビルドされたアプリのソースとして使用し、パフォーマンスの向上、 セキュリティの強化、メンテナンスの削減を実現できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ERP 向けゼロコピーコネクタを使用すると、リモートテーブルと ERP 抽出テーブルの標準フィールドにアクセスできます。 ERP セマンティックマイニングにより、SoR から ServiceNow AI Platform への再プラットフォーム化に適した候補を見つけることができます。

重要:
Zurich リリース以降、 ERP セマンティックマイニング は将来の廃止に向けて準備されます。これは非表示になり、新しいインスタンスではアクティブ化されなくなりますが、引き続きサポートされます。

ERP セマンティックマイニング は、候補と可能な次のステップ (ERP データにアクセスするためのリモートテーブルや抽出テーブルの更新など) を提案します。リモートテーブルは、データを添付ファイルとして ServiceNow インスタンスに送信します。このデータは、AI/ML を使用して分析され、再プラットフォーム化する類似の候補が特定されます。

ERP 向けゼロコピーコネクタ および ERP セマンティックマイニング でのリモートテーブルと抽出テーブルの使用

リモートテーブルと抽出テーブルを組み合わせて使用すると、従来の ERP システムからデータを取得できます。

- リモートテーブルは、外部データソースに対して関連スクリプトを実行することでレコードを取得します。
- 抽出テーブルは、スケジュール済みクエリを使用して大量のデータを取得し、変換テーブルを使用して ServiceNow AI Platformで使用するデータを処理します。

リモートテーブルは、SoR のような、外部ソースから取得するデータのスキーマを記述します。ServiceNow AI Platform をサードパーティソースまたは別のインスタンスに接続して、外部データを取得して必要に応じてメモリにキャッシュできるようにします。リストまたはフォームで外部データを表示して、標準の Glide スクリプトで処理することができます。また、標準の内部テーブルの場合と同様に、データをグループ化、ソート、集計、フィルタリングできます。

リモートテーブルを使用すると、外部ソースから、または REST サービスあるいは SOAP サービスを使用して別のインスタンスからデータを取得できます。外部データは読み取り専用モードでメモリ内に存在するため、ServiceNow AI Platform 内でデータは一時的なものになります。外部データをインポートしたり保存したりすることなく、外部データを表示および操作できます。詳細については、「Remote tables」を参照してください。

大量の ERP データを処理するには、抽出テーブルを使用します。ERP 抽出テーブルは、ServiceNow AI Platform 上のローカル変換テーブルに定期的にデータを保存し、それを処理して、再プラットフォーム化されたアプリのデータ基盤として使用できます。

ERP 向けゼロコピーコネクタ カスタムフィールドの例

ERP 向けゼロコピーコネクタ は、カスタム ERP (エンタープライズリソースプランニング) アプリと SoR 内のフィールド (SAP など) を識別して、 ServiceNow AI Platform上のデータにアクセスするのに役立ちます。ERP システムには、ERP 向けゼロコピーコネクタ によってアクセスされる標準フィールドとカスタムフィールドの両方を含めることができます。

ERP カスタムデータの再プラットフォーム化の例

この例では、ある農業従事者が販売するための収穫を行います。その農業従事者は、重量や販売価格などの標準値のエントリをテーブルに持っています。

ただし、穀物の販売価格は、穀物の含水率に依存します。穀物の収穫の前日に降った場合、生産者は水分量を反映するように販売価格を調整する必要があります。したがって、[日付] や [重量] などの標準フィールドに加えて、ERP システムで収穫量を追跡する従来のテーブルには、カスタムの [含水率] フィールドが必要です。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

この農業従事者は、ERP 向けゼロコピーコネクタ を使用して従来の SoR に接続し、カスタム フィールドを含むテーブルを特定できます。次に、[含水率] フィールドを含むリモートテーブルまたは抽出テーブルを使用して ERP 向けゼロコピーコネクタ で ERP モデルを作成できます。

カスタム データを含む ERP モデルを作成したら、 ServiceNow スタジオ 製品またはその他の ServiceNow 製品を使用して、穀物の売上を追跡するアプリを構築できます。グレイン販売アプリが消費するデータは、従来の SoR に引き続き存在します。

ERP 向けゼロコピーコネクタ とセキュリティ

ロールベースのセキュリティとアクセス制御に加えて、ERP 向けゼロコピーコネクタ は他の方法で個人を特定できるデータを保護します。

個人を特定できるデータは、いくつかの方法で ERP 向けゼロコピーコネクタ で保護されます。

- ERP モデルとリモートテーブルをカスタマイズして、メールアドレスなどの特定のフィールドの個人データを除外できます。
- すべてのリモートテーブルは、アクセス制御ルール (ACL) を使用して保護されます。機密データを含むリモートテーブルがある場合は、ACL を使用してそのテーブルを ServiceNow ユーザーから制限します。詳細については、「ServiceNow® access control」を参照してください。

のガイド付きツアー ERP 向けゼロコピーコネクタ

ERP 向けゼロコピーコネクタガイド付きツアーにアクセスして、ERP 向けゼロコピーコネクタに関する知識を深める方法など、ガイド付きツアーについて学びます。

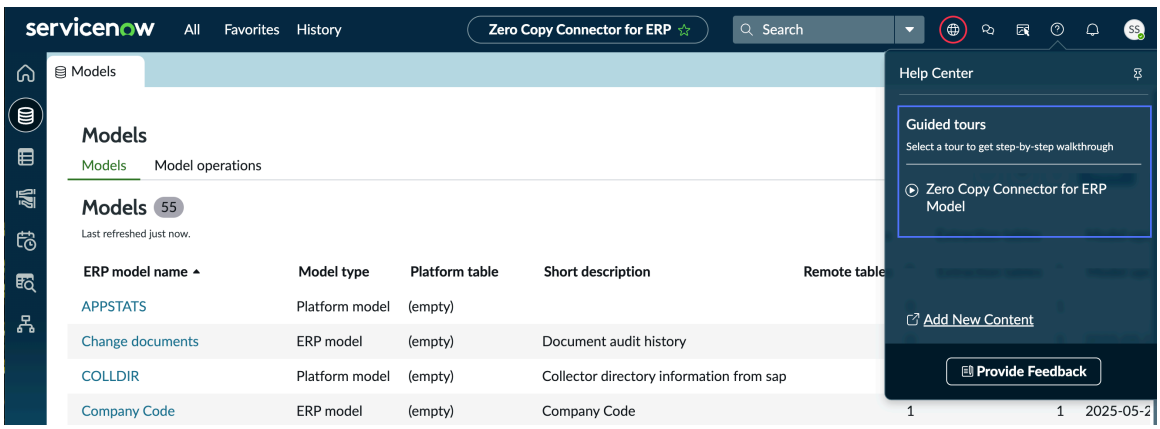
ガイド付きツアーとは

ガイド付きツアーは、デフォルトの ServiceNow プラットフォームに含まれています。使用可能なガイド付きツアーがあり、ガイド付きツアーアプリケーションを使用して、独自のインスタンスでカスタムツアーを自分で作成できます。

ツアーには、ユーザーのトレーニングと教育に役立つインタラクティブな手順が含まれています。一部のツアーでは、ホームページの概要など、ユーザーインターフェイスのさまざまな機能が表示されます。他のツアーは、接続の構成や候補の詳細の操作などのタスクの完了に役立ちます。ガイド付きツアーの内容と作成方法の詳細については、「Exploring Guided Tours」を参照してください。

ERP 向けゼロコピーコネクタ ガイド付きツアーのアクセス方法と使用方法

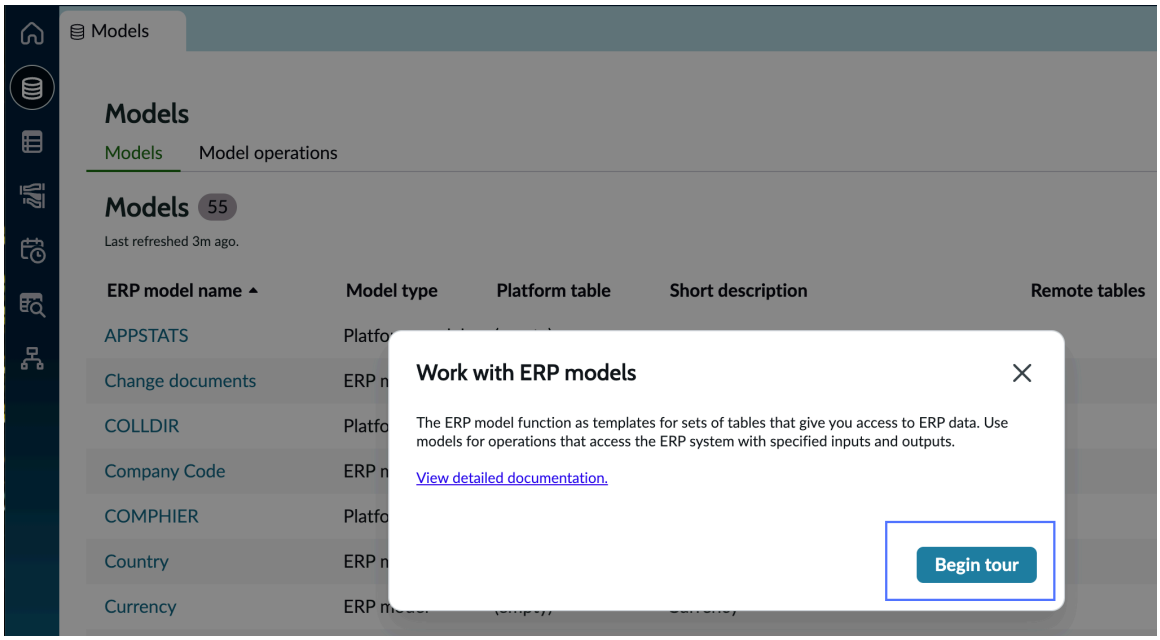
ツアーを開始するには、ヘルプの表示アイコン を選択し、 [ツアーに参加] を選択します。



一連のステップが導かれます。各ステップのテキストを読み、必要なアクションを実行するか 、[ツアーを開始] や [次へ] などのボタンを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



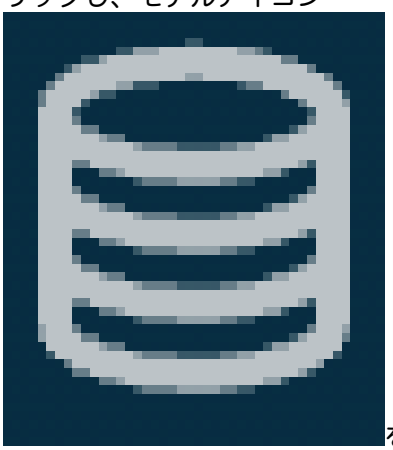
ツアーを停止するには、ツアーステップで **[X**] を選択します。

詳細については、ツアーステップで [詳細なドキュメントを表示] リンクを選択してください。

ガイド付きツアーの最後にある [完了] を選択します。

ERP 向けゼロコピーコネクタ ガイド付きツアーの場所

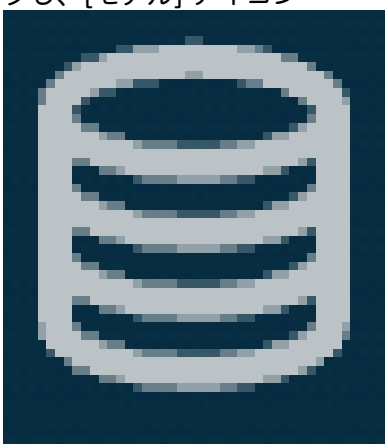
で利用可能なガイド付きツアー **ERP** 向けゼロコピーコネクタ

ガイド付きツアー名	開始ページ	スタートページへのパス
ERP 向けゼロコピーコネクタの使用方法	ERP 向けゼロコピーコネクタホームページ	移動先 *ERP* 向けゼロコピーコネクタ > *ERP* 向けゼロコピーコネクタ 家.
ERP モデルの使用および管理方法	ERP 向けゼロコピーコネクタ個々のモデルページ	移動先 *ERP* 向けゼロコピーコネクタ > *ERP* 向けゼロコピーコネクタ 家をクリックし、モデルアイコン  を選択して、モデルを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

で利用可能なガイド付きツアー **ERP** 向けゼロコピーコネクタ (続く)

ガイド付きツアー名	開始ページ	スタートページへのパス
モデル操作を追加	ERP 向けゼロコピーコネクタ [モデルの管理] ページ	移動先 *ERP* 向けゼロコピーコネクタ > *ERP* 向けゼロコピーコネクタ 家をクリックし、[モデル] アイコン を選択し、モデルを選択して [モデルの管理] を選択します。
エンティティの追加 **注:** このツアーでは、ガイド付きツアー中にビューが変わる可能性があるため、手順をかなり迅速に実行します。[次へ] ボタンの選択が遅れると、ツアーが終了する可能性があります。	ERP 向けゼロコピーコネクタ [モデルの管理] ページ	移動先 *ERP* 向けゼロコピーコネクタ > *ERP* 向けゼロコピーコネクタ 家をクリックし、[モデル] アイコン  を選択し、モデルを選択して [モデルの管理] を選択します。
リモートテーブルの使用方法	ERP 向けゼロコピーコネクタ 個別リモートテーブルページ	移動先 *ERP* 向けゼロコピーコネクタ > *ERP* 向けゼロコピーコネクタ 家をクリックし、

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

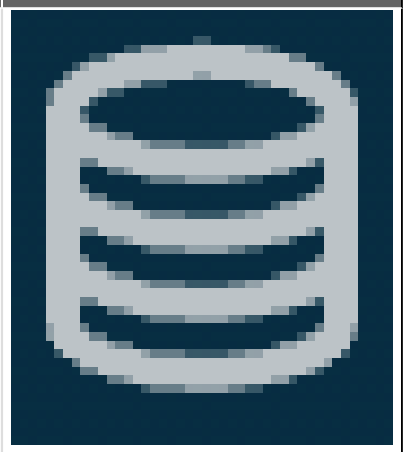
で利用可能なガイド付きツアー **ERP** 向けゼロコピーコネクタ (続く)

ガイド付きツアー名	開始ページ	スタートページへのパス
		[リモートテーブル] アイコンを選択して、リモートテーブルを選択します。
抽出テーブルの使用方法	ERP 向けゼロコピーコネクタ個別の抽出ページ	移動先 *ERP* 向けゼロコピーコネクタ > *ERP* 向けゼロコピーコネクタ 家をクリックし、[抽出テーブル] アイコン を選択して、抽出テーブルを選択します。
ERP モデルの操作	ERP 向けゼロコピーコネクタモデルリストページ	移動先 *ERP* 向けゼロコピーコネクタ > *ERP* 向けゼロコピーコネクタ 家 をクリックし、[モデル] アイコン

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

で利用可能なガイド付きツアー **ERP** 向けゼロコピーコネクタ (続く)

ガイド付きツアー名	開始ページ	スタートページへのパス
		 を選択します。

ERP 向けゼロコピーコネクタの構成

ERP 向けゼロコピーコネクタをインストールして、ERP (エンタープライズリソースプランニング) SoR や、Source-to-Pay オペレーション や プロセスマイニング などの他のServiceNow製品への接続を構成します。

ERP 向けゼロコピーコネクタ はベーシック認証を使用して、ServiceNow インスタンスを SoR (SAP など) 上のインスタンスに接続します。

接続を構成した後、ERP モデルを使用して ERP 向けゼロコピーコネクタ で SoR を読み取って更新し、リモートテーブルと抽出テーブルを作成できます。

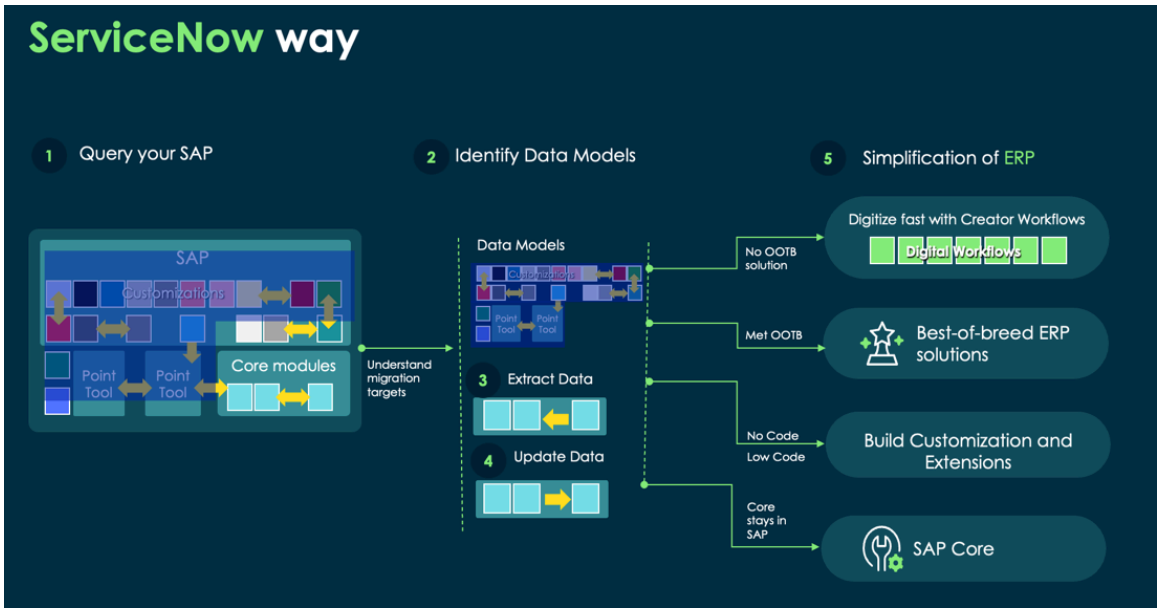
さらに、 ERP セマンティックマイニング を使用して、再プラットフォーム化に適した候補である従来のアプリケーションを特定し、そのデータを ServiceNow AI Platformですぐに利用できるようにすることができます。詳細については、「ERP セマンティックマイニング」を参照してください。

重要:
Zurich リリース以降、 ERP セマンティックマイニング は将来の廃止に向けて準備されます。これは非表示になり、新しいインスタンスではアクティブ化されなくなりますが、引き続きサポートされます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ERP 向けゼロコピーコネクタ



複数のインスタンスへの接続

ServiceNow インスタンスごとに保持できる ERP 接続の数は、ライセンスによって異なります。ERP セマンティックマイニング ライセンスをお持ちの場合は、インスタンスごとに 1 つの接続を取得します。

ERP 向けゼロコピーコネクタ のインストール要件

ERP 向けゼロコピーコネクタ をインストールする前に、ERP (エンタープライズリソースプランニング) システムと ServiceNow AI Platform の両方でいくつか構成を完了する必要があります。

ライセンス

インストールには、ERP 向けゼロコピーコネクタ のライセンスとエンタイトルメントの取得が必要です。詳細については、「ライセンス」を参照してください。

ServiceNow AI Platform プラグイン

ERP 向けゼロコピーコネクタ をインストールするには、次のプラグインとサーバーが必要です。

- 統合ハブ プラグイン (詳細については、「 Request Integration Hub」を参照)
- リモートテーブル プラグイン (詳細については、「 Activate the remote tables plugin」を参照)
- MID サーバー:ERP 向けゼロコピーコネクタをインストールするには、MID サーバーを構成する必要があります。詳細については、次のセクションを参照してください。

MID サーバー の要件

MID サーバーを介して SoR と通信するには、有効な接続および資格情報エイリアスが必要です。

> **注:**
> ERP 向けゼロコピーコネクタ 接続に指定する認証情報は、SoR のサービスユーザー認証情報と一致する必要があります。

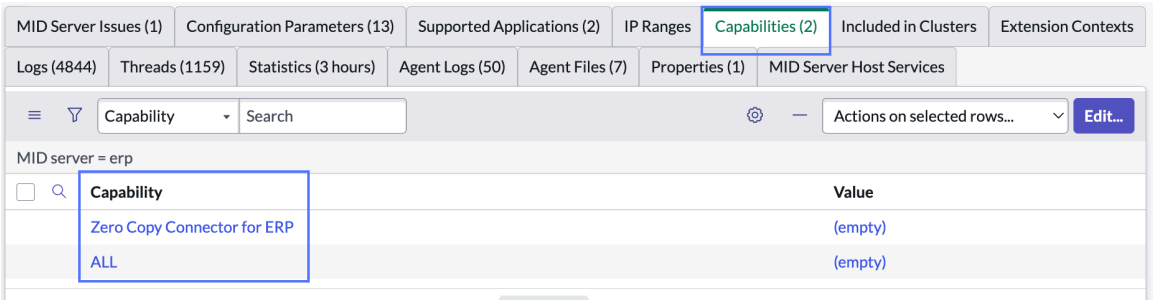
ERP 向けゼロコピーコネクタ と ERP セマンティックマイニング は現在、ECC(最小SAP Netweaver 7.31)およびSAP S/4HANAシステムをサポートしています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

移動先 すべて > **MID** サーバー > サーバーをクリックし、 MID サーバーを選択して以下を追加します。

1. [サポートされているアプリケーション] タブで、ERP 向けゼロコピーコネクタ を含めるようにリストを編集します。
2. [機能] タブで、[すべて] に加えて、リストを編集して ERP 向けゼロコピーコネクタを含めます。



詳細については、「MID Server」を参照してください。

mid_userユーザーに sn_erp_integration.erp_mid_server ロールを割り当てます。このロールにより、 MID Server は ImportSet API を使用して ServiceNow インスタンスにデータを送信できます。

1. 移動先 すべて > ユーザー管理 > ユーザー
2. **mid_user**を見つけて選択します。
3. [ロール] タブを選択します。
4. **[Edit** (編集)] を選択します。
5. **sn_erp_integration.erp_mid_server** ロールを見つけてアサインします。

開発システムで必要な **SAP** 権限

認証情報には、次の SAP 認証オブジェクトを必要とする SoR の SAP サービスタイプのユーザーアカウントを使用します。

- 以下の汎用モジュールに対してアクティビティ = 16 (実行) のS_RFC。
  - RFCPING
  - BAPI_MONITOR_GETLIST
  - RFC_METADATA_GET
  - RFC_GET_FUNCTION_INTERFACE
  - RFC_READ_TABLE
  - DDIF_FIELDINFO_GET
- 次のテーブルのアクティビティ 03 (表示) でS_TABU_NAMします。
  - DD01L
  - DD02L
  - DD02T
  - DD03L
  - DD04L

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- DD04T
- DD12L
- DD17S
- DD40L

- アクティビティ 03 のS_DEVELOP (表示)

本番およびテストシステムで必要な SAP 権限

認証情報には、次の SAP 認証オブジェクトを必要とする SoR の SAP サービスタイプのユーザーアカウントを使用します。

- 以下の汎用モジュールに対してアクティビティ = 16 (実行) のS_RFC。
  - RFCPING
  - BAPI_TRANSACTION_COMMIT
  - BAPI_TRANSACTION_ROLLBACK
  - RFC_METADATA_GET
  - RFC_GET_FUNCTION_INTERFACE
  - RFC_READ_TABLE
- モデルで使用したテーブルのアクティビティ 03 (表示) を使用してS_TABU_NAMします。

SAP 独自のファイル

SAP ECC RFC アカウントのアドミンに問い合わせて、次の SAP 独自の JAR およびその他の必要なファイルを入手してください。

- 「SAP Jco Dll」というレコードを作成し、sapjco3.dll を添付します。MID サーバーが Windows サーバーにインストールされている場合は、このファイルを使用します。
- 「SAP Jco so」というレコードを作成し、libsapjco3.so を添付します。MID サーバーが Linux サーバーにインストールされている場合は、このファイルを使用します。
- 「SAP Eco Jar」というレコードを作成し 、sapjco3.jarを添付します。このファイルは、Windows と Linux の両方で使用します。

> **注:**
> でのレコード作成 すべて > **MID** サーバー > **JAR** ファイル. JAR ファイルの作成と添付ファイルの追加の詳細については、「 Synchronize a JAR file to MID Servers」を参照してください。

MID サーバーは、このプロセス中に複数回再起動します。

これらのファイルの詳細については、「 SAP ECC RFC Spoke」を参照してください。

SAP 構成

ERP 向けゼロコピーコネクタ をインストールする前に、JCO コネクタを構成する必要があります。詳細については、SAP ヘルプポータルの SAP Java 接続 (JCo) のインストール を参照してください。

DuckDB JDBC jar を MID サーバー jar として追加する必要があります。詳細とダウンロードについては、Maven Web サイトの「 DuckDB JDBC Driver 1.1.1 」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

他にも ERP システムには次のものが必要です。

- SAP ECC (SAP Netweaver 7.31 以上)
- SAP S/4HANA (すべてのバージョンがサポートされています)
- SAP Java Connector

ERP 向けゼロコピーコネクタ をインストール

ServiceNow Store のアドミンロールがある場合は、ERP 向けゼロコピーコネクタ (エンタープライズリソースプランニング) アプリケーション (sn_erp_integration) をインストールします。

始める前に

ライセンス情報を含む、ERP 向けゼロコピーコネクタ をインストールするためのすべての前提条件については、「ERP 向けゼロコピーコネクタ のインストール要件」を参照してください。

必要なロール：admin

手順

1. に移動 ServiceNow Store.
2. 検索に「 ERP のゼロコピーコネクタ」と入力します。
3. *ERP* 向けゼロコピーコネクタ タイルを選択します。
4. [購入] を選択します。
5. ServiceNow認証情報を使用してログインします。
   連邦政府の顧客は 、[連邦政府の顧客ですか?] を選択し、指示に従う必要があります。ServiceNow認証情報がなく、連邦政府の顧客でもない場合は、[**ServiceNow ID** をお持ちでない顧客ですか?] を選択し、指示に従います。
6. サブスクリプションステータスを表示して、製品と依存アプリケーションに対するエンタイトルメント (またはライセンス) があることを確認します。
7. [インストールを要求] を選択します。
8. 完了したら、 ERP 向けゼロコピーコネクタのインストールを確認します。
9. [閉じる] を選択して ServiceNow Store

次のタスク

アドミニストレーターまたは sn_erp_integration.erp_admin ロールを持つユーザーが ERP モデルとテーブルを編集、カスタマイズ、クローン作成するには、*sn_erp_integration.enableModelModification* プロパティを有効にする必要があります。*sn_erp_integration.enableModelModification* プロパティを有効にすると、ERP 向けゼロコピーコネクタ はモデルを管理するときに使用するすべてのテーブルと BAPI (ビジネスアプリケーションプログラミングインターフェイス) を取得します。 プロパティは、非本番ステータスまたは本番ステータスのいずれかに対して構成する必要があります。(本番インスタンスで *sn_erp_integration.enableModelModification* を有効にすると、 ERP 向けゼロコピーコネクタで新しいモデルとフィールドが追加されたときにメタデータレコードを作成できます)。システムプロパティはシステムプロパティテーブル [sys_properties] で管理されており、ナビゲーターフィルターに sys_properties.list を直接入力することでアクセスできます。

> **注:**
> 正しいスコープで *sn_erp_integration.enableModelModification* プロパティを有効にする必要があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ERP 向けゼロコピーコネクタ の認証情報と接続の構成

ERP 向けゼロコピーコネクタ を SoR (SAP など) に直接接続するか、ロードバランサーを使用して、ERP (エンタープライズリソースプランニング) システムへのアクセスを有効にします。ERP システムを設定するときは、既存の構成済み接続を選択する必要があります。

始める前に

最初に ERP 向けゼロコピーコネクタ のエイリアスを作成する必要があります。詳細については、「Create a Connection & Credential alias」を参照してください。

必要なロール：admin

このタスクについて

ERP 向けゼロコピーコネクタ と ERP セマンティックマイニング は現在、ECC(最小SAP Netweaver 7.31)およびSAP S/4HANAシステムをサポートしています。

> **注:**
> ERP 向けゼロコピーコネクタ 接続に指定する認証情報は、SoR のサービスユーザー認証情報と一致する必要があります。

手順

1. 移動先 すべて > 接続 **&** 認証情報 > 接続と認証情報エイリアス.
2. 新しい接続用に作成したエイリアスを選択します。
3. 接続と資格情報を作成します。
4. フォームで、フィールドに入力します。
   同時に使用する接続とログイン認証情報を指定する必要があります。つまり、構成する接続は、その接続で定義されたログイン認証情報を使用します。

   フィールド値の説明については、「ERP 向けゼロコピーコネクタ 接続と認証情報フィールドの説明」を参照して ください。HTTP 接続を作成する場合は、フィールドとMID サーバーの詳細については、「Create an HTTP(s) connection」を参照してください。
5. ERP 向けゼロコピーコネクタ 接続を設定します。
   a. 移動先 すべて > *ERP* 向けゼロコピーコネクタ > *ERP* 向けゼロコピーコネクタ 家.
   b. サイドパネルで システムアイコンを選択して、[ERP システム] リストを開きます。
   c. **[New** (新規)] を選択します。
   d. **[RFC** 接続] または **[HTTP** 接続] フィールドを含むフィールドに入力します。
      詳細については、「ERP 向けゼロコピーコネクタ の新しいシステムフィールドの説明」を参照してください。
   e. [保存] を選択します。

で **SNC (Secure Network Communication)** 接続を使用する **ERP** 向けゼロコピーコネクタ

ServiceNow MID サーバー システムと SAP システム間のデータ通信には、Secure Network Communication (SNC) を使用します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

セキュアネットワーク通信 (SNC) は、ネットワーク経由で送信されるデータが暗号化、認証、および整合性チェックによって保護されていることを確認する SAP システムのセキュリティ機能です。SNC は、SAP システムと外部コンポーネント間の安全な通信経路を提供し、不正アクセス、改ざん、盗聴から機密情報を保護します。

SNC は次の目的で使用されます。

- セキュリティの強化:SNC は、ネットワーク経由で送信されるデータを暗号化することで、不正アクセスを防止し、機密性を確認します。
- データの整合性のチェック:整合性チェックでは、送信中にデータが改ざんされていないことを確認し、改ざんから保護します。
- 通信関係者の認証:SNC は、通信に関与するエンティティの ID を検証するための強力な認証方法を提供します。

SNC アーキテクチャ

SNC は、SAP NetWeaver Application Server (AS) 環境内で動作します。GSS-API (Generic Security Services Application Program Interface) を使用して、外部のセキュリティライブラリおよび製品と統合します。一般的に使用されるセキュリティライブラリには、Kerberos ベースのソリューションと SAP 独自のセキュアログインライブラリ (SLL) が含まれます。

での SNC 接続の構成 ERP 向けゼロコピーコネクタ

環境の準備、SAP システムの構成、構成のテストなど、SNC の設定方法について説明します。

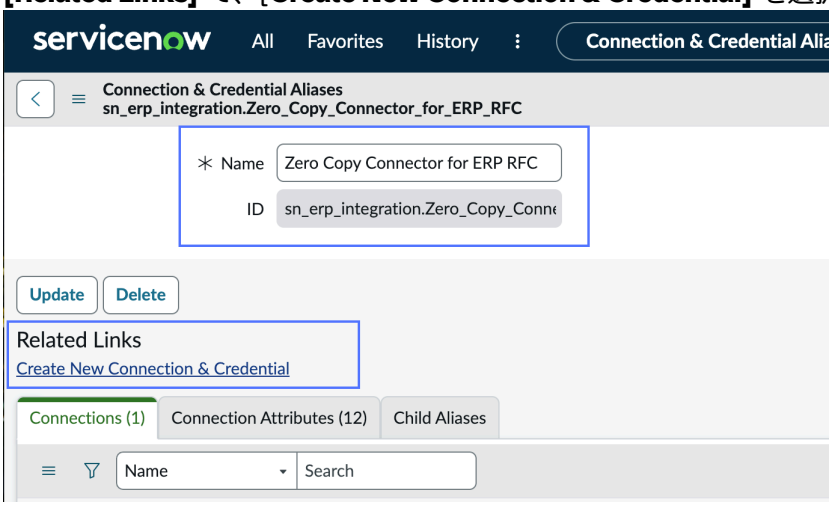
始める前に
必要なロール：admin

以下がそろっていることを確認します。

- SAP セキュアログインライブラリや Kerberos ベースのライブラリなど、SNC 互換のセキュリティライブラリ。
- SAP システムとそれがホストされているサーバーへの管理アクセス。

手順

1. 次の場所に移動して、必要なセキュリティライブラリを MID サーバーにインストールします 接続 **&** 認証情報 > 接続と認証情報エイリアス.
2. ID が sn_erp_integration *ERP* 向けゼロコピーコネクタ **RFC** エイリアスを検索して 開きます。ERP_Canvas_RFC。
3. **[Related Links]** で、[**Create New Connection & Credential]** を選択します。



自動翻訳

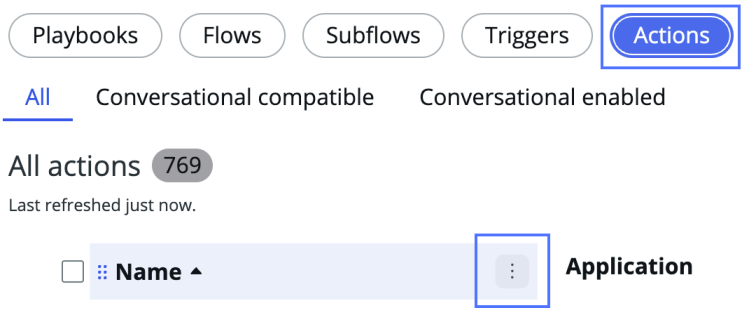
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

4. フォームを完了します。
フィールドの詳細については、次を参照してください。 プロパティー ERP 向けゼロコピーコネクタ 認証情報と接続.
5. MID サーバーを再起動して変更を適用します。
詳細については、「Manually start, stop, and restart a MID Server」を参照してください。
6. SNC 構成が正しく機能していることを確認します。

   a. 検索項目 すべて > ワークフロースタジオ.

   b. ホームページで、[アクション] を選択します。

   c. [名前] 列にカーソルを合わせて、フィルターアイコンを選択します。



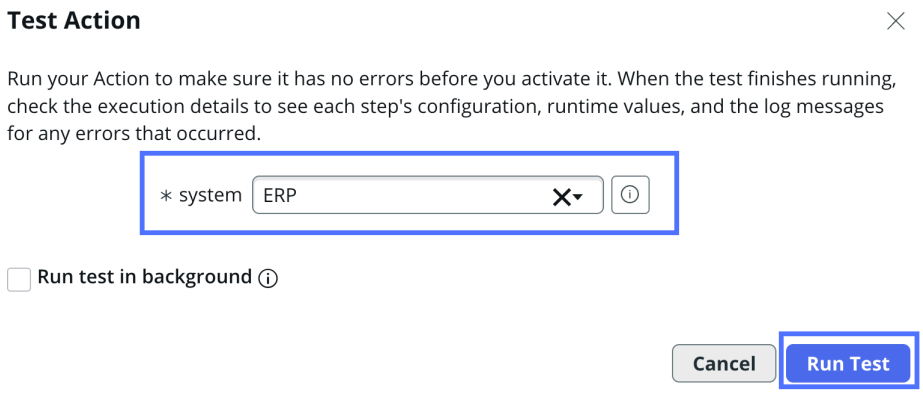
   d. [次の値を含む] をフィルタリングし、「ハートビート」と入力します。

   e. **[Apply** (適用)] を選択します。

   f. **[HeartBeat]** を選択します。

   g. [**Test**] をクリックします。

   h. システムを指定し、[テストの実行] を選択します。



   i. テストが完了したら、 テストの実行が終了しました。アクション実行の詳細を表示します。

   j. 接続プロパティセットが入力として渡されていることを確認します。

   k. **isAlive** が true であることを確認し、false の場合はパラメーターを検証します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Trouble?

- セキュリティライブラリが正しくインストールされ、アクセスできることを確認します。詳細については、SAP ヘルプ サイトの 「SAP セキュリティ ライブラリ (SAPSECULIB)」 を参照してください。
- SNC パラメーターが正しく設定されていることを確認します。詳細については、SAP ヘルプサイトの SNC パラメータの設定 を参照してください。
- SNC PSE の妥当性と正しい DN エントリをチェックします。詳細については、SAP ヘルプサイトの PSE の登録または置換 を参照してください。
- SAP クライアントが SNC を使用するように正しく構成されていることを確認します。詳細については、「Configuring MID Server」を参照してください。

ERP 向けゼロコピーコネクタ ロール

アドミニストレーターはロールを割り当てて、ERP 向けゼロコピーコネクタ を構成または使用する権限をチームメンバーに付与します。

重要:
ユーザーに ERP 向けゼロコピーコネクタ (エンタープライズリソースプランニング) ロールをアサインする場合は、 スコープを含める必要があります。たとえば、erp_adminだけでなく、sn_erp_integration.erp_admin ロールを割り当てます。

ロールの割り当ての詳細については、「Assign a role to a user」を参照してください。

ユーザーごとのサブスクリプション管理の詳細については、「Managing per-user subscriptions in Subscription Management」を参照し、アカウント担当者にお問い合わせください。

ERP 向けゼロコピーコネクタ ロール

注:
必要なロールはすべて、開発インスタンスと本番インスタンスで同じです。ただし、本番インスタンスのデータの読み取りに必要なのは sn_erp_integration.erp_user のみです。

ERP 向けゼロコピーコネクタ ロール

ロール	説明	追加アクセス
sn_erp_integration.erp_admin	アプリケーション設定を更新するためのアクセス権をユーザーに付与します。	sn_erp_integration.erp_user が含まれています。
sn_erp_integration.erp_ai_user	スキル、エージェントワークフロー、エージェントなどの ERP 関連の生成 AI 機能へのアクセス権をユーザーに付与します。	なし
sn_erp_integration.erp_data_pill	リモートテーブル 要求を行うために必要なすべてのテーブルへの読み取りアクセス権をユーザーに付与します。 このロールは、任意の単一の リモートテーブル ロールと組み合わせることができます。たとえば、sn_erp_integration.erp_data_pill と	なし

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ERP 向けゼロコピーコネクタ ロール (続く)

ロール	説明	追加アクセス
	sn_erp_integration.sap_company_code_user を組み合わせると、SAP 会社コードのリストが有効になります。	
sn_erp_integration.erp_mid_server	MID サーバー添付ファイルを ServiceNow インスタンスに送り返すことができるように、API を使用するためのアクセス権をユーザーに付与します。	• connection_admin • import_admin • import_scheduler • import_set_loader • import_transformer • snc_platform_rest_api_access • sn_erp_integration.erp_admin
sn_erp_integration.erp_user	すべてのリモートテーブルの読み取りアクセス権をユーザーに付与します。	sn_erp_integration.erp_data_pill と、次のセクションにリストされているすべてのデータモデル固有のロールが含まれています。
sn_erp_integration.etl_user	ETL プロセスをトリガーする機能をユーザーに付与します。	sn_erp_integration.erp_data_pill と import_admin が含まれています。

追加の **ERP** データモデルロール

ユーザーが購買や請求書などの特定の ERP データモデルを操作するためのアクセス権を必要とする場合は、 ERP 向けゼロコピーコネクタ次のロールをアサインします。

ERP 向けゼロコピーコネクタ の **ERP** データモデル固有のロール

ペルソナ	ロール
会社コードユーザー	sn_erp_integration.sap_company_code_user
国ユーザー	sn_erp_integration.sap_country_user
通貨ユーザー	sn_erp_integration.sap_currency_user
顧客請求書ユーザー	sn_erp_integration.sap_customer_invoice_user
流通チャネルユーザー	sn_erp_integration.sap_distribution_channel_user
部門ユーザー	sn_erp_integration.sap_division_user
言語ユーザー	sn_erp_integration.sap_language_user
品目インベントリユーザー	sn_erp_integration.sap_material_stock
購買ドキュメントユーザー	sn_erp_integration.sap_purchase_document
購買組織ユーザー	sn_erp_integration.sap_purchasing_organization
営業顧客ユーザー	sn_erp_integration.sap_sales_customer

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ERP 向けゼロコピーコネクタ の **ERP** データモデル固有のロール (続く)

ペルソナ	ロール
営業デリバリユーザー	sn_erp_integration.sap_sales_delivery
営業ドキュメントユーザー	sn_erp_integration.sap_sales_document
営業組織ユーザー	sn_erp_integration.sap_sales_organization
営業収益認識ユーザー	sn_erp_integration.sap_sales_revenue_recognition
テーブルメタデータユーザー	sn_erp_integration.sap_table_metadata_user
移送ユーザー	sn_erp_integration.sap_transport_user
ベンダー請求書ユーザー	sn_erp_integration.sap_vendor_invoice
ベンダーユーザー	sn_erp_integration.sap_vendor

ERP 向けゼロコピーコネクタ での **ERP** システムの操作

ERP 向けゼロコピーコネクタシステムは、ERP SoR のセクションへの接続を表します。たとえば、受注またはベンダー請求書です。

ERP システムによる **SoR** への接続の整理

ERP 向けゼロコピーコネクタシステムは、データの同期、共有、およびコラボレーションにおいて重要な役割を果たし、ERP モデルと接続された ERP システム間のシームレスな統合と運用を可能にします。

ERP 向けゼロコピーコネクタ には、SAP 品目在庫や SAP 購買ドキュメントといった標準的な ERP モデルのセットが入っています。標準 ERP モデルのリストについては、「 ERP 向けゼロコピーコネクタ の標準 ERP モデルと抽出テーブル」を参照してください。新しいモデルのビルドの詳細については、「 新しい ERP モデルを作成」を参照してください。例として、 ERP 向けゼロコピーコネクタ データ製品、事前定義されたモデルのセット、およびプロセス拡張を使用して、手動作業を減らしてアプリケーションを実装および展開できるようにします。詳細については、「ERP 向けゼロコピーコネクタ データ製品」を参照してください。

ERP システムの構成と接続の確認

ERP 向けゼロコピーコネクタ ERP システムは、 ServiceNow アドミニストレーターによって構成されます。 ERP 向けゼロコピーコネクタ は複数のシステムへの接続をサポートしています。

ERP 向けゼロコピーコネクタ は、ERP システム接続への ping が成功したかどうかを示す最新のハートビートについて、接続されているすべての ERP システムを定期的にスキャンします。

ERP 向けゼロコピーコネクタ での **ERP** システムの作成

ERP 向けゼロコピーコネクタ で ERP (エンタープライズリソースプランニング) システムを構成し、SoR への接続を整理します。

始める前に
必要なロール：sn_erp_integration.erp_admin

[store-future: BEGIN review]

https://player.vimeo.com/video/1056865172?h=86d0ea3e38&badge=0&autopause=0&player_id=0&app_id=58479

[End]

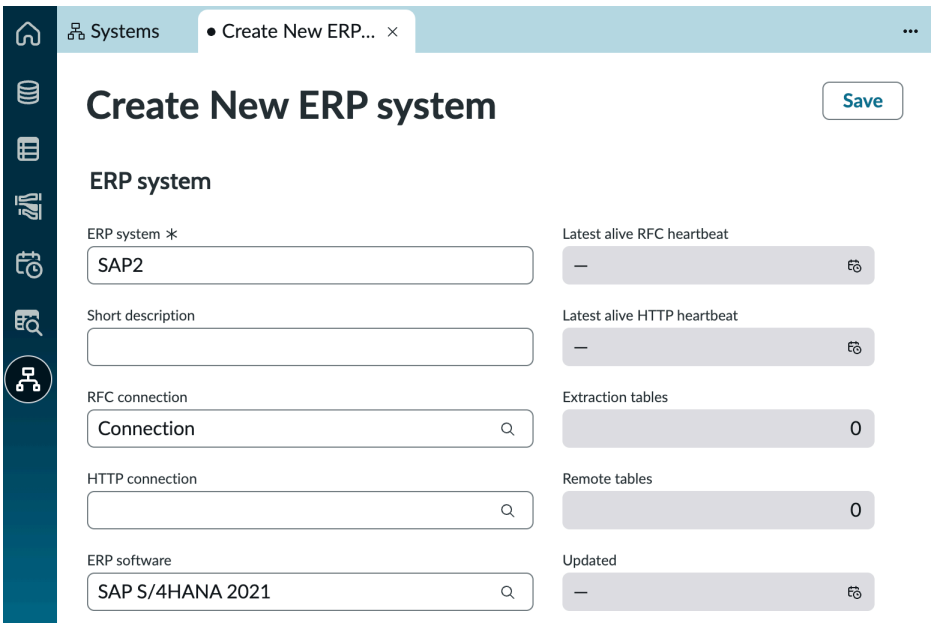
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて
ERP 向けゼロコピーコネクタ は複数のシステムへの接続をサポートしています。

手順

1. 移動先 すべて > *ERP* 向けゼロコピーコネクタ > *ERP* 向けゼロコピーコネクタ 家.
2. サイドパネルで システムアイコンを選択して、[ERP システム] リストを開きます。
3. **[New** (新規)] を選択します。
4. フォームで、フィールドに入力します。



> **注:**
> HTTP 接続オプションを使用するには、OData 接続を確立できる SAP システムが必要です。

フィールド値の説明については、「ERP 向けゼロコピーコネクタ の新しいシステムフィールドの説明」を参照して ください。

5. **[Save** (保存)] を選択します。

タスクの結果
システムを作成したら、[ERP システム] リストページでハートビートと回収のステータスを表示できます。詳細については、「ERP 向けゼロコピーコネクタシステムのリストを表示」を参照してください。

ERP 向けゼロコピーコネクタシステムのリストを表示

ERP 向けゼロコピーコネクタ の ERP (エンタープライズリソースプランニング) システムリストをチェックして、ERP システムのハートビートと取得ステータスを表示します。

始める前に
必要なロール：sn_erp_integration.erp_admin

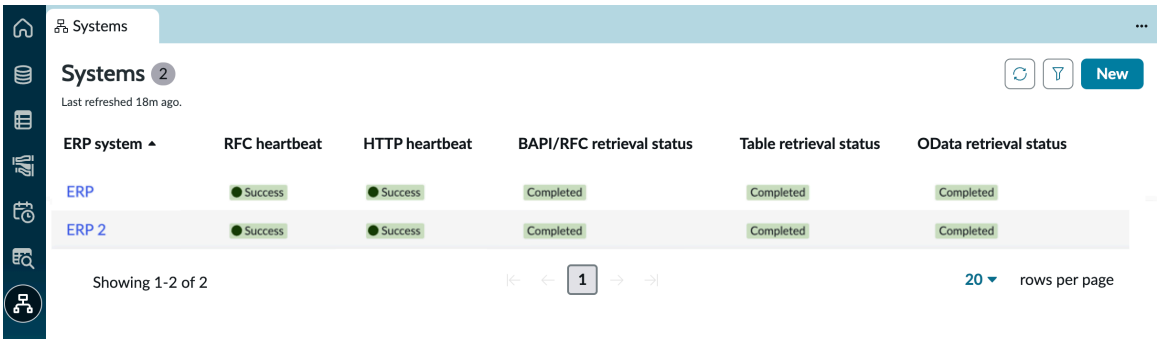
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
sn_erp_integration.erp_user ロールを持つユーザーは、ERP システムのリストを表示できますが、システムを作成することはできません。詳細については、「ERP 向けゼロコピーコネクタ での ERP システムの作成」を参照してください。

手順

1. 移動先 すべて > *ERP* 向けゼロコピーコネクタ > *ERP* 向けゼロコピーコネクタ 家.
2. サイドパネルで システムアイコンを選択して、[ERP システム] リストを開きます。



3. 各システムの情報を調べて、接続の問題がないことを確認します。
フィールド値の説明については、「ERP 向けゼロコピーコネクタ のシステムリストフィールドの説明」を参照して ください。

ERP 向けゼロコピーコネクタシステムのハートビート情報を表示する

ERP 向けゼロコピーコネクタでは、ハートビートに ERP システムへの接続のステータス、日付、時刻、およびエラー情報が表示されます。

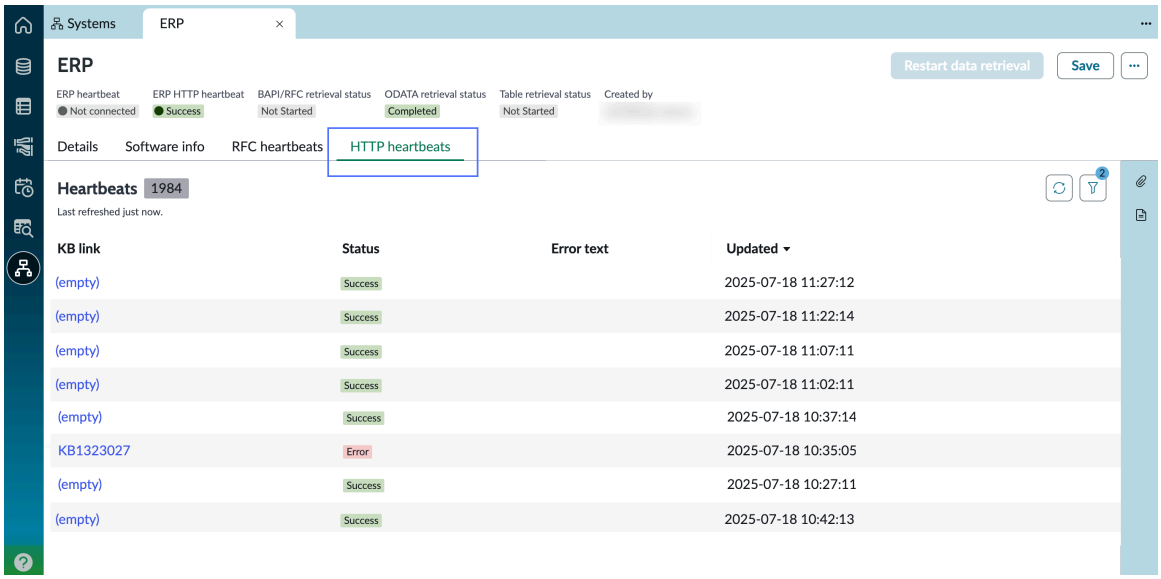
始める前に
必要なロール:sn_erp_integration.erp_admin または sn_erp_integration.erp_user

手順

1. 移動先 すべて > *ERP* 向けゼロコピーコネクタ > *ERP* 向けゼロコピーコネクタ 家.
2. サイドパネルで システムアイコンを選択して、[ERP システム] リストを開きます。
3. システムを開きます。
4. **[RFC** ハートビート] または **[HTTP** ハートビート] タブを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



更新された日時やステータスなど、ハートビートに関する情報を表示します。エラーが発生した場合は、エラーテキストが表示され、ナレッジベース記事へのリンク (利用可能な場合) が提供されます。詳細については、「ERP 向けゼロコピーコネクタ の新しいシステムフィールドの説明」を参照してください。

デフォルトでは、すべてのハートビート情報が 1 週間保持されますが、その設定を変更することができます。

a. 移動先 すべて > システムデータ管理 > データ管理ポリシー.

b. **ERP** ハートビートログポリシー (sn_erp_integration_log_heartbeat) を開きます。

c. [テーブルクリーンアップルール] タブを選択します。

d. リストで **[sn_erp_integration_log_heartbeat]** を選択します。

e. 経過時間を秒単位で編集します。

ERP 向けゼロコピーコネクタソフトウェア情報の表示

ERP 向けゼロコピーコネクタ で、ERP ファミリー、データベースタイプなどのソフトウェア情報を表示します。

始める前に

必要なロール:sn_erp_integration.erp_admin または sn_erp_integration.erp_user

手順

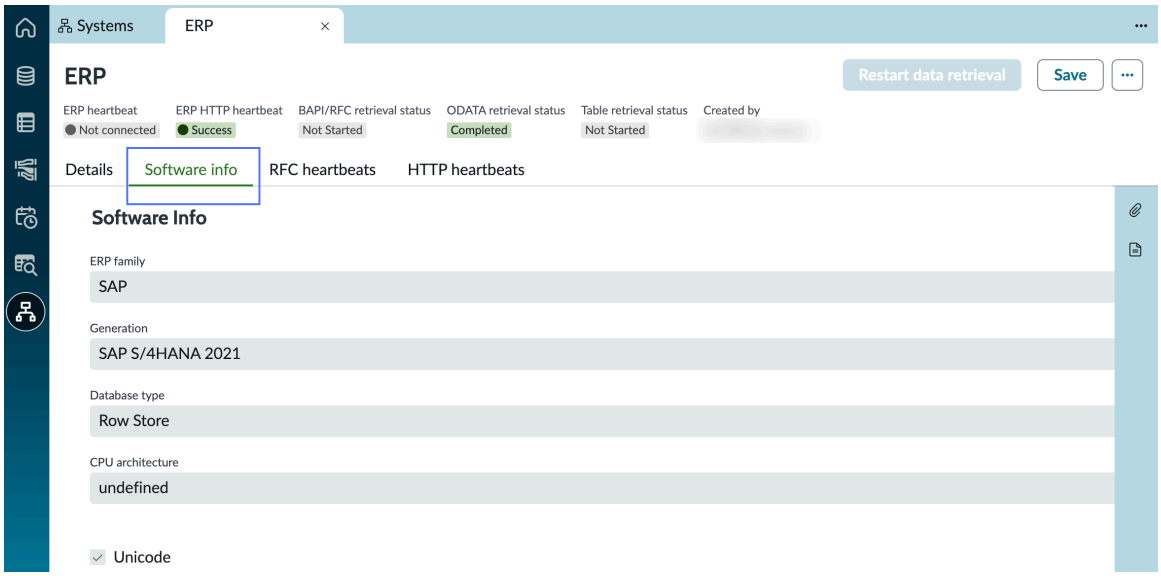
1. 移動先 すべて > *ERP* 向けゼロコピーコネクタ > *ERP* 向けゼロコピーコネクタ 家.

2. サイドパネルで システムアイコンを選択して、[ERP システム] リストを開きます。

3. システムを開きます。

4. [ソフトウェア情報] タブを選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



ERP ファミリーや生成などのソフトウェア情報を表示します。すべてのフィールドが読み取り専用となります詳細については、「ERP 向けゼロコピーコネクタ [ソフトウェア情報] タブのフィールドの説明」を参照してください。

ERP 向けゼロコピーコネクタ パートナープロファイル情報の表示

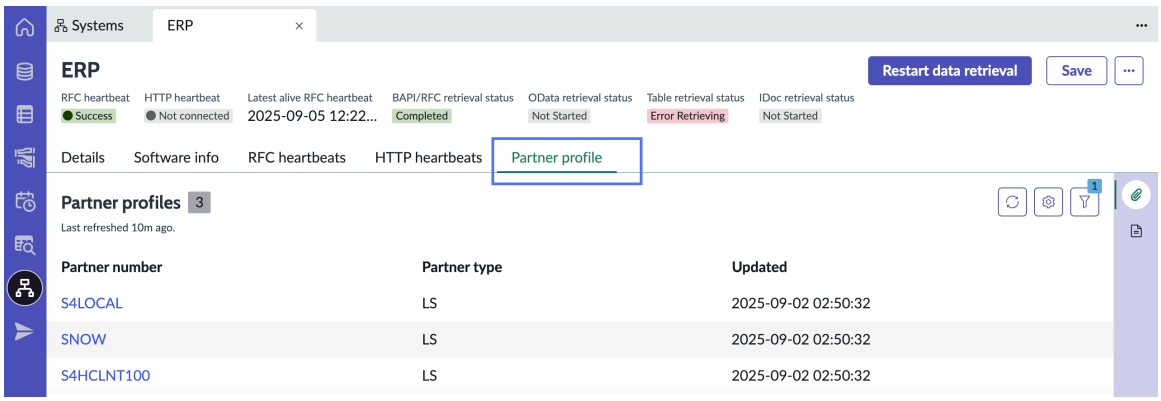
ERP 向けゼロコピーコネクタで、番号や種類などのパートナープロファイル情報を表示します。

始める前に

必要なロール:sn_erp_integration.erp_admin または sn_erp_integration.erp_user

手順

1. 移動先 すべて > *ERP* 向けゼロコピーコネクタ 家.
2. サイドパネルで システムアイコンを選択して、[ERP システム] リストを開きます。
3. システムを開きます。
4. [パートナープロファイル] タブを選択します。



番号、タイプ、レコードの最終更新日時などのパートナープロファイル情報を表示します。詳細を取得するには、 パートナー番号を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ERP 向けゼロコピーコネクタメトリクスと統計情報の取得

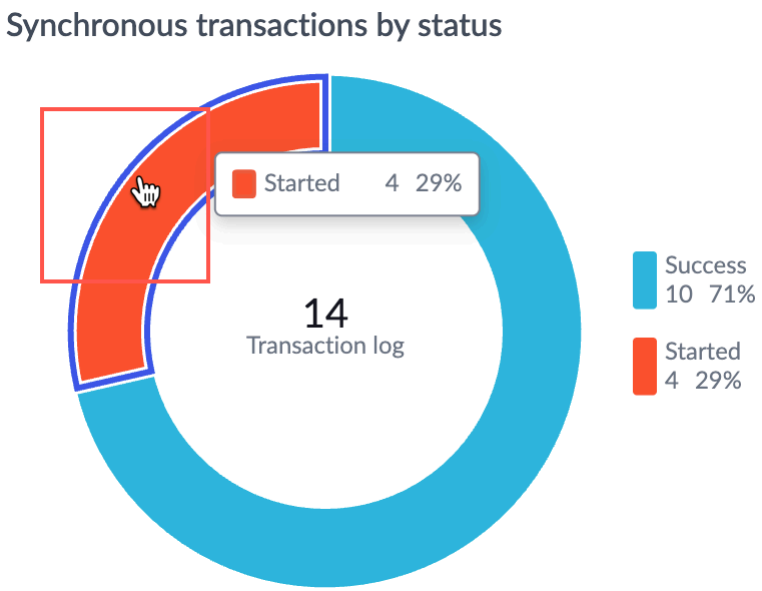
ERP 向けゼロコピーコネクタホームページダッシュボードを使用して、トランザクションに関する統計情報とトラブルシューティングに役立つ情報を取得します。

ダッシュボードに ERP 向けゼロコピーコネクタ の統計情報、メトリクス、デバッグ情報を表示します。関連する ERP 向けゼロコピーコネクタ プロパティ、ログ、イベント、エディターへのリンクを開きます。

ダッシュボードを表示するには、sn_erp_mining.erp_admin または sn_erp_mining.erp_user ロールが必要です。

ダッシュボードを表示するには、次に移動します: すべて > *ERP 向けゼロコピーコネクタ* > *ERP 向けゼロコピーコネクタ 家*..

ダッシュボードのチャート、グラフ、およびリスト内の領域またはアイテムを選択して、基礎となるレコードを表示します。たとえば、ドーナツグラフのセクションを選択すると、そのセクションのレコードリストが表示されます。



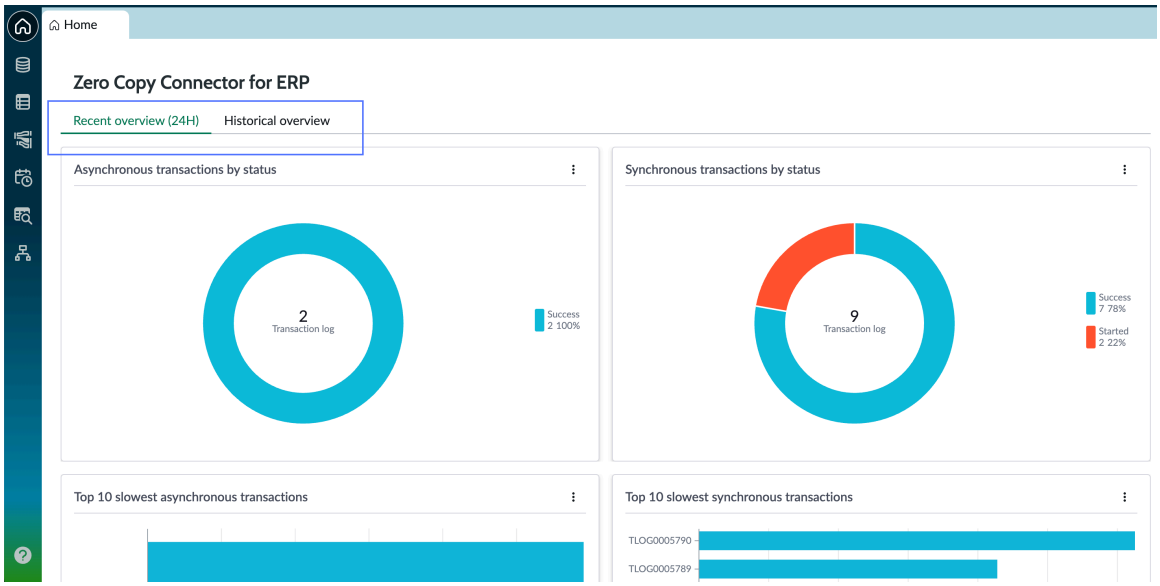
ダッシュボードタブ

[最近の概要] タブには、過去 24 時間に取得された情報が含まれています。

[履歴の概要] タブには、すべての情報が含まれています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



データの可視化

タイトル	タイプ	説明
ステータス別の非同期トランザクション	ドーナツグラフ	ステータス (開始、成功、エラーなど) 別に整理された抽出などのバックグラウンドジョブ。
ステータス別の同期トランザクション	ドーナツグラフ	ステータス (開始、成功、エラーなど) 別に整理された、リモートルックアップなどのユーザーが開始したジョブ。
上位 10 件の最も遅い非同期トランザクション	棒グラフ	応答時間が最も遅い順に並べられた非同期トランザクション。
上位 10 件の最も遅い同期トランザクション	棒グラフ	応答時間が最も遅い順に並べられた同期トランザクション。
エンティティタイプ別の非同期トランザクション	棒グラフ	エンティティタイプ別に整理された非同期トランザクション (読み取りなど)。
エンティティタイプ別の同期トランザクション	棒グラフ	エンティティタイプ別に整理された同期トランザクション (読み取りなど)。
ロール別にグループ化されたユーザー (sn_erp_mining.erp_admin ロールを持つユーザーの場合は [最近の概要] タブで利用可能)	ドーナツグラフ	ジョブを開始したユーザー (ロール別)。

ERP 向けゼロコピーコネクタの Now Assist

ERP 向けゼロコピーコネクタServiceNow® Now Assist を使用して AI を活用し、ERP システム、ソフトウェア、モデル、データ製品に関する情報を取得します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

開始

重要:

- 国内の SKU をお持ちのお客様は、すべてのモデルプロバイダーを利用できるわけではなく、一部の Now Assist 製品/機能は現在、国内のお客様はご利用いただけません。詳細については、Now Support ナレッジベースの KB1584492 記事を参照してください。将来のリリースでモデルプロバイダーの可用性の更新を必ず確認してください。
- 現在、 Now Assist 製品/機能の一部は、FedRAMP、NSC DOD IL5、オーストラリアの IRAP で保護されたデータセンターのお客様、セルフホスト型のお客様、またはその他の制限された環境ではご利用いただけません。詳細については、Now Support ナレッジベース記事「KB0743854」を参照してください。将来のリリースで可用性の更新を必ず確認してください。
- 現在、一部の Now Assist 製品/機能は一部の地域の顧客のみが利用できます。将来のリリースで可用性の更新を必ず確認してください。

トラブルシューティングとサポート

- AI とインテリジェンスの ServiceNow コミュニティ
- 既知のエラーポータルで既知のエラー記事を検索する
- 連絡先 カスタマーサービス & サポート

AI の制限事項

このアプリケーションは、データ内のパターンに基づいて予測を生成する急速に進化している研究分野である人工知能 (AI) と機械学習を使用しています。その結果、このアプリケーションは必ずしも正確、完全、または適切な情報を生成するとは限りません。さらに、このアプリケーションがユースケースに合わせて完全にトレーニングまたはテストされているという保証はありません。これらの問題を軽減するために、ユースケースに対する正確性、害、および適切性について、このアプリケーションの使用をテストおよび評価し、出力を人間が監視し、意思決定の目的で AI で生成された出力のみに依存しないようにするのは、ユーザーの責任です。これは、医療、ファイナンス、法務、雇用、セキュリティ、インフラストラクチャなど、結果が影響を与える分野にこのアプリケーションを展開することを選択した場合に特に重要です。ServiceNow の AI 利用規定に従うことに同意するものとします。このポリシーは ServiceNow によって更新される場合があります。

データ処理

このアプリケーションでは、ServiceNow 顧客の個々のインスタンスから一元化された ServiceNow 環境にデータを転送する必要があります。この環境は、インスタンスが存在するデータセンターとは異なるデータセンターリージョンに配置されている可能性があり、場合によっては Microsoft Azure などのサードパーティクラウドプロバイダーにも転送されます。このデータは、コアコンプライアンスポータルから利用可能なポリシーを含む、ServiceNow の内部ポリシーと手順に従って処理されます。

データコレクション

ServiceNow は、このアプリケーションの入力、出力を収集して使用し、出力を編集して、ServiceNow モデルや AI 製品などの ServiceNow テクノロジーを開発および改善します。さらに、このアプリケーションは アプリの生成が使用されたアプリケーション (および関連するアプリケーションファイル) に関する情報。 お客様は、「Now Assistオプトアウトに関するページ」の説明に従って、いつでも将来のデータコレクションをオプトアウトできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ERP データディスカバリー

Now Assist ERP データディスカバリースキルを使用して、SAP 標準データベーステーブルのデータとレコードをクエリします。

ERP データディスカバリーの概要

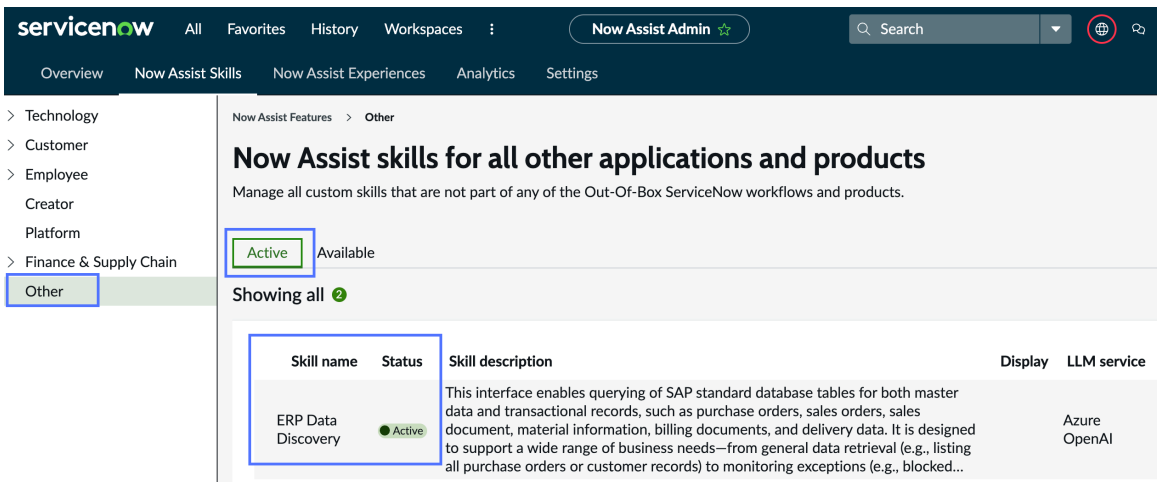
ERP データディスカバリースキルを使用すると、自然言語クエリに基づいて、SAP 標準データベーステーブルでマスターデータおよびトランザクションレコードをクエリできます。このスキルにより、情報取得プロセスが簡素化され、効率が向上する可能性があります。

マスタデータとともに、購買発注、受注、販売伝票、資材情報、請求伝票、出荷データなどの取引レコードが検索されます。

ERP データディスカバリーは、幅広いビジネスニーズをサポートするように設計されています。自動化、ビジネスインテリジェンス、監査、運用の可視化などのユースケースに最適です。ERP データディスカバリーは、すべての発注書 (PO) や顧客レコードの一覧表示など、一般的なデータ取得に使用します。また、ブロックされた出荷、不完全な注文、出荷保留、拒否された品目などの例外を監視することもできます。ERP データディスカバリーでは、配送ブロック、却下理由、全体的な注文の進捗状況などの主要なステータスフィールドにアクセスできます。

ERP データディスカバリースキルの有効化

ERP データディスカバリースキルはデフォルトで利用可能です。アドミニストレーターは、次の場所に移動してスキルがアクティブであることを確認できます すべて > **Now Assist** アドミン > スキルをクリックし、[その他] を選択します。[アクティブ] タブに、 **ERP** データディスカバリー が表示されます。



ERP データディスカバリーを使用するための前提条件

仮想エージェントデザイナーで、仮想エージェントと Now Assist パネルで Now Assist を使用するように ERP データディスカバリーを構成します。

1. [すべての仮想エージェント>デザイナー>に移動します。
2. [プロパティ] タブを選択します。
3. [ERP データディスカバリー] を選択します。
4. [LLM アシスタントを選択 (Select LLM assistants)] で、LLM アシスタントとプライマリアシストがトピックを利用できるようにするには、仮想エージェントの Now Assist と Now Assist パネル - プラットフォームを選択します。

少なくとも 1 つのエクスペリエンスに仮想エージェントが表示されていることを検証します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

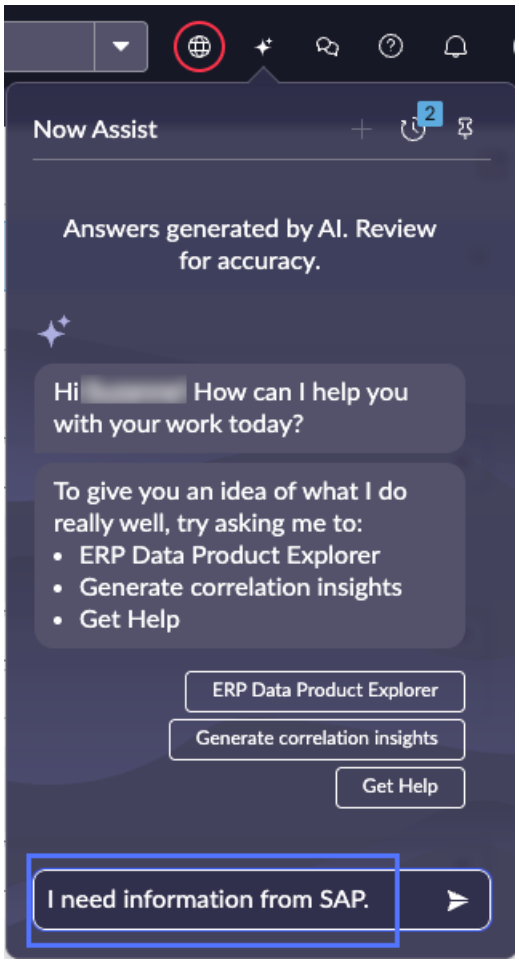
自動翻訳

1. 移動先 すべて > 対話型インターフェース > アシスタント.
2. [仮想エージェントで **Now Assist**] を選択します。
3. [エクスペリエンスを表示] を選択します。
4. [ポータル] タブで、少なくとも 1 つのポータルが追加されていることを確認します。

Now Assist に ERP データを要求する

インスタンス内の任意の場所から Now Assist アイコン ( ) を選択して、[Now Assist] パネルを開きます。

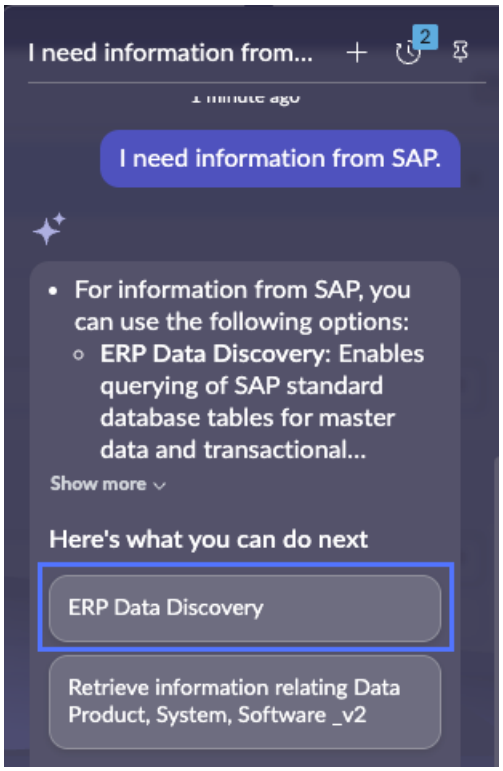
分かりやすい言葉で情報を求めます。Now Assist は、明確な質問または情報で応答します。次の図では、ユーザーが 「SAP からの情報が必要です」と入力しています。



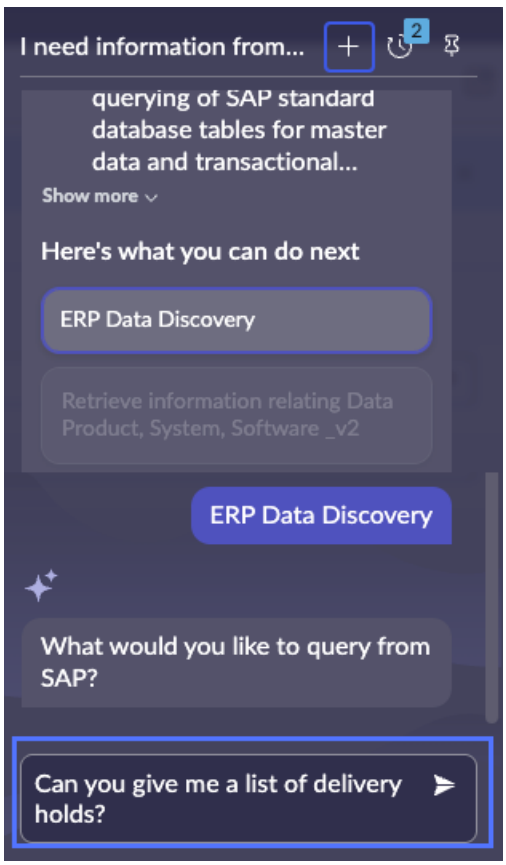
Now Assist は、次に何ができるかについてのアイデアで応答します。**[ERP** データディスカバリー] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



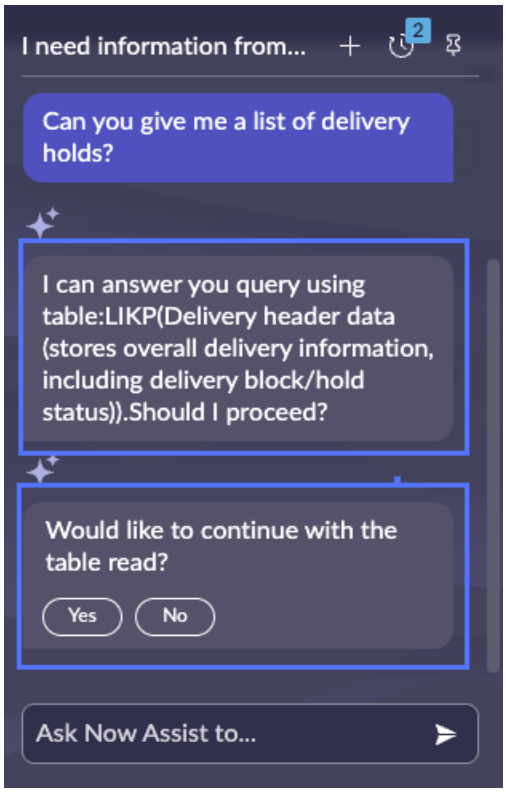
Now Assist から必要な情報の入力を求められます。たとえば、「 配送保留のリストを教えてください」と入力します。



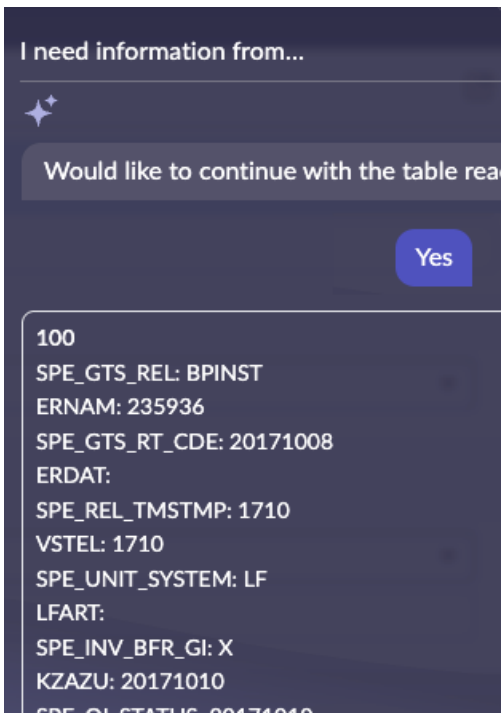
Now Assist は、使用するテーブルとフィルター条件で応答し、確認を求めます。[はい] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



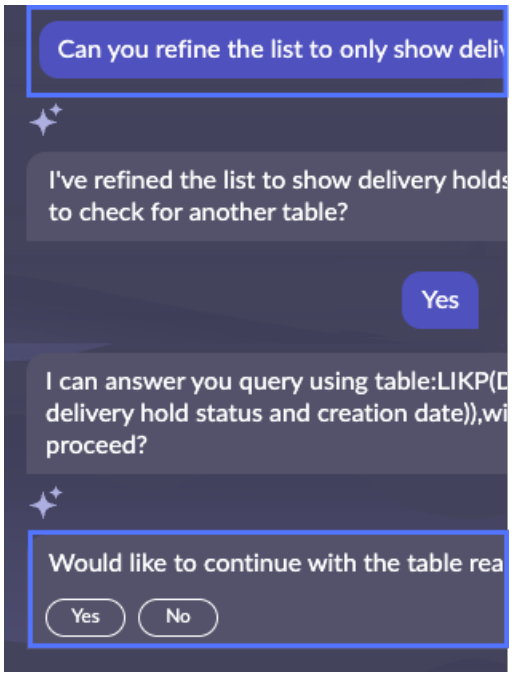
Now Assist が要求された情報を提供します。



必要に応じて、会話を続行してリストを編集します。たとえば、「1 か月より前の配送保留のみを表示するようにリストを絞り込むことはできますか?」と入力します。Now Assist は、使用する情報をもう一度提供し、確認を求めます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



必要な情報を受け取るまで会話を続けます。

ライセンスの要件

ERP データディスカバリースキルには、ワークフローデータファブリック Pro ライセンスと Now Assist ライセンスが必要です。

ERP 向けゼロコピーコネクタ エージェントワークフロー

ERP 向けゼロコピーコネクタエージェントワークフローと AI エージェントを使用して、ERP データの操作を改善および強化します。

で利用可能なエージェントワークフロー **ERP** 向けゼロコピーコネクタ

エージェントワークフロー名	説明	利用可能な **AI** エージェント
ERP データ製品エクスプローラー	ERP データ製品アプリケーションで構成された ERP データベーステーブルとモデルの操作に関する質問に回答します。	**1.** ERP アクションの呼び出し元 **2.** ERP データフェッチャー
ERP モデル、システム、ソフトウェア_v2に関する情報を取得	サポートされている ERP ソフトウェア、利用可能な ERP モデル、および利用可能な ERP システムの詳細をユーザーが検索できるようにします。	**1.** ERP ソフトウェアを検索 **2.** ERP モデルを検索 **3.** ERP システムの検索

重要:
デフォルトでは、すべてのエージェントワークフローと AI エージェントレコードは読み取り専用です。

AI エージェントをお探しですか?

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- Now Assist アプリケーションとともにインストールされた AI エージェントが、エージェント型ワークフローでは使用されていない可能性があります。インスタンスで利用可能なすべてのエージェントを表示する方法については、「 AI エージェントの検索」を参照してください。
- インスタンスにインストールされていない可能性のあるエージェントを見つけるには、ServiceNow Storeの AI エージェントマーケットプレイスにアクセスしてください。

AI エージェントのセキュリティ

アクセス制御リスト (ACL) とユーザー ID を使用して、AI エージェントとエージェントワークフローでのセキュリティ実装を有効にすることができます。これらの ACL は、エージェントワークフローまたは AI エージェントを検出して呼び出す権限を持つユーザーを決定します。

AI エージェントスタジオ内のエージェントワークフローと AI エージェントに対して、これらの ACL を構成および管理します。

詳細については、「Implement access control in Now Assist AI agents」を参照してください。

ERP データ製品エクスプローラーエージェントワークフロー

ERP データ製品エクスプローラーの AI エージェントチームを使用して、ERP データベースのテーブルとモデルの操作に関する情報を取得します。

ERP データ製品エクスプローラーの概要

ERP データ製品エクスプローラーのエージェントワークフローは、AI エージェントのチームを使用して、ERP データベーステーブルの操作と ERP データ製品で構成されたモデルの識別に関するユーザーの質問に答えます。

前提条件とセットアップ

ナレッジグラフプラグインがインストールされている必要があります。

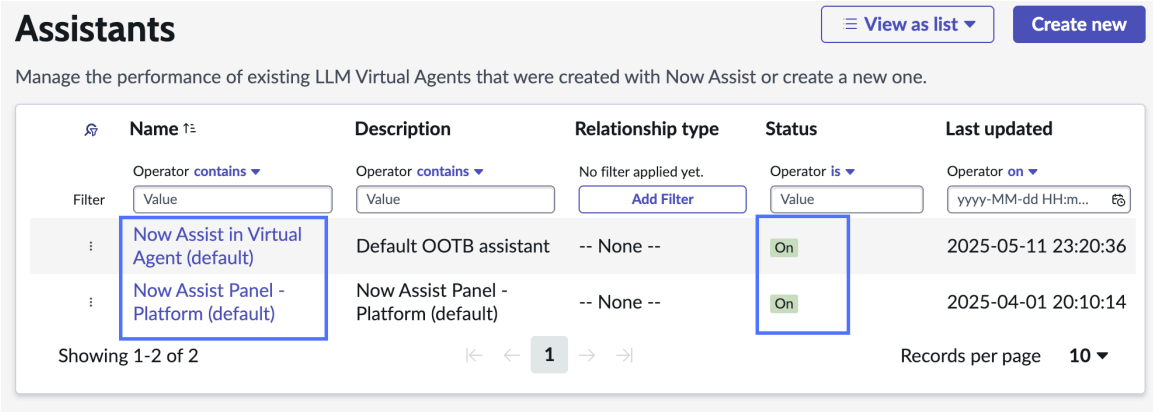
1. 移動先 すべて > システム定義 > プラグイン.
2. [検索] に「sn_kg」と入力します。
3. [インストール済み] タブを選択し、ナレッジグラフが表示されていることを確認します。

> **注:**
> インストールされていない場合は、 利用可能 タブを選択し、 ナレッジ グラフ を選択して、インストール を選択します。

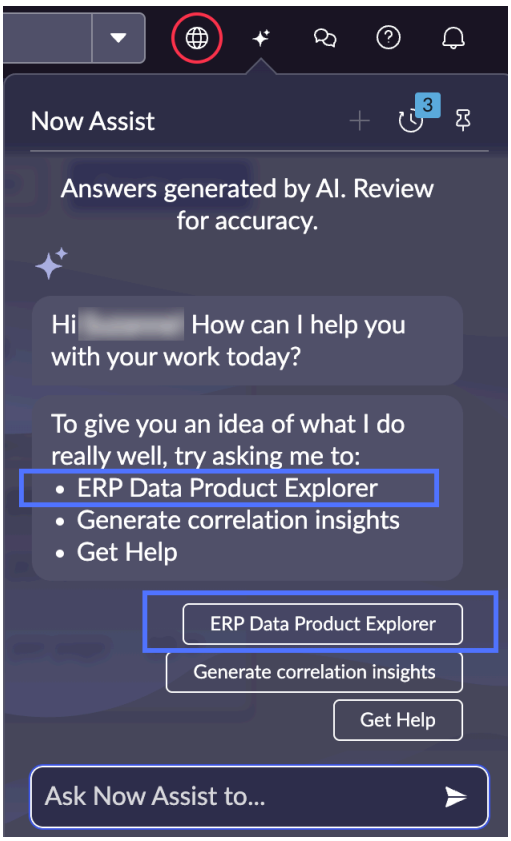
仮想エージェントの Now Assist と Now Assist パネルをオンにする必要があります。

1. 移動先 すべて > 対話型インターフェース > アシスタント.
2. 仮想エージェントの Now Assist と Now Assist パネルがオンになっていることを確認します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



アシスタントがオンになっている場合は、ERP データ製品エクスプローラーを使用できます。



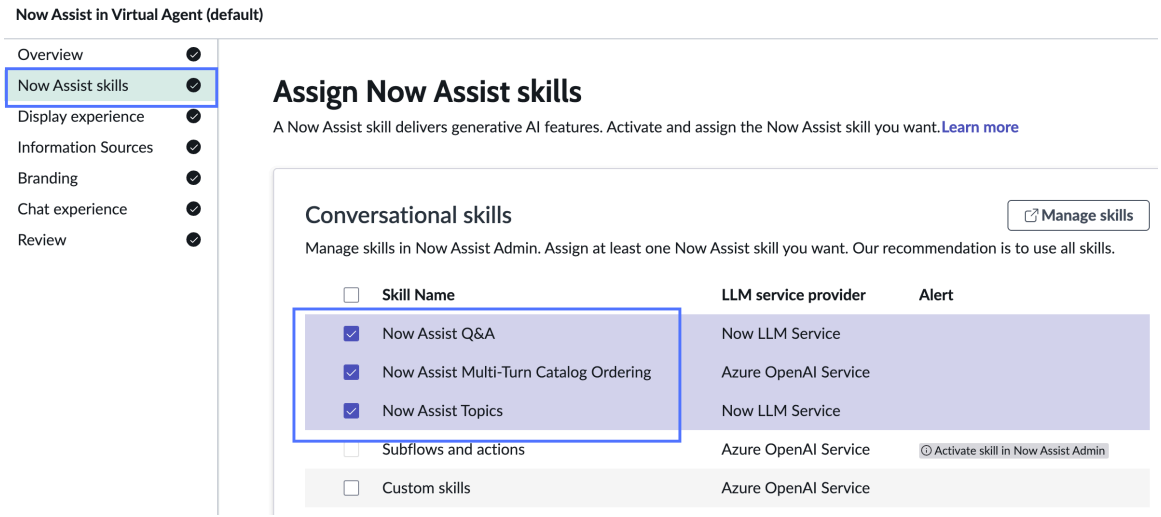
仮想エージェントの Now Assist で正しい会話スキルが有効になっていることを確認します。

1. 移動先 すべて > 対話型インターフェース > アシスタント.
2. [仮想エージェントで **Now Assist**] を選択します。
3. **[Now Assist** スキル] を選択します。

自動翻訳

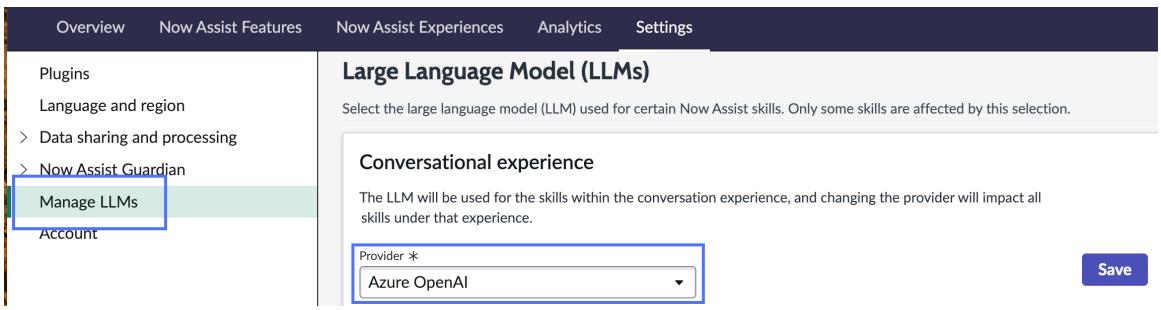
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

4. **Now Assist Q&A**、**Now Assist** トピック、および **AI** エージェントのスキルが有効になっていることを確認します。必要に応じてアクティブ化します。



Azure OpenAI は、大規模言語モデル (LLM) プロバイダーとして設定され、少なくとも 1 つの接続が必要です。

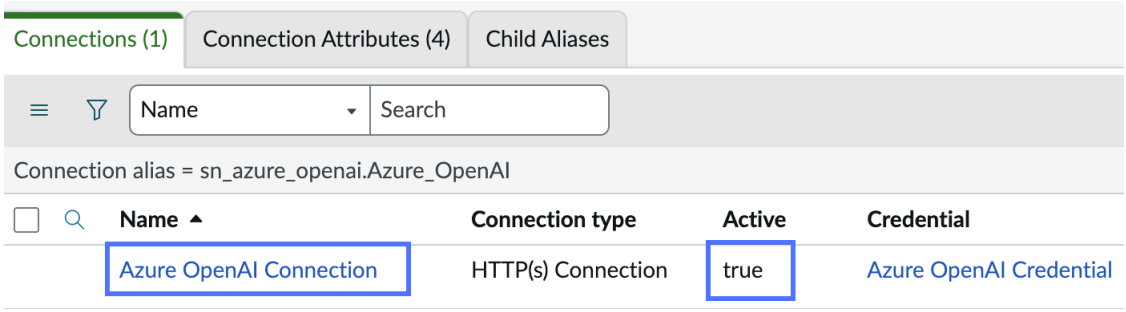
1. プロバイダーを確認するには、 すべて > **Now Assist** アドミン > 設定.
2. **[LLM** の管理] を選択します。
3. 会話エクスペリエンスで、[プロバイダー] で **[Azure OpenAI]** が選択されていることを確認します。必要に応じて、更新して [保存] を選択します。



4. Azure OpenAI が接続されていることを確認するには、 すべて > 統合ハブ > 接続 **&** 認証情報 > 接続および資格情報エイリアス.
5. **[Azure OpenAI]** を選択します。
6. **[Connections** (接続)] タブを選択します。
7. [アクティブ] を **true** に設定して、少なくとも 1 つの接続がリストされている必要があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



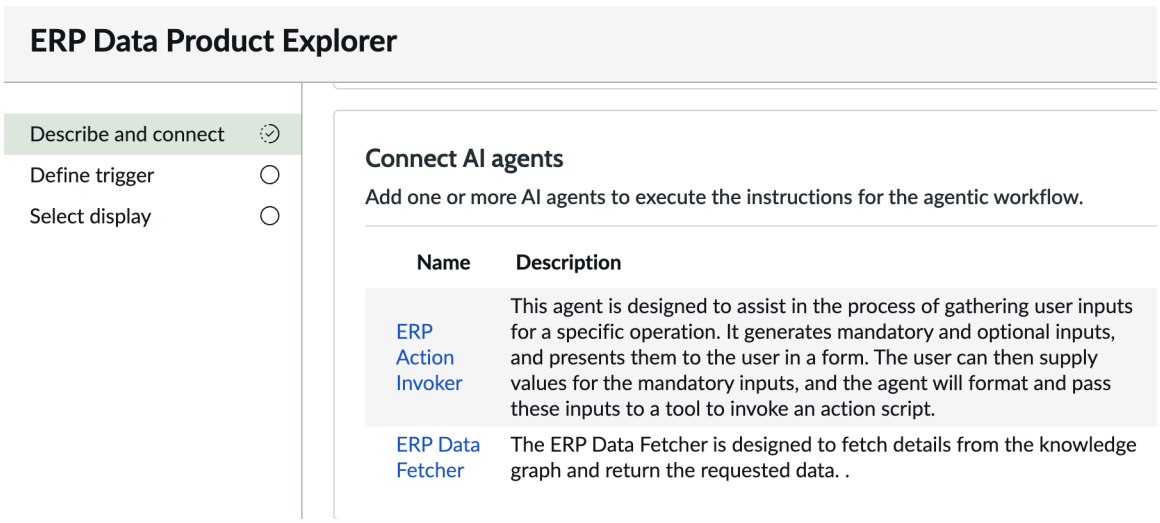
注:
アクティブな認証情報を作成する必要がある場合は、「Configure API credentials for Azure OpenAI」を参照してください。

ERP データ製品エクスプローラーのエージェントワークフローへのアクセス

sn_aia_adminロールを持つユーザーは、ワークフローにアクセスできます。

1. [すべて > AI エージェントスタジオ] に移動し、[作成と管理>。
2. [ERP データ製品エクスプローラー (ERP Data Product Explorer)] を選択します。

ガイド付きセットアップの最初のステップには、含まれている AI エージェントの完全なリストが含まれています。AI エージェントの名前を選択すると、新しいブラウザタブでそのエージェントが開き、詳細な説明、ロール、手順のリスト、およびツールが表示されます。



サンプル発言

AI エージェントスタジオでワークフローがアクティブ化された後、Now Assist パネルでエージェントワークフローを実行するためのクエリを入力します。

インスタンス内の任意の場所から Now Assist アイコン ( ) を選択して Now Assist パネルを開き、ERP データベーステーブルと構成済みモデルに関する情報を取得します。

データ製品エクスプローラーのエージェントワークフローはオンデマンドです。任意のクエリを自然言語で入力できますが、次の表で説明するプロンプトと開始手順を使用して、利用可能なデータ製品情報とその処理内容を理解することを検討してください。次の手順では、.....方法を示します

以下のテーブルは、NOW ASSIST FOR VULNERABILITY RESPONSE の例です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求または応答	説明
最近の **CISA** の脆弱性は何ですか?	質問の「最近」とは、過去 7 日間に表面化した新しい脆弱性を指します。エージェントワークフローのデフォルトの期間は 7 日間です。7 日間以外の特定の期間の新しい脆弱性を検索する場合は、「過去 **30** 日間の最近の脆弱性は何ですか?」など、過去に発生した値を持つ要求を入力します。
はい、脆弱性 **CVE-2018-9065** の監視トピックを作成します。	ウォッチトピックを作成するかどうかを尋ねられたら、具体的に回答することをお勧めします。たとえば、要求を確認し、特定の脆弱性を **CVE-2018-9065** の形式で入力します。
CVE-2018-9065 の脆弱性に対する詳細な影響分析を教えてください。	脆弱性の潜在的な影響分析は、影響を受けるビジネスサービスと構成アイテムクラスについてのみサポートされています。
前の質問の出力を表示します。	回答が得られない場合は、前の質問を確認するようにエージェントに依頼します。
セッションを終了するか、 停止します。	会話を終了します。

新しいチャットを開始するまで、会話は保存されます。会話が予期せず終了した場合は、[新規チャット] アイコン (⊞ を選択して新しいチャットを開始します。

トラブルシューティング

生成 AI ログを表示します。

1. [すべて] を選択し、[フィルター] に「sys_generative_ai_log_list.do」と入力し、キーボードの **Enter** キーまたは **Return** キーを押します。\
2. レコードを開いて詳細を表示します。

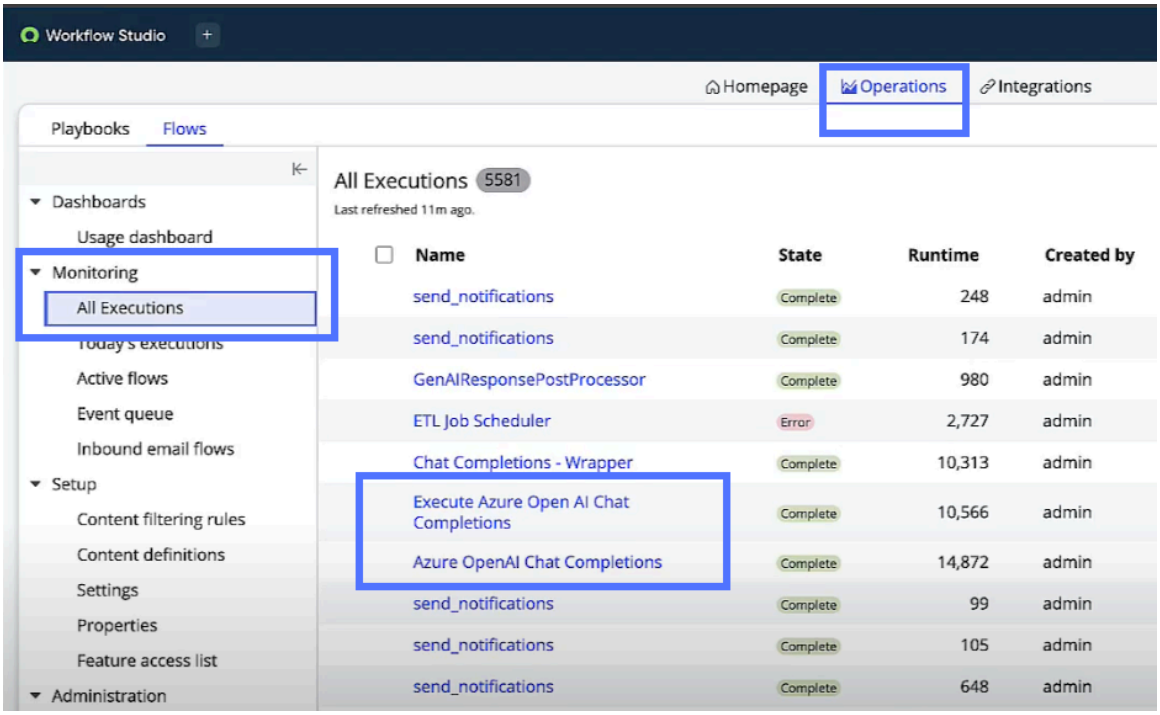
システムプロパティ com.glide.oneapi.flow_debug が有効になっていることを確認します。このプロパティを使用すると、OneAPI でビルドされたフローのデバッグ機能を使用できます。トラブルシューティングに役立つフロー実行に関するレポートとインサイトを受け取ります。

1. [すべて] を選択し、[フィルター] に「sys_properties.list」と入力し、キーボードの **Enter** キーまたは **Return** キーを押します。
2. **com.glide.oneapi.flow_debug** という名前のプロパティを検索して開きます。
3. 値が**True** に設定されていることを確認します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

4. プロパティを有効にした後、ワークフロースタジオを使用して実行を確認します。



ERP データ製品エクスプローラーエージェントワークフローで使用される AI エージェント

次の表に、ERP データ製品エクスプローラーのエージェントワークフローで使用されるエージェントを示します。

AI エージェント	AI エージェントロール
ERP アクションの呼び出し元	特定の操作に関する情報を収集し、必須の入力とオプションの入力を生成します。ユーザーはフォームに入力して必須入力の値を入力できます。AI エージェントは、入力をフォーマットして、操作を作成するアクションスクリプトに送信します。
ERP データフェッチャー	関連するモデルとモデル操作に関する情報を取得します。現在、読み取り操作をサポートしています。

その他の ERP 向けゼロコピーコネクタ エージェントワークフロー

ERP 向けゼロコピーコネクタに関連する他のエージェントワークフローの詳細については、「ERP 向けゼロコピーコネクタ エージェントワークフロー」を参照してください。

ERP 情報エージェントワークフローを取得

ERP モデル、システム、ソフトウェア、_v2 AI エージェントチームに関連する情報を取得を使用して、サポートされている ERP ソフトウェア、利用可能な ERP モデル、および利用可能な ERP システムの詳細を取得します。

ERP モデル、システム、ソフトウェア_v2の概要に関する情報を取得

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

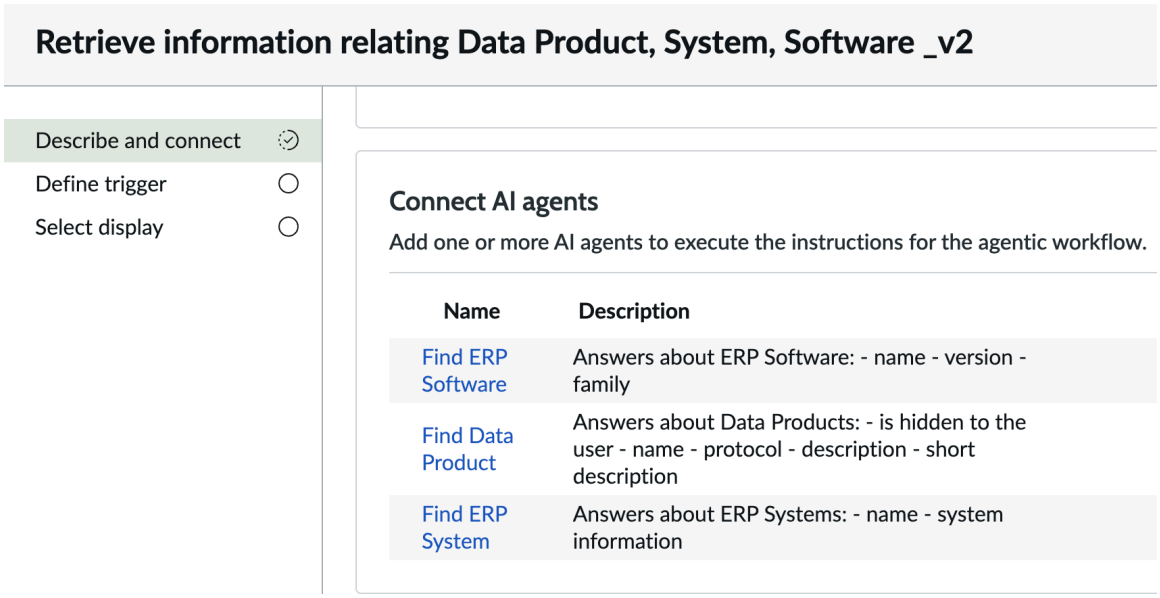
前提条件とセットアップ

へのアクセス **ERP** モデル、システム、ソフトウェア、_v2エージェントワークフローに関連する情報を取得

エージェントワークフローにアクセスするには:

1. [すべて > AI エージェントスタジオ] に移動し、[作成と管理>。
2. [ERP モデル、システム、ソフトウェア] _v2に関連する情報を取得する を選択します。

ガイド付きセットアップの最初のステップには、含まれている AI エージェントの完全なリストが含まれています。AI エージェントの名前を選択すると、新しいブラウザタブでそのエージェントが開き、詳細な説明、ロール、手順のリスト、およびツールが表示されます。



サンプル発言

AI エージェントスタジオでワークフローがアクティブ化された後、Now Assist パネルでエージェントワークフローを実行するためのクエリを入力します。

インスタンス内の任意の場所から Now Assist アイコン ( ) を選択して Now Assist パネルを開き、ERP ソフトウェア、モデル、およびシステムに関する情報を取得します。

[ERP モデル、システム、ソフトウェア、_v2エージェントに関連する情報を取得 (Retrieve information related ERP Model, System, Software agentic)] ワークフローはオンデマンドです。任意のクエリを自然言語で入力できますが、次の表に記載されているプロンプトと最初の手順を使用して、利用可能な ERP 情報とその処理内容を理解することを検討してください。次の手順では、.....方法を示します

以下のテーブルは、NOW ASSIST FOR VULNERABILITY RESPONSE の例です。

要求または応答	説明
最近の **CISA** の脆弱性は何ですか?	質問の「最近」とは、過去 7 日間に表面化した新しい脆弱性を指します。エージェントワークフローのデフォルトの期間は 7 日間です。7 日間以外の特定の期間の新しい脆弱性を検索する

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求または応答	説明
	場合は、「過去 **30** 日間の最近の脆弱性は何ですか?」など、過去に発生した値を持つ要求を入力します。
はい、脆弱性 **CVE-2018-9065** の監視トピックを作成します。	ウォッチトピックを作成するかどうかを尋ねられたら、具体的に回答することをお勧めします。たとえば、要求を確認し、特定の脆弱性を **CVE-2018-9065** の形式で入力します。
CVE-2018-9065 の脆弱性に対する詳細な影響分析を教えてください。	脆弱性の潜在的な影響分析は、影響を受けるビジネスサービスと構成アイテムクラスについてのみサポートされています。
前の質問の出力を表示します。	回答が得られない場合は、前の質問を確認するようにエージェントに依頼します。
セッションを終了するか、 停止します。	会話を終了します。

トラブルシューティング

で使用される **AI** エージェント **ERP** モデル、システム、ソフトウェア、_v2エージェントワークフローに関連する情報を取得

次の表に、ERP モデル、システム、ソフトウェア、_v2エージェントワークフローに関連する情報を取得するで使用されるエージェントを示します。

AI エージェント	**AI** エージェントロール
ERP ソフトウェアを検索	名前、バージョン、ファミリなどの ERP ソフトウェアに関する質問に回答します。
ERP モデルを検索	名前、プロトコル、説明などの ERP モデルに関する質問に回答します。
ERP システムの検索	名前やシステムの詳細など、ERP システムに関する質問に回答します。

その他の **ERP** 向けゼロコピーコネクタ エージェントワークフロー

ERP 向けゼロコピーコネクタに関連する他のエージェントワークフローの詳細については、「ERP 向けゼロコピーコネクタ エージェントワークフロー」を参照してください。

ERP モデル、抽出テーブル、およびリモートテーブルの使用

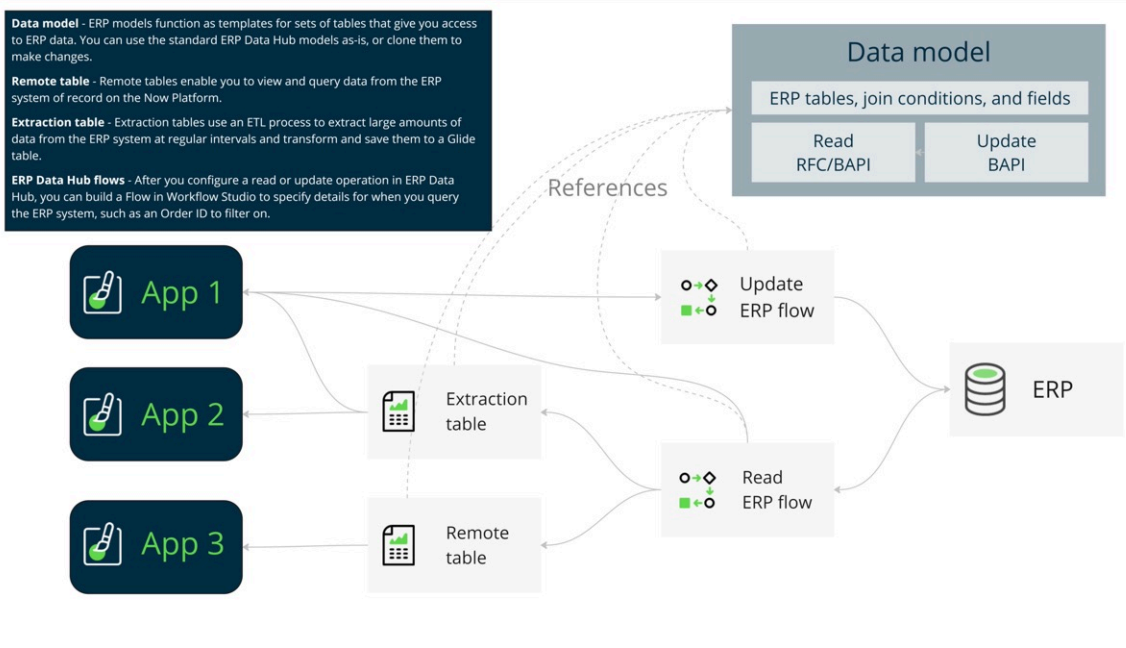
ERP 向けゼロコピーコネクタ を使用して、ERP (エンタープライズリソースプランニング) モデル、リモートテーブル、抽出テーブルを操作し、SoR の ERP データを ServiceNow AI Platform に統合します。

ERP 向けゼロコピーコネクタ のワークフローは、通常、メインセクションで構成されています。各メインセクションには、コンテキストサイドパネルのセクションアイコンを選択してアクセスします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

データモデルと **ERP** データ



ワークフロースタジオ でフローをビルドして、取得した ERP データを ERP 向けゼロコピーコネクタ の外部のプロセスまたはタスクに使用することもできます。詳細については、「ERP システムを読み取りまたは更新するフローのビルド」を参照してください。

リモートテーブルと抽出テーブルを使用して ERP モデルをビルドし、ERP データに加え、ERP システムをクエリするフローを整理、ロード、変換します。

ERP 向けゼロコピーコネクタ の一部

ERP 向けゼロコピーコネクタ セクション	説明
ERP モデル	ERP モデルは、ERP データへのアクセスに利用できる一連のテーブルのテンプレートとして機能します。標準の ERP 向けゼロコピーコネクタ モデルをそのまま使用しても、クローンを作成して変更してもかまいません。 ウィザーテーブル読み取り操作または BAPI (ビジネスアプリケーションプログラミングインターフェイス) を使用して、ERP システムの読み取りと更新のために入力データと出力データをマッピングするモデルを管理します。 詳細については、「ERP データを操作する ERP モデルのビルドと管理」を参照してください。
ERP データをクエリするフロー	ワークフロースタジオ のフローをビルドし、モデルで指定されたパラメーターを使用して、ERP システムをクエリするための詳細を指定します。
リモートテーブル	リモートテーブルを使用すると、ServiceNow AI Platform の ERP SoR からデータを表示してクエリすることができます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ERP 向けゼロコピーコネクタ の一部 (続く)

ERP 向けゼロコピーコネクタ セクション	説明
	詳細については、「ERP 向けゼロコピーコネクタ での ERP リモートテーブルの使用」を参照してください。
ERP 抽出テーブル	抽出テーブルは、ETL プロセスを使用して、ERP システムから定期的に大量のデータを抽出し、変換して Glide テーブルに保存します。 詳細については、「ERP 向けゼロコピーコネクタ でのデータの抽出と変換」を参照してください。

ERP データを操作する **ERP** モデルのビルドと管理

ERP (エンタープライズリソースプランニング) モデルは、ERP データへのアクセスが可能なテーブルセットのテンプレートとして機能します。 モデル管理を使用して、ERP システムにアクセスするビルド、読み取り、更新、および作成操作を行います。操作には、 ServiceNow AI Platformで使用するフィールドをマップするための入力と出力が指定されています。

データセットを表し、ステージング領域を作成する **ERP** モデル

ERP モデルは、エンタープライズリソースプランニングシステムからのデータの論理構造と編成を表します。ERP モデルは、ERP システム内のビジネスプロセスとデータ要素をキャプチャして表すエンティティ、属性、読み取り/更新操作、およびテーブル結合関係を定義します。ERP 向けゼロコピーコネクタ を初めて開くと、インスタンスの ERP モデルのリストが表示されます。

ERP 向けゼロコピーコネクタ には、SAP 品目在庫や SAP 購買ドキュメントといった標準的な ERP モデルのセットが入っています。標準 ERP モデルのリストについては、「 ERP 向けゼロコピーコネクタ の標準 ERP モデルと抽出テーブル」を参照してください。新しいモデルのビルドの詳細については、「 新しい ERP モデルを作成」を参照してください。例として、 ERP 向けゼロコピーコネクタ データ製品、事前定義されたモデルのセット、およびプロセス拡張を使用して、手動作業を減らしてアプリケーションを実装および展開できるようにします。詳細については、「ERP 向けゼロコピーコネクタ データ製品」を参照してください。

ERP モデルは、ビジネス要件を満たすように ERP システムを構成、カスタマイズ、統合するための詳細計画として機能します。 ERP モデルは、リモートテーブルと抽出テーブル、および読み取り操作と更新操作に追加できる可能性のあるすべてのフィールドを含むステージング領域として機能します。その後、テーブルとクエリされたデータを ServiceNow AI Platform のデータソースとして使用できます。

ワークフロースタジオ でフローをビルドして、取得した ERP データを ERP 向けゼロコピーコネクタ の外部のプロセスまたはタスクに使用することもできます。詳細については、「ERP システムを読み取りまたは更新するフローのビルド」を参照してください。

既存の ERP モデルのリストを表示することも、新しいモデルを追加してカスタムデータセットを作成することもできます。リモートテーブルを追加した後、モデルを管理して入力パラメーターと出力パラメーターをマッピングし、BAPI を使用して ERP システムを更新し、テーブル結合を作成できます。また、ERP システムから大量のフィルター済みデータを定期的にプルする抽出テーブルを作成することもできます。別のオプションは、 ワークフロースタジオ でカスタム ERP アクションを使用して、クエリされた ERP データを他の ServiceNow AI Platform プロセスで使用することです。

ERP モデルは必要な数だけ作成できますが、フィールド名は編集できません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ERP モデルの構造

各モデルは、SoR の ERP テーブルと、ServiceNow AI Platform のリモートテーブルと ERP 抽出テーブルにリンクされています。 同じテーブルを複数の異なる ERP モデルに接続できます。

ERP モデルは、モデルごとに 1 つの ERP システムに接続されています。接続された ERP システム：

- フィールドとテーブルの情報にアクセスできるようにします。
- データの同期、共有、コラボレーションを調整し、ERP モデルと ERP システムの間のシームレスな統合と運用を実現します。

ERP モデルには、SoR からのリモートテーブル、API、ERP 抽出テーブル、および作成/読み取り/更新操作が含まれ、全体的なデータセットを作成します。たとえば、受注用の ERP システムとインベントリ用の別の ERP システムを使用できます。

注:

ERP 向けゼロコピーコネクタ をインストールした後、アドミンまたは sn_erp_integration.erp_admin ロールを持つユーザーが *sn_erp_integration.enableModelModification* プロパティを有効にして、ユーザーが ERP モデルをカスタマイズできるようにする必要があります。*sn_erp_integration.enableModelModification* プロパティを有効にすると、ERP 向けゼロコピーコネクタ はモデルを管理するときに使用するすべてのテーブルと BAPI (ビジネスアプリケーションプログラミングインターフェイス) を取得します。 システムプロパティはシステムプロパティテーブル [sys_properties] で管理されており、モジュールナビゲーターを使用するか、ナビゲーターフィルターに sys_properties.list を直接入力することでアクセスできます。

ERP システムを読み取りおよび更新するモデルの管理

ERP モデルを作成またはクローンした後、[ERP モデルマネージャー (ERP model manager)] ページを使用して ERP 向けゼロコピーコネクタ が ERP システムに対して読み取りおよび書き込みを行う方法を指定できます。モデルを管理する場合、API に似たリモートプロシージャ SAP 関数呼び出しである BAPI を使用するオプションがあります。

各モデルでは、1 つの作成、1 つの読み取り、および 1 つの更新操作のみを定義できます。

詳細については、「モデルが ERP システムを読み取りおよび更新する方法の管理」を参照してください。

ERP 向けゼロコピーコネクタ データ製品

例として、 ERP 向けゼロコピーコネクタ データ製品 (旧 ERP コンテンツパック) を使用して、手作業を減らしてアプリケーションを実装および展開できるようにします。

注:
現在、データ製品は SAP システムでのみ機能します。

ERP 向けゼロコピーコネクタ データ製品は、事前定義されたモデルとプロセス拡張のセットであり、SAP ドメインの知識がほとんどまたはまったくない開発者にとって便利な例です。たとえば、ServiceNow アプリケーションを SAP と統合していますが、SAP データが複雑であるために時間がかかります。データ製品は作業を加速し、SAPデータを含むユースケースの構築が、より多くの開発者が達成できるより迅速なプロセスになります。

データ製品をインストールすると、データ製品に含まれるモデルが [モデル] ERP 向けゼロコピーコネクタページに DP のプレフィックスを付けて一覧表示されます。データ製品のプロセス拡張

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

は、ワークフロースタジオ の [サブフロー] タブに **ERP DP** のプリフィックスを付けて一覧表示されます。

データ製品モデルとプロセス拡張がその例です。要件に合わせて調整できるアクセラレーターとして使用します。モデルとプロセス拡張は編集できませんが、表示することはできます。作成しようとしている統合に類似したモデルが表示された場合は、モデルのクローンを作成し、一意の名前を付けて、必要に応じて編集します。使用するプロセス拡張が見つかった場合は、必要に応じて、そのプロセス拡張に含まれるモデルをコピーし、名前を変更し、編集します。

必須条件

次のものが必要です。

- ERP 向けゼロコピーコネクタ がインストール済み
- データのプル元となるリンクされた SAP システム
- sn_erp_integration.erp_admin ロール

ServiceNow Store からのインストール

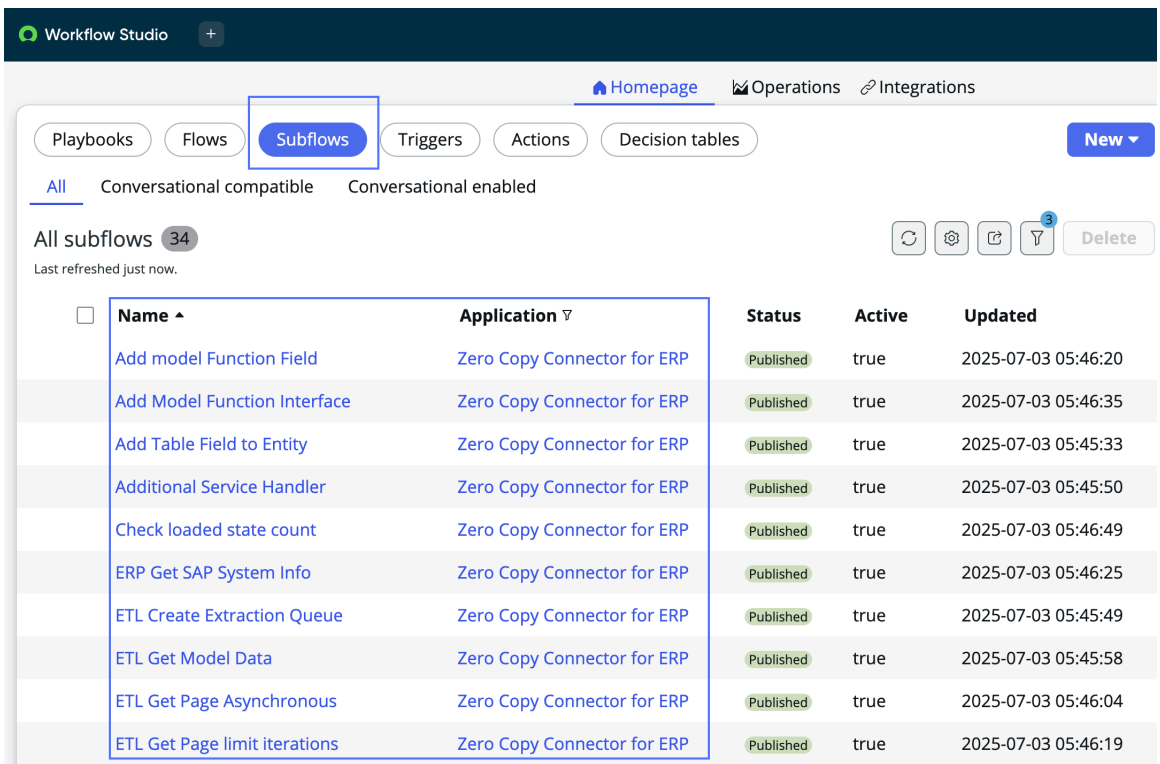
ERP 向けゼロコピーコネクタデータ製品の購入とインストールの詳細については、ServiceNow Store ヘルプページを参照してください。

ERP 向けゼロコピーコネクタ データ製品プロセス拡張

ビジネスロジックを含むサブフローを 1 つ以上のモデルに追加するためにコピーできる例として、ERP 向けゼロコピーコネクタ データ製品のプロセス拡張を使用します。

プロセス拡張は、1 つ以上のモデルを使用できるサブフローです。プロセス拡張を使用すると、モデルの詳細を理解しなくてもモデルを使用できます。プロセス拡張機能は、データを使いやすくするために、データ製品内のモデルの上にある別の抽象化レイヤーです。

データ製品のプロセス拡張は、読み取り専用の例です。プロセス拡張を使用するには、コピーを作成して ワークフロースタジオ 内で編集します。プロセス拡張機能をコピーしてクローンモデルを追加する手順については、「 ERP 向けゼロコピーコネクタプロセス拡張の使用」を参照してください。



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロセス拡張の例

この例では、販売注文を読み取るためのモデルがあります。ブロックされている販売注文を決定する必要がありますが、注文がブロックされているかどうかを示す SAP フィールドがわかりません。調査してフィールド名を取得したり、組織内の SAP エキスパートに問い合わせたりする代わりに、**ERP DP: Read Blocked Sales Orders** という名前のプロセス拡張機能を使用して作業を行います。

プロセス拡張は、読み取り時にデータをフィルタリングまたは追加し、モデルを使用してプロセス拡張の説明に基づいて探しているものを正確に見つけることができます。したがって、この例では、すべての販売注文を読み取る代わりに、プロセス拡張はブロックされた販売注文のみを検索します。

ERP 向けゼロコピーコネクタデータ製品の探索

ERP 向けゼロコピーコネクタデータ製品を探索して、モデルやプロセス拡張など、何が含まれているかを確認します。データ製品モデルとプロセス拡張がその例です。

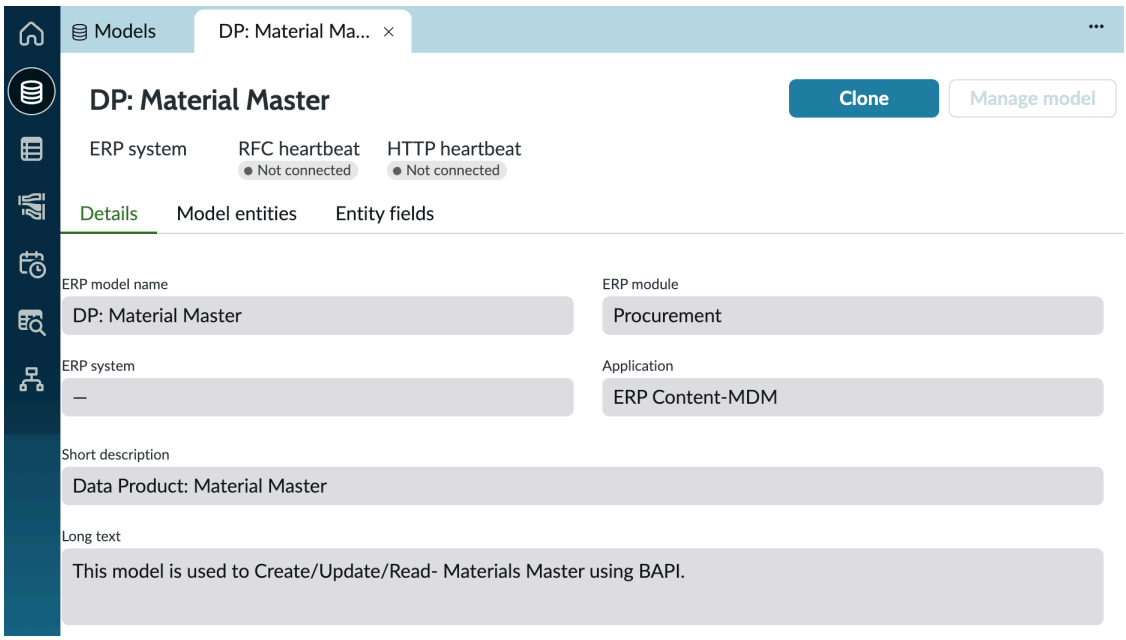
始める前に
必要なロール：sn_erp_integration.erp_admin

手順

1. 移動先 すべて > *ERP* 向けゼロコピーコネクタ > *ERP* 向けゼロコピーコネクタ 家.
2. サイドパネルで モデルアイコンを選択して、[ERP モデル] ページを開きます。
3. ERP モデルのリストを確認します。
   データ製品の一部であるモデルでは、ERP モデル名の先頭に **DP** が付きます。
4. データ製品 (**DP: Material Master** など) からモデルを開きます。

   > **注:**
   > データ製品モデルは表示のみ可能で、編集できないため、すべてのフィールドが読み取り専用です。

5. 簡単な説明、長いテキスト、ERP モジュールなどの詳細について、モデルレコードを確認します。



© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

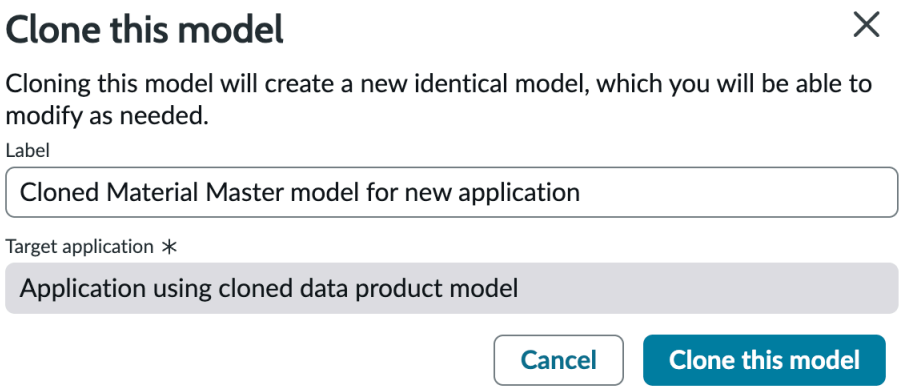
自動翻訳

6. [モデルエンティティ] タブと [エンティティフィールド] タブを選択して、情報を確認します。
7. データ製品モデルを使用する場合は、[クローン] を選択してクローンを作成する必要があります。

   a. ラベルを入力します。

   b. 正しいターゲットアプリケーションが指定されていることを確認してください。

   c. [このモデルをクローン] を選択します。



   モデルのサイズによっては、クローン作成プロセスに数分かかる場合があります。クローンが完了すると、緑色の成功メッセージが表示されます。

   d. [モデル] タブを選択します。

   e. [リストモデルを更新] アイコン を選択します。

   f. 新しいクローンモデルが表示されていることを確認します。

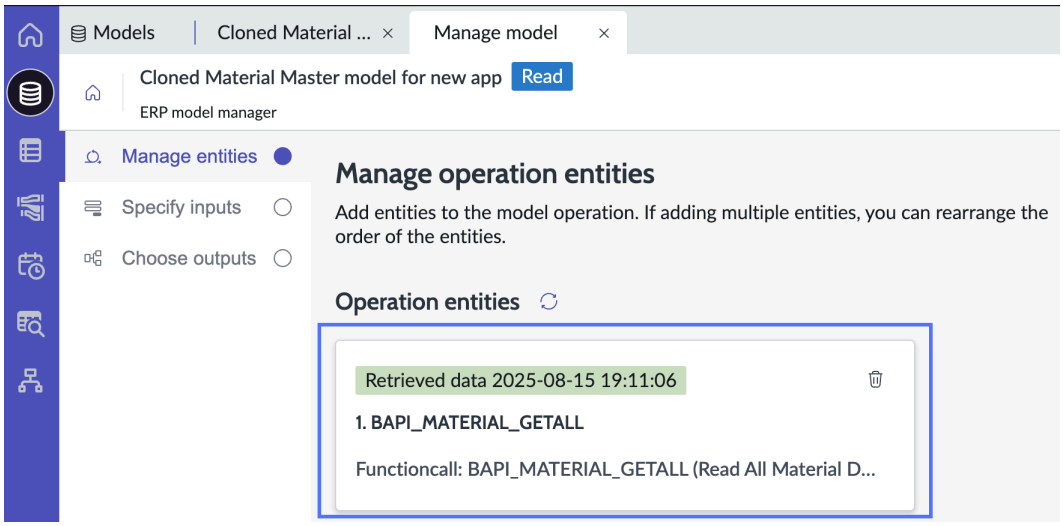
8. 新しいクローンモデルを選択してレコードを開きます。

   注:
   正しいアプリケーションスコープ内にいないことを示すメッセージが表示された場合は、スコープを変更してください。

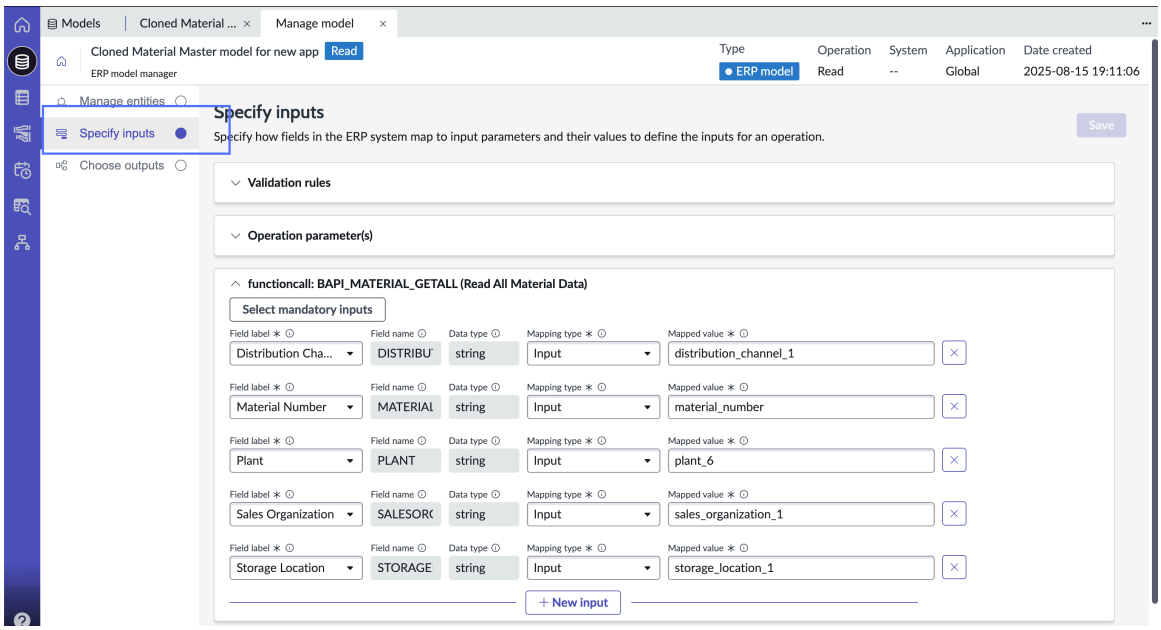
9. [モデルの管理] を選択します。
10. データ製品の一部として、 読み取り、 更新、 作成の 3 つの操作が既に追加されています。
11. [読み取り] タイルを選択して、適切なエンティティが既に追加されていることを確認します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



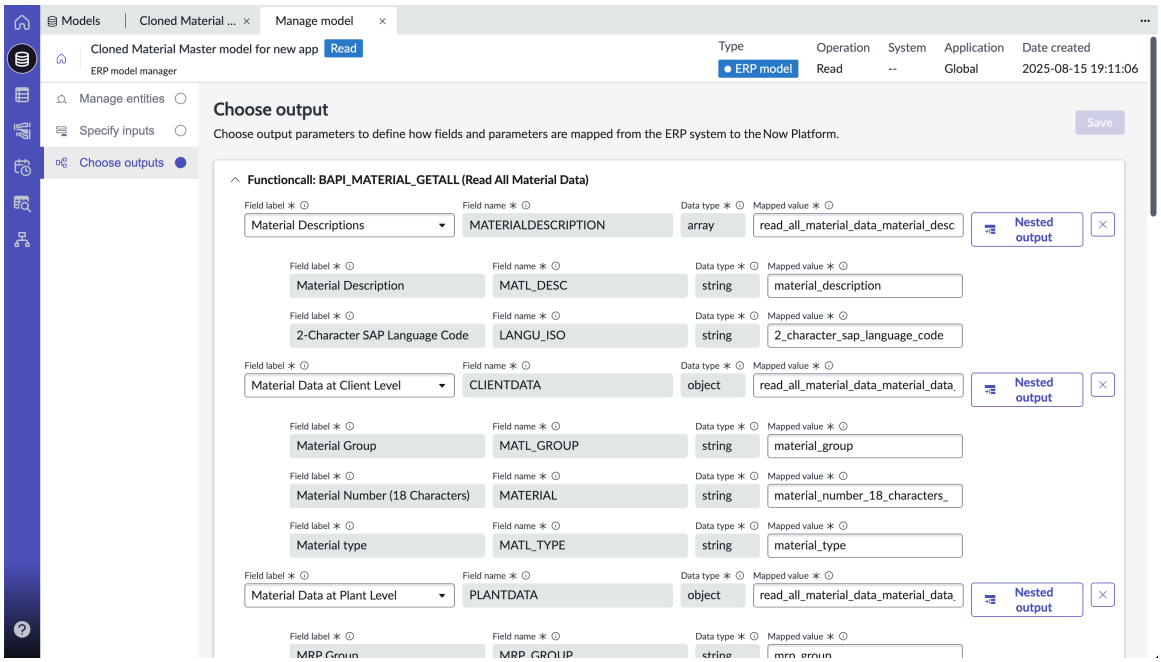
12. [入力を指定] を選択して、一般的な入力パラメーターでマッピングが既に行われていることを確認します。



13. [出力の選択] を選択して、モデルの呼び出し時に送り返すフィールドまたは一般情報のマッピングが既に行われていることを確認します。

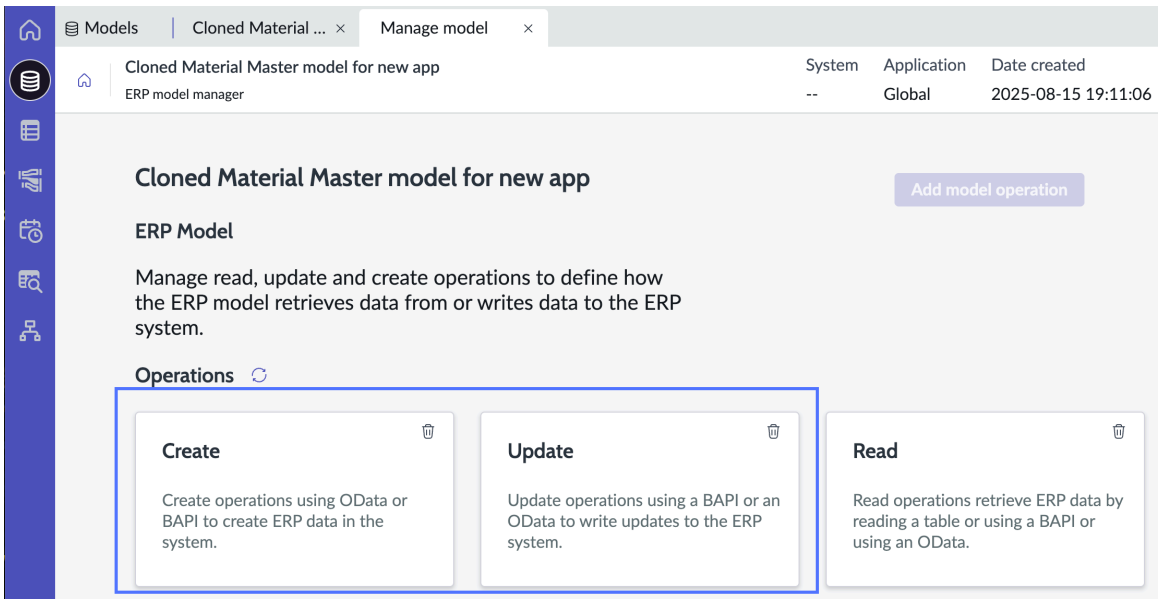
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



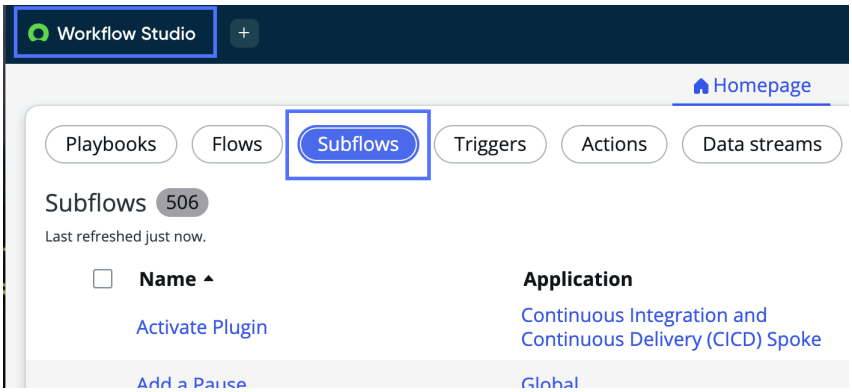
14. ブラウザーの [戻る] ボタンを 3 回選択して、モデル マネージャー ページに戻ります。

15. [更新] タイルと [作成] タイルを選択し、各タイルで手順 12 ～ 14 を繰り返して、事前定義された入力と出力を確認します。

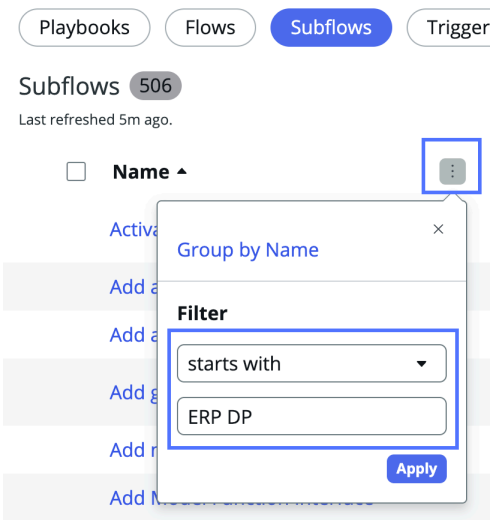


16. コンテンツパック内のプロセス拡張を表示するには、次に移動します: すべて > ワークフロースタジオ をクリックし、[サブフロー] を選択します。

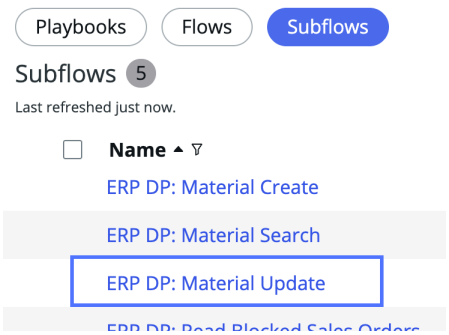
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



17. 名前 列で、フィルター アイコンを選択し、フィルターを **ERP DP** で始まるように設定して、適用を選択します。



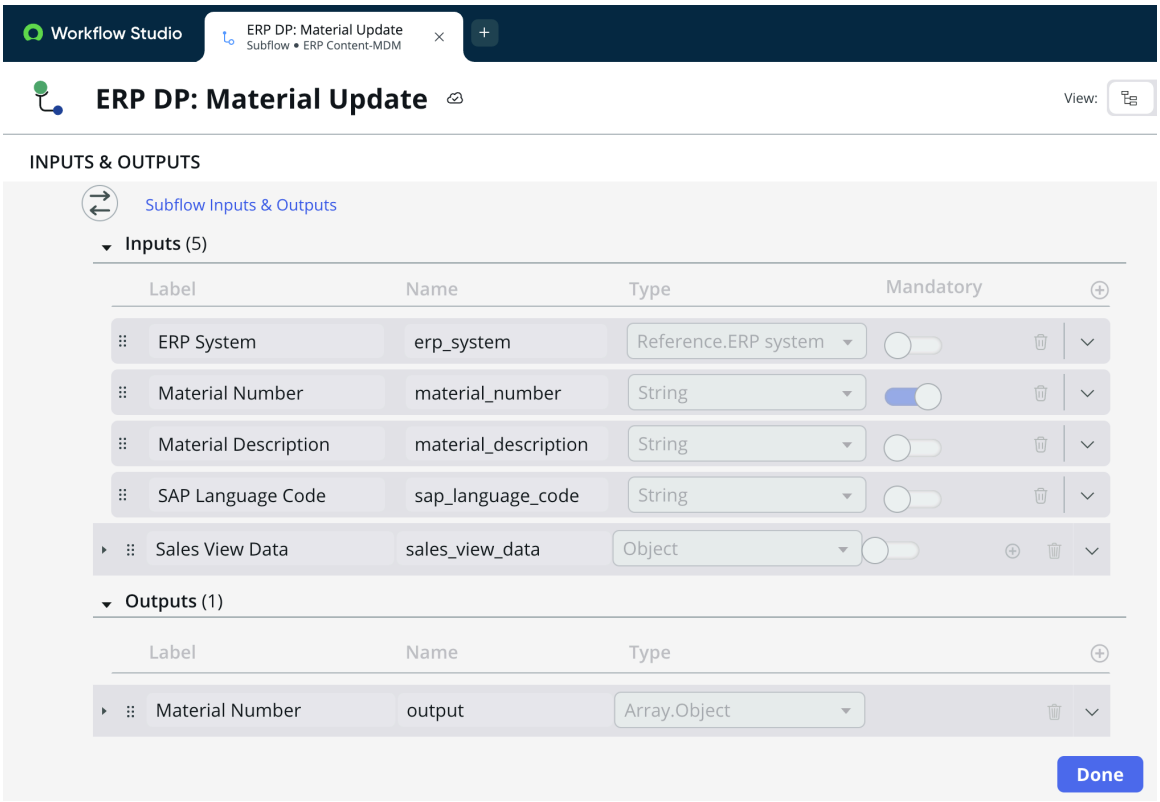
18. 品目サブフローの 1 つ (**[ERP DP:** 品目の更新] など) を選択します。



19. サブフローアクションを表示します。
20. [**Inputs & Outputs**] セクションで、[**Subflow Inputs & Outputs**] を選択します。
21. サブフローに含まれる入力と出力を表示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



22. ブラウザーの [戻る] ボタンを選択して、サブフローのリストに戻ります。

23. ステップ 18 ～ 22 を繰り返して、さらにサブフローを調べます。

次のタスク

データ製品を使用してアプリケーションを作成する準備ができたら、「ERP 向けゼロコピーコネクタデータ製品の使用」を参照してください。

ERP 向けゼロコピーコネクタデータ製品の使用

モデルのクローン作成からスコープ内での作業まで、 ERP 向けゼロコピーコネクタ データ製品の使用方法について説明します。データ製品モデルとプロセス拡張がその例です。

始める前に

必要なロール：sn_erp_integration.erp_admin

新しいアプリケーションスコープにアプリケーションを作成し、同じスコープ内でデータ製品モデルのクローンを作成するには、次の手順に従います。このプロセスを使用すると、独自のスコープと編集可能なクローンモデルがアプリケーションをパッケージ化します。スコープ内で作業すると、アプリケーションとクローンされたモデルの所有権が作成されます。オーナーは、アプリケーションとクローンモデルを編集するためのアクセス権を他のユーザーに付与できます。

手順を完了する前に、 利用可能な ERP 向けゼロコピーコネクタ データ製品 のリストを確認し、ERP 向けゼロコピーコネクタデータ製品の探索 その内容を確認すると役立つ場合があります。

手順

1. アプリケーションを作成する。
クリエータースタジオや ServiceNow スタジオなどのビルダーアプリケーションを使用して、新しいスコープにアプリケーションを作成します。詳細と手順については、以下を参照してください。

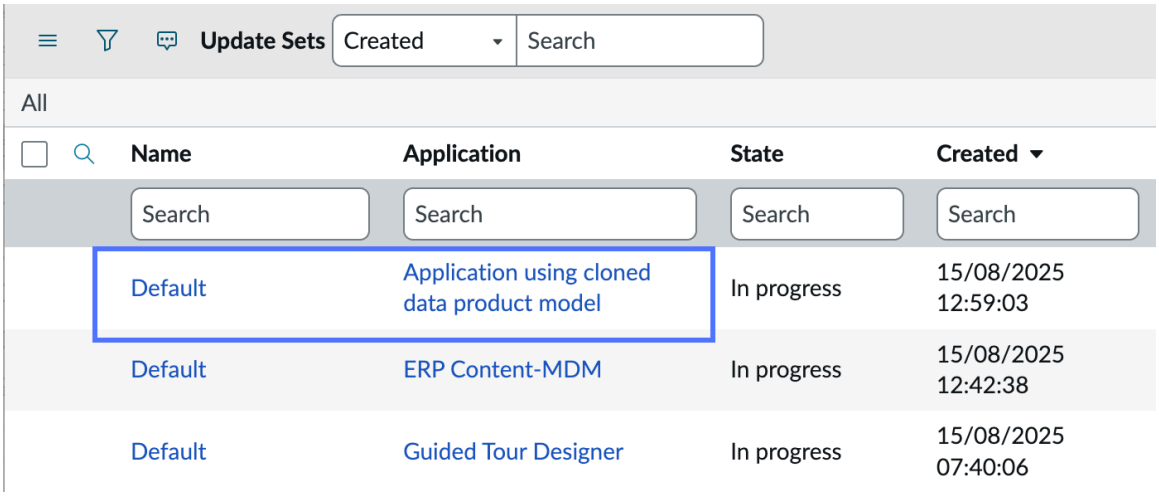
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- クリエータースタジオでアプリの基盤を作成する
- ServiceNow スタジオ でのアプリケーションの作成
- アプリケーションスコープ

2. 新しいアプリケーションの更新セットが作成されたことを確認します。

   a. 移動先 すべて > > システムアップデートセット > ローカル更新セット.

   b. 新しいアプリケーション用に作成されたデフォルトの更新セットを検索し、名前を選択してレコードを開きます。



   新しいアプリケーションに対してデフォルトの更新セットが作成されていない場合は、 更新セットを現在のセットとして作成し選択するの指示に従ってください。

   c. [名前] に、更新セットの一意の名前を入力します。

   d. **[Update** (更新)] を選択します。

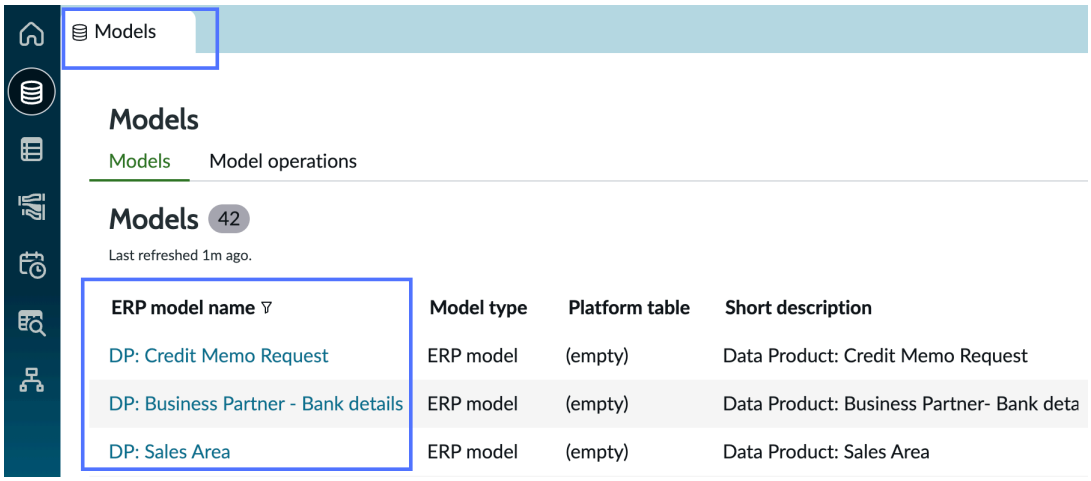
3. 移動先 すべて > *ERP* 向けゼロコピーコネクタ > *ERP* 向けゼロコピーコネクタ 家.

4. サイドパネルで モデルアイコンを選択して、[ERP モデル] ページを開きます。

5. ERP モデルのリストを確認します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

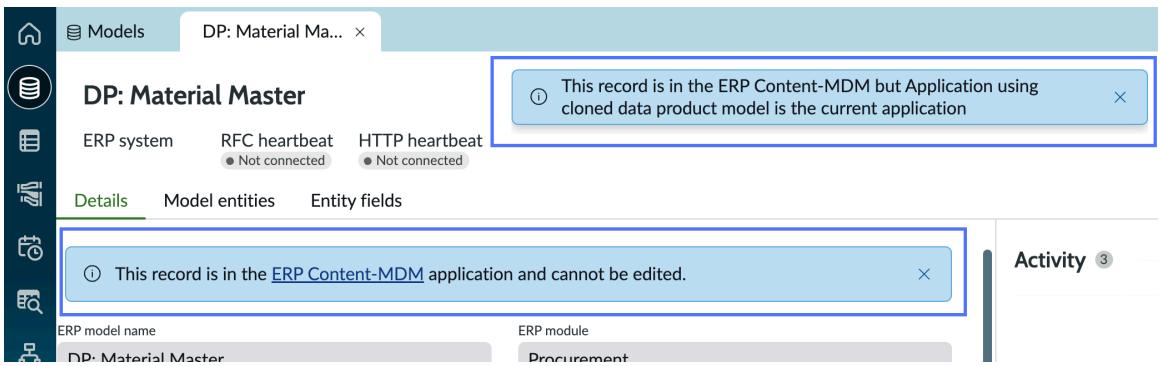


6. クローンを作成するデータ製品モデルを選択します。
データ製品の一部であるモデルでは、ERP モデル名の先頭に **DP** が付きます。

7. まだ新しいアプリケーションのスコープ内にいることを確認します。

   青色のメッセージが 2 つ表示されます。レコード内のメッセージには、モデルが存在するアプリケーションが存在し、レコードを編集できないことが示されています。データ製品のモデルは読み取り専用であり、所有権を取得して変更するにはモデルのクローンを作成する必要があることに注意してください。

   2 番目のメッセージには、現在のアプリケーションスコープが表示されます。これは、この手順の前半で作成したアプリケーションである必要があります。



8. [クローン] を選択します。

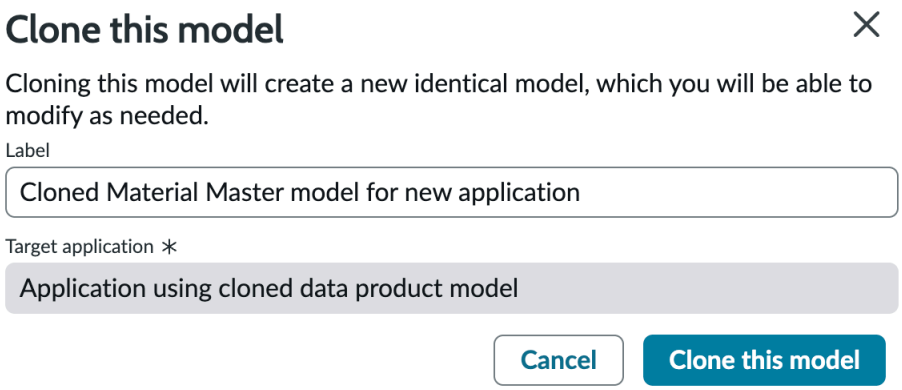
   a. 新しいモデル名を入力します。

   b. 正しいターゲットアプリケーションが指定されていることを確認してください。

   c. [このモデルをクローン] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



クローンが完了すると、成功メッセージが表示されます。

モデルのクローン作成の詳細については、「 ERP 向けゼロコピーコネクタ での ERP モデルのクローン」を参照してください。

d. [モデル] タブを選択します。

e. [リストモデルを更新] アイコン を選択します。

f. 新しいクローンモデルが表示されていることを確認します。

次のタスク

新しいクローンモデルを探索し、必要に応じて変更します。たとえば、マッピング、入力、または出力を編集します。詳細については、「ERP データを操作する ERP モデルのビルドと管理」を参照してください。

ERP 向けゼロコピーコネクタプロセス拡張の使用

ERP 向けゼロコピーコネクタデータ製品でプロセス拡張 (サブフロー) を使用する方法について説明します。データ製品モデルとプロセス拡張がその例です。

始める前に

必要なロール：sn_erp_integration.erp_admin

プロセス拡張 (サブフロー) をコピーし、コピーを編集して正しいクローンモデルを使用するには、次の手順に従います。サブフローのコピー内のモデルのクローンバージョンを使用します。

注:
クローンモデルは、その独自のアプリケーションスコープ内に作成する必要があります。詳細については、「ERP 向けゼロコピーコネクタデータ製品の使用」を参照してください。

手順を完了する前に、次のページを確認すると役に立つ場合があります。

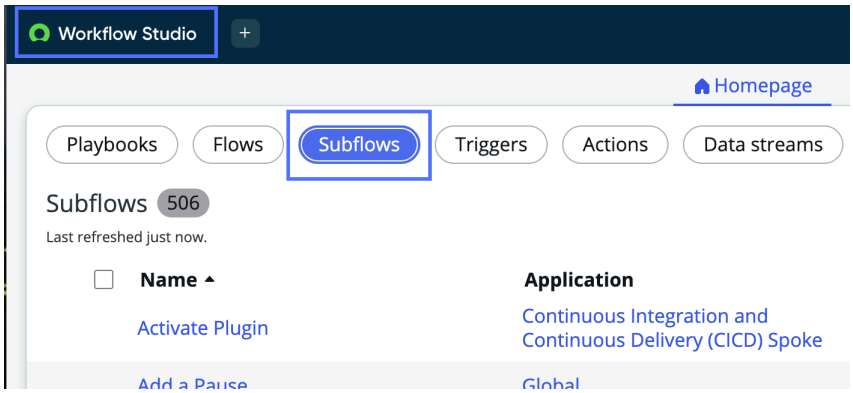
- ERP 向けゼロコピーコネクタ データ製品プロセス拡張
- 利用可能な ERP 向けゼロコピーコネクタ データ製品
- ERP 向けゼロコピーコネクタデータ製品の探索

自動翻訳

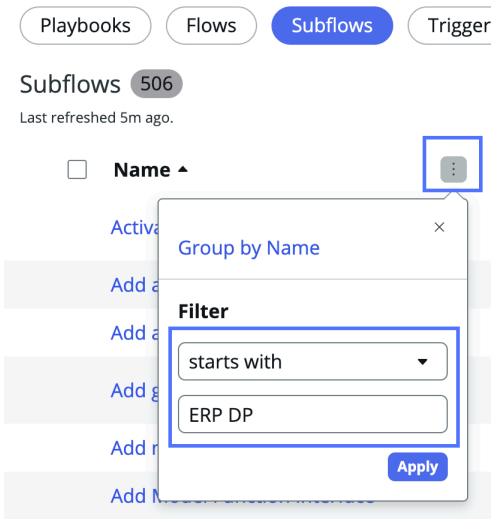
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

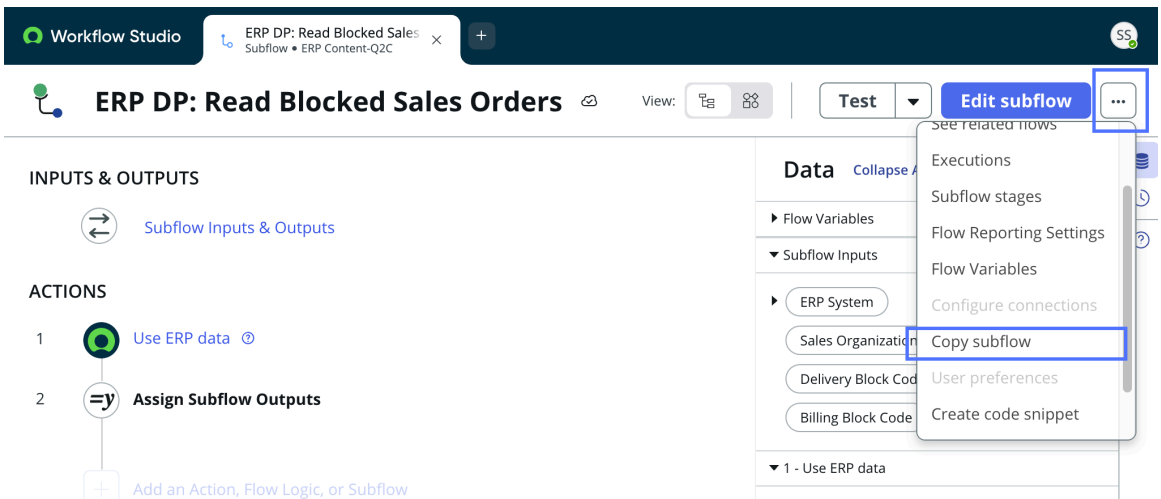
1. 移動先 すべて > ワークフロースタジオ をクリックし、[サブフロー] を選択します。



2. 名前 列で、フィルター アイコンを選択し、フィルターを **ERP DP** で始まるように設定して、適用を選択します。



3. コピーするプロセス拡張を選択します (例:ERP **DP:**ブロックされた受注の読み取り)。
4. [その他のアクション] メニューアイコンを選択し、[サブフローのコピー] を選択します。

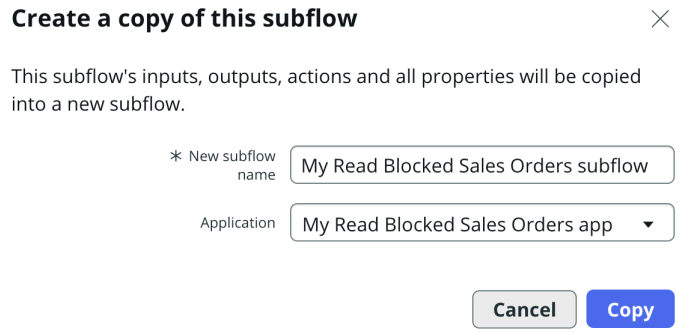


5. サブフローの一意の名前を指定します。

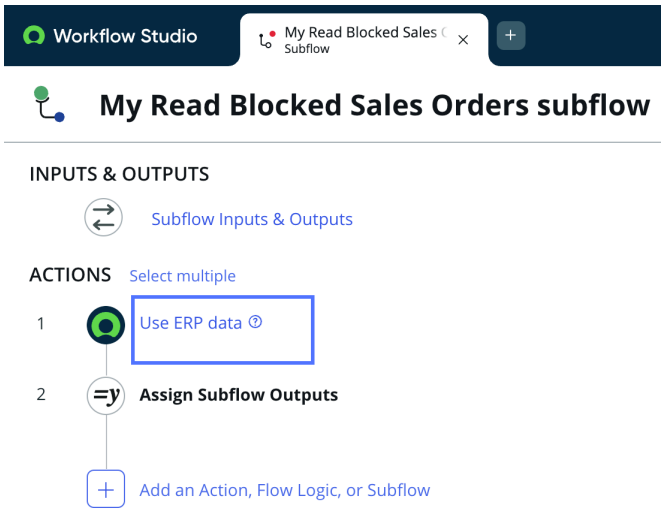
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

6. [アプリケーション] で、サブフローで使用するモデルを含むアプリケーションスコープを選択します。



7. [コピー] を選択します。
8. コピーした新しいサブフローレコードで、[**ERP** データを使用 **(Use ERP data**)] を選択し、アクションで使用されているモデルを置き換えて、代わりにクローンされたモデルを使用します。



詳細については、「ERP 向けゼロコピーコネクタ のフロー用 [ERP データの使用 (Use ERP Data)] アクションの詳細」を参照してください。

利用可能な **ERP** 向けゼロコピーコネクタ データ製品

次のデータ製品は、 ERP 向けゼロコピーコネクタ を使用して、手作業を減らすことなくアプリケーションを実装および展開できます。

エンタープライズデータ基盤向けの **ERP** データ製品

エンタープライズデータ基盤の ERP データ製品には、次のものが含まれます。

- コストセンターの読み取り、顧客マスターの読み取り、ベンダーデータの読み取り、アカウントのチャートの読み取り、品目マスターの作成/更新/読み取りなどのマスターデータモデル。
- SAP Foundation モデルは、SAP の特定のモジュールや特定の領域に関連付けられていない基盤モデルです。財務や販売流通に関連するものもありますが、基本モデルは通常、モジュールや領域をまたいでいます。木
- エンタープライズデータ基盤プロセス拡張 (品目マスタ管理、タイプに基づく品目取得、品目の拡張 (販売) など) プロセス拡張は、1 つ以上のモデルを使用できる小さなサブフローです。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

データ 製品コンテンツ	ターゲットシステム	メソッド
マスターデータモデル	ECC および S/4	テーブルまたは BAPI
SAP 基盤モデル	ECC および S/4	テーブルまたは BAPI
エンタープライズデータ基盤プロセス拡張	ECC および S/4	テーブルまたは BAPI

見積もりから現金化の **ERP** データ製品

見積から現金の ERP データ製品には、次のものが含まれます。

- 受注の作成、受注の更新、受注の読み取りを含む、見積もりから現金へのモデル。
- Quote to Cash プロセス拡張には、Manage Delivery & Billing Block が含まれます。プロセス拡張は、1 つ以上のモデルを使用できる小さなサブフローです

データ 製品コンテンツ	ターゲットシステム	メソッド
モデル	ECC および S/4	テーブルまたは BAPI
プロセス拡張	ECC および S/4	テーブルまたは BAPI

ソースが決済するための **ERP** データ製品

[ソースで決済する] の ERP データ製品には、発注書、購買要求、購買情報レコードなどのモデルが含まれています。

データ 製品コンテンツ	ターゲットシステム	メソッド
モデル	ECC および S/4	テーブルまたは BAPI

ERP 向けゼロコピーコネクタ エンタープライズデータ基盤データ製品

ERP 向けゼロコピーコネクタ Enterprise Data Foundations データ製品のモデルとプロセス拡張の詳細をご覧ください。

ERP 向けゼロコピーコネクタ エンタープライズデータ基盤データ製品モデル

ERP 向けゼロコピーコネクタ Enterprise Data Foundations データ製品には、SAP システムとやり取りするときに必要になる可能性があるモデルが含まれています。

エンタープライズデータ基盤データ製品モデル

モデル名	簡単な説明
銀行マスタデータ - 照会	銀行名や国など、特定の銀行関係に関する詳細を取得します。
銀行マスタデータ:リスト	銀行関係のリストを取得します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

モデル名	簡単な説明
ビジネスパートナー:銀行の詳細	• 登録:取引先の銀行情報を登録します。 • [更新]:取引先の銀行情報 (口座番号や住所など) を更新します。 • 読み取り: ビジネスパートナーの詳細な銀行情報を取得します。
ビジネスパートナ - セントラルデータ	• 作成:ビジネスパートナを作成します。 • 更新:ビジネスパートナ情報を更新します。 • 読み取り:特定のビジネスパートナーに関する詳細を取得します。
ビジネスパートナ - リスト	ビジネスパートナーのリストを取得します。
ビジネスパートナ - ロール	• 作成:ビジネスパートナーロールを作成します。 • [更新]:必要な有効性データの変更など、既存のビジネスパートナロールを更新します。 • 読み取り:ビジネスパートナロールに関する詳細を取得します。
アカウントのチャート	アカウントのチャートリストを取得します。
コストセンター	• 作成:コストセンターを作成します。 • 更新:説明やカテゴリなどのコストセンター情報を更新します。 • 読み取り:特定のコストセンターに関する詳細を取得します。
コストセンター:リスト	コストセンターのリストを取得します。
カスタマー	すべての顧客の詳細を取得します。
総勘定元帳 (G/L) アカウント	アカウント番号や説明など、特定の総勘定元帳アカウントに関する詳細を取得します。
総勘定元帳 (G/L) アカウント:リスト	総勘定元帳口座のリストを取得します。
品目マスター	• 作成:マテリアルを作成します。 • 更新:既存の資料の説明を更新します。 • 読み取り:要求された資材番号に基づいてすべての資材の詳細を取得します。
資料検索	品目番号に基づいて品目の詳細を取得します。
利益センター	説明や責任者など、特定の利益センターに関する詳細を取得します。
利益センター - リスト	すべての利益センターのリストを取得します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

モデル名	簡単な説明
ベンダーマスターデータ	すべてのベンダーの詳細を取得します。

ERP 向けゼロコピーコネクタ エンタープライズデータ基盤データ製品プロセス拡張

ERP 向けゼロコピーコネクタ Enterprise Data Foundation データ製品には、SAP システムと対話するときに必要になる可能性があるプロセス拡張が含まれています。

エンタープライズデータ基盤データ製品プロセス拡張

プロセス拡張 (サブフロー) 名	簡単な説明
新しい品目を作成	基本データと、オプションで販売データを使用して新しい品目を登録します。
資料を検索	材料を検索します。
材料の詳細を更新	既存の品目の内容説明を更新し、オプションで販売データなどの属性を更新します。

ERP 向けゼロコピーコネクタ SAP Foundation データ製品モデル

ERP 向けゼロコピーコネクタ SAP Foundation データ製品には、SAP システムと対話するときに必要になる可能性があるモデルが含まれています。

SAP Foundation データ製品モデル

モデル名	簡単な説明
住所	住所番号に基づいて住所の詳細を取得します。
請求ブロック:リスト	請求ブロックのリストと説明を取得します。請求ブロックは、たとえば、顧客に解決中のクレジットまたは法務上の問題がある場合に、顧客請求プロセスを停止します。
ビジネスエリア	ビジネスエリアのリストを取得します。
会社コード	会社コードのリストを取得します。
コントロールエリア	コントロールエリアのリストを取得します。
国	国のリストを取得します。
通貨	通貨コードのリストを取得します。
配送ブロック:リスト	説明付きの配送ブロックのリストを取得します。出荷ブロックは、たとえば、得意先に与信限度額の問題がある場合に、受注に対する出荷伝票の作成を停止します。
インコタームズ	インコ用語のリストを取得します。
言語	ERP システムで管理されている言語のリストを取得します。
支払条件	すべての支払条件のリストを取得します。
プラント	植物のリストを取得します。
プラントの場所	プラント内の場所のリストを取得します。
購買グループ	コミュニケーションの詳細とともに購入グループのリストを取得します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

モデル名	簡単な説明
購買組織	購買組織のリストを取得します。
販売エリア	販売エリアのリストを取得します。(営業エリアは、営業組織、流通チャネル、部門の組み合わせです。
ストレージの場所	ストレージの場所のリストを取得します。
評価領域	評価領域のリストを取得します。

ERP 向けゼロコピーコネクタ 見積もりから現金データ製品

ERP 向けゼロコピーコネクタ受注データ製品のモデルとプロセス拡張の詳細を確認してください。

ERP 向けゼロコピーコネクタ 見積もりから現金へのデータ製品モデル

ERP 向けゼロコピーコネクタ Quote to Cash データ製品には、SAP システムとやり取りするときに必要になる可能性があるモデルが含まれています。

見積もりから現金へのデータ製品モデル

モデル名	簡単な説明
クレジットメモ要求	• 作成:クレジットメモ要求の作成 • 更新:クレジットメモ要求情報を更新します。 • 読み取り:特定のクレジットメモ要求に関する詳細を取得します。
クレジットメモ要求:リスト	クレジット要求のリストを取得します。
顧客の与信限度	顧客やリスクカテゴリなどの入力パラメーターに基づいて、ECC システムから顧客の与信限度のリストを取得します。
顧客の与信限度	ビジネスパートナーやクレジットセグメントなどの入力パラメーターに基づいて、SAP S/4HANA システムから顧客の与信限度のリストを取得します。
受注	• [作成]:1 つ以上の品目で販売注文を作成します。 • 更新:配送ブロックの追加や削除など、受注を更新します。 • 読み取り:受注番号に基づいて受注の詳細を取得します。
受注 - 顧客で検索	特定の顧客番号を使用して受注を検索します。
受注 - ステータスで検索	ECC システムで、確認済みまたは請求ブロックなどの特定のステータスを使用して受注を検索します。
受注 - ステータスで検索	SAP S/4HANA システムで、確認済みまたは請求ブロックなどの特定のステータスを使用して受注を検索します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ERP 向けゼロコピーコネクタ 見積もりから現金へのデータ製品プロセス拡張

ERP 向けゼロコピーコネクタ見積から現金へのデータ製品には、SAP システムとやり取りするときに必要になる可能性があるプロセス拡張が含まれています。

見積もりから現金へのデータ製品プロセス拡張

プロセス拡張 (サブフロー) 名	簡単な説明
配送および請求ブロックを管理	• サブフロー 1:出荷ブロックまたは請求ブロックがあるすべての受注を読み取ります。 • サブフロー 2: 販売注文の配送と請求ブロック状態を更新します。

ERP 向けゼロコピーコネクタ データ積を解決するソース

モデルとプロセス拡張の詳細については、「 ERP 向けゼロコピーコネクタ Source to Settle data (データの解決元を)」を参照してください。

ERP 向けゼロコピーコネクタ データを決済するソース製品モデル

ERP 向けゼロコピーコネクタ Source to Settle データ製品には、SAP システムとやり取りするときに必要になる可能性があるモデルが含まれています。

データを決済するソース製品モデル

モデル名	簡単な説明
発注書 (PO)	サプライヤーや商品またはサービスの数量など、特定の発注書 (PO) に関する情報を取得します。
発注書 (PO):リスト	発注書 (PO) のリストを取得します。
購買要求	資材またはサービスの数量、必要な日付など、特定の購買要求に関する情報を取得します。
購買要求:リスト	購買要求のリストを取得します。
購入情報レコード	資材の価格、条件、ソースなど、特定の購買情報レコードに関する詳細を取得します。

ERP モデルの基盤の表示および編集

ERP 向けゼロコピーコネクタ で ERP モデルをビルドして全体的なデータセットを作成します。ERP モデルには、ERP システムからのリモートテーブルと抽出テーブル、および読み取り操作と更新操作が含まれます。

始める前に
アドミニストレーターまたは sn_erp_integration.erp_admin ロールを持つユーザーが ERP モデルとテーブルを編集、カスタマイズ、クローン作成するには、`sn_erp_integration.enableModelModification` プロパティを有効にする必要があります。`sn_erp_integration.enableModelModification` プロパティを有効にすると、ERP 向けゼロコピーコネクタ はモデルを管理するときに使用するすべてのテーブルと BAPI (ビジネスアプリケーションプログラミングインターフェイス) を取得します。 プロパティは、非本番ステータスまたは本番ステータスのいずれかに対して構成する必要があります。(本番インスタンスで `sn_erp_integration.enableModelModification` を有効にすると、 ERP 向けゼロコピーコ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ネクタで新しいモデルとフィールドが追加されたときにメタデータレコードを作成できます)。システムプロパティはシステムプロパティテーブル [sys_properties] で管理されており、ナビゲーターフィルターに sys_properties.list を直接入力することでアクセスできます。

> **注:**
> 正しいスコープで *sn_erp_integration.enableModelModification* プロパティを有効にする必要があります。

必要なロール：

- モデル情報を編集するには:sn_erp_integration.erp_admin
- モデル情報を表示するには:sn_erp_integration.erp_user

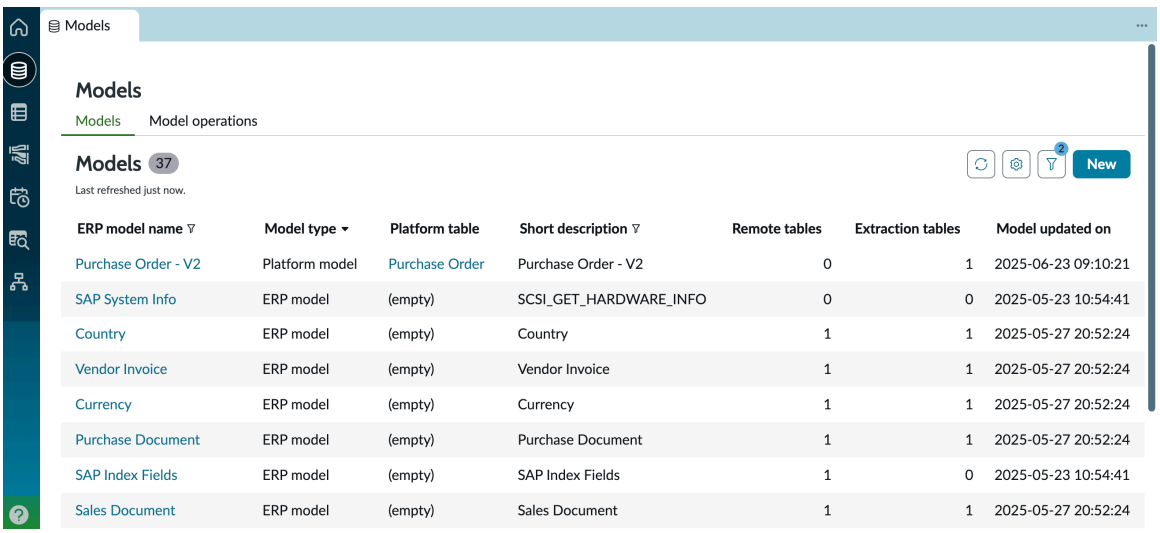
このタスクについて

ERP 向けゼロコピーコネクタ には、SAP 品目在庫や SAP 購買ドキュメントといった標準的な ERP モデルのセットが入っています。標準 ERP モデルのリストについては、「 ERP 向けゼロコピーコネクタ の標準 ERP モデルと抽出テーブル」を参照してください。新しいモデルのビルドの詳細については、「 新しい ERP モデルを作成」を参照してください。例として、 ERP 向けゼロコピーコネクタ データ製品、事前定義されたモデルのセット、およびプロセス拡張を使用して、手動作業を減らしてアプリケーションを実装および展開できるようにします。詳細については、「ERP 向けゼロコピーコネクタ データ製品」を参照してください。

ERP モデルは、リモートテーブルと抽出テーブル、および読み取り操作と更新操作に追加できる可能性のあるすべてのフィールドを含むステージング領域として機能します。その後、テーブルとクエリされたデータを ServiceNow AI Platform のデータソースとして使用できます。

手順

1. 移動先 すべて > *ERP* 向けゼロコピーコネクタ > *ERP* 向けゼロコピーコネクタ 家.
2. サイドパネルで モデルアイコンを選択して、[ERP モデル] ページを開きます。



3. ERP モデルのリストを確認します。

ERP モデル列

列	説明
ERP モデル名	ERP モデルの名前。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

列	説明
簡単な説明	ERP モデルが表す内容の簡単な説明。
ERP テーブル	SoR の ERP テーブルの数。
抽出テーブル	ERP モデルにリンクされている ServiceNow AI Platform 上の抽出テーブルの数
リモートテーブル	ERP モデルにリンクされている ServiceNow AI Platform 上のリモートテーブルの数
更新日時	モデルが最後に更新された日時。

4. ERP モデルを選択し、そのモデルの詳細を表示および編集します。

ERP モデルの [詳細] タブ

フィールド	説明
ERP モデル名	ERP モデルの名前。
ERP モジュール	SoR 上の ERP ビジネスエリアの簡単な名前。
ERP システム	ERP SoR のビジネスセクションへの接続を表す ERP システム
アプリケーション	ERP モデルがリンクされているアプリケーションスコープ。たとえば、カスタムモデルを作成した場合、モデルはそのスコープ内に含まれます。
簡単な説明	ERP モデルが表す内容の簡単な説明。
長いテキスト	ERP データモデルに関する説明や情報。

5. オプション: ERP モデルの [詳細] タブで、以下を表示して操作します。
   - 公開コメントとプライベート作業メモ。
   - モデルの アクティビティストリーム。
   - 添付ファイル。
6. **[Save** (保存)] を選択します。
7. ERP モデルレコードの [モデルエンティティ] タブを選択して、テーブルエンティティがモデルに含まれていることを表示して確認します。
   [モデルエンティティ] タブでテーブル名を選択して、個々のテーブルの詳細を表示します。

   ERP 向けゼロコピーコネクタ はリンクされた ERP システムを自動的にスキャンして、最新のエンティティデータを取得します。ただし、[リフレッシュ] アイコンを選択して、オンデマンドでデータをリフレッシュできます。

[ERP モデルエンティティ] タブの詳細

フィールド	説明
名前	SoR のモデルテーブルの名前。
別名	テーブルのエイリアス。

自動翻訳

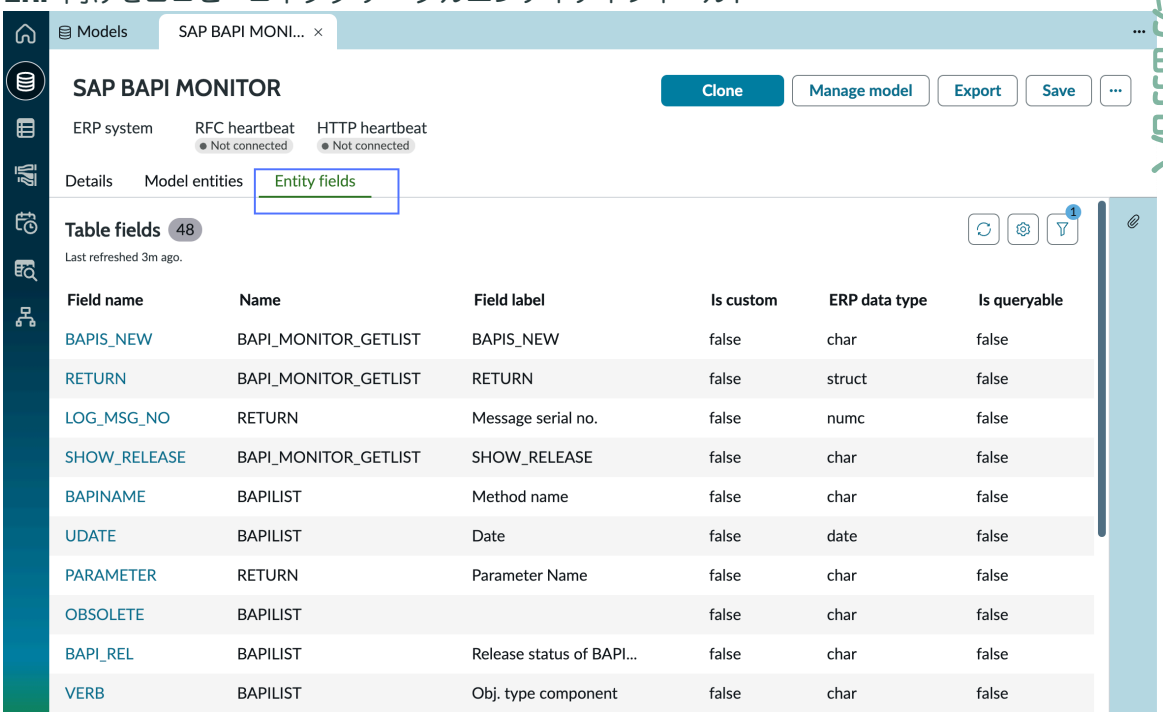
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	エイリアスは、テーブルの代替名を参照します。 エイリアスを使用すると、容易に参照および識別できるようにわかりやすい名前を割り当ててカスタマイズすることができます。 エイリアスは最大 40 文字で、a ～ z、A ～ Z、0 ～ 9、およびアンダースコアを含めることができます。
ステータス	[取得されたテーブルデータ] などのデータ同期のステータス。
更新日時	モデルエンティティが最後に更新された日時。

8. オプション: [エクスポート] ボタンを選択して、モデル内のテーブルのリストをエクスポートします。
   [JSON] や **[Excel]** などの [ファイルの種類]、および [ダウンロード] などの [配信の種類] を選択できます。
9. ERP モデルレコードの [エンティティフィールド] タブを選択して、ERP モデルに含まれるテーブルエンティティフィールドを表示および確認します。

   フィールド値の説明については、「ERP 向けゼロコピーコネクタ の ERP モデルテーブルフィールドの説明」を参照して ください。

ERP 向けゼロコピーコネクタ テーブルエンティティフィールド



次のタスク
使用可能なフィールドとテーブルを確認した後、モデルを管理して新しいテーブルエンティティをモデルに追加できます。モデルを管理する場合、テーブルの読み取りと BAPI (ビジネスアプリケーションプログラミングインターフェイス) を使用して、読み取り操作と更新操作を作成することもできます。詳細については、「モデルが ERP システムを読み取りおよび更新する方法の管理」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

モデルのバージョニングの使用

モデルのバージョニングを使用して、作業するバージョンを指定し、変更を追跡し、必要に応じて以前のバージョンに戻します。

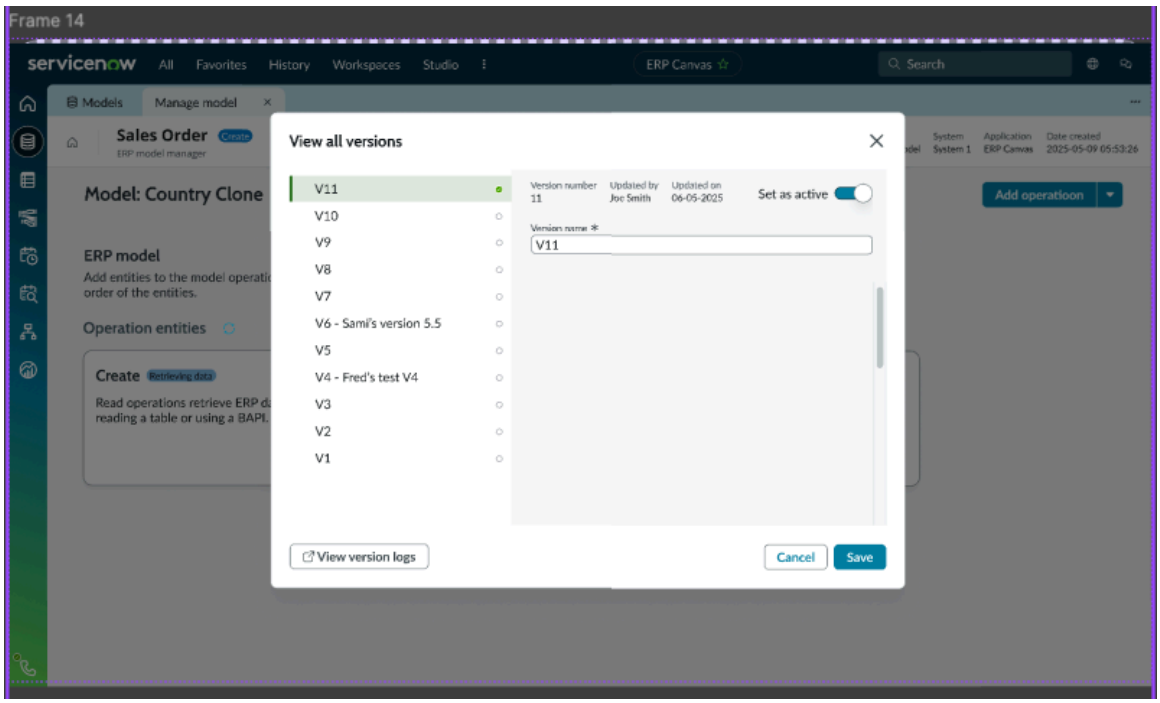
始める前に

必要なロール：admin

作成元をキャプチャするためのモデルレコードの新しいフィールド (新規、クローン、インポート)。

モデルレコードの [新しいバージョン] フィールド。

開発環境で現在の作業バージョンを制御するための新しいテーブル。このテーブルはsys_metadataから拡張されません。現在のバージョンでは false となるis_locked列があります。エクスポートが成功したら、現在のバージョンを is_locked = true に設定し、このテーブルに新しいバージョンを追加して、モデルを新しいバージョンで更新します。



手順

1. 移動先 すべて > > .
2. 1:ロック動作がロックされたバージョンの変更をブロックすることを確認します。
3. 2:エクスポート後に新しいバージョンで更新されたモデルテーブル。
4. 3:エクスポート後、最後のバージョンをロックし、ロック解除された新しいバージョンを作成します。
5. 4:現在のバージョンは正しくエクスポートされています
6. 5:enableModelModification が false の場合、変更はありません。
7. 6:有効にすると、エクスポート時にモデルバージョンとis_imported更新されます。
8. 7:別のエクスポート中のモデルのエクスポート (競合状態)
9. 8:バージョン管理テーブルにバージョンなしでモデルをエクスポート
10. 以下は、別の一連の手順です。
11. 1:モデルテーブルに追加された新しいフィールドを確認します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

12. 2:新しいモデルを作成し、元のフィールドとバージョンのフィールドを確認します。
13. 3:モデルのクローンを作成し、ソースフィールドと作成元フィールドを確認します。
14. 4:クローンをクローンし、元のモデルを参照するソースモデルを確認します。
15. 5:クローン作成バックグラウンドプロセス中にsys_created_byを検証します。
16. 6:バージョン管理を作成するための新しいテーブルを確認します。
17. 7:モデル作成時にバージョン 1 のレコードを追加します。
18. 以下は、別の一連の手順です。
19. 1:クローン作成中に作成元がクローンに設定
20. 2:ソースモデルが正しく登録されています
21. 3:クローンクローン作成時にソースモデルが保持される
22. 4:モデルバージョン 1 がバージョン管理テーブルの新しいクローン用に作成されました
23. 5:ソースモデルが存在しない場合、クローン作成が失敗することを確認する
24. 6:クローン作成中にスコープ名が正しく保存されていることを確認します

ERP 向けゼロコピーコネクタ での ERP モデルのクローン

ERP 向けゼロコピーコネクタ に同梱されている標準 ERP (エンタープライズリソースプランニング) モデルのクローンを作成します。モデルのクローンを作成した後、新しいフィールドやテーブルを追加することで、変更を加えることができます。

始める前に
アドミニストレーターまたは sn_erp_integration.erp_admin ロールを持つユーザーが ERP モデルとテーブルを編集、カスタマイズ、クローン作成するには、*sn_erp_integration.enableModelModification* プロパティを有効にする必要があります。*sn_erp_integration.enableModelModification* プロパティを有効にすると、ERP 向けゼロコピーコネクタ はモデルを管理するときに使用するすべてのテーブルと BAPI (ビジネスアプリケーションプログラミングインターフェイス) を取得します。 プロパティは、非本番ステータスまたは本番ステータスのいずれかに対して構成する必要があります。(本番インスタンスで *sn_erp_integration.enableModelModification* を有効にすると、 ERP 向けゼロコピーコネクタで新しいモデルとフィールドが追加されたときにメタデータレコードを作成できます)。システムプロパティはシステムプロパティテーブル [sys_properties] で管理されており、ナビゲーターフィルターに sys_properties.list を直接入力することでアクセスできます。

> **注:**
> 正しいスコープで *sn_erp_integration.enableModelModification* プロパティを有効にする必要があります。

必要なロール：sn_erp_integration.erp_admin

このタスクについて
ERP 向けゼロコピーコネクタ には、SAP 品目在庫や SAP 購買ドキュメントといった標準的な ERP モデルのセットが入っています。標準 ERP モデルのリストについては、「 ERP 向けゼロコピーコネクタ の標準 ERP モデルと抽出テーブル」を参照してください。新しいモデルのビルドの詳細については、「 新しい ERP モデルを作成」を参照してください。例として、 ERP 向けゼロコピーコネクタ データ製品、事前定義されたモデルのセット、およびプロセス拡張を使用して、手動作業を減らしてアプリケーションを実装および展開できるようにします。詳細については、「ERP 向けゼロコピーコネクタ データ製品」を参照してください。

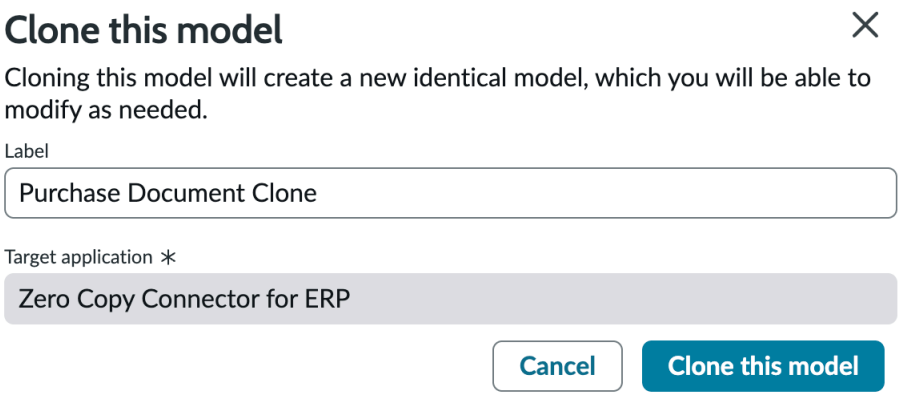
ERP モデルをクローンしてカスタマイズし、変更によって他の ServiceNow AI Platform アプリケーションへの接続が切断されないようにします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > *ERP* 向けゼロコピーコネクタ > *ERP* 向けゼロコピーコネクタ 家.
2. サイドパネルで モデルアイコンを選択して、[ERP モデル] ページを開きます。
3. クローンを作成する ERP モデルの名前を選択します。
4. [クローン] を選択します。
5. [このモデルをクローン] モーダルで、新しい **ERP** モデル名を入力します。



> **注:**
> 参考までに、[ターゲットアプリケーション] フィールドには、元のモデルが作成されたスコープがリストされています。クローンにも同じスコープが使用されます。

6. [このモデルをクローン] を選択します。
   クローンモデルが作成され、新しいタブで開きます。
7. オプション: 名前の更新など、クローンされたモデルに関する情報を [詳細] タブで変更します。

> **警告:**
> ERP モデルに接続されている ERP システムを変更すると、利用可能なリモートテーブルと抽出テーブルに影響します。ERP システムを変更する場合は、警告モーダルで変更を確認する必要があります。

フィールド値の説明については、「ERP 向けゼロコピーコネクタ のクローンモデルフィールドの説明」を参照して ください。

次のタスク

次に、モデルを管理して、読み取りと結合を行うテーブル、読み取り操作と更新操作、入出力パラメーターの定義など、追加の条件を指定します。詳細については、「モデルが ERP システムを読み取りおよび更新する方法の管理」を参照してください。

新しい **ERP** モデルを作成

ERP 向けゼロコピーコネクタ にモデルを追加して、SoR の ERP テーブルを含むデータセットを作成し、ERP システムに更新を読み取って送信します。

始める前に

必要なロール：sn_erp_integration.erp_admin

[store-future: BEGIN review]

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

https://player.vimeo.com/video/1056865154?h=c516ac73c1&badge=0&autopause=0&player_id=0&app_id=58479

[End]

このタスクについて

ERP モデルは、リモートテーブルと抽出テーブル、および読み取り操作と更新操作に追加できる可能性のあるすべてのフィールドを含むステージング領域として機能します。その後、テーブルとクエリされたデータを ServiceNow AI Platform のデータソースとして使用できます。

手順

1. 移動先 すべて > *ERP* 向けゼロコピーコネクタ > *ERP* 向けゼロコピーコネクタ 家.
2. サイドパネルで モデルアイコンを選択して、[ERP モデル] ページを開きます。
3. **[New** (新規)] を選択します。
4. 新規モデルタブで、フィールドに入力します。
   フィールド値の説明については、「ERP 向けゼロコピーコネクタ の新しいモデルフィールドの説明」を参照してください。
5. **[Save** (保存)] を選択します。
6. [モデル] アイコン を選択して、[ERP モデル] ページを再度開きます。
7. [リストを更新] アイコンを選択してページを更新します。
   新しいモデルがリストに表示されます。

次のタスク

新しい ERP モデルを追加したら、追加の基準を指定します。たとえば、どのテーブルを読み取って結合するか、入力と出力のパラメーター、SoR を更新するために BAPI を使用するかどうかなどです。詳細は、以下のトピックを参照してください。

- モデルが ERP システムを読み取りおよび更新する方法の管理
- ERP テーブル間の結合の追加

でのカスタムモデルのエクスポートとインポート **ERP** 向けゼロコピーコネクタ

リモート更新セットをエクスポートおよびインポートして、カスタム ERP モデルをあるインスタンスから別のインスタンスに移動します。

始める前に

必要なロール：sn_erp_integration.erp_admin

インポート先のインスタンスにカスタムモデルのアプリケーションスコープが存在することを確認します。

glide.attachment.extensions システムプロパティは、ダウンロードできるファイルタイプを制限します。このプロパティは、デフォルトでは空です。このプロパティに xml ファイル拡張子が追加されていないことを確認してください。詳細については、「Restrict attachment file extensions」を参照してください。

このタスクについて

場合によっては、カスタム ERP モデルをあるインスタンスから別のインスタンスに移動する必要があります。たとえば、非本番インスタンスでカスタム ERP モデルを作成した後、そのモデルを本番インスタンスまたは別の非本番インスタンスに移動する必要があります。カスタム ERP モデルと、

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

エンティティや操作などのすべての関連ファイルを、リモート更新セット内の XML ファイルにエクスポートします。次に、リモート更新セットを別のインスタンスにインポートします。

XML ファイルには次のものが含まれます。

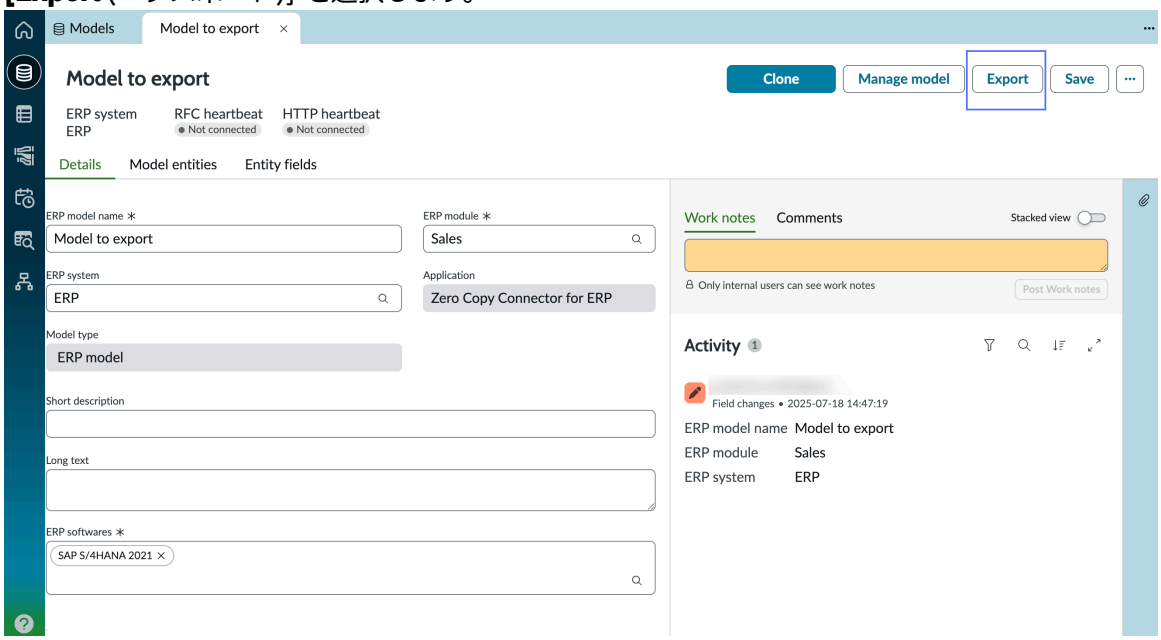
- 操作
- エンティティ
- 入力フィールド
- 出力フィールド

カスタム ERP モデルをエクスポートおよびインポートする場合は、次の点に注意してください。

- 内部モデルをエクスポートおよびインポートすることはできません。
- システム値はインポートされません。
- 一度に 1 つのモデルをエクスポートできます。

手順

1. 移動先 すべて > *ERP* 向けゼロコピーコネクタ > *ERP* 向けゼロコピーコネクタ 家.
2. [モデル] ページで、エクスポートするカスタムモデルを選択します。
3. **[Export** (エクスポート)] を選択します。



4. ダウンロードしたファイルの場所を指定します (デフォルトでは、Chrome および Safari ブラウザーでは、この場所はダウンロードフォルダーです)。
モデルのサイズによっては、エクスポートプロセスに数分かかる場合があります。
5. ダウンロード場所に移動し、XML ファイルがそこにあることを確認します。
ファイル名は **sys_remote_update_set_f08252b6c3da16106f44d1af050131d0.xml** のようになります。
6. カスタムモデルのインポート先のインスタンスを開きます。
次のサブステップでは、更新セットを使用します。一般情報については、「システムアップデートセット」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

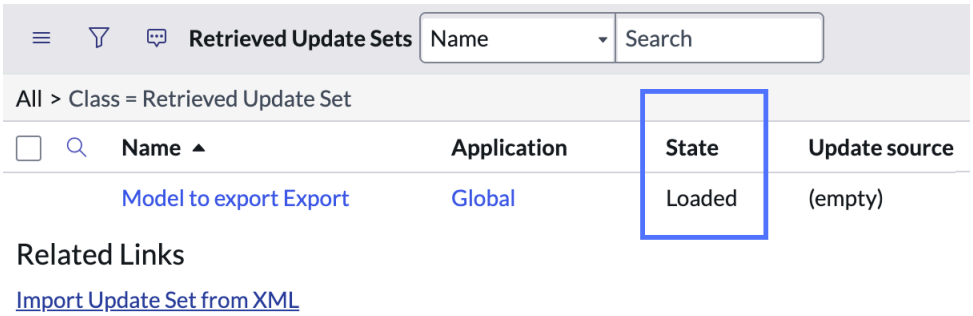
a. 移動先 すべて > システムアップデートセット > 取得済み更新セット.

b. [関連リンク] で、[**XML** から更新セットをインポート] を選択します。

c. [ファイルを選択] を選択し、エクスポートした XML ファイルに移動してファイルを選択し、[開く] を選択します。

d. **[Upload** (アップロード)] を選択します。

ファイルがインポートされ、[ステータス] が [ロード済み] に設定された状態で取得済み更新セットリストに表示されます。インポートに失敗した場合は、インポート先のインスタンスにカスタムモデルのアプリケーションスコープが存在することを確認してください。



e. ファイルを選択します。

f. [更新セットのプレビュー] を選択し、衝突などのエラーがないか確認します。
問題のプレビューと解決の詳細については、「 リモート更新セットのプレビュー」を参照してください。

g. プレビューが終了し、エラーを解決したら、[閉じる] を選択します。

h. [更新セットのコミット] を選択して、ローカルコピーを作成します。
更新セットのコミットプロセスの詳細については、「 更新セットを収容」を参照してください。

i. ローカル コピーが作成されたら、[閉じる] を選択します。

7. 移動先 すべて > *ERP* 向けゼロコピーコネクタ > *ERP* 向けゼロコピーコネクタ 家.
8. **[ERP** モデル] ページで、インポートしたモデルを見つけて開きます。
9. 正しいアプリケーションスコープ内にいることを確認してください。
10. **ERP** システムを指定します。
11. モデルに必要なその他の変更を加えます。
モデルの編集と管理の詳細については、「 モデルが ERP システムを読み取りおよび更新する方法の管理」を参照してください。

モデルが **ERP** システムを読み取りおよび更新する方法の管理

ERP 向けゼロコピーコネクタ で ERP (エンタープライズリソースプランニング) モデルを作成した後、パラメーターを使用して ERP システムを読み取りおよび更新する方法を指定できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

読み取り操作または更新操作を作成する場合は、最初に操作を追加します。次に、[ERP モデルマネージャー (ERP model manager)] ページの次のタブで操作エンティティとパラメーターを定義します。

- エンティティの管理: 読み取るテーブル、OData サービス、または ERP システムの読み取りまたは更新に使用する BAPI (API に似たリモート プロシージャ呼び出し) を指定します。
- 入力を指定 **(Specify inputs)**：ERP システムのフィールドをパラメーターにマッピングする方法を定義して、データのクエリ方法を指定します。パラメーターを取得できない場合は、ERP システムに渡すデフォルト値を定義することもできます。
- 出力を選択 **(Choose output)**：出力を指定して、返されたデータを ServiceNow AI Platform に格納する方法のパラメーターを定義します。

ERP システムの読み取り操作と更新操作

ERP 向けゼロコピーコネクタ は、読み取り操作および更新操作を使用して ERP システムにアクセスします。

- ERP システムを読み取るには、テーブル読み取り、BAPI、または OData を使用できます。
- 更新操作には BAPI または OData を使用する必要があります。
- 読み取り操作のモデルには、テーブル読み取りまたは BAPI 関数呼び出しのいずれかを追加することができますが、両方を追加することはできません。
- テーブル読み取り操作に複数のテーブルを追加することができますが、関数呼び出しの読み取り操作に指定できる BAPI は 1 つだけです。

ERP 操作のテーブルとエンティティの管理

エンティティは、操作が ERP システムにアクセスして読み取りまたは更新する方法の基盤です。[エンティティの管理 **(Manage entities)]** タブを使用して、BAPI またはテーブルの名前を指定して、要求とその応答の内容を定義します。

操作にエンティティを追加する場合は、次の情報を指定する必要があります。

- ERP 向けゼロコピーコネクタ が ERP システムからデータを取得する方法、または ERP システムに更新を送信する方法。
  - 読み取り操作では、ERP システム上のテーブルを読み取るか、事前定義された BAPI を使用してシステムを読み取るかを指定する必要があります。
  - 更新操作では、BAPI を使用する必要があります。
- 読み取るテーブルまたは使用する BAPI の名前。

エンティティの追加手順については、「でモデルに操作を追加する ERP 向けゼロコピーコネクタ」を参照してください。

操作入力パラメーターの管理

操作のテーブルまたは BAPI を指定すると、ERP 向けゼロコピーコネクタ によって [入力を指定 **(Specify inputs)]** タブに必要な入力パラメーターが自動的に入力されます。

ERP 向けゼロコピーコネクタ は、メソッド/関数呼び出しの一部としてパラメーターを使用して、ERP システムに渡されるデータを定義およびマッピングします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- [出力パラメーター] セクションでは、ERP システムのクエリに使用されるパラメーターのオプションのデフォルト値を入力します。モデルのクエリ時に入力値が指定されていない場合は、各パラメーターの [デフォルト値] がフォールバックとして使用されます。デフォルト値は、定数のマッピングにも使用できます。
- テーブル (読み取り操作用)/関数呼び出し (BAPI 操作用) セクションでは、ERP 向けゼロコピーコネクタ が操作のパラメーターとして送信する ERP システムからのフィールドを定義してマッピングします。フィールドを選択すると、自動マッピング機能を使用してその マッピングされた値 を自動的に更新し、パラメーターの行を [出力パラメーター] セクションに追加します。[タイプ] として [定数] を定義し、[マッピングされた値] フィールドに定数値を入力すると、マッピングされた入力がフィルター基準として機能します。関連するパラメーターは、必要な数だけ追加してネストすることができます。

  他のパラメーター (番地、市区町村など) を含む住所など、複雑なネストされたパラメーターを追加する場合、 ERP 向けゼロコピーコネクタ 追加の関連パラメーターが必要であることを自動的に識別します。 ERP 向けゼロコピーコネクタ では、関連する値の入力が必要な新しいネストされたパラメーター行が作成されます。ネストできるのは、データタイプがオブジェクトまたはアレイのパラメーターのみです。

パラメーターに使用可能なデータタイプは次のとおりです。

- オブジェクト
- アレイ
- 文字列
- 日時
- 日付
- 時刻
- Char
- 10 進数

注:

ユースケースの例としては、受注 BAPI を実行して、受注に含まれている明細を調べることが挙げられます。[マッピングされた値] フィールドで参照されるフィールドを定義するための自動マッピングオプションを使用して、テーブル (読み取り操作用)/関数呼び出し (BAPI 操作用) セクションでマッピングされたフィールドとして注文 ID を指定する必要があります。すべての操作の入力と出力を定義したら、 ワークフロースタジオ でフローをビルドできます。フローで、ERP システムを呼び出すためにフローが実行されるときに使用されるパラメーターとして注文 ID を入力します。

別の例としては、[テーブルフィールド] (テーブル読み取り操作用)/[関数呼び出し] (BAPI 操作用) セクションに [注文請求日] のパラメーターを追加する場合があります。次に、日付または日付範囲を指定して、その期間のすべての注文を取得できるフローを ワークフロースタジオ でビルドします。

注:
パラメーターを定義する順序は関係ありません。保存すると、ERP 向けゼロコピーコネクタ では、オプションのパラメーターがアルファベット順に表示されます。

入力の管理手順については、「ERP 向けゼロコピーコネクタモデル操作の入力パラメーターの管理」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

読み取り操作の出力の選択

データを ERP システムにマッピングして ServiceNow AI Platform に保存する方法を定義する出力パラメーターを作成する必要があります。

出力の管理手順については、「ERP モデルの出力パラメーターの選択」を参照してください。

取得した **ERP** フィールドのテーブルへの追加

マッピングされたフィールドまたはパラメーターを出力として追加し、ERP システムを正常に読み取りまたは更新すると、各パラメーターがフィールドとして表示されます。その後、フィールドをリモートテーブルまたは抽出テーブルに追加できます。リモートテーブルまたは抽出テーブルのフィールドを管理して、取得したパラメーターを追加します。詳細は、以下のトピックを参照してください。

- ERP 向けゼロコピーコネクタ で ERP リモートテーブルのフィールドをカスタマイズする
- ERP 向けゼロコピーコネクタ での抽出テーブルのフィールドの選択

ERP システムを呼び出すフローのビルド

すべてのパラメーターを定義し、読み取り操作または更新操作をビルドして実行したら、定義されたパラメーターを使用する フローを ワークフロースタジオ でビルドします。

フローのアクションの [必須項目] でパラメーターを選択するときに値を指定して、フィルター基準を入力します。詳細については、「ERP システムを読み取りまたは更新するフローのビルド」を参照してください。

でモデルに操作を追加する **ERP** 向けゼロコピーコネクタ

ERP 向けゼロコピーコネクタ で ERP モデルに操作を追加して、モデルがビジネスオブジェクトのデータの取得、データの書き込み、または新しいインスタンスを作成する方法を定義します。

始める前に

必要なロール：sn_erp_integration.erp_admin

このタスクについて

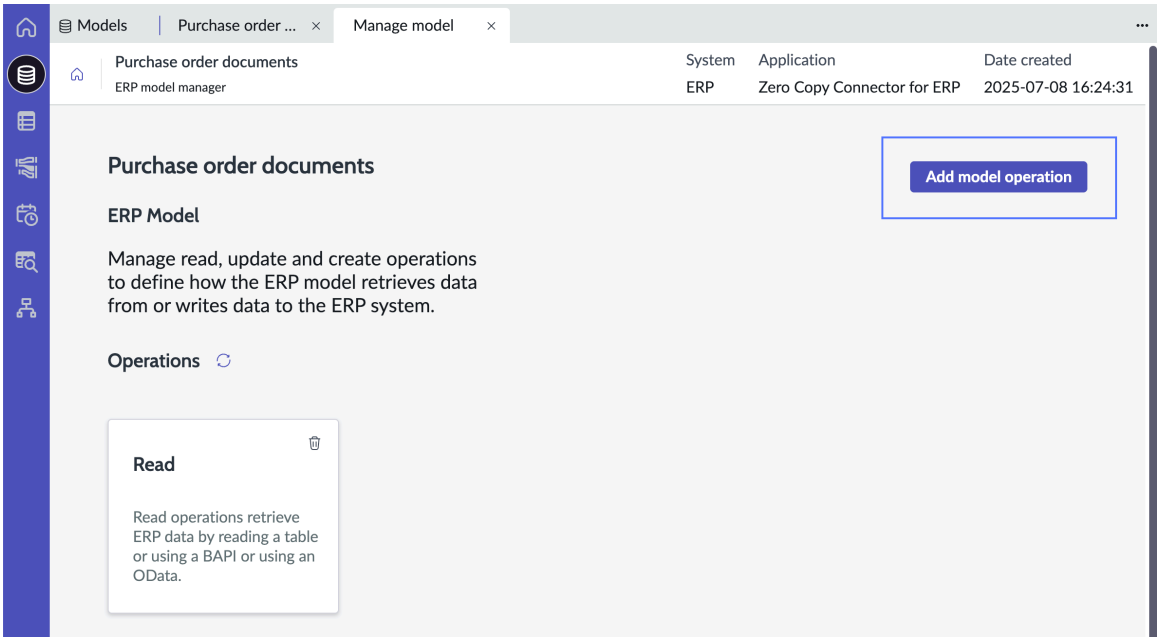
- 読み取り操作は、テーブルを読み取るか、BAPI を使用して ERP データを取得します。
- 更新操作は、BAPI を使用して ERP システムに更新を書き込みます。
- [作成] 操作により、SAP システムにビジネスオブジェクトのインスタンスが作成されます。

手順

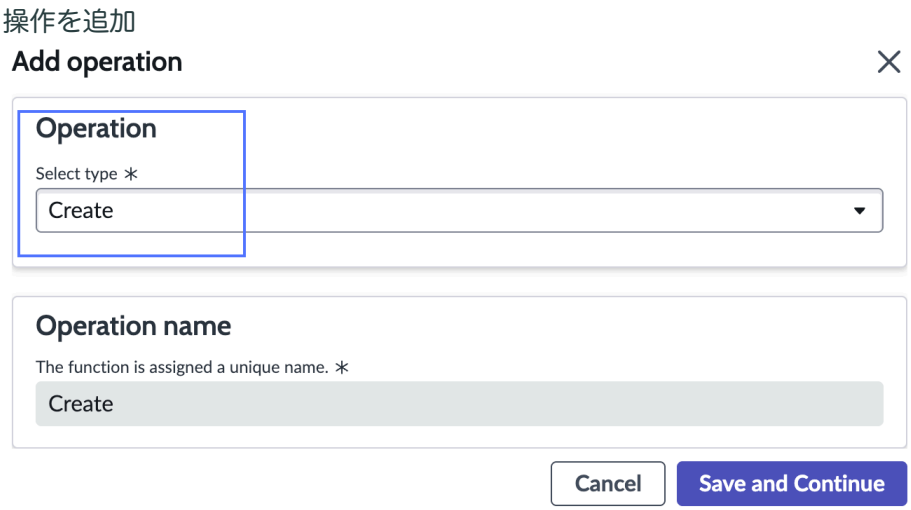
1. 移動先 すべて > *ERP* 向けゼロコピーコネクタ > *ERP* 向けゼロコピーコネクタ 家.
2. サイドパネルで モデルアイコンを選択して、[ERP モデル] ページを開きます。
3. 操作を追加するモデルを選択します。
4. [モデルを管理 **(Manage model)]** ボタンを選択します。
5. [モデル操作の追加] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



6. [操作を追加] モーダルの [タイプの選択] フィールドで、追加する操作のタイプを指定します。
   - [更新] は、ERP システムに書き込むため、データを返信します。
   - [読み取り] は、ERP システムからデータを読み取って取得し、ServiceNow AI Platform に取り込みます。
   - [作成] は、SAP システムにビジネスオブジェクトの新規インスタンスを作成するために使用されます。



7. [保存して続行] を選択します。

タスクの結果
操作の基盤が作成されます。

次のタスク
次に、読み取りまたは更新のエンティティを操作に追加する必要があります。詳細については、「でのモデルへのエンティティの追加 ERP 向けゼロコピーコネクタ」を参照してください。

操作カードの [🗑) を選択して、不要な操作を削除したり、最初からやり直すことができます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

操作エンティティを指定します。これは、 ERP 向けゼロコピーコネクタ 読み取り、更新、または作成操作に使用するテーブルまたは BAPI (ビジネスアプリケーションプログラミングインターフェイス) です。

始める前に

必要なロール：sn_erp_integration.erp_admin

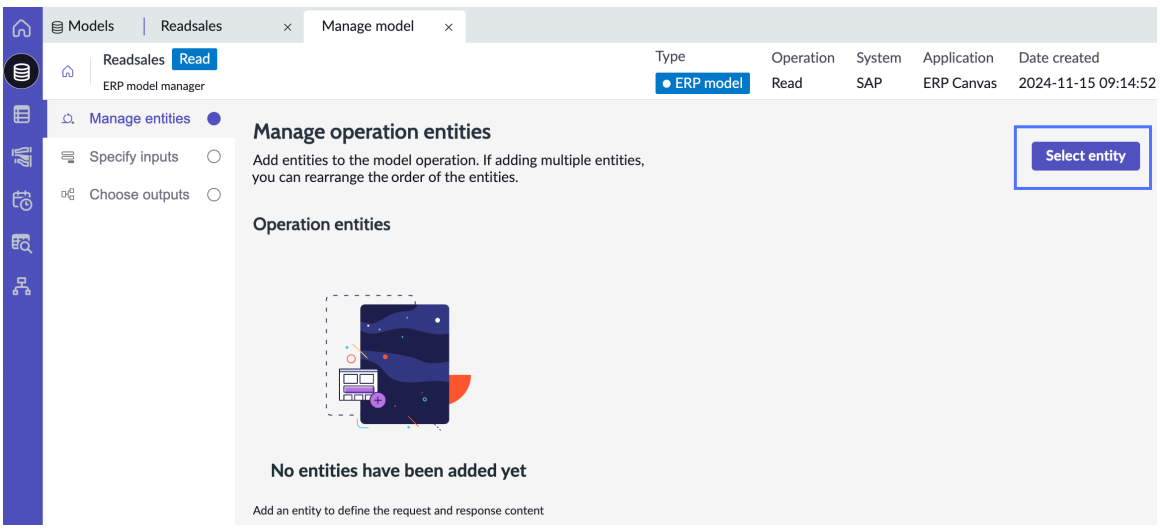
エンティティを追加する前に、読み取り、書き込み、または作成の操作を既に追加しておく必要があります。詳細については、「でモデルに操作を追加する ERP 向けゼロコピーコネクタ」を参照してください。

このタスクについて

- 読み取り操作は、テーブルを読み取るか、BAPI を使用して ERP データを取得します。
- 更新操作は、BAPI を使用して ERP システムに更新を書き込みます。
- [作成] 操作により、SAP システムにビジネスオブジェクトのインスタンスが作成されます。

手順

1. 移動先 すべて > *ERP* 向けゼロコピーコネクタ > *ERP* 向けゼロコピーコネクタ 家.
2. サイドパネルで モデルアイコンを選択して、[ERP モデル] ページを開きます。
3. 操作エンティティを追加するモデルを選択します。
4. [モデルを管理 **(Manage model)]** ボタンを選択します。
5. 操作を選択します。
6. **[AI** に聞く] ボタンを使用して関連するエンティティを見つける方法については、「生成 AI を使用してエンティティをモデルに追加する」を参照してください。
7. [エンティティの管理 **(Manage entities**)] タブで [エンティティの選択 **(Select entity)]** を選択します。

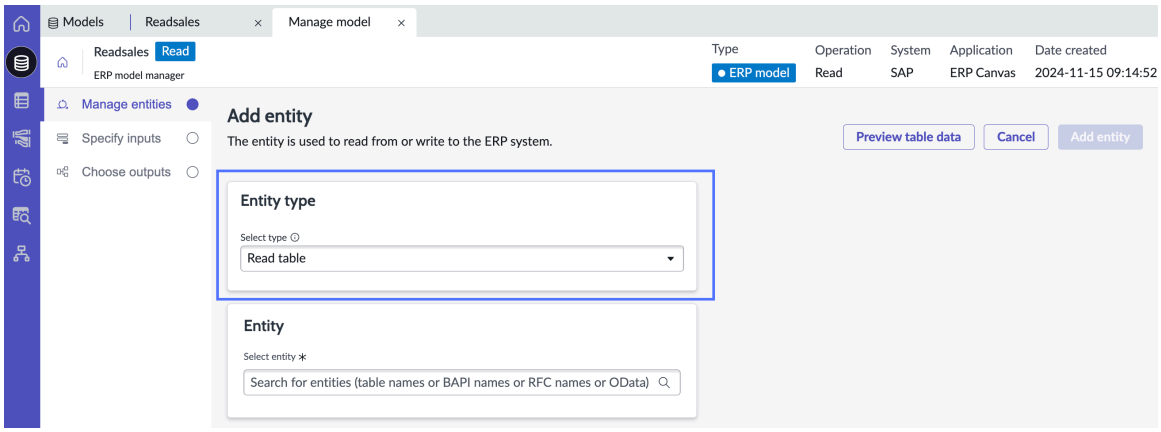


8. [タイプの選択] で、次のいずれかを選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- 関数呼び出し **(BAPI)** は、BAPI リモートプロシージャコールを使用する読込操作エンティティを定義します。
- 関数呼び出し **(RFC)** は、RFC 呼び出しを使用する読み取り操作エンティティを定義します。
- **OData** を使用すると、ERP システムで定義されたさまざまなビジネスオブジェクト (読み取り、作成、更新、削除など) を操作できます。
- [テーブルの読み取り] は、ERP システム上のテーブルから直接データを読み取り、データを取得します。



エンティティを指定する前に、[テーブルデータをプレビュー] を選択してテーブルの詳細を表示できます。詳細については、「でのモデルエンティティのプレビュー ERP 向けゼロコピーコネクタ」を参照してください。

9. たとえば、[エンティティを選択] で読み取るテーブルや使用する BAPI を指定するなどして、エンティティを定義します。

   このフィールドの AI 検索 は、たとえば T005 の代わりに Countries を入力するなど、探しているものをすばやく見つけるのに役立ちます。AI 検索 はまた、接続された ERP システム内のテーブルと BAPI の提案もします。

   テーブル読み取り操作の場合、現在または別の関連モデルの [モデルエンティティ] タブを確認してテーブル名を取得する必要がある場合があります。または、SAP アドミンに問い合わせてください。詳細については、「ERP モデルの基盤の表示および編集」を参照してください。

10. 終了したら、 [エンティティの追加] を選択します。

    エンティティカードには、情報が最後に取得された日時が表示されます。

    Retrieved data 2025-07-21 10:43:30

    1. MARA

    Table: MARA (General Material Data)

    ヘッダーには、データの取得元と、データの取得時に使用されたスコープが表示されます。

Type	Operation	System	Application	Date created
● ERP model	Read	ERP	Zero Copy Connector for ERP	2025-07-08 16:24:31

11. オプション: 必要に応じて、テーブルエンティティを再配置および削除します。

> **重要:**
> 並べ替えると、並べ替えられたエンティティの既存のテーブル結合が削除されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

a. 順序の並べ替え を選択し、テーブルを目的の順序にドラッグして、並べ替えの確認 を選択します。

b. 不要なテーブルを削除するには、テーブルのカード にある削除アイコンを選択します。
エンティティを削除すると、関連するすべてのフィールドマッピングとテーブル結合が削除されます。

タスクの結果
操作にエンティティが追加されます。ERP 向けゼロコピーコネクタ は指定されたエンティティを使用して ERP システムに接続し、入力パラメーターと出力パラメーターの定義に使用できるデータを取得します。

[操作エンティティの管理] ページでエンティティを表示すると、ServiceNow AI Platformがデータを取得しているか、データの取得を完了しているかがステータスに表示されます。

[テーブルの読み取り **(Read table)]** 操作を追加した場合は、このプロセスを繰り返して、操作に必要な数のテーブルを追加できます。次に、結合を追加してテーブル間の関係を作成できます。

注:
1 つの操作に対して複数のテーブルがある場合は、テーブルを結合する必要があります。

詳細については、「ERP テーブル間の結合の追加」を参照してください。

テーブルが ERP システムに接続されると、ERP モデルの [エンティティフィールド] タブに新しいテーブルが自動的に入力されます。必要に応じて詳細を表示します。詳細については、「ERP 向けゼロコピーコネクタ の ERP モデルテーブルフィールドの説明」を参照してください。

次のタスク
次に、操作の入力パラメーターを指定する必要があります。詳細については、「ERP 向けゼロコピーコネクタモデル操作の入力パラメーターの管理」を参照してください。

生成 **AI** を使用してエンティティをモデルに追加する

エンティティのユースケースを入力し、使用する関連テーブル、BAPI、Odata、または RFC に関する提案を生成 AI から取得します。

始める前に
必要なロール：admin

このタスクについて
モデル操作にエンティティを追加するときは、[**AI** に聞く] ボタンを使用して、テーブル、BAPI、OData サービス、RFC などの関連するデータ エンティティの提案を受け取ります。生成 AI は、情報を取得するプロセスを簡素化し、効率を高める可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > *ERP* 向けゼロコピーコネクタ > *ERP* 向けゼロコピーコネクタ 家.
2. [ERP モデル] ページを開き、操作エンティティを追加するモデルを選択します。
3. [モデルの管理] を選択し、操作を選択します。
4. **[AI** に質問する] を選択します。
5. 検索で、必要なエンティティを説明するテキストを入力します。

   たとえば、「 ブロックされているベンダーについて過去 3 年間に作成された発注書 (PO) のリストを取得する」と入力します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

関連するデータエンティティが提案されます。**AI** の提案を読み、提案の横にあるプラスアイコン (＋) を選択して、詳細を表示します。

エンティティマッピングを持つモデルのリストが表示されます。

関連するデータ製品がある場合は、詳細に関する ServiceNow Store ページへのリンクとともに一覧表示されます。

関連するデータエンティティが識別されない場合は、「結果が見つかりません」というメッセージが表示されます。

[前の **AI** 応答] を選択すると、いつでも提案が再度表示されます。

でのモデルエンティティのプレビュー **ERP** 向けゼロコピーコネクタ

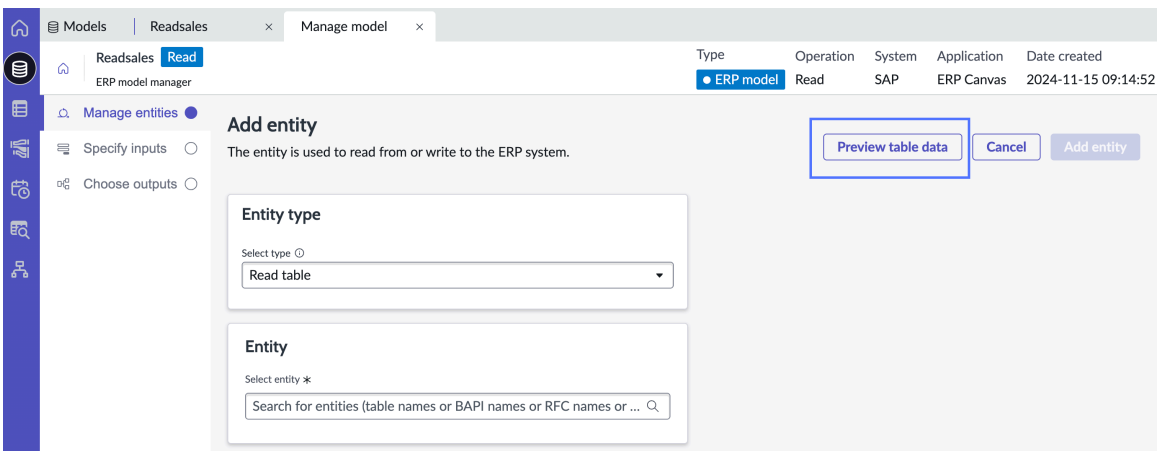
読み取られたテーブルエンティティをプレビューして、モデルに追加する前にエンティティを調べて検証 ERP 向けゼロコピーコネクタ 。

始める前に

必要なロール：sn_erp_integration.erp_admin

手順

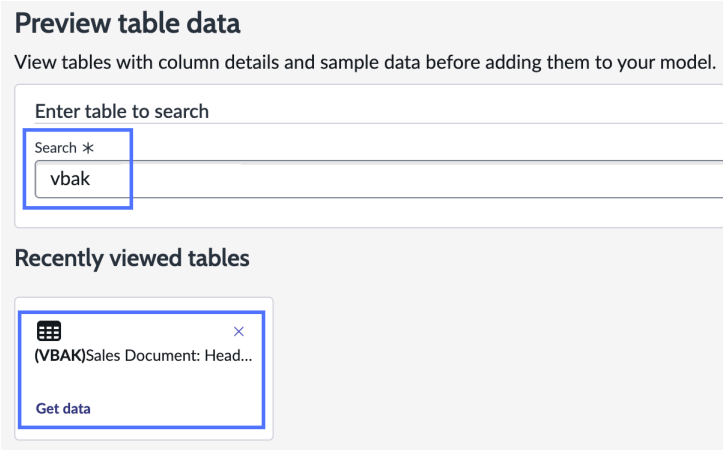
1. 移動先 すべて > *ERP* 向けゼロコピーコネクタ > *ERP* 向けゼロコピーコネクタ 家.
2. サイドパネルで モデルアイコンを選択して、[ERP モデル] ページを開きます。
3. 読み取りテーブルエンティティを追加するモデルを選択します。
4. [モデルの管理] を選択します。
   読み取り操作がすでにある場合は、ステップ 8 に進みます。
5. [モデル操作の追加] を選択します。
6. [種類の選択] で [読み取り] を選択します。
7. **[Save and continue** (保存して続行)] を選択します。
8. [読み取り操作] タイルを選択します。
9. [エンティティを選択] を選択します。
10. [種類の選択] で、 [テーブルの読み取り] を選択します。
11. [テーブルデータのプレビュー] を選択します。



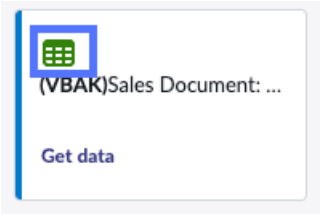
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

12. [検索] で、テーブル名の任意の部分の入力を開始し、リストから選択します。
13. [最近表示したテーブル] で、テーブル タイルの [データの取得] を選択して、リアルタイム データを取得します。



データが取得されて表示できるようになると、テーブルタイルのアイコンが緑色に変わります。



14. タイルを選択します。
15. テーブルで利用可能な情報を確認します。

ランダムに選択された 10 行のレコードが表示されます。特定のレコードを検索するには、[クエリ] オプションを使用します。

Sales Document: Header Data(VBAK)

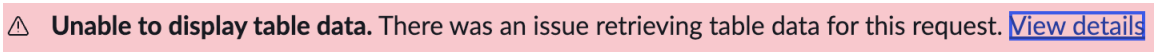
Query: ERZET EQUAL (eq) 234228 Search

MANDT	VBELN	ERDAT	ERZET	ERNAM	ANGDT	BNDDT
100	0000000027	20171008	235933	BPINST	00000000	00000000
100	0000000023	20171008	235904	BPINST	00000000	00000000
100	0000000024	20171008	235933	BPINST	00000000	00000000
100	0000000025	20171008	235933	BPINST	00000000	00000000
100	0000000026	20171008	235933	BPINST	00000000	00000000
100	0000000029	20171008	235934	BPINST	00000000	00000000
100	0000000002	20171006	225232	BPINST	00000000	00000000
100	0000000028	20171008	235934	BPINST	00000000	00000000
100	0000000004	20171008	234228	BPINST	00000000	00000000
100	0000000022	20171008	235902	BPINST	00000000	00000000

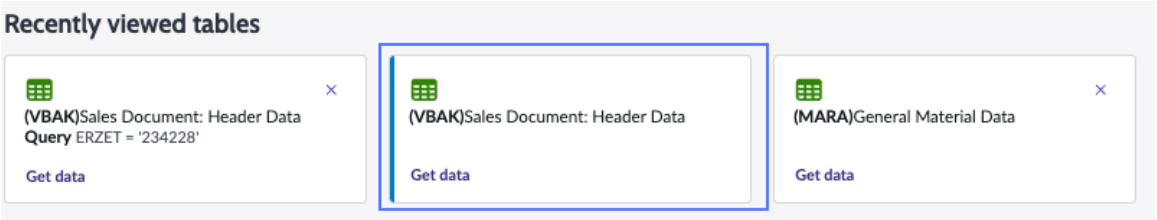
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

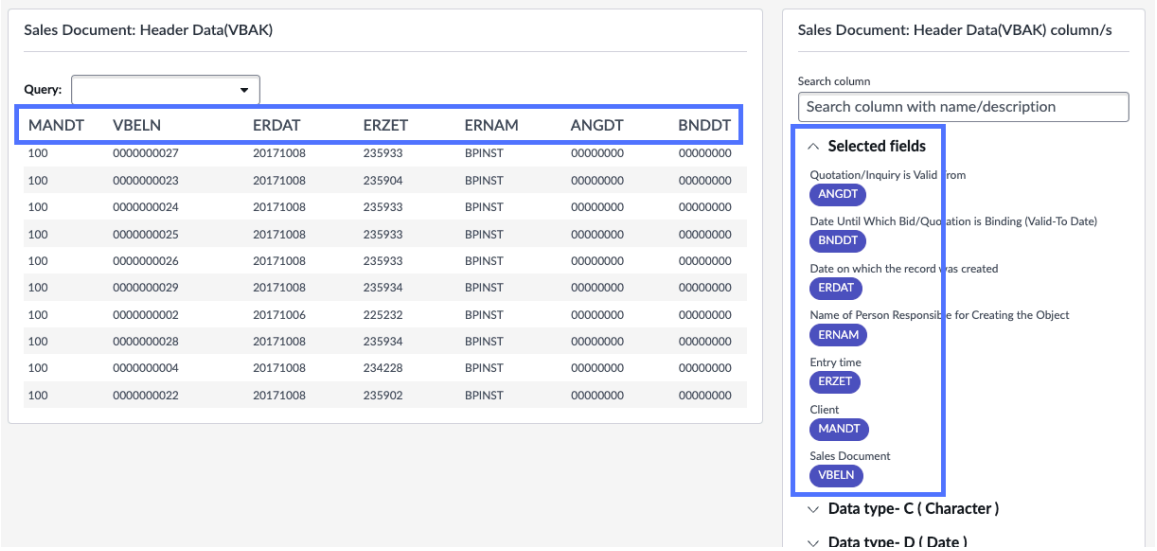
注:
クエリ時にレコードが見つからない場合は、エラーメッセージが表示されます。[詳細を表示] リンクを選択して、エラーに関する情報を含む新しいブラウザータブを開きます。



フィルター処理されていないリストに戻るには、 [最近表示したテーブル] のタイルを選択します。



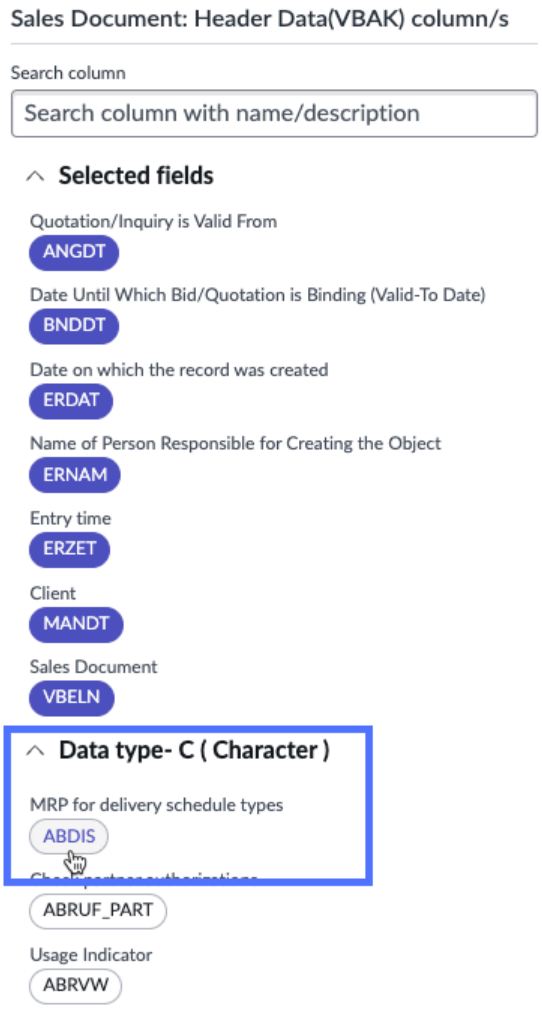
[選択されたフィールド] セクションには、レコードリストに表示される列が含まれています。



テーブルに関連付けられているすべてのフィールドがリストされ、日付や時刻などのデータタイプに基づいて分類されます。ピルを選択してリストから削除するか、カテゴリを展開してピルを選択してリストに追加することで、[選択したフィールド] セクションを編集します。

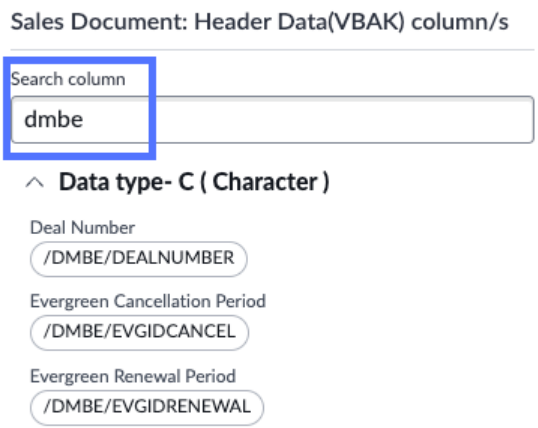
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



注:
[選択済み] フィールドのリストに 7 ～ 8 個以内のフィールドを追加して、レコードリストに情報が明確に表示されるようにします。

特定のフィールドを検索するには、検索を使用します。入力したキーワードは、説明、テーブルタイプ、およびテーブル名を検索するために使用されます。

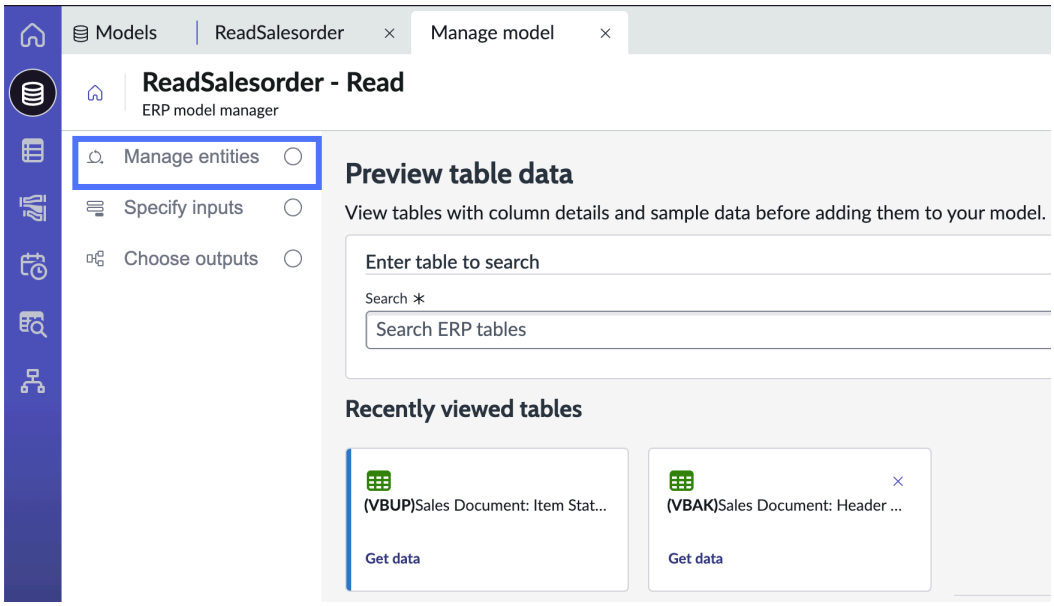


16. [最近表示したテーブル] でテーブルの検索を続行するか、テーブルタイルを選択して、テーブルのコンテンツを探索します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次のタスク
テーブルを表示した後、 [エンティティの管理] を選択し、 次に [エンティティの選択] を選択します。**[Select type]** で **[Read]** を選択し、[**Select entity**] で読み取り操作に使用するテーブルを指定します。



エンティティの追加の詳細については、「 でのモデルへのエンティティの追加 ERP 向けゼロコピーコネクタ」を参照してください。

ERP テーブル間の結合の追加

SoR から複数の ERP (エンタープライズリソースプランニング) テーブルをリンクし、テーブル結合を使用して ERP 向けゼロコピーコネクタ で ERP モデルをビルドします。

始める前に
テーブル結合には、テーブル読み取りエンティティを使用する読み取り操作が必要です。詳細については、「でモデルに操作を追加する ERP 向けゼロコピーコネクタ」を参照してください。

テーブル結合を追加すると、親テーブルが [ERP モデルマネージャー (ERP model manager)] ページの [エンティティの管理 **(Manage entities)]** タブにリストされる最初のテーブルになります。子テーブルは、親テーブルから情報を取得します。

注:

- 1 つの操作に対して複数のテーブルがある場合は、テーブルを結合する必要があります。
- テーブル結合は、テーブル読み取り操作に対してのみ作成でき、BAPI (ビジネスアプリケーションプログラミングインターフェイス) を使用する操作に対しては作成できません。

必要なロール：sn_erp_integration.erp_admin

このタスクについて
テーブル結合は、共有フィールドを介して異なるテーブルをリンクします。結合を使用すると、テーブル間の論理関係に基づいて複数のテーブルのデータにアクセスできます。関係は条件付きにすることができ、結合条件を使用して指定します。内部結合または外部結合を使用します。内部結合は、両方のテーブルで一致する値を持つレコードを返します。外部結合は、左結合と右結合の結果を結合して、一致または NULL を含むすべての行を返します。

結合フィールドは、子テーブルのレコードを対応する親レコードに接続するために使用される共通の属性またはキーを定義します。

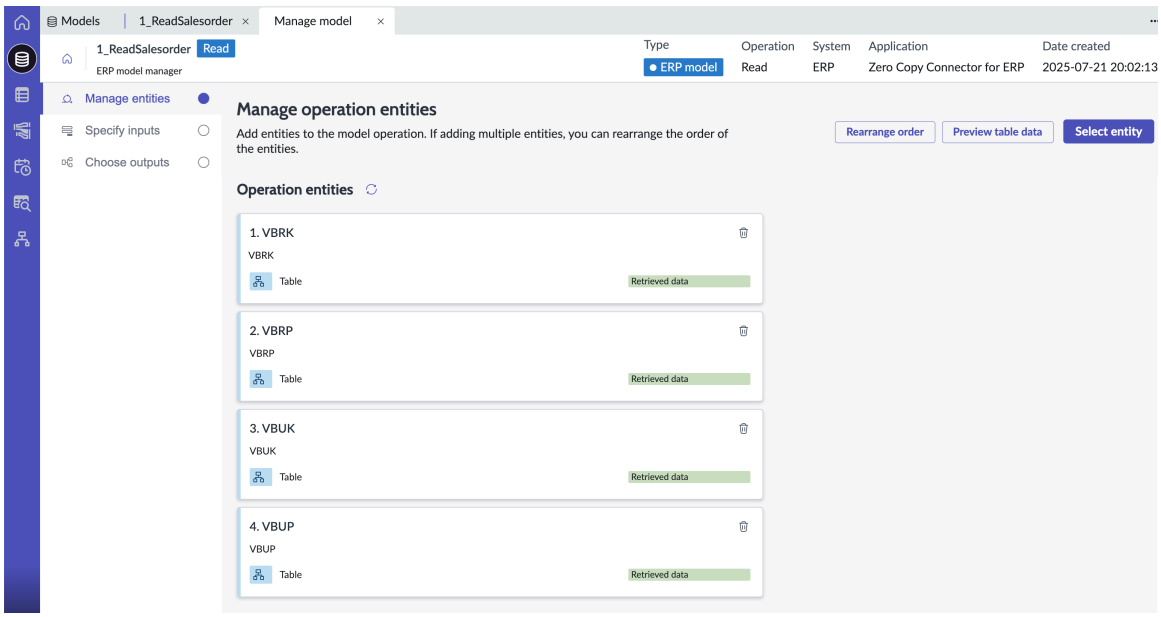
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > *ERP* 向けゼロコピーコネクタ > *ERP* 向けゼロコピーコネクタ 家.
2. サイドパネルで モデルアイコンを選択して、[ERP モデル] ページを開きます。
3. 結合を追加するモデルを選択します。
4. [モデルを管理 **(Manage model)]** ボタンを選択します。
5. テーブル結合を追加する [読み取り] 操作を選択します。
6. オプション: モデルにまだ追加されていない場合は、[テーブル読み取り **(Table read)]** 操作エンティティとして結合するテーブルを追加します。

   (Optional) 詳細については、「でのモデルへのエンティティの追加 ERP 向けゼロコピーコネクタ」を参照してください。



7. [エンティティの管理 **(Manage entities)]** タブでテーブルを再配置して、結合の親テーブルを [ERP モデルマネージャー (ERP model manager)] ページにリストされる最初のテーブルとして配置します。

   重要:
   並べ替えると、並べ替えられたエンティティの既存のテーブル結合が削除されます。

   a. [順序の再配置 **(Rearrange order)]** ボタンを選択します。
   b. テーブルを目的の順序にドラッグし、親テーブルをページの最初のテーブルとして表示します。
   c. [再配置の確認 **(Confirm reorder)]** ボタンを選択します。
8. [入力を指定 **(Specify inputs)]** タブを選択します。ここで入力パラメーターを更新して、テーブル結合をパラメーターとして指定します。
   各テーブルの入力パラメーターが表示されます。
9. テーブル結合パラメータを作成します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. [出力パラメーター] セクションで親結合フィールドとなるパラメーターを見つけて、その名前をメモします。

b. 追加 (+) アイコンを選択して、テーブルに新しいマッピングされたフィールド行を追加します。

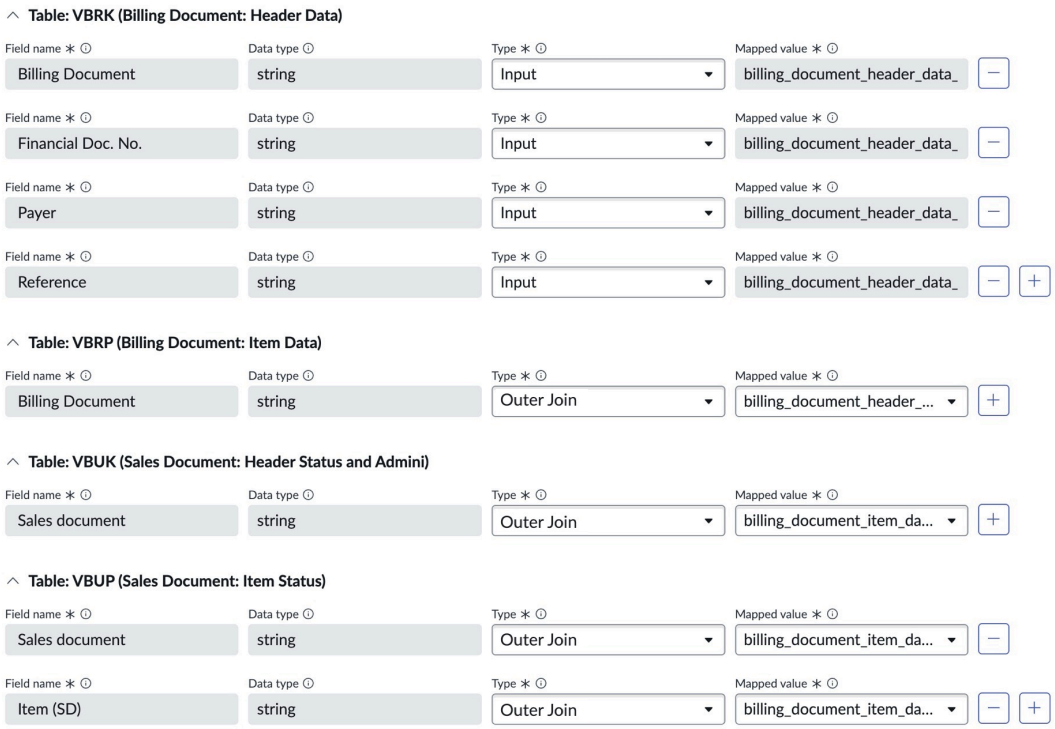
c. 新しいフィールド行で、親結合の [フィールド名] を入力または選択します。

d. [タイプ] フィールドから [結合] を選択します。
子テーブルの [マッピングされた値] フィールドの値は、結合されたフィールド名で自動的に更新されます。

たとえば、SAP 品目在庫モデルで、[フィールド名] フィールドの [品目] を親フィールドとして指定し、親の [マッピングされた値] フィールドに `mard_material_matnr` と入力して、品目 ID と結合できます。

e. [保存] を選択します。

テーブル結合フィールド



10. オプション: 必要に応じて、[出力パラメーター] セクションで出力パラメーターを追加または更新します。
入力として追加し、結合されたパラメーターは、[出力を選択 **(Choose output)**] タブに自動的に追加されます。

詳細については、「ERP モデルの出力パラメーターの選択」を参照してください。

タスクの結果

テーブル結合の作成が完了したら、返された ERP データの送信先を指定し、データを取得して出力するフローをビルドできます。詳細は、以下のトピックを参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- ERP システムデータの保存先の指定
- ERP システムを読み取りまたは更新するフローのビルド

ERP 向けゼロコピーコネクタモデル操作の入力パラメーターの管理

ERP システムのフィールドを入力パラメーターとその値にマッピングして、 ERP 向けゼロコピーコネクタから SoR を読み取ったり更新したりする操作の入力を定義する方法を指定します。

始める前に
必要なロール：sn_erp_integration.erp_admin

このタスクについて
既にモデルの管理プロセスに入っていて、入力を指定する準備ができている場合は、手順 5 にスキップできます。

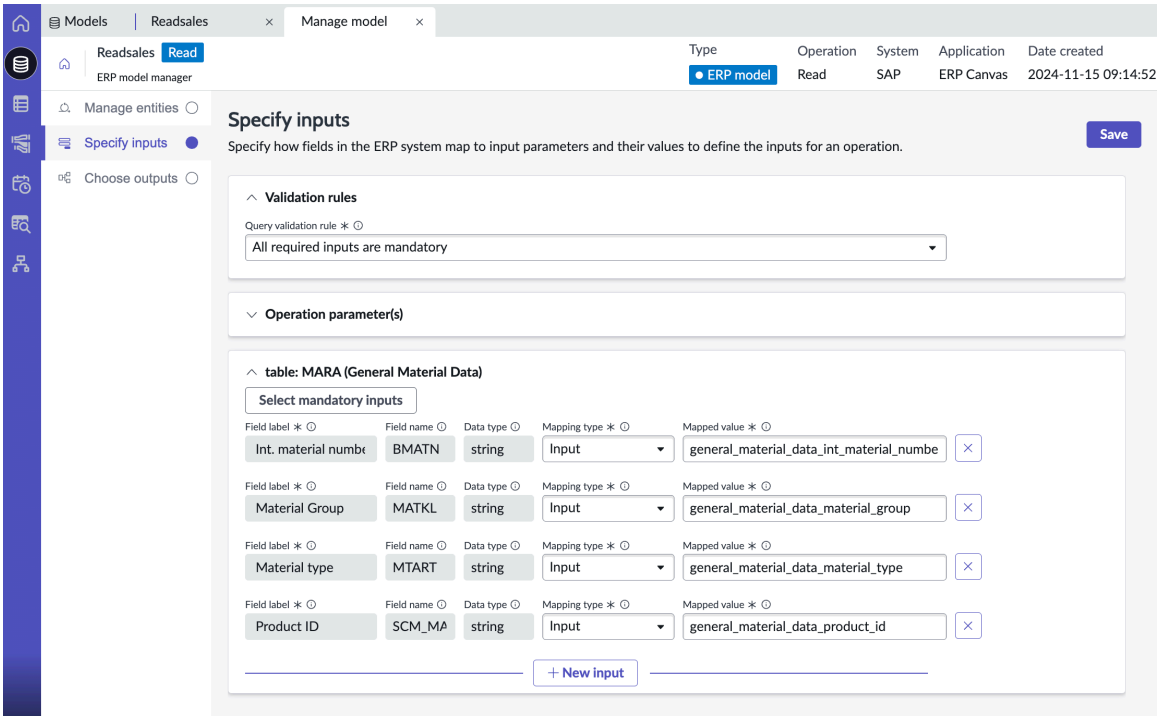
手順

1. 移動先 すべて > *ERP* 向けゼロコピーコネクタ > *ERP* 向けゼロコピーコネクタ 家.
2. サイドパネルで モデルアイコンを選択して、[ERP モデル] ページを開きます。
3. 入力を追加する操作を含むモデルを選択します。
4. [モデルの管理] を選択します。
5. モデル操作を開きます。
   モデル操作がない場合は、モデルに操作を追加します。詳細については、「でモデルに操作を追加する ERP 向けゼロコピーコネクタ」を参照してください。
6. 少なくとも 1 つのエンティティがリストされていることを確認します。
   エンティティがない場合は、操作に追加します。詳細については、「でのモデルへのエンティティの追加 ERP 向けゼロコピーコネクタ」を参照してください。
7. [入力の指定] を選択します。
   操作に必要なパラメーターは、次の両方の場所に表示されます。
   - 操作が失敗した場合に使用するデフォルト値を定義する、[操作パラメーター] セクション。
   - 操作で使用するパラメーターを定義する、[テーブル/関数呼び出し (Tables/Function call)] セクション。読み取り操作の場合は [テーブル] セクションが表示され、BAPI (ビジネスアプリケーションプログラミングインターフェイス) 操作の場合は [関数呼び出し] セクションが表示されます。

     注:
     入力と出力のマッピングされた値名は自動的に生成されますが、名前は手動で編集できます。詳細については、「での入力および出力マッピングされた値の名前の編集 ERP 向けゼロコピーコネクタ」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

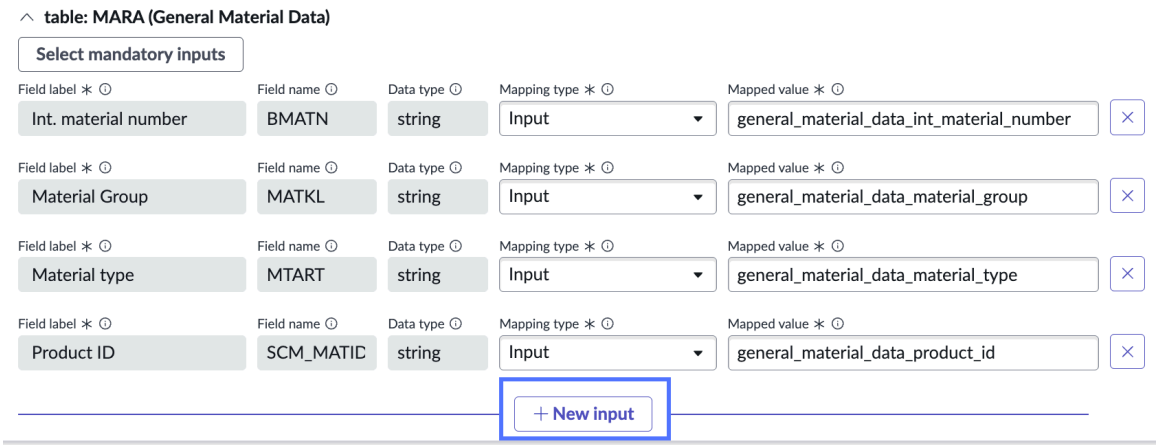


8. [検証ルール] セクションを展開し、[クエリ検証ルール] でオプションを選択して、操作入力が必要かどうかを定義します。
   - [すべての入力が必須 **(All inputs are mandatory)]**
   - [少なくとも **1** つの入力が必須 **(At least one input is mandatory)]**
   - [入力は必須ではない **(No inputs are mandatory)]**
9. 操作に対して既に定義されている必須パラメーターとオプションのパラメーターを確認し、何を追加する必要があるかを理解します。
10. ERP システムのクエリ時に送信する新しい入力パラメーターを定義します。
    テーブル読み取り操作の場合、定義された各テーブルエンティティの [マッピングされたテーブルフィールド (mapped table fields)] セクションに [テーブル] セクションが表示されます。正しいテーブルのパラメーターを追加していることを確認してください。

    注:
    パラメーターを定義する順序は関係ありません。保存すると、ERP 向けゼロコピーコネクタでは、オプションのパラメーターがアルファベット順に表示されます。

    a. テーブルで最後に定義したパラメーターの下にある **[+** 新しい入力] を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



注:
入力フィールドを追加すると、そのフィールドは出力にフィールドとして自動的に追加されます。このフィールドは、出力ページの [事前入力された出力] セクションに一覧表示され、読み取り専用になります。

b. フィールドに入力してパラメーターを定義します。

入力パラメーターを定義するフィールド

フィールド	説明
フィールドラベル	パラメーターとして定義している ERP システムのフィールドの名前。ERP 向けゼロコピーコネクタ は、操作エンティティで定義されたテーブルからフィールドを自動的に取得します。
フィールド名	(読み取り専用)ERP システム内のフィールドの名前。
データタイプ	(読み取り専用) パラメーターに含まれるデータのタイプを指定する、自動的に入力される値。
マッピングタイプ	パラメーターの送信方法の定義。 ▪ 入力 パラメーターの マッピングされた値は自動的に入力されます。 ▪ [定数] は、たとえばフィルター基準として使用するなど、値が変化しないパラメーターを定義します。パラメーターの [マッピングされた値] フィールドで値を指定する必要があります。 ▪ 外部結合または内部結合 (テーブル読み取り操作のみ) は、テーブル結合を作成することを示します。詳細については、「ERP テーブル間の結合の追加」を参照してください。
マッピングされた値	パラメーターの特定の値。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	▪ [入力 パラメーター] で、システムによって生成された名前を受け入れるか、名前を編集します。マッピングされた値の編集の詳細については、「 での入力および出力マッピングされた値の名前の編集 ERP 向けゼロコピーコネクタ」を参照してください。 ▪ [定数] パラメーターには、パラメーターに対して常に送信される設定値を入力します。 ▪ [外部結合] パラメーターまたは [内部結合] パラメーターで、パラメーターを結合するフィールドを選択します。結合の作成の詳細については、「ERP テーブル間の結合の追加」を参照してください。

他のパラメーター (番地、市区町村など) を含む住所など、複雑なネストされたパラメーターを追加する場合、 ERP 向けゼロコピーコネクタ 追加の関連パラメーターが必要であることを自動的に識別します。 ERP 向けゼロコピーコネクタ では、関連する値の入力が必要な新しいネストされたパラメーター行が作成されます。ネストできるのは、データタイプがオブジェクトまたはアレイのパラメーターのみです。

11. オプション: [操作パラメーター] セクション内に新しく追加された [オプションのパラメーター] 行で、パラメーターに使用する [デフォルト値] を指定します。
デフォルト値は、入力パラメーターがクエリで指定されていない場合に使用されます。
12. オプション: [削除] (-) アイコンを選択して、ERP システムをクエリするときに不要なオプションのパラメーターを削除します。
[必須パラメーター] は削除できません。
13. 既存のパラメーターをさらに編集します。

    次の例は、BAPI の入力とネストされた入力を示しています。
14. **[Save** (保存)] を選択します。

次のタスク
次に、操作の出力パラメーターを確認し、必要に応じて更新します。詳細については、「ERP モデルの出力パラメーターの選択」を参照してください。

ERP モデルの出力パラメーターの選択

ERP 向けゼロコピーコネクタ で ERP システムの読み取りまたは更新操作の出力パラメーターを指定して、ERP システムから ServiceNow AI Platform にフィールドとパラメーターをマッピングする方法を定義します。出力パラメーターは、返されたデータを ServiceNow AI Platform に格納する方法も定義します。

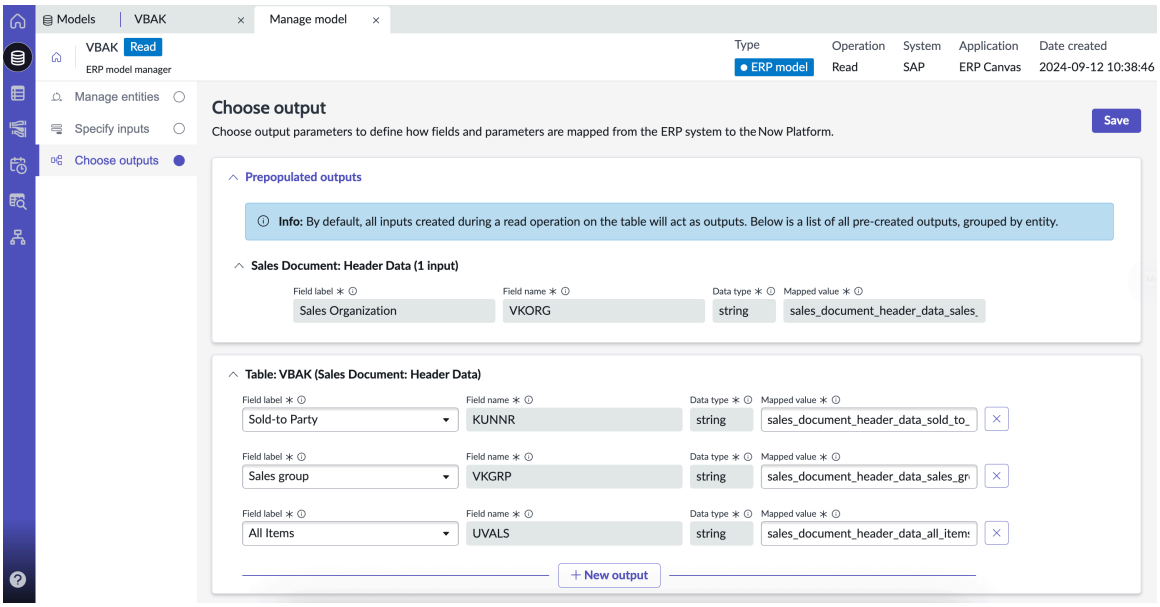
始める前に
必要なロール：sn_erp_integration.erp_admin

このタスクについて
既にモデルの管理プロセスに入っていて、出力を指定する準備ができている場合は、手順 5 にスキップできます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

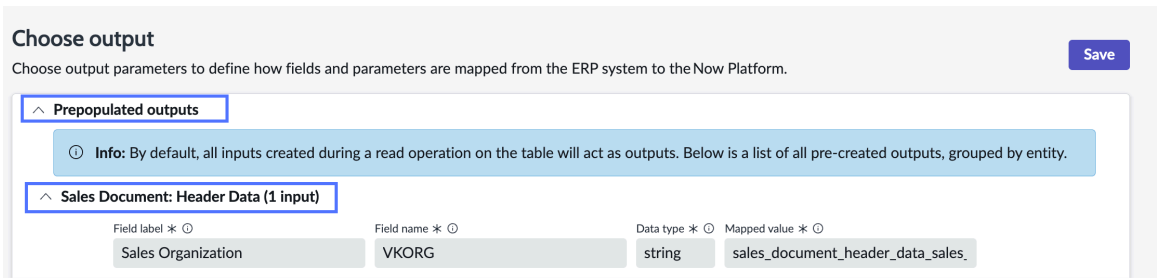
手順

1. 移動先 すべて > *ERP* 向けゼロコピーコネクタ > *ERP* 向けゼロコピーコネクタ 家.
2. サイドパネルで モデルアイコンを選択して、[ERP モデル] ページを開きます。
3. 読み取り操作を追加するモデルを選択します。
4. [モデルを管理 **(Manage model)**] ボタンを選択します。
5. モデル操作を開きます。
   モデル操作がない場合は、モデルに操作を追加します。詳細については、「でモデルに操作を追加する ERP 向けゼロコピーコネクタ」を参照してください。
6. エンティティを開きます。
   エンティティがない場合は、操作に追加します。詳細については、「でのモデルへのエンティティの追加 ERP 向けゼロコピーコネクタ」を参照してください。
7. [出力を選択 **(Choose output)**] タブを選択します。
8. 既存の出力を確認して、パラメーターを追加する必要があるかどうかを確認します。



[事前入力された出力] セクションには、入力に追加されたフィールドが一覧表示されます。フィールドは出力ページでは読み取り専用ですが、入力ページで編集および削除できます。

注:
事前入力された出力は、テーブルと Odata エンティティにのみ適用されます。



© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
入力と出力のマッピングされた値名は自動的に生成されますが、名前は手動で編集できます。詳細については、「での入力および出力マッピングされた値の名前の編集 ERP 向けゼロコピーコネクタ」を参照してください。

9. 新しい出力フィールドまたはパラメーターを追加します。

   a. 最後に定義したパラメーターの横にある追加アイコン (+) を選択します。
   テーブル読み取り操作用にマッピングされたフィールドを追加する場合は、該当するテーブルセクションにフィールドを追加してください。

   b. テーブル読み取り操作の場合は [フィールド名] を、BAPI (ビジネスアプリケーションプログラミングインターフェイス) 操作の場合は [パラメーター名] を検索して選択します。
   [データタイプ] フィールドは、選択可能な値で自動的に更新されます。

   c. [マッピングされた値] フィールドに対応する値を入力します。

   他のパラメーター (番地、市区町村など) を含む住所など、複雑なネストされたパラメーターを追加する場合、 ERP 向けゼロコピーコネクタ 追加の関連パラメーターが必要であることを自動的に識別します。 ERP 向けゼロコピーコネクタ では、関連する値の入力が必要な新しいネストされたパラメーター行が作成されます。ネストできるのは、データタイプがオブジェクトまたはアレイのパラメーターのみです。

   [store-future: BEGIN review]次の例は、BAPI の出力とネストされた出力を示しています。
   [End]

10. オプション: ネストされた出力フィールドまたはパラメーターを追加して、複合パラメーターからどのデータを含めるかを選択します。
   たとえば、オブジェクトパラメーターに完全な請求先住所があり、出力として市区町村と郵便番号のみが必要な場合があります。

   a. 親の出力フィールドまたはパラメーターを指定します。

   b. 親行の設定アイコンを選択するか アイコン + を追加します。

   c. 表示されるモーダルで、含めるべき追加の関連フィールドまたはパラメーターを選択します。
   親は、選択した関連するネストされたフィールドまたはパラメーターで自動的に更新されます。

11. [保存] を選択します。

タスクの結果

マッピングされたフィールドまたはパラメーターを出力として追加し、ERP システムを正常に読み取りまたは更新すると、各パラメーターがフィールドとして表示されます。その後、フィールドをリモートテーブルまたは抽出テーブルに追加できます。リモートテーブルまたは抽出テーブルのフィールドを管理して、取得したパラメーターを追加します。詳細は、以下のトピックを参照してください。

- ERP 向けゼロコピーコネクタ で ERP リモートテーブルのフィールドをカスタマイズする
- ERP 向けゼロコピーコネクタ での抽出テーブルのフィールドの選択

での入力および出力マッピングされた値の名前の編集 **ERP** 向けゼロコピーコネクタ

モデルを管理するときに、入力と出力のマッピングされた値フィールド名を手動で編集します。

自動翻訳

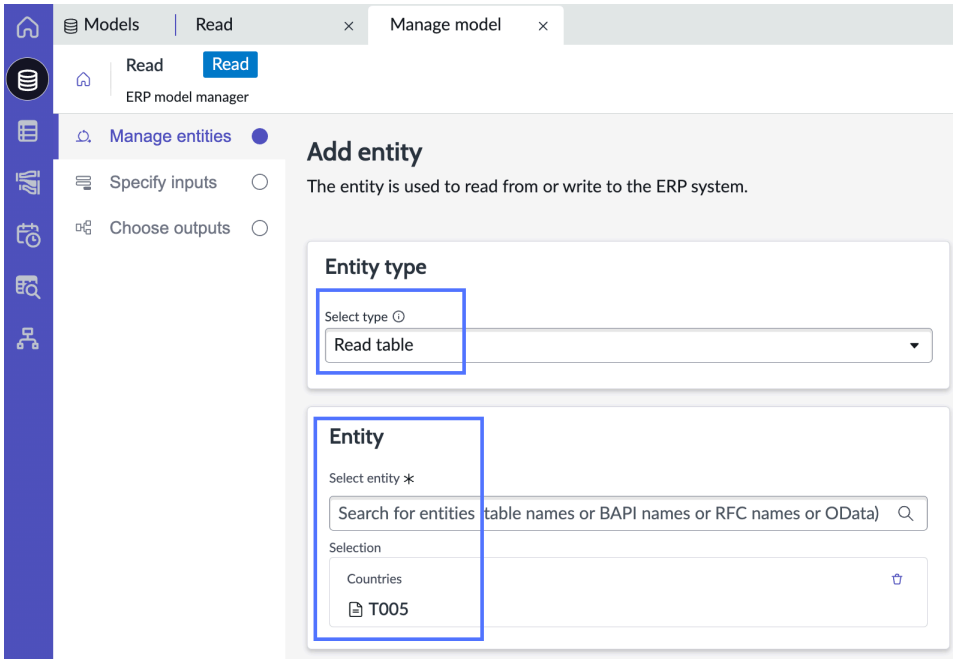
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ERP モデルマネージャーでは、入力と出力のマッピングされた値名が自動的に生成されます。必要に応じて手動で値を編集します。一意の値を指定します。いつでもシステム生成の名前に戻すことができます。

例を順を追って見ていきましょう。ERP 向けゼロコピーコネクタで、モデルを作成します。詳細については、「新しい ERP モデルを作成」を参照してください。

新しいモデルで、[モデルの管理] を選択し、読み取り操作を追加します。詳細については、「でモデルに操作を追加する ERP 向けゼロコピーコネクタ」を参照してください。

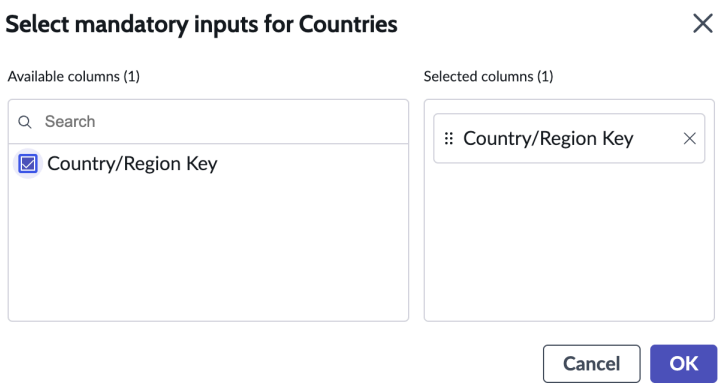
読み取り操作で、T005 国テーブルなどにテーブルの読み取りエンティティを追加します。詳細については、「でのモデルへのエンティティの追加 ERP 向けゼロコピーコネクタ」を参照してください。



データが取得されたら、[入力の指定] を選択します。

[必須入力を選択] を選択します。

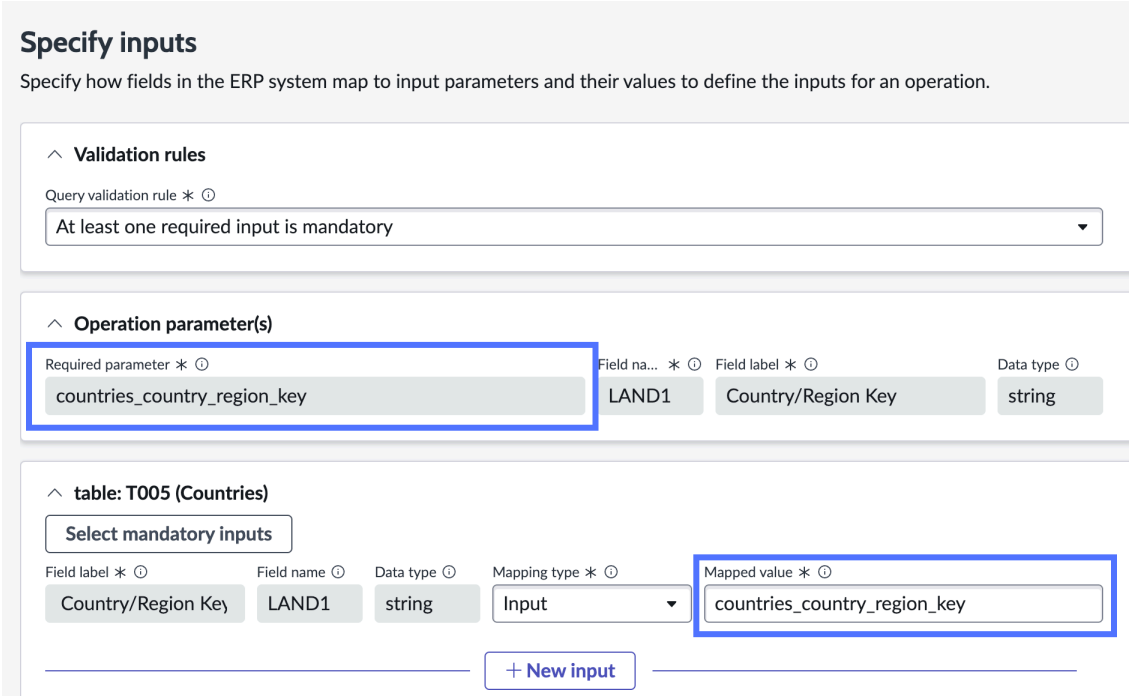
[国/地域キー] を選択し、**[OK]** を選択します。



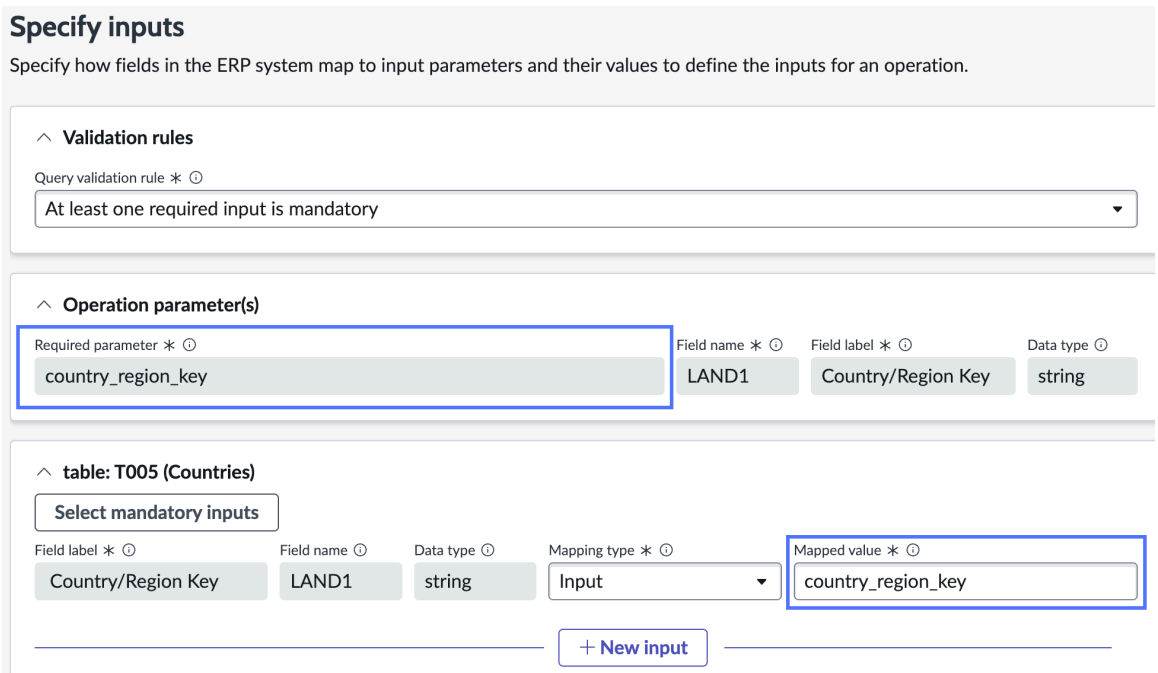
システムによって生成されるマッピング値は countries_country_region_key です。操作パラメーター値は同じ名前に設定されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳



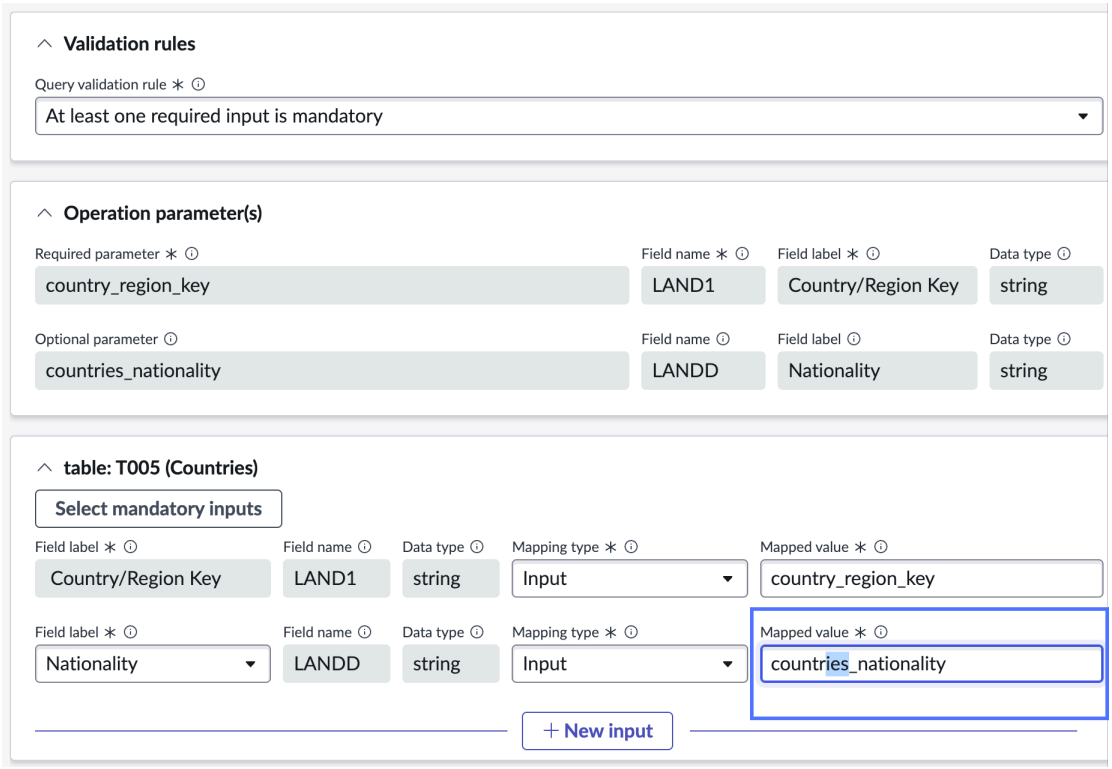
マップされた値をたとえば **country_region_key** に変更し、[保存] を選択します。更新されたマッピング値が表示され、一致するように操作パラメーター値が自動的に変更されます。



新しい入力が追加されると、マッピングされた値はシステム生成になりますが、編集可能です。たとえば、[国籍] フィールドを追加し、名前を **countries_nationality** から **country_nationality** に編集して、 **country_region_key** 名との一貫性を高めます。

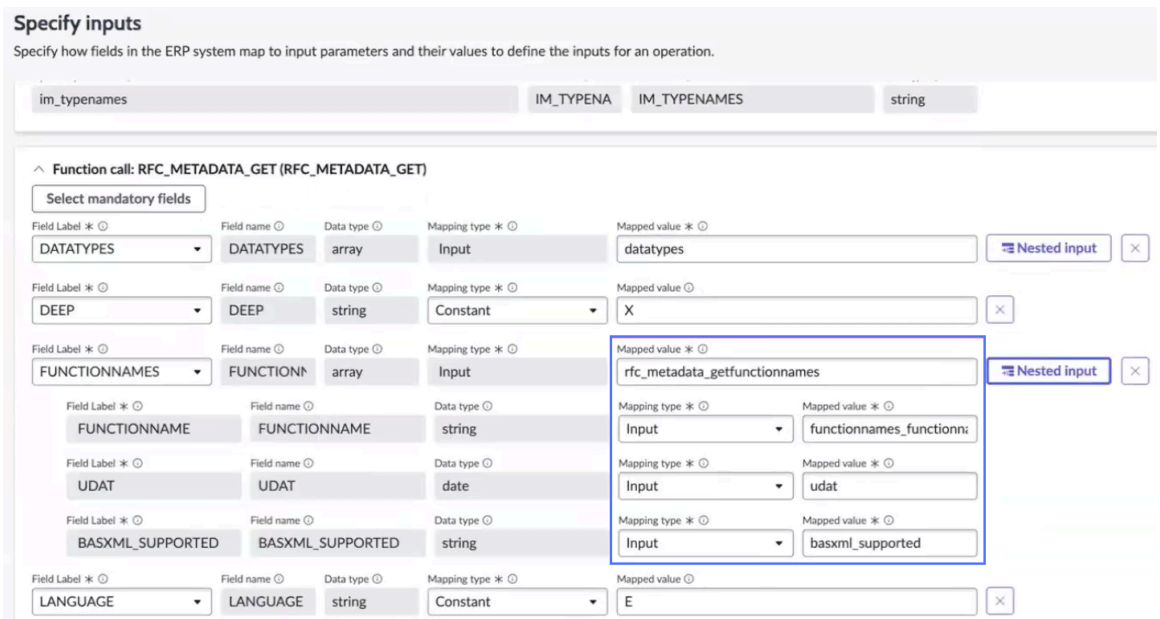
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



次の点にご注意ください

- 新しい子 (ネストされた) 入力が追加された場合、システム生成のマッピング値には親名は含まれません。入力と出力の子名を編集できます。入力の場合、編集した名前が操作パラメーターで使用されます。この例では、 **UDAT** フィールドと **BASXML_SUPPORTED** フィールドが追加されており、システムによって生成された名前を編集して、親名を含むか、親名とより密接に一致させることができます。



- 結合を使用する場合は、変更された名前を結合フィールドでも使用できるようにする必要があります。結合の詳細については、「 ERP テーブル間の結合の追加」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 入力と出力の両方に同じフィールドが存在しても、マッピングされた値が異なる場合は、出力フィールドの名前が優先されて使用されます。
- システム生成の名前に戻す場合は、フィールドを削除してから再度追加します。別のオプションは、マッピングタイプを変更してから元に戻すことです。

ERP システムデータの保存先の指定

ERP 向けゼロコピーコネクタ が ERP (エンタープライズリソースプランニング) システムから取得したデータは、リモートテーブル、抽出テーブルで使用し、ワークフロースタジオ のデータピルとしてフローに追加できます。

取得したデータをリモートテーブルと抽出テーブルに追加する

フローの出力の [応答] の JSON コンテンツを使用して、次の方法で ERP データを保存します。

- データをリモートテーブルに保存する。 リモートテーブルは、外部データソースに対して関連スクリプトを実行することでレコードを取得します。
- データを抽出テーブルに保存する。 抽出テーブルは、スケジュール済みクエリを使用して大量のデータを取得し、変換テーブルを使用して ServiceNow AI Platformで使用するデータを処理します。

マッピングされたフィールドまたはパラメーターを出力として追加し、ERP システムを正常に読み取りまたは更新すると、各パラメーターがフィールドとして表示されます。その後、フィールドをリモートテーブルまたは抽出テーブルに追加できます。リモートテーブルまたは抽出テーブルのフィールドを管理して、取得したパラメーターを追加します。詳細は、以下のトピックを参照してください。

- ERP 向けゼロコピーコネクタ で ERP リモートテーブルのフィールドをカスタマイズする
- ERP 向けゼロコピーコネクタ での抽出テーブルのフィールドの選択

取得した ERP データをフローで使用する

[**ERP** データを使用 **(Use ERP Data**)] アクションは、 応答と呼ばれる出力データピルで ERP データを返します。応答ピルは、[**ERP** データを使用 **(Use ERP Data**)] アクションを使用してワークフロースタジオでフローをビルドするときに使用できます。[応答] データピルは、アクションの次の場所で使用できます。

- [出力] タブ
- [データ] ペインの [出力] セクション

その後、 応答 データピルまたは任意の子 レコード データピルをフローに追加して、返された JSON を解析できます。

たとえば、ERP システムからの応答ごとにレコードを生成し、そのデータを ServiceNow AI Platformで使用できるようにすることができます。詳細については、「ERP システムを読み取りまたは更新するフローのビルド」を参照してください。

ERP 向けゼロコピーコネクタ を使用して ERP システムからデータを抽出した後の次の手順

ERP 向けゼロコピーコネクタ で ERP データを識別して抽出した後、ServiceNow AI Platform でそのデータを製品およびアプリのデータソースとして使用できます。

取得した ERP データをフローで使用する

ワークフロースタジオ でフローをビルドして、ERP (エンタープライズリソースプランニング) システムをクエリまたは更新するときの詳細を指定します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

たとえば、ERP システムからの応答ごとにレコードを生成し、そのデータを ServiceNow AI Platformで使用できるようにすることができます。詳細については、「ERP システムを読み取りまたは更新するフローのビルド」を参照してください。

ERP データを使用する ServiceNow アプリのビルド

SoR の ERP データは、ERP 向けゼロコピーコネクタ で構成するリモートテーブルと ERP 抽出テーブルで使用できます。テーブル変換マップを使用して、抽出された ERP データを Glide テーブルに格納することもできます。

ERP データが ServiceNow AI Platform のテーブルで使用可能になると、それらのテーブルをアプリビルダーの基盤として使用できます。たとえば、App Engine Studio でデータを追加するときに、ERP テーブルをデータソースとして使用できます。詳細については、「アプリケーションのデータモデルの作成」を参照してください。

ServiceNow ローコードおよびプロコードビルダー

カスタムデータを使用してアプリを作成するには、次の ServiceNow ビルダーのいずれかを使用します。

- ServiceNow Studio (ServiceNow スタジオ)
- のフロー ワークフロースタジオ
- のプレイブック ワークフロースタジオ
- テーブルビルダー
- UI ビルダー
- ワークスペースビルダー

Glide を使用した ERP データのクエリ

Glide API を介して SoR からデータにアクセスすることもできます。

詳細については、「ERP 向けゼロコピーコネクタ での ERP データに対するサンプルの Glide クエリ」を参照してください。

ERP 向けゼロコピーコネクタ で ERP 開発パイプラインを管理する

ERP (エンタープライズリソースプランニング) システム、ERP モデル、テーブル、操作、フローの準備ができたら、開発インスタンスから本番環境に移行します。

開発インスタンスから本番インスタンスに昇格できる変更には、次のものが含まれます。

- テーブルにフィールドを追加する
- ERP モデルにテーブルまたは BAPI (ビジネスアプリケーションプログラミングインターフェイス) を追加する
- テーブル結合とフィールドをリンクテーブルに追加する
- 読み取り操作と更新操作を追加する
- **[ERP データの使用 (Use ERP Data)]** アクションでビルドされたフローでビルドされた、SoR のクエリと更新

> **注:**
> 開発は非本番インスタンスで実行する必要があります。本番インスタンスで変更を加えた後に、変更を非本番インスタンスから本番インスタンスに昇格させると、以前に本番インスタンスで行われた変更は上書きされます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ServiceNow AI Platform の本番インスタンスに変更を移動するには、いくつかの方法があります。

1. システムアップデートセット を使用して、開発インスタンスから非本番インスタンスに、その後本番インスタンスに変更を転送すします。詳細については、「システムアップデートセット」を参照してください。
2. 変更を ServiceNow Store に追加し、[他のユーザーと共有 **(Share with others)]** オプションを使用して、本番インスタンスに更新をインストールします。詳細については、「更新セットにアプリケーションを公開する」を参照してください。

ERP 更新を公開する方法の詳細については、「アプリケーションの共有」を参照してください。

ERP システムを読み取りまたは更新するフローのビルド

ERP 向けゼロコピーコネクタ で操作を構成した後、ワークフロースタジオ でフローをビルドして、ERP (エンタープライズリソースプランニング) システムのクエリの詳細を指定できます。たとえば、注文 ID でフィルタリングするフローをビルドします。

ERP システムを呼び出すための ワークフロースタジオ のアクション

[ERP データを使用 (Use ERP Data)] アクションは、ERP 向けゼロコピーコネクタ のインストール後、ワークフロースタジオ で自動的に利用可能になります。

[ERP データを使用 (Use ERP Data)] アクションを使用すると、他のプロセスで ERP 向けゼロコピーコネクタ 外の ERP データを使用できます。たとえば、[ERP データを使用 (Use ERP Data)] アクションを使用して、ERP データに基づくタスクまたはインシデントを作成できます。

ERP 向けゼロコピーコネクタ でのモデルの作成と管理が完了したら、ワークフロースタジオ に移動し、[ERP データを使用 (Use ERP Data)] アクションを使用してモデルの入力と出力をテストします。

アクションをテストするときは、使用しているモデル、読み取りまたは更新するフィールド、および ERP システムを指定する必要があります。アクションの詳細については、「ERP 向けゼロコピーコネクタ のフロー用 [ERP データの使用 (Use ERP Data)] アクションの詳細」を参照してください。

パラメーターを使用したデータ要求のフィルタリング

[ERP データを使用 (Use ERP Data)] アクションのテストに成功したら、そのアクションを使用して ERP システムの指定したデータを取得または更新するフローをビルドします。

フローに [ERP データを使用 (Use ERP Data)] アクションを追加する際、モデルを管理したときに入力として定義された [必須フィールド] と [オプションフィールド] を指定できます。必須フィールドとオプションフィールドは、必須およびオプションの入力パラメーターとして設定されている必要があります。

システムクエリのパラメーターとして定義されたフィールドを選択した場合は、フィルタリングする値を入力できます。たとえば、[ERP データを使用 (Use ERP Data)] アクションを使用してフローをビルドし、SAP 在庫移動モデルを指定する場合は、必須フィールドとして **iseg_fiscal_year** を選択できます。次に、返されるデータをフィルタリングする年を入力します (例:2023)。

ERP データを取得するフローをビルドするプロセス

ERP 向けゼロコピーコネクタ 外のプロセスまたはタスクに ERP データを使用する場合は、次のワークフローを使用します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

1. ワークフロースタジオ で、[テストアクション] モーダルの [システム] フィールドでモデルを選択し、入力を指定して、**[ERP** データを使用 **(Use ERP Data)]** アクションをテストします。
   - アクションのテストの詳細については、「Test an action」を参照してください。
   - アクションの入力の詳細については、「ERP 向けゼロコピーコネクタ のフロー用 [ERP データの使用 (Use ERP Data)] アクションの詳細」を参照してください。
2. テスト実行後、アクション実行の詳細を表示します。詳細については、「Flow execution details」を参照してください。
3. アクションのテストから返されたデータは、出力データの [応答] フィールドに表示されます。
   - アクションの出力の詳細については、「ERP 向けゼロコピーコネクタ のフロー用 [ERP データの使用 (Use ERP Data)] アクションの詳細」を参照してください。
   - 返された ERP データの組み込みの詳細については、「ERP システムデータの保存先の指定」を参照してください。
4. [ERP データを使用 (Use ERP Data)] アクションを実行するフローをビルドします。

   [**ERP** データを使用 **(Use ERP Data**)] アクションは、 応答と呼ばれる出力データピルで ERP データを返します。応答ピルは、[**ERP** データを使用 **(Use ERP Data**)] アクションを使用してワークフロースタジオでフローをビルドするときに使用できます。[応答] データピルは、アクションの次の場所で使用できます。
   - [出力] タブ
   - [データ] ペインの [出力] セクション

   その後、 応答 データピルまたは任意の子 レコード データピルをフローに追加して、返された JSON を解析できます。

   詳細については、「Building flows」を参照してください。

注:
ワークフロースタジオ で作業すると、ERP 向けゼロコピーコネクタ は **ERP** 統合として表示されます。

OData と **HTTP** を使用して **ERP** 向けゼロコピーコネクタ を **SAP** に接続する

リモートテーブルと抽出テーブルで使用する ETL を使用して、ERP OData v2 API からデータを安全に抽出します。OData は HTTP 経由で SAP に接続します。

重要:

OData v2 ではスナップショット分離が使用されないため、外部 ERP ソースからデータを取得するときにデータ整合性の問題が発生する可能性があります。

ユーザーへの **OData** アクセスの提供

OData 接続の確立が有効になっている SAP システムが必要です。

OData と HTTP 接続を使用してデータを抽出します。ユーザーに OData アクセス権を付与するには、SAP ヘルプ サイトの 「バックエンド サーバー: ユーザーに OData サービス認証を割り当てる」の手順を参照してください。

XML ファイルのダウンロードの有効化

glide.attachment.extensions システムプロパティは、ダウンロードできるファイルタイプを制限します。このプロパティは、デフォルトでは空です。このプロパティに xml ファイル拡張子が追加されていないことを確認してください。詳細については、「Restrict attachment file extensions」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

新しいプロパティ

OData に関連するプロパティは次のとおりです。

プロパティ	タイプ	説明	手動で作成しますか?	プロパティの編集に必要なロール
sn_erp_integration.catalog_service_path	文字列	ホスト名とポートの後に、このパスを使用して SAP カタログサービスと接続します。デフォルトは /sap/opu/odata/iwfnd/CATALOGSERVICE です。v=2/ServiceCollection です。プロパティを作成して true に設定すると、すべてのサービスのリストが SAP から取得されます。情報は XML ファイルに保存され、システムレコードに添付されます。XML は後で使用できます。たとえば、SAP に接続せずにオフラインで XML を解析します。	はい	アドミン

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ	タイプ	説明	手動で作成しますか?	プロパティの編集に必要なロール
		注: カタログサービスに更新があり、テーブルカタログ情報を更新する場合は、まず [ERP システム] ページに表示されている添付ファイルを削除します。次に、取得プロセスを再度実行してリストを更新します。		
sn_erp_integration.odata_service_path	文字列	ホスト名とポートの後に、このパスは SAP OData サービスへの接続に使用されます。OData サービスを指定する [値] に URL を追加します。デフォルトは /sap/opu/odata/sap です。	はい	アドミン
sn_erp_integration.response_timeout	整数	OData 応答のタイムアウト値を指定します。OData 呼び出しが頻繁にタイムアウトする場合は、タイムアウト値を大きくします。値を秒単位で指定します。デフォルトは 100 秒です。この値は、外部 Web からの応答と MID サーバーからの応答の両方に使用されます。	いいえ	admin または sn_erp_integration.erp_admin
sn_erp_integration.use_cookie	true/false	OData 接続に Cookie を使用す	いいえ	admin または sn_erp_integration.erp_admin

自動翻訳

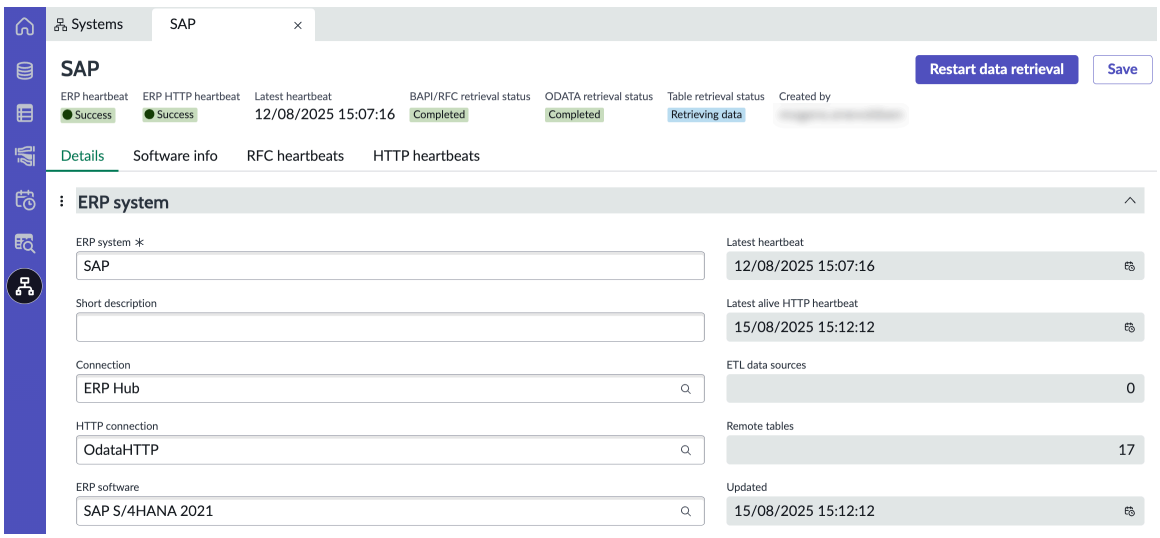
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ	タイプ	説明	手動で作成しますか?	プロパティの編集に必要なロール
		る必要があるかどうかを指定します。		
sn_erp_integration.use_csrf_token	boolean	ERP 向けゼロコピーコネクタ操作の OData 呼び出しに CSRF トークンを送信するかどうかを示します。	いいえ	admin または sn_erp_integration.erp_admin

注:
新しいプロパティを手動で追加するには、スコープが [ERP 向けゼロコピーコネクタ] に設定されていることを確認し、sys_properties.list に移動して [新規] を選択します。

ハートビート情報

ERP システムの場合、RFC と HTTP には別々のハートビートインジケーターがあります。システムが確立されると、ハートビートがアクティブになり、エラーを含むステータスが更新されます。ハートビート呼び出しが成功すると、BAPI と OData の取得が並行してトリガーされ、ステータスがシステムレコードに表示されます。BAPI とテーブルリストの取得は RFC を介して行われます。OData の取得は HTTP 経由で行われます。



詳細情報

ERP 向けゼロコピーコネクタ での OData の使用の詳細については、「での OData 接続の作成 ERP 向けゼロコピーコネクタ」および「でサポートされている OData 機能 ERP 向けゼロコピーコネクタ」を参照してください。

でサポートされている **OData** 機能 **ERP** 向けゼロコピーコネクタ

ERP 向けゼロコピーコネクタ でサポートされている OData v2 クエリ機能の詳細。

ERP 向けゼロコピーコネクタ の OData 接続の詳細については、「OData と HTTP を使用して ERP 向けゼロコピーコネクタ を SAP に接続するとでの OData 接続の作成 ERP 向けゼロコピーコネクタ」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

OData クエリ機能

OData クエリ	説明
$selectと$filter	**[ERP** を使用 **(Use ERP)]** フローで利用できます。 モデルで入力パラメーターと出力パラメーターを使用する場合は、$selectと$filterが適用されます。
$orderby	**[ERP** データを使用 **(Use ERP Data)]** フローで利用できます。 出力変数からデータを返す順序を昇順または降順で指定します。

での **OData** 接続の作成 **ERP** 向けゼロコピーコネクタ

OData v2 接続を作成して HTTP 経由で SAP にリンクし、リモートテーブルと抽出テーブルで使用するためにデータを抽出できるようにします。

始める前に
必要なロール：sn_erp_integration.erp_admin

ERP 向けゼロコピーコネクタ の OData 接続の詳細については、「OData と HTTP を使用して ERP 向けゼロコピーコネクタ を SAP に接続するとでサポートされている OData 機能 ERP 向けゼロコピーコネクタ」を参照してください。

このタスクについて
アドミニストレーターまたは sn_erp_integration.erp_admin ロールを持つユーザーが ERP モデルとテーブルを編集、カスタマイズ、クローン作成するには、*sn_erp_integration.enableModelModification* プロパティを有効にする必要があります。*sn_erp_integration.enableModelModification* プロパティを有効にすると、ERP 向けゼロコピーコネクタ はモデルを管理するときに使用するすべてのテーブルと BAPI (ビジネスアプリケーションプログラミングインターフェイス) を取得します。 プロパティは、非本番ステータスまたは本番ステータスのいずれかに対して構成する必要があります。(本番インスタンスで *sn_erp_integration.enableModelModification* を有効にすると、 ERP 向けゼロコピーコネクタで新しいモデルとフィールドが追加されたときにメタデータレコードを作成できます)。システムプロパティはシステムプロパティテーブル [sys_properties] で管理されており、ナビゲーターフィルターに sys_properties.list を直接入力することでアクセスできます。

注:
正しいスコープで *sn_erp_integration.enableModelModification* プロパティを有効にする必要があります。

手順

1. OData 接続の確立が有効になっている SAP システムがあることを確認します。
2. 接続タイプとして HTTP を指定して、接続および資格情報エイリアスを作成します。
   詳細については、「 接続および資格情報エイリアスの作成」を参照してください。
3. HTTP 接続を作成し、新しいエイリアスに関連付けます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
詳細については、「Create an HTTP(s) connection」を参照してください。MID サーバーの使用を選択すると、サービスへのアクセス権を持つユーザーは、RFC と HTTP に同じ認証情報を使用できます。

4. HTTP 接続を使用してシステムを作成します。
詳細については、「ERP 向けゼロコピーコネクタ での ERP システムの作成」を参照してください。
5. システムレコードで、ハートビートが成功し、取得ステータスが完了であることを確認します。いずれかが失敗した場合は、[データ取得の再起動] を選択します。失敗したデータ取得 (BAPI、OData、またはテーブル) は再度フェッチされます。
6. モデルを作成し、保存後にモデル レコードを開きます。
詳細については、「新しい ERP モデルを作成」を参照してください。
7. [モデルの管理] を選択します。
8. [モデル操作の追加] を選択します。
   a. [選択タイプ] を選択します。
   b. **[Save and Continue** (保存して続行)] を選択します。
9. 新しい操作を選択します。
10. [エンティティを選択] を選択します。
    a. [種類の選択] で **[OData**] を選択します。
    b. [サービスの選択] で、OData サービス カタログの **API_BUSINESS_PARTNER** (ビジネス パートナー向けリモート **API)** などのサービスを検索して選択します。

       サービスを指定すると、メタデータを読み取るために SAP サービスが呼び出されます。デフォルトのサービスは /sap/opu/odata/iwfnd/CATALOGSERVICE です。v=2/ServiceCollection です。サービスを変更する必要がある場合は、sn_erp_integration.odata_service_path という名前のプロパティを作成し、値を設定します。

       必要なサービスが見つからない場合は、次を参照してください でのサービスの手動追加 ERP 向けゼロコピーコネクタ.
    c. [エンドポイントの選択] で、エンドポイント (**A_BusinessPartnerType** など) を検索して選択します。
    d. [エンティティの追加] を選択します。

       [システムがアクティブになったときに **SAP BAPI** とテーブルを取得 **(GET SAP BAPIs and tables when system becomes active**)] という名前のフローが実行され、データが取得されます。BAPI、テーブル、およびカタログテーブルが入力されます。
11. [入力を指定] を選択して情報を確認し、必要に応じて編集します。

    詳細については、「ERP 向けゼロコピーコネクタモデル操作の入力パラメーターの管理」を参照してください。
12. [出力を選択] を選択して情報を確認し、必要に応じて編集します。
詳細については、「ERP モデルの出力パラメーターの選択」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

13. サイドパネルで システムアイコンを選択して、[ERP システム] リストを開きます。
14. システムを選択します。
15. 成功するまで、ハートビートと取得ステータスを確認します。
16. モデルを作成します。
    a. サイドパネルで モデルアイコンを選択して、[ERP モデル] ページを開きます。
    b. **[New** (新規)] を選択します。
    c. **ERP** モデル名、**ERP** モジュール、および **ERP** システムを追加し、[保存] を選択します。
    d. リストで新しいモデルを選択します。
    e. [モデルの管理] を選択します。
    f. [モデル操作の追加] を選択します。
    g. [タイプを選択] を選択します。
    h. **[Save and Continue** (保存して続行)] を選択します。
17. 新しい操作を選択します。
18. [エンティティを選択] を選択します。
    a. **[** の種類の選択] で、[**OData**] を選択します。
    b. [エンティティを選択] を選択し、エンティティ **(API_BUSINESS_PARTNER (Remote API for Business Partner) OData** サービスカタログなど) を選択します。
    c. [エンドポイントの選択] で、エンドポイントを検索して選択します (例: **A_BusinessPartnerType** エンティティ名:ビジネスパートナー **---**戻り値の型:ビジネスパートナー)。
    d. [エンティティの追加] を選択し、取得が完了するまで待ちます。
19. [入力を指定] を選択して情報を確認し、必要に応じて編集します。
    a. 必須フィールドがある場合は、[必須フィールドを選択] を選択します。
    b. リストされている必須入力を選択し、[**OK]** を選択します。
    c. **[Save** (保存)] を選択します。
20. [出力の選択] を選択します。
    a. **[+** 新しい出力] を選択します。
    b. フィールド **(BusinessPartnerName** や **Full Name** など) を選択します。
    c. **[Save** (保存)] を選択します。
21. ワークフロースタジオを使用してテストします。
    a. 移動先 すべて > ワークフロースタジオ.
    b. ホームページで、[アクション] を選択します。
    c. [名前] 列で、 次の値 とタイプをフィルタリングします。 ERP を使用。
    d. **[Apply** (適用)] を選択します。
    e. **[ERP** データを使用] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

f. [**Test**] をクリックします。

g. **[ModelName]**、[**ModelOperation**]、[必須] フィールドを指定し (必要に応じて必須フィールドに値を指定します)、 [システム] を選択して、 [テストの実行] を選択します。

h. 完了したら、[テストの実行が終了しました] テストの実行が終了しました。アクション実行の詳細を表示します。

i. 出力を表示して確認します。たとえば、[出力データ] で [応答] を選択して出力を表示します。

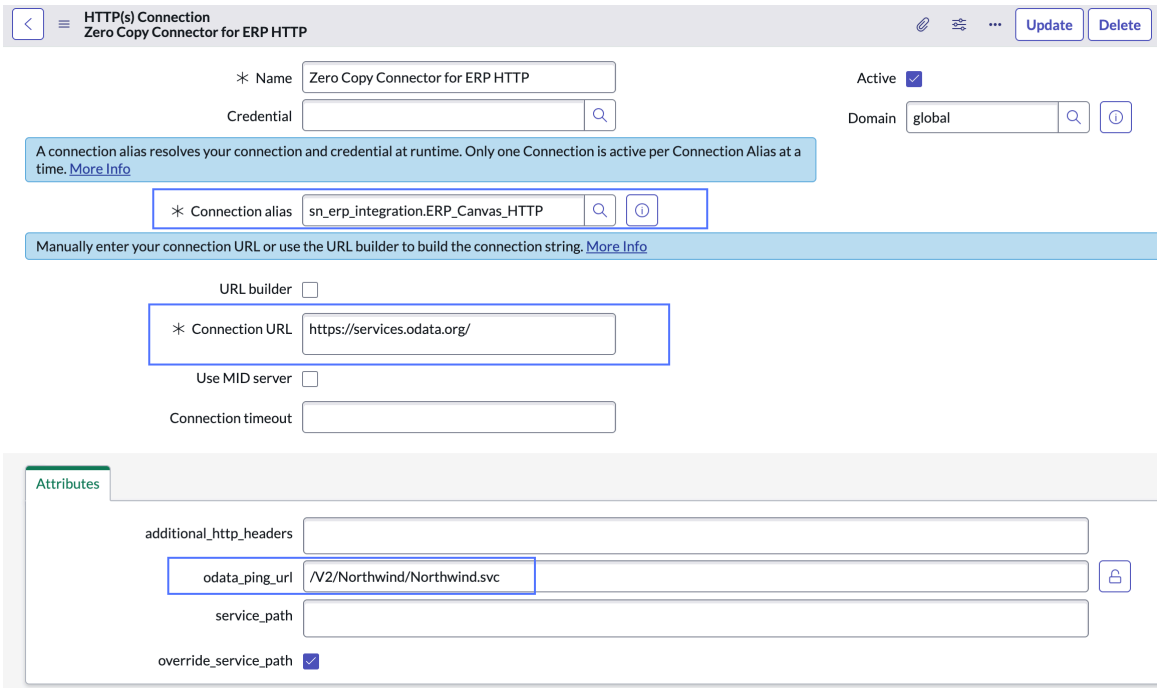
での **OData** サービスの手動追加 **ERP** 向けゼロコピーコネクタ

OData を使用してモデルにエンティティを追加するときに、必要なサービスが一覧に表示されない場合は、サービスを手動で追加します。サービスを追加すると、メタデータ URL に基づいて ERP システムに接続できます。

始める前に
必要なロール：sn_erp_integration.erp_admin

サービスを手動で追加する前に、次の操作を行う必要があります。

- OData 接続の確立が有効になっている SAP システムがあることを確認します。
- *sn_erp_integration.enableModelModification* プロパティを有効にします。詳細については、「ERP 向けゼロコピーコネクタ をインストール」を参照してください。
- 接続タイプとして HTTP を指定して、接続および資格情報エイリアスを作成します。詳細については、「 接続および資格情報エイリアスの作成」を参照してください。
- サービスの HTTP 接続を作成します。作成した接続エイリアス、接続 URL、および odata_ping_urlを追加します。



詳細については、「Create an HTTP(s) connection」を参照してください。

- HTTP 接続を使用するシステムを作成します。詳細については、「ERP 向けゼロコピーコネクタ での ERP システムの作成」を参照してください。システムレコードで、ハートビートが成功し、

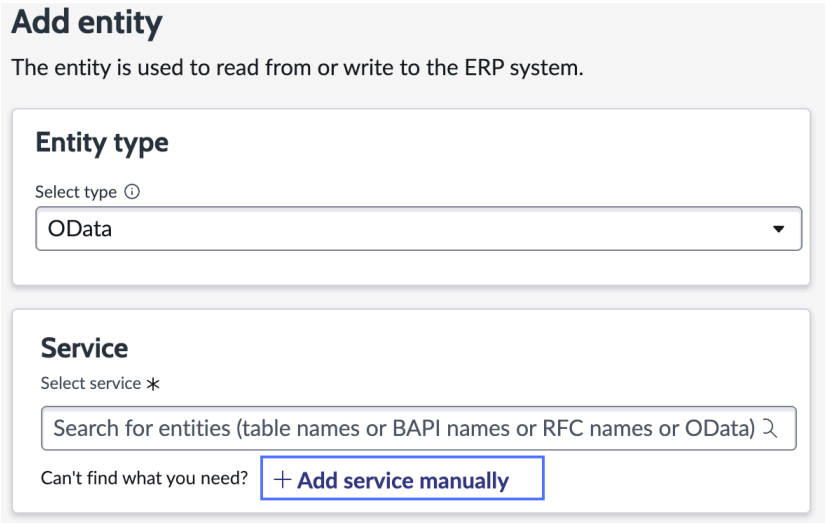
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

取得ステータスが完了であることを確認します。いずれかが失敗した場合は、[データ取得の再起動] を選択します。

- リンク先の ERP システムからメタデータ URL をコピーします。ドメインに続くパスのみを含む相対 URL を使用します (例: v2/northwind/northwind.svc/$metadata)。

手順

1. 移動先 すべて > *ERP* 向けゼロコピーコネクタ > *ERP* 向けゼロコピーコネクタ 家.
2. サイドパネルで モデルアイコンを選択して、モデルページを開きます。
3. 操作エンティティを追加するモデルを選択します。
4. **ERP** システムで正しいシステムが選択されていることを確認してください。
5. [モデルを管理 **(Manage model)]** ボタンを選択します。
6. 操作を選択します。
   操作を行わない場合は、「 でモデルに操作を追加する ERP 向けゼロコピーコネクタ」を参照してください。
7. [エンティティの管理 **(Manage entities**)] タブで [エンティティの選択 **(Select entity)]** を選択します。
8. **[** の種類の選択] で、[**OData**] を選択します。
9. **[+** サービスを手動で追加] を選択します。



接続 **URL** は、モデルに指定された ERP システムに基づいて自動的に追加されます。URL がリストにない場合、またはリストされた URL が間違っている場合は、モデルレコードの [ERP システム] フィールドを編集します。

10. メタデータ **URL** を貼り付けて、フィールドの外側をクリックします。

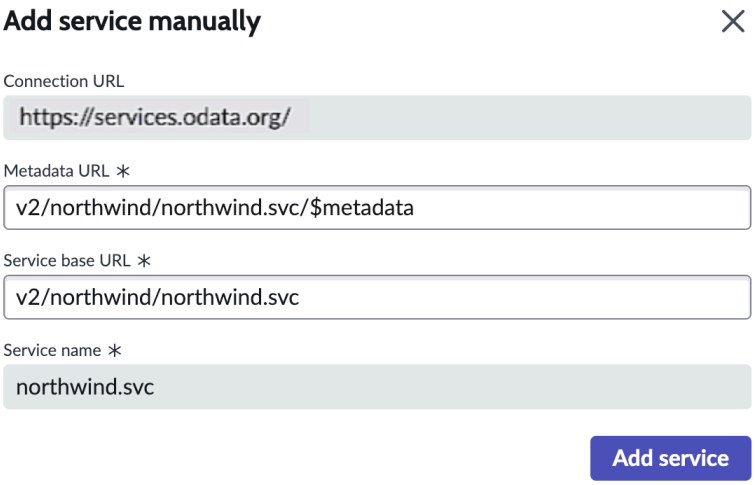
    サービスのベース **URL** は自動的に入力されます。サービス名が自動的に作成されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
サービス名が作成されない場合は、次の 2 つのオプションがあります。

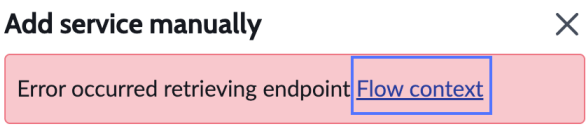
- 別の メタデータ **URL** を指定します。
- [すべて] メニューで「sn_erp_integration_odata_service_catalog.list」と入力し、前のサービスエントリをテーブルから削除します。



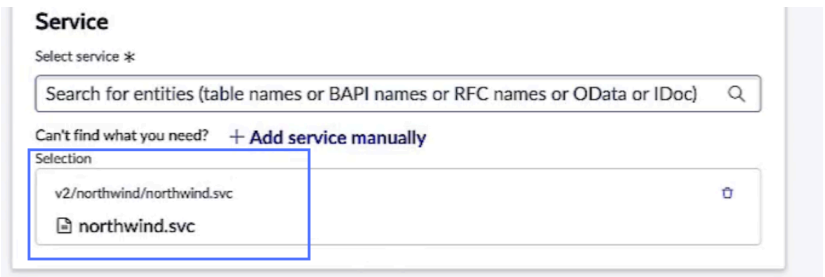
11. 完了したら、 [サービスの追加] を選択します。

[追加サービスハンドラー **(Additional Service Handler)]** という名前のバックグラウンドジョブが実行されます。

注:
問題がある場合は、エラーメッセージが表示されます。詳細については、 フローコンテキスト を選択してください。ワークフロースタジオで実行の詳細を表示することもできます。



サービスがエンティティレコードに追加されます。



12. [エンドポイントの選択] で、エンドポイントを検索して選択します。

13. 終了したら、 [エンティティの追加] を選択します。

で使用する **OAuth** 認証コードフローの設定 **ERP** 向けゼロコピーコネクタ

SAP の OAuth 認証コードフローを構成し、OAuth を使用して OData エンドポイントのユーザーを認証および承認します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

始める前に
必要なロール：admin

> **注:**
> OAuth 認証コードフローを使用して、OData エンドポイントの呼び出し (読み取り、更新、作成) を行うことができます。現時点では、テーブル、BAPI、または RFC に OAuth を使用することはできません。

OAuth については、「Set up OAuth と OAuth inbound」を参照してください。

SAP アドミニストレーターに相談してください。

- クライアント ID とクライアントシークレットを取得します。この情報は、アプリケーションレジストリフォームに必要です。
- リフレッシュトークンが 1 回限りの使用可能トークンかどうかを尋ねます。SAP から情報を取得するスケジュール済みジョブは、1 日に 1 回実行されます。スケジュール済みジョブをより頻繁に、またはオンデマンドで実行する必要がある場合は、アクセストークンとリフレッシュトークンのオプションについて説明します。詳細については、「Manage OAuth tokens」を参照してください。
- 使用する OData エンドポイントを公開するゲートウェイ サービスを有効にするように依頼します。
- 公開されている OData エンドポイントのスコープを SAP で作成し、名前と OAuth スコープを提供するように依頼します。これは、アプリケーションレジストリフォームでスコープを構成するために必要です。

手順

1. OAuth を既に設定している場合 (たとえば、プラットフォーム機能を介して REST を設定している場合)、 ERP 向けゼロコピーコネクタ で使用して手順 3 にスキップできます。
2. OAuth を設定するには、次の場所に移動してアプリケーションを登録します。 すべて > システム **OAuth** > アプリケーションレジストリー.

   a. **[New** (新規)] を選択します。

   b. [サードパーティ **OAuth** プロバイダーに接続します **]** を選択します
   このフォームを使用して、SAP を OAuth プロバイダーとして、 ServiceNow を OAuth クライアントとして設定します。このフォームのフィールドの詳細については、「Connect to a third-party OAuth provider」を参照してください。

   c. [名前]を入力します。

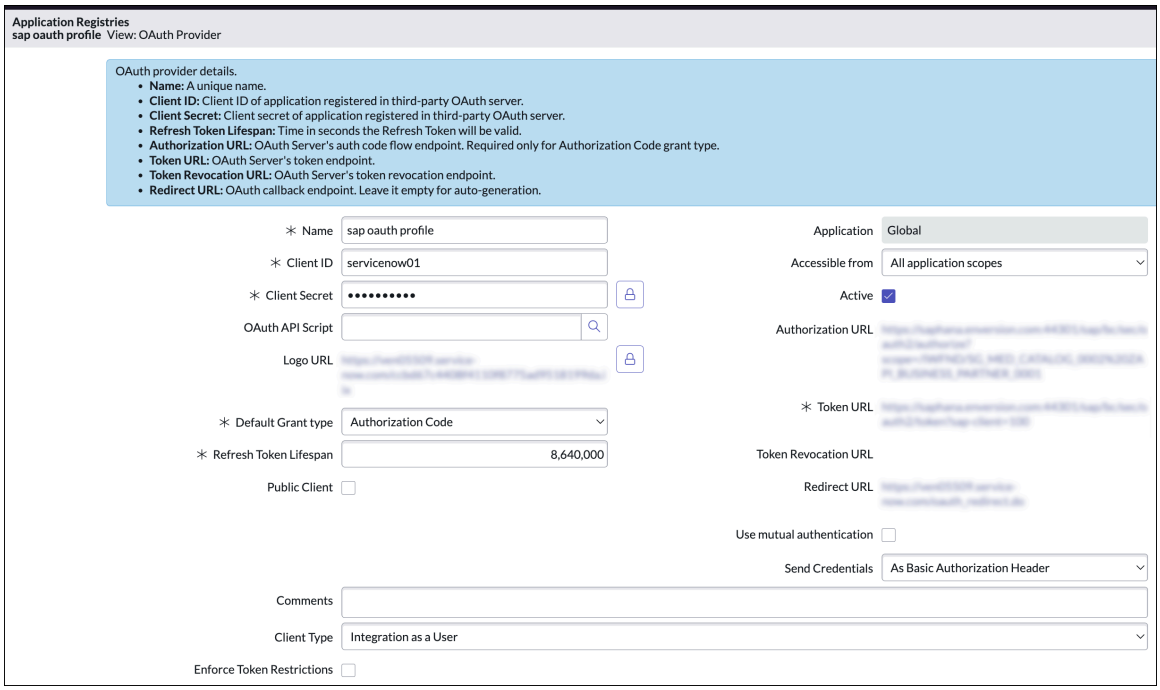
   d. SAP アドミニストレーターから取得した情報を使用して [クライアント **ID**] フィールドと [クライアントシークレット] フィールドに入力し、ServiceNow を OAuth クライアントとして設定します。

   e. [デフォルトの権限許可タイプ] で、SAP の認証方法を指定します。

   f. [認証 **URL**] フィールドと [トークン **URL**] フィールドのロックを解除して URL を入力します。

自動翻訳

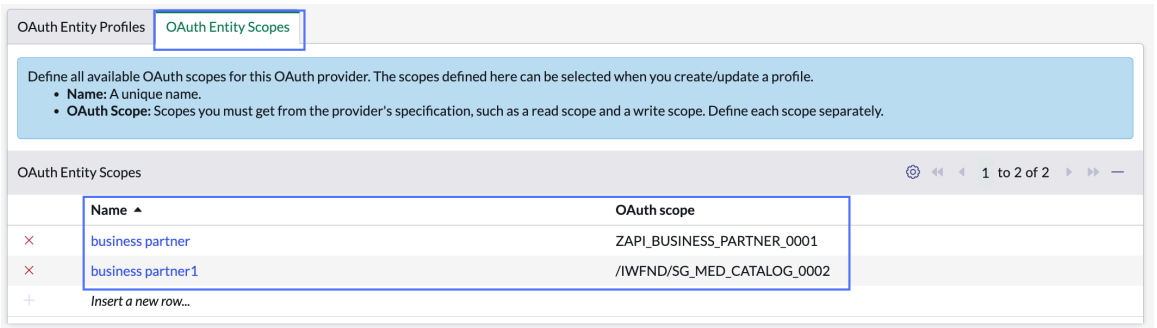
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



g. **[OAuth** エンティティスコープ] タブを選択します。

h. [名前] 列と **[OAuth** スコープ] 列をダブルクリックして、SAP アドミニストレーターから取得したスコープ情報を入力します。

複数のスコープを追加できます。



i. **[Submit** (送信)] を選択します。

3. に移動して認証情報を作成します。 すべて > 接続 **&** 認証情報 > 認証情報.

a. **[New** (新規)] を選択します。

b. **[OAuth 2.0** 認証情報] を選択します。
このフォームのフィールドの詳細については、「 OAuth 2.0 credentials」を参照してください。

c. [名前]を入力します。

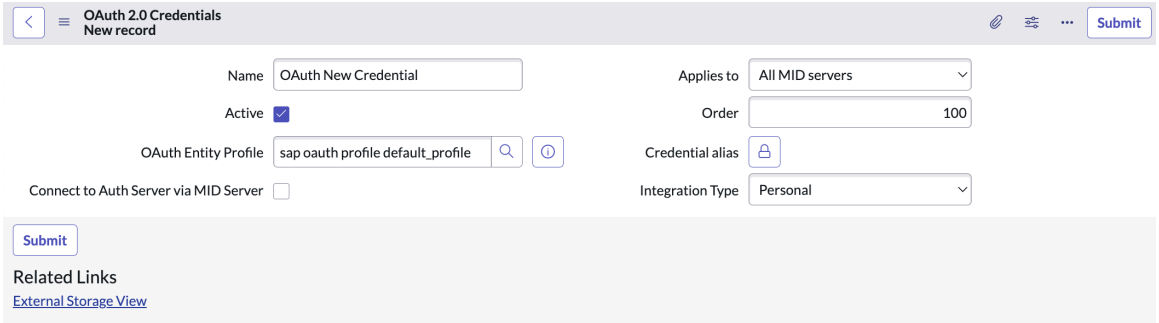
d. **[OAuth** エンティティプロファイル] で、[**SAP OAuth** プロファイル **default_profile**] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

e. [統合タイプ] で、[個人] を選択します。

ほとんどの場合、システムベースの認証情報を使用してもかまいません。ただし、誰が情報を変更したか、承認アクティビティの詳細など、SAP から情報を取得しようとする場合は、個人統合タイプを使用します。詳細については、「Using the Personal Authentication dashboard」を参照してください。



f. **[Submit** (送信)] を選択します。

4. 次の場所に移動して、 **Zero Copy Connector for ERP HTTP** エイリアスへの接続を追加します すべて > 接続 **&** 認証情報 > 接続および資格情報エイリアス.

a. [名前] で、**ERP HTTP** のゼロコピーコネクタを検索して選択します。

b. [接続] タブで、[新規] を選択します。
このフォームのフィールドの詳細については、「 Create an HTTP(s) connection」を参照してください。

c. [名前]を入力します。

d. [認証情報] で、ステップ 3 で作成した OAuth 認証情報を指定します。

e. 接続 **URL** を入力します。

f. **[Submit** (送信)] を選択します。

ERP 向けゼロコピーコネクタ での **ERP** リモートテーブルの使用

ERP 向けゼロコピーコネクタ で ERP (エンタープライズリソースプランニング) リモートテーブルを使用すると、ServiceNow AI Platform の ERP SoR からデータを表示してクエリすることができます。

注:
ERP 向けゼロコピーコネクタ は ServiceNow AI Platform にデータを複製しません。ERP SoR に存在するデータをミラーリングするため、データはそこで保護されたままになります。

ServiceNow AI Platformのリモートテーブルに関する一般的な情報については、「Remote tables」を参照してください。

リモートテーブルの **ERP** モデルへのリンク

各 ERP リモートテーブルは 1 つの ERP モデルに接続されていて、ERP モデルは、リモートテーブルを ERP システムおよびその他の関連値にリンクします。リモートテーブルをビルドするとき

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

に、ERP モデルを介して接続されている ERP SoR をスキャンするときに ERP 向けゼロコピーコネクタ が検出するフィールドを追加できます。フィールドをスキャンして追加することで、アプリのビルド時にテーブルをデータソースとして使用する場合など、必要なすべてのフィールドが利用可能であることが確認されます。

リモートテーブルの [詳細] タブで指定された、関連付けられた ERP モデルによって、利用可能なフィールドがリモートテーブルで制御されます。リモートテーブルの ERP モデルを変更すると、使用可能なフィールドも変更されます。

リモートテーブルの制限事項

データの整合性を促進するために、 ERP 向けゼロコピーコネクタ で新しいリモートテーブルを作成することはできませんが、既存の ERP モデルのクローンを作成し、標準の ERP リモートテーブルを拡張してカスタマイズすることはできます。詳細については、「ERP 向けゼロコピーコネクタ での ERP モデルのクローン」を参照してください。

ERP リモートテーブルのレコード数は 1,000 に制限されています。大量のデータが必要な場合は、ERP 抽出テーブルを使用します。詳細については、「ERP 向けゼロコピーコネクタ でのデータの抽出と変換」を参照してください。

ERP 向けゼロコピーコネクタ での **ERP** リモートテーブルの詳細の表示と編集

添付ファイルの設定や簡単な説明など、ERP 向けゼロコピーコネクタ の ERP (エンタープライズリソースプランニング) リモートテーブルの詳細を表示および編集します。

始める前に

必要なロール：

- リモートテーブルを変更するには：sn_erp_integration.erp_admin
- リモートテーブルを読み取るには：sn_erp_integration.erp_user

[store-future: BEGIN review]

https://player.vimeo.com/video/1056865128?h=509e89979e&badge=0&autopause=0&player_id=0&app_id=58479

[End]

このタスクについて

データの整合性を促進するために、 ERP 向けゼロコピーコネクタ で新しいリモートテーブルを作成することはできませんが、既存の ERP モデルのクローンを作成し、標準の ERP リモートテーブルを拡張してカスタマイズすることはできます。詳細については、「ERP 向けゼロコピーコネクタ での ERP モデルのクローン」を参照してください。

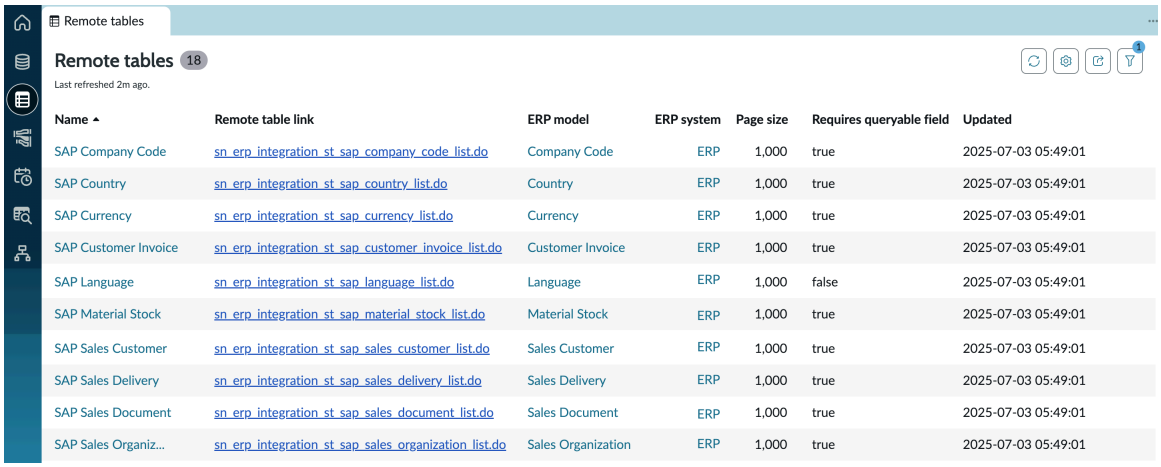
リモートテーブルのフィールドの追加や削除の詳細については、「ERP 向けゼロコピーコネクタ で ERP リモートテーブルのフィールドをカスタマイズする」を参照してください。

ERP リモートテーブルのレコード数は 1,000 に制限されています。大量のデータが必要な場合は、ERP 抽出テーブルを使用します。詳細については、「ERP 向けゼロコピーコネクタ でのデータの抽出と変換」を参照してください。

手順

1. 移動先 すべて > *ERP* 向けゼロコピーコネクタ > *ERP* 向けゼロコピーコネクタ 家.
2. サイドパネルで リモートテーブルアイコンを選択して、[リモートテーブル] ページを開きます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



Name	Remote table link	ERP model	ERP system	Page size	Requires queryable field	Updated
SAP Company Code	sn_erp_integration_st_sap_company_code_list.do	Company Code	ERP	1,000	true	2025-07-03 05:49:01
SAP Country	sn_erp_integration_st_sap_country_list.do	Country	ERP	1,000	true	2025-07-03 05:49:01
SAP Currency	sn_erp_integration_st_sap_currency_list.do	Currency	ERP	1,000	true	2025-07-03 05:49:01
SAP Customer Invoice	sn_erp_integration_st_sap_customer_invoice_list.do	Customer Invoice	ERP	1,000	true	2025-07-03 05:49:01
SAP Language	sn_erp_integration_st_sap_language_list.do	Language	ERP	1,000	false	2025-07-03 05:49:01
SAP Material Stock	sn_erp_integration_st_sap_material_stock_list.do	Material Stock	ERP	1,000	true	2025-07-03 05:49:01
SAP Sales Customer	sn_erp_integration_st_sap_sales_customer_list.do	Sales Customer	ERP	1,000	true	2025-07-03 05:49:01
SAP Sales Delivery	sn_erp_integration_st_sap_sales_delivery_list.do	Sales Delivery	ERP	1,000	true	2025-07-03 05:49:01
SAP Sales Document	sn_erp_integration_st_sap_sales_document_list.do	Sales Document	ERP	1,000	true	2025-07-03 05:49:01
SAP Sales Organiz...	sn_erp_integration_st_sap_sales_organization_list.do	Sales Organization	ERP	1,000	true	2025-07-03 05:49:01

3. リモートテーブルの [名前] を選択して、リモートテーブルの詳細を表示します。
4. オプション: [添付ファイルデータを更新] ボタンを選択して、スケジュールされたサイクル外でリモートテーブル添付ファイルに保存されたデータを更新します。
   リモートテーブル添付ファイルは、ERP システムからキャッシュされた応答です。リモートテーブルの [添付ファイル設定] フィールドが [添付ファイルを使用] に設定されている場合、ERP 向けゼロコピーコネクタ では誰かがリモートテーブルからデータをフェッチしたときに ERP システムを呼び出しません。
5. 必要に応じてリモートテーブルの詳細を編集します。
   フィールド値の説明については、「ERP 向けゼロコピーコネクタ のリモートテーブルフォームフィールドの説明」を参照して ください。
6. [リモートテーブルフィールド] タブを選択して、リモートテーブルのフィールドを表示します。
7. オプション: [リモートテーブルリストを開く] ボタンを選択して、ERP リモートテーブルをServiceNow AI Platformのリストとして表示します。
8. **[Save** (保存)] を選択します。

ERP 向けゼロコピーコネクタ で ERP リモートテーブルのフィールドをカスタマイズする

ERP 向けゼロコピーコネクタ でリモートテーブルの列を追加または削除して、ERP (エンタープライズリソースプランニング) モデルを作成します。たとえば、誕生日などの機密情報を含むフィールドを削除します。

始める前に

必要なロール：

- リモートテーブルを変更するには：sn_erp_integration.erp_admin
- リモートテーブルを読み取るには：sn_erp_integration.erp_user

このタスクについて

ERP 向けゼロコピーコネクタ は ERP モデルの SoR をスキャンして、リモートテーブルに追加できる利用可能なすべてのフィールドを検索します。ERP モデルの ERP システムから利用可能なすべてのフィールドを表示できます。[フィールドを管理] モーダルを使用して、ERP システムからリモートテーブルに利用可能な列を追加すると、リモートテーブルに列が自動的に作成されます。

リモートテーブルに追加するフィールドが表示されない場合は、最初にそれらをモデルに追加する必要があります。詳細については、「ERP モデルの出力パラメーターの選択」を参照してください。

リモートテーブルの [詳細] タブで指定された、関連付けられた ERP モデルによって、利用可能なフィールドがリモートテーブルで制御されます。リモートテーブルの ERP モデルを変更すると、使用可能なフィールドも変更されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

注:
リモートテーブルのフィールド名を編集することはできませんが、フィールドの新しいラベルを追加することはできます。

手順

1. 移動先 すべて > *ERP* 向けゼロコピーコネクタ > *ERP* 向けゼロコピーコネクタ 家.
2. サイドパネルで リモートテーブルアイコンを選択して、[リモートテーブル] ページを開きます。
3. [名前] を選択して、作業するテーブルを選択します。
4. [フィールドを管理 **(Manage fields)]** ボタンを選択して、列を管理してリモートテーブルをビルドします。
   a. [利用可能] フィールドで、追加するフィールドを見つけて、チェックボックスをオンにします (リストが長い場合は、検索ボックスを使用してリストをフィルタリングします)。
   b. [選択したフィールド] で、フィールドを上下にドラッグして、テーブルでの表示方法を並べ替えます。
   c. 完了したら、[**OK]** を選択します。
   リモートテーブルのフィールドが更新されます。
5. [リモートテーブルフィールド] タブを選択して、フィールドが正しく表示されることを確認します。

ERP 向けゼロコピーコネクタ を使用したリモートテーブルのクエリ

ERP 向けゼロコピーコネクタ を使用して、[すべて] メニューから直接 SoR の ERP (エンタープライズリソースプランニング) リモートテーブルをクエリします。

始める前に
必要なロール：sn_erp_integration.erp_user

このタスクについて
SoR をクエリし、ERP プロセスの ERP モデルを作成できます。詳細については、「ERP データを操作する ERP モデルのビルドと管理」を参照してください。

注:
ERP 向けゼロコピーコネクタ は ServiceNow AI Platform にデータを複製しません。ERP SoR に存在するデータをミラーリングするため、データはそこで保護されたままになります。

手順

1. 移動先 すべて > *ERP* 向けゼロコピーコネクタ > *ERP* 向けゼロコピーコネクタ 家.
2. サイドパネルで リモートテーブルアイコンを選択して、[リモートテーブル] ページを開きます。
3. [名前] 列でリモートテーブル (**SAP** 国など) を選択します。
4. [リモートテーブルリストを開く] を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

5. Glide for SAP を使用してリモートテーブルをクエリします。

   たとえば、[ストレージの場所] などの列を選択して長押し (または右クリック) し、[一致するレコードを表示] を選択できます。

   条件ビルダーなどの標準的な ServiceNow AI Platform の検索、ソート、およびフィルタリングを使用して、SAP データにアクセスして操作できます。詳細については、「条件ビルダー」を参照してください。

ERP 向けゼロコピーコネクタ でのデータの抽出と変換

ERP (エンタープライズリソースプランニング) 抽出テーブルを使用すると、大量のデータを抽出する日次プロセスを作成できます。次に、抽出したデータを ERP 向けゼロコピーコネクタ の ERP モデルに含めることができます。

抽出テーブルに大量のデータを保持する

ETL (抽出、変換、ロード) データソースである抽出テーブルを使用して、大量のデータを定期的に抽出します。

たとえば、当月のすべての未完了の発注書を 1 日 1 回、設定された時刻に SAP システムから Glide テーブルに抽出することができます。その後、Source-to-Pay オペレーション、または App Engine Studio で作成された PO ワークスペースなどの ServiceNow AI Platform を介してそのデータにアクセスできます。

抽出プロセスの実行後、インポートセットを使用して、インポートされたデータを ServiceNow AI Platform テーブルにマッピングします。詳細については、「Import sets」を参照してください。

抽出テーブルによる変換テーブルマップの使用

ERP 抽出テーブルは、ServiceNow AI Platform のローカル変換テーブルにデータを保存します。変換テーブルは、データ統合または変換のプロセス中にデータを保持する一時テーブルです。変換テーブルは、データがさらに処理、クリーニング、またはターゲットの宛先にロードされる前の中間ステップです。たとえば、インポート後に、抽出テーブルは変換テーブルで Glide クエリを実行し、出力を複数の異なるターゲットテーブルに保存できます。

カスタム変換テーブルを使用する場合は、最初に ServiceNow AI Platform にテーブルを作成する必要があり、そのテーブルはアプリケーションスコープ内にある必要があります。テーブル変換マップの作成の詳細については、「Create a transform map」を参照してください。

ERP 向けゼロコピーコネクタ の ETL プロセスは、ERP 向けゼロコピーコネクタ ではなく、データを必要とする ServiceNow AI Platform アプリで構成されます。たとえば、ワークフロースタジオのフローで抽出プロセスを構成できます。

自動的に利用可能な標準の抽出テーブル

ERP 向けゼロコピーコネクタ をインストールすると、ServiceNow AI Platform によって作業用に標準の ERP 抽出テーブルが自動的にロードされます。たとえば、売上テーブル、配送テーブル、調達テーブルなどです。標準の抽出テーブルのリストについては、「ERP 向けゼロコピーコネクタ の標準 ERP モデルと抽出テーブル」を参照してください。

ERP セマンティックマイニング をインストールした場合、そのアプリは、ERP アプリケーションアクティビティ、コレクターディレクトリデータ、名前空間データなどの追加の抽出テーブルに入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

> **重要:**
> Zurich リリース以降、 ERP セマンティックマイニング は将来の廃止に向けて準備されます。これは非表示になり、新しいインスタンスではアクティブ化されなくなりますが、引き続きサポートされます。

ERP 抽出テーブルの表示

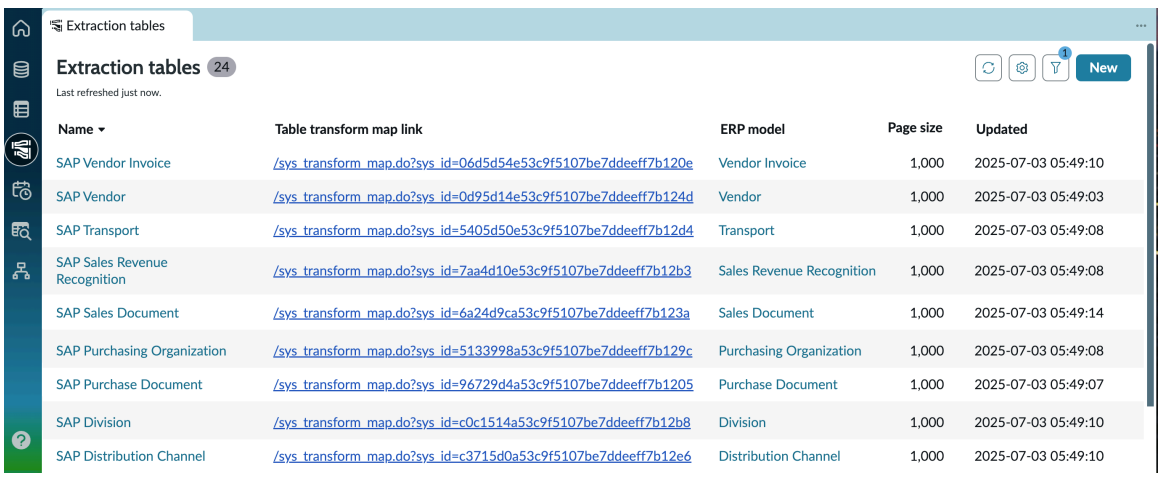
ERP 向けゼロコピーコネクタ で ETL (抽出、変換、ロード) プロセスを操作し、ERP (エンタープライズリソースプランニング) システムから大量の ERP データを抽出します。抽出されたデータは、ServiceNow AI Platform の Glide テーブルに格納されます。

始める前に
必要なロール：sn_erp_integration.erp_user

このタスクについて
ERP 抽出テーブルは、データを抽出し、ServiceNow AI Platform の変換テーブルに保存します。変換テーブルは、データ統合または変換のプロセス中にデータを保持する一時テーブルです。変換テーブルは、データがさらに処理、クリーニング、またはターゲットの宛先にロードされる前の中間ステップです。

手順

1. 移動先 すべて > *ERP* 向けゼロコピーコネクタ > *ERP* 向けゼロコピーコネクタ 家.
2. サイドパネルで 抽出テーブルアイコンを選択して、[ERP 抽出テーブル] ページを開きます。



3. ERP 抽出テーブルのリストを表示し、ERP モデルのビルドに使用できるテーブルを確認します。

ETL ソース列

列	説明
名前	ETL プロセスの名前。
テーブル変換マップリンク	抽出されたデータがキャッシュされて保存されるテーブル。 テーブル名を選択すると、新しいブラウザタブで ServiceNow AI Platform のテーブルが表示されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

列	説明
	テーブル変換マップの作成の詳細については、「Create a transform map」を参照してください。
ERP モデル	ETL 抽出で使用される ERP モデル。 ERP モデル名を選択して、その詳細を表示します。詳細については、「ERP モデルの基盤の表示および編集」を参照してください。
ページサイズ	
更新日時	抽出テーブルレコードが最後に保存された日時。

4. オプション: 抽出テーブルのテーブル名を選択して、その詳細を表示します。

次のタスク
抽出プロセスの実行後、インポートセットを使用して、インポートされたデータを ServiceNow AI Platform テーブルにマッピングします。詳細については、「Import sets」を参照してください。

ERP 向けゼロコピーコネクタ での新しい ERP 抽出テーブルの追加

ERP 抽出テーブルを作成して、SoR から毎日大量のデータをキャプチャし、そのデータを変換 (ステージング) テーブルに保存します。データは ServiceNow AI Platform で使用可能になり、抽出データを ERP モデルやリモートテーブルに追加することができます。

始める前に
ソーステーブル、ターゲットテーブル、およびテーブル変換マップを構成してから、これらのテーブルを ERP 抽出テーブルに追加する必要があります。テーブル変換マップの作成の詳細については、「Create a transform map」を参照してください。

必要なロール：

- 抽出テーブルを変更するには：sn_erp_integration.erp_admin
- 抽出テーブルを読み取るには：sn_erp_integration.erp_user

[store-future: BEGIN review]

https://player.vimeo.com/video/1056865072?h=48789d4730&badge=0&autopause=0&player_id=0&app_id=58479

[End]

このタスクについて
ERP 向けゼロコピーコネクタ には多数の標準の抽出テーブルが用意されており、そのまま使用できます。標準の抽出テーブルを変更する必要がある場合は、テーブルをコピーしてから、コピーしたバージョンを更新します。

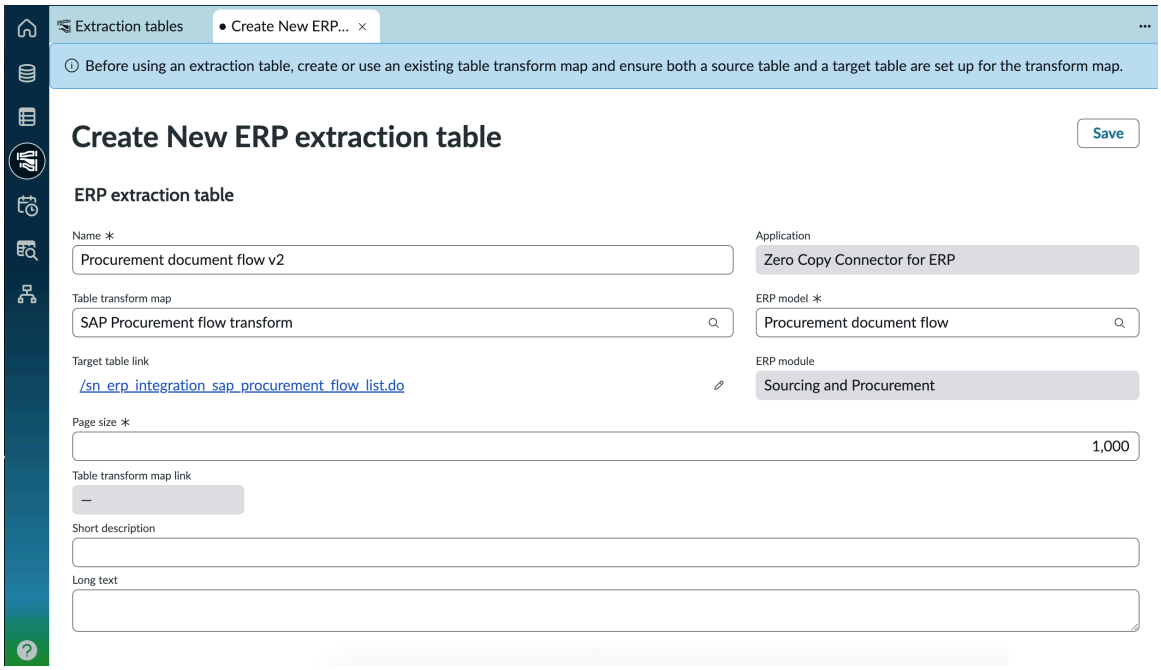
複数の ERP 抽出テーブルを作成でき、複数の抽出テーブルで同じ ERP モデルを使用できます。たとえば、販売契約、販売照会、および古い受注に関して個別の抽出テーブルを作成します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > *ERP* 向けゼロコピーコネクタ > *ERP* 向けゼロコピーコネクタ 家.
2. サイドパネルで 抽出テーブルアイコンを選択して、[ERP 抽出テーブル] ページを開きます。
3. **[New** (新規)] ボタンをクリックします。



4. フォームで、フィールドに入力します。
   フィールド値の説明については、「ERP 向けゼロコピーコネクタ の抽出テーブルフィールドの説明」を参照して ください。
5. [保存] を選択します。

ERP 向けゼロコピーコネクタ での抽出テーブルのフィールドの選択

ERP 向けゼロコピーコネクタ で抽出テーブルのフィールドを追加または削除します。たとえば、誕生日などの機密情報を含むフィールドを削除することができます。

始める前に
抽出テーブルに追加するフィールドが表示されない場合は、最初にそれらをモデルに追加する必要があります。詳細については、「ERP モデルの出力パラメーターの選択」を参照してください。

必要なロール：

- 抽出テーブルを変更するには：sn_erp_integration.erp_admin
- 抽出テーブルを読み取るには：sn_erp_integration.erp_user

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > *ERP* 向けゼロコピーコネクタ > *ERP* 向けゼロコピーコネクタ 家.
2. サイドパネルで 抽出テーブルアイコンを選択して、[ERP 抽出テーブル] ページを開きます。
3. [名前] を選択して、作業する抽出テーブルを選択します。
4. 抽出テーブルをビルドする列を管理するには、 [マッピングの生成] の横にある矢印を選択し、[フィールドの選択] を選択します。

   a. [利用可能な列] で、追加するフィールドを見つけてチェック ボックスをオンにします (リストが長い場合は、検索ボックスを使用してリストをフィルター処理します)。

   b. [選択した列] で、フィールドを上下にドラッグして、テーブルでの表示方法を調整します。

   c. 完了したら、[**OK]** を選択します。
   抽出テーブルのフィールドが更新されます。

5. [抽出テーブルのフィールド] タブを選択して、フィールドが抽出テーブルの列として正しく表示されていることを確認します。

抽出テーブルからのテーブル変換マップの作成

ERP 向けゼロコピーコネクタで、抽出テーブルからテーブル変換マップを作成し、ソースフィールドをターゲットフィールドにマッピングします。

始める前に
必要なロール：admin

出力パラメーターを含むモデルに関連付けられた抽出テーブルがあることを確認します。詳細については、「ERP 向けゼロコピーコネクタ での新しい ERP 抽出テーブルの追加」と「ERP モデルの出力パラメーターの選択」を参照してください。

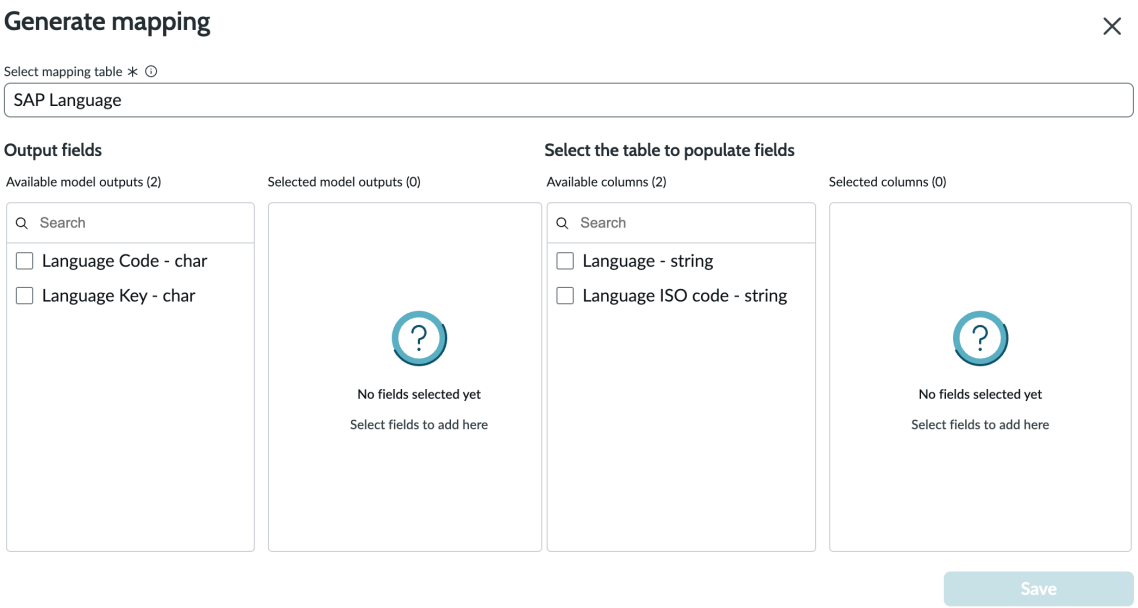
注:
次の手順では、新しい変換マップと新しいステージングテーブルを生成します。既存の変換マップまたは既存のステージングテーブルを変更するには、レコードに移動して手動で更新します。変換マップは システムインポートセット > アドミニストレーション > 変換マップ ステージングテーブルは システム定義 > テーブル.

手順

1. 移動先 すべて > *ERP* 向けゼロコピーコネクタ > *ERP* 向けゼロコピーコネクタ 家.
2. サイドパネルで 抽出テーブルアイコンを選択して、[ERP 抽出テーブル] ページを開きます。
3. [名前] を選択して、作業する抽出テーブルを選択します。
   テーブルには、いくつかの出力パラメーターを含む ERP モデルが必要です。
4. [マッピングの生成] を選択します。
5. [マッピングテーブルを選択] で、外部ソースから取得したデータの宛先テーブルを指定します。

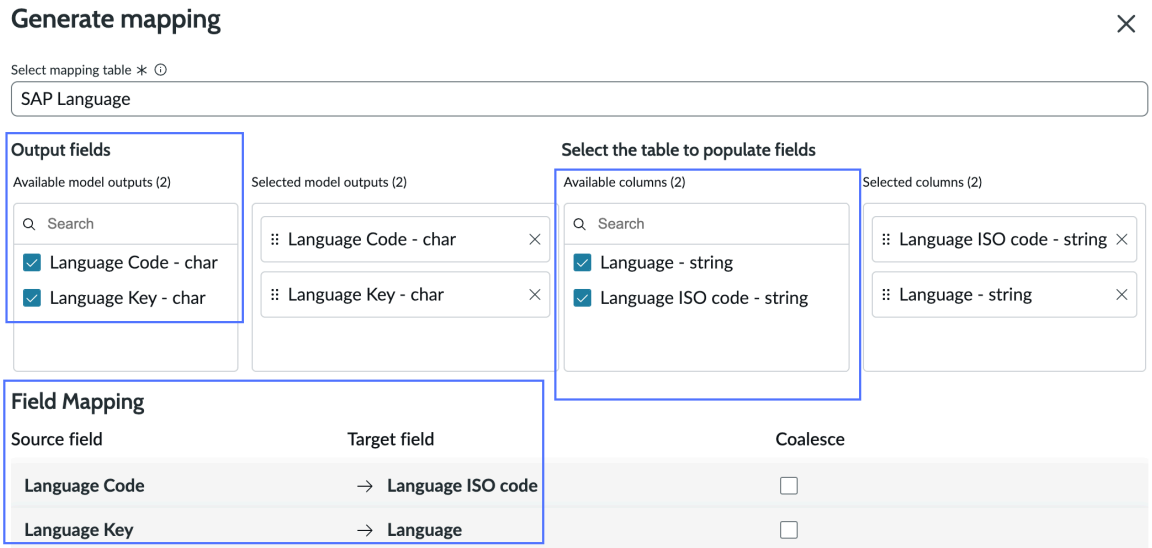
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳



6. マッピングを作成するには、[利用可能なモデル出力] 列で出力を選択し、[利用可能な列] で列を選択します。

   作業中、マッピングが [フィールドマッピング] セクションに保存され、インポートマップステージングテーブルと変換マップが作成されます。一般的な情報については、「Import sets key concepts と Create a transform map」を参照してください。

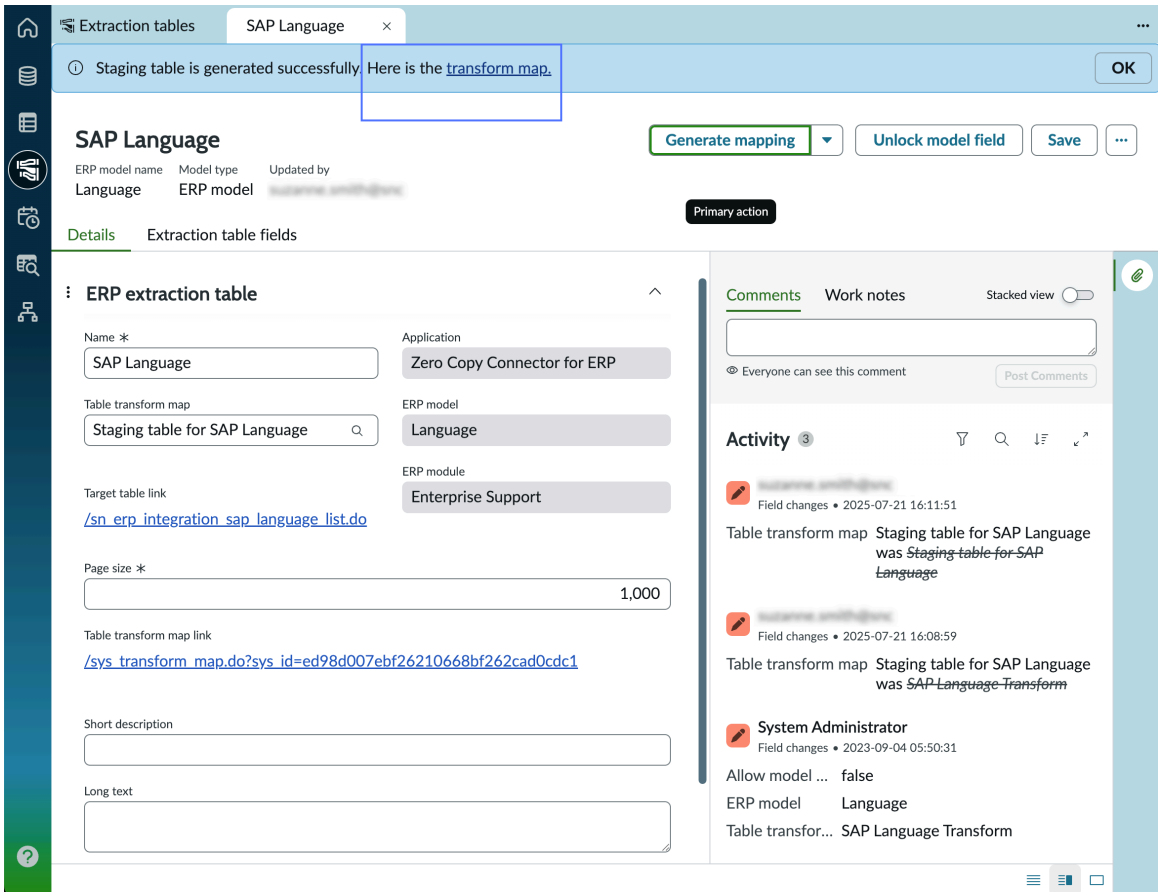


   マッピングを変更するには、[選択したモデル出力] 列または [選択した列] 列内のアイテムをドラッグします。変更を加えると、[フィールドマッピング] セクションが自動的に更新されます。

7. [フィールドマッピング] セクションで、各マッピングの [結合] オプションを選択します。詳細については、「Updating records using coalesce」を参照してください。
8. **[Save** (保存)] を選択します。
   インポートセットステージングテーブルと、 ERP 向けゼロコピーコネクタ が宛先テーブルにデータをプッシュするために使用できる変換マップが生成されます。抽出テーブルレコードが開きます。ステージングテーブルが生成され、変換マップへのリンクがあることを示す確認メッセージが表示されます。
9. 上部にあるリンクを選択して、変換マップを開きます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



[ソーステーブル] に、ステージングテーブルが自動生成された名前で表示されます。[フィールドマップ] 関連リストには、マッピングしたフィールドが含まれています。

10. 抽出テーブルレコードに戻ります (別のブラウザータブで開いている場合があります)。
11. 変換マップを表示するには、[テーブル変換マップリンク] のリンクを選択します。

でのスケジュール済み抽出の作成 **ERP** 向けゼロコピーコネクタ

定期的に SoR から大量のデータをキャプチャするために、ERP (エンタープライズリソースプランニング) 抽出テーブルの情報抽出をスケジュールします。

始める前に

重要:

既存のスケジュール済み抽出があり、Zurich Store リリース 1 にアップグレードした場合は、 スケジュール済み抽出 **V2** 移動 修正スクリプトを実行して、スケジュール済み抽出を新しいテーブルに配置し、スケジュール済みスクリプトエンジンによってスケジュールを設定します。これらの手順の詳細については、「修正スクリプトの実行」を参照してください。

使用するには、標準またはカスタム ERP 抽出テーブルが用意されている必要があります。詳細については、「ERP 向けゼロコピーコネクタ での新しい ERP 抽出テーブルの追加」を参照してください。

必要なロール:en_erp_integration.erp_user

[store-future: BEGIN review]

https://player.vimeo.com/video/1056865108?h=cf174be1a7&badge=0&autopause=0&player_id=0&app_id=58479

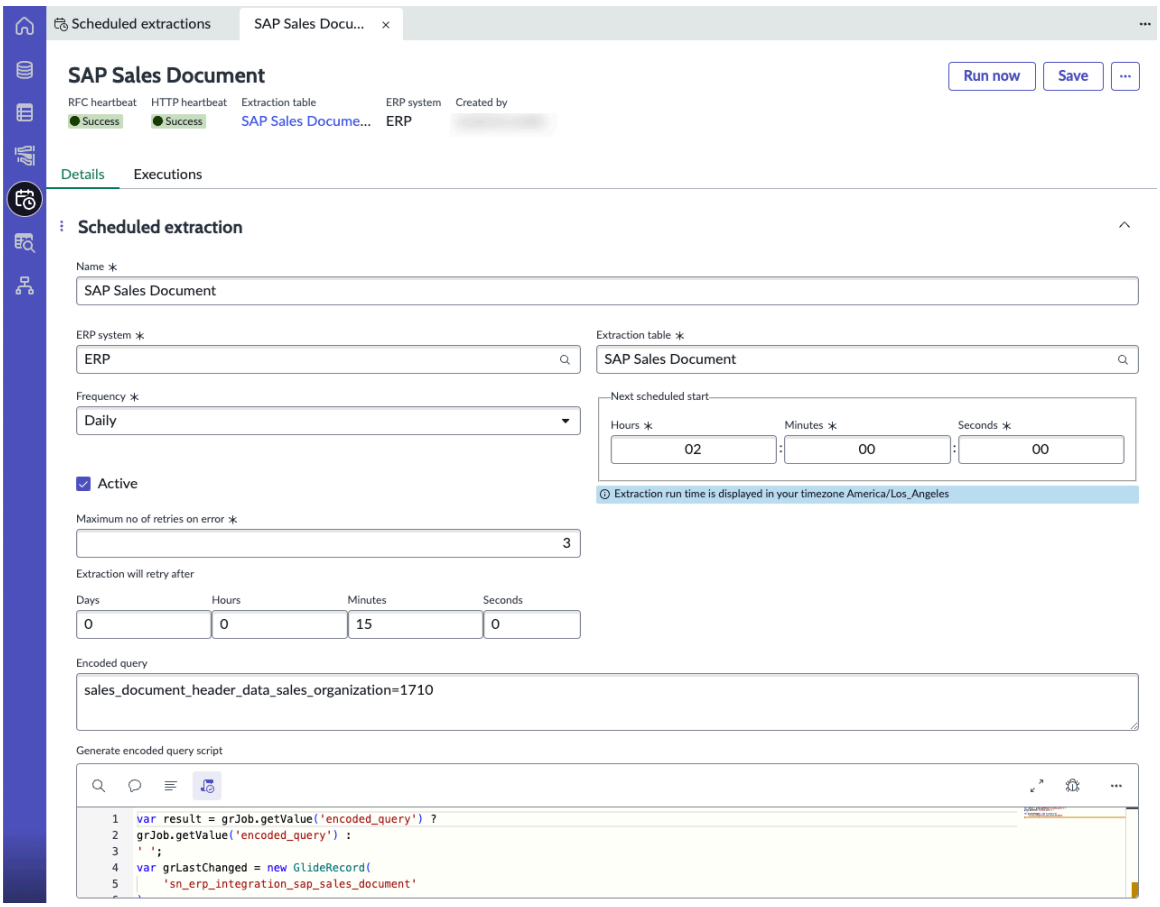
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

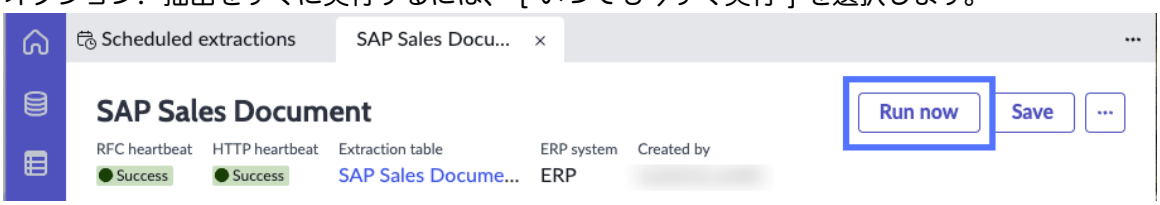
[End]

手順

1. 移動先 すべて > *ERP* 向けゼロコピーコネクタ > *ERP* 向けゼロコピーコネクタ 家.
2. サイドパネルで スケジュール済み抽出アイコンを選択して、[ERP スケジュール済み抽出 (ERP scheduled extractions)] ページを開きます。
3. **[New** (新規)] ボタンをクリックします。
4. フォームで、フィールドに入力します。
   フィールド値の説明については、「ERP 向けゼロコピーコネクタ スケジュール済み抽出フィールドの説明」を参照して ください。



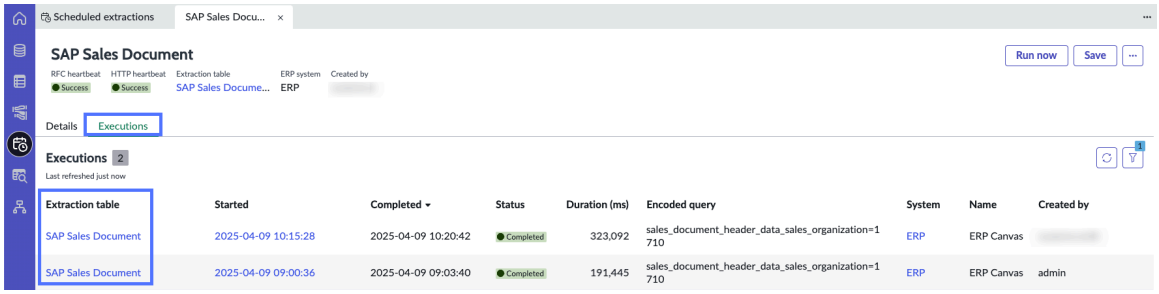
5. **[Save** (保存)] を選択します。
   スケジュール済み抽出は、指定された日時に実行されます。
6. オプション: 抽出をすぐに実行するには、 [いつでも今すぐ実行] を選択します。



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次のタスク
実行を確認します。スケジュール済みジョブの実行後、[実行] タブを選択します。抽出の詳細については、[抽出テーブル] 列で任意の品目を選択してください。



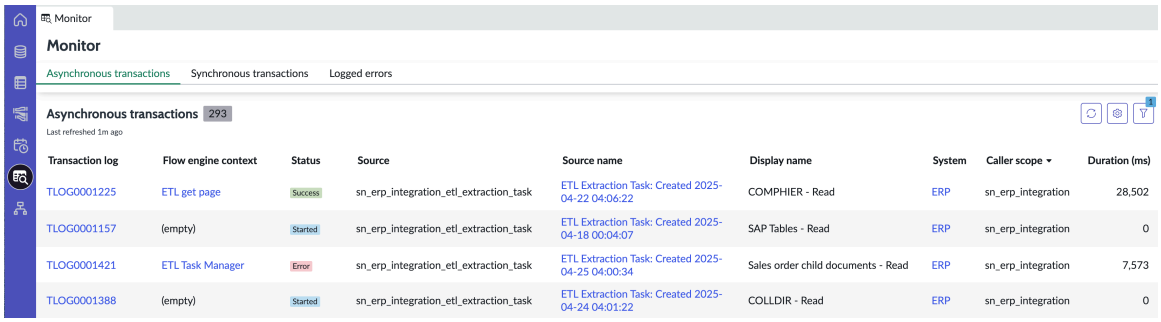
ログに記録され **ERP** 向けゼロコピーコネクタ 抽出およびリモートルックアップトランザクションを監視する

監視機能を使用して、各 ERP トランザクションとその進捗状況を追跡します。必要に応じて、成功、失敗などの ERP 向けゼロコピーコネクタ タスク情報をフィルタリングします。

始める前に
必要なロール:admin および sn_erp_integration.erp_user

手順

1. 移動先 すべて > *ERP* 向けゼロコピーコネクタ > *ERP* 向けゼロコピーコネクタ 家.
2. サイドパネルで モニターアイコンを選択して、[ERP モニター] ページを開きます。
3. [非同期トランザクション]、[同期トランザクション]、および [ログに記録されたエラー] タブを選択して、情報を表示します。



フィールド値の説明については、「ERP 向けゼロコピーコネクタ 監視フィールドの説明」を参照して ください。

ERP 向けゼロコピーコネクタトランザクションデータのエクスポート

失敗や使用状況などの ERP 向けゼロコピーコネクタ トランザクション情報をエクスポートします。必要に応じてデータをフィルタリングし、Excel、CSV、JSON、または PDF 形式にエクスポートします。

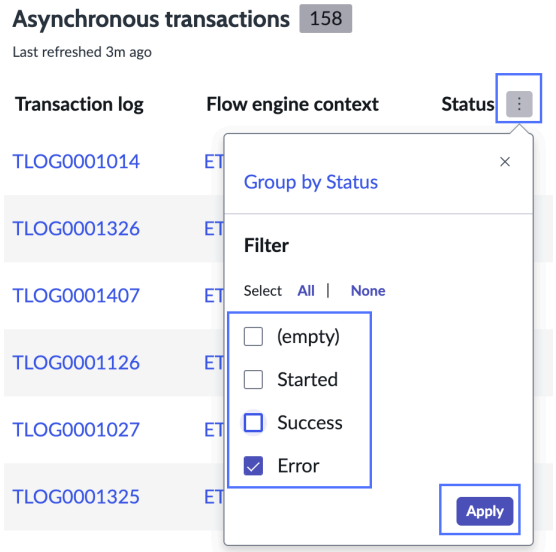
始める前に
必要なロール：sn_erp_integration.erp_admin

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > *ERP* 向けゼロコピーコネクタ > *ERP* 向けゼロコピーコネクタ 家.
2. サイドパネルで モニターアイコンを選択して、[ERP モニター] ページを開きます。
3. [非同期トランザクション] または [同期トランザクション] タブを選択します。
4. オプション: 列見出しをポイントし、フィルター アイコン を選択し、フィルター オプションを指定して、[適用] を選択します。

   (Optional) たとえば、[ステータス] 列をフィルタリングして、エラーのみを表示します。複数の列にフィルターを適用できます。



5. **[Export** (エクスポート)] を選択します。
6. ファイルタイプ (Excel、CSV、JSON、または PDF) を指定します。
7. 配信タイプ(ダウンロードまたはメール)を選択します。
8. **[Export** (エクスポート)] を選択します。

ERP 向けゼロコピーコネクタの参照

ERP (エンタープライズリソースプランニング) テーブルの詳細など、 ERP 向けゼロコピーコネクタの参照情報を検索します。

ERP 向けゼロコピーコネクタ とドメインセパレーション

ERP 向けゼロコピーコネクタ (エンタープライズリソースプランニング) では、ドメインセパレーションはサポートされていません。 ドメインセパレーションでは、データ、プロセス、および管理タスクをドメインと呼ばれる論理的なグループに分けることができます。どのユーザーがデータを表示できるか、データにアクセスできるかなど、このアプリケーションのいくつかの側面を制御できます。

サポートレベル: サポートなし

- ドメインフィールドがデータテーブル に存在している可能性がありますが、データを管理するロジックがありません。
- このレベルでは、ドメイン分割は考慮されません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サポートレベルの詳細については、「アプリケーションでのドメインセパレーションのサポート」を参照してください。

関連情報

サービスプロバイダーのドメインセパレーション

ERP 向けゼロコピーコネクタ での ERP データに対するサンプルの Glide クエリ

Glide API を介して ERP (エンタープライズリソースプランニング) SoR のデータにアクセスします。

顧客名をフェッチする Glide クエリの例を次に示します。

```
var sap_customer_gr = new GlideRecord('sn_erp_integration_st_sap_sales_customer');
sap_customer_gr.get('customer_number', '100032');
sap_customer_gr.getValue('name');
```

ERP 向けゼロコピーコネクタ の標準のテーブル、フィールド、およびモデル

ERP 向けゼロコピーコネクタ の標準 ERP (エンタープライズリソースプランニング) のリモートテーブル、抽出テーブル、フィールド、モデルに関する詳細を参照してください。

ERP 向けゼロコピーコネクタ の標準リモートテーブル

ERP 向けゼロコピーコネクタ は、ERP (エンタープライズリソースプランニング) モデルの複数の標準リモートテーブルにアクセスします。

次のリモートテーブルは、ERP 向けゼロコピーコネクタ および ERP セマンティックマイニング から利用できます。

ERP 向けゼロコピーコネクタ と ERP セマンティックマイニング のリモートテーブル

ラベル	名前	ERP モジュール
SAP 会社コード	sn_erp_integration_st_sap_company_code	基準
SAP 国	sn_erp_integration_st_sap_country	基準
SAP 通貨	sn_erp_integration_st_sap_currency	基準
SAP 言語	sn_erp_integration_st_sap_language	基準
SAP 品目在庫	sn_erp_integration_st_sap_material_stock	調達
SAP 購買ドキュメント	sn_erp_integration_st_sap_purchase_document	調達
SAP 購買組織	sn_erp_integration_st_sap_purchasing_organization	調達
SAP 顧客請求書	sn_erp_integration_st_sap_customer_invoice	営業
SAP 流通チャネル	sn_erp_integration_st_sap_distribution_channel	営業
SAP 部門	sn_erp_integration_st_sap_division	営業
SAP 営業顧客	sn_erp_integration_st_sap_sales_customer	営業
SAP 営業デリバリ	sn_erp_integration_st_sap_sales_delivery	営業
SAP 営業ドキュメント	sn_erp_integration_st_sap_sales_document	営業
SAP 営業組織	sn_erp_integration_st_sap_sales_organization	営業
SAP 営業収益認識	sn_erp_integration_st_sap_sales_revenue_recognition	営業
SAP ベンダー	sn_erp_integration_st_sap_vendor	営業

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ERP 向けゼロコピーコネクタ と **ERP** セマンティックマイニング のリモートテーブル (続く)

ラベル	名前	**ERP** モジュール
SAP ベンダー請求書	sn_erp_integration_st_sap_vendor_invoice	購買 invoice
SAP トランスポート	sn_erp_integration_st_sap_transport	トランスポート (Transport)

リモートテーブルの操作の詳細については、「Remote tables」を参照してください。

ServiceNow 製品でアプリを構築する場合は、次のような標準リモートテーブルをデータソースとして使用できます。

- ServiceNow Studio (ServiceNow スタジオ)
- のフロー ワークフロースタジオ
- のプレイブック ワークフロースタジオ
- テーブルビルダー
- UI ビルダー
- ワークスペースビルダー

Glide API を介して SoR からデータにアクセスすることもできます。

顧客名をフェッチする Glide クエリの例を次に示します。

```
var sap_customer_gr = new GlideRecord('sn_erp_integration_st_sap_sales_customer');
sap_customer_gr.get('customer_number', '100032');
sap_customer_gr.getValue('name');
```

リモートテーブル内の標準 **ERP** 向けゼロコピーコネクタ フィールド

ERP 向けゼロコピーコネクタ で使用できる標準の ERP (エンタープライズリソースプランニング) リモートテーブルには、追加の SAP テーブルのフィールドが含まれています。

標準のリモートテーブルには、次の追加フィールドが含まれています。標準テーブルの詳細については、「ERP 向けゼロコピーコネクタ の標準リモートテーブル」を参照してください。

リモートテーブル内の標準の **ERP** 向けゼロコピーコネクタ テーブルと **ERP** セマンティックマイニング テーブル

リモートテーブル	ソーステーブル	**ERP** フィールド名	マッピングされたフィールド名
SAP 営業ドキュメント	VBAK	VBELN	document_number
SAP 営業ドキュメント	VBAK	ERDAT	date_of_document
SAP 営業ドキュメント	VBAK	ERZET	time_of_document
SAP 営業ドキュメント	VBAK	VKORG	sales_organization
SAP 営業ドキュメント	VBAK	VBTYP	document_category
SAP 営業ドキュメント	VBAK	AUART	document_type
SAP 営業ドキュメント	VBAK	AUGRU	order_reason
SAP 営業ドキュメント	VBAK	LIFSK	delivery_block
SAP 営業ドキュメント	VBAK	FAKSK	billing_block

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

リモートテーブル内の標準の **ERP** 向けゼロコピーコネクタ テーブルと **ERP** セマンティックマイニング テーブル (続く)

リモートテーブル	ソーステーブル	**ERP** フィールド名	マッピングされたフィールド名
SAP 営業ドキュメント	VBAK	KUNNR	customer_number
SAP 営業ドキュメント	VBAK	AUFNR	order_number
SAP 営業ドキュメント	VBAK	NETWR	document_value
SAP 営業ドキュメント	VBAK	WAERK	currency_code
SAP 営業ドキュメント	VBUK	LFGSK	delivery_status
SAP 営業ドキュメント	VBAP	MATNR	material_number
SAP 営業ドキュメント	VBAP	ARKTX	material_description
SAP 営業ドキュメント	VBAP	KWMENG	ordered_quantity
SAP 営業ドキュメント	VBAP	KLMENG	confirmed_quantity
SAP 営業ドキュメント	VBAP	NETWR	item_value
SAP 営業ドキュメント	VBAP	VRKME	sales_unit
SAP 営業ドキュメント	VBAP	ROUTE	delivery_route
SAP 営業ドキュメント	MARA	MTART	material_type
SAP 営業ドキュメント	VBUP	GBSTA	overall_item_status
SAP 営業顧客	KNA1	KUNNR	customer_number
SAP 営業顧客	KNA1	LAND1	country_code
SAP 営業顧客	KNA1	NAME1	name
SAP 営業顧客	KNA1	ORT01	city
SAP 営業顧客	KNA1	PSTLZ	postal_code
SAP 営業顧客	KNA1	STRAS	street
SAP 営業顧客	KNA1	STKZU	vat_liable
SAP 営業顧客	KNA1	STCEG	vat_reg_number
SAP 営業顧客	KNVV	VKORG	sales_organization
SAP 営業顧客	KNVV	VTWEG	distribution_channel
SAP 営業顧客	KNVV	SPART	division
SAP 営業顧客	KNVV	INCO1	inco_terms
SAP 顧客請求書	VBRK	VBELN	document_number
SAP 顧客請求書	VBRK	FKART	billing_type
SAP 顧客請求書	VBRK	WAERK	currency_code
SAP 顧客請求書	VBRK	ZTERM	payment_terms
SAP 顧客請求書	VBRK	NETWR	document_value
SAP 顧客請求書	VBRK	KUNRG	payer
SAP 顧客請求書	VBUK	GBSTK	overall_document_status

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

リモートテーブル内の標準の **ERP** 向けゼロコピーコネクタ テーブルと **ERP** セマンティックマイニング テーブル (続く)

リモートテーブル	ソーステーブル	**ERP** フィールド名	マッピングされたフィールド名
SAP 顧客請求書	VBRP	MATNR	material_number
SAP 顧客請求書	VBRP	ARKTX	material_description
SAP 顧客請求書	VBRP	NETWR	item_value
SAP 顧客請求書	VBRP	FKLMG	billing_quantity
SAP 顧客請求書	VBRP	VRKME	sales_unit
SAP 顧客請求書	VBRP	SHKZG	is_returns_item
SAP 顧客請求書	VBUP	GBSTA	overall_item_status
SAP 営業組織	TVKO	VKORG	sales_organization
SAP 営業組織	TVKO	EKORG	purchase_organization
SAP 営業組織	TVKO	BUKRS	company_code
SAP 購買ドキュメント	EKKO	EBELN	document_number
SAP 購買ドキュメント	EKKO	BUKRS	company_code
SAP 購買ドキュメント	EKKO	BSTYP	document_category
SAP 購買ドキュメント	EKKO	LIFNR	vendor_number
SAP 購買ドキュメント	EKKO	ZTERM	payment_terms
SAP 購買ドキュメント	EKKO	EKORG	purchase_organization
SAP 購買ドキュメント	EKKO	WAERS	currency_code
SAP 購買ドキュメント	EKKO	IHREZ	ext_reference
SAP 購買ドキュメント	EKKO	RESWK	supplying_plant
SAP 購買ドキュメント	EKKO	BEDAT	date_of_document
SAP 購買ドキュメント	EKPO	MATNR	material_number
SAP 購買ドキュメント	EKPO	EMATN	supplier_material_number
SAP 購買ドキュメント	EKPO	MENGE	ordered_quantity
SAP 購買ドキュメント	EKPO	MEINS	order_unit
SAP 購買ドキュメント	EKPO	NETPR	item_value
SAP 購買ドキュメント	EKPO	MWSKZ	vat_applicable
SAP 購買ドキュメント	EKPO	ELIKZ	fully_delivered
SAP 購買ドキュメント	EKPO	REPOS	fully_invoiced
SAP 品目在庫	MARA	MATNR	material_number
SAP 品目在庫	MARA	MTART	material_type
SAP 品目在庫	MARA	MATKL	material_class
SAP 品目在庫	MARA	NTGEW	net_weight
SAP 品目在庫	MARA	EANNR	ean_number

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

リモートテーブル内の標準の **ERP** 向けゼロコピーコネクタ テーブルと **ERP** セマンティックマイニング テーブル (続く)

リモートテーブル	ソーステーブル	**ERP** フィールド名	マッピングされたフィールド名
SAP 品目在庫	MARA	EAN11	ean11_number
SAP 品目在庫	MARA	MSTAE	material_status
SAP 品目在庫	MAKT	MAKTX	material_description
SAP 品目在庫	MARD	WERKS	plant
SAP 品目在庫	MARD	LGORT	storage_location
SAP 品目在庫	MARD	LABST	数量
SAP 品目在庫	MARD	DLINL	date_of_count
SAP ベンダー請求書	RSEG	BELNR	document_number
SAP ベンダー請求書	RSEG	GJAHR	document_year
SAP ベンダー請求書	RSEG	EBELN	purchase_document_number
SAP ベンダー請求書	RSEG	EBELP	purchase_document_item
SAP ベンダー請求書	RSEG	MATNR	material_number
SAP ベンダー請求書	RSEG	BUKRS	company_code
SAP ベンダー請求書	RSEG	WERKS	plant
SAP ベンダー請求書	RSEG	WRBTR	amount
SAP ベンダー請求書	RSEG	SHKZG	credit_debit_indicator
SAP ベンダー請求書	RSEG	MWSKZ	vat_applicable
SAP ベンダー請求書	RSEG	MENGE	数量
SAP 購買組織	T024E	EKORG	purchase_organization
SAP 購買組織	T024E	EKOTX	名前
SAP 購買組織	T024E	BUKRS	company_code
SAP 営業デリバリ	LIKP	VBELN	document_number
SAP 営業デリバリ	LIKP	KUNNR	customer_number
SAP 営業デリバリ	LIKP	ERDAT	date_of_document
SAP 営業デリバリ	LIKP	ERZET	time_of_document
SAP 営業デリバリ	LIKP	VKORG	sales_organization
SAP 営業デリバリ	LIKP	LFART	delivery_type
SAP 営業デリバリ	LIKP	ROUTE	delivery_route
SAP 営業デリバリ	VBUK	GBSTK	overall_document_status
SAP 営業デリバリ	LIPS	MATNR	material_number
SAP 営業デリバリ	LIPS	CHARG	batch_number
SAP 営業デリバリ	LIPS	WERKS	plant
SAP 営業デリバリ	LIPS	LFIMG	数量

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

リモートテーブル内の標準の **ERP** 向けゼロコピーコネクタ テーブルと **ERP** セマンティックマイニング テーブル (続く)

リモートテーブル	ソーステーブル	**ERP** フィールド名	マッピングされたフィールド名
SAP 営業デリバリ	LIPS	NTGEW	net_weight
SAP 営業デリバリ	LIPS	GEWEI	delivery_unit
SAP 営業デリバリ	LIPS	VOLUM	volume
SAP 営業デリバリ	LIPS	VOLEH	volume_unit
SAP 営業デリバリ	LIPS	ARKTX	material_description
SAP ベンダー	LFA1	LIFNR	vendor_number
SAP ベンダー	LFA1	NAME1	name
SAP ベンダー	LFA1	ORT01	city
SAP ベンダー	LFA1	PSTLZ	postal_code
SAP ベンダー	LFA1	STRAS	street
SAP ベンダー	LFA1	STCEG	vat_reg_number
SAP ベンダー	LFA1	WERKS	plant
SAP ベンダー	LFM1	EKORG	purchase_organization
SAP ベンダー	LFM1	WEBRE	gr_invoice_indicator
SAP 営業収益認識	VBREVK	VBELN	document_number
SAP 営業収益認識	VBREVK	POSNR	document_item
SAP 営業収益認識	VBREVK	SAKRR	accr_val_clearing_account_number
SAP 営業収益認識	VBREVK	SAKRRK	offset_clearing_account_number
SAP 営業収益認識	VBREVK	ACC_VALUE	total_accrued_value
SAP 営業収益認識	VBREVK	WRBTR	amount
SAP 営業収益認識	VBREVK	RVAMT	revenue_amount
SAP 営業収益認識	VBREVK	WAERK	currency_code
SAP 国	T005	LAND1	country_code
SAP 国	T002	SPRAS	language_code
SAP 国	T002	LAISO	language_iso_code
SAP 国	T005T	LANDX	説明
SAP 言語	T002	SPRAS	language_code
SAP 言語	T002	LAISO	language_iso_code
SAP 通貨	TCURC	WAERS	currency_code
SAP 通貨	TCURC	ISOCD	currency_iso_code
SAP 通貨	TCURT	LTEXT	説明
SAP 流通チャネル	TVTW	VTWEG	distribution_channel
SAP 流通チャネル	TVTWT	VTEXT	説明

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

リモートテーブル内の標準の **ERP** 向けゼロコピーコネクタ テーブルと **ERP** セマンティックマイニング テーブル (続く)

リモートテーブル	ソーステーブル	**ERP** フィールド名	マッピングされたフィールド名
SAP 部門	TSPA	SPART	division
SAP 部門	TSPAT	VTEXT	説明
SAP 会社コード	T001	BUKRS	company_code
SAP 会社コード	T001	BUTXT	説明
SAP 会社コード	T001	LAND1	country_code
SAP 会社コード	T001	WAERS	currency_code
SAP 会社コード	T001	SPRAS	language_code
SAP トランスポート	E071	AS4DATE	date_of_transport
SAP トランスポート	E071	AS4TIME	time_of_transport
SAP トランスポート	E071	AS4USER	ユーザー
SAP トランスポート	E071	TRFUNCTION	type
SAP トランスポート	E071	TRKORR	番号
SAP トランスポート	E071	TRSTATUS	ステータス
SAP トランスポート	E071	OBJECT	object_type
SAP トランスポート	E071	OBJ_NAME	object_name
SAP トランスポート	E071	PGMID	program_id

ERP 向けゼロコピーコネクタ の標準 **ERP** モデルと抽出テーブル

ERP 向けゼロコピーコネクタ には、ERP (エンタープライズリソースプランニング) モデルにリンクできる多数の標準抽出テーブルが用意されています。

ERP モデルは、ERP データへのアクセスに利用できる一連のテーブルのテンプレートとして機能します。標準の ERP 向けゼロコピーコネクタ モデルをそのまま使用しても、クローンを作成して変更してもかまいません。

次の抽出テーブルは、ERP 向けゼロコピーコネクタ から利用できます。

ERP 向けゼロコピーコネクタ の抽出テーブル

ラベル	**ERP** モジュール
SAP 会社コード	基準
SAP 国	基準
SAP 通貨	基準
SAP 言語	基準
SAP 品目在庫	調達管理
SAP 購買ドキュメント	調達管理
SAP 購買組織	調達管理
SAP 顧客請求書	営業

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ERP 向けゼロコピーコネクタ の抽出テーブル (続く)

ラベル	**ERP** モジュール
SAP 流通チャネル	営業
SAP 部門	営業
SAP 営業顧客	営業
SAP 営業デリバリ	営業
SAP 営業ドキュメント	営業
SAP 営業組織	営業
SAP 営業収益認識	営業
SAP ベンダー	営業
SAP ベンダー請求書	営業
SAP トランスポート	トランスポート (Transport)

リモートテーブルの操作の詳細については、「Remote tables」を参照してください。

ERP 向けゼロコピーコネクタ フィールドの説明

ERP 向けゼロコピーコネクタのフィールド説明の一部のテーブルが大きすぎて、タスクトピックで維持できません。このセクションで、これらの大きなテーブルに関する情報を見つけます。

ERP 向けゼロコピーコネクタ 接続と認証情報フィールドの説明

接続および認証情報エイリアスモーダルには、ERP 向けゼロコピーコネクタ から ERP (エンタープライズリソースプランニング) システムへの接続方法を指定する、接続および認証情報の詳細が含まれています。

プロセスの詳細については、「 での SNC 接続の構成 ERP 向けゼロコピーコネクタ」を参照してください。

[接続情報] フィールドの説明

接続情報フィールド

フィールド	説明
接続名	接続のラベルまたはエイリアス。
SAP アプリケーションサーバーまたはロードバランサーへのホスト名または IP アドレス	ERP システムに接続する ERP システムサーバーまたは負荷分散ホストのホスト名または IP アドレス。
ログイン言語	接続先の ERP サーバーの言語の 2 文字の言語コード。
SAP クライアント	SAP インスタンスがインストールされている接続ホストのクライアント値。
SAP システム番号	SAP インスタンスがインストールされている接続ホストのシステム番号。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

接続情報フィールド (続く)

フィールド	説明
	指定している接続がロードバランサー用である場合は、このフィールドに何も入力しないでください。
負荷分散：SAP メッセージサーバーのポート番号または論理名	メッセージサーバーホストのポート番号または名前。 指定している接続がロードバランサー用である場合にのみ、この値を入力してください。
負荷分散：SAP R3 名	アドレス指定される ABAP システムの 3 文字のシステム ID。 指定している接続がロードバランサー用である場合にのみ、この値を入力してください。
負荷分散：SAP 負荷分散グループ	ロードバランサーの名前。 指定している接続がロードバランサー用である場合にのみ、この値を入力してください。
コミュニケーションパートナーの SNC 名	正規名。(**SNC** 接続 フィールドが **true** に設定されている場合は必須)。
SNC 接続	接続で SNC を使用するには、 **true** に設定します。
SNC の保護品質 (QoP) レベル	次のいずれかの番号を入力します (テキストではなく、数字のみ)。 • 1:認証のみを適用する • 2:認証と整合性保護の適用 • 3: 認証、整合性、プライバシー保護 (暗号化) を適用する • 8:グローバルなデフォルトの保護を適用する • 9:最大限の保護を適用する
外部セキュリティ製品のライブラリ	SAP 暗号化ライブラリファイルの絶対パス。(**SNC** 接続 フィールドが **true** に設定されている場合は必須)。
通信で SNC 保護を使用するかどうかを示す SNC モードフラグ	次のいずれかの番号を入力します (テキストではなく、数字のみ)。 • 0:接続に SNC を適用しない • 1:接続に SNC を適用する
SNC:クライアント SNC 名	クライアントの Personal Security Environment (PSE) 名。(**SNC** 接続 フィールドが **true** に設定されている場合は必須)。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

認証情報フィールドの説明

認証情報フィールド

フィールド	説明
ユーザー名	ERP データにアクセスするために SoR にログインするユーザー名。
パスワード	認証して SoR にログインするためのパスワード。
認証情報名	ログイン認証情報のエイリアスまたは名前。

ERP 向けゼロコピーコネクタ の新しいシステムフィールドの説明

ERP 向けゼロコピーコネクタ の新しいシステムフォームには、ERP (エンタープライズリソースプランニング) システムの接続の詳細に関する情報が含まれています。

プロセスの詳細については、「 ERP 向けゼロコピーコネクタ での ERP システムの作成」を参照してください。

ERP システムフィールドの作成

フィールド	説明
ERP システム	ビジネスエリアを識別するための ERP システムの名前
簡単な説明	ERP システムの目的 (注文など) の簡単な説明。
接続	SoR に接続するために構成した接続および資格情報のエイリアス。ERP 向けゼロコピーコネクタ スコープ内の接続からのみ選択できます。 詳細については、「ERP 向けゼロコピーコネクタ の認証情報と接続の構成」を参照してください。
ERP ソフトウェア	システムでサポートされている ERP ソフトウェア。リストから 1 つ以上のオプション (ECC 7.5 や SAP S/4HANA 2021 など) を選択します。リストにはメジャー SAP バージョンが含まれており、パッチバージョンは含まれていません。
最新のアライブハートビート	ServiceNow AI Platform が ERP システムに最後に接続した日時。 このフィールドは編集できず、ERP システムが正常に保存され、接続された場合にのみ値が設定されます。
抽出テーブル	ERP システム内の ERP 抽出テーブルの数。このフィールドは編集できません。 ERP 向けゼロコピーコネクタ の ERP 抽出テーブルレコードにシステムを追加して、システムを抽出テーブルにリンクします。詳細については、「ERP 向けゼロコピーコネクタ での新し

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ERP システムフィールドの作成 (続く)

フィールド	説明
	い ERP 抽出テーブルの追加」を参照してください。
リモートテーブル	ERP システム内のリモートテーブルの数。このフィールドは編集できません。 ERP 向けゼロコピーコネクタ の ERP リモートテーブルレコードにシステムを追加して、システムをリモートテーブルにリンクします。詳細については、「ERP 向けゼロコピーコネクタ での ERP リモートテーブルの詳細の表示と編集」を参照してください。
更新日時	ERP システムレコードが最後に保存された日時。このフィールドは編集できません。
KB リンク (システムレコードが最初に保存された後のハートビートタブ上)	エラーが発生し、関連するナレッジベース記事が利用可能な場合は、記事へのリンクが表示されます。
ステータス (システムレコードが最初に保存された後のハートビートタブ上)	ハートビートの状態: 開始、 成功、または エラー。
エラーテキスト (システムレコードが最初に保存された後のハートビートタブ上)	発生したエラーの詳細。
更新日時 (システムレコードが最初に保存された後のハートビートタブ上)	ハートビートが最後に変更された日時。

ERP 向けゼロコピーコネクタ [ソフトウェア情報] タブのフィールドの説明

ERP 向けゼロコピーコネクタ の [ソフトウェア情報] タブには、選択した ERP (エンタープライズリソースプランニング) システムに関する情報が含まれています。

プロセスの詳細については、「 ERP 向けゼロコピーコネクタソフトウェア情報の表示」を参照してください。

ERP システム情報の詳細

フィールド	説明
ERP ファミリー	ERP システム (SAP など)。
生成	ERP システムバージョン (SAP ECC や SAP S/4HANA 2021 など)。
データベースタイプ	さまざまなデータベース (列ストアや行ストアなど)。
CPU アーキテクチャ	CPU の設計と命令セット (x86_64 など)。
Unicode	このオプションを選択すると、国際標準文字セットがサポートされます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ERP 向けゼロコピーコネクタ のシステムリストフィールドの説明

ERP 向けゼロコピーコネクタ の [新しいシステムを作成 (Create new system)] フォームには、ERP (エンタープライズリソースプランニング) システムの接続詳細に関する情報が含まれています。

プロセスの詳細については、「 ERP 向けゼロコピーコネクタシステムのリストを表示」を参照してください。

ERP システムリストの詳細

列	説明
ERP システム	ERP システムの名前。
ERP ハートビート	SAP システム接続の最新ステータス (成功 または エラー)。接続は 5 分ごとに自動的にチェックされます。
取得ステータス	システムが最初にセットアップされ、SAP システムに接続すると、メタデータが取得されます。 • BAPI/RFC: BAPI の場合、システムで呼び出すことができる関数の一覧が収集されます。RFC の場合、データベースで使用可能なテーブルを決定するためのチェックが行われます。 • テーブル:データベースからテーブルが取得されます。 • Odata:HTTP プロトコルで使用可能なモデルが取得されます。

ERP 向けゼロコピーコネクタ の ERP モデルテーブルフィールドの説明

ERP 向けゼロコピーコネクタ の ERP (エンタープライズリソースプランニング) モデルの [エンティティフィールド] タブには、ERP モデルに含まれるテーブルフィールドが表示されます。

プロセスの詳細については、「 でのモデルへのエンティティの追加 ERP 向けゼロコピーコネクタ」を参照してください。

ERP 向けゼロコピーコネクタ はリンクされた ERP システムを自動的にスキャンして、最新のエンティティデータを取得します。ただし、[リフレッシュ] アイコンを選択して、オンデマンドでデータをリフレッシュできます。

[エンティティフィールド] タブの詳細

列	説明
フィールド名	SoR のフィールドの名前。
名前	フィールドを含む SoR のテーブルの名前
フィールドラベル	ServiceNow AI Platform で自動的にマッピングされたフィールドの自然言語フィールド名
カスタムか	SoR のフィールドが標準かカスタマイズされているかを示すオプション。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[エンティティフィールド] タブの詳細 (続く)

列	説明
ERP データタイプ	フィールドに含まれるデータタイプ。オプションは次のとおりです。 • char (文字) • date • 10 進数 • numc (番号) • time
クエリ可能	ソーステーブルのクエリを行わずにフィールドからデータを取得できるかどうかを示すオプション 通貨テーブルなどの小さなテーブルでは、データをローカルに格納できるため、フィールドを取得するためのクエリは必要ありません。
更新日時	フィールドが最後に保存された日時。

ERP 向けゼロコピーコネクタ のクローンモデルフィールドの説明

ERP 向けゼロコピーコネクタ の [ERP (エンタープライズリソースプランニング) モデルをクローン (Clone ERP (Enterprise Resource Planning) model)] フォームを使用すると、ERP モデルのクローンを作成して、新しいモデルを編集できます。

プロセスの詳細については、「 ERP 向けゼロコピーコネクタ での ERP モデルのクローン」を参照してください。

ERP モデルのフィールド

フィールド	説明
ERP モデル名	ERP モデルの名前。
ERP モジュール	SoR の ERP モジュール。たとえば、受注や在庫です。 ERP モジュールは、ビジネスプロセスまたはアクティビティに対応するように調整された個別の機能セットを表します。
ERP システム	ERP モデルが接続する ERP システム。 接続された ERP システムにより、フィールドとテーブルに関する情報へのアクセス、およびモデルと接続された ERP システム間のインタラクションが可能になります。詳細については、「ERP 向けゼロコピーコネクタ での ERP システムの作成」と「ERP 向けゼロコピーコネクタ システムのリストを表示」を参照。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ERP モデルのフィールド (続く)

フィールド	説明
アプリケーション	ERP モデルがリンクされているアプリケーションスコープ。たとえば、カスタムモデルを作成した場合、モデルはそのスコープ内に含まれます。
簡単な説明	ERP モデルが表す内容の簡単な説明。
長いテキスト	ERP データモデルに関する説明や情報。
ERP ソフトウェア	モデルのサポート性。このフィールドは、システムで使用できるモデルを決定するため、必須です。モデルを作成または更新して ERP システムを指定すると、そのシステムにリンクされているソフトウェアがこのフィールドに自動的に追加されます。リストから追加のオプションを選択できます。リストにはメジャー SAP バージョンが含まれており、パッチバージョンは含まれていません。モデルをエクスポートすると、このフィールドに指定された ERP ソフトウェア情報が含まれます。

ERP 向けゼロコピーコネクタ の新しいモデルフィールドの説明

ERP 向けゼロコピーコネクタ の新しいモデルフォームには、ERP (エンタープライズリソースプランニング) モデルの詳細が含まれています。

プロセスの詳細については、「 新しい ERP モデルを作成」を参照してください。

フィールド	定義
モデル名	ERP モデルの名前。
ERP モジュール	SoR 内の ERP モジュール (受注やインベントリなど)。リストからモジュールを選択します。必要なモジュールがリストにない場合は、ServiceNow テクニカルサポート . ERP モジュールは、ビジネスプロセスまたはアクティビティに対応するように調整された個別の機能セットを表します。
ERP システム	ERP モデルが接続する ERP システム。 接続された ERP システムにより、フィールドとテーブルに関する情報へのアクセス、およびモデルと接続された ERP システム間のインタラクションが可能になります。詳細については、「ERP 向けゼロコピーコネクタ での ERP システムの作成」と「ERP 向けゼロコピーコネクタシステムのリストを表示」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	定義
モデルタイプ	• プラットフォームモデル:既存のプラットフォームテーブルにマッピングされた入力フィールドと出力フィールドを使用して新しいモデルを作成します。 • ERP モデル:新しいカスタム ERP モデルを作成します。
プラットフォームテーブル ([モデルタイプ] で [プラットフォームモデル] が選択されている場合にのみ表示)	このモデルで使用するテーブルを指定します。
アプリケーション	ERP モデルがリンクされているアプリケーションスコープ。たとえば、カスタムモデルを作成した場合、モデルはそのスコープ内に含まれます。
簡単な説明	ERP モデルが表す内容の簡単な説明。
長いテキスト	ERP データモデルに関する長い説明または情報。
ERP ソフトウェア	モデルのサポート性。このフィールドは、システムで使用できるモデルを決定するため、必須です。モデルを作成または更新して ERP システムを指定すると、そのシステムにリンクされているソフトウェアがこのフィールドに自動的に追加されます。リストから追加のオプションを選択できます。リストにはメジャー SAP バージョンが含まれており、パッチバージョンは含まれていません。モデルをエクスポートすると、ここで指定された ERP ソフトウェア情報が含まれます。

ERP 向けゼロコピーコネクタ のリモートテーブルフォームフィールドの説明

ERP 向けゼロコピーコネクタ のリモートテーブルフォームを使用すると、ERP (エンタープライズリソースプランニング) モデルでリモートテーブルを作成および編集できます。

プロセスの詳細については、「 ERP 向けゼロコピーコネクタ での ERP リモートテーブルの詳細の表示と編集」を参照してください。

リモートテーブルの詳細

フィールド	説明
名前	ServiceNow AI Platform のリモートテーブルの名前。
リモートテーブルリンク	ServiceNow AI Platform のリモートテーブルの名前とリンク。 リモートテーブルリンクを選択すると、リモートテーブルの探索、クエリ、管理を実行できる新しいブラウザタブが開きます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

リモートテーブルの詳細 (続く)

フィールド	説明
ERP モデル	リモートテーブルに接続されている ERP モデル。ERP モデルは、リモートテーブルで利用可能なフィールドを制御します。 **注:** ERP モデルを変更すると、新しいモデルでは使用できない、以前に構成されたテーブルフィールドが削除されます。 ERP リモートテーブルのモデルを変更するには、確認ダイアログで **[ERP** モデルフィールドのロックを解除] ボタンを選択してから、[モデル変更のロック解除] ボタンを選択する必要があります。
ERP システム	リモートテーブルのリンク先の ERP システム。 接続されたシステムは、モデルにリンクされている ERP インスタンスを表し、モデルと接続された ERP システム間のデータフローとインタラクションを可能にします。詳細については、「ERP 向けゼロコピーコネクタ での ERP システムの作成」を参照してください。
ページサイズ	ERP システムから一度に読み取るデータの量。デフォルトは 1,000 です。サイズを大きくすると MID サーバー メモリ領域に影響を与える可能性があります。
クエリ可能なフィールドが必要です	ソーステーブルのクエリを行わずにリモートテーブルからデータを取得できるかどうかを示します。 通貨テーブルなどの小さなテーブルでは、データをローカルに格納できるため、フィールドを取得するためのクエリは必要ありません。
更新日時	リモートテーブルレコードが最後に保存された日時。

ERP 向けゼロコピーコネクタ の抽出テーブルフィールドの説明

ERP 向けゼロコピーコネクタ の抽出テーブルフォームを使用すると、ERP (エンタープライズリソースプランニング) モデルで抽出テーブルを作成および編集できます。

プロセスの詳細については、「 ERP 向けゼロコピーコネクタ での新しい ERP 抽出テーブルの追加」を参照してください。

新しい **ERP** 抽出テーブルフィールド

フィールド	説明
名前	ERP 抽出テーブルの名前。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

新しい **ERP** 抽出テーブルフィールド (続く)

フィールド	説明
テーブル変換マップリンク	抽出された ERP データがキャッシュされて保存される Glide テーブルへのリンク。 抽出テーブルを保存した後、リンクを選択すると、ServiceNow AI Platform テーブルが新しいブラウザタブで開きます。
ERP モデル	抽出テーブルソースの ERP モデル。選択できるように構成されている必要があります。
ページサイズ	ERP システムから一度に読み取るデータの量。デフォルトは 1,000 です。サイズを大きくすると MID サーバー メモリ領域に影響を与える可能性があります。
更新日時	抽出テーブルレコードが最後に保存された日時。

ERP 向けゼロコピーコネクタ スケジュール済み抽出フィールドの説明

ERP 向けゼロコピーコネクタ の [スケジュール済み抽出] フォームを使用すると、定期的にデータを抽出するためのジョブを作成および編集できます。

プロセスの詳細については、「 でのスケジュール済み抽出の作成 ERP 向けゼロコピーコネクタ」を参照してください。

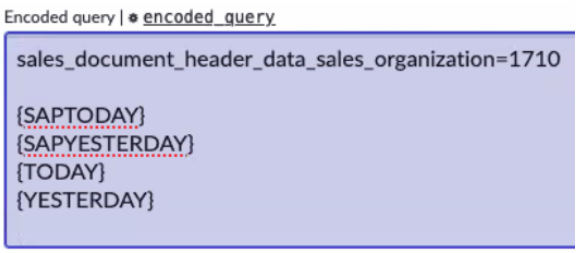
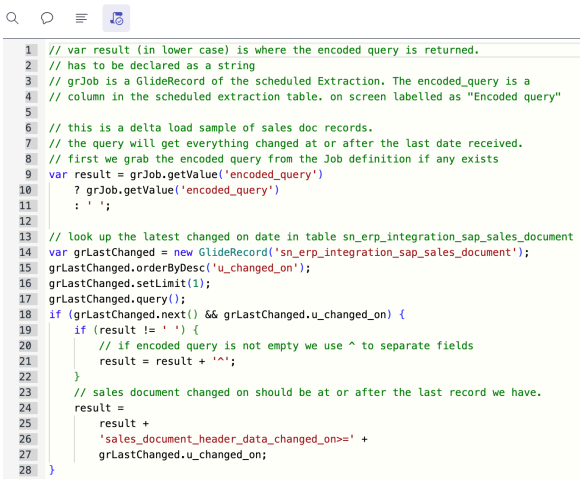
ERP スケジュール済み抽出テーブルフィールド

フィールド	説明
名前	このスケジュール済み抽出を識別する一意の名前。
アクティブ	スケジュールされた抽出がアクティブであり、指定された頻度と時間で実行する必要があることを示すオプション。
抽出テーブル	データのプル元となる ERP 抽出テーブルの名前。
ERP システム	抽出テーブルがリンクされている ERP システム。システムがすでに構成されている必要があります。
アプリケーション	このフィールドは読み取り専用で、 ERP 向けゼロコピーコネクタが自動的に入力されます。
エラー時の最大試行回数	ジョブが失敗した場合、スケジュール済みジョブが停止するまでに試行する最大再試行回数 (0 ～ 10) を設定します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ERP スケジュール済み抽出テーブルフィールド (続く)

フィールド	説明
	注: 各再試行では同じクエリーを使用し、ジョブ全体を再試行します。たとえば、ジョブの合計に 5000 件のレコードが含まれていて、2000 件のレコードが正常に処理された後にジョブが失敗した場合、次の再試行時にジョブ全体が再度実行されます。詳細については、「Import sets key concepts」を参照してください。
抽出は後で再試行します	[エラー時の最大再試行回数] フィールドが 1 ～ 10 の数値に設定されている場合は、抽出を再試行するまでシステムが待機する時間 (日数、時間数、分数、秒数) を指定します。
エンコードクエリ	抽出テーブルリストのフィルターを使用してエンコードされたクエリ文字列を作成し、その文字列をこのフィールドに貼り付けます。たとえば、次のようになります。  詳細については、「Encoded query strings」を参照してください。
エンコードクエリスクリプトを生成	抽出テーブルで使用してデータをフェッチするエンコードされたクエリスクリプトを生成します。たとえば、次のようになります。 

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ERP スケジュール済み抽出テーブルフィールド (続く)

フィールド	説明
	[エンコードクエリの生成スクリプト] に入力されたスクリプトは、[エンコードされたクエリ] フィールドに入力された情報よりも優先されます。(例のように) エンコードされたクエリをスクリプトに追加できます。
抽出後	既存のジョブを選択します。このジョブが完了したら、作成中の新しいジョブが開始されます。指定するジョブはアクティブである必要があります。 **注:** 使用するジョブがリストに表示されない場合は、そのジョブが別のジョブの前または後に既にスケジュールされているかどうかを確認してください。ループを作成しないジョブのみが許可されます。
実行方法	スケジュール済み抽出に関連付けるユーザー名を指定します。
実行	抽出を実行するタイミング。 • 日次:毎日繰り返す次のスケジュールされた開始を時間、分、秒で指定します。たとえば、20:30:00 を追加すると、次回の時計が 20:30:00 (午後 9:30) に達したときにスケジュール済み抽出が開始され、その後は指定されたタイムゾーンの毎日 20:30:00 に開始されます。 • 週次: [日] で、スケジュールされた抽出を実行する曜日を選択します。次回の開始予定日を時間、分、秒単位で指定し、毎週繰り返します。たとえば、日曜日を選択して「03:00:00」と指定すると、スケジュールされた抽出が次の日曜日の午前 3 時に開始され、その後は毎週日曜日の午前 3 時に指定したタイムゾーンで開始されます。 • 月次: [日] で、スケジュールされた抽出を実行する日付を選択します。毎月繰り返す、次のスケジュールされた開始を時間、分、秒で指定します。たとえば、5 を選択して 03:00:00 を指定すると、翌月の 5 日午前 3 時にスケジュール済み抽出が開始され、その後は指定されたタイムゾーンで毎月 5 日毎の午前 3 時にスケジュール済み抽出が開始されます。 • 定期的: [繰り返し間隔] で、定期的に繰り返す日、時、分、秒を選択します。たとえば、スケジュールされた抽出は 3 日、4 時間、30 分、30 秒ごとに開始します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ERP スケジュール済み抽出テーブルフィールド (続く)

フィールド	説明
	• **1** 回: [開始] で、フィールド内をクリックし、日を選択して、抽出を 1 回実行する時刻を入力します。 • オンデマンド: [今すぐ実行] ボタン ([保存] ボタンの横) を選択して、抽出をすぐに実行します。 • ビジネスカレンダー:エントリ開始:[ビジネスカレンダー] フィールドで選択したビジネスカレンダーのエントリ開始日に実行されます。ビジネスカレンダーに定義した各ビジネスエントリの開始日にスケジュール済みジョブが実行されます。たとえば、ビジネスカレンダーが会計年度を表し、各エントリの開始日が会計月である場合、スケジュール済みジョブは毎月最初の日に実行されます。 • ビジネスカレンダー:エントリ終了: [ビジネスカレンダー] フィールドで選択したビジネスカレンダーの終了日に対して実行されます。この選択は、[ビジネスカレンダー:エントリ開始] と同じ方法で実行されますが、関連するビジネスカレンダーエントリの終了日に対して実行されます。 **注:** ビジネスカレンダーの作成と使用、およびビジネスカレンダーエントリの定義の詳細については、「 Creating business calendars 」を参照してください。
時刻	スケジュール済み抽出を実行する時刻 (24 時間形式)。
タイムゾーン	スケジュール済み抽出のタイムゾーンを指定します。

ERP 向けゼロコピーコネクタ 監視フィールドの説明

ERP 向けゼロコピーコネクタ Monitor を使用すると、ERP トランザクションとその進捗状況を追跡できます。

プロセスの詳細については、「 ログに記録され ERP 向けゼロコピーコネクタ 抽出およびリモートルックアップトランザクションを監視する」を参照してください。

トランザクションログ	システムによって割り当てられた一意のトランザクション ログ識別番号。詳細を表示する番号を選択します。
フローエンジンコンテキスト	トランザクションがフローで発生した場合、特定のフローがログに記録され、ここに表示され

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

	ます。コンテキスト名を選択して ワークフロースタジオ でフローを開き、詳細情報を取得します。 **注:** システム提供のフローがログに記録されます。カスタムフローはログに記録されません。
ステータス	抽出またはリモートルックアップのステータス: 開始、成功、またはエラー。
ソース	ERP 向けゼロコピーコネクタ のソーステーブル。たとえば、sn_erp_integration_etl_extraction_task や sn_erp_integration_remote_table などです。
ソース名	[ソース] フィールドで特定されたソースのシステム ID。詳細情報を取得するには、名前を選択します。
表示名	ERP モデル操作。
システム	トランザクションが行われた ERP システム。
申請者スコープ	トランザクションを実行したアプリケーション。ERP トランザクションの場合、申請者スコープはsn_erp_integrationです。
期間 (ミリ秒)	トランザクションの処理に要した時間 (ミリ秒)。
応答アイテム数	読み取られたレコードの数。
更新日時	トランザクションが最後に変更された日時。

ERP 向けゼロコピーコネクタ のフロー用 [ERP データの使用 (Use ERP Data)] アクションの詳細

ERP 向けゼロコピーコネクタ でのモデルの作成と管理が完了したら、ワークフロースタジオ に移動し、[ERP データを使用 (Use ERP Data)] アクションを使用してモデルの入力と出力をテストします。 次に、ERP (エンタープライズリソースプランニング) データを ServiceNow AI Platformに組み込むアクションを含むフローをビルドできます。

[ERP データの使用 (Use ERP Data)] アクションを使用して ERP データを取得する方法については、「ERP システムを読み取りまたは更新するフローのビルド」を参照してください。

ロールと可用性

ERP 向けゼロコピーコネクタ の一部として利用できます。

ロール要件

このアクションには、委託開発によって付与されたロール、またはユーザーにアサインされたロールが必要です。詳細については、「User access to Workflow Studio flows」を参照してください。

入力

アクションに必要な各入力の値を指定します。動的な値を追加するには、ピルピッカーを使用してデータピルを選択することもできます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ModelName

データタイプ：*Dynamic Choice*

読み取り操作または更新操作を含む ERP モデルの名前。モデルはすでに作成されており、ERP 向けゼロコピーコネクタ で読み取り操作または更新操作が定義されている必要があります。詳細については、「モデルが ERP システムを読み取りおよび更新する方法の管理」を参照してください。

ModelOperation

データタイプ：*Dynamic Choice*

ERP システムを [読み取り] するか [更新] するか。読み取りエンティティまたは更新エンティティは、ERP 向けゼロコピーコネクタ で既に定義されている必要があります。詳細については、「でのモデルへのエンティティの追加 ERP 向けゼロコピーコネクタ」を参照してください。

必須フィールド

データタイプ：*Dynamic Template*

操作に必要なフィールド。ERP 向けゼロコピーコネクタ でモデルを管理する場合、フィールドが必須の入力パラメーターとして既に定義されている必要があります。詳細については、「ERP 向けゼロコピーコネクタモデル操作の入力パラメーターの管理」を参照してください。

オプションのフィールド

データタイプ：*Dynamic Template*

操作のオプションのフィールド。モデルを管理する場合、フィールドが必須の入力パラメーターとして既に定義されている必要があります。詳細については、「ERP 向けゼロコピーコネクタモデル操作の入力パラメーターの管理」を参照してください。

システム

データタイプ：*Reference*

接続されている ERP システムの名前。詳細については、「ERP 向けゼロコピーコネクタ での ERP システムの操作」を参照してください。

出力

これらの出力は、他のアイテムの入力として使用できます。

アクションステータス

データタイプ：*Object*

アクションに関する現在のランタイムの詳細を含むデータピル。[アクションステータス] オブジェクトは、コードとメッセージから構成されています。

エラーとして扱わない

データタイプ：*True/False*

フローに戻ったときにアクションステータスをエラーまたは成功としてレポートするオプション。

エラーメッセージ

データタイプ：*String*

アクション、ステップまたはシステム操作によって生成されたエラーメッセージを含む文字列データピルです。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

応答

データタイプ：*Dynamic Object*

ERP システムから返された要求データ。詳細については、「ERP モデルの出力パラメーターの選択」を参照してください。

ERP 向けゼロコピーコネクタ 付属のフロー

ERP 向けゼロコピーコネクタ には、自動的に実行される 2 つの ERP (エンタープライズリソースプランニング) フローが含まれています。

フローを有効にするために何もする必要はありませんが、フロー ワークフロースタジオカスタマイズできます。たとえば、毎日実行する時間を変更するなど。詳細については、「Edit a flow」を参照してください。

注:
ワークフロースタジオ で作業すると、ERP 向けゼロコピーコネクタ は **ERP** 統合として表示されます。

ERP 向けゼロコピーコネクタ が自動的に実行するフローは次のとおりです。

- [システムがアクティブになったときに **SAP BAPI** とテーブルを取得 **(Get SAP BAPIs and tables when system becomes active)]**：このフローは、ERP システムの ERP ハートビートがライブになると即座に自動的にトリガーされます。モデルを管理するときに使用できる BAPI (ビジネスアプリケーションプログラミングインターフェイス) とテーブルを検出して取得します。このフローは、OData ハートビートが成功した場合にも OData カタログサービスを読み取ります。
- [すべてのシステムからの **ETL SAP BAPI** とテーブル **(ETL SAP BAPIs and Tables From all systems)]**：このフローは、[システムがアクティブになったときに **SAP BAPI** とテーブルを取得 **(Get SAP BAPIs and tables when system becomes active)]** フローを毎晩呼び出して、ERP システムで利用可能な BAPI とテーブルに対する変更を取得します。

フローは、変更内容を次のテーブルに保存します。

- sn_erp_integration_sap_tables_list
- sn_erp_integration_sap_bapi_list_list

ERP 向けゼロコピーコネクタ と ERP セマンティックマイニング の用語集

ERP 向けゼロコピーコネクタ、ERP セマンティックマイニング、および ERP データ製品に適用される ERP (エンタープライズリソースプランニング) の用語と概念について説明します。

重要:
Zurich リリース以降、 ERP セマンティックマイニング は将来の廃止に向けて準備されます。これは非表示になり、新しいインスタンスではアクティブ化されなくなりますが、引き続きサポートされます。

BAPI

ビジネスアプリケーションプログラミングインターフェイス (BAPI) は、API に類似した SAP 製品のビジネスオブジェクトモデルへの標準インターフェイスです。

候補

候補は、システム内のカスタムトランザクション (ERP ルート) に基づいてアプリケーションを作成するために使用できる推奨リモートテーブルのグループです。従来の ERP SoR 上に存在する既存のアプリケーションを候補にすることもできます。

現在、再プラットフォーム化の良い候補は、SoR からデータを使用する小さなアプリケーションである傾向があります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

候補スコア

カスタムアプリケーション (ERP ルート) が ERP セマンティックマイニング のリモートテーブルにどの程度適合するかを示すメトリクス。

接続および認証情報エイリアス

認証情報エイリアスは、ServiceNow 認証情報エイリアスで管理されているシステム接続アクセスの実現要因です。認証情報エイリアスは、ERP SoR へのアクセスに使用されます。

カスタムフィールド

カスタムフィールドは、テーブルに追加される値です。

エンティティ

ERP 向けゼロコピーコネクタ が SoR の読み取りまたは更新に使用するテーブルまたはビジネスアプリケーションプログラミングインターフェイス (BAPI) 関数呼び出し。

ERP アプリケーション

ERP セマンティックマイニング を使用して再プラットフォーム化するために選択する ERP (エンタープライズリソースプランニング) カスタムアプリケーションは、ERP システムの ERP ルートです。

ERP モデル

ERP モデルは、特定のビジネスプロセスまたはアクティビティに対応するように調整された独自の機能セットを表します。ERP モデルには、SoR の複数のテーブルと、API および ETL プロセスが含まれ、全体的なデータセットを作成します。たとえば、受注用の ERP システムとインベントリ用の別の ERP システムを使用できます。

ERP モジュール

ERP システムの機能的なビジネスエリア。ERP ルートでは、1 つのビジネスエリアのみを選択できます。

ERP システム

ERP システムは、ERP SoR のセクションへの接続を表します。 ERP 向けゼロコピーコネクタシステムは、データの同期、共有、およびコラボレーションにおいて重要な役割を果たし、ERP モデルと接続された ERP システム間のシームレスな統合と運用を可能にします。

ERP テーブル

ERP システムの個々のテーブル (カスタムテーブルと標準テーブルの両方) は、リモートテーブルの一部です。たとえば、営業では、ERP テーブルに VBAK、VBAP、VBFA、VBPA、VBEP、MKPF、または MSEG を含めることができます。

抽出テーブル

抽出テーブルは、スケジュール済みクエリを使用して大量のデータを取得し、変換テーブルを使用して ServiceNow AI Platformで使用するデータを処理します。

マッピングされた値

マップされた値とは、2 つのデータセット間の事前定義されたマッピングまたは対応に基づいてアサインまたは変換された値を指します。これは、プログラミング、データベース、およびデータ処理で一般的に使用され、ある値を別の値と関連付けます。

odata

ERP 向けゼロコピーコネクタで、HTTP を介して SAP にリンクする OData 接続を作成し、リモートテーブルと抽出テーブルで使用するためにデータを抽出できるようにします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

操作

SoR の読み取りまたは更新のために実行される個々のメンテナンスタスク。

リモートテーブル

リモートテーブルは、1 つのテーブルに収集されたときに値を提供する SoR のテーブルの集計です。リモートテーブルは、ERP モデルの基盤です。候補は複数のリモートテーブルで構成できます。

SoR

ERP SoR とは、データが格納されており、たとえば SAP などからデータを配布する場所です。

ERP セマンティックマイニング

ServiceNow® ERP セマンティックマイニング (旧称 ERP Customization Mining) 製品を使用すると、ERP (エンタープライズリソースプランニング) システムのカスタマイズされたコードを使用してアプリケーションの候補を見つけることができます。ERP セマンティックマイニング、ServiceNow AI Platformで再プラットフォーム化の適合性の候補をランク付けします。

重要:
Zurich リリース以降、 ERP セマンティックマイニング は将来の廃止に向けて準備されます。これは非表示になり、新しいインスタンスではアクティブ化されなくなりますが、引き続きサポートされます。

ERP 向けゼロコピーコネクタERP セマンティックマイニング、組織がレガシーコードを最新化してオーケストレーションし、SAP などの既存の SoR では不十分なプロセスと統合を補完するのに役立ちます。ERP 向けゼロコピーコネクタ と ERP セマンティックマイニング を併用することで、従来の ERP システムのデータを使用して、ServiceNow AI Platform でのアプリケーションのビルドを迅速かつ簡単に行うことができます。

再プラットフォーム化は、従来の ERP システムコードをスキャンして、新しいアプリとして ServiceNow AI Platform インスタンスに移行する潜在的な候補を見つけるプロセスです。ERP システムからのデータを、ServiceNow AI Platform 上にビルドされたアプリのソースとして使用し、パフォーマンスの向上、 セキュリティの強化、メンテナンスの削減を実現できます。

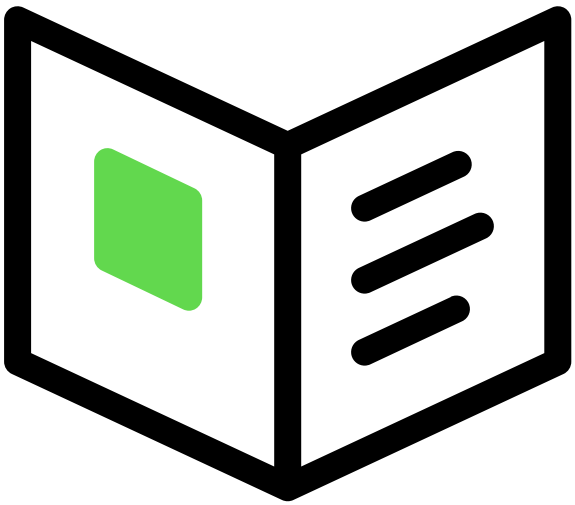
レガシーコードの再プラットフォーム化により、レガシーシステムの知識がなくても SoR 上でイノベーションが可能になります。これにより、データベースアドミニストレーターと開発者は、SoR でデータベースビューやエンドポイントを作成するという時間のかかる作業から解放されます。その後、データベース管理者と開発者は、移行などの他のプロジェクトに取り組むことができます。

注:
Yokohama リリースの新機能と更新された機能の詳細については、「ERP セマンティックマイニングのリリースノート」を参照してください。

自動翻訳

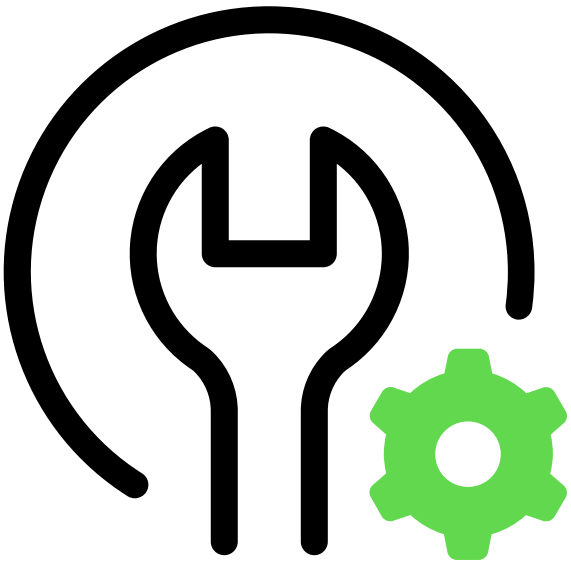
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

探索



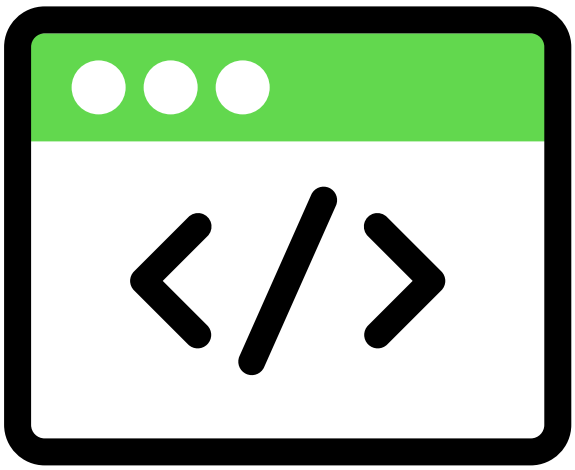
ERP セマンティックマイニングの概念と機能について説明します。

構成



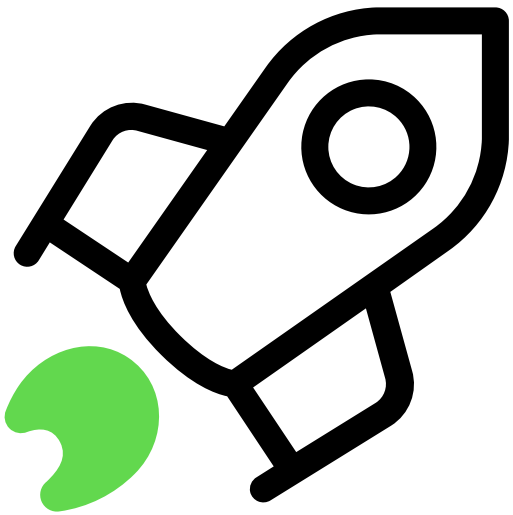
ERP セマンティックマイニング接続をインストールして構成します。

勤務先



ERP セマンティックマイニングを使用して、再プラットフォーム化する候補を特定します。

参照

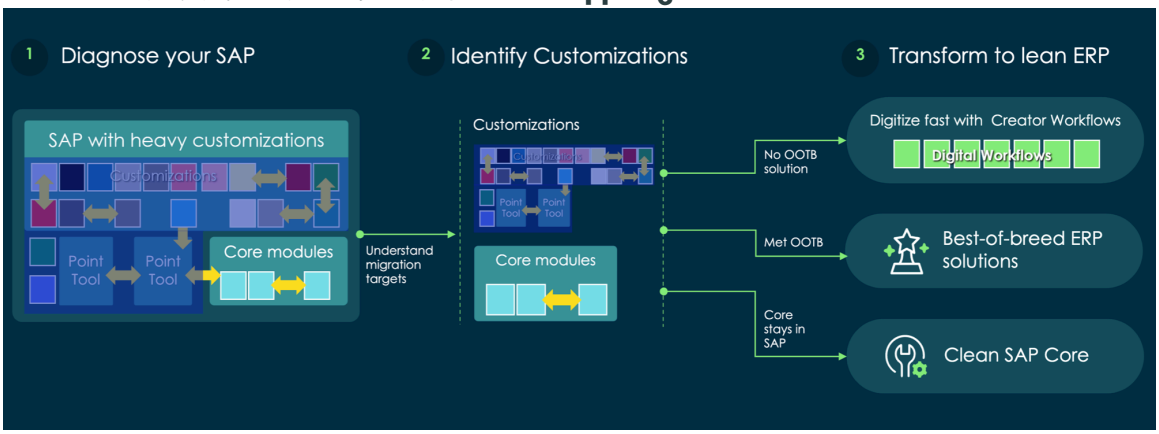


テーブルや用語など、 ERP セマンティックマイニング コンポーネントに関する詳細を取得します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ERP セマンティックマイニング および **ERP** の **App Engine**

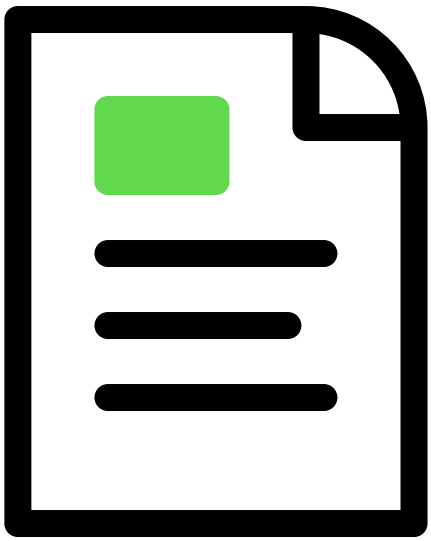


ERP セマンティックマイニング の学習リソース

ERP セマンティックマイニング に関する詳細	ServiceNow リソース
ERP セマンティックマイニング には、始めるためのトレーニングと学習リソースが多数あります。(これらのリソースの一部は、 ServiceNow University サイトにログインする必要があります。	Partner Essentials：Clean Core for App Engine (App Engine のクリーンコア)

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ERP セマンティックマイニング に関する詳細	ServiceNow リソース
	 ERP セマンティックマイニングの概要
	 ERP Fundamentals 向け App Engine

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ERP セマンティックマイニング に関する詳細	ServiceNow リソース
	ServiceNow ERP セマンティックマイニングで クリーンな ERP コアを実現

ストアで **ERP** セマンティックマイニング を要求する

ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート」を参照してください。

ERP セマンティックマイニング を使用する前に、まず ServiceNow Store から ERP セマンティックマイニング をダウンロードする必要があります。ダウンロードが完了したら、ERP セマンティックマイニング がインスタンスに表示される前にローカルキャッシュのクリアが必要な場合があります。

ERP セマンティックマイニング をダウンロードしたら、インスタンスにインストールします。詳細については、「ERP セマンティックマイニング をインストール」を参照してください。

ERP セマンティックマイニング の探索

ERP セマンティックマイニング を使用すると、再プラットフォーム化の候補を特定できます。これらの候補は、迅速な再プラットフォーム化を必要とする、従来の ERP (エンタープライズリソースプランニング) システム上にビルドされたカスタムアプリケーションである可能性があります。

重要:
Zurich リリース以降、 ERP セマンティックマイニング は将来の廃止に向けて準備されます。これは非表示になり、新しいインスタンスではアクティブ化されなくなりますが、引き続きサポートされます。

ERP セマンティックマイニング で再プラットフォーム化する候補の特定

従来の ERP システムには、メンテナンスが困難なカスタムフィールドを含む古いテーブルが含まれている場合があります。ERP 向けゼロコピーコネクタ と ERP セマンティックマイニング を使用して、カスタムフィールドを持つ候補を特定し、リモートテーブルまたは抽出テーブルとしてインスタンスに抽出します。ローコード開発者は、ServiceNow スタジオ などのビルダーを使用して、従来の ERP フィールドをServiceNow AI Platformで作成されたアプリのデータソースとして使用し、再プラットフォーム化できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

リモートテーブルと抽出テーブルを組み合わせて使用すると、従来の ERP システムからデータを取得できます。

- リモートテーブルは、外部データソースに対して関連スクリプトを実行することでレコードを取得します。
- 抽出テーブルは、スケジュール済みクエリを使用して大量のデータを取得し、変換テーブルを使用して ServiceNow AI Platformで使用するデータを処理します。

再プラットフォーム化は、従来の ERP システムコードをスキャンして、新しいアプリとして ServiceNow AI Platform インスタンスに移行する潜在的な候補を見つけるプロセスです。ERP システムからのデータを、ServiceNow AI Platform 上にビルドされたアプリのソースとして使用し、パフォーマンスの向上、 セキュリティの強化、メンテナンスの削減を実現できます。

再プラットフォーム化する ERP 候補が見つかると、ERP セマンティックマイニング は次のアクションや類似の候補を提案します。 ERP セマンティックマイニング は、アドミニストレーターが ERP 向けゼロコピーコネクタ で構成する ERP モジュールまたは機能領域をサポートしています。モジュールの例としては、経理、調達、営業などがあります。詳細については、「ERP データを操作する ERP モデルのビルドと管理」を参照してください。

再プラットフォーム化されたデータはすぐに利用でき、管理しやすいテーブルやアプリに反映されます。ユーザーは、数週間かかる可能性のあるデータベースアドミニストレーターに情報を要求する必要がなくなります。 再プラットフォーム化されたアプリは、ERP SoR をライブデータソースとして使用します。

カスタマイズされた **ERP** アプリケーションを再プラットフォーム化するためのワークフロー

SoR のカスタムコードを使用して従来の ERP データを再プラットフォーム化するには、次のワークフローを完了します。すべての作業は、ERP セマンティックマイニングを使用してServiceNow AI Platformで行われます。

1. ERP SoR で ERP セマンティックマイニング を使用して分析を実行します。
2. ERP 向けゼロコピーコネクタを使用して、ERP SoR を ServiceNow インスタンスに接続します。

   ERP セマンティックマイニング は、ERP 向けゼロコピーコネクタ で構成されたシステム接続を使用します。詳細については、「ERP 向けゼロコピーコネクタ での ERP システムの操作」を参照してください。
3. ERP 向けゼロコピーコネクタ を使用して、利用可能なリモートテーブルのフィールドから ERP モデルをビルドします。詳細は、以下のトピックを参照してください。
   - ERP データを操作する ERP モデルのビルドと管理
   - ERP 向けゼロコピーコネクタ での ERP リモートテーブルの使用
4. ERP セマンティックマイニング を実行して候補を検索します。候補は、ServiceNow アプリで置き換えることができる、SoR 内のカスタムコードです。詳細については、「ERP セマンティックマイニング で候補の概要を参照する」を参照してください。
5. 再プラットフォーム化する候補を選択します。詳細については、「再プラットフォーム化の潜在的な候補の保存」を参照してください。
6. ERP セマンティックマイニング 内の候補の詳細を、候補に関連するコメントを入力して添付ファイルを保存する中心的な場所として使用します。詳細については、「ERP セマンティックマイニング で候補の詳細を表示して操作する」を参照してください。
7. 候補の詳細で、再プラットフォーム化された単一アプリに結合できる類似の候補を特定します。詳細については、「候補スコアと潜在能力の決定」を参照してください 。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

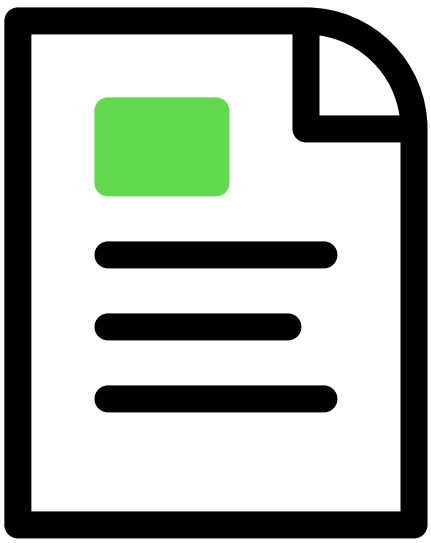
8. ERP 向けゼロコピーコネクタ に戻って、リモートテーブルと抽出テーブルを使用してデータモデルのビルドを続行します。必要なデータがすべて ServiceNow AI Platformで利用可能であることを確認します。詳細については、「ERP データを操作する ERP モデルのビルドと管理」を参照してください。
9. ServiceNow スタジオまたは別のServiceNowアプリケーションで、再プラットフォーム化されたデータをソースとして使用してスコープ対象のアプリをビルドします。詳細については、「ServiceNow スタジオ」を参照してください。
10. お好みの分析ツールで適用可能なメトリクスとパラメーターを使用して、新しいアプリのパフォーマンスを測定および監視します。

ERP セマンティックマイニング のメリット

ERP セマンティックマイニング のメリット

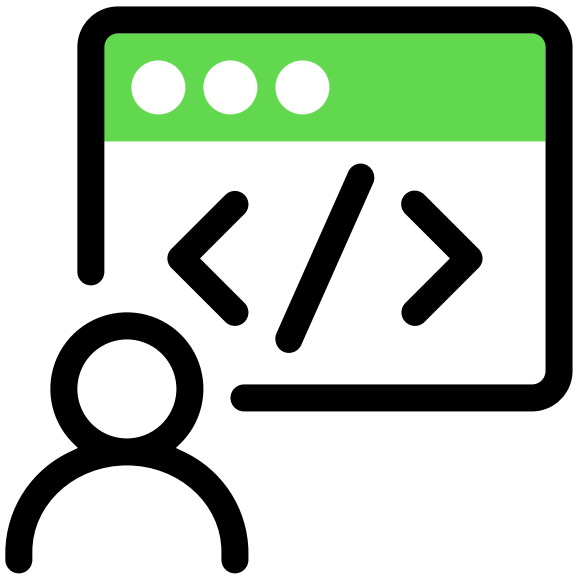
メリット	機能	ロール
ERP アドミンの介入を待たずに、カスタムコードを使用して迅速に候補を特定し、再プラットフォーム化します。	再プラットフォーム化の潜在的な候補の保存	sn_erp_mining.erp_admin、sn_erp_mining.erp
再プラットフォーム化の次の手順とアクションの提案を表示します。	ERP セマンティックマイニング で候補の推奨事項を確認する	sn_erp_mining.erp_admin、sn_erp_mining.erp
選択した候補を保存してリストにまとめます。	再プラットフォーム化の潜在的な候補の保存	sn_erp_mining.erp_admin、sn_erp_mining.erp

ERP セマンティックマイニング のその他のリソース

ERP セマンティックマイニング に関する詳細	ServiceNow リソース
ERP セマンティックマイニング を使用すると、ERP システムでカスタマイズされたコードを使用してアプリケーションの候補を検索できます。	 App Engine for ERP の概要: ServiceNow University

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ERP セマンティックマイニング に関する詳細	ServiceNow リソース
	注: このリソースにアクセスするには、ServiceNow University にログインする必要があります。
	 ServiceNow コミュニティサイト
	 ビデオ：ERP システムの可能性を最大限に引き出す

ERP セマンティックマイニング でデータを抽出および処理する方法

ERP セマンティックマイニング は、エクストラクターを使用して ERP (エンタープライズリソースプランニング) システムからデータを取得し、データが ServiceNow AI Platformで利用可能になる前に処理します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

重要:
Zurich リリース以降、 ERP セマンティックマイニング は将来の廃止に向けて準備されます。これは非表示になり、新しいインスタンスではアクティブ化されなくなりますが、引き続きサポートされます。

SAP エクストラクターを使用して ERP データソースを分析し、構文を検証します。次のエクストラクターを使用して、ERP システムからデータを取得できます。

- APPstats
- COMPHIER
- SQLM

サポートされているエクストラクターは、 ServiceNow AI Platform テーブルを使用してデータを処理します。

SAP データエクストラクター

エクストラクター	フルネーム	説明	ServiceNow AI Platform の処理テーブル	入力される ServiceNow AI Platform テーブル
APPstats	アプリケーション統計情報	ERP アプリケーションからシステムレベルの統計情報とパフォーマンスメトリクスを収集して分析します。	sn_erp_mining_erp_application_data_staging sn_erp_mining_erp_application_data_agg	sn_erp_mining_erp_application sn_erp_mining_erp_user
COMPHIER	コンポーネント階層	ビジネスプロセスやモジュール構成など、SAP のさまざまなコンポーネント間の階層と関係を分析します。	sn_erp_mining_erp_hierarchy_data_staging sn_erp_mining_erp_hierarchy_data_agg	sn_erp_mining_erp_application sn_erp_mining_erp_module
SQLM	SQL モニター	実行中の ABAP アプリケーションによって実行されるすべての SQL ステートメントおよび操作の監視を有効にします。SQLM によって収集されたデータは、実行されたすべてのデータベース操作について集計されたパフォーマンスインジケーター (実行回数、実行時間、影響を受けた行数など) を提供します。	sn_erp_mining_erp_sqlm_data_staging sn_erp_mining_erp_sqlm_data_agg	sn_erp_mining_erp_application sn_erp_mining_erp_table sn_erp_mining_erp_application_ta sn_erp_mining_erp_application_u

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

候補スコアと潜在能力の決定

ERP セマンティックマイニング は、従来の ERP (エンタープライズリソースプランニング) 候補を ServiceNow AI Platform に再プラットフォーム化する可能性をランク付けするスコアを生成します。

重要:
Zurich リリース以降、 ERP セマンティックマイニング は将来の廃止に向けて準備されます。これは非表示になり、新しいインスタンスではアクティブ化されなくなりますが、引き続きサポートされます。

すべての候補は、候補の詳細で指定された ERP モジュールを ERP セマンティックマイニング に持っています。ERP モジュールは、再プラットフォーム化の候補の潜在的なスコア、およびモデルに含まれるリモートテーブルと抽出テーブルを評価するために使用されます。

- リモートテーブルは、外部データソースに対して関連スクリプトを実行することでレコードを取得します。
- 抽出テーブルは、スケジュール済みクエリを使用して大量のデータを取得し、変換テーブルを使用して ServiceNow AI Platformで使用するデータを処理します。

注:

アドミニストレーターは、最初に ERP 向けゼロコピーコネクタ で ERP システムへの接続を構成する必要があります。詳細については、「ERP 向けゼロコピーコネクタ での ERP システムの操作」を参照してください。

候補の潜在的能力に対する高スコアと低スコア

ERP セマンティックマイニング は、テーブルとフィールドが ServiceNow AI Platform でどの程度サポートされているかに基づいて候補を評価します。

- 「可能性が高い」ということは、追加の変更を加えることなく、アプリケーション候補の ERP モデルに一致するリモートテーブルと抽出テーブルをすぐに使用できることを示します ERP セマンティックマイニング 。
- 「可能性が低い」ということは、アプリケーション候補が ERP 向けゼロコピーコネクタ の ERP モデルのリモートテーブルや抽出テーブルとあまり一致しないことを示します。

スコアの計算方法

候補の潜在的なスコアは、次のメトリクスを使用して計算されます。

- ERP モデル：候補がリモートテーブルと抽出テーブルを使用する ERP モデルの数。
- 類似の候補：テーブルベースの類似性とモデルベースの類似性の両方を考慮に入れた上で、しきい値を超える類似スコアを持つ候補の数。

  しきい値はシステムプロパティ [sys_properties] テーブルで調整でき、デフォルトの OR 条件は AND に変更できます。

- サポートされているテーブルのスコア：ERP モデルでサポートされているカスタムアプリテーブルの数と、カスタムアプリテーブルの数の比率。

  注:
  テクニカルまたは ServiceNow のテーブルクラスターに属するテーブルは、これらの計算から無視されます。

- サポートされているテーブルの使用率：カスタムアプリで使用されている、関連する ERP モデルでサポートされているテーブルの比率。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- サポートされていないモデルのペナルティ：ERP モデルのテーブルでサポートされていない操作の数に対するペナルティ。サポートされていない操作の数はシグモイド関数を介して渡されるため、範囲は 0.0 ～ 1.0 になります。
- サポートされていないテーブル拡張：モデル拡張としても提案されているカスタムアプリテーブルの数。
- モデルの不正確さ：関連する ERP モデルでサポートされているテーブルの中で、カスタムアプリで使用されず、シグモイド関数を介して渡されるテーブルの数。

ERP セマンティックマイニング と ERP 向けゼロコピーコネクタ およびリモートテーブルとの連携の仕組み

ERP 向けゼロコピーコネクタ を使用すると、ERP (エンタープライズリソースプランニング) SoR に接続し、そのデータを整理できます。

> **重要:**
> Zurich リリース以降、 ERP セマンティックマイニング は将来の廃止に向けて準備されます。これは非表示になり、新しいインスタンスではアクティブ化されなくなりますが、引き続きサポートされます。

ERP 向けゼロコピーコネクタを使用すると、リモートテーブルと ERP 抽出テーブルの標準フィールドにアクセスできます。 ERP セマンティックマイニングにより、SoR から ServiceNow AI Platform への再プラットフォーム化に適した候補を見つけることができます。

ERP セマンティックマイニング は、候補と可能な次のステップ (ERP データにアクセスするためのリモートテーブルや抽出テーブルの更新など) を提案します。リモートテーブルは、データを添付ファイルとして ServiceNow インスタンスに送信します。このデータは、AI/ML を使用して分析され、再プラットフォーム化する類似の候補が特定されます。

再プラットフォーム化する候補を特定し、 ERP セマンティックマイニング で推奨されるアクションを実行したら、リモートテーブルと抽出テーブルへのアクセスにのみ ERP 向けゼロコピーコネクタを使用する必要があります。これらのテーブルは、アプリ、フロー、およびワークスペースを構築するためのデータソースです。

ERP 向けゼロコピーコネクタ および ERP セマンティックマイニング でのリモートテーブルと抽出テーブルの使用

リモートテーブルと抽出テーブルを組み合わせて使用すると、従来の ERP システムからデータを取得できます。

- リモートテーブルは、外部データソースに対して関連スクリプトを実行することでレコードを取得します。
- 抽出テーブルは、スケジュール済みクエリを使用して大量のデータを取得し、変換テーブルを使用して ServiceNow AI Platformで使用するデータを処理します。

リモートテーブルは、SoR のような、外部ソースから取得するデータのスキーマを記述します。ServiceNow AI Platform をサードパーティソースまたは別のインスタンスに接続して、外部データを取得して必要に応じてメモリにキャッシュできるようにします。リストまたはフォームで外部データを表示して、標準の Glide スクリプトで処理することができます。また、標準の内部テーブルの場合と同様に、データをグループ化、ソート、集計、フィルタリングできます。

リモートテーブルを使用すると、外部ソースから、または REST サービスあるいは SOAP サービスを使用して別のインスタンスからデータを取得できます。外部データは読み取り専用モードでメモリ内に存在するため、ServiceNow AI Platform 内でデータは一時的なものになります。外部データをインポートしたり保存したりすることなく、外部データを表示および操作できます。詳細については、「Remote tables」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

大量の ERP データを処理するには、抽出テーブルを使用します。ERP 抽出テーブルは、ServiceNow AI Platform 上のローカル変換テーブルに定期的にデータを保存し、それを処理して、再プラットフォーム化されたアプリのデータ基盤として使用できます。

ERP セマンティックマイニング の推奨事項と類似の候補

ERP セマンティックマイニング内の各候補のレコードには、ERP (エンタープライズリソースプランニング) アプリの再プラットフォーム化に役立つ、提案された次のステップと類似の候補に関する情報が表示されます。

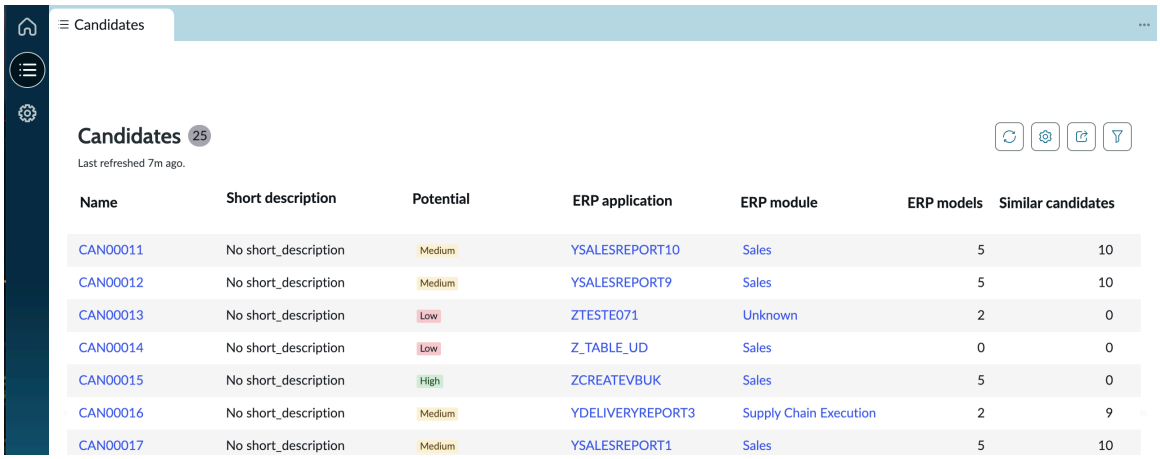
重要:
Zurich リリース以降、 ERP セマンティックマイニング は将来の廃止に向けて準備されます。これは非表示になり、新しいインスタンスではアクティブ化されなくなりますが、引き続きサポートされます。

候補に関する推奨アクション

候補を表示する ERP セマンティックマイニング 、推奨アクションまたは次のステップの数が表示されます。 候補の詳細には [推奨事項] タブもあり、提案されたアクションを表示し、それらを選択して関連するアプリを ServiceNow AI Platform で開くことができます。

たとえば、ある候補のワークフローを ワークフロースタジオ で作成し、別の候補の統合スポークを更新し、3 番目の候補の抽出テーブルを読み取る必要がある場合があります。

推奨アクションにはそれぞれ工数概算があります。これは、ServiceNow AI Platform にどの程度一致している機能があるか評価する数値スコアです。緑のアクションはほとんどまたはまったく労力を必要としませんが、赤いアクションはより困難です。



Name	Short description	Potential	ERP application	ERP module	ERP models	Similar candidates
CAN00011	No short_description	Medium	YSALESREPORT10	Sales	5	10
CAN00012	No short_description	Medium	YSALESREPORT9	Sales	5	10
CAN00013	No short_description	Low	ZTESTE071	Unknown	2	0
CAN00014	No short_description	Low	Z_TABLE_UD	Sales	0	0
CAN00015	No short_description	High	ZCREATEVBUK	Sales	5	0
CAN00016	No short_description	Medium	YDELIVERYREPORT3	Supply Chain Execution	2	9
CAN00017	No short_description	Medium	YSALESREPORT1	Sales	5	10

推奨アクションの詳細については、「ERP セマンティックマイニング で候補の推奨事項を確認する」を参照してください。

候補の詳細での類似の候補

ERP セマンティックマイニング は各候補の [類似の候補 **(Similar candidates)**] タブを表示し、それぞれの類似の候補、2 つの候補の関連性を表す数値スコア、他の類似の候補へのリンクを一覧表示します。

同様の候補は、従来のアプリを最適に再プラットフォーム化する方法を計画するときに役立ちます。SoR からカスタムアプリを再プラットフォーム化する場合、古いアプリを正確に複製する必要はありません。再プラットフォーム化プロセスを使用して、より良いアプリを設計します。たとえば、ServiceNow AI Platform.

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ERP セマンティックマイニング でアプリを **ServiceNow** に再プラットフォーム化する場合の次の手順

ERP セマンティックマイニング を使用して従来の ERP (エンタープライズリソースプランニング) の候補を特定したら、追加の ServiceNow AI Platform 製品とリソースを使用してアプリを再プラットフォーム化します。

重要:
Zurich リリース以降、 ERP セマンティックマイニング は将来の廃止に向けて準備されます。これは非表示になり、新しいインスタンスではアクティブ化されなくなりますが、引き続きサポートされます。

まず、ERP セマンティックマイニング を使用して ERP システムから再プラットフォーム化するカスタマイズを特定します。

次に、候補のマイニング結果でリンクされているリモートテーブルと抽出テーブルを使用して、ERP データに迅速にアクセスします。

この ERP データは、ServiceNow スタジオ などで ServiceNow AI Platform に新しいアプリをビルドするときにデータソースとして使用できます。

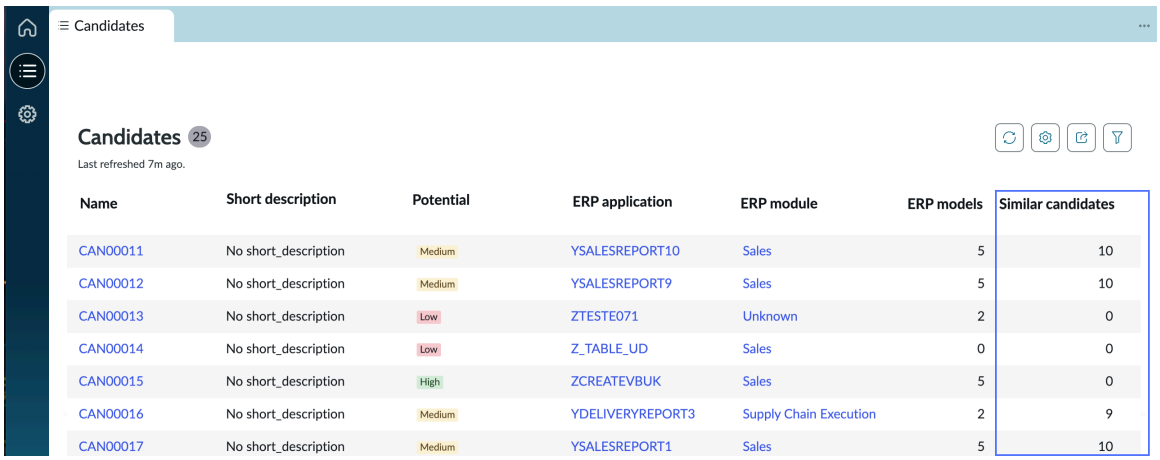
ERP データを使用する **ServiceNow** アプリのビルド

ServiceNow スタジオ for ERP (エンタープライズリソースプランニング) による再プラットフォーム化の次のステップは、ERP データを使用するアプリを ServiceNow AI Platform にビルドすることです。

従来のアプリを ServiceNow AI Platform 上に再プラットフォーム化する場合は、データの取得元を考慮して行ってください。 たとえば、古いアプリでは、サードパーティのデータを SoR に取得する場合があります。ServiceNow AI Platformで再プラットフォーム化された新しいアプリをビルドする場合は、そのサードパーティから直接データをプルするように新しいアプリを構成できます。この方法を使用すると、 ERP 向けゼロコピーコネクタ モデルは ERP システムからデータをプルしなくなり、取得のステップが追加されます。

アプリを再プラットフォーム化する際に類似の候補を使用する

ERP セマンティックマイニング が候補に類似の候補が多数あることを示している場合は、プラットフォームを再構築するときに、類似の候補の一部またはすべてのニーズを満たす 1 つのアプリを構築することを検討してください。



Name	Short description	Potential	ERP application	ERP module	ERP models	Similar candidates
CAN00011	No short_description	Medium	YSALESREPORT10	Sales	5	10
CAN00012	No short_description	Medium	YSALESREPORT9	Sales	5	10
CAN00013	No short_description	Low	ZTESTE071	Unknown	2	0
CAN00014	No short_description	Low	Z_TABLE_UD	Sales	0	0
CAN00015	No short_description	High	ZCREATEVBUK	Sales	5	0
CAN00016	No short_description	Medium	YDELIVERYREPORT3	Supply Chain Execution	2	9
CAN00017	No short_description	Medium	YSALESREPORT1	Sales	5	10

SoR からカスタムアプリを再プラットフォーム化する場合、古いアプリを正確に複製する必要はありません。再プラットフォーム化プロセスを使用して、より良いアプリを設計します。たとえば、ServiceNow AI Platform. ServiceNow スタジオ でローコードツールを使用してビルドされた単一

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

の新しいアプリで複数の類似した候補のニーズに対応するアプリは、最も簡単に使用できるアプリですが、ライセンスに応じて他のビルダーを利用できます。

ServiceNow ローコードおよびプロコードビルダー

再プラットフォーム化する ERP データを特定すると、市民開発者は ServiceNow ビルダーを使用してデータから迅速にアプリを作成できます。SAP などの ERP SoR に存在するカスタムフィールドは、ServiceNow AI Platform を使用してビルドするアプリで活用できます。市民開発の詳細については、「委託開発 の探索」を参照してください。

カスタムデータを使用してアプリを作成するには、次の ServiceNow ビルダーのいずれかを使用します。

- ServiceNow Studio (ServiceNow スタジオ)
- のフロー ワークフロースタジオ
- のプレイブック ワークフロースタジオ
- テーブルビルダー
- UI ビルダー
- ワークスペースビルダー

たとえば、 ServiceNow スタジオで使用し、テンプレートを使用し (またはアプリをゼロから構築し)、ERP モデルとリモートテーブルを使用してリモートテーブルを組み込みます。ERP モデルおよびリモートテーブルの従来のデータを、テーブル内の他の ServiceNow データと組み合わせることができます。

Glide を使用した ERP データのクエリ

Glide API を介して SoR からデータにアクセスすることもできます。

詳細については、「ERP セマンティックマイニング での ERP データに対するサンプルの Glide クエリ」を参照してください。

カスタムコードを ServiceNow アプリに再プラットフォーム化した後

ServiceNow AI Platform の再プラットフォーム化されたアプリは、コードを書き戻すことなく、SoR のライブデータを使用します。

再プラットフォーム化する候補を特定し、 ERP セマンティックマイニング で推奨されるアクションを実行したら、リモートテーブルと抽出テーブルへのアクセスにのみ ERP 向けゼロコピーコネクタを使用する必要があります。これらのテーブルは、アプリ、フロー、およびワークスペースを構築するためのデータソースです。

SoR の従来のコードが他の場所で参照されていないことが確実な場合は、再プラットフォーム化後にシステムから削除できます。

のガイド付きツアー ERP セマンティックマイニング

ERP セマンティックマイニングガイド付きツアーにアクセスして、ERP セマンティックマイニングに関する知識を深める方法など、ガイド付きツアーについて学びます。

重要:
Zurich リリース以降、 ERP セマンティックマイニング は将来の廃止に向けて準備されます。これは非表示になり、新しいインスタンスではアクティブ化されなくなりますが、引き続きサポートされます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

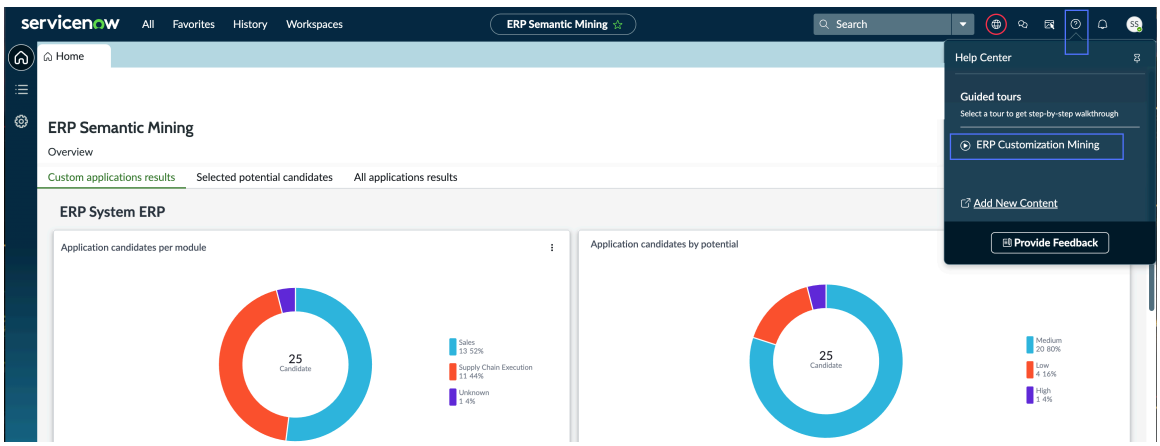
ガイド付きツアーとは

ガイド付きツアーは、デフォルトの ServiceNow プラットフォームに含まれています。使用可能なガイド付きツアーがあり、ガイド付きツアーアプリケーションを使用して、独自のインスタンスでカスタムツアーを自分で作成できます。

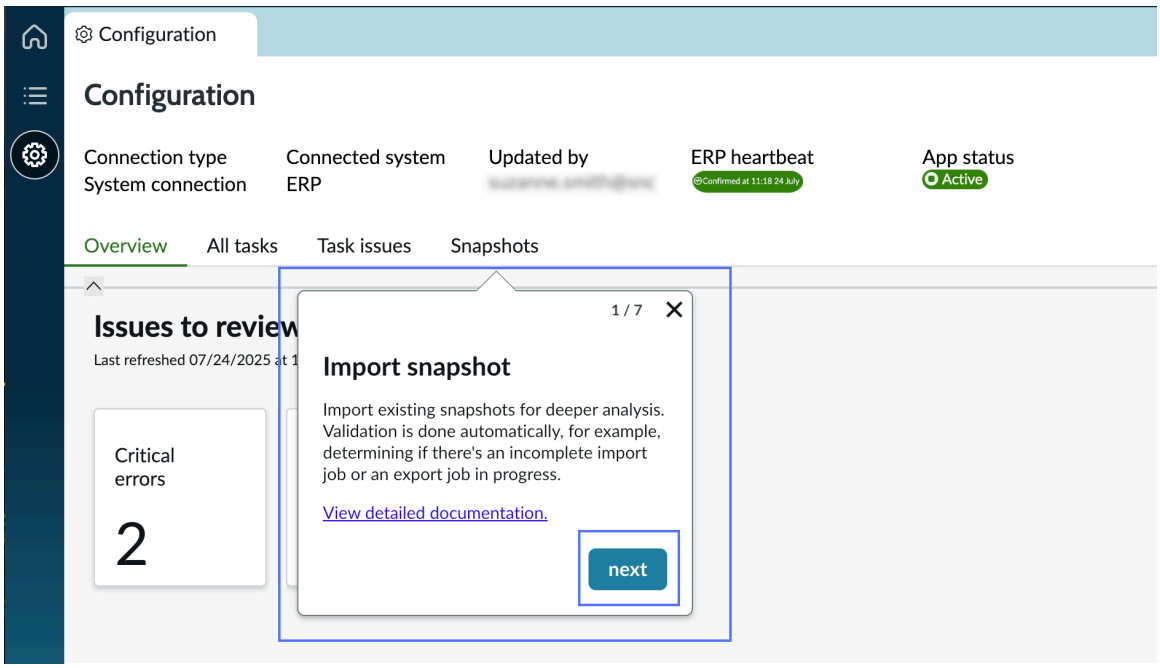
ツアーには、ユーザーのトレーニングと教育に役立つインタラクティブな手順が含まれています。一部のツアーでは、ホームページの概要など、ユーザーインターフェイスのさまざまな機能が表示されます。他のツアーは、接続の構成や候補の詳細の操作などのタスクの完了に役立ちます。ガイド付きツアーの内容と作成方法の詳細については、「Exploring Guided Tours」を参照してください。

ERP セマンティックマイニング ガイド付きツアーのアクセス方法と使用方法

ツアーを開始するには、ヘルプの表示アイコン を選択し、ツアーを選択します。



一連のステップが導かれます。各ステップのテキストを読み、必要なアクションを実行するか、[次へ] を選択してツアーを続行します。

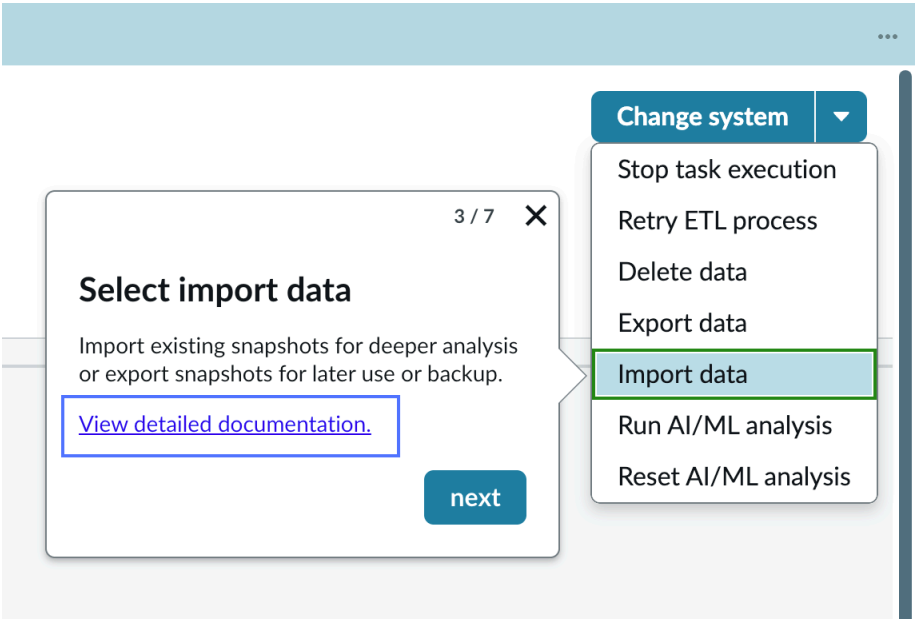


ツアーを停止するには、ツアーステップで **[X]** を選択します。

詳細については、ツアーステップで [詳細なドキュメントを表示] リンクを選択してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳



ガイド付きツアーの最後にある [完了] を選択します。

ERP セマンティックマイニング ガイド付きツアーの場所

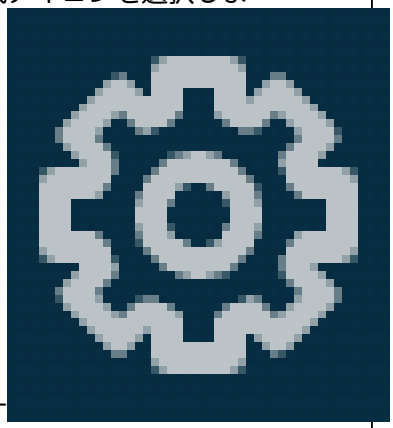
のガイド付きツアー **ERP** セマンティックマイニング

ガイド付きツアー名	開始ページ	スタートページへのパス
マイニング結果と候補の探索	ERP セマンティックマイニングホームページ	[ERP セマンティックマイニング] に移動します。
ERP セマンティックマイニング 候補 者	ERP セマンティックマイニング [候補] ページ	ERP セマンティックマイニングに移動し、候補アイコンを選択します。
ERP セマンティックマイニングの構成	ERP セマンティックマイニング 設定ページ	ERP セマンティックマイニングに移動し、構

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

のガイド付きツアー **ERP** セマンティックマイニング (続く)

ガイド付きツアー名	開始ページ	スタートページへのパス
		成アイコンを選択しま  す
スナップショットのエクスポート	ERP セマンティックマイニング 設定ページ	ERP セマンティックマイニングに移動し、構成アイコンを選択しま す
スナップショットのインポート	ERP セマンティックマイニング 設定ページ	ERP セマンティックマイニングに移動し、[構成] アイコンを選択しま す

ERP セマンティックマイニング のヘルプ

ERP セマンティックマイニングに関するサポートが必要な場合は、組織で働くServiceNowアドミンにお問い合わせください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

> **重要:**
> Zurich リリース以降、 ERP セマンティックマイニング は将来の廃止に向けて準備されます。これは非表示になり、新しいインスタンスではアクティブ化されなくなりますが、引き続きサポートされます。

Now Supportアドミニストレーターから今すぐサポートを受ける

社内の ServiceNow アドミンは、プラグインのアクティブ化、アップグレードの開始、アカウントのロック解除、ユーザー権限の更新などをサポートします。

https://player.vimeo.com/video/1056112088?h=1a5cd3b245&badge=0&autopause=0&player_id=0&app_id=58479

役に立つリソース

役立つ情報を提供できる ServiceNow リソースは次のとおりです。

ServiceNow コミュニティ

ERP セマンティックマイニング コミュニティ

ServiceNow University

ServiceNow University

支える

- https://support.servicenow.com/now
- 既知のエラーポータルで既知のエラー記事を検索する

ERP セマンティックマイニングの構成

ERP セマンティックマイニングを設定して、アプリが SoR をスキャンして再プラットフォーム化する候補を探します。アドミニストレーターは、ERP (エンタープライズリソースプランニング) 接続の健全性をすばやく確認して問題を調査したり、エラーに関連するナレッジ記事を表示したりすることもできます。

> **重要:**
> Zurich リリース以降、 ERP セマンティックマイニング は将来の廃止に向けて準備されます。これは非表示になり、新しいインスタンスではアクティブ化されなくなりますが、引き続きサポートされます。

ERP セマンティックマイニング をインストールする前に、ERP 向けゼロコピーコネクタ をインストールし、接続と ERP データモデルを構成する必要があります。

サーバーの要件

認証情報には、次の S_RFC SAP 認証オブジェクトを必要とする SoR の SAP サービスタイプのユーザーアカウントを使用します。

- 以下の汎用モジュールに対してアクティビティ = 16 (実行) のS_RFC。
  - SAPWL_WORKLOAD_GET_STATISTIC
  - SWNC_COLLECTOR_GET_AGGREGATES
  - SWNC_COLLECTOR_GET_DIRECTORY
  - SQLM_API_GET_NEXT_DATA_PACKAGE
- 以下の表のアクティビティ 03 (表示) でS_TABU_NAM: TRNSPACET

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ERP 向けゼロコピーコネクタ には追加の認証が必要です。詳細については、「ERP 向けゼロコピーコネクタの構成」を参照してください。

> **注:**
> ERP 向けゼロコピーコネクタ 接続に指定する認証情報は、SoR のサービスユーザー認証情報と一致する必要があります。

利用可能な接続のタイプと数

ERP 向けゼロコピーコネクタ と ERP セマンティックマイニング は現在、ECC(最小SAP Netweaver 7.31)およびSAP S/4HANAシステムをサポートしています。

> **注:**
> ERP セマンティックマイニング をインストールするたびに、システムが 10 個まで追加可能になります。ただし ERP セマンティックマイニング は、一度に 1 つのライブ ERP システムにのみ接続できます。

ERP セマンティックマイニング をインストールして構成する前に、ERP 向けゼロコピーコネクタをインストールして認証情報を追加する必要があります。詳細については、「ERP 向けゼロコピーコネクタ の認証情報と接続の構成」を参照してください。

ServiceNow インスタンスごとに保持できる ERP 接続の数は、ライセンスによって異なります。ERP セマンティックマイニング ライセンスをお持ちの場合は、インスタンスごとに 1 つの接続を取得します。

接続情報と認証情報 の詳細については、「Connections and Credentials」を参照してください。

ERP セマンティックマイニング のプラグイン

次のプラグインをインストールする必要があります。

ERP-CM のプラグイン

プラグイン	フルネーム	依存関係
ERP 向けゼロコピーコネクタ	com.snc.sn_erp_integration	com.glide.script.vtable
ERP セマンティックマイニング	com.snc.uib.sn_erp_mining	• com.snc.sn_erp_integration • com.glide.platform_ml

ストアでアプリを要求する

ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート」を参照してください。

SAP を ERP セマンティックマイニング 用に構成する

ERP セマンティックマイニングをインストールする前に、本番システムで SQLM (SQL モニター) を有効にし、毎日のワークロードの ST03 (作業負荷モニター) が収集されていることを確認します。

始める前に
必要なロール：なし

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

重要:
Zurich リリース以降、 ERP セマンティックマイニング は将来の廃止に向けて準備されます。これは非表示になり、新しいインスタンスではアクティブ化されなくなりますが、引き続きサポートされます。

このタスクについて

警告:
ERP セマンティックマイニング が正しく機能するには、この手順の SAP 構成を実行し、SAP にデータを用意しておく必要があります。

手順

1. SAP システムで SQLM を有効にして、本番環境から SQLM 情報を収集します。
   a. 本番システムで、トランザクション SQLM を開始します。
   詳細については、「SAP SQL Monitor documentation (SAP SQL モニタードキュメント)」を参照してください。
   b. [アクティブ化の状態] フィールドが [グローバルにアクティブ] に設定されていることを確認します。
   c. SQLM がアクティブでない場合は、トランザクション SQLM を再度開始します。
   d. 移動先 **SQL** モニター > 設定 > 全般設定.
   e. [日] より古いものを削除 オプションが最低 `365` 日に設定されていることを確認し、 確認 を選択します。
   f. [すべてのサーバー] を選択して、設定を有効にします。
2. 本番環境から毎日の作業負荷の ST03 が収集されていることを確認します。
   a. 本番システムで、トランザクション ST03 を開始します。
   b. [作業負荷データ **(Workload data)**] フィールドが [日次 **(Daily)**] に設定されていることを確認します。

ERP セマンティックマイニング をインストール

ServiceNow Storeの admin ロールを持っている場合は、ERP セマンティックマイニングアプリケーション (sn_erp_mining) をインストールします。

始める前に

重要:
Zurich リリース以降、 ERP セマンティックマイニング は将来の廃止に向けて準備されます。これは非表示になり、新しいインスタンスではアクティブ化されなくなりますが、引き続きサポートされます。

次のことを行う必要があります。

- アプリケーションをインストールする前に、ライセンスを持ち、ERP セマンティックマイニングのエンタイトルメントを取得してください。

  詳細については、「ライセンス」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- ERP 向けゼロコピーコネクタをインストールします。このアプリケーションを使用して、SoR および ERP (エンタープライズリソースプランニング) データモデルへの接続を構成します。
- ERP セマンティックマイニング をインストールする前に、JCO コネクタを構成します。詳細については、SAP のドキュメントを参照してください。

次のプラグインが必要です。

- ERP 向けゼロコピーコネクタ
- 予測インテリジェンス

必要なロール：admin

このタスクについて

手順

1. ServiceNow Storeで、製品および依存アプリケーションに対するエンタイトルメント (またはライセンス) があることを確認します。
   ストアにアクセスするには、 システムアプリケーション > 利用可能なすべてのアプリケーション > ストアから入手可能.
2. ERP セマンティックマイニング を検索し、[インストール] を選択します。
3. オプション: [デモデータのロード] を選択して、アプリでデモデータを作成します。
4. [インストール] を選択して、ERP セマンティックマイニング のインストールを確認します。

タスクの結果
これでインストールは完了です。[終了 **(Close)]** を選択し、ServiceNow Store に戻ります 。

次のタスク
ERP セマンティックマイニングをインストールすると、接続された SoR からの ERP データが ERP 向けゼロコピーコネクタ の ERP 抽出テーブルに入力されます。たとえば、ERP アプリケーションアクティビティ、コレクターディレクトリデータ、名前空間データなどです。その後、抽出されたデータを ERP データモデルとリモートテーブルに組み込んで、ServiceNow でアプリをビルドするときにデータソースとして使用できます。詳細は、以下のトピックを参照してください。

- ERP 抽出テーブルの表示
- ERP 向けゼロコピーコネクタ の標準 ERP モデルと抽出テーブル

ERP セマンティックマイニング の ガイド付きセットアップ を実行する

ガイド付きセットアップ を実行して ERP セマンティックマイニング を構成します。

始める前に

> **重要:**
> Zurich リリース以降、 ERP セマンティックマイニング は将来の廃止に向けて準備されます。これは非表示になり、新しいインスタンスではアクティブ化されなくなりますが、引き続きサポートされます。

まず、ServiceNow Store から ERP セマンティックマイニング をダウンロードしてインストールする必要があります。

必要なロール：sn_erp_integration.erp_admin、sn_erp_mining.erp_admin

このタスクについて
ガイド付きセットアップ の使用に関する詳細については、Guided Setup を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

または、ガイド付きセットアップなしでERP セマンティックマイニングを構成することもできます。詳細については、「新しい ERP セマンティックマイニング 接続の設定」を参照してください。

手順

1. 移動先 すべて > **ERP** 基盤 > *ERP* セマンティックマイニング > *ERP* セマンティックマイニング ガイド付きセットアップ.
2. 移動先 すべて > *ERP* 向けゼロコピーコネクタ > *ERP* 向けゼロコピーコネクタ 家.
3. [構成*ERP* 向けゼロコピーコネクタ] を選択して、ERP 向けゼロコピーコネクタのガイド付きセットアップを完了します。

   ERP 向けゼロコピーコネクタ は ERP セマンティックマイニング がシステムに接続するために必要です 。

   手順に従って ERP 向けゼロコピーコネクタ を構成し、[続行 **(Continue)]** を選択します。
4. ERP セマンティックマイニング を ERP システムに接続します 。
   a. [接続する **ERP** システムの選択 **(Select the ERP system to connect)]** を選択し、手順に従って [続行 **(Continue)]** を選択します。
   b. [接続状態の検証 **(Validate the connection status)]** を選択し、手順に従って [続行 **(Continue)]** を選択します。

新しい **ERP** セマンティックマイニング 接続の設定

ERP (エンタープライズリソースプランニング) システムに接続するERP セマンティックマイニングの接続情報と認証情報エイリアスを指定します。

始める前に

> **重要:**
> Zurich リリース以降、 ERP セマンティックマイニング は将来の廃止に向けて準備されます。これは非表示になり、新しいインスタンスではアクティブ化されなくなりますが、引き続きサポートされます。

ERP セマンティックマイニング をインストールして構成する前に、ERP 向けゼロコピーコネクタをインストールして認証情報を追加する必要があります。詳細については、「ERP 向けゼロコピーコネクタ の認証情報と接続の構成」を参照してください。

必要なロール：sn_erp_integration.erp_admin、sn_erp_mining.erp_admin

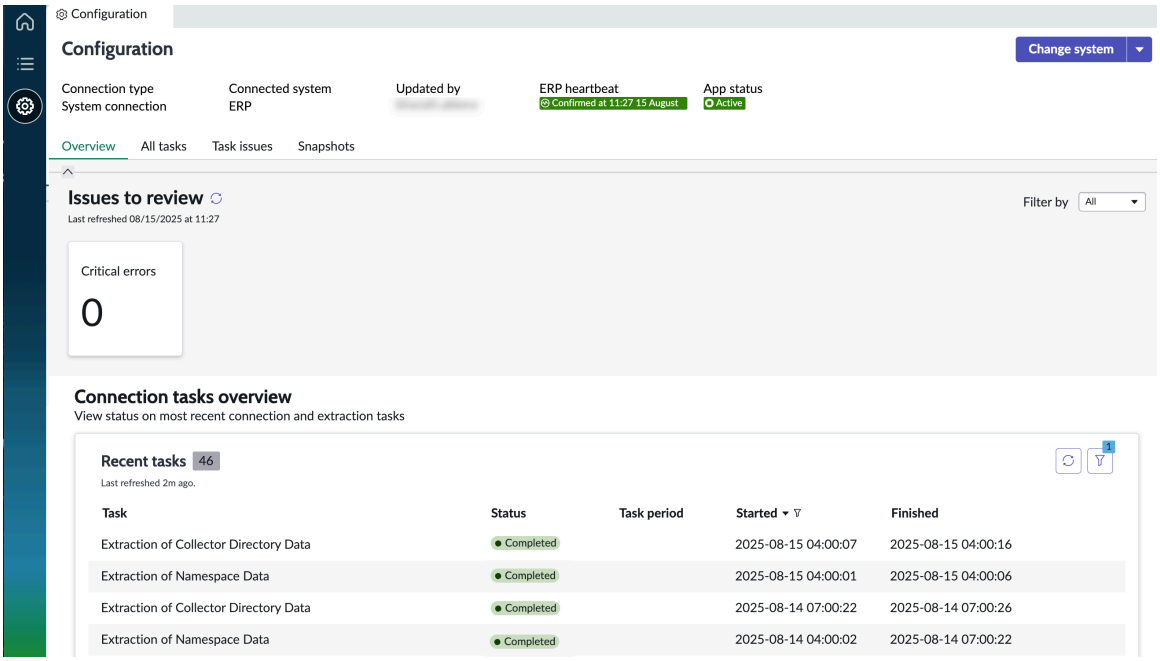
手順

1. 移動先 すべて > **ERP** 基盤 > *ERP* セマンティックマイニング.
2. サイドパネルで構成アイコン を選択します。
3. [接続を選択] ボタンを選択します。
   すでにシステム接続を構成していて、別の接続と資格情報を使用する場合は、「 ERP セマンティックマイニング 接続の更新」を参照してください。
4. [接続情報と認証情報 エイリアス] ボックスで、[ERP 向けゼロコピーコネクタ] で構成した認証情報 を [接続および資格情報エイリアスを選択] フィールドから選択します。
5. **[Connect** (接続)] を選択します。
   ERP セマンティックマイニング は接続からデータの抽出を開始します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

6. [レビューすべき問題] リストと [実行済みタスク] リストを、それぞれの更新アイコン 選択して更新します。



次のタスク
システムが接続されたら、[接続ステータス] ページでいつでも接続ステータスを確認し、エラーを調査できます。詳細については、「ERP セマンティックマイニング のデータリフレッシュステータスの確認とトラブルシューティング」を参照してください。

ERP セマンティックマイニング 接続の更新

ERP セマンティックマイニング の接続情報と認証情報エイリアスを更新して、ERP (エンタープライズリソースプランニング) システムへの接続を変更します。たとえば、非本番システムから本番システムに変更する場合があります。

始める前に

重要:
Zurich リリース以降、 ERP セマンティックマイニング は将来の廃止に向けて準備されます。これは非表示になり、新しいインスタンスではアクティブ化されなくなりますが、引き続きサポートされます。

ERP セマンティックマイニング をインストールして構成する前に、ERP 向けゼロコピーコネクタをインストールして認証情報を追加する必要があります。詳細については、「ERP 向けゼロコピーコネクタ の認証情報と接続の構成」を参照してください。

必要なロール：sn_erp_integration.erp_admin、sn_erp_mining.erp_admin

このタスクについて

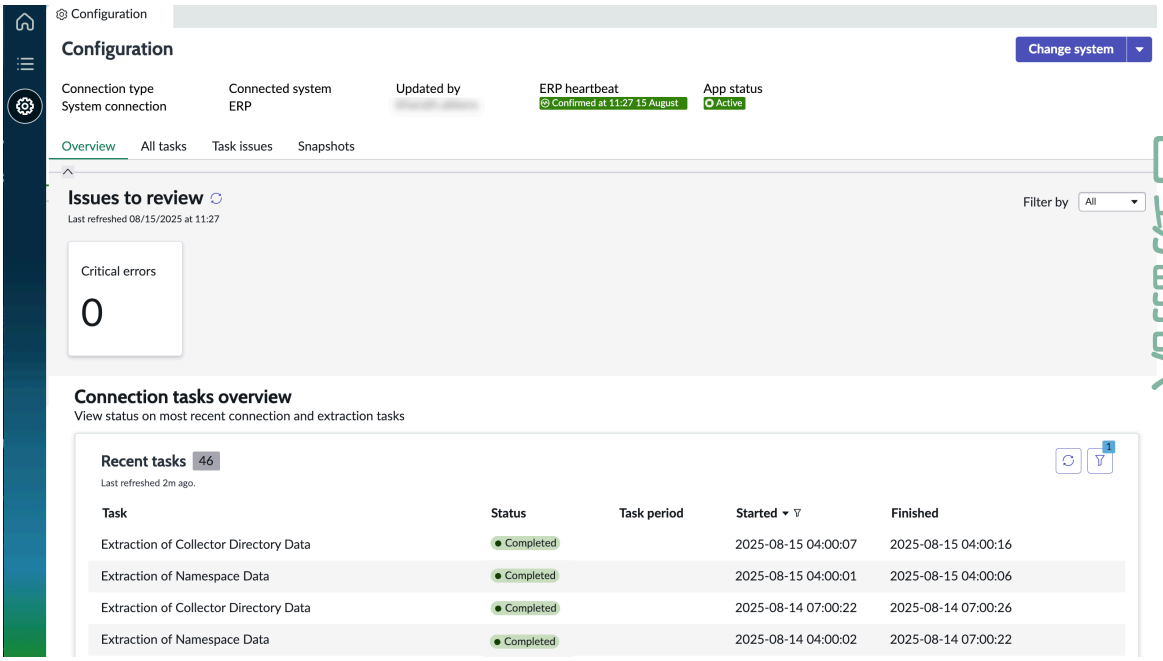
警告:
システムおよび認証情報エイリアスを変更すると、ERP セマンティックマイニング ワークスペース内の既存のデータがすべて削除され、データ統合プロセスが再開されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > **ERP** 基盤 > *ERP* セマンティックマイニング.
2. サイドパネルで 接続ステータスアイコンを選択します。
3. [システムの変更] ボタンを選択します。
4. [システムの変更とデータの削除] ボックスで、[ERP 向けゼロコピーコネクタ] で構成したシステムを [変更するシステムを選択] フィールドから選択します。
5. [はい、システムを変更してデータを削除します] オプションを選択して、選択を確定します。
6. [データを変更して削除 **(Change and delete data)]** ボタンを選択します。
   ERP セマンティックマイニング で現在のデータの削除が開始され、データ統合プロセスが再開されます。
7. [レビューすべき問題] リストと [実行済みタスク] リストを、それぞれの更新アイコン 選択して更新します。



次のタスク

システムが接続されたら、[接続ステータス] ページでいつでも接続ステータスを確認し、エラーを調査できます。詳細については、「ERP セマンティックマイニング のデータリフレッシュステータスの確認とトラブルシューティング」を参照してください。

ERP セマンティックマイニング のデータリフレッシュステータスの確認とトラブルシューティング

データ更新ステータスをチェックして ERP セマンティックマイニング SoR から最後に ERP (エンタープライズリソースプランニング) データをロードしたタイミングを確認します。

始める前に

必要なロール:sn_erp_mining.erp_admin および sn_erp_mining.erp_user

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

重要:
Zurich リリース以降、 ERP セマンティックマイニング は将来の廃止に向けて準備されます。これは非表示になり、新しいインスタンスではアクティブ化されなくなりますが、引き続きサポートされます。

このタスクについて
ServiceNow AI Platform® が ERP SoR と同期されていることを検証するために、ServiceNow AI Platform は SoR から 24 時間ごとにデータをリロードします。

接続タスクの成功と失敗について、メール通知を受信できます。詳細については、「ERP セマンティックマイニング 接続の更新に関する通知を受け取る」を参照してください。

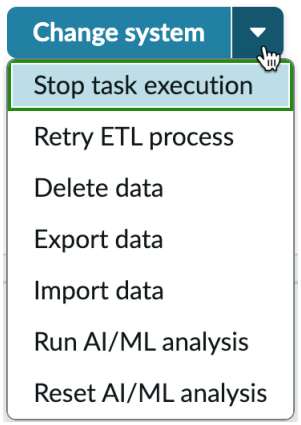
手順

1. 移動先 すべて > **ERP** 基盤 > *ERP* セマンティックマイニング.
2. サイドパネルで、接続ステータスアイコン を選択します。
   [概要] タブに、確認する必要がある接続問題の概要と、最新のアクティブな接続タスクのリストが表示されます。
3. [接続ステータス] ページのヘッダーで、最も重要な接続の詳細を確認します。

接続ステータスヘッダーの詳細

フィールド	定義
認証情報エイリアス	ERP 向けゼロコピーコネクタ で構成された接続資格情報のエイリアス。
更新者	接続資格情報を更新する最後のアカウントの名前。
ERP ハートビート	接続への ping が成功したかどうかを示します。
タスク実行	ServiceNow AI Platform® インスタンスに接続しようとしているかどうかを示します。

4. オプション: 次のいずれかのタブを選択して、接続タスクの絞り込まれたサブセットを表示します。
5. [システムの変更] ボタンを使用して、システム接続の問題をトラブルシューティングします。



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Trouble?

- [タスクの実行を停止] を選択して、タスクの実行を一時停止します。
- [**ETL** プロセスの再試行] を選択して、ETL (抽出、変換、ロード) プロセスを再起動します。
- ERP セマンティックマイニング内のすべてのデータを削除し、[データの削除] を選択して最初からやり直します。確認ダイアログで、[はい、データを削除します] オプションを選択し、[データを削除] ボタンを選択する必要があります。

  ⚠ 警告:
  このアクションにより、ERP セマンティックマイニング ワークスペース内の既存のデータがすべて削除され、データ統合プロセスが再開されます。

- [データのエクスポート] を選択して、いつでもデータを共有およびバックアップできます。ダウンロード可能な zip ファイルが作成されます。
- データをエクスポートした後、作成したzipファイルを使用して共有およびバックアップ用のデータをインポート します。
- 既存のモデルを変更したり、新しいモデルをインポートしたりする場合は、[**AI/ML** 分析を実行] を使用して、マイニングプロセスの ML トレーニングが関連データに基づいていることを確認します。
- [**AI/ML** 分析をリセット] を使用して分析をリセットし、フローを再度実行できるようにします。このリセットにより、マイニングプロセスでの ML トレーニングを制御できます。

6. 各タスクの情報を表示し、タスクリストまでスクロールして、実行する必要があるアクションを書き留めます。
   フィールド値の説明については、「ERP セマンティックマイニング のタスクリストフィールドの説明」を参照して ください。

   任意の列で、その他のオプションアイコン ⋮ 、[この値で絞り込み] や [除外] などの追加のアクションを実行できます。

7. オプション: エラーが発生しているオープンタスクのステータスを更新し、そのステータの変更を示します。
   ERP セマンティックマイニング でエラーを直接解決することはできませんが、[解決済み (Resolved)] または [該当なし (Irrelevant)] としてマークできます。

   a. [タスク] タブを選択します。

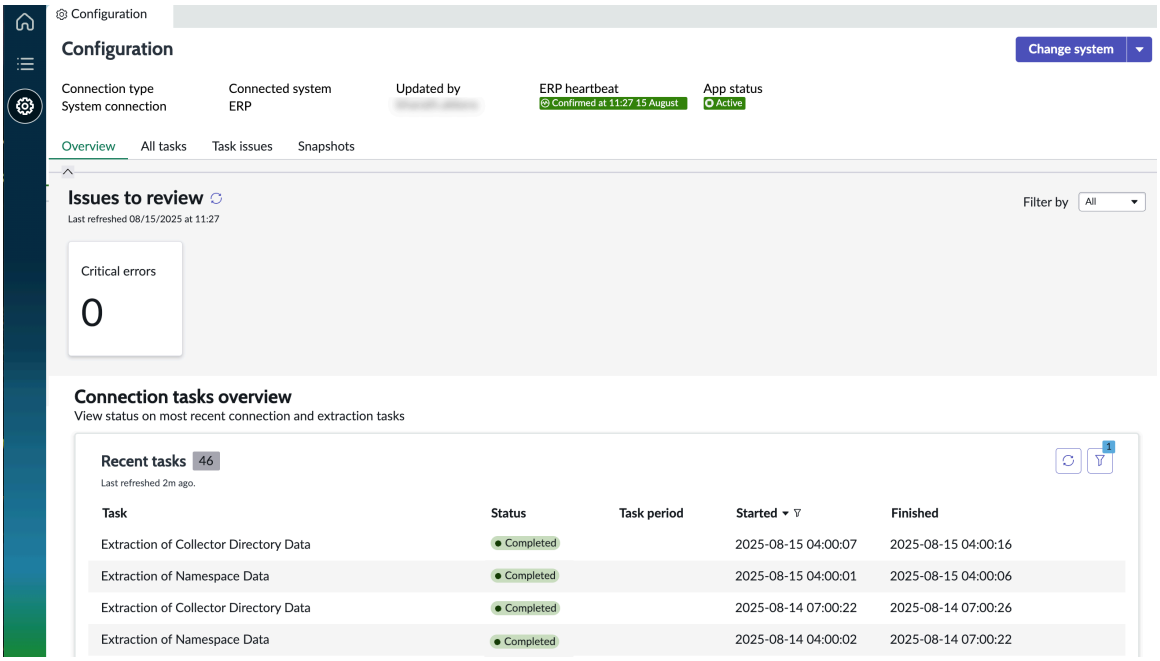
   b. [タスク] タブで、更新するタスクを選択します。

   c. タスクレコードの [ステータス] を [解決済み **(Resolved)]** または [該当なし **(Irrelevant)]** に更新します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

8. [レビューすべき問題] リストと [実行済みタスク] リストを、それぞれの更新アイコン 選択して更新します。



でデータを共有および保存するためのスナップショットを作成する **ERP** セマンティックマイニング

ベースデータをエクスポートおよびインポートして ERP セマンティックマイニング 保存および共有します。

始める前に
必要なロール：admin

重要:
Zurich リリース以降、 ERP セマンティックマイニング は将来の廃止に向けて準備されます。これは非表示になり、新しいインスタンスではアクティブ化されなくなりますが、引き続きサポートされます。

手順

1. 移動先 すべて > **ERP** 基盤 > *ERP* セマンティックマイニング.
2. サイドパネルで、構成アイコン ( ) を選択します。
3. [システムの変更] ボタンを選択します。
4. [データのエクスポート] を選択します。

   エクスポート前に自動的にチェックが行われます。プロセスの詳細については、「 ERP セマンティックマイニング スナップショットの前提条件チェック」を参照してください。

   別のエクスポートが進行中の場合は、「エクスポートできません」というメッセージが表示されます。**[OK]** を選択し、[スナップショット] タブを表示して進行状況を監視します。

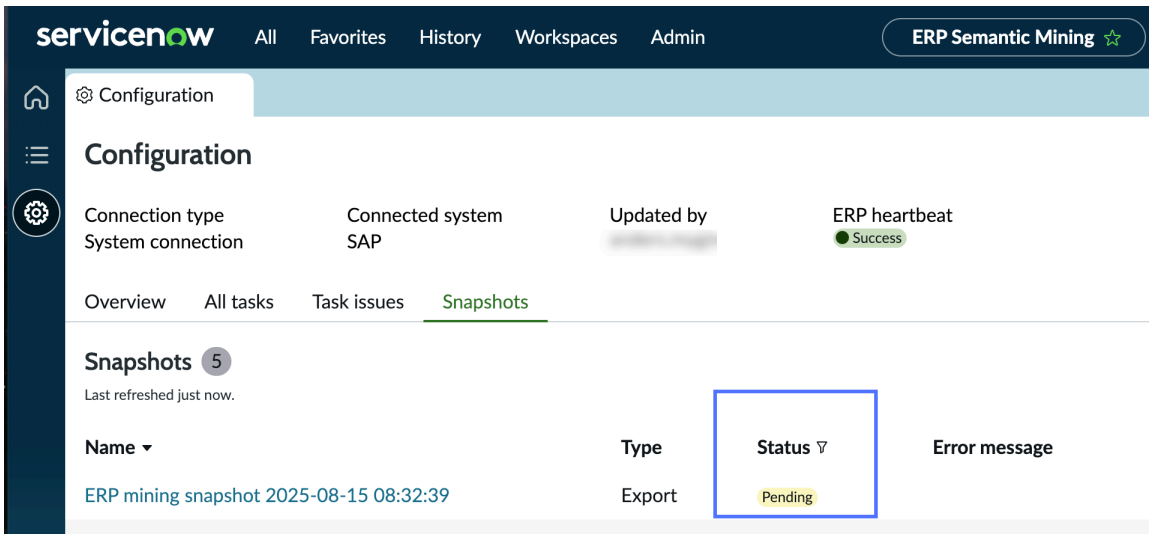
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. ポップアップウィンドウでメッセージを確認し、[データのエクスポート] を選択します。

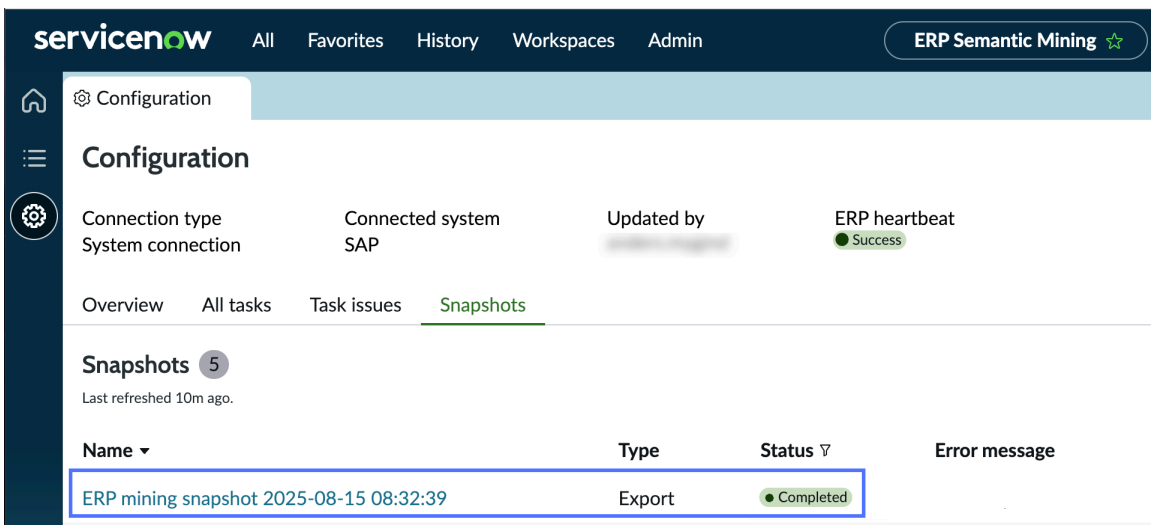
インポートによって既存のデータが上書きされるため、自動エクスポートはインポート前にのみ実行されます。エクスポートすると、後でインポートできるようにデータが保存されます。自動エクスポートでは、データがバックアップとして保存されます。

[スナップショット] タブでは、自動エクスポートは [処理待ち] になっています。更新アイコンを選択して、[ステータス] が [対応中]、[完了] に変わることを確認します。



実行の詳細については、 ワークフロースタジオ を開き、[操作] を選択して、[フロー] を選択します。[スナップショットのエクスポート] という名前のフローは、[スナップショットをチェック セット] のサブフローを呼び出してから、[スナップショットを作成] サブフローを呼び出します。ワークフロースタジオでのフローの表示の詳細については、「Workflow Studio」を参照してください。

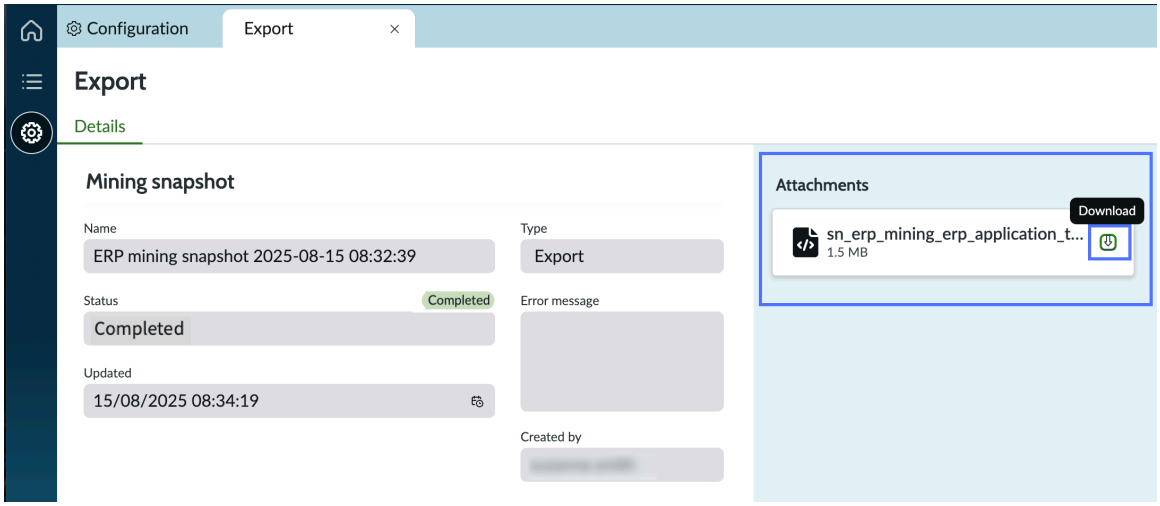
b. エクスポートが完了したら、[構成] ページの [スナップショット] タブに移動し、完了したエクスポートを選択します。



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

c. スナップショットレコードの [添付ファイル] で、[ダウンロード] アイコンを選択します。



5. サイドパネルで、構成アイコン ( ) を選択します。

6. システムの変更 ボタンを選択し、データのインポート を選択します。

a. ポップアップウィンドウでメッセージを確認し、[了解しました。インポートします **(I understand and want to import**)] オプションを選択します。

b. **[+** ファイルの追加] を選択します。

c. ダウンロード フォルダーに移動し、ERP マイニング エクスポート ファイルを選択して、 開く を選択します。

zip プロセスは、 ServiceNow 統合ハブ Professional Pack Installer プラグインを使用して行われます。プラグインがインストールされていない場合、プロセスは MID サーバーの既存の zip 機能を使用します。

d. ポップアップウィンドウで、[アップロード] を選択します。

検証は自動的に行われます。たとえば、未完了のインポートジョブがあるのか、進行中のエクスポートジョブがあるのかを判断します。

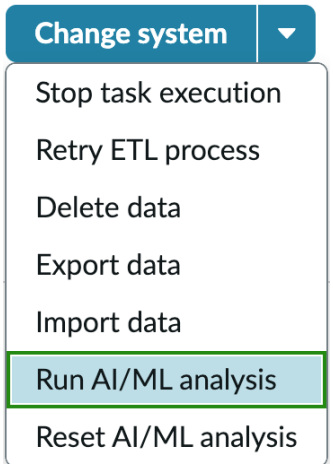
e. 検証が完了したら、[データのインポート] を選択します。

f. [スナップショット] タブでステータスを確認します。

g. インポートが完了したら、AI/ML を手動で実行し、[システムの変更] ボタンを選択して **[AI/ML** 分析を実行] を選択し、インポートされた新しいデータから候補を取得します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



AI/ML は 1 日に 1 回自動的に実行されますが、[**AI/ML** 分析を実行] オプションを使用していつでも手動でプロセスを開始できます。手動プロセスと自動プロセスは同じで、技術クラスター、候補の特定、最後にモデル拡張を識別します。

[すべてのタスク] タブを表示してステータスを確認します。

ERP セマンティックマイニング 接続の更新に関する通知を受け取る

ERP セマンティックマイニング は、ERP (エンタープライズリソースプランニング) システム接続の成功と失敗についてメールで通知できます。

> **重要:**
> Zurich リリース以降、 ERP セマンティックマイニング は将来の廃止に向けて準備されます。これは非表示になり、新しいインスタンスではアクティブ化されなくなりますが、引き続きサポートされます。

成功と失敗に関する通知

ERP セマンティックマイニング ジョブは、再プラットフォーム化の候補を見つけるために実行されます。通知を使用すると、マイニングタスクが成功または失敗したときにメールを受け取ることができます。

- 成功通知は、すべてのマイニングタスクがエラーなしで実行を完了したことを示します。
- 失敗通知は、1 つ以上のマイニングタスクがエラーステータスにあることを示します。

受信する通知メールには、ジョブのレコードに移動するリンクが含まれています。[トレーニング進捗状況を表示] 関連リンクを選択すると、タスクの進捗状況を表示できます。そこに表示されるタスクは、[接続ステータス] ページの [概要] タブにある [接続タスクの概要] リストにも表示されます。その後、[接続タスクの概要] リストで、その日の [タスク期間] の値で [この値で絞り込み] を選択して、その日のすべてのタスクのステータスを表示できます。

メール通知の選択

通知メールはデフォルトでは有効になっていないため、ServiceNow AI Platform の設定で自身で構成する必要があります。通知の構成の詳細については、「ERP セマンティックマイニング タスクの通知の構成」を参照してください。

ユーザーが自分で通知を設定するには、事前にアドミンがそのユーザーを ERP セマンティックマイニング 通知グループに追加しておく必要があります。詳細については、「Add a user to a group」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

通知は [通知] テーブルにも表示

通知は [通知] テーブルに表示されます。テーブルにアクセスするには、 すべて > システム通知 > 通知.

通知を実行するフロー

ワークフロースタジオ の ECM 統計データエクストラクターフローが自動的に実行され、通知が有効になります。フローは ワークフロースタジオ でカスタマイズできます。詳細については、「Edit a flow」を参照してください。

ERP セマンティックマイニング タスクの通知の構成

通知を有効にして ERP セマンティックマイニング ERP (エンタープライズリソースプランニング) SoR のマイニングジョブで成功または失敗したときに確認できます。

始める前に

> **重要:**
> Zurich リリース以降、 ERP セマンティックマイニング は将来の廃止に向けて準備されます。これは非表示になり、新しいインスタンスではアクティブ化されなくなりますが、引き続きサポートされます。

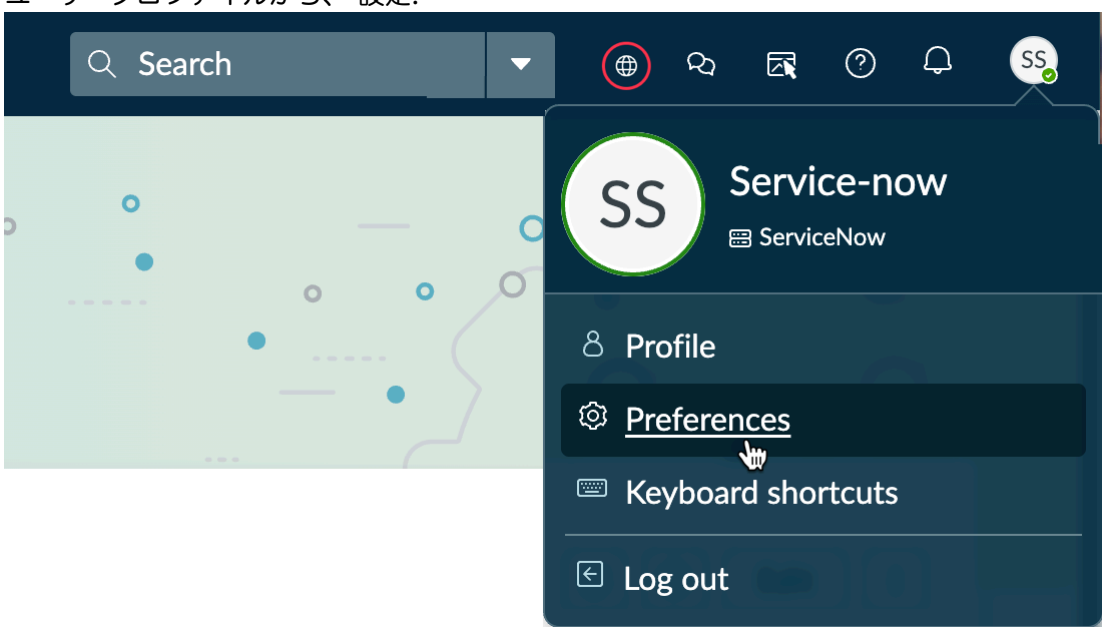
ユーザーが自分で通知を設定するには、事前にアドミンがそのユーザーを ERP セマンティックマイニング 通知グループに追加しておく必要があります。詳細については、「Add a user to a group」を参照してください。

必要なロール：sn_erp_mining.erp_admin、sn_erp_mining.erp_user

このタスクについて
設定に関する一般的な情報については、「System and custom notification and delivery channel preferences in Next Experience」を参照してください。

手順

1. ユーザープロファイルから、 設定.

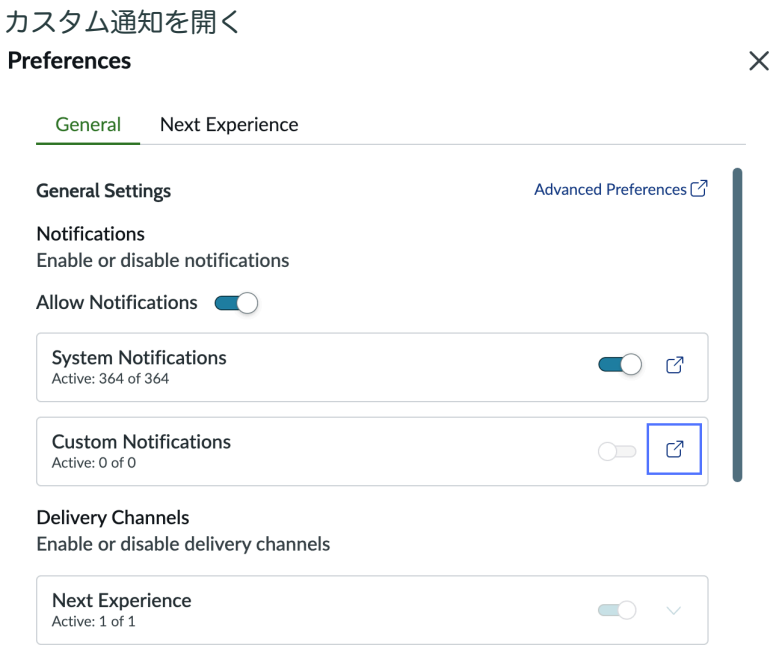


2. [通知] カードを選択します。
3. 全般設定でカスタム通知の切り替えを有効にします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

4. [カスタム通知] の [新しいタブで開く] アイコンを選択します。



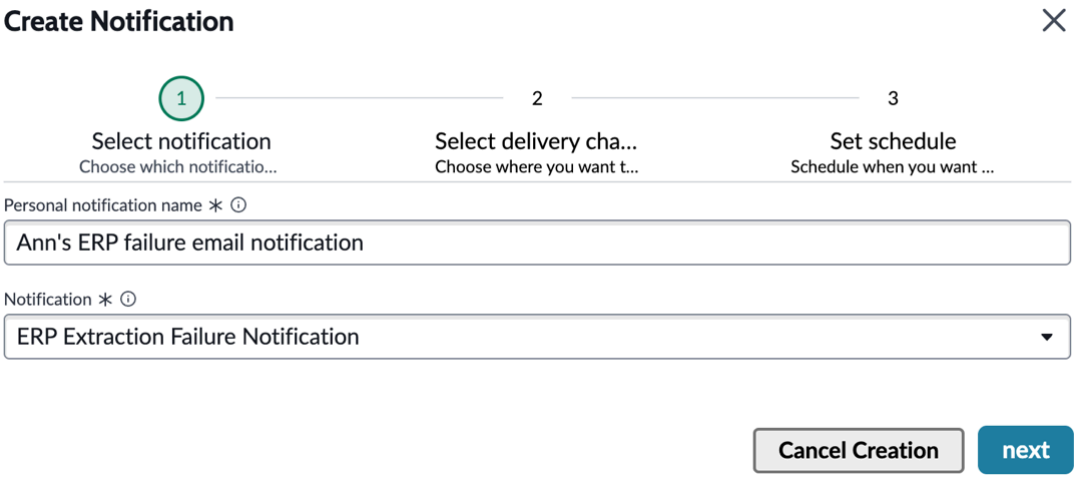
5. [通知を作成] ボタンを選択します。
6. [通知を作成] モーダルの [通知を選択] セクションで、通知の基本的な詳細を入力します。

基本通知フィールド

フィールド	説明
個人通知名	設定している通知のわかりやすい名前。たとえば、Ann's ERP failure email notification など。
通知	必要な通知を選択します。オプションは次のとおりです。 ○ **[ERP 抽出完了通知 (ERP Extraction Completion Notification)]** ○ **[ERP 抽出失敗通知 (ERP Extraction Failure Notification)]**

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



7. [次へ] ボタンをクリックします。
8. 配信チャネルを選択します。
   a. [メール] など、通知の方法を展開します。
   b. 通知を受信するメールアドレスの切り替えを有効にします。
      メールアドレスは、ServiceNow AI Platform ユーザーアカウントに既に関連付けられている必要があります。
   c. [次へ] ボタンをクリックします。
9. 通知の [スケジュール] を選択します。
10. [保存] ボタンを選択して、通知の設定を完了します。

タスクの結果
受信する通知メールには、ジョブのレコードに移動するリンクが含まれています。[トレーニング進捗状況を表示] 関連リンクを選択すると、タスクの進捗状況を表示できます。そこに表示されるタスクは、[接続ステータス] ページの [概要] タブにある [接続タスクの概要] リストにも表示されます。その後、[接続タスクの概要] リストで、その日の [タスク期間] の値で [この値で絞り込み] を選択して、その日のすべてのタスクのステータスを表示できます。

ERP セマンティックマイニング ロール

アドミニストレーターはロールを割り当てて、ERP セマンティックマイニング を構成または使用する権限をチームメンバーに付与します。

重要:
Zurich リリース以降、 ERP セマンティックマイニング は将来の廃止に向けて準備されます。これは非表示になり、新しいインスタンスではアクティブ化されなくなりますが、引き続きサポートされます。

注:
ユーザーに ERP セマンティックマイニング ロールをアサインする場合は、 スコープを含める必要があります。たとえば、`erp_admin` ではなく、`sn_erp_mining.erp_admin` ロールを割り当てます。

ロールの割り当ての詳細については、「Assign a role to a user」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ユーザーごとのサブスクリプション管理の詳細については、「Managing per-user subscriptions in Subscription Management」を参照し、アカウント担当者にお問い合わせください。

ERP セマンティックマイニング ロール

ロール	説明	追加アクセス
sn_erp_mining.erp_admin	アプリケーション設定を更新するためのアクセス権をユーザーに付与します。	sn_erp_mining.erp_user が含まれています。
sn_erp_mining.erp_user	ERP セマンティックマイニング に必要なすべてのテーブルに対する読み取りアクセス権と、sn_erp_mining_app_candidate テーブルの一部のフィールドレベルの書き込みアクセス権を付与します。	次のロールが含まれています。 • sn_erp_integration.erp_data_pill • sn_erp_integration.erp_user

ERP セマンティックマイニング とセキュリティ

ロールベースのセキュリティとアクセス制御に加えて、 ERP セマンティックマイニング は他の方法で個人を特定できる ERP (エンタープライズリソースプランニング) データを保護します。

重要:
Zurich リリース以降、 ERP セマンティックマイニング は将来の廃止に向けて準備されます。これは非表示になり、新しいインスタンスではアクティブ化されなくなりますが、引き続きサポートされます。

個人を特定できるデータは、いくつかの方法で ERP 向けゼロコピーコネクタ で保護されます。

- ERP モデルとリモートテーブルをカスタマイズして、メールアドレスなどの特定のフィールドの個人データを除外できます。
- すべてのリモートテーブルは、アクセス制御ルール (ACL) を使用して保護されます。機密データを含むリモートテーブルがある場合は、ACL を使用してそのテーブルを ServiceNow ユーザーから制限します。詳細については、「ServiceNow® access control」を参照してください。

再プラットフォーム化の候補を見つけて使用する

ERP セマンティックマイニングを使用して、再プラットフォーム化の潜在的な ERP (エンタープライズリソースプランニング) アプリの候補を特定します。

重要:
Zurich リリース以降、 ERP セマンティックマイニング は将来の廃止に向けて準備されます。これは非表示になり、新しいインスタンスではアクティブ化されなくなりますが、引き続きサポートされます。

再プラットフォーム化は、従来の ERP システムコードをスキャンして、新しいアプリとして ServiceNow AI Platform インスタンスに移行する潜在的な候補を見つけるプロセスです。ERP システムからのデータを、ServiceNow AI Platform 上にビルドされたアプリのソースとして使用し、パフォーマンスの向上、 セキュリティの強化、メンテナンスの削減を実現できます。

ERP セマンティックマイニング がアプリケーション候補を評価し、数値スコアを表示します。スコアが高いほど、候補は再プラットフォーム化に適していることを意味します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 「可能性が高い」ということは、追加の変更を加えることなく、アプリケーション候補の ERP モデルに一致するリモートテーブルと抽出テーブルをすぐに使用できることを示します ERP セマンティックマイニング 。
- 「可能性が低い」ということは、アプリケーション候補が ERP 向けゼロコピーコネクタ の ERP モデルのリモートテーブルや抽出テーブルとあまり一致しないことを示します。

現在、再プラットフォーム化の良い候補は、SoR からデータを使用する小さなアプリケーションである傾向があります。

注:

ERP セマンティックマイニング から候補を削除すると、次回 ERP システムがスキャンされたときに候補が自動的に再表示されます。候補を削除する代わりに、[潜在的な候補として保存 **(Save as potential candidate)]** 機能を使用して候補を整理します。

ERP セマンティックマイニング が候補に類似の候補が多数あることを示している場合は、プラットフォームを再構築するときに、類似の候補の一部またはすべてのニーズを満たす 1 つのアプリを構築することを検討してください。

ERP セマンティックマイニング統計とマイニング分析の取得

ERP セマンティックマイニングホームページダッシュボードを使用して、候補に関する統計情報とトラブルシューティングに役立つ情報を取得します。

重要:
Zurich リリース以降、 ERP セマンティックマイニング は将来の廃止に向けて準備されます。これは非表示になり、新しいインスタンスではアクティブ化されなくなりますが、引き続きサポートされます。

ダッシュボードに ERP セマンティックマイニング の統計情報、メトリクス、デバッグ情報を表示します。関連する ERP セマンティックマイニング プロパティ、ログ、イベント、エディターへのリンクを開きます。

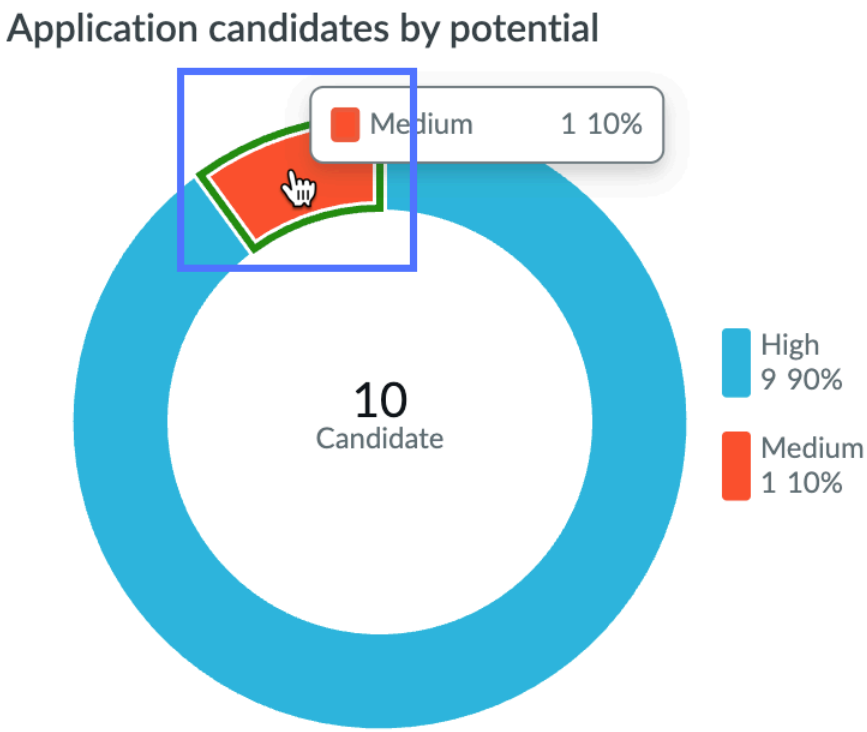
ダッシュボードを表示するには、sn_erp_mining.erp_user ロールが必要です。

ダッシュボードを表示するには、次に移動します: すべて > **ERP** 基盤 > *ERP セマンティックマイニング*.

ダッシュボードのチャート、グラフ、およびリストを選択して、基礎となるレコードを表示します。たとえば、ドーナツグラフのセクションを選択すると、そのセクションのレコードリストが表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



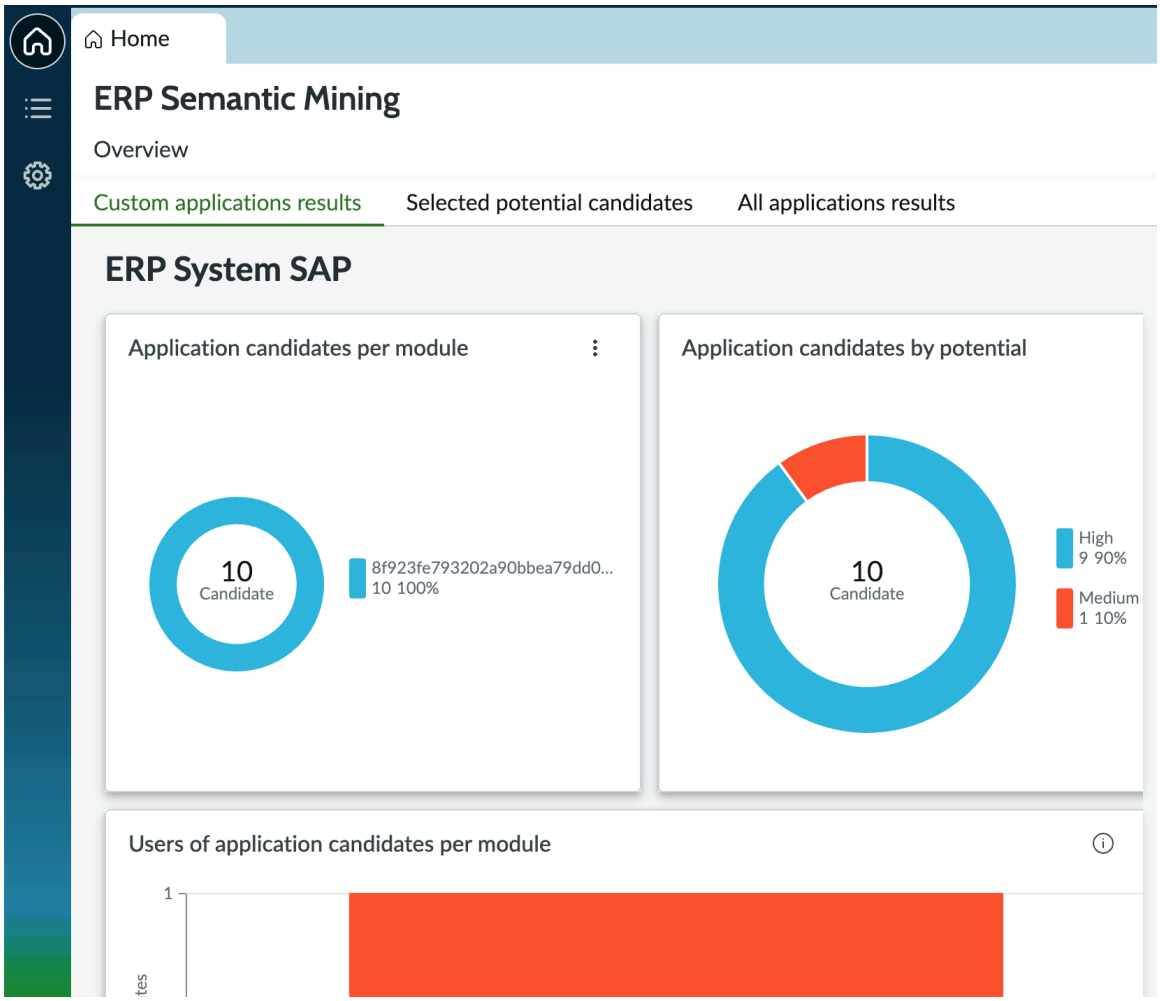
ダッシュボードには 3 つのタブがあります。

カスタムアプリケーションの結果タブ

このタブには、候補に関する情報が含まれています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



データの可視化

タイトル	タイプ	説明
モジュールあたりのアプリケーション候補	ドーナツグラフ	各モジュールのアプリケーション候補の数 (数と割合)。
可能性別のアプリケーション候補	ドーナツグラフ	各モジュールのアプリケーション候補の数 (数と割合)。
モジュールあたりのアプリケーション候補のユーザー	棒グラフ	モジュール別のアプリケーション候補のユーザーのタイプ。ユーザータイプは、アクセスされたさまざまなアプリケーション候補の数に基づいています。ユーザーは、ライト (使用するアプリが少ない)、モデレート (複数のアプリを使用)、パワー (最も多くのアプリを使用) として定義されます。使用頻度は計算に含まれません。
モデルあたりのアプリケーション候補	棒グラフ	一致するモデルが ERP 向けゼロコピーコネクタ にあるアプリケーション候補の数。

自動翻訳

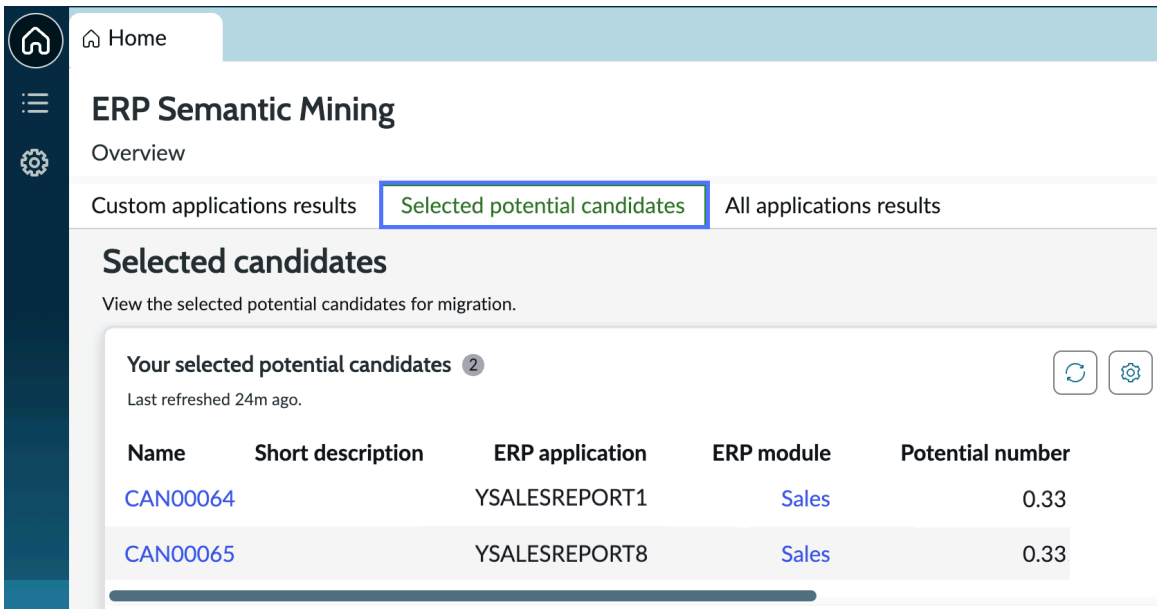
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

データの可視化 (続く)

タイトル	タイプ	説明
CRUD 操作タイプごとのアプリケーション候補	列	さまざまなモデルの CRUD (作成、更新、読み取り、削除) タイプ別のアプリケーション候補の数。
アプリケーションタイプ	列	標準 ERP モデル (ERP 向けゼロコピーコネクタ で操作)、ワークフロー、カスタムビジネスエリアなど、モデルタイプ別の候補。

[選択した潜在的な候補] タブ

このタブには、再プラットフォーム化の潜在的な候補として識別された候補に関する情報が含まれています。



リストレポート列

列	説明
名前	潜在的な候補の名前。 ServiceNow AI Platformのレコード番号です。
簡単な説明	潜在的な候補がアクセスするテーブルに関する簡単な情報
ERP アプリケーション	潜在的な候補の ERP アプリケーションのレコード。
ERP モジュール	SoR 内の ERP 機能エリアの名前。たとえば、ロジスティクス、調達、営業などです。
潜在的な数	潜在的な候補が再プラットフォーム化にどの程度適しているかの評価。値は、潜在的な候補の

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

リストレポート列 (続く)

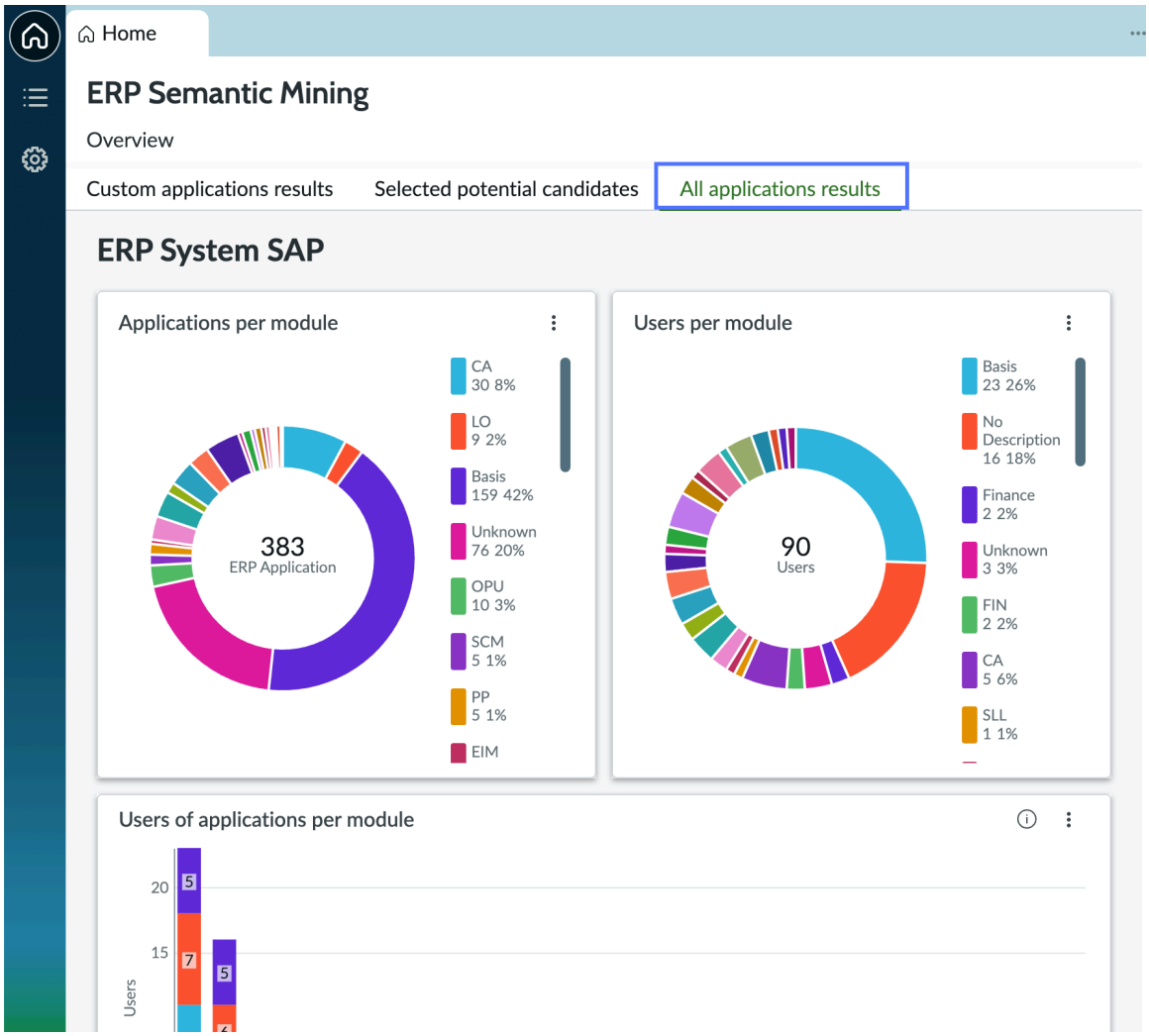
列	説明
	リモートテーブルと抽出テーブルがアプリケーションにどの程度一致しているかを示します。
類似候補	類似の潜在的な候補の数。類似性はリモートテーブルに基づいています。
ERP モデル	潜在的な候補が属する ERP モデルの数。 ERP モデルは ERP 向けゼロコピーコネクタ で構成されます。ERP モデルは、リモートテーブルと抽出テーブル、および読み取り操作と更新操作に追加できる可能性のあるすべてのフィールドを含むステージング領域として機能します。その後、テーブルとクエリされたデータをデータソースとして使用できます。詳細については、「ERP データを操作するための ERP モデルのビルドと管理」を参照してください。
更新日時	候補レコードが最後に編集された日時。

[すべてのアプリケーションの結果] タブ

このタブには、データのインポート後に表示すると便利なシステム全体の情報が含まれています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



自動翻訳

データの可視化

モジュールあたりのアプリケーション	ドーナツグラフ	各モジュールのアプリケーションの数 (数と割合)。
モジュールあたりのユーザー	ドーナツグラフ	各モジュールのユーザーの数と割合。
モジュールあたりのアプリケーションのユーザー	棒グラフ	モジュール別のアプリケーションユーザーのタイプ。ユーザータイプは、アクセスされたさまざまなアプリケーションの数に基づいています。ユーザーは、ライト (使用するアプリが少ない)、モデレート (複数のアプリを使用)、パワー (最も多くのアプリを使用) として定義されます。使用頻度は計算に含まれません。

ERP セマンティックマイニング で候補の概要を参照する

ERP セマンティックマイニング ホームページで、ServiceNow AI Platform に再プラットフォーム化する ERP (エンタープライズリソースプランニング) アプリ候補の概要を確認します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に

> **重要:**
> Zurich リリース以降、 ERP セマンティックマイニング は将来の廃止に向けて準備されます。これは非表示になり、新しいインスタンスではアクティブ化されなくなりますが、引き続きサポートされます。

アドミニストレーターは、最初に ERP 向けゼロコピーコネクタ で ERP システムへの接続を構成する必要があります。詳細については、「ERP 向けゼロコピーコネクタ での ERP システムの操作」を参照してください。

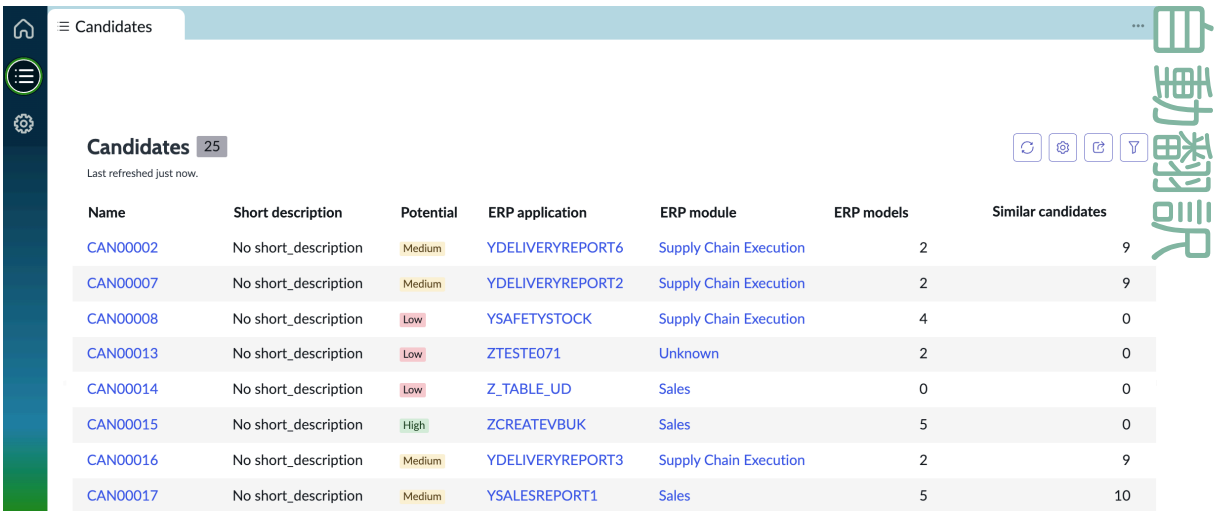
必要なロール：sn_erp_mining.erp_user

手順

1. 移動先 すべて > **ERP** 基盤 > *ERP* セマンティックマイニング.
2. サイドパネルで、候補アイコン を選択します。
3. 潜在的な候補のリストを表示します。

   フィールド値の説明については、「ERP セマンティックマイニング の候補リストフィールドの説明」を参照して ください。

ERP セマンティックマイニング の候補リスト



4. 候補を選択して、候補の詳細を表示および編集します。
   詳細については、「再プラットフォーム化の潜在的な候補の保存」を参照してください。

ERP セマンティックマイニング で候補の詳細を表示して操作する

ERP セマンティックマイニングで候補の詳細と推奨アクションを表示および編集します。ERP (エンタープライズリソースプランニング) システムのスキャン結果、リンクされている ERP モデル、使用状況、類似の候補を分析します。

始める前に
必要なロール：sn_erp_mining.erp_user

> **重要:**
> Zurich リリース以降、 ERP セマンティックマイニング は将来の廃止に向けて準備されます。これは非表示になり、新しいインスタンスではアクティブ化されなくなりますが、引き続きサポートされます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > **ERP** 基盤 > *ERP* セマンティックマイニング.
2. サイドパネルで、候補アイコン を選択します。
3. リストから候補 名 を選択して、候補の基本的な詳細を表示および編集します。

   または、ERP セマンティックマイニング のホームページで候補を直接選択することもできます。詳細については、「ERP セマンティックマイニング で候補の概要を参照する」を参照してください。

   候補の [詳細] タブでは、基本的な詳細の確認や更新を行ったり、コメント、添付ファイル、アクティビティストリーム を操作したりできます。

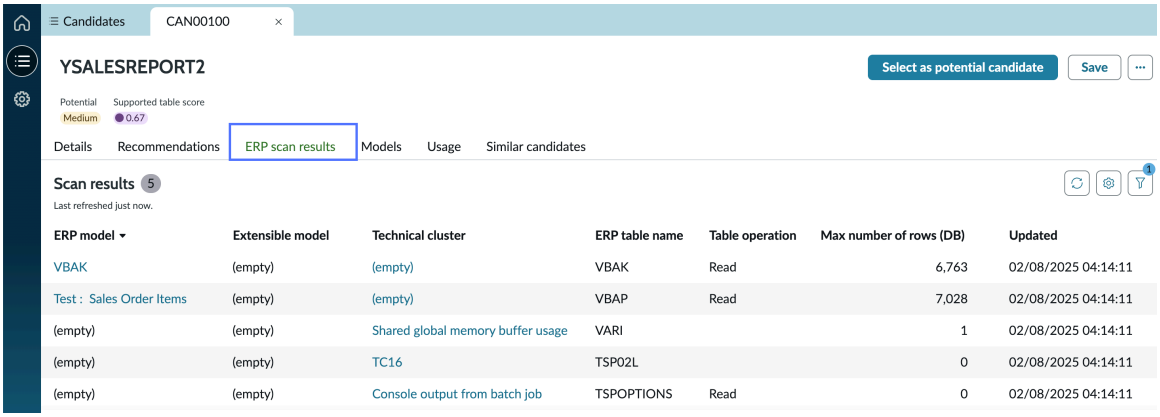
   候補の基本的な詳細

フィールド	説明
名前	自動的に生成される潜在的な候補のレコード番号
ステータス	候補のステータス ([ドラフト] または [潜在])。 ドラフト候補を評価し、その候補が再プラットフォーム化に適していると判断した場合は、ステータスを [ドラフト] から [潜在] に変更できます。
ERP アプリケーション	ERP システム上の ERP アプリケーションの名前。
ERP モジュール	営業など、ERP システムの機能的なビジネスエリア。
簡単な説明	候補の簡単な説明、アプリケーションの内容。
長いテキスト	候補に関する追加情報。

4. [推奨事項] タブを選択して、次の手順で作業します。
   詳細については、「ERP セマンティックマイニング で候補の推奨事項を確認する」を参照してください。
5. **[ERP** スキャン結果] タブを選択して、候補に関連するテーブルの詳細と ERP システムスキャンの詳細を表示します。
   フィールド値の説明については、「ERP セマンティックマイニング の候補スキャン結果フィールドの説明」を参照して ください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



6. [モデル] タブを選択し、ERP セマンティックマイニング が候補に関連すると特定した ERP モデルを確認し、メモします。

[モデル] タブの詳細

フィールド	説明
モデルタイプ	候補に関連する ERP モデル。このモデルには、標準 ERP モデル (ERP 向けゼロコピーコネクタ で操作)、ワークフロー、またはカスタムビジネスエリアを使用できます。
実装関連	再プラットフォーム化に ERP モデルが必要であるかどうかです。
モジュール	営業など、SoR 上のモデルの ERP ビジネスエリア。
テーブル名	ERP システム上の ERP モデルのテーブルの名前。
更新日時	リストが最後に更新された日時。

ERP 向けゼロコピーコネクタ では、どの ERP モデルで作業するかを確認できます。

7. オプション: [使用率] タブを選択し、候補アプリケーションを使用するシステムユーザーの数を確認します。
8. [類似の候補 **(Similar candidates)]** タブを選択し、現在の候補と各テーブルに関連する候補を調査します。

   同様の候補は、従来のアプリを最適に再プラットフォーム化する方法を計画するときに役立ちます。 SoR からカスタムアプリを再プラットフォーム化する場合、古いアプリを正確に複製する必要はありません。再プラットフォーム化プロセスを使用して、より良いアプリを設計します。たとえば、 ServiceNow AI Platform.

   フィールド値の説明については、「ERP セマンティックマイニング の類似候補フィールドの説明」を参照して ください。

9. [保存] ボタンを選択し、候補の詳細に加えた変更を保存します。

次のタスク
候補の詳細を操作して類似の候補を特定した後に、次のことができます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- ERP セマンティックマイニング で候補の推奨事項を確認する。
- 再プラットフォーム化の潜在的な候補の保存。
- ERP 向けゼロコピーコネクタ で関連する ERP モデルのリモートテーブルと抽出テーブルのビルドを続行し、ServiceNow AI Platform でデータを利用できるようにします。詳細については、「ERP モデル、抽出テーブル、およびリモートテーブルの使用」を参照してください。

注:

ERP セマンティックマイニング から候補を削除すると、次回 ERP システムがスキャンされたときに候補が自動的に再表示されます。候補を削除する代わりに、[潜在的な候補として保存 **(Save as potential candidate)]** 機能を使用して候補を整理します。

ERP セマンティックマイニング で候補の推奨事項を確認する

ERP (エンタープライズリソースプランニング) 候補の再プラットフォーム化を容易にするために ERP セマンティックマイニング 提案するアクションを確認します。

始める前に

必要なロール：sn_erp_mining.erp_user

重要:
Zurich リリース以降、 ERP セマンティックマイニング は将来の廃止に向けて準備されます。これは非表示になり、新しいインスタンスではアクティブ化されなくなりますが、引き続きサポートされます。

このタスクについて

候補を表示する ERP セマンティックマイニング 、推奨アクションまたは次のステップの数が表示されます。

たとえば、ある候補のワークフローを ワークフロースタジオ で作成し、別の候補の統合スポークを更新し、3 番目の候補の抽出テーブルを読み取る必要がある場合があります。

手順

1. 移動先 すべて > **ERP** 基盤 > *ERP セマンティックマイニング*.
2. サイドパネルで、候補アイコン を選択します。
   または、ERP セマンティックマイニング のホームページで候補を直接選択することもできます。詳細については、「ERP セマンティックマイニング で候補の概要を参照する」を参照してください。
3. 推奨される次のアクションを表示する候補を選択します。
4. 提案された各アクションの概要を示す [推奨事項 **(Recommendations)]** タブを選択します。

   フィールド値の説明については、「ERP セマンティックマイニング の候補推奨事項フィールドの説明」を参照して ください。
5. [推奨アクション **URL]** を選択し、ServiceNow AI Platform で関連するリンク先を新しいブラウザタブで開きます。
   たとえば、推奨事項が抽出テーブルの読み取りである場合は、[推奨アクション **(Recommended action)]** リンクを選択して ERP 向けゼロコピーコネクタ で ERP モデルを開き、提案されたテーブルを追加できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

再プラットフォーム化の潜在的な候補の保存

ERP セマンティックマイニングを使用して、再プラットフォーム化する ERP (エンタープライズリソースプランニング) アプリ候補を保存します。

始める前に

重要:
Zurich リリース以降、 ERP セマンティックマイニング は将来の廃止に向けて準備されます。これは非表示になり、新しいインスタンスではアクティブ化されなくなりますが、引き続きサポートされます。

アドミニストレーターは、最初に ERP 向けゼロコピーコネクタ で ERP システムへの接続を構成する必要があります。詳細については、「ERP 向けゼロコピーコネクタ での ERP システムの操作」を参照してください。

必要なロール：sn_erp_mining.erp_user

このタスクについて

候補は、ERP システムのカスタムアプリケーションです。ERP セマンティックマイニング は SoR をスキャンし、アプリケーションログとデータベースアクティビティログに基づいてプロファイルをビルドします。ERP セマンティックマイニング は、カスタマイズされた名前空間やその他の基準に基づいてカスタムアプリケーションもスキャンします。 再プラットフォーム化されたアプリは、ERP SoR をライブデータソースとして使用します。

注:

ERP セマンティックマイニング から候補を削除すると、次回 ERP システムがスキャンされたときに候補が自動的に再表示されます。候補を削除する代わりに、[潜在的な候補として保存 **(Save as potential candidate)]** 機能を使用して候補を整理します。

手順

1. 移動先 すべて > **ERP** 基盤 > *ERP セマンティックマイニング*.
   ERP セマンティックマイニング は、SoR のインスタンスを呼び出すリモートテーブルにアクセスし、ServiceNow AI Platform でそのデータを一時的にミラーリングします。
2. サイドパネルで 候補アイコンを選択します。
3. 潜在的な候補として保存する候補を選択します。
   または、ERP セマンティックマイニング のホームページで候補を直接選択することもできます。詳細については、「ERP セマンティックマイニング で候補の概要を参照する」を参照してください。
4. [潜在的な候補として選択 **(Select as potential candidate)]** ボタンを選択します。

   状況が変わり、潜在的な候補リストから候補を削除する場合は、[ドラフト候補に変更 **(Change to draft candidate)]** ボタンを選択します。

タスクの結果

候補を潜在的な候補として選択すると、候補のステータスが [ドラフト] から [潜在] に変わります。選択した候補が、ホームページの [選択した潜在的な候補 (Your selected potential candidates)] リストに追加されます。

次のタスク

候補を特定したら、ERP 向けゼロコピーコネクタ を使用してリモートテーブルと抽出テーブルのカスタムフィールドを表示し、ERP モデルに追加します。詳細については、「ERP データを操作する ERP モデルのビルドと管理」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ERP セマンティックマイニング は、各候補に考えられる次の手順を推奨しています。詳細については、「ERP セマンティックマイニング で候補の推奨事項を確認する」を参照してください。

ERP セマンティックマイニングの参照

テーブルの詳細など、 ERP セマンティックマイニング の ERP (エンタープライズリソースプランニング) 参照情報を検索します。

> **重要:**
> Zurich リリース以降、 ERP セマンティックマイニング は将来の廃止に向けて準備されます。これは非表示になり、新しいインスタンスではアクティブ化されなくなりますが、引き続きサポートされます。

ERP セマンティックマイニング とドメインセパレーション

ERP セマンティックマイニング ではドメインセパレーションはサポートされていません。 ドメインセパレーションでは、データ、プロセス、および管理タスクをドメインと呼ばれる論理的なグループに分けることができます。どのユーザーがデータを表示できるか、データにアクセスできるかなど、このアプリケーションのいくつかの側面を制御できます。

> **重要:**
> Zurich リリース以降、 ERP セマンティックマイニング は将来の廃止に向けて準備されます。これは非表示になり、新しいインスタンスではアクティブ化されなくなりますが、引き続きサポートされます。

サポートレベル: サポートなし

- ドメインフィールドがデータテーブル に存在している可能性がありますが、データを管理するロジックがありません。
- このレベルでは、ドメイン分割は考慮されません。

サポートレベルの詳細については、「アプリケーションでのドメインセパレーションのサポート)」を参照してください。

関連情報

サービスプロバイダーのドメインセパレーション

ERP セマンティックマイニング での ERP データに対するサンプルの Glide クエリ

Glide API を介して ERP (エンタープライズリソースプランニング) SoR のデータにアクセスします。

> **重要:**
> Zurich リリース以降、 ERP セマンティックマイニング は将来の廃止に向けて準備されます。これは非表示になり、新しいインスタンスではアクティブ化されなくなりますが、引き続きサポートされます。

顧客名をフェッチする Glide クエリの例を次に示します。

```
var sap_customer_gr = new GlideRecord('sn_erp_integration_st_sap_sales_customer');
sap_customer_gr.get('customer_number', '100032');
sap_customer_gr.getValue('name');
```

=

ERP セマンティックマイニング システムの接続タスク

ERP セマンティックマイニング は、ERP (エンタープライズリソースプランニング) システムへの接続時に多数のタスクを実行します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

重要:
Zurich リリース以降、 ERP セマンティックマイニング は将来の廃止に向けて準備されます。これは非表示になり、新しいインスタンスではアクティブ化されなくなりますが、引き続きサポートされます。

- ERP アクティビティの日次抽出の集計
- 候補の特定
- カーブアウト:ファイナライズ、インポート、およびビューデータの準備
- コレクターディレクトリデータの抽出
- 日次 ERP アプリケーションアクティビティの抽出
- 日次 ERP アプリケーション SQL アクティビティの抽出
- 日次 ERP モジュールアクティビティの抽出
- 名前空間データの抽出
- ML 類似性分析の実行

ERP セマンティックマイニング スナップショットの前提条件チェック

スナップショットのインポートと ERP セマンティックマイニングでのエクスポートの前に、他の関連プロセスが進行中でないことを確認するチェックが自動的に実行されます。

重要:
Zurich リリース以降、 ERP セマンティックマイニング は将来の廃止に向けて準備されます。これは非表示になり、新しいインスタンスではアクティブ化されなくなりますが、引き続きサポートされます。

プロセスの詳細については、「 でデータを共有および保存するためのスナップショットを作成する ERP セマンティックマイニング」を参照してください。

スナップショットの前提条件チェック

前提条件チェック	説明
システムが接続されていません	別のスナップショットをインポートするか、システムをアタッチすることを選択した場合、「テーブルフラッシュトリガー」フローはすぐにデータの削除を開始します。データが削除されると、選択したスナップショットがインポートされるか、システムがアタッチされます。
システムが接続され、新しいシステムが接続されます	「テーブルフラッシュトリガー」フローは、現在実行中のタスクをキャンセルします。タスクが停止された後、「テーブルフラッシュトリガー」フローによってデータが削除され、新しいシステムがアタッチされます。
システムが接続され、スナップショットをインポート	「テーブルフラッシュトリガー」フローは、スナップショットの作成をスケジュールすることから始まります。スナップショットが作成されるまで待機します。 スナップショットは、すべてのコレクターエントリーのすべてのタスクが完了すると作成されます。さまざまなフローが「スナップショッ

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スナップショットの前提条件チェック (続く)

前提条件チェック	説明
	トを進行中にチェック設定」サブフローを実行します。このサブフローは、スナップショットテーブルのレコードをデータで完了する必要があるかどうかを確認します。 「テーブルフラッシュトリガー」フローが再開され、すべてのデータが削除されます。その後、スナップショットがインポートされます。
システムが接続され、スナップショットのエクスポートがトリガーされました	スナップショットは、すべてのコレクターエントリーのすべてのタスクが完了すると作成されます。さまざまなフローが「スナップショットを進行中にチェック設定」サブフローを実行します。このサブフローは、スナップショットテーブルのレコードをデータで完了する必要があるかどうかを確認します。 すべてのデータを削除するか、新しいシステムをアタッチする場合、「テーブルフラッシュトリガー」フローはスナップショットが作成されるのを待機します。

ERP セマンティックマイニング の標準のテーブルとフィールド

ERP セマンティックマイニング の標準 ERP (エンタープライズリソースプランニング) リモートテーブル、抽出テーブル、およびフィールドの詳細を確認します。

重要:
Zurich リリース以降、 ERP セマンティックマイニング は将来の廃止に向けて準備されます。これは非表示になり、新しいインスタンスではアクティブ化されなくなりますが、引き続きサポートされます。

ERP セマンティックマイニング の標準リモートテーブル

ERP セマンティックマイニング は、ERP (エンタープライズリソースプランニング) データの複数の標準リモートテーブルにアクセスします。

重要:
Zurich リリース以降、 ERP セマンティックマイニング は将来の廃止に向けて準備されます。これは非表示になり、新しいインスタンスではアクティブ化されなくなりますが、引き続きサポートされます。

次のリモートテーブルは、ERP 向けゼロコピーコネクタ および ERP セマンティックマイニング から利用できます。

ERP 向けゼロコピーコネクタ と **ERP** セマンティックマイニング のリモートテーブル

ラベル	名前	**ERP** モジュール
SAP 会社コード	sn_erp_integration_st_sap_company_code	基準
SAP 国	sn_erp_integration_st_sap_country	基準
SAP 通貨	sn_erp_integration_st_sap_currency	基準

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ERP 向けゼロコピーコネクタ と **ERP** セマンティックマイニング のリモートテーブル (続く)

ラベル	名前	ERP モジュール
SAP 言語	sn_erp_integration_st_sap_language	基準
SAP 品目在庫	sn_erp_integration_st_sap_material_stock	調達
SAP 購買ドキュメント	sn_erp_integration_st_sap_purchase_document	調達
SAP 購買組織	sn_erp_integration_st_sap_purchasing_organization	調達
SAP 顧客請求書	sn_erp_integration_st_sap_customer_invoice	営業
SAP 流通チャネル	sn_erp_integration_st_sap_distribution_channel	営業
SAP 部門	sn_erp_integration_st_sap_division	営業
SAP 営業顧客	sn_erp_integration_st_sap_sales_customer	営業
SAP 営業デリバリ	sn_erp_integration_st_sap_sales_delivery	営業
SAP 営業ドキュメント	sn_erp_integration_st_sap_sales_document	営業
SAP 営業組織	sn_erp_integration_st_sap_sales_organization	営業
SAP 営業収益認識	sn_erp_integration_st_sap_sales_revenue_recognition	営業
SAP ベンダー	sn_erp_integration_st_sap_vendor	調達
SAP ベンダー請求書	sn_erp_integration_st_sap_vendor_invoice	調達
SAP トランスポート	sn_erp_integration_st_sap_transport	トランスポート (Transport)

リモートテーブルの操作の詳細については、「Remote tables」を参照してください。

ServiceNow 製品でアプリを構築する場合は、次のような標準リモートテーブルをデータソースとして使用できます。

- ServiceNow Studio (ServiceNow スタジオ)
- のフロー ワークフロースタジオ
- のプレイブック ワークフロースタジオ
- テーブルビルダー
- UI ビルダー
- ワークスペースビルダー

Glide API を介して SoR からデータにアクセスすることもできます。

顧客名をフェッチする Glide クエリの例を次に示します。

```
var sap_customer_gr = new GlideRecord('sn_erp_integration_st_sap_sales_customer');
sap_customer_gr.get('customer_number', '100032');
sap_customer_gr.getValue('name');
```

リモートテーブル内の標準 **ERP** セマンティックマイニング フィールド

ERP セマンティックマイニング で使用できる標準の ERP (エンタープライズリソースプランニング) リモートテーブルには、追加の SAP テーブルのフィールドが含まれています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

重要:
Zurich リリース以降、 ERP セマンティックマイニング は将来の廃止に向けて準備されます。これは非表示になり、新しいインスタンスではアクティブ化されなくなりますが、引き続きサポートされます。

標準のリモートテーブルには、次の追加フィールドが含まれています。標準テーブルの詳細については、「ERP セマンティックマイニング の標準リモートテーブル」を参照してください。

リモートテーブル内の標準の **ERP** 向けゼロコピーコネクタ テーブルと **ERP** セマンティックマイニング テーブル

リモートテーブル	ソーステーブル	**ERP** フィールド名	マッピングされたフィールド名
SAP 営業ドキュメント	VBAK	VBELN	document_number
SAP 営業ドキュメント	VBAK	ERDAT	date_of_document
SAP 営業ドキュメント	VBAK	ERZET	time_of_document
SAP 営業ドキュメント	VBAK	VKORG	sales_organization
SAP 営業ドキュメント	VBAK	VBTYP	document_category
SAP 営業ドキュメント	VBAK	AUART	document_type
SAP 営業ドキュメント	VBAK	AUGRU	order_reason
SAP 営業ドキュメント	VBAK	LIFSK	delivery_block
SAP 営業ドキュメント	VBAK	FAKSK	billing_block
SAP 営業ドキュメント	VBAK	KUNNR	customer_number
SAP 営業ドキュメント	VBAK	AUFNR	order_number
SAP 営業ドキュメント	VBAK	NETWR	document_value
SAP 営業ドキュメント	VBAK	WAERK	currency_code
SAP 営業ドキュメント	VBUK	LFGSK	delivery_status
SAP 営業ドキュメント	VBAP	MATNR	material_number
SAP 営業ドキュメント	VBAP	ARKTX	material_description
SAP 営業ドキュメント	VBAP	KWMENG	ordered_quantity
SAP 営業ドキュメント	VBAP	KLMENG	confirmed_quantity
SAP 営業ドキュメント	VBAP	NETWR	item_value
SAP 営業ドキュメント	VBAP	VRKME	sales_unit
SAP 営業ドキュメント	VBAP	ROUTE	delivery_route
SAP 営業ドキュメント	MARA	MTART	material_type
SAP 営業ドキュメント	VBUP	GBSTA	overall_item_status
SAP 営業顧客	KNA1	KUNNR	customer_number
SAP 営業顧客	KNA1	LAND1	country_code
SAP 営業顧客	KNA1	NAME1	name
SAP 営業顧客	KNA1	ORT01	city
SAP 営業顧客	KNA1	PSTLZ	postal_code

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

リモートテーブル内の標準の **ERP** 向けゼロコピーコネクタ テーブルと **ERP** セマンティックマイニング テーブル (続く)

リモートテーブル	ソーステーブル	**ERP** フィールド名	マッピングされたフィールド名
SAP 営業顧客	KNA1	STRAS	street
SAP 営業顧客	KNA1	STKZU	vat_liable
SAP 営業顧客	KNA1	STCEG	vat_reg_number
SAP 営業顧客	KNVV	VKORG	sales_organization
SAP 営業顧客	KNVV	VTWEG	distribution_channel
SAP 営業顧客	KNVV	SPART	division
SAP 営業顧客	KNVV	INCO1	inco_terms
SAP 顧客請求書	VBRK	VBELN	document_number
SAP 顧客請求書	VBRK	FKART	billing_type
SAP 顧客請求書	VBRK	WAERK	currency_code
SAP 顧客請求書	VBRK	ZTERM	payment_terms
SAP 顧客請求書	VBRK	NETWR	document_value
SAP 顧客請求書	VBRK	KUNRG	payer
SAP 顧客請求書	VBUK	GBSTK	overall_document_status
SAP 顧客請求書	VBRP	MATNR	material_number
SAP 顧客請求書	VBRP	ARKTX	material_description
SAP 顧客請求書	VBRP	NETWR	item_value
SAP 顧客請求書	VBRP	FKLMG	billing_quantity
SAP 顧客請求書	VBRP	VRKME	sales_unit
SAP 顧客請求書	VBRP	SHKZG	is_returns_item
SAP 顧客請求書	VBUP	GBSTA	overall_item_status
SAP 営業組織	TVKO	VKORG	sales_organization
SAP 営業組織	TVKO	EKORG	purchase_organization
SAP 営業組織	TVKO	BUKRS	company_code
SAP 購買ドキュメント	EKKO	EBELN	document_number
SAP 購買ドキュメント	EKKO	BUKRS	company_code
SAP 購買ドキュメント	EKKO	BSTYP	document_category
SAP 購買ドキュメント	EKKO	LIFNR	vendor_number
SAP 購買ドキュメント	EKKO	ZTERM	payment_terms
SAP 購買ドキュメント	EKKO	EKORG	purchase_organization
SAP 購買ドキュメント	EKKO	WAERS	currency_code
SAP 購買ドキュメント	EKKO	IHREZ	ext_reference
SAP 購買ドキュメント	EKKO	RESWK	supplying_plant

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

リモートテーブル内の標準の **ERP** 向けゼロコピーコネクタ テーブルと **ERP** セマンティックマイニング テーブル (続く)

リモートテーブル	ソーステーブル	**ERP** フィールド名	マッピングされたフィールド名
SAP 購買ドキュメント	EKKO	BEDAT	date_of_document
SAP 購買ドキュメント	EKPO	MATNR	material_number
SAP 購買ドキュメント	EKPO	EMATN	supplier_material_number
SAP 購買ドキュメント	EKPO	MENGE	ordered_quantity
SAP 購買ドキュメント	EKPO	MEINS	order_unit
SAP 購買ドキュメント	EKPO	NETPR	item_value
SAP 購買ドキュメント	EKPO	MWSKZ	vat_applicable
SAP 購買ドキュメント	EKPO	ELIKZ	fully_delivered
SAP 購買ドキュメント	EKPO	REPOS	fully_invoiced
SAP 品目在庫	MARA	MATNR	material_number
SAP 品目在庫	MARA	MTART	material_type
SAP 品目在庫	MARA	MATKL	material_class
SAP 品目在庫	MARA	NTGEW	net_weight
SAP 品目在庫	MARA	EANNR	ean_number
SAP 品目在庫	MARA	EAN11	ean11_number
SAP 品目在庫	MARA	MSTAE	material_status
SAP 品目在庫	MAKT	MAKTX	material_description
SAP 品目在庫	MARD	WERKS	plant
SAP 品目在庫	MARD	LGORT	storage_location
SAP 品目在庫	MARD	LABST	数量
SAP 品目在庫	MARD	DLINL	date_of_count
SAP ベンダー請求書	RSEG	BELNR	document_number
SAP ベンダー請求書	RSEG	GJAHR	document_year
SAP ベンダー請求書	RSEG	EBELN	purchase_document_number
SAP ベンダー請求書	RSEG	EBELP	purchase_document_item
SAP ベンダー請求書	RSEG	MATNR	material_number
SAP ベンダー請求書	RSEG	BUKRS	company_code
SAP ベンダー請求書	RSEG	WERKS	plant
SAP ベンダー請求書	RSEG	WRBTR	amount
SAP ベンダー請求書	RSEG	SHKZG	credit_debit_indicator
SAP ベンダー請求書	RSEG	MWSKZ	vat_applicable
SAP ベンダー請求書	RSEG	MENGE	数量
SAP 購買組織	T024E	EKORG	purchase_organization

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

リモートテーブル内の標準の **ERP** 向けゼロコピーコネクタ テーブルと **ERP** セマンティックマイニング テーブル (続く)

リモートテーブル	ソーステーブル	**ERP** フィールド名	マッピングされたフィールド名
SAP 購買組織	T024E	EKOTX	名前
SAP 購買組織	T024E	BUKRS	company_code
SAP 営業デリバリ	LIKP	VBELN	document_number
SAP 営業デリバリ	LIKP	KUNNR	customer_number
SAP 営業デリバリ	LIKP	ERDAT	date_of_document
SAP 営業デリバリ	LIKP	ERZET	time_of_document
SAP 営業デリバリ	LIKP	VKORG	sales_organization
SAP 営業デリバリ	LIKP	LFART	delivery_type
SAP 営業デリバリ	LIKP	ROUTE	delivery_route
SAP 営業デリバリ	VBUK	GBSTK	overall_document_status
SAP 営業デリバリ	LIPS	MATNR	material_number
SAP 営業デリバリ	LIPS	CHARG	batch_number
SAP 営業デリバリ	LIPS	WERKS	plant
SAP 営業デリバリ	LIPS	LFIMG	数量
SAP 営業デリバリ	LIPS	NTGEW	net_weight
SAP 営業デリバリ	LIPS	GEWEI	delivery_unit
SAP 営業デリバリ	LIPS	VOLUM	volume
SAP 営業デリバリ	LIPS	VOLEH	volume_unit
SAP 営業デリバリ	LIPS	ARKTX	material_description
SAP ベンダー	LFA1	LIFNR	vendor_number
SAP ベンダー	LFA1	NAME1	name
SAP ベンダー	LFA1	ORT01	city
SAP ベンダー	LFA1	PSTLZ	postal_code
SAP ベンダー	LFA1	STRAS	street
SAP ベンダー	LFA1	STCEG	vat_reg_number
SAP ベンダー	LFA1	WERKS	plant
SAP ベンダー	LFM1	EKORG	purchase_organization
SAP ベンダー	LFM1	WEBRE	gr_invoice_indicator
SAP 営業収益認識	VBREVK	VBELN	document_number
SAP 営業収益認識	VBREVK	POSNR	document_item
SAP 営業収益認識	VBREVK	SAKRR	accr_val_clearing_account_number
SAP 営業収益認識	VBREVK	SAKRRK	offset_clearing_account_number
SAP 営業収益認識	VBREVK	ACC_VALUE	total_accrued_value

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

リモートテーブル内の標準の **ERP** 向けゼロコピーコネクタ テーブルと **ERP** セマンティックマイニング テーブル (続く)

リモートテーブル	ソーステーブル	**ERP** フィールド名	マッピングされたフィールド名
SAP 営業収益認識	VBREVK	WRBTR	amount
SAP 営業収益認識	VBREVK	RVAMT	revenue_amount
SAP 営業収益認識	VBREVK	WAERK	currency_code
SAP 国	T005	LAND1	country_code
SAP 国	T002	SPRAS	language_code
SAP 国	T002	LAISO	language_iso_code
SAP 国	T005T	LANDX	説明
SAP 言語	T002	SPRAS	language_code
SAP 言語	T002	LAISO	language_iso_code
SAP 通貨	TCURC	WAERS	currency_code
SAP 通貨	TCURC	ISOCD	currency_iso_code
SAP 通貨	TCURT	LTEXT	説明
SAP 流通チャネル	TVTW	VTWEG	distribution_channel
SAP 流通チャネル	TVTWT	VTEXT	説明
SAP 部門	TSPA	SPART	division
SAP 部門	TSPAT	VTEXT	説明
SAP 会社コード	T001	BUKRS	company_code
SAP 会社コード	T001	BUTXT	説明
SAP 会社コード	T001	LAND1	country_code
SAP 会社コード	T001	WAERS	currency_code
SAP 会社コード	T001	SPRAS	language_code
SAP トランスポート	E071	AS4DATE	date_of_transport
SAP トランスポート	E071	AS4TIME	time_of_transport
SAP トランスポート	E071	AS4USER	ユーザー
SAP トランスポート	E071	TRFUNCTION	type
SAP トランスポート	E071	TRKORR	番号
SAP トランスポート	E071	TRSTATUS	ステータス
SAP トランスポート	E071	OBJECT	object_type
SAP トランスポート	E071	OBJ_NAME	object_name
SAP トランスポート	E071	PGMID	program_id

ERP セマンティックマイニング フィールドの説明

ERP セマンティックマイニングのフィールド説明の一部のテーブルが大きすぎて、タスクトピックで維持できません。このセクションで、これらの大きなテーブルに関する情報を見つけます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

> **重要:**
> Zurich リリース以降、 ERP セマンティックマイニング は将来の廃止に向けて準備されます。これは非表示になり、新しいインスタンスではアクティブ化されなくなりますが、引き続きサポートされます。

ERP セマンティックマイニング のタスクリストフィールドの説明

ERP セマンティックマイニング のタスクリストには、ERP (エンタープライズリソースプランニング) システムの接続タスクに関する情報が表示されます。

> **重要:**
> Zurich リリース以降、 ERP セマンティックマイニング は将来の廃止に向けて準備されます。これは非表示になり、新しいインスタンスではアクティブ化されなくなりますが、引き続きサポートされます。

プロセスの詳細については、「 ERP セマンティックマイニング のデータリフレッシュステータスの確認とトラブルシューティング」を参照してください。

タスクリストの詳細

列	定義
タスク	ServiceNow AI Platform 内のタスクの名前 (抽出用のバックグラウンドスクリプト、ETL タスク、分析トレーニングスクリプトなど)。
簡単な説明	接続タスクエラーの簡単な説明。 **注:** この列は [タスクの問題 **(Task issues)**] タブにのみ表示されます。
コード番号	エラーまたは警告のエラーコード番号。 **注:** この列は [タスクの問題 **(Task issues)**] タブにのみ表示されます。
カテゴリ	問題のタイプ ([エラー] または [警告])。
ステータス	タスクのステータス ([新規] または [データ不足 **(Insufficient data)**] など)。
現在のステップ	ServiceNow AI Platformが実行されている接続タスクのステップ。
総ステップ数	接続タスクを完了するために必要な合計ステップ数。
タスク期間	接続タスクが最後に更新された日付。
開始	接続タスクの実行が開始された日時。
完了	接続タスクの実行が終了した日時。

ERP セマンティックマイニング の候補リストフィールドの説明

ERP セマンティックマイニングの候補リストには、各候補の基本的な詳細に関する情報が表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

重要:
Zurich リリース以降、 ERP セマンティックマイニング は将来の廃止に向けて準備されます。これは非表示になり、新しいインスタンスではアクティブ化されなくなりますが、引き続きサポートされます。

プロセスの詳細については、「 ERP セマンティックマイニング で候補の概要を参照する」を参照してください。

候補リストの詳細

列	説明
名前	アプリケーション候補の名前 (ServiceNow AI Platform 上のレコード番号)。
簡単な説明	候補がアクセスするテーブルに関する簡単な情報。
ポテンシャル	候補が再プラットフォーム化にどの程度適しているかの評価。 値は、候補のリモートテーブルと抽出テーブルがアプリケーションにどの程度一致しているかを表します。 • 「可能性が高い」ということは、追加の変更を加えることなく、アプリケーション候補の ERP モデルに一致するリモートテーブルと抽出テーブルをすぐに使用できることを示します ERP セマンティックマイニング 。 • 「可能性が低い」ということは、アプリケーション候補が ERP 向けゼロコピーコネクタ の ERP モデルのリモートテーブルや抽出テーブルとあまり一致しないことを示します。 **注:** この列は、ホームページではなく、[候補] ページの候補リストでのみ使用できます。
ERP アプリケーション	候補の ERP アプリケーションのレコード。
ERP モジュール	SoR 内の ERP 機能エリアの名前。たとえば、ロジスティクス、調達、営業などです。
ERP モデル	候補が属する ERP モデルの数。 ERP モデルは ERP 向けゼロコピーコネクタ で構成されます。 ERP モデルは、リモートテーブルと抽出テーブル、および読み取り操作と更新操作に追加できる可能性のあるすべてのフィールドを含むステージング領域として機能します。その後、テーブルとクエリされたデータを ServiceNow AI Platform のデータソースとして使用できます。 詳細については、「ERP データを操作する ERP モデルのビルドと管理」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

候補リストの詳細 (続く)

列	説明
	注: この列は、ホームページではなく、[候補] ページの候補リストでのみ使用できます。
類似候補	類似の候補の数。類似性はリモートテーブルに基づいています。

ERP セマンティックマイニング の候補スキャン結果フィールドの説明

ERP セマンティックマイニング の候補レコードでは、[**ERP** スキャン結果] タブに、ERP (エンタープライズリソースプランニング) システムの最新のスキャンに関する情報が表示されます。

重要:
Zurich リリース以降、 ERP セマンティックマイニング は将来の廃止に向けて準備されます。これは非表示になり、新しいインスタンスではアクティブ化されなくなりますが、引き続きサポートされます。

プロセスの詳細については、「 ERP セマンティックマイニング で候補の詳細を表示して操作する」を参照してください。

[ERP スキャン結果 (ERP Scan Results)] タブの詳細

フィールド	説明
ERP モデル	候補が使用する関連 ERP モデル。ERP 向けゼロコピーコネクタ で構成されています。 ERP モデルを選択し、ERP 向けゼロコピーコネクタ でモデル を開きます。
最も近い ERP モデル/拡張可能モデル	ERP 向けゼロコピーコネクタ でテーブルを追加できる、提案された最も近い一致する ERP モデル 。 この列は、標準の ERP モデルの一部ではないため、[**ERP** モデル] 列にテーブルがリストされていないカスタムテーブルに役立ちます。ERP モデルを選択し、ERP 向けゼロコピーコネクタ でモデル を開きます。
技術クラスター	フィールドが空の場合、テーブルは通常の非技術テーブルです。フィールドに値が含まれている場合、テーブルは技術グループに属し、候補識別分析では無視されます。
ERP テーブル名	ERP システムのテーブルの名前。
テーブルの操作	ERP セマンティックマイニング がスキャンされたテーブルに対して実行したアクション (作成、読み取り、更新、または削除)。
最大行数 (DB)	スキャンされたテーブル上の最大行数です。候補の制限を把握するのに役立ちます。
更新日時	テーブルが最後にスキャンされた日時。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ERP セマンティックマイニング の候補推奨事項フィールドの説明

ERP セマンティックマイニング の候補レコードの [推奨事項] タブには、ERP (エンタープライズリソースプランニング) 候補を再プラットフォーム化するために推奨される次のアクションに関する情報が表示されます。

重要:
Zurich リリース以降、 ERP セマンティックマイニング は将来の廃止に向けて準備されます。これは非表示になり、新しいインスタンスではアクティブ化されなくなりますが、引き続きサポートされます。

プロセスの詳細については、「 ERP セマンティックマイニング で候補の推奨事項を確認する」を参照してください。

推奨事項リストの詳細

フィールド	説明
推奨アクションの URL	推奨アクションへのリンク。 推奨事項のリンクを選択し、ServiceNow AI Platform で関連するリンク先を開きます 。たとえば、 [ワークフローのビルド **(Build a workflow)]** の推奨 URL は ワークフロースタジオ のフローにリンクされます。
推奨アクション	ERP セマンティックマイニング が再プラットフォーム化の際に候補に対して実行を提案するアクションの簡単な説明。
工数概算	推奨アクションに必要な工数を示す数値スコア。 推奨アクションにはそれぞれ工数概算があります。これは、ServiceNow AI Platform にどの程度一致している機能があるか評価する数値スコアです。緑のアクションはほとんどまたはまったく労力を必要としませんが、赤いアクションはより困難です。
スコアの改善	推奨事項を実装した場合の候補の全体的な可能性が高まる可能性。 AI/ML ワークフローが自動または手動でトリガーされるたびに、スコアの改善が計算されます。
テーブルの操作	テーブルに実行する必要があるアクション ([読み取り] や [更新] など)
推奨テクノロジー	推奨アクションを実行する ServiceNow AI Platform 上のアプリまたは製品。
最大行数 (DB)	推奨アクションで許可される SoR のデータベース行の最大数。
更新日時	推奨アクションが最後に更新された日時。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ERP セマンティックマイニング の類似候補フィールドの説明

ERP セマンティックマイニングの候補レコードでは、[類似候補] タブに、ERP (エンタープライズリソースプランニング) アプリを再プラットフォーム化するための類似候補に関する情報が表示されます。

重要:
Zurich リリース以降、 ERP セマンティックマイニング は将来の廃止に向けて準備されます。これは非表示になり、新しいインスタンスではアクティブ化されなくなりますが、引き続きサポートされます。

プロセスの詳細については、「 ERP セマンティックマイニング で候補の詳細を表示して操作する」を参照してください。

[類似の候補 **(Similar candidates)**] タブの詳細

フィールド	説明
候補	アプリケーション候補の名前 (ServiceNow AI Platform 上のレコード番号)。
類似候補	類似候補のレコード番号です。ServiceNow AI Platform によって自動的に生成されます 。
簡単な説明	類似候補の簡単な説明。たとえば、類似の候補が読み取るテーブルなどです。
ERP アプリケーション	ERP システム上の ERP アプリケーションの名前。
ERP モジュール	営業など、ERP システムの機能別のビジネスエリア。
類似性	候補の類似度を表す数値スコア (0 ～ 1)。 スコアが高いほど (0.94 など)、候補が非常に類似していることを示します。 詳細については、「ERP セマンティックマイニング の推奨事項と類似の候補」を参照してください。
類似の候補	類似の候補の数。 この列の値を選択し、その他の類似候補のリストを表示します。
更新日時	類似候補の詳細が最後に更新された日時。

ERP セマンティックマイニング スナップショットフィールドの説明

ERP セマンティックマイニング では、[構成] ページの [スナップショット] タブに、スナップショットのインポートとエクスポートに関する情報が表示されます。

重要:
Zurich リリース以降、 ERP セマンティックマイニング は将来の廃止に向けて準備されます。これは非表示になり、新しいインスタンスではアクティブ化されなくなりますが、引き続きサポートされます。

プロセスの詳細については、「 でデータを共有および保存するためのスナップショットを作成する ERP セマンティックマイニング」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スナップショットリストの詳細

列	定義
名前	スナップショットの一意の読み取り専用名。名前は自動的に作成されます。
タイプ	スナップショットの分類。オプションは [エクスポート] と [インポート] です。
ステータス	現在の処理ステータス。オプションは、 処理待ち、 処理中、 完了です。
エラーメッセージ	インポートまたはエクスポートが失敗した場合は、問題を説明するエラーメッセージが表示されます。
作成者	スナップショットを作成したユーザー。
更新日時	スナップショットが最後に更新された日時。

ERP 向けゼロコピーコネクタ と ERP セマンティックマイニング の用語集

ERP 向けゼロコピーコネクタ、ERP セマンティックマイニング、および ERP データ製品に適用される ERP (エンタープライズリソースプランニング) の用語と概念について説明します。

重要:
Zurich リリース以降、 ERP セマンティックマイニング は将来の廃止に向けて準備されます。これは非表示になり、新しいインスタンスではアクティブ化されなくなりますが、引き続きサポートされます。

BAPI

ビジネスアプリケーションプログラミングインターフェイス (BAPI) は、API に類似した SAP 製品のビジネスオブジェクトモデルへの標準インターフェイスです。

候補

候補は、システム内のカスタムトランザクション (ERP ルート) に基づいてアプリケーションを作成するために使用できる推奨リモートテーブルのグループです。従来の ERP SoR 上に存在する既存のアプリケーションを候補にすることもできます。

現在、再プラットフォーム化の良い候補は、SoR からデータを使用する小さなアプリケーションである傾向があります。

候補スコア

カスタムアプリケーション (ERP ルート) が ERP セマンティックマイニング のリモートテーブルにどの程度適合するかを示すメトリクス。

接続および認証情報エイリアス

認証情報エイリアスは、ServiceNow 認証情報エイリアスで管理されているシステム接続アクセスの実現要因です。認証情報エイリアスは、ERP SoR へのアクセスに使用されます。

カスタムフィールド

カスタムフィールドは、テーブルに追加される値です。

エンティティ

ERP 向けゼロコピーコネクタ が SoR の読み取りまたは更新に使用するテーブルまたはビジネスアプリケーションプログラミングインターフェイス (BAPI) 関数呼び出し。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ERP アプリケーション

ERP セマンティックマイニング を使用して再プラットフォーム化するために選択する ERP (エンタープライズリソースプランニング) カスタムアプリケーションは、ERP システムの ERP ルートです。

ERP モデル

ERP モデルは、特定のビジネスプロセスまたはアクティビティに対応するように調整された独自の機能セットを表します。ERP モデルには、SoR の複数のテーブルと、API および ETL プロセスが含まれ、全体的なデータセットを作成します。たとえば、受注用の ERP システムとインベントリ用の別の ERP システムを使用できます。

ERP モジュール

ERP システムの機能的なビジネスエリア。ERP ルートでは、1 つのビジネスエリアのみを選択できます。

ERP システム

ERP システムは、ERP SoR のセクションへの接続を表します。 ERP 向けゼロコピーコネクタシステムは、データの同期、共有、およびコラボレーションにおいて重要な役割を果たし、ERP モデルと接続された ERP システム間のシームレスな統合と運用を可能にします。

ERP テーブル

ERP システムの個々のテーブル (カスタムテーブルと標準テーブルの両方) は、リモートテーブルの一部です。たとえば、営業では、ERP テーブルに VBAK、VBAP、VBFA、VBPA、VBEP、MKPF、または MSEG を含めることができます。

抽出テーブル

抽出テーブルは、スケジュール済みクエリを使用して大量のデータを取得し、変換テーブルを使用して ServiceNow AI Platformで使用するデータを処理します。

マッピングされた値

マップされた値とは、2 つのデータセット間の事前定義されたマッピングまたは対応に基づいてアサインまたは変換された値を指します。これは、プログラミング、データベース、およびデータ処理で一般的に使用され、ある値を別の値と関連付けます。

odata

ERP 向けゼロコピーコネクタで、HTTP を介して SAP にリンクする OData 接続を作成し、リモートテーブルと抽出テーブルで使用するためにデータを抽出できるようにします。

操作

SoR の読み取りまたは更新のために実行される個々のメンテナンスタスク。

リモートテーブル

リモートテーブルは、1 つのテーブルに収集されたときに値を提供する SoR のテーブルの集計です。リモートテーブルは、ERP モデルの基盤です。候補は複数のリモートテーブルで構成できます。

SoR

ERP SoR とは、データが格納されており、たとえば SAP などからデータを配布する場所です。

ServiceNow スタジオ

ServiceNow スタジオ は、すべての ServiceNow 開発アクティビティに統一されたエクスペリエンスを提供し、アドミンと開発者がベースシステムソリューションを拡張し、カスタムアプリを簡単に

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

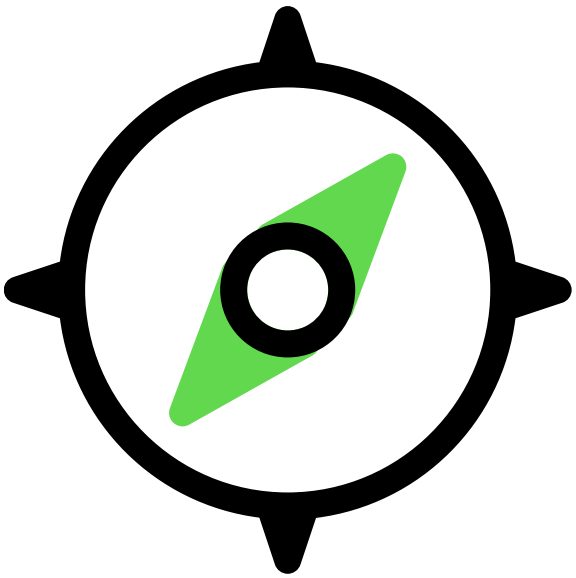
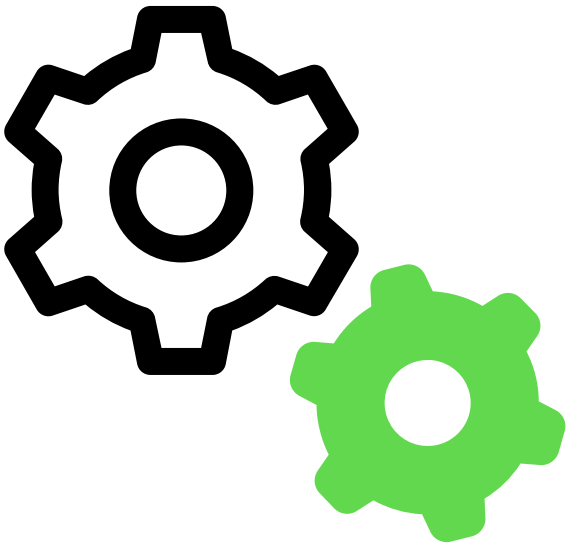
自動翻訳

作成できるようにします。ServiceNow スタジオを使用して、統合ツールを使用したアプリとアプリファイルのビルド、スコープ対象アプリとグローバルアプリのアプリメタデータへのアクセスと編集、展開のためのアプリの変更のパッケージ化など、すべてを 1 つの強力な開発ツールで行うことができます。

ServiceNow スタジオ の概要

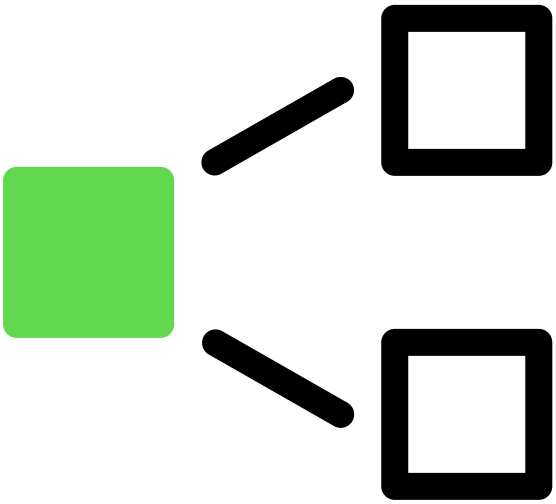
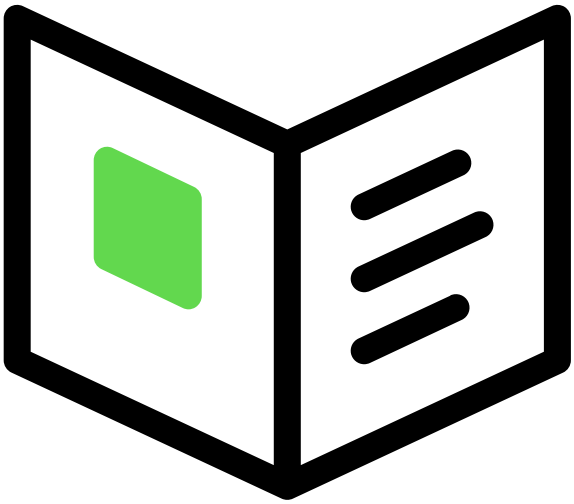
https://player.vimeo.com/video/1024854672?h=2ba63a9841&badge=0&autopause=0&player_id=0&app_id=58479

開始

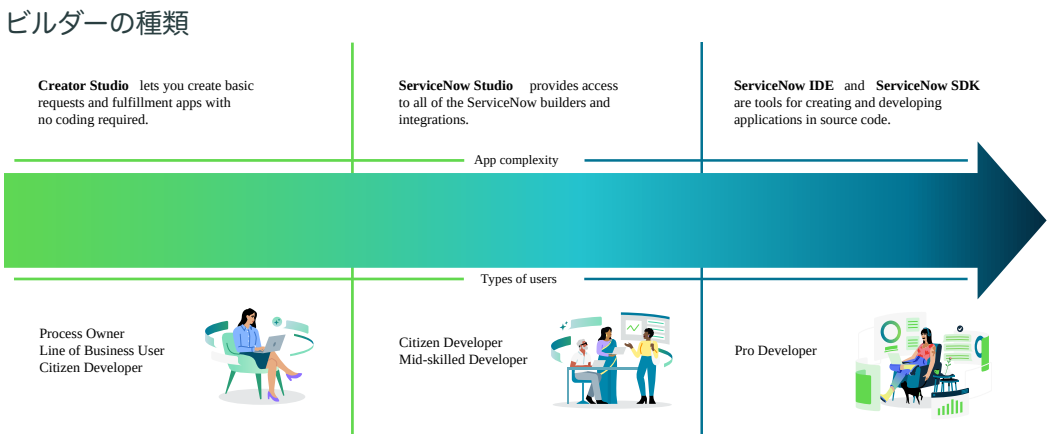
探索	構成
	
ServiceNow スタジオの概念と機能について説明します。	環境、ツール、およびユーザーアクセスを構成します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ビルド	参照
	
ServiceNow スタジオを使用してアプリケーションやフローなどをビルドします。	フィールド、テーブル、プロパティなどの ServiceNow スタジオ コンポーネントの詳細を取得します。

アプリの作成に使用すべきビルダー



コードなしで簡単にアプリをビルドしたい場合

クリエータースタジオ は、コードを書かずに要求を履行するアプリケーションの作成を支援することに特化しています。たとえば、フォームに入力して事務用品を要求するアプリケーションで、誰かが要求を承認または拒否するなどです。詳細については、「クリエータースタジオ の探索」を参照してください。

より一般的なアプリが必要だけれどローコードオプションが必要な場合

App Engine Studio を使用すると、プログラミングのプロでなくても、クリエータースタジオ よりも幅広いアプリをビルドできます。詳細については、「App Engine Studio の探索」を参照してください。

一元化されたユーザーインターフェイスでより詳細に制御したい開発者の場合

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

新しい ServiceNow スタジオにより、アプリをよりスマートに構築し、より迅速に提供できます。ServiceNow スタジオ は、プラットフォーム開発者が ServiceNow AI Platformに基づいて構築するための最新の統一された環境を開発者に提供します。 ServiceNow スタジオ は、アプリケーションとメタデータへの簡素化されたナビゲーション、統合されたローコードツール、開発プロセスを加速し、生産性を向上させる開発作業の効率的な追跡とパッケージ化を備えています。詳細については、「ServiceNow スタジオ の探索」を参照してください。

業界標準の開発ツールやプロセスを使用したい開発者の場合

ServiceNow IDE と ServiceNow SDK は、ServiceNow Fluent を使用したソースコードでのアプリケーション開発、JavaScript モジュールの作成、およびサードパーティライブラリの使用をサポートしています。ServiceNow Fluent は、コードでアプリケーションメタデータを作成するためのドメイン固有のプログラミング言語です。

ServiceNow IDE は、ServiceNow AI Platform 上の Visual Studio Code for the Web の実装です。ServiceNow SDK は Visual Studio Code Desktop をローカルで使用します。詳細については、「ソースコードでアプリケーションをビルドする」を参照してください。

ServiceNow スタジオ試してみる

ServiceNow スタジオ を試してみませんか？独自の個人開発インスタンス (PDI) を使用してテストできます。これには、 開発者サイト へのサインインが必要です。PDI の詳細については、 個人開発者インスタンスガイドをご覧ください。

PDI で ServiceNow スタジオ を試すには、このボタンを選択します

Try ServiceNow Studio for free

今すぐ ServiceNow スタジオ を PDI にインストールしてみてください。ログインが必要です。

役に立つリソース

役立つ情報を提供できる ServiceNow リソースは次のとおりです。

ビデオ

App Engine アカデミー:カスタムアプリケーションのプラットフォーム機能とデータモデリングをご覧ください。

ビデオ

Watch App Engine Academy: Using ServiceNow Studio for Multi-Level Table Inheritance(App Engine アカデミー:マルチレベルテーブル継承のための ServiceNow Studio の使用)

ServiceNow コミュニティ

個人開発者インスタンス (PDI) のインスタンスヘルプについて学ぶ

ビデオ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

App Engine アカデミー #1: カスタムアプリ開発のベストプラクティスを見る

カスタマーアドミンサポート

ユーザーアカウントのロック解除または追加、復元または zBoot の実行などについては、会社のカスタマーアドミンにお問い合わせください。

会社のカスタマーアドミンにお問い合わせください

既知のエラーポータル

既知のエラーポータルで既知のエラー記事を検索する

カスタマーサービス

連絡先 カスタマーサービス & サポート

ServiceNow スタジオ の探索

ServiceNow スタジオ は、プラットフォーム開発者がアプリを作成、変更、拡張するためのまとまりのある効率的なエクスペリエンスを提供します。 ServiceNow スタジオ は、開発作業を行うための単一の場所であり、ビジネスに価値をより迅速に提供できます。

ServiceNow スタジオの概要

ServiceNow スタジオ を使用すると、作成から展開まで一貫した強力なアプリ開発エクスペリエンスを提供することで、作業効率を高めることができます。

- カスタムおよびグローバルにスコープ指定されたアプリとアプリファイルを単一の統合開発環境で作成、編集、管理、展開するので、ツールやビルダーを行き来する必要はありません。ベースシステムアプリとファイルを編集したり、ストアアプリをカスタマイズしたりすることもできます。
- ファイルナビゲーター分類を使用して、任意のタイプのメタデータレコードを検索して編集します。
- 更新セット、パイプライン、または アプリケーションリポジトリを使用して、展開用にアプリの変更をパッケージ化します。

ServiceNow スタジオ 機能と利点

ServiceNow スタジオ は、アプリの作成と展開における価値実現までの時間を短縮できる、統一されたアプリ開発エクスペリエンスを提供します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ServiceNow スタジオ は、統一された開発エクスペリエンスでアドミニストレーターと委任開発者に次のメリットをもたらします。

- アプリとアプリファイルの検索：インスタンス内のアプリケーションまたはメタデータレコードを検索します。詳細については、「検索を使用してアプリまたはアプリファイルを検索する」と「ナビゲーターパネルを使用したアプリまたはアプリファイルの検索」を参照してください。
- 統合タブ: ServiceNow スタジオを離れることなく、アプリと異なるスコープのアプリファイルを簡単に切り替えることができます。さまざまなアプリやアプリ ファイルの操作の詳細については、「 ServiceNow スタジオ でスコープを超えてアプリやアプリファイルを開く」を参照してください。
- 迅速な展開:ServiceNow スタジオを離れることなく、更新セット、パイプライン、またはアプリケーションリポジトリを介して展開するアプリを作成してパッケージ化します。詳細については、「での更新セットの操作 ServiceNow スタジオ」と「ServiceNow スタジオ から アプリケーションリポジトリ へのアプリの変更の公開」を参照してください。
- Now Assistによるアプリ開発の強化:Now Assist機能を使用して、アプリとアプリファイルの作成にかかる時間を短縮します。詳細については、「Now Assist でのアプリ生成用 ServiceNow スタジオ」と「Now Assist でのアプリサマリー生成の場合 ServiceNow スタジオ」を参照してください。
- ファイル作成:グローバルスコープを含め、編集権限のある任意のスコープで、任意のタイプのアプリファイルを簡単に作成できます。詳細については、「ServiceNow スタジオ でのアプリケーションの作成」と「でアプリファイルを作成する ServiceNow スタジオ」を参照してください。
- 分類とコレクション: ServiceNow スタジオ メタデータ分類を使用して、検索するファイルの種類を簡単に見つけることができます。詳細については、「ServiceNow スタジオ ナビゲーターパネルの分類」を参照してください。
- 統合ビルダー:ワークフロースタジオのテーブルビルダーやフローなど、ServiceNow AI Platformで利用可能な最高のローコードビルダーの多くを、強力なアプリ開発ツールとともに使用します。詳細については、「での統合開発ツールとビルダーへのアクセス ServiceNow スタジオ」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

役に立つリソース

役立つ情報を提供できる ServiceNow リソースは次のとおりです。

ビデオ

App Engine アカデミー:カスタムアプリケーションのプラットフォーム機能とデータモデリングをご覧ください。

ビデオ

Watch App Engine Academy: Using ServiceNow Studio for Multi-Level Table Inheritance(App Engine アカデミー:マルチレベルテーブル継承のための ServiceNow Studio の使用)

ビデオ

App Engine アカデミー #1: カスタムアプリ開発のベストプラクティスを見る

ServiceNow コミュニティ

ServiceNow コミュニティ

ServiceNow コミュニティ

個人開発者インスタンス (PDI) のインスタンスヘルプについて学ぶ

Customer Success Center

Customer Success Center

ディベロッパー

developer.servicenow.com

ServiceNow University

ServiceNow University

ServiceNow スタジオ チュートリアル:チューリッヒ

このチュートリアルは、 ServiceNow スタジオ でアプリケーションを作成するのに役立ちます。

強力な ServiceNow AI Platform は、ビジネスプロセスを合理化および自動化するように設計されています。すぐに利用可能なソリューションは優れた出発点となりますが、必ずしも特定のビジネス要件に合致しているとは限りません。このような場合、 App Engine を使用してカスタムアプリケーションをビルドすることが、組織固有のニーズに合わせて柔軟性、スケーラビリティ、およびカスタマイズされた機能を提供する最適なアプローチです。

このチュートリアルは 3 つのフェーズで構成されており、アプリケーションを迅速にビルドしてビジネス価値を提供し、最初のリリース後に拡張する方法を示します。このチュートリアルで開発したアプリケーションを使用すると、チームまたは部門の効率的で構造化されたサービス管理が可能になります。これにはサービス要求機能が含まれており、ユーザーは問題や問い合わせを簡単な方法で送信できます。

ユースケース概要

ServiceNow AI Platformでカスタムアプリケーションを構築するかどうかを検討する際には、まず製品ワークフローを評価することが重要です。一般に、バリューチェーンがビジネスニーズに合致している場合は、構築済みのワークフローを使用することがベストプラクティスです。逆に、ビルド済みのワークフローが特定の目的のために設計されていない場合は、既存のアプリケーションを過度にカスタマイズするのではなく、カスタムアプリケーションをビルドすることをお勧めします。

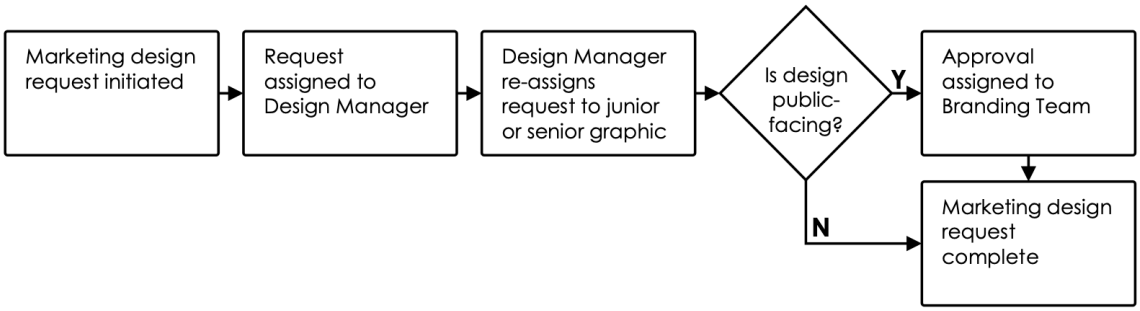
既存の製品ですぐに利用可能な機能を超える機能を実行する部門は、カスタムアプリケーションの有力な候補です。このアプローチにより、独自のユースケースに固有のカスタマイズされたデータモデ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ル、セキュリティ、ユーザーエクスペリエンスなど、 ServiceNow AI Platformのメリットを十分に活用できます。

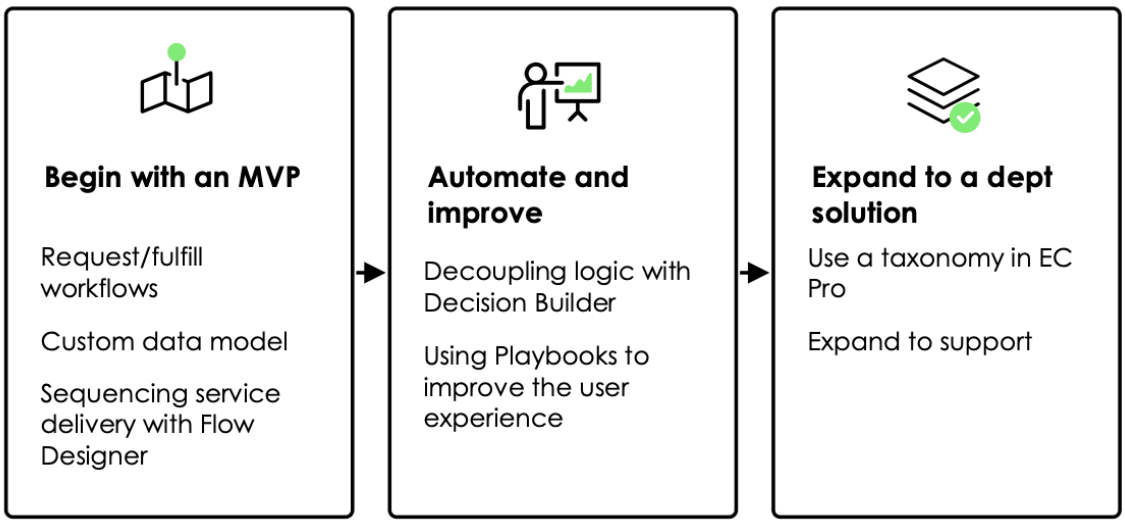
このチュートリアルでは、マーケティング部門向けのカスタムアプリケーションを構築します。まず、マーケティングデザインリクエストを管理するためのワークフローを作成し、次に、ビジネス価値を高め、ユーザーエクスペリエンスを向上させ、保守性を確保する機会を特定します。



このチュートリアルで設計する基本的なワークフローは次のとおりです。

1. マーケティングデザイン要求が開始されます。
2. 要求はデザインマネージャーに割り当てられます。
3. デザインマネージャーは、ジュニアまたはシニアのグラフィックデザイナーに要求を再アサインします。
4. デザインが公開されている場合、承認はブランディングチームにアサインされ、マーケティングデザイン要求が完了します。
5. 設計が公開されていない場合、マーケティング設計要求は完了です。

アプリケーション設計プロセスの概要



1. 実用最小限の製品 **(MVP)** から始めます。

   チュートリアルの最初の部分では、最も一般的なユース ケースの 1 つである要求実行ワークフローに焦点を当てます。要求と履行のワークフローは、サービス要求とインシデントを管理するための構造化されたメカニズムを提供するため、ServiceNow アプリケーションのバックボーンです。これらのワークフローには、次のような主なメリットがあります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 効率性と自動化:サービス要求処理を合理化し、手作業を削減します
- タスク管理の改善:履行者が要求を効果的に追跡、優先順位付け、完了するのに役立ちます
- ユーザーエクスペリエンスの向上:要求者が要求を簡単に送信および監視できるようにします
- 拡張性:新しいサービスデマンドや部門に適応することで、増大するビジネスニーズをサポートします

このフェーズでは、 ServiceNow スタジオを使用して MVP を構築します。MVP は、カスタム データ モデル、レコード プロデューサー、およびカスタム ワークスペースを使用します。ワークフロースタジオを使用してワークフローを構成します。

2. 自動化と改善。

   承認やタスクなどのワークフロー要素を使用して最初にビルドされる単純な要求実行プロセスは、複雑さが増すにつれてすぐに非効率的になる可能性があります。手動での承認、一貫性のない意思決定、および要求ステータスの不十分な可視性は、サービスデリバリの速度を低下させ、従業員を苛立たせ、最終的にはビジネスの生産性に影響を与える可能性があります。

   これらの課題に対処するために、 ServiceNow は、ワークフローの自動化を強化し、ユーザーエクスペリエンスを向上させ、ビジネスポリシーへのコンプライアンスを確保する 2 つの強力な機能であるプレイブックと ディシジョンビルダーを提供します。

   この 2 番目のセクションでは、ステップバイステップのタスク ガイダンスとユーザー エクスペリエンスの向上のためのプレイブックを使用して MVP を強化します。ビジネス上の意思決定をカプセル化し、ビジネスプロセスからロジックを切り離すためのディシジョンテーブルも追加されます。

3. 部門別ソリューションに展開します。

   要求実行アプリケーションは、単なるスタンドアロンプロセスではなく、完全な自動化への第一歩です。その影響を最大化するには、ワークフローの自動化の拡張、効率の向上、サービス提供の合理化に対する戦略的アプローチを採用して、初期ワークフローを強化およびサポートします。この拡張により、最初の要求プロセスが完全にスケーラブルな部門ソリューションに変わります。

   チュートリアルの最後のセクションでは、ワークフローを追加し、ワークスペースダッシュボードを改善することで、要求実行プロセスを部門ソリューションに拡張します。

   チュートリアルは 3 つのフェーズで構成されており、ビジネス価値を実現するアプリケーションを迅速にビルドし、最初のリリース後に拡張する方法を示します。このチュートリアルでビルドされたアプリケーション構造を使用すると、グループまたは部門に構造化されたサービス管理を迅速に提供できます。このアプリケーションは、サービス要求機能と、サービスコンシューマーが問題や質問を送信する方法を提供します。

ServiceNow スタジオ チュートリアルパート**1:MVP**から始める

このセクションでは、 ServiceNow スタジオ を使用して実用最小限の製品 (MVP) を構築します。MVP は、カスタム データ モデル、レコード プロデューサー、およびカスタム ワークスペースを使用します。また、 ワークフロースタジオ を使用して MVP のワークフローを構成します。

ServiceNow スタジオ でのアプリの作成

ServiceNow AI Platformで開発するための新しい革新的な環境である ServiceNow スタジオ でアプリを迅速にビルドします。

始める前に
必要なロール：admin

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて
ServiceNow スタジオ は、すべてのアプリケーション構築タスクのための統一されたツールを開発者に提供し、完全なビルダーエクスペリエンス内で迅速なイノベーションとビジネスクリティカルなワークフローアプリケーションの作成を可能にします。早速、始めましょう！

手順

1. 移動先 すべて > **App Engine** > **ServiceNow** スタジオ.
2. 選択 作成 > アプリケーション.
3. 名前 フィールドに、Marketing Services と入力します。
4. **[Continue** (続行)] を選択します。
5. [続行] を選択して、デフォルトのアドミンロールとユーザーロールを受け入れます。

   ServiceNow スタジオ は、マーケティングサービスアプリケーションの アドミン と ユーザーのデフォルトロールを作成します。これらのロールにアサインされたユーザーは部門のメンバーとなり、履行者としてサービス遂行でロールを果たします。

6. ナビゲーターパネルで、更新アイコン ( ) を選択してアプリのリストを更新します。
7. リストから Marketing Services アプリを選択し、 アプリの詳細 を選択して開きます。
8. オプション: その他のオプションアイコン ( ) を選択し、 親カテゴリの表示 を選択します。
   [親カテゴリを表示] オプションは、アプリケーションファイルのグループ化方法を変更します。

データモデルの作成

ServiceNow スタジオ でマーケティングサービスアプリケーションのデータを定義します。

始める前に
必要なロール：admin

このタスクについて
アプリケーション作成の最初のステップは、データの定義です。このラボでは、 ServiceNow AI Platform のテーブル継承機能を使用して、すべての要求に対してシステムタスクテーブルを拡張します。これにより、Marketing Services アプリケーションは、ユーザーへの要求の割り当てや承認の要求など、プラットフォームの基本フィールドや機能にアクセスできるようになります。

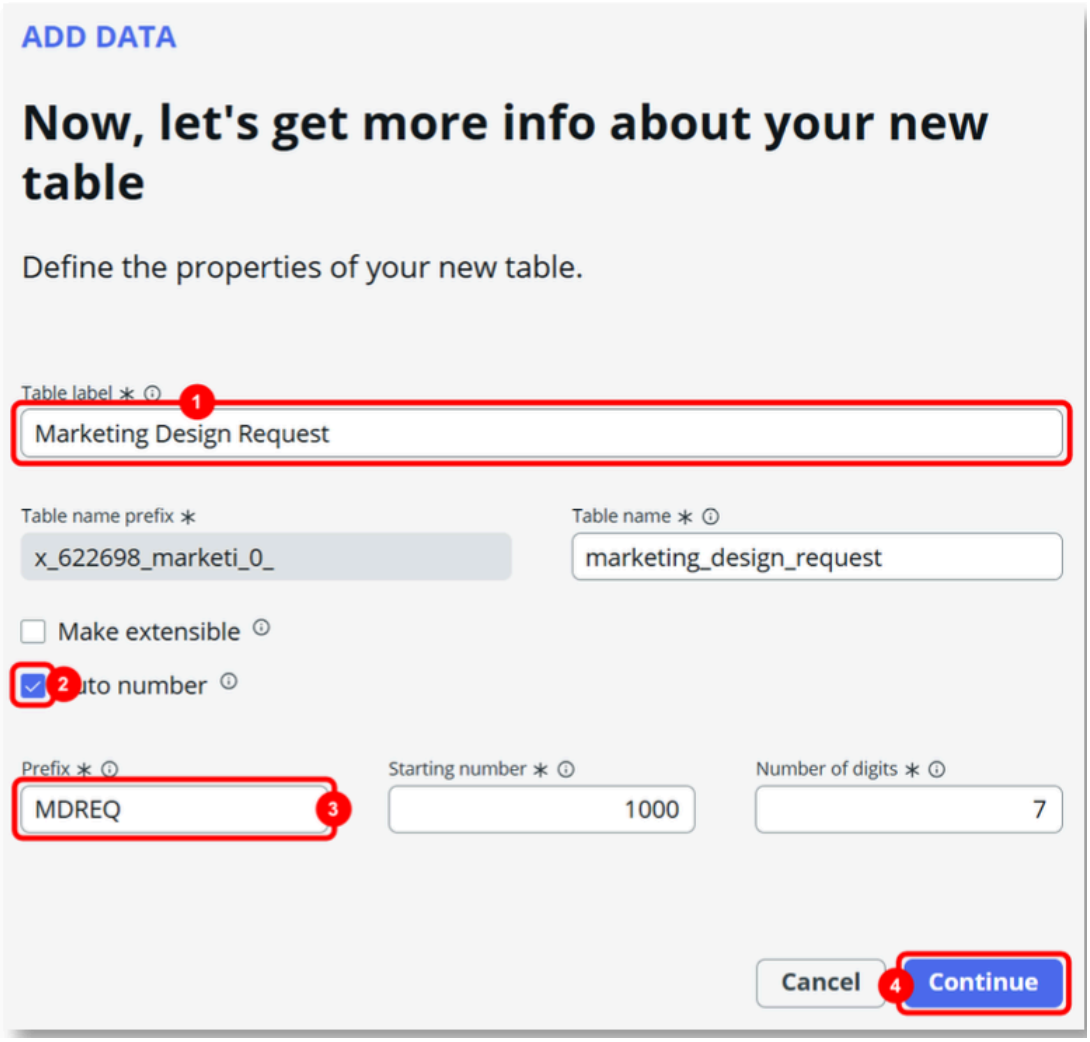
手順

1. 移動先 すべて > **App Engine** > **ServiceNow** スタジオ.
2. 選択 作成 > ファイル.
3. アプリケーション フィールドで、Marketing Services アプリケーションを選択します。
4. [データ] カテゴリを選択し、[テーブル] を選択します。
5. **[Continue** (続行)] を選択します。
6. [空のテーブルの作成] を選択します。
7. **[Continue** (続行)] を選択します。
8. [拡張可能なテーブルから作成] を選択します。
9. **[Continue** (続行)] を選択します。
10. [テーブル] フィールドを選択し、リストから [タスク] テーブルを選択します。
11. **[Continue** (続行)] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

12. [テーブル ラベル] フィールドに、「マーケティング デザイン要求」と入力します。
13. [自動番号] のチェック ボックスをオンにします。
14. **Prefix** 欄に MDREQ と入力します。

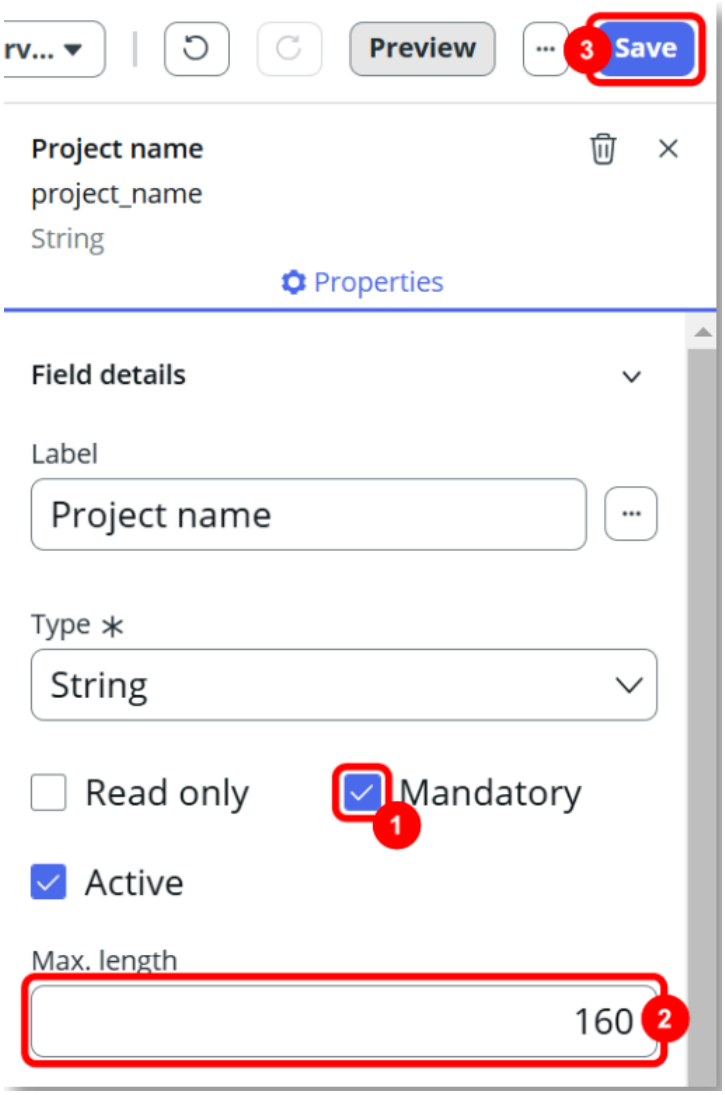


15. **[Continue** (続行)] を選択します。
16. マーケティングデザイン要求テーブルの権限を設定します。
    a. デフォルトの admin ロールの場合は、[すべての 権限] のチェックボックスをオンにします。
    b. デフォルトのユーザーロールで、次の権限のチェックボックスをオンにします。
       - 作成
       - 読み取り
       - 書き込み
17. **[Continue** (続行)] を選択します。
18. テーブルの準備ができたら、[テーブルの編集] を選択します。
19. [ダイアログを閉じる] アイコン (✕) を選択するか、[次へ] を選択して テーブルビルダー 機能のツアーを完了し、[テーブルビルダーへようこそ] ダイアログを閉じます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

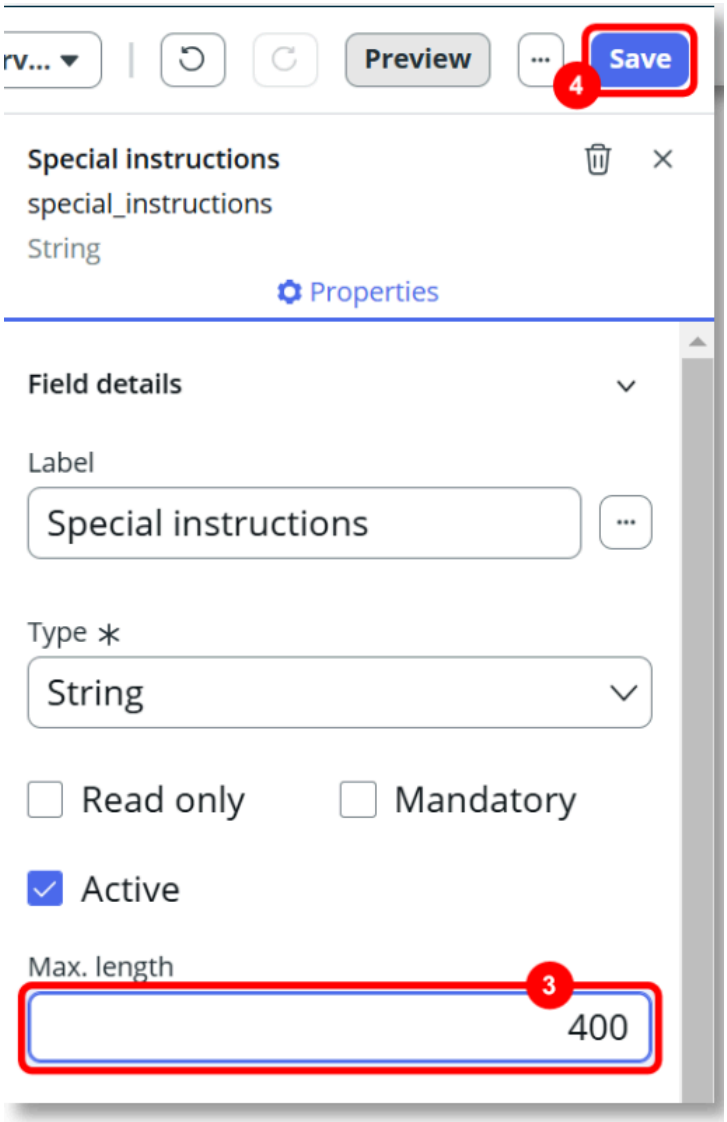
20. **+** 新しいフィールドの追加 を選択して、マーケティング設計要求テーブルにフィールドを追加します。
21. [列ラベル] フィールドに「プロジェクト名」と入力し、Enter キーを押します。
22. フィールドにカーソルを合わせ、サイドパネルを開くアイコン (⚙) を選択します。
23. [プロパティ] サイドパネルで、[必須] のチェックボックスをオンにします。
24. [最大長] フィールドに「160」と入力します。
25. **[Save** (保存)] を選択します。



26. **[+** 新しいフィールドを追加] を選択して、別のフィールドをテーブルに追加します。
27. [列ラベル] フィールドに「特別な指示」と入力し、Enter キーを押します。
28. フィールドにカーソルを合わせ、サイドパネルを開くアイコン (⚙) を選択します。
29. [プロパティ] サイドパネルで、[最大長] フィールドに「400」と入力します。
30. **[Save** (保存)] を選択します。

自動翻訳

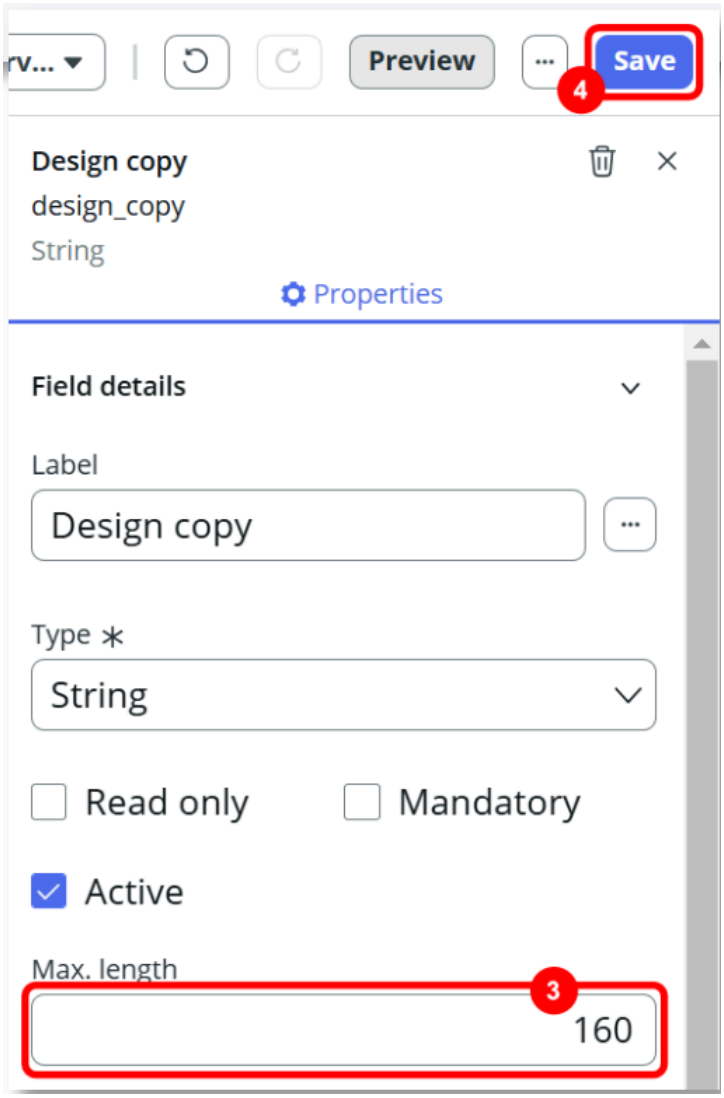
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



31. **[+** 新しいフィールドを追加] を選択して、別のフィールドをテーブルに追加します。
32. [列ラベル] フィールドに「Design copy」と入力し、Enter キーを押します。
33. フィールドにカーソルを合わせ、サイドパネルを開くアイコン (⚙) を選択します。
34. [プロパティ] サイドパネルで、[最大長] フィールドに「160」と入力します。
35. **[Save** (保存)] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



36. **[+** 新しいフィールドを追加] を選択して、別のフィールドをテーブルに追加します。

37. [列ラベル] フィールドに「メディアタイプ」と入力し、Enter キーを押します。

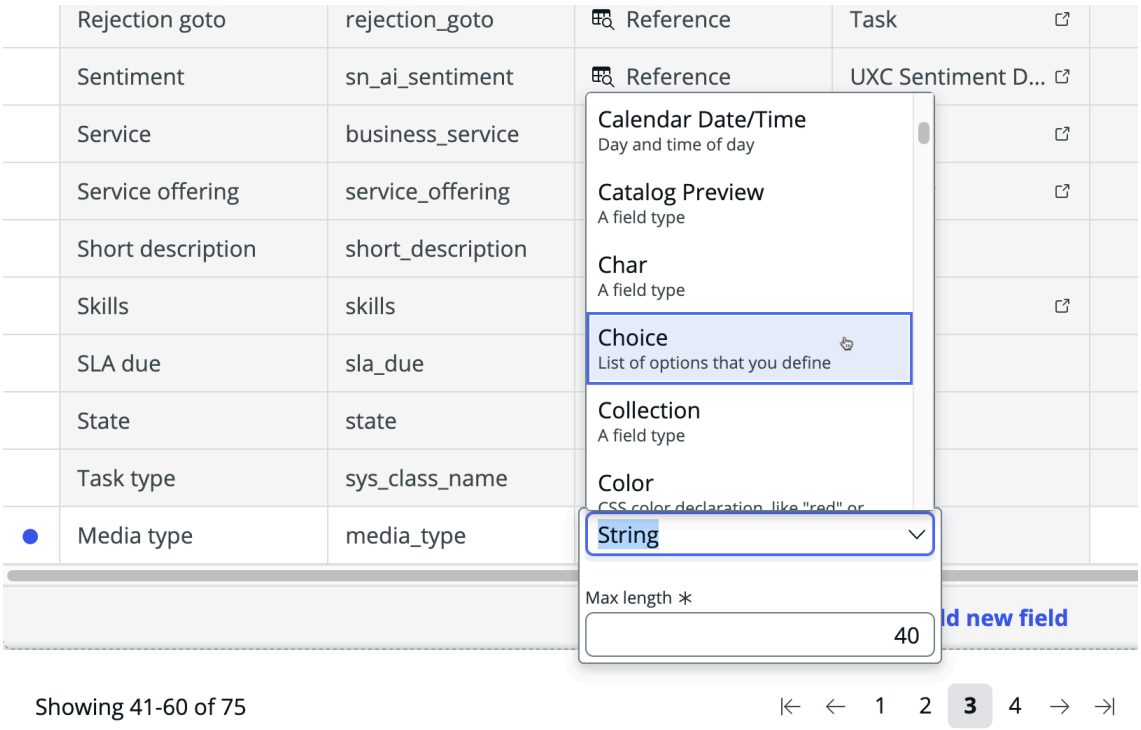
38. フィールドタイプを [選択肢] に設定します。

a. [タイプ] 列の値を選択して、フィールドタイプリストを開きます。

b. [タイプ] フィールドに「選択肢」を入力するか、フィールドタイプのリストから [選択肢] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



c. [選択肢タイプ] フィールドを選択し、リストから **[--**なし--] のあるドロップダウン を選択します。

d. [選択肢] フィールドで選択します。

e. 「デジタル」と入力し、Enter キーを押すか、[追加] を選択して選択肢を追加します。

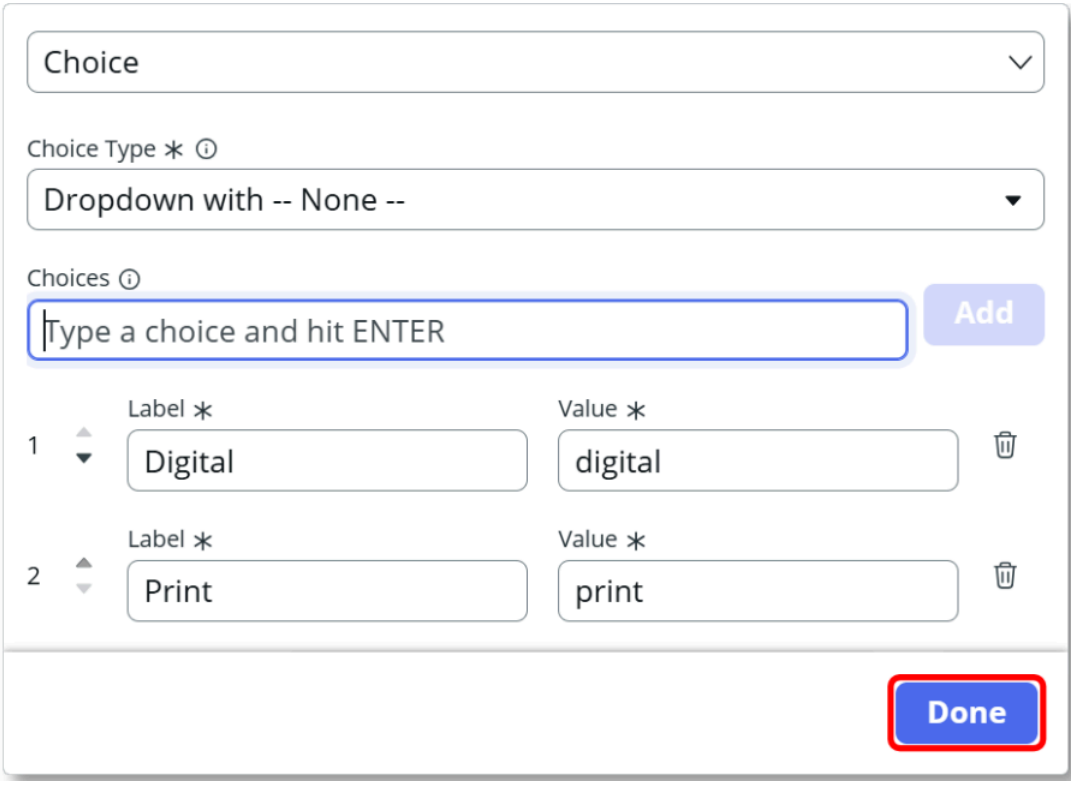
f. [選択肢] フィールドで選択して、別の選択肢を追加します。

g. 「印刷」と入力し、Enter キーを押すか、[追加] を選択して選択肢を追加します。

h. [Done (完了)] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



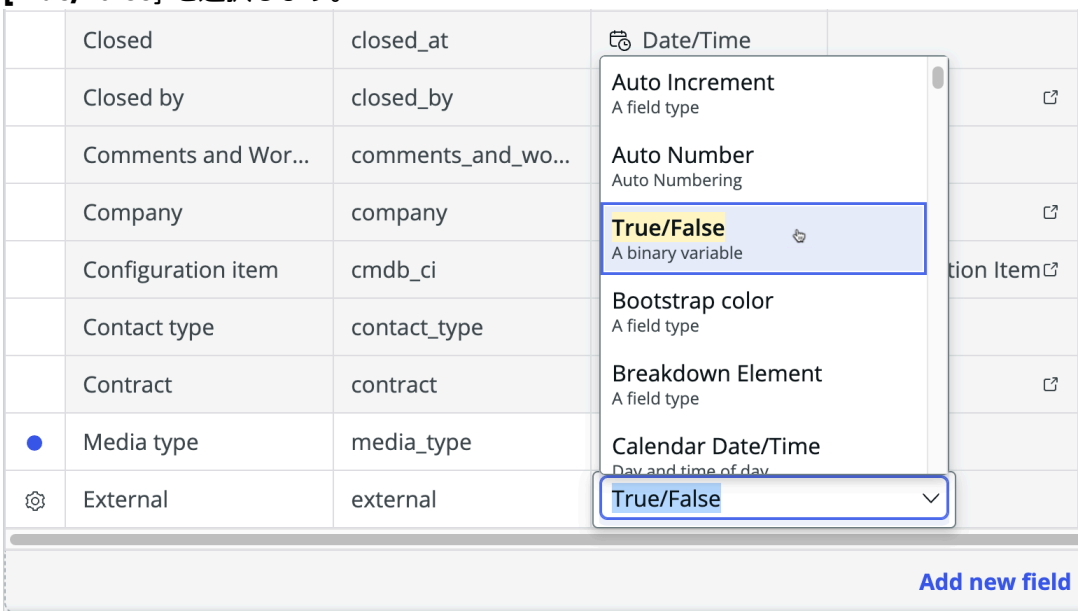
39. **[+** 新しいフィールドを追加] を選択して、別のフィールドをテーブルに追加します。

40. [列ラベル] フィールドに「外部」と入力し、Enter キーを押します。

41. フィールドタイプを **True/False** に設定します。

a. [タイプ] 列の値を選択して、フィールドタイプメニューを開きます。

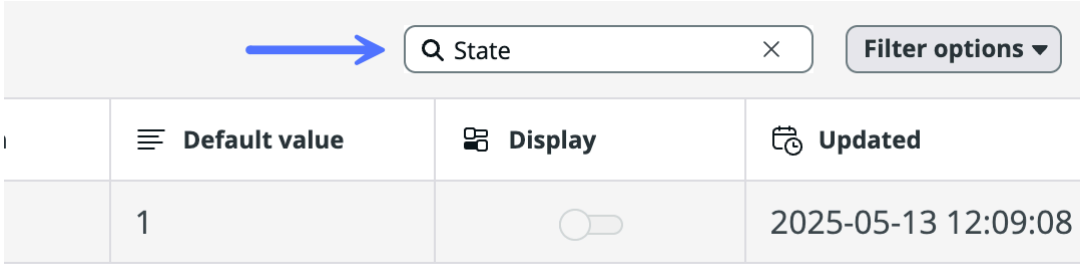
b. [タイプ] フィールドに True/False を入力するか、フィールドタイプオプションのリストから **[True/False]** を選択します。



42. [フィルターフィールド] 検索バーに 「State 」と入力して、既存の [State] フィールドを検索します。

自動翻訳

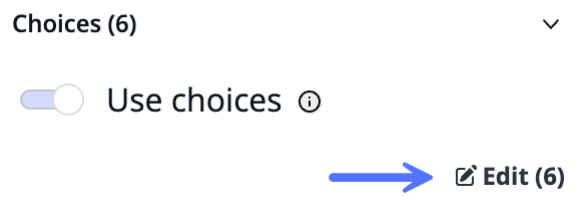
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



43. [State] フィールドにカーソルを合わせ、サイドパネルを開くアイコン ( ) を選択します。

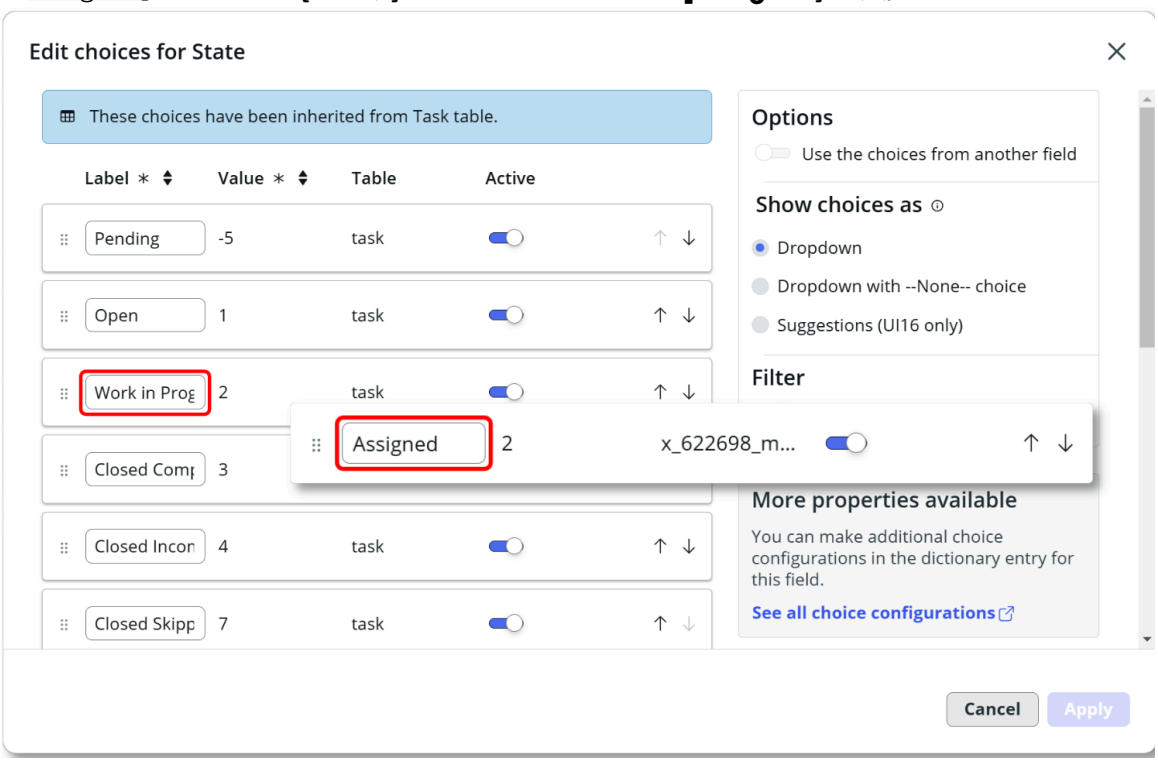
44. [プロパティ] サイドパネルで、展開アイコン ( ) を選択して [選択肢] セクションを展開します。

45. **[Edit** (編集)] を選択します。



> **注:**
> [編集] ではなく [表示] が表示されている場合は、テーブルを編集できるようにグローバルスコープ内であることを確認してください。

46. [選択肢の編集] ダイアログで、Backspace キー (またはキーボードショートカット) を使用して「Assigned」と入力し、[対応中] フィールドのラベルを **[Assigned]** に変更します。



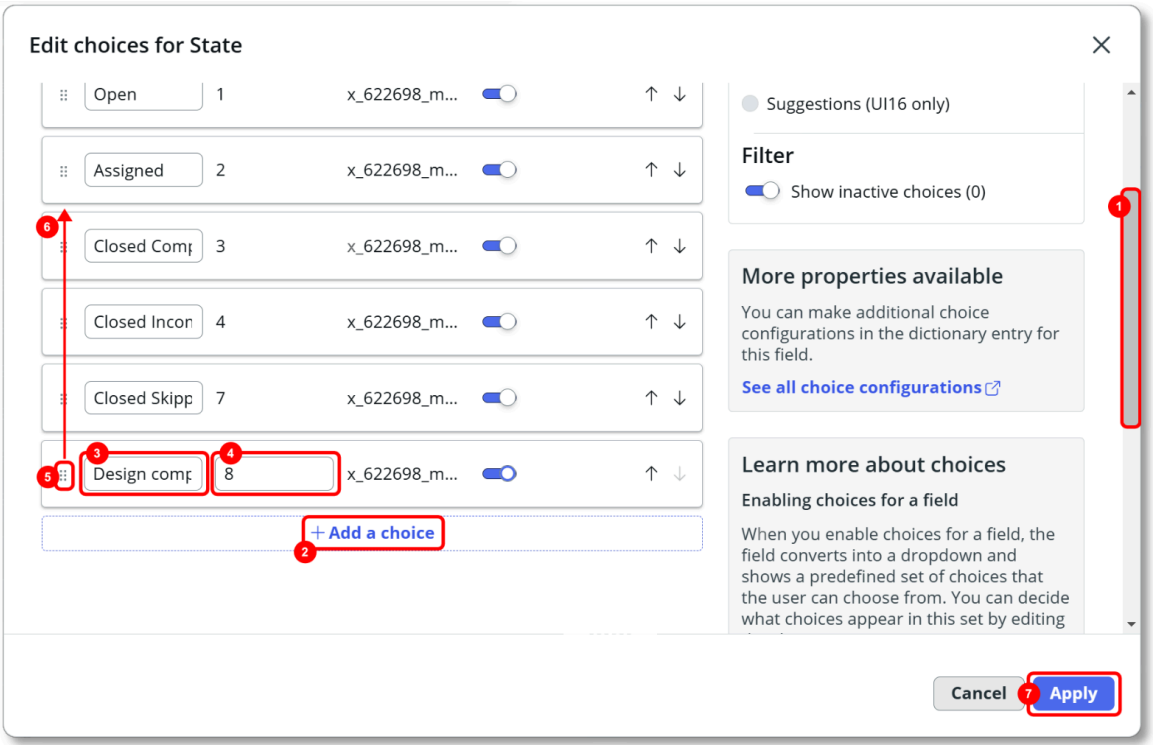
47. 選択肢リストを下にスクロールし、[**+** 選択肢を追加] を選択します。

48. [ラベル] フィールドに「設計が完了」と入力します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

49. [値] フィールドに「8」と入力します。
50. [設計完了] フィールドの移動選択アイコン ( ) を選択し、フィールドを [アサイン 済み] フィールドと [完了してクローズ] フィールドの間にドラッグします。



51. **[Apply** (適用)] を選択します。
52. [これを変更するとオーバーライドが作成されます] ダイアログで、[確認] を選択します。
53. **[Save** (保存)] を選択して変更を保存します。

マーケティングデザイン要求フォームのビルド

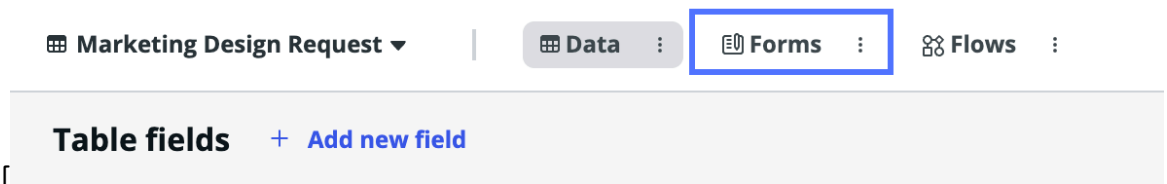
マーケティングデザイン要求テーブルのフォームビューを編集します。

始める前に

必要なロール：admin

手順

1. オプション: [マーケティングデザイン要求] テーブルがまだ開いていない場合は、これを開きます。
2. 上部のリボンで [フォーム] を選択します。



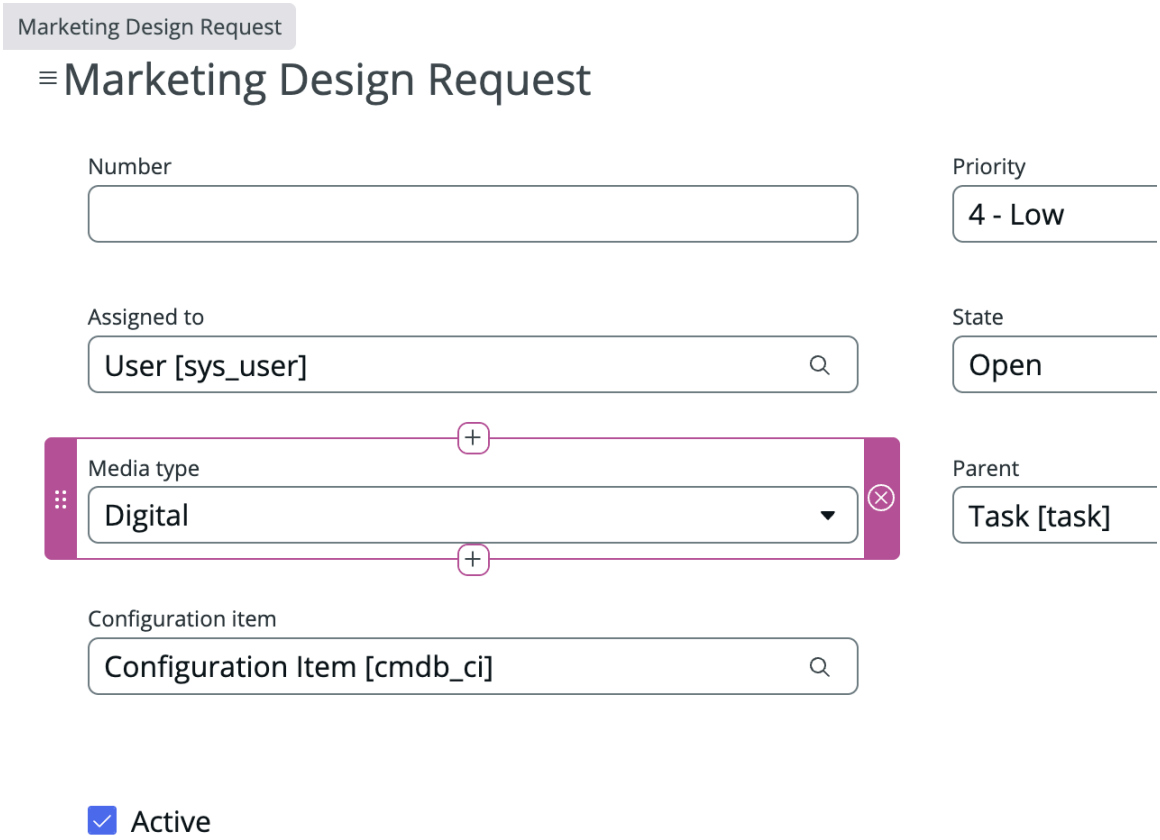
3. フォームから [構成アイテム] フィールドを削除するには、フィールドにカーソルを合わせて [フィールドを削除] アイコン ( ) を選択します。
4. ステップ 3 のプロセスを繰り返して、フォームから次の追加フィールドを削除します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- **Active** (アクティブ)
- 親

5. [フォーム要素を追加] パネルで、[メディアタイプ] フィールドを選択し、フォームの [アサイン先] フィールドの後にドラッグします。



6. ステップ 5 のプロセスを繰り返して、次のフィールドをフォームに追加します。

マーケティングデザイン要求フォームに追加するフィールド

フィールド名	フォーム上の場所
外部	ステータスの後。
プロジェクト名	前の簡単な説明。
デザインコピー	プロジェクト名の後。
特別な指示	設計コピー後。

7. フォームから [簡単な説明] フィールドを削除するには、フィールドにカーソルを合わせて [フィールドを削除] アイコン ( ) を選択します。

マーケティング部門レコードプロデューサーの作成

ServiceNow スタジオを使用してマーケティング部門のレコードプロデューサーを作成します。

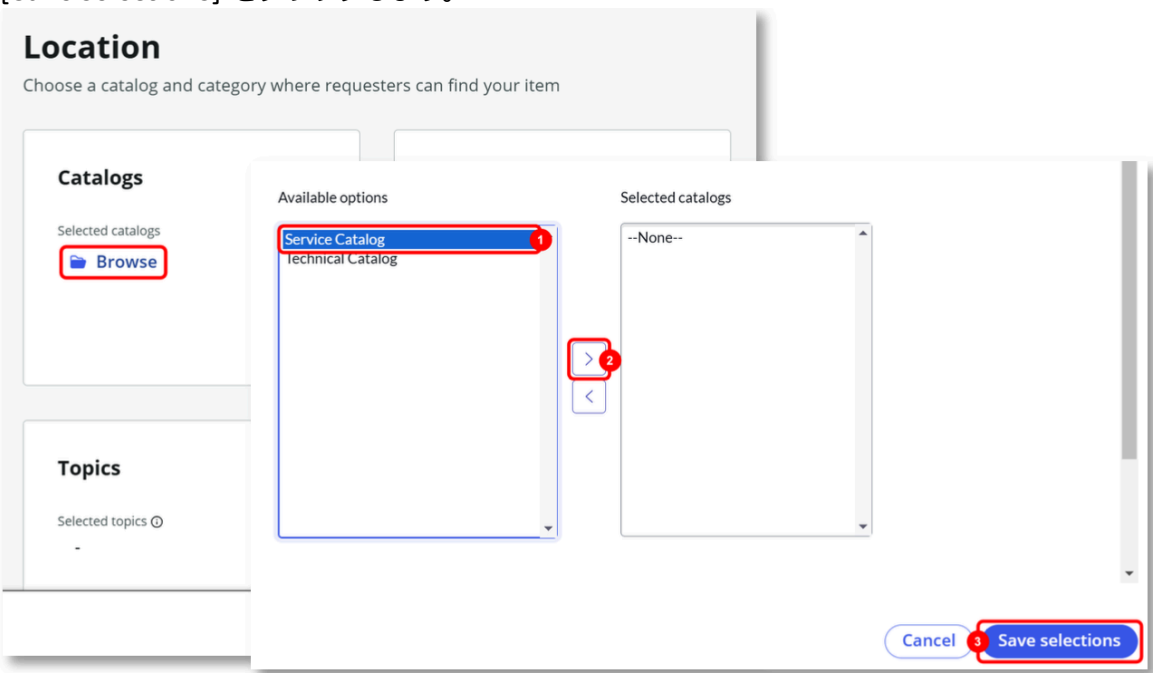
始める前に
必要なロール：admin

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

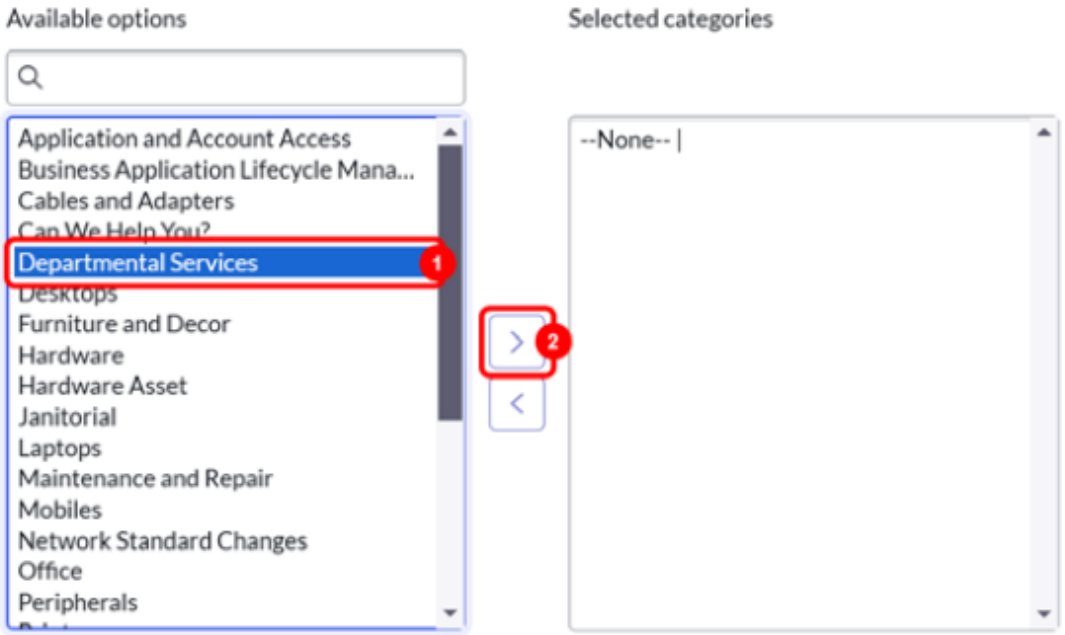
手順

1. 移動先 すべて > **App Engine** > **ServiceNow** スタジオ.
2. 選択 作成 > ファイル > ユーザーインターフェイス > レコードプロデューサー.
3. **[Continue** (続行)] を選択します。
4. **[AES** レコードプロデューサー] を選択します。
5. [アイテム名] フィールドに「マーケティング デザイン要求」と入力します。
6. [宛先に進む] を選択します。
7. [レコード送信テーブル] フィールドで、[マーケティングデザイン要求] テーブルを検索します。
8. [**Continue to Location**] をクリックします。
9. [参照] を選択してカタログを表示します。
10. サービスカタログを [利用可能なオプション] から [選択したカタログ] に移動します。
11. [**Save selections**] をクリックします。



12. [カテゴリ] セクションで、[参照] を選択します。
13. 部門サービスを[利用可能なオプション] から [選択したカテゴリ] に移動します。
14. [**Save selections**] をクリックします。

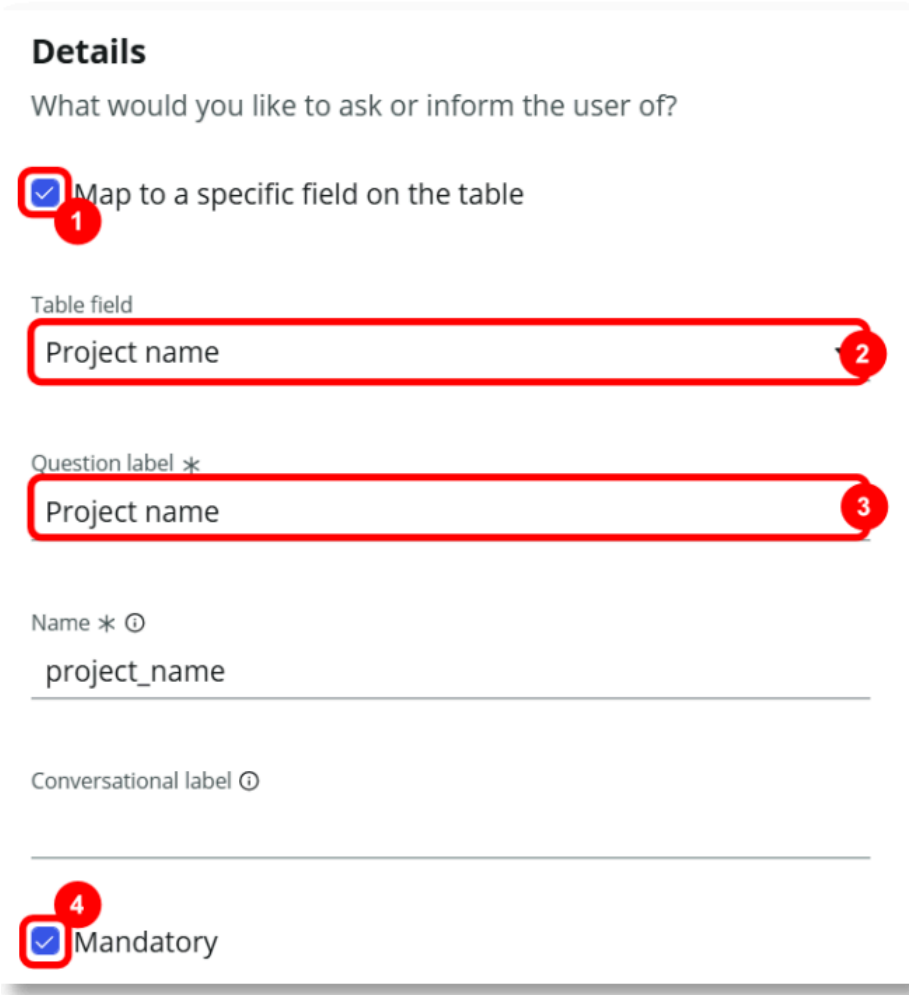
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



15. [**Continue to Questions**] をクリックします。
16. [新しい質問の挿入] を選択します。
17. [質問タイプ] を [テキスト] に設定します。
18. [質問のサブタイプ] を [単一行] に設定します。
19. [テーブルの特定のフィールドにマップ] を選択します。
20. [テーブル] フィールドの プロジェクト名 を選択します。
21. [質問ラベル] フィールドに「`プロジェクト名`」と入力します。
22. [必須] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



23. 画面の下部にある [**Insert question**] を選択します。

24. 同じ手順を繰り返して、次の追加の質問を挿入します。

質問タイプ	質問のサブタイプ	テーブルの指定されたフィールドにマップ	テーブルフィールド	質問ラベル	名前	必須
テキスト	複数行	X	説明	説明	説明	はい
テキスト	複数行	X	デザインコピー	デザインコピー	design_copy	いいえ
テキスト	複数行	X	特別な指示	特別な指示	special_instructions	いいえ
トグル	チェックボックス	X	外部	外部	外部	いいえ

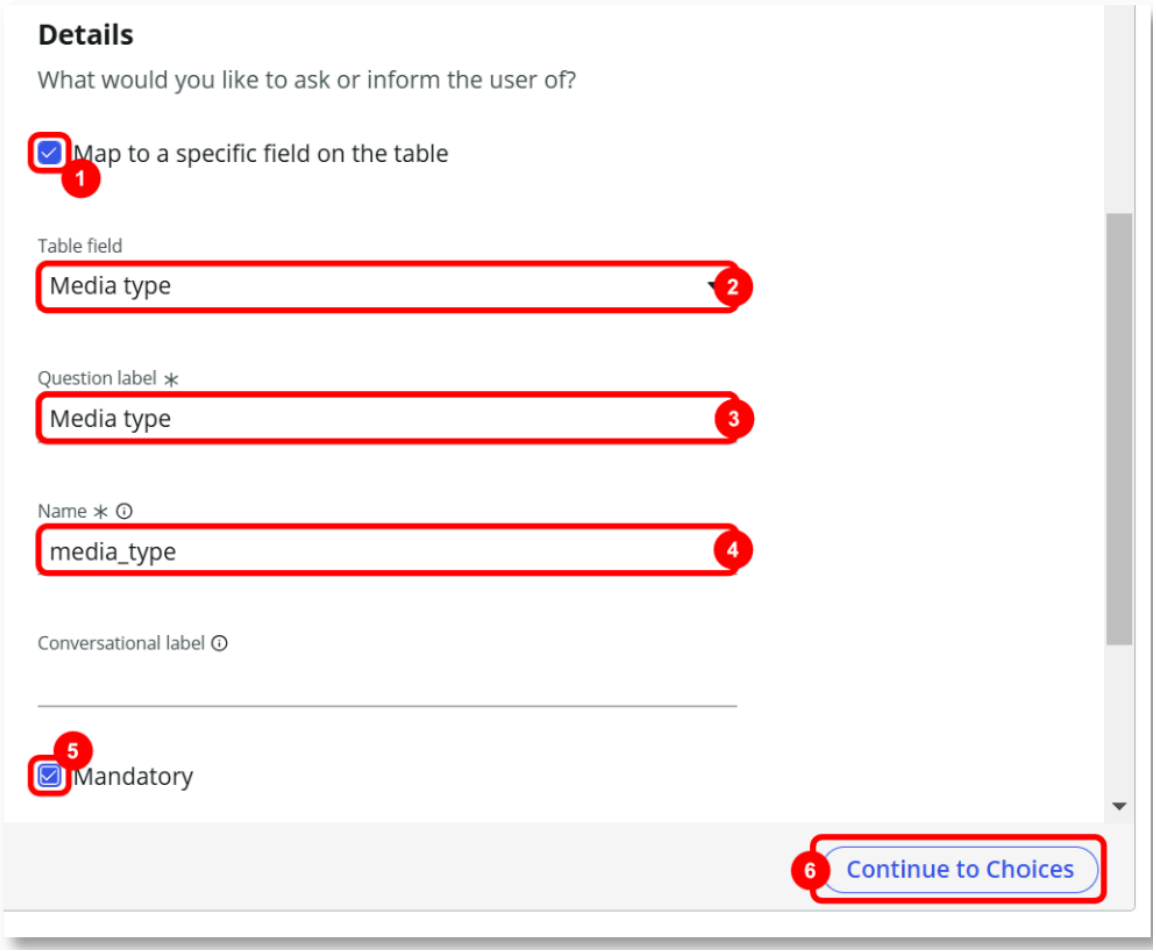
25. [新しい質問の挿入] を選択し、次の仕様をフォームに入力します。

フィールド	選択
質問タイプ	選択肢
質問のサブタイプ	ドロップダウン (固定値)

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	選択
テーブルの特定のフィールドにマップ	オプションを選択します。
テーブルフィールド	メディアタイプ
質問ラベル	メディアタイプ
必須	オプションを選択します。



26. [選択肢に進む] を選択します。

27. [選択肢を含めない] を選択します。

28. [+] を選択して [**Available Choices**] に追加します。

29. [表示名] フィールドに「印刷」と入力します。

30. **[Value]** フィールドに「print」と入力します。

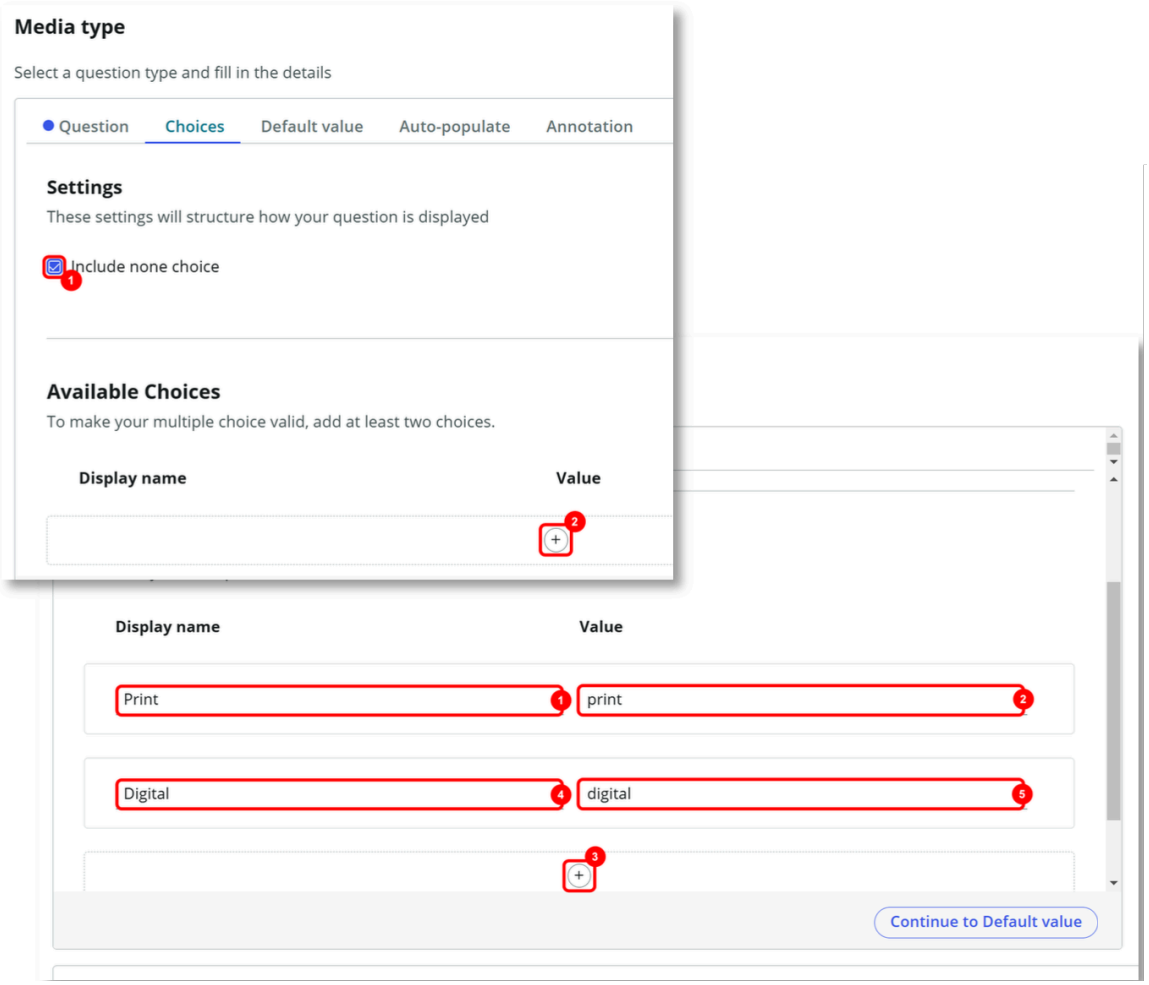
31. [+] を選択します。

32. [表示名] フィールドに「Digital」と入力します。

33. [値] フィールドに「digital」と入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



34. 画面の下部にある [**Insert question**] を選択します。
35. **[Review and Submit** (確認と送信)] を選択します。
36. **[Submit** (送信)] を選択します。

履行者ワークスペースの作成

ワークスペースは部門にとって優れたオプションです。ワークスペースは、部門のニーズに合わせて特別に調整でき、プラットフォームとのやり取りを簡素化できます。

始める前に

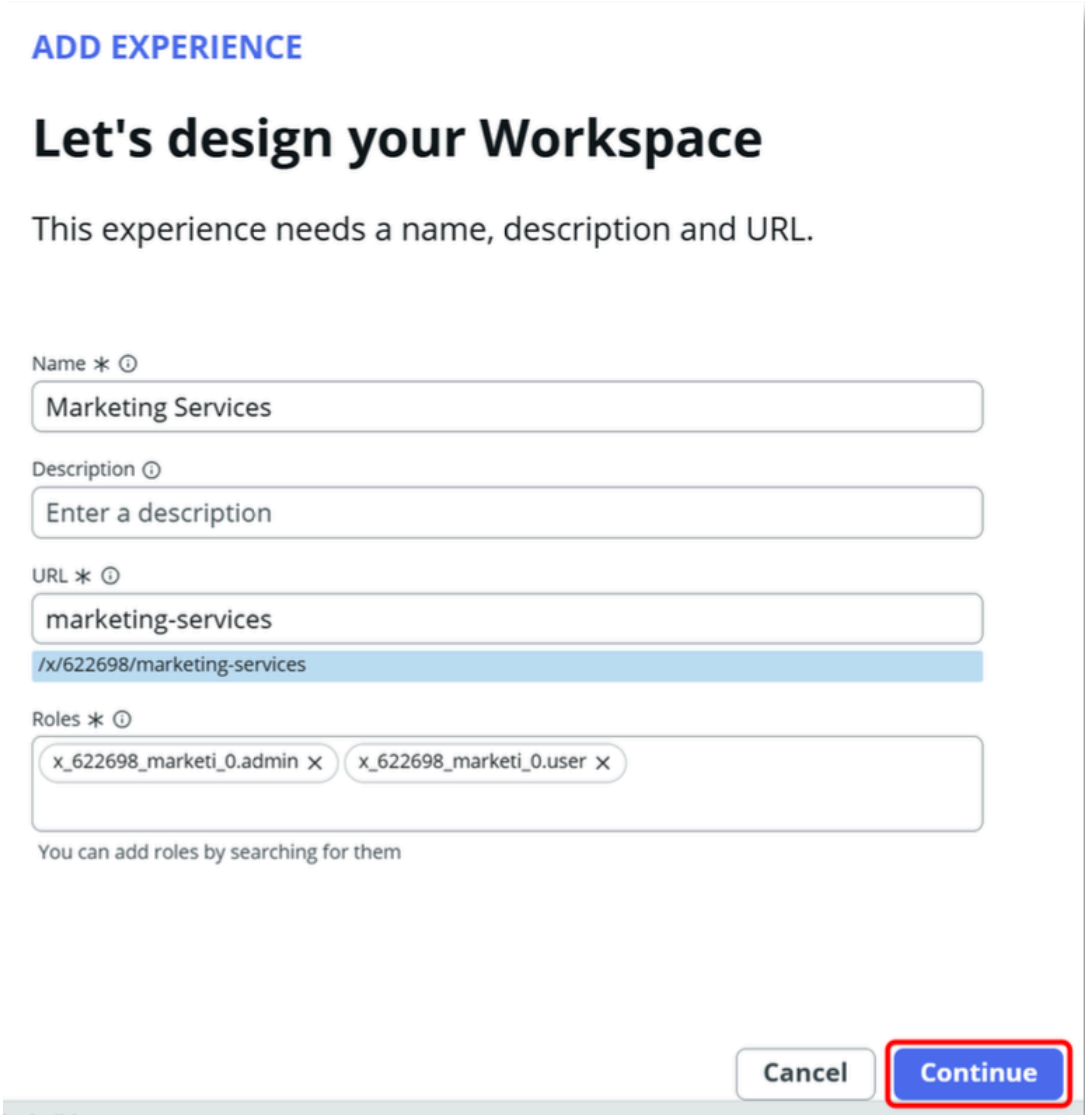
必要なロール：admin または delegated_developer

手順

1. 移動先 すべて > **App Engine** > **ServiceNow** スタジオ.
2. 選択 作成 > ファイル > ユーザーインターフェイス > ワークスペース.
3. **[Continue** (続行)] を選択します。
4. [**Begin** (開始)] を選択します。
5. 名前 フィールドに、Marketing Services と入力します。
6. ワークスペースデザインに提供されている他のデフォルトをそのまま使用し、[続行] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



7. **[Done** (完了)] を選択します。

ブランディング部門の承認者の設定

プラットフォームでブランディング部門の承認者を設定します。

始める前に

必要なロール：admin または delegated_developer

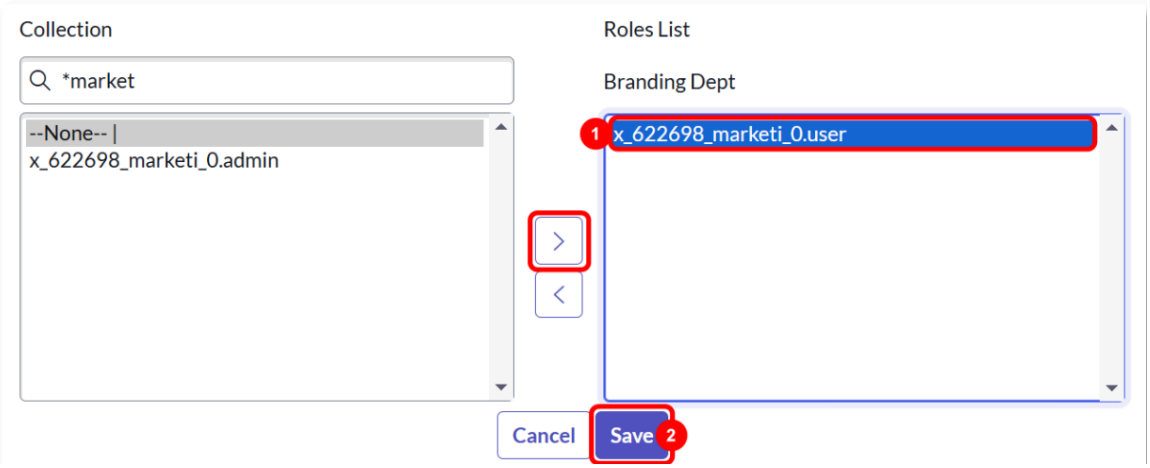
手順

1. ServiceNow スタジオを終了し、プラットフォームに戻ります。
2. フィルターナビゲーターで [すべて] を選択します。
3. フィルターナビゲーター検索に 「sys_user_group.list 」と入力し、Enter キーを押します。
   グループリストビューがロードされ、既存のグループが表示されます。
4. **[New** (新規)] を選択します。
5. [名前] フィールドに「 Branding Dept」と入力します。
6. フォームビューのヘッダーバーを選択して長押し (または右クリック) し、[保存] を選択します。
7. [**Group Members**] タブを選択します。
8. [編集] を選択してメンバーを追加します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

9. スラッシュバケットの左側で [ユーザー] を検索します。
10. [>] ボタンを使用して、次のユーザーをグループに追加することを選択します。
    - アンドリュー・オック
    - Beth Anglin
    - ルーク・ウィルソン
11. **[Save** (保存)] を選択します。
    次に、同様のプロセスに従ってロールを追加します。
12. [ロール] タブを選択します。
13. **[Edit** (編集)] を選択します。
14. 「*market」を検索します。
15. マーケティングサービスアプリからブランディング部門グループにユーザーロールを追加します。
    ロールのプリフィックスが若干異なる場合があります。



16. **[Save** (保存)] を選択します。

要求を送信

マーケティングサービスワークスペースで要求を送信して、その機能をテストします。

始める前に

必要なロール：admin

手順

1. 移動先 すべて > **App Engine** > **ServiceNow** スタジオ.
2. ナビゲーターパネルから、 マーケティングサービス ワークスペースを開きます。
3. [プレビュー] を選択します。
   [Unassigned Tasks] が **0** であることを確認します。
4. プラットフォームに戻ります。
5. フィルターナビゲーターで、 ポータルを検索します。
6. [サービスポータルホーム] を選択します。
   サービスポータルが新しいタブで開きます。
7. マーケティングを検索します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

8. 検索結果から [マーケティング デザイン リクエスト] を選択します。
9. [マーケティングデザイン要求] フォームに入力します。
10. **[Submit** (送信)] を選択します。
11. マーケティングサービスワークスペースに戻ります。
    [Unassigned Tasks] が **[1]** になっていることを確認します。
12. **1** を選択すると、新しいマーケティング デザイン要求の送信が表示されます。

でのワークフローの追加 ワークフロースタジオ

ワークフロースタジオを使用してワークフローをビルドし、部門が要求を処理する方法を標準化します。部門要求が送信されるたびに実行されるようにワークフローを設定します。このワークフローは、部門要求承認者として指定されたユーザーグループからの承認を要求します。

始める前に

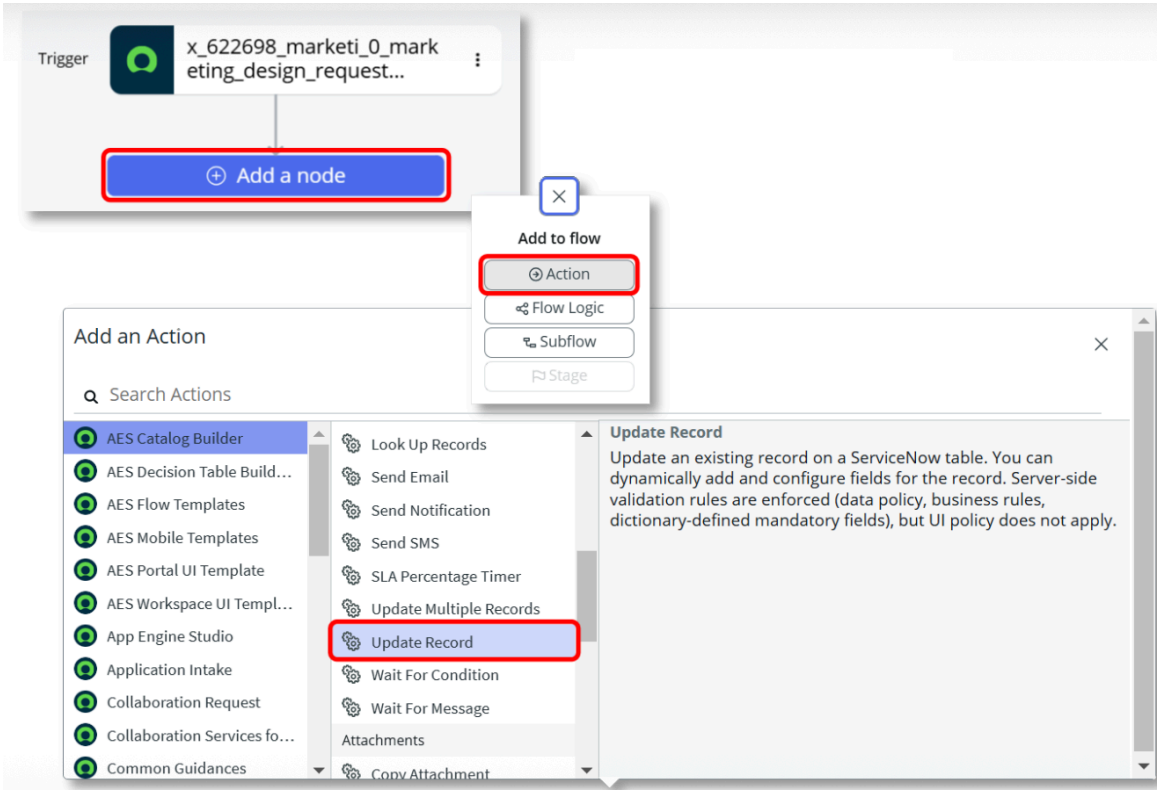
必要なロール：admin または delegated_developer

手順

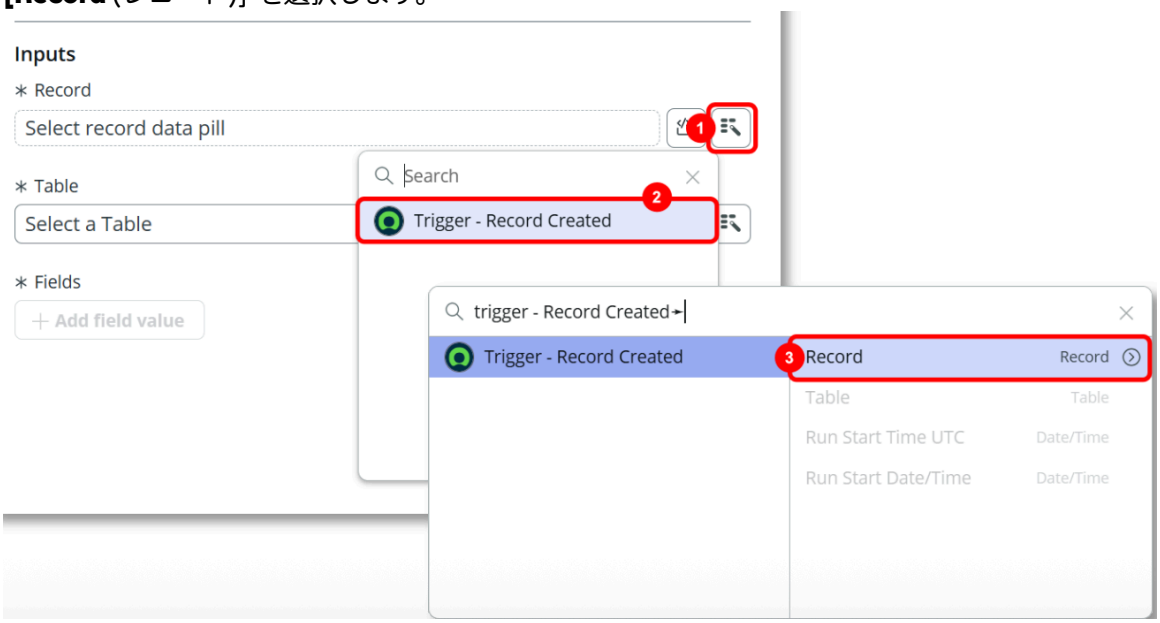
1. 移動先 すべて > **App Engine** > **ServiceNow** スタジオ.
2. ナビゲーターパネルで、[テーブル] カテゴリを展開し、[マーケティングデザイン要求] テーブルを選択します。
3. **[Flow** (フロー)] を選択します。
4. [新しいフローの追加] を選択します。
5. [名前] フィールドに、「マーケティング デザイン要求が作成されました」と入力します。
6. [詳細オプションを表示] を選択します。
7. [実行方法] フィールドで、[システムユーザー] を選択します。
8. **[Continue** (続行)] を選択します。
9. フローのトリガー方法として [**When the record is** created] を選択します。
10. **[Continue** (続行)] を選択します。
11. トリガーの下で、 [ノードの追加] を選択します。
12. [**Action** (アクション)] をクリックします。
13. [**Update Record** (レコードを更新)] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



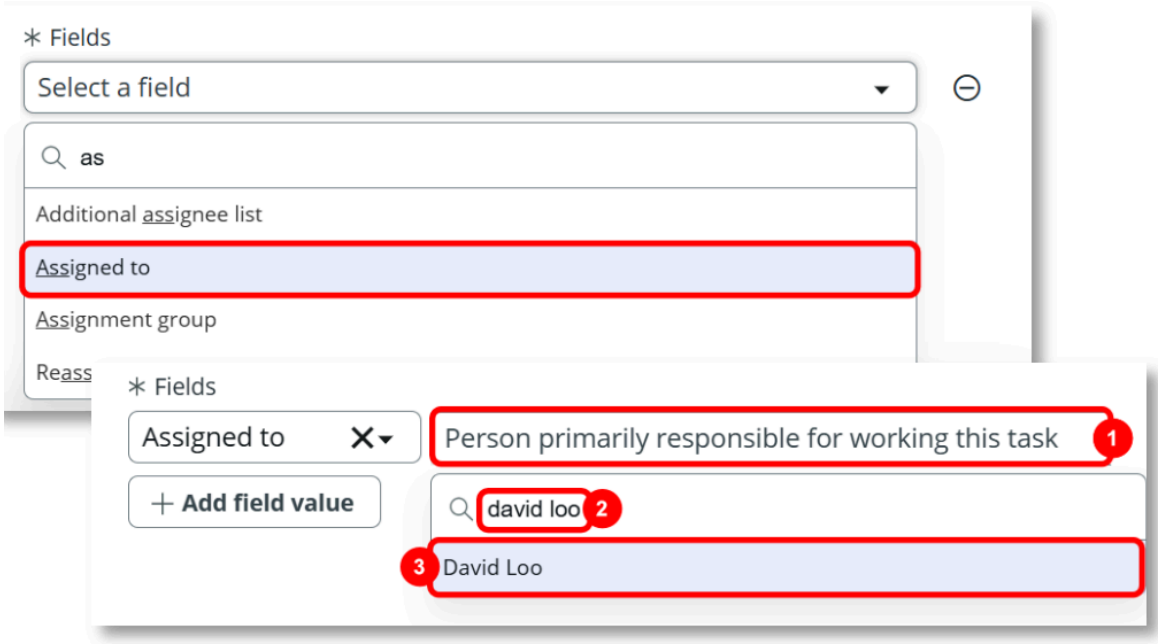
14. [レコード] フィールドの [入力] の下にあるデータピルピッカー ( ) を選択します。
15. [**Trigger – Record Created**] を選択します。
16. **[Record** (レコード)] を選択します。



17. [テーブル] フィールドで、マーケティングデザイン要求テーブルを検索して選択します。
18. [フィールド] の下の [フィールド値の追加] を選択します。
19. [フィールド] を [アサイン先] に設定します。
20. 値を **David Loo** に設定します。

自動翻訳

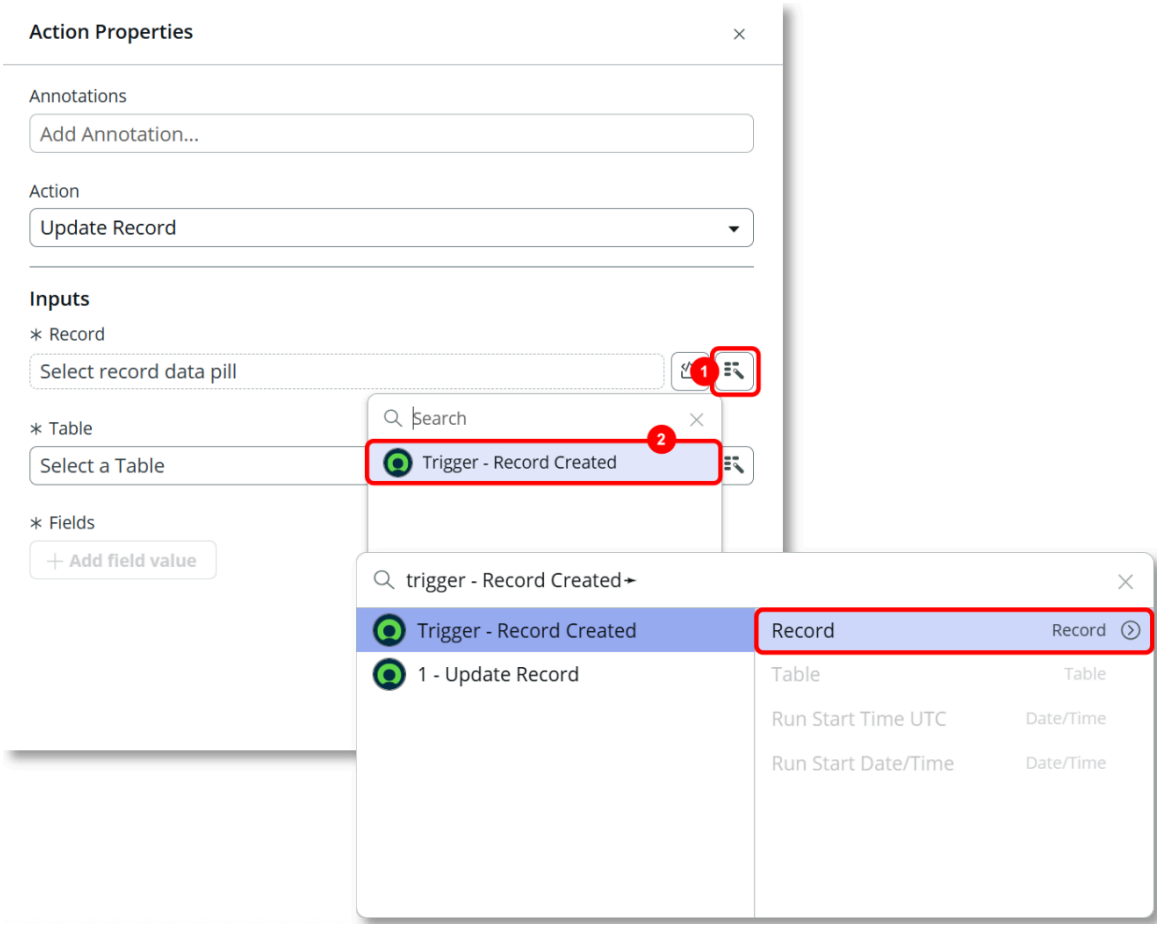
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



21. **[Done** (完了)] を選択します。
22. [ノードの追加] を選択します。
23. [**Action** (アクション)] をクリックします。
24. **[AES** カタログビルダー] を選択します。
25. [条件待ち] を選択します。
26. [アクションのプロパティ] モーダルの [レコード] の下にあるデータピルピッカー ( ) を選択します。
27. [**Trigger – Record Created**] を選択します。
28. **[Record** (レコード)] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

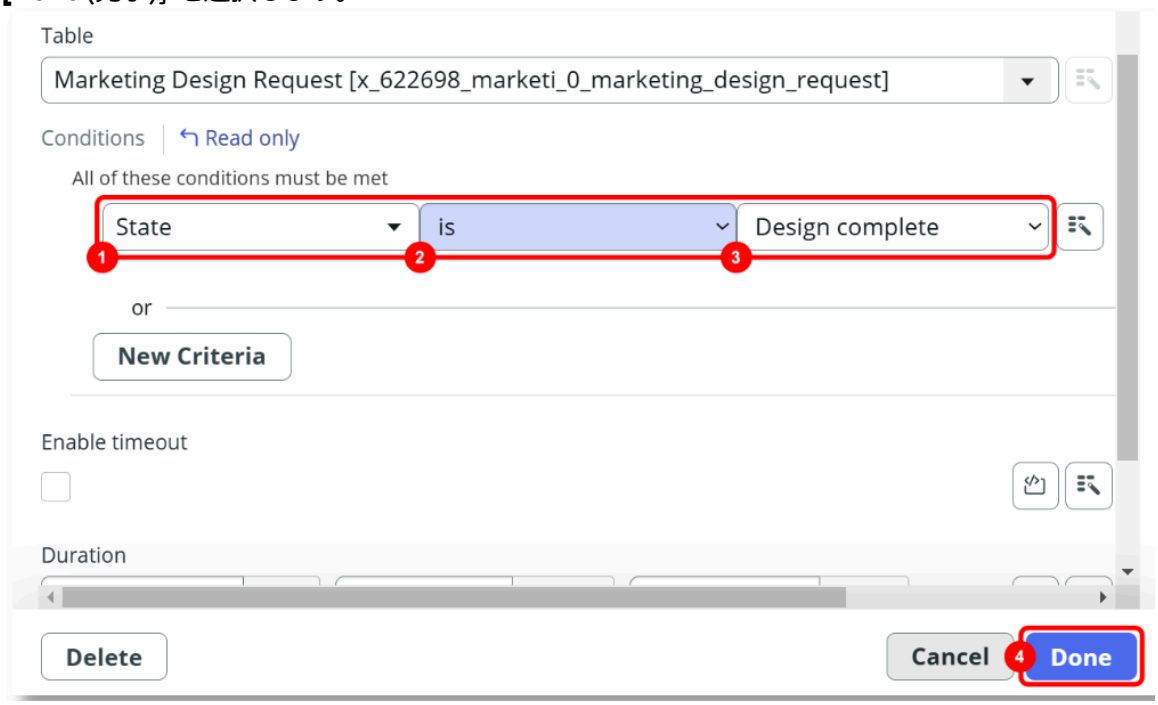


29. [テーブル] フィールドで [マーケティングデザイン要求] テーブルを選択します。

30. [テーブル] フィールドで [編集] を選択します。

31. 条件を [状態] [次の値に等しい] [設計完了] に設定します。

32. **[Done** (完了)] を選択します。



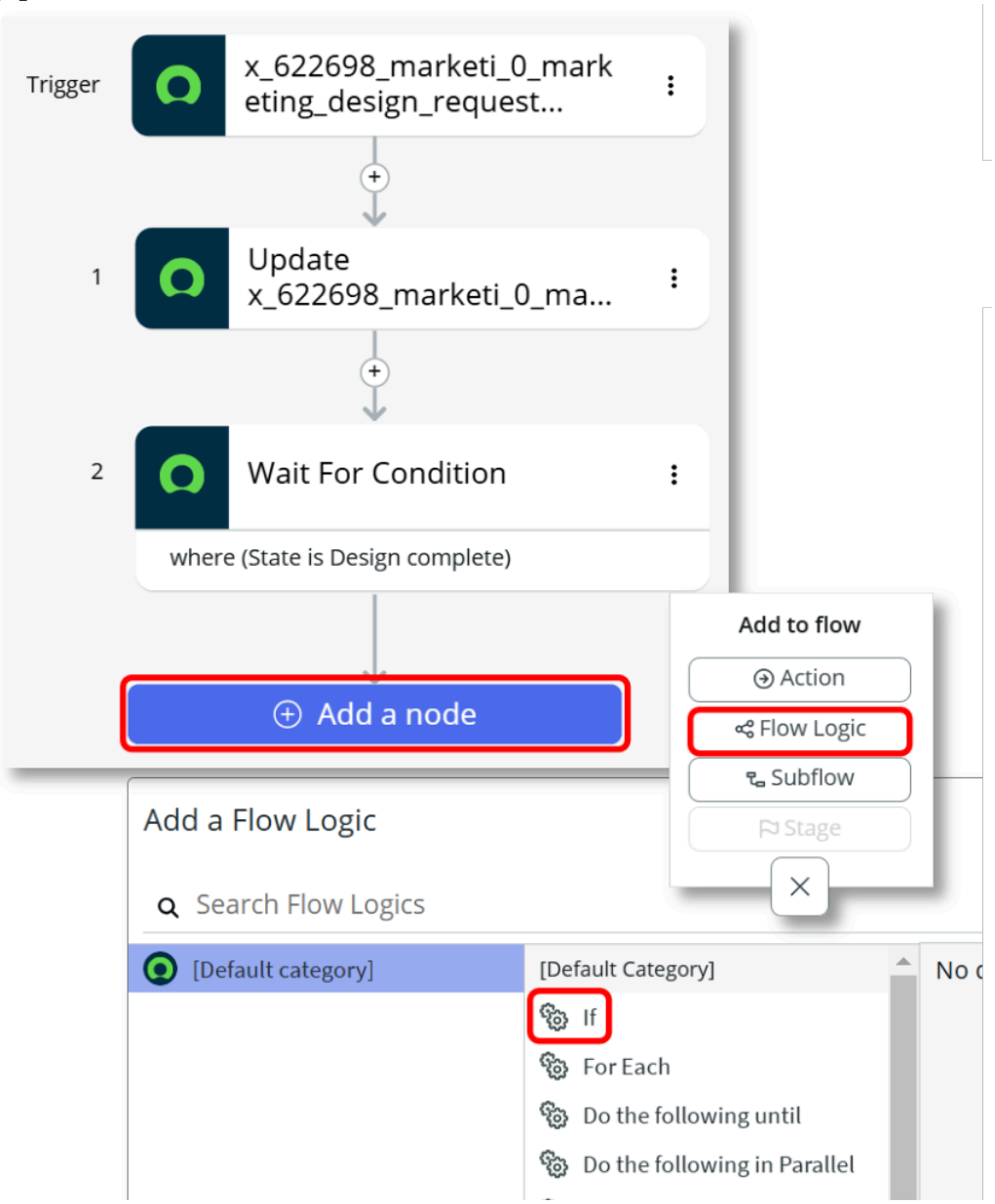
33. [ノードの追加] を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

34. [フローロジック] を選択します。

35. [If] を選択します。



36. [条件 **1**] の横にあるデータピルピッカー ( ) を選択します。

37. [Trigger – RecordCreated] を選択します。

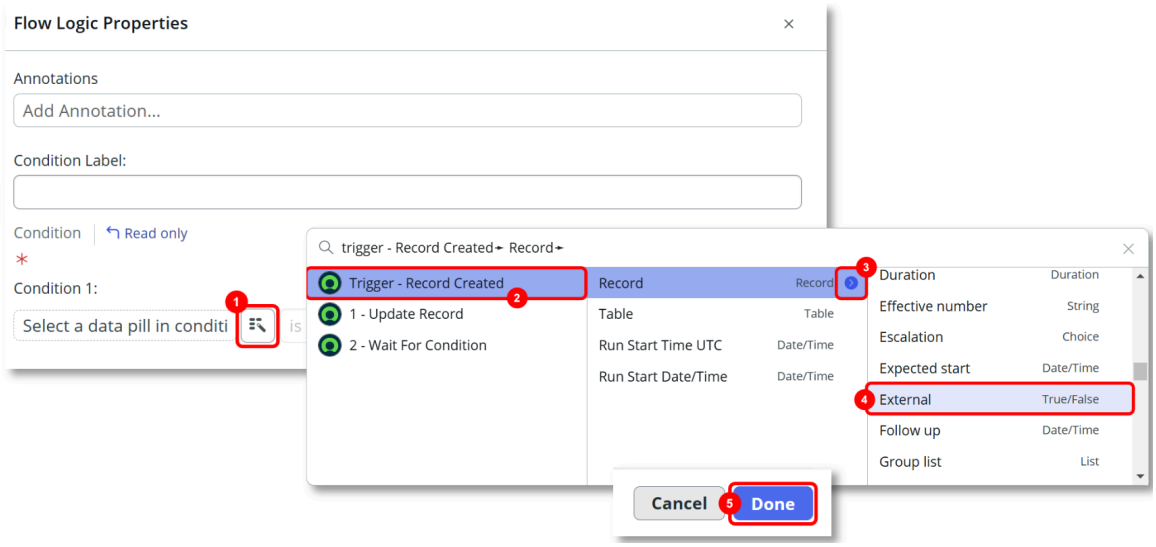
38. [Record (レコード)] を選択します。

39. [外部] を選択します。

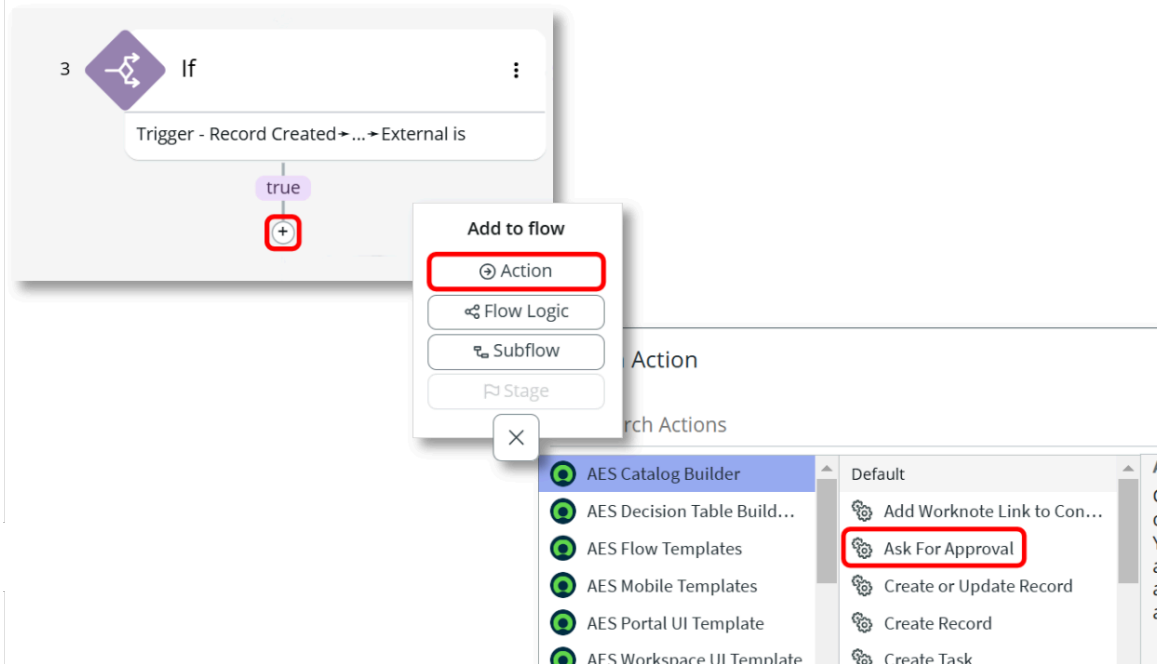
40. [Done (完了)] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

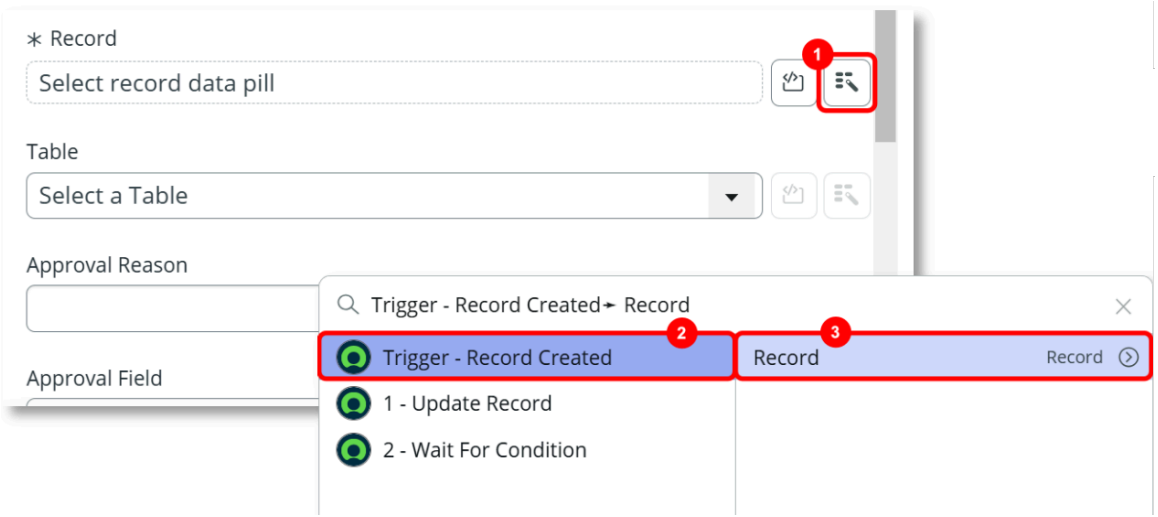


41. true 分岐の [+] を選択します。
42. [**Action** (アクション)] をクリックします。
43. [承認を求める] を選択します。



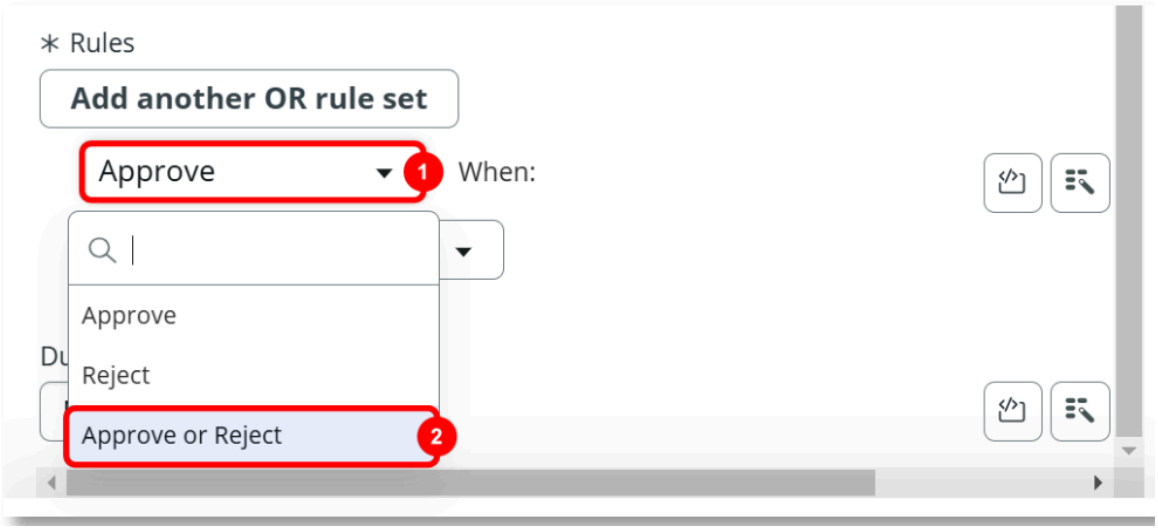
44. [レコード] フィールドの横にあるデータピルピッカー ( ) を選択します。
45. **[Trigger – RecordCreated]** を選択します。
46. **[Record** (レコード)] を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



47. [承認アクションを 承認] を選択します。

48. [承認] または [却下] に変更します。



49. [承認ルールを選択] を選択します。

50. [任意の人が承認または却下] に変更します。

51. [グループの追加] を選択します。

52. [グループを選択] を選択します。

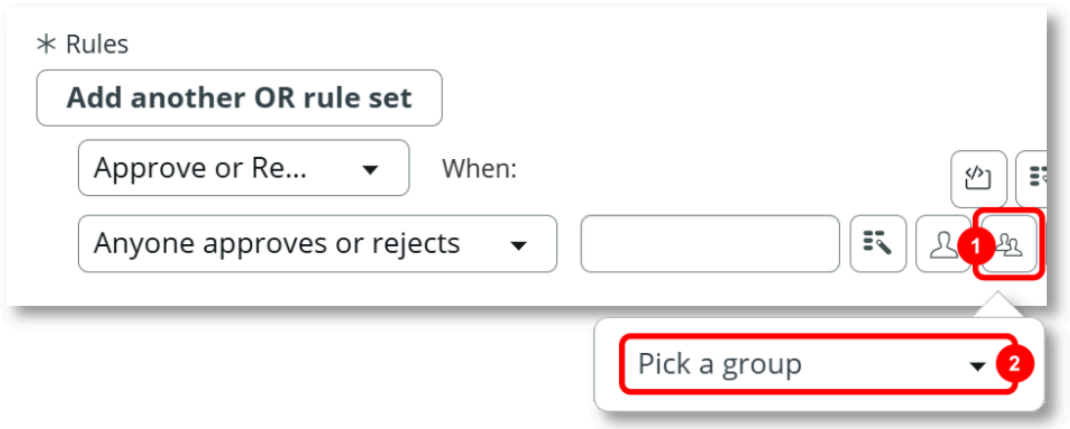
53. ブランドを検索します。

54. ブランディング部門を選択します。

55. **[Done** (完了)] を選択します。

自動翻訳

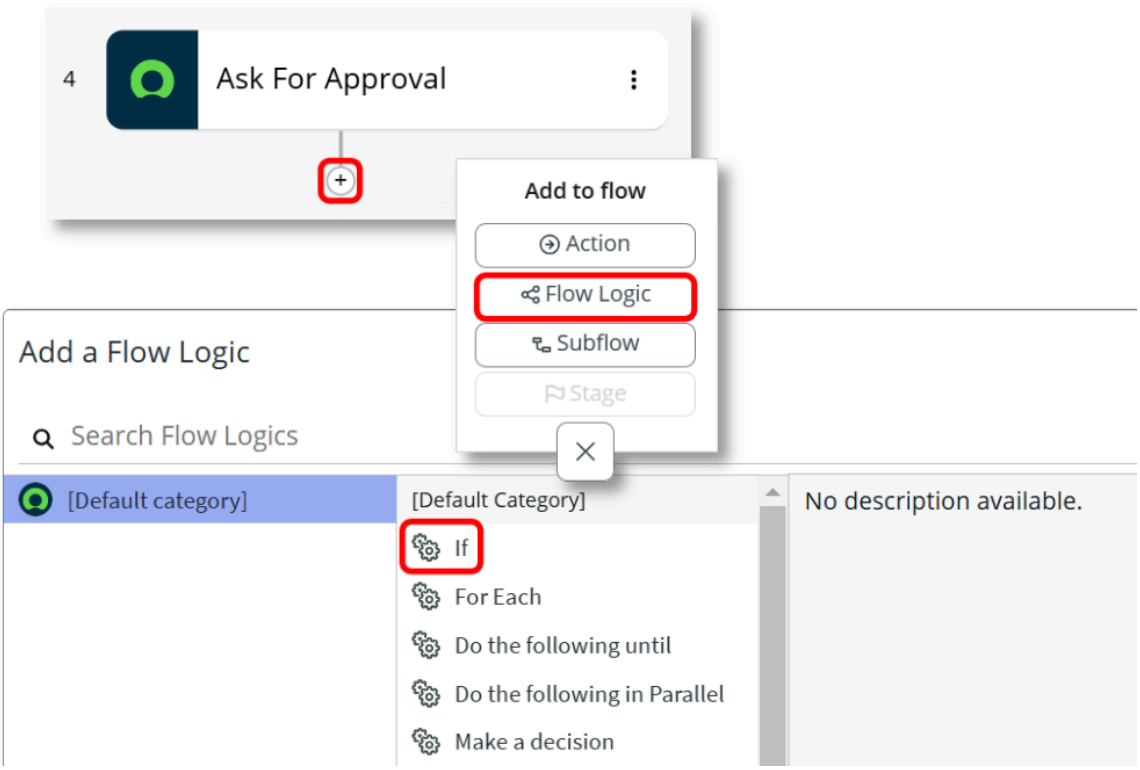
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



56. 承認後に [+] を選択して FlowLogic を追加します。

57. [フローロジック] を選択します。

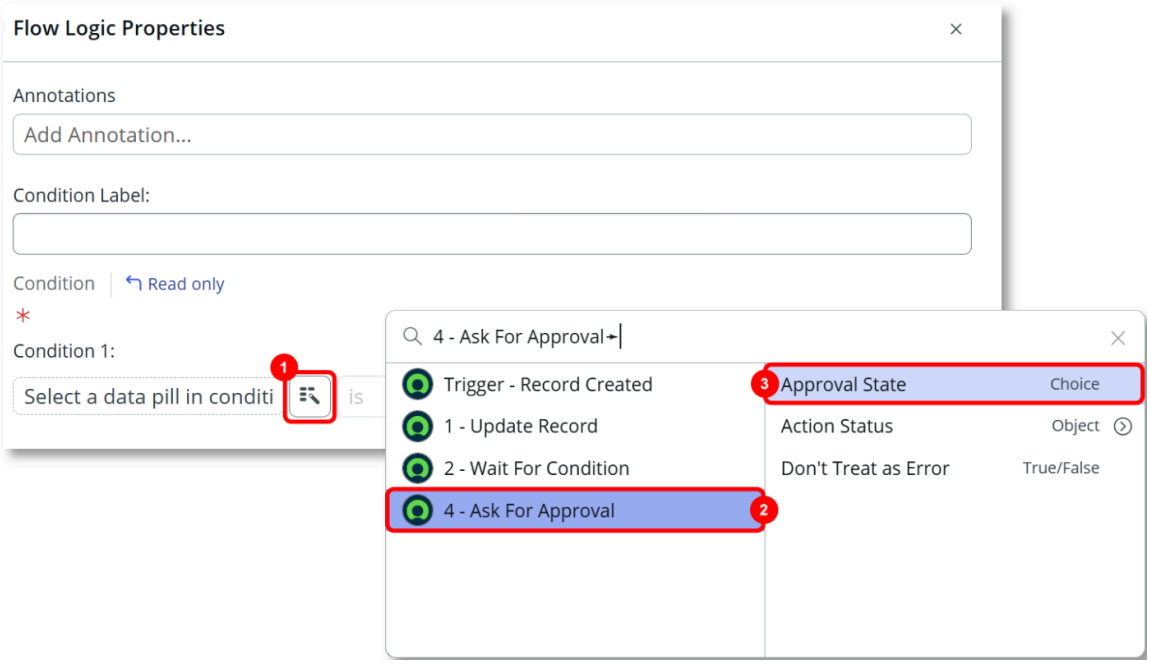
58. [If] を選択します。



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

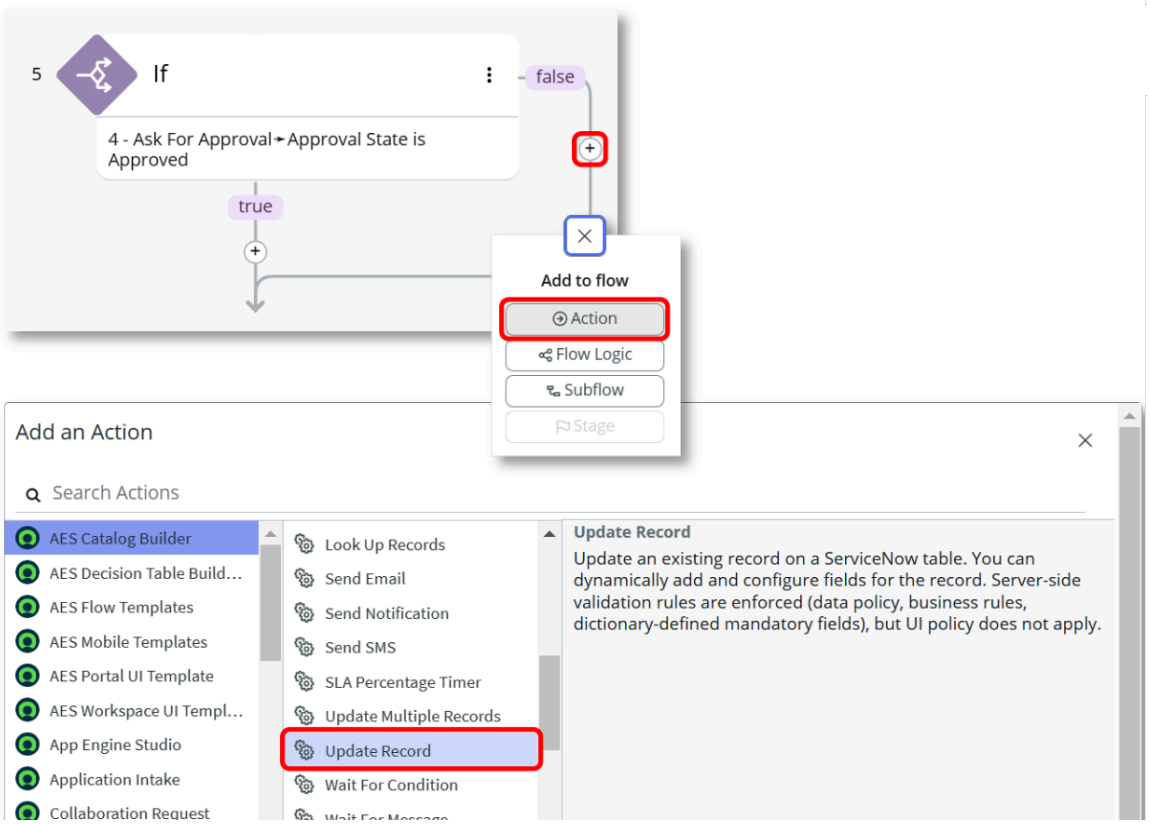
59. [条件 1] の横にあるデータピルピッカー ( ) を選択します。
60. [**4 – Ask For Approval**] を選択します。
61. 承認ステータスを選択します。



62. [選択肢を選択] を選択します。
63. [承認済み] を選択します。
64. **[Done** (完了)] を選択します。
65. false 分岐の [+] を選択します。
66. [**Action** (アクション)] をクリックします。
67. [**Update Record** (レコードを更新)] を選択します。

自動翻訳

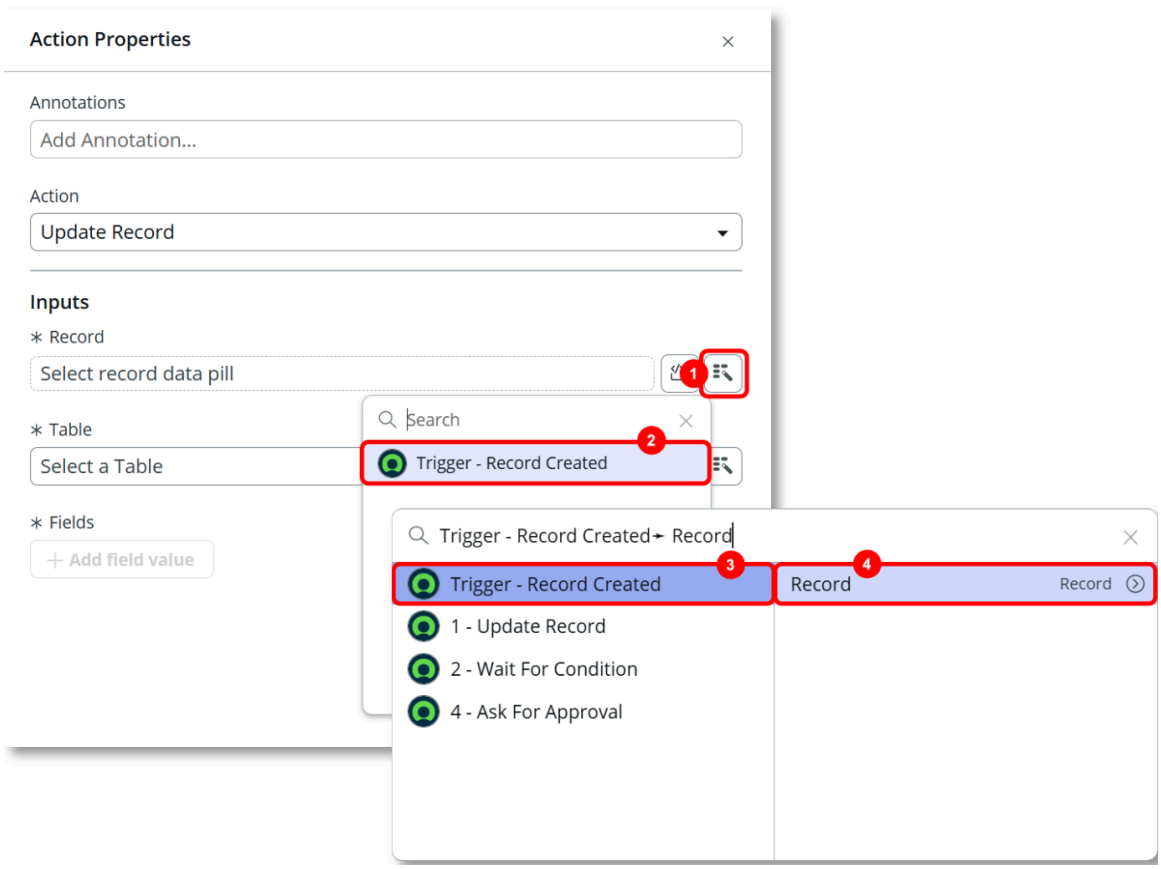
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



68. [入力] セクションの [レコード] の横にあるデータピルピッカー ( ) を選択します。

69. [**Trigger – Record Created**] を選択します。

70. **[Record** (レコード)] を選択します。



© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

71. [フィールド] の下の [フィールド値の追加] を選択します。

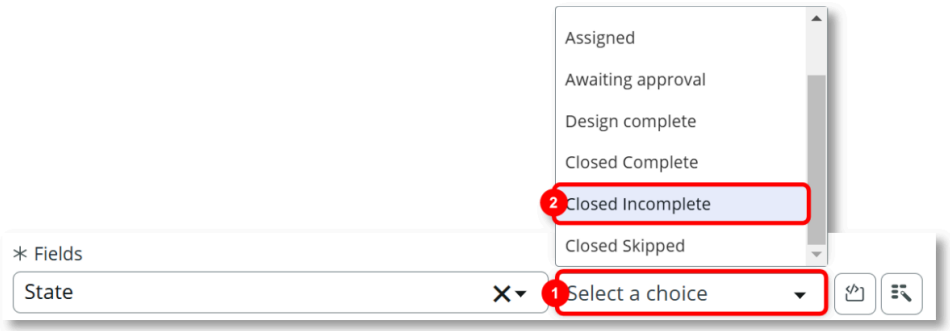
72. [フィールドの選択] を選択します。

73. state を検索します。

74. [ステータス] を選択します。

75. [選択肢を選択] を選択します。

76. [未完了でクローズ] を選択します。

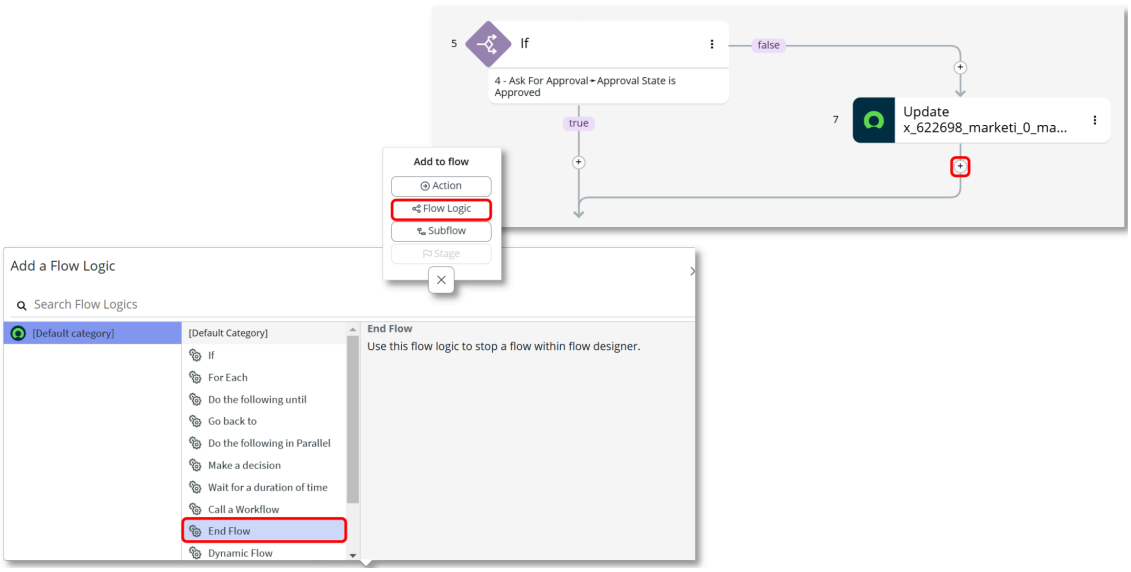


77. **[Done** (完了)] を選択します。

78. 作成したアクションの下にある [+] を選択します。

79. [フローロジック] を選択します。

80. [**End Flow**] を選択します。

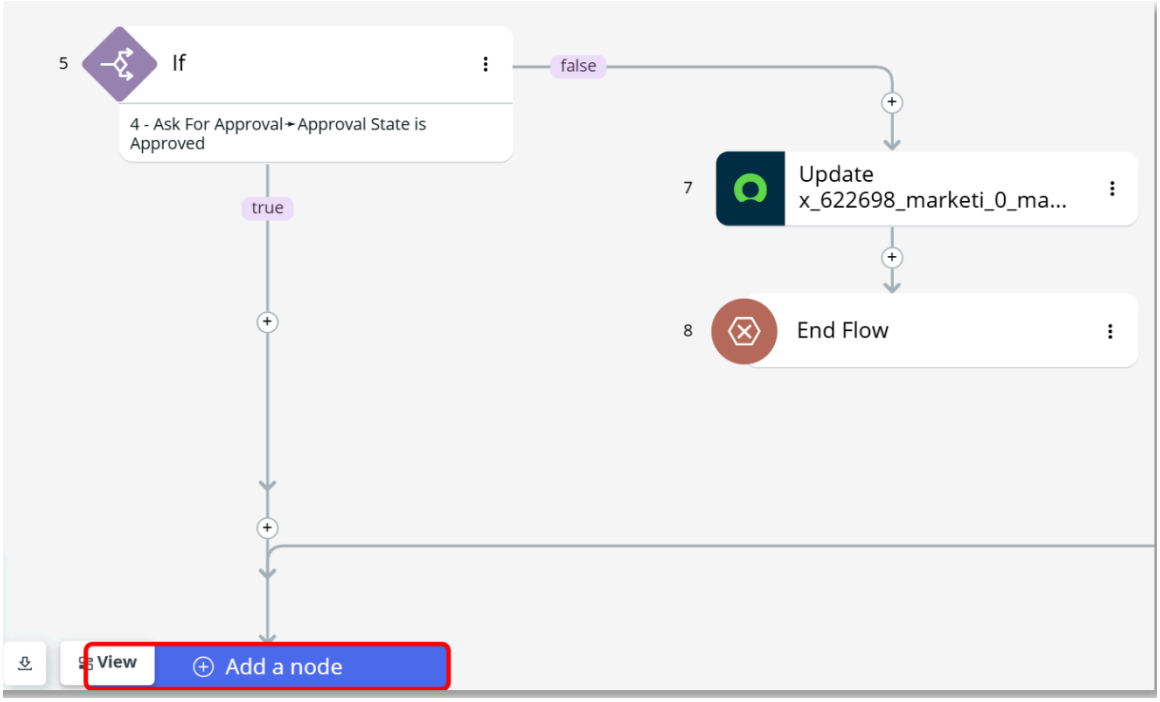


81. **[Done** (完了)] を選択します。

82. [If アクション] で [ノードの追加] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



83. [**Action** (アクション)] をクリックします。

84. [**Update Record** (レコードを更新)] を選択します。

85. [入力] セクションの [レコード] の横にあるデータピルピッカー ( ) を選択します。

86. [**Trigger – Record Created**] を選択します。

87. [**Record** (レコード)] を選択します。

88. [テーブル] フィールドで [マーケティングデザイン要求] テーブルを選択します。

89. [フィールド値の追加] を選択します。

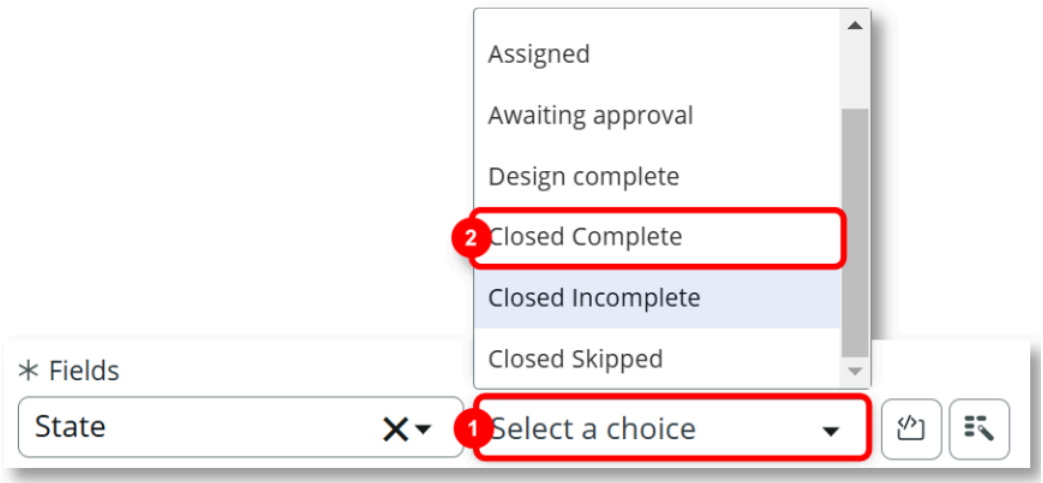
90. [フィールドの選択] を選択します。

91. state を検索します。

92. [ステータス] を選択します。

93. [選択肢を選択] を選択します。

94. [完了してクローズ] を選択します。



95. [**Done** (完了)] を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

96. **[Save** (保存)] を選択します。
97. **[Activate** (アクティブ化)] を選択します。

ServiceNow スタジオ チュートリアルパート**2:**自動化と改善

このセクションでは、ステップバイステップのタスクガイダンスとユーザーエクスペリエンスの向上のためのプレイブックを使用して MVP を拡張します。ビジネス上の意思決定をカプセル化し、ビジネスプロセスからロジックを切り離すためのディシジョンテーブルも追加されます。

による手動タスクの自動化 ディシジョンビルダー

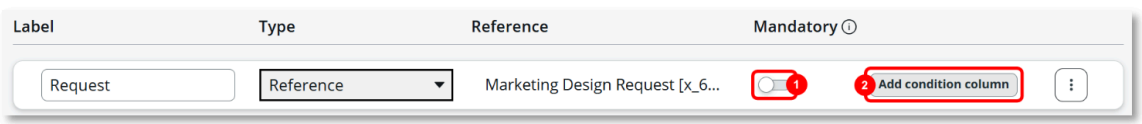
ServiceNow スタジオ でディシジョンテーブルをアプリケーションに追加することで、ビジネス上の意思決定をアプリケーションロジックから切り離します。

始める前に
必要なロール：admin または delegated_developer

手順

1. 移動先 すべて > **App Engine** > **ServiceNow** スタジオ.
2. 選択 作成 > ファイル.
3. 選択 自動化 > ディシジョンテーブル.
4. **[Continue** (続行)] を選択します。
5. [名前] フィールドに、「グラフィック デザイナーの選択」と入力します。
6. **[Build decision table** (ディシジョンテーブルのビルド)] を選択します。
7. [入力] の横にある **[(+)** 追加] を選択します。
8. フォームで、フィールドに入力します。

フィールド	エントリ
ラベル	要求
タイプ	参照
テーブル	マーケティングデザイン要求
必須	オフへの切り替え



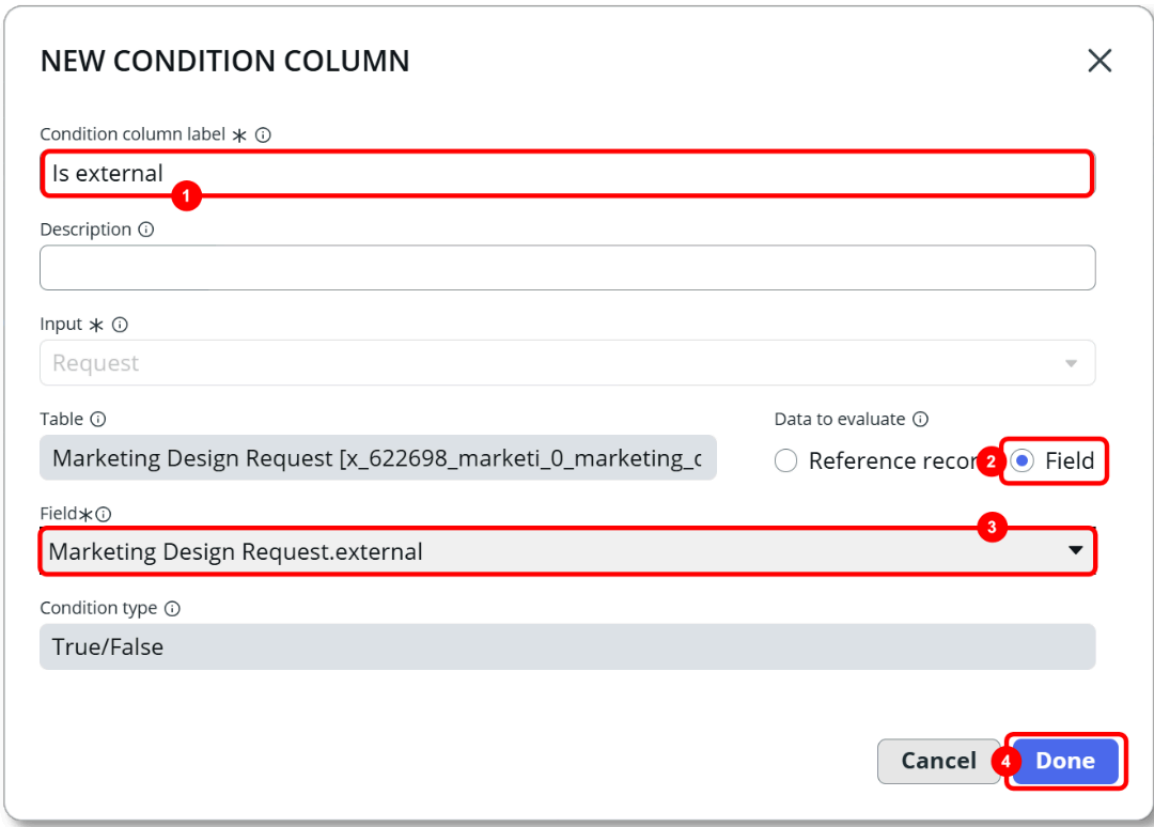
9. **[Add condition column** (条件列の追加)] を選択します。
10. **[(+)]** [条件列を追加] を選択します。
11. [条件] 列のラベルに 「外部である」 と入力します。
12. フォームで、フィールドに入力します。

フィールド	エントリ
評価するデータ	フィールド

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	エントリ
フィールド	マーケティングデザイン要求テーブルの外部フィールド

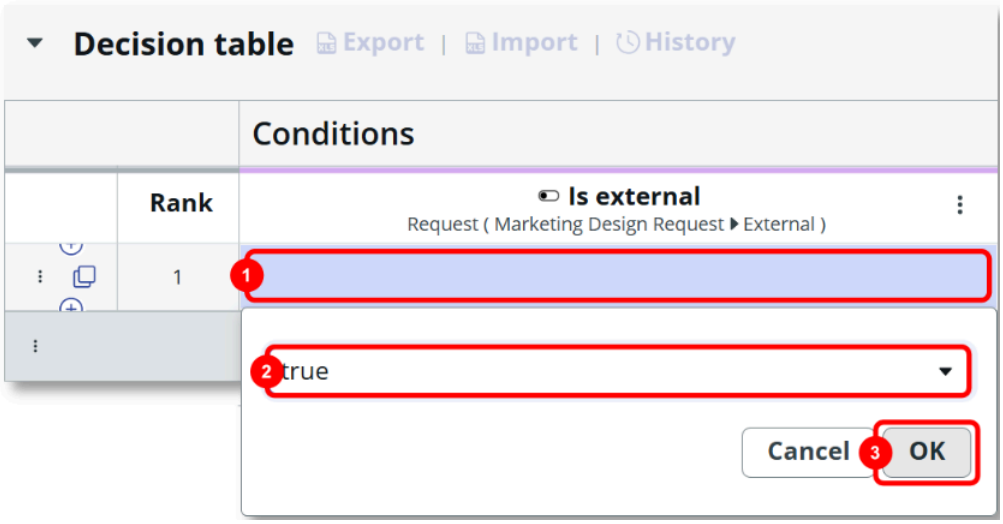


13. **[Done** (完了)] を選択します。
14. **[(+)]** [結果列を追加] を選択します。
15. フォームで、フィールドに入力します。

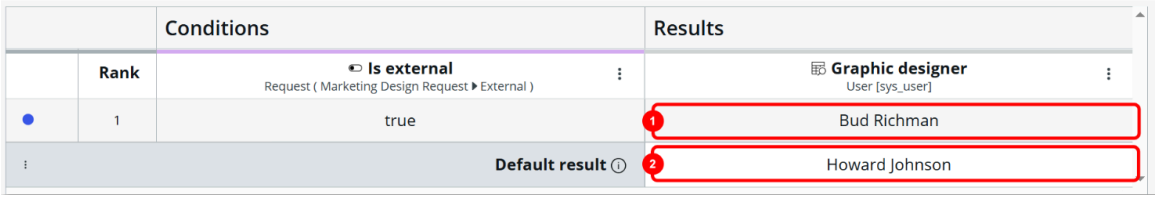
フィールド	エントリ
結果列ラベル	グラフィックデザイナー
結果タイプ	参照
結果テーブル	User (ユーザー) [sys_user]

16. **[Done** (完了)] を選択します。
17. 空の [外部条件である] の行で選択します。

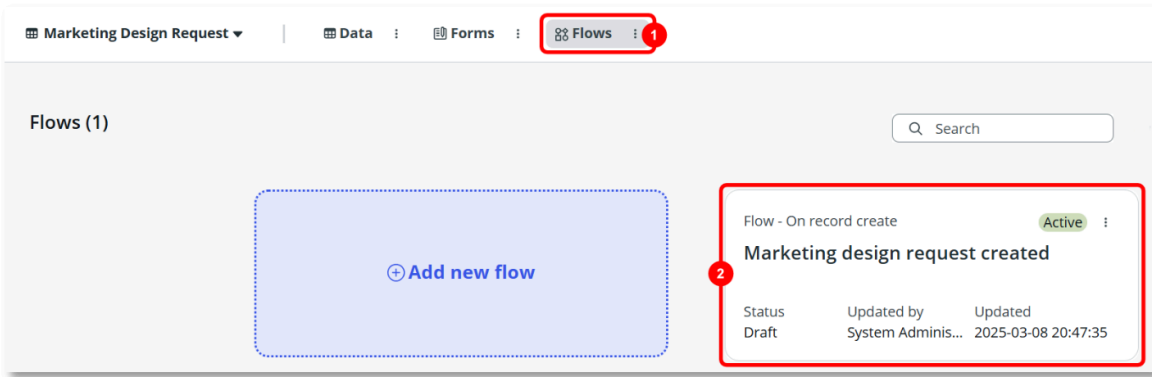
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



18. **[true]** を選択します。
19. **[OK]** を選択します。
20. true の結果を **Bud Richman** に設定します。
21. [Default result] を **[Howard Johnson]** に設定します。

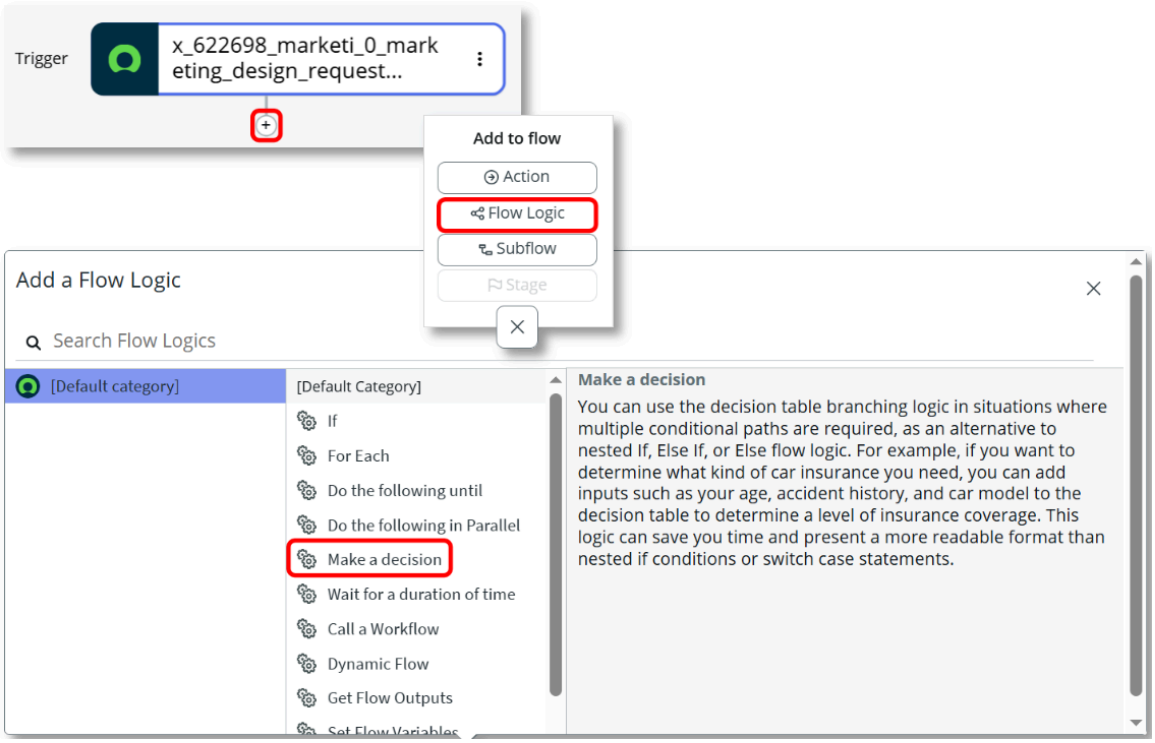


22. **[Save** (保存)] を選択します。
23. **[Publish** (公開)] を選択します。
24. 確認して [公開] を選択します。
25. ナビゲーターパネルで、マーケティング設計要求テーブルに戻ります。
26. **[Flow** (フロー)] を選択します。
27. マーケティングデザイン要求作成済みフローを選択します。

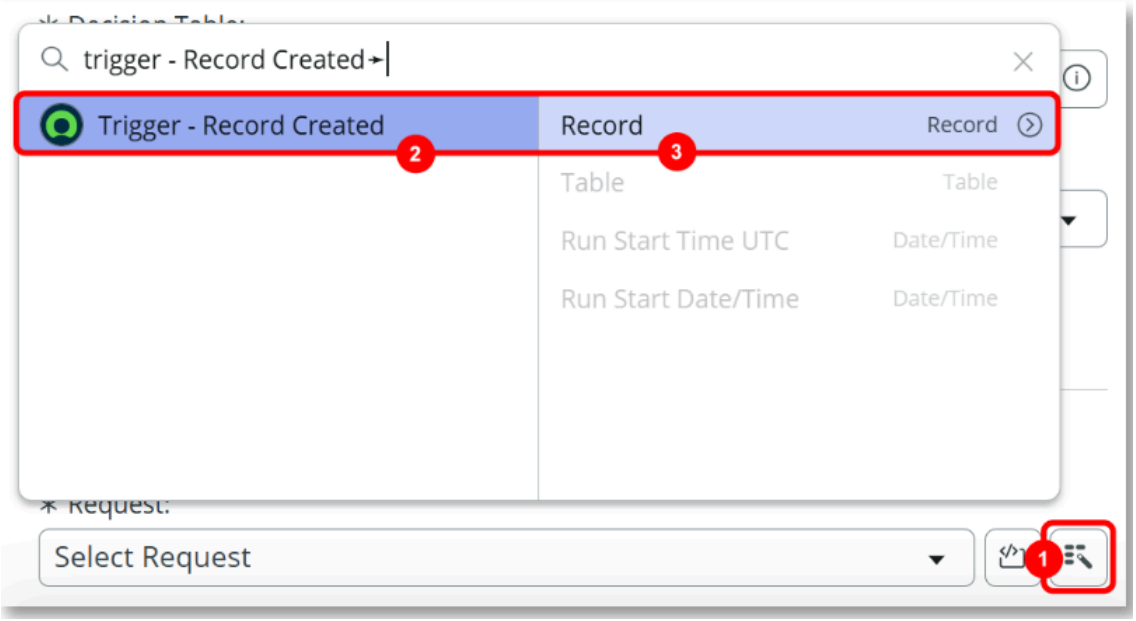


28. トリガーのすぐ下にある **[+]** を選択します。
29. [フローロジック] を選択します。
30. **[** 決定を下す] を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



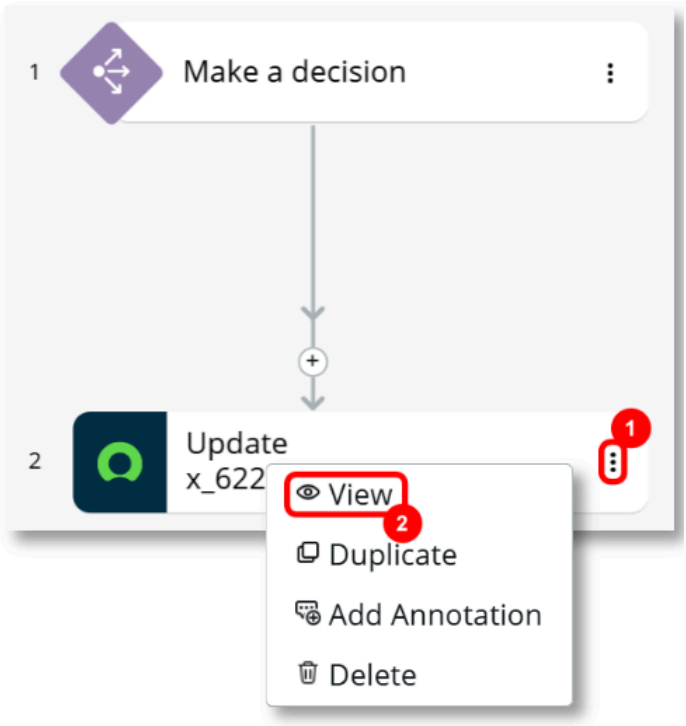
31. [ディシジョンテーブル] を [グラフィックデザイナーを選択] に設定します。
32. [分岐を使用] をオフに切り替えます。
33. [要求データピルピッカー] アイコン ( ) を選択します。
34. [**Trigger – Record Created**] を選択します。
35. **[Record** (レコード)] を選択します。



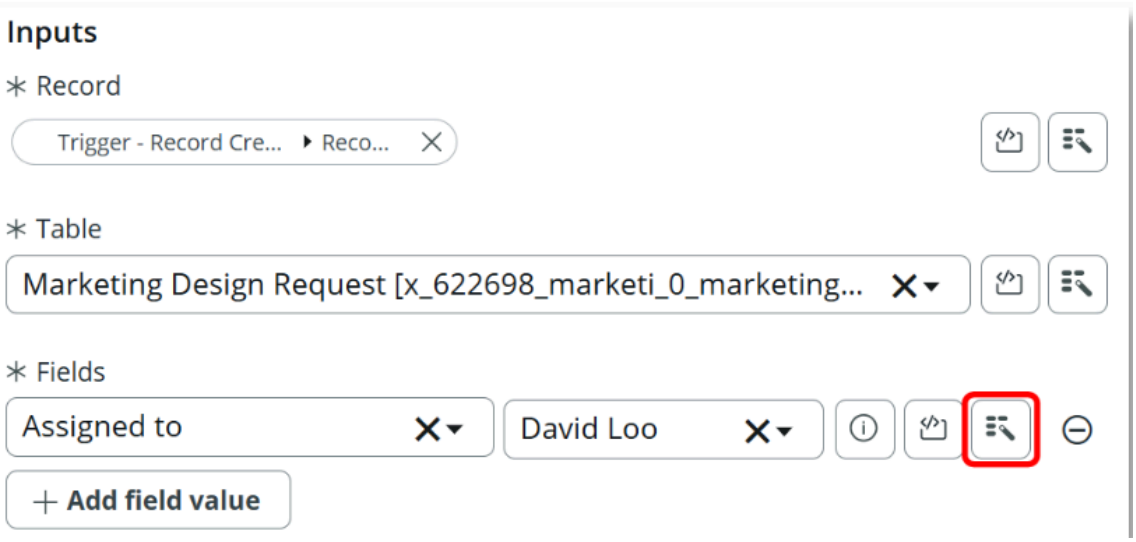
36. **[Done** (完了)] を選択します。
37. [意志決定] アクションの直後の [更新] アクションで省略記号を選択します。
38. **[View** (ビュー)] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



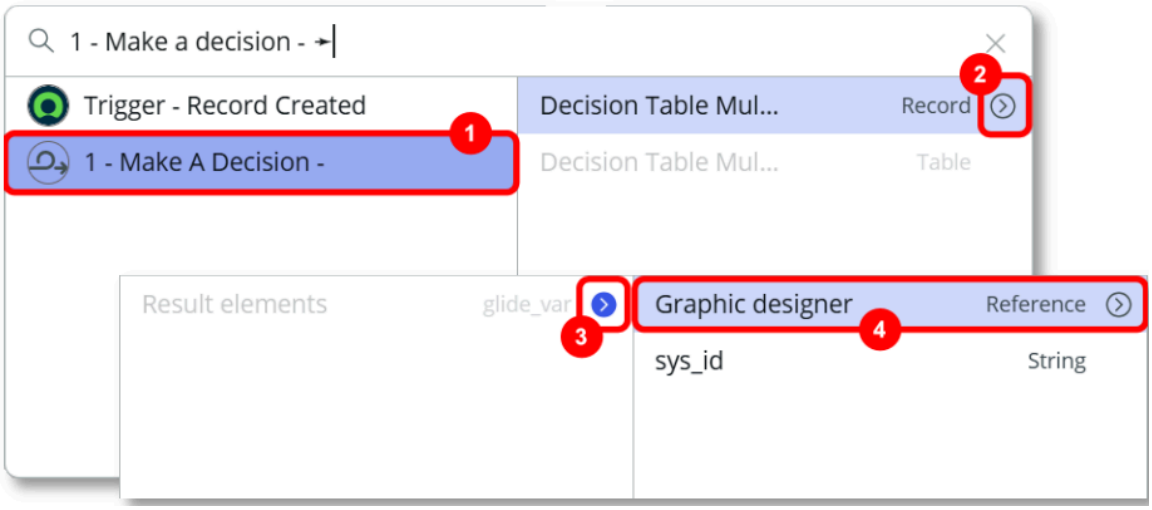
39. [フィールド] データピルピッカーを選択します。



40. 選択 **1 –** 決定を下す > ディシジョンテーブルの複数の結果レコード > 結果要素 > グラフィックデザイナー.

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



41. **[Done** (完了)] を選択します。
42. **[Save** (保存)] を選択します。
43. **[Activate** (アクティブ化)] を選択します。
44. もう一度 [アクティブ化] を選択して、選択を確定します。

ワークフローにプレイブックを追加する

ServiceNow スタジオ でプレイブックをプレイブックに追加することで、ワークフローの可視化と一貫性を高めます。このセクションの目的は、新しいマーケティングデザイン要求が送信されたときにプレイブックが新しいタブで開き、マーケティングチームに明確なコンテキストを提供し、ワークフローの各ステップの目的と重要性を確実に理解できるようにすることです。

始める前に
必要なロール：admin または delegated_developer

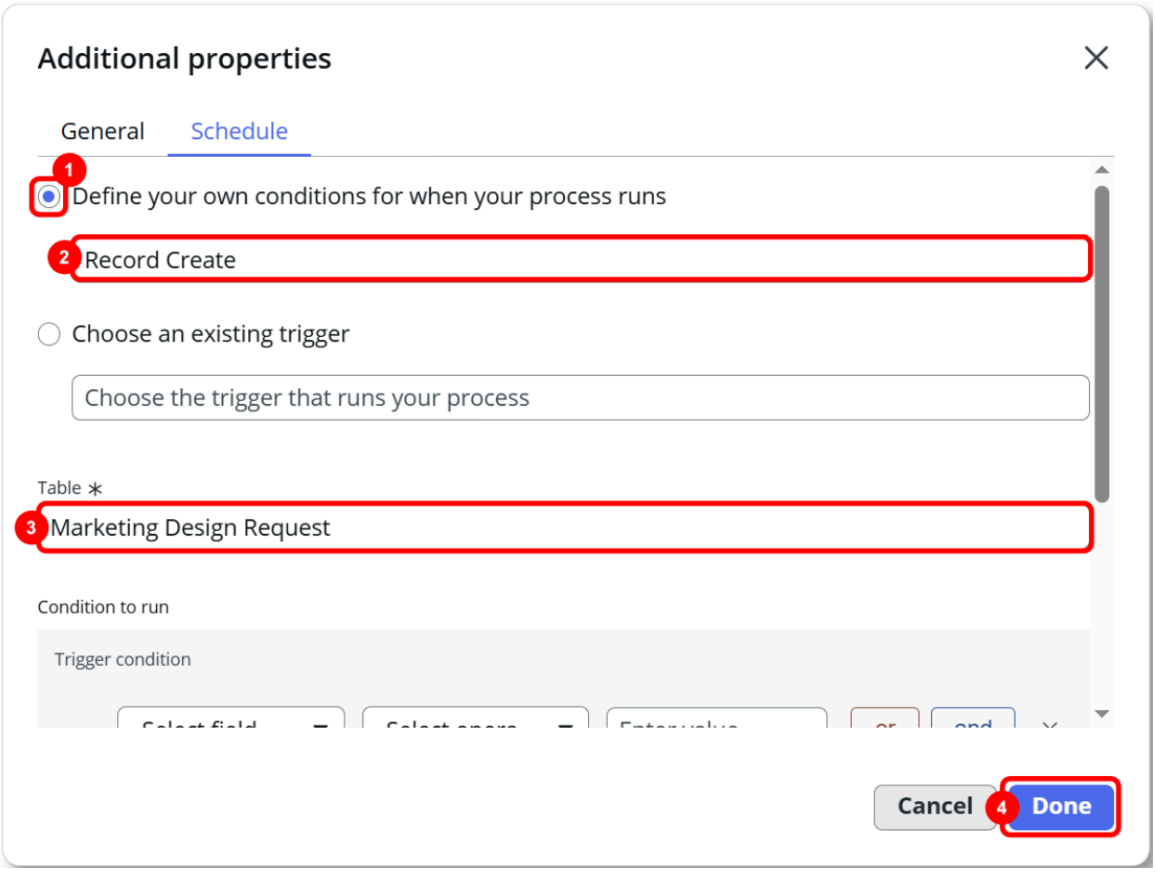
手順

1. 移動先 すべて > **App Engine** > **ServiceNow** スタジオ.
2. 選択 ファイル > 自動化 > プレイブック.
3. **[Continue** (続行)] を選択します。
4. [プレイブック名] フィールドに「マーケティングデザイン要求」と入力します。
5. [プレイブックのビルド] を選択します。
6. [開始] を選択します。

7. [プロセスを実行する独自の条件を定義する] を選択します。
8. [トリガータイプ] で [レコードの作成] を選択します。
9. [テーブル] の [マーケティングデザイン要求] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

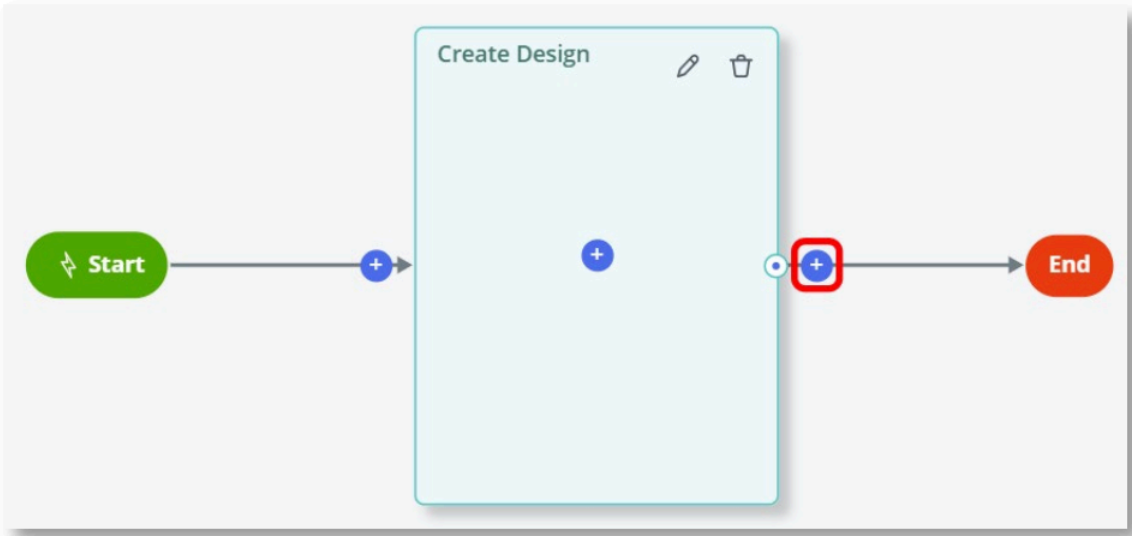


10. **[Done** (完了)] を選択します。
11. [+] を選択して新しいステージを追加します。

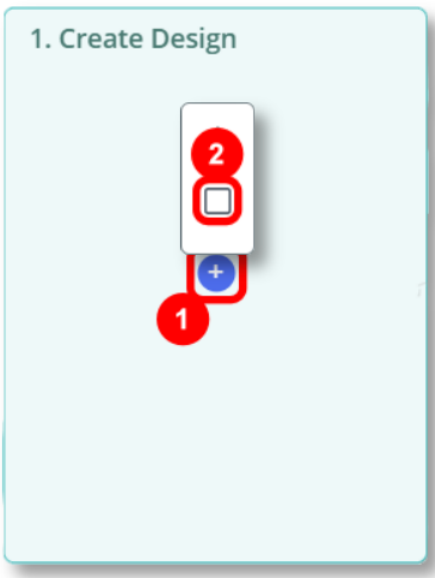
12. [ステージの作成] を選択します。
13. [ラベル] フィールドに「デザインを作成」と入力します。
14. **[Save and close** (保存して閉じる)] を選択します。
15. [Create Design] ステージにマウスポインタを置き、両側に (+) ボタンが表示されるようにします。
16. [Create Design] ステージの右側にある [+] を選択して、2 番目のステージを追加します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



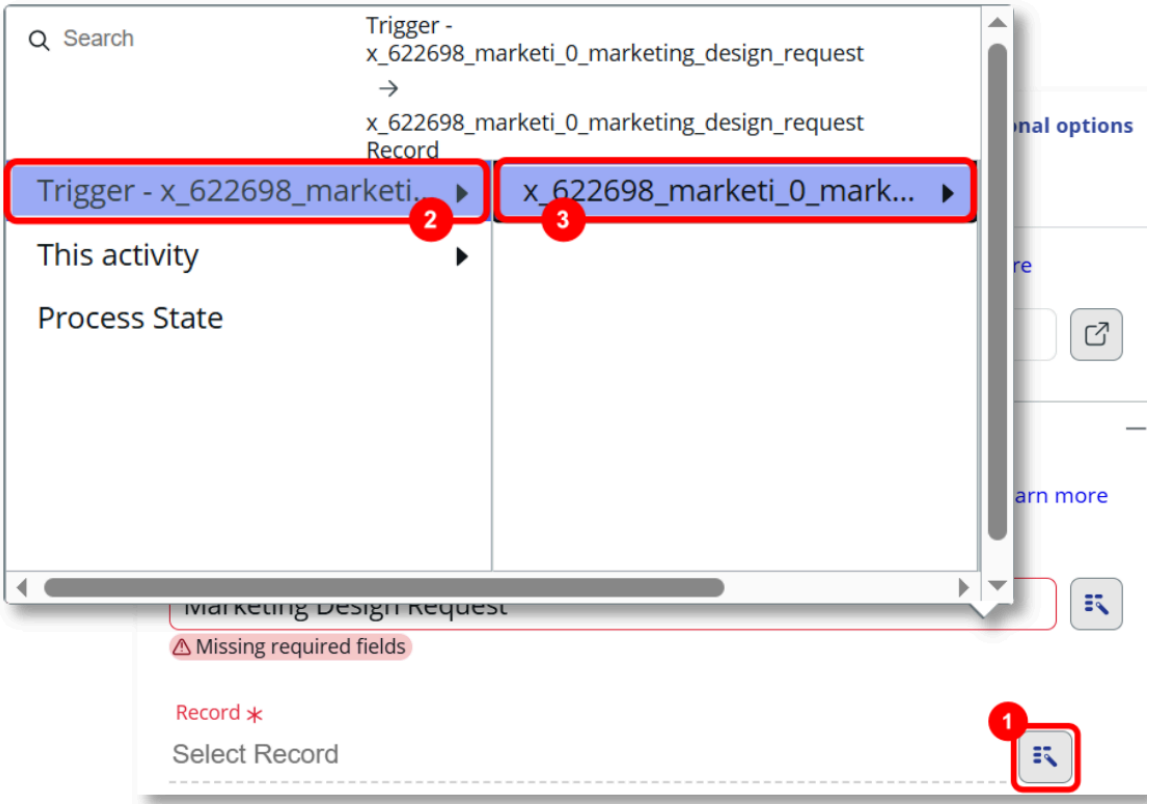
17. [ステージの作成] を選択します。
18. [ラベル] フィールドに「デザインのレビュー」と入力します。
19. **[Save and close** (保存して閉じる)] を選択します。
20. [デザインの作成] ステージで [+] ボタンを選択します。
21. ポップアップで [アクティビティを追加] ボタンを選択します。



22. [一般的なアクティビティ] の [ユーザーフォームのオートコンプリート] を選択します。
23. [ラベル] フィールドに「完全なマーケティングデザイン」と入力します。
24. **[Automation** (自動化)] タブを選択します。
25. [レコードデータピルピッカー] アイコン ( ) を選択します。
26. [トリガー] を選択します。
27. トリガーレコードを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



注:
ラベルの表示が若干異なる場合があります。

28. [条件を追加] を選択します。

注:
[条件を追加] が表示されない場合は、パネルで変更を保存し、再度開く必要があります。

29. 条件を [状態] [次の値に等しい] [設計完了] に設定します。

30. **[Save** (保存)] を選択します。

31. [**UI** レイアウト] タブを選択します。

32. [タイトル] フィールドから [このアクティビティ>ラベル] データピルを削除します。

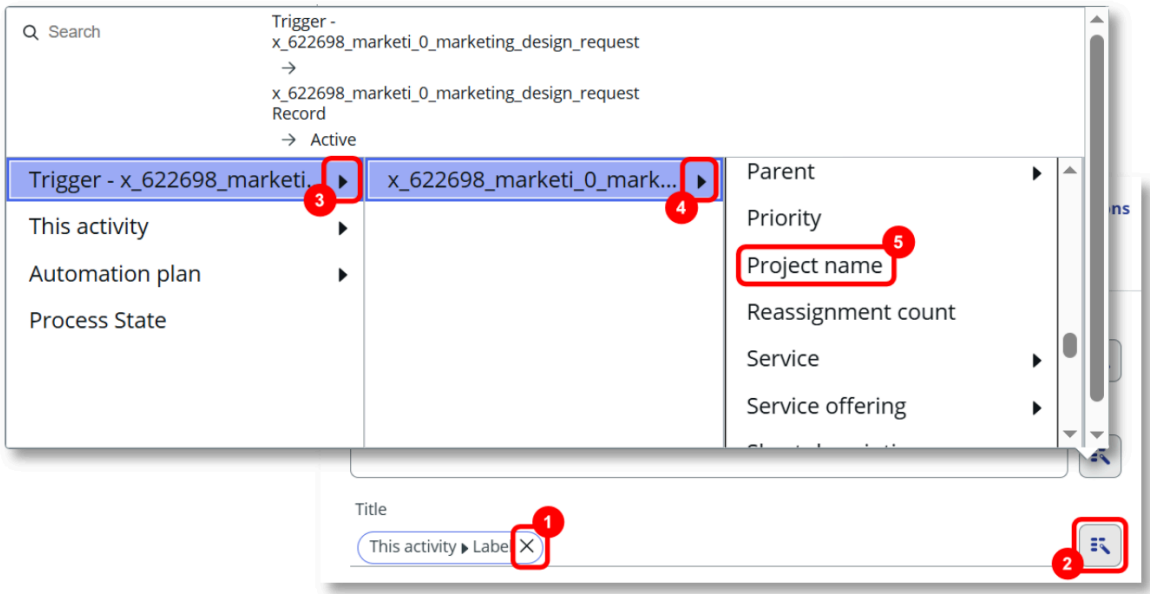
33. タイトルデータピルピッカーアイコン ( ) を選択します。

34. [トリガー] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

35. トリガーレコードを選択します。
36. プロジェクト名を選択します。

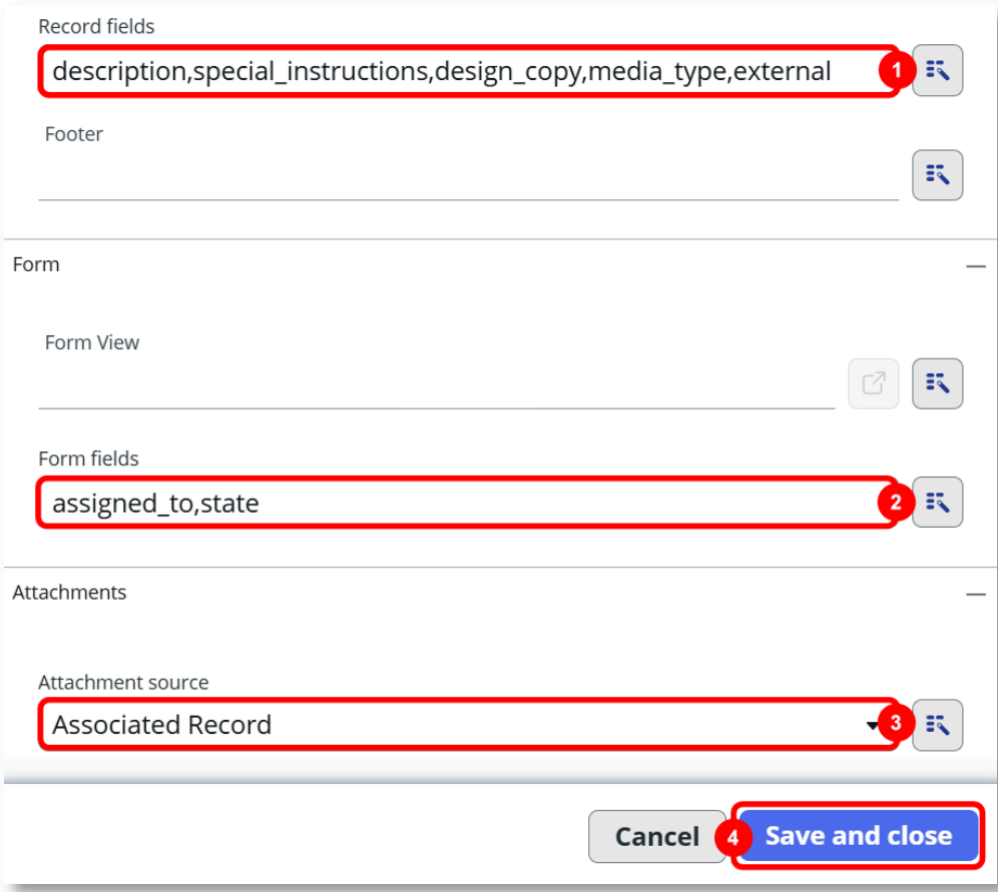


> **注:**
> ラベルの表示が若干異なる場合があります。

37. [レコードフィールド] フィールドに説明、special_instructions、design_copy、media_type、外部を入力します。
38. [フォームフィールド] フィールドに「assigned_to,state」と入力します。
39. [添付ファイルのソース] フィールドで [関連レコード] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

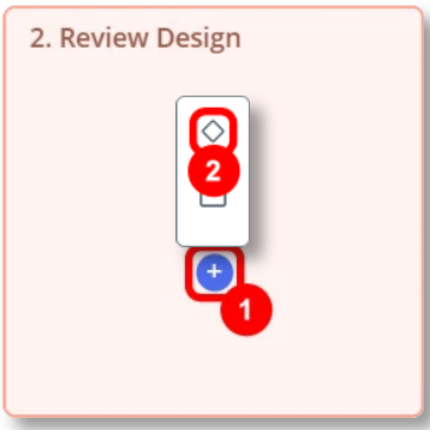


40. **[Save and close** (保存して閉じる)] を選択します。

41. [デザインのレビュー] ステージに切り替えます。

42. [+] を選択します。

43. [意思決定の追加] を選択します。



44. [分岐] タブを選択します。

45. [分岐ラベル] フィールドに「外部である」と入力します。

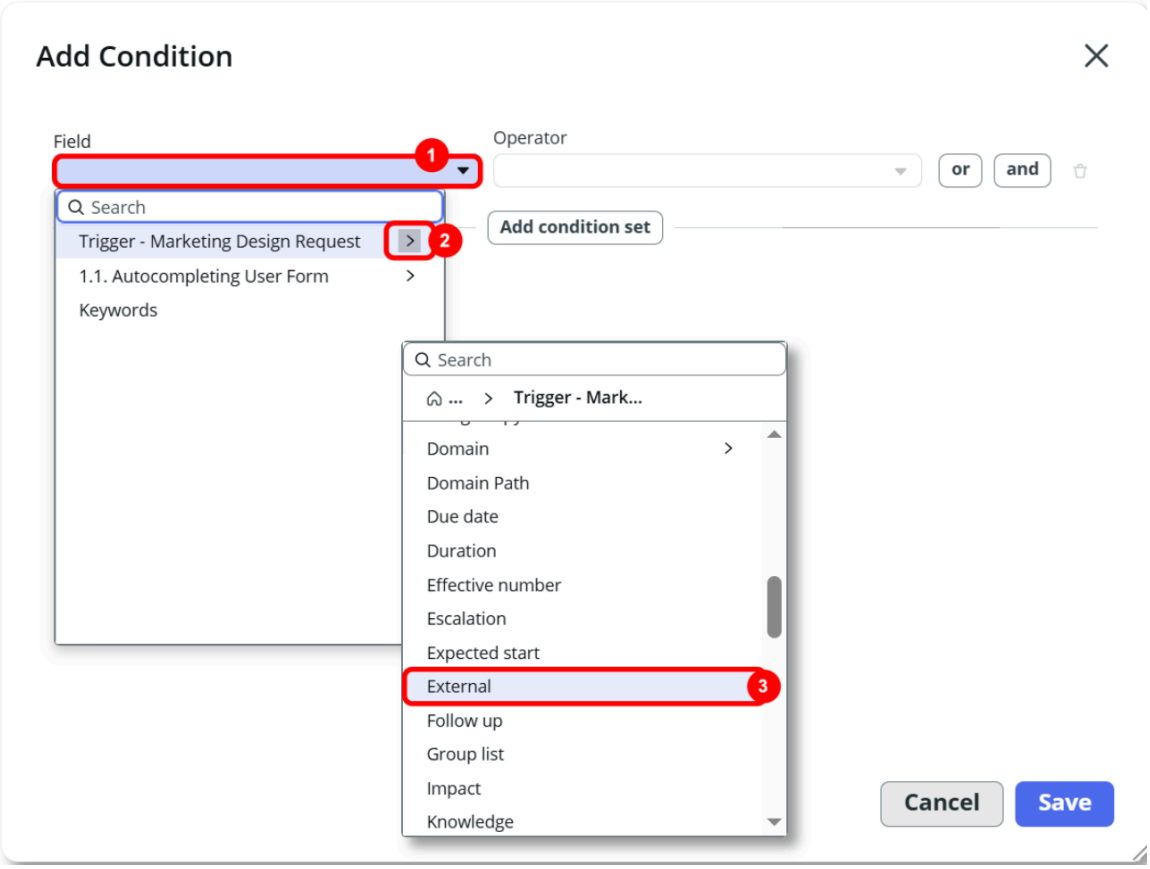
46. [条件を追加] を選択します。

47. [フィールド] フィールドで [トリガー - マーケティングデザイン要求] を選択します。

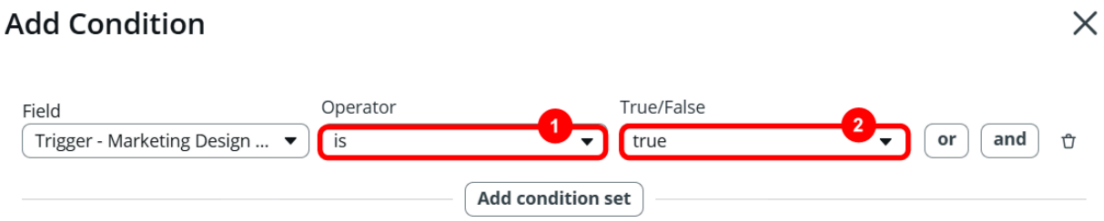
48. [外部] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



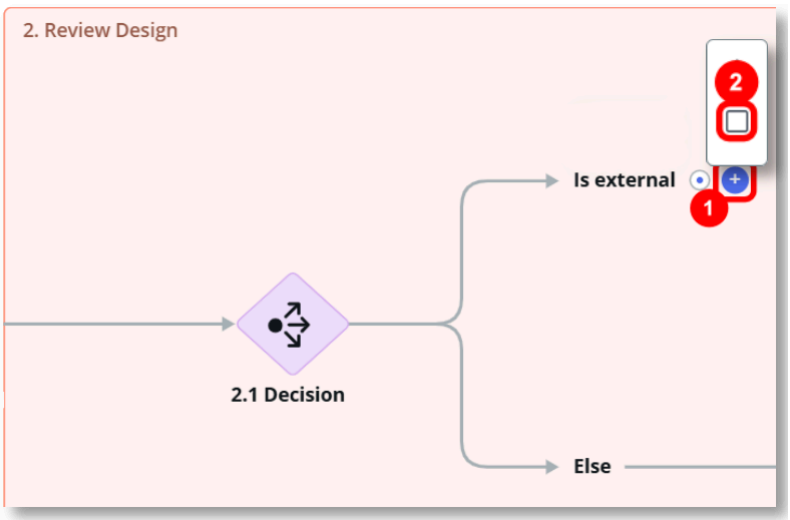
49. 条件ステートメントに **[Trigger-Marketing Design Request] [is] [true]** を入力します。



50. **[Save and close** (保存して閉じる)] を選択します。

51. [外部である] 分岐で **[+]** を選択します。

52. [アクティビティを追加] を選択します。



© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

53. [グローバル] カテゴリの [承認要求の表示] を選択します。

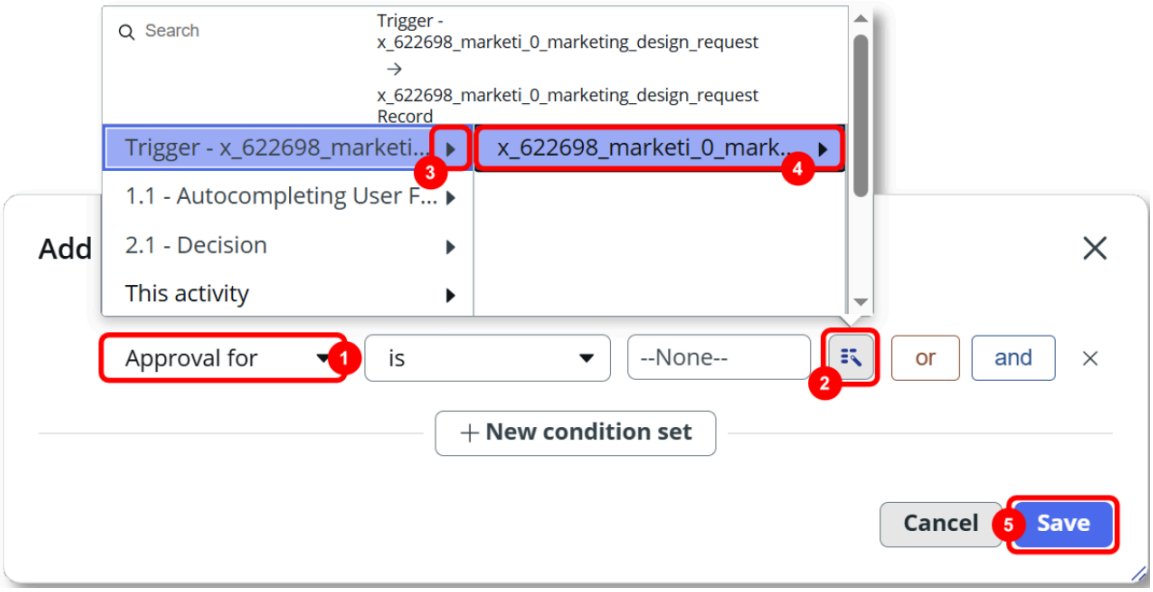
54. [自動化] タブで [条件を追加] を選択します。

55. フィールドと演算子を **[Approval for] [is]** に設定します。

56. [値データピルピッカー] アイコン ( ) を選択します。

57. **[Trigger** (トリガー)] を選択します。

58. トリガーレコードを選択します。



注:
ラベルの表示が若干異なる場合があります。

59. **[Save and close** (保存して閉じる)] を選択します。

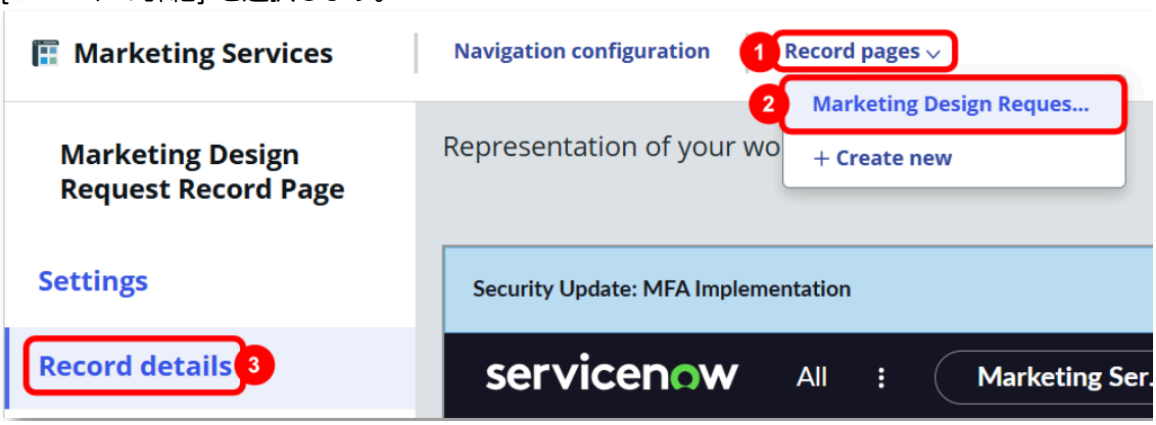
60. プレイブックの [アクティブ化] を選択します。

61. ナビゲーターパネルから マーケティングサービス ワークスペースを開きます。

62. [レコードページ] を選択します。

63. マーケティング設計要求レコードページを選択します。

64. [レコードの詳細] を選択します。



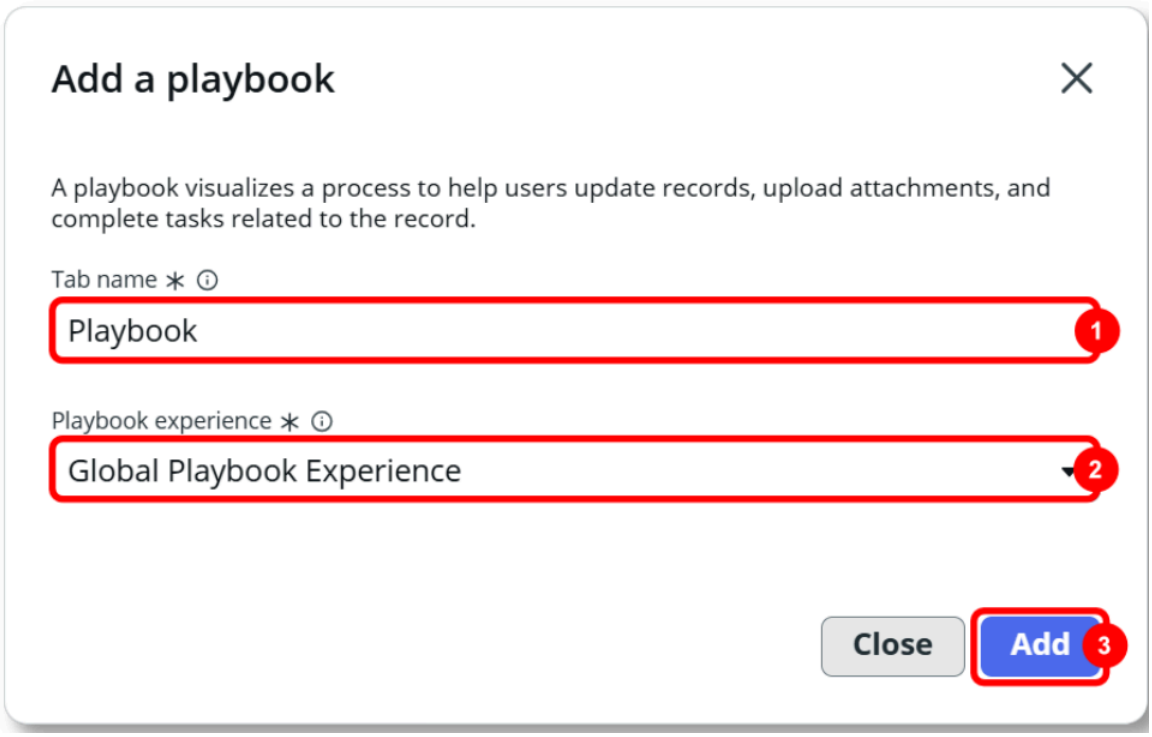
65. **[+** プレイブックを追加] を選択します。

66. [タブ名] フィールドに「Playbook」と入力します。

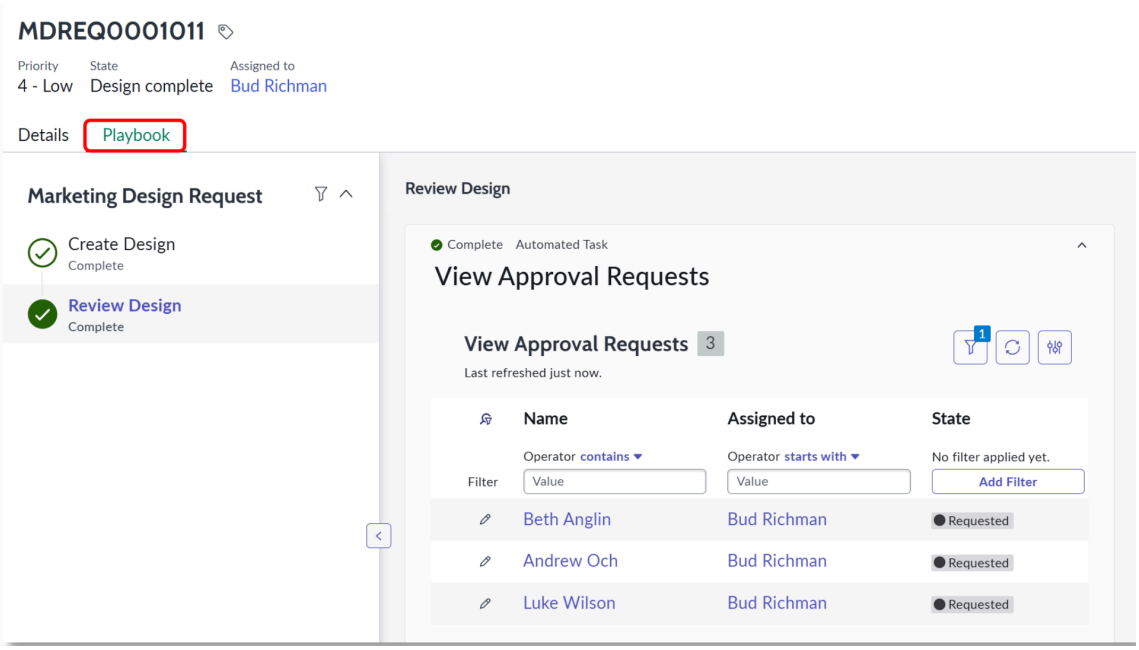
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

67. [プレイブックエクスペリエンス] フィールドで [グローバルプレイブックエクスペリエンス] を選択します。
68. **[Add** (追加)] を選択します。



タスクの結果
新しいマーケティングデザイン要求が送信されると、プレイブックが新しいタブで開き、マーケティングチームに明確なコンテキストを提供し、ワークフローの各ステップの目的と重要性を確実に理解できるようにします。



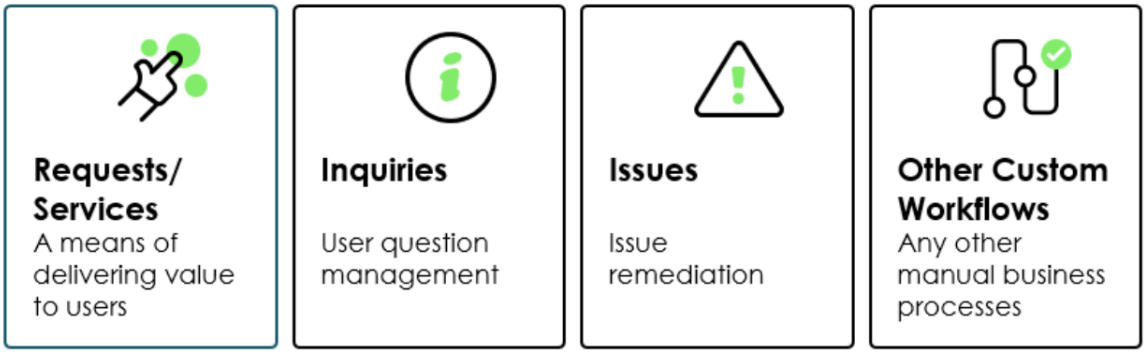
ServiceNow スタジオ チュートリアルパート **3:** 部門別ソリューションに展開する

最初の要求実行ワークフローは、単なるスタンドアロンプロセスではなく、完全な自動化への第一歩です。その影響を最大化するには、ワークフローの自動化の拡張、効率の向上、サービス提供の合理化に対する戦略的アプローチを採用して、初期ワークフローを強化およびサポートします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

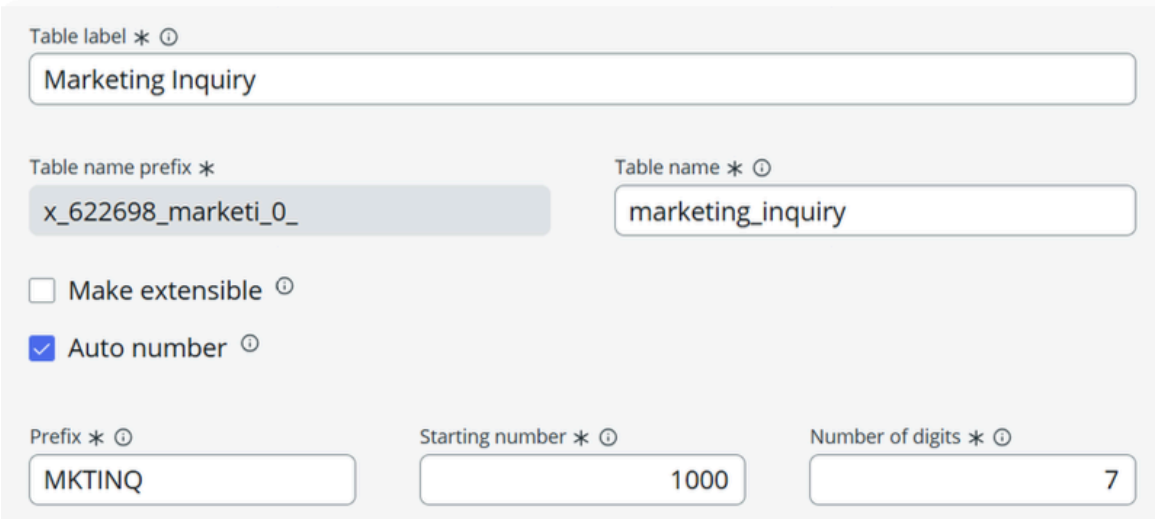
この拡張により、最初の要求プロセスが完全にスケーラブルな部門ソリューションに変わります。自動化の取り組みを補完および拡張できる主要なワークフローを次に示します。



ワークフローを追加

ワークフローを戦略的に拡張することで、シームレスで効率的なサービスエクスペリエンスを作成し、手作業を減らし、組織全体で一貫したサービスデリバリーを確保できます。マーケティング設計要求の手順に従って、照会と問題のワークフローを構成します。

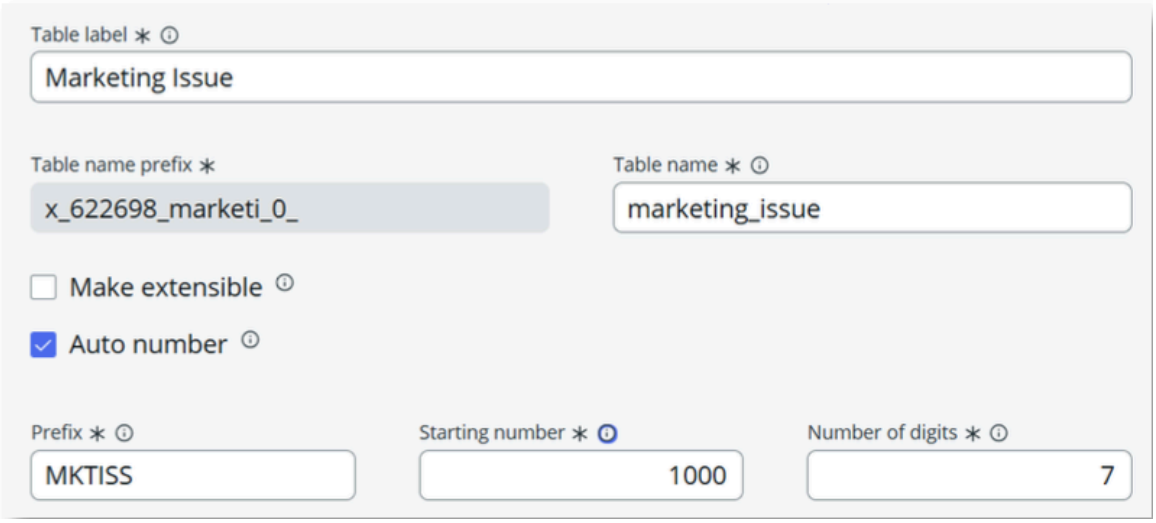
1. テーブルを作成します。どちらのテーブルも空白のテーブルから開始し、マーケティングデザイン要求テーブルと同じ方法でタスクテーブルを拡張する必要があります。
   a. テーブルラベル:マーケティングに関する問い合わせ
   b. 自動番号:選択済み
   c. 接頭辞:MKTINQ
   d. 権限:マーケティング設計要求テーブルと同じ



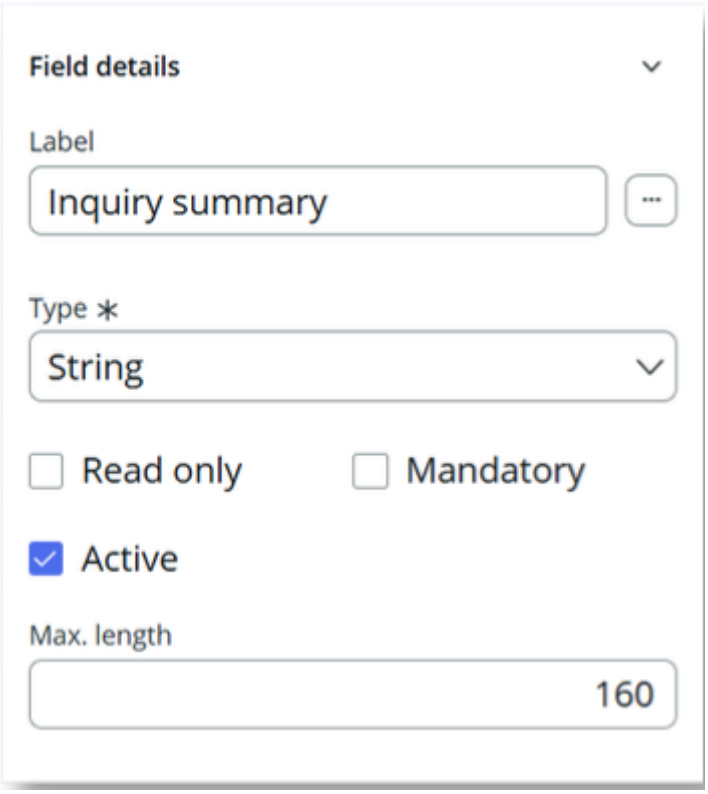
   a. テーブルラベル: マーケティングの問題
   b. 自動番号:選択済み
   c. 接頭辞:MKTISS
   d. 権限:マーケティング設計要求テーブルと同じ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



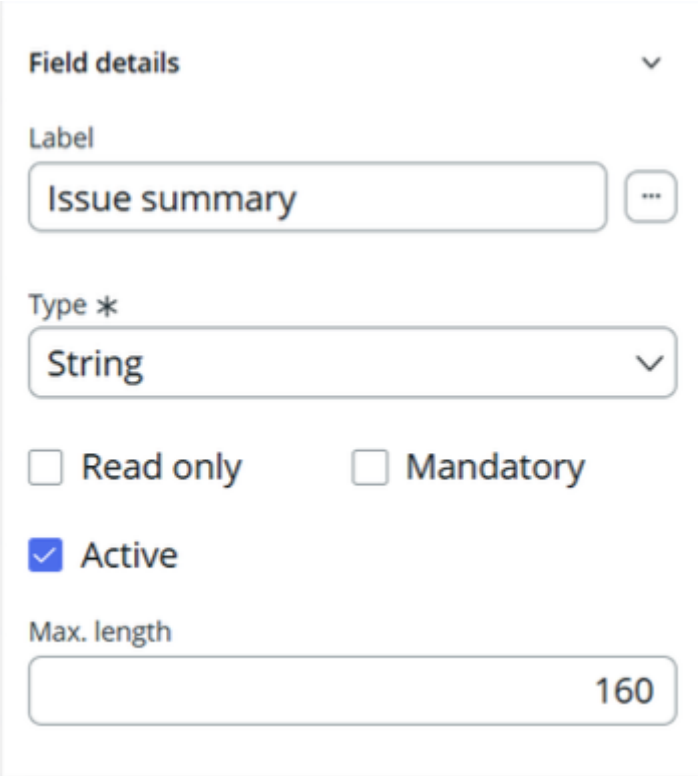
2. テーブルにフィールドを追加します。
   a. ラベル: 照会の概要
   b. タイプ: 文字列
   c. 最大長: 160



   a. ラベル: 問題の要約
   b. タイプ: 文字列
   c. 最大長: 160

自動翻訳

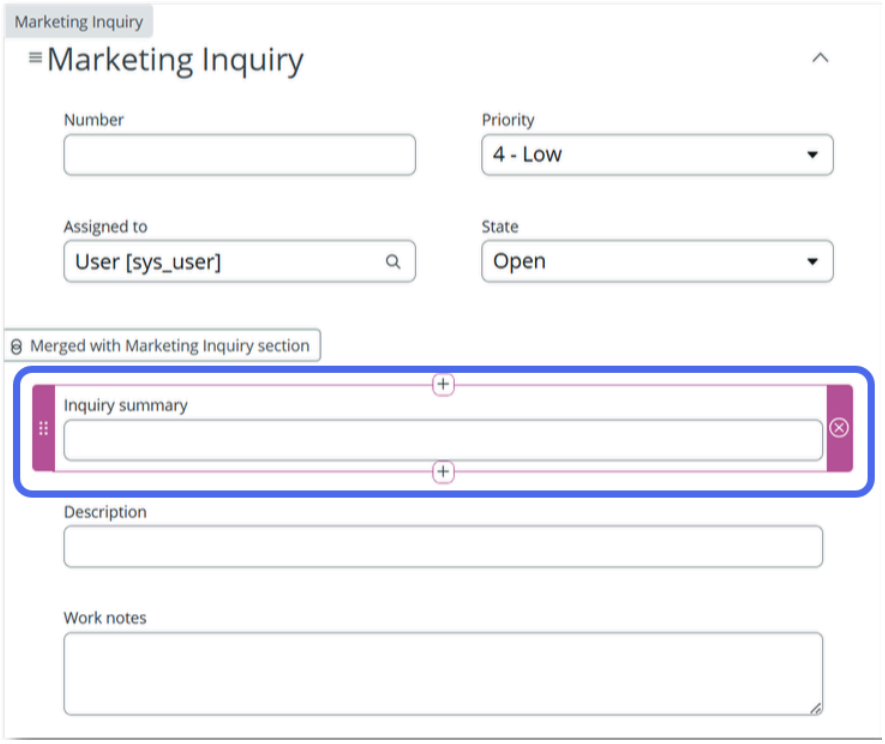
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



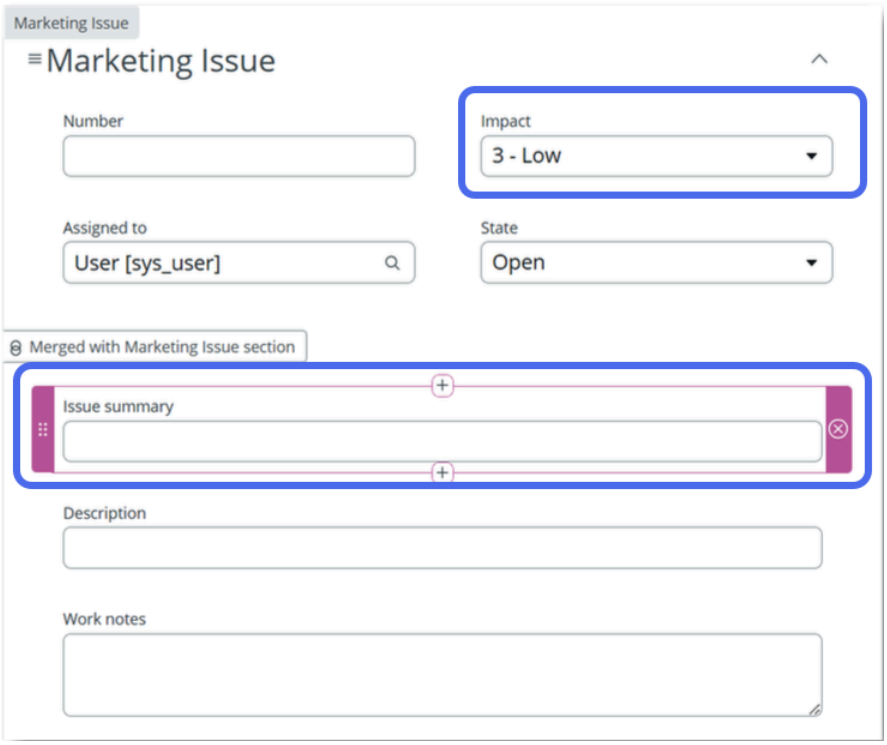
3. フォームの構成。
   a. [マーケティングデザイン要求] フォームで行ったのと同じフィールドをフォームから削除します。
      - 構成アイテム
      - 親
      - **Active** (アクティブ)
      - 簡単な説明
   b. [説明] フィールドの上に [照会サマリー] フィールドを追加します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



c. [説明] フィールドの上に [問題のサマリー] フィールドを追加し、[優先度] フィールドを [影響度] フィールドに置き換えます。

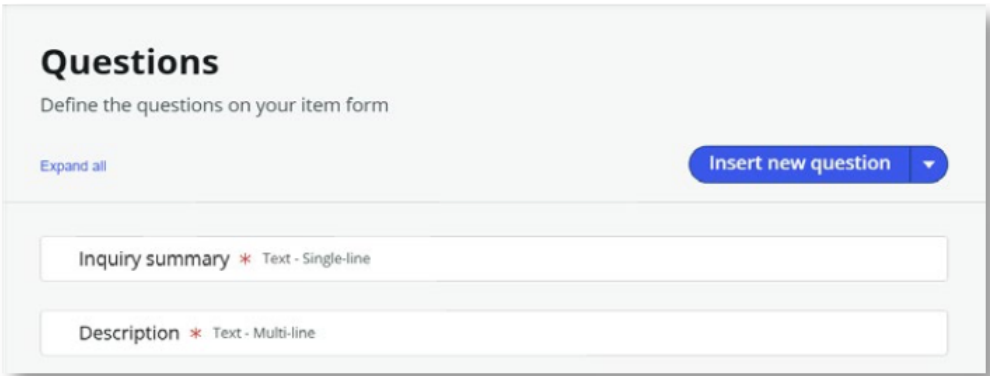


4. レコードプロデューサーを作成します。
   a. カタログ: サービスカタログ
   b. カテゴリ: 部門サービス
   c. 問い合わせと問題に対して、次の質問を追加します。

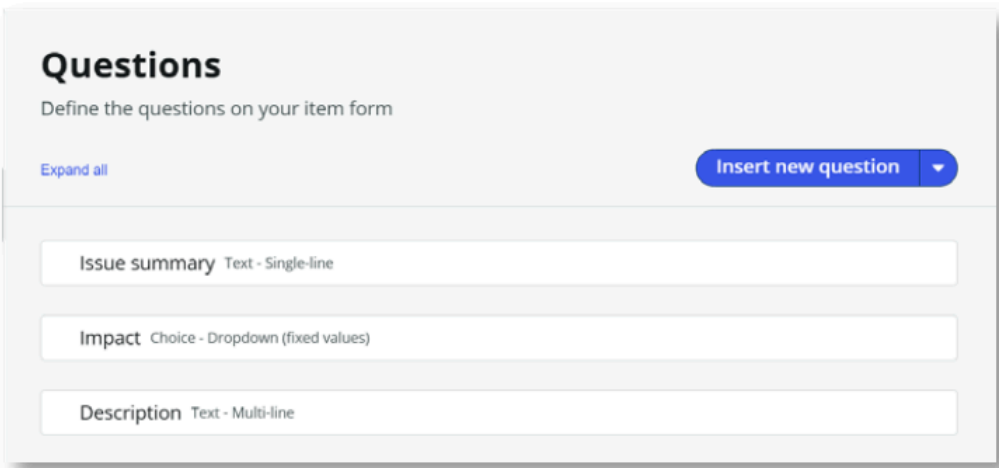
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 照会/問題のサマリー (1 行)
- 説明 (複数行)
  - アイテム名: マーケティングに関する問い合わせ
  - 宛先 (レコード送信テーブル): マーケティングに関する問い合わせ



  - アイテム名: マーケティングの問題
  - 宛先 (レコード送信テーブル): マーケティングの問題



  - 次の選択肢を使用して、前のレコードプロデューサーでメディアタイプを構成したのと同じ方法で、影響の質問を構成します。
    - **i.** 表示名: 高、 値: 1
    - **ii.** 表示名: 中、 値: 2
    - **iii.** 表示名: 低、 値: 3

d. [テーブルの指定されたフィールドにマップ] を選択し、[テーブル]、[質問]、および [名前] フィールドに入力します。

> **注:**
> 名前はすべて小文字で、スペースではなくアンダースコアを使用する必要があります。

5. 完了したら、両方のレコードプロデューサーを送信します。

マーケティング部門の分類の作成

ServiceNow AI Platformにマーケティング部門の分類を作成します。

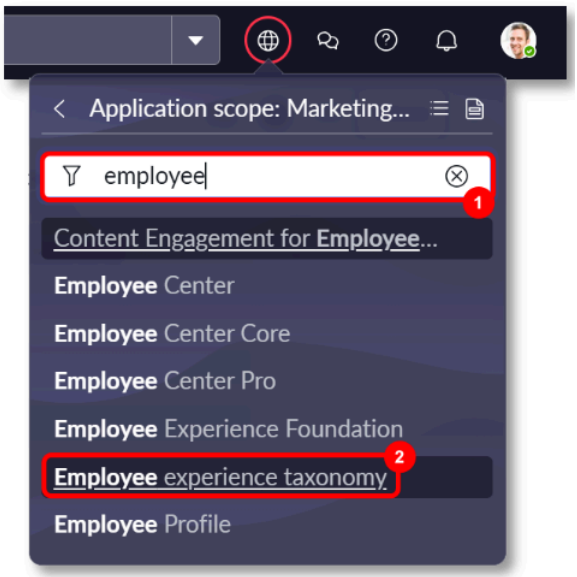
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

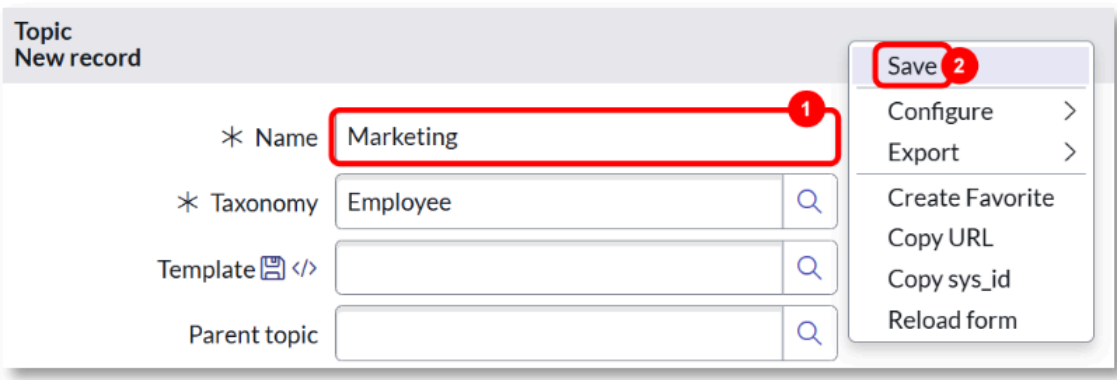
始める前に
必要なロール：admin または delegated_developer

手順

1. 移動先 すべて > 従業員センター > 高度なポータルナビゲーション.
2. [従業員センター] リンクにカーソルを合わせます。
3. [従業員センターをプレビュー] アイコン ( ) を選択します。
4. [レコードを開く **(Open Record)]** を選択します。
5. ここで選択して、スコープを従業員センタープロアプリケーションに切り替えます。
6. [アクティブ] チェックボックスをオフにします。
7. [更新] を選択して、変更を保存します。
8. アプリケーションスコープピッカーを選択します。
9. 従業員を検索します。



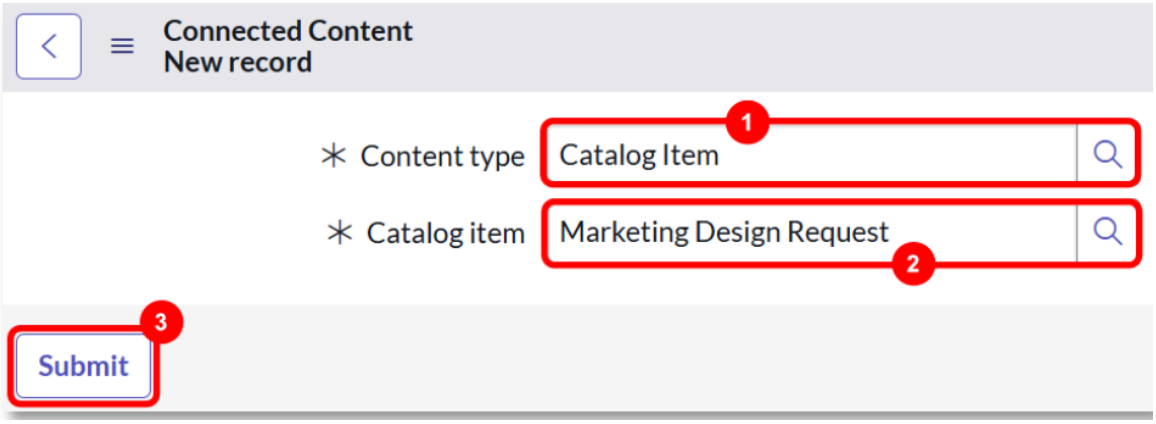
10. [従業員エクスペリエンス分類] を選択します。
11. 移動先 すべて > コンテンツ分類 > 分類.
12. 従業員分類を選択します。
13. [子トピック] 関連リストで [新規] を選択します。
14. [名前] フィールドに「マーケティング」と入力します。
15. ヘッダーバーを選択して長押し (または右クリック) し、[保存] を選択します。



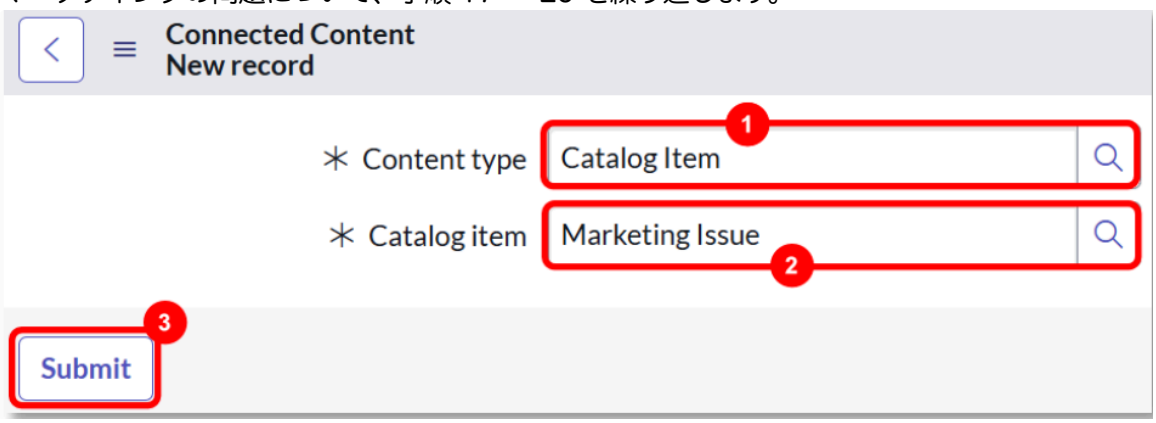
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

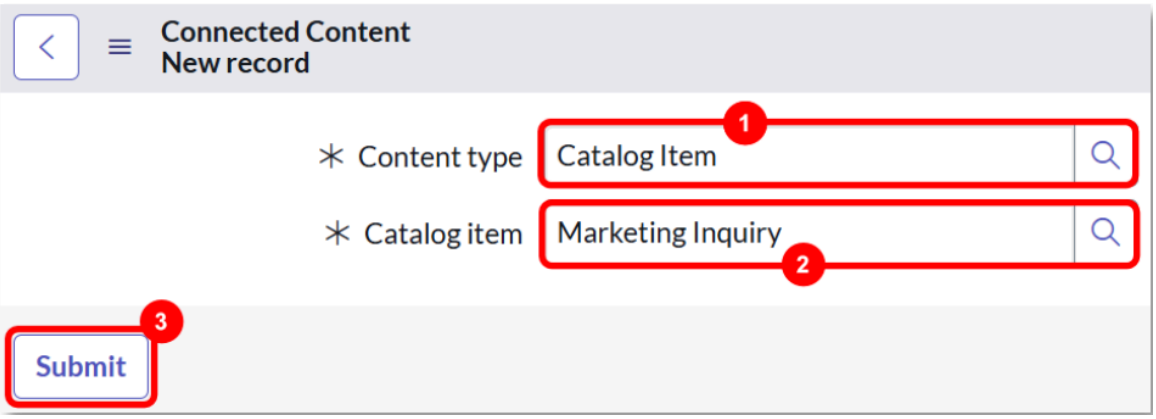
16. マーケティング子トピックを選択して開きます。
17. [接続されたコンテンツ] 関連リストで [新規] を選択します。
18. コンテンツタイプのカタログアイテムを選択します。
19. カタログアイテムのマーケティングデザイン要求を選択します。
20. **[Submit** (送信)] を選択します。



21. マーケティングの問題について、手順 17 ～ 20 を繰り返します。



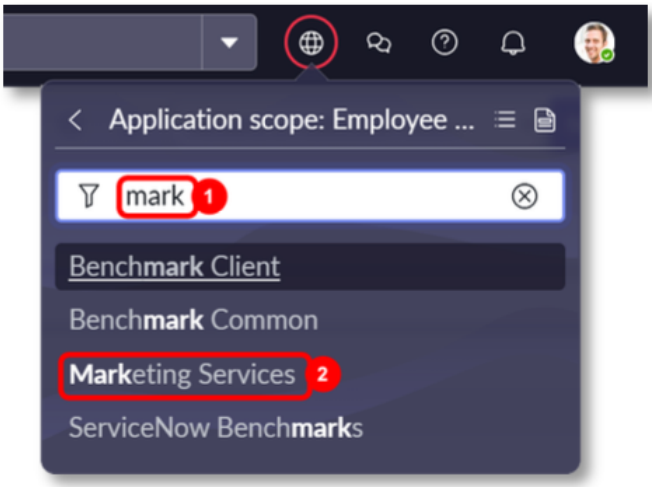
22. マーケティングに関する問い合わせについて、手順 17 ～ 20 の手順を繰り返します。



23. アプリケーションスコープピッカーを選択します。
24. マーケティングを検索します。
25. [マーケティングサービス] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



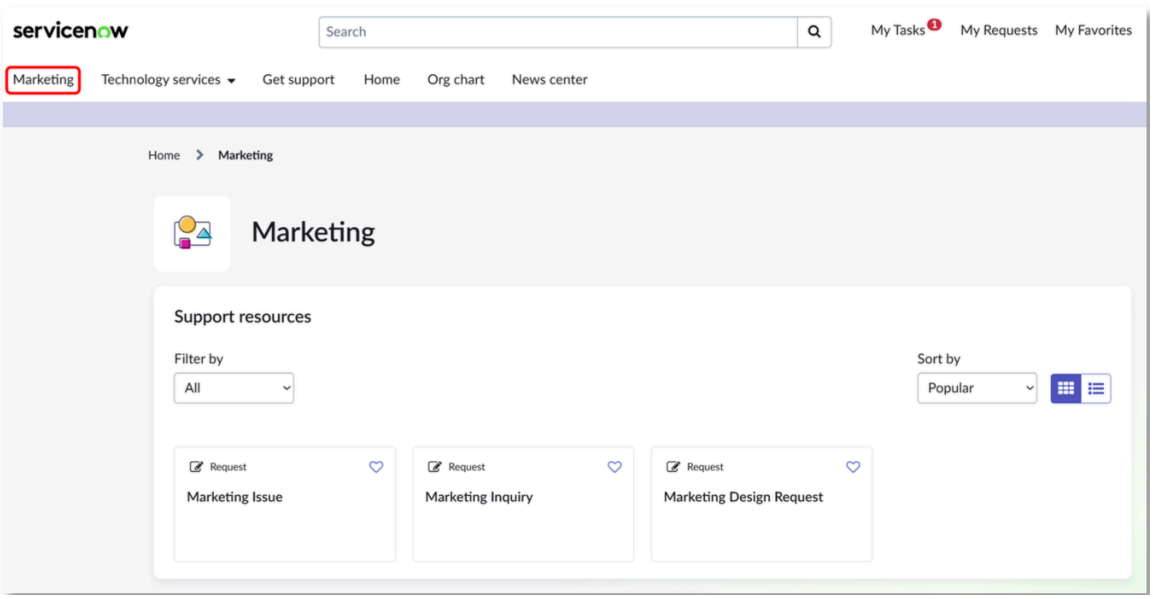
26. プラットフォームのフィルターナビゲーターで 従業員 を検索します。

27. [従業員センター] を選択します。

28. [マーケティング] を選択します。

タスクの結果

新しく作成された要求が、「マーケティング」トピックの下の分類にグループ化されていることを確認します。



部門ワークフローをワークスペースに追加する

適切に構造化されたワークスペースにより、タスクの可視化が向上し、応答時間が短縮され、履行者が必要なすべてのツールと情報を 1 か所で入手できるようになります。ワークスペースを使用することで、部門はプロセスを標準化し、手作業を減らし、コラボレーションを向上させることで、サービスデリバリ、生産性、組織全体の運用改善を実現できます。

始める前に

必要なロール：admin または delegated_developer

手順

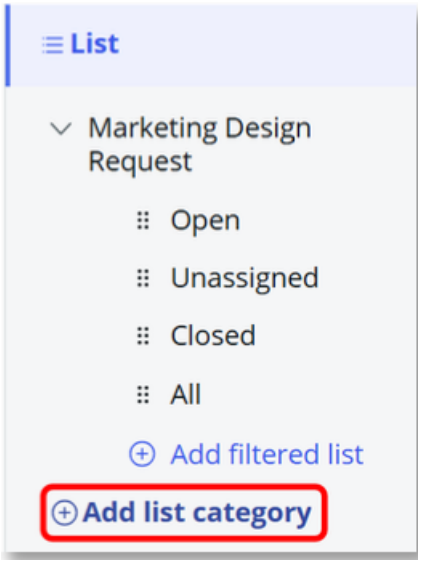
1. 移動先 すべて > **App Engine** > **ServiceNow** スタジオ.

2. ナビゲーターパネルから、 マーケティングサービス ワークスペースを開きます。

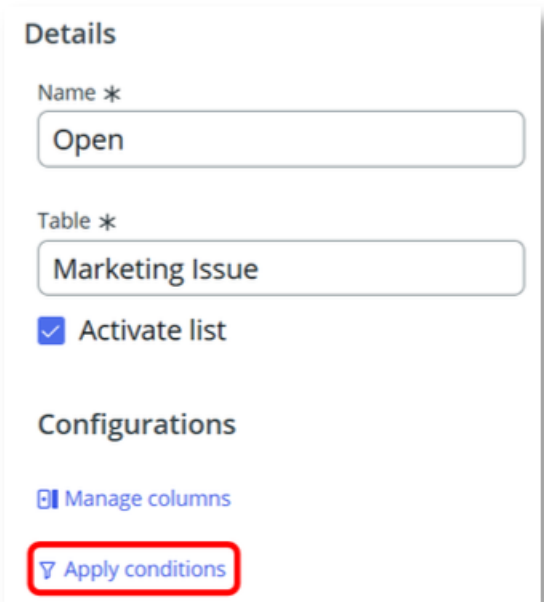
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

3. [リスト] タブを選択します。
4. **[+]** [リストカテゴリを追加] を選択します。



5. [名前] フィールドに、「マーケティングの問題」と入力します。
6. **[Add** (追加)] を選択します。
7. [マーケティングの問題] で、[**+]** [フィルター済みリストを追加] を選択します。
8. [名前] フィールドに「 Open」と入力します。
9. テーブル フィールドで、マーケティングの問題 を選択します。
10. **[Add** (追加)] を選択します。
11. [構成] で [条件の適用] を選択します。

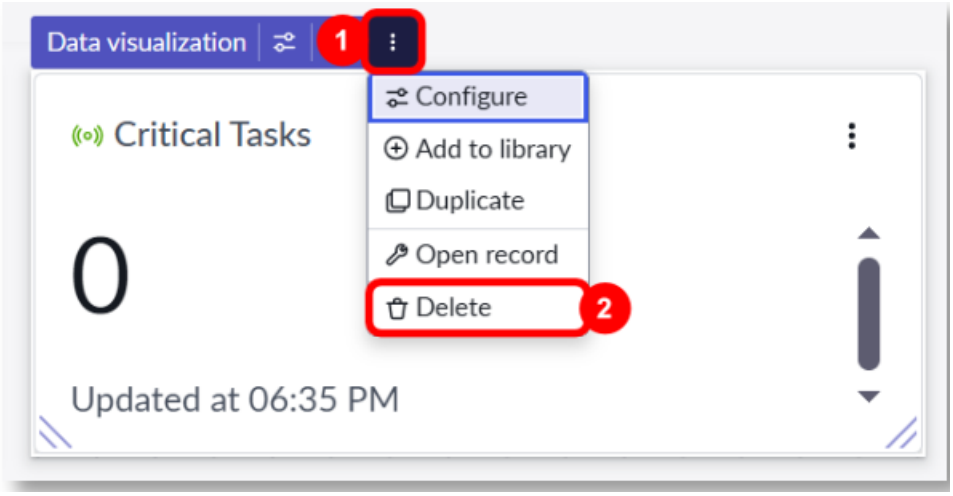


12. 条件ビルダーで **[active] [is] [true]** を選択します。
13. [フィルターの適用] を選択します。
14. **[Save** (保存)] を選択します。
15. [プレビュー] を選択してワークスペースを開きます。
16. **[Edit** (編集)] を選択します。

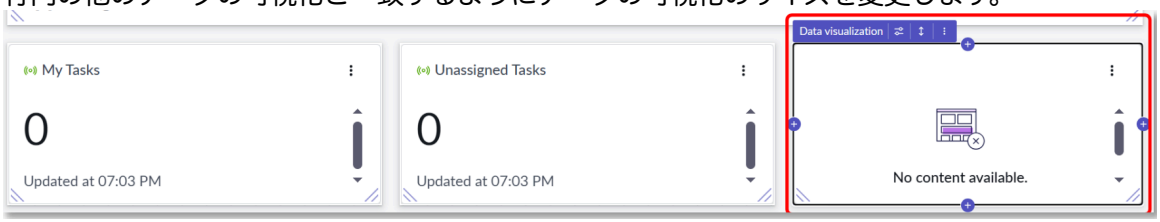
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

17. [最重要タスク] データを可視化するためのその他のオプションアイコン ( ) を選択します。
18. [削除] を選択します。



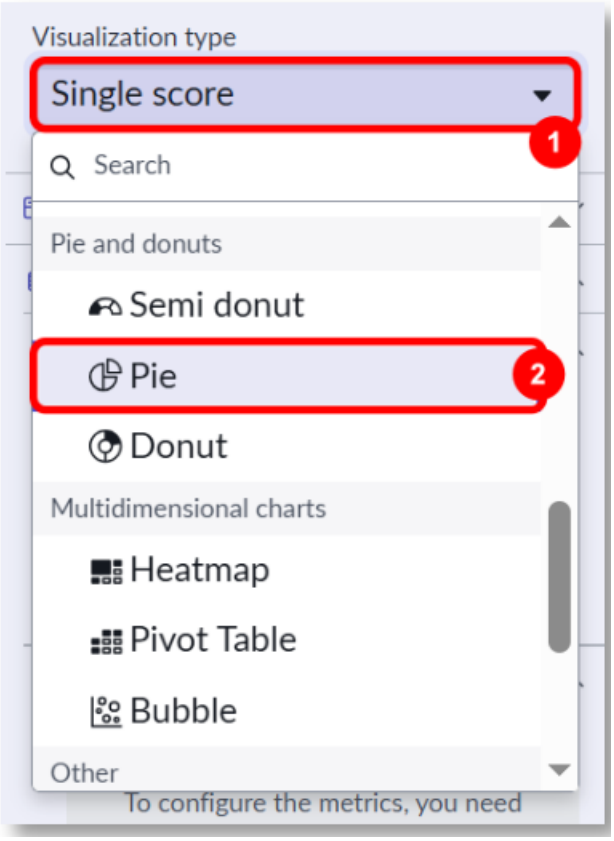
19. [新しい要素を追加] を選択します。
20. [データの可視化] を選択します。
21. **[New Visualization** (新規の可視化)] を選択します。
22. 重要なタスクを削除した場所に新しいデータビジュアル化をドラッグします。
23. 行内の他のデータの可視化と一致するようにデータの可視化のサイズを変更します。



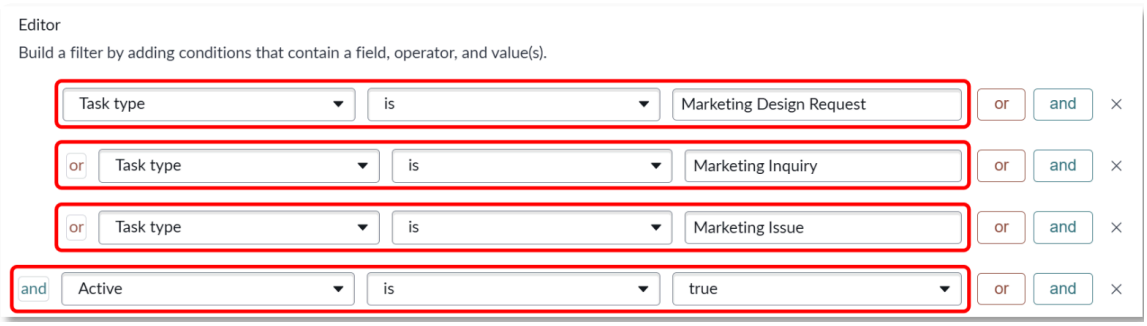
24. [可視化のタイプ (単一スコア)] を選択します。
25. 円グラフを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



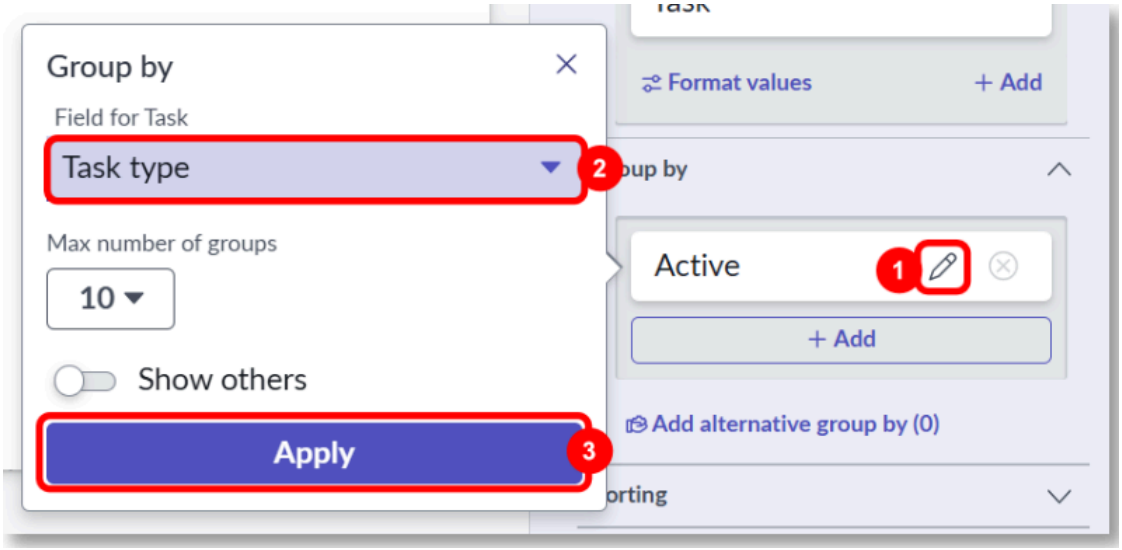
26. [ヘッダーと境界線] セクションを展開します。
27. **[Chart title]** フィールドに「Open Tasks」と入力します。
28. [データ ソース] で **[+** データ ソースの追加] を選択します。
29. タスクを検索します。
30. [タスク **[task]**] を選択します。
31. [フィルター] セクションで **[+** カスタム条件の追加] を選択します。
32. 条件を **[task] [is] [Marketing Design Request]** または **[task] [is] [Marketing Inquiry]** または **[task] [is] [Marketing issue] AND [active] [is] [true]** に設定します。



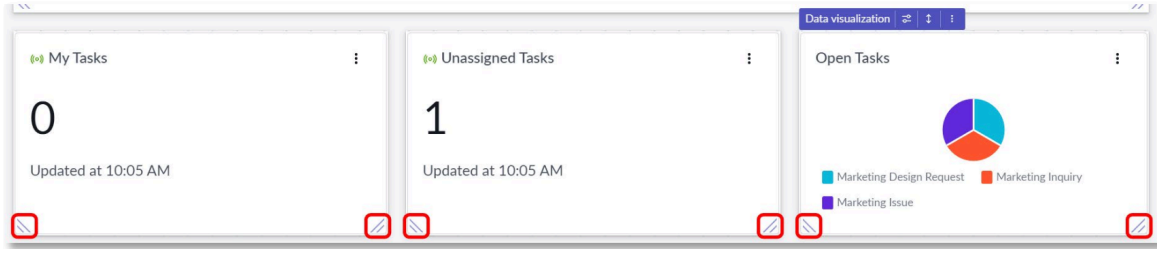
33. **[Add this source** (このソースを追加)] を選択します。
34. [**Group By** (グループ化)] セクションで **[Edit** (編集)] を選択します。
35. タスクのフィールドをタスクタイプに設定します。
36. **[Apply** (適用)] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



37. オプション: 下隅の親指を使用して、データの可視化のサイズを変更します。



38. [保存して編集モードを終了] を選択します。

ServiceNow スタジオ チュートリアルパート4:結論とレビュー

この ServiceNow スタジオ チュートリアルを完了していただきありがとうございます。このトピックでは、チュートリアルを通じて学習した内容の一部を復習します。

チュートリアルの最初のフェーズでは、要求実行ワークフローの実用最小限の製品 (MVP) の開発に焦点を当てました。これは、以下を組み込んだ ServiceNow スタジオを使用して実現されました。

- 要求の詳細を保存するカスタムデータモデル。
- エンドユーザーがサービスポータルから要求を効率的に開始できるようにするレコードプロデューサー。
- サービスデリバリを簡素化するために設計されたカスタム履行者ワークスペース。
- ワークフロースタジオを使用してビルドされたフローで、ワークフロー全体を構造化し、プロセスの実行を自動化します。

この基本的なセットアップにより、迅速な展開が可能になり、要求の送信と実行を容易にするコア機能が確実に配置されました。

MVP に続いて、アプリケーションは使いやすさと効率のために強化されました。改善点は以下の通りです。

- ディシジョンテーブルの統合:ビジネス上の意思決定がディシジョンテーブルにカプセル化され、ロジックがコアビジネスプロセスから分離されました。これにより、ワークフローにロジックをハードコーディングすることなく、より柔軟でルール駆動型の自動化が可能になりました。
- プレイブックの実装:ステップバイステップのタスクガイダンスを提供し、ユーザーエクスペリエンスとプロセスの遵守を改善しました。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

これらの改良により、要求処理が合理化され、全体的なユーザーインタラクションが改善されました。

要求/履行モデルに基づいて、アプリケーションは次のように部門の運用をサポートするように拡張されました。

- 最初のサービス要求を拡張して照会および問題のワークフローを含め、より幅広いユーザーのニーズをサポートします。
- 進行中の要求の可視性と管理を向上させるために、ワークスペースダッシュボードを強化します。

この最終フェーズでは、初期の MVP を構造化されたサービス管理ソリューションに変換し、部門またはグループ内のサービス要求、問題の報告、および問い合わせの送信にスケーラブルなアプローチを提供しました。

このラボでは、最初のリリース後に拡張および進化する能力を備え、すぐにビジネス価値を提供する ServiceNow アプリケーションの迅速な開発を実証しました。

App Engine のアップグレード

このラボでは、ServiceNow スタジオ でApp Engineビルダーを使用します。お使いのバージョンの ServiceNow スタジオ でテーブルとワークスペースに異なるビルダーが使用されている場合は、必ず App Engine Studioを更新してください。

1. フィルターナビゲーターで、 アプリケーションマネージャーを検索します。
2. [アプリケーションマネージャー] を選択します。
3. App Engine Studio を検索します。
4. **App Engine Studio** カードを選択し、手順に従ってインストールまたはアップグレードします。

App Engine ビルダー以外では、このチュートリアルには特別な要件はありません。このチュートリアルの手順は、Yokohama リリースインスタンスでテストされています。古いインスタンスで問題が発生している場合は、アップグレードすると解決することがあります。

1. https://developer.service.now.com でアカウントを開きます。
2. [インスタンスをアップグレード] を選択します。

カスタマイズの代わりに App Engine を使用します

App Engine 開発ツールは、既存の ServiceNow AI Platform アプリケーションをカスタマイズする優れた代替手段を提供します。

会社がServiceNow AI Platformに新しい機能を追加する必要がある場合は、IT Service Management (ITSM) などの既存のアプリケーションをカスタマイズしたり、App Engine Studio、クリエータースタジオ、ServiceNow スタジオ などのApp Engine開発者製品を使用して新しいアプリケーションを作成したりできます。選択するパスの簡単なガイドラインは次のとおりです。

- カスタマイズによってアプリケーションの意図した目的が拡張される場合は、カスタマイズした方が効果的です。たとえば、 ITSMに IT 機能を追加できます。
- カスタマイズによってアプリケーションの意図した目的が拡張されない場合は、 App Engine 開発者製品を使用して新しいアプリケーションを作成する方が効果的です。たとえば、出張要求ワークフローを追加するために ITSM ワークフローを再利用しないでください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

使用例 App Engine

ServiceNow 製品は、意図したとおりに使用すると最適に機能します。アプリケーションを再利用するために大幅にカスタマイズする場合は、 App Engine 開発者製品を使用して新しいアプリケーションを作成することをお勧めします。

次のシナリオは、既存の ServiceNow アプリケーションを大幅にカスタマイズするよりも、新しいアプリケーションを作成する方がうまく機能することを示しています。

- 会社には、既存の製品機能を拡張するビジネスプロセスがありますが、まったく同じワークフローに従っていません。
- どの製品ワークフローにも合わないアプリの新しいユースケースがあります。
- すぐに利用可能なアプリケーションを大幅にカスタマイズすることで構築できるユースケースがあるが、既存のアプリケーションで意図されていたことと一致していない。

最後のユースケースを詳しく見ていきましょう。

既存製品の転用に関する問題

ServiceNow アプリケーションには、ユースケースに合わせて特別に調整されたロール、プロセス、およびフローが付属しています。たとえば、 ITSM アプリは、IT ユーザー、IT の問題、IT レポート、IT ケースに役立ちます。

ITSMに似ているが、正確には一致しないアプリのアイデアがあるかもしれません。ITSMは出発点であるため、ITSMをカスタマイズして新しい機能を追加したくなるかもしれません。たとえば、ITSM IT の問題を追跡し、作成する旅行アプリで出張要求を追跡することができます。ワークフローは似ているように聞こえますが、実際には、使用するデータ、ユーザーインターフェイスが大きく異なり、各ワークフローの詳細も大きく異なります。ITSMを大幅にカスタマイズして再利用するのではなく、次の理由でApp Engine開発者製品を使用することをお勧めします。

- 2 つのワークフローを組み合わせると競合が生じます。
- アプリケーションのカスタマイズには影響があります。

2 つのワークフローを組み合わせると競合が生じます

ITSM例では、移動ワークフローを含めるためのITSMの再利用では、ITSMとは異なるデータ、異なるテーブル、異なるロール、および異なるワークフローを使用します。ITSM、ITSMカスタマイズ、および移動ワークフローは時間の経過とともに増加します。

- それらの特徴は分岐し続けるでしょう。
- 一方のワークフローで新しい機能を追加したり問題を修正したりすると、もう一方のワークフローに悪影響を与える可能性があります。
- ITSMのパフォーマンスが低下する可能性があります。
- コード ベースが拡大し、 ITSM の 2 つの目的により、トラブルシューティングがより困難になります。
- 品質エンジニアには、2つの異なるテストフレームワークが必要です。

これらの問題はすべて、不必要な複雑さ、パフォーマンスの低下、アップグレードの遅延、およびソフトウェアの問題を引き起こす可能性があります。

アプリケーションのカスタマイズには影響があります

ServiceNow AI Platformは、カスタマイズと構成を受け入れるようにビルドされています。ServiceNow AI Platformは、会社のビジネスニーズに合わせて十分な柔軟性を備えています。ただし、 ServiceNow アプリケーションをどのようにカスタマイズするかは、 ServiceNow サポー

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ト、将来の ServiceNow AI Platform バージョンへのアップグレード、およびプラットフォームの機能に大きな影響を与える可能性があります。

まず、カスタマイズと構成を区別することから始めましょう。

- カスタマイズとは、 ServiceNow インスタンスのベースラインインストールの一部であるコードに加えられた変更です。コードを使用してアプリケーションをカスタマイズします。
- 構成とは、 ServiceNow インスタンスのベースラインインストールのコードに触れない製品の動作に加える変更です。システムプロパティ、 ServiceNow 製品、またはコードを使用して、アプリケーションを構成できます。

アプリケーションのカスタマイズによる影響の一部を次に示します。

- アプリケーションにコードを追加する場合は、 ServiceNow インスタンスのベースラインインストールのコードを変更するかどうかにかかわらず、そのアプリケーションを所有します。
- プラットフォームでは、すべてのカスタマイズがマークされ、新しいバージョンのプラットフォームに更新するとスキップされます。つまり、カスタマイズを手動で更新する必要があります。これは、新しいプラットフォームバージョンへの更新に必要な時間とリソースに大きな影響を与える可能性があります。
- ServiceNow AI Platformは、タスクの処理方法、複数のブラウザでのフォームのレンダリング方法、および全体的なユーザーエクスペリエンスにおいてアプリケーションをサポートするフレームワークを使用します。カスタマイズを導入すると、このフレームワークに意図しない結果が生じる可能性があります。
- カスタムコードをテストし、それがプラットフォームの機能に影響を与えるかどうかを判断する責任はあなたにあります。
- ServiceNow カスタマーサポートは、カスタムコードまたはカスタムコードによって発生した問題のトラブルシューティングを行うことはできません。

カスタマイズは、 ServiceNow AI Platformの重要な機能の 1 つです。ただし、アプリケーションを過度にカスタマイズして再利用すると、カスタムコードが新しいプラットフォームバージョンに簡単に移行できない可能性があるため、技術的負債が発生し、アップグレードサイクルが長くなり、将来のプラットフォームのアップグレードが複雑になる可能性があります。

結び

カスタマイズと構成は、企業が特定のニーズに合わせてワークフローをカスタマイズできるようにする ServiceNow AI Platform の特徴です。これらのタスクを次の順序で続行します。

1. ServiceNowアプリケーションをカスタマイズする前に、できるだけ構成してください。
2. アプリケーションのインテントを拡張する場合にのみ、アプリケーションをカスタマイズします。
3. アプリケーションをカスタマイズして当初の目的に沿わない機能を作成するのではなく、App Engine Studio、クリエータースタジオ、ServiceNow スタジオ などのApp Engine開発者製品を使用して新しいアプリケーションを作成します。

詳細については、「によるカスタマイズと構成 ServiceNow スタジオ」を参照してください。

によるカスタマイズと構成 **ServiceNow** スタジオ

ServiceNowアプリケーションのカスタマイズと構成には重要な違いがあります。ServiceNow プラットフォームはカスタマイズと構成を受け入れるように構築されていますが、その方法は、ServiceNowサポート、将来の ServiceNow プラットフォームバージョンへのアップグレード、および ServiceNow プラットフォームの機能に大きな影響を与える可能性があります。

カスタマイズに関する一般的なルールは次のとおりです。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- アプリケーションの本来の意図を拡張する場合にのみ、アプリケーションをカスタマイズします。たとえば、IT 機能を ITSM に追加しますが、移動ワークフローは追加しません。アプリケーションを過度にカスタマイズするのではなく、クリエータースタジオ や ServiceNow スタジオ などのApp Engine製品を使用して新しいアプリケーションを作成します。
- アプリケーションをカスタマイズする前に、できるだけ多くの構成を行います。
- すぐに利用可能な機能にコードを追加したり、その他の変更を加えたりすると、それらの機能を所有することになります。

構成とは

構成とはServiceNowServiceNowインスタンスへのベースラインインストールの一部であるフローやコードを変更することなく、組み込みのツールと機能を使用してアプリケーションの動作を変更するプロセスです。

構成は、 ServiceNow 組み込みツールを使用してテーブルなどを追加したり、インスタンス全体のパラメーターを設定したり、コードを使用してビジネスニーズに合わせてアプリケーションの機能を拡張したりします (コードがベースラインコードのインストールを変更しない限り)。プラットフォーム全体は、構成コードを追加するように設計されています。

ワークフロースクリプトなどのコードを追加する場合は、ベースラインコードのインストールを変更しなくても、そのコードを所有することになります。これには、 ServiceNow プラットフォーム全体に与える影響を所有することも含まれます。コードの追加によって発生する問題は、デバッグに対する ServiceNow サポートの範囲を超えています。

構成を元に戻すためにベースラインコードを変更する必要はありません。

構成の例を次に示します。

- フォーム:テーブル、フィールド、データタイプ、デフォルト値、およびフィールドの依存関係を構成して、キャプチャして表示するデータを構成します。
- UI 要素:レイアウトの変更、関連リストの追加、ボタンの追加、フィールド名の変更を行います。
- サービスカタログ:顧客がサービスや製品オファリングなどのカタログアイテムを要求できるポータルを構成します。
- ACL:権限のないユーザーによるフォームやデータへのアクセスを制限します。
- システムプロパティ値:すべてのユーザーに対するアプリケーションのエクスペリエンスを変更します。

カスタマイズとは

カスタマイズとは、 ServiceNow インスタンスへのベースラインインストールの一部であるフローまたはコードに加えられた変更です。アプリケーションをカスタマイズするには ServiceNow 製品またはコードを使用します。

コードを追加すると、ベースラインのインストールを変更しなくても、そのコードを所有することになります。これには、 ServiceNow プラットフォーム全体に与える影響を所有することも含まれます。

カスタマイズの例は次のとおりです。

- スクリプティング:JavaScript を使用してスクリプティングすることで ServiceNow をカスタマイズします。これには、クライアントスクリプト、サーバーサイドスクリプト、およびベースラインコードを変更する複雑なロジックを含むビジネスルールの作成が含まれます。
- カスタムテーブル:標準のテーブルに収まらない特殊なデータに対応するカスタムテーブルを開発します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 統合:シームレスなデータ交換のために、API や Web サービスなどの外部システムとの統合をカスタマイズします。
- ウィジェットとポータル:カスタムウィジェットとポータルを作成して、独自の機能とユーザーエクスペリエンスを提供します。
- ワークフロー: ワークフロースタジオを使用してワークフローを作成および変更します。1 つの設計環境からプレイブック、フロー、アクション、ディシジョンテーブル、統合を作成および管理して、タスクを自動化します。新しいバージョンのフローにアップグレードするには、カスタマイズを再適用する必要があります。

カスタマイズと構成のためのツール

ServiceNow には、 ServiceNow アプリケーションのすぐに利用可能な動作を変更するための、ビジネスルールなどの多くのツールと機能が用意されています。アプリケーションをカスタマイズまたは構成するかどうかは、使用方法によって異なります。これらのツールを使用してインストールされているコードベースを変更すると、カスタマイズが構成されます。これらのツールを使用して、フローを変更しないコードを追加するか、インストールされたコードベースを追加すると構成が構成されます。どちらの場合も、追加するコードと、それが ServiceNow プラットフォームに与える影響を所有します。

ServiceNow ツールには次のものが含まれます。

- UI ポリシー:ユーザーの入力に従って、フォーム上のフィールドと属性の表示を動的に変更します。
- ビジネスルール:指定された条件に基づいてアクションを自動的にトリガーします。
- UI アクション:クリックされたときに特定のアクションを実行するボタン、コンテキストメニューアイテム、またはその他の UI 要素を追加して、フォームとリストを拡張およびカスタマイズします。
- クライアントサイドスクリプト:フォームまたは UI ページで特定のアクションが発生したときに、ユーザーのブラウザー内で実行されるスクリプト。
- サーバーサイドスクリプト:ServiceNow サーバーまたはデータベースで実行されるスクリプト。たとえば、データベースクエリの実行時にレコードフィールドを更新します。

パーソナライゼーションとは

パーソナライズとは、ユーザーがすぐに利用可能なアプリケーションツールを使用して、アプリケーションのルックアンドフィールを自分だけに変更することです。アドミニストレーターはすべてのユーザーのルックアンドフィールを変更でき、これは構成と見なされます。パーソナライズの例としては、ユーザーがダークモードの使用を選択したり、表示するテーブル列を選択したりします。

カスタマイズでは、 ServiceNow インスタンスへのベースラインコードのインストールは変更されません。そのため、カスタマイズがカスタマーサポートに影響を与えたり、新しい ServiceNow バージョンへのアップグレードを妨げたりすることはありません。

ServiceNow 製品のカスタマイズの影響

ServiceNowプラットフォームは非常に柔軟性が高く、幅広いビジネス要件を満たすためのカスタマイズと構成を受け入れるように構築されています。ただし、 ServiceNow アプリケーションをどのようにカスタマイズするかは、 ServiceNow サポート、将来の ServiceNow プラットフォームバージョンへのアップグレード、およびプラットフォームの機能に大きな影響を与える可能性があります。ServiceNowアプリケーションをカスタマイズする代わりに、クリエータースタジオやServiceNow スタジオなどのApp Engine開発製品を使用して新しいアプリケーションを作成することを検討してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ServiceNowプラットフォームは、タスクの処理方法、複数のブラウザでのフォームのレンダリング方法、および全体的なユーザーエクスペリエンスにおいてアプリケーションをサポートするフレームワークを使用します。ServiceNow、一貫した方法で開発およびサポートを提供するために、フレームワークの整合性に依存しています。カスタマイズすると、このフレームワークが損なわれ、プラットフォームの機能が変更され、ワークフローとアップグレード性が損なわれる可能性があります。

カスタマイズにより、プラットフォームがトリガーされてsys_update_xmlレコードが作成され、このレコードは顧客アップデートテーブルに保存されます。ServiceNowプラットフォームの新しいバージョンに更新すると、プラットフォームはすべてのカスタマイズをマークし、カスタマイズされたレコードをスキップします。つまり、カスタマイズを手動で更新する必要があります。これは、新しいプラットフォームバージョンへの更新に必要な時間とリソースに大きな影響を与える可能性があります。

注:
Customer Update テーブルには、新しいカタログアイテムや新しいワークフローの作成など、構成メタデータに対する変更または追加も含まれています。

詳細については、「Customer Updates table」を参照してください。カスタマイズの数が増えると、カスタマイズのメンテナンスの複雑さが劇的に増すことに注意してください。

インストールされたコードベースのカスタマイズは、コストがかかり、技術的負債が発生し、アップグレードサイクルが長くなり、カスタムコードが新しいプラットフォームバージョンに簡単に移行できない場合があるため、将来のプラットフォームのアップグレードを複雑にする可能性があります。カスタムコードは、意図しない方法で ServiceNow プラットフォームの標準機能を変更する可能性があります。カスタマイズの要求を慎重に評価し、明確なビジネス価値があり代替手段がない場合にのみカスタマイズに頼る。可能な限り、カスタマイズを避けるため、代わりに構成を使用してください。

製品をカスタマイズする場合:

- 今後のカスタマイズを維持する責任があります。
- カスタマーサービス & サポート はカスタムコードによる問題はサポートしません。これが問題の原因である場合、サポート チームは、すぐに使用できるコードに戻すようにアドバイスする可能性があります。

カスタマイズのサポートに関する カスタマーサービス & サポート スタンスは何ですか?

カスタマイズに対する ServiceNow カスタマーサービス & サポート スタンスは、コードを追加する場合は、コードとその結果を所有するということです。どうしてですか？カスタマーサポートはカスタムビジネスロジックに精通しておらず、予期される動作がどうあるべきかがわからず、すぐに利用可能なインスタンスで問題を再現できず、カスタマーサポートエンジニアは認定の実装スペシャリストではないため、カスタマイズされたコードロジックをレビューする認定を受けていません。

カスタマイズの代替手段

拡張の要件やアイデアがある場合は、インストールされているコードベースをカスタマイズする代わりに、次のことができます。

- カスタマイズではなく構成を使用します。
- 拡張要求を ServiceNow 開発チームに送信します。各要求が評価され、承認された場合は将来のリリースに組み込まれます。
- App Engine開発者製品を使用してアプリを作成し、必要な機能を処理します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

カスタマイズする代わりに App Engine 開発者製品を使用する場合

会社が ServiceNow プラットフォームに新しい機能を追加する必要がある場合は、ITSM などの既存のアプリケーションをカスタマイズしたり、クリエータースタジオ や ServiceNow スタジオ などのApp Engine開発者製品を使用して新しいアプリケーションを作成したりできます。選択するパスの簡単なガイドラインは次のとおりです。

- カスタマイズによってアプリケーションの意図した目的が拡張される場合は、カスタマイズした方が効果的です。たとえば、 ITSMに IT 機能を追加できます。
- カスタマイズによってアプリケーションの意図した目的が拡張されない場合は、 App Engine 開発者製品を使用して新しいアプリケーションを作成する方が効果的です。たとえば、出張要求ワークフローの作成に ITSM ワークフローを再利用しないでください。

たとえば、 ITSM は IT の問題を処理するように設計されています。出張要求を処理するようにカスタマイズすることは、 ITSMの本来の意図を超えています。IT 部門と出張要求ではワークフローが異なるため、ITSMをカスタマイズするのではなく、クリエータースタジオ や ServiceNow スタジオなどのApp Engine開発者ツールを使用して出張要求アプリを作成することをお勧めします。

詳細については、「カスタマイズの代わりに App Engine を使用します」を参照してください。

App Engine開発者製品を使用するケースの例

ServiceNow 製品は、意図したとおりに使用すると最適に機能します。アプリケーションを再利用するために大幅にカスタマイズする場合は、 App Engine 開発者製品を使用して新しいアプリケーションを作成することをお勧めします。

次のシナリオは、既存の ServiceNow アプリケーションを大幅にカスタマイズするよりも、新しいアプリケーションを作成する方がうまく機能することを示しています。

- どの製品ワークフローにも合わないアプリの新しいユースケースがあります。
- すぐに利用可能なアプリケーションを大幅にカスタマイズすることで構築できるユースケースがあるが、既存のアプリケーションで意図されていたことと一致していない。
- 会社に、OOTB 製品ワークフローとは別のユーザーグループまたはビジネスプロセスがある。

ServiceNow 製品のカスタマイズに関するガイドライン

カスタマイズする必要がある場合は、次の提案を検討してください。

- まず、構成オプションを最大化します。
- オブジェクトのコピーは避けてください。代わりに、 サービスポータル ウィジェットや再利用するように指定されたその他のアイテムを除き、可能な限りその場でオブジェクトを更新します。
- デフォルトは「編集前に追加」です。つまり、たとえば、既存のフィールドのタイプを変更するのではなく、フォームにフィールドを追加する必要があります。追加するときは、すぐに利用可能なオブジェクト、メソッド、またはクラスと同じ名前を使用しないでください。
- フォームに追加するフィールドの数を最小限に抑えます。フォームのフィールドが多いほど、ロードに時間がかかることがあります。
- カスタマイズする前に、元のレコードをバックアップとしてエクスポートします。将来復元する必要がある場合に備えて、すぐに使用できるsys_idを追跡します。
- スコープ対象のアプリケーションを新しいカスタム開発のデフォルトとして使用します。
- すべてのカスタマイズを文書化します。カスタマイズの理由を説明するコメントを追加します (ビジネス上の根拠を含む)。アップグレードする前にすべてのコメントを確認して、すぐに利用可能なコードに戻せるかどうかを確認してください。
- すべてのカスタマイズのテストを作成します。可能な場合は、すべてのカスタマイズに対して自動テストフレームワーク (ATF) テストを記述します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- ヘルススキャンを定期的に使用して、不要なカスタマイズを特定します。
- 必要に応じてベースラインオブジェクトをカスタマイズして、競合の解決と意思決定を更新に適切に記録できるようにする必要があります。非表示のカスタマイズにより、復元または結合が必要になった場合に、アドミニストレーターが今後のアセスメントで更新を見落とす可能性があります。
- すべてのユースケースでカスタマイズをテストします。パフォーマンステストと意図しない結果の導入を含めます。
- アドミニストレーターは、 ServiceNow プラットフォームのアップグレード後にカスタマイズが機能することを確認し、どのようなカスタマイズが行われたかを追跡する責任があります。

アップグレード時のカスタマイズの処理

カスタマイズにより、プラットフォームがトリガーされ、顧客アップデートテーブルに保存されるsys_update_xmlレコードが作成されます。これらのレコードは、プラットフォームバージョンのアップグレード中に更新されません。ServiceNowServiceNow アップグレードモニターでスキップされたレコードとしてマークします。アップグレードされたインスタンスに正常に移植されたことを確認するには、スキップされた変更を手動で処理する必要があります。詳細については、「Customer Updates table」を参照してください。

ビジネス上の根拠を含め、すべてのカスタマイズを文書化したと仮定して、文書化されたインベントリを取得し、アップグレードモニターで特定されたスキップされたレコードと比較します。スキップされたレコードの原因となった低リスクの変更 (フィールドラベルやフォームレイアウトなど) を除外した後、次のいずれかを決定する必要があります。

- 各カスタマイズを保持
- デフォルト設定に戻す
- カスタマイズをベースシステムと結合して競合を解決する

ServiceNow スタジオにアクセスします

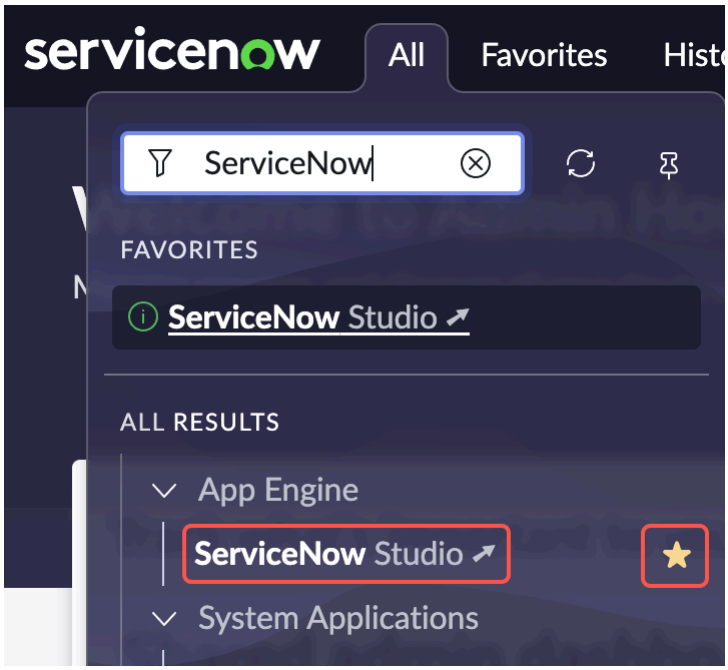
[すべてServiceNow AI Platform] メニューまたは App Engine Studio からServiceNow スタジオにアクセスします。

[すべて] メニューから **ServiceNow** スタジオ を開きます

プラットフォームで、 すべて > **App Engine** > **ServiceNow** スタジオ または、 ServiceNow Studio のフィルターナビゲーターで検索します。検索結果から直接アプリケーションを開きます。[お気に入り] タブからすばやくアクセスできるように、ServiceNow スタジオお気に入りに登録することもできます。

自動翻訳

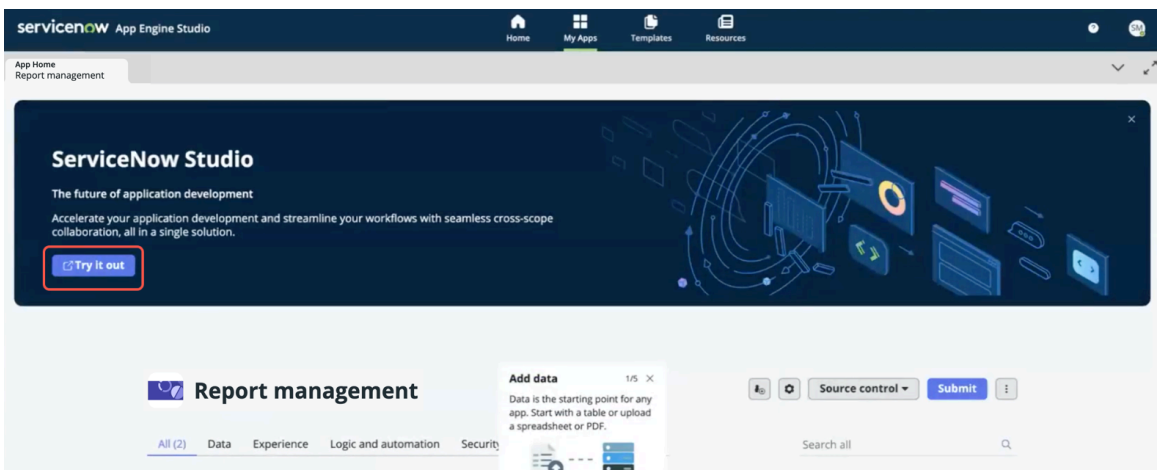
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



ServiceNow スタジオ から App Engine Studio を開く

App Engine Studio (AES) でアプリを作成していて、より高度なアプリ開発環境で作業する場合は、ServiceNow スタジオ でアプリを開くことができます。AESでアプリを開くと、ServiceNow スタジオに関する情報を含むバナーが表示されます。[試してみる] を選択して、ServiceNow スタジオ でアプリを開きます。

注:
アドミニストレーターは、**show_servicenow_studio_banner** システムプロパティの値を変更することで、このバナーを App Engine Studio のインスタンスに表示するかどうかを設定できます。



ServiceNow スタジオ クイックスタート

いくつかのタスクを完了して、ServiceNow スタジオ を理解してください。これらのタスクを使用すると、インターフェイス内を移動し、さまざまなタイプのアクティビティを完了する場所を学習できます。

クイックスタートタスク

これらのタスクを完了して、ServiceNow スタジオ を理解してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

部門のユースケースに固有のステップバイステップのチュートリアルについては、「ServiceNow スタジオ チュートリアル:チューリッヒ」を参照してください。

ServiceNow スタジオ クイックスタートタスク

タスク	説明
検索を使用してアプリまたはアプリファイルを検索する	ServiceNow スタジオ内の任意のページから検索して、メタデータにすばやくアクセスできます。
ナビゲーターパネルを使用したアプリまたはアプリファイルの検索	分類内のファイルまたはメタデータアイテムを検索します。
ServiceNow スタジオ でアプリとファイルをブックマークする	頻繁に使用するアプリやアプリファイルに 1 つの場所でアクセスできます。
ServiceNow スタジオ で最近開いたアプリやアプリファイルにアクセスする	最近作業したファイルまたはアプリを表示して開きます。
でアプリに関する情報を検索する ServiceNow スタジオ	アプリケーションの [アプリの詳細] ページにアクセスして、アプリのメタデータを表示し、新しいファイルを作成します。
のテーブルへの直接移動 ServiceNow スタジオ	検索バーのテーブル名の後に **.list**、 **.do**、 **.config** などのショートカットコマンドを使用して、さまざまなテーブルビューを直接開きます。
ServiceNow スタジオ でスコープを超えてアプリやアプリファイルを開く	ServiceNow スタジオ内のグローバルおよびスコープ対象のアプリとファイルにアクセスします。スコープ対象のアプリは、タブごとに色分けされているため、すぐに参照できます。
アプリまたはアプリファイルにナビゲーターパネルを集中させる	ナビゲーターパネルを開いているファイルまたはアプリケーションにフォーカスします。
での統合開発ツールとビルダーへのアクセス ServiceNow スタジオ	[ファイルカテゴリ] メニューから任意のファイルタイプを開いて、一連の統合開発ツールにアクセスします。
での更新セットの作成 ServiceNow スタジオ	展開のためにアプリケーションへの変更をパッケージ化します。
ServiceNow スタジオ から アプリケーションリポジトリ へのアプリの変更の公開	変更を アプリケーションリポジトリに公開します。会社に展開パイプラインが設定されている場合は、 ServiceNow スタジオ のパイプラインを介して展開することもできます。

自動翻訳

検索を使用してアプリまたはアプリファイルを検索する

ServiceNow スタジオ でアプリまたはアプリファイルを検索して開きます。コード検索を有効にして、インスタンスの選択したメタデータタイプ内のコードのスニペットを検索することもできます。

始める前に

必要なロール：admin または delegated developer

手順

1. 移動先 すべて > **App Engine** > **ServiceNow** スタジオ.
2. 次のいずれかのオプションから選択して、検索バーを選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- ServiceNow スタジオ ホームページを表示している場合は、ナビゲーターパネルで検索アイコン ( ) を選択するか、メインの検索バーで選択します。

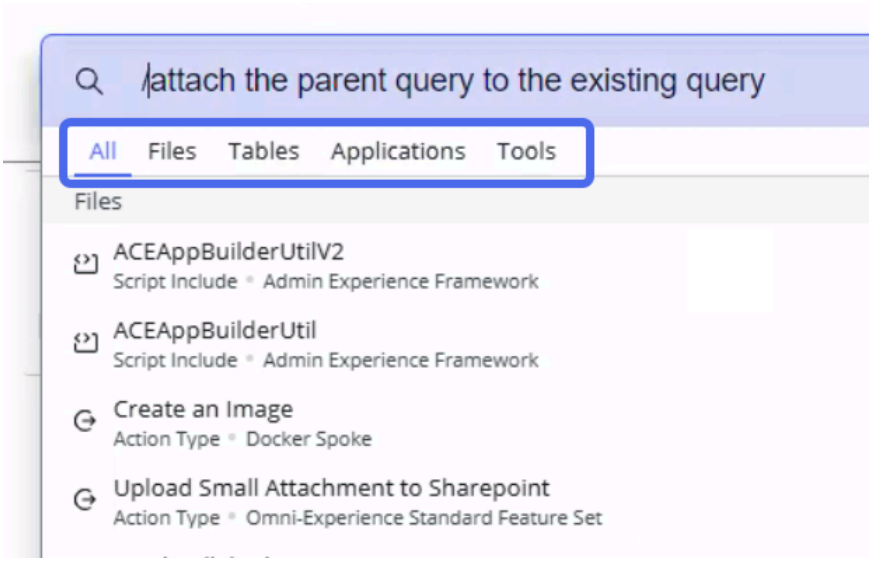
- [ツール] や [展開] など、ホーム ページ以外のページを表示している場合は、左側のナビゲーションで [検索] を選択します。

> **注:**
> キーボードショートカットを使用して [検索] にアクセスすることもできます。⌘ + / または ctrl + / を押すと、ServiceNow スタジオ の任意のページから検索バーにアクセスできます。

3. オプション: [コード検索を有効にする] の横にあるスイッチを選択して、コード検索を有効にします。

> **注:**
> コード検索を使用すると、特定のアプリケーションファイルタイプ内のコードのスニペットを検索できます。コード検索の使用の詳細については、「 コード検索を使用してアプリまたはアプリファイルを検索する」を参照してください。

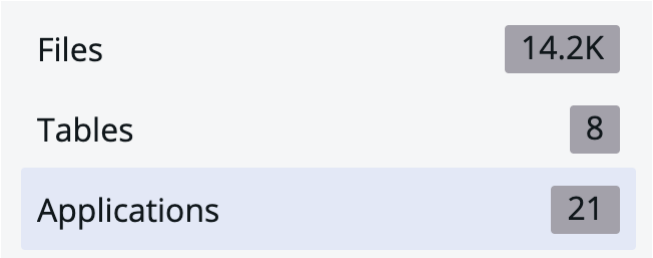
4. アプリまたはアプリファイル名を入力します。
ServiceNow AI Platform検索機能に精通していて、テーブルに直接移動する場合は、のテーブルへの直接移動 ServiceNow スタジオの指示に従ってください。
5. 表示されるリストからアプリまたはファイルを選択します。
6. オプション: 検索バーで [ファイル]、[テーブル]、[アプリケーション]、または [ツール] を選択して、検索結果のリストを絞り込みます。



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

7. オプション: 検索結果を展開してフィルター処理するには、 **Enter** キーを押して [検索結果] タブを開き、いずれかのフィルターを選択して検索結果の一覧を絞り込みます。



ナビゲーターパネルを使用したアプリまたはアプリファイルの検索

ServiceNow スタジオ のナビゲーターパネルを使用して、アプリまたはアプリファイルを検索して開きます。

始める前に

必要なロール：admin または delegated developer

このタスクについて

ServiceNow スタジオ のナビゲーターパネルは、アプリやアプリファイルを見つけるために使用できる強力なツールです。ナビゲーターパネルは、アルファベット順およびメタデータタイプ別に整理されています。たとえば、オーディオアプリファイルを検索する場合は、ナビゲーターパネルでファイルを見つけます。 ファイルカテゴリ > コンテンツ > オーディオ.

ナビゲーターパネルで見つけることができるファイルのタイプについて詳しくは、 ServiceNow スタジオ ナビゲーターパネルの分類を参照してください。

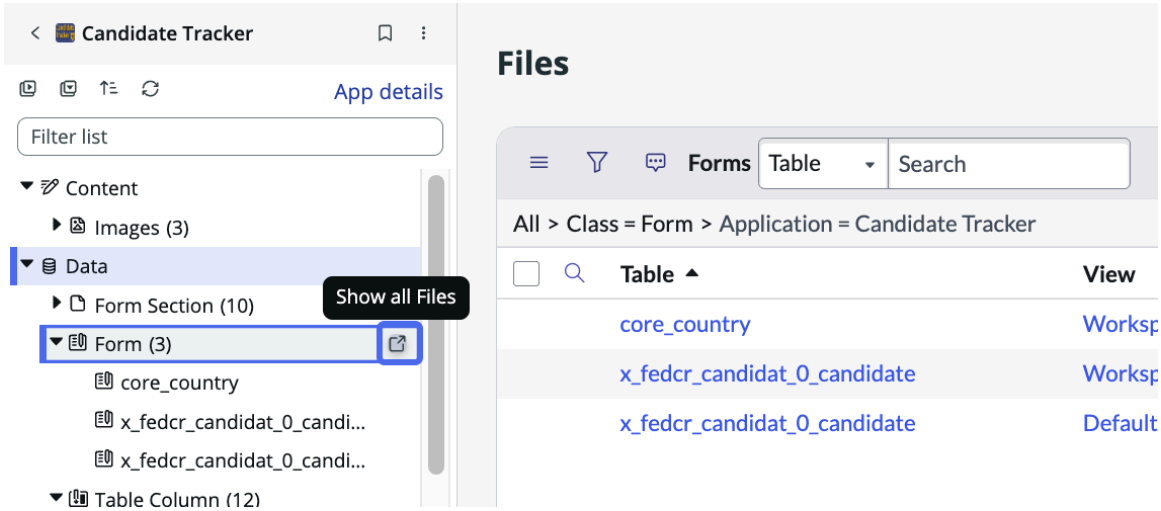
手順

1. 移動先 すべて > **App Engine** > **ServiceNow** スタジオ.
2. ServiceNow スタジオの左側で、[ナビゲーター] パネルが開いていることを確認します。
3. 検索するファイルのタイプに対応するアイコンを選択します。
   - アプリを見つけるには、[アプリ] アイコン ( ) を選択します。
   - アプリ ファイルを見つけるには、[ファイル カテゴリ] アイコン ( ) を選択します。
4. 次のオプションから選択して、表示されるアプリまたはアプリファイルのリストを絞り込みます。

5. オプション: [リストを開く] リンクを選択して、アプリまたはアプリ ファイルのリストを展開します。
   [リストを開く] を選択すると、ServiceNow スタジオ に新しいタブが開き、アプリまたはアプリファイルの完全なリストが表示されます。
6. オプション: 1 種類のメタデータのリストを展開するには、ファイルの種類にカーソルを合わせて [すべてのファイルを表示] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



7. アプリまたはファイルを選択して、 ServiceNow スタジオの新しいタブで開きます。

ServiceNow スタジオ でアプリとファイルをブックマークする

複数の場所からアプリやアプリファイルを簡単にブックマークして、ServiceNow スタジオ ですばやくアクセスできるようにします。

始める前に
必要なロール：admin または delegated developer

このタスクについて

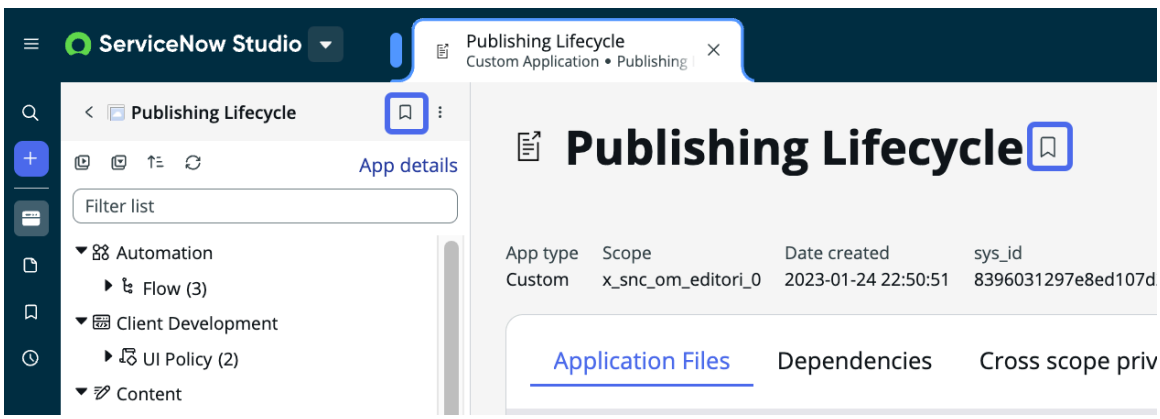
> **注:**
> ブックマークとお気に入りは、個別の ServiceNow 機能です。ブックマークは ServiceNow スタジオ内にのみ存在しますが、お気に入りはインスタンス全体でアクセスできます。ServiceNow スタジオ でアプリやファイルをブックマークしても、ブックマークは自動的にお気に入りになりません。お気に入りは自動的にブックマークにもなりません。

手順

1. 移動先 すべて > **App Engine** > **ServiceNow** スタジオ.

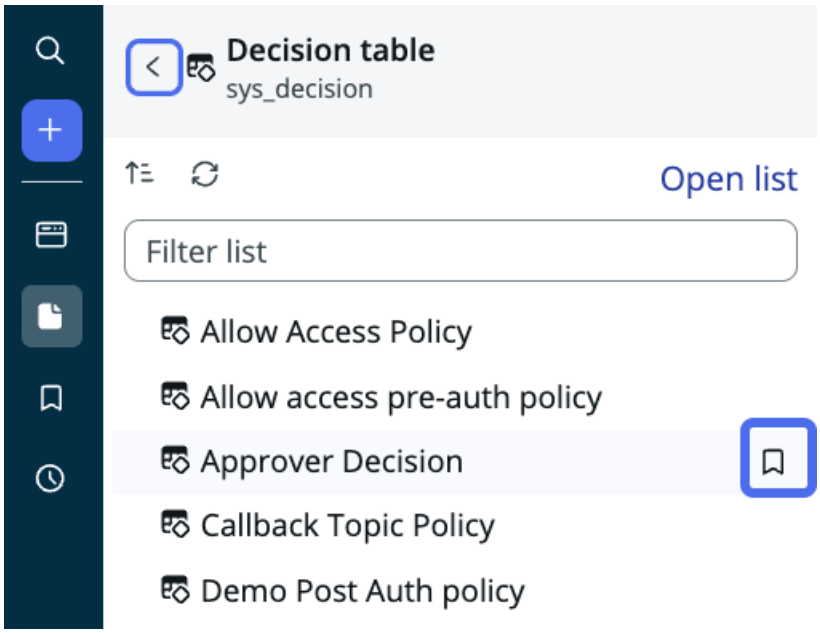
2. ServiceNow スタジオ内のさまざまな場所からアプリとファイルをブックマークします。

- 開いているアプリをブックマークするには、アプリ名の横にあるブックマークに追加アイコン (ブックマーク アイコン) を選択します。



© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- ナビゲーターパネルでアプリまたはファイルをブックマークするには、その上にカーソルを合わせて ブックマークに追加 アイコン (ブックマーク アイコン) を選択します。



3. ナビゲーターパネルの [ブックマーク] タブでブックマークしたアプリとファイルを表示します。

ServiceNow スタジオ で最近開いたアプリやアプリファイルにアクセスする

最近開いたアプリやアプリファイルには、ServiceNow スタジオ 内の複数の場所からアクセスできます。

始める前に
必要なロール：admin または delegated developer

手順

1. 移動先 すべて > **App Engine** > **ServiceNow** スタジオ.
2. 最近開いたアプリやファイルには、 ServiceNow スタジオ ホームページまたはナビゲーターパネルからアクセスできます。

でアプリに関する情報を検索する **ServiceNow** スタジオ

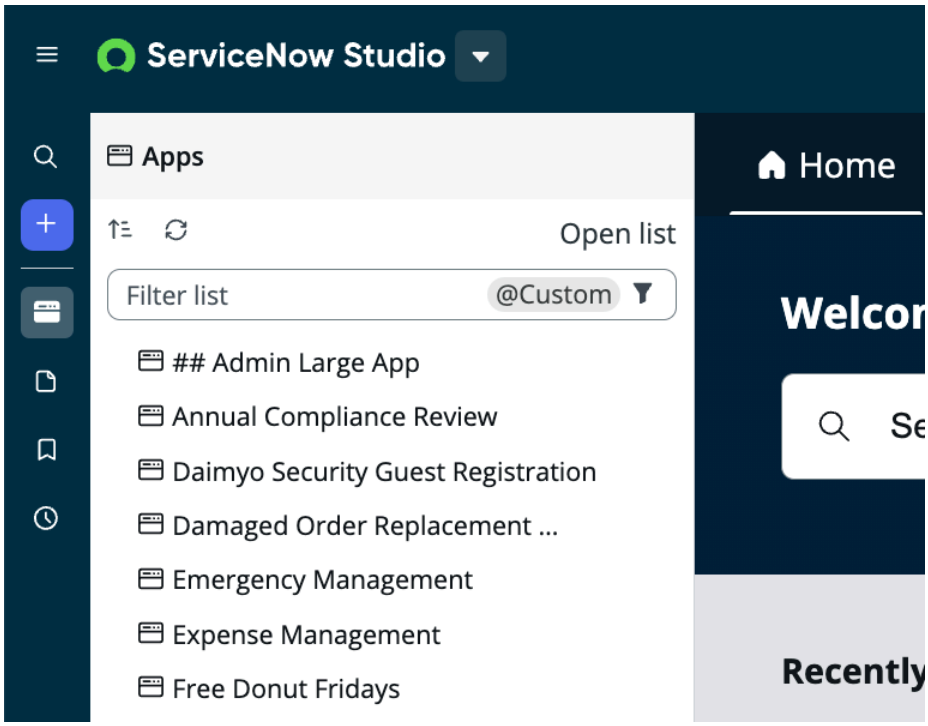
ServiceNow スタジオ の既存のアプリケーションに関する情報は、各アプリケーションの [アプリの詳細] ページで確認できます。アプリを開き、[アプリの詳細] ページの情報からアクションを実行する方法について説明します。

既存のアプリケーションを初めて開く

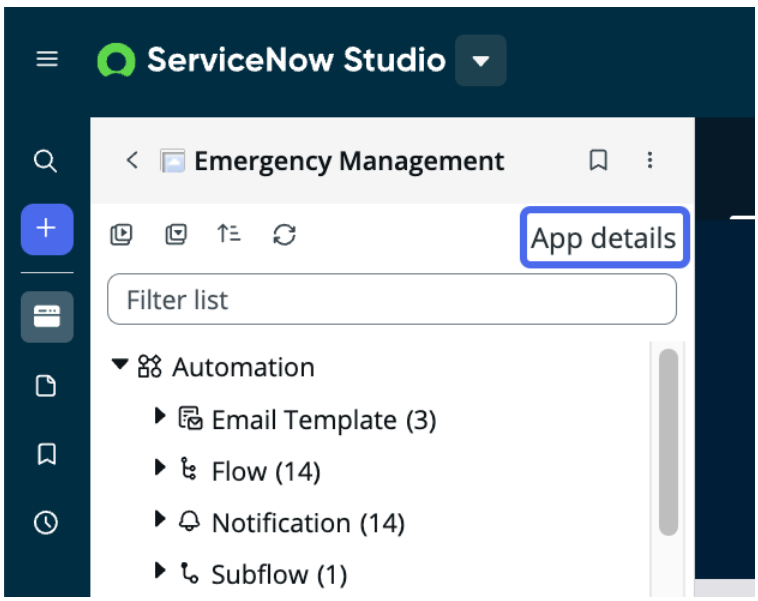
ServiceNow スタジオを初めて開くときは、画面の左側にあるナビゲーターパネルからアプリを開きます。アプリを検索するか、リストから選択することができます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



アプリを選択すると、アプリのコンテンツ全体が開き、すべてのファイルタイプがカテゴリ別 (自動化など) 別に整理されます。[アプリの詳細] を選択して、新しい統合タブでアプリを開きます。



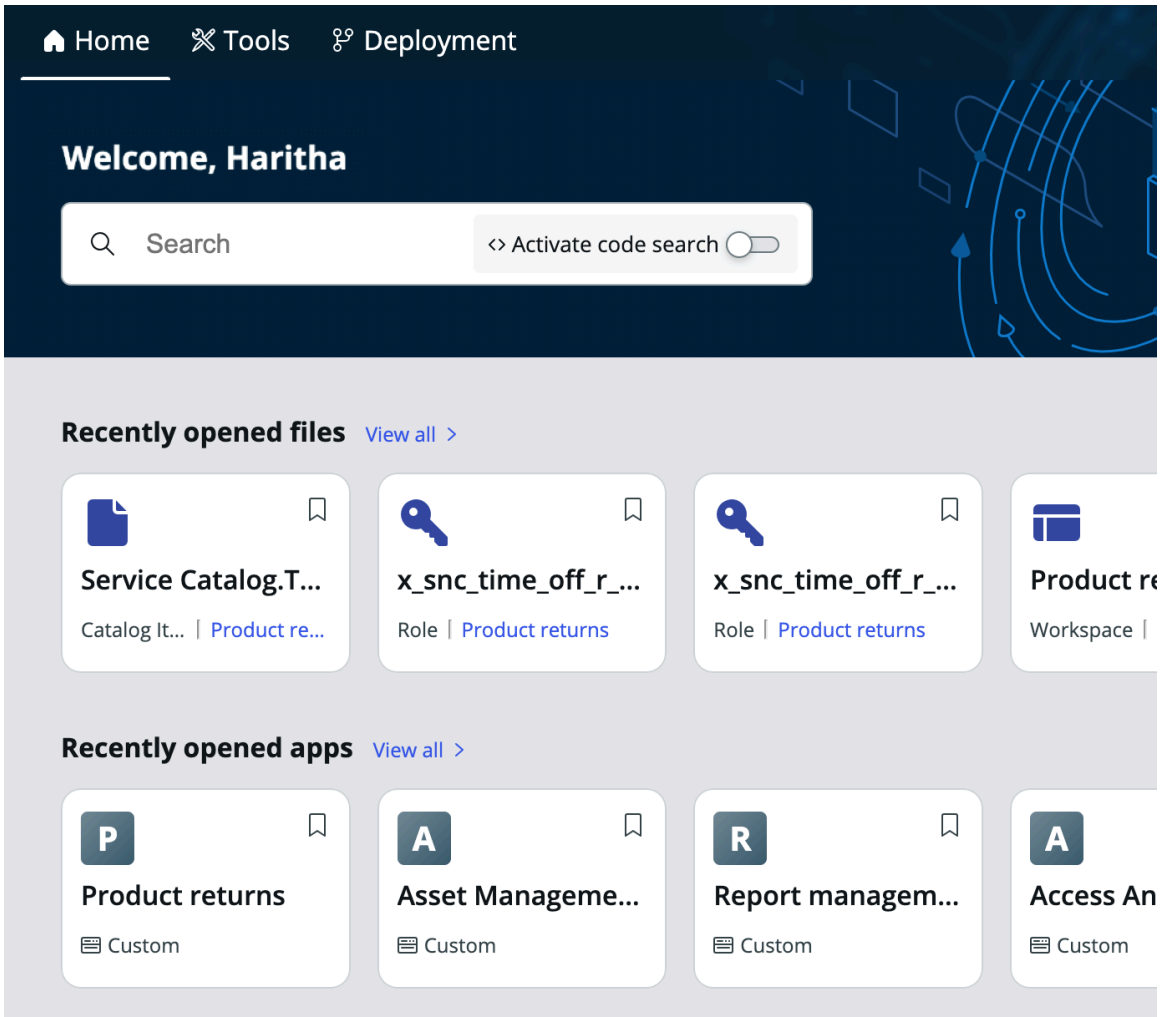
アプリケーションを開く方法の詳細については、「 ナビゲーターパネルを使用したアプリまたはアプリファイルの検索」を参照してください。

継続的な作業のためにアプリを開く

アプリを初めて開くと、 ServiceNow スタジオ ホームページの [最近開いたアプリ] セクションに表示されます。最近開いたファイルには、ホームページからもアクセスできます。

自動翻訳

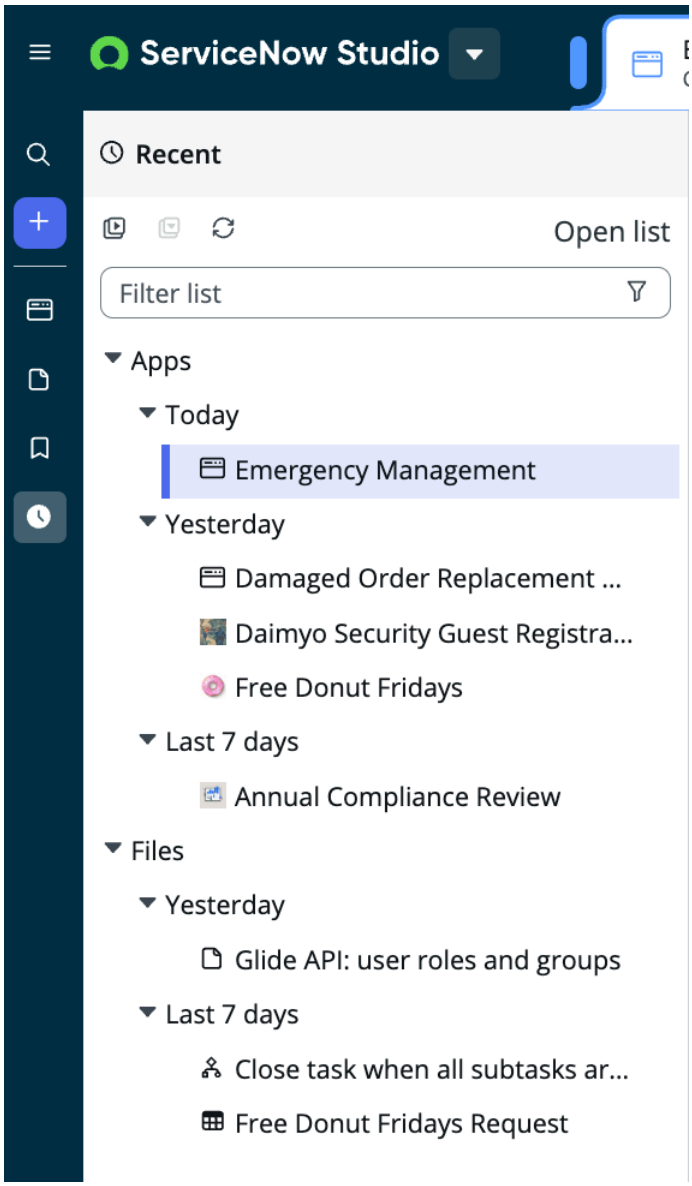
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



ナビゲーターパネルの [最近] セクションにアクセスして、特定の期間に基づいて作業したアプリやファイルを検索することもできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



アプリの詳細の機能

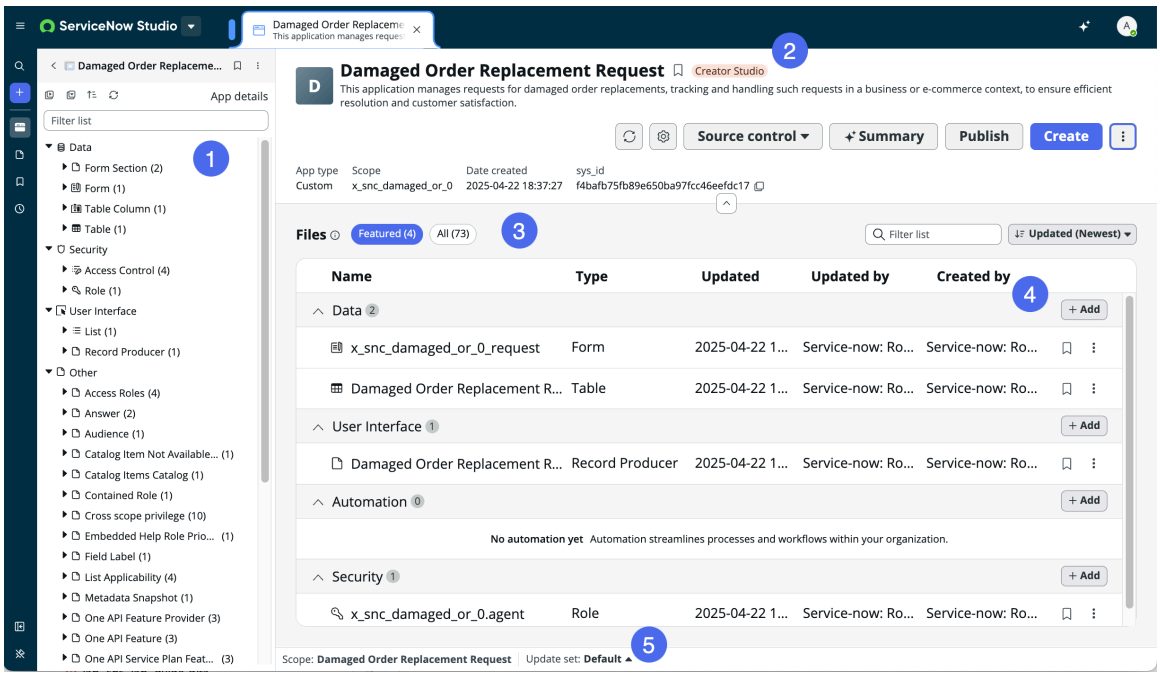
[アプリの詳細] ページでは、アプリに関する情報を確認し、アプリケーションに対していくつかのアクションを実行できます。

1. ナビゲーターパネルから、カテゴリ別に整理されたファイルの概要ビューを表示します。ファイルやアプリをブックマークしたり、任意の種類のファイルの完全なリストを開いたり、リストをフィルタリングして探しているものだけを確認したりできます。詳細については、「でのアプリとアプリファイルのブックマーク ServiceNow スタジオ」を参照してください。
2. ページヘッダーにはアプリに関するメタデータが表示され、新しいファイルの作成、アプリの公開、ソースコントロールへのリンク、設定の変更を行うことができます。アプリのタイトルの横に、 クリエータースタジオ、 **AI**、 **Fluent** などのバッジが表示される場合があります。これらのバッジは、アプリが作成された場所と展開方法を理解するのに役立ちます。詳細については、「でのアプリ作成元情報の表示 ServiceNow スタジオ」を参照してください。
3. [ファイル] セクションには、注目のファイルタイプ (データ、ユーザーインターフェイス、自動化、セキュリティ) またはすべてのファイルタイプが表示されます。リストをフィルタリングまたはソートして、作業するファイルを表示することもできます。詳細については、「ServiceNow スタジオナビゲーターでのメタデータアプリファイルカテゴリの操作」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

4. 各ファイル レコードには、ファイルに関するメタデータが表示されます。ファイルを選択して開いたり、[追加] を選択してそのタイプの新しいファイルを追加したり、ファイルを簡単にブックマークしたりできます。詳細については、「でアプリファイルを作成する ServiceNow スタジオ」を参照してください。
5. 各アプリの詳細ページの下部には、現在のアプリに関連付けられているスコープと更新セットが表示されます。 ServiceNow スタジオで統合タブを切り替えると、スコープが自動的に切り替わることに注意してください。また、新しい更新セットを作成し、アプリの変更を関連付けて公開することもできます。詳細については、「ServiceNow スタジオ でスコープを超えてアプリやアプリファイルを開く」と「での更新セットの操作 ServiceNow スタジオ」を参照してください。



のテーブルへの直接移動 **ServiceNow** スタジオ

ナビゲーターパネルの [リストを開く] 機能またはメイン検索の検索ショートカットを使用して、ServiceNow スタジオ のテーブルのリストビューに直接移動します。

始める前に
必要なロール：admin または delegated developer

手順

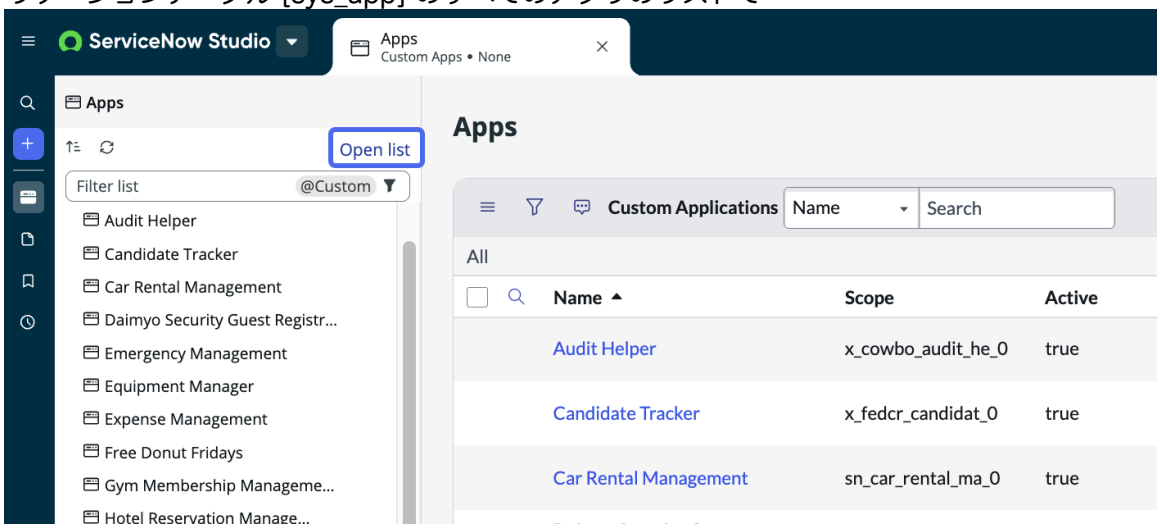
1. 移動先 すべて > **App Engine** > **ServiceNow** スタジオ.
2. [リストを開く] 機能または検索ショートカットを使用して、テーブルを直接開きます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- [ナビゲーター] パネルで、任意のアプリケーションまたはファイルカテゴリを選択した状態で、[リストを開く] を選択します。

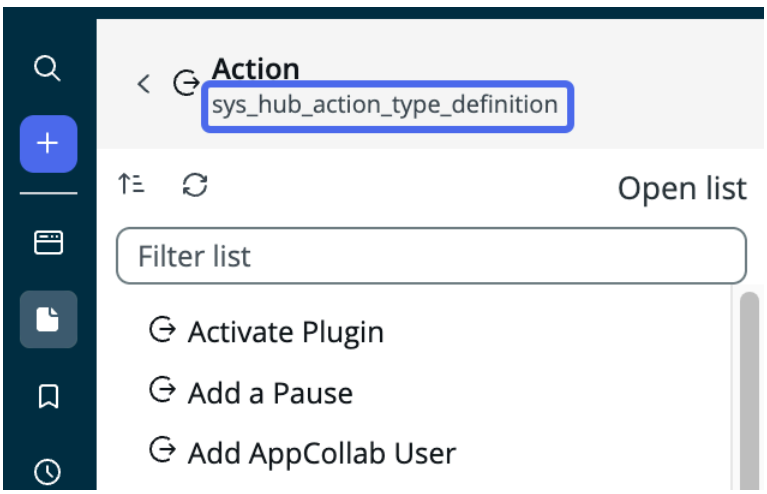
  リストが新しい統合タブで開きます。以下の例では、これはカスタム アプリケーションテーブル [sys_app] のすべてのアプリのリストです。



- ホームページの検索バーで、下のテーブルのいずれかの入力を入力し、 **Enter** キーを押します。

> **重要:**
> テーブル名は、テーブルの辞書エントリの名前と一致する必要があります。各メタデータタイプに関連付けられたプライマリテーブルの詳細については、「 ServiceNow スタジオ ナビゲーターパネルの分類」を参照してください。

メタデータタイプのプライマリテーブルは、ナビゲーターパネルでも確認できます。メタデータタイプを選択すると、その下にプライマリテーブル名が表示されます。次の例では、**sys_hub_action_type_definition** は アクション メタデータタイプのテーブル名です。



入力を入力すると、新しい統合タブでテーブルビューが開きます。

テーブルを開くショートカット

入力	動作
<table name>。リスト	同じウィンドウまたはタブでテーブルのリストビューを開きます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

入力	動作
<table name>.form または <table name>.do	同じウィンドウまたはタブでテーブルのフォームビューを開きます。
<table name>.config	テーブルの構成ビュー [personalize_all.do] を同じウィンドウまたはタブで開きます。
<table name>。フィルター	同じウィンドウまたはタブでテーブルの空のリストビューを開くので、リストをロードせずにフィルターを適用できます。これは、ロードに時間がかかる大きなリストに役立ちます。

たとえば、組織内のすべてのユーザーのリストを開く場合は、検索入力 sys_user.list を使用してユーザーテーブル [sys_user] を検索できます。新しいユーザーをすばやく追加するには、sys_user.do を検索して [ユーザー] テーブルの新しいフォームビューを開きます。ユーザーテーブルの構成を変更するには、 sys_user.config を検索します。レコードをロードせずにユーザーテーブルを開くには、 sys_user.filter を検索します。

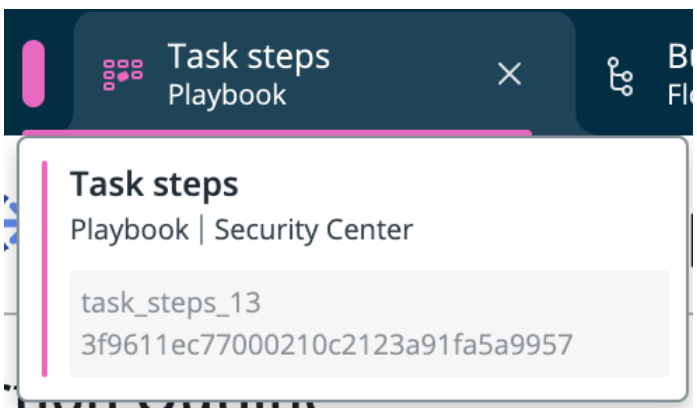
ServiceNow スタジオ でスコープを超えてアプリやアプリファイルを開く

ServiceNow スタジオでは、グローバルまたはカスタムの任意のスコープでアプリやアプリファイルを開いて編集できます。アプリが関連付けられているスコープが画面の下部に表示され、別のスコープのアプリに切り替えたときに自動的に更新されます。

ServiceNow スタジオ でアプリやファイルを開くと、統合タブで開く場合があります。次の図とリストは、 ServiceNow スタジオの統合タブに関する重要な情報の概要を示しています。

1. スコープ対象のアプリ内のファイルは、色分けされたタブで開き、ファイルの種類に関する情報が表示されます。この場合、プレイブックは統合タブで開き、 ワークフロースタジオ インターフェイスを使用して更新できます。
2. 色のないタブは、ファイルがグローバルスコープ内にあることを示します。グローバルファイルは ServiceNow スタジオで編集できます。
3. キャンバスでアクティブに開いているタブには、開いている状態を示す対照的な色が表示されます。
4. 色分けされてグループ化されたタブは、同じスコープ内にあります。この例では、両方のアクションが同じアプリケーション内にあるため、同じ色のタブで開きます。

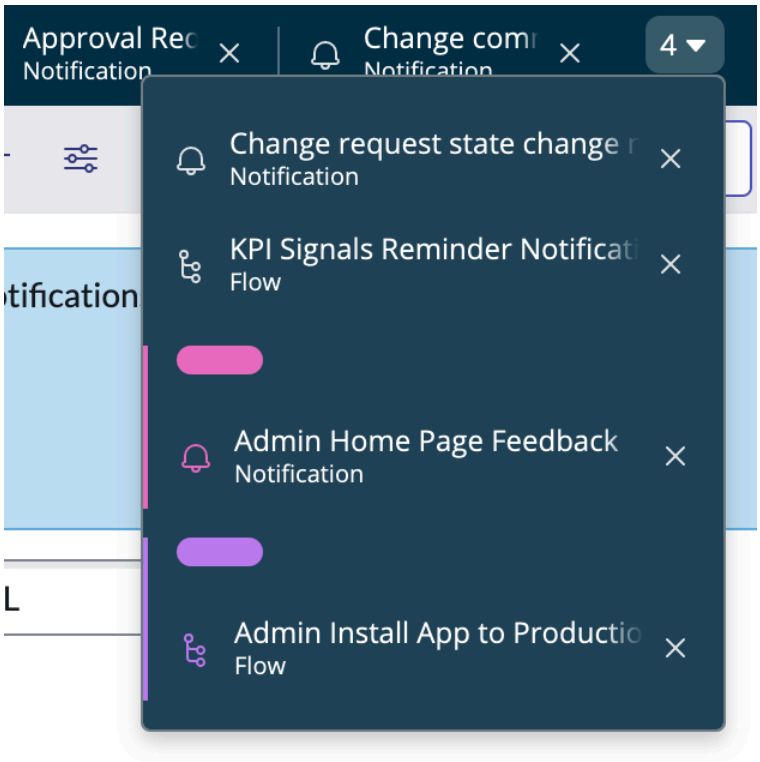
タブにカーソルを合わせて、ファイルが含まれるスコープを確認します。この画像では、スコープはセキュリティセンターです。



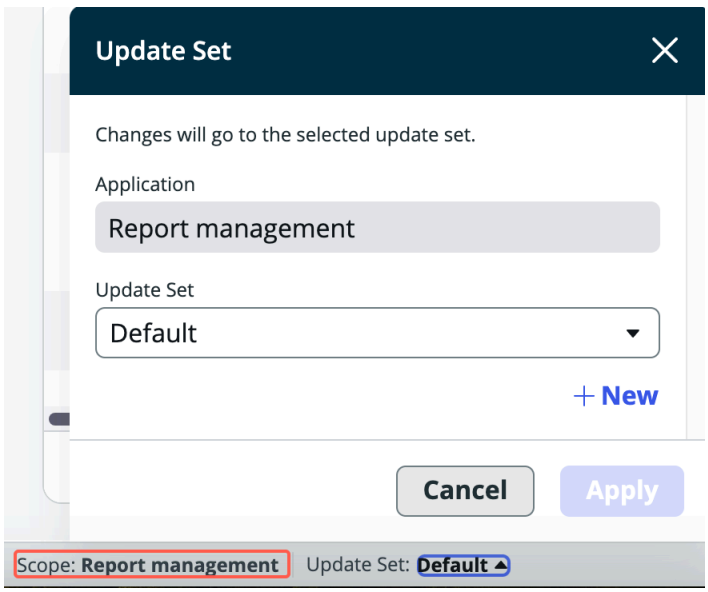
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ブラウザーの画面の幅によっては、開いたアプリまたはファイルにオーバーフロータブが表示される場合があります。各ファイルのスコープは、開いているタブと同様にグループ化され、色分けされます。任意のファイルを選択してキャンバスで開きます。

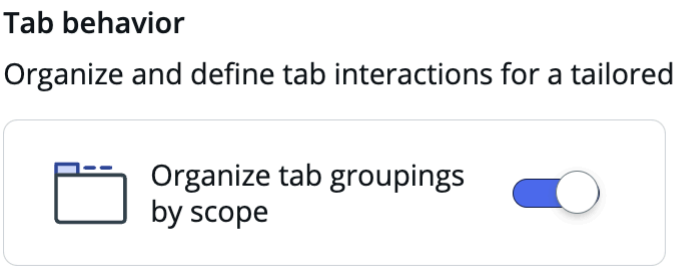


また、各ファイルに関連付けられたスコープと更新セットも画面の下部に表示されます。ここで更新セットを切り替えるか、更新セットを作成して変更をパッケージ化できます。



タブのグループ化を解除する場合は、ホームページでユーザーアイコンを選択し、[設定] を選択します。[スコープ別にタブのグループ化を整理] トグルを使用して、スコープ別にタブをグループ化またはグループ解除します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



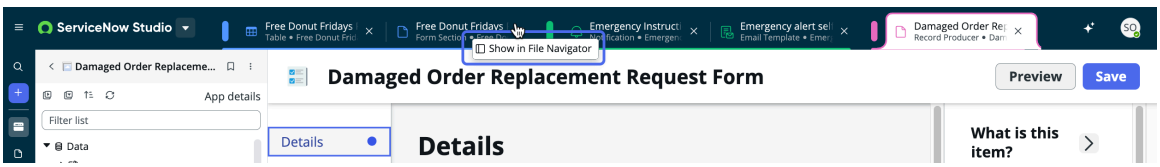
アプリまたはアプリファイルにナビゲーターパネルを集中させる

ナビゲーターパネルを開いているアプリまたは ServiceNow スタジオ内のアプリファイルに集中させることで、作業を簡素化します。

始める前に
必要なロール：admin または delegated_developer

手順

1. 移動先 すべて > **App Engine** > **ServiceNow** スタジオ.
2. ナビゲーターパネルから、さまざまなアプリケーションからいくつかの異なるファイルを開きます。
3. ナビゲータパネルで開くファイルの統合タブを選択して長押し (または右クリック) し、[ファイルナビゲータに表示] を選択します。
   この例では、キャンバスとナビゲーターパネルで開いているファイルが、Damaged Order Replacement アプリケーションからのものであることに注意してください。



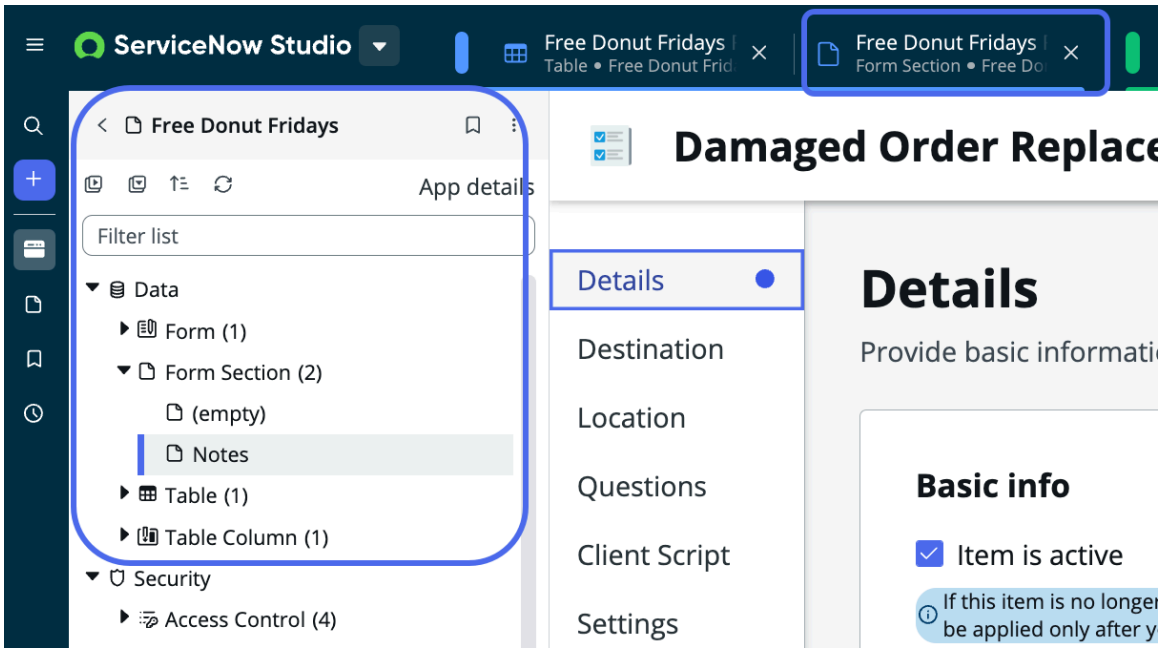
4. 開いているファイルをナビゲーターパネルに表示します。

   他のすべてのアプリケーションファイルがまだ開いているにもかかわらず、[ナビゲーター] パネルに Free Donut Fridays アプリケーションの **[Notes**] フォームセクションが表示されるようになりました。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
キャンバスで開いているファイルは、そのタブから離れるまで同じままです。



での統合開発ツールとビルダーへのアクセス **ServiceNow** スタジオ

ServiceNow スタジオ には、アプリ開発プロセスの迅速化に役立つ堅牢な開発ツールとビルダーがいくつか含まれています。アプリケーションの開発時にツールとビルダーを開いて簡単に切り替えることができます。

ファイルカテゴリを介して統合されたツールとビルダーにアクセスする

ServiceNowのツールとビルダーの多くはServiceNow スタジオと統合されているため、すべてのアプリ開発を1つのインターフェイスで行うことができます。

ワークフロースタジオのテーブルビルダー、ワークフロースタジオ、フローなど、ほとんどの統合ツールとビルダーは、ServiceNow スタジオ内の新しいタブで開き、同じスコープ内にある場合はグループ化されます。モバイルアプリビルダー などの一部のビルダーは、新しいブラウザータブで開きます。ServiceNow スタジオ の各ファイルタイプには、指定されたビルダーで開くか、クラシック UI16 フォームビューでファイルが開きます。各ファイルタイプが開くツールの詳細については、「ServiceNow スタジオ ナビゲーターパネルの分類」を参照してください。

これらのツールとビルダーにアクセスするには、 ServiceNow スタジオを開き、ナビゲーターパネルで ファイルカテゴリ を選択します。開くファイルの種類を選択すると、ファイルは統合タブまたは新しいブラウザタブで開きます。次の図とリストは、 ServiceNow スタジオの統合タブに関する重要な情報の概要を示しています。

1. スコープ対象のアプリ内のファイルは、色分けされたタブで開き、ファイルの種類に関する情報が表示されます。この場合、プレイブックは統合タブで開き、 ワークフロースタジオ インターフェイスを使用して更新できます。
2. 色のないタブは、ファイルがグローバルスコープ内にあることを示します。グローバルファイルは ServiceNow スタジオで編集できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

3. キャンバスでアクティブに開いているタブには、開いている状態を示す対照的な色が表示されます。
4. 色分けされてグループ化されたタブは、同じスコープ内にあります。この例では、両方のアクションが同じアプリケーション内にあるため、同じ色のタブで開きます。

アプリ開発に使用できるツールとビルダーの詳細については、「ServiceNow スタジオ の統合開発ツール」を参照してください。ビルダーの詳細については、「 のビルダー ServiceNow スタジオ」を参照してください。

ツールとビルダーの切り替え

アプリの開発中に、1 つまたは複数の統合開発ツールまたはビルダーを開くことができます。たとえば、フローまたはプレイブックをビルドし、 UI ビルダー を使用してユーザー向けのカスタム Web エクスペリエンスをビルドできます。

ServiceNow スタジオツールとインターフェイスをシームレスに切り替えられるため、編集するファイルを開くだけで、適切な統合ツールまたはビルダーがファイルを開きます。

での更新セットの作成 **ServiceNow** スタジオ

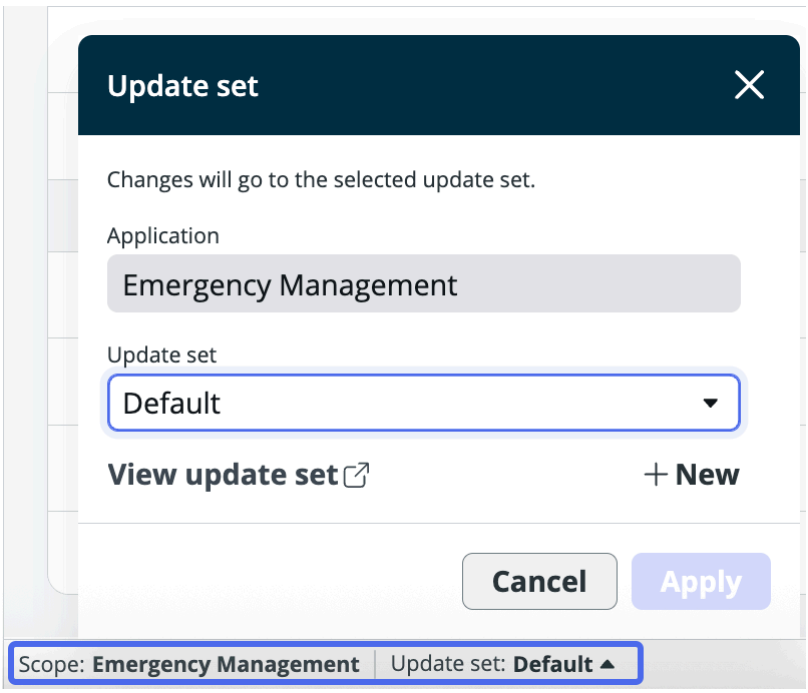
ServiceNow スタジオでの作業中に更新セットを作成します。

始める前に
必要なロール：admin または delegated developer

このタスクについて
ServiceNow スタジオを離れることなく更新セットを作成します。ServiceNow AI Platformに更新セットを作成する方法の詳細については、「更新セットでスタートする」を参照してください。

手順

1. 移動先 すべて > **App Engine** > **ServiceNow** スタジオ.
2. 新しい更新セットが必要な変更があるアプリケーションを開きます。
3. キャンバスの左下隅にあるステータスバーから現在の更新セットを選択して、更新セットダイアログを展開します。



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

4. **[New** (新規)] を選択します。
5. 新しい更新セットの名前を入力します。
6. **[Save** (保存)] を選択します。
7. **[Apply** (適用)] を選択します。
   アプリで行った変更は、新しい更新セットに移動します。

ServiceNow スタジオ から アプリケーションリポジトリ へのアプリの変更の公開

ServiceNow スタジオ でアプリに加えた変更を アプリケーションリポジトリ (アプリリポジトリ) に公開します。

始める前に
必要なロール：admin または delegated developer

このタスクについて
アプリリポジトリは、 ServiceNow アプリの展開で提供されるオプションの 1 つです。更新セットを作成して変更を公開することもできます。会社に展開パイプラインが設定されている場合は、ServiceNow スタジオのパイプラインを介して変更を展開することもできます。アプリリポジトリの詳細については、「 ServiceNow アプリケーションリポジトリ」を参照してください。

手順

1. 移動先 すべて > **App Engine** > **ServiceNow** スタジオ.
2. ServiceNow スタジオホームページまたはナビゲーターパネルから、更新するアプリケーションの [アプリの詳細] ページを開きます。
   - ServiceNow スタジオ ホームページで、[展開] タブを選択します。次に、[アプリケーション] を選択し、[名前] 列からアプリケーションを選択します。
   - ナビゲーターパネルで、アプリケーションアイコン( )を選択します。次に、アプリケーションを選択し、[アプリの詳細] を選択します。
3. アプリの詳細 ページで、 公開 を選択します。
4. [新規バージョン] フィールドに、変更のバージョン番号を入力します。
5. [リリースノート] フィールドに、公開する変更に関するメモを追加します。
6. **[Publish** (公開)] を選択します。
   レビューと承認のために変更を送信しました。変更が承認されると、アプリケーションのすべてのインスタンスから更新内容にアクセスできるようになります。

ServiceNow スタジオ ユーザーインターフェイス

ServiceNow スタジオユーザーインターフェイスと、それを仕様に合わせてカスタマイズする方法について説明します。

ServiceNow スタジオ は、アプリケーションのビルド、管理、および展開をすべて 1 つのインターフェイスで可能にするアプリケーションです。ServiceNow スタジオにアクセスするには、アプリケーションへのアクセス権を持つアドミンまたは委任開発者である必要があります。

ServiceNow スタジオホームページ

ホームページから、 ServiceNow スタジオのすべてのツールとサービスにアクセスできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- ナビゲーターパネルでは、すべてのアプリ、ファイル、ブックマーク、最近のもの、ツールをすばやく表示できます。リストをフィルタリングまたはソートできます。[リストを開く] を選択すると、プラットフォームビューで任意のリストを開くことができます。

ナビゲーターパネルのツール

ナビゲーションアイテム	説明
メニュー ( )	ナビゲーターパネルを展開または折りたたむオプション。
検索 ( )	プラットフォーム上の任意のスコープ内の任意のファイル、アプリ、メタデータ、またはツールを検索するオプション。
作成 ( )	新しいアプリまたはファイルを作成するオプション。
アプリ ( )	すべてのアプリを表示するオプション。
ファイルカテゴリ ( )	すべてのファイルとメタデータを表示、ソート、およびフィルタリングするオプション。
ブックマーク ( )	すべてのお気に入りのファイルやアプリへのアクセスポイント。
最近 ( )	最近アクセスしたすべてのファイルのアクセスポイント。

- サイドパネルのアイコンを使用して、 ServiceNow スタジオ ナビゲーターパネルの表示/非表示、固定/固定解除を行うことができます。アプリで作業しているときに、全画面編集機能のためにパネルを非表示にしたい場合があります。

- ツールバーは、ホームページ、統合ツールページ、および展開への別のアクセスポイントを提供します。

ツールバー

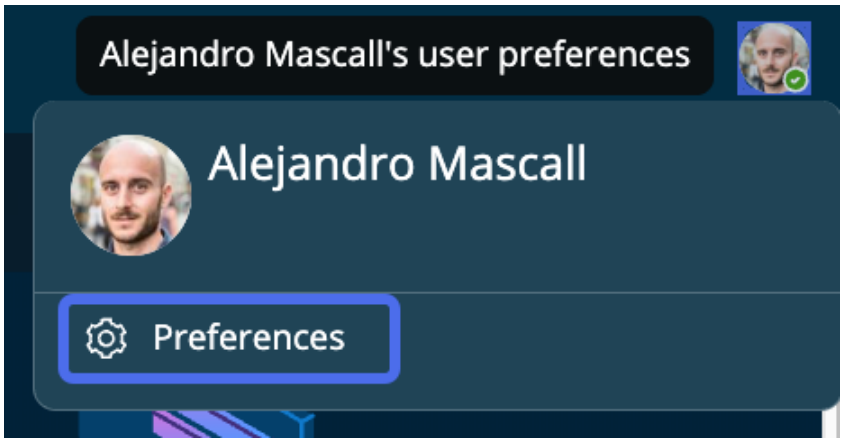
ページ	**Description** (説明)
ホーム	ServiceNow スタジオ のメインランディングページ。ナビゲーターパネル、最近開いたファイルやアプリ、その他のツールやリソースにアクセスします。
ツール	ServiceNow スタジオ に統合されたすべてのツールとビルダーのメインアクセスポイント。詳細については、「ServiceNow スタジオ の統合開発ツール」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

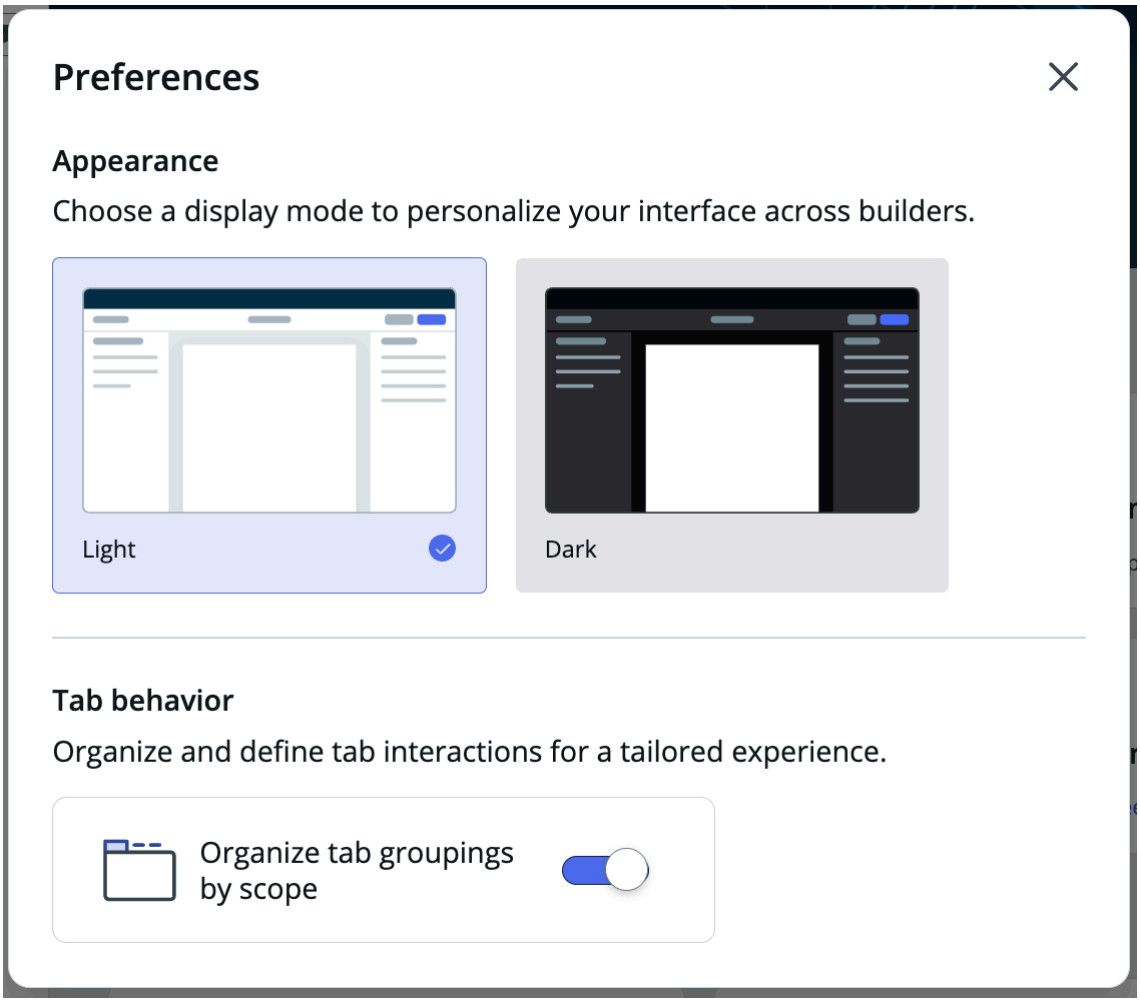
ページ	**Description** (説明)
展開	更新セットを使用してアプリを表示、管理、展開したり、パイプラインまたは アプリケーションリポジトリを介して展開するアプリケーションにアクセスしたりするためのランディングページ。新しい更新セットを作成すると、 展開ページで確認できます。アプリケーションは、各アプリの [アプリの詳細] ページから直接展開することもできます。

- ユーザー設定メニューでは、ServiceNow スタジオ設定にアクセスして、ライトテーマまたはダークテーマを選択したり、スコープ別にタブをグループ化したりできます。

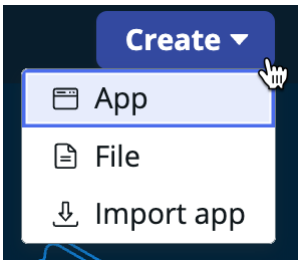


自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



- [作成] ボタンを使用すると、アプリやアプリファイルをすばやく作成 したり、ソースコントロールから新しいアプリをインポートしたりできます。

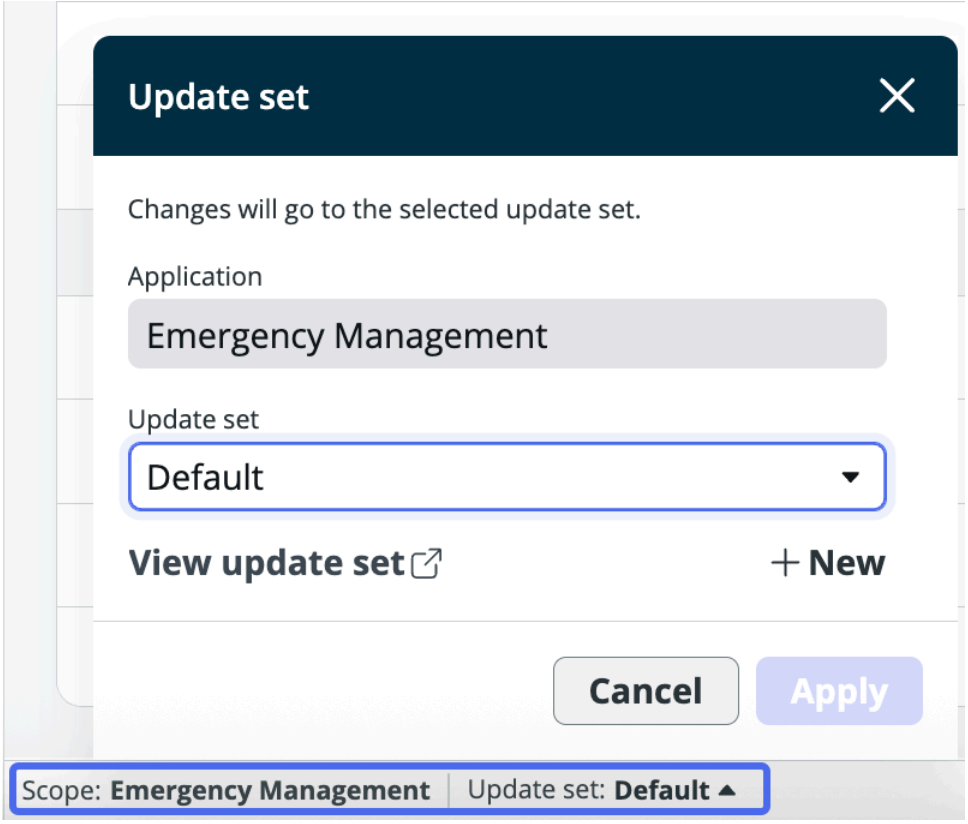


スコープと更新セットを参照

アプリまたはファイルを表示している場合は、ステータスバーでファイルの範囲を確認できます。ステータスバーで、アプリケーションに関連付けられた更新セットを確認することもできます。更新セットを変更するか、新しい更新セットを作成する必要がある場合は、デフォルトの更新セットを開き、アプリ内で選択内容を変更します。 [更新セットの表示] を選択して、現在の更新セットに関連付けられている更新の一覧を表示することもできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



詳細については、「での更新セットの操作 ServiceNow スタジオ」を参照してください。

[store-future: BEGIN review]

ServiceNow スタジオ**App Engine Studio (AES)** 開発者向け

現在のApp Engine Studio開発者は、AESの最も優れた機能の多くを維持しながら、ServiceNow スタジオの新しい開発機能を利用できます。

ServiceNow スタジオ は App Engine Studio とは少し異なる設定になっているため、次の情報を使用して、 App Engine Studio からお気に入りの機能を見つけてください。

自分のアプリ

最初に ServiceNow スタジオを開いたときには、作業に慣れているすべてのアプリが表示されるわけではありません。ただし、ナビゲーターパネルのアプリセクションを使用して ServiceNow スタジオ 開くだけです。

[End]

のビルダー **ServiceNow** スタジオ

ビルダーは、主にsys_metadataを拡張するテーブルに関連付けられたメタデータレコードを編集するための直感的で効率的なインターフェイスを提供する専用ツールです。ServiceNow スタジオでは、ビルダーを使用して、アプリ開発をサポートするさまざまなファイルタイプを作成できます。

ビルダーは、インライン編集、カスタマイズ可能なビュー、統合されたコラボレーションなどの機能を提供することで、ユーザーエクスペリエンスの向上に重点を置いています。各ビルダーは、設計ライブラリや実装にとらわれず、進化するテクノロジーやフレームワークへの適応性を確保します。

意思決定テーブル、フロー、テーブルなどのファイルを ServiceNow スタジオ で開くと、ファイルは指定されたビルダーツールの統合タブで開きます。モバイルアプリ構成などの他の一部のファイルタイプは、新しいブラウザータブで開きます。ビルダーにアクセスするには、ファイルまたはアプ

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

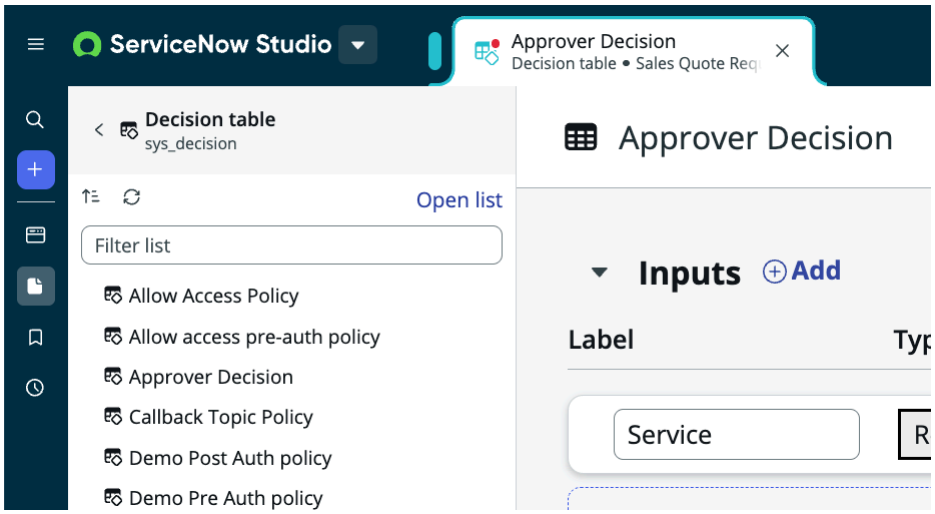
自動翻訳

リケーションを作成するか開く必要があることに注意してください。ServiceNow スタジオ でビルダーを単独で開くことはできません。

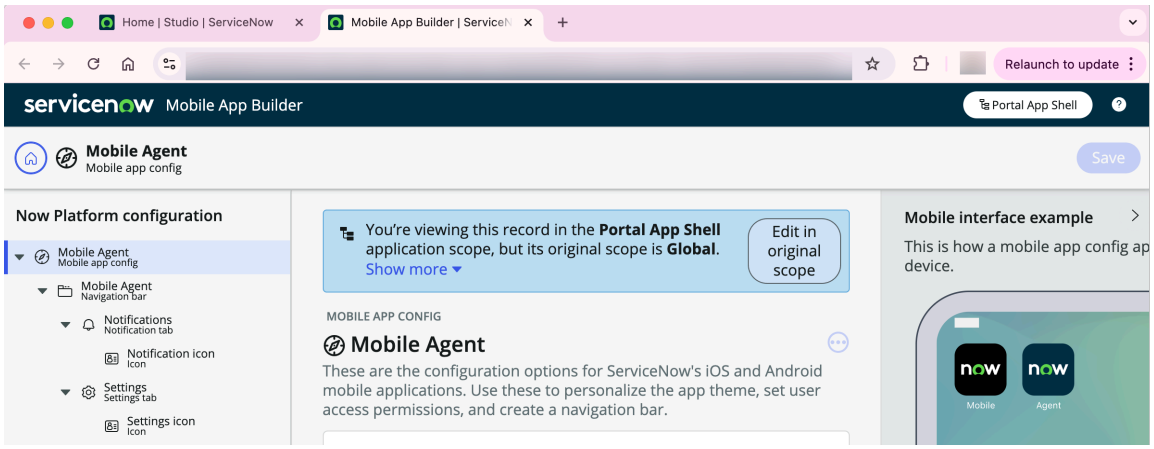
ServiceNow スタジオ に統合されたビルダーの完全なリストについては、「ServiceNow スタジオの統合開発ツール」を参照してください。

でビルダーを開く方法 **ServiceNow** スタジオ

ディシジョンテーブルと他の多くのタイプの自動化は、統合されたタブで開きます。



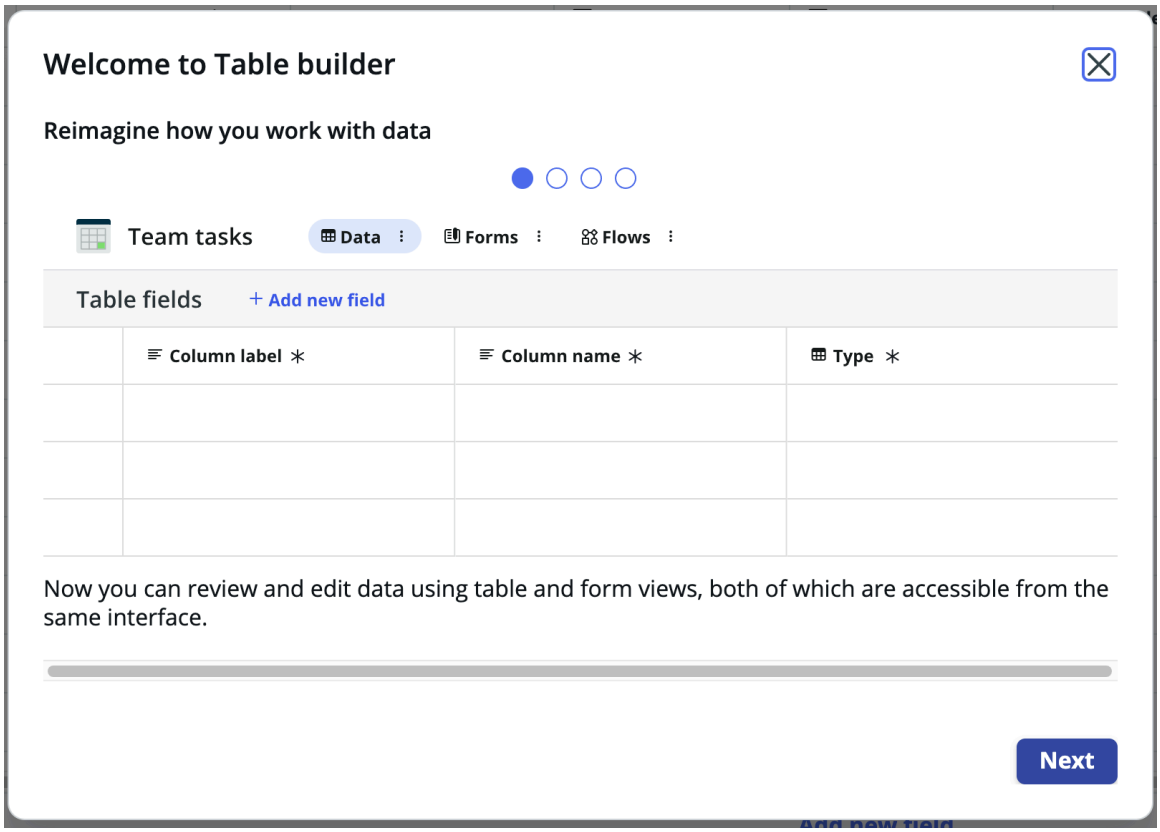
モバイルアプリビルダー が新しいタブで開きます。



テーブルビルダー などのツールを開くと、ツールの学習に役立つ短いチュートリアルが表示される場合があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



ビルダーとアプリケーションスコープ

ServiceNow スタジオ でファイルを編集する場合、テーブルビルダー や UI ビルダー などの一部のビルダーでは、アプリケーションのスコープが自動的に更新されず、手動で変更する必要があることに注意してください。

ServiceNow スタジオ の統合開発ツール

ServiceNow スタジオ を使用すると、 ServiceNow AI Platform 開発スイートで利用可能ないくつかのツールに即座にアクセスできます。ServiceNow スタジオ を使用してアプリを作成すると、これらの強力な開発ツールで機能を拡張できます。

開発ツール

次の統合開発ツールを使用して、 ServiceNow スタジオでアプリ、フロー、プロセス、テーブルなどをビルドします。

名前に「ビルダー」という単語が付いているツールもあれば、付けられていないツールもありますが、以下にリストされているすべてのツールを使用すると、アプリのさまざまな部分を構築できます。自動化ツールであるビルダーもあれば、ユーザーインターフェイスをビルドできるビルダーもあります。ビルダーの詳細については、「 のビルダー ServiceNow スタジオ」を参照してください。

AI

ビルダー	説明
AI Agent Studio	AI エージェントとエージェントワークフローを作成、管理、またはテストして、ビジネスゴールの達成に役立つ自己実行型ワークフローを作成できるようにします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ビルダー	説明
Now Assist Skill Kit	Now Assist 用の Now Assist Skill Kit プラグインを使用すると、Now Assistのカスタムプロンプトとスキルを作成してアクティブ化できます。

自動化

ビルダー	説明
ワークフロースタジオの意思決定テーブル	ワークフロースタジオ の意思決定テーブルは、ビジネスロジックを一連の [if-then] 意思決定ルールに埋め込みます。意思決定テーブルは、入力からデータを読み取り、指定された条件に従ってデータを評価します。ディシジョンルールのすべての条件が満たされると、意思決定テーブルは 1 つ以上の結果を返します。
ワークフロースタジオのフロー、サブフロー、およびアクション	フロー、サブフロー、およびアクションを使用すると、プロセスオーナーは作業を自動化できます。複数ステップのフローを再利用可能なコンポーネントからコーディングなしにビルドできます。
ワークフロースタジオのプレイブック	プレイブックは、プロセスオーナーが、企業間ワークフローを作成し、単一の統一されたプロセスを作成できるようにします。プレイブックを使用して、簡素化されたタスク指向のプロセスのビューをエンドユーザーに提供することもできます。

データ

ビルダー	説明
Form Builder (フォームビルダー)	フォームビルダー を使用して ServiceNow AI Platform レコードまたはフォームをカスタマイズします。フォームビルダー には、テーブルビルダー の [フォーム] タブから最も頻繁にアクセスします。
テーブルビルダー	単一のユーザーインターフェイスにより視覚的にテーブル、フォーム、およびフローを設計します。

統合

ビルダー	説明
Integration Hub インポート	統合ハブ：インポートにより、データインポートの構成、実行、スケジュール設定をすべて単一の簡単なインターフェイスで行えます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ビルダー	説明
	また、複数のデータ連携機能を単一の環境に統合することで、プラットフォーム全体で複数のフォームを作成および管理する必要がなくなります。段階的な経験を通して、データソースやターゲットテーブル、データマッピングの構成を案内します。データのインポートをスケジュールすることも、オンデマンドで実行することもできます。

モバイルビルダー

ビルダー	説明
Mobile App Builder	モバイルデバイスでの ServiceNow アプリケーションの表示方法を設定します。

ユーザーインターフェイス

ビルダー	説明
Catalog Builder (カタログビルダー)	ビジュアルおよびガイド付きエクスペリエンスと指定された制限を併用して、カタログアイテム (カタログアイテムまたはレコードプロデューサー) を作成または編集できます。カタログビルダーを使用すると、カタログの作成とメンテナンスを簡単に行うことができます。
Service Portal	ポータルページのレイアウトを作成または更新したり、ページのウィジェットを追加または削除したりします。
Service Catalog	カタログアイテムを作成または編集します。カタログアイテムは、レコードプロデューサー、注文ガイド、またはコンテンツアイテムになります。
Survey designer	サーベイのカテゴリと質問を作成し、その詳細を設定して、特定のユーザーまたはグループにサーベイを公開します。
UI ビルダー	UI ビルダー は Web ユーザーインターフェイスビルダーです。UI ビルダー を使用して、App Engine Studio の生成されたワークスペース、または ネクストエクスペリエンスのコンポーネントとカスタム Web コンポーネントを使用するカスタム Web エクスペリエンスのためのページをビルドします。
ワークスペースビルダー	ワークスペースビルダー を使用すると、単一の設計環境でプロセスを自動化できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

その他のツール

ビルダー	説明
スクリプトデバッガー	スクリプトデバッガーでは、script_debugger ロールを持つユーザーがサーバーサイド JavaScript をデバッグすることができます。

ServiceNow スタジオ およびレガシー製品

ServiceNow スタジオ は、 ServiceNow AI Platformでアプリを開発するために使用していた他のいくつかのツールの機能を改善します。以前に ガイド付きアプリケーションクリエーター または従来の スタジオ 製品を使用してアプリを作成していた場合は、 ServiceNow スタジオ を使用してアプリ開発プロセスを続行してみてください。

[store-future: BEGIN review]

廃止されたアプリケーション

ガイド付きアプリケーションクリエーター (GAC) と スタジオ はどちらも 2024 年 11 月のリリースをもって廃止されます。

ServiceNow スタジオの使用に切り替えるために追加の構成やカスタマイズを行う必要はありません。両方のレガシー製品で作成されたアプリは、 ServiceNow スタジオ で互換性があります。

注:
アプリ作成の GAC アクセス許可は、2024 年 11 月のリリースの ServiceNow スタジオ ではサポートされていません。GAC アクセス許可があり、アプリを作成する場合は、従来のスタジオでアプリを作成し、アプリを開いて ServiceNow スタジオで編集します。詳細については、会社のアドミンにお問い合わせください。

ガイド付きアプリケーションクリエーター (GAC) と スタジオ の両方が、将来のリリースまでサポートされます。詳細については、リリースノートを参照してください。

[End]

アップグレードされた機能

直感的なナビゲーションと ServiceNow スタジオ 分類により、作業を効率的に検索、整理、編集できます。オブジェクトの作成または編集に関しては、必要なすべての開発機能に 1 か所でアクセスできるため、いつでもジョブに適したツールにアクセスして切り替え、活用できます。アプリを本番稼働させる準備ができたら、パイプラインや更新セットなど、 ServiceNow が提供するアプリのライフサイクルオプションのいずれかを使用して、展開を簡単に管理できます。 ServiceNow スタジオ は Now Assist のネイティブサポートも提供しており、 ServiceNow が提供する最新の GenAI 機能と革新的なローコードツールを活用できます。

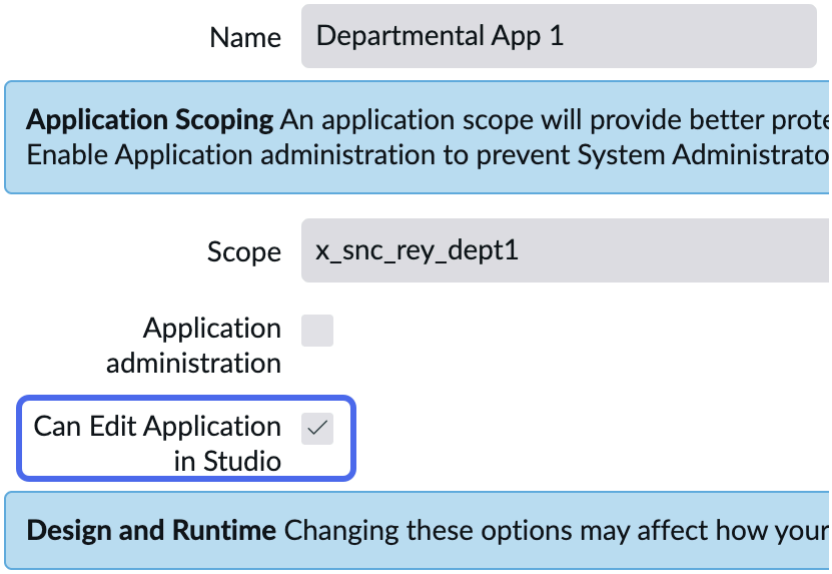
ServiceNow スタジオ および変更された機能

アップグレードされた ServiceNow スタジオ の一部は、従来の スタジオとは異なる動作をする場合があります。ServiceNow AI Platformで作成された各アプリのレコードには、アプリを従来のスタジオで編集できるようにするオプションがあります。ただし、このオプションは新しい ServiceNow スタジオには適用されません。編集権限のあるグローバルアプリ、スコープ対象アプリ、またはカスタムアプリは、 ServiceNow スタジオ で編集できます。

各アプリレコードの [**Studio** でアプリケーションを編集できる] オプションは、新しい ServiceNow スタジオには適用されません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



「ServiceNow **Fundamentals (ServiceNow Fundamentals** ガイド付きアプリケーションクリエーター (GAC)」ロールでの**ServiceNow** スタジオの使用

ServiceNow スタジオの使用を開始すると、一部の機能はスコープ対象のアプリケーションを作成した後にのみ使用可能になります。ServiceNow スタジオを初めて使用する場合は、検索バーと 作成 > アプリ/ファイル 最初は表示されません。これは、 ServiceNow スタジオ で想定される動作です。

開始するには、[スコープ対象アプリ の作成] を選択して続行します。新しいアプリケーションの [アプリの詳細] ページで、[作成] を選択してメタデータ (またはアプリケーション ファイル) を作成できます。[ファイルの作成] ページが開き、必要なファイルの種類を作成してアプリに関連付けることができます。

アプリケーションを作成したら、 ServiceNow スタジオ ホームページに戻り、ブラウザーウィンドウを更新します。検索バーと 作成 > アプリ/ファイル 機能を使用しますロールの詳細については、「Assign a role to a user」を参照してください。

ServiceNow スタジオの構成

ServiceNow スタジオ は、デフォルトで ServiceNow AI Platform で利用できます。 ServiceNow スタジオ は既存のプラットフォーム開発ツールを活用します。ServiceNow スタジオ でこれらのツールを使用するために追加の構成は必要ありません。

ドメインセパレーションと**ServiceNow** スタジオ

ドメインセパレーションは ServiceNow スタジオではサポートされていません。 ドメインセパレーションでは、データ、プロセス、および管理タスクをドメインと呼ばれる論理的なグループに分けることができます。どのユーザーがデータを表示できるか、データにアクセスできるかなど、このアプリケーションのいくつかの側面を制御できます。

サポートレベル: サポートなし

- ドメインフィールドがデータテーブル に存在している可能性がありますが、データを管理するロジックがありません。
- このレベルでは、ドメイン分割は考慮されません。

サポートレベルの詳細については、「アプリケーションでのドメインセパレーションのサポート)」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ServiceNow スタジオのインストール

ServiceNow スタジオ は ServiceNow AI Platformで使用できます。App Engine Enterpriseライセンスでプレミアム機能にアクセスすることもできます。

ServiceNow スタジオ はデフォルトで利用可能な ServiceNow AI Platform アプリケーションです。会社が App Engine Enterprise ライセンスを保有している場合は、追加のプラグインをインストールして ServiceNow スタジオで使用できます。

ServiceNow スタジオを使用するために追加の構成を行う必要はありません。

ServiceNow スタジオ試してみる

ServiceNow スタジオ を試してみませんか？独自の個人開発インスタンス (PDI) を使用してテストできます。これには、 開発者サイト へのサインインが必要です。PDI の詳細については、 個人開発者インスタンスガイドをご覧ください。

	PDI で ServiceNow スタジオ を試すには、このボタンを選択します **Try ServiceNow Studio for free** 今すぐ ServiceNow スタジオ を PDI にインストールしてみてください。ログインが必要です。	

で利用可能なプレミアム機能 App Engine Enterprise

会社が App Engine Enterprise ライセンスをお持ちの場合は、 ServiceNow スタジオ でこれらの追加のプレミアム機能にアクセスできます。

- スプレッドシートからテーブルを作成します。詳細については、「スプレッドシートを使用してデータを追加する」を参照してください。
- PDF からテーブルを作成します。詳細については、「PDF を使用してデータテーブルを作成する」を参照してください。
- UI テンプレートライブラリにアクセスします。
- カタログテンプレート App Engine Studio にアクセスします。詳細については、「アプリケーションテンプレートを使用したアプリの作成」を参照してください。
- ワークスペースビルダー にアクセスします。詳細については、「ワークスペースビルダー」を参照してください。
- ワークスペース UI テンプレートにアクセスします。
- App Engineパイプラインを使用して、スコープ対象のアプリとグローバルアプリを展開します。詳細については、「パイプラインと展開 を使用した展開の管理」を参照してください。

ServiceNow スタジオ のインスタンス戦略

ServiceNow スタジオ は、アプリケーションを開発するすべての ServiceNow インスタンスで使用できる必要があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ServiceNow スタジオに関する会社のインスタンス戦略を確立する必要があります。次のような決定を下す必要があります。

- 社内の誰もが ServiceNow スタジオ にアクセスしてアプリのビルドを開始できるようにするかどうか。
- 選択したユーザーグループにアクセス権を付与するかどうか。
- 個人がビルドしようとしているアプリに関する情報を入力できるフォームを設定して、ケースバイケースでアクセス権を付与するかどうか。その後、アドミニストレーターは、これらの個人にアプリをビルドするためのアクセス権を付与するかどうかを決定します。

本番インスタンスと同様に構成された非本番インスタンスが、テスト環境の最適な候補です。これにより、アプリケーションを本番環境に展開した場合に発生する可能性のある問題をより正確に見つけることができます。

> **注:**
> 本番インスタンスを 1 つ以上の非本番インスタンスにクローンする予定の場合は、クローン作成の前に、ServiceNow スタジオ 製品も本番インスタンスにインストールする必要があります。詳細については、「」を参照してください。

インスタンス戦略を確立したら、次のタスクも完了する必要があります。

1. 承認またはレビューのプロセスを確立して自動化します。
2. ServiceNow スタジオを実行する非本番環境を決定します。ServiceNow スタジオは非本番環境で実行される製品であるため、実行する製品を選択する必要があります。
3. どの方法を使用して特定の非本番インスタンスからテストインスタンスにアプリを昇格させるかを決定し、最終的にアプリをライブで実行する本番環境に昇格させます。更新セット、パイプライン、またはServiceNow スタジオのアプリケーションリポジトリを使用してアプリを展開できます。

ServiceNow スタジオとともにインストールされるコンポーネント

ServiceNow スタジオ プラグインを有効にすると、テーブルなどのさまざまなコンポーネントが自動的にインストールされます。

とともにインストールされるテーブルとロール ServiceNow スタジオ

ServiceNow スタジオとともにインストールされるテーブル

テーブル	説明
リソース [sn_sns_resources]	ホームページの下部にある [リソース] セクションに入力します。
エクスペリエンス構成 [sn_udc_experience_configuration]	エクスペリエンススイッチャーのデフォルトのロールアクセス構成を表示します。このテーブルは構成できません。
エクスペリエンスの可視化コントロール [sn_udc_experience_visibility_control]	デフォルト以外のロールにエクスペリエンススイッチャーへのアクセス権を付与できるようにします。このテーブルは構成可能です。

ServiceNow スタジオ には特定のロールは付属していませんが、アドミンおよび委任開発者ロールが使用されます。詳細については、「ServiceNow スタジオ ペルソナとロール」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

とともにインストールされるプラグイン **ServiceNow** スタジオ

ServiceNow スタジオ [sn_sns] プラグインは、いくつかの依存関係とともにインストールされます。

ServiceNow スタジオ プラグイン

プラグイン **[ID]**	説明	依存関係
ServiceNow スタジオ [sn_sns]	ServiceNow スタジオ は、すべての ServiceNow 開発アクティビティに統一されたエクスペリエンスを提供します。	• sn_udc • sn_studio_commons • sn_app_obj_wizards • sn_deploy_pipeline

へのアクセスの管理 **ServiceNow** スタジオ

アドミン、委任開発者、および ガイド付きアプリケーションクリエーター (GAC) ロールを持つユーザーは 、 ServiceNow スタジオ での作業にアクセスできます。委託開発権限をアサインすることで、 ServiceNow スタジオ でアプリおよびアプリファイルを開発するためのアクセス権を管理します。

委託開発により、システムアドミニストレーターのロールを持たない指定ユーザーが、ServiceNow AI Platform でアプリケーションを開発または展開できるようになります。アプリケーション固有の admin ロールまたはシステムレベルの admin ロールがある場合は、アプリケーションレベルで指定された開発者にアプリケーション開発を委任することができます。

注:
現在、ServiceNow スタジオ でアプリを作成できるのは管理者と GAC ユーザーのみですが、委任された開発者は既存のアプリとアプリ ファイルで作業できます。

ガイド付きアプリケーションクリエーターロール (sn_g_app_creator.app_creator) を持つユーザーは、ServiceNow スタジオにアクセスしてアプリを作成できます。アプリケーションを作成すると、delegated_developerロールが自動的にアサインされます。委任開発者権限の詳細については、「 ServiceNow スタジオ ペルソナとロール」を参照してください。

委託開発の詳細については、「 委託開発 の探索」を参照してください。アドミンは、コラボレーション権限を開発チームに割り当てることもできます。詳細については、「ServiceNow スタジオを使用したアプリでのコラボレーション」を参照してください。

アプリ開発ツールでのロールとアクセス権の操作

ServiceNow スタジオ、クリエータースタジオ、およびServiceNow IDEへのアクセスは、アドミンが設定するロールと権限によって異なります。ただし、一部のシナリオでは、各ツールへのアクセスが許可されているロールを更新できます。

エクスペリエンススイッチャーを介してアクセスできる各開発ツールには、使用可能なロールと使用できないロールがあります。すべての開発ツールにアクセスするには、各ツールに必要なロールを個別に持つ必要があります。たとえば、delegated_developerロールを持っている場合は、 ServiceNow スタジオで作業できます。ただし、admin と sn_creatorstudio.user または sn_creatorstudio.restricted_user ロールも持っていない場合は、他のツールにアクセスできないため、エクスペリエンススイッチャーは表示されません。

注:
エクスペリエンススイッチャーが表示されることを期待しているのに表示されない場合は、アドミンにお問い合わせください。カスタム構成は、表示されるエクスペリエンスに影響を与える可能性があります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

開発経験とロール

エクスペリエンス	利用可能	利用不可
でのプロコーディングエクスペリエンスへのアクセス ServiceNow IDE	アドミン	sn_creatorstudio.restricted_user、sn_creator
でのプラットフォーム開発者のコーディングエクスペリエンスへのアクセス ServiceNow スタジオ	delegated_developer、admin、sn_app_creator.app_creator	sn_creatorstudio.restricted_user、sn_creator
でのノーコードエクスペリエンスへのアクセス クリエータースタジオ	delegated_developer、admin、適用外です。	sn_creatorstudio.user、sn_creatorstudio.rest

重要:
ロール (admin ロールと委任開発者ロールを含む) に関係なく、 クリエータースタジオ ロールのいずれかを持っている場合は、 ServiceNow スタジオ または ServiceNow IDE にアクセスできません。

詳細については、「クリエータースタジオ のロールとペルソナ」、「ServiceNow スタジオ ペルソナとロール」、「ServiceNow IDE ロール」を参照してください。

ロールのアサインの例

アドミニストレーターは、 ServiceNow スタジオ、 クリエータースタジオ、および ServiceNow IDEを使用するための権限を割り当てることができます。一部のロールでは複数のツールへのアクセス権が付与され、次のシナリオで使用できます。

- ServiceNow スタジオおよびクリエータースタジオへのアクセス権をアサインする場合は、ユーザーに**delegated_developer**ロールをアサインします。これにより、両方のツールにアクセスできるようになります。ただし、このロールでは ServiceNow IDE へのアクセス権が付与されません。
- ユーザーを クリエータースタジオにとどまらせるには、 **sn_creatorstudio.user** または **sn_creatorstudio.restricted_user** ロールをアサインします。これらのロールは、 クリエータースタジオ へのアクセス権を与えますが、 ServiceNow スタジオへのアクセス権は付与しません。
- ServiceNow IDEへのアクセスをアサインするには、ユーザーにアドミン権限またはServiceNow IDEに固有のその他のロールが必要です。ユーザーが **delegated_developer** ロールも持っている場合、 ServiceNow IDEにアクセスできません。詳細については、「ServiceNow IDE ロール」を参照してください。

ServiceNow スタジオ ペルソナとロール

アドミン、委任開発者、および ガイド付きアプリケーションクリエーター ロールを持つユーザーは、 ServiceNow スタジオ での作業にアクセスできます。

ServiceNow スタジオ ペルソナ

アドミンと委任開発者は、 ServiceNow スタジオで異なる機能を使用できます。アドミニストレーターは、委任開発者権限を付与することで、特定のアプリやアプリファイルでの作業をユーザーに委任できます。

さまざまなアプリ開発ツールのロールとアクセス権の詳細については、「 アプリ開発ツールでのロールとアクセス権の操作」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ロールと機能

ロール	権限	機能
委任開発者 (delegated_developer)	委任された開発者は、委任されたアプリにのみアクセスできます。これらの権限は、構成によって異なる場合があります。	• ServiceNow スタジオ にアクセスします。 • 委託開発権限が付与されているアプリを更新します。 • 変更をパッケージ化する更新セットを作成します。 • アプリファイルやその他のメタデータレコードを作成および更新します。 • 更新セット、パイプライン、または アプリケーションリポジトリを介して展開するアプリを送信します。
管理者	アドミニストレーターは、カスタムアプリケーション開発に関連するタスクをレビューおよび承認できます。	• ServiceNow スタジオ にアクセスします。 • ServiceNow スタジオ でアプリを作成します。 • 既存のアプリやアプリファイルを編集したり、開発を他の人に委託したりします。 • 更新セットを作成、編集、管理します。 • 既存のメタデータレコードを更新します。 • グローバル (スコープ外) メタデータレコードを作成および編集します。
ガイド付きアプリケーションクリエーター (GAC) ロール (sn_g_app_creator.app_creator、sn_g_app_creator.global)	GAC ロールを持つユーザーは、 ServiceNow スタジオ にアクセスしてアプリを作成できます。アプリケーションを作成した後、ユーザーはそのアプリケーションの delegated_developerロールを受け取ります。	• ServiceNow スタジオ にアクセスします。 • カスタムアプリケーションを作成します。 • GAC グローバルロールを使用して、カスタムグローバルアプリを作成します。

エクスペリエンススイッチャーへのアクセスの管理

エクスペリエンススイッチャーは、 クリエータースタジオ、 ServiceNow スタジオ、 ServiceNow IDEへのアクセスを提供できます。ただし、これらすべてを表示および選択できるかどうかは、ロールまたはアクセスレベルによって異なります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

エクスペリエンススイッチャーから選択できるものを決定する要因はいくつかあります。ロール、選択したスタジオがインスタンスにインストールされているかどうか、インストールされているバージョンです。

ロールによるアクセスの決定

ユーザーグループやセキュリティレベルなど、所有しているロールによってエクスペリエンススイッチャーで製品にアクセスできます。

次に、エクスペリエンススイッチャーへのデフォルトのロールアクセスについて説明します。

- アドミンと委任開発者は、アプリの管理または開発を委任された製品にアクセスする必要があるため、エクスペリエンススイッチャーを使用できます。
- クリエータースタジオ ユーザーと制限付き クリエータースタジオ ユーザーは、アドミニストレーターによってキュレーションされたエクスペリエンスに制限されるため、通常はエクスペリエンススイッチャーにアクセスできません。

アドミニストレーターは、エクスペリエンス構成テーブル [sn_udc_experience_configuration] をチェックして、エクスペリエンススイッチャーの各製品にアクセスできるデフォルトロールを確認できます。このテーブルには、 クリエータースタジオ がインストールされていない場合、またはエクスペリエンススイッチャーに必要な最小バージョンでない場合に表示される検出ページが表示されるロールも表示されます。

重要:
ロール (admin ロールと委任開発者ロールを含む) に関係なく、 クリエータースタジオ ロールのいずれかを持っている場合は、 ServiceNow スタジオ または ServiceNow IDE にアクセスできません。

デフォルト以外のロールにエクスペリエンススイッチャー内の製品へのアクセス権を付与する場合は、エクスペリエンスの可視化コントロールテーブル [sn_udc_experience_visibility_control] で行う必要があります。詳細については、「エクスペリエンススイッチャーへのデフォルト以外のアクセスを構成する」を参照してください。

製品のインストールによるアクセスの決定

エクスペリエンススイッチャーから選択するには、インスタンスにアプリケーションがインストールされている必要があります。

たとえば、 ServiceNow スタジオ または ServiceNow IDE で作業しているが、 クリエータースタジオ がインストールされていない場合は、エクスペリエンススイッチャーで [クリエータースタジオ] を選択すると、 クリエータースタジオの使用方法の詳細を確認できるページが表示されます。

製品バージョンによるアクセスの決定

エクスペリエンススイッチャーに表示するには、少なくともすべての製品が Yokohama バージョンである必要があります。

たとえば、エクスペリエンススイッチャーで [クリエータースタジオ] を選択していても、クリエータースタジオ のXanaduバージョンがインストールされている場合、それを選択すると、バージョンを更新するように指示するページが表示されます。

エクスペリエンススイッチャーへのデフォルト以外のアクセスを構成する

ServiceNow スタジオ のエクスペリエンススイッチャーにアクセスできるロールを制御します。エクスペリエンススイッチャーを使用すると、開発環境を簡単に切り替えて、タスクに適したツールを使用できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

始める前に
必要なロール：admin

このタスクについて
デフォルトでは、エクスペリエンス構成テーブル [sn_udc_experience_configuration] に、アドミンと委任開発者にエクスペリエンススイッチャーを表示するためのアクセス権が付与されます。ただし、エクスペリエンスの可視化コントロールテーブル [sn_udc_experience_visibility_control] にデフォルト以外のロールを追加して、エクスペリエンススイッチャーへのアクセス権を付与できます。デフォルトのロールの詳細については、「 アプリ開発ツールでのロールとアクセス権の操作」を参照してください。

- アドミンと委任開発者は、アプリの管理または開発を委任された製品にアクセスする必要があるため、エクスペリエンススイッチャーを使用できます。
- クリエータースタジオ ユーザーと制限付き クリエータースタジオ ユーザーは、アドミニストレーターによってキュレーションされたエクスペリエンスに制限されるため、通常はエクスペリエンススイッチャーにアクセスできません。

手順

1. 移動先 すべて > **sn_udc_experience_visibility_control.list**.
2. **[New** (新規)] を選択します。
3. ロールを構成するエクスペリエンスを入力します。
   たとえば、「 Serv 」と入力して ServiceNow スタジオ を選択します。
4. エクスペリエンスにアクセスするロールを指定します。
   a. ロックアイコン ( ) を選択して、[ロールに利用可能 **(Available for roles)**] フィールドのロックを解除します。
   b. 入力を開始し、アクセス権を付与するロールの名前を選択します。
   c. ロック解除アイコン ( ) を選択して、[ロールに利用可能] フィールドをロックします。
5. エクスペリエンスにアクセスできないロールを指定します。
   a. ロックアイコン ( ) を選択して、[ロールに利用不可] フィールドのロックを解除します。
   b. 入力を開始し、アクセスを制限しているロールの名前を選択します。
   c. ロック解除アイコン ( ) を選択して、[ロールに利用不可] フィールドをロックします。
6. **[Submit** (送信)] を選択します。

でのソースコントロールの統合 **ServiceNow** スタジオ

アプリケーション開発者が Git ソースコントロールリポジトリと統合できるようにします。非本番インスタンスから、アプリケーションの複数のバージョンを保存および管理します。

アプリケーションをソースコントロールにリンクすると、非本番インスタンスですべてのアプリケーション開発者が次の操作を実行できます。

- Git リポジトリからアプリケーションをインポートします。
- Git リポジトリからリモート変更をプルして適用します。
- インスタンスのすべてのローカル変更を Git リポジトリにコミットします。
- 指定されたバージョンのアプリケーションに永続的にリンクするタグを作成します。
- 分岐を作成して、アプリケーションの複数のバージョンを同時に管理します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

統合の要件

アプリケーションをソースコントロールにリンクするには

- ユーザーにはアドミンロールが必要です。
- 非本番インスタンスには、Git リポジトリへのネットワークアクセスが必要です。
- 各アプリケーションは、それ自体の Git リポジトリ内に存在する必要があります。
- リポジトリユーザーの認証情報は、読み取りおよび書き込みアクセス権を付与する必要があります。

注:
インスタンス上のすべてのアプリケーション開発者は、リポジトリごとに 1 組の認証情報を共有します。

ServiceNow スタジオ で利用可能なオプション

アプリケーションをソースコントロールにリンクした後に、アプリケーション開発者は、ServiceNow スタジオをリポジトリ管理に使用できます。開発者は ServiceNow スタジオ から次のことができます

- アプリケーションリポジトリの認証情報を編集します。
- インスタンスのすべてのローカル変更をコミットします。
- リポジトリからのリモート変更を適用します。
- 分岐を作成します。
- 分岐を切り替えます。
- リモートリポジトリからアプリケーションをインポートします。

ソースコントロール統合は、本番インスタンスでのアプリケーションの管理をサポートしていません。代わりに、アプリケーションリポジトリ、更新セット、または ServiceNow スタジオ を使用して、本番インスタンスでアプリケーションを管理できます。本番インスタンスでのアプリケーション管理の詳細については、「アプリケーションの共有」を参照してください。

Git リポジトリから利用可能なオプション

ServiceNow AI Platform では、インスタンスの外部でリンクされたアプリケーションファイルを変更するための制限付きサポートが提供されます。開発者は Git から次の操作を実行できます。

- アプリケーションファイルを別の Git ディレクトリ構造に移動します。
- ServiceNow スタジオ の外部でアプリケーションファイルを編集します。

リポジトリのルートレベルで、sn_source_control.properties と呼ばれるプロパティテキストファイルが生成されます。アプリケーションファイルを別の Git ディレクトリ構造に移動するために、アプリケーション開発者は *path* パラメーターを設定して、アプリケーションファイルを含むサブフォルダーパスを指定できます。たとえば、アプリケーションを src/app サブフォルダーに移動した場合は、*path* を path=src/app に設定します。

システムは、ServiceNow スタジオ の外部でアプリケーションファイルが変更されたかどうかを判断するために、Git リポジトリに checksum.txt ファイルを生成します。ファイルのチェックサム値が現在のチェックサム値と一致する場合、統合は検証とサニタイズのプロセスをスキップします。チェックサム値が一致しない場合、統合はソースコントロール操作の一部としてアプリケーションファイルを検証してサニタイズします。サニタイズプロセス：

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 実行されたサニタイズアクションごとに、アップグレードログエントリを作成します。
- サポートされていないフォルダーとファイルをリポジトリから削除します。
- システムアプリケーションファイルが XML スキーマの検証に失敗した場合、すべてのソースコントロール操作を中止します。たとえば、データベースディクショナリレコードが XML スキーマの検証に失敗した場合、システムはすべての操作を中止します。
- 非システムアプリケーションファイルが XML スキーマの検証に失敗した場合、現在のソースコントロール操作をスキップします。

Git 統合は、sn_source_control.properties ファイルにリストされているアプリケーションパス内のコンテンツのみをサニタイズします。アプリケーションパス外のリポジトリコンテンツは無視されます。

MID サーバー でのサポート

既存の MID サーバー を使用してソースコントロールリポジトリに接続します。MID サーバーを介してアプリケーションを接続すると、ファイアウォールの背後にあるリポジトリにアクセスできます。

ソースコントロール権限

ロールと協力者の詳細については、「アプリケーションコラボレーション」を参照してください。

でアプリをソースコントロールにリンクする ServiceNow スタジオ

アプリケーションまたはアプリケーションのカスタマイズをソースコントロールにリンクすると、アプリケーション開発者は Git リポジトリから ServiceNow スタジオ の変更を管理できます。

始める前に

- アプリケーションのカスタマイズの管理 の詳細を確認してください。
- アプリケーションの専用 Git リポジトリを作成します。セキュリティを強化するには、Git リポジトリに対するマルチファクター認証をアクティブ化します。
- 認証情報レコードを作成しながら、パスワードとマルチファクター認証パスキーの代わりにソースコントロール統合で使用できるアクセストークンを生成します。個人アクセストークンを GitHub または GitLab で検索する。
- アクセストークンの権限を制限して、Git リポジトリへの読み取りおよび書き込みアクセス権を付与します。
- 非本番インスタンスに Git リポジトリへのネットワークアクセスがあることを検証します。
- ユーザーが Git リポジトリへのコミットで使用するそれぞれのユーザーテーブル [sys_user] レコードにメールアドレスを追加していることを確認します。
- 必要なロール：admin

このタスクについて

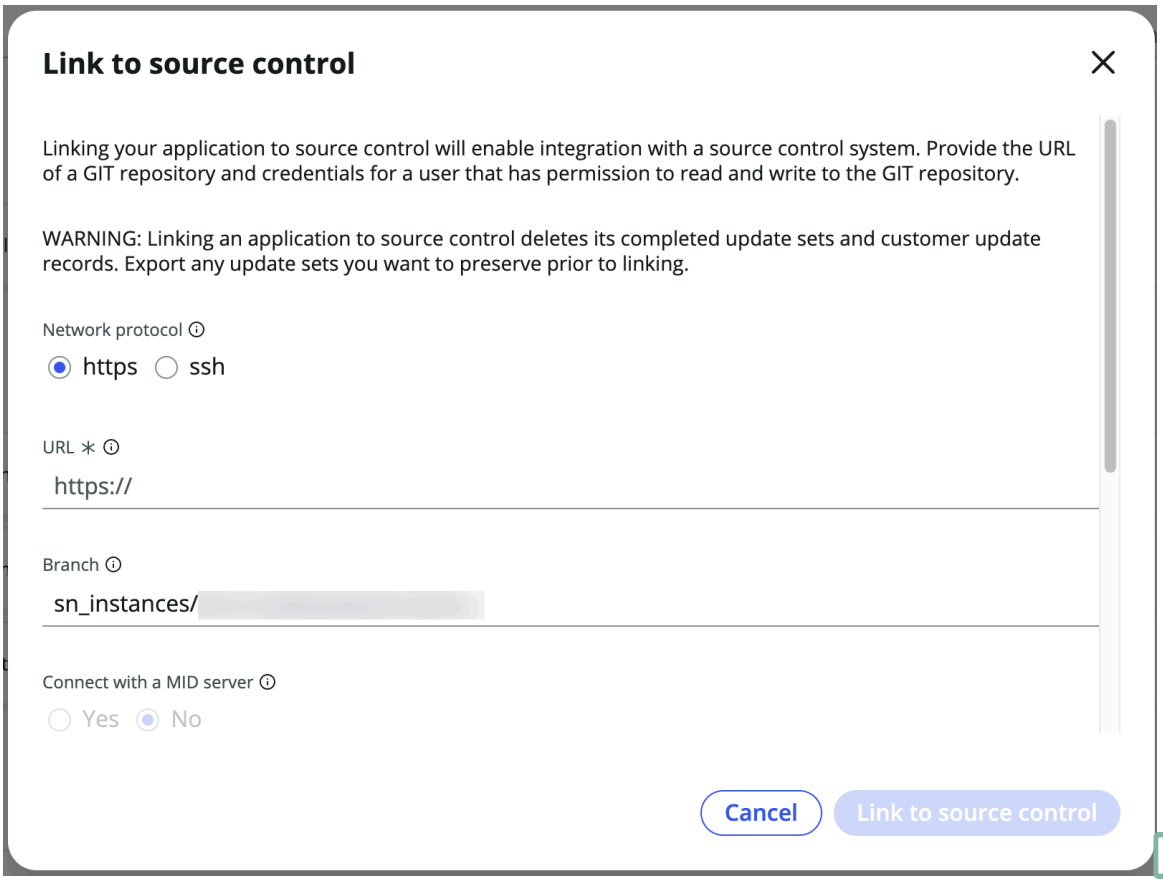
ソースコントロール統合は、本番インスタンス上のアプリケーションまたはカスタマイズへのリンクをサポートしません。代わりに、アプリケーションリポジトリ、更新セット、または ServiceNow スタジオから本番インスタンス上にアプリケーションをインストールします。

手順

1. 移動先 すべて > **App Engine** > **ServiceNow** スタジオ.
2. ソースコントロールにリンクするアプリケーションを開きます。
3. 選択 ソースコントロール > ソースコントロールにリンク.

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳



4. Git リポジトリの接続の詳細を入力します。

ソースコントロール接続の詳細

フィールド	説明
ネットワークプロトコル	セキュリティ保護されたチャネルデータ交換を可能にする HTTPS または SSH 認証情報タイプ。
URL	アプリケーションファイルを保存する Git リポジトリの URL。SSH プロトコルの場合は、コマンドを使用して秘密キー ssh-keygen -t rsa -m PEM -b 4096 -C "email@address" を生成します。 **注:** Git サーバーによって提供される SSH の Git リポジトリ URL が機能しない場合は、Git サーバーの所有者またはプロバイダーに正しい URL を確認してください。Git リポジトリの URL が機能するために、追加仕様 (スキームプロトコルプリフィックス、ポート番号など) が必要な場合があります。
分岐	アプリケーション内で機能するリポジトリ分岐。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: この分岐はコミットに使用されます。リモートリポジトリにまだ設定されていない場合、デフォルトの分岐は「メイン」に設定されます。リモートの Git リポジトリにデフォルトの分岐がない場合、インスタンスは「メイン」という名前の新しいデフォルトの分岐を作成します。これは、glide.source_control.git_default_branch システムのプロパティを使用して構成されます。
MID サーバー名前	リンクに使用する既存の MID サーバー の名前。 **注:** ディスカバリーアクティビティとの競合を防ぐために、別のMID サーバーを使用します。 MID サーバー ユーザーが [sys_attachment] テーブルにファイルを作成でき、そのテーブルが「バンドル」タイプのファイルを受け入れることができることを確認してください。 MID サーバーを介したリンクまたはアプリケーションにより、ファイアウォールの背後にあるリポジトリへのアクセスが可能になります。詳細については、「MID Server」を参照してください。
デフォルトのメール	コミット担当者のメールアドレスは、sys_user レコードによって定義されます (利用可能な場合)。ただし、コミット担当者の [sys_userレコードメール] フィールドが空の場合、 ServiceNow AI Platform は代替メール (username@instancename.service-now.com) を生成します。デフォルトのメールアドレスを入力して、後で変更することもできます。 すべてのケースでそのデフォルトのメールアドレスを使用する場合は、このチェックボックスをオンにします。
認証情報	選択したプロトコルで使用する認証情報。認証情報の作成の詳細については、「Get started with credentials」を参照してください。 **注:** SSH ネットワークプロトコルを選択した場合は、SSH 秘密キータイプの有効な認証情報を入力します。https プロトコルを選択した場合は、基本認証情報タイプの有効な認証情報を入力します。
コミットのコメント	リポジトリまたはアプリケーションの付随的説明

注:
インスタンス上のすべてのアプリケーション開発者は、1 組のリポジトリ認証情報を共有します。

5. [ソースコントロールにリンク] を選択します。
ServiceNow AI Platform接続とユーザーの認証情報を検証し、成功メッセージを表示します。

インスタンスのすべてのアプリケーション開発者は、リンクされた Git リポジトリを使用して変更を管理できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

関連情報

MID サーバー

認証情報の開始

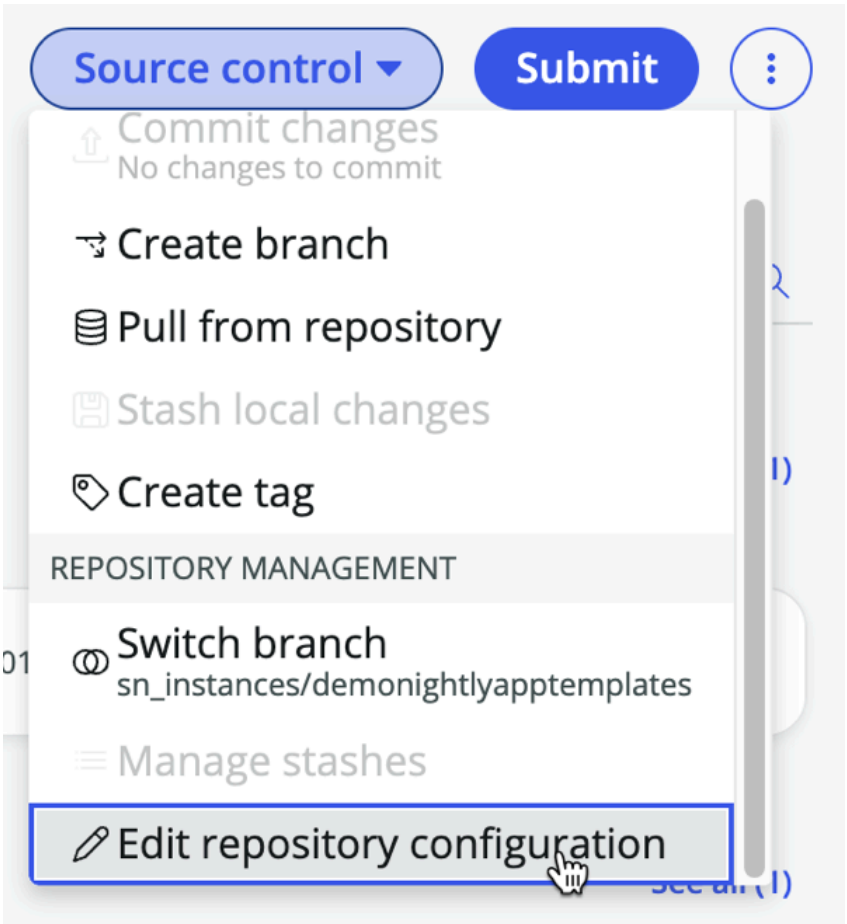
で **Git** リポジトリ構成を編集する **ServiceNow** スタジオ

Git リポジトリの ServiceNow スタジオ との統合を編集して、ネットワークプロトコルの選択、認証情報、またはその他のフィールドエントリを変更できます。

始める前に
必要なロール：admin

手順

1. 移動先 すべて > **App Engine** > **ServiceNow** スタジオ.
2. 更新するアプリケーションを開きます。
3. 選択 ソースコントロール > リポジトリ構成を編集.



4. フォームのフィールドに入力します。

リポジトリ構成フィールド

フィールド	定義
ネットワークプロトコル	ソースコントロールのプロトコル (**https** または **ssh**)。

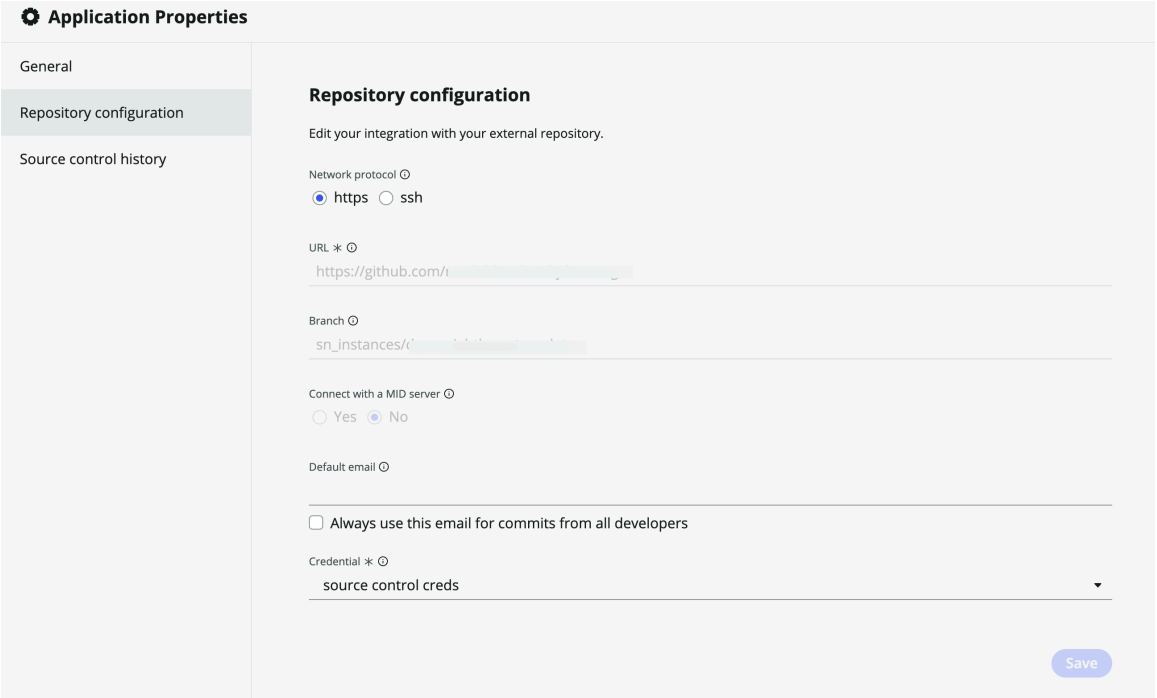
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	定義
URL	リポジトリの URL アドレス。
分岐	リポジトリの現在の分岐。
との接続 MID サーバー	ファイアウォールの背後にあるリポジトリへのアクセスを可能にする MID サーバー 接続を使用するかどうか。 **注:** MID サーバー名がない場合は、ドロップダウンリストから新しい名前を選択できます。新しい MID サーバーを選択する場合は、エラーを回避するために、ソース コントロール メニューで、それ以降のソースコントロール操作を行います。
デフォルトのメール	コミット担当者のメールアドレスは、sys_user レコードによって定義されます (利用可能な場合)。 コミット担当者の sys_user レコードメールフィールドが空の場合、システムは代替メール (username@instancename.service-now.com) を生成します。デフォルトのメールアドレスを入力し、[すべての開発者からのコミットには常にこのメールを使用します] チェックボックスをオンにして、後で変更することもできます。
認証情報	ソースコントロール接続に使用する保存済み認証情報。 インスタンス上のすべてのアプリケーション開発者は、リポジトリごとに 1 つの認証情報のセットを共有します。認証情報の操作の詳細については、「Get started with credentials」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



5. [保存] を選択します。

ServiceNow スタジオ を使用したアプリでのコラボレーション

ServiceNow スタジオでアプリ開発を社内の他のユーザーと共同作業したり共有したりできます。

コラボレーションは委託開発です

コラボレーション (委託開発とも呼ばれます) は、ServiceNow AI Platform に設定されている既存の委託開発機能に基づいてビルドされます。これにより、開発者は他の開発者をアプリに招待し、共同でアプリを作成、開発できるようになります。権限に応じて、アプリでコラボレーションするように他の人を招待したり、他の人のアプリへの参加を要求したりできます。委託開発の詳細については、「委託開発 の探索」を参照してください。

他の人とアプリを共同開発する場合、標準的な協力者にはオーナーとエディターの 2 種類があります。アドミニストレーターは、権限を調整してカスタムコラボレーションロールを作成できます。

コラボレーションの要件

ServiceNow スタジオ は、適切にライセンスされた顧客向けのコラボレーションプラグインをサポートしています。

注:

1. コラボレーションを最大限に活用するには、App Engine Enterprise ライセンスが必要です。
2. コラボレーションプラグインが既にインストールされている場合は、引き続きコラボレーションを使用できます。
3. コラボレーションをインストールしていないお客様は、 ServiceNow スタジオ で委託開発権限を管理できません。既存の委託開発権限は、 ServiceNow スタジオ内で引き続き尊重されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アクセスできるアプリ

ServiceNow スタジオ にアクセスできる 2 つの ServiceNow スタジオ ロール (admin と delegated_developer) は、アプリに対して異なるアクセス権を持ちます。

- admin ロールを持つユーザーは、ServiceNow スタジオ 内のすべてのアプリに自動的にアクセスできるようになります。
- delegated_developer ロールを持つユーザーは、次のアプリにアクセスできます。
  - 作成したアプリ。
  - (アプリのエディターとして) 編集するよう招待されたアプリ。
  - アクセスできるスコープ内のすべてのアプリ。スコープの詳細については、「アプリケーションスコープ」を参照してください。

作業したいアプリがわかっているのに ServiceNow スタジオ に表示されない場合は、アドミンに連絡して、コラボレーションアプリを使用してアプリで作業する許可を与えるように依頼してください。ServiceNow AI Platform コラボレーションアプリは、ServiceNow スタジオ とともに自動的にインストールされます。コラボレーションアプリの詳細については、「アプリケーションコラボレーション」を参照してください。

アプリのオーナーとエディターができること

他の開発者とアプリで作業するためのデフォルトの協力者ロールには、オーナーとエディターの 2 つがあります。

- アプリを作成した場合、そのアプリのオーナーになります。
- 作業を委任されたアプリが ServiceNow スタジオ にある場合は、そのアプリを開いて、オーナーからアサインされたコラボレーションロールで作業を開始できます。そのロールは通常、エディターです。

デフォルトのコラボレーション記述子

記述子	説明
Owner (所有者)	アプリケーションのオーナー。 • アプリを作成した場合は、自動的にオーナーになります。 • オーナーは、アプリの他の協力者を管理できます。 • オーナーは アプリの削除 権限を持っているため、アプリを削除できます。 • オーナーは、アプリの delegated_developer ロールを自動的に取得します。
エディター	• エディターは協力者を招待できます。 • エディターがアプリを編集する機能はさらに限られています。

注:
オーナーとエディターの協力者のデフォルトのコラボレーションタイプ権限のリストについては、「ServiceNow スタジオ のコラボレーション権限」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

カスタムのコラボレーション記述子と権限

ユーザーにアサインされているコラボレーション記述子によって、委託開発権限をアサイン、管理、監視できるかどうかが決まります。たとえば、オーナーであるユーザーは、エディターのコラボレーション記述子のユーザーよりも多くのことができます。

アプリのビルドを支援するためにカスタマイズされたコラボレーションロールを作成する場合は、カスタマイズされたコラボレーションロールであるカスタム コラボレーション記述子を作成できます。次に、コラボレーション権限 を使用して、開発者 (またはアプリケーションを展開するユーザー) がアプリで実行できることを制御します。

必要に応じて、アドミンは、コラボレーションアプリを使用して協力者を管理するときに選択するカスタムコラボレーション記述子を定義できます。カスタム記述子の詳細については、「権限をアサインするためのコラボレーション記述子の作成」を参照してください。

他の開発者のコラボレーション権限の管理

アプリでのコラボレーションに誰かを招待し、その人が委任開発者 (delegated_developer) ロールを持っていない場合、App Engine アドミンはコラボレーション要求を承認する必要があります。詳細については、「委託開発 の探索」を参照してください。

ユーザーまたはグループをアプリでの共同作業に追加すると、バックグラウンドでコラボレーションタスクが生成され、承認フローが開始されます。App Engine 管理センター (AEMC) がインストールされている場合、アドミンはそこでこれらのコラボレーション要求タスクを確認して承認/拒否できます。アドミンに送信されるコラボレーションタスクは、開発者がどのアプリに追加され、どの権限を取得するかについての情報を提供します。アドミンと承認者は、開発者をアプリケーションに追加する前に、これらのタスクレコードを確認しなければならない場合があります。

AEMCがインストールされていない場合、アドミニストレーターは すべて > **App Engine** > コラボレーション > コラボレーションタスク.

ServiceNow スタジオ でのアプリの協力者の表示

アプリの協力者を表示して、 ServiceNow スタジオでアプリを共同開発しているユーザーを確認します。

始める前に

コラボレーションをインストールしていないお客様は、 ServiceNow スタジオ で委託開発権限を管理できません。既存の委託開発権限は、 ServiceNow スタジオ内で引き続き尊重されます。

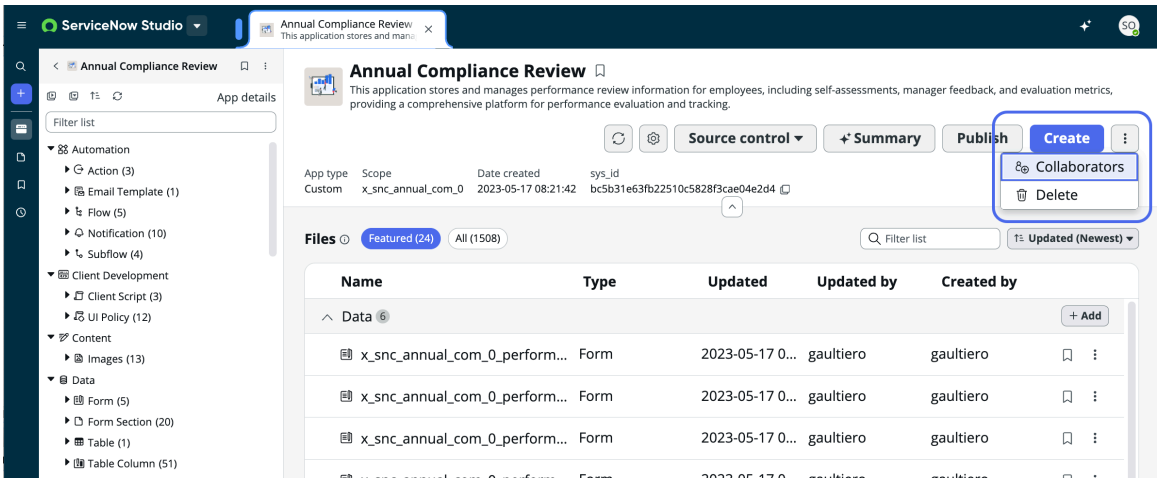
必要なロール：admin または delegated developer

手順

1. 移動先 すべて > **App Engine** > **ServiceNow** スタジオ.
2. 協力者を表示するアプリを選択し、[アプリの詳細] を選択します。
3. コラボレーション設定にアクセスするには、[その他のオプション] アイコン ( ) を選択し、[協力者] を選択します。

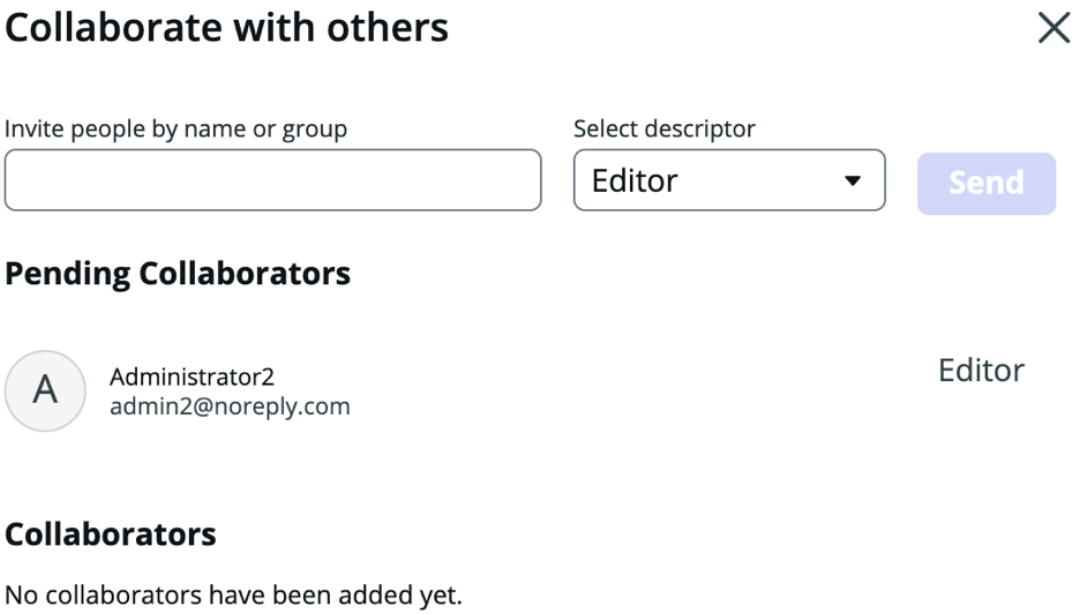
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



4. [他のユーザーとコラボレーション (Collaborate with others)] モーダルで協力者の名前、グループ、および記述子を確認します。

協力者の表示



自動翻訳

タスクの結果
協力者を表示するときに、追加のアクションを実行できます。詳細は、以下のトピックを参照してください。

- ServiceNow スタジオ のアプリに協力者を追加する
- ServiceNow スタジオ でのユーザーまたはグループのコラボレーション権限の変更またはカスタマイズ
- ServiceNow スタジオ でアプリから協力者を削除する

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ServiceNow スタジオ のアプリに協力者を追加する

他のユーザーを招待して、 ServiceNow スタジオ で共同開発者としてコラボレーションして、アプリで一緒に作業します。

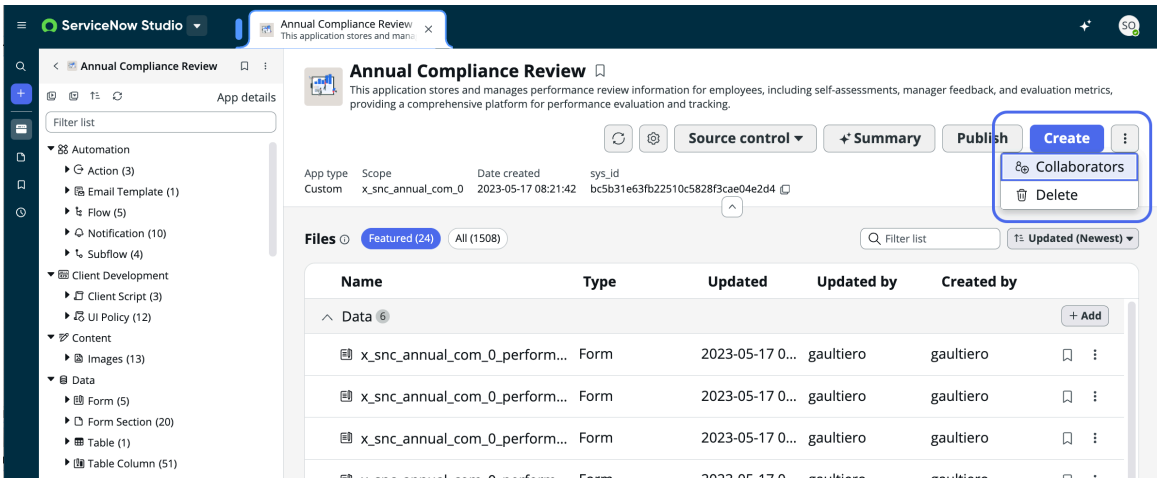
始める前に

コラボレーションをインストールしていないお客様は、 ServiceNow スタジオ で委託開発権限を管理できません。既存の委託開発権限は、 ServiceNow スタジオ内で引き続き尊重されます。

必要なロール：admin または delegated developer

手順

1. 移動先 すべて > **App Engine** > **ServiceNow** スタジオ.
2. 協力者を追加するアプリを選択し、[アプリの詳細] を選択します。
3. コラボレーション設定にアクセスするには、[その他のオプション] アイコン ( ) を選択し、[協力者] を選択します。



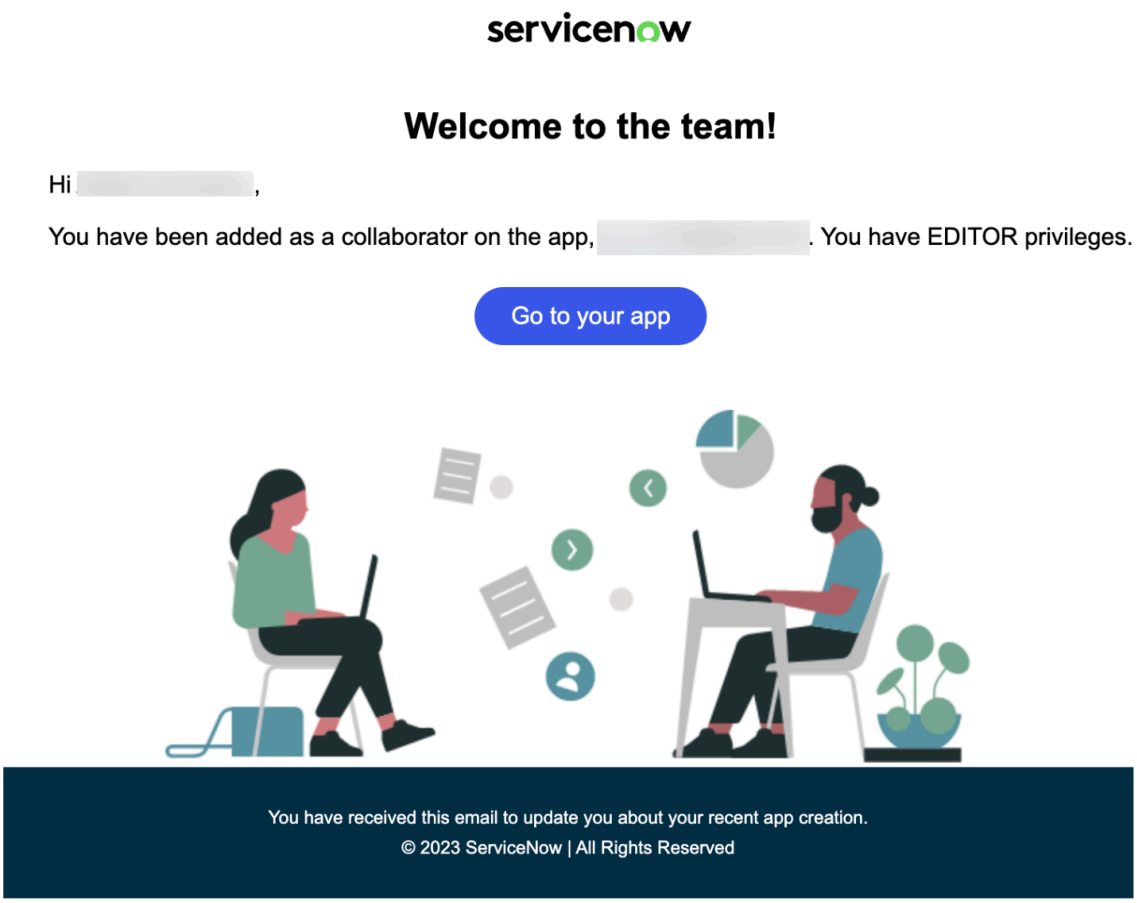
4. [名前またはグループでユーザーを招待 **(Invite people by name or group)]** フィールドに名前を入力して、アプリでの作業に招待するユーザーまたはグループを検索します。
ドロップダウンリストに、一致するユーザーとグループが表示されます。ドロップダウンリストに表示されているユーザーまたはグループを選択できない場合は、既に協力者として追加されており、再度選択することはできません。
5. [記述子を選択 **(Select descriptor)]** フィールドから、追加するユーザーまたはグループのコラボレーションロールを選択します。
アプリのエディターである場合は、エディター記述子のみを選択できます。
   - コラボレーション記述子の詳細については、「ServiceNow スタジオ を使用したアプリでのコラボレーション」を参照してください。
   - すべてのコラボレーション権限のリストについては、「ServiceNow スタジオ のコラボレーション権限」を参照してください。
6. [送信] を選択して、協力者の招待を終了します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タスクの結果

- ユーザーが ServiceNow スタジオ または委任開発者権限を持ち、ServiceNow AI Platform を初めて使用する場合は、アドミンによる承認が必要です。要求が承認されると、要求者とユーザーの両方に、ユーザーがアプリケーションに追加されたことを示すメールが送信されます。



- ユーザーが ServiceNow スタジオ または委任開発者権限を持ち、ServiceNow AI Platform を以前に使用したことがある場合、コラボレーション要求は自動承認されます。要求者とユーザーの両方に、ユーザーがアプリケーションに追加されたことを示すメールが送信されます。

ServiceNow スタジオ でのユーザーまたはグループのコラボレーション権限の変更またはカスタマイズ

コラボレーション記述子を変更またはカスタマイズすることで、ユーザーまたはグループが ServiceNow スタジオ でアプリで作業するために必要なコラボレーションアクセス権を変更します。

始める前に

コラボレーションをインストールしていないお客様は、 ServiceNow スタジオ で委託開発権限を管理できません。既存の委託開発権限は、 ServiceNow スタジオ内で引き続き尊重されます。

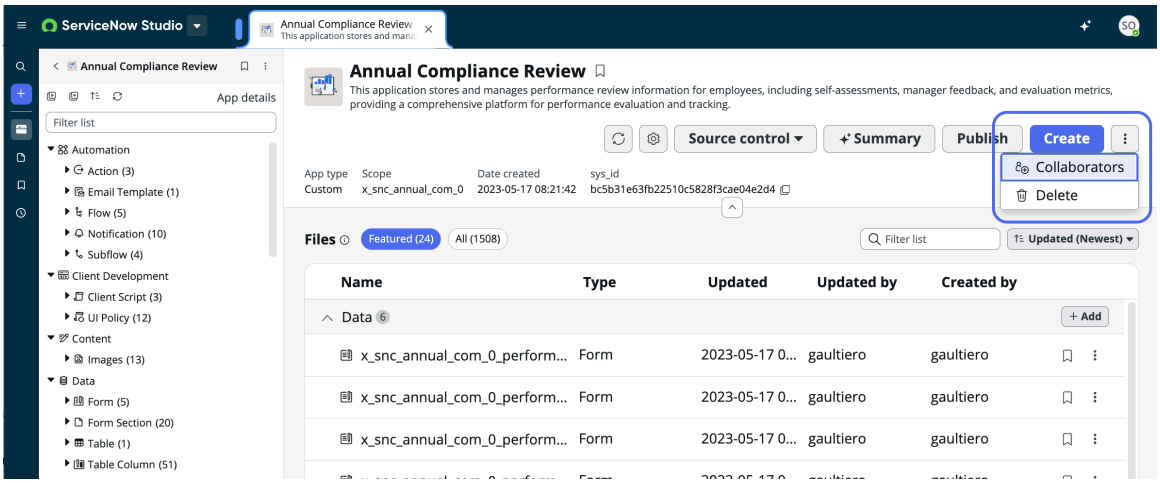
必要なロール：admin または delegated developer

手順

1. 移動先 すべて > **App Engine** > **ServiceNow** スタジオ.
2. 協力者を変更するアプリを選択し、[アプリの詳細] を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

3. コラボレーション設定にアクセスするには、[その他のオプション] アイコン ( ) を選択し、[協力者] を選択します。



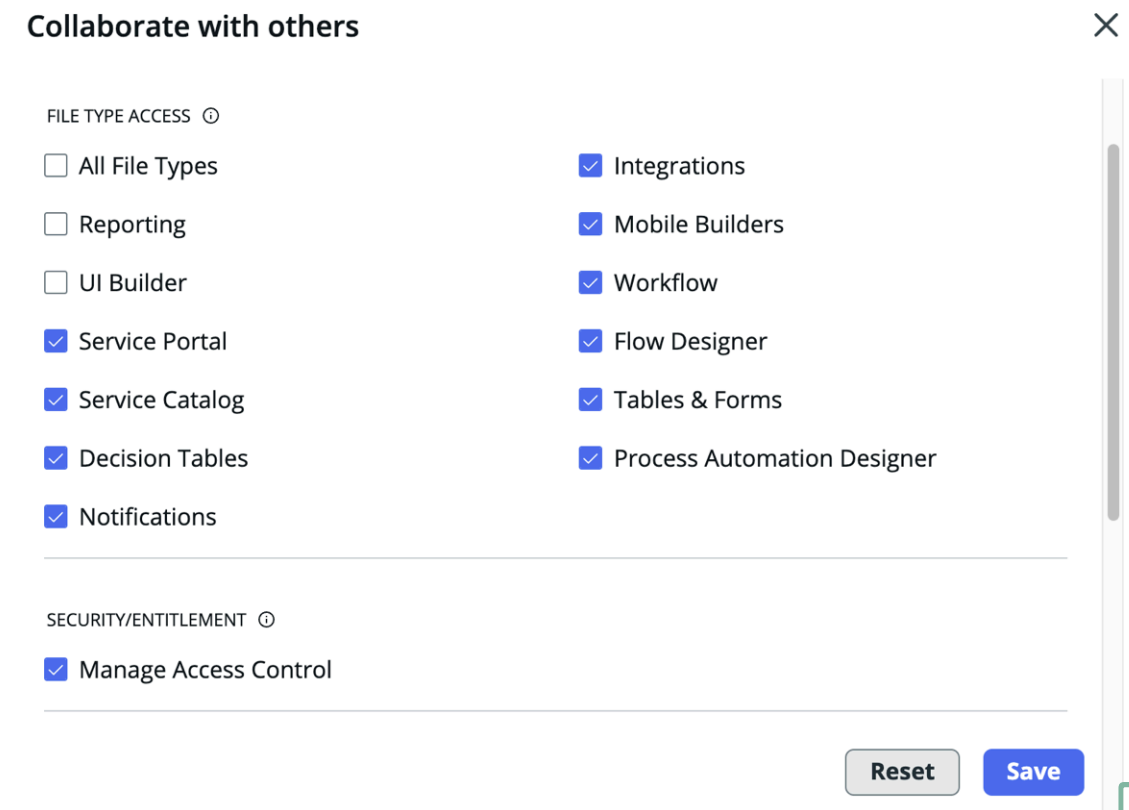
4. モーダルの [協力者] セクションで、ユーザーまたはグループの新しい権限レベルを選択します。
5. オプション: カスタム権限を作成して、協力者が実行できることをカスタマイズします。

   a. [協力者] セクションで、ユーザーまたはグループの [権限をカスタマイズ **(Customize permissions)]** を選択します。

   b. グループまたはユーザーに付与する権限を選択します。
   権限の詳細については、「ServiceNow スタジオ のコラボレーション権限」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

コラボレーション権限をカスタマイズする



c. [保存] を選択します。

タスクの結果
[他のユーザーとのコラボレーション (Collaborate with others)] モーダルを閉じると、変更が自動的に保存されます。

次のタスク
App Engine アドミンは、協力者に対する変更を承認する必要があります。詳細について、アドミンは「コラボレーション要求を承認する」を参照してください。

ServiceNow スタジオ でアプリから協力者を削除する

ユーザーまたはグループを協力者として削除して、 ServiceNow スタジオ でアプリで作業することを制限します。

始める前に
コラボレーションをインストールしていないお客様は、 ServiceNow スタジオ で委託開発権限を管理できません。既存の委託開発権限は、 ServiceNow スタジオ内で引き続き尊重されます。

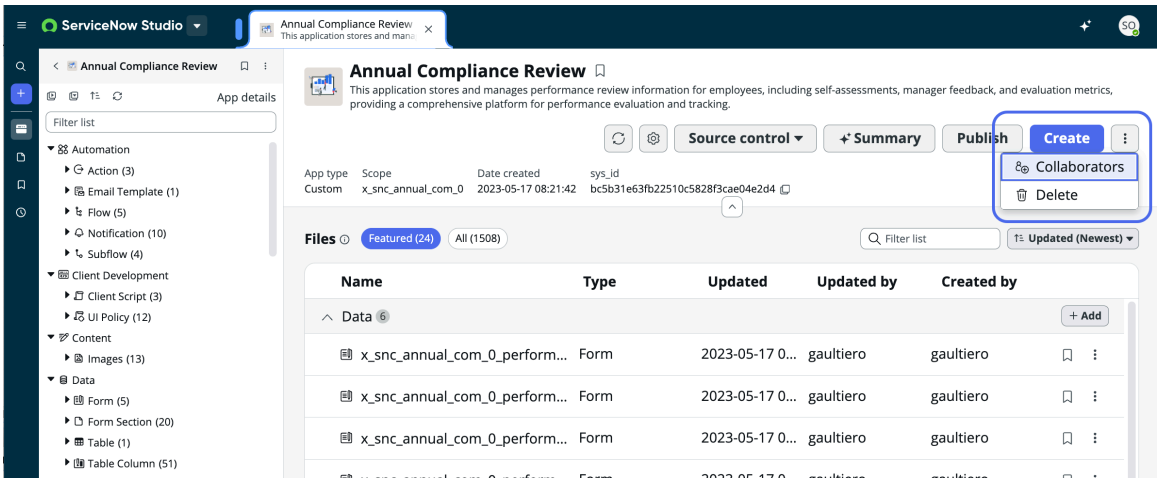
必要なロール：admin または delegated developer

手順

1. 移動先 すべて > **App Engine** > **ServiceNow** スタジオ.
2. 協力者を削除するアプリを選択し、[アプリの詳細] を選択します。
3. コラボレーション設定にアクセスするには、[その他のオプション] アイコン ( ) を選択し、[協力者] を選択します。

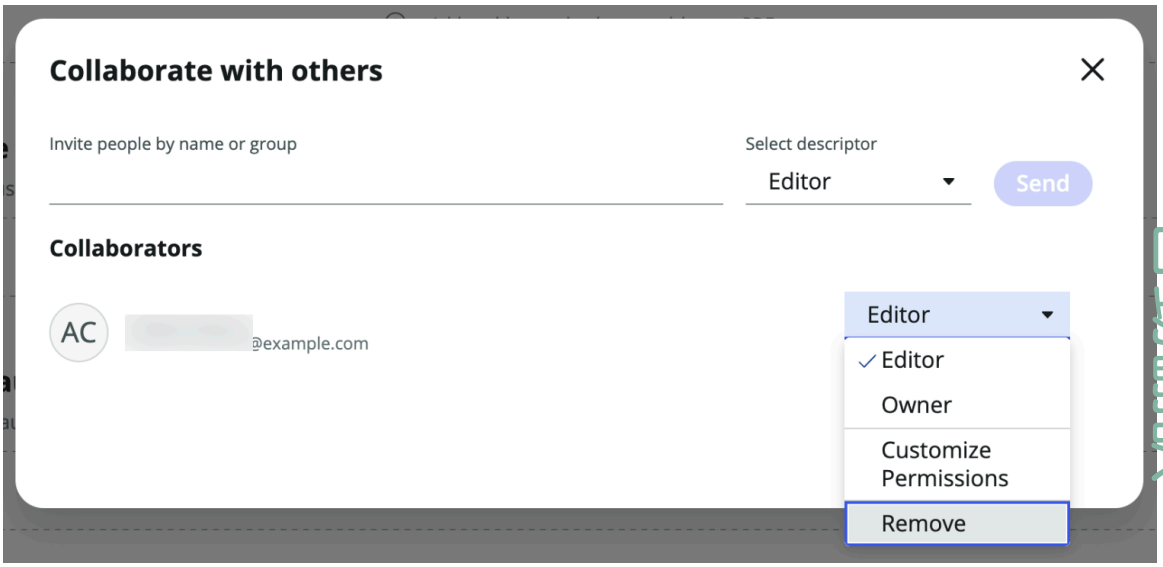
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



4. モーダルの [協力者] セクションで、ユーザーまたはグループの [削除] を選択します。

協力者の削除



タスクの結果
[他のユーザーとのコラボレーション (Collaborate with others)] モーダルを閉じると、変更が自動的に保存されます。

ServiceNow スタジオ の使用

ServiceNow スタジオでアプリ開発を加速します。ServiceNow AI Platform機能の多くは、一連の開発ツールおよびビルダーと統合されており、効率的で強力なアプリ開発と展開エクスペリエンスを提供します。

の目的 ServiceNow スタジオ

ServiceNow スタジオ は、従来のスタジオ製品の多くの優れた機能を改善し、アプリ開発エクスペリエンスを高速化できる新機能を統合します。 ServiceNow スタジオ を使用すると、次のことをより迅速かつ簡単に実行できるため、アプリ開発エクスペリエンスが向上します。

- 開発に必要な適切なツールにアクセスし、切り替えて、採用します。
- アプリやメタデータレコードで作業内容を検索、整理、編集します。
- 更新セット、パイプライン、または アプリケーションリポジトリを使用して、アプリケーションで作業を追跡、パッケージ化、および展開します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

でのアプリケーションの操作 **ServiceNow** スタジオ

権限に応じて、インスタンス内のアプリケーションの作成、更新、管理、公開、削除はすべて ServiceNow スタジオから行うことができます。

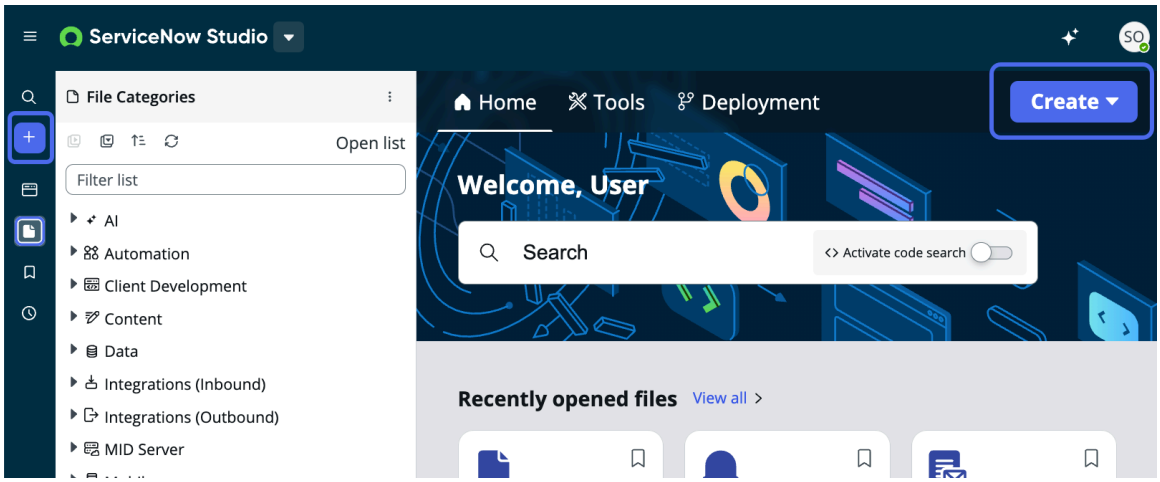
アプリの内容 **ServiceNow**

ServiceNowアプリは、指定されたユーザーグループに対して特定のタスクを実行するパッケージです。アプリは、アクセスおよび編集できるユーザーに関する一連のルールを持つコンテナと考えてください。たとえば、 ServiceNow アプリには、API、テーブル、ワークスペース、フォーム、フロー、またはそれらの任意の組み合わせを含めることができます。

アプリケーションの中には、少数のファイルしか含まれないものもあれば、数千のファイルを含むものもあります。ServiceNow スタジオ では、権限に応じて、さまざまなファイルタイプを使用して、さまざまなサイズのアプリを作成して作業できます。

新しいアプリケーションの作成

アプリの作成は、ServiceNow スタジオ ホームページのいずれかの [作成] ボタンを使用して開始できます。詳細については、「ServiceNow スタジオ でのアプリケーションの作成」を参照してください。

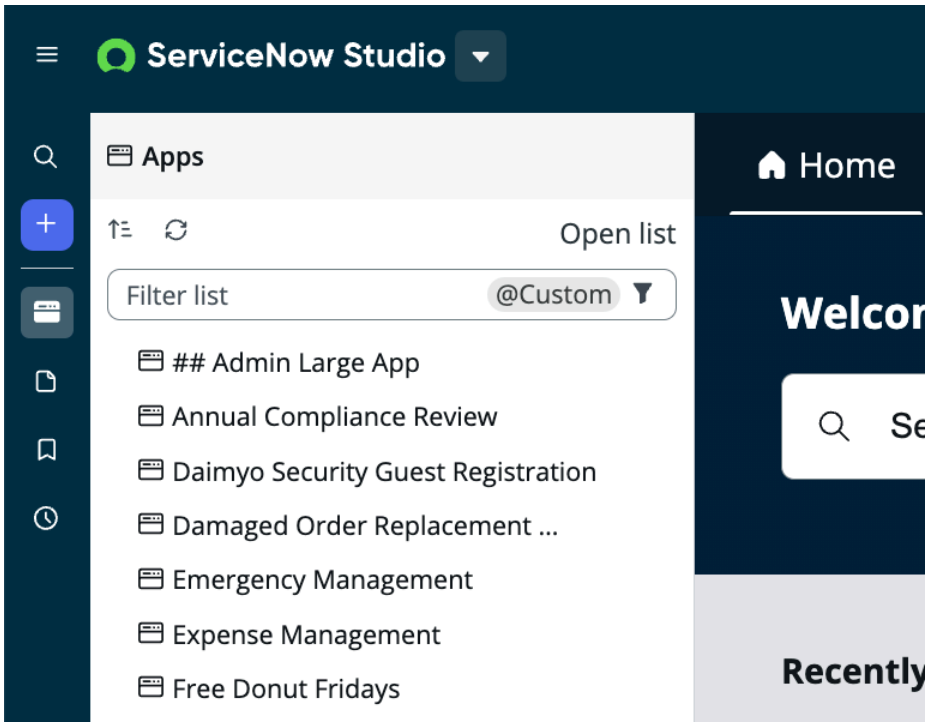


既存のアプリケーションを初めて開く

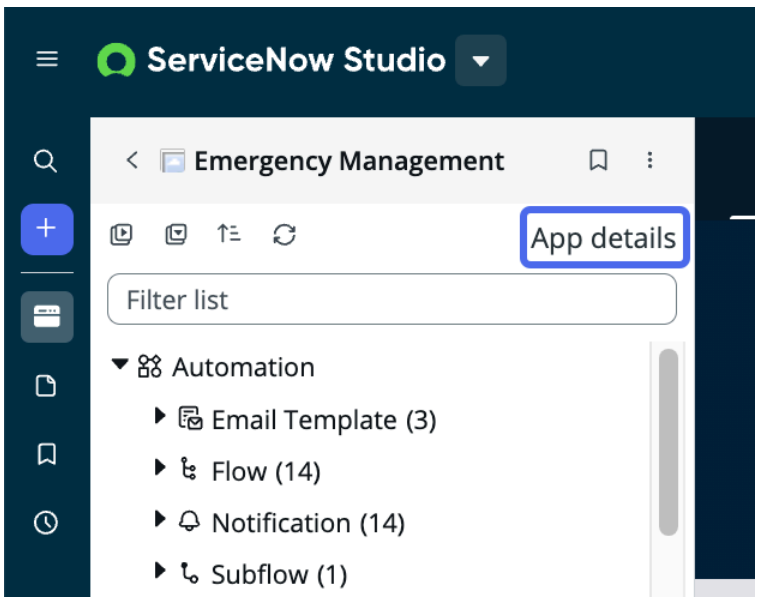
ServiceNow スタジオを初めて開くときは、画面の左側にあるナビゲーターパネルからアプリを開きます。アプリを検索するか、リストから選択することができます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



アプリを選択すると、アプリのコンテンツ全体が開き、すべてのファイルタイプがカテゴリ別 (自動化など) 別に整理されます。[アプリの詳細] を選択して、新しい統合タブでアプリを開きます。



アプリケーションを開く方法の詳細については、「 ナビゲーターパネルを使用したアプリまたはアプリファイルの検索」を参照してください。

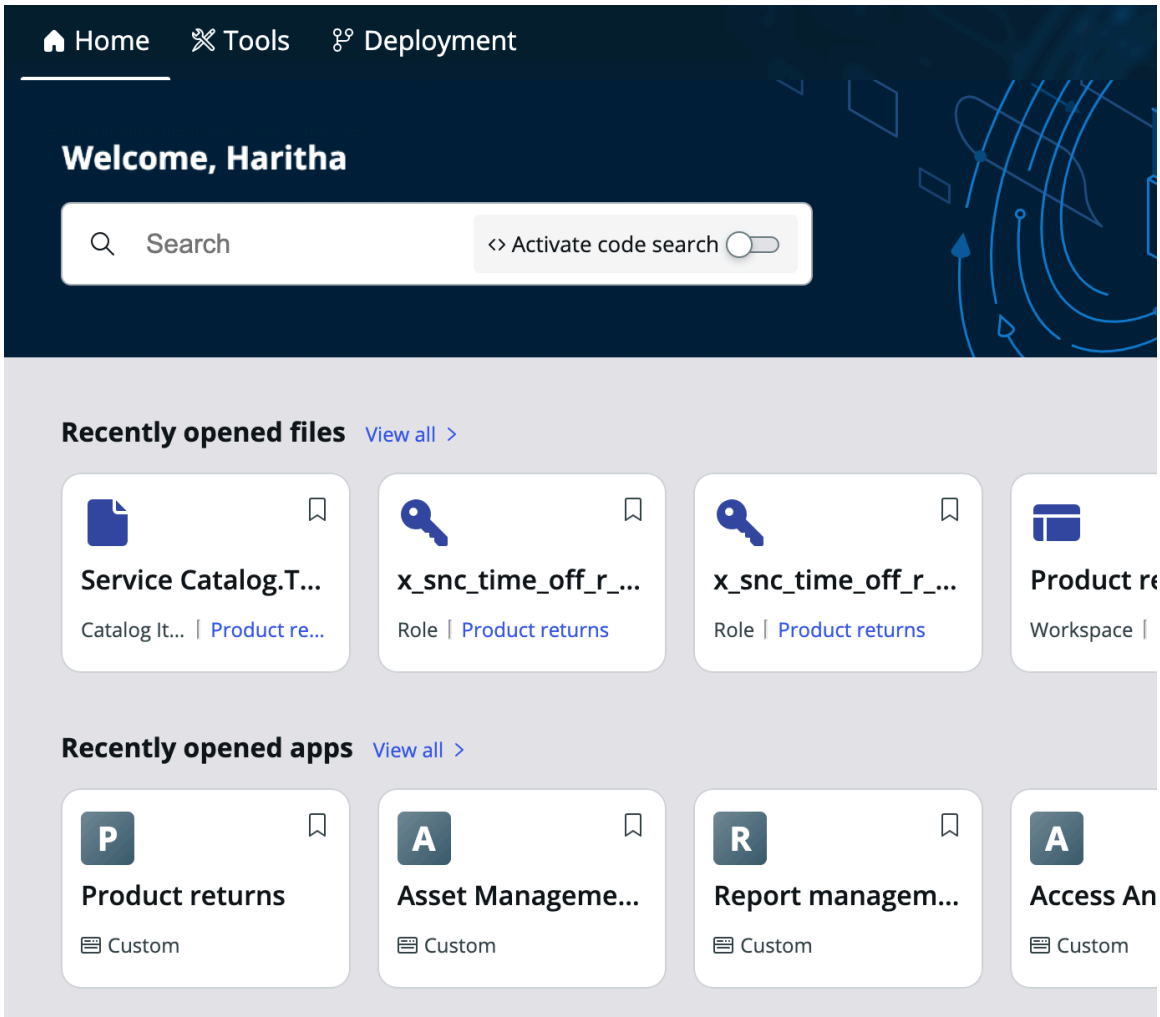
アプリの詳細からアプリケーションを操作する方法の詳細については、「 [アプリの詳細] ページ」を参照してください。

継続的な作業のためにアプリを開く

アプリを初めて開くと、 ServiceNow スタジオ ホームページの [最近開いたアプリ] セクションに表示されます。最近開いたファイルには、ホームページからもアクセスできます。

自動翻訳

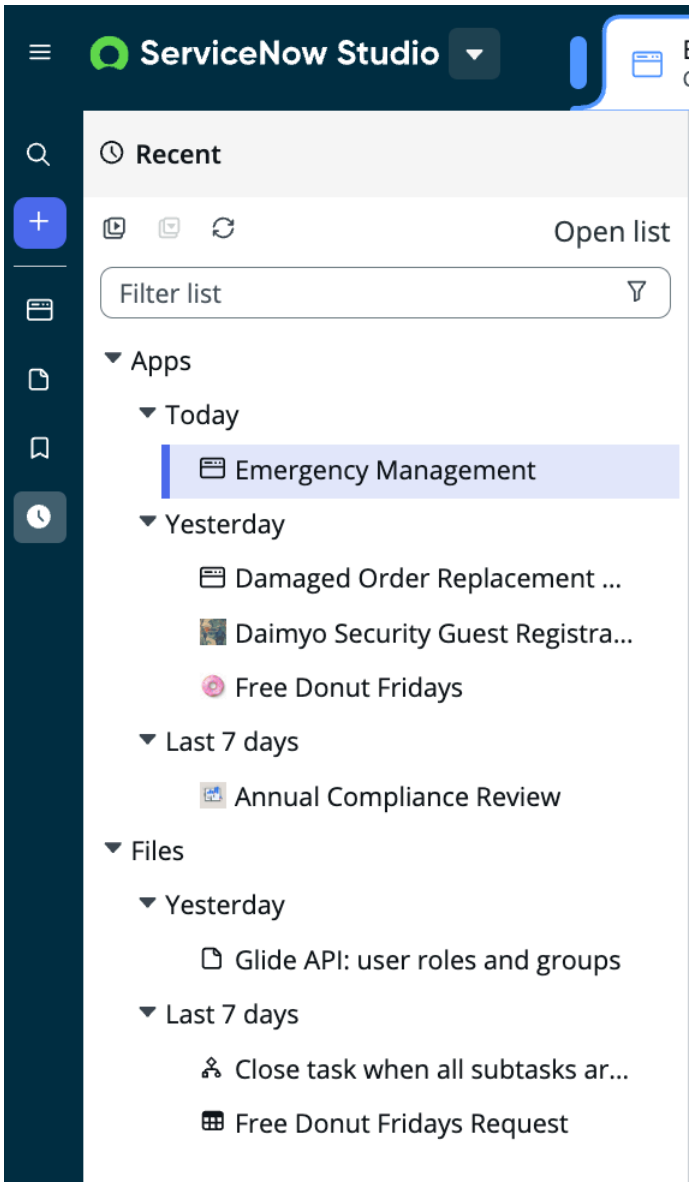
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



ナビゲーターパネルの [最近] セクションにアクセスして、特定の期間に基づいて作業したアプリやファイルを検索することもできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



自動翻訳

ServiceNow スタジオ でのアプリケーションの作成

ServiceNow スタジオ でカスタムアプリケーションを作成します。アプリの基盤を作成したら、ServiceNow スタジオの統合開発ツールとビルダーを使用して、データ、自動化、またはその他の多くの種類のアプリファイルを追加できます。

始める前に
バージョン 27.1.2 の時点では、admin と ガイド付きアプリケーションクリエーター (GAC) ロールを持つユーザーの両方が ServiceNow スタジオ でアプリを作成できます。カスタムグローバルアプリを作成するには、GAC ユーザーにグローバルロールが必要です。

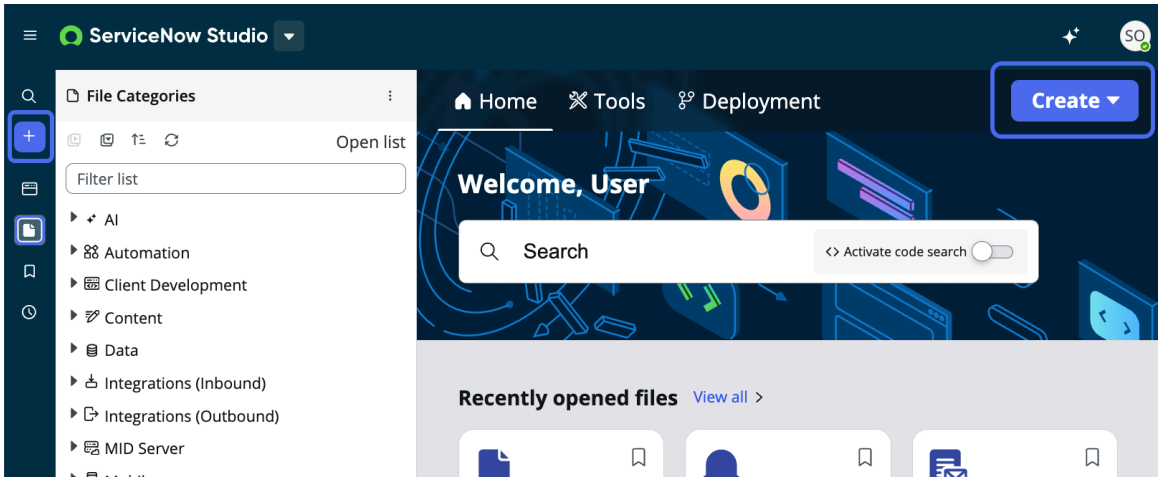
必要なロール:admin または Guided Application Creator ロール

このタスクについて
次の手順を使用してアプリを作成することも、 Now Assist ツールを使用してアプリの作成をすぐに開始することもできます。対話型インターフェイスを使用してアプリを作成する方法の詳細については、「 Now Assist でのアプリ生成用 ServiceNow スタジオ」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

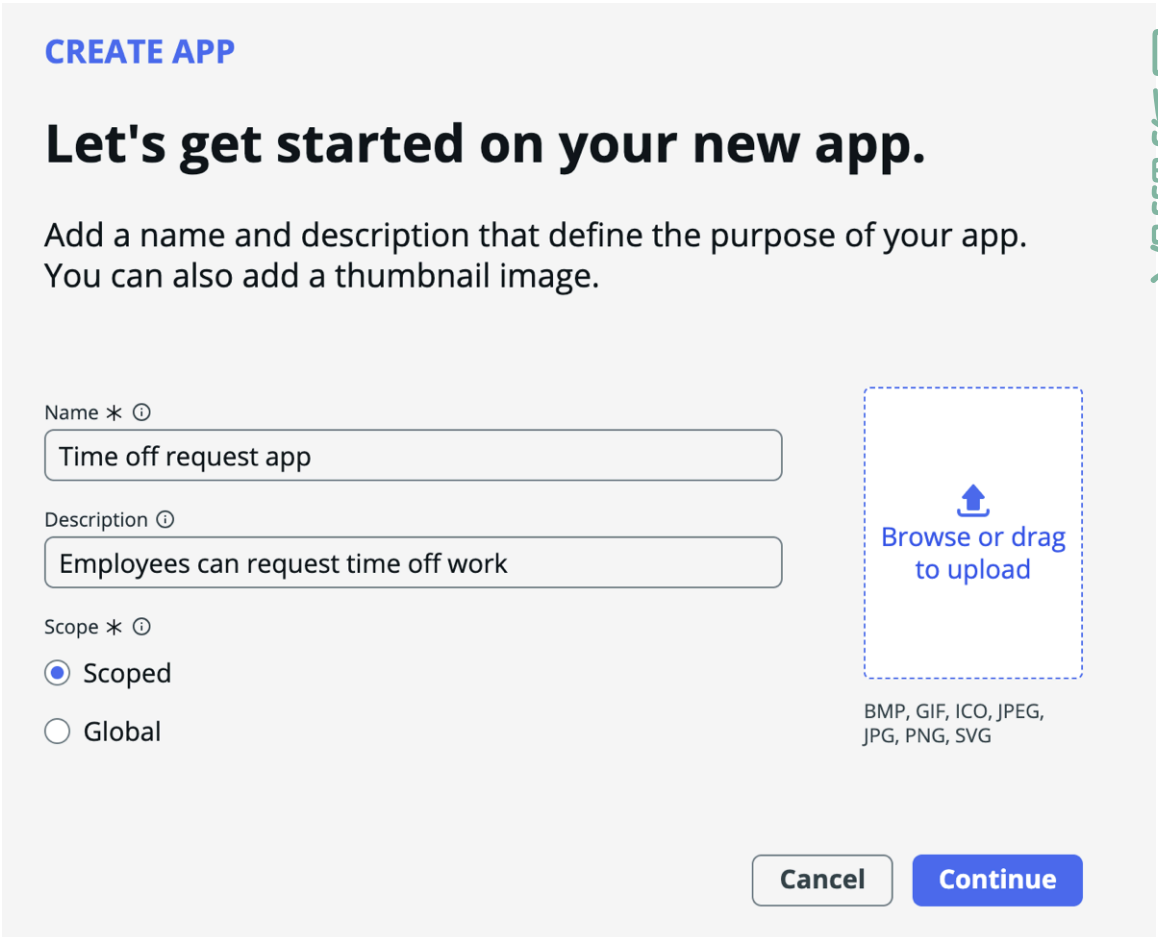
手順

1. 移動先 すべて > **App Engine** > **ServiceNow** スタジオ.
2. ナビゲーターパネルの横にある作成アイコン ( ) または [作成] ボタンを選択します。



3. 表示されるオプションから [アプリケーション] を選択します。
4. フォームにアプリの基本情報を入力します。

アプリの基本的な詳細を作成する



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. アプリケーションの名前と説明を入力します。

b. オプション: [参照またはドラッグしてアップロード **(Browse or drag to upload)]** フィールドに画像をドラッグするか、そのフィールドを選択してファイルディレクトリから画像を選択してから [開く] を選択して、ロゴを追加します。

c. [スコープ] を指定します。

- スコープ対象とは、アプリがインスタンス上の他のデータをやり取りしないことを意味します。デフォルトでは、アプリは自身のテーブルとビジネスロジックにアクセスして変更できますが、他のアプリは明示的な権限を与えない限りアクセスできません。
- グローバルとは、インスタンス上のすべてのテーブルとビジネスロジックがアプリとやり取りできることを意味します。

スコープの操作の詳細については、「アプリケーションスコープ」を参照してください。

d. [続行] を選択します。

5. ロールを追加して、アプリへのユーザーアクセスを定義します。
ServiceNow スタジオ は、デフォルトのアドミンロールとユーザーロールを自動的に定義します。事前定義されたロールを削除することも、ロールを追加することもできます。ロールの詳細については、「Managing roles」を参照してください。

a. [ロールを追加 **(Add a role)]** を選択します。

b. ロールの名前と説明を入力します。

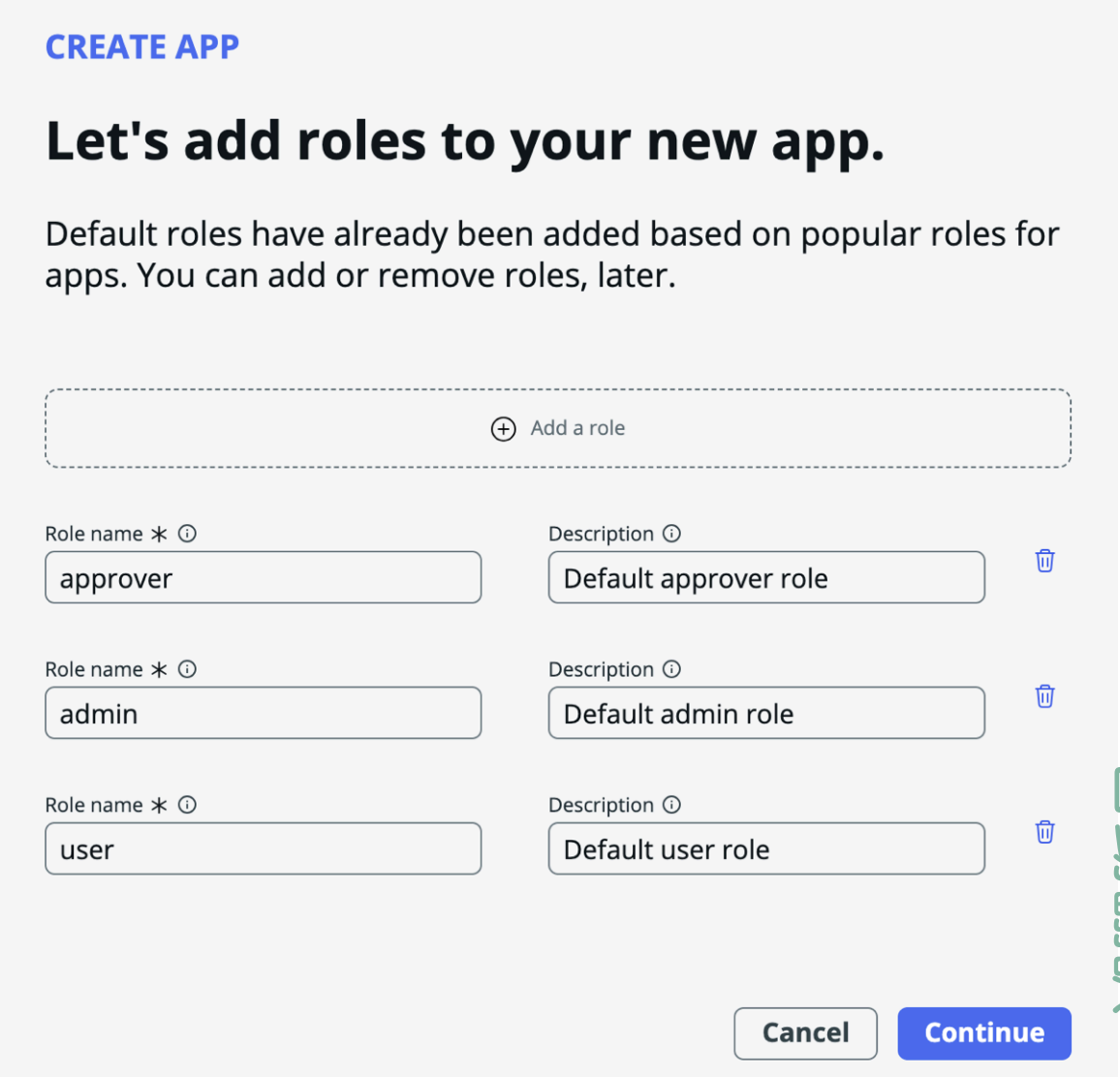
c. 追加する必要があるロールの数だけ、このプロセスを繰り返します。

d. [続行] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ロールにより、アプリへのユーザーアクセスが作成される



自動翻訳

6. 新しいファイルを作成するか、アプリの詳細ページを表示して、アプリのビルドを続行します。
   - [ファイルの作成] を選択して、アプリケーションへのファイルの追加をすぐに開始します。
   - [アプリの詳細を表示] を選択して、新しいアプリのアプリの詳細ページに移動します。

タスクの結果

アプリが作成されたので、アプリケーションファイル、依存関係、クロススコープ権限などの他のコンテンツを追加できます。詳細については、「でアプリファイルを作成する ServiceNow スタジオ」、「ServiceNow スタジオナビゲーターでのメタデータアプリファイルカテゴリの操作」、「での統合開発ツールとビルダーへのアクセス ServiceNow スタジオ」を参照してください。

でアプリファイルを作成する **ServiceNow** スタジオ

アプリケーションファイルを作成して、アプリケーションの機能の一部を定義します。たとえば、ServiceNow スタジオ を使用してセキュリティファイルを追加し、アプリにアクセスできるユーザーを定義できます。

始める前に

必要なロール：admin または delegated_developer

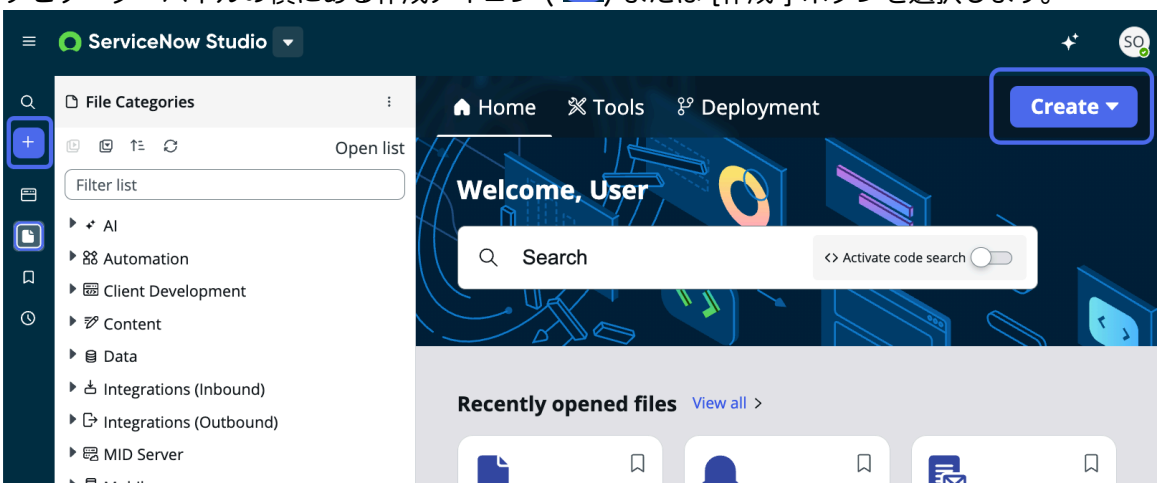
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて
アプリケーションファイルは、基本的に、ビジネスルール、ワークフロー、スクリプトインクルードなどのアプリケーションロジックのメタデータレコードです。アプリ ファイルの詳細については、「 アプリケーションファイル と ServiceNow スタジオナビゲーターでのメタデータアプリファイルカテゴリの操作」を参照してください。

委任開発者は、自分がアクセスできるアプリのアプリファイルを作成できます。アプリを作成する必要がある場合は、アドミンにお問い合わせください。

手順

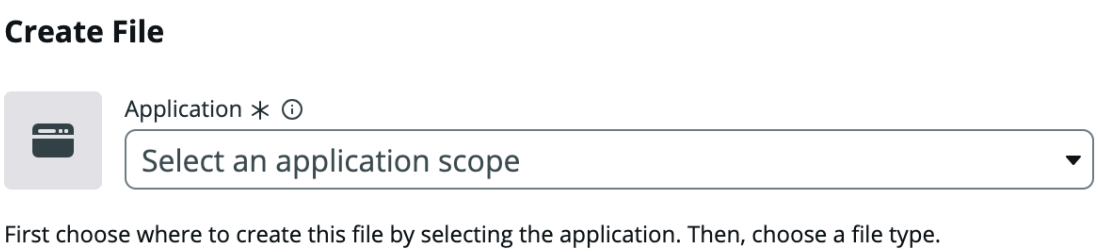
1. 移動先 すべて > **App Engine** > **ServiceNow** スタジオ.
2. ナビゲーターパネルの横にある作成アイコン ( ) または [作成] ボタンを選択します。



3. [ファイル] を選択します。
4. ファイルが属するスコープを指定するには、[アプリケーション] フィールドにファイルを入力します。

   注:
   アプリ内から直接ファイルを作成する場合は、[アプリケーション] フィールドにアプリケーションの名前が入力されます。

   アプリファイルをすべてのアプリで使用できるようにするには、[グローバル] スコープを選択します。



5. 作成するファイルのタイプのカードを選択します。

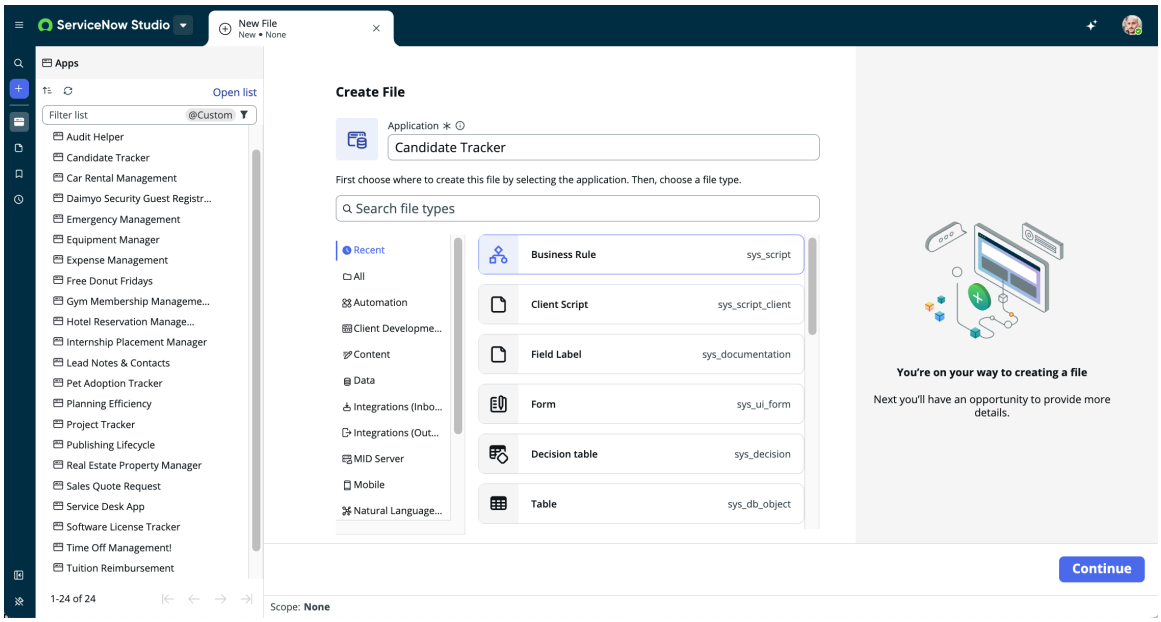
   ファイルの種類は、いくつかの方法で見つけることができます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 統合タブの左側にあるメタデータカテゴリの 1 つを選択して、利用可能なタイプをフィルタリングします。
- 検索バーに探しているファイルのタイプを入力します。
- [最近使用したファイルタイプ] のリストから選択します。

注:
表示される利用可能なファイルの種類は、権限によって異なります。特定のファイルタイプが表示されるはずなのに表示されない場合は、アドミニストレーターにお問い合わせください。



アプリ ファイルの作成に使用できるすべての種類のメタデータの一覧については、「ServiceNow スタジオ ナビゲーターパネルの分類」を参照してください。各ファイルタイプの詳細については、「ServiceNow スタジオナビゲーターでのメタデータアプリファイルカテゴリの操作」を参照してください。

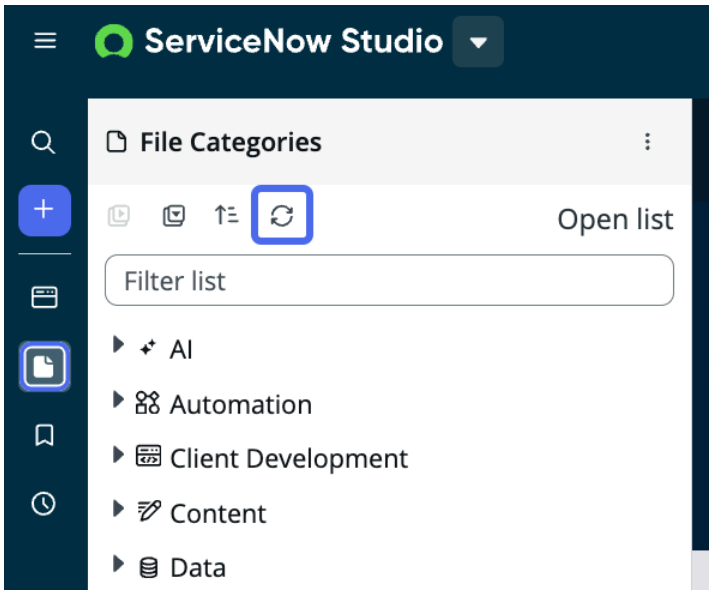
6. **[Continue** (続行)] を選択します。
   アプリファイルのレコードが、ServiceNow スタジオ の新しい統合ブラウザータブで開きます。
7. 新しいアプリファイルの詳細をフォームに入力します。
   フォームフィールドは、作成したファイルのタイプによって異なります。
8. **[Submit** (送信)] を選択します。

次のタスク

アプリファイルの作成が完了したら、アプリファイルのリストに表示するには、ナビゲーターパネルで更新アイコンを選択する必要があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



[アプリの詳細] ページ

ServiceNow スタジオの各アプリケーションの [アプリの詳細] ページには、アプリに関する貴重な情報が含まれています。新しいファイルの作成、アプリ設定の更新、アプリの展開のためのアプリの公開などを行うことができます。

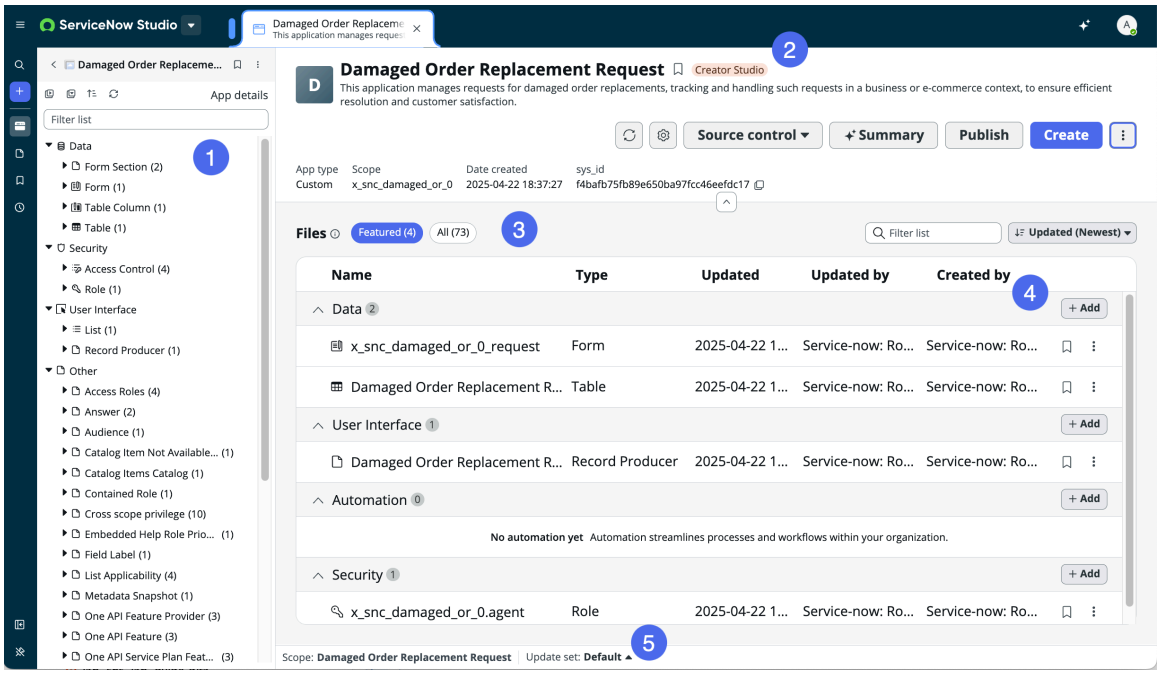
アプリの詳細の機能

[アプリの詳細] ページでは、アプリに関する情報を確認し、アプリケーションに対していくつかのアクションを実行できます。

1. ナビゲーターパネルから、カテゴリ別に整理されたファイルの概要ビューを表示します。ファイルやアプリをブックマークしたり、任意の種類のファイルの完全なリストを開いたり、リストをフィルタリングして探しているものだけを確認したりできます。詳細については、「でのアプリとアプリファイルのブックマーク ServiceNow スタジオ」を参照してください。
2. ページヘッダーにはアプリに関するメタデータが表示され、新しいファイルの作成、アプリの公開、ソースコントロールへのリンク、設定の変更を行うことができます。アプリのタイトルの横に、 クリエータースタジオ、 **AI**、 **Fluent** などのバッジが表示される場合があります。これらのバッジは、アプリが作成された場所と展開方法を理解するのに役立ちます。詳細については、「でのアプリ作成元情報の表示 ServiceNow スタジオ」を参照してください。
3. [ファイル] セクションには、注目のファイルタイプ (データ、ユーザーインターフェイス、自動化、セキュリティ) またはすべてのファイルタイプが表示されます。リストをフィルタリングまたはソートして、作業するファイルを表示することもできます。詳細については、「ServiceNow スタジオナビゲーターでのメタデータアプリファイルカテゴリの操作」を参照してください。
4. 各ファイル レコードには、ファイルに関するメタデータが表示されます。ファイルを選択して開いたり、[追加] を選択してそのタイプの新しいファイルを追加したり、ファイルを簡単にブックマークしたりできます。詳細については、「でアプリファイルを作成する ServiceNow スタジオ」を参照してください。
5. 各アプリの詳細ページの下部には、現在のアプリに関連付けられているスコープと更新セットが表示されます。 ServiceNow スタジオで統合タブを切り替えると、スコープが自動的に切り替わることに注意してください。また、新しい更新セットを作成し、アプリの変更を関連付けて公開することもできます。詳細については、「ServiceNow スタジオ でスコープを超えてアプリやアプリファイルを開く」と「での更新セットの操作 ServiceNow スタジオ」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



関連タスク

[アプリの詳細] ページから直接、いくつかのアクションを実行できます。

- でアプリをソースコントロールにリンクする ServiceNow スタジオ
- Git での変更の操作
- でのアプリのコンテンツの要約 ServiceNow スタジオ
- でアプリの設定を変更する ServiceNow スタジオ
- でアプリファイルを作成する ServiceNow スタジオ
- での更新セットの作成 ServiceNow スタジオ
- でのアプリとアプリファイルのブックマーク ServiceNow スタジオ
- からのアプリの削除 ServiceNow スタジオ

でアプリの設定を変更する **ServiceNow** スタジオ

アプリ設定でプラットフォームアプリの完全なレコードを使用して、 ServiceNow スタジオ でアプリの設定を調整します。アプリに関連付けられている名前、説明、またはその他のメタデータを変更し、アプリケーションに関連付けられているすべての関連リンクを表示します。

始める前に
必要なロール：admin または delegated_developer

手順

1. 移動先 すべて > **App Engine** > **ServiceNow** スタジオ.
2. 更新するアプリケーションを開きます。
3. アプリの詳細 を選択して、キャンバスでアプリを開きます。
4. アプリの設定と関連リンクアイコン( )を選択します。
   アプリ設定ページが新しい統合タブで開きます。アプリケーションのスコーピング、設計とランタイム、サブスクリプション管理、プライマリメニュー、およびエンドユーザーアクセスに関連する

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

情報を表示できます。[関連リンク] セクションでは、アプリの公開、協力者の管理などを行うことができます。

5. アプリの設定を編集します。
6. **[Update** (更新)] を選択します。
7. アプリケーションの [アプリの詳細] 統合タブに戻ります。
8. [アプリの詳細をリロード] アイコン ( ) を選択して、[アプリ設定] タブで行った変更を組み込みます。

でのアプリとアプリファイルのブックマーク **ServiceNow** スタジオ

複数の場所からアプリやアプリファイルを簡単にブックマークして、ServiceNow スタジオ ですばやくアクセスできるようにします。

始める前に
必要なロール：admin または delegated_developer

手順

1. 移動先 すべて > **App Engine** > **ServiceNow** スタジオ.
2. ServiceNow スタジオ内のさまざまな場所からアプリとファイルをブックマークします。

3. オプション: ブックマークしたアプリとファイルを表示するには、ナビゲーターパネルが開いていることを確認し、ブックマークアイコン( )を選択します。
ブックマークしたアプリとファイルは、適切なファイルタイプのブックマークタブに表示されます。

のソースコントロール **ServiceNow** スタジオ

ServiceNow スタジオで作業するアプリ開発者は、ソースコントロールを使用してさまざまな方法でデータリポジトリを管理できます。

アドミニストレーターがアプリをソースコントロールにリンクすると、非本番インスタンス上のすべてのアプリケーション開発者が次のアクションを実行できます。

- Git リポジトリからアプリケーションをインポートします。
- Git リポジトリからリモート変更をプルして適用します。
- インスタンスのすべてのローカル変更を Git リポジトリにコミットします。
- 指定されたバージョンのアプリケーションに永続的にリンクするタグを作成します。
- 分岐を作成して、アプリケーションの複数のバージョンを同時に管理します。

詳細については、「でアプリをソースコントロールにリンクする ServiceNow スタジオ」を参照してください。

> **注:**
> ソースコントロールを使用して他の開発者と共同作業している場合、他の開発者はチェックインされた変更のみを使用できます。たとえば、アドミニストレーターが Git にリンクされているアプリの新しいフローを作成した場合、アドミニストレーターがフローを Git にチェックインするまで、他のユーザーは新しいフローをアプリで使用できません。

ServiceNow スタジオ でのソースコントロールの操作

ソースコントロール統合は、主に ServiceNow スタジオ からの操作をサポートしますが、一部の操作を Git リポジトリから直接サポートすることもできます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

利用可能なソースコントロール操作

操作	説明	入手先
ソースコントロールからインポート	アプリケーションをリポジトリからローカルインスタンスにインポートします。詳細については、「でソースコントロールからアプリをインポートする ServiceNow スタジオ」を参照してください。	ServiceNow スタジオ
ソースコントロールにリンク	開発者は Git リポジトリからアプリケーションの変更を管理できます。詳細については、「でアプリをソースコントロールにリンクする ServiceNow スタジオ」を参照してください。	ServiceNow スタジオ
リポジトリ構成を編集	Git リポジトリのユーザー認証情報を更新します。詳細については、「で Git リポジトリ構成を編集する ServiceNow スタジオ」を参照してください。	ServiceNow スタジオ
リモートの変更を適用	リポジトリのバージョンと一致するようにアプリケーションのローカルバージョンを更新します。詳細については、「リポジトリからの変更のプル」を参照してください。	ServiceNow スタジオ
変更をコミット	ローカルバージョンと一致するように、アプリケーションのリポジトリバージョンを更新します。詳細については、「リポジトリに変更をコミット」を参照してください。	ServiceNow スタジオ
ローカル変更をスタッシュ	後で作業するためにローカルの変更を削除して保存します。詳細については、「ローカル変更をスタッシュ」を参照してください。	ServiceNow スタジオ
分岐を切り替え	アプリケーションのローカルバージョンを更新して、リポジトリ分岐バージョンと一致させます。詳細については、「リポジトリ分岐を切り替える」を参照してください。	ServiceNow スタジオ
ブランチを作成	リポジトリに分岐を作成して、異なるバージョンのアプリケーションを保存します。詳細については、「リポジトリ分岐を作成する」を参照してください。	• ServiceNow スタジオ • Git リポジトリ
タグを作成	特定のアプリケーションバージョンにリンクするようタグをリポジトリに作成します。詳細については、「特定のアプリケーションバージョンにリンクするためのタグを作成する」を参照してください。	• ServiceNow スタジオ • Git リポジトリ
スタッシュを管理	開発者がしまい込んだ変更を適用または削除できるようにします。詳細については、「しまい込んだ変更を管理」を参照してください。	ServiceNow スタジオ
リポジトリを作成する	アプリケーションの変更を保存するリポジトリを作成します。	Git リポジトリ
認証情報の作成	リポジトリへの認証情報を作成します。	Git リポジトリ
リポジトリへのアクセスを許可する	特定の認証情報セットに関連付けられたリポジトリへの読み書きアクセスを提供します。	Git リポジトリ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

でソースコントロールからアプリをインポートする **ServiceNow** スタジオ

ソースコントロールからアプリケーションをインポートすると、指定したリモートリポジトリに基づいて ServiceNow インスタンスに新しいアプリケーションが作成されます。指定したアカウントの認証情報にはリモートリポジトリへの読み取りアクセス権が必要です。指定したリモートリポジトリには有効な ServiceNow アプリケーションが含まれている必要があります。

始める前に

- 非本番インスタンスに Git リポジトリへのネットワークアクセスがあることを検証します。
- リポジトリに有効なアプリケーションが含まれていることを確認する。
- ユーザーが Git リポジトリへのコミットで使用するそれぞれのユーザーテーブル [sys_user] レコードに、メールアドレスを追加していることを確認します。
- アプリケーションのカスタマイズの詳細については、「アプリケーションのカスタマイズの管理」を参照してください。
- 必要なロール：admin

このタスクについて

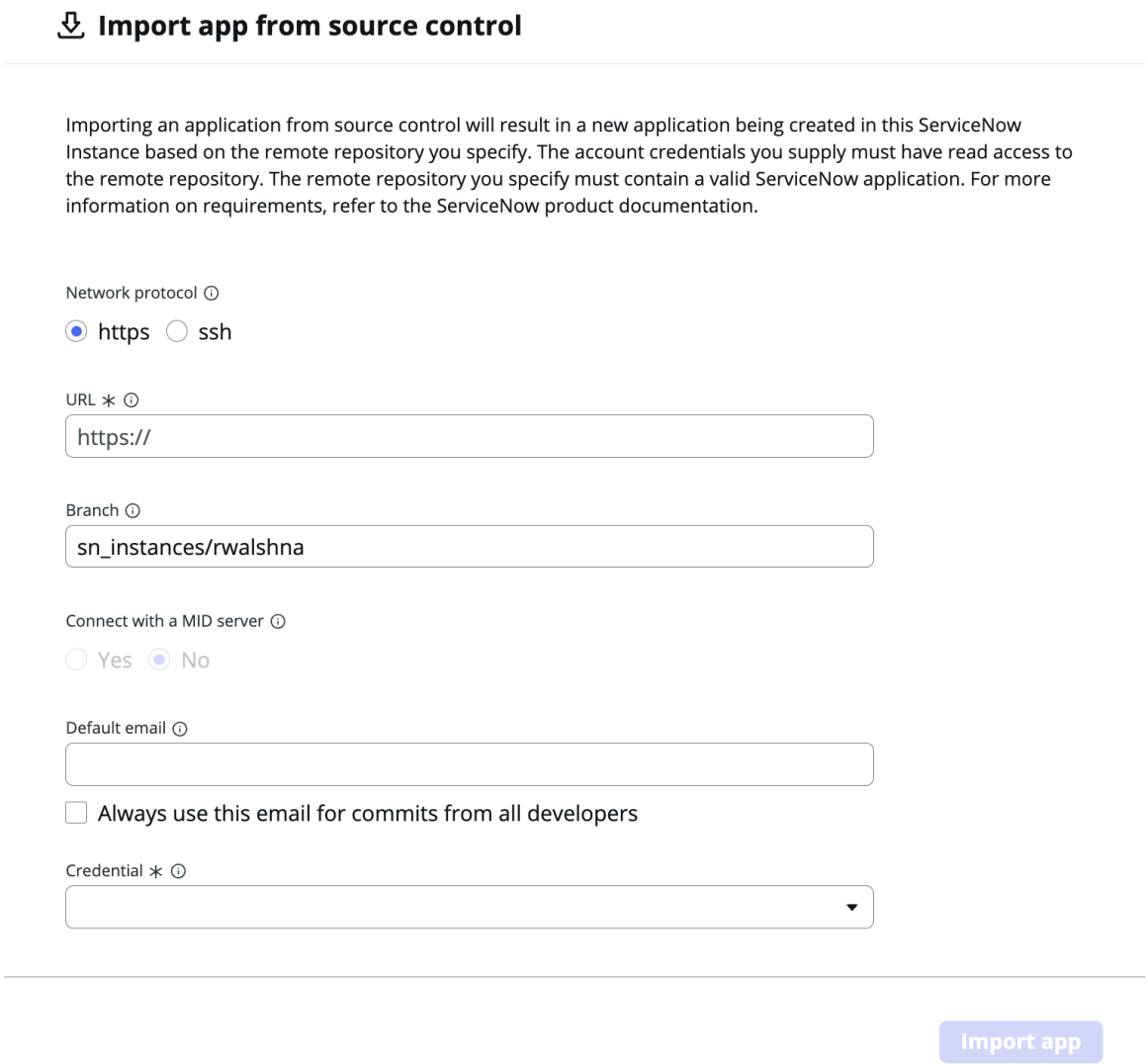
ソースコントロール統合では、制作インスタンス上のアプリケーションのインポートはサポートされていません。代わりに、アプリケーションリポジトリ、更新セット、または ServiceNow スタジオから本番インスタンス上にアプリケーションをインストールします。

手順

1. 移動先 すべて > **App Engine** > **ServiceNow** スタジオ.
2. [作成] ドロップダウン リストを選択し、[アプリのインポート] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



自動翻訳

3. フォームで、フィールドに入力します。

ソースコントロールフィールドからのインポート

フィールド	説明
ネットワークプロトコル	セキュリティ保護されたチャネルデータ交換を可能にする https または ssh 認証情報タイプ。
URL	アプリケーションファイルが存在する Git リポジトリの URL。 **注:** Git サーバーが提供する SSH の Git リポジトリ URL が機能しない場合は、Git サーバーのオーナーまたはプロバイダーに正しい URL を確認してください。Git リポジトリ URL が機能するために、追加仕様 (スキームプロトコルプリフィックス、ポート番号など) が必要な場合があります。
分岐	アプリケーション内で機能するリポジトリ分岐。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: デフォルトの分岐には、インスタンスの名前が付けられます。名前を選択しない場合、分岐はデフォルトで [マスター] になります。
との接続MIDサーバー	企業ファイアウォールの背後に保存されている Git リポジトリにリンクする既存の MID サーバー をオプトインして選択するオプション。 **注:** ディスカバリーアクティビティとの競合を防ぐために、別のMID サーバーを使用します。 詳細については、「MID Server」を参照してください。
デフォルトのメール	コミット担当者のメールアドレスは、sys_user レコードによって定義されます (利用可能な場合)。ただし、コミット担当者の sys_user レコードメールフィールドが空の場合、システムは代替メール (username@instancename.service-now.com) を生成します。デフォルトのメールアドレスを入力して、後で変更することもできます。すべてのケースでその既定の電子メール アドレスを使用するには、[すべての開発者からのコミットに常にこの電子メールを使用する] チェック ボックスをオンにします。
認証情報	Git リポジトリの認証情報を選択します詳細については、「認証情報の開始」を参照してください。 **注:** ssh ネットワークプロトコルを選択した場合は、 **SSH** 秘密鍵 タイプの有効な認証情報を入力します。https プロトコルを選択した場合は、 基本認証情報 タイプの有効な認証情報を入力します。

注:
インスタンス上のすべてのアプリケーション開発者は、Git リポジトリをアプリケーションにリンクするための認証情報を共有します。

4. [アプリをインポート] を選択します。
   checksum.txt ファイル内のチェックサムが、現在のチェックサムと比較されます。チェックサム値が一致すると、統合は検証をスキップしてアプリケーションをインポートします。チェックサム値が一致しない場合、統合は最初にアプリケーションファイルを検証してサニタイズしてから、それらをインポートします。
5. [アプリケーションを選択] を選択します。

タスクの結果

ServiceNow スタジオ アプリケーションを切り替えモーダルでアプリケーションを新しい選択肢として表示します。

次のタスク

- インポート中にアプリケーションファイルに適用されたサニタイズのアップグレードログを確認します。
- インポートしたアプリケーションを選択して編集する。

Git での変更の操作

ServiceNow スタジオ を使用する開発者は、Git リポジトリに変更をプルしてコミットできます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

注:
ソースコントロールを使用して他の開発者と共同作業している場合、他の開発者はチェックインされた変更のみを使用できます。たとえば、アドミニストレーターが Git にリンクされているアプリの新しいフローを作成した場合、アドミニストレーターがフローを Git にチェックインするまで、他の ServiceNow スタジオ ユーザーは新しいフローをアプリで使用できません。

リポジトリからの変更のプル

ServiceNow スタジオ を使用するアプリ開発者は、リンクされた Git リポジトリから変更をプルして、リモート変更をローカルインスタンスに適用できます。

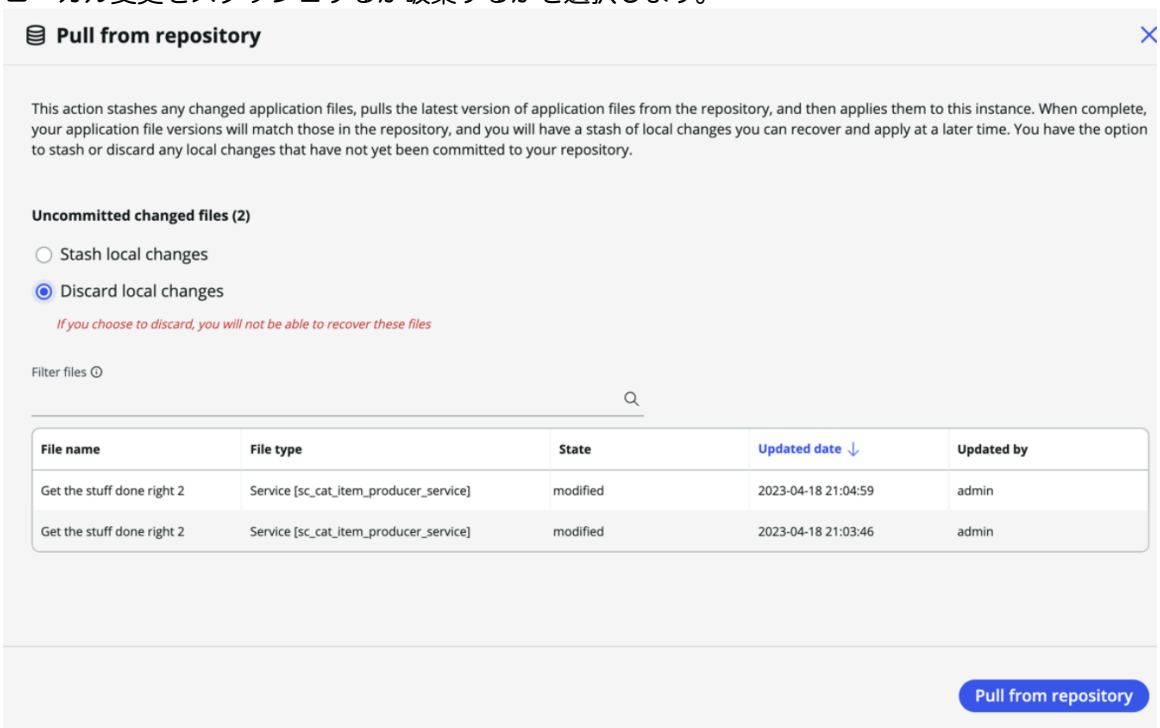
始める前に

でアプリをソースコントロールにリンクする ServiceNow スタジオ

必要なロール：admin

手順

1. 移動先 すべて > **App Engine** > **ServiceNow** スタジオ.
2. 更新するアプリケーションを開きます。
3. 選択 ソースコントロール > リポジトリからプル.
4. ローカル変更をスタッシュするか破棄するかを選択します。



5. [リポジトリからプル] を選択します。

タスクの結果

次の操作が行われます：

- ServiceNow AI Platformは、リモートリポジトリから最新の変更をフェッチします。
- ServiceNow AI Platformはリモート変更をインスタンスに適用します。
- ServiceNow AI Platformは、解決が必要な変更の競合を特定します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

競合が発生した場合、システムは競合を解決するためのウインドウを表示します。

sys_properties ではデフォルトでデルタロードが有効になっているため、データは削除されません。データを自動的に削除する場合は、この機能を無効にします。

リポジトリに変更をコミット

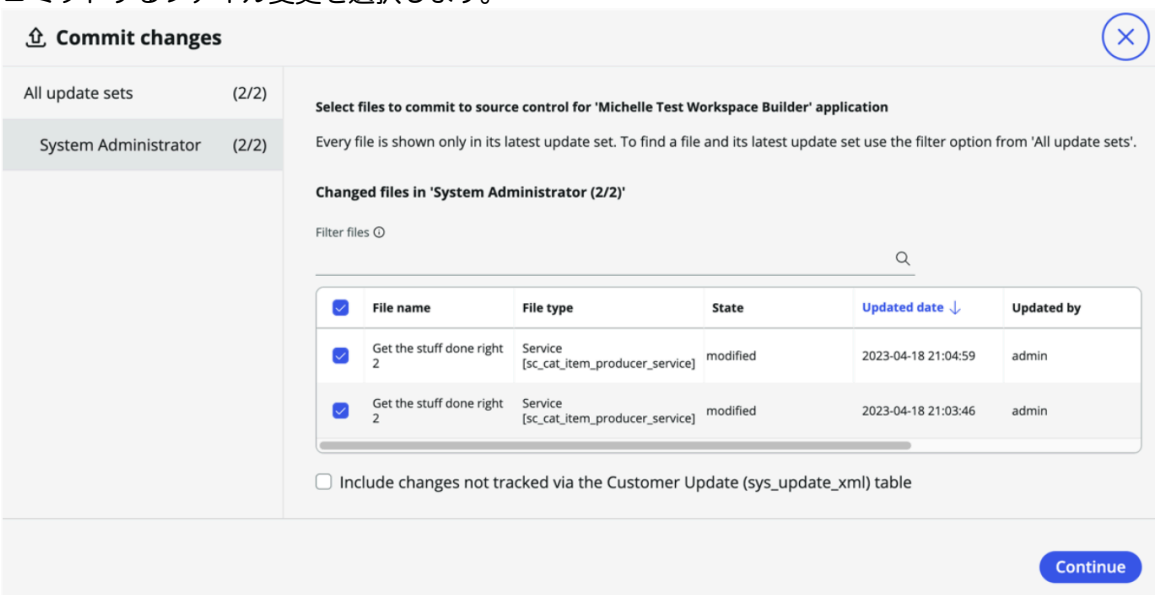
ServiceNow スタジオでアプリケーションに加えられた変更をリンクされた Git リポジトリにコミットします。変更をいくつか選択してコミットすることも、インスタンスに対するすべての変更を一度にコミットすることもできます。

始める前に
でアプリをソースコントロールにリンクする ServiceNow スタジオ

必要なロール：admin

手順

1. 移動先 すべて > **App Engine** > **ServiceNow** スタジオ.
2. 更新するアプリケーションを開きます。
3. 選択 ソースコントロール > 変更をコミット.
   すべての更新セットからのファイル変更が表示されます。デフォルトでは、現在の更新セットからの変更が最初に表示されます。
4. コミットするファイル変更を選択します。



5. 追跡されていない変更を含めるには、[顧客アップデート **[sys_update_xml]** テーブルを介して追跡されない変更を含める] チェックボックスをオンにします。
   - このチェックボックスのデフォルトは、 *glide.sourcecontrol.default_commit_mode* プロパティを介して設定されます。
     - このプロパティは、 **include_untracked** または **exclude_untracked** に設定できます。
     - **[include_untracked]** モードは、sys_update_xml レコードを生成しないアプリケーションに対する更新とともに、ユーザーが選択した更新をコミットします。
     - **exclude_untracked**モードでは、[ソースコントロールにコミットするファイルを選択 **(Select files to commit to source control)**] モーダルでユーザーが選択した更新のみがコミットされます。
   - プロパティのベースシステム設定は **[exclude_untracked]** です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- チェックボックスを非表示にして *glide.sourcecontrol.default_commit_mode* プロパティの値を使用するには、 *sn_devstudio.vcs.allow_commit_mode_selection* プロパティを作成して false に設定します。
- このチェックボックスをオンにすると、パフォーマンスが低下する可能性があります。

> **注:**
>
> 次の場合、コミットは常に **[include_untracked]** モードで発生します。
>
> - 初めてソースコントロールにリンクするとき詳細については、「でアプリをソースコントロールにリンクする ServiceNow スタジオ」を参照してください。
> - ServiceNow スタジオ からソースコントロールにリンクされたアプリケーションを公開するとき。
> - 選択的コミットモードを無効にします。

6. **[Continue** (続行)] を選択します。
7. [コメントをコミット] フィールドに変更のコメントを入力します。
8. [**Commit Files**] をクリックします。

タスクの結果

次の操作が行われます：

- ServiceNow AI Platformはすべてのローカル変更を識別します。
- ServiceNow AI Platformは、すべてのローカル変更をリモートリポジトリにコミットします。

> **注:**
> 顧客更新レコードがなく、追跡もされていない既知のファイルのリストについては、「Customer Updates table」を参照してください。

ローカル変更をスタッシュ

アプリケーションファイルにローカルで行われた変更をスタッシュ (または保存) し、リポジトリから最新バージョンのファイルをプルして、それらの変更をインスタンスに適用できます。完了すると、アプリケーションファイルはリポジトリ内のファイルと一致します。その後、後で ServiceNow スタジオ でローカルの変更を復元して適用できます。

始める前に

でアプリをソースコントロールにリンクする ServiceNow スタジオ

スタッシュするには、変更されたアプリケーションファイルが少なくとも 1 つ必要です。

必要なロール：admin

手順

1. 移動先 すべて > **App Engine** > **ServiceNow** スタジオ.
2. 更新するアプリケーションを開きます。
3. 選択 ソースコントロール > 変更をスタッシュ.
   システムがローカルで変更されたファイルのリストを表示します。
4. スタッシュの説明を入力します。
5. [変更をスタッシュ] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

しまい込んだ変更を管理

アプリ開発者は、 ServiceNow スタジオからしまい込んだ変更を適用または削除できます。

始める前に
でアプリをソースコントロールにリンクする ServiceNow スタジオ

1 つ以上のしまい込んだ変更が必要です。

必要なロール：admin

手順

1. 移動先 すべて > **App Engine** > **ServiceNow** スタジオ.
2. 更新するアプリケーションを開きます。
3. 選択 ソースコントロール > スタッシュを管理.
4. 管理するスタッシュの横にあるアクションをクリックします。
5. しまい込んだ変更をアプリケーションに適用する場合は、通常のプル/プッシュ操作を続行して、変更を Git リポジトリに追加します。
   詳細については、「リポジトリからの変更のプル」を参照してください。

競合の解決

リモートまたはスタッシュされた変更を適用する前に、 ServiceNow スタジオ 競合を解決します。競合は、同じアプリケーションファイルに複数の変更バージョンがある場合に発生します。1つはリモートまたはスタッシュバージョンの変更セットで、もう1つはローカルバージョンの変更セットです。

始める前に
でアプリをソースコントロールにリンクする ServiceNow スタジオ

1 つ以上のしまい込み変更が適用されている必要があります。

必要なロール：admin

手順

1. 移動先 すべて > **App Engine** > **ServiceNow** スタジオ.
2. 更新するアプリケーションを開きます。
3. リポジトリからプルするか、ローカル変更をスタッシュします。
   システムが競合を検出すると、[競合の解決] モーダルが表示されます。
4. 競合を解決するオプションを選択します。
5. すべての変更を適用または破棄する場合は、 アクションを選択します。
6. [スタッシュされた変更を適用] を選択します。
7. [ダイアログを閉じる] を選択します。
8. 競合する変更を結合する場合は、[手動で適用] を選択します。
   ServiceNow AI Platformには、バージョン相違点のリストがフィールド別に表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

9. 合併されたアプリケーションファイルに含めたいフィールドの値を選択します。
10. [結合の保存] を選択します。

Git でのバージョンと分岐の作成

ServiceNow スタジオ を使用するアプリ開発者は、Git リポジトリにバージョンと分岐を作成できます。

特定のアプリケーションバージョンにリンクするためのタグを作成する

リポジトリにタグを作成して、 ServiceNow スタジオ の特定のアプリバージョンにリンクします。

始める前に

[でアプリをソースコントロールにリンクする ServiceNow スタジオ]

必要なロール：admin または sn_group_creator.app_creator

手順

1. 移動先 すべて > **App Engine** > **ServiceNow** スタジオ.
2. 更新するアプリケーションを開きます。
3. 選択 ソースコントロール > タグを作成.
4. タグ名を入力します。
5. [タグの作成] を選択します。
6. **[Close** (閉じる)] を選択します。

次のタスク

新しい分岐への変更をコミットします。

リポジトリ分岐を切り替える

アプリケーション開発者は、 ServiceNow スタジオを使用して別のリポジトリ分岐に切り替えて、アプリケーションの別のバージョンで作業できます。

始める前に

1 つ以上の利用可能なブランチを持つ Git リポジトリが必要です。

必要なロール：admin

手順

1. 移動先 すべて > **App Engine** > **ServiceNow** スタジオ.
2. 更新するアプリケーションを開きます。
3. 選択 ソースコントロール > 分岐を切り替え.
4. ローカル変更をスタッシュするか破棄するかを選択します。
5. 切り替え先の分岐を選択します。
6. [分岐を切り替え] を選択します。

タスクの結果

ServiceNow スタジオ ではリポジトリからの分岐バージョンと一致するようにローカルアプリケーションが更新されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

リポジトリ分岐を作成する

アプリケーション開発者は、分岐を作成して、 ServiceNow スタジオ で既存のアプリの新しいバージョンで作業できます。分岐を作成すると、このアプリケーションに設定されたリモートリポジトリに新しい分岐が作成されます。このアプリケーションは、コミットされていない変更を含め、新しい分岐に切り替わります。

始める前に
必要なロール：admin または sn_group_creator.app_creator

手順

1. 移動先 すべて > **App Engine** > **ServiceNow** スタジオ.
2. 更新するアプリケーションを開きます。
3. 選択 ソースコントロール > ブランチを作成.
4. 分岐名を入力します。
5. オプション: [タグから作成] ドロップダウンリストを選択し、既存のタグを選択して、タブから分岐を作成します。
6. [分岐を作成]を選択します。
7. **[Close** (閉じる)] を選択します。

デフォルトの分岐を設定する

新しい変更またはメインの ServiceNow スタジオ 開発リポジトリにメイン以外のブランチを使用する場合は、デフォルトブランチを設定します。

始める前に
でアプリをソースコントロールにリンクする ServiceNow スタジオ

必要なロール：admin

手順

1. Add a system property に記載されている手順に従います。
2. *glide.source_control.default_branch_name* プロパティを追加し、作業する Git ソースコントロールリポジトリのデフォルトの分岐名を指定します。
   たとえば、既定のブランチ名には、pull request やコード コミットなどを含めることができます。アプリケーション開発者の作業は、特に指定されていない限り、デフォルトの分岐から管理され、そこに保存されます。変更されない限り、この値のデフォルトは「sn_instances/<instance_name>」に設定されます。

収容の履歴を表示

でソースコントロールリポジトリにリンクされているアプリのコミット履歴を表示する ServiceNow スタジオ

始める前に
でアプリをソースコントロールにリンクする ServiceNow スタジオ

必要なロール：admin

手順

1. 移動先 すべて > **App Engine** > **ServiceNow** スタジオ.
2. コミット履歴を表示するアプリケーションを開きます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

3. 選択 ソースコントロール > 履歴を表示.
4. 必要に応じて、次のいずれかの詳細でコミット履歴リストをソートします。

フィールド	説明
メッセージをコミット	コミットに関連付けられたコメント。コミットの内容を理解するのに役立ちます。
ユーザー	変更をコミットしたユーザー。
SHA-1	リポジトリ内でこのコミットを識別する安全なハッシュ値。
日付をコミット	コミットの日時スタンプ。

5. [ファイル] 列で [表示] を選択して、コミットに関連付けられているファイルの一覧を表示します。
6. [コミット履歴] ウィンドウを閉じます。

Git リポジトリのアプリケーションファイルの移動

ServiceNow スタジオで作業するときに、ソースコントロールにリンクされているアプリケーションファイルをリポジトリの任意のフォルダーに移動します。アプリケーションファイルを移動すると、アプリケーション開発者は、サポートするアプリケーションと同じリポジトリに、自動テストなどのサポートコンテンツを保存できます。

始める前に

でアプリをソースコントロールにリンクする ServiceNow スタジオ

必要なロール：書き込みアクセス権を持つソースコントロール認証情報

このタスクについて

アプリケーションをソースコントロールにリンクすると、リポジトリのルートレベルで、sn_source_control.properties と呼ばれるプロパティテキストファイルが生成されます。そのプロパティファイルは、アプリケーションファイルを含むフォルダーを指定します。統合は checksum.txt ファイルを生成することで、これらのアプリケーションファイルに対する変更を追跡します。チェックサムが一致する場合、統合は検証とサニタイズのプロセスをスキップします。チェックサムが一致しない場合、統合はソースコントロール操作の一部としてアプリケーションファイルを検証してサニタイズします。統合は、アプリケーションパス外のすべてのリポジトリコンテンツを無視します。

> **注:**
> システムプロパティ *glide.source_control.checksum_required* を設定して、オプションのチェックサム検証とサニタイズを有効にし、チェックサム一致のサニタイズステップをバイパスする *glide.source_control.checksum_quick_install* を設定できます。詳細については、「Available system properties」を参照してください。

手順

1. アプリケーションにリンクされたソースコントロールリポジトリにログインします。
2. アプリケーションファイルの移動先フォルダーを作成します。
   たとえば、src/app フォルダーを作成します。
3. アプリケーションファイルを含むフォルダーを移動先フォルダーに移動します。
   たとえば、demo_my_app フォルダーを src/app に移動します。
4. リポジトリのルートレベルに移動します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

5. テキストエディターで sn_source_control.properties テキストファイルを開きます。
6. path= プロパティには、アプリケーションファイルを移動したフォルダーパスを入力します。
   たとえば、「path=src/app」と入力します。
7. プロパティファイルを保存します。

でのアプリファイルのプレビュー **ServiceNow** スタジオ

ServiceNow スタジオでファイルをプレビューして、完成品の外観と機能が思い通りになっていることを確認します。プレビューできるのは、ユーザーインターフェイスのあるファイルのみです。

始める前に
必要なロール：admin または delegated_developer

手順

1. 移動先 すべて > **App Engine** > **ServiceNow** スタジオ.
2. [アプリの詳細] ページまたは開いているファイル内からファイルをプレビューします。
3. プレビューされたファイルの外観と動作に基づいて、必要なアクションを実行します。

コード検索を使用してアプリまたはアプリファイルを検索する

ServiceNow スタジオ のコード検索を使用してアプリまたはアプリファイルを検索します。コード検索を使用すると、インスタンス上のすべてのアプリケーションとテーブルを検索して、探しているものを見つけることができます。

このタスクについて
コード検索を使用して、インスタンスの問題のトラブルシューティングを行うことができます。たとえば、クライアントスクリプトによってレコードが誤って自動的に更新され、エラーメッセージが表示された場合は、エラーメッセージのコード検索を実行して、エラーメッセージが生成されている場所を調べることができます。コード検索を使用してトラブルシューティングを行う詳細な例については、コード検索を使用してプラットフォームでの開発を容易にするに関する Community の記事を参照してください。

始める前に
必要なロール：admin または delegated developer

手順

1. 移動先 すべて > **App Engine** > **ServiceNow** スタジオ.
2. 検索バーで、[コード検索をアクティブ化] トグルを選択します。
3. 検索バーに探しているコードスニペットを入力します。
4. すべてのアプリを検索するか、特定のアプリを検索するかを指定します。
   - [すべて選択] を選択して、インスタンス上のすべてのアプリでコードスニペットを検索します。
   - [特定のアプリを選択] を選択し、表示される検索バーにアプリの名前を入力します。
5. オプション: [ファイルタイプ/テーブル] フィールドにテーブルの名前を入力して、検索をテーブルに限定します。
   同じスコープ内のテーブルのみを使用できます。サポートされているファイルタイプのリストについては、「ServiceNow スタジオ コード検索を使用してサポートされるファイルタイプ」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

6. [結果の表示] を選択して検索を実行します。
   結果は、ServiceNow スタジオ 内の新しい [コード検索] タブで開きます。
7. コードスニペットを確認するスクリプトのタイプを展開します。
   たとえば、[通知] セクションを展開して通知スクリプトのすべてのコード検索結果を表示したり、[アクセス制御] セクションを展開してロールとセキュリティに関連するコードのすべてのインスタンスを表示したりできます。

   スクリプトの種類のリストについては、「Available script types」を参照してください。
8. 表示しているセクション内の個々のスクリプトの名前を展開すると、検索したコードとそれに対応する行番号が表示されます。
   コードスニペットを含む各スクリプトは、スクリプト内にコードが表示される回数を表示する展開可能なセクションに表示されます。
9. オプション: [ファイルを開く] を選択して、そのコードを含むスクリプト全体を表示します。
   完全なスクリプトが ServiceNow スタジオ の新しいタブに表示されます。

からのアプリの削除 **ServiceNow** スタジオ

不要になったアプリを ServiceNow スタジオから削除します。

始める前に
必要なロール：admin または delegated_developer

手順

1. 移動先 すべて > **App Engine** > **ServiceNow** スタジオ.
2. 削除するアプリケーションを開きます。
3. アプリの詳細 を選択して、キャンバスでアプリを開きます。
4. その他のオプションアイコン (⋮) を選択し、[削除] を選択します。
5. [このアプリを完全に削除しますか?モーダルに 「Delete」と入力します。
6. **[Close** (閉じる)] を選択します。

での **Now Assist** ツールと **AI** ファイルの操作 **ServiceNow** スタジオ

ServiceNow スタジオでは、いくつかのNow Assistツールを使用できます。AI ファイルは、生成 AI を使用して会話とプロアクティブなエクスペリエンスを通じてユーザーの生産性と効率を向上させる方法を提供します。

ServiceNow スタジオで使用できる主な AI ツールはクリエーターの Now Assistアプリ生成用のNow Assistと呼ばれるスキルと、アプリのサマリー生成用のNow Assistです。 Now Assist for アプリ生成を使用すると、ServiceNow スタジオ で対話型インターフェイスを使用してアプリを作成できます。 Now Assist for app summary generation を使用すると、アプリの簡単な説明として使用できるアプリのサマリー説明を作成できます。

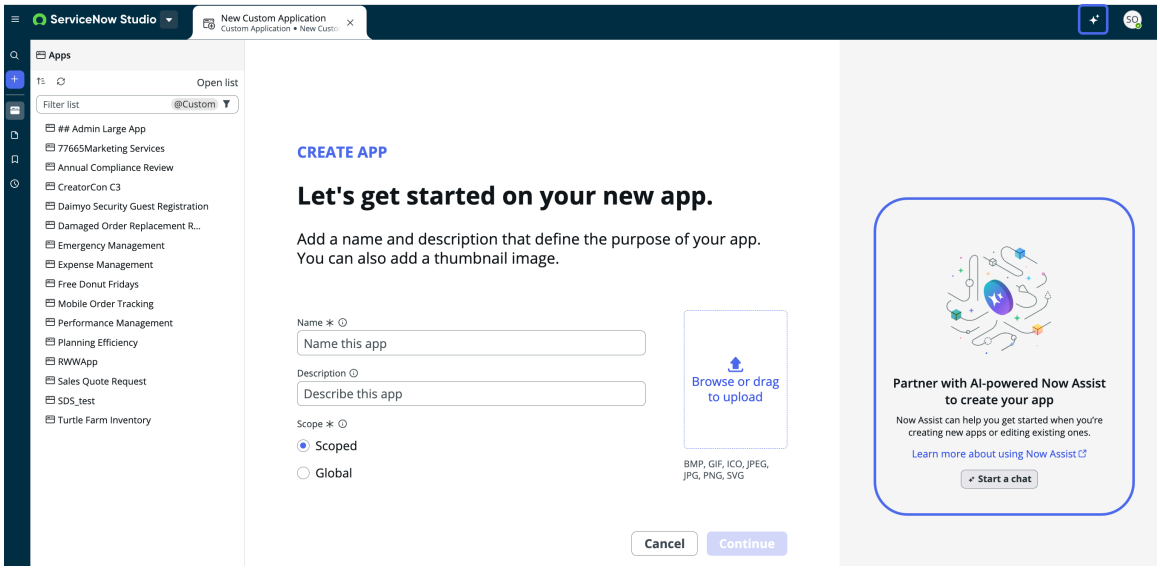
アプリ生成のための **Now Assist**

アプリ生成に Now Assist を使用して、アプリの作成をすぐに開始できます。ServiceNow スタジオ のメインホームページから、AI を使用してアプリをすばやく作成または更新できます。作成するアプリについて会話した後、クリエーターの Now Assist は変更可能なアプリを生成します。

ユーザー設定の横にあるメインホームページ、または新しいカスタムアプリケーションを作成するのと同じページで、アプリ生成のための Now Assist にアクセスします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳



詳細については、「Now Assist でのアプリ生成用 ServiceNow スタジオ」を参照してください。

Now Assist アプリのサマリー生成の場合

アプリを作成したら、アプリのサマリー生成に Now Assist を使用して、アプリの内容と目的のサマリーを作成できます。サマリーを評価または更新し、アプリの説明として使用します。適切なアプリの説明を使用すると、アプリのエコシステムを管理し、重複するアプリが存在する可能性のある場所を特定するのに役立ちます。

詳細については、「Now Assist でのアプリサマリー生成の場合 ServiceNow スタジオ」を参照してください。

AI メタデータタイプ

アプリケーションには、エージェントワークフロー、AI エージェント、スキルの 3 種類の AI ファイルを追加できます。これらのファイルは新しいタブで開くため、 AI エージェントスタジオで編集できます。新しい AI ファイルを作成または編集した後、[アプリの詳細] ページに戻り、[アプリの詳細の再読み込み] アイコン ( ) を選択して変更をキャプチャします。AI ファイルタイプの詳細については、「 ServiceNow スタジオ ナビゲーターパネルの分類」を参照してください。

重要:
ServiceNow スタジオファイル分類の AI オプションは、AI コンポーネントがインストールおよび構成されている場合にのみ使用できます。

役に立つリソース

役立つ情報を提供できる ServiceNow リソースは次のとおりです。

AI 機能

- Exploring Now Assist Admin
- カスタムアプリケーションでの AI 機能の使用
- App Engine 向け Now Assist

エージェント型ワークフロー

- Create an agentic workflow
- Modify an agentic workflow

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

AI エージェント

- Explore Now Assist AI agents
- Create an AI agent
- Examples of using AI agents

Now Assist スキルキット

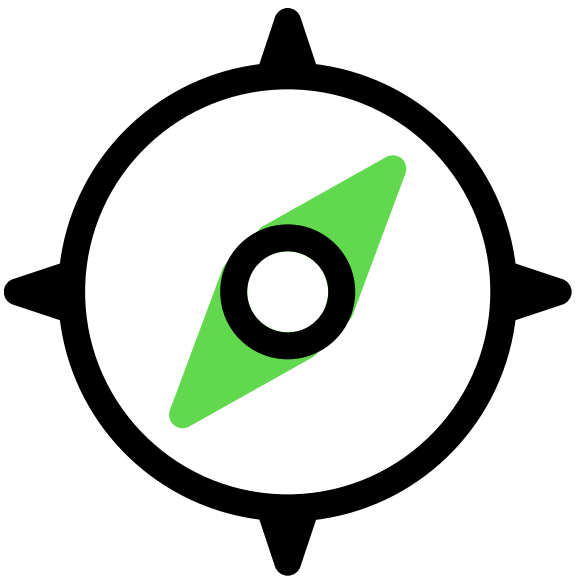
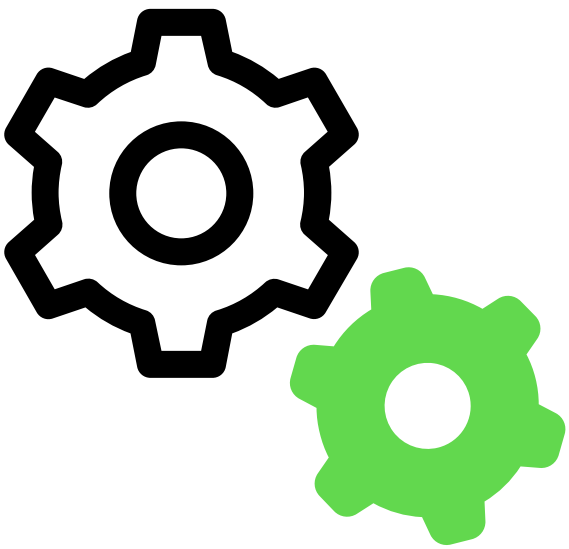
- Exploring Now Assist Skill Kit
- Create a skill

Now Assist でのアプリ生成用 **ServiceNow** スタジオ

クリエーターの Now Assist を使用して生成 AI を操作し、アプリの作成を簡素化します。作成するアプリについて話し合った後、 クリエーターの Now Assist は変更できるアプリを生成します。

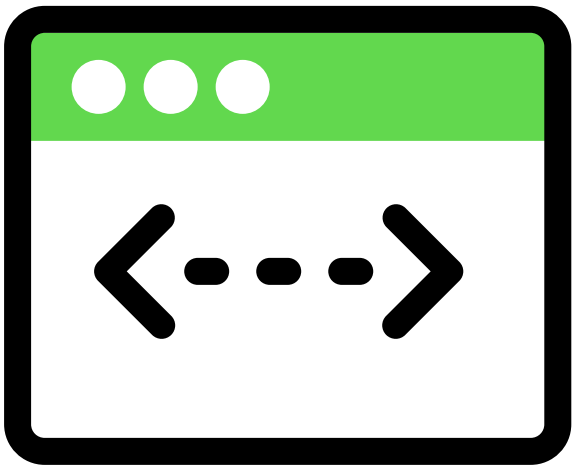
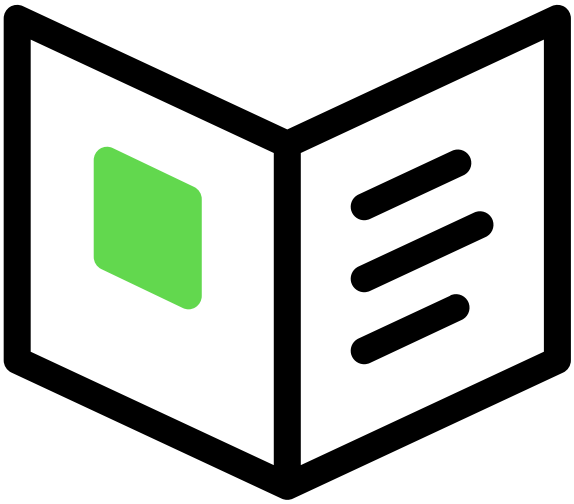
https://player.vimeo.com/video/1049087752?h=e49487f687&badge=0&autopause=0&player_id=0&app_id=58479

開始

探索	構成
	
会話を通じてアプリを作成する方法を学ぶ	アプリ生成の設定

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

生成	参照
	
会話を通じてアプリを構築する	プロパティ、ロールなどの詳細情報を取得

重要:

- 国内の SKU をお持ちのお客様は、すべてのモデルプロバイダーを利用できるわけではなく、一部の Now Assist 製品/機能は現在、国内のお客様はご利用いただけません。詳細については、Now Support ナレッジベースの KB1584492 記事を参照してください。将来のリリースでモデルプロバイダーの可用性の更新を必ず確認してください。
- 現在、 Now Assist 製品/機能の一部は、FedRAMP、NSC DOD IL5、オーストラリアの IRAP で保護されたデータセンターのお客様、セルフホスト型のお客様、またはその他の制限された環境ではご利用いただけません。詳細については、Now Support ナレッジベース記事「KB0743854」を参照してください。将来のリリースで可用性の更新を必ず確認してください。
- 現在、一部の Now Assist 製品/機能は一部の地域の顧客のみが利用できます。将来のリリースで可用性の更新を必ず確認してください。

自動翻訳

トラブルシューティングとサポート

- ServiceNow コミュニティ
- 既知のエラーポータルで既知のエラー記事を検索する
- 連絡先 カスタマーサービス & サポート

AI の制限事項

このアプリケーションは、データ内のパターンに基づいて予測を生成する急速に進化している研究分野である人工知能 (AI) と機械学習を使用しています。その結果、このアプリケーションは必ずしも正確、完全、または適切な情報を生成するとは限りません。さらに、このアプリケーションがユースケースに合わせて完全にトレーニングまたはテストされているという保証はありません。これらの問題を軽減するために、ユースケースに対する正確性、害、および適切性について、このアプリケーションの使用をテストおよび評価し、出力を人間が監視し、意思決定の目的で AI で生成された出力のみに依存しないようにするのは、ユーザーの責任です。これは、医療、ファイナンス、法務、雇用、セキュリティ、インフラストラクチャなど、結果が影響を与える分野にこのアプリケーションを

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

展開することを選択した場合に特に重要です。ServiceNow の AI 利用規定に従うことに同意するものとします。このポリシーは ServiceNow によって更新される場合があります。

データ処理

このアプリケーションでは、ServiceNow 顧客の個々のインスタンスから一元化された ServiceNow 環境にデータを転送する必要があります。この環境は、インスタンスが存在するデータセンターとは異なるデータセンターリージョンに配置されている可能性があり、場合によっては Microsoft Azure などのサードパーティクラウドプロバイダーにも転送されます。このデータは、コアコンプライアンスポータルから利用可能なポリシーを含む、ServiceNow の内部ポリシーと手順に従って処理されます。

データコレクション

ServiceNow は、このアプリケーションの入力、出力を収集して使用し、出力を編集して、ServiceNow モデルや AI 製品などの ServiceNow テクノロジーを開発および改善します。さらに、このアプリケーションは アプリの生成が使用されたアプリケーション (および関連するアプリケーションファイル) に関する情報。 お客様は、「Now Assistオプトアウトに関するページ」の説明に従って、いつでも将来のデータコレクションをオプトアウトできます。

でのアプリ生成の **Now Assist** の詳細 **ServiceNow** スタジオ

アプリ生成用の Now Assist を使用すると、生成 AI との会話を通じてアプリケーションを作成できます。

Now Assist アプリ生成の概要

生成 AI との自然な会話を通じてアプリケーションを作成します。ビジネスプロセスを説明し、アプリ生成のために Now Assist と交互に会話して、組織向けのアプリケーションを開発します。アプリケーションには、ワークスペースとフローを含めることができます。この機能により、組織はカスタマイズ可能な基本アプリの初期開発を迅速化できます。

すべての Now Assist スキルと AI エージェントの AI モデルプロバイダーとして、Now LLM サービス、Azure OpenAI、Google Gemini、または Anthropic Claude on AWS を使用できます。での構成コントロールの使用 AI コントロールタワー 利用可能なオプションを定義するには、次でスキルレベルの設定を行います Now Assist アドミン 慰める. 詳細については、「Large language models on the ServiceNow AI Platform®」を参照してください。

- Now Assistを使用するには、now.assist.creator ロールと now_assist_panel_user ロールが必要です。
- アプリ生成用の Now Assist を使用してアプリケーションを作成するには、admin ロールまたは sn_g_app_creator.app_creator ロールが必要です。
- アプリ生成用の Now Assist を使用してアプリケーションを編集する (作成しない) 場合は、委任開発者ロールを持ち、アプリケーションにアサインされます。
- アプリ生成のために Now Assist のアプリケーションにワークスペースを追加するには、 Now Assist エクスペリエンス生成スキルがアクティブである必要があります。詳細については、「エクスペリエンス生成」を参照してください。
- アプリ生成のために Now Assist のアプリケーションにフローを追加するには、 Now Assist フロー生成スキルがアクティブで、flow_designerロールを持っている必要があります。詳細については、「Flow generation」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Now Assist アプリ生成ワークフロー用

会話

アプリ生成のために Now Assist とチャットして、目標、ユーザー、ワークフロー、エクスペリエンスの詳細など、アプリケーションに必要なビジネスプロセスを指定します。

絞り込み (アプリ要件とプレビューの生成)

Now Assist for app generation は、会話中に収集された情報に基づいて、アプリケーション要件の概要を提供します。アプリケーションをプレビューし、正確であることを確認します。変更を加えたい場合は、会話にとどまり、編集を続けてください。アプリ生成用の Now Assist は、コメントに基づいてプレビュータブを更新し続け、アプリケーションの生成を続行することを選択するまでサマリーを提供します。

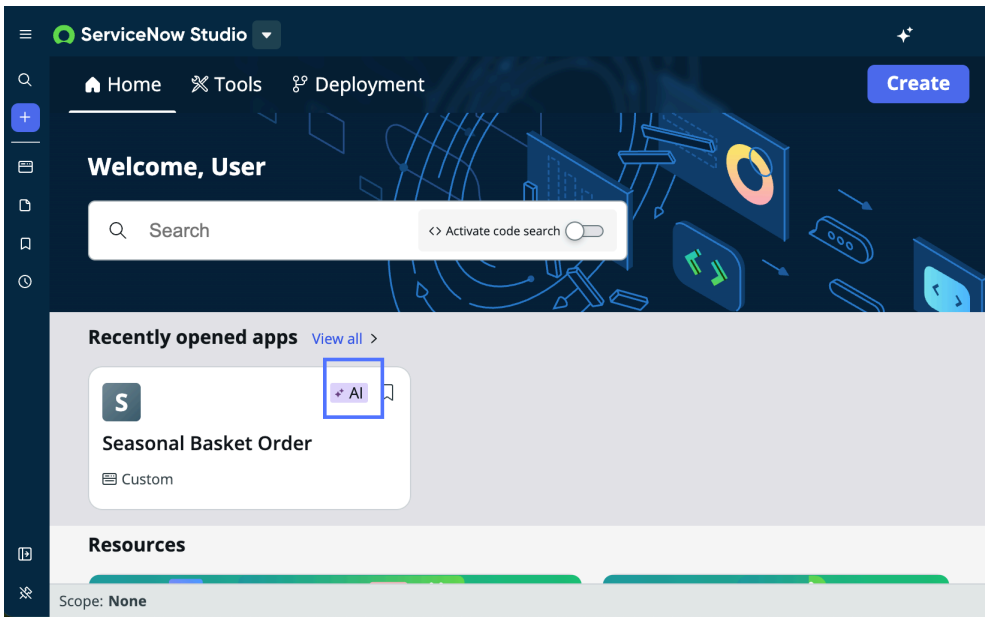
アプリ生成

Now Assist アプリ生成用 は、アプリケーションと関連コンポーネント (テーブル、ロール、アクセス制御リスト (ACL)、レコードプロデューサー、フロー、ワークスペースなど) を作成します。

検証

ServiceNow スタジオ で、生成されたすべてのものを検証します。組織のニーズに合わせてアプリを変更します。たとえば、自動化、スクリプトインクルード、ビジネスルール、その他の機能を追加することで、アプリの機能を拡張できます。

ServiceNow スタジオ ホームページとアプリケーションの詳細タブでは、アプリ生成用のNow Assistで作成されたすべてのアプリに AI インジケーターが表示されます。



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アプリ生成のメリット

メリット	機能	ユーザー
自然言語を使用して必要なものを記述し、アプリケーションをすばやく作成します。	でアプリ生成に Now Assist を使用する場合の一般的なガイドライン ServiceNow スタジオ	開発者
アプリ生成のために Now Assist との会話を通じてアプリケーションの詳細を絞り込みます。	ServiceNow Studio の Now Assist でアプリを生成する	開発者
アプリ生成に Now Assist を使用すると、既存のアプリケーションをより迅速に編集できます。	でアプリ生成に Now Assist を使用したアプリケーションのレビューと編集 ServiceNow スタジオ	開発者

でアプリ生成に **Now Assist** を使用する場合の一般的なガイドライン **ServiceNow** スタジオ

アプリ生成に Now Assist を使用して、生成 AI を活用してアプリケーションを作成するための一般的なガイドラインについて説明します。

会話をする

アプリの生成を最大限に活用するため、ステートメントを慎重に作成し、詳細を含めるようにします。アプリ生成の Now Assist が提案を行い、プレビューが表示されたら、応答して要件の詳細を追加します。

開始

Now Assist for app generation は、アプリケーションの主な目的を尋ねます。

一般的なステートメントから始めることができます。たとえば、社内での従業員の出張方法を管理したいなど。

会話

アプリをどのように動作させたいかを Now Assist に伝え、問い合わせに応答する、継続的なプロセスに関与します。

自分が何を望んでいるのかが正確にわかっている場合、直接的かつ具体的に伝えます。例：

- 従業員名、目的地、出張期間などのフィールドを持つ出張要求のテーブルが必要。
- 従業員が要求を作成して送信できるようにしたい。マネージャーはこれらを表示し、承認または拒否できる。従業員は、自分が送信した要求を表示できるが、他のユーザーが送信した要求は表示できない。
- 従業員が要求を送信するためのフォームと、マネージャーがそれらの要求を確認して応答するための別のフォームが必要。
- 出張要求に関する関連レポートを含むダッシュボードを備えたワークスペースを追加してください。

また、あなたは自分が知っていることだけを伝え、Now Assist と協力してギャップを埋めることもできます。例：

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 従業員の出張ごとに関連データを収集して監視する必要がある。何か提案してもらえないか？

  Now Assist は次のように提案します：

  もちろんです、基本から始めることができます。従業員の名前、目的地、出張期間、出張目的、予算などを取り込んでみてはいかがでしょうか。それが良い出発点ではないでしょうか？

- そうだね、ありがとう。私のアプリの各ユーザーについて権限を管理する必要がある。そのために何かお願いできないだろうか？

  Now Assist は次のように説明します：

  権限を管理するためのロールを作成させていただきます。アプリケーションのユーザーのタイプと、そのユーザーが実行できるべき操作について詳しく教えてください。

- 了解。現在、従業員は出張承認のためのメールをマネージャーに送信し、マネージャーは部門レベルの予算に従って、従業員が出張するかどうかを決定している。

  Now Assist は次のように説明します：

  それでは、従業員には自分の要求を作成したり表示できるようにして、マネージャーにはすべての要求を表示したり承認できるようにしてはいかがでしょうか？

- それは良さそうだ、ありがとう。

  Now Assist は、ワークフローを理解し、必要な機能を実装する方法を提案します。

  従業員が出張要求を送信したり更新するためのフォームも作成しますか？

  マネージャーが出張要求を承認したり却下するためのフォームを作成しますか？

  レコードプロデューサーも作成できます。これにより、従業員は サービスカタログから直接出張要求を送信できるようになります。この機能をアプリケーションに含めますか？

会話全体を通して、 Now Assist はユーザーの入力に基づいてアプリケーション要件の理解を調整します。

でのアプリ生成のための **Now Assist** の構成 **ServiceNow** スタジオ

アプリケーションのビルドを開始できるように、クリエーターの Now Assistアプリケーションでアプリ生成スキルのNow Assistを有効にします。

でのアプリ生成のための **Now Assist** のインストール **ServiceNow** スタジオ

クリエーターの Now Assist アプリケーションをインストールすると、組織向けアプリケーションの作成を開始できます。

始める前に
必要なロール：admin

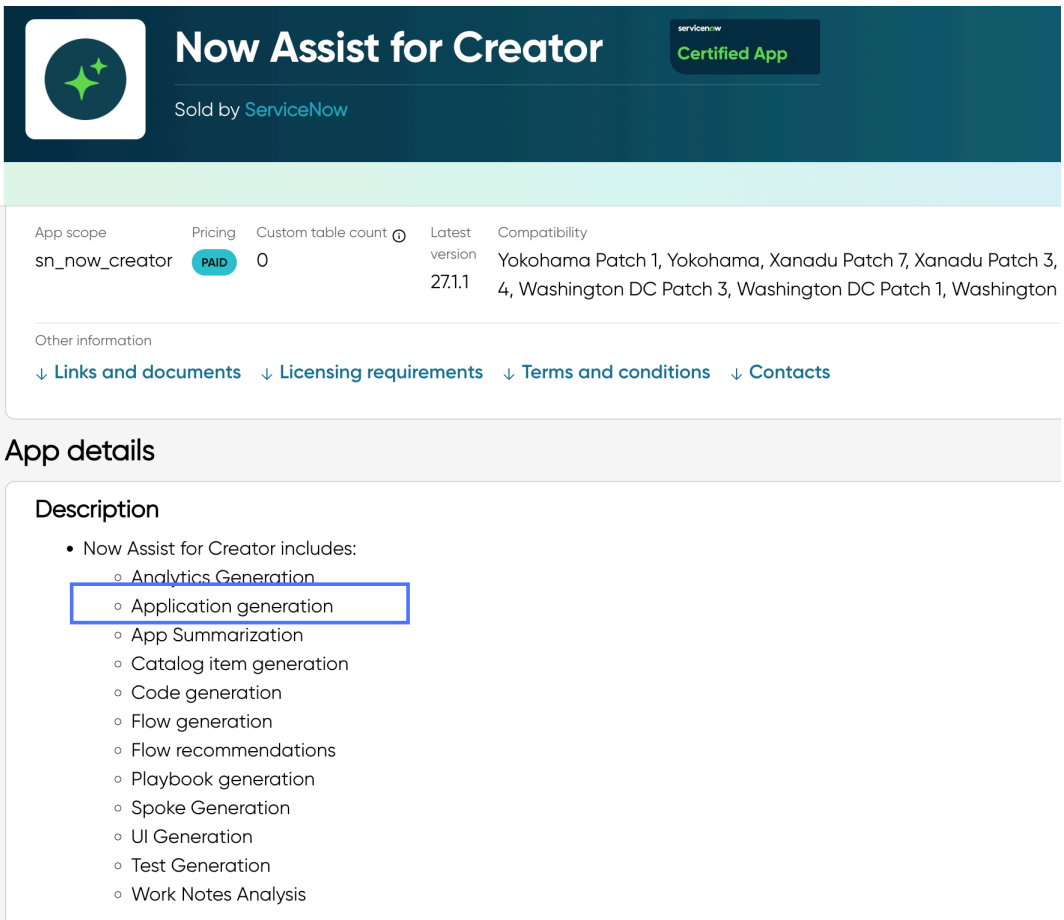
手順

1. に移動 クリエーターの Now Assist アプリケーションリストServiceNow Store
2. リストを確認して、依存関係、ライセンス、サブスクリプション要件、およびリリースの互換性について確認してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

リストで、 クリエーターの Now Assist に Now Assist アプリケーションの生成が含まれていることを確認します。



3. クリエーターの Now Assist アプリケーション ページで、購入 を選択します。
4. 要求が承認されたら、インスタンスを開き、次に移動します: すべて > システムアプリケーション > 利用可能なすべてのアプリケーション > すべて.
5. フィルター基準と検索バーを使用して、 クリエーターの Now Assist アプリケーション (sn_now_creator) を検索して選択します。
6. **[Install** (インストール)] を選択します。
7. クリエーターの Now Assist がインストールされていることを確認します。

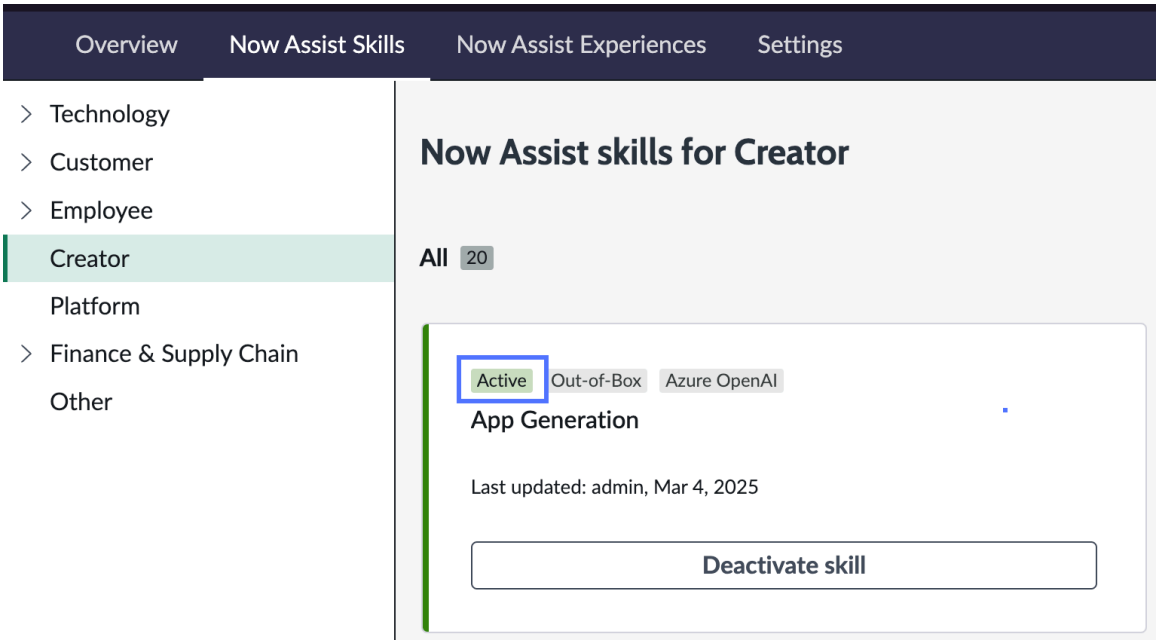
   a. 移動先 すべて > *Now Assist* アドミン > エクスペリエンス.

   b. ワークフローリストで、[作成者] を選択します。

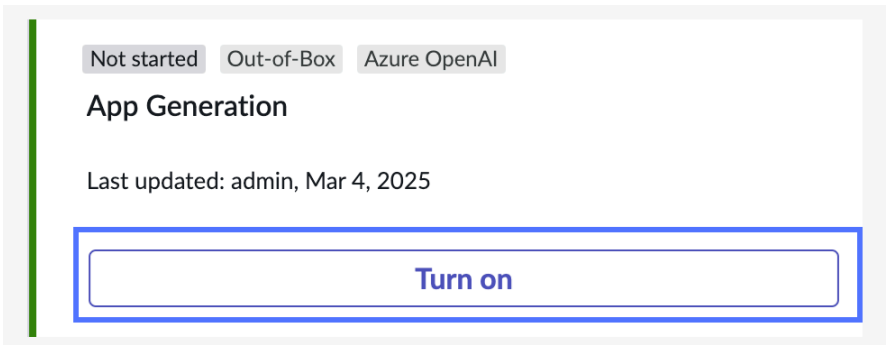
   c. アプリ生成カードで、アプリ生成スキルがアクティブであることを確認します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



アプリの生成がアクティブでない場合は、[オンにする] を選択します。

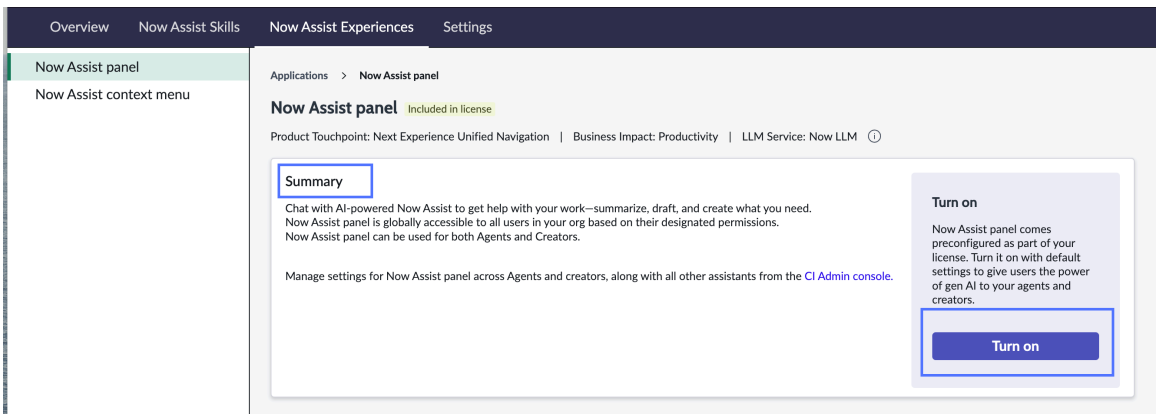


Now Assistの設定、構成、監視の詳細については、「Now Assist アドミンコンソール」を参照してください。

8. Now Assistパネルをアクティブにします。

   a. 移動先 すべて > *Now Assist* アドミン > エクスペリエンス.

   b. [概要] で [オンにする] を選択します。



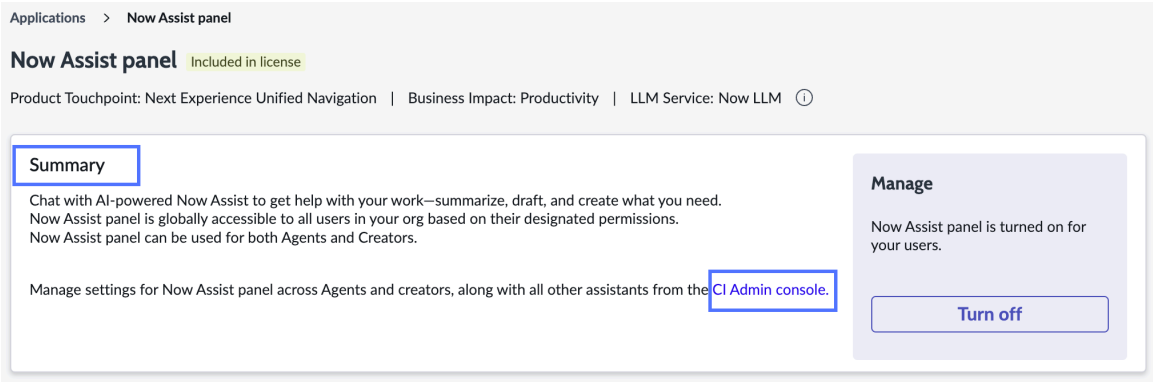
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

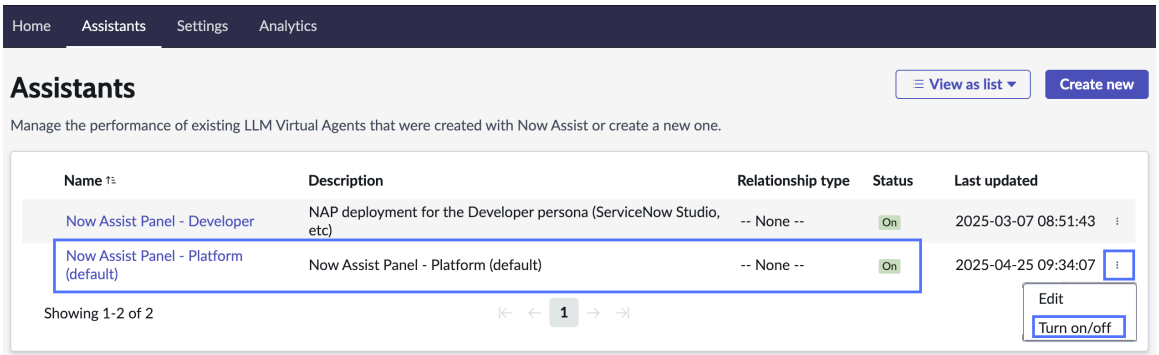
c. 確認で、[オンにする] を選択します。

d. [X] を選択して成功メッセージを閉じます。

e. [サマリー] で、**CI** アドミンコンソールリンクを選択します。



f. *Now Assist* [パネル - プラットフォーム] のステータス (デフォルト) が [オフ] の場合は、アクションアイコンを選択し、[オン/オフにする] を選択します。



次のタスク

アプリ生成を使用してアプリケーションを作成および編集する各ユーザーに、now.assist.creator ロール、now_assist_panel_user ロール、および admin または sn_g_app_creator.app_creator ロールのいずれかを付与します。

アプリ生成を使用してアプリケーションを編集する (作成しない) 必要があるユーザーには、delegated_developer、now_assist_panel_user、および now.assist.creator ロールを付与できます。詳細については、「委託開発 の探索」を参照してください。

アプリケーションの生成を開始するには、「内でアプリを生成するための Now Assist を使用してアプリを生成します ServiceNow スタジオ」を参照してください。

関連情報

Install Now Assist for Creator

内でアプリを生成するための **Now Assist** を使用してアプリを生成します **ServiceNow** スタジオ

アプリ生成の Now Assist と話し合って、アプリケーションのビルドを開始します。

このビデオでは、次の手順を実行する方法を紹介します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

https://player.vimeo.com/video/1040832044?h=b2b8dc6b7c&badge=0&autopause=0&player_id=0&app_id=58479

始める前に
アプリ生成を使用するには、クリエーターの Now Assist のスキルをアクティブ化する必要があります。詳細については、「でのアプリ生成のための Now Assist のインストール ServiceNow スタジオ」を参照してください。

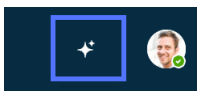
必要なロール:now.assist.creator ロールと now_assist_panel_user ロール

注:
アプリを編集する (作成しない) 必要があるユーザーがある場合は、delegated_developer、now_assist_panel_user、および now.assist.creator ロールをアサインすることができます。

このタスクについて
インスタンスでアプリ生成が有効になっている場合、ホームページのバナーに Now Assist アイコン (✨) が表示されます。

手順

1. に移動して Now Assist パネルを開きます *App Engine* > *ServiceNow* スタジオ [Now Assist] アイコンを選択します。

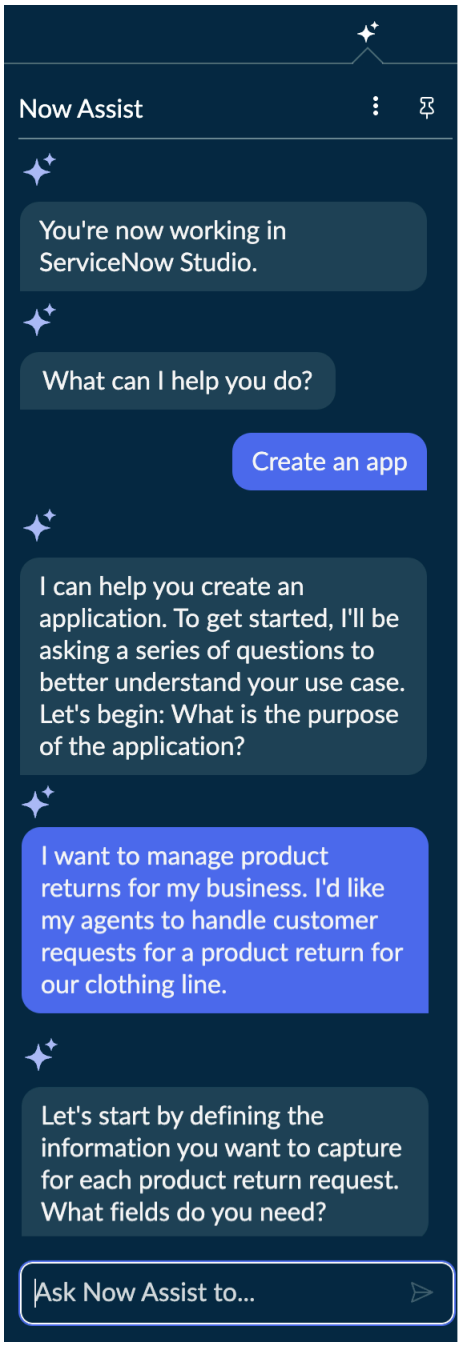


2. [Now Assist] パネルで、[アプリを作成] を選択します。
   Now Assist にアプリケーションの説明を求められます。
3. 現在のビジネスプロセスを要約します。

   アプリケーションの目的を理解できるように Now Assist アプリケーションのユースケースを説明します。自分が何を望んでいるのかが明確であれば、高度に詳細化できます。そうでない場合は、大まかな説明から始めます。 Now Assist 、アプリケーションの要件を絞り込みます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



4. アプリの動作方法の詳細を入力して、 Now Assist との会話を続けます。

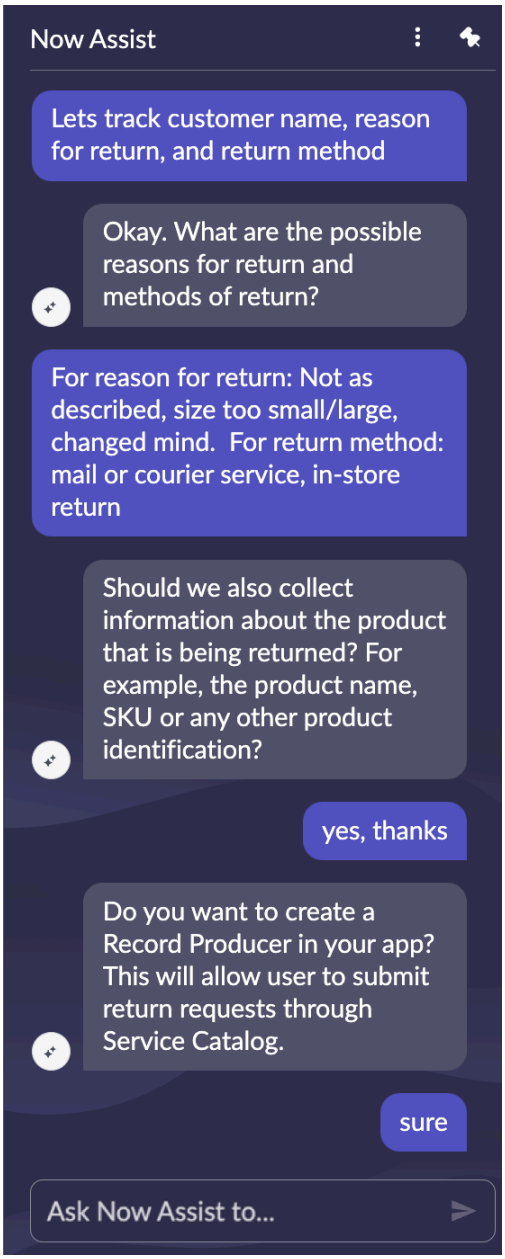
Example

Now Assist が、収集するデータ、関係するユーザーとその権限、および目的のインターフェイスを理解するための質問をします。回答は Now Assist アプリケーションに適したテーブル、ロール、アクセス制御リスト (ACL)、フォーム、およびレコードプロデューサーを作成するのに役立ちます。Now Assist にアプリケーションのワークスペース (ユーザーインターフェイス) とフロー (自動化) の作成を依頼することもできます。

アプリをどのように動作させたいかが正確に分かっている場合は、その機能を具体的に伝えます。分かっていない場合は、Now Assist とやり取りして、正しいアプリケーション要件を決定します。詳細については、「でアプリ生成に Now Assist を使用する場合の一般的なガイドライン ServiceNow スタジオ」を参照してください。

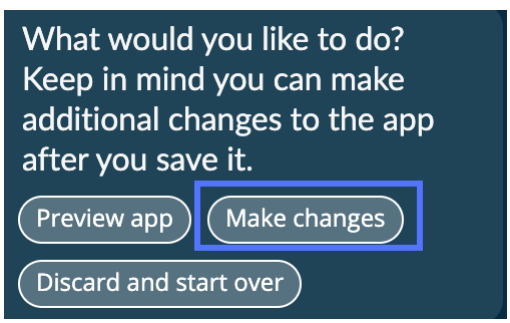
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



5. アプリをプレビューし、確定してから生成します。

a. 必要に応じて、[変更を加え る] を選択して編集を続行します。

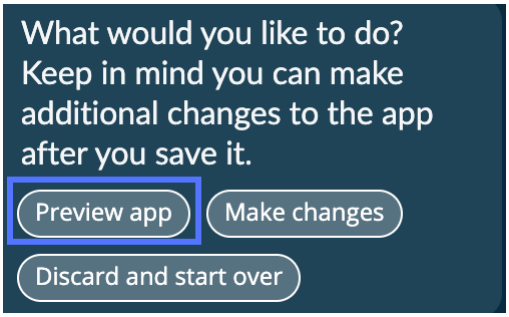


生成されるサマリーがアプリケーションの要件と一致するまで、 Now Assist とのやり取りを続けます。

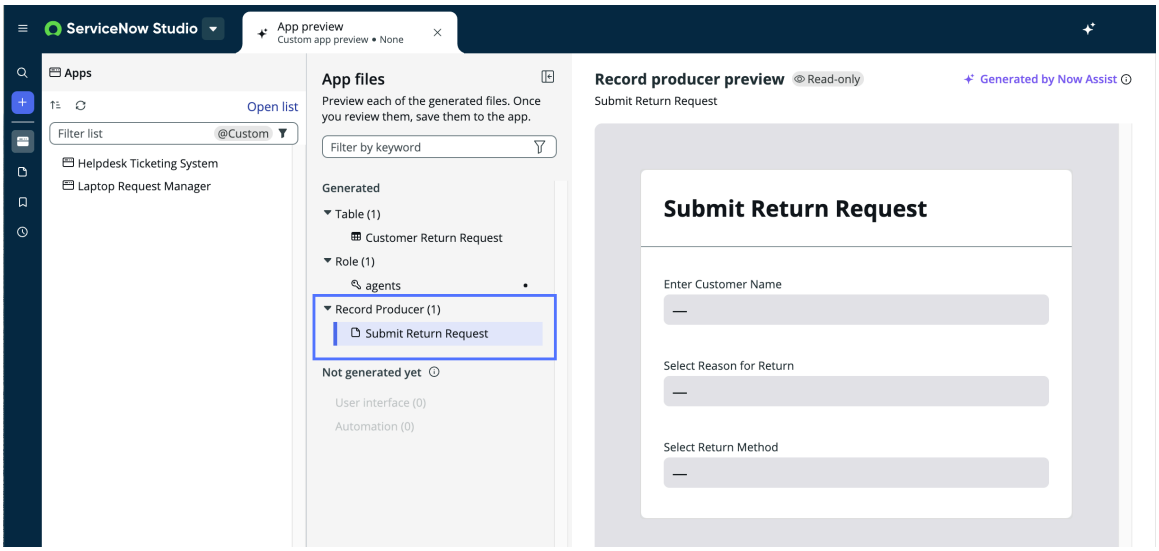
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

b. アプリケーションの要件に問題がなければ、 [アプリのプレビュー] を選択します。



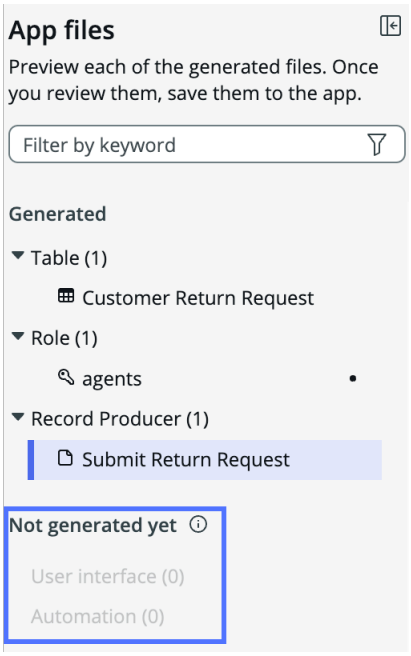
プレビューが開き、アプリファイルのリストが表示されます。アプリファイルのリストをフィルタリングし、必要に応じて検索を絞り込みます。いずれかのアプリファイルを選択して、詳細を表示します。たとえば、ロールを選択して、ユーザーに作成、読み取り、書き込み、または削除の権限を付与するかどうかを確認します。アプリにレコードプロデューサーが含まれている場合は、それを選択してフォームとフィールドの外観を確認します。Now Assistでプレビューと更新の要求を続行すると、プレビューペインがロードされるときに新しいロールの追加などの変更が一覧表示されます。



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

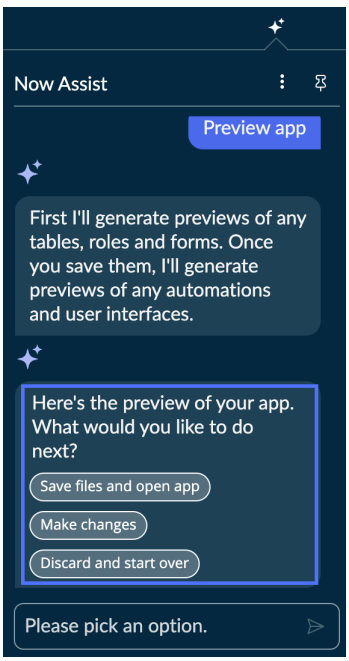
注:
ワークスペースとフローはテーブルに依存しているため、これらのアプリケーション機能はテーブルの後、およびアプリケーションを保存するときに生成されます。



注:

Now Assistパネルが情報をカバーしている場合は、Now Assistアイコン を選択してパネルを閉じます。アイコンをもう一度選択するとパネルが開き、会話を続行できます。

プレビューが完了したら、次のオプションを選択します。



- [アプリを保存して開く] を選択すると、アプリが生成され、必要に応じて確認および編集できるように ServiceNow スタジオ で開きます。ワークスペース (ユーザーインターフェイス) またはフロー (自動化) をアプリケーションに含めた場合は、アプリケーションを保存するときにそれらのメタデータが生成されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- [変更を加え る] を使用すると、 Now Assist との会話を続行して、アプリを絞り込み、編集できます。 Now Assist 要求した変更を行うと、アプリのプレビューも更新されます。
- 破棄してやり直す と、現在のアプリが削除され、 Now Assist パネルの会話がリセットされます。

ServiceNow スタジオ の詳細については、「ServiceNow スタジオ」を参照してください。

タスクの結果

ServiceNow スタジオ のツールを使用して、さらに機能を追加し、アプリを強化します。詳細については、「ServiceNow スタジオ でのアプリケーションの作成」と「でアプリファイルを作成する ServiceNow スタジオ」を参照してください。

アプリ生成用の **Now Assist** を使用したカスタムアプリケーションへのワークスペースの追加

アプリ生成に Now Assist を使用して、カスタムアプリケーションにワークスペースを追加します。

始める前に

必要なロール:now.assist.creator ロールと now_assist_panel_user ロール

> **注:**
> アプリを編集する (作成しない) 必要があるユーザーがある場合は、delegated_developer、now_assist_panel_user、および now.assist.creator ロールをアサインすることができます。

アプリ生成のために Now Assist のアプリケーションにワークスペースを追加するには、 Now Assist エクスペリエンス生成スキルがアクティブである必要があります。詳細については、「エクスペリエンス生成」を参照してください。

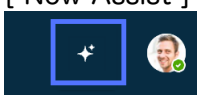
このタスクについて

カスタムアプリケーションを作成または更新するときは、アプリ生成用の Now Assist を使用してワークスペースをアプリケーションに追加します。ワークスペースに何が必要かを指定するか、推奨事項を求めます。

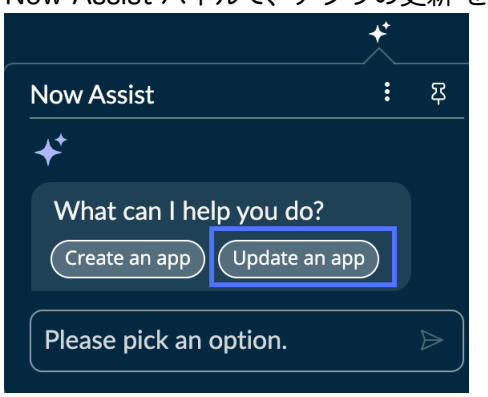
> **注:**
> 次の手順では、既存のアプリケーションにワークスペースを追加する方法について説明しますが、作成するアプリケーションにワークスペースを追加するプロセスは似ています。

手順

1. 移動先 *App Engine* > *ServiceNow* スタジオ.
2. [Now Assist] アイコンを選択します。



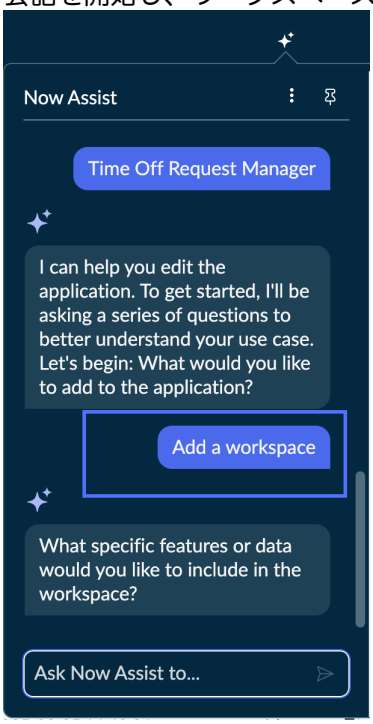
3. Now Assist パネルで、アプリの更新 を選択します。



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

4. 編集するアプリケーションを選択します。
5. **[Submit** (送信)] を選択します。
6. 会話を開始し、ワークスペースを要求します。

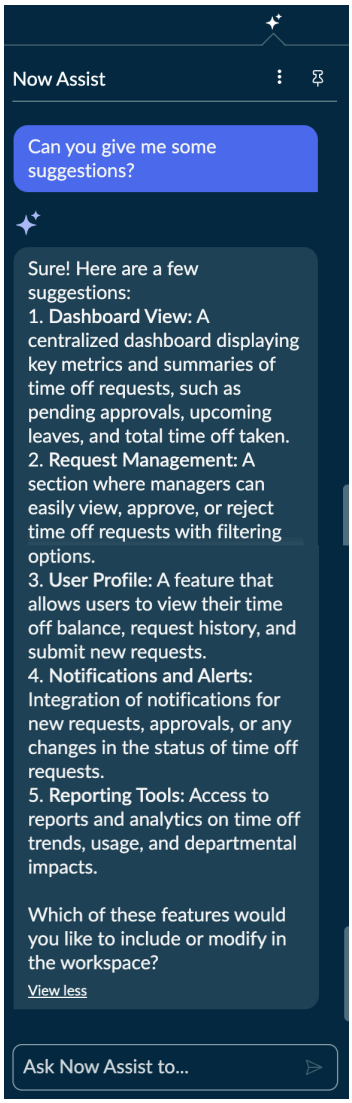


7. 欲しいものを指定するか、提案を求めます。

   Now Assist では、ワークスペースに含めるさまざまな要素を提案できます。

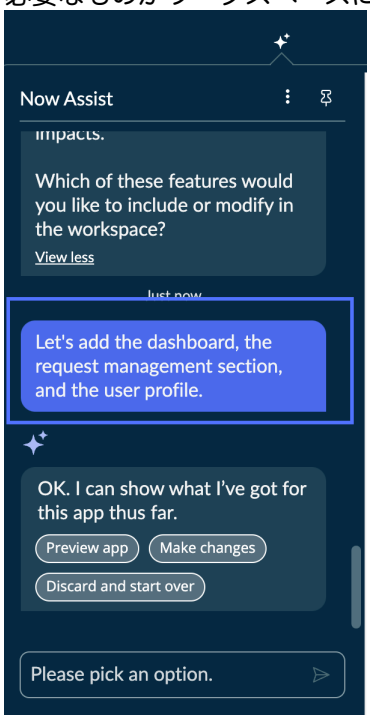
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



自動翻訳

8. 必要なものがワークスペースに含まれるまで会話を続けます。



© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

9. 準備ができたら、アプリケーションをプレビューして保存し、ワークスペースを表示します。詳細については、「でアプリ生成に Now Assist を使用したアプリケーションのレビューと編集 ServiceNow スタジオ」を参照してください。

アプリ生成の **Now Assist** を使用してカスタムアプリケーションにフローを追加する

アプリ生成用の Now Assist を使用して、カスタムアプリケーションにフローを追加します。

始める前に

必要なロール:now.assist.creator ロールと now_assist_panel_user ロール

> **注:**
> アプリを編集する (作成しない) 必要があるユーザーがある場合は、delegated_developer、now_assist_panel_user、および now.assist.creator ロールをアサインすることができます。

アプリ生成のために Now Assist のアプリケーションにフローを追加するには、 Now Assist フロー生成スキルがアクティブで、flow_designerロールを持っている必要があります。詳細については、「Flow generation」を参照してください。

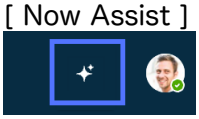
このタスクについて

カスタムアプリケーションを作成または更新するときは、アプリ生成用の Now Assist を使用して、アプリケーションにフローを 1 つ以上追加します。フローに必要なものを正確に指定するか、提案を求めます。

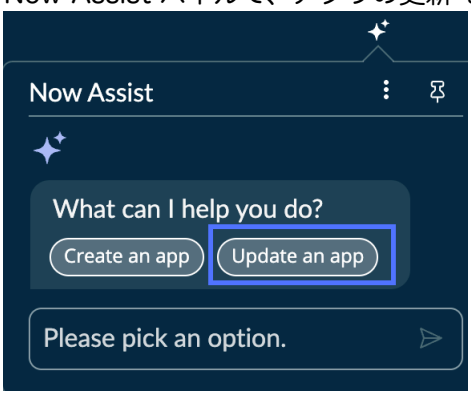
> **注:**
> 次の手順では、既存のアプリケーションにフローを追加する方法について説明しますが、作成するアプリケーションにフローを追加するプロセスは似ています。

手順

1. 移動先 *App Engine* > *ServiceNow* スタジオ.
2. [Now Assist] アイコンを選択します。



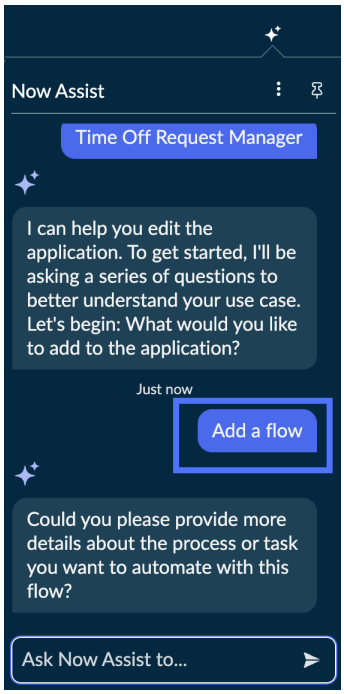
3. Now Assist パネルで、アプリの更新 を選択します。



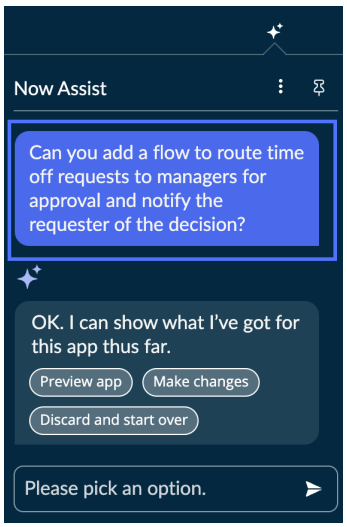
4. 編集するアプリケーションを選択します。
5. **[Submit** (送信)] を選択します。
6. 会話を開始し、フローを要求します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



7. 欲しいものを指定するか、提案を求めます。



フローの詳細については、「 Exploring flows」を参照してください。

8. 必要なものがフローに含まれるまで会話を続けます。
9. 準備ができたら、アプリケーションをプレビューして保存し、新しいフローを表示します。
詳細については、「でアプリ生成に Now Assist を使用したアプリケーションのレビューと編集 ServiceNow スタジオ」を参照してください。

でアプリ生成に **Now Assist** を使用したアプリケーションのレビューと編集 **ServiceNow** スタジオ

アプリ生成に Now Assist を使用して、 ServiceNow スタジオ 開発環境でアプリケーションをレビューおよび変更します。

このビデオでは、 ServiceNow スタジオ でアプリをレビューする方法について説明します。

https://player.vimeo.com/video/1040832738?h=0b12434687&badge=0&autopause=0&player_id=0&app_id=58479

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
作成した既存のアプリケーションがあるか、編集するアクセス権が必要です。アプリ生成で Now Assist を使用して編集するために、アプリケーションが生成 AI で作成されている必要はありません。

必要なロール:now.assist.creator ロールと now_assist_panel_user ロール

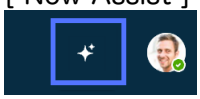
注:
アプリを編集する (作成しない) 必要があるユーザーがある場合は、delegated_developer、now_assist_panel_user、および now.assist.creator ロールをアサインすることができます。

手順

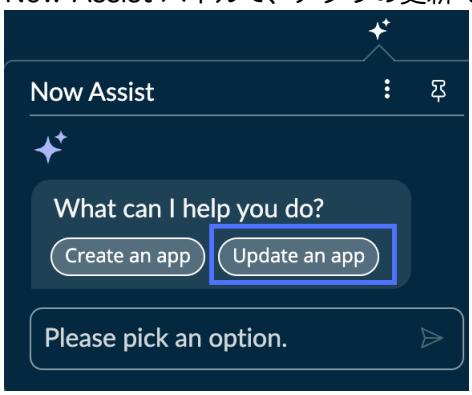
1. 移動先 *App Engine* > *ServiceNow* スタジオ.

   ServiceNow スタジオ ホームページの詳細については、「ServiceNow スタジオ」を参照してください。

2. [Now Assist] アイコンを選択します。



3. Now Assist パネルで、アプリの更新 を選択します。



4. 編集するアプリを選択します。

   編集用に [Now Assist] パネルに表示されるアプリは、自分が作成したカスタムアプリケーションか、自分がアクセスできるカスタムアプリケーションです。アプリケーションリストが長い場合は、検索ボックスを使用して特定のアプリケーションを検索します。

   delegated_developer、now_assist_panel_user、および now.assist.creator ロールを持っているにもかかわらず、必要なアプリが表示されない場合は、 *App Engine* アドミンにお問い合わせください。委任開発者としてアプリに追加するように依頼します。詳細については、「委託開発の探索」を参照してください。

   アプリ生成の Now Assist を使用して編集するには、スコープをアプリと同じスコープに設定する必要があります。正しいスコープ内にいない場合は、アプリ生成用の Now Assist によってスコープがアプリのスコープに自動的に変更されます。

5. **[Submit** (送信)] を選択します。
6. アプリ生成のために Now Assist とやり取りして、アプリを編集します。

   たとえば、次のようになります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- アプリケーションでサポートする必要がある追加のビジネス要件を指定します。
- 既存のテーブルから拡張された新しいテーブルを要求します。
- 追加のロールを要求します。
- ワークスペースを追加します。
- フローを追加します。
- 既存のテーブルに列を追加します。

> **注:**
> Now Assist for app generation では、非常に大きなアプリの更新中に問題が発生する可能性があります。代わりに、 ServiceNow スタジオ でアプリを手動で更新することを検討してください。

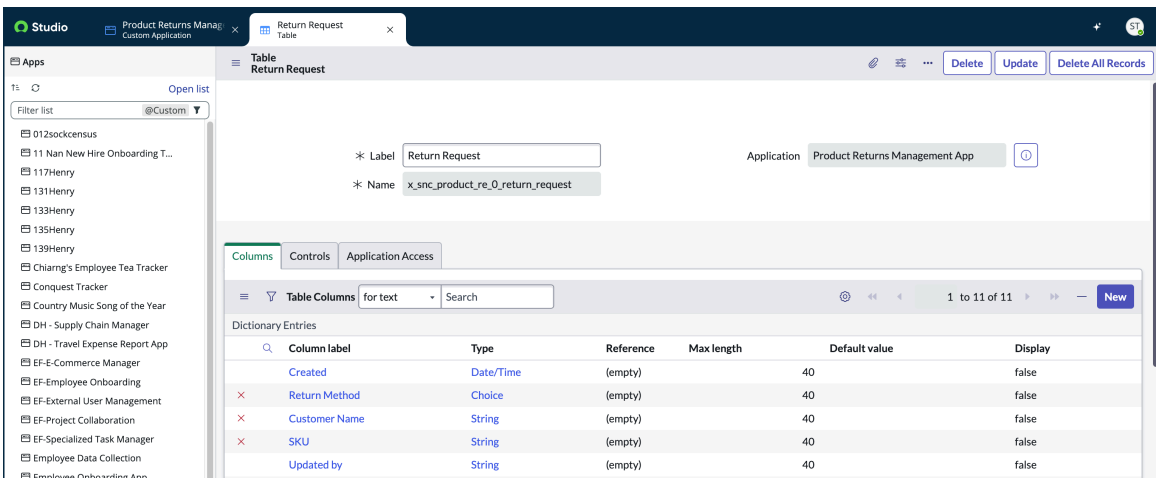
7. アプリケーションをプレビューし、変更を続行します。

   ワークスペースまたはフローの作成を Now Assist に依頼した場合、ワークスペースまたはフローはアプリケーションの保存後に生成されます。

8. 完了したら、[保存してアプリを開く] を選択します。
9. [アプリケーションファイル] タブで、必要に応じてアイテムを開き、確認し、変更します。
   次のオプションのステップは、いくつかの一般的なファイルを確認する方法の詳細を示しています。
10. オプション: 生成されたテーブルを確認します。

    a. [アプリケーションファイル] タブの [表示名] 列で、アプリケーションの既存のテーブルを選択します。
    テーブルビルダー の新しいタブでテーブルレコードが開きます。

    > **注:**
    > Now Assistパネルが情報をカバーしている場合は、Now Assistアイコン を選択してパネルを閉じます。アイコンをもう一度選択するとパネルが開き、会話を続行できます。



    b. テーブルが正確であり、正しいデータがキャプチャされていることを確認します。

    c. 次のような変更を加えます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

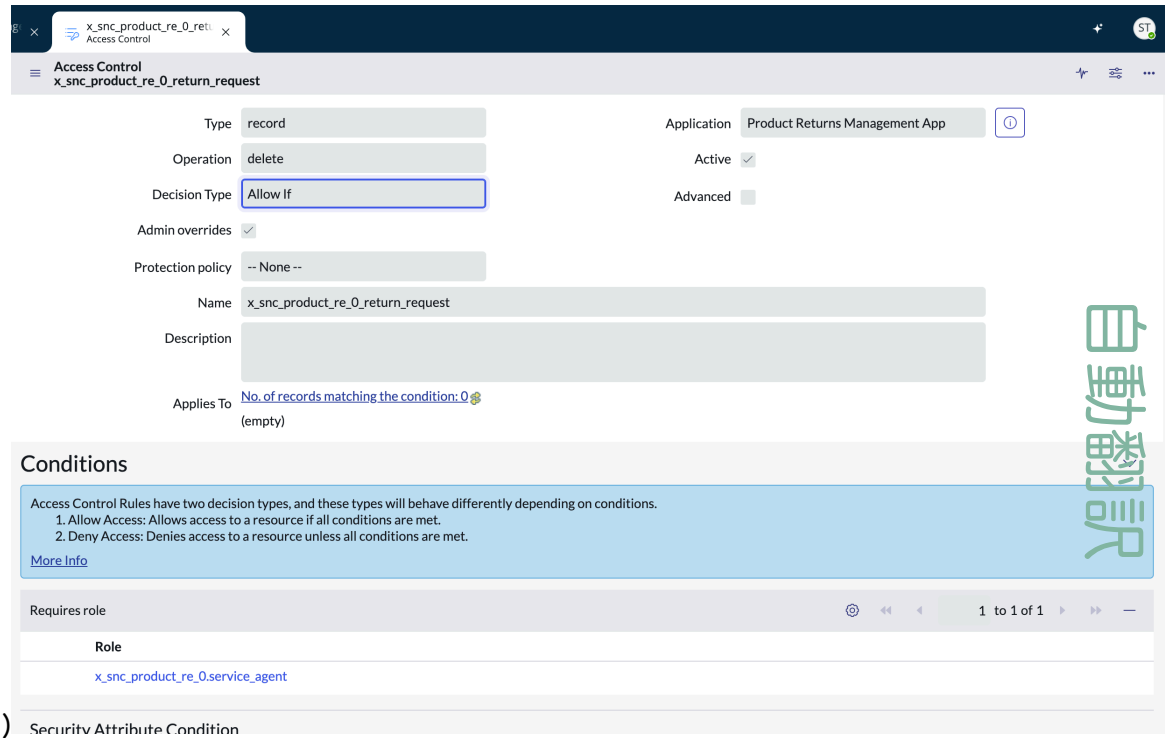
- テーブルフィールドを更新します。
- テーブルとフィールドの列のプロパティを編集する。
- 生成された選択肢が正しく実装されていることを確認する。
- 列を追加します。

d. テーブルタブを閉じます。

11. オプション: 生成されたアクセス制御リスト (ACL) を確認します。

a. [アプリケーションファイル] タブの [表示名] 列で、アプリケーションの既存のアクセス制御を選択します。
ACL レコードが新しいタブで開きます。

(Optional)



b. 作成された ACL が正確であり、正しいロールが必要であることを確認します。

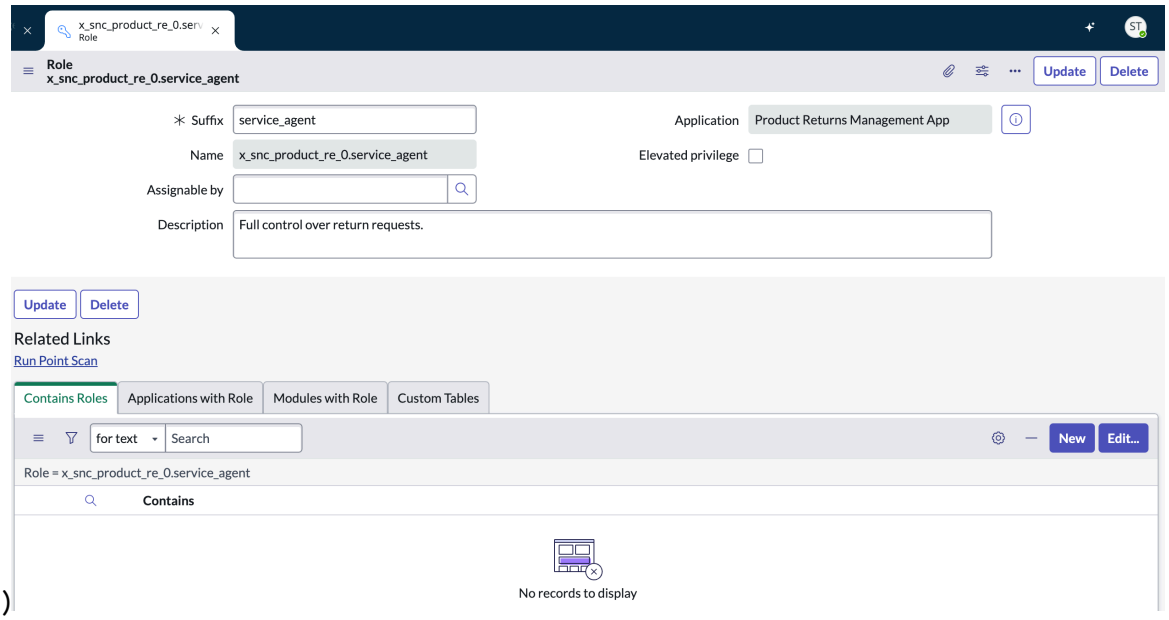
c. [アクセス制御] タブを閉じます。

12. オプション: 生成されたロールを確認します。

a. [アプリケーションファイル] タブの [表示名] 列で、アプリケーションの既存のロールを選択します。
ロールレコードが新しいタブで開きます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

(Optional)



b. 作成されたロールとそれにアサインされた権限が、アプリケーションのユーザーを正確に表していることを確認します。

c. [ロール] タブを閉じます。

13. オプション: 生成されたレコードプロデューサーを確認します。

a. [アプリケーションファイル] タブの [表示名] 列で、アプリケーションの既存のレコードプロデューサーを選択します。
レコードプロデューサーレコードが新しいタブで開きます。

b. レコードプロデューサーを確認し、必要に応じて変更します。

(Optional) たとえば、[質問] を選択し、特定の質問にカーソルを合わせて、[編集] アイコンを選択します。質問のタイプとオプションが正しいことを確認します。必要に応じて変更を加えます。

レコードプロデューサーの詳細については、「Record Producer」を参照してください。

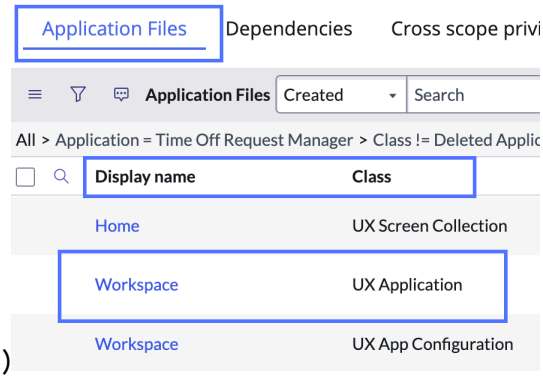
c. [レコードプロデューサー] タブを閉じます。

14. オプション: 生成されたワークスペースをレビューします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

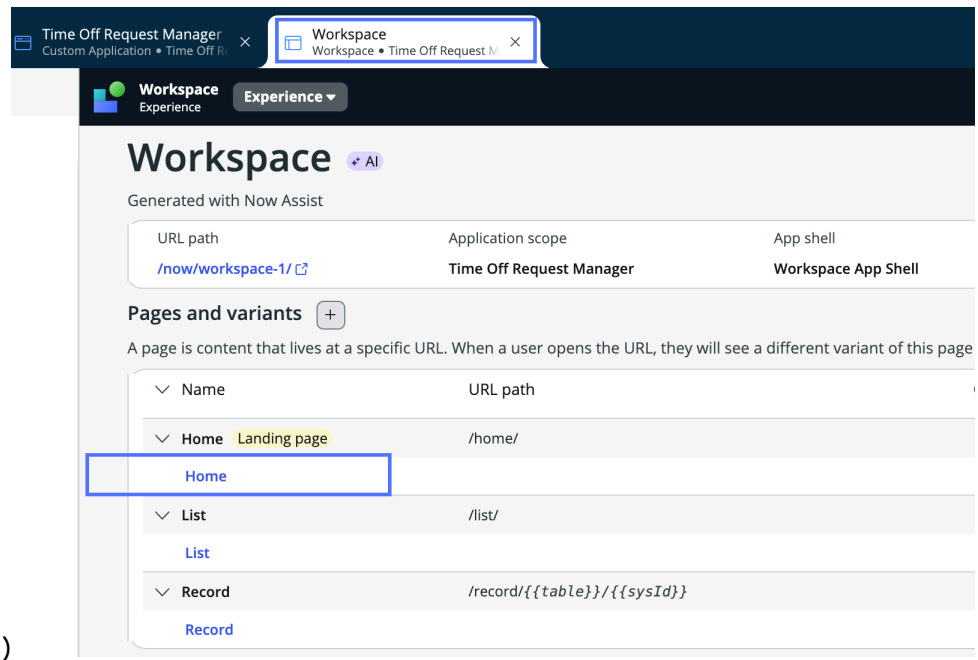
a. [アプリケーションファイル] タブの [表示名] 列で、[クラス] が **[UX** アプリケーション] のエントリを選択します。



(Optional)

ワークスペースが新しいタブに UI ビルダー で開きます。

b. [UI ビルダー] タブで [ホーム] を選択し、ワークスペースのランディングページをプレビューします。



(Optional)

c. ワークスペースを確認し、正しいアプリケーションスコープ内にいることを確認した後、必要に応じてワークスペースを変更します。

(Optional) たとえば、より多くのチャートやグラフを含む列レイアウトを追加します。

エンドユーザーの観点からワークスペースを表示するには、[プレビュー] を選択します。

UI ビルダー は、多くの機能とオプションを備えた強力な Web ユーザーインターフェイスビルダーです。詳細については、「UI ビルダー」を参照してください。

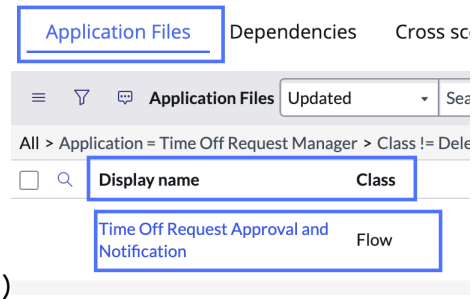
d. [UI ビルダー] タブを閉じます。

15. オプション: 生成されたフローを確認します。

自動翻訳

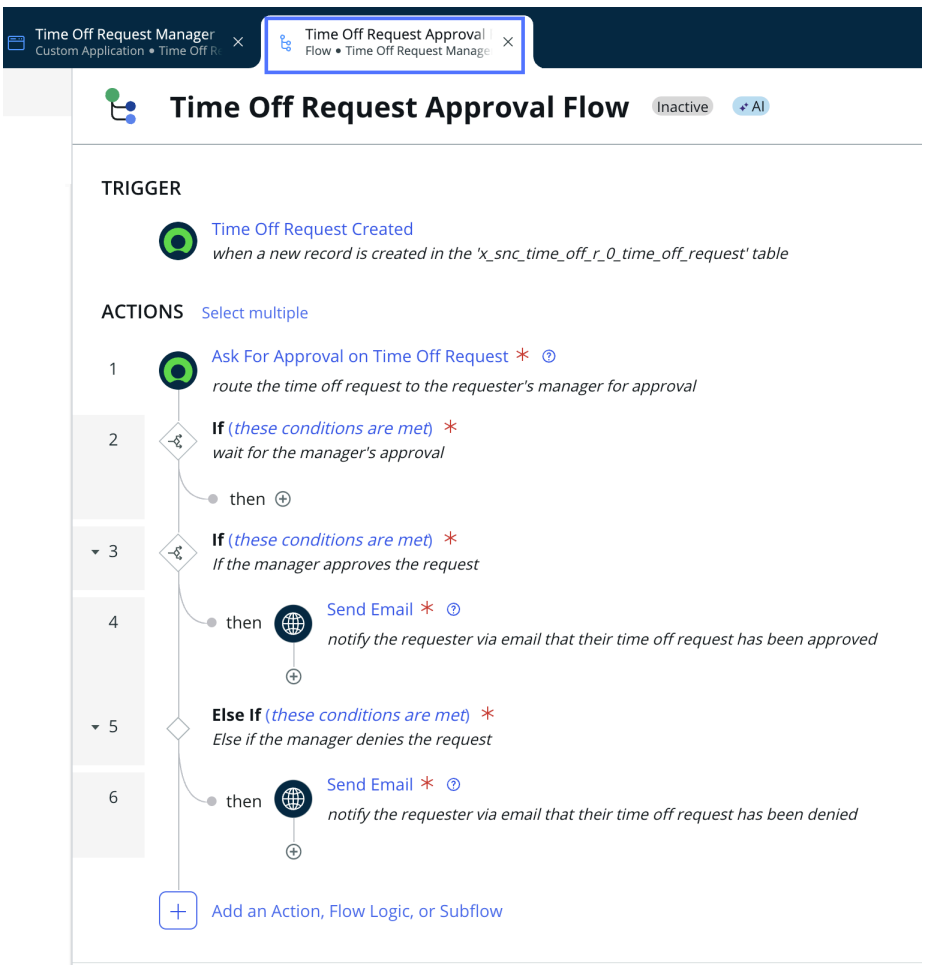
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. [アプリケーションファイル] タブの [表示名] 列で、[クラス] が [フロー] のフローエントリを選択します。



(Optional)

フローが新しいタブに ワークフロースタジオ で開きます。



b. フローを確認し、必要に応じて変更します。

(Optional) たとえば、トリガー、アクション、またはサブフローを追加または変更します。

ワークフロースタジオの使用の詳細については、「Exploring flows」を参照してください。

c. ワークフロースタジオを閉じます。

次のタスク
必要に応じて、アプリケーションファイルリスト内のアイテムを開き、検証し、変更します。詳細については、「ServiceNow スタジオ」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Now Assist ServiceNow スタジオリファレンスのアプリ生成用

参照トピックには、構成プロパティ、ロールなどに関するその他の情報が記載されています。

Now Assist のアプリ生成用ロール **ServiceNow** スタジオ

クリエーターの Now Assist のアプリ生成スキルで使用するために、次のロールがインストールされます。

アプリ生成を使用してアプリケーションを編集する (作成しない) 必要があるユーザーには、delegated_developer、now_assist_panel_user、および now.assist.creator ロールを付与できます。詳細については、「委託開発 の探索」を参照してください。

でのアプリ生成のための **Now Assist** のアドミン **[admin]** ロール **ServiceNow** スタジオ

セキュリティ上の制約に関係なく、システムの機能とデータすべてにアクセスできます。

ロールを含む

ロール内に含まれるロールのリスト。

- *sn_employee.admin*
- *taxonomy_admin*
- *sn_ace.ace_user*
- *nlu_admin*
- *sn_hr_sp.esc_admin*
- *sn_templated_snip.template_snippet_admin*

グループ

このロールがデフォルトでアサインされているグループのリスト。

なし。

特別な考慮事項

より分化したロールが利用可能な場合は、管理者ロールを付与しないでください。

でのアプリ生成の **Now Assist** の **Now Assist** クリエーター **[now.assist.creator]** ロール **ServiceNow** スタジオ

生成 AI との会話を通じてアプリケーションを作成します。

ロールを含む

ロール内に含まれるロールのリスト。

なし。

グループ

このロールがデフォルトでアサインされているグループのリスト。

なし。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

特別な考慮事項

なし。

Now Assist アプリ生成でサポートされているメタデータ

Now Assist for app generation は、テーブル、ロール、レコードプロデューサーなどのメタデータをサポートしています。

アプリ生成では、次のメタデータが生成されます。

ラベル	名前	使用状況
アクセス制御リスト (ACL)	sys_security_acl	ACL は、アプリケーションのロールベースのアクセス制御を管理します。 • リソースへのロールアクセスおよび許可された操作を定義するルール • フィールドまたはテーブルレベルで適用できる ACL
フロー	sys_hub_flow	フローは、繰り返し可能な複数ステップのプロセスを自動化します。
フォーム	sys_ui_form	ユーザーがデータを送信してテーブル内のレコードを作成または更新できるようにするインターフェイス
レコードプロデューサー	sc_cat_item_producer	タスクベースのレコードを生成する情報をユーザーが入力できるようにするフォームのタイプ
ロール	sys_user_role	ユーザーとグループに割り当てられる権限のセット
テーブル	sys_db_object	テーブルは、簡単に参照できるようにデータを行と列に整理します。 • 情報を含むレコードのコレクション • レコードには、アプリケーションのデータを格納するフィールドが含まれる • 各レコードはテーブルの行に対応し、レコードの各フィールドはテーブルの列に対応する
ワークスペースビルダー	sys_ux_page_registry	ユーザーがアプリケーションを操作できるようにする、データの可視化やその他のユーザーエクスペリエンスコンポーネントを含む、アプリケーションのターゲットを絞ったエクスペリエンス。

Now Assist アプリ生成でサポートされているフィールドタイプ

Now Assist アプリ生成では、選択肢、参照、文字列などのフィールドタイプをサポートしています。

アプリの生成では、現在、次のフィールドタイプの作成がサポートされています。

- 選択肢
- 通貨

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

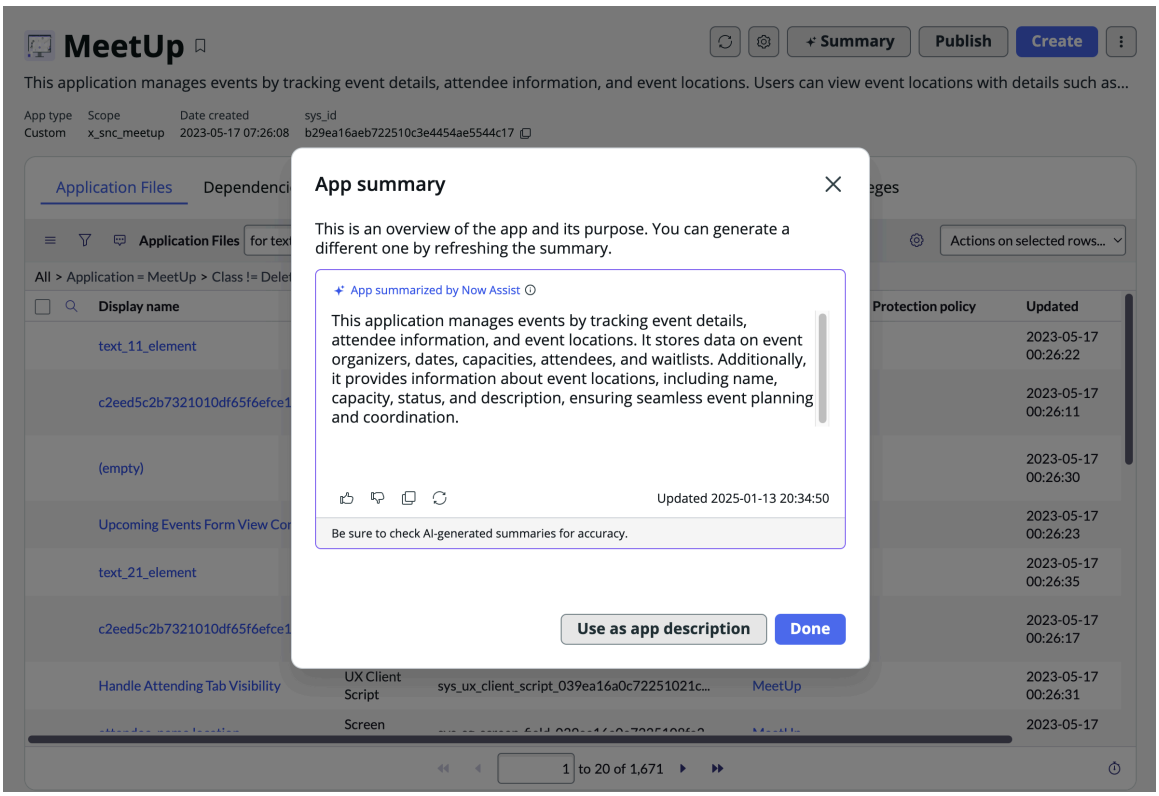
- 日付
- 日付/時刻
- 10 進数
- 整数
- 参照
- 文字列
- True/False

プラットフォームで利用可能なすべてのフィールドタイプの詳細なリストと説明については、「Field types reference」を参照してください。

Now Assist でのアプリサマリー生成の場合 ServiceNow スタジオ

ServiceNow® クリエーターの Now Assist アプリケーションを使用して、生成 AI を使用してアプリの要約を行います。クリエーターの Now Assistボタン 1 つでアプリのサマリーが生成され、アプリの説明にコピーしたり、重複するアプリを検索するために使用できます。

Now Assist アプリのサマリーの生成

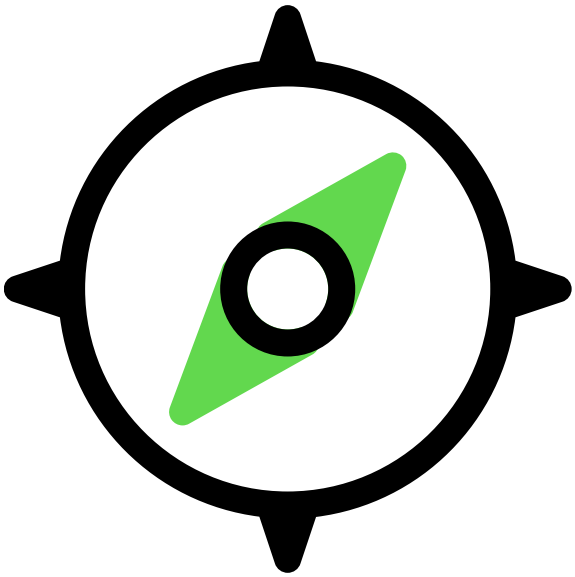


自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

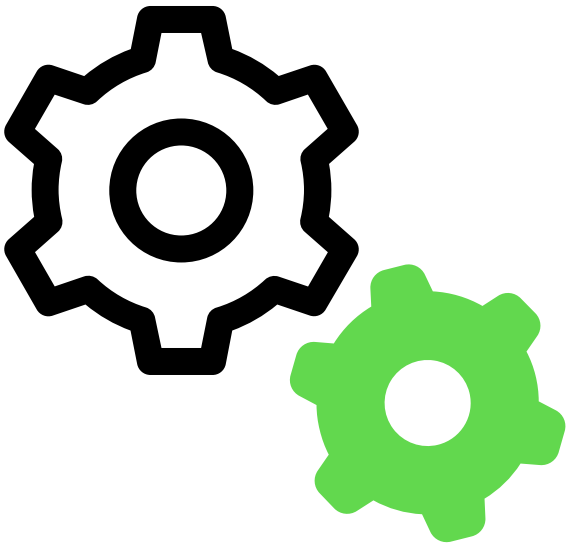
開始

探索



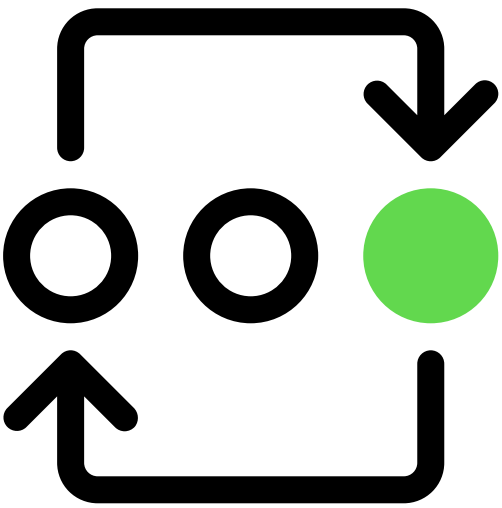
アプリのサマリー作成の詳細

構成



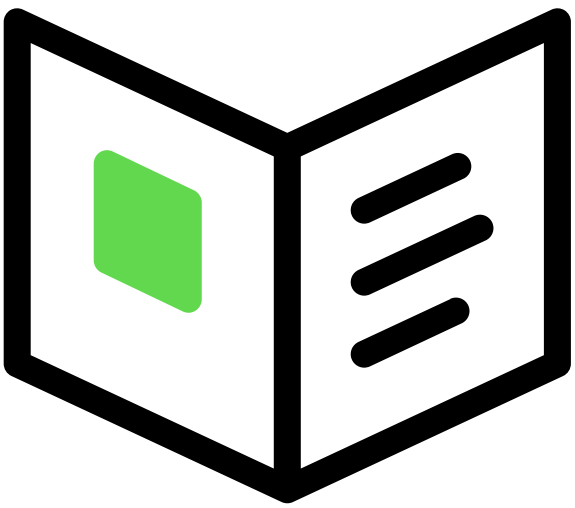
アプリのサマリー生成を設定する

使用方法



アプリのサマリーの生成

参照



プロパティ、ロールなどの詳細情報を取得

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

重要:

- 国内の SKU をお持ちのお客様は、すべてのモデルプロバイダーを利用できるわけではなく、一部の Now Assist 製品/機能は現在、国内のお客様はご利用いただけません。詳細については、Now Support ナレッジベースの KB1584492 記事を参照してください。将来のリリースでモデルプロバイダーの可用性の更新を必ず確認してください。
- 現在、 Now Assist 製品/機能の一部は、FedRAMP、NSC DOD IL5、オーストラリアの IRAP で保護されたデータセンターのお客様、セルフホスト型のお客様、またはその他の制限された環境ではご利用いただけません。詳細については、Now Support ナレッジベース記事「KB0743854」を参照してください。将来のリリースで可用性の更新を必ず確認してください。
- 現在、一部の Now Assist 製品/機能は一部の地域の顧客のみが利用できます。将来のリリースで可用性の更新を必ず確認してください。

役に立つリソース

役立つ情報を提供できる ServiceNow リソースは次のとおりです。

ServiceNow コミュニティ

ServiceNow コミュニティ

ディベロッパー

developer.servicenow.com

Now Create

Now Create

パートナー

https://www.servicenow.com/partners.html

支える

- https://support.servicenow.com/now
- 既知のエラーポータルで既知のエラー記事を検索する

AI の制限事項

このアプリケーションは、データ内のパターンに基づいて予測を生成する急速に進化している研究分野である人工知能 (AI) と機械学習を使用しています。その結果、このアプリケーションは必ずしも正確、完全、または適切な情報を生成するとは限りません。さらに、このアプリケーションがユースケースに合わせて完全にトレーニングまたはテストされているという保証はありません。これらの問題を軽減するために、ユースケースに対する正確性、害、および適切性について、このアプリケーションの使用をテストおよび評価し、出力を人間が監視し、意思決定の目的で AI で生成された出力のみに依存しないようにするのは、ユーザーの責任です。これは、医療、ファイナンス、法務、雇用、セキュリティ、インフラストラクチャなど、結果が影響を与える分野にこのアプリケーションを展開することを選択した場合に特に重要です。ServiceNow の AI 利用規定に従うことに同意するものとします。このポリシーは ServiceNow によって更新される場合があります。

データ処理

このアプリケーションでは、ServiceNow 顧客の個々のインスタンスから一元化された ServiceNow 環境にデータを転送する必要があります。この環境は、インスタンスが存在するデータセンターとは異なるデータセンターリージョンに配置されている可能性があり、場合によっては Microsoft Azure などのサードパーティクラウドプロバイダーにも転送されます。このデータは、コ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アコンプライアンスポータルから利用可能なポリシーを含む、ServiceNow の内部ポリシーと手順に従って処理されます。

データコレクション

ServiceNow は、このアプリケーションの入力、出力を収集して使用し、出力を編集して、ServiceNow モデルや AI 製品などの ServiceNow テクノロジーを開発および改善します。さらに、このアプリケーションは アプリの生成が使用されたアプリケーション (および関連するアプリケーションファイル) に関する情報。 お客様は、「Now Assistオプトアウトに関するページ」の説明に従って、いつでも将来のデータコレクションをオプトアウトできます。

アプリサマリー生成の **Now Assist** の詳細

クリエーターの Now Assist アプリケーションを使用して、アプリのサマリーを生成できます。その後、サマリーをアプリの説明にコピーし、それを使用して重複するアプリを確認できます。

Now Assist アプリのサマリー生成の概要

Now Assist アプリサマリー生成の場合 は、アプリの実行内容の概要を生成します。これは、[アプリの説明として使用] ボタンを選択して、アプリの説明にコピーできます。

さらに、アプリのサマリー生成用の Now Assist には次の機能があり、[アプリのサマリー] モーダルのアイコンからアクセスできます。

- サムズアップまたはサムズダウンアイコンでサマリーを評価します。
- 要約されたテキストをワンクリックでクリップボードにコピーします。
- 別の言い方をしたい場合は、サマリーを再生成します。

Now Assist アプリサマリー生成ユーザーの場合

注:
アプリのサマリー生成に Now Assist を使用するには、次のペルソナに加えて、ユーザーが now.assist.creator ロールを持っている必要があります。

ユーザー

ユーザー	説明
委任開発者	アプリでの作業を委任されたユーザー。
管理者	カスタムアプリケーション開発に関連するタスクをレビューおよび承認できるユーザー。

Now Assist アプリサマリー生成のメリット

Now Assist アプリサマリー生成のメリット

利益	機能	ユーザー
アプリの説明をすばやく生成します。これを使用して、重複するアプリを確認できます。	でのアプリのコンテンツの要約 ServiceNow スタジオ	開発者、アドミン

アプリのサマリー生成のための **Now Assist** の構成

アプリケーションの要約を開始できるように、 クリエーターの Now Assist アプリケーションでアプリのサマリー生成スキルを有効にします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

アプリのサマリーを生成するための **Now Assist** のインストール

組織でアプリのサマリー生成を使用できるように、 クリエーターの Now Assist アプリケーションをインストールします。

始める前に
ServiceNow Storeのクリエーターの Now Assistアプリケーションリストを確認して、依存関係、ライセンス、サブスクリプションの要件、およびリリースの互換性について確認してください。
クリエーターの Now Assist アプリサマリー生成スキルの Now Assist をインストールします。

> **注:**
> アプリサマリー生成スキルを使用するには、 Now Assist テーブルサマリー生成スキルもアクティブにする必要があります。

必要なロール：admin

手順

1. 検索して開く クリエーターの Now Assist 利用できません
2. クリエーターの Now Assist アプリケーション ページで、取得 を選択します。
3. 要求が承認されたら、次に移動します: すべて > システムアプリケーション > 利用可能なすべてのアプリケーション > すべて.
4. フィルター基準と検索バーを使用して、 クリエーターの Now Assist アプリケーション (sn_now_creator) を検索して選択します。
5. **[Install** (インストール)] を選択します。
6. クリエーターの Now Assist がインストールされていることを確認します。

   a. 移動先 すべて > *Now Assist* アドミン > 機能.

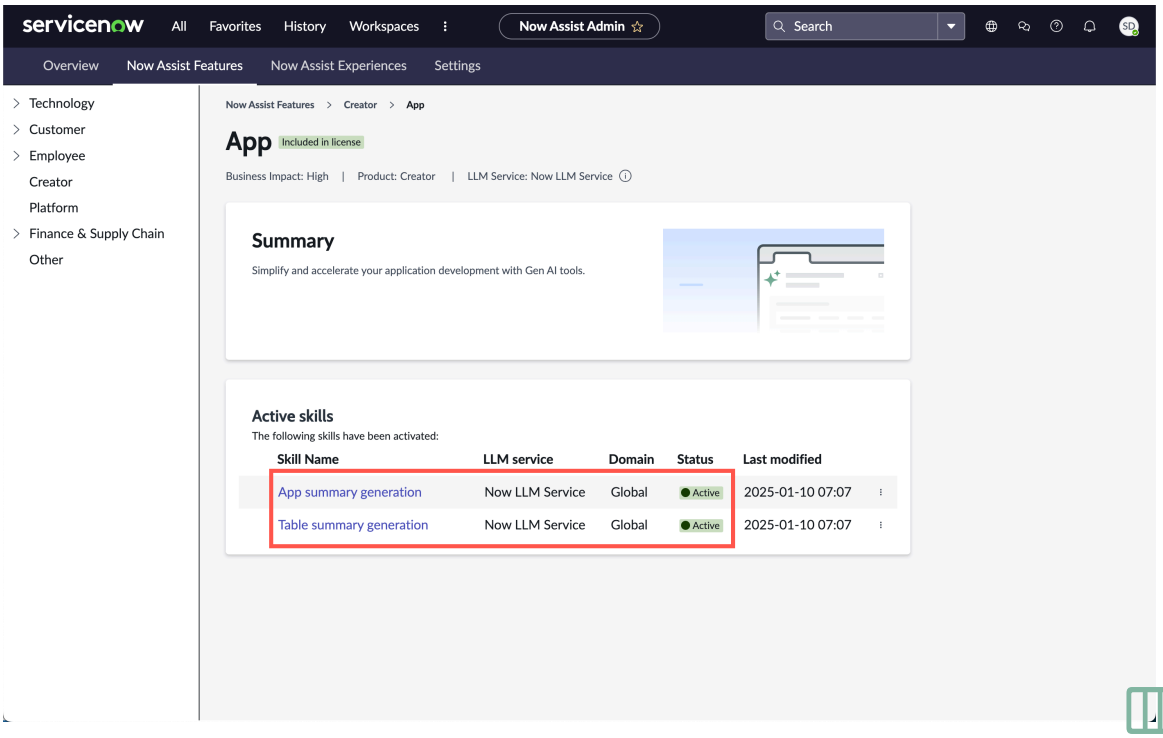
   b. ワークフローリストで、[作成者] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

c. アプリカードの [詳細を表示] を選択して、アプリサマリー生成スキルとテーブルサマリー生成スキルがアクティブであることを確認します。

アプリのアクティブなスキル



Now Assist アドミンコンソールを使用して Now Assist アプリケーションの設定、構成、監視に関する情報にアクセスする方法の詳細については、「Now Assist アドミンコンソール」を参照してください。

次のタスク
アプリを要約する各ユーザーに、admin ロールと now.assist.creator ロール、または sn_g_app_creator.app_creator ロールと now.assist.creator ロールを付与します。

アプリの要約については、「 でのアプリのコンテンツの要約 ServiceNow スタジオ」を参照してください。

でのアプリのコンテンツの要約 **ServiceNow** スタジオ

ServiceNow スタジオ でクリエーターの Now Assistを使用してアプリのサマリーを生成します。概要を確認したら、アプリの説明として使用できます。

始める前に
必要なロール:now.assist.creator および admin、またはアプリレコードへの書き込みアクセス権を持つ delegated_developer

このタスクについて
会社に堅牢な市民開発プログラムがあり、多くの開発者がアプリを作成している場合は、重複するアプリが存在する可能性があります。優れたアプリの説明は、アプリのリストをスキャンして重複を見つけるための最良かつ簡単な方法の1つです。Now Assistを使用して適切なアプリの説明を生成することで、アプリ作成のガバナンスを強化できます。

手順

1. 移動先 すべて > **App Engine** > **ServiceNow** スタジオ.
2. アプリケーションを開きます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

3. アプリの詳細 ページで、要約 を選択します。

   [アプリのサマリー] モーダルには、アプリのサマリーが生成されていることが表示されますが、これには少し時間がかかる場合があります。

   アプリのサマリーの生成は、デフォルトで 2 分後にタイムアウトします。これが発生すると、エラー通知が届きます。アドミニストレーターはタイムアウト期間を調整できます。

4. アプリの概要が表示されたら、正確かどうかを確認し、次のいずれかのアクションを実行します。

5. **[Done** (完了)] を選択します。

タスクの結果

最初のアプリの概要を作成すると、[概要] ボタンが [概要] ボタンになります。[概要] が表示されている場合は、アプリの概要がすでに作成されており、必要に応じて編集できることを確認してください。

Now Assist アプリサマリー生成用リファレンス

クリエーターの Now Assistアプリのサマリー生成スキルを使用するには、次のロールが必要です。

ロール

アプリを要約する各ユーザーに、admin ロールと now.assist.creator ロール、または sn_g_app_creator.app_creator ロールと now.assist.creator ロールを付与します。

での開発エクスペリエンスの変更 **ServiceNow** スタジオ

ServiceNow スタジオエクスペリエンススイッチャーを使用して開発環境を切り替えることで、アプリ開発に最適なツールを使用します。

始める前に

必要なロール：admin または delegated_developer

このタスクについて

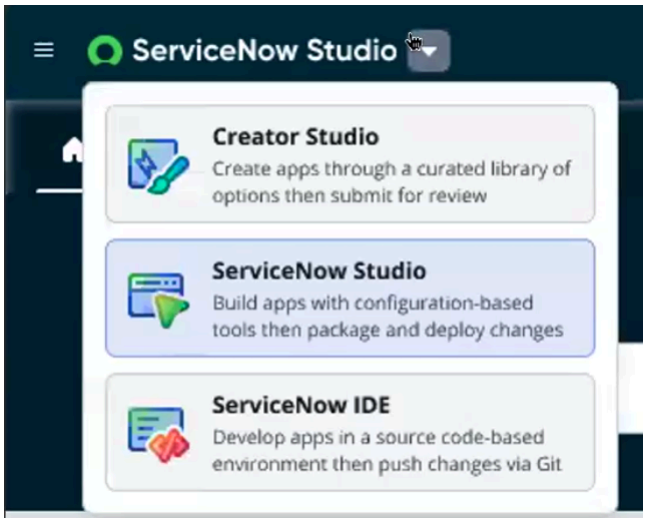
アプリ開発のある時点で、1 つの開発環境 (クリエータースタジオ など) でアプリを作成し、別の開発環境 (ServiceNow スタジオ など) で作業を続ける必要がある場合があります。エクスペリエンススイッチャーを使用すると、 クリエータースタジオ、 ServiceNow スタジオ、および ServiceNow IDE間を簡単に移動できます。

手順

1. 移動先 すべて > **App Engine** > **ServiceNow** スタジオ.
2. ServiceNow スタジオ名の横にある矢印を選択して、エクスペリエンススイッチャーを表示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



3. 開く開発環境を選択します。

> **注:**
> 選択できる開発エクスペリエンスは、権限によって異なります。サポートが必要な場合は、アドミニストレーターにお問い合わせください。

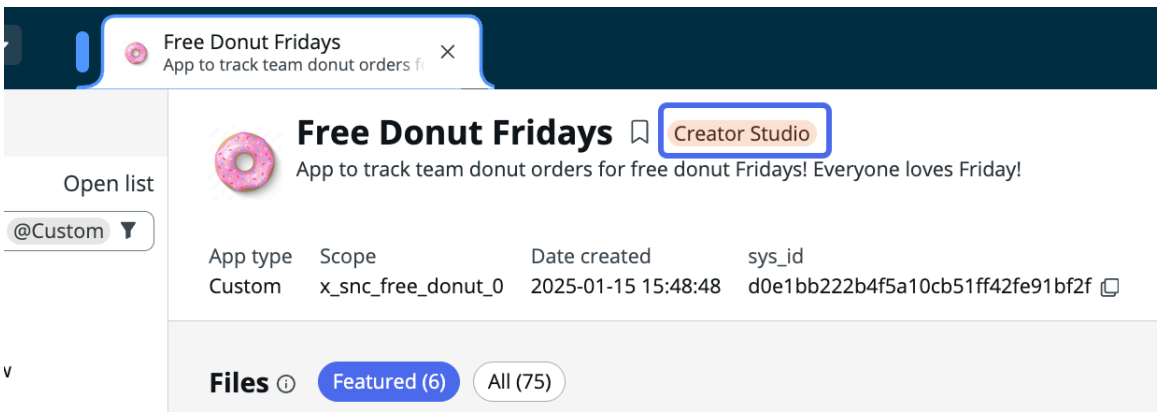
タスクの結果
新しい開発環境が開き、作業を開始できます。詳細については、「クリエータースタジオ」と「ServiceNow IDE を使用したアプリケーションの開発」を参照してください。

でのアプリ作成元情報の表示 **ServiceNow** スタジオ

アプリが作成された場所を確認して、アプリの開発と展開に最適な環境を選択します。ServiceNow スタジオ の [アプリの詳細] ページでアプリの作成元情報を表示します。

[アプリの詳細] ページ

各アプリの詳細ページには、アプリが クリエータースタジオ で作成されたか、 ServiceNow IDE で作成されて Fluent に変換されたかが表示されます。アプリが ServiceNow スタジオで作成された場合、バッジは表示されません。この情報は、 ServiceNow スタジオ を使用してアプリを引き続き編集および展開できるかどうか、または別のアプリケーションで開いて展開する必要があるかどうかを知るのに役立ちます。



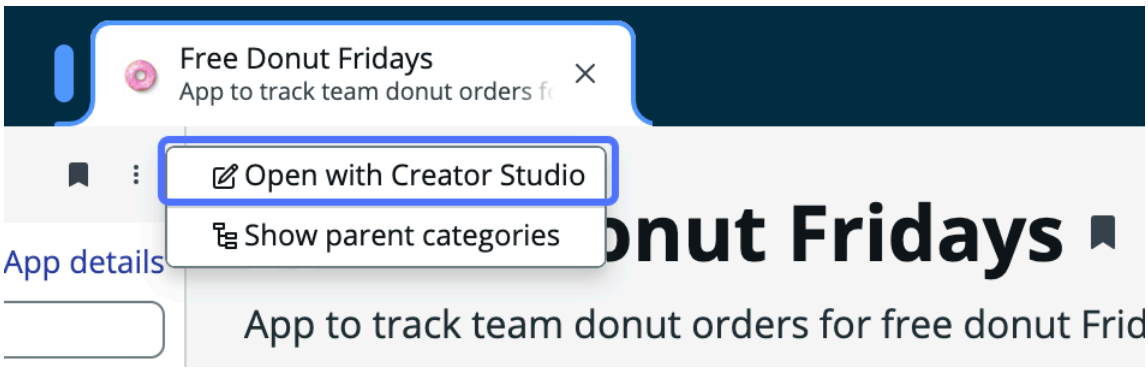
で作成されたアプリ クリエータースタジオ

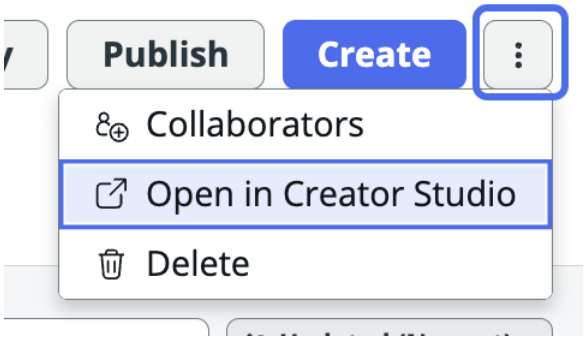
クリエータースタジオで作成されたアプリのみをクリエータースタジオで編集できます。これは、ServiceNow スタジオ でサポートされているメタデータのサブセットのみが クリエータースタジオ でサポートされているためです。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クリエータースタジオでアプリを開くには、ナビゲーターパネルまたは [アプリの詳細] ページでその他のオプションアイコン ( ) を選択し、[クリエータースタジオで開く] を選択します。詳細については、「クリエータースタジオ でのアプリのビルド」を参照してください。





で作成されたアプリ **ServiceNow IDE**

ServiceNow IDEで作成されたアプリは、ServiceNow スタジオで編集できます。

> **重要:**
> ただし、 ServiceNow スタジオ で Fluent アプリを変更して ServiceNow スタジオ から展開することはできません。ServiceNow IDE で作成されたアプリ、または Fluent に変換されたアプリは、ServiceNow IDE を使用して展開する必要があります。

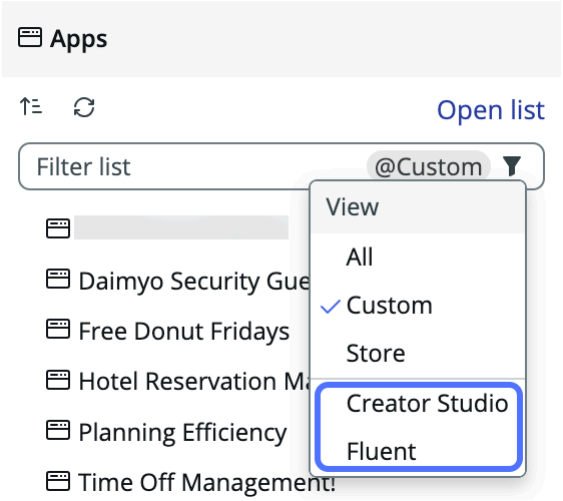
アプリに **Fluent** バッジが表示されたら、 ServiceNow IDEで使用される通常のアプリ展開プロセスに従います。詳細については、「ServiceNow IDE を使用したアプリケーションの開発」を参照してください。

フィルターを使用したアプリへのアクセス

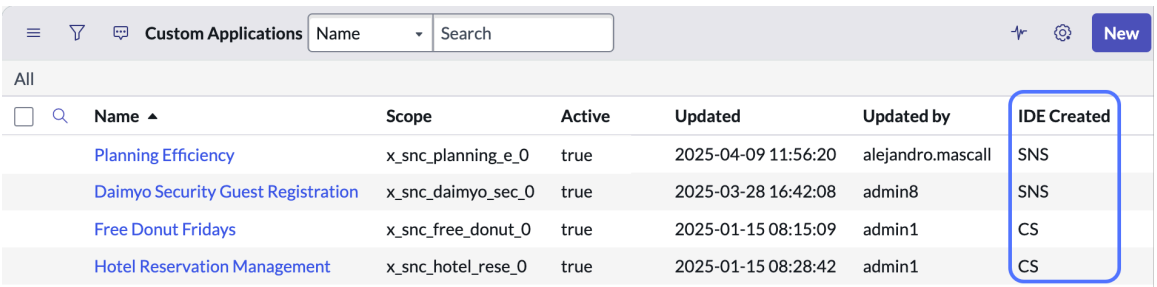
ナビゲーターパネルの [アプリ] セクションにあるフィルターを使用して、 クリエータースタジオ アプリまたは Fluent アプリに簡単にアクセスできます。[クリエータースタジオ] または **[Fluent]** オプションを選択すると、該当するアプリのみのリストが表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



その他のフィルター オプションについては、 [リストを開く] を選択します。クラシック UI16 のリストのソートとフィルタリングのオプションを使用して、必要なアプリのリストを検索します。**[IDE の作成済み]** 列には、アプリが作成された内部開発環境が表示されます。



でのスクリプトのデバッグ **ServiceNow** スタジオ

ServiceNow スタジオ のスクリプトデバッガを使用して、ビジネスルールやその他の同期サーバーサイドスクリプトをデバッグします。ServiceNow スタジオ でのアプリ開発の過程でスクリプトデバッガにアクセスします。

始める前に
必要なロール：admin または delegated developer

手順

1. 移動先 すべて > **App Engine** > **ServiceNow** スタジオ.
2. ホームページで、画面の一番下までスクロールし、[リソース] セクションから [スクリプトデバッガ] を選択します。
3. アプリ開発作業の通常のコースで使用する スクリプトデバッガ 機能を使用します。ServiceNow スタジオ の外部の新しいタブでスクリプトデバッガが開きます。一部のタブと機能はロールに依存します。スクリプトデバッガの使用の詳細については、「Script Debugger and Session Log」を参照してください。

ServiceNow スタジオナビゲーターでのメタデータアプリファイルカテゴリの操作

ServiceNow スタジオ を使用すると、自動化や統合からユーザーインターフェイスファイルまで、ServiceNow AI Platform がサポートするすべてのタイプのメタデータを操作できます。

ServiceNow スタジオ アプリのメタデータへのアクセス

ナビゲーターパネルの [ファイルカテゴリ] セクションでは、アクセス権を持つすべてのタイプのメタデータを分類カテゴリ別に整理してすばやく表示できます。各メタデータファイルカテゴリを展開

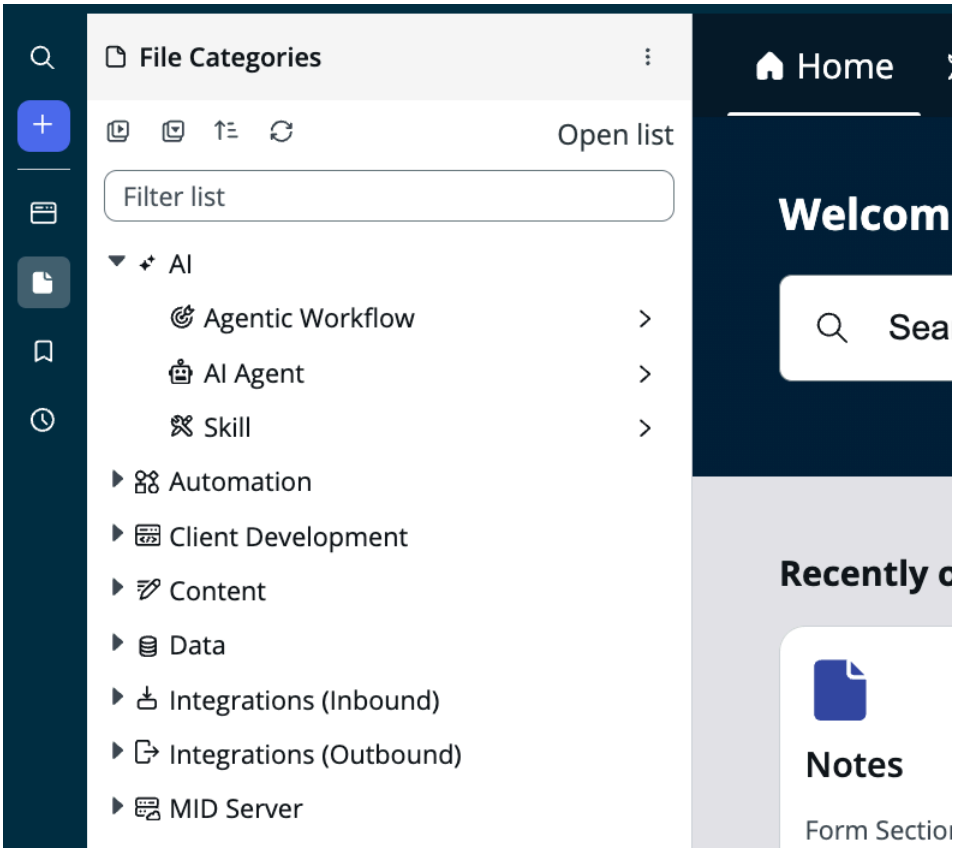
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

すると、そのサブカテゴリが表示されます。たとえば、[自動化] カテゴリを展開すると、アクション、フロー、プレイブックなどの自動化メタデータのすべてのサブタイプを表示するためのアクセス権が付与されます。

注:
各カテゴリのファイルの種類と各ファイルに関する情報の完全な一覧については、「ServiceNow スタジオ ナビゲーターパネルの分類」を参照してください。

ナビゲーターの [ファイルカテゴリ] セクションの [メタデータ] セクション



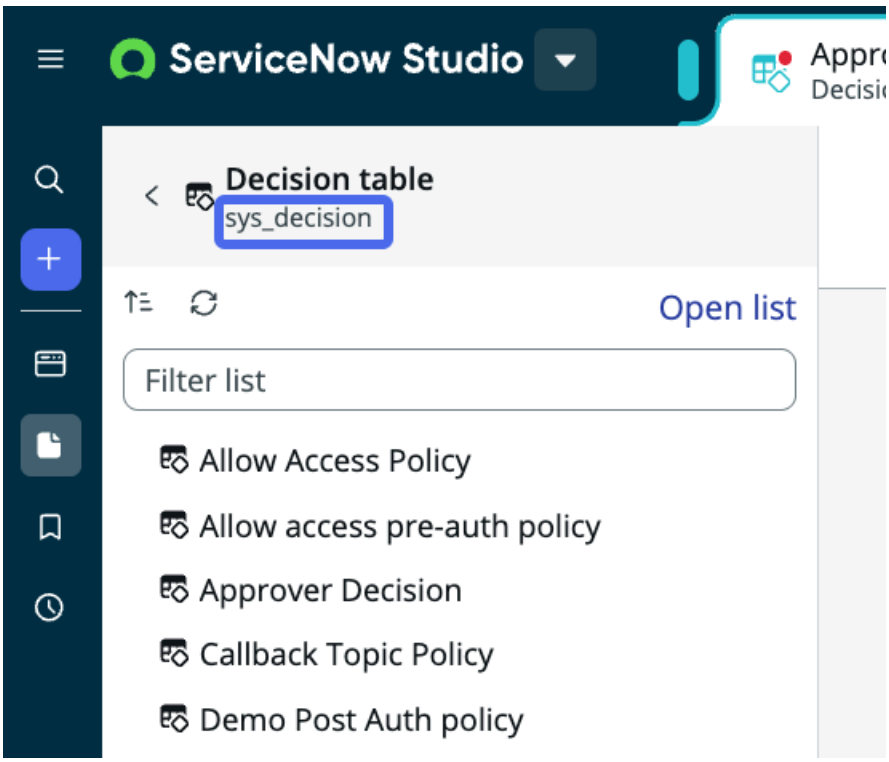
展開されたファイルカテゴリのサブタイプを選択すると、ServiceNow スタジオ にそのタイプのすべてのメタデータが表示され、選択して表示できます。たとえば、[自動化] ファイルカテゴリで [フロー] を選択すると、アクセスできるすべてのフローのリストが表示されます。いずれかを選択してワークフロースタジオServiceNow スタジオの統合タブで開きます。

注:
カテゴリを選択すると、メタデータファイルタイプの各サブカテゴリのソーステーブルが表示されます。[リストを開く] を選択すると、そのタイプのすべてのファイルの完全なリストが表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アプリファイルのテーブル



ナビゲーターパネルを使用してメタデータカテゴリでアプリファイルを検索する方法の詳細については、「ナビゲーターパネルを使用したアプリまたはアプリファイルの検索」を参照してください。

メタデータテーブルとその拡張テーブル

メタデータは、ServiceNow AI Platform 上の対応するテーブルにアプリケーションファイルとして存在します。メインのメタデータテーブルは sys_metadata ですが、特定のタイプのメタデータで sys_metadata テーブルを拡張しています。たとえば、フローとサブフローは拡張された sys_hub_flow テーブルを使用します。

利用可能なメタデータのリストと、sys_metadata を拡張する対応するテーブルについては、「ServiceNow スタジオ ナビゲーターパネルの分類」を参照してください。

カテゴリ別のメタデータ

各ファイルカテゴリには、自動化、データ、統合、モバイルアプリビルダー、UI、およびその他のカテゴリで使用できるさまざまなタイプのメタデータがあります。ファイルの各タイプ、そのプライマリテーブル、プライマリビルダーエクスペリエンスなどのリストについては、「 ServiceNow スタジオ ナビゲーターパネルの分類」を参照してください。

注:
[ファイル カテゴリ] メニューでメタデータ カテゴリをグループ化またはグループ解除するには、[その他のオプション] アイコン (⋮) を選択し、[親カテゴリを表示] を選択または選択解除します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

メタデータのカテゴリ

カテゴリ	メタデータセクション
AI	• エージェント型ワークフロー • AI エージェント • スキル
自動化	• 自動化 • スケジュール
データ	• クライアント開発 • データ • MID サーバー • サーバー開発
統合	• インバウンド統合 • アウトバウンド統合 • プロパティ
モバイル	• モバイルアプリビルダー • モバイルカードビルダー
UI	• コンテンツ • ユーザーインターフェイス
その他	• 自然言語理解 (NLU) (NLU) • レポート • セキュリティ

自動翻訳

での更新セットの操作 **ServiceNow** スタジオ

更新セットはあるインスタンスから別のインスタンスに移動できる構成変更のグループであります。この機能により、アドミニストレーターは一連の変更を名前付きセットにグループ化し、テストまたはデプロイメントのために別のシステムにユニットとして移動できます。

アドミンは、 ServiceNow スタジオ の更新セットを操作して、インスタンスを介して変更を移動できます。個々のアプリケーション内から、または [展開] タブから更新セットにアクセスします。ServiceNow スタジオで更新セットを操作する方法のほとんどは、ServiceNow AI Platformで使用する方法とよく似ています。更新セットで実行できるタスクの詳細については、「 システムアップデートセット」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アドミニストレーターは、更新セットで次のオプションを使用できます。

- ローカル変更を格納する更新セットを作成します。
- ローカル変更を保存する現在の更新セットを選択します。
- 配布用に準備するため更新セットを収容します。
- 更新セットの内容に関するレポートです。
- 更新セットを比較して、含まれている違いを判断します。
- 複数の更新セットの更新を単一のセットに結合します。
- 更新セットから外部ファイルを作成します。
- リモートインスタンスから更新セットを取得します。
- 取得した更新セットを適用します。
- 更新セットから適用された変更を取り消します。
- 更新セットに関連するシステムプロパティを設定します。

委任開発者には、 ServiceNow スタジオの更新セットで次のオプションがあります。

- ローカル変更を格納する更新セットを作成します。
- 更新セットピッカーを使用して、更新セットを簡単に切り替えることができます。
- 任意のアプリの [公開] ボタンを使用して、展開用に変更をパッケージ化します。

> **注:**
> アプリが ServiceNow IDE で作成され、Fluent に変換された場合は、公開および展開プロセスのために ServiceNow スタジオ から ServiceNow IDE に戻す必要があります。

での更新セットの作成 **ServiceNow** スタジオ

ServiceNow スタジオに展開するアプリの変更をパッケージ化する更新セットを作成します。

始める前に

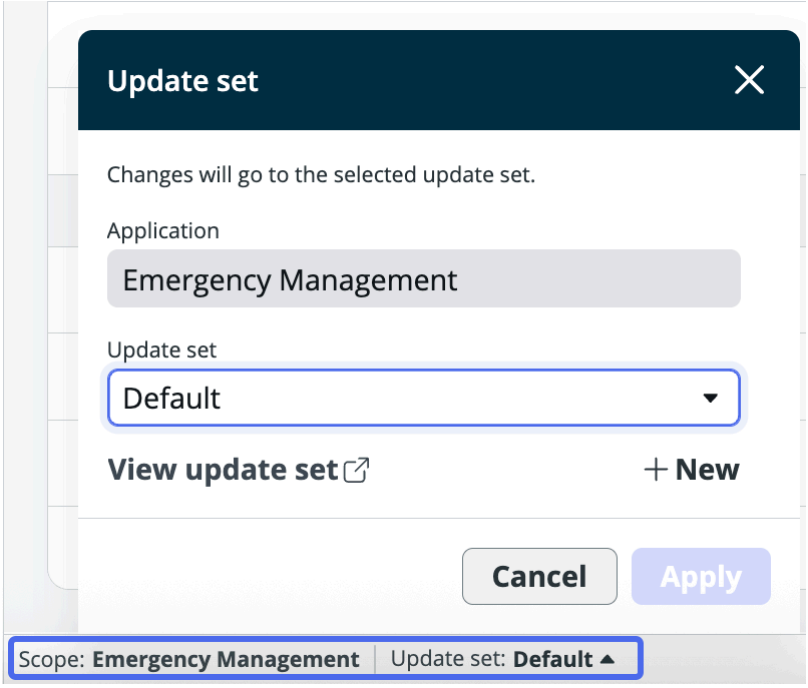
必要なロール：admin または delegated developer

手順

1. 移動先 すべて > **App Engine** > **ServiceNow** スタジオ.
2. 新しい更新セットが必要な変更があるアプリケーションを開きます。
3. キャンバスの左下隅にあるステータスバーから現在の更新セットを選択して、更新セットダイアログを展開します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



4. **[New** (新規)] を選択します。
5. 新しい更新セットの名前を入力します。
6. **[Save** (保存)] を選択します。
7. **[Apply** (適用)] を選択します。
   アプリで行った変更は、新しい更新セットに移動します。

ServiceNow スタジオ で更新セットを完了としてマークする

ServiceNow スタジオで更新セットを完了としてマークして、他のインスタンスから変更を取得できるようにします。

始める前に

必要なロール：admin または delegated developer

このタスクについて

移行する準備ができている場合にのみ、更新セット を完了 としてマークします。更新セット が完了したら、 対応中に戻さないでください。代わりに、残りの変更のために別の更新セットを作成します。

手順

1. 移動先 すべて > **App Engine** > **ServiceNow** スタジオ.
2. [展開] タブを選択します。
3. 変更する更新セットレコードを開きます。
4. 更新セット のステータス を次から変更 進行中 ～ 完了.

での **ReleaseOps** の操作 **ServiceNow** スタジオ

ReleaseOps は、パイプライン全体での変更のデプロイを自動化し、デプロイの予測可能性と信頼性を高め、変更を本番環境にリリースするリスクを軽減します。ReleaseOps を使用して、パイプラインを通じてアプリを昇格します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

でのパイプラインの操作 **ServiceNow** スタジオ

パイプラインを使用すると、あるインスタンスから別のインスタンスへのアプリケーションの伝播とインストールを自動化できます。アドミニストレーターは、App Engine 管理センター (AEMC) のServiceNow スタジオからのアプリ展開要求を管理できます。

パイプラインは ServiceNow CICD スポークを搭載しており、 アプリケーションリポジトリへのアプリケーションの公開、ターゲットインスタンスへのインストール、ATF テストの実行、インスタンススキャンの実行などのプロセスを自動化できます。

注:
パイプラインを使用したスコープ対象アプリの展開 App Engine 管理センター (AEMC) は、App Engine Enterprise ライセンスで利用できるプレミアム機能です。詳細については、「ServiceNow スタジオのインストール」を参照してください。

アドミンは、パイプラインを操作して、インスタンスを介してアプリへの変更を移動できます。パイプラインの構成の詳細については、「 パイプラインと展開 の構成」を参照してください。

App Engine 管理センター (AEMC) がインストールされている場合は、開発者が [ServiceNow スタジオで展開] を選択したときに作成される展開要求を管理できます。詳細については、「パイプラインと展開 を使用した展開の管理」を参照してください。

注:
アプリが ServiceNow IDE で作成され、Fluent に変換された場合は、公開および展開プロセスのために ServiceNow スタジオ から ServiceNow IDE に戻す必要があります。

での アプリケーションリポジトリ の操作 **ServiceNow** スタジオ

ServiceNow スタジオ でカスタムアプリケーションを開発してテストした後、アプリケーションをServiceNow アプリケーションリポジトリに公開することで、会社のインスタンスで使用できるようにすることができます。アプリケーションリポジトリは、すべてのServiceNow顧客によって公開されているすべてのスコープ対象アプリケーションの中央リポジトリです。

アプリケーションリポジトリを使用すると、インスタンス間でアプリケーションをアップロードして配布できます。アプリケーションリポジトリにアクセスすると、自分の組織で公開されているアプリケーションのみを表示および管理できます。他の組織が公開したアプリケーションを表示したり管理したりすることはできません。

ServiceNow スタジオ を使用してアプリを開発し、アプリのテストに成功し、[展開] を選択したら、アプリケーションをアプリケーションリポジトリに公開して、社内の他のインスタンスで共有できます。公開プロセスの詳細については、「 ServiceNow スタジオ から アプリケーションリポジトリ へのアプリの変更の公開」を参照してください。

注:
アプリが ServiceNow IDE で作成され、Fluent に変換された場合は、公開および展開プロセスのために ServiceNow スタジオ から ServiceNow IDE に戻す必要があります。

詳細については、「ServiceNow アプリケーションリポジトリ」を参照してください。

ServiceNow スタジオの参照

参照トピックには、ナビゲーターパネルの分類、サポートされているファイルタイプ、プロパティ、および ServiceNow スタジオ のコラボレーション権限に関する追加情報が記載されています。

ServiceNow スタジオ ナビゲーターパネルの分類

各メタデータファイルタイプとそれに対応するプライマリテーブルの詳細については、[ServiceNow スタジオ ナビゲーター] パネルの [ファイルカテゴリ] タブを参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

注:
sys_metadata テーブルの追加の拡張は、適切なセクションのナビゲーターパネルに自動的に含まれます。

各ファイルカテゴリについて、作成できるファイルタイプとそれに対応するプライマリテーブルを参照してください。ファイルのプライマリテーブルに移動する方法の詳細については、「 のテーブルへの直接移動 ServiceNow スタジオ」を参照してください。

AI ファイル

AI ファイルは、生成 AI を使用して会話とプロアクティブなエクスペリエンスを通じてユーザーの生産性と効率を向上させる方法を提供します。

重要:
ServiceNow スタジオファイル分類の AI オプションは、AI コンポーネントがインストールおよび構成されている場合にのみ使用できます。

AI ファイルタイプ

ファイルタイプ	説明	プライマリテーブル	プライマリ編集エクスペリエンス
エージェント型ワークフロー	エージェントワークフローは、解決したいビジネス上の問題です。AI エージェントスタジオでは、エージェントワークフローを定義し、それを AI エージェントに接続して解決プランを取得する必要があります。 詳細については、「Create an agentic workflow 」を参照してください。	sn_aia_usecase	AI エージェントスタジオ
AI エージェント	AI エージェントは、大規模言語モデル (LLM) を使用して人間のような知能を模倣するエンティティです。AI エージェントは、単純な自動応答から複雑な問題解決まで、さまざまなタスクを実行できます。AI エージェントを使用することで、ライブエージェントの作業負荷を軽減し、生産性を向上させることができます。 詳細については、「Create an AI	sn_aia_agent	AI エージェントスタジオ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

AI ファイルタイプ (続く)

ファイルタイプ	説明	プライマリテーブル	プライマリ編集エクスペリエンス
	agent」を参照してください。		
スキル	スキルは、特定のビジネスニーズを満たすように調整されたユーザー定義の AI 機能です。カスタムスキルは Now Assist スキルキットを使用して作成されます。これにより、ユーザーはカスタムスキルの入力データ、プロンプト、LLM プロバイダー、展開領域を定義できます。 詳細については、「Create a skill」を参照してください。	sn_nowassist_skill_config	UI16

自動化ファイル

自動化により、繰り返し発生するタスクを少ないステップ数で効率的に管理し、人の入力と労力を削減する方法が提供されます。たとえば、レコードが承認されたときに自動的にメール通知が送信されるように設定できます。自動化を作成して、アクション、フロー、その他の自動タスクなどの自動化をアプリに追加することで、作業方法を簡素化および簡素化します。

自動化ファイルタイプ

ファイルタイプ	説明	プライマリテーブル	プライマリ編集エクスペリエンス
アクション	アクションは、フロー内の繰り返し可能なタスクまたは操作を一連の関連ステップとして自動化します。アクションは、一連のステップを実行してタスクを完了し、データを出力としてフローに渡します。 詳細については、「Exploring actions」を参照してください。	sys_hub_action_type_definition	Flow フロースタジオ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動化ファイルタイプ (続く)

ファイルタイプ	説明	プライマリテーブル	プライマリ編集エクスペリエンス
アクティビティ定義	アクティビティ定義は、プレイブックの実行時にプレイブック内のアクティビティが必要なデータを取得する方法を記述します。各アクティビティ定義には、基本的な構成の詳細に加えて、自動化プランとアクティビティエクスペリエンスが含まれています。 詳細については、「Activity definitions」を参照してください。	sys_pd_activity_definition	UI16
接続と認証情報エイリアス	接続および資格情報エイリアスは、資格情報または接続レコードにラベルを付けるエイリアスを定義し、アプリが別のシステムまたはコンポーネントに接続できるようにします。 詳細については、「Connections and Credentials」を参照してください。	sys_alias	UI16
データストリーム	データストリームは、フロー内の応答データのストリームを処理する再利用可能なアクションです。たとえば、データストリームアクションを作成して、サードパーティの HR サイトから大量の従業員データをインポートすることができます。 詳細については、「Data Stream actions and	sys_hub_action_type_definition	Flow Designer

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動化ファイルタイプ (続く)

ファイルタイプ	説明	プライマリテーブル	プライマリ編集エクスペリエンス
	pagination」を参照してください。		
ディシジョンテーブル	ディシジョンテーブルは、意思決定ルールを作成して維持することで、意思決定ロジックをコードから切り離します。ディシジョンテーブルは、意思決定を作成、表示、および変更できる単一ポイントを提供します。 詳細については、「Exploring Decision Tables」を参照してください。	sys_decision	ワークフロースタジオ
メールテンプレート	メール テンプレートを使用すると、アドミニストレーターはメール通知の件名およびメッセージ本文で再利用可能なコンテンツを作成できます。アドミニストレーターは、リッチテキストやその他のアイテム (画像など) をメールテンプレートに追加できます。 詳細については、「Email templates」を参照してください。	sysevent_email_template	ui16
フロー	フローは、トリガーと一連の再利用可能なアクションとフローロジックで構成される自動化されたプロセスです。トリガーは、フローを実行するタイミングを指定します。アクションは、データに対して一連の操作を実行します。たとえば、ビジュアルタスクボード (VTB) サンプルフ	sys_hub_flow	ワークフロースタジオ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動化ファイルタイプ (続く)

ファイルタイプ	説明	プライマリテーブル	プライマリ編集エクスペリエンス
	ローでは、優先度 1 のインシデントが作成されるたびに VTB カードを作成してアサインします。 詳細については、「Exploring flows」を参照してください。		
通知	通知は、レコードが変更されたときにユーザーに警告します。たとえば、要求が却下されたときにプッシュ通知を受け取ることができます。 詳細については、「System notifications」を参照してください。	sysevent_email_action	UI16
プレイブック	プレイブックは、トリガーに基づいて行われる自動化されたアクティビティのセットです。たとえば、要求が承認されたときにメールを送信するアプリのプレイブックを作成できます。 詳細については、「Getting started with Playbooks」を参照してください。	sys_pd_process_definition	ワークフロースタジオ
サブフロー	サブフローは、一連の再利用可能なアクションとフローロジック、データ入力とデータ出力で構成されるプロセスです。フローとは対照的に、サブフローにはトリガーがなく、代わりにプレイブック、フロー、別のサブフロー、またはスクリプ	sys_hub_flow	ワークフロースタジオ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動化ファイルタイプ (続く)

ファイルタイプ	説明	プライマリテーブル	プライマリ編集エクスペリエンス
	トから呼び出されたときに実行されます。 詳細については、「Exploring subflows」を参照してください。		

クライアント開発ファイル

クライアント開発ファイルは、 ServiceNow スタジオで組み込まれたアプリを操作するときに実行できるアクションに基づいて発生する操作を定義します。

クライアント開発ファイルタイプ

ファイルタイプ	説明	プライマリテーブル	プライマリ編集エクスペリエンス
割り当てデータルックアップ	アサインデータルックアップを使用し、データルックアップとレコード一致を使用してレコードを自動的にアサインします。たとえば、特定のレベル未満のユーザーのマネージャーグループに承認を割り当てるなど、一連の条件が発生したときに、レコードの [assigned_to] フィールドと [assignment_group] フィールドに値を自動的に設定できます。 詳細については、「Defining assignment rules」を参照してください。	dl_u_assignment	UI16
拡張インスタンス	UI スクリプトをクライアント拡張ポイントにリンクするクライアント拡張ポイントの登録済みインスタンスに対して、クライアント拡張統合を使用します。UI スクリプトは、クライアント拡張ポイ	sys_client_extension_instance	UI16

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クライアント開発ファイルタイプ (続く)

ファイルタイプ	説明	プライマリテーブル	プライマリ編集エクスペリエンス
	ントを呼び出すページに含まれています。 詳細については、「Using extension points to extend application functionality」を参照してください。		
クライアント拡張ポイント	クライアント拡張ポイントは、元のアプリケーションコードを変更せずにアプリケーションの機能を拡張します。拡張ポイントは、カスタム コードをアプリケーション コードに直接埋め込む場合に、アップグレード後によく発生するカスタム コードの相互作用の中断を防ぐのに役立ちます。 詳細については、「Using extension points to extend application functionality」を参照してください。	sys_client_extension_point	UI16
クライアントスクリプト	クライアントスクリプトを使用すると、クライアントベースのイベントが発生したときに、 ServiceNow AI Platform 上のアプリがクライアント (Web ブラウザー) で JavaScript を実行できます。たとえば、フォームの読み込み時、フォームの送信後、フィールドの値の変更時に実行できます。	sys_script_client	UI16

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クライアント開発ファイルタイプ (続く)

ファイルタイプ	説明	プライマリテーブル	プライマリ編集エクスペリエンス
	詳細については、「Client scripts」を参照してください。		
データルックアップの定義	データルックアップ定義は、同じテーブルのレコードから属性を取得できるようにするノーコードソリューションです。たとえば、名前を入力したときにメールフィールドに自動的に入力するデータルックアップ定義を作成できます。 詳細については、「Create a catalog lookup definition」を参照してください。	dl_definition	UI16
優先データルックアップ	優先度データルックアップを使用すると、インシデントの影響度と緊急度を定義して、優先順位付け方法を計算できます。 詳細については、「Define priority lookup rules」を参照してください。	dl_u_priority	UI16
UI 拡張インスタンス	UI 拡張インスタンスを使用して、UI マクロを UI 拡張ポイントにリンクする UI 拡張ポイントの登録インスタンスを作成します。マクロは、UI 拡張ポイントが呼び出されるたびに呼び出すことができます。 詳細については、「Creating and adding a UI extension point」を参照してください。	sys_ui_extension_instance	UI16

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クライアント開発ファイルタイプ (続く)

ファイルタイプ	説明	プライマリテーブル	プライマリ編集エクスペリエンス
UI 拡張ポイント	UI 拡張ポイントを使用すると、ページを直接変更しなくてもカスタムコンテンツを UI ページに追加できます。最初に UI 拡張ポイントを作成してから、ベースアプリケーションコードの UI マクロに追加する必要があります。 詳細については、「Using UI extension points in server-side UI macros」を参照してください。	sys_ui_extension_point	UI16
UI ポリシー	UI ポリシーは、フォーム上の情報の動作を動的に変更し、タスクのカスタムプロセスフローを制御します。たとえば、UI ポリシーを使用して、フォームの数値フィールドを読み取り専用にしたり、簡単な説明フィールドを必須にしたり、その他のフィールドを非表示にしたりできます。 詳細については、「Using UI policies」を参照してください。	sys_ui_policy	UI16
UI スクリプト	UI スクリプトを使用すると、クライアント側の JavaScript を再利用可能な形式にパッケージ化できます。これは、スクリプトインクルードがサーバー側の JavaScript を格納する方法と似ています。	sys_ui_script	UI16

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クライアント開発ファイルタイプ (続く)

ファイルタイプ	説明	プライマリテーブル	プライマリ編集エクスペリエンス
	詳細については、「UI scripts」を参照してください。		

コンテンツファイル

コンテンツファイルは、ナレッジ記事やその他のコミュニケーション形式を参照して、ユーザーとシステムに情報を提供する方法を定義します。たとえば、コンテンツファイルは、ナレッジ記事、静的なテキストブロック、または外部 Web ベースのコンテンツを参照できます。コンテンツ ファイルを使用して、 ServiceNow スタジオ でビルドしているアプリに情報を提供します。

コンテンツファイルタイプ

ファイルタイプ	説明	プライマリテーブル	プライマリ編集エクスペリエンス
オーディオ	オーディオ ファイルを使って、アプリが ServiceNow AI Platformで使用できるサウンドと録音をアップロードします。 詳細については、「Manage audio files」を参照してください。	db_audio	UI16
詳細コンテンツ	詳細コンテンツブロックを使用して、インシデント、ナレッジ記事、サービス管理要求などの既存のドキュメントのコンテンツを表示します。 詳細については、「Configure a detailed content block」を参照してください。	content_block_detail	UI16
ダイナミックコンテンツ	ダイナミックコンテンツは、スクリプティングを使用するか、 ServiceNow AI Platform からアプリに情報を取得します。たとえば、動的コンテ	content_block_programmatic	UI16

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

コンテンツファイルタイプ (続く)

ファイルタイプ	説明	プライマリテーブル	プライマリ編集エクスペリエンス
	ンツを使用して求人情報を作成します。求人情報はナレッジ記事に保存され、動的ブロックとともにアプリに表示されます。 詳細については、「Configure dynamic blocks」を参照してください。		
iFrames	iFrame を使用して、フレーム内のページに URL を埋め込みます。外部ページを埋め込んだり、 ServiceNow コンテンツを表示したりすることができます。 詳細については、「Configure iFrames」を参照してください。	content_block_iframe	UI16
イメージ	アプリやフォームで使用する画像を ServiceNow AI Platform にアップロードして保存します。その後、インスタンスの URL に画像の名前を追加することで、HTML フィールドから画像を参照できます。 詳細については、「Storing images in the database」を参照してください。	db_image	UI16
スタティックコンテンツ	変更されないテキストには静的ブロックを使用します。たとえば、会社名や組織名のみを含むサイト フッターに静的ブロックを使用します。	content_block_static	UI16

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

コンテンツファイルタイプ (続く)

ファイルタイプ	説明	プライマリテーブル	プライマリ編集エクスペリエンス
	詳細については、「Configure a static HTML block」を参照してください。		

データファイル

データファイルを使用すると、アプリケーションに格納された情報やアプリケーションによって参照される情報を、 ServiceNow スタジオ組み込まれたアプリケーションで使用できます。データはあらゆるアプリの基盤です。テーブルから開始することも、スプレッドシートや PDF をアップロードして、アプリが消費する ServiceNow AI Platform にデータを取り込むこともできます。

データファイルタイプ

ファイルタイプ	説明	プライマリテーブル	プライマリ編集エクスペリエンス
フォーム	フォームは、データベーステーブルの単一レコードのフィールドと値を表示するコンテンツページです。 詳細については、「テーブルビルダー のフォーム」を参照してください。	sys_ui_form	フォームビルダー
フォームセクション	セクションを使用してフォームのレイアウトを設計します。たとえば、1 列または 2 列にすることができます。 詳細については、「テーブルビルダー でのフォームレイアウトのカスタマイズ」を参照してください。	sys_ui_section	フォームビルダー
多対多リレーションの定義	多対多のタスクを使用して、異なるタスク間の関係を定義します。1 対 1、1 対多、および多対多の関係を実装できます。たとえば、1 人のユーザーが複数のロールを持つことができ、複数のユー	sys_m2m	UI16

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

データファイルタイプ (続く)

ファイルタイプ	説明	プライマリテーブル	プライマリ編集エクスペリエンス
	ザーが任意のロールを持つことができるため、ユーザーとロールは多対多の関係です。 詳細については、「Creating many-to-many task relations」を参照してください。		
関係性	関係を使用して、テーブルが相互にやり取りする方法を定義します。テーブル間の関係は、テーブルの拡張、別のテーブルのレコードの参照、多対多の関係の作成、データベースビューでのテーブルの結合を行うことで、作成することができます。 詳細については、「Table relationships」を参照してください。	sys_relationship	UI16
テーブル	テーブルは、ServiceNow AI Platform がデータを保存する方法の基盤です。テーブルをリストとして表示する場合、各行はレコードで、各列はレコードからのフィールドです。たとえば、インシデントテーブルには、すべての顧客とのやり取り、つまりインシデントのレコードがあります。 詳細については、「ServiceNow AI Platform tables and data」と「テーブルビルダー」を参照してください。	sys_db_object	テーブルビルダー

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

データファイルタイプ (続く)

ファイルタイプ	説明	プライマリテーブル	プライマリ編集エクスペリエンス
テーブルの列	テーブル列は、レコードのフィールドを表します。たとえば、ユーザーレコードには、名用の列とファミリ名用の別の列を含めることができます。 詳細については、「テーブルビルダーのテーブルのプロパティ」を参照してください。	sys_dictionary	UI16

インバウンド統合ファイル

インバウンド統合を使用すると、別のシステムまたはソースから ServiceNow AI Platform に情報やデータを取得できます。インバウンド統合により、外部システムから ServiceNow へのシームレスなデータフローが可能になり、システム間の効率的な通信と統合が促進されます。

インバウンド統合ファイルタイプ

ファイルタイプ	説明	プライマリテーブル	プライマリ編集エクスペリエンス
データのインポート	データインポートを使用して、インポートジョブで処理されているすべてのレコードと、承認待ちのインポートジョブを表示します。 詳細については、「Importing data using import sets」と「Integration Hub - Import」を参照してください。	sn_ihub_integration_instance	統合ハブ
データソース	データソースは、インポートしたいデータを取得する方法と場所を指定します。 詳細については、「Data sources」と「Configure a data	sys_data_source	UI16

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インバウンド統合ファイルタイプ (続く)

ファイルタイプ	説明	プライマリテーブル	プライマリ編集エクスペリエンス
	source」を参照してください。		
予定されているデータインポート	スケジュール設定済みデータインポートでは、インポートセットを使用してデータソースからデータをインポートするように指定します。変換マップは、ターゲットテーブルにデータを書き込む前に、インポートされたデータに適用されます。 詳細については、「Run or schedule a data import」を参照してください。	scheduled_import_set	UI16
予定されているデータインポート	予定されているデータインポートでは、データソースからデータをインポートするように指定します。変換マップは、ターゲットテーブルにデータを書き込む前に、インポートされたデータに適用されます。 詳細については、「Run or schedule a data import」を参照してください。	scheduled_data_import	UI16
スクリプト化 REST API	スクリプト化された REST API を使用して、アプリケーションのカスタム Web サービス API をビルドします。サービスエンドポイント、クエリパラメーター、Scripted REST API のヘッダー、および要求と応答を管理するスクリプトを定義できます。	sys_ws_definition	UI16

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インバウンド統合ファイルタイプ (続く)

ファイルタイプ	説明	プライマリテーブル	プライマリ編集エクスペリエンス
	詳細については、「Scripted REST APIs」を参照してください。		
スクリプト化 Web サービス	スクリプト化された Web サービスを使用すると、開発者は ServiceNow AI Platform に独自の API を作成できます。サードパーティアプリケーションは、スクリプト化された Web サービスを使用して ServiceNow テーブルのレコードにアクセスします。 詳細については、「Web services」を参照してください。	sys_web_service	UI16
テーブル変換マップ	変換マップには、インポートセットのフィールドとインシデント [incident] やユーザー [sys_user] などの既存の ServiceNow テーブルのフィールドとの関係を決定する一連のフィールドマップが含まれています。変換マップを作成したら、それを再利用して、別のインポートセットのデータを同じテーブルにマッピングできます。 詳細については、「Transform maps」を参照してください。	sys_transform_map	UI16

送信統合ファイル

アウトバウンド統合を使用すると、 ServiceNow AI Platform から取得され、外部システムまたはソースに送信されるデータを操作できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アウトバウンド統合ファイルタイプ

ファイルタイプ	説明	プライマリテーブル	プライマリ編集エクスペリエンス
エクスポート定義	エクスポート定義は、エクスポートセットに含めるデータを決定します。 詳細については、「Create an export definition」を参照してください。	sys_export_definition	UI16
エクスポートセット	エクスポートセットは、エクスポートするデータと、データをエクスポートするときに使用するエクスポートターゲットを定義します。たとえば、インスタンスから外部ファイルにデータをプッシュできます。 詳細については、「Create an export set」を参照してください。	sys_export_set	UI16
エクスポートターゲット	エクスポートターゲットは、エクスポートセットデータが書き込まれる MID サーバー上のターゲットファイルを指定します。 詳細については、「Create an export target」を参照してください。	sys_export_target	UI16
REST メッセージ	REST メッセージは、REST を介して外部 Web サービスとやり取りする方法の詳細を格納するレコードです。REST メッセージレコードを作成することで、REST メッセージを使用して REST Web サービスエンド	sys_rest_message	UI16

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アウトバウンド統合ファイルタイプ (続く)

ファイルタイプ	説明	プライマリテーブル	プライマリ編集エクスペリエンス
	ポイントに要求を送信します。 詳細については、「Create a REST message」を参照してください。		
スケジュール設定済みデータエクスポート	スケジュール設定済みデータエクスポートでは、エクスポートセットを実行するスケジュールを指定します。単一のエクスポートをスケジュールすることも、デルタレコードのみを含めることをサポートして定期的な間隔をスケジュールすることもできます。 詳細については、「Schedule an export」を参照してください。	scheduled_data_export	UI16
SOAP メッセージ	SOAP メッセージは、SOAP を介して外部 Web サービスとやり取りする方法の詳細を格納するレコードです。SOAP メッセージは、リモートエンドポイント、Web サービス記述言語 (WSDL)、および認証設定を定義します。 詳細については、「SOAP message」を参照してください。	sys_soap_message	UI16

MID サーバー ファイル

管理、計測、検出 (MID) サーバーファイルを操作して、単一の ServiceNow インスタンスと外部のアプリケーション、データソース、サービスの間で行われる通信やデータ移動を容易にする。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

MID サーバー ファイルタイプ

ファイルタイプ	説明	プライマリテーブル	プライマリ編集エクスペリエンス
MID サーバー 応募	ServiceNow MID サーバー は、ローカルネットワーク内のサーバーで Windows サービスまたは UNIX デーモンとして動作する Java アプリケーションです。 詳細については、「MID Server」を参照してください。	ecc_agent_application	UI16
MID サーバー ケイパビリティ値テスト	MID サーバー 機能は、IP アドレス範囲内の MID サーバー の特定の機能を定義します。機能の値は、空、単一の値、または * (ワイルドカード) のいずれかです。値テストを使用すると、正確な文字列照合を必要とせずに値を使用してデバイスを見つける機能を作成できます。 詳細については、「MID Server capabilities」を参照してください。	ecc_agent_capability_value_test	UI16
MID サーバー IP 範囲	MID サーバー を使用して、ターゲットの IP 範囲または特定の IP アドレスを指定します。 詳細については、「Configure an IP address range for the MID Server」を参照してください。	ecc_agent_ip_range	UI16
MID サーバー 財産	MID サーバープロパティを使用して、1 つ以上の MID サーバーの動作を定義します。	ecc_agent_property	UI16

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

MID サーバー ファイルタイプ (続く)

ファイルタイプ	説明	プライマリテーブル	プライマリ編集エクスペリエンス
	詳細については、「MID Server properties」を参照してください。		
MID サーバー ファイル	接続されたMID サーバーと同期するには、MID サーバースクリプトファイルを使用します。 詳細については、「Attach a script file to a file synchronized MID Server」を参照してください。	ecc_agent_script_file	UI16
MID サーバー スクリプトインクルード	MID サーバースクリプトインクルードを使用して、クラウドプロバイダーへの REST 呼び出しを行います。 詳細については、「CAPI classes in MID Server script includes」を参照してください。	ecc_agent_script_include	UI16

モバイルアプリビルダー ファイル

モバイルアプリビルダー は、 ServiceNow モバイルアプリ内でワークフローを構成する画面とレコードをビルドおよび管理するための構成ツールです。モバイルアプリビルダー の整理されたレイアウトとナビゲーションの各オプションにより、ServiceNow モバイルアプリケーションをより直感的にすばやく作成できます。

モバイルアプリビルダー ファイルタイプ

ファイルタイプ	説明	プライマリテーブル	プライマリ編集エクスペリエンス
アナリティクスプレビュー	アナリティクスプレビューでは、ランチャー画面のアナリティクスセクションにデータ可視化チャートと単一スコアレポートのプレビューが表示されます。アナリティク	sys_sg_chart	モバイルアプリビルダー

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

モバイルアプリビルダー ファイルタイプ (続く)

ファイルタイプ	説明	プライマリテーブル	プライマリ編集エクスペリエンス
	スプレビューを使用すると、データがモバイルでの使用に合わせて調整されていることを検証し、ユーザーに適切な情報を伝えることができます。 詳細については、「Create a mobile analytics preview」を参照してください。		
カレンダー画面	カレンダー画面には、選択した日付に関連付けられたカレンダーインターフェイスとレコードが表示されます。カレンダー画面を使用して、アプリケーションレコードに関連する日付を表示できます。たとえば、タスクの期日や重要なイベントの発生日時を表示できます。 詳細については、「Calendar screen」を参照してください。	sys_sg_calendar_screen	モバイルアプリビルダー
チャート画面	チャート画面には、 アナリティクスセンターで作成されたデータの可視化が表示され、ランチャー画面のアナリティクスセクションに表示されます。データのビジュアル化を追加すると、インジケーター スコアと視覚的表現を通じて傾向とターニング ポイントを特定するのに役立ちます。 詳細については、「Chart screen」を参照してください。	sys_sg_chart_screen	モバイルアプリビルダー

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

モバイルアプリビルダー ファイルタイプ (続く)

ファイルタイプ	説明	プライマリテーブル	プライマリ編集エクスペリエンス
カスタムマップ画面	カスタムマップ画面を使用すると、特定のレコードのコンテンツを表示するマップを作成できます。 詳細については、「Configure a map screen」を参照してください。	sys_sg_custom_map_screen	モバイルアプリビルダー
関数	関数は、ユーザーがモバイルアプリケーションで実行できるアクションを決定します。たとえば、ユーザーがリストからレコードを開いたり、従業員ユーザープロファイル画面からマネージャーユーザープロファイル画面に移動したりできるようにするナビゲーション機能を作成できます。 詳細については、「Mobile functions」を参照してください。	sys_sg_button	モバイルアプリビルダー
入力フォーム画面	入力フォーム画面は、ユーザーがモバイルアプリケーションに情報を入力するためのインターフェイスを提供します。たとえば、入力フォーム画面を使用して、レコードの作成または編集、サーベイの入力、またはユーザーが情報を入力する必要があるその他の状況を行うことができます。 詳細については、「Input form screen」を参照してください。	sys_sg_parameter_screen	モバイルアプリビルダー

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

モバイルアプリビルダー ファイルタイプ (続く)

ファイルタイプ	説明	プライマリテーブル	プライマリ編集エクスペリエンス
ランチャー画面	ランチャー画面は、ランディングページまたはホームページとして機能します。ランチャー画面を使用すると、さまざまな形式の画面へのアクセス、検索、クイックアクションの実行、ユーザー情報の検索を行うことができます。 詳細については、「Launcher screens」を参照してください。	sys_sg_applet_launcher	モバイルアプリビルダー
[リスト] 画面	リスト画面にはレコードのリストが表示されます。リスト画面のレコードはカード形式で表示され、レコードの限られた情報が表示されます。 詳細については、「List screen」を参照してください。	sys_sg_list_screen	モバイルアプリビルダー
マップ画面	マップ画面には、データアイテム内のレコードに関連付けられている場所のマップが表示されます。たとえば、マップ画面には、資産がどこにあるか、どのジョブの場所に移動する必要があるかをユーザーに表示できます。 詳細については、「Map screen」を参照してください。	sys_sg_map_screen	モバイルアプリビルダー
モバイルアプリ構成	モバイルアプリ構成を使用すると、 Now Mobile アプリ および モバイルエージェント アプリのカスタマイズ	sys_sg_native_client	モバイルアプリビルダー

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

モバイルアプリビルダー ファイルタイプ (続く)

ファイルタイプ	説明	プライマリテーブル	プライマリ編集エクスペリエンス
	されたモバイルエクスペリエンスを作成できます。 詳細については、「Configuring the Mobile Platform」を参照してください。		
モバイル Web 画面	モバイル Web 画面は、インスタンス内で外部 URL または相対 URL を開きます。 詳細については、「Mobile web screen」を参照してください。	sys_sg_browser_screen	モバイルアプリビルダー
レコード画面	レコード画面には、特定の単一レコードのコンテンツが表示されます。レコード画面の機能を設定して、ユーザーが編集やアクションを実行できるようにすることができます。 詳細については、「Record screen」を参照してください。	sys_sg_form_screen	モバイルアプリビルダー

モバイルカードビルダー ファイル

モバイルカードビルダー ファイルを使用すると、iOS および Android 用のアプリケーションで使用されるカードやテンプレートを編集できます。

モバイルカードビルダー ファイルタイプ

ファイルタイプ	説明	プライマリテーブル	プライマリ編集エクスペリエンス
カード	カードは、モバイルアプリケーションでビジュアル、テキスト、およびデータを表示できる事前定義されたレイアウトです。カード要素を定義し、カード	sys_sg_view_config	モバイルカードビルダー

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

モバイルカードビルダー ファイルタイプ (続く)

ファイルタイプ	説明	プライマリテーブル	プライマリ編集エクスペリエンス
	内での要素の配置方法を指定できます。 詳細については、「Cards and icons」を参照してください。		
カードテンプレート	カードテンプレートは、モバイルアプリケーションカードでの情報の表示方法を決定する事前設定されたレイアウトまたはフレームワークです。既存のモバイルカードビルダー カードテンプレートを使用することも、独自のテンプレートを作成することもできます。 詳細については、「Create a card template with Mobile Card Builder」を参照してください。	sys_sg_view_template	モバイルカードビルダー

自然言語理解 (NLU) (NLU) ファイル

自然言語理解 (NLU) (NLU) は、コンピューターが人間の言語を解釈、分析、および意味を導き出せるようにするモデルです。NLU ファイルを作成することで、アプリケーションの NLU モデルをビルドおよびトレーニングして、ユーザーの入力または 発言を認識し、対応するユーザーまたはシステムのアクションを決定するのに役立ちます。

NLU ファイルタイプ

ファイルタイプ	説明	プライマリテーブル	プライマリ編集エクスペリエンス
NLU モデル	自然言語理解 (NLU) (NLU) モデルは、アプリケーションが新しい発言のインテントとエンティティを推測するための参照として使用する、発言例とそれに関連するインテントおよびエンティティのコレクションです。	sys_nlu_model	UI16

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

NLU ファイルタイプ (続く)

ファイルタイプ	説明	プライマリテーブル	プライマリ編集エクスペリエンス
	詳細については、「Natural Language Understanding」を参照してください。		

プロパティファイル

プロパティファイルは、値をスクリプトに直接ハードコーディングすることなく、アプリケーションの動作を変更できる構成可能なパラメーターです。

プロパティファイルタイプ

ファイルタイプ	説明	プライマリテーブル	プライマリ編集エクスペリエンス
メッセージ	メッセージは、アプリケーションの情報メッセージ、確認メッセージ、エラーメッセージ、およびその他のタイプのシステムメッセージで使用されるテキスト値です。 詳細については、「Message table」を参照してください。	sys_ui_message	UI16
システムプロパティ	システムプロパティは、設定や構成など、さまざまなスクリプトで必要になる可能性があるアプリケーションの重要な値を格納する方法です。これらの値をスクリプトに直接書き込む (ハードコーディングする) 代わりに、システムプロパティとして保存することができます。システムプロパティを作成すると、値を参照する各スクリプトを手動で変更することなく、1 か所でプロパティを更新および編集できます。 詳細については、「アプリケーションプロパ	sys_properties	UI16

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティファイルタイプ (続く)

ファイルタイプ	説明	プライマリテーブル	プライマリ編集エクスペリエンス
	ティとは」 および「 Available system properties 」を参照してください。		
システムプロパティカテゴリ	システムプロパティカテゴリは、アプリケーションのシステムプロパティのページレイアウトを作成します。システムプロパティカテゴリページには、すべてのアプリケーションプロパティが 1 つの場所にまとめられています。 詳細については、「 システムプロパティカテゴリの作成 」を参照してください。	sys_properties_category	UI16

レポートファイル

レポートファイルを使用すると、各優先度のオープンインシデントの数など、インスタンスデータの現在のステータスを示すレポートを作成して配布できます。

レポートファイルタイプ

ファイルタイプ	説明	プライマリテーブル	プライマリ編集エクスペリエンス
チャートの色	チャートの色は、レポートとダッシュボードのグループ化または積み重ねの値に一貫した色を割り当てます。色は、値の順序に関係なく、レポート全体で同じままです。 詳細については、「Chart colors 」を参照してください。	sys_report_chart_color	UI16
色定義	色定義を使用すると、ボタン、背景、テキスト、その他の要素などのさまざまな UI コ	sys_report_color	UI16

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

レポートファイルタイプ (続く)

ファイルタイプ	説明	プライマリテーブル	プライマリ編集エクスペリエンス
	ンポーネントに定義された色を適用することで、プラットフォームのルックアンドフィールの一貫性を維持できます。 詳細については、「Define system colors for analytics」を参照してください。		
ダッシュボード	ダッシュボードを使用すると、パフォーマンスアナリティクス、レポート、およびその他のウィジェットを 1 つの画面に表示できます。ダッシュボードを使用して、他のユーザーと共有できるデータを含むストーリーを作成できます。 詳細については、「Create and use dashboards」を参照してください。	pa_dashboards	ダッシュボードビルダー
メトリクスの定義	メトリクスは、アプリケーションプロセスの有効性を測定し、評価します。たとえば、メトリクスでは、インシデントの解決にかかる時間の長さを計算することにより、インシデント解決プロセスの有効性を測定できます。メトリクスの定義を使用して、メトリクスを定義し、レポートとダッシュボードを作成できます。 詳細については、「Metrics」と「Define a metric	metric_definition	UI16

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

レポートファイルタイプ (続く)

ファイルタイプ	説明	プライマリテーブル	プライマリ編集エクスペリエンス
	」を参照してください。		
範囲	範囲は、データを論理グループにセグメント化するために棒グラフと円グラフで使用される定義済みのデータ間隔です。たとえば、サービスレベルアグリーメント (SLA) 内で十分に完了したタスクの数と、SLA 中に経過したタスクの数を確認する範囲を作成できます。 詳細については、「Report ranges」を参照してください。	sys_report_range	UI16
レポート	レポートは、データを視覚的に表示するために使用されるツールであり、インサイトの取得、パフォーマンスの追跡、データに基づく意思決定を可能にします。たとえば、各優先度のオープンインシデントの数など、インスタンスデータの現在のステータスを示すレポートを作成して配布できます。 詳細については、「Exploring reporting」を参照してください。	sys_report	UI16
レポートメールの送信を予定	レポートのスケジュール設定済みメールを使用すると、スケジュール済みレポートを生成してメールで配布できます。 詳細については、「Schedule emails of	sysauto_report	UI16

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

レポートファイルタイプ (続く)

ファイルタイプ	説明	プライマリテーブル	プライマリ編集エクスペリエンス
	Core UI reports」を参照してください。		

スケジュールファイル

スケジュールは、メンテナンススケジュールの設定から運用の期間とリスクの定義まで、アプリケーションのライフサイクル全体を管理するのに役立ちます。

スケジュール ファイルタイプ

ファイルタイプ	説明	プライマリテーブル	プライマリ編集エクスペリエンス
ブラックアウトスケジュール	ブラックアウトスケジュールは、中断を避けるために変更や更新などの特定のアクティビティが制限される時間です。ブラックアウトスケジュールを設定して、休日、四半期末の財務処理、その他の重要なビジネスイベントなど、影響度の高い時期や機密性の高い時期に重要なビジネスオペレーションが影響を受けないことを確認できます。 詳細については、「Create blackout and maintenance schedules in Change Management」を参照してください。	cmn_schedule_blackout	UI16
メンテナンススケジュール	メンテナンススケジュールは、変更や更新などの計画されたメンテナンスアクティビティを実行する時間です。メンテナンススケジュールは通常、ビジネスオペレーションの中断を最小限に抑えるために、影響の少ない時間帯に実施されます。	cmn_schedule_maintenance	UI16

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スケジュール ファイルタイプ (続く)

ファイルタイプ	説明	プライマリテーブル	プライマリ編集エクスペリエンス
	詳細については、「Create blackout and maintenance schedules in Change Management」を参照してください。		
相対期間	相対期間は、サービスレベルアグリーメント (SLA) を定義するときに選択できる ServiceNow スタジオで利用可能な期間タイプです。相対期間を使用すると、待機時間を定義することで、SLA の作業に必要な時間を計算できます。たとえば、相対期間を 3 営業日午後 4 時までに定義できます。 詳細については、「Define a relative duration」と「Use a relative duration」を参照してください。	cmn_relative_duration	UI16
リスク条件	リスク条件は、変更、更新、メンテナンスタスクなどのスケジュールアクティビティに関連する潜在的なリスクを評価する一連のルールまたは基準です。[ベストプラクティス - 変更リスク算出 (Best Practice - Change Risk Calculator)] を使用して、リスク条件を定義し、リスク計算を実行できます。 詳細については、「Add or modify risk and impact conditions」と「Risk conditions and	risk_conditions	UI16

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スケジュール ファイルタイプ (続く)

ファイルタイプ	説明	プライマリテーブル	プライマリ編集エクスペリエンス
	calculation」を参照してください。		
スケジュール	スケジュールとは、さまざまなアクションまたはタスクの時間を含むまたは除外するルールのことです。 詳細については、「Schedules」と「Define a schedule」を参照してください。	cmn_schedule	UI16

セキュリティファイル

セキュリティファイルを使用すると、アプリケーションデータにアクセスできるユーザーを制御し、データの誤った変更や削除を防ぐことができます。

セキュリティファイルタイプ

ファイルタイプ	説明	プライマリテーブル	プライマリ編集エクスペリエンス
アクセス制御	アクセス制御、またはアクセス制御リスト (ACL) は、ユーザーがアプリケーションコンテンツを操作する前に、まず要件のセットをユーザーに要求することで、データへのアクセスを制限します。 詳細については、「Explore Access Control Lists」を参照してください。	sys_security_acl	UI16
公開ページ	公開ページを使用すると、ユーザーはログインせずにアプリケーションのコンテンツを表示できます。 詳細については、「Make UI pages	sys_public	UI16

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

セキュリティファイルタイプ (続く)

ファイルタイプ	説明	プライマリテーブル	プライマリ編集エクスペリエンス
	public or private」を参照してください。		
ロール	ロールによって、どのアプリケーションアクセスをどのユーザーに付与するかが決まります。 詳細については、「作成するロールを Managing roles して 決定 する」を参照してください。	sys_user_role	UI16

サーバー開発ファイル

サーバー開発ファイルは、 ServiceNow スタジオ でバックエンドプロセスを管理し、データが適切かつ安全に処理されていることを確認します。

サーバー開発ファイルタイプ

ファイルタイプ	説明	プライマリテーブル	プライマリ編集エクスペリエンス
ビジネスルール	ビジネスルールとは、レコードが表示、挿入、更新、または削除されるとき、またはテーブルに対してクエリーが実行されるときに実行する、サーバー側スクリプトです。サーバー側の条件を設定して、ビジネスルールスクリプトを実行するタイミングと、ビジネスルールを適用するレコード操作を決定できます。 詳細については、「Classic Business rules」を参照してください。	sys_script	UI16
データポリシー	データポリシーを使用すると、フィールドに必須の読み取り専用状	sys_data_policy2	UI16

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サーバー開発ファイルタイプ (続く)

ファイルタイプ	説明	プライマリテーブル	プライマリ編集エクスペリエンス
	況を設定することで、データの一貫性を強制できます。データポリシーは UI ポリシーに似ていますが、UI ポリシーは、標準のブラウザーを介してフォームに入力されたデータにのみ適用されます。データポリシーは、インポートセットまたは Web サービスを通じて取り込まれたデータやモバイル UI から入力されたデータを含む、システムに入力されたすべてのデータにルールを適用できます。 詳細については、「Data policy」を参照してください。		
イベント登録	イベントは、特定の条件が発生したときにシステムがログに記録し、その条件に応じて何らかのアクションを実行するために使用する特別なレコードです。イベントを登録することで、イベントに関するプロパティを定義し、イベントを発生させるビジネスルールにイベントを関連付けることができます。 詳細については、「Register an event」を参照してください。	sysevent_register	UI16
拡張インスタンス	拡張インスタンスは、スクリプトインクルードをスクリプト拡張ポイントにリンクするスクリプト拡張ポイントの登録インスタンスです。元のコードに影響	sys_extension_instance	UI16

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サーバー開発ファイルタイプ (続く)

ファイルタイプ	説明	プライマリテーブル	プライマリ編集エクスペリエンス
	を与えずにカスタムロジックまたはメソッドを定義する場合は、拡張インスタンスの使用を検討してください。拡張インスタンスを使用すると、特定のロジックと関数をカプセル化して、コードの管理、更新、デバッグを容易にすることができます。 詳細については、「Using extension points to extend application functionality」を参照してください。		
拡張ポイント	拡張ポイントは、カスタムスクリプトロジックをコードに組み込むことができる場所を指定するため、アプリケーションの既存のコードを変更することなく、カスタマイズや新機能を統合できます。拡張ポイントによって返されるデータまたはオブジェクトは、アプリケーション作成者によって指定された要件に準拠している必要があります。 詳細については、「Using extension points to extend application functionality」を参照してください。	sys_extension_point	UI16
修復スクリプト	修正スクリプトは、カスタムアプリケーションがインストールまたはアップグレードされた後に実行されるサーバー側の JavaScript です。修正スクリプト	sys_script_fix	UI16

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サーバー開発ファイルタイプ (続く)

ファイルタイプ	説明	プライマリテーブル	プライマリ編集エクスペリエンス
	を組み込んで、アプリケーションのデータ保全性または製品の安定性に必要な変更を加えることができます。 詳細については、「修復スクリプト」と「修正スクリプトの作成」を参照してください。		
スクリプトの実行を予定	スケジュール済みスクリプト実行は、スケジュール済みジョブとも呼ばれ、特定の時間または繰り返し実行される、自動化されたサーバー側スクリプトロジックです。時間スケジュールに基づいてスクリプトロジックを実行する必要がある場合に、スケジュール済みスクリプト実行を使用します。 詳細については、「スケジュール済みスクリプト実行とは」 および「スケジュール済みスクリプト実行の作成」を参照してください。	sysauto_script	UI16
スクリプトアクション	スクリプトアクションは、特定のイベントが生成されたときに実行されるサーバー側の JavaScript です。 詳細については、「Script actions」を参照してください。	sysevent_script_action	UI16
スクリプトインクルード	スクリプトインクルードは、関数またはクラスを定義し、明示的に呼び出された場合にのみ実行される、再利	sys_script_include	UI16

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サーバー開発ファイルタイプ (続く)

ファイルタイプ	説明	プライマリテーブル	プライマリ編集エクスペリエンス
	用可能なサーバー側の JavaScript です。 詳細については、「Script includes と スクリプトインクルード」を参照してください。		
UI アクション	UI アクションは、アプリケーション内のボタン、リンク、またはコンテキストメニューアイテムの動作を定義し、サーバー側データベースとのやり取り方法を指定する構成です。 詳細については、「Defining UI actions」と「Create a UI action」を参照してください。	sys_ui_action	UI16

ユーザーインターフェイスファイル

ユーザーインターフェイスファイルは、ユーザーが操作するページ、モジュール、およびツールのレイアウトを定義します。ユーザーインターフェイスファイルの例としては、カタログアイテム、ガイド付きツアー、テーマなどがあります。

ユーザーインターフェイスのファイルタイプ

ファイルタイプ	説明	プライマリテーブル	プライマリ編集エクスペリエンス
アプリケーションメニュー	アプリケーションメニューは、アプリケーションナビゲーター (UI16) または [すべて] メニュー (ネクストエクスペリエンス) に表示されるモジュールのグループです。アプリケーションメニューは、単にアプリケーションと呼ぶことができます。	sys_app_application	UI16

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ユーザーインターフェイスのファイルタイプ (続く)

ファイルタイプ	説明	プライマリテーブル	プライマリ編集エクスペリエンス
	詳細については、「Enable or disable an application menu or module」を参照してください。		
アセスメントメトリクス	アセスメントアプリケーションでは、メトリクスとはアセスメント可能なレコードを評価するために使用される特性または値です。 詳細については、「Assessment metrics」を参照してください。	asmt_metric	サーベイデザイナー
カタログ	カタログは、ユーザーがアイテムやサービスを注文できる サービスカタログ のセクションです。カタログは、ユーザーがサービスや製品オファリングなどのカタログアイテムを要求できるポータルのようなものです。たとえば、ハードウェアカタログには、新しいキーボードまたは新しいマウスデバイスを要求するアイテムが含まれている場合があります。 詳細については、「Exploring Service Catalog」を参照してください。	sc_catalog	カタログビルダー
カタログアイテム	カタログアイテムは、基本的にサービスカタログで注文できる物品またはサービスを説明するフォームです。たとえば、カタログアイテムを使用して休暇を申請する場合は、フォームに自分の名前	カタログアイテム	UI16

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ユーザーインターフェイスのファイルタイプ (続く)

ファイルタイプ	説明	プライマリテーブル	プライマリ編集エクスペリエンス
	と希望日を入力できます。 詳細については、「Service Catalog items」を参照してください。		
コンテキストメニュー	フォームのコンテキストメニューでは、テーブルとユーザーのアクセス権に基づいてリストまたはフォームを制御できます。 詳細については、「Form context menu」を参照してください。	sys_ui_context_menu	UI16
埋め込みヘルプ	埋め込みヘルプ は、ユーザーのロールに基づいて、UI ページでターゲットヘルプコンテンツを提供します。一部の埋め込みヘルプコンテンツは、ベースインスタンスに付属しています。組織は、埋め込みヘルプコンテンツを追加または置換することができます。 詳細については、「Embedded Help」を参照してください。	sys_embedded_help_content	UI16
埋め込みヘルプ修飾子	埋め込みヘルプ修飾子は、UI ページに複数のトピックが存在する場合に、ServiceNowインスタンスが正しい埋め込みヘルプトピックを識別するのに役立つ識別子です。 詳細については、「Use qualifiers in	sys_embedded_help_qualifier	UI16

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ユーザーインターフェイスのファイルタイプ (続く)

ファイルタイプ	説明	プライマリテーブル	プライマリ編集エクスペリエンス
	Embedded Help」を参照してください。		
ガイド付きツアー	ガイド付きツアー には、ユーザーがブラウザーウィンドウ内でオンラインタスクを完了して、 ServiceNow アプリで作業するユーザーのトレーニングとオンボーディングに役立つ一連のインタラクティブな手順が含まれています。 詳細については、「Guided Tours」を参照してください。	sys_embedded_tour_guide	UI16
リスト	リストにはテーブルのレコードセットが表示され、フィルタリングして内容を絞り込むことができます。たとえば、タスクリストをフィルタリングして、未アサインのタスクのみを表示できます。リストの各行はレコードであり、各列はレコードからのフィールドです。 詳細については、「Lists in the classic environment」と「ServiceNow® AI Platform list administration」を参照してください。	sys_ui_list	UI16
リストコントロール	リスト コントロールは、[新規] ボタンや [編集] ボタンなど、リストで使用できる機能を指定する設定です。 詳細については、「Configure list	sys_ui_list_control	UI16

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ユーザーインターフェイスのファイルタイプ (続く)

ファイルタイプ	説明	プライマリテーブル	プライマリ編集エクスペリエンス
	controls」を参照してください。		
マップページ	マップページは ServiceNow 入力した場所データに基づいて、Google マップページにデータをグラフィカルに表示します。 詳細については、「Map pages」を参照してください。	cmn_map_page	UI16
モジュール	モジュールとは、アプリケーションナビゲーター (UI16) または [すべて] メニュー (ネクストエクスペリエンス) のリンクで、コンテンツフレーム内または別のタブやウィンドウでページを開くものです。 詳細については、開発者サイトの 「モジュール 」を参照してください。	sys_app_module	UI16
ページコレクション	ページコレクションは、複数のエクスペリエンスで再利用できるページのグループです。 詳細については、「ページコレクション」を参照してください。	sys_ux_extension_point	UI ビルダー
ポータル	ポータルは、作業を迅速かつ効率的に行うために必要なサービス、情報、およびリソースへのアクセスをユーザーに提供します。UI	sys_ux_page_registry	UI ビルダー

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ユーザーインターフェイスのファイルタイプ (続く)

ファイルタイプ	説明	プライマリテーブル	プライマリ編集エクスペリエンス
	ビルダー でポータルを操作します。 詳細については、「UI ビルダー ポータルエクスペリエンスを構成する」を参照してください。		
レコードプロデューサー	レコードプロデューサーは、ユーザーがインシデントレコードなどのタスクベースのレコードをサービスカタログから作成できるようにするカタログアイテムです。 詳細については、「Record Producer」を参照してください。	sc_cat_item_producer	カタログビルダー - レコードプロデューサー
関連リスト	関連リストはフォーム上に表示され、現在のレコードと関係のあるテーブルのレコードを表示します。 詳細については、「Related lists」を参照してください。	sys_ui_related_list	UI16
スケジュールページ	スケジュールページは、カレンダーまたはタイムライン表示のカスタム生成を有効にするスクリプトのコレクションを含むレコードです。 詳細については、「Schedule Pages」を参照してください。	cmn_schedule_page	UI16
サービスポータル	サービスポータル を使用すると、従業員または顧客向けのモバイ	sp_portal	サービスポータル

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ユーザーインターフェイスのファイルタイプ (続く)

ファイルタイプ	説明	プライマリテーブル	プライマリ編集エクスペリエンス
	ル対応のセルフサービスポータルエクスペリエンスをビルドできます。 詳細については、「Service Portal」を参照してください。		
スタイル	スタイルは、アプリに表示されるテキストのフォントサイズ、境界線、配置などのプロパティを定義します。 詳細については、「Create a Next Experience style」と「Style - Scoped, Global」を参照してください。	sys_ui_style	UI16
テンプレート	テンプレートを使用すると、アドミニストレーターは再利用可能なコンテンツを作成できます。たとえば、メールテンプレートに再利用可能なメール通知用の件名とメッセージ本文を含めることができます。フォームテンプレートは、フィールドに自動的に入力することで、新しいレコードを送信するプロセスを簡素化します。 詳細については、「Email templates」、「Using form templates」、「Page templates」を参照してください。	sys_template	UI16
テーマ	テーマを使用すると、ユーザーのビジュアルエクスペリエンスを調整でき、ルックアンド	sys_ui_theme	UI16

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ユーザーインターフェイスのファイルタイプ (続く)

ファイルタイプ	説明	プライマリテーブル	プライマリ編集エクスペリエンス
	フィールドを更新してブランドに近づけることができます。 詳細については、「Working with themes in Next Experience」を参照してください。		
タイムラインページ	タイムラインページを使用して、変更要求の開始日と終了日、インシデントの開始日と終了日など、2 つの日付で区切られたアクティビティを追跡します。 詳細については、「Timeline pages」を参照してください。	cmn_timeline_page	UI16
UX アプリ構成	UX アプリ構成ファイルには、 UI ビルダーでビルドされた特定のアプリケーションの構成設定が格納されます。 詳細については、「UI ビルダー」を参照してください。	sys_ux_app_config	UI16
UX アプリケーション	UX アプリケーションファイルを使用して、UI ビルダー でページを登録および管理します。 詳細については、「UI ビルダー」を参照してください。	sys_ux_page_registry	UI16
表示ルール	表示ルールを使用して、ユーザーがページまたはアプリケーションにアクセスしたときに、指定したビューを強制します。	sysrule_view	UI16

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ユーザーインターフェイスのファイルタイプ (続く)

ファイルタイプ	説明	プライマリテーブル	プライマリ編集エクスペリエンス
	詳細については、「Create a view rule」を参照してください。		
ワークスペース	ワークスペースは、エージェントとマネージャーが顧客の質問に回答し、顧客の問題を解決するのに役立つツールを提供するスペースです。ワークスペースは主に、チケットを管理するサービスデスクなどの要求および履行プロセスに使用されます。 詳細については、「Configurable Workspace UI」と「ワークスペースビルダー」を参照してください。	sys_ux_page_registry	ワークスペースビルダー

ServiceNow スタジオ のプロパティ

システムプロパティは、システムの動作を制御します。このセクションのプロパティは、ServiceNow スタジオ アプリケーションと委託開発の展開に固有です。ServiceNow スタジオのシステムプロパティにアクセスするには、次に移動します: すべて > **sys_properties.list**.

システムプロパティ

システムプロパティ	説明
sn_devstudio.servicenow_studio_banner.enable	App Engine Studioまたは従来のスタジオからServiceNow スタジオに移動するためのバナーを表示します。バナーを非表示にするには、このプロパティを **false** に変更します。 • タイプ：true | false • デフォルト値：true • 場所：システムプロパティ [sys_properties] テーブル
sn_sns.is_app_summarization_disabled	このプロパティは、デフォルトではServiceNow AI Platformに含まれていません。ただし、ServiceNow スタジオ でNow Assistアプリのサマリー生成の使用を無効にする場合は、システムプ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

システムプロパティ (続く)

システムプロパティ	説明
	ロパティ [sys_properties] テーブルに sn_sns.is_app_summarization_disabled という名前の新しいプロパティを作成し、値を **true** に設定できます。
sn_udc.smaller_app_files_count_threshold	アプリが格納でき、ファイルナビゲーターで小さなアプリとして扱うことができるファイルの数を決定します。小さなアプリではファイルナビゲーターですべてのファイルが一度にロードされますが、大きなアプリでは開くとファイルのサブセットがロードされます。 • アドミン:2300 ファイル以下 • 委任開発者:1150 ファイル以下

委託開発とコラボレーションのプロパティ

プロパティ	説明
com.snc.dd.manage_update_set_enabled	**[Update Sets** の管理 **(Manage Update Set)]** 権限の表示を有効または無効にします。 • タイプ：true | false • デフォルト値：false • この権限の表示を有効にするには、この値を **true** に設定します。委任開発者は、表示されているシステムプロパティを介して権限を付与されていない限り、更新セットリストを表示できません。
com.snc.dd.publish_to_app_repo_enabled	[アプリリポジトリに公開] 権限の表示を有効または無効にします。 • タイプ：true | false • デフォルト値：true • この権限の表示を無効にするには、この値を **false** に設定します。
com.snc.dd.publish_to_app_store_enabled	[アプリ ストアに公開] 権限の表示を有効または無効にします。 • タイプ：true | false • デフォルト値：true • この権限の表示を無効にするには、この値を **false** に設定します。
com.snc.dd.publish_to_update_set_enabled	[更新セットに公開] 権限の表示を有効または無効にします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

委託開発とコラボレーションのプロパティ (続く)

プロパティ	説明
	• タイプ：true | false • デフォルト値：false。この権限の表示は無効になります。 • この権限の表示を有効にするには、この値を **true** に設定します。
com.snc.dd.upgrade_app_enabled	[アプリをアップグレード] 権限の表示を有効または無効にします。 • タイプ：true | false • デフォルト値：true • この権限の表示を無効にするには、この値を **false** に設定します。

ServiceNow スタジオ コード検索を使用してサポートされるファイルタイプ

ServiceNow スタジオ は、コード検索を使用するときに次のファイルタイプをサポートします。

ServiceNow スタジオ でコード検索を使用する場合、アプリケーションはデフォルトのコード検索グループを使用します。次の表は、既定の ServiceNow スタジオ コード検索を使用する場合にサポートされるファイルの種類の概要を示しています。

ヒント:
コード検索で使用されるサポートされるファイルの種類の一覧を会社で拡張する場合、管理者は追加のファイルの種類を含む新しいコード検索グループを作成できます。コード検索の拡張の詳細については、「 コード検索テーブルを拡張する」を参照してください。

コード検索でサポートされているファイルタイプ

ファイルタイプ	コード検索テーブル名	説明
Access control	sys_security_acl	次のような特定のエンティティに対して、指定された操作に対するアクセス権が付与されるかどうかを決定します。 • 保護されているエンティティのタイプ • 保護されている操作 • オブジェクトを説明する一意の識別子
ビジネスルール	sys_script	システムの動作をカスタマイズします。 • ビジネスルールは 、データベースアクション (クエリ、挿入、更新、または削

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

コード検索でサポートされているファイルタイプ (続く)

ファイルタイプ	コード検索テーブル名	説明
		除) が発生したときに実行されます。 • スクリプトは以下を実行できます。 ○ データベースアクションが実行される前または後 (データベース操作の一部として実行されます)。 ○ 非同期に (データベース操作後のどこかの時点で)。 ○ 表示中 (データをフォームに表示する場合)。
クライアントスクリプト	sys_script_client	フォームの外観を変更したり、入力された値やその他のカスタム表示オプションに基づいてさまざまなフィールドを表示したりするために使用されます。 • onLoad は、フォームまたはページが読み込まれたときにクライアントスクリプトが実行されることを意味します • onChange は、特定のものが変更され、かつフォームやページが読み込まれたときにクライアントスクリプトが実行されることを意味します • onSubmit は、フォームが送信されたときにクライアントスクリプトが実行されることを意味します クライアントスクリプトは、UI ポリシーを含む他のスクリプトまたはモジュールで呼び出すこともできます。
Email templates	sysevent_email_template	アドミニストレーターがメール通知の件名とメッセージ本文に再利用可能なコンテンツを作成できるようにします。
Inbound email actions	sysevent_in_email_action	システムが受信メールにどのように応答するかをスクリプト化します。
Map pages	cmn_map_page	入力した場所データに基づいて、 ServiceNow データを

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

コード検索でサポートされているファイルタイプ (続く)

ファイルタイプ	コード検索テーブル名	説明
		Google マップページにグラフィカルに表示します。
マップ変換	sys_transform_map	データのインポートに使用されます。変換マップ: • テーブル間のマッピング関係を定義します。 • ビジネスルール、他のスクリプト、またはその他のオプションを使用してデータをインポートできます。
通知	sysevent_email_action	アプリケーションがユーザーと通信する方法を決定し、重要なアプリケーション関連のイベントについてユーザーに警告します。
Processors	sys_processor	任意のサーバー側 JavaScript コードを実行し、TEXT や JSON などの出力を生成できるカスタマイズ可能な URL エンドポイントを提供します。
関係	sys_relationship	テーブルの拡張、別のテーブルのレコードの参照、多対多の関係の作成、データベースビューでのテーブルの結合に使用します。
スクリプトの実行を予定	sysauto_script	特定の時間または繰り返し実行される、自動化されたサーバー側スクリプトロジックを定義します。スケジュール済みスクリプトの実行は、スケジュール済みジョブとも呼ばれます。
Script actions	sysevent_script_action	イベントが発生したときに実行されるスクリプトを含めます。例: • 承認がキャンセルされました • 変更が承認されました • 問題がアサインされている
Script includes	sys_script_include	関数またはクラスにすることができるスクリプトが含まれています。これらのスクリプトは、他のスクリプト (多くの場合はビジネスルール) によって呼び出された場合にのみ実行されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

コード検索でサポートされているファイルタイプ (続く)

ファイルタイプ	コード検索テーブル名	説明
		複雑なサーバースクリプトや再利用可能なサーバースクリプト、特に複雑なビジネスルールは、スクリプトインクルードにする必要があります。
スケジュールのアイテム	sys_trigger	スケジュール済みジョブが作成され、キューに入れられ、実行される System scheduler のバックエンドデータが含まれます。スケジュールアイテムでは、スケジュール済みジョブ、ビジネスルール、滞留アクティビティモニター、サービスレベルアグリーメント (SLA) の計算、メトリクスイベント、アップグレードなどを実行できます。スケジュールアイテムレコードにアクセスして、スケジュールのトラブルシューティングを行うことができます。
Defining UI actions	sys_ui_action	フォームとリストにボタン、リンク、コンテキストメニューアイテムを含めます。UI アクションを構成して、UI がさらにインタラクティブになるようにカスタマイズされ、ユーザーのアクティビティに特化したものにします。
UI macros	sys_ui_macro	アドミニストレーターがユーザーインターフェイスに追加できる個別のスクリプト化されたコンポーネントが含まれています。UI マクロは通常、既存のフィールドタイプでは提供されない入力または情報を提供するコントロールです。 デフォルトでは、さまざまなユーザーインターフェイス要素の UI マクロが用意されています。
UI pages	sys_ui_page	フォーム、ダイアログ、リスト、およびその他の UI コンポーネントを作成および表示するために使用されます。
Using UI policies	sys_ui_policy	フォーム上のフィールドの動作と可視化を定義します。フィールドは次のいずれかになります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

コード検索でサポートされているファイルタイプ (続く)

ファイルタイプ	コード検索テーブル名	説明
		• 必須 • 表示 • 読み込み専用 使用法には、以下が適用されます。 • UI ポリシーは常に 1 つのテーブルに添付されます。 • 多くの場合、UI ポリシーを実行するには true でなければならない条件があります。
UI scripts	sys_ui_script	再利用のために保存されたクライアントスクリプトが含まれています。他のスクリプトから呼び出された場合にのみ使用されます。
UI スタイル	sys_ui_style	リストまたはフォーム内のフィールドの個々の CSS スタイルを宣言できるようにします。
ウィジェット	sp_widget	コンテンツを含み、ポータルページに追加またはポータルページに埋め込むことができるオブジェクトを記述します。サービスポータル に付属するベースシステムウィジェットを使用したり、ウィジェットのクローンを作成して変更したり、ニーズに合わせてカスタムウィジェットを開発したりできます。

ServiceNow スタジオ のコラボレーション権限

コラボレーション権限は、委任開発者が ServiceNow スタジオ でアプリで作業するときに実行できる操作を決定します。これらは、アドミンまたはアプリオーナーが設定できます。

詳細については、「ServiceNow スタジオ を使用したアプリでのコラボレーション」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ファイルタイプのカスタムコラボレーション権限

ファイルタイプのコラボレーション権限

権限	説明	オーナーのデフォルト設定	エディターのデフォルト設定
すべてのファイルタイプ	他のオプションでは付与されない追加のファイルタイプを含む、すべてのタイプのファイルを操作するためのアクセス権を付与します。	はい	はい
統合	Web サービス API、REST API、データソース、および 統合ハブ - インポートへのアクセス権を付与します。	はい	はい
レポート	レポートおよびスケジュール済みレポートへのアクセス権を付与します。	はい	はい
モバイルビルダー	モバイルアプリビルダー などを使用してモバイルエクスペリエンスをビルドするためのアクセス権を付与します。	はい	はい
UI ビルダー	UI ビルダー を使用してより複雑なインターフェイスをビルドするためのアクセス権を付与します。	はい	はい
ワークフロー	ワークフローエディターおよびアクティビティクリエーターへのアクセス権を付与します。	はい	はい
サービスポータル	サービスポータル のエディターとツールを操作するためのアクセス権を付与します。	はい	はい
ワークフロースタジオ	フローとアクションを作成するための ワークフロースタジオ 設計環境へのアクセス権を付与します。	はい	はい
サービスカタログ	カタログアイテム、レコードプロデューサー、変数などのカタ	はい	はい

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ファイルタイプのコラボレーション権限 (続く)

権限	説明	オーナーのデフォルト設定	エディターのデフォルト設定
	ログ関連のファイルタイプを操作して、カタログアイテムをアプリに追加するためのアクセス権を付与します。		
テーブルとフォーム	テーブル列、フォームレイアウト、リストレイアウトなど、モデルおよびレイアウト関連のファイルタイプへのアクセス権を付与します。	はい	はい
ディシジョンテーブル	ディシジョンテーブルを操作して、複数の if-else ルールに基づいて意思決定ロジックを作成するためのアクセス権を付与します。	はい	はい
プレイブック	プレイブック 設計環境を操作してプロセスを作成するためのアクセス権を付与します。アクティビティサブフローまたはアクションを編集するには、フローデザイナー権限が必要です。	はい	はい
通知	自動電子メール通知を作成し、電子メールテンプレートを操作するためのアクセス権を付与します。	はい	はい

セキュリティ/権限のカスタムコラボレーション権限

[アクセスコントロールの管理 **(Manage access control)]** は、アクセス制御リストやロールなどのセキュリティ管理ファイルへのアクセス権を付与します。

オーナーとエディターの両方のデフォルト設定が選択されます。

プログラミングツールのカスタムコラボレーション権限

[スクリプティングを許可 **(Allow Scripting)]** は、[ビジネスルール]、[UI アクション]、[クライアントスクリプト] などにあるスクリプトフィールドへのアクセス権を付与します。

オーナーとエディターの両方のデフォルト設定が選択解除されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アプリケーション管理のカスタムコラボレーション権限

アプリケーション管理のコラボレーション権限

権限	説明	オーナーのデフォルト設定	エディターのデフォルト設定
アプリケーションを削除します	アプリを削除するためのアクセス権を付与します。	はい	いいえ
協力者の管理	アプリで共同作業する開発者とその権限を変更するためのアクセス権を付与します。	はい	いいえ
ソースコントロール	ソースコントロールツール統合を操作するためのアクセス権を付与します。	いいえ	いいえ
協力者を招待	開発者をアプリで共同作業するよう招待するためのアクセス権を付与します。	はい	はい

展開のカスタムコラボレーション権限

展開のコラボレーション権限

権限	説明	オーナーのデフォルト設定	エディターのデフォルト設定
アプリをアップグレード	アプリケーションをアップグレードするためのアクセス権を付与します。	いいえ	いいえ
展開の送信	アプリの展開を要求するためのアクセス権を付与します。	はい	いいえ
アプリをリポジトリに公開	アプリをリポジトリに公開するためのアクセス権を付与します。	いいえ	いいえ
アプリストアに公開	アプリをアプリストアに公開するためのアクセス権を付与します。	いいえ	なし

プロコードアプリケーションのビルド

従来のプロコードツールを使用して、カスタムアプリケーションをゼロから作成および管理します。

ServiceNow スタジオ

ServiceNow スタジオ を使用して、統合ツールを使用したアプリとアプリ ファイルのビルド、スコープ対象アプリとグローバル アプリのメタデータへのアクセスと編集、

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

展開のためのアプリの変更のパッケージ化など、すべてを 1 つの強力な開発ツールで行うことができます。

ServiceNow IDE

ServiceNow IDE は、ServiceNow AI Platform 上の Visual Studio Code for the Web の実装です。ServiceNow IDE を使用して、ソースコードでスコープ対象のアプリケーションを作成および開発し、JavaScript モジュールを作成し、サードパーティライブラリを使用できます。

ServiceNow SDK

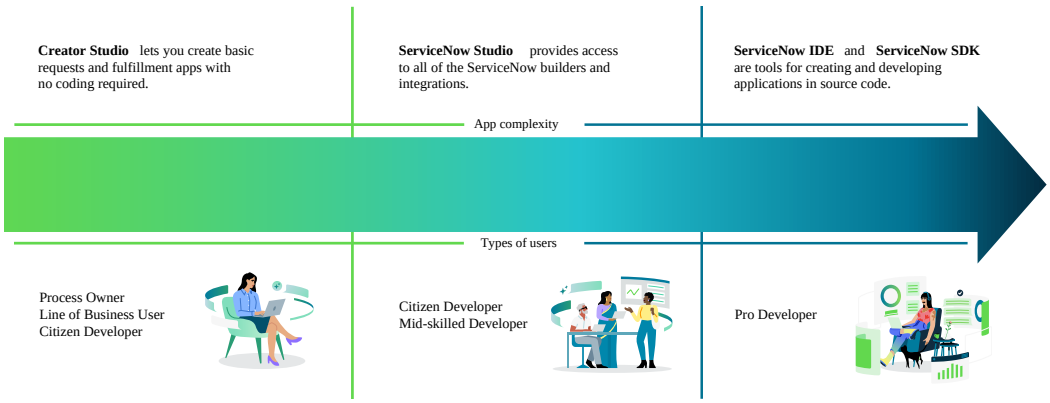
ServiceNow SDK を使用して、開発者は Visual Studio Code Desktop でソースコード内のスコープ対象のアプリケーションをローカルに作成し、変更を ServiceNow インスタンスにアップロードできます。また、ServiceNow SDK を使用して JavaScript モジュールを作成し、サードパーティのライブラリを使用することもできます。

Visual Studio Code 向けの ServiceNow 拡張

VS Code エディターの ServiceNow 拡張機能を使用すると、アプリケーションをオフラインで ServiceNow インスタンス内で編集できます。

アプリの作成に使用すべきビルダー

ビルダーの種類



コードなしで簡単にアプリをビルドしたい場合

クリエータースタジオ は、コードを書かずに要求を履行するアプリケーションの作成を支援することに特化しています。たとえば、フォームに入力して事務用品を要求するアプリケーションで、誰かが要求を承認または拒否するなどです。詳細については、「クリエータースタジオ の探索」を参照してください。

より一般的なアプリが必要だけれどローコードオプションが必要な場合

App Engine Studio を使用すると、プログラミングのプロでなくても、クリエータースタジオ よりも幅広いアプリをビルドできます。詳細については、「App Engine Studio の探索」を参照してください。

一元化されたユーザーインターフェイスでより詳細に制御したい開発者の場合

新しい ServiceNow スタジオにより、アプリをよりスマートに構築し、より迅速に提供できます。ServiceNow スタジオ は、プラットフォーム開発者が ServiceNow AI Platformに基づいて構築するための最新の統一された環境を開発者に提供します。 ServiceNow スタジオ は、アプリケーションとメタデータへの簡素化されたナビゲーション、統合されたローコードツール、開発プロセスを加速し、生産性を向上させる開発作業の効率的な追跡とパッケージ化を備えています。詳細については、「ServiceNow スタジオ の探索」を参照してください。

業界標準の開発ツールやプロセスを使用したい開発者の場合

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ServiceNow IDE と ServiceNow SDK は、ServiceNow Fluent を使用したソースコードでのアプリケーション開発、JavaScript モジュールの作成、およびサードパーティライブラリの使用をサポートしています。ServiceNow Fluent は、コードでアプリケーションメタデータを作成するためのドメイン固有のプログラミング言語です。

ServiceNow IDE は、ServiceNow AI Platform 上の Visual Studio Code for the Web の実装です。ServiceNow SDK は Visual Studio Code Desktop をローカルで使用します。詳細については、「ソースコードでアプリケーションをビルドする」を参照してください。

スクリプティングを

アクションデザイナー

ワークフロースタジオ を使用して、フロー内の繰り返し可能なタスクを一連の関連ステップとして自動化します。フロー作成者が最小限の設定で複数のフローにアクションを追加できるようにします。

クライアント側スクリプティング

クライアントスクリプトを使用すると、フォームの読み込み時、フォームの送信後、フィールドの値の変更時など、クライアントベースのイベントが発生したときに、システムがクライアント (Web ブラウザー) で JavaScript を実行できます。

Now Assist for Code

コード生成用の Now Assist を使用して、開発者はテキストまたはコードプロンプトに基づいて AI が生成したコード提案を使用して、スクリプトをすばやく記述できます。

Now コードエディター

Now コードエディターは、カスケードスタイルシート (CSS)、ハイパーテキストマークアップ言語 (HTML)、JavaScript、拡張マークアップ言語 (XML)、および JavaScript Object Notation (JSON) をサポートするリッチテキストエディターインターフェイスを提供します。Now コードエディターを使用して、ネクストエクスペリエンス UI ビルダー コンポーネントの UI 構成、データリソース構成、スタイル、イベント、クライアント側およびサーバー側のスクリプトを変更します。

サーバー側スクリプティング

サーバースクリプトはサーバーまたはデータベースで実行されます。スクリプトは ServiceNow AI Platform の外観や動作を変更するため、またレコードやテーブルへのアクセスや変更に対するビジネスルールとして実行するために使用できます。

コア機能

グループ

グループにロールを割り当てることで、ユーザー管理を簡素化します。グループを参照するビジネスルール、アサインルール、システムロール、または属性は、すべてのグループメンバーに自動的に適用されます。

通知

ServiceNow 通知を使用して、システムメールの管理、システム通知の作成、受信メールへのシステムの応答方法の設定を行います。

ロール

ロールは、アプリケーションおよびモジュールの機能へのアクセスを制御します。admin ロールは、すべての機能へのアクセスを提供します。

ServiceNow プラグイン

プラグインは、ServiceNow インスタンス内で特定の機能を提供するソフトウェアコンポーネントです。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

UI ポリシー

UI ポリシーは、フォーム上の情報の動作を動的に変更し、タスクのカスタムプロセスフローを制御します。

ユーザー

ユーザーレコードは、個人と ServiceNow インスタンスとの関係を確立します。ユーザーレコードは、ユーザー名、パスワード、および個人に関する情報 (連絡先情報、場所、役職など) で構成されます。

関連アプリケーションと機能

JavaScript API

アプリケーションの機能を変更したり、新しいアプリケーションを作成したりする場合に記述するスクリプトで JavaScript API を使用します。

UI ビルダー

UI ビルダー を使用して、CSM 構成可能ワークスペース、App Engine Studio によって生成されたワークスペースとポータル、または ネクストエクスペリエンスのコンポーネント とカスタム Web コンポーネントを使用するカスタム Web エクスペリエンスのための Web ユーザーインターフェイスをビルドします。

ソースコードでアプリケーションをビルドする

使い慣れた開発ツールとプロセスを使用して、ソースコードでカスタムアプリケーションを作成および開発します。

ソースコードでの開発の概要

スコープ対象のアプリケーションを、ServiceNow AI Platform 上の ServiceNow IDE を使用してコード内で作成、または ServiceNow SDK を使用して Visual Studio Code デスクトップでローカルに作成できます。

どちらの開発環境でも、ドメイン固有のプログラミング言語である ServiceNow Fluent を使用して、アプリケーションを構成するメタデーターを定義します。ServiceNow Fluent には、さまざまなタイプのメタデータを定義するための API が含まれています。

ServiceNow IDE または ServiceNow SDK を使用して、JavaScript モジュールを作成し、アプリケーションのサードパーティライブラリを使用して、スコープ対象のアプリケーション内のスクリプトのコードの再利用を最適化することもできます。

ソースコードでアプリケーションを開発および管理すると、使い慣れた開発環境での作業、複雑なアプリケーションの作成と変更、ソースコントロールでの容易なコードの管理、ビルド時のエラーのキャッチが可能になります。

注:
ServiceNow IDEとServiceNow SDKは現在、グローバルスコープまたはグローバルアプリケーションをサポートしていません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ServiceNow IDE	ServiceNow SDK
ServiceNow AI Platform上の IDE で コードでアプリケーションを開発します。	コードでアプリケーションをローカルで開発し、変更をインスタンスにアップロードします。

ServiceNow IDE と **ServiceNow SDK** の比較

機能	ServiceNow IDE	ServiceNow SDK
開発環境	オンライン ServiceNow インスタンス	ローカル開発とオフライン作業能力
ユーザーインターフェイス	Visual Studio Code for the Web ベースの IDE	Visual Studio Code デスクトップ
コラボレーション	メタデータエクスプローラーから、コードまたは埋め込み ServiceNow AI Platform ユーザーインターフェイスでユーザーの変更をリアルタイムで表示します。 ソースコントロール内のアプリケーションで他の開発者と共同作業を行います。	ServiceNow SDK CLI を使用してインスタンスから変更をダウンロードし、ローカル変更をインスタンスにインストールして他のユーザーと共同作業します。 ソースコントロール内のアプリケーションで他の開発者と共同作業を行います。
ソースコントロール	最も一般的な Git 機能と、選択した Git プロバイダーとの統合をサポートします。 インスタンス (または開発者サンドボックス) ごとのリポジトリごとに 1 つの同時分岐。	フルサポート

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

機能	ServiceNow IDE	ServiceNow SDK
アプリケーションの変換	ServiceNow IDE または ServiceNow SDK で作成されていない既存のスコープ対象のアプリケーションの変換のサポート。	ServiceNow IDE または ServiceNow SDK で作成されていない既存のスコープ対象のアプリケーションの変換をサポートします。
ServiceNow Fluent	フルサポート ServiceNow Fluent 言語サーバーは ServiceNow IDE に含まれています。	フルサポート ServiceNow Fluent 言語サーバーは、Visual Studio Code Extension Marketplace からインストールできます。
JavaScript モジュールとサードパーティライブラリ	フルサポート	フルサポート
コード向け Now Assist	スクリプトのコードオートコンプリートのサポート。 アクティブ化の詳細については、「Now Assist for Code」を参照してください。	サポート対象外
ビルドエージェント	フルサポート。ビルドエージェントには、 ServiceNow IDEのチャットパネルからアクセスします。 アクティブ化の詳細については、「ビルドエージェント」を参照してください。	サポート対象外

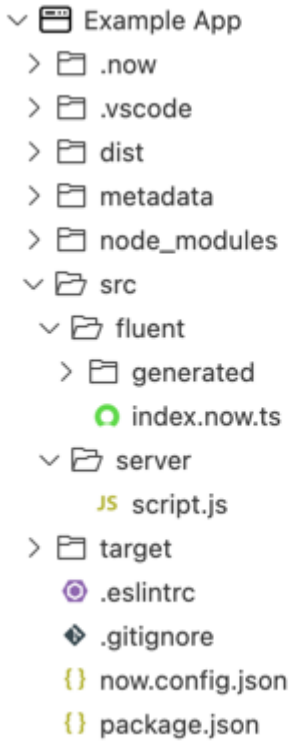
アプリケーションの構造

ServiceNow IDE または ServiceNow SDK で作成されたカスタムスコープ対象のアプリケーションには、ソースコードファイルとメタデータ XML ファイルが含まれます。package.json ファイルと now.config.json ファイルは、Node.js アプリケーションまたは Node Package Manager (npm) パッケージの構造に似たアプリケーション構造を定義します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

で作成されたアプリケーションのデフォルト構造 **ServiceNow IDE**



デフォルトでは、アプリケーションには次のディレクトリとファイルが含まれます。now.config.json ファイルで、アプリケーション構造の特定の要素をニーズに合わせて変更できます。

.vscode

推奨される Visual Studio Code 拡張を含むディレクトリ。

dist

パッケージ化用のビルドアーティファクトを含むディレクトリ。このディレクトリには、次のサブディレクトリが含まれています。

- app: ビルドされたメタデータ XML ファイルを含むディレクトリ。
- static:ビルドされた静的アセットファイルを含むディレクトリ。

メタデータ

既存の ServiceNow アプリケーションと同じディレクトリ構造で編成された、テーブルスキーマやビジネスルールなどのアプリケーションのアプリケーションメタデータ (XML) を含むディレクトリ。

注:
アプリケーションメタデータは、XML ファイルから編集しないでください。アプリケーションメタデータは、ソースコードまたは ServiceNow AI Platform で編集します。

node_modules

アプリケーションが依存するサードパーティ Node.js モジュールを含むディレクトリ。

src

アプリケーションのソースコードを含むディレクトリ。このディレクトリには、次のサブディレクトリが含まれています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- client:ユーザーインターフェイスを開発するためのクライアント側ファイルを含むディレクトリ。
- fluent:.now.tsファイル内のServiceNow Fluentコードを含むディレクトリ。生成されたサブディレクトリには、ServiceNow Fluentに変換されたアプリケーションファイルが含まれます。
- server: .js または .ts ファイル内の JavaScript モジュールコードを含むディレクトリ。

ターゲット

インスタンスにアップロードするインストール可能なパッケージ (.zip ファイル) を含むディレクトリ。

.eslintrc.json

ESLint 構成を含むファイル。ESLint は、アプリケーションコードの問題を特定して修正するのに役立ちます。

.gitignore

Git が無視するディレクトリまたはファイルのリストを含むファイル。これらのファイルはソースコントロールで追跡されません。

now.config.json

ServiceNow アプリケーション構成を含むファイル。package.json ファイルは、アプリケーションのベースディレクトリに存在する必要があります。

次のパラメーターを追加して、アプリケーションのディレクトリ構造を構成できます。たとえば、次のようになります。

```
{
  "scope": "x_snc_example_app",
  "scopeId": "2f8400eb07426110f736e28f69d3017a",
  "name": "ExampleApp"
  "metadataDir": "metadata",
  "fluentDir": "src/fluent",
  "generatedDir": "generated",
  "serverModulesDir": "src/server",
  "clientDir": "src/client",
  "appOutputDir": "dist/app",
  "staticContentDir": "dist/static",
  "packOutputDir": "target",
  "modulePaths": {
     "src/server/*.ts": "dist/server/*.js",
   },
  "staticContentPaths": {
     "src/client/*.html": "dist/static/*.html",
   },
  "ignoreTransformTableList":
 ["ua_table_licensing_config", "sys_embedded_help_role"]
}
```

サポートされている **now.config.json** パラメーター

パラメーター	説明
metadataDir	アプリケーションのメタデータを XML ファイルとして含むディレクトリ。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サポートされている **now.config.json** パラメーター (続く)

パラメーター	説明
	デフォルト：metadata
fluentDir	ソースコードでアプリケーションメタデータを定義する ServiceNow Fluent ファイル (.now.ts) を含むディレクトリ。 デフォルト：src/fluent
generatedDir	ServiceNow Fluentコードに変換された既存のアプリケーションメタデータを含む、生成されたServiceNow Fluentファイルを含むディレクトリ。このディレクトリーは、 *`fluentDir`* パラメーターで定義されたディレクトリーからの相対ディレクトリーです。 デフォルト: 生成済み
serverModulesDir	サーバー側スクリプトで使用するために JavaScript モジュールに組み込まれる JavaScript または TypeScript ファイルを含むディレクトリ。 デフォルト：src/server
clientDir	React を使用してユーザーインターフェイスを開発するためのクライアント側ファイルを含むディレクトリ。 デフォルト: src/client
appOutputDir	パッケージ化のためにビルドアーティファクトを出力するディレクトリ。pack コマンドと install コマンドは、このディレクトリを参照してアーティファクトをパッケージ化します。 デフォルト：dist/app
staticContentDir	ユーザーインターフェイスの開発に使用される静的アセットファイルを出力するディレクトリ。 デフォルト: dist/static
packOutputDir	アプリケーションのビルド時にインストール可能なパッケージ (.zip ファイル) を出力するディレクトリ。install コマンドは、このディレクトリを参照してパッケージをインストールします。 デフォルト：target
modulePath	アプリケーションをビルドする前にカスタムトランスパイルステップを使用する場合の、モジュールのソースファイルと同等の出力ファイルへのマップ。詳細については、「ServiceNow SDK で JavaScript モジュールの TypeScript を使用する」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サポートされている **now.config.json** パラメーター (続く)

パラメーター	説明
	⚠ 警告: このパラメーターと tsconfigPath パラメーターを使用することはできません。両方を設定するとエラーが発生します。
staticContentPath	クライアント側のソースファイルと静的アセットファイルの出力パスのマップ。
tsconfigPath	ビルドプロセス中に TypeScript を JavaScript に変換するためのカスタムオプションがある tsconfig.json ファイルへのパス。tsconfigPath を指定すると、tsconfig.json ファイルを使用して TypeScript から診断結果が生成されます。 ⚠ 警告: このパラメーターと modulePaths パラメーターを使用することはできません。両方を設定するとエラーが発生します。 デフォルト: 。
ignoreTransformTablesリスト	アプリケーションメタデータをソースコードに変換するときに無視するテーブルのリスト。
テーブル出力形式	ServiceNow Fluentコードから生成されたテーブルメタデータ XML のビルドアーティファクトのタイプ。 有効な値： • bootstrap:ビルドプロセスは、テーブルの <database> ルート要素、フィールドラベル XML ファイル [sys_documentation]、ライセンス構成 XML ファイル [ua_table_licensing_config]、および自動番号付け XML ファイル [sys_number] を含むブートストラップ XML ファイルを出力します。 • component:ビルドプロセスは、Table API の各コンポーネントの XML ファイルを出力します。 デフォルト: bootstrap

now.prebuild.mjs

依存関係とそのバージョンに関する完全な情報を含む自動更新ファイル。このファイルは、ServiceNow SDK でのみ使用できます。

package-lock.json

依存関係とそのバージョンに関する完全な情報を含む自動更新ファイル。このファイルは、ServiceNow SDK でのみ使用できます。

package.json

アプリケーションとカスタムまたはサードパーティのモジュールの依存関係に関する情報を含むファイル。package.json ファイルは、アプリケーションのベースディレクトリに存在する必要があります。インスタンスでは、 package.json パスはカスタムアプリケーションレコード [sys_app] の **[JSON** のパッケージ化] フィールドに <scope>/<package-name>/<version>/package.json の形式で指定されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

関連アプリケーションと機能

JavaScript API

アプリケーションの機能を変更したり、アプリケーションを作成したりする場合に記述するスクリプトで JavaScript API を使用します。

関連情報

ServiceNow Fluent

JavaScript モジュールとサードパーティライブラリ

Reactによるユーザーインターフェース開発

ServiceNow Fluent

ServiceNow Fluent ドメイン固有のプログラミング言語を使用して、ソースコードでアプリケーションメタデータを定義します。

ServiceNow Fluent の概要

ServiceNow Fluent は、アプリケーションを構成するメタデータファイル [sys_metadata] を定義するための TypeScript に基づくドメイン固有言語 (DSL) であり、テーブル、ロール、ACL、ビジネスルール、自動テストフレームワーク (ATF) テストなど、さまざまなタイプのメタデータの API が含まれています。

開発者は、フォームやビルダーツールのユーザーインターフェイスではなく、数行のコードでこのメタデータを定義します。ServiceNow IDE または ServiceNow SDK で作成または変換されたアプリケーションは、ServiceNow Fluent での開発をサポートします。

ServiceNow Fluent は双方向同期をサポートしています。これにより、メタデータへの変更を他の ServiceNow AI Platform ユーザーインターフェイスからソースコードに同期し、ソースコードへの変更をインスタンス全体のメタデータに同期することができます。

ServiceNow IDE または ServiceNow SDK の使用を開始するには、『ServiceNow IDE』または『ServiceNow SDK』のドキュメントを参照してください。

ServiceNow Fluent 個の API

ServiceNow Fluent には、次のタイプのメタデータの API が含まれています。レコード API を使用して、専用 API を持たないアプリケーションメタデータを定義できます。

API と例の詳細については、「 ServiceNow Fluent API リファレンス および ServiceNow SDK サンプル GitHub リポジトリ」を参照してください。

- アクセス制御リスト (ACL)
- アプリケーションメニュー
- 自動テストフレームワーク (ATF) テスト
- ビジネスルール
- クライアントスクリプト
- クロススコープ権限
- [store-future: BEGIN review]フォーム[End]
- リスト
- プロパティ
- レコード

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- ロール
- [store-future: BEGIN review]スクリプトの実行を予定[End]
- スクリプトアクション
- スクリプトインクルード
- スクリプト化 REST API
- サービスポータルウィジェット
- テーブル
- UI アクション
- UI ページ

注:
メタデータスナップショット [sys_metadata_link] や UX 資産 [sys_ux_lib_asset] など、限られた数のメタデータタイプは、 ServiceNow Fluent コードとして表すことができず、変換されません。これらのメタデータ型は、アプリケーションの メタデータ ディレクトリにメタデータ XML ファイルとして残ります。

ServiceNow Fluent の使用法

拡張子が .now.ts のファイルで、ServiceNow Fluent API のオブジェクトを使用して、アプリケーションのメタデータを定義します。また、@servicenow/sdk/core からの API に、必要なインポートも含める必要があります。*`BusinessRule`* オブジェクトなど、サーバー側スクリプトを持つオブジェクトの場合は、JavaScript モジュールからコードをインポートして使用できます。

ヒント:
ServiceNow Fluent API で別のファイルのコンテンツを使用するには、`Now.include('path/to/file')` 構文を使用してプロパティからファイルを参照します。コンテンツをインラインで含める代わりに別のファイル内のコンテンツを参照すると、JavaScript、HTML、CSS などをサポートするフィールドを持つレコードで、適切な構文の強調表示を使用してさまざまなファイルタイプの開発を容易にするのに役立ちます。

次の例には、アプリケーションのテーブル、クライアントスクリプト、およびビジネスルールの定義が含まれています。クライアントスクリプトは、 client-script.js ファイルのスクリプトを使用します。 ビジネスルールは、 script.js JavaScript モジュールの関数を使用します。

```
import '@servicenow/sdk/global'
import { BusinessRule, ClientScript, DateColumn, StringColumn, Table }
 from '@servicenow/sdk/core'
import { showStateUpdate } from '../server/script.js'

//creates todo table, with three columns (deadline, status and task)
export const x_snc_example_to_do = Table({
    name: 'x_snc_example_to_do',
    schema: {
        deadline: DateColumn({ label: 'Deadline' }),
        state: StringColumn({
            label: 'State',
            choices: {
                ready: { label: 'Ready' },
                completed: { label: 'Completed' },
                inProgress: { label: 'In Progress' },
            },
        }),
```

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
        task: StringColumn({ label: 'Task', maxLength: 120 }),
    },
})

//creates a client script that pops up 'Table loaded successfully!!' message everytime todo record is loaded
ClientScript({
    $id: Now.ID['cs0'],
    name: 'my_client_script',
    table: 'x_snc_example_to_do',
    active: true,
    appliesExtended: false,
    global: true,
    uiType: 'all',
    description: 'Custom client script generated by Now SDK',
    messages: '',
    isolateScript: false,
    type: 'onLoad',
    script: Now.include('../client/client-script.js'),
})

//creates a business rule that pops up state change message whenever a todo record is updated
BusinessRule({
    $id: Now.ID['br0'],
    action: ['update'],
    table: 'x_snc_example_to_do',
    script: showStateUpdate,
    name: 'LogStateChange',
    order: 100,
    when: 'after',
    active: true,
})
```

`ClientScript` オブジェクトから参照されるクライアントスクリプト:

```
function onLoad() {
    g_form.addInfoMessage("Table loaded successfully!!")
}
```

`BusinessRule` オブジェクトから参照される JavaScript モジュール:

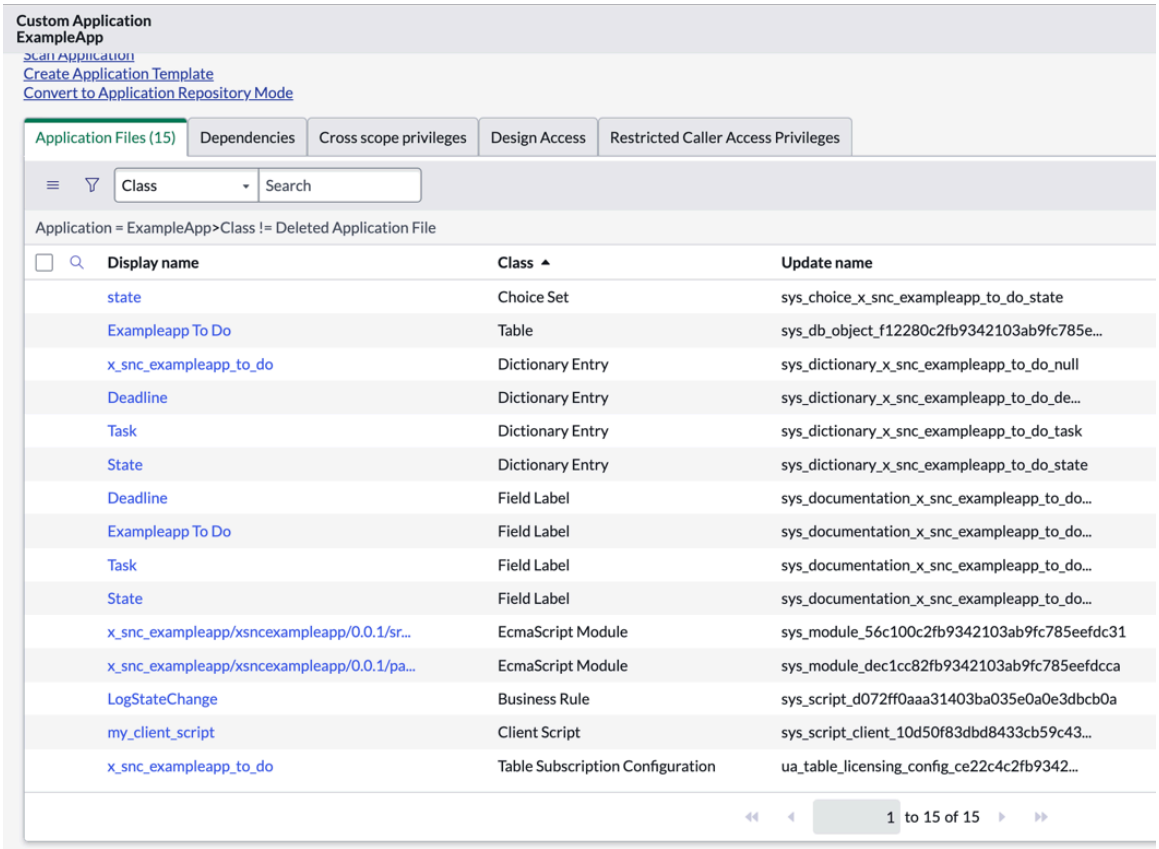
```
import { gs } from '@servicenow/glide'

export function showStateUpdate(current, previous) {
    const currentState = current.getValue('state')
    const previousState = previous.getValue('state')

    gs.addInfoMessage(`state updated from "${previousState}" to "${currentState}"`)
}
```

アプリケーションのビルド後、このソースコードはインスタンスで次のアプリケーションメタデータファイルを生成します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ServiceNow Fluent コードから生成されたアプリケーションメタデータ



ヒント:

コードコメントで次のディレクティブを使用して、コードを管理できます。

- `@fluent-ignore`:次のコード行 ServiceNow Fluent 診断の警告とエラーを抑制します。
- `@fluent-disable-sync`: ServiceNow Fluent オブジェクトへの変更の同期をオフにします。呼び出し式の前 (例: `Record({ ... })`) を使用して、そのオブジェクトとその子オブジェクトの同期をオフにします。このディレクティブは、ソースコードの外部でオブジェクトに加えられた変更を無視し、同期時に更新しない場合にのみ使用してください。
- `@fluent-disable-sync-for-file`: ServiceNow Fluent ファイル (.now.ts) への変更の同期をオフにします。ファイルの最初の行で使用して、ファイル内のすべてのコードの同期をオフにします。このディレクティブは、ソースコードの外部でファイルに加えられた変更を無視し、同期時に更新しない場合にのみ使用してください。

関連情報

ServiceNow Fluent API リファレンス

ServiceNow IDE の ServiceNow Fluent を使用してコードでアプリケーションメタデータを定義する

ServiceNow Fluent と ServiceNow SDK を使用してコードでアプリケーションメタデータを定義する

[store-future: BEGIN review]

ServiceNow Fluent の使用法

ServiceNow Fluentコードの記述に関する次の使用ガイダンスを確認してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ServiceNow Fluent ファイル

ServiceNow Fluentコードは、アプリケーションの src/fluent ディレクトリにある拡張子が now.ts のファイルに記述します。アプリケーションメタデータは、1 つのファイルまたは必要な数の .now.ts ファイルで定義し、 fluent ディレクトリ内のサブディレクトリにファイルを整理できます。必要に応じて、アプリケーションのnow.config.jsonファイルで fluentDir パラメーターを使用して、ServiceNow Fluent ソース ディレクトリをカスタマイズできます。

拡張子が .now.ts のファイルで、ServiceNow Fluent API のオブジェクトを使用して、アプリケーションのメタデータを定義します。また、@servicenow/sdk/core からの API に、必要なインポートも含める必要があります。*`BusinessRule`* オブジェクトなど、サーバー側スクリプトを持つオブジェクトの場合は、JavaScript モジュールからコードをインポートして使用できます。

に固有のプロパティ ServiceNow Fluent

ServiceNow Fluent API には、API で定義されたメタデータのフィールドに直接マッピングするのではなく、 ServiceNow Fluent 言語に固有のプロパティがいくつか含まれています。

$id

`$id` プロパティを使用して、ServiceNow Fluent オブジェクトの一意の ID を指定します。アプリケーションをビルドすると、この ID は一意のsys_idにハッシュされます。たとえば、次のようになります。

```
$id: Now.ID['String' or Number]
```

`$id` プロパティは、多くの ServiceNow Fluent API で必須プロパティです。

$meta

`$meta` プロパティを使用して、アプリケーションメタデータに関するメタデータを指定します。*`installMethod`* プロパティを使用すると、特定の状況でのみロードされる出力ディレクトリにアプリケーションメタデータをマップできます。たとえば、次のようになります。

```
$meta: {
 installMethod: 'demo' or 'first install'
}
```

`$meta` プロパティは、Table API を除くすべての ServiceNow Fluent API で使用できるオプションのプロパティです。

[store-future: BEGIN review]$override[End]

[store-future: BEGIN review]

`$override` プロパティを使用して、ServiceNow Fluent API に含まれていないフィールドを構成したり、既存のフィールドを上書きしたりします。たとえば、次のようになります。

```
$override: {
 field: value,
 ...
}
```

`$override` プロパティは、すべての ServiceNow Fluent API で使用できるオプションのプロパティです。

> ⚠ 警告:
> タイプセーフは、 *`$override`* プロパティで構成されたフィールドには適用されません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[End]

[store-future: BEGIN review]

コード参照

ServiceNow Fluent API のプロパティは、プロパティに応じて複数の方法で他のコードを参照することをサポートしています。プロパティがサポートするメソッドの詳細については、 ServiceNow Fluent API リファレンス ドキュメントを参照してください。

関数のインポート

サーバーサイドスクリプトを使用する一部の ServiceNow Fluent API では、JavaScript モジュールから関数をインポートできます。JavaScript モジュールからエクスポートされた関数、関数式、またはデフォルト関数の名前を指定して .now.ts ファイルにインポートすることで、関数をインポートします。たとえば、次のようになります。

```
import { BusinessRule } from '@servicenow/sdk/core'
import { FunctionExport } from '../server/scripts.js'

const BR1 = BusinessRule({
    name: 'exportedFunction',
    table: 'x_snc_table',
    when: 'after',
    action: ['update', 'delete', 'insert'],
    script: FunctionExport,
    order: 100,
    active: true,
    add_message: false,
    message: '<p>message</p>',
    abort_action: false,
    $id: Now.ID[0],
})
```

JavaScript モジュールの詳細については、「JavaScript モジュールとサードパーティライブラリ」を参照してください。

Now.include

任意のプロパティを使用すると、 `Now.include('path/to/file')` 構文を使用してコンテンツをインラインで含める代わりに、アプリケーション内の別のファイルのコンテンツを参照できます。別のファイル内のコンテンツを参照すると、JavaScript、HTML、CSS などのコードをサポートするフィールドを持つレコードで、適切な構文のハイライト表示によってさまざまなファイルタイプの開発を容易にするのに役立ちます。たとえば、次のようになります。

```
import { Record } from '@servicenow/sdk/core'

export const appCategory = Record({
  table: 'sys_app_category',
  $id: Now.ID['exampleCategory'],
  data: {
    name: 'example',
    style: Now.include('./css-file.css'),
  },
})
```

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Now.include ユーティリティは双方向同期をサポートしているため、他のServiceNow AI Platformユーザーインターフェイスからのフィールドへの変更は参照ファイルのソースコードに同期され、コードへの変更はインスタンス全体のメタデータに同期されます。

変数識別子

変数を ServiceNow Fluent オブジェクトに割り当てて、他の ServiceNow Fluent オブジェクトから参照することができます。たとえば、次のようになります。

```
import { Role, Acl } from '@servicenow/sdk/core'

const managerRole = Role({
  $id: Now.ID['manager_role'],
  name: 'x_snc_example.manager'
})

const adminRole = Role({
  $id: Now.ID['admin_role'],
  name: 'x_snc_example.admin',
  contains_roles: [managerRole]
})

export default Acl({
   $id: Now.ID['task_delete_acl'],
   active: true,
   admin_overrides: true,
   type: 'record',
   table: 'task',
   field: 'description',
   operation: 'delete',
   roles: [adminRole, managerRole],
})
```

Now.ID

ServiceNow Fluentオブジェクトの `Now.ID` を使用して、他のServiceNow Fluentオブジェクトから参照できます。たとえば、次のようになります。

```
export const appMenu = ApplicationMenu({
   $id: Now.ID['my_app_menu'],
   title: 'My App Menu',
})

Record({
   table: 'sys_app_module',
   $id: Now.ID['my_record_module'],
   data: {
      application: appMenu.$id
   },
})
```

[End]

コードディレクティブ

コード コメントでは、次のディレクティブを使用してコードを管理できます。

@fluent無視

次のコード行 ServiceNow Fluent 診断の警告とエラーを抑制します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

@fluent-disable-sync

ServiceNow Fluentオブジェクトへの変更の同期をオフにします。呼び出し式の前 (例: `Record({ ... })`) を使用して、そのオブジェクトとその子オブジェクトの同期をオフにします。このディレクティブは、ソースコードの外部でオブジェクトに加えられた変更を無視し、同期時に更新しない場合にのみ使用してください。

@fluent-disable-sync-for-file

ServiceNow Fluentファイル (.now.ts) への変更の同期をオフにします。ファイルの最初の行で使用して、ファイル内のすべてのコードの同期をオフにします。このディレクティブは、ソースコードの外部でファイルに加えられた変更を無視し、同期時に更新しない場合にのみ使用してください。

Example: ServiceNow Fluent を使用してソースコードでアプリケーションメタデータを定義する

次の例には、アプリケーションのテーブル、クライアントスクリプト、およびビジネスルールの定義が含まれています。クライアントスクリプトは、 client-script.js ファイルのスクリプトを使用します。 ビジネスルールは、 script.js JavaScript モジュールの関数を使用します。

```
import '@servicenow/sdk/global'
import { BusinessRule, ClientScript, DateColumn, StringColumn, Table }
 from '@servicenow/sdk/core'
import { showStateUpdate } from '../server/script.js'

//creates todo table, with three columns (deadline, status and task)
export const x_snc_example_to_do = Table({
    name: 'x_snc_example_to_do',
    schema: {
        deadline: DateColumn({ label: 'Deadline' }),
        state: StringColumn({
            label: 'State',
            choices: {
                ready: { label: 'Ready' },
                completed: { label: 'Completed' },
                inProgress: { label: 'In Progress' },
            },
        }),
        task: StringColumn({ label: 'Task', maxLength: 120 }),
    },
})

//creates a client script that pops up 'Table loaded successfully!!' message everytime todo record is loaded
ClientScript({
    $id: Now.ID['cs0'],
    name: 'my_client_script',
    table: 'x_snc_example_to_do',
    active: true,
    appliesExtended: false,
    global: true,
    uiType: 'all',
    description: 'Custom client script generated by Now SDK',
    messages: '',
    isolateScript: false,
    type: 'onLoad',
    script: Now.include('../client/client-script.js'),
})
```

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
//creates a business rule that pops up state change message whenever a todo record is updated
BusinessRule({
    $id: Now.ID['br0'],
    action: ['update'],
    table: 'x_snc_example_to_do',
    script: showStateUpdate,
    name: 'LogStateChange',
    order: 100,
    when: 'after',
    active: true,
})
```

`ClientScript` オブジェクトから参照されるクライアントスクリプト:

```
function onLoad() {
    g_form.addInfoMessage("Table loaded successfully!!")
}
```

`BusinessRule` オブジェクトから参照される JavaScript モジュール:

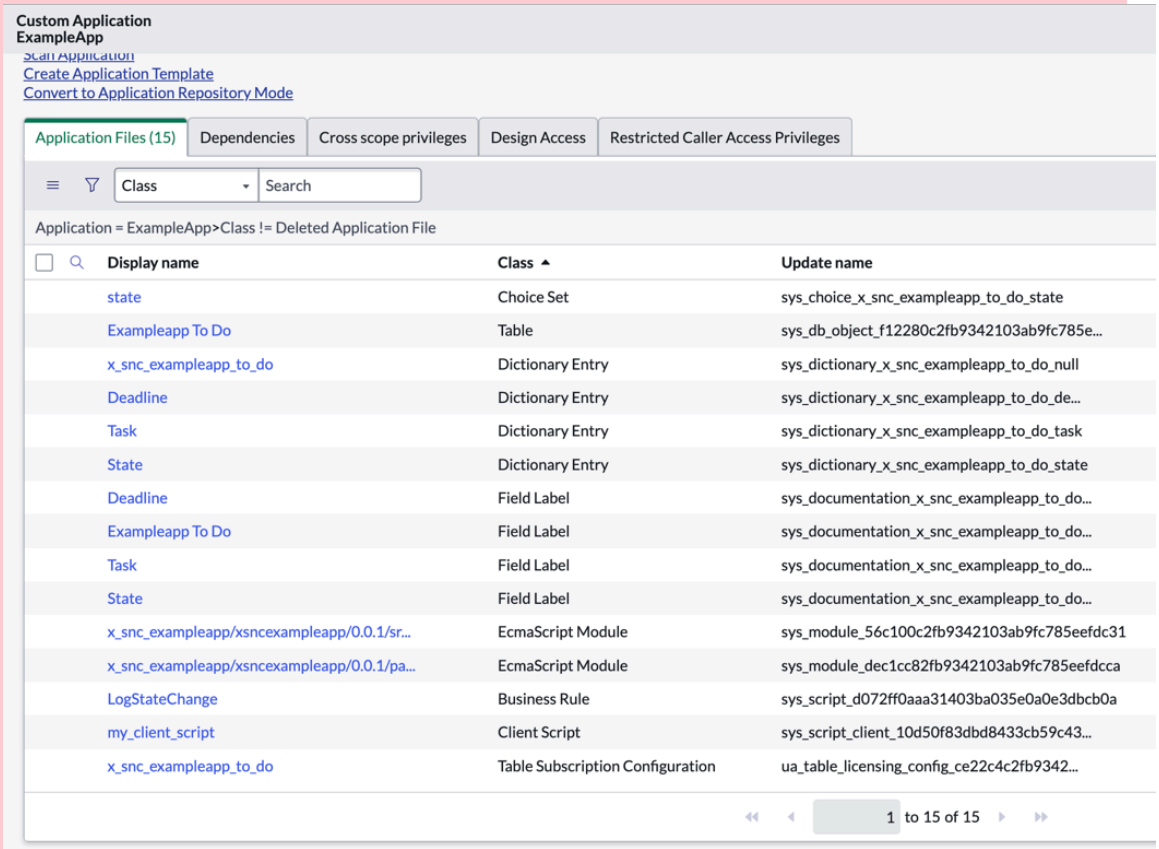
```
import { gs } from '@servicenow/glide'

export function showStateUpdate(current, previous) {
    const currentState = current.getValue('state')
    const previousState = previous.getValue('state')

    gs.addInfoMessage(`state updated from "${previousState}" to "${currentState}"`)
}
```

アプリケーションのビルド後、このソースコードはインスタンスで次のアプリケーションメタデータファイルを生成します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ServiceNow Fluent コードから生成されたアプリケーションメタデータ



[End]

JavaScript モジュールとサードパーティライブラリ

JavaScript モジュールを使用してコードベースを最適化し、関連するコードをグループ化したり、サードパーティライブラリを追加してアプリケーション内でコードを再利用したりします。

JavaScript モジュールの使用の概要

モジュールは JavaScript ファイルであり、インスタンス上のアプリケーション内で共有および再利用される関連コードが含まれています。ServiceNow IDE または ServiceNow SDK で作成または変換されたスコープ対象のアプリケーションに、JavaScript モジュールとサードパーティライブラリを追加できます。アプリケーションをビルドする前に、TypeScript を使用してモジュールを作成し、それを JavaScript にコンパイルすることもできます。インスタンスでは、JavaScript モジュールは EcmaScript モジュール [sys_module] テーブルに保存されます。

モジュールでは、`export` ステートメントで再利用するコードを特定します。次に、`import` ステートメントまたは `require` ステートメントを使用して、アプリケーションの他の場所でコードを再利用します。アプリケーションは、モジュールコードを使用するために、サードパーティのノードパッケージマネージャー (npm) ライブラリへの依存関係を宣言する必要があります。JavaScript モジュールの作成に使用される構文に関する一般的な情報については、MDN Web Docs Web サイトの「JavaScript modules (JavaScript モジュール)」ページを参照してください。

注:
グローバル Glide サーバー API をモジュールで使用するには、`@servicenow/glide` パッケージからインポートする必要があります。詳細については、「サーバー API のインポート」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

制限事項

- グローバルアプリケーションとアプリケーションのカスタマイズはサポートされていません。
- モジュールは、追加されたアプリケーションスコープ内でのみ使用できます。アプリケーションスコープ全体で使用することはできません。
- ECMAScript 機能のサブセットは、「JavaScript engine feature support」に従ってモジュールでサポートされます。
- Node.js API はモジュールではサポートされていません。
- Web API に関連するグローバル変数はサポートされていません。
- アプリケーションに追加されたサードパーティライブラリは、ServiceNow API に対するアクセスや呼び出しはできません。
- サードパーティライブラリからの CommonJS モジュールは、エクスポートが定義されていない限りサポートされません。サブパスのインポートは CommonJS モジュールではサポートされていません。サードパーティライブラリからの ECMAScript モジュールはサポートされています。
- *import* ステートメントと *export* ステートメントは、モジュールでのみサポートされています。ビジネスルールやスクリプトインクルードなど、スクリプトにモジュールコードをインポートするには、*require* ステートメントを使用します。
- JavaScript モジュール [sys_module] は、ServiceNow IDE 内、または ServiceNow SDK の Visual Studio Code でのみ変更できます。

重要:
サポートされていない API や ECMAScript 機能など、サポートされていない機能に依存するサードパーティライブラリを使用することはできません。詳細については、「サードパーティライブラリのサポート」を参照してください。

モジュールのエクスポート

モジュールで、*export* ステートメントで再利用するコードを特定します。名前付きエクスポートまたはデフォルトのエクスポートを使用できます。名前付きエクスポートは変数、定数、関数、またはクラスに使用できますが、デフォルトのエクスポートは関数またはクラスのみに使用できます。次の例は、モジュール内の複数の機能 (関数と変数) の名前付きエクスポートを追加する 1 つの方法です。

```
export { myFunction, myVariable };
```

モジュールのインポート

再利用するモジュールコードをインポートするには、他のモジュールで *import* ステートメントを使用するか、サーバーサイドスクリプトで *require* ステートメントを使用します。

次の例は、エクスポートされた機能をモジュールにインポートする 1 つの方法です。

```
import { feature } from 'path/to/module';
```

次の例は、エクスポートされた機能をスクリプトにインポートする 1 つの方法です。

```
const { feature } = require('path/to/module');
```

注:
ある TypeScript ファイルから別の TypeScript ファイルにコードをインポートするには、 .ts ファイル拡張子を含める必要があります。たとえば、 import { feature } from './module.ts' です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

短縮形を使用してモジュールコードをインポートするには、アプリケーションの package.json ファイルの *imports* フィールドでサブパスを使用します。例：

```
{
 "name": "math",
 "version": "1.0.0",
 "exports": {
  "./functions/*.js": "./src/functions/*.js",
  "./functions/private-functions/*": null
 },
 "imports": {
  "#calc": "calculus",
  "#derivative": "calculus/derivative"
 },
 "dependencies": {
  "calculus": "1.0.0"
 }
}
```

この例に基づくと、math アプリケーションにインポートするたびに derivative.js への相対パスを書き出す代わりに、#derivative 短縮形を使用できます。サブパスを *imports* フィールドで使用して、#calc などの依存関係の短縮形を使用することもできます。

```
import { derivative } from '#derivative';
import * as calculus from '#calc';
```

依存関係の追加

アプリケーションは、モジュールコードを使用するために、サードパーティライブラリへの依存関係を宣言する必要があります。アプリケーションの package.json ファイルに、依存関係のパッケージ名とバージョンを含めます。たとえば、「math」ライブラリのモジュールを「test」アプリケーションで使用するために、「math」パッケージを依存関係として追加します。

```
{
 "name": "test",
 "version": "1.0.0",
 "dependencies": {
  "math": "1.0.0"
 }
}
```

サーバー **API** のインポート

サーバー API をインポートしてモジュールで使用するには、 *import* ステートメントを使用します。Glide API は、 @servicenow/Glide パッケージまたはパッケージ内の名前空間からインポートできます。

たとえば、次のようになります。

```
import { API } from '@servicenow/glide';
import { API } from '@servicenow/glide/<namespace>';
```

次の例では、 *gs* (GlideSystem) API と *GlideRecord* API がモジュールにインポートされています。

```
import { gs } from '@servicenow/glide';
import { GlideRecord } from '@servicenow/glide';
```

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次の例では、 *RESTAPIRequest* API と *RESTAPIResponse* API は、その名前空間で実行されるため、モジュールの sn_ws_int 名前空間からインポートされます。

```
import { RESTAPIRequest, RESTAPIResponse } from '@servicenow/glide/sn_ws_int';
```

使用可能なサーバー API の詳細については、「Server API reference」を参照してください。

関連情報

ServiceNow IDE のアプリケーションで JavaScript モジュールを作成して使用する

ServiceNow SDK を使用してアプリケーションで JavaScript モジュールを作成して使用する

サードパーティライブラリのサポート

どの一般的なサードパーティライブラリが ServiceNow IDE と ServiceNow SDK でサポートされているか、部分的にサポートされているか、またはサポートされていないかを確認します。

次のサードパーティライブラリは、 Yokohama リリースでテストされています。部分的なサポートがあるライブラリまたはサポートされていないライブラリは、JavaScript エンジンで現在サポートされていないサーバー側スクリプト機能によって制限されます。サーバー側スクリプトの機能サポートの詳細については、「JavaScript engine feature support」を参照してください。

注:
テストされたライブラリは、Node Package Manager(npm)のダウンロード数、ServiceNow AI Platformへの適用性、およびユーザーの関心に基づいて優先順位が付けられました。追加のサードパーティライブラリをテストするための質問または要求については、ServiceNow コミュニティ の ServiceNow IDE、SDK、および Fluent フォーラムを参照してください。

サポートされているサードパーティライブラリ

- 団栗
- キャメルケース
- チャンス
- クローン
- date-fns
- Dayjs
- debug
- 差分
- 延ばす
- html-parser-lite
- ini
- js-yaml
- lru-cache
- マーク
- マイム
- mime-types
- 実行タイミング
- moment-timezone

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- ms
- OpenAI
- path-to-regexp
- ラムダ
- センバー
- strip-ansi
- tslib
- uuid
- 妥当性検証者
- xtend

サポートが制限されているサードパーティライブラリ

- bn.js
- lodash
- ピズジップ
- アンダースコア
- underscore.string

サポートされていないサードパーティライブラリ

- @faker-js/faker
- @langchain/テキストスプリッター
- AJVの
- アーカイバ
- アクシオス
- deep-equal
- DocXTemplater
- eml-parser
- Excel JS
- fast-csv
- iconv-lite
- inherits
- jszip
- JW
- ミニマッチ
- pdf-lib
- 質問
- reflect-metadata
- サックス

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- ジッパーを開ける
- ユーティリティ

Reactによるユーザーインターフェース開発

ソースコードでフルスタックアプリケーションをビルドするための React ライブラリを使用してユーザーインターフェイス (UI) を開発します。

React を使用した UI 開発の概要

React は、カスタムユーザーインターフェイスの開発とレンダリングに使用する UI コンポーネントを構築するための業界標準の Web フレームワークです。React コンポーネントは、ボタンなどの自己完結型の再利用可能な JavaScript 関数であり、JavaScript (JS/JSX) および TypeScript (TS/TSX) 構文をサポートしています。React に関する一般的な情報については、react.dev Web サイトの React ドキュメント を参照してください。

ServiceNow IDE または ServiceNow SDK を使用すると、スコープ対象のアプリケーションで React を使用して、ServiceNow Fluentコードで UI ページを作成できます。ServiceNow Fluent UI ページ API は、指定されたエンドポイントでページを読み込む HTML エントリポイント (index.html) を参照します。アプリケーションをビルドしてインスタンスにインストールすると、静的資産が適切なテーブルに保存されます。ソースコード内の React アプリケーションの例については、 ServiceNow SDK サンプル GitHub リポジトリを参照してください。React の使用を開始するには、 ServiceNow IDE または ServiceNow SDK を使用してアプリケーションを作成するときに、いずれかの React テンプレートを選択します。

UI 開発プロセス

1. アプリケーションを作成し、いずれかの React テンプレートを選択します。

   アプリケーションには、React開発に必要なファイルとディレクトリが含まれています。

2. src/client ディレクトリで、HTML エントリポイント (index.html)、クライアントスクリプト、スタイルシートなど、ユーザーインターフェイスのクライアント資産を追加します。index.html ファイルには、JavaScript エントリーポイントとして `<![CDATA[<script>]]>` タグを含める必要があります。
3. ServiceNow Fluent UI ページ API を使用して、コードで UI ページ [sys_ui_page] を定義します。UI ページ定義を含む now.ts ファイルで、HTML をインポートし、*`UiPage`* オブジェクトの *`html`* プロパティから参照します。
4. アプリケーションをビルドして、ビルド前のロールアップスクリプトを実行します 依存関係をバンドルし、クライアント資産を src/client ディレクトリにパッケージ化してから、残りのビルドプロセスを実行します。標準のロールアップビルドプロセスとプラグインは、デフォルトの JavaScript バンドラーとして使用されます。

   静的アセットは dist/static ディレクトリに出力されます。

5. アプリケーションをインストールして、静的資産を適切なテーブル (UX 資産 [sys_ux_lib_asset]、画像 [db_image]、および UX テーマ資産 [sys_ux_theme_asset] テーブルのアプリケーションファイル [sys_metadata] に追加します。これらのテーブルは、ファイルを添付ファイルとして追加することをサポートしています。

> **重要:**
> React を使用した UI 開発は、インスタンスからコンテンツを提供する方法と、現在サポートされているコンテンツタイプとテーブルがあるため、実験的な機能です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

制限事項

- UI ページの HTML は、ソースコードでのみ変更する必要があります。インスタンス上の UI ページ [sys_ui_page] の HTML を変更すると、ソースコードに同期されないため、意図しない動作が発生する可能性があります。
- オーディオ、ビデオ、WASM コンテンツタイプはサポートされていません。
- アップロードされる添付ファイルの最大ファイルサイズは、*com.glide.attachment.max_size* システムプロパティで構成されたサイズによって制限されます。詳細については、「Maximum allowed attachment size [Updated in Security Center 1.3]」を参照してください。
- 出力パスは確定的でなければなりません。
- HTML からリンクされたコンテンツのプリロードはサポートされていません (rel="preload")。
- HTML からリンクされた相対スタイルシートはサポートされていません (rel="stylesheet")。代わりにスタイルシートをコードにインポートします(@import 'path/to/style-sheet')。
- CSS での相対インポートはサポートされていません。
- CSS モジュールはサポートされていません。
- UI ページではハッシュルーティングのみがサポートされています。
- サーバー側レンダリングと React サーバーコンポーネントはサポートされていません。

Example: React を使用した UI ページ開発

src/fluent ディレクトリの now.ts ファイルでは、UI ページがServiceNow Fluentコードで定義されます。ページの HTML は、src/client ディレクトリの index.html ファイルからインポートされます。

```
//incident-manager.now.ts
import '@servicenow/sdk/global'
import { UiPage } from '@servicenow/sdk/core'
import incidentPage from '../../client/index.html'

UiPage({
    $id: Now.ID['incident-manager-page'],
    endpoint: '<scope>_incident_manager.do',
    description: 'Incident Response Manager UI Page',
    category: 'general',
    html: incidentPage,
    direct: true,
})
```

index.html ファイルでは、<![CDATA[<script>]]> タグは src/client ディレクトリ内の main.jsx ファイルを参照します。

```
//index.html
<html>
<head>
  <title>Incident Response Manager</title>

  <!-- Initialize globals and Include ServiceNow's required scripts -->
  <sdk:now-ux-globals></sdk:now-ux-globals>

  <!-- Include your React entry point -->
  <script src="./main.jsx" type="module"></script>
```

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
</head>
<body>
  <div id="root"></div>
</body>
</html>
```

main.jsx ファイルには、ページのレンダリングに必要なインポートとメインアプリケーションコンポーネントが含まれており、React アプリケーションのエントリポイントが定義されています。

```
//main.jsx
import React from 'react'
import ReactDOM from 'react-dom/client'
import App from './app'

const rootElement = document.getElementById('root')
if (rootElement) {
    ReactDOM.createRoot(rootElement).render(
        <React.StrictMode>
            <App />
        </React.StrictMode>
    )
}
```

アプリケーションをビルドしてインストールした後、インシデントを作成および管理するためのインターフェイスを表示する *UiPage* オブジェクト (https://<instance>/<scope>_incident_manager.do) で指定されたエンドポイントからページを開くことができます。

関連情報

UI ページ API - ServiceNow Fluent

ServiceNow Fluent

ServiceNow IDE

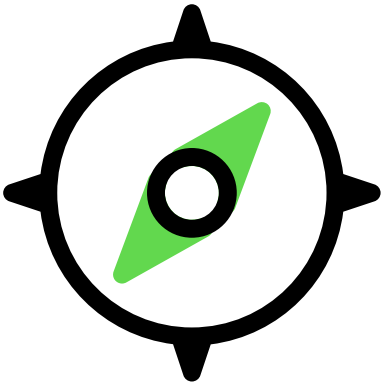
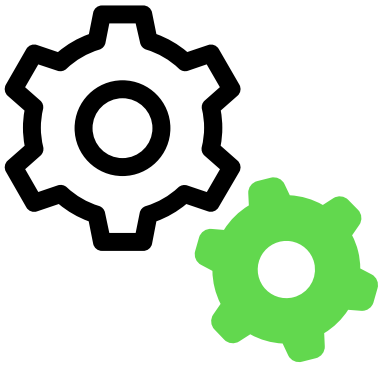
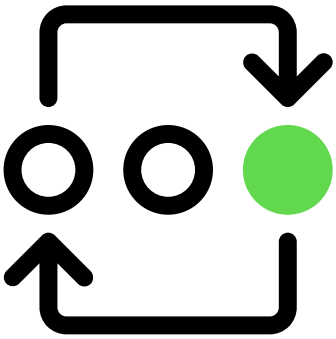
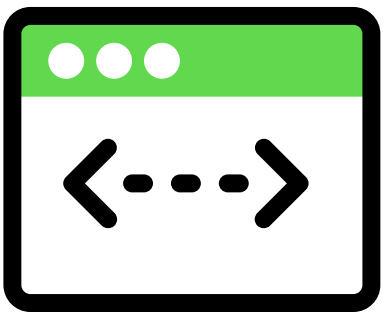
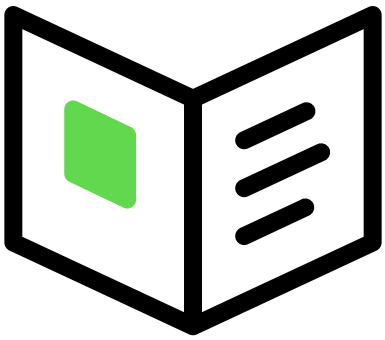
ServiceNow AI Platform 上の統合開発環境 (IDE) のソースコードでスコープ対象のアプリケーションを作成および開発することで、開発チーム間のコラボレーションを改善し、アプリケーション開発を加速します。

> **注:**
> ServiceNow IDEは現在、グローバルスコープまたはグローバルアプリケーションをサポートしていません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

開始

探索	構成	統合
		
ServiceNow IDEでのアプリケーション開発について説明します。	開発者が使用するServiceNow IDE をインストールして構成します。	ソースコントロールプロバイダーと統合します。
ビルド	**参照**	
		
ソースコードでアプリケーションを開発します。	ServiceNow Fluent API などの詳細を取得します。	

注:
ビルドエージェントを使用すると、 ServiceNow IDEでアプリケーションを作成および編集できます。詳細については、「ビルドエージェント」を参照してください。

アプリの作成に使用すべきビルダー

業界標準の開発ツールやプロセスを使用したい開発者の場合

ServiceNow IDE と ServiceNow SDK は、ServiceNow Fluent を使用したソースコードでのアプリケーション開発、JavaScript モジュールの作成、およびサードパーティライブラリの使用をサポートしています。ServiceNow Fluent は、コードでアプリケーションメタデータを作成するためのドメイン固有のプログラミング言語です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ServiceNow IDE は、ServiceNow AI Platform 上の Visual Studio Code for the Web の実装です。ServiceNow SDK は Visual Studio Code Desktop をローカルで使用します。詳細については、「ソースコードでアプリケーションをビルドする」を参照してください。

一元化されたユーザーインターフェイスでより詳細に制御したい開発者の場合

新しい ServiceNow スタジオにより、アプリをよりスマートに構築し、より迅速に提供できます。ServiceNow スタジオ は、プラットフォーム開発者が ServiceNow AI Platformに基づいて構築するための最新の統一された環境を開発者に提供します。 ServiceNow スタジオ は、アプリケーションとメタデータへの簡素化されたナビゲーション、統合されたローコードツール、開発プロセスを加速し、生産性を向上させる開発作業の効率的な追跡とパッケージ化を備えています。詳細については、「ServiceNow スタジオ の探索」を参照してください。

より一般的なアプリが必要だけれどローコードオプションが必要な場合

App Engine Studio を使用すると、プログラミングのプロでなくても、クリエータースタジオ よりも幅広いアプリをビルドできます。詳細については、「App Engine Studio の探索」を参照してください。

コードなしで簡単にアプリをビルドしたい場合

クリエータースタジオ は、コードを書かずに要求を履行するアプリケーションの作成を支援することに特化しています。たとえば、フォームに入力して事務用品を要求するアプリケーションで、誰かが要求を承認または拒否するなどです。詳細については、「クリエータースタジオ の探索」を参照してください。

トラブルシューティングとサポート

- Yokohama リリースの新機能の詳細については、「ServiceNow IDE release notes」を参照してください。
- の概要 ServiceNow IDE 日付：ServiceNow University
- ServiceNow IDE デモ ビデオ
- ビデオ「ServiceNow IDE and Fluent Creator Toolbox 」
- ServiceNow SDK サンプル GitHub リポジトリ
- ServiceNow コミュニティ の ServiceNow IDE、SDK、および Fluent フォーラム
- ServiceNow コミュニティ の ServiceNow IDE、SDK、および Fluent の記事
- 既知のエラーポータルで既知のエラー記事を検索する
- 連絡先 カスタマーサービス & サポート

関連情報

ServiceNow Fluent

JavaScript モジュールとサードパーティライブラリ

ServiceNow IDE の詳細

ServiceNow IDE のソースコードでのスコープ対象のアプリケーションの開発について説明します。

ServiceNow IDE の概要

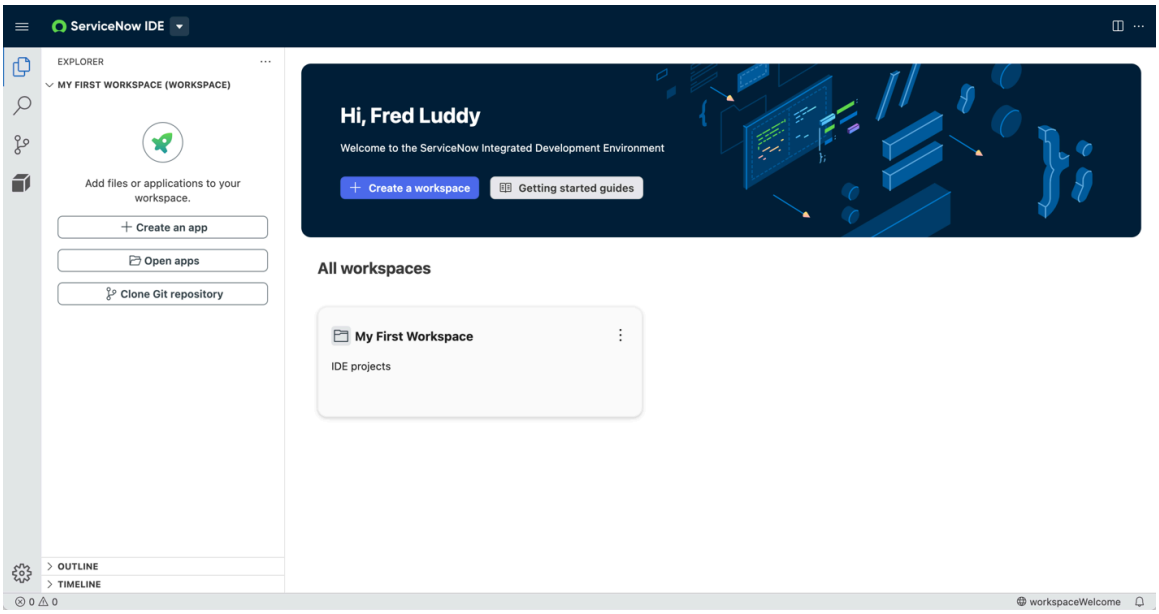
ServiceNow IDE は、ServiceNow AI Platform 上の Visual Studio Code for the Web の実装です。この ServiceNow IDE を使用して、使い慣れたツールと業界標準の開発手法を使用して、スコープ対象のアプリケーションのビルドを迅速に開始できます。ServiceNow IDE には、タイプセー

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フ、IntelliSense、依存関係の適用、コード検索、ソースコントロールの統合など、Visual Studio Code と同じ機能が多数あります。

ServiceNow IDEホームページ



ServiceNow IDE では、ServiceNow Fluent を使用してアプリケーションメタデータ [sys_metadata] を定義し、ソースコード内でスコープ対象のアプリケーションを作成できます。変更内容をリアルタイムで並べて視覚的に表示するため、ServiceNow IDE 内に埋め込まれた他の ServiceNow AI Platform ユーザーインターフェイスでアプリケーションメタデータを開くことができます。

必要に応じて、JavaScript モジュールを作成し、サードパーティのライブラリを使用して、スコープ対象のアプリケーション内のコードを整理して再利用できます。コード向け Now Assistを使用すると、コードオートコンプリートスキルを使用して、ServiceNow IDE内のアプリケーションのスクリプトのコード提案を生成できます。詳細については、「Generate code with autocomplete」を参照してください。

バックグラウンドで、この機能は、ServiceNow IDE でアプリケーションをビルドする ServiceNow SDK アプリケーションパッケージングサービスによって有効になります。

注:
ビルドエージェントを使用すると、 ServiceNow IDEでアプリケーションを作成および編集できます。詳細については、「ビルドエージェント」を参照してください。

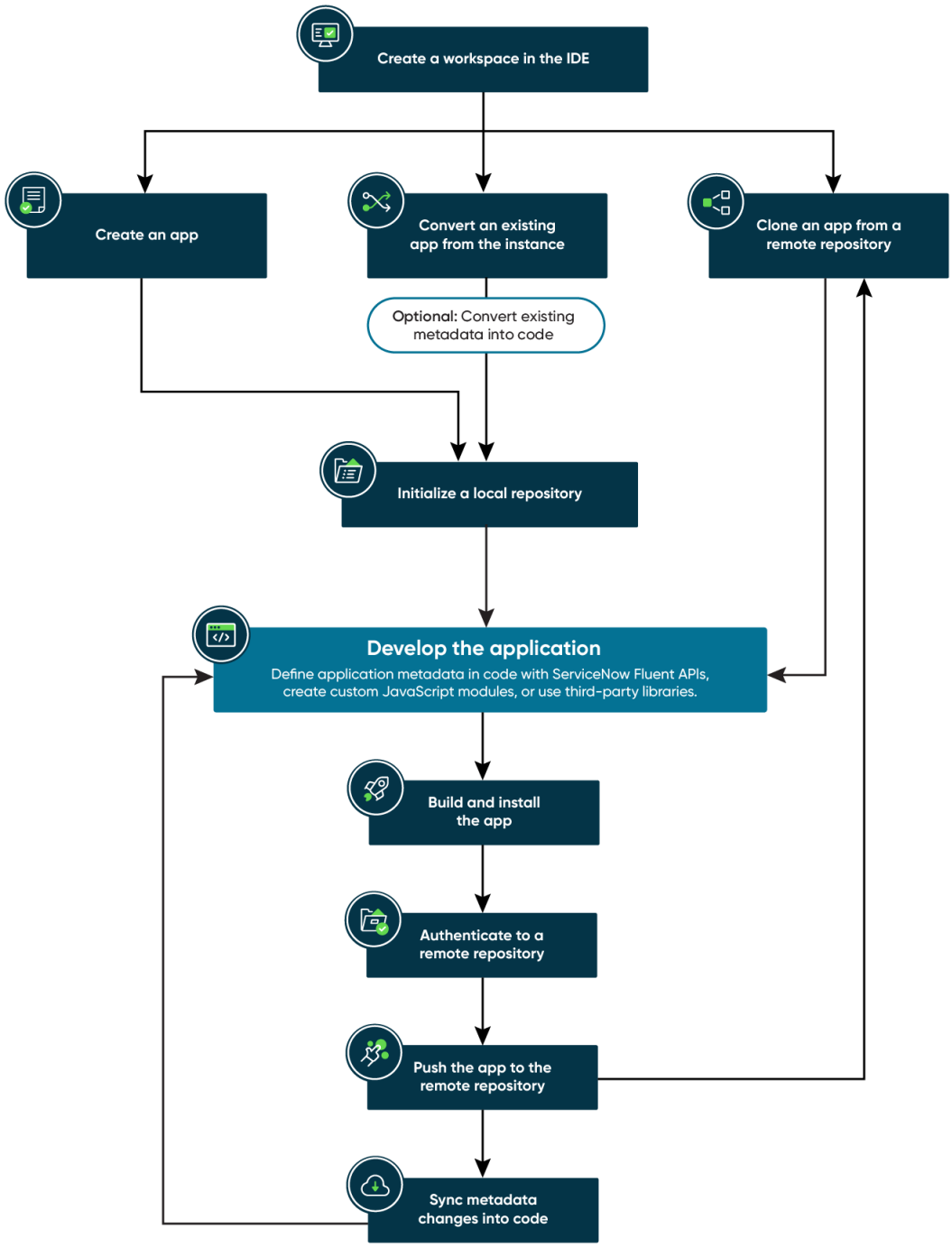
ServiceNow IDEワークフロー

次のインフォグラフィックは、開発者が ServiceNow IDE を使用してアプリケーションの開発を開始するためのワークフローを示しています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ServiceNow IDE を使用したアプリケーションの開発



自動翻訳

1. 認証方法に応じて、アドミニストレーターまたは開発者は Git プロバイダーへの接続に必要な認証情報を構成します。
   - OAuth 2.0 認証を使用するには、アドミニストレーターが Git プロバイダーとインスタンスで OAuth 2.0 アプリケーションレジストリを構成します。
   - ベーシック認証を使用するには、開発者が Git プロバイダーから個人用アクセストークンを生成します。
2. Git プロバイダーから、開発者がアプリケーションの専用 Git リポジトリを作成します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

3. 開発者は ServiceNow IDE から Git 認証情報を構成します。
4. 開発者は、アプリケーションを整理するための ServiceNow IDE ワークスペースを作成します。
5. 開発者は、スコープ対象のアプリケーションを作成するか、ServiceNow IDEから既存のスコープ対象のアプリケーションを変換します。
6. 開発者は、アプリケーションのローカル Git リポジトリを初期化し、それを作成したリモートリポジトリにプッシュして、ソースコントロールでアプリケーションを管理します。
7. 開発者は、ServiceNow Fluent を使用してソースコードでアプリケーションメタデータを定義したり、カスタム JavaScript モジュールを作成したり、サードパーティライブラリを使用したりできます。
8. メタデータの変更が検出されると、開発者はアプリケーションを同期して、他のインターフェイスからメタデータへの変更をダウンロードしてソース コードに変換します。
9. 変更を保存した後、開発者がアプリケーションをビルドすると、ソースコードがコンパイルされ、アプリケーションメタデータに変換されます。
10. ビルドが完了すると、開発者は ServiceNow IDE を離れることなく、他の埋め込み ServiceNow AI Platform ユーザーインターフェイスに反映された変更を表示できます。
11. 開発者は変更をステージングし、コミットして、Git リポジトリにプッシュします。
12. ServiceNow IDE から、他の開発者はリポジトリのクローンを作成し、分岐を作成し、アプリケーションでコラボレーションを開始できます。

他のユーザーは、開発者がソースコードを変更するのと同時に、アプリケーションメタデータを変更できます。開発者は、アプリケーション内の他のモジュールまたはスクリプトのモジュールコードを再利用できます。

ServiceNow IDE のメリット

メリット	機能	ユーザー
ServiceNow AI Platform 上の Visual Studio Code で IDE ベースのアプリケーションを開発する	ServiceNow IDE ユーザーインターフェイス	開発者
ServiceNow アプリケーションを構成するメタデータを定義するソースコードを記述する	ServiceNow Fluent ServiceNow IDE の ServiceNow Fluent を使用してコードでアプリケーションメタデータを定義する	開発者
カスタム JavaScript モジュールとサードパーティの JavaScript ユーティリティを使用して、スコープ対象のアプリケーション内のコードを整理して再利用する	JavaScript モジュールとサードパーティライブラリ ServiceNow IDE のアプリケーションで JavaScript モジュールを作成して使用する ServiceNow IDE のアプリケーションでサードパーティライブラリを使用する	開発者

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

メリット	機能	ユーザー
さまざまなスキルセットのユーザーとアプリケーションでコラボレーションする	でアプリケーションをビルド してインストール する ServiceNow IDE	開発者
ソースコントロールを、選択した Git プロバイダーと統合する	ソースコントロールと ServiceNow IDE の統合	開発者、アドミニストレーター

ServiceNow IDE ユーザーインターフェイス

ServiceNow IDE ユーザーインターフェイスには、Visual Studio Code for the Web と同じ機能が多数含まれており、ServiceNow アプリケーションを作成するための独自の機能もいくつか含まれています。

ServiceNow IDE ユーザーインターフェイスの概要

ServiceNow IDE は、ServiceNow AI Platform 上の Visual Studio Code for the Web の実装であり、次の機能が含まれています。

- 基本的な編集とキーボードショートカット
- IntelliSense
- コードナビゲーション
- コードとファイルの検索
- コマンドパレット
- ソースコントロールの統合

Visual Studio Code for the Web は Visual Studio Code Desktop と似ていますが、デスクトップインターフェイスで使用できるすべての機能をサポートしているわけではありません。Visual Studio Code のブラウザベースの実装については、Visual Studio Code for the Web を参照してください。次の Visual Studio Code 機能は ServiceNow IDE ではサポートされていません。

- 統合端末
- デバッガ
- マーケットプレイス拡張機能
- 統合単体テスト
- リモート開発

Visual Studio Code と ServiceNow IDE の一般的な機能に関する一般的な情報については、Visual Studio Code のドキュメント Web サイトを参照してください。

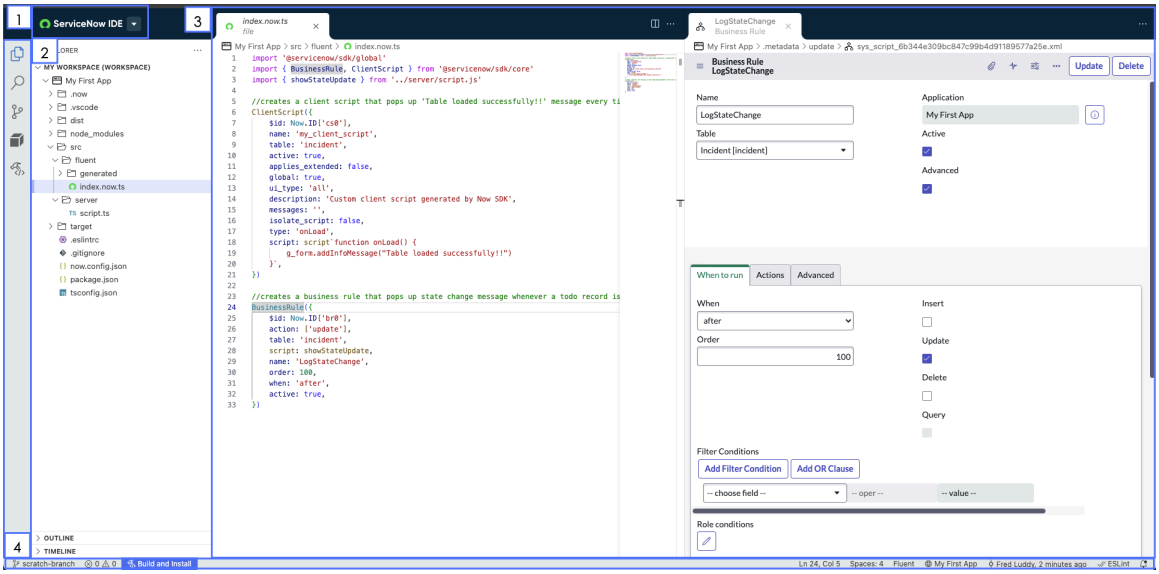
ServiceNow IDE の機能

ServiceNow IDE のユーザーインターフェイスの機能について説明します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ServiceNow IDE ユーザーインターフェイス



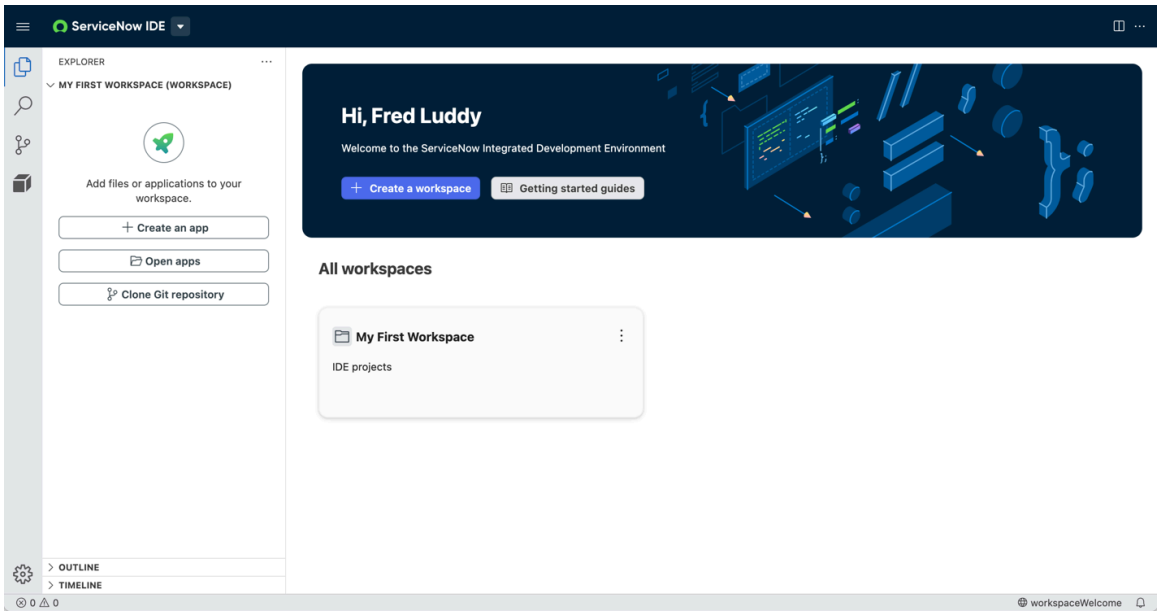
1. ServiceNow IDE ホームページ:ワークスペースとアプリケーションの作成を開始し、既存のワークスペースを表示します。エクスペリエンススイッチャーを使用して開発環境を切り替えます。
2. アクティビティバー
   - ファイルエクスプローラービュー:ワークスペース内のアプリケーションとそのコード間を移動します。
   - 検索ビュー:ファイル内のコンテンツを検索します。
   - ソースコントロールビュー:コードのバージョン管理のために Git リポジトリと統合します。
   - メタデータエクスプローラービュー: アプリケーションメタデータを作成、更新、および表示します。
   - Now SDK ビュー:アプリケーションメタデータへの変更を同期するか、アプリケーションをビルドしてします。
   - 管理メニュー:ユーザーインターフェイスのさまざまな側面にアクセスして設定します。
3. エディター：埋め込み ServiceNow AI Platform ユーザーインターフェイスを使用して、ソースコードを記述し、アプリケーションメタデータを表示します。
4. ステータスバー:アプリケーションとファイル、およびビルドアプリケーションに関するステータス情報を表示します。

これらの機能に加えて、コマンドパレットを開いて、アプリケーションの開発、ファイルの管理、ソースコントロールの使用などを行うさまざまなコマンドを実行できます。詳細については、「コマンドパレット」を参照してください。

自動翻訳

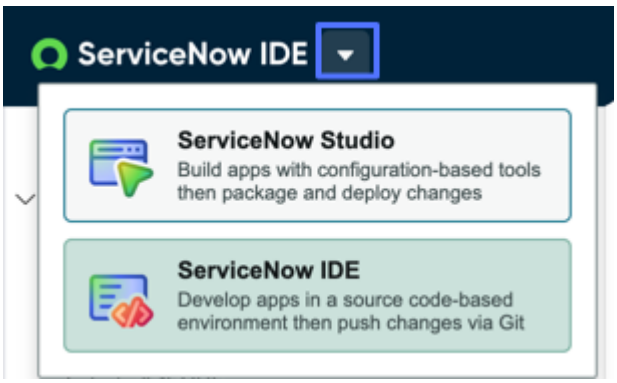
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ServiceNow IDEホームページ



ワークスペースを作成し、既存のワークスペースにアクセスし、アプリケーションを作成または開きます。Git リポジトリのクローンを作成して、リモートリポジトリから既存のアプリケーションを追加します。ワークスペースとアプリケーションの作成を開始するには、「ServiceNow IDE を使用したアプリケーションの開発」を参照してください。Git リポジトリのクローンを作成するには、「ServiceNow IDE で Git リポジトリのクローンを作成する」を参照してください。

エクスペリエンススイッチャー

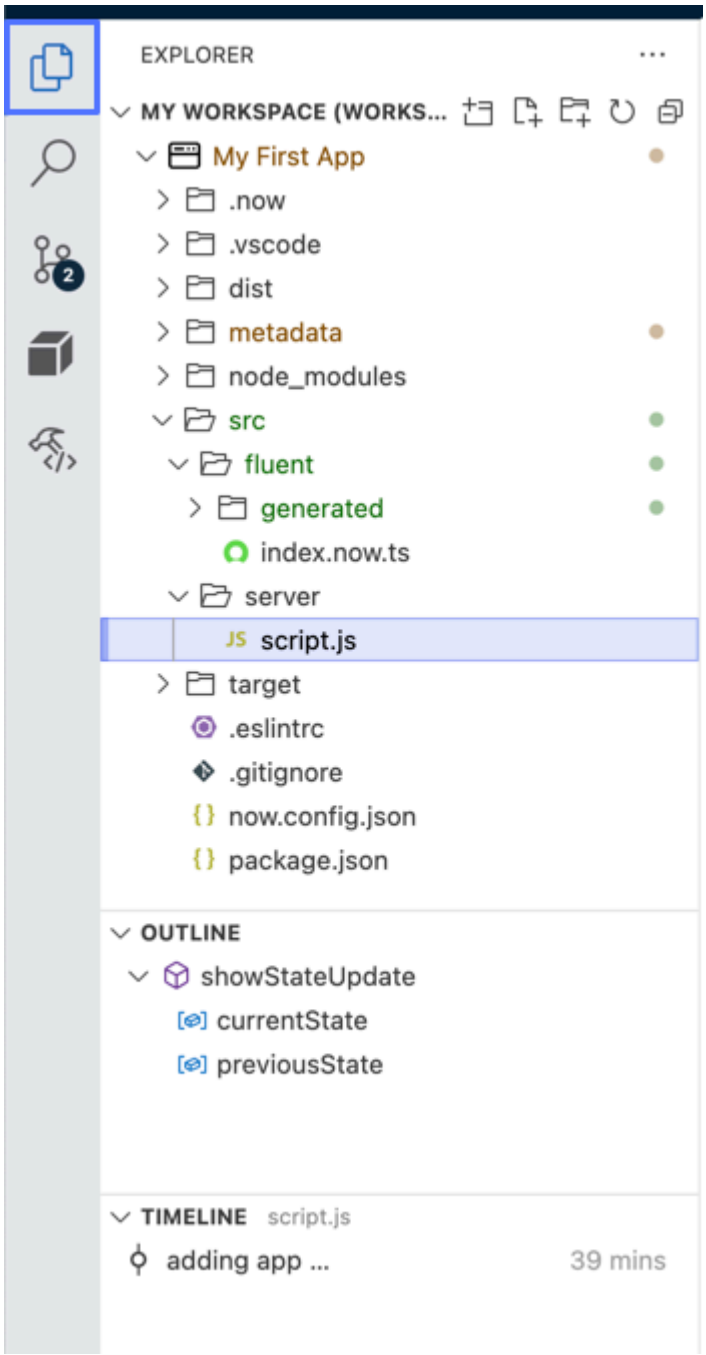


エクスペリエンススイッチャーを使用して、 ServiceNow IDE、 ServiceNow スタジオ、 クリエータースタジオでの開発を切り替えることで、タスクに適した環境で作業します。エクスペリエンススイッチャーの構成の詳細については、「エクスペリエンススイッチャーへのデフォルト以外のアクセスを構成する」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ファイルエクスプローラービュー

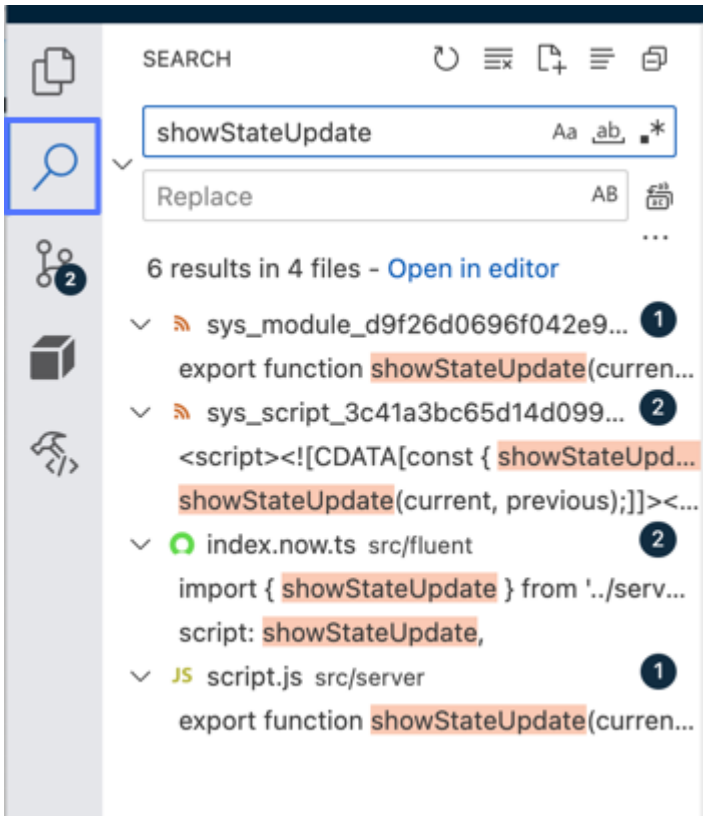


ワークスペース内のアプリケーション間を移動し、ファイルまたはフォルダーを追加します。[アウトライン] セクションで、エディター内のアクティブなファイルのアウトラインを表示します。[タイムライン] セクションで、アクティブなファイルに対する変更の履歴を表示します。デフォルトのアプリケーションファイル構造については、「ソースコードでアプリケーションをビルドする」トピックの アプリケーションの構造 セクションを参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

検索ビュー



アクティブなワークスペース内のファイルを検索します。検索ビューは、正規表現の使用、検索と置換、および高度な検索オプションをサポートしています。

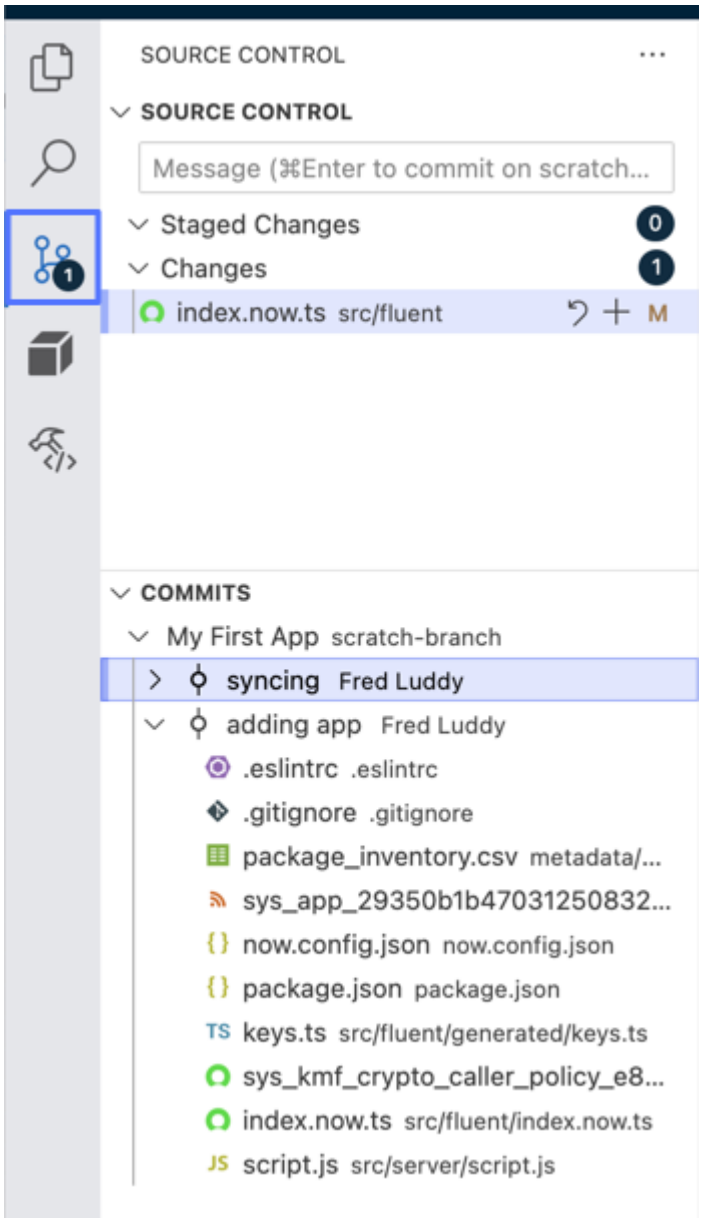
ファイルを名前で検索するには、次のキーボードショートカットを使用して検索ボックスを開きます。

- Windows：Ctrl-P
- Mac：Cmd-P

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ソースコントロールビュー

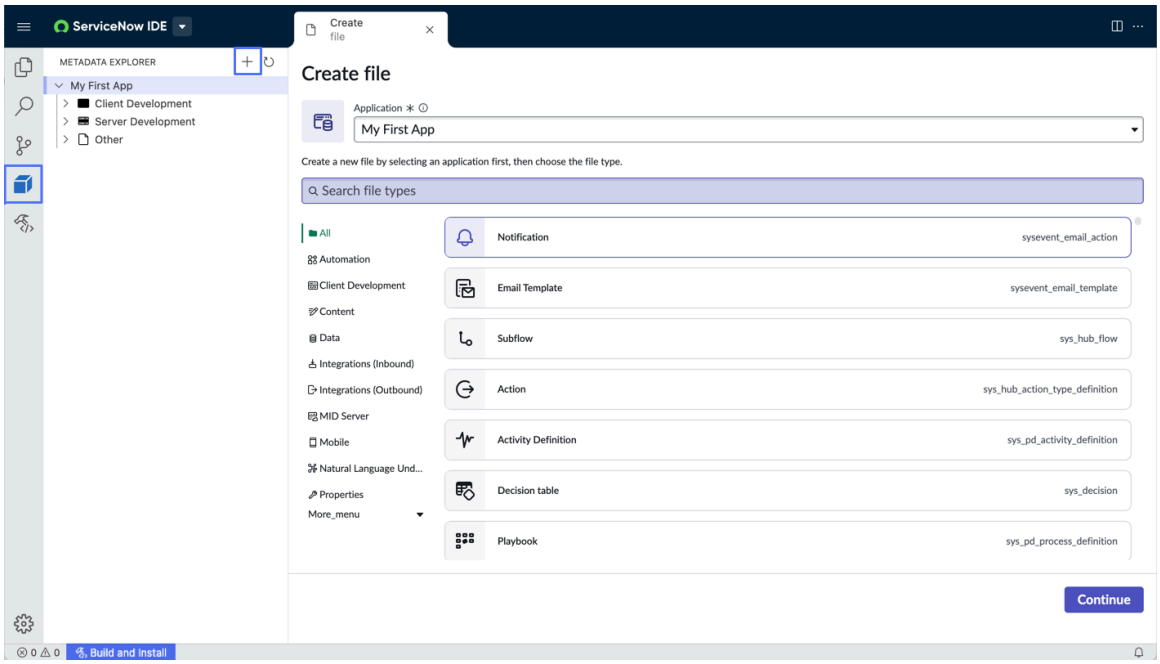


ファイルへの変更を、アプリケーションと変更のタイプでグループ化して表示します。リモートリポジトリへの変更をステージング、コミット、プッシュし、変更をローカルリポジトリにプルします。アプリケーションの分岐を作成してチェックアウトします。[コミット] セクションで、リポジトリ内のブランチのコミット履歴を表示します。ソースコントロールプロバイダーとの統合を開始するには、「ソースコントロールと ServiceNow IDE の統合」を参照してください。

自動翻訳

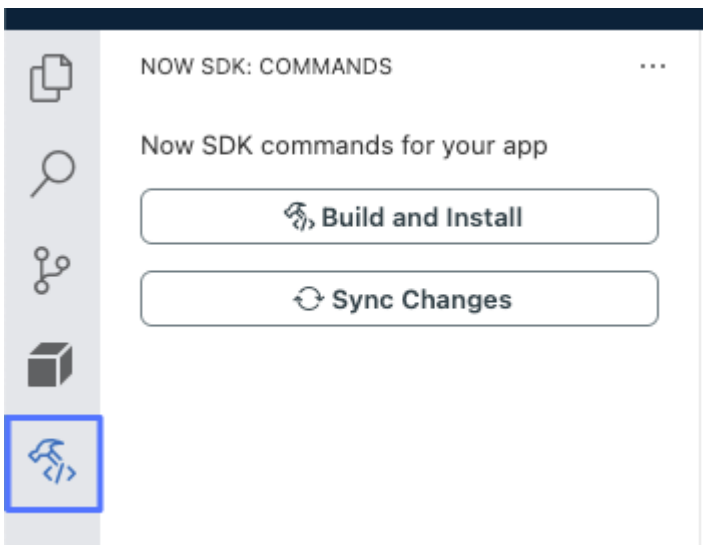
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

メタデータエクスプローラービュー



エディターの最適な埋め込み ServiceNow AI Platform ユーザーインターフェイスでアプリケーションメタデータを作成、更新、および表示します。ソースコードの外部でアプリケーションメタデータを作成する必要がある場合は、メタデータエクスプローラーからアプリケーションファイルを作成できます。詳細については、「メタデータエクスプローラーからのアプリケーションファイルの作成」を参照してください。

Now SDK ビュー

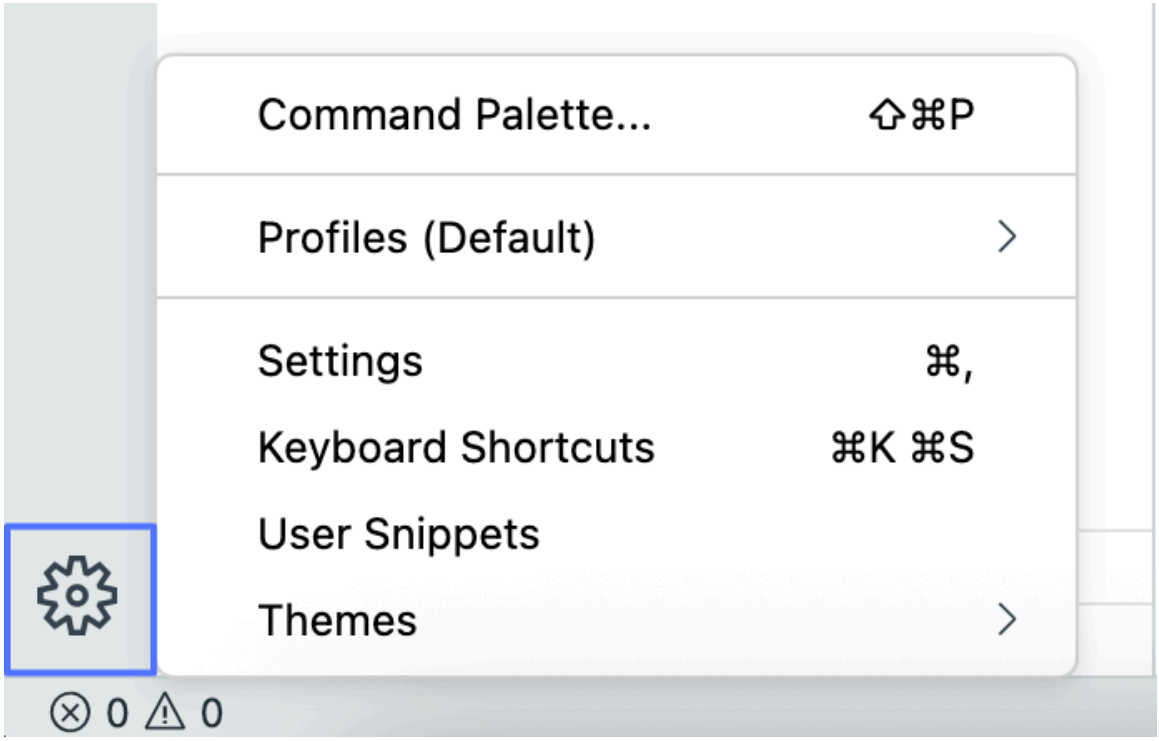


ServiceNow SDK アプリケーションパッケージングサービスからコマンドを実行して、アプリケーションメタデータへの変更を同期するか、アプリケーションをビルドしてしてインストールします。詳細については、 でのアプリケーションの同期 ServiceNow IDEおよび でアプリケーションをビルド してインストール する ServiceNow IDEを参照してください。

自動翻訳

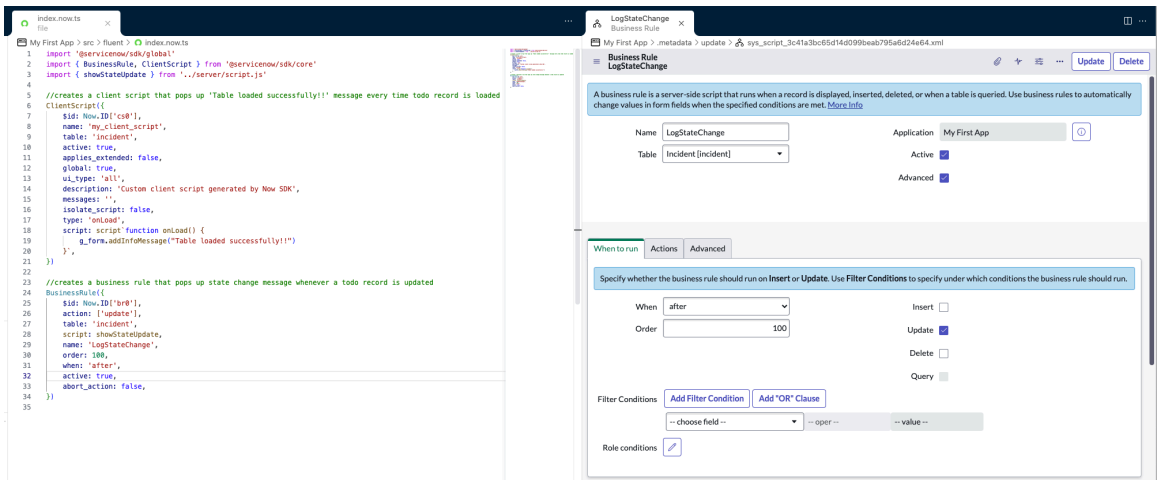
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

メニューを管理



[管理] メニューから、 ServiceNow IDE ユーザーインターフェイスのさまざまな側面にアクセスして構成します。設定の管理、テーマ設定の選択、キーボードショートカットの表示または編集などを行うことができます。

エディター



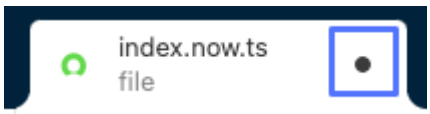
コードエディターでコードを編集します。コードエディターには、IntelliSense、ServiceNow Fluent のカスタム言語処理と検証、並列編集などが含まれています。

アプリケーションをビルドした後、ServiceNow IDE を離れることなく、埋め込み ServiceNow AI Platform ユーザーインターフェイスで、ServiceNow Fluent ソースコードへの変更をアプリケーションメタデータとしてレビューします。アプリケーションメタデータは、最適な埋め込み ServiceNow AI Platform ユーザーインターフェイスで開きます。また、埋め込み ServiceNow AI Platform ユーザーインターフェイスからアプリケーションメタデータを更新および保存することもできます。

自動翻訳

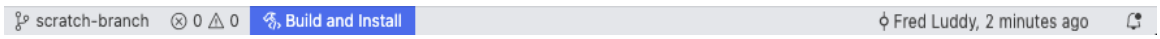
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タブを切り替えて、エディターをグループに分割します。ファイルに未保存の変更がある場合、[ファイル] タブにドットアイコンが表示されます。



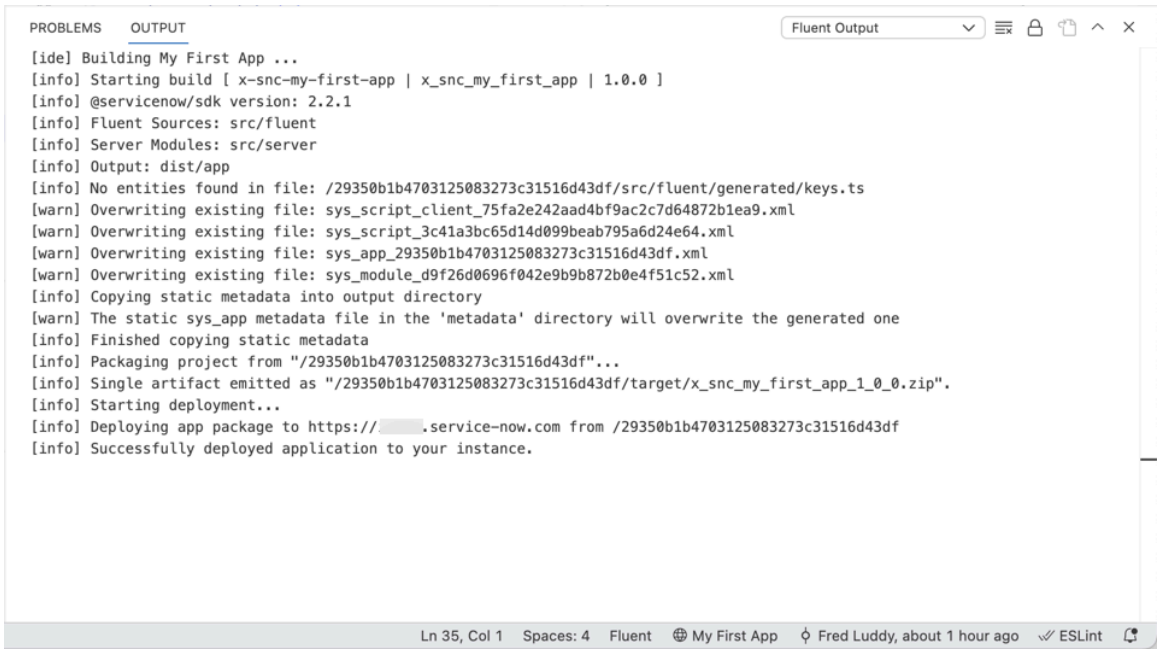
ソースコードでのアプリケーションの開発を開始するには、「ServiceNow IDE を使用したアプリケーションの開発」を参照してください。

ステータスバー



アプリケーションのステータスに関する情報を取得し、アプリケーションをビルドします。アプリケーションを作成、ビルド、同期するときの進捗状況を表示します。さらに、ステータスバーには、アクティブな分岐、コード内の問題、アクティブなアプリケーションスコープ、アクティブな更新セットなどが表示されます。

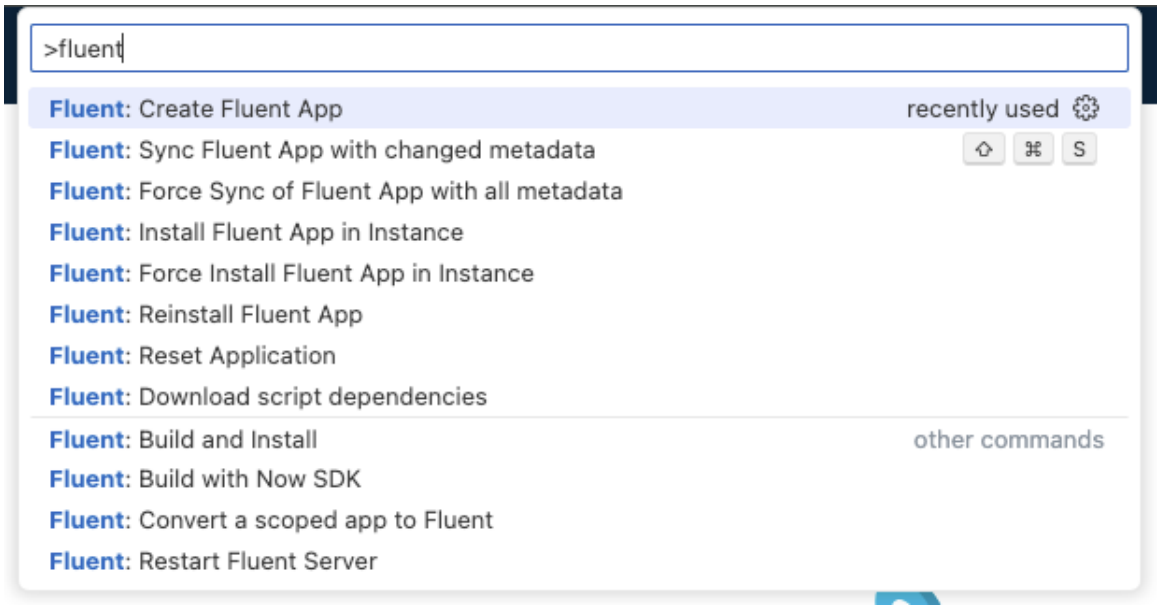
ステータスバーからパネルが開き、アプリケーションの作成、ビルド、同期に関連するコードとログ記録の問題に関する詳細情報が表示されます。



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

コマンドパレット



コマンドを実行して、ユーザーインターフェイスの構成、アプリケーションの開発、ファイルの管理、ソースコントロールの使用、キーボードショートカットのリストへのアクセスなどを行います。コマンドパレットには、ServiceNow IDE および Visual Studio Code コマンドに固有のコマンドが含まれています。ServiceNow IDEに固有のコマンドのリストについては、「ServiceNow IDE コマンド」を参照してください。

コマンドパレットを開くには、次のいずれかのキーボードショートカットを使用します。

- Windows：Ctrl-Shift-P
- Mac：Cmd-Shift-P

コマンドパレットを閉じるには、Esc キーを押します。

はじめに:で最初のアプリケーションを作成する **ServiceNow IDE**

ソースコードで開発できるアプリケーションを作成し、それをリモートリポジトリにプッシュして、別のインスタンスにクローンを作成することで、 ServiceNow IDE を開始します。

ServiceNow IDE は、ServiceNow AI Platform 上の Visual Studio Code for the Web の実装です。この ServiceNow IDE を使用して、使い慣れたツールと業界標準の開発手法を使用して、スコープ対象のアプリケーションのビルドを迅速に開始できます。ServiceNow IDE ユーザーインターフェイスの概要については、「ServiceNow IDE ユーザーインターフェイス」を参照してください。

チュートリアルの概要

このチュートリアルでは、 ServiceNow IDEソースコードで新しいアプリケーションを開発するために、次のタスクを完了します。

- ソースコードでの開発をサポートするアプリケーションを作成します。
- ベーシック認証を構成し、 ServiceNow IDE 内のアプリケーションをリモート Git リポジトリに接続してから、アプリケーションをリポジトリにプッシュします。
- ServiceNow Fluent API を使用して、To Do リスト用の簡単なテーブルを作成します。
- サードパーティライブラリをインストールし、そのコードを JavaScript モジュールで使用します。
- リモート Git リポジトリから別のインスタンスにアプリケーションのクローンを作成します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

その後、作成した基本的なアプリケーションを、要件を満たすより複雑なアプリケーションに開発するための学習を続ける準備が整います。

開始する前に

このチュートリアルを完了するには、次のアイテムにアクセスできる必要があります。

- ServiceNow IDE バージョン 2.0.4 以降がインストールされた Xanadu リリースまたは Yokohama リリースの非本番インスタンス。アプリケーションを別のインスタンスにクローンしてチュートリアルの最後の部分を完了するには、2 つ目の非本番インスタンスにアクセスする必要があります。パーソナル開発者インスタンス (PDI) がサポートされており、developer.servicenow.com から取得できます。詳細については、「のインストールまたは更新 ServiceNow IDE」を参照してください。
- 両方のインスタンスで admin ロールを持つユーザー。
- GitHub、GitLab、Bitbucket、Azure Repos などの Git プロバイダー。このチュートリアルでは、 GitHub の使用方法を示します。

チュートリアルパート **1:** でアプリケーションを作成する **ServiceNow IDE**

ServiceNow IDEのソースコードで開発できるアプリケーションを作成します。

始める前に
必要なロール：admin

このタスクについて
ServiceNow IDEでは、アプリケーションメタデータ [sys_metadata] を定義するServiceNow Fluentを使用して、ソースコードでスコープ対象のアプリケーションを開発できます。また、JavaScript モジュールを作成し、サードパーティライブラリを使用して、スコープ対象のアプリケーション内のコードを整理して再利用することもできます。アプリケーションでソースコードの開発をサポートするには、スコープ対象のアプリケーションを作成するか、 ServiceNow IDE または ServiceNow SDKを使用して既存のスコープ対象のアプリケーションを変換する必要があります。このチュートリアルでは、 ServiceNow IDEからスコープ対象のアプリケーションを作成します。

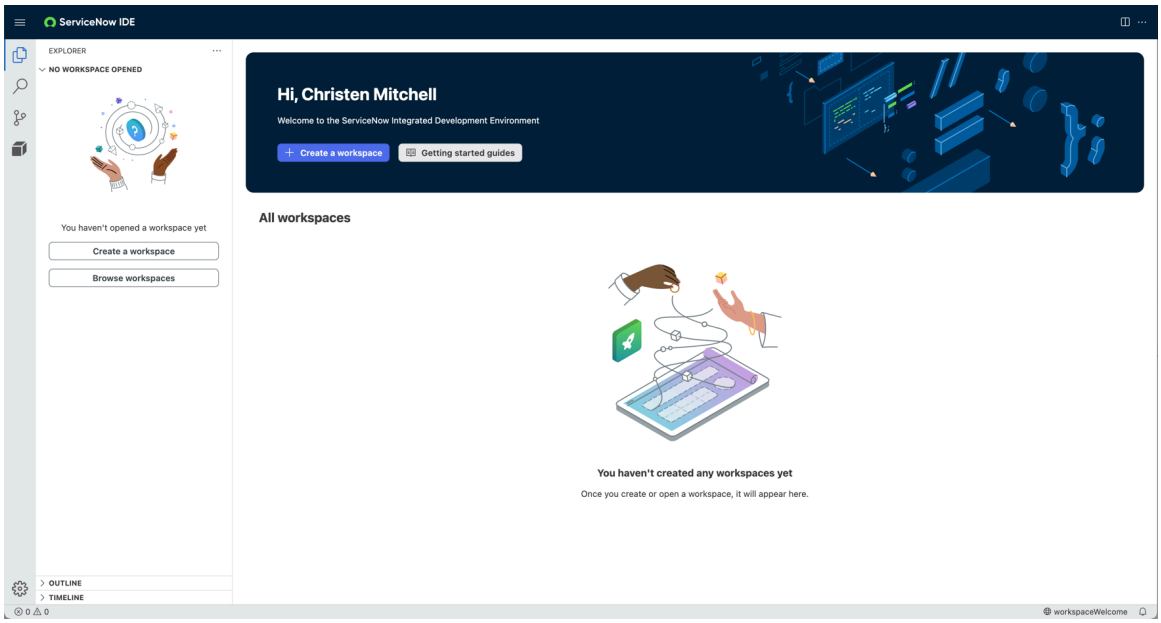
手順

1. 移動先 すべて > アプリ開発 > **ServiceNow IDE**.

アプリケーションを作成する前に、アプリケーションを追加して 1 つの場所からアプリケーション間を移動できるワークスペースを作成する必要があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



ワークスペースはユーザーに固有であり、複数のワークスペースを作成してさまざまなアプリケーションセットをグループ化できます。アプリケーションはいつでもワークスペースに追加するか、ワークスペースから削除することができます。ServiceNow IDE内のワークスペースは、Visual Studio Code内のワークスペースに基づいています。

2. ワークスペースを作成します。

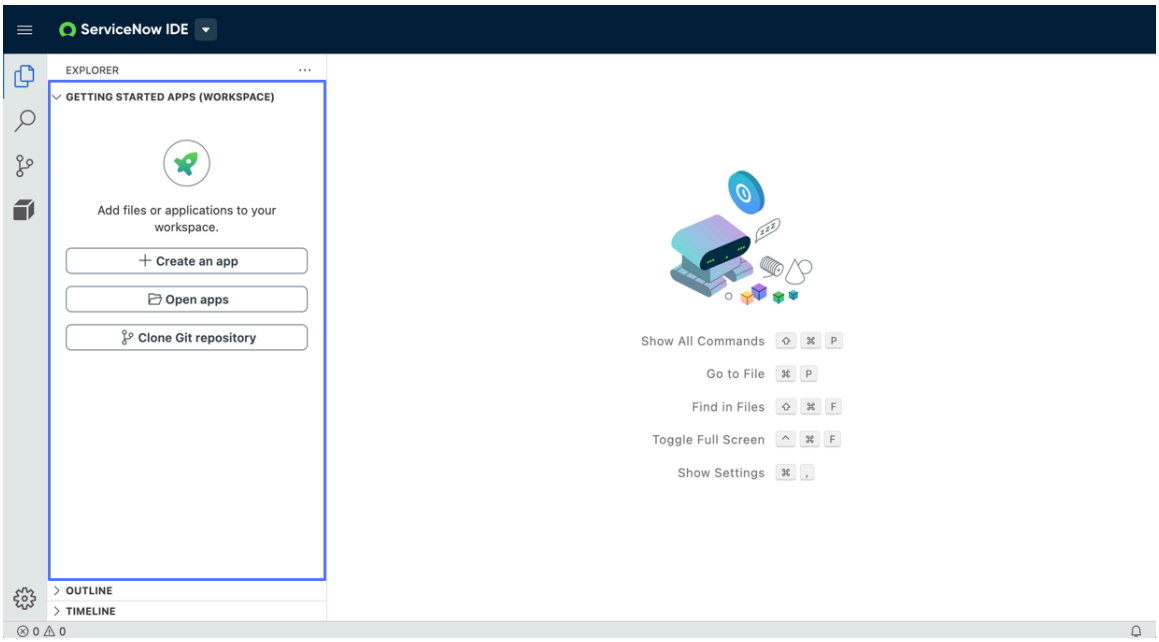
a. [ワークスペースの作成] を選択します。

b. ワークスペースの名前を入力し、Enter キーを押します。

c. ワークスペースの説明を入力し、Enter キーを押します。
ワークスペースはアクティブなワークスペースになりますが、まだアプリケーションが含まれていません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



ヒント:
アクティブなワークスペースを切り替えるには、 ServiceNow IDE ホームページから、または「 ワークスペース: ワークスペースの参照」 コマンドを使用してコマンドパレットから、他のワークスペースを参照して選択します。

3. ワークスペースでアプリケーションを作成します。

a. [アプリの作成] を選択します。

b. 「Hello World」などの名前を入力し、Enter キーを押します。

c. アプリケーションの説明を入力し、Enter キーを押します。

d. スコープ (x_snc_hello_world など) を入力し、Enter キーを押します。

重要:
スコープ名はインスタンス上で一意で、x_<prefix> で始まり、18 文字以下である必要があります。詳細については、「名前空間識別子」を参照してください。

e. パッケージ名 (x-snc-hello-world など) を入力し、Enter キーを押します。
パッケージ名は、ノードパッケージマネージャー (npm) パッケージ命名基準に準拠している必要があります。

f. TypeScript を使用して JavaScript モジュールを作成するには、[**NowSDK** と **TypeScript** を使用する基本的なアプリケーション] テンプレートを選択します。

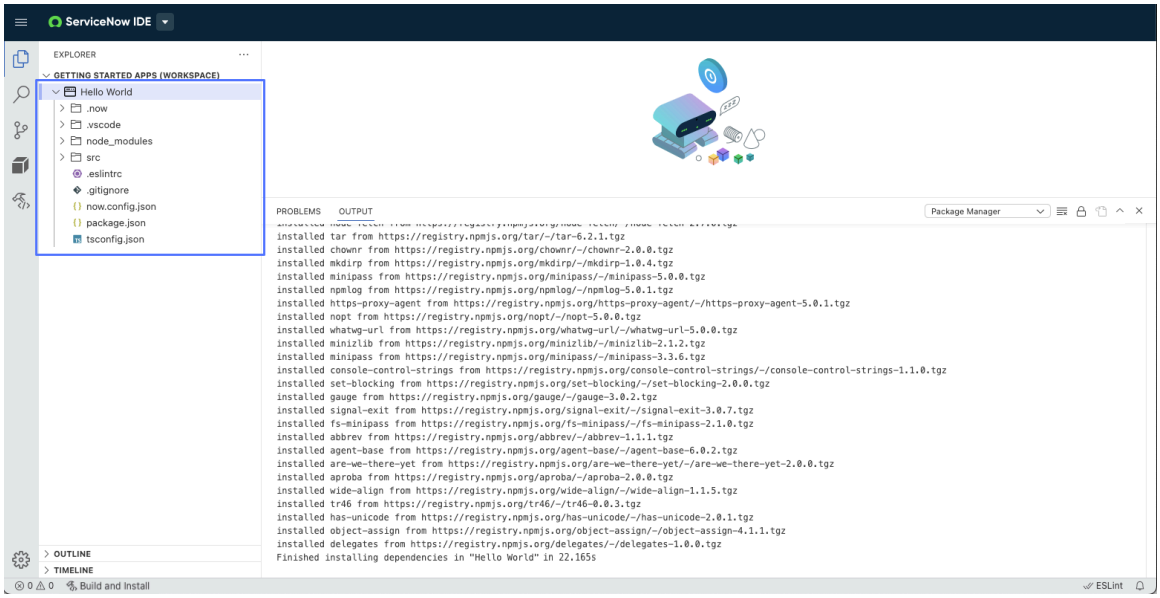
アプリケーションテンプレートは、デフォルトのアプリケーション構造を定義します。

注:
TypeScript では、静的型指定と型注釈を使用して、開発者がコードの記述中にエラーを早期に検出できるようにサポートします。代わりに JavaScript の使用を開始する場合は、[**JavaScript**] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

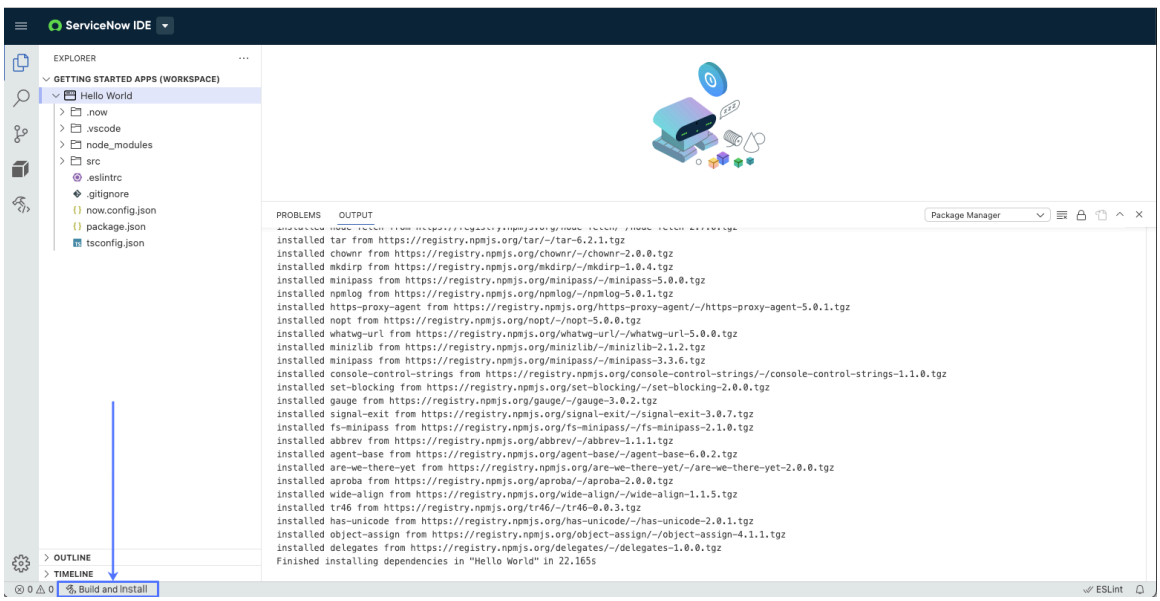
アプリケーションがワークスペースに追加されます。ファイルエクスプローラービュー ( ) から、アプリケーションファイル間を移動できます。



package.json ファイルと now.config.json ファイルは、Node.js アプリケーションまたは Node Package Manager (npm) パッケージの構造に似たアプリケーション構造を定義します。サンプル ServiceNow Fluent ファイル(index.now.ts)とJavaScriptモジュール(script.js または script.ts)が src ディレクトリに作成され、依存関係が node_modules ディレクトリにインストールされました。また、アプリケーションはカスタムアプリケーション [sys_app] テーブルにも追加されます。

次に、アプリケーションをビルドして し、 インスタンス全体で開発に使用できるようにします。

g. ServiceNow IDEの下部にあるステータスバーから、[ビルドしてインストール]を選択します。



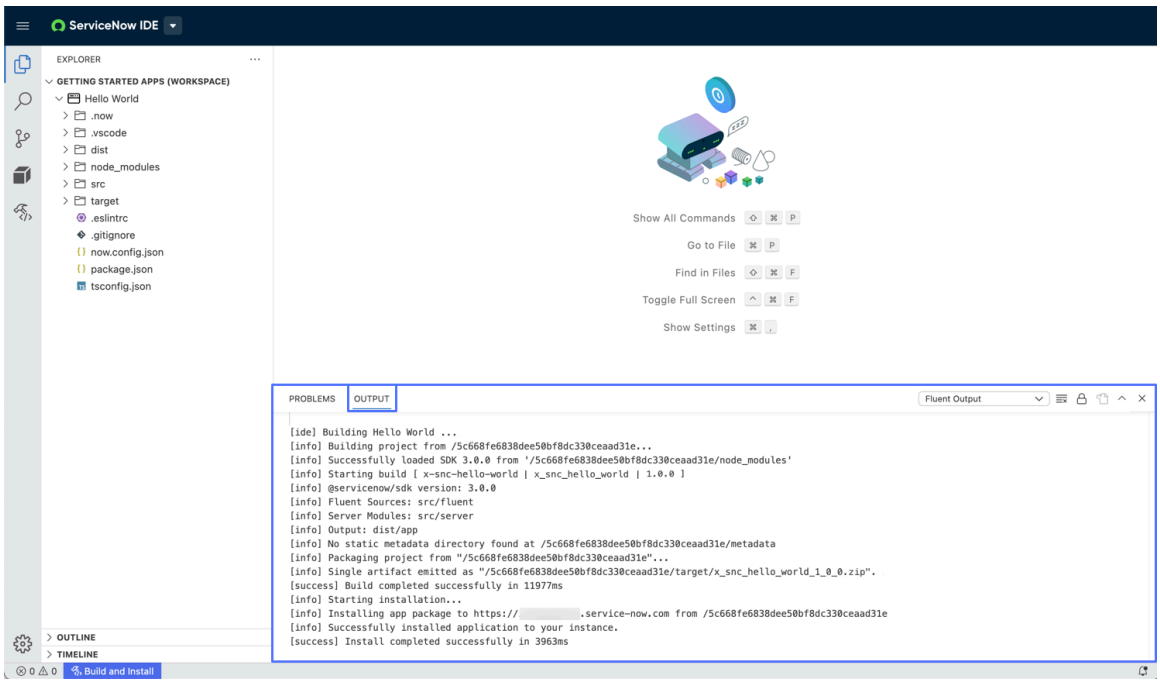
アプリケーションをビルドしてし、インストールすると、そのServiceNow Fluentコードと JavaScript または TypeScript モジュールコードが、それぞれインスタンスのアプリケーションファイル [sys_metadata] と EcmaScript モジュール [sys_module] にコンパイルされま

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

す。dist/app ディレクトリ内のビルド成果物は、ターゲット ディレクトリ内の .zip ファイルにパッケージ化されます。

[出力] パネルのログは、ビルドの状態と、アプリケーションが正常に展開されているかどうかを示します。いずれかのプロセスが失敗した場合は、ログを確認して問題を特定します。



アプリケーション構造の詳細については、「ソースコードでアプリケーションをビルドする」トピックの「アプリケーションの構造」セクションを参照してください。

次のタスク
チュートリアル パート 2: アプリケーションのリポジトリを初期化する に続きます。

チュートリアル パート **2:** アプリケーションのリポジトリを初期化する

ServiceNow IDE内のアプリケーションのローカル Git リポジトリを初期化し、それを GitHub のリモート Git リポジトリにプッシュして、ソースコントロールでアプリケーションを管理します。

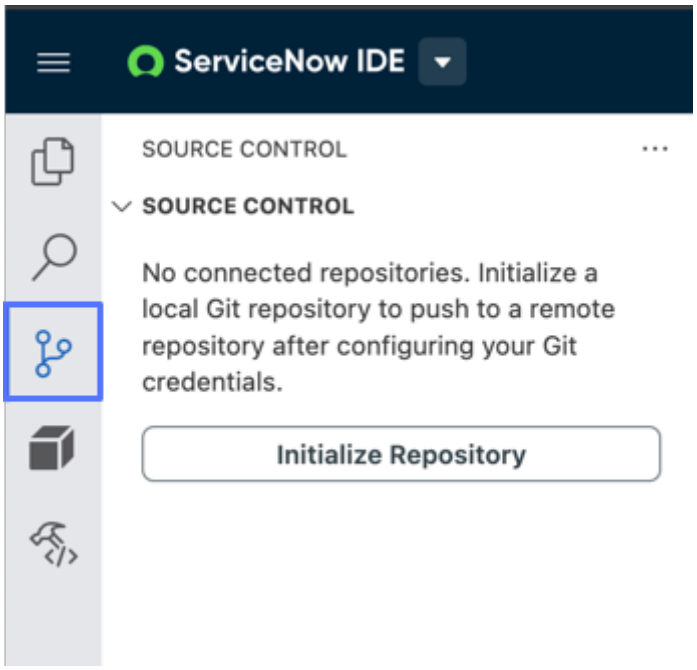
始める前に
「チュートリアルパート 1: でアプリケーションを作成する ServiceNow IDE」を完了します。

必要なロール：admin

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. アクティビティバーから、[ソースコントロール] ビュー ( ) を選択します。



2. ServiceNow IDEに対してローカルな Git リポジトリを初期化します。
   a. [リポジトリの初期化 **(Initialize Repository)]** を選択します。
   b. Enter キーを押して、デフォルトの分岐名として **main** を使用します。

   アプリケーションのローカルリポジトリが初期化され、ソースコントロールで追跡されているアプリケーションファイルが [追跡されていない変更] リストに表示されます。.gitignore ファイルで指定されたアプリケーション ファイルとディレクトリは、ソース管理で追跡されません。

   ヒント:
   リストでファイルを選択すると、差分エディターでファイルの現在のバージョンと以前のバージョンの比較を表示できます。

   アプリケーションをリモート Git リポジトリにプッシュする前に、ローカル Git リポジトリで変更をステージングしてコミットする必要があります。

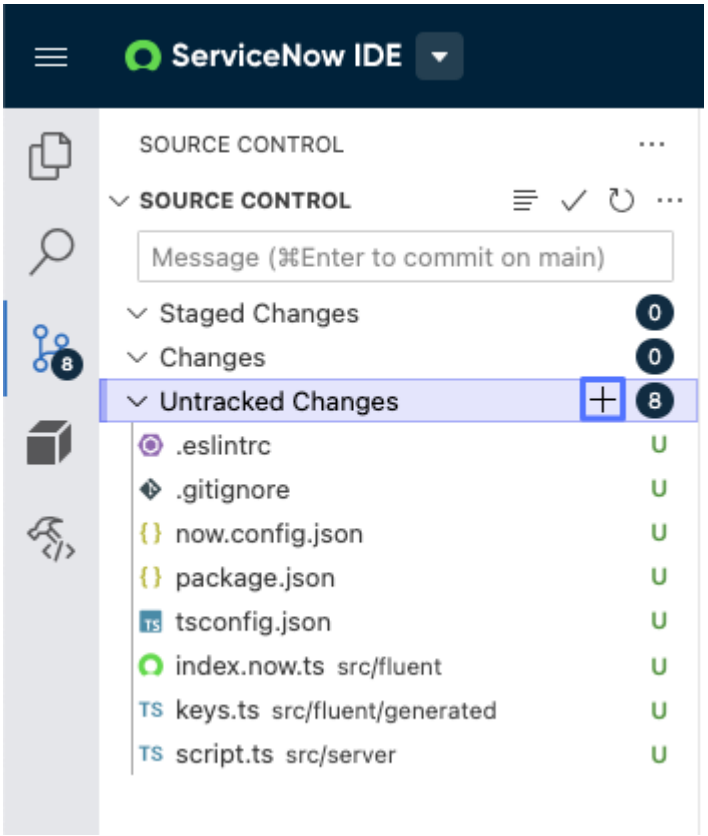
3. 変更をステージングしてコミットします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. [追跡されていない変更] の一覧から、[追跡されていない変更をすべてステージング] アイコン (+) を選択します。

Example



変更は [ステージング済みの変更] リストに移動します。

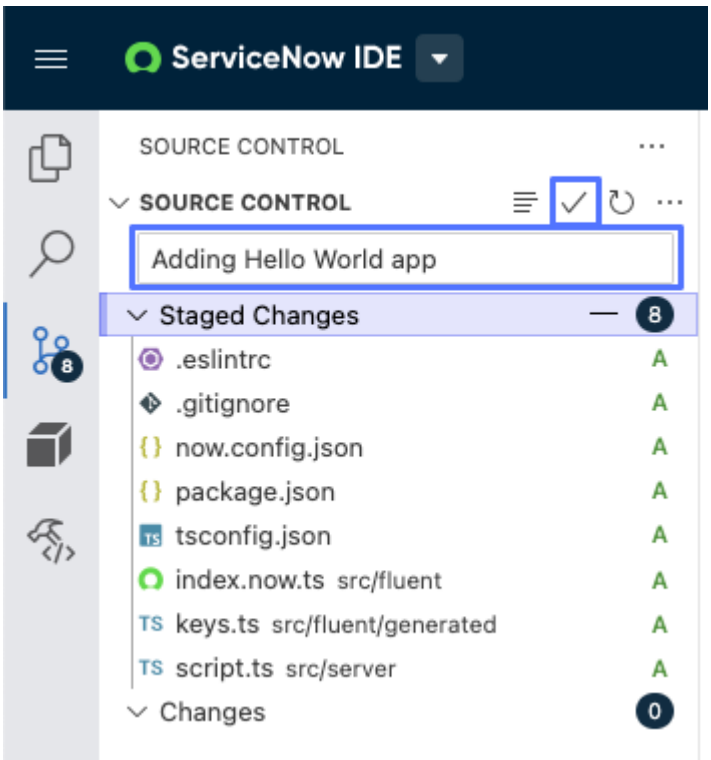
b. メッセージ ボックスに、コミット メッセージを入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

c. コミットアイコン ( ) を選択します。

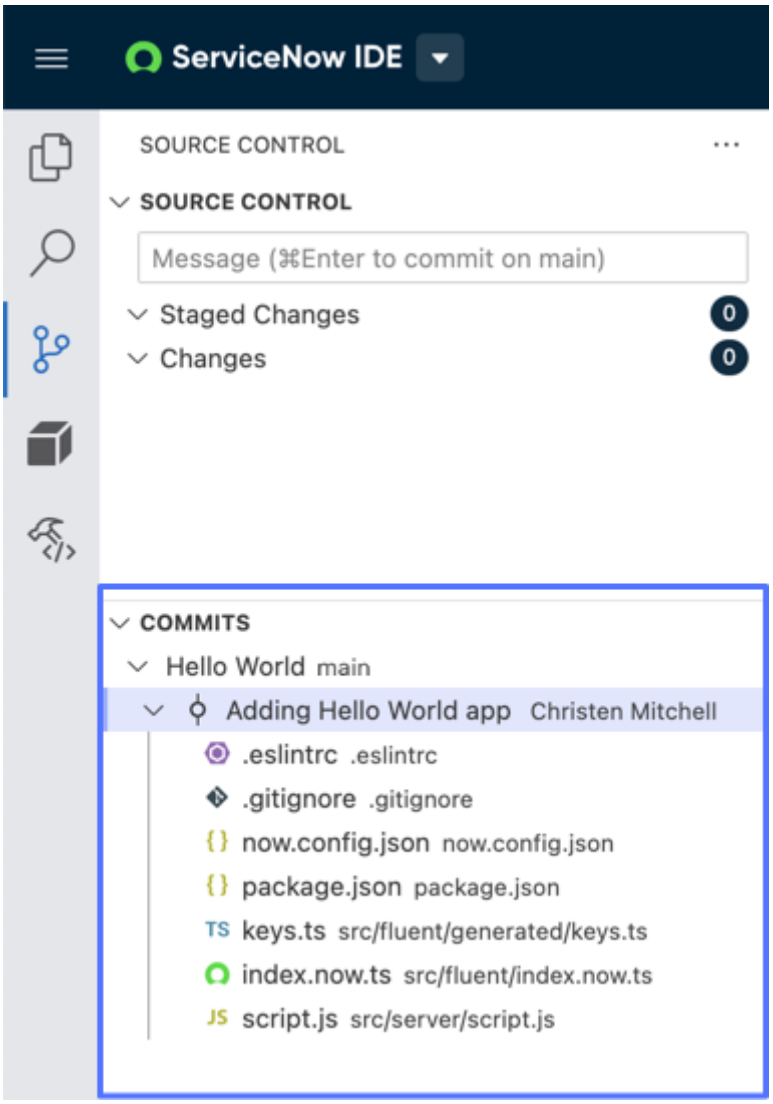
Example



変更をコミットしたので、[コミット] セクションを展開して、コミット履歴と各コミットの詳細を表示できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



他の開発者がアクセスできるリモート リポジトリに変更をプッシュするには、 GitHub などの Git プロバイダーを使用してリポジトリを作成し、個人用アクセス トークンを生成する必要があります。

> **注:**
> 次の手順では、例として GitHub 認証とベーシック認証を使用する方法を示しますが、別の Git プロバイダーや OAuth 2.0 認証を使用することもできます。詳細については、「ソース コントロールと ServiceNow IDE の統合」を参照してください。

4. リモートリポジトリを作成します。

   a. GitHub アカウントにログインします。

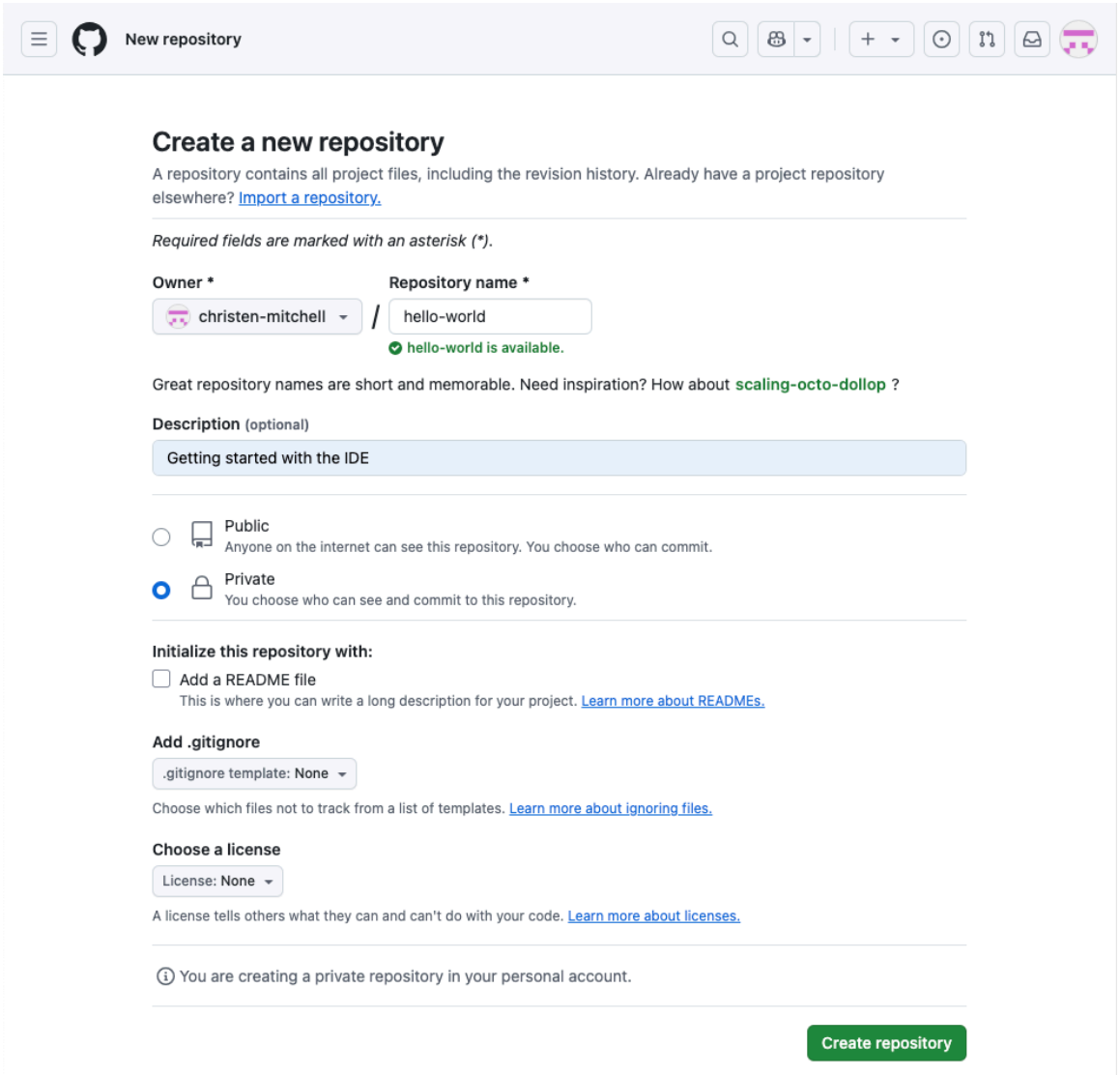
   b. [新規作成] メニュー (+ ▾]) を選択し、[新しいリポジトリ] を選択します。

   c. 新しいリポジトリフォームで、フィールドに入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

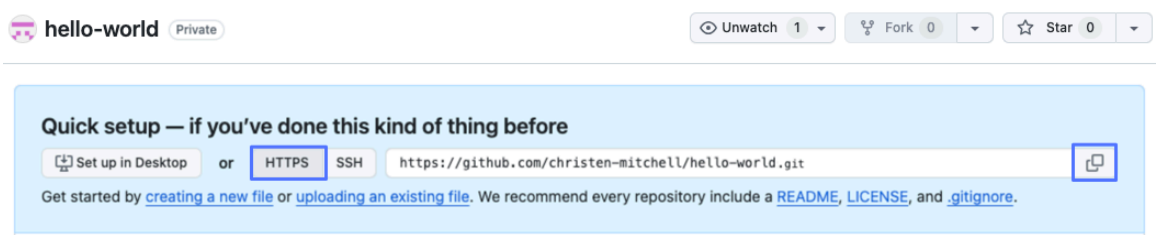
Example



d. [リポジトリの作成] を選択します。

e. リポジトリから HTTPS URL をコピーして、次の手順で使用するために再度アクセスしやすい場所に貼り付けます。

Example



5. 個人アクセストークンを作成します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

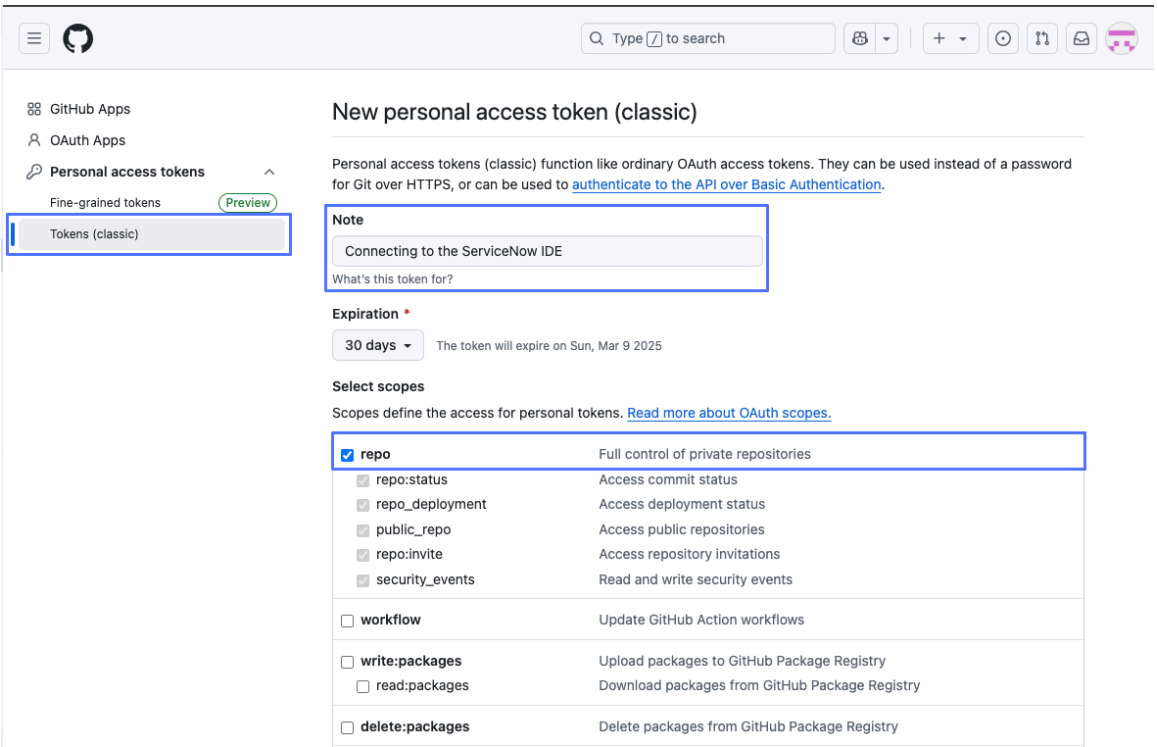
a. GitHub のユーザープロファイルから、[設定] を選択します。

b. 設定カテゴリから、[開発者設定] を選択します。

c. [個人用アクセス トークン] メニューから、 [トークン (クラシック)] を選択します。

d. [新しいトークンの生成] メニューから、[新しいトークンの生成 (クラシック)] を選択します。

e. [新しい個人アクセストークン (クラシック)] フォームで、 リポジトリ スコープを選択し、残りの必須フィールドに入力します。
ServiceNow IDE に接続するには、リポジトリスコープが必要です。



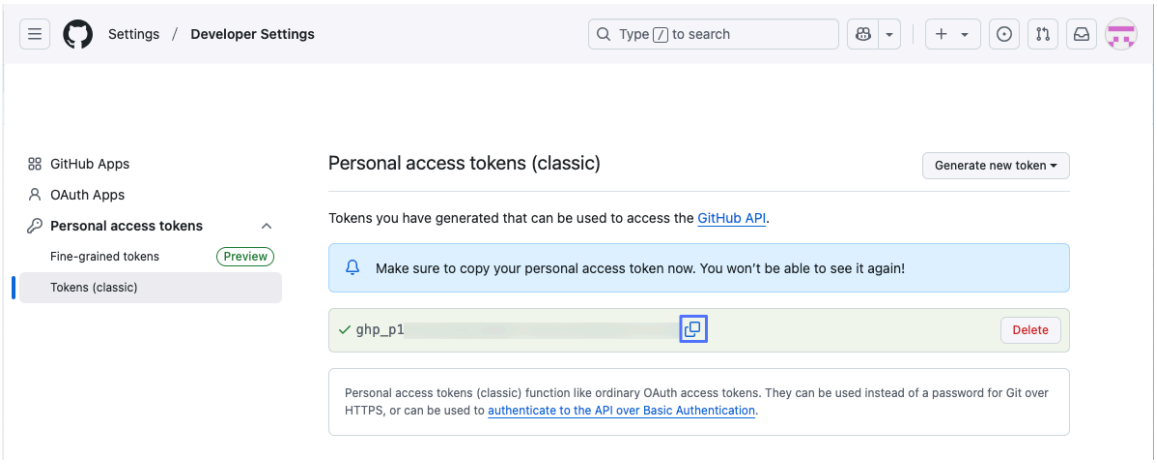
f. [トークンの生成] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

g. トークンをコピーして、次の手順で使用するために再度アクセスしやすい場所に貼り付けて、トークンを再生成する必要がないようにします。

Example



6. リモートリポジトリに接続するための ServiceNow IDE ベーシック認証を構成します。

a. ServiceNow IDE に移動します。

b. コマンドパレットを開くには、次のいずれかのキーボードショートカットを使用します。
- Windows：Ctrl-Shift-P
- Mac：Cmd-Shift-P

c. Git: Set IDE Git credentials と入力し、Enter キーを押します。

d. [新規 Git 認証情報 (New Git credential)] フォームで [基本認証] を選択します。

e. フォームのフィールドに入力します。

[新規 **Git** 認証情報 **(New Git credential)]** フォーム

Field (フィールド)	**Description** (説明)
Git リポジトリ URL	GitHub で作成した Git リポジトリの HTTPS URL。例: https://github.com/<owner>/hello-world.git。
Git ユーザー名	GitHubユーザー名。
個人アクセストークン	GitHub から生成した個人アクセストークン。

f. **[Submit** (送信)] を選択します。

認証情報が設定されたので、アプリケーションをリモートリポジトリにプッシュできます。

ヒント:
既存の Git 認証情報を管理する必要がある場合は、コマンドパレットから Git: Manage Git credentials コマンドを使用します。

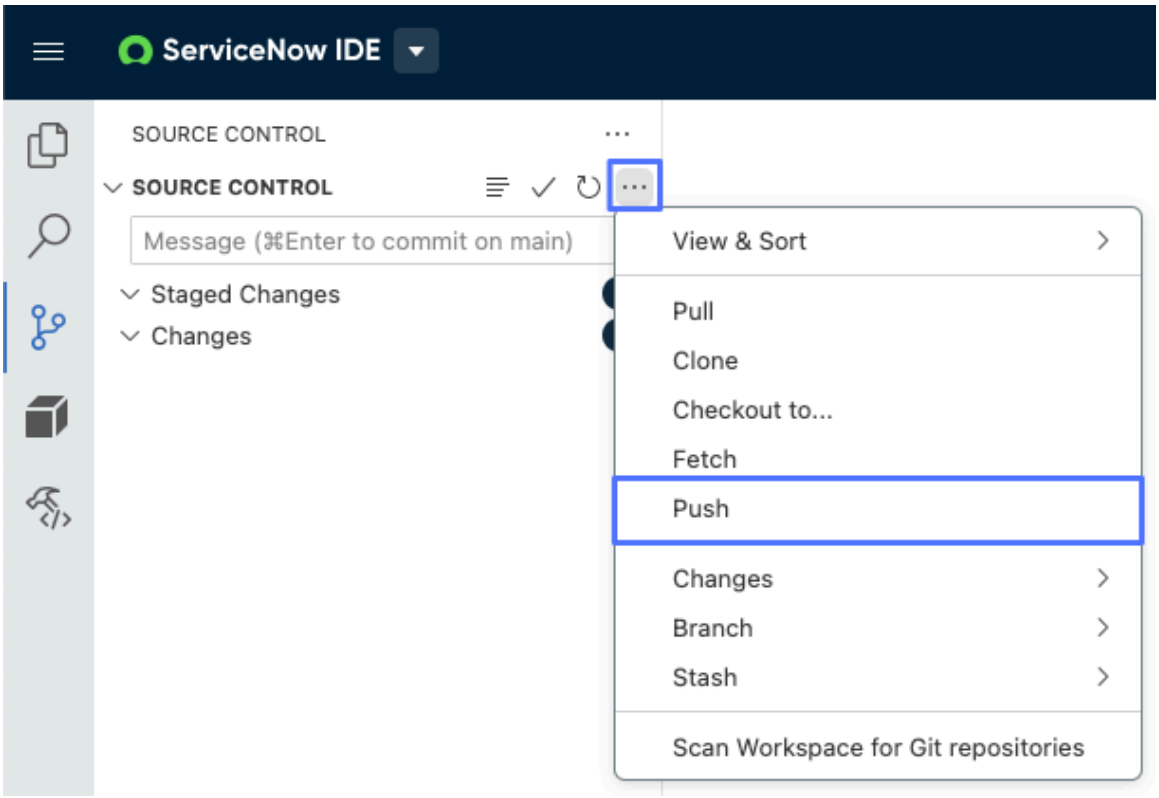
7. 変更をリモートリポジトリにプッシュします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

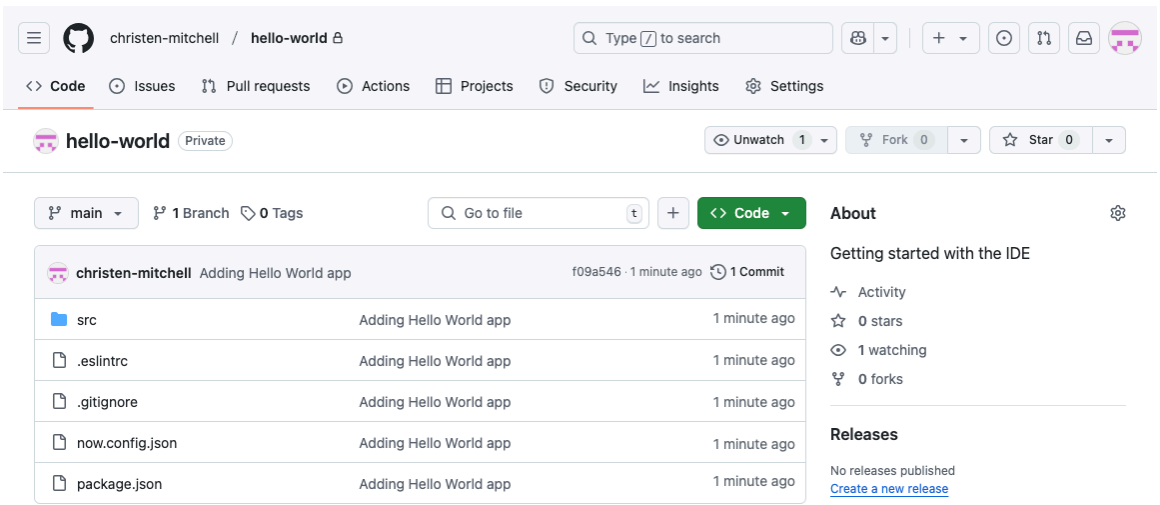
a. [その他のアクション] メニューアイコン (···) を選択し、[プッシュ] を選択します。

Example



b. リモート Git リポジトリの HTTPS URL を入力し、Enter キーを押します。

アプリケーションは GitHub 年にリモートリポジトリに追加され、ユーザー間でのアプリケーションへの変更はリモートで追跡されます。



タスクの結果
リポジトリ内の分岐をチェックアウトまたは作成し、変更をリモートリポジトリにプッシュできます。詳細については、「ServiceNow IDE でソースコントロールを使用する」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
インスタンス上のアプリケーションは、一度に 1 つのリポジトリにのみ接続できます。アプリケーションが接続されているリモートリポジトリを更新するには、コマンドパレットから Git: Update remote origin コマンドを使用し、別のリモートリポジトリの URL を入力します。

次のタスク
チュートリアルパート 3: ServiceNow Fluent コードでテーブルを定義する に続きます。

チュートリアルパート **3: ServiceNow Fluent** コードでテーブルを定義する

テーブルを作成し、 ServiceNow Fluent API を使用してサンプルスクリプト定義で参照します。

始める前に
「チュートリアル パート 2: アプリケーションのリポジトリを初期化する」を完了します。

必要なロール：admin

このタスクについて
ServiceNow Fluent は、アプリケーションを構成するメタデータファイル [sys_metadata] を定義するための TypeScript に基づくドメイン固有言語 (DSL) であり、テーブル、ロール、ACL、ビジネスルール、自動テストフレームワーク (ATF) テストなど、さまざまなタイプのメタデータの API が含まれています。ServiceNow Fluent API のオブジェクトを使用して、拡張子が .now.ts のファイル内のメタデータを定義します。ServiceNow IDE には、デフォルトで ServiceNow Fluent API とアプリケーションの言語処理と検証があります。ServiceNow Fluent の詳細については、「ServiceNow Fluent」を参照してください。

この例では、 ServiceNow Fluent Table API のオブジェクトを使用して、To Do リストの簡単なテーブルを作成します。次に、ビジネスルールとクライアントスクリプトの定義のサンプルコードを更新して、新しいテーブルを参照します。最後に、メタデータエクスプローラーから変更を確認します。テーブル API の詳細については、「 テーブル API - ServiceNow Fluent」を参照してください。

手順

1. アクティビティバーから、[ファイルエクスプローラー] ビュー( ) を選択します。
2. アプリケーションの src/fluent ディレクトリに移動します。
3. index.now.tsサンプルファイルを開きます。

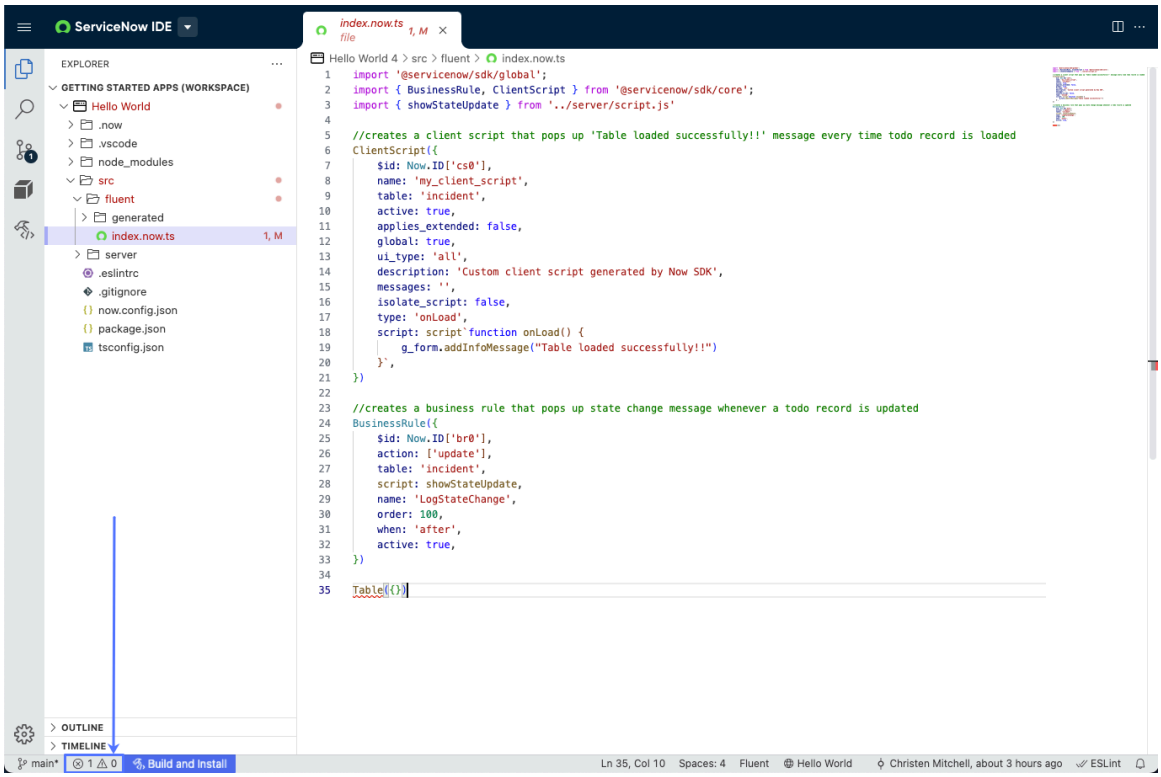
   ヒント:
   ServiceNow Fluentコードを 1 つのファイルまたは必要な数の.now.tsファイルに記述し、fluent ディレクトリ内のディレクトリにファイルを整理できます。

4. ファイルの末尾の新しい行に「 Table({})」 と入力して、Table オブジェクトを追加します。
5. ステータスバーから診断アイコン(⊗ 1 ⚠ 0)を選択して[問題]パネルを開き、コードに問題がないか確認します。

自動翻訳

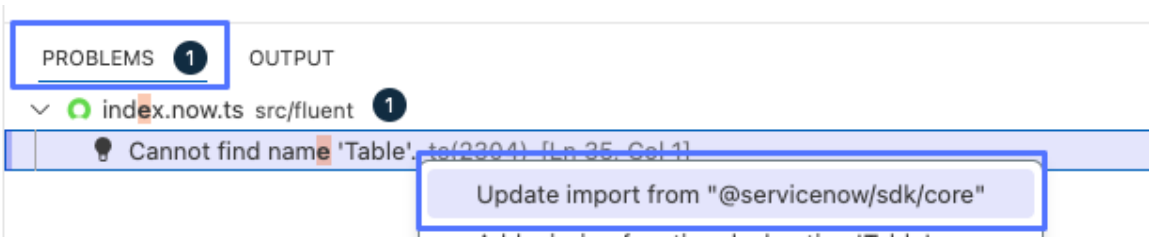
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Example



6. 表示されるエラーを右クリックし、[**Update import from "@servicenow/sdk/core"** クイックフィックスを選択します。

Example



2 行目で、 `Table` オブジェクトが @servicenow/sdk/core からのインポートのリストに追加されます。

```
import { BusinessRule, ClientScript, Table } from '@servicenow/sdk/core'
```

ヒント:
この問題を修正した後、[問題] パネルを閉じて、次の手順に進むことができます。後のステップで、問題が残っている場合は、このステップに戻ります。

7. `Table` オブジェクトに、次のプロパティを追加します。

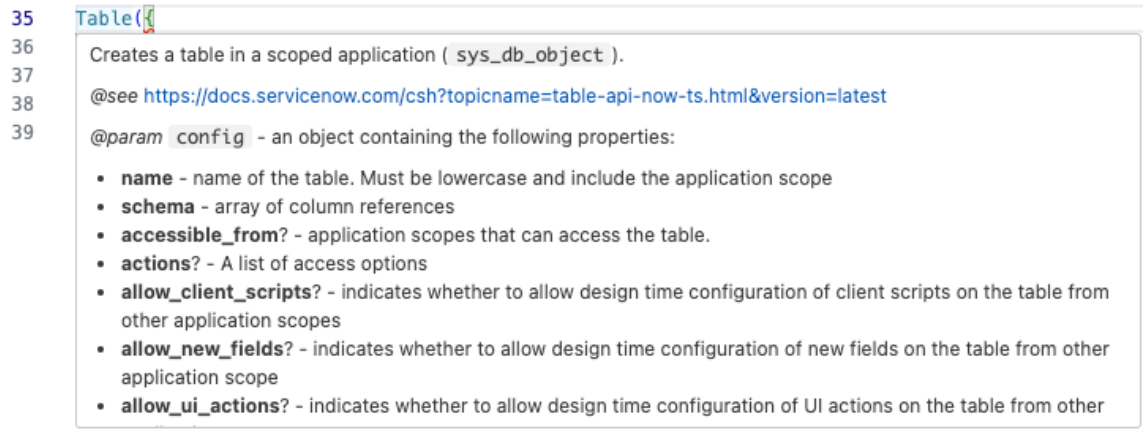
- name:テーブル名はアプリケーションスコープで始まり、すべて小文字を <scope>_<name> の形式で使用する必要があります。スコープは、アプリケーションの now.config.json ファイルで確認できます。
- label:ラベルは一意で、リストビューとフォームビューのテーブルに表示されます。
- extends:テーブルの基になっている別のテーブルの名前。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
Table({
   name: 'x_snc_hello_world_to_do', //ensure that the name begins with the correct scope (<scope>_<name>)
   label: 'To-do Items',
   extends: 'task',
})
```

ヒント:
オブジェクトにカーソルを合わせると、その製品内ドキュメントが表示されます。



8. テーブルで列を定義するときに先行入力をサポートするには、 `Table` オブジェクトの前に、 `name` プロパティと同じ名前のエクスポートされた変数を追加します。

```
export const x_snc_hello_world_to_do = Table({
   name: 'x_snc_hello_world_to_do',
   label: 'To-do Items',
   extends: 'task',
})
```

9. `Table` オブジェクトにスキーマプロパティを追加して、テーブルの列を定義します。

```
export const x_snc_hello_world_to_do = Table({
   name: 'x_snc_hello_world_to_do',
   label: 'To-do Items',
   extends: 'task',
   schema: {
      //define columns here
   }
})
```

スキーマプロパティは、 `Column` オブジェクトの配列です。フィールドタイプに基づく多くのタイプの列があります。Column オブジェクトは `<Type>Column` 形式で、`<Type>` はフィールドタイプです。

次の詳細を使用して、テーブルに [期限]、[マトリクス]、および [タスク] の 3 つの列を定義します。各列の構成については、 Column オブジェクト ドキュメントを参照してください。

列名	詳細
deadline	○ ラベル: 期限 ○ タイプ:日付/時刻

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

列名	詳細
行列	○ ラベル: Matrix ○ タイプ：文字列 ○ Choices (選択肢)： ▪ ラベル: 緊急かつ重要 ▪ ラベル: 重要だが緊急ではない ▪ ラベル: 緊急だが重要ではない ▪ ラベル: 緊急でも重要でもない
タスク	○ ラベル: タスク ○ タイプ：文字列 ○ 最大長:120

Example
これらの詳細により、 スキーマ プロパティはこの例のようになります。選択肢に使用するキーは、任意の文字列にすることができます。

```
export const x_snc_hello_world_to_do = Table({
   name: 'x_snc_hello_world_to_do',
   label: 'To-do Items',
   extends: 'task',
   schema: {
      deadline: DateColumn({ label: 'Deadline' }),
      matrix: StringColumn({
         label: 'Matrix',
         choices: {
            do: { label: 'Urgent and Important' },
            decide: { label: 'Important but Not Urgent' },
            delegate: { label: 'Urgent but Not Important' },
            delete: { label: 'Neither Urgent nor Important' },
         },
      }),
      task: StringColumn({ label: 'Task', maxLength: 120 }),
   },
})
```

10. 2 行目で、 *`DateColumn`* オブジェクトと *`StringColumn`* オブジェクトのインポートを追加します。

```
import { BusinessRule, ClientScript, Table, DateColumn, StringColumn }
 from '@servicenow/sdk/core'
```

11. 既存のビジネスルールとクライアントスクリプト定義を更新して、作成したテーブルを参照します。
    a. *`ClientScript`* オブジェクトで、*`table`* プロパティの値をテーブル名 (x_snc_hello_world_to_do) に変更します。
    b. *`BusinessRule`* オブジェクトに対して前の手順を繰り返します。
12. 診断アイコン (⊗ 1 ⚠ 0) にエラーまたは警告が表示された場合は、それを選択して [問題] パネルを開き、診断メッセージとクイック修正を確認して解決します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

13. 次のいずれかのキーボードショートカットを使用して変更を保存します。
    - Windows:Ctrl-S
    - Mac:Cmd-S

    注:
    ファイルに未保存の変更がある場合は、[ファイル] タブにドットアイコンが表示されます。

14. ステータスバーから、[ビルドしてインストール] を選択します。

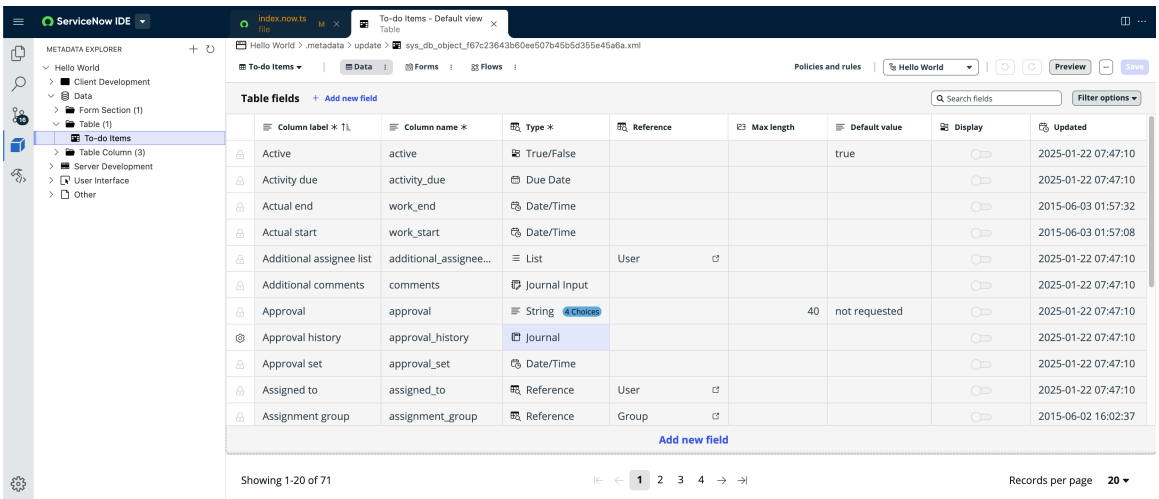
    のインストールが正常に完了すると、更新されたServiceNow Fluentソースコードがインスタンス上のアプリケーションファイル [sys_metadata] にコンパイルされます。

15. 変更をメタデータとしてレビューします。

    a. アクティビティバーから、[メタデータエクスプローラー] ビュー ( ) を選択します。

    b. アプリケーションを選択して展開します。

    c. 移動先 データ > テーブル をクリックし、[**To Do** アイテム] を選択します。
    テーブルが テーブルビルダー で開きます。



16. オプション: メタデータを編集し、変更内容をソースコードに同期します。
    メタデータエクスプローラーから、ソースコードの外部でメタデータを編集する別のユーザーをシミュレートして、追加したコードに変換された変更を確認できます。

    a. テーブルビルダー で、[タスク] フィールドを検索し、[列] ラベルを [タスク] から [To Do] に変更します。

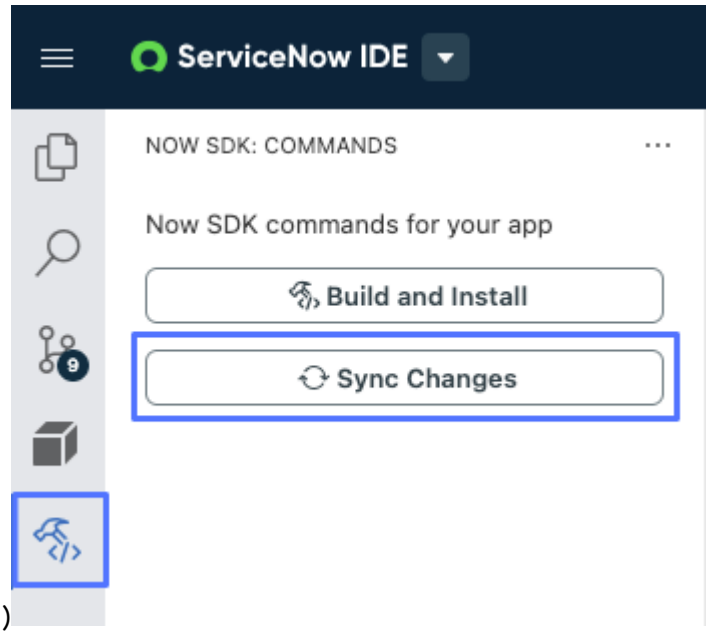
    b. **[Save** (保存)] を選択します。

    c. アクティビティバーから、Now SDK ビュー ( ) を選択します。

    d. [変更を同期] を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Example



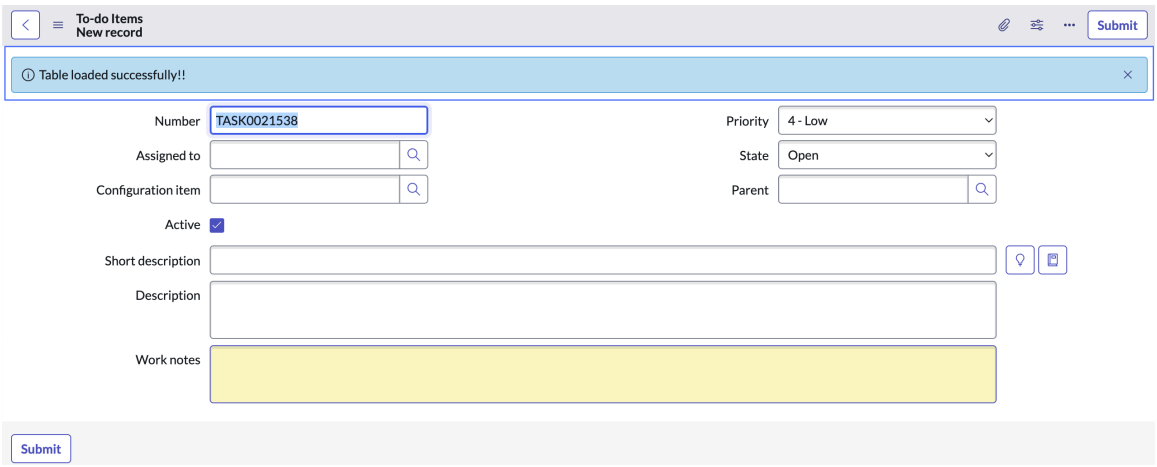
(Optional)

index.now.tsファイルで、タスク列のラベルプロパティが「To Do」に変更されているのがわかります。

```
task: StringColumn({ label: 'To Do', maxLength: 120 }),
```

タスクの結果
ServiceNow Fluent API を使用して最初のアプリケーションメタデータを作成しました。To Do アイテム [x_snc_hello_world_to_do] テーブルは、他の ServiceNow IDE ユーザーまたは他の ServiceNow AI Platform ユーザーインターフェイスからソースコードで変更できます。

ServiceNow AI Platformから、ナビゲーションフィルターに「x_snc_hello_world_to_do.list」と入力すると、テーブルのリストビューに移動できます。To Do アイテム [x_snc_hello_world_to_do] テーブルで実行するようにクライアントスクリプト定義を更新したため、[新規] を選択してテーブルにレコードを追加すると、レコードがロードされたときにクライアントスクリプトからのメッセージが表示されます。



次のタスク
チュートリアルパート4:サードパーティライブラリをインストールして使用する に続きます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

チュートリアルパート**4:**サードパーティライブラリをインストールして使用する

ノードパッケージマネージャー (npm) からサードパーティライブラリをインストールし、JavaScript モジュールで使用します。

始める前に
「チュートリアルパート 3: ServiceNow Fluent コードでテーブルを定義する」を完了します。

必要なロール：admin

このタスクについて
サードパーティライブラリをインストールすると、JavaScript モジュールの既存のオープンソース機能を使用して、アプリケーション開発を加速できます。次に、ソースコード内のサーバー側スクリプト定義 (index.now.ts ファイル内のビジネスルールなど) からサードパーティコードを呼び出す JavaScript モジュールを参照できます。

この例では、Lodash ライブラリをインストールして、一般的な JavaScript ユーティリティとメソッドを取得します。これらのメソッドの 1 つである `snakeCase` をサンプルの JavaScript モジュールの `showStateUpdate` 関数で使用して、単語をスペースの代わりにアンダースコアで区切るスネーク ケースでメッセージ文字列を表示します。index.now.ts ファイルでは、サンプルビジネスルールは、スクリプトに `showStateUpdate` 関数を使用し、To Do アイテム [x_snc_hello_world_to_do] テーブルでレコードが更新された後に実行されるように構成されています。

手順

1. アプリケーションに Lodash ライブラリから `snakeCase` メソッドをインストールします。

a. アクティビティバーから、[ファイルエクスプローラー] ビュー( ) を選択します。

b. アプリケーションの package.json ファイルを開きます。

c. [devDependencies] フィールドの後に、ライブラリのパッケージ名とバージョンを含む依存関係フィールドを追加します。

Example

```
},
  "dependencies": {
    "lodash.snakecase": "4.1.1"
  }
}
```

d. JavaScript モジュールで TypeScript を使用するアプリケーションの場合は、lodash.snakecase 型を devDependencies フィールドに追加して、ライブラリの型注釈を取得します。

```
"devDependencies": {
    "@types/lodash.snakecase": "4.1.1",
    "typescript": "5.5.4",
    "@servicenow/sdk": "2.2.4",
    "@servicenow/glide": "26.0.1",
    "eslint": "8.50.0",
    "@servicenow/eslint-plugin-sdk-app-plugin": "2.2.4"
  }
```

e. 変更内容を保存します。

自動翻訳

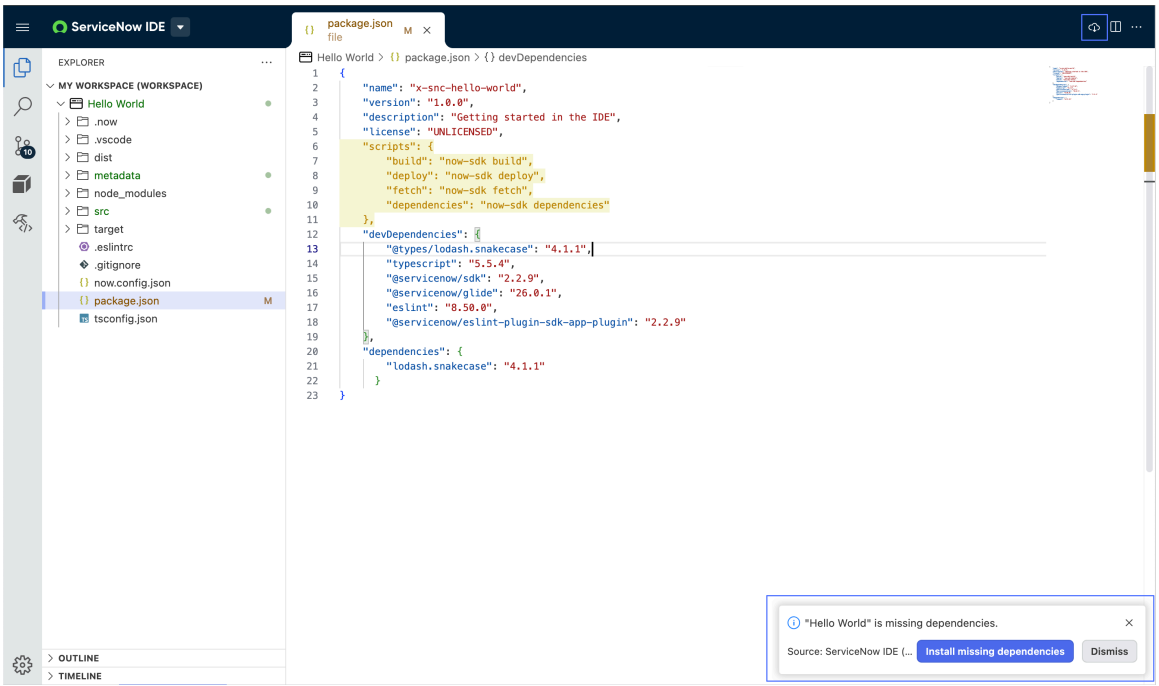
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

f. プロンプトが表示されたら、[不足している依存関係のインストール] を選択します。

ヒント:

[依存関係のインストール] アイコン ( )]) を選択するか、コマンドパレットから [パッケージマネージャー:依存関係のインストール (Package Manager: Install Dependencies)] コマンドを使用することもできます。

Example



ライブラリは、 node_modules ディレクトリにモジュールとしてインストールされます。

2. アプリケーションの JavaScript モジュールで Lodash ライブラリのコードを使用します。

a. アプリケーションの src/server ディレクトリに移動します。

b. script.ts サンプルモジュールを開きます。

c. *addInfoMessage* メソッドで、メッセージ文字列を Lodash の *snakeCase* メソッドでラップして、スネークケースに変換します。

```
gs.addInfoMessage(snakeCase(`state updated from "${previousState}"
 to "${currentState}"`))
```

d. 2 行目で、*lodash* モジュールの *snakeCase* メソッドのインポートを追加します。

Example

```
import snakeCase from 'lodash.snakecase'
```

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

> **注:**
> グローバル Glide API もインポートされるため、モジュールコードで `addInfoMessage` などのメソッドを使用できます。
>
> ```
> import { gs } from '@servicenow/glide'
> ```

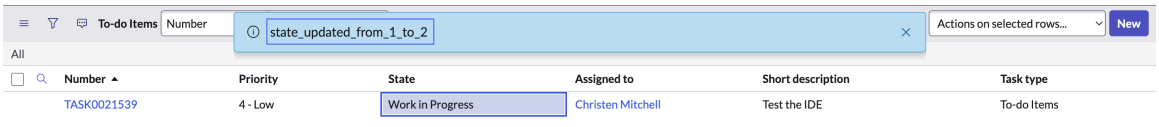
e. 変更内容を保存します。

3. ステータスバーから、[ビルドしてインストール] を選択します。

のインストールが正常に完了すると、Lodash ライブラリが EcmaScript モジュール [sys_module] テーブルに追加され、EcmaScript モジュール [sys_module] テーブルで script.ts モジュールが更新されます。

タスクの結果

To Do アイテム [x_snc_hello_world_to_do] テーブルのレコードのフィールドを更新すると、サンプルビジネスルールが実行され、メッセージがスネークケースで表示され、単語がスペースの代わりにアンダースコアで区切られます。



次のタスク

チュートリアルパート 5:別のインスタンスでアプリケーションのクローンを作成する に続きます。

チュートリアルパート **5:**別のインスタンスでアプリケーションのクローンを作成する

リモートリポジトリからアプリケーションのクローンを作成し、別のインスタンスで開発します。

始める前に

「チュートリアルパート4:サードパーティライブラリをインストールして使用する」を完了します。

必要なロール：admin

このタスクについて

別のインスタンスにアクセスできる場合は、リモートリポジトリからインスタンスにアプリケーションをインストールして、インスタンス間での開発をサポートできます。

> **注:**
> インスタンスとインスタンス上のユーザーは、このチュートリアルの冒頭で説明したものと同じ要件を満たす必要があります。

クローン作成は、複数の非本番インスタンスでアプリケーションを開発し、それを単一のリポジトリで管理することを目的としています。アプリケーションを公開して本番インスタンスに展開するには、 アプリケーションリポジトリを使用します。詳細については、「ServiceNow アプリケーションリポジトリ」を参照してください。

手順

1. 変更をリモートリポジトリにプッシュします。

a. アクティビティバーから、[ソースコントロール] ビュー ( ) を選択します。

b. [変更] リストから、[すべての追跡対象の変更をステージング] アイコン ( ]) を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

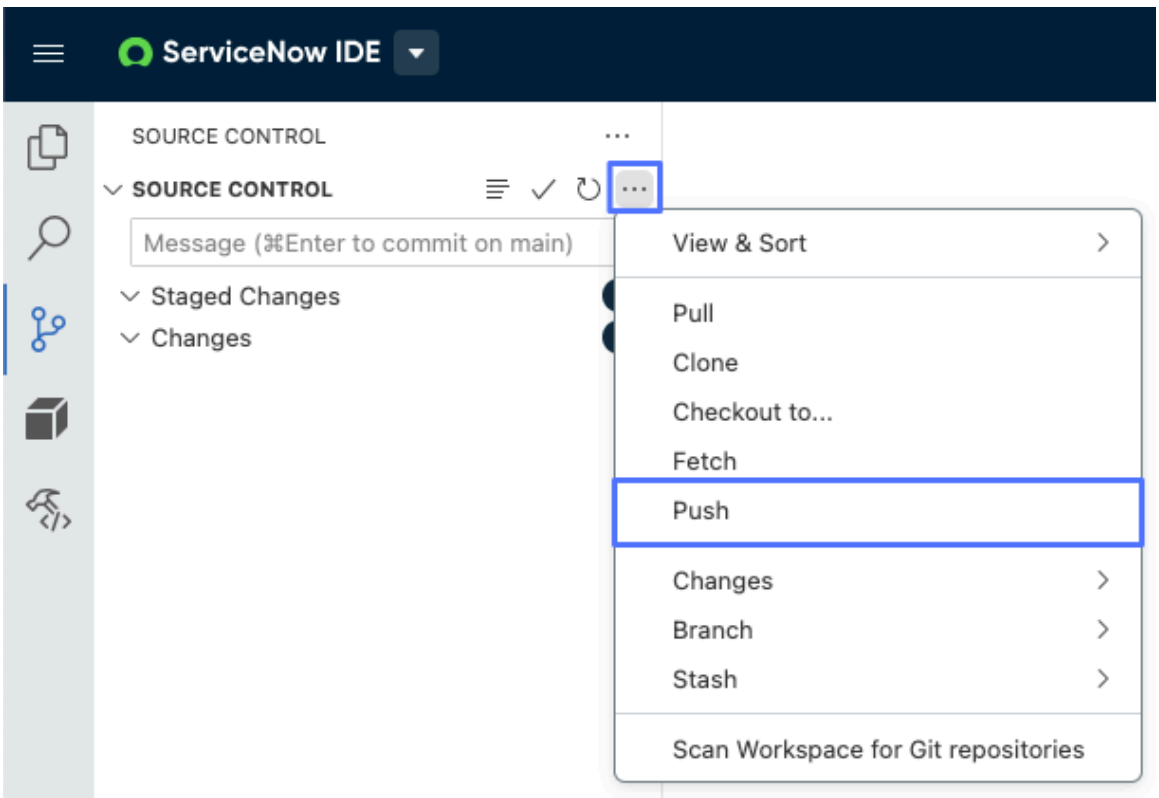
c. [追跡されていない変更] の一覧から、[追跡されていない変更をすべてステージング] アイコン (+) を選択します。
すべての変更は [ステージング済みの変更] リストに含まれているはずです。

d. メッセージ ボックスに、コミット メッセージを入力します。

e. コミットアイコン (✓) を選択します。

f. [その他のアクション] メニューアイコン (···) を選択し、[プッシュ] を選択します。

Example



すべての変更は、リモートリポジトリで使用できます。自分または他の開発者は、アプリケーションの別のインスタンスにクローンを作成できます。

2. 別の ServiceNow インスタンスにログインします。
3. 移動先 すべて > アプリ開発 > **ServiceNow IDE**.
4. ワークスペースを作成するか、既存のワークスペースを開きます。
5. リモートリポジトリに接続するための ServiceNow IDE ベーシック認証を構成します。

a. コマンドパレットを開くには、次のいずれかのキーボードショートカットを使用します。
- Windows：Ctrl-Shift-P
- Mac：Cmd-Shift-P

b. Git: Set IDE Git credentials と入力し、Enter キーを押します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

c. [新規 Git 認証情報 (New Git credential)] フォームで [基本認証] を選択します。

d. フォームのフィールドに入力します。

[新規 **Git** 認証情報 **(New Git credential)]** フォーム

Field (フィールド)	**Description** (説明)
Git リポジトリ URL	GitHub で作成した Git リポジトリへの HTTPS URL。例: https://github.com/<owner>/hello-world.git。
Git ユーザー名	GitHubユーザー名。
個人アクセストークン	GitHub から生成した個人アクセストークン。

e. [Submit (送信)] を選択します。

6. アプリケーションのクローンを作成します。

a. コマンドパレットを開くには、次のいずれかのキーボードショートカットを使用します。

- Windows：Ctrl-Shift-P
- Mac：Cmd-Shift-P

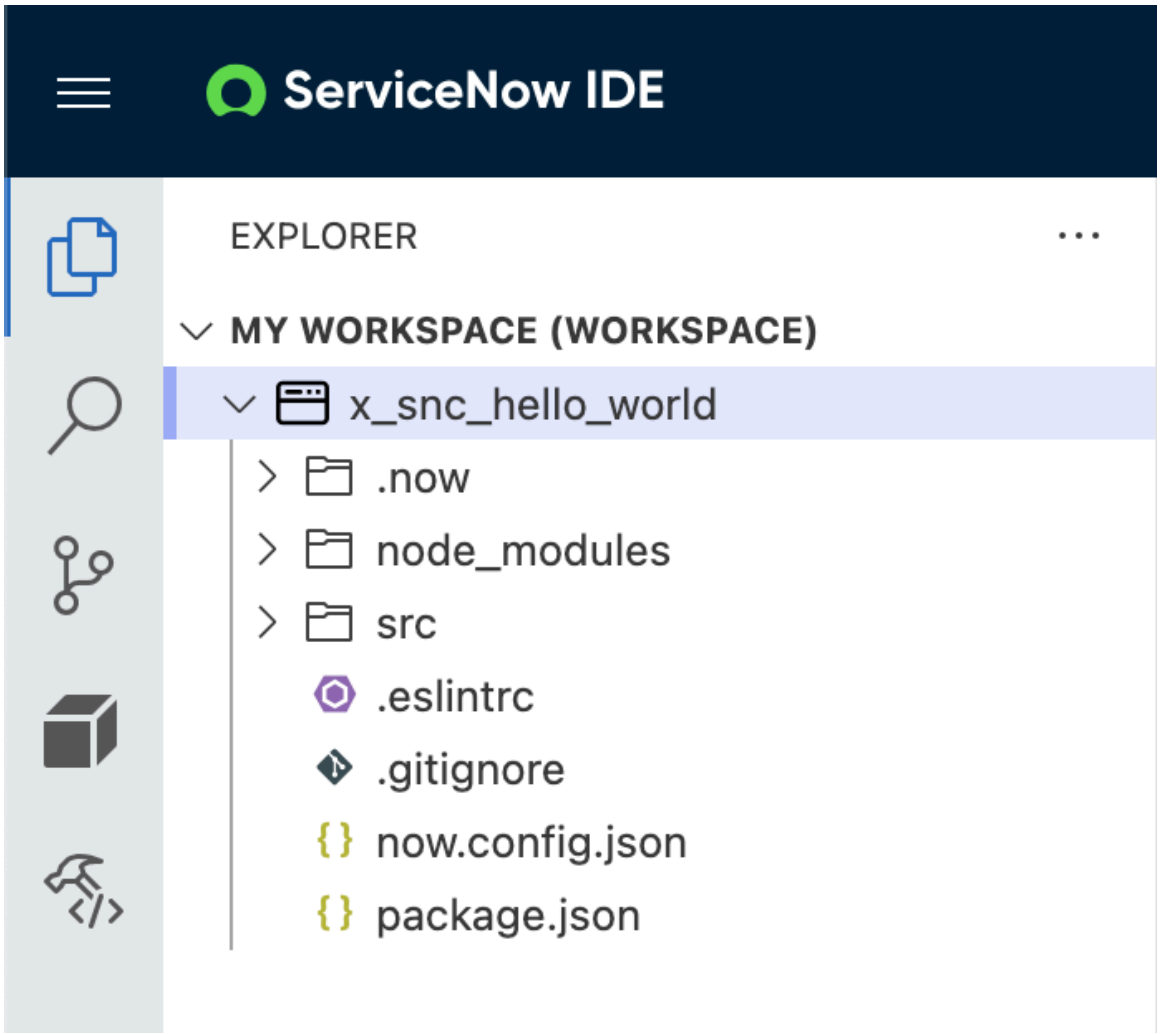
b. `Git: Clone` と入力し、Enter キーを押します。

c. リモート Git リポジトリへの HTTPS URL を入力し、Enter キーを押します。

タスクの結果
リモートリポジトリのファイルとともに、アプリケーションがインスタンスに追加されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



次のタスク
チュートリアルパート6:詳細を学ぶ ServiceNow IDE に続きます。

チュートリアルパート**6:**詳細を学ぶ **ServiceNow IDE**

より複雑なアプリケーションを開発するための ServiceNow IDE の詳細を確認してください。

おめでとうございます!ServiceNow IDEで最初のアプリケーションを作成し、アプリケーションメタデータを定義するServiceNow Fluentコードを記述する方法を学習し、サードパーティライブラリをインストールしてそのコードを JavaScript モジュールで使用し、ソースコントロールでこれらの変更をすべてGitHubで管理しました。

ServiceNow IDEでの開発の詳細については、次のリソースを参照してください。

- ServiceNow IDE ドキュメント
- ServiceNow Fluent API リファレンス
- の概要 ServiceNow IDE 日付：ServiceNow University
- ServiceNow IDE デモ ビデオ
- ビデオ「ServiceNow IDE and Fluent Creator Toolbox 」
- ServiceNow SDK サンプル GitHub リポジトリ
- ServiceNow コミュニティ の ServiceNow IDE、SDK、および Fluent フォーラム
- ServiceNow コミュニティ の ServiceNow IDE、SDK、および Fluent の記事

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 既知のエラーポータルで既知のエラー記事を検索する
- 連絡先 カスタマーサービス & サポート

ServiceNow IDE の構成

開発者が ServiceNow インスタンスで使用する ServiceNow IDE をインストールして設定します。

のインストールまたは更新 ServiceNow IDE

ServiceNow® Store から ServiceNow IDE アプリケーション (sn_glider) をインストールまたは更新します。

始める前に
次のものをレビュー ServiceNow IDE 依存関係、ライセンスやサブスクリプションの要件、およびリリースの互換性については、 ServiceNow Store のアプリケーションリスト。

必要なロール：admin

このタスクについて
ServiceNow IDE は、 Yokohama リリースのインスタンスではデフォルトでアクティブです。最新の機能を使用するには、 ServiceNow IDE を最新バージョンに更新します。

手順

1. 移動先 管理者 > **Application Manager**.
2. ServiceNow IDEアプリケーション (sn_glider) を検索します。

   名前または ID でアプリケーションを検索できます。アプリケーションが見つからない場合は、ServiceNow Store に要求する必要が生じる場合があります。
3. ServiceNow IDEアプリケーション (sn_glider) を選択します。
4. [インストール] を選択するか、[更新に進む] を選択します。

   [インストールの詳細を確認] ダイアログボックスでは、インストールするバージョンを選択し、アプリケーションと併せてインストールされている依存関係を確認して、アプリケーションを今すぐインストールするか後でインストールするかを選択できます。
5. ダイアログボックスで、[インストール]を選択します。

次のタスク
アプリケーション用のワークスペースを作成します。詳細については、「ServiceNow IDE でワークスペースを作成する」を参照してください。

ServiceNow IDE は、パブリック npm レジストリ (https://registry.npmjs.org) をデフォルトのパッケージソースとして使用します。ネットワークがこのレジストリへのアクセスをブロックしている場合、 ServiceNow IDEでパッケージをダウンロードしてアプリケーションをビルドするには、代替レジストリにアクセスできる必要があります。システムでパブリック npm レジストリへのアクセスがブロックされている場合は、 ServiceNow IDE のパッケージ マネージャー ユーザー設定でプライベート npm レジストリを構成する必要があります。詳細については、「を使用してプライベートレジストリから npm パッケージをインストールする ServiceNow IDE」を参照してください。

でアプリケーションの ServiceNow SDK バージョンを更新する ServiceNow IDE

ServiceNow IDEからアプリケーションが使用するServiceNow SDKのバージョンを構成します。

始める前に
必要なロール：admin

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

このタスクについて
ServiceNow IDE から、バージョン 3.0 以降でアプリケーションが使用する ServiceNow SDK のバージョン (ServiceNow Fluent API を含む) を構成できますServiceNow SDK。

手順

1. 移動先 すべて > アプリ開発 > **ServiceNow IDE**.
2. アプリケーションでワークスペースを開きます。
3. アクティビティバーから、[ファイルエクスプローラー] ビュー( ) を選択します。
4. アプリケーションの package.json ファイルを開きます。
5. [devDependencies] フィールドで、@servicenow/sdk および @servicenow/eslint-plugin-sdk-app-plugin パッケージのバージョンを 3.0.0 以降に更新します。

   Example
   たとえば、次のようになります。

```
"devDependencies": {
      "@servicenow/sdk": "3.0.0",
      "@servicenow/glide": "26.0.1",
      "eslint": "8.50.0",
      "@servicenow/eslint-plugin-sdk-app-plugin": "3.0.0"
}
```

6. 変更内容を保存します。
7. コマンドパレットを開くには、次のいずれかのキーボードショートカットを使用します。
   - Windows：Ctrl-Shift-P
   - Mac：Cmd-Shift-P
8. 「Package Manager: Install Dependencies」と入力し、Enter キーを押します。
   node_modules ディレクトリで依存関係が更新されます。

タスクの結果
アプリケーションでは、最新バージョンの ServiceNow SDK アプリケーションパッケージングサービスと ServiceNow Fluent API を使用できます。

ソースコントロールと **ServiceNow IDE** の統合

リモート Git リポジトリと統合して、ServiceNow IDE を使用してソースコントロールでアプリケーションを管理します。

ベーシック認証または OAuth 2.0 認証を使用して Git プロバイダーに接続できます。次に、ServiceNow IDE 内のアプリケーションのリポジトリを初期化してリモートリポジトリにプッシュするか、アプリケーションを含むリモートリポジトリのクローンを作成します。認証を設定してリポジトリに接続すると、一般的な Git コマンドを使用してソースコントロールでアプリケーションを管理できます。

ServiceNow IDE でソースコントロールの使用を開始する方法については、次のトピックを参照してください。

インスタンス要件

添付ファイルを保存するための変更された構成がインスタンスに含まれている場合、Git 操作を実行するには次の要件を満たす必要があります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- *glide.attachment.extensions* システムプロパティが設定されている場合は、txt,gitdata が含まれている必要があります。
- *glide.security.attachment_type.use_blacklist* システムプロパティが true に設定されている場合、*glide.attachment.blacklisted.extensions* システムプロパティに txt,gitdata が含まれてはならず、*glide.attachment.blacklisted.types* システムプロパティに text/plain,application/octet-stream を含めることはできません。

添付ファイルにカスタム拡張を使用する場合は、プロパティ [*sn_glider.git.attachment.extension.text*] および [*sn_glider.git.attachment.extension.binary*] をカスタム値に設定します。詳細については、「ServiceNow IDE のプロパティ」を参照してください。

ServiceNow IDE のベーシック認証を使用した **Git** プロバイダーへの接続

ベーシック認証情報を使用して Git ドメイン に接続し、 ServiceNow IDEからソースコントロール内のアプリケーションを管理します。

始める前に

- Git プロバイダーから、Git ドメイン へのベーシック認証に使用する個人用アクセストークンを生成します。ServiceNow IDE の認証情報を構成するときは、Git ユーザー名と個人用アクセストークンを指定する必要があります。
- Git プロバイダー (GitHub、 GitLab、 Bitbucket、 Azure Repos などのアプリケーションの専用 Git リポジトリを作成します。

必要なロール: admin

手順

1. 移動先 すべて > アプリ開発 > **ServiceNow IDE**.
2. コマンドパレットを開くには、次のいずれかのキーボードショートカットを使用します。
   - Windows：Ctrl-Shift-P
   - Mac：Cmd-Shift-P
3. Git: Set IDE Git credentials と入力し、Enter キーを押します。
4. [新規 Git 認証情報 (New Git credential)] フォームで [基本認証] を選択します。
5. フォームのフィールドに入力します。

[新規 **Git** 認証情報 **(New Git credential)]** フォーム

Field (フィールド)	**Description** (説明)
Git リポジトリ URL	Git 認証情報に関連付けられた Git リポジトリの HTTPS URL。
Git ユーザー名 (Git username)	Git ユーザー名。
個人アクセストークン	Git プロバイダーから生成する個人用アクセストークン。

6. **[Submit** (送信)] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タスクの結果
Git 認証情報はインスタンス上のユーザーに関連付けられ、Git リポジトリ URL からドメイン内のすべてのリポジトリに使用されます。同じドメイン内のリポジトリに異なる認証情報を追加すると、新しい認証情報が使用され、以前の認証情報は非アクティブに設定されます。

次のタスク
リポジトリを初期化またはクローンした後、ソースコントロールの使用を開始できます。詳細については、「ServiceNow IDE でソースコントロールを使用する」を参照してください。

既存の Git 認証情報を管理するには、コマンドパレットから Git: Manage Git credentials コマンドを使用します。

ServiceNow IDE の OAuth 2.0 を使用した Git プロバイダーへの接続

ServiceNow IDE から Git プロバイダーに接続するための OAuth 2.0 アプリケーションレジストリと認証情報を設定します。

ServiceNow IDE の OAuth 2.0 アプリケーションレジストリの構成

Git プロバイダーに関連付けられている OAuth 2.0 プロバイダーに、クライアント ID とシークレットを送信する方法を構成します。

始める前に
Git プロバイダーを使用して OAuth アプリケーションを作成し、インスタンスにリダイレクトするように構成します。この OAuth アプリケーションでは、インスタンス URL をホームページ URL として使用し、 https://<instance>/oauth_redirect.do を認証コールバック URL として使用します。デフォルトでは、 GitHub、 GitLab、 Bitbucket、および Azure リポジトリがサポートされています。

重要:
Azureリポジトリの場合、シークレットを追加する前に、[クライアントシークレット] フィールドの最大長を 2048 に更新する必要があります。

1. 移動先 すべて > システム定義 > テーブル.
2. [名前] フィールドに「oauth_entity」と入力して、テーブルをフィルタリングします。
3. アプリケーションレジストリ [oauth_entity] テーブルを選択します。
4. [列] 関連リストで [クライアントシークレット] 列を見つけ、その [最大長] 属性の値として「2048」と入力します。
5. **[Update** (更新)] を選択します。

必要なロール：admin

このタスクについて
ServiceNow IDE で OAuth 2.0 認証を使用するには、Git プロバイダーから作成した OAuth アプリケーションを登録する必要があります。次の手順に従って、インスタンスで OAuth アプリケーションレジストリ [oauth_entity] を構成します。

手順

1. 移動先 すべて > システム **OAuth** > アプリケーションレジストリー をクリックし、 新規 を選択します。
2. [インターセプター] ページで、[サードパーティ **OAuth** プロバイダーに接続します] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フォームのフィールドの詳細については、「Connect to a third-party OAuth provider」を参照してください。

アプリケーションレジストリフォーム

フィールド	説明
名前	サードパーティ OAuth 接続のための一意の名前。
クライアント ID	Git プロバイダーの OAuth アプリケーションのクライアント ID。
クライアントシークレット	Git プロバイダーの OAuth アプリケーションのクライアントシークレット。
OAuth API スクリプト	外部 OAuth プロバイダーへの要求および応答のカスタマイズに使用されるスクリプトGit プロバイダーに応じて、次のいずれかを選択します。 ○ GitHub：OauthAPIScriptForGitHub ○ GitLab：OauthAPIScriptForGitLab ○ Bitbucket：OauthAPIScriptForBitbucket ○ Azure リポジトリ:OauthAPIScriptForAzureRepos 注: 他の Git プロバイダーを使用する場合は、これらのスクリプトを例として使用して、OAuth プロバイダー用に独自の OAuth API スクリプトを作成できます。スクリプトの名前は「Oauth」で始まる必要があります。
デフォルトの権限許可タイプ	トークンを確立するために使用するデフォルトの権限許可タイプ[認証コード] を選択します。 アクセストークンを取得するためクライアントに認証コードが付与され、それがリソースへのアクセスを取得するために使用されます。
リフレッシュ トークンの有効期間	リフレッシュトークンが有効になる時間 (秒)。
アプリケーション	このレコードを含むアプリケーションスコープです。
アクセス可能	すべてのアプリケーションスコープから、またはこのスコープからのみアプリケーションレジストリにアクセスできるようにするオプション。
アクティブ	OAuth アプリケーションをオンまたはオフにするためのオプション。
認証 URL	Git ドメイン用 OAuth 認証コードのエンドポイント。例： ○ GitHub：https://github.com/login/oauth/authorize ○ GitLab：https://gitlab.com/oauth/authorize ○ Bitbucket：https://bitbucket.org/site/oauth2/authorize ○ Azure リポジトリ: https://app.vssps.visualstudio.com/oauth2/authorize

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
トークン URL	Git ドメインの OAuth サーバートークンエンドポイント。例： ○ GitHub：https://github.com/login/oauth/access_token ○ GitLab：https://gitlab.com/oauth/token ○ Bitbucket：https://bitbucket.org/site/oauth2/access_token ○ Azure リポジトリ: https://app.vssps.visualstudio.com/oauth2/token
リダイレクト URL	OAuth コールバックエンドポイント空の場合、インスタンスは値 https://<instance>/oauth_redirect.do を自動生成します。
相互認証を有効にします	相互認証を使用するためのオプション。トークンの要求と失効に対する相互認証の使用をオフにするには、このオプションをオフにしておきます。
認証情報の送信	OAuth クライアントが要求にクライアント認証情報を入力する方法。 ○ [GitHub]、[GitLab]、または [Bitbucket] で、[基本認証ヘッダーとして] を選択します。 ○ Azureリポジトリの場合は、[要求本文内 (フォーム **URL** エンコード)] を選択します。

4. **[Submit** (送信)] を選択します。

次のタスク
ServiceNow IDE を使用する開発者は、独自の OAuth 2.0 認証情報を構成する必要があります。

OAuth 2.0 認証情報を構成して **ServiceNow IDE** で **Git** プロバイダーに接続する

OAuth 2.0 認証情報を使用して Git ドメイン に接続し、 ServiceNow IDEからソースコントロールでアプリケーションを管理します。

始める前に

- アドミニストレーターは、Git プロバイダーに関連付けられた OAuth 2.0 プロバイダーにクライアント ID とシークレットを送信する方法を構成する必要があります。詳細については、「ServiceNow IDE の OAuth 2.0 アプリケーションレジストリの構成」を参照してください。
- Git プロバイダー (GitHub、 GitLab、 Bitbucket、 Azure Repos などのアプリケーションの専用 Git リポジトリを作成します。

必要なロール: admin

手順

1. 移動先 すべて > アプリ開発 > **ServiceNow IDE**.
2. コマンドパレットを開くには、次のいずれかのキーボードショートカットを使用します。
   ○ Windows：Ctrl-Shift-P
   ○ Mac：Cmd-Shift-P
3. `Git: Set IDE Git credentials` と入力し、Enter キーを押します。
4. [新規 Git 認証情報 (New Git credential)] フォームで **[OAuth]** を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

5. フォームのフィールドに入力します。

[新規 **Git** 認証情報 **(New Git credential)]** フォーム

Field (フィールド)	**Description** (説明)
Git リポジトリ URL	Git 認証情報に関連付けられた Git リポジトリの HTTPS URL。
Git ユーザー名 (Git username)	Git ユーザー名。
OAuth プロファイルを選択 (Select an OAuth profile)	Git プロバイダーの OAuth 2.0 認証情報。 OAuth プロファイルはアプリケーションレジストリを使用して作成されます。アプリケーションレジストリはアドミニストレーターが設定する必要があります。

6. [送信] を選択します。

Git コマンドを初めて使用するときは、Git プロバイダーからユーザーを承認するように求められます。

タスクの結果

Git 認証情報はインスタンス上のユーザーに関連付けられ、Git リポジトリ URL からドメイン内のすべてのリポジトリに使用されます。同じドメイン内のリポジトリに異なる認証情報を追加すると、新しい認証情報が使用され、以前の認証情報は非アクティブに設定されます。

次のタスク

リポジトリを初期化またはクローンした後、ソースコントロールの使用を開始できます。詳細については、「ServiceNow IDE でソースコントロールを使用する」を参照してください。

既存の Git 認証情報を管理するには、コマンドパレットから Git: Manage Git credentials コマンドを使用します。

でソースコントロールを使用するように **MID** サーバーを構成する **ServiceNow IDE**

Git プロバイダーがファイアウォールの背後にある場合は、 ServiceNow IDE でソースコントロールを使用するように MID サーバーを構成します。

始める前に

REST 機能を備えた MID サーバーをインストールします。詳細については、「Installing the MID Server」と「Configure MID Server capabilities」を参照してください。

必要なロール：admin

手順

1. インスタンスのアプリケーションスコープを ServiceNow IDEに変更します。
   a. 統一ナビゲーションで、地球儀アイコン( )を選択します。
   b. [アプリケーションスコープ] を選択します。
   c. **[ServiceNow IDE]** を選択します。
2. 移動先 すべて > **MID** サーバー > アプリケーション.
3. **[New** (新規)] を選択します。
4. フォームで、フィールドに入力します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

MID サーバーアプリケーションフォーム

フィールド	説明
名前	MID サーバーアプリケーションの名前。
デフォルト MID サーバー	REST 機能が設定された MID サーバー。
アプリケーション	ServiceNow IDE。
アプリケーション「すべて」に含める	この MID サーバーアプリケーションを MID サーバーの [すべて] の定義に含めるオプション。

5. **[Submit** (送信)] を選択します。

次のタスク
まだ構成していない場合は、Git ドメインまたはリポジトリに接続するためのベーシック認証または OAuth 2.0 認証を構成します。詳細については、「ServiceNow IDE のベーシック認証を使用した Git プロバイダーへの接続」または「ServiceNow IDE の OAuth 2.0 を使用した Git プロバイダーへの接続」を参照してください。

注:
ServiceNow IDEで Git 操作を実行するには、MID サーバーユーザーに sn_glider.ide_git_user ロールまたは admin ロールが必要です。詳細については、「Create the MID Server user and grant the role」と「ServiceNow IDE MID サーバーユーザー [sn_glider.ide_git_user]」を参照してください。

ServiceNow IDE で **Git** リポジトリを初期化する

アプリケーションのローカル Git リポジトリを初期化し、それをリモート Git リポジトリにプッシュして、ソースコントロールでアプリケーションを管理します。

始める前に

- ServiceNow IDEを使用してアプリケーションを作成または変換します。詳細については、ServiceNow IDE でアプリケーションを作成する または でアプリケーションを変換する ServiceNow IDEを参照してください。
- Git プロバイダーから、アプリケーションの専用 Git リポジトリを作成します。
- Git リポジトリに接続するための ServiceNow IDE のベーシック認証情報または OAuth 2.0 認証情報を設定します。詳細については、「ServiceNow IDE のベーシック認証を使用した Git プロバイダーへの接続」または「OAuth 2.0 認証情報を構成して ServiceNow IDE で Git プロバイダーに接続する」を参照してください。

必要なロール: admin

このタスクについて
インスタンス上のアプリケーションは、一度に 1 つのリポジトリにのみ接続できます。リモート Git リポジトリに存在するアプリケーションのクローンを作成するには、「ServiceNow IDE で Git リポジトリのクローンを作成する」を参照してください。

手順

1. 移動先 すべて > アプリ開発 > **ServiceNow IDE**.
2. Git リポジトリに接続されていないアプリケーションを含むワークスペースを開きます。
3. アクティビティバーから、[ソースコントロール] ビュー ( ) を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

4. [リポジトリの初期化 **(Initialize Repository)]** を選択するか、またはコマンドパレットから Git: Initialize Repository コマンドを使用することもできます。
5. Git リポジトリを初期化するアプリケーションを選択し、Enter キーを押します。
6. デフォルトの分岐名として [メイン] を選択するか、別の名前を入力して Enter キーを押します。
7. [追跡されていない変更をすべてステージング (Stage All Untracked Change)] アイコン (+) を選択します。
8. コミットメッセージを入力し、[コミット] アイコン (✓) を選択します。
9. [その他のアクション] メニューアイコン (···) を選択し、[プッシュ] を選択します。
10. リモートリポジトリの URL を入力し、Enter キーを押します。

タスクの結果
アプリケーションはリモートリポジトリで使用可能です。

Trouble?
Git 認証情報が構成されていないか非アクティブである場合、アプリケーションはリモートリポジトリにプッシュされません。認証情報の構成を求められたら、[構成] を選択して Git 認証情報を構成し、もう一度お試しください。

次のタスク
リポジトリ内の分岐をチェックアウトまたは作成し、変更をリモートリポジトリにプッシュできます。詳細については、「ServiceNow IDE でソースコントロールを使用する」を参照してください。

ServiceNow IDE で Git リポジトリのクローンを作成する

リモート Git リポジトリのクローンを作成して、ソースコントロール内のアプリケーションで ServiceNow IDE とコラボレーションします。

始める前に
- アプリケーション用のワークスペースを作成します。詳細については、「ServiceNow IDE でワークスペースを作成する」を参照してください。
- Git リポジトリに接続するための ServiceNow IDE のベーシック認証情報または OAuth 2.0 認証情報を設定します。詳細については、「ServiceNow IDE のベーシック認証を使用した Git プロバイダーへの接続」または「OAuth 2.0 認証情報を構成して ServiceNow IDE で Git プロバイダーに接続する」を参照してください。

必要なロール: admin

このタスクについて
ServiceNow IDE または ServiceNow SDK で作成または変換されたアプリケーションを含むリモート Git リポジトリのクローンを作成できます。リポジトリには、 now.config.json ファイルと package.json ファイルを含むアプリケーションが 1 つ以上含まれている必要があります。

> **注:**
> ServiceNow IDE は、Git バージョン 2.3.2 以降の Git サーバーからのクローン作成をサポートしています。

クローン作成は、複数の非本番インスタンスでアプリケーションを開発し、それを単一のリポジトリで管理することを目的としています。アプリケーションを公開して本番インスタンスに展開するには、 アプリケーションリポジトリを使用します。詳細については、「ServiceNow アプリケーションリポジトリ」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > アプリ開発 > **ServiceNow IDE**.
2. アプリケーションを追加するワークスペースを開きます。
3. コマンドパレットを開くには、次のいずれかのキーボードショートカットを使用します。
   - Windows：Ctrl-Shift-P
   - Mac：Cmd-Shift-P
4. Git: Clone と入力し、Enter キーを押します。
5. リモート Git リポジトリの URL を入力し、Enter キーを押します。

タスクの結果
リモートリポジトリのファイルを含むアプリケーションがインスタンスとワークスペースに追加されます。最初にクローンが作成されるのはデフォルトの分岐のみです。別のブランチをチェックアウトするには、コマンドパレットから Git: Fetch コマンドを使用して、リモートリポジトリから他のブランチをフェッチする必要があります。

次のタスク
リポジトリ内の分岐をチェックアウトまたは作成し、変更をリモートリポジトリにプッシュできます。詳細については、「ServiceNow IDE でソースコントロールを使用する」を参照してください。

ServiceNow IDE でソースコントロールを使用する

ServiceNow IDE で Git コマンドやその他のソースコントロール機能を使用して、開発チーム全体でアプリケーションへの変更を管理します。

必要なロール: admin

Git コマンド

ServiceNow IDE でローカル Git リポジトリを初期化した後、[ソースコントロール] ビュー ( ) またはコマンドパレットから、次のコマンドを含むがこれらに限定されないいくつかの Git コマンドを実行できます。

ServiceNow IDE の Git コマンド

コマンド	説明
チェックアウト先 (> [チェックアウト先 **(Checkout to...)**] コマンドパレット：**Git: Checkout to...**	リポジトリから別の分岐をチェックアウトします。リストから分岐を選択するか、分岐を作成してリモートリポジトリにプッシュします。 インスタンス (または開発者サンドボックス) で一度にチェックアウトできる分岐は、リポジトリごとに 1 つだけです。
クローン (> [クローン]) コマンドパレット：**Git: Clone**	リモートリポジトリのクローンを作成して、アプリケーションをワークスペースに追加します。 詳細については、「ServiceNow IDE で Git リポジトリのクローンを作成する」を参照してください。
コミット ( ) コマンドパレット：**Git: Commit**	ステージングされた変更をローカルリポジトリにコミットします。変更内容を説明するコミットメッセージを入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ServiceNow IDE の Git コマンド (続く)

コマンド	説明
分岐を作成 (··· > [分岐] > [分岐を作成...]) コマンドパレット：**Git: Create branch...**	リポジトリに分岐を追加してチェックアウトします。
破棄 ( ) コマンドパレット：**Git: Discard Changes**	変更を破棄して、アプリケーションへの変更を元に戻します。
フェッチ (フェッチ> ···) コマンドパレット: **Git: Fetch**	フェッチして、コミットと分岐をリモートリポジトリからローカルリポジトリに同期します。
プル (··· > [プル]) コマンドパレット：**Git: Pull**	プルして、リモートリポジトリからローカルリポジトリに最新の変更をマージします。
プッシュ (··· > [プッシュ]) コマンドパレット：**Git: Push**	コミットした変更をリモートリポジトリにプッシュします。
ステージ ( ) コマンドパレット：**Git: Stage Changes**	コミットする作業ディレクトリ内の変更をステージングします。変更をステージングすると、ファイルは [変更] リストから [ステージング済みの変更 (Staged Changes)] リストに移動します。
スタッシュ (··· > [スタッシュ]) コマンドパレット：**Git: Stash**、**Git: Pop**、**Git: Drop**、**Git: List**、**Git: Apply**、**Git: Clear**	コミットされていないすべての変更をスタッシュして作業ディレクトリにローカルで保存し、後で戻ります。 スタッシュ時に、pop、drop、list、apply、および clear サブコマンドがサポートされます。選択 スタッシュ > 適用 をクリックして、作業ディレクトリに変更を再適用します。

マージの競合

ファイル内のローカル変更とリモート変更間に競合がある場合、そのファイルは [ソースコントロール] ビュー( ) の [結合の競合 (Merge conflicts)] の下に一覧表示されます。エディターで競合を確認し、現在の変更または受信する変更を受け入れるか、両方を受け入れるか、ファイルを手動で編集することで、解決できます。

コミット履歴

分岐のコミット履歴は、[ソースコントロール] ビュー ( ) の [コミット] セクションにリストされ、コミットの詳細が含まれます。ファイルのコミット履歴を表示するには、[ファイルエクスプローラー] ビュー ( ) に移動し、ファイルを選択して、[タイムライン] セクションを展開します。コミットを選択すると、変更を比較する差分エディターが開きます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

リポジトリの変更

アプリケーションが接続されているリモートリポジトリを更新するには、コマンドパレットから Git: Update remote origin コマンドを使用し、別のリモートリポジトリの URL を入力します。

ServiceNow IDE を使用したアプリケーションの開発

ServiceNow IDE を使用して、ソースコードでアプリケーションを作成および開発します。アプリケーションをビルドして、インスタンス全体で変更を使用できるようにして、あらゆるスキルセットのユーザーとコラボレーションします。

ServiceNow IDEでは、スコープ対象のアプリケーションを作成するか、既存のアプリケーションを変換して、ServiceNow Fluentを使用してソースコードで開発し、アプリケーションメタデータ [sys_metadata] を定義します。必要に応じて、JavaScript モジュールを作成し、サードパーティのライブラリを使用して、スコープ対象のアプリケーション内のコードを整理して再利用できます。

変更を保存して準備ができたら、アプリケーションをビルドしてソースコードをアプリケーションメタデータにコンパイルし、インスタンス全体でユーザーが変更を使用できるようにします。他のユーザーがアプリケーションメタデータを変更するときに、その変更をソースコードに同期できます。

次のトピックで、ServiceNow IDE を使用してアプリケーションの開発を開始する方法を説明します。

システム要件

ServiceNow IDE は、パブリック npm レジストリ (https://registry.npmjs.org) をデフォルトのパッケージソースとして使用します。ネットワークがこのレジストリへのアクセスをブロックしている場合、 ServiceNow IDEでパッケージをダウンロードしてアプリケーションをビルドするには、代替レジストリにアクセスできる必要があります。システムでパブリック npm レジストリへのアクセスがブロックされている場合は、 ServiceNow IDE のパッケージ マネージャー ユーザー設定でプライベート npm レジストリを構成する必要があります。詳細については、「を使用してプライベートレジストリから npm パッケージをインストールする ServiceNow IDE」を参照してください。

関連情報

- ソースコントロールと ServiceNow IDE の統合
- ServiceNow Fluent API リファレンス

ServiceNow IDE でワークスペースを作成する

ワークスペースを作成して、ServiceNow IDE で作業しているアプリケーションを表示および整理します。

始める前に

必要なロール：admin

このタスクについて

ServiceNow IDEのワークスペースでは、作業中のアプリケーションを追加して、複数のアプリケーションを 1 か所から移動できます。複数のワークスペースを作成して、さまざまなアプリケーションセットをグループ化できます。ワークスペースはユーザーに固有であり、アプリケーションはいつでもワークスペースに対して追加または削除できます。ServiceNow IDE を開くと、最後に作業していたワークスペースが開きます。ServiceNow IDE内のワークスペースは、Visual Studio Code内のワークスペースに基づいています。ワークスペースの一般的な情報については、 Visual Studio Code のドキュメント Web サイトを参照してください。

手順

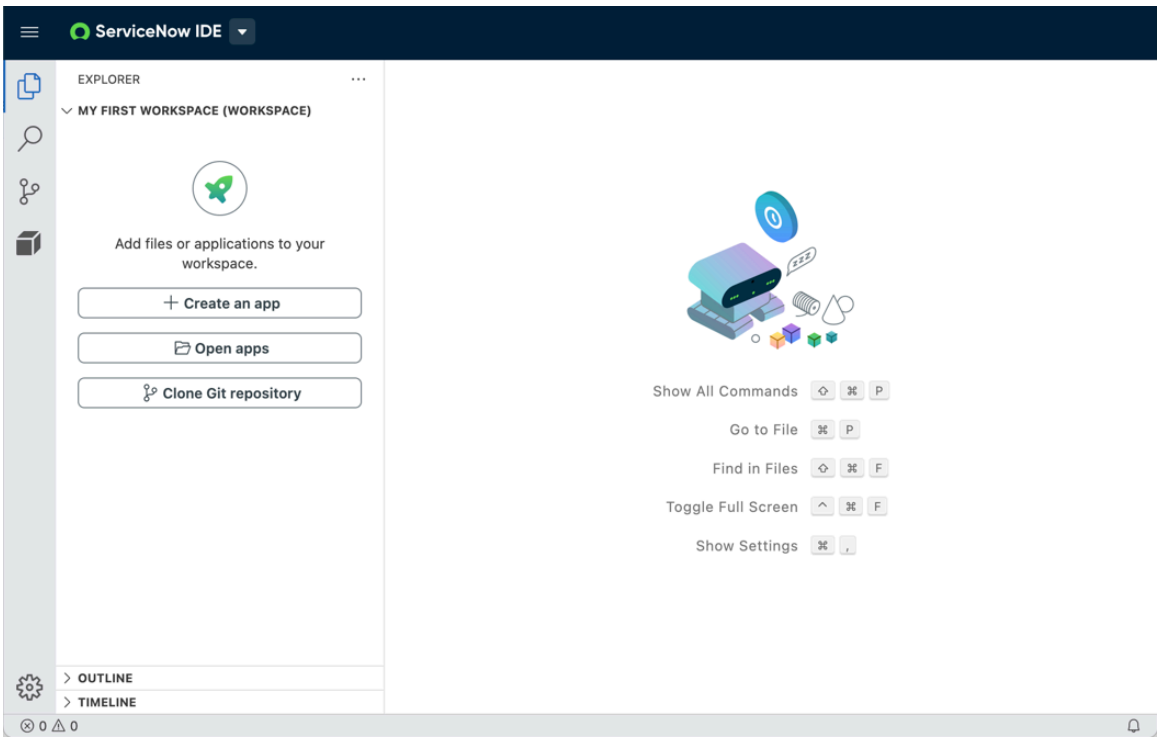
1. 移動先 すべて > アプリ開発 > **ServiceNow IDE**.
2. ServiceNow IDE ホームページで、[ワークスペースの作成] を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ヒント:
コマンドパレットから Workspaces: Create a Workspace コマンドを使用することもできます。

3. ワークスペースの名前を入力し、Enter キーを押します。
4. ワークスペースの説明を入力し、Enter キーを押します。
ワークスペースがアクティブなワークスペースになります。



5. オプション: 既存のアプリケーションをワークスペースに追加します。

   a. [アプリを開く **(Open apps)**] を選択します。

   b. アプリケーションを選択します。
   ServiceNow IDE または ServiceNow SDK で作成または変換されたアプリケーションのみを追加できます。ワークスペースにアプリケーションを追加するには、メインメニューまたはコマンドパレットで Workspaces: Add Application to Workspace コマンドを使用します。

次のタスク
アプリケーションを作成、変換、またはクローンして、ワークスペースに追加します。詳細は、以下のトピックを参照してください。

- ServiceNow IDE でアプリケーションを作成する
- でアプリケーションを変換する ServiceNow IDE
- ServiceNow IDE で Git リポジトリのクローンを作成する

アクティブなワークスペースを切り替えるには、 ServiceNow IDE ホームページから、または「ワークスペース: ワークスペースの参照」 コマンドを使用してコマンドパレットから、他のワークスペースを参照して選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ServiceNow IDE でアプリケーションを作成する

ServiceNow IDE を使用して、ソースコードで開発するスコープ対象のアプリケーションを作成します。

始める前に

アプリケーション用のワークスペースを作成します。詳細については、「ServiceNow IDE でワークスペースを作成する」を参照してください。

> **注:**
> ビルドエージェントを使用すると、 ServiceNow IDEでアプリケーションを作成および編集できます。詳細については、「ビルドエージェント」を参照してください。

必要なロール：admin

手順

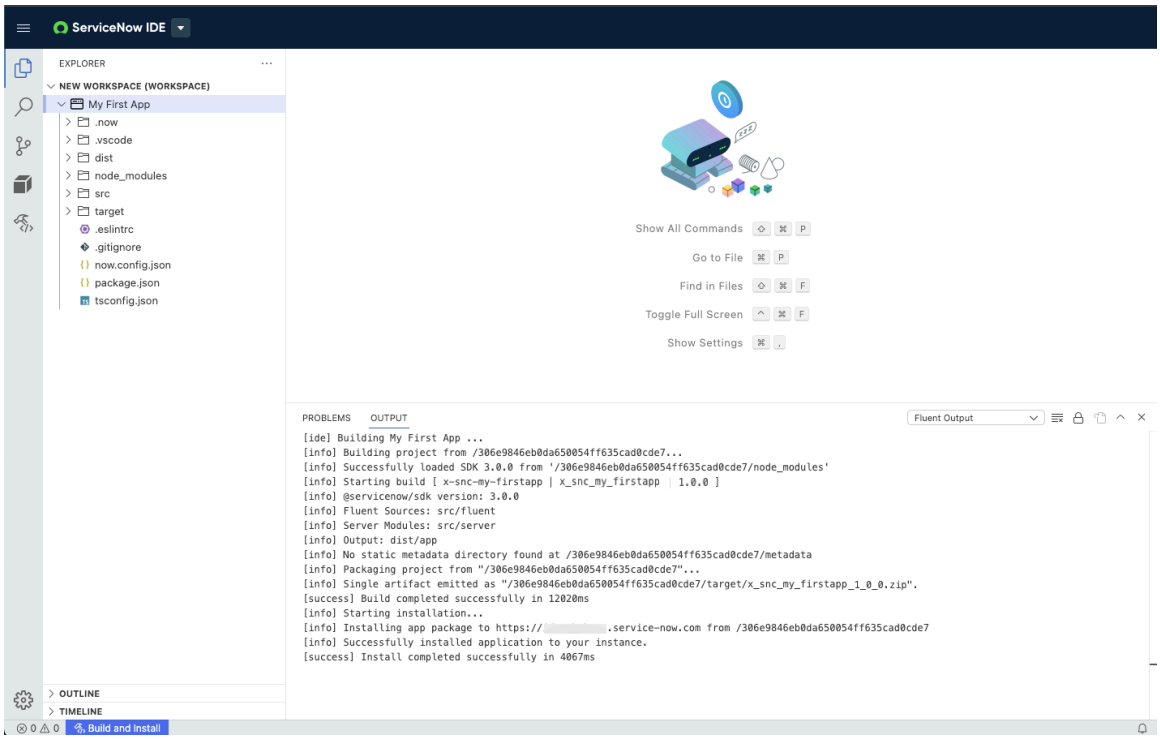
1. 移動先 すべて > アプリ開発 > **ServiceNow IDE**.
2. ワークスペースを開きます。
3. コマンドパレットを開くには、次のいずれかのキーボードショートカットを使用します。
   - Windows：Ctrl-Shift-P
   - Mac：Cmd-Shift-P
4. `Fluent: Create Fluent App` と入力し、Enter キーを押します。
5. アプリケーションの名前を入力し、Enter キーを押します。
6. アプリケーションの説明を入力し、Enter キーを押します。
7. アプリケーションのスコープを入力し、Enter キーを押します。
   スコープ名はインスタンス上で一意で、x_<prefix> で始まり、18 文字以下である必要があります。詳細については、「名前空間識別子」を参照してください。
8. アプリケーションのパッケージ名を入力し、Enter キーを押します。
   パッケージ名は、ノードパッケージマネージャー (npm) パッケージ命名基準に準拠している必要があります。
9. デフォルトのアプリケーション構造を定義するテンプレートを選択します。
10. オプション: アプリケーションをビルドしてインストールし、してソースコードをアプリケーションメタデータにコンパイルし、変更をインスタンス全体で使用できるようにします。詳細については、「でアプリケーションをビルド してインストール する ServiceNow IDE」を参照してください。

タスクの結果

デフォルトのアプリケーション構造を持つスコープ対象のアプリケーションがインスタンスに追加され、ワークスペースで開きます。 アプリケーション構造の詳細については、「ソースコードでアプリケーションをビルドする」トピックの「アプリケーションの構造」セクションを参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



Trouble?
ステータスバーに、アプリケーションが作成されたかどうかを確認するメッセージが表示されます。アプリケーションの作成に失敗した場合は、パネルの出力ログを確認します。

> **注:**
> ServiceNow IDEが必要な依存関係をアプリケーションにインストールするには、パブリック npm レジストリが HTTP `Access-Control-Allow-Origin` ヘッダーで応答する必要があります。

次のタスク
Git プロバイダーから、アプリケーションの専用 Git リポジトリを作成します。アプリケーションのローカル Git リポジトリを初期化し、リモートリポジトリにプッシュします。詳細については、「ServiceNow IDE で Git リポジトリを初期化する」を参照してください。

ServiceNow IDE では、ServiceNow Fluent を使用したソースコードでのアプリケーションの開発、カスタム JavaScript モジュールの作成、またはサードパーティライブラリの追加を開始します。

でアプリケーションを変換する **ServiceNow IDE**

既存のスコープ対象のアプリケーションを、 ServiceNow IDEを使用してソースコードの開発をサポートするように変換します。

始める前に
アプリケーション用のワークスペースを作成します。詳細については、「ServiceNow IDE でワークスペースを作成する」を参照してください。

必要なロール:sn_glider.ide_fluent_admin および admin

このタスクについて
ServiceNow IDE または ServiceNow SDK で作成されていない既存のスコープ対象のアプリケーションは、ソースコードでの開発をサポートするように変換する必要があります。アプリケーションを変換すると、ソースコードで開発するために必要なファイルとディレクトリが追加されます。既存のアプリケーションメタデータを ServiceNow Fluent コードに変換するかどうかを選択できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > アプリ開発 > **ServiceNow IDE**.
2. ワークスペースを開きます。
3. コマンドパレットを開くには、次のいずれかのキーボードショートカットを使用します。
   - Windows：Ctrl-Shift-P
   - Mac：Cmd-Shift-P
4. 「Fluent: スコープ対象アプリを Fluent に変換する」と入力し、Enter キーを押します。
5. リストからスコープ対象のアプリケーションを選択します。

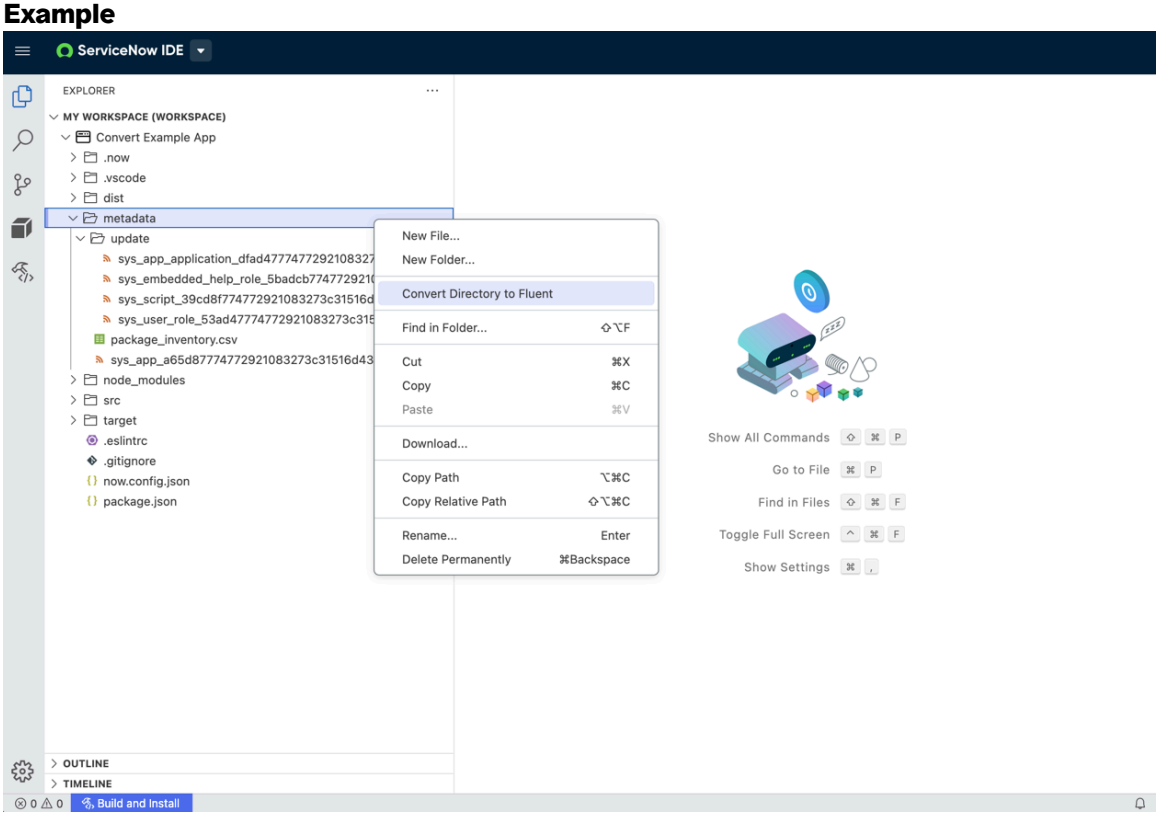
   変換されていないアプリケーションは、「」と表示され、「Fluent アプリ:False」と表示されます。

   スコープ対象のアプリケーションは、デフォルトのアプリケーション構造でワークスペースに追加されますが、アプリケーションメタデータは ServiceNow Fluent コードに変換されません。 アプリケーション構造の詳細については、「ソースコードでアプリケーションをビルドする」トピックの「アプリケーションの構造」セクションを参照してください。
6. オプション: 既存のメタデータを ServiceNow Fluent コードに変換するには、次の手順を実行します。

   a. アクティビティバーから、[ファイルエクスプローラー] ビュー( ) を選択します。

   b. アプリケーションの メタデータ ディレクトリを右クリックし、[ディレクトリを **Fluent** に変換] を選択します。

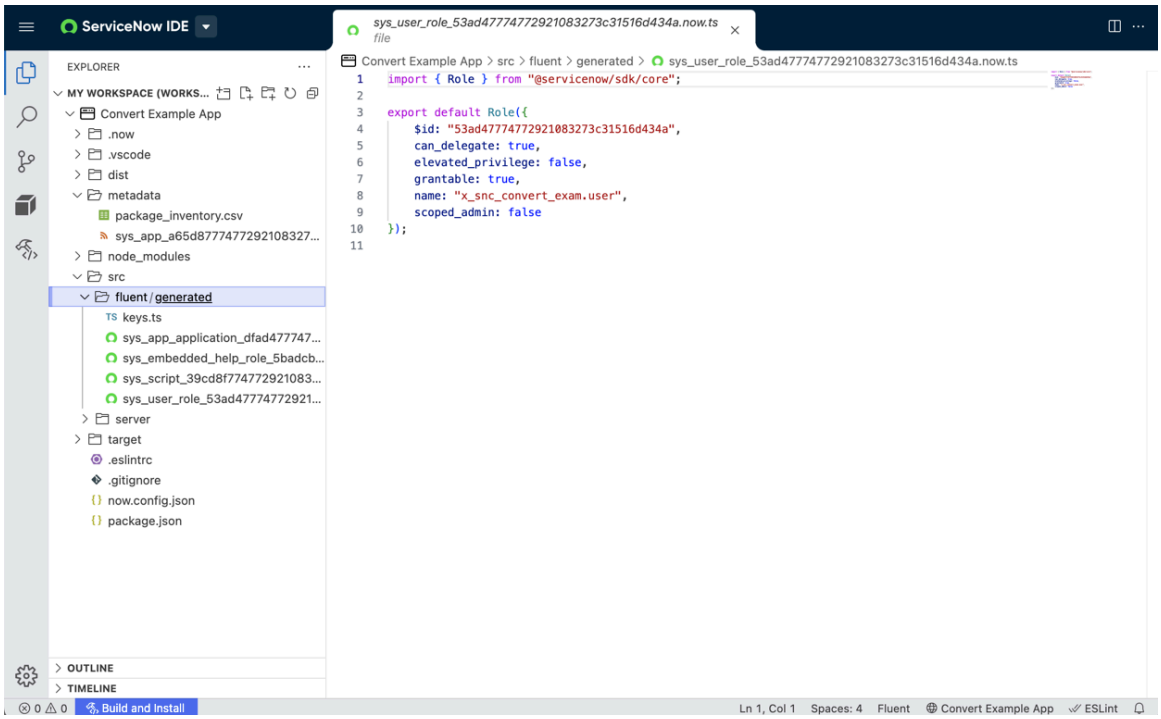
Example



アプリケーション メタデータはServiceNow Fluentfluent/generated ディレクトリのコードで定義され、metadata ディレクトリとそのサブディレクトリから削除されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳



注:
メタデータスナップショット [sys_metadata_link] や UX 資産 [sys_ux_lib_asset] など、限られた数のメタデータタイプは、 ServiceNow Fluent コードとして表すことができず、変換されません。これらのメタデータ型は、アプリケーションの メタデータ ディレクトリにメタデータ XML ファイルとして残ります。

7. オプション: アプリケーションをビルドしてインストールし、してソースコードをアプリケーションメタデータにコンパイルし、変更をインスタンス全体で使用できるようにします。詳細については、「でアプリケーションをビルド してインストール する ServiceNow IDE」を参照してください。

タスクの結果
変換されたアプリケーションは、ソースコードでの開発をサポートするために必要なファイルとディレクトリとともにワークスペースに追加されます。 変換されたアプリケーションをインストールすると、カスタムアプリケーションレコード [sys_app] の **[JSON** のパッケージ化] フィールドに、アプリケーションの package.json ファイルへのパスが含まれます。

Trouble?

注:
ServiceNow IDEが必要な依存関係をアプリケーションにインストールするには、パブリック npm レジストリが HTTP `Access-Control-Allow-Origin` ヘッダーで応答する必要があります。

次のタスク
Git プロバイダーから、アプリケーションの専用 Git リポジトリを作成します。アプリケーションのローカル Git リポジトリを初期化し、リモートリポジトリにプッシュします。詳細については、「ServiceNow IDE で Git リポジトリを初期化する」を参照してください。

ServiceNow IDE では、ServiceNow Fluent を使用したソースコードでのアプリケーションの開発、カスタム JavaScript モジュールの作成、またはサードパーティライブラリの追加を開始します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

でのアプリケーションの同期 ServiceNow IDE

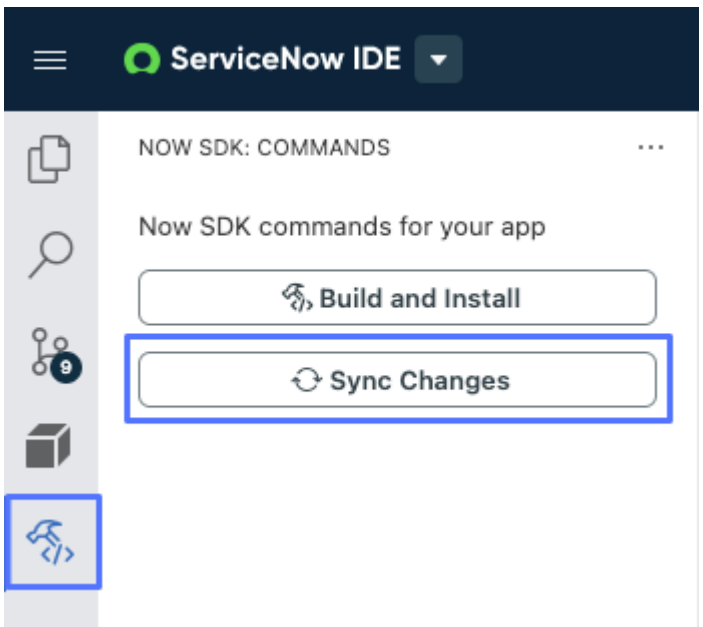
ServiceNow IDE内のアプリケーションを同期すると、アプリケーションメタデータがダウンロードされ、ServiceNow Fluentコードに変換されます。

ServiceNow Fluent は双方向同期をサポートしているため、メタデータへの変更を他の ServiceNow AI Platform ユーザーインターフェイスからソースコードに同期できます。アプリケーションをビルドしてインストールすると、ソースコードの変更がインスタンス全体のメタデータにコンパイルされます。このプロセスでは、開発者がプラットフォーム全体でアプリケーションメタデータを変更する一方で、他のユーザーが ServiceNow Fluent コードを変更できるため、さまざまなスキルセットのユーザーとのコラボレーションが可能になります。

ServiceNow IDEでは、アプリケーションのメタデータが変更されると、アプリケーションを同期して最新の変更を取得するように求められます。アプリケーションでメタデータの変更が検出された場合は、インスタンス全体にアプリケーションをインストールする前に同期が必要です。

注:
アプリケーションを同期するための通知を無視した場合、残りのセッションで再度同期するように求められることはありません。アプリケーションをインストールしたり、ブラウザーを更新したりすると、再度同期するように求められます。

Now SDK ビュー ( ) またはコマンドパレットの `Fluent: 変更されたメタデータとの Fluent アプリの同期` コマンドを使用して、オンデマンドでアプリケーションを同期できます。



での同期プロセス ServiceNow IDE

1. アプリケーションを初めて同期する前に、以下を実行します。
   - リポジトリを初期化する必要があります。
   - アプリケーションに対する変更をステージングして、アプリケーションの同期時に保持する必要があります。
2. アプリケーションを初めて同期するとき:

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- ソースコードで定義されていない新しいメタデータは、 src/fluent/generated ディレクトリでソースコードに変換されます。
- ソース コードで定義されているメタデータへの変更は、 ソース コードの src/fluent ディレクトリと src/fluent/generated ディレクトリにダウンロードされます。
- ソース コードに変換されていない既存のメタデータ XML への変更は、 メタデータ ディレクトリにダウンロードされます。

3. その後アプリケーションが同期される時刻:
   - アプリケーションが最後に同期されてから行われた変更のみがダウンロードされ、変換されます。
   - 必要に応じて、アプリケーション内のすべてのメタデータをコマンドパレットの Fluent: Fluent アプリとすべてのメタデータの強制同期 コマンドと同期できます。このコマンドを実行する前に、変更をステージングして保持する必要があります。

関連情報

ServiceNow Fluent

ServiceNow IDE の **ServiceNow Fluent** を使用してコードでアプリケーションメタデータを定義する

コードでアプリケーションメタデータを定義するServiceNow Fluent を ServiceNow IDE で使用します。

始める前に

アプリケーションを作成、変換、またはクローンして、ワークスペースに追加します。詳細は、以下のトピックを参照してください。

- ServiceNow IDE でアプリケーションを作成する
- でアプリケーションを変換する ServiceNow IDE
- ServiceNow IDE で Git リポジトリのクローンを作成する

必要なロール：admin

このタスクについて

ServiceNow Fluent は、アプリケーションを構成するメタデータファイル [sys_metadata] を定義するための TypeScript に基づくドメイン固有言語 (DSL) であり、テーブル、ロール、ACL、ビジネスルール、自動テストフレームワーク (ATF) テストなど、さまざまなタイプのメタデータの API が含まれています。 ServiceNow Fluent API と例の詳細については、「ServiceNow Fluent API リファレンス」を参照してください。ServiceNow IDE には、デフォルトで ServiceNow Fluent API とアプリケーションの言語処理と検証があります。

手順

1. 移動先 すべて > アプリ開発 > **ServiceNow IDE**.
2. アプリケーションでワークスペースを開きます。
3. アクティビティバーから、[ファイルエクスプローラー] ビュー( ) を選択します。
4. src/fluent ディレクトリに、拡張子が .now.ts のファイルを追加します。
   アプリケーションメタデータは、1 つのファイルまたは任意の数の .now.ts ファイルで定義し、fluent ディレクトリ内のディレクトリにファイルを整理できます。

   ヒント:
   fluent ディレクトリでは、index.now.ts という名前のサンプルファイルを参照できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

5. .now.ts ファイルで、ServiceNow Fluent API のオブジェクトを使用して、アプリケーションのメタデータを定義します。

   Example

   たとえば、アプリケーションでテーブル [sys_db_object] を作成するには、テーブル API を使用します。次の例では、必要なプロパティと値を持つ `Table` オブジェクトを使用して、To Do リスト用のシンプルなテーブルを作成しています。

```
export const x_snc_example_to_do = Table({
   name: 'x_snc_example_to_do',
   schema: {
      deadline: DateColumn({ label: 'Deadline' }),
      state: StringColumn({
         label: 'State',
         choices: {
            ready: { label: 'Ready' },
            completed: { label: 'Completed' },
            inProgress: { label: 'In Progress' },
         },
      }),
      task: StringColumn({ label: 'Task', maxLength: 120 }),
   },
})
```

   注:
   レコード API を使用して、専用 API を持たないアプリケーションメタデータを定義できます。

6. @servicenow/sdk/core から API に必要なインポートを追加します。

   Example

   たとえば、日付列と文字列列を持つテーブルを定義するには、使用する対応するオブジェクトをテーブル API からインポートします。

```
import { Table, DateColumn, StringColumn } from '@servicenow/sdk/core'
```

7. オプション: ビジネスルールなどのサーバー側スクリプトを使用する ServiceNow Fluent API の場合は、JavaScript モジュールからコードをインポートして、オブジェクトの `スクリプト` プロパティから呼び出します。

   Example
   この例では、`スクリプト` プロパティから参照できる showStateUpdate 関数をインポートします。

```
import { showStateUpdate } from '../server/script.js'
```

8. 変更内容を保存します。
9. オプション: アプリケーションをビルドしてインストールし、してソースコードをアプリケーションメタデータにコンパイルし、変更をインスタンス全体で使用できるようにします。詳細については、「でアプリケーションをビルド してインストール する ServiceNow IDE」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Trouble?

ヒント:
コードコメントで次のディレクティブを使用して、コードを管理できます。

- @fluent-ignore:次のコード行 ServiceNow Fluent 診断の警告とエラーを抑制します。
- @fluent-disable-sync: ServiceNow Fluent オブジェクトへの変更の同期をオフにします。呼び出し式の前 (例: Record({ ... }) を使用して、そのオブジェクトとその子オブジェクトの同期をオフにします。このディレクティブは、ソースコードの外部でオブジェクトに加えられた変更を無視し、同期時に更新しない場合にのみ使用してください。
- @fluent-disable-sync-for-file: ServiceNow Fluent ファイル (.now.ts) への変更の同期をオフにします。ファイルの最初の行で使用して、ファイル内のすべてのコードの同期をオフにします。このディレクティブは、ソースコードの外部でファイルに加えられた変更を無視し、同期時に更新しない場合にのみ使用してください。

Example: ServiceNow Fluent を使用してソースコードでアプリケーションメタデータを定義する

拡張子が .now.ts のファイルで、ServiceNow Fluent API のオブジェクトを使用して、アプリケーションのメタデータを定義します。また、@servicenow/sdk/core からの API に、必要なインポートも含める必要があります。*`BusinessRule`* オブジェクトなど、サーバー側スクリプトを持つオブジェクトの場合は、JavaScript モジュールからコードをインポートして使用できます。

次の例には、アプリケーションのテーブル、クライアントスクリプト、およびビジネスルールの定義が含まれています。クライアントスクリプトは、 client-script.js ファイルのスクリプトを使用します。 ビジネスルールは、 script.js JavaScript モジュールの関数を使用します。

```
import '@servicenow/sdk/global'
import { BusinessRule, ClientScript, DateColumn, StringColumn, Table }
 from '@servicenow/sdk/core'
import { showStateUpdate } from '../server/script.js'

//creates todo table, with three columns (deadline, status and task)
export const x_snc_example_to_do = Table({
    name: 'x_snc_example_to_do',
    schema: {
        deadline: DateColumn({ label: 'Deadline' }),
        state: StringColumn({
            label: 'State',
            choices: {
                ready: { label: 'Ready' },
                completed: { label: 'Completed' },
                inProgress: { label: 'In Progress' },
            },
        }),
        task: StringColumn({ label: 'Task', maxLength: 120 }),
    },
})

//creates a client script that pops up 'Table loaded successfully!!' message everytime todo record is loaded
ClientScript({
    $id: Now.ID['cs0'],
    name: 'my_client_script',
    table: 'x_snc_example_to_do',
    active: true,
    appliesExtended: false,
```

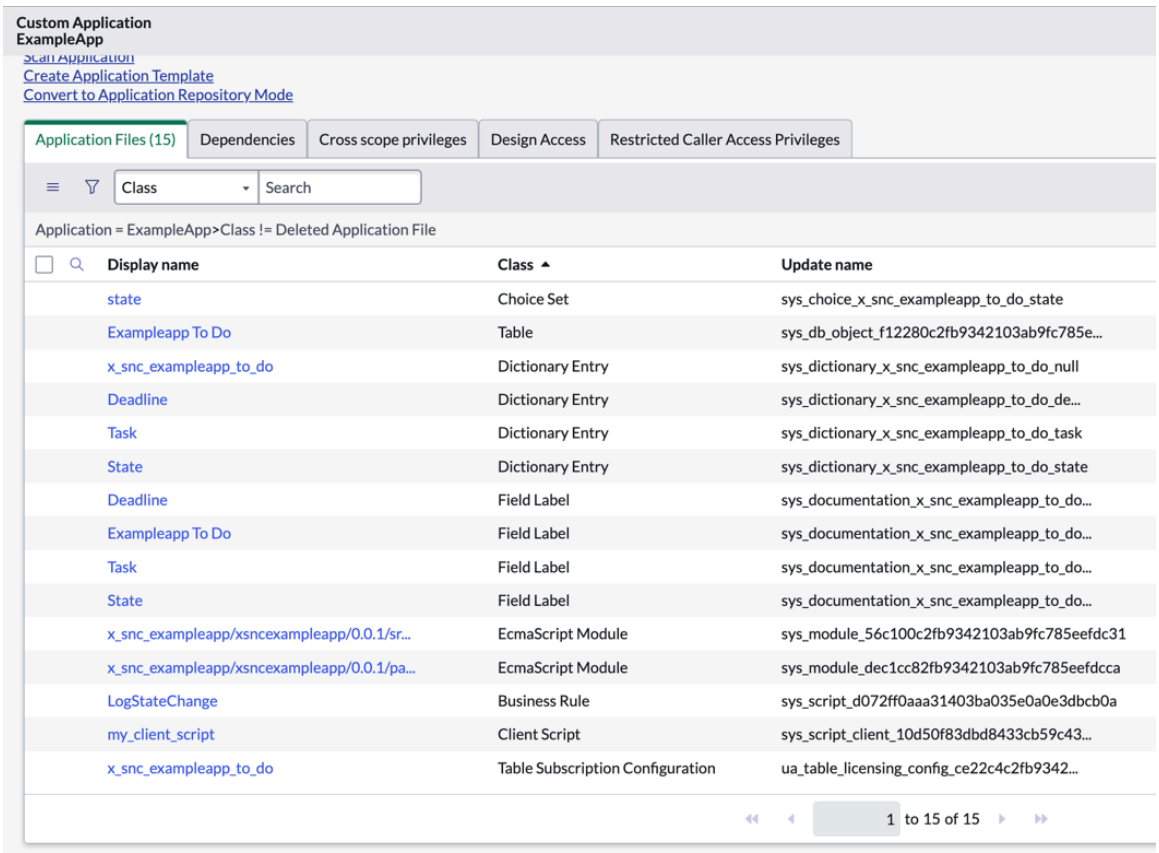
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    global: true,
    uiType: 'all',
    description: 'Custom client script generated by Now SDK',
    messages: '',
    isolateScript: false,
    type: 'onLoad',
    script: Now.include('../client/client-script.js'),
})

//creates a business rule that pops up state change message whenever a todo record is updated
BusinessRule({
    $id: Now.ID['br0'],
    action: ['update'],
    table: 'x_snc_example_to_do',
    script: showStateUpdate,
    name: 'LogStateChange',
    order: 100,
    when: 'after',
    active: true,
})
```

アプリケーションのビルド後、このソースコードはインスタンスで次のアプリケーションメタデータファイルを生成します。

ServiceNow Fluent コードから生成されたアプリケーションメタデータ



関連情報

ServiceNow Fluent

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ServiceNow IDE のアプリケーションで **JavaScript** モジュールを作成して使用する

ServiceNow IDE で、JavaScript モジュールで再利用可能なコードブロックを定義して、コードベースを最適化します。

始める前に

アプリケーションを作成、変換、またはクローンして、ワークスペースに追加します。詳細は、以下のトピックを参照してください。

- ServiceNow IDE でアプリケーションを作成する
- でアプリケーションを変換する ServiceNow IDE
- ServiceNow IDE で Git リポジトリのクローンを作成する

> **注:**
> モジュールで TypeScript を使用するには、アプリケーションの作成時にテンプレートタイプとして TypeScript を選択します。

必要なロール：admin

このタスクについて

スコープ対象のアプリケーションでの JavaScript モジュールの使用のサポートについて、いくつかの制限を含めて、「 JavaScript モジュールとサードパーティライブラリ」を参照してください。 JavaScript モジュールの作成に使用される構文に関する一般的な情報については、MDN Web Docs Web サイトの「JavaScript modules (JavaScript モジュール)」ページを参照してください。

> **注:**
> コード向け Now Assistを使用すると、コードオートコンプリートスキルを使用して、モジュールスクリプトのコード提案を生成できます。詳細については、「Generate code with autocomplete」を参照してください。

手順

1. 移動先 すべて > アプリ開発 > **ServiceNow IDE**.
2. アプリケーションでワークスペースを開きます。
3. アクティビティバーから、[ファイルエクスプローラー] ビュー( ) を選択します。
4. アプリケーションの src/server ディレクトリに、再利用するモジュールコードを含む JavaScript または TypeScript ファイルを作成します。
5. オプション: サーバー API をインポートして、モジュールから呼び出します。

   (Optional) Glide API は、 `@servicenow/Glide` パッケージまたはパッケージ内の名前空間からインポートできます。

   たとえば、次のようになります。

   ```
   import { API } from "@servicenow/glide";
   import { API } from "@servicenow/glide/<namespace>";
   ```

6. モジュールで、エクスポートするコードを *`export`* ステートメントで指定します。

   名前付きエクスポートまたはデフォルトのエクスポートを使用できます。名前付きエクスポートは変数、定数、関数、またはクラスにすることができますが、デフォルトのエクスポートは関数またはクラスのみにすることができます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Example
次の例は、モジュール内の複数の機能 (関数と変数) の名前付きエクスポートを追加する 1 つの方法です。

```
export { myFunction, myVariable };
```

7. エクスポートされたモジュールのコードを他のモジュールまたはサーバー側スクリプトで使用します。

8. 変更内容を保存します。
9. ステータスバーから、[ビルドしてインストール] を選択します。

エディターで開いているアクティブなファイルによって、ビルドするアプリケーションが決まります。ファイルが開いていない場合は、プロンプトが表示されたらビルドするアプリケーションを選択します。

ビルド後、モジュールは EcmaScript モジュール [sys_module] テーブルに追加されます。

次のタスク
JavaScript モジュールでサードパーティライブラリを使用するには、「ServiceNow IDE のアプリケーションでサードパーティライブラリを使用する」を参照してください。

関連情報
JavaScript モジュールとサードパーティライブラリ

ServiceNow IDE のアプリケーションでサードパーティライブラリを使用する
ServiceNow IDE で、アプリケーションでサードパーティライブラリを呼び出して、既存のオープンソース機能を使用します。

始める前に
JavaScript モジュールを作成します。詳細については、「ServiceNow IDE のアプリケーションで JavaScript モジュールを作成して使用する」を参照してください。

プライベート レジストリからパッケージをインストールして使用するには、 ServiceNow IDEで パッケージ マネージャーのユーザー設定を構成する必要があります。詳細については、「を使用してプライベートレジストリから npm パッケージをインストールする ServiceNow IDE」を参照してください。

必要なロール：admin

このタスクについて
サードパーティライブラリは JavaScript モジュールとしてアプリケーションに追加されます。JavaScript モジュールの作成に使用される構文に関する一般的な情報については、MDN Web Docs Web サイトの「JavaScript modules (JavaScript モジュール)」ページを参照してください。

> **重要:**
> サポートされていない API や ECMAScript 機能など、サポートされていない機能に依存するサードパーティライブラリを使用することはできません。サポートされていない機能の詳細については、「JavaScript モジュールとサードパーティライブラリ」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > アプリ開発 > **ServiceNow IDE**.
2. アプリケーションでワークスペースを開きます。
3. アクティビティバーから、[ファイルエクスプローラー] ビュー( ) を選択します。
4. アプリケーションの package.json ファイルを開きます。
5. dependencies フィールドに、パッケージ名と、使用するサードパーティライブラリのバージョンを入力します。

   Example

   ```
   "dependencies": {
     "<package name>": "<version>"
   }
   ```

6. JavaScript モジュールで、*import* ステートメントを使用してライブラリをインポートします。

   Example

   この例では、モジュールに lodash モジュールの名前空間インポートが含まれています。

   ```
   import * as lodash from "lodash"
   ```

   この例では、モジュールに lodash モジュールの camelCase 関数の名前付きインポートが含まれています。

   ```
   import camelCase from 'lodash'
   ```

7. モジュールでライブラリからインポートされたコードを呼び出して再利用します。
8. ステータスバーから、[ビルドしてインストール] を選択します。

   エディターで開いているアクティブなファイルによって、ビルドするアプリケーションが決まります。ファイルが開いていない場合は、プロンプトが表示されたらビルドするアプリケーションを選択します。

   ビルド後、サードパーティのライブラリがアプリケーションに追加され、そのモジュールは EcmaScript モジュール [sys_module] テーブルに追加されます。

関連情報

JavaScript モジュールとサードパーティライブラリ

を使用してプライベートレジストリから **npm** パッケージをインストールする **ServiceNow IDE**

ノードパッケージマネージャー (npm) パッケージをアプリケーションの依存関係としてインストールし、サードパーティライブラリとして使用します。

始める前に
必要なロール：admin

このタスクについて
プライベート レジストリからパッケージをインストールするには、 ServiceNow IDEでパッケージマネージャーのユーザー設定を構成する必要があります。次に、パッケージをインストールするアプリケーションを選択できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ServiceNow IDE は、パブリック npm レジストリ (https://registry.npmjs.org) をデフォルトのパッケージソースとして使用します。ネットワークがこのレジストリへのアクセスをブロックしている場合、 ServiceNow IDEでパッケージをダウンロードしてアプリケーションをビルドするには、代替レジストリにアクセスできる必要があります。システムでパブリック npm レジストリへのアクセスがブロックされている場合は、 ServiceNow IDE のパッケージ マネージャー ユーザー設定でプライベート npm レジストリを構成する必要があります。詳細については、「を使用してプライベートレジストリから npm パッケージをインストールする ServiceNow IDE」を参照してください。

> **注:**
> プライベート レジストリからパッケージをインストールするには、レジストリが HTTP `Access-Control-Allow-Origin` ヘッダーで応答する必要があります。

手順

1. 移動先 すべて > アプリ開発 > **ServiceNow IDE**.
2. ワークスペースを開きます。
3. コマンドパレットを開くには、次のいずれかのキーボードショートカットを使用します。
   - Windows：Ctrl-Shift-P
   - Mac：Cmd-Shift-P
4. 設定の入力: [ユーザー設定 (JSON)] を開き、Enter キーを押します。
5. プライベートレジストリーをデフォルトのレジストリ ーとして指定するか、 そこからパッケージをインストールできるスコープ対象のレジストリーを指定します。

   > **注:**
   > パブリック レジストリからパッケージをインストールするには、プライベート レジストリに加えて、パブリック レジストリを既定のレジストリとして指定するか、スコープ対象のレジストリを指定できます。

6. プライベートレジストリにアクセスするための認証情報を入力します。

オプション	説明
基本認証	指定したデフォルトのレジストリにアクセスするためのユーザー名とパスワードを入力します。 `"package-manager.basicAuth": [ { "registry": "<private-registry-url>", "user": "<user-name>", "pass": "<password>" }, ... ]`
従来の認証	指定したデフォルトのレジストリにアクセスするための従来のトークンを指定します。従来のトークンは、Base64 形式でエンコードされたベーシック認証情報です。 `"package-manager.legacyAuth": [ { "registry": "<private-registry-url>", "token": "<legacy-token>" },`

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

オプション	説明
	...]
トークン認証	指定したデフォルトのレジストリにアクセスするためのベアラートークンを指定します。 "package-manager.tokenAuth": [{ "registry": "<private-registry-url>", "token": "<token>" }, ...]

7. 変更内容を settings.json ファイルに保存します。
8. コマンドパレットを開くには、次のいずれかのキーボードショートカットを使用します。
   - Windows：Ctrl-Shift-P
   - Mac：Cmd-Shift-P
9. 「Package Manager: Install Dependencies」と入力し、Enter キーを押します。
10. 依存関係としてパッケージをインストールするアプリケーションを選択します。
    パッケージは node_modules ディレクトリにインストールされます。

Example: プライベートレジストリアクセスのユーザー設定

次の例では、ユーザーはベーシック認証を使用してプライベート レジストリへのアクセスを構成しました。また、ユーザーは、 @example スコープを使用してパブリック レジストリからパッケージをインストールするように設定を構成しました。

```
{
  "files.autoSave": "off",
  "package-manager.defaultRegistry": "<private-registry-url>",
  "package-manager.basicAuth": [
    {
    "registry": "<private-registry-url>",
      "user": "<user-name>",
      "pass": "<password>"
    }
  ],
  "package-manager.scopedRegistries": [
    {
      "scope": "@example",
      "registry": "<public-registry-url>"
    }
  ]
}
```

次のタスク
サードパーティライブラリとしてインストールしたパッケージをアプリケーションで使用します。詳細については、「ServiceNow IDE のアプリケーションでサードパーティライブラリを使用する」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

メタデータエクスプローラーからのアプリケーションファイルの作成

ServiceNow IDEのメタデータエクスプローラーから、埋め込みServiceNow AI Platformユーザーインターフェイスでアプリケーションファイルを作成します。

始める前に
アプリケーションを作成、変換、またはクローンして、ワークスペースに追加します。詳細は、以下のトピックを参照してください。

- ServiceNow IDE でアプリケーションを作成する
- でアプリケーションを変換する ServiceNow IDE
- ServiceNow IDE で Git リポジトリのクローンを作成する

必要なロール：admin

このタスクについて
ソースコードの外部でアプリケーションメタデータを作成する必要がある場合は、 ServiceNow IDE内のメタデータエクスプローラーからアプリケーションファイルを作成できます。ServiceNow IDEからアプリケーションファイルを作成するには、埋め込みServiceNow AI Platformユーザーインターフェイスがエディターで開きます。

手順

1. 移動先 すべて > アプリ開発 > **ServiceNow IDE**.
2. アプリケーションでワークスペースを開きます。
3. アクティビティバーから、[メタデータエクスプローラー] ビュー ( ) を選択します。
4. [新しいファイルを作成]アイコン( ])を選択します。

   ヒント:
   または、アプリケーション内の既存のメタデータカテゴリまたはファイルタイプを右クリックし、「 新規ファイルの作成 」を選択して、そのカテゴリまたはタイプのアプリケーションファイルを作成することもできます。

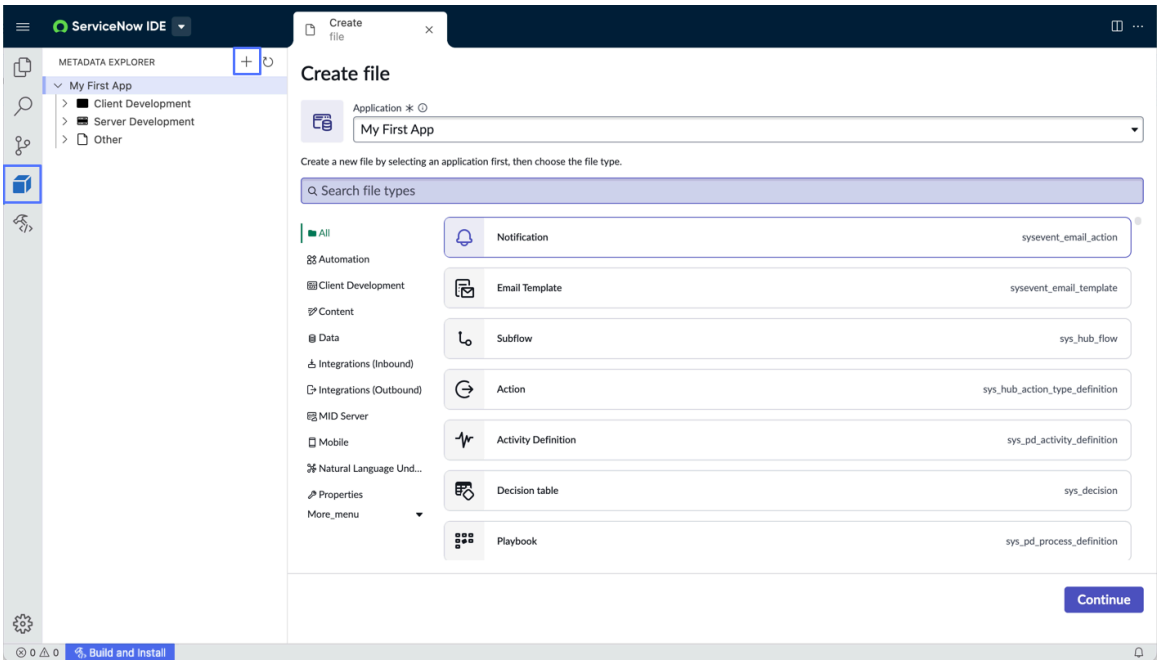
5. [アプリケーション] メニューから、ワークスペースからアプリケーションを選択します。
6. ファイルタイプのリストから、作成するファイルのタイプを選択します。

   ヒント:
   ファイルタイプを検索するか、カテゴリを選択して必要なファイルタイプを見つけます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Example



7. **[Continue** (続行)] を選択します。
8. 埋め込み ServiceNow AI Platform ユーザーインターフェイスで、フィールドに入力してアプリケーションファイルを作成します。
   ユーザーインターフェイスとフィールドは、作成したファイルのタイプによって異なります。
9. **[Submit** (送信)] を選択します。

でアプリケーションをビルド してインストール する **ServiceNow IDE**

アプリケーションをビルドしてし、ServiceNow IDEからインスタンス全体にアプリケーションの変更をインストールする展開を行います。

始める前に

アプリケーションを作成、変換、またはクローンして、ワークスペースに追加します。詳細は、以下のトピックを参照してください。

- ServiceNow IDE でアプリケーションを作成する
- でアプリケーションを変換する ServiceNow IDE
- ServiceNow IDE で Git リポジトリのクローンを作成する

必要なロール：admin

このタスクについて

アプリケーションをビルドするには、ServiceNow Fluent コードはアプリケーションメタデータにコンパイルされ、アプリケーション内のモジュールがインスタンスで EcmaScript モジュール [sys_module] テーブルに追加されます。

手順

1. 移動先 すべて > アプリ開発 > **ServiceNow IDE**.
2. アプリケーションでワークスペースを開きます。
3. インスタンス全体のアプリケーションメタデータに加えられた変更を同期します。

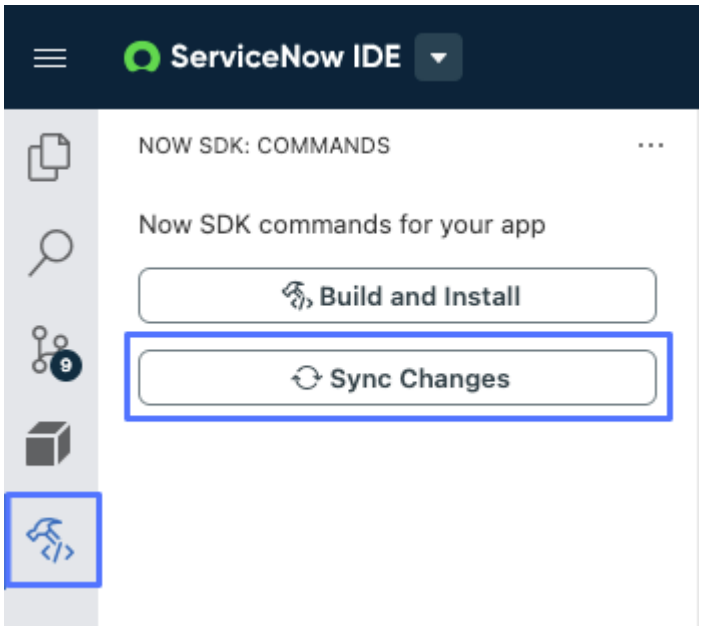
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アプリケーションを同期すると、追加の変更を行う前に最新の変更があることを確認できます。アプリケーションが最後に同期されてから行われた変更のみがダウンロードされ、変換されます。詳細については、「でのアプリケーションの同期 ServiceNow IDE」を参照してください。

a. アクティビティバーから、Now SDK ビュー ( ) を選択します。

b. [変更を同期] を選択します。
エディターで開いているアクティブなファイルによって、同期するアプリケーションが決まります。ファイルが開いていない場合は、プロンプトが表示されたら同期するアプリケーションを選択します。

Example



4. アクティビティバーから、[ファイルエクスプローラー] ビュー( ) を選択します。
5. 次のいずれかの方法でアプリケーションを変更し、変更内容を保存します。
   - ServiceNow IDE の ServiceNow Fluent を使用してコードでアプリケーションメタデータを定義する
   - ServiceNow IDE のアプリケーションで JavaScript モジュールを作成して使用する
   - ServiceNow IDE のアプリケーションでサードパーティライブラリを使用する
6. ステータスバーから、[ビルドしてインストール] を選択します。

   Build and Install

   エディターで開いているアクティブなファイルによって、ビルドするアプリケーションが決まります。ファイルが開いていない場合は、プロンプトが表示されたらビルドするアプリケーションを選択します。

   Trouble?
   ステータスバーには、ビルドが成功したか失敗したかを確認するメッセージが表示されます。ビルドが失敗した場合は、パネルから出力ログとコードの問題を確認します。
7. オプション: 変更をアプリケーションメタデータとして確認します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. アクティビティバーから、[メタデータエクスプローラー] ビュー ( ) を選択します。

b. 変更したメタデータファイルを開き、埋め込み ServiceNow AI Platform ユーザーインターフェイスから変更を確認します。

ヒント:
ソースコードとメタデータの変更を並べて表示するには、[分割エディター (Split Editor)] アイコン ( ) を選択するか、タブを右クリックして [分割] オプションの 1 つを選択します。

タスクの結果
インスタンスでアプリケーションが更新され、変更が反映されます。他のユーザーがソースコードの変更と同時にアプリケーションメタデータを変更できます。また、他の開発者は、アプリケーション内の他のモジュールまたはスクリプトでモジュールコードを再利用できます。

Trouble?

インスタンスのメタデータがインストールパッケージのメタデータと一致することを確認する必要がある場合は、コマンドパレットから Fluent: Fluent App の再インストール コマンドを使用して、インスタンスでアプリケーションをアンインストールして再インストールできます。詳細については、「ServiceNow IDE コマンド」を参照してください。

警告:
ServiceNow IDE でアプリケーションに同期されていないインスタンスのメタデータへの変更は削除されます。

次のタスク
ソースコントロールを使用して、リモート Git リポジトリへの変更のステージング、コミット、およびプッシュを行います。詳細については、「ServiceNow IDE でソースコントロールを使用する」を参照してください。

ServiceNow IDEの参照

参照トピックには、 ServiceNow Fluent API と ServiceNow IDE プロパティ、ロールなどに関する情報が含まれています。

ServiceNow Fluent API リファレンス
: ServiceNow Fluent API を使用して、ServiceNow IDEまたはServiceNow SDKを使用してソースコードでスコープ対象のアプリケーションを構成するメタデータを定義します。

ServiceNow IDE コマンド
: ServiceNow IDE とともにインストールされたコマンドを使用します。

ServiceNow IDE のプロパティ
: ServiceNow IDE とともにインストールされたシステムプロパティを使用します。

ServiceNow IDE ロール
: ServiceNow IDE とともにインストールされたロールを使用します。

ServiceNow IDE コマンド

コマンドパレットのコマンドを使用して、 ServiceNow IDEで多くのアクションを実行します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

コマンドパレットには、ソースコントロールを使用するための Git コマンドなど、アプリケーションを作成および管理するための ServiceNow IDE に固有のコマンドと Visual Studio Code からのコマンドが含まれています。次のコマンドは ServiceNow IDE に固有のものです。

コマンドパレットを開くには、次のいずれかのキーボードショートカットを使用します。

- Windows：Ctrl-Shift-P
- Mac：Cmd-Shift-P

コマンドパレットを閉じるには、Esc キーを押します。

ServiceNow IDE コマンド

コマンド	説明
Fluent:ビルドとインストール	インスタンス全体でアプリケーションをビルドしてインストールします。 詳細：でアプリケーションをビルド してインストール する ServiceNow IDE
Fluent:Now SDK を使用したビルド	アプリケーションをインストール可能なパッケージにビルドします。
Fluent:スコープ対象アプリを Fluent に変換します	既存のスコープ対象のアプリケーションを変換して、ソースコードでの開発をサポートします。 このコマンドを使用するには、sn_glider.ide_fluent_admin ロールが必要です。 詳細：でアプリケーションを変換する ServiceNow IDE
Fluent:Fluent アプリを作成	ソースコードで開発するスコープ対象のアプリケーションを作成します。 詳細：ServiceNow IDE でアプリケーションを作成する
流暢:ダウンロードスクリプトの依存関係	アプリケーションでスクリプトの依存関係をダウンロードして、Glide API とスクリプトインクルードの先行入力サポートを取得します。タイプ定義は、アプリケーションのスクリプトに基づいて @types/servicenow ディレクトリにダウンロードされます。 スクリプトの依存関係をダウンロードした後、タイプ定義を含む src/fluent ディレクトリにtsconfig.jsonファイルを作成できます。たとえば、次のようになります。 `"include": [ "./**/*.client.js", "./**/*.server.js", "../../@types/servicenow/*.client.d.ts", "../../@types/servicenow/*.server.d.ts", ]`
Fluent:インスタンスに Fluent アプリを強制的にインストールします	既存のビルドアーティファクトをインストールします。最近の変更が上書きされる可能性があります。
Fluent:Fluent アプリとすべてのメタデータを強制的に同期	アプリケーションが最後に同期されてから変更されたメタデータだけでなく、アプリケーション内のすべてのメタデータを同期します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ServiceNow IDE コマンド (続く)

コマンド	説明
	⚠ 警告: アプリケーションのすべてのメタデータを強制的に同期すると、インスタンスにビルドおよびインストールされていないアプリケーションの変更が上書きされる場合があります。 詳細：でのアプリケーションの同期 ServiceNow IDE
Fluent:インスタンスに Fluent アプリをインストール	アプリケーションを再度ビルドせずに、インスタンス全体にアプリケーションをインストールします。
Fluent:Fluent アプリを再インストール	インスタンスでアプリケーションをアンインストールして再インストールし、インスタンスのメタデータがインストールパッケージのメタデータと一致することを確認します。アプリケーション内のソースファイルは変更されません。 ⚠ 警告: ServiceNow IDE でアプリケーションに同期されていないインスタンスのメタデータへの変更は削除されます。 EcmaScript モジュール [sys_module] テーブルに不要な以前のバージョンのモジュールがある場合、アプリケーションを再インストールすると、以前のバージョンのアプリケーションのモジュールがテーブルから削除されます。 このコマンドを使用するには、sn_glider.ide_fluent_admin ロールが必要です。
Fluent:Fluent サーバーを再起動します	ServiceNow Fluent 言語サーバーを再起動します。
Fluent:変更されたメタデータと Fluent アプリを同期	アプリケーションが最後に同期されてからアプリケーションメタデータに加えられた変更を同期します。 詳細：でのアプリケーションの同期 ServiceNow IDE
Git: Git 認証情報の管理	インスタンス上の Git ドメインとユーザーの既存の Git 認証情報を管理します。
Git:IDE Git 認証情報を設定	ユーザーに関連付けられている基本認証情報または OAuth 2.0 認証情報を構成して、Git プロバイダーで認証します。 詳細を見る： • ServiceNow IDE のベーシック認証を使用した Git プロバイダーへの接続 • ServiceNow IDE の OAuth 2.0 を使用した Git プロバイダーへの接続
メタデータエクスプローラー:メタデータエクスプローラービューにフォーカス	メタデータエクスプローラービューに移動します。 詳細：メタデータエクスプローラーからのアプリケーションファイルの作成

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ServiceNow IDE コマンド (続く)

コマンド	説明
メタデータエクスプローラー:新しいブラウザータブで開く	新しいブラウザータブでメタデータエクスプローラーを開きます。
メタデータエクスプローラー:リロード	メタデータエクスプローラービューを更新します。
パッケージマネージャー:依存関係のインストール	サードパーティの依存関係を node_modules ディレクトリにインストールします。 詳細：ServiceNow IDE のアプリケーションでサードパーティライブラリを使用する
ワークスペース:ワークスペースにアプリケーションを追加	既存のアプリケーションをワークスペースに追加します。
ワークスペース:ワークスペースに追加	ワークスペースでアプリケーションを作成する、開く、またはクローンを作成する。
ワークスペース:ワークスペースを参照	ServiceNow IDEワークスペースを参照して開きます。
ワークスペース:ワークスペースの作成	ServiceNow IDEワークスペースを作成します。 詳細：ServiceNow IDE でワークスペースを作成する
ワークスペース:ワークスペースの削除	ServiceNow IDEワークスペースを削除します。
ワークスペース:ワークスペースの名前を変更する	ServiceNow IDEワークスペースの名前を変更します。
ワークスペース:ようこそ	すべてのワークスペースを一覧表示する ServiceNow IDE ホームページに移動します。

ServiceNow IDE のプロパティ

次のシステムプロパティを使用して、インスタンスでの ServiceNow IDE 機能を管理します。

注:
システムプロパティ [sys_properties] テーブルを開くには、ナビゲーションフィルターに「sys_properties.list」と入力します。

ServiceNow IDE のプロパティ

プロパティ	説明
sn_glider.default_to_bundled_sdk	ServiceNow IDEでアプリケーションを作成または変換するときに、バンドルされたバージョンを使用するか、最新バージョンの ServiceNow SDKを使用するかを指定します。true の場合、ServiceNow IDE のバージョンにバンドルされているServiceNow SDKのバージョンが使用されます。false の場合、最新バージョンの ServiceNow SDK が使用されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ServiceNow IDE のプロパティ (続く)

プロパティ	説明
	• タイプ：true | false • デフォルト値：false • 場所：システムプロパティ [sys_properties] テーブル
sn_glider.enable_ide	ServiceNow IDEへのアクセスを有効にします。false の場合、 ServiceNow IDE へのアクセスはインスタンス全体でオフになります。 • タイプ：true | false • デフォルト値：true • 場所：システムプロパティ [sys_properties] テーブル
sn_glider.fluent_convert_enabled	ServiceNow IDE または ServiceNow SDK で作成されていない既存のスコープ対象のアプリケーションを変換して、ServiceNow IDEからのソースコードの開発をサポートできるようにします。 • タイプ：true | false • デフォルト値：true • 場所：システムプロパティ [sys_properties] テーブル • 詳細：でアプリケーションを変換する ServiceNow IDE
sn_glider.fluent_file_convert_enabled	個々のメタデータ XML ファイルを .now.ts ファイル内のServiceNow Fluentコードに変換できます。 • タイプ：true | false • デフォルト値：false • 場所：システムプロパティ [sys_properties] テーブル • 詳細：でアプリケーションを変換する ServiceNow IDE
sn_glider.git.attachment.extension.binary	デフォルトの gitdata 拡張子を上書きするために、バイナリコンテンツタイプ (application/octet-stream など) を持つ添付ファイルのカスタム拡張子を定義します。このプロパティで指定するカスタム拡張は、 `glide.attachment.extensions` システムプロパティでも指定する必要があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ServiceNow IDE のプロパティ (続く)

プロパティ	説明
	注: 既存の拡張子を再利用する場合は、設定した値がバイナリタイプの MIME タイプ検証に合格していることを確認してください。 • タイプ: 文字列 • デフォルト値:gitdata • 場所：システムプロパティ [sys_properties] テーブル • 詳細：ServiceNow IDE MID サーバーユーザー [sn_glider.ide_git_user]
sn_glider.git.attachment.extension.text	デフォルトの txt 拡張子を上書きするために、テキストコンテンツタイプ (text/plain など) を持つ添付ファイルのカスタム拡張子を定義します。このプロパティで指定するカスタム拡張は、*glide.attachment.extensions* システムプロパティでも指定する必要があります。 注: 既存の拡張子を再利用する場合は、設定した値がテキストタイプの MIME タイプの検証に合格していることを確認してください。 • タイプ: 文字列 • デフォルト値:txt • 場所：システムプロパティ [sys_properties] テーブル • 詳細を見る： ServiceNow IDE MID サーバーユーザー [sn_glider.ide_git_user]

ServiceNow IDE ロール

ServiceNow IDEで使用するために、次のロールがインストールされます。

注:
クリエータースタジオ制限付きユーザー [sn_creatorstudio.restricted_user] ロールを持つユーザーは、他のロールがアサインされているかどうかにかかわらず、ServiceNow IDEにアクセスできません。

ServiceNow IDE アドミニストレーター **[sn_glider.ide_fluent_admin]**

ServiceNow IDE からスコープ対象のアプリケーションを変換します。

ロールを含む

デフォルトでは、このロールにはロールが含まれていません。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

グループ

このロールはデフォルトでどのグループにもアサインされません。

特別な考慮事項

なし。

ServiceNow IDE MID サーバーユーザー **[sn_glider.ide_git_user]**

MID サーバーユーザーにアドミニストレーター権限を割り当てて、 ServiceNow IDEからソースコントロール内のアプリケーションを管理します。

ServiceNow IDEで Git 操作を実行するには、MID サーバーユーザーに sn_glider.ide_git_user ロールまたは admin ロールが必要です。詳細については、「Create the MID Server user and grant the role」と「でソースコントロールを使用するように MID サーバーを構成する ServiceNow IDE」を参照してください。

ロールを含む

ロール内に含まれるロールのリスト:

credential_admin

グループ

このロールはデフォルトでどのグループにもアサインされません。

特別な考慮事項

なし

ServiceNow SDK

Visual Studio Code Desktop でソースコード内にスコープ対象のアプリケーションをローカルで作成および開発し、ServiceNow ソフトウェア開発キット (SDK) を使用して、インスタンスに変更をアップロードします。

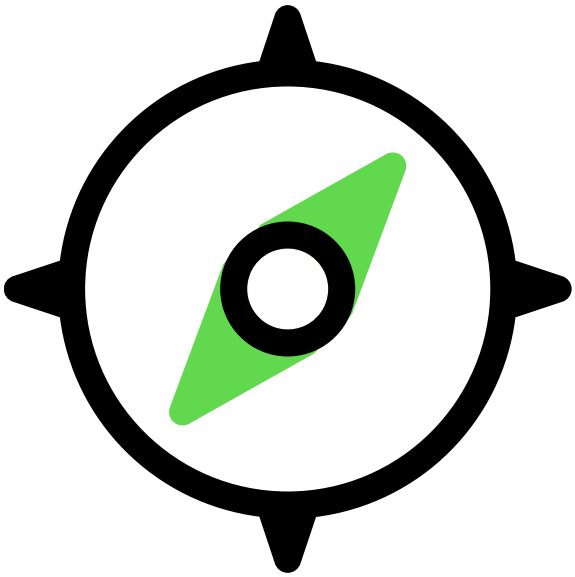
> **注:**
> ServiceNow SDKは現在、グローバルスコープまたはグローバルアプリケーションをサポートしていません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

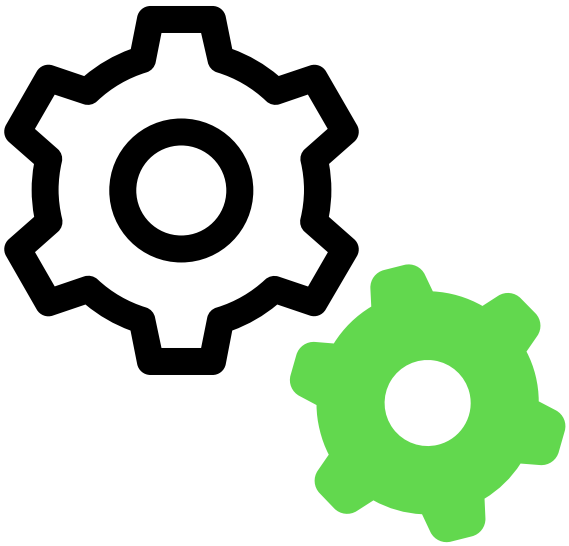
開始

探索



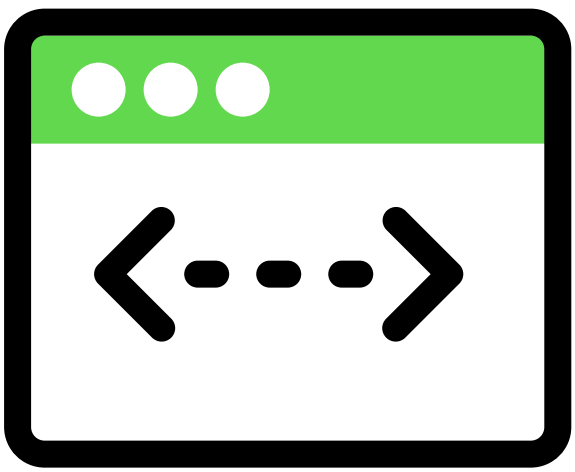
ServiceNow SDKを使用したアプリケーションの開発について説明します。

構成



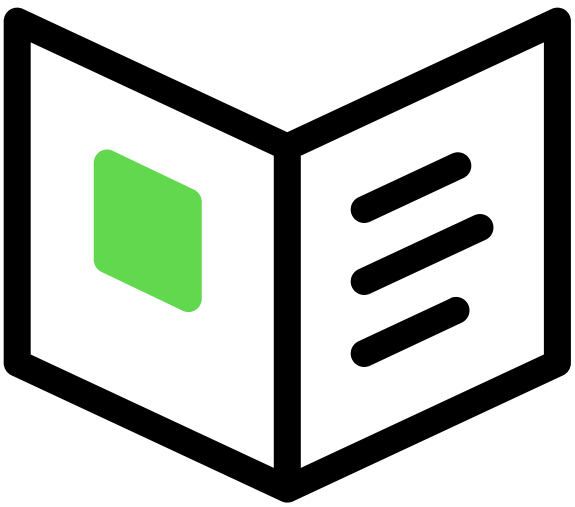
ServiceNow SDKをローカルにインストールして構成します。

ビルド



ソースコードでアプリケーションを開発します。

参照



ServiceNow SDK CLI および ServiceNow Fluent API の詳細を取得します。

アプリの作成に使用すべきビルダー

業界標準の開発ツールやプロセスを使用したい開発者の場合

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ServiceNow IDE と ServiceNow SDK は、ServiceNow Fluent を使用したソースコードでのアプリケーション開発、JavaScript モジュールの作成、およびサードパーティライブラリの使用をサポートしています。ServiceNow Fluent は、コードでアプリケーションメタデータを作成するためのドメイン固有のプログラミング言語です。

ServiceNow IDE は、ServiceNow AI Platform 上の Visual Studio Code for the Web の実装です。ServiceNow SDK は Visual Studio Code Desktop をローカルで使用します。詳細については、「ソースコードでアプリケーションをビルドする」を参照してください。

一元化されたユーザーインターフェイスでより詳細に制御したい開発者の場合

新しい ServiceNow スタジオにより、アプリをよりスマートに構築し、より迅速に提供できます。ServiceNow スタジオ は、プラットフォーム開発者が ServiceNow AI Platformに基づいて構築するための最新の統一された環境を開発者に提供します。 ServiceNow スタジオ は、アプリケーションとメタデータへの簡素化されたナビゲーション、統合されたローコードツール、開発プロセスを加速し、生産性を向上させる開発作業の効率的な追跡とパッケージ化を備えています。詳細については、「ServiceNow スタジオ の探索」を参照してください。

より一般的なアプリが必要だけれどローコードオプションが必要な場合

App Engine Studio を使用すると、プログラミングのプロでなくても、クリエータースタジオ よりも幅広いアプリをビルドできます。詳細については、「App Engine Studio の探索」を参照してください。

コードなしで簡単にアプリをビルドしたい場合

クリエータースタジオ は、コードを書かずに要求を履行するアプリケーションの作成を支援することに特化しています。たとえば、フォームに入力して事務用品を要求するアプリケーションで、誰かが要求を承認または拒否するなどです。詳細については、「クリエータースタジオ の探索」を参照してください。

トラブルシューティングとサポート

- Yokohama リリースの新機能の詳細については、「ServiceNow SDK release notes」を参照してください。
- ServiceNow SDK と Fluent クリエーターツールボックス のビデオ
- ServiceNow SDK サンプル GitHub リポジトリ
- ServiceNow コミュニティ の ServiceNow IDE、SDK、および Fluent フォーラム
- ServiceNow コミュニティ の ServiceNow IDE、SDK、および Fluent の記事
- 既知のエラーポータルで既知のエラー記事を検索する
- 連絡先 カスタマーサービス & サポート

関連情報

ServiceNow Fluent

JavaScript モジュールとサードパーティライブラリ

ServiceNow SDK の詳細

ソースコードでスコープ対象のアプリケーションをローカルで開発し、 ServiceNow SDKを使用してインスタンスに変更をインストールする方法について説明します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ServiceNow SDKの概要

ServiceNow SDKを使用すると、スコープ対象のアプリケーションを Visual Studio Code Desktop でローカルに作成および変更し、Washington DC リリース以降、非本番インスタンスにそれらのアプリケーションをインストールできます。アプリケーションをローカルで開発することで、オフラインで作業し、Visual Studio Code では使用できて、ServiceNow IDE では使用できない機能を使用できます。

Visual Studio Code では、ServiceNow Fluent を使用してソースコードでスコープ対象のアプリケーションを開発でき、アプリケーションメタデータ [sys_metadata] を定義したり、カスタム JavaScript モジュールを作成したり、サードパーティライブラリを追加したりできます。

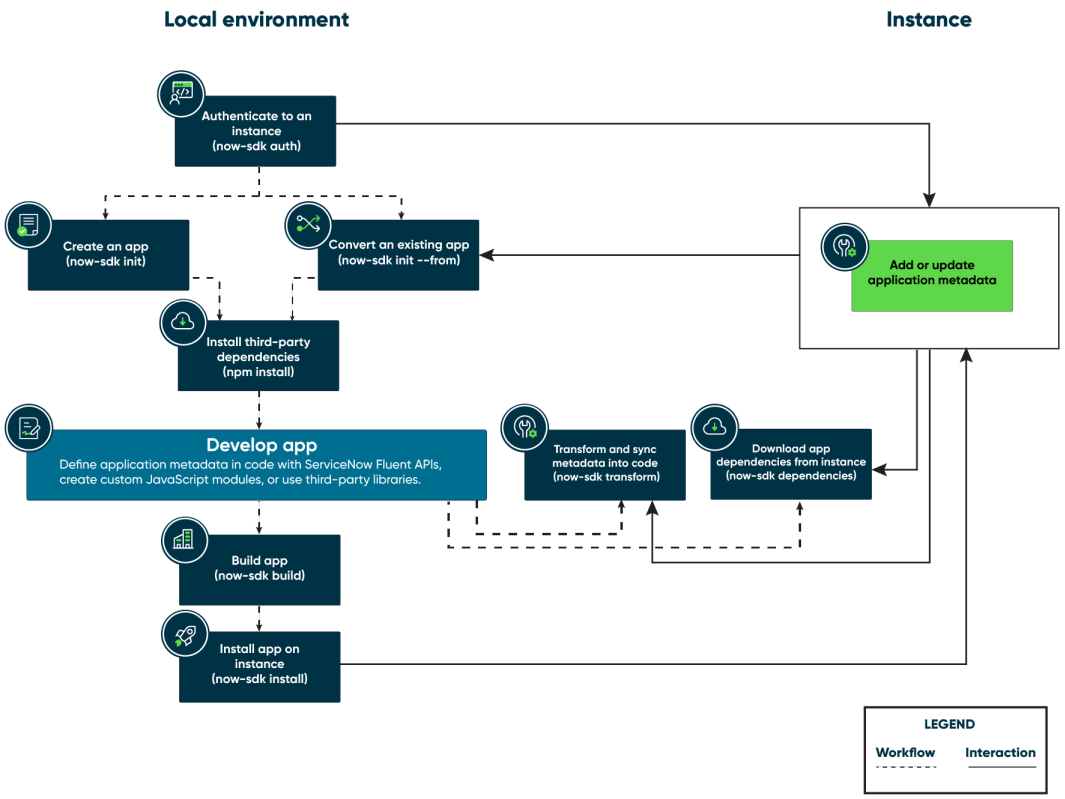
ServiceNow SDK には、インスタンスとローカルアプリケーション間の変更を管理するためのコマンドラインインターフェイス (CLI) が含まれています。シンプルな CLI コマンドを使用して、インスタンスに対する認証、アプリケーションの作成または変換、アプリケーションメタデータ (XML) の ServiceNow Fluent コードへの変換、インスタンスでのアプリケーションのビルドとインストールなどを行うことができます。

ServiceNow SDK はまた、ServiceNow IDE でアプリケーションをビルドするアプリケーションパッケージングサービスとしても機能します。詳細については、「ServiceNow IDE の詳細」を参照してください。

ServiceNow SDK のワークフロー

次のインフォグラフィックは、開発者が ServiceNow SDK を使用してアプリケーションの開発を開始するためのワークフローを示しています。

ServiceNow SDK を使用したアプリケーションの開発



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

1. 開発者が ServiceNow SDK をローカルにインストールします。詳細については、「アプリケーションへの ServiceNow SDK のインストール」を参照してください。
2. 開発者は CLI で `now-sdk auth` コマンドを使用して、ローカル環境とインスタンス間のインターフェイスとなる非本番インスタンスに対して認証を行います。開発者は、インスタンスで admin ロールを持っている必要があります。
3. 開発者は、スコープ対象のアプリケーションを作成するか (`now-sdk init`)、ServiceNow SDKで使用するためにインスタンスから既存のスコープ対象のアプリケーションを変換します (`now-sdk init --from`)。
4. Visual Studio Code で、開発者は ServiceNow Fluent を使用してソースコードでアプリケーションメタデータを定義したり、カスタム JavaScript モジュールを作成したり、サードパーティライブラリを使用したりできます。

   また、アプリケーションとスクリプトの依存関係をインスタンスからダウンロードして、コードに対して (`now-sdk 依存関係`) することもできます。
5. 開発者がアプリケーションをビルドすると、ソースコードがコンパイルされ、インスタンスのアプリケーションメタデータに変換され (`now-sdk build`)が生成されます。
6. 開発者はアプリケーションをインスタンスにインストールします (`now-sdk install`)。
7. 他のユーザーはインスタンスのアプリケーションメタデータを引き続き変更でき、開発者はアプリケーション内の他のモジュールまたはスクリプトのモジュールのコードを再利用できます。
8. 開発者は、インスタンスからアプリケーションメタデータをダウンロードして変換し、アプリケーションメタデータの最新の更新をローカルで取得し (`now-sdk transform`)、インスタンス上のアプリケーションと同期を維持します。

優先 Git プロバイダーを使用して、ソースコントロールでアプリケーションを管理できます。ServiceNow SDK を使用して別のシステムでスコープ対象のアプリケーションを開発するには、他の開発者は、アプリケーションをダウンロードしてインスタンスから変換するのではなく、リモート GIt リポジトリからクローンを作成する必要があります。

ServiceNow SDK のメリット

メリット	機能	ユーザー
Visual Studio Code のインスタンスの外部でアプリケーションをオフラインで開発し、希望する Git プロバイダーを使用してソースコントロールで管理します。	ServiceNow SDK を使用したアプリケーションの開発 Visual Studio Code ドキュメント	開発者
ServiceNow アプリケーションを構成するメタデータを定義するソースコードを記述する	ServiceNow Fluent	開発者
カスタム JavaScript モジュールとサードパーティの JavaScript ユーティリティを使用して、スコープ対象のアプリケーション内のコードを整理して再利用する	JavaScript モジュールとサードパーティライブラリ	開発者

ServiceNow SDK の構成

ServiceNow SDK をローカルでインストールまたはアップグレードし、Visual Studio Code で ServiceNow Fluent の言語処理と検証を取得します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アプリケーションへの ServiceNow SDK のインストール

ノードパッケージマネージャー (npm) を使用して、 ServiceNow ソフトウェア開発キット (SDK) をローカルアプリケーションにインストールします。

始める前に

システムは、最新バージョンの ServiceNow SDK を使用するために、次の最小要件を満たしている必要があります。

- Node.js v20.18.0
- npm v8.19.3

Node.js または npm をインストールまたはアップグレードするには、npm Web サイトのインストール手順を参照してください。

必要なロール：admin

このタスクについて

ServiceNow SDK は、公開 npm レジストリから npm パッケージとして入手できます。ServiceNow SDK は、Washington DC リリース以降のServiceNowインスタンスとの統合をサポートしています。

次の手順では、グローバルではなく新しいアプリケーション内に ServiceNow SDK をインストールします。ServiceNow SDKをグローバルにインストールするには、`npm install --global @servicenow/sdk` コマンドを使用します。

手順

1. システムでコマンドラインツールを開きます。
2. システムが要件を満たしていることを確認します。
   a. 「`node -v`」と入力して、Node.js がインストールされているかどうかと、どのバージョンであるかを確認します。
   b. 「`npm -v`」と入力して、npm がインストールされているかどうかと、どのバージョンであるかを確認します。
3. アプリケーションのローカルディレクトリを作成します。
4. `cd`コマンドを使用して、ディレクトリをアプリケーションのディレクトリに変更します。

   Example

   ```
   cd <path/to/directory>
   ```

5. ServiceNow SDKを使用してアプリケーションを作成します。

次のタスク

ServiceNow Fluent 言語サーバーをインストールして、Visual Studio Code の ServiceNow Fluent の言語処理と検証を取得します。詳細については、「Visual Studio Code に ServiceNow Fluent 言語サーバーをインストールする」を参照してください。

ServiceNow SDK のアップグレード

Washington DC リリース以降のインスタンスで使用するために、最新バージョンの ServiceNow SDK にアップグレードします。

始める前に

システムは、最新バージョンの ServiceNow SDK を使用するために、次の最小要件を満たしている必要があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- Node.js v20.18.0
- npm v8.19.3

Node.js または npm をインストールまたはアップグレードするには、npm Web サイトのインストール手順を参照してください。

必要なロール：admin

手順

ServiceNow SDKのグローバルインストールを更新するのか、アプリケーションで使用されているバージョンを更新するのかに応じて、次の手順を実行します。

次のタスク
ServiceNow Fluent 言語サーバーをインストールして、Visual Studio Code の ServiceNow Fluent の言語処理と検証を取得します。詳細については、「Visual Studio Code に ServiceNow Fluent 言語サーバーをインストールする」を参照してください。

ServiceNow SDKを使用して、ServiceNowインスタンスに対する認証を行います。詳細については、「を使用した ServiceNow インスタンスへの認証 ServiceNow SDK」を参照してください。

Visual Studio Code に **ServiceNow Fluent** 言語サーバーをインストールする

ServiceNow Fluent 言語サーバーを使用して、Visual Studio Code の ServiceNow Fluent の言語処理と検証を取得します。

始める前に
必要なロール：admin

このタスクについて
ServiceNow Fluent言語サーバーは、ServiceNow Fluent言語ファイル (.now.ts) とServiceNow SDK構成ファイル (now.config.json) のコード補完機能と検証を提供します。

手順

1. Visual Studio Code で、アクティビティバーから [拡張] ビューを選択します。
2. ServiceNow® Fluent Language を検索します。
3. **[Install** (インストール)] を選択します。

次のタスク
ServiceNow SDK を使用するアプリケーションで ServiceNow Fluent を使用するには、「ServiceNow Fluent と ServiceNow SDK を使用してコードでアプリケーションメタデータを定義する」を参照してください。

関連情報

ServiceNow Fluent

ServiceNow SDK を使用したアプリケーションの開発

ServiceNow SDK を使用して、Visual Studio Code Desktop でローカルにソースコードのアプリケーションを作成および開発します。アプリケーションをビルドしてインストールし、変更をインスタンスで使用できるようにします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ServiceNow SDK をインストールした後、インスタンスに対して認証を行い、スコープ対象のアプリケーションを作成したり、ServiceNow SDK コマンドラインインターフェイス (CLI) を使用して既存のアプリケーションを変換したりできます。

Visual Studio Code で、ServiceNow Fluent を使用したソースコードでのアプリケーションの開発、カスタム JavaScript モジュールの作成、またはサードパーティライブラリの追加を開始します。

変更の準備ができたら、 ServiceNow SDK CLI を使用してインスタンスにローカルアプリケーションをビルドしてインストールします。ダウンロードと変換 インスタンスからアプリケーションメタデータへの変更をして、追加の変更を行う前にアプリケーションをローカルで最新の状態に保ちます。

次のトピックで、ServiceNow SDK を使用してアプリケーションの開発を開始する方法を説明します。

関連情報

- ServiceNow SDK で JavaScript モジュールの TypeScript を使用する
- ServiceNow SDK CLI
- ServiceNow Fluent API リファレンス

を使用した **ServiceNow** インスタンスへの認証 **ServiceNow SDK**

ServiceNowインスタンスに対して認証し、ServiceNow SDKを使用してシステム上のインスタンスにアクセスするためのユーザー認証情報を保存します。

基本認証情報または OAuth 2.0 認証情報を使用して、インスタンスに対する認証を行うことができます。OAuth 2.0 認証を使用するには、インスタンスに ServiceNow IDE (バージョン 1.1 以降) がインストールされているか、必要な XML 構成がインポートされている必要があります。デフォルトでは、 Yokohama リリースのインスタンスには ServiceNow IDE バージョン 1.1.4 が含まれており、 ServiceNow SDK での OAuth 2.0 認証の使用をサポートしています。

ServiceNow SDK コマンドラインインターフェイス (CLI) を使用してインスタンスに対して認証した後、アプリケーションの開発とインスタンスへのインストールを開始できます。アプリケーション開発には、非本番インスタンスを使用する必要があります。

のベーシック認証を使用した **ServiceNow** インスタンスへの認証 **ServiceNow SDK**

ベーシック認証を使用して、ServiceNow SDKでServiceNowインスタンスに接続します。

始める前に

必要なロール：admin

このタスクについて

この手順では、ServiceNow SDK コマンドラインインターフェイス (CLI) を使用します。コマンドラインツールから「 `now-sdk --help` 」と入力すると、使用可能なコマンドとグローバルオプションに関する情報を取得できます。コマンドとそのパラメーターに関する追加情報を取得するには、コマンドと `--help` または `-h` を入力します。たとえば、`now-sdk auth --help` などです。CLI の詳細については、「 ServiceNow SDK CLI」を参照してください。

手順

1. アプリケーションのローカルディレクトリを作成します。
2. Visual Studio Code で、ディレクトリを開きます。
3. アプリケーションディレクトリから、統合されたターミナルウィンドウを開きます。
4. `auth` コマンドで認証するインスタンスを指定します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
npx @servicenow/sdk auth --add <instance>
```

Example
たとえば、次のようになります。

```
npx @servicenow/sdk auth --add https://myinstance.service-now.com
```

注:
`npx` コマンドを使用すると、グローバルではなくアプリケーションディレクトリにServiceNow SDKインストールされます。

5. 次の一連のプロンプトに応答します。

プロンプト	応答
使用する認証のタイプ	[基本] を選択します。
これらの認証情報のエイリアス	認証情報とインスタンスのエイリアスを入力します。 エイリアスは、 `init`、 `transform`、 `dependencies`、および `install` コマンドによる認証に使用できます。
インスタンスで認証するユーザー名	インスタンスのユーザー名を入力します。 admin ロールが割り当てられている必要があります。
インスタンスで認証するパスワード	パスワードを入力します。

タスクの結果
エイリアスと認証情報は、システムのデバイスキーチェーンまたは認証情報マネージャーに保存され、デフォルトの認証情報として設定されます。

次のタスク
スコープ対象のアプリケーションを作成するか、既存のアプリケーションを ServiceNow SDK で使用できるように変換します。詳細については、 を使用してアプリケーションを作成 する ServiceNow SDK または でアプリケーションを変換する ServiceNow SDKを参照してください。

を使用した **OAuth 2.0** 認証用の **ServiceNow** インスタンスの構成 **ServiceNow SDK**

インスタンスへの ServiceNow SDK で OAuth 2.0 認証を使用するように構成をインポートします。

始める前に

重要:
この手順は、 ServiceNow IDE (バージョン 1.1 以降) がインストールされていないインスタンスにのみ必要です。デフォルトでは、 Yokohama リリースのインスタンスには ServiceNow IDE バージョン 1.1.4 が含まれており、 ServiceNow SDK での OAuth 2.0 認証の使用をサポートしています。

デフォルトのシステムアドミニストレーター (admin) ユーザーは、 ServiceNow SDK で OAuth 2.0 認証用のインスタンスを構成するには、特権 security_admin ロールに昇格する必要があります。詳細については、「Elevate to a privileged role」を参照してください。

必要なロール：security_admin

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. ServiceNow コミュニティの記事「Configuring ServiceNow SDK for OAuth 2.0 authentication (SSO) (OAuth 2.0 認証 (SSO) 用の ServiceNow SDK の構成)」に移動します。
2. 添付の ZIP ファイルをダウンロードし、その内容を解凍します。
3. XML をインスタンスにインポートします。

   a. インスタンスから任意のリストに移動します。
   XML ファイルにはレコードの宛先テーブル名が含まれているため、任意のリストを使用できます。

   b. 列のタイトルを選択して長押し (または右クリック) し、**[XML** のインポート] を選択します。

   c. [XML のインポート] フォームで、[ファイルを選択] を選択し、ダウンロードした XML ファイルのいずれかを選択します。

   d. **[Upload** (アップロード)] を選択します。

   e. XML ファイルごとにこれらの手順を繰り返します。

   詳細については、「Import data from XML」を参照してください。

タスクの結果
開発者は、 ServiceNow SDK で OAuth 2.0 を使用してインスタンスに対する認証を行うことができます。

で **OAuth 2.0** を使用して **ServiceNow** インスタンスに対して認証する **ServiceNow SDK**

OAuth 2.0 認証を使用して、ServiceNow SDK で ServiceNow インスタンスに接続します。

始める前に
OAuth 2.0 認証を使用するには、インスタンスに ServiceNow IDE (バージョン 1.1 以降) がインストールされているか、必要な XML 構成がインポートされている必要があります。デフォルトでは、 Yokohama リリースのインスタンスには ServiceNow IDE バージョン 1.1.4 が含まれており、 ServiceNow SDK での OAuth 2.0 認証の使用をサポートしています。詳細については、「を使用した OAuth 2.0 認証用の ServiceNow インスタンスの構成 ServiceNow SDK」を参照してください。

必要なロール：admin

このタスクについて
この手順では、ServiceNow SDK コマンドラインインターフェイス (CLI) を使用します。コマンドラインツールから「 `now-sdk --help` 」と入力すると、使用可能なコマンドとグローバルオプションに関する情報を取得できます。コマンドとそのパラメーターに関する追加情報を取得するには、コマンドと `--help` または `-h` を入力します。たとえば、`now-sdk auth --help` などです。CLI の詳細については、「 ServiceNow SDK CLI」を参照してください。

手順

1. アプリケーションのローカルディレクトリを作成します。
2. Visual Studio Code で、ディレクトリを開きます。
3. アプリケーションディレクトリから、統合されたターミナルウィンドウを開きます。
4. `auth` コマンドで認証するインスタンスを指定します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
npx @servicenow/sdk auth --add <instance>
```

Example
たとえば、次のようになります。

```
npx @servicenow/sdk auth --add https://myinstance.service-now.com
```

> **注:**
> npx コマンドを使用すると、グローバルではなくアプリケーションディレクトリにServiceNow SDKインストールされます。

5. 次の一連のプロンプトに応答します。

プロンプト	応答
使用する認証のタイプ	[OAuth] を選択します。
これらの認証情報のエイリアス	認証情報とインスタンスのエイリアスを入力します。 エイリアスは、 init、 transform、 dependencies、および install コマンドによる認証に使用できます。

ServiceNow SDKは、インスタンスで認証するために Web ブラウザーを開きます。

6. 現在ログインしていない場合は、開いた Web ページに移動してインスタンスにログインします。
7. [承認] を選択して、 ServiceNow SDK インスタンスへの接続を許可します。
ページが更新され、認証コードが表示されます。
8. [コピー] を選択して、提供された認証コードをコピーします。
9. コマンドラインに認証コードを貼り付けます。

タスクの結果
エイリアスと認証情報は、システムのデバイスキーチェーンまたは認証情報マネージャーに保存され、デフォルトの認証情報として設定されます。

次のタスク
スコープ対象のアプリケーションを作成するか、既存のアプリケーションを ServiceNow SDK で使用できるように変換します。詳細については、 を使用してアプリケーションを作成 する ServiceNow SDK または でアプリケーションを変換する ServiceNow SDKを参照してください。

を使用してアプリケーションを作成 する **ServiceNow SDK**

スコープ対象のアプリケーションを作成する して、 ServiceNow SDKを使用してソースコードで開発します。

始める前に
ServiceNow SDKを使用して、ServiceNowインスタンスに対する認証を行います。詳細については、「を使用した ServiceNow インスタンスへの認証 ServiceNow SDK」を参照してください。

必要なロール：admin

このタスクについて
この手順では、ServiceNow SDK コマンドラインインターフェイス (CLI) を使用します。コマンドラインツールから「 now-sdk --help 」と入力すると、使用可能なコマンドとグローバルオプションに関する情報を取得できます。コマンドとそのパラメーターに関する追加情報を取得するには、コマ

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ンドと --help または -h を入力します。たとえば、now-sdk auth --help などです。CLI の詳細については、「 ServiceNow SDK CLI」を参照してください。

手順

1. アプリケーションのローカルディレクトリを作成します。
2. Visual Studio Code で、ディレクトリを開きます。
3. アプリケーションディレクトリから、統合されたターミナルウィンドウを開きます。
4. プロンプトのガイド付きセットに従って、 init コマンドを使用してアプリケーションを作成します。

```
npx @servicenow/sdk init
```

> **注:**
> npx コマンドを使用すると、グローバルではなくアプリケーションディレクトリにServiceNow SDKインストールされます。

5. 次の一連のプロンプトに応答します。

プロンプト	応答
テンプレートを選択してください	デフォルトのアプリケーション構造を定義するテンプレートを選択します。 ○ 基本的な now-sdk 定型文:ソースコードでの開発に必要な基本構造のみを備えたアプリケーション。 ○ JavaScript now-sdk + basic: ServiceNow Fluent および JavaScript での開発用に構成されたアプリケーション。 ○ JavaScript now-sdk + フルスタック React: ServiceNow Fluent、JavaScript、および React での開発用に構成されたアプリケーション。 ○ TypeScript now-sdk + basic: ServiceNow Fluent および TypeScript での開発用に構成されたアプリケーション。src/server ディレクトリ内の TypeScript ソースファイルは、JavaScript モジュールにトランスパイルされます。 ○ TypeScript now-sdk + フルスタック React: ServiceNow Fluent、TypeScript、および React での開発用に構成されたアプリケーション。src/server ディレクトリ内の TypeScript ソースファイルは、JavaScript モジュールにトランスパイルされます。
ServiceNow アプリケーションの名前	アプリケーションの名前を入力します。
NPM パッケージ名	package.json ファイルで使用されるアプリケーションパッケージの名前を入力します。 パッケージ名は、ノードパッケージマネージャー (npm) パッケージ命名基準に準拠している必要があります。
スコープ名	アプリケーションのスコープを入力します。 スコープ名はインスタンス上で一意で、x_<prefix> で始まり、18 文字以下である必要があります。詳細については、「名前空間識別子」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Example
次の例では、Example App (x_snc_example_app) という名前のスコープ対象のアプリケーションが作成されます。

```
$ npx @servicenow/sdk init
[now-sdk] Bootstrapping a new ServiceNow application project...
? Select a template: now-sdk + basic
? Name of ServiceNow Application:  Example App
? NPM package name:  example-app
? Scope name:  x_snc_example_app
[now-sdk] Application created successfully.
        Install the required dependencies with your preferred package manager before
 running "$now-sdk build".
        Ex: Run "npm install" if using npm.
```

6. 希望するパッケージマネージャーを使用して、必要なサードパーティの依存関係をインストールします。

   Example
   たとえば、ノード パッケージ マネージャー (npm) を使用する場合は、 `npm install` を実行します。

7. `build` コマンドを使用してアプリケーションをビルドします。

   ```
   now-sdk build
   ```

8. オプション: `install` コマンドを使用して、インスタンスにアプリケーションをインストールします。

   ```
   now-sdk install --auth <alias>
   ```

タスクの結果
デフォルトのアプリケーション構造を持つスコープ対象のアプリケーションは、ローカルで使用できます。 アプリケーション構造の詳細については、「ソースコードでアプリケーションをビルドする」トピックの「アプリケーションの構造」セクションを参照してください。

アプリケーションが正常にインストールされると、インスタンスで使用できるようになります。アプリケーションのインストールの詳細については、「 を使用してアプリケーションをビルドしてインストールし、しますServiceNow SDK」を参照してください。

次のタスク
Visual Studio Code、 ServiceNow Fluent を使用したソースコードでのアプリケーションの開発、カスタム JavaScript モジュールの作成、またはサードパーティライブラリの追加を開始します。内

でアプリケーションを変換する **ServiceNow SDK**

既存のスコープ対象のアプリケーションを、 ServiceNow SDKを使用してソースコードの開発をサポートするように変換します。

始める前に
ServiceNow SDKを使用して、ServiceNowインスタンスに対する認証を行います。詳細については、「を使用した ServiceNow インスタンスへの認証 ServiceNow SDK」を参照してください。

必要なロール：admin

このタスクについて
ServiceNow IDE または ServiceNow SDK で作成されていない既存のスコープ対象のアプリケーションは、ソースコードでの開発をサポートするように変換する必要があります。アプリケーション

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

を変換すると、ソースコードで開発するために必要なファイルとディレクトリが追加されます。既存のアプリケーションメタデータを ServiceNow Fluent コードに変換するかどうかを選択できます。アプリケーションをビルドしてインスタンスにインストールするまで、インスタンス上のアプリケーションは変更されません。

この手順では、ServiceNow SDK コマンドラインインターフェイス (CLI) を使用します。コマンドラインツールから「 `now-sdk --help` 」と入力すると、使用可能なコマンドとグローバルオプションに関する情報を取得できます。コマンドとそのパラメーターに関する追加情報を取得するには、コマンドと `--help` または `-h` を入力します。たとえば、`now-sdk auth --help` などです。CLI の詳細については、「 ServiceNow SDK CLI」を参照してください。

手順

1. アプリケーションのローカルディレクトリを作成します。
2. Visual Studio Code で、ディレクトリを開きます。
3. アプリケーションディレクトリから、統合されたターミナルウィンドウを開きます。
4. `init` コマンドを使用して、インスタンスまたはローカルディレクトリーから既存のスコープ対象のアプリケーションを変換します。

   `--from` パラメーターを使用して、インスタンス上のアプリケーションのsys_id、またはソースコードでの開発をサポートするために変換するアプリケーションを含むローカルディレクトリへのパスを指定します。

   ```
   npx @servicenow/sdk init --from <sys_id or path>
   ```

   Example
   たとえば、次のようになります。

   ```
   npx @servicenow/sdk init --from aadfdd904748a6500ff14ee4316d4369
   ```

   注:
   npx コマンドを使用すると、グローバルではなくアプリケーションディレクトリにServiceNow SDKインストールされます。

5. プロンプトで、 package.json ファイルで使用されるアプリケーションパッケージの名前を入力します。

   パッケージ名は、ノードパッケージマネージャー (npm) パッケージ命名基準に準拠している必要があります。

   Example
   次の例では、インスタンスからアプリケーションがダウンロードされ、そのsys_idを使用して変換されます。

   ```
   $ npx @servicenow/sdk init --from aadfdd904748a6500ff14ee4316d4369
   [now-sdk] Bootstrapping a new ServiceNow application project...
   [now-sdk] Please provide the missing required fields:
   ? NPM package name:  example-app
   [now-sdk] Access Token has expired, refreshing token
   [now-sdk] Downloading application package for aadfdd904748a6500ff14ee4316d4369 from
    https://myinstance.service-now.com
   [now-sdk] Unzipping downloaded package...
   [now-sdk] Successfully downloaded and unzipped application
    aadfdd904748a6500ff14ee4316d4369
   [now-sdk] Summary of downloaded metadata files
   Metadata: 13 (Total: 13)
   ```

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
 Copied To Metadata Directory::
   1. dictionary/x_snc_example_app_mytable.xml
   2. package_inventory.csv
   3. sys_app_aadfdd904748a6500ff14ee4316d4369.xml
   4. update/sys_db_object_7030a5d04748a6500ff14ee4316d4338.xml
   5. update/sys_dictionary_x_snc_example_app_mytable_null.xml
   6. update/sys_documentation_x_snc_example_app_mytable__en.xml
... and 7 more

[now-sdk] Successfully converted application.
[now-sdk] Install the required dependencies with your preferred package manager before
 running "$now-sdk build".
        Ex: Run "npm install" if using npm.
```

アプリケーションは、デフォルトのアプリケーション構造を使用してローカルで使用でき、ソースコードでの開発をサポートします。既存のアプリケーションメタデータは 、メタデータ ディレクトリにダウンロードされます。 アプリケーション構造の詳細については、「ソースコードでアプリケーションをビルドする」トピックの「アプリケーションの構造」セクションを参照してください。

6. 希望するパッケージマネージャーを使用して、必要なサードパーティの依存関係をインストールします。

   Example
   たとえば、ノード パッケージ マネージャー (npm) を使用する場合は、 `npm install` を実行します。

7. オプション: `transform` コマンドを使用して、既存のアプリケーションメタデータ (XML) をServiceNow Fluentコードに変換します。

   (Optional) `--from` パラメーターを使用して、ServiceNow Fluentコードに変換するメタデータ XML を含むローカル ディレクトリーまたはファイルへのパスを指定します。

   ```
   now-sdk transform [--from <path>] [--directory <package path>] [--preview <flag>]
    [--auth <alias>]
   ```

   ヒント:
   `--preview` パラメーターを true に設定すると、変更を保存せずにコマンドラインから変換されたServiceNow Fluentコードをプレビューできます。

   Example
   たとえば、次のようになります。

   ```
   now-sdk transform --from metadata/update --auth devuser1
   ```

   アプリケーションメタデータはServiceNow Fluentsrc/fluent/generatedディレクトリのコードで定義され、指定されたディレクトリから削除されます。

   注:
   メタデータスナップショット [sys_metadata_link] や UX 資産 [sys_ux_lib_asset] など、限られた数のメタデータタイプは、 ServiceNow Fluent コードとして表すことができず、変換されません。これらのメタデータ型は、アプリケーションの メタデータ ディレクトリにメタデータ XML ファイルとして残ります。

8. `build` コマンドを使用してアプリケーションをビルドします。

   ```
   now-sdk build
   ```

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

9. オプション: install コマンドを使用して、インスタンス上のアプリケーションを更新します。

```
now-sdk install --auth <alias>
```

タスクの結果

変換されたアプリケーションは、ソースコードの開発をサポートするために必要なファイルとディレクトリとともにローカルディレクトリに追加されます。アプリケーションが正常にインストールされると、インスタンスで更新されます。アプリケーションのインストールの詳細については、「 を使用してアプリケーションをビルドしてインストールし、しますServiceNow SDK」を参照してください。 変換されたアプリケーションをインストールすると、カスタムアプリケーションレコード [sys_app] の **[JSON** のパッケージ化] フィールドに、アプリケーションの package.json ファイルへのパスが含まれます。

変換コマンドを使用すると、アプリケーションの変換後に追加された新しいアプリケーションメタデータが、src/fluent/generated ディレクトリ内のソースコードに自動的に変換されます。メタデータが XML とソースコードの両方としてローカルアプリケーションに存在する場合、インスタンスへのインストール時に XML バージョンが優先されます。

次のタスク

Visual Studio Code で ServiceNow Fluent を使用したソースコードでのアプリケーションの開発、カスタム JavaScript モジュールの作成、またはサードパーティライブラリの追加を開始します。

ServiceNow Fluent と **ServiceNow SDK** を使用してコードでアプリケーションメタデータを定義する

ServiceNow SDK および コードでアプリケーションメタデータを定義するServiceNow Fluent。

始める前に

- ServiceNow Fluent 言語サーバーをインストールして、Visual Studio Code の ServiceNow Fluent の言語処理と検証を取得します。詳細については、「Visual Studio Code に ServiceNow Fluent 言語サーバーをインストールする」を参照してください。
- ServiceNow SDKを使用してスコープ対象のアプリケーションを作成または変換します。詳細については、 を使用してアプリケーションを作成 する ServiceNow SDK または でアプリケーションを変換する ServiceNow SDKを参照してください。

必要なロール：admin

このタスクについて

ServiceNow Fluent は、アプリケーションを構成するメタデータファイル [sys_metadata] を定義するための TypeScript に基づくドメイン固有言語 (DSL) であり、テーブル、ロール、ACL、ビジネスルール、自動テストフレームワーク (ATF) テストなど、さまざまなタイプのメタデータの API が含まれています。 ServiceNow Fluent API と例の詳細については、「ServiceNow Fluent API リファレンス」を参照してください。

手順

1. Visual Studio Code で、スコープ対象のアプリケーションのディレクトリを開きます。
2. src/fluent ディレクトリに、拡張子が .now.ts のファイルを追加します。
   アプリケーションメタデータは、1 つのファイルまたは任意の数の .now.ts ファイルで定義し、fluent ディレクトリ内のディレクトリにファイルを整理できます。

   ヒント:
   fluent ディレクトリでは、index.now.ts という名前のサンプルファイルを参照できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

3. .now.ts ファイルで、ServiceNow Fluent API のオブジェクトを使用して、アプリケーションのメタデータを定義します。

   Example

   たとえば、アプリケーションでテーブル [sys_db_object] を作成するには、テーブル API を使用します。次の例では、必要なプロパティと値を持つ `Table` オブジェクトを使用して、To Do リスト用のシンプルなテーブルを作成しています。

```
export const x_snc_example_to_do = Table({
   name: 'x_snc_example_to_do',
   schema: {
      deadline: DateColumn({ label: 'Deadline' }),
      state: StringColumn({
         label: 'State',
         choices: {
            ready: { label: 'Ready' },
            completed: { label: 'Completed' },
            inProgress: { label: 'In Progress' },
         },
      }),
      task: StringColumn({ label: 'Task', maxLength: 120 }),
   },
})
```

   注:
   レコード API を使用して、専用 API を持たないアプリケーションメタデータを定義できます。

4. @servicenow/sdk/core から API に必要なインポートを追加します。

   Example

   たとえば、日付列と文字列列を持つテーブルを定義するには、使用する対応するオブジェクトをテーブル API からインポートします。

```
import { Table, DateColumn, StringColumn } from '@servicenow/sdk/core'
```

5. オプション: ビジネスルールなどのサーバー側スクリプトを使用する ServiceNow Fluent API の場合は、JavaScript モジュールからコードをインポートして、オブジェクトのスクリプトプロパティから呼び出します。

   Example
   この例では、スクリプトプロパティから参照できる showStateUpdate 関数をインポートします。

```
import { showStateUpdate } from '../server/script.js'
```

6. 変更内容を保存します。
7. オプション: アプリケーションをビルドしてインストールし、ソースコードをアプリケーションメタデータにコンパイルして、変更をインスタンスで使用できるようにします。詳細については、「を使用してアプリケーションをビルドしてインストールし、しますServiceNow SDK」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Trouble?

ヒント:
コードコメントで次のディレクティブを使用して、コードを管理できます。

- `@fluent-ignore`:次のコード行 ServiceNow Fluent 診断の警告とエラーを抑制します。
- `@fluent-disable-sync`: ServiceNow Fluent オブジェクトへの変更の同期をオフにします。呼び出し式の前 (例: `Record({ ... })`) を使用して、そのオブジェクトとその子オブジェクトの同期をオフにします。このディレクティブは、ソースコードの外部でオブジェクトに加えられた変更を無視し、同期時に更新しない場合にのみ使用してください。
- `@fluent-disable-sync-for-file`: ServiceNow Fluent ファイル (.now.ts) への変更の同期をオフにします。ファイルの最初の行で使用して、ファイル内のすべてのコードの同期をオフにします。このディレクティブは、ソースコードの外部でファイルに加えられた変更を無視し、同期時に更新しない場合にのみ使用してください。

Example: ServiceNow Fluent を使用してソースコードでアプリケーションメタデータを定義する

拡張子が .now.ts のファイルで、ServiceNow Fluent API のオブジェクトを使用して、アプリケーションのメタデータを定義します。また、@servicenow/sdk/core からの API に、必要なインポートも含める必要があります。*`BusinessRule`* オブジェクトなど、サーバー側スクリプトを持つオブジェクトの場合は、JavaScript モジュールからコードをインポートして使用できます。

ヒント:
ServiceNow Fluent API で別のファイルのコンテンツを使用するには、`Now.include('path/to/file')` 構文を使用してプロパティからファイルを参照します。コンテンツをインラインで含める代わりに別のファイル内のコンテンツを参照すると、JavaScript、HTML、CSS などをサポートするフィールドを持つレコードで、適切な構文の強調表示を使用してさまざまなファイルタイプの開発を容易にするのに役立ちます。`Now.include` ユーティリティは双方向同期をサポートしているため、他のServiceNow AI Platformユーザーインターフェイスからのフィールドへの変更は参照ファイルのソースコードに同期され、コードへの変更はインスタンス全体のメタデータに同期されます。

次の例には、アプリケーションのテーブル、クライアントスクリプト、およびビジネスルールの定義が含まれています。クライアントスクリプトは、 client-script.js ファイルのスクリプトを使用します。 ビジネスルールは、 script.js JavaScript モジュールの関数を使用します。

```
import '@servicenow/sdk/global'
import { BusinessRule, ClientScript, DateColumn, StringColumn, Table }
 from '@servicenow/sdk/core'
import { showStateUpdate } from '../server/script.js'

//creates todo table, with three columns (deadline, status and task)
export const x_snc_example_to_do = Table({
   name: 'x_snc_example_to_do',
   schema: {
      deadline: DateColumn({ label: 'Deadline' }),
      state: StringColumn({
         label: 'State',
         choices: {
            ready: { label: 'Ready' },
            completed: { label: 'Completed' },
            inProgress: { label: 'In Progress' },
         },
      }),
      task: StringColumn({ label: 'Task', maxLength: 120 }),
```

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    },
})

//creates a client script that pops up 'Table loaded successfully!!' message everytime todo record is loaded
ClientScript({
    $id: Now.ID['cs0'],
    name: 'my_client_script',
    table: 'x_snc_example_to_do',
    active: true,
    appliesExtended: false,
    global: true,
    uiType: 'all',
    description: 'Custom client script generated by Now SDK',
    messages: '',
    isolateScript: false,
    type: 'onLoad',
    script: Now.include('../client/client-script.js'),
})

//creates a business rule that pops up state change message whenever a todo record is updated
BusinessRule({
    $id: Now.ID['br0'],
    action: ['update'],
    table: 'x_snc_example_to_do',
    script: showStateUpdate,
    name: 'LogStateChange',
    order: 100,
    when: 'after',
    active: true,
})
```

`ClientScript` オブジェクトから参照されるクライアントスクリプト:

```
function onLoad() {
    g_form.addInfoMessage("Table loaded successfully!!")
}
```

`BusinessRule` オブジェクトから参照される JavaScript モジュール:

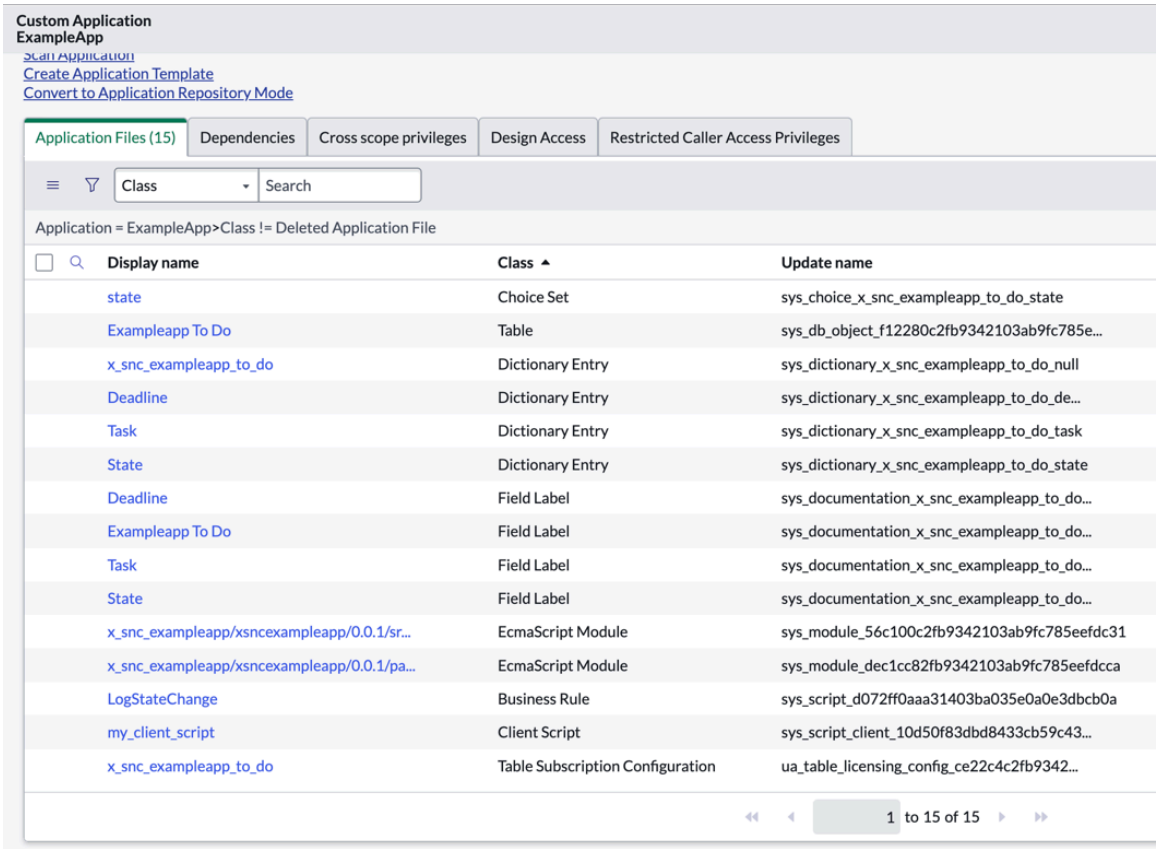
```
import { gs } from '@servicenow/glide'

export function showStateUpdate(current, previous) {
    const currentState = current.getValue('state')
    const previousState = previous.getValue('state')

    gs.addInfoMessage(`state updated from "${previousState}" to "${currentState}"`)
}
```

アプリケーションをビルドしてインストールした後、このソースコードはインスタンスに次のアプリケーションメタデータファイルを生成します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ServiceNow Fluent コードから生成されたアプリケーションメタデータ



関連情報

ServiceNow Fluent

ServiceNow SDK を使用してアプリケーションで **JavaScript** モジュールを作成して使用する

ServiceNow SDK および JavaScript モジュールで再利用可能なコードブロックを定義して、コードベースを最適化します。

始める前に
ServiceNow SDKを使用してスコープ対象のアプリケーションを作成または変換します。詳細については、 を使用してアプリケーションを作成 する ServiceNow SDK または でアプリケーションを変換する ServiceNow SDKを参照してください。

必要なロール：admin

このタスクについて
スコープ対象のアプリケーションでの JavaScript モジュールの使用のサポートについて、いくつかの制限を含めて、「 JavaScript モジュールとサードパーティライブラリ」を参照してください。 JavaScript モジュールの作成に使用される構文に関する一般的な情報については、MDN Web Docs Web サイトの「JavaScript modules (JavaScript モジュール)」ページを参照してください。

手順

1. Visual Studio Code で、スコープ対象のアプリケーションのディレクトリを開きます。
2. アプリケーションの src/server ディレクトリに、再利用するモジュールコードを含む JavaScript または TypeScript ファイルを作成します。
3. オプション: サーバー API をインポートして、モジュールから呼び出します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

(Optional) Glide API は、 `@servicenow/Glide` パッケージまたはパッケージ内の名前空間からインポートできます。

たとえば、次のようになります。

```
import { API } from "@servicenow/glide";
import { API } from "@servicenow/glide/<namespace>";
```

4. モジュールで、エクスポートするコードを `export` ステートメントで指定します。

   名前付きエクスポートまたはデフォルトのエクスポートを使用できます。名前付きエクスポートは変数、定数、関数、またはクラスにすることができますが、デフォルトのエクスポートは関数またはクラスのみにすることができます。

   Example
   次の例は、モジュール内の複数の機能 (関数と変数) の名前付きエクスポートを追加する 1 つの方法です。

   ```
   export { myFunction, myVariable };
   ```

5. エクスポートされたモジュールのコードを他のモジュールまたはサーバー側スクリプトで使用します。

6. 変更内容を保存します。

次のタスク
JavaScript モジュールでサードパーティライブラリを使用するには、「ServiceNow SDK のアプリケーションでサードパーティのライブラリを使用する」を参照してください。

アプリケーションをビルドし、モジュールを EcmaScript モジュール [sys_module] テーブルに追加するには、「を使用してアプリケーションをビルドしてインストールし、しますServiceNow SDK」を参照してください。

関連情報

JavaScript モジュールとサードパーティライブラリ

ServiceNow SDK で JavaScript モジュールの TypeScript を使用する

ServiceNow SDK で JavaScript モジュールを作成する場合は、TypeScript を使用します。

TypeScript は、静的型指定と型注釈を使用して、開発者が Visual Studio Code でコードを記述しているときにエラーを早期に検出できるようにサポートします。

TypeScript の使用に関する一般的な情報については、typescriptlang.org Web サイトの TypeScript ドキュメントを参照してください。

JavaScript モジュールの TypeScript を使用する

アプリケーションに TypeScript のサポートを追加することで、JavaScript モジュールの TypeScript を使用します。

始める前に
TypeScript バージョン 4.8.4 以降をインストールします。インストール手順については、typescriptlang.org Web サイトの「Download TypeScript (TypeScript のダウンロード)」を参照してください。

必要なロール：admin

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて
TypeScript テンプレートを使用して作成されていない既存のアプリケーションを更新して、モジュールで TypeScript を使用するにはServiceNow SDK次の手順に従います。ServiceNow SDK バージョン 3.0 以降、アプリケーションはデフォルトでデフォルトのコンパイラオプションを使用した JavaScript モジュールでの TypeScript の使用をサポートしています。ビルドプロセス中に TypeScript を JavaScript に変換するためのカスタムオプションを含む tsconfig.json ファイルを使用するには、now.config.json ファイルで tsconfigPath パラメーターを設定します。アプリケーションをビルドする前にカスタムトランスパイルステップを使用する場合は、now.config.json ファイルで modulePaths パラメーターを設定します。

手順

1. Visual Studio Code で、スコープ対象のアプリケーションのディレクトリを開きます。
2. アプリケーションの package.json ファイルを開き 、 devDependencies オブジェクトに TypeScript パッケージとバージョンを追加して、。

   Example

```
"devDependencies": {
   "typescript": "<version>",
   "@servicenow/sdk": "2.0.0",
   "@servicenow/glide": "26.0.1",
   "eslint": "8.50.0",
   "@servicenow/eslint-plugin-sdk-app-plugin": "2.0.0"
 }
```

3. アプリケーションの src/server ディレクトリに、アプリケーションをコンパイルするためのオプションを定義する tsconfig.json ファイルを追加します。

   Example

```
{
   "compilerOptions": {
      "rootDir": "./",
      "outDir": "../../dist/server",
      "module": "es2022",
      "target": "es2022",
      "moduleResolution": "bundler",
      "allowJs": true,
      "declaration": false,
      "sourceMap": false,
      "skipLibCheck": true,
      "allowImportingTsExtensions": true,
      "noEmit": true
   },
   "include": [
      "./**/*.ts"
   ],
   "exclude": [
      "**/*.now.ts"
   ]
}
```

4. アプリケーションのnow.config.jsonファイルで、tsconfigPath パラメーターをアプリケーション内のtsconfig.jsonの場所に設定します。 。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Example

```
{
  "scope": "x_snc_example_app",
  "scopeId": "2f8400eb07426110f736e28f69d3017a",
  "name": "ExampleApp",
  "tsconfigPath": "./src/server/tsconfig.json"

}
```

5. src/server ディレクトリに、モジュールコードを含む少なくとも 1 つの .ts ファイルを追加します。
   モジュールの作成については、「 ServiceNow SDK を使用してアプリケーションで JavaScript モジュールを作成して使用する」を参照してください。
6. TypeScript ファイルを JavaScript モジュールにコンパイルし、アプリケーションをビルドします。

   a. アプリケーションディレクトリから、システム上のコマンドラインツールを開きます。

   b. 次のコマンドを入力します。

   ```
   now-sdk build
   ```

API のタイプ定義の追加

Glide API の外部にある API およびスクリプト可能オブジェクトの先行入力サポートを取得します。

始める前に
必要なロール：admin

このタスクについて
ServiceNow SDKアプリケーションでモジュールを直接宣言して、先行入力をサポートするためのAPIへのアクセスをスタブします。これらのモジュールはアプリケーションパッケージにはパッケージ化されませんが、アプリケーションのソースコントロールリポジトリで追跡し、開発者間で共有できます。

手順

1. Visual Studio Code で、スコープ対象のアプリケーションのディレクトリを開きます。
2. アプリケーションで、タイプ定義用の TypeScripe (.ts) ファイルを追加します。
3. TypeScript ファイルで、API とスクリプト可能オブジェクトのモジュールを宣言します。

Example

この例では、API 名空間 (sn_app_api) を使用して API のモジュールを宣言します。

```
declare module '@servicenow/glide/sn_app_api' {
 class AppStoreAPI {
  static canUpgradeAnyStoreApp(): boolean
 }
}
```

この例では、スクリプトインクルードのスコープ (x_1234_scope) を使用して、スクリプトインクルードで定義されたオブジェクトにアクセスするためのモジュールを宣言します。

```
declare module '@servicenow/glide/x_1234_scope' {
 class MyLogItemClass {
```

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
 myLogFunction()
 }
}
```

4. アプリケーションの JavaScript モジュールで、宣言されたモジュールをインポートします。

Example
この例では、AppStoreAPI に対して宣言されたモジュールをインポートします。

```
import { gs } from '@servicenow/glide'
import { AppStoreAPI } from '@servicenow/glide/sn_app_api'

export const canUpgradeStoreApp = function () {
 var canUpgrade = AppStoreAPI.canUpgradeAnyStoreApp()
 if (canUpgrade) {
  gs.addInfoMessage(`You can upgrade store apps!`)
 } else {
  gs.addInfoMessage(`You cannot upgrade store apps!`)
 }
}
```

この例では、MyLogItemClass オブジェクトに対して宣言されたモジュールをインポートします。

```
import { MyLogItemClass } from '@servicenow/glide/x_1234_scope'

export const myLogFunction = function (status) {
 const myLogItem = new MyLogItemClass()
 myLogItem.myLogFunction(status)
}
```

注:
モジュールは、グローバルスクリプト可能オブジェクトまたは同じアプリケーションスコープ内のスクリプト可能オブジェクトにのみアクセスできます。

自動翻訳

ServiceNow SDK のアプリケーションでサードパーティのライブラリを使用する

ServiceNow SDK で、アプリケーションでサードパーティライブラリを呼び出して、既存のオープンソース機能を使用します。

始める前に
JavaScript モジュールを作成します。詳細については、「ServiceNow SDK を使用してアプリケーションで JavaScript モジュールを作成して使用する」を参照してください。

必要なロール：admin

このタスクについて
サードパーティライブラリは JavaScript モジュールとしてアプリケーションに追加されます。JavaScript モジュールの作成に使用される構文に関する一般的な情報については、MDN Web Docs Web サイトの「JavaScript modules (JavaScript モジュール)」ページを参照してください。

重要:
サポートされていない API や ECMAScript 機能など、サポートされていない機能に依存するサードパーティライブラリを使用することはできません。サポートされていない機能の詳細については、「JavaScript モジュールとサードパーティライブラリ」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. Visual Studio Code で、スコープ対象のアプリケーションのディレクトリを開きます。
2. アプリケーションディレクトリから、統合されたターミナルウィンドウを開きます。
3. ライブラリの npm パッケージをインストールします。

   Example

   ```
   npm install <package name>
   ```

   ライブラリのパッケージがアプリケーションの node_modules ディレクトリに追加され、ライブラリが依存関係としてアプリケーションの package.json ファイルに追加されます。

   ```
   "dependencies": {
     "<package name>": "<version>"
   }
   ```

4. JavaScript モジュールで、*import* ステートメントを使用してライブラリをインポートします。

   Example

   この例では、モジュールに lodash モジュールの名前空間インポートが含まれています。

   ```
   import * as lodash from "lodash"
   ```

   この例では、モジュールに lodash モジュールの camelCase 関数の名前付きインポートが含まれています。

   ```
   import camelCase from 'lodash'
   ```

5. モジュールでライブラリからインポートされたコードを呼び出して再利用します。

次のタスク
インスタンスに変更をビルドしてインストールします。詳細については、「を使用してアプリケーションをビルドしてインストールし、しますServiceNow SDK」を参照してください。

関連情報

JavaScript モジュールとサードパーティライブラリ

によるアプリケーションとスクリプトの依存関係のダウンロード **ServiceNow SDK**

now.config.json ファイルで構成されたアプリケーションの依存関係と、Glide API の TypeScript タイプ定義やスクリプトインクルードなどのスクリプトの依存関係をインスタンスからダウンロードします。

開発プロセス全体を通じて、アプリケーションの依存関係をダウンロードして、それらの依存関係に対するコーディングをサポートする必要があります。

アプリケーションの依存関係をダウンロード

アプリケーションが依存するテーブルをグローバルスコープまたは他のアプリケーションスコープからダウンロードします。

始める前に
ServiceNow SDKを使用してスコープ対象のアプリケーションを作成または変換します。詳細については、 を使用してアプリケーションを作成 する ServiceNow SDK または でアプリケーションを変換する ServiceNow SDKを参照してください。

必要なロール：admin

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて
この手順では、ServiceNow SDK コマンドラインインターフェイス (CLI) を使用します。コマンドラインツールから「 now-sdk --help 」と入力すると、使用可能なコマンドとグローバルオプションに関する情報を取得できます。コマンドとそのパラメーターに関する追加情報を取得するには、コマンドと --help または -h を入力します。たとえば、now-sdk auth --help などです。CLI の詳細については、「 ServiceNow SDK CLI」を参照してください。

手順

1. Visual Studio Code で、スコープ対象のアプリケーションのディレクトリを開きます。
2. now.config.json ファイルで、アプリケーションが依存するテーブルを dependencies オブジェクトに追加します。
   applications オブジェクトでは、テーブルのアプリケーションスコープを指定し、指定されたスコープ内のテーブルの依存関係をリストする必要があります。

   Example

   次の例では、指定されたテーブルがグローバルスコープとsn_aceスコープからダウンロードされます。

```
"dependencies": {
  "applications": {
    "global":{
      "tables": ["cmdb_ci_server"]
    },
    "sn_ace": {
      "tables": ["sn_ace_app_config"]
    }
  }
}
```

3. 変更内容を保存します。
4. アプリケーションディレクトリから、統合されたターミナルウィンドウを開きます。
5. dependencies コマンドを使用して、アプリケーションの依存関係をダウンロードします。

   Example

```
now-sdk dependencies --auth <alias>
```

   依存関係は、.d.now.ts ファイル拡張子で @types/servicenow/schema ディレクトリに生成されます。アプリケーションをビルドするとき、これらのファイルはソース コード ファイルのようにコンパイルされません。

スクリプトの依存関係をダウンロード

アプリケーションでスクリプトの依存関係をダウンロードして、Glide API とスクリプトインクルードの先行入力サポートを取得します。

始める前に
ServiceNow SDKを使用してスコープ対象のアプリケーションを作成または変換します。詳細については、 を使用してアプリケーションを作成 する ServiceNow SDK または でアプリケーションを変換する ServiceNow SDKを参照してください。

必要なロール：admin

このタスクについて
この手順では、ServiceNow SDK コマンドラインインターフェイス (CLI) を使用します。コマンドラインツールから「 now-sdk --help 」と入力すると、使用可能なコマンドとグローバルオプション

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

に関する情報を取得できます。コマンドとそのパラメーターに関する追加情報を取得するには、コマンドと --help または -h を入力します。たとえば、now-sdk auth --help などです。CLI の詳細については、「 ServiceNow SDK CLI」を参照してください。

手順

1. Visual Studio Code で、スコープ対象のアプリケーションのディレクトリを開きます。
2. アプリケーションディレクトリから、統合されたターミナルウィンドウを開きます。
3. dependencies コマンドを使用して、アプリケーションのスクリプトの依存関係をダウンロードします。

   Example

   ```
   now-sdk dependencies --auth <alias>
   ```

   タイプ定義は、アプリケーションのスクリプトに基づいて @types/servicenow ディレクトリにダウンロードされます。

4. src/fluent ディレクトリに、サーバー側スクリプト用の tsconfig.server.json ファイルを作成します。
   include オブジェクトに、サーバー側の Glide API (glide.server.d.ts) およびスクリプトインクルード (script-includes.server.d.ts) 用にダウンロードしたタイプ定義を含めます。

   Example

   ```
   {
    "compilerOptions": {
     "lib": [
      "ES2021"
     ],
     "noEmit": true,
     "checkJs": false,
     "allowJs": true,
     "noEmitHelpers": true,
     "esModuleInterop": false,
     "module": "None",
     "types": []
    },
    "include": [
     "./**/*.server.js",
     "../../@types/servicenow/*.server.d.ts",
    ]
   }
   ```

5. src/fluent ディレクトリに、クライアントサイドスクリプト用の tsconfig.client.json ファイルを作成します。
   include オブジェクトに、クライアントサイドの Glide API (glide.client.d.ts) 用にダウンロードしたタイプ定義を含めます。

   Example

   ```
   {
    "compilerOptions": {
     "target": "ES6",
     "lib": [
      "DOM",
      "ES6"
     ],
   ```

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    "checkJs": false,
    "allowJs": true,
    "noEmit": true,
    "noEmitHelpers": true,
    "esModuleInterop": false,
    "module": "None",
    "types": []
  },
  "include": [
    "./**/*.client.js",
    "../../@types/servicenow/*.client.d.ts",
  ]
}
```

6. src/fluent ディレクトリに、tsconfig.json ファイルを作成します。

   注:
   この tsconfig.json ファイルは、TypeScript を使用して JavaScript モジュールを作成するアプリケーションに使用される tsconfig.json ファイルとは別のものです。

   参照オブジェクトで、tsconfig.server.jsonファイルとtsconfig.client.jsonファイルへのパスを追加します。

   Example

```
{
  "files": [],
  "references": [
    {
      "path": "./tsconfig.server.json"
    },
    {
      "path": "./tsconfig.client.json"
    }
  ]
}
```

7. 変更内容を保存します。

タスクの結果
この構成では、サーバーサイドスクリプトには .server.js ファイル拡張子を使用し、クライアントサイドスクリプトには .client.js ファイル拡張子を使用して、開発中に先行入力サポートを受けることができます。

を使用してアプリケーションをビルドしてインストールし、しますServiceNow SDK

ServiceNowインスタンスでServiceNow SDKで開発されたローカルアプリケーションをビルドしてします。

始める前に
ServiceNow SDKを使用してスコープ対象のアプリケーションを作成または変換します。詳細については、 を使用してアプリケーションを作成 する ServiceNow SDK または でアプリケーションを変換する ServiceNow SDKを参照してください。

必要なロール：admin

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて

この手順では、ServiceNow SDK コマンドラインインターフェイス (CLI) を使用します。コマンドラインツールから「 now-sdk --help 」と入力すると、使用可能なコマンドとグローバルオプションに関する情報を取得できます。コマンドとそのパラメーターに関する追加情報を取得するには、コマンドと --help または -h を入力します。たとえば、now-sdk auth --help などです。CLI の詳細については、「 ServiceNow SDK CLI」を参照してください。

手順

1. Visual Studio Code で、スコープ対象のアプリケーションのディレクトリを開きます。
2. アプリケーションディレクトリから、統合されたターミナルウィンドウを開きます。
3. 変換コマンドを使用してインスタンスからアプリケーションへの変更をダウンロードし、ローカルの変更を最新の状態に保ちます。

   Example

   ```
   now-sdk transform --auth <alias>
   ```

   アプリケーションメタデータの変更がダウンロードされ、ソースコードに同期されます。メタデータが XML とソースコードの両方としてローカルアプリケーションに存在する場合、インスタンスへのインストール時に XML バージョンが優先されます。

   注:
   インスタンスからアプリケーションメタデータをダウンロードするときに、JavaScript モジュールの更新は含まれません。

4. ビルド コマンドを使用してアプリケーションをビルドします。

   ```
   now-sdk build
   ```

   ビルドアーティファクトは dist/app ディレクトリに出力され、メタデータが dist/app/update ディレクトリ内に XML ファイルとして含まれます。
5. インストールinstall コマンドを使用してアプリケーションをします。

   ```
   now-sdk install --auth <alias>
   ```

   警告:
   install コマンドで --reinstall パラメーターを true に設定すると、インスタンスで他の開発者によって作成されたアプリケーションメタデータを削除できます。ビルドプロセス中に生成されたローカル分割払いパッケージに存在しないインスタンス上のアプリケーションメタデータは、すべて分割払い中に削除されます。アプリケーションをビルドする前に、 now-sdk transform コマンドを使用して、ローカルメタデータをインスタンスのメタデータと同期します。

タスクの結果

インスタンスでアプリケーションが更新され、ローカルの変更が反映されます。 ServiceNow Fluent コードはアプリケーションメタデータにコンパイルされ、アプリケーション内のモジュールがインスタンスで EcmaScript モジュール [sys_module] テーブルに追加されます。

注:
EcmaScript モジュール [sys_module] テーブルに不要な以前のバージョンのモジュールがある場合、アプリケーションを再インストールすると、以前のバージョンのアプリケーションのモジュールがテーブルから削除されます。

ServiceNow SDK の参照情報

参照トピックは、ServiceNow SDK CLI コマンドと ServiceNow Fluent API に関する追加情報を提供します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ServiceNow SDK CLI

ServiceNow SDK コマンドラインインターフェイス (CLI) を使用して、ローカルアプリケーションとインスタンス上のアプリケーション間の変更を管理します。

システムのコマンドラインツールから、「now-sdk」と入力して CLI を起動し、使用可能なコマンドのリストを返すか、「now-sdk [command]」と入力して ServiceNow SDK の使用を開始します。

CLI には、次のコマンドとグローバルオプションが含まれています。

グローバルオプション

オプション	説明
--version、-v	CLI のバージョンを返します。
--help、-h	コマンド、サブコマンド、パラメーターに関する情報を返します。
--debug、-d	コマンドで生成されたデバッグログを返します。

auth

インスタンスに対して認証し、システム上のインスタンスにアクセスするためのユーザー認証情報を保存、更新、または表示します。

auth コマンドには、認証情報の追加、認証情報の削除、認証情報のリスト表示、およびデフォルトで使用する認証情報の設定を行うためのパラメーターがあります。

詳細については、「を使用した ServiceNow インスタンスへの認証 ServiceNow SDK」を参照してください。

追加

システムのデバイスキーチェーンまたは認証情報マネージャーに認証情報を保存します。

auth コマンドは、--add パラメーターを持つ次の構造を持ちます。

```
npx @servicenow/sdk auth [--add <instance url>] [--type <auth method>] [--alias <alias>]
```

注:
npx コマンドを使用すると、グローバルではなくアプリケーションディレクトリにServiceNow SDKインストールされます。

必須パラメーター

パラメーター	タイプ	説明	デフォルト値
--足す	文字列	アプリケーションをインストールする、アクセスするターゲットインスタンスの URL。インスタンスは Washington DC リリース以降である必要があります。	—

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

オプションのパラメーター

パラメーター	タイプ	説明	デフォルト値
--種類	文字列	ターゲットインスタンスでの認証に使用する方法。ベーシック認証の場合は basic を、OAuth 2.0 認証の場合は oauth を指定します。	basic
--別名	文字列	インスタンスおよびユーザー認証情報のエイリアス。 エイリアスは、 init、 transform、 dependencies、および install コマンドによる認証に使用できます。	—

たとえば、次のようになります。

```
npx @servicenow/sdk auth --add https://myinstance.service-now.com --type oauth --alias
 devuser1
```

delete

システムのデバイスキーチェーンまたは認証情報マネージャーの認証情報を削除します。

auth コマンドは、--delete パラメーターを持つ次の構造を持ちます。

```
now-sdk auth [--delete <alias or all>]
```

必須パラメーター

パラメーター	タイプ	説明	デフォルト値
--削除	文字列	 インスタンスおよびユーザー認証情報のエイリアス。 すべての認証情報を削除するには、このパラメーターを --delete all に設定します。	—

たとえば、次のようになります。

```
now-sdk auth --delete devuser1
```

リスト

システムのデバイスキーチェーンまたは認証情報マネージャーに保存された認証情報を表示します。パスワード と認証コードは 返されません。

auth コマンドは、--list パラメーターを持つ次の構造を持ちます。

```
now-sdk auth [--list]
```

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

必須パラメーター

パラメーター	タイプ	説明	デフォルト値
--リスト	文字列	利用可能なすべての認証情報をリストします。	—

たとえば、次のようになります。

```
now-sdk auth --list
```

使う

コマンドでデフォルトで使用される認証情報を設定します。

auth コマンドは、--use パラメーターを持つ次の構造を持ちます。

```
now-sdk auth [--use <alias>]
```

必須パラメーター

パラメーター	タイプ	説明	デフォルト値
--使う	文字列	インスタンスおよびユーザー認証情報のエイリアス。	—

たとえば、次のようになります。

```
now-sdk auth --use devuser1
```

作成を開始

カスタムスコープ対象のアプリケーションを作成するか、既存のスコープ対象のアプリケーションを変換して、ソースコードでの開発をサポートします。アプリケーションが現在のディレクトリに追加されます。

デフォルトの認証情報を使用してアプリケーションを作成するには、オプションのパラメーターを指定せずに init コマンドを実行します。例:now-sdk init。既存のアプリケーションを変換するには、--from パラメーターを含めて、インスタンス上のアプリケーションのsys_id、またはアプリケーションを含むローカルディレクトリーへのパスを指定する必要があります。

アプリケーションを初期化した後、アプリケーションをビルドする前に、優先パッケージマネージャーを使用して、必要なサードパーティの依存関係をインストールする必要があります。たとえば、ノード パッケージ マネージャー (npm) を使用する場合は、 npm install を実行します。

init コマンドの構造は次のとおりです。

```
npx @servicenow/sdk init [--from <sys_id or path>] [--appName <name>] [--packageName
 <name>] [--scopeName <name>] [--auth <alias>] [--template <template>]
```

注:
npx コマンドを使用すると、グローバルではなくアプリケーションディレクトリにServiceNow SDKインストールされます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

オプションのパラメーター

パラメーター	タイプ	説明	デフォルト値
--差出人	文字列	インスタンス上のアプリケーションのsys_id、またはソースコードでの開発をサポートするために変換するアプリケーションを含むローカルディレクトリへのパス。 アプリケーションを変換すると、ServiceNow SDK をローカルで使用するために必要なファイルとディレクトリが追加され、アプリケーションメタデータがダウンロードされます。アプリケーションをビルドしてインスタンスにインストールするまで、インスタンス上のアプリケーションは変更されません。変換されたアプリケーションをインストールすると、カスタムアプリケーションレコード [sys_app] の **[JSON のパッケージ化]** フィールドに、アプリケーションの package.json ファイルへのパスが含まれます。	—
--appName	文字列	アプリケーションの名前。	—
--packageName	文字列	package.json ファイルで使用されるアプリケーションパッケージの名前。 パッケージ名は、ノードパッケージマネージャー (npm) パッケージ命名基準に準拠している必要があります。	—
--scopeName	文字列	アプリケーションのスコープ。 スコープ名はインスタンス上で一意で、x_<prefix> で始まり、18 文字以下である必要があります。詳細については、「名前空間識別子」を参照してください。	—
--auth、-a	文字列	インスタンスへの認証に使用する認証情報のエイリアス。	設定されている場合は、デフォルトのエイリアス。
--テンプレート	文字列	アプリケーションのデフォルト構造のテンプレート。 • base: ソースコードでの開発に必要な基本構造のみを持つアプリケーション。 • javascript.basic: ServiceNow Fluent および JavaScript での開発用に構成されたアプリケーション。	—

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

オプションのパラメーター (続く)

パラメーター	タイプ	説明	デフォルト値
		• javascript.react: ServiceNow Fluent、JavaScript、および React での開発用に構成されたアプリケーション。 • typescript.basic: ServiceNow Fluent および TypeScript での開発用に構成されたアプリケーション。src/server ディレクトリ内の TypeScript ソースファイルは、JavaScript モジュールにトランスパイルされます。 • typescript.react: ServiceNow Fluent、TypeScript、および React での開発用に構成されたアプリケーション。src/server ディレクトリ内の TypeScript ソースファイルは、JavaScript モジュールにトランスパイルされます。	

たとえば、次のようになります。

```
npx @servicenow/sdk init --from dbce0f6a3b3fda107b45b5d355e45af6 --appName Example App --packageName example-app --scopeName x_snc_example --auth devuser1 --template base
```

詳細については、「を使用してアプリケーションを作成 する ServiceNow SDK」または「でアプリケーションを変換する ServiceNow SDK」を参照してください。

ビルド

ソースファイルをコンパイルし、 てアーティファクトをビルドします。サードパーティライブラリの依存関係は、アプリケーションとともにインストールできる XML ファイルに変換されます。

build コマンドの構造は次のとおりです。

```
now-sdk build <source> [--frozenKeys <flag>]
```

オプションのパラメーター

パラメーター	タイプ	説明	デフォルト値
ソース	文字列	アプリケーションの package.json ファイルが含まれているディレクトリへのパス。 package.json は、アプリケーションのベースディレクトリに存在する必要があります。	現在の作業ディレクトリ
--frozenKeys	ブール	継続的インテグレーション (CI) ビルドに対して keys.ts ファイルが最	false

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

オプションのパラメーター (続く)

パラメーター	タイプ	説明	デフォルト値
		新であることを検証するオプション。true でアプリケーションの ServiceNow Fluent コードが変更された場合、 keys.ts ファイルは更新されず、ビルドは失敗します。 keys.tsファイルは、src/fluent/generated ディレクトリに自動的に生成されます。	

たとえば、次のようになります。

```
now-sdk build /path/to/package --frozenKeys true
```

詳細については、「を使用してアプリケーションをビルドしてインストールし、しますServiceNow SDK」を参照してください。

インストール

ビルドアーティファクトをパッケージ化してインストールする インスタンスにアプリケーションをまたは更新します。install コマンドを使用する前に、build コマンドを使用してインストール可能なパッケージを生成する必要があります。

install コマンドの構造は次のとおりです。

```
now-sdk install [--source <package path>] [--reinstall <flag>] [--auth <alias>]
 [--open-browser <flag>] [--info <flag>]
```

オプションのパラメーター

パラメーター	タイプ	説明	デフォルト値
--source	文字列	アプリケーションの package.json ファイルが含まれているディレクトリへのパス。 package.json は、アプリケーションのベースディレクトリに存在する必要があります。	現在の作業ディレクトリ
--reinstall、-r	ブール	インスタンス上のアプリケーションをアンインストールして再インストールし、インスタンス上のメタデータがインストールパッケージのメタデータと一致するようにするオプション。 ⚠ 警告: インスタンスにはあるがローカルアプリケーションにはないメタデータは削除されます。 EcmaScript モジュール [sys_module] テーブルに不要な以	false

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

オプションのパラメーター (続く)

パラメーター	タイプ	説明	デフォルト値
		前のバージョンのモジュールがある場合、アプリケーションを再インストールすると、以前のバージョンのアプリケーションのモジュールがテーブルから削除されます。	
--auth、-a	文字列	インスタンスへの認証に使用する認証情報のエイリアス。 **注:** CI/CD パイプラインの場合、次の環境変数を設定して、ベーシック認証を使用して実行時にインスタンスで認証できます。 • SN_SDK_INSTANCE_URL: アプリケーションをインストールする、アクセスするターゲットインスタンスの URL。 • SN_SDK_USER:インスタンスのユーザー名。 • SN_SDK_USER_PWD:ユーザーに関連付けられたパスワード。 • SN_SDK_NODE_ENV:CI サーバーのサポートを有効にするには、SN_SDK_CI_INSTALL に設定します。	設定されている場合は、デフォルトのエイリアス。
--open-browser、-b	ブール	アプリケーションを正常にインストールした後に、デフォルトのブラウザーでアプリケーションレコードを開くオプション。	false
--info、-i	ブール	更新されたステータスやレコードなど、このアプリケーションの最新のインストールに関する詳細を返すオプション。このパラメーターを使用すると、アプリケーションはインストールされません。	false

たとえば、次のようになります。

```
now-sdk install --source /path/to/package --reinstall false --auth devuser1 --open-browser
 true --info true
```

詳細については、「を使用してアプリケーションをビルドしてインストールし、しますServiceNow SDK」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

依存関係

now.config.json ファイルで構成されたアプリケーションの依存関係と、Glide API の TypeScript タイプ定義やスクリプトインクルードなどのスクリプトの依存関係をインスタンスからダウンロードします。

アプリケーションが依存するテーブルを生成してダウンロードするには、 now.config.jsonで依存関係を設定する必要があります。スクリプトの依存関係をダウンロードした後、 tsconfig.json ファイルを更新してタイプ定義を含める必要があります。

`dependencies` コマンドの構造は次のとおりです。

```
now-sdk dependencies [--directory <package path>] [--auth <alias>]
```

オプションのパラメーター

パラメーター	タイプ	説明	デフォルト値
--directory	文字列	アプリケーションの package.json ファイルが含まれているディレクトリへのパス。 package.json は、アプリケーションのベースディレクトリに存在する必要があります。	現在の作業ディレクトリ
--auth、-a	文字列	インスタンスへの認証に使用する認証情報のエイリアス。	設定されている場合は、デフォルトのエイリアス。

たとえば、次のようになります。

```
now-sdk dependencies --directory /path/to/package --auth devuser1
```

詳細については、「によるアプリケーションとスクリプトの依存関係のダウンロード ServiceNow SDK」を参照してください。

変換

インスタンスからアプリケーションメタデータ (XML) をダウンロードし ServiceNow Fluent そのメタデータをソースコードに変換して、インスタンス上のアプリケーションの変更をローカルアプリケーションに同期します。

アプリケーションを初期化した後、パラメーターを指定せずに `transform` コマンドを実行して、インスタンスの新しいアプリケーションメタデータを src/fluent/generated ディレクトリ内のソースコードに変換し、メタデータへの変更を src/fluent ディレクトリ内のソースコードに同期できます。アプリケーションの初期化時に存在していたメタデータをソース コードに変換するには、 `--from` パラメーターを使用して、XML を含むローカル ディレクトリまたはファイルへのパスを指定します。メタデータが XML とソースコードの両方としてローカルアプリケーションに存在する場合、インスタンスへのインストール時に XML バージョンが優先されます。

`transform` コマンドの構造は次のとおりです。

```
now-sdk transform [--from <path>] [--directory <package path>] [--preview <flag>] [--auth
 <alias>] [--format <flag>]
```

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

オプションのパラメーター

パラメーター	タイプ	説明	デフォルト値
--差出人	文字列	ServiceNow Fluentコードに変換するメタデータ XML を含むローカルディレクトリまたはファイルへのパス。	—
--directory	文字列	アプリケーションの package.json ファイルが含まれているディレクトリへのパス。 package.json は、アプリケーションのベースディレクトリに存在する必要があります。	現在の作業ディレクトリ
--プレビュー	ブール	変更を保存せずにコマンドラインから変換された ServiceNow Fluent コードをプレビューするオプション。	false
--auth、-a	文字列	インスタンスへの認証に使用する認証情報のエイリアス。	設定されている場合は、デフォルトのエイリアス。
--format、 -f	ブール	変換時に新規および更新された ServiceNow Fluent ソースコードをフォーマットするオプション。	true

たとえば、次のようになります。

```
now-sdk transform --from metadata/update --directory /path/to/package --preview true
 --auth devuser1 --format true
```

詳細については、「でアプリケーションを変換する ServiceNow SDK」または「を使用してアプリケーションをビルドしてインストールし、しますServiceNow SDK」を参照してください。

ダウンロード

インスタンス上のアプリケーションからすべてのアプリケーションメタデータ (XML) をダウンロードして、ローカルアプリケーションのメタデータと比較します。

インスタンスからアプリケーションメタデータをダウンロードするときに、JavaScript モジュールの更新は含まれません。

ダウンロードコマンドの構造は次のとおりです。

```
now-sdk download <directory> [--source <package path>] [--incremental <flag>]
```

必須パラメーター

パラメーター	タイプ	説明	デフォルト値
ディレクトリ	文字列	メタデータをダウンロードするディレクトリへのパス。	—

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

必須パラメーター (続く)

パラメーター	タイプ	説明	デフォルト値
		注: このディレクトリは、アプリケーションの メタデータ ディレクトリとは異なるディレクトリである必要があります。	

オプションのパラメーター

パラメーター	タイプ	説明	デフォルト値
--source	文字列	アプリケーションの package.json ファイルが含まれているディレクトリへのパス。 package.json は、アプリケーションのベースディレクトリに存在する必要があります。	現在の作業ディレクトリ
--インクリメンタル	ブール	インスタンスで行われ、顧客アップデート [sys_update_xml] テーブルに記録されたアプリケーションメタデータへの変更のみをダウンロードするオプション。	false

例：

```
now-sdk download /path/to/directory --source /path/to/package --incremental true
```

綺麗

以前のビルドで出力されたビルドアーティファクトを削除します。

clean コマンドの構造は次のとおりです。

```
now-sdk clean <source>
```

オプションのパラメーター

パラメーター	タイプ	説明	デフォルト値
ソース	文字列	アプリケーションの package.json ファイルが含まれているディレクトリへのパス。 package.json は、アプリケーションのベースディレクトリに存在する必要があります。	現在の作業ディレクトリ

たとえば、次のようになります。

```
now-sdk clean /path/to/package
```

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パック

以前のビルドで出力されたビルドアーティファクトをインストール可能な ZIP ファイルにパッケージ化します。

pack コマンドの構造は次のとおりです。

```
now-sdk pack <source>
```

オプションのパラメーター

パラメーター	タイプ	説明	デフォルト値
ソース	文字列	アプリケーションの package.json ファイルが含まれているディレクトリへのパス。 package.json は、アプリケーションのベースディレクトリに存在する必要があります。	現在の作業ディレクトリ

たとえば、次のようになります。

```
now-sdk pack /path/to/package
```

ServiceNow Fluent API リファレンス

ServiceNow Fluent API を使用して、ServiceNow IDEまたはServiceNow SDKを使用してソースコードでスコープ対象のアプリケーションを構成するメタデータを定義します。

ServiceNow Fluent API リファレンスには、API の詳細と例が含まれています。 使用中の ServiceNow Fluent API のその他の例については、 ServiceNow SDK サンプル GitHub リポジトリを参照してください。

関連情報

ServiceNow Fluent

アクセス制御リスト **API - ServiceNow Fluent**

アクセス制御リスト API は、アプリケーションの一部を保護するアクセス制御リスト [sys_security_acl] を定義します。

アクセス制御リスト (ACL) の一般的な情報については、「 Access Control List Rules」を参照してください。

関連情報

ServiceNow Fluent

ACL オブジェクト

新しいオブジェクトへのアクセスを保護するため、またはデフォルトのセキュリティ動作を変更するため、カスタム ACL ルール [sys_security_acl] を構成します。

ACL には、1 つ以上のロール、セキュリティ属性、条件、またはスクリプトが含まれている必要があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ

名前	タイプ	説明
$id	文字列または数値	必須。メタデータオブジェクトの一意の ID。アプリケーションをビルドすると、この ID は一意のsys_idにハッシュされます。 形式: Now.ID['string' or number]
操作	文字列	必須。この ACL ルールが保護する操作。ACL ルールは 1 つの操作のみを保護できます。複数の操作を保護するには、それぞれに個別の ACL ルールを作成します。 *type* プロパティが client_callable_flow_object、client_callable_script_include、graphql、または rest_endpoint の場合は、操作を実行する必要があります。 有効な値： • execute:ユーザーがレコードまたは UI ページでスクリプトを実行できるようにします。 • create:ユーザーが新しいレコード (行) をテーブルに挿入できるようにします。 • read:ユーザーがテーブルのレコードを表示できるようにします。 • write:ユーザーがテーブル内のレコードを更新できるようにします。 • 削除:ユーザーがテーブルからレコードを削除したり、テーブルを削除したりできるようにします。 • conditional_table_query_range:読み取り ACL に基づいてユーザーが部分的な ACL アクセス権を付与できるようにします。データ条件とスクリプトのない読み取り ACL を持つテーブルに対して作成されます。 • data_fabric: ユーザーが Data Fabric コネクタが特定のテーブルのデータにアクセスできるようにします。 • query_match:ユーザーは一致クエリ (「次の値である」、「ではない」、「空である」など) を送信できます。 • query_range:ユーザーが範囲クエリ (「starts with」、「ends with」、「contains」など) を送信できるようにします。ソートは制限されません。 • edit_task_relations:ユーザーがタスク [task] テーブルを拡張できるようにします。 • edit_ci_relations:ユーザーが構成アイテム [cmdb_ci] テーブルを拡張できるようにします。 • save_as_template:ユーザーがレコードをテンプレートとして保存できるようにします。 • add_to_list:ユーザーがリストメカニズムの特定の列を表示またはカスタマイズできるようにします。条件とスクリプトはサポートされていません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ (続く)

名前	タイプ	説明
		• report_on:ユーザーがテーブルでレポートできるようにします。 • list_edit:ユーザーがリストからレコード (行) を更新できるようにします。 • report_view:ユーザーにフィールド ACL でのレポートを許可します。 • personalize_choices:ユーザーがテーブルまたはフィールドを設定できるようにします。
タイプ	文字列	必須。この ACL ルールが保護するオブジェクトのタイプ。タイプによって、使用可能な操作が決まります。 ACL ルールを作成した後、タイプを変更する場合は、ACL を削除し、正しいタイプで新しい ACL を作成する必要があります。 有効な値： • レコード • rest_endpoint • ui_page • プロセッサ • GraphQL • pd_action • ux_data_broker • ux_page • ux_route • client_callable_flow_object • client_callable_script_include デフォルト：record
active	ブーリアン	ACL ルールが適用されるかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：ACL ルールが適用されます。 • false：ACL ルールは適用されません。 デフォルト：true
adminOverrides	ブール	admin ロールを持つユーザーがこの ACL ルールの権限チェックに自動的に合格するかどうかを示すフラグ。 有効な値：

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ (続く)

名前	タイプ	説明
		• true：アドミニストレーターは自動的に権限チェックに合格します。 true の場合、適用されるスクリプトまたはロールに関係なく、アドミンユーザーは権限チェックに合格します。ただし、ServiceNow の担当者のみがアサインできる nobody ロールは、アドミン上書きオプションよりも優先されます。ACL に nobody ロールがアサインされている場合、 *admin_overrides* が true であってもアドミンユーザーはリソースにアクセスできません。詳細については、「ベースシステムのロール」を参照してください。 • false：アドミニストレーターは、保護されたオブジェクトにアクセスするために、この ACL ルールで定義された権限を満たす必要があります。条件またはスクリプトプロパティを使用して、アドミニストレーターが合格する必要がある権限チェックを作成します。 デフォルト：true
スクリプト	スクリプト	オブジェクトにアクセスするために必要な権限を定義するカスタムスクリプト。 このプロパティは、JavaScript モジュールの関数、スクリプトを含むアプリケーション内の別のファイルへの参照、またはインライン JavaScript をサポートします。 ACL には、1 つ以上のロール、セキュリティ属性、条件、またはスクリプトが含まれている必要があります。 **注:** *type* プロパティが graphql の場合、スクリプトはサポートされません。 スクリプトは、current および previous のグローバル変数、およびシステムプロパティの値を使用できます。スクリプトは、次の 2 つの方法のいずれかで true または false の応答を生成する必要があります。 • true または false の値に設定された回答変数を返します。 • true または false に評価します。 いずれの場合も、スクリプトが true と評価され、ユーザーが ACL ルールの条件を満たしている場合にのみ、ユーザーはオブジェクトにアクセスできます。ユーザーがオブジェクトにアクセスするには、条件とスクリプトの両方が true と評価される必要があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ (続く)

名前	タイプ	説明
		注: 評価されたアイテムが関連リストにある場合、現在のポイントは、ACL の現在のアイテムではなく、関連リストがあるアイテムを指します。ただし、ACL を評価しているアイテムが関連リストにない場合、現在のポイントは実際のアイテムを指します。 Format (形式): • 関数には、JavaScript モジュールからエクスポートされた関数、関数式、またはデフォルト関数の名前を使用して、 .now.ts ファイルにインポートします。JavaScript モジュールの詳細については、「JavaScript モジュールとサードパーティライブラリ」を参照してください。 • 別のファイルのテキストコンテンツを使用するには、Now.include('path/to/file') の形式を使用してアプリケーション内のファイルを参照します。 • インラインスクリプトを指定するには、複数行のコードに文字列リテラルまたはテンプレートリテラル (「スクリプト」または「スクリプト」) を使用します。
説明	文字列	この ACL ルールによって保護されるオブジェクトまたは権限の説明。
ローカルまたは既存の	文字列	適用するセキュリティ属性のタイプ。 有効な値： • ローカル: 条件 プロパティに基づくセキュリティ属性。作成された ACL に対してのみ保存されます。 • Existing: *security_attribute* プロパティで参照する既存のセキュリティ属性。 デフォルト：Local
decisionType	文字列	ACL でアクセスを許可するか拒否するかのオプション。 有効な値： • allow：ACL はアクセスを許可します。 • deny：ACL はアクセスを拒否します。 デフォルト：allow
ステータス	文字列	ユーザーがオブジェクトにアクセスするために true でなければならないフィールドと値を指定するフィルタークエリ。詳細については、「Operators available for filters and queries」を参照してください。 ACL には、1 つ以上のロール、セキュリティ属性、条件、またはスクリプトが含まれている必要があります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

プロパティ (続く)

名前	タイプ	説明
ロール	アレイ	ユーザーがオブジェクトにアクセスするために必要な `ロール` オブジェクトの変数識別子またはロールのsys_idsのリスト。詳細については、「ロール API - ServiceNow Fluent」を参照してください。 ACL には、1 つ以上のロール、セキュリティ属性、条件、またはスクリプトが含まれている必要があります。 **注:** admin ロールを持つユーザーは、他のすべてのロールが自動的に付与されるため、常にこの権限チェックに合格します。
セキュリティ属性	文字列	使用する ACL の事前定義された条件。たとえば、ユーザーが別のユーザーの代理操作を行っているかどうかなどです。セキュリティ属性の詳細については、「OOB (Out-of-Box) Security Attributes」を参照してください。 ACL には、1 つ以上のロール、セキュリティ属性、条件、またはスクリプトが含まれている必要があります。 **注:** *`Is localized`*フィールドが true に設定されているセキュリティ属性の場合、ACL の *`localOrExisting`* プロパティを Local に設定する必要があります。*`Is localized`* フィールドが false の場合、*`localOrExisting`* プロパティを Existing に設定する必要があります。
table	文字列	ACL が適用されるテーブルの名前。 このプロパティは、*`type`* プロパティが ux_data_broker、ux_page、ux_route、pd_action、または record のいずれかの値である場合にのみ適用され、必須です。
フィールド	文字列	保護するテーブルのフィールドの名前。ワイルドカード文字 ("*") を使用して、すべてのフィールドを選択できます。
名前	文字列	ACL の名前。 このプロパティは、*`type`* プロパティが rest_endpoint、ui_page、processor、graphql、client_callable_flow_ob または client_callable_script_include のいずれかの値である場合にのみ適用され、必須です。
$meta	オブジェクト	アプリケーションメタデータのメタデータ。 *`installMethod`* プロパティを使用すると、特定の状況でのみロードされる出力ディレクトリにアプリケーションメタデータをマップできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ (続く)

名前	タイプ	説明

		$meta: {
		installMethod: 'String'
		}
		
		installMethod の有効な値:
		• demo: [デモデータのロード] オプションが選択されている場合に、アプリケーションとともにインストールされる metadata/unload.demo ディレクトリにアプリケーションメタデータを出力します。
		• 初回インストール:アプリケーションがインスタンスに初めてインストールされたときにのみインストールされる メタデータ/アンロード ディレクトリにアプリケーションメタデータを出力します。

$override	オブジェクト	ServiceNow Fluent API に含まれていないフィールドを構成したり、既存のフィールドを上書きしたりするために提供されるフィールドとその値。
		
		⚠ 警告:
		タイプセーフは、 *$override* プロパティで構成されたフィールドには適用されません。
		
		$override: {
		field: value,
		...
		}

```
import { Acl } from "@servicenow/sdk/core";

export default Acl({
    $id: Now.ID['task_delete_acl'],
    active: true,
    adminOverrides: true,
    type: 'record',
    table: 'task',
    field: 'description',
    operation: 'delete',
    roles: [adminRole, managerRole],
})
```

参照されるロールは、*Role* オブジェクトを使用して定義されます。

```
import { Role } from "@servicenow/sdk/core";

const managerRole = Role({
   $id: Now.ID['manager_role'],
   name: 'x_snc_example.manager'
})

const adminRole = Role({
   $id: Now.ID['admin_role'],
   name: 'x_snc_example.admin',
```

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  containsRoles: [managerRole]
})
```

アプリケーションメニュー **API - ServiceNow Fluent**

アプリケーションメニュー API は、アプリケーションナビゲーター [sys_app_application] のメニューを定義します。

アプリケーションメニューの一般的な情報については、「 アプリケーションメニューの作成」を参照してください。

関連情報

ServiceNow Fluent

ApplicationMenu オブジェクト

アプリケーション [sys_app_application] のメニューを作成します。

プロパティ

名前	タイプ	説明
$id	文字列または数値	必須。メタデータオブジェクトの一意の ID。アプリケーションをビルドすると、この ID は一意のsys_idにハッシュされます。 形式: Now.ID['string' or number]
title	文字列	必須。アプリケーションナビゲーターのメニューのラベル。
active	ブーリアン	アプリケーションナビゲーターにメニューが表示されるかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：メインメニューが表示されます。 • false：メニューは非表示です。 デフォルト：true
roles	アレイ	*Role* オブジェクトの変数識別子のリストまたは メニュー。 詳細については、「ロール API - ServiceNow Fluent」を参照してください。
カテゴリ	参照	ナビゲーションメニューのスタイルを定義するメニューカテゴリ [sys_app_category] の変数識別子。メニューカテゴリを定義するには、レコード API - ServiceNow Fluent を使用します。 メニューカテゴリの一般的な情報については、「Customize menu categories」を参照してください。
hint	文字列	メニューにカーソルを合わせたときにツールヒントとして表示されるメニューの簡単な説明。
説明	文字列	アプリケーションの機能に関する追加情報。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ (続く)

名前	タイプ	説明
name	文字列	同じタイトルのアプリケーションを区別するための内部名。
order	番号	アプリケーションナビゲーター内のアプリケーションメニューの相対位置。 デフォルト：100
$meta	オブジェクト	アプリケーションメタデータのメタデータ。 `installMethod` プロパティを使用すると、特定の状況でのみロードされる出力ディレクトリにアプリケーションメタデータをマップできます。 `$meta: { installMethod: 'String' }` `installMethod` の有効な値: • demo: [デモデータのロード] オプションが選択されている場合に、アプリケーションとともにインストールされる metadata/unload.demo ディレクトリにアプリケーションメタデータを出力します。 • 初回インストール:アプリケーションがインスタンスに初めてインストールされたときにのみインストールされる メタデータ/アンロード ディレクトリにアプリケーションメタデータを出力します。
$override	オブジェクト	ServiceNow Fluent API に含まれていないフィールドを構成したり、既存のフィールドを上書きしたりするために提供されるフィールドとその値。 ⚠ 警告: タイプセーフは、 `$override` プロパティで構成されたフィールドには適用されません。 `$override: { field: value, ... }`

```
import { ApplicationMenu } from "@servicenow/sdk/core";

ApplicationMenu({
  $id: Now.ID['my_app_menu'],
  title: 'My App Menu',
  hint: 'This is a hint',
  description: 'This is a description',
  category: appCategory,
  roles: ['admin'],
  active: true,
})
```

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

参照されるカテゴリは、*Record* オブジェクトを使用して定義されます。

```
import { Record } from "@servicenow/sdk/core";

export const appCategory = Record({
  table: 'sys_app_category',
  $id: Now.ID[9],
  data: {
    name: 'example',
    style: 'border-color: #a7cded; background-color: #e3f3ff;',
  },
})
```

自動テストフレームワーク **(ATF)** テスト **API - ServiceNow Fluent**

自動テストフレームワーク (ATF) テスト API は、変更後にインスタンスが機能することを確認するために実行できる自動テスト [sys_atf_test] を定義します。

自動テストフレームワーク (ATF)テストの一般的な情報については、「自動テストフレームワーク (ATF) (ATF)」を参照してください。

関連情報

ServiceNow Fluent

Test オブジェクト

実行する一連のステップを含む自動化テスト [sys_atf_test] を作成します。

プロパティ

名前	タイプ	説明
$id	文字列または数値	必須。メタデータオブジェクトの一意の ID。アプリケーションをビルドすると、この ID は一意のsys_idにハッシュされます。 形式: Now.ID['string' or number]
name	文字列	テストの一意の名前。
description	文字列	テストの内容の説明。
active	ブーリアン	テストがアクティブかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：テストはアクティブです。 • false：テストはアクティブではありません。 デフォルト：true
failOnServerError	ブーリアン	テスト中にサーバーエラーが発生した場合に失敗するかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：サーバーエラーが発生するとテストは失敗します。 • false：サーバーエラーが発生してもテストは失敗しません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ (続く)

名前	タイプ	説明
		デフォルト：true
configurationFunction	関数	テストのステップ。テストステップは、`atf` 関数内のステートメントとして渡されます。たとえば、次のようになります。 `(atf) => { atf.form.openNewForm({ table: 'sn_example_table', formUI: 'standard_ui', view: '', }) }` テストステップの詳細については、「サポートされているテストステップ」を参照してください。
$meta	オブジェクト	アプリケーションメタデータのメタデータ。 `installMethod` プロパティを使用すると、特定の状況でのみロードされる出力ディレクトリにアプリケーションメタデータをマップできます。 `$meta: { installMethod: 'String' }` `installMethod` の有効な値: • demo: [デモデータのロード] オプションが選択されている場合に、アプリケーションとともにインストールされる metadata/unload.demo ディレクトリにアプリケーションメタデータを出力します。 • 初回インストール:アプリケーションがインスタンスに初めてインストールされたときにのみインストールされるメタデータ/アンロード ディレクトリにアプリケーションメタデータを出力します。
$override	オブジェクト	ServiceNow Fluent API に含まれていないフィールドを構成したり、既存のフィールドを上書きしたりするために提供されるフィールドとその値。 ⚠ 警告: タイプセーフは、 `$override` プロパティで構成されたフィールドには適用されません。 `$override: { field: value, ... }`

出力変数を含むテストステップの出力値は、変数として保存され、output.<output-variable> 構文を使用して他のステップへの入力として使用できます。出力変数は、適切なフィールドの入力として直接使用、または次の例の atf.server.log のようにテンプレート文字列内で使用できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
import { Test } from '@servicenow/sdk/core'
import '@servicenow/sdk-core/global'

Test({
      active: true,
      failOnServerError: true,
      name: 'Simple example',
      description: 'An illustrative test written in fluent',
      $id: Now.ID[1],
   },
   (atf) => {
      atf.form.openNewForm({
         table: 'sn_table_app_reptile_table',
         formUI: 'standard_ui',
         view: '',
      })
      atf.form.setFieldValue({
         table: 'sn_table_app_reptile_table',
         formUI: 'standard_ui',
         fieldValues: {
            reptiles: 'lizard' as any,
         },
      })
      const output = atf.form.submitForm({ assertType: 'form_submitted_to_server',
 formUI: 'standard_ui' })
      atf.server.recordValidation({
         recordId: output.record_id,
         table: 'sn_table_app_reptile_table',
         assertType: 'record_validated',
         enforceSecurity: true,
         fieldValues: 'reptiles=lizard',
      })
      atf.server.log({
         log: `Submitted record with sys_id: ${output.record_id} to table ${output.table}`
      })
   }
)
```

サポートされているテストステップ

次のテストステップがサポートされています。ステップのプロパティについては、自動テストフレームワーク (ATF) (ATF) テストステップカテゴリ ドキュメントを参照してください。

注:
フォームのテストステップに使用できる一部のフィールドは、ServiceNow Fluent のプロパティとして使用できません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テストステップ

カテゴリ	ステップ
アプリケーションナビゲーターカテゴリ	• atf.applicationNavigator.applicationMenuVisibility • atf.applicationNavigator.moduleVisibility • atf.applicationNavigator.navigateToModule
メールのカテゴリ	• atf.email.generateInboundEmail • atf.email.generateInboundReplyEmail • atf.email.generateRandomString • atf.email.validateOutboundEmail • atf.email.validateOutboundEmailGeneratedByFlow • atf.email.validateOutboundEmailGeneratedByNotification
フォームカテゴリ	• atf.form.addAttachmentsToForm • atf.form.clickDeclarativeAction • atf.form.clickModalButton • atf.form.clickUIAction • atf.form.declarativeActionVisibility • atf.form.fieldStateValidation • atf.form.fieldValueValidation • atf.form.openExistingRecord • atf.form.openNewForm • atf.form.setFieldValue • atf.form.submitForm • atf.form.uiActionVisibility
サービスポータル のフォームカテゴリ	• atf.form_SP.addAttachmentsToForm • atf.form_SP.clickUIAction_SP • atf.form_SP.fieldStateValidation_SP • atf.form_SP.fieldValueValidation_SP • atf.form_SP.openForm_SP • atf.form_SP.openServicePortalPage • atf.form_SP.setFieldValue_SP • atf.form_SP.submitForm_SP • atf.form_SP.uiActionVisibilityValidation_SP

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テストステップ (続く)

カテゴリ	ステップ
Quick start tests for Dashboards	• atf.reporting.responsiveDashboard • atf.reporting.responsiveDashboardSharing
REST カテゴリ	• atf.rest.assertJsonResponsePayloadElement • atf.rest.assertResponseHeader • atf.rest.assertResponseJSONPayloadIsValid • atf.rest.assertResponsePayload • atf.rest.assertResponseTime • atf.rest.assertResponseXMLPayloadIsWellFormed • atf.rest.assertStatusCode • atf.rest.assertStatusCodeName • atf.rest.assertXMLResponsePayloadElement • atf.rest.sendRestRequest
サーバーカテゴリ	• atf.server.addAttachmentsToExistingRecord • atf.server.checkoutShoppingCart • atf.server.createUser • atf.server.impersonate • atf.server.log • atf.server.recordDelete • atf.server.recordInsert • atf.server.recordQuery • atf.server.recordUpdate • atf.server.recordValidation • atf.server.replayRequestItem • atf.server.runServerSideScript • atf.server.searchForCatalogItem • atf.server.setOutputVariables
サービスカタログ カテゴリ	• atf.catalog.addItemToShoppingCart • atf.catalog.openCatalogItem • atf.catalog.openRecordProducer • atf.catalog.orderCatalogItem • atf.catalog.setCatalogItemQuantity

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テストステップ (続く)

カテゴリ	ステップ
	• atf.catalog.setVariableValue • atf.catalog.submitRecordProducer • atf.catalog.validatePriceAndRecurringPrice • atf.catalog.variableStateValidation • atf.catalog.validateVariableValue
サービスポータルのサービスカタログカテゴリ	• atf.catalog_SP.addItemtoShoppingCart_SP • atf.catalog_SP.addOrderGuidetoShoppingCart_SP • atf.catalog_SP.addRowToMultiRowVariableSet_SP • atf.catalog_SP.navigatewithinOrderGuide_SP • atf.catalog_SP.openCatalogItem_SP • atf.catalog_SP.openOrderGuide_SP • atf.catalog_SP.openRecordProducer_SP • atf.catalog_SP.orderCatalogItem_SP • atf.catalog_SP.reviewIteminOrderGuide_SP • atf.catalog_SP.reviewOrderGuideSummary_SP • atf.catalog_SP.saveCurrentRowOfMultiRowVariableSet_SP • atf.catalog_SP.setCatalogItemQuantity_SP • atf.catalog_SP.setVariableValue_SP • atf.catalog_SP.submitOrderGuide_SP • atf.catalog_SP.submitRecordProducer_SP • atf.catalog_SP.validateOrderGuideItem_SP • atf.catalog_SP.validatePriceAndRecurringPrice_SP • atf.catalog_SP.variableStateValidation_SP • atf.catalog_SP.validateVariableValue_SP

ビジネスルール **API - ServiceNow Fluent**

ビジネスルール API は、レコードが表示、挿入、更新、または削除されるとき、またはテーブルに対してクエリが実行されるときに実行されるサーバー側スクリプト [sys_script] を定義します。

ビジネスルールの一般的な情報については、「Classic Business rules」を参照してください。

関連情報

ServiceNow Fluent

BusinessRule オブジェクト

特定のサーバー側条件が満たされたときにフォームフィールドの値を自動的に変更するビジネスルール [sys_script] を作成します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

プロパティ

名前	タイプ	説明
$id	文字列または数値	必須。メタデータオブジェクトの一意の ID。アプリケーションをビルドすると、この ID は一意のsys_idにハッシュされます。 形式: Now.ID['string' or number]
name	文字列	必須。ビジネスルールの名前。
table	文字列	必須。ビジネスルールが実行されるテーブルの名前。
スクリプト	スクリプト	定義された条件が true の場合、カスタムスクリプトが実行されます。 このプロパティは、JavaScript モジュールの関数、スクリプトを含むアプリケーション内の別のファイルへの参照、またはインライン JavaScript をサポートします。 Format (形式)： • 関数には、JavaScript モジュールからエクスポートされた関数、関数式、またはデフォルト関数の名前を使用して、 .now.ts ファイルにインポートします。JavaScript モジュールの詳細については、「JavaScript モジュールとサードパーティライブラリ」を参照してください。 • 別のファイルのテキストコンテンツを使用するには、Now.include('path/to/file') の形式を使用してアプリケーション内のファイルを参照します。 • インラインスクリプトを指定するには、複数行のコードに文字列リテラルまたはテンプレートリテラル (「スクリプト」または「スクリプト」) を使用します。
順序	番号	ビジネスルールを実行する順序を示す番号。特定のアクティビティに複数のルールがある場合、ルールは指定された順序 (昇順) で実行されます。 デフォルト：100
アクティブ	ブール	ビジネスルールが有効かどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：ビジネスルールが適用されます。 • false：ビジネスルールは適用されません。 デフォルト：true
when	文字列	ビジネスルールを実行する時間。ビジネスルールを実行するタイミングの詳細については、「How business rules work」を参照してください。 有効な値： • 次の値より前 • 後

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ (続く)

名前	タイプ	説明
		• 非同期 • 表示 デフォルト：before
action	アレイ	ビジネスルールが適用されるレコードオプション。ビジネスルールアクションの詳細については、「How business rules work」を参照してください。 有効な値： • insert • update • delete • query
追加のメッセージ	ブール	ビジネスルールの実行時に表示されるメッセージを追加するかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：メッセージを表示します。 • false：メッセージを表示しません。 デフォルト値：false
abortAction	ブール	現在のデータベーストランザクションを中止するかどうかを示すフラグ。たとえば、挿入前のビジネスルールで、条件が満たされている場合は、レコードをデータベースに挿入しません。 有効な値： • false：現在のデータベーストランザクションを中止しません。 • true：現在のデータベーストランザクションを中止します。フィールド値の設定やスクリプトの実行など、レコードに対して追加のアクションを実行することはできません。*addMessage* プロパティと *message* プロパティを使用して、ユーザーにメッセージを表示することもできます。 デフォルト値：false
message	文字列	ビジネスルールの実行時に表示されるメッセージ。
ロール条件	アレイ	テーブル内のレコードを変更するユーザーがビジネスルールを実行するために保持している 必要があるロール オブジェクトの変数識別子のリスト。詳細については、「ロール API - ServiceNow Fluent」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ (続く)

名前	タイプ	説明
condition	文字列	スクリプトを実行するために true でなければならないフィールドと値を指定する JavaScript 条件ステートメント。 このプロパティは、インライン JavaScript またはスクリプトを含むアプリケーション内の別のファイルへの参照をサポートします。 **注:** *filterCondition* プロパティまたはスクリプトプロパティに条件ステートメントを含める場合は、このプロパティを使用しないでください。 このプロパティで条件ステートメントを指定すると、条件が個別に評価され、条件が true の場合にのみビジネスルールが実行されます。非同期ビジネスルールを実行する前に条件ステートメントを再評価するには、*glide.businessrule.async_condition_check* システムプロパティを true に設定します。 Format (形式): • 別のファイルのテキストコンテンツを使用するには、Now.include('path/to/file') の形式を使用してアプリケーション内のファイルを参照します。 • インラインスクリプトを指定するには、複数行のコードに文字列リテラルまたはテンプレートリテラル (「スクリプト」または「スクリプト」) を使用します。
フィルター条件	文字列	ビジネスルールを実行するために true でなければならないフィールドと値を指定するフィルタークエリ。詳細については、「Operators available for filters and queries」を参照してください。
setFieldValue	文字列	テーブル内のフィールドに設定する値。これは、setFieldValue: 'sec_created=false^EQ' などのエンコードされたクエリとして指定できます。
説明	文字列	ビジネスルールの実行内容の説明。
$meta	オブジェクト	アプリケーションメタデータのメタデータ。 *installMethod* プロパティを使用すると、特定の状況でのみロードされる出力ディレクトリにアプリケーションメタデータをマップできます。 `$meta: { installMethod: 'String' }` *installMethod* の有効な値: • demo: [デモデータのロード] オプションが選択されている場合に、アプリケーションとともにインストールされる metadata/unload.demo ディレクトリにアプリケーションメタデータを出力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ (続く)

名前	タイプ	説明
		• 初回インストール:アプリケーションがインスタンスに初めてインストールされたときにのみインストールされるメタデータ/アンロード ディレクトリにアプリケーションメタデータを出力します。
$override	オブジェクト	ServiceNow Fluent API に含まれていないフィールドを構成したり、既存のフィールドを上書きしたりするために提供されるフィールドとその値。 ⚠ 警告: タイプセーフは、 `$override` プロパティで構成されたフィールドには適用されません。 `$override: { field: value, ... }`

```
import { BusinessRule } from '@servicenow/sdk/core'
import { FunctionExport, FunctionExpression } from '../server/scripts.js'
import DefaultExportFunction from '../server/scripts.js'

const BR1 = BusinessRule({
    name: 'exportedFunction',
    table: 'x_snc_table',
    when: 'after',
    action: ['update', 'delete', 'insert'],
    script: FunctionExport,
    order: 100,
    active: true,
    addMessage: false,
    message: '<p>message</p>',
    abortAction: false,
    $id: Now.ID[0],
})

const BR2 = BusinessRule({
    name: 'businessrule2',
    table: 'x_snc_table',
    script: FunctionExpression,
    when: 'after',
    action: ['update'],
    $id: Now.ID[1],
})

const BR3 = BusinessRule({
    name: 'businessrule3',
    table: 'x_snc_table',
    script: DefaultExportFunction,
    when: 'after',
    action: ['update'],
    filterCondition: `sys_updated_onSTARTSWITHb^sys_updated_bySTARTSWITHm^EQ
```

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    <item goto="false" or="false" field="sys_updated_on" endquery="false" value="b"
 operator="STARTSWITH" newquery="false"/>
    <item goto="false" or="false" field="sys_updated_by" endquery="false" value="m"
 operator="STARTSWITH" newquery="false"/>
    <item goto="false" or="false" field="" endquery="true" value="" operator="="
 newquery="false"/>`,
    $id: Now.ID[2],
})

const BR4 = BusinessRule({
    name: 'templateBR',
    action: ['insert'],
    when: 'after',
    table: 'x_snc_table',
    roleConditions: [admin],
    order: 100,
    active: true,
    addMessage: true,
    message: '<p>message</p>',
    script: `gs.info('info')`,
    abortAction: false,
    $id: Now.ID[3],
})
```

クライアントスクリプト **API - ServiceNow Fluent**

クライアントスクリプト API は、フォームの読み込み時、フォームの送信後、フィールドの値の変更時など、クライアントベースのイベントが発生したときに、クライアント (Web ブラウザー) で JavaScript を実行するクライアント側スクリプト [sys_script_client] を定義します。

クライアントスクリプトの一般的な情報については、「Client scripts」を参照してください。

関連情報

ServiceNow Fluent

ClientScript オブジェクト

ユーザーがフォームを使用しているときに、フォーム、フォームフィールド、およびフィールド値を構成するクライアントスクリプト [sys_script_client] を作成します。

プロパティ

名前	タイプ	説明
$id	文字列または数値	必須。メタデータオブジェクトの一意の ID。アプリケーションをビルドすると、この ID は一意のsys_idにハッシュされます。 形式: Now.ID['string' or number]
table	文字列	必須。クライアントスクリプトが実行されるテーブルの名前。
name	文字列	必須。クライアントスクリプトの名前。
active	ブーリアン	クライアントスクリプトが有効かどうかを示すフラグ。 有効な値：

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ (続く)

名前	タイプ	説明
		• true：スクリプトは有効です。 • false：スクリプトは有効ではありません。 デフォルト：true
適用拡張済み	ブール	クライアントスクリプトが指定されたテーブルから拡張されたテーブルに適用されるかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：スクリプトは拡張テーブルに適用されます。 • false：スクリプトは拡張テーブルに適用されません。 デフォルト値：false
uiType	文字列	クライアントスクリプトが適用されるユーザーインターフェイス。 有効な値： • desktop • mobile_or_service_portal • すべて デフォルト：desktop
description	文字列	クライアントスクリプトの機能と目的の説明。
messages	文字列	`getmessage('[message]')` を使用してローカライズされたメッセージとして、クライアントスクリプトに使用できるテキスト文字列。詳細については、「クライアントスクリプトメッセージの翻訳」を参照してください。
分離スクリプト	ブール	スクリプトが strict モードで実行され、直接 DOM、jQuery、prototype、および window オブジェクトへのアクセスがオフになっているかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：スクリプトを分離し、strict モードで実行しません。 • false：スクリプトを strict モードで実行します。 デフォルト値：false
script	スクリプト	ブラウザーで実行されるクライアント側スクリプト。 このプロパティは、インライン JavaScript またはスクリプトを含むアプリケーション内の別のファイルへの参照をサポートします。 Format (形式)：

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ (続く)

名前	タイプ	説明
		• 別のファイルのテキストコンテンツを使用するには、Now.include('path/to/file') の形式を使用してアプリケーション内のファイルを参照します。 • インラインスクリプトを指定するには、複数行のコードに文字列リテラルまたはテンプレートリテラル (「スクリプト」または「スクリプト」) を使用します。
グローバル	ブーリアン	クライアントスクリプトがテーブルのどのビューで実行されるかを示すフラグ。 有効な値： • true：スクリプトはすべてのビューで実行されます。 • false：スクリプトは指定されたビューでのみ実行されます。 デフォルト：true
view	文字列	クライアントスクリプトが実行されるテーブルのビュー。このプロパティは、*global* プロパティが false に設定されている場合にのみ適用されます。
type	文字列	クライアントスクリプトのタイプ。実行するタイミングを定義します。サポートされているタイプの詳細については、「 Client scripts 」を参照してください。 有効な値： • onCellEdit:リストエディターがセル値を変更したときに実行されます。 • onChange:フォーム上の特定のフィールド値が変更されたときに実行されます。 • onLoad:システムが最初にフォームをレンダリングするとき、およびユーザーがデータを入力できるようになる前に実行されます。通常、*onLoad()* クライアントスクリプトは、現在のフォームをクライアントサイドで操作するためやデフォルトのレコード値を設定するために使用されます。 • onSubmit:フォームが送信されたときに実行されます。通常、*onSubmit()* クライアントスクリプトがフォーム上のデータを検証して、フォームが正しく送信されるようにします。*onSubmit()* クライアントスクリプトから false を返すことでフォームの送信を取り消すこともできます。
field	文字列	クライアントスクリプトが適用されるテーブルのフィールド。このプロパティは、*type* プロパティが onChange または onCellEdit に設定されている場合にのみ適用されます。
$meta	オブジェクト	アプリケーションメタデータのメタデータ。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ (続く)

名前	タイプ	説明
		installMethod プロパティを使用すると、特定の状況でのみロードされる出力ディレクトリにアプリケーションメタデータをマップできます。 `$meta: { installMethod: 'String' }` *installMethod* の有効な値: • demo: [デモデータのロード] オプションが選択されている場合に、アプリケーションとともにインストールされる metadata/unload.demo ディレクトリにアプリケーションメタデータを出力します。 • 初回インストール:アプリケーションがインスタンスに初めてインストールされたときにのみインストールされる メタデータ/アンロード ディレクトリにアプリケーションメタデータを出力します。
$override	オブジェクト	ServiceNow Fluent API に含まれていないフィールドを構成したり、既存のフィールドを上書きしたりするために提供されるフィールドとその値。 ⚠ 警告: タイプセーフは、 *$override* プロパティで構成されたフィールドには適用されません。 `$override: { field: value, ... }`

```
import { ClientScript } from '@servicenow/sdk/core'

export const cs = ClientScript({
  $id: Now.ID['my_scripts'],
  name: 'my_scripts',
  table: 'incident',
  active: true,
  appliesExtended: false,
  global: true,
  uiType: 'all',
  messages: '',
  isolateScript: false,
  type: 'onLoad',
  script: Now.include('../client/client-script.js'),
})
```

クライアントスクリプトは、*script* プロパティから参照される client-script.js ファイルで定義されます。たとえば、次のようになります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
function onLoad() {
   const x = 'util' g_form.addInfoMessage(x)
}
```

クロススコープ権限 **API - ServiceNow Fluent**

クロススコープ権限 API は、実行時のアクセス追跡のためのクロススコープ権限 [sys_scope_privilege] を定義します。

アドミニストレーターは、実行時のアクセス追跡により、実行を許可するスクリプト操作とターゲットのリストを作成して、アプリケーション リソースに対するスクリプト アクセスを管理できます。クロススコープ特権の一般的な情報については、「 クロススコープ特権レコード」を参照してください。

関連情報

ServiceNow Fluent

CrossScopePrivilege オブジェクト

アプリケーションでの実行を許可するスクリプト操作とターゲットを決定するクロススコープ権限 [sys_scope_privilege] を構成します。

プロパティ

名前	タイプ	説明
$id	文字列または数値	必須。メタデータオブジェクトの一意の ID。アプリケーションをビルドすると、この ID は一意のsys_idにハッシュされます。 形式: Now.ID['string' or number]
status	文字列	必須。このレコードに対する権限。 有効な値： • requested (要求済み) • allowed • denied
操作	文字列	必須。スクリプトがターゲットに対して実行する操作。ターゲット タイプによって、使用可能な操作が決まります。 テーブル [sys_db_object] は、読み取り、書き込み、作成、および削除の操作をサポートします。スクリプトインクルード [sys_script_include] とスクリプトオブジェクト [sys_db_object] は、実行操作のみをサポートします。 有効な値： • create • delete • read • 書き込み • 実行

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ (続く)

名前	タイプ	説明
targetName	文字列	必須。要求されているテーブル、スクリプトインクルード、またはスクリプト オブジェクトの名前。
targetScope	文字列	必須。リソースの要求元のアプリケーションスコープ。
targetType	文字列	必須。要求のタイプ:スクリプトインクルード、スクリプトオブジェクト、またはテーブル。 有効な値： • sys_script_include • スクリプト可能 • sys_db_object
$meta	オブジェクト	アプリケーションメタデータのメタデータ。 *installMethod* プロパティを使用すると、特定の状況でのみロードされる出力ディレクトリにアプリケーションメタデータをマップできます。 `$meta: { installMethod: 'String' }` *installMethod* の有効な値: • demo: [デモデータのロード] オプションが選択されている場合に、アプリケーションとともにインストールされる metadata/unload.demo ディレクトリにアプリケーションメタデータを出力します。 • 初回インストール:アプリケーションがインスタンスに初めてインストールされたときにのみインストールされる メタデータ/アンロード ディレクトリにアプリケーションメタデータを出力します。
$override	オブジェクト	ServiceNow Fluent API に含まれていないフィールドを構成したり、既存のフィールドを上書きしたりするために提供されるフィールドとその値。 ⚠ 警告: タイプセーフは、 *$override* プロパティで構成されたフィールドには適用されません。 `$override: { field: value, ... }`

```
import { CrossScopePrivilege } from '@servicenow/sdk/core'

CrossScopePrivilege({
  $id: Now.ID['cross_1'],
  status: 'allowed',
  operation: 'execute',
```

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  targetName: 'Script type',
  targetScope: 'x_snc_example',
  targetType: 'scriptable',
})
```

[store-future: BEGIN review]

フォーム **API - ServiceNow Fluent**

フォーム API は、クラシック環境のレコードの情報を表示するフォーム [sys_ui_form] を定義します。

フォームの一般的な情報については、「ServiceNow AI Platform® form administration」を参照してください。

関連情報

ServiceNow Fluent
[End]
[store-future: BEGIN review]

フォームオブジェクト

テーブル内のレコードの情報を表示するようにフォーム [sys_ui_form] を構成します。

プロパティ

名前	タイプ	説明
table	文字列	必須。フォームが適用されるテーブルの名前。
表示	参照または文字列	必須。リストまたはデフォルトビューに適用する UI ビュー [sys_ui_view] の変数識別子または名前。 UI ビューを定義するには、「レコード API - ServiceNow Fluent」を参照してください。 デフォルトのビュー (default_view) を使用するには、インポートする必要があります。 `import { default_view } from '@servicenow/sdk/core'`
セクション	アレイ	必須。フィールドをグループ化してフォームに表示する方法を定義するフォームセクション [sys_ui_section] のリスト。詳細については、「セクションアレイ」を参照してください。
user	参照または文字列	フォームを作成したユーザー [sys_user] の変数識別子または名前。 ユーザーを定義するには、「レコード API - ServiceNow Fluent」を参照してください。
ロール	アレイ	`Role` オブジェクトの変数識別子のリストまたは 形。 詳細については、「ロール API - ServiceNow Fluent」を参照してください。
$meta	オブジェクト	アプリケーションメタデータのメタデータ。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ (続く)

名前	タイプ	説明
		installMethod プロパティを使用すると、特定の状況でのみロードされる出力ディレクトリにアプリケーションメタデータをマップできます。 `$meta: { installMethod: 'String' }` *installMethod* の有効な値: • demo: [デモデータのロード] オプションが選択されている場合に、アプリケーションとともにインストールされる metadata/unload.demo ディレクトリにアプリケーションメタデータを出力します。 • 初回インストール:アプリケーションがインスタンスに初めてインストールされたときにのみインストールされる メタデータ/アンロード ディレクトリにアプリケーションメタデータを出力します。
$override	オブジェクト	ServiceNow Fluent API に含まれていないフィールドを構成したり、既存のフィールドを上書きしたりするために提供されるフィールドとその値。 ⚠ 警告: タイプセーフは、 *$override* プロパティで構成されたフィールドには適用されません。 `$override: { field: value, ... }`

```
import { Form } from '@servicenow/sdk/core'

Form({
   table: 'sn_formredesign_rd',
   view: advancedView,
   sections: [
    {
      caption: '',
      fields: [
        ['name', 'date' ],
        ['priority', 'state'],
      ],
    },
    {
      caption: 'Notes',
      fields: ['comments', 'work_notes'],
    },
   ],
})
```

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

参照される UI ビューの定義は、`Record` オブジェクトを使用して定義されます。

```
import { Record } from '@servicenow/sdk/core'

export const advancedView = Record({
    $id: Now.ID['adv-view'],
    table: 'sys_ui_view',
    data: {
        name: 'advanced_view',
        title: 'Advanced View',
    },
})
```

[End]

[store-future: BEGIN review]

セクションアレイ

フォーム内でフィールドをグループ化して表示する方法を定義するフォーム [sys_ui_section] のセクションを構成します。

`sections` 配列は、`Form` オブジェクト内のプロパティです。ユーザーはフォームセクションを展開するかまたは折りたたんで、必要なフィールドを表示または非表示にすることができます。ユーザーがタブを有効にしている場合、各フォームセクションは個別のタブに表示されます。

プロパティ

名前	タイプ	説明
caption	文字列	必須。A セクションのタイトル。
フィールド	アレイ	必須。セクション [sys_ui_element] に含めるフィールドのリスト。詳細については、「フィールドアレイ」を参照してください。
$id	文字列または数値	メタデータオブジェクトの一意の ID。アプリケーションをビルドすると、この ID は一意のsys_idにハッシュされます。 形式: Now.ID['string' or number]
ヘッダー	ブール	ヘッダーを表示するかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true:ヘッダーがフォームに表示されます。 • false:ヘッダーは非表示になります。 デフォルト値：false

```
sections: [
 {
  caption: '',
  fields: [
   ['name', 'date' ],
   ['priority', 'state'],
  ],
 },
```

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  {
    caption: 'Notes',
    fields: ['comments', 'work_notes'],
  },
],
```

[End]

[store-future: BEGIN review]

フィールドアレイ

フォームセクション [sys_ui_element] に含めるフィールドを指定します。

`fields` 配列は `Form` オブジェクト内のプロパティであり、各行で最大 2 つのフィールドと、レイアウト制御を提供する型をサポートします。

プロパティ

名前	タイプ	説明
要素	文字列	必須。フィールドの名前。
位置	番号	他のフィールドに関連するセクション内のフィールドの位置。
タイプ	文字列	フィールドのレイアウトタイプ。 有効な値： • .begin_split • 。間 • .split • .end_split • 要素 • annotation • 分割 • リスト • end_split • chart • フォーマッタ • component
フォーマッタ	文字列	フィールドのフォーマッター [sys_ui_formatter]。フォーマッターは、レコード内のフィールドではない情報を表示するために使用されるフォーム要素です。フォーマッターの詳細については、「 Using formatters 」を参照してください。

フィールドは、次の構文を使用してオブジェクトまたはアレイとして指定できます。

```
fields: [
  {
    element: 'date', // Single field as an object with formatting
```

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    position: 1,
    type: '.split',
    formatter: 'Access Control Rules Explanation'
  },
  ['.space', {element: 'name', position: 3}], // Single field as an object preceded by an empty space
  ['sys_updated_on', 'sys_updated_by'], // Group fields horizontally in the same row
]
```

[End]

リスト API - ServiceNow Fluent

リスト API は、テーブルのリストビュー [sys_ui_list] を定義します。

リストの一般的な情報については、「ServiceNow AI Platform® list administration」を参照してください。

関連情報

ServiceNow Fluent

List オブジェクト

リスト [sys_ui_list] とそのビューを構成します。

プロパティ

名前	タイプ	説明
table	文字列	必須。リストが適用されるテーブルの名前。
表示	参照または文字列	必須。リストまたはデフォルトビューに適用する UI ビュー [sys_ui_view] の変数識別子または名前。 UI ビューを定義するには、「レコード API - ServiceNow Fluent」を参照してください。 デフォルトのビュー (default_view) を使用するには、インポートする必要があります。 `import { default_view } from '@servicenow/sdk/core'`
columns	アレイ	必須。リスト内の列名と位置を使用して指定される、リストに表示するテーブル内の列のリスト。
$meta	オブジェクト	アプリケーションメタデータのメタデータ。 *installMethod* プロパティを使用すると、特定の状況でのみロードされる出力ディレクトリにアプリケーションメタデータをマップできます。 `$meta: { installMethod: 'String' }` *installMethod* の有効な値: • demo: [デモデータのロード] オプションが選択されている場合に、アプリケーションとともにインストールされる metadata/unload.demo ディレクトリにアプリケーションメタデータを出力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ (続く)

名前	タイプ	説明
		• 初回インストール:アプリケーションがインスタンスに初めてインストールされたときにのみインストールされるメタデータ/アンロード ディレクトリにアプリケーションメタデータを出力します。
$override	オブジェクト	ServiceNow Fluent API に含まれていないフィールドを構成したり、既存のフィールドを上書きしたりするために提供されるフィールドとその値。 ⚠ 警告: タイプセーフは、 `$override` プロパティで構成されたフィールドには適用されません。 `$override: { field: value, ... }`

```
import { List } from "@servicenow/sdk/core";

List({
    $id: Now.ID["app_task_view_list"],
    table: "cmdb_ci_server",
    view: app_task_view,
    columns: [
        { element: "name", position: 0 },
        { element: "business_unit", position: 1 },
        { element: "vendor", position: 2 },
        { element: "cpu_type", position: 3 },
    ],
});
```

参照される UI ビューの定義は、`Record` オブジェクトを使用して定義されます。

```
import { Record } from "@servicenow/sdk/core";

const app_task_view = Record({
   $id: Now.ID['app_task_view'],
   table: 'sys_ui_view',
   data: {
       name: 'app_task_view',
       title: 'app_task_view'
   }
})
```

プロパティ API - ServiceNow Fluent

プロパティ API は、インスタンスの動作を制御するシステムプロパティ [sys_properties] を定義します。

システムプロパティの一般的な情報については、「Add a system property」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

関連情報

ServiceNow Fluent

Property オブジェクト

アプリケーションのアスペクトを構成するためのシステムプロパティ [sys_properties] を追加します。

プロパティ

名前	タイプ	説明
$id	文字列または数値	必須。メタデータオブジェクトの一意の ID。アプリケーションをビルドすると、この ID は一意のsys_idにハッシュされます。 形式: Now.ID['string' or number]
name	文字列	必須。<scope>.<name> 形式の、アプリケーションスコープで始まるプロパティの名前。
value	任意	プロパティの値。値は正しいデータタイプである必要があります。 プロパティ値はすべて文字列として格納されます。*gs.getProperty()* メソッドを使用してプロパティを取得する場合は、結果を文字列として扱います。たとえば、true | false プロパティでは、相当するブール値ではなく、「true」または「false」の文字列が返されます。
type	文字列	プロパティ値のデータタイプ。 有効な値： string、integer、boolean、choicelist、color、date_format、image、pa
description	文字列	プロパティの機能の説明。
choices	アレイ	選択肢値のカンマ区切りリスト。このプロパティは、*type* プロパティが choicelist に設定されている場合にのみ適用されます。 別の選択肢ラベルと値が必要な場合は、等号 (=) を使用してラベルと値を区切ります。たとえば、['Blue=0000FF', 'Red=FF0000', 'Green=00FF00'] とすると、リストに青、赤、緑が表示され、対応する 16 進値がプロパティ値のフィールドに保存されます。

roles	オブジェクト	*Role* オブジェクトの変数識別子、またはプロパティへの読み取りまたは書き込みアクセス権を持つロールの名前。たとえば、次のようになります。
		
		`roles: {`
		`  read: [activity_admin, 'app_user'],`
		`  write: [admin]`
		`}`
		
		詳細については、「ロール API - ServiceNow Fluent」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ (続く)

名前	タイプ	説明
ignoreCache	ブーリアン	プロパティの値が設定されたときに、フラッシュをキャッシュするかどうかを示すフラグ。 構成設定のためにデータベースが照会されないように、システムプロパティ値はサーバー側のキャッシュに保存されます。システムプロパティの値を変更すると、システムプロパティ [sys_properties] テーブルのキャッシュがフラッシュされます。このフィールドを使用して、このプロパティの値を他のすべてのサーバー側キャッシュからフラッシュするかどうかを決定します。 有効な値： • true：システムは一部のサーバー側キャッシュのフラッシュを無視し、システムプロパティ [sys_properties] テーブルのキャッシュのみをフラッシュし、他のすべてのキャッシュの前のプロパティ値を保持します。このオプションにより、すべてのキャッシュをフラッシュして新しいプロパティ値を取得する際のパフォーマンスコストが回避されます。通常、システムプロパティが月に 1 回より頻繁に変更され、プロパティ値がシステムプロパティ [sys_properties] テーブルにのみ保存される場合に限り、このプロパティを true に設定する必要があります。 • false：システムはすべてのサーバー側キャッシュをフラッシュし、データベースから現在のプロパティ値を取得します。すべてのキャッシュで現在のプロパティ値を保持するには、このプロパティを false に設定します。 デフォルト値：false
isPrivate	ブーリアン	更新セットを介したインポートからプロパティを除外するかどうかを示すフラグ。 システムプロパティを private にすると、あるインスタンスの設定が別のインスタンスの値を上書きすることを防ぎます。たとえば、開発インスタンスのシステムプロパティに本番インスタンスと同じ値を使用したくない場合に使用します。 有効な値： • true：プロパティは更新セットに含まれてません。 • false：プロパティは更新セットに含まれます。 デフォルト値：false
$meta	オブジェクト	アプリケーションメタデータのメタデータ。 *installMethod* プロパティを使用すると、特定の状況でのみロードされる出力ディレクトリにアプリケーションメタデータをマップできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ (続く)

名前	タイプ	説明

		$meta: {
		installMethod: 'String'
		}
		
		installMethod の有効な値:
		• demo: [デモデータのロード] オプションが選択されている場合に、アプリケーションとともにインストールされる metadata/unload.demo ディレクトリにアプリケーションメタデータを出力します。
		• 初回インストール:アプリケーションがインスタンスに初めてインストールされたときにのみインストールされる メタデータ/アンロード ディレクトリにアプリケーションメタデータを出力します。

$override	オブジェクト	ServiceNow Fluent API に含まれていないフィールドを構成したり、既存のフィールドを上書きしたりするために提供されるフィールドとその値。
		
		⚠ 警告:
		タイプセーフは、 *$override* プロパティで構成されたフィールドには適用されません。
		
		$override: {
		field: value,
		...
		}

```
import { Property } from '@servicenow/sdk/core'

Property({
  $id: Now.ID['1234'],
  name: 'x_snc_app.some.new.prop',
  type: 'string',
  value: 'hello',
  description: 'A new property',
  roles: {
    read: ['admin'],
    write: [adminRole, managerRole],
  },
  ignoreCache: false,
  isPrivate: false,
})
```

参照されるロールは、*Role* オブジェクトを使用して定義されます。

```
import { Role } from "@servicenow/sdk/core";

const managerRole = Role({
  $id: Now.ID['manager_role'],
  name: 'x_snc_example.manager'
})
```

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
const adminRole = Role({
  $id: Now.ID['admin_role'],
  name: 'x_snc_example.admin',
  containsRoles: [managerRole]
})
```

レコード API - ServiceNow Fluent

レコード API は、任意のテーブルのレコードを定義します。レコード API を使用して、専用の ServiceNow Fluent API を持たないアプリケーションメタデータを定義します。

関連情報

ServiceNow Fluent

Record オブジェクト

レコードを含む任意のテーブルにデータを追加します。

プロパティ

名前	タイプ	説明
$id	文字列または数値	必須。メタデータオブジェクトの一意の ID。アプリケーションをビルドすると、この ID は一意のsys_idにハッシュされます。 形式: Now.ID['string' or number]
table	文字列	必須。レコードが属するテーブルの名前。

データ	オブジェクト	テーブル内のフィールドとその値。たとえば、次のようになります。
		
		`data: {`
		`  state: 'Ready',`
		`  task: 'Add demo data'`
		`}`
		
		別のファイルのテキストコンテンツを使用するには、Now.include 構文を使用してアプリケーション内のファイルを参照します。
		
		`data: {`
		`  script: Now.include('./script-file.js'),`
		`  html: Now.include('./html-file.html'),`
		`  css: Now.include('./css-file.css')`
		`}`

$meta	オブジェクト	アプリケーションメタデータのメタデータ。
		
		installMethod プロパティを使用すると、特定の状況でのみロードされる出力ディレクトリにアプリケーションメタデータをマップできます。
		
		`$meta: {`
		`  installMethod: 'String'`
		`}`
		
		installMethod の有効な値:

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ (続く)

名前	タイプ	説明
		• demo: [デモデータのロード] オプションが選択されている場合に、アプリケーションとともにインストールされる metadata/unload.demo ディレクトリにアプリケーションメタデータを出力します。 • 初回インストール:アプリケーションがインスタンスに初めてインストールされたときにのみインストールされる メタデータ/アンロード ディレクトリにアプリケーションメタデータを出力します。
$override	オブジェクト	ServiceNow Fluent API に含まれていないフィールドを構成したり、既存のフィールドを上書きしたりするために提供されるフィールドとその値。 ⚠ 警告: タイプセーフは、 `$override` プロパティで構成されたフィールドには適用されません。 `$override: { field: value, ... }`

この例では、メニューカテゴリを定義するレコードがメニューカテゴリ [sys_app_category] テーブルに追加されます。メニューカテゴリのスタイルは、 css-file.css ファイルで定義されます。

```
import { Record } from "@servicenow/sdk/core";

export const appCategory = Record({
  table: 'sys_app_category',
  $id: Now.ID[9],
  data: {
    name: 'example',
    style: Now.include('./css-file.css'),
  },
})
```

この例では、インシデントを定義するレコードがインシデント [incident] テーブルに追加されます。

```
import { Record } from '@servicenow/sdk/core';

export const incident1 = Record({
  $id: Now.ID['incident-1'],
  table: 'incident',
  data: {
    active: 'true',
    approval: 'not requested',
    description: 'Unable to send or receive emails.',
    incidentState: '1',
    shortDescription: 'Email server is down.',
    subcategory: 'email',
    callerId: '77ad81767313130057546660c4cf6a7de',
```

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  }
})
```

この例では、サーバーを定義するレコードがサーバー [cmdb_ci_server] テーブルに追加されます。

```
import { Record } from '@servicenow/sdk/core';

export const ciserver1 = Record({
  $id: Now.ID['cmdb-ci-server-1'],
  table: 'cmdb_ci_server',
  data: {
    assetTag: 'P1000199',
    attested: 'false',
    canPrint: 'false',
    company: 'e7c1f3d53790200044e0bfc8bcbe5deb',
    cost: '2160',
    costCc: 'USD',
    cpuSpeed: '633',
    cpuType: 'GenuineIntel',
    diskSpace: '100',
    manufacturer: 'b7e7d7d8c0a8016900a5d7f291acce5c',
    name: 'DatabaseServer1',
    os: 'Linux Red Hat',
    shortDescription: 'DB Server',
    subcategory: 'Computer',
  }
})
```

ロール **API - ServiceNow Fluent**

ロール API は、アプリケーションのユーザーに特定の権限を付与するロール [sys_user_role] を定義します。

ユーザーロールの一般的な情報については、「Managing roles」を参照してください。

関連情報

ServiceNow Fluent

Role オブジェクト

アプリケーションとその機能へのアクセスを制御するロール [sys_user_role] を作成します。

プロパティ

名前	タイプ	説明
name	文字列	<scope>.<name> 形式の、アプリケーションスコープで始まるロールの名前。
assignableBy	文字列	このロールをユーザーにアサインできるその他のロール。
canDelegate	ブール	ロールを他のユーザーに委任できるかどうかを示すフラグ。詳細については、「Delegating roles」を参照してください。 有効な値：

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ (続く)

名前	タイプ	説明
		• true：ロールを他のユーザーに委任できます。 • false：ロールを他のユーザーに委任することはできません。 デフォルト：true
description	文字列	ロールがアクセスできるものの説明。
昇格された特権	ブール	ロールの機能にアクセスする前に、ロールを使用する責任を手動で受け入れる必要があるかどうかを示すフラグ。昇格された権限の詳細については、「昇格された権限ロール」を参照してください。 有効な値： • true：機能にアクセスする前に、ロールを使用する責任を手動で受け入れる必要があります。 • false：ロールを使用してその機能にアクセスする責任を手動で受け入れる必要はありません。 デフォルト値：false
grantable	ブーリアン	ロールを個別に付与できるかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：ロールを個別に付与できます。 • false：ロールを個別に付与することはできません。 デフォルト：true
containsRole	アレイ	このロールに含まれる他の `Role` オブジェクトの変数識別子。
スコープアドミン	ブール	ロールがアプリケーションアドミニストレーターロールかどうかを示すフラグ。アプリケーション管理ロールの一般的な情報については、「アプリケーション管理」を参照してください。 有効な値： • true：ロールはアプリケーションアドミニストレーターです。 • false：ロールはアプリケーションアドミニストレーターではありません。 デフォルト値：false
$meta	オブジェクト	アプリケーションメタデータのメタデータ。 `installMethod` プロパティを使用すると、特定の状況でのみロードされる出力ディレクトリにアプリケーションメタデータをマップできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ (続く)

名前	タイプ	説明

		$meta: {
		installMethod: 'String'
		}
		
		installMethod の有効な値:
		• demo: [デモデータのロード] オプションが選択されている場合に、アプリケーションとともにインストールされる metadata/unload.demo ディレクトリにアプリケーションメタデータを出力します。
		• 初回インストール:アプリケーションがインスタンスに初めてインストールされたときにのみインストールされる メタデータ/アンロード ディレクトリにアプリケーションメタデータを出力します。

$override	オブジェクト	ServiceNow Fluent API に含まれていないフィールドを構成したり、既存のフィールドを上書きしたりするために提供されるフィールドとその値。
		
		⚠ 警告:
		タイプセーフは、 *$override* プロパティで構成されたフィールドには適用されません。
		
		$override: {
		field: value,
		...
		}

```
import { Role } from "@servicenow/sdk/core";

const managerRole = Role({
  $id: Now.ID['manager_role'],
  name: 'x_snc_example.manager'
})

const adminRole = Role({
  $id: Now.ID['admin_role'],
  name: 'x_snc_example.admin',
  containsRoles: [managerRole]
})
```

[store-future: BEGIN review]

スケジュール設定済みスクリプト **API - ServiceNow Fluent**

スケジュール済みスクリプト API は、特定の時間または繰り返し実行されるスケジュール済みスクリプト実行 [sysauto_script] を定義します。スケジュール済みスクリプトの実行は、スケジュール済みジョブとも呼ばれます。

スケジュール済みスクリプト実行の一般的な情報については、「Scheduled jobs」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

関連情報

ServiceNow Fluent

[End]
[store-future: BEGIN review]

ScheduledScript オブジェクト

スケジュール済みスクリプト実行 [sysauto_script] を作成して、スケジュールに従って実行するサーバーサイドスクリプトを定義します。

プロパティ

名前	タイプ	説明
$id	文字列または数値	必須。メタデータオブジェクトの一意の ID。アプリケーションをビルドすると、この ID は一意のsys_idにハッシュされます。 形式: `Now.ID['string' or number]`
name	文字列	必須。スケジュール設定済みスクリプトの名前。
アクティブ	ブール	必須。スケジュール設定済みスクリプトが有効かどうかを示すフラグ。 有効な値： • true:スケジュール設定済みスクリプトは、指定されたスケジュールで実行されます。 • false:スケジュール設定済みスクリプトは実行されません。 デフォルト：true
スクリプト	スクリプト	必須。スケジュールに従って実行されるサーバー側スクリプト。このプロパティは、JavaScript モジュールの関数、スクリプトを含むアプリケーション内の別のファイルへの参照、またはインライン JavaScript をサポートします。 Format (形式)： • 関数には、JavaScript モジュールからエクスポートされた関数、関数式、またはデフォルト関数の名前を使用して、.now.ts ファイルにインポートします。JavaScript モジュールの詳細については、「JavaScript モジュールとサードパーティライブラリ」を参照してください。 • 別のファイルのテキストコンテンツを使用するには、`Now.include('path/to/file')` の形式を使用してアプリケーション内のファイルを参照します。 • インラインスクリプトを指定するには、複数行のコードに文字列リテラルまたはテンプレートリテラル (「スクリプト」または「スクリプト」) を使用します。
ステータス	文字列	スクリプトを実行するために true でなければならないフィールドと値を指定する JavaScript 条件ステートメント。 このプロパティは、JavaScript モジュールの関数、スクリプトを含むアプリケーション内の別のファイルへの参照、またはインライン JavaScript をサポートします。 スクリプトは、true の場合にスケジュール済みスクリプトを実行するブール値を返す必要があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ (続く)

名前	タイプ	説明
		⚠ 警告: スケジュール済みレポートメールと パフォーマンスアナリティクス データコレクションジョブの条件付きスクリプトは、サンドボックスで実行されます。したがって、関数定義は許可されません。一部の API 呼び出しとキーワードも許可されません。 詳細については、「 Script sandbox 」を参照してください。 アップグレード後に、これらの許可されていない API コンポーネントを含む条件付きスクリプトがあるジョブは、エラーで終了します。 Format (形式): • 関数には、JavaScript モジュールからエクスポートされた関数、関数式、またはデフォルト関数の名前を使用して、.now.ts ファイルにインポートします。JavaScript モジュールの詳細については、「 JavaScript モジュールとサードパーティライブラリ」を参照してください。 • 別のファイルのテキストコンテンツを使用するには、`Now.include('path/to/file')` の形式を使用してアプリケーション内のファイルを参照します。 • インラインスクリプトを指定するには、複数行のコードに文字列リテラルまたはテンプレートリテラル (`「スクリプト」または「スクリプト」`) を使用します。
runType	文字列	スケジュール済みスクリプトの実行に使用する時間間隔。 有効な値 : • daily:指定された時刻に毎日実行されます。 • 週次:指定された時刻と曜日に毎週実行されます。 • 月次:毎月、指定された日時に実行されます。 • 1 回:1 回のみ実行されます。 • 定期的:指定した繰り返し間隔で実行されます。 • on_demand:ユーザーがスケジュール済みスクリプトレコードから [今すぐ実行] を選択すると、オンデマンドで実行されます。 • business_calendar_start: *`businessCalendar`* プロパティで指定したビジネスカレンダーのエントリ開始日に実行されます。ビジネスカレンダーに定義した各ビジネスエントリの開始日に、スケジュール済みスクリプトが実行されます。たとえば、ビジネスカレンダーが会計年度を表し、各エントリの開始日が会計月である場合、スケジュール済みジョブは毎月最初の日に実行されます。 • business_calendar_end: *`businessCalendar`* プロパティで指定したビジネスカレンダーの終了日に対して実行されます。この選択は business_calendar_startと同じ方法で実行されま

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ (続く)

名前	タイプ	説明
		すが、関連するビジネスカレンダーエントリの終了日に対して実行されます。 **注:** business_calendar_startまたはbusiness_calendar_endを指定すると、オフセット係数を適用して、選択したビジネスカレンダーの時間スパンの前または後にスクリプトの実行をスケジュールすることができます。ビジネスカレンダーの作成と使用、およびビジネスカレンダーエントリの定義の詳細については、「Creating business calendars」および「Define business calendar entries」を参照してください。
実行中	オブジェクト	*runType* プロパティが日次、週次、月次、1 回、または定期的の場合は必須です。スケジュール済みジョブが実行される 24 時間形式の時刻とタイムゾーン。 デフォルトのタイムゾーンは協定世界時 (UTC) です。 `runTime: { year: Number, month: Number, day: Number, hour: Number, minute: Number, second: Number, timeZone: 'String' }` *timeZone* の有効な値: • カナダ/アトランティック • カナダ/中部 • カナダ/東部 • カナダ/山岳 • カナダ/太平洋 • 欧州/アムステルダム • 欧州/ベルリン • 欧州/ブリュッセル • 欧州/ダブリン • 欧州/ロンドン • 欧州/マドリッド • 欧州/パリ • 欧州/ローマ • 欧州/ストックホルム • 欧州/チューリヒ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ (続く)

名前	タイプ	説明
		• フローティング • GMT • 香港 • 米国/アリゾナ • 米国/中部 • 米国/東部 • 米国/ハワイ • 米国/山地 • 米国/太平洋 デフォルト:00:00:00
週の特定日	文字列	*runType* プロパティが weekly の場合は必須です。スケジュール済みスクリプトが実行される曜日。 有効な値： • monday • tuesday • wednesday • thursday • friday • saturday • sunday
runDayOfMonth	番号	*runType* プロパティが月次の場合は必須です。スケジュール済みスクリプトが実行される日付。 最小値：1 最大値:31

実行期間	オブジェクト	*runType* プロパティが periodic の場合は必須です。スケジュール済みスクリプトが実行される指定の繰り返し間隔。少なくとも 1 つのプロパティがゼロ以外の値である必要があります。
		
		`runPeriod: {`
		`  days: Number,`
		`  hours: Number,`
		`  minutes: Number,`
		`  seconds: Number,`
		`}`

ビジネスカレンダー	文字列	*runType* プロパティが business_calendar_start または business_calendar_end の場合は必須です。スケジュール済みス

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ (続く)

名前	タイプ	説明
		クリプトの開始日または終了日を決定するために使用されるビジネスカレンダー [business_calendar] のsys_id。
$meta	オブジェクト	アプリケーションメタデータのメタデータ。 `installMethod` プロパティを使用すると、特定の状況でのみロードされる出力ディレクトリにアプリケーションメタデータをマップできます。 `$meta: { installMethod: 'String' }` `installMethod` の有効な値: • demo: [デモデータのロード] オプションが選択されている場合に、アプリケーションとともにインストールされる metadata/unload.demo ディレクトリにアプリケーションメタデータを出力します。 • 初回インストール:アプリケーションがインスタンスに初めてインストールされたときにのみインストールされる メタデータ/アンロード ディレクトリにアプリケーションメタデータを出力します。
$override	オブジェクト	ServiceNow Fluent API に含まれていないフィールドを構成したり、既存のフィールドを上書きしたりするために提供されるフィールドとその値。 ⚠ 警告: タイプセーフは、 `$override` プロパティで構成されたフィールドには適用されません。 `$override: { field: value, ... }`

次の例では、ユーザーがアドミンロールを持っている場合、スクリプトは毎日午後 12 時に実行されます。

```
import { ScheduledScript } from '@servicenow/sdk/core';
import { dailyJob } from '../server/scripts.js'

ScheduledScript({
    $id: Now.ID['daily_scheduled_script'],
    name: 'daily_scheduled_script',
    active: true,
    condition: 'gs.getUser().hasAssignedRole("admin");',
    runType: 'daily',
    runTime: {
        hour: 12
    },
    script: dailyJob,
})
```

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[End]

スクリプトアクション **API - ServiceNow Fluent**

スクリプトアクション API は、イベントが発生したときに実行されるスクリプトアクション [sysevent_script_action] を定義します。

スケジュール済みスクリプト実行の一般的な情報については、「Script actions」を参照してください。

関連情報

ServiceNow Fluent

ScriptAction オブジェクト

イベントによってトリガーされたときにタスクを実行するスクリプトアクション [sysevent_script_action] を作成します。

プロパティ

名前	タイプ	説明
$id	文字列または数値	必須。メタデータオブジェクトの一意の ID。アプリケーションをビルドすると、この ID は一意のsys_idにハッシュされます。 形式: Now.ID['string' or number]
name	文字列	必須。スクリプトアクションの一意の名前。
スクリプト	スクリプト	必須。イベントによってトリガーされたときに実行されるサーバー側スクリプト。 このプロパティは、JavaScript モジュールの関数、スクリプトを含むアプリケーション内の別のファイルへの参照、またはインライン JavaScript をサポートします。 Format (形式)： • 関数には、JavaScript モジュールからエクスポートされた関数、関数式、またはデフォルト関数の名前を使用して、.now.ts ファイルにインポートします。JavaScript モジュールの詳細については、「JavaScript モジュールとサードパーティライブラリ」を参照してください。 • 別のファイルのテキストコンテンツを使用するには、Now.include('path/to/file') の形式を使用してアプリケーション内のファイルを参照します。 • インラインスクリプトを指定するには、複数行のコードに文字列リテラルまたはテンプレートリテラル (「スクリプト」または「スクリプト」) を使用します。
eventName	文字列	必須。実行するスクリプトアクションをトリガーするイベント。イベントの作成の詳細については、「Create an event」を参照してください。
アクティブ	ブール	スクリプトアクションが有効かどうかを示すフラグ。 有効な値： • true:スクリプトアクションは、イベントによってトリガーされると実行されます。 • false:スクリプトアクションは実行されません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ (続く)

名前	タイプ	説明
		デフォルト値：false
説明	文字列	スクリプトアクションの機能と目的の説明。
順序	番号	スクリプトアクションを実行する順序を示す番号。特定のイベントに複数のスクリプトアクションがある場合、スクリプトアクションは指定された順序 (昇順) で実行されます。 デフォルト：100
conditionScript	文字列	スクリプトを実行するために true でなければならないフィールドと値を指定する JavaScript 条件ステートメント。 **注:** `スクリプト`プロパティに条件ステートメントを含める場合は、このプロパティを使用しないでください。 Format (形式)： • 別のファイルのテキストコンテンツを使用するには、Now.include('path/to/file') の形式を使用してアプリケーション内のファイルを参照します。 • インラインスクリプトを指定するには、複数行のコードに文字列リテラルまたはテンプレートリテラル (`「スクリプト」`または`「スクリプト」`) を使用します。

$meta	オブジェクト	アプリケーションメタデータのメタデータ。
		
		`installMethod` プロパティを使用すると、特定の状況でのみロードされる出力ディレクトリにアプリケーションメタデータをマップできます。
		
		`$meta: {`
		`  installMethod: 'String'`
		`}`
		
		`installMethod` の有効な値:
		• demo: [デモデータのロード] オプションが選択されている場合に、アプリケーションとともにインストールされる metadata/unload.demo ディレクトリにアプリケーションメタデータを出力します。
		• 初回インストール:アプリケーションがインスタンスに初めてインストールされたときにのみインストールされる メタデータ/アンロード ディレクトリにアプリケーションメタデータを出力します。

$override	オブジェクト	ServiceNow Fluent API に含まれていないフィールドを構成したり、既存のフィールドを上書きしたりするために提供されるフィールドとその値。 **警告:** タイプセーフは、 *`$override`* プロパティで構成されたフィールドには適用されません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ (続く)

名前	タイプ	説明

		$override: {
		field: value,
		...
		}

```
import { ScriptAction } from '@servicenow/sdk/core'
import { insertIncident } from '../server/scripts.js'

ScriptAction({
    $id: Now.ID['sample-script-action'],
    name: 'SampleScriptAction',
    active: true,
    description: 'Insert an incident',
    script: insertIncident,
    eventName: 'sample.event',
    order: 100,
    conditionScript: "gs.hasRole('my_role')"
})
```

スクリプトプロパティは、scripts.js モジュールの関数を参照します。たとえば、次のようになります。

```
import { GlideRecord } from '@servicenow/glide'

export const insertIncident = () => {
    var gr = new GlideRecord('incident')
    gr.initialize()
    gr.setValue('short_description', 'New incident from event')
    gr.insert()
}
```

スクリプトインクルード **API - ServiceNow Fluent**

スクリプトインクルード API は、サーバーサイドスクリプトで使用するために JavaScript の関数とクラスを格納するスクリプトインクルード [sys_script_include] を定義します。

> **注:**
> 新しいスクリプトの場合は、可能な限りスクリプトインクルードの代わりに JavaScript モジュールを使用して、コードの再利用をサポートし、スコープ対象のアプリケーション内でサードパーティライブラリを使用します。JavaScript モジュールのサポートと制限の詳細については、「JavaScript モジュールとサードパーティライブラリ」を参照してください。

スクリプトインクルードの一般的な情報については、「Script includes」を参照してください。

関連情報

ServiceNow Fluent

ScriptInclude オブジェクト

スクリプトインクルード [sys_script_include] を作成して、他のスクリプトから呼び出されたときに実行されるサーバー側スクリプトを定義します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

プロパティ

名前	タイプ	説明
$id	文字列または数値	必須。メタデータオブジェクトの一意の ID。アプリケーションをビルドすると、この ID は一意のsys_idにハッシュされます。 形式: `Now.ID['string' or number]`
name	文字列	必須。スクリプトインクルードの名前。クラスを定義する場合、名前はクラスの名前、プロトタイプ、およびタイプと一致する必要があります。クラスレス (オンデマンド) スクリプトインクルードを使用する場合、名前は関数名と一致する必要があります。
スクリプト	スクリプト	必須。他のスクリプトから呼び出すサーバー側スクリプト。スクリプトは、単一の JavaScript クラスまたはグローバル関数を定義する必要があります。クラス名または関数名は *name* プロパティと一致する必要があります。 このプロパティは、インライン JavaScript またはスクリプトを含むアプリケーション内の別のファイルへの参照をサポートします。 Format (形式)： • 別のファイルのテキストコンテンツを使用するには、`Now.include('path/to/file')` の形式を使用してアプリケーション内のファイルを参照します。 • インラインスクリプトを指定するには、複数行のコードに文字列リテラルまたはテンプレートリテラル (`「スクリプト」または「スクリプト」`) を使用します。
apiName	文字列	スクリプトインクルードの内部名。スコープ外のアプリケーションからスクリプトインクルードを呼び出すために使用されます。 デフォルト:<scope>.<name>
説明	文字列	スクリプトインクルードの目的と機能の説明。
クライアント呼び出し可能	ブール	クライアント側スクリプトが GlideAjax を使用してスクリプトインクルードを呼び出すことができるかどうかを示すフラグ。 スクリプトインクルードは、クライアントスクリプト、リスト/レポートフィルター、参照修飾子で使用できます。また、URL の一部として指定することもできます。クライアント呼び出し可能スクリプトインクルードは *`GlideAjax`* から呼び出され、ユーザーはスクリプトインクルードに関連付けられた ACL を満たす必要があります。 有効な値： • true:スクリプトインクルードはクライアント側のスクリプトで使用できます。 • false:スクリプトインクルードはクライアント側スクリプトでは使用できません。 デフォルト値：false
モバイル呼び出し可能	ブール	モバイルデバイスから呼び出されたクライアントスクリプトでスクリプトインクルードを使用できるかどうかを示すフラグ。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ (続く)

名前	タイプ	説明
		有効な値： • true:スクリプトインクルードは、モバイルデバイスから呼び出されたクライアントスクリプトで使用できます。 • false:スクリプトインクルードは、モバイルデバイスから呼び出されたクライアントスクリプトでは使用できません。 デフォルト値：false
サンドボックス呼び出し可能	ブール	クエリ条件など、スクリプトサンドボックスから呼び出されたスクリプトでスクリプトインクルードを使用できるかどうかを示すフラグ。 **重要:** スクリプトインクルードは、必要な場合にのみスクリプトサンドボックスで使用できるようにする必要があります。 有効な値： • true:スクリプトインクルードは、スクリプトサンドボックスから呼び出されたスクリプトで使用できます。 • false:スクリプトサンドボックスから呼び出されたスクリプトでは、スクリプトインクルードを使用できません。 デフォルト値：false
callerAccess	文字列	スクリプトインクルードへのクロススコープアクセスを許可する方法のオプション。詳細については、「限定呼び出し元アクセス特権の設定」を参照してください。 有効な値： • 制約事項:スクリプトインクルードの呼び出しは手動で承認する必要があります。アクセス要求は、 ステータスを使用して限定呼び出し元アクセス テーブルで追跡されます。 • tracking:スクリプトインクルードの呼び出しは自動的に承認されます。呼び出しは、 ステータスを使用して限定呼び出し元アクセス テーブルで追跡されます。
accessibleFrom	文字列	スクリプトインクルードにアクセスできるアプリケーションを指定します。 有効な値： • public:すべてのアプリケーションスコープでスクリプトインクルードを呼び出すことができます。 • package_private:スクリプトインクルードは、それが含まれているアプリケーションスコープからのみ呼び出すことができます。 デフォルト:package_private
アクティブ	ブール	スクリプトインクルードが有効かどうかを示すフラグ。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ (続く)

名前	タイプ	説明
		有効な値： • true:スクリプトインクルードは呼び出し可能です。 • false:スクリプトインクルードは呼び出し可能ではありません。 デフォルト：true
$meta	オブジェクト	アプリケーションメタデータのメタデータ。 *installMethod* プロパティを使用すると、特定の状況でのみロードされる出力ディレクトリにアプリケーションメタデータをマップできます。 `$meta: { installMethod: 'String' }` *installMethod* の有効な値: • demo: [デモデータのロード] オプションが選択されている場合に、アプリケーションとともにインストールされる metadata/unload.demo ディレクトリにアプリケーションメタデータを出力します。 • 初回インストール:アプリケーションがインスタンスに初めてインストールされたときにのみインストールされる メタデータ/アンロード ディレクトリにアプリケーションメタデータを出力します。
$override	オブジェクト	ServiceNow Fluent API に含まれていないフィールドを構成したり、既存のフィールドを上書きしたりするために提供されるフィールドとその値。 ⚠ 警告: タイプセーフは、 *$override* プロパティで構成されたフィールドには適用されません。 `$override: { field: value, ... }`

次の例では、スクリプトインクルードは SampleClass.server.js ファイルのスクリプトを使用します。

```
import { ScriptInclude } from '@servicenow/sdk/core';

ScriptInclude({
    $id: Now.ID['sample-script-include'],
    name: 'SampleScriptInclude',
    script: Now.include("./SampleClass.server.js"),
    description: 'some description',
    apiName: 'x_scope.SampleScriptInclude',
```

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    callerAccess: 'tracking',
    clientCallable: true,
    mobileCallable: true,
    sandboxCallable: true,
    accessibleFrom: 'public',
    active: true,
})
```

スクリプト済み **REST API - ServiceNow Fluent**

スクリプト済み REST API は、スクリプト済み REST サービス [sys_ws_definition] のエンドポイント、クエリパラメーター、およびヘッダーを定義します。

スクリプト化された REST Services の一般的な情報については、「Scripted REST APIs」を参照してください。

関連情報

ServiceNow Fluent

RestApi オブジェクト

スクリプト済み REST API [sys_ws_definition] を作成して、Web サービスエンドポイントを定義します。

プロパティ

名前	タイプ	説明
$id	文字列または数値	必須。メタデータオブジェクトの一意の ID。アプリケーションをビルドすると、この ID は一意のsys_idにハッシュされます。 形式: Now.ID['string' or number]
name	文字列	必須。API ドキュメントで使用される API の名前。
serviceId	文字列	必須。URI パスでこの API を区別するために使用される API 識別子。API 名前空間内で一意である必要があります。
active	ブーリアン	API が要求を処理できるかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：API は要求を処理できます。 • false：API は要求を処理できません。 デフォルト：true
shortDescription	文字列	API ドキュメントで使用される API の簡単な説明。
consumes	文字列	API のリソースが消費できるメディアタイプのリスト。 デフォルト：application/json、application/xml、text/xml
ドキュメントリンク	文字列	API に関する静的ドキュメントにリンクする URL。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ (続く)

名前	タイプ	説明
強制 ACL	アレイ	リソース [sys_security_acl] へのアクセス時に適用する *ACL* オブジェクトの変数識別子または ACL の sys_ids のリスト。詳細については、「アクセス制御リスト API - ServiceNow Fluent」を参照してください。 ACL を適用しない場合は、このプロパティを空のアレイ ([]) に設定します。 デフォルト：スクリプト済み REST 外部デフォルト
produces	文字列	API のリソースが生成できるメディアタイプのリスト。 デフォルト：application/json、application/xml、text/xml
routes	アレイ	API のリソース [sys_ws_operation]。詳細については、「routes オブジェクト」を参照してください。
policy	文字列	アプリケーションファイルをダウンロードまたはインストールするときに保護する方法に関するポリシー。 有効な値： • read：ファイルは表示のみ可能です。 • protected：パスワード権限を持つユーザーがファイルを編集できます。
versions	アレイ	API のバージョン [sys_ws_version] のリスト。詳細については、「versions オブジェクト」を参照してください。 バージョンを指定すると、API のさまざまなバージョンとそのステータス (アクティブ、デフォルトバージョン、廃止など) を管理できます。

$meta	オブジェクト	アプリケーションメタデータのメタデータ。
		
		installMethod プロパティを使用すると、特定の状況でのみロードされる出力ディレクトリにアプリケーションメタデータをマップできます。
		
		`$meta: {`
		`  installMethod: 'String'`
		`}`
		
		installMethod の有効な値:
		• demo: [デモデータのロード] オプションが選択されている場合に、アプリケーションとともにインストールされる metadata/unload.demo ディレクトリにアプリケーションメタデータを出力します。
		• 初回インストール:アプリケーションがインスタンスに初めてインストールされたときにのみインストールされるメタデータ/アンロード ディレクトリにアプリケーションメタデータを出力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ (続く)

名前	タイプ	説明
$override	オブジェクト	ServiceNow Fluent API に含まれていないフィールドを構成したり、既存のフィールドを上書きしたりするために提供されるフィールドとその値。 ⚠ 警告: タイプセーフは、 `$override` プロパティで構成されたフィールドには適用されません。 `$override: { field: value, ... }`

```
import { RestApi } from '@servicenow/sdk/core'
import { process } from '../server/handler.js'

RestApi({
    $id: Now.ID['rest1'],
    name: 'customAPI',
    serviceId: 'custom_api',
    consumes: 'application/json',
    routes: [
        {
            $id: Now.ID['route1'],
            path: '/home/{id}',
            script: process,
            parameters: [{ $id: Now.ID['param1'],  name: 'n_param' }],
            headers: [{ $id: Now.ID['header1'],  name: 'n_token' }],
            enforceAcl: [acl],
            version: 1,
        },
    ],
    enforceAcl: [acl],
    versions: [
        {
            $id: Now.ID['v1'],
            version: 1,
        },
    ],
})
```

参照される ACL は、*ACL* オブジェクトを使用して定義されます。

```
import { Acl } from "@servicenow/sdk/core";

const acl = Acl({
    name: 'My random ACL',
    type: 'rest_endpoint',
    script: `answer = (Math.random() > 0.5)`,
    active: true,
    adminOverrides: false,
```

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    operations: ['execute'],
})
```

routes オブジェクト

スクリプト済み REST リソース [sys_ws_operation] を作成して、HTTP メソッドと処理スクリプトを定義し、親サービスからの設定を上書きします。

RestApi オブジェクト内の *routes* オブジェクトを使用します。

プロパティ

名前	タイプ	説明
$id	文字列または数値	必須。メタデータオブジェクトの一意の ID。アプリケーションをビルドすると、この ID は一意のsys_idにハッシュされます。 形式: Now.ID['string' or number]
name	文字列	API ドキュメントで使用される API リソースの名前。 デフォルト：*path* プロパティの値
script	スクリプト	必須。カスタムスクリプトは、操作が要求を解析して応答する方法を定義します。 このプロパティは、JavaScript モジュールの関数、スクリプトを含むアプリケーション内の別のファイルへの参照、またはインライン JavaScript をサポートします。 Format (形式)： • 関数には、JavaScript モジュールからエクスポートされた関数、関数式、またはデフォルト関数の名前を使用して、 .now.ts ファイルにインポートします。JavaScript モジュールの詳細については、「JavaScript モジュールとサードパーティライブラリ」を参照してください。 • 別のファイルのテキストコンテンツを使用するには、Now.include('path/to/file') の形式を使用してアプリケーション内のファイルを参照します。 • インラインスクリプトを指定するには、複数行のコードに文字列リテラルまたはテンプレートリテラル (「スクリプト」または「スクリプト」) を使用します。
parameters	アレイ	ルートのクエリパラメーター [sys_ws_query_parameter] のリスト。詳細については、「パラメーターとヘッダーのオブジェクト」を参照してください。
ヘッダー	アレイ	ルートのヘッダー [sys_ws_header] のリスト。詳細については、「パラメーターとヘッダーのオブジェクト」を参照してください。
アクティブ	ブーリアン	リソースが使用されるかどうかを示すフラグ。 有効な値：

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ (続く)

名前	タイプ	説明
		• true：リソースが使用されます。 • false：リソースは使用されません。 デフォルト：true
path	文字列	ベース API パスに対するリソースの相対パス。相対 URI には、/abc/{id} などのパスパラメーターを含めることができます。 デフォルト：/
shortDescription	文字列	API ドキュメントで使用される、リソースの簡単な説明。
consumes	文字列	リソースが消費できるメディアタイプのリスト。 このプロパティは、PUT、PATCH、または POST メソッドで上書きできます。 デフォルト：*RestApi* オブジェクトの *consumes* プロパティの値
強制 ACL	アレイ	リソース [sys_security_acl] へのアクセス時に適用する *ACL* オブジェクトの変数識別子または ACL の sys_ids のリスト。詳細については、「アクセス制御リスト API - ServiceNow Fluent」を参照してください。 ACL を適用しない場合は、このプロパティを空のアレイ ([]) に設定します。 デフォルト：スクリプト済み REST 外部デフォルト
produces	文字列	リソースが生成できるメディアタイプのリスト。 デフォルト：*RestApi* オブジェクトの *produces* プロパティの値
requestExample	文字列	API ドキュメントで使用される、リソースの有効なサンプル要求の本文ペイロード。
method	文字列	リソースが実装する HTTP メソッド。 有効な値：GET、POST、PUT、PATCH、DELETE デフォルト：GET
authorization	ブーリアン	リソースにアクセスするためにユーザーが認証される必要があるかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：ユーザーはリソースにアクセスするために認証される必要があります。 • false：リソースへのアクセスに認証は必要ありません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ (続く)

名前	タイプ	説明
		デフォルト：true
認証	ブーリアン	リソースへのアクセス時に ACL を適用するかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：リソースへのアクセス時に ACL が適用されます。 • false：リソースへのアクセス時に ACL は適用されません。 デフォルト：true
internalRole	ブーリアン	ルートに snc_internal ロールが必要かどうかを示すフラグ。 このプロパティは、明示的なロールプラグイン (com.glide.explicit_roles) が有効な場合のみサポートされます。 有効な値： • true：ルートには snc_internal ロールが必要です。 • false：ルートに snc_internal ロールは必要ありません。 デフォルト：true
policy	文字列	アプリケーションファイルをダウンロードまたはインストールするときに保護する方法に関するポリシー。 有効な値： • read：ファイルは表示のみ可能です。 • protected：パスワード権限を持つユーザーがファイルを編集できます。
version	番号	API のバージョン。 `versions` プロパティが `RestApi` オブジェクトで使用されている場合、このプロパティは必須です。 このプロパティで指定されたバージョンは、/api/management/v1/table/{tableName} などのバージョンで URI を自動的に生成するために使用されます。バージョン番号は、URI がアクセスするエンドポイントのバージョンを識別します。バージョン番号を指定することで、既存の統合に影響を与えることなく変更をテストおよび展開できます。
$meta	オブジェクト	アプリケーションメタデータのメタデータ。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ (続く)

名前	タイプ	説明
		installMethod プロパティを使用すると、特定の状況でのみロードされる出力ディレクトリにアプリケーションメタデータをマップできます。 `$meta: { installMethod: 'String' }` *installMethod* の有効な値: • demo: [デモデータのロード] オプションが選択されている場合に、アプリケーションとともにインストールされる metadata/unload.demo ディレクトリにアプリケーションメタデータを出力します。 • 初回インストール:アプリケーションがインスタンスに初めてインストールされたときにのみインストールされる メタデータ/アンロード ディレクトリにアプリケーションメタデータを出力します。
$override	オブジェクト	ServiceNow Fluent API に含まれていないフィールドを構成したり、既存のフィールドを上書きしたりするために提供されるフィールドとその値。 ⚠ 警告: タイプセーフは、 *$override* プロパティで構成されたフィールドには適用されません。 `$override: { field: value, ... }`

```
routes: [
  {
    $id: Now.ID['route1'],
    path: '/home/{id}',
    script: process,
    parameters: [{ $id: Now.ID['param1'], name: 'n_param' }],
    headers: [{ $id: Now.ID['header1'], name: 'n_token' }],
    enforceAcl: [acl],
    version: 1,
  },
],
```

パラメーターとヘッダーのオブジェクト

スクリプト済み REST API でルートのクエリパラメーター [sys_ws_query_parameter] とヘッダー [sys_ws_header] を作成します。クエリパラメーターは、要求ユーザーが要求 URI で渡すことができる値を制御します。ヘッダーは、API が受け入れ、応答できる内容を指定します。

routes オブジェクト内の *parameters* オブジェクトと *headers* オブジェクトを使用します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ

名前	タイプ	説明
$id	文字列または数値	必須。メタデータオブジェクトの一意の ID。アプリケーションをビルドすると、この ID は一意のsys_idにハッシュされます。 形式: Now.ID['string' or number]
name	文字列	必須。API ドキュメントで使用されるパラメーターまたはヘッダーの名前。
required	ブーリアン	パラメーターまたはヘッダーが必須かどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：パラメーターまたはヘッダーは必須です。 • false：パラメーターまたはヘッダーは必要ありません。 デフォルト値：false
exampleValue	文字列	API ドキュメントで使用される、パラメーターまたはヘッダーの有効な値の例。
shortDescription	文字列	API ドキュメントで使用されるパラメーターまたはヘッダーの簡単な説明。
$meta	オブジェクト	アプリケーションメタデータのメタデータ。 `installMethod` プロパティを使用すると、特定の状況でのみロードされる出力ディレクトリにアプリケーションメタデータをマップできます。 `$meta: { installMethod: 'String' }` `installMethod` の有効な値: • demo: [デモデータのロード] オプションが選択されている場合に、アプリケーションとともにインストールされる metadata/unload.demo ディレクトリにアプリケーションメタデータを出力します。 • 初回インストール:アプリケーションがインスタンスに初めてインストールされたときにのみインストールされる メタデータ/アンロード ディレクトリにアプリケーションメタデータを出力します。
$override	オブジェクト	ServiceNow Fluent API に含まれていないフィールドを構成したり、既存のフィールドを上書きしたりするために提供されるフィールドとその値。 ⚠ 警告: タイプセーフは、 `$override` プロパティで構成されたフィールドには適用されません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ (続く)

名前	タイプ	説明

		$override: {
		field: value,
		...
		}

```
parameters: [{ $id: Now.ID['param1'], name: 'n_param' }],
headers: [{ $id: Now.ID['header1'], name: 'n_token' }],
```

versions オブジェクト

スクリプト済み REST API [sys_ws_version] のバージョンを作成して、Web サービスエンドポイントを定義します。

`RestApi` オブジェクト内の `versions` オブジェクトを使用します。

プロパティ

名前	タイプ	説明
$id	文字列または数値	必須。メタデータオブジェクトの一意の ID。アプリケーションをビルドすると、この ID は一意のsys_idにハッシュされます。 形式: Now.ID['string' or number]
version	番号	必須。REST API のバージョン。
active	ブーリアン	REST API のバージョンが要求を処理できるかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：API のバージョンは要求を処理できます。 • false：API のバージョンは要求を処理できません。 デフォルト：true
deprecated	ブーリアン	REST API のバージョンが廃止されているかどうかを示すフラグ。廃止されたバージョンに属するリソースは要求を処理できますが、ドキュメントでは「廃止」として識別されます。 有効な値： • true：API のバージョンは廃止として識別されます。 • false：API のバージョンは廃止として識別されません。 デフォルト値：false
shortDescription	文字列	API ドキュメントに表示される REST API のバージョンの簡単な説明。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ (続く)

名前	タイプ	説明
isDefault	ブール	REST API のバージョンがデフォルトバージョンかどうかを示すフラグ。クライアントは、バージョニングされている URI パスまたはバージョニングされていない URI パスを使用して、デフォルトバージョンにアクセスできます。 有効な値： • true：API のバージョンがデフォルトバージョンです。 • false：API のバージョンはデフォルトバージョンではありません。 デフォルト値：false
$meta	オブジェクト	アプリケーションメタデータのメタデータ。 *`installMethod`* プロパティを使用すると、特定の状況でのみロードされる出力ディレクトリにアプリケーションメタデータをマップできます。 `$meta: { installMethod: 'String' }` *`installMethod`* の有効な値: • demo: [デモデータのロード] オプションが選択されている場合に、アプリケーションとともにインストールされる metadata/unload.demo ディレクトリにアプリケーションメタデータを出力します。 • 初回インストール:アプリケーションがインスタンスに初めてインストールされたときにのみインストールされるメタデータ/アンロード ディレクトリにアプリケーションメタデータを出力します。
$override	オブジェクト	ServiceNow Fluent API に含まれていないフィールドを構成したり、既存のフィールドを上書きしたりするために提供されるフィールドとその値。 ⚠ 警告: タイプセーフは、 *`$override`* プロパティで構成されたフィールドには適用されません。 `$override: { field: value, ... }`

```
versions: [
 {
  $id: Now.ID['v1'],
  version: 1,
```

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
 },
],
```

サービスポータル **API - ServiceNow Fluent**

サービスポータル API は、ポータルページのカスタムウィジェット [sp_widget] を定義します。

ポータルの一般的な情報については、「Service Portal」を参照してください。

関連情報

ServiceNow Fluent

SPWidget オブジェクト

ポータルページに含めるカスタムウィジェット [sp_widget] を作成します。

カスタムウィジェットの作成の詳細については、「Developing custom widgets」を参照してください。

プロパティ

名前	タイプ	説明
$id	文字列または数値	必須。メタデータオブジェクトの一意の ID。アプリケーションをビルドすると、この ID は一意のsys_idにハッシュされます。 形式: Now.ID['string' or number]
name	文字列	必須。ウィジェットの名前。
カテゴリ	文字列	ウィジェットのタイプ。 有効な値： • standard • その他のアプリケーション • カスタム • sample • ナレッジベース • サービスポータル • サービスカタログ デフォルト:カスタム
clientScript	スクリプト	AngularJS コントローラーを定義するクライアント側スクリプト。 このプロパティは、インライン JavaScript またはスクリプトを含むアプリケーション内の別のファイルへの参照をサポートします。 Format (形式)：

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ (続く)

名前	タイプ	説明
		• 別のファイルのテキストコンテンツを使用するには、Now.include('path/to/file') の形式を使用してアプリケーション内のファイルを参照します。 • インラインスクリプトを指定するには、複数行のコードに文字列リテラルまたはテンプレートリテラル (「スクリプト」または「スクリプト」) を使用します。 Default (デフォルト) : `api.controller=function() { /* widget controller */ var c = this;};`
serverScript	スクリプト	ウィジェットの初期状態を設定したり、 データ オブジェクトを使用してウィジェットのクライアントスクリプトにデータを送信したり、サーバーサイドのクエリを実行したりするサーバーサイドスクリプト。 このプロパティは、インライン JavaScript またはスクリプトを含むアプリケーション内の別のファイルへの参照をサポートします。 Format (形式) : • 別のファイルのテキストコンテンツを使用するには、Now.include('path/to/file') の形式を使用してアプリケーション内のファイルを参照します。 • インラインスクリプトを指定するには、複数行のコードに文字列リテラルまたはテンプレートリテラル (「スクリプト」または「スクリプト」) を使用します。 Default (デフォルト) : `(function () { /* populate the 'data' object */ /* e.g., data.table = $sp.getValue('table'); */ })();`
controllerAs	文字列	ディレクティブのスコープ内のコントローラへの参照の変数。クライアントスクリプトは、デフォルトで c.data 変数を使用してサーバーデータオブジェクトにアクセスします。 デフォルト:c
htmlTemplate	文字列	ページが表示されるときにレンダリングされる内容を定義する本文の HTML コード。静的 XHTML、Jelly として定義された動的に生成されたコンテンツを含めるか、またはスクリプトインクルードと UI マクロを呼び出すことができます。 このプロパティは、HTML またはインライン HTML を含むアプリケーション内の別のファイルへの参照をサポートします。 Format (形式) :

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ (続く)

名前	タイプ	説明
		• 別のファイルのテキストコンテンツを使用するには、Now.include('path/to/file') の形式を使用してアプリケーション内のファイルを参照します。 • インライン HTML を提供するには、複数行のコードに文字列リテラルまたはテンプレートリテラルを使用します: 「HTML」または「HTML」。 Default (デフォルト): `<div><!-- your widget template --></div>`
カスタム CSS	文字列	ウィジェットのスタイルを定義する CSS または SCSS です。 このプロパティは、CSS またはインライン CSS を含むアプリケーション内の別のファイルへの参照をサポートします。 Format (形式): • 別のファイルのテキストコンテンツを使用するには、Now.include('path/to/file') の形式を使用してアプリケーション内のファイルを参照します。 • インライン CSS を提供するには、複数行のコードに文字列リテラルまたはテンプレートリテラルを使用します: 「CSS」または「CSS」。
データテーブル	文字列	ウィジェットインスタンスオプションを保存するテーブル。カスタムオプションスキーマを定義するには、ウィジェットインスタンス [sp_instance] テーブルを拡張するテーブルにフィールドを追加し、拡張テーブルをデータソースとして使用するようにウィジェットを設定します。詳細については、「Store instance options in a table」を参照してください。 デフォルト:sp_instance
デモデータ	文字列またはオブジェクト	ウィジェットの機能を示すデータ。このプロパティは、インライン文字列、JSON を含むアプリケーション内の別のファイルへの参照、またはインライン JSON シリアル化可能オブジェクトをサポートします。 Format (形式): • 別のファイルのテキストコンテンツを使用するには、Now.include('path/to/file') の形式を使用してアプリケーション内のファイルを参照します。 • インライン JSON を提供するには、キーと値のペアを持つオブジェクト { key: value } を使用します。
説明	文字列	ウィジェットとその目的の説明。
ドキュメント	参照	ウィジェットとその目的に関する追加情報を提供するサービスポータル ドキュメント [sp_documentation] の変数識別子。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ (続く)

名前	タイプ	説明
		サービスポータルドキュメントを定義するには、「レコード API - ServiceNow Fluent」を参照してください。
フィールド	アレイ	ウィジェットオプションスキーマで使用するデータテーブルの列名のリスト。
hasPreview	ブール	ウィジェットエディターからウィジェットをプレビューできるかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true:ウィジェットエディターからウィジェットをプレビューできます。 • false:ウィジェットエディターからウィジェットをプレビューすることはできません。 デフォルト値：false
ID	文字列	ウィジェットの一意の ID。ID にスペースを含めることはできません。
リンクスクリプト	スクリプト	AngularJS を使用して DOM を直接操作するリンク関数。 このプロパティは、インライン JavaScript またはスクリプトを含むアプリケーション内の別のファイルへの参照をサポートします。 Format (形式)： • 別のファイルのテキストコンテンツを使用するには、Now.include('path/to/file') の形式を使用してアプリケーション内のファイルを参照します。 • インラインスクリプトを指定するには、複数行のコードに文字列リテラルまたはテンプレートリテラル (「スクリプト」または「スクリプト」) を使用します。 Default (デフォルト)： `function link(scope, element, attrs, controller) { }`
ロール	アレイ	*Role* オブジェクトの変数識別子のリストまたは ウィジェット。 詳細については、「ロール API - ServiceNow Fluent」を参照してください。
オプションスキーマ	アレイ	サービスポータルアドミニストレーター (sp_admin) がウィジェットインスタンスに設定できるパラメーターのリスト。ウィジェットオプションスキーマは、ウィジェットの再利用と、異なるページでのウィジェットのインスタンスの一意の構成をサポートします。詳細については、「Widget option schema」を参照してください。 `optionSchema: [ { name: 'String', label: 'String', section: 'String', type: 'String',`

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ (続く)

名前	タイプ	説明
		<pre> defaultValue: 'String', hint: 'String' }, ...]</pre> • name:必須。パラメーターの名前。 • label:必須です。ウィジェットインスタンスオプションに表示されるパラメーターのラベル。 • セクション:必須。パラメーターが表示されるウィジェットインスタンスオプションのセクション。 有効な値： ○ データ ○ behavior ○ ドキュメント ○ プレゼンテーション ○ その他 • タイプ:必須。パラメーターのデータタイプ。 有効な値： ○ 文字列 ○ ブール ○ 整数 ○ 参照 ○ 選択 ○ フィールドリスト ○ fieldName ○ glidelist ○ グリフアイコン • defaultValue:パラメーターのデフォルト値。 • ヒント:パラメーターにカーソルを合わせたときにツールヒントとして表示されるパラメーターの簡単な説明。
公開	ブール	非認証ユーザーがウィジェットを使用できるかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true:非認証ユーザーはウィジェットにアクセスできます。 • false:認証されたユーザーのみがウィジェットにアクセスできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ (続く)

名前	タイプ	説明
		デフォルト値：false
依存関係	アレイ	*SPWidgetDependency* オブジェクトの変数識別子のリスト、またはウィジェットの依存関係の名前または sys_ids。詳細については、「SPWidgetDependency オブジェクト」を参照してください。
angularProvider	アレイ	*SPAngularProvider* オブジェクトの変数識別子のリスト、またはウィジェットの Angular プロバイダーの名前またはsys_ids。詳細については、「SPAngularProvider オブジェクト」を参照してください。
テンプレート	アレイ	ウィジェットに関連付ける Angular ng テンプレート [sp_ng_template] のリスト。Angular ng テンプレートには、レンダリングを指示した場合にのみレンダリングされるコンテンツが含まれています。 `templates: [ { $id: Now.ID['String' or Number] id: 'String' htmlTemplate: 'HTML' or `HTML` }, ... ]` • $id:必須です。メタデータオブジェクトの一意の ID。アプリケーションをビルドすると、この ID は一意の sys_idにハッシュされます。 形式: Now.ID['string' or number] • ID:必須です。Angular ng テンプレートの ID。 • htmlTemplate:必須。HTML テンプレートのコンテンツ。 このプロパティは、HTML またはインライン HTML を含むアプリケーション内の別のファイルへの参照をサポートします。
$meta	オブジェクト	アプリケーションメタデータのメタデータ。 *installMethod* プロパティを使用すると、特定の状況でのみロードされる出力ディレクトリにアプリケーションメタデータをマップできます。 `$meta: { installMethod: 'String' }` *installMethod* の有効な値: • demo: [デモデータのロード] オプションが選択されている場合に、アプリケーションとともにインストールされる metadata/unload.demo ディレクトリにアプリケーションメタデータを出力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ (続く)

名前	タイプ	説明
		• 初回インストール:アプリケーションがインスタンスに初めてインストールされたときにのみインストールされるメタデータ/アンロード ディレクトリにアプリケーションメタデータを出力します。
$override	オブジェクト	ServiceNow Fluent API に含まれていないフィールドを構成したり、既存のフィールドを上書きしたりするために提供されるフィールドとその値。 ⚠ 警告: タイプセーフは、 `$override` プロパティで構成されたフィールドには適用されません。 `$override: { field: value, ... }`

```
import { SPWidget } from '@servicenow/sdk/core'

SPWidget({
    $id: 'my_simple_widget',
    name: 'My Simple Widget',
    category: 'knowledgeBase',
    clientScript: Now.include('./client.js'),
    serverScript: Now.include('./server.js'),
    controllerAs: '$ctrl',
    customCss: Now.include('./custom_css.css'),
    dataTable: 'sp_instance',
    demoData: { message: 'Hello, World!' },
    description: 'This is a test widget',
    docs: widgetDoc,
    htmlTemplate: Now.include('./template.html'),
    fields: ['color', 'class_name'],
    hasPreview: true,
    id: 'my-simple-widget',
    linkScript: Now.include('./link.client.js'),
    optionSchema: [
        {
            name: 'my_option',
            label: 'My Option',
            type: 'string',
            section: 'behavior'
        }
    ],
    roles: [manager, 'admin'],
})
```

SPAngularProvider オブジェクト

Angular プロバイダー [sp_angular_provider] を作成して、複数のウィジェットでコンポーネントを再利用し、ポータルのパフォーマンスを向上させます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ

名前	タイプ	説明
$id	文字列または数値	必須。メタデータオブジェクトの一意の ID。アプリケーションをビルドすると、この ID は一意のsys_idにハッシュされます。 形式: Now.ID['string' or number]
name	文字列	必須。Angular プロバイダーの名前。
clientScript	スクリプト	ウィジェットで再利用するクライアント側スクリプト。このプロパティは、インライン JavaScript またはスクリプトを含むアプリケーション内の別のファイルへの参照をサポートします。 Format (形式)： • 別のファイルのテキストコンテンツを使用するには、Now.include('path/to/file') の形式を使用してアプリケーション内のファイルを参照します。 • インラインスクリプトを指定するには、複数行のコードに文字列リテラルまたはテンプレートリテラル (「スクリプト」または「スクリプト」) を使用します。
タイプ	文字列	Angular プロバイダーのタイプ。 有効な値： • directive • 工場 • サービス デフォルト:directive
必要	アレイ	他の *SPAngularProvider* オブジェクトの変数識別子、または Angular プロバイダーの名前またはsys_idsのリスト。

$meta	オブジェクト	アプリケーションメタデータのメタデータ。
		
		installMethod プロパティを使用すると、特定の状況でのみロードされる出力ディレクトリにアプリケーションメタデータをマップできます。
		
		`$meta: {`
		`  installMethod: 'String'`
		`}`
		
		installMethod の有効な値:
		• demo: [デモデータのロード] オプションが選択されている場合に、アプリケーションとともにインストールされる metadata/unload.demo ディレクトリにアプリケーションメタデータを出力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ (続く)

名前	タイプ	説明
		• 初回インストール:アプリケーションがインスタンスに初めてインストールされたときにのみインストールされるメタデータ/アンロード ディレクトリにアプリケーションメタデータを出力します。
$override	オブジェクト	ServiceNow Fluent API に含まれていないフィールドを構成したり、既存のフィールドを上書きしたりするために提供されるフィールドとその値。 ⚠ 警告: タイプセーフは、 `$override` プロパティで構成されたフィールドには適用されません。 `$override: { field: value, ... }`

```
import { SPAngularProvider } from '@servicenow/sdk/core'
const OTHER_ANGULAR_PROVIDER = 'd11f285fe069e1f119b44bd05c0770aa'

SPAngularProvider({
    $id: 'my_angular_provider',
    name: 'my_angular_provider',
    clientScript: Now.include('my_angular_provider.client.js'),
    type: 'directive',
    requires: [OTHER_ANGULAR_PROVIDER]
})
```

SPWidgetDependency オブジェクト

ウィジェット依存関係 [sp_dependency] を作成して、JavaScript ファイルと CSS ファイルをウィジェットにリンクし、サードパーティのライブラリ、外部スタイルシート、または Angular モジュールを使用します。

依存関係は、必要に応じてサーバーから非同期にロードされます。ウィジェットには、必要な数の依存関係を設定できます。ただし、追加する依存関係が多くなるほど、ウィジェットがページ上にレンダリングするためにダウンロードする必要があるコンテンツが多くなります。ロード時間を短くするため、依存関係はできる限り少なくしてください。詳細については、「Create a widget dependency」を参照してください。

プロパティ

名前	タイプ	説明
$id	文字列または数値	必須。メタデータオブジェクトの一意の ID。アプリケーションをビルドすると、この ID は一意のsys_idにハッシュされます。 形式: `Now.ID['string' or number]`
name	文字列	必須。ウィジェット依存関係の名前。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

プロパティ (続く)

名前	タイプ	説明
angularModuleName	文字列	JS インクルードが Angular モジュールである場合にロードする Angular モジュールの名前。
includeOnPageLoad	ブール	依存関係がページにロードされるタイミングを示すフラグ。 有効な値： • true:依存関係は最初のページのロードとともにロードされます。 • false:依存関係は、リンクされたウィジェットがページにロードされた場合にのみロードされます。 デフォルト値：false
cssInclude	アレイ	CSS インクルードの *CssInclude* オブジェクトまたはsys_idsの変数識別子とその順序のリスト。詳細については、「CssInclude オブジェクト」を参照してください。 `cssIncludes: [ { order: Number, include: 'String' or Reference, }, ... ]`
jsInclude	アレイ	*JsInclude* オブジェクトのリスト変数識別子または JS インクルードのsys_idsとその順序。詳細については、「JsInclude オブジェクト」を参照してください。 `jsIncludes: [ { order: Number, include: 'String' or Reference, }, ... ]`
portalsForPageLoad	アレイ	ウィジェットの依存関係をロードするポータル [sp_portal] のsys_idsのリスト。空の場合、依存関係はすべてのポータルのページロードに含まれます。
$meta	オブジェクト	アプリケーションメタデータのメタデータ。 *installMethod* プロパティを使用すると、特定の状況でのみロードされる出力ディレクトリにアプリケーションメタデータをマップできます。 `$meta: { installMethod: 'String' }` *installMethod* の有効な値:

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ (続く)

名前	タイプ	説明
		• demo: [デモデータのロード] オプションが選択されている場合に、アプリケーションとともにインストールされる metadata/unload.demo ディレクトリにアプリケーションメタデータを出力します。 • 初回インストール:アプリケーションがインスタンスに初めてインストールされたときにのみインストールされる メタデータ/アンロード ディレクトリにアプリケーションメタデータを出力します。
$override	オブジェクト	ServiceNow Fluent API に含まれていないフィールドを構成したり、既存のフィールドを上書きしたりするために提供されるフィールドとその値。 ⚠ 警告: タイプセーフは、 `$override` プロパティで構成されたフィールドには適用されません。 `$override: { field: value, ... }`

```
import { SPWidgetDependency } from '@servicenow/sdk/core'

SPWidgetDependency({
    $id: 'samplejs',
    name: 'Sample',
    angularModuleName: 'samplejs',
    includeOnPageLoad: true,
    portalsForPageLoad:
 ['b4572a48262a16df3032b48cef75a853', 'fe12dbbed14bd3f712f0787141c2f656'],
    cssIncludes: [
        {
            order: 100,
            include: localCss,
        },
        {
            order: 200,
            include: '94112ccb0fb3c2ed072b01d3cb401196',
        },
    ],
    jsIncludes: [
        {
            order: 100,
            include: localJs,
        },
        {
            order: 200,
            include: 'f8af18a5e6c71a3702c4f2038b43cf62',
        },
```

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    ],
})
```

CssInclude オブジェクト

ウィジェット依存関係でスタイルシートまたは外部 CSS を参照する CSS インクルード [sp_css_include] を作成します。

プロパティ

名前	タイプ	説明
$id	文字列または数値	必須。メタデータオブジェクトの一意の ID。アプリケーションをビルドすると、この ID は一意のsys_idにハッシュされます。 形式: Now.ID['string' or number]
name	文字列	必須。CSS インクルードの名前。
URL	文字列	外部 CSS ファイルへの URL。このプロパティは、スタイルシートに *spCss* プロパティが指定されていない場合に必要です。
spCs	文字列	スタイルシート [sp_css] のsys_id。このプロパティは、外部 CSS ファイルに *url* プロパティが指定されていない場合に必要です。
rtlCssUrl	文字列	セッション言語がヘブライ語などの右から左に記述する言語である場合にウィジェットの方向をミラーリングするための外部右から左に記述する (RTL) CSS ファイルへの URL。詳細については、「Styling for right-to-left languages in portals」を参照してください。
遅延ロード	ブール	CSS インクルードのロード方法を示すフラグ。このプロパティは、 *spCSS* プロパティを使用してスタイル シートを指定する場合にのみ適用されます。 有効な値： • true:CSS インクルードは非同期にロードされ、ページのロード時間を短縮します。 • false:CSS インクルードは非同期でロードされません。 デフォルト値：false
$meta	オブジェクト	アプリケーションメタデータのメタデータ。 *installMethod* プロパティを使用すると、特定の状況でのみロードされる出力ディレクトリにアプリケーションメタデータをマップできます。 `$meta: { installMethod: 'String' }` *installMethod* の有効な値:

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

プロパティ (続く)

名前	タイプ	説明
		• demo: [デモデータのロード] オプションが選択されている場合に、アプリケーションとともにインストールされる metadata/unload.demo ディレクトリにアプリケーションメタデータを出力します。 • 初回インストール:アプリケーションがインスタンスに初めてインストールされたときにのみインストールされるメタデータ/アンロード ディレクトリにアプリケーションメタデータを出力します。

$override	オブジェクト	ServiceNow Fluent API に含まれていないフィールドを構成したり、既存のフィールドを上書きしたりするために提供されるフィールドとその値。
		⚠ 警告:
		タイプセーフは、 `$override` プロパティで構成されたフィールドには適用されません。
		`$override: {`
		` field: value,`
		` ...`
		`}`

```
import { CssInclude } from '@servicenow/sdk/core'

const localCss = CssInclude({
    $id: '22bcf16da81e2bc0340c53d50d531adf',
    name: 'Sample Styles',
    spCss: '50e3e32aa321b1c7d1945c5f423228bd',
})
```

JsInclude オブジェクト

ウィジェット依存関係で UI スクリプトまたは外部 JavaScript コードを参照するための JS インクルード [sp_js_include] を作成します。

プロパティ

名前	タイプ	説明
$id	文字列または数値	必須。メタデータオブジェクトの一意の ID。アプリケーションをビルドすると、この ID は一意のsys_idにハッシュされます。 形式: Now.ID['string' or number]
name	文字列	必須。JS インクルードの名前。
URL	文字列	外部 JavaScript ファイルへの URL。URL は絶対パスである必要があります。このプロパティは、UI スクリプトが *sysUiScript* プロパティで指定されていない場合に必要です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ (続く)

名前	タイプ	説明
sysuiscript	文字列	UI スクリプト [sys_ui_script] のsys_id。このプロパティは、外部 JavaScript ファイルが `url` プロパティで指定されていない場合に必要です。
$meta	オブジェクト	アプリケーションメタデータのメタデータ。 `installMethod` プロパティを使用すると、特定の状況でのみロードされる出力ディレクトリにアプリケーションメタデータをマップできます。 `$meta: { installMethod: 'String' }` `installMethod` の有効な値: • demo: [デモデータのロード] オプションが選択されている場合に、アプリケーションとともにインストールされる metadata/unload.demo ディレクトリにアプリケーションメタデータを出力します。 • 初回インストール:アプリケーションがインスタンスに初めてインストールされたときにのみインストールされるメタデータ/アンロード ディレクトリにアプリケーションメタデータを出力します。
$override	オブジェクト	ServiceNow Fluent API に含まれていないフィールドを構成したり、既存のフィールドを上書きしたりするために提供されるフィールドとその値。 ⚠ 警告: タイプセーフは、 `$override` プロパティで構成されたフィールドには適用されません。 `$override: { field: value, ... }`

```
import { JsInclude } from '@servicenow/sdk/core'

const localJs = JsInclude({
    $id: '98239e4eadfac88b01cce7daa23b6fc3',
    name: 'Sample Framework',
    sysUiScript: 'b67af05645f738df1f286bb3e9ecd55f',
})
```

テーブル **API - ServiceNow Fluent**

テーブル API は、スコープ対象のアプリケーションにデータを格納するテーブル [sys_db_object] を定義します。

`Table` オブジェクトを使用してテーブルを作成します。スキーマプロパティから、`StringColumn` や `IntegerColumn` などの Column オブジェクトを追加して、列を定義します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

テーブルの一般的な情報については、「Table administration」を参照してください。

関連情報

ServiceNow Fluent

Table オブジェクト

スコープ対象のアプリケーションにテーブル [sys_db_object] を作成します。

プロパティ

名前	タイプ	説明
name	文字列	必須。アプリケーションスコープで始まり、すべて小文字で、形式：<scope>_<name> で表記されたテーブルの名前。名前は、*Table* オブジェクトの変数識別子と一致する必要があります。 **注:** 別のアプリケーションスコープの既存のテーブルに列を追加するには、アプリケーションスコープなしでテーブルの名前、その後に as any を指定します。列名は、代わりにアプリケーションスコープで始める必要があります。 最大長：80
schema	アレイ	必須。*Column* オブジェクトのリスト。詳細については、「Column オブジェクト」を参照してください。
extends	文字列	テーブルの基になっている他のテーブルの名前。 ベーステーブルを拡張すると、元のテーブルのすべてのフィールドが組み込まれ、新しいテーブルのシステムフィールドが作成されます。拡張可能とマークされたテーブルは、同じスコープ内にある場合、または他のスコープからの構成が許可されている場合に拡張可能です。
ラベル	文字列 またはアレイ	リストビューとフォームビューのテーブルの一意のラベル。 フィールドラベルは、文字列または ラベル オブジェクトのアレイとして指定できます。詳細については、「label オブジェクト」を参照してください。 最大長：80 デフォルト：*name* プロパティの値
ライセンス構成	オブジェクト	テーブルのライセンス構成 [ua_table_licensing_config]。詳細については、「licensingConfig オブジェクト」を参照してください。
表示	文字列	デフォルトの表示列。*schema* プロパティの列名を使用します。
extensible	ブーリアン	他のテーブルがテーブルを拡張できるかどうかを示すフラグ。 有効な値：

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ (続く)

名前	タイプ	説明
		• true：他のテーブルがテーブルを拡張できます。 • false：他のテーブルはテーブルを拡張できません。 このプロパティを true から false に変更すると、追加の子テーブルの作成はできなくなりますが、既存の子テーブルは変更されません。 デフォルト値：false
ライブフィード	ブール	テーブル内のレコードでライブフィードが可能かどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：テーブル内のレコードでライブフィードが提供されます。このオプションにより、[ライブフィードを表示] オプション ( ) がフォームヘッダーに追加されます。 • false：テーブル内のレコードにライブフィードは提供されません。 デフォルト値：false
accessibleFrom	文字列	テーブルにアクセスできるアプリケーションスコープ。 有効な値： • public:テーブルはすべてのアプリケーションスコープからアクセスできます。 • package_private:テーブルには、テーブルが含まれているアプリケーションスコープからのみアクセスできます。 デフォルト：public
callerAccess	文字列	クロススコープ要求のアクセスレベル。 有効な値： • restricted：リソースへの呼び出しを手動で承認する必要があります。アクセス要求は、 ステータスを使用して限定呼び出し元アクセス テーブルで追跡されます。 • tracking：リソースに対する呼び出しは自動的に承認されます。呼び出しは、 ステータスを使用して限定呼び出し元アクセス テーブルで追跡されます。 • none: リソースへのクロススコープ呼び出しは、*accessibleFrom* プロパティの値に基づいて承認または拒否されます。 詳細については、「限定呼び出し元アクセス特権の設定」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ (続く)

名前	タイプ	説明
		デフォルト：none
actions	アレイ	アクセスオプションのリスト。 有効な値： • read:他のアプリケーションスコープのスクリプトオブジェクトが、このテーブルに格納されているレコードを読み込めるようにします。たとえば、別のアプリケーション内のスクリプトでこのテーブルのデータに対するクエリを実行できます。他の API レコード操作を許可するには、読み取りアクセス権が必要です。 • create:他のアプリケーションスコープのスクリプトオブジェクトがこのテーブルにレコードを作成できるようにします。たとえば、別のアプリケーション内のスクリプトでこのテーブルに新しいレコードを挿入できます。 • update:他のアプリケーションスコープのスクリプトオブジェクトが、このテーブルに格納されているレコードを変更できるようにします。たとえば、別のアプリケーション内のスクリプトでこのテーブルのフィールド値を変更できます。 • delete:他のアプリケーションスコープのスクリプトオブジェクトがこのテーブルからレコードを削除できるようにします。たとえば、別のアプリケーション内のスクリプトでこのテーブルからレコードを削除できます。 デフォルト：read
Webサービスアクセスを許可	ブール	Web サービスがテーブルを呼び出せるかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：Web サービスはテーブルを呼び出すことができます。 • false：Web サービスはテーブルを呼び出せません。 デフォルト値：false
allowNewField	ブール	他のアプリケーションスコープから、テーブル上の新しいフィールドの設計時の構成を許可するかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：他のアプリケーションスコープから、テーブル上の新しいフィールドの設計時の構成を許可します。 • false：他のアプリケーションスコープから、テーブル上の新しいフィールドの設計時の構成を許可しません。 デフォルト値：false

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ (続く)

名前	タイプ	説明
allowUiActions	ブール	他のアプリケーションスコープから、テーブル上の UI アクションの設計時の構成を許可するかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：他のアプリケーションスコープから、テーブル上の UI アクションの設計時の構成を許可します。 • false：他のアプリケーションスコープから、テーブル上の UI アクションの設計時の構成を許可しません。 デフォルト値：false
allowClientScript	ブール	他のアプリケーションスコープから、テーブル上のクライアントスクリプトの設計時の構成を許可するかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：他のアプリケーションスコープから、テーブル上のクライアントスクリプトの設計時の構成を許可します。 • false：他のアプリケーションスコープから、テーブル上のクライアントスクリプトの設計時の構成を許可しません。 デフォルト値：false
audit	ブーリアン	テーブル内のすべてのレコードの作成、更新、削除を追跡するかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：テーブル内のすべてのレコードの作成、更新、削除を追跡します • false：テーブル内のすべてのレコードの作成、更新、削除を追跡しません。 デフォルト値：false
readOnly	ブール	ユーザーがテーブル内のフィールドを編集できるかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：ユーザーはテーブル内のフィールドを編集できません。 • false：ユーザーはテーブル内のフィールドを編集できます。 デフォルト値：false

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ (続く)

名前	タイプ	説明
テキストインデックス	ブール	検索エンジンがテーブル内のテキストにインデックスを付けるかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：テーブルのテキストにインデックスが付けられます。 • false：テーブルのテキストにインデックスは付けられません。 デフォルト値：false

attributes	オブジェクト	サポートされている辞書属性 [sys_schema_attribute] のキーと値のペア。たとえば、次のようになります。
		`attributes:`
		`  {`
		`  updateSyncCustom: Boolean,`
		`  nativeRecordLock: Boolean`
		`  }`
		詳細については、「辞書属性」を参照してください。

index	アレイ	テーブルのメタデータ XML にインデックスを生成する列参照のリスト。*element* プロパティの値は、*Column* オブジェクトで使用されるオブジェクトキーと一致する必要があります。
		
		データベースインデックスを使用すると、テーブルからデータにアクセスする速度が向上しますが、追加のストレージを使用するコストがかかります。
		`index: [`
		`  {`
		`  name: 'String',`
		`  element: 'String',`
		`  unique: Boolean`
		`  },`
		`  ...`
		`]`

自動番号	オブジェクト	テーブルの自動番号付け構成 [sys_number]。詳細については、「autoNumber オブジェクト」を参照してください。
スクリプト可能テーブル	ブール	テーブルが外部ソースから取得したデータを使用するリモートテーブルであるかどうかを示すフラグ。詳細については、「Remote tables」を参照してください。 有効な値： • true:テーブルはリモートテーブルです。 • false:テーブルはリモートテーブルではありません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ (続く)

名前	タイプ	説明
		デフォルト値：false
$override	オブジェクト	ServiceNow Fluent API に含まれていないフィールドを構成したり、既存のフィールドを上書きしたりするために提供されるフィールドとその値。 ⚠ 警告: タイプセーフは、 `$override` プロパティで構成されたフィールドには適用されません。 `$override: { field: value, ... }`

列の先行入力をサポートするには、 `Table` オブジェクトを、`name` プロパティと同じ名前でエクスポートされた変数にアサインします。

```
import { Table, StringColumn } from "@servicenow/sdk/core";
import { myFunction } from "../server/myFunction.js"

export const x_snc_example_to_do = Table({
    name: 'x_snc_example_to_do',
    label: 'My To Do Table',
    extends: 'task',
    schema: {
        status: StringColumn({ label: 'Status' }),
        deadline: StringColumn({
            label: 'Deadline',
            active: true,
            mandatory: false,
            readOnly: false,
            maxLength: 40,
            dropdown: 'none',
            attributes: {
                updateSync: false,
            },
            default: 'today',
            dynamicValueDefinitions: {
                type: 'calculated_value',
                calculatedValue: '',
            },
            choices: {
                choice1: {
                    label: 'Choice1 Label',
                    sequence: 0,
                    inactiveOnUpdate: false,
                    dependentValue: '5',
                    hint: 'hint',
                    inactive: false,
                    language: 'en',
                },
                choice2: { label: 'Choice2 Label', sequence: 1 },
```

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
        },
    }),
    dynamic1: StringColumn({
        dynamicValueDefinitions: {
            type: 'calculated_value',
            calculatedValue: myFunction,
        },
    }),
    dynamic2: StringColumn({
        dynamicValueDefinitions: {
            type: 'dynamic_default',
            dynamicDefault: `gs.info()`,
        },
    }),
    dynamic3: StringColumn({
        dynamicValueDefinitions: {
            type: 'dependent_field',
            columnName: 'status',
        },
    }),
    dynamic4: StringColumn({
        dynamicValueDefinitions: {
            type: 'choices_from_other_table',
            table: 'sc_cat_item',
            field: 'display',
        },
    }),
},
actions: ['create', 'read'],
display: 'deadline',
accessibleFrom: 'package_private',
allowClientScripts: true,
allowNewFields: true,
allowUiActions: true,
allowWebServiceAccess: true,
extensible: true,
liveFeed: true,
callerAccess: 'none',
autoNumber: {
    number: 10,
    numberOfDigits: 2,
    prefix: 'abc',
},
audit: true,
readOnly: true,
textIndex: true,
attributes: {
    updateSync: true,
},
index: [
    {
        name: 'idx',
        element: 'status',
        unique: true,
    },
```

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  ],
})
```

Column オブジェクト

テーブルに列 [sys_dictionary] を追加します。

Table オブジェクトのスキーマプロパティに *Column* オブジェクトを追加します。

フィールドタイプに基づく多くのタイプの列があります。Column オブジェクトは *<Type>Column* 形式で、*<Type>* はフィールドタイプです。フィールドタイプの詳細については、Field types reference を参照してください。

サポートされている列の種類は、*ListColumn*、*RadioColumn*、*StringColumn*、*ChoiceColumn*、*ScriptColumn*、*BooleanColumn*、*Cond* *TranslatedFieldColumn*、*GenericColumn*、*DateColumn*、*DateTimeColumn*、*CalendarDateTime*、*Basic* および *OtherDateColumn* です。

プロパティ

名前	タイプ	説明
ラベル	文字列またはアレイ	リスト見出しとフォームフィールドに表示される列の一意のラベル。 フィールドラベルは、文字列または ラベル オブジェクトのアレイとして指定できます。詳細については、「label オブジェクト」を参照してください。 デフォルト:カラムオブジェクトに使用されるキー
maxLength	番号	列の値の最大長。 長さが 254 未満のテキストフィールドは、1 行のテキストフィールドとして表示されます。255 文字以上になると、複数行のテキストボックスとして表示されます。 **注:** データが失われないようにするため、新しいアプリケーションを開発する場合にのみ文字列フィールドの長さを短くし、フィールドにデータが含まれているときは短くしないでください。 デフォルト:列のタイプによって異なります
アクティブ	ブール	リストとフォームにフィールドを表示するかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：フィールドを表示します。 • false：フィールドを非表示にします。 デフォルト：true
mandatory	ブーリアン	レコードを保存するためにフィールドに値が含まれている必要があるかどうかを示すフラグ。 有効な値：

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ (続く)

名前	タイプ	説明
		• true：フィールドに値が含まれている必要があります。 • false：フィールドは必須ではありません。 デフォルト値：false
readOnly	ブール	フィールド値を編集できるかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：値を変更することはできず、フィールドのデータが計算されて表示されます。 • false：フィールド値を変更できます。 デフォルト値：false
複数	文字列	フィールドラベルの複数形。
ヒント	文字列	フィールドラベルにカーソルを合わせたときにツールヒントとして表示される簡単な説明。
ヘルプ	文字列	フィールドに関する追加情報。ヘルプテキストは、テーブルのフォームビューまたはリストビューには表示されません。
ウィジェット	文字列	要素タイプのスタイル (選択リストの「ラジオ」など)。
テーブル参照	ブール	フィールドの値が別のテーブルへの参照であるかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true:フィールドの値は別のテーブルを参照します。 • false:フィールドの値は別のテーブルを参照しません。 デフォルト値：false
要素参照	ブール	このフィールドの値が要素タイプ、またはレコードに期待される動作を表しているかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true:値フィールドは要素タイプを示します。 • false:値フィールドは要素タイプを暗示しません。 デフォルト値：false
unique	ブール	フィールド値が一意である必要があるかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true:フィールド値は一意である必要があります。 • false:フィールド値は一意である必要はありません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ (続く)

名前	タイプ	説明
		デフォルト値：false
spellCheck	ブール	フィールドに対してスペルチェックを実行するかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true:フィールドのスペルチェックが実行されます。 • false:フィールドのスペルチェックは実行されません。 デフォルト値：false
xmlView	ブール	フィールド値を XML として表示するかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true:フィールド値は XML として表示されます。 • false:フィールド値は XML として表示されません。 デフォルト値：false
アレイ	ブール	このフィールドによってキャプチャされた情報を保存するために別のテーブルを作成するかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true:このフィールドの情報を格納する別のテーブルを作成します。 • false:このフィールドの情報を格納する別のテーブルを作成しません。 デフォルト値：false
テキストインデックス	ブール	フィールドのテキストにインデックスを付けて自然言語検索を有効にするかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true:フィールドはインデックス付きで検索可能です。 • false:フィールドはインデックス化されておらず、検索可能ではありません。 デフォルト値：false
プライマリ	ブール	フィールドがテーブルのプライマリキーであるかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true:フィールドはプライマリキーです。 • false:フィールドはプライマリキーではありません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ (続く)

名前	タイプ	説明
		デフォルト値：false
referenceTable		このフィールドによって参照されるテーブル このプロパティは、ReferenceColumn オブジェクトにのみ適用されます。
カスケードルール		レコードが削除されたときに、そのレコードを参照するレコードがどうなるかを構成します。 このプロパティは、ReferenceColumn オブジェクトにのみ適用されます。
referenceFloat	ブール	参照先テーブルのフォームに、現在のテーブルの関連リストに [編集] ボタンがある このプロパティは、ReferenceColumn オブジェクトにのみ適用されます。
動的作成スクリプト	文字列	フィールド値に基づいて、参照フィールドから新しいレコードを自動入力します このプロパティは、ReferenceColumn オブジェクトにのみ適用されます。
ダイナミッククリエーション	ブール	参照フィールドの参照が見つからない場合は、そのターゲットを作成できます このプロパティは、ReferenceColumn オブジェクトにのみ適用されます。
referenceKey	文字列	多対多の関係を設定します。指定された値は、関係を説明するラベルです。 このプロパティは、ReferenceColumn オブジェクトにのみ適用されます。
referenceQual	文字列	フィルター条件、参照値、または sys_filter_option_dynamic sys_idに基づくフィルター参照 このプロパティは、ReferenceColumn オブジェクトにのみ適用されます。
デフォルト	任意	レコード作成時のフィールドのデフォルト値。値は、列のタイプに基づいて正しいタイプを使用する必要があります。
choices	オブジェクト	列の選択肢 [sys_choice] のリスト。詳細については、「choices オブジェクト」を参照してください。 このプロパティは、選択肢列を拡張する *ChoiceColumn* オブジェクトと列タイプにのみ適用されます。これには、

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ (続く)

名前	タイプ	説明
		プリミティブ値のアレイまたは一連の選択肢オブジェクトを含めることができます。
attributes	オブジェクト	サポートされている辞書属性 [sys_schema_attribute] のキーと値のペア。たとえば、次のようになります。 `attributes: { updateSyncCustom: Boolean, nativeRecordLock: Boolean }` 詳細については、「辞書属性」を参照してください。
functionDefinition	文字列	数学演算、フィールド長の計算、曜日の計算など、フィールドが実行する関数の定義。 各定義は glidefunction: で始まり、実行される操作 (concat など)、関数パラメーターが続きます。定数は単一引用符で囲む必要があります。 たとえば、次の関数定義では、簡単な説明、空白、発信者名の順に示すフィールドが作成されます。 `functionDefinition: 'glidefunction:concat(short_description, ' ', caller_id.name)'` 関数定義の詳細については、「Function field」を参照してください。

動的値定義	オブジェクト	動的フィルターに基づいて動的に生成されるデフォルト値。ダイナミックデフォルトを指定するには、タイプと関連する動作キーの組み合わせを指定します。次のタイプがサポートされています：
		• dynamic_default:動的フィルターオプション [sys_filter_option_dynamic] テーブルから関数を指定します。詳細については、「Create a dynamic filter option」を参照してください。たとえば、次のようになります。
		`dynamicValueDefinitions: { type: 'dynamic_default', dynamicDefault: `gs.info()`, },`
		• dependent_field：同じテーブルから別の列名を指定します。たとえば、次のようになります。
		`dynamicValueDefinitions: { type: 'dependent_field', columnName: 'status', },`
		• calculated_value：値を計算するための関数を指定します。関数を JavaScript モジュールからインポート、ま

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ (続く)

名前	タイプ	説明

		たはインラインで定義できます。たとえば、次のようになります。
		`dynamicValueDefinitions: { type: 'calculated_value', calculatedValue: function, },`
		• choices_from_other_table：別のテーブルの列から選択肢を指定します。たとえば、次のようになります。
		`dynamicValueDefinitions: { type: 'choices_from_other_table', table: 'sc_cat_item', field: 'display', },`

ドロップダウン	文字列	テーブルのリストビューおよびフォームビューで選択肢のリストを表示する方法のオプション。このプロパティは、選択肢列を拡張する *`ChoiceColumn`* オブジェクトと列タイプにのみ適用されます。 有効な値： • none：選択肢は強制されません。 • dropdown_without_none: **--** なし **--** オプションのないメニュー。このオプションを選択する場合は、列の *`default`* プロパティを設定する必要があります。 • dropdown_with_none: **--** なし **--** オプションを含むメニュー。デフォルト値は **-- None --** です。 • suggestion：提案値のリストに選択肢が表示されます。 デフォルト：none
$override	オブジェクト	ServiceNow Fluent API に含まれていないフィールドを構成したり、既存のフィールドを上書きしたりするために提供されるフィールドとその値。 ⚠ 警告: タイプセーフは、 *`$override`* プロパティで構成されたフィールドには適用されません。 `$override: { field: value, ... }`

列名は、列定義とペアになったオブジェクトキーとして指定します。

```
schema: {
  deadline: DateColumn({ label: 'Deadline' }),
```

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  state: StringColumn({
    label: 'State',
    choices: {
      ready: { label: 'Ready' },
      completed: { label: 'Completed' },
      inProgress: { label: 'In Progress' },
    }
  }),
  task: StringColumn({ label: 'Task', maxLength: 120 }),
}
```

テーブル名にアプリケーションスコープが含まれない場合は、代わりに列名にプリフィックスとしてアプリケーションスコープを付ける必要があります。

```
schema: {
  x_scope_myColumn: StringColumn({...})
}
```

choices オブジェクト

テーブルの列の選択肢 [sys_choice] を構成します。

choices オブジェクトは、*Column* オブジェクト内のプロパティです。*Table* オブジェクトの *schema* プロパティで、サポートされている列タイプを含む *choices* オブジェクトを使用します。特定の列のタイプのみが、選択肢列のタイプ (*ChoiceColumn*) を拡張し、選択肢を含めることができます。

プロパティ

名前	タイプ	説明
label	文字列	必須。リスト内の選択肢で表示するテキスト。
dependentValue	文字列	*Column* オブジェクトの *dynamicValueDefinitions* プロパティの *dependentField* にマップする値。
ヒント	文字列	選択肢にカーソルを合わせたときにツールヒントとして表示される、選択肢の簡単な説明。
language	文字列	翻訳された選択肢の言語の BCP 47 コード。 デフォルト値：en
sequence	整数	選択肢のリスト内で選択が行われる順序。
inactive	ブーリアン	リストに選択肢を表示するかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：選択肢はリストに表示されません。 • false：選択肢がリストに表示されます。 デフォルト値：false
$override	オブジェクト	ServiceNow Fluent API に含まれていないフィールドを構成したり、既存のフィールドを上書きしたりするために提供されるフィールドとその値。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ (続く)

名前	タイプ	説明

		⚠ 警告:
		タイプセーフは、 *$override* プロパティで構成されたフィールドには適用されません。
		
		$override: {
		field: value,
		...
		}

choices オブジェクトには一連の choice オブジェクトが含まれ、選択肢の名前は choices 定義とペアになったオブジェクトキーとして指定します。

```
choices: {
  choice1: {
    label: 'Choice1 Label',
    sequence: 0,
    inactiveOnUpdate: false,
    dependentValue: '5',
    hint: 'hint',
    inactive: false,
    language: 'en',
  },
  choice2: { label: 'Choice2 Label', sequence: 1 },
}
```

label オブジェクト

テーブルまたは列のフィールドラベル [sys_documentation] を構成します。

label オブジェクトは、*Table* オブジェクトと *Column* オブジェクト内のプロパティです。

プロパティ

名前	タイプ	説明
言語	文字列	フィールドラベルの言語の BCP 47 コード。言語にはラベルを 1 つだけ含めることができるため、各言語は ラベル オブジェクトの配列内で一意である必要があります。
ラベル	文字列	指定された言語のフィールドラベルのテキスト。
ヒント	文字列	フィールドラベルにカーソルを合わせたときにツールヒントとして表示される簡単な説明。
ヘルプ	文字列	フィールドに関する追加情報。ヘルプテキストは、テーブルのフォームビューまたはリストビューには表示されません。
複数	文字列	フィールドラベルの複数形。
URL	文字列	フィールドに関する情報を提供する Web ページの URL。URL を指定すると、ラベルがハイパーリンクとして表示されます。
urlTarget	文字列	使用されていません (非推奨)。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ (続く)

名前	タイプ	説明
$override	オブジェクト	ServiceNow Fluent API に含まれていないフィールドを構成したり、既存のフィールドを上書きしたりするために提供されるフィールドとその値。 ⚠ 警告: タイプセーフは、 `$override` プロパティで構成されたフィールドには適用されません。 `$override: { field: value, ... }`

```
label: [
  {
    label: 'English description',
    language: 'en',
    hint: 'Provide a short description'
  },
  {
    label: 'Description de español',
    language: 'es'
  },
]
```

licensingConfig オブジェクト

テーブルのサブスクリプション数を追跡するライセンス構成 [ua_table_licensing_config] を作成します。

`licensingConfig` オブジェクトは、`Table` オブジェクト内のプロパティです。このプロパティが指定されていない場合、 `licenseModel` が none に設定されたデフォルトのライセンス構成がインスタンス上のテーブルに対して生成されます。

ℹ 注:
ライセンスモデルの指定は、独自の用途のためにカスタムアプリケーションをビルドする ServiceNow 顧客には適用されません。ライセンス モデルは、 ServiceNow Storeで再販可能なアプリケーションの使用を販売および監視するパートナーによってのみ使用されます。

プロパティ

名前	タイプ	説明
licenseModel	文字列	サブスクリプションの使用状況を追跡するためのモデル。 有効な値： • none:テーブルにライセンスは使用されません。 • 履行者:履行者/要求者の操作が追跡されます。このモデルは、ユーザーが要求を開き、履行者がそれに対処するアプリケーションに適用されます。フルフィルメントは、指定された一連の条件下で、アプリケーション内の 1 つ以上のキーテーブルのレコードに対して挿入、更

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ (続く)

名前	タイプ	説明
		新、および削除操作によって決定されます。詳細については、「フルフィルメントテーブル」を参照してください。 • producer:プロデューサー操作が追跡されます。このモデルは、ユーザーが要求者と履行者を識別せずにテーブルの挿入、更新、および削除操作を実行できるアプリケーションに適用されます。 デフォルト：none
licenseRole	アレイ	テーブル内のレコードに対する操作がサブスクリプションにカウントされるロールのリスト。
削除	ブール	プロデューサーモデルを持つテーブルのレコードを削除するためにサブスクリプションが必要かどうかを示すフラグ。 有効な値： • true:テーブル内のレコードを削除するには、サブスクリプションが必要です。 • false:テーブル内のレコードを削除するためにサブスクリプションは必要ありません。 デフォルト：true
opInsert	ブール	プロデューサーモデルを持つテーブルのレコードを挿入するためにサブスクリプションが必要かどうかを示すフラグ。 有効な値： • true:テーブルにレコードを挿入するには、サブスクリプションが必要です。 • false:テーブルにレコードを挿入するためのサブスクリプションは必要ありません。 デフォルト：true
更新	ブール	プロデューサーモデルを持つテーブルのレコードを更新するためにサブスクリプションが必要かどうかを示すフラグ。 • true:テーブルのレコードを更新するには、サブスクリプションが必要です。 • false:テーブル内のレコードを更新するためにサブスクリプションは必要ありません。 デフォルト：true
ライセンス条件	文字列	サブスクリプションに対する操作をカウントするための条件を決定するフィルター クエリ。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ (続く)

名前	タイプ	説明
		履行者モデルの場合は、ログインしているユーザーがレコードの履行者かどうかを判断する一連の条件を指定します。 プロデューサーモデルの場合は、レコードがサブスクリプションにカウントされるかどうかを決定する一連の条件を指定します。
ownerCondition	文字列	ユーザーが履行者モデルのレコードを所有しているかどうかを判断するフィルタークエリ。
isFulfillment	ブール	使用されていません (非推奨)。アプリケーションに登録していないユーザーによる更新を禁止するかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true:アプリケーションに登録していないユーザーは、テーブルを更新できません。 • false:アプリケーションに登録していないユーザーがテーブルを更新できます。 デフォルト値：false

$override	オブジェクト	ServiceNow Fluent API に含まれていないフィールドを構成したり、既存のフィールドを上書きしたりするために提供されるフィールドとその値。
		
		⚠ 警告:
		タイプセーフは、 `$override` プロパティで構成されたフィールドには適用されません。
		
		`$override: {`
		` field: value,`
		` ...`
		`}`

```
licensingConfig: {
  licenseModel: 'fulfiller',
  opInsert: false,
  licenseRoles: ['admin'],
}
```

autoNumber オブジェクト

テーブルの自動番号付け [sys_number] を構成します。

`autoNumber` オブジェクトは、`Table` オブジェクト内のプロパティです。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ

名前	タイプ	説明
prefix	文字列	テーブル内のすべてのレコード番号のプリフィックス。たとえば、インシデントの場合は INC です。 デフォルト：pre
number	整数	このテーブルの基本レコード番号。レコード番号は自動的にインクリメントされ、次の番号はカウンター [sys_number_counter] テーブルに保持されます。 ベース番号を現在のカウンターより大きい値に設定すると、次のレコード番号では新しいベース番号が使用されます。それ以外の場合は、次のレコード番号で現在のカウンターが使用されます。カウンターがそれ自体よりも小さいベース番号にリセットされることはありません。 デフォルト：1000
numberOfDigits	整数	プリフィックスの後に使用する最小桁数。 必要に応じて、自動番号に先行ゼロが追加されます。たとえば、INC0001001 には 3 つの先行ゼロが含まれています。桁数が最小長を超えることがあります。たとえば、*`numberOfDigits`* が 2 で、テーブルに 99 を超えるレコードが作成された場合、番号は 100 を超えて継続します (INC101 など)。 ⚠ 警告: このフィールドを変更して、テーブルの既存レコードのすべての番号値を更新できます。本番インスタンスでこのフィールドを変更する場合は注意が必要です。 デフォルト値：7

$override	オブジェクト	ServiceNow Fluent API に含まれていないフィールドを構成したり、既存のフィールドを上書きしたりするために提供されるフィールドとその値。
		
		⚠ 警告:
		タイプセーフは、 *`$override`* プロパティで構成されたフィールドには適用されません。
		
		`$override: {`
		` field: value,`
		` ...`
		`}`

```
autoNumber: {
   prefix: 'TODO',
   number: 2000,
   numberOfDigits: 9,
}
```

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テーブルで数値を使用するには、数値をデフォルト値として使用する数値列を作成する必要があります。たとえば、次のようになります。

```
number: IntegerColumn({
  default: 'javascript:getNextObjNumberPadded();'
})
```

UI アクション API - ServiceNow Fluent

UI アクション API は、フォームやリストのボタン、リンク、コンテキストメニューアイテムなどのカスタムユーザーインターフェイス (UI) アクション [sys_ui_action] を定義します。

UI アクションの一般的な情報については、「Create a UI action」を参照してください。

関連情報

ServiceNow Fluent

UiAction オブジェクト

フォームに表示する UI アクション [sys_ui_action] を作成します。

プロパティ

名前	タイプ	説明
$id	文字列または数値	必須。メタデータオブジェクトの一意の ID。アプリケーションをビルドすると、この ID は一意のsys_idにハッシュされます。 形式: Now.ID['string' or number]
table	文字列	必須。UI アクションが利用可能なテーブルの名前。 デフォルトでは、選択したテーブルを拡張するテーブルに UI アクションも表示されます。たとえば、タスクアクションはインシデントテーブルに表示されます。値を グローバル に設定すると、すべてのテーブルでアクションを使用できるようになります。
名前	文字列	必須。ボタン、リンク、またはコンテキストメニューアイテムに表示されるテキスト。名前は、指定したテーブル内で一意である必要があります。
actionName	文字列	スクリプトで UI アクションを参照するときに使用する一意の名前。
アクティブ	ブール	UI アクションが有効かどうかを示すフラグ。 有効な値： • true:UI アクションが表示され、実行されます。 • false:UI アクションは非表示になります。 デフォルト：true
フォーム	オブジェクト	フォームでの UI アクションの表示方法に関するオプション。詳細については、「フォームオブジェクト」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ (続く)

名前	タイプ	説明
リスト	オブジェクト	UI アクションがリストビューにどのように表示されるかのオプション。詳細については、「リストオブジェクト」を参照してください。
クライアント	オブジェクト	ブラウザーでスクリプトを実行するためのオプション。詳細については、「クライアントオブジェクト」を参照してください。
ワークスペース	オブジェクト	ワークスペースで UI アクションがどのように機能し、表示されるかのオプション。詳細については、「ワークスペースオブジェクト」を参照してください。
overrides	文字列または参照	UI アクションが上書きする別の UI アクションの名前または変数識別子。
showInsert	ブール	新しいレコードが挿入される前にボタンを表示するかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true:ボタンは、挿入前のレコードに表示されます。 • false:挿入されていないレコードにはボタンは表示されません。 デフォルト値：false
showUpdate	ブール	既存のレコードにボタンを表示するかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true:ボタンは既存のレコードに表示されます。 • false:ボタンは既存のレコードには表示されません。 デフォルト：true
showQuery	ブール	フィルタークエリが適用されたときに UI アクションがリストに表示されるかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true:フィルタークエリが適用されると、UI アクションが表示されます。 • false:UI アクションは表示されません。フィルタークエリが適用されています。 デフォルト値：false
showMultipleUpdate	ブール	複数のレコードが選択されているときにボタンを表示するかどうかを示すフラグ。 有効な値：

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ (続く)

名前	タイプ	説明
		• true:複数のレコードが選択されている場合、ボタンが表示されます。 • false:複数のレコードが選択されている場合、ボタンは表示されません。 デフォルト値：false
ステータス	文字列	スクリプトを実行するために true でなければならないフィールドと値を指定する JavaScript 条件ステートメント。 **注:** • スクリプトプロパティに条件ステートメントを含める場合は、このプロパティを使用しないでください。 • 現在のオブジェクトは、リストコンテキストメニューの条件に使用できません。リストの *showContextMenu* プロパティが true の場合、これらのアクションでの current の使用は無視されます。 • 関連リストボタンの UI アクション条件の親レコードを参照できます。たとえば、クローズした変更の [影響を受ける CI] 関連リストで [新規] ボタンと [編集] ボタンを無効にするには、グローバル m2m UI アクションを task_ci テーブルにコピーして、*parent.active* の条件を追加します。 • 条件ステートメントで指定したフィールドの 1 つを空のままにすると、その条件はデフォルトで true になります。 Format (形式)： • 別のファイルのテキストコンテンツを使用するには、Now.include('path/to/file') の形式を使用してアプリケーション内のファイルを参照します。 • インラインスクリプトを指定するには、複数行のコードに文字列リテラルまたはテンプレートリテラル (「スクリプト」または「スクリプト」) を使用します。
スクリプト	スクリプト	UI アクションの実行時に実行されるクライアント側またはサーバー側のスクリプト。関数名は一意である必要があります。 このプロパティは、インライン JavaScript またはスクリプトを含むアプリケーション内の別のファイルへの参照をサポートします。 Format (形式)：

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ (続く)

名前	タイプ	説明
		• 別のファイルのテキストコンテンツを使用するには、Now.include('path/to/file') の形式を使用してアプリケーション内のファイルを参照します。 • インラインスクリプトを指定するには、複数行のコードに文字列リテラルまたはテンプレートリテラル (「スクリプト」または「スクリプト」) を使用します。
コメント	文字列	UI アクションに関する内部メモ。
メッセージ	文字列	UI アクションが、メッセージ [sys_ui_message] テーブルからローカライズされた代替メッセージを検索するためのキーとして使用できるテキスト文字列。[メッセージ] フィールドの個別の行にある各メッセージキー。 インスタンスは、メッセージ文字列がメッセージフィールドのキーと一致する *getmessage('[message]')* 呼び出しを行うたびに、ローカライズされたメッセージ文字列を探します。詳細については、「クライアントスクリプトメッセージの翻訳」を参照してください。
ヒント	文字列	UI アクションにカーソルを合わせたときにツールヒントとして表示される簡単な説明。
順序	番号	UI アクションが表示される順番。ボタンには左から右へ、メニューアクションには上から下への順番が適用されます。 デフォルト：100
分離スクリプト	ブール	スクリプトが strict モードで実行され、直接 DOM、jQuery、prototype、および window オブジェクトへのアクセスがオフになっているかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：スクリプトを分離し、strict モードで実行しません。 • false：スクリプトを strict モードで実行します。 デフォルト値：false
ロール	アレイ	適用する UI アクションに必要な ロール オブジェクトの変数識別子のリストまたはロールの名前。詳細については、「ロール API - ServiceNow Fluent」を参照してください。
includeInView	アレイ	UI アクションが含まれているビューの名前のリスト。
excludeFromView	アレイ	UI アクションが除外されるビューの名前のリスト。
$meta	オブジェクト	アプリケーションメタデータのメタデータ。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ (続く)

名前	タイプ	説明
		installMethod プロパティを使用すると、特定の状況でのみロードされる出力ディレクトリにアプリケーションメタデータをマップできます。 `$meta: { installMethod: 'String' }` *installMethod* の有効な値: • demo: [デモデータのロード] オプションが選択されている場合に、アプリケーションとともにインストールされる metadata/unload.demo ディレクトリにアプリケーションメタデータを出力します。 • 初回インストール:アプリケーションがインスタンスに初めてインストールされたときにのみインストールされる メタデータ/アンロード ディレクトリにアプリケーションメタデータを出力します。
$override	オブジェクト	ServiceNow Fluent API に含まれていないフィールドを構成したり、既存のフィールドを上書きしたりするために提供されるフィールドとその値。 ⚠ 警告: タイプセーフは、 *$override* プロパティで構成されたフィールドには適用されません。 `$override: { field: value, ... }`

```
import { UiAction } from '@servicenow/sdk/core'

UiAction({
    $id: Now.ID['car_info'],
    table: 'x_snc_ts_custom_cars',
    actionName: 'Car Information',
    name: 'View car info',
    active: true,
    showInsert: true,
    showUpdate: true,
    hint: 'View car info',
    condition: "current.type == 'SUV'",
    form: {
        showButton: true,
        showLink: true,
        showContextMenu: false,
        style: 'destructive',
    },
    list: {
        showLink: true,
```

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    style: 'primary',
    showButton: true,
    showContextMenu: false,
    showListChoice: false,
    showBannerButton: true,
    showSaveWithFormButton: true,
  },
  workspace: {
    isConfigurableWorkspace: true,
    showFormButtonV2: true,
    showFormMenuButtonV2: true,
    clientScriptV2: `function onClick(g_form) {
                }`,
  },
  script: `current.name =  "updated by script";
          current.update();`,
  roles: ['u_requestor'],
  client: {
    isClient: true,
    isUi11Compatible: true,
    isUi16Compatible: true,
    },
  order: 100,
  showQuery: false,
  showMultipleUpdate: false,
  isolateScript: false,
  includeInViews: ['specialView'],
  excludeFromViews: [],
})
```

フォームオブジェクト

UI アクションがフォームにどのように表示されるかを構成します。

フォームオブジェクトは、*UiAction* オブジェクト内のプロパティです。

プロパティ

名前	タイプ	説明
表示ボタン	ブール	フォームにボタンを含めるかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true:フォームにボタンが表示されます。 • false:ボタンはフォームに表示されません。 デフォルト値：false
showLink (リンク表示)	ブール	フォームの [関連リンク] セクションにリンクを含めるかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true:[関連リンク] セクションにリンクが表示されます。 • false:リンクは [関連リンク] セクションに表示されません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ (続く)

名前	タイプ	説明
		デフォルト値：false
showContextMenu	ブール	フォームのコンテキストメニューにアイテムを含めるかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true:アイテムがコンテキストメニューに表示されます。 • false:アイテムはコンテキストメニューに表示されません。 デフォルト値：false
style	文字列	フォーム上での UI アクションボタンの表示方法を定義するスタイル。 有効な値： • プライマリ:UI アクションを青色にします。 • destructive:UI アクションを赤色にします。 • unstyled:UI アクションはスタイル指定されません。

$meta	オブジェクト	アプリケーションメタデータのメタデータ。
		
		`installMethod` プロパティを使用すると、特定の状況でのみロードされる出力ディレクトリにアプリケーションメタデータをマップできます。
		
		`$meta: {`
		`  installMethod: 'String'`
		`}`
		
		`installMethod` の有効な値:
		• demo: [デモデータのロード] オプションが選択されている場合に、アプリケーションとともにインストールされる metadata/unload.demo ディレクトリにアプリケーションメタデータを出力します。
		• 初回インストール:アプリケーションがインスタンスに初めてインストールされたときにのみインストールされる メタデータ/アンロード ディレクトリにアプリケーションメタデータを出力します。

$override	オブジェクト	ServiceNow Fluent API に含まれていないフィールドを構成したり、既存のフィールドを上書きしたりするために提供されるフィールドとその値。
		
		⚠ 警告:
		タイプセーフは、 *`$override`* プロパティで構成されたフィールドには適用されません。
		
		`$override: {`
		` field: value,`

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ (続く)

名前	タイプ	説明
		... }

```
form: {
  showButton: true,
  showLink: true,
  showContextMenu: false,
  style: 'destructive',
}
```

リストオブジェクト

リストビューでの UI アクションの表示方法を設定します。

`リスト`オブジェクトは、*`UiAction`* オブジェクト内のプロパティです。

プロパティ

名前	タイプ	説明
表示ボタン	ブール	リストの下部にボタンを含めるかどうかを示すフラグ。 **注:** リストの下部にあるボタンは、条件に関係なく表示され、実行時にレコードごとに評価されます。 有効な値： • true:ボタンがリストの下部に表示されます。 • false:ボタンはリストの下部に表示されません。 デフォルト値：false
showLink (リンク表示)	ブール	リストの [関連リンク] セクションにリンクを含めるかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true:[関連リンク] セクションにリンクが表示されます。 • false:リンクは [関連リンク] セクションに表示されません。 デフォルト値：false
showContextMenu	ブール	リストのコンテキストメニューにアイテムを含めるかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true:アイテムがコンテキストメニューに表示されます。 • false:アイテムはコンテキストメニューに表示されません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ (続く)

名前	タイプ	説明
		デフォルト値：false
style	文字列	リストビューでの UI アクションボタンの表示方法を定義するスタイル。 有効な値： • プライマリ:UI アクションを青色にします。 • destructive:UI アクションを赤色にします。 • unstyled:UI アクションはスタイル指定されません。
showListChoice	ブール	リストの [アクション] リストに選択肢を含めるかどうかを示すフラグ。 注: [アクション] リストの選択肢は条件に関係なく表示され、実行時にレコードごとに評価されます。 有効な値： • true:選択肢が [アクション] リストに表示されます。 • false:選択肢は [アクション] リストに表示されません。 デフォルト値：false
バナーボタンを表示	ブール	リストのバナーにボタンを含めるかどうかを示すフラグ。 注: リストのバナーにあるボタンは、レコード固有の条件をサポートすることを意図したものではありません。リストにボタンを表示するかどうかを決定するために条件が評価されるとき、最初の行のみが考慮されます。`current.getValue('state') === 'closed'` などのレコード固有の条件は使用しないでください。 有効な値： • true:リストのバナーにボタンが表示されます。 • false:ボタンはリストのバナーに表示されません。 デフォルト値：false
showSaveWithFormButton	ブール	UI アクションボタンを実行する前にリストからアクセスしたときに、フォームを保存するかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true:UI アクションを実行する前に、フォームを保存する必要があります。 • false:UI アクションを実行する前にフォームを保存する必要はありません。 デフォルト値：false

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ (続く)

名前	タイプ	説明

$meta	オブジェクト	アプリケーションメタデータのメタデータ。
		
		installMethod プロパティを使用すると、特定の状況でのみロードされる出力ディレクトリにアプリケーションメタデータをマップできます。
		
		`$meta: {`
		`  installMethod: 'String'`
		`}`
		
		installMethod の有効な値:
		
		• demo: [デモデータのロード] オプションが選択されている場合に、アプリケーションとともにインストールされる metadata/unload.demo ディレクトリにアプリケーションメタデータを出力します。
		• 初回インストール:アプリケーションがインスタンスに初めてインストールされたときにのみインストールされるメタデータ/アンロード ディレクトリにアプリケーションメタデータを出力します。

$override	オブジェクト	ServiceNow Fluent API に含まれていないフィールドを構成したり、既存のフィールドを上書きしたりするために提供されるフィールドとその値。
		
		⚠ 警告:
		タイプセーフは、 *$override* プロパティで構成されたフィールドには適用されません。
		
		`$override: {`
		` field: value,`
		` ...`
		`}`

```
list: {
  showButton: true,
  showLink: true,
  showContextMenu: false,
  style: 'primary',
  showListChoice: false,
  showBannerButton: true,
  showSaveWithFormButton: true,
}
```

クライアントオブジェクト

ブラウザーで UI アクションスクリプトを実行するためのオプションを設定します。

`クライアント` オブジェクトは、*UiAction* オブジェクト内のプロパティです。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ

名前	タイプ	説明
isClient	ブール	UI アクションスクリプトが実行される場所を示すフラグ。 有効な値： • true:スクリプトはクライアント (ユーザーのブラウザー) で実行されます。 • false:スクリプトはサーバーで実行されます。 デフォルト値：false
isUi11Compatible	ブール	UI アクションが従来の UI 11 でサポートされているかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true:UI アクションは従来の UI 11 でサポートされています。 • false:UI アクションは従来の UI 11 ではサポートされていません。 デフォルト値：false
isUi16Compatible	ブール	UI アクションがコア UI でサポートされているかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true:UI アクションはコア UI でサポートされています。 • false:UI アクションはコア UI ではサポートされていません。 デフォルト値：false
クリック時	文字列	UI アクションを実行したときに実行される JavaScript 関数の名前。関数は *script* プロパティで定義されます。

$meta	オブジェクト	アプリケーションメタデータのメタデータ。
		
		installMethod プロパティを使用すると、特定の状況でのみロードされる出力ディレクトリにアプリケーションメタデータをマップできます。
		
		`$meta: {`
		`  installMethod: 'String'`
		`}`
		
		installMethod の有効な値:
		• demo: [デモデータのロード] オプションが選択されている場合に、アプリケーションとともにインストールされる metadata/unload.demo ディレクトリにアプリケーションメタデータを出力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ (続く)

名前	タイプ	説明
		• 初回インストール:アプリケーションがインスタンスに初めてインストールされたときにのみインストールされるメタデータ/アンロード ディレクトリにアプリケーションメタデータを出力します。
$override	オブジェクト	ServiceNow Fluent API に含まれていないフィールドを構成したり、既存のフィールドを上書きしたりするために提供されるフィールドとその値。 ⚠ 警告: タイプセーフは、 `$override` プロパティで構成されたフィールドには適用されません。 `$override: { field: value, ... }`

```
client: {
  isClient: true,
  isUi11Compatible: true,
  isUi16Compatible: true,
  onClick: 'reopenIncident()'
}
```

ワークスペースオブジェクト

ワークスペースで UI アクションがどのように機能し、表示されるかを構成します。

`ワークスペース`オブジェクトは、`UiAction` オブジェクト内のプロパティです。

プロパティ

名前	タイプ	説明
isConfigurableWorkspace	ブール	UI アクションが適用されるワークスペースのタイプを示すフラグ。 有効な値： • true:UI アクションは構成可能ワークスペースに適用されます。 • false:UI アクションは従来のワークスペースに適用されます。 デフォルト値：false
showFormButtonV2	ブール	ワークスペースのフォームにボタンを含めるかどうかを示すフラグ。 有効な値：

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ (続く)

名前	タイプ	説明
		• true:フォームにボタンが表示されます。 • false:ボタンはフォームに表示されません。 デフォルト値：false
showFormMenuButtonV2	ブール	ワークスペースの [その他のアクション] メニューにアイテムを含めるかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true:アイテムが [その他のアクション] メニューに表示されます。 • false:アイテムは [その他のアクション] メニューに表示されません。 デフォルト値：false
clientScriptV2	文字列	ワークスペースで UI アクションが実行されるときに実行されるスクリプト。 このプロパティは、インライン JavaScript またはスクリプトを含むアプリケーション内の別のファイルへの参照をサポートします。 Format (形式)： • 別のファイルのテキストコンテンツを使用するには、`Now.include('path/to/file')` の形式を使用してアプリケーション内のファイルを参照します。 • インラインスクリプトを指定するには、複数行のコードに文字列リテラルまたはテンプレートリテラル (`「スクリプト」` または `「スクリプト」`) を使用します。
$meta	オブジェクト	アプリケーションメタデータのメタデータ。 `installMethod` プロパティを使用すると、特定の状況でのみロードされる出力ディレクトリにアプリケーションメタデータをマップできます。 `$meta: { installMethod: 'String' }` `installMethod` の有効な値: • demo: [デモデータのロード] オプションが選択されている場合に、アプリケーションとともにインストールされる metadata/unload.demo ディレクトリにアプリケーションメタデータを出力します。 • 初回インストール:アプリケーションがインスタンスに初めてインストールされたときにのみインストールされるメタデータ/アンロード ディレクトリにアプリケーションメタデータを出力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ (続く)

名前	タイプ	説明
$override	オブジェクト	ServiceNow Fluent API に含まれていないフィールドを構成したり、既存のフィールドを上書きしたりするために提供されるフィールドとその値。 ⚠ 警告: タイプセーフは、 `$override` プロパティで構成されたフィールドには適用されません。 `$override: { field: value, ... }`

```
workspace: {
  isConfigurableWorkspace: true,
  showFormButtonV2: true,
  showFormMenuButtonV2: true,
  clientScriptV2: `function onClick(g_form) {
  }`,
}
```

UI ページ API - ServiceNow Fluent

UI ページ API は、フォーム、ダイアログ、リスト、およびその他の UI コンポーネントを表示するカスタムユーザーインターフェイスページ [sys_ui_page] を定義します。

UI ページは Web ページとして表示され、ウィジェットに追加してダッシュボードで使用できます。UI ページの一般的な情報については、「 UI pages」を参照してください。

UI ページ API を使用して単純な React アプリケーションを開発できます。src/client ディレクトリに、ページの HTML、クライアントスクリプト、およびスタイルを定義するスタティックコンテンツファイルを追加します。*UiPage* オブジェクトから、ページの HTML エントリポイント (index.html) を参照します。詳細については、「Reactによるユーザーインターフェース開発」を参照してください。

関連情報

ServiceNow Fluent

UiPage オブジェクト

カスタムユーザーインターフェイスの UI ページ [sys_ui_page] を作成します。

プロパティ

名前	タイプ	説明
$id	文字列または数値	必須。メタデータオブジェクトの一意の ID。アプリケーションをビルドすると、この ID は一意のsys_idにハッシュされます。 形式: Now.ID['string' or number]

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ (続く)

名前	タイプ	説明
endpoint	文字列	必須。Web ページにアクセスするためのエンドポイント。エンドポイントの値にスペースを含めることはできません。 形式: `<scope>_<ui_page_name>.do`
説明	文字列	ユーザーインターフェイスとその目的の説明。
直接	ブール	UI ページの標準の HTML、CSS、および JavaScript を省略するかどうかを示すフラグ。React UI ページの場合は、このプロパティを true に設定します。 有効な値： • true:標準の HTML、CSS、および JavaScript を省略し、ページにカスタム CSS と JavaScript を提供します。 • false:標準の HTML、CSS、および JavaScript を含めます。 デフォルト値：false
html	文字列	ページが表示されるときにレンダリングされる内容を定義する本文の HTML コード。静的 XHTML、Jelly として定義された動的に生成されたコンテンツを含めるか、またはスクリプトインクルードと UI マクロを呼び出すことができます。このプロパティは、React 開発用の index.html ファイルをインポートするエイリアス、HTML を含むアプリケーション内の別のファイルへの参照、またはインライン JavaScript をサポートします。 **注:** React 開発とインポートされた HTML では、*`UiPage`* オブジェクトの *`html`* プロパティは一方向の同期のみをサポートします。ソースコードで UI ページの HTML を定義した後、HTML がソースコードの外部で変更された場合、それらの変更は同期されず、ソースコードに反映されません。 Format (形式)： • React を使用した UI 開発用に以前のビルドから index.html ファイルをインポートするエイリアス。エイリアスは任意の値にすることができ、*`UiPage`* オブジェクトを含むnow.tsファイルにもインポートする必要があります。import <alias> from 'path/to/index.html' 。 • 別のファイルのテキストコンテンツを使用するには、Now.include('path/to/file') の形式を使用してアプリケーション内のファイルを参照します。 • インライン HTML を提供するには、複数行のコードに文字列リテラルまたはテンプレートリテラルを使用します: 「HTML」または「HTML」。
カテゴリ	文字列	UI ページのタイプ。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ (続く)

名前	タイプ	説明
		有効な値： • general:ページは汎用です。 • ホームページ:このページはホームページとして使用されます。 • htmleditor:ページは HTML コンテンツを挿入するために使用されます。 • kb:ページは ナレッジベースで使用されます。 • cms:このページはコンテンツ管理システム (CMS) で使用されます。 • catalog:ページは サービスカタログで使用されます。
clientScript	スクリプト	ボタンによって呼び出される関数など、ブラウザで実行されるスクリプト。このスクリプトは、ページがロードされた後にフィールドやその他のインタラクティブな DHTML 機能にフォーカスを設定するなど、必要なクライアント側の処理を行います。 このプロパティは、インライン JavaScript またはスクリプトを含むアプリケーション内の別のファイルへの参照をサポートします。 UI ページのクライアントスクリプトは <![CDATA[<script>]]> タグ内でブラウザーに展開されるため、HTML フィールド内で同様にコンテンツを定義できます。代わりに *clientScript* プロパティを使用してこれらのスクリプトを簡潔に定義し、Jelly および HTML の管理性を維持することができます。 Format (形式)： • 別のファイルのテキストコンテンツを使用するには、Now.include('path/to/file') の形式を使用してアプリケーション内のファイルを参照します。 • インラインスクリプトを指定するには、複数行のコードに文字列リテラルまたはテンプレートリテラル (「スクリプト」または「スクリプト」) を使用します。
processingScript	スクリプト	ページが送信されたときにサーバー上で実行されるスクリプト。ページに <g:ui_form/> または <g:form/> タグで定義されたフォームがある場合に便利です。 このプロパティは、JavaScript モジュールの関数、スクリプトを含むアプリケーション内の別のファイルへの参照、またはインライン JavaScript をサポートします。 Format (形式)： • 関数には、JavaScript モジュールからエクスポートされた関数、関数式、またはデフォルト関数の名前を使用して、 .now.ts ファイルにインポートします。JavaScript モジュールの詳細については、「JavaScript モジュールとサードパーティライブラリ」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ (続く)

名前	タイプ	説明
		• 別のファイルのテキストコンテンツを使用するには、Now.include('path/to/file') の形式を使用してアプリケーション内のファイルを参照します。 • インラインスクリプトを指定するには、複数行のコードに文字列リテラルまたはテンプレートリテラル (「スクリプト」または「スクリプト」) を使用します。
$meta	オブジェクト	アプリケーションメタデータのメタデータ。 *installMethod* プロパティを使用すると、特定の状況でのみロードされる出力ディレクトリにアプリケーションメタデータをマップできます。 `$meta: { installMethod: 'String' }` *installMethod* の有効な値: • demo: [デモデータのロード] オプションが選択されている場合に、アプリケーションとともにインストールされる metadata/unload.demo ディレクトリにアプリケーションメタデータを出力します。 • 初回インストール:アプリケーションがインスタンスに初めてインストールされたときにのみインストールされるメタデータ/アンロード ディレクトリにアプリケーションメタデータを出力します。
$override	オブジェクト	ServiceNow Fluent API に含まれていないフィールドを構成したり、既存のフィールドを上書きしたりするために提供されるフィールドとその値。 ⚠ 警告: タイプセーフは、 *$override* プロパティで構成されたフィールドには適用されません。 `$override: { field: value, ... }`

このReactによるUI開発の例では、ページのHTMLをsrc/clientディレクトリのindex.htmlファイルからインポートしています。

```
//incident-manager.now.ts
import '@servicenow/sdk/global'
import { UiPage } from '@servicenow/sdk/core'
import incidentPage from '../../client/index.html'

UiPage({
    $id: Now.ID['incident-manager-page'],
    endpoint: '<scope>_incident_manager.do',
    description: 'Incident Response Manager UI Page',
```

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    category: 'general',
    html: incidentPage,
    direct: true,
})
```

index.html ファイルでは、<![CDATA[<script>]]> タグは、コンポーネントコードを含む src/client ディレクトリ内の main.jsx ファイルを参照します。

```
//index.html
<html>
<head>
  <title>Incident Response Manager</title>

  <!-- Initialize globals and Include ServiceNow's required scripts -->
  <sdk:now-ux-globals></sdk:now-ux-globals>

  <!-- Include your React entry point -->
  <script src="./main.jsx" type="module"></script>
</head>
<body>
  <div id="root"></div>
</body>
</html>
```

ガイド付きアプリケーションクリエーター

ガイド付きアプリケーションクリエーター は、ServiceNow AI Platform® でアプリケーションを構築するための直感的な開発インターフェイスです。最初のアプリケーションビルドをガイドするステップバイステップのプロセスを提供します。

重要:
2026 年第 1 四半期のオーストラリアリリースまでサポートされる従来のアプリ作成ツールにたどり着きました。代わりに、新しいバージョンの ServiceNow スタジオ でアプリをビルドおよび編集してみてください。詳細については、「ServiceNow スタジオ およびレガシー製品」と「ServiceNow スタジオ」を参照してください。

サービスクリエーター

サービスクリエーターは、HR 部門が今後の教育のための授業料払い戻しを提供するといったサービスカタログを通じて部門がカスタムサービスを提供するのを可能にします。

重要:
Zurich リリース以降、サービスクリエーターは将来の廃止に向けて準備されています。これは非表示になり、新しいインスタンスではアクティブ化されなくなりますが、引き続きサポートされます。廃止プロセスの詳細については、Now Support ナレッジベースの 廃止プロセス [KB0867184] の記事を参照してください。

代わりに、 クリエータースタジオ でアプリをビルドおよび編集します。詳細については、「クリエータースタジオ でのアプリのビルド」を参照してください。

発行された各サービスには、関連するレコードプロデューサのカタログアイテムがあります。アドミニストレーターとして指定されたユーザーとエディターは、これらのカタログアイテムを生成し設計します。エンドユーザーは、カタログアイテムを注文することによってサービスを要求できます。

すべてのサービスは、関連するアプリケーションとモジュールがある発行されているサービスカテゴリに属しています。ユーザーがサービスのカタログアイテムを注文すると、ServiceNowシステムは、そのサービスカテゴリのアプリケーション内に新しいタスクレコードを作成します。部門のサー

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ビス実行者として指定されたユーザーは、これらのサービス要求を満たすためのタスクを完了します。

サービスクリエーターのプロセス

サービスクリエータープロセスには、サービスカテゴリの要求と発行、エディターとサービス履行者の指定、サービスの作成と発行、サービス要求の提出と実行が含まれます。

サービスカテゴリを要求して発行する

ユーザー (通常は部門マネージャー) は、部門のサービスカテゴリを要求できます。このユーザーは、サービスカテゴリに関する名前、部署、マネージャーなどのサービスカテゴリに関する高度な情報を提供します。

カタログアドミニストレーターは、サービスカテゴリを発行する要求を承認し、ServiceNowカテゴリに関連付けられたサービス要求を管理するためのアプリケーションを作成し、アプリケーションのシステムコンポーネントを作成することができます。

エディターとサービス履行者を指定する

サービスカテゴリが発行されると、関連付けられたマネージャーはエディターとサービス履行者を指定します。エディターは、そのサービスカテゴリ内のサービスを作成および変更できます。サービス提供者は、サービス要求によって生成されたタスクを完了できます。

マネージャー、エディター、およびサービス履行者は、サービスカテゴリが属する部門のメンバーとします。

サービスの作成と発行

マネージャーとエディターは、サービスカテゴリ内でサービスを作成します。サービスデザインインターフェイスは、サービスの作成および変更のための作業領域を提供します。

サービスが完了すると、マネージャーはサービスをサービスカタログに発行します。

サービス要求を提出し、履行する

エンドユーザーは、サービスカタログ要求を提出することで、発行されたサービスを要求できます。この要求によって、サービスカテゴリアプリケーション内に新しいタスクレコードが作成されます。サービス履行者は、サービス要求を満たすためのタスクを完了する。

関連情報

サービスクリエーター

サービスクリエーターをアクティブ化する

サービスクリエータープラグインがまだ有効になっていない場合、アドミニストレーターはアクティブにしてアプリケーションにアクセスする必要があります。

始める前に
必要なロール：admin

手順

1. 移動先 すべて > システムアプリケーション > 利用可能なすべてのアプリケーション > すべて.
2. フィルター基準と検索バーを使用してプラグインを検索します。

   名前または ID でプラグインを検索できます。プラグインが見つからない場合は、ServiceNow 担当者から要求する必要があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

3. [インストール] を選択して、インストールプロセスを開始します。

> **注:**
> ドメインセパレーションと代理アドミンがインスタンスで有効になっている場合、管理ユーザーはグローバルドメインに含まれている必要があります。それ以外の場合、次のエラーが表示されます： 「別の操作が実行されているため、アプリケーションのインストールは利用できません： <プラグイン名> のプラグインの有効化 (Application installation is unavailable because another operation is running: Plugin Activation for <plugin name>)」

インストールが完了するとメッセージが表示されます。プラグインとともにインストールされるコンポーネントの詳細については、「 アプリケーションとともにインストールされているコンポーネントの検索」を参照してください。

サービスクリエーターと共にインストール

いくつかのタイプのコンポーネントがサービスクリエーターとともにインストールされています。

デモデータはサービスクリエーター とともに入手できます。デモデータは部門サービスのサービスカタログカテゴリを提供します。

新しいサービスカテゴリを作成すると、そのサービスカテゴリのコンポーネントも作成されます。

以下のコンポーネントがサービスクリエーターに追加されます：

テーブル

サービスクリエーター

テーブル	説明
サービスカテゴリー [catalog_category_request]	すべてのサービスカテゴリを保存します。
サービスカテゴリ要求ユーザー [catalog_category_request_user]	サービスカテゴリの履行者を追跡します。これらのレコードを使用して、必要に応じてロールを付与または削除します。
サービス [sc_cat_item_producer_service]	すべてのサービスを保存します。
サービスカテゴリーア プリケーションメニュー [service_category_app_menu]	各サービスカテゴリのアプリケーションメニューを保存します。
サービスカテゴリーのユーザーロール [service_category_user_role]	サービスカテゴリのエディターであるためにロールを付与されたユーザーを追跡します。

UI アクション

UI アクション	説明
カテゴリとテーブルの作成	要求されたサービスカテゴリを承認し、そのカテゴリのシステムコンポーネントを作成します。
カテゴリの公開を要求	サービスクリエーターがカテゴリを発行するように要求します。
新規サービスを作成	このサービスカテゴリに新しいサービスを作成します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

UI アクション	説明
テーブル定義を表示	サービスカテゴリーのタスクテーブル定義[sys_db_object]を開きます。
タスクリストを表示	このサービスカテゴリに関連付けられたタスクのリストを表示します。

UI ポリシー

UI ポリシー	説明
期限を隠す	要求ありの状態または期限日が空の場合、サービスカテゴリフォームの期限日フィールドを非表示にします。
空白の場合カテゴリを非表示にする	サービスカテゴリフォームでカテゴリフィールドが空白の場合は非表示にします。
発行済みの表示	状態が作成済みだが未発行または発行準備が整っている場合は、[サービスカテゴリー]フォームの[発行済み] フォームのチェックボックスを表示します。
テーブル名を非表示にする	テーブルが値を持つ場合、サービスカテゴリフォームでテーブルを表示し、テーブル名を非表示にします。
カテゴリ名を隠す	状態が要求ありまたは拒否されている場合、サービスカテゴリフォームに名前を表示しません。
テーブル名読み取り専用	サービスカテゴリフォームで状態が要求無しの場合部門とテーブルの名前を読取りのみにします。
エディターを隠す	状態が要求有りまたは拒否の場合、サービスカテゴリフォームのエディターフィールドを非表示にします。

プロパティ

プロパティ	説明
glide.citizen_developer.category.auto_publish	新しいサービスカテゴリを作成すると、部門サービスカテゴリのサブカテゴリとしてサービスカタログに自動的に追加されます。 • タイプ：true|false • デフォルト値：true • 場所：システムプロパティ [sys_properties] テーブル
glide.citizen_developer.set_category_roles	新しいサービスのカテゴリを設定できるロールのリスト (コンマ区切り形式) • タイプ：文字列 • デフォルト値：admin および catalog_admin • 場所：システムプロパティ [sys_properties] テーブル
glide.service_creator.auto_add_to_category	新しいサービスは部門固有のカテゴリに加えて部門サービスカタログカテゴリに自動的に追加します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ	説明
	• タイプ：true|false • デフォルト値：true • 場所：システムプロパティ [sys_properties] テーブル

スクリプトインクルード

スクリプトインクルード	説明
serviceCategoryIsUnpublished	サービスカテゴリが未発行の場合に true を返すグローバル関数です。
getMyCatalogCategories	現在のユーザーがマネージャーまたはエディターであるカテゴリのリストを返すグローバル関数です。

クライアントスクリプト

クライアントスクリプト	説明
重複カテゴリ名の確認	要求されたサービスカテゴリが既存のサービスカテゴリと同じ名前である場合に、サービスカテゴリ要求フォームに警告を表示します。
テーブル名を修正	サービスカテゴリ要求フォームで有効なテーブル名を保証します。
ドラフトサービスを非表示	必要に応じて、サービスカテゴリ要求フォームのドラフトサービス関連リストを非表示にします。
テーブル名を提案する	サービスカテゴリ要求フォームで新しいサービスカテゴリ要求に有効なテーブル名を提案します。
カテゴリ発行済み	サービスカテゴリ要求フォームで[発行済み]を選択すると、ヘルプメッセージを表示します。
履行者を非表示にする	必要に応じて、サービスカテゴリリクエストフォームで履行者関連リストを非表示にします。
エディター メッセージ	適切な場合、フィールドのヘルプメッセージを表示します。
その他のテーブルメッセージ	選択した部門の既存のサービスカテゴリテーブルに関する情報を提供します。
状態メッセージ	フィールドのヘルプメッセージを表示します。

ビジネスルール

ビジネスルール	説明
サービス問合せ	catalog_adminロールを持たないユーザが、マネージャーまたはエディターのサービスカテゴリー内でサービスレコードを見るのを制限します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ビジネスルール	説明
新規サービス	新しいsc_cat_item_producer_serviceレコードが作成されたときにメッセージを表示します。
テーブル名は必須	サービスカテゴリ要求が承認前に有効なテーブル名を持つことを保証します。
履行者のロールを削除する	あるカテゴリからサービスを削除したときに、サービス履行者から関連するロールを削除します。
カテゴリ要求問合せ	catalog_admin ロールを持たないユーザを、マネージャーやエディターのサービスカテゴリーレコードを表示することを制限します。
エディターのロール	サービスカテゴリエディターから関連するロールを追加および削除します。
すべてのユーザーロールを削除	適切な時にサービスカテゴリエディターから関連するロールを削除します。
カテゴリ発行済み	サービスカテゴリ要求フォームで[発行済み]チェックボックスがオンになっているときに、状態をカタログに発行済みに設定します。
空白の場合はサービス名を追加する	何も提供されていない場合は、サービス名を埋めます。
部門サービスカテゴリを追加	部門サービスサービスカタログカテゴリに新しいサービスを追加します。
デフォルトの遂行ユーザー	受託人が指定されていない場合、カテゴリマネージャーをサービスタスクの受託人とします。
抹消されたドラフトサービスの数	フィールドヘルプメッセージを生成します。
カタログカテゴリ要求認可済み	新しいサービスカテゴリを使用するために必要なコンポーネントを作成します。
マネージャーロール	カテゴリマネージャーに関連するロールを付与します。
新しいサービスの処方	新しいサービスの処方を入力して、アサイン先グループまたはユーザーを設定します。
getDepartmentUsers	部門のユーザーを返します。
項目問合せの草稿	catalog_adminロールを持たないユーザを、その者がマネージャーまたはエディターであるドラフトサービスレコードを表示することを制限します。
履行者ロールの付与	サービス実施者に関連するロールを付与します。
部門名称をスクラッチパッド	フィールドヘルプメッセージを生成します。
スクラッチパッド	フィールドヘルプメッセージを生成します。
部門の他のテーブル	フィールドヘルプメッセージを生成します。
単一カテゴリから単一カタログを設定する	新しいサービスの既定のカタログを作成します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

メール通知

サービスクリエーターの電子メール通知

名前	説明
発行されたサービスカテゴリ	カテゴリの要求が承認されたときにサービスカテゴリのマネージャーに通知します。
拒否されたサービスカテゴリ	カテゴリの要求が拒否されたときにサービスカテゴリのマネージャーに通知します。
サービスカテゴリ要求挿入済み	新しいカテゴリ要求が作成されたときにカタログアドミニストレーターに通知します。
サービスカテゴリ作成済み	カテゴリが作成されると、サービスカテゴリのマネージャーに通知します。
サービスカテゴリの発行が要求された	カテゴリの発行が要求されたときにカタログアドミニストレーターに通知します。
サービスカテゴリの要求	新しいカテゴリ要求が作成されたときに、サービスカテゴリのマネージャーに通知する。

新しいサービスカテゴリと共に作成されたコンポーネント

サービスクリエーターアプリケーションを使用して新しいサービスカテゴリを発行すると、ServiceNowシステムは、そのカテゴリのサービスのコンポーネントを作成します。

これらのコンポーネントは、サービスクリエーターアプリケーションとともにインストールされるコンポーネントとは区別されます。新しいサービスカテゴリごとに、次のコンポーネントが追加されます。

新しいサービスカテゴリで作成されたテーブル

名前	説明
<部門名>タスク[<サービスカテゴリーテーブル名>]	サービスカテゴリの要求タスクレコードを格納するテーブル。このテーブルはタスクテーブルを拡張します。このテーブルの名前は、サービスカテゴリが関連付けられている部門およびサービスカテゴリレコードのそのテーブル名フィールドによって定義します。ユーザーがこのテーブルのレコードにアクセスできるように、新しいアプリケーションメニューとモジュールが作成されます。このテーブルのレコードは、新しい番号[sys_numbers]レコードを使用して番号が付けられます。

新しいサービスカテゴリで作成されたユーザーロール

ロール	説明
<service category table name>_user	サービスカテゴリの要求レコードにアクセスするために必要なユーザーロールです。サービスカテゴリのテーブル名によりロールの名前が決まります。サービスカテゴリのマネージャー、エディター、またはサービス履行者として指定されたユーザーは、自動的にこのロールを受け取ります。このロールを持つユーザーだけがサービスカテゴリのタスクレコードを割り当てられます。ACLは、このロールを持つユーザーが関連するサービスタスクテーブルにアクセスできるように作成します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

新しいサービスカテゴリで作成された電子メール通知

名前	説明
グループにコメントされたタスク	ユーザーがコメントを追加したときにサービスタスクレコードが割り当てられたことをグループに通知します。
受託人に対してコメントされたタスク	ユーザーがコメントを追加したときに割り当てられるサービスタスクレコードをユーザーに通知します。
グループに対して閉じられたタスク	レコードが閉じられたときにサービスタスクレコードが割り当てられたことをグループに通知します。
受託人のために注意されたタスク	ユーザーが作業メモを追加したときに割り当てられたサービスタスクレコードをユーザーに通知します。
グループに割り当てられたタスク	レコードがそのグループに割り当てられたときに、サービスタスクレコードが割り当てられていることをグループに通知します。
受託人に割り当てられたタスク	レコードがそのユーザーに割り当てられたときに割り当てられるサービスタスクレコードをユーザーに通知します。
グループに対して注意されたタスク	ユーザーが作業メモを追加したときにサービスタスクレコードが割り当てられたことをグループに通知します。
受託人に閉じられたタスク	レコードが閉じられたときに割り当てられたサービスタスクレコードをユーザーに通知します。
ユーザー用に開かれたタスク	レコードが作成されたときにサービスタスクレコードを開いたことをユーザーに通知します。
ユーザーに対して閉じられたタスク	レコードが閉じられたときにサービスタスクレコードを開いたことをユーザーに通知します。
ユーザー宛てコメントされたタスク	ユーザーがコメントを追加したときにサービスタスクレコードを開いたことをユーザーに通知します。

自動翻訳

新しいサービスカテゴリで作成されたフォーム

名前	説明
<部門名>タスク	サービスカテゴリの要求タスクレコードを表示するためのフォーム。デフォルトでは、このフォームはサービスに関する質問と要求ユーザーが提供する回答を表示するためのフォーマッタを含むレイアウトを用います。

サービスカタログカテゴリー

名前	説明
<サービスカテゴリー名>	サービスカテゴリ内で作成された新しいサービスのデフォルトのサービスカタログカテゴリです。

サービスクリエーターのロール

サービスクリエーターアプリケーションは、特定のロールを使用します。

ユーザーごとのサブスクリプション管理の詳細については、「Managing per-user subscriptions in Subscription Management」を参照し、アカウント担当者にお問い合わせください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ロール

ロール名 [名前]	**Description** (説明)
[service_category_user] [service_category_table_name_user]	サービスカテゴリの要求レコードにアクセスします。サービスカテゴリのテーブル名により、ロールの名前が決まります。サービスカテゴリのマネージャー、エディター、またはサービス履行者として指定されたユーザーは、自動的にこのロールを受け取ります。
カタログアドミニストレーター [catalog_admin]	サービスカテゴリとサービスを作成、編集、発行し、テンプレート通知などの通知を作成および編集します。カタログアドミニストレーターは、主にサービスカテゴリ要求の承認を担当します。
カタログマネージャー [catalog_manager]	サービスを作成、編集、発行し、エディターとサービス履行者を指定します。サービスカテゴリのアドミニストレーターとして指定されたユーザーは、このロールを自動的に受け取ります。
カタログ エディター [catalog_editor]	サービスを作成および編集します。サービスカテゴリのエディターとして指定されたユーザーは、このロールを自動的に受け取ります。

サービスを管理する

部門アドミニストレーターは、サービスクリエーターを使用して、新しいサービスカテゴリを要求し、そのカテゴリのエディターとサービス提供者を指定し、サービスを作成し発行できます。

このタスクについて

エディターはサービスを作成して変更します。サービス履行者は、サービス要求から生成されたタスクを完了します。

サービスカテゴリの要求には、通常、要求を行う部門マネージャーであるサービスカテゴリマネージャーを割り当てる必要があります。要求が提出された後、カタログアドミニストレーターはサービスカテゴリの発行要求を承認します。カテゴリが発行されると、サービスカテゴリマネージャーはサービスカテゴリエディターおよびサービス履行者を割り当て、サービスカタログで提供するサービスを作成できます。

新しいサービスカテゴリを要求するには：

手順

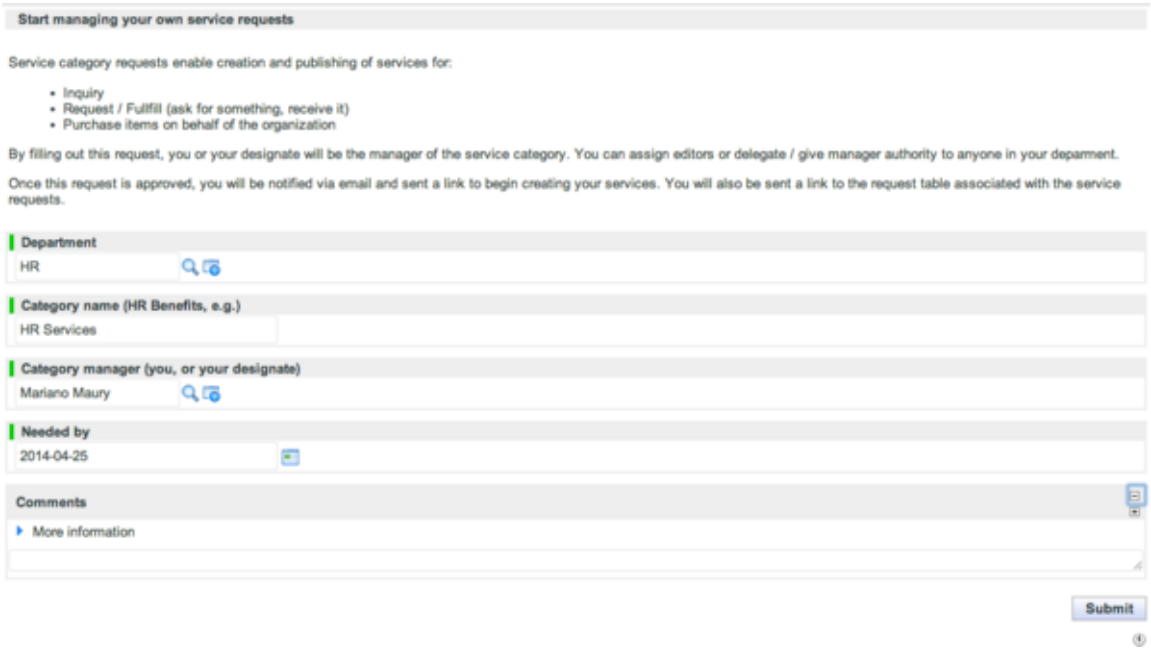
1. 移動先 すべて > セルフサービス > サービスカタログ.
2. 部門サービスカテゴリをを選択します。

   部門サービスカテゴリはサービスクリエーターが利用できるデモデータの一部です。このカテゴリが存在しない場合、カタログアドミニストレーターはサービスカテゴリリクエストカタログアイテムを既存のカテゴリに追加します。

3. サービスカテゴリリクエスト項目を選択します。
4. 必要に応じてデフォルト値を変更します(テーブルを参照ください)。
5. [送信] をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



サービスの管理

フィールド	説明
部門	このカテゴリ要求する部門。デフォルトでは、この値は現ユーザーの部門です。この値を変更すると、種別名そしてカテゴリマネージャーの値も変更します。
カテゴリ名	新しいサービスカテゴリの名前。デフォルトでは、ServiceNowは部門値に基づいた名前を用います。
カテゴリマネージャー	新しいサービスカテゴリに指定されたマネージャー。デフォルトでは、ServiceNowは選択した部門のマネージャーを使用します。
要求者：	新しいサービスカテゴリが利用可能になる日付。
コメント	サービスカテゴリを説明する追加のコメント。この情報は、サービスカテゴリフォームのレコード入力として表示されます。

自動翻訳

設計サービス

サービスクリエーターは、サービスを設計するためのインターフェイスを含みます。

このインターフェイスを使用すると、サービスカテゴリマネージャーとエディターは、サービスの作成と発行、およびサービスの詳細の編集を行えます。

すべてのサービスは、サービスカテゴリに属している必要があります。部門またはグループに既存のサービスカテゴリがない場合は、そのカテゴリのサービスを設計する前に新しいサービスカテゴリを作成する必要があります。

通知テンプレートを追加

テンプレート通知を追加します。

手順

1. 移動先 すべて > サービスクリエーター > 通知テンプレート.
2. [**New**] をクリックします。
3. 提出時フィールドで、イベントが起動を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

4. イベント名フィールドで、 **ccr**テンプレート を選択します。
5. その他の通知の詳細を入力します。
6. [送信] をクリックします。

   新しいテンプレート通知によって、その時点以降に発行されたすべてのサービスカテゴリの通知が作成される。

通知設定

すべてのサービスカテゴリは、サービス要求を満たすタスクが割り当てられたときの通知など、一連の関連する通知から始まります。

で定義された通知 サービスクリエーター > 通知テンプレート モジュールは、ユーザーが新しいサービスカテゴリを作成するときにコピーされます。

テンプレート通知は、新しいサービスカテゴリが承認または拒否されたときの通知など、サービスクリエーター アプリケーション自体の通知とは区別されます。サービスクリエーターアプリケーションの通知は、 サービスクリエーター > 通知.

システムアドミニストレーターは、テンプレート通知を追加および削除できます。

カテゴリとテーブルの作成

要求が提出された後、カタログアドミニストレーターは要求を承認または拒否できます。

このタスクについて

要求を承認すると、サービスカテゴリ用の新しいテーブルが作成され、カテゴリ名をアプリケーションラベルとして用い、アプリケーションナビゲーターにアプリケーションが追加され、そしてサービスカテゴリの 状態をカタログに発行と設定します。

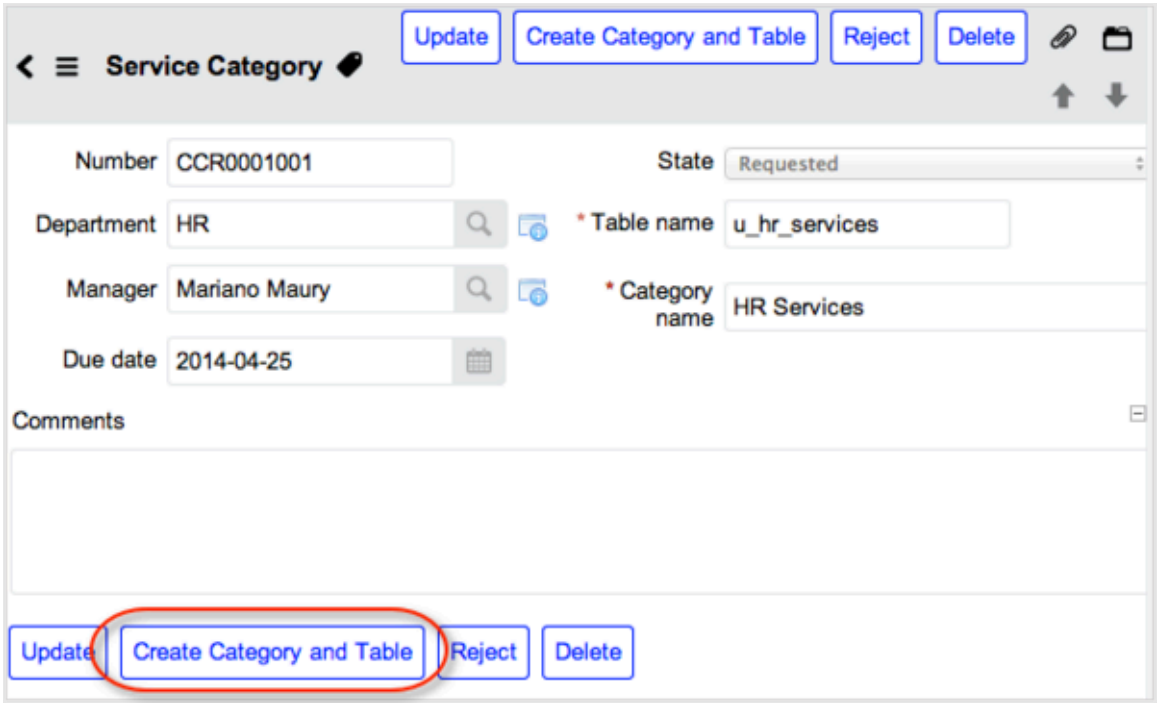
手順

1. 移動先 すべて > サービスクリエーター > カテゴリ要求.
2. *State* の値が *Requested* のレコードを開きます。
3. 要求されたサービスカテゴリを確認します。ServiceNow は *Department* に基づいて提案された *Table name* を提供します。
   指定したカテゴリ名またはテーブル名を持つサービスカテゴリが存在する場合は、そのフィールドの下にメッセージが表示されます。これらのフィールドには一意の値を使用します。
4. カテゴリとテーブルを作成するをクリックして要求を承認するまたは拒否します。

   インスタンスに対して通知が有効になっている場合、サービスカテゴリ *Manager* に対して承認または却下が通知されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



サービスカテゴリを発行した後、新しいテーブルにアクセスするには、アプリケーションナビゲーターで新しいアプリケーションに移動するか、サービスカテゴリフォームの [タスクリストを表示] 関連リンクをクリックします。

関連情報

サービスを管理する

テンプレート通知を削除する

テンプレート通知を削除すると、新しいサービスカテゴリで通知が使えなくなりますが、すでに作成されたサービスカテゴリの通知は削除されません。

手順

1. 移動先 すべて > サービスクリエーター > 通知テンプレート.
2. 通知レコードを選択します。
3. [削除] をクリックします。
4. **OK**をクリックして確認する。

エディターを指定

エディターは、サービスカテゴリ内のサービスを作成および変更できます。

このタスクについて

エディターは自動的にcatalog_editorロールを受け取ります。

サービスカテゴリマネージャーは、発行されたサービスカテゴリのエディターを指定できます。

手順

1. 移動先 すべて > サービスクリエーター > 自分のサービスカテゴリ.
2. `State` の値が `Published to Catalog` のレコードを選択します。

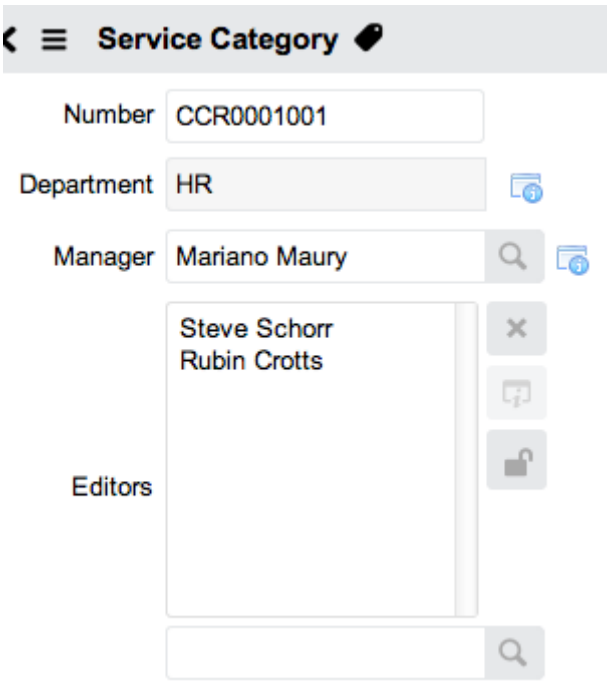
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

3. *Editors* フィールドの横にあるロックアイコンをクリックします。
4. 参照ルックアップアイコンを使用してエディターとして指定するユーザーを選択します。

   適切な部門のユーザーのみが選択できます。
5. すべてのエディターを追加すると、更新をクリックします。

   エディターはカタログ エディターのロールを受け取ります。



自動翻訳

サービス履行者を指定する

サービス履行者は、サービスカテゴリに対して提出されたサービスリクエストを完了できます。

このタスクについて

サービス提供者は、割り当てられたサービスカテゴリのアプリケーションにアクセスできますが、サービスクリエーターアプリケーションにはアクセスできません。

サービスカテゴリフォームのサービスの遂行関連リストは、そのサービスカテゴリの履行者として割り当てられたすべてのユーザーが表示されます。サービスカテゴリマネージャーは、サービスカテゴリのサービス履行者を指定できます。

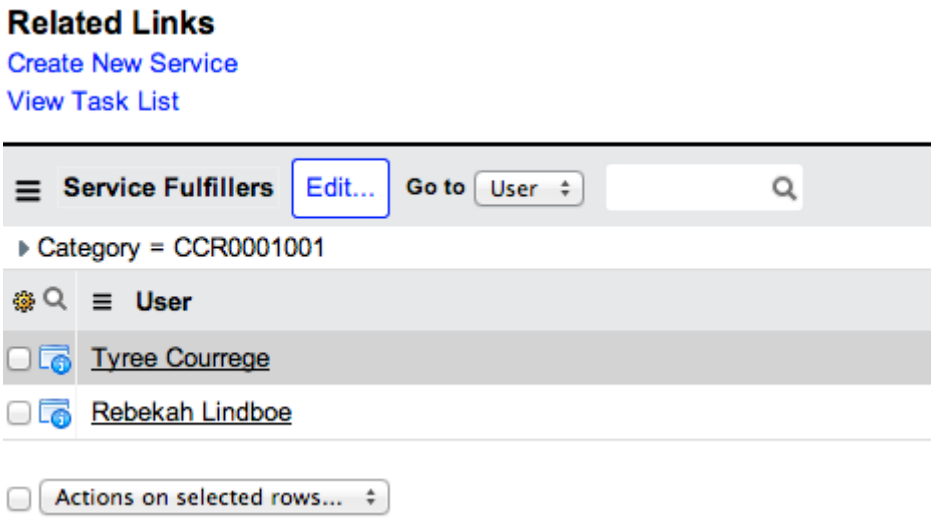
手順

1. 移動先 すべて > サービスクリエーター > 自分のサービスカテゴリ.
2. *State* が *Published to Catalog* のサービスカテゴリを選択します。
3. *Service Fulfillers* 関連リストで、[編集] をクリックします。
4. スラッシュバケットを使用して、適切なサービス履行者を追加します。

   適切な部門のユーザーのみが選択できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

5. [保存] をクリックします。



サービス要求を履行する

エンドユーザーは、サービスカタログを通じて発行されたサービスを要求できます。

このタスクについて

ユーザーがサービスを要求すると、ServiceNowシステムは、そのサービスカテゴリの新しいタスクを作成します。サービス履行者は、要求を遂行するためにこれらのタスクを完了します。

新しい要求タスクは、*Fulfillment Group* または *Fulfillment User* サービス設定で指定されたグループまたはユーザーに自動的にアサインされます。遂行グループまたはユーザーが設定されていない場合、新しいレコードがサービスカテゴリマネージャーに割り当てられます。

特定のサービスに関する質問と要求元ユーザーが入力した回答は、実行タスクレコードの *Variables* セクションに表示されます。

手順

1. 移動先 すべて > **<サービスアプリケーション>** > 自分にアサイン済み.
2. レコードを選択します。
3. 提示された情報を確認します。
4. 部門の方針と手順に従ってタスクを完了します。
5. サービス要求レコードの *State* を *Closed Complete* に設定します。
6. [更新] をクリックします。

サービスを発行する

サービスは、サービスカタログに表示されるように発行する必要があります。最初に作成されると、サービスカテゴリのドラフトサービス関連リストに新しいサービスが表示されます。発行されたサービスは、サービスカテゴリのサービス関連リストに表示されます。サービスカテゴリのマネージャーは、サービスのドラフトを発行できます。

手順

1. 移動先 すべて > サービスクリエーター > 自分のサービスカテゴリ.
2. ステータスが *Published to Catalog* のサービスカテゴリを選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

3. サービスカテゴリフォームで、ドラフトサービス関連リストにあるサービスを右クリックします。
4. [公開] を選択します。

従来 - ServiceNow Studio

ServiceNow スタジオ は、アプリケーション開発者がカスタムアプリケーションを一元化された場所で開発できるようにするための、統合開発環境 (IDE) に似たインターフェイスを提供します。タブ付き環境でアプリケーションファイルを簡単に作成、レビュー、更新することができます。

重要:
Xanadu リリース以降、ServiceNow スタジオ の 従来 バージョンは将来の廃止に向けて準備されています。これは非表示になり、新しいインスタンスではアクティブ化されなくなりますが、引き続きサポートされます。廃止プロセスの詳細については、Now Support ナレッジベースの 廃止プロセス [KB0867184] の記事を参照してください。

代わりに、現在のバージョンの ServiceNow スタジオ でアプリをビルドおよび編集してみてください。詳細については、「ServiceNow スタジオ」を参照してください。

カスタムアプリケーションを編集するたびに 、新しい ServiceNow スタジオ アプリケーションが開きます。

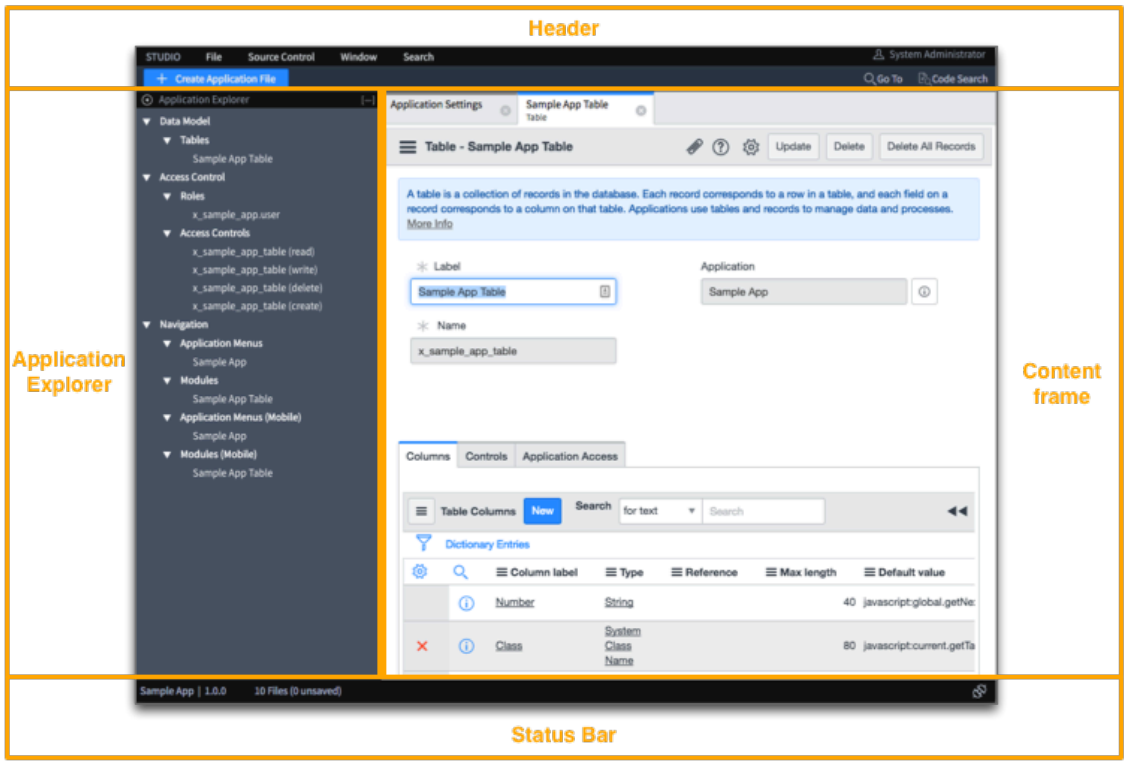
機能

- アプリケーションとアプリケーションアーティファクトを作成します。
- コード検索を実行します。
- ソースコントロールと連携する
- 他の組織に属するアプリケーションを保存するために、会社用のカスタマイズを作成します。
- 仮想エージェントデザイナーを使用して、仮想エージェントとユーザー間の会話の詳細計画であるトピックを作成および管理します。ユーザーが一般的な作業の問題を解決するのに役立つトピックを設計したり、セルフサービスのタスクを通してサポートしたりできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スタジオ

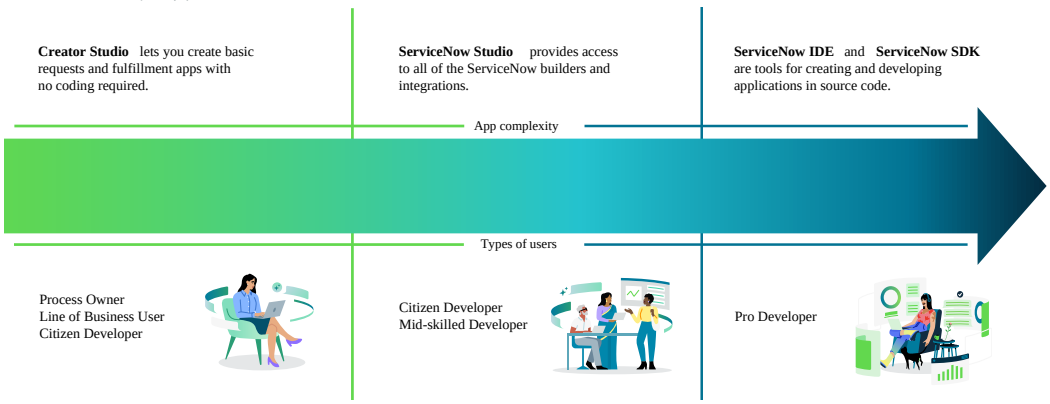


スタジオによって、アプリケーション開発者は次のことができます。

- アプリケーションエクスプローラでアプリケーションにどのファイルが含まれているかを正確に確認する。
- アプリケーションファイルの作成インターフェイスだけを用いてアプリケーションに新しいファイルを追加する。
- 行くダイアログで使い慣れた検索名またはタイプ別の動作を使用してファイルにナビゲートする。
- コード検索ツールを用いてアプリケーションの内部と外部の両方のコードを捜す。
- タブ付きインターフェイスを使用して複数のファイルを一度に操作する。
- 複数のスタジオウィンドウを使用して複数のアプリケーションを一度に操作する。
- 会社のインスタンスまたは ServiceNow Store にアプリケーションを公開します。
- 現在のアプリケーションに関する情報を [ステータスバー] に表示します。

アプリの作成に使用すべきビルダー

ビルダーの種類



© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

コードなしで簡単にアプリをビルドしたい場合

クリエータースタジオ は、コードを書かずに要求を履行するアプリケーションの作成を支援することに特化しています。たとえば、フォームに入力して事務用品を要求するアプリケーションで、誰かが要求を承認または拒否するなどです。詳細については、「クリエータースタジオ の探索」を参照してください。

より一般的なアプリが必要だけれどローコードオプションが必要な場合

App Engine Studio を使用すると、プログラミングのプロでなくても、クリエータースタジオ よりも幅広いアプリをビルドできます。詳細については、「App Engine Studio の探索」を参照してください。

一元化されたユーザーインターフェイスでより詳細に制御したい開発者の場合

新しい ServiceNow スタジオにより、アプリをよりスマートに構築し、より迅速に提供できます。ServiceNow スタジオ は、プラットフォーム開発者が ServiceNow AI Platformに基づいて構築するための最新の統一された環境を開発者に提供します。 ServiceNow スタジオ は、アプリケーションとメタデータへの簡素化されたナビゲーション、統合されたローコードツール、開発プロセスを加速し、生産性を向上させる開発作業の効率的な追跡とパッケージ化を備えています。詳細については、「ServiceNow スタジオ の探索」を参照してください。

業界標準の開発ツールやプロセスを使用したい開発者の場合

ServiceNow IDE と ServiceNow SDK は、ServiceNow Fluent を使用したソースコードでのアプリケーション開発、JavaScript モジュールの作成、およびサードパーティライブラリの使用をサポートしています。ServiceNow Fluent は、コードでアプリケーションメタデータを作成するためのドメイン固有のプログラミング言語です。

ServiceNow IDE は、ServiceNow AI Platform 上の Visual Studio Code for the Web の実装です。ServiceNow SDK は Visual Studio Code Desktop をローカルで使用します。詳細については、「ソースコードでアプリケーションをビルドする」を参照してください。

スタジオ **UI** の操作

スタジオ **UI** の構成要素

UI 要素	説明
ヘッダー	メニューとコントロールを表示します。
ファイルメニュー	アプリケーション固有のオプションのリストを含みます。 • ファイルを作成 • ソースコントロールからインポート • アプリケーションを作成 • 発行 • 設定 • スイッチ • 開発者管理 • スクリプトデバッガーを起動

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スタジオ **UI** の構成要素 (続く)

UI 要素	説明
ソースコントロールメニュー	ソースコントロールオプションのリストを含みます。 • ソースコントロールにリンク • リポジトリ構成を編集 • リモート変更を適用 • 変更を収容 • ローカルな変更を隠す • 分岐を切り替え • 分岐を作成 • タグを作成 • しまいこみを管理 • 履歴を表示
ウィンドウメニュー	タブ管理オプションのリストを含みます。 • 現在のタブを閉じる • すべてのタブを閉じる • 他のタブを閉じる • 未変更のタブを閉じる
検索メニュー	検索オプションのリストを含みます。 • 移動 • コード検索
ユーザー名	ヘッダーには現在のユーザー名が表示されます。
アプリケーションファイルを作成	開発者はアプリケーションファイルをアプリケーションに追加できます。
移動	アプリケーションファイルを名前またはタイプで検索します。
コード検索	アプリケーションファイル内でテキスト文字列を検索します。検索オプションは次のとおりです。 • 検索を特定のテーブルに制限 • 全てのアプリケーションを含める
アプリケーションエクスプローラー	アプリケーションファイルのリストをタイプ別に表示します。アプリケーションエクスプローラのサイズを変更すると、アプリケーションファイルの詳細を表示したり、コンテンツフレームのスペースを増やしたりできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スタジオ **UI** の構成要素 (続く)

UI 要素	説明
すべて折りたたむ	アプリケーションエクスプローラ内のすべてのノードを折りたたみます。
すべて展開	アプリケーションエクスプローラ内のすべてのノードを展開します。
データモデル > テーブル	アプリケーション表のリスト テーブル名をクリックすると、コンテンツフレームで表示および編集ができます。
アクセス制御	次のようなアプリケーションアクセス要素のリスト • ロール • アクセスコントロール レコード名をクリックすると、コンテンツフレームで表示および編集ができます。
ナビゲーション	次のようなアプリケーションのナビゲーション要素のリスト： • アプリケーションメニュー • モジュール • アプリケーションメニュー **(Mobile)** • モジュール **(Mobile)** レコード名をクリックすると、コンテンツフレームで表示および編集ができます。
コンテンツフレーム	各レコードの詳細フォームを独自のタブに表示します。
スタジオ にようこそ	キーボードショートカットのリスト。
タブ	各タブには、レコード名とファイルタイプで特定される特定のアプリケーションファイルレコードが含まれています。 タブをクリックすると、レコードの表示および編集ができます。 青い丸のアイコンのタブは、そのレコードに未保存の変更があることを示します。
ステータスバー	アプリケーションとソースコントロールのデータ連携についての情報を表示
アプリケーション名	ステータスバーは 現在のアプリケーション の名前を表示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スタジオ **UI** の構成要素 (続く)

UI 要素	説明
アプリケーションのバージョン	ステータスバーは現在のアプリケーションのバージョンを表示します。
総ファイル数	ステータスバーは、アプリケーションファイルの総数を表示します。
未保存のファイル	ステータスバーは、保存されていない変更のあるアプリケーションファイルの現在数を表示します。
ソースコントロールのデータ連携ステータス	ステータスバーは、ソースコントロールの統合の現状を示すアイコンを表示する。

関連情報

コンテキスト開発環境

従来 **- ServiceNow** スタジオへのアクセス

アプリケーション開発者は、ServiceNow スタジオ にアクセスしてアプリケーションを作成、インポート、または開きます。

始める前に

重要:
Xanadu リリース以降、ServiceNow スタジオ の 従来 バージョンは将来の廃止に向けて準備されています。これは非表示になり、新しいインスタンスではアクティブ化されなくなりますが、引き続きサポートされます。廃止プロセスの詳細については、Now Support ナレッジベースの 廃止プロセス [KB0867184] の記事を参照してください。

代わりに、現在のバージョンの ServiceNow スタジオ でアプリをビルドおよび編集してみてください。詳細については、「ServiceNow スタジオ」を参照してください。

必要なロール：admin

手順

1. あなたのロールで利用可能なパスを選択します。

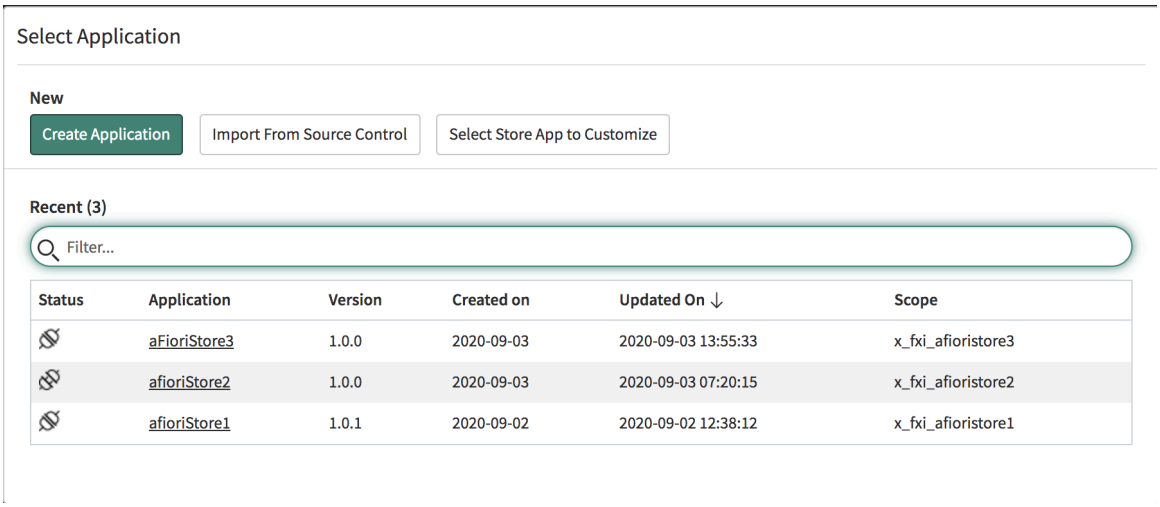
スタジオへのパス

ユーザーロール	スタジオを開くためのアクション
アドミン	移動先 すべて > システムアプリケーション > スタジオ.

スタジオ が新しいブラウザータブで開き、[アプリケーションを選択] モーダルダイアログが表示されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

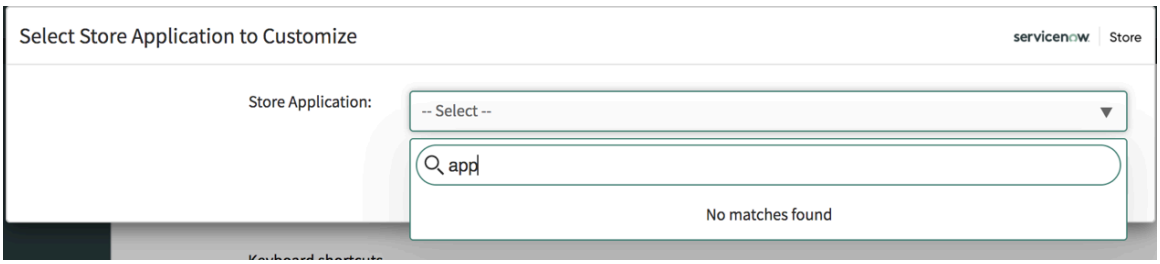


2. アプリケーションを作成するには、アプリケーションの作成をクリックします。
   アプリケーション作成オプションのリストが表示されます。
3. 既存のアプリケーションをソースコントロールからインポートするには、ソースコントロールリストからインポートをクリックします。
   スタジオ で [ソースコントロールからインポート] ページが開きます。
4. 既存のアプリケーションを表示するには、アプリケーションリストからそのアプリケーション名をクリックします。

   このリストには、カスタマイズされたプラグインを介してインストールされたストアアプリケーションやスコープ対象アプリケーションも含まれます。

   注:
   プラグインを介してインストールされたスコープ対象アプリケーションのいくつかのシナリオでは、ストアアプリケーション (sys_store_app) テーブルの [名前] フィールドがプラグイン名と一致しません。正しいアプリケーションを選択していることを確認するには、[ストアアプリケーションを選択] リストピッカーで、sys_store_app に示された [名前] を検索します。たとえば、プラグイン **Agile - Scaled Agile Framework - Essential SAFe** は、「SAFe」という名前の sys_store_app レコードを作成します。したがって、「SAFe」という単語を [ストアアプリケーションを選択] リストピッカーで検索します。

5. インストールされたストアアプリケーションを開いて、会社のアプリケーションカスタマイズを作成するには、[ストアアプリケーションを選択] をクリックし、リストピッカー表示からストアアプリケーションを選択します。



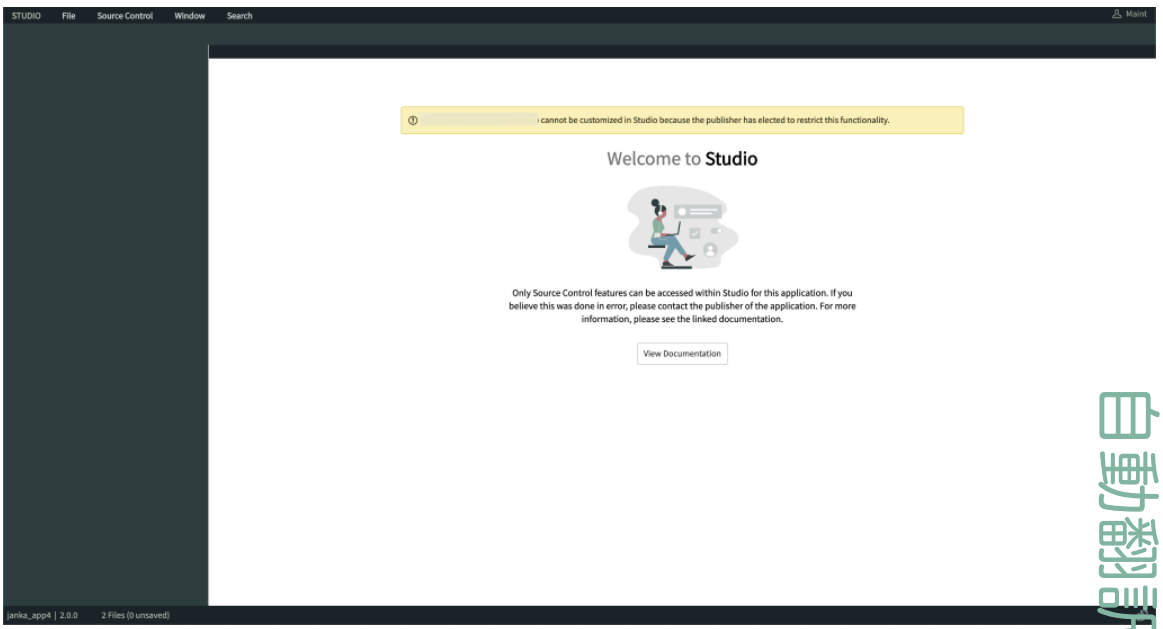
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スタジオ 選択したアプリケーションが開く。

注:

[リンク済み] アイコン は、アプリケーションにコミットされていないローカル変更が含まれていることを示します。開発中の会社のアプリケーションでは、このプロパティは無視されます。ストアアプリケーションの **[Studio** でアプリケーションの編集が可能] プロパティによって、Studio でアプリケーションを編集できるかどうかが決まります。[false] に設定すると、Studio でアプリケーションを編集できないという警告が表示されます。ただし、Studio でアプリケーションを開いて、ソースコントロール機能を使用したり、そのカスタマイズをアプリケーションリポジトリに公開したりできます。新しいアプリケーションの場合、デフォルトは [true] です。アプリケーションの所有者は、新しいバージョンをリリースする前にプロパティ値を変更できます。



自動翻訳

レガシー - **ServiceNow** スタジオ キーボードショートカット

ServiceNowスタジオアプリケーションファイルを管理および編集するためのさまざまなキーボードショートカットが使えます。

重要:

Xanadu リリース以降、ServiceNow スタジオ の 従来 バージョンは将来の廃止に向けて準備されています。これは非表示になり、新しいインスタンスではアクティブ化されなくなりますが、引き続きサポートされます。廃止プロセスの詳細については、Now Support ナレッジベースの 廃止プロセス [KB0867184] の記事を参照してください。

代わりに、現在のバージョンの ServiceNow スタジオ でアプリをビルドおよび編集してみてください。詳細については、「ServiceNow スタジオ」を参照してください。

スタジオ のキーボードショートカット

キーボードの組合せ	説明
Windows： Ctrl + Shift + O	移動。アプリケーションで任意のファイルを開きます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スタジオ のキーボードショートカット (続く)

キーボードの組合せ	説明
Mac： Command + Shift+ O	
Windows： Ctrl + Shift + C Mac： Command + Shift + C	新規作成。アプリケーションファイルを作成します。
Windows： Ctrl + Shift + F Mac： Command + Shift + F	コード検索。任意のファイルまたは値を検索します。
Windows： Ctrl + Shift + X Mac： Command + Shift + X	タブを閉じる。現在のタブを閉じます。保存されていない変更がタブにある場合、システムは保存するよう求めます。

関連情報

従来 - ServiceNow Studio

従来 - アプリケーションにアプリケーションファイルを追加

スタジオ アプリケーション開発者は新しいアプリケーションファイルをタイプ別に追加できます。

始める前に

重要:
Xanadu リリース以降、ServiceNow スタジオ の 従来 バージョンは将来の廃止に向けて準備されています。これは非表示になり、新しいインスタンスではアクティブ化されなくなりますが、引き続きサポートされます。廃止プロセスの詳細については、Now Support ナレッジベースの 廃止プロセス [KB0867184] の記事を参照してください。

代わりに、現在のバージョンの ServiceNow スタジオ でアプリをビルドおよび編集してみてください。詳細については、「ServiceNow スタジオ」を参照してください。

この手順では、スコープ対象のアプリケーションを作成する必要があります。

必要なロール：admin

このタスクについて

アプリケーションファイルを追加して、カスタムアプリケーションの機能を更新できます。

手順

1. 移動先 すべて > システムアプリケーション > 会社のアプリケーション.
2. 開発タブから変更したいアプリケーションの横にある編集ボタンをクリックします。
   システムはアプリケーションをスタジオに開きます。

自動翻訳

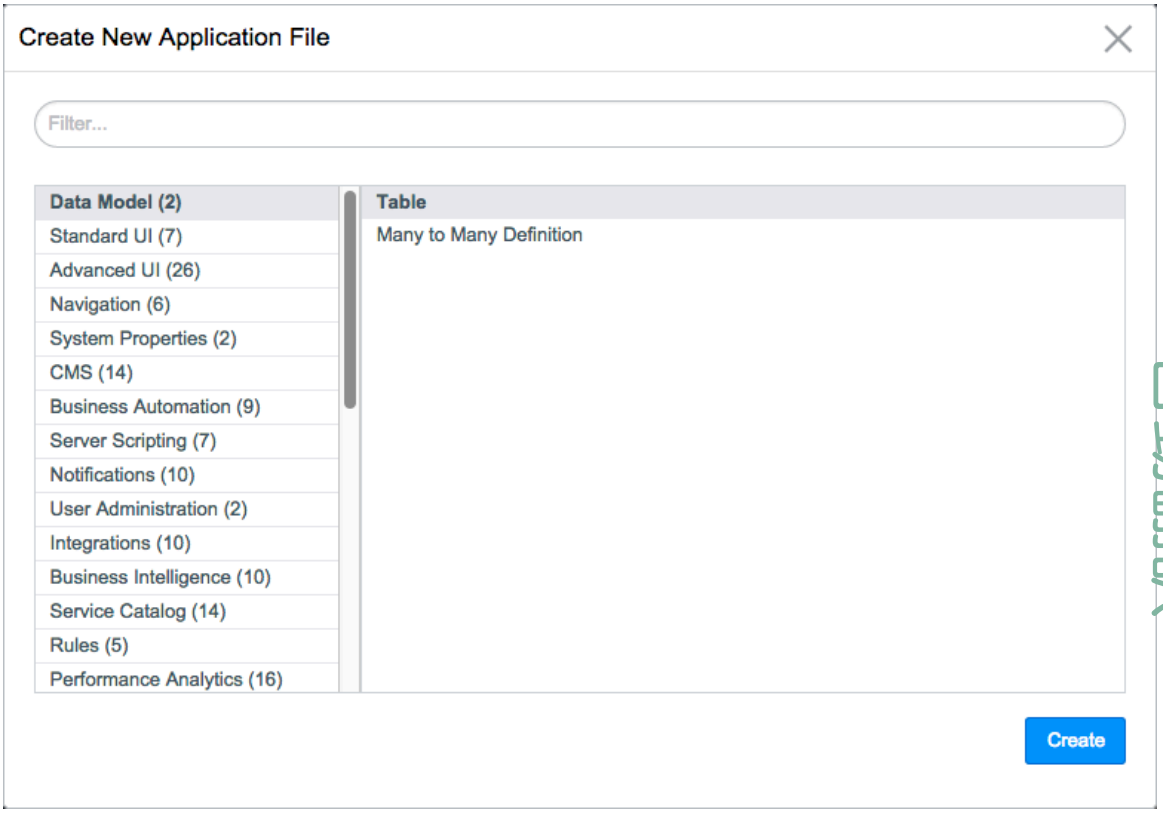
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

3. コンテンツフレームから、アプリケーションファイルの作成をクリックします。
スタジオキーボード ショートカットを使うこともできます。

スタジオ キーボード ショートカット

キーボードの組合せ	説明
Windows： Ctrl + Shift + C Mac： Command + Shift + C	新規作成。アプリケーションファイルを作成します。

スタジオ 新規アプリケーションファイルの作成ポップアップ ウィンドウを開きます。



注:
すべてのアプリケーションファイルタイプが Studio に表示されるわけではありません。ダッシュボードなど一部のタイプのアプリケーションファイルは、それが sys_metadata テーブルを拡張する場合でも、Studio の外部で作成する必要があります。

4. 作成したいアプリケーションファイルの種類を探します。

オプション	説明
アプリケーションファイル名で検索	フィルタ入力フィールドに、アプリケーションファイルの名前を入力します。
カテゴリから探す	左ペインで、カテゴリ名を選択します。

5. 結果ペインから、作成したいアプリケーションファイルタイプを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

6. [作成] をクリックします。
システムは新しいスタジオタブにアプリケーションファイルタイプの空白のフォームを表示します。

次のタスク
選択した特定のアプリケーションファイルタイプに必要なフィールドを入力します。

関連情報

アプリケーションファイル

従来 - ソースコントロールにリンクされている場合、 **ServiceNow** スタジオ からアプリケーションを公開する

ソースコントロールにリンクされている場合、ServiceNow スタジオ からカスタムアプリケーションを公開できます。

始める前に

重要:
Xanadu リリース以降、ServiceNow スタジオ の 従来 バージョンは将来の廃止に向けて準備されています。これは非表示になり、新しいインスタンスではアクティブ化されなくなりますが、引き続きサポートされます。廃止プロセスの詳細については、Now Support ナレッジベースの 廃止プロセス [KB0867184] の記事を参照してください。

代わりに、現在のバージョンの ServiceNow スタジオ でアプリをビルドおよび編集してみてください。詳細については、「ServiceNow スタジオ」を参照してください。

必要なロール：admin

このタスクについて
ソースコントロールにリンクされている ServiceNow Studio からアプリケーションを公開すると、sys_app または sys_store_app の [公開] 関連リンクを介して公開する場合とは異なる結果になります。

手順

1. [公開] を選択すると、アプリケーションの sys_app レコードまたは sys_app_customization レコードが新しいバージョンで更新されます。
2. 追跡されていない変更やコミットされていない変更を含む、アプリケーションの現在のステータスがソースコントロールにコミットされます。
[glide.sourcecontrol.default_commit_mode] プロパティの値は無視されます。
これは、アプリケーションが公開されるときに、追跡されない変更やコミットされない変更もすべて公開されるために発生します。したがって、Git リポジトリ内のアプリケーションのステータスは、公開されているものと一致します。**[glide.sourcecontrol.default_commit_mode]** プロパティの詳細については、「従来 - 変更をコミット」のトピックを参照してください。
3. 新しいバージョンのソースコントロールタグが作成され、アプリケーションが公開されます。
必要に応じて、sys_app レコードが新しいストア相関 ID で更新されます。

注:
アプリケーションがソースコントロールにリンクされ、スタジオの外部で新しいバージョンを公開すると、ソースコントロールのコミットとタグが作成されません。

従来 - 名前またはタイプでアプリケーションファイルを検索する

アプリケーション開発者はスタジオを用いてアプリケーションファイルを検索できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

始める前に

重要:
Xanadu リリース以降、ServiceNow スタジオ の 従来 バージョンは将来の廃止に向けて準備されています。これは非表示になり、新しいインスタンスではアクティブ化されなくなりますが、引き続きサポートされます。廃止プロセスの詳細については、Now Support ナレッジベースの 廃止プロセス [KB0867184] の記事を参照してください。

代わりに、現在のバージョンの ServiceNow スタジオ でアプリをビルドおよび編集してみてください。詳細については、「ServiceNow スタジオ」を参照してください。

必要なロール：admin

この手順では、スコープ対象のアプリケーションを作成する必要があります。

このタスクについて
アプリケーションファイルを検索して、カスタムアプリケーションの機能を追加、削除、または更新できます。

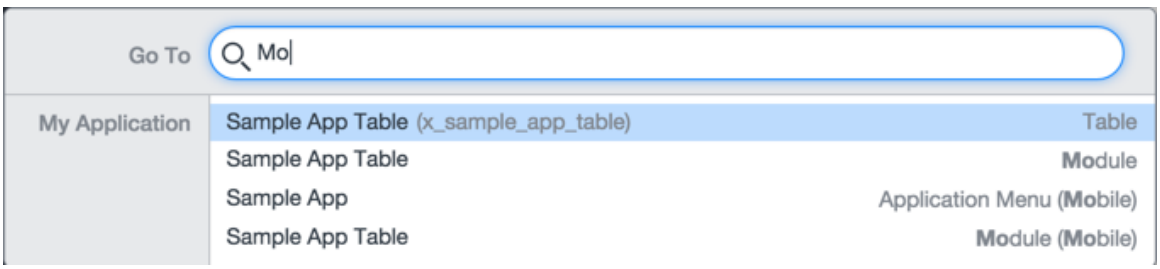
手順

1. 移動先 すべて > システムアプリケーション > アプリケーション.
2. 開発タブから変更したいアプリケーションの横にある編集ボタンをクリックします。
   システムはアプリケーションをスタジオに開きます。
3. ヘッダーから 移動をクリックします。
   スタジオキーボード ショートカットを使うこともできます。

   スタジオ キーボード ショートカット

キーボードの組合せ	説明
Windows： Ctrl + Shift + O Mac： Command + Shift+ O	移動。アプリケーションで任意のファイルを開きます。

   スタジオ ウィンドウが開きます。
4. 検索文字列を入力します。



   スタジオ 入力すると一致するアプリケーションファイルのリストが表示されます。
5. 検索結果のリストから、レコード名をクリックします。
   スタジオ はコンテンツフレーム内の新しいタブにアプリケーションファイルレコードを開きます。

従来 - アプリケーションファイル内を検索

スタジオ アプリケーション開発者は、アプリケーションファイル内で一致するレコード値を検索できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

始める前に

重要:
Xanadu リリース以降、ServiceNow スタジオ の 従来 バージョンは将来の廃止に向けて準備されています。これは非表示になり、新しいインスタンスではアクティブ化されなくなりますが、引き続きサポートされます。廃止プロセスの詳細については、Now Support ナレッジベースの 廃止プロセス [KB0867184] の記事を参照してください。

代わりに、現在のバージョンの ServiceNow スタジオ でアプリをビルドおよび編集してみてください。詳細については、「ServiceNow スタジオ」を参照してください。

必要なロール：admin

この手順では、スコープ対象のアプリケーションを作成する必要があります。

このタスクについて
アプリケーションファイル内で検索して、アプリケーションファイルの値を追加、削除、または更新できます。

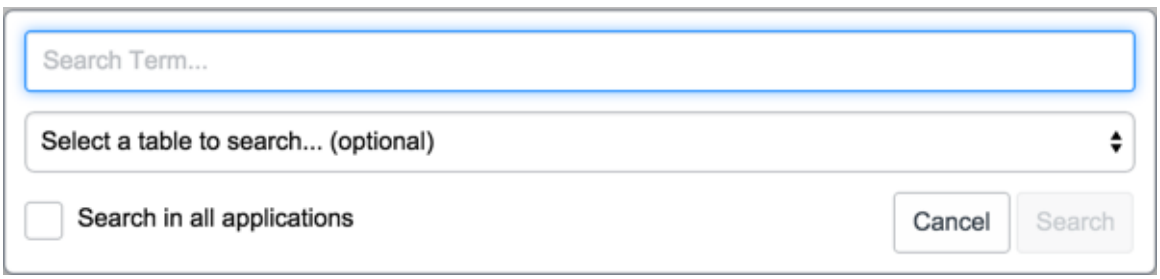
手順

1. 移動先 すべて > システムアプリケーション > アプリケーション.
2. 開発タブから変更したいアプリケーションの横にある編集ボタンをクリックします。
   システムはアプリケーションをスタジオに開きます。
3. ヘッダーから、コード検索をクリックします。
   スタジオキーボード ショートカットを使うこともできます。

   スタジオ キーボード ショートカット

キーボードの組合せ	説明
Windows： Ctrl + Shift + F Mac： Command + Shift + F	コード検索。任意のファイルまたは値を検索します。

   スタジオ 検索ポップアップ ウィンドウが開きます。
4. 検索語に検索文字列を入力します。



5. オプション: 追加の検索条件を選択します。

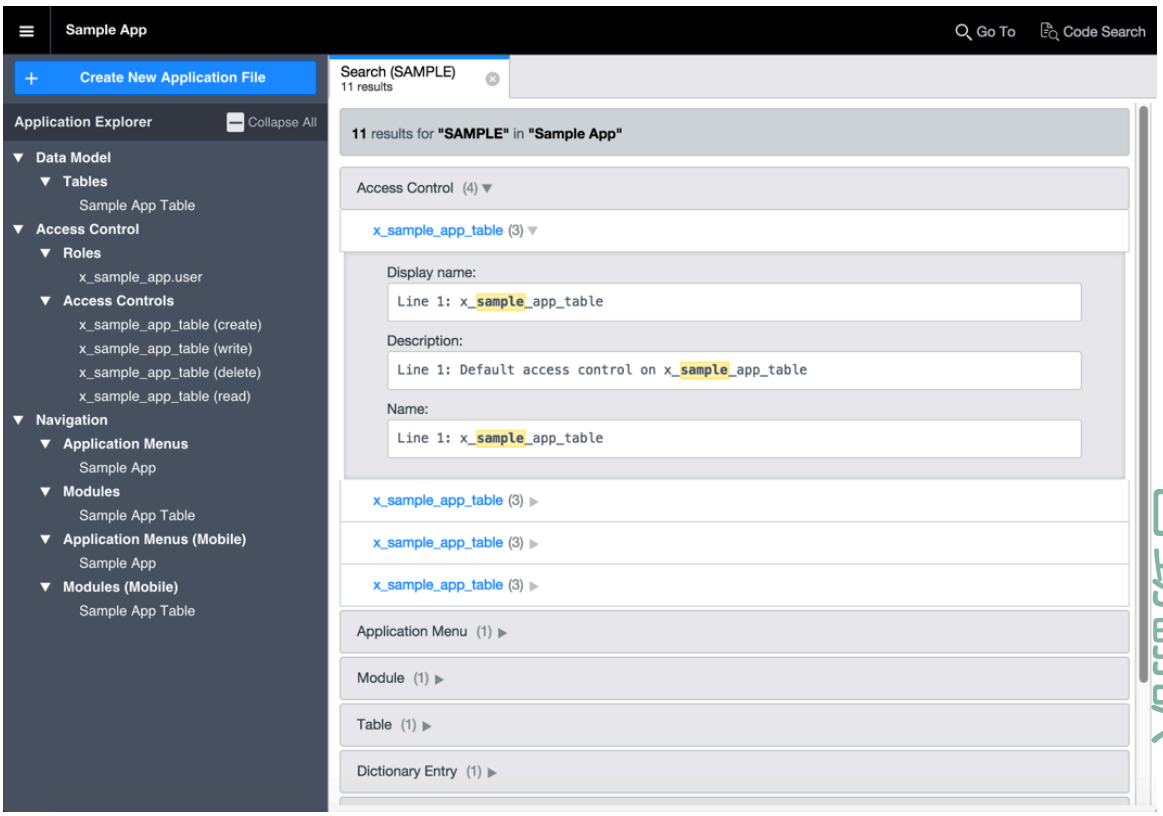
オプション	説明
検索するテーブルを選択	選択したファイル タイプ内でのみ一致するものを検索します。
すべてのアプリケーションで検索	現アプリケーション内だけでなく、インスタンス全体で一致を検索します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
すべてのアプリケーションの検索には長い時間がかかります。

6. [検索] をクリックします。
スタジオは選択したアプリケーションファイルの大文字と小文字を区別しない検索を行います。検索が実行されている間、スタジオは検索進行状況インジケータを表示します。キャンセルアイコンをクリックすると、検索を停止できます。検索が完了すると、システムはコンテンツフレームに新しいタブを開き、アプリケーションファイルタイプ別に検索結果を表示します。各アプリケーションファイルタイプは、一致する検索結果の数を表示します。



7. 検索結果タブから、アプリケーションファイルタイプを展開し、レコード名をクリックします。
スタジオ はコンテンツフレーム内の新しいタブにアプリケーションファイルレコードを開きます。

従来 - カスタムアプリケーションレコードの更新

新しい機能を追加したり、アプリケーションの機能を変更したりするために、カスタムアプリケーションレコードを更新できます。

始める前に

重要:
Xanadu リリース以降、ServiceNow スタジオ の 従来 バージョンは将来の廃止に向けて準備されています。これは非表示になり、新しいインスタンスではアクティブ化されなくなりますが、引き続きサポートされます。廃止プロセスの詳細については、Now Support ナレッジベースの 廃止プロセス [KB0867184] の記事を参照してください。

代わりに、現在のバージョンの ServiceNow スタジオ でアプリをビルドおよび編集してみてください。詳細については、「ServiceNow スタジオ」を参照してください。

必要なロール：フルアクセスを許可するアドミニストレーターまたは委任された開発者ロール

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて
ローカルインスタンスで開発中のアプリケーションの更新のみできます。会社のアプリケーションリポジトリまたはServiceNow Storeからダウンロードしたアプリケーションは編集できません。

手順

1. 移動先 すべて > システムアプリケーション > アプリケーション > スタジオ.
2. 更新したいアプリケーション名またはそのアプリケーションの編集ボタンをクリックします。
   システムは、スタジオにあるアプリケーションおよびアプリケーションファイルを表示します。
3. クリック ファイル > 設定.
   スタジオは現アプリケーションのカスタムアプリケーションレコードを含むタブを開きます。
4. 必要に応じてフィールドに入力します。

カスタムアプリケーションフォーム

フィールド	説明
名前	[必須]アプリケーションのラベルを入力します。名前を変更しても、アプリケーション名から派生した範囲、メニュー、またはユーザーロールのような他のどのフィールド値も変更されません。
バージョン	アプリケーションのバージョン情報を入力します。ServiceNowアプリケーションリポジトリとストアのどちらも、この値を使用して、ユーザーがアプリケーションの更新を使用できるかどうかを判別します。 **注:** アプリケーションをServiceNow Storeで発行するには、バージョンはアプリケーション認定基準に準拠している必要があります。
アプリケーションスコーピング	
スコープ	[読み取り専用]作成プロセス中に設定された一意のアプリケーションスコープを表示します。この値は、削除して新しい値でアプリケーションを再作成することによってのみ変更できます。提供される保護の詳細については、アプリケーションスコープ を参照してください。
アプリケーション管理	ユーザーがアプリケーション固有のロールを取得する方法を制限することにより、機密アプリケーションデータを保護するかどうかを選択します。「アプリケーション管理」を参照してください。
デザインとランタイム	
JavaScriptモード	アプリケーションがサポートする JavaScript 標準。**ECMAScript 2021 (ES12)** を選択して ECMAScript 12th エディションの機能をサポートするか、**ES5 Standards Mode** を選択して ECMAScript 5th エディションの機能をサポートします。互換モードを選択すると初期の ECMAScript エディションをサポートします。詳細については、「Set the JavaScript mode for an application」を参照してください。
実行環境アクセス追跡	アプリケーションが他のアプリケーションのリソースへのスクリプトアクセス要求をどのように処理するかを選択します。無しを選択するとログインなしで全てのクロススコープリソースにアクセスする権限を与えます。 を選択すると、クロススコープ リソースに対するすべてのアクセス要求をログに記録して許可します。 を選択すると、クロススコープ リソースに対するアクセス要求をログに記録しますが、アドミニストレーターが各要求を許可する必要があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
テーブル選択を制限	そのオプションをクリアすると、アプリケーションが他のアプリケーションスコープからテーブルを見ることを許します。そのオプションを選択すると設計の選択を同じアプリケーション内のテーブルのみに限定します。
サブスクリプション管理	
ライセンス可能	そのアプリケーションがそのサブスクリプション管理アプリケーションによって追跡されるかどうかを指定します。
サブスクリプション要件	独自の用途のためにカスタムアプリケーションをビルドするServiceNow顧客には適用しません。ServiceNow Storeの転売可能なアプリケーションの使用を販売および監視しているパートナーのみが使用します。 そのアプリケーションは個別のサブスクリプションが必要(必須)かまたは監視だけとするかを指定します。
サブスクリプションモデル	独自の用途のためにカスタムアプリケーションをビルドするServiceNow顧客には適用しません。ServiceNow Storeの転売可能なアプリケーションの使用を販売および監視しているパートナーのみが使用します。 どのようにサブスクリプション管理アプリケーション追跡を使用するかを指定します。「Types of subscriptions in Subscription Management」を参照してください。
プライマリメニュー	
メニュー	モジュールを表示したいアプリケーションメニューを選択します。メニューとモジュールの詳細については、「アプリケーションメニューの作成」を参照してください。
エンドユーザーによるアクセス	
ユーザーロール	アプリケーションメニューにアクセスするために必要なユーザーロールを選択します。ユーザーロールの詳細については、「ロールを作成する ロールを作成する」を参照してください。
簡単な説明	アプリケーションの目的や使用方法の説明を入力します。
ロゴ	システムがアプリケーションリストとServiceNow Storeに表示するイメージを選択します。
アプリケーションファイル	このアプリケーションに関連付けられた設定レコードをプラットフォーム機能テーブルで表示します。
依存関係	このアプリケーションが依存するテーブルまたはアプリケーションを表示または追加します。テーブルを拡張するときや、別のアプリケーションがこのアプリケーションのアプリケーションファイルを作成するときに、システムは自動的にこのリストにレコードを追加します。スクリプトに基づく依存関係を追加します。「カスタムアプリケーションの依存関係」を参照してください。
クロススコープ権限	クロススコープ権限レコードを表示または作成して、システムが実行できるスクリプト操作とターゲットを特定します。「クロススコープ特権レコード」を参照してください。
デザインアクセス	このアプリケーションのテーブルまたはレコードへの設計アクセス権を持つ他のアプリケーションを表示または指定します。「アプリケーション設計時アクセス レコード」を参照してください。

5. [更新] をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

従来 - アプリケーションの切り替え

アプリケーション開発者は、スタジオ環境を離れることなくアプリケーション間のスイッチができます。

始める前に

> **重要:**
> Xanadu リリース以降、ServiceNow スタジオ の 従来 バージョンは将来の廃止に向けて準備されています。これは非表示になり、新しいインスタンスではアクティブ化されなくなりますが、引き続きサポートされます。廃止プロセスの詳細については、Now Support ナレッジベースの 廃止プロセス [KB0867184] の記事を参照してください。
>
> 代わりに、現在のバージョンの ServiceNow スタジオ でアプリをビルドおよび編集してみてください。詳細については、「ServiceNow スタジオ」を参照してください。

この手順を開始する前に、独自のアプリケーションスコープを持つ少なくとも 1 つのカスタムアプリケーションを作成する必要があります。

必要なロール：admin

このタスクについて

状況依存開発環境は、アプリケーションファイルが別のアプリケーションに属している場合、いくつかの変更を制限します。アプリケーションファイルを所有するアプリケーションに切り替えると、適切なアプリケーションを確実に変更できます。

手順

1. 移動先 すべて > アプリオプションメニュー > スイッチアプリケーション.
   システムはアプリケーションのリストを表示します。
2. 切り替え先のアプリケーションをクリックします。
   システムがスタジオをリロードすると選択したアプリケーションを表示する。

従来 - グローバルアプリケーションファイル管理

ServiceNow スタジオ でグローバルなスコープ対象のアプリケーションを作成すると、既存のグローバルスコープのファイルをそれに追加したり、それからファイルを削除したり、グローバルアプリケーション間でアプリケーションファイルを移動したりできます。

> **重要:**
> Xanadu リリース以降、ServiceNow スタジオ の 従来 バージョンは将来の廃止に向けて準備されています。これは非表示になり、新しいインスタンスではアクティブ化されなくなりますが、引き続きサポートされます。廃止プロセスの詳細については、Now Support ナレッジベースの 廃止プロセス [KB0867184] の記事を参照してください。
>
> 代わりに、現在のバージョンの ServiceNow スタジオ でアプリをビルドおよび編集してみてください。詳細については、「ServiceNow スタジオ」を参照してください。

従来 - グローバルスコープからグローバルアプリケーションにファイルを追加する

既存のグローバルスコープファイルを選択されているグローバルアプリケーションに追加します。更新セット名、テーブル、またはファイル名によって、グローバルにスコープ対象となっている別のアプリケーション内のファイルを検索できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に

> **重要:**
> Xanadu リリース以降、ServiceNow スタジオ の 従来 バージョンは将来の廃止に向けて準備されています。これは非表示になり、新しいインスタンスではアクティブ化されなくなりますが、引き続きサポートされます。廃止プロセスの詳細については、Now Support ナレッジベースの 廃止プロセス [KB0867184] の記事を参照してください。
>
> 代わりに、現在のバージョンの ServiceNow スタジオ でアプリをビルドおよび編集してみてください。詳細については、「ServiceNow スタジオ」を参照してください。

Global App File Management プラグインをアクティブ化する必要があります。

必要なロール：admin

このタスクについて
アプリケーションピッカーでアプリケーションを選択すると、アプリケーションファイルが自動的に割り当てられます。アプリケーションファイルをスコープ対象のアプリケーションとの間で移動することはできません。「アプリケーションスコープ」を参照してください。

手順

1. 移動先 すべて > システムアプリケーション > アプリケーション > 開発中.
2. アプリケーション名の右側で、**[Studio** で編集] をクリックします。
3. スタジオ で、[ファイル] をクリックしてから、[既存のファイルを追加] を選択します。
4. 現在グローバルなスコープ対象のアプリケーションに追加できる既存のグローバルなスコープ対象のアプリケーションを見つけるには、次のいずれかのオプションを使用します。

   > **注:**
   > 一度に 250 ファイルまで表示できます。もっとファイルを見るには、より具体的な検索基準で別の検索を行います。

5. [持続する] をクリックすると選択した更新セット、テーブル、または名前に関連付けられたアプリケーションファイルをリストします。
   必要に応じて結果をフィルタリングできます。
   システムはフィルタリングされた結果を表示しますが、既に現在のグローバルアプリケーションに関連付けられているファイルはすべて省略します。システムはファイルの種類、アプリケーション、いつファイルが最後に更新されたか、それがカスタマイズされたファイルかどうかを表示します。
6. 追加するファイルを選択して [追加]をクリックします。
   [変更を確認] ダイアログが表示され、移動中のファイルはカスタマイズ可能なファイルと見なされ、アップグレード中にスキップリストに表示される場合があることが示されます。
7. [続行] をクリックして選択したファイルを追加します。

   > **注:**
   > グローバルスコープ対象のアプリケーションにグローバルスコープ対象のファイルを追加する機能により、辞書コレクションのエントリをカスタムグローバルスコープに移動することもできます。このアクションによって **sys_db_object** テーブルとコレクションが同じスコープ内になくなるため、予期しないクロススコープエラーが発生する可能性があります。このアクションは、CRUD 操作 (sys_db_object アプリケーションアクセスと既存のクロススコープ特権に基づいて許可される) が明確な理由なしでは許可されないことを意味します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タスクの結果
システムは選択したファイルをグローバルスコープから選択したアプリケーションに移動し、それらをカスタマイズ可能ファイルとしてフラグを設定します。たとえば、sys_ui_policy ファイルを選択すると、関連付けられた sys_ui_policy_actions ファイルも選択したアプリケーションに追加され、カスタマイズ可能としてフラグが設定されます。追加プロセスでエラーが発生したときにエラーメッセージが表示されるか、またはファイルがグローバルなスコープ対象のアプリケーションに正常に追加されたときに確認メッセージが表示されます。

従来 - グローバルアプリケーションからファイルを削除する

選択したグローバルアプリケーションから選択したファイルを削除し、そのファイルを所有していた以前のグローバルアプリケーションに戻します。前の所有者がいない場合、ファイルはグローバルスコープに戻されます。削除されるファイルは、依然としてカスタマイズされたファイルと見なされます。

始める前に

> **重要:**
> Xanadu リリース以降、ServiceNow スタジオ の 従来 バージョンは将来の廃止に向けて準備されています。これは非表示になり、新しいインスタンスではアクティブ化されなくなりますが、引き続きサポートされます。廃止プロセスの詳細については、Now Support ナレッジベースの 廃止プロセス [KB0867184] の記事を参照してください。
>
> 代わりに、現在のバージョンの ServiceNow スタジオ でアプリをビルドおよび編集してみてください。詳細については、「ServiceNow スタジオ」を参照してください。

このオプションは、Global Application File Management プラグインがアクティブな場合にのみ使用できます。

必要とされるロール：admin または完全なアクセスを許可された delegated_developer ロール。

手順

1. 移動先 すべて > システムアプリケーション > 会社のアプリケーション > 開発中.
2. アプリケーション名の右側の **[Studio** で編集] をクリックします。
3. [スタジオ] で、次を選択します。 ファイル > ファイルを削除 (複数).
   このグローバルアプリケーションのファイルのリストが表示されます。
4. このアプリケーションから削除するファイルを選択します。
5. [削除] をクリックします。

従来 - グローバルアプリケーション間でアプリケーションファイルを移動する

選択したアプリケーションファイルとそれらの子孫ファイルを、選択したグローバルアプリケーションに移動します。グローバルアプリケーションを選択すると、選択したアプリケーションファイルが自動的にそれに割り当てられます。アプリケーションファイルをスコープ対象のアプリケーションとの間で移動することはできません。

始める前に

> **重要:**
> Xanadu リリース以降、ServiceNow スタジオ の 従来 バージョンは将来の廃止に向けて準備されています。これは非表示になり、新しいインスタンスではアクティブ化されなくなりますが、引き続きサポートされます。廃止プロセスの詳細については、Now Support ナレッジベースの 廃止プロセス [KB0867184] の記事を参照してください。
>
> 代わりに、現在のバージョンの ServiceNow スタジオ でアプリをビルドおよび編集してみてください。詳細については、「ServiceNow スタジオ」を参照してください。

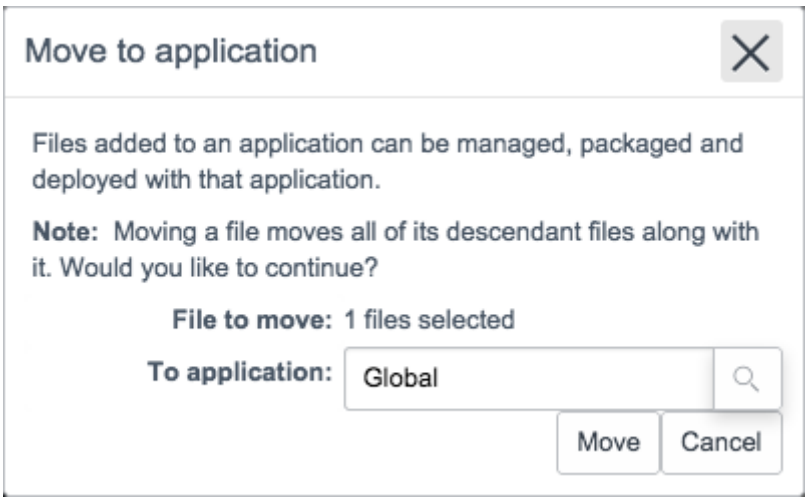
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

必要とされるロール：admin または完全なアクセスを許可された delegated_developer ロール。

このオプションは、Global App File Management プラグインがアクティブな場合にのみ使用できます。

手順

1. リストまたはフォームビューでアプリケーションファイルに移動します。
   たとえば、 すべて > システム **UI** > **UI** ポリシー に移動して、移動する UI ポリシーファイルを選択します。
2. 移動する各ファイルの横にあるチェックボックスをオンにしてから、[選択した行のアクション] 選択リストにある [アプリケーションに移動] を選択します。
3. グローバルアプリケーションを選択します。



4. 移動 をクリックします。
   選択したアプリケーションファイルとその子孫ファイルが、選択したグローバルアプリケーションに移動されます。

従来 - グローバル更新セットからグローバルアプリケーションへの複数のファイルの追加

1 つ以上のグローバル更新セットから新規または既存のグローバルアプリケーションに、一度に複数のグローバルスコープ対象のアプリケーションファイルを追加します。

始める前に

重要:
Xanadu リリース以降、ServiceNow スタジオ の 従来 バージョンは将来の廃止に向けて準備されています。これは非表示になり、新しいインスタンスではアクティブ化されなくなりますが、引き続きサポートされます。廃止プロセスの詳細については、Now Support ナレッジベースの 廃止プロセス [KB0867184] の記事を参照してください。

代わりに、現在のバージョンの ServiceNow スタジオ でアプリをビルドおよび編集してみてください。詳細については、「ServiceNow スタジオ」を参照してください。

必要なロール：admin

Global App File Management プラグインをアクティブ化する必要があります。

このタスクについて

この機能は、更新セットを介してグローバルスコープ対象のファイルのカスタマイズを管理する顧客向けです。これらのファイルは、新規または既存のグローバルアプリケーションに一括で移行でき

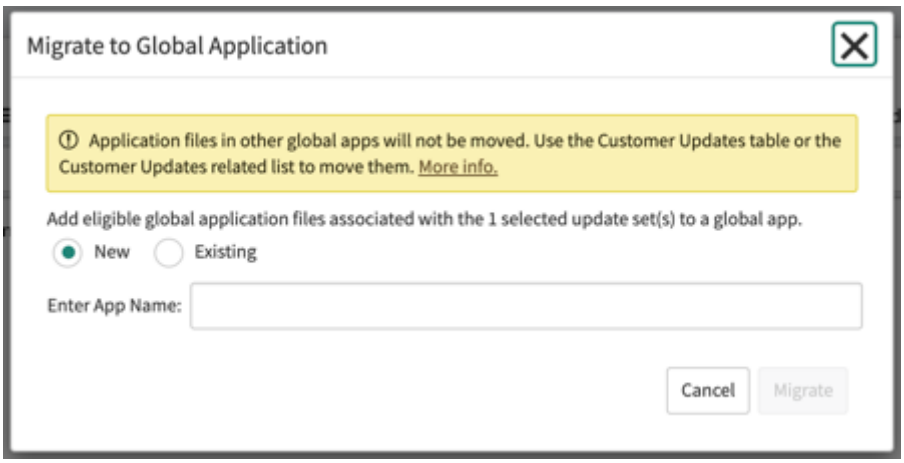
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ます。これでグローバルアプリケーションは、アプリケーションのみをサポートする ServiceNow CICD ツールを活用できます。複数の更新セットを選択して、グローバルスコープ対象のアプリケーションファイルを新規または既存のグローバルアプリケーションに移動します。これらの更新セット内の顧客アップデートに関連付けられたすべての対象アプリケーションファイルが移動されます。この操作では、インスタンスにロードされているアプリケーションファイルのみが移動されます。同じファイルに対する別の顧客アップデートのペイロードは無視されます。

手順

1. 移動先 すべて > システムアップデートセット > ローカル更新セット.
2. 移動する各更新セットの横にあるチェックボックスをオンにしてから、[選択した行のアクション] リストの [グローバルアプリケーションに移行] を選択します。
3. 新しいグローバルアプリケーションの名前を入力するか、既存のグローバルアプリケーションを選択します。



4. [移行]を選択します。

> **注:**
> 移行する更新セットを選択しても、他のグローバルアプリケーションの一部であるアプリケーションファイルは移動されません。グローバルスコープ内のファイルのみが移動されます。他のグローバルアプリケーションの一部であるファイルを追加するには、「従来 - カスタマーアップデートからグローバルアプリケーションに複数のファイルを追加する」を参照してください。

Trouble?

更新に関連付けられたアプリケーションファイルが移動されない場合は、次の理由が考えられます。

- アプリケーションファイルがグローバルではない。
- アプリケーションファイルが別のグローバルアプリケーションの一部である。
- アプリケーションファイルが削除されている。
- アプリケーションファイルには別のグローバルアプリケーションに移動する資格がない。たとえば、`sys_app` ファイルです。
- アプリケーションファイルが読み取り専用である。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

従来 - カスタマーアップデートからグローバルアプリケーションに複数のファイルを追加する

1 つ以上の顧客アップデートから新規または既存のグローバルアプリケーションに、一度に複数のグローバルスコープ対象のアプリケーションファイルを追加します。

始める前に

重要:
Xanadu リリース以降、ServiceNow スタジオ の 従来 バージョンは将来の廃止に向けて準備されています。これは非表示になり、新しいインスタンスではアクティブ化されなくなりますが、引き続きサポートされます。廃止プロセスの詳細については、Now Support ナレッジベースの 廃止プロセス [KB0867184] の記事を参照してください。

代わりに、現在のバージョンの ServiceNow スタジオ でアプリをビルドおよび編集してみてください。詳細については、「ServiceNow スタジオ」を参照してください。

必要なロール：admin

Global App File Management プラグインをアクティブ化する必要があります。

他のグローバルアプリケーションの一部であるグローバルファイルを追加するには、glide.source_control.customize_files_in_other_global_apps を [true] にする必要があります。

このタスクについて
この機能は、更新セットを介してグローバルスコープ対象のファイルのカスタマイズを管理する顧客向けです。これらのファイルは、新規または既存のグローバルアプリケーションに一括で移行できます。これでグローバルアプリケーションは、アプリケーションのみをサポートする ServiceNow CICD ツールを活用できます。複数の顧客アップデートを選択して、グローバルスコープ対象のアプリケーションファイルを新規または既存のグローバルアプリケーションに追加します。顧客アップデートに関連付けられたすべての対象アプリケーションファイルが移動されます。この操作では、インスタンスにロードされているアプリケーションファイルのみが移動されます。同じファイルに対する別の顧客アップデートのペイロードは無視されます。

手順

1. 移動先 すべて > システムアップデートセット > ローカル更新セットをクリックし、フォームビューで更新セットを開き、その顧客アップデート関連リストに移動します。
   または

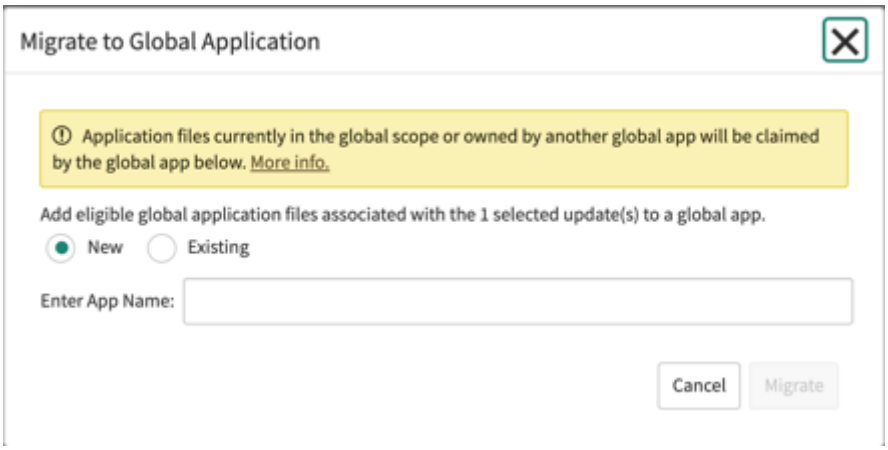
   移動先 システムのメンテナンス > 顧客アップデート **[sys_update_xml]** 複数の更新セットから更新を追加します。
2. 移動する各更新の横にあるチェックボックスをオンにしてから、[選択した行のアクション] リストの [グローバルアプリケーションに移行] を選択します。
3. [移行]を選択します。

   注:
   グローバル更新セットからグローバルアプリケーションへの複数のファイルの追加方法の詳細は、「従来 - グローバル更新セットからグローバルアプリケーションへの複数のファイルの追加」を参照してください。

4. 新しいグローバルアプリケーションの名前を入力するか、既存のグローバルアプリケーションを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



Trouble?

更新に関連付けられたアプリケーションファイルが移動されない場合は、次の理由が考えられます。

- アプリケーションファイルがグローバルではない。
- アプリケーションファイルが別のグローバルアプリケーションの一部である。
- アプリケーションファイルが削除されている。
- アプリケーションファイルには別のグローバルアプリケーションに移動する資格がない。たとえば、sys_app ファイルです。
- アプリケーションファイルが読み取り専用である。
- アプリケーションファイルは、移行先のグローバルアプリケーションに既に関連付けられています。

従来 - 要求またはスキップされたグローバルファイルを確認する

1 つ以上のファイルが別のアプリケーションによってスキップまたは要求された場合は、ファイルをレビューします。

重要:
Xanadu リリース以降、ServiceNow スタジオ の 従来 バージョンは将来の廃止に向けて準備されています。これは非表示になり、新しいインスタンスではアクティブ化されなくなりますが、引き続きサポートされます。廃止プロセスの詳細については、Now Support ナレッジベースの 廃止プロセス [KB0867184] の記事を参照してください。

代わりに、現在のバージョンの ServiceNow スタジオ でアプリをビルドおよび編集してみてください。詳細については、「ServiceNow スタジオ」を参照してください。

グローバルアプリケーションの開発中に、スキップまたは要求されたファイルに関する警告が、さまざまな進捗状況画面に表示される場合があります。スキップまたは要求されたファイルは、あるアプリケーションのファイルが他のアプリケーションによって要求されたときに発生する可能性があります。

これらの警告は、アプリケーションリポジトリまたは Git リポジトリからアプリケーションをインストールするとき、または自分のアプリケーションを公開するときに、表示されます。アプリケーションファイルが別のアプリケーションによってスキップまたは要求されていることを確認した場合は、その別のアプリケーションを所有するチームに連絡して、両方のチームにとって最善の措置を決定してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

どのようなオプションがあるか

本番環境にロードできるのは 1 つのバージョンのみです。オプションは次のとおりです。

- 1 つのファイルのみが本番環境にロードされるように、どちらのアプリケーションからファイルを削除するか他のチームと決定します。
- 結合ツールを使用します。本番環境で両方のアプリのファイルを変更する必要がある場合は、結合ツールを使用して、両者を効果的に機能させる新しい共通アプリケーションにファイルをプルします。

詳細は、トピック「従来 - 競合の解決」を参照してください。

従来 - ドラフトレコードの自動リカバリ

スタジオ 保存されていない変更がある既存の任意のレコードについてもバージョンを保持できます。ユーザーは、ネットワーク待ち時間、セッションタイムアウト、またはサービスの中断のために、ユーザー セッションが予期せず終了した場合にも、未保存の変更を復元できます。

重要:
Xanadu リリース以降、ServiceNow スタジオ の 従来 バージョンは将来の廃止に向けて準備されています。これは非表示になり、新しいインスタンスではアクティブ化されなくなりますが、引き続きサポートされます。廃止プロセスの詳細については、Now Support ナレッジベースの 廃止プロセス [KB0867184] の記事を参照してください。

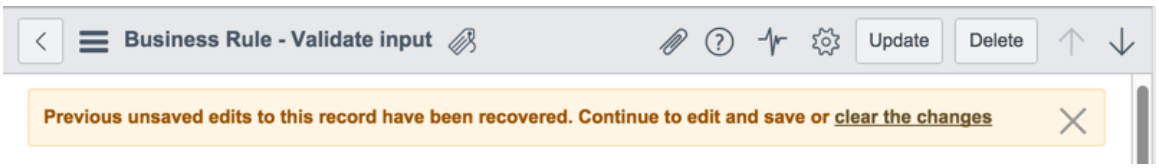
代わりに、現在のバージョンの ServiceNow スタジオ でアプリをビルドおよび編集してみてください。詳細については、「ServiceNow スタジオ」を参照してください。

自動リカバリは次のものに適用されます。

- スタジオ で開いたレコード。すべての下書きレコードが保存されるわけではありません。
- デスクトップ(非モバイル)ブラウザで行われた変更。モバイルブラウザの下書きレコードは保存されません。
- 既存のレコードに対する変更。新しいレコードへの変更の下書きは保存されません。
- レコードへの最新の更新である未保存の変更を含むレコード。別のユーザーが同じレコードを更新した場合、システムは下書きの変更を破棄します。
- アプリケーションファイル [sys_metadata] テーブルを拡張するテーブルのレコード。

ユーザーがセッションを再確立した後、スタジオ はリカバリされた変更を含む各レコードのメッセージを表示します。

自動リカバリメッセージ



リカバリしたレコードごとに、ユーザーは次をできます。

- レコードの編集と保存を続ける。
- リカバリキャッシュから変更をクリアする。

ユーザーが次の操作を行うと、システムはリカバリキャッシュからの変更を自動的に消去します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- レコードを保存します。システムは、保存されたレコードをリカバリキャッシュから削除する。
- 変更を保存せずにレコードから離脱することを確認する。放棄されたレコードは、リカバリキャッシュから削除する。
- リカバリキャッシュの5MBの変更の上限に到達。システムは最も古い更新日時スタンプのレコードを削除する。

デフォルトでは、スタジオからの作業中にすべてのアプリケーション ファイル [sys_metadata]テーブルに対して自動リカバリが有効になっています。

アドミニストレーターは、自動リカバリのプロパティを次のように構成できます。

- 自動リカバリを無効または再度有効にする。
- 自動リカバリから除外するフィールドのタイプを指定する。

ユーザーは、ユーザーの設定として自動リカバリを有効または無効にすることができます。

関連情報

ユーザー設定

従来 - 自動リカバリプロパティ

アドミニストレーターは、 スタジオ がドラフトレコードのリカバリをどのように処理するかを設定するには、次の場所に移動します。 システム自動復旧 > プロパティ.

重要:
Xanadu リリース以降、ServiceNow スタジオ の 従来 バージョンは将来の廃止に向けて準備されています。これは非表示になり、新しいインスタンスではアクティブ化されなくなりますが、引き続きサポートされます。廃止プロセスの詳細については、Now Support ナレッジベースの 廃止プロセス [KB0867184] の記事を参照してください。

代わりに、現在のバージョンの ServiceNow スタジオ でアプリをビルドおよび編集してみてください。詳細については、「ServiceNow スタジオ」を参照してください。

自動翻訳

自動リカバリプロパティ

プロパティ	説明
自動リカバリを有効化 *glide.ui.auto.recovery*	デフォルトでは、スタジオからの作業中にすべてのアプリケーション ファイル [sys_metadata]テーブルに対して自動リカバリが有効になっています。レコードの自動リカバリを無効にするようにこのプロパティを設定します。
自動リカバリはカンマ区切りリストテーブルをサポートしない *glide.ui.auto.recovery.unsupported.tables*	デフォルトでは、スタジオからの作業中にすべてのアプリケーション ファイル [sys_metadata]テーブルに対して自動リカバリが有効になっています。特定のテーブルを自動リカバリから除外するには、このプロパティを設定します。
自動リカバリはカンマ区切りリストフィールドタイプをサポートしない	デフォルトでは、自動リカバリはすべてのフィールドタイプをサポートします。特定のフィールドタイ

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動リカバリプロパティ (続く)

プロパティ	説明
glide.ui.auto.recovery.unsupported.field.types	プを自動リカバリから除外するには、このプロパティを設定する。
カンマ区切りリストのフィールドタイプは自動リカバリから除外しない *glide.ui.auto.recovery.exclude.field.types*	デフォルトでは、すべてのフィールドタイプに対して自動リカバリが有効になっています。特定のフィールドタイプを自動リカバリから除外するには、このプロパティを設定する。

従来:自動リカバリディクショナリ属性

アドミニストレーターは、スタジオディクショナリー属性を持つドラフトレコードのリカバリをどう扱うかを設定できます。

重要:
Xanadu リリース以降、ServiceNow スタジオ の 従来 バージョンは将来の廃止に向けて準備されています。これは非表示になり、新しいインスタンスではアクティブ化されなくなりますが、引き続きサポートされます。廃止プロセスの詳細については、Now Support ナレッジベースの 廃止プロセス [KB0867184] の記事を参照してください。

代わりに、現在のバージョンの ServiceNow スタジオ でアプリをビルドおよび編集してみてください。詳細については、「ServiceNow スタジオ」を参照してください。

自動リカバリプロパティ

辞書属性	説明
自動リカバリを除外 *exclude_auto_recovery*	このテーブルのドラフトレコードの自動リカバリを無効にします。

関連情報

ディクショナリー属性

従来 - ソースコントロールの統合

アプリケーション開発者が Git ソースコントロールリポジトリと統合できるようにします。非本番インスタンスから、アプリケーションの複数のバージョンを保存および管理します。

重要:
Xanadu リリース以降、ServiceNow スタジオ の 従来 バージョンは将来の廃止に向けて準備されています。これは非表示になり、新しいインスタンスではアクティブ化されなくなりますが、引き続きサポートされます。廃止プロセスの詳細については、Now Support ナレッジベースの 廃止プロセス [KB0867184] の記事を参照してください。

代わりに、現在のバージョンの ServiceNow スタジオ でアプリをビルドおよび編集してみてください。詳細については、「ServiceNow スタジオ」を参照してください。

アプリケーションをソースコントロールにリンクすると、非本番インスタンスですべてのアプリケーション開発者が次の操作を実行できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- Git リポジトリからアプリケーションをインポートします。
- Git リポジトリからリモート変更をプルして適用します。
- インスタンスのすべてのローカル変更を Git リポジトリにコミットします。
- 指定されたバージョンのアプリケーションに永続的にリンクするタグを作成します。
- 分岐を作成して、アプリケーションの複数のバージョンを同時に管理します。

統合の要件

アプリケーションをソースコントロールにリンクするには

- ユーザーにはアドミンロールが必要です。
- 非本番インスタンスには、Git リポジトリへのネットワークアクセスが必要です。
- 各アプリケーションは、それ自体の Git リポジトリ内に存在する必要があります。
- リポジトリユーザーの認証情報は、読み取りおよび書き込みアクセス権を付与する必要があります。

注:
インスタンス上のすべてのアプリケーション開発者は、リポジトリごとに 1 組の認証情報を共有します。

ServiceNow スタジオ で利用可能なオプション

アプリケーションをソースコントロールにリンクした後に、アプリケーション開発者は、ServiceNow スタジオ をリポジトリ管理に使用できます。開発者は スタジオ から次のことができます

- アプリケーションリポジトリの認証情報を編集します。
- インスタンスのすべてのローカル変更をコミットします。
- リポジトリからのリモート変更を適用します。
- 分岐を作成します。
- 分岐を切り替えます。
- リモートリポジトリからアプリケーションをインポートします。

ソースコントロールを使用して本番インスタンスでアプリケーションを管理することはお勧めしません。本番環境に展開すると、予期しない結果が生じる可能性があります。「従来 - 本番展開のヒント」を参照してください。代わりに、アプリケーションリポジトリ、更新セット、または ServiceNow Store を使用して、本番インスタンスでアプリケーションを管理できます。本番インスタンスでのアプリケーション管理の詳細については、「アプリケーションの共有」を参照してください。

Git リポジトリから利用可能なオプション

ServiceNow プラットフォームには、インスタンス外のリンクされたアプリケーションファイルを変更するための限定的なサポートがあります。開発者は Git から次の操作を実行できます。

- アプリケーションファイルを別の Git ディレクトリ構造に移動します。
- ServiceNow スタジオ の外部でアプリケーションファイルを編集します。

リポジトリのルートレベルで、sn_source_control.properties と呼ばれるプロパティテキストファイルが生成されます。アプリケーションファイルを別の Git ディレクトリ構造に移動するために、アプ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

リケーション開発者は *path* パラメーターを設定して、アプリケーションファイルを含むサブフォルダーパスを指定できます。たとえば、アプリケーションを src/app サブフォルダーに移動した場合は、*path* を path=src/app に設定します。

システムは、スタジオ の外部でアプリケーションファイルが変更されたかどうかを判断するために、Git リポジトリに checksum.txt ファイルを生成します。ファイルのチェックサム値が現在のチェックサム値と一致する場合、統合は検証とサニタイズのプロセスをスキップします。チェックサム値が一致しない場合、統合はソースコントロール操作の一部としてアプリケーションファイルを検証してサニタイズします。サニタイズプロセス：

- 実行されたサニタイズアクションごとに、アップグレードログエントリを作成します。
- サポートされていないフォルダーとファイルをリポジトリから削除します。
- システムアプリケーションファイルが XML スキーマの検証に失敗した場合、すべてのソースコントロール操作を中止します。たとえば、データベースディクショナリレコードが XML スキーマの検証に失敗した場合、システムはすべての操作を中止します。
- 非システムアプリケーションファイルが XML スキーマの検証に失敗した場合、現在のソースコントロール操作をスキップします。

ソースコントロール統合は、sn_source_control.properties ファイルにリストされているアプリケーションパス内のコンテンツのみをサニタイズします。アプリケーションパス外のリポジトリコンテンツは無視されます。

MID サーバーのサポート

既存の MID サーバーを使用して、ソースコントロールリポジトリに接続します。MID サーバーを介してアプリケーションとリンクまたはインポートすると、ファイアウォールの背後にあるリポジトリにアクセスできます。

ソースコントロール統合のための MID サーバーの構成

ソースコントロール統合のために MID サーバーを構成すると、ServiceNow インスタンスと外部のアプリケーション、データソース、サービスの間の通信やデータの移動が可能になります。

- glide.attachment.extensions プロパティに「bundle」拡張を追加します。
- MID サーバーがプロキシを経由してリモートの Git リポジトリにアクセスする必要がある場合は、次の手順を実行します。
  - agent\conf\wrapper-override.conf ファイルに次の行を追加します。
  - wrapper.java.additionial.3=-Dhttps.proxyHost=<proxyHost>
  - wrapper.java.additionial.4=-Dhttps.proxyPort=<proxyPort>
  - MID を再起動します。
  - 「MID セキュリティポリシー」に新しいエントリを追加します。
  - 名前：<プロキシホスト名>
  - [アクティブ (Active)] のみをオンにします。

ソースコントロールのコミットのノイズ除去

ソースコントロールのメタデータレコードについて、ノイズを含む更新フィールドの XML ファイルにアンロードすることをスキップします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

従来 - 本番展開のヒント

ServiceNow® プラットフォームでアプリケーションのカスタマイズを開発する場合は、アプリケーションリポジトリを介してそれを本番インスタンスに展開します。このトピックでは、アプリケーションリポジトリからのアプリケーションのインストールと、ソースコントロールを使用した Git リポジトリからのインストールのトレードオフについて検討し、注意事項を示します。

重要:
Xanadu リリース以降、ServiceNow スタジオ の 従来 バージョンは将来の廃止に向けて準備されています。これは非表示になり、新しいインスタンスではアクティブ化されなくなりますが、引き続きサポートされます。廃止プロセスの詳細については、Now Support ナレッジベースの 廃止プロセス [KB0867184] の記事を参照してください。

代わりに、現在のバージョンの ServiceNow スタジオ でアプリをビルドおよび編集してみてください。詳細については、「ServiceNow スタジオ」を参照してください。

概要または本番環境への展開

技術的には、ソースコントロールを使用して、Git リポジトリから本番インスタンスにアプリケーションを「展開」できます。これにより、意図しない結果が生じる可能性があります。

用語集

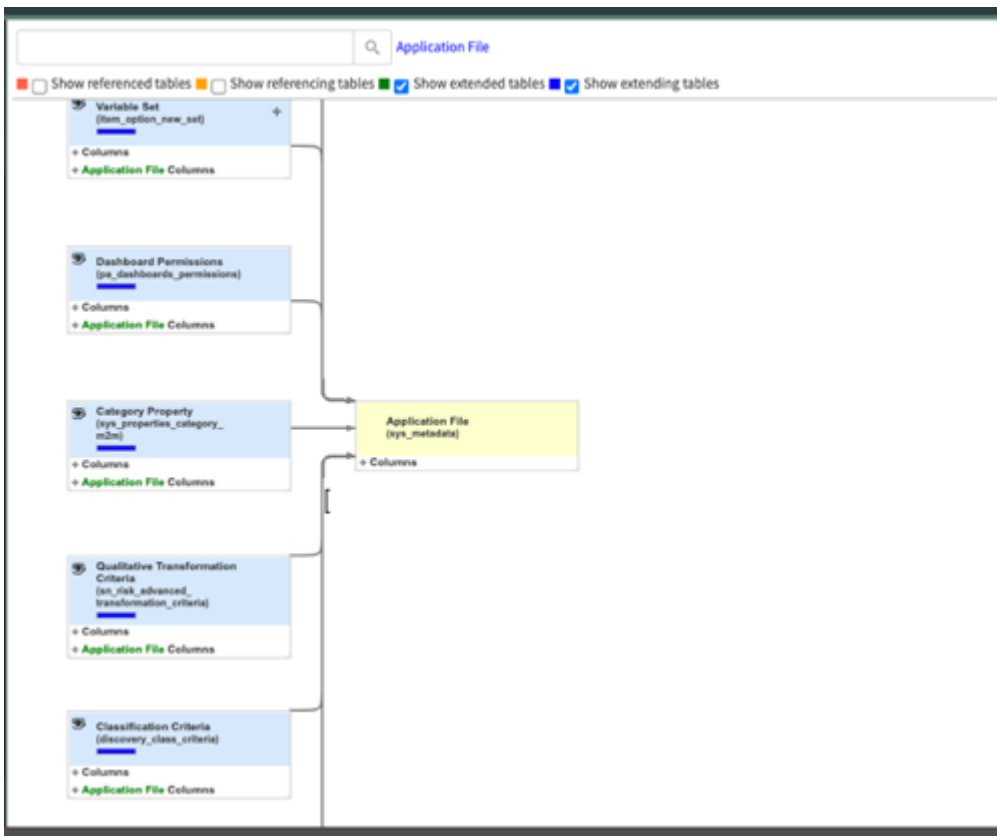
用語	定義
メタデータまたはアプリケーションファイル	sys_metadata レコードは ServiceNow 内の構成を定義し、アプリケーションにパッケージ化されています。これらのレコードは、インスタンスの動作を変更しますが、インシデントや CMDB レコードなどのデータは含まれません。(以下の注意を参照)
スコープ対象のアプリケーション	ServiceNow アプリケーションで、制限によってスコープ境界内の更新と操作のみを許可します。このメカニズムは、ほとんどの新規開発に使用されます。
グローバルアプリケーション	グローバルアプリケーションは、従来のグローバルスコープで開発されます。多くの場合、このスコープでの作業は、IT Service Management (ITSM) などの既存の ServiceNow アプリケーションのカスタマイズです。
アプリケーションリポジトリ	アプリケーションは通常、本番インスタンスでの展開のためにここで公開されます。アプリケーションリポジトリには個別のエンタイトルメントルールがありますが、ServiceNow Store と同様に動作します。
ServiceNow ストア	サードパーティ (ベンダー) アプリケーションおよび ServiceNow の公開済みアプリケーションのリポジトリです。ほとんどの顧客は Store に公開しませんが、そこからアプリケーションをインストールすることがよくあります。
更新セット	連続する各インスタンスでの展開用にカスタマイズをパッケージ化する標準的な方法です。挿

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

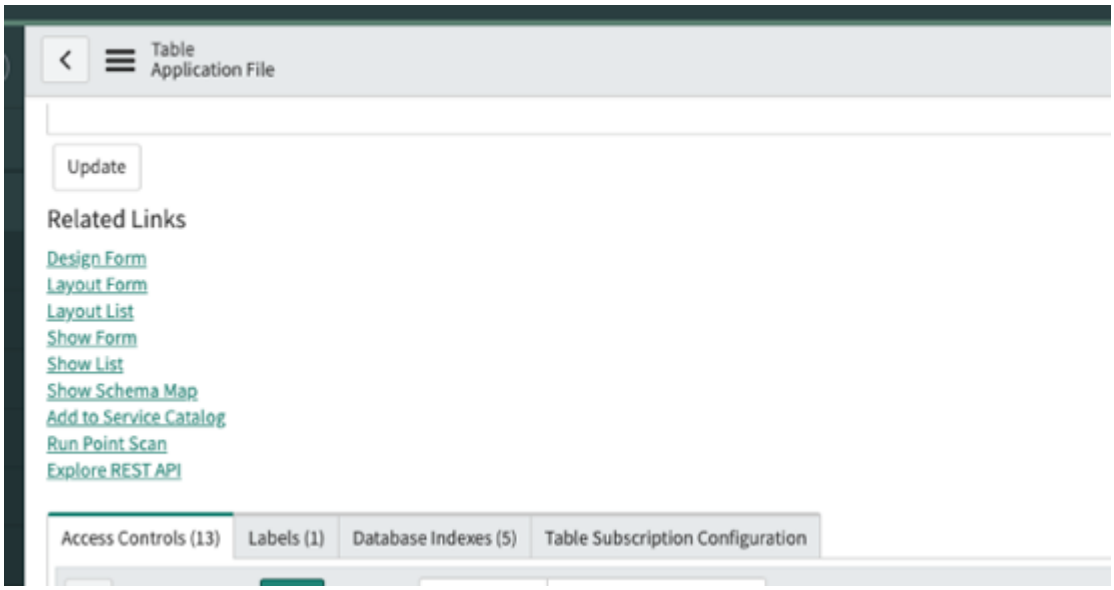
用語	定義
	入、更新、および削除の増分コレクションが含まれます。
従来 - デルタローディング	以前のアンインストール/再インストールの方法ではなく、ソースコントロールからのみ変更されるため、ロードの最も効率的な方法です。
スキーマ	テーブルとテーブルの列の定義です。
ロールバック	アドミニストレーターは、選択したアプリケーションの最後のインストールをロールバックできます。ロールバックすると、初期インストールからすべてのコード、テーブル、ファイルの更新が削除されます。

注:
sys_metadata テーブルは、テーブル継承モデルを使用する ServiceNow プラットフォーム内のすべてのアプリケーションファイルの親テーブルです。メタデータのサマリ情報を表示するには、テーブル (sys_db_object レコード) の拡張テーブル (super_class) フィールドで示される方法で直接的または間接的に拡張される親テーブルやテーブルにアクセスします。**sys_metadata** テーブルのテーブル (sys_db_object) フォームにアクセスして、フォームの下部にある [スキーママップを表示] 関連リンクを選択することで、スキーマ全体を表示することもできます。スキーマが大きいため、レンダリングに時間がかかります。



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



インストールの場所

ソースコントロールをインストールすると、進行中のカスタムアプリケーションの開発が容易になります。したがって、そのアプリケーションは、ストアアプリケーション [sys_store_app] テーブルの「インストール済み」アプリケーションとしてではなく、カスタムアプリケーション [sys_app] テーブルの「開発中」アプリケーションとして管理されます。どちらのテーブルも sys_scope の拡張であるため、どちらもスコープと同じ保護と制限を提供します。したがって、ソースコントロールの展開済みアプリケーションのインストールを検索するときは、システムアプリケーション [sys_app] テーブルと [アプリケーションマネージャー] ページの [開発中] セクションを参照してください。

ServiceNow ストアまたはアプリケーションリポジトリからアプリケーションを展開するときに、インスタンスに同じアプリケーションの sys_app レコードを含めることはできません。2 つの展開モデルは相互に排他的です。どの時点でも展開モデルが変更された場合は、まず sys_app レコードを sys_store_app レコードに変換する必要があります。この操作の実行については、ServiceNow サポートにお問い合わせください。

デルタロード

ServiceNow Paris リリースより前は、ソースコントロールからのアプリケーションインストールがトリガーされると、「リモート変更の適用」機能を含むアプリケーション全体が常に削除されて再インストールされていました。従来 - デルタローディング では変更のみが更新されるため、プロセスが大幅に簡素化されます。

デルタロードのプロセスは、ソースコントロールからの変更を増分としてロードします。リモート変更を適用する場合、既存のテーブルや列は、リポジトリから削除されない限り削除されません。これにより、存在し続けているテーブルとフィールドのデータが保持されます。

> **注:**
> **glide.source_control.allow_delta_loading_in_scopedapp** プロパティを使用すると、Paris でデルタロードを無効にできます。ただし、これにより、アプリケーションを削除して再インストールする、より破壊的な動作に戻ります。Paris のグローバルアプリケーションでは、常にデルタロードが使用されます。

次の表に、デルタロードを使用するインスタンスで予想されるさまざまな結果を示します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アプリケーションタイプ	インストールソース	パッケージにスキーマが存在するか	スキーマにデータが含まれるか	他のアプリからの要求 (グローバル)	データとスキーマの予想される結果
スコープ対象	アプリケーションリポジトリまたはストア	あり	はい/いいえ	適用外	保持
スコープ対象	アプリケーションリポジトリまたはストア	なし	はい/いいえ	適用外	保持
スコープ対象	ソースコントロール	あり	はい/いいえ	適用外	保持
スコープ対象	ソースコントロール	なし	はい/いいえ	適用外	削除
グローバル	ソースコントロール、アプリケーションリポジトリ、またはストア	あり	はい/いいえ	はい/いいえ	保持
		なし	はい	なし	保持 (1)
		なし	いいえ	あり	保持 (2)
	ソースコントロール	なし	いいえ	なし	削除 (3)
	アプリケーションリポジトリ	なし	いいえ	なし	保持

注:

- データベーススキーマとデータは保持されますが、デフォルトのグローバルアプリケーションに移動されます。
- データベーススキーマとデータは保持されますが、以前にこれらのファイルに対する要求を保持していたグローバルアプリケーションがインストールされている場合、そこに移動されます。それ以外の場合は、デフォルトのグローバルアプリケーションに移動されます。
- **u_ prefix** 付きのカスタム列にのみ適用されます。ServiceNow プラットフォームで作成された列は削除されません。

スコープ対象のアプリケーションのソースコントロールで分岐を切り替える場合は、本番環境で十分に注意してください。現在の分岐で見つかるスキーマ要素がターゲットの分岐にない場合、関連するスキーマは削除され、含まれているデータはすべて破棄されます(データが存在する場合、グローバルアプリケーションはスキーマを削除しません)。

更新セットの場合と同様に、デルタロードでは増分変更のサブセットのみを適用する必要があります。更新セットとは異なり、アプリケーションパッケージは完全なアプリケーションを表します。新しいパッケージに存在しないファイルは削除されます。これにより、機能が変更され、データが削除される可能性があります。アプリケーションリポジトリまたは ServiceNow Store からアップグレードされた更新セットとアプリケーションには、ファイルやスキーマを削除するための明示的な削除ペイロードが必要です。

アプリケーションファイルが何らかの方法で動的に生成されている場合、アプリケーションに対する次のインストール/リモート変更の適用操作で、これらのレコードは削除されます。それらは、受信したアプリケーションパッケージには存在しないと見なされます。ローカルの変更をスタッシュする

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

と、スタッシュコミットによってアプリケーションファイルを復旧できる場合がありますが、変更の結果としてデータが失われた場合、そのデータは復旧されません。

> **注:**
> sys_update_xml レコードを削除または抑制すると、動的生成ファイルはデルタロードによって削除されなくなります。ただし、このアクションは他の重大な結果や望ましくない結果をもたらす可能性があります。

リポジトリを直接編集する (特にファイルを削除する) と、データの損失やカスケード削除などの重大な影響が生じる可能性があります。このアクションは注意して実行してください。

従来 - 作成者の選択的および顧客の最新情報

アプリケーションリポジトリまたは ServiceNow® ストアからアプリケーションをインストールする場合、一連のプロパティを設定して、削除と選択処理の動作を定義できます。このような選択は「作成者の選択的」機能と呼ばれます。

> **重要:**
> Xanadu リリース以降、ServiceNow スタジオ の 従来 バージョンは将来の廃止に向けて準備されています。これは非表示になり、新しいインスタンスではアクティブ化されなくなりますが、引き続きサポートされます。廃止プロセスの詳細については、Now Support ナレッジベースの 廃止プロセス [KB0867184] の記事を参照してください。
>
> 代わりに、現在のバージョンの ServiceNow スタジオ でアプリをビルドおよび編集してみてください。詳細については、「ServiceNow スタジオ」を参照してください。

著者選択科目の概要

これらのプロパティの詳細については、「Skipped records that occur during application installation」トピックを参照してください。これらのプロパティを使用すると、独自のアプリケーションを使用しているか、サードパーティのアプリケーションを使用しているかに応じて、削除や選択の更新をオプトインまたはオプトアウトできます。

ただし、ソースコントロールからインストールする場合、グローバルアプリケーションファイルが別のグローバルアプリケーションによって要求されている場合を除き、これらのレコードはスキップされません。author_elective_update フォルダー全体の処理を無効にする **com.glide.apps.include_my_deletes** および **com.glide.apps.include_global_deletes** を除き、これらのプロパティはソースインストール済みアプリには有効ではありません。

> **注:**
> ソースコントロールのデルタロードで検出された「不在」ファイルは、author_elective_update フォルダー内に格納されている削除ペイロードとは大きく異なります。author_elective_update プロパティでは、ソースコントロールでデルタロードした場合に、ファイルが削除されることがあります。

同様に、更新セットは、受信した変更がプレビューの決定を強制しても、インスタンスで行ったカスタマイズを保護します。更新セットをコミットする前に、プレビューを実行して衝突を検出する必要があります。変更をコミットする前に、すべてのプレビューの問題に対処する必要があります。ソースコントロールではローカルの変更をスタッシュするように指示されることがありますが、インストールすると、(ローカルで変更が行われた場合でも) ソースに存在するものがロードされます。

インストールのターゲットに基づいてプロパティのバージョンが異なる必要がある場合、ソースに存在するものをロードするのは困難です。たとえば、統合 URL を含むプロパティがインスタンスの本番ロールに基づいて異なる場合、解決は困難です。**is_private** フラグはソースコントロールインストールで有効であり、プロパティが設定されている場合は上書きしないため、この問題を軽減できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

従来 - ロールバック、バックアウト、アンインストール

アプリケーションリポジトリからのアプリケーションインストールは、ロールバック用に記録されます。つまり、アドミニストレーターは、選択したアプリケーションの前回のインストールをロールバックできます。アプリケーションをロールバックすると、初期インストールからすべてのコード、テーブル、およびファイルの更新が削除されます。

> **重要:**
> Xanadu リリース以降、ServiceNow スタジオ の 従来 バージョンは将来の廃止に向けて準備されています。これは非表示になり、新しいインスタンスではアクティブ化されなくなりますが、引き続きサポートされます。廃止プロセスの詳細については、Now Support ナレッジベースの 廃止プロセス [KB0867184] の記事を参照してください。
>
> 代わりに、現在のバージョンの ServiceNow スタジオ でアプリをビルドおよび編集してみてください。詳細については、「ServiceNow スタジオ」を参照してください。

ソースコントロールのインストールはロールバック用に記録されません。つまり、アプリケーションリポジトリ、ストアのインストール、またはファミリ内のアップグレードを元に戻すロールバック機能は、ソースコントロールのインストールでは使用できません。また、ServiceNow Store アプリケーションと同じ意味で (つまり、テーブルと列を保持するオプションを使用して) アンインストールすることもできません。それらは、**sys_app** レコードを削除することで削除できます。ただし、スコープ対象のアプリケーションでは、これにより基礎となるスキーマとそのデータが破棄されます。

グローバルアプリケーションは、すべてのアプリケーションファイルを別のグローバルアプリケーションに移動するまで削除できません。アプリケーションの **sys_app** レコードを削除すると、削除ペイロードを含む **sys_update_xml** レコードも作成されます。同じアプリケーションがアプリケーションリポジトリまたは ServiceNow Store を介してインストールされている場合、これらのペイロードはスキップを生成する可能性があります。

これらのスキップを回避するには、アプリケーションリポジトリからアプリケーションをインストールする前に、**sys_update_xml** レコードを手動で削除する必要があります。また、ソースコントロールからのインストールでは、Update Sets に含まれる、新しい変更のサブセットを削除する [切り戻し] オプションはありません。つまり、このモデルで復旧できるのは、現在のバージョンのアプリケーションの上に修正された (新旧の) バージョンをインストールする場合に限定されます。このアクションでは、メタデータまたは構成のみが復元されます。インストール失敗の結果として失われたデータは、データベースの復元から復旧する必要があります。

従来 - アップグレード履歴

アップグレード履歴レコードと履歴行の処分は、インストールレコードを提供するソースコントロールインストールの一部として生成されます。

> **重要:**
> Xanadu リリース以降、ServiceNow スタジオ の 従来 バージョンは将来の廃止に向けて準備されています。これは非表示になり、新しいインスタンスではアクティブ化されなくなりますが、引き続きサポートされます。廃止プロセスの詳細については、Now Support ナレッジベースの 廃止プロセス [KB0867184] の記事を参照してください。
>
> 代わりに、現在のバージョンの ServiceNow スタジオ でアプリをビルドおよび編集してみてください。詳細については、「ServiceNow スタジオ」を参照してください。

ソースコントロールのインストールはよりアグレッシブであり、プロパティにグローバル要求または **is_private** 保護がない限り、通常はスキップされません。グローバルアプリケーションは、データを含む列、または ServiceNow ベースでインストールされた列も削除されないように保護します。

従来 - 開発に関する考慮事項

コードを開発するときは、パフォーマンスを最も効率化するために、次の提案のいくつかを検討してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

重要:
Xanadu リリース以降、ServiceNow スタジオ の 従来 バージョンは将来の廃止に向けて準備されています。これは非表示になり、新しいインスタンスではアクティブ化されなくなりますが、引き続きサポートされます。廃止プロセスの詳細については、Now Support ナレッジベースの 廃止プロセス [KB0867184] の記事を参照してください。

代わりに、現在のバージョンの ServiceNow スタジオ でアプリをビルドおよび編集してみてください。詳細については、「ServiceNow スタジオ」を参照してください。

本番インスタンスは Git リポジトリに公開すべきではありません

本番環境の完全性を保護するため、本番環境から変更をプッシュして Git リポジトリに公開しないでください。技術的には ServiceNow スタジオ でアプリケーションの変更を開いてコミットできる場合でも同様です。[Studio でアプリケーションの編集が可能] オプションは、本番環境では **sys_app** レコードで無効にできます。ただし、更新をトリガーする次のソースコード操作 (つまり、リモート変更を適用するか分岐を切り替えるとき) でリセットされます。

Git リポジトリからアプリケーションをインストールするときには依存関係がインストールされません

ソースがコントロールするアプリケーションは、自分のアプリケーションの依存関係としてリストされている場合でも、自動的にインストールまたはアップグレードされません。代わりに、顧客が自分でソースがコントロールするアプリケーションをインストールまたはアップグレードする必要があります。顧客は、正しい順序でアプリケーションをインストールおよびアップグレードする責任も負います。

本番環境ではソースコントロール権限を厳格に管理します。

ソースコード操作は、通常、そのインスタンスの開発権限を持つユーザーが利用できます。本番環境では開発を続ける必要がないため、データの損失やその他の重大な結果を避けるために、アドミン権限と委託開発権限を厳密に管理してください。

従来 - 利用可能なソースコントロール操作

ソースコントロールの統合は、主に、スタジオからの操作をサポートしますが、GIT リポジトリから直接の操作をサポートすることもできます。

重要:
Xanadu リリース以降、ServiceNow スタジオ の 従来 バージョンは将来の廃止に向けて準備されています。これは非表示になり、新しいインスタンスではアクティブ化されなくなりますが、引き続きサポートされます。廃止プロセスの詳細については、Now Support ナレッジベースの 廃止プロセス [KB0867184] の記事を参照してください。

代わりに、現在のバージョンの ServiceNow スタジオ でアプリをビルドおよび編集してみてください。詳細については、「ServiceNow スタジオ」を参照してください。

利用可能なソースコントロール操作

操作	説明	入手先
ソースコントロールからインポート	アプリケーションをリポジトリからローカルインスタンスにインポートします。	スタジオ
ソースコントロールにリンク	開発者はGITリポジトリからアプリケーションの変更を管理できます。	スタジオ
リポジトリ構成を編集	GIT リポジトリのユーザー認証情報を更新します。	スタジオ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

利用可能なソースコントロール操作 (続く)

操作	説明	入手先
リモート変更を適用	リポジトリのバージョンと一致するようにアプリケーションのローカルバージョンを更新します。	スタジオ
変更を収容	ローカルバージョンと一致するように、アプリケーションのリポジトリバージョンを更新します。	スタジオ
ローカルな変更を隠す	後で作業するためにローカルの変更を削除して保存します。	スタジオ
分岐を切り替え	アプリケーションのローカルバージョンを更新して、リポジトリ分岐バージョンと一致させます。	スタジオ
分岐を作成	リポジトリに分岐を作成して、異なるバージョンのアプリケーションを保存します。	• スタジオ • GITリポジトリ
タグを作成	特定のアプリケーションバージョンにリンクするようタグをリポジトリに作成します。	• スタジオ • GITリポジトリ
しまいこみを管理	開発者がしまい込んだ変更を適用または削除できるようにします。	スタジオ
リポジトリを作成する	アプリケーションの変更を保存するリポジトリを作成します。	GITリポジトリ
認証情報の作成	リポジトリへの認証情報を作成します。	GITリポジトリ
リポジトリへのアクセスを許可する	特定の認証情報セットに関連付けられたリポジトリへの読み書きアクセスを提供します。	GITリポジトリ
ソースコントロールリポジトリの同期	アドミニストレーターがソースコントロールリポジトリからリモート変更を適用し、インスタンスと再同期できるようにします。 **注:** この操作は、リポジトリに対してデルタロードが使用されている場合にのみ使用できます。「従来 - デルタローディング」を参照してください。	リポジトリ構成フォーム

従来 - アプリケーションまたはアプリケーションのカスタマイズをソースコントロールからインポートする

ソースコントロールリポジトリからアプリケーションまたはアプリケーションのカスタマイズをインポートして、このインスタンスで開発を続行します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に

重要:
Xanadu リリース以降、ServiceNow スタジオ の 従来 バージョンは将来の廃止に向けて準備されています。これは非表示になり、新しいインスタンスではアクティブ化されなくなりますが、引き続きサポートされます。廃止プロセスの詳細については、Now Support ナレッジベースの 廃止プロセス [KB0867184] の記事を参照してください。

代わりに、現在のバージョンの ServiceNow スタジオ でアプリをビルドおよび編集してみてください。詳細については、「ServiceNow スタジオ」を参照してください。

- 必要なロール：admin または source_control
  - アクセストークンの権限を制限して、Git リポジトリへの読み取りおよび書き込みアクセスを許可します。
  - リポジトリユーザーの認証情報は、読み取りおよび書き込みアクセス権を付与する必要があります。

  詳細については、「アプリケーションまたはアプリケーションのカスタマイズ内容をソースコントロールにリンク」を参照してください。
- 非本番インスタンスに Git リポジトリへのネットワークアクセスがあることを検証します。
- リポジトリに有効なアプリケーションが含まれていることを確認する。
- ユーザーが Git リポジトリへのコミットで使用するそれぞれのユーザーテーブル (ServiceNow sys_user) レコードに、メールアドレスを追加していることを確認します。
- アプリケーションのカスタマイズの詳細については、「アプリケーションカスタマイズの管理 (Managing application-customizations)」を参照してください。

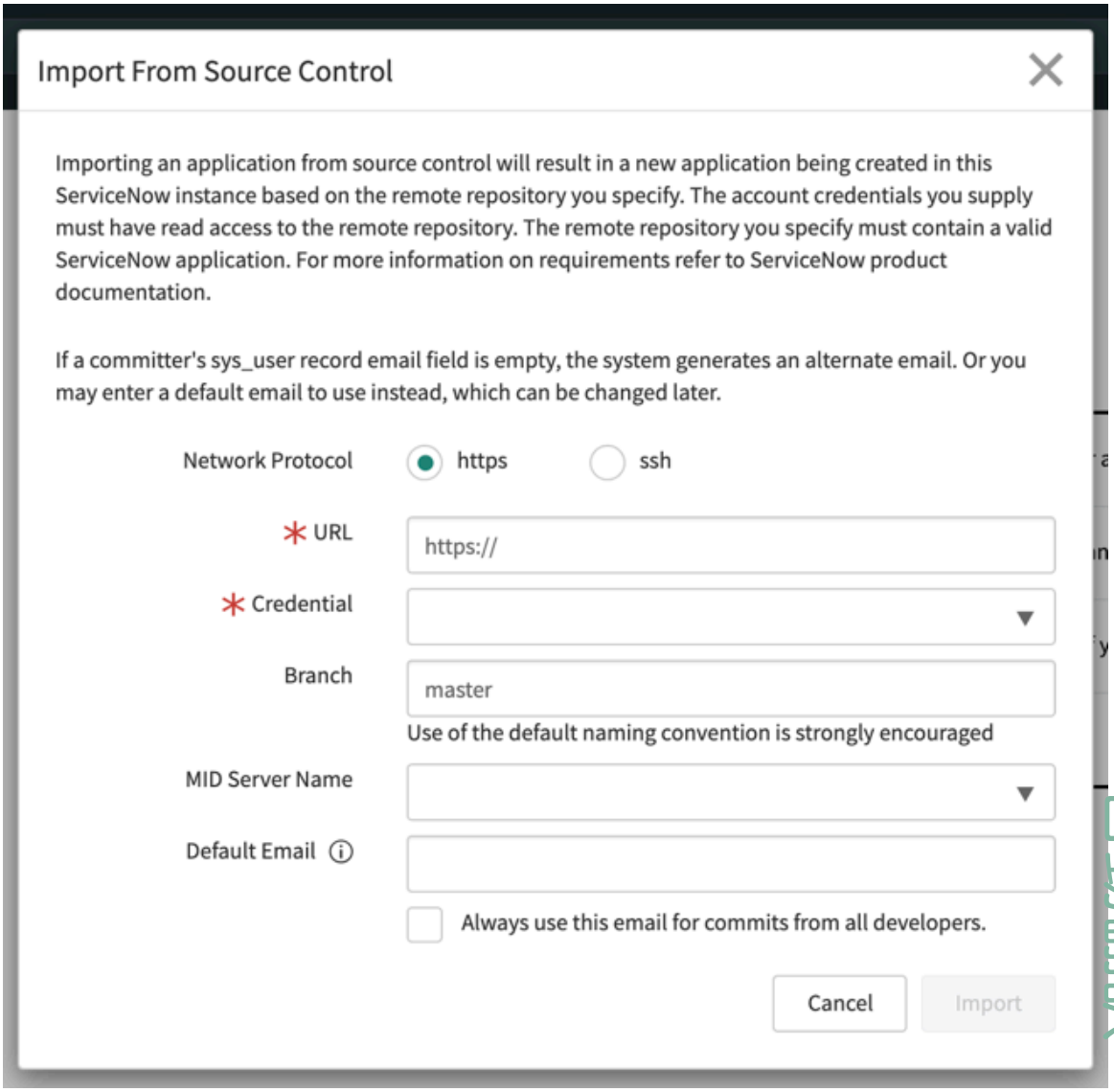
このタスクについて
ソースコントロール統合では、制作インスタンス上のアプリケーションのインポートはサポートされていません。代わりに、アプリケーションリポジトリ、更新セット、または ServiceNow Store から制作インスタンス上にアプリケーションをインストールします。

手順

1. 移動先 すべて > システムアプリケーション > スタジオ.
   スタジオページに歓迎画面が表示されます。
2. クリック スタジオを開く > 移動.
   システムがスタジオとアプリケーションの切り替えウィンドウを開きます。
3. ソースコントロールからインポートをクリックします。
   スタジオ ソースコントロールフィールドからインポートを表示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



4. 次のフィールド値を入力します。

ソースコントロールフィールドからのインポート

フィールド	説明
ネットワークプロトコル	セキュリティ保護されたチャネルデータ交換を可能にする https または ssh 認証情報タイプ。
URL	アプリケーションファイルが存在する Git リポジトリの URL。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: Git サーバーが提供する SSH の Git リポジトリ URL が機能しない場合は、Git サーバーのオーナーまたはプロバイダーに正しい URL を確認してください。Git リポジトリ URL が機能するために、追加仕様 (スキームプロトコルプリフィックス、ポート番号など) が必要な場合があります。
認証情報	Git リポジトリの認証情報を選択します(「認証情報の開始」を参照)。 **注:** ssh ネットワークプロトコルを選択した場合は、[SSH プライベートキー] タイプの有効な認証情報を入力します。https プロトコルを選択した場合は、基本認証情報タイプの有効な認証情報を入力します。
分岐	アプリケーション内で機能するリポジトリ分岐。 **注:** デフォルトの分岐には、インスタンスの名前が付けられます。名前を選択しない場合、分岐はデフォルトで [マスター] になります。
MID サーバー名	既存の MID サーバーを選択して、企業ファイアウォールの背後に格納されている Git リポジトリにリンクします。 **注:** ディスカバリー アクティビティとの競合を防ぐために、個別の MID サーバーを使用します。
デフォルトのメール	コミット担当者のメールアドレスは、sys_user レコードによって定義されます (利用可能な場合)。ただし、コミット担当者の sys_user レコードメールフィールドが空の場合、システムは代替メール (username@instancename.service-now.com) を生成します。デフォルトのメールアドレスを入力して、後で変更することもできます。すべてのケースでそのデフォルトのメールアドレスを使用する場合は、このチェックボックスをオンにします。

注:
インスタンス上のすべてのアプリケーション開発者は、Git リポジトリをアプリケーションにリンクするための認証情報を共有します。

5. [インポート] をクリックします。
checksum.txt ファイル内のチェックサムが、現在のチェックサムと比較されます。チェックサム値が一致すると、統合は検証をスキップしてアプリケーションをインポートします。チェックサム値が一致しない場合、統合は最初にアプリケーションファイルを検証してサニタイズしてから、それらをインポートします。
6. アプリケーションの選択をクリックします。
スタジオ アプリケーションをウィンドウに新しい選択肢として表示します。

次のタスク

- インポート中にアプリケーションファイルに適用されたサニタイズのアップグレードログを確認します。
- インポートしたアプリケーションを選択して編集する。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

関連情報

MID サーバー

認証情報の開始

従来 - アプリケーションまたはアプリケーションのカスタマイズ内容をソースコントロールにリンクする

アプリケーションまたはアプリケーションのカスタマイズをソースコントロールにリンクすると、アプリケーション開発者は Git リポジトリから変更を管理できます。

始める前に

重要:
Xanadu リリース以降、ServiceNow スタジオ の 従来 バージョンは将来の廃止に向けて準備されています。これは非表示になり、新しいインスタンスではアクティブ化されなくなりますが、引き続きサポートされます。廃止プロセスの詳細については、Now Support ナレッジベースの 廃止プロセス [KB0867184] の記事を参照してください。

代わりに、現在のバージョンの ServiceNow スタジオ でアプリをビルドおよび編集してみてください。詳細については、「ServiceNow スタジオ」を参照してください。

- 必要なロール：admin
- 詳細については、「アプリケーションカスタマイズの管理 (Managing application-customizations)」を参照してください。
- アプリケーションの専用 Git リポジトリを作成します。セキュリティを強化するには、Git リポジトリに対するマルチファクター認証を有効にします。
- パスワードと複数要素認証パスキーの代わりにソースコントロール統合で使用できるアクセストークンを生成する。個人アクセストークンを GitHub または GitLab で検索する。
- アクセストークンの権限を制限して、Git リポジトリへの読み取りおよび書き込みアクセス権を付与します。
- 非本番インスタンスに Git リポジトリへのネットワークアクセスがあることを検証します。
- ユーザーが Git リポジトリへのコミットで使用するそれぞれのユーザーテーブル (ServiceNow sys_user) レコードに、メールアドレスを追加していることを確認します。
- 詳細を見る： 従来 - 完了した更新セット履歴をソースコントロールに移行する

このタスクについて
ソースコントロール統合は、本番インスタンス上のアプリケーションまたはカスタマイズへのリンクをサポートしません。代わりに、アプリケーションリポジトリ、更新セット、または ServiceNow Store から本番インスタンス上にアプリケーションをインストールします。

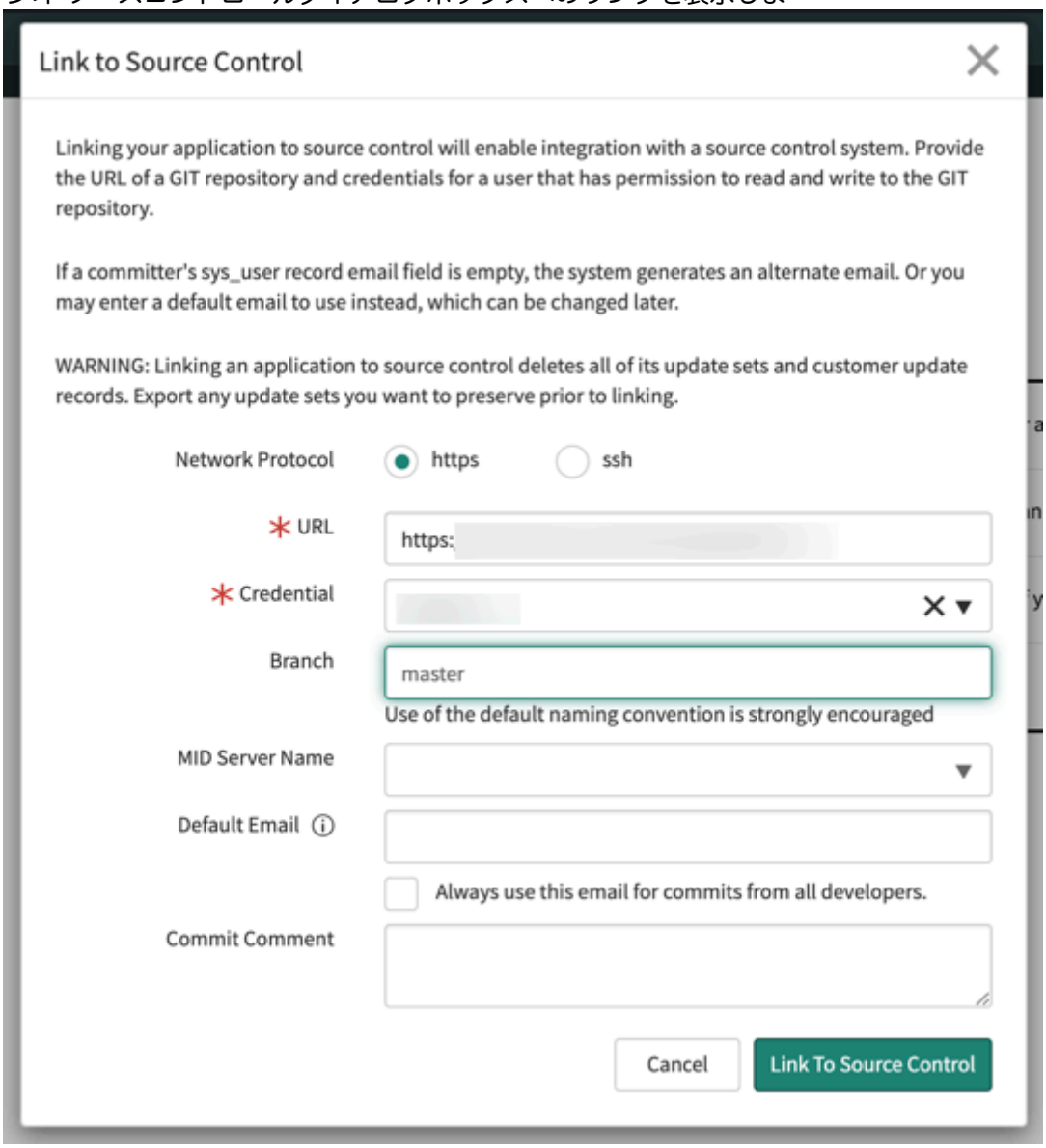
手順

1. ソースコントロールにリンクしたいアプリケーションをスタジオに開きます。
2. 移動先 ソースコントロール > ソースコントロールにリンク.

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スタジオ ソースコントロールダイアログボックスへのリンクを表示しま



す。

3. Git リポジトリの接続の詳細を入力します。

ソースコントロール接続の詳細

フィールド	説明
ネットワークプロトコル	セキュリティ保護されたチャネルデータ交換を可能にする HTTPS または SSH 認証情報タイプ。
URL	アプリケーションファイルを保存する Git リポジトリの URL。SSH プロトコルの場合は、コマンドを使用して秘密キー `ssh-keygen -t rsa -m PEM -b 4096 -C "email@address"` を生成します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: Git サーバーが提供する SSH の Git リポジトリ URL が機能しない場合は、Git サーバーのオーナーまたはプロバイダーに正しい URL を確認してください。Git リポジトリ URL が機能するために、追加仕様 (スキームプロトコルプリフィックス、ポート番号など) が必要な場合があります。
認証情報	選択したプロトコルで使用する認証情報。認証情報の作成の詳細については、「認証情報の開始」を参照してください。 注: SSH ネットワークプロトコルを選択した場合は、SSH 秘密キータイプの有効な認証情報を入力します。https プロトコルを選択した場合は、基本認証情報タイプの有効な認証情報を入力します。
分岐	アプリケーション内で機能するリポジトリ分岐。
MID サーバー名	リンクが経由する既存の MID サーバーの名前。 注: ディスカバリー アクティビティとの競合を防ぐために、個別の MID サーバーを使用します。 MID サーバーのユーザーが sys_attachment テーブルにファイルを作成でき、そのテーブルが「バンドル」タイプのファイルを受け入れることができることを確認してください。 MID サーバーを介してアプリケーションとリンクまたはインポートすると、ファイアウォールの背後にあるリポジトリにアクセスできます。詳細については、「ソースコントロールでの MID サーバーの使用」および「MID サーバー」のトピックを参照してください。
デフォルトのメール	コミット担当者のメールアドレスは、sys_user レコードによって定義されます (利用可能な場合)。ただし、コミット担当者の sys_user レコードメールフィールドが空の場合、システムは代替メール (username@instancename.service-now.com) を生成します。デフォルトのメールアドレスを入力して、後で変更することもできます。すべてのケースでそのデフォルトのメールアドレスを使用する場合は、このチェックボックスをオンにします。
コミットのコメント	リポジトリまたはアプリケーションの付随的説明

注:
インスタンス上のすべてのアプリケーション開発者は、1 組のリポジトリ認証情報を共有します。

4. [送信] をクリックします。
システムは接続とユーザーの認証情報を検証し、成功メッセージを表示します。

インスタンスのすべてのアプリケーション開発者は、リンクされた Git リポジトリを使用して変更を管理できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

関連情報

認証情報の開始

従来 - ソースコントロールでの MID サーバーの使用

ServiceNow® MID サーバーは、ServiceNow インスタンスと外部のアプリケーション、データソース、サービスの間のデータの通信や移動を支援します。

重要:
Xanadu リリース以降、ServiceNow スタジオ の 従来 バージョンは将来の廃止に向けて準備されています。これは非表示になり、新しいインスタンスではアクティブ化されなくなりますが、引き続きサポートされます。廃止プロセスの詳細については、Now Support ナレッジベースの 廃止プロセス [KB0867184] の記事を参照してください。

代わりに、現在のバージョンの ServiceNow スタジオ でアプリをビルドおよび編集してみてください。詳細については、「ServiceNow スタジオ」を参照してください。

バンドルファイルの MID サーバーでの機能

.bundle ファイルは、MID サーバーでのソースコントロール機能に役立ちます。バンドルファイルは、Git がローカルリポジトリを 1 つのファイルにパッケージ化する方法です。これにより、リポジトリの共有または移動がより簡単に、合理化されます。その後ファイルは MID サーバーに送信され、リモートリポジトリに渡されます。

outgoing.bundle (コミット操作) と incoming.bundle (リモート変更の適用) は、MID サーバーに送信されるすべての要求について、MID サーバー添付ファイルテーブル [ecc_agent_attachment] に添付されます。outgoing.bundle は インスタンスで作成され、incoming.bundle は MID サーバーで作成されます。

操作が正常に完了すると、バンドルファイルはリポジトリ構成テーブル [sys_repo_config] に添付される golden.bundle に「昇格」されます。これは、まだソースコントロール操作を実行していないノードでリポジトリを初期化するために使用されます。

自動クローズツール [sys_auto_flush] は、30 日以上経過したすべての ecc_agent_attachment レコードを削除する「テーブルクリーナー」です。このアクションにより、対応する添付ファイルも削除されます。

バンドルファイルは MID サーバーに保持されて、MID サーバーの Import ディレクトリに保存されます。

MID サーバーでは、バンドルファイルは Import フォルダーに保存されます。このフォルダーは、ユーザーが構成できるシステムプロパティ (user.dir) によって定義されたユーザーディレクトリの下にあります。バンドルファイルは、いつでも操作の最後のシステムフラッシュの一部として削除されます。

MID サーバーの操作

注:
エクスポート後にアプリ全体がバンドルされ、アプリのサイズに依存するため、MID サーバーを使用しているときは、大規模なアプリケーションではソースコントロール操作に時間がかかる場合があります。

- ディスカバリーとの競合を回避し、システム添付ファイル [sys_attachment] テーブルのファイルを作成します (MID サーバー)
- システムのプロパティの制限について学習します (添付ファイルのシステムプロパティの構成)

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

従来 - 完了した更新セット履歴をソースコントロールに移行する

ソースコントロールにリンクすると、この機能により、アプリケーション開発者は完了した更新セット内の情報をソースコントロール履歴に移行することもできます。

重要:
Xanadu リリース以降、ServiceNow スタジオ の 従来 バージョンは将来の廃止に向けて準備されています。これは非表示になり、新しいインスタンスではアクティブ化されなくなりますが、引き続きサポートされます。廃止プロセスの詳細については、Now Support ナレッジベースの 廃止プロセス [KB0867184] の記事を参照してください。

代わりに、現在のバージョンの ServiceNow スタジオ でアプリをビルドおよび編集してみてください。詳細については、「ServiceNow スタジオ」を参照してください。

移行前

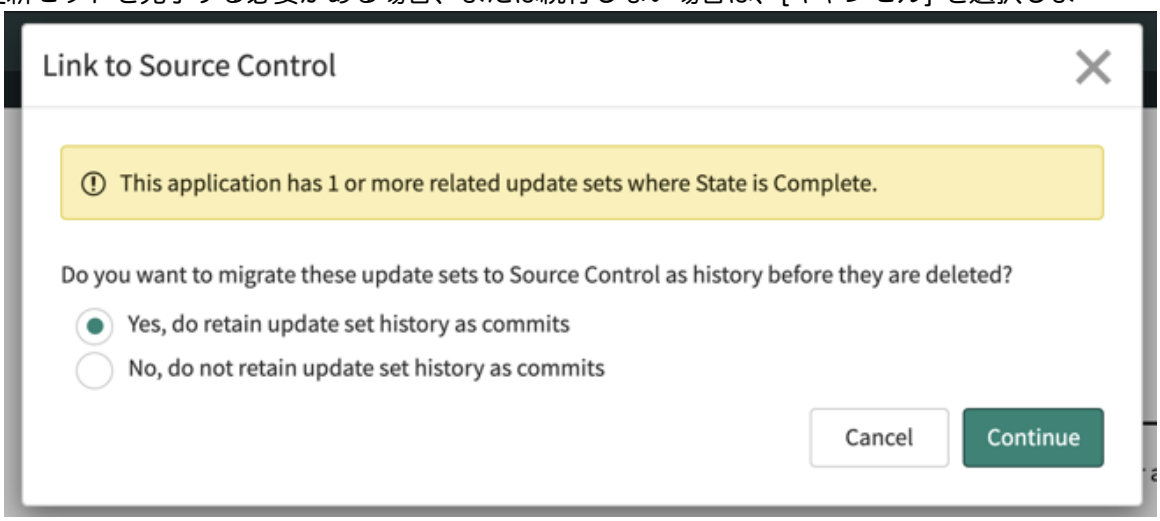
更新セットを移行してみる前に、次の基準を満たしていることを確認してください。

- 必要なロール：admin
- 「従来 - アプリケーションまたはアプリケーションのカスタマイズ内容をソースコントロールにリンクする」トピックを読みます。
- ソースコントロール履歴としてエクスポートする、アプリケーションの更新セットを完了します。
- 保持する必要がある場合は、完了した更新セットをエクスポートします。

アプリケーションをソースコントロールにリンクすると、更新セットと顧客更新レコードが削除されます。ソースコントロールにリンクした後、アプリケーションに完了した更新セットがある場合は、下のダイアログボックスで選択を求められます。

- [はい、更新セット履歴をコミットとして保持します] を選択した場合、更新セット履歴はソースコントロールのコミットとして保持されます。
- [いいえ、更新セット履歴をコミットとして保持しません] を選択すると、コミットとして保持されません。

選択したオプションに関係なく、[続行] を選択すると、[ソースコントロールにリンク] 操作が開始され、完了したすべての更新セットとすべての顧客更新レコードが削除されます。追加の更新セットを完了する必要がある場合、または続行しない場合は、[キャンセル] を選択します。



ソースコントロールにリンクしている、アプリケーションの更新を含む完了した更新セットごとに、更新セットの sys_update_xml レコードに基づいてコミットが自動的に生成されます。コミットは **sys_recorded_at** タイムスタンプ順に並べられます。グローバルアプリケーションの場合：アプリ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ケーションに属し、完了したグローバル更新セットの一部である **sys_update_xml** レコードは、履歴コミットとしてキャプチャされます。

[ソースコントロールにリンク] 操作が完了すると、最新のコミットがアプリケーション全体の状態になります。Git リポジトリでコミットの履歴を表示するか、 [ソースコントロール] メニューオプションをクリックして [履歴を表示] を選択します。更新は複数のコミットに分離されます。

- 異なる更新セット間でファイルの更新が順序通りでない場合。
- 更新セットに 1 つのファイルの複数の更新レコードが含まれている場合。

1 つの更新セットに対するコミットは、複数のコミット ([過去のコミット 1]、[過去のコミット 2]...) に分割されて各更新を表します。これにより、各ファイルの更新の履歴が順序付けされます。

> ⚠ **警告:**
> [過去のコミット] のプリフィックスが付いたコミットは、その履歴を表示するためだけに生成されます。これらのコミットがアプリケーションの安定したスナップショットを表すとは限らないため、開発プロセスではこれらをチェックアウトしないでください。

最初のコミットまで、**author_elective_update** フォルダーは作成されません。つまり、最初のコミットでは、**sys_choice** ファイルなどのファイルの名前が変更され、update フォルダーから **author_elective_update** フォルダーに移動されている可能性があります。履歴コミットで更新セットから削除されたファイルは削除され、実際のコミットの場合とは異なり、**author_elective_update** フォルダーに移動されません。最初のコミット中に、完了した更新セットの一部として削除された DELETE sys_update_xml レコードに対しても削除ペイロードが作成されます。

コミットメッセージの例：

```
[Historical Commit 1] <Name of update set that this commit belongs to>
Description: <Description of update set that this commit belongs to>
Update Set was completed on / installed on <date>
Update Set was completed by <sys_user user_name > <sys_user email>
{
```

sys_update_setレコードからの追加値 (以下の 「カスタマイズ」 セクションを参照)

```
}
{
```

バッチ更新セット情報:以下の「 バッチ更新セット 」セクションを参照してください。

バッチ更新セット

更新セットがバッチ更新セットの一部である場合、その情報は次の形式でコミットメッセージに追加されます (最大番号がバッチベース)。

```
{
"1": {
"parent": "<name of parent update set>",
"description": "<description of parent update set>"
},
"2": {
"parent": " <name of parent 1’s parent update set> ",
"description": " <description of parent 1’s parent update set> "
}
}
```

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

カスタマイズ

コミットメッセージに含めるフィールドを追加するには、**glide.source_control.historical_commit_fields** プロパティを追加します。値は、ユーザーが sys_update_set XML フィールドから含めるフィールドの、カンマ区切りリストです。スペース、無効なフィールド名、またはスペルミスのあるフィールド名は無視されます。コミット担当者が更新セット履歴を保持することを選択した場合、このプロパティは、インスタンスからソースコントロールにリンクされているすべてのアプリケーションで使用されます。

注:
フィールドの値が別のテーブルまたは sys_id を参照する場合、フィールドの値のみが追加されます。たとえば、ユーザーの名前の代わりにそのユーザーの sys_id が追加されます。

XML の例

```
▼<xml>
  ▼<sys_update_set>
     <application
     display_value="test_app2">a388a8735be720107c7899b8b681c7d8</application>
     <base_update_set/>
     <completed_by display_value="System
     Administrator">6816f79cc0a8016401c5a33be04be441</completed_by>
     <completed_on>2021-04-22 22:14:38</completed_on>
     <description>added a script include</description>
     <install_date/>
     <installed_from/>
     <is_default>false</is_default>
     <merged_to/>
     <name>update set 1</name>
     <origin_sys_id/>
     <parent/>
     <release_date/>
     <remote_sys_id/>
     <state>complete</state>
     <sys_created_by>admin</sys_created_by>
     <sys_created_on>2021-04-22 22:13:45</sys_created_on>
     <sys_id>6961f0f75be720107c7899b8b681c71f</sys_id>
     <sys_mod_count>1</sys_mod_count>
     <sys_updated_by>admin</sys_updated_by>
     <sys_updated_on>2021-04-22 22:14:38</sys_updated_on>
   </sys_update_set>
 </xml>
```

プロパティの値

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

コミットメッセージの結果

従来 - **Git** リポジトリ設定を編集する

Git リポジトリを編集して、ネットワークプロトコルの選択、認証情報、またはその他のフィールドエントリを変更できます。

始める前に

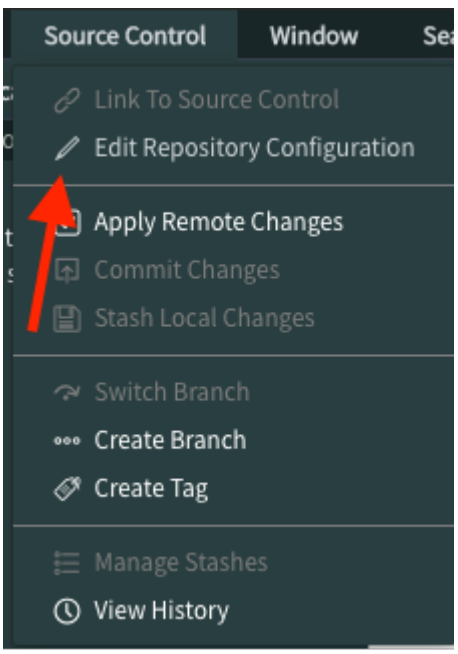
重要:
Xanadu リリース以降、ServiceNow スタジオ の 従来 バージョンは将来の廃止に向けて準備されています。これは非表示になり、新しいインスタンスではアクティブ化されなくなりますが、引き続きサポートされます。廃止プロセスの詳細については、Now Support ナレッジベースの 廃止プロセス [KB0867184] の記事を参照してください。

代わりに、現在のバージョンの ServiceNow スタジオ でアプリをビルドおよび編集してみてください。詳細については、「ServiceNow スタジオ」を参照してください。

必要なロール：admin

手順

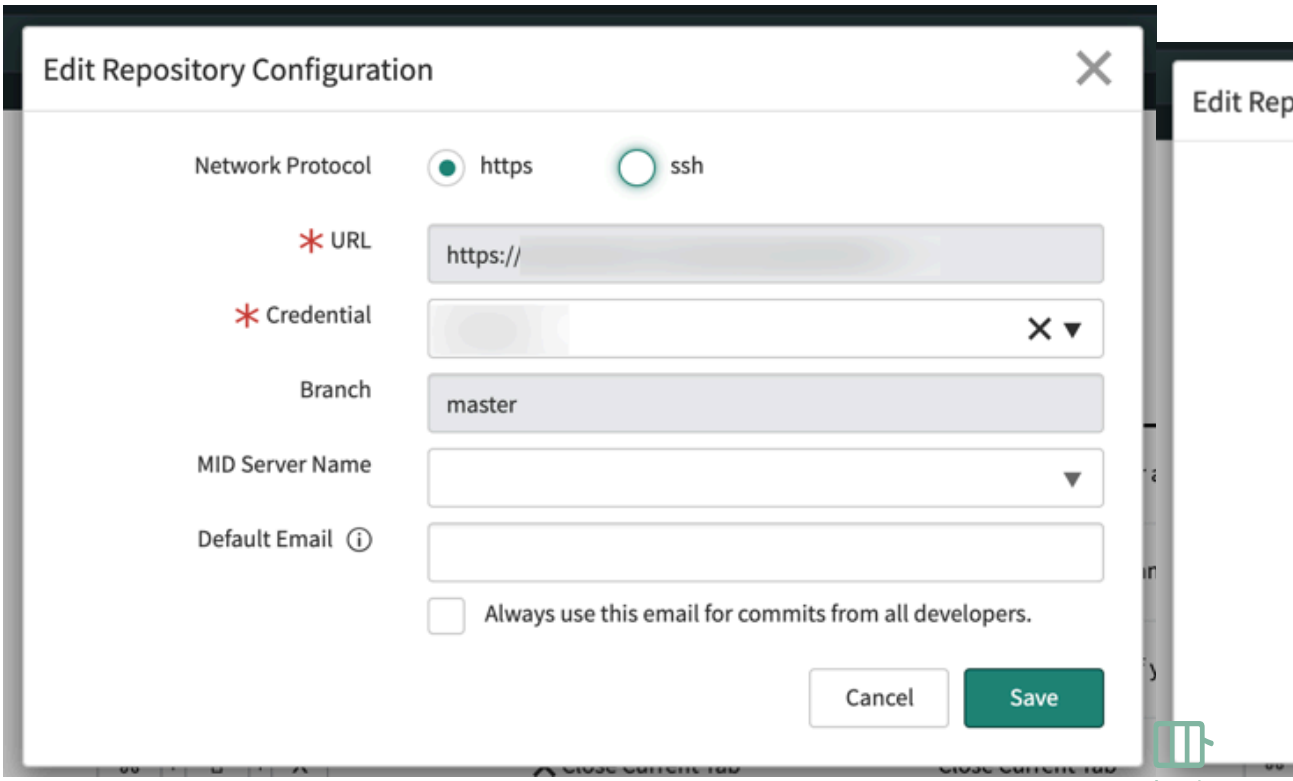
1. Studio で、 リポジトリ構成を編集.



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

2. **[https]** または **[ssh]** ネットワークプロトコルを選択して、リポジトリの URL アドレスを入力します。



3. 必要に応じて、認証情報または MID サーバー名を変更します。

> **注:**
> MID サーバー名がない場合は、ドロップダウンリストから新しい名前を選択できます。新しい MID サーバーを選択する場合は、[ソースコントロール] メニューで従来 - リモート変更を適用してからその後のソースコントロール操作を行って、エラーを回避します。

デフォルトのメールフィールドでは、コミット担当者のメールアドレスは、sys_user レコードによって定義されます (利用可能な場合)。ただし、コミット担当者の sys_user レコードメールフィールドが空の場合、システムは代替メール (username@instancename.service-now.com) を生成します。デフォルトのメールアドレスを入力して、後で変更することもできます。すべてのケースでそのデフォルトのメールアドレスを使用する場合は、このチェックボックスをオンにします。

4. [保存] をクリックします。

従来 - リモート変更を適用

アプリケーション開発者は、リンクされたGITリポジトリから変更を引出して、ローカルインスタンスにリモート変更を適用できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に

> **重要:**
> Xanadu リリース以降、ServiceNow スタジオ の 従来 バージョンは将来の廃止に向けて準備されています。これは非表示になり、新しいインスタンスではアクティブ化されなくなりますが、引き続きサポートされます。廃止プロセスの詳細については、Now Support ナレッジベースの 廃止プロセス [KB0867184] の記事を参照してください。
>
> 代わりに、現在のバージョンの ServiceNow スタジオ でアプリをビルドおよび編集してみてください。詳細については、「ServiceNow スタジオ」を参照してください。

- 必要なロール：admin
- 従来 - アプリケーションまたはアプリケーションのカスタマイズ内容をソースコントロールにリンクする

手順

移動先 すべて > ソースコントロール > リモート変更を適用.
次の操作が行われます：

- システムは、リモートリポジトリから最新の変更を取ってくる。
- システムは、リモート変更をインスタンスに適用する。
- システムは解決を必要とする変更の競合を特定する。

競合が発生した場合、システムは競合を解決するためのウインドウを表示します。

システムプロパティのデフォルトでデルタロードがアクティブ化されているため、データは削除されません。データを自動的に削除する場合は、この機能を無効にします。

> **注:**
> ソースコントロールでの [リモート変更を適用] やその他の操作の後に、次のエラーメッセージが表示される場合があり ます：`Skipped loading file *.xml, cannot parse the xml document, found git merge conflicts tokens` (*.xml ファイルのロードをスキップしました。xml ドキュメントを解析できません。Git の結合競合トークンが見つかりました)。アプリケーションのファイルに、Git リポジトリが結合競合トークンとして解釈する値が含まれていないことを確認してください。これらは実際の競合ではありませんが、いずれにしても削除する必要があります。そのような値の例：
>
> `>>>>>>>`
>
> `=======`
>
> `<<<<<<<`

次のタスク
変更の競合を解決します。

従来 - 変更をコミット

アプリケーション開発者は、インスタンスの変更をリンクされた Git リポジトリにコミットできます。変更をいくつか選択してコミットすることも、インスタンスに対するすべての変更を一度にコミットすることもできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に

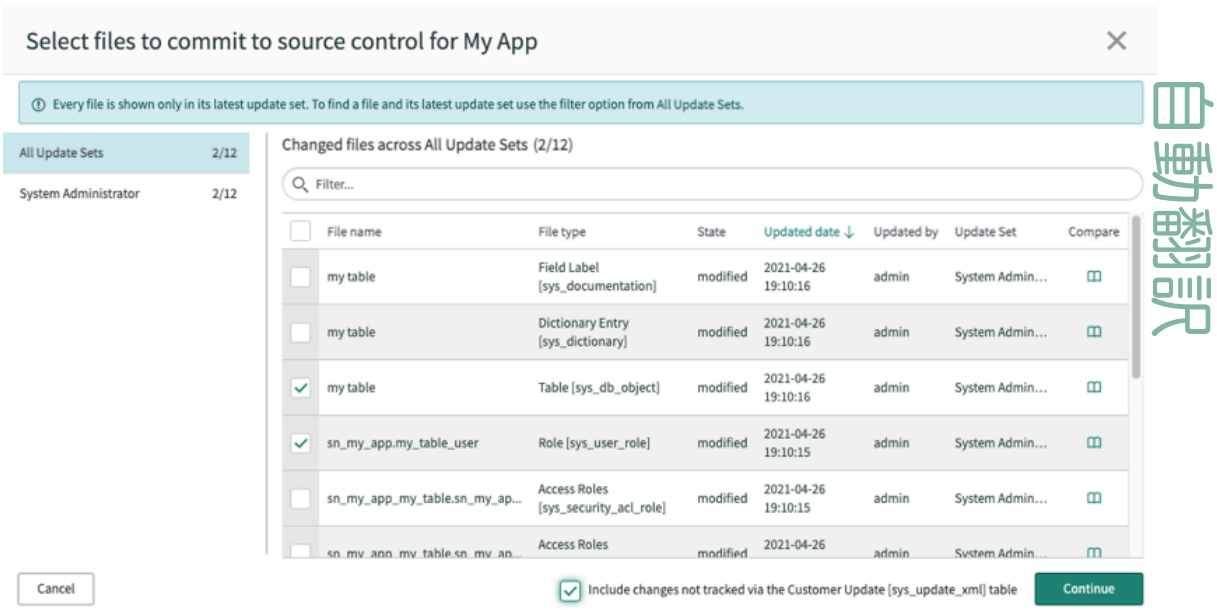
重要:
Xanadu リリース以降、ServiceNow スタジオ の 従来 バージョンは将来の廃止に向けて準備されています。これは非表示になり、新しいインスタンスではアクティブ化されなくなりますが、引き続きサポートされます。廃止プロセスの詳細については、Now Support ナレッジベースの 廃止プロセス [KB0867184] の記事を参照してください。

代わりに、現在のバージョンの ServiceNow スタジオ でアプリをビルドおよび編集してみてください。詳細については、「ServiceNow スタジオ」を参照してください。

- 必要なロール：admin
- 従来 - アプリケーションまたはアプリケーションのカスタマイズ内容をソースコントロールにリンクする

手順

1. 移動先 すべて > ソースコントロール > 変更を収容.
   [ソースコントロールにコミットするファイルを選択] ウィンドウが表示されます。すべての更新セットからのファイル変更が表示されます。デフォルトでは、現在の更新セットからのファイル変更が表示されます。



2. コミットするファイル変更を選択します。
3. 追跡されていない変更を含めるには、[顧客アップデート **[sys_update_xml]** テーブルを介して追跡されない変更を含める] チェックボックスをオンにします。
   - このチェックボックスのデフォルトは、**[glide.sourcecontrol.default_commit_mode]** プロパティを介して設定されます。
     - プロパティは、**[include_untracked]** または **[exclude_untracked]** に設定できます。
     - **[include_untracked]** モードは、sys_update_xml レコードを生成しないアプリケーションに対する更新とともに、ユーザーが選択した更新をコミットします。
     - **[exclude_untracked]** モードでは、[ソースコントロールにコミットするファイルを選択] ダイアログでユーザーが選択した更新のみがコミットされます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- プロパティのベースシステム設定は **[exclude_untracked]** です。
- ServiceNow Rome より前のリリースでは、**include_untracked** モードのみが使用されます。

チェックボックスを非表示にして **[glide.sourcecontrol.default_commit_mode]** プロパティの値を使用するには、**[sn_devstudio.vcs.allow_commit_mode_selection]** プロパティを作成して [false] に設定します。このチェックボックスをオンにすると、パフォーマンスが低下する可能性があります。

注:

次の場合、コミットは常に **[include_untracked]** モードで発生します。

- 初めてソースコントロールにリンクするとき (詳細については、「従来 - アプリケーションまたはアプリケーションのカスタマイズ内容をソースコントロールにリンクする」を参照してください)。
- ServiceNow Studio からソースコントロールにリンクされたアプリケーションを公開するとき (詳細については、「従来 - ソースコントロールにリンクされている場合、ServiceNow スタジオ からアプリケーションを公開する」を参照してください)。
- 選択的コミットモードが無効のとき。

4. [続行] をクリックします。
5. [コメントをコミット] に、変更のコメントを入力します。
6. [コミットファイル] をクリックします。
   次の操作が行われます：
   - システムは全てのローカルな変更を識別します。
   - システムは、リモートリポジトリにすべてのローカル変更を収容します。

注:
顧客更新レコードがなく、追跡もされていない既知のファイルのリストについては、「Customer Updates table」を参照してください。

従来 - ローカルな変更を隠す

アプリケーション開発者は、変更をローカルで削除して保存し、後で適用できます。

始める前に

重要:
Xanadu リリース以降、ServiceNow スタジオ の 従来 バージョンは将来の廃止に向けて準備されています。これは非表示になり、新しいインスタンスではアクティブ化されなくなりますが、引き続きサポートされます。廃止プロセスの詳細については、Now Support ナレッジベースの 廃止プロセス [KB0867184] の記事を参照してください。

代わりに、現在のバージョンの ServiceNow スタジオ でアプリをビルドおよび編集してみてください。詳細については、「ServiceNow スタジオ」を参照してください。

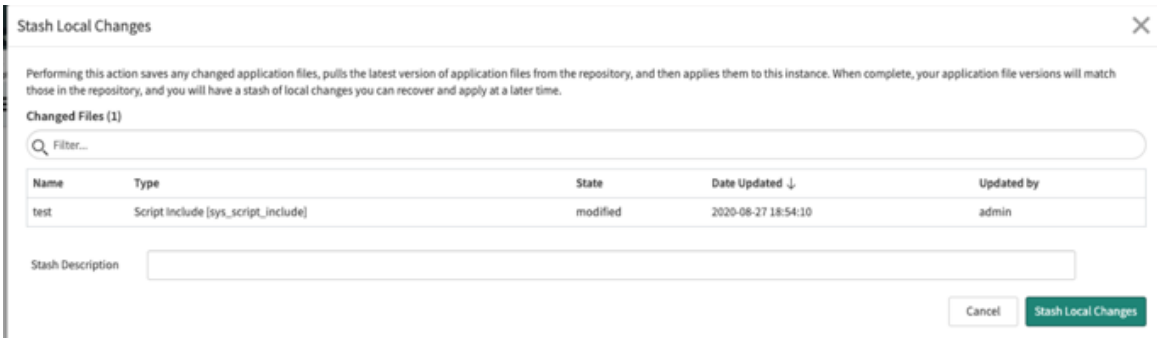
- 必要なロール：admin
- アプリケーションをソースコントロールにリンクする
- 1つまたは複数のアプリケーションファイルを変更する。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて
変更をしまい込むと、現アプリケーションからその変更が除去され、後ほど開発者が適用または削除するために保存します。

手順

1. スタジオから、以下に移動します ソースコントロール > ローカル変更をスタッシュ.
   システムがローカルで変更されたファイルのリストを表示します。
2. 説明を入力します。
3. ローカル変更をしまい込むをクリックします。
   システムは現在の変更を保存し、成功メッセージを表示します。



注:
San Diego 以降のリリースでは、スタッシュ中の更新のたびにユーザー情報が保持されます。スタッシュが適用されると、各更新はそれぞれのユーザーの進行中のローカル更新セットに復元されます。

次のタスク

- ダイアログを閉じる
- 従来 - スタッシュの管理

詳細については、「認証情報の開始」を参照してください。

従来 - 分岐を切り替える

アプリケーション開発者は別のリポジトリブランチに切り替えて、別のバージョンのアプリケーションで作業できます。

始める前に

重要:
Xanadu リリース以降、ServiceNow スタジオ の 従来 バージョンは将来の廃止に向けて準備されています。これは非表示になり、新しいインスタンスではアクティブ化されなくなりますが、引き続きサポートされます。廃止プロセスの詳細については、Now Support ナレッジベースの 廃止プロセス [KB0867184] の記事を参照してください。

代わりに、現在のバージョンの ServiceNow スタジオ でアプリをビルドおよび編集してみてください。詳細については、「ServiceNow スタジオ」を参照してください。

- 必要なロール：admin
- 1つ以上の利用可能なブランチを持つGITリポジトリ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > ソースコントロール > 分岐を切り替え.
   [分岐を切り替え] ウィンドウが表示されます。
2. オプション: インスタンスにローカルで変更があった場合は、それらを保存または破棄できます。

   注:
   ローカルな変更を破棄するときは注意します。すべてのアプリケーション開発者はリポジトリの認証情報を共有するため、1 組のユーザー変更だけを破棄する方法はありません。後で破棄した変更を回復することはできません。

3. 切り替え先の分岐を選択します。
4. ブランチ切り替えをクリックします。
   スタジオ ではリポジトリからの分岐バージョンと一致するようにローカルアプリケーションが更新されます。

従来 - 分岐を作成

アプリケーション開発者は、既存のアプリケーションの新しいバージョンで作業するブランチを作成できます。

始める前に

重要:
Xanadu リリース以降、ServiceNow スタジオ の 従来 バージョンは将来の廃止に向けて準備されています。これは非表示になり、新しいインスタンスではアクティブ化されなくなりますが、引き続きサポートされます。廃止プロセスの詳細については、Now Support ナレッジベースの 廃止プロセス [KB0867184] の記事を参照してください。

代わりに、現在のバージョンの ServiceNow スタジオ でアプリをビルドおよび編集してみてください。詳細については、「ServiceNow スタジオ」を参照してください。

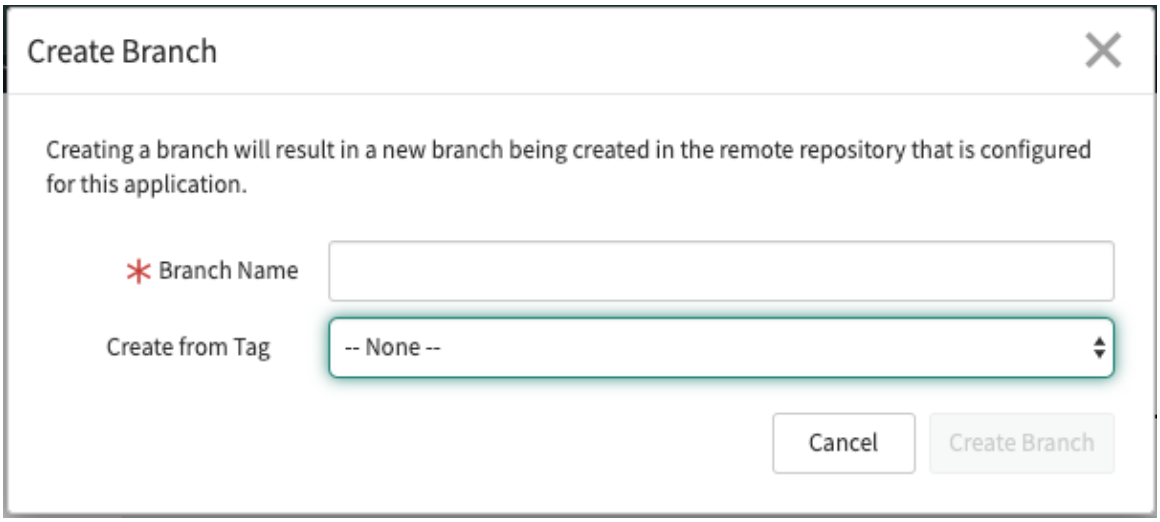
- 必要なロール：admin または sn_group_creator.app_creator
- 従来 - アプリケーションまたはアプリケーションのカスタマイズ内容をソースコントロールにリンクする

手順

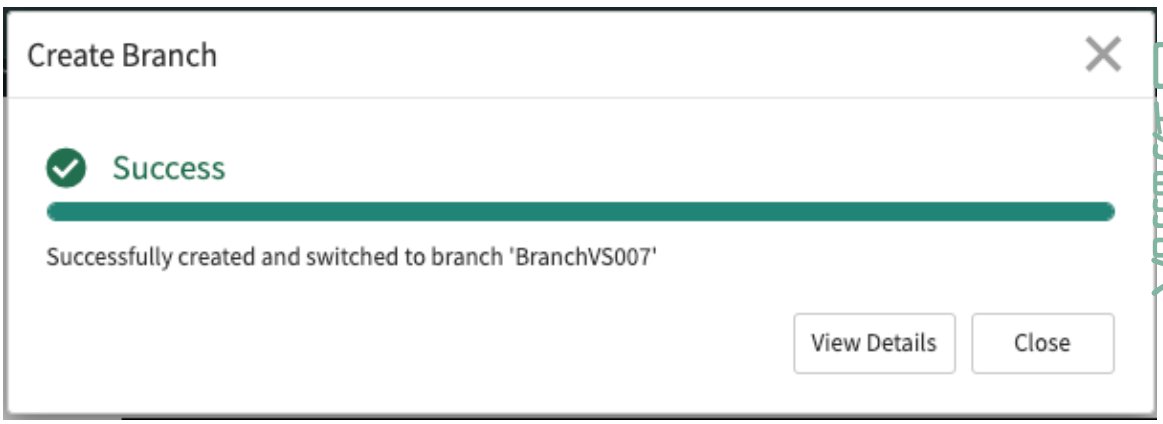
1. 移動先 すべて > ソースコントロール > 分岐を作成.
   スタジオ で分岐作成ウィンドウが開きます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



2. [分岐名] を入入力します。
3. オプション: タグから分岐を作成するには、[タグから作成] ドロップダウンリストをクリックして、既存のタグを選択します。
4. [分岐を作成] をクリックします。
   スタジオ で分岐が作成されます。



5. [クローズ] をクリックします。

次のタスク
新しい分岐への変更をコミットします。

従来 - デフォルトブランチの設定

新しい変更またはメインの開発リポジトリとしてメイン以外の分岐を使用する場合は、デフォルト分岐を設定します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に

> **重要:**
> Xanadu リリース以降、ServiceNow スタジオ の 従来 バージョンは将来の廃止に向けて準備されています。これは非表示になり、新しいインスタンスではアクティブ化されなくなりますが、引き続きサポートされます。廃止プロセスの詳細については、Now Support ナレッジベースの 廃止プロセス [KB0867184] の記事を参照してください。
>
> 代わりに、現在のバージョンの ServiceNow スタジオ でアプリをビルドおよび編集してみてください。詳細については、「ServiceNow スタジオ」を参照してください。

- 必要なロール：admin
- 従来 - アプリケーションまたはアプリケーションのカスタマイズ内容をソースコントロールにリンクする

手順

1. 「 システムプロパティを追加する 」の手順に従います。
2. **[glide.source_control.default_branch_name]** プロパティを追加し、(プル要求、コードコミットなどの) 作業をする Git ソースコントロールリポジトリのデフォルト分岐の名前を指定します。

タスクの結果
アプリケーション開発者の作業は、特に指定されていない限り、デフォルトの分岐から管理され、そこに保存されます。変更されない限り、この値のデフォルトは「sn_instances/<instance_name>」に設定されます。

従来 - スタッシュの管理

アプリケーション開発者は、スタジオからしまい込んだ変更を適用または削除できます。

始める前に

> **重要:**
> Xanadu リリース以降、ServiceNow スタジオ の 従来 バージョンは将来の廃止に向けて準備されています。これは非表示になり、新しいインスタンスではアクティブ化されなくなりますが、引き続きサポートされます。廃止プロセスの詳細については、Now Support ナレッジベースの 廃止プロセス [KB0867184] の記事を参照してください。
>
> 代わりに、現在のバージョンの ServiceNow スタジオ でアプリをビルドおよび編集してみてください。詳細については、「ServiceNow スタジオ」を参照してください。

- 必要なロール：admin
- アプリケーションをソースコントロールにリンクする。
- １つまたは複数のアプリケーションファイルの変更をしまい込む。

手順

1. スタジオから、以下に移動します ソースコントロール > スタッシュを管理.
   システムはローカルにしまい込まれた変更のリストを表示します。
2. 管理したいしまい込みの横にある操作をクリックします。

オプション	説明
適用	アプリケーションにしまい込まれた変更を収容し、競合をチェックします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

オプション	説明
削除	しまい込まれた変更を削除する。
表示	スタッシュされた変更のリストを表示します。

従来 - 競合の解決

アプリケーション開発者は、リモートまたはしまい込まれた変更を適用するときに使用するアプリケーションファイルのバージョンを選択できます。

始める前に

重要:
Xanadu リリース以降、ServiceNow スタジオ の 従来 バージョンは将来の廃止に向けて準備されています。これは非表示になり、新しいインスタンスではアクティブ化されなくなりますが、引き続きサポートされます。廃止プロセスの詳細については、Now Support ナレッジベースの 廃止プロセス [KB0867184] の記事を参照してください。

代わりに、現在のバージョンの ServiceNow スタジオ でアプリをビルドおよび編集してみてください。詳細については、「ServiceNow スタジオ」を参照してください。

- 必要なロール：admin
- アプリケーションをソースコントロールにリンクする
- しまい込んだ変更の適用

このタスクについて
競合は、同じアプリケーションファイルの複数の変更バージョンがある場合に発生します。１つはリモートまたはしまい込みバージョンの変更セットで、もう1つはローカルバージョンの変更セットです。 スタジオ開発者は、リモートまたはしまい込みの変更を適用する前に競合を解決する必要があります。

手順

1. スタジオからリモートまたはしまい込み変更を適用します。
   システムが競合を識別すると、[競合の解決] ダイアログを表示します。
2. 競合を解決する方法を選択します。

オプション	説明
アクションを選択	すべてのしまい込み変更を適用または破棄します。ステップ3 に行きます。
変更を手動で合併	適用する変更を個別に選択します。ステップ 6 に行きます。

3. 全てのしまい込まれた変更を適用または破棄したい場合には、アクションを選択します。

オプション	説明
しまい込んだ変更を取得	しまい込んだ変更からアプリケーションファイルのバージョンを適用します。
しまい込んだ変更を破棄	リポジトリから最新引出したものからアプリケーションファイルのバージョンを適用します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

4. しまい込んだ変更を適用をクリックします。
   選択した変更が適用されます。
5. ダイアログを閉じるをクリックします。
6. 競合する変更を合併する場合は、手動で適用するをクリックします。
   バージョン差異のリストをフィールド毎に表示します。
7. 合併されたアプリケーションファイルに含めたいフィールドの値を選択します。
8. 結合を保存をクリックします。
   選択した変更が適用されます。

従来 - コミット履歴の表示

アプリケーション開発者は、ソースコントロールリポジトリにリンクされているアプリケーションの収容履歴を表示できます。

始める前に

重要:
Xanadu リリース以降、ServiceNow スタジオ の 従来 バージョンは将来の廃止に向けて準備されています。これは非表示になり、新しいインスタンスではアクティブ化されなくなりますが、引き続きサポートされます。廃止プロセスの詳細については、Now Support ナレッジベースの 廃止プロセス [KB0867184] の記事を参照してください。

代わりに、現在のバージョンの ServiceNow スタジオ でアプリをビルドおよび編集してみてください。詳細については、「ServiceNow スタジオ」を参照してください。

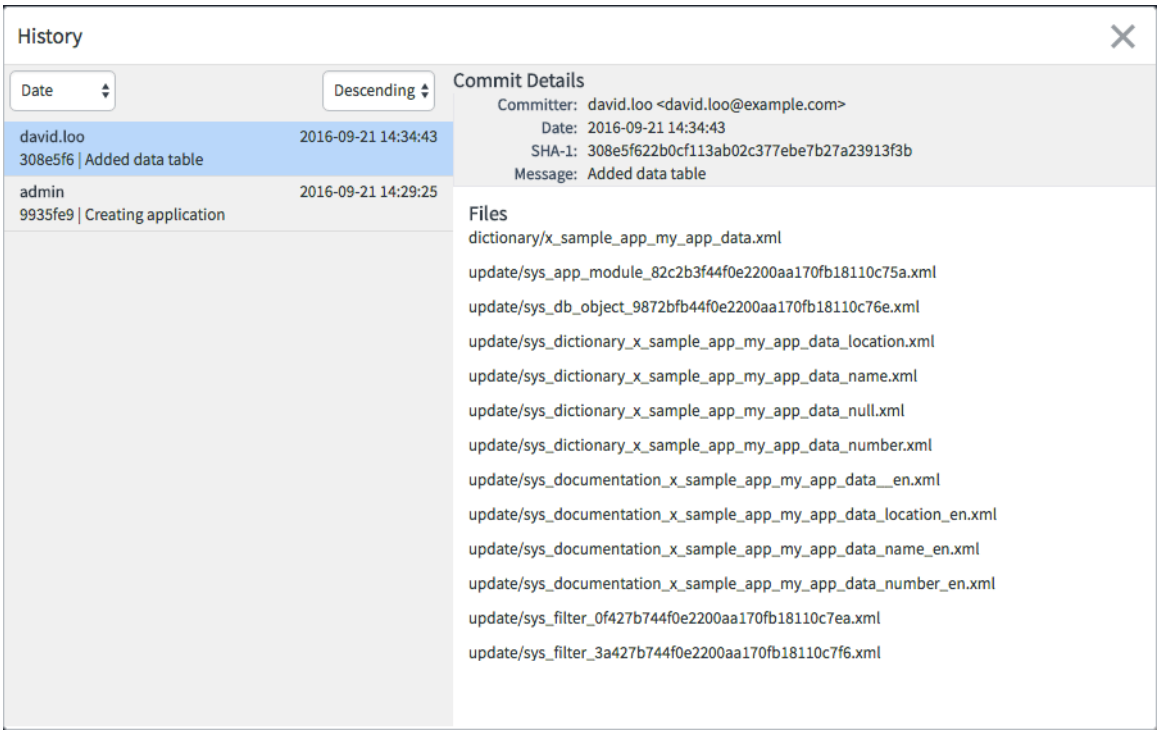
- 必要なロール：admin
- GITリポジトリへの既存のリンク

手順

1. 移動先 すべて > ソースコントロール > 履歴を表示.
   履歴ウィンドウを表示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



2. ソートの注文タイプの収容を選択します。

オプション	説明
日付	収容日付でソートします。
コミット担当者	ユーザー名でソートします。

3. ソート順の方向を選択します。

オプション	説明
降順	最も新しい日付から最も古い日付までにソートします。ユーザー名を逆アルファベット順でZからAに並べ替えます。
昇順	最も古い日付から最新の日付までにソートします。アルファベット順でAからZにユーザー名をソートします。

システムは、選択したソート順で収容をソートします。

4. 収容を選択します。
選択した収容の収容の詳細が表示されます。
5. 収容の詳細を確認します。

収容の詳細

フィールド	説明
コミット担当者	変更を収容したユーザー
日付	収容の日時スタンプ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
SHA-1	リポジトリ内のこの収容を識別する確実なハッシュ値
メッセージ	この収容に関連する収容メッセージ
ファイル	この収容で変更されたアプリケーションファイルのリスト

6. 履歴ウィンドウを閉じます。

従来 - GITリポジトリ内のアプリケーションファイルを移動する

ソースコントロールにリンクされたアプリケーションファイルをリポジトリの任意のフォルダーに移動します。アプリケーション開発者は、サポートするアプリケーションと同じリポジトリに自動テストなどのサポートコンテンツを保存できます。

始める前に

重要:
Xanadu リリース以降、ServiceNow スタジオ の 従来 バージョンは将来の廃止に向けて準備されています。これは非表示になり、新しいインスタンスではアクティブ化されなくなりますが、引き続きサポートされます。廃止プロセスの詳細については、Now Support ナレッジベースの 廃止プロセス [KB0867184] の記事を参照してください。

代わりに、現在のバージョンの ServiceNow スタジオ でアプリをビルドおよび編集してみてください。詳細については、「ServiceNow スタジオ」を参照してください。

- 従来 - アプリケーションまたはアプリケーションのカスタマイズ内容をソースコントロールにリンクする
- 必要なロール：書き込みアクセス権を持つソースコントロール認証情報

このタスクについて

アプリケーションをソースコントロールにリンクすると、リポジトリのルートレベルで、sn_source_control.properties と呼ばれるプロパティテキストファイルが生成されます。そのプロパティファイルは、アプリケーションファイルを含むフォルダーを指定します。統合は checksum.txt ファイルを生成することで、これらのアプリケーションファイルに対する変更を追跡します。チェックサムが一致する場合、統合は検証とサニタイズのプロセスをスキップします。チェックサムが一致しない場合、統合はソースコントロール操作の一部としてアプリケーションファイルを検証してサニタイズします。統合は、アプリケーションパス外のすべてのリポジトリコンテンツを無視します。

注:
システムのプロパティ **[glide.source_control.checksum_required]** を設定すると、オプションのチェックサムの検証とサニタイズが有効になり、**[glide.source_control.checksum_quick_install]** を設定すると、チェックサムが一致したときにサニタイズのステップをバイパスできます。詳細については、「利用可能なシステムプロパティ」を参照してください。

手順

1. アプリケーションにリンクされたソースコントロールリポジトリにログインします。
2. アプリケーションファイルの移動先フォルダーを作成します。

   Example
   たとえば、src/app フォルダーを作成します。
3. アプリケーションファイルを含むフォルダーを移動先フォルダーに移動します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Example
たとえば、demo_my_app フォルダーを src/app に移動します。

4. リポジトリのルートレベルに移動します。
5. テキストエディターで sn_source_control.properties テキストファイルを開きます。
6. path= プロパティには、アプリケーションファイルを移動したフォルダーパスを入力します。

Example
たとえば、「path=src/app」と入力します。

7. プロパティファイルを保存します。

次のタスク
インスタンスにログインし、スタジオ からソースコントロール操作を実行します。

従来 - 衝突回避

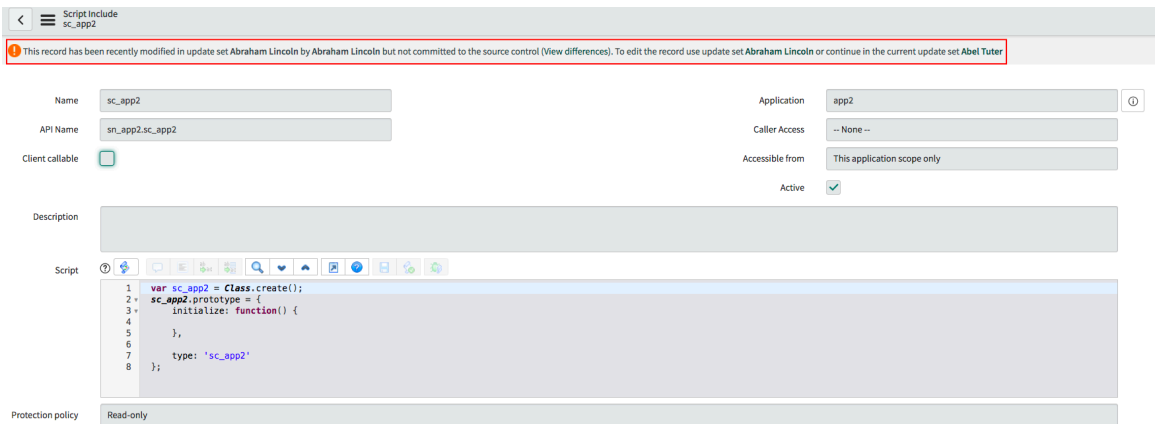
コミットプロセス中にシームレスなエクスペリエンスを確保するために、異なる更新セット間でアプリケーションファイルを変更しないでください。

重要:
Xanadu リリース以降、ServiceNow スタジオ の 従来 バージョンは将来の廃止に向けて準備されています。これは非表示になり、新しいインスタンスではアクティブ化されなくなりますが、引き続きサポートされます。廃止プロセスの詳細については、Now Support ナレッジベースの 廃止プロセス [KB0867184] の記事を参照してください。

代わりに、現在のバージョンの ServiceNow スタジオ でアプリをビルドおよび編集してみてください。詳細については、「ServiceNow スタジオ」を参照してください。

ログインしているユーザーが、対応するアプリケーションの現在の更新セットとは異なる更新セットで変更されたアプリケーションファイルを開くと、次のように動作します。

- アプリケーションファイルで衝突が検出され、警告メッセージが表示されます。
- ログインユーザーは更新セットを選択するよう指示されます。
- 読み取り専用の保護ポリシーがそのアプリケーションファイルに適用されます。



ユーザーは、必要な更新セットを選択した後にのみ、アプリケーションファイルを変更できます。

注:
この機能は、Git にリンクされているアプリケーションにのみ適用されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

システムプロパティ [sys_properties] テーブルの *glide.ui.vcs.collision_avoidance* プロパティを使用して、衝突回避機能を有効または無効にします。この機能はデフォルトで有効になっています。詳細については、「利用可能なシステムプロパティ」を参照してください。

この機能が有効になっている場合、ユーザーはアプリケーションのデフォルトの更新セットでは作業できません。ユーザーにデフォルトの更新セットがアサインされている場合、衝突回避機能が有効になった後に初めてアプリケーションにログインしたときに、一意の更新セットが作成されます。この新しい更新セットは、現在のアプリケーションのユーザーに固有です。

ログインしているユーザーに固有の更新セットの名前は、システムプロパティ [sys_properties] テーブルの *glide.ui.vcs.updateset_identifier* プロパティに指定された値に基づくユーザー ID またはユーザー名です。詳細については、「利用可能なシステムプロパティ」を参照してください。デフォルトでは、更新セット名はログインしているユーザーのユーザー名に設定されます。ただし、ユーザーは更新セットの名前を変更できます。

従来 - デルタローディング

「デルタロード」は、Git リポジトリからアプリケーションをロードするための最適な方法です。

> **重要:**
> Xanadu リリース以降、ServiceNow スタジオ の 従来 バージョンは将来の廃止に向けて準備されています。これは非表示になり、新しいインスタンスではアクティブ化されなくなりますが、引き続きサポートされます。廃止プロセスの詳細については、Now Support ナレッジベースの 廃止プロセス [KB0867184] の記事を参照してください。
>
> 代わりに、現在のバージョンの ServiceNow スタジオ でアプリをビルドおよび編集してみてください。詳細については、「ServiceNow スタジオ」を参照してください。

分岐を切り替えてリモート変更を適用すると、変更された更新のみがデルタロード機能によってロードされます。アプリケーションの完全なアンインストールと再インストールを実行する必要はなく、変更された更新のみが実行されます。これにより、開発者のプロセスが迅速化され、容易になり、開発中にすべての分岐を使用する必要がなくなります。テーブルに格納されているデータはこれらの操作中に保持されるため、再インストールまたは分岐変更の操作後にアプリケーションにデモデータをロードし直す必要はありません。

デルタロードのメリット

時間削減

通常、アプリケーションのアンインストールまたは再インストールの最も時間がかかる部分は、テーブルの削除と作成です。デルタロードでは、それが発生しません。アプリケーションのサイズによっては、テーブルを削除または作成する必要がないため、操作の実行時間が大幅に短縮されます。

テストデータとデモデータの保持

テストデータとデモデータを含むテーブルは削除されないため、データは失われません。毎回デモデータを再インポートする必要がなければ、開発者は時間を節約できます。

クロススコープ依存参照の保持

クロススコープで参照を共有するアイテムは、変更を適用しても失われなくなりました。これは、スコープ B のアイテムがスコープ A の親アイテムに関連付けられるときに発生していました。スコープ A にリモート変更を適用すると、親アイテムが削除されて再インストールされ、両アイテム間の参照が壊れ、その関係は復元されません。デルタロードによってアンインストールが防止されるため、参照は失われません。

推奨されるプラクティス

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ServiceNow Paris リリース以降のすべてのインスタンスでは、デルタロードがデフォルトで有効になっています。この機能は、アプリケーション開発に役立つように設計されており、継続的なサポートとアップグレードが提供されます。

従来 - ソースコントロールコミットのノイズ除去

ソースコントロールの開発者は、システムによって自動更新されるフィールドからノイズを受けることなく、Git 分岐を結合できます。

重要:
Xanadu リリース以降、ServiceNow スタジオ の 従来 バージョンは将来の廃止に向けて準備されています。これは非表示になり、新しいインスタンスではアクティブ化されなくなりますが、引き続きサポートされます。廃止プロセスの詳細については、Now Support ナレッジベースの 廃止プロセス [KB0867184] の記事を参照してください。

代わりに、現在のバージョンの ServiceNow スタジオ でアプリをビルドおよび編集してみてください。詳細については、「ServiceNow スタジオ」を参照してください。

ノイズ除去の概要

スタジオ では、ソースコントロール機能はアプリケーションファイルが Git リポジトリにエクスポートされるときに XML ペイロードとしてパッケージ化します。ユーザーがアプリケーション開発ワークフローの一部として Git リポジトリで Git 分岐を結合する場合、そのユーザーは XML ファイル内の競合を解決する必要があります。これらの競合は通常、sys_updated_by などのシステム生成フィールドにあり、ユーザー生成ではない変更を表します。このプロセスではより多くのノイズが発生する可能性があるため、ユーザーはこれらのフィールドの競合を解決するときに注意する必要があります。

セーバー免除属性

ソースコントロールに XML ペイロードのノイズを除去する機能が追加され、Git 分岐が結合されたときにユーザーが競合を解決できるようになりました。

デフォルトでは、システムによって値が自動生成されるテーブル内の特定のフィールドに対して saver_exempt 属性が設定されます。saver_exempt 属性の詳細については、「辞書の属性」を参照してください。

次のテーブルには、saver_exempt の値が含まれています。

セーバー免除属性テーブル

フィールド	システムテーブル	**saver_exempt** の値	予想される結果
• sys_updated_on • sys_updated_by • sys_mod_count	• sys_metadata • sys_choice • sys_package • sys_app_customization • sys_claim • sys_package_dependency_m2m	exempt_vcs_only	Git コミット用にアプリケーションをパッケージ化している間、フィールドはテーブルのレコードの対応する XML 表現に書き込まれません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

セーバー免除属性テーブル (続く)

フィールド	システムテーブル	**saver_exempt** の値	予想される結果
Sys_id	• sys_dictionary • sys_documentation • sys_choice	exempt_vcs_only	Git コミット用にアプリケーションをパッケージ化している間、sys_id フィールドは 3 つのテーブルのレコードの XML 表現に書き込まれません。
loader_exempt = true のフィールド		exempt_always	loader_exempt が **[True]** に設定されているフィールドは、インスタンスにロードされません。Git コミット用にアプリケーションをパッケージ化している間、これらはテーブルのレコードの XML 表現に書き込まれません。

トラッキングプロパティの無効化

アドミニストレーターは glide.source_control.disable_tracking_of_update_fields を無効にして、ユーザーが生成した値がフィールドに表示されないようにすることができます。

注:
次のフィールドは、ソースコントロールのコミット中に XML に書き込まれず、インスタンスの値が Git コミットからロードされます。アドミニストレーターがこれらのフィールドを XML に書き込み、システム生成の値をこれらのフィールドで使用するように設定する場合、アドミニストレーターはプロパティ glide.source_control.disable_tracking_of_update_fields を **[False]** に設定できます。

次のフィールドは、アドミニストレーターに表示されるシステム生成値です。

- sys_updated_by = コミットユーザー
- sys_updated_on = コミット時間
- sys_mod_count = ゼロ

テーブルの **sys_id** フィールド

テーブルの sys_id フィールドは、対応する「dictionary/<tablename>.xml」に保存され、テーブルの作成時を除いてインスタンスへのインストール中に再生成されないようにします。結果として、テーブルの sys_id を参照する、またはこのテーブルの sys_db_object レコードを表すすべての XML ファイルから、ノイズが低減されます。

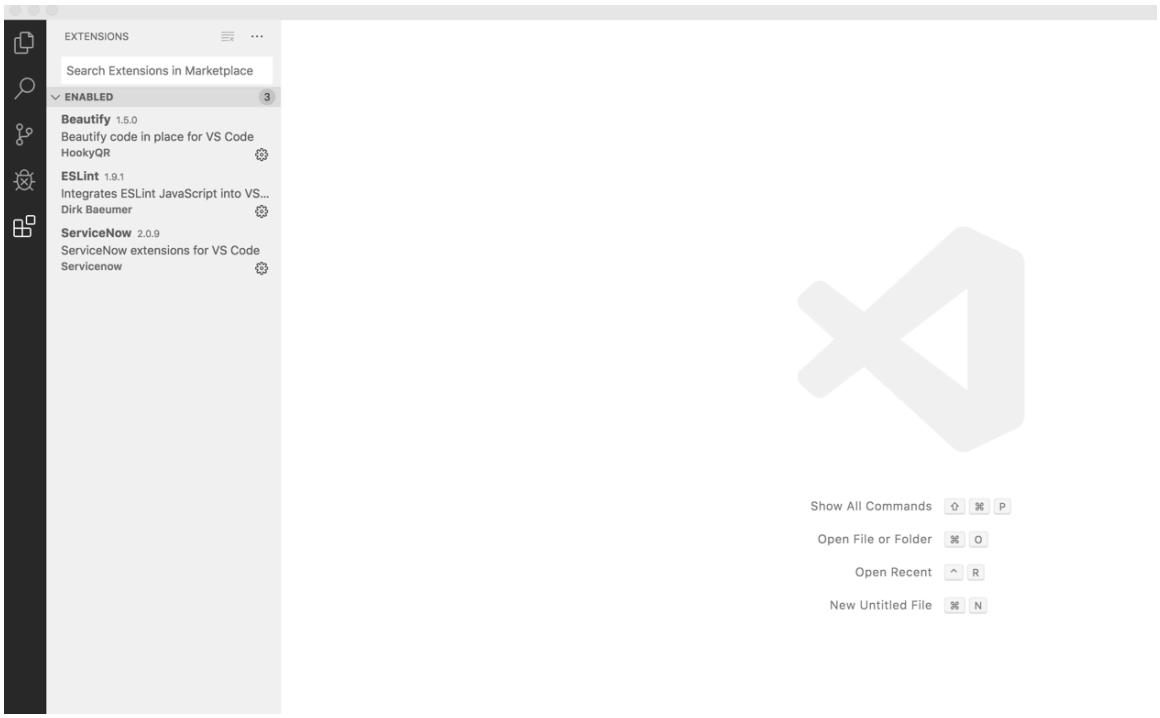
Visual Studio Code 向けの **ServiceNow** 拡張

VS Code 向け ServiceNow 拡張を活用して、Visual Studio Code で ServiceNow アプリケーションを編集します。

VS Code エディターの ServiceNow 拡張を使用すると、ServiceNow インスタンス内のアプリケーションを編集できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳



Visual Studio Code を使用する利点

アプリケーションをオフラインで編集する

Visual Studio Code を使用して、アプリケーションのローカルコピーをダウンロードして編集します。アプリケーションをオフラインで編集し、インスタンスが利用可能になったときに再度同期できます。

Visual Studio Code JavaScript 機能を使用すると、開発時間が短縮され、コードの品質が向上します。

Visual Studio Code IntelliSens には、コード補完、コード提案、クイック情報などの編集機能が含まれています。これらのツールを使用すると、コーディングタスクを迅速に完了し、エラーを減らすことができます。アプリケーションで IntelliSens を使用する方法の詳細については、「VS Code の IntelliSens」を参照してください。拡張は、ESLint を使用したリンティングもサポートしています。ServiceNow インスタンスで使用されているものと同じ標準 ESLint ルールを使用できます。

VS Code 向け ServiceNow 拡張の機能

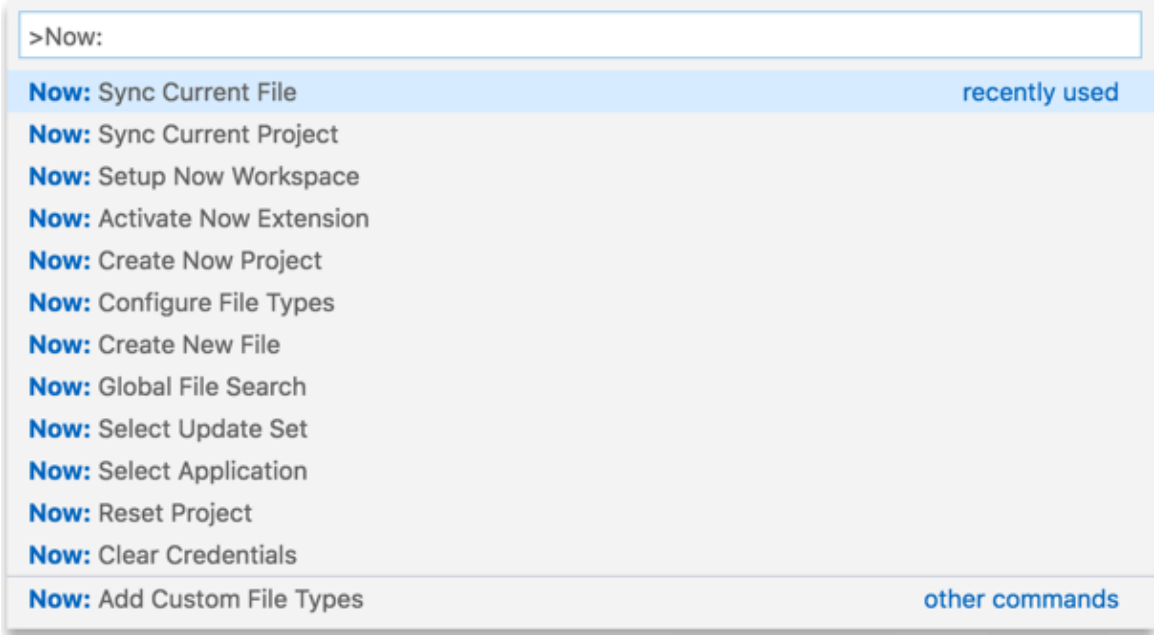
VS Code 拡張の ServiceNow 拡張には、ServiceNow AI Platform で開発するためのツールが含まれています。

この拡張により、Visual Studio Code (VS Code) の実装にいくつかの機能が追加されます。これらの機能にはコマンドパレットからアクセスします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Visual Studio Code コマンドパレット



VS Code 向け **ServiceNow** 拡張で利用可能な機能

機能	説明
Now Workspace のセットアップ	ServiceNow アプリケーションを操作するプロジェクトフォルダーを作成します。このワークスペースの作成方法の詳細については、「VS Code でのワークスペースの設定」を参照してください。
Now 拡張のアクティブ化	ServiceNow 拡張をアクティブ化します。「VS Code 向け ServiceNow 拡張のアクティブ化」を参照してください。
Now プロジェクトの作成	既存の ServiceNow アプリケーションを Visual Studio Code プロジェクトにインポートします。「VS Code でのプロジェクトの作成」を参照してください。
現在のプロジェクトの同期	開発中に、VS Code とインスタンス間ですべてのファイルを同期します。「Visual Studio Code ワークスペースと ServiceNow インスタンス間での現在のプロジェクトの同期」を参照してください。
現在のファイルの同期	作業している現在のファイルを同期します。「Visual Studio Code ワークスペースと ServiceNow インスタンス間での現在のファイルの同期」を参照してください。
認証情報のクリア	[設定] ページで入力された認証情報を削除します。「Visual Studio Code でのインスタンス認証情報のクリア」を参照してください。
プロジェクトのリセット	プロジェクトを元のステータスに設定します。「Visual Studio Code でのプロジェクトのリセット」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

VS Code 向け **ServiceNow** 拡張で利用可能な機能 (続く)

機能	説明
ファイルタイプの設定	メタデータで選択されたオプションを変更します。メタデータは、VS Code と同期するアプリケーションの要素を決定します。「アプリケーションの Visual Studio Code へのインポート」を参照してください。
カスタムファイルタイプの追加	カスタムファイルタイプウィザードを使用して、プロジェクトにファイルタイプを追加します。「Visual Studio Code でのカスタムファイルタイプの追加」を参照してください。
アプリケーションの選択	VS Code でワークスペース内のアプリケーションを切り替えます。「アプリケーションの Visual Studio Code へのインポート」を参照してください。
更新セットの選択	更新セットを選択します。インスタンスに同期された変更は、選択した更新セットに適用されます。更新セットの詳細については、「アプリケーションの Visual Studio Code へのインポート」を参照してください。
新しいファイルの作成	アプリケーションでレコードを作成します。詳細については、「VS Code でのファイルの作成」を参照してください。
グローバルファイル検索	インスタンス内のファイルを検索します。「VS Code でのインスタンス上のファイルの検索」を参照してください。
バックグラウンドスクリプトの実行	インスタンスでバックグラウンドスクリプトを実行します。「VS Code を使用したバックグラウンドスクリプトの実行」を参照してください。
IntelliSence	Glide API で利用可能な IntelliSens コード補完サポート。「VS Code の IntelliSens」を参照してください。

VS Code 向け **ServiceNow** 拡張のインストール

ServiceNow 拡張をダウンロードしてインストールし、VS Code でアプリケーションの編集を開始します。

始める前に

必要なロール：なし
Visual Studio Code の ServiceNow 拡張をインストールするには、VS Code バージョン 1.38.0 以降がインストールされている必要があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. VS Code を開き、[拡張] タブアイコン ( ) をクリックして [拡張] タブに移動するか、Windows では Control+Shift+X を、MacOS では Command+Shift+X を押します。
2. Visual Studio Code マーケットプレイスで、**[Visual Studio Code** 拡張機能を検索 **(Search Visual Studio Code Extensions)]** 検索ボックスに「ServiceNow」または「ServiceNow Extensions」と入力します。
3. 検索結果で **[VS Code** 向け **ServiceNow** 拡張 **(ServiceNow Extensions for VS Code)]** を選択し、 [インストール] をクリックしてインストールを続行します。
4. インストールプロセスが完了したら、Visual Studio Code を再起動します。
5. 移動先 表示 > コマンドパレット in Visual Studio Code.
   キーボードショートカット (Windows では Control+Shift+P、MacOS では Command+Shift+P) を使用してコマンドパレットを開くこともできます。
6. リストから [開発者：ウィンドウのリロード **(Developer: Reload Window)]** を選択します。

次のタスク
VS Code をリロードしたら、ServiceNow 拡張をアクティブ化します。

VS Code 向け **ServiceNow** 拡張のアクティブ化

VS Code 向け ServiceNow 拡張をアクティブ化して、ServiceNow インスタンス内でアプリケーションを編集できるようにします。

始める前に
VS Code 向け ServiceNow 拡張をインストールし、拡張をアクティブ化して、VS Code でアプリケーションの編集を開始します。

このタスクについて
拡張のインストール後にその機能にアクセスするには、まず拡張をアクティブ化する必要があります。

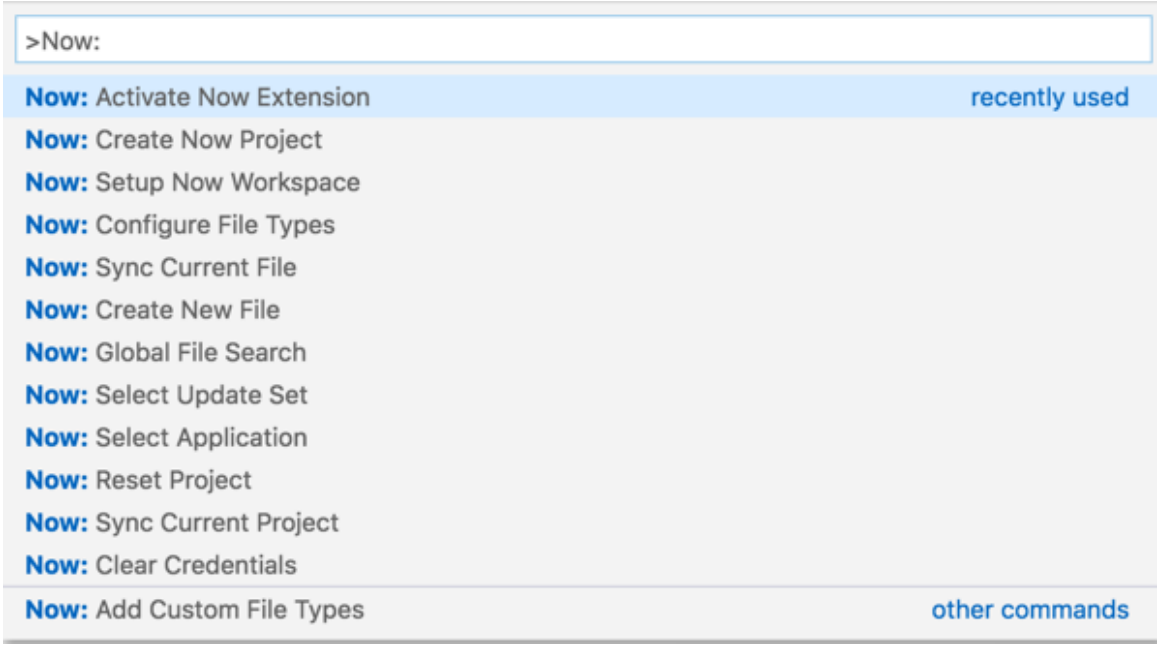
手順

1. 移動先 すべて > 表示 > コマンドパレット をクリックしてコマンドパレットを開きます。
   キーボードショートカット (Windows では Control+Shift+P、MacOS では Command+Shift+P) を使用してコマンドパレットを開くこともできます。
2. リストから [Now：**Now** 拡張のアクティブ化 **(Now: Activate Now Extension)]** を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Now 拡張のアクティブ化



[ワークスペースのセットアップ] リンクが VS Code IDE の下部に表示されます。拡張をアクティブ化した後、VS Code でワークスペースを設定して ServiceNow アプリケーションの編集を開始します。

VS Code でのワークスペースの設定

VS Code 向け ServiceNow 拡張を使用して、ServiceNow アプリケーションのワークスペースとして使用するプロジェクト作業フォルダーを作成します。

始める前に

ワークスペースをアクティブ化して、VS Code 向け ServiceNow 拡張の機能にアクセスします。必要なロール：admin

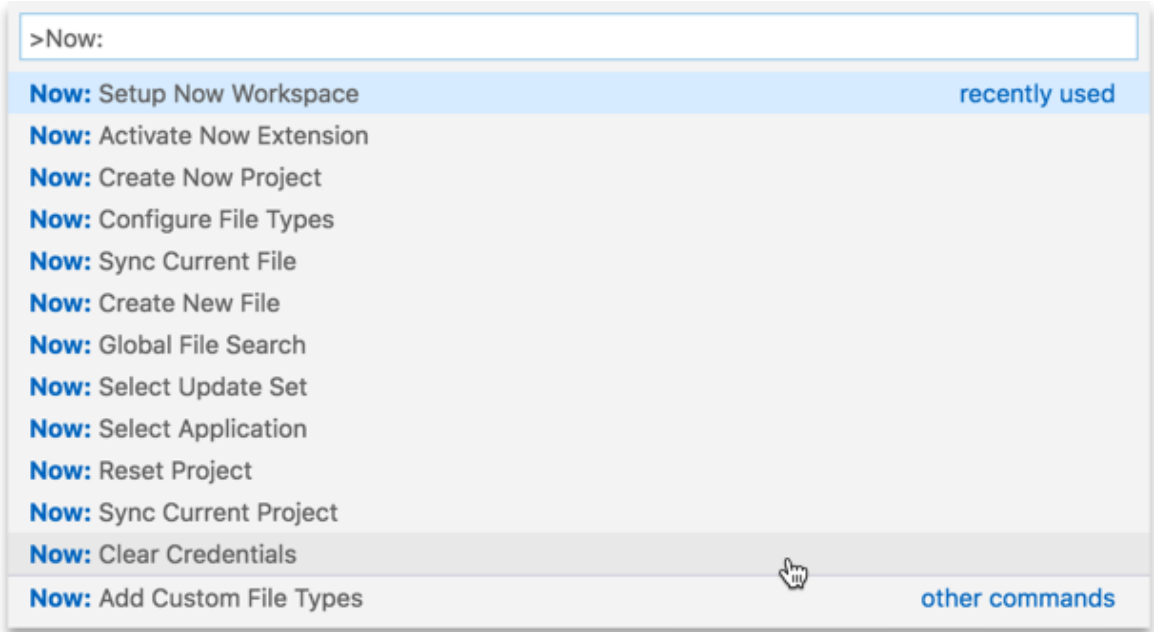
手順

1. VS Code IDE の下部にあるステータスバーの [ワークスペースのセットアップ] をクリックします。
   キーボードショートカット (Windows では Control+Shift+P、MacOS では Command+Shift+P) を使用してコマンドパレットを開き、リストから [Now：**Now Workspace** のセットアップ] を選択することもできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Now Workspace のセットアップコマンド



2. 次のいずれかのアクションを実行します。
   選択したフォルダーからワークスペースが作成されます。

次のタスク
ワークスペースでプロジェクトを作成します。ワークスペース内に異なるプロジェクトタイプの複数のプロジェクトを作成できます。

VS Code でのプロジェクトの作成

ServiceNow アプリケーションは、VS Code IDE のプロジェクト内に含まれています。 VS Code 向け ServiceNow 拡張を使用して、ServiceNow インスタンスからアプリケーションをインポートします。

始める前に
ワークスペースをセットアップしてプロジェクトを作成し、ServiceNow アプリケーションの編集を開始します。

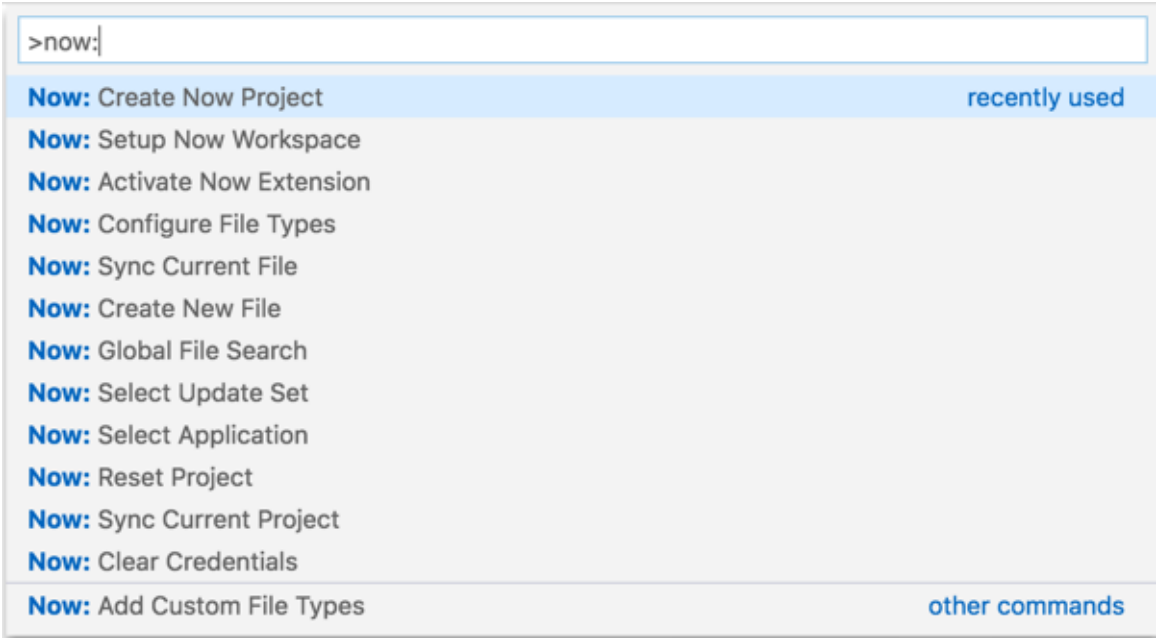
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. VS Code IDE の下部にあるステータスバーの [プロジェクト作成] をクリックします。

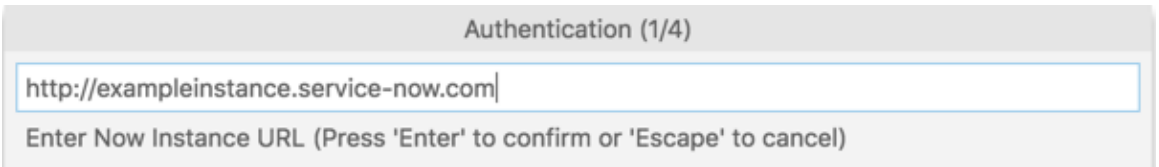
プロジェクト作成



キーボードショートカット (Windows では Control+Shift+P、MacOS では Command+Shift +P) を使用してコマンドパレットを開き、リストから [Now：**Now** プロジェクトの作成 **(Now: Create Now Project)]** を選択することもできます。

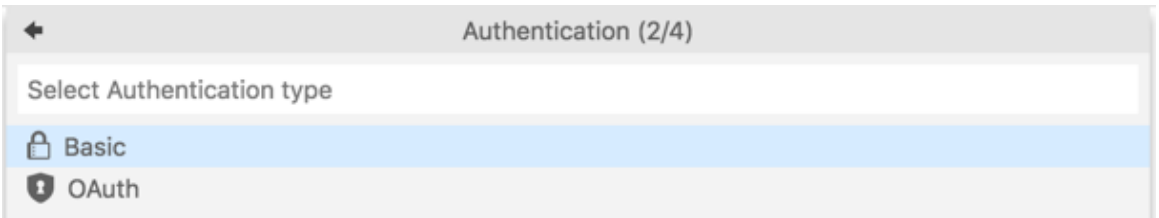
[プロジェクト作成] ウィザードが開きます。

2. ServiceNow インスタンスの URL を入力し、Enter を押して確定します。
インスタンスの完全な URL を含めます (例：https://example.service-now.com)



3. プロンプトが表示されたら、[認証タイプ] を選択します。

認証タイプ



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 基本的なアプリケーションを作成するには、[基本] を選択し、プロンプトが表示されたら次のフィールドに入力します。

  基本的なアプリケーション

フィールド	説明
ユーザー名	ServiceNow インスタンス URL のユーザー名を入力します。
パスワード	ServiceNow インスタンス URL のパスワードを入力します。

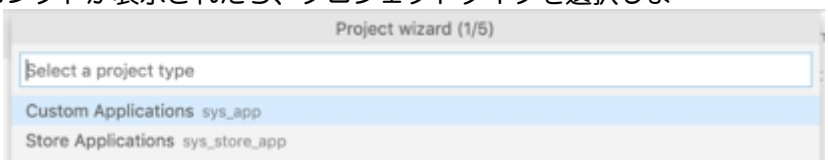
  注:
  認証に使用するユーザーアカウントに admin ロールを含めることはできません。

- OAuth アプリケーションを作成するには、**OAuth** アプリケーションを選択し、プロンプトが表示されたら、次のフィールドに入力します。

  OAuth アプリケーション

ユーザー名	ServiceNow インスタンス URL のユーザー名を入力します。
パスワード	ServiceNow インスタンス URL のパスワードを入力します。
クライアント **ID**	クライアント ID は、ServiceNow OAuth サーバーによって自動的に生成されます。
クライアントシークレット	OAuth アプリケーションの TClient シークレット。

4. プロンプトが表示されたら、プロジェクトタイプを選択します。



注:
[パッケージ] および [プラグイン] プロジェクトタイプを有効にするには、 [設定] からそれらを有効にします。移動先 設定 > 設定 > 拡張 > 今 > プロジェクト設定 それらを有効にします。

5. [既存をインポート **(Import Existing)]** を選択します。

アプリケーションの **Visual Studio Code** へのインポート

プロジェクトを作成したら、インスタンスからプロジェクトにアプリケーションをインポートして編集を開始します。

自動翻訳

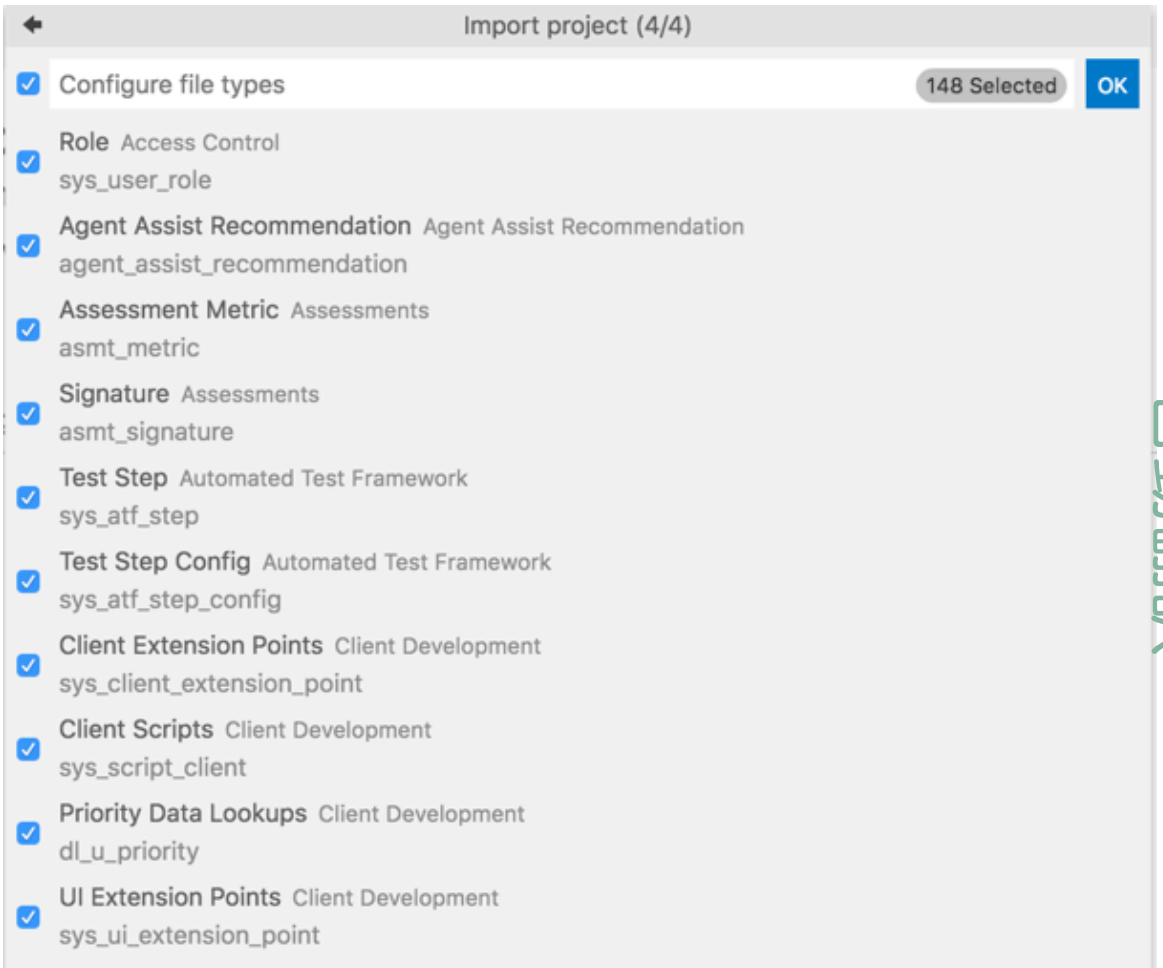
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. Visual Studio Code に、選択したアプリケーションタイプのインスタンスで利用可能なアプリケーションのリストが表示されます。

   インポートするカスタムアプリケーションに 開発者管理設定が適用されると、アプリケーションのリストが表示されます。設定をオフのままにすると、アプリケーションはドロップダウンに表示されません。

2. アプリケーションを選択します。
3. [ファイルタイプの設定] プロンプトで、**[OK]** をクリックしてすべてのファイルタイプを選択します。



デフォルトでは、Visual Studio Code はアプリケーションのすべてのファイルタイプをインポートします。コマンドパレットから [Now：ファイルタイプの設定] を選択し、リストからファイルタイプを選択することで、アプリケーションの編集中にファイルタイプの選択を変更できます。ServiceNow アプリケーションがワークスペースにインポートされます。

> **注:**
> アプリケーションがインスタンスに存在する場合でも、そのプロジェクトを Visual Studio Code に作成する必要があります。

ワークスペース内でアプリケーションを切り替えるには、VS Code IDE の下部にあるステータスバーでアプリケーションの名前 (この場合は EmployeeApp) をクリックするか、コマンドパレットから [Now：アプリケーションの選択] を選択してリストからアプリケーション名を選択

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

します。同様に、更新セットを変更するには、VS Code IDE の下部にあるステータスバーで現在の更新セットアイコン (この場合は [EmployeeApp]) をクリックするか、コマンドパレットから [Now：更新セットの選択] を選択して、更新セットの名前を選択します。

Visual Studio Code と **ServiceNow** インスタンス間の同期

Visual Studio Code と ServiceNow インスタンス間でアプリケーションを同期できます。

同期

Visual Studio Code でアプリケーションに加えられた変更は、インスタンスと同期するまでローカルファイルシステムにのみ保存されます。

同期には、次の変更内容が含まれます。

- インスタンスまたはローカルファイルシステムのファイルの変更
- インスタンスまたはローカルファイルシステムでのファイルの作成
- インスタンスまたはローカルファイルシステムでのファイルの削除

現在選択されているレコードまたは現在のアプリケーションのすべてのレコードを同期できます。

Visual Studio Code ワークスペースと **ServiceNow** インスタンス間での現在のファイルの同期

Visual Studio Code ワークスペース内の現在のファイルとインスタンスの間で競合するファイルを特定し、変更を結合または上書きします。

始める前に

必要なロール：admin

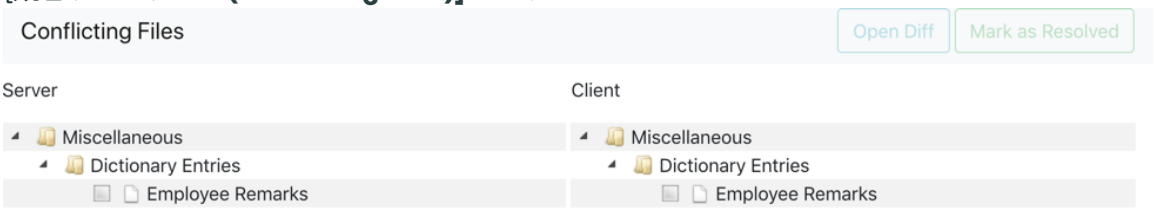
手順

1. Visual Studio Code IDE の右上隅にあるメニューから [同期] アイコン ( ) をクリックします。キーボードショートカット (Windows では Control+Shift+P、MacOS では Command+Shift +P) を使用してコマンドパレットを開き、リストから [Now：現在のファイルを同期] を選択することもできます。
   - サーバーまたはクライアントのいずれかで変更が生じた場合、拡張はエラーを表示することなくファイルを正常に同期します。
   - ローカルバージョンとサーバーバージョンの間に相違がない場合は、「変更が検出されませんでした」というメッセージがページの下部に表示されます。
   - クライアントとサーバーの両方で同じファイルが変更された場合、[競合するファイル **(Conflicting Files)]** ダイアログボックスに競合が表示されます。
2. [競合するファイル **(Conflicting Files)]** ダイアログボックスに競合リストが表示された場合は、競合を確認します。
   - [差分] ウィンドウを使用して [サーバー] と [クライアント] のバージョンを比較し、変更を評価します。
   - [サーバー] または [クライアント] の変更を上書きします。

自動翻訳

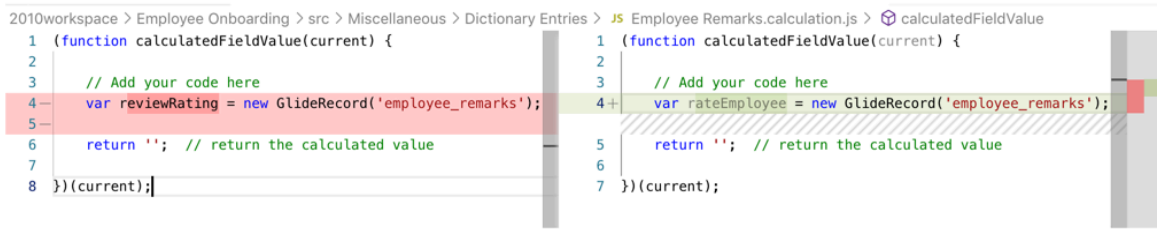
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[競合するファイル**(Conflicting Files)**] リスト



3. [競合するファイル **(Conflicting Files)**] リストで違いを確認します。

競合する変更の表示

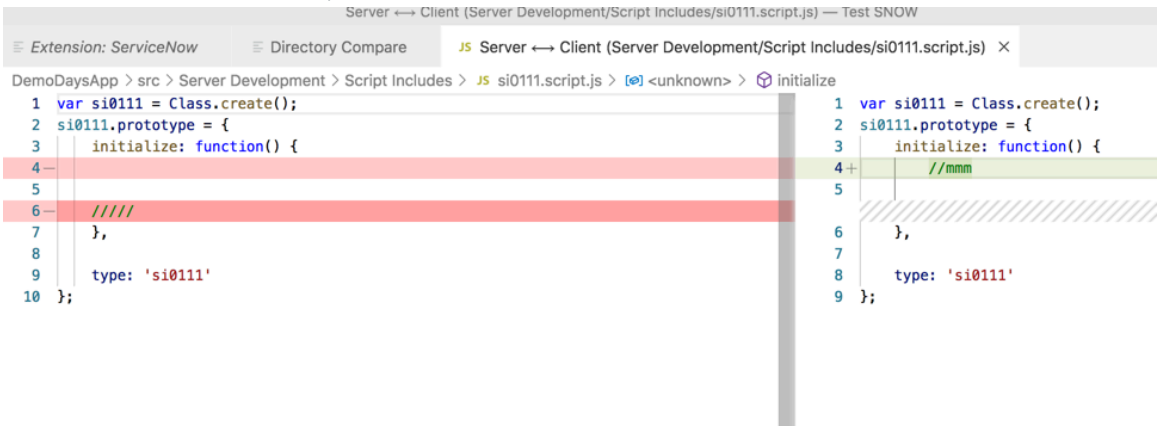


ダイアログボックスには、次のオプションが表示されます。

- 差分を開く (Open Diff)：2 つのバージョンの相違を確認し、必要な変更を行います。
- 解決済みをマーク (Mark Resolved)：相違を解決し、バージョンを同期します。
- サーバーを上書き (Overwrite Server)：サーバーのバージョンをクライアントのバージョンで上書きする場合に選択します。
- ローカルを上書き (Override Local)：ローカルバージョンをサーバーバージョンで上書きするには、[ローカルを上書き **(Override Local)**] を選択します。

4. [差分を開く **(Open Diff)**] をクリックします。
相違が強調表示された 2 つのバージョンのファイルが表示されます。

クライアントとサーバーの相違



5. クライアントバージョンからサーバーバージョンに変更を加え、ファイルを保存します。
6. [競合するファイル **(Conflicting Files)**] の下の [解決済みとしてマーク] をクリックします。
変更は、次の同期時に正常に同期されます。変更が正常に結合されると、「同期が正常に完了しました **(Sync completed successfully)**」というメッセージがページの下部に表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Visual Studio Code ワークスペースと **ServiceNow** インスタンス間での現在のプロジェクトの同期

Visual Studio Code ワークスペース (クライアント/ローカル) とインスタンス (サーバー) の間で双方向にファイルを同期します。

始める前に

プロジェクトを作成し、アプリケーションの編集を開始します。

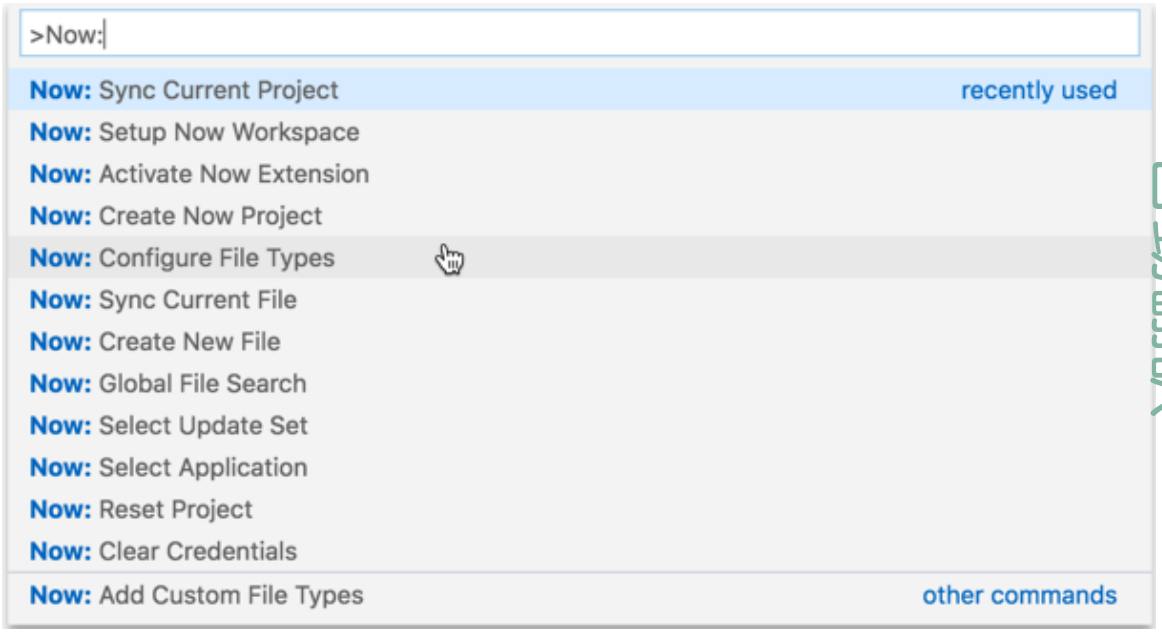
このタスクについて

Visual Studio Code ワークスペース内のアプリケーションファイルに加えられた変更は、最初はローカルファイルシステムに保存されます。[同期] コマンドを実行すると、アプリケーションファイルに加えられたローカルの変更がサーバーに送信され、永続化されます。

手順

1. Visual Studio Code IDE の下部にあるステータスバーで [同期] をクリックします。
   キーボードショートカット (Windows では Control+Shift+P、MacOS では Command+Shift+P) を使用してコマンドパレットを開き、リストから [Now：現在のプロジェクトを同期] を選択することもできます。

   現在のプロジェクトを同期

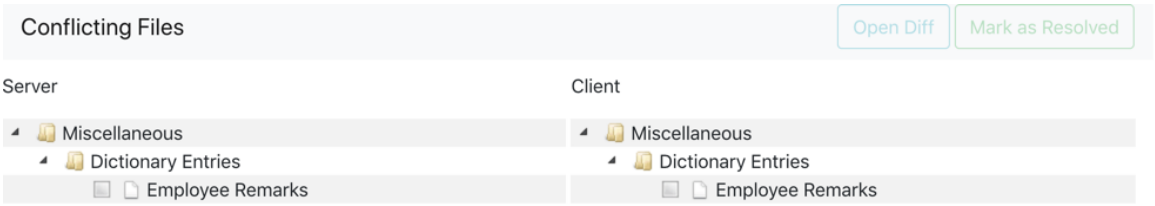
   

   - サーバーまたはクライアントのいずれかで変更が生じた場合、拡張はエラーを表示することなくファイルを正常に同期します。
   - ローカルバージョンとサーバーバージョンの間に相違がない場合は、「変更が検出されませんでした」というメッセージがページの下部に表示されます。
   - クライアントとサーバーの両方で同じファイルが変更された場合、システムは競合を示します。
2. 競合リストが表示された場合は、競合するファイルを右クリックしてコンテキストメニューを開き、コンテキストメニューから選択します。
   または、ファイルを選択し、ページの上部にある [差分を開く **(Open Diff)**] メニューをクリックします。

自動翻訳

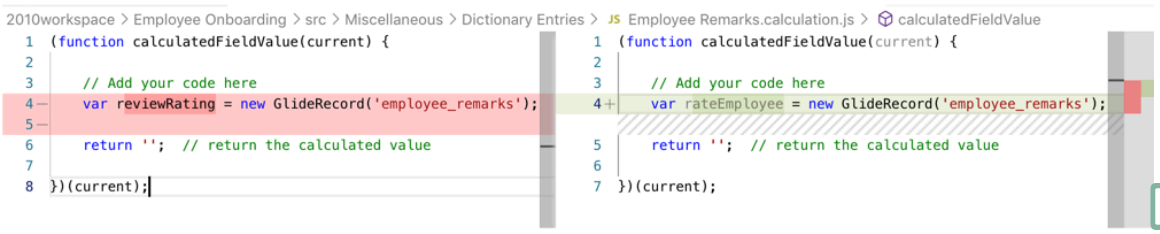
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

競合するファイルの表示



- サーバーバージョンをクライアントバージョンで上書きする場合は、[サーバーを上書き **(Override Server)**] を選択します。
- クライアントバージョンをサーバーバージョンで上書きする場合は、[ローカルを上書き **(Override Local)**] を選択します。
- 競合を示すフラグを削除するには、[解決済みとしてマーク] を選択します。サーバーバージョンは次の同期で上書きされます。

クライアントバージョンとサーバーバージョンの相違



3. 必要な変更をクライアントファイルに保持して保存します。
4. すべてのファイルの競合を解決したら、[競合するファイル **(Conflicting Files)**] の下にある [解決済みとしてマーク] をクリックします。
   変更は次の同期時に同期されます。変更が正常に結合されると、「同期が正常に完了しました **(Sync completed successfully)**」というメッセージがページの下部に表示されます。

> **注:**
> 同期プロセスの開始時に、ファイルに構文エラーがないか確認されます。見つかったエラーは、画面の下部にある [問題] タブに表示されます。

次のタスク

すべての変更は、ステータスバーの更新セットにタグ付けされます。プロジェクトがロードまたは選択されると、デフォルトの更新セットがステータスバーに表示されます。更新セットピッカーをクリックして、現在の更新セットを選択します (IDE またはプロジェクトがクローズされるまで有効)。更新セットを明示的に選択しない場合、すべての書き込みはデフォルトの更新セットに対して行われます。

Visual Studio Code でのインスタンス認証情報のクリア

現在のプロジェクトの保存された認証情報をシステムからクリアします。プロジェクトのユーザー認証情報 (インスタンス URL、ユーザー名、パスワード) は、ユーザーが毎回ログインする必要がないように、オペレーティングシステムの認証情報ボールトに保存されます。

このタスクについて

現在のインスタンスから認証情報をクリアすると、次に VS Code を開いたときに Visual Studio Code 拡張向け ServiceNow 拡張によって認証が要求されます。現在のセッションで作業を続行できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

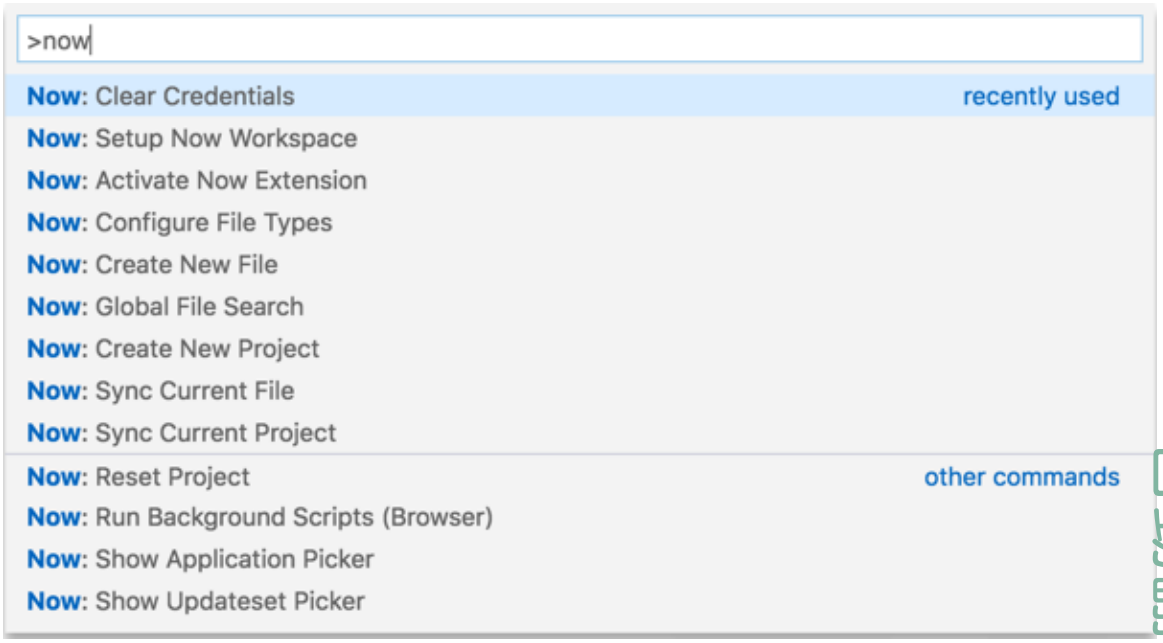
自動翻訳

注:
パスワードは Visual Studio Code 設定に保存されません。

手順

1. 移動先 すべて > 表示 > コマンドパレット.
   キーボードショートカット (Windows では Control+Shift+P、MacOS では Command+Shift +P) を使用してコマンドパレットを開くこともできます。
2. コマンドパレットから [Now：認証情報のクリア **(Now: Clear Credentials)]** を選択します。

   [Now：認証情報のクリア **(Now: Clear Credentials)]** コマンド

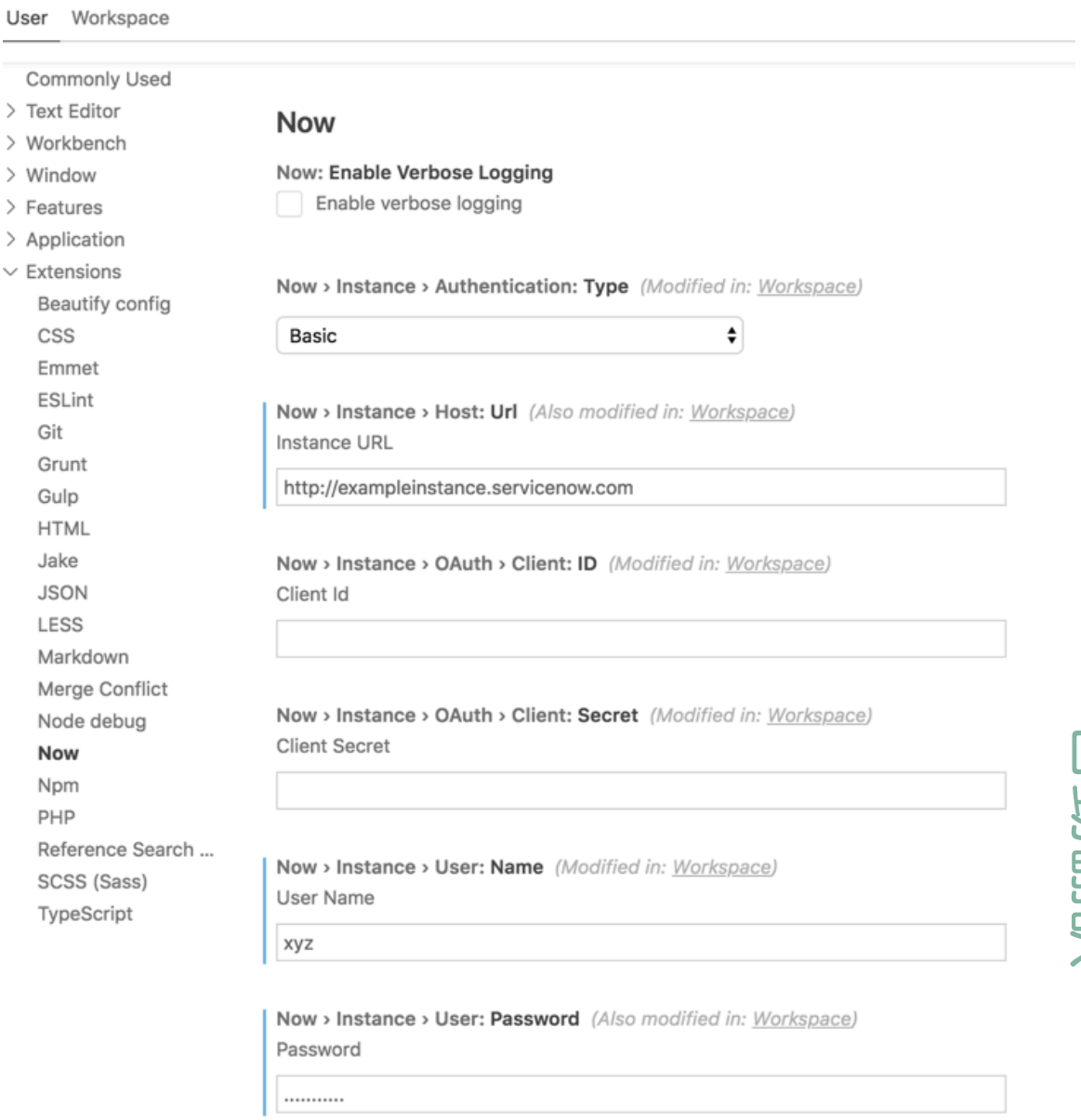


   現在のプロジェクトの認証情報がクリアされます。
3. オプション: 移動先 コード > 設定 > 設定 > ワークスペース > 拡張 > **ServiceNow** をクリックして、認証情報とインスタンス URL が削除されているかどうかを確認します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

認証情報のクリア



自動翻訳

注:
認証情報を再入力するには、[コード] [環境設定] [設定] [ワークスペース] [拡張] **[Now]** に移動します。[ユーザー名] と [パスワード] のフィールドに認証情報を入力します。

Visual Studio Code でのプロジェクトのリセット

重大な同期の問題が発生した場合は、すべてのローカルの変更を破棄して、プロジェクトをサーバー上のステータスにリセットします。

このタスクについて

プロジェクトをサーバーステータスにリセットすると、同期されていない変更はすべて失われます。

手順

1. 移動先 すべて > 表示 > コマンドパレット in.
   キーボードショートカット (Windows では Control+Shift+P、MacOS では Command+Shift +P) を使用してコマンドパレットを開くこともできます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

2. ドロップダウンリストから [Now：プロジェクトのリセット] を選択します。
3. ダイアログボックスで [はい] をクリックします。

タスクの結果
プロジェクトは元のステータスにリセットされます。

注:
このオプションは、プロジェクトが破損している場合や同期の問題に直面している場合など、問題が発生した場合にのみ使用してください。

関連情報

VS Code でのプロジェクトの作成

Visual Studio Code でのカスタムファイルタイプの追加

指定されたデフォルトタイプ以外のファイルタイプで作業する場合は、ファイルタイプをインスタンスに追加し、Visual Studio Code 向け ServiceNow 拡張で編集できます。

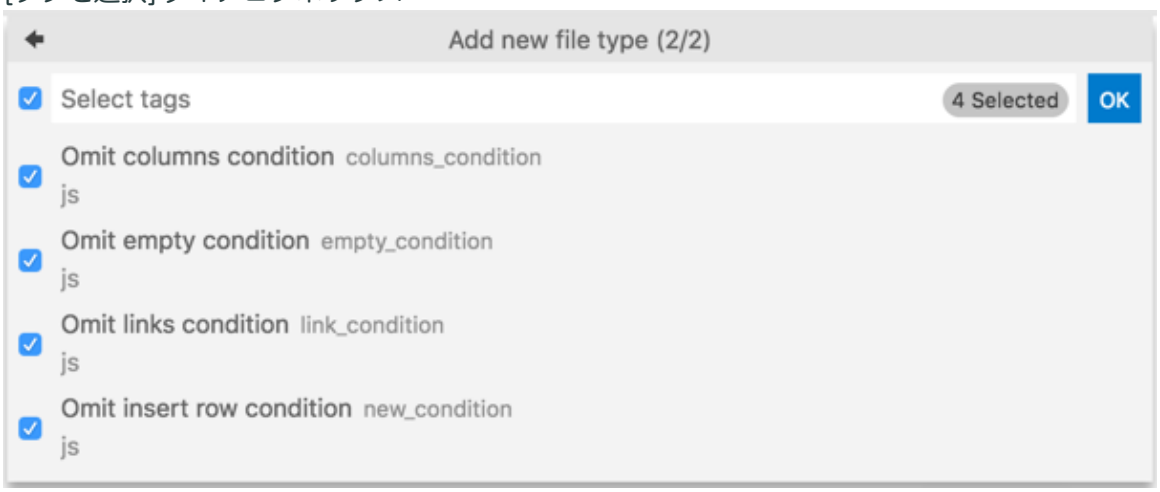
始める前に
必要なロール：admin

手順

1. ServiceNow インスタンスに新しいファイルタイプを作成し、アプリケーションファイルからそれを継承します。
2. *Script* および *String* タイプのカスタム列を追加し、データを入力します。
3. 移動先 表示 > コマンドパレット in Visual Studio Code.
   キーボードショートカット (Windows では Control+Shift+P、MacOS では Command+Shift+P) を使用してコマンドパレットを開くこともできます。
4. コマンドパレットから [Now：カスタムファイルタイプの追加 **(Now: Add Custom File Types)**] を選択します。
   このコマンドは、現在のアプリケーションのすべての既存のテーブルをフェッチし、[新しいファイルタイプを追加 **(Add new file type)**] ウィザードを開きます。
5. リストから ServiceNow インスタンスで作成したファイルタイプを選択します。
6. [タグを選択] プロンプトで、インスタンスで作成したタグを選択します。

   デフォルトでは、すべてのタグが選択されています。選択を解除するには、タグのチェックボックスをクリックします。

[タグを選択] ダイアログボックス



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

新しいファイルタイプが app.config.json ファイルに正常に追加されます。プロジェクトの下にある app.config.json ファイルに目的のファイルタイプを手動で追加することもできます。次の例を参照してください。

7. コマンドパレットから [Now：ファイルタイプの設定 **(Now: Configure File Types)]** コマンドを使用して、この新しいファイルタイプを現在のプロジェクトに取り入れます。
8. ファイルタイプのリストから作成したファイルタイプを選択し、**[OK]** をクリックします。
選択したファイルタイプは、Visual Studio Code 拡張向け ServiceNow 拡張でいつでも編集できます。

Example:
app.config.json の例を以下に示します

```
"CustomFileTypes": {
      "sc_ic_aprvl_type_defn": {
         "superCoverName": "Miscellaneous",
         "coverName": "Approval Type Definition",
         "tags": {
            "approver_script": "js",
            "approver_html": "html",
         }
      }
   }
}
```

- superCoverName は、スーパー親ディレクトリの名前です (常に [その他] を指している必要があります)。
- coverName はテーブルの記述名です。
- sc_ic_aprvl_type_defn はテーブル識別子です。
- タグはテーブル内のスクリプト可能な列のセットを表します
- approver_script はテーブル列 / xml タグの名前です
- js はファイルの拡張子です (js | html | css | json)

VS Code でのファイルの作成

ServiceNow 拡張を使用して、プロジェクトとともにアプリケーションの新しいファイルを作成します。

始める前に
VS Code プロジェクトにアプリケーションをインポートして、プロジェクト内にファイルを作成します。

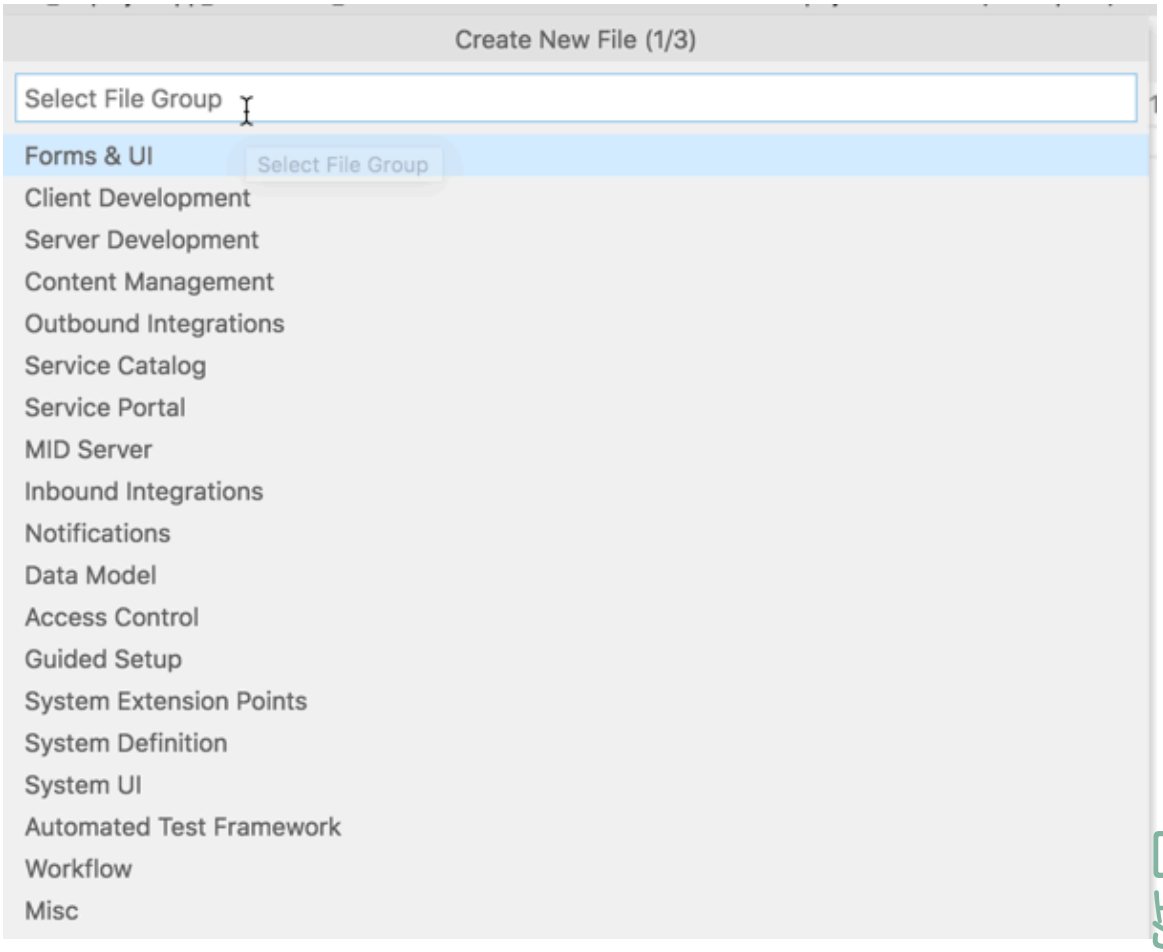
手順

1. アプリケーションを含む VS Code プロジェクトを開きます。
2. VSCode IDE の下部にあるステータスバーで [ファイルを作成] (

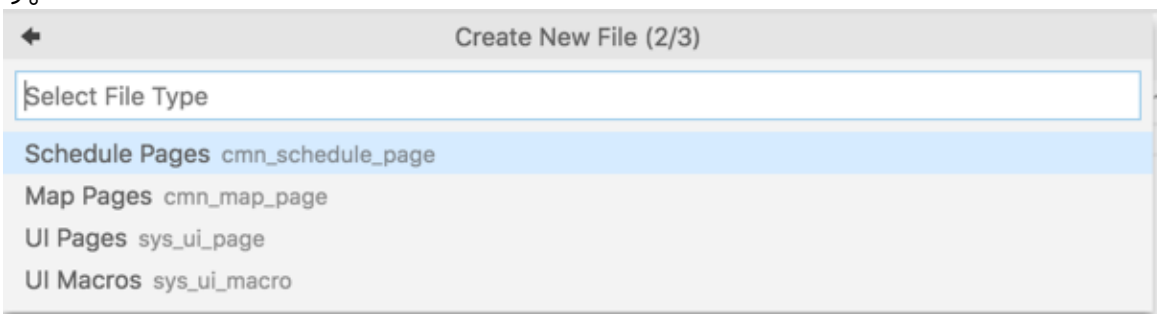
) をクリックします。
キーボードショートカット (Windows では Control+Shift+P、MacOS では Command+Shift+P) を使用してコマンドパレットを開き、リストから [Now：新しいファイルの作成 **(Now: Create New File)]** を選択することもできます。
3. [ファイルグループを選択 (Select File Group)] リストからファイルグループを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



4. 画面上部のコマンドパレットの [ファイルタイプを選択] リストからファイルタイプを選択します。



5. [新しいファイルを作成 (Create New File)] ダイアログボックスにファイルの名前を入力します。拡張によって、ローカルファイルシステム上のアプリケーションにファイルが作成されます。ワークスペースを同期すると、新しいファイルがインスタンスに追加されます。

VS Code でのインスタンス上のファイルの検索

VS Code 拡張向け ServiceNow 拡張を使用して、インスタンス上のスクリプトファイルを検索してダウンロードします。

始める前に
必要なロール：なし

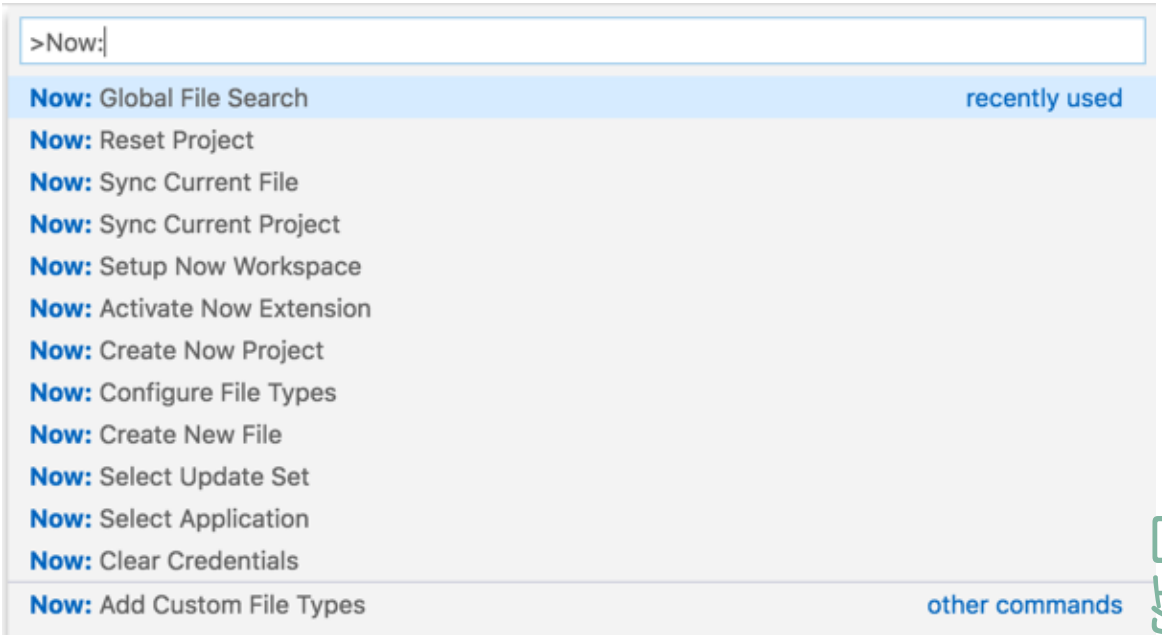
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. アプリケーションを含む VS Code でプロジェクトを開きます。
2. VSCode IDE の下部にあるステータスバーで [ファイル検索 **(File Search)]** をクリックします。キーボードショートカット (Windows では Control+Shift+P、MacOS では Command+Shift +P) を使用してコマンドパレットを開き、リストから [Now：グローバル検索] を選択することもできます。

グローバルファイル検索コマンド

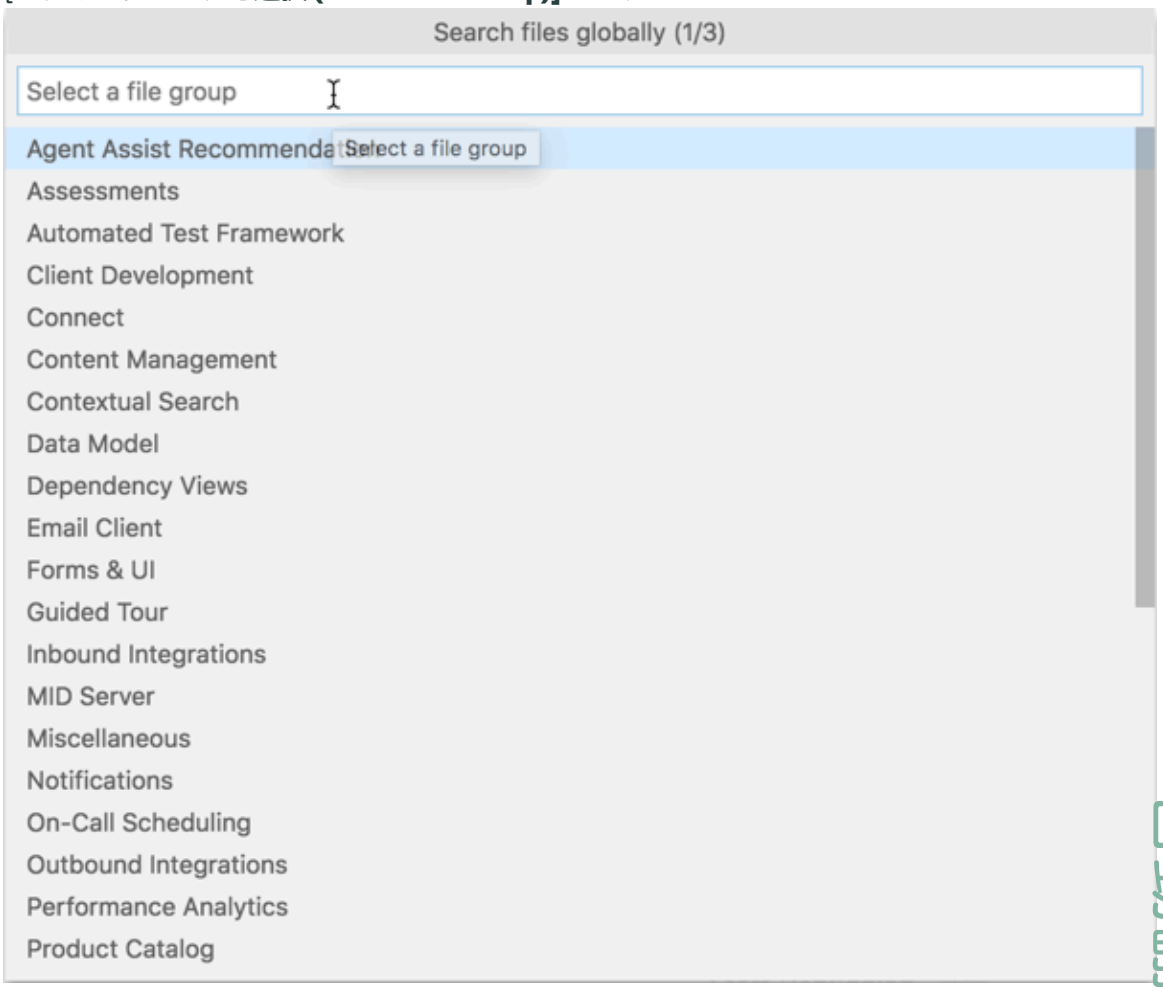


3. 画面上部のコマンドパレットの [ファイルグループを選択 **(Select File Group)]** リストからファイルグループを選択します。

自動翻訳

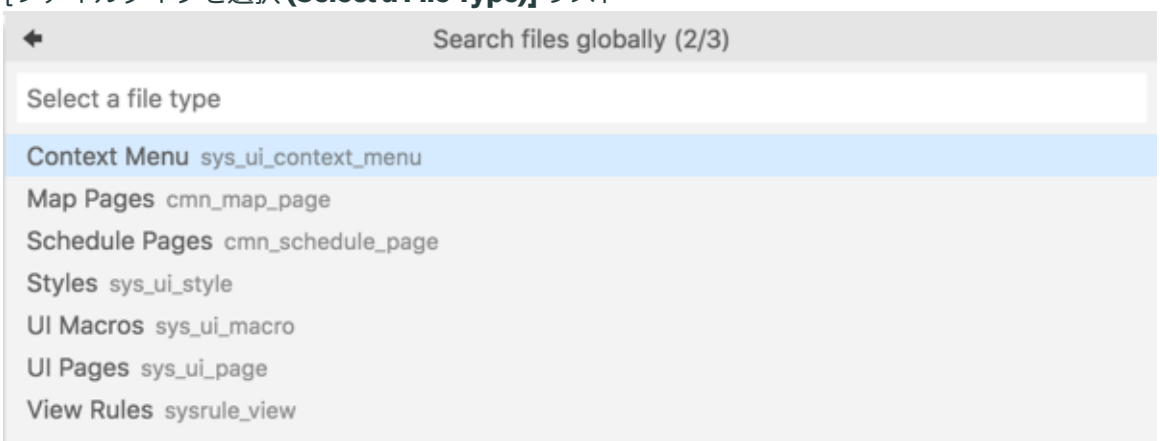
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[ファイルグループを選択 **(Select File Group)]** リスト



4. 画面上部のコマンドパレットの [ファイルタイプを選択 (Select a File Type)] リストからファイルタイプを選択します。

[ファイルタイプを選択 **(Select a File Type)]** リスト

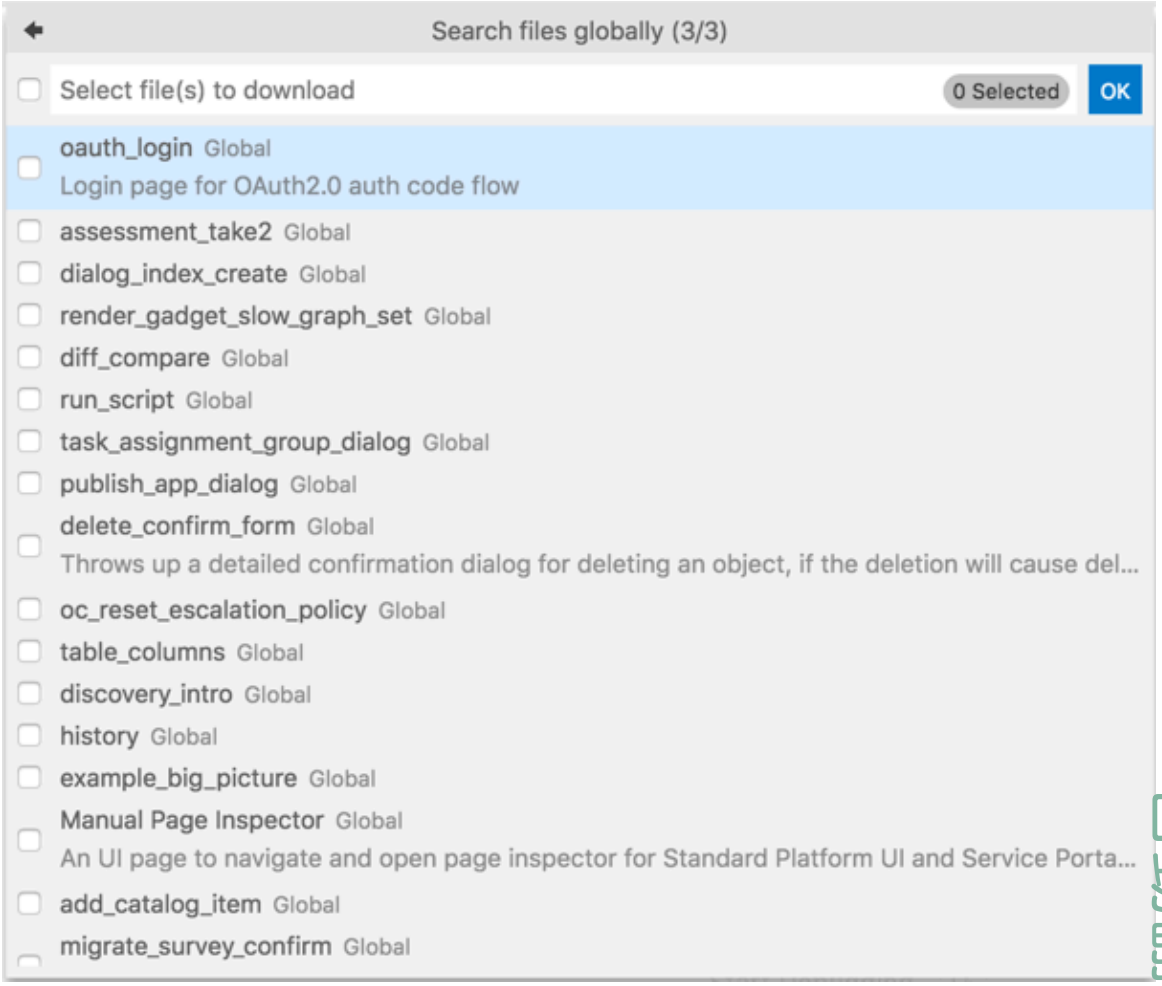


5. [ダウンロードするファイルを選択 **(Select files to download)]** リストからファイルを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[ダウンロードするファイルを選択 **(Select files to download)**] リスト



一度に複数のファイルを選択してダウンロードできます。

選択したファイルがアプリケーションのスクラッチフォルダーにダウンロードされます。選択したファイルを編集できます。

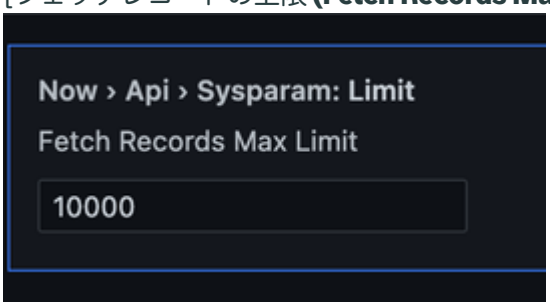
6. 検索結果 10,000 件以上を表示します。

a. Windows では Control+、MacOS では Command+ を選択して設定を開きます。

b. 検索バーに「now」と入力します。

c. [フェッチレコードの上限 (Fetch Records Max Limit)] 設定に表示するレコードの数を入力します。

[フェッチレコードの上限 **(Fetch Records Max Limit)**] 設定



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

関連情報

VS Code でのファイルの作成

VS Code を使用したバックグラウンドスクリプトの実行

VS Code 向け ServiceNow 拡張を使用して、VS Code で ServiceNow インスタンスからスクリプトを実行します。

始める前に
必要なロール：admin

手順

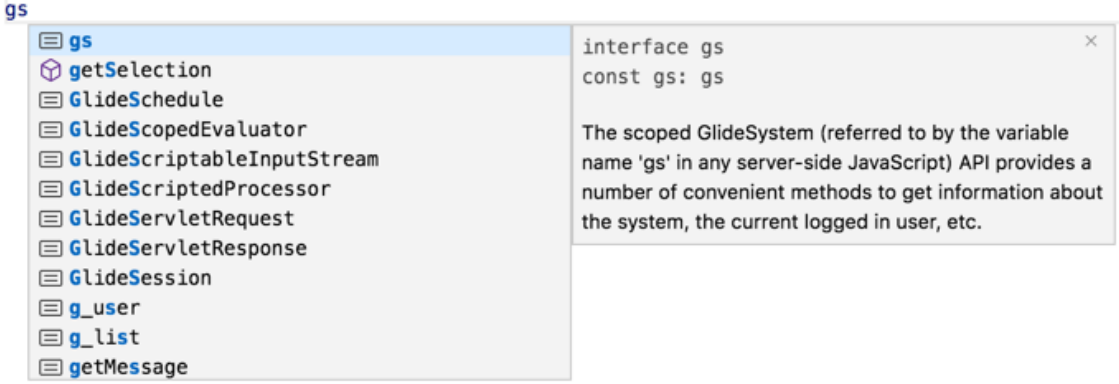
1. VS Code IDE でスクリプトを記述しているときに、テキストファイル内のスクリプトを選択し、スクリプトを右クリックします。
2. コンテキストメニューから、[バックグラウンドスクリプトの実行- 現在 **(Run Background Script-Current)]** または [バックグラウンドスクリプトの実行- グローバル **(Run Background Script-Global)]** を選択します。
   VS Code でバックグラウンドスクリプトランナータブが開き、サーバー内でスクリプトが実行される場所が表示されます。

VS Code の IntelliSens

VS Code 拡張向け ServiceNow 拡張の IntelliSens コード編集機能は、コードをより迅速かつ効率的に記述するためのオートコンプリートオプションを備えたインテリジェントコード補完を提供します。

VS Code でスクリプティングを開始すると、IntelliSense 機能がコードコンテキストに適したオートコンプリートオプションをリストの上部に表示します。

GlideSystem 向け IntelliSens



利用可能なオートコンプリートオプションは次のとおりです。

- クライアントおよびサーバースクリプトのメソッドとプロパティのオートコンプリート。
- 標準 JS API のメソッドとプロパティのオートコンプリート。
- Jelly タグと属性のオートコンプリート。
- 一般的に使用される標準でのコード補完。

拡張は、一般的に使用されるコードパターンのスニペット (テンプレート) をサポートし、ユーザーがインスタンスのシンタックスエディターのマクロテーブルで定義したスニペットをロードします。他の提案とともに #Space を入力すると、IntelliSens にスニペットが表示されます。または、VS Code のコマンドパレットから [スニペットの挿入] コマンドを使用してスニペットを挿入することもできます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

VS Code 向け ServiceNow 拡張のテレメトリ

VS Code 向け ServiceNow 拡張は、Now テレメトリを使用して実行されるコマンドなど、さまざまな使用パターンに関する情報を収集します。

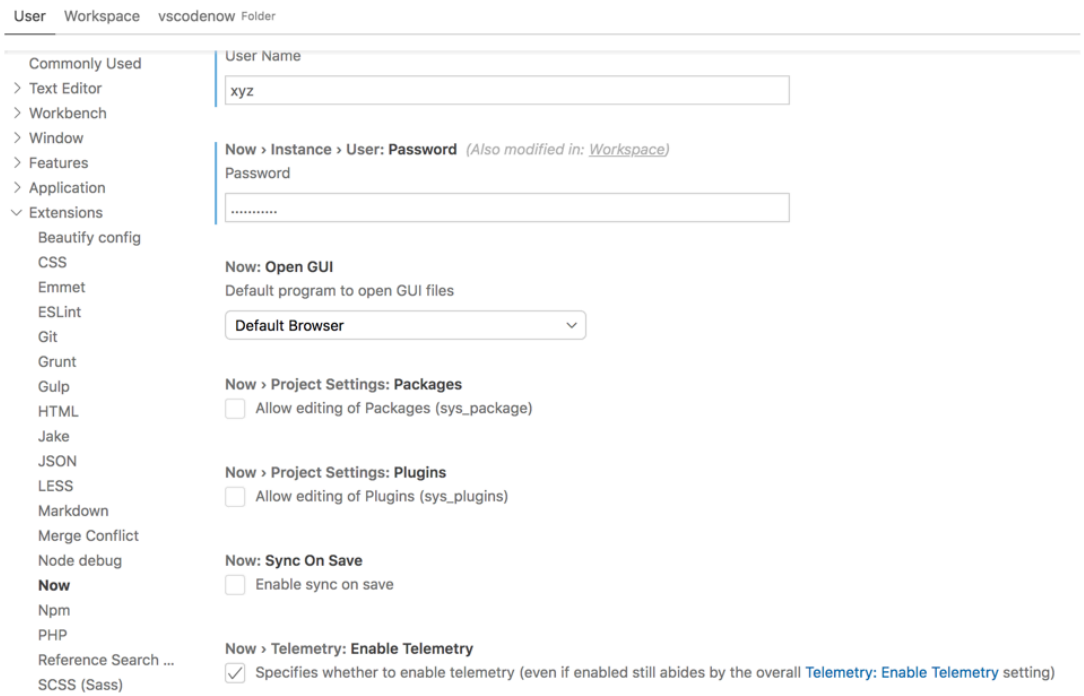
Now テレメトリは以下で役立ちます

- 問題のデバッグ
- 最もよく使用される関数や機能の分析
- ユーザーアクションのキャプチャ
- 拡張の改善

注:
テレメトリは、使用状況に関連する匿名情報を収集し、ユーザーの名前やメール ID などの個人情報はキャプチャしません。データは ServiceNow のみがアクセス可能で、誰とも共有されません。

ServiceNow 拡張では、デフォルトでテレメトリが有効になっています。使用状況データの送信を希望しない場合は、`now.telemetry.enableTelemetry` ユーザー設定を false に設定できます。または、[ファイル] (Windows) または [コード] (Mac) を選択し、 設定 > 設定 > 拡張 > 今 をクリックし、[**Now Telemetry]** チェックボックスをオフにして機能を無効にします。

テレメトリの設定



注:
使用状況データは、設定を無効にするまで送信されます。拡張は、グローバルテレメトリ設定 `telemetry.enableTelemetry` に従います。false に設定すると、Now テレメトリは無効になります。

専門能力開発の探索

ServiceNow は、デジタルトランスフォーメーションを強化するビジネスアプリケーションを迅速にビルドするための単一のモバイルおよび Web アプリケーション開発プラットフォームを提供します。この ServiceNow AI Platformを使用して、企業全体でデジタルワークフローアプリを自動化、拡張、ビルドする方法について説明します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

このコンテンツでは、開発者が ServiceNow AI Platformでアプリケーションを簡単にビルドできるように、アプリケーション開発ステージについて説明します。

- アプリケーション開発の計画：アプリケーションをビルドする前によく検討してください。
- アプリケーションのビルド：アプリケーションとそのコンポーネントを作成して構成します。
- カスタムアプリケーションでの AI 機能の使用:エージェント AI を活用してアプリケーションを作成します。
- アプリの機能の検証：機能テストを実行し、テストケースを記述します。
- アプリの展開：アプリケーションを本番環境に移行します。

アプリケーション開発の計画

計画プロセスは、アプリケーションをビルドする上で最も重要なステップです。ビルドする前に設計と構成をよく検討することで、アプリケーションにとっての短期的なメリットと長期的なメリットの両方を得ることができます。

ServiceNow AI Platform への適合性

すべてのアプリケーションのアイデアが ServiceNow AI Platform に適しているわけではありません。計画段階では、アプリケーションがその ServiceNow AI Platformに適しているか悪いかを検討します。アプリケーションを計画するときは、適合する特性を念頭に置いてください。

適合性が高い場合	適合性が低い場合
• 簡易フォーム • タスク管理 • 要求管理 • スプレッドシート駆動のプロセス • 繰り返し可能なプロセス • サードパーティ統合 • 複数のシステムのオーケストレーション • 複数のシステムの機能からの単一のエクスペリエンス • 同じアプリとデータへの Web およびモバイルアクセス	• 非構造化データ • 繰り返し不可能なプロセス • グラフィック処理が必要なコンテンツ • ストリーミングオーディオまたはビデオ • 高度にカスタマイズされたユーザーインターフェイス

ビルド前の計画

基本的に、アプリケーションはユーザーのタスクをサポートするデジタルプログラムです。アプリケーションのビルド時に実行する一部のアクションは、取り消すことができません。そういったアクションを意識して事前に計画してください。

エージェント型 AI

エージェント AI を活用してアプリケーションを作成します。詳細については、「カスタムアプリケーションでの AI 機能の使用」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アプリケーションスコープ

アプリケーションを作成するときに最初に行う主要な決定の 1 つは、アプリケーションをプライベートスコープまたはグローバルスコープのどちらにするかということです。

デフォルトでは、アプリケーションは専用のプライベートアプリケーションスコープで作成されます。プライベートアプリケーションスコープ内のアプリケーションは、アプリケーションアーティファクトへのアクセスを制限するため、同じスコープ内のアプリケーションアーティファクトのみが、アプリケーションデータを作成、変更、削除、または実行するためのフルアクセス権を持ちます。スコープ対象のアプリケーションは、ソースコントロール統合と委託開発を使用できます。グローバルスコープ対象のアプリケーションは、委託開発を使用できません。

次の場合を除き、スコープ内のカスタムビジネスアプリケーションを作成します。

- アプリケーションがグローバルデータを削除する必要がある。
- アプリケーションが機能するために、複数のデフォルトテーブルのアプリケーションアクセス設定を変更する必要がある。
- アプリケーションが、グローバルスコープでのみ利用可能な API にアクセスする必要がある。グローバルスコープパススルースクリプトインクルードを作成するだけでは、この要件を満たすことはできません。

> **注:**
> グローバルスコープパススルーは、プライベートスコープからアクセス可能なグローバルスコープで作成されるスクリプトインクルードです。パススルーは、プライベートアプリケーションスコープからデフォルトではアクセスできないグローバル API へのアクセスを提供します。

詳細については、「 アプリケーションスコープ 」および「」を参照してください。 のアプリケーションスコープについて ServiceNow AI Platform (ホワイトペーパー).

インスタンスの選択

概念実証 (PoC) アプリケーションビルドは、通常の開発インスタンスとは別のインスタンスでビルドできます。このインスタンスは、開発者サイトのサンドボックスインスタンスまたは個人開発者インスタンス (PDI) にすることができます。PDI の命名形式は **dev12345.service-now.com** です。

スコープの名前空間が異なるインスタンスを使用する場合は、組織の開発インスタンスで PoC アプリケーションを再ビルドします。アプリケーションを組織の開発インスタンスにインポートしないでください。アプリケーションのスコープ対象の名前空間は、会社の開発インスタンスのスコープ対象の名前空間と一致しません。

組織が使用する予定のアプリケーション (本番アプリなど) は、組織のテストおよび展開プロセスに従うことができるように、組織の開発者インスタンスで作成する必要があります。

命名の決定

アプリケーション名は重要です。ServiceNow は、アプリケーションの名前に基づいてスコープを提案します。インスタンス内のアプリケーションリソースを一意に識別するために、アプリケーションファイル名がスコープに追加されます。スコープの形式は *x_[company code]_[application_name]* で、最大 18 文字です。たとえば、**Legal Request** というアプリケーション名の提案スコープは **x_acme_legal_reque** です。

アプリケーション内のすべてのアプリケーションファイルはスコープを継承するため、値を慎重に検討してください。アプリケーション名はいつでも変更できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アプリ開発の管理

ServiceNow AI Platformのアプリ開発を管理します。

ソースコントロール

アプリケーションのシンプルで将来を想定したコラボレーションを実現するには、ソースコントロール統合を使用します。ソースコントロールを使用すると、組織は最新のアプリケーション開発とチーム管理のパラダイムに従いながら、業界標準のツールセットを採用できます。詳細については、ソースコントロール統合に関するドキュメントを参照してください。

GitLab や GitHub などのソースコントロールプラットフォームは、ServiceNow アプリケーションの開発と管理において、現在および将来のベストプラクティスのトレンドに組織を適合させます。ただし、組織によっては、最新のソースコントロール統合を採用する準備ができていない場合があります。

- 分岐の結合は現在サポートされていません。
- ファイアウォールの背後にある企業 Git リポジトリは、追加のファイアウォール構成なしで直接統合することはできません。

委託開発

委託開発により、admin ロールを持たない指定ユーザーは、 ServiceNow AI Platformでアプリケーションを開発または展開できます。アプリケーション固有の admin ロールまたはシステムレベルの admin ロールを持つユーザーは、アプリケーションレベルで指定された開発者にアプリケーション開発を委任することができます。委任開発者ロールは、admin ロールよりも権限が少なくなりますが、アプリケーションの開発は許可されています。

注:
委託開発は、プライベートスコープ対象のアプリケーションでのみ使用できます。

アプリケーションのビルドの詳細については、「最初のアプリケーションのビルド」を参照してください。

アプリケーションのビルド

アプリケーションを構成するデータ、設計要素、およびロジックをビルドおよび定義します。

エージェント型 AI

エージェント AI を活用してアプリケーションを作成します。詳細については、「カスタムアプリケーションでの AI 機能の使用」を参照してください。

データモデルの定義およびビルド

計画が完了したら、データモデルを定義してビルドします。フィールドを含む 1 つ以上のテーブルを作成し、デモデータを含むテーブルをロードして、データへのアクセス制御を確認します。

エージェント型 AI

エージェント AI を活用してアプリケーションを作成します。詳細については、「カスタムアプリケーションでの AI 機能の使用」を参照してください。

アプリケーションを作成

アプリケーションレコードを作成するか開きます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 作成：アプリケーションを直接作成する場合は、ガイド付きアプリクリエーターを使用してアプリケーションを作成します。Guided App Creator を使用すると、スプレッドシート、ロール、およびセキュリティルールからテーブルを作成できます。設計オプションも利用できます。
- オープン：開発者に admin ロールがない場合、ServiceNow システムアドミニストレーターはアプリケーションを作成し、開発者に委託開発ロールを付与する必要があります。その後、開発者は Studio を使用してアプリケーションを編集用に開きます。

注:
アプリケーションスコープとテーブル名は、これらのオブジェクトの内部名と呼ばれることがあり、作成後に変更することはできません。ただし、アプリケーション名とテーブルラベルは変更できます。アプリケーションユーザーには、URL の内部名のみが表示されます。可能であれば、内部名は常にユーザーに表示されるものと一致している必要があります。

データモデルのビルド

アプリケーションのデータモデルをサポートするテーブルとテーブル上のフィールドを作成します。

注:
エージェント AI を使用したアプリケーションの作成を検討してください。詳細については、「カスタムアプリケーションでの AI 機能の使用」を参照してください。

ServiceNow は、新しいテーブルごとに 5 つのフィールドを自動的に追加します。新しいフィールドには、テーブルに関する自動入力された情報が含まれます。

すべてのテーブルに追加されるフィールド

フィールド名	データベース名	説明
作成者	sys_created_by	このレコードを作成したユーザー
作成済み	sys_created_on	レコードが作成された日時。
更新者	sys_updated_by	レコードを最後に更新したユーザー。
Sys ID	sys_id	レコードの一意の識別子。インスタンス全体で一意です。
更新	sys_mod_count	レコード作成以降のレコードの更新回数をカウントする数値フィールド。

新しいテーブルは、既存のテーブルを拡張して、拡張されるテーブルからフィールドと機能を継承できます。拡張されるテーブルのコンポーネントを追加および変更します。最も一般的に拡張される ServiceNow テーブルは、タスクテーブルです。詳細については、「When to create a new table vs. when to extend (新しいテーブルを作成するタイミングと拡張するタイミング)」および「Exploring ServiceNow AI Platform® tables」を参照してください。

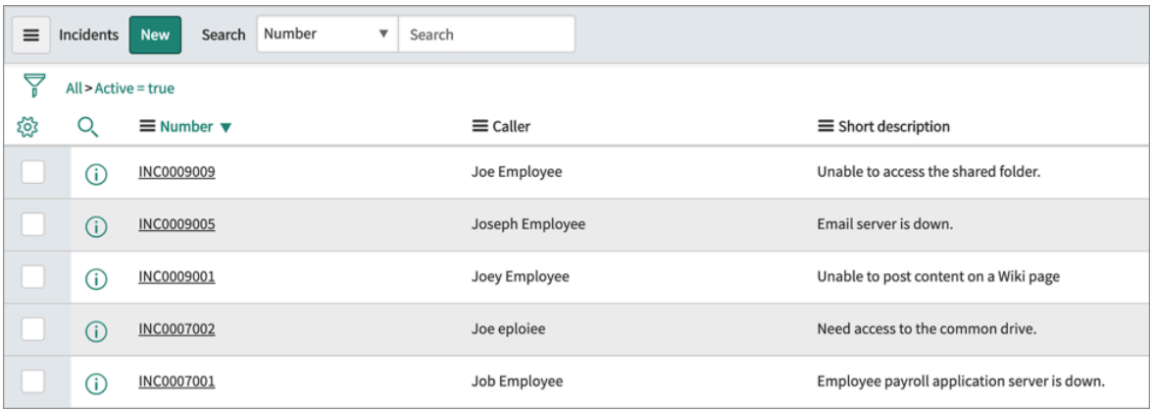
アプリケーションに必要なデータモデルをサポートするフィールドをテーブルに追加します。ServiceNow には、検証が組み込まれたさまざまなフィールドタイプがあります。フィールドのデータに最適なフィールドタイプを選択します。

注:
文字列 (プレーンテキスト) フィールドは、設定が最も簡単です。ただし、ユーザーは何でも入力できるため、文字列フィールドでは、使用が困難な不適切な一貫性のないデータが生成される可能性があります。

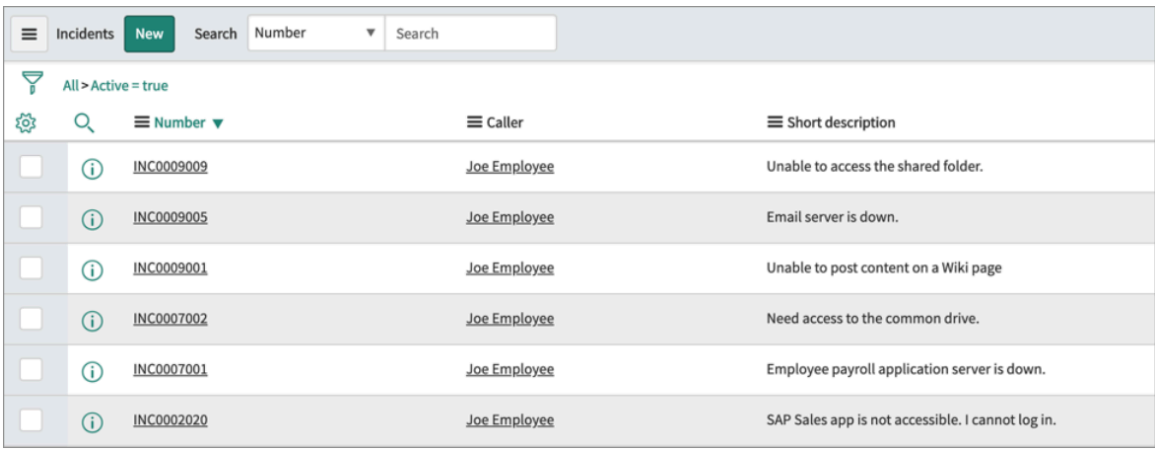
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

この例では、文字列フィールドタイプがユーザーの名前に使用されています。[Caller] フィールドはインシデントレコードごとに異なりますが、問い合わせユーザーは同じ人物である可能性があります。テーブルのユーザー名に文字列フィールドタイプを使用しないでください。



文字列フィールドの代わりにユーザーテーブルを参照する参照フィールドタイプを使用します。ユーザーは、[Caller] フィールドで一貫性のあるレコードを 1 つ選択する必要があります。



参照フィールドは、ServiceNow の別のテーブルの日付を正規化することで、データの一貫性を確保します。ServiceNow には、2000 を超える参照可能なベースラインテーブルがあります。付録には、アプリをビルドするためによく使用されるテーブルがいくつかリストされています。

参照フィールドはデータを正規化できますが、他のフィールドは特定のタイプのデータに使用できます。一般的なフィールドタイプの一部を次に示します。

フィールドタイプ	説明
整数	数値を格納し、計算で使用できます。
通貨	通貨値を保持し、ログインしているユーザーの通貨で値を表示します。
電話番号	E164 準拠の電話番号に対する検証と書式設定を含めます。
参照	別のテーブルのレコードを表示し、データの正規化に役立ちます。
選択肢	事前定義された選択肢のリストを含む選択ボックスを表示します。選択リストに含めるアイテムは 10 未満にする必要があります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールドタイプ	説明
日付	日付ピッカーで選択された日付値を保存します。特定の時刻が必要ない場合は、[日付] を使用します。
日付/時刻	日付と時刻ピッカーで選択された日付と時刻の値を保存します。特定の時刻を比較する場合、または正確な時刻が重要な場合は、日付/時刻を使用します。
文字列	自由形式テキストを保持します。フィールドに格納されている値と一致するフィールドタイプが他にない場合は、文字列を使用します。

注:
フィールドの作成後にフィールドタイプを変更しないでください。

選択リストまたは参照フィールド

選択リストと参照フィールドはどちらも、ユーザーがリストから値を選択する方法を提供します。選択リストは、名前と値のペアです。ユーザーが名前から選択すると、選択した選択肢の値がフィールドに保存されます。スクリプトはこの値を使用します。選択肢の名前/値のペアを追加および削除して、オプションのリストを管理します。

参照フィールドはテーブルを指します。テーブルの選択肢を管理します。参照フィールドに格納される値は、参照されるレコードの *sys_id* です。

選択リストは参照テーブルを必要とせず、参照フィールドよりも設定が簡単です。フィールドのオプションが 10 個以下で、オプションが変更されない場合は、選択リストを使用します。次の場合は、参照フィールドとテーブルの使用を検討してください。

- このフィールドに 10 を超える選択肢が必要。
- 選択肢が定期的に変更される。
- アドミン以外のユーザーが選択肢を管理する必要がある。
- フィールドの値は、意思決定ロジックに影響する。たとえば、フローデザイナーの意思決定テーブルなどです。
- データには、さまざまなフィールド間に複数レベルの依存関係があり、複雑で扱いにくい選択肢フィールドの組み合わせにつながる可能性がある。
- 選択肢に、複数の名前/値のペアが必要。たとえば、ユーザーレコードを参照すると、参照元のテーブルにメールや部門などの他のユーザーの詳細へのアクセス権が付与されます。
- フィールドに必要なデータを含むテーブルが既に存在する。

参照フィールドを使用する場合は、テーブルを作成する前に、参照するインスタンスで利用可能なテーブルを確認してください。新しいテーブルを作成する場合は、「カスタムテーブルガイド」のセクション 2 で除外テーブルのリストを確認してください。必要に応じて、これらのいずれかから新しいテーブルを拡張します。

注:
拡張されるテーブルに新しいフィールドを作成する前に、ベーステーブルから継承された同様の目的を持つ既存のフィールドを確認します。フィールドが見つかった場合は、拡張されるテーブルのラベルを上書きします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

安全なデータ

データセキュリティは、アプリケーションを作成する上で最も重要でありながら見落とされがちな要素の 1 つです。ServiceNow は、テーブルの作成プロセス中に、新規のロールまたは選択されたロールのアクセス制御を自動的に構成します。ロールを持つユーザーのみが、テーブルにアクセスして読み取り、作成、書き込み、削除を行うことができます。

アクセス制御ルールを使用して、 ServiceNow AI Platformのテーブルおよび列レベルのセキュリティを構成します。アプリケーションへのアクセスを適切に構成するために、開発者は、アクセス制御の仕組みとアクセス制御が評価される順序を理解する必要があります。複数のアクセス制御を適用し、それらを組み合わせてアクセス制御リスト (ACL) が構成されます。

自分のペースで進められるトレーニング：Securing Applications (アプリケーションの保護)

ドキュメント：アクセス制御リストのルール

セキュリティを考慮するタイミング：

- 適切なアクセス制御とロールを使用して、テーブル、UI ページ、プロパティページ、およびその他のコンテンツを保護します。
- アクセス制御スクリプトでの GlideRecord クエリの使用を制限します。GlideRecord クエリはパフォーマンスに影響を与える可能性があります。

Orlando Platform Subscription モデル以降、ユーザーがテーブルにアクセスするかどうかに関係なく、ユーザーがアクセスできるテーブルの数によって顧客に課金されます。テーブルへのアクセスを制限するように ACL を構成し、テーブルへのアクセスを必要とするユーザーのみがテーブルにアクセスできるようにします。

注:
自動入力されるフィールドを読み取り専用にすることを検討してください。システムによってデータが入力されている場合、ユーザーは入力できません。

または、クエリ前のビジネスルールを使用して ServiceNow AI Platform 上のデータを保護します。クエリ前ビジネスルールは、データベースクエリの前に実行され、レコードへの読み取りアクセスの制御に制限されます。必要な場合にのみ、クエリ前ビジネスルールを使用します。アクセス制御またはクエリ前ビジネスルールの使用を決定する際の考慮事項：

- GlideRecord クエリは、テーブルの読み取りアクセス制御をバイパスし、テーブルのクエリ前ビジネスルールによって制限されます。
- アクセス制御によってリスト内のレコードへの読み取りアクセスが制限されている場合、ServiceNow では、レコードのアクセスが制限されていることを示すメッセージが表示されます。クエリ前ビジネスルールでは、リストの合計レコード数は、ユーザーに表示されるレコードの数と一致します。一部のレコードがリストで非表示になったとき、ユーザーはそのことを示す通知を受け取りません。

参照用に、ユーザー [sys_user] テーブルのユーザークエリビジネスルールを確認してください。

注:
クエリ前ビジネスルールは ACL の代わりにはなりません。クエリ前ビジネスルールを使用してユーザーのテーブルへのアクセスを拒否しても、サブスクリプションモデルに対してテーブルがカウントされます。プラットフォームサブスクリプションモデルのユーザーに対してテーブルがカウントされないようにするには、アクセス制御を使用します。

暗号化

ServiceNow AI Platform は、アプリケーション層、データベース層、およびハードウェア層でさまざまな暗号化ソリューションも提供します。詳細については、データ暗号化に関するホワイトペーパーを参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
インターフェイスまたはビジネスロジックを構成する前に、セキュリティを設定します。セキュリティはインターフェイスやビジネスロジックで利用可能なデータに影響するため、アプリケーションビルドプロセスを終了するまで待つと、やり直しや問題が発生する可能性があります。

データの管理

データモデル (テーブルとフィールド) を作成し、セキュリティを設定したら、アプリケーションのテーブルにデータを追加します。

インポートセット

外部プラットフォームから ServiceNow のテーブルに入力するには、インポートセットと変換マップを使用します。外部ソースから定期的にデータを取得するには、スケジュール済みインポートを使用します。

自分のペースで進められるトレーニング：Importing Data into ServiceNow (ServiceNow へのデータのインポート)

インポートセットパフォーマンスのガイドライン：

- インポートを高速化するために、大量のデータを小さなセットに分割します。100,000 行をベースラインと見なし、それより大きい行は 100,000 行に分割します。たとえば、100,000 レコードを 10 セットインポートする方が、1,000,000 レコードを 1 セットインポートするよりも早く終了します。また、多数のレコードで同時インポートを使用することも検討してください。
- 大きなデータセットを同時にインポートすると、インスタンスに負荷がかかる可能性があります。インポートが重複しないように、大規模なインポートを交互に実行します。
- 可能な場合は、変換マップテーブルの [ビジネスルールを実行] チェックボックスをオフにして、インポート中にビジネスルールやその他のロジックが実行されないようにします。ビジネスルールのように各レコードで計算などのビジネスロジックをインポートの最後に実行するのではなく、onComplete 変換スクリプトを使用することを検討してください。
- インポートにデフォルトの機能を使用します。可能な限り、カスタムスクリプトを記述しないでください。たとえば、カスタム結合スクリプトを記述するのではなく、結合機能を使用します。
- インポートセットでは GlideRecord クエリを使用しないでください。
- 結合するように構成されたすべてのフィールドにインデックスが付けられていることを確認します。
- 履歴データをインポートする必要があるシステムを置き換える場合は、アプリケーションに必要な履歴データのみをインポートします。履歴データをデータレイクに保存することを検討してください。

受信統合

インポートセットに加えて、ServiceNow には外部プラットフォームからデータを受け入れるための API が含まれています。

別のシステムからアプリケーションテーブルにデータを直接プッシュするには、REST Table API または SOAP API を使用してアプリケーションテーブルに直接書き込むのではなく、*Web* サービスインポートセットを使用します。

添付ファイルの送信やカタログアイテムの注文など、テーブルへのデータの書き込みよりも複雑なデータトランザクションを処理するには、利用可能な API を確認して、必要なロジックをサポートする API が存在するかどうかを確認します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

Scripted REST API または Scripted SOAP Web Service を使用して、それぞれ REST または SOAP エンドポイントをビルドします。Scripted REST API および Scripted SOAP Web Service エンドポイントは、エンドポイントが外部システムによって消費されるときに ServiceNow サーバーサイドコードを実行できます。

自分のペースで進めることができるトレーニング：REST Integrations (REST 統合)

設計要素の作成

アプリケーションのデータモデルが作成され、保護され、データが入力されたら、そのデータにアクセスするための設計要素を作成します。

> **注:**
> エージェント AI の支援を受けてアプリケーションとエクスペリエンスを作成することを検討してください。詳細については、「カスタムアプリケーションでの AI 機能の使用」を参照してください。

プライマリインターフェイス

ユーザーがデータモデルを操作する主な方法は、フォームとリスト、またはモバイルを使用することです。

フォームとリスト

ServiceNow のデータにアクセスする標準的な方法は、デフォルトのフォームとリストを使用することです。フォームにはデータテーブルの 1 つのレコードの情報が表示され、リストにはテーブルの一連のレコードが表示されます。フォームとリストを構成する場合：

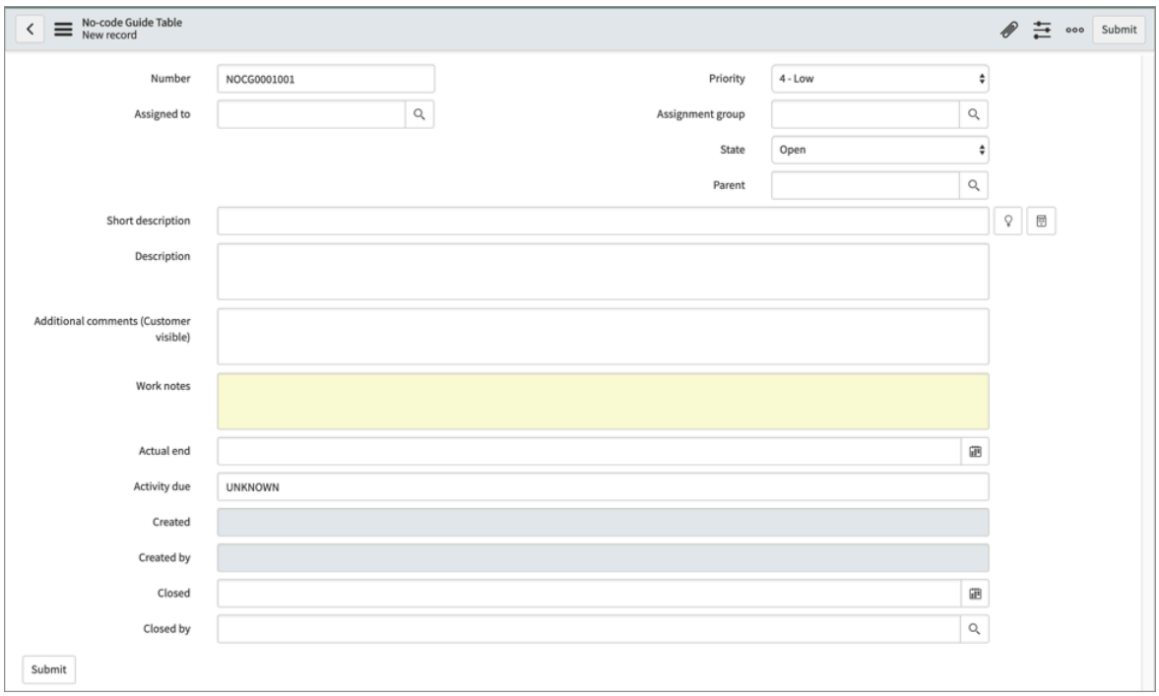
1. フォームのフィールド数は最小限に抑えます。フォームのフィールドが多いほど、フォームのロードに時間がかかり、ユーザーエクスペリエンスが低下します。フォームビューを使用して、さまざまな状況に合わせてさまざまなフィールドのセットを作成します。
2. フォームセクションを使用して、フィールドを論理的にグループ化し、ユーザーがスクロールする必要がないようにします。フォームの上部セクションには常に必要なフィールドまたは使用されるフィールドを含め、他のフォームセクションには使用頻度の低いフィールドを含めるようにします。
3. フィールドが正しい順序で表示されていることを確認します。たとえば、開始日フィールドは常に終了日フィールドの直前にする必要があります。
4. デフォルトのリストでは 7 つ以下の列を使用します。ユーザーは、リストをカスタマイズしてさらに列を追加できます。
5. 参照フィールドはハイパーリンク付きテキストとして表示されるため、リストビューの最初のアイテムとして使用しないでください。参照フィールドをクリックすると、ユーザーはリストレコードではなく参照レコードにリダイレクトされるため、ユーザーエクスペリエンスが低下します。

この例は、適切に設計されていないフォームを示しています。

自動翻訳

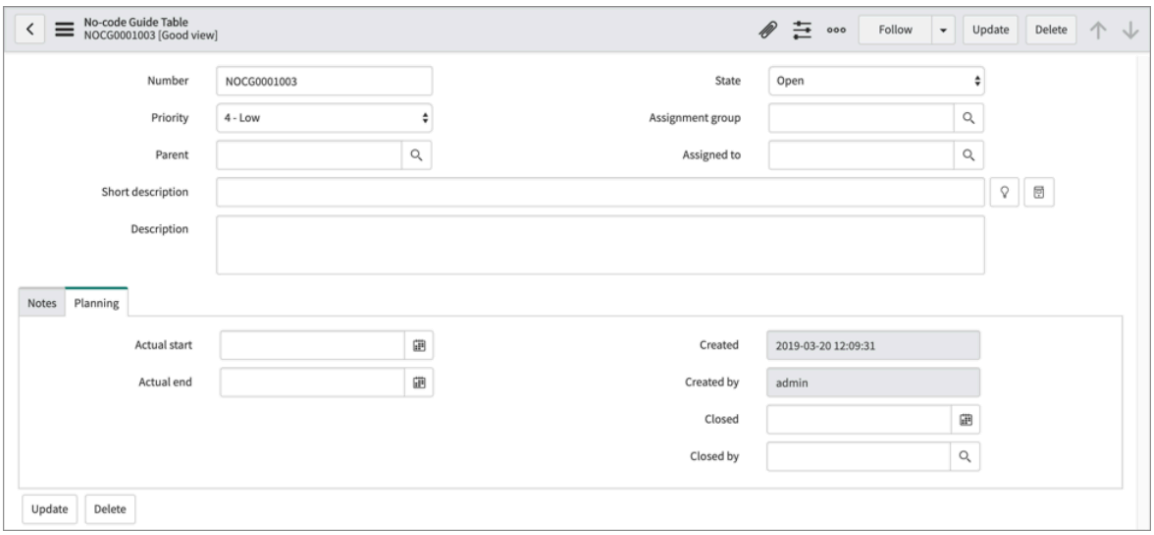
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- フォームにセクションがありません。ユーザーがすべてのフィールドを表示するには、フォーム全体をスクロールする必要があります。
- 類似のフィールドがグループ化されていません。たとえば、[アサイン先グループ] と [アサイン先] がフォームの異なる側にあります。



この例は、適切に設計されているフォームを示しています。

- フィールドは論理的にグループ化されます。
- フォームは、表示とデータ入力を容易にするためにセクションに分割されています。



モバイル

ユーザーがモバイルデバイスでアプリケーションを操作し、位置情報管理やアプリケーションデータへのオフラインアクセスなどの iOS または Android のネイティブ機能を必要とする場合は、ServiceNow Agent アプリを使用します。Studio を使用して、アプリケーションのモバイルアプリケーションを作成します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

モバイルアプリケーションでアプレットを作成します。アプレットは、アプリケーション内のタイルです。マップやリストなどのメイン画面と、アクティビティストリームや関連リストなどのさまざまな詳細画面を含めます。アプレットには、重点を置くエクスペリエンスが必要です。

注:
個々のアプレットは、ロール別に保護することも、オフラインモードで使用できるようにすることもできます。

自分のペースで進められるトレーニング：Mobile Applications (モバイルアプリケーション)

その他のリソース：Mobile Resources (モバイルリソース)

セルフサービス

アプリケーションには、エンドユーザーがデータモデルにアクセスできるようにする方法が必要な場合があるため、セルフサービスオプションを利用できます。

サービスポータル

アプリケーションに要求者ユーザーまたはセルフサービスユーザーがいる場合は、サービスポータルを使用して使いやすい Web エクスペリエンスを提供します。

セルフサービスユーザーがサービスポータルからアプリケーションレコードを簡単に作成できるようにするには、レコードプロデューサーを作成します。レコードプロデューサーは、通常のフォームよりも優れたエンドユーザーエクスペリエンスを提供できます。サービスポータルを介してレコードプロデューサーにアクセスできるようにするための適切なカタログと分類については、ServiceNow アドミニストレーターにお問い合わせください。

または、次の条件に当てはまる場合は、アプリのサービスポータルを作成します。

アプリケーションが、組織の現在のサービスポータルとは異なるブランディング、ナビゲーション、またはユーザーエクスペリエンスを必要としている。

OR

組織に既存のサービスポータルがない。

AND

アプリケーションは、デフォルトのポータルが提供するよりも多くの機能を必要としている。

AND

アプリケーションに、デフォルトのフォームやリストが提供できるものよりも多くのカスタマイズされたユーザーエクスペリエンスが必要。

OR

アプリケーションでは、デフォルトのインターフェイスが提供するよりも、ブランディングとテーマをより詳細に制御する必要がある。

ヒント:
アプリケーションで既存のサービスポータルページを再利用しないでください。新しいページを作成し、ページ内のコンポーネント (ウィジェットやヘッダーなど) を再利用します。

ウィジェット

ウィジェットは、ポータルのコンテンツを定義するものです。サービスポータルで提供されるベースシステムウィジェットを使用することも、開発者がビジネスニーズに合わせてカスタムウィジェットをビルドすることもできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アプリケーションのカスタムサービスポータルウィジェットを作成する際の考慮事項：

- ウィジェットを新規に作成するのではなく、既存のウィジェットから開始します。既存のウィジェットを誤って変更しないように保護するために、すべてのベースラインウィジェットは読み取り専用になっています。
- ウィジェットを開発するときは、プレビューペインを使用してウィジェットの動作を簡単にテストします。ウィジェットを本番環境にリリースする前に、必ずポータルページでウィジェットをテストしてください。
- ブラウザーベースのアプリケーションをデバッグするときは、サードパーティのデバッグツールを使用します。たとえば、Angular JS の ng-inspector Chrome 拡張機能を使用します。
- *$rootScope.$broadcast()* の使用は避けてください。代わりに、*$rootScope.$emit()* を使用してイベントをルートスコープに公開します。
- ウィジェットのオプションを使用して、ウィジェットをより簡単に再利用できるようにします。ウィジェットオプションスキーマは、ユーザーが構成可能なフィールドを定義します。
- オプションスキーマでサポートされていない他のフィールドタイプを使用するには、カスタムウィジェットオプションスキーマを格納する拡張テーブルを作成します。
- Angular プロバイダーは、複数のウィジェットに挿入できる再利用可能なコンポーネントです。ウィジェットのすばやいロードとポータルの高いパフォーマンスを確保するため、永続データと追加ロジックを使用してクライアントコントローラーをオーバーロードする代わりに Angular プロバイダーを作成します。Angular プロバイダーを使用すると、サービスポータルを使用する全期間データを維持し、複数のウィジェット間でコンポーネントとデータオブジェクトを再利用することができます。

詳細については、サービスポータルのトレーニングを参照してください。

アプリケーションの設計要素としての仮想エージェント

ServiceNow の会話型ボットプラットフォームである仮想エージェントについて考えてみましょう。ServiceNow 仮想エージェント (VA) を使用して、ボットの会話を設計してビルドし、ユーザーが迅速に情報を入手し、意思決定を行い、一般的な作業を実行できるようにします。

VA の会話トピックをビルドする際の考慮事項：

- ポータルに VA を追加する場合は、広範なトピックではなく特定のユースケースに焦点を当てたトピックを作成します。
- トピックを大声で読み上げて、トピックがロボットのようになりすぎたり冗長すぎたりしないようにします。
- 対話全体を一度に設計しようとしないでください。代わりに、ボットをビルドするときに反復アプローチを採用し、会話を頻繁にテストします。

詳細については、「Virtual Agent」を参照してください。

Notifications

データモデルが定義され、ユーザーがアプリケーションとやり取りできるようになったら、アプリケーションがユーザーと通信する方法を決定します。通知を構成して、重要なアプリケーション関連イベントをユーザーに警告し、ナレッジベースでアプリケーション情報を共有し、ユーザーが母国語でアプリケーションを操作できるようにするための翻訳を追加します。

ServiceNow AI Platformは、メール、SMS テキストメッセージ、またはプッシュ通知でユーザーに通知できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

トリガー：イベント駆動型通知とテーブルの更新

テーブルの更新またはイベントに基づいてトリガーするように通知を構成します。トリガー要件を通知条件に簡単に実装できない場合、または通知がワークフローからトリガーされる場合は、イベントベースのトリガーを使用します。特定のイベントを作成すると、通知のデバッグが容易になります。

単純な通知のユースケースでは、ワークフロー内の通知アクティビティまたはフローデザイナーの [メール送信] アクションを使用します。複雑な通知や重要な通知の場合は、ワークフローまたはフローデザイナーフローからイベントをトリガーし、そのイベントを起動するように通知を設定します。

通知コンテンツ

ServiceNow 通知は、メールテンプレート、メールスクリプト、および通知変数を使用した静的コンテンツと動的コンテンツをサポートしています。

通知変数は、ベースレコードのフィールド値など、通知の本文に動的な情報を追加します。変数はドット連結もサポートしているため、関連レコードのフィールド値をスクリプティングなしでコンテンツに含めることができます。

たとえば、*URI_REF* 変数を使用して、メールの発信元レコードをポイントします。

メールスクリプトまたはベースレコードからのドット連結を使用して、そのレコードで利用できない動的コンテンツを含めます。メールスクリプト API を使用して、受信者や送信者のアドレスなどの通知の詳細を設定します。

> **注:**
> <mail_script> タグを使用して通知本文に入力されたスクリプトは、常に正しく機能するとは限りません。常に [システム通知] > [メール] > [通知メールスクリプト] でメールスクリプトを作成し、${mail_script:script_name} を使用して通知本文に含めます。

複数の通知で使用されるコンテンツのメールテンプレートを作成します。メールテンプレートにコンテンツを追加すると、アドミニストレーターはメール通知の件名およびメッセージ本文で再利用可能なコンテンツを作成できます。

受信者の構成

ServiceNow のメールは、ユーザー、グループ、または個々のメールアドレスに送信できます。グループに送信する場合は、グループメールに加えてグループのすべてのメンバーに通知が送信されるように、グループレコードの [含めるメンバー] フィールドをオンにします。

サブスクリプションベースの通知：受信者が受信するメールを選択できるようにするには、通知の [登録可能] オプションを選択します。

サブスクリプションベースの通知では、受信者が個々の設定に関係なく通知を受信できるように、[必須] オプションを true に設定できます。必要に応じて、送信メールに登録解除リンクを設定して、ユーザーが通知から自分自身を削除できるようにします。

ServiceNow では、メールのウォーターマークを使用して、通知に対するユーザーの応答を正しく処理します。メール通知には、通知で [ウォーターマークを省略] オプションが選択されていない限り、自動的にウォーターマークが含まれます。受信者からのメール応答が想定されていない場合にのみ、ウォーターマークを省略します。

「送信メールのトラブルシューティング」ナレッジベース記事には、最も一般的な通知の問題のトラブルシューティング手順が記載されています。記事を参照するには、HI ポータル (https://hi.service-now.com) にログインしてください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

翻訳

いずれかのインターナショナリゼーションプラグインを使用すると、インスタンス内のほとんどのフィールドが自動的に翻訳されます。ただし、カスタマイズは自動的に翻訳されないため、手動で翻訳する必要があります。この場合、個々の翻訳されていない文字列を探して翻訳し、それらの翻訳を手動で挿入するのが最も効果的です。

新しい言語を実装するには、新しい言語のプラグインを有効にします。次に、いずれかの翻訳テーブルから既存の値をエクスポートします。

たとえば、すべての **sys_choice** レコードをエクスポートします。提供されたファイルの [ラベル] フィールドの翻訳を提供するために、翻訳者にエクスポートを提供します。[値] フィールドは変更しないでください。[言語] の値を新しい言語に更新します。次に、翻訳された値を **sys_choice** テーブルに再びアップロードします。

注:
値を挿入するには、必要なすべてのフィールド (テーブル、要素、言語、ラベル、値、シーケンス) を設定していることを確認してください。必要に応じて、依存値とヒントを設定します。このロジックは、すべての翻訳テーブルで同じです。

詳細については、「言語のインターナショナリゼーションのサポート」を参照してください。

開発者向けのレポートと分析の概要

作成するほとんどのアプリケーションには、ある程度のレポート要件があります。レポートは、変更を促進するためにアクション可能である必要があります。

「レポート」とは、一般的にインシデント [incident] のようなファクトテーブル内のデータを表示することです。パフォーマンスアナリティクス アプリケーションを使用して、重要業績評価指標 *(KPI)* を作成して、このデータの変化を経時的に追跡することもできます。

現在、 ServiceNow AI Platform® は次の情報を表示するための 2 つのユーザーインターフェイス間を移行中です。

- 古い コア UI テクノロジー。この UI には、テーブルから直接のデータのみを表示するレポートアプリケーションと、 パフォーマンスアナリティクス インジケーターからのデータを表示する PA ウィジェットが含まれています。レポートと PA ウィジェットの両方を コア UI レスポンシブ ダッシュボードに配置できます。詳細については、「Reporting, dashboards, and Performance Analytics in the Core UI」を参照してください。
- 新しい プラットフォームアナリティクス テクノロジー。この UI には、任意のソースからのデータについてレポートできるデータの可視化が含まれています。これらの可視化は、プラットフォームアナリティクスフィルターとともにプラットフォームアナリティクスダッシュボードに配置できます。詳細については、「Platform Analytics experience」を参照してください。

  プラットフォームアナリティクスオブジェクトはすべてネクストエクスペリエンス UI フレームワークにルート付けられており、開発者が使用できます。ただし、開発者以外の場合でも、UI ビルダー を使用せずに、プラットフォームアナリティクスエクスペリエンスを通じて独自のオブジェクトをビルドできます。詳細については、「Platform Analytics experience」を参照してください。

注:
「レポート」は一般的な用語ですが、このドキュメントでは通常、曖昧さを解消するために、コア UI Reporting アプリケーションを指すために「レポート」と「レポート」を使用し、 プラットフォームアナリティクス データの視覚化を指すときに「可視化」または「可視化」を使用します。

レポートまたはデータの可視化をビルドするときは、次のガイドラインに従ってください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 大きなテーブルでレポートや可視化を作成すると、パフォーマンスに悪影響を与える可能性があります。テーブルのすべてのレコードを表示するのではなく、日付範囲またはその他の制限基準でフィルタリングしてください。
- 多くの値を含む可能性があるフィールドでグループ化すると、パフォーマンスに悪影響を与える可能性があります。
- レポートまたは可視化をロードするときに「 長時間実行トランザクションタイマー 」メッセージが表示される場合は、データフィルターをさらに追加してロード時間を短縮することを検討してください。
- レポート、データの可視化、またはダッシュボードを定期的にエクスポートする必要がある場合は、エクスポートをスケジュールしてメールで送信します。

プラットフォームアナリティクスでは、1 ページに複数のデータ表示方法をいくつか使用できます。

- データの可視化とダッシュボードはすべて プラットフォームアナリティクス エクスペリエンス内で作成します。このアプローチには開発者ロールや特別な技術的知識は必要ないため、より複雑なソリューションを試す前に検討する必要があります。
- 汎用 UI ビルダー ページに、フィルターやその他のコンポーネントとともにデータビジュアル化コンポーネントを作成します。このアプローチでは、開発者として最も自由度が高くなりますが、最も多くの構成が必要になります。
- プラットフォームアナリティクスエクスペリエンス内にデータの可視化とダッシュボードを作成し、ダッシュボードページテンプレートを使用してダッシュボードをUI ビルダーページ内に配置します。このアプローチにより、 プラットフォームアナリティクス エクスペリエンスの利便性を利用して、独自のエクスペリエンス/ワークスペースでダッシュボード、データの可視化、フィルターを作成できます。また、ページ構成を部分的にカスタマイズすることもできます。詳細については、「Creating Platform Analytics pages in your own workspace」を参照してください。
- テクニカルダッシュボードを作成し、UI ビルダー内に入力します。このアプローチは、独自の UI ビルダー ページを最初から作成するのとほぼ同じですが、ダッシュボードはダッシュボードライブラリで使用でき、ダッシュボードの詳細があり、他のダッシュボードと同様に共有できます。詳細については、「Technical dashboards」を参照してください。

フォームとビジネスロジックのビルド

アプリケーション設計の次のステップは、ロジックのビルドです。ロジックには、フォームロジック (フォームで表示/使用できるものとできないもの) とビジネスロジック (データが入力されたときの処理方法を制御するルール) が含まれます。

エージェント型 AI

エージェント AI を活用してアプリケーションを作成します。詳細については、「カスタムアプリケーションでの AI 機能の使用」を参照してください。

スクリプティングと変更

コードを記述する前に、アップグレードと ServiceNow の新機能の採用への影響に注意してください。ベースラインのアーティファクトとプロセスを変更する場合は、特に注意する必要があります。

スクリプトを作成する前に、次の点を考慮してください。

- 要件を評価します。ロジックはアプリの機能にとって重要ですか？
- コードなしで要件を満たすように ServiceNow を構成できるかどうかを判断します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- フローデザイナー、仮想エージェント、UI ポリシーなどのオプションを活用して、コードを記述せずにプラットフォーム機能を活用します。
- ロジックに対するローコードおよびノーコードアプローチにより、デバッグとアップグレードが簡単になります。

スクリプティングが適切な場合の例：

- フローデザイナーアクションのビルド
- Scripted REST API の作成
- スクリプトインクルードでのスコープ対象アプリケーションのロジックの作成
- サービスポータルのウィジェットのカスタマイズと作成

スクリプト化されたソリューションを使用する前に、ビジネス要件を評価し、ノーコードルートを検討してください。

ServiceNow の機能拡張に注意してください。たとえば、orlando リリースでは、仮想エージェントの会話に London よりも多くのノーコードオプションがあります。リリースノートやその他の公開資料を読んでください。認定を取得し、認定を最新の状態に維持してください。

カスタマイズするタイミングをよりよく理解するには、Customer Success Center の「Innovate at Scale Success Playbook (大規模な革新を成功させるためのプレイブック)」を確認してください。

デフォルト動作の変更

以前は、アーティファクトをコピーして更新し、元のアーティファクトを非アクティブ化するという戦略が使用されていました。コピー/非アクティブ化のアプローチは、次の問題により推奨されなくなりました。

- 開発者は、調査しないと、非アクティブ化されたアーティファクトがアップグレードされたかどうかを判断できません。
- オリジナルとコピーという 2 つのファイルをメンテナンスする必要があります。カスタマイズした部分はメンテナンス量が 2 倍になります。
- 新しいリリースが出るたびにカスタマイズしたレコードが古くなり、
  - 新リリースに含まれる機能強化を活用できなくなります。
  - 新リリースがオリジナルレコードの更新に依存することもあります。
  - オリジナルレコードの無効化を埋め合わせるために、開発者はさらに多くの変更を余儀なくされる場合があります。

[アクティブ] フラグのみが変更されたスクリプトは更新されますが、スキップされたリストにはスクリプトは表示されません。コピーと非アクティブ化の戦略では、開発者はカスタマイズの可視化が低く、ベースラインバージョンを簡単に評価したり元に戻したりすることはできません。

元のアーティファクトをコピーして非アクティブ化するのではなく、アーティファクトを直接編集します。ServiceNow Upgrade Engine は、最新バージョンをバージョン履歴に追加し、アーティファクトがスキップされたことを報告します。開発者は、アップグレードで新しいバージョンが利用可能であることを確認できます。

フォームロジック

ユーザーがフォームにアクセスしたときに表示される内容を制御することで、生産性と応答性を向上させることができます。たとえば、ユーザーは自分にとって有用なフィールドのみを表示する必要があります。ユーザーは、フォームの構成に基づいて特定のフィールドのみを表示する必要がある場合

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

があります。フォームロジックを適用して、フォーム上の表示可能、読み取り専用、および必須の内容を制御します。

エージェント型 AI

エージェント AI を活用してアプリケーションを作成します。詳細については、「カスタムアプリケーションでの AI 機能の使用」を参照してください。

ユーザーアクセスを制御するタイミングを決定する

次の質問は、情報へのユーザーアクセスを制御するタイミングを適切に判断するのに役立ちます。これは提案ですか？それとも強制ですか？提案はフォームの入力を容易にしますが、強制はフォームに入力するためにユーザーに何らかの操作を強制します。

UI ポリシーは、フィールドの表示と非表示、別のフィールドの値に基づくフィールドメッセージの追加などの条件付き提案に役立ちますが、データポリシーとビジネスルールは、フィールドを必須にするなどの条件付き適用に適しています。

最高のユーザーエクスペリエンスは、提案と強制の両方を一緒に利用することです。

詳細については、クライアントサイドスクリプトモジュールの UI ポリシーの記事を参照してください。

クライアントサイドのロジックをスクリプティングする前に、クライアントサイドのアクティビティを処理する UI ポリシーとデータポリシーを作成します。クライアントスクリプトを使用して、ユーザーがフォームに入力しているときにユーザー入力を検証し、フィードバックを提供します。

クライアントスクリプティングの一般的なプラクティスは次のとおりです。

- クライアントサイドの *GlideRecord* または複数の *getReference()* 呼び出しに対して非同期 *GlideAjax* を使用して、パフォーマンスを最適化します。
- *onChange* クライアントスクリプトで *isLoading* チェックを維持します。
- *newValue* チェックを維持し、*newValue != oldValue* チェックを追加します。
- *GlideAjax* でサーバー呼び出しを行う前に、可能な限りすべてのクライアントサイドスクリプトを使用します。サーバーの往復はパフォーマンスに影響を与える可能性があります。

クライアントスクリプティングの回避すべきプラクティスは次のとおりです。

- グローバルクライアントスクリプトまたはグローバル UI スクリプト：グローバルスクリプトはページがロードされるたびに実行され、ブラウザーのロード遅延が発生します。
- DOM 操作：デフォルトの UI 要素に対してドキュメントオブジェクトモデル操作を使用すると、アップグレードのリスクと保守性の問題が発生します。例外は、UI ページやサービスポータルウィジェットなど、同じスコープ対象のアプリケーションで作成されたページの DOM に対して DOM 操作を使用する場合です。

ビジネスルールおよびスクリプトインクルード

ビジネスルールは、インスタンスレコードの CRUD (作成、読み取り、更新、削除) 操作中に実行できるサーバーサイドのアクションです。

> **注:**
> エージェント AI を使用したアプリケーションの作成を検討してください。詳細については、「カスタムアプリケーションでの AI 機能の使用」を参照してください。

ビジネスルールを使用する際の推奨プラクティスは次のとおりです。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- ビジネスルールは小規模で具体的にします。
- ベースシステムのビジネスルールは変更しないでください。
- グローバルビジネスルールの代わりにスクリプトインクルードを使用します。
- スクリプティングは必要な場合にのみ使用します。
- 再利用可能なスクリプトロジックをスクリプトインクルードに格納します。
- クエリを使用して、ビジネスルール内で処理されるレコードを制限します。
- クライアントスクリプトを実行する際の効率を向上させるために、クライアント呼び出し可能ビジネスルールを使用しないでください。
- ビジネスルールをいつ実行するかを制御するには、常にビジネスルールで条件を使用します。条件付きでビジネスルールを実行することもデバッグに役立ちます。ビジネスルールが条件なしで実行されることはほとんどありません。

ビジネスルールは、データベース操作の前または後に実行するように構成できます。また、非同期で実行するように構成することも、フォームの表示前やクエリの実行前にも実行することもできます。

値	実行	使用するタイミング	例
前	データベース操作の前に同期的に実行	保存操作の一環として、現在のオブジェクトの値を設定または更新します。実行を検証し、必要に応じて中止します。	開発者は、そのレコードの別の入力に基づいて現在のレコードのステータスを設定したいと考えています。
後	データベース操作の後に同期的に実行	データベースの更新後にイベントと通知をトリガーして、前のオブジェクトにアクセスしたり、何かを順番に発生させたりします。更新されているベーステーブル以外の関連レコードを更新して、前のオブジェクトにアクセスしたり、何かを順番に発生させたりします。	開発者は、現在のレコードから子レコードに値をカスケードしたいと考えています。
非同期	データベース操作が完了した後、別のプロセスとして非同期で実行される	ルールによってトリガーされるプロセスの実行には、時間がかかる場合があります。操作をトリガーしたユーザーがすぐに出力を必要としない場合。レコードの以前の値または特定の順序のアクションにアクセスする必要がない場合に、イベント、通知、または関連レコードの更新をトリガーします。	開発者は、時間がかかる可能性がある外部プロセスをトリガーしたり、多数のレコードを更新したりする必要があります。
表示	対応するフォームが表示されるたびに実行される	サーバーサイドのオブジェクトをクライアントサイドのスクリプトで使用できるようにするために使用されます。	開発者は、現在のレコードに関連付けられたユーザーに関する情報を g_scratchpad オブジェクトに書き込み、クライアントサイドスクリプトで使用したいと考えています。

注:
current.update() は、ビジネスルールでは使用しないでください。*current.update()* を使用すると、追加のデータベース操作がトリガーされ、通知の重複や再帰ループなどが発生する可能性があります。

スクリプトインクルードを使用して、サーバースクリプトで使用できるように JavaScript の関数およびクラスを格納します。各スクリプトインクルードは、任意のサーバーサイドスクリプトで再利用

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

できるオブジェクトクラスまたは関数を定義します。詳細については、「Script includes」を参照してください。

スクリプトインクルードの他の場所で使用する必要があるコードを保存します。ビジネスルール、UI アクション、ワークフロースクリプト、スクリプト済み REST APIなどからスクリプトインクルードを呼び出します。UI アクションからビジネスルールを呼び出すか、スクリプト済み REST APIから UI アクションを呼び出す代わりに、スクリプトインクルードにコードを配置し、両方の場所からスクリプトインクルードを呼び出します。

関数をスクリプトインクルードに保持すると、関数を他のスクリプト領域に展開する前に関数をテストできるため、全体的な開発とテストの時間を短縮できます。

詳細については、「Classic Business rules」を参照してください。

フローデザイナー

フローデザイナーは、統合された設計環境で豊富なプロセス自動化機能を有効にする ServiceNow AI Platform 機能です。フローデザイナーを使用すると、プロセス所有者が自然言語を使用して、コードを書かずに承認、タスク、通知、レコード操作を自動化できます。

フローデザイナーと IntegrationHub

新しいプロセスフロー要件がある場合、ServiceNow では、ほとんどすべての状況で従来のワークフローではなくフローデザイナーを使用することをお勧めします。

フローデザイナーとビジネスルール

次の場合を除き、ビジネスルールの代わりにフローデザイナーを使用する必要があります。

- ビジネスロジックを他のビジネスルールとともに特定の順序で実行する必要がある。たとえば、新しいビジネスロジックは、あるビジネスルールの後、別のビジネスルールの前に実行する必要があります。
- ロジックを同じスレッドでデータベースへの書き込みの直前または直後に実行する必要がある。
- ロジックがスクリプトインクルードのみを呼び出す。

フローを設計するときは、次の設計の原則に従ってください。

- 単一の目的：各フローには単一の目標が必要です。
- 再利用性：再利用可能なサブフローを念頭に置いて設計します (承認が良い例です)。
- 明確性：フローの言語とレイアウトは、各アクションの目的を明確にする必要があります。

ビジネスフローのホワイトボード設計から開始します。次に、プロセスに合わせてアクションごとにフローをビルドします。単一のプロセスが設計原則に従うためには、複数のフローが必要になる場合があります。

フローデザイナーを使用する場合は、次のプラクティスを使用します。

- SysID ではなくレコードを使用します。インラインドキュメントでガイド付きエクスペリエンスを提供します。
- テンプレートオブジェクトを使用して静的入力と動的入力の両方を操作する方法について説明します。
- 絶対に必要な場合を除き、データの BLOB を渡すことは避けてください。
- フローが使用するフローにのみ情報を渡します。

フローデザイナーアクションを使用する場合は、次のプラクティスを使用します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 該当する場合は、常にアプリケーションのスポークのスコープの下でアクションを作成します。
- 将来、他のアプリやスコープ間でアクションを再利用できるようにするには、アクションですべてのスコープからアクセス可能にアクセス権を設定します。
- ユーザーによるアクションの不要な編集を防ぐには、[保護] を読み取り専用に設定します。
- 入力に特定のタイプがあることを確認してください。
- 必要に応じて [必須] が選択されていることを確認します。
- 選択肢の入力タイプを使用する場合は、デフォルト値を使用します。

IntegrationHub アクションを使用する場合は、次のプラクティスを使用します。

- 統合システムごとに 1 つのスポークを作成します。スポークには単一システムのアクションのみを配置します。
- スポークのスコープ対象アプリを作成するときは、意味がわかるバージョン命名規則を使用します。
- インライン接続の代わりに、接続エイリアスを使用します。ベース URL は自動的に抽出されます。
- エイリアスの接続属性を使用して、REST ステップでバージョンを渡し、リソースパスでのバージョニングの柔軟性を向上させます。
- 別のステップを作成してデータを保存する代わりに、[添付ファイルとして保存] を使用して応答のコンテンツを保存します。
- エイリアスが動的である場合は、エイリアスを入力の 1 つにし、データピルを使用してエイリアスを指定します。

エラー処理には、フローデザイナーと IntegrationHub で次のプラクティスを使用します。

- エラーを処理するスクリプトインクルードを作成します。
- 短くてわかりやすいエラーメッセージを記述します。
- API が返す可能性のあるエラーメッセージをすべて組み込みます。
- 使用する前に、統合ステップの出力が検証されていることを確認します。
- 早期失敗：入力が利用できない場合は、統合を呼び出さないでください。

自分のペースで進めることができるトレーニング： フローデザイナー

自分のペースで進めることができるトレーニング： IntegrationHub

アプリの機能の検証

アプリケーションをビルドしたら、期待どおりに機能することを検証します。

単体テスト

単体/ストーリーテストでは、ストーリーをクローズする前に、ストーリーで指定された要件が検証されていることを確認します。ストーリー/単体は、システムまたはアプリケーションのテスト可能な最小部分であり、構成して実行することができる部分です。

ストーリーの構成が完了したら、開発者はその特定のストーリーのコンテキストだけでなく、現在のストーリーとコンポーネントを共有する他の関連ストーリーでも機能を単体テストする必要があります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ストーリーをクローズする前に、開発者はストーリーをプロセスオーナーまたは指定されたステークホルダーにアサインして、ストーリーの構成が期待される結果を満たしていることを検証することをお勧めします。

ServiceNow の自動テストフレームワーク (ATF) は、主にアプリケーションの機能テストを自動化することを目的としていますが、スクリプトインクルードとビジネスルールを含む構成の単体テストを自動化するために使用できることはあまりありません。

システムテスト

システムテストは、開発が完了したときに完全なシステムで実行されます。コンポーネントの全体的なインタラクションと、スコープ内の他のアプリケーションとの統合をテストします。システムテストは QA/テストチームによって実行されますが、開発者は QA チームおよびプロセスオーナーと協力して、テストケースがすべてをカバーしていることを確認する必要があります。開発者は、システムテスト中に見つかった問題の修正に対して責任を負います。

自動テストフレームワーク (ATF)

自動テストフレームワーク (ATF) を活用して ServiceNow アプリケーションの機能システムテストを自動化し、テストの時間とコストを削減して、UI に依存しない再現可能なテストにする必要があります。テストケースを作成するときは、次のガイドラインに従ってください。

テストを作成するとき：

- パラメーター化されたテストを使用して、テストケースの重複を回避します。
- テストの命名基準に従います。
  - `<アプリのイニシャル>：<テストされている機能>`
  - CSM：ケースの解決
- 説明に各テストのユースケースを記述します。例：ユースケースをテストするサンプル。
- 開発インスタンスでテストを開発し、テストインスタンスでテストを昇格/実行します。
- クローンするとテストはワイプされます。テストを保持するには、次のいずれかのオプションを使用します。
  - スコープ対象のアプリにテストをバンドルし、アプリを GIT にアップロードします。
  - クローンの前にテストを保存します。
  - テストを本番インスタンスに昇格させますが、本番環境ではテストを実行しないでください。
- 自己完結型のテストを作成します。
- テストステップが欠落している新しいサーバーサイドテストステップまたは REST テストステップを作成します。例：メール本文の検証。
- スクリーンショットが重要でない場合は、可能な限りサーバーサイドテストステップを使用します。
- 代理操作ステップから開始します。
- ブラウザースロットリングに注意してください。
- テストログとテストトランザクションを使用して、テストエラーのトラブルシューティングを行います。

テストスイートを作成するとき：

- テストスイートの命名基準に従います。例：ITSM INT：ユースケース。
- スイートについて説明します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- テストスイートの説明：「これは、プラグイン/アプリケーションをテストするためのサンプルテストスイートです」。
- 説明に使用可能な追加情報を入力します。

• テストスイートを機能領域別に整理します。

ユーザー受け入れテスト

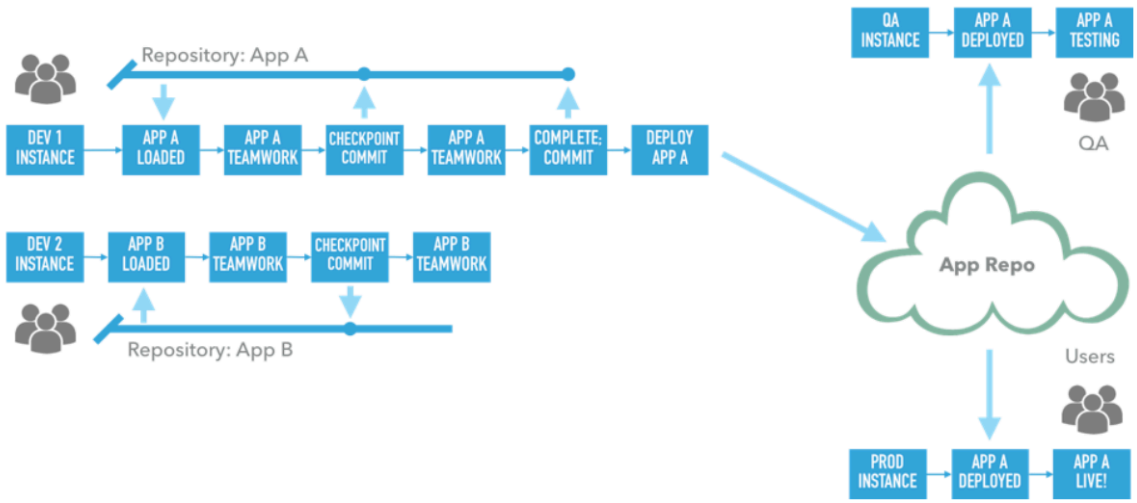
ユーザー受け入れテスト (UAT) は、アプリケーションのビジネス要件へのコンプライアンスを評価し、アプリケーションが提供可能かどうかを評価するために実施されるテストです。ユーザー、顧客、またはその他の権限を持つステークホルダーが受け入れテストを実行します。開発者は、システムテスト中に見つかった問題の修正に対して責任を負います。

アプリの展開

アプリケーションをビルドして検証したら、アプリケーションを本番環境に移行する必要があります。アプリケーションは、アプリケーションリポジトリを介して、または Update Sets を使用して移動できます。本番環境に移行する前に、アプリケーションをテスト環境に展開する必要があります。

アプリケーションリポジトリ **(App Repo)**

アプリケーションをアプリリポジトリに公開すると、組織のすべての ServiceNow インスタンスでこのバージョンのアプリケーションを使用できるようになります。アプリリポジトリを使用して、アプリケーションを QA/テストインスタンス (テスト用) に展開し、最終的に本番 (Prod) インスタンスに展開します。

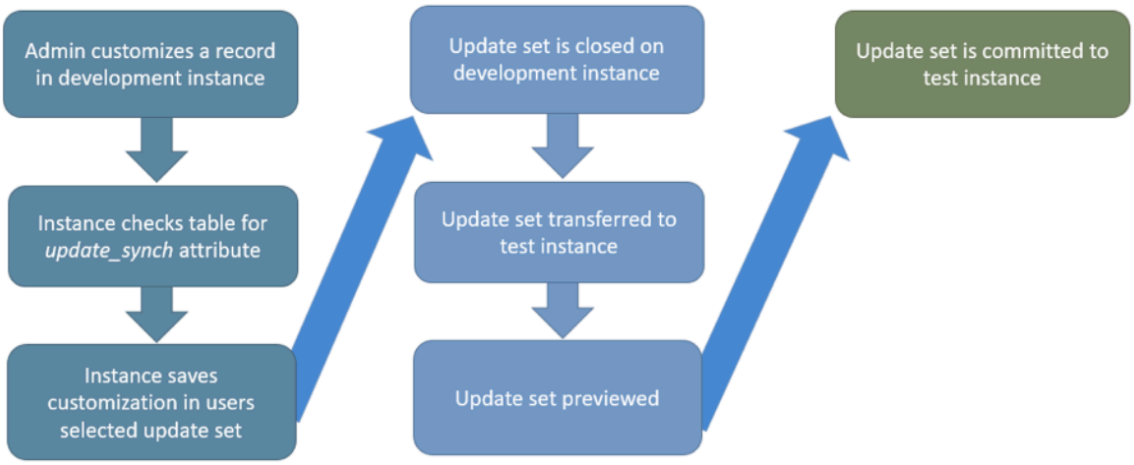


詳細については、「アプリケーションリポジトリへのアプリケーションの公開 アプリケーションのインストール」を参照してください。

更新セット

アプリケーションリポジトリを使用してアプリケーションを展開できない場合は、代わりに更新セットを使用します。この図は、開発インスタンスからテストインスタンスにカスタマイズを展開するための更新セットのベストプラクティスライフサイクルを示しています。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



品質の高い開発およびリリースプロセスを実現するためのプラクティス：

- カスタマイズは常にスタックの一番下から上に移動します。
  - ダウンスタックインスタンスがアップスタックインスタンスと一致するようにします。
  - スタックの途中で導入されたカスタマイズは、将来のダウンスタックからのプッシュで上書きされる可能性があります。
  - 一般的なシナリオは次のとおりです。
    - テストまたは本番環境での修正の必要性 – 常に開発から上にプッシュ
    - 選択リストなどの一般的な本番アドミンのカスタマイズ – 常に開発から上に更新をプッシュ
- 転送する前に、更新セットに含まれる更新を必ず確認してください。
  - 他の開発作業に関連する更新とテストに関連する更新を探します。
  - システムプロパティと統合エンドポイントの変更を監視します。例：すべてのメールをテストメールアカウントに送信する sys_properties の変更をプッシュする
  - 更新を削除するのではなく、「スクラップ」更新セットに更新を移動します。
- プッシュ後は必ずテストを行い、必要なすべてのカスタマイズがキャプチャされ、期待どおりに適用されていることを確認します。
- 複数の並行リリースがある状況では、開発チーム間のコミュニケーションと調整を確実に行います。
- カスタマイズを誤ってキャプチャして他のチームメンバーが移行する可能性があるため、開発インスタンスでの実験は避けてください。
- デフォルトの更新セットで開発をキャプチャしないでください。

更新セットの [説明] フィールドにすべてのユーザーストーリー番号と簡単な説明を一覧表示します。更新セットを展開するために必要なすべての手動の手順を含めます。

更新セットにキャプチャされない展開に必要な手動の手順の一般的な例をいくつか示します。

- プラグインのアクティブ化。
- 更新セットで追跡されないテーブルの転送 (通常は先頭が「x_」または「u_」)。
- テーブルのデータベースインデックスの作成。インデックスの作成は更新セットを介して追跡されず、手動で行う必要があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

更新セットの管理

ストーリーまたは欠陥に取り組むときは、正しい更新セットが選択されていることを確認し、更新セットのレコードを毎日確認してください。

更新セット間で *sys_update_xml* レコードを手動で移動しないでください。唯一の例外は、レコードをデフォルトの更新セットに移動することです。

更新セットは構成情報を取得しますが、タスクまたはプロセスのデータは取得しません。たとえば、更新セットは、サービスカタログアイテムの定義と、変数や変数の選択などの関連する構成データを追跡します。ただし、テストで行われた注文 (要求、アイテム、カタログタスク) は、更新セットによって追跡されません。

更新セットの推奨事項と禁止事項に注意してください。

- 現在の更新セットから特定の *sys_update_xml* レコードを削除するには、レコードをデフォルトの更新セットに移動し、レコードをデフォルトの更新セットに移動する理由をレコードの **sys_update_set.comments** フィールドに入力します。
- 1 つの更新セットから別の更新セットにカスタマイズレコードを移動しないでください。
- 更新セットが新しい更新セットに正常に結合されている場合を除いて、更新セットを削除しないでください。
- あるインスタンスから別のインスタンスにデータを移動するには、常にデータ抽出またはインポートセットを使用します (更新セットは使用しません)。

更新セットのバッチ

更新セットのバッチにより、更新セットを一括でプレビューおよびコミットできます。

複数の更新セットがあると、問題が発生する場合があります。たとえば、更新セットを正しくない順序でコミットしたり、1 つまたは複数の更新セットを誤って除外してしまったりする可能性があります。完了した更新セットをバッチにグループ化することで、これらの問題を回避できます。

更新セットのバッチを階層に編成します。1 つの更新セットは、複数の子更新セットの親として機能することができます。与えられたセットは子と親の両方になれるので、複数レベルの階層を可能にします。階層の最上位にある 1 つの更新セットは、更新セットのベースとして機能します。

基本更新セットをプレビューまたはコミットすると、バッチ全体がプレビューまたはコミットされます。システムは処理の順序を決定し、変更が記録された日付とその逐次祖先に基づいて競合をチェックします。これら祖先は、更新セットの変更が行われた特定のインスタンスです。

更新セットのバッチ処理は、リリースに適用され、これにより、リリースの空の親更新セットが作成され、実際の更新セットが子としてリリースに含まれます。

更新セットのバッチ処理を使用する利点は次のとおりです。

- 個々の更新セットは、直前にリリースから削除できます。
- バッチ処理は、更新を削除できることを除いて、結合に似ています。
- バッチ更新セットは簡単に展開できます。親更新セットのみを処理する必要があります。

詳細については、「システムアップデートセット」を参照してください。

次に行うこと

アプリが展開されたので、アプリを改善および拡張する方法について考えます。次に行う処理を決定するためのいくつかの提案を以下に示します。

自動翻訳

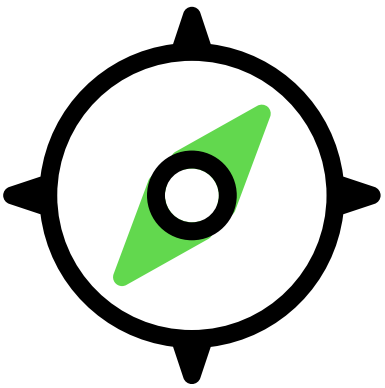
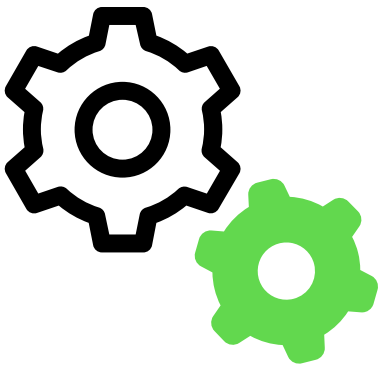
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- アプリケーションを日常的に使用しているユーザーは、フィードバックの最良の提供元になります。希望する新機能や変更点について、ユーザーと話し合ってください。
- 追加の関連プロセスフローをフローデザイナーで自動化できるかどうかを判断します。
- 新しい IntegrationHub スポークを新しい統合に利用できるかどうかを判断します。

開発者サンドボックス

開発者サンドボックス アドミンと委任開発者が、基盤となる同じ開発インスタンス上で個々のサンドボックスを要求、アクセス、および管理する機能を提供します。委任開発者は、開発中にインスタンスで変更が上書きされるリスクなしに、コードと構成の変更を記述してマージできます。

開始するには

探索	構成	管理
		
開発者サンドボックス の探究	開発者サンドボックス の構成	開発者サンドボックス の管理

開発者サンドボックスを使用して、ユーザーがServiceNow AI Platformで並行して開発できる分離された開発環境を作成します。サンドボックスは、競合を減らし、本番稼働までの時間を短縮することで、最新のソフトウェア開発ライフサイクルの Git ベースのワークフローを強化するのに役立ちます。

開発者サンドボックスを効果的に管理することで、企業は次のことが可能になります。

- 分離された開発環境をオンデマンドでプロビジョニングする
- ワークスペースを特定のストーリー、開発者、テスト計画、または任意のカスタム基準に合わせる
- 制御された独立した環境で真の並列開発を実現

トラブルシューティングとサポート

- について質問し、他のリソースを調べる 開発者サンドボックス の ServiceNow コミュニティ
- 既知のエラーポータルで既知のエラー記事を検索する
- に関するブログを読む 開発者サンドボックス
- Git での変更のマージのビデオデモを見る
- 連絡先 カスタマーサービス & サポート

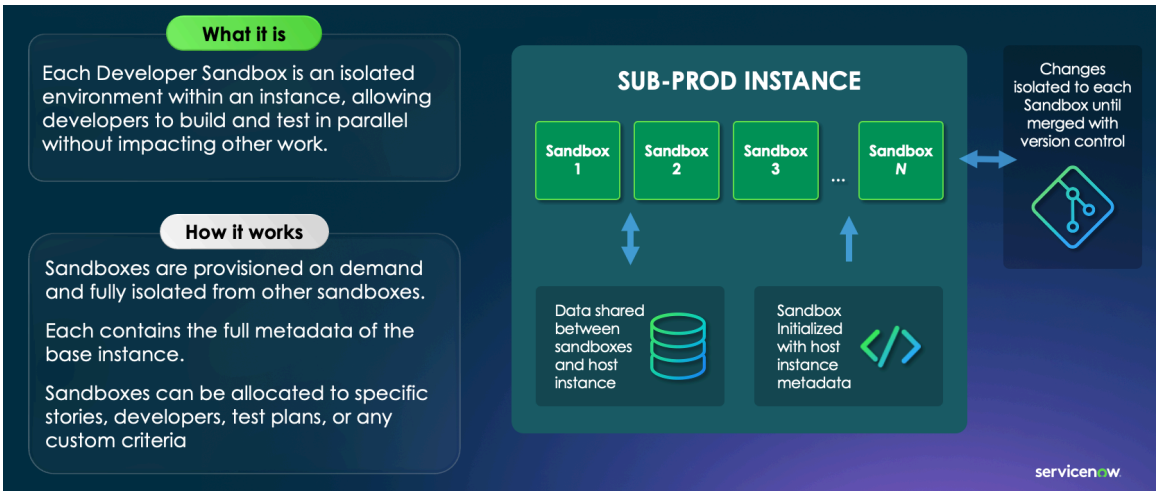
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

開発者サンドボックス の探索

開発者サンドボックス 委任開発者とアドミニストレーターが、基盤となる同じ開発インスタンス上で個々のサンドボックスを要求、アクセス、および管理できるようにします。

プロビジョニングサンドボックス



開発者サンドボックスの概要

開発者サンドボックス 顧客の開発環境とインスタンスに対して、低コストの開発者分離と並列処理を提供することを目指しています。 開発者サンドボックス はワークフローに依存せず、小規模企業と大企業の両方のワークフローに幅広く適用できます。

アプリケーションで緊急の欠陥と重要な機能拡張に同時に対処する場合、組織は課題に直面する可能性があります。従来の共有開発環境では、コードの競合、構成の重複、デプロイの遅延などのリスクがあり、並列ワークストリームを効率的に管理することが困難でした。開発チームは、互いの進捗状況を中断することなく、緊急の修正と新機能を同時に提供することに苦労しています。分離された独立した開発環境がないと、デリバリが遅くなり、やり直しが増加し、全体的な俊敏性が低下します。

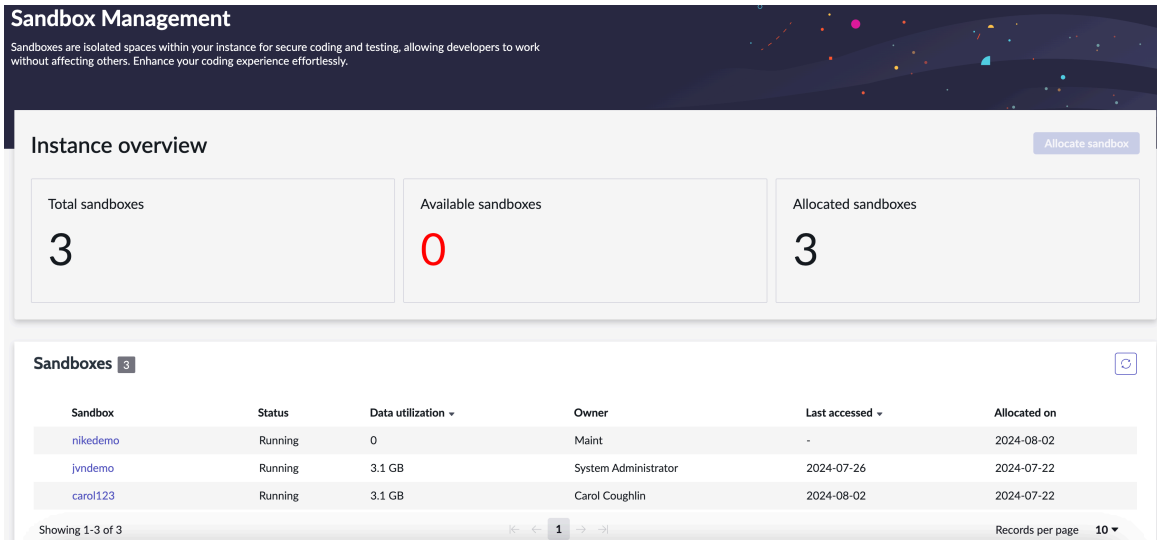
開発者サンドボックス は、次の方法でより良い開発を可能にします。

- 分離: 各開発者は独立した Sandbox で作業し、変更が他のチームメンバーの作業に影響しないようにします。
- デリバリの迅速化:チームは同時に作業できるため、開発サイクル時間が短縮され、緊急の修正や拡張のための迅速なターンアラウンドが可能になります。
- 安全なテスト:開発者は、システムの安定性を危険にさらすことなく、サンドボックス内で構成、ワークフロー、および統合をテストできます。
- オンデマンド プロビジョニング: 管理者と開発者は、共有リソースを待たずに、特定のタスクまたは実験用のサンドボックスをすばやくプロビジョニングできます。

注:
個人開発インスタンス (PDI) は引き続き使用できますが、 開発者サンドボックス のような制御されたベースライン構成はありません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



サンドボックス管理ホームダッシュボードには、インスタンス内の合計、利用可能、および割り当て済みのサンドボックスが表示されます。ダッシュボードには、ステータス、データ使用率、所有者、最終アクセス日時、サンドボックスが割り当てられた日時など、各サンドボックスに関連する情報も表示されます。

エンタイトルメントを確認して、 開発者サンドボックスにアクセスできるかどうかを確認してください。詳細については、「開発者サンドボックス エンタイトルメント」を参照してください。

サンドボックスとソースコントロールの統合

開発者サンドボックス Git などのソースコントロールと統合する分離された環境を提供します。マージ ツールを使用すると、競合を排除し、並列開発が可能になります。詳細については、「ソースコントロールと 開発者サンドボックス」を参照してください。

開発者サンドボックス ユーザー

ユーザー

ユーザー	説明
委任開発者	委任開発者は、サンドボックスを要求、割り当て、または廃止できます。
管理	アドミニストレーターは、サンドボックスの割り当てまたは廃止を行うことができます。

開発者サンドボックス のワークフロー

Sandbox の委任開発者またはアドミニストレーターは、Sandbox を調達し、変更を加えるか開発を試し、変更をテストし、変更をプッシュして、アドミンがインスタンスをクローンするのを待ちます。

1. 開発者サンドボックスユーザー (admin または dev) がサンドボックスを割り当ててストーリーの作業を開始します。
2. 開発者は開発に変更を加え、完全に分離されたサンドボックスでテストします。
3. 開発者は、作業に満足し、変更を共有の統合環境に昇格する準備ができたら、目的のアップストリーム共有インスタンスに変更をプッシュします。たとえば、 テスト/QA インスタンスなどです。変更を促進するには、次の 2 つの方法があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. ソースコントロール (推奨) または Git を介したエクスポートの使用

b. 更新セットとインポートの使用 (サポートされていますが、変更の結合は簡単ではありません)

4. 共有インスタンスでさらにテストを実行できます。
5. サンドボックスインスタンスのアドミニストレーターは、 テスト/QA インスタンスから変更のクローンを作成して、それらの変更を今後割り当てられるすべてのサンドボックスのデフォルトにします。

開発者サンドボックス のメリット

開発者サンドボックスのメリット

メリット	機能	ユーザー
並列開発の有効化	複数の開発者が、同じ開始ソースコードを使用して異なるストーリーや機能で同時に作業できるようにすると同時に、非本番のベースラインインスタンスをクリーンに保ちます。	• 管理 • 委任開発者
ソースコントロールとの結合の競合を減らす	共同開発を成功させるために、ソースコントロールとの統合を提供します。詳細については、「ソースコントロールと 開発者サンドボックス」を参照してください。	委任開発者
サンドボックステンプレートの再利用	委任開発者が、毎回データを手動で入力することなく、データを再利用して変更をテストできるようにします。	• 管理 • 委任開発者
データ生成プロファイルを作成	開発者サンドボックスのコンテキスト内でテスト用の合成データを生成する機能を提供します。詳細については、「データ生成プロファイルの作成」を参照してください。	• 管理 • 委任開発者

次に探索する内容

開発者サンドボックスの構成の詳細については、「開発者サンドボックスデータの管理」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ソースコントロールと 開発者サンドボックス

開発者サンドボックスでソースコントロールを使用して、並列開発を有効にし、マージの競合を防止します。

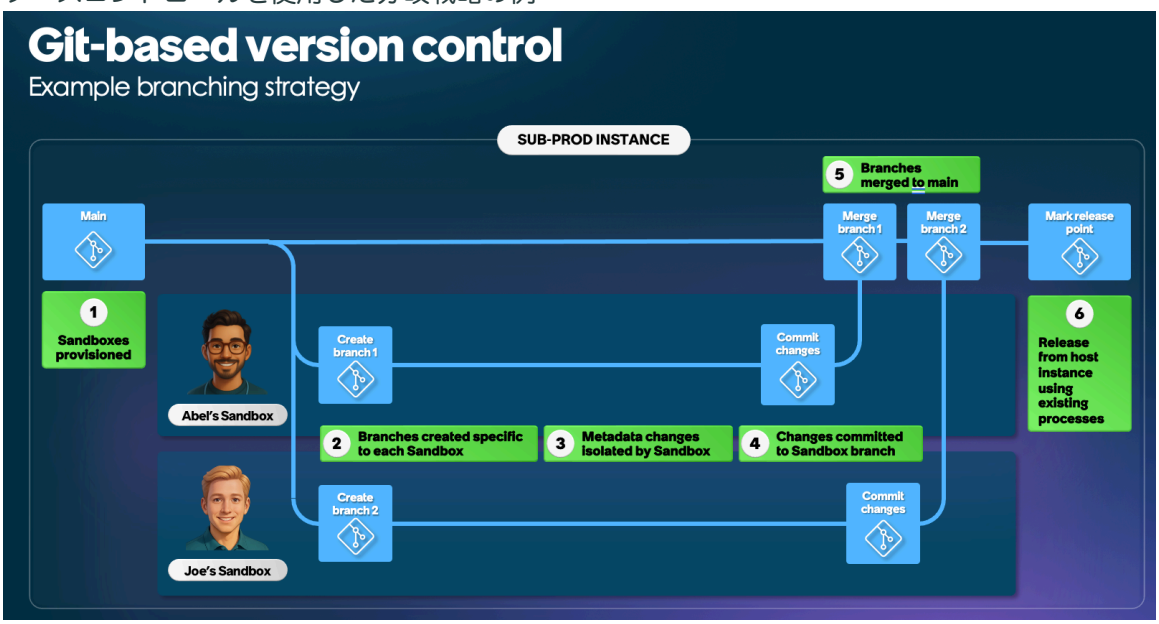
ソースコントロールの概要

従来の単一インスタンス開発は、監視とメンテナンスを必要とする時代遅れのモデルです。1 つのインスタンスを共有すると、マージの競合のリスクが高まり、チームが 1 つのバージョンのコードに制限されます。エンタープライズITアーキテクチャ標準では、アーキテクチャコンプライアンスとIP管理のための完全なバージョン管理がますます義務付けられています。

サポートでは、 開発者サンドボックス を Git ソースコントロールと組み合わせて使用し、ベース環境とサンドボックス環境の間で変更を同期します。

ソースコントロールを使用すると、開発者は独立したブランチで作業し、組織のベストプラクティスに従ってそれらをマージできます。

ソースコントロールを使用した分岐戦略の例



Git 認証情報

各サンドボックスは、ベースインスタンスから Git 認証情報を継承します。ただし、開発者はサンドボックス内でローカルに Git 認証情報を追加または変更できます。 サンドボックスごとに新しい分岐を作成する必要があります。

開発者サンドボックス とメタデータ

開発者サンドボックス でプロビジョニングされた各サンドボックスは、インスタンス内の分離された環境であるため、開発者は他の作業に影響を与えることなく、並行してビルドとテストを行うことができます。

サンドボックスは、特定のストーリー、開発者、テスト計画、または任意のカスタム基準に割り当てることができます。

開発者サンドボックス とメタデータ構成

各サンドボックスは、ベースインスタンスの完全なメタデータで初期化されます。たとえば、スクリプトやビジネスルールなどです。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

サンドボックスのメタデータ構成に加えられた変更は、変更がマージされるまでベースインスタンスには影響しません。たとえば、プラグインをサンドボックスにインストールしても、ベースインスタンスにはインストールされません。開発者は、サンドボックスを使用して、ベースインスタンスや他のサンドボックスへの影響を心配することなく、リスクの高い変更を行うことができます。

ユーザー認証情報とロールは、各サンドボックスに分離されます。Sandbox でユーザのロールを変更しても、他の Sandbox やベースインスタンスには影響しません。

メタデータ構成への変更は、まずサンドボックスからベースインスタンスにコミットする必要があります。その後、 開発者サンドボックス アドミニストレーターは、変更を基本イメージに結合し直す必要があります。その後、変更は次のプロビジョニングされたサンドボックスで使用できますが、既存のサンドボックスでは使用できません。

開発者サンドボックス およびテーブルデータ

サンドボックスで作成されたレコードは、ベースインスタンスですぐに使用できます。たとえば、テーブルへの列の追加はサンドボックス内では分離されますが、サンドボックスでインシデントを作成すると、その新しいレコードはベースインスタンスのインシデントテーブルにも作成されます。

テーブルデータは次の方法で共有されます。

- テーブルがベースインスタンスに分離されるか、データなしでコピーされるように構成されていない限り、テーブルはすべてのサンドボックスで共有されます。
- 共有データテーブルのサンドボックスで作成されたレコードは、ベースインスタンスとそのテーブルを共有する他のサンドボックスで使用できます。スキーマを変更するとテーブルが分離され、その後に追加されたレコードも分離されます。

開発者サンドボックス とデータテンプレート

サンドボックスが割り当てられると、コピーできないデータがない限り、スコープ対象のアプリのベースラインデータ構成が継承されます。データプロファイルとテンプレートの詳細については、「開発者サンドボックスデータの管理」を参照してください。

開発者サンドボックス およびビジネスルール

ビジネスルールは、ベースインスタンスから継承されたメタデータです。サンドボックスのビジネスルールを表示するには、 すべて > アドミニストレーション > ビジネスルール.

ビジネスルールはコピーされますが、分離されます。これらは継承されますが、変更と追加は各サンドボックスで分離されます。ビジネスルールの詳細については、「 Classic Business rules」を参照してください。

のデータ生成プロファイル 開発者サンドボックス

開発者サンドボックスベースインスタンスからレコードデータではなくメタデータをコピーするため、データ生成プロファイルを使用して特定のデータを生成する必要がある場合があります。

データを生成するとき、 開発者サンドボックス はすべてのインスタンスデータをコピーするわけではありません。データ生成プロファイルを使用すると、キュレーションされたマッピングを使用して選択したテーブルからデータを統計的にサンプリングし、アプリケーションのビルドに必要なデータをサンドボックスに入力できます。データ生成プロファイルは、ビジネスルールを実行する定義を呼び出して、レコードの生成時に追加のデータを自動的に作成することもできます。

データ生成プロファイルは、開発目的でデータを入力するテーブルとフィールドを定義します。たとえば、[sys_user] テーブルには、開発とテストのために 10 人のサービスデスクユーザーを追加する必要がある場合があります。

開発者サンドボックスデータ生成プロファイルは、データモデルの定義を使用しますが、これも作成する必要があります。データ生成定義は、添付ファイルとして保存される JSON ファイルです。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

データモデルは、既存のテーブルから定義された詳細を収集してデータを生成し、データ生成プロファイルのレコード数に基づいて指定されたデータをデータに入力します。

の一般的なガイドラインとユースケース 開発者サンドボックス

いくつかの一般的なガイドラインに従って、サンドボックスの使用を最適化していることを確認してください。

開発者サンドボックスユーザーの数

各サンドボックスで作業するのは 1 人だけです。サンドボックスごとに複数のユーザーがいると、並列開発の利点が損なわれます。

エンタイトルメントはスタック可能で、インスタンスあたり最大 30 個のサンドボックスをサポートします。

注:
サンドボックスの数は、インスタンスのパフォーマンスに影響しません。

ユーザーは、ベースインスタンスと複数のサンドボックスに同時にサインインできます。 サンドボックスユーザーは、ベースインスタンスと同じログイン認証情報をサンドボックスに使用します。ログインにシングルサインオン (SSO) を使用している場合、ベースインスタンスのアカウントへの接続を許可すると、 開発者サンドボックス はベースインスタンスと同じメカニズムを使用して認証を行います。SSO の有効化については、「 開発者サンドボックスのインストール」を参照してください。

のタイミング 開発者サンドボックス

開発者サンドボックスを使用して、意図的に一時的な環境を作成します。長持ちするほど、元のベースインスタンスから離れます。したがって、 開発者サンドボックス はできるだけ短命であるべきです。

サンドボックスは一時的なものであり、短い開発期間に合わせることができます。たとえば、アジャイル開発では、サンドボックスは次の限り存続します。

1. スプリント
2. ストーリー
3. 一連のテスト

サンドボックス割り当ての例

サンドボックスの使用方法の例を次に示します。

- スプリントの開始時に分岐を作成します。
- サンドボックスごとに新しい分岐を作成する必要があります。
- スプリントの途中でバグを修正する必要がある場合は、変更を隠す代わりに、新しいブランチを持つ 2 番目のサンドボックスを作成し、そこでバグを修正します。次に、それらの変更をリリースブランチにマージし、バグ修正を本番環境にデプロイします。
- 新しい Sandbox に変更を取り込み、ストーリーまたは機能をテストするための Sandbox を作成します。新しい Sandbox は、テストが完了したら廃止します。

開発者サンドボックス と非本番インスタンスの比較

開発者サンドボックス は、非本番インスタンスに代わるものではありません。 開発者サンドボックス は一時的なものですが、非本番インスタンスはより永続的で、長期間使用することを目的としています。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

次の表は、非本番インスタンスと 開発者サンドボックス が最も効果的に使用される方法を比較したものです。

提案された非本番インスタンスとの比較 開発者サンドボックス

非本番インスタンス	開発者サンドボックス
チームまたはプロジェクトで会社の作業を分割する	プロジェクト内の開発者メタデータの変更を分離します。
グループは大幅に異なる構成から開始	すべての開発者は、同じベースラインインスタンス構成から開始します。
同時作業ストリームは分離されているか、最小限に調整されています	開発アクティビティは一貫した周期に従います。
長期的な変化に耐えうる環境	作業は一時的な環境で完了し、バージョン管理にコミットできます。

開発者サンドボックス および **ServiceNow Fluent**

開発者サンドボックスServiceNow Fluent と ServiceNow IDE で最適に機能します。

XML マークアップで表されるローコードの変更では、生成されたファイル構造によって変更の整列が困難になる可能性があるため、マージの問題が発生することがあります。ServiceNow AI Platform でローコードビルダーを使用する場合、長期的には XML ではなく ServiceNow Fluent で変更を保存するのが最善の方法です。

ServiceNow Fluent は、ソースコードでアプリケーションメタデータを定義するために使用できるドメイン固有のプログラミング言語です。開発者と管理者は、Git などのバージョン管理の変更を簡単に検索できます。詳細については、「ServiceNow Fluent」を参照してください。

システムアップデートセット で 開発者サンドボックス を使用できますが、より将来を見据えた解決策は、ServiceNow IDE を使用することです。サンドボックスと ServiceNow IDE をバージョン管理アプリおよび展開アプリ (App Engine 管理センター など) と組み合わせると、よりクリーンで合理化された展開エコシステムが可能になります。詳細については、「ServiceNow IDE」を参照してください。

開発者サンドボックスのインストール

開発者サンドボックス は、 ServiceNow アカウントチームの支援を受けてインスタンスにインストールされます。

インストール 開発者サンドボックス 要求

エンタイトルメントを確認して、 開発者サンドボックスにアクセスできるかどうかを確認してください。詳細については、「開発者サンドボックス エンタイトルメント」を参照してください。

開発者サンドボックスをインストールするには、資格を取得したらケースを開いてサンドボックスを有効にします。

注:
サンドボックスインスタンスのクローン作成でエンタイトルメントが正しく維持されるようにするには、 開発者サンドボックス プラグインを本番インスタンスまたは任意のクローンソースにインストールする必要があります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

SSO の有効化

開発者は、インスタンス認証情報とシングルサインオン (SSO) を使用してサンドボックスにアクセスできます。

開発者が SSO を使用してサンドボックスにアクセスする前に、ベースインスタンスで次のプロパティを設定する必要があります。

- ACR を無効にする: glide.sso.acr.enable=false sys_property
- SSO を有効にする: glide.authenticate.multisso.enabled = true

開発者サンドボックス エンタイトルメント

会社のエンタイトルメントによって、 開発者サンドボックスにアクセスできるかどうかが決まります。

開発者サンドボックス エンタイトルメントには次のパラメーターが含まれます。

- 開発者サンドボックスはスタンドアロンのSKUであり、他の製品には含まれていません。
- 開発者サンドボックスは 10 個単位でパッケージ化されます。
- 開発者サンドボックスのエンタイトルメントは単一のインスタンスにバインドされ、複数のインスタンスに分割することはできません。会社が所有する任意の数のインスタンスのエンタイトルメントを購入できますが、 開発者サンドボックス エンタイトルメントは常にインスタンスにバインドされます。
- エンタイトルメントはスタック可能で、インスタンスあたり最大 30 個のサンドボックスをサポートします。 インスタンスごとに推奨されるエンタイトルメント数の詳細については、「 の一般的なガイドラインとユースケース 開発者サンドボックス」を参照してください。

開発者サンドボックスデータの管理

開発者サンドボックスでのデータの入力方法を定義するには、アドミニストレーターがデータ生成プロファイルと、そのプロファイルを呼び出すテンプレートを構成する必要があります。

構成の概要

1. データ生成プロファイルの作成

   データ生成プロファイルを作成して、サンドボックステンプレートに対して生成するデータを指定します。

2. 開発者サンドボックステンプレートを作成

   開発者サンドボックス用の再利用可能なテンプレートを作成します。

データ生成プロファイルの作成

データ生成プロファイルを作成して、サンドボックスのインシデントやユーザーなどのデータを生成します。データ生成プロファイルは 開発者サンドボックス テンプレートに関連付けられているため、サンドボックスが割り当てられたときに合成開発データを実行および生成できます。

このタスクについて

データ生成プロファイルの詳細については、「 のデータ生成プロファイル 開発者サンドボックス」を参照してください。

始める前に

必要なロール：admin

glide.data.generation.excluded.tables プロパティを構成して、データ生成から除外するテーブルのカンマ区切りリストを作成します。

自動翻訳

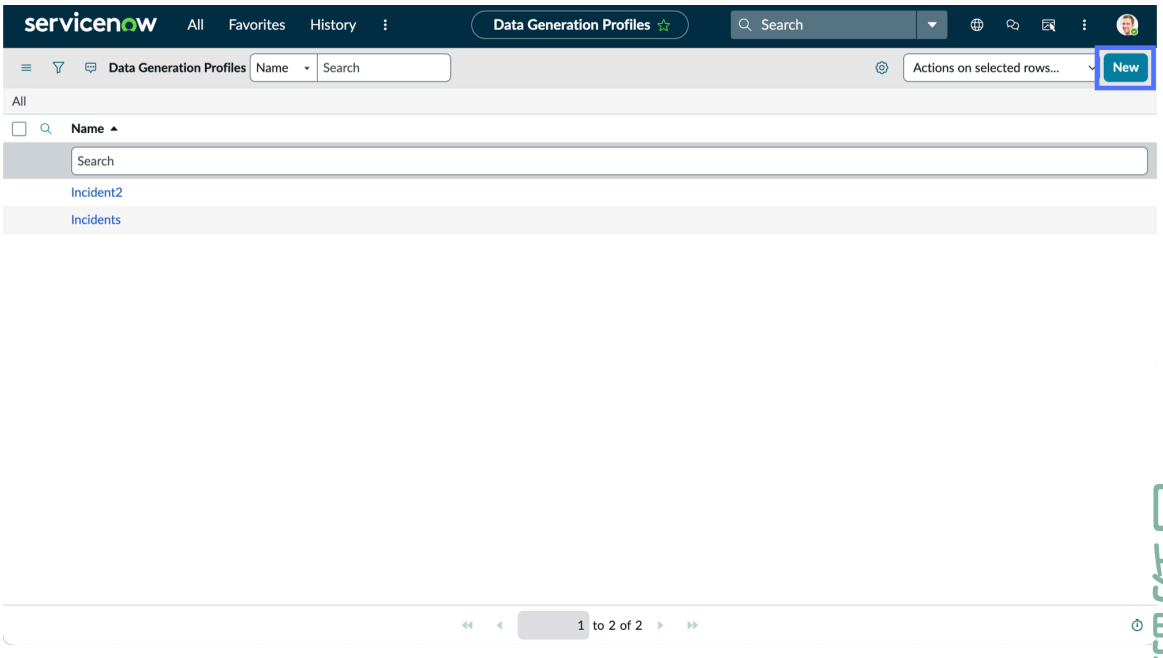
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
データ生成プロファイルは、 開発者サンドボックス テンプレートに追加する前に構成する必要があります。

手順

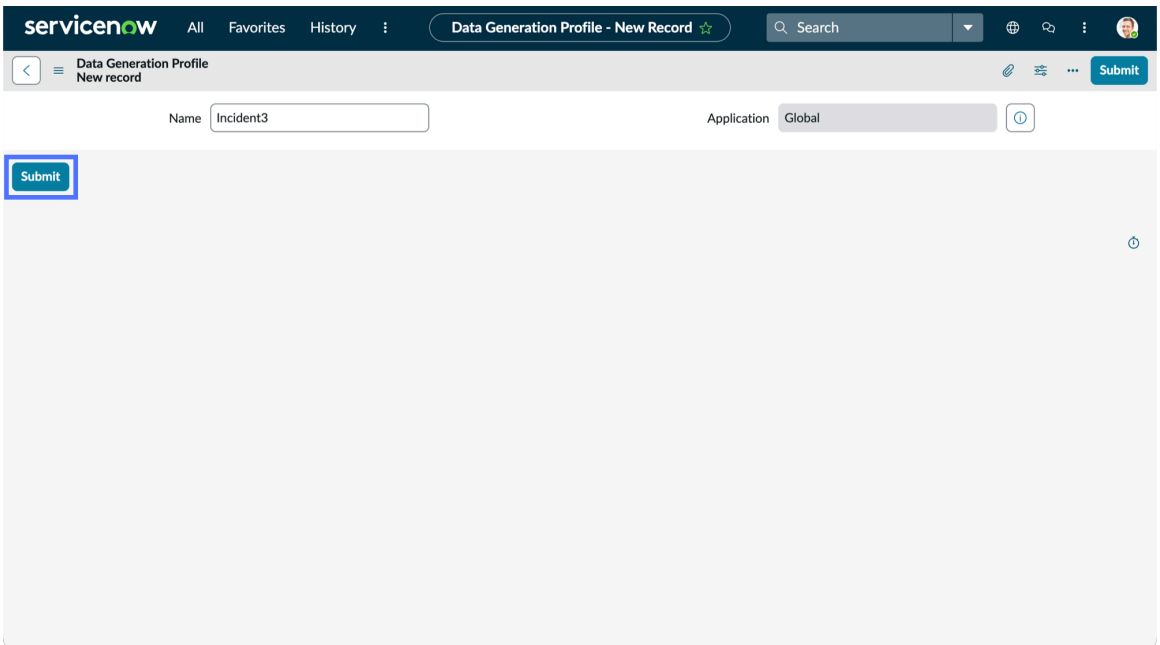
1. 移動先 すべて > データ生成 > データ生成プロファイル.
2. **[New** (新規)] を選択します。

データ生成プロファイルホーム



3. 名前を入力し、[送信] を選択します。

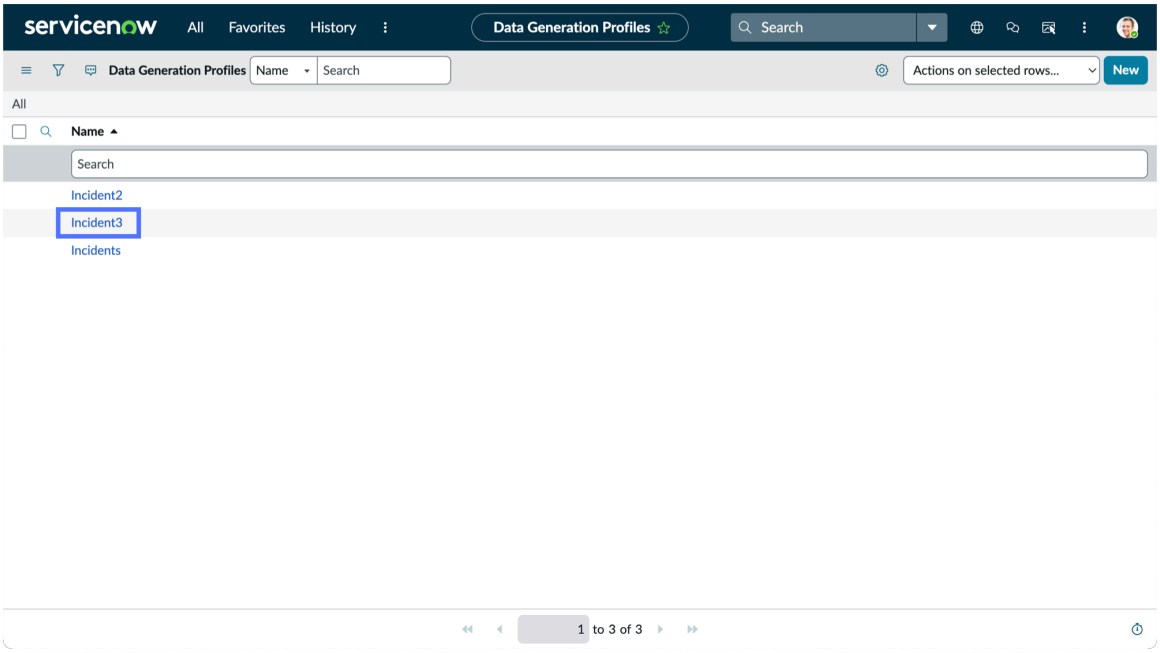
プロファイルを送信



4. [データ生成プロファイル] に戻り、リストから新しく作成したプロファイルを選択します。

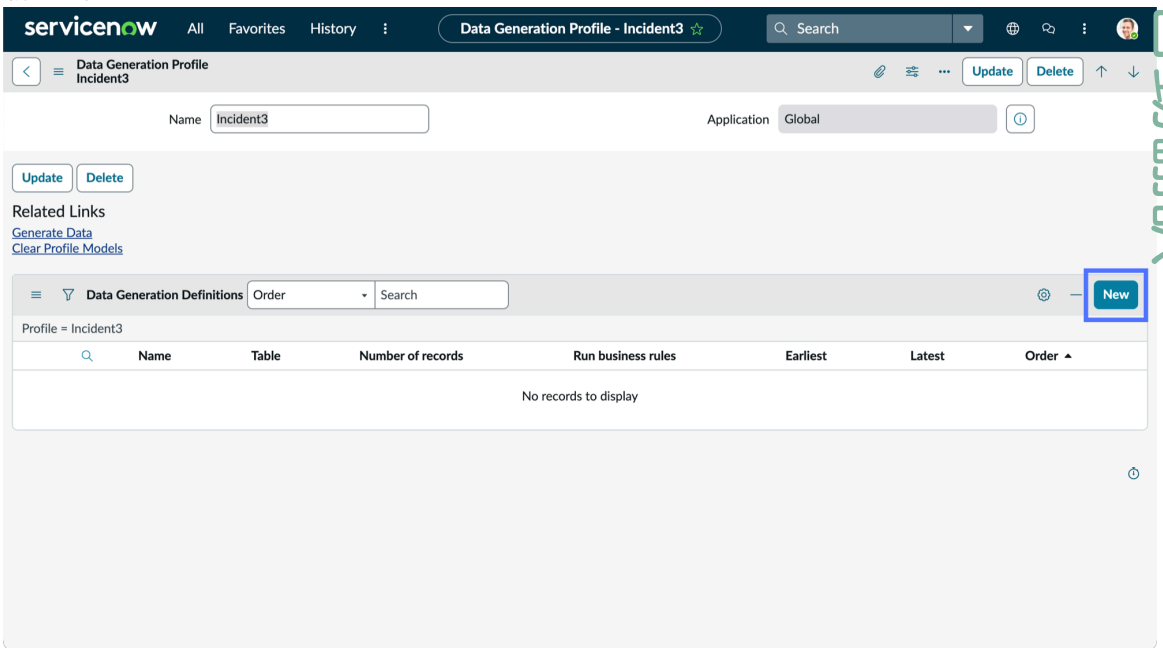
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

リスト内の新しいプロファイル



5. データ生成プロファイルレコードの [データ生成定義] 関連リストで [新規] を選択します。

新しい関連リスト



6. フォームで、フィールドに入力します。

データ生成定義フィールド

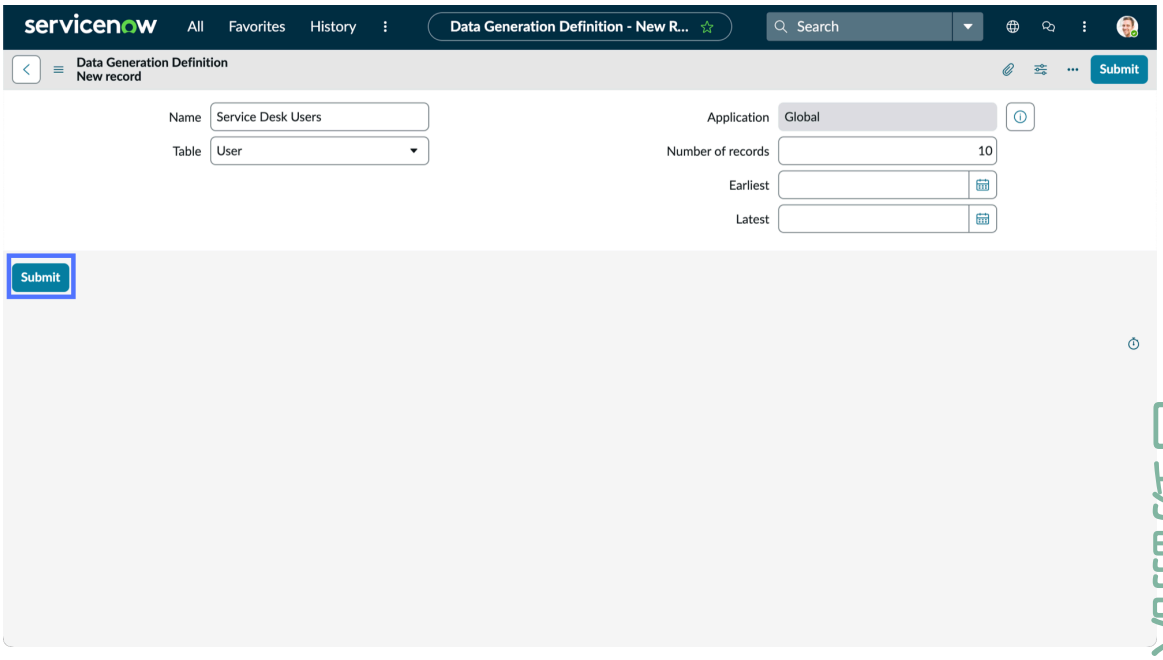
フィールド	説明
名前	定義の名前。例: サービスデスクユーザー。
テーブル	定義に使用するデータを含むテーブル。 例:[sys_user]

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
アプリケーション	データ定義のスコープ。
レコードの数	定義のために生成する必要があるレコードの数。
最短	定義内の最も古いレコードの日付。
最新	定義内の最新レコードの日付。

7. **[Submit** (送信)] を選択します。

新しいデータ生成レコードを送信します

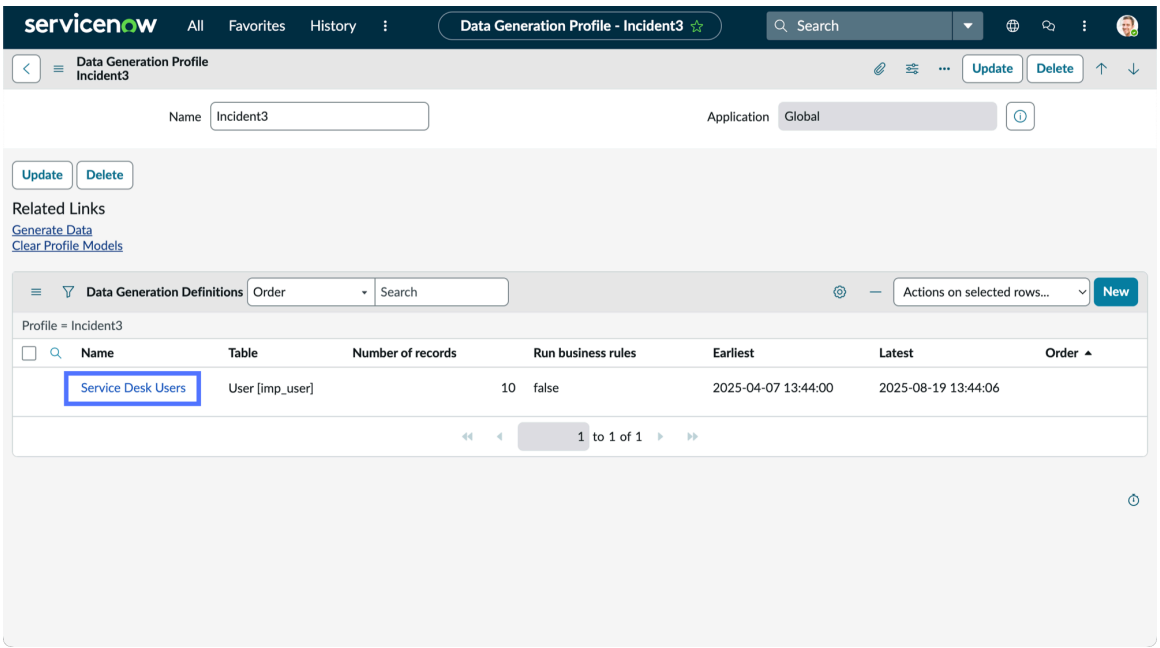


8. 関連リストから定義を選択して、定義のフィールドマッピングを構成します。
すべてのフィールドをマッピングする必要はありませんが、特定のタイプの開発向けにデータをキュレーションするためのマッピングを作成することはできます。

自動翻訳

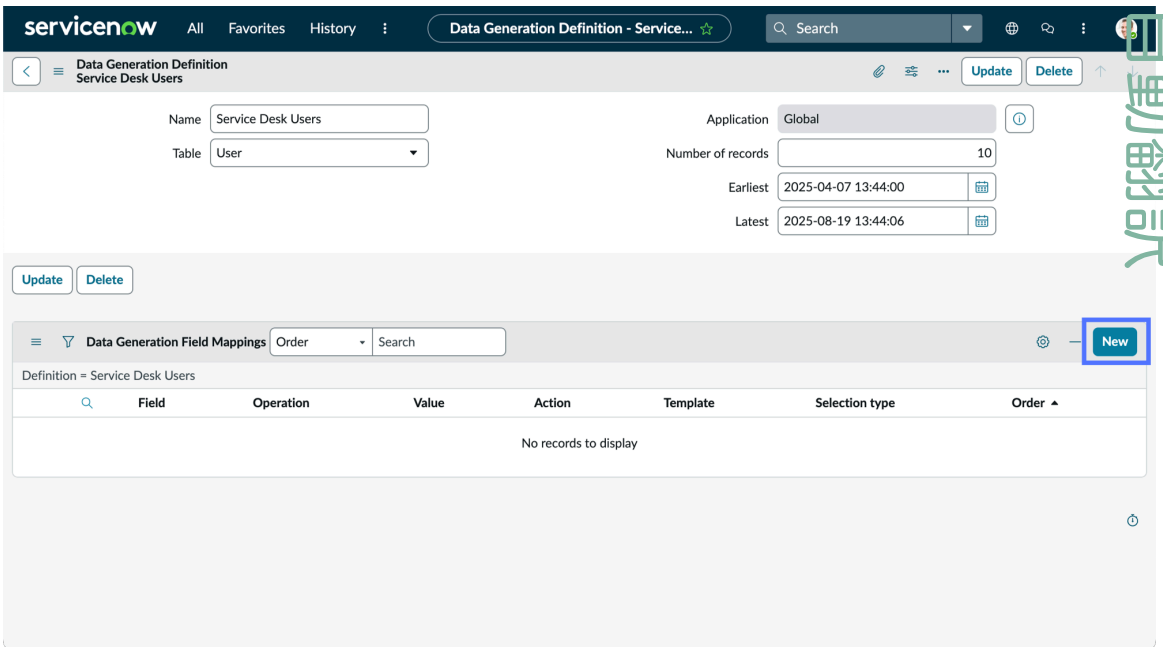
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

リストから定義を選択



a. [データ生成フィールドマッピング] 関連リストで [新規] を選択します。

新しいマッピングを追加



b. フォームで、フィールドに入力します。

データ生成フィールドマッピングのインシデントの例

フィールド	説明
フィールド	フィールドのデータのタイプ。たとえば、ユーザー **ID** などです。
操作	マッピングの操作のタイプ。オプションは次のとおりです。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

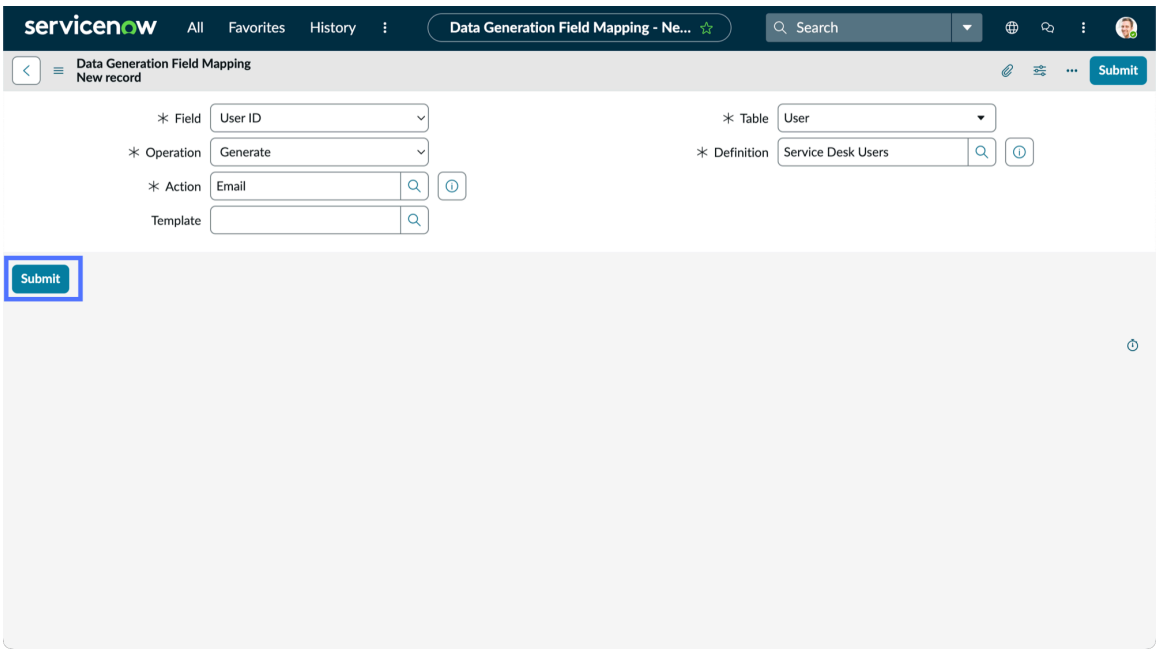
フィールド	説明
	▪ 宛先 :リテラル値をターゲットフィールドにマッピングします。 ▪ 生成 :指定されたデータ生成アクションを使用して値を作成します。 ▪ テンプレートから :関係の作成など、別のテンプレートによって生成された値を使用します。たとえば、サービスデスクのユーザーテーブルからユーザーを作成する場合は、それらのユーザーもサービスデスクユーザーグループに追加します。
値	フィールドがマッピングされる値 (演算子として [宛先] を選択した場合)。
アクション	選択したアクションのタイプは、[演算子] として [生成] です。に移動すると、他のアクションを表示したり、カスタムアクションを作成したりできます すべて > データ生成 > データ生成アクション.
テンプレート	マッピングに使用するテンプレート (該当する場合)。
テーブル	マッピングが適用されるテーブル。 **注:** データを含むテーブルを指定する必要があります。指定しないと、データ生成が失敗します。
定義	マッピングが適用される定義。
選択タイプ	レコードの生成方法: ▪ ランダム ▪ 順次

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

c. **[Submit** (送信)] を選択します。

フィールドをマッピング



タスクの結果
データ生成プロファイルは、 開発者サンドボックス テンプレートに追加できます。

開発者サンドボックステンプレートを作成

開発者サンドボックステンプレートを作成して、毎回データを手動で入力することなく、生成されたデータをサンドボックスで再利用します。

このタスクについて

開発者サンドボックス テンプレートを使用すると、委任開発者はデータを再利用できるため、毎回データを手動で入力しなくても変更をテストできます。たとえば、 ITSM コードで作業する開発者向けに、アドミニストレーターは標準の ITSM アプリとテーブルに固有のテンプレートを作成できます。

始める前に

必要なロール：admin

使用するテンプレートのデータ生成プロファイルを作成する必要があります。詳細については、「データ生成プロファイルの作成」を参照してください。

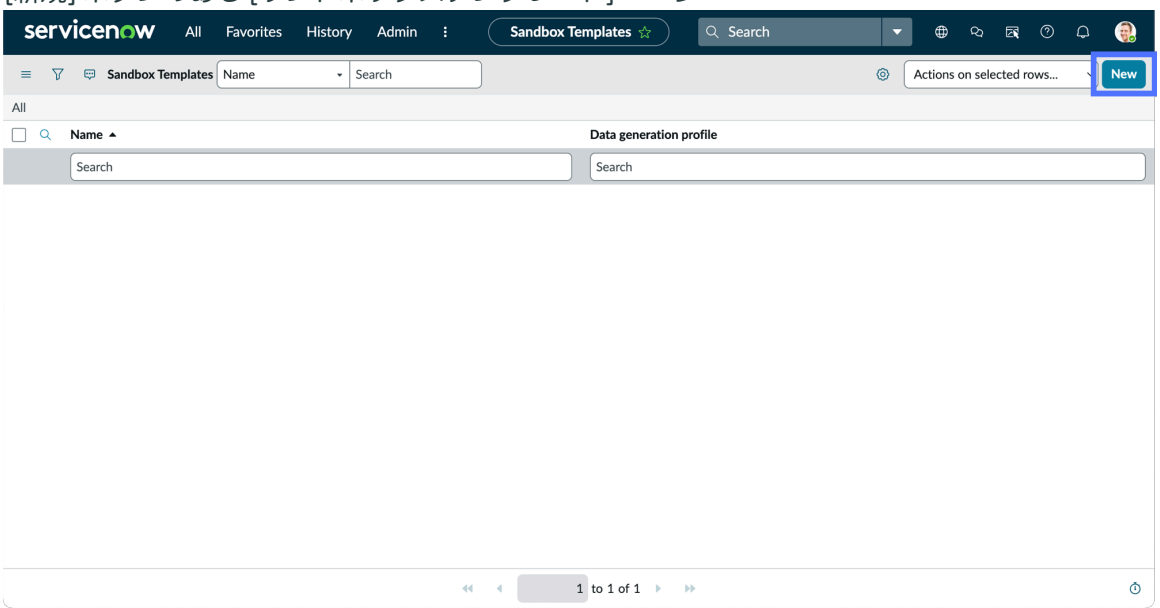
手順

1. 移動先 すべて > サンドボックス管理 > サンドボックステンプレート.
2. **[New** (新規)] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

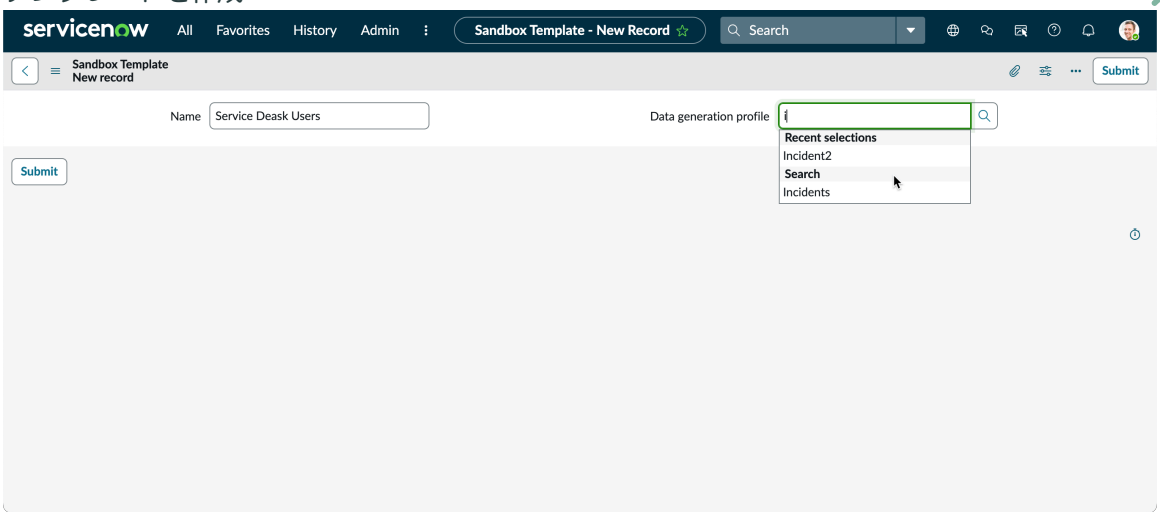
[新規] ボタンのある [サンドボックステンプレート] ページ



3. フォームで、フィールドに入力します。

フィールド	説明
名前	テンプレートの名前。
データ生成プロファイル	テンプレートのデータ生成プロファイル。作成済みである必要があります。詳細については、「データ生成プロファイルの作成」を参照してください。

テンプレートを作成



4. **[Submit** (送信)] を選択します。

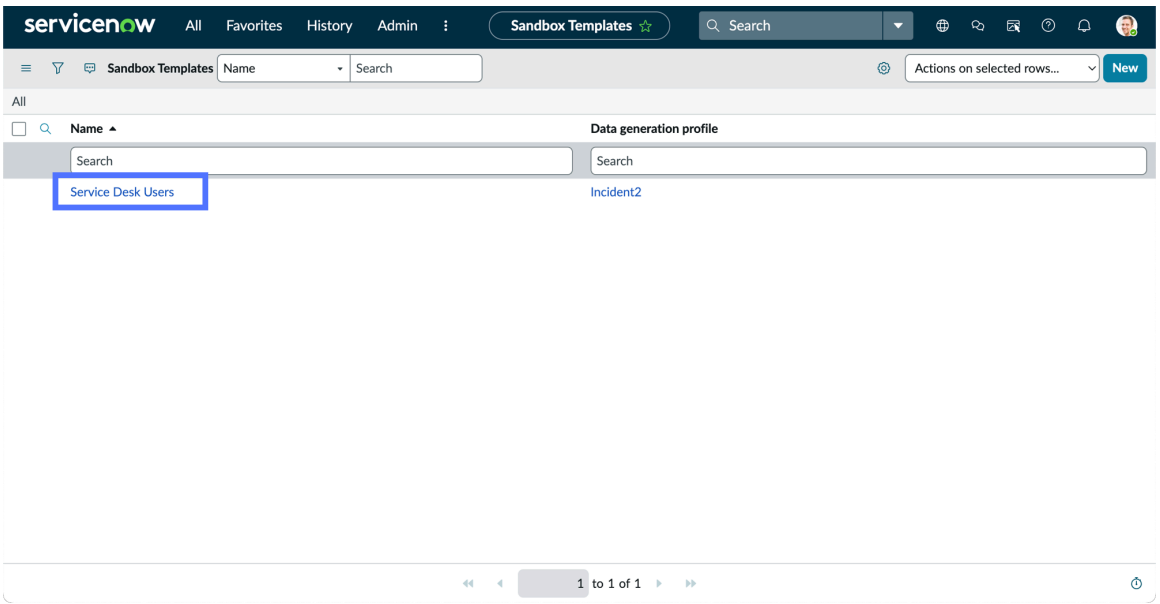
5. オプション: テンプレートにリポジトリを追加します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

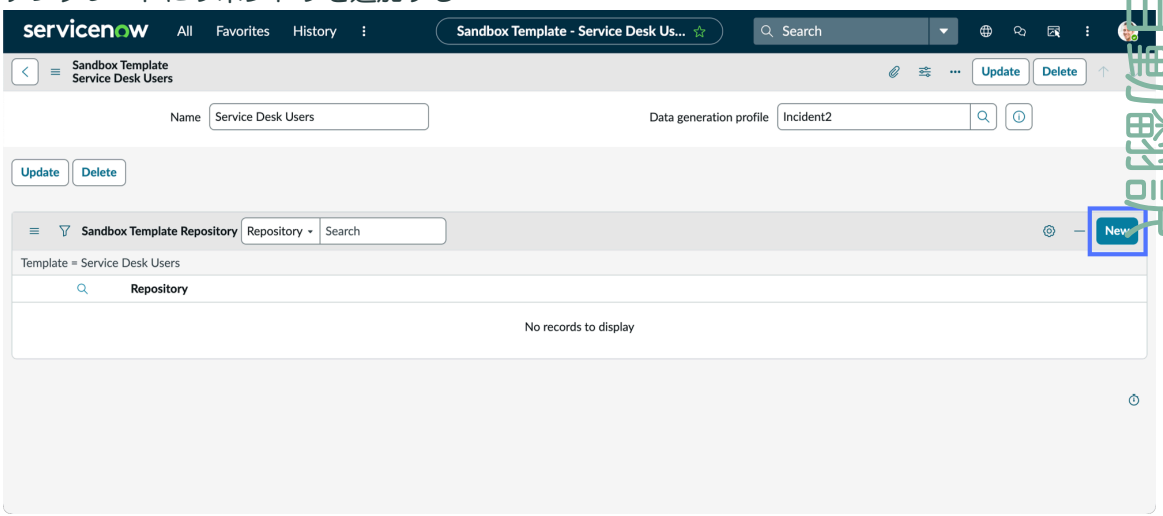
a. 作成したテンプレートの [名前] を選択します。

リポジトリを追加するテンプレートを選択します



b. [サンドボックステンプレートリポジトリ] 関連リストで [新規] を選択します。

テンプレートにリポジトリを追加する



c. リポジトリ URL を検索して選択します。

d. **[Submit** (送信)] を選択します。

割り当てと廃止 開発者サンドボックス

権限がある場合は、インスタンスに作成したサンドボックスを割り当てて廃止できます。

構成の概要

1. 割り当てる 開発者サンドボックス

作成したサンドボックスを開発チームに割り当てます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

2. 開発者サンドボックス を廃止

期限切れのサンドボックスを廃止するか、インスタンス内の新しいサンドボックス用のスペースを確保します。

割り当てる 開発者サンドボックス

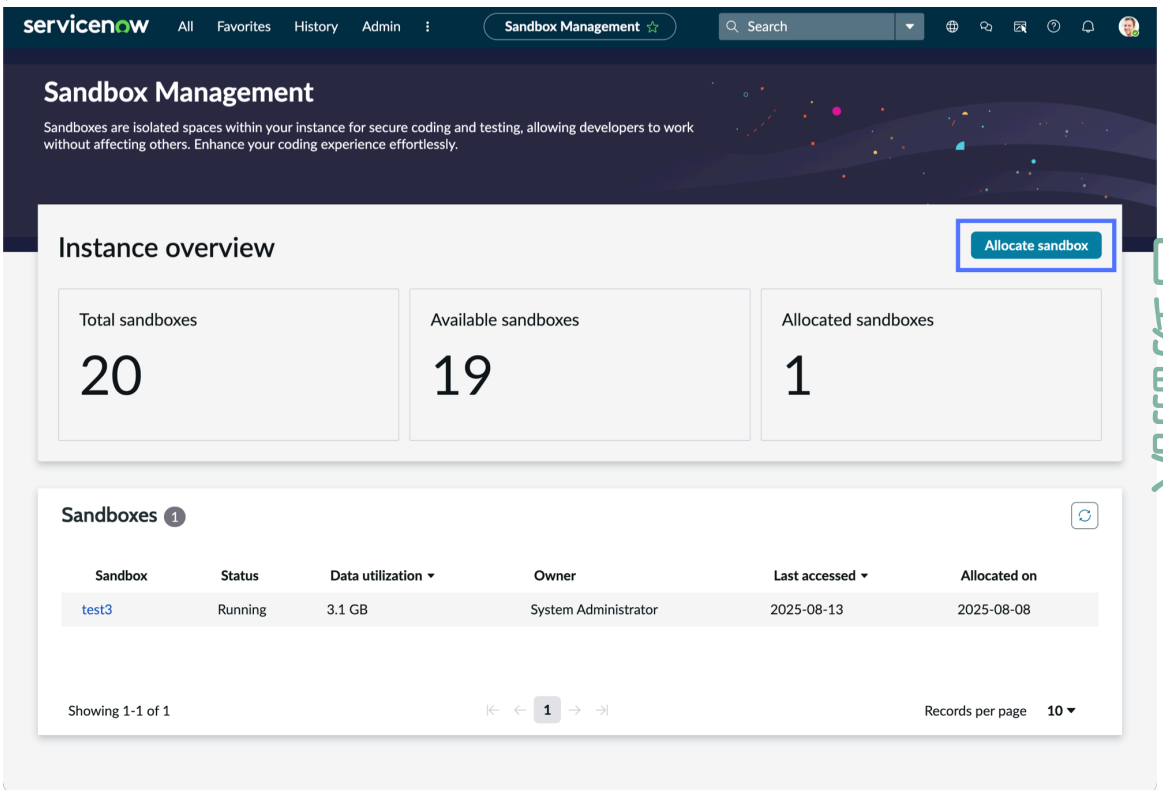
サンドボックスを開発チームに割り当てます。

始める前に
必要なロール：admin または delegated developer

手順

1. 移動先 すべて > サンドボックス管理 > サンドボックス管理ホーム.
2. [サンドボックスの割り当て] を選択します。

開発者サンドボックス ホーム



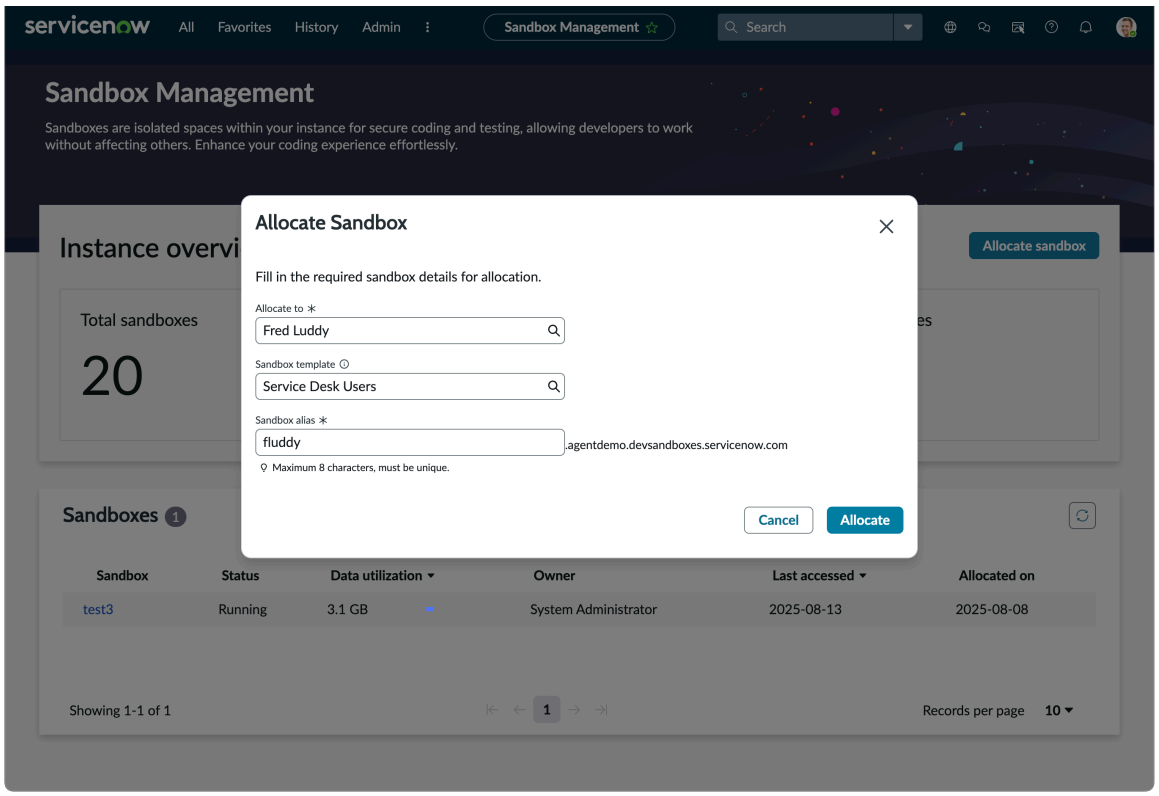
3. フォームで、フィールドに入力します。

フィールド	説明
割り当て先	サンドボックスを所有するユーザー。
サンドボックステンプレート	サンドボックス用に選択されたテンプレート。 再利用可能なデータを生成するためのデータプロファイルとテンプレートの構成については、開発者サンドボックスデータの管理を参照してください。
サンドボックスエイリアス	サンドボックスの一意の URL。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

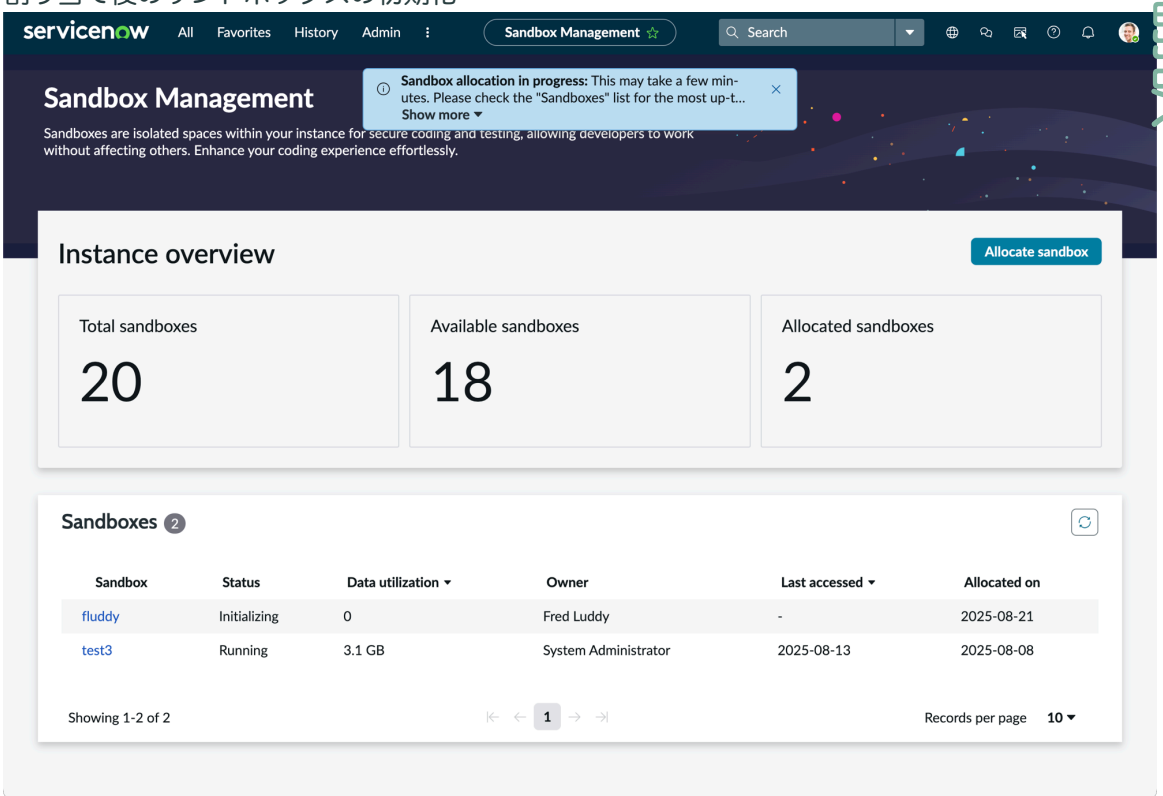
自動翻訳

サンドボックスの詳細を割り当て



4. [割り当て] を選択します。

割り当て後のサンドボックスの初期化



タスクの結果
開発者サンドボックス サンドボックスをプロビジョニングするプロセスを開始します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

割り当てが完了すると、開発者はインスタンス名の前に サンドボックスエイリアス 値を追加し、その後に devsandboxes を追加することでサンドボックスにアクセスできます。例: https://samsbox.[インスタンス].devsandboxes.servicenow.com。

> **注:**
> テンプレートで使用されるテーブルのサイズに応じて、サンドボックスのプロビジョニングに 10 分から 2 時間かかる場合があります。リフレッシュアイコン を選択すると、サンドボックスリストの更新を表示できます。

サンドボックスユーザーは、ベースインスタンスと同じログイン認証情報をサンドボックスに使用します。ログインにシングルサインオン (SSO) を使用している場合、ベースインスタンスのアカウントへの接続を許可すると、 開発者サンドボックス はベースインスタンスと同じメカニズムを使用して認証を行います。SSO の有効化については、「 開発者サンドボックスのインストール」を参照してください。

開発者サンドボックス を廃止

期限切れのサンドボックスを廃止するか、インスタンス内の新しいサンドボックス用のスペースを確保します。

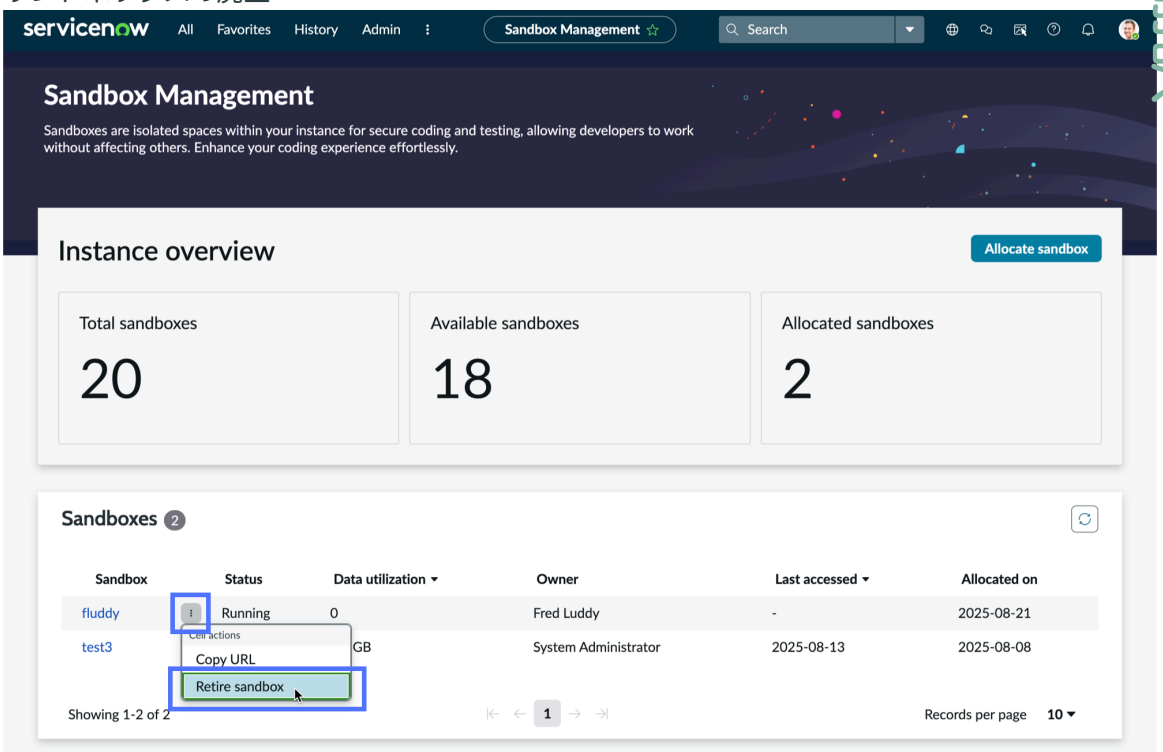
始める前に

必要なロール：admin または delegated developer

手順

1. 移動先 すべて > サンドボックス管理 > サンドボックス管理ホーム.
2. 開発者サンドボックス ダッシュボードで [その他のオプション] アイコンを選択し、[サンドボックスの廃止] を選択します。

サンドボックスの廃止



3. [廃止] を選択して廃止を確定します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タスクの結果
廃止後、サンドボックスは使用できなくなります。ただし、必要に応じて新しいサンドボックスを割り当てることができます。詳細については、「割り当てる 開発者サンドボックス」を参照してください。

ビルダーライブラリ

ServiceNow AI Platform は、組織のアプリケーションを迅速に開発できるようにする一連の強力なビルダーツールを提供します。

次のビルダーツールを使用すると、ServiceNow AI Platform でアプリケーションを開発するときに、ユーザーエクスペリエンス、インターフェイスコンポーネント、データモデルなどを迅速に設計およびビルドできます。

ビルダーツール

ツール	説明	ユースケース
Exploring Decision Tables	アプリケーション意思決定ロジックの構成 意思決定テーブルを使用すると、複数の要因に依存する複雑な意思決定を解決できます。ディシジョンビルダー を使用すると、意思決定ルールを作成して管理することで、意思決定ロジックをコードから切り離すことができます。	2 つの入力 (注文されたユニット数、および現金で支払われたかどうか) を指定して、製品の顧客割引率を決定します。
フローテンプレートビルダー	特定のアプリワークフローの標準テンプレートを構成する フローテンプレートは、一般的なユースケースのフローを作成するためにフロー作成者をガイドします。このビルダーを使用して、フロー、アクション、およびフローテンプレート変数を定義します。	IT アプリケーション内のすべての要求承認のベースとして使用するフローテンプレートを作成します。
パフォーマンスアナリティクスとの統合	パフォーマンスアナリティクスとの統合によるプロセス最適化 プロセス最適化を パフォーマンスアナリティクス とともに使用して、インジケーターからデータ抽出を実行し、KPI に関連するプロセス (解決時間など) を分析します。	プロセスの実行またはカスタマージャーニーを可視化し、定着、アクティビティの移行、パフォーマンス、およびユーザーエクスペリエンスに関するインサイトを示したり、ボトルネックを特定して重要業績評価指標への影響を確認したりすることで、根本原因の問題を解決できます。
モバイルアプリビルダー	モバイルアプリの構成 モバイルアプリビルダーは、ServiceNow モバイルアプリ内でワークフローを構成する画面とレコードをビルドして管理する構成ツールで	すばやくアクセスして参照できるようにレコードを階層レイアウトで整理し、階層ツリーナビゲーションをサポートし、ユーザーがモバイルアプリ構成全体でレコードが互いにどのように関連しているかを視覚化できるよう

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ビルダーツール (続く)

ツール	説明	ユースケース
	す。モバイルアプリビルダー の整理されたレイアウトとナビゲーションの各オプションにより、ServiceNow モバイルアプリケーションをより直感的にすばやく作成できます。	にすることで、モバイル構成を簡素化します。
モバイルカードビルダー	モバイルインターフェイスの情報を表示するカードテンプレートの構成と管理 モバイルカードビルダーを使用して、iOS および Android 用の ServiceNow モバイルアプリケーションで使用するカードテンプレートを作成または変更します。ServiceNow モバイルインターフェイスは、カードを使用してインスタンスのレコードに関する情報を表示します。	ランチャー画面のレコードセクション、カレンダー画面、フォーム画面、Genius 検索結果、リスト画面、マップ画面のカードを作成します。
NLU ワークベンチ	ユーザーが表現したインテントを解釈するように 自然言語理解 **(NLU)** モデルを構成する ServiceNow® 自然言語理解 (NLU) は、人間が表現したインテントをシステムが学習して応答できるようにするために使用できる NLU ワークベンチと NLU 推定サービスを提供します。システムに自然言語の例を入力することで、単語の意味とコンテキストを理解し、ユーザーまたはシステムのアクションを推測できるようにします。NLU ワークベンチでは、NLU モデルを作成、管理、およびテストします。NLU モデルを使用して、インスタンスに ServiceNow® 自然言語理解 (NLU) を適用します。NLU ワークベンチを使用して、NLU モデルを作成、管理、テスト、および公開します。	NLU モデルを使用するように仮想エージェントデザイナーの会話フローを構成して、エージェントチャットボットが会話内でユーザーが述べていることをよりよく理解できるようにします。
ワークスペースのプラットフォームアナリティクス	スナップショットを通じてデータの履歴傾向をキャプチャするパフォーマンスアナリティクスを構成する データのビジュアル化と分析機能をワークスペースエクスペリエンスに統合します。動作プロセスの変更に関する通知に登録します。KPI を確認	ユーザーが自然言語で質問し、関連するアナリティクスをビジュアル化して表示したり、ユーザーが所有している、またはユーザーと共有している Next Experience ダッシュボードを表示したり、ワークスペースランタイムからダッシュボードやデータのビジュアル化を作成したり、KPI を適用したり、データをスライスしたり、集計や統計ツールを適用したりします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ビルダーツール (続く)

ツール	説明	ユースケース
	し、プラットフォームアナリティクスに関する回答とインサイトを得ます。	
レポート	インスタンスデータの現在のステータスを示すレポートをビルドして配布する ServiceNow® レポート を使用すると、インスタンスデータの現在のステータスを示すレポートを作成して配布できます。デフォルトでは、レポート機能はシステム テーブル以外のすべてのテーブルで利用できます。	組織のオープンインシデントの数を表示し、現在の時点での各インシデントの優先度も表示します。この情報を表示するために、棒グラフ、円グラフ、時系列、多次元、スコア、統計などのさまざまなタイプのレポートを構成できます。
Service Portal Designer	ユーザーのセルフサービスポータルを作成 サービスポータル を使用すると、ユーザーにモバイル対応のセルフサービスエクスペリエンスをビルドできます。ServiceNow AI Platform の一部と連携するため、ユーザーはサービスポータル を使用して特定の ServiceNow AI Platform 機能にアクセスできます。このツールは、サービスポータルページを作成して、コンテンツを整理し、レスポンシブなモバイル最適化を確実にし、顧客にとって意味のあるポータルユーザーエクスペリエンスを設計するために使用されます。ページにはコンテナと行が格納され、コンテナと行にウィジェットが格納されます。ページのレイアウトやその中のウィジェットを操作することで、希望するユーザー エクスペリエンスを作成できます。ウィジェットは、ポータルのコンテンツを定義するものです。サービスポータル で提供されるベース システム ウィジェットを使用するか、ウィジェットのクローンを作成して変更するか、または独自のニーズに合うカスタム ウィジェットを開発することができます。	会社の従業員が IT 部門に連絡して新しいメールや新しい従業員のコンピュータセットアップなどのサービスを要求できるように、モバイル対応のエクスペリエンスを構成します。
テーブルビルダー	アプリケーションテーブルとテーブル関連フォームを作成し、表示ロジックを構成する テーブルビルダー を使用すると、単一のユーザーインターフェイスからテー	顧客向けの食品配送アプリケーションでオンラインの食品注文フォームを作成します。フォームは、注文された料理と関連する配送オプションをキャプチャします。フォームは、この目的のために構成された指定のアプリケー

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ビルダーツール (続く)

ツール	説明	ユースケース
	ブルとフォームを視覚的に作成、設計、管理できます。	ションデータテーブルに入力された情報を保存およびキャプチャします。
テーマビルダーのテーマ	テーマとブランディングのカスタマイズ テーマビルダー を使用すると、ユーザーのビジュアルエクスペリエンスをカスタマイズできるため、外観を更新してブランドの独自色を出すことができます。Next Experience は、UI ビルダー で使用されるテーマ設定モデルを拡張します。	会社のブランド用のダークテーマを構成します。これはプライマリ色とセカンダリ色を使用し、区切り線などの画面要素に使用する色を指定し、新しいブランドロゴを含みます。
UI ビルダー	アプリケーションのユーザーインターフェイスを設計する UI ビルダー は Web ユーザーインターフェイスビルダーです。UI ビルダー を使用して、ネクストエクスペリエンスのコンポーネント およびカスタム Web コンポーネントを使用するワークスペースまたはカスタム Web エクスペリエンス (App Engine Studio で生成) のページをビルドします。	新しい標準レコードページのバリアントを作成して特定のインシデントレコードを表示したり、標準レコードページを編集してユーザーの問題のリストを表示したり、設計している Next Experience アプリのランディングページをビルドしたりします。
仮想エージェントデザイナー	仮想エージェントの会話の詳細計画を設計する 仮想エージェントデザイナーは、仮想エージェント とユーザー間の会話の詳細計画であるトピックを作成および管理するためのダイアグラムツールです。ユーザーが一般的な作業の問題を解決するのに役立つトピックを設計したり、セルフサービスのタスクを通してサポートしたりできます。	エンドユーザーが送信したインシデントのステータスを確認し、インシデントにコメントを残すことができるように、会話フローを作成して構成します。
Workspace Builder	アプリケーションのカスタムワークスペースを作成する ワークスペースビルダー は簡素化されたノーコード環境であり、カスタムワークスペースを内部から App Engine Studio 、または ServiceNow スタジオ 迅速かつ効率的に作成できます。	組織内の IT サービスの要求と実行を処理するサービスデスクワークスペースを構成します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

を使用したカスタムコンポーネントの作成 ServiceNow CLI

ネクストエクスペリエンス UI フレームワーク と UI コンポーネントエクステンション を使用してカスタムコンポーネントを開発します。

コンポーネントは、カスタムユーザーインターフェイスの作成に使用する再利用可能な構成要素です。ネクストエクスペリエンスデザインシステム には、カスタム UI にドラッグできる一連のカスタマイズ可能なコンポーネントが付属しています。ネクストエクスペリエンスデザインシステム ライブラリで必要なコンポーネントが見つからない場合は、独自のコンポーネントを開発します。

ネクストエクスペリエンスデザインシステムライブラリについては、 ServiceNow® 開発者サイト
.

カスタムコンポーネントを作成するメリット

カスタムコンポーネントを開発すると、次のことができます。

- エージェント、お客様、会社のニーズに応じて UI をカスタマイズします。
- 重要なデータや情報にすばやくアクセスすることで、従業員の効率を高め、コンテキストの切り替えを減らすことができます。
- API を使用して会社独自のオムニチャネル環境に対応し、データを統合します。

たとえば、SLA に関連付けられたケースを表示したり、特定のキュー内のアクティブなチャットを追跡したりするコンポーネントを作成できます。ネクストエクスペリエンス UI フレームワーク と UI コンポーネントエクステンション を使用して必要なコンポーネントを開発し、[HTTP 効果 API (Http Effect API)] を使用して自分のプラットフォームからデータにアクセスできます。カスタムスキーマを作成することで、GraphQL を使用してプラットフォームデータをクエリすることもできます。詳細については、「スクリプト化された GraphQL」を参照してください。

使用前の注意事項

コンポーネントの設計とビルドを開始する前に、次のことを確認してください。

- Web コンポーネントの概念、開発、設計に関する一般的な知識。
- コンポーネントの動作を定義するための JavaScript の知識。
- ノードパッケージマネージャー (npm) のナレッジ。
- 最新バージョンの Node.js がローカルマシンにインストールされている。詳細については、「Node.js」を参照してください。
- ServiceNow CLI がマシンにインストールされている。

ネクストエクスペリエンス UI フレームワーク

ネクストエクスペリエンス UI フレームワーク は、アプリを拡張し、アプリケーション全体で再利用可能な Web コンポーネントをビルドできるようにする JavaScript フレームワークです。ネクストエクスペリエンス UI フレームワーク を使用すると、次のことができます。

- アプリケーション全体の複数の場所で使用する単一のコンポーネントを作成します。
- 他のコードとの競合を防ぐために、コンポーネントのスコープをカプセル化します。
- プロパティ、スロット、アクションをコンポーネントに追加し、ユーザーが ワークスペース でコンポーネントを使用するたびにカスタマイズできるようにします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

詳細については、を参照してください。 ServiceNow® 開発者サイト.

UI コンポーネントエクステンション および開発フロー

UI コンポーネントエクステンション は ServiceNow CLI の拡張であり、ネクストエクスペリエンス UI フレームワーク を使用してカスタムコンポーネントを開発できます。UI コンポーネントエクステンション を使用すると、次のことができます。

- コンポーネントまたはプロジェクトのスキャフォールディングの開発に必要なファイルのセットを作成します。
- ローカル開発サーバーを起動してコンポーネントをテストします。
- コンポーネントプロジェクトをビルドし、ServiceNow インスタンスに展開します。

詳細については、を参照してください。 ServiceNow® 開発者サイト.

アプリケーションスコープ

ネクストエクスペリエンス UI フレームワーク コンポーネントを展開すると、インスタンスのスコープ対象のアプリケーションに展開されます。名前空間識別子として使用するコンポーネントのアプリケーションスコープを指定できます。 インスタンスでのアプリケーション開発には、名前空間識別子のガイドラインを使用します。詳細については、「アプリケーションスコープ」を参照してください。

アプリケーションスコープを予約するときは、次の要件に従います。

- 最大：18 文字。
- ケース：スネークケース。
- 形式：`x_customerprefix_componentname`、ここでは：
  - `customerprefix` は、インスタンスの *`glide.appcreator.company.code`* システムのプロパティの値です。
  - `componentname` は、プロジェクトの作成時にコンポーネントの `name` パラメーターで指定された値です。

コンポーネントプロジェクトの作成時にアプリケーションスコープを指定しない場合、Now CLI によって作成されます。

または、now-ui.json ファイルで `scopeName` パラメーターに値を追加することもできます。

参照ガイド

Now CLI のリファレンスガイドを表示するには、開発者サイトにアクセスしてください。

仮想エージェント のコンポーネントの開発

仮想エージェント クライアントインターフェイスで入力を収集したり、情報を表示したりするカスタム 仮想エージェントコンポーネントを作成します。

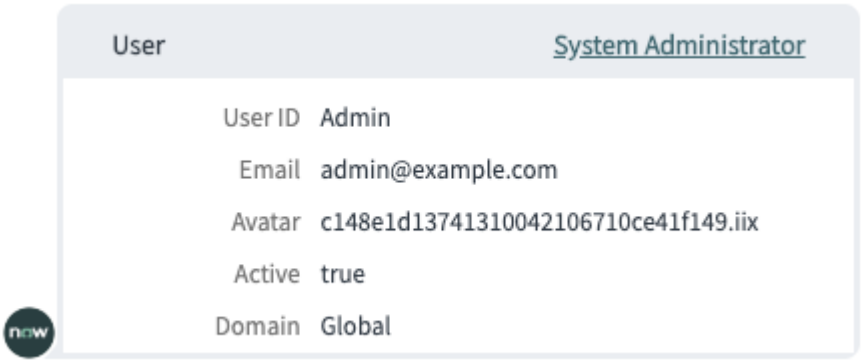
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

仮想エージェント コンポーネントのタイプ

仮想エージェント のコンポーネントを開発するには、仮想エージェント クライアントインターフェイスとやり取りするための特定のプロパティとアクションを追加します。必要なプロパティは、作成するコンポーネントのタイプによって異なります。

応答コンポーネント

応答コンポーネントは、ユーザーに情報を提供するだけで、入力を収集したり、ユーザーインタラクションを処理したりすることはありません。たとえば、ユーザー入力を必要とせず、一度だけ会話に含まれるカードコントロールなどで



す。

応答コンポーネントにプロパティを追加して、仮想エージェント サーバーから送信されるデータを処理します。

出力コンポーネントのプロパティ

プロパティ	説明
controlData	トピックの実行時に 仮想エージェント サーバーがコンポーネントに送信する初期データ。 データタイプ：JSON オブジェクト

入力コンポーネント

入力コンポーネントは、情報を表示したり、ユーザー入力を収集したりします。これには、サーバーから送信されるデータを処理するための出力コンポーネントと同じプロパティが含まれていますが、より多くのステータスがあり、ユーザーのインタラクションが必要です。

入力コンポーネントのプロパティ

プロパティ	説明
controlData	トピックの実行時に 仮想エージェント サーバーがコンポーネントに送信する初期データ。 データタイプ：JSON オブジェクト
responseValue	ユーザーの応答からコンポーネントに送信されるデータ。クライアントから直接、または更新がある場合はサーバーから送信されます。ユーザー入力が必要なコンポーネントでのみ使用します。 データタイプ：JSON オブジェクト

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

入力コンポーネントのプロパティ (続く)

プロパティ	説明
forceCloseControl	コンポーネントが入力を受け入れることができるかどうかを示すフラグ。true の場合、コントロールは閉じられ、ユーザーは操作できません。クライアントの変更を監視して、この値を更新します。ユーザー入力が必要なコンポーネントでのみ使用します。 データタイプ：ブール

このアクションを使用して、ユーザーのインタラクションからデータを発行します。

入力コンポーネントのアクション

アクション	説明
VA_CONTROL#VALUE_SUBMIT	対応するクライアントからの応答データ。ユーザー入力が必要なコンポーネントでのみ使用します。 データタイプ：JSON オブジェクト

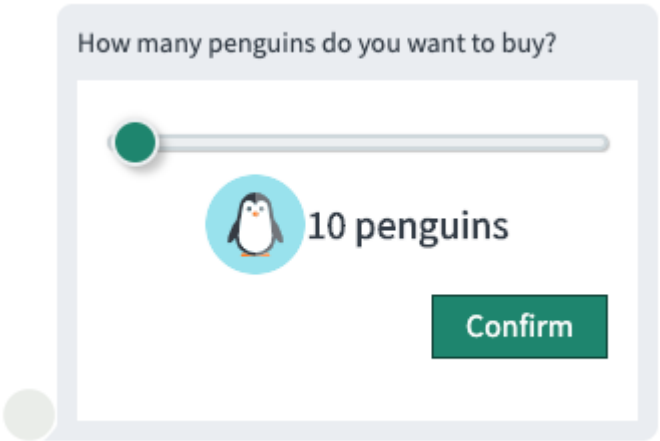
入力コンポーネントのステータス

入力コンポーネントはデータを受け入れるため、複数のステータスを処理する必要があります。状況フローは一般に次のとおりです。

1. 仮想エージェント は入力待ちステータスのカスタムコンポーネントを表示します。
2. ユーザーはコンポーネントとやり取りして入力します。
3. コンポーネントは、 `responseValue` プロパティを閉じてサーバーに送信します。
4. サーバーはサーバー側のロジックを実行し、ユーザーの入力とともにコンポーネントをクライアントに送り返します。

入力待ち

ユーザーのインタラクションを待機しているコンポーネントの初期ステータス。`controlData` プロパティは設定されていますが、forceControlClosed プロパティが false です。この例は、入力待ちステータスのスライダーコンポーネントを示しています。



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

この例では、ユーザーが responseValue を指定せず、コントロールがクローズされていない場合、スライダーと入力ボタンが表示されます。

```
const {controlClosed, sliderVal, sliderMin, sliderMax} = state;
return (<div class={{"slider-chat": true}}>
   {responseValue ? null :  <Fragment>
   <div class={{"slider-label": true}}>{label}</div>
   {controlClosed ? null : <Fragment>
      <div class={{"slider-container": true}}>
               <input on-change={onSliderChange} type="range" min={sliderMin}
 max={sliderMax} value={sliderVal} class={{"slider": true}} />
         <div class={{"slider-value": true}}>
               {unitIcon &&
                <div class={{"unit-icon": true}}><img src={unitIcon} /></div>
                }
                {sliderVal} {unitName}
            </div>
      <div class={{"button-container":true}}>
         <now-button variant="primary" label={buttonText || 'Confirm'} />
       </div></div></Fragment>}
```

入力の処理

前の例では、スライダーは now-button コンポーネントを使用しています。このボタンをユーザーがクリックすると、入力が確定され、サーバーに送信されます。ユーザーがボタンをクリックすると、responseValue ペイロードを使用して VA_CONTROL#VALUE_SENT アクションが開始されます。

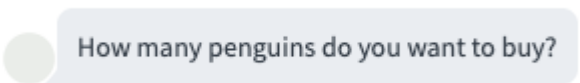
```
'NOW_BUTTON#CLICKED': (data) => {
   const {updateState, dispatch, state: {sliderVal}} = data;
   updateState({controlClosed: true});
   dispatch('VA_CONTROL#VALUE_SENT', {
      value: {
         sliderVal
      }
   });
}
```

クローズ済み

クローズされたコンポーネントは、ユーザー入力を受け入れることができなくなります。通常、コンポーネントは次の理由でクローズされます。

- ユーザーがコンポーネントに応答した。コンポーネントがクローズし、会話が続行される。
- ユーザーがチャットを終了した。サーバーが応答を待機していない。

たとえば、スライダーコンポーネントは、クローズ済みステータスのときにのみ元のプロンプトを表示します。



応答の送信

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ユーザーが応答すると、responseValue プロパティの値を使用して、コントロールが会話のユーザー側に再度表示されます。

たとえば、スライダーコントロールはこのスニペットを使用して応答を表示します。

```
{responseValue && <div className="response-container slider-value">
  {unitIcon &&
  <div className="unit-icon"><img src={unitIcon} /></div>
  }
  {returnVal} {unitName}
</div>}
```

仮想エージェントデザイナー へのコンポーネントの追加

コンポーネントを開発してインスタンスに展開した後、カスタムコントロールと定義を使用して 仮想エージェントデザイナー に追加します。詳細については、「仮想エージェントのカスタムコントロール」を参照してください。

仮想エージェント と通信するためのプロパティの追加

仮想エージェント のコンポーネントを開発するには、仮想エージェント クライアントインターフェイスとやり取りするための特定のプロパティとアクションを追加します。必要なプロパティは、作成するコンポーネントのタイプによって異なります。

始める前に

- 環境を設定します。手順については、次を参照してください。 ServiceNow® 開発者サイト.
- コンポーネントプロジェクトを設定します。手順については、次を参照してください。 ServiceNow® 開発者サイト
- コンポーネントを開発します。手順については、次を参照してください。 ServiceNow® 開発者サイト

必要なロール：virtual_agent_admin または admin

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. コンポーネントコードで、仮想エージェント プロパティを追加して 仮想エージェント クライアントインターフェイスとやり取りします。

仮想エージェント コンポーネントのプロパティ

プロパティ	説明
controlData	トピックの実行時に 仮想エージェント サーバーがコンポーネントに送信する初期データ。 データタイプ：JSON オブジェクト
responseValue	ユーザーの応答からコンポーネントに送信されるデータ。クライアントから直接、または更新がある場合はサーバーから送信されます。ユーザー入力が必要なコンポーネントでのみ使用します。 データタイプ：JSON オブジェクト
forceCloseControl	コンポーネントが入力を受け入れることができるかどうかを示すフラグ。true の場合、コントロールは閉じられ、ユーザーは操作できません。クライアントの変更を監視して、この値を更新します。ユーザー入力が必要なコンポーネントでのみ使用します。 データタイプ：ブール

2. 入力コンポーネントを作成する場合は、`VA_CONTROL#VALUE_SENT` アクションを使用してユーザー値をサーバーに送信します。

仮想エージェント コンポーネントのアクション

アクション	説明
VA_CONTROL#VALUE_SENT	サーバーに送信するクライアントからの応答データ。ユーザー入力が必要なコンポーネントでのみ使用します。 データタイプ：JSON オブジェクト

次のタスク

仮想エージェント のコンポーネントのテスト。

関連情報

を使用したカスタムコンポーネントの作成 ServiceNow CLI

仮想エージェント のコンポーネントのテスト

仮想エージェント カスタムコンポーネントをインスタンスに展開する前にテストします。

始める前に

- 環境を設定します。手順については、次を参照してください。 ServiceNow® 開発者サイト.
- コンポーネントプロジェクトを設定します。手順については、次を参照してください。

ServiceNow® 開発者サイト

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- コンポーネントを開発します。手順については、次を参照してください。 ServiceNow® 開発者サイト
- 仮想エージェント と通信するためのプロパティの追加

必要なロール：virtual_agent_admin または admin

このタスクについて
仮想エージェント コンポーネントを 仮想エージェント クライアントチャット内でテストし、コンポーネントがユーザー入力に正しく応答することを確認する必要があります。コンポーネントプロジェクトのプロパティを設定して、モック 仮想エージェントテストクライアントツールでコンポーネントをテストできます。

手順

1. テストクライアントツールの依存関係をコンポーネントプロジェクトに追加します。
   a. コンポーネントプロジェクトで <component-name>/package.json ファイルを開きます。
   b. `"@servicenow/sdk-ci": "1.0.8"` と `"@servicenow/library-translate": "^18.0.0"` を devDependencies オブジェクトに追加します。

   Example
   正しい依存関係を含む package.json ファイルの例を次に示します。

```
"dependencies": {
   "@servicenow/ui-renderer-snabbdom": "横浜",
   "@servicenow/library-translate": "^18.0.0",
   "@servicenow/now-button": "横浜",
   "@servicenow/now-dropdown": "横浜",
   "@servicenow/sass-generic": "横浜",
   "@servicenow/cli-archetype": "横浜",
   "@servicenow/sdk-ci": "1.0.8"
}
```

2. テストでコンポーネントの初期ステータスとして使用するサンプルプロパティを追加します。
   a. <component-name>/example/sampleProps.json ファイルに、テスト内で表示する初期プロパティを追加します。

   Example
   以下は、スライダーコンポーネントに初期プロパティが設定された sampleProps.json ファイルの例です。

```
{
 "label": "How many penguins do you want to buy?",
 "defaultValue": 10,
 "sliderMin": 20,
 "sliderMax": 80,
 "unitName": "penguins",
 "unitIcon": "https://image.flaticon.com/icons/svg/141/141836.svg"
}
```

3. example.js ファイルを更新し、作成したサンプルプロパティを使用して、テストクライアントツールでコンポーネントを開きます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. コンポーネントプロジェクトで <component-name>/example/element.js ファイルを開きます。

b. `@servicenow/sdk-ci` と作成したサンプルプロパティファイルをインポートするステートメントを追加します。

c. `<component-name>` を、サンプルプロパティの初期データを使用してテストツールを作成するためのコンポーネント名で置き換えて、次のステートメントを追加します。

```
const el = document.createElement('tool-ci-custom-control-tester');
el.componentTagName="<component-name>";
el.initialExampleData=sampleProps;
document.body.appendChild(el);
```

Example

以下は、テストクライアントツールを使用してコンポーネントを開く example.js ファイルの例です。

```
import '../src/now-chat-control-slider';

import '@servicenow/sdk-ci';

import sampleProps from './sampleProps.json';

const el = document.createElement('tool-ci-custom-control-tester');
el.componentTagName="<component-name>";
el.initialExampleData=sampleProps;
document.body.appendChild(el);
```

4. 開発サーバーコマンドを実行して、テストブラウザーでコンポーネントを表示します。

```
$ snc ui-component develop [--entry entry --open --port port --host host]
```

これらのパラメーターに値を渡します。

名前	説明
エントリー	コンポーネントプロジェクト内のテストモジュールへのパス。 デフォルト： example/index.js。
open	デフォルトのブラウザーを開き、テストページに移動します。 デフォルト値：false。
port	開発サーバーが実行されているポート。 デフォルト：8081。
host	ローカル開発サーバーを他のユーザーが外部からアクセスできるようにする場合に使用するホストアドレス。通常は 0.0.0.0 に設定します

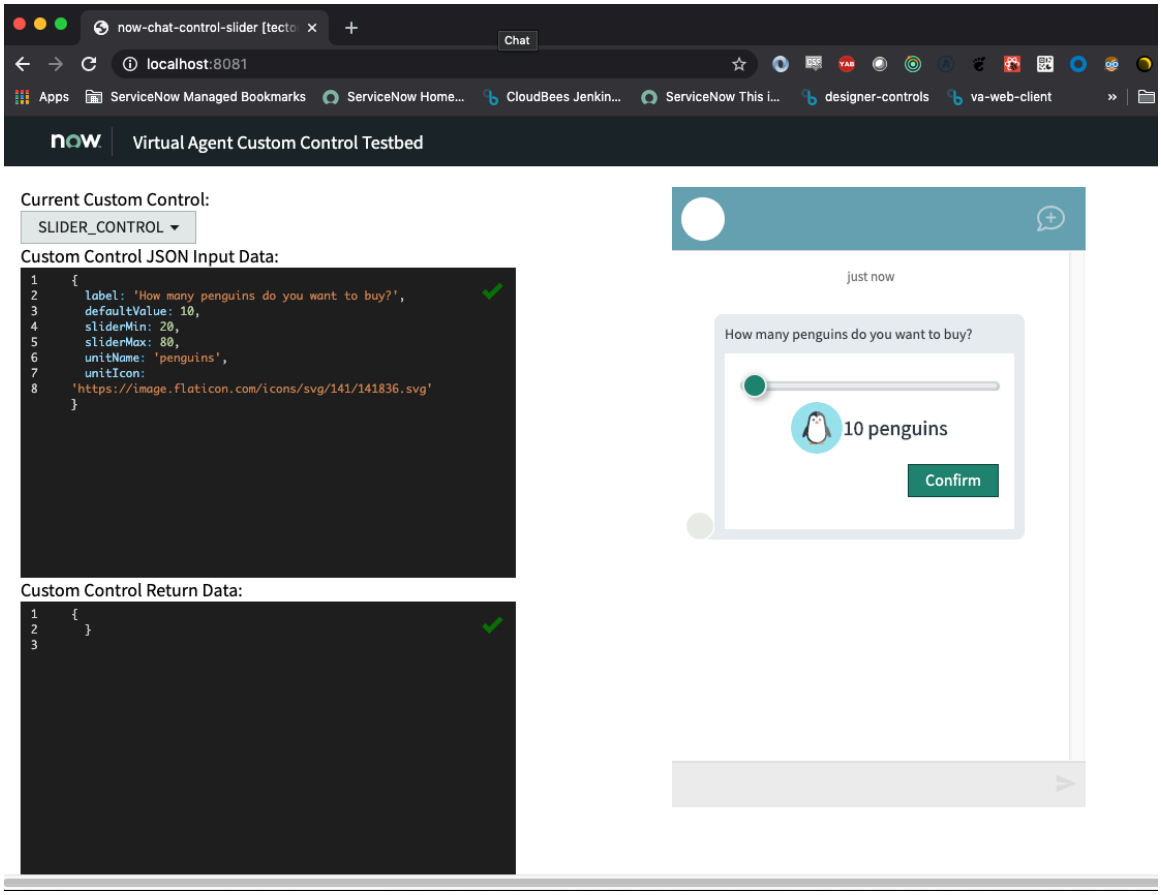
Example

```
$ snc ui-component develop --entry example/hello.js --open --port 3000
```

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

コンポーネントがテストクライアントツールで開きます。[カスタムコントロールの **JSON** 入力データ **(Custom Control JSON Input Data)]** フィールドで指定された初期データを、[カスタムコントロールの戻りデータ **(Custom Control Return Data)]** フィールドでコンポーネントの出力を確認できます。



次のタスク

コンポーネントが予想どおりに機能している場合は、インスタンスに展開します。手順については、次を参照してください。 ServiceNow® 開発者サイト.

コンポーネントを開発してインスタンスに展開した後、カスタムコントロールと定義を使用して 仮想エージェントデザイナー に追加します。詳細については、「仮想エージェントのカスタムコントロール」を参照してください。

関連情報

を使用したカスタムコンポーネントの作成 ServiceNow CLI

エージェントワークスペース へのコンポーネントの追加

カスタムコンポーネントを使用して、会社のエージェントの特定のニーズを満たすカスタム ワークスペース インターフェイスを作成します。

複数のチャネルを介した顧客とのコミュニケーションには時間がかかります。これらのオムニチャネルインタラクションを効率的に行うには、複数のツール間でのコンテキストの切り替えを減らすために、エージェントが顧客情報を一元的に表示できる必要があります。ワークスペースのカスタムコンポーネントを開発することで、チームは複数のチャネルからのコミュニケーションを 1 つのインターフェイスにまとめることができます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ワークスペース へのコンポーネントの追加

コンポーネントをインスタンスに展開したら、次の方法で ワークスペース に追加できます。

ワークスペース モーダルにコンポーネントを追加する

UI アクションを使用してモーダルでカスタムコンポーネントを起動するため、エージェントはタスクを遂行するために別の画面に移動する必要がありません。

UI ビルダーを使用して ワークスペース ランディングページにコンポーネントを追加する

UI ビルダー を使用して、エージェントのカスタムランディングページを作成します。UI ビルダー は、ワークスペースコンポーネントを視覚的に配置できるドラッグアンドドロップツールです。

UI ビルダーで展開されたコンポーネントを使用するには、now-ui.json ファイルのプロパティを設定します。手順については、 ServiceNow 開発者サイトを参照してください。

ワークスペース レコードビューにコンポーネントを追加する

ワークスペース レコードビューのコンポーネント領域にカスタムコンポーネントまたは標準コンポーネントを追加できます。

ディシジョンテーブル

ディシジョンテーブルを使用すると、意思決定ルールを作成して維持することで、意思決定ロジックをコードから切り離すことができます。

重要:
代わりに、ワークフロースタジオでディシジョンテーブルを作成してみてください。ワークフロースタジオ はワークフローの作成、構成、および監視を単一のページエクスペリエンスに統合します。詳細については、「Create decision tables in Workflow Studio」を参照してください。

ディシジョンテーブルを使用して、複数の要因に依存している結果に達することができます。これらのテーブルでは、各要因が意思決定入力です。たとえば、自動車保険の補償に関する意思決定を行う場合は、入力には、被保険者の住所、年齢、事故歴、自動車メーカー、車種、製造年などが含まれます。このロジックは時間を節約でき、スクリプトを使用するよりも体系化され、読みやすい形式を提示できます。ディシジョンテーブルは、意思決定を作成、表示、および変更できる単一ポイントを提供します。

スクリプトで ディシジョンテーブル とやり取りするには、 DecisionTableAPI - Scoped, Global を使用します。

意思決定のコンポーネント

ディシジョンテーブル [sys_decision] レコード

ディシジョンテーブルレコードは、単一の意思決定を表します。このレコードでは、回答に使用するテーブルを指定します。このレコードには、意思決定入力と意思決定を作成できる関連リストも含まれています。

意思決定入力 [sys_decision_input] レコード

意思決定入力レコードは、意思決定の回答を取得するために使用される入力を表します。これらの入力には、文字列、参照、true/false 入力、日付を含むさまざまなタイプがあります。各意思決定入力には指定された入力タイプがあり、デフォルト値を割り当てることができます。

意思決定 [sys_decision_question] レコード

各意思決定レコードは、入力に基づいた意思決定を表します。意思決定レコードフォームで条件ビルダーを使用して、この意思決定の入力に基づいた条件を作成します。次

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

に、この意思決定の回答レコードを選択できます。回答レコードは、ディシジョンテーブルのレコードで定義したテーブルの任意のレコードにすることができます。複数の意思決定に対して同じ回答レコードを選択できます。

回答レコード

回答レコードは、さまざまな意思決定入力値を使用して到達した回答を表します。回答レコードには任意のテーブルのレコードを使用できますが、そのテーブルはディシジョンテーブルレコードを作成するときに選択する必要があります。たとえば、sys_choice テーブルを使用して、既存の選択肢レコードを使用できます。保険の補償についての例では、各レコードに保険の補償レベルの詳細が含まれるテーブルを作成できます。

クラシック環境の意思決定テーブル

クラシック環境では、意思決定回答レコードに使用するテーブルを作成できます。その後、ディシジョンテーブルの各意思決定に回答レコードを関連付けます。入力に基づいてその意思決定に到達すると、この回答レコードが返されます。

注:
ワークフロースタジオ ディシジョンテーブルは、ディシジョンテーブルを作成するための新しい直感的なインターフェイスを提供します。詳細については、「Workflow Studio」を参照してください。

ディシジョンテーブルを作成して複雑な意思決定を解決する

意ディシジョンテーブルを作成して、複数の要因に依存している複雑な意思決定を解決できます。

始める前に
必要なロール：decision_table_admin

手順

1. 意思決定回答レコードに使用するテーブルを作成または選択します。
   後の手順で、ディシジョンテーブルの各意思決定に回答レコードを関連付けます。入力に基づいてその意思決定に到達すると、この回答レコードが返されます。テーブルの作成については、「テーブルの作成」を参照してください。
2. 意思決定レコードに使用するテーブルの 1 つのフィールドが表示値として設定されていることを確認します。

   意思決定回答を ワークフロースタジオ で表示する場合は、このフィールドがラベルとして使用されます。

   既存のテーブルを使用することも、意思決定レコードに使用する新しいテーブルを作成することもできます。
3. 意思決定の各回答に対するレコードをこのテーブルで作成します。
   既存のテーブルを変更した場合は、追加した新しいフィールドを表示するために、フォームのカスタマイズが必要になることがあります。
4. ディシジョンテーブルレコードを作成します。

   a. 移動先 システム定義 > ディシジョンテーブルをクリックし、[新規] を選択します。

   b. フォームで、フィールドに入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ディシジョンテーブルフォーム

フィールド	説明
名前	この意思決定を説明するラベル。
アプリケーション	この意思決定のアプリケーションスコープ。このフィールドのデフォルトは、現在のスコープです。
回答のテーブル	この意思決定で回答レコードに使用するテーブル。前の手順で作成したテーブルを選択します。
アクセス可能	この意思決定の可用性を現在のスコープに制限するオプション。[すべてのアプリケーションスコープ] または [このアプリケーションスコープのみ] を選択します。

c. フォームヘッダーを右クリックし、[保存] を選択します。
[意思決定の入力] および [意思決定] 関連リストでフォームを更新します。

5. 意思決定入力レコードを作成します。

a. [意思決定の入力] 関連リストで [新規] をクリックします。

b. フォームのフィールドに入力します。

意思決定入力フォーム

フィールド	説明
名前	この意思決定入力に関連付けられている意思決定の名前。このフィールドは、自動的に入力されます。
アプリケーション	この意思決定入力のアプリケーションスコープ。このフィールドのデフォルトは、現在のスコープです。
タイプ	この入力に使用されるデータのタイプ。フローでこの意思決定を使用する場合は、このタイプと一致するデータピルのみ使用できます。
有効	この入力を有効にするためのチェックボックス。デフォルトでは、このフィールドが選択されます。
ラベル	この入力を説明するラベル。
読み取り専用	この意思決定入力を読み取り専用にするチェックボックス。
列名	この入力の列名。[ラベル] フィールドの値を指定した場合、このフィールドは自動入力されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
必須	この意思決定入力を必須にするチェックボックス。
表示	この意思決定入力が参照フィールドの表示値 であることを示すチェックボックスです。
選択肢	ユーザーに推奨値のリストを表示する方法を選択します。 ▪ [-- なし --] のないリストメニュー ▪ [-- なし --] のあるリストメニュー ▪ 提案フィールドタイプ 選択肢を使用する場合に、フォームの下部にある [選択肢] 関連リストの選択肢を定義します。
デフォルト値	この入力のデフォルト値。

c. [送信] を選択します。
変更が保存され、ディシジョンテーブルレコードが再度開きます。

6. 意思決定レコードを作成します。

a. [意思決定] 関連リストで [新規] をクリックします。

b. フォームのフィールドに入力します。

意思決定フォーム

フィールド	説明
ラベル	このディシジョンテーブルを説明するラベル。
アプリケーション	この意思決定のアプリケーションスコープ。このフィールドのデフォルトは、現在のスコープです。
順番	フローで意思決定を評価する順番。[一致する最初の意思決定] オプションを使用し、最初の一致が見つかった後に終了するフローでは、順番が重要になることがあります。
回答	この意思決定の条件が満たされたときに使用される回答。
デフォルトの回答	この意思決定をディシジョンテーブルのデフォルトとして有効にするチェックボックス。
条件	この意思決定に到達する必要のある条件。条件で利用可能なフィールドは、このディシジョンテーブルに関連付けられている意思決定入力です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

c. [送信] を選択します。
変更が保存され、ディシジョンテーブルレコードが再度開きます。

次のタスク
ワークフロースタジオ では、独自の意思決定を [意志決定] フローロジックに追加できます。意思決定フローロジックの詳細については、「Make a decision flow logic」を参照してください。

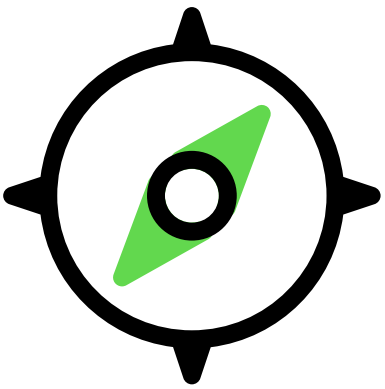
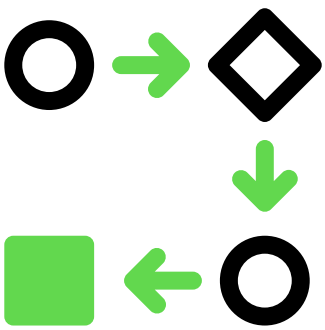
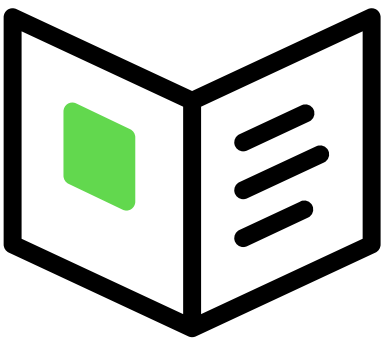
テーブルビルダー

テーブルビルダー を使用すると、単一のユーザーインターフェイスからテーブルとフォームを視覚的に作成、設計、管理できます。

アナウンスメント

App Engine のテーブルビルダー アプリケーションは、スタンドアロンの テーブルビルダー アプリケーションと結合されています。スキーマビュー、スプレッドシートビュー、フロー、PDF エクストラクターなど、以前は App Engine のテーブルビルダー アプリケーションでしか利用できなかった一部の機能が、テーブルビルダー で利用できるようになりました。

開始

探索	使用方法	参照
		
テーブルビルダーの概念と機能について説明します。	テーブルビルダーを使用して、テーブル、フォーム、および関連するポリシーとルールを管理します。	フィールドプロパティやポリシーとルールのプロパティなど、 テーブルビルダー コンポーネントに関する詳細を取得します。

テーブルビルダー のヘルプ

ユーザーアカウントのロック解除または追加、復元または zBoot の実行などについては、会社のカスタマーアドミンにお問い合わせください。

- で質問や回答をする テーブルビルダー コミュニティフォーラム
- 既知のエラーポータルで既知のエラー記事を検索する
- 連絡先 カスタマーサービス & サポート

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テーブルビルダー の詳細

単一のユーザーインターフェイスを使用してテーブル、フォーム、フローを視覚的に設計できるようにする テーブルビルダー 機能について説明します。

テーブルビルダー に関する詳細	その他の **ServiceNow** リソース
テーブルビルダー を使用して、レイアウト、フィールド、フィールド構成、UI ポリシーなどのフォーム要素を設定できます。	 Table Builder ：カスタム注文フォームの作成

主な機能

テーブルビルダー には、次の主要な機能が含まれています。

- 特定のアプリケーションまたはグローバルにフィールドを追加したり、既存のフィールドプロパティを変更したりして、テーブルを編集します。
- シンプルなドラッグアンドドロップのエディターインターフェイスを使用して、フォームビューを視覚的にカスタマイズします。必要に応じて、選択したテーブルからセクション、フィールド、注釈を追加および配置できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 1 つのインターフェイスからフォームの UI ポリシーを設定するか、次のその他の関連するポリシーやルールを表示します。
  - アクセス制御ルール
  - クライアントスクリプト
  - ビジネスルール
  - ワークスペースビュールール
- 編集プロセス全体でフォームをプレビューすることで、変更が環境内で正常に機能することを確認できます。
- App Engine Studio と統合して、フォームの設計とデータの管理における統一されたエクスペリエンスを促進します。

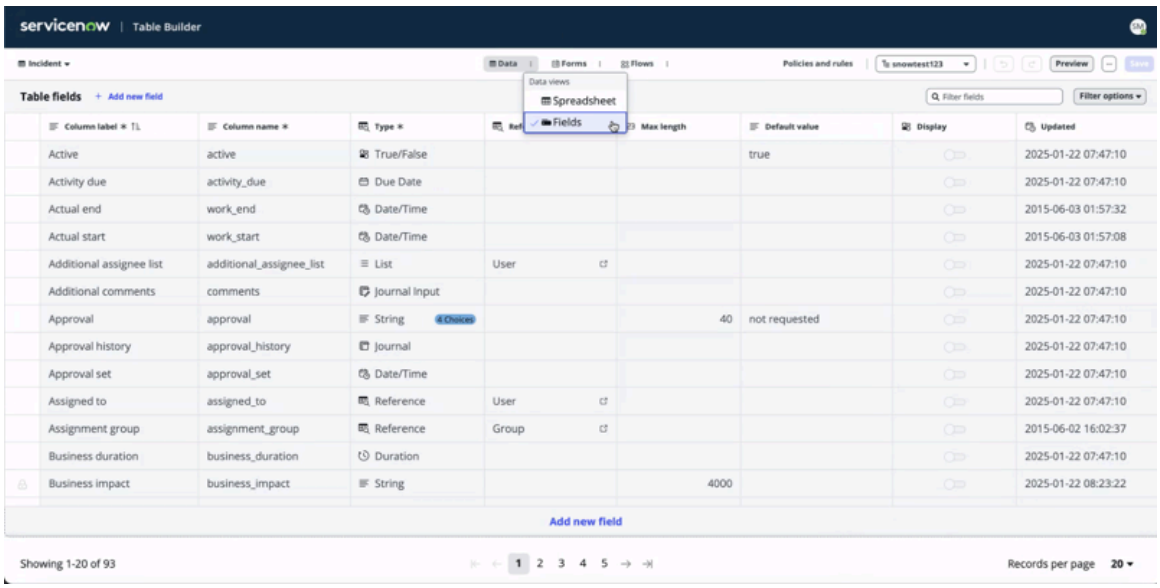
テーブルビルダー へのアクセス

テーブルビルダー にはいくつかの方法でアクセスできます。

命名のショートカットを使用した起動テーブルビルダー

名前付けショートカットを使用して、アプリナビゲーターからテーブルを開くことができます。

テーブルに直接アクセスするには、検索に「tablename.builder」、「tablename.view」、「tablename.sheet」または「tablename.flow」と入力します。たとえば、検索で incident.builder を検索すると、[データ] タブにインシデントテーブルのフィールドビューが開きます。



命名規則、ユーザー入力、およびその動作

ユーザー入力	動作
<tablename>.builder	[データ] タブで [フィールド] オプションが選択されているテーブルビルダーでテーブルを開きます。
<tablename>.view	[フォーム] タブのテーブルビルダーでテーブルを開きます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

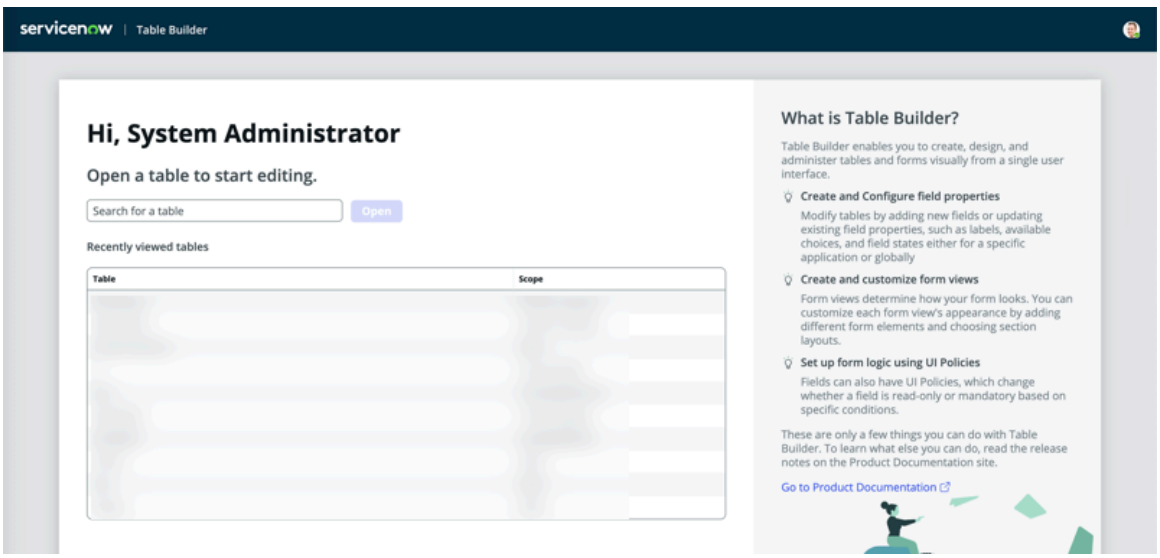
命名規則、ユーザー入力、およびその動作 (続く)

ユーザー入力	動作
<tablename>.sheet	[データ] タブで [シート] オプションが選択されているテーブルビルダーでテーブルを開きます。
<tablename>.flow	テーブルビルダー の [フロー] タブでテーブルを開きます。

アプリナビゲーターからの テーブルビルダー の起動

テーブルビルダー には、アプリケーションナビゲーターからアクセスできます。この機能は、 テーブルビルダー をより効率的に操作するのに役立ちます。

1. 移動先 すべて > テーブルビルダー.
2. 開くテーブルを検索します。
3. [開く] を選択します。



App Engine Studio から テーブルビルダー を起動

テーブルビルダー は現在 App Engine Studio 内からアクセスできます。

アプリケーションデータの編集手順については、「App Engine Studio でのデータの編集」を参照してください。

1. App Engine Studio でアプリケーションを開きます。

   注:
   テーブルビルダー にアクセスするには、事前にアプリケーションにデータテーブルが存在している必要があります。

2. アプリケーションホームで、テーブルの横にあるメニューアイコン (••• アイコン) を選択し、[編集] を選択します。

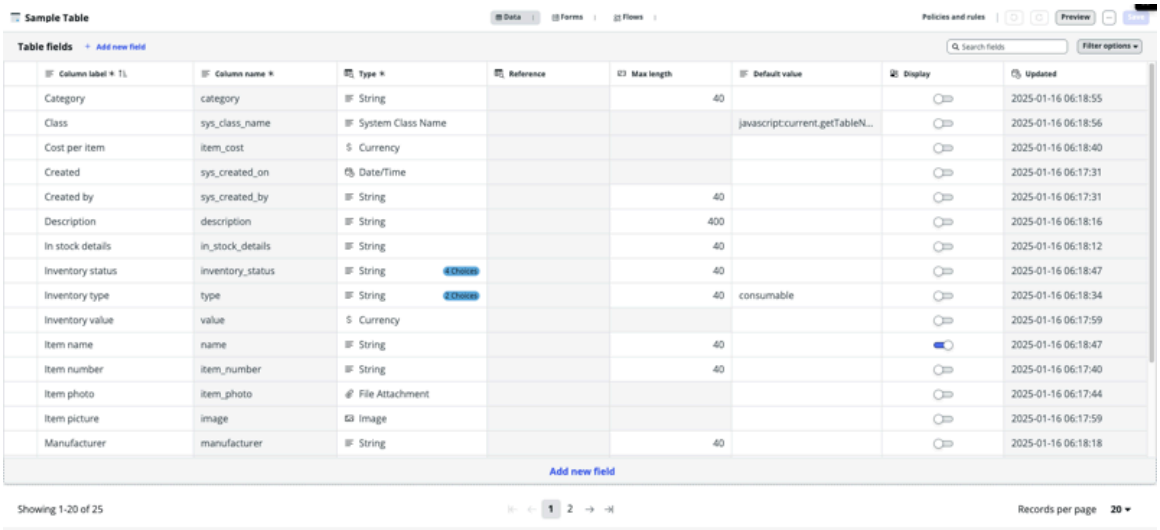
   次の例のように、[データ] タブが選択された状態で テーブルビルダー が開きます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
選択したデータテーブルのフォームビューを編集するには、[フォーム] タブに移動します。

[データ] タブ



UI ビルダー から テーブルビルダー を起動

テーブルビルダー選択したフォームオブジェクトに対して、構成パネルの下部にある [フォームビューの編集] を選択することで、UI ビルダー内からアクセスできます。

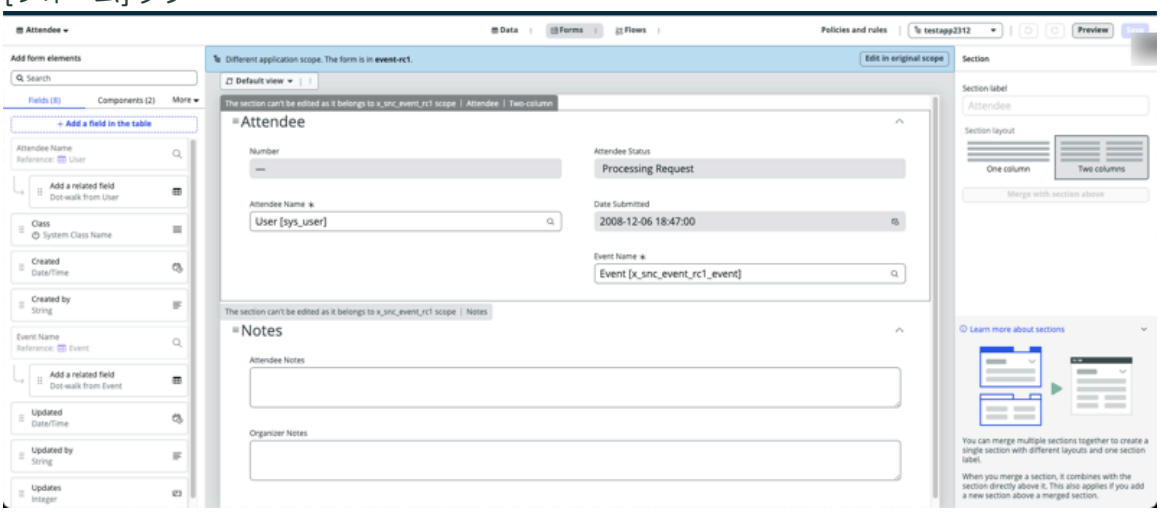
1. 移動先 すべて > **Now Experience** フレームワーク > **UI** ビルダーをクリックし、ページ上のフォームコンポーネントを選択します。

   コンポーネントの追加方法の詳細については、「UI ビルダーでのコンポーネントの操作」を参照してください。

2. [構成] ペインの下部にある [フォーム ビューの編集] を選択します。

   [フォーム] タブが選択された状態で テーブルビルダー が開き、選択したテーブルのフォームビューをカスタマイズできます。テーブルデータを編集するには、次の例のように [データ] タブに移動します。

[フォーム] タブ



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テーブルビルダー 権限

テーブルビルダーを使用するには、次のいずれかを実行する必要があります。

- 管理者になるか、または
- ServiceNow AI Platformで次のロール権限を持っている、または
- 関連する AES ユーザーロールと委任開発者権限が必要です。

詳細については、「AES を使用する開発者の委任」を参照してください。

注:
テーブルを作成するときは、 読み取り 権限を持つロールを少なくとも 1 つアサインします。読み取り権限を設定すると、テーブルのプレビューとアクセスに役立ちます。

テーブルビルダー 権限

権限	アクセス
フォームをカスタマイズ (personalize_form)	• [フォーム] タブにアクセスするために必要です。 • フォームのフィールドをカスタマイズするために必要です。 • 辞書へのアクセスを許可しません。 • ポリシーとルールへのアクセスを許可しません。 • テーブルへのアクセスを許可しません。
辞書のカスタマイズ (personalize_dictionary)	• [データ] タブにアクセスするために必要です。 • フィールド構成にアクセスするために必要です。 • 辞書フィールドを変更するために必要です。 • ポリシーとルールへのアクセスを許可しません。
ルールのカスタマイズ (personalize_rules)	[ポリシーとルール **(Policies and Rules)**] タブへのアクセスを有効にします。
選択肢のカスタマイズ (personalize_choices)	フィールドの選択肢を設定できます。
フローデザイナー (flow_designer)	[フロー] タブにアクセスするために必要です。 フローを構成できます。テーブルビルダーフローを操作するには、personalize_form および

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テーブルビルダー 権限 (続く)

権限	アクセス
	personalize_dictionary 権限 (または関連する委任開発者権限) も必要です。

フォームビルダー へのアクセス

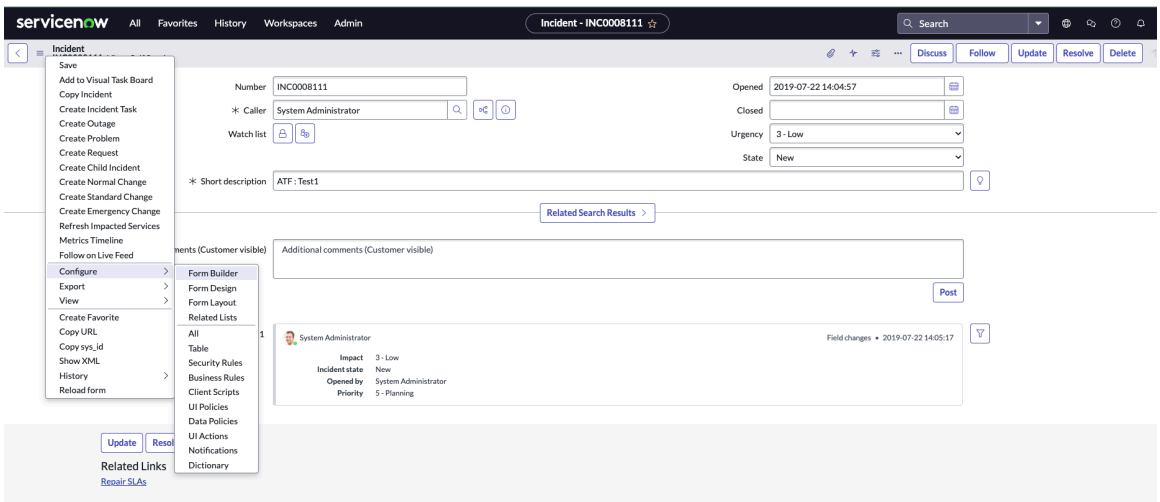
フォームビルダー は、テーブルビルダー の [フォーム] タブから最も頻繁にアクセスされるアプリケーションです。フォームビルダー には、ServiceNow AI Platform　および任意のテーブルの [関連リンク] セクションからもアクセスできます。

テーブルビルダー から フォームビルダー へのアクセス

テーブルビルダー の [フォーム] タブで、フォームビルダー にアクセスします。詳細については、「テーブルビルダー のフォーム」を参照してください。

ServiceNow AI Platform から フォームビルダー へのアクセス

フォームビルダー を使用して ServiceNow AI Platform レコードまたはフォームをカスタマイズします。フォームコンテキストメニューで、[構成] を選択し、[フォームビルダー] を選択します。

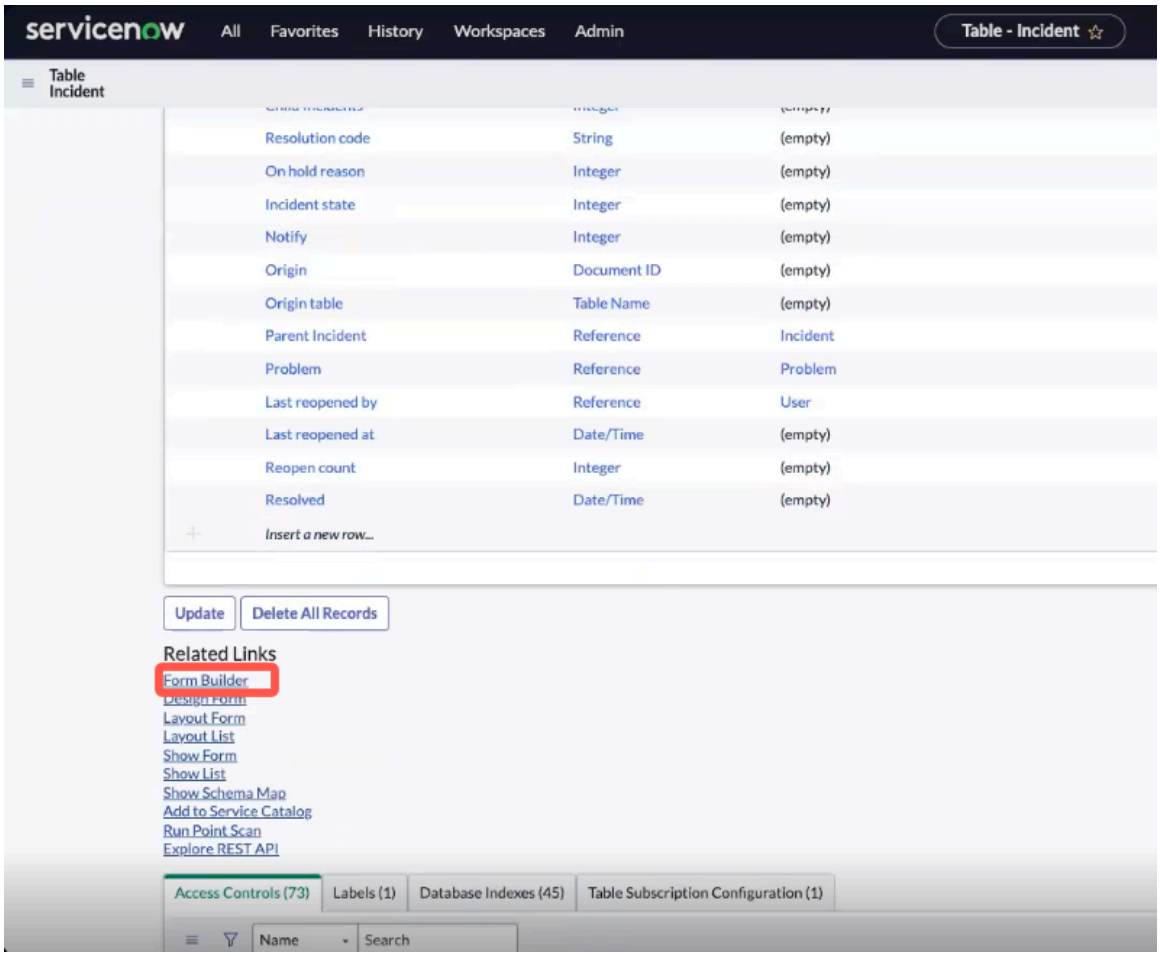


[関連リンク] から フォームビルダー へのアクセス

フォームビルダー には、任意のテーブルの [関連リンク] セクションからもアクセスできます。フォームビルダー を開いて、そのテーブルのレコードの入力に使用するフォームを編集します。

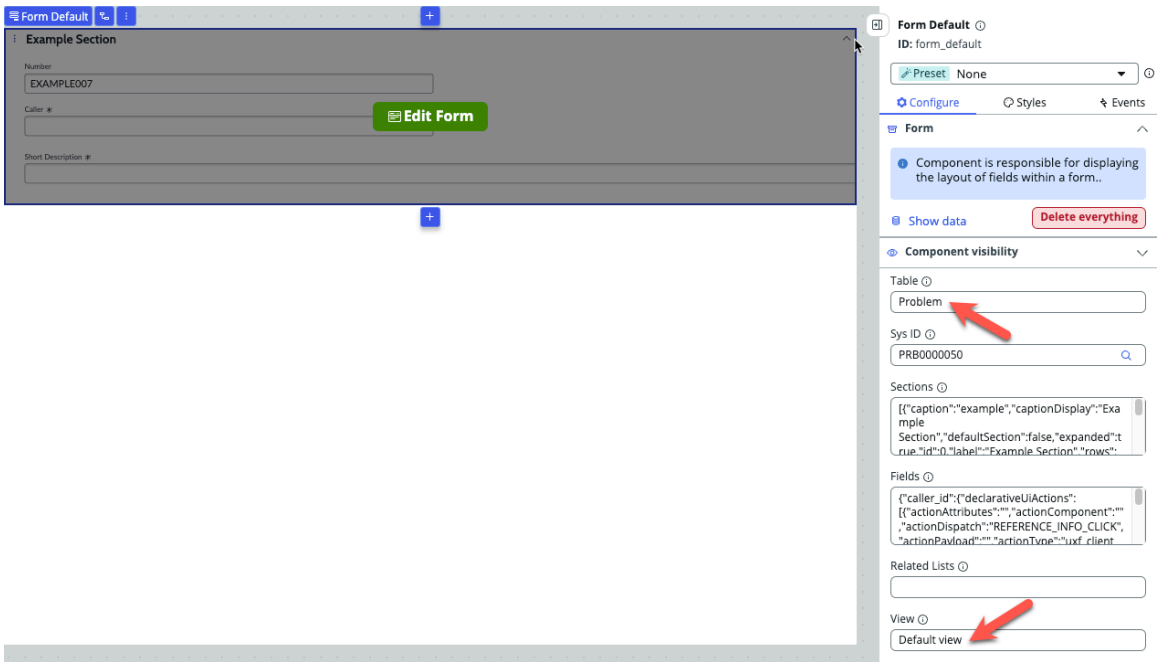
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



UI ビルダー から フォームビルダー へのアクセス

UI ビルダー ステージから フォームビルダー に直接アクセスできます。[テーブル] と [ビュー] の値が設定されているフォームコンポーネントにマウスデバイス を移動し、[フォームを編集] ボタンを選択します。変更は、フォームビルダー を閉じるとフォームに表示されます。



© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

テーブルビルダー のワークフローとナビゲーション

この上位レベルのワークフローを確認することで、テーブルビルダー の使用を開始してデータテーブル、フォーム、またはフローを管理できます。

テーブルビルダー を使用するときに実行する上位レベルのアクションについて説明します。

基本的なワークフロー

次の表は、テーブルビルダー で作業するときに実行する基本的なアクションの概要を示しています。

基本的なワークフロー

アクション	説明
作業するテーブルまたはフォームの選択	作業するデータテーブルまたはフォームを選択するには、「テーブルビルダー へのアクセス」の説明に従って テーブルビルダー を起動し、作業するテーブルまたはフォームを選択します。 **注:** App Engine Studio で テーブルビルダー を使用している場合、アプリでテーブルをクリックすると、ここで選択したテーブルが選択されます。ただし、テーブルビルダー が UI ビルダー から起動されている場合は、現在選択されているテーブルの名前が表示されているドロップダウンリストから、作業する新しいテーブルを選択できます。
ドメインとアプリケーションスコープの選択	テーブルビルダー ナビゲーションから、作業するドメインとアプリケーションスコープを選択します。 **注:** App Engine Studio で テーブルビルダー を使用している間、選択されているアプリケーションスコープは作業中のアプリになります。ただし、テーブルビルダー が UI ビルダー から起動されている場合は、画面の右上にあるドロップダウンリストから、作業するアプリケーションスコープを選択できます (グローバルなど)。 「ドメインセパレーションと テーブルビルダー」および「テーブルビルダー でのアプリケーションスコープの使用」を参照してください。
テーブルプロパティの変更	テーブルプロパティを直接編集するには、[データ] タブを選択します。 詳細については、「テーブルビルダー 内のデータ」を参照してください。
フォームビューのカスタマイズ	[フォーム] タブを選択し、新しいビューを作成してカスタマイズしたり、選択したビューのフォーム要素を構成したりします。 詳細については、「テーブルビルダー のフォーム」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

基本的なワークフロー (続く)

アクション	説明
ポリシーとルールの設定	[ポリシーとルール] タブを選択して、フォームビューでのデータの表示方法を設定および制御します。 詳細については、「テーブルビルダー でのポリシーとルール」を参照してください。
フォームのプレビューと変更の管理	プロセスのどの時点でも、[プレビュー] を選択して加えた変更をプレビューできます。詳細については、「フォームのプレビュー」を参照してください。 プロセスの任意の時点で [保存] をクリックして、フォームビューの変更を保存します。フォームビューの準備が整い、ServiceNow AI Platform の他のアプリケーションからアクセスできます。 **注:** 加えた変更を元に戻す ( ) か、再適用する ( ) には、画面の上部にある [元に戻す] または [やり直し] アイコンを選択します。

ナビゲーション要素

次の表では、テーブルビルダー に示されている基本的なナビゲーション要素を示して説明します。

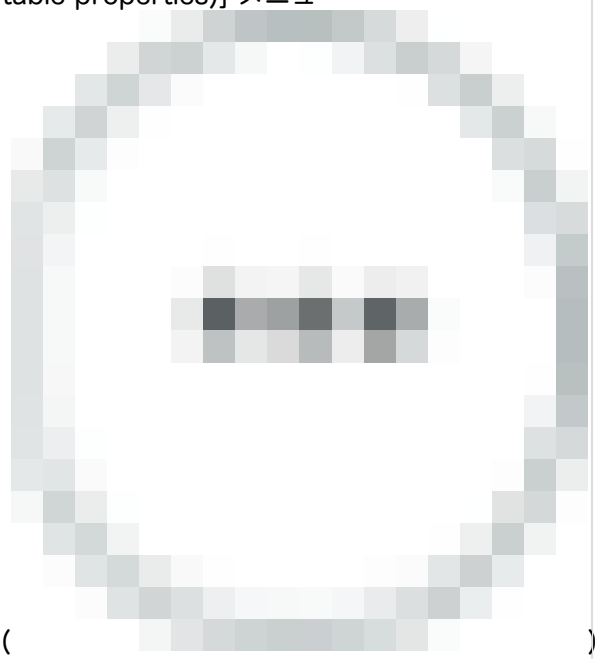
基本的なナビゲーション要素

ナビゲーション要素	説明
テーブル選択リスト ( )	選択したテーブルのポリシーとルール、テーブルプロパティ、フィールド、またはフォームビューをカスタマイズするオプションを選択します。
[ドメインを選択] リスト ( )	選択したドメイン (たとえば、グローバルドメイン) 内のポリシーとルール、テーブルプロパティ、フィールド、またはフォームビューをカスタマイズするオプションを選択します。
[スコープを選択] リスト ( )	選択したアプリケーションスコープ (たとえば、グローバルアプリケーションスコープ) 内のポリシーとルール、テーブルプロパティ、フィールド、またはフォームビューをカスタマイズするオプションを選択します。
元に戻す ( )	以前の編集ステータスに戻すには、ナビゲーションバーの [元に戻す] (アイコン) または [やり直し] ( ) を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

基本的なナビゲーション要素 (続く)

ナビゲーション要素	説明
やり直し ( )	
[詳細テーブルプロパティ (Advanced table properties)] メニュー  ( )	オプションを選択します。 • 詳細ビュー：選択したテーブルの詳細プロパティを管理します。詳細については、「テーブルアドミニストレーション」を参照してください。 • フォームデザイナー：選択したテーブルをフォームデザイナーで起動します。詳細については、「フォームデザイナーの使用」を参照してください。 • テーブルを削除：選択したテーブルを削除します。 注: このオプションは [データ] タブにのみ表示されます。
プレビュー ( )	[プレビュー] を選択して、選択したフォームが ServiceNow AI Platform でどのように表示されるかを確認します。プレビューの詳細については、「フォームのプレビュー」を参照してください。
保存 ( )	[保存] を選択して、選択内容への変更をコミットします。
検索フィールドとフィルターオプション ( )	検索ボックスを使用してフィールド列のリストをキーワードでフィルタリングするか、[フィルターオプション] リストを使用して非アクティブなフィールドを表示したり、拡張フィールドをリストから非表示にしたりします (テーブルが既存のテーブルから拡張されている場合)。
PDF エクストラクター ( )	選択したデータテーブルに PDF が関連付けられている場合は、この要素を選択して PDF エクストラクターツールを起動し、PDF を表示します。「PDF を使用してデータテーブルを作成する」を参照してください。

ドメインセパレーションと テーブルビルダー

ドメインセパレーションでは、データ、プロセス、および管理タスクをドメインと呼ばれる論理的なグループに分けることができます。どのユーザーがデータを表示できるか、データにアクセスできるかなど、このアプリケーションのいくつかの側面を制御できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サポートレベル：標準*

サポートレベルは標準ですが、いくつかの例外または特別な条件があります。

- ベーシックレベルのサポートのすべての側面が含まれます。
- ビジネスロジック：サービスプロバイダー (SP) によって顧客ごとにプロセスを作成または変更できます。ユースケースには、単一のインスタンスでの複数のサービスプロバイダー顧客によるアプリケーションの正しい使用が反映されています。
- インスタンスオーナーは、MVP (minimum viable product) ビジネスロジックとデータパラメーターを設定できる必要があります。この構成は、特定のアプリケーションで前提とされているように、テナントごとに行います。

サンプルユースケース：アドミニストレーターは、レコードを他のテナントに対してはクローズしないが、1 つのテナントに対してクローズする場合、コメントを必須にすることができる必要があります。

サポートレベルの詳細については、「アプリケーションでのドメインセパレーションのサポート)」を参照してください。

ドメインセパレーションの概要

開発者は テーブルビルダー を使用して、アプリケーション内のテーブルの各フォームビューのレイアウトとロジックを設定できます。UI ビルダー から起動すると、テーブルビルダー はドメインセパレーション、つまり ServiceNow インスタンス全体のマルチテナントアーキテクチャをサポートします。

注:
テーブルビルダー が UI ビルダー から起動された場合は、ドメインセパレーションがサポートされます。App Engine Studio から テーブルビルダー を起動する場合、ドメインセパレーションはサポートされません。

テーブルビルダー を使用すると、ドメインセパレーションされた環境内の開発者は、同じブラウザーウィンドウ内でフォームを作成できます。テーブルビルダー のドメインセパレーションはアプリケーションスコープと同様に機能するため、アドミニストレーターがマルチテナント環境で作成または編集するのに役立ちます。

標準化は、ドメインセパレーションがインストールされている安定した正常な拡張性の高い ServiceNow インスタンスを維持するための重要な仕組みです。標準化により、ほとんどのインスタンスを共通の構成によって動作させることができます。インスタンスに数百または数千のドメインがある場合、それらを正常に管理するには厳格なガバナンスが必要です。ドメイン固有の構成は、インスタンス所有者が必要と判断した場合にのみ行う必要があります。ほとんどのインスタンスは、インスタンス全体でより統一されたエクスペリエンスを提供するために、共通のインスタンス構成に従う必要があります。また、インスタンス所有者は、リリースアップグレードの一部として含まれる新しい ServiceNow 機能の導入を遅らせるコードの無秩序な増加を最小限に抑えることができます。

テーブルビルダー におけるドメインセパレーションの仕組み

テーブルビルダー を使用すると、開発者は、セッションドメインを切り替えて、フォームレイアウト、セクションレイアウト、フォームロジックに対するドメイン上書きを作成できます。システム辞書レコードの変更 (フィールドラベルのフィールドメタデータなど) にはドメイン上書きは必要ありません。フォームレイアウトの変更では、変更が下位のドメインで実行される場合は、フォームレコードとセクションの両方に対するドメイン上書きが必要です。ドメイン上書きを作成する場合、上書きを保存する前にセクションラベルを編集することはできません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
UI ポリシーは、下位のドメインでも上書きできます。上書きインジケーターが UI ポリシーに表示されます。

グローバルドメインでは、開発者はドメインスコープを拡張して、異なるドメインからすべてのフォームビューを表示できます。開発者は、アイコンで示される上書きとともにすべてのフォームビューとビューを表示できます。

注:
単一のセクションフォームレコードには *sys_ui_forms* レコードが添付されていません。代わりに、これらのレコードには、2 番目のセクションが作成されるまで *sys_ui_section* レコードのみが添付されます。単一のセクションフォームに既存のドメイン上書きがあり、開発者が別のセクションをフォームに追加すると、既存のドメイン上書きは破棄されます。

関連情報

サービスプロバイダーのドメインセパレーション

テーブルビルダー でのアプリケーションスコープの使用

テーブルビルダー のアプリケーションスコープリストからアプリケーションを選択すると、ServiceNow AI Platform で選択したアプリケーションのユーザーのフォームビューをカスタマイズできます。

アプリケーションスコープは、アプリケーションファイルやデータに対するアクセスを識別して制限することによって、アプリケーションを保護します。アドミニストレーターは、アプリケーションのどの部分を他のアプリケーションからアクセスできるかを指定できます。これは、データとアプリケーションファイルを保護するために役立ちます。テーブルビルダー では、テーブルまたはフォームを操作するときに、アドミニストレーターと開発者がアプリケーションスコープを設定できます。

テーブルビルダー のスコープを変更すると ServiceNow AI Platform® のスコープも変更され、ServiceNow AI Platform のスコープを変更すると テーブルビルダー のスコープが変更されます。

フォームを作成するときは、作業するスコープに注意する必要があります。テーブル、フォーム、またはポリシーの正しいアプリケーションスコープを選択します。 [スコープを選択] リストは [ドメインを選択] リストの近くにあります。スコープのデフォルトは、ユーザーが ServiceNow AI Platform 内で存在しているスコープです。ユーザーがページ内で別のスコープに変更すると、フォームが作成されたものとは異なるアプリケーションスコープ内にいることが通知されます。

テーブルビルダー の使用

テーブルビルダー を使用すると、既存の ServiceNow AI Platform ツール間を移動せずに、単一のインターフェイスからユーザーのテーブル、フォーム、およびフォーム要素を設計およびカスタマイズできます。

テーブルビルダー 内のデータ

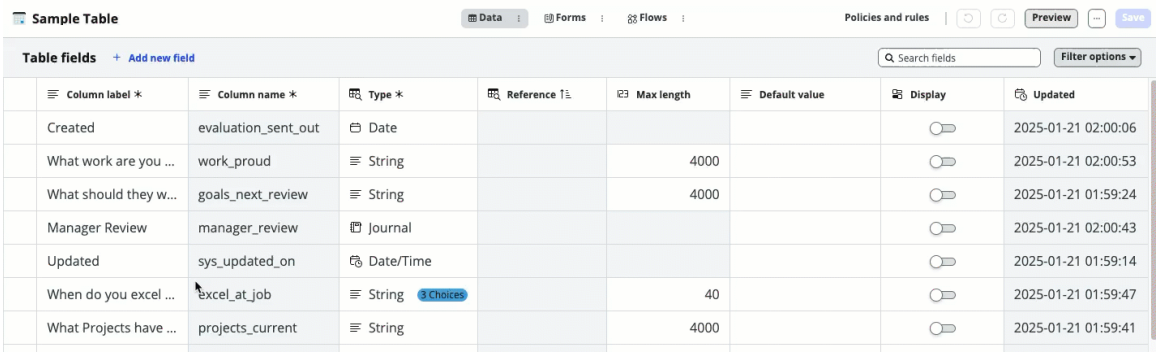
テーブルビルダー を使用すると、テーブルプロパティを変更し、選択したデータテーブルで使用可能なフィールドを管理できます。

テーブルビルダー はデータテーブルを編集するためのツールです。テーブルの列を編集して、[データ] タブでテーブルを編集します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テーブルビルダー



テーブルビルダー では、テーブルの各列が行として表されます。たとえば、「Art title」、「Image」、および「Available」は実際のテーブルでは列のヘッダーとして表示されます。しかし、テーブルビルダー で列を編集するときには、行として表示されます。

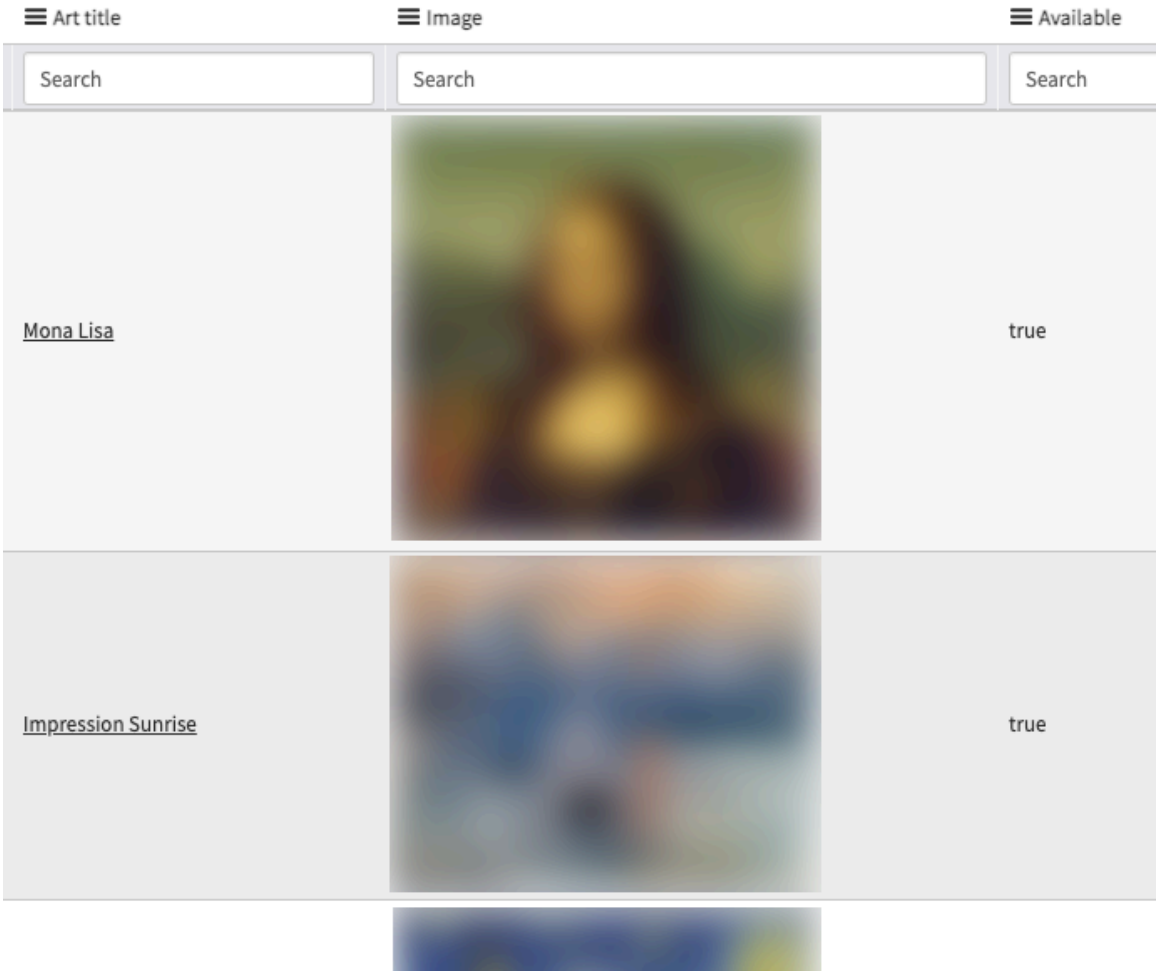
例： テーブルビルダー での列

Column label ✳	Column name ✳	Type ✳
Comments	comments	Journal Input
Updates	sys_mod_count	Integer
Updated	sys_updated_on	Date/Time
Approval Id	approval_id	String
Updated by	sys_updated_by	String
Created	sys_created_on	Date/Time

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

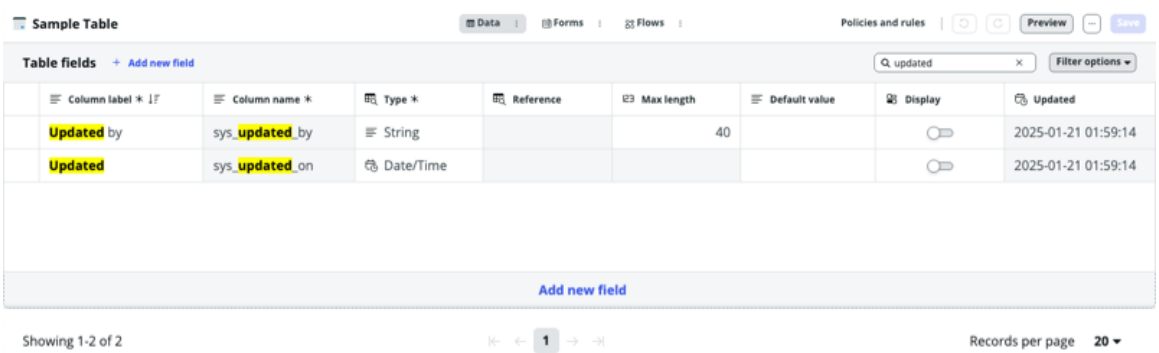
例：**2** つのレコードが表示された実際のデータテーブル



デフォルトの [フィールド] ビューで編集する特定のテーブル列を簡単に見つけるには、右上の検索ボックスに列名を入力します。入力すると、入力したキーワードに一致するように、以下の列のリストがフィルタリングされます。

注:
[フィルターオプション] リストを使用して非アクティブ化されているフィールドを表示したり、拡張フィールドをリストから非表示にしたりします (テーブルが既存のテーブルから拡張されている場合)。

テーブルの列の検索



テーブルビルダー でテーブル列を編集するときは、各行がフォーム上のフィールドであると考えてください。たとえば、列ラベルを変更する場合は、ユーザーがフォームフィールドに入力することが予想されるデータを説明するラベルを使用します。この種類のフォームエントリーをサポートするように列タイプを変更します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールドビューでテーブルのプロパティとテーブル構造を変更します。このビューでは、次のアクションを実行できます。

- テーブルに新しい列を追加する。「テーブルビルダー でのテーブル列の追加」を参照してください。
- テーブルの列を削除する。「テーブルビルダー でのテーブル列の削除」を参照してください。
- テーブルのプロパティを編集する。「テーブルビルダー でのテーブルプロパティの編集」を参照してください。
- 列ラベルを変更する。「テーブルビルダー での列ラベルの変更」を参照してください。
- 列名を変更する。「テーブルビルダー でのテーブル列名の変更」を参照してください。
- 列タイプを変更する。「テーブルビルダー での列タイプの変更」を参照してください。
- テーブルにデフォルト値を追加する。「テーブルビルダー でのデフォルト値のテーブル列への追加」を参照してください。
- テーブルの表示名として列を選択する。「テーブルビルダー でのテーブル表示値としての列の選択」を参照してください。
- テーブルを削除する。「テーブルビルダー でのテーブルの削除」を参照してください。

スプレッドシートビュー内で、テーブル構造とスプレッドシート形式のデータレコードを操作します。ここでは、次のアクションを実行できます。

注:
この機能は、ライセンスによって「専用ローコード機能」が付与され、App Engine のテーブルビルダー がインストールされている場合にのみ使用できます。詳細については、ソリューションコンサルタントにお問い合わせください。

- 新しいデータレコードを追加する。「新しいデータレコードの追加」を参照してください。
- 個々のデータレコードを編集する。「個々のデータレコードの編集」を参照してください。
- データレコードをソートする。「データレコードのソート」を参照してください。
- データレコードをフィルタリングする。「データレコードのフィルタリング」を参照してください。
- 列フィールドのプロパティを編集する。「列フィールドのプロパティの編集」を参照してください。
- 新しい列を追加する。「新しい列の追加」を参照してください。
- 既存の列を複製する。「既存の列の複製」を参照してください。
- 列を並べ替える。「列の並べ替え」を参照してください。
- 列の可視化を設定する。「列の可視化の設定」を参照してください。
- 複数列を固定する。「複数列の固定」を参照してください。
- テーブルの列を削除する。「列の削除」を参照してください。

スキーマビューを使用して、テーブルのテーブル関係を表示することもできます。「テーブルビルダー のスキーマビュー」を参照してください。

注:
この機能は、ライセンスによって「専用ローコード機能」が付与され、App Engine のテーブルビルダー がインストールされている場合にのみ使用できます。詳細については、ソリューションコンサルタントにお問い合わせください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テーブルビルダー のスプレッドシートビュー

テーブルビルダー の [スプレッドシート] ビューを使用して、アプリケーションデータレコードとデータ構造をスプレッドシート形式で操作します。

スプレッドシートビューの概要

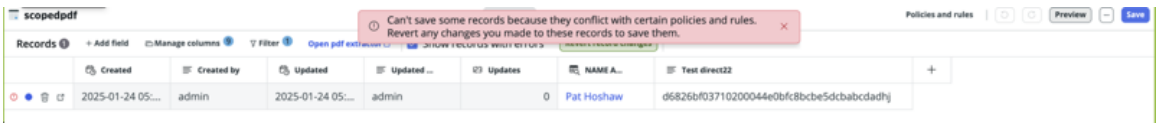
テーブルビルダー のスプレッドシートビューを使用すると、使い慣れたスプレッドシート形式でアプリケーションテーブルとそれに伴うデータを確認できます。単一の画面から、列の追加、列の削除、列プロパティの変更、およびそれらの列内の個々のデータレコードの確認と更新を行うことができます。

スプレッドシートビューでのデータレコードの保存

データレコードを保存しようとすると、エラーが発生することがあります (適用可能なポリシーまたはビジネスルールとデータが競合しています)。これが発生すると、誤ったデータレコードのフィルター済みリストとともに警告ポップアップが表示されます。

各レコードのデータを個別に修正するか、[レコードの変更を元に戻す] を選択して、誤ったレコードに加えた変更を元に戻します。

スプレッドシートビューのエラー



テーブルビルダー の [スプレッドシート] ビューを使用して、選択したテーブルのテーブルフィールド構造とインポートされたデータレコードを編集するには、次の手順を使用します。

新しいデータレコードの追加

テーブルビルダー [スプレッドシート] ビュー内に新しいデータレコードを追加します。

始める前に

必要なロール： personalize_dictionary または AES ユーザーロールと委任開発者権限。詳細については、「AES を使用する開発者の委任」を参照してください。

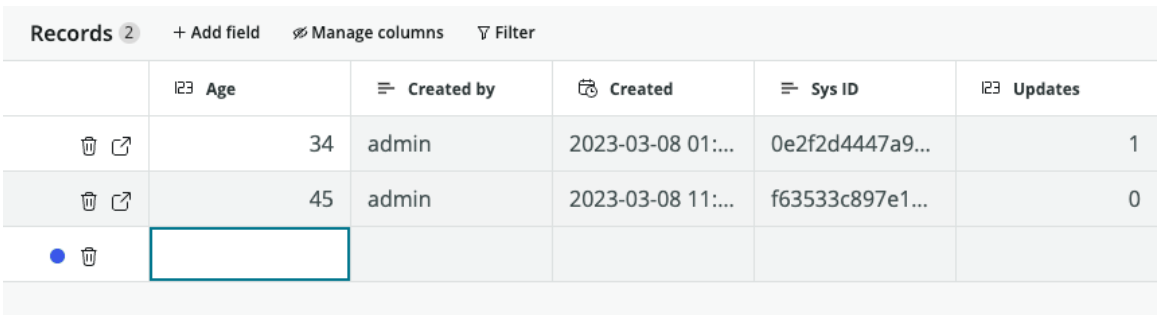
手順

1. [データ] タブに移動します。

> **注:**
> デフォルトでは、スプレッドシートビューが表示されます。[他のアクション] メニュー ( ) から [スプレッドシート] ビューにアクセスすることもできます。

2. [新規レコードを追加] アイコン ( ) を選択します。

新しいレコードを追加



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

3. データレコードに変更を加えます。
4. [保存] を選択します。
   エラーのトラブルシューティングの詳細については、「スプレッドシートビューでのデータレコードの保存」を参照してください。

個々のデータレコードの編集

テーブルビルダー [スプレッドシート] ビュー内で個々のデータレコードを編集します。

始める前に

必要なロール： personalize_dictionary または AES ユーザーロールと委任開発者権限。詳細については、「AES を使用する開発者の委任」を参照してください。

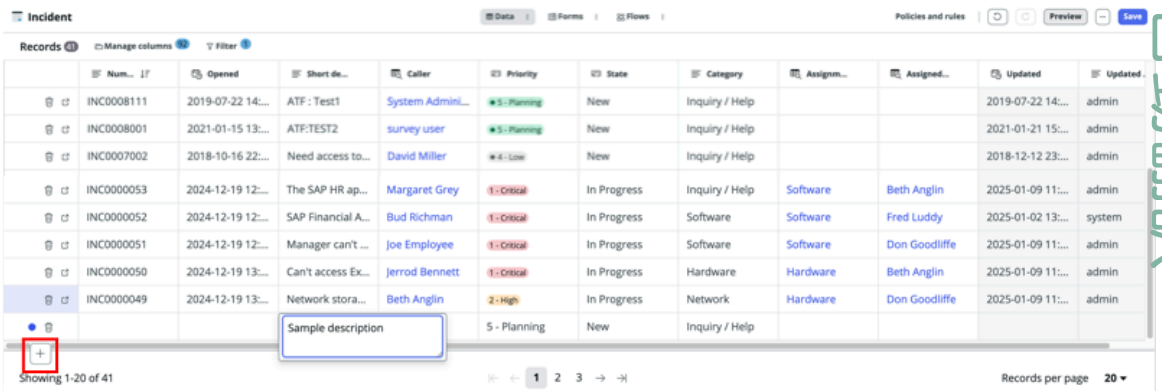
手順

1. [データ] タブに移動します。

   注:
   デフォルトでは、スプレッドシートビューが表示されます。[他のアクション] メニュー ( ) から [スプレッドシート] ビューにアクセスすることもできます。

2. 編集可能なデータレコードフィールドをクリックして、編集するデータを起動します。

   フィールドを編集



3. データに変更を加えます。
4. [保存] を選択します。
   エラーのトラブルシューティングの詳細については、「スプレッドシートビューでのデータレコードの保存」を参照してください。

データレコードのソート

テーブルビルダー [スプレッドシート] ビュー内の特定のフィールド列でデータレコードをソートします。

始める前に

必要なロール： personalize_dictionary または AES ユーザーロールと委任開発者権限。詳細については、「AES を使用する開発者の委任」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

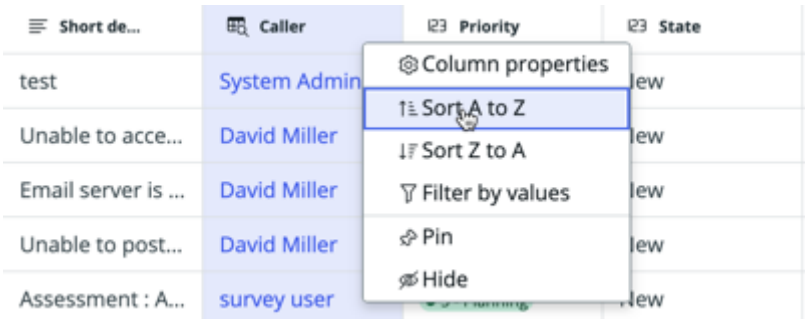
手順

1. [データ] タブに移動します。

   注:
   デフォルトでは、スプレッドシートビューが表示されます。[他のアクション] メニュー ( ) から [スプレッドシート] ビューにアクセスすることもできます。

2. レコードリストをソートする基準となるデータを含む列ヘッダーにカーソルを合わせ、[他のアクション] アイコン ( ) を選択して、アクションの列固有のリストを起動します (レコードを承認日で昇順にソートするなど)。
3. 次のオプションから選択して、列のデータを昇順または降順のどちらでソートするかを選択します。
   - 昇順でソートまたは古い順にソート (昇順)
   - 降順でソートまたは新しい順にソート (降順)

   承認日でのソート

   選択した順序でレコードリストが表示されます。

一致するデータレコードを表示

テーブルビルダー スプレッドシートビュー内の選択したフィールドに一致するデータを含むデータレコードのフィルター済みリストを表示します。

始める前に
必要なロール： personalize_dictionary または AES ユーザーロールと委任開発者権限。詳細については、「AES を使用する開発者の委任」を参照してください。

手順

1. [データ] タブに移動します。

   注:
   デフォルトでは、スプレッドシートビューが表示されます。[他のアクション] メニュー ( ) から [スプレッドシート] ビューにアクセスすることもできます。

2. セル内のデータレコードを選択したままにすると (または右クリックすると)、一致するデータを含むレコードのフィルター済みリストが作成されます (たとえば、[簡単な説明] が「Can't read email」であるすべてのレコードを表示します)。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

一致するデータレコードを表示

グリッドの上部にある [フィルター] ボタンをクリックすると、一致するデータを含むレコードのフィルター済みリストが表示され、新しいフィルタークエリが追加されてアクセスできます。

注:
追加したフィルタリングを削除するには、[フィルター] ボタンを選択し、リストから新しいフィルター条件を削除します。「データレコードのフィルタリング」を参照してください。

データレコードのフィルタリング

テーブルビルダー [スプレッドシート] ビュー内で条件付きクエリを設定して、リストに表示するデータレコードのみを表示します。

始める前に

必要なロール： personalize_dictionary または AES ユーザーロールと委任開発者権限。詳細については、「AES を使用する開発者の委任」を参照してください。

手順

1. [データ] タブに移動します。

   注:
   デフォルトでは、スプレッドシートビューが表示されます。[他のアクション] メニュー ( ) から [スプレッドシート] ビューにアクセスすることもできます。

2. スプレッドシートの上にある [フィルター] を選択して、フィルタークエリを起動します。
   特定の列の [他のアクション] メニュー ( ) から [値でフィルタリング **(Filter by value)**] を選択して、クエリのその列のデータを事前に選択することもできます。

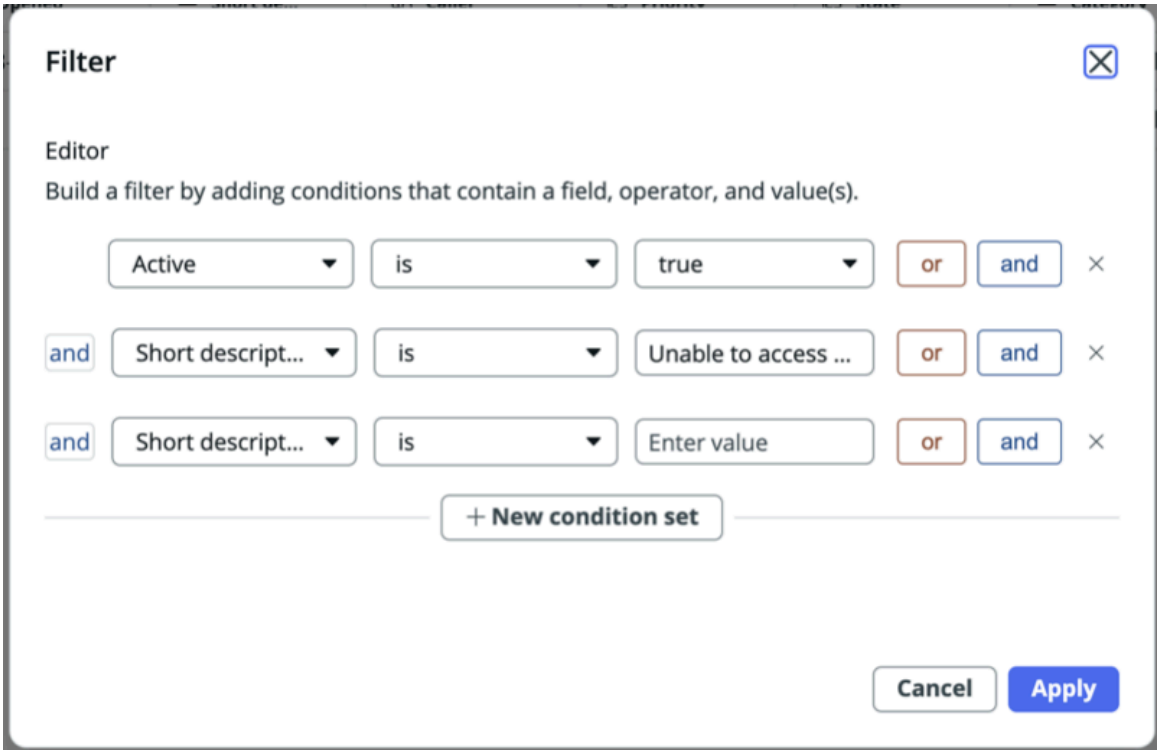
   注:
   [フィルター] ボタンの右側に数字が表示されている場合は、ビューに既存のフィルターが設定されていることを意味します。

   [フィルター] ウィンドウが (既に設定されているフィルター基準とともに) 表示されます。この場合、既存のフィルターは、[経過時間] が 35 のレコードを表示するように設定されています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

データのフィルター



3. フィルタリングクエリを入力して、表示するデータレコードを指定します。
   - [新しい条件セット] ボタンを選択して、OR ステートメントで接続された新しいフィルター条件を入力します。
   - [または] ボタンまたは [および] ボタンを選択して、既存のフィルターセットを目的のブール値で拡張します。
   - フィルター条件の行を削除するには、[削除] アイコンを選択します。
4. [適用] を選択して、フィルター条件をビューに適用します。
   選択した条件でフィルタリングされたレコードリストが表示されます。

自動翻訳

列フィールドのプロパティの編集

テーブルビルダー [スプレッドシート] ビューで、フィールドのラベル、タイプ、属性、デフォルト値などのフィールドプロパティを編集します。

始める前に

必要なロール： personalize_dictionary または AES ユーザーロールと委任開発者権限。詳細については、「AES を使用する開発者の委任」を参照してください。

手順

1. [データ] タブに移動します。

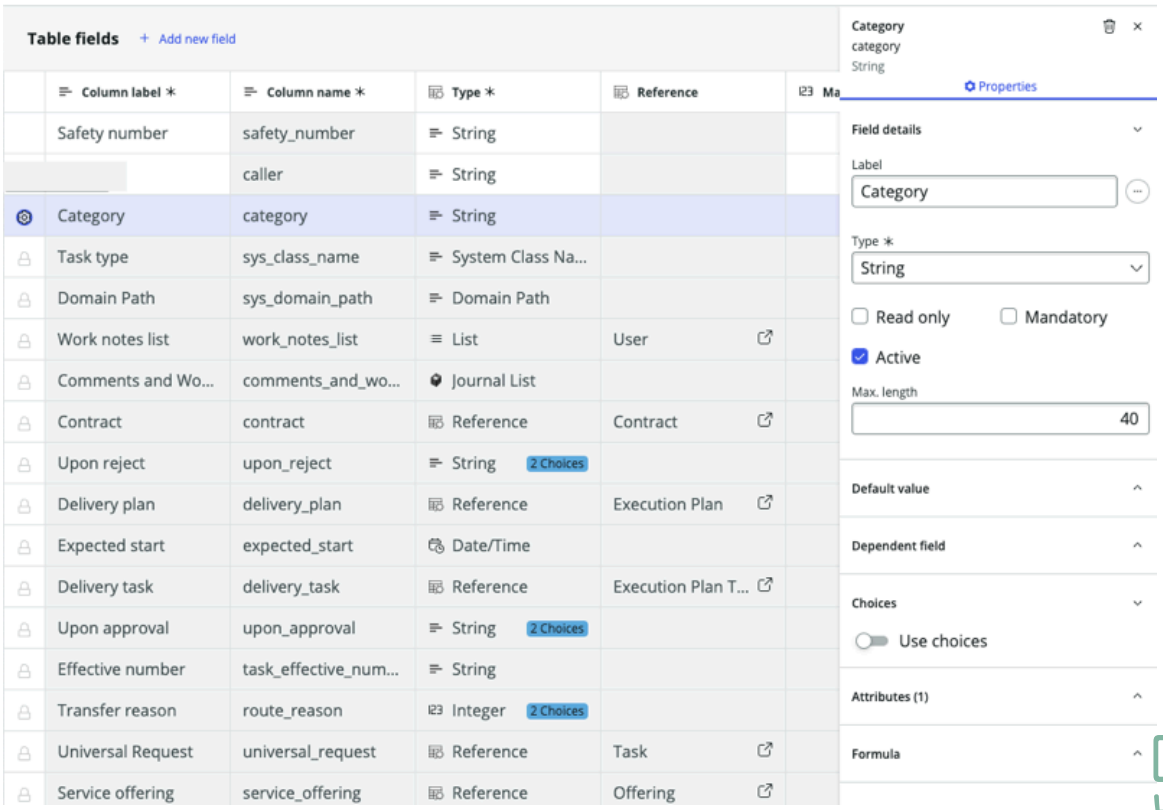
   注:
   デフォルトでは、スプレッドシートビューが表示されます。[他のアクション] メニュー ( ) から [スプレッドシート] ビューにアクセスすることもできます。

2. 目的の列ヘッダーにカーソルを合わせ、[他のアクション] アイコン ( ) を選択して、アクションの列固有のリストを起動します。
3. [列プロパティ] を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

選択したフィールド列の [プロパティ] ペインが表示されます。

[プロパティ] ペイン



4. 列の目的のフィールドプロパティを編集します。
   フィールドプロパティの詳細については、「テーブルビルダー のフィールド構成」を参照してください。
5. [保存] を選択します。

新しい列の追加

テーブルビルダー [スプレッドシート] ビュー内の選択したテーブルに新しいフィールド列を追加します。

始める前に

必要なロール： personalize_dictionary または AES ユーザーロールと委任開発者権限。詳細については、「AES を使用する開発者の委任」を参照してください。

手順

1. [データ] タブに移動します。

   注:
   デフォルトでは、スプレッドシートビューが表示されます。[他のアクション] メニュー ( ) から [スプレッドシート] ビューにアクセスすることもできます。

2. **[+** フィールドを追加] ボタンを選択します。

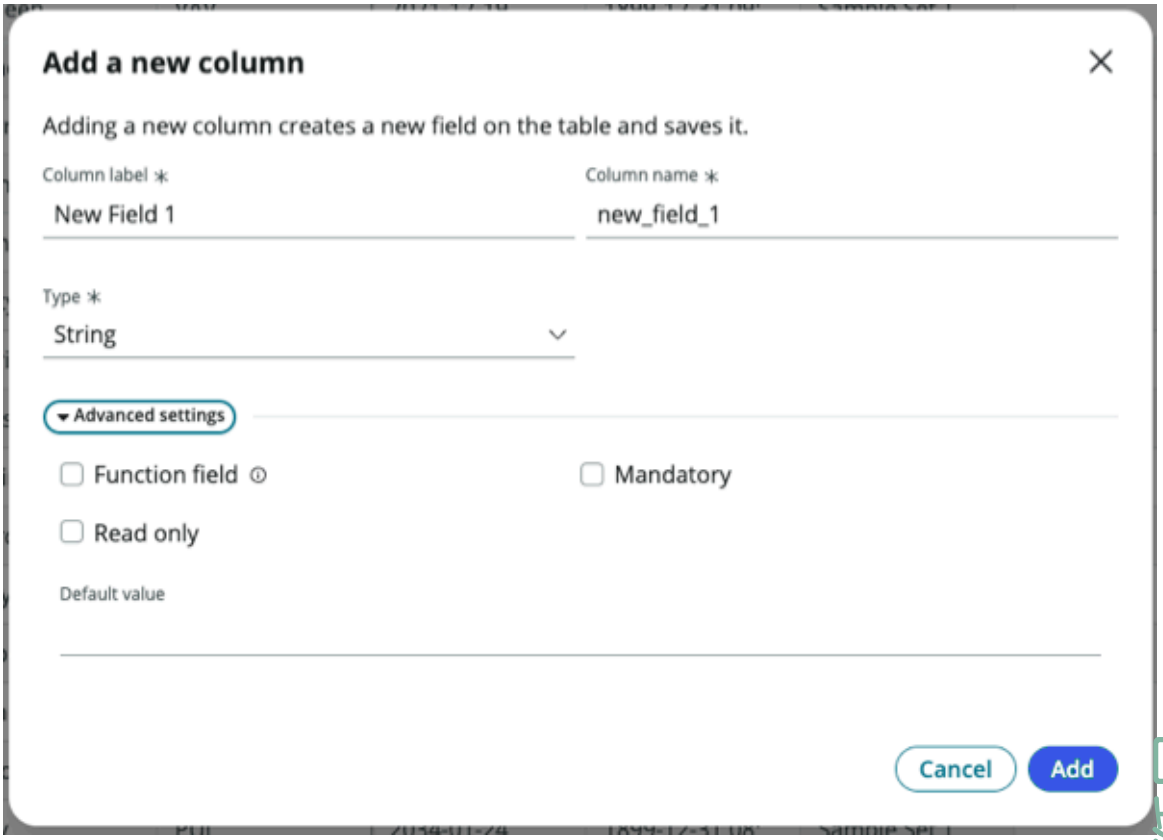
   注:
   [他のアクション] アイコン ( ) を選択して、列固有のアクションのリストを起動し、[列を左に挿入] または [列を右に挿入] を選択して、テーブル内の特定の場所に新しい列を挿入することもできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[新しい列を追加] ウィンドウが表示されます。

新しい列を追加



3. 新しいフィールド列に次の情報を入力します。

4. オプション: [詳細設定] を選択して展開し、新しいフィールド列の追加プロパティを入力します。

5. テーブルに新しいフィールド列を追加するには、[追加] を選択します。

既存の列の複製

テーブルビルダー [スプレッドシート] ビューに表示されるテーブル内の既存のフィールド列を複製します。

始める前に

必要なロール： personalize_dictionary または AES ユーザーロールと委任開発者権限。詳細については、「AES を使用する開発者の委任」を参照してください。

手順

1. [データ] タブに移動します。

> **注:**
> デフォルトでは、スプレッドシートビューが表示されます。[他のアクション] メニュー ( ) から [スプレッドシート] ビューにアクセスすることもできます。

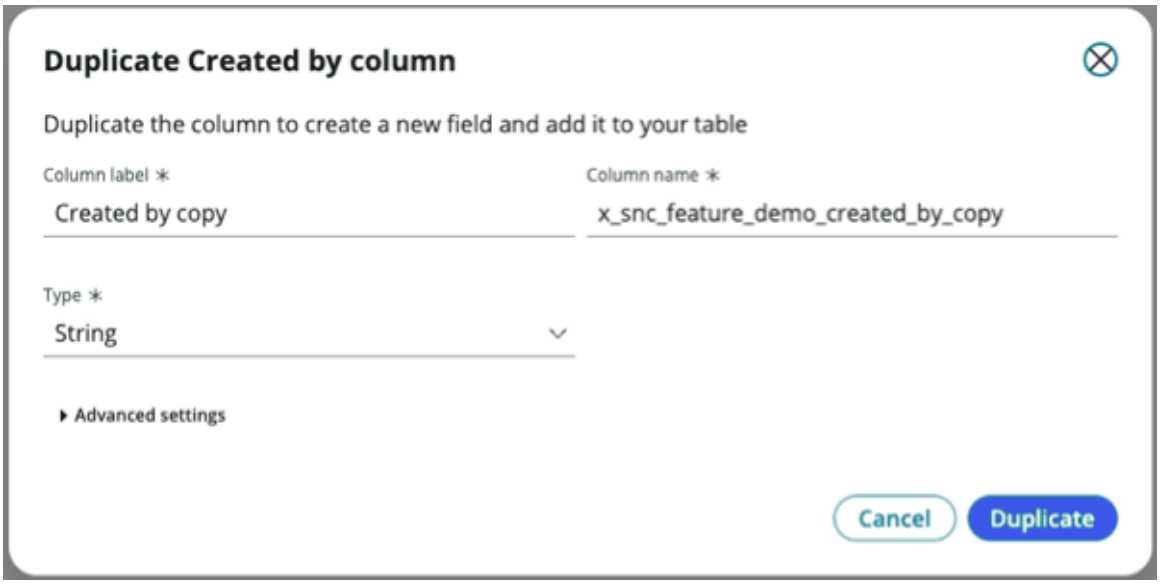
2. 複製する列のヘッダーにカーソルを合わせ、[他のアクション] アイコン ( ) を選択して、アクションの列固有のリストを起動します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

3. メニューから [重複した列] を選択します。
   テキスト「copy」が既存の列ラベルに自動的に追加されます。

重複した列



4. [列ラベル] を、複製されたフィールド列の目的の表示名に編集します。
5. 必要に応じてフィールド列の [タイプ] を編集します。

   「フィールドタイプ」を参照してください。

6. [複製] を選択します。
   ビューに新しい列が表示されます。

列の並べ替え

テーブルビルダー [スプレッドシート] ビュー内で列が表示される順序を変更します。

始める前に

必要なロール： personalize_dictionary または AES ユーザーロールと委任開発者権限。詳細については、「AES を使用する開発者の委任」を参照してください。

手順

1. [データ] タブに移動します。

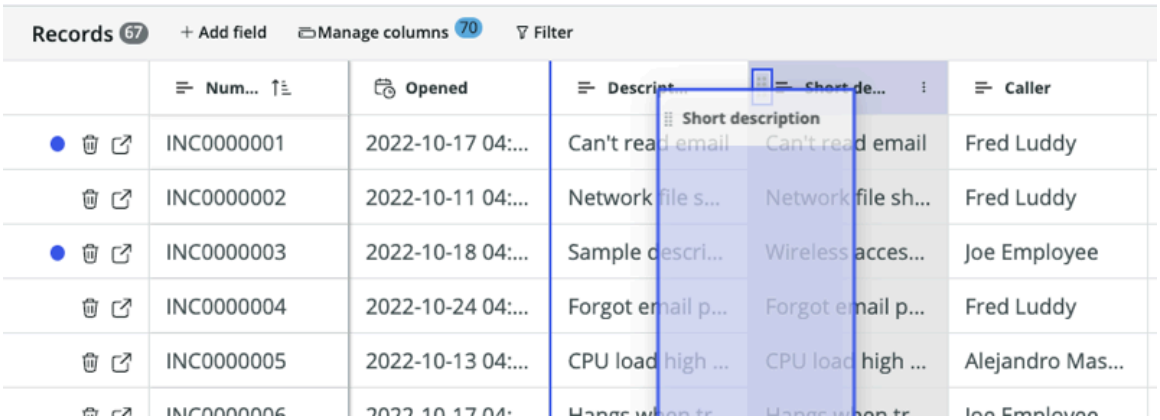
   注:
   デフォルトでは、スプレッドシートビューが表示されます。[他のアクション] メニュー ( ) から [スプレッドシート] ビューにアクセスすることもできます。

2. 列の [列ハンドル **(Column handle)**] アイコン ( ) をクリックして選択し、その列をテーブル内の目的の場所にドラッグします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

列のドラッグアンドドロップ



> **注:**
> テーブルに多数のテーブル列が含まれている場合は、[列を管理 **(Manage columns)]** メニューを選択して列名のコンパクトなリストを表示し、このリスト内で視覚的にドラッグアンドドロップしてテーブルの列を並べ替えます。

列の可視化の設定

テーブルビルダー [スプレッドシート] ビュー内の特定のフィールド列を非表示にするか表示するかを選択します。

始める前に

必要なロール： personalize_dictionary または AES ユーザーロールと委任開発者権限。詳細については、「AES を使用する開発者の委任」を参照してください。

手順

1. [データ] タブに移動します。

> **注:**
> デフォルトでは、スプレッドシートビューが表示されます。[他のアクション] メニュー ( ) から [スプレッドシート] ビューにアクセスすることもできます。

2. 次のいずれかのオプションを選択します。

> **注:**
> [列を管理] ボタンの右側に、ビューでアクティブになっている列の数を示す数字が表示されます。

複数列の固定

テーブルビルダー [スプレッドシート] ビュー内で多数のフィールド列があるテーブルで右にスクロールしたときに常に左側に表示されるように特定の列を固定します。固定された列は、グローバルではなく個々のユーザーに対して保存されます。ユーザーが次回ログインしたときに、固定した列が表示されます。

始める前に

必要なロール： personalize_dictionary または AES ユーザーロールと委任開発者権限。詳細については、「AES を使用する開発者の委任」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. [データ] タブに移動します。

   注:
   デフォルトでは、スプレッドシートビューが表示されます。[他のアクション] メニュー ( ) から [スプレッドシート] ビューにアクセスすることもできます。

2. フィールド列を固定または固定解除するには、次のいずれかのオプションを選択します。

   注:
   [列を管理] ボタンをクリックして、ビューに固定されている列を表示することもできます。固定された列には、リストされた列の右側に [固定] アイコンが表示されます。

列の削除

テーブルビルダー [スプレッドシート] ビュー内の選択したテーブルのフィールド列を削除します。

始める前に
必要なロール： personalize_dictionary または AES ユーザーロールと委任開発者権限。詳細については、「AES を使用する開発者の委任」を参照してください。

手順

1. [データ] タブに移動します。

   注:
   デフォルトでは、スプレッドシートビューが表示されます。[他のアクション] メニュー ( ) から [スプレッドシート] ビューにアクセスすることもできます。

2. 削除する列ヘッダーにカーソルを合わせ、[他のアクション] アイコン ( ) を選択して、アクションの列固有のリストを起動します (レコードを承認日で昇順にソートするなど)。
3. [列を削除] を選択します。
   確認ウィンドウが表示されます。
4. テーブルからフィールド列を削除するには、[削除] を選択します。

   注:
   削除する列に保存されているデータレコードがある場合、このフィールドに保存されているレコードを削除するまで、列を削除することはできません。

テーブルビルダー のフィールドビュー

テーブルビルダー の [データ] タブにあるデフォルトの [フィールド] ビューを使用して、テーブルプロパティを変更し、テーブルフィールドを管理します。

始める前に

- テーブルビルダー を起動します。詳細については、「テーブルビルダー へのアクセス」を参照してください。
- (オプション) 作業するドメインを選択します (グローバルでない場合)。詳細については、「ドメインセパレーションと テーブルビルダー」を参照してください。
- (オプション) 作業するアプリケーションスコープを選択します (グローバルでない場合)。詳細については、「テーブルビルダー でのアプリケーションスコープの使用」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

必要なロール： personalize_dictionary または AES ユーザーロールと委任開発者権限。詳細については、「AES を使用する開発者の委任」を参照してください。

手順

テーブルビルダー で [フィールド] ビューを使用してテーブルを編集するには、次の手順を使用します。

テーブルビルダー でのテーブル列の追加

テーブル列を追加して、テーブルレコードにより多くの情報を保存します。

始める前に
必要なロール： personalize_dictionary または AES ユーザーロールと委任開発者権限。詳細については、「AES を使用する開発者の委任」を参照してください。

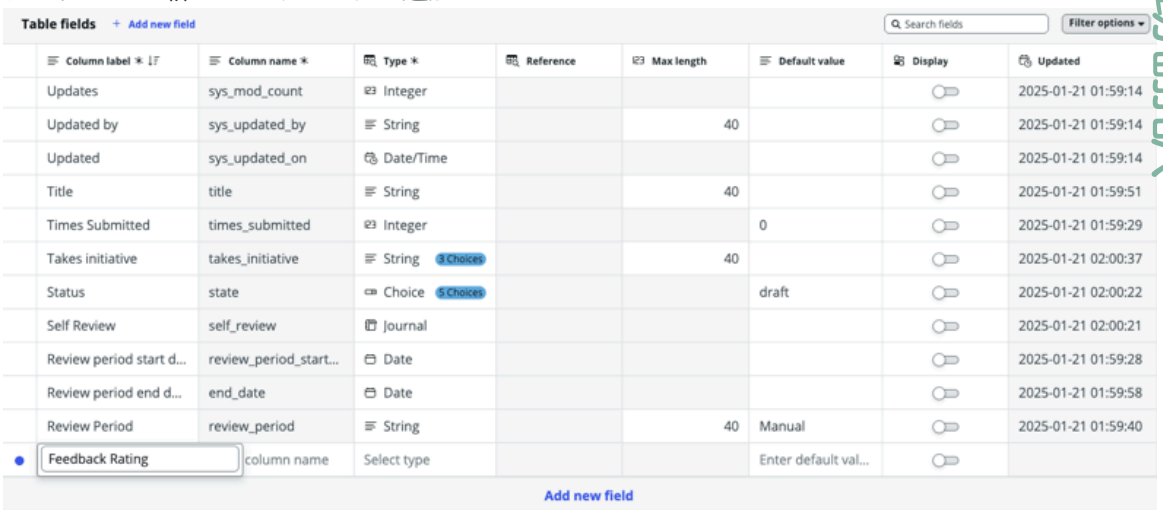
手順

1. [データ] タブに移動します。

   注:
   デフォルトでは、[フィールド] ビューが表示されます。[他のアクション] メニュー ( ) から [フィールド] ビューにアクセスすることもできます。

2. **[+** 新しいフィールドを追加] を選択します。
3. 結果の空白行で、新しいデータテーブル列の目的のプロパティを入力します。

テーブルへの新しいフィールドの追加



4. [保存] を選択します。

タスクの結果
テーブルをプレビューすると、テーブルに追加された新しい列を表示できます。テーブルのプレビューの詳細については、「テーブルビルダー でのデータのプレビュー」を参照してください。

テーブルビルダー でのテーブル列の削除

テーブルビルダー を使用して、テーブルから列を削除します。

始める前に
必要なロール： personalize_dictionary または AES ユーザーロールと委任開発者権限。詳細については、「AES を使用する開発者の委任」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. [データ] タブに移動します。

   注:
   デフォルトでは、[フィールド] ビューが表示されます。[他のアクション] メニュー ( ) から [フィールド] ビューにアクセスすることもできます。

2. 削除するテーブルフィールド行の横にある左端の列にカーソルを合わせ、サイドパネルを開くアイコン ( ) を選択します。

3. サイドパネルの右上隅にあるゴミ箱アイコン ( ) を選択して、フィールドを削除します。

   注:
   テーブルには、削除できないいくつかのデフォルト列が含まれています ([作成日時] や [更新日時] など)。また、別のテーブルから拡張された列や、データレコードがすでに存在する列は削除できません。列を削除するには、まず既存のデータを削除する必要があります。

4. 確認ダイアログで、[削除] を選択します。

タスクの結果
テーブルをプレビューすると、テーブル列がそのテーブルでもう使用されていないことがわかります。テーブルのプレビューの詳細については、「テーブルビルダー でのデータのプレビュー」を参照してください。

テーブルビルダー での列ラベルの変更

保存されているデータをユーザーが一意に特定できるラベルを変更します。

始める前に
必要なロール： personalize_dictionary または AES ユーザーロールと委任開発者権限。詳細については、「AES を使用する開発者の委任」を参照してください。

このタスクについて
列ラベルは、ユーザーがアプリケーションデータを読み取ったり更新したりするときに、ユーザーに表示されるテキストです。たとえば、要求者が入力するフォームを作成すると、各列ラベルがフォームフィールドラベルとして表示されます。

ユーザーに入力してほしい特定の情報を説明する列ラベルを使用します。たとえば、ユーザーにコメントを追加するように求めるには、「テキスト」ではなく「コメント」という列ラベルを使用します。

手順

1. [データ] タブに移動します。

   注:
   デフォルトでは、[フィールド] ビューが表示されます。[他のアクション] メニュー ( ) から [フィールド] ビューにアクセスすることもできます。

2. 対応する行のテキストを更新して、[列ラベル] 列の列ラベルを変更します。

   たとえば、「オフィスの場所」列のラベルを変更するには、「オフィスの場所」と表示されているセルを選択し、別のラベルを入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

別のセルを選択すると、列ラベルは自動的に更新されます。

3. [保存] を選択します。

テーブルビルダー でのテーブル列名の変更

列のデータベース名を変更します。レビュー担当者が、テスト中にデータベース内の列名が原因で問題が生じていることを発見した場合は、列名を手動で変更できます。

始める前に

必要なロール： personalize_dictionary または AES ユーザーロールと委任開発者権限。詳細については、「AES を使用する開発者の委任」を参照してください。

このタスクについて

注:
すでに情報が保存されている既存のフィールドの列名を変更することはできません。

列名は、アドミニストレーターがデータベース内の列データを追跡するために使用するテキストです。列ラベルを入力すると、列名が自動的に作成されます。テーブルビルダー で、列ラベルを変更すると、列名も自動的に変更されます。

手順

1. [データ] タブに移動します。

   注:
   デフォルトでは、[フィールド] ビューが表示されます。[他のアクション] メニュー ( ) から [フィールド] ビューにアクセスすることもできます。

2. 対応する行のテキストを更新して、[列名] 列の列名を変更します。

   たとえば、「オフィスの場所」列の名前を変更するには、u_office_location と表示されているセルを選択して、別の名前を入力します。

   別のセルを選択すると、列名が自動的に更新されます。

3. [保存] を選択します。

テーブルビルダー での列タイプの変更

テーブル列に行に関する情報を保存するフィールドのタイプを変更します。たとえば、テーブルが日付をトラッキングしている場合は、[日付] 列タイプを選択します。

始める前に

必要なロール： personalize_dictionary または AES ユーザーロールと委任開発者権限。詳細については、「AES を使用する開発者の委任」を参照してください。

手順

1. [データ] タブに移動します。

   注:
   デフォルトでは、[フィールド] ビューが表示されます。[他のアクション] メニュー ( ) から [フィールド] ビューにアクセスすることもできます。

2. セルを選択し、[タイプ] 列からテキストをクリアします。
3. リストから列タイプを選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

新しいテキストを入力してリストを検索できます。たとえば、すべての文字列タイプを検索するには、「文字列」と入力します。

4. 必要に応じて、より多くの情報を使用して列タイプを定義します。

   たとえば、[選択肢] を選択した場合は、ユーザーが選択できる選択肢のリストを定義します。

   別のセルを選択すると、列タイプが自動的に更新されます。

5. [保存] を選択します。

テーブルビルダー でのフィールドプロパティの編集

テーブルビルダー で、フィールドのラベル、タイプ、デフォルト値などのフィールドプロパティを編集します。

始める前に

テーブルビルダー を起動します。詳細については、「テーブルビルダー へのアクセス」を参照してください。

必要なロール： personalize_dictionary または AES ユーザーロールと委任開発者権限。詳細については、「AES を使用する開発者の委任」を参照してください。

手順

1. [データ] タブに移動します。

   > **注:**
   > デフォルトでは、[フィールド] ビューが表示されます。[他のアクション] メニュー ( ) から [フィールド] ビューにアクセスすることもできます。

2. テーブル内の変更するフィールドを選択します。

   基本的なフィールドプロパティの詳細については、「 フィールドの構成」を参照してください。

3. 編集するフィールドの横にある左端の列にカーソルを合わせ、サイドパネルを開くアイコン ( ) を選択します。
4. フィールドプロパティを変更します。

   フィールドの UI ポリシーの変更方法については、「テーブルビルダー での UI ポリシーの変更」を参照してください。

   > **注:**
   > [データ] タブと [フォーム] タブを切り替えても、右側の [構成] タブは開いたままになります。

5. [保存] を選択します。

テーブルビルダー でのデフォルト値のテーブル列への追加

ユーザーがレコードを作成した後、テーブル列に自動的に入力されるデフォルト値を定義します。

始める前に

必要なロール： personalize_dictionary または AES ユーザーロールと委任開発者権限。詳細については、「AES を使用する開発者の委任」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. [データ] タブに移動します。

   注:
   デフォルトでは、[フィールド] ビューが表示されます。[他のアクション] メニュー ( ) から [フィールド] ビューにアクセスすることもできます。

2. 対応する行の内容を更新して [デフォルト値] 列に列のデフォルト値を追加します。

   デフォルト値を定義するには、セルを選択してから値を入力します。入力する値は列タイプによって異なります。たとえば、列に選択肢が必要な場合は、[タイプ] 列で定義した選択肢のいずれかを選択します。

   別のセルを選択すると、列名が自動的に更新されます。

3. [保存] を選択します。

テーブルビルダー でのテーブル表示値としての列の選択

他のテーブルの参照フィールドに表示される列の値を選択します。たとえば、タスクテーブルの [開始者] 列は、ユーザーテーブルの特定の列を参照して、ユーザー名を表示できます。

始める前に
必要なロール： personalize_dictionary または AES ユーザーロールと委任開発者権限。詳細については、「AES を使用する開発者の委任」を参照してください。

このタスクについて
参照フィールドには、参照先のテーブルの表示値が表示されます。たとえば、タスクテーブルの [オープン者 (Opened by)] 列はユーザーテーブルを参照します。ユーザーテーブルの表示値はユーザー名であるため、[オープン者 **(Opened by)]** フィールドには「Beth Anglin」や「Joe Employee」のように表示されます。表示値を選択するときは、個々のレコードの適切なタイトルとして機能するテーブル列を選択します。

テーブルの表示値として機能できるのは 1 つの列のみです。

手順

1. [データ] タブに移動します。

   注:
   デフォルトでは、[フィールド] ビューが表示されます。[他のアクション] メニュー ( ) から [フィールド] ビューにアクセスすることもできます。

2. [表示] 列のすべての選択がクリアされていることを確認します。
   選択をクリアするには、次の例に示すようにスイッチをオフに切り替えます。

   オフへの切り替え

3. [表示] 列から、テーブル表示値として機能する行を 1 つ選択します。
   行を選択するには、次の例に示すようにスイッチをオンに切り替えます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

オンへの切り替え

4. [保存] を選択します。

テーブルビルダー のスキーマビュー

テーブルビルダー の [スキーマ] ビューを使用して、アプリケーションデータのデータ関係を探索します。

始める前に

- テーブルビルダー を起動します。詳細については、「テーブルビルダー へのアクセス」を参照してください。
- (オプション) 作業するドメインを選択します (グローバルでない場合)。詳細については、「ドメインセパレーションと テーブルビルダー」を参照してください。
- (オプション) 作業するアプリケーションスコープを選択します (グローバルでない場合)。詳細については、「テーブルビルダー でのアプリケーションスコープの使用」を参照してください。

必要なロール： personalize_dictionary または AES ユーザーロールと委任開発者権限。詳細については、「AES を使用する開発者の委任」を参照してください。

手順

1. [データ] タブに移動します。

   注:
   デフォルトでは、スプレッドシートビューが表示されます。

2. オプション: [他のアクション] メニュー ( ) から [スキーマ] を選択して、[スキーマ] ビューにアクセスできます。
3. マウスでキャンバスをドラッグして、スキーマ図内を移動します。
4. この読み取り専用画面では次の他のアクションを実行できます。

オプション	説明
ナビゲーションの概要コントロール	右下隅にある [概要トグル] アイコン (アイコン) を選択して、ナビゲーションの概要コントロールのオンとオフを切り替えます。このナビゲーションコントロールでは、次のアクションを実行できます。 ○ スキーマ図がズームインされている場合は、ビューを表示する四角形をクリックしてドラッグし、図の確認したい部分に焦点を当てることができます。 ○ [ズームイン] アイコン ( ) を選択してズームインします。 ○ [ズームアウト] アイコン ( ) を選択してズームアウトします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

オプション	説明
テーブルフィールドの表示/非表示	[テーブルを展開 **(Expand tables)**] トグルはデフォルトでオンになっており、表示されているスキーマテーブル内のすべてのフィールドが表示されます。表示されているスキーマテーブル内のフィールドを非表示にするには、[テーブルを展開 **(Expand tables)**] を選択してオフに切り替えます。
テーブルの表示/非表示	[選択済みアイテム **(Items selected)**] メニューを使用して、スキーマ図に表示されるアプリケーションテーブルと非アプリケーションテーブルのリストを表示します。テーブル名を選択して選択チェックマークを削除すると、テーブルが図に表示されなくなります。テーブルを表示するには、テーブル名をもう一度選択してチェックマークをオンに戻します。
フィールドオプションの設定	[フィールドオプション **(Field options)**] メニューを使用して、スキーマ図でのフィールドの表示方法を制御します。 ○ スキーマテーブル内の拡張フィールドを表示するには、[拡張フィールド] を選択します。 ○ スキーマテーブルに表示される各フィールドのフィールドタイプを表示するには、[フィールドタイプ] を選択します。
グループフィールド	表示されているテーブル内のフィールドをグループ化するには、[フィールドのグループ化 **(Group fields by)**] メニューを使用します (タイプ別にフィールドをグループ化するなど)。次のグループ化オプションから選択します。 ○ グループなし ○ 拡張済み ○ 参照 ○ タイプ
ソートフィールド	表示されているテーブル内のフィールドをソートするには、[フィールドのソート **(Sort fields)**] メニューを使用します。次のソートオプションから選択します。 ○ アルファベット順 (A ~ Z) ○ アルファベット順 (Z ~ A)
凡例を表示	[凡例を表示 **(View legends)**] を選択して、表示されたスキーマ図を解釈するための情報を表示します。
テーブル固有のオプション	テーブルの [他のオプション] アイコン (⋮) を選択して、上記のトップレベルのオプションと同様に、選択したテーブルのフィールドの表示、

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

オプション	説明
	グループ化、またはソートの方法を制御します。
テーブルビルダー で表示	[ビューテーブル] アイコン () を選択して、選択したテーブルを テーブルビルダー で表示します。

テーブルビルダー でのデータのプレビュー

テーブル列を編集した後のテーブルの外観を確認します。

始める前に

- テーブルビルダー を起動します。詳細については、「テーブルビルダー へのアクセス」を参照してください。
- (オプション) 作業するドメインを選択します (グローバルでない場合)。詳細については、「ドメインセパレーションと テーブルビルダー」を参照してください。
- (オプション) 作業するアプリケーションスコープを選択します (グローバルでない場合)。詳細については、「テーブルビルダー でのアプリケーションスコープの使用」を参照してください。

必要なロール：なし

このタスクについて

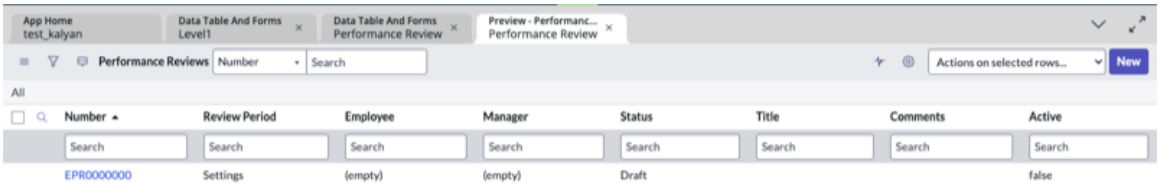
テーブルビルダー 内の各行はテーブルの列を表します。テーブルをプレビューすると、列が適切な場所でどのように表示されるかを確認できます。テーブルでのレコード作成のエクスペリエンスをテストすることもできます。

> **注:**
> 編集しているテーブルには、1 つ以上の関連付けられているロールが必要です。そうでない場合は、プレビューが無効となります。

手順

1. [データ] タブで、[プレビュー] を選択します。
2. 新しいタブで、次の例のようにテーブルのプレビューを確認します。

テーブルのプレビューの例



次のタスク

テーブルが予想どおりに機能しない場合は、テーブルビルダー で編集を続行します。その後、テーブルを再度プレビューします。

テーブルビルダー でのテーブルの削除

アプリケーションからテーブルを削除して、それ以降アプリダッシュボードに表示されないようにします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に

注:
既存の子テーブルをすべて削除するまで、親テーブルを削除することはできません。

必要なロール：ユーザーには **sys_db_object** に対する canDelete アクセス権、または AES ユーザーロールと委任開発者権限が必要です。詳細については、「AES を使用する開発者の委任」を参照してください。

手順

1. [データ] タブに移動します。
2. [メニュー] アイコン (•••) を選択し、[テーブルを削除] を選択します。
3. ダイアログボックスに、「削除」と入力してから、[削除] を選択します。
4. [保存] を選択します。

タスクの結果
このテーブルは、アプリダッシュボードで使用できなくなります。

テーブルビルダー でのテーブルプロパティの編集

テーブルビルダー を使用してテーブルを拡張可能にしたり、レコード数を追加したりできるように、テーブルラベルなどのテーブルプロパティやその他の設定を変更します。

始める前に
必要なロール：なし

注:
ユーザーには *sys_db_object* への canWrite アクセス権、または AES ユーザーロールと委任開発者権限が必要です。詳細については、「AES を使用する開発者の委任」を参照してください。

このタスクについて
テーブルプロパティを編集すると、テーブルのラベルを変更したり、テーブルを拡張可能にしたり、レコード番号を追加したりすることができます。アプリケーションのアクセス設定を設定することもできます。

テーブルを拡張可能にすると、新しいテーブルを有効にして自分のテーブルから列を共有できます。たとえば、テーブルに「オフィスの場所」列を作成した場合、新しいテーブルでも「オフィスの場所」列を使用できます。テーブル拡張の詳細については、「テーブル拡張とクラス」を参照してください。

レコード番号を追加すると、新しいテーブルエントリごとにトラッキング番号が自動的に作成されます。たとえば、出張要求テーブルへの新しいエントリは、TRV1234567 のようなレコード番号を取得します。この番号を使用すると、テーブルレコードをより簡単に検索できます。

アプリケーションのアクセス設定によって、あるアプリケーションのスクリプトオブジェクトが別のアプリケーションのテーブルにアクセスできるかどうかが決まります。これらのスクリプトオブジェクトに、テーブルのレコードを読み取り、 作成、 更新、または削除するためのアクセス権を付与できます。または、他のアプリケーションからのテーブルへのアクセスを無効にすることもできます。アプリケーションのアクセス制御の詳細については、「テーブルの設計時と実行時の設定」を参照してください。

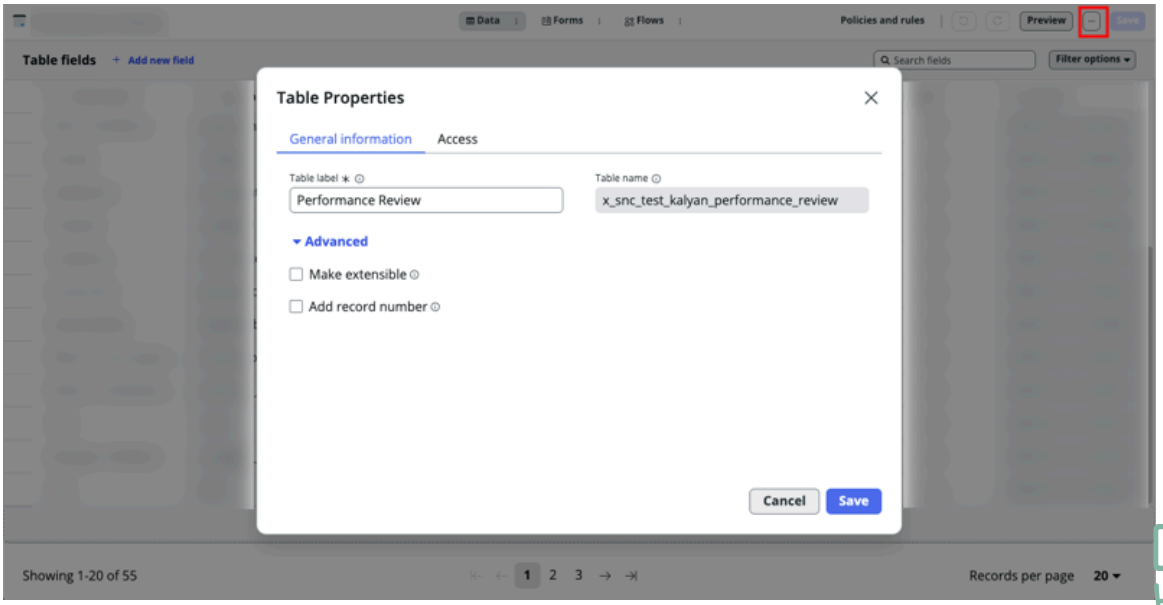
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. ヘッダーで、[その他のオプション] ボタン ⋯ に移動します。
2. [プロパティ] を選択します。
3. 次の例のように、表示されたダイアログボックスで、テーブルプロパティを更新します。
   これらのプロパティの詳細については、「テーブルのプロパティ」を参照してください。

テーブルプロパティの編集



4. ダイアログボックスを閉じるには、[保存] を選択します。
5. [保存] を選択します。

テーブルビルダー のフォーム

テーブルビルダー の [フォーム] タブでは、フォームエディターを使用して、ユーザーのさまざまなフォームビューを視覚的に作成、設定、カスタマイズできます。定義したビューには、ユーザーがそのフォームまたはリストを開いたときに表示される要素が含まれます。

フォームビュー

フォームビューは、ユーザーがフォームまたはリストを開いたときにユーザーに表示される要素を定義します。各フォームにはデフォルトビューがありますが、ユーザーのグループごとに複数の異なるフォームビューを作成する必要が生じることもあります。

テーブルビルダー では、データを入力したりフォームを表示したりするさまざまなユーザー向けに、フォームの複数のビューをカスタマイズできます。どのユーザーのデフォルトのフォームビューもカスタマイズできます。

フォームまたはリストを構成するときは、次の主要な領域を探索します。

- フォームビューの選択
- すべてのフォームビューリスト
- フォームレイアウト
- フォームのフィールド
- フォーム注釈

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- フォーマッター
- 埋め込みリスト

基本的なフォームのナビゲーション

[フォーム] タブは、次の 4 つの主要な領域で構成されています。

- 上部ナビゲーションメニュー
- [フォーム要素を追加] パネル
- フォームエディター
- 構成パネル

次の表は、テーブルビルダー の [フォーム] タブ内のその他の基本的なナビゲーション要素の一部のリストを示しています。

[フォーム] タブのナビゲーション要素

ナビゲーション要素	説明
フォームの [他のアクション] リスト ( )	[フォーム] タブの [他のアクション] リスト (垂直の省略記号) を使用すると、次のアクションをすばやく実行できます。 • 新しいフォームビューを追加 • 選択したフォームビューを複製 • 関連リストを構成 • UI アクションを構成 • [すべてのフォームビュー] を選択して、すべてのフォームビューのフィルター可能でソート可能なリストに移動します。「すべてのフォームビューリスト」を参照してください。 エディターで加えられたフォームへの変更は、選択したビューにコミットされます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

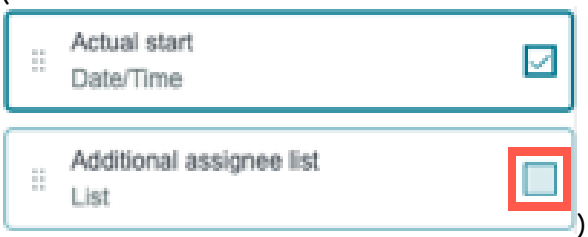
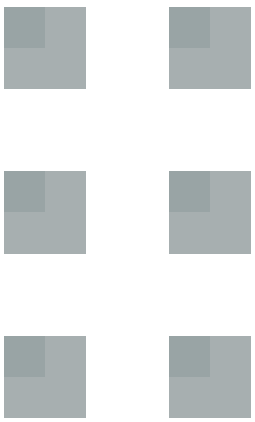
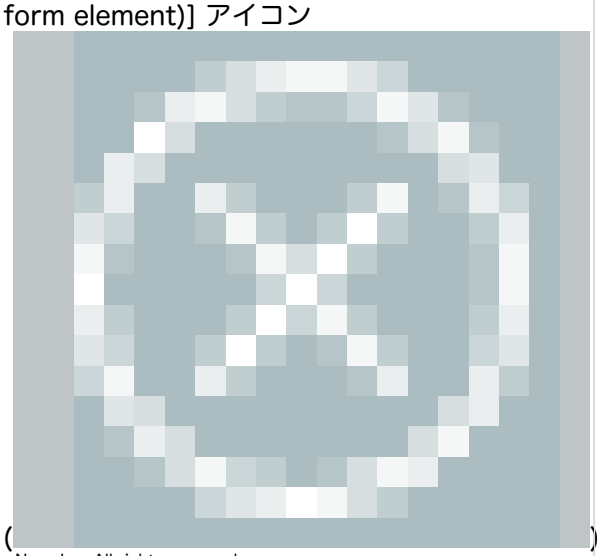
[フォーム] タブのナビゲーション要素 (続く)

ナビゲーション要素	説明
	注: [その他のオプション] ボタン は、ServiceNow AI Platformではなく、ServiceNow スタジオ または App Engine Studio からフォームにアクセスした場合にのみ表示されます。
フォームビューリスト ( )	このリストからフォームビューを選択するか、[他のアクション] メニュー (垂直の省略記号) を使用してビューを追加します。エディターで加えられたフォームへの変更は、選択したビューにコミットされます。
PDF エクストラクター ( )	選択したデータテーブルに PDF が関連付けられている場合は、この要素を選択して PDF エクストラクターツールを起動し、PDF を表示します。「PDF を使用してデータテーブルを作成する」を参照してください。 注: この機能は、ライセンスによって「専用ローコード機能」が付与され、App Engine のテーブルビルダー がインストールされている場合にのみ使用できます。詳細については、ソリューションコンサルタントにお問い合わせください。
フォーム要素検索バー ( )	フォーム要素のリストをフィルタリングするには、ここにキーワードを入力します。
複数選択チェックボックス	[フォーム要素を追加] パネルでフォーム要素をポイントしたときに、複数のフィールドを一度

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

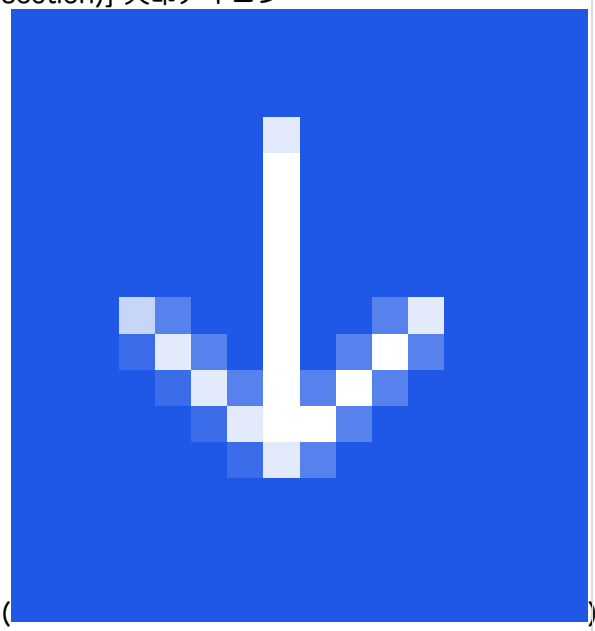
[フォーム] タブのナビゲーション要素 (続く)

ナビゲーション要素	説明
()	に選択してフォームエディターにドラッグしたい場合は、このオプションを選択できます。
[フォーム要素を追加] アイコン ( )	フォーム要素やセクションをポイントするときにこのアイコンを選択すると、既存の要素の上または下に新しいセクションや要素を追加できます。
[要素移動] アイコン  ( )	フォーム要素をポイントすると、このアイコンが左端に表示されます。このアイコンを選択し、要素をドラッグして目的の場所に移動します。
[フォーム要素の削除 (Delete form element)] アイコン  ( )	エディターでフォーム要素をポイントするときにこのアイコンを選択すると、フォームビューからそのフォーム要素を削除できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[フォーム] タブのナビゲーション要素 (続く)

ナビゲーション要素	説明
[セクションを移動 (Move section)] 矢印アイコン  ( )	フォームセクションを選択すると、上向き矢印または下向き矢印を選択して、フォームビュー上で上下に移動できます。
[セクションを削除] アイコン ( )	フォームセクションを選択するときにこのアイコンを選択すると、フォームビューからセクションを削除できます。
[パネルを開く (Open panel)] アイコン ( ) [パネルを閉じる] アイコン ( )	[パネルを開く (Open panel)] アイコンを選択すると、パネルが右側に展開されます。[パネルを閉じる] アイコンを選択すると、パネルが折りたたまれます。

フォームビューの選択

フォームエディターのフォームビューリストから、作業するフォームビューを選択します。

注:
[フォーム] タブの [他のアクション] メニューからフォームビューを選択することもできます。

「テーブルビルダー でのフォームビューの選択」を参照してください。

すべてのフォームビューリスト

[フォーム] タブの右側にある [他のアクション] メニューから [すべてのフォームビュー] を選択して、フォームビューカードのフィルタリング可能なリスト (垂直の省略記号) を参照します。このページでは、移動するフォームビューが多数ある場合に、複雑なフィルタリングとソートを作成できます。

目的のフォームビューのリストが大きい場合は、次のオプションがあります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

すべてのフォームビューリスト

オプション	ステップ
検索	[検索] ボックスにキーワードを入力します。入力すると、カードのリストがフィルタリングされます。
フォームビューをソート	ソートリストからオプションを選択して、フォームビューカードをソートします。 • フォーム名 (昇順) • フォーム名 (降順) • 更新者 (昇順) • 更新者 (降順) • 更新日時 (最近から最後)：デフォルトのオプション • 更新済み (最後から最近)
フィルター基準を設定してフォームをフィルターする	**1.** [フィルター] アイコン (▽) を選択します。 **2.** AND/OR ロジックを含むフィルター条件基準を追加します。 **3.** 条件を追加するには、**[+** 新しい条件セット] を選択します。 **4.** [適用] を選択します。

フォームレイアウト (セクション)

ビューは、表示するデータ要素をグループ化するセクションで構成されています。

複数のセクションを追加し、各セクションのレイアウトを 1 列または 2 列に変更できます。セクションでは、フォームビューに表示するデータ要素をグループ化できます。これらの要素には、フォームフィールド、注釈、フォーマッター、埋め込みリストが含まれます。

「テーブルビルダー でのフォームレイアウトのカスタマイズ」を参照してください。

フォームのフィールド

テーブルビルダー でテーブルを選択すると、利用可能なフィールドがフォーム要素パネルに表示されます。テーブルのフィールドを作成したり、フィールドとそのプロパティを設定したりすることができます。

これらのフィールドをフォームエディターにドラッグすると、選択したフォームビューにこれらのフィールドを視覚的に配置できます。

「テーブルビルダー でのフォームレイアウトへのフィールドの追加」を参照してください。

「テーブルビルダー フォームエディターでのフィールドプロパティの変更」を参照してください。

フォーム注釈

フォーム注釈は、テキストの行や段落など、フォームに関する追加情報です。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

たとえば、フォームの特定のセクションに説明テキストを追加する必要が生じる場合があります。テーブルビルダー を使用すると、情報の入力方法に関する説明を画面上に表示するビューに、フォーム注釈を追加できます。

「テーブルビルダー でのフォーム注釈の作成」を参照してください。

フォーマッター

フォーマッターは、選択したテーブルレコードに関する追加情報を表示する、フォーム内の読み取り専用要素です。フィールドとは異なり、フォーマッターは編集できません。

「Using formatters」を参照してください。

テーブルビルダー を使用すると、表示されているフォーマッターをフォームエディターに視覚的にドラッグして配置できます。

「テーブルビルダー でのフォーマッターの追加」を参照してください。

埋め込みリスト

埋め込みリストを使用して、選択した関連リストのデータをフォームに表示できます。関連リストは、現在のレコードと関係のあるテーブル内のレコードを表示します。たとえば、[問題] テーブルを参照するフォームビューで、選択した問題によって影響を受ける場所のリストを表示したい場合があります。

テーブルビルダー を使用すると、フォーム要素パネルの [埋め込みリスト] タブから、フォームエディターにリストを視覚的にドラッグして配置できます。

埋め込みリストをフォームに追加すると、ユーザーはフォームから移動せずに、関連リストを表示または編集できます。リスト内のデータの変更は、ユーザーがフォームを保存するときに保存されます。

「テーブルビルダー での埋め込みリストの追加」を参照してください。

テーブルビルダー でのフォームビューの選択

テーブルビルダー でフォームユーザーの既存のビューを選択するか、ビューを複製するか、まったく新しいビューを作成します。

始める前に

- テーブルビルダー を起動します。詳細については、「テーブルビルダー へのアクセス」を参照してください。
- (オプション) 作業するドメインを選択します (グローバルでない場合)。詳細については、「ドメインセパレーションと テーブルビルダー」を参照してください。
- (オプション) 作業するアプリケーションスコープを選択します (グローバルでない場合)。詳細については、「テーブルビルダー でのアプリケーションスコープの使用」を参照してください。

> **注:**
> フォームのカスタマイズ方法を理解するには、「テーブルビルダー のワークフローとナビゲーション」を確認してください。

必要なロール： personalize_form または AES ユーザーロールと委任開発者権限。詳細については、「AES を使用する開発者の委任」を参照してください。

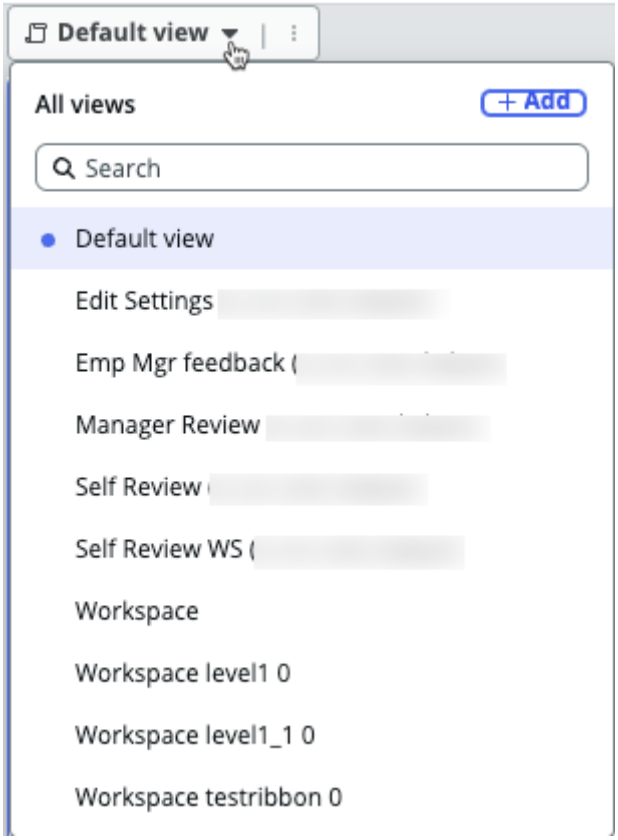
手順

1. テーブルビルダー で [フォーム] タブに移動します。
   [デフォルトビュー] が選択されています。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

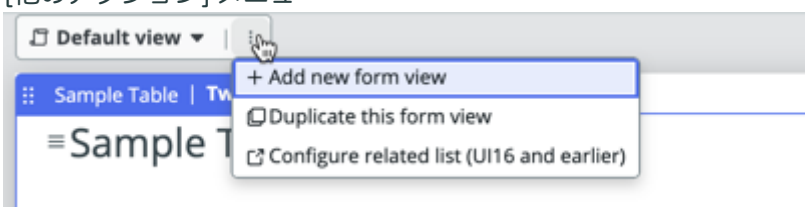
自動翻訳

ビューリスト



2. ビューリストを使用して選択したデフォルトのビューを変更するか、別のビューを選択できます。ビューを追加するか、[他のアクション] メニューから他のフォームビューアクションを選択することもできます。

[他のアクション] メニュー



   - ビューリストから [新しいフォームビューを追加] をクリックするか、[他のアクション] (⋮) メニューからオプションを選択して、カスタマイズする新しいビューを追加します。
   - 既存のビューを複製してカスタマイズするには、ビューを選択し、[他のアクション] (⋮) メニューから [このフォームビューを複製] を選択します。
   - [他のアクション] (⋮) メニューからこのオプションを選択して、選択したフォームビューの関連リストを設定します。

   注:
   [フォーム] タブの右側にある [他のアクション] リストからビューを選択するか、[すべてのフォームビュー] リストに移動して、フォームビューの大きなリストをフィルタリングしてソートすることもできます。「すべてのフォームビューリスト」を参照してください。

3. ビューを選択すると、次の方法でフォームビューを変更できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- フォームにフィールドを追加します。「テーブルビルダー でのフォームレイアウトへのフィールドの追加」を参照してください。
- フォーム (セクション) のレイアウトをカスタマイズします。詳細については、「テーブルビルダー でのフォームレイアウトのカスタマイズ」を参照してください。
- フォームにデータを表示するフィールド以外の要素を追加します。詳細については、「テーブルビルダー でのフォーマッターの追加」を参照してください。
- 説明テキストまたはその他のテキストをフォームに追加します。詳細については、「テーブルビルダー でのフォーム注釈の作成」を参照してください。
- フォームに関連リストを追加します。詳細については、「テーブルビルダー での埋め込みリストの追加」を参照してください。

注:
フォームに表示される要素をカスタマイズするには、「テーブルビルダー のフォーム 」を参照してください。

テーブルビルダー でのフォームレイアウトのカスタマイズ

テーブルビルダー でフォームビューをカスタマイズして、ユーザーに表示されるフォームの外観を視覚的に設計します。

始める前に

- テーブルビルダー を起動します。詳細については、「テーブルビルダー へのアクセス」を参照してください。
- (オプション) 作業するドメインを選択します (グローバルでない場合)。詳細については、「ドメインセパレーションと テーブルビルダー」を参照してください。
- (オプション) 作業するアプリケーションスコープを選択します (グローバルでない場合)。詳細については、「テーブルビルダー でのアプリケーションスコープの使用」を参照してください。

注:
フォームのカスタマイズ方法を理解するには、「テーブルビルダー のワークフローとナビゲーション」を確認してください。

必要なロール： personalize_form または AES ユーザーロールと委任開発者権限。詳細については、「AES を使用する開発者の委任」を参照してください。

手順

1. テーブルビルダー で [フォーム] タブに移動します。
2. 作業するビューを選択します。
   フォームのビューを選択する方法の詳細については、「テーブルビルダー でのフォームビューの選択 」を参照してください。
3. 次のアクションを実行して、フォームエディターに表示されるフォームレイアウトをカスタマイズします。
4. フォーム内のセクションを再配置するには、セクションヘッダーでセクションを選択してフォーム上の目的の場所にドラッグするか、上下の矢印アイコンを使用します。
5. [保存] を選択します。

テーブルビルダー でのフォームレイアウトへのフィールドの追加

テーブルビルダー を使用して、フォームレイアウト内でフィールドを視覚的に追加および配置して、要件に合うフォームを作成します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に

- テーブルビルダー を起動します。詳細については、「テーブルビルダー へのアクセス」を参照してください。
- (オプション) 作業するドメインを選択します (グローバルでない場合)。詳細については、「ドメインセパレーションと テーブルビルダー」を参照してください。
- (オプション) 作業するアプリケーションスコープを選択します (グローバルでない場合)。詳細については、「テーブルビルダー でのアプリケーションスコープの使用」を参照してください。

注:
フォームのカスタマイズ方法を理解するには、「テーブルビルダー のワークフローとナビゲーション」を確認してください。

必要なロール： personalize_form または AES ユーザーロールと委任開発者権限。詳細については、「AES を使用する開発者の委任」を参照してください。

このタスクについて

手順

1. テーブルビルダー で [フォーム] タブに移動します。
2. 作業するビューを選択します。
   フォームのビューを選択する方法の詳細については、「テーブルビルダー でのフォームビューの選択 」を参照してください。
3. 選択したテーブルの既存のフィールドのリストを表示するには、[フォーム要素を追加] パネルで [フィールド] を選択します。

   注:
   フォームエディターの既存の要素の上にある [追加] (⊕) アイコンを選択して、[フォーム要素を追加] パネルを起動することもできます。

4. 次のいずれかのアクションを実行して、選択したフォームビューに表示されるフィールドをカスタマイズします。

   注:
   特定のフィールドタイプは コア UI でのみサポートされています。フィールドには、サポートされていないタイプを示すための感嘆符アイコン (!) フラグが表示されます。

5. **[Save** (保存)] を選択します。

テーブルビルダー フォームエディターでのフィールドプロパティの変更

テーブルビルダー の [フォーム] タブ内からフォームビューでユーザーに表示するフィールドの基本的なフィールドプロパティを変更します。

始める前に

- テーブルビルダー を起動します。詳細については、「テーブルビルダー へのアクセス」を参照してください。
- (オプション) 作業するドメインを選択します (グローバルでない場合)。詳細については、「ドメインセパレーションと テーブルビルダー」を参照してください。
- (オプション) 作業するアプリケーションスコープを選択します (グローバルでない場合)。詳細については、「テーブルビルダー でのアプリケーションスコープの使用」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

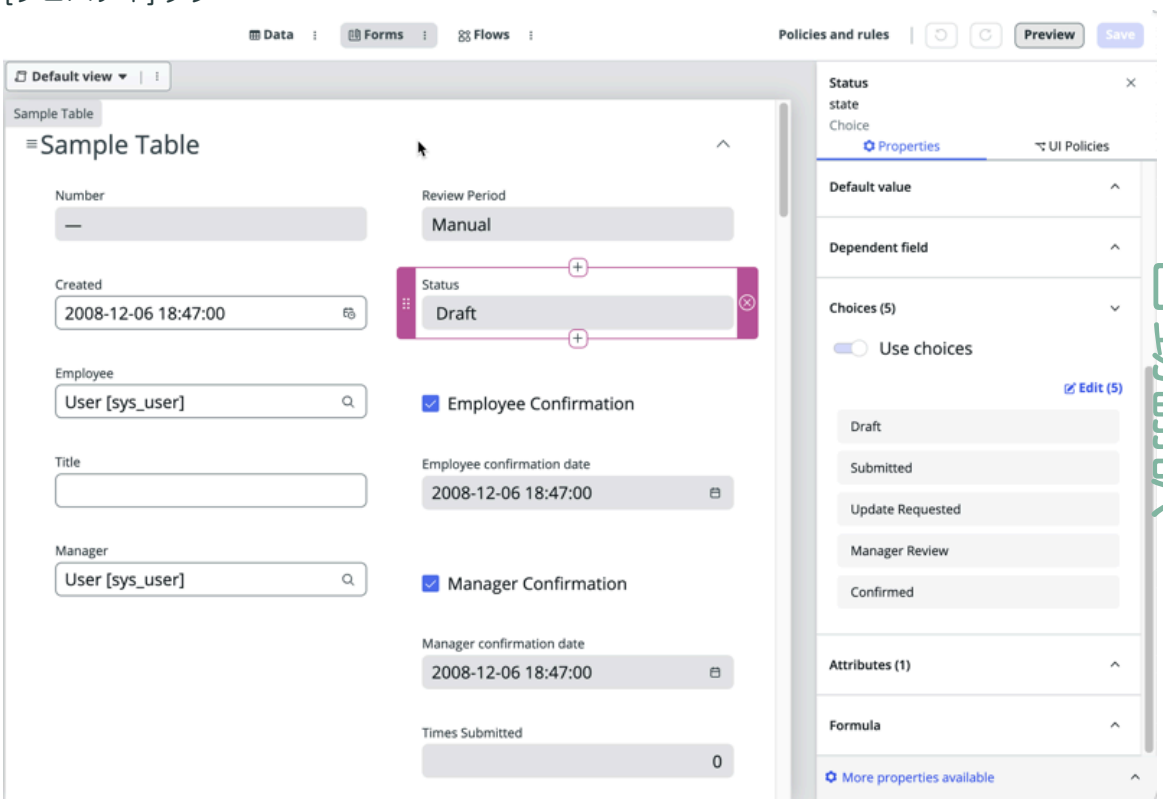
> **注:**
> フォームのカスタマイズ方法を理解するには、「テーブルビルダー のワークフローとナビゲーション」を確認してください。

必要なロール： personalize_form または AES ユーザーロールと委任開発者権限。詳細については、「AES を使用する開発者の委任」を参照してください。

手順

1. [フォーム] タブで、作業するビューを選択します。
   フォームのビューを選択する方法の詳細については、「テーブルビルダー でのフォームビューの選択 」を参照してください。
2. フォームエディターで、フィールドを選択してハイライト表示します。
   次の例では、右側のパネルに [プロパティ] タブが表示されています。このタブには、選択したフィールドの基本プロパティが表示されます。

   [プロパティ] タブ



3. 必要に応じて、選択したフィールドの基本的なフィールドプロパティを編集します。
   表示されるセクションは、フィールドタイプによって異なります。これらのフィールドの説明については、「テーブルビルダー のフィールド構成」を参照してください。

   > **注:**
   > [プロパティ] タブの下で、[使用可能な他のプロパティ] を選択して、選択したフィールドの完全な辞書エントリーを起動します。

4. 選択したフィールドに設定されている UI ポリシーを表示してそのフィールドを編集するには、**[UI ポリシー]** タブを選択します。
   ポリシーとプロパティの詳細については、「テーブルビルダー でのポリシーとルールのプロパティ」を参照してください。
5. [保存] を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テーブルビルダー でのフォーム注釈の作成

テーブルビルダー で、フォーム注釈を使用して、フォームに説明テキストやその他の設計要素を追加します。

始める前に

- テーブルビルダー を起動します。詳細については、「テーブルビルダー へのアクセス」を参照してください。
- (オプション) 作業するドメインを選択します (グローバルでない場合)。詳細については、「ドメインセパレーションと テーブルビルダー」を参照してください。
- (オプション) 作業するアプリケーションスコープを選択します (グローバルでない場合)。詳細については、「テーブルビルダー でのアプリケーションスコープの使用」を参照してください。

> **注:**
> フォームのカスタマイズ方法を理解するには、「テーブルビルダー のワークフローとナビゲーション」を確認してください。

必要なロール： personalize_form または AES ユーザーロールと委任開発者権限。詳細については、「AES を使用する開発者の委任」を参照してください。

手順

1. テーブルビルダー で [フォーム] タブに移動します。
2. 作業するビューを選択します。
   フォームのビューを選択する方法の詳細については、「テーブルビルダー でのフォームビューの選択 」を参照してください。
3. フォームビューに追加できる使用可能なコンポーネントのリストを表示するには、[フォーム要素を追加] パネルで [コンポーネント] を選択します。

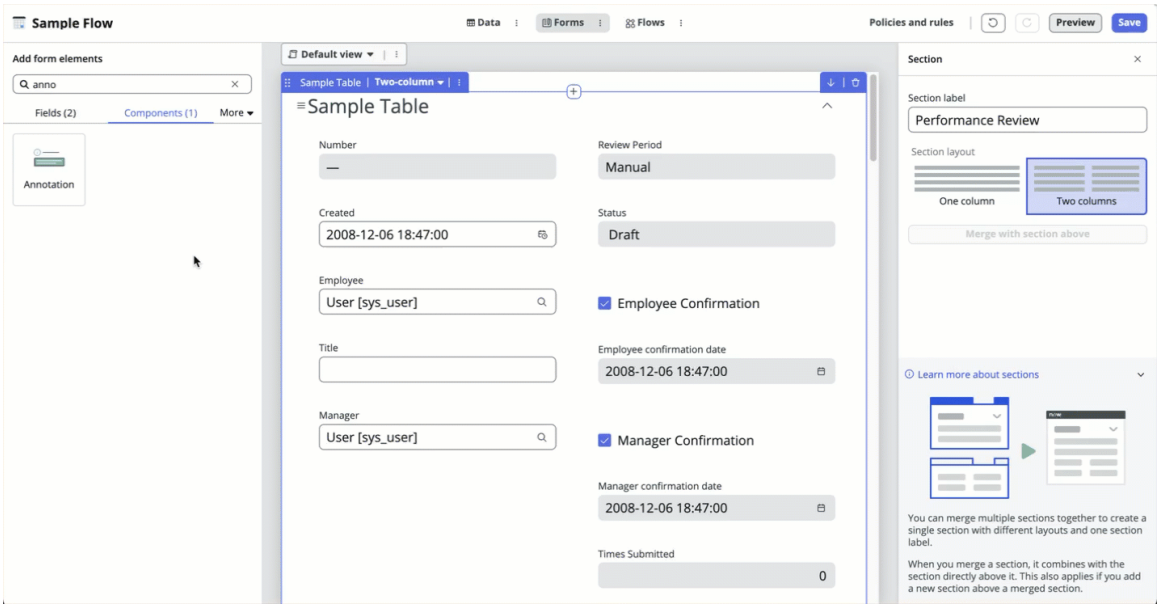
   > **注:**
   > また、フォームエディターで既存の要素の上にある [追加] (⊕) アイコンをクリックして、[フォーム要素を追加] パネルを起動することもできます。

4. 次の例のように、[注釈] 要素を選択し、フォームエディター内の注釈テキストを配置する場所にそれをドラッグします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注釈の追加



5. [注釈タイプ] を選択します。

6. [注釈テキスト] のオプションを選択します。

7. [注釈] パネルに表示するフィールドに、任意の注釈テキストを入力します。

8. [保存] を選択します。

テーブルビルダー でのフォーマッターの追加

テーブルビルダー にフォーマッターを追加することで、フィールド以外の情報を表示するフォーム要素を追加できます。たとえば、ユーザーが表示されたフォームにコメントを追加できる [コメント] フィールドを表示したい場合があります。

始める前に

注:
フォーマッターは コア UI 以前でのみサポートされています。

- テーブルビルダー を起動します。詳細については、「テーブルビルダー へのアクセス」を参照してください。
- (オプション) 作業するドメインを選択します (グローバルでない場合)。詳細については、「ドメインセパレーションと テーブルビルダー」を参照してください。
- (オプション) 作業するアプリケーションスコープを選択します (グローバルでない場合)。詳細については、「テーブルビルダー でのアプリケーションスコープの使用」を参照してください。

注:
フォームのカスタマイズ方法を理解するには、「テーブルビルダー のワークフローとナビゲーション」を確認してください。

必要なロール： personalize_form または AES ユーザーロールと委任開発者権限。詳細については、「AES を使用する開発者の委任」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. テーブルビルダー で [フォーム] タブに移動します。
2. 作業するビューを選択します。
   フォームのビューを選択する方法の詳細については、「テーブルビルダー でのフォームビューの選択 」を参照してください。
3. フォームビューに追加できる利用可能なコンポーネントのリストを表示するには、[フォーム要素を追加] パネルで [フォーマッター] を選択します。

   注:
   また、フォームエディターで既存の要素の上にある [追加] ( ) アイコンをクリックして、[フォーム要素を追加] パネルを起動することもできます。

4. フォーマッターを選択し、フォームエディター内の配置場所にドラッグします。

   注:
   フォーム内のフォーマッターは コア UI 以前のインターフェイスでのみサポートされています。

   フォーマッターをフォームに追加する方法については、「フォーマッター」を参照してください。
5. [保存] を選択します。

テーブルビルダー での埋め込みリストの追加

テーブルビルダー を使用して埋め込みリストを追加して、フォーム上の選択した関連リストのデータを表示します。関連リストは、現在のレコードと関係のあるテーブル内のレコードを表示します。たとえば、[問題] テーブルを参照するフォームビューで、選択した問題によって影響を受ける場所のリストを表示したい場合があります。

始める前に

注:
埋め込みリストは、コア UI 以前でのみサポートされています。

- テーブルビルダー を起動します。詳細については、「テーブルビルダー へのアクセス」を参照してください。
- (オプション) 作業するドメインを選択します (グローバルでない場合)。詳細については、「ドメインセパレーションと テーブルビルダー」を参照してください。
- (オプション) 作業するアプリケーションスコープを選択します (グローバルでない場合)。詳細については、「テーブルビルダー でのアプリケーションスコープの使用」を参照してください。

注:
フォームのカスタマイズ方法を理解するには、「テーブルビルダー のワークフローとナビゲーション」を確認してください。

必要なロール： personalize_form または AES ユーザーロールと委任開発者権限。詳細については、「AES を使用する開発者の委任」を参照してください。

手順

1. テーブルビルダー で [フォーム] タブに移動します。
2. 作業するビューを選択します。
   フォームのビューを選択する方法の詳細については、「テーブルビルダー でのフォームビューの選択 」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

3. フォームビューに追加できる埋め込みリストのリストを表示するには、[フォーム要素を追加] パネルで、[埋め込みリスト] を選択します。

   注:
   また、フォームエディターで既存の要素の上にある [追加] ( ) アイコンをクリックして、[フォーム要素を追加] パネルを起動することもできます。

4. 埋め込みリストを選択してから、それをフォームエディター内の配置場所にドラッグします。

   注:
   フォーム内の埋め込みリストは、コア UI 以前のインターフェイスでのみサポートされています。

   埋め込みリストをフォームに追加する方法については、「フォーム内へのリストの埋め込み」を参照してください。

5. [保存] を選択します。

フォームのプレビュー

テーブルビルダー でフォームをプレビューして保存します。

始める前に

- テーブルビルダー を起動します。詳細については、「テーブルビルダー へのアクセス」を参照してください。
- (オプション) 作業するドメインを選択します (グローバルでない場合)。詳細については、「ドメインセパレーションと テーブルビルダー」を参照してください。
- (オプション) 作業するアプリケーションスコープを選択します (グローバルでない場合)。詳細については、「テーブルビルダー でのアプリケーションスコープの使用」を参照してください。

注:
フォームのカスタマイズ方法を理解するには、「テーブルビルダー のワークフローとナビゲーション」を確認してください。

必要なロール： personalize_form または AES ユーザーロールと委任開発者権限。詳細については、「AES を使用する開発者の委任」を参照してください。

手順

1. テーブルビルダー にアクセスします。
   - フォームの表示については、「UI ビルダー から テーブルビルダー を起動」を参照してください。
2. [フォーム] タブを選択します。
3. フォームビューを選択します。
4. 必要に応じてフォームビューをカスタマイズします。
5. [保存] を選択して変更を保存します。

   注:
   変更を保存すると、[元に戻す] 機能を使用して元に戻すことはできません。[元に戻す] アイコン ( ) はグレー表示されます。

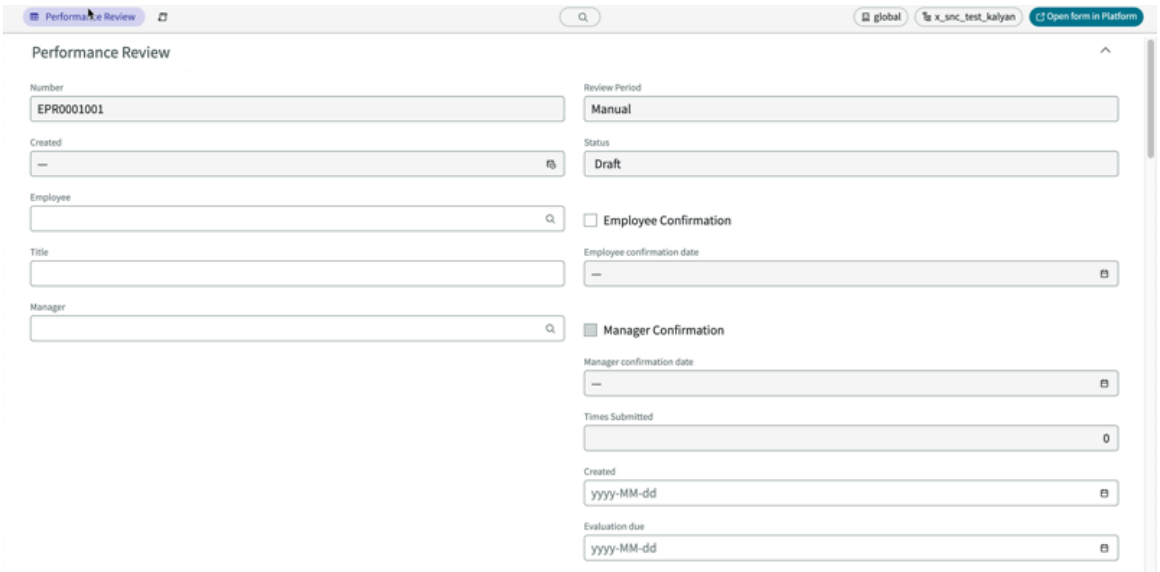
6. [プレビュー] を選択して、保存した変更を確認します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[プレビュー] ウィンドウにフォームのレコードが表示されます。例では、ワークスペースフォームビューが表示されています。

ワークスペースフォームビューのプレビュー



7. 変更を確認するときに、次のいずれかのアクションを実行すると、フォームがユーザーにどのように表示されるかを理解しやすくなります。
   - フォームのプレビュー時に、[新規レコード] アイコン ( ) をクリックして、フォームに入力する新しいレコードを検索できます。これにより、レコードが存在しない場合は新しいレコードを追加できるため、フォームの外観を実際に確認できます。
   - フォームのプレビュー時に、[プラットフォームでフォームを開く] アイコン (Open form in Platform) をクリックすると、ServiceNow AI Platform でフォームを開くことができます。
8. 確認が完了したら、ブラウザーウィンドウを閉じます。

テーブルビルダー でのポリシーとルール

ポリシーとルールは、ロールとエントリに基づくユーザーへの情報の表示方法と、テーブルビルダーでビルドされたテーブルとフォームにアクセスできるユーザーを定義します。

ポリシーとルールを操作するためのセクション

テーブルビルダー の [ポリシーとルール] タブにはいくつかのセクションがありますが、テーブルビルダー 内の UI ポリシーのみを編集できます。他のセクションは読み取り専用で、ServiceNow AI Platform の他の部分でコンテンツを管理するためのリンクが含まれています。

管理 **UI** のポリシーおよびルールセクション

セクション	説明	テーブルビルダー 内で編集可能
UI ポリシー	フォーム上の情報の動作を動的に変更し、タスクのカスタムプロセスフローを制御します。	はい。
アクセス制御ルール	適合するロール、条件、スクリプト基準に基づいて、指定されたリソースへのアクセスを制御します。	なし。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

管理 **UI** のポリシーおよびルールセクション (続く)

セクション	説明	テーブルビルダー 内で編集可能
クライアントスクリプト	定義された基準に基づいてフォームフィールドの表示方法を制御するスクリプトを作成します。	なし。
ビジネスルール	ビジネスルールを作成して、特定の条件が満たされたときにフォームフィールドの値を自動的に変更するなどのタスクを実現します。	なし。
ワークスペースビュールール	ユーザーが基準に基づいてワークスペースを表示する方法を制御するルールを定義します。	なし。

テーブルビルダー の外部でルールまたはポリシースクリプトを管理するには、エントリの を選択します。または、[ポリシーとルール] タブの各セクションの [完全なリスト] リンクを選択することで、テーブルビルダー の外部でルールとスクリプトの完全なリストを表示できます。

- 完全な **ACL** リスト
- 完全なクライアントスクリプトリスト
- 完全なビジネスルールリスト
- 完全なワークスペースビュールールリスト

テーブルとフォームの **UI** ポリシー

UI ポリシーを設定し、ロールとユーザー入力に基づいてフォームのビジュアル化を調整します。

たとえば、UI ポリシーを使用して、ユーザーのロールに応じてフォームのフィールドを読み取り専用または必須にしたり、特定のフィールドを非表示にしたりできます。基本的な UI ポリシーではスクリプティングは不要です。より高度なアクションの場合は、[スクリプトを実行] オプションを使用します。

クライアントスクリプトを使用してこれらすべてのアクションを実行することもできますが、ロード時間を短縮するために、可能であれば UI ポリシーを使用してください。

テーブルビルダー での **UI** ポリシーの作成

テーブルビルダー で UI ポリシーを設定し、ロールとユーザー入力に基づいてフォームの表示方法を調整します。

始める前に

- テーブルビルダー を起動します。詳細については、「テーブルビルダー へのアクセス」を参照してください。
- (オプション) 作業するドメインを選択します (グローバルでない場合)。詳細については、「ドメインセパレーションと テーブルビルダー」を参照してください。
- (オプション) 作業するアプリケーションスコープを選択します (グローバルでない場合)。詳細については、「テーブルビルダー でのアプリケーションスコープの使用」を参照してください。

必要なロール：personalize_rules または AES ユーザーロールと委任開発者権限。詳細については、「AES を使用する開発者の委任」を参照してください。

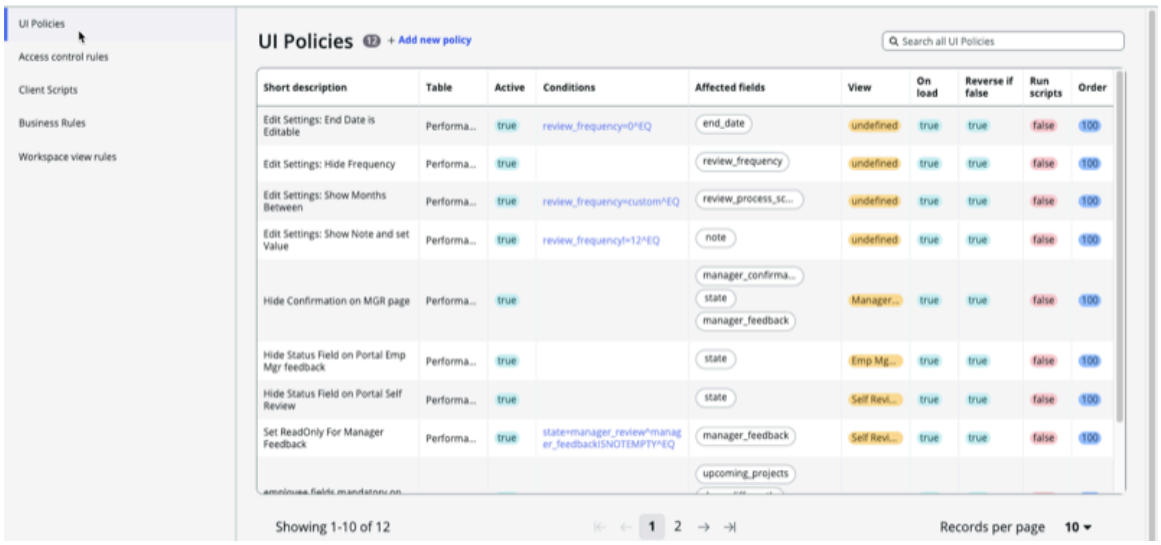
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて
自分が所有するアプリケーションについてのみ UI ポリシーを作成および編集できます。アプリケーションスコープの詳細については、「ドメインセパレーションと テーブルビルダー」を参照してください。

手順

1. テーブルビルダー 画面で、作業するテーブルを選択します。
2. [ポリシーとルール] タブを選択します。
   または、フィールドを選択すると表示される右ペインの テーブルビルダー の [フォーム] タブで、フィールドの UI ポリシーを直接追加することもできます。
3. [UI ポリシー] セクションを選択して、UI ポリシーのリストを表示します。
4. [新規ポリシーを追加] リンクを選択して、ポリシーの詳細を表示します。
   - リンクが非アクティブな場合は、[フォーム] タブで作業しているスコープを変更する必要があります。
   - フィールドにポリシーがあり、ビューに表示される場合は、次の例のようにフィールドの上隅にアクティブなアイコンが表示されます。



5. フォームの [ポリシーの詳細] セクションのフィールドに入力します。
   フィールド定義の詳細については、「テーブルビルダー でのポリシーとルールのプロパティ」を参照してください。
6. [これらの条件が満たされている場合] セクションで、満たされた場合に条件ビルダーを使用して UI ポリシーが適用される条件を指定します。
   複数の条件セットを追加するには、[新しい条件セット] を選択します。
7. [以下を実行 (Do the following)] セクションで、条件が満たされたときに実行する必要があるフィールドアクションを作成します。
8. ポリシーの追加を終了するには、**[UI** ポリシーの追加] を選択します。

タスクの結果
UI ポリシーを追加した後、スクリプトとその関連リストアクションを設定できます。クライアントスクリプトと UI ポリシーの詳細については、「UI ポリシーのクライアントスクリプト」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テーブルビルダー での UI ポリシーの変更

UI ポリシーを編集して、テーブルビルダー でのロールとユーザー入力に基づくフォームの表示方法を変更します。

始める前に

- テーブルビルダー を起動します。詳細については、「テーブルビルダー へのアクセス」を参照してください。
- (オプション) 作業するドメインを選択します (グローバルでない場合)。詳細については、「ドメインセパレーションと テーブルビルダー」を参照してください。
- (オプション) 作業するアプリケーションスコープを選択します (グローバルでない場合)。詳細については、「テーブルビルダー でのアプリケーションスコープの使用」を参照してください。

必要なロール：personalize_rules または AES ユーザーロールと委任開発者権限。詳細については、「AES を使用する開発者の委任」を参照してください。

このタスクについて

自分が所有するアプリケーションについてのみ UI ポリシーを作成および編集できます。アプリケーションスコープの詳細については、「ドメインセパレーションと テーブルビルダー」を参照してください。

手順

1. [UI ポリシー] セクションの [ポリシーおよびルール] タブで、編集するポリシーを選択します。
   フィールドを選択すると表示される右側のペインの **[UI** ポリシー] タブでフォーム内のフィールドの UI ポリシーを選択し、直接編集することもできます。
2. 必要に応じて UI ポリシーのフィールドと属性を変更します。
   フィールド定義の詳細については、「テーブルビルダー でのポリシーとルールのプロパティ」を参照してください。
3. **[UI** ポリシーの更新] をクリックします。

テーブルビルダー のフロー

テーブルビルダー 内に統合されている ワークフロースタジオ 機能を使用して、テーブルのレコードベースのフローを管理できます。これらのフローは、[フロー] タブを使用して管理できます。

ワークフロースタジオ は、プロセスオーナーが作業を自動化できる ServiceNow AI Platform® 機能です。複数ステップのフローを再利用可能なコンポーネントからコーディングなしにビルドできます。

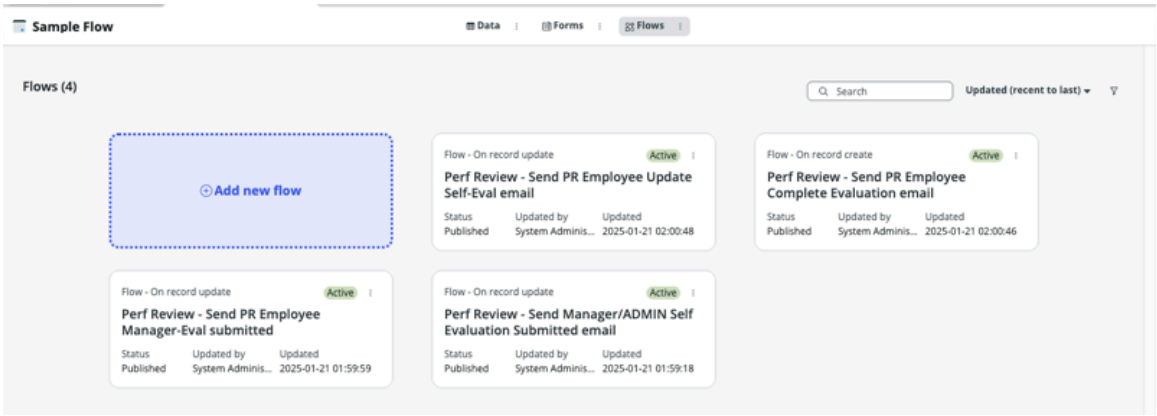
テーブルビルダー 内の [フロー] タブでは、選択したデータテーブルのレコードベースのフロー (テーブルレコードの作成/更新のいずれかまたは両方が実行されたときにトリガーされるアクション) を表示して操作できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[フロー] タブ

次の図は、テーブルビルダー のフローカードを示しています。



レコードベースのフローの検索

テーブルビルダー の [フロー] タブを使用して、選択したテーブルレコードの更新、作成、またはその両方が実行されたときにトリガーされるフローのリストを検索およびフィルタリングします。

始める前に

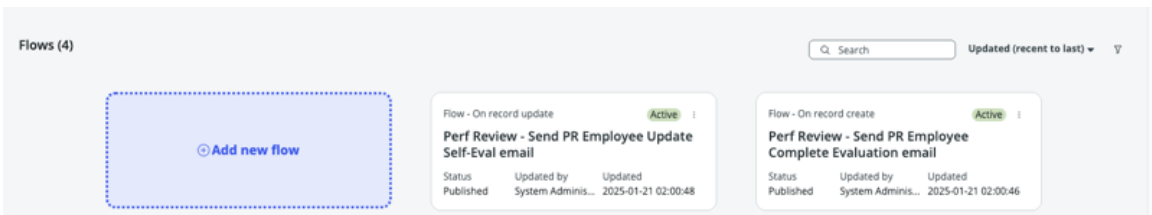
- テーブルビルダー を起動します。詳細については、「テーブルビルダー へのアクセス」を参照してください。
- (オプション) 作業するドメインを選択します (グローバルでない場合)。詳細については、「ドメインセパレーションと テーブルビルダー」を参照してください。
- (オプション) 作業するアプリケーションスコープを選択します (グローバルでない場合)。詳細については、「テーブルビルダー でのアプリケーションスコープの使用」を参照してください。

必要なロール：personalize_forms、personalize_dictionary、および flow_designer 権限 (または、関連する AES ユーザーロールと委任開発者権限)。詳細については、「AES を使用する開発者の委任」を参照してください。

手順

1. 「テーブルビルダー へのアクセス」の説明に従って テーブルビルダー を起動します。
2. [フロー] タブを選択します。
   選択したテーブルによってトリガーされたフローがフローカードとしてリストされます。

フローカードリスト



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

3. 必要に応じてフローカードのリストをフィルターまたは検索して、目的のフローを見つけます。

目的のフローカードの検索

オプション	ステップ
検索テキスト	[検索] ボックスにキーワードを入力します。入力すると、カードのリストがフィルタリングされます。
フローのソート	リストのソートからオプションを選択して、フローカードをソートします。 **a.** フロー名 (昇順) **b.** フロー名 (降順) **c.** 更新者 (昇順) **d.** 更新者 (降順) **e.** 更新日時 (最近から最後)：デフォルトのオプション **f.** 更新済み (最後から最近)
フィルター基準を設定してフローをフィルターする	**a.** フィルターアイコン ( ) を選択します。 **b.** AND/OR ロジックを含むフィルター条件基準を追加します。 **c.** 条件を追加するには、**[+** 新しい条件セット] を選択します。 **d.** [適用] を選択します。

自動翻訳

次のタスク

- フローカードを選択し、ワークフロースタジオ を使用して新しいフローを編集します。「レコードベースのフローの変更」を参照してください。
- 既存のフローから新しいレコードベースのフローを作成します。「レコードベースのフローのコピー」を参照してください。
- フローを削除します。「レコードベースのフローの削除」を参照してください。

レコードベースのフローの追加

テーブルビルダー の [フロー] タブを使用して、テーブルレコードの更新、作成、またはその両方が実行されたときにトリガーされるフローを追加します。

始める前に

- テーブルビルダー を起動します。詳細については、「テーブルビルダー へのアクセス」を参照してください。
- (オプション) 作業するドメインを選択します (グローバルでない場合)。詳細については、「ドメインセパレーションと テーブルビルダー」を参照してください。
- (オプション) 作業するアプリケーションスコープを選択します (グローバルでない場合)。詳細については、「テーブルビルダー でのアプリケーションスコープの使用」を参照してください。

必要なロール：personalize_forms、personalize_dictionary、および flow_designer 権限 (または、関連する AES ユーザーロールと委任開発者権限)。詳細については、「AES を使用する開発者の委任」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 「テーブルビルダー へのアクセス」の説明に従って テーブルビルダー を起動します。
2. [フロー] タブを選択します。
3. [新しいフローを追加] ボタンを選択します。
4. [新しいフロー] フォームで、新しいフローの次のフィールドに入力します。

[新しいフロー] フォーム

フィールド	説明
名前	フローを一意に識別する名前です。この名前からフローの内部名が計算されます。
説明	フローの説明です。

5. オプション: フローの詳細オプションを入力するには、 [新しいフロー] フォームで [詳細オプションを表示します] を選択します。

詳細オプション

フィールド	説明
保護	フローが読み取り専用の場合に選択できるオプション。自分が所有するアプリケーションスコープでフローを作成する場合にのみ、値を選択できます。
実行方法	(Optional) フローを実行するユーザーを指定するオプション。システムユーザーまたはセッションを開始するユーザーを選択できます。フローをトリガーしたユーザーから更新を実行する必要がある場合は、セッションオプションを開始したユーザーを選択します。たとえば、フローを開始したユーザーからインシデントレコードのコメントを取得する場合は、このオプションを使用します。フローのオプションとして実行を設定しても、子サブフローには適用されません。 個人用の OAuth トークンを使用して実行できるフローを作成するには、セッションを開始するユーザーのオプションを選択します。フローを実行しているユーザーが個人用の OAuth トークンを持っていれば、そのトークンでフローが実行されます。個人用の OAuth トークンの作成の詳細については、「OAuth 2.0 認証情報」を参照してください。 セッションを開始したユーザーとしてフローを実行すると、ユーザーのアクセス制御リスト (ACL) 制限によりフローアクションが制限されます。フローをトリガーするユーザーによるフローアクションの実行が、セキュリティ制限によって妨げられることがないようにしてください。また、開始ユーザーによって実行されるフローは、日時形式などのユーザー固有の設定にも従います。 **注:** 受信メールフローはこの設定を無視し、常にセッションを開始するユーザーとして実行されます。受信メールフローのアクセス制御をテストするには、典型的な受信メールユーザーを代理操作してフローを手動でトリガーします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
ロールを使用して実行	フローを実行するロールです。[実行方法] が [セッションを開始するユーザー] に設定されている際にのみ、このオプションを利用できます。

6. [続行] を選択します。
7. フローをトリガーするイベントを選択します。

オプション	説明
レコードが作成されたとき	選択したテーブル内でレコードが作成されたときにトリガーされるフローを作成します。
レコードが更新されたとき	選択したテーブル内のレコードが更新されたときにトリガーされるフローを作成します。
レコードが作成または更新されたとき	選択したテーブル内でレコードが作成または更新されたときにトリガーされるフローを作成します。

作成したフローがフロー図作成ビューに表示されます。「フロー図作成ビュー」を参照してください。

8. [ノードを追加] を選択し、次のいずれかのオプションを選択してフローを変更します。

オプション	説明
アクション	目的のアクションを選択します。ワークフロースタジオ には、フローとサブフローで使用可能な Workflow Studio actions が含まれています。または、action_designer ロールを持つユーザーは、フローに追加するアクションを作成できます。Integration Hub プラグインと Spokes プラグインは、追加のアクションをインストールします。 [その他のアクション] メニューからドラフトアクションを追加するには、[ドラフトアクションを表示] を **true** に設定します。 ServiceNow Store で利用可能なスポークを表示するには、 [その他のアクション] メニューから [ストアスポークを表示] を **true** に設定します。 **注:** [スポークが未インストール] の下に、ServiceNow のバージョンとの互換性や ワークフロースタジオ のアプリケーションの依存関係に基づいて ServiceNow Store で利用可能なスポークが表示されます。
フローロジック	条件付き操作または繰り返し操作を指定するオプションを選択します。
サブフロー	公開されたサブフローを選択し、入力値を定義します。フローアクションとしてサブフローを追加することに加えて、[その他のアクション] メニューから [トリガーフローを表示] オプションを有効にして、有効になったフローを選択し、必要な入力を定義することができます。トリガーされたフローを実行すると、そのトリガー条件は無視され、すべてのアクションが実行されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

> **注:**
> または、ビューセレクターから ワークフロースタジオ デフォルトビューを切り替えて、ワークフロースタジオ のそのビューで [アクション、フローロジック、またはサブフローを追加] を選択することもできます。詳細については、「フロー図作成ビュー」を参照してください。

9. ワークフロースタジオ でフローの変更を続行します。

> **注:**
> アプリケーションのフローの操作方法の詳細については、「フローを作成する」を参照してください。

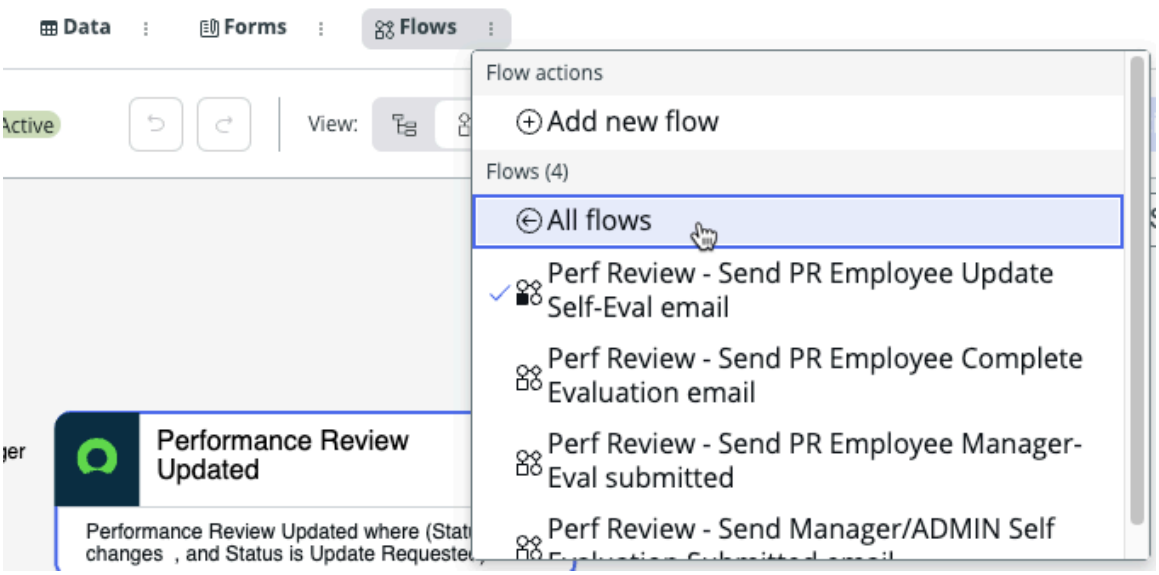
10. [保存] を選択します。
ワークフロースタジオ によって、フロー、トリガー、およびアクションのドラフトが保存されます。

次のタスク
フローをアクティブ化する準備ができるまで、フローをテストします。フローのテストおよび編集の詳細については、「フローをアクティブ化する」を参照してください。

> **注:**
> アプリケーションは、アクティブ化されたフローのみをトリガーできます。アプリケーションのフローを設計、テスト、アクティブ化する方法の詳細については、次を参照してください。 のフロー ワークフロースタジオ.

フローの編集後に選択したテーブルに関連するフローの包括的なリストに戻るには、次の例のように、[フロー] タブの右側にある [他のアクション] (⋮) メニューを選択し、[すべてのフロー] を選択します。

すべてのフロー



レコードベースのフローの変更

テーブルビルダー の [フロー] タブを使用して、選択するテーブルレコードの更新、作成、またはその両方が実行されたときにトリガーされるフローを編集します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に

- テーブルビルダー を起動します。詳細については、「テーブルビルダー へのアクセス」を参照してください。
- (オプション) 作業するドメインを選択します (グローバルでない場合)。詳細については、「ドメインセパレーションと テーブルビルダー」を参照してください。
- (オプション) 作業するアプリケーションスコープを選択します (グローバルでない場合)。詳細については、「テーブルビルダー でのアプリケーションスコープの使用」を参照してください。

必要なロール：personalize_forms、personalize_dictionary、および flow_designer 権限 (または、関連する AES ユーザーロールと委任開発者権限)。詳細については、「AES を使用する開発者の委任」を参照してください。

このタスクについて
テーブルビルダー の [フロー] タブには、テーブルへのレコードの変更によってトリガーされるフローのリストが表示され、ワークフローをトリガーするレコードテーブルからフローを管理できます。

手順

1. 「テーブルビルダー へのアクセス」の説明に従って テーブルビルダー を起動します。
2. [フロー] タブを選択します。
   テーブルによってトリガーされる利用可能なフローはフローカードとしてリストされます。
3. 必要に応じてフローカードのリストをフィルターまたは検索して、目的のフローを見つけます。
   「レコードベースのフローの検索」を参照してください。
4. フローカードを選択して、編集するフローを開きます。
5. ワークフロースタジオ を使用してレコードベースのフローを編集します。
   アプリケーションのフローの操作方法の詳細については、「フローを作成する」を参照してください。

   注:
   テーブルに関連するフローカードのリストに戻るには、[フロー] タブの右側にある [他のアクション] (⋮) メニューを選択し、[すべてのフロー] を選択します。

6. [保存] を選択します。

次のタスク
フローをアクティブ化する準備ができるまで、フローをテストします。フローのテストおよび編集の詳細については、「フローをアクティブ化する」を参照してください。

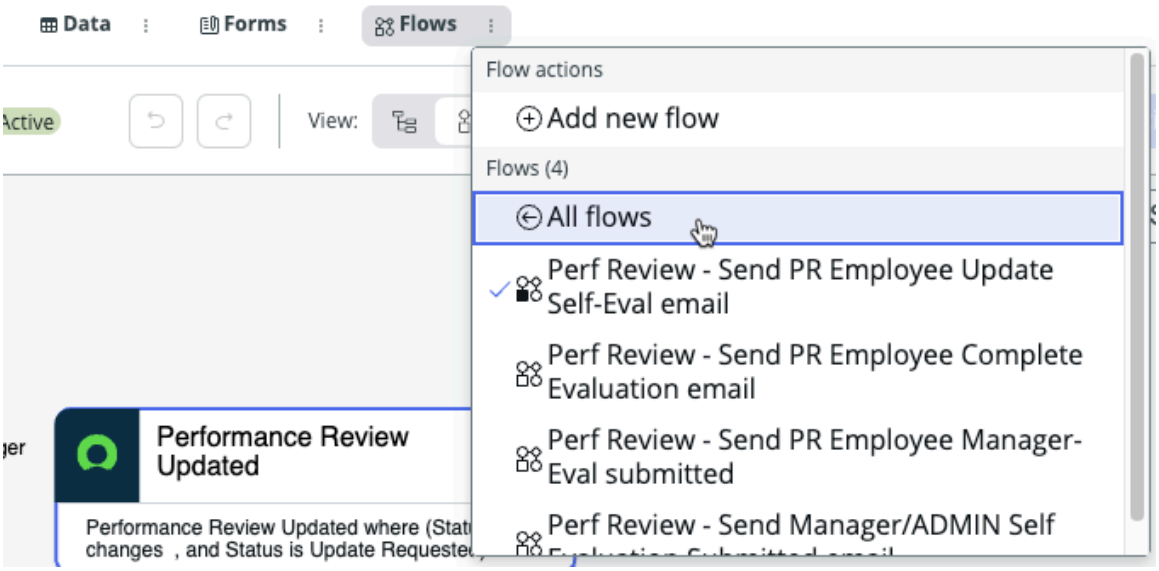
注:
アプリケーションは、アクティブ化されたフローのみをトリガーできます。アプリケーションのフローを設計、テスト、アクティブ化する方法の詳細については、次を参照してください。
のフロー ワークフロースタジオ.

フローの編集後に選択したテーブルに関連するフローのリストに戻るには、次の例のように、[フロー] タブの右側にある [他のアクション] (⋮) メニューを選択し、[すべてのフロー] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

すべてのフロー



レコードベースのフローの削除

テーブルビルダー の [フロー] タブを使用して、レコードベースのフローを削除します。

始める前に

- テーブルビルダー を起動します。詳細については、「テーブルビルダー へのアクセス」を参照してください。
- (オプション) 作業するドメインを選択します (グローバルでない場合)。詳細については、「ドメインセパレーションと テーブルビルダー」を参照してください。
- (オプション) 作業するアプリケーションスコープを選択します (グローバルでない場合)。詳細については、「テーブルビルダー でのアプリケーションスコープの使用」を参照してください。

必要なロール：personalize_forms、personalize_dictionary、および flow_designer 権限 (または、関連する AES ユーザーロールと委任開発者権限)。詳細については、「AES を使用する開発者の委任」を参照してください。

手順

1. 「テーブルビルダー へのアクセス」の説明に従って テーブルビルダー を起動します。
2. [フロー] タブを選択します。
   テーブルによってトリガーされる利用可能なフローはフローカードとしてリストされます。
3. 必要に応じてフローカードのリストをフィルターまたは検索して、目的のフローを見つけます。
   「レコードベースのフローの検索」を参照してください。
4. 削除するフローの右上隅にある [他のアクション] (⋮) メニューを選択し、オプションのリストから [削除] を選択します。
5. 削除の確認ウィンドウで、「DELETE」と入力し、[削除] を選択します。
6. [保存] を選択します。

レコードベースのフローのコピー

テーブルビルダー の [フロー] タブを使用して、既存のフローから新しいレコードベースのフローを作成します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に

- テーブルビルダー を起動します。詳細については、「テーブルビルダー へのアクセス」を参照してください。
- (オプション) 作業するドメインを選択します (グローバルでない場合)。詳細については、「ドメインセパレーションと テーブルビルダー」を参照してください。
- (オプション) 作業するアプリケーションスコープを選択します (グローバルでない場合)。詳細については、「テーブルビルダー でのアプリケーションスコープの使用」を参照してください。

必要なロール：personalize_forms、personalize_dictionary、および flow_designer 権限 (または、関連する AES ユーザーロールと委任開発者権限)。詳細については、「AES を使用する開発者の委任」を参照してください。

手順

1. 「テーブルビルダー へのアクセス」の説明に従って テーブルビルダー を起動します。
2. [フロー] タブを選択します。
   テーブルによってトリガーされる利用可能なフローはフローカードとしてリストされます。
3. 必要に応じてフローカードのリストをフィルターまたは検索して、目的のフローを見つけます。
   「レコードベースのフローの検索」を参照してください。
4. 削除するフローの右上隅にある [他のアクション] (⋮) メニューを選択し、オプションのリストから [コピー] を選択します。
5. [このフローのコピーを作成] ウィンドウが表示されたら、既存のフローから作成する新しいフローの名前を入力し、[コピー] を選択します。
6. ワークフロースタジオ を使用して新しいフローを編集します。
   アプリケーションのフローの操作方法の詳細については、「フローを作成する」を参照してください。
7. [保存] を選択します。

> **注:**
> フローの編集後にフローのリストに戻るには、[フロー] タブの右側にある [他のアクション] (⋮) メニューを選択し、[すべてのフロー] を選択します。

テーブルビルダー 参照

参照トピックには、テーブルビルダー を使用して設定できるフォームとテーブルの要素に関する追加情報が記載されています。

テーブルビルダー のテーブルのプロパティ

テーブルビルダー を使用すると、さまざまなテーブルおよびテーブル列のプロパティを変更できます。

テーブル列のプロパティ

次の表は、データテーブルの列で変更できるプロパティの説明を示しています。

テーブル列のプロパティ

フィールド	説明
列ラベル	列の一意のラベル。
列名	列のデータベース名。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テーブル列のプロパティ (続く)

フィールド	説明
タイプ	列に含まれる情報のタイプ。たとえば、列にプレーンテキストを含める場合は、[文字列] を選択します。 選択したタイプによっては、他のフィールドに入力してテーブル列をさらに定義します。たとえば、[文字列] を選択した場合は、文字列入力の文字数制限を定義します。または、[選択肢] を選択した場合は、ユーザーが選択できる選択肢を定義します。 「フィールドタイプ」を参照してください。
参照	列に関連付けられているテーブル。このフィールドは、列タイプが [参照] の場合にのみ適用されます。
最大長	ユーザーがフィールドに入力できる最大文字数。
デフォルト値	新しいレコードが作成された後にフィールドに自動的に入力される値。
表示	その列をテーブルの表示値として設定するオプション。 参照フィールドには、参照先のテーブルの表示値が表示されます。たとえば、タスクテーブルの [オープン者 **(Opened by)**] 列はユーザーテーブルを参照します。ユーザーテーブルの表示値はユーザー名であるため、[オープン者 **(Opened by)**] フィールドには「**Beth Anglin**」や「**Joe Employee**」のように表示されます。表示値を選択するときは、個々のレコードの適切なタイトルとして機能するテーブル列を選択します。 テーブルの表示値として機能できるのは 1 つの列のみです。

テーブルのプロパティ

次の表は、選択したデータテーブルの列で変更できるプロパティの説明を示しています。

テーブルのプロパティ

オプション	手順
テーブルラベルの変更	[一般情報] タブで、[テーブルラベル] フィールドを更新します。
テーブルの拡張性を高める	**1.** [一般情報] タブで、 [詳細] を選択します。 **2.** [拡張性を高める] チェックボックスをオンにします。
レコード番号を追加	**1.** [一般情報] タブで、 [詳細] を選択します。 **2.** [レコード番号を追加] チェックボックスをオンにします。 **3.** [プリフィックス]、[開始番号]、および [桁数] フィールドを更新して、レコード番号を定義します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テーブルのプロパティ (続く)

オプション	手順
アクセス可能	**1.** [アクセス] タブを開きます。 **2.** [アクセス可能] フィールドで、[すべてのアプリケーションスコープ] または [このアプリケーションスコープのみ] を選択します。
アプリケーションのアクセス制御	**1.** [アクセス] タブを開きます。 **2.** [アプリケーションのアクセス制御] フィールドで、[読み取り]、[作成]、[更新]、または [削除] 選択ボックスを選択して、テーブルに必要なアクセスレベルを指定します。

テーブルビルダー のフィールド構成

テーブルビルダー 内の任意のフィールドの基本的なフィールドプロパティを設定できます。

フィールドの詳細

[フィールドの詳細] セクションでは、フォームエディターで選択したフィールドの基本的なフィールド要素を設定できます。

フィールドタイプの説明と、使用できるフィールドタイプの詳細については、「フィールドタイプ」を参照してください。

基本的なフィールドプロパティを理解し、テーブルのフィールドを追加およびカスタマイズする方法を学習するには、「テーブルのフィールドを追加およびカスタマイズする」を参照してください。

次の表は、[フィールドの詳細] セクションのフィールドの説明を示しています。

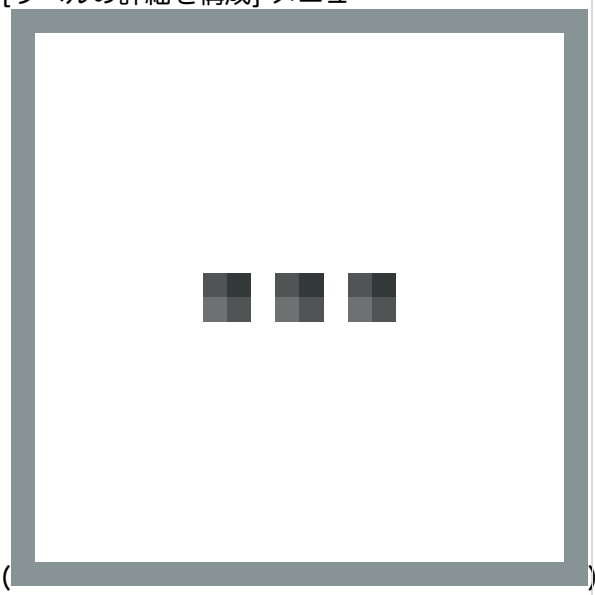
フィールドの詳細

フィールド	説明
ラベル	フォームユーザーに表示されるフィールドの名前。
有効	フィールドをアクティブにしてフォームユーザーが表示できるようにするオプション。 [アクティブ] を選択解除すると、フィールドが非アクティブ化されます。[アクティブ] が選択されていない場合、フィールドはフォームエディターに表示されません。 フィールドを再度アクティブ化するには、[データ] タブのフィールド列の左側にカーソルを合わせ、サイドパネルを開くアイコン [⚙] を選択します。[アクティブ] を選択して変更を保存します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールドの詳細 (続く)

フィールド	説明
読み込み専用	フォームユーザーがフィールドを編集できないようにするために選択できるオプション。
必須	ユーザーがフォームへの変更を保存する前にフィールドへのデータ入力を要求するために選択できるオプション。
[ラベルの詳細を構成] メニュー  ( )	フィールドラベルのプロパティ： • ユーザーがフィールドをポイントすると表示される [ツールヒント] プロパティ。 • フィールドの複数のインスタンスが存在する場合に、ユーザーがラベルの複数形を入力する必要があることを示す [複数形] プロパティ • フィールドラベルが他の場所にリンクする場合、ユーザーがここに URL を入力する必要があることを示す **[URL]** プロパティ。

デフォルト値

デフォルト値は、新しいレコードの空のフォームのフィールドに自動的に入力されます。または、後からユーザーが新しいレコードを送信するときにフィールドに入力されます (フィールドが空の場合)。デフォルト値は定数として指定するか、スクリプトを使用して生成できます。

フィールドのデフォルト値を定義する方法については、「デフォルトのフィールド値を指定する」を参照してください。

以下の表は、[デフォルト値] セクションのフィールドの説明を示しています。

デフォルト値

フィールド	説明
ダイナミックデフォルトを使用	フィールドに表示されるデフォルト値を設定できる [ダイナミックデフォルト値] フィールドを表示するプロパティ。
デフォルト値	フィールドのデフォルト値を表す文字列または数値。
ダイナミックデフォルト値	検索フィールドに入力できるキーワード。その後、ユーザーは、フィールドの目的のデフォルト値を含むフィールドを選択できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

関数の定義

関数フィールドは、他のフィールドと定数の単純な計算に基づいて値を生成します。

このセクションは、フィールドを作成しているときに [詳細プロパティ] セクションで [関数フィールド] を選択するとエディターに表示されます。

関数フィールドの定義については、「関数フィールド」を参照してください。

次の表は、[関数の定義] セクションのフィールドの説明を示しています。

関数の定義

フィールド	説明
関数の定義	フィールドの目的の値を生成する関数式。

参照

参照修飾子は、参照フィールドで使用可能なレコードを制限します。

参照フィールドの定義については、「参照フィールドタイプ」を参照してください。

次の表は、[参照] セクションのフィールドの説明を示しています。

参照フィールド

フィールド	説明
参照	選択したフィールドが参照するデータテーブル。
参照修飾子を使用	修飾子オプション： • ユーザーがシンプルな条件式をビルドできるようにする [簡易] オプション。ユーザーは、[参照修飾子] フィールドの下にある [条件を編集] ボタンを選択できます。 • ユーザーが [参照修飾子] フィールドを使用して詳細な条件式をビルドできるようにする [詳細] オプション。詳細参照修飾子を使用すると、[参照修飾子] フィールドで、インライン暗号化クエリ文字列または JavaScript (実際のコード、または既存のスクリプトインクルードまたはビジネスルールの名前) フィルターを定義できます。 • ユーザーが [参照修飾子] フィールドを使用して選択した参照フィールドの条件式をビルドできるようにする [動的] オプション。動的参照修飾子を使用すると、ユーザーは動的フィルターを使用して、参照フィールドに対してクエリを実行し、返されたデータセットをフィルタリングできます。
参照修飾子	[参照修飾子を使用] フィールドでのユーザーの選択に基づく参照修飾子。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

参照フィールド (続く)

フィールド	説明
条件を編集	ユーザーが [参照修飾子] フィールドにシンプルな条件式を入力できるポップアップウィンドウを起動するためのハイパーリンク。

依存フィールド

選択肢または参照フィールドは、同じテーブルの別のフィールドに依存して宣言することができます。依存フィールドは、依存フィールドの値に基づいて使用可能な値を制限します。

依存フィールドを使用すると、選択肢がオンになります。フィールドで使用可能な選択肢は、ユーザーが依存フィールドに選択する値によって異なります。

フィールドの依存関係の定義については、「フィールドに依存する」を参照してください。

次の表は、[依存フィールド] セクションのフィールドの説明を示しています。

依存フィールド

フィールド	説明
依存フィールドを使用	選択したフィールドでアクティブ化できるフィールドの依存関係。
依存フィールドを選択	フォーム上の別のフィールドを選択するリスト。これを使用して、設定するフォームフィールドでユーザーに表示する選択肢を制御できます。

選択肢

選択リストは、ユーザーが事前定義された選択肢のセットから選択できるフィールドのタイプです。利用可能な選択肢を定義し、任意のリストの動作と外観をカスタマイズできます。選択リストの構成については、「選択リストフィールドタイプ」を参照してください。

[構成] パネルの [選択肢] セクションで [選択肢を使用] を選択し、[編集] または [+追加] アイコンを選択して、選択したフィールドで利用可能な選択肢をカスタマイズします。

次の表は、[選択肢] セクションのフィールドの説明を示しています。

選択肢のプロパティ

フィールド	説明
ラベル	リスト内の選択肢についてユーザーに表示されるテキスト。
値	選択肢フィールドの値。
依存値	選択した [依存] フィールドで入力した選択肢にマッピングする値。
ドメイン	選択肢が存在するドメイン。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

選択肢のプロパティ (続く)

フィールド	説明
有効	選択肢を選択対象として表示するオプション。非アクティブな選択肢はユーザーに表示されません。
オプション	[別のフィールドの選択肢を使用] を選択して、このフィールドに表示される選択肢を別の選択したフィールドの選択肢から複製できるようにするオプション。
選択肢を次のように表示	フォームのユーザーに対する選択肢のリストの表示方法を制御するオプション。 • [ドロップダウン] オプション。フィールドのデフォルト値を設定する必要があります。 **注:** デフォルトが設定されていない場合、[なし] が自動的にデフォルト値になり、ユーザーの選択リストに表示されます。 • [「-- なし --」選択のあるドロップダウン] オプション。[なし] がデフォルト値になります。 • [提案 (コア **UI** のみ)] オプション。選択肢は提案として表示されます。
フィルター	選択リストをフィルタリングするオプション。すべての選択肢 (非アクティブな選択肢を含む) を表示するには、[非アクティブな選択肢を表示] を選択します。

属性

辞書属性は、辞書レコードが記述するテーブルまたは要素の動作を変更します。辞書属性を追加または変更できます。辞書属性については、「辞書属性」を参照してください。

[構成] パネルの [属性] セクションで、[編集] または [+追加] を選択して、選択したフィールドの利用可能な属性をカスタマイズできます。

次の表は、[属性] セクションのフィールドの説明を示しています。

属性プロパティ

フィールド	説明
属性	利用可能な属性のオプションリスト。利用可能な属性のリストからオプションを選択します。 使用可能な属性のリストを確認するには、「辞書属性」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

属性プロパティ (続く)

フィールド	説明
値	辞書レコードによって記述されたフィールドの動作を変更するために設定できる属性値。

計算式

式を使用すると、スクリプトを記述せずに列の値を計算できます。事前定義された式のいずれかを使用するか、2 つ以上の式を組み合わせて列の値を計算できます。事前定義された計算式と例については、「計算式」を参照してください。

[式] セクションで、[編集] または **[+** 追加] を選択して式を編集または追加します。

式のプロパティ

フィールド	説明
式エディター	式を入力および編集できるインターフェイスのようなテキストエディター。

テーブルビルダー の列値の式

事前定義された関数を使用して、スクリプトを記述せずに列の値を計算する式を作成します。事前定義された関数を使用するか、事前定義された既存の関数を使用してネストされた計算式を作成し、列の値タイプを計算します。

サポートされている演算子

次の比較演算子は、数値タイプの値の場合のみサポートされています。

- = (次の値に等しい)
- <> (次の値と等しくない)
- > (次の値を超える)
- < (次の値未満)
- >= (次の値以上)
- <= (次の値以下)

単純な数式関数

単純な数式関数を使用して、数値列に対して基本的な数学計算を実行します。

平均

引数の平均値を返します。

構文	入力	出力
AVERAGE(argument 1, argument 2, … argument n)	数値、関数呼び出し、または変数	数値

例：

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 関数：AVERAGE(1,2,3)

  結果は 2 です。

- 式：AVERAGE(LENGTH(first_name), LENGTH(last_name))

  結果は、first_name 列と last_name 列の文字数の平均値です。

DIVIDE

関数が最後の引数に達するまで、最初の引数を次の引数で連続的に除算した後、最終的な商値を返します。

構文	入力	出力
DIVIDE(argument 1, argument 2 … argument n)	数値、関数呼び出し、または変数	数値

例：

- 関数：DIVIDE(10,20, 0.25, 10)

  結果は 0.2 です。

- 式：DIVIDE(LENGTH(full_name),2)

  結果は、full_name 列の文字数を 2 で割ったものです。

INDEXMATCH

指定された引数のセットから最初の非 null 値を取得します。

構文	入力	出力
INDEXMATCH(argument 1, argument 2 , … argument n)	文字列、数値、関数呼び出し、または変数。	数値

例：

関数：INDEXMATCH("","," ",2,"string")

結果は 2 です。

MAX

指定された引数の最大値を返します。

構文	入力	出力
MAX(argument 1, argument 2, … argument n)	数値、関数呼び出し、または変数	数値

例：

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 関数：MAX(1, -5, 20, 6)

  結果は 20 です。

- 式：MAX(LENGTH(first_name), LENGTH(last_name))

  結果は、first_name 列または last_name 列のいずれか大きい方の文字数になります。

最小

指定された引数の最小値を返します。

構文	入力	出力
MIN(argument 1, argument 2, … argument n)	数値、関数呼び出し、または変数	数値

例：

- 関数：MIN(1, -5, 20, 6)

  結果は -5 です。

- 式：MIN(LENGTH(first_name), LENGTH(last_name))

  結果は、first_name 列または last_name 列のいずれか小さい方の文字数です。

MULTIPLY

引数の乗算値の合計を返します。

構文	入力	出力
MULTIPLY (argument 1, argument 2, … argument n)	数値、関数呼び出し、または変数	数値

例：

- 関数：MULTIPLY(12, 4)

  結果は 48 です。

- 式：MULTIPLY(order, 2)

  結果は、order 列の値を 2 倍したものです。

権限

基底値を指数値でべき乗した結果を返します。

構文	入力	出力
POWER(argument 1, argument 2)	引数 1 が基底値で、引数 2 が指数です。	番号

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

構文	入力	出力
	• 基底値：数値または変数 • 指数：数値または変数	

例：

- 関数：POWER(3,2)

  結果は 9 です。

- 式： POWER(LENGTH(full_name),2)

  結果は、full_name 列の文字数の 2 乗です。

SUBTRACT

関数が最後の引数に達するまで、前の引数から次の使用可能な引数を連続的に減算した結果の値を返します。

構文	入力	出力
SUBTRACT(argument 1, argument 2 … argument n)	数値、関数呼び出し、または変数	数値

例：

- 関数: SUBTRACT(1.15, 0.02, 0.45, -0.85)

  結果は 1.53 です。

- 式: SUBTRACT(LENGTH(full_name), LENGTH(first_name))

  結果は、full_name 列の文字数から first_name 列の文字数を引いたものです。

合計

すべての引数の合計を返します。

構文	入力	出力
SUM(argument 1,argument 2, ... argument n)	数値、関数呼び出し、または変数	数値

例：

- 関数：SUM(0.03, -0.02, 1)

  結果は 1.01 です。

- 式：SUM(LENGTH(first_name), LENGTH(last_name))

  結果は、first_name 列の合計文字数と last_name 列の合計文字数を加算したものです。

COUNTIF

指定された引数セット内の指定された基準に一致する引数の数を返します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

構文	入力	出力
COUNTIF(argument 1, argument 2, argument n-1, criteria)	• argument 1 … argument n：文字列、数値、関数呼び出し、または変数。 • criteria：指定された引数のセットを評価する基準。文字列、数値、関数呼び出し、または変数。	数値

例：

関数：COUNTIF(2,3,2,"string",2)

結果は 2 です。

MODE

指定された引数のセットで最も頻繁に繰り返される値を返します。

構文	入力	出力
MODE(argument 1,argument 2, ... argument n)	数値、関数呼び出し、または変数	数値

例：

関数：MODE(1, 2, 2, 3, 3, 3)

結果は 3 です。

文字列関数

文字列関数を使用して、文字列列値の再フォーマットまたは計算を実行します。

CONCATENATE

1 つ以上の入力文字列を単一の文字列に結合します。

構文	入力	出力
CONCATENATE(string 1, string 2, … string n)	文字列、関数呼び出し、または変数	文字列

例：

- 関数: CONCATENATE(first_name, ".", last_name, "@", LOWERCASE(example), ".com")

  結果は連結された値 <first_name_value>.<last_name_value>@example.com です。この例では、<first_name_value> と <last_name_value> はプレースホルダーです。

- 関数：CONCATENATE (first_name, " ", last_name)

  結果は、first_name 列の値と last_name 列の値が空白で区切られた連結された文字列です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ISBLANK

文字列内の空白または空の値を検索し、存在する場合は true を返します。

構文	入力	出力
ISBLANK(argument)	文字列または値	true または false

例：

- 関数：ISBLANK(“example_string”)

  結果は false です。

- 関数：ISBLANK (full_name)

  結果は、full_name 列に空のスペースがある場合にのみ true になります。それ以外の場合、結果は false になります。

LENGTH

入力文字列内の合計文字数を返します。

構文	入力	出力
LENGTH(argument)	文字列値、関数コール、または変数	数値

例：

- 関数：LENGTH("example_string")

  結果は 14 です。

- 関数：LENGTH(full_name)

  結果は、full_name 列の値の合計文字数です。

LOWERCASE

入力文字列をすべて小文字に変換します。

構文	入力	出力
LOWERCASE(argument)	文字列、関数呼び出し、または変数	小文字の文字列

例：

- 関数：LOWERCASE(“ExamPle inpuT stRing”)

  結果は、example input string です。

- 関数：LOWERCASE (sys_created_by)

  結果は sys_created_by 列の値の小文字の文字列です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

REPLACE

ソース文字列の文字をターゲット文字列の文字で置き換えます。

構文	入力	出力
REPLACE(source_string, target_string, replacement_string)	• source_string：文字列、関数呼び出し、または変数 • target_string：文字列、関数呼び出し、または変数 • replacement_string：文字列、関数呼び出し、または変数	文字列

例：

- 関数：REPLACE(“Pepperoni Pizza”, “Pepperoni”, “Cheese”)

  結果の文字列は、Cheese Pizza です。

- 関数：REPLACE("abe.tuter@example.com", "example", company_name)

  結果の文字列は、abe.tuter@<company_name>.com です。この例では、<company_name> はプレースホルダーです。

TITLECASE

入力文字列の最初の文字をすべて大文字に変換します。

構文	入力	出力
TITLECASE(argument)	文字列、関数呼び出し、または変数	タイトルケースの文字列

例：

- 関数：TITLECASE("example string")

  結果は、Example String です。

- 関数：TITLECASE (full_name)

  結果は、最初の文字がすべて大文字になった full_name 列の値です。

UPPERCASE

入力文字列をすべて大文字に変換します。

構文	入力	出力
UPPERCASE(argument)	文字列値、関数コール、または変数	大文字の文字列

例：

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 関数：UPPERCASE("eXamPle sTring")

  結果は、EXAMPLE STRING です。

- 関数：UPPERCASE(state)

  結果は、大文字の state 列の値です。

FIND

文字列内で最初に見つかった部分文字列を検索し、最初に見つかった位置を返します。

> **注:**
> この関数は大文字と小文字を区別します。

構文	入力	出力
FIND(search_string, source_string, from_index)	• search_string：文字列、関数呼び出し、または変数。 • source_string：メイン文字列、関数呼び出し、または変数。 • from_index：検索を開始するメイン文字列内のインデックス位置。数値、関数呼び出し、または変数。	数値 (整数)。サブ文字列がメイン文字列に存在しない場合は、-1 が返されます。

例：

関数：FIND("morning", "Good morning")

結果は 5 です。

SEARCH

文字列内で部分文字列を検索し、部分文字列が最初に出現した位置を返します。

> **注:**
> この関数は大文字と小文字を区別しません。

構文	入力	出力
SEARCH(search_string, source_string, from_index)	• search_string：文字列、関数呼び出し、または変数。 • source_string：メイン文字列、関数呼び出し、または変数。 • from_index：検索を開始するメイン文字列内のインデックス位置。数値、関数呼び出し、または変数。	数値 (整数)。サブ文字列がメイン文字列に存在しない場合は、-1 が返されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

例：

- SEARCH("Morning", "Good morning")

  結果は 5 です。

- SEARCH("World","Hello world!")

  結果は -1 です。

SUBSTRING

指定されたインデックス位置にある文字列から指定された長さのサブ文字列を取得します。

構文	入力	出力
SUBSTRING(source_string, start_index, length)	• source_string：文字列、関数呼び出し、または変数。 • start_index：サブ文字列が抽出される文字列内の位置。数値、関数呼び出し、または変数。 • length：抽出する必要があるサブ文字列の長さ。	文字列

例：

SUBSTRING("Hello, Good Morning", 7, 4)

結果のサブ文字列は「Good」です。

日付と時刻の関数

日付と時刻の関数を使用して、日付と時刻の列の値を計算します。

NOW

インスタンスの現在の日付と時刻を ISO 形式 (YYYY-MM-DD hh:mm:ss) で返します。

構文	入力	出力
NOW()	この関数に引数は必要ありません	現在の日付と時刻の ISO 形式

例：

関数：NOW()

結果は ISO 形式の現在の日付と時刻です。

TODAY

現在の日付を、UTC タイムゾーンの ISO 形式で、その日の始まりまでの時間オフセットと共に返します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

構文	入力	出力
TODAY()	この関数に引数は必要ありません	ISO 形式でのその日の始まりまでの時間オフセットを含む現在の日付。

例：

関数：TODAY()

結果は、ISO 形式の現在の日付とその日の開始時刻です。

TIMEDIFF

2 つの日付の期間差を評価します。

構文	入力	出力
TIMEDIFF(argument1, argument2)	文字列または変数としての ISO 形式の日付 (YYYY-MM-DD hh:mm:ss)	期間

例：

- 関数：TIMEDIFF("2021-05-02 9:10:12", "2021-04-07 6:2:23")

  結果は、25 03:07:49 です。

- 式：TIMEDIFF(sys_created_on, NOW())

  結果は、sys_created_on 日付とシステムの現在の日付との期間差です。

DATEDIF

2 つの日付の差を日数、月数、または年数で評価します。

構文	入力	出力
DATEDIF(start_date, end_date, date_difference_unit)	• start_date：文字列または変数としての ISO 形式の日付 (YYYY-MM-DD または YYYY-MM-DD hh:mm:ss)。 • end_date：文字列または変数としての ISO 形式の日付 (YYYY-MM-DD または YYYY-MM-DD hh:mm:ss)。 • date_difference_unit：文字列で、小文字または大文字の「Y」、「M」、または「D」のいずれかです。デフォルトは「D」です。	指定された日付の差異単位に基づく数値の期間値。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

例：

関数：DATEDIF("2021-05-02 9:10:12", "2021-05-05 6:2:23 ","d")

結果は 3 です。

DATE

指定された個々の年、月、日の値から日付を作成します。作成日は世界標準時 (UTC) タイムゾーンです。

構文	入力	出力
DATE(year,month,day)	• year：数値、変数、または関数。 • month：数値、変数、または関数。 • day：数値、変数、または関数。	ISO 形式の日付 (YYYY-MM-DD hh:mm:ss)

例：

関数：DATE(2021,5,2)

結果は 2021-05-02 00:00:00 です。

DAY

指定された日付から数字の日コンポーネントを取得します。

構文	入力	出力
DAY(date)	文字列、変数、または関数としての ISO 形式の日付 (YYYY-MM-DD または YYYY-MM-DD hh:mm:ss)。	数値 (整数)。値の範囲は 1 ～ 31 です。

例：

- 関数：DAY("2021-05-029:10:12")

  結果は 2 です。

- 関数：DAY(NOW())

  結果は、現在の日付と時刻の日コンポーネントになります。

MONTH

指定された日付から数値の月コンポーネントを取得します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

構文	入力	出力
MONTH(date)	date：文字列または変数としての ISO 形式の日付 (YYYY-MM-DD または YYYY-MM-DD hh:mm:ss)。	数値 (整数)。値の範囲は 1 (1 月) から 12 (12 月) です。

例：

- 関数：MONTH("2021-05-02 9:10:12")

  結果は 5 です。

- 関数：DAY(NOW())

  結果は、現在の日付と時刻の月コンポーネントになります。

YEAR

指定された日付から年コンポーネントを取得します。

構文	入力	出力
YEAR(date)	文字列、変数、または関数としての ISO 形式の日付 (YYYY-MM-DD または YYYY-MM-DD hh:mm:ss)。	数値 (整数)

例：

- 関数：YEAR("2021-05-02 9:10:12")

  結果は 2021 です。

- 関数：YEAR(NOW())

  結果は、現在の日付と時刻の年コンポーネントになります。

WEEKDAY

指定された日付の曜日を数値で返します。日の範囲は 1 (日曜日) から 7 (土曜日) です。

構文	入力	出力
WEEKDAY(date)	date：文字列または変数としての ISO 形式の日付 (YYYY-MM-DD または YYYY-MM-DD hh:mm:ss)。	数値 (整数)

例：

関数：WEEKDAY("2021-05-02 9:10:12")

結果は 1 です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

TEXT

特定の日付コンポーネントを文字列形式で取得します。

構文	入力	出力
TEXT(date, format_text)	• date：文字列、変数としての ISO 形式の日付 (YYYY-MM-DD または YYYY-MM-DD hh:mm:ss)。 • format_text：抽出される文字列または変数としての日付コンポーネント。	文字列

例：

TEXT("2022-08-17 9:10:12","yyyy-MM")

結果は 2022-08 です。

DATEVALUE

テキスト形式の日付を ISO 形式の日付に変換します。

構文	入力	出力
DATEVALUE(date_text)	date_text：テキストとして保存される日付は、YYYY-MM-DD 形式である必要があります。	文字列としての ISO 形式の日付 (YYYY-MM-DD hh:mm:ss)。

例：

関数：DATEVALUE("2021-05-02")

結果は 2021-05-02 00:00:00 です。

WORKDAY

指定された n 日間の前後の指定された休日および週末を除外することによって、指定された入力日の最も近い作業日を返します。

構文	入力	出力
WORKDAY(start_date, days, holiday 1,holiday 2, ..., holiday n)	• start_date：文字列または変数としての ISO 形式の日付 (YYYY-MM-DD または YYYY-MM-DD hh:mm:ss)。 • days：数値、文字列、または関数としての日数。	文字列としての ISO 形式の日付 (YYYY-MM-DD hh:mm:ss)。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

構文	入力	出力
	• holiday 1...holiday n (オプション)：文字列または変数としての ISO 形式の日付 (YYYY-MM-DD または YYYY-MM-DD hh:mm:ss)。	

例：

関数：WORKDAY("2022-08-17 9:10:12",2)

結果は 2022-08-19 00:00:00 です。

NETWORKDAYS

週末と指定された休日の日付を除外して、2 つの日付間の作業日数を計算します。作業日数には開始日と終了日が含まれます。

構文	入力	出力
NETWORKDAYS(start_date,end_date,holiday 1,holiday 2, ... holiday n)	• start_date：文字列または変数としての ISO 形式の日付 (YYYY-MM-DD または YYYY-MM-DD hh:mm:ss)。 • end_date：文字列または変数としての ISO 形式の日付 (YYYY-MM-DD または YYYY-MM-DD hh:mm:ss)。 • holiday 1、holiday 2、... holiday n (オプション)：営業日の計算時に除外する必要がある休日のリスト。	数値 (整数)

例：

関数：NETWORKDAYS("2022-08-17 20:10:12","2022-08-19 9: 10:12")

結果は 3 です。

論理関数

論理関数を使用して、列の値に対して論理操作を実行します。

AND

引数に対して論理 AND 演算を実行します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

構文	入力	出力
AND(argument 1, argument 2)	文字列、関数呼び出し、または変数	true または false

例：

- 関数：AND(2>3, 4<5)

  結果は false です。

- 式：AND(LENGTH(sys_created_by)>25, LENGTH(sys_updated_by)>25)

  sys_created_by 列と sys_updated_by 列の両方の文字数が 25 より大きい場合にのみ、結果は true になります。それ以外の場合、結果は false になります。

IF

条件式のブール出力に基づいて、指定されたステートメントを実行します。

構文	入力	出力
IF(<conditional_expression>, <do_this_when_true>, <do this_when_false>)	• conditional_expression：論理条件式、関数呼び出し、または変数 **注:** 条件式では、文字列の論理比較はサポートされていません。 • do_this_when_true：条件が true と評価された場合に返される文字列、数値、関数呼び出し、または変数 • do_this_when_false：条件が false と評価された場合に返される文字列 、数値、関数呼び出し、または変数	条件式のブール出力に基づく文字列、数値、関数呼び出し、または変数。

例：

- 関数：IF(number_of_incidents >= 5, "High", "Medium")

  インシデントの数が 5 より大きい場合、文字列「High」が返されます。それ以外の場合は、文字列「Medium」が返されます。

- 関数：IF(LENGTH(full_name) > 100, "Number of characters exceed the limit", "Number of characters within the limit")

  full_name 列の文字数が 100 を超える場合、文字列「Number of characters exceed the limit」が返されます。それ以外の場合は、文字列「Number of characters within the limit」が返されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

OR

引数に対して論理 OR 演算を実行します。

構文	入力	出力
OR(argument 1, argument 2)	条件式、関数呼び出し、または変数	true または false

例：

- 関数：OR(2>3,4<5)

  結果は true です。

- 式：OR(LENGTH(first_name)>25, LENGTH(last_name)<25)

  first_name 列の文字数が 25 を超えるか、last_name 列の文字数が 25 未満の場合に、結果は true になります。それ以外の場合、結果は false になります。

IFERROR

expression 1 を評価し、expression 1 にエラーがない場合は expression 1 の値を返します。expression 1 の評価中にエラーが発生した場合、expression 2 が評価され、expression 2 の値が返されます。

構文	入力	出力
IFERROR(expression 1, expression 2)	• expression 1：演算、論理式、関数呼び出し、文字列、数値、または変数。 • expression 2：演算、論理式、関数呼び出し、文字列、数値、または変数。	expression 1 にエラーがない場合は expression 1 の結果。それ以外の場合は expression 2 の結果です。

例：

関数：IFERROR(MULTIPLY(snr_factor, signal)、MULTIPLY(default_factor, signal))

snr_factor 値が有効な数値の場合、snr_factor と信号の乗算値が返されます。snr_factor 値が有効な数値でない場合、default_factor 値と信号の乗算値が返されます。

テーブルビルダー で列に式を追加する

テーブルビルダー で、事前定義された関数を使用するか式を作成して、スクリプトを記述せずに列の値を計算します。複数の関数を使用して、要件に応じて式を作成できます。

始める前に

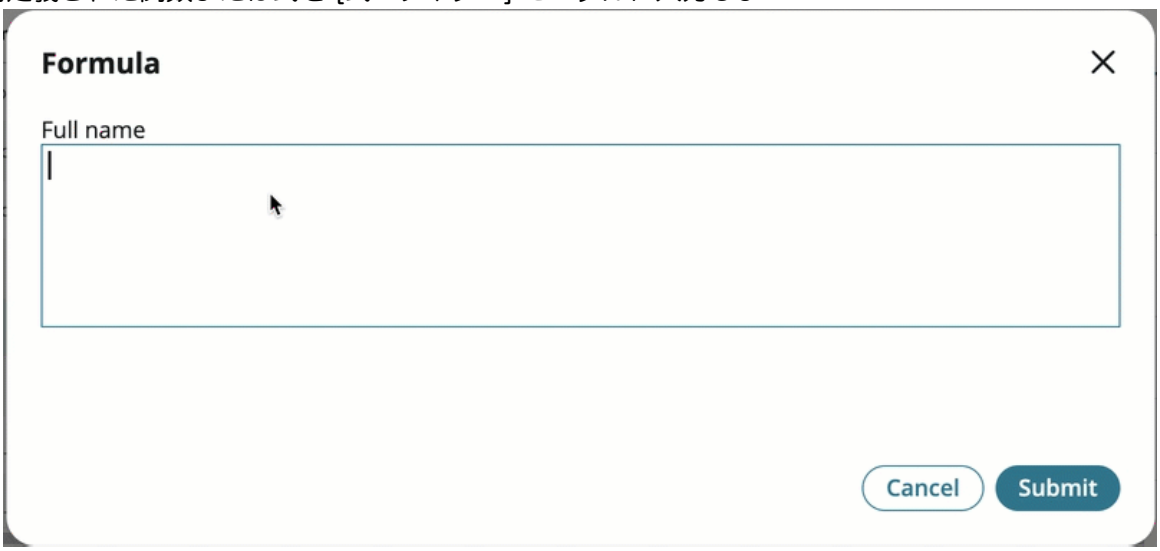
- テーブルのスコープはアプリケーションのスコープ内にある必要があります。それ以外の場合、アプリのスコープ外のテーブルの列に式を追加することはできません。
- 必要なロール：personalize_dictionary または AES ユーザーロールと委任開発者権限。詳細については、「AES を使用する開発者の委任」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. [データ] または [フォーム] タブで、列の [開く] サイドパネルアイコン ( ) をクリックします。
2. [式] セクションの [構成] タブで、**[+** 追加] をクリックします。
3. 事前定義された関数または式を [式エディター] モーダルに入力しま



す。

たとえば、[名] 列の値と [姓] 列の値を連結して [フルネーム] 列の値を入力するには、CONCATENATE(first_name,last_name) と入力します。利用可能な事前定義された関数と式の例の詳細については、「テーブルビルダー の列値の式」を参照してください。

構文のガイダンスと例については、入力開始時に表示される自動提案の機能をクリックしてください。

> **注:**
> サポートされていない列、関数フィールドである列、すでに計算値タイプとしてスクリプトが含まれている列には式を追加できません。

4. [送信] をクリックします。

タスクの結果
式が検証され、エラーがない場合は列に追加されます。

テーブルビルダー でのポリシーとルールのプロパティ

テーブルビルダー で、作業しているフィールドの基本的なフィールドポリシーとルールを設定できます。

UI ポリシー

[UI ポリシー] セクションを使用すると、ロールとユーザー入力に基づいて、フォームの表示方法を設定できます。

基本的なフィールドプロパティを理解するには、「 テーブルビルダー での UI ポリシーの作成」を参照してください。

次の表は、UI ポリシーを追加または編集するときの [ポリシーの詳細] セクションのフィールドの説明を示しています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ポリシーの詳細

フィールド	説明
簡単な説明	UI ポリシーの簡単な要約。
テーブル	ポリシーが適用されるデータテーブル。
ドメイン	選択肢が存在するドメイン。
順番	処理のシーケンス (最小値から最大値まで)。2 つのポリシーが競合する場合は、数値の大きい UI ポリシーが実行されます。 継承された UI ポリシーについては、拡張 (子) テーブルの UI ポリシーが最初に実行されます。次に、ベーステーブルの UI ポリシーが実行されます。どちらも、指定された値が最も小さいものから最も大きいものの順序で実行されます。
アクティブ	UI ポリシーのステータス。アクティブ化されている UI ポリシーのみが適用されます。
すべてのビューに適用/ビューに適用 [詳細設定]	UI ポリシーをすべてのフォームビューまたは特定のビューのどちらに適用するかを指定するオプション。フォームビューの詳細については、「ビュー管理」を参照してください。
ロード時 [詳細設定]	フォームの変更時に UI ポリシーの動作を OnLoad で実行するように指定するためのオプション。 UI ポリシーの [ロード時] チェックボックスをオンまたはオフにして、フォームがロードされ、条件が満たされるたびにそれを実行するかどうかを制御できます。次の例では、アドミニストレーターは、ユーザーが顧客に説明を提供しない限り、インシデントが [ユーザー情報待ち] ステータスにならないようにします。アドミニストレーターは、次の設定で UI ポリシーを作成します。 • [これらの条件が満たされている場合] セクションで、条件 [ステータス][は次の値に等しい][ユーザー情報待ち] を追加し、[ロード時] チェックボックスをオフにします。ステータスが [ユーザー情報待ち] に変更された場合にのみ UI ポリシーが適用されます。 • **[UI** ポリシーアクション] リストで、条件が満たされたときに [追加コメント] フィールドを必須にするレコードを作成します。
False の場合は取り消し [詳細設定]	ポリシーの条件が false と評価された場合に UI ポリシーアクションを取り消す必要があることを指定するためのオプション。条件が true の場合はアクションが実行され、false に変更される

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ポリシーの詳細 (続く)

フィールド	説明
	とアクションが取り消されます (元に戻されます)。
継承 [詳細設定]	拡張テーブルがこの UI ポリシーを継承するかどうかを指定するオプション。 子テーブルに親テーブルから継承された UI ポリシーがある場合、UI ポリシーの順序に関係なく、子テーブルの UI ポリシーが常に最初に実行されます。次に例を示します。 • 子テーブルには、条件が満たされたときに [緊急度] フィールドを表示する、[順序] 値 **500** の UI ポリシーがあります。 • その親テーブルには、[緊急度] フィールドを非表示にする同じ条件の UI ポリシーがあります。親テーブルの UI ポリシーの [順序] 値は **100**です。 • 親テーブルの [順序] フィールドの値の方が小さい値ですが、最初に子 UI ポリシーが実行され、次に親 UI ポリシーが実行されます。条件が満たされると、[緊急度] フィールドは非表示になります。

次の表は、UI ポリシーを追加または編集するときの [これらの条件が満たされている場合] セクションのフィールドの説明を示しています。

これらの条件が満たされている場合

フィールド	説明
条件セット	条件を満たすと UI ポリシーが適用されることになる条件。条件は、条件ビルダーでロジックステートメントを使用してビルドします。スクリプトを使用して条件を設定するには、代わりにクライアントスクリプトを使用します。 ユーザーが手動でフォームのフィールドを変更した場合のみ、条件が再度確認されます。UI アクション、コンテキストメニューアクション、リストエディターによる変更は、評価されません。

次の表は、UI ポリシーを追加または編集するときの [次を実行 (Do the following)] セクションのフィールドの説明を示しています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

必要な操作

フィールド	説明
フィールド名	条件を満たしている場合に UI ポリシーがアクションを実行する対象となる、選択したテーブルのフィールド。 **注:** 指定したフィールドがフォーム上にない場合、UI ポリシーは同じ名前の変数に対してアクションを実行します。
必須	UI ポリシーがフィールドの必須ステータスに与える影響を指定するためのリスト。選択肢は次のとおりです。 • 放置する • **True** • **False**
表示	UI ポリシーがフィールドの表示ステータス (つまり表示されるかどうか) に与える影響を指定するためのリスト。選択肢は次のとおりです。 • 放置する • **True** • **False**
読み取り専用	UI ポリシーがフィールドの読み取り専用状態に与える影響を指定するためのリスト。選択肢は次のとおりです。 • 放置する • **True** • **False**
フィールド値をクリア	条件が満たされた場合に指定されたフィールドをクリアするオプション。

アクセス制御ルール

[アクセス制御ルール] セクションを使用すると、適合するロール、条件、スクリプト基準に基づく、指定されたリソースへのアクセスを設定できます。

次の表は、[アクセス制御ルール] セクションのフィールドの説明を示しています。

フィールド	説明
名前	フォームまたはデータにアクセスする権限を持つ各ユーザーを指定します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	• 名前を小文字の firstname.lastname として、ピリオドで区切って入力します (例：john.smith)。各名前には、*hi.servicenow.com* で対応するユーザーレコードが必要です。 • 複数のユーザーがフォームまたはデータにアクセスする権限を持っている場合は、複数の名前をカンマで区切って入力します。 • すべてのユーザーがフォームまたはデータにアクセスできるようにするには、名前としてアスタリスク (*) を入力します。
説明	アクセス制御ルールによって制限または有効化される内容の概要。
タイプ	アクセスが制御されるオブジェクトのタイプ。次が含まれます。 • クライアント呼び出し可能スクリプトインクルード • プロセッサ • レコード • UI ページ • UX ルート オブジェクトタイプの詳細については、「オブジェクトの ACL 一致要件」を参照してください。
運用	指定されたオブジェクトに対してシステムが実行できるアクションのタイプ (削除や実行など)。レコードなどの一部のオブジェクトは複数の操作をサポートしますが、REST_Endpoint などの他のオブジェクトは 1 つの操作のみをサポートします。アクションタイプの詳細については、「ACL ルールのタイプ」を参照してください。
アクティブ	ルールのアクティブ状況： true ルールがアクティブで利用可能になります。 false ルールは非アクティブで利用できません。
条件	ルールに適用される条件。
ロール	ルールが適用されるロール。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
アドミン優先	アクセスレベルでアドミン優先のルールの評価を強制するオプション。アドミン優先の詳細については、「アクセスレベルでアドミン優先を評価する」を参照してください。
詳細	スクリプトをルールに関連付けるオプション。

クライアントスクリプト

[クライアントスクリプトルール] セクションを使用すると、定義済みの基準に基づいてフォームフィールドの表示方法を制御するスクリプトを作成できます。

クライアントスクリプトフィールドの値の全リストについては、「クライアントスクリプトフォーム」を参照してください。

次の表は、[クライアントスクリプトルール] セクションのフィールドの説明を示しています。

フィールド	説明
名前	スクリプトの名前。
説明	スクリプトの機能と目的の概要。
テーブル	スクリプトが利用可能なテーブルまたはフォーム。
有効	スクリプトのアクティブ状況： true スクリプトがアクティブで、利用可能になります。 false ルールは非アクティブで利用できません。
UI タイプ	スクリプトが利用可能なアプリケーションのタイプ (デスクトップやモバイルなど)。
タイプ	次を含むテーブルまたはフォームでスクリプトが実行される場合： • onCellEdit • onChange • onLoad • onSubmit
フィールド名	スクリプトが実行されるフィールド。
表示	クライアントスクリプトが実行されるビュー (グローバルスクリプトには適用されません)。
継承	クライアントスクリプトが拡張テーブルに適用されるかどうかを示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ビジネスルール

[ビジネスルール] セクションを使用すると、特定の条件が満たされたときにフォームフィールドの値を自動的に変更するなどのタスクを遂行するためのビジネスルールを作成できます。

ビジネスルールの値の全リストについては、「ビジネスルールの作成」を参照してください。

次の表は、[ビジネスルール] ルールセクションのフィールドの説明を示しています。

フィールド	説明
名前	ビジネスルールの名前。
テーブル	ビジネスルールが実行されるテーブルまたはフォーム。
有効	ビジネスルールのアクティブ状況： true ビジネスルールがアクティブで利用可能になります。 false ビジネスルールは非アクティブで利用できません。
時期	ビジネスルールの実行タイミング：データベース操作の完了に関連して、[表示]、[次の前]、[非同期]、または [次の後] から選択します。
フィルター条件	選択したテーブルのフィールド値に基づいてビジネスルールを実行する必要があるタイミングを決定するために、条件ビルダーを使用して作成された条件。
ロールの条件	テーブルまたはフォーム内のレコードを変更するユーザーが実行するビジネスルールに対して保持している必要があるロール。
アクション	指定されたフィールドでビジネスルールによって実行されるアクション (挿入、更新、削除など)。
フィールド値の設定	アクションが実行されるテーブルまたはフォームフィールド。
メッセージの追加	このビジネスルールの実行時にメッセージを表示するかどうか： true ビジネスルールの実行時にメッセージが表示されます。 false ビジネスルールの実行時にメッセージは表示されません。
アクションの中止	ビジネスルールが現在のデータベーストランザクションを中止するかどうか： true

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	ビジネスルールは、実行時に現在のデータベーストランザクションを中止します。 false ビジネスルールは、実行時に現在のデータベーストランザクションを中止しません。 たとえば、挿入前のビジネスルールで、条件が満たされている場合は、レコードをデータベースに挿入しません。
順番	このビジネスルールを実行する順序を示します。特定のアクティビティに複数のルールがある場合、ルールは指定された順序 (昇順) で実行されます。

ワークスペースビュールール

[ワークスペースビュー] セクションを使用すると、基準に基づいてユーザーがワークスペースを表示する方法を制御するルールを定義できます。

次の表は、[ワークスペースビュールール] セクションのフィールドの説明を示しています。

自動翻訳

フィールド	説明
名前	ワークスペースビュールールの名前。
テーブル	ワークスペースビュールールが利用可能なテーブルまたはフォーム。
表示	フォームの表示に使用されるビュー。このフィールドが空のままであるか、無効な値が含まれている場合は、デフォルトのビューが使用されます。
ロール	ルールが適用されるロール。
条件	ルールに適用される条件。
セクションのナビゲーションを非表示	セクションナビゲーションを有効または無効にするオプション。
セクションの折りたたみを無効にする	セクションの折りたたみを有効または無効にするオプション。
デフォルトタブの順序	デフォルトでフォームタブが表示される順序。

ワークスペースビルダー

ワークスペースビルダー を使用すると、エージェントがオープンレコードで作業するカスタムワークスペースをすばやく作成して調整できます。

このビデオでは、 ワークスペースビルダー でワークスペースを作成する方法を説明します。

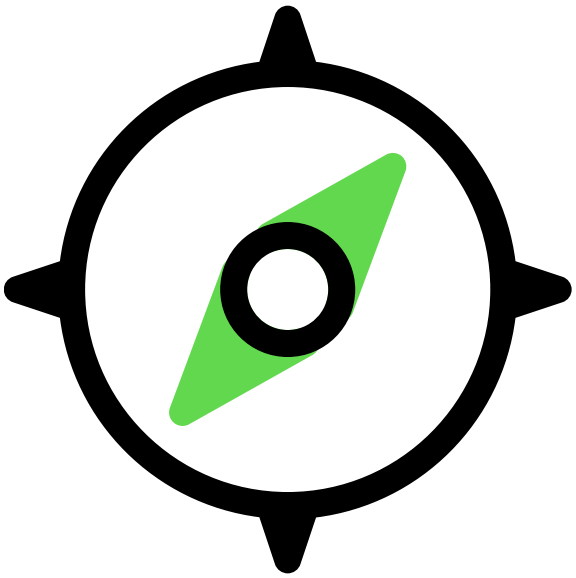
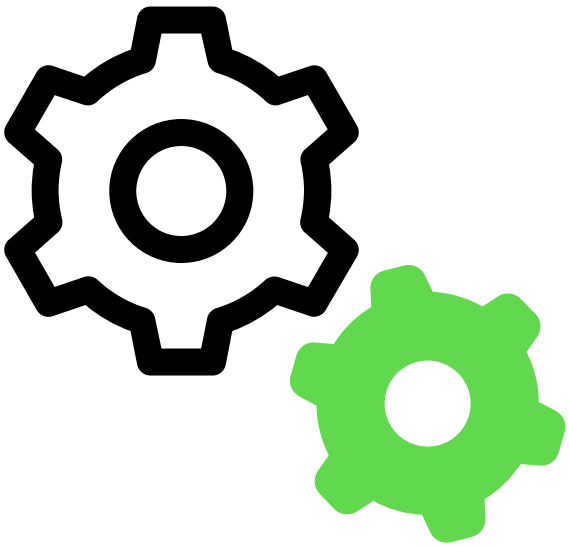
このビデオでは、ワークスペースを追加する方法について説明します。

ワークスペースビルダー を使用することで、Yokohama 以降でビルドされたワークスペースのワークスペースをすばやく作成できます。ワークスペースビルダー を使用すると、ワークスペースのホー

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

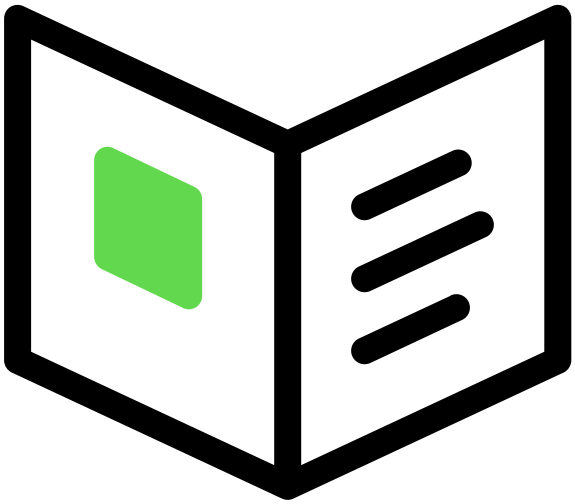
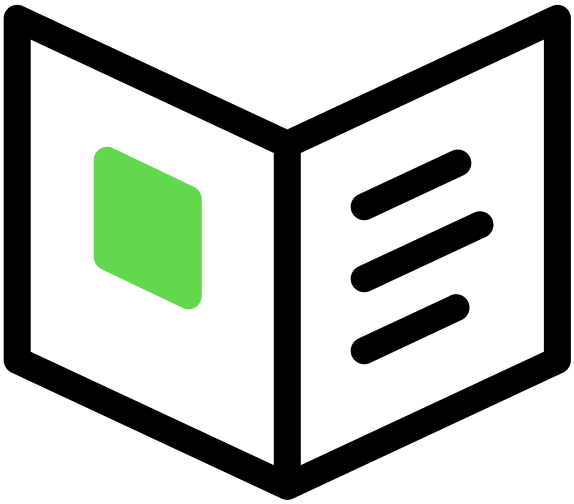
ムページ、リストページ、レコードページのコンテキストサイドパネルを ワークスペースビルダープレビューキャンバスで直接編集できます。Yokohama より前に作成されたワークスペースの場合、またはより堅牢な機能と構成が必要な場合は、AES 内のタブから UI ビルダー でワークスペースを編集します。

開始

探索	構成
	
ワークスペースビルダーを使用してワークスペースを作成する拡張。	ワークスペースビルダー を構成します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ビルド	参照
	
ワークスペースを構築してカスタマイズします。	ワークスペースビルダーコンポーネントの詳細を取得します。

役に立つリソース

役立つ情報を提供できる ServiceNow リソースは次のとおりです。

- ServiceNow コミュニティ
  ServiceNow コミュニティ
- Customer Success Center
  Customer Success Center
- ディベロッパー
  developer.servicenow.com
- Impact
  http://impact.servicenow.com
- ServiceNow University
  ServiceNow University
- Now Create
  Now Create
- パートナー
  https://www.servicenow.com/partners.html
- ServiceNow
  http://servicenow.com
- ServiceNow Store
  http://servicenow.com

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

支える

- https://support.servicenow.com/now
- 既知のエラーポータル

"?>

ワークスペースビルダー の探索

ワークスペースビルダー for App Engine は、App Engine Studio (AES) 内から迅速かつ効率的にカスタムワークスペースを作成できる、簡素化されたノーコード環境です。

ユーザー

ユーザー

ユーザー	説明

次に探索する内容

ワークスペースビルダーを構成して使用する方法の詳細については、以下を参照してください。

- ワークスペースビルダーの構成
- ワークスペースビルダー の使用
- ワークスペースビルダーの参照

ワークスペースビルダーへのアクセス

ワークスペースビルダーには、ServiceNow スタジオ と App Engine Studio (AES) の両方でアクセスできます。

ワークスペースビルダー は **ServiceNow** スタジオ の値のいずれか

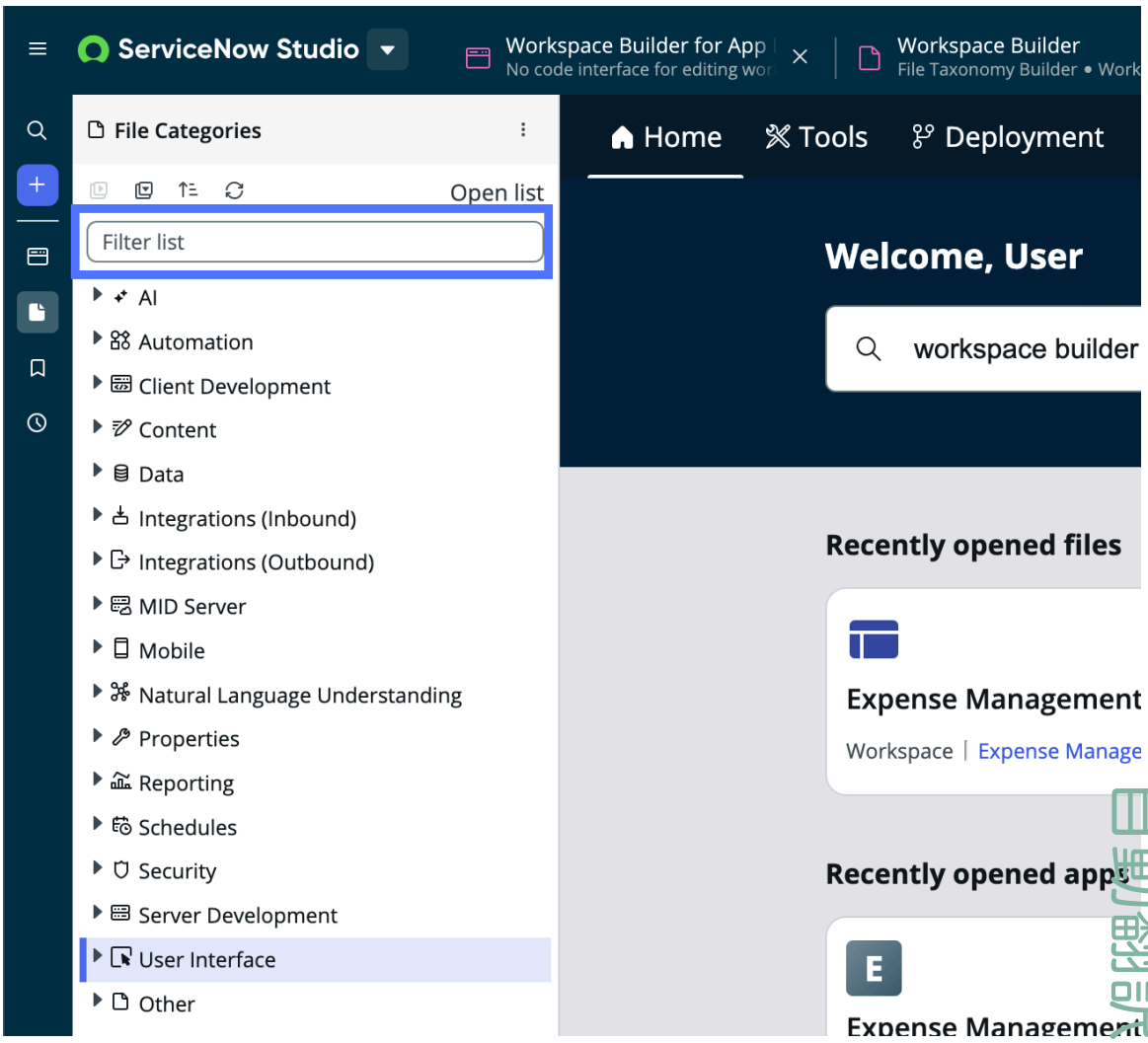
ServiceNow スタジオを使用してワークスペースビルダーで既存のワークスペースを開くには、次の手順を実行します。

1. 移動先 すべて > **App Engine** > **ServiceNow** スタジオ.
2. 次のいずれかの方法でワークスペースを開きます。
   - ワークスペースを名前またはコードスニペットで検索して選択します。詳細については、「コード検索を使用してアプリまたはアプリファイルを検索する」を参照してください。
   - ナビゲーターパネルの上部にあるフィルターリストバーで検索します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ワークスペースの検索



自動翻訳

- 次の手順を使用して、[ナビゲーター] パネルで検索します。
  a. ナビゲーターパネルの横にあるファイルカテゴリ( )を選択します。
  b. [ユーザーインターフェイス] セクションを展開します。
  c. [ワークスペース] を選択します。
  d. スクロールして開きたいワークスペースを選択します。

でのアクセスワークスペースビルダー**AES**

AESを使用してワークスペースビルダーで既存のワークスペースを開くには、次の手順を実行します。

1. 移動先 すべて > **App Engine** > **App Engine Studio**.
2. [自分のアプリ] ページから、ワークスペースを含むアプリケーションを開きます。
3. 作成したワークスペースの横にある [他のアクション] アイコン (•••) を選択し、[編集] を選択します。
4. [ワークスペース] を選択し、[開始] を選択し ます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ビルドできるサンプルワークスペース

ワークスペースビルダー は、ホームページ、レコードページ、リスト、 アナリティクスセンター、およびその他の機能を含む基本的なワークスペースを提供します。

ワークスペースビルダー で作成するワークスペースには、複数のデフォルトページが含まれています。これらのページをそのまま使用することも、ビジネスニーズに合わせて編集することもできます。

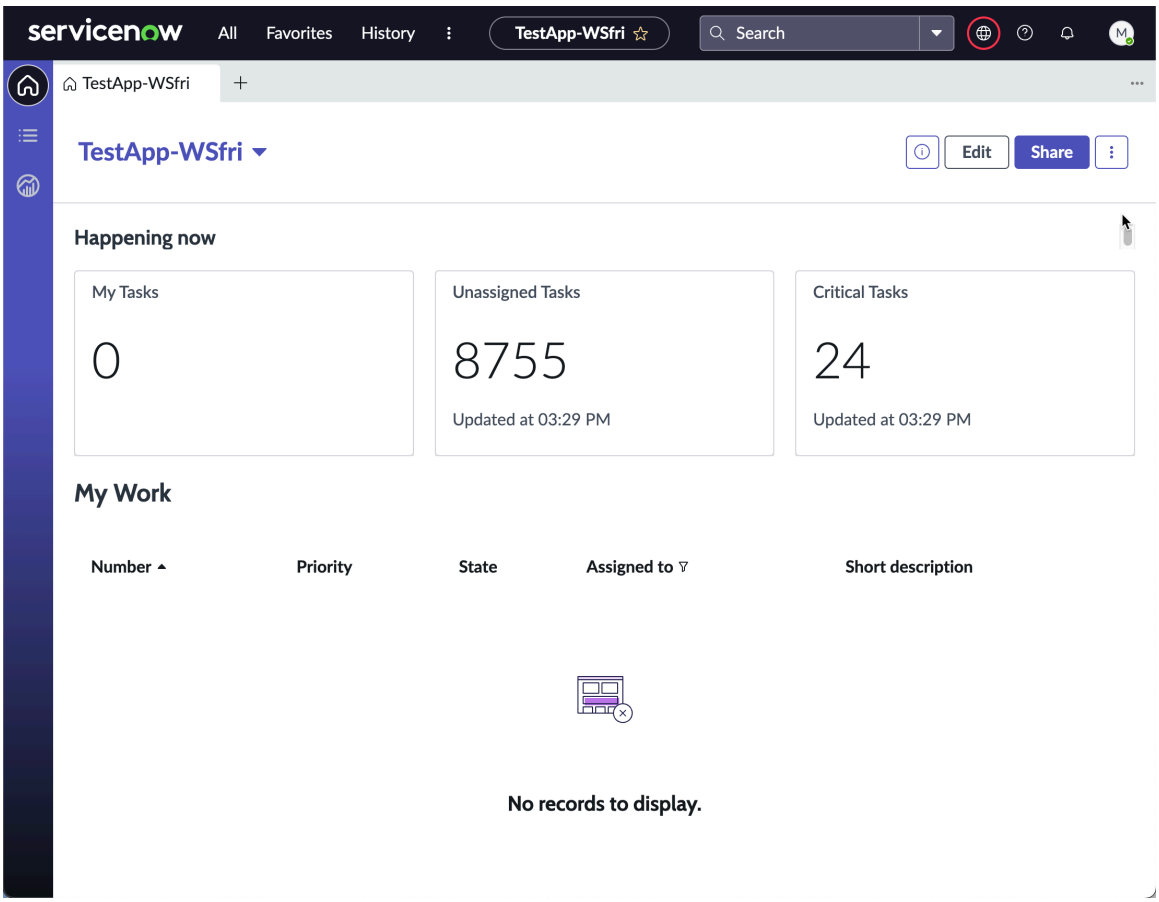
次に、追加した後にワークスペースに適用できるページのカスタマイズの例を示します。

- ホームページへ。
- リスト ページ
- レコードページ
- 検索ページ
- アナリティクスセンター

ワークスペースのホームページ

注:
ホームページに変更を加えることはできますが、他のすべてのページを編集するには、ページのバリアントまたはコピーを作成する必要があります。ページを直接編集すると、システムアップグレードで最新のコードが取得されません。

ホームページへ。

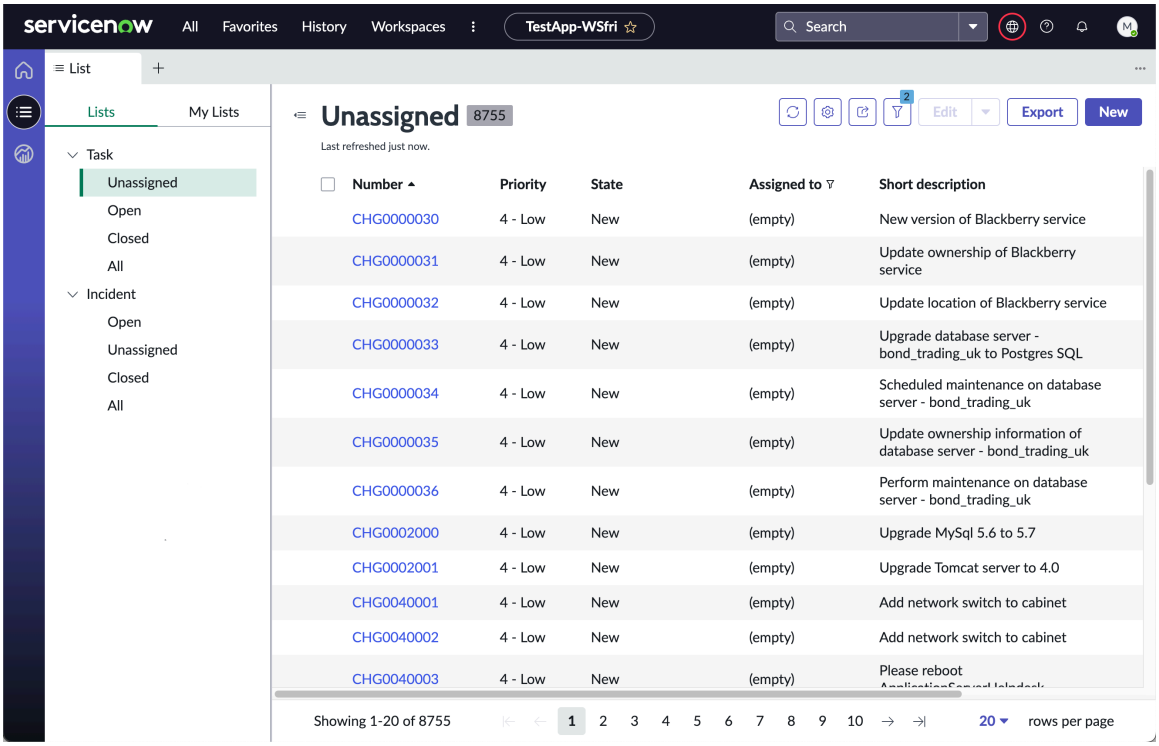


自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

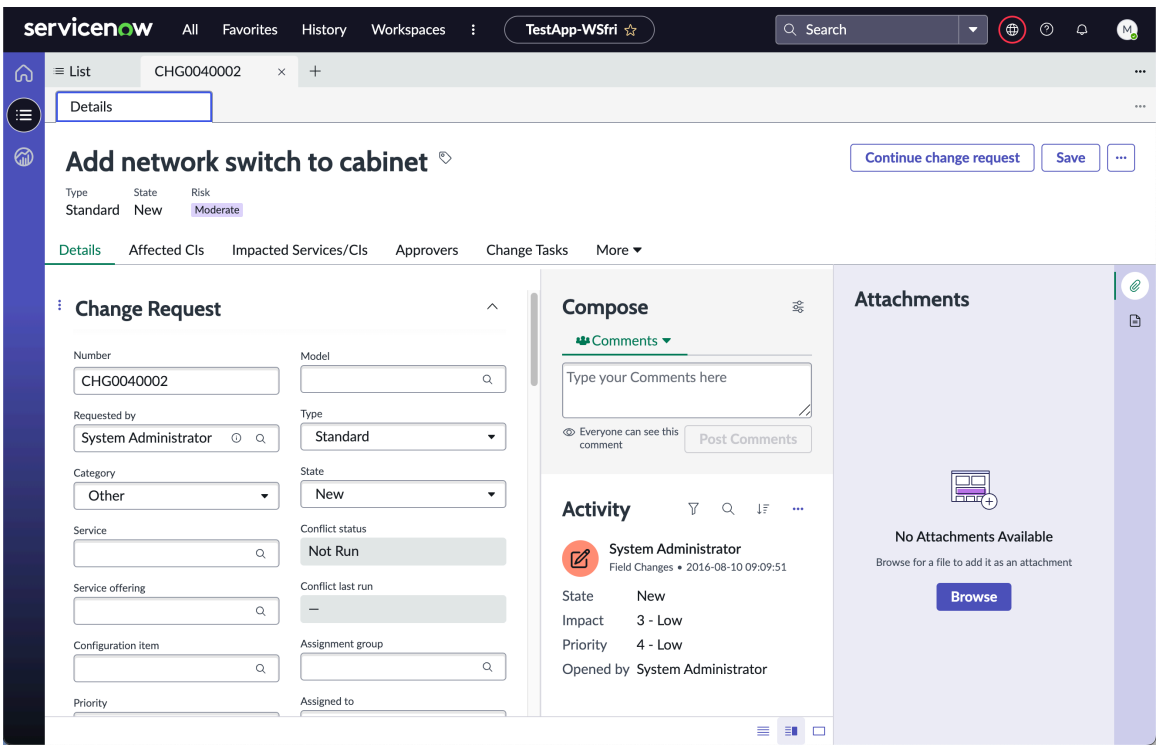
ワークスペースのリストページ

リスト ページ



ワークスペースのレコードページ

レコードページ

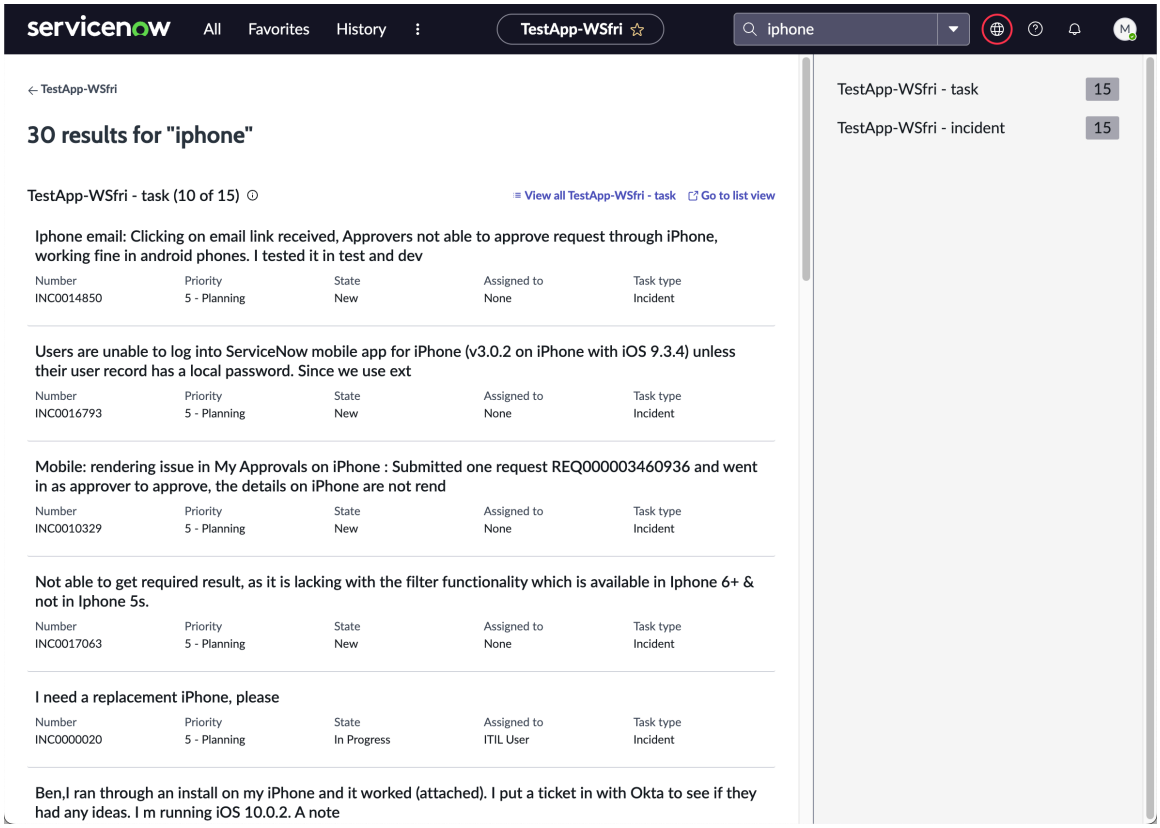


自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ワークスペースの検索ページ

検索ページ



ワークスペース アナリティクスセンター

アナリティクスセンターには次のコンポーネントが含まれます。

アナリティクス Q&A

プロセスの傾向と健全性について自然言語で質問できるフィールドです (自然言語クエリ機能が必要です)。

インジケータースコアカード

ロールに基づいてアクセスが許可されている パフォーマンスアナリティクス インジケーターのリストです。構成によっては、インジケーターを選択すると KPI 詳細で開くことができます。

ダッシュボードの概要

インスタンス上のアクセスが許可されている各ダッシュボードのタイルのセットです。タイルを選択すると、そのダッシュボードが開きます。

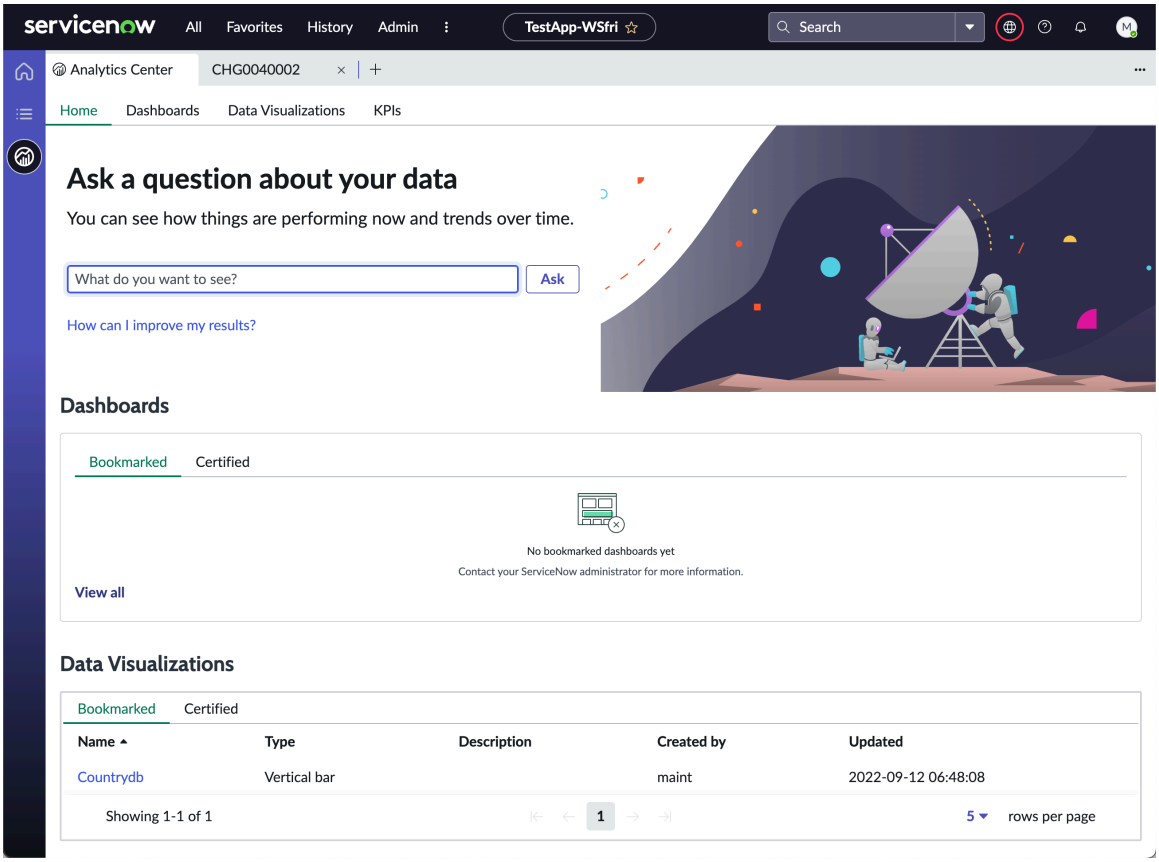
> **注:**
> ダッシュボードをインラインで作成および編集できます。詳細については、「Configure Platform Analytics dashboard details」を参照してください。

アナリティクスセンター の詳細については、「Analytics Center」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アナリティクスセンター



のワークスペースの一部 ワークスペースビルダー

すべてのワークスペースには、ワークスペースユーザーがタスクを完了できるようにするパーツがあります。

次のページと要素を含めて、ワークスペースをビルドします。

ワークスペースのページと要素

コンポーネント	定義
ホーム	ワークスペースのランディングページ。ダッシュボードが含まれており、ユーザーが最初にワークスペースにアクセスしたときに表示されます。 **注:** ホームページはワークスペースの重要な部分であるため、非表示にしたり削除したりすることはできません。 ホームページの構成の詳細については、「でのワークスペースホームページのカスタマイズ ワークスペースビルダー」を参照してください。 ワークスペースの基本設定の詳細については、「ワークスペースビルダー でのワークスペース設定の構成」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ワークスペースのページと要素 (続く)

コンポーネント	定義
リスト	指定されたテーブルのレコードリストページ。ユーザーがワークスペース内の個々のレコードを検索する際に役立ちます。 **注:** リストページやルートを削除する場合は、ワークスペースビルダー ではなく UI ビルダー を使用してワークスペースを編集する必要があります。 リストカテゴリを作成し、リストカテゴリごとにフィルター済みリストを追加できます。フィルター済みリストは一意の条件を適用し、レコードのフィルター済みサブセットのみが表示されるようにします。 ワークスペースビルダー でのリストの追加と編集の詳細については、「でのワークスペースのリストの作成 ワークスペースビルダー」を参照してください。
アナリティクス	カスタマイズ可能な アナリティクスセンター を使用すると、ユーザーはインスタンスのダッシュボード、データ可視化、およびインスタンスのインサイトを使用してレコードと使用率を追跡および分析できます。 **注:** ワークスペースに対するアナリティクスセンターのページやルートが存在しなくても、ワークスペースビルダー は使用できますが、アナリティクスセンター タブがワークスペースに表示されません。 ワークスペースの アナリティクスセンター の有効化の詳細については、「でワークスペースの分析を有効にする ワークスペースビルダー」を参照してください。
レコードページ	ユーザーがタスク、問題、またはインシデントを処理するのに有用な情報を提供するテーブル内のページ。有用な情報には、優先度、ステータス、アクティビティなどを含めることができます。 レイアウトのさまざまなセクションでコンテナとコンポーネントを使用して、レコードページを作成およびカスタマイズします。レコードページに プレイブックエクスペリエンス を追加することもできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ワークスペースのページと要素 (続く)

コンポーネント	定義
	詳細については、「でのワークスペースのレコードページの追加 ワークスペースビルダー」を参照してください。

注:
ワークスペースを ワークスペースビルダー で編集するには、ホームページとリストが必要です。ホームページとリストが存在しない場合は、UI ビルダー でワークスペースを編集する必要があります。

ワークスペースビルダー のレイアウト

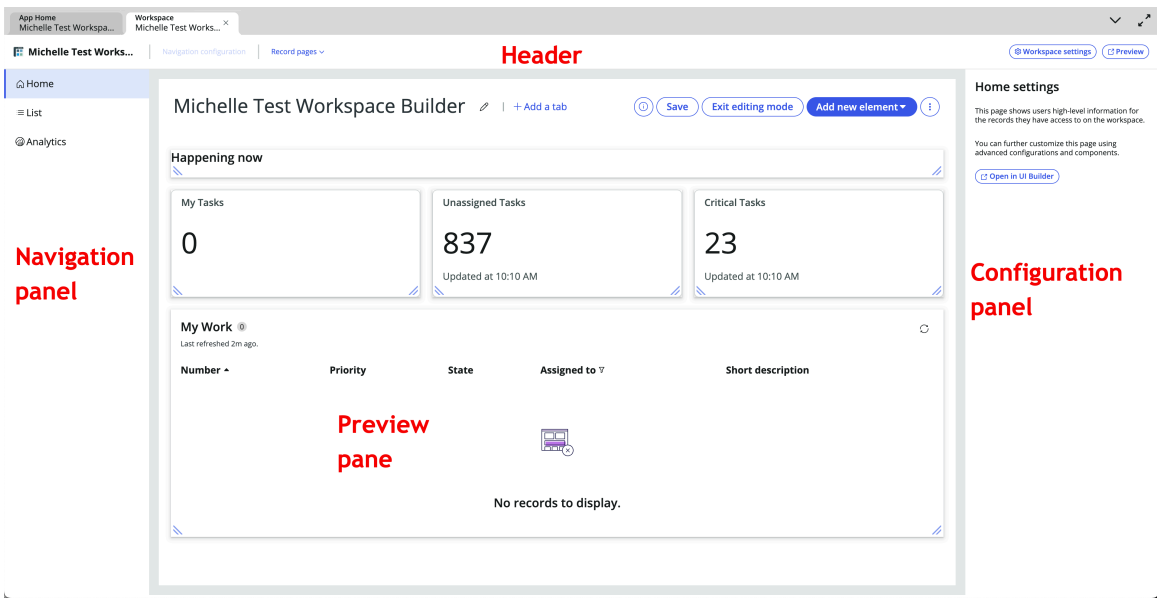
ワークスペースビルダー には、ビルダーカスタムワークスペースを有効にするためのナビゲーションパネル、ヘッダー、プレビューペイン、および構成パネルがあります。

初めて ワークスペースビルダー にアクセスすると、ワークスペースビルダー で実行できる内容の簡単なツアーがオンボーディングモーダルに表示されます。

ワークスペースビルダー は、次のセクションで構成されています。

- ユーザーがワークスペース内で移動できるページを構成するための左側のナビゲーションパネル
- 中央キャンバスのワークスペースのプレビュー
- 選択したワークスペースコンポーネントを構成するための右側の構成パネル
- 新しいブラウザータブでワークスペースをプレビューするオプション

ワークスペースビルダー レイアウト



ワークスペースビルダー のヘッダーには、タブの真下に次のナビゲーションオプションがあります。そこから次の操作を行うことができます。

- ナビゲーション構成
- レコードページ

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ワークスペースビルダーの構成

ワークスペースビルダーをインストールして構成し、ユーザーがカスタムワークスペースをビルドできるようにします。

構成の概要

ワークスペースビルダー プラグイン

ワークスペースビルダー を使用するには、sn_ws_builder スコープで com.devsnc_sn_workspace_builder プラグインを有効にする必要があります。これは com.snc.aes.starter_workspace_template の依存関係です。

ワークスペースビルダーのインストール

ワークスペースビルダー は ServiceNow Store で利用できます。

ServiceNow Store による ワークスペースビルダー のインストール

ServiceNow Storeを使用すると、コア製品とアプリケーションをダウンロードできます。

アプリケーションとその関連するすべての ServiceNow Store アプリケーションに有効な ServiceNow エンタイトルメントがあることを確認してください。

ワークスペースビルダー をインストールすると、次の関連アイテムもインストールされます。

- ロールとグループ
- テーブル
- プラグイン

のライセンス ワークスペースビルダー

ワークスペースビルダーApp Engine Enterpriseライセンスが必要です。詳細については、「App Engine 製品とサービス」を参照してください。

ワークスペースビルダー の使用

設定、ホームページ、レコードページ、リスト、およびアナリティクスをカスタマイズする前に、ワークスペースビルダー でワークスペースを作成します。

ワークスペース作成の概要

まず、ワークスペースを追加してその設定を構成します。次に、ホームページやレコードページなどのパーツをカスタマイズします。

ワークスペースの設定を追加して構成します。

1. ワークスペースの追加

   カスタマイズする前にワークスペースを作成します。

2. でのワークスペースの編集 ワークスペースビルダー

   名前やレコードページのナビゲーションなど、ワークスペースの基本機能を制御するワークスペース設定を定義します。

ワークスペースを作成したら、ユーザーにどのように表示されるかをカスタマイズします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- でのワークスペースホームページのカスタマイズ ワークスペースビルダー

  ユーザーがワークスペース (ダッシュボード) に初めてアクセスしたときに表示される内容をカスタマイズします。

- でのワークスペースのレコードページの追加 ワークスペースビルダー

  コンテナとコンポーネントを使用して、ワークスペースのレコードをカスタマイズします。

- でのワークスペースのリストの作成 ワークスペースビルダー

  リストカテゴリを作成およびカスタマイズして、テーブルレコードを一覧表示するワークスペースページを追加します。

- でワークスペースの分析を有効にする ワークスペースビルダー

  ユーザーがダッシュボード、データの可視化、インスタンスのインサイトを使用してレコードと使用状況を追跡および分析できるようにするアナリティクスを追加します。

ワークスペースの追加

ServiceNow スタジオ または App Engine Studio (AES) のワークスペースビルダーを使用してワークスペースを作成します。 ワークスペースは、エージェント、ケースマネージャー、ヘルプデスクプロフェッショナル、およびマネージャーに、顧客の質問に回答し、顧客の問題を解決するのに役立つツールを提供します。

始める前に

必要なロール：

- admin または ServiceNow スタジオ のガイド付きアプリケーションクリエーター。
- sn_app_eng_studio.user または AES の delegated_developer。詳細については、「AES を使用する開発者の委任」を参照してください。

このタスクについて

ワークスペースは主に、チケットを管理するサービスデスクなどの要求および履行プロセスに使用されます。

ワークスペースを追加するときは、その基本バージョンを作成します。これを展開できるようにするには、ワークスペースビルダー で編集を続行する必要があります。 より複雑なカスタマイズを行うには、UI ビルダー でワークスペースを編集します。

App Engine Studio のワークスペースエクスペリエンステンプレートからワークスペースを作成すると、ワークスペースビルダー でホームページ、リスト、レコードページを編集できます。ただし、アプリケーションテンプレートを使用してワークスペースを作成する場合は、UI ビルダー でそのワークスペースのページとオブジェクトの一部を編集する必要があります。

手順

1. [ServiceNow スタジオ] または [AES] に移動します。
   - ServiceNow スタジオを使用してワークスペースを追加するには、次の手順を実行します。
     a. 移動先 すべて > **App Engine** > **ServiceNow** スタジオ.
     b. ナビゲーターパネルの横にある作成 (+) を選択し、[ファイル] を選択します。
     c. [ユーザー インターフェイス] ファイルの種類を選択し、[ワークスペース] を選択します。
     d. **[Continue** (続行)] を選択します。
     e. [**Begin** (開始)] を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- AESを使用してワークスペースを追加するには、次の手順を実行します。
  a. 移動先 すべて > **App Engine** > **App Engine Studio**.
  b. [自分のアプリ] ページから、ワークスペースをビルドするアプリケーションを開きます。
  c. アプリケーションで、[エクスペリエンス] の横にある [追加] を選択します。
  d. [ワークスペース] を選択し、[開始] を選択し ます。

2. フォームで、フィールドに入力します。

フィールド	説明
名前	ユーザーに表示されるワークスペースの名前。デフォルトでは、ワークスペースはアプリケーションと同じ名前を共有します。 ヒント: 他のエクスペリエンスからそのワークスペースを一意に識別できる名前を使用します。たとえば、「Office art requests workspace (オフィスのアート要求ワークスペース)」などです。
説明	ワークスペースの説明。
URL	ワークスペースの一意の Web アドレス。デフォルトでは、ワークスペースの URL はアプリケーション名に基づいていますが、編集可能です。
ロール	ワークスペースにアクセスできるユーザーを限定するユーザーロール。 ○ ワークスペースへのアクセス権を付与するには、少なくとも 1 つのロールを指定する必要があります。 ○ ワークスペースに対してカスタムロールを使用するには、最初に [セキュリティ **(Security)]** で作成する必要があります。 詳細については、「アプリケーションセキュリティの追加」を参照してください。

3. [続行] を選択してワークスペースのデータを定義します。
4. フォームのフィールドに入力します。

フィールド	説明
[プライマリ] テーブル	ワークスペースユーザーが表示または更新するデータテーブル。
セカンダリテーブル	ワークスペースユーザーが表示および更新する追加データテーブル。

注:
デフォルトビューのテーブルのみを選択できます。 アプリで既に利用可能なテーブルと、アプリスコープ外のすべてのテーブルの 2 つのセクションから選択できます。

ワークスペースビルダー は、選択したテーブルのレコードページを自動的に生成します。

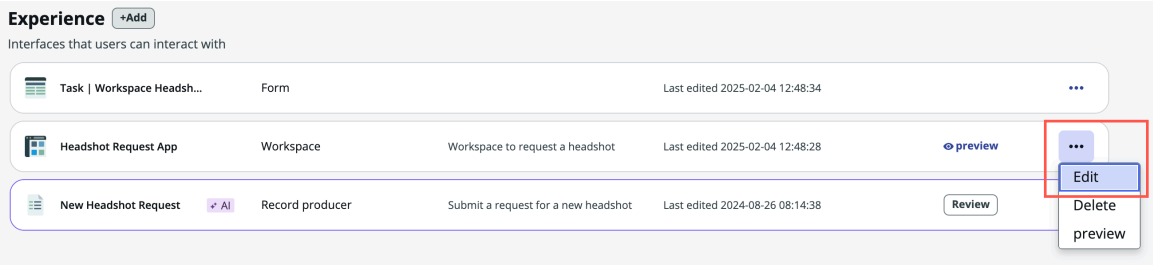
5. [続行] を選択し、[完了] を選択します。
AES でワークスペースを作成した後、各ページでコンポーネントを追加または構成して、ワークスペースビルダーでワークスペースを編集する必要があります。
6. 作成したワークスペースの横にある [他のアクション] アイコン (•••) を選択し、[編集] を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

アプリの [エクスペリエンス] セクションで、そのワークスペースを一覧表示するバーを選択してもかまいません。

ワークスペースの編集



7. オプション: [プレビュー] を選択して、インラインエディターでワークスペースホームページを編集します。

   a. ワークスペースのホームページで、[編集] を選択します。
   [編集] が表示されない場合は、そのワークスペースホームページの編集に必要な権限がない可能性があります。

   b. ワークスペースにアクセス制御リスト (ACL) がない場合は、[ユーザーロールを追加して続行 (Add user roles to continue)] モーダルにアクセスする必要があるロールを入力し、[ロールの追加] ボタンを選択します。
   詳細については、「ワークスペースビルダー でのワークスペース設定の構成」と「Access Control List Rules」を参照。

   c. サイズ変更、再編成、または再構成して、ホームページの要素とウィジェットを調整します。

   ワークスペースのホームページの編集は、ワークスペースでのダッシュボードの編集と同様に機能します。詳細については、「Edit Platform Analytics dashboards」を参照してください。

   > **注:**
   > ワークスペースが Tokyo より前に作成された場合は、UI ビルダー で編集する必要があります。詳細については、「UI ビルダー」を参照してください。

   テクニカルダッシュボードが含まれるワークスペースを作成した場合、ワークスペースを編集しようとすると、ワークスペースビルダー は **UI** ビルダーで開くように求めます。

   d. [新しい要素を追加] を選択して、ワークスペースのホームページにアイテムを追加します。

   e. [編集モードを終了] を選択して、インラインエディターでの編集を停止します。

8. ワークスペースビルダー でワークスペースを編集します。詳細については、「でのワークスペースの編集 ワークスペースビルダー」を参照してください。

   必要に応じて、ワークスペースにさらにレコードページを追加することもできます。

   > **注:**
   > デフォルトのワークスペースレコードページは読み取り専用であり、編集することはできません。各レコードページのコンテンツを変更するには、ページのバリアントを作成し、そのバリアントを編集します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次のタスク
ワークスペースビルダー を使用したワークスペースのカスタマイズの詳細については、「ワークスペースビルダー の使用」を参照してください。

ワークスペースビルダー でのワークスペース設定の構成

ワークスペースビルダーでワークスペース設定を定義して、名前やレコードページのナビゲーションなど、ワークスペースの基本機能を制御します。

このビデオでは、次の手順を実行する方法を紹介します。

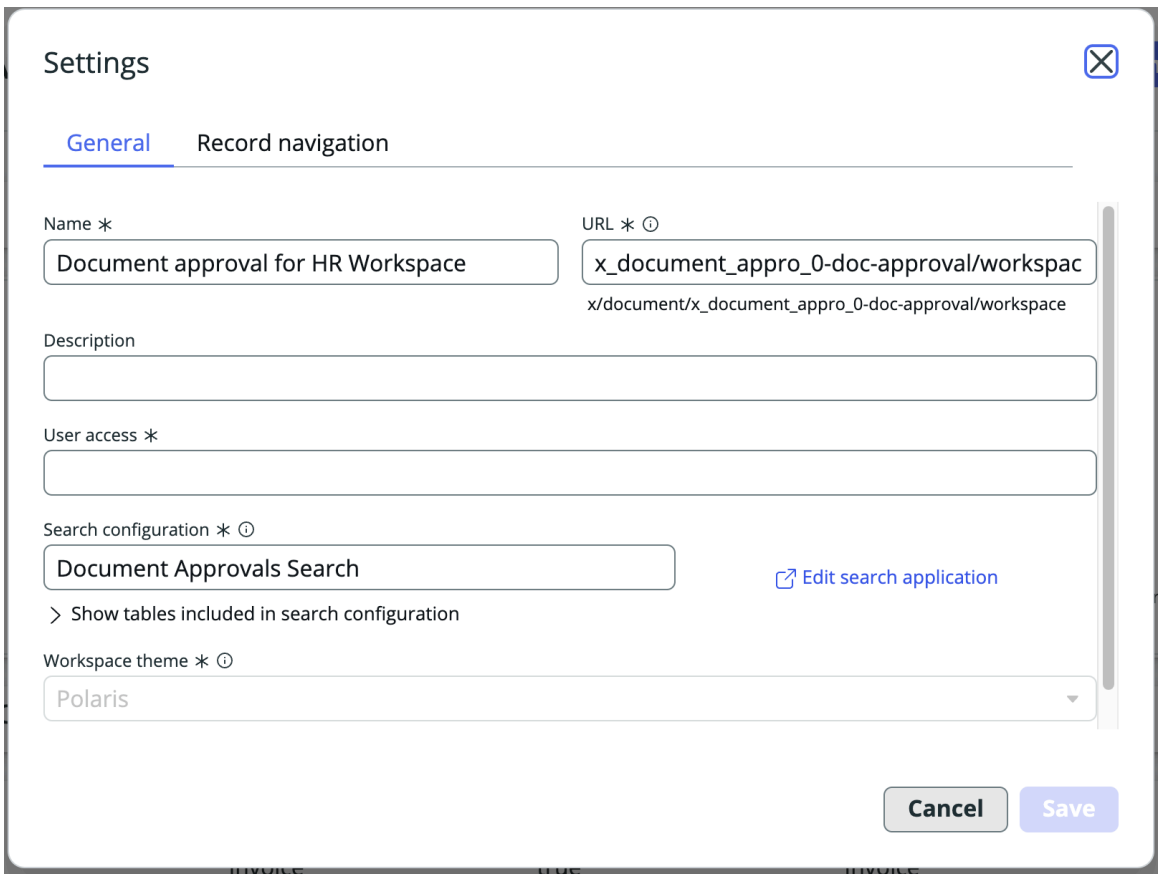
このビデオでは、ワークスペースビルダーでワークスペース設定を構成する方法を説明します。

始める前に
必要なロール：

- admin または ServiceNow スタジオ のガイド付きアプリケーションクリエーター。
- sn_app_eng_studio.user または AES の delegated_developer。詳細については、「AES を使用する開発者の委任」を参照してください。

手順

1. ワークスペースビルダー に移動します。
   ServiceNow スタジオ または AES でワークスペースビルダーを開く方法の詳細については、「ワークスペースビルダーへのアクセス」を参照してください。
2. ワークスペースビルダー ヘッダーの [ワークスペース設定] を選択して、[設定] フォームを表示します。



3. フォームの [全般] タブで、編集可能なフィールドに入力して、ワークスペースの基本設定を指定または変更します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
一部の設定はワークスペースの追加時に指定され、変更できません。

ワークスペースの全般設定

フィールド	説明
名前	ユーザーに表示されるワークスペースの名前。
URL	ワークスペースの相対 URL。パスはワークスペースの名前に基づいて自動的に作成され、先頭にインスタンス URL が付きます。ただし、このフィールドのパスはカスタマイズできます。
説明	ワークスペースの目的の簡単な説明。
ユーザーアクセス	ワークスペースにアクセスできるユーザーとグループ。ワークスペースへの無制限のアクセスを許可するには、このフィールドを空のままにします。
検索構成	ユーザーがワークスペースで検索を実行するときの情報ソース。メニューからプロファイルを選択することで、既存の検索構成を再利用できます。[検索アプリケーションを編集] リンクを選択して、追加の高度な構成変更を行います。 AI 検索 プロファイルを選択すると、次の機能を使用できます。 ○ 複数のファセット値を同時に選択し、条件ビルダーを使用して適用できる機能。 ○ ダウンロード可能な、リンクされた添付ファイルを含む親ドキュメントを表示する機能。 ○ ダークモード。 **注:** AI 検索 プロファイルを選択するには、インスタンスで AI 検索 を有効にする必要があります。 詳細については、「AI Search」を参照してください。
検索構成に含まれるテーブルを表示	ワークスペースがソースとして検索する 1 つ以上のテーブルを表示するオプション。
ワークスペースのテーマ (Workspace theme)	ワークスペースの表示スタイルを定義するテーマ。インスタンスで Polaris が有効になっていない場合にのみ選択できます。テーマは、UX テーマ **[sys_ux_theme]** テーブルから取得されます。。

Trouble?
一度に 1 つのユーザーアクセスロールのみを追加します。詳細については、このナレッジ記事を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

4. **[Save** (保存)] を選択します。
5. フォームの [レコードナビゲーション] タブを選択し、フィールドに入力して、ユーザーが作成できるレコードのタイプを指定します。

レコードナビゲーションワークスペースの設定 **(Record navigation workspace settings)**

フィールド	定義
ナビゲーションタイプ	ユーザーがワークスペースを操作または移動する方法です。 [タブ付きナビゲーション] では、ページごとに個別のタブが作成されるため、ユーザーは一度に複数のレコードで作業できます。ユーザーがレコード間をすばやく移動する必要があると予想される場合は、タブを選択します。タブを使用すると、ユーザーはナビゲーションから直接レコードを作成できます。 **注:** AES に組み込まれたワークスペースのデフォルトのナビゲーションタイプはタブを使用しており、ワークスペースの作成後に変更することはできません。ブレッドクラムナビゲーションを指定するには、UI ビルダー にワークスペースを作成する必要があります。ワークスペースの作成後にナビゲーションタイプを変更することはできません。
テーブル	ユーザーがレコードを作成するときに追加されるデータテーブル。選択したテーブルには、リストが自動的に関連付けられます。 **注:** ワークスペースの作成時に指定されたテーブルが自動的に表示されます。[テーブルを追加します] を選択し て、追加のテーブルをワークスペースに組み込みます。各テーブルは 1 回のみ追加できます。 テーブルを削除するには、その削除アイコンを選択します ( )。確認メッセージは表示されませんが、[キャンセル] を選択して削除内容を元に戻すことができます。
ラベル	ユーザーが新しいレコードメニューを選択したときに表示されるオプションの簡単なラベル。ユーザーに対してレコードの用途を伝えるラベルを指定します。

6. **[Save** (保存)] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

でのワークスペースホームページのカスタマイズ ワークスペースビルダー

ワークスペースビルダー でワークスペースのホームページを編集します。ワークスペース (ダッシュボード) に初めてアクセスしたときに表示される内容を調整します。

このビデオでは、次の手順を実行する方法を紹介します。

このビデオでは、ワークスペースビルダーでワークスペースホームページを構成する方法を説明します。

始める前に

必要なロール：

- admin または ServiceNow スタジオ のガイド付きアプリケーションクリエーター。
- sn_app_eng_studio.user または AES の delegated_developer。詳細については、「AES を使用する開発者の委任」を参照してください。

このタスクについて

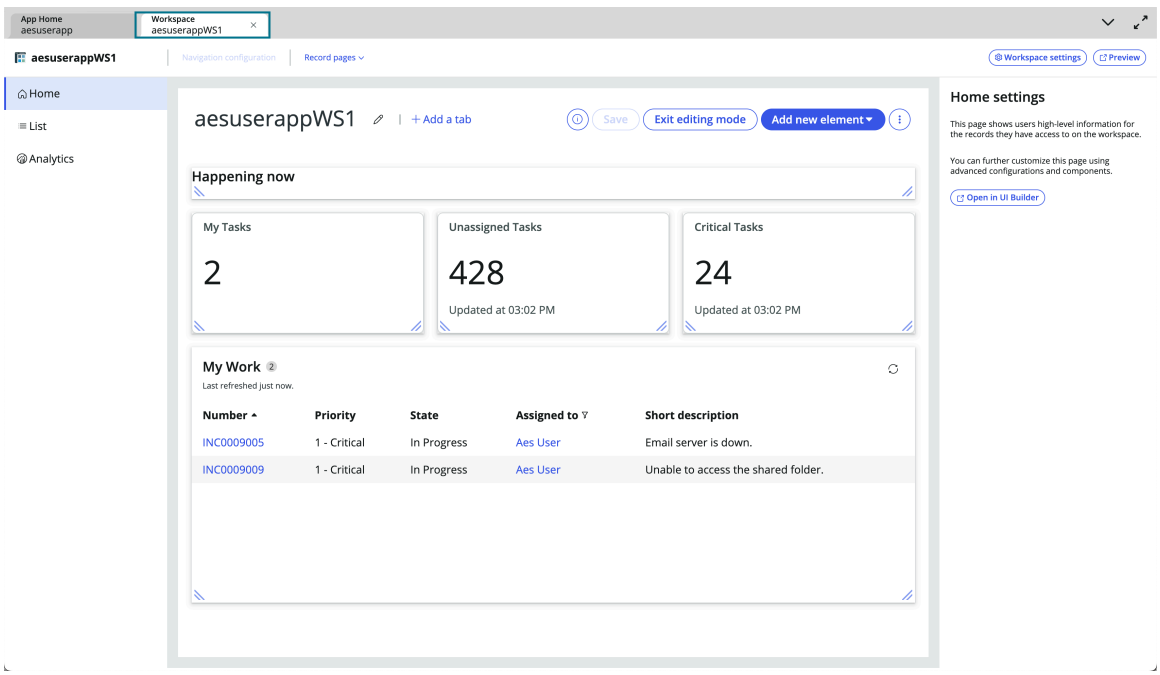
Tokyo 以降に作成されたワークスペースに対してのみ、ワークスペースビルダー でワークスペースのホームページを編集できます。UI ビルダー で古いワークスペースを編集できます。

> **注:**
> ホームページはワークスペースの重要な部分であるため、非表示にしたり削除したりすることはできません。

手順

1. ワークスペースビルダー に移動します。
   ServiceNow スタジオ または AES でワークスペースビルダーを開く方法の詳細については、「ワークスペースビルダーへのアクセス」を参照してください。
2. ページに要素を追加します。
   [ナビゲーション構成] タブにいる必要があります。既に [ナビゲーション構成] タブが表示されている場合は選択できません。

   a. ナビゲーションパネルで、[ホーム] を選択します。



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

b. ホームページのキャンバスで、[新しい要素を追加] を選択します。

c. リストから、追加する要素またはコンポーネントを選択します。

たとえば、指定したテーブルからデータのグラフィックを追加するには、[データの可視化] を選択し、[新規データの可視化] または [保存済みデータの可視化] を選択します。

ワークスペースビルダー のホームページに次の要素を追加できます。

ホームページ要素

要素	説明	詳細情報
データの表示方法	現在のインスタンスデータのグラフィカルでビジュアルな表現。 [ライブラリから可視化を選択] モーダルで選択し、[ダッシュボードに追加] を選択することで、新しいデータの可視化を作成したり、既存のデータ可視化を再利用したりすることができます。 データのビジュアル化に加えて、ライブラリ要素を選択して、既に保存されているデータのビジュアル化をホームページに追加できます。	▪ Data visualizations in Platform Analytics ▪ Create a single score data visualization ▪ 開発者サイトのデータビジュアル化コンポーネントのリスト
フィルター	指定された基準に基づいてダッシュボードのビジュアル化を洗練します。フィルターは、テーブルとインジケーターの両方に適用できます。	▪ Filters in Platform Analytics ▪ 開発者サイトフィルターコンポーネントのリスト
見出し	ホームページまたはセクションの上部のタイトルまたはテキスト。	開発者サイトの見出しコンポーネントのリスト
画像	ワークスペースの静的な画像やアニメーションの画像、または写真。	開発者サイトの画像コンポーネントのリスト
リスト：簡易	ダッシュボードの対象者用にカスタマイズできるテーブルデータ。	▪ Simple List widget または リスト - 簡易な使用法 - 開発者サイト ▪ 開発者サイトリスト - シンプルなコンポーネントのリスト

ホームページの ワークスペースビルダー コンポーネント にはホームページ要素の詳細が含まれています。詳細については、「Exploring Platform Analytics dashboards」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

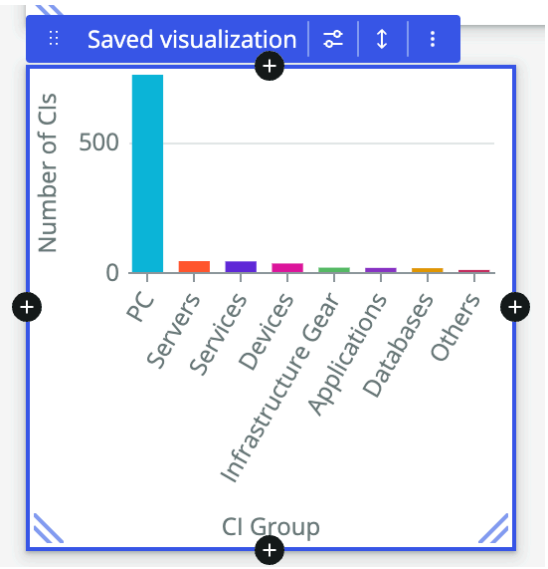
[新しい要素を追加] メニューで利用できない追加の要素を含める場合は、UI ビルダー のワークスペースを編集する必要があります。UI ビルダーに追加できる要素の完全なリストについては、 ServiceNow.

要素がダッシュボードに表示され、そこで編集を行うことができます。

d. 要素をドラッグして、移動またはサイズ変更します。

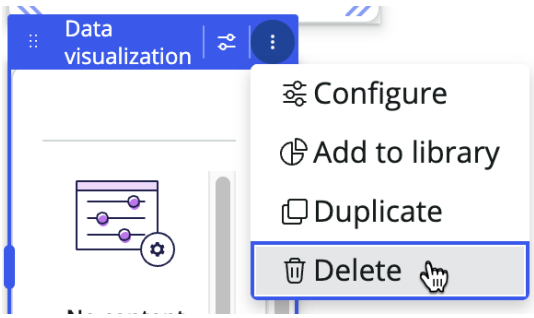
e. キャンバスヘッダーで、[保存] を選択します。

3. オプション: 必要に応じて、要素の追加の変更を行います。

オプション	説明
要素を編集する	**a.** データのビジュアル化など、編集する要素を選択します。 (Optional) 要素タイプの名前とともにヘッダーが表示されます。  **b.** 要素ヘッダーで設定アイコン ( ) を選択して、キャンバス内の構成パネルを開きます。 **注:** コンテキストメニューアイコン ( ) を選択し、[構成] を選択して要素を編集することもできます。 **c.** 必要に応じて、構成パネルで要素の構成を編集します。 (Optional) たとえば、データビジュアル化を編集する場合は、ソーステーブルを指定する必要があります。コンポーネントの編集の詳

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

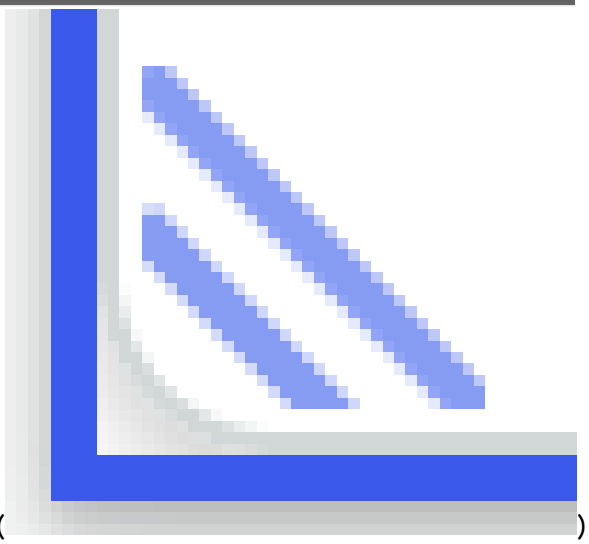
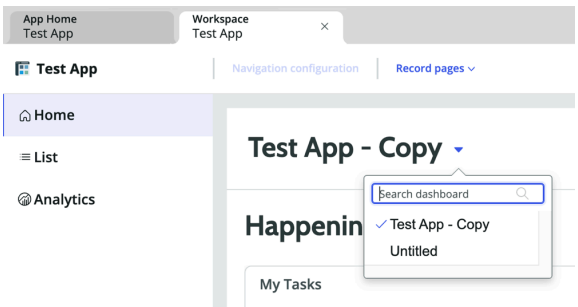
オプション	説明
	細については、「コンポーネントの追加と構成」を参照してください。 **d.** キャンバスヘッダーで、[保存] を選択します。
ホームページで再利用する要素をコピーする	コンテキストメニューアイコン ( ) を選択し、[複製] を選択して要素をコピーします。その後、コピーした要素に追加の変更を加えることができます。
再利用のためにライブラリに要素を追加する	コンテキストメニューアイコン ( ) を選択し、[ライブラリに追加] を選択して、ライブラリに要素を追加して他のダッシュボードで再利用します。
ワークスペースのダッシュボードから要素を削除する	**a.** 削除する要素を選択します。 (Optional) 要素タイプの名前とともにヘッダーが表示されます。 **b.** ヘッダーで、コンテキストメニューアイコン ( ) を選択し、[削除] を選択します。  **注:** 確認メッセージはありません。要素がダッシュボードに表示されなくなります。

4. オプション: 必要に応じて、ダッシュボードの追加の構成変更を行います。

オプション	説明
ダッシュボードのレイアウトを設定する	要素全体を選択してドラッグし、ダッシュボードレイアウト内で動かします。 (Optional) 要素のサイズを変更するには、要素の下隅にあるハンドルバー

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

オプション	説明
	 ( ) を選択してドラッグします。
ダッシュボードを複製	ダッシュボードのコピーを作成するには、次の手順を実行します。 ○ ダッシュボードの [その他のオプション] アイコン ( ) を選択します。 ○ [複製] を選択します。 ○ コピーしたダッシュボードの新しい名前と説明をモーダルに入力します。 ○ [複製] を選択します。 編集モードを終了し、ダッシュボード名のドロップダウンメニューから新しいダッシュボードを選択して、複製されたダッシュボードにアクセスします。 
ワークスペースにタブを追加し、必要に応じて編集する	**a.** [タブを追加] を選択して、ホームページにタブを追加します。 最初のタブをホームページのダッシュボードに追加すると、レイアウトの新しい部分がタイトルの下に表示されます。タブに追加した要素は、ユーザーがどのタブにいるかに関係なく表示されます。 [無題] というラベルの付いたタブが既存のタブの横に追加されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

オプション	説明
	b. タブ名を選択し、編集アイコン ( ) を選択し、新しい名前を入力して **Enter** キーを押して、タブの名前を変更します。 **c.** タブを選択し、新しい位置にドラッグして、タブを並べ替えます。 **d.** タブの削除アイコン ( ) を選択し、[削除] を選択して、タブを削除します。 注: 確認メッセージは表示されません。タブがダッシュボードに表示されなくなります。
ワークスペースのプレビューとインライン編集	インラインエディターを使用してワークスペースをプレビューするときに、基本的な編集を行います。 **a.** ワークスペースビルダー のヘッダーで、[プレビュー] を選択します。 **b.** 新しいブラウザータブに表示されるプレビューで、[編集] を選択します。 **c.** サイズ変更、再編成、または再構成して、ホームページの要素とウィジェットを調整します。 詳細については、「Edit Platform Analytics dashboards」を参照してください。 **d.** [新しい要素を追加] を選択して、ワークスペースのホームページにアイテムを追加します。 **e.** [編集モードを終了] を選択して、インラインエディターでの編集を停止します。
ダッシュボードの印刷対応バージョンを開く	ダッシュボードの [その他のオプション] アイコン ( ) を選択し、[印刷対応] を選択して、印刷に適した形式でワークスペースのホームページを表示します。
アナリティクスセンター へのブックマークの追加	ダッシュボードの [その他のオプション] アイコン ( ) を選択し、[ブックマークに追加] を選択して、アナリティクスセンター ブックマークセクションにワークスペースのブックマークを含めます。
ホームページの追加構成または詳細構成	構成パネルで、**[UI** ビルダーで開く] を選択します。
ダッシュボードの削除	ダッシュボードの [その他のオプション] アイコン ( ) を選択し、[削除] を選択します。確認するには、[削除] を再度選択する必要があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

オプション	説明
	注: ワークスペースには、少なくとも 1 つのダッシュボードホームページが必要です。

5. ダッシュボードを共有します。

a. ダッシュボードの [その他のオプション] アイコン ( ) を選択し、[共有] を選択します。

b. モーダルのフィールドに入力します。

ダッシュボード共有のオプション

オプション	説明
アクセス権を付与	ダッシュボードにアクセスできるユーザーとグループ。
受信者がこのダッシュボードに関連付けられた共有権限を追加、編集、削除できるようにします	ダッシュボードを共有しているユーザーとグループが、任意のユーザー、グループ、またはロールの共有権限を追加、編集、および削除できるようにするオプション。
閲覧者として追加/エディターとして追加	ダッシュボードの読み取り専用アクセスまたは書き込みアクセスを指定するオプション。
アクセスを管理	ダッシュボードにアクセスできるロール。検索ボックスでロールを検索して選択します。アクセス権を持つロールごとに、アクセスレベルを選択します。 ▪ 編集可能 ▪ 表示可能 ▪ 共有可能
フィルターを含むリンクをコピー	現在適用されているフィルターを使用して、指定されたユーザーとロールのダッシュボード URL をコピーするボタン。
リンクをコピー	フィルターを使用せずに、指定されたユーザーとロールのダッシュボード URL をコピーするボタン。

c. [確認] を選択します。

6. ワークスペースビルダー ヘッダーで、[保存] を選択します。

でのワークスペースのレコードページの追加 ワークスペースビルダー

ワークスペースビルダー でワークスペースのレコードページを構成します。コンテナとコンポーネントを使用して、エクスペリエンスを通じてユーザーをガイドします。各レコードページは 1 つのデータテーブルにのみリンクされています。

始める前に
必要なロール：

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- admin または ServiceNow スタジオ のガイド付きアプリケーションクリエーター。
- sn_app_eng_studio.user または AES の delegated_developer。詳細については、「AES を使用する開発者の委任」を参照してください。

このタスクについて
コンポーネントはページの構成要素です。コンポーネントをページに追加して、ワークスペースエクスペリエンスをビルドまたはカスタマイズします。たとえば、ユーザーが要求を送信できるボタンコンポーネントをページに追加します。

コンテナは、他のコンポーネントを含めることができるコンポーネントの一種です。コンテナにはレイアウトプロパティが適用されています。ページレイアウトと表示スタイルを変更して、レコードページを独自のエクスペリエンスにします。

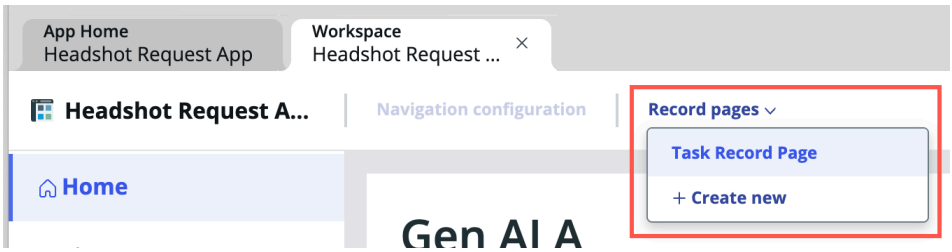
注:
AES ワークスペース UI テンプレート v22.0.3 リリース以降にビルドされたワークスペースからは、ワークスペースビルダー でレコードページを操作できます。旧式のワークスペースでは、UI ビルダー でレコードページを編集する必要があります。

ワークスペース用に構成したテーブルのレコードページが表示されない場合は、このナレッジ記事で詳細を参照してください。

手順

1. ワークスペースビルダー に移動します。
   ServiceNow スタジオ または AES でワークスペースビルダーを開く方法の詳細については、「ワークスペースビルダーへのアクセス」を参照してください。
2. レコードページを作成します。
   AES は、ワークスペースの作成時に選択したテーブルのレコードページを自動的に生成します。

   a. ワークスペースビルダーヘッダーの [レコードページ] メニューから **[+** 新規作成] を選択します。



   b. フォームで、フィールドに入力します。

レコードページ設定

フィールド	説明
名前	レコードページの目的を識別する簡単な名前。
テーブル	レコードページがリンクされて更新されるテーブル。 次のルールが適用されます。 ▪ 自分または組織の誰かが作成したテーブルを使用している場合、そのテーブルには少なくとも 1 つの新しいフィールドまたは

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

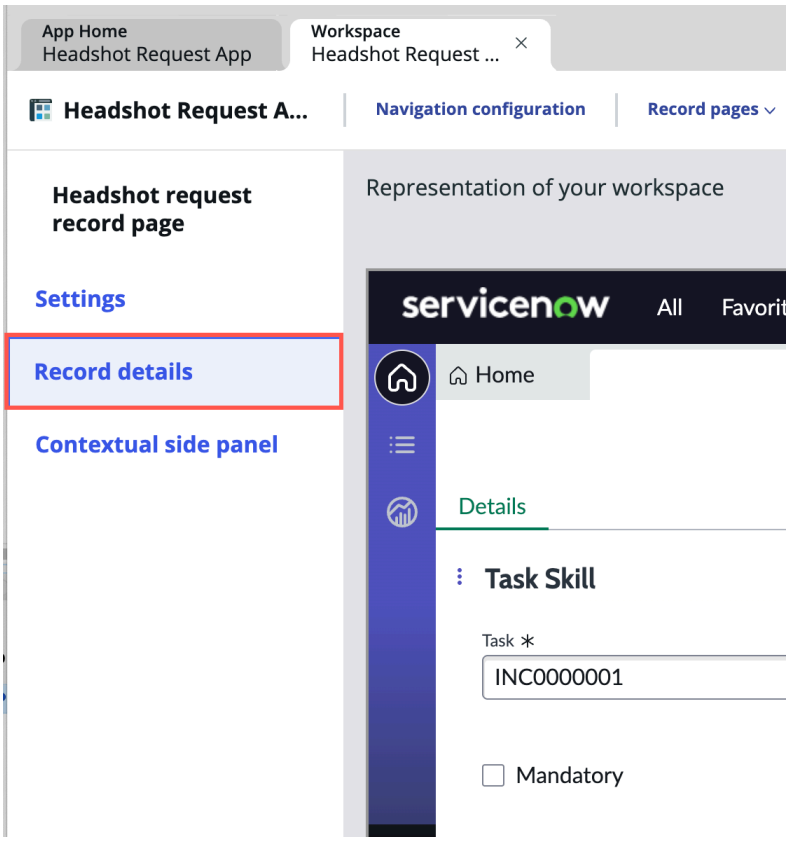
フィールド	説明
	列が含まれている必要があります。そうでない場合、フォームビューとテーブルのレコードを作成できません。 ▪ 各テーブルは 1 つのレコードページにのみリンクできます。 アプリで既に利用可能なテーブルと、アプリスコープ外のすべてのテーブルの 2 つのセクションから選択できます。

c. **[Create** (作成)] を選択します。

ページがプレビューパネルに表示されます。[レコードページ] メニューからページを選択できます。

3. レコードページのレコードの詳細を編集します。

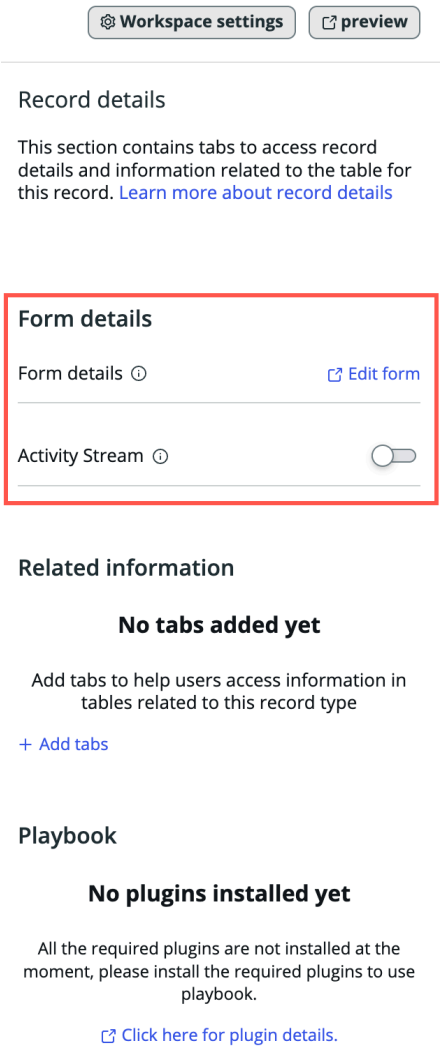
a. ナビゲーションパネルで、[レコード詳細] を選択します。



b. 構成パネルの [フォームの詳細] セクションで、[フォームの編集] を選択し、フィールドに入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



自動翻訳

レコードページのフォームの詳細

フィールド	説明
フォームの詳細	[フォームを編集] リンクを選択して、AES 内の テーブルビルダー タブでフォームを編集します。 **注:** レコードページの テーブルビルダー タブを終了すると、このページをリロードすることを求めるダイアログが表示されます。 レコードページのフォームの編集の詳細については、「テーブルビルダー のフォーム」を参照してください。
アクティビティストリーム	レコードページの アクティビティストリーム を有効にするオプション。

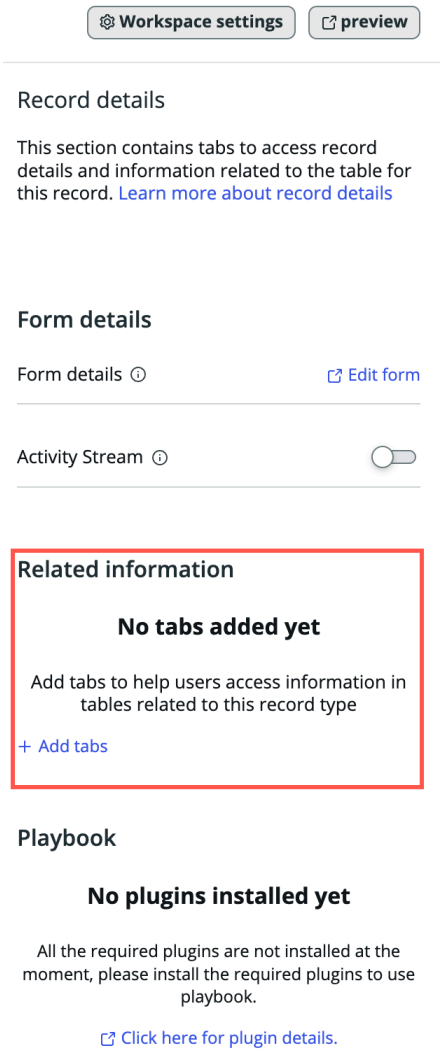
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	アクティビティストリーム を使用すると、ワークスペースユーザーは要求者とやり取りして、レコードに対して行われた作業に関する内部メモを記録できます。アクティビティストリーム の詳細については、「Activity streams」を参照してください。

4. レコードページの構成パネルの関連情報セクションで、関連情報を設定します。
関連情報には、[子インシデント] などのタブとして表示される、レコードに関連するテーブルが含まれます。関連情報の構成の詳細については、「Related lists」を参照してください。

> **注:**
> レコードページに関連情報のテーブルを作成することはできません。テーブルは ServiceNow AI Platform に存在する必要があります。

a. 関連リストがまだ存在しない場合は、[関連情報] セクションで **[+** タブの追加] を選択して、新しい関連リストを追加します。



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

レコードページに関連リストが存在する場合は、構成パネルの [関連情報を管理] リンクを選択します。

b. AES 内の新しいタブに表示されるフォームで、タブとして表示する関連リストを [利用可能] パネルから [選択済み] パネルに移動します。

c. 矢印ボタンを使用して、選択したリストを表示する順番に移動します。

d. [保存] を選択し、AES 内の [ワークスペースビルダー] タブに戻ります。

e. 表示されるダイアログボックスで [このページをリロード] を選択して、行った変更を表示します。

各関連情報コンポーネントには、選択するとその関連テーブルが表示される情報アイコン (ⓘ) があります。

5. プレイブック を指定することで、ビジネス間のワークフローの可視化と、これらのワークフローを完了するために使用される実行可能なタスクを履行者に提供します。
プレイブックの詳細については、「About Playbook Experience」を参照してください。

> **注:**
> プレイブックエクスペリエンス プラグインをインストールしておく必要があります。テンプレートを使用してアプリを作成した場合、プレイブックをレコードページに追加することはできません。テンプレートから作成されたワークスペース用のプレイブックを追加する方法の詳細については、 このナレッジベース記事を参照してください。

a. 構成パネルの Playbook セクションで、[プレイブックを追加] を選択します。

b. フォームのフィールドに入力します。

プレイブックの詳細

フィールド	説明
タブ名	プレイブック を含むレコードタブのラベル。
プレイブックエクスペリエンス	レコードに追加する既存の プレイブック。 **注:** テーブルで利用可能なプレイブックからのみ選択できます。

c. [追加] を選択します。

d. 設定アイコン (⚙) を選択し、変更を行ってから、[更新] を選択して、プレイブックを更新します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

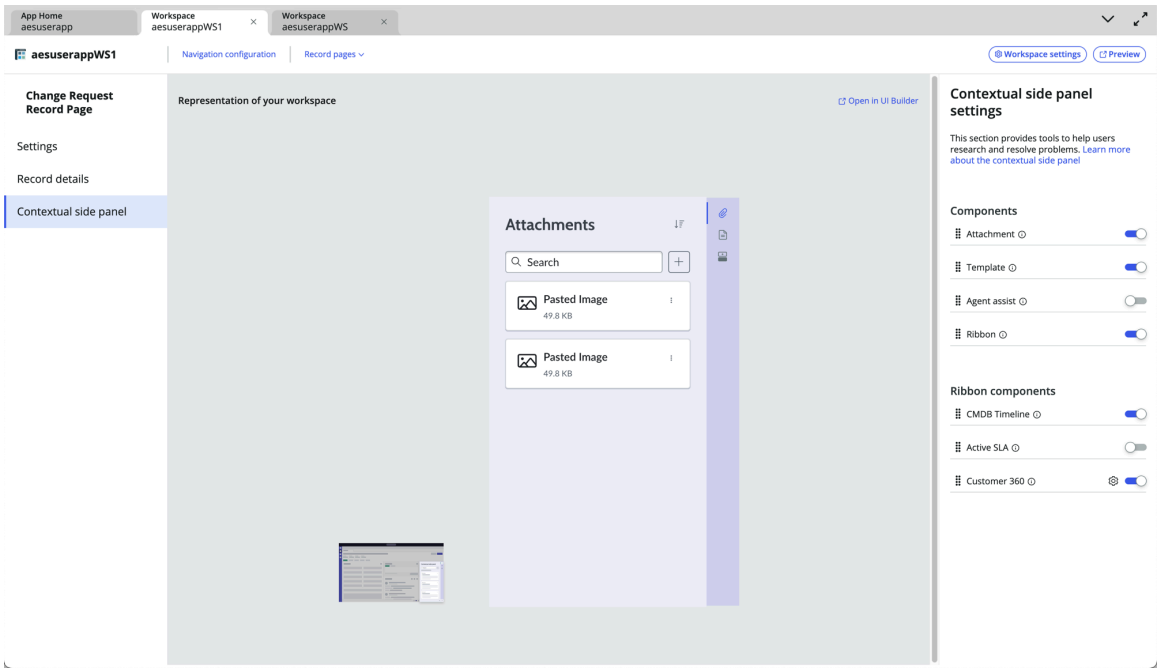
> **注:**
> プレイブック にさらに変更を加える場合は、プレイブック で プレイブック を開いて編集する必要があります。

e. Playbook の削除アイコン ( ) を選択し、確認ダイアログで [削除] を選択して、ワークスペースから プレイブックを削除します。

6. レコードページのコンテキストサイドパネルを構成します。このパネルには、ページの右側に表示されるツールのアイコンが含まれています。
コンテキストサイドパネルには、エージェントがさまざまな ServiceNow AI Platform ツールを使用して問題を調査および解決できるようにするためのアイコンがあります。組織が UI ビルダーで右側タブのカスタムコンポーネントを作成した場合は、それらも追加できます。

> **注:**
> テンプレートを使用してアプリを作成した場合、コンテキストサイドパネルをレコードページに追加することはできません。

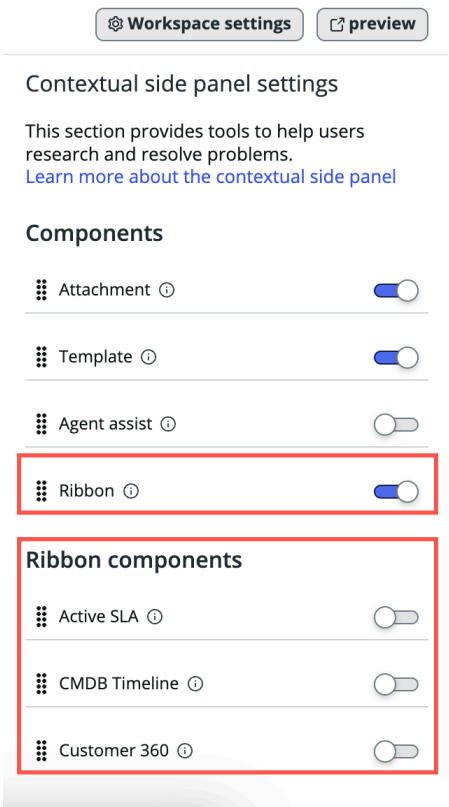
a. レコードページのナビゲーションパネルで、[コンテキストサイドパネル] を選択します。



b. コンテキストサイドパネルの設定で、レコードページに表示する各コンポーネントとリボンコンポーネントの切り替えスイッチを選択します。
たとえば、レコードに対して エージェントアシスト と添付ファイルを含めることができます。添付ファイルとテンプレートはデフォルトでアクティブ化されていますが、切り替えオプションの選択を解除することで無効にできます。

リボンコンポーネントを表示するには、 リボン コンポーネントのトグルをオンに設定します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



既存のカスタムコンポーネントを追加するには、UI ビルダー でワークスペースを編集します。

[コンテキストサイドパネル] のコンポーネント

ツール	タイプ	説明	詳細情報
アクティブな SLA	リボン コンポーネント	残り時間、Service License Agreements (SLA) ステータス、違反など、ケースのアクティブな SLA が表示されます。	SLA リボン
添付ファイル	コンポーネント	画像や PDF などの添付ファイルをレコードに追加します。	Attachments
構成管理データベース (CMDB) タイムライン	リボン コンポーネント	ステータスの変更や、エージェントと要求者 (通常は顧客) 間のやり取りなど、ケースのアクティビティの時系列の概要が表示されます。リボンには、履行者と要求者がケースに費やした時間も表示されます。	タイムラインのリボンコンポーネント
Customer 360	リボン コンポーネント	連絡先またはコンシューマーの名前、メールアドレス、電話	Customer 360 リボンコンポーネント

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ツール	タイプ	説明	詳細情報
		番号などの顧客情報が表示されます。	
リボン	コンポーネント	エージェントが問題を解決する際に役立つツールを含むコンテキストサイドパネルリボンを表示します。 リボンコンポーネントには、他のコンポーネントを追加できます。	Viewing ribbon information in the contextual side panel

選択したツールがレコードページのプレビューキャンバスに表示されます。

c. 構成パネルで、コンポーネントをドラッグして並べ替えます。

d. オプション: 設定アイコン (⚙) を選択して、コンポーネントの追加の構成を完了します。
たとえば、Customer 360 では、コンポーネントがレコードページで機能する前に、追加の設定を指定する必要があります。

ワークスペースビルダー は、コンテキストサイドパネルへの変更を自動的に保存します。

7. 追加の変更と構成を完了します。

オプション	説明
レコードページの名前を更新する	**注:** ページを作成した後で、レコードページがリンクされているテーブルを変更することはできません。レコードページのテーブルを変更するには、別の新しいレコードページを作成する必要があります。 **a.** [レコードページ] メニューから、編集するページを選択します。 レコードページのプレビューが表示されます。 **b.** ナビゲーションパネルで、[設定] を選択します。 **c.** 表示される [レコードページ設定] 構成パネルで、新しいページ名を入力します。 **d.** [保存] を選択します。
新しいブラウザータブでレコードページをプレビュー	ワークスペースビルダー のヘッダーで、[プレビュー] を選択します。 レコードページがワークスペースに表示されます。テーブルのデータが存在しない場合、AES はテーブルにデータを追加できるページを表示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

オプション	説明
レコードページを削除	**a.** [レコードページ] リストから、ページを選択します。 **b.** ナビゲーションパネルで、[設定] を選択します。 **c.** 構成パネルの下部で、[レコードページを削除] を選択します。 **d.** 確認ダイアログで、[削除] を選択します。

でのワークスペースのリストの作成 ワークスペースビルダー

ワークスペースビルダーでリストカテゴリを作成して、テーブルレコードを一覧表示するページを追加します。フィルター条件を追加し、列を変更してリストにバリエーションを作成できます。

始める前に
必要なロール：

- admin または ServiceNow スタジオ のガイド付きアプリケーションクリエーター。
- sn_app_eng_studio.user または AES の delegated_developer。詳細については、「AES を使用する開発者の委任」を参照してください。

このタスクについて
注:

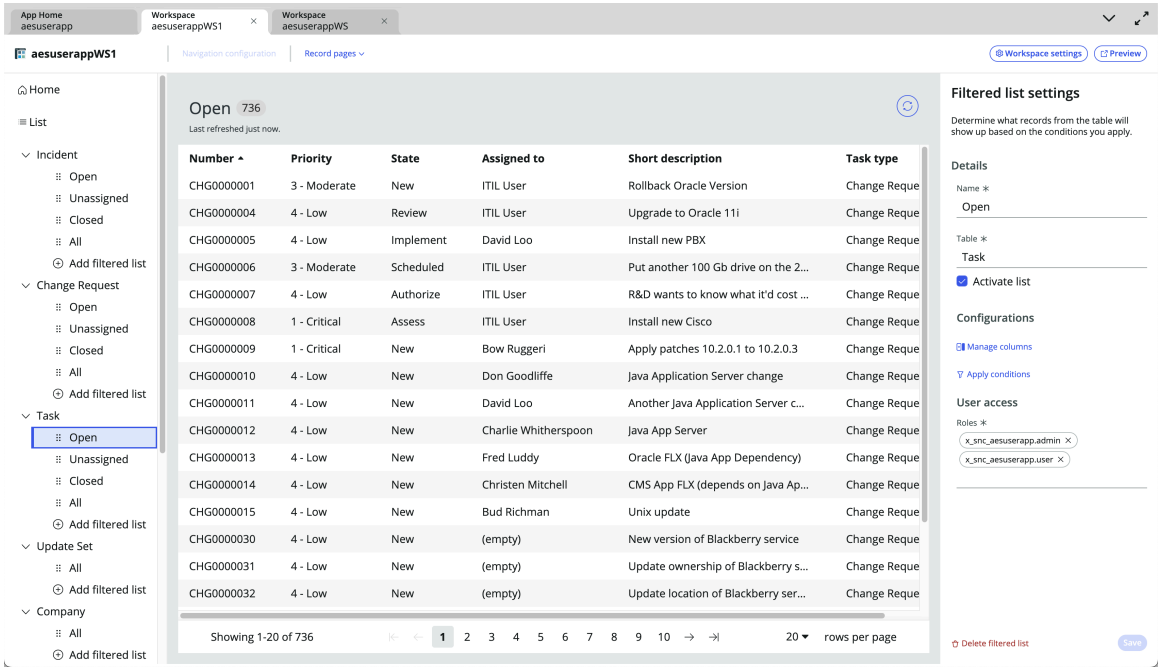
- ワークスペースビルダー でワークスペースを起動して表示することもできます。ただし、編集できるのは、 ServiceNow スタジオ および App Engine Studio によって作成されたワークスペースは、これらの特定のプラットフォーム内でのみです。
- リストページやルートを削除する場合は、ワークスペースビルダー ではなく UI ビルダー を使用してワークスペースを編集する必要があります。

手順

1. ワークスペースビルダー に移動します。
   ServiceNow スタジオ または AES でワークスペースビルダーを開く方法の詳細については、「ワークスペースビルダーへのアクセス」を参照してください。
2. リストがまだアクティブ化されていない場合は、リストをアクティブ化してワークスペースでアクティブ化します。
   [ナビゲーション構成] タブにいる必要があります。既に [ナビゲーション構成] タブが表示されている場合は選択できません。
   a. ナビゲーションパネルで、[リスト] を選択します。
   b. リストで、次を選択します: タスク > オープン.
   c. 構成パネルで、[リストをアクティブ化] オプションを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



3. リストカテゴリを追加します。

a. ナビゲーションパネルで、[リストカテゴリの追加] を選択します。
ワークスペースに関連付けられているテーブルがコアテーブルでない場合は、新しいリストカテゴリを追加する必要があります。

b. フォームのフィールドに入力します。

リストカテゴリの設定

フィールド	定義
名前	リストカテゴリを識別するための名前。
説明	開発者が目的を理解するのに役立つ、リストカテゴリのコンテンツの簡単な説明。 **注:** この説明は、ワークスペースのユーザーには表示されません。

c. **[Add** (追加)] を選択します。

4. オプション: リストカテゴリが表示される順序を並べ替えるには、新しい位置にドラッグします。

5. フィルター済みリストをリストカテゴリに追加します。
たとえば、タスクテーブルのリストカテゴリで、[オープン]、[未割り当て]、および [クローズ (Closed)] のタスクに対して個別のフィルター済みリストを作成できます。

a. ナビゲーションパネルで、フィルター済みリストを作成するリストカテゴリを展開します。

b. [フィルター済みリストを追加] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

c. フォームのフィールドに入力します。

フィルター済みリストの設定

フィールド	定義
名前	フィルター済みリストを識別する名前。
テーブル	フィルター済みリストに表示されるレコードのサブセットを含むテーブル。アプリで既に利用可能なテーブルと、アプリスコープ外のすべてのテーブルの 2 つのセクションから選択できます。

d. [追加] を選択します。

プレビューキャンバスには、フィルター済みリストの内容が表示されます。

6. フィルター条件を追加して表示内容を絞り込み、フィルター済みリストの内容を絞り込みます。フィルター済みリストに追加の構成を行うことができます。

a. ナビゲーションパネルで、編集するフィルター済みリストを選択します。

b. 構成パネルで、追加の設定を指定します。

フィルター済みリストの追加の設定

フィールド	定義
リストをアクティブ化	ユーザーがフィルター済みリストを操作できるようにするオプション。
列を管理	表示される列を選択して配置するためのオプション。 [列の管理] ダイアログボックスで、列を [利用可能な列] から [選択した列] に移動し、ドラッグして列を並べ替え、[適用] を選択します。 ドット連結することで、関連テーブルのフィールドを選択できます。詳細については、「Dot-walking to data in related tables」を参照してください。
条件を適用	フィルター条件をリストに追加するためのオプション。表示されるダイアログボックスでは、次の操作を実行できます。 ▪ 事前定義フィルターを適用するには、[既存のフィルターを使用] を選択してフィルターを検索します。 ▪ 既存の条件を表示するには、[フィルターの概要] セクションを展開します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	定義
	▪ フィルター条件を作成するには、条件ビルダーを使用します。条件ビルドの詳細については、「Condition builder」を参照してください。 ▪ フィルター結果のソート順を変更するには、[ソート基準] セクションを展開して変更を加えます。 ▪ 作成したフィルター条件を再利用のために保存するには、[フィルターの保存] を選択します。 フィルター条件の作成が完了したら、[フィルターを適用] を選択します。 リストのフィルターの操作の詳細については、「Filters」を参照してください。

c. [フィルターの適用] を選択します。

d. 構成パネルで、[保存] を選択します。

7. リストの追加アクションを完了します。

オプション	説明
リストカテゴリの編集	**a.** ナビゲーションパネルで、リストカテゴリを選択します。 **b.** 構成パネルで、[リストカテゴリ設定] を指定します。 **c.** [保存] を選択します。
ナビゲーションパネルでリストを選択して、フィルター済みリストの表示方法を変更する	**a.** 構成パネルで、[列の管理] を選択します。 **b.** 表示されるフォームで、列を [利用可能な列] から [選択した列] に移動し、ドラッグして列を並べ替え、**[OK]** を選択します。 **c.** キャンバスヘッダーでリフレッシュアイコン ( ) を選択して、キャンバスのプレビューをリフレッシュします。
リストカテゴリを削除	**a.** ナビゲーションパネルで、リストカテゴリを選択します。 **b.** 構成パネルで、[リストカテゴリを削除] を選択します。 **c.** 確認ダイアログで、[削除] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

オプション	説明
フィルター済みリストを削除	**a.** ナビゲーションパネルで、フィルター済みリストを選択します。 **b.** 構成パネルで、[フィルター済みリストを削除] を選択します。 **c.** 確認ダイアログで、[削除] を選択します。

でワークスペースの分析を有効にする ワークスペースビルダー

ワークスペースビルダーでワークスペースのアナリティクスセンターを有効にします。アナリティクスセンター を使用すると、ユーザーはインスタンスのダッシュボード、データ可視化、およびインスタンスのインサイトを使用してレコードと使用率を追跡および分析できます。

始める前に
必要なロール：

- admin または ServiceNow スタジオ のガイド付きアプリケーションクリエーター。
- sn_app_eng_studio.user または AES の delegated_developer。詳細については、「AES を使用する開発者の委任」を参照してください。

このタスクについて
ワークスペースに対するアナリティクスセンターのページやルートが存在しなくても、ワークスペースビルダー は使用できますが、アナリティクスセンター タブがワークスペースに表示されません。

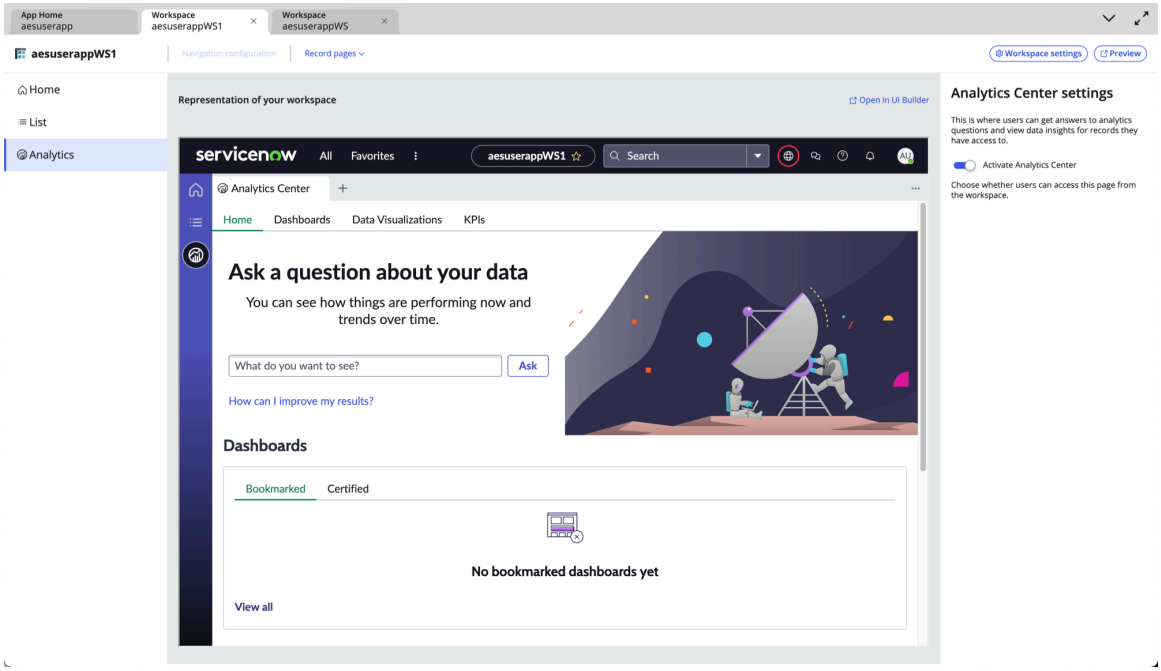
アナリティクスセンター は常に、現在の更新されたコンテンツを表示します。

手順

1. ワークスペースビルダー に移動します。
   ServiceNow スタジオ または AES でワークスペースビルダーを開く方法の詳細については、「ワークスペースビルダーへのアクセス」を参照してください。
2. ナビゲーションパネルで、[分析] を選択します。
   [ナビゲーション構成] タブにいる必要があります。既に [ナビゲーション構成] タブが表示されている場合は選択できません。
   アナリティクスセンター のモックアップがプレビューパネルに表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



3. 構成パネルで、[アナリティクスセンターをアクティブ化] 切り替えオプションを選択します。
4. キャンバスヘッダーの **[UI** ビルダーで開く] リンクを選択して、アナリティクスセンター に対して追加の構成更新を行います。

タスクの結果
アナリティクスセンター の操作の詳細については、「Dashboards in Platform Analytics」を参照してください。

でのワークスペースの編集 ワークスペースビルダー

ワークスペースビルダー でワークスペースを編集してカスタマイズします。

このビデオでは、次の手順を実行する方法を紹介します。

ワークスペースビルダーでのワークスペースの構成

始める前に
ワークスペースビルダー でワークスペースを構成する前に、まずワークスペースを作成する必要があります。「ワークスペースの追加」を参照してください。

必要なロール：

- admin または ServiceNow スタジオ のガイド付きアプリケーションクリエーター。
- sn_app_eng_studio.user または AES の delegated_developer。詳細については、「AES を使用する開発者の委任」を参照してください。

このタスクについて
ワークスペースビルダー では、重要な要素とコンポーネントをカスタマイズできます。より複雑な構成の場合、または AES の完全なエンタイトルメントがない場合は、UI ビルダー でそのワークスペースを編集する必要があります。

手順

1. ワークスペースビルダー に移動します。
   ServiceNow スタジオ または AES でワークスペースビルダーを開く方法の詳細については、「ワークスペースビルダーへのアクセス」を参照してください。

自動翻訳

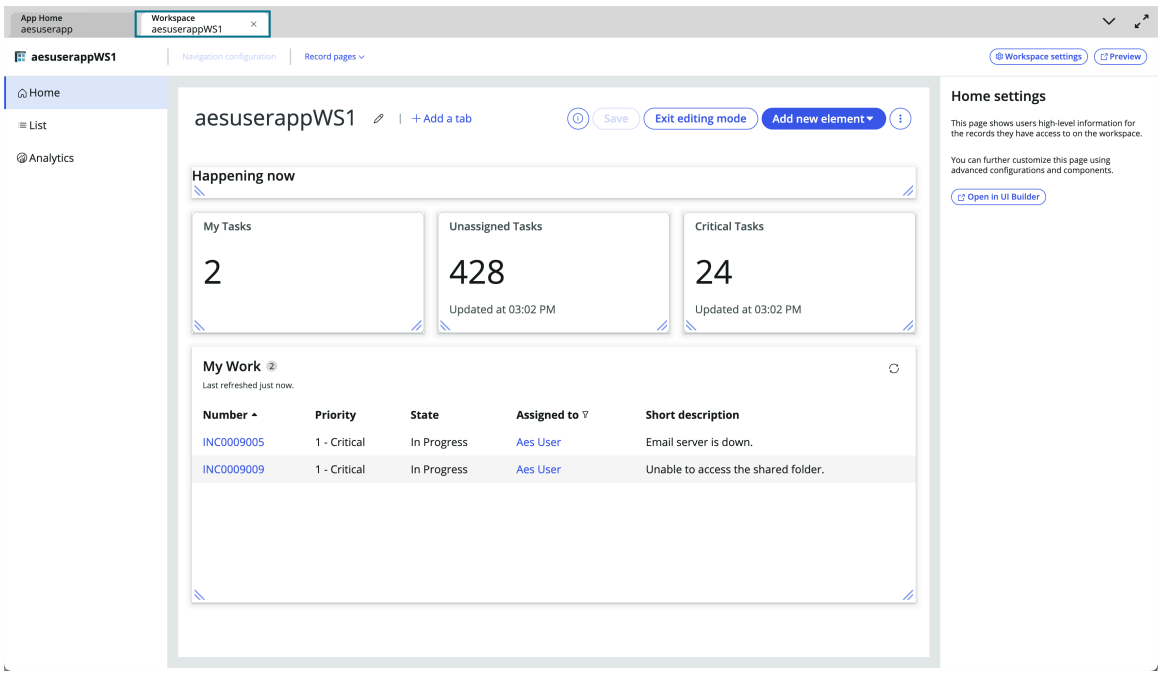
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[ワークスペースビルダー] タブには、AES 内のワークスペースが表示されます。

- 左側のナビゲーションパネルは、ワークスペースに含めることができるページ、コンポーネント、またはページの構成要素のリストです。

  注:
  ホームページはワークスペースの重要な部分であるため、非表示にしたり削除したりすることはできません。

- 中央のキャンバスは、Tokyo 以降の AES で作成されたワークスペースのホームページ用のインライン編集スペースです。リストやその他のページの場合、中央のキャンバスは、右側の構成パネルで構成した内容のプレビューです。Tokyo より前でビルドされたワークスペースのホームページは ワークスペースビルダー でプレビューできますが、UI ビルダー で編集する必要があります。
- 右側の構成パネルは、選択したコンポーネントを操作するための構成パネルです。



テクニカルダッシュボードが含まれるワークスペースを作成した場合、ワークスペースを編集しようとすると、ワークスペースビルダー は **UI** ビルダーで開くように求めます。

2. [ワークスペースの設定] を選択して、ワークスペースの基本設定を編集します。
   詳細については、「ワークスペースビルダー でのワークスペース設定の構成」を参照してください。
3. サイズ変更、再編成、または再構成して、ホームページの要素とウィジェットを調整します。

   クリック可能なホームページの編集の詳細については、「でのワークスペースホームページのカスタマイズ ワークスペースビルダー」を参照してください。

   注:
   ワークスペースが Tokyo より前に作成された場合は、UI ビルダー で編集する必要があります。詳細については、「UI ビルダー」を参照してください。

4. リストカテゴリと後続のフィルター済みリストを追加または編集します。
   詳細については、「でのワークスペースのリストの作成 ワークスペースビルダー」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

5. オプション: ワークスペースの アナリティクスセンター をアクティブ化します。
詳細については、「でワークスペースの分析を有効にする ワークスペースビルダー」を参照してください。
6. レコードページを追加および編集して、ワークスペースでサポートする必要がある設定、テーブル、および関連リンクを構成します。

   レコードページを作成するとき、レコードのタイプに応じたレコードページテンプレートを使用して、メタデータビュー (シェル) を作成します。次に、テーブルビルダー でレコードページを編集します。ワークスペースビルダー 内では、コンテキストサイドパネルと関連アイテムのみを変更できます。

   詳細については、「でのワークスペースのレコードページの追加 ワークスペースビルダー」を参照してください。
7. [プレビュー] をクリックして、新しいブラウザータブでワークスペースをプレビューします。

タスクの結果

UI ビルダー のワークスペースに対して、コンテキストサイドパネルやカスタムコンポーネントへのカスタム追加など、より複雑な構成を行った場合、それらの変更が ワークスペースビルダー に表示されないことがあります。

> **注:**
> ワークスペースを ワークスペースビルダー で編集するには、ホームページとリストが必要です。ホームページとリストが存在しない場合は、UI ビルダー でワークスペースを編集する必要があります。

ワークスペースビルダーの参照

参照トピックは、ワークスペースビルダー を構成および管理するために使用しているリストとフォームの追加情報を提供しています。

ホームページの ワークスペースビルダー コンポーネント

ワークスペースビルダー でホームページとコンテキストサイドパネルをビルドするための要素として、いくつかのUI ビルダーコンポーネントを使用できます。ワークスペースビルダー は、ワークスペースをすばやく作成するのに役立ちます。

すべての要素とコンポーネントの詳細については、 ServiceNow® 開発者サイト.

データビジュアル化コンポーネント

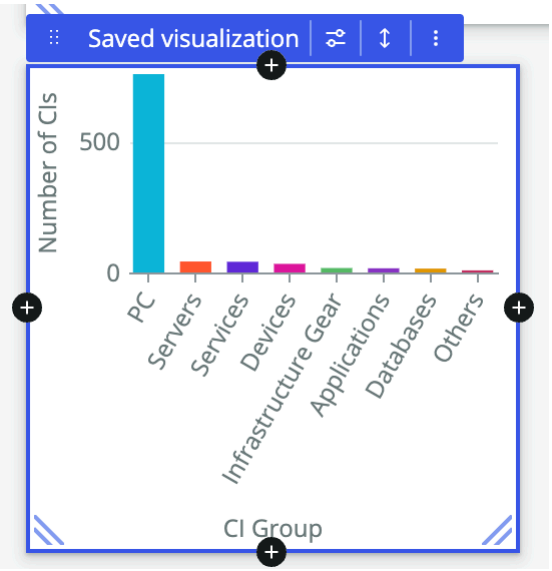
データ可視化コンポーネントは、ワークスペースビルダー ホームページで利用可能なチャートタイプのコンテナです。アプリケーションに応じてさまざまな方法でデータを表示するチャートタイプを選択します。 [ライブラリから可視化を選択] モーダルで選択し、[ダッシュボードに追加] を選択することで、新しいデータの可視化を作成したり、既存のデータ可視化を再利用したりすることができます。

データ可視化コンポーネントの詳細については、次のトピックとソースを参照してください。

- Data visualizations in Platform Analytics
- Create a single score data visualization
- 開発者サイトのデータビジュアル化コンポーネントのリスト

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



フィルターコンポーネント

フィルターを使用すると、ビジュアル化を変更せずにデータのビジュアル化をフィルタリングできます。キャンバスでホームページを操作するときに、フィルター要素を追加します。次に、テーブル、フィールド、およびその他のプロパティを選択してフィルターを構成します。ユーザーがフィールドの値を 1 つ以上選択すると、同じデータソースに基づくデータビジュアル化にフィルターが適用されます。

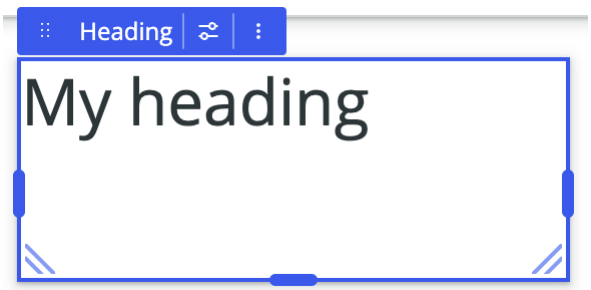
フィルターコンポーネントを使用してワークスペースをビルドする方法の詳細については、次のトピックとソースを参照してください。

- Next Experience フィルター
- 開発者サイトフィルターコンポーネントのリスト

見出しコンポーネント

見出しコンポーネントは、ワークスペースのホームページで使用できます。 見出しコンポーネントを使用してランディングページにタイトルを追加します。

次の画像は、「My Heading」という見出しを示しています。



見出しコンポーネントの詳細については、「開発者サイトの見出しの概要」を参照してください。

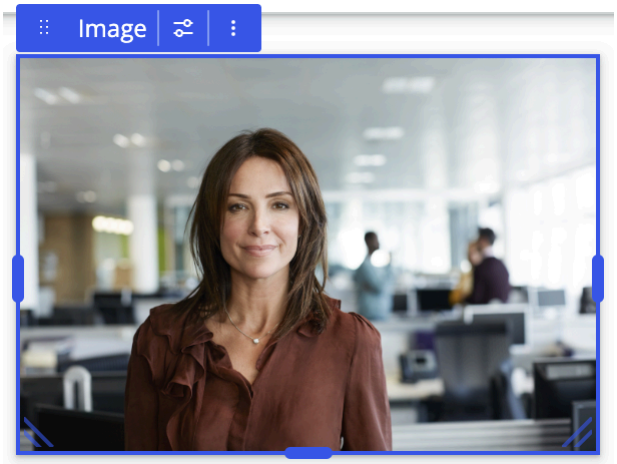
画像コンポーネント

画像コンポーネントを使用してランディングページに画像を追加します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[画像コンポーネント] アイコン (Image) をプレビューペインにドラッグすると、変更やサイズ変更が可能なストック画像が表示されます。画像の URL を指定することで、ストック画像を変更できます。

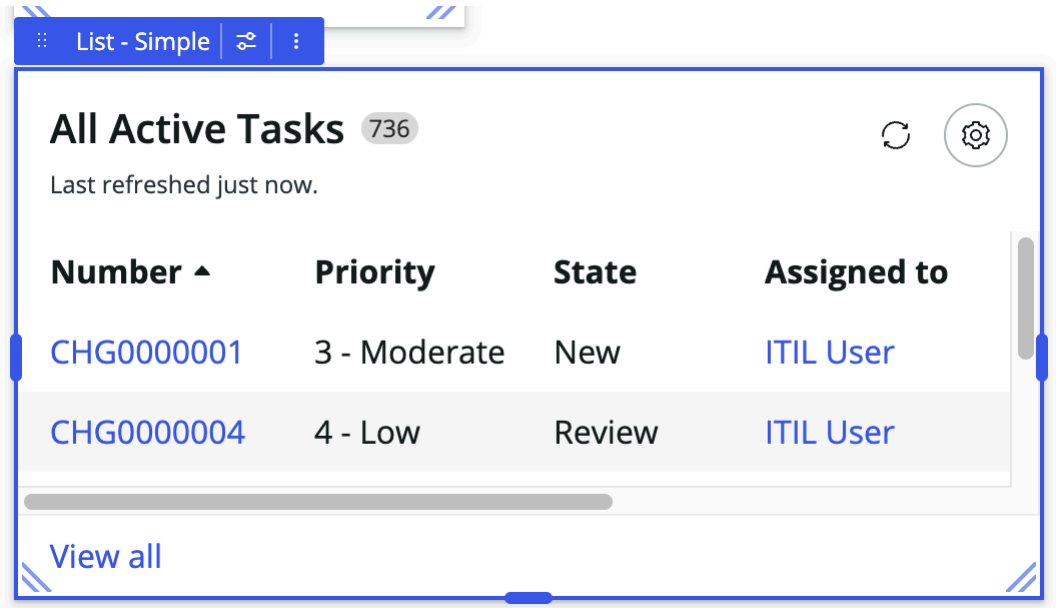


画像コンポーネントの詳細については、 開発者サイトの画像コンポーネントのリストを参照してください。

リストコンポーネント

リストコンポーネントを使用して、ランディングページにリストを追加します。

[リストコンポーネント] アイコン (List) をプレビューペインにドラッグすると、サンプルリストが表示されます。



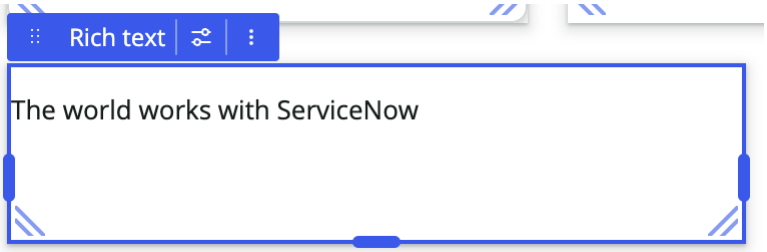
リストコンポーネントの詳細については、 開発者サイトの「リストコンポーネントリファレンス」を参照してください。

リッチテキストコンポーネント

ランディングページの一部を説明するリッチテキストコンポーネントを使用してランディングページに追加します (たとえば、「これらの優先度 1 のインシデントに対処してください」)。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳



リッチテキストコンポーネントの詳細については、 開発者サイトのリッチテキストコンポーネントリファレンスを参照してください。

UI ビルダー

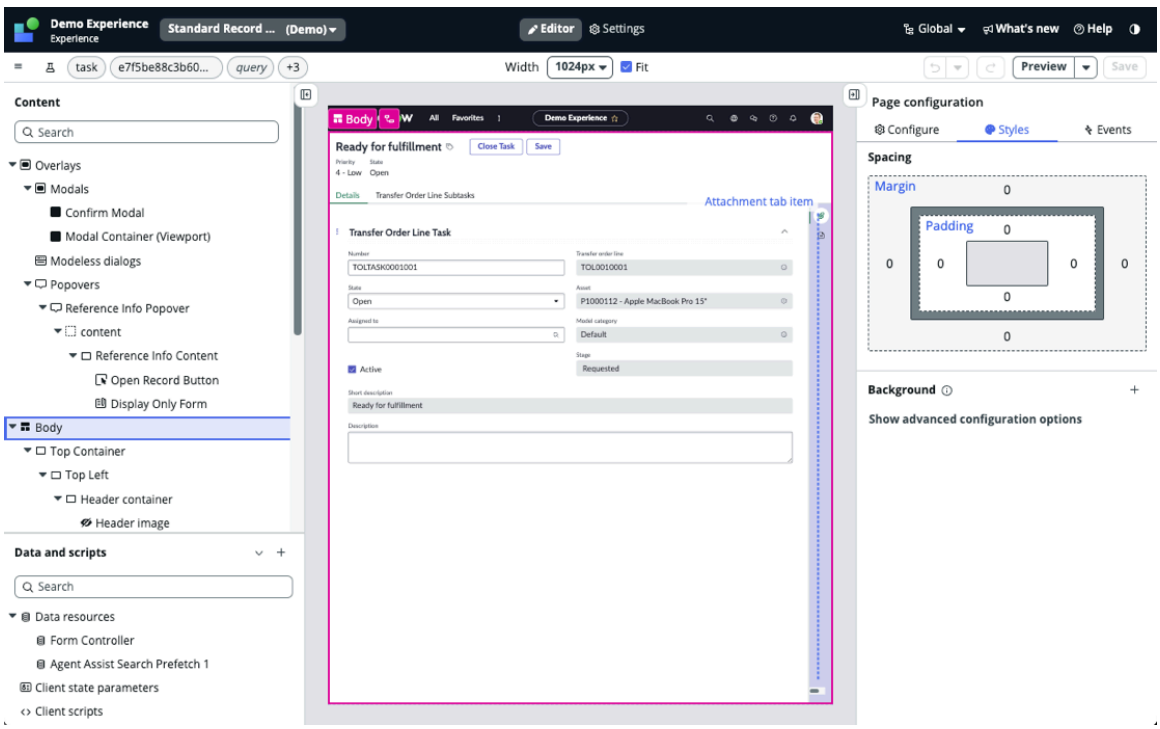
UI ビルダー は Web ユーザーインターフェイスビルダーです。UI ビルダー を使用して、App Engine Studio の生成されたワークスペース、または ネクストエクスペリエンスのコンポーネントとカスタム Web コンポーネントを使用するカスタム Web エクスペリエンスのためのページをビルドします。

UI ビルダーの概要

ワークスペースエクスペリエンス用のページを作成またはカスタマイズします。ページは、ワークスペースのユーザーインターフェイスを構成するコンポーネントのコレクションです。

さまざまな対象者のエクスペリエンスをターゲットとするページのバリアントを作成します。たとえば、エージェント用のホームページとマネージャ用のバリアントを同じ URL で作成できます。

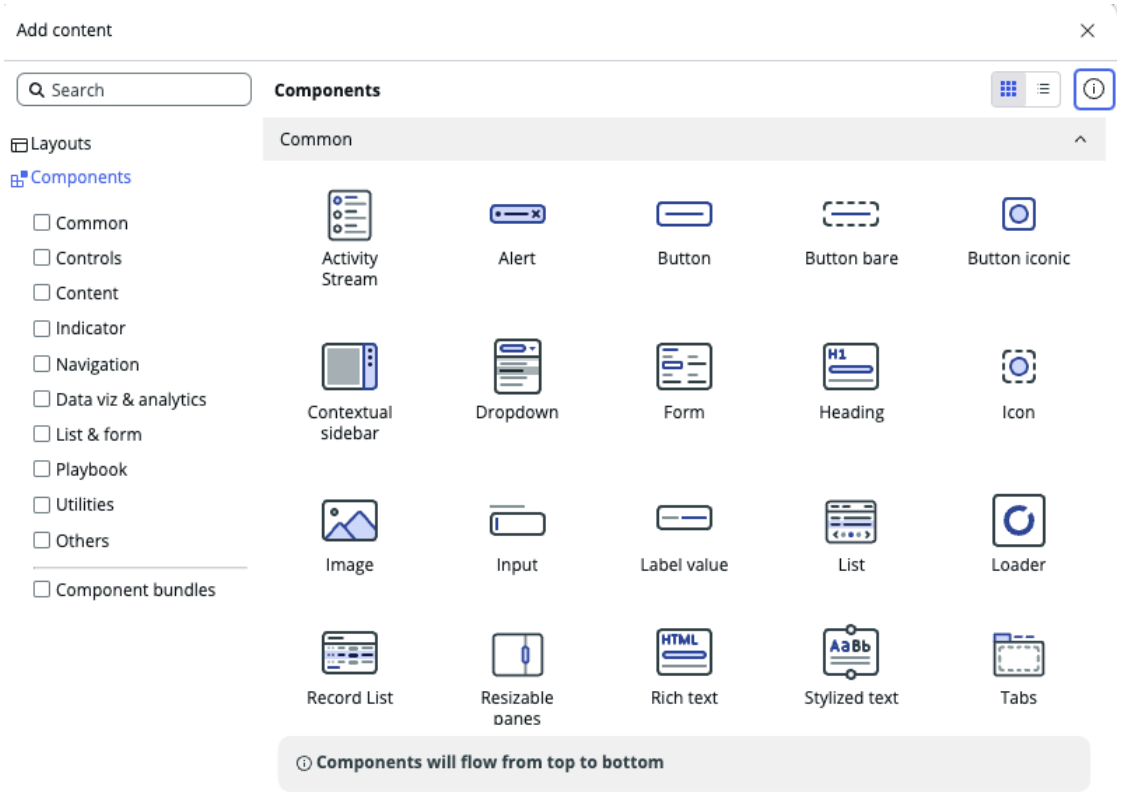
注:
UI ビルダー でタスクを完了するには、ui_builder_admin ロールが必要です。



コンポーネントの UI ビルダー ライブラリを使用してページをビルドします。必要に応じて構成し、組織のデータをコンポーネントに接続します。

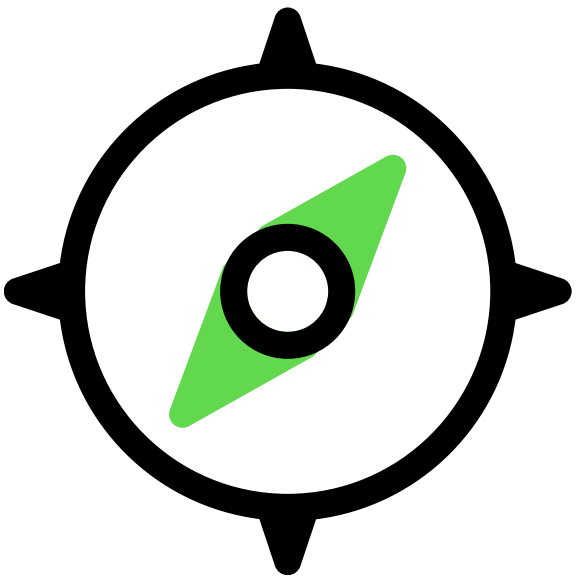
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



UI ビルダー を開始するには

探索



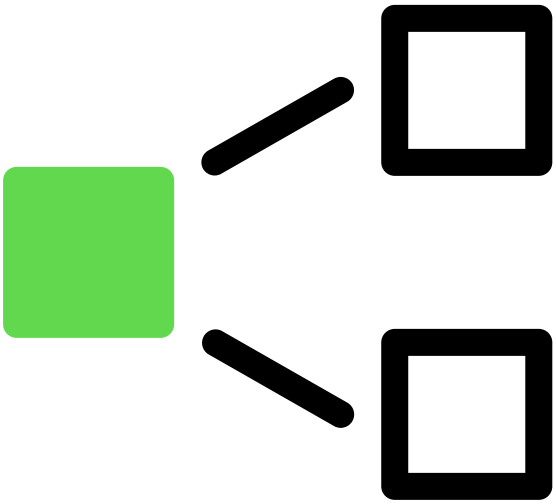
UI ビルダー概念と機能を確認します。

学習する

UI ビルダーの基本的な使い方を学びます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

勤務先	詳細
	
UI ビルダーエクスペリエンスとページの構成について詳しく説明します。	データを追加してページを動的にする方法を学びます。

自動翻訳

注:
UI ビルダー には、従業員センター など、ServiceNow ベースシステムのサービスポータルをビルドまたは構成する機能はまだありません。サービスポータルについては、引き続きサービスポータルデザイナーを使用してください。

UI ビルダー のトラブルシューティングとヘルプ

- ユーザーアカウントのロック解除または追加、復元または zBoot の実行などについては、会社のカスタマーアドミンにお問い合わせください。

  会社のカスタマーアドミンにお問い合わせください

- で質問や回答をする UI ビルダー コミュニティ
- 既知のエラーポータルで既知のエラー記事を検索する
- 独自のアプリを作成する方法の詳細については、開発者サイトを参照してください。
- 連絡先 カスタマーサービス & サポート

UI ビルダー の探索

UI ビルダー のファセットを調べて、ページをすばやく作成できるようにします。

UI ビルダー は Web ユーザーインターフェイスビルダーです。UI ビルダー を使用して、CSM 構成可能ワークスペース、App Engine Studio の生成されたワークスペースとポータル、または ネクストエクスペリエンスのコンポーネント とカスタム Web コンポーネントを使用するカスタム Web エクスペリエンスのためのページをビルドします。

「UI ビルダークイックスタート」を参照して、UI ビルダー の基本を理解してください。UI ビルダー の理解を深めたい場合は、チュートリアルを実行して最初のページを作成する方法を学習してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

UI ビルダー の対象者、アプリケーションスコープやドメインセパレーションなどのセキュリティとロールの設定、およびエクスペリエンス設定に関連する情報をお調べください。

UI ビルダー を CSM ワークスペースとポータルエクスペリエンスで使用する方法を確認してください。

UI ビルダークイックスタート

このクイックスタートでは、UI ビルダー で最初のページを作成する手順を説明します。最初のページを作成することは、ワークスペースまたはカスタムポータルエクスペリエンスのユーザーインターフェイスページをビルドする方法を理解するための、最初のステップとなります。

始める前に
必要なロール：ui_builder_admin

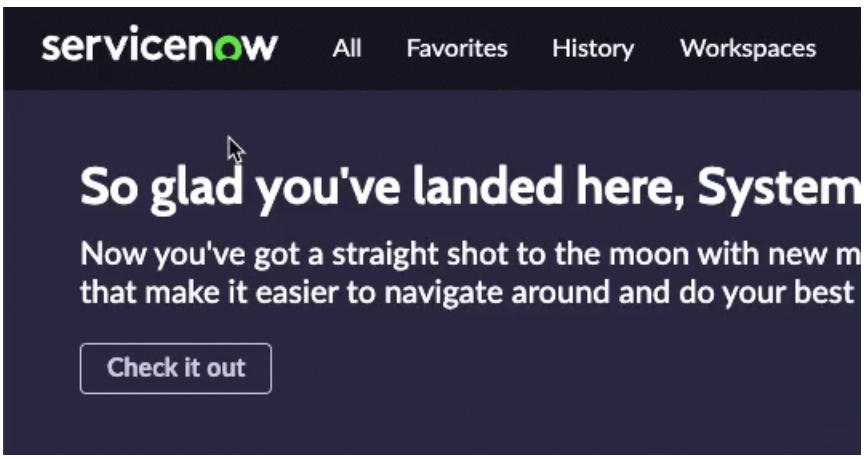
この UI ビルダー クイックスタートでは、UI ビルダー で最初のページをビルドするために次のタスクを実行します。

- UI ビルダー を起動します。
- ワークスペースまたはカスタムポータルエクスペリエンスのページを作成します。ページの作成の詳細については、「UI ビルダー でのページの作成」を参照してください。
- コンポーネントを追加してページをビルドします。コンポーネントの詳細ついては、「コンポーネントを使用した UI ビルダー ページのカスタマイズ」を参照してください。
- ページを保存します。
- ページをプレビューして、ブラウザーでどのように表示されるかを確認します。

手順

1. 移動先 すべて > **Now Experience** フレームワーク > **UI** ビルダー.

UI ビルダー の起動

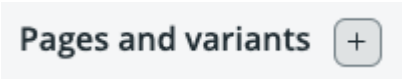


2. UI ビルダー ホームページから、作業するエクスペリエンスを選択します。
作業対象のエクスペリエンスが一覧表示されない場合は、アドミニストレーターに連絡してエクスペリエンスへのアクセス権を取得するか、エクスペリエンスを作成します。詳細については、「UI ビルダー でユーザーがアプリケーションをどのように操作するかを構成する」を参照してください。
3. ページを作成します。

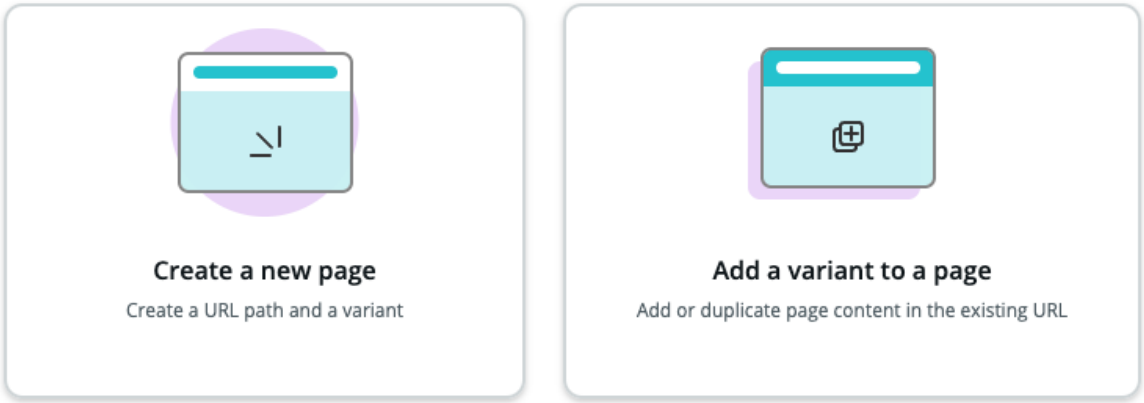
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

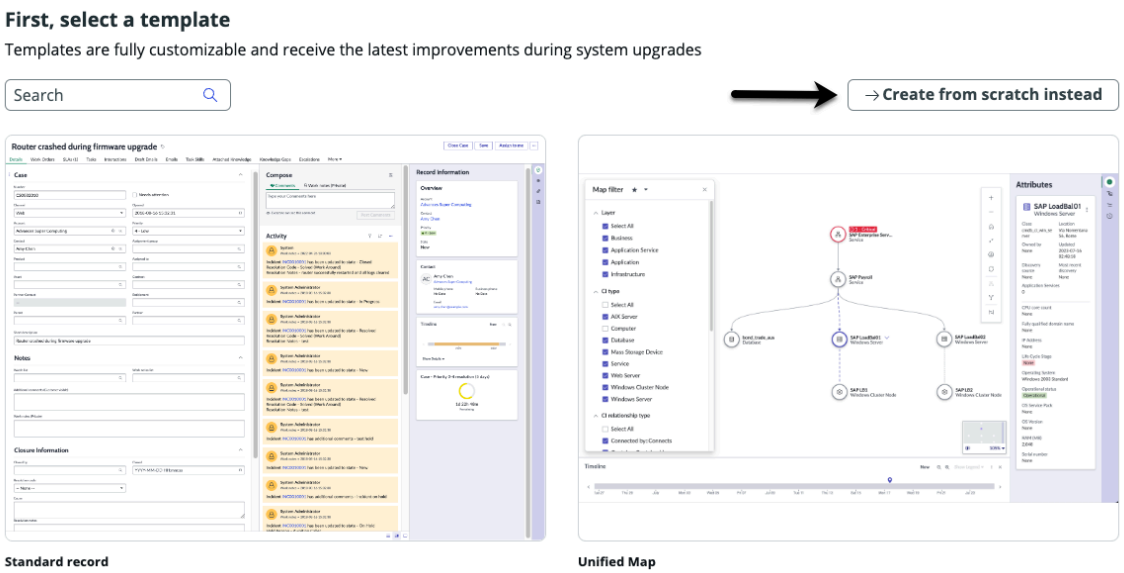
a. [ページとバリアント] セクションで **[+]** アイコンを選択します。



b. [新規ページの作成] を選択します。



c. [代わりに最初から作成します] を選択します。



ページテンプレートを使用してページを作成することもできます。詳細については、「テンプレートからのページの作成」を参照してください。

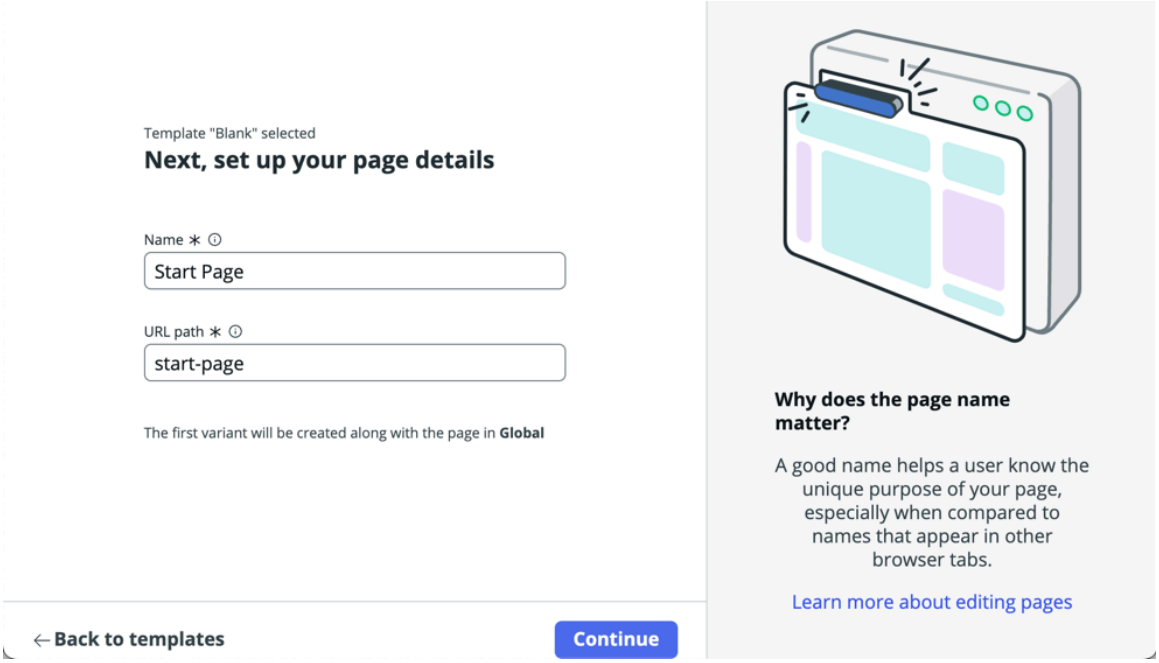
d. [名前] フィールドに、ページの一意の名前として [開始ページ] を入力します。

e. **[URL** パス] フィールドにページのパスを指定します。UI ビルダー は、最後のステップで指定した名前に基づいてデフォルトのパスを生成します。

デフォルトのパスは、ページ名に基づいて追加されます。独自のパスを作成することもできます。パスは必須で、一意になっている必要があります。パスには数字 (0 ～ 9)、文字 (A ～ Z、a ～ z)、およびいくつかの特殊文字 (「-」、「.」、「_」、「~」) を含めることができ、語の間はスラッシュまたはハイフンで区切られます。**[URL** プレビュー] にはページのパスが表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



注:
アプリケーションスコープのデフォルトは、ユーザーが ServiceNow AI Platform® 内で現在存在しているスコープです。アプリケーションスコープの詳細については、「セキュリティとロールについて学習する」を参照してください。

f. [続行] を選択します。

g. オプション: **[+** 追加] を選択して、パラメーターをページ URL に追加します。
詳細については、「UI ビルダー ページとページのバリアントを管理」を参照してください。

h. [よさそうです]を選択します。

i. ページバリアントの名前として「Manager Start Page」と入力します。

j. オプション: このページの対象者を 1 人以上追加します。
必要な対象者がリストにない場合は、[プラットフォームで対象者を開く] リンクを選択して作成できます。

k. オプション: ページまたはタブを表示するタイミングの条件を追加します。

l. [続行] を選択します。

m. 次の画面で、[レスポンシブをビルド **(Build responsive)]** を選択します。

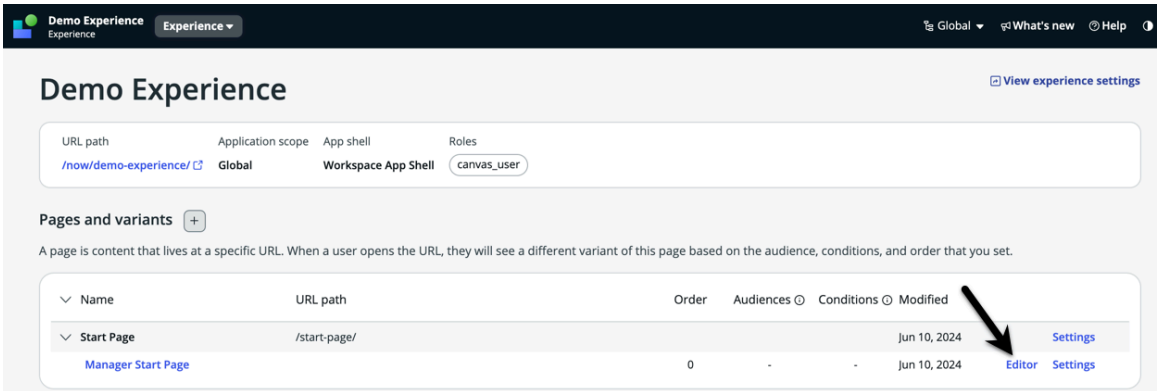
n. [作成] を選択して空白のページを作成します。

おめでとうございます! 最初のページが作成されました。このページにはコンテンツがありません。ページにコンポーネントを追加して機能をビルドします。コンポーネントはページの構成要素です。UI ビルダー には、ページに追加できる多くのコンポーネントが用意されています。コンポーネントは、ヘッダーのようにシンプルにすることも、 リストのように複雑にすることもできます。

4. [エディター] を選択してページのカスタマイズを開始します。

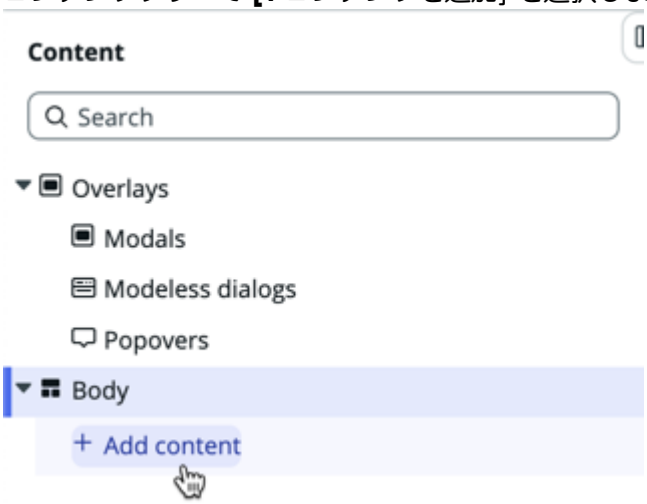
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



5. ページにコンテナコンポーネントを追加します。
コンテナはコンポーネントを保持するためのものです。コンテナは、情報、画像、または機能 (コンポーネント) を追加するページの領域と考えてください。ページには必要な数のコンテナを、コンテナ内には必要な数のコンテナを、さらにコンテナ内には必要な数のコンポーネントを配置することができます。

   a. コンテンツツリーで **[+** コンテンツを追加] を選択します。

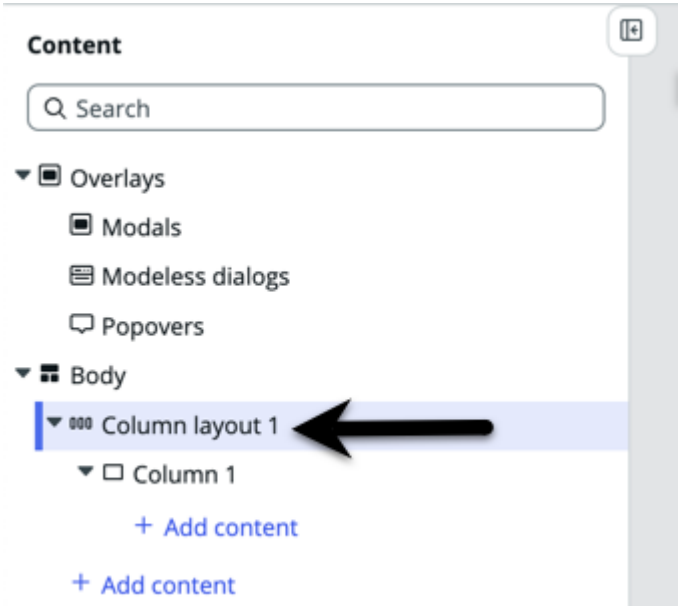


   b. ツールボックスで [単一列] レイアウトを選択します。

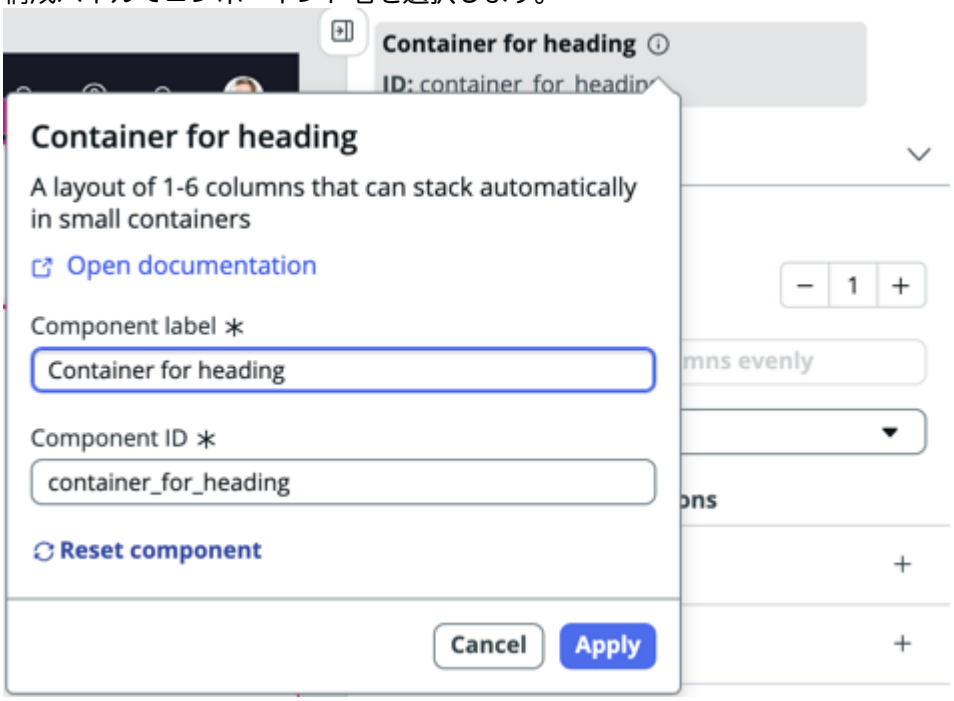
   c. コンテンツツリーで [列レイアウト **1 (Column layout 1)]** を選択して、コンテナをハイライト表示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



d. 構成パネルでコンポーネント名を選択します。



e. [コンポーネントラベル] フィールドに、「見出し用のコンテナ」と入力します。

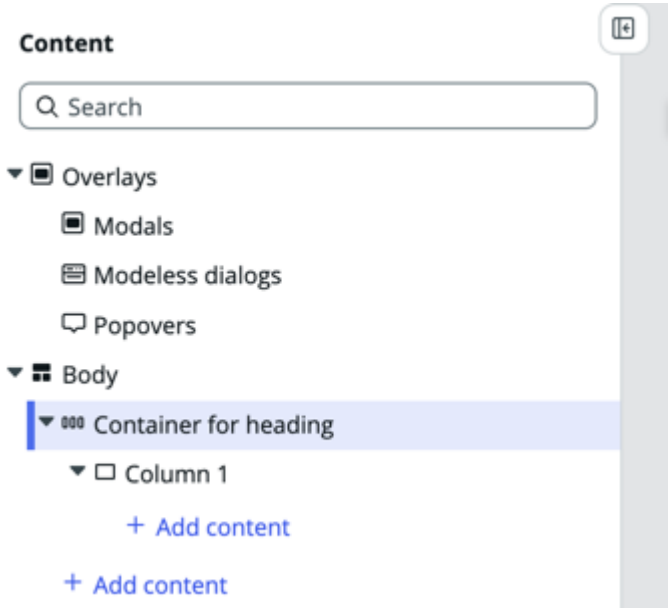
f. [コンポーネント *ID*] フィールドに、「container_for_heading」と入力します。

g. [適用] を選択します。

コンテンツツリーで列レイアウト名が [見出し用のコンテナ **(Container for heading)**] に変更されていることを確認します。コンテンツツリーは重要な概念です。コンテンツツリーは、ページの構造化されたレイアウトを表示する簡単な方法です。コンテンツツリーは、ページ上に複数のコンポーネントがある場合に特に重要です。コンテンツツリーでコンポーネントを選択してページ上のコンポーネントをハイライト表示すると、ページを簡単にビルドできます。コンポーネントのテキスト検索を実行できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

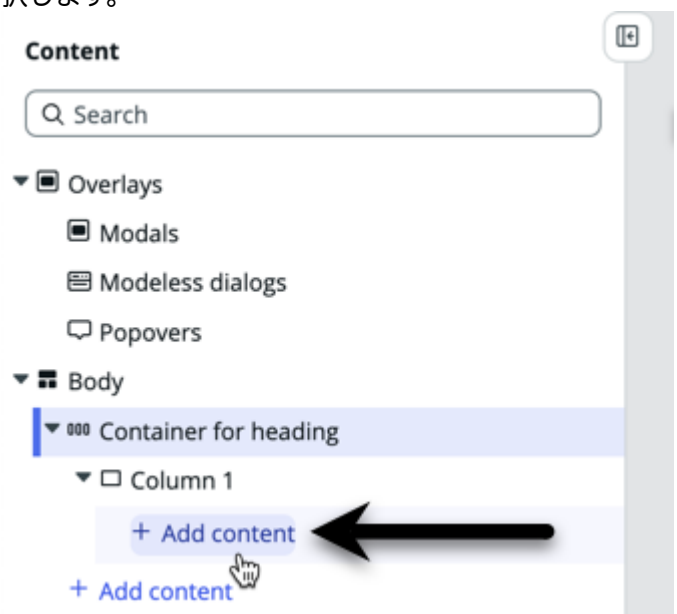


コンポーネント ID の詳細ついては、「コンポーネント ID」を参照してください。

最初の列レイアウトがページに正常に追加されました。

6. 見出しコンポーネントを列レイアウトに追加します。
コンポーネントはさまざまな方法でページに追加できます。コンポーネントをページに追加する方法の詳細については、「コンポーネントの追加と構成」を参照してください。

   a. ステップ 5 で作成した列レイアウトの下にあるコンテンツツリーで **[+** コンテンツを追加] を選択します。



   b. 検索に「見出し」と入力し、見出しコンポーネントを選択します。

   c. コンテンツツリーで新しい見出しコンポーネントを選択して、ハイライト表示します。

   d. 構成パネルで [なし] を選択します。

自動翻訳

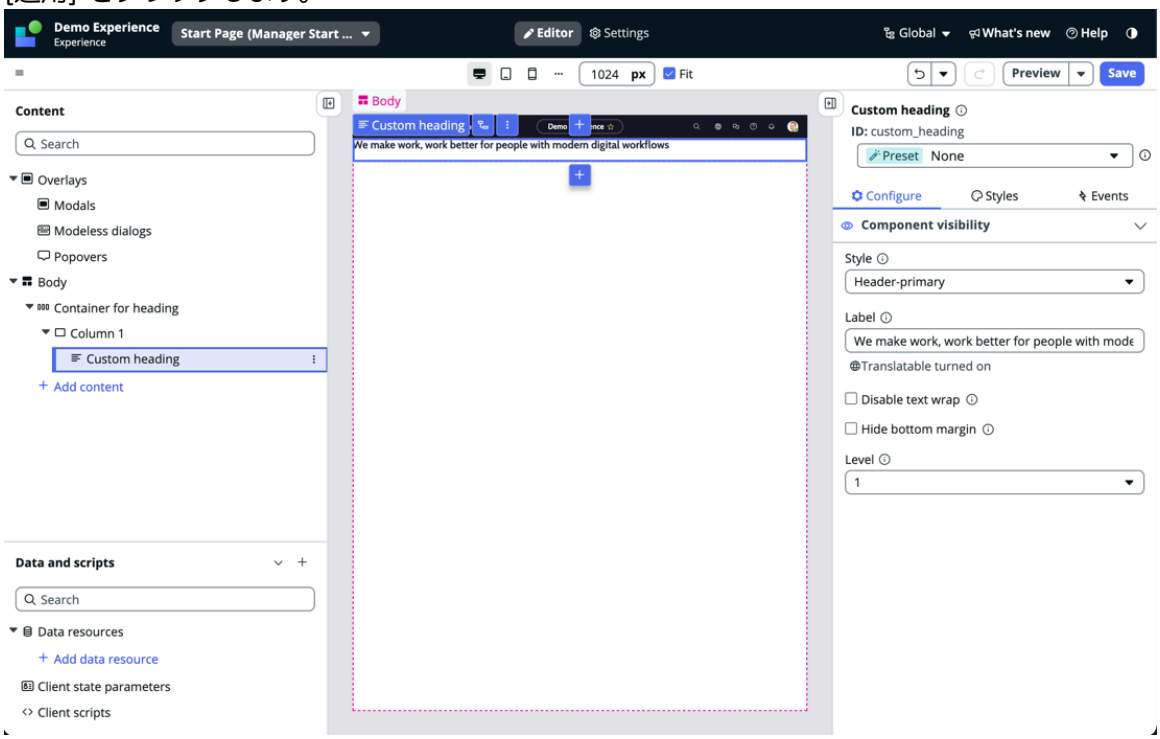
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

e. 構成パネルでコンポーネント名を選択します。

f. [コンポーネントラベル] フィールドに、見出しコンポーネントの一意のラベルとして「カスタム見出し」と入力します。

g. [コンポーネント **ID**] フィールドに、見出しコンポーネントの一意のラベルとして「custom_heading」と入力します。

h. [適用] をクリックします。



7. 見出しコンポーネントをカスタマイズします。

a. コンテンツツリーで見出しコンポーネントを選択します。

b. 構成パネルで [構成] タブを選択します。

c. [ラベル] フィールドに、「新しいヘッダー」などのヘッダーのテキストを入力します。

d. [スタイル] はヘッダーテキストのサイズを変更します。
たとえば、[ヘッダー (セカンダリ)] を選択すると、テキストが小さくなります。ヘッダーが 2 つあり、セカンダリのヘッダーをプライマリのヘッダーよりも小さくする場合は、異なるサイズのヘッダーが役に立ちます。コンポーネントの構成の詳細については、「UI ビルダーのコンポーネントの構成」を参照してください。

e. [レベル] は **1** のままにします。

f. [保存] を選択します。

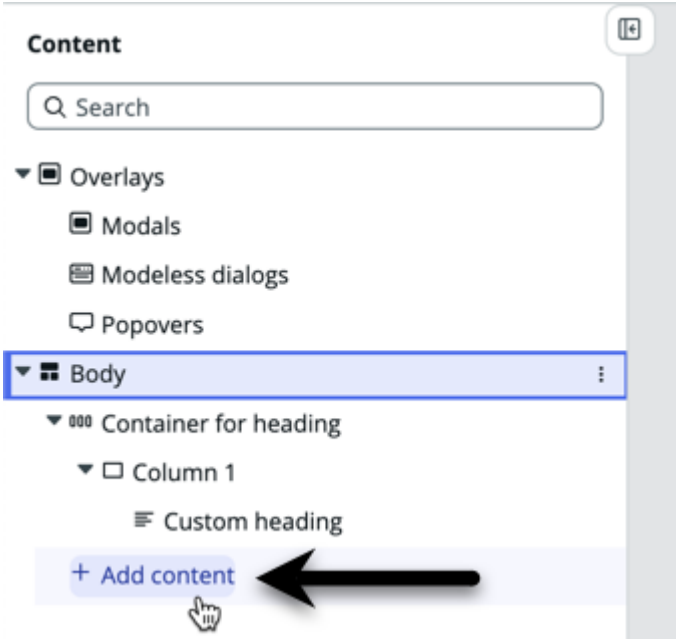
ページに見出しコンポーネントが追加されカスタマイズされました。

8. ページに 2 番目の列レイアウトを追加します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

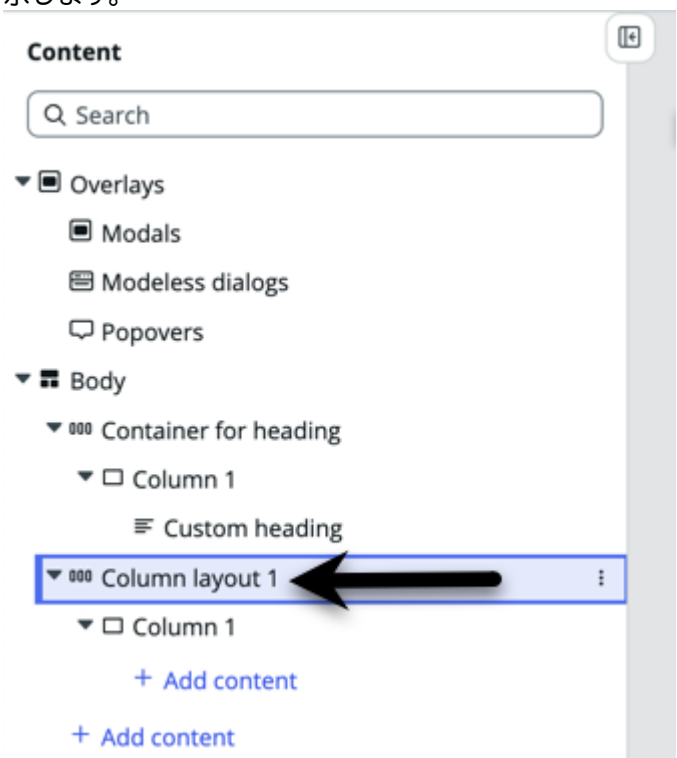
自動翻訳

a. 前と同様に、コンテンツツリーで **[+** コンテンツを追加] を選択します。



b. ツールボックスで [単一列] レイアウトを選択します。

c. コンテンツツリーで [列レイアウト **1 (Column layout 1)]** を選択して、コンテナをハイライト表示します。



d. 構成パネルでコンポーネント名を選択します。

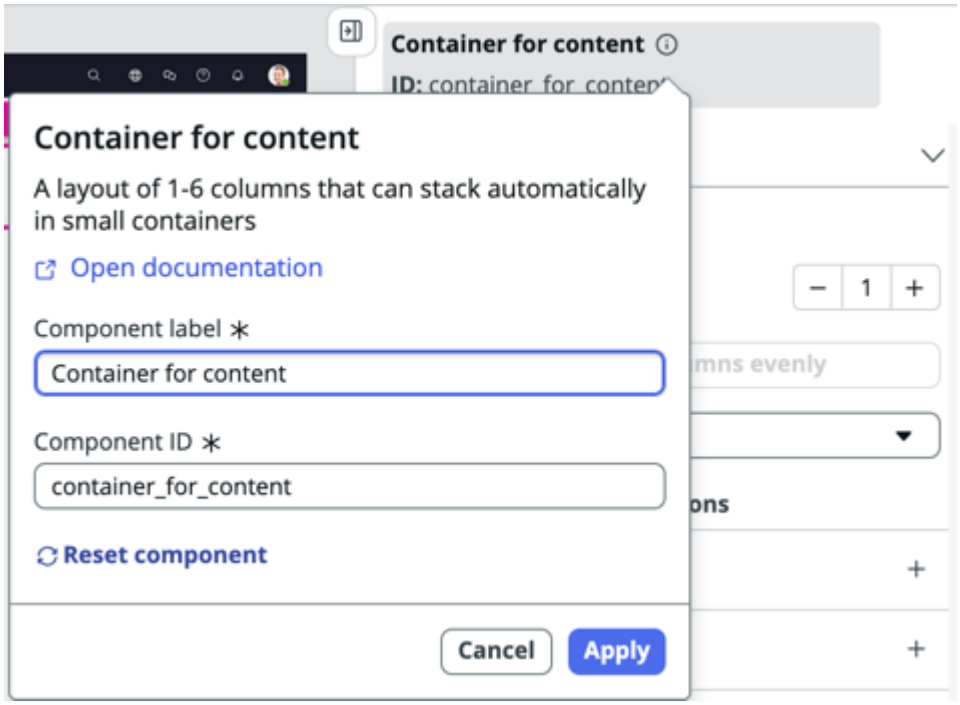
e. [コンポーネントラベル] フィールドに、「コンテンツ用のコンテナ」と入力します。

f. [コンポーネント **ID]** フィールドに、「container_for_content」と入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

g. [適用] を選択します。



h. [保存] を選択します。

2 つ目のコンテナコンポーネントがページに正常に追加されました。

9. ページに画像コンポーネントを追加します。
画像は、ページに視覚要素を追加するのに適した方法です。このクイックスタートでは、UI ビルダー に付属のストック写真を追加します。ただし、利用可能な画像は追加できます。

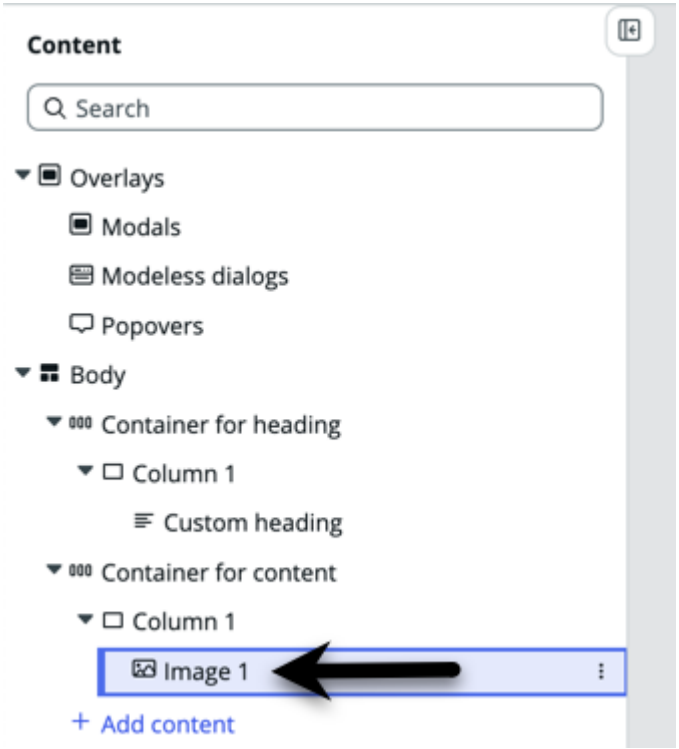
a. ステップ 8 で作成したコンテナの下にあるコンテンツツリーで **[+** コンテンツを追加] を選択します。

b. 検索に「画像」と入力し、画像コンポーネントを選択します。
デフォルト画像が画像コンポーネントにロードされます。URL を画像に追加することで、独自の画像を追加できます。インターネットでホストされている画像または ServiceNow AI Platform の画像を使用できます。外部サイトでホストされている画像を使用する場合は、セキュリティのために https プロトコルを使用する必要があります。

c. [コンテンツ] ツリーで [画像 **1]** コンポーネントを選択して、画像を強調表示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



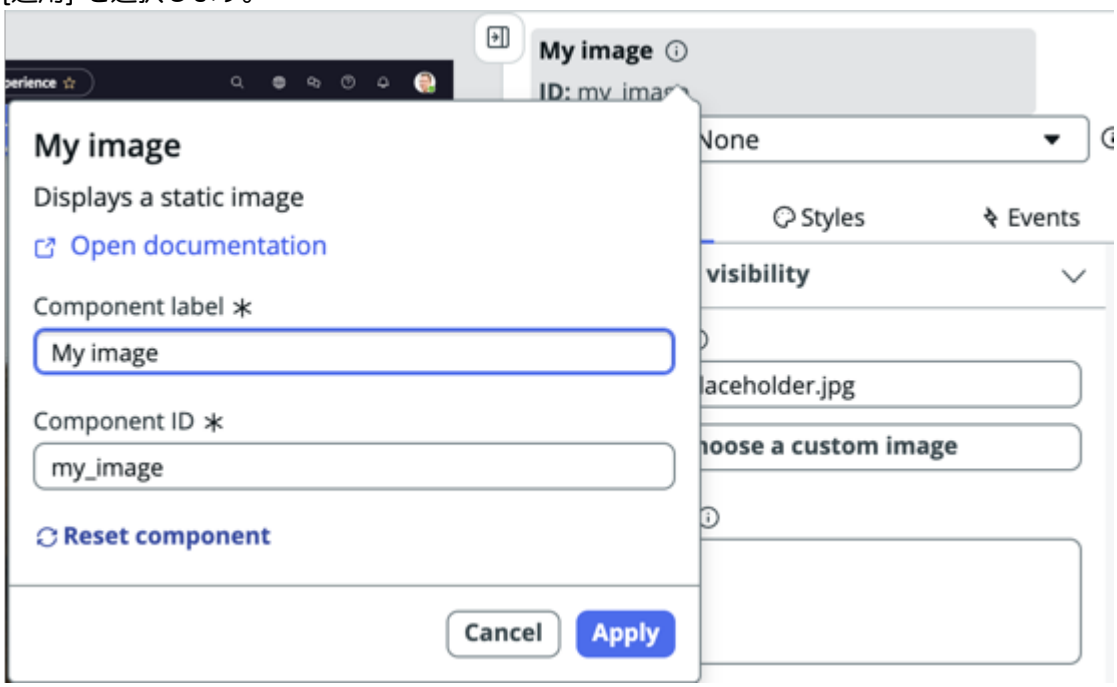
d. 構成パネルで [なし] を選択します。

e. 構成パネルでコンポーネント名を選択します。

f. [コンポーネントラベル] フィールドに「My 画像」と入力します。

g. [コンポーネント **ID]** フィールドに「my_image」と入力します。

h. [適用] を選択します。

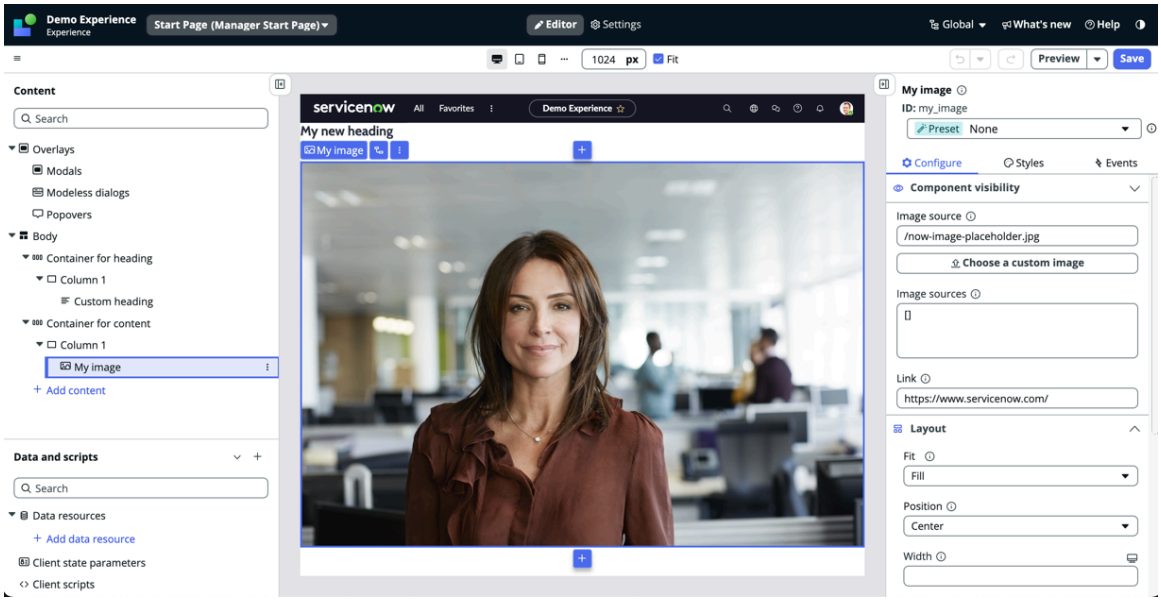


i. [保存] を選択します。

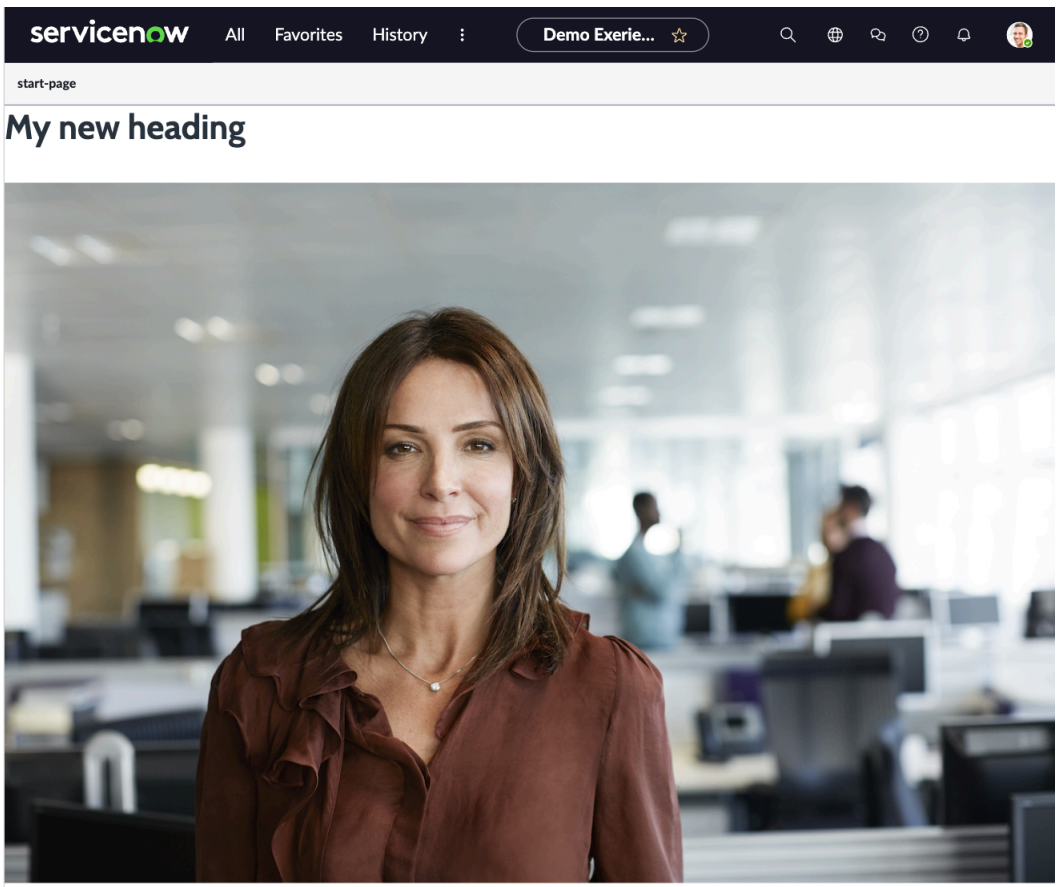
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ページに画像コンポーネントを追加しました。



10. UI ビルダー ヘッダーで [プレビュー] を選択してページをプレビューします。
おめでとうございます!UI ビルダー クイックスタートを完了しました。ページでは、ワークスペースまたはポータルエクスペリエンスでの表示を示すプレビューが生成されます。



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タスクの結果

1. UI ビルダー に最初のページを作成しました。
2. ページに最初のコンテナコンポーネントを追加しました。コンテナのラベルを変更しました。
3. 見出しコンポーネントをタイトルとしてコンテナに追加しました。ヘッダーのテキストを変更しました。ラベルも変更しました。
4. ページに 2 つ目のコンテナコンポーネントを追加しました。コンテナのラベルを変更しました。
5. 画像 コンポーネントを追加しました。画像コンポーネントのラベルを変更しました。
6. 新しいページを保存しました。
7. ブラウザでページをプレビューしました。

UI ビルダー クイックスタートを正常に完了しました。

UI ビルダー のチュートリアル

UI ビルダー の基本を使用して、「My チュートリアル」と呼ばれるページを作成する方法を学びます。

始める前に
必要なロール：ui_builder_admin

この UI ビルダー チュートリアルでは、UI ビルダー でページをビルドするために次のタスクを実行します。

- UI ビルダー を起動します。
- ワークスペースまたはカスタムポータルエクスペリエンスのページを作成します。ページの作成の詳細については、「UI ビルダー でのページの作成」を参照してください。
- ページのレイアウトを 2 列に変更します。詳細については、「UI ビルダーページでコンポーネントを整理する」を参照してください。
- 2 つのコンテナコンポーネントを追加してページをビルドします。
- コンテンツツリーでコンテナコンポーネントの名前を変更します。
- 最初のコンテナにヘッダーコンポーネントとボタンコンポーネントを追加します。データビジュアル化コンポーネントを 2 番目のコンテナに追加します。コンポーネントの詳細ついては、「コンポーネントを使用した UI ビルダー ページのカスタマイズ」を参照してください。
- コンポーネントは次のように構成できます。
  - ボタンを ServiceNow® Web サイトにリンクします。
  - データビジュアル化コンポーネントをデータソースに接続して、タスクデータを表示します。データリソースの詳細については、「UI ビルダーページでデータを動的に公開する (高度な機能)」を参照してください。
- ページは頻繁に保存してください。
- ページをプレビューして、ブラウザーでどのように表示されるかを確認します。

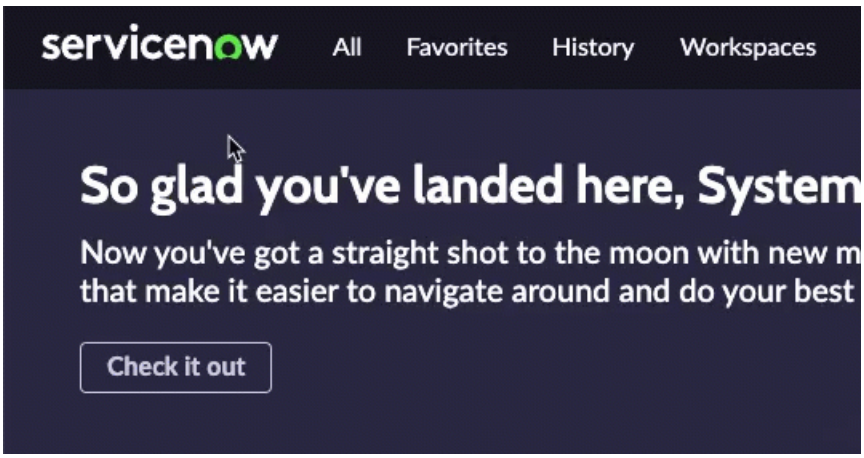
手順

1. 移動先 すべて > **Now Experience** フレームワーク > **UI** ビルダー.
   フィルターナビゲーターに直接「UI ビルダー」と入力することもできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

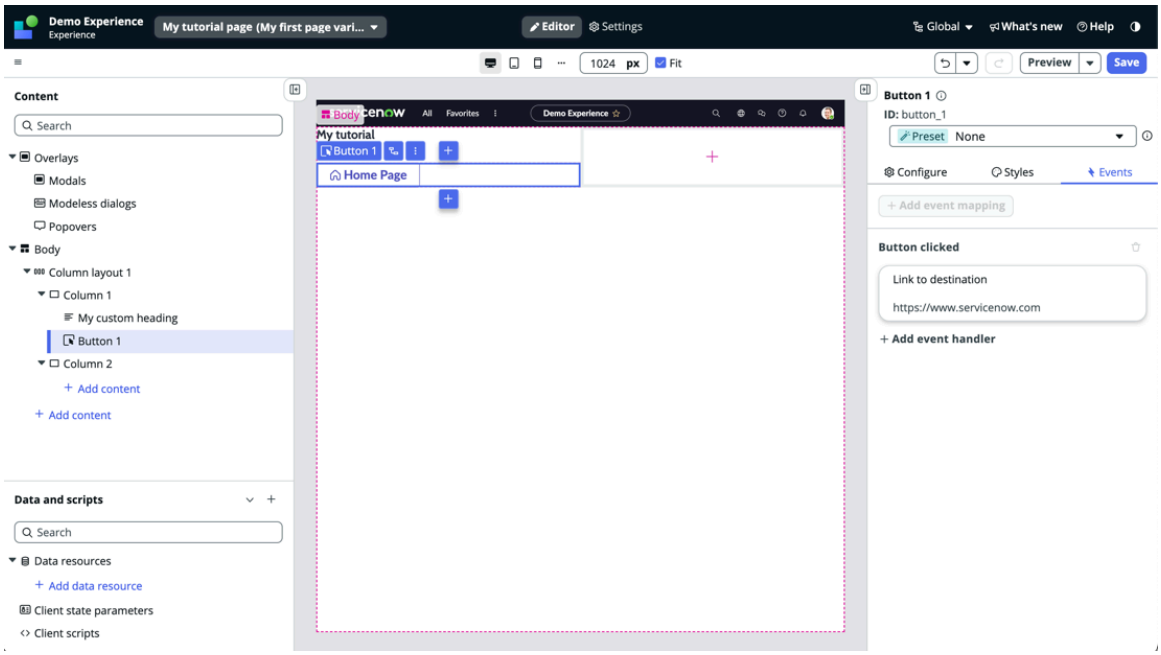
UI ビルダー の起動



2. UI ビルダー ホームページから、作業するエクスペリエンスを選択します。
   作業対象のエクスペリエンスが一覧表示されない場合は、アドミニストレーターに連絡してエクスペリエンスへのアクセス権を取得するか、エクスペリエンスを作成します。詳細については、「UI ビルダー でユーザーがアプリケーションをどのように操作するかを構成する」を参照してください。
3. ページを作成します。
   お疲れさまでした。チュートリアルページが作成されました。このページにはコンテンツがありません。ページにコンポーネントを追加して機能をビルドします。コンポーネントはページの構成要素です。UI ビルダー には、ページに追加できる多くのコンポーネントが用意されています。コンポーネントは、ヘッダーのようにシンプルにすることも、 リストのように複雑にすることもできます。
4. ページのレイアウトを 2 列レイアウトに変更します。
   レイアウトの詳細については、「UI ビルダーページでコンポーネントを整理する」を参照してください。
5. ヘッダーコンポーネントと、ボタンコンポーネントを、左の列に追加します。
   ページのヘッダーとボタンコンポーネントを追加して構成しました。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



6. データビジュアル化コンポーネントをそのコンテナに追加します。
   データビジュアル化コンポーネントには、視覚的に表示するデータが含まれています。データビジュアル化コンポーネントのパラメーターを構成します。次に、それにデータリソースを追加します。
   データビジュアル化コンポーネントを右側の列に追加して構成しました。顧客アカウントデータを取り込むデータリソースも追加しました。
7. 新しいページを最後に 1 回保存します。
8. ページをプレビューして、ブラウザーでどのように表示されるかを確認します。
   おめでとうございます!UI ビルダー チュートリアルを完了しました。

タスクの結果

1. UI ビルダー にページを作成しました。
2. ページのレイアウトを 2 列に変更します。
3. 左側の列にヘッダーコンポーネントがタイトルとして追加されました。
   - ヘッダーのテキストを変更しました。
   - ヘッダーのラベルを変更しました。
4. ヘッダーコンポーネントの下にボタンコンポーネントを追加しました。
   - ボタンが構成されました。
   - ボタンのイベントハンドラーを追加しました。
   - Web ページへのリンクを設定するイベントハンドラーを追加しました。ボタンをクリックすると、Web ページが開きます。
5. 右側の列のラベルを変更しました。
6. データビジュアル化コンポーネントを追加しました。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- データビジュアル化コンポーネントを構成しました。
- タスクデータを取り込むデータリソースを追加しました。

7. 新しいページを保存しました。

8. ページをプレビューします。

UI ビルダー および構成可能なワークスペース

UI ビルダー を使用して、構成可能なワークスペースエクスペリエンスのページを作成します。

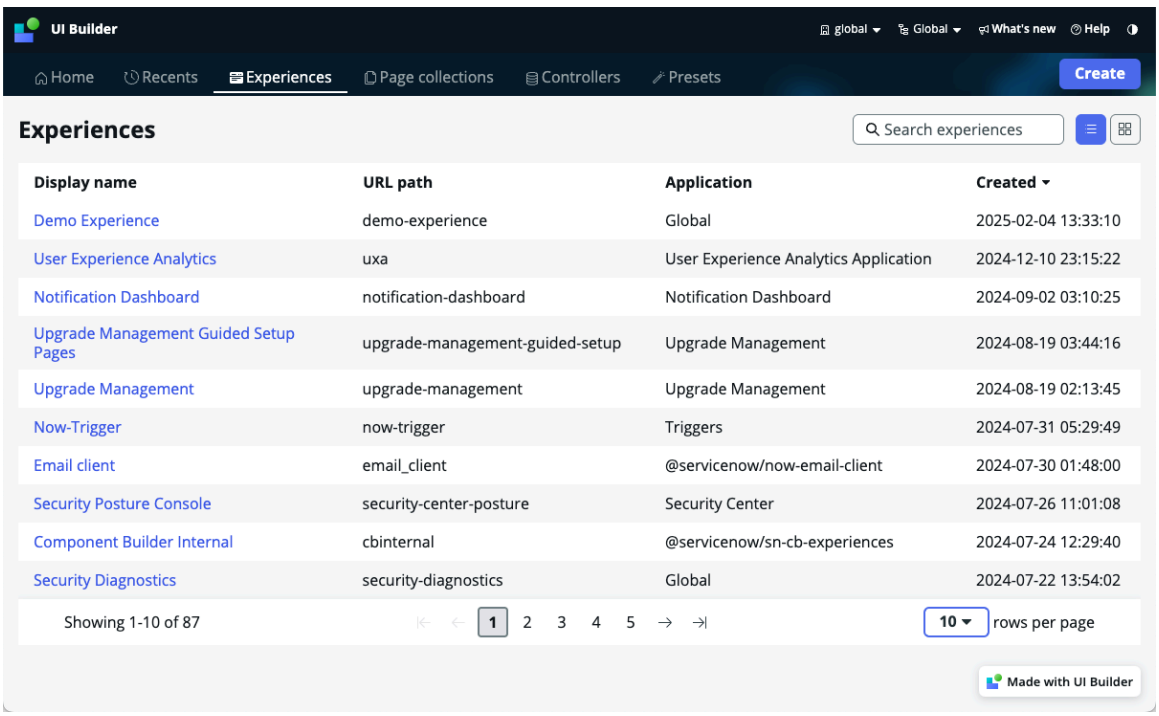
ワークスペースは、タスクとワークフローの集約的な作業領域です。この領域により、ユーザーはジョブ全体を効率的に完了できます。このワークスペースには複数のツールがあり、ユーザーはこれらのツールにより、迅速かつ簡単に顧客を支援し、質問や問題を解決することができます。複数のケースを管理するマルチタブインターフェイスや、現在のタスクに関して迅速に情報を伝えるコンテキスト表示など、ワークスペースには、ユーザーの効率を高める機能も含まれています。

UI ビルダー を使用してワークスペースエクスペリエンスのページを作成できます。UI ビルダーは、ワークスペースページのビルドに使用できるベースシステムコンポーネントを提供します。

ワークスペースエクスペリエンスの UI ビルダー でページを作成するには、 すべて > **Now Experience** フレームワーク > **UI** ビルダー をクリックして UI ビルダーを開きます。

UI ビルダー ホームの [エクスペリエンス] タブに利用可能なエクスペリエンスが表示されます。ワークスペースエクスペリエンスで作業している場合は、ここにエクスペリエンスが一覧表示されます。

UI ビルダー ホーム



UI ビルダー のエクスペリエンスの設定

独自のワークスペースとカスタムポータルエクスペリエンスをビルドするための UI ビルダー のエクスペリエンスの設定について説明します。

作業しているワークスペースまたはポータルエクスペリエンスの設定を変更すると、ユーザーがエクスペリエンスとやり取りする方法、エクスペリエンスの外観、およびユーザーがエクスペリエンス間を移動する方法に影響が及ぶことがあります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

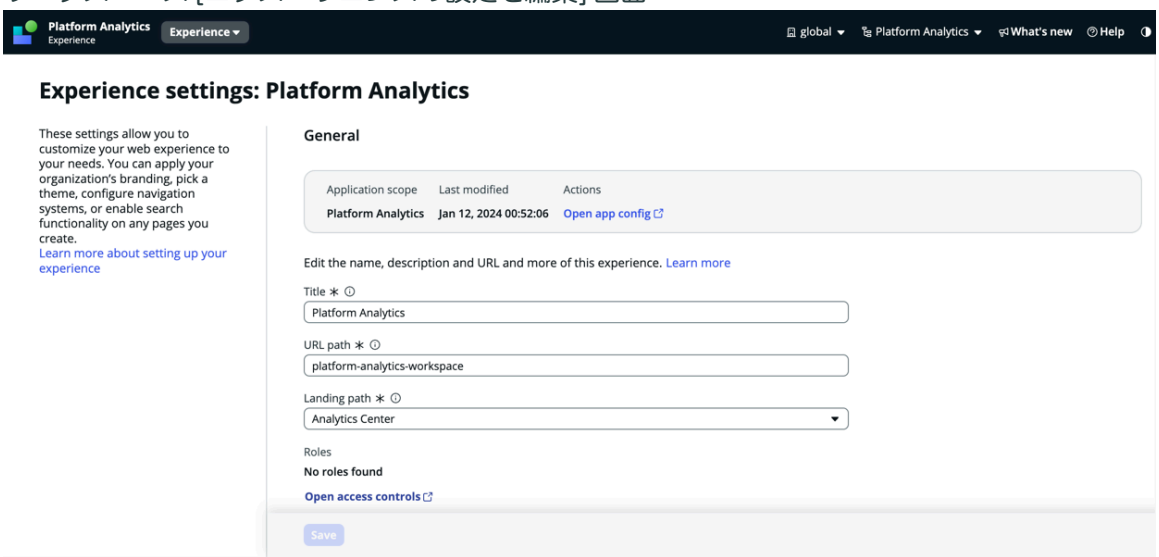
エクスペリエンス設定を編集するには、適切なアプリケーションスコープ内にいる必要があります。別のスコープにいる場合、エクスペリエンス設定は読み取り専用です。アプリケーションスコープを変更するには、メインヘッダーに移動し、アプリケーションピッカー (Global) を選択して、必要なアプリケーションスコープを選択します。アプリケーションスコープの詳細については、「セキュリティとロールについて学習する」を参照してください。

ワークスペースエクスペリエンスの設定

ワークスペースエクスペリエンスの次の設定を変更できます。

- エクスペリエンスの一般的な設定を変更または追加します。たとえば、ワークスペースまたはポータルのタイトル、説明、およびパスを変更できます。
- エクスペリエンス内のすべてのページまたはエクスペリエンス内の 1 つのページに組織のブランディングを適用します。
- サイドナビゲーション設定を構成して、エクスペリエンスのサイドナビゲーションにページを追加します。
- エクスペリエンスの通知をオンまたはオフにします。
- エクスペリエンスのグローバル検索設定を変更できます。たとえば、エクスペリエンスで検索バーを表示または非表示にすることや、検索結果の取得元を決定する検索ソースを変更することなどを選択できます。

ワークスペース [エクスペリエンスの設定を編集] 画面



ワークスペースエクスペリエンスの設定の詳細については、「UI ビルダー ワークスペースエクスペリエンスを構成する」を参照してください。

ポータルエクスペリエンスの設定

ポータルエクスペリエンスの次の設定を変更できます。

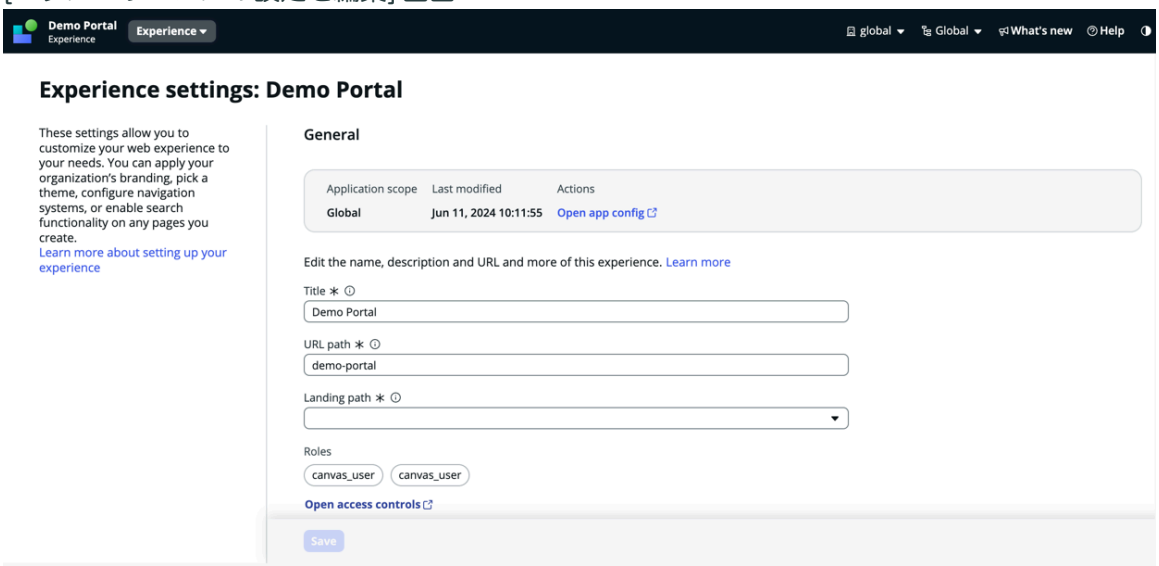
- エクスペリエンスの一般的な設定を変更または追加します。たとえば、ワークスペースまたはポータルのタイトル、説明、およびパスを変更できます。
- エクスペリエンス内のすべてのページまたはエクスペリエンス内の 1 つのページに組織のブランディングを適用します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- ポータルエクスペリエンスのアプリシェルでナビゲーションとメニューの設定を行います。アプリシェルはポータルコンテンツのラッパーであり、Google Chrome Web ページに似ています。
- グローバル検索機能をポータルエクスペリエンスのユーザーに表示するかどうかを制御します。たとえば、公開ページまたはプライベートページのグローバル検索を有効または無効にすることができます。

[エクスペリエンスの設定を編集] 画面



ポータルエクスペリエンスの設定の詳細については、「UI ビルダー ポータルエクスペリエンスを構成する」を参照してください。

の役立つリソース **UI** ビルダー

役立つ情報を提供する ServiceNow リソース。

役立つ情報を提供できる ServiceNow リソースは次のとおりです。

ビデオ

ServiceNow 開発プログラム YouTube チャンネル。

コミュニティ YouTube チャンネル

UI ビルダー 101 (Chris Johnson 担当)

ネクストエクスペリエンスアカデミー UI ビルダー

コンポーネントドキュメント

コンポーネントドキュメント

コンポーネント設計ドキュメント

ServiceNow コミュニティ

ServiceNow コミュニティサイト

あなたと私はビルダーバイト!

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

開発情報

ServiceNow 開発者サイト

ServiceNow University

ServiceNow University

支える

https://support.servicenow.com/now

既知のエラーポータルで既知のエラー記事を検索する

UI ビルダーの用語集

UI ビルダー (UIB) で使用される用語と概念について説明します。

アクション

UI ビルダーのアクションは、具体的にはページまたはページコンポーネント内のアクティビティです。イベントとイベントハンドラーは、アクションを追加するために使用されます。たとえば、ボタンコンポーネントをページに追加してから、Web ページを開くなどのボタンのアクションを適用するイベントハンドラーを追加します。

アプリシェル

アプリシェルは、Web エクスペリエンスの静的要素 (ヘッダー、フッター、メニューナビゲーションなど) であり、エンドユーザーがすべてのエクスペリエンスを操作するときに常に表示されます。アプリシェルは、主にワークスペースとポータルエクスペリエンスで使用およびサポートされています。

バインディング

「データバインディング」を参照してください。

クライアントスクリプト

ページ上のコンポーネントおよびクライアントステータスパラメーターとやり取りするクライアント側 JavaScript。クライアントスクリプトは、UI ビルダーのイベントハンドラーとしてイベントにマッピングされます。

クライアントステータスパラメーター

そのページのデータ (クライアントステータス) のみを格納するためにページに対して定義されたページ変数。たとえば、3 つのクライアントステータスパラメーターを作成して、レコードの作成に必要な入力を保存し、リストを更新するタイミングを指定します。クライアントスクリプトとイベントを使用してページ変数が更新されるようにし、ページを動的にすることができます。

コンポーネント (UI ビルダー)

コンポーネントは、ページをビルドするために UI ビルダーで使用されます。コンポーネントには、エンドユーザーが表示して操作できるインターフェイスがあります。コンポーネントは、イベントとプロパティを介して相互に通信できます。一般的に使用されるコンポーネントには、見出し、画像、リスト、フォーム、ボタンなどがあります。

コンポーネント ID

スクリプトを追加するとき、またはコンポーネントにデータをバインドするときに、コンポーネントを参照するために使用されます。コンポーネントをページに追加すると、コンポーネン

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

トラベルに基づいたコンポーネント ID が自動的に作成されますが、コンポーネント ID は編集できます。

コンポーネントのプリセット

プリセットは、事前定義された構成値とイベントマッピングをコンポーネントに適用します。プリセットは、事前にビルド済みの構成をコンポーネントプロパティとイベントハンドラーに適用します。プリセットは、特定のコンポーネントでのみ使用できます。

コンポーネントプロパティ

[構成] パネルで利用でき、コンポーネントの構成に使用されます。各コンポーネントには一意のプロパティがあります。コンポーネントのプロパティは、[構成] パネルの [構成]、[スタイル]、および [イベント] の各タブ内で指定されます。一部のコンポーネントには、利用可能なプリセットがあります。コンポーネントのプロパティを自動的に設定するには、コンポーネントプリセットを使用します。

コントローラー

データとイベントロジックを含み、コンポーネントのプリセットを有効にするデータリソースのタイプ。ページテンプレートを使用すると、コントローラーが自動的に追加されます。コントローラーには次の 2 つのタイプがあります。

- データコントローラーにはデータリソースが含まれ、手動でページに追加できます。
- UI コントローラーは、ページテンプレートを使用するときにページに追加され、手動で追加することはできません。現在、コントローラーの作成はサポートされていません。

データバインディング

情報を表示する UI 要素にデータを関連付けるプロセス。

データリソース

ページのコンポーネントに対してどのデータをフェッチするかを定義する、動的で再利用可能な方法。

Entity View Action Mapper

EVAM とも呼ばれます。カードとリストにデータを表示するための形式を標準化します。

イベント **(UI** ビルダー)

ユーザーが実行するアクション (ボタンの選択など) またはページで発生するアクション。ほとんどの UI ビルダーコンポーネント、ページ、およびデータリソースには、デフォルトの関連イベントがあります。イベントでイベントハンドラーを使用して、ページにアクションを追加します。

イベントハンドラー

イベントの発生時に実行されるアクション。

イベントマッピング

イベントが発生したときに実行するイベントハンドラーを識別するプロセス。

macroponent

UI ビルダーページを制御するコアデータ構造。そのフィールドには、ページをビルドする JSON データが含まれています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

モーダル

別のコンテンツウィンドウをオーバーレイし、ユーザーエクスペリエンスを制御するユーザーエクスペリエンスウィンドウ。

Now コードエディター

CSS、HTML、JavaScript、XML、および JSON をサポートするリッチテキストエディター。Now コードエディターを使用して、Next Experience UI ビルダーコンポーネントの UI 構成、データリソース構成、スタイル、イベント、クライアントサイドスクリプト、サーバーサイドスクリプトを変更します。

ページ

列レイアウト、列、およびコンポーネントのコレクション。ワークスペースまたはポータルエクスペリエンス用に複数の UI ビルダーページを作成またはカスタマイズします。

ページコレクション

タブまたはモーダル内のエクスペリエンスで再利用できるページのグループ。

ポップオーバー

ユーザーがページの残りの部分を引き続き使用できるようにするページオーバーレイ。ポップオーバーは、テキスト、コンポーネント、画像、フィールド、およびメニューアイテムを含む UI ビルダーページと同様に構成できます。

リピーター

UI ビルダーで、リピーターは複数のコンポーネントで提供したデータを繰り返す基本ループとして機能するコンポーネントです。リピーターは、アレイ、またはオブジェクトのアレイを使用します。リピーターは、データアレイプロパティに値をバインドします。たとえば、[{"task": "A"},{"task": "B"}] は、その中のコンテンツを 2 回繰り返します。

UI ビルダー **(UIB)**

WYSIWYG Web ユーザーインターフェイスビルダー。UI ビルダーにより、開発者は Now Experience UI フレームワークコンポーネントを使用して、エージェントワークスペースおよびポータルの新しいページをビルド、または既存のページをカスタマイズできます。

バリアント

ロールまたは条件によってアクセスが制御される UI ビルダーページのバージョン。さまざまな対象者のエクスペリエンスをターゲットとするページのバリアントを作成します。たとえば、エージェント用のホームページとマネージャー用のバリアントを同じ URL で作成します。または、さまざまな条件でユーザーに表示されるページバリアントを作成します。

UI ビルダー の学習

UI ビルダー 内を移動し、いくつかの一般的なユースケースを例で確認する方法を学びます。

UI ビルダー アプリケーションの中で移動する

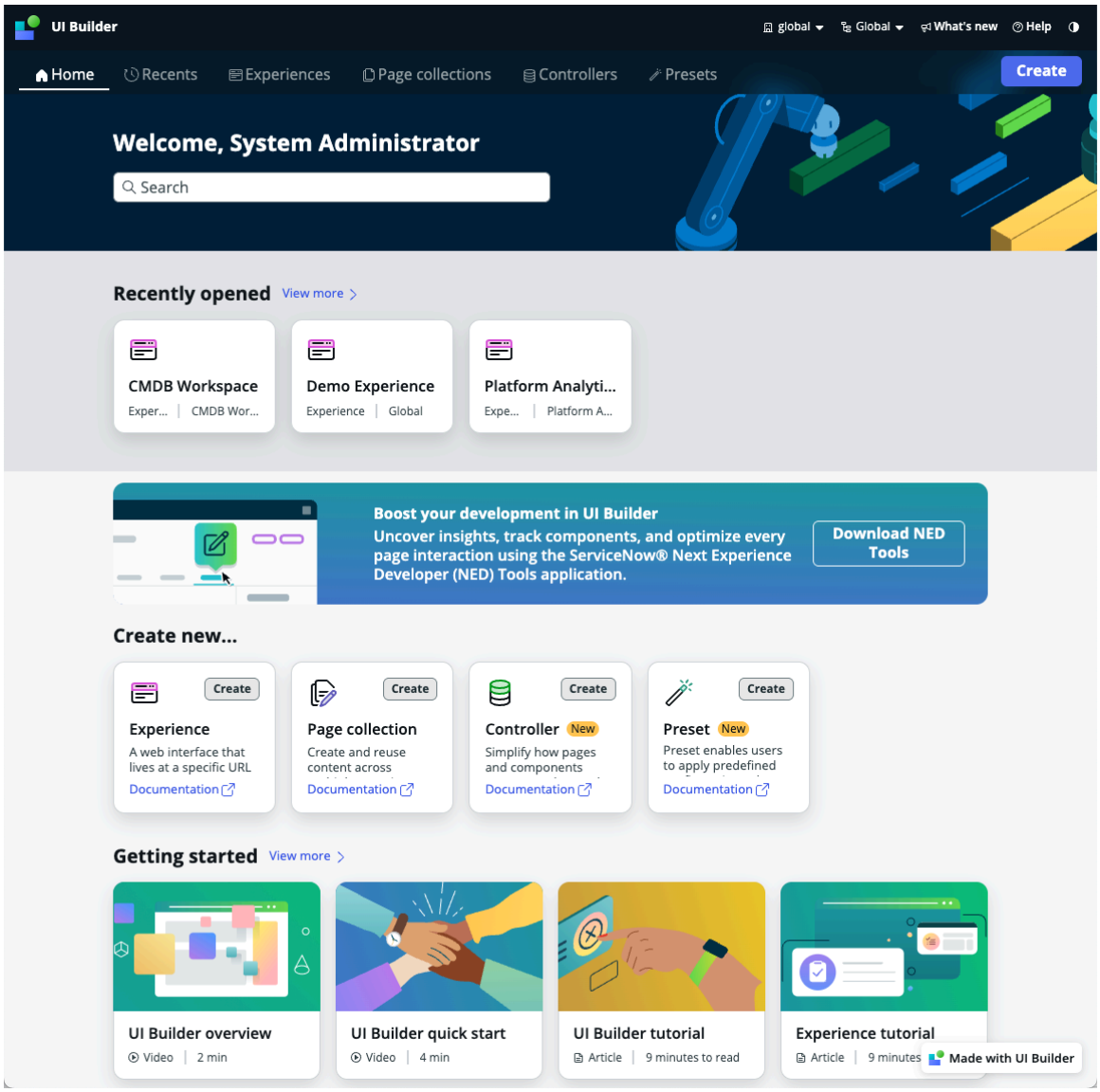
UI ビルダー の中で移動する方法を学びます。

UI ビルダー ホーム

UI ビルダー ホームページは、最近開いたエクスペリエンスへの簡単なアクセス、およびエクスペリエンスやページコレクションを作成するオプションを提供し、UI ビルダー の使用を開始するためのヘルプを提供します。検索バーを使用して、エクスペリエンスを名前ですばやく見つけることもできます。

自動翻訳

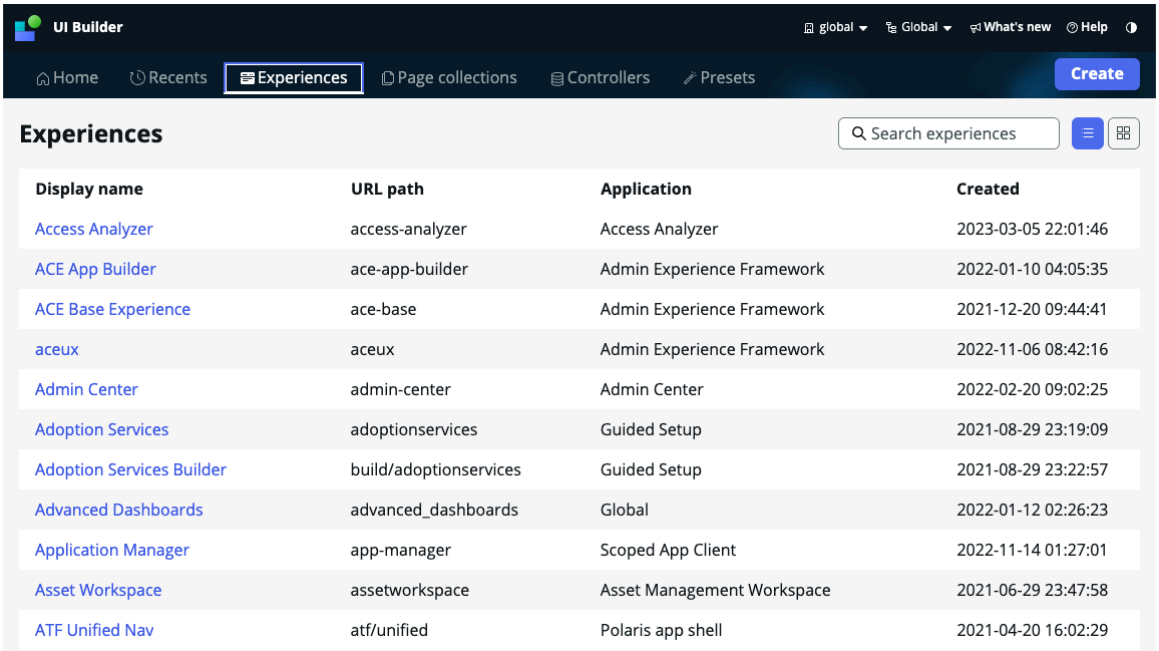
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



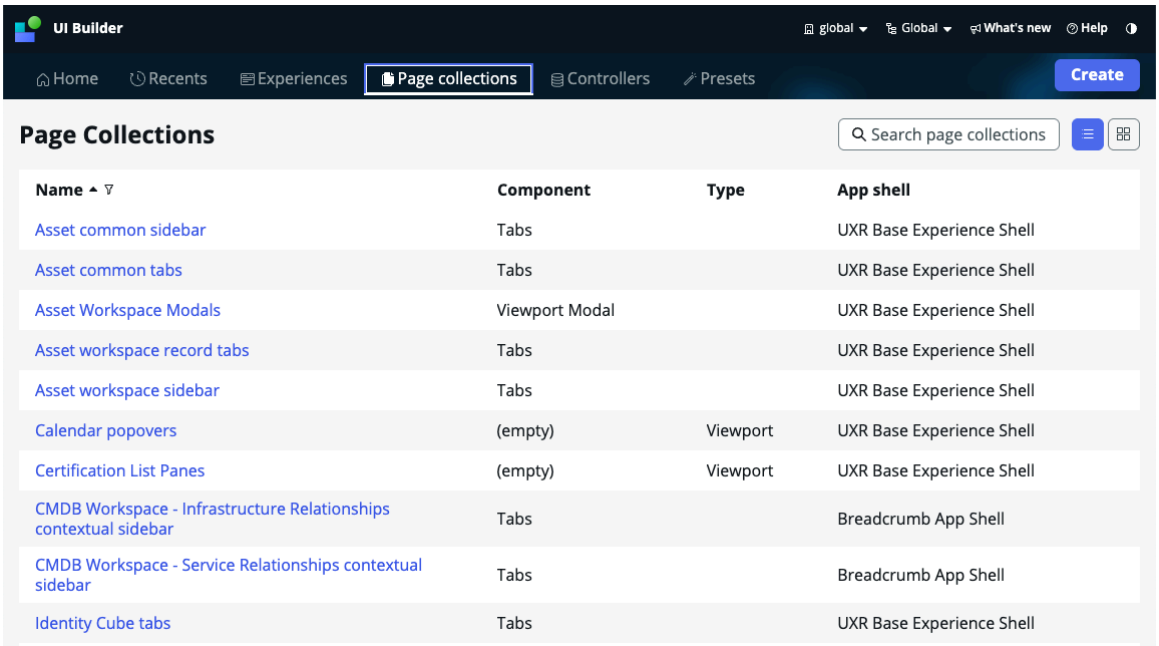
トップバーの [エクスペリエンス] タブを選択して、上部のエクスペリエンスのリストにアクセスできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



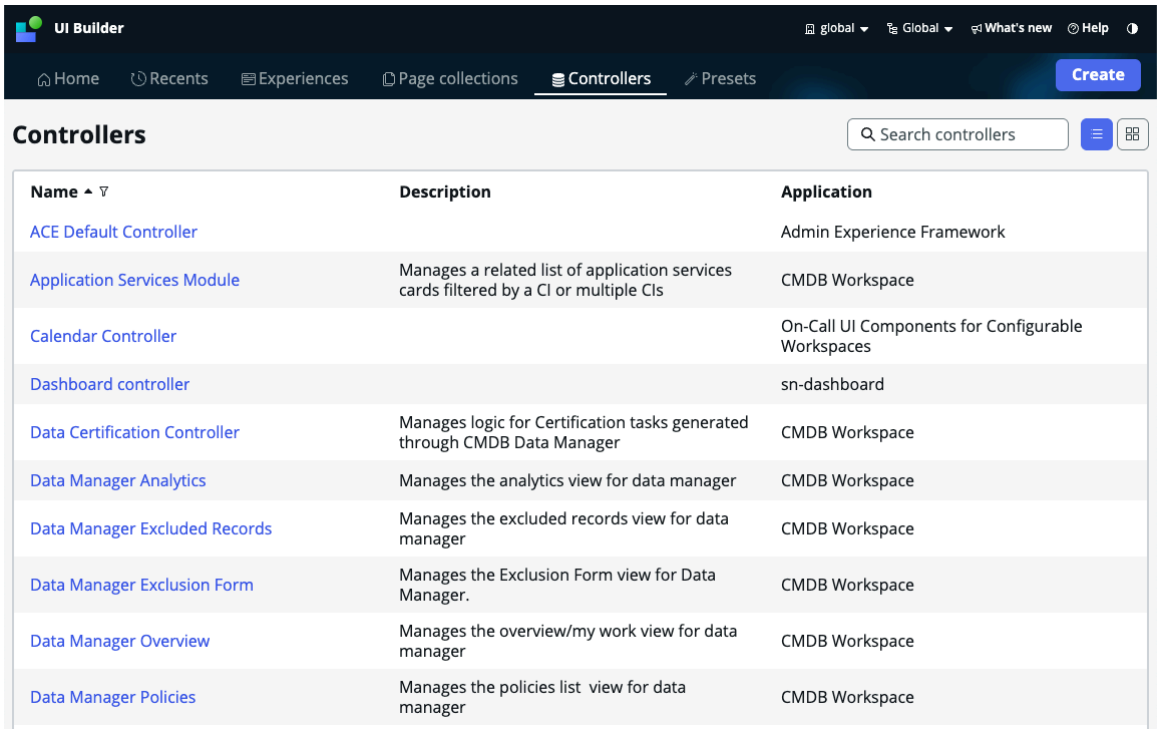
トップバーの [ページコレクション] タブを選択して、上部のページコレクションのリストにアクセスできます。



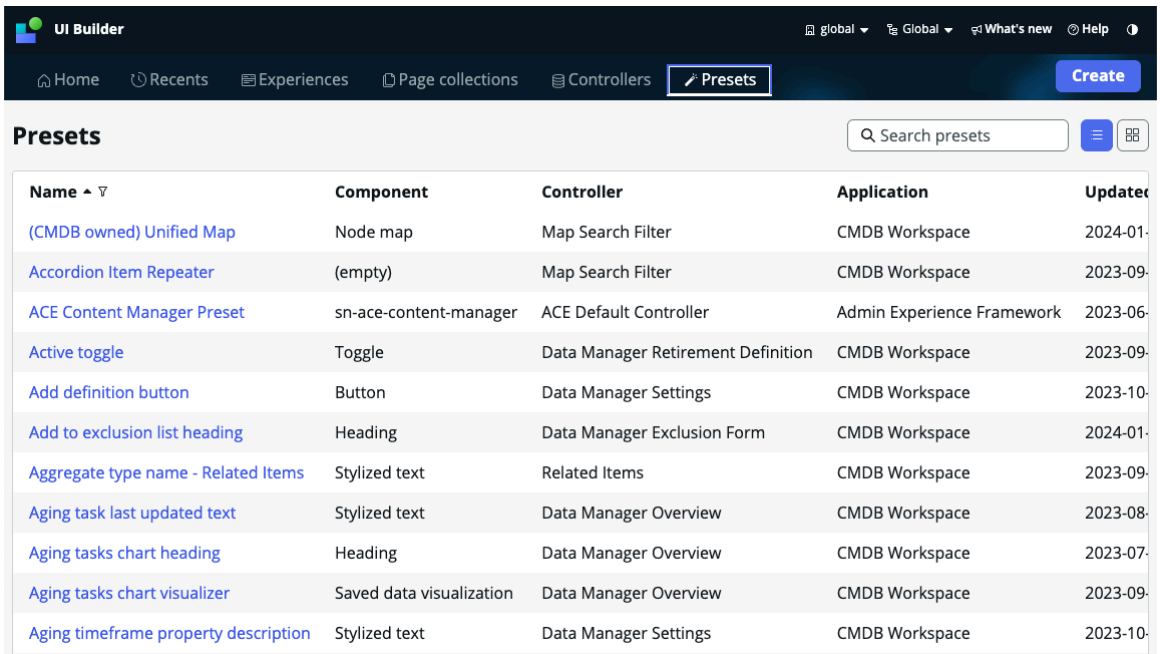
上部のコントローラーのリストにアクセスするには、上部のバーの [コントローラー] タブを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

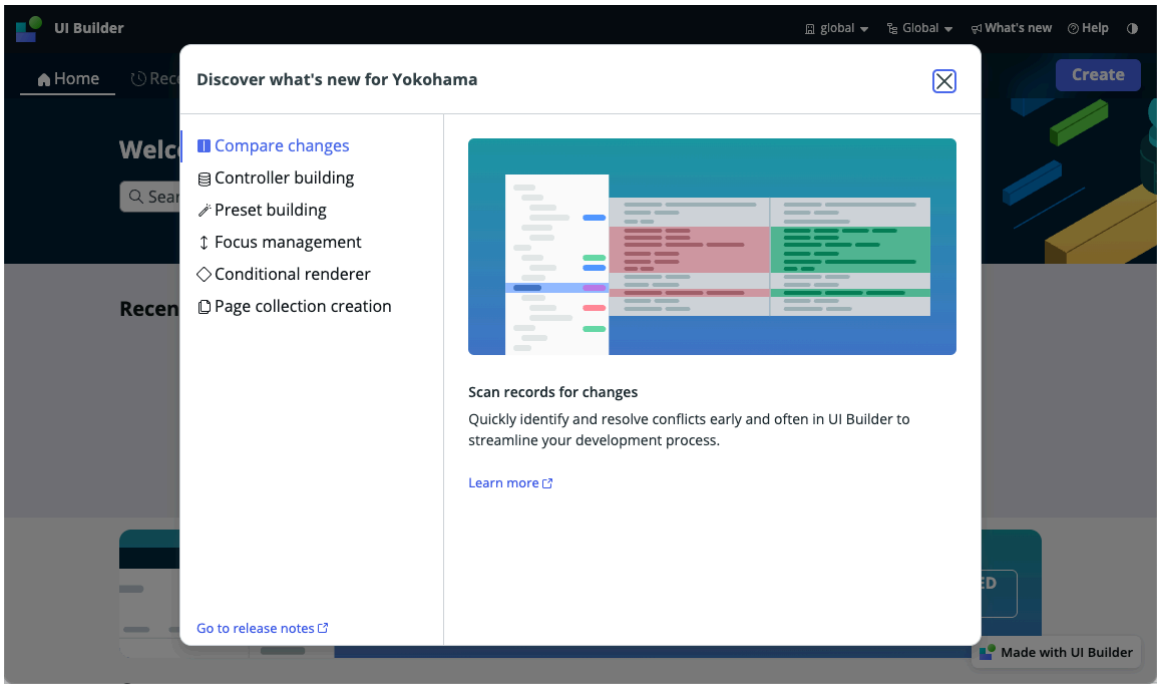


上部のプリセットのリストにアクセスするには、トップバーの [プリセット] タブを選択します。



ヘッダーの [最新情報] リンクを選択して、UI ビルダー に対する最新の変更を表示します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

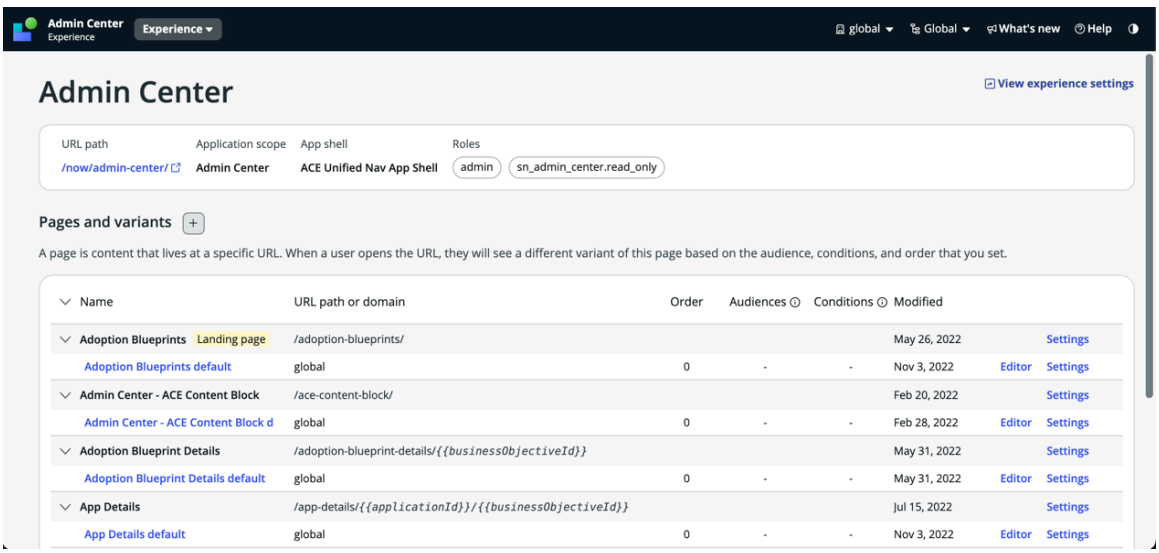


UI ビルダー エクスペリエンスビュー

UI ビルダー エクスペリエンスビューは、エクスペリエンスの構造と詳細を表示して理解するための中心的な場所です。[ページとバリアント] リストを使用して、編集するページを選択します。

自動翻訳

UI ビルダー エクスペリエンスビュー

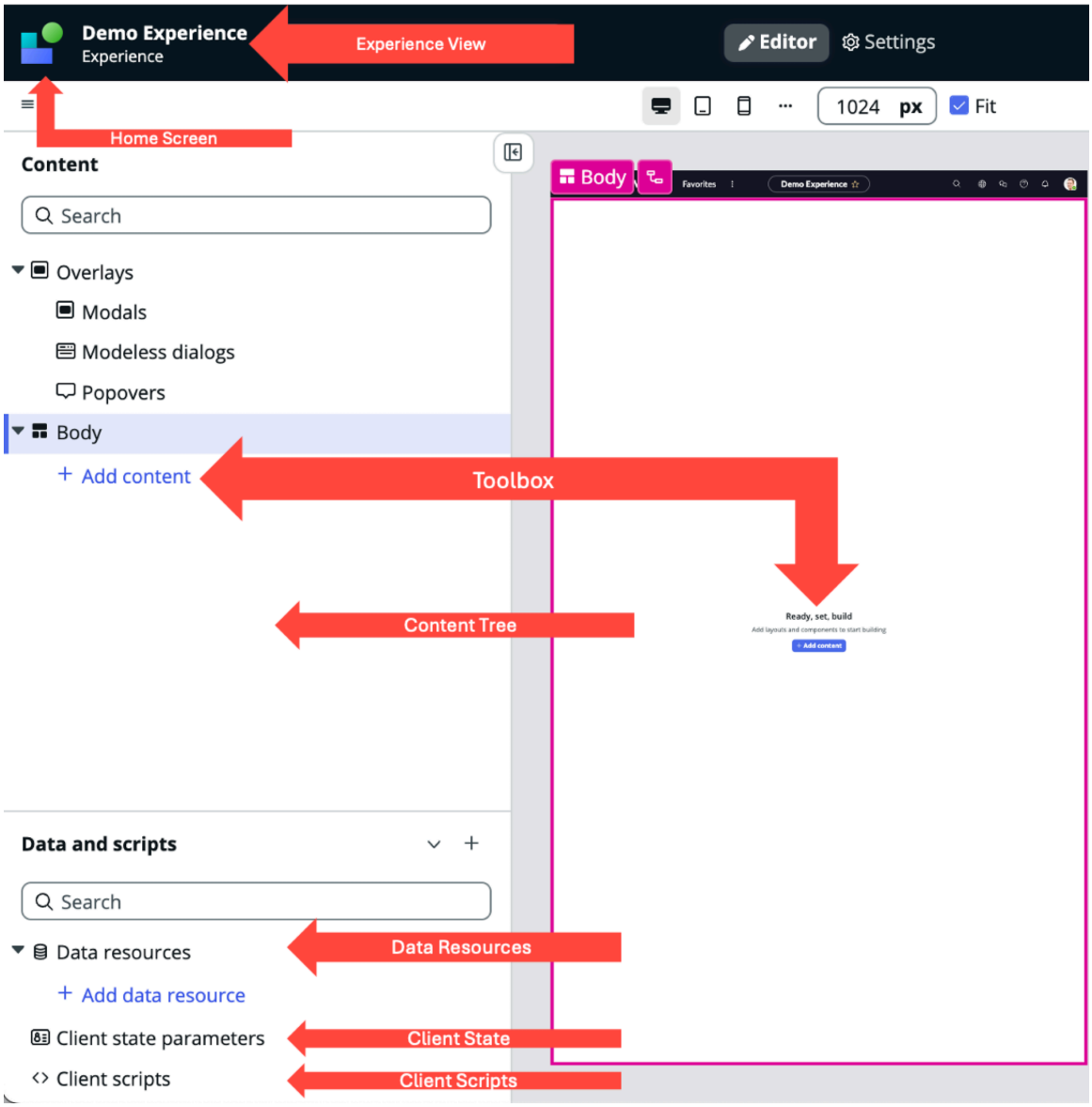


UI ビルダー の構造

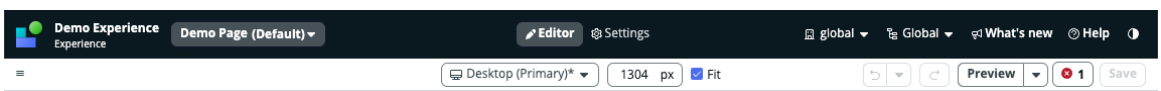
UI ビルダーは次の領域に分かれています。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- UI ビルダー の以下の項目にアクセスするには、左側の垂直バーを使用します。



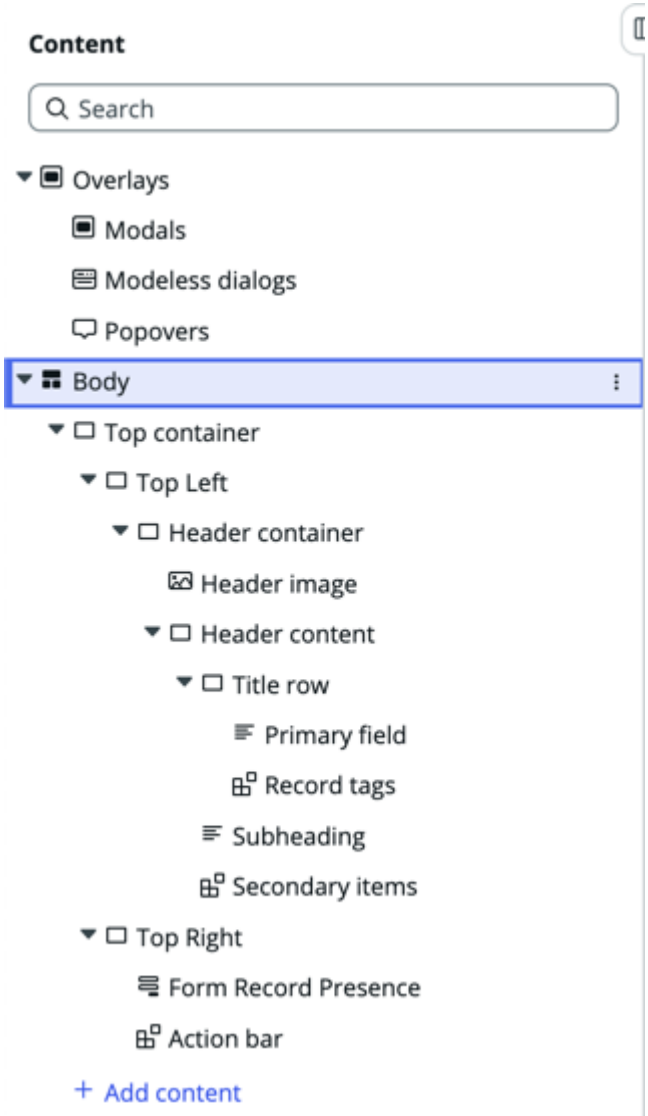
- トップバーを使用して、エクスペリエンスのページにアクセスし、ヘルプを表示します。可用性、順序、対象者などのページ設定を変更します。編集中のページの URL パスをプレビューして開き、ページがユーザーにどのように表示されるかを確認します。ドメインを選択してアプリケーションスコープを設定することもできます。[保存] ボタンの横にあるアイコンを選択して、ページのエラーと警告を表示します。 最後に、[保存] ボタンを頻繁にクリックしてページを保存します。



- コンテンツツリーを使用して、ページ上の列レイアウト、列、コンポーネントを表示および編集します。

自動翻訳

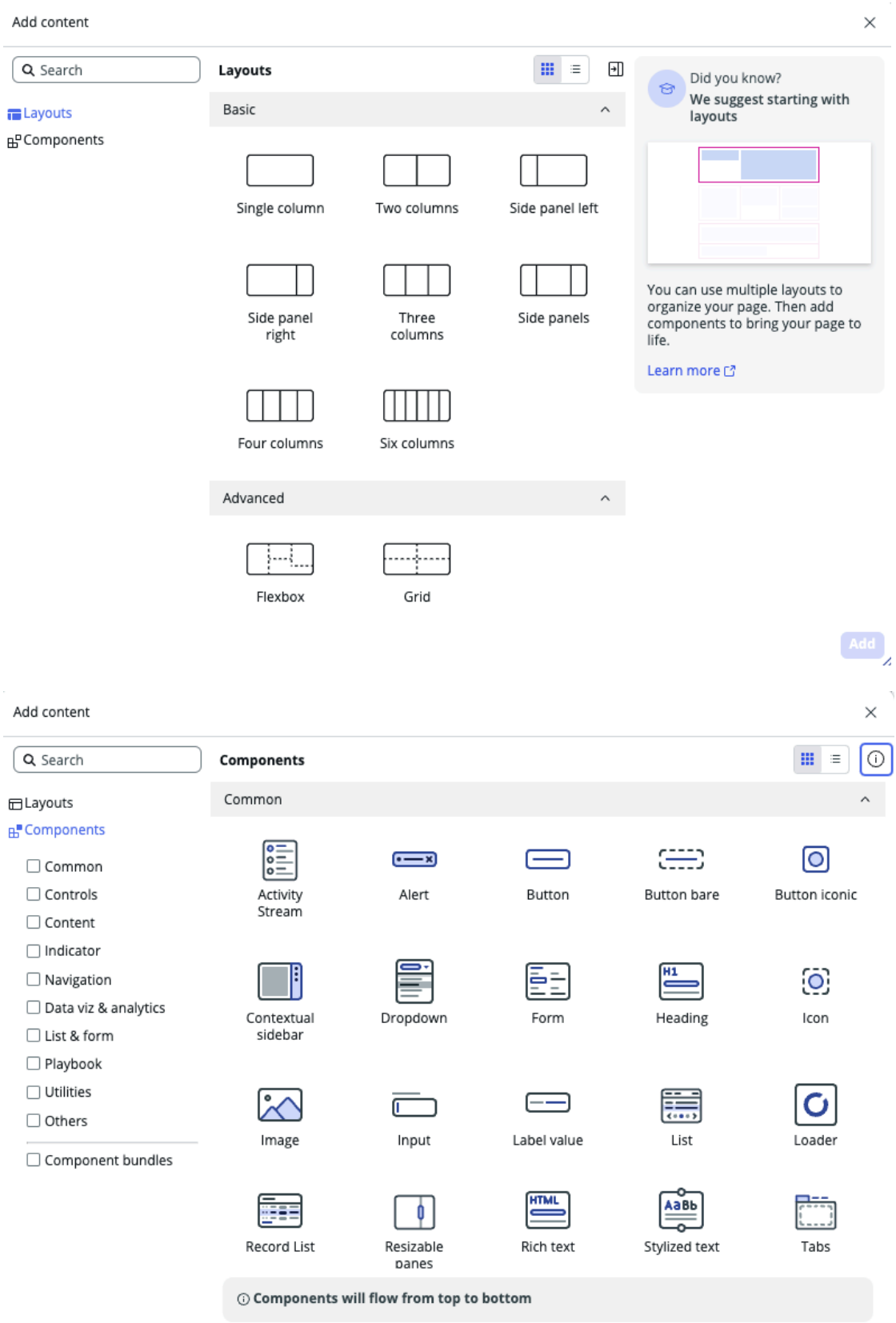
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



- UI ビルダー ツールボックスを使用して、列レイアウトとコンポーネントをページに追加します。

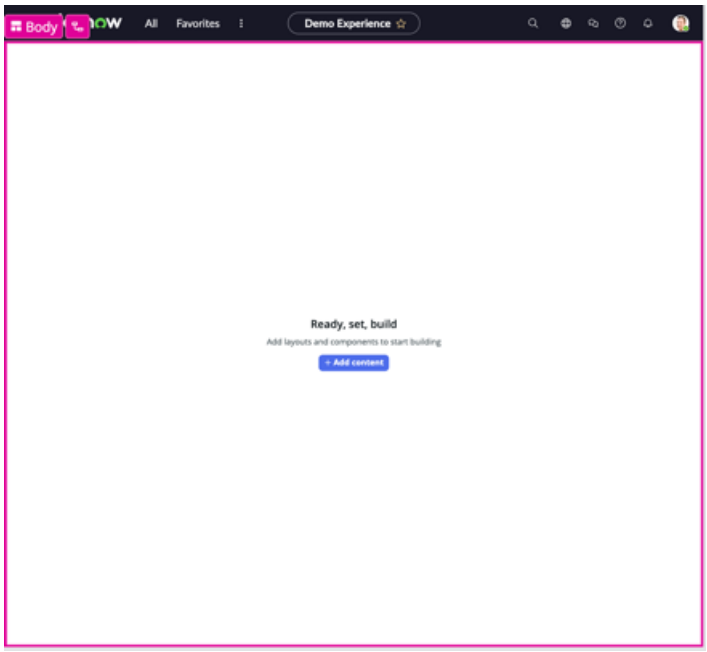
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

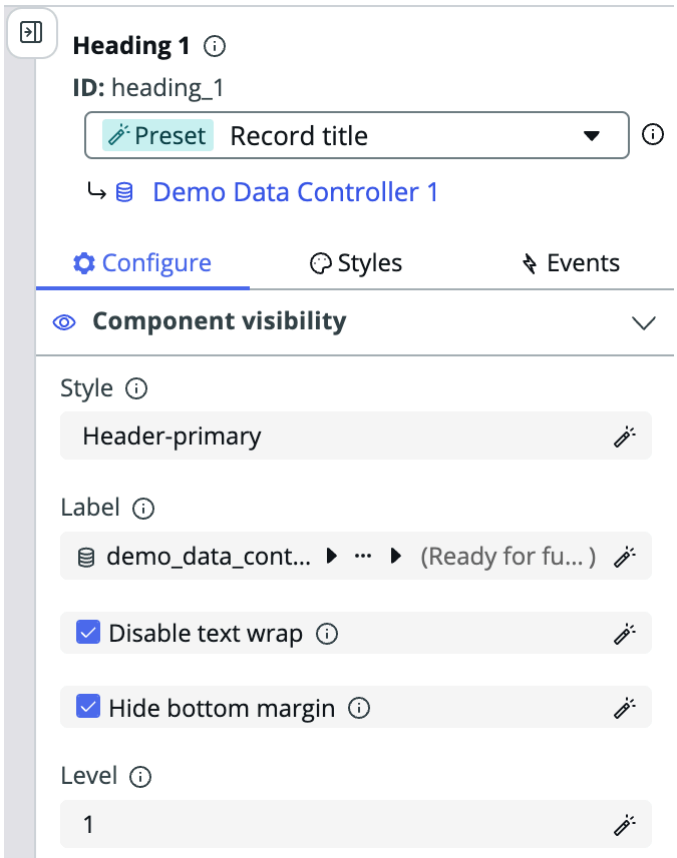


- UI ビルダー ステージング領域で作業して、ページをビルドおよび変更します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



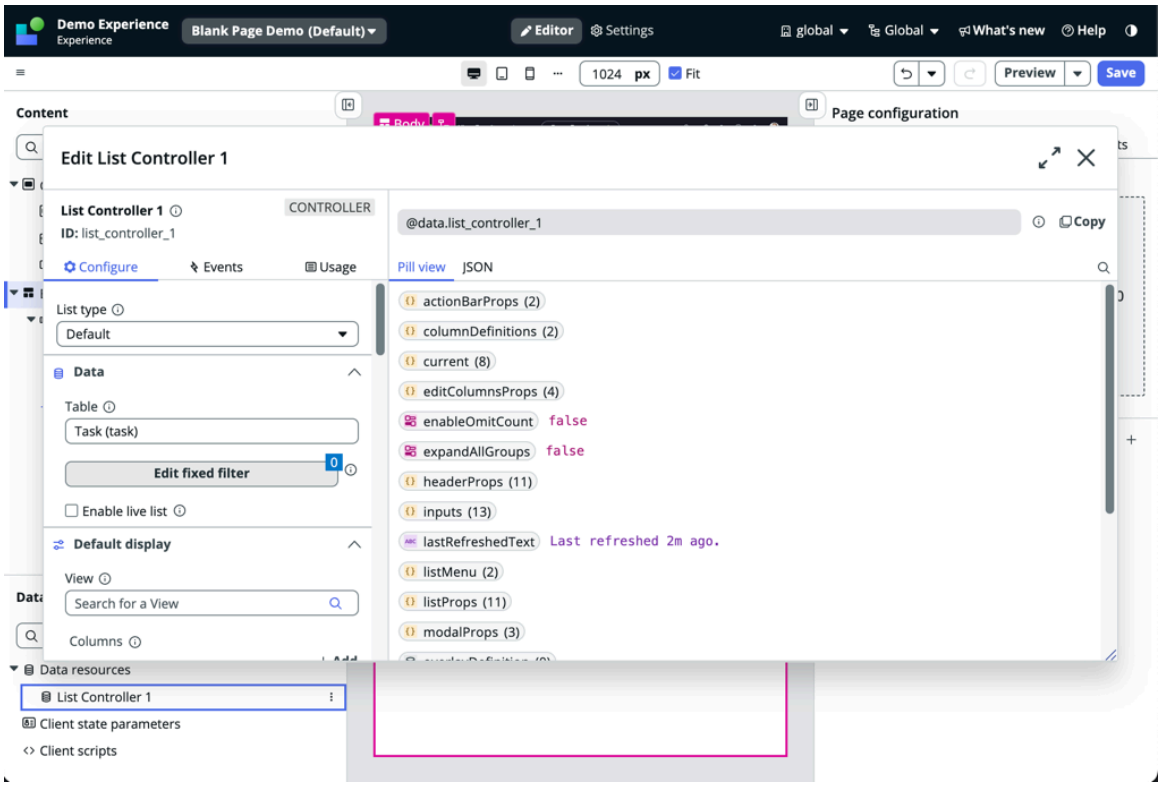
- 構成パネルに移動して、列レイアウト、列、コンポーネント、スタイリング、およびイベントを変更します。



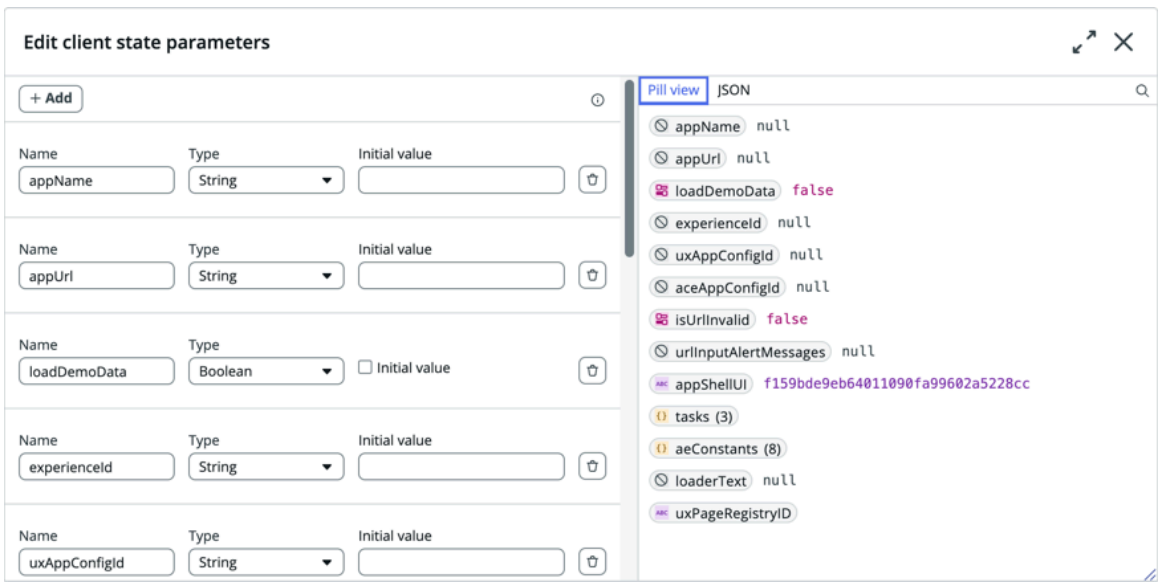
- データリソース：データリソースを使用してデータをコンポーネントにバインドし、ページ上のテーブル、レコード、またはその他の要素からデータを動的に公開します。データリソースを使用すると、コンポーネントを再利用できます。詳細については、「コンポーネントへのデータ接続」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



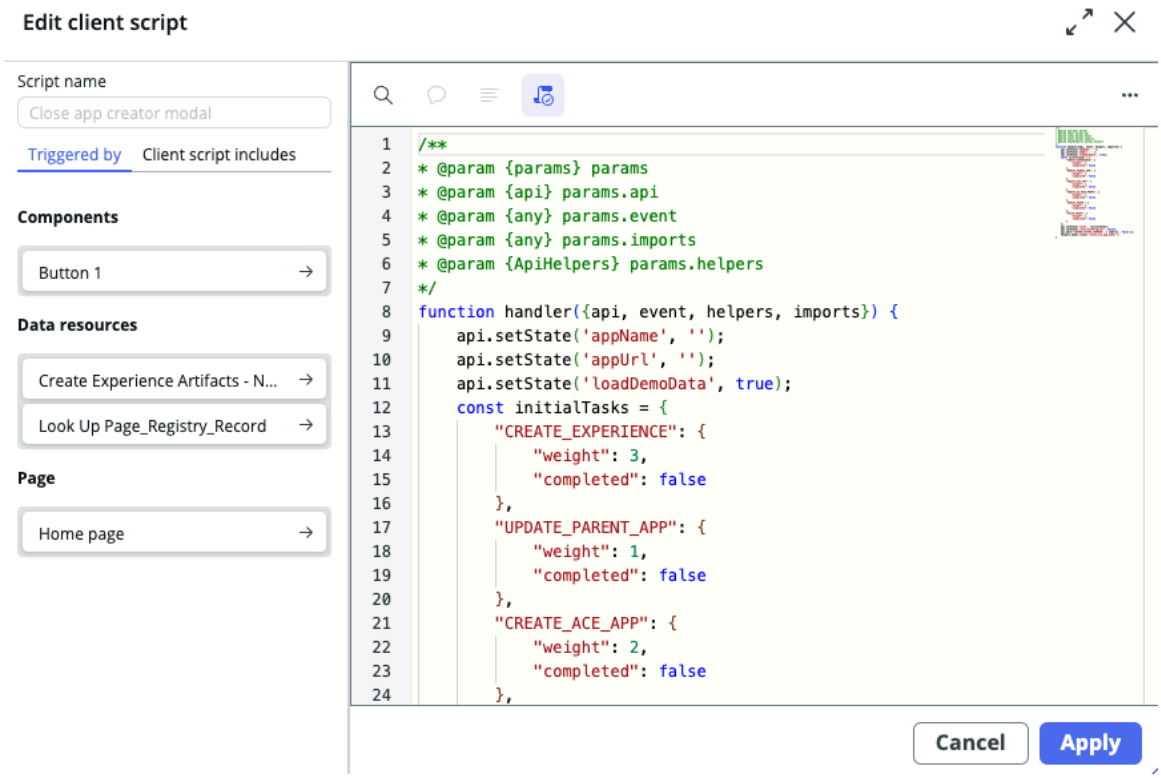
- クライアントステータス：ページのクライアントステータスのパラメーターを設定します。クライアントステータスパラメーターは、名前、タイプ、および初期値で構成されます。クライアントステータスパラメーターのプレビューを表示できます。



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- クライアントスクリプト: スクリプティングにより、イベント処理などのページの側面が自動化されます。

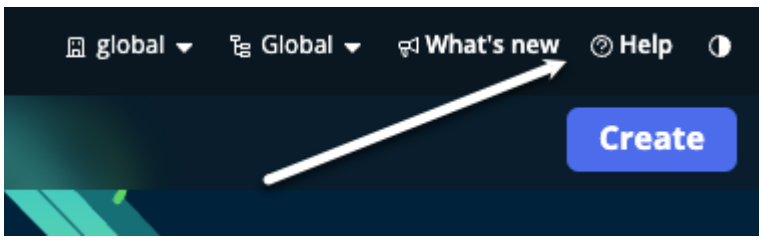


UI ビルダーラーニングセンター

UI ビルダー ラーニングセンターで、開始と知識の構築に役立つ記事、ビデオ、コース、ガイド付きツアーを確認できます。ラーニングセンターは、UI ビルダー の基本的な機能や基本的なガイドラインを学ぶことができるワンストップショップです。

ラーニングセンターを開く

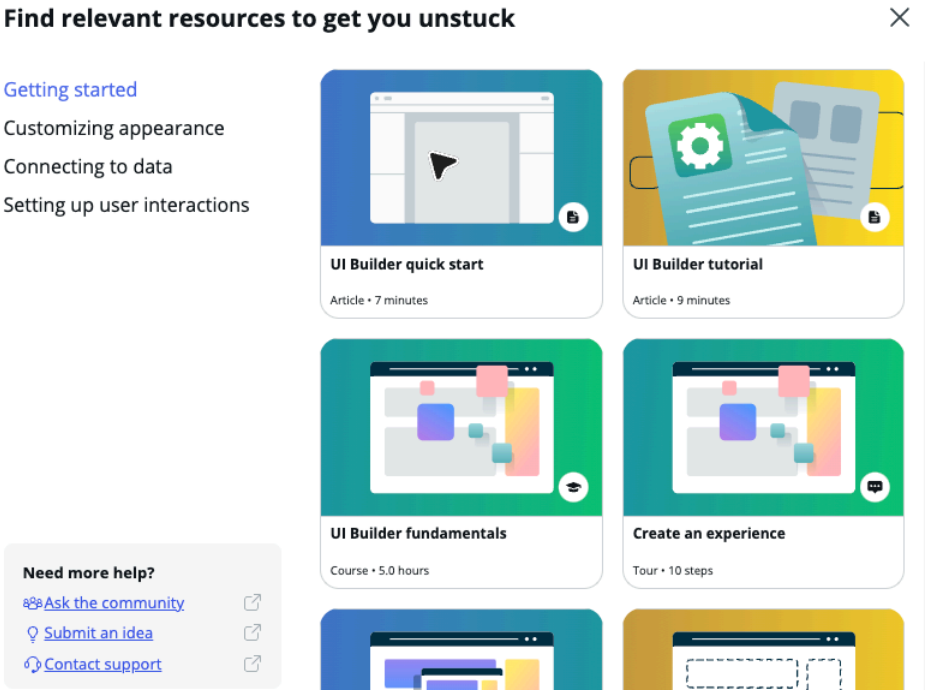
移動先 すべて > **Now Experience** フレームワーク > **UI** ビルダー > ヘルプ.



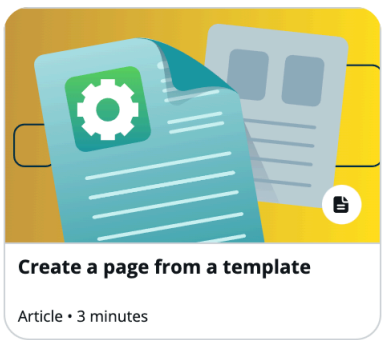
ラーニングセンターがオーバーレイで開きます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



利用可能な情報がタイルに一覧表示されます。各タイルには、タイトル、情報タイプ、完了までの時間が含まれます。たとえば、読むのに 3 分かかる製品ドキュメント記事にリンクするタイルなどです。



タイルを選択してリソースを開きます。リソースは次の場所にあります。

- 記事：https://servicenow.com/docs
- ビデオ：ServiceNow が作成し、一般公開されているオンラインビデオプラットフォームで入手可能
- コース：https://learning.servicenow.com
- ツアー：ServiceNow インスタンスに埋め込まれています

UI ビルダーのガイド付きツアー

UI ビルダー ガイド付きツアーについて、それらを使用して知識を構築し、UI ビルダー を使用する練習方法を含めて説明します。

ガイド付きツアーとは

ガイド付きツアーは、デフォルトの ServiceNow プラットフォームに含まれています。使用可能なガイド付きツアーがあり、ガイド付きツアーアプリケーションを使用して、独自のインスタンスでカスタムツアーを自分で作成できます。

自動翻訳

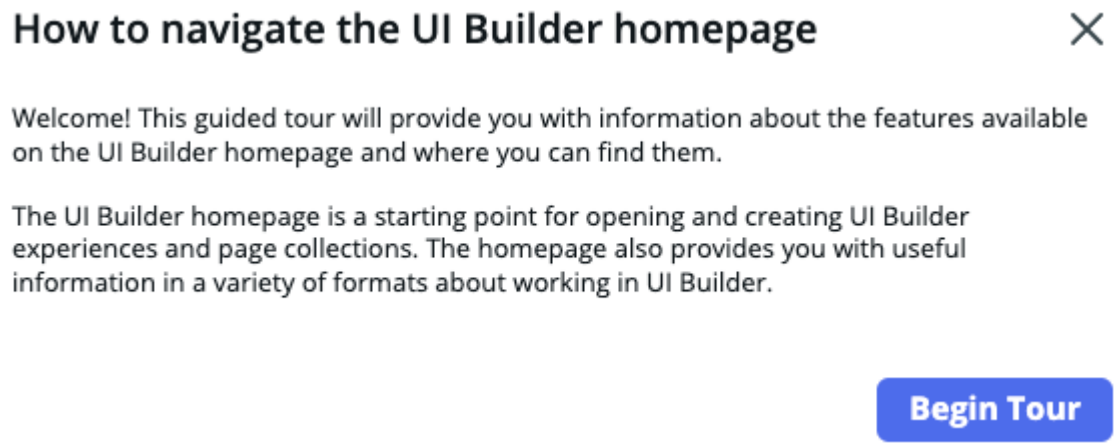
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ツアーには、ユーザーのトレーニングと教育に役立つインタラクティブな手順が含まれています。ツアーによっては、ホームページの概要など、ユーザーインターフェイスのさまざまな機能が表示されます。他のツアーは、エクスペリエンスの作成やエクスペリエンスページのプレビューなどのタスクの完了に役立ちます。ガイド付きツアーの内容と作成方法の詳細については、「Exploring Guided Tours」を参照してください。

UI ビルダー ガイド付きツアーのアクセス方法と使用方法

UI ビルダー に関するガイド付きツアーが自動的に開始される場合があります。また、UI ビルダー ホームページまたは UI ビルダー ヘルプパネルの [はじめに] セクションから手動で開始することもできます。

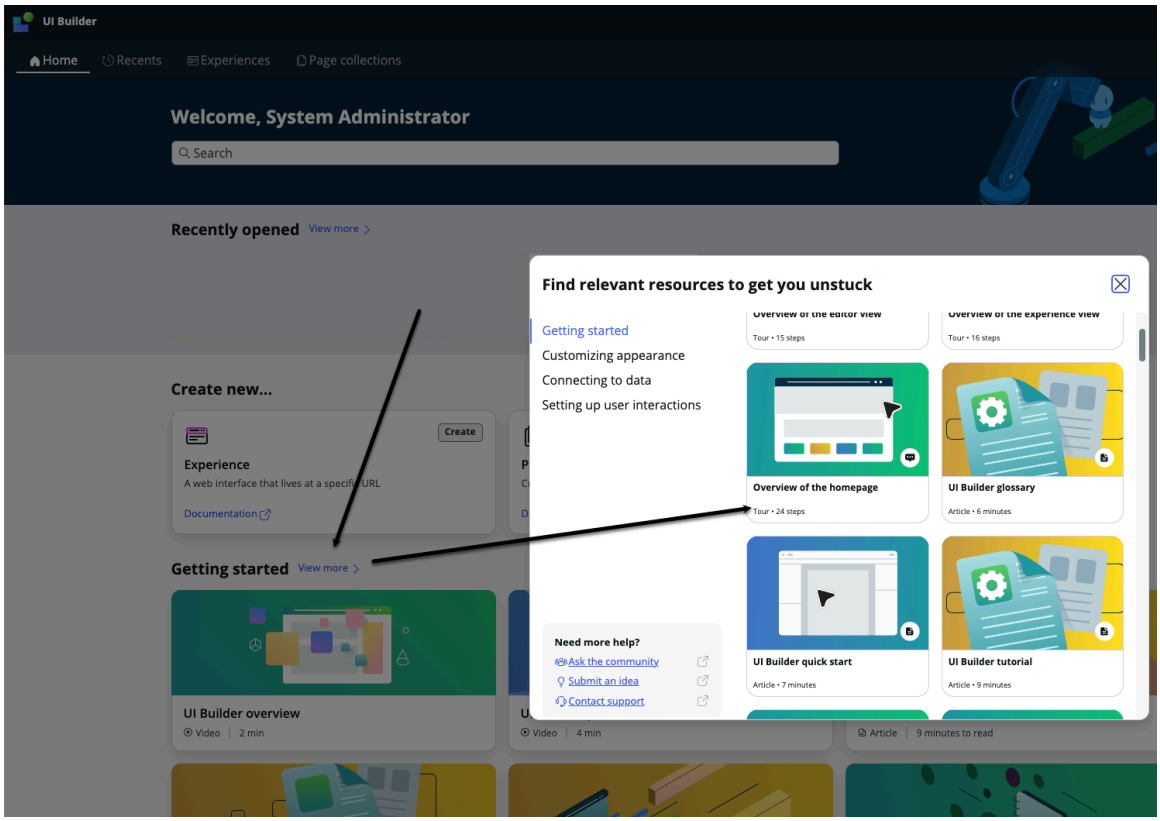
ガイド付きツアーが自動的に開始されると、概要が表示されます。[ツアーを開始] を選択します。



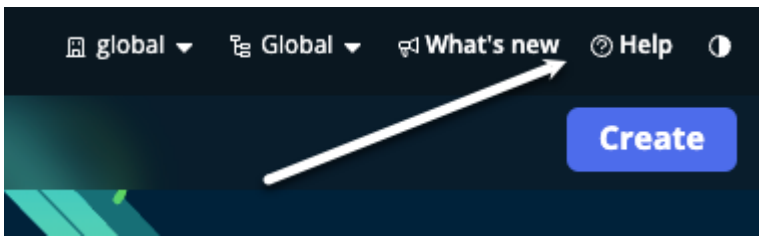
ホームページから手動でツアーを開始するには、次の場所に移動します: すべて > **Now Experience** フレームワーク > **UI** ビルダー をクリックし、[はじめに] セクションでツアーを選択します。デフォルトでこのセクションにガイド付きツアーが表示されない場合は、[さらに表示] を選択し、[行き詰まりを解消するための関連リソースを見つける **(Find relevant resources to get you unstuck)**] ポップアップでツアーを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



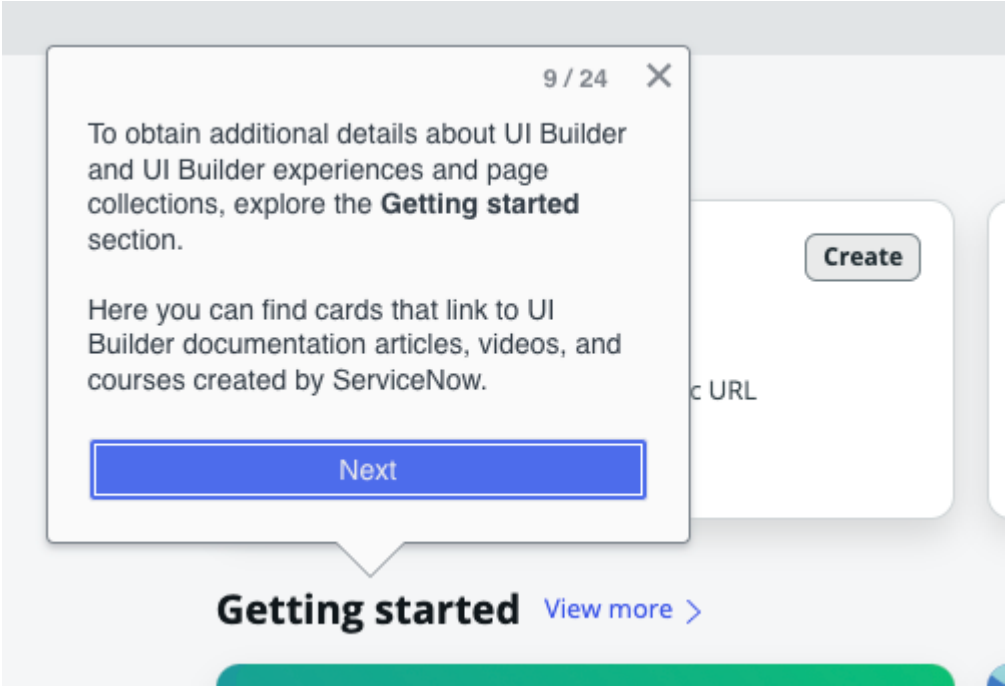
または、[ヘルプ] を選択し、[行き詰まりを解消するための関連リソースを見つける **(Find relevant resources to get you unstuck)]** ポップアップでツアーを選択します。



ツアーが自動または手動で開始されると、一連の手順に従って導かれます。各ステップのテキストを読み、必要なアクションを実行するか、[次へ] を選択してツアーを続行します。

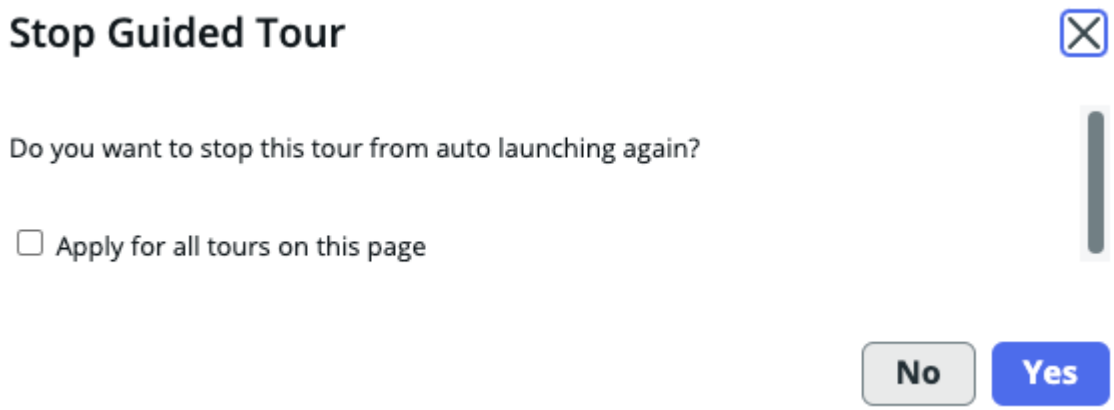
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



ツアーを停止するには、**[X]** を選択します。

ツアーの自動起動を停止するには、[はい] または [いいえ] を再度選択します。同じページで開始するすべてのツアーに決定を適用することもできます。



UI ビルダー のダークテーマ

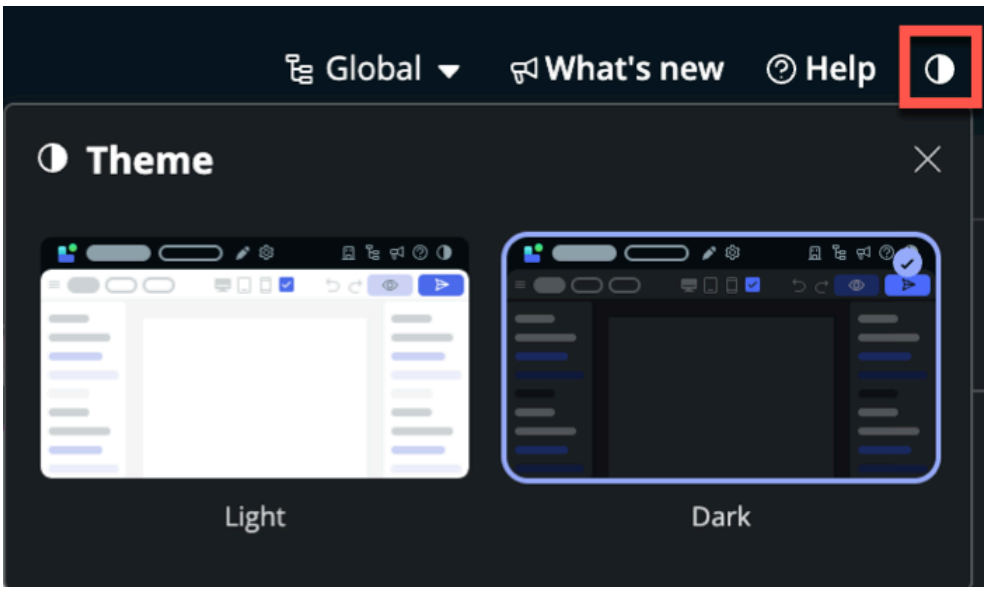
UI ビルダー でダークテーマに切り替える方法を説明します。

UI ビルダー にはダークテーマオプションが含まれており、デフォルトのライトテーマに代わる目に優しい代替手段を提供します。ダークテーマを有効にするには、バナーの [テーマを選択] アイコン ( ) を選択します。

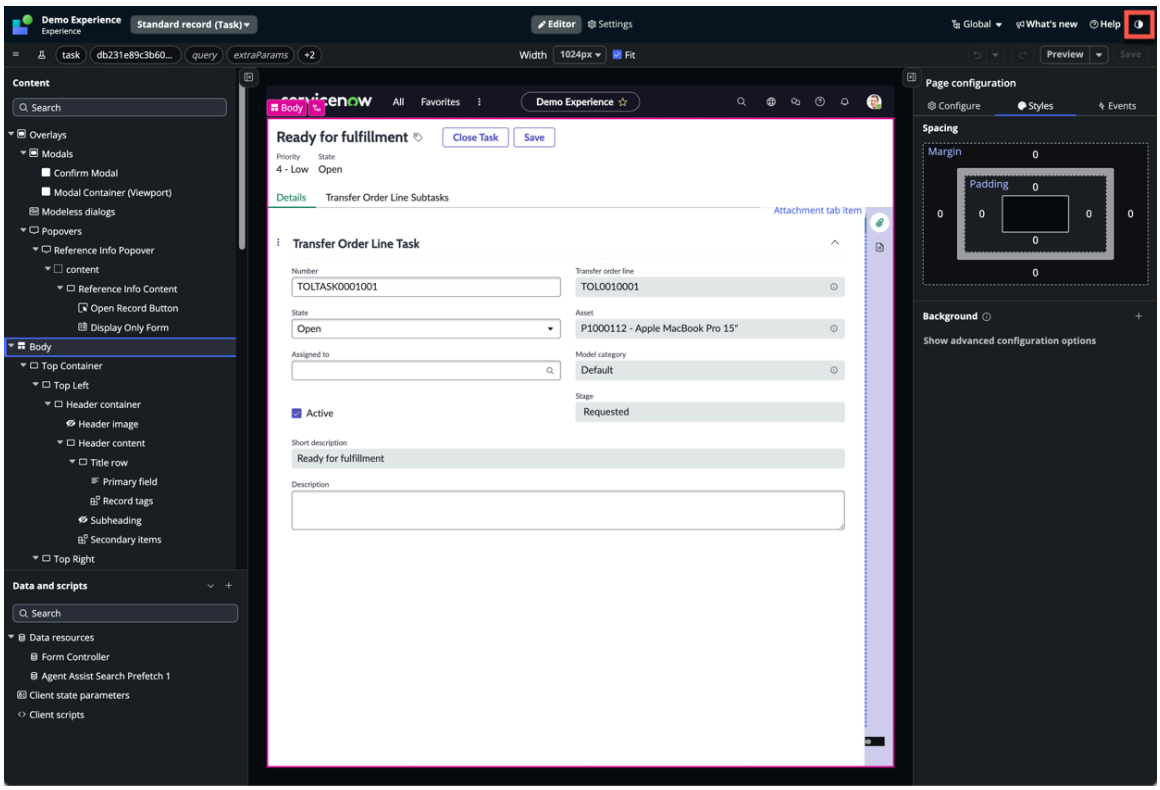
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

UI ビルダー テーマオプション



ダークテーマは、UI ビルダー のインターフェイスに即座に適用されます。



注:
UI ビルダー ステージは、プラットフォームのテーマ設定で設定されたテーマを使用します。たとえば、インターフェイスの残りの部分がダークでも、ステージが白いままになる場合があります。UI16 ページをステージ上でダークテーマでレンダリングできるようにするには、[ユーザー設定] の [テーマ] メニューで [ダーク] オプションを選択します。[テーマ] メニューへの移動の詳細については、「Open the theme menu」を参照してください。

UI ビルダー を例で学ぶ

一般的なユースケースを調べることは、UI ビルダー の使い方を学ぶ良い方法です。このセクションの各タスクを記載されている順序で実行することを検討してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ここでは、次のユースケースについて説明します。

デモエクスペリエンスを作成して **UI** ビルダー を調べる

UI ビルダー のエクスペリエンスは、ユーザーがアプリケーションを操作するための Web ページのコレクションです。このエクスペリエンスには、ルート、ページのバリアント、各バリアントに必要な対象者と条件、およびエクスペリエンスの設定が含まれます。

始める前に
必要なロール：ui_builder_admin

このタスクについて
UI ビルダー エクスペリエンスビューは、エクスペリエンスの構造と詳細を表示して理解するための中心的な場所です。エクスペリエンスビューを使用して、エクスペリエンスの構造と階層を確認します。UI ビルダー エクスペリエンスビューにアクセスするには、ここで説明されているように、UI ビルダー ホーム画面から既存のエクスペリエンスを選択するか、デモエクスペリエンスを作成します。

注:
UI ビルダー には、従業員センターなどの ServiceNow ベースシステムのサービスポータルをビルドまたは構成する機能はまだありません。サービスポータルについては、引き続きサービスポータルデザイナーを使用してください。

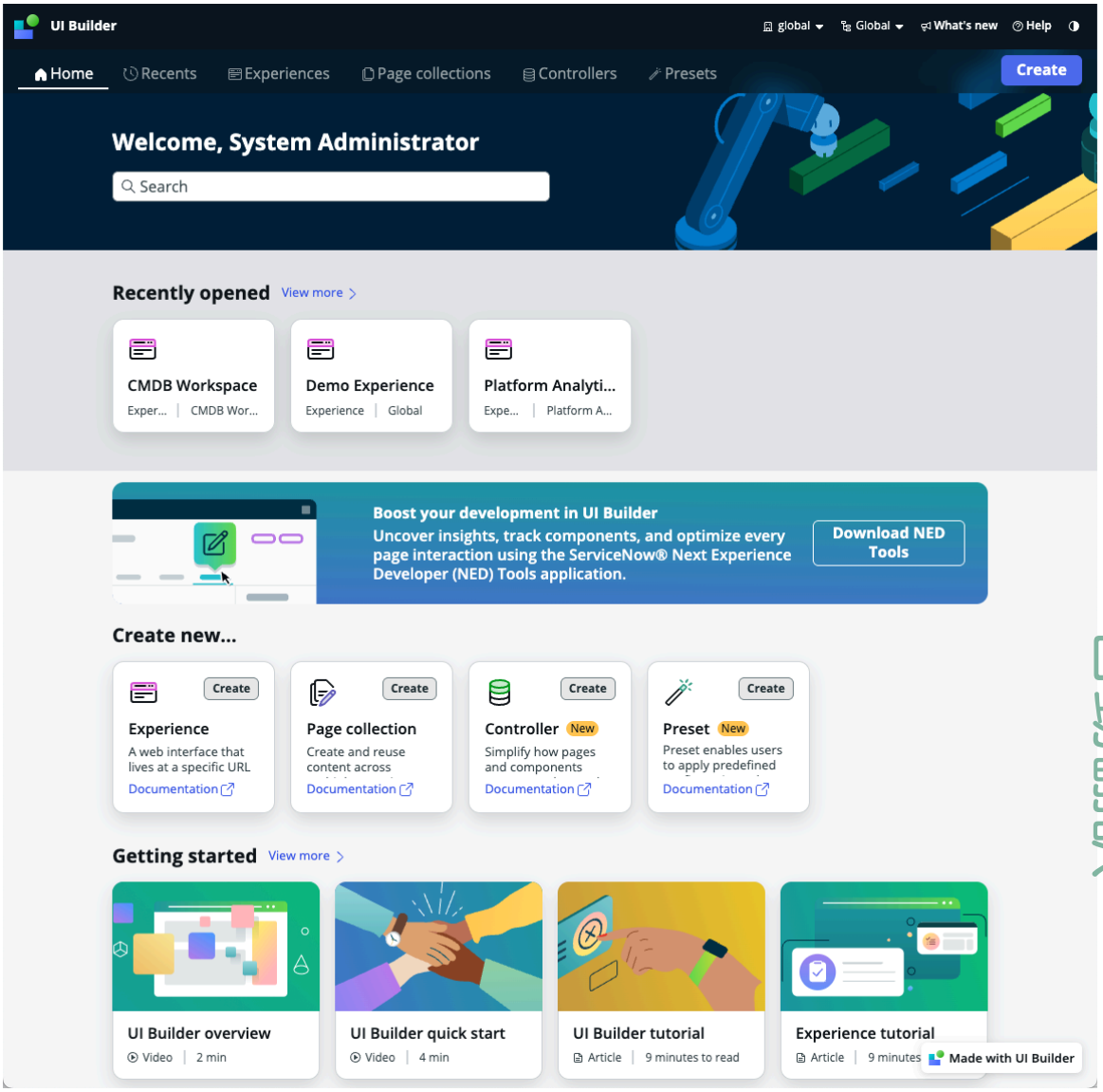
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > **Now Experience** フレームワーク > **UI** ビルダー.

UI ビルダー ホームページ



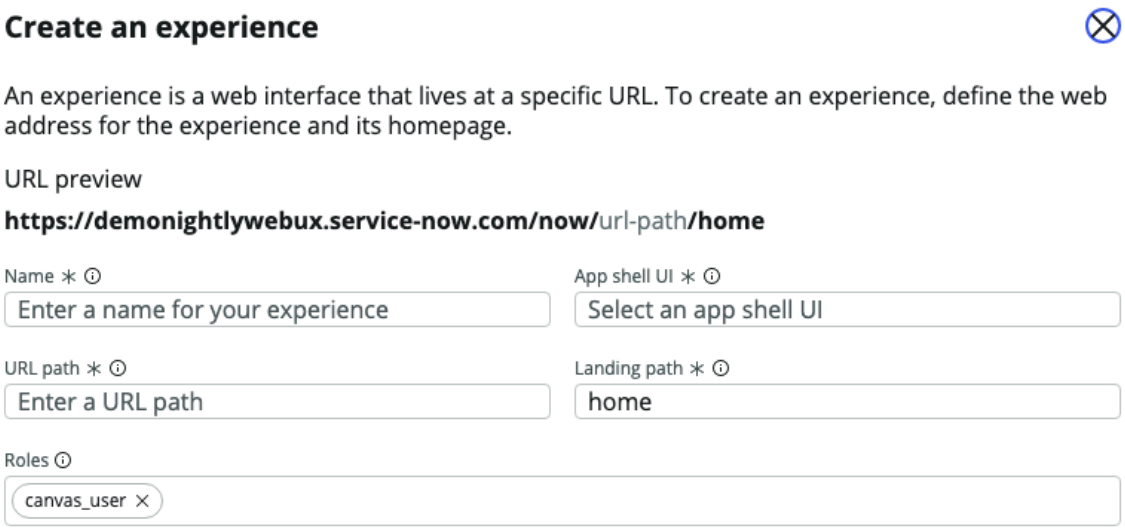
2. UI ビルダー のホームページから [作成] を選択します。

3. [エクスペリエンス] を選択します

自動翻訳

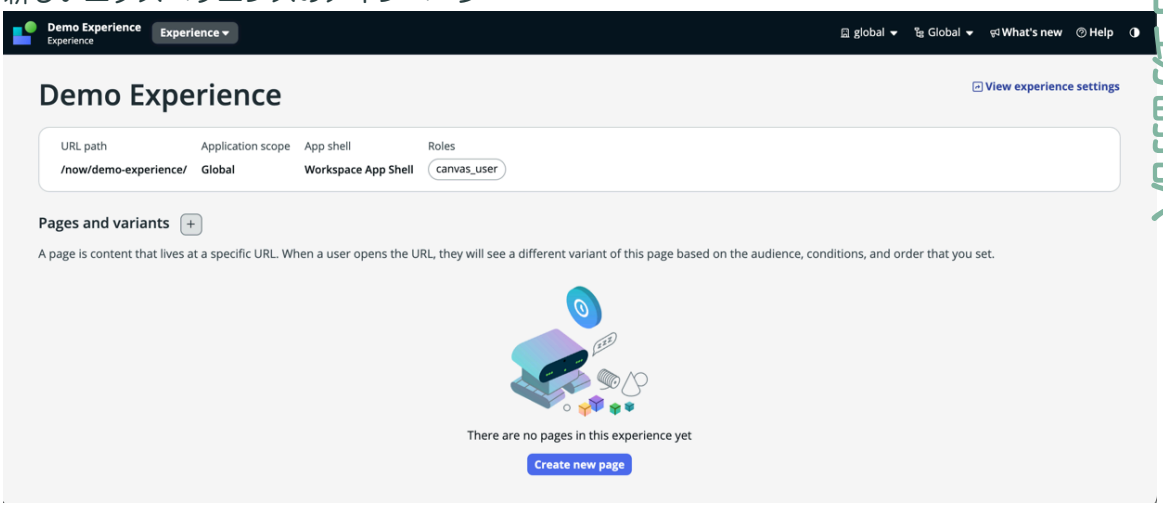
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[エクスペリエンスを作成] ダイアログボックス



4. [名前] を入力します (例：デモエクスペリエンス **(Demo Experience)**)。
5. [アプリシェル **UI]** を選択します (例：ワークスペースアプリシェル)。
6. [作成] を選択します。
7. [エクスペリエンスを開く] を選択して、エクスペリエンスのメインページを表示します。

新しいエクスペリエンスのメインページ



注:
画面には、新しいエクスペリエンスの名前に加え、URL、アプリケーションスコープ、アドミンパネル、およびエクスペリエンスを表示できるユーザーのロールが含まれています。エクスペリエンス用に作成したページまたはバリアントは、[ページとバリアント] セクションに表示されます。

次のタスク
このエクスペリエンスの空白ページを作成する方法については、「次のトピック **(Next topic)**」リンクを選択してください。

空白ページの作成

デモエクスペリエンスを作成した後、エクスペリエンスでユーザーに提供するものを定義するのにビルドできる、空白のページを作成できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

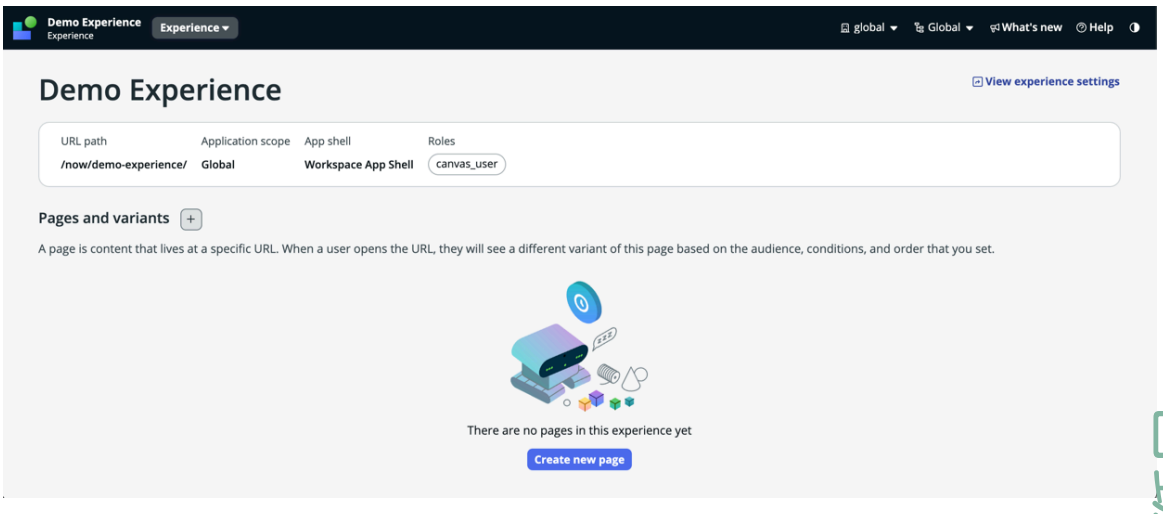
このビデオでは、次の手順を実行する方法を紹介します。 このビデオでは、UI ビルダーエクスペリエンスで空白のページを作成する方法を説明します。

始める前に
必要なロール：ui_builder_admin

手順

1. 前の手順で作成したエクスペリエンスをまだ表示していない場合は、次に移動します: すべて > **Now Experience** フレームワーク > **UI** ビルダーをクリックし、作成したエクスペリエンスを選択します。

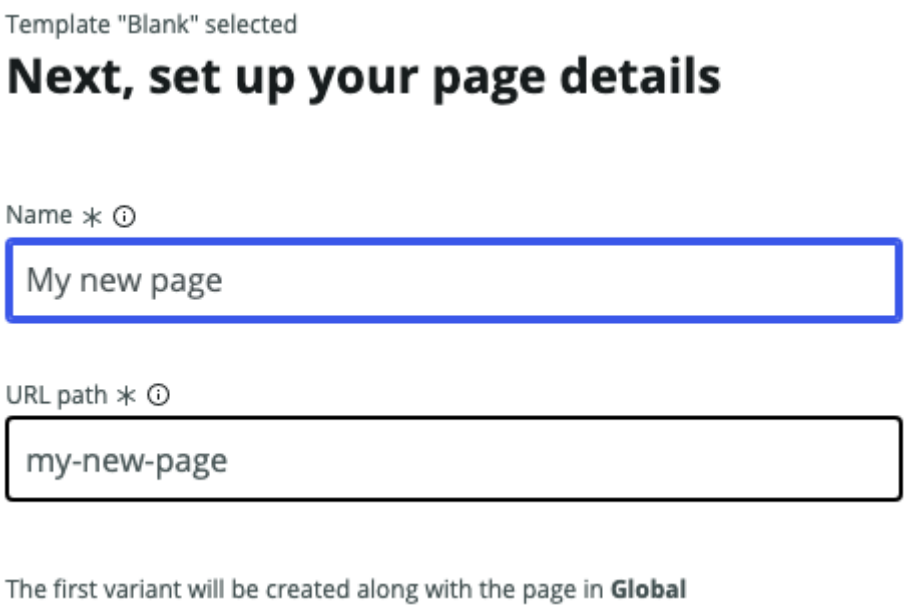
新しいエクスペリエンスのメインページ



2. エクスペリエンスのメインページから、[新規ページの作成] を選択するか、[ページとバリアント] の横にあるプラス (**+**) 記号を選択します。
3. [最初にテンプレートを選択してください] 画面で、[代わりに最初から作成します] を選択します。

   使用できるテンプレートもありますが、ページを最初から作成します。

ページの詳細



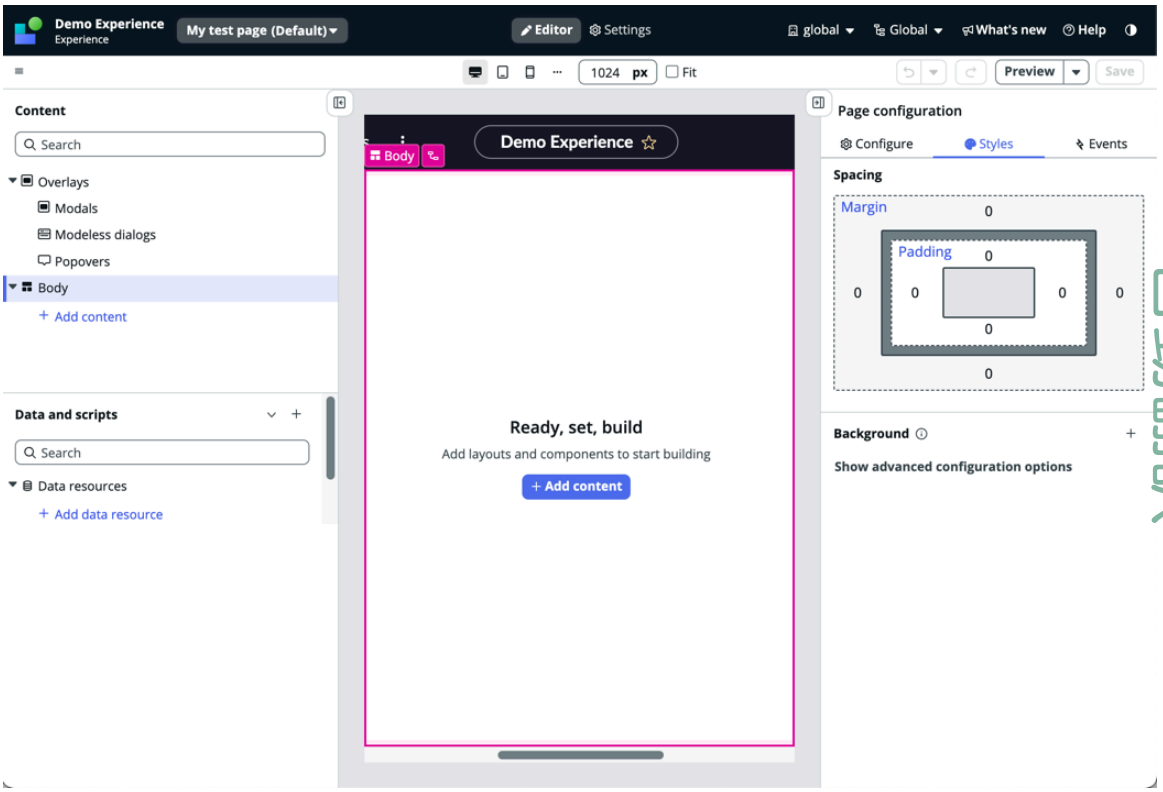
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

4. [名前] フィールドに「**My test page**」と入力し、[続行] を選択します。

   注:
   [URL パス] には、ユーザーがページにアクセスするのに使用できる URL が表示されます。

5. 次の画面で [問題なし] を選択します。
6. [バリアントについて教えてください] 画面では、何も変更しないでください。
7. [続行] を選択します。
8. [レスポンシブをビルド **(Build responsive)]** オプション (デフォルト) を選択して、さまざまな画面幅でのページの表示方法をより詳細に制御します。
9. [作成] を選択します。
   ビジュアルエディターが開きます。ここで、新しいページの編集を開始できます。

UI ビルダー ビジュアルエディター



次のタスク

モーダルを開くボタンの作成方法については、「次のトピック **(Next topic)**」リンクを選択してください。

テンプレートを使用したレコードページの作成

デモエクスペリエンスを作成したら、テンプレートからレコードページを作成できます。レコードページには、テーブルのデータが表示されます。

始める前に

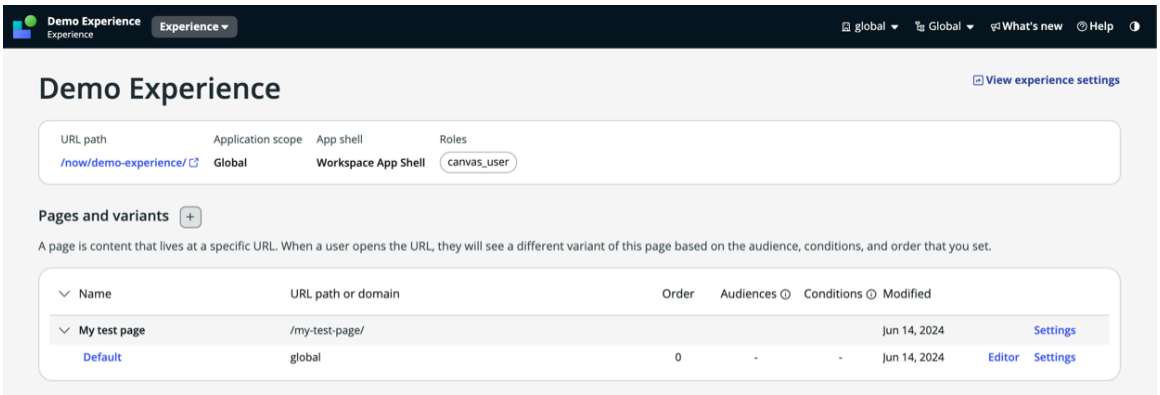
必要なロール：ui_builder_admin

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

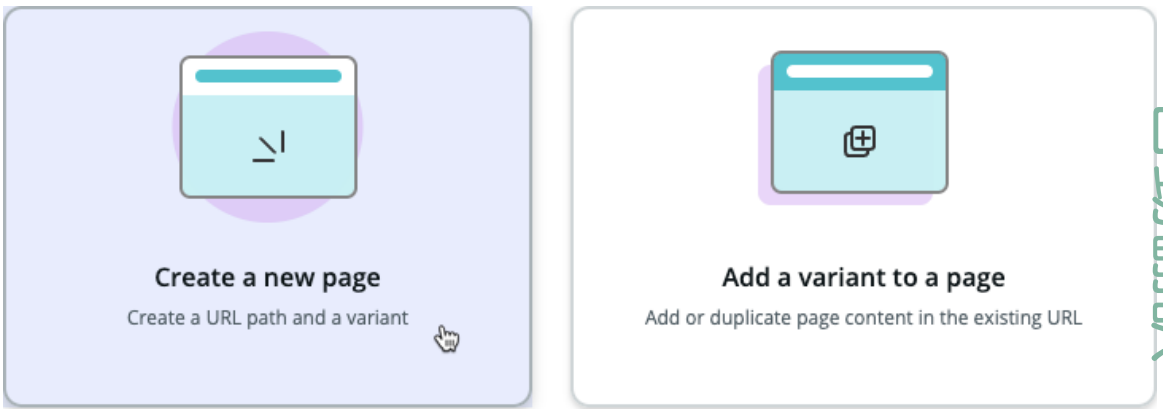
1. デモエクスペリエンスのメインページを開きます。

デモエクスペリエンス



2. エクスペリエンスのメインページから、[ページとバリアント] の横にあるプラス (+) 記号を選択します。

新しいページまたはバリアントの作成



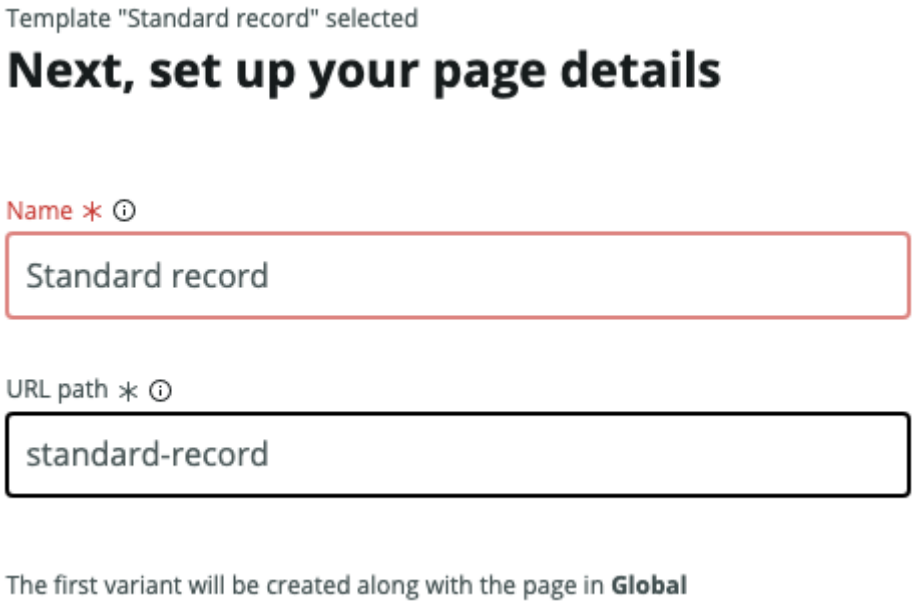
3. 別の URL に存在するページを作成するには、[新規ページの作成] を選択します。
4. [最初にテンプレートを選択してください] 画面で、[標準レコード] テンプレートを見つけて、[テンプレートを使用] を選択します。

> **注:**
> 必要に応じて、[詳細] を選択することで、テンプレートについて選択前に確認することができます。

自動翻訳

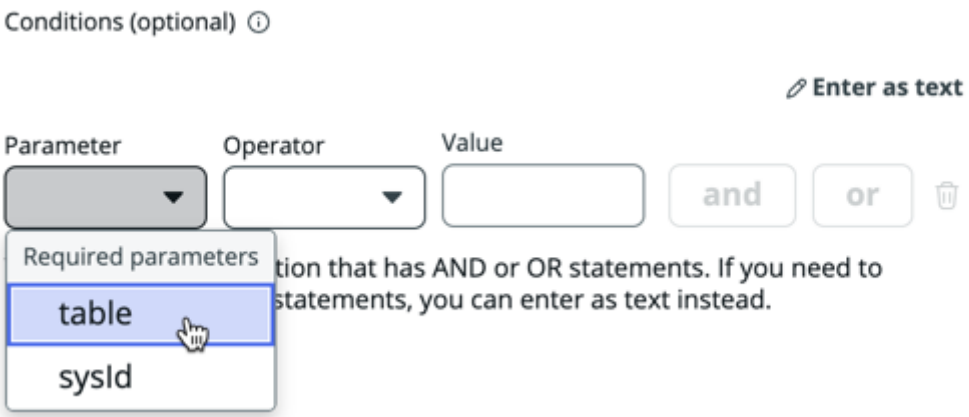
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ページの詳細



5. [ページの詳細] 画面の [名前] フィールドに Task record page と入力し、[続行] を選択します。
6. 次の画面で [問題なし] を選択します。
7. [バリアントについて教えてください] 画面で、ページを表示するタイミングを決定する条件を入力します。
   a. [パラメーター] フィールドで、[テーブル] を選択します。
   b. [演算子] フィールドで、**[is]** を選択します。
   c. [値] フィールドに task と入力します。

条件フィールド



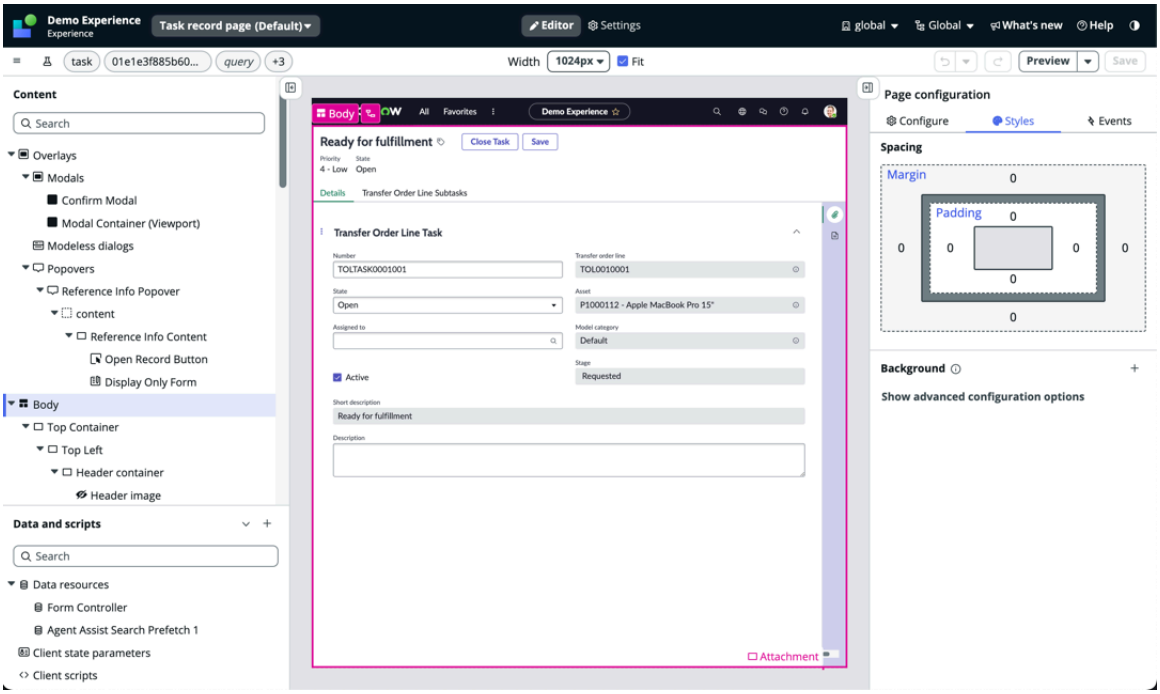
このページは、タスクテーブルからレコードにアクセスするユーザーに表示されます。

8. [作成] を選択します。
   ビジュアルエディターが開きます。ここで、新しいページの編集を開始できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

標準レコードテンプレートから作成された新しいページ

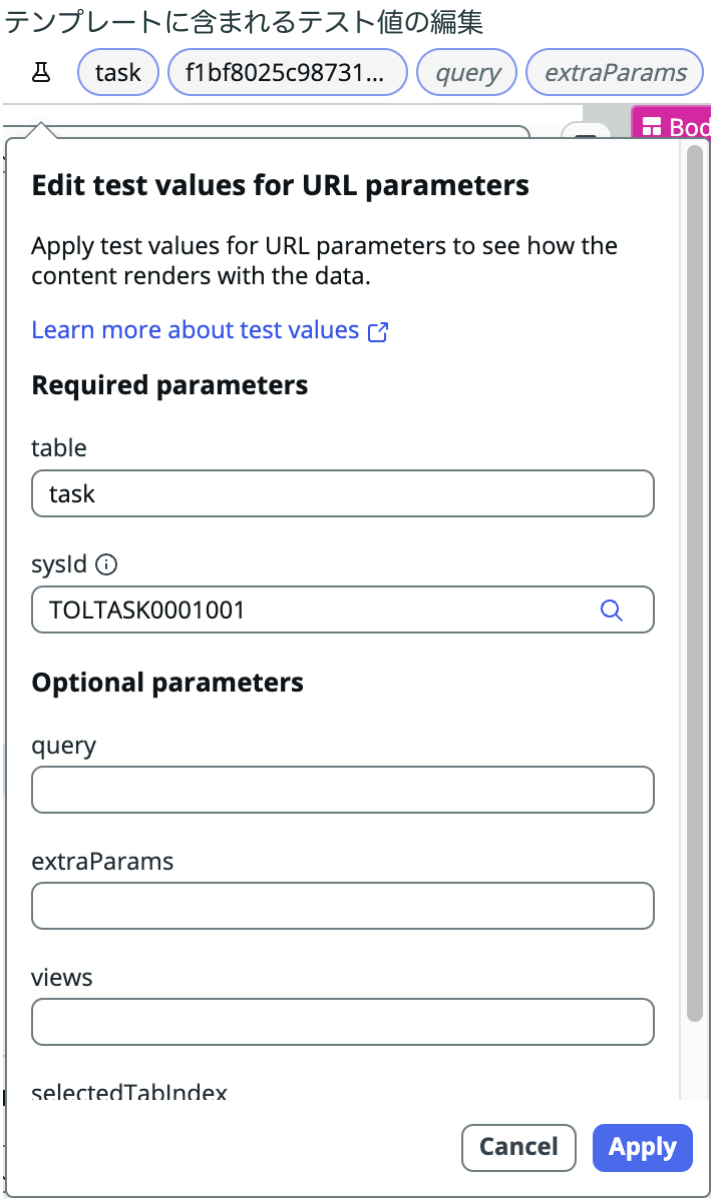


注:
新しいページには、多くのレイアウト、事前設定されたコンポーネント、データ、およびモーダルが含まれています。さらに、独自の特定のユースケースに合わせて変更できるテスト値も含まれています。テンプレートを使用すると、新しいページを作成するときに時間を大幅に節約できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

9. [ページのコンテンツ] ペインの上にある領域を選択すると、テンプレートに含まれるテスト値に関する情報を表示できます。



次のタスク
UI ビルダー でページを表示できる対象者を定義する方法については、「次のトピック **(Next topic)**」リンクを選択してください。

モーダルを開くボタンの作成

デモエクスペリエンスを作成して空白ページを追加したら、必要に応じてページバリアントを編集できます。このデモでは、ボタンとモーダルを作成し、モーダルを開くボタンを構成できます。

始める前に
必要なロール：ui_builder_admin

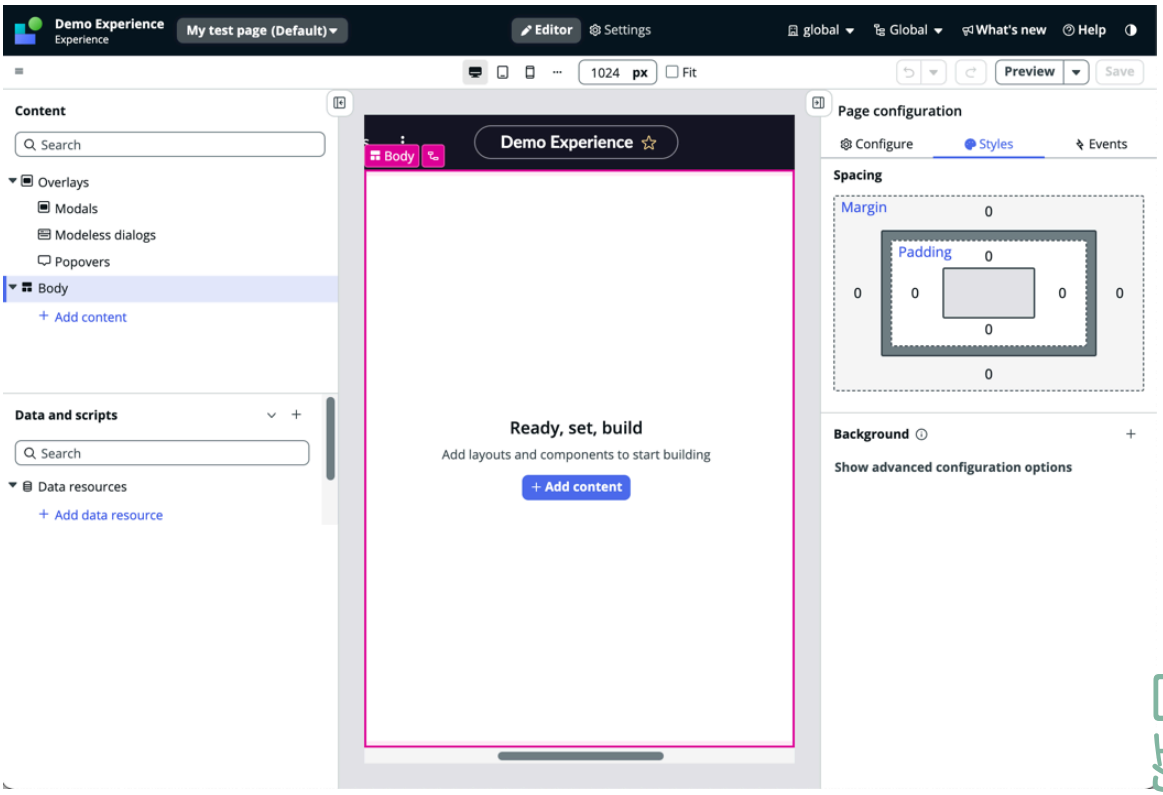
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. デモエクスペリエンスの UI ビルダーページを開きます。

UI ビルダー ビジュアルエディター



2. ステージ上の **[+** コンテンツを追加] ボタンをクリックしてツールボックスを開きます。

3. **[1** 列] のレイアウトを選択します。

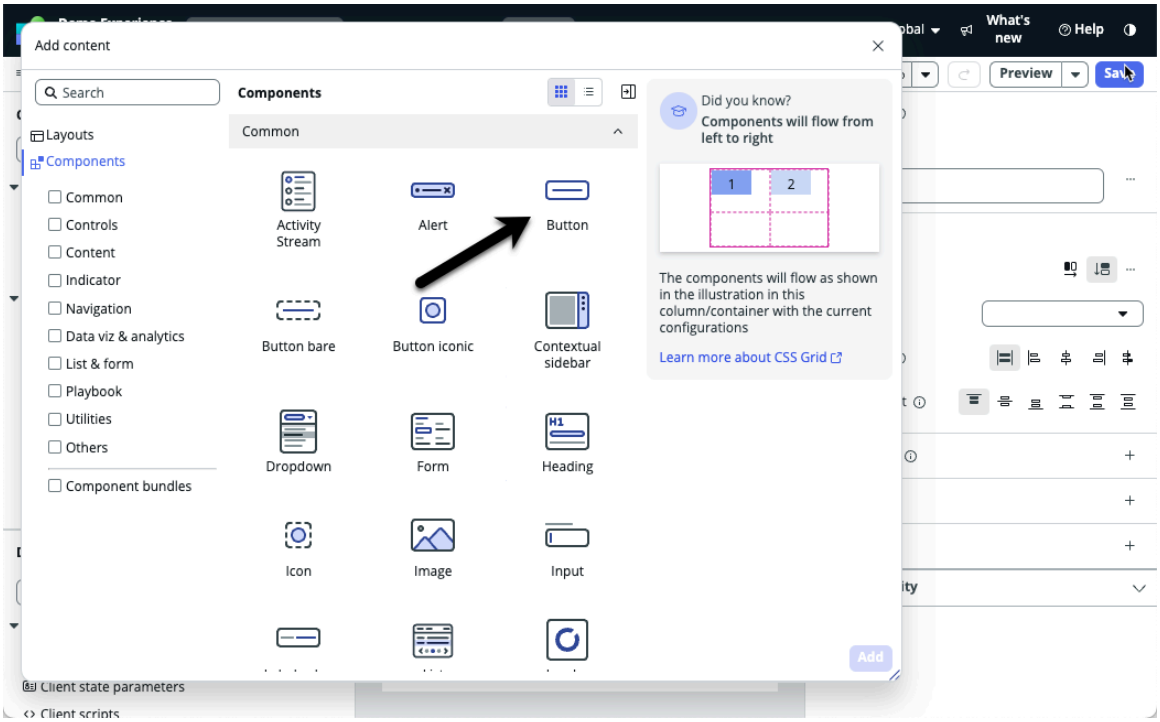
4. 次に、列の **[+]** アイコンをクリックしてツールボックスを開きます。

5. ボタンコンポーネントを選択してステージに追加します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ボタンの追加



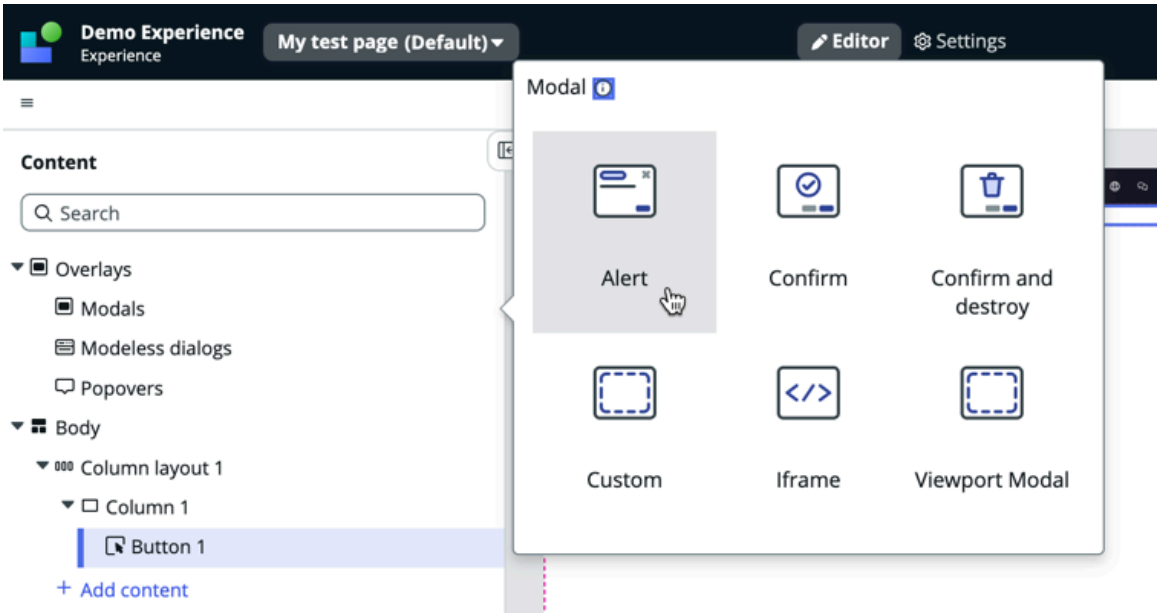
注:
コンポーネントを選択すると、[ページ構成] ペインには、互換性のあるページでコンポーネントを自動的に構成するために使用できるプリセットがいくつか表示されます。ただし、この演習では、コンポーネントを手動で構成します。プリセットの詳細については、「コンポーネントを使用した UI ビルダー ページのカスタマイズ」を参照してください。

6. **[Add** (追加)] を選択します。
7. [ページ構成] ペインで、[コンポーネントを手動構成します] を選択します。
8. [ページのコンテンツ] ペインで [ボタン **1]** を選択し、[構成] ペインでボタンラベルを [モーダルを開く] に変更します。
9. [保存] を選択します。
10. [ページのコンテンツ] ペインで、[モーダル] の横にある [プラス] アイコンをクリックし、[アラート] モーダルを選択します。

自動翻訳

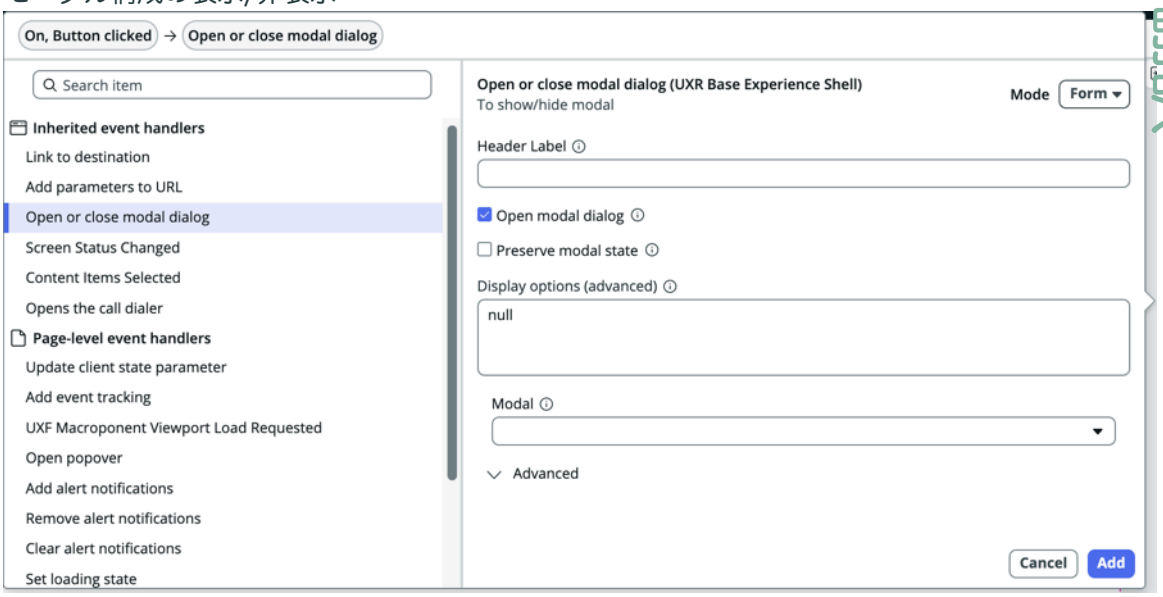
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アラートモーダルの追加



11. [保存] を選択します。
12. [ページのコンテンツ] ペインで [ボタン **1]** を選択し、[構成] ペインで [イベント] タブを選択します。
13. **[+** イベントハンドラーを追加] を選択し、[継承されたイベントハンドラー **(Inherited event handlers)]** で [モーダルダイアログを開くまたは閉じる] を選択します。

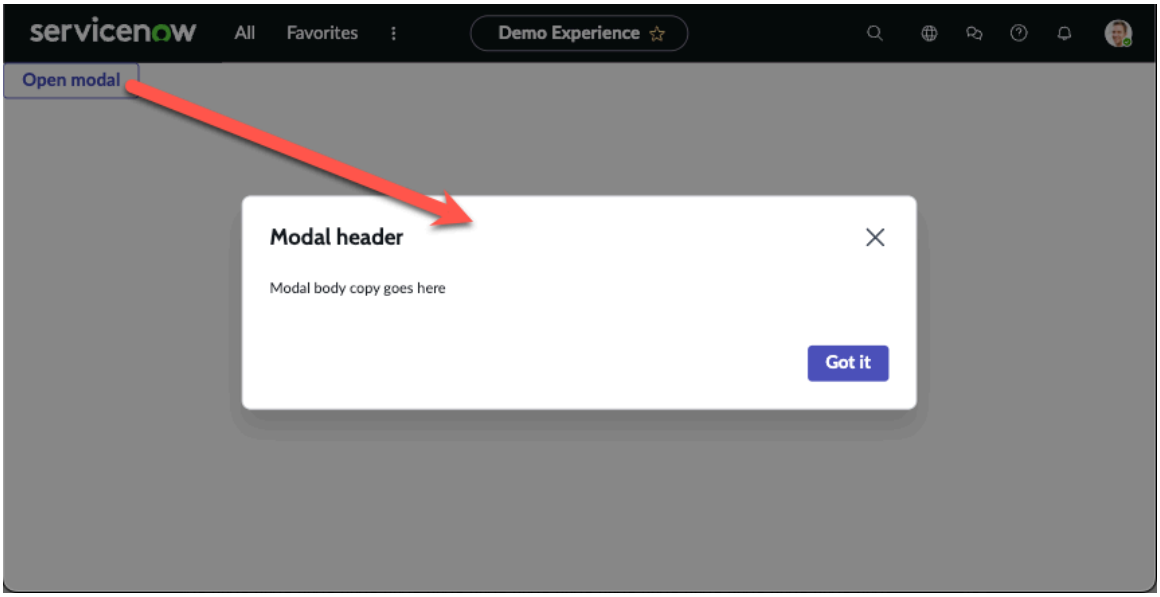
モーダル構成の表示/非表示



14. [モーダルダイアログを開く] をアクティブにし、[モーダル **]** フィールドで [アラート **1]** を選択し、[追加] を選択します。
15. [保存] を選択します。
16. [プレビュー] を選択します。
17. プレビューが開いたら、[モーダルを開く] を選択します。
定義したモーダルが開きます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ボタンでモーダルを開く



18. モーダルで [了解] を選択し、ブラウザーの戻るボタンを選択してエクスペリエンスのメイン画面に戻ります。

次のタスク
テンプレートを使用してページを作成する方法については、「次のトピック **(Next topic)**」リンクを選択してください。

バリアントの対象者の定義

対象者は、組織内のユーザーのグループを表します。1 人以上の事前定義された対象者を追加することで、このページバリアントにアクセスできるユーザーを定義できます。

始める前に
必要なロール：ui_builder_admin

このタスクについて
前の手順では、タスクテーブルからレコードにアクセスするすべてのユーザーが表示できるページバリアントを作成しました。この手順では、バリアントを複製し、アドミンロールを持つ対象者のみがアクセスできるように構成します。

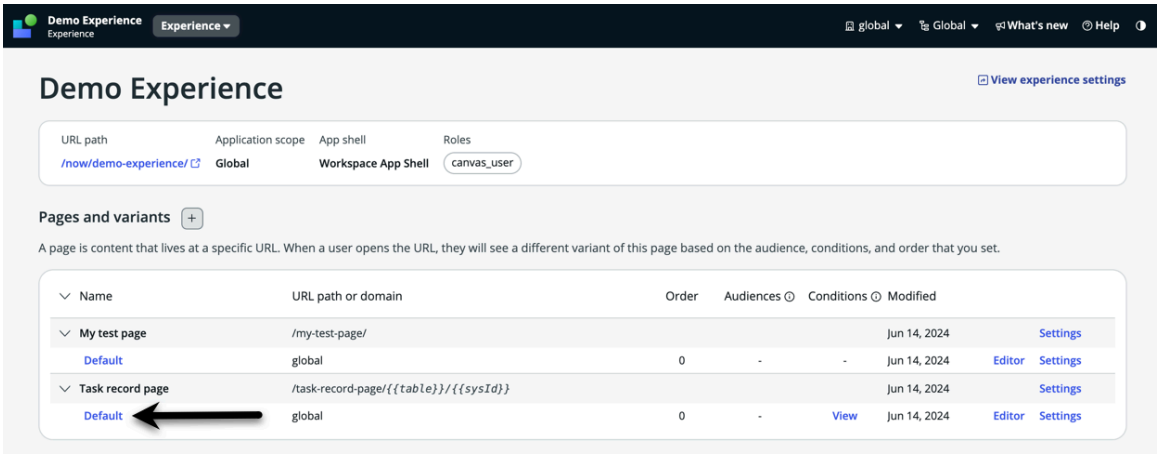
手順

1. デモエクスペリエンスのメインページを開きます。
2. 作成したエクスペリエンスを選択し、[デフォルト] を選択します。

自動翻訳

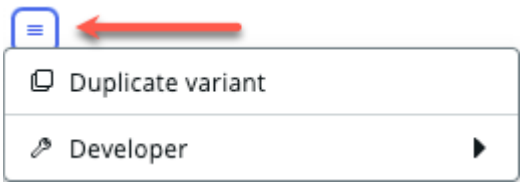
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

デモエクスペリエンス



3. [メニューを開く] アイコンを選択します。

メニューを開く

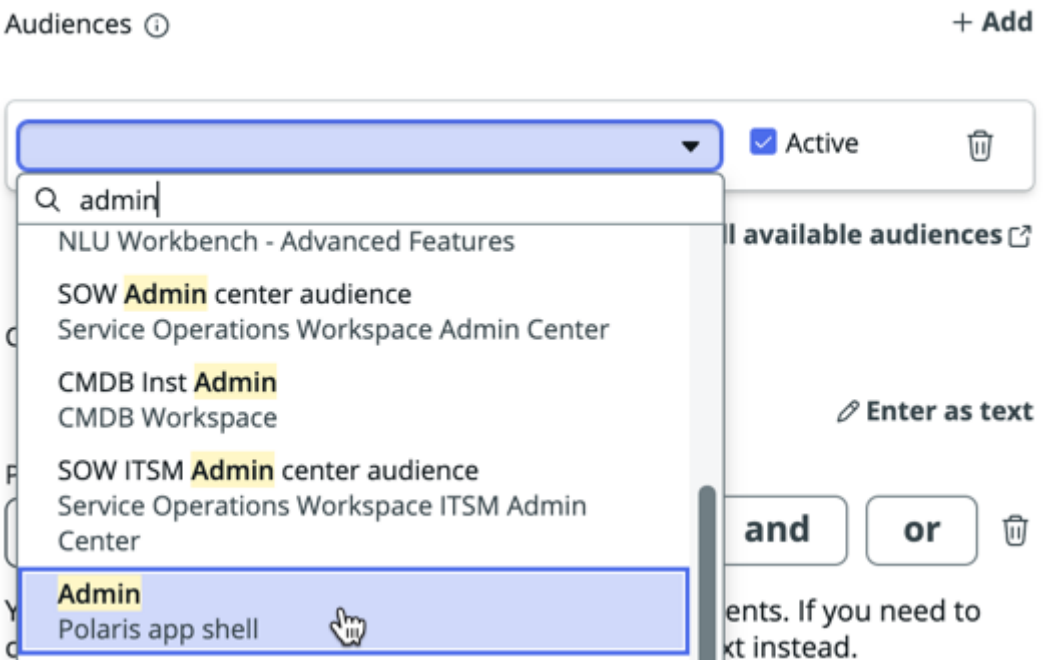


4. [バリアントの複製] を選択します。

5. [バリアントについて教えてください] 画面で、[名前] フィールドに「アドミンのみ」と入力します。

6. [対象者] の横にある **[+追加]** を選択し、[アドミン] 対象者を選択します。

アドミン対象者の選択



7. [作成] を選択します。
バリアントが複製され、アドミンロールを持つユーザーのみがこのページを表示できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次のタスク
「次のトピック **(Next topic)**」リンクを選択して、バリアントに条件を適用して、定義された条件が満たされた場合にのみバリアントが表示されるようにする方法について学習します。

バリアントの条件の定義

条件を定義して、ページのバリアントを表示するタイミングを決定できます。条件は、順序を設定し、ページのバリアントを表示するために満たす必要のある基準の宣言に基づいています。

このビデオでは、次の手順を実行する方法を紹介します。 このビデオでは、UI ビルダーエクスペリエンスでページバリアントの条件を定義する方法を説明します。

始める前に
必要なロール：ui_builder_admin

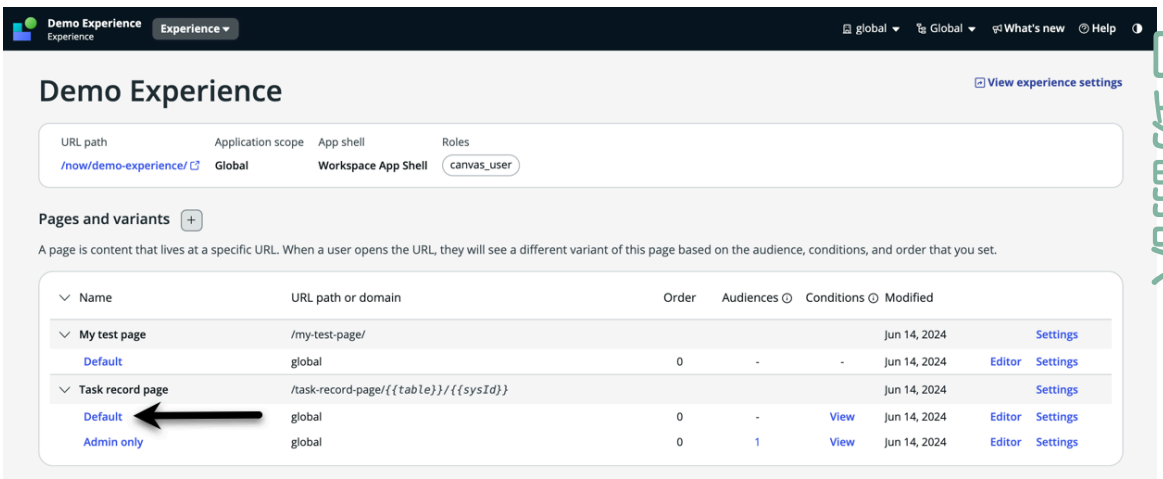
このタスクについて
すべてが同じ条件を持つ複数のページバリアントがある場合、バリアントはこの順序設定に従います。

手順

1. デモエクスペリエンスのメインページを開きます。

2. 作成したエクスペリエンスを選択し、[デフォルト] を選択します。

デモエクスペリエンス



3. [すべてのユーザーレコードページ **(All users record page)]** の [デフォルト] バリアントで、メニューアイコン (⋮) を選択し、[バリアントの複製] を選択します。

4. [バリアントについて教えてください] 画面で、[名前] フィールドに「インシデントレコードページ **(Incident record page)**」と入力します。

5. このタスクの目的は、インシデントテーブルでレコードを開いているユーザーにこのページを制限することなので、条件に次のように入力します。

a. [パラメーター] フィールドで、[テーブル] を選択します。

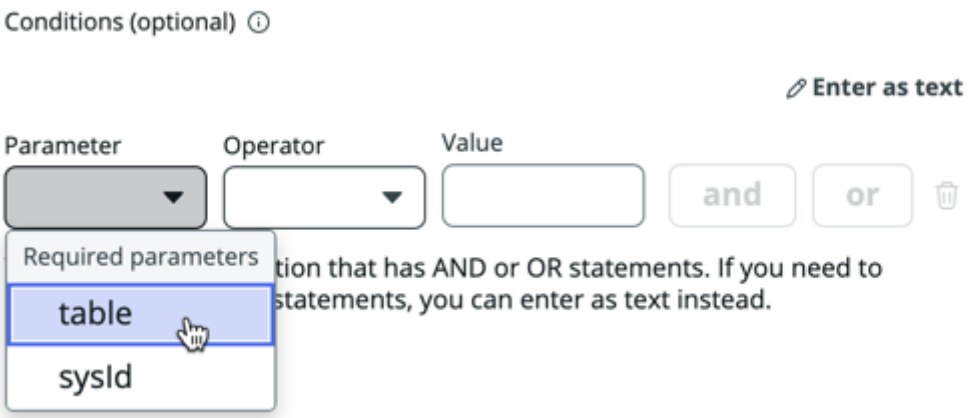
b. [演算子] フィールドで、**[is]** を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

c. [値] フィールドで、テキストを `incident` に置き換えます。

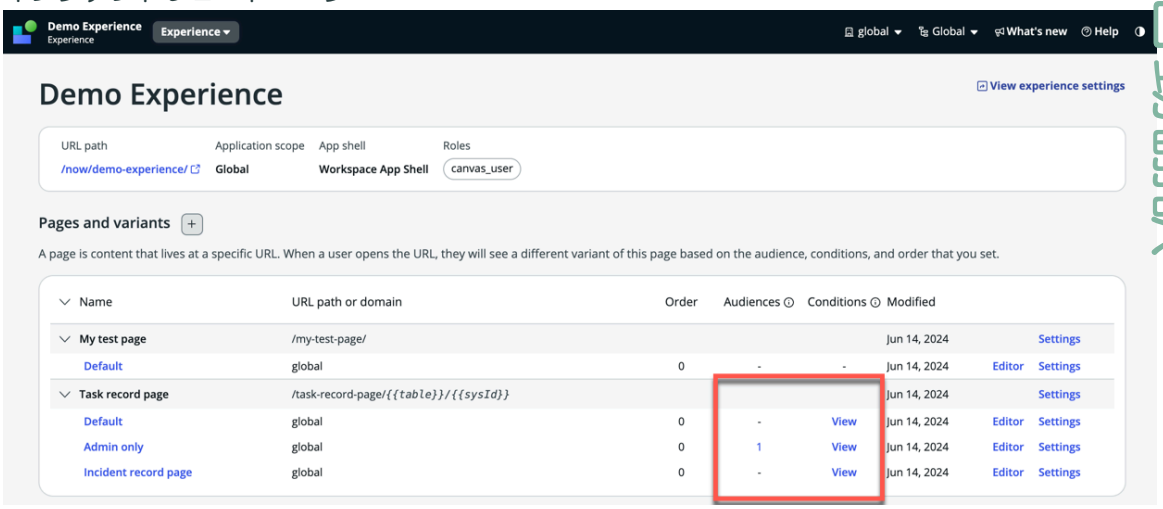
このシリーズの前半でこのページを作成したときに、この条件をタスク テーブルに設定しました。これで、インシデントテーブルからレコードにアクセスするユーザーにのみ表示されるようにページを構成しました。

条件フィールド



6. [作成] を選択します。

インシデントレコードページ



注:
このエクスペリエンスでは、ページとバリアントの構造を表示できます。[条件] 列には、各ページの [表示] リンクが表示されます。[ビュー] を選択すると、そのバリアントの条件 (table=incident) を表示できます。[アドミンのみ] バリアントの [対象者] 列には [1] と表示されます。**[1]** を選択すると、そのバリアントを表示するために必要なロールを確認できます。

フォームコンポーネント内のフォームのカスタマイズ

UI ビルダー で フォームビルダー にアクセスし、フォームコンポーネントをカスタマイズします。

始める前に

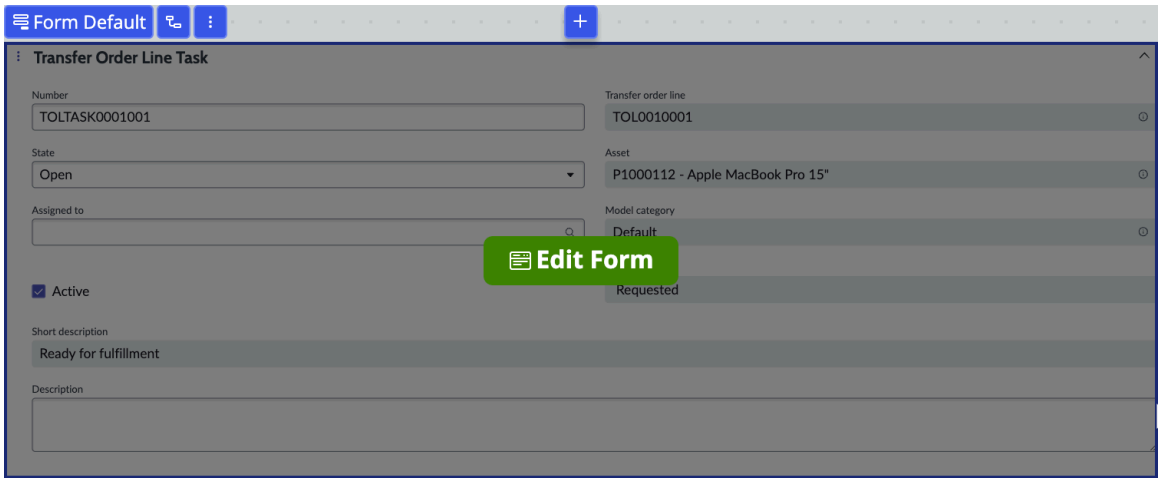
必要なロール：admin

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

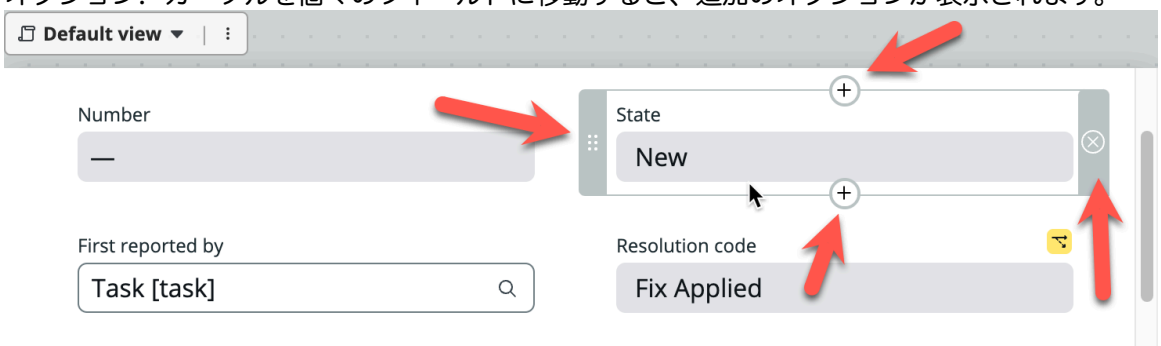
このタスクについて
UI ビルダー を離れることなくフォームコンポーネントを編集できます。UI ビルダー ステージ上のフォームコンポーネント内から フォームビルダー にアクセスします。フォームを保存した後も編集内容は保持され、フォームを表示したすべてのユーザーに変更後のバージョンが表示されます。フォームビルダー で加えられた変更はステージに反映されます。

手順

1. フォームコンポーネントをページに追加します。
   a. コンテンツツリーで **[+** コンテンツを追加] を選択します。
   b. [フォーム] を選択します。
2. ステージで、フォームコンポーネントにカーソルを移動して [フォームを編集] ボタンを表示します。



3. [フォームを編集] ボタンを選択します。
   フォームビルダー が全画面モーダルで開きます。
4. オプション: カーソルを個々のフィールドに移動すると、追加のオプションが表示されます。



5. オプション: カーソルを **[+]** ボタンに移動して **[+** 追加] ボタンを表示し、**[+** 追加] を選択してフィールドを挿入します。
   [フィールド] 列から追加のフィールドをフォームにドラッグすることもできます。

   Example
   たとえば、[構成アイテム] フィールドの下に [期日] フィールドを追加し、[保存] および [プレビュー] を選択してフォームを保存およびプレビューできます。
6. オプション: フィールドのエッジをフォーム内の別の場所にドラッグして、[保存] を選択し、フィールドを移動します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Example
たとえば、[ステータス] フィールドを選択し、[重複] フィールドの下に配置して、[保存] を選択します。

7. オプション: フィールドの **[X]** ボタンを選択して、フィールドを削除します。
8. [保存] を選択します。
9. フォームビルダー を閉じると、編集内容がステージに表示されます。

次のタスク

追加機能を構成することで、カスタムフォームの機能を拡張できます。詳細については、「テーブルビルダー のフォーム」を参照してください。

他の **ServiceNow** リソースを使用して **UI** ビルダー を学習する

製品外のリソースを使用する UI ビルダー の詳細をご覧ください。

UI ビルダー に関する詳細	その他の **ServiceNow** リソース
UI ビルダー は Web ユーザーインターフェイスビルダーです。UI ビルダー を使用して、CSM 構成可能ワークスペース、App Engine Studio の生成されたワークスペースとポータル、または ネクストエクスペリエンスのコンポーネントとカスタム Web コンポーネントを使用するカスタム Web エクスペリエンスのためのページをビルドします。	ServiceNow 開発プログラム YouTube チャンネル

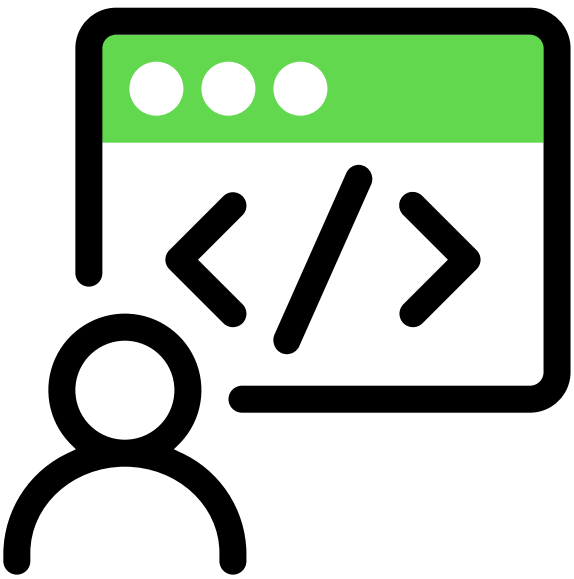
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

UI ビルダー に関する詳細	その他の **ServiceNow** リソース
	 コミュニティ YouTube チャンネル
	 ServiceNow コミュニティサイト

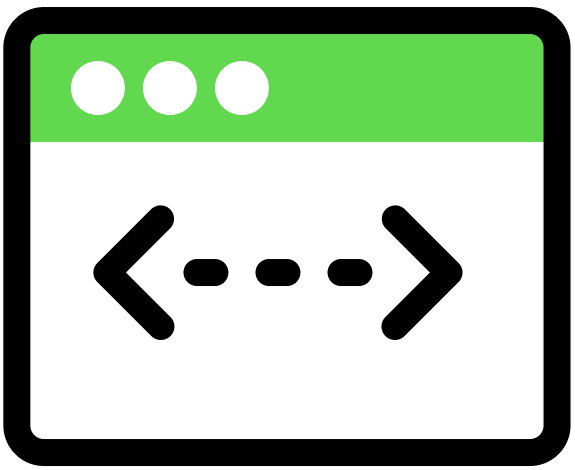
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

UI ビルダー に関する詳細	その他の **ServiceNow** リソース
	 Developer Advocate ブログ
	 ServiceNow Developer サイト

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

UI ビルダー に関する詳細	その他の **ServiceNow** リソース
	 コンポーネントのドキュメント

対象者について学習する

正しい対象者を UI ビルダー ページに適用する方法を学びます。

対象者

UI ビルダー の対象者について理解することは、ページ作成において重要な部分です。「対象者」は、ページを表示できるユーザーを定義します。エージェントやマネージャーなどの対象者やロールに合わせた、ターゲットを絞ったエクスペリエンスのページを作成します。たとえば、エージェントが従業員の問題を解決するためのページを作成できます。このページは、エージェントロールを持つユーザーのみが表示できるようにする必要があります。

対象者は通常、ロールとドメインに基づいた許可/拒否リストで構成されます。また、以下をターゲットにすることもできます。

- ロール
- グループ
- ユーザー
- 会社
- 部門
- ロケーション
- スクリプト

対象者を、1 つ以上の基準に基づいて特定のロールに適合するように設定できます。たとえば、Europe で、マネージャーではない ITSM ユーザーの対象者を作成できます。

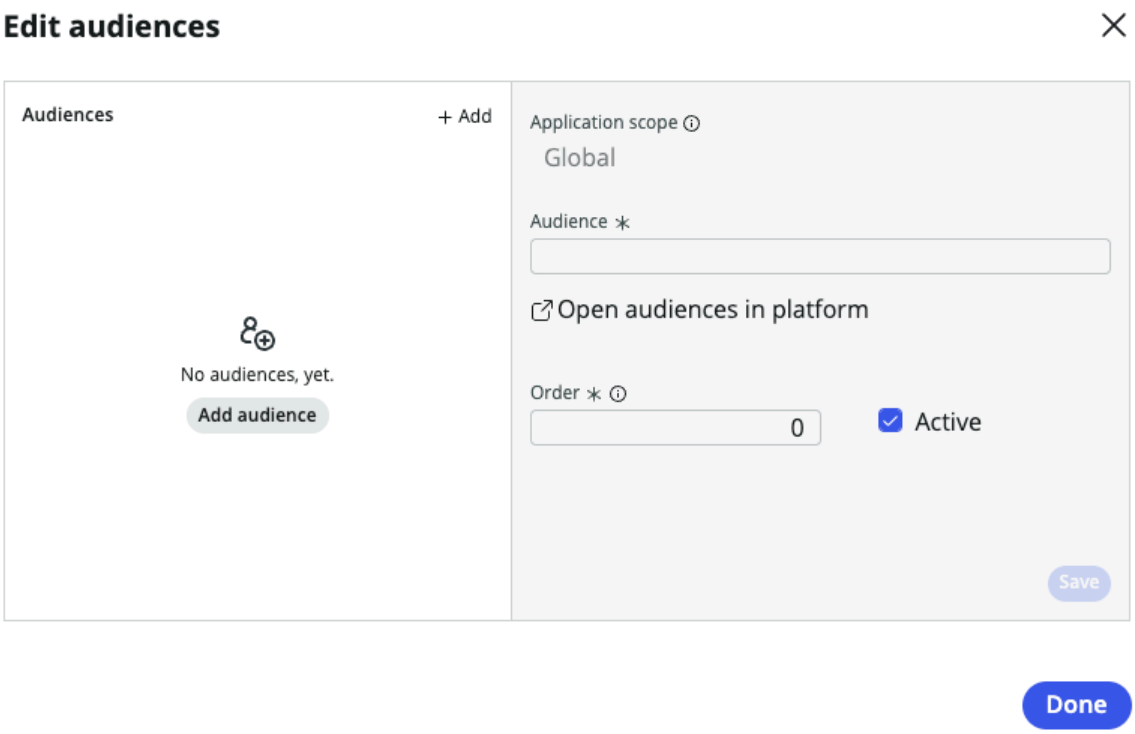
ロール、部門、グループ、場所、または会社に基づいてユーザーのアクセス権を設定するには、*glide.ux.user_criteria_enabled* プロパティを **true** に設定する必要があります。詳細については、「ユーザー基準プロパティの有効化」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ページまたはページのバリアントを作成するときに、UI ビルダー に対象者を設定します。対象者レコードの優先度を設定することもできます。数値が小さいほど、優先度は高くなります。このページをアクティブにするには、[アクティブ] チェックボックスがオンになっていることを確認します。

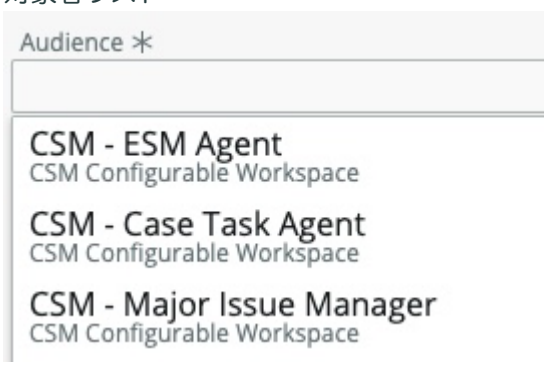
[対象者を追加] モーダル



必要な対象者が表示されない場合は、[プラットフォームで対象者を開く] をクリックして、ServiceNow AI Platform　で対象者を定義します。

- [対象者] フィールドのリストから対象者を選択します。

対象者リスト



- [プラットフォームで対象者を開く] を選択して、ServiceNow AI Platform® で対象者レコードを編集または作成します。
- 複数の対象者がある場合は、各対象者レコードの順番を定義します。順番は、各対象者レコードの重要性を定義します。たとえば、CSM マネージャーは CSM コンシューマーエージェントよりも高い優先度を持つことができます。ある対象者の優先度を高くするには、低い数値を入力します。
- このページをアクティブにするには、[アクティブ] チェックボックスがオンになっていることを確認します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

セキュリティとロールについて学習する

UI ビルダー インスタンスのセキュリティとロールを設定します。

UI ビルダー のセキュリティとロールは、アプリケーションスコープ、ドメインセパレーション、および保護ポリシーの設定によって制御されます。

ロール

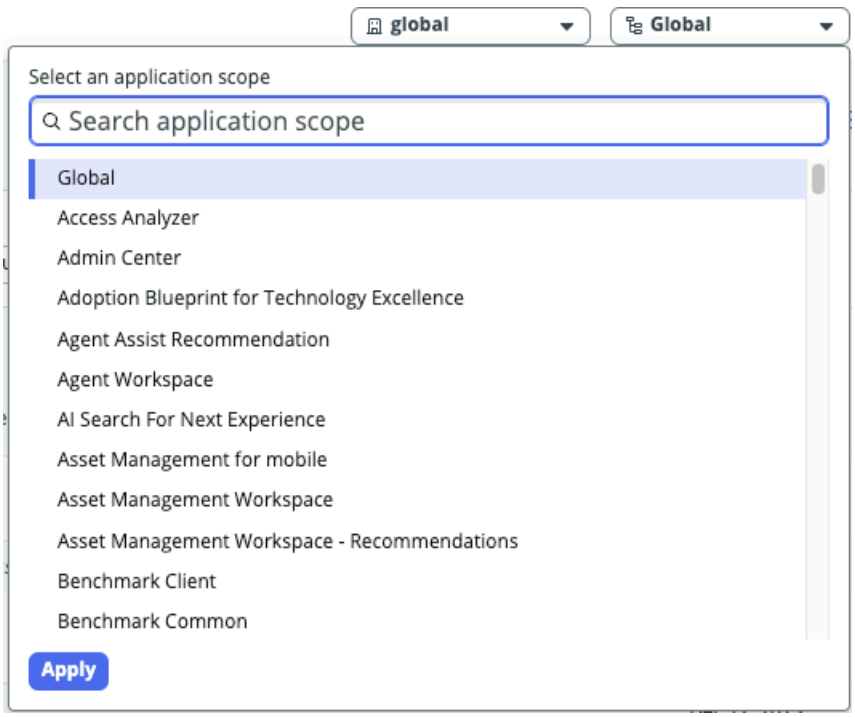
ロールは、UI ビルダー の機能へのアクセス権を制御します。admin ロールは、すべての機能へのアクセスを提供します。ロールにアクセス権を与えると、そのロールにアサインされたすべてのグループまたはユーザーがアクセスを許可されます。ロールに他のロールを含めることができます。他のロールを含むロールでは、他のロールに許可されているすべてのアクセスが許可されます。詳細については、「Managing roles」を参照してください。

アプリケーションスコープ

アプリケーションスコーピングは、アプリケーションファイルとデータへのアクセスを識別して制限することによってアプリケーションを保護します。アドミニストレーターは、アプリケーションのどの部分を他のアプリケーションからアクセスできるかを指定できます。これは、データとアプリケーションファイルを保護するために役立ちます。UI ビルダー では、システムアドミニストレーターと開発者がページの作成時にアプリケーションスコープを設定します。ページの作成後にアプリケーションスコープを変更することはできないため、スコープは慎重に選択してください。

UI ビルダー のスコープを変更すると、ServiceNow AI Platform® のスコープも変更されます。その逆も同様です。

ページを作成する場合、アドミニストレーターと開発者は、ワークスペースまたはポータルエクスペリエンスの現在のスコープを認識することが重要です。エクスペリエンスの正しいアプリケーションスコープを選択します。スコープピッカーは [URL] フィールドの右側にあります。スコープのデフォルトは、ユーザーが ServiceNow AI Platform 内で現在存在しているスコープです。



ページ内で別のスコープに変更すると、ページが作成されたスコープとは異なるアプリケーションスコープ内にいることが通知されます。詳細については、「アプリケーションスコープ」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

UI ビルダーの委任開発者

アプリケーション固有の admin ロールまたはシステムレベルの admin ロールがある場合は、UI ビルダー アプリケーションレベルで指定された開発者に ServiceNow スタジオ でのアプリケーション開発を委任することができます。

保護ポリシー

保護ポリシーは、アプリケーションファイルまたはその関連レコードが変更されたりコピーされたりしないようにします。保護ポリシーは、通常、アプリケーションの作成者がアプリケーションを使用する会社と異なる場合に使用されます。UI ビルダー は、保護されたレコードを変更しようとすると通知を出します。詳細については、「アプリケーションファイル保護ポリシー」を参照してください。

ドメインセパレーションについて学習する

UI ビルダー ではドメインセパレーションがサポートされています。 ドメインセパレーションでは、データ、プロセス、および管理タスクをドメインと呼ばれる論理的なグループに分けることができます。どのユーザーがデータを表示できるか、データにアクセスできるかなど、このアプリケーションのいくつかの側面を制御できます。

サポートレベル：標準

- ベーシックレベルのサポートのすべての側面が含まれます。
- アプリケーションプロパティは、必要に応じてドメイン対応です。
- ビジネスロジック：サービスプロバイダー (SP) によって顧客ごとにプロセスを作成または変更できます。ユースケースには、単一のインスタンスでの複数のサービスプロバイダー顧客によるアプリケーションの正しい使用が反映されています。
- インスタンスのオーナーは、特定のアプリケーションに期待される通りに、テナントごとに MVP ビジネスロジックとデータパラメーターを設定できる必要があります。

サンプルユースケース：アドミンは、レコードを他のテナントに対してはクローズしないが、1 つのテナントに対してクローズする場合、コメントを必須にすることができる必要があります。

サポートレベルの詳細については、「アプリケーションでのドメインセパレーションのサポート)」を参照してください。

のドメインセパレーションの概要 UI ビルダー

UI ビルダー は Web ユーザーインターフェイスビルダーです。UI ビルダー を使用すると、開発者は ネクストエクスペリエンスのコンポーネント とカスタム Web コンポーネントを使用して、Web ベースのワークスペースエクスペリエンス向けに新しいページをビルドしたり、既存のページをカスタマイズしたりできます。さらに、UI ビルダー はドメインセパレーション、つまり ServiceNow インスタンス全体のマルチテナントアーキテクチャをサポートします。

開発者またはダッシュボードビルダーが、ドメインセパレーションされた環境内で、同じブラウザーウィンドウで UI アプリケーション画面またはダッシュボードを安全に作成できるようにします。UI ビルダー のドメインセパレーションはアプリケーションスコープと同様に機能するため、アドミニストレーターがマルチテナント環境で安全に作成または編集できるようになります。

標準化は、ドメインセパレーションがインストールされている安定した健全な拡張性の高い ServiceNow インスタンスを維持するための重要な仕組みであると理解することが大切です。主要な原則は標準化です。標準化とは、ほとんどのインスタンスを動作させることができる共通の構成のことです。インスタンスに数百または数千のドメインがある場合、それらを正常に管理するには厳格なガバナンスが必要です。ドメイン固有の構成は、インスタンス所有者が必要と判断した場合にのみ使用する必要があります。一般に、ほとんどのインスタンスは、一般的なインスタンス構成に

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

従う必要があります。これにより、インスタンス全体でより統一されているエクスペリエンスが提供されます。また、インスタンス所有者は、リリースアップグレードの一部として含まれる新しい ServiceNow　機能の導入を遅らせる、コードの無秩序な増加を最小限に抑えることができます。

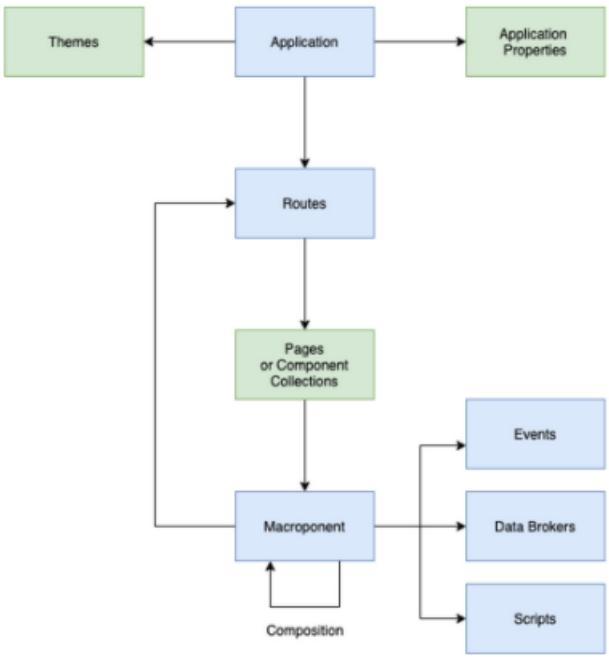
UI ビルダー におけるドメインセパレーションの仕組み

UI ビルダー のドメインセパレーションはアプリケーションスコープと同様に機能するため、アドミニストレーターがマルチテナント環境で安全に作成または編集できるようになります。

UI ビルダー は、Web ベースのワークスペース、ダッシュボード、またはポータルを作成するために使用する連動コンポーネントのフレームワークで構成されています。アプリケーションはドメインセパレーションをサポートしていますが、すべてのコンポーネントまたはテーブルがドメインセパレーションされていることを意味するわけではありません。このことをインスタンスオーナーは理解しておくことが重要です。

現在のドメインがバリアントまたはダッシュボードのドメインと一致しない場合、レコードは読み取り専用になります。ユーザーがドメインにアクセスできる場合は、ドメインをレコードのドメインに切り替えることを選択できます。または、ユーザーがレコードを編集することもできます。レコードを編集すると、ユーザーセッションが一時的にそのレコードのドメインに入ります。その後は、誤って上書きを作成してしまうことを心配せずに編集できます。

次の図は、UI ビルダー でドメインセパレーションされている部分 (緑色) とされていない部分 (青色) を示しています。



ビューポート、宣言アクション、および画面適用性は図には示されていませんが、それらはプロセスとしてサポートされているドメインです。

ドメインセパレーションアーキテクチャを検討する場合、データとプロセス/UI の分離が重要です。UI ビルダー は、データとプロセス/UI の分離、および Web ベースのワークスペース、ダッシュボード、またはポータルエクスペリエンスに表示されるデータ (レコード) を完全にサポートしています。

たとえば、Acme のドメインに属する変更要求は、UI ビルダー を使用してビルドされたエクスペリエンスで Acme のドメインにアクセスできるユーザーに対してのみ表示されます。逆に、アプリケーションがデータ分離をサポートしていない場合、そのレコードはワークスペースまたはポータルエクスペリエンスによってドメインセパレーションされません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

UI ビルダー の基盤フレームワークを形成するプロセス/UI 分離テーブルはプロセス分離されており、それらのテーブルには sys_override 列が存在します。たとえば、ページがグローバルで作成された場合、サブドメインで作成および保存されたロジックへの変更内容は上書きになります。

ドメインセパレーションされていないアイテムの場合、ロジックの変更はそのコンテンツを参照するページまたはダッシュボードにグローバルに影響します。これらの要素を操作する場合は、ドメインセパレーションを理解することが重要です。

[ドメイン選択] メニュー、メッセージ、および上書きの管理

UI ビルダー (ダッシュボードビルダーを含む) を使用してワークスペース、ダッシュボード、またはポータルエクスペリエンスを設計する場合、システムアドミニストレーターまたは ui_builder_admin は UI ビルダー の [ドメイン選択] メニューにアクセスできます。システムアドミニストレーターまたは ui_builder_admin は、バリアントまたはダッシュボードページを作成、編集、または上書きする前に、適切なドメインに切り替える必要があります。

デフォルトでは、ui_builder_admin ロールにはドメイン選択メニューへのアクセス権がありません。ドメイン選択メニューは、ITIL などのアクセス権を付与するロールと組み合わせる必要があります。そうしない場合は、システムプロパティを介して追加できます。詳細については、「Enable domain selection menus in Core UI」を参照してください。

さらに、ドメイン選択メニューには、システムアドミニストレーターまたは ui_builder_admin がグローバルであるときに表示される [ドメインスコープの展開/折りたたみ] も表示されます。[展開] を選択すると、上書きされた、またはサブドメインにスタンドアロンとして存在するバリアントまたはダッシュボードが表示されます。グローバルで作成されたバリアントまたはダッシュボードのみを表示するには、[折りたたみ] を選択します。

最後に、ドメイン階層はドメイン選択メニューから利用できます。ドメイン階層が深い場合、ユーザーはドメイン階層の分岐を折りたたんでドメインを物理的に選択する必要があります。これらの環境では、検索を実行してドメインを見つけます。

UI ビルダー には、アプリケーションスコープの処理方法と同様に、バリアントまたはダッシュボードを編集および上書きするためのガバナンスコントロールがあります。アプリケーションスコープとドメインスコープの両方が UI ビルダーで同時に処理されます。

たとえば、バリアントがグローバルで作成されても、システムアドミニストレーターの現在のドメインが Acme に設定されている場合、そのバリアントは読み取り専用です。その画面が編集不可のプライベートスコープでない限り、システムアドミニストレーターまたは ui_builder_admin には 2 つのオプションがあります。グローバルへのアクセス権があれば、グローバルドメインで一時的にトランザクションを行うことができます。そうでない場合は、上書きを作成できます。

ドメインセパレーションを編集して、バリアントまたはダッシュボードとそのコンテンツをすばやく変更できます。ドメインを編集すると、バリアントまたはダッシュボードと同じドメインスコープで一時的にトランザクションを行うことができます。同じスコープにすることで、バリアントに関連付けられた特定の設定 (名前、順序、イベントマッピング、ページ定義構成など) を変更するときに誤って上書きすることを防ぐことができます。編集モードでは、ページ管理ですべての設定を使用できるわけではありません。すべての機能を使用するには、レコードを編集する前に正しいドメインに切り替えます。

[上書きを作成] を使用すると、システムアドミニストレーターまたは ui_builder_admin は、既存のバリアントまたはダッシュボードの上書きを作成できます。バリアントまたはダッシュボードの上書きを作成して、ページ定義コンテンツの広範なコピーを実行します。ただしユーザーが現在選択しているドメインの画面条件と対象者は除きます。sys_override 列が適切に更新されます。

ビューポートはそれ自体がバリアントであり、ドメインセパレーションされており、通常はページ定義コンテンツ内にネストされています。一部のビューポートはコピーされない場合があります。たとえば、グローバルビューポートのドメインで上書きとして作成されたビューポート (タブセットとして表示) は、上書きの作成プロセス中にページ定義コンテンツに組み込まれません。

自動翻訳

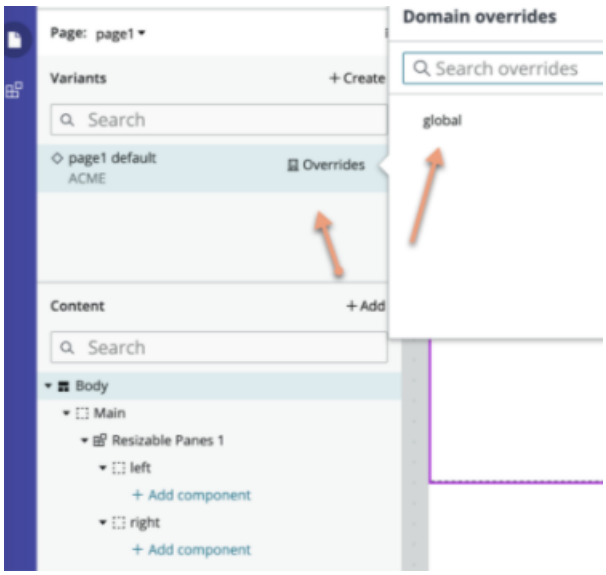
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

画面条件と対象者はドメインに固有である可能性があるため、このコンテンツは上書きの作成プロセス中に引き継がれません。画面で、システムアドミニストレーターまたは ui_builder_admin に画面条件と対象者の作成が要求されます。

アイテムがサブドメインに存在する場合、または同じサブドメインにそのバリアントまたはダッシュボードの上書きが存在する場合、ユーザーはグローバルではバリアントまたはダッシュボードの上書きを作成できません。

上書きと条件と対象者を設定した後に、必要に応じてそのコンテンツと構成を設定できます。ドメインセパレーションの標準として、上書きは元のバリアントまたはダッシュボードに加えられた変更の影響を受けなくなります。ユーザーの現在のドメインセッションが、この上書きが作成された影響を受けるドメインまたはサブドメイン内にある場合、ワークスペース、ダッシュボード、またはポータルエクスペリエンスにこれらの上書きされた構成が表示されます。対象者によって、ユーザーに表示される内容と表示されない内容が決まります。

さらに、ユーザーはドメイン階層にアクセスして、上位のドメインからの既存の上書きを表示できます。たとえば、 グローバル <- トップ <- Acme <- 現在のドメインといった階層となります。上書きが存在しない場合は、デフォルトのバリアントまたはダッシュボードが表示されます。例外は、デフォルトのバリアントまたはダッシュボードが子ドメインまたはピアドメインにある場合です。



グローバルの状態で [ドメインスコープを展開] を選択すると、前述のようにサブドメイン内のすべてのバリアントと上書きが表示されます。

システムアドミニストレーターと ui_builder_admin は、ServiceNow® プラットフォームで作成されたものを確認できます。

ビューポートとドメインセパレーション

ビューポートは、ページ定義コンテンツでネストできるバリアントです。グローバルで共通の構成として作成することも、サブドメインごとに上書きすることもできます。

宣言アクションとドメインセパレーション

宣言アクションは、ドメインごとに上書きすることもできます。システムアドミニストレーターまたは ui_builder_admin は、ドメイン固有の宣言アクションの上書きを作成する前に、適切なドメインを選択する必要があります。

関連情報

サービスプロバイダーのドメインセパレーション

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

UI ビルダー での作業

UI ビルダー でワークスペースまたはカスタムポータルエクスペリエンスのページを作成するときに実行できるすべてのことを、十分に把握しておきましょう。

UI ビルダー リソースの使用

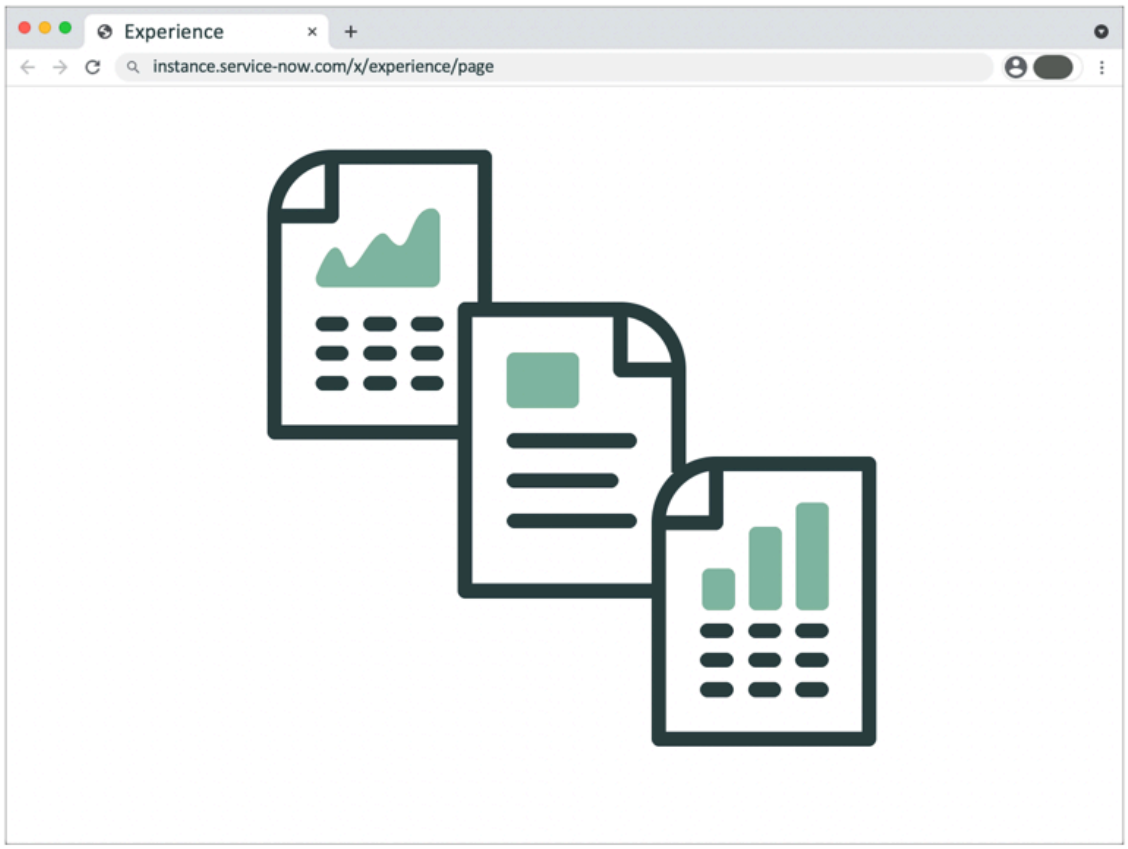
以下の情報は UI ビルダー を使用する際に役立ちます。

UI ビルダー でユーザーがアプリケーションをどのように操作するかを構成する

UI ビルダー でのエクスペリエンスについて説明します。エクスペリエンスの内容を理解します。

UI ビルダーエクスペリエンスとは何か

UI ビルダー のエクスペリエンスは、ユーザーがアプリケーションを操作するための Web ページのコレクションです。



多くの Web サイトでは、すべてのページで同じ基本構造が使用されています。たとえば、すべてのページに同じヘッダー、同じフッター、および同じメニューが含まれています。これらの共通ページ要素はシェルと呼ばれます。エクスペリエンスには、エクスペリエンス内の各ページのシェルまたはラッパーを設定できます。シェルは、ユーザーがページ間を移動するときに一貫した外観と使用感を提供します。シェルを使用することをお勧めしますが、必須ではありません。詳細については、「アプリシェルを使用した UI エクスペリエンスの定義」を参照してください。

エクスペリエンスを作成する方法

ゼロから UI ビルダー のエクスペリエンスの作成 することも、UI 生成を使用してエクスペリエンスの構築を支援することもできます。

自動翻訳

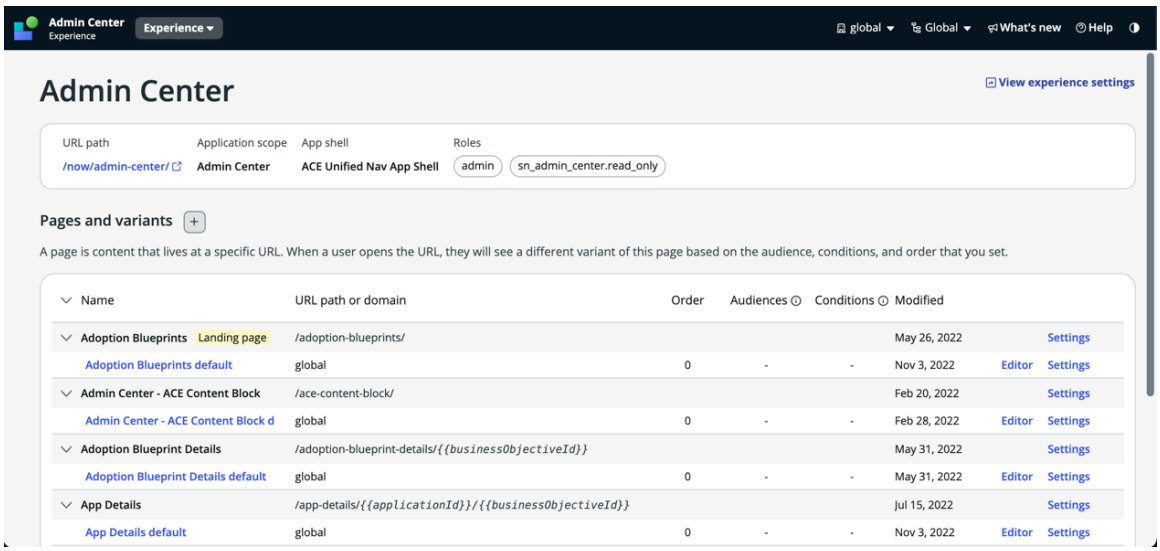
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

UI ビルダーのエクスペリエンスビュー

UI ビルダー エクスペリエンスビューは、エクスペリエンスの構造と詳細を表示して理解するための中心的な場所です。これには、ルート、ページのバリアント、各バリアントに必要な対象者と条件、およびエクスペリエンスの設定が含まれます。エクスペリエンスビューを使用して、エクスペリエンスの構造と階層を確認します。

- エクスペリエンスの URL、アプリケーションスコープ、アプリシェル、およびロールを表示します。
- エクスペリエンスの設定を編集します。
- バリアントをすばやく表示して比較します。
- ページとページのバリアントを作成します。
- ページコレクションのリストを表示します。
- ページとページバリアントの設定を編集します。
- ページのバリアントを複製します。

UI ビルダー エクスペリエンスビュー



UI ビルダー のエクスペリエンスの作成

ServiceNow プラットフォームで UI ビルダー のワークスペースまたはポータルエクスペリエンスを作成する方法について説明します。

始める前に

必要なロール：ui_builder_admin

このタスクについて

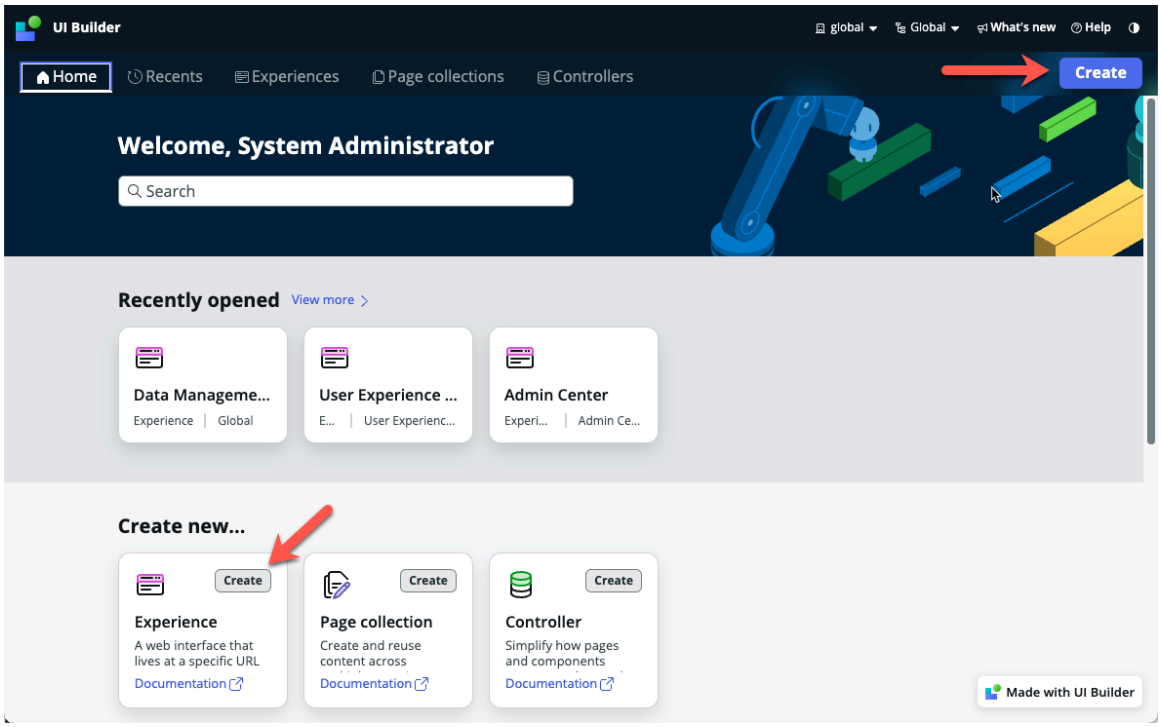
このタスクでは、UI ビルダー のワークスペースまたはポータルエクスペリエンスを作成する方法の基本的な例を示します。この例では、プロセスのデモを行うために「デモエクスペリエンス」というエクスペリエンスを作成します。

手順

1. 移動先 すべて > **Now Experience** フレームワーク > **UI** ビルダー.
2. UI ビルダー ホームページから [作成] を選択します。

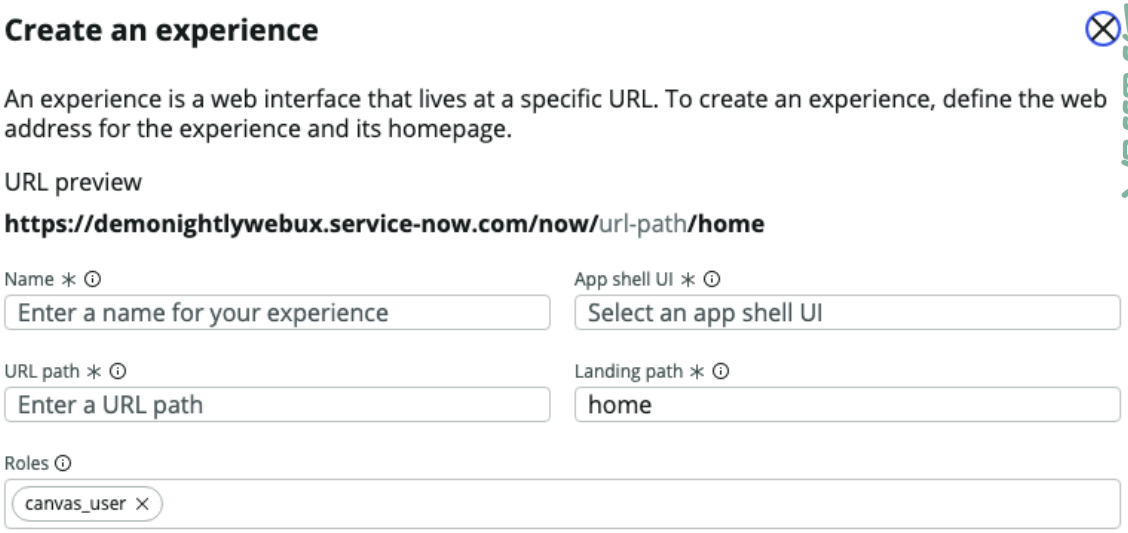
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



3. [エクスペリエンス] を選択します。
4. フォームのフィールドに入力します。

[エクスペリエンスを作成] ダイアログボックス



[エクスペリエンスを作成] フォーム

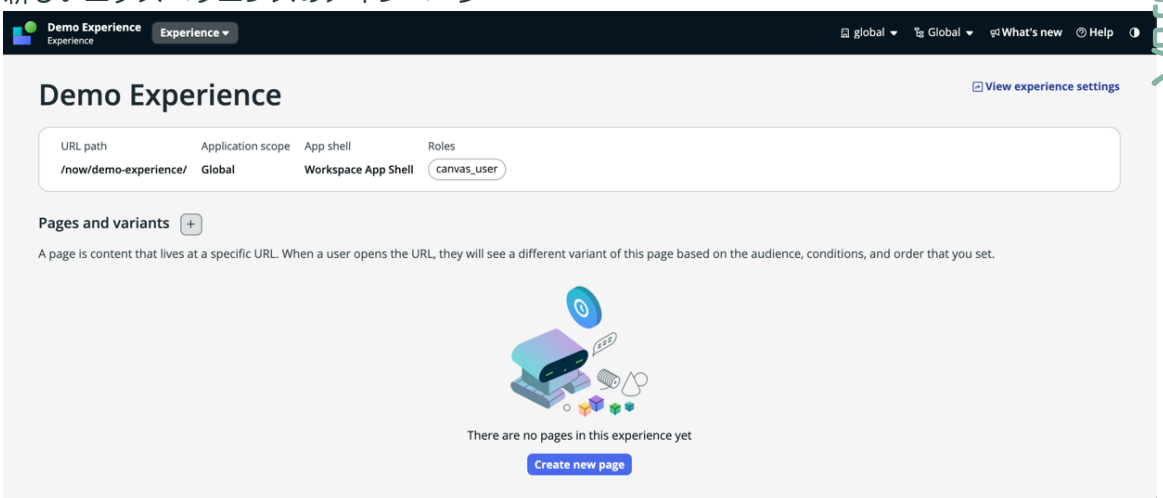
フィールド	説明
名前	エクスペリエンスを内部で追跡する名前を追加します。エクスペリエンス名は、ブラウザータブに表示されます。この例では、「My アプリ」です。
アプリシェル UIF	エクスペリエンスを機能させるには、アプリシェルを選択する必要があります。たとえば、ワークスペースまたはポータルアプリシェルを選択できます。アプリシェルはページコンテン

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	ツのラッパーであり、Web ページの機能に似ています。アプリシェルには、会社のロゴ、ユーザー初期設定、検索アイコンなどを表示できます。詳細については、「アプリシェルを使用した UI エクスペリエンスの定義」を参照してください。
URL パス	エクスペリエンスのパスを追加します。パスは、エクスペリエンスの URL パラメーターの末尾に追加されます。たとえば、エクスペリエンスのタイトルを「My アプリ」とした場合は、パスとして「my/app」と入力できます。
ランディングパス	ランディングパスは、ユーザーがエクスペリエンスホームページにアクセスするために使用するプリフィックスです。ページをホームページとして指定するには、一致するパスを持つページを作成する必要があります。
ロール	これらのロールがアサインされているユーザーのみがエクスペリエンスにアクセスできます。このフィールドを空のままにすると、ログインしているすべてのユーザーがデフォルトでエクスペリエンスを利用できるようになります。

5. [作成] を選択してエクスペリエンスを作成します。
6. [エクスペリエンスを開く] を選択して、エクスペリエンスのメインページを表示します。

新しいエクスペリエンスのメインページ



注:
画面には、新しいエクスペリエンスの名前に加え、URL、アプリケーションスコープ、アドミンパネル、およびエクスペリエンスを表示できるユーザーのロールが含まれています。エクスペリエンス用に作成したページまたはバリアントは、[ページとバリアント] セクションに表示されます。

次のタスク
エクスペリエンスを作成したので、ページを追加してカスタマイズできます。詳細については、「UI ビルダー ページとページのバリアントを管理」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

UI ビルダー ワークスペースエクスペリエンスを構成する

UI ビルダー ワークスペースエクスペリエンスの設定は、会社の目標に合わせて変更できます。

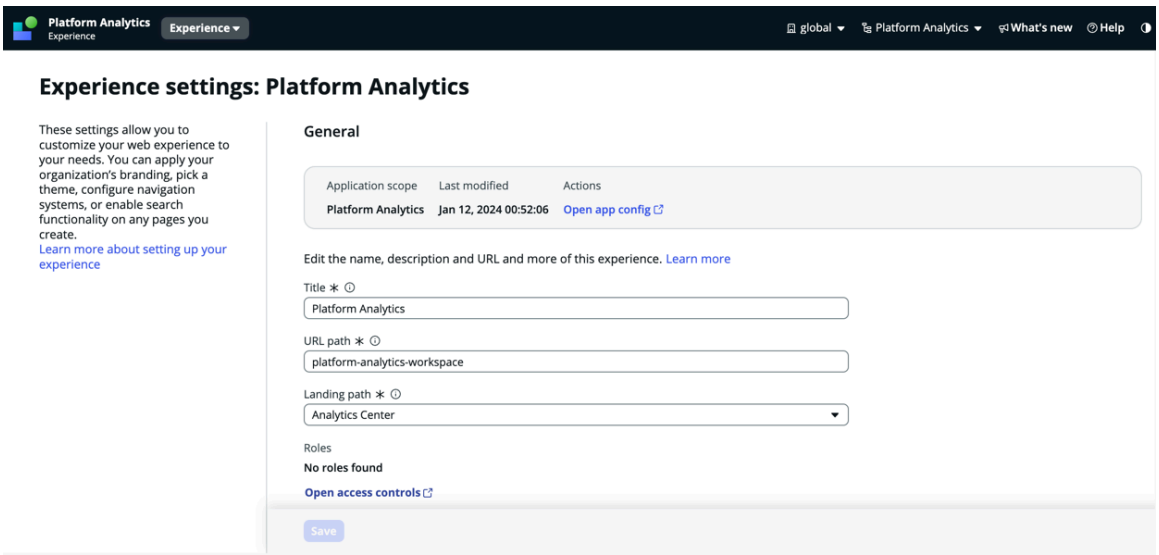
エクスペリエンスの設定を変更すると、ユーザーがワークスペースエクスペリエンスとやり取りする方法、ワークスペースの外観、およびユーザーがワークスペース内を移動する方法に影響が及ぶことがあります。

エクスペリエンス設定を編集するには、適切なアプリケーションスコープ内にいる必要があります。別のスコープにいる場合、エクスペリエンス設定は読み取り専用です。アプリケーションスコープを変更するには、メインヘッダーに移動し、アプリケーションピッカー (Global) を選択して、必要なアプリケーションスコープを選択します。アプリケーションスコープの詳細については、「セキュリティとロールについて学習する」を参照してください。

ワークスペースエクスペリエンスの次の設定を変更する方法を説明します。

- ワークスペースエクスペリエンスのワークスペースの一般的な設定を変更または追加します。たとえば、ワークスペースのタイトル、説明、およびパスを変更できます。
- エクスペリエンスに現在アサインされているテーマを確認するために、ワークスペースエクスペリエンスのブランドとテーマの設定の表示。テーマによって、エクスペリエンスのルックアンドフィールが設定されます。
- ワークスペースサイドナビゲーションの設定を変更して、ワークスペースエクスペリエンスのサイドナビゲーションにページを追加します。
- ワークスペースユーティリティの設定を変更して、ワークスペースエクスペリエンスの通知をオンまたはオフにします。ワークスペースエクスペリエンスのグローバル検索設定を変更できます。たとえば、ワークスペースエクスペリエンスで検索バーを表示または非表示にすることや、検索結果の取得元を決定する検索ソースを変更することなどを選択できます。

ワークスペースのエクスペリエンスの設定



ワークスペースエクスペリエンスの一般的な設定の変更

UI ビルダー のワークスペースエクスペリエンスの一般的な設定を、組織のニーズに合わせて変更します。たとえば、ワークスペースエクスペリエンスのタイトル、説明、およびパスを変更できます。

このビデオでは、次の手順を実行する方法を紹介します。 このビデオでは、UI ビルダーワークスペースエクスペリエンスの全般設定を変更する方法を説明します。

始める前に

エクスペリエンスの設定を編集するには、正しいアプリケーションスコープ内にいる必要があります。別のスコープにいる場合、エクスペリエンス設定は読み取り専用です。アプリケーションスコー

自動翻訳

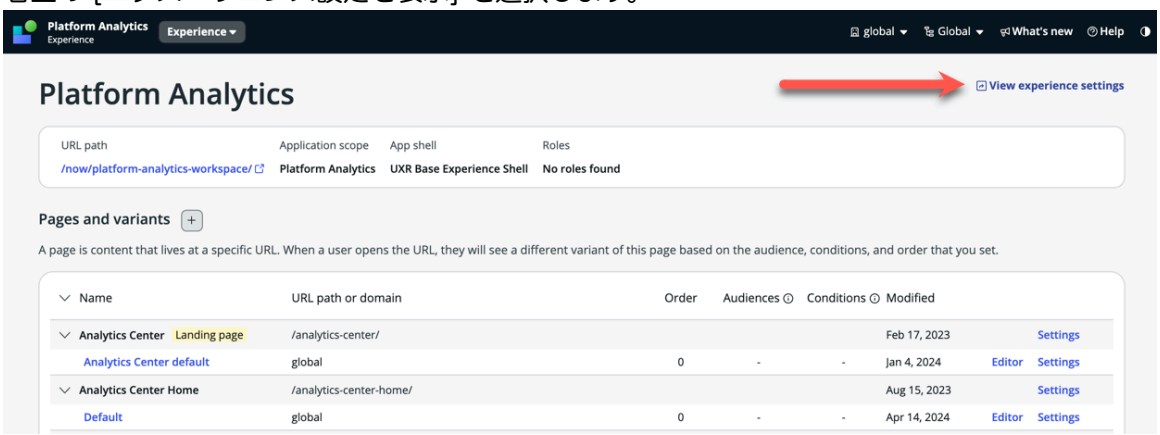
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プを変更するには、メインヘッダーに移動し、アプリケーションピッカー (Global) を選択して、必要なアプリケーションスコープを選択します。アプリケーションスコープの詳細については、「アプリケーションスコープ」を参照してください。

必要なロール：ui_builder_admin

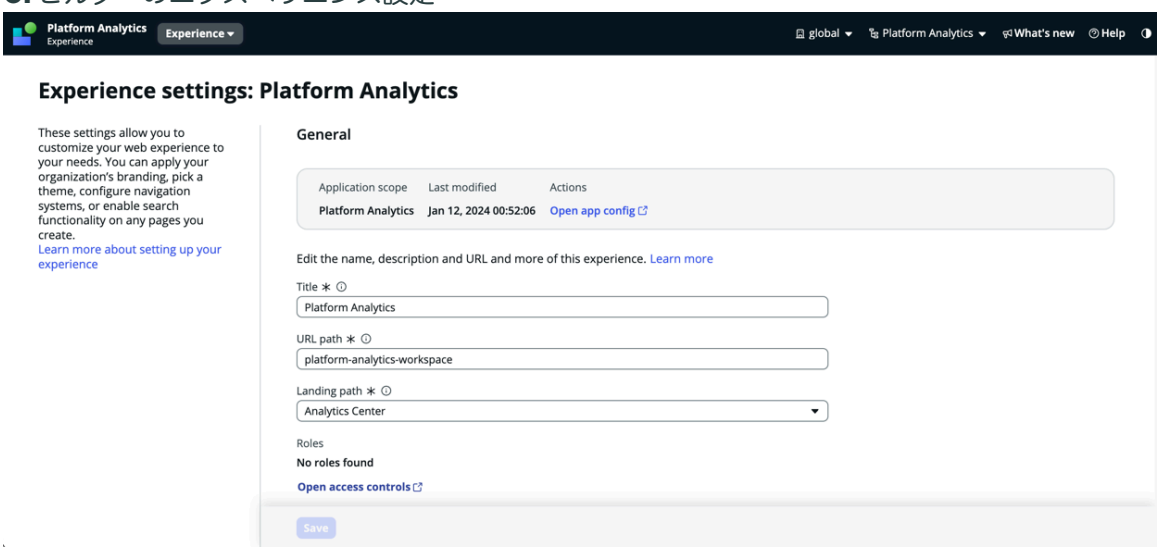
手順

1. 移動先 すべて > **Now Experience** フレームワーク > **UI** ビルダー.
2. 作業するエクスペリエンスを開くか、選択してエクスペリエンスを作成します 作成 > エクスペリエンス.
   詳細については、「UI ビルダー でユーザーがアプリケーションをどのように操作するかを構成する」を参照してください。
3. 右上の [エクスペリエンス設定を表示] を選択します。



4. ワークスペースエクスペリエンスのタイトル、説明、パスを変更します。
   - タイトルによって、ワークスペースの名前を全員に知らせることができます。ワークスペースの名前を選択するときは注意してください。
   - 説明により、ユーザーはワークスペースの詳細を知ることができます。
   - パスは一意になっている必要があります。パスには、数字 (0 ～ 9)、文字 (A ～ Z、a ～ z)、およびいくつかの特殊文字 (「-」、「.」、「_」、「~」) を含めることができ、単語はスラッシュまたはハイフンで区切ることができます。

UI ビルダーのエクスペリエンス設定



© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

5. オプション: ServiceNow AI Platform でワークスペースレコードを編集するには、[詳細設定] を選択します。

   a. 終了したら、プラットフォームのレコードを更新します。
   UI ビルダー のワークスペースエクスペリエンスの設定に戻ると、全般設定に加えた変更が表示されます。

6. [保存] をクリックします。

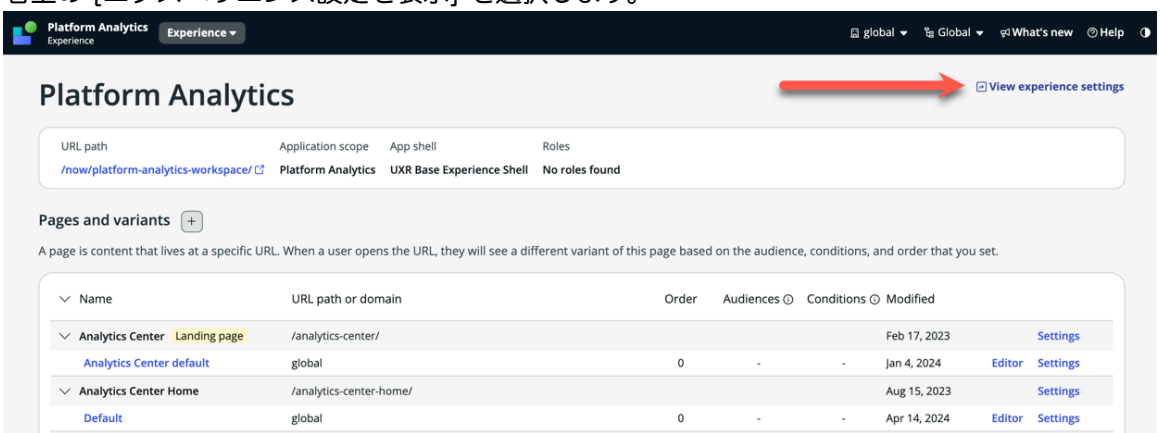
ワークスペースエクスペリエンスのブランドとテーマの設定の表示

UI ビルダーでワークスペースエクスペリエンスのテーマ設定を表示します。テーマは、エクスペリエンスの表示スタイルを設定するものであり、すべてのページで一貫したルックアンドフィールを提供します。

始める前に
必要なロール：ui_builder_admin

手順

1. 移動先 すべて > **Now Experience** フレームワーク > **UI** ビルダー.
2. 作業するエクスペリエンスを開くか、選択してエクスペリエンスを作成します 作成 > エクスペリエンス.
   エクスペリエンスの作成の詳細については、「UI ビルダー でユーザーがアプリケーションをどのように操作するかを構成する」を参照してください。
3. 右上の [エクスペリエンス設定を表示] を選択します。



4. [ブランディングとテーマ] セクションまでスクロールし、[テーマ] にリストされている内容を確認します。
   デフォルトでは、[Polaris] テーマが UI ビルダーエクスペリエンスに適用されます。

次のタスク
テーマをカスタマイズする場合は、次の 2 つのオプションがあります。

- テーマビルダーでは、使いやすいビジュアルインターフェイスを使用して Next Experience テーマを作成、編集、管理、適用できます。詳細については、「Configuring Next Experience with Theme Builder」を参照してください。
- スタイルレコードと JSON コードの作業に慣れているアドミンユーザーの場合は、カスタムテーマを作成してデフォルトの [Polaris] スタイルをオーバーライドできます。このオプションでは、テーマ内の書体、色、画像 (バナーやロゴを含む) を最大限に制御できます。詳細については、「Configuring Next Experience themes and preferences」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

UI ビルダー ワークスペースエクスペリエンスのナビゲーションとメニューの設定の変更

UI ビルダーワークスペースエクスペリエンスのサイドナビゲーションのためのページを選択します。ワークスペースエクスペリエンスのどのページからでも、選択したページに移動できます。

始める前に

このタスクには次の前提条件があります。

- UI ビルダー に既存のワークスペースエクスペリエンスがあります。詳細については、「UI ビルダー でユーザーがアプリケーションをどのように操作するかを構成する」を参照してください。
- このワークスペースエクスペリエンスは、ワークスペースアプリシェルで作成されました。
- このワークスペースエクスペリエンスには、少なくとも 2 つのページが含まれています。
- あるページから、指定した他のページにユーザーが移動できるようにします。

必要なロール：ui_builder_admin

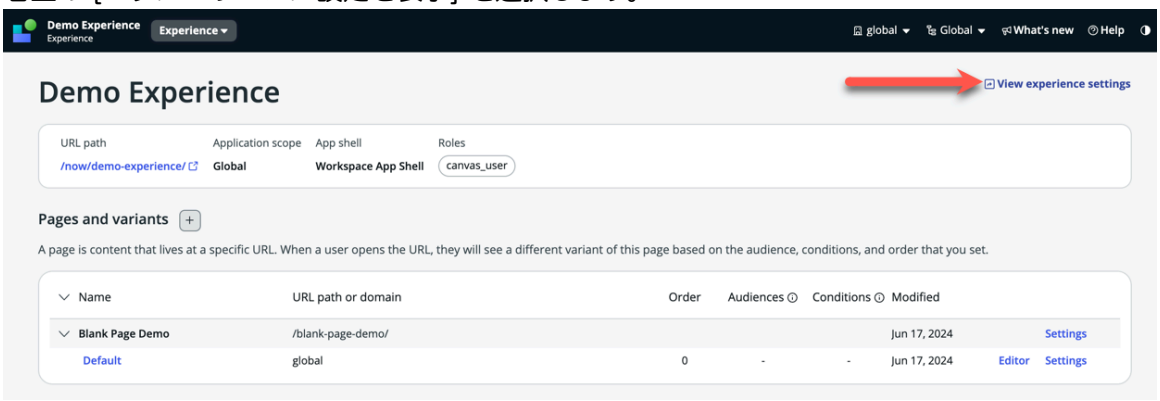
このタスクについて

サイドナビゲーションには最大 7 ページを追加できます。

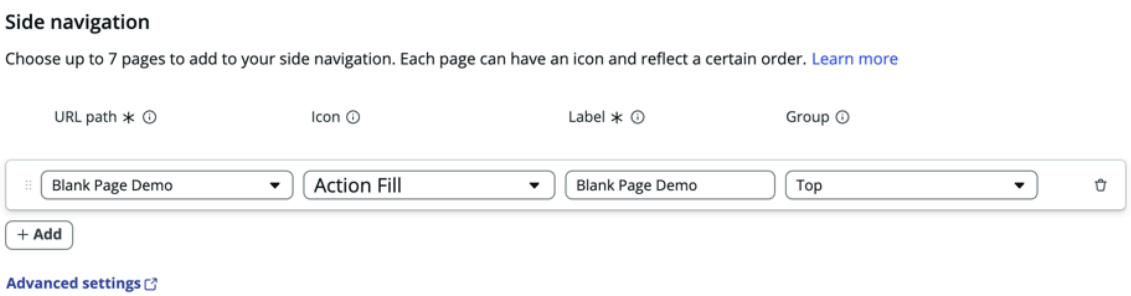
エクスペリエンスの設定を編集するには、正しいアプリケーションスコープ内にいる必要があります。別のスコープにいる場合、エクスペリエンス設定は読み取り専用です。アプリケーションスコープを変更するには、メインヘッダーに移動し、アプリケーションピッカー (Global) を選択して、必要なアプリケーションスコープを選択します。アプリケーションスコープの詳細については、「セキュリティとロールについて学習する」を参照してください。

手順

1. 移動先 すべて > **Now Experience** フレームワーク > **UI** ビルダー.
2. UI ビルダー でワークスペースエクスペリエンスを開きます。
3. 右上の [エクスペリエンス設定を表示] を選択します。



4. [サイドナビゲーション] まで下にスクロールします。
5. **[+** 追加] を選択します。



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

6. 次のフィールドに入力します。

フィールド	説明
URL パス (必須)	移動先のページを選択します。 ヒント: 通常、ランディングページは、リンクする最初のページです。
アイコン	リンクのアイコンを選択します。 デフォルト：アイコンなし
ラベル (必須)	リンクのツールヒントに表示されるページの名前を入力します。
グループ	サイドナビゲーションパネルの上部または下部のグループにリンクを配置します。 デフォルト：トップ (Top)

7. 必要に応じてページを追加します。
8. [保存] を選択します。
9. UI ビルダー ヘッダーでエクスペリエンス名 ([デモエクスペリエンス] など) を選択します。
10. **[URL** パス] リンクを選択して新しいタブでエクスペリエンスを開き、左側にサイドナビゲーションが表示されていることを確認します。

    ヒント:
    サイドナビゲーションが期待どおりに機能しない場合は、サイドナビゲーションの基礎となる UX ページプロパティ [sys_ux_page_property] レコードの確認を検討してください。ステップ 3 ～ 4 の説明に従って、サイドナビゲーションエクスペリエンスの設定を再度開きます。[詳細サイドナビゲーション設定] を選択してレコードを開きます。フィールドの値が正しいことを確認します (例：Type=json)。

ワークスペースユーティリティ設定での通知の設定

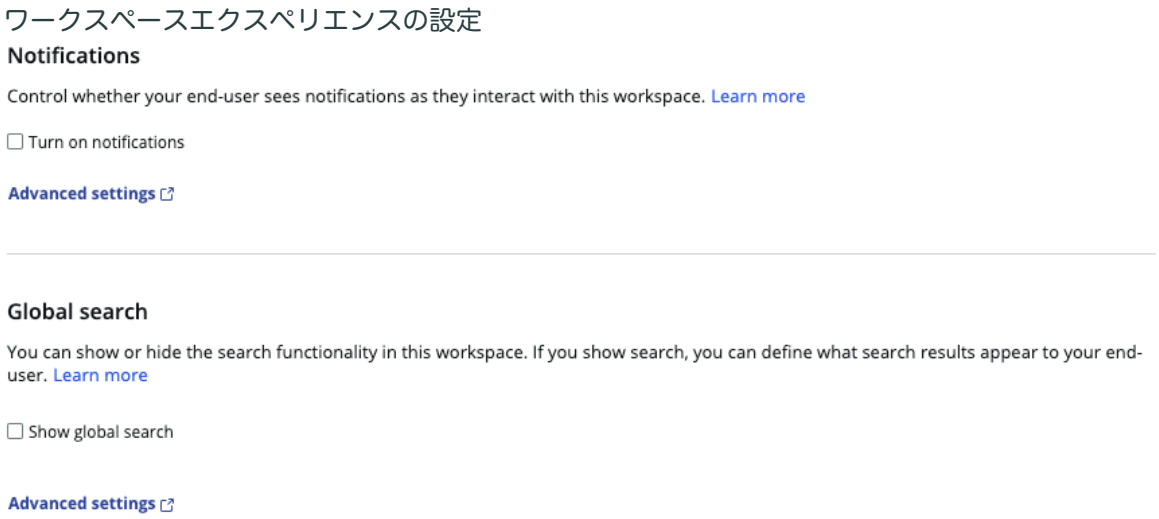
ワークスペースエクスペリエンスで通知と検索の詳細設定を行うと、ユーザーへの通知と検索オプションの表示方法を制御できます。

始める前に
必要なロール：ui_builder_admin

このタスクについて
ワークスペースエクスペリエンスで詳細な通知と検索を設定します。通知をオンまたはオフにして、ワークスペースエクスペリエンスでの通知の表示方法を制御できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

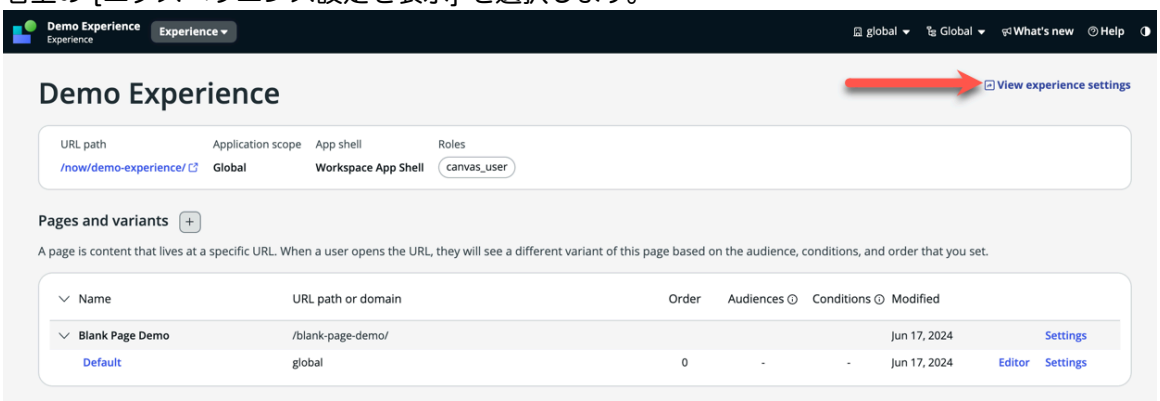


検索機能をワークスペースエクスペリエンスのユーザーに表示するかどうかを制御できます。検索オプションの表示を選択する場合は、検索のソースを選択して返される検索結果を定義できます。

エクスペリエンス設定を編集するには、適切なアプリケーションスコープ内にいる必要があります。別のスコープにいる場合、エクスペリエンス設定は読み取り専用です。アプリケーションスコープを変更するには、メインヘッダーに移動し、アプリケーションピッカー (Global) を選択して、必要なアプリケーションスコープを選択します。アプリケーションスコープの詳細については、「セキュリティとロールについて学習する」を参照してください。

手順

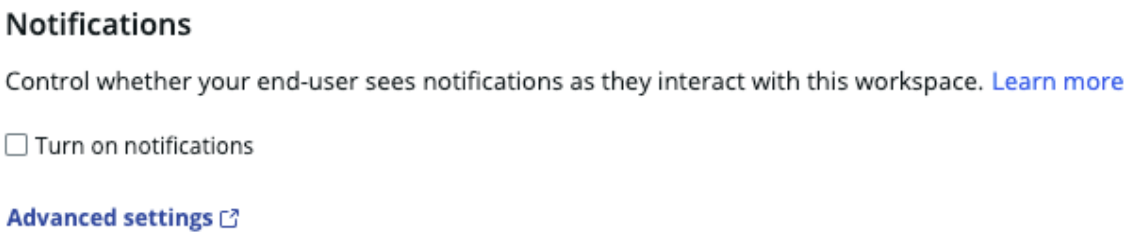
1. 移動先 すべて > **Now Experience** フレームワーク > **UI** ビルダー.
2. 作業するエクスペリエンスを開くか、選択してエクスペリエンスを作成します 作成 > エクスペリエンス.
   詳細については、「UI ビルダー でユーザーがアプリケーションをどのように操作するかを構成する」を参照してください。
3. ワークスペースエクスペリエンスでページを開くか、またはページを作成します。
4. 右上の [エクスペリエンス設定を表示] を選択します。



5. [通知] まで下にスクロールします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



6. [通知をオンにする] オプションを選択します。
7. [保存] をクリックします。
8. オプション: [詳細設定] をクリックして ServiceNow AI Platform® に移動し、レコードの JSON 値を編集します。

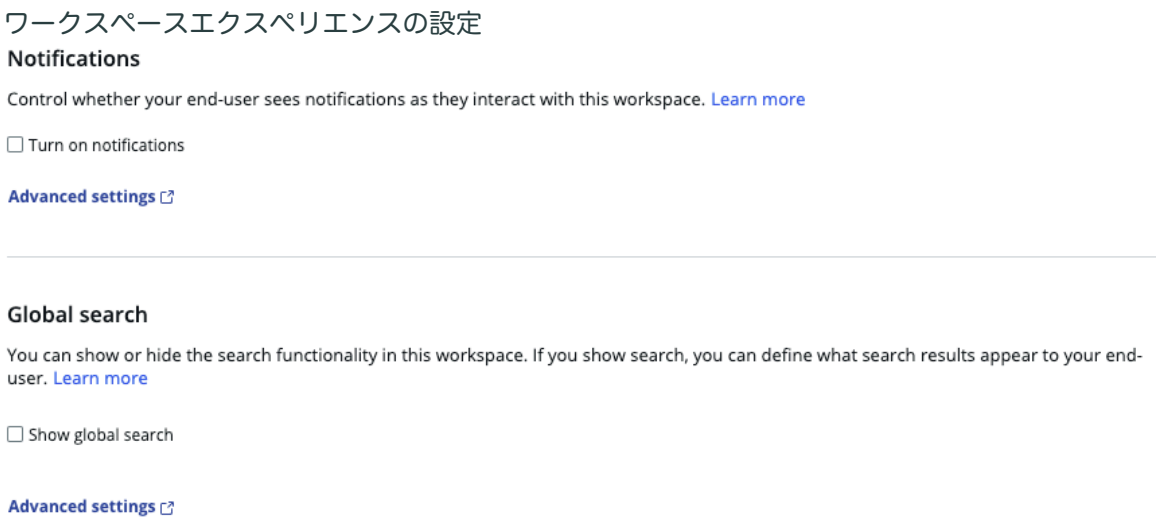
   注:
   ページにレコードコンポーネントがある場合は、通知が選択されたときにワークスペースエクスペリエンスのレコードを開くことができます。ServiceNow 開発者サイトの「レコード UIB の設定」の手順に従って、featureRoutes ページプロパティを定義します。

ワークスペースエクスペリエンスでのグローバル検索の表示

ワークスペースで検索機能を表示または非表示にします。

始める前に
必要なロール：ui_builder_admin

このタスクについて
検索機能をワークスペースエクスペリエンスのユーザーに表示するかどうかを制御できます。検索オプションの表示を選択する場合は、検索のソースを選択して返される検索結果を定義できます。



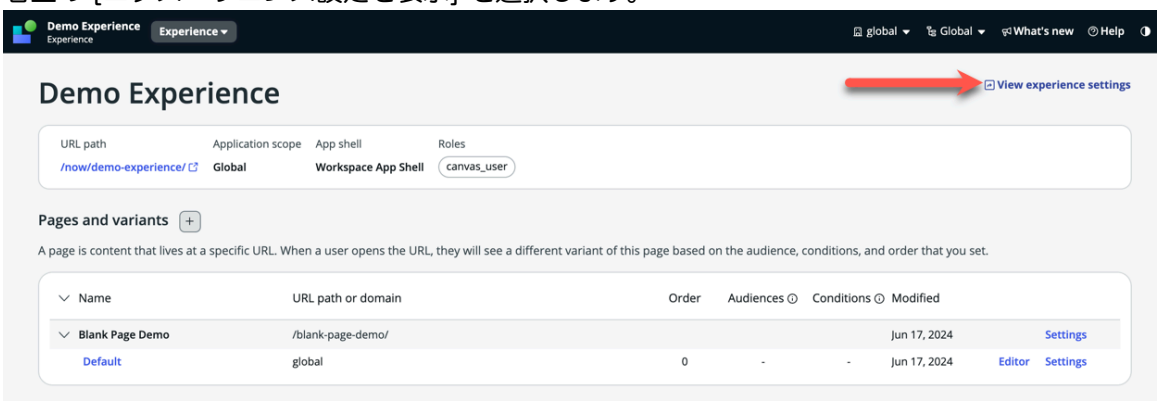
エクスペリエンス設定を編集するには、適切なアプリケーションスコープ内にいる必要があります。別のスコープにいる場合、エクスペリエンス設定は読み取り専用です。アプリケーションスコープを変更するには、メインヘッダーに移動し、アプリケーションピッカー（Global）を選択して、必要なアプリケーションスコープを選択します。アプリケーションスコープの詳細については、「セキュリティとロールについて学習する」を参照してください。

自動翻訳

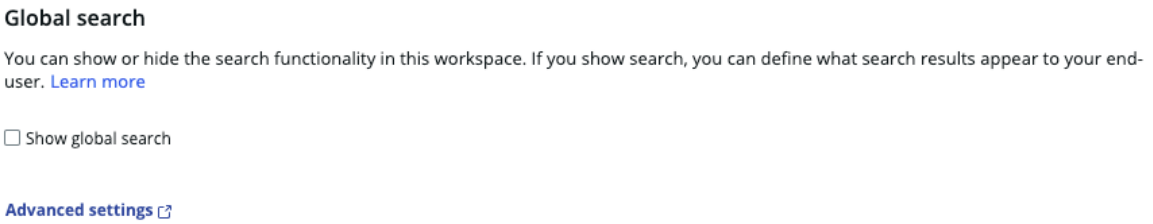
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > **Now Experience** フレームワーク > **UI** ビルダー.
2. 作業するエクスペリエンスを開くか、選択してエクスペリエンスを作成します 作成 > エクスペリエンス.
   詳細については、「UI ビルダー でユーザーがアプリケーションをどのように操作するかを構成する」を参照してください。
3. ワークスペースエクスペリエンスでページを開くか、またはページを作成します。
4. 右上の [エクスペリエンス設定を表示] を選択します。



5. [グローバル検索] まで下にスクロールします。



6. [グローバル検索を表示] オプションを選択します。
7. [保存] をクリックします。
8. オプション: [詳細設定] をクリックして ServiceNow AI Platform® に移動し、レコードの JSON 値を編集します。

UI ビルダー ポータルエクスペリエンスを構成する

UI ビルダー カスタムポータルエクスペリエンス設定を変更すると、ユーザーがポータルエクスペリエンスを操作する方法に影響が及ぶ可能性があります。

作業しているカスタムポータルエクスペリエンスの設定を変更するには、エクスペリエンスの設定を使用します。これらの設定は、ユーザーがポータルエクスペリエンスとやり取りする方法、ポータルの外観、およびユーザーがポータル内を移動する方法に影響を与えます。

エクスペリエンスの設定を編集するには、正しいアプリケーションスコープ内にいる必要があります。別のスコープにいる場合、エクスペリエンス設定は読み取り専用です。アプリケーションスコープを変更するには、メインヘッダーで、アプリケーションピッカー (Global) を選択して、必要なアプリケーションスコープを選択します。アプリケーションスコープの詳細については、「セキュリティとロールについて学習する」を参照してください。

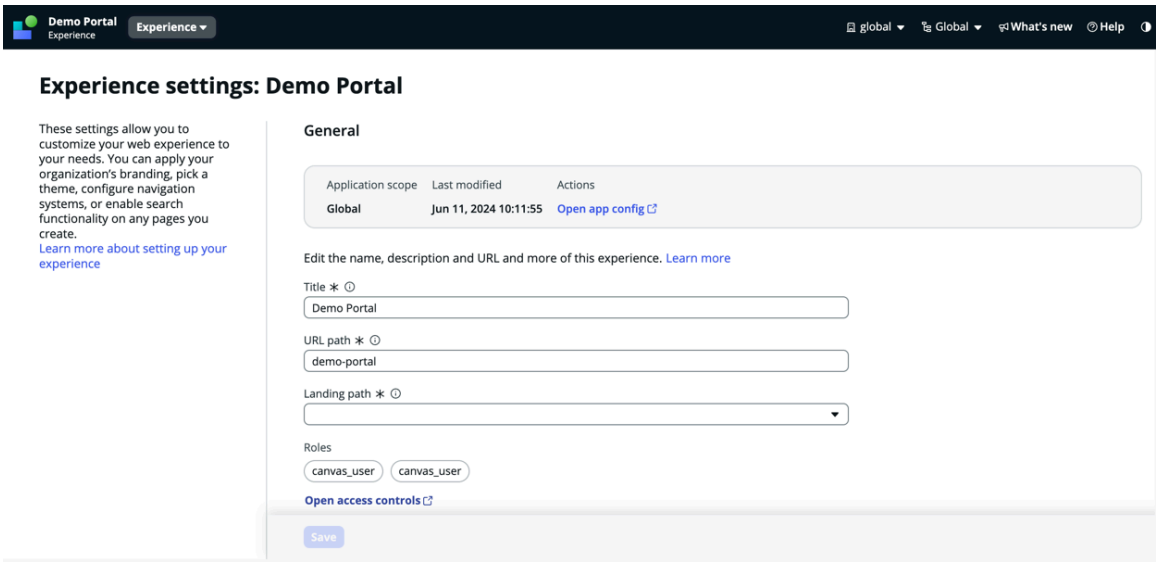
次に示すポータルエクスペリエンス設定を変更する方法について説明します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- ポータルエクスペリエンスのポータルの一般的な設定を変更または追加します。ポータルのタイトル、説明、およびパスを変更できます。
- エクスペリエンスに現在アサインされているテーマを確認するために、ポータルエクスペリエンスのブランドとテーマの設定の表示。テーマによって、エクスペリエンスのルックアンドフィールが設定されます。
- ポータルナビゲーションとメニューの設定を使用して、ポータルエクスペリエンスのアプリシェルでナビゲーションとメニューの設定を行います。アプリシェルはポータルコンテンツのラッパーです。たとえば、アプリシェルでは、会社のロゴ、ユーザー設定、検索アイコン、構成アイコン、ユーザーメニューなどを表示できます。アプリシェルの詳細については、「アプリシェルを使用した UI エクスペリエンスの定義」を参照してください。
- ポータル検索設定を変更して、ポータルエクスペリエンスの公開ページまたはプライベートページでグローバル検索機能を表示または非表示にします。

ポータルのエクスペリエンスの設定



ポータルエクスペリエンスの一般的な設定の変更

UI ビルダー でのカスタムポータルエクスペリエンスの一般的な設定の変更たとえば、ポータルエクスペリエンスのタイトル、説明、およびパスを変更できます。

始める前に

エクスペリエンスの設定を編集するには、正しいアプリケーションスコープ内にいる必要があります。別のスコープにいる場合、エクスペリエンス設定は読み取り専用です。アプリケーションスコープを変更するには、メインヘッダーに移動し、アプリケーションピッカー (Global) を選択して、必要なアプリケーションスコープを選択します。アプリケーションスコープの詳細については、「セキュリティとロールについて学習する」を参照してください。

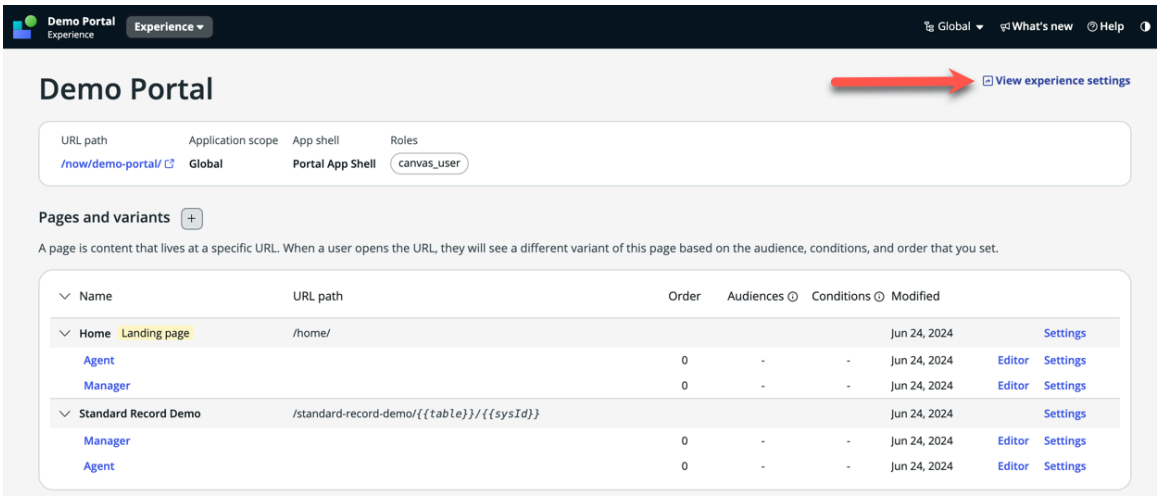
必要なロール：ui_builder_admin

手順

1. 移動先 すべて > **Now Experience** フレームワーク > **UI** ビルダー.
2. 作業するポータルエクスペリエンスを開くか、選択してエクスペリエンスを作成します 作成 > エクスペリエンス.
   詳細については、「UI ビルダー でユーザーがアプリケーションをどのように操作するかを構成する」を参照してください。
3. UI ビルダー ヘッダーで [設定] を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

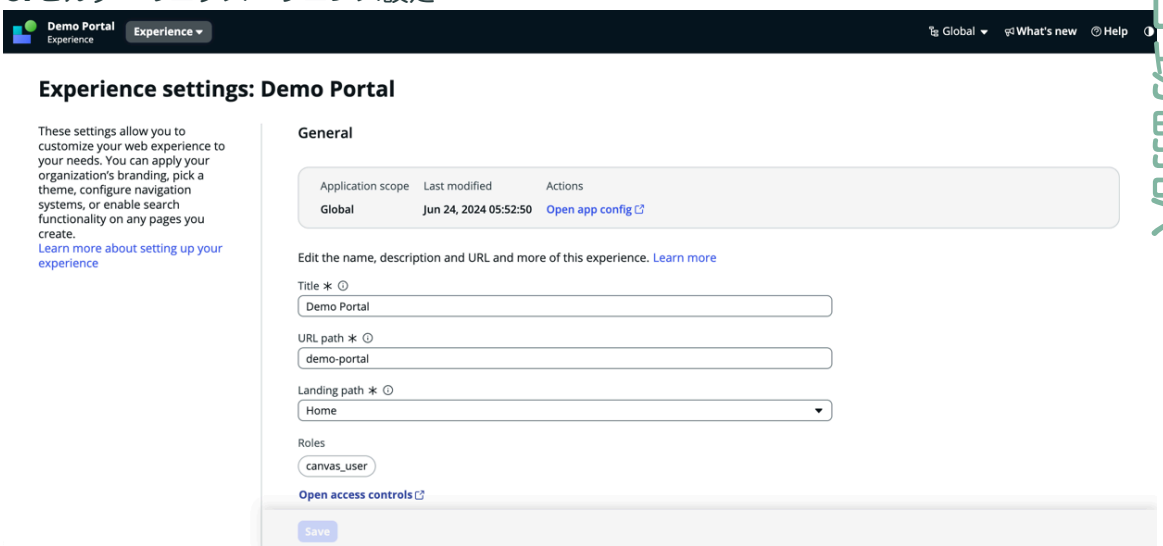
自動翻訳



4. ポータルエクスペリエンスのタイトル、説明、パスを変更します。

- タイトルによって、ワークスペースの名前を全員に知らせることができます。ワークスペースの名前を選択するときは注意してください。
- 説明により、ユーザーはワークスペースの詳細を知ることができます。
- パスは一意になっている必要があります。パスには、数字 (0 ～ 9)、文字 (A ～ Z、a ～ z)、およびいくつかの特殊文字 (「-」、「.」、「_」、「~」) を含めることができ、単語はスラッシュまたはハイフンで区切ることができます。

UI ビルダーのエクスペリエンス設定



5. オプション: ServiceNow AI Platform でワークスペースレコードを編集するには、[詳細設定] を選択します。

a. 終了したら、プラットフォームのレコードを更新します。
UI ビルダー のワークスペースエクスペリエンスの設定に戻ると、全般設定に加えた変更が表示されます。

6. [保存] をクリックします。

タスクの結果
UI ビルダー のポータルエクスペリエンスの設定に戻ると、全般設定に加えた変更が表示されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ポータルエクスペリエンスのブランドとテーマの設定の表示

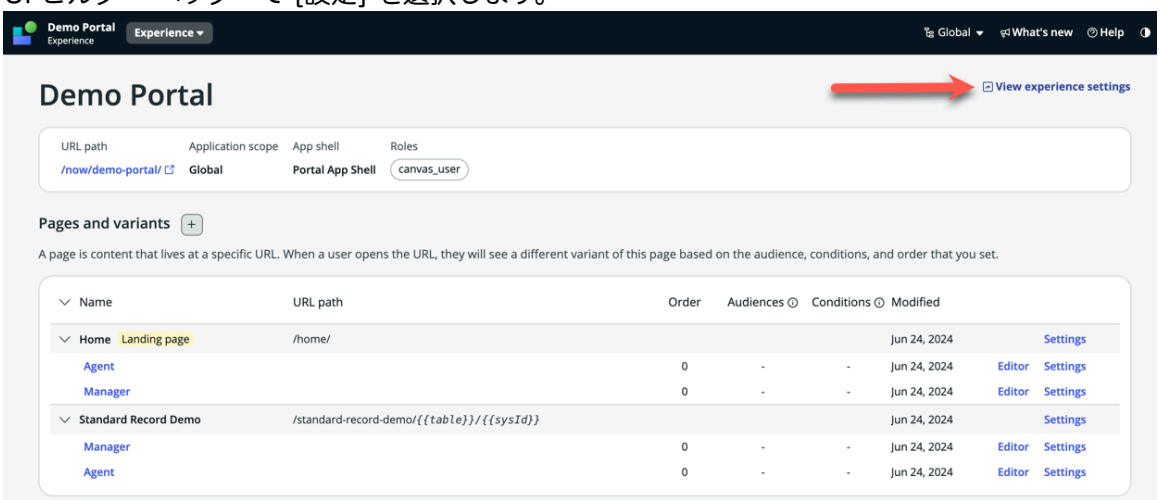
UI ビルダーでポータルエクスペリエンスのテーマ設定を表示します。テーマは、エクスペリエンスの表示スタイルを設定するものであり、すべてのページで一貫したルックアンドフィールを提供します。

始める前に

必要なロール：ui_builder_admin

手順

1. 移動先 すべて > **Now Experience** フレームワーク > **UI** ビルダー.
2. 作業するポータルエクスペリエンスを開くか、選択してエクスペリエンスを作成します 作成 > エクスペリエンス.
   エクスペリエンスの作成の詳細については、「UI ビルダー でユーザーがアプリケーションをどのように操作するかを構成する」を参照してください。
3. UI ビルダー ヘッダーで [設定] を選択します。



4. [ブランディングとテーマ] セクションまでスクロールし、[テーマ] にリストされている内容を確認します。
   デフォルトでは、[Polaris] テーマが UI ビルダーエクスペリエンスに適用されます。

次のタスク

- テーマビルダーでは、使いやすいビジュアルインターフェイスを使用して Next Experience テーマを作成、編集、管理、適用できます。詳細については、「Configuring Next Experience with Theme Builder」を参照してください。
- スタイルレコードと JSON コードの作業に慣れているアドミンユーザーの場合は、カスタムテーマを作成してデフォルトの [Polaris] スタイルをオーバーライドできます。このオプションでは、テーマ内の書体、色、画像 (バナーやロゴを含む) を最大限に制御できます。詳細については、「Configuring Next Experience themes and preferences」を参照してください。

ポータルエクスペリエンスのナビゲーションとメニューの設定の変更

UI ビルダー のカスタムポータルエクスペリエンスのヘッダー、フッター、およびメニューの設定を、組織のニーズに合わせて変更します。

始める前に

このタスクには次の前提条件があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- UI ビルダー に既存のポータルエクスペリエンスがあります。詳細については、「UI ビルダー でユーザーがアプリケーションをどのように操作するかを構成する」を参照してください。
- このワークスペースエクスペリエンスには少なくとも 2 つのページが含まれています。
- あるページから、指定した他のページにユーザーが移動できるようにします。

必要なロール：ui_builder_admin

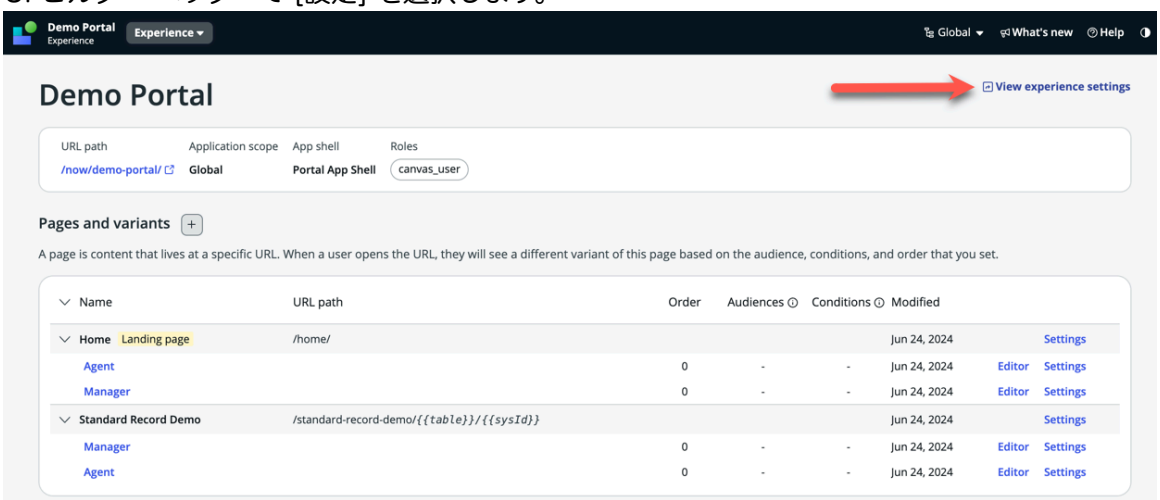
このタスクについて
ポータルエクスペリエンスのアプリシェルで、ナビゲーションとメニューの設定を行います。アプリシェルはポータルコンテンツのラッパーです。たとえば、アプリシェルでは、会社のロゴ、ユーザー設定、検索アイコン、構成アイコン、ユーザーメニューなどを表示できます。このアプリシェルはServiceNow AI Platformで構成できます。アプリシェルの詳細については、「アプリシェルを使用した UI エクスペリエンスの定義」を参照してください。

エクスペリエンスの設定を編集するには、正しいアプリケーションスコープ内にいる必要があります。別のスコープにいる場合、エクスペリエンス設定は読み取り専用です。アプリケーションスコープを変更するには、メインヘッダーで、アプリケーションピッカー (Global) を選択して、アプリケーションスコープを選択します。アプリケーションスコープの詳細については、「セキュリティとロールについて学習する」を参照してください。

> **注:**
> JSON の例を含む UX ページのプロパティの詳細については、「https://www.servicenow.com/community/next-experience-articles/workspace-app-shell-ux-page-properties/ta-p/2331956」を参照してください 。

手順

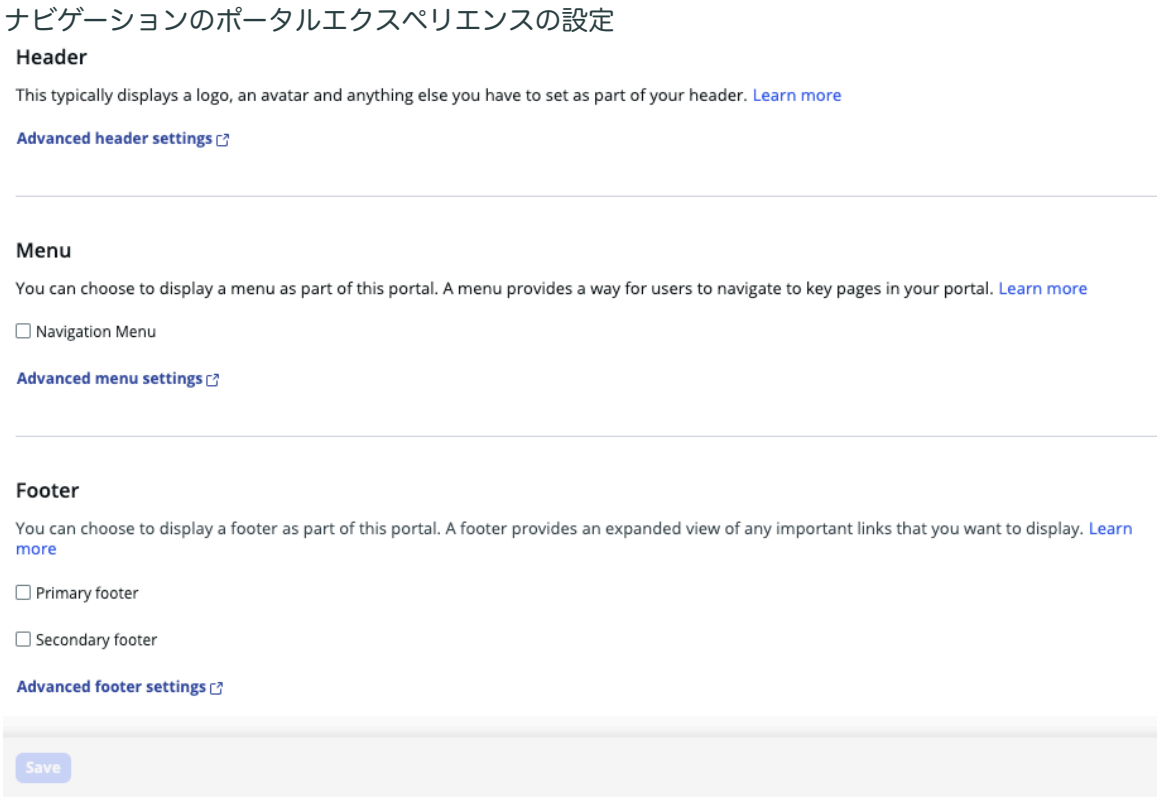
1. 移動先 すべて > **Now Experience** フレームワーク > **UI** ビルダー.
2. 作業するポータルエクスペリエンスを開くか、選択してエクスペリエンスを作成します 作成 > エクスペリエンス.
   詳細については、「UI ビルダー でユーザーがアプリケーションをどのように操作するかを構成する」を参照してください。
3. UI ビルダー ヘッダーで [設定] を選択します。



4. 作業中のポータルエクスペリエンスのアプリシェルのヘッダー、フッター、およびナビゲーションメニューの設定を変更するには、詳細設定のリンクを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



アクション	手順
ヘッダーの変更	ServiceNow AI Platform® に移動するには、[詳細ヘッダー設定] をクリックします。 ここでは、ポータルエクスペリエンスのヘッダーに表示する情報を変更できます。会社のロゴ、ユーザー設定、検索アイコン、構成アイコンなどを変更できます。
メニューの表示	**a.** ポータルエクスペリエンスにメニューを追加するには、 [ナビゲーションメニュー] を選択します。 **b.** ナビゲーションメニューを削除するには、[ナビゲーションメニュー] を選択解除します。 **c.** ServiceNow AI Platform に移動するには、[詳細ナビゲーションメニュー設定] を選択します。ここでは、ナビゲーションメニューに表示されるメニューとメニューアイテムを変更できます。詳細については、「アプリシェルを使用した UI エクスペリエンスの定義」を参照してください。
フッターの表示	**a.** ポータルエクスペリエンスにプライマリフッターを追加するには、[プライマリフッター] を選択します。フッターには、フッターのロゴ、コンテンツ、およびポータルのその他の重要なリンクを表示できます。 **b.** ServiceNow AI Platform に移動するには、[詳細ナビゲーションメニュー設定] をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アクション	手順
	c. 2 つ目のフッターをポータルエクスペリエンスに追加するには、[セカンダリフッター] を選択します。セカンダリフッターには、追加のテキストリンク、ソーシャルメディア要素、および著作権情報が含まれています。

5. [保存] をクリックします。

ポータルエクスペリエンスの検索設定の表示または非表示

UI ビルダー でカスタムポータルエクスペリエンスの公開ページまたはプライベートページでグローバル検索機能を表示または非表示にして、ユーザーがポータルを検索できるようにします。

始める前に

必要なロール：ui_builder_admin

グローバル検索機能をポータルエクスペリエンスのユーザーに表示するかどうかを制御できます。公開ページまたはプライベートページのグローバル検索を有効または無効にすることができます。

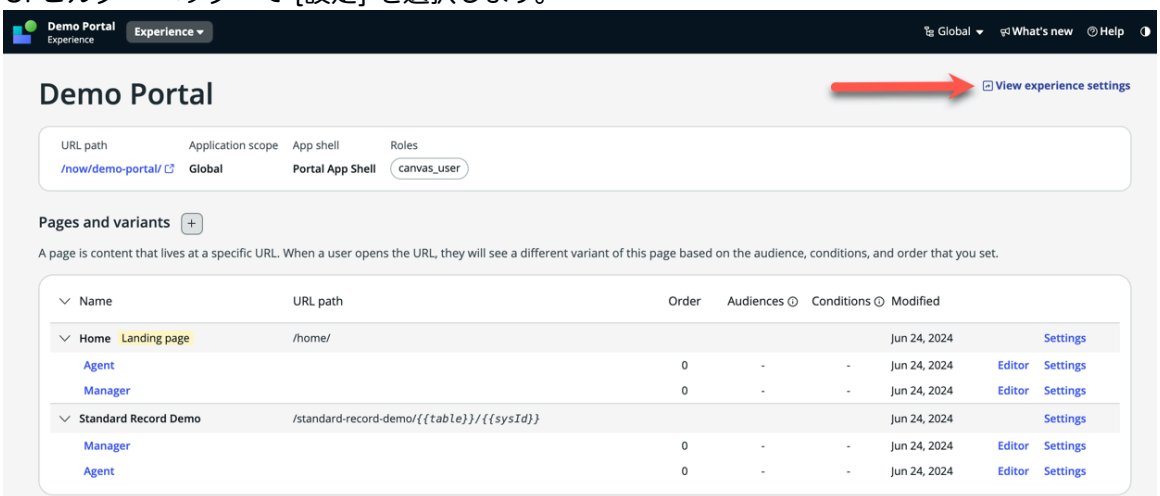
エクスペリエンスの設定を編集するには、正しいアプリケーションスコープ内にいる必要があります。別のスコープにいる場合、エクスペリエンス設定は読み取り専用です。アプリケーションスコープを変更するには、メインヘッダーで、アプリケーションピッカー (Global) を選択して、アプリケーションスコープを選択します。アプリケーションスコープの詳細については、「セキュリティとロールについて学習する」を参照してください。

手順

1. 移動先 すべて > **Now Experience** フレームワーク > **UI** ビルダー.

2. 作業するポータルエクスペリエンスを開くか、選択してエクスペリエンスを作成します 作成 > エクスペリエンス.
詳細については、「UI ビルダー でユーザーがアプリケーションをどのように操作するかを構成する」を参照してください。

3. UI ビルダー ヘッダーで [設定] を選択します。

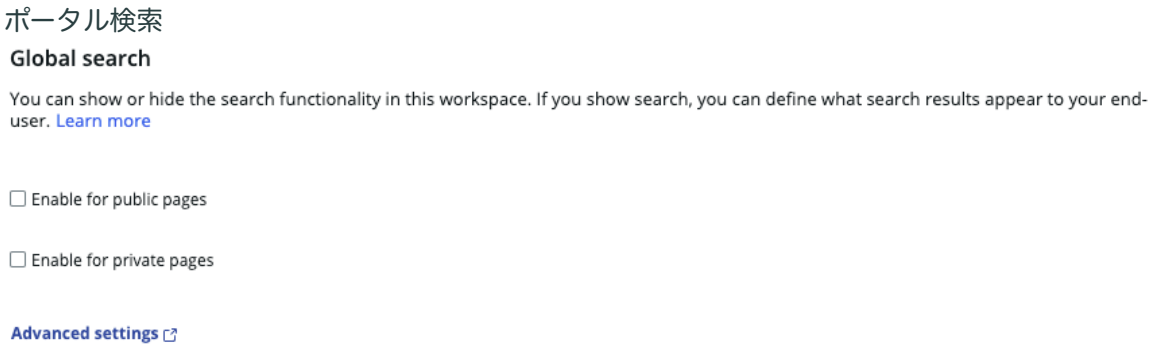


4. [グローバル検索] まで下にスクロールします。

5. [公開ページで有効にする] または [プライベートページで有効にする] を選択して、公開ページまたはプライベートページでグローバル検索を表示または非表示にします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



6. オプション: [詳細設定] をクリックして ServiceNow AI Platform に移動し、ServiceNow AI Platform のアプリケーションレコードを変更します。
   ページの検索を有効または無効にするには、個別の [ユーザーエクスペリエンスページ] プロパティを作成する必要があります。[ユーザーエクスペリエンスページ] プロパティは、グローバル検索設定を上書きします。
7. [保存] をクリックします。

アプリシェルを使用した UI エクスペリエンスの定義

アプリシェルとは何か、どのアプリシェルが UI ビルダー で使用できるか、また特定のアプリシェルをどのような理由から選択するかを考慮します。

アプリシェル

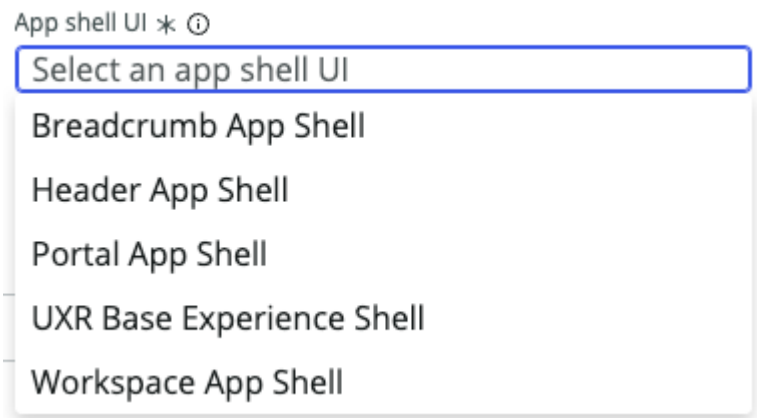
アプリシェルは、エクスペリエンスページのコンテンツのラッパーです。アプリシェルには、Web ページと同様の機能が含まれています。たとえば、アプリシェルは、会社のロゴ、ユーザー設定、検索アイコン、構成アイコン、ユーザーメニューなどを、エクスペリエンスのヘッダーまたはフッターに表示できます。

UI ビルダー にはアプリシェルが必要です。

アプリシェルは、エクスペリエンスにワークスペースまたはポータルデザインがあるかどうかを定義します。ワークスペースは、ユーザーからの要求を処理するために複数のツールを 1 ページに配置したグラフィカルユーザーインターフェイスです。ポータルは、ユーザーがアイテムの注文やチケットの追跡などの要求を追加できるページです。

ServiceNow® プラットフォームでエクスペリエンスを作成するときに、エクスペリエンスに適用するアプリシェルを選択します。エクスペリエンスの作成方法の詳細については、「UI ビルダー でユーザーがアプリケーションをどのように操作するかを構成する」を参照してください。

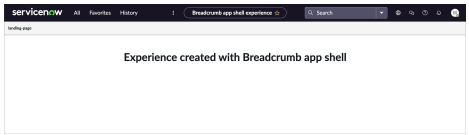
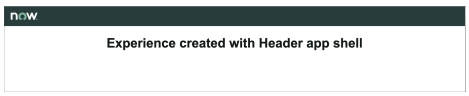
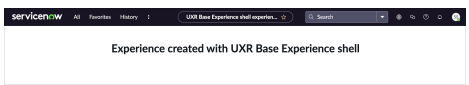
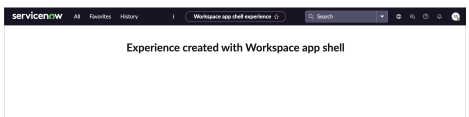
エクスペリエンスを作成するときに、さまざまなアプリシェルから選択できます。



© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

アプリシェルの説明

アプリシェル	説明	例
ブレッドクラムアプリシェル	ブレッドクラムアプリシェルには、ヘッダー、ブレッドクラムスタイルのナビゲーション、およびワークスペースエクスペリエンスのプライマリナビゲーションバーが含まれています。ブレッドクラムアプリシェルは、マルチタスクを必要としない集中的なワークフローとウィザードフローに使用します。	
ヘッダーアプリシェル	ヘッダーアプリシェルには、ワークスペースエクスペリエンスのヘッダーとユーザーメニューが含まれています。ヘッダーに最小限のナビゲーションといくつかのアクション可能なアイテムを必要とするエクスペリエンスには、ヘッダーアプリシェルを使用します。	
ポータルアプリシェル	ポータルアプリシェルには、ポータルエクスペリエンスのヘッダーとフッターが含まれています。ポータルアプリシェルレコードは、ポータルエクスペリエンス用にメニュー、ユーティリティ、ロゴ、およびログインを構成する方法の参照実装です。	
UXR Base Experience アプリシェル	UXR Base Experience シェルは、Next Experience バナーを使用してエクスペリエンスを作成します。UXR Base Experience シェルは、エクスペリエンスの構成、コンテキストバインディング、ルーティング、画面のロード、キャッシュなど、親アプリ内で構成されたエクスペリエンスの基本機能のサポートを提供します。UXR Base Experience シェルには、ビジュアルコンポーネントやエクスペリエンス固有のコンポーネントはありません。UXR Base Experience シェルは、シェルがカスタマイズされていないエクスペリエンスにも使用できます。たとえば、ID センターは UXR Base Experience シェルをアプリシェルとして直接使用します。	
ワークスペースアプリシェル	ワークスペースアプリシェルには、ワークスペースエクスペリエンスのヘッダーとフッターが含まれています。ワークスペースアプリシェルを使用して、ユーザーが問題を検索、調査、解決するために必要なツールを提供します。このアプリシェルで作成されたエクスペリエンスの表示スタイルを管理するには、	

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アプリシェルの説明 (続く)

アプリシェル	説明	例
	「Configuring Next Experience with Theme Builder」を参照してください。	

UI ビルダー ページとページのバリアントを管理

UI ビルダー のページについて説明します。列レイアウトやコンポーネントなどの UI ビルダー ページの構成ブロックを理解します。

UI ビルダー クイックスタート

UI ビルダー でページをワークスペースまたはカスタムポータルエクスペリエンスの一部として作成します。UI ビルダー の ページは、レイアウトとコンポーネントで構成されます。列レイアウトとコンポーネントを使用してページをビルドし、ユーザーにエクスペリエンスをガイドします。たとえば、従業員の出張要求を管理するページをビルドできます。ページには、送信および承認されたすべての出張要求のリストを含む列レイアウトとコンポーネントを含めることができます。ユーザーが出張要求を追加および送信できるようにするボタンを追加できます。ページはさまざまな方法でビルドできます。

注:
1 人の開発者が 一度に 1 つのバリアントで作業する必要があります。

UI ビルダーの列レイアウトとコンポーネント

列レイアウトとコンポーネントは UI ビルダー ページの構成要素です。列レイアウトとコンポーネントをページに追加して、ワークスペースまたはポータルエクスペリエンスをビルドまたはカスタマイズします。たとえば、列レイアウトを追加し、列内にユーザーが要求を送信できるボタンコンポーネントを配置します。

ステージまたはコンテンツツリーから、列レイアウト、列、およびコンポーネントを追加したり、それらの間を移動したりすることができます。

列レイアウトには、1 つ以上の列を含めることができます。列にはコンポーネントを含めることができます。列レイアウト、列、コンポーネントの表示スタイルを変更して、独自のエクスペリエンスを作成します。

ページレイアウト要素のタイプ

タイプ	説明
列レイアウト	1 ～ 6 列の柔軟性に優れたコンテナ。列レイアウトを追加して、ページの構造とフレームワークを提供します。
列	列にコンポーネントを入力します。
コンポーネント	ボタン、リスト、フォームなどのページの基本要素。
モーダル	モーダルを使用して、ページの上部にレンダリングされ、アクションを必要とする UI ビルダーのページタイプを作成します。
ポップオーバー	ポップオーバーは、イベントによってトリガーされたときに UI ビルダー ページの上に表示さ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ページレイアウト要素のタイプ (続く)

タイプ	説明
	れるコンテナの一種です。ポップオーバーコンポーネントを使用して、ページに関連する追加情報またはアクションを表示します。

詳細については、「コンポーネントを使用した UI ビルダー ページのカスタマイズ」を参照してください。

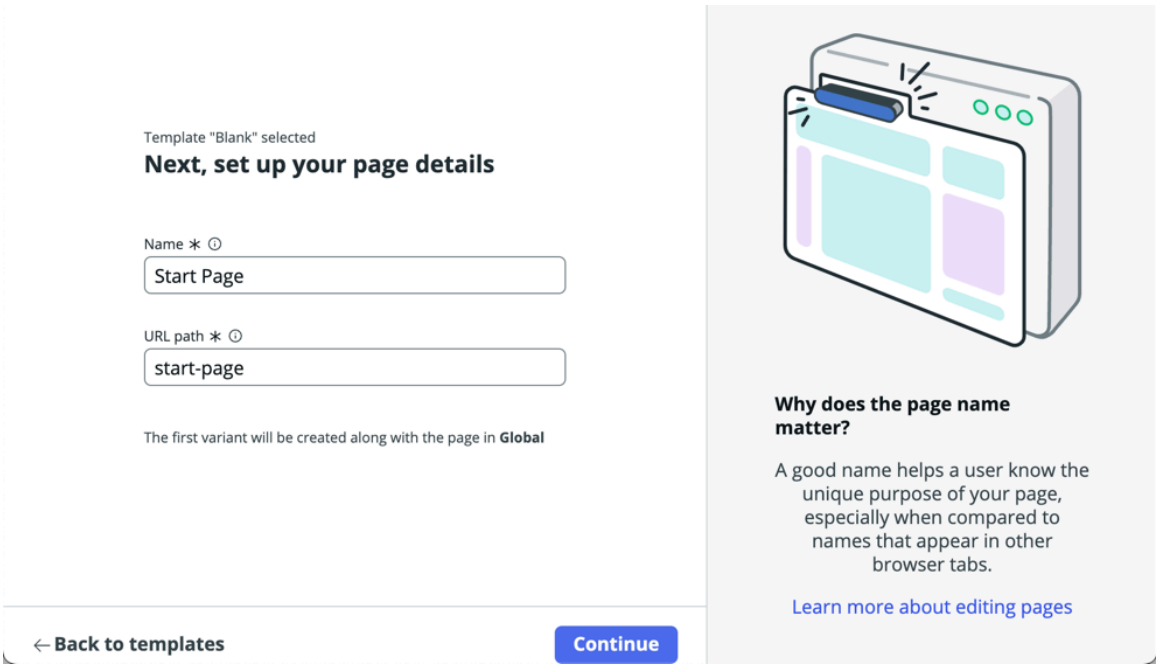
UI ビルダーページの作成

UI ビルダー ページを作成して、ページエクスペリエンスを最初から、またはページテンプレートを使用してビルドします。一度に 1 つのページコンポーネントを構築します。事前定義されたページテンプレートのいずれかを使用する場合は、基本構造から開始し、ニーズに合わせてカスタマイズできます。

UI ビルダー ページに名前を付けます。パスを設定します (またはページ名に基づいて自動的に追加されるデフォルトのパスを維持します)。デフォルトのパスは、ページ名に基づいて追加されます。独自のパスを作成することもできますが、パスは一意である必要があります。**[URL** プレビュー] にはページのパスが表示されます。

アプリケーションスコーピングは、アプリケーションファイルとデータへのアクセスを識別して制限することによってアプリケーションを保護します。アプリケーションスコープのデフォルトは、ユーザーが ServiceNow AI Platform 内で現在存在しているスコープです。アプリケーションスコープの詳細については、「セキュリティとロールについて学習する」を参照してください。

UI ビルダー ページテンプレートを使用して、事前定義されたページテンプレートに基づいてページを作成し、そのページをニーズに合わせてカスタマイズします。ページテンプレートは参照またはコピーできます。詳細については、「テンプレートからのページの作成」を参照してください。



UI ビルダーページの作成：詳細設定

UI ビルダー ページに必須パラメーターを追加します。必須パラメーターは、sys_id、テーブル、クエリなどのページに必要なデータです。必須パラメーターは、必須パラメーターの値にバインドできるため、コンポーネントに役立ちます。たとえば、[URL] フィールドにテーブルパラメーターを追加

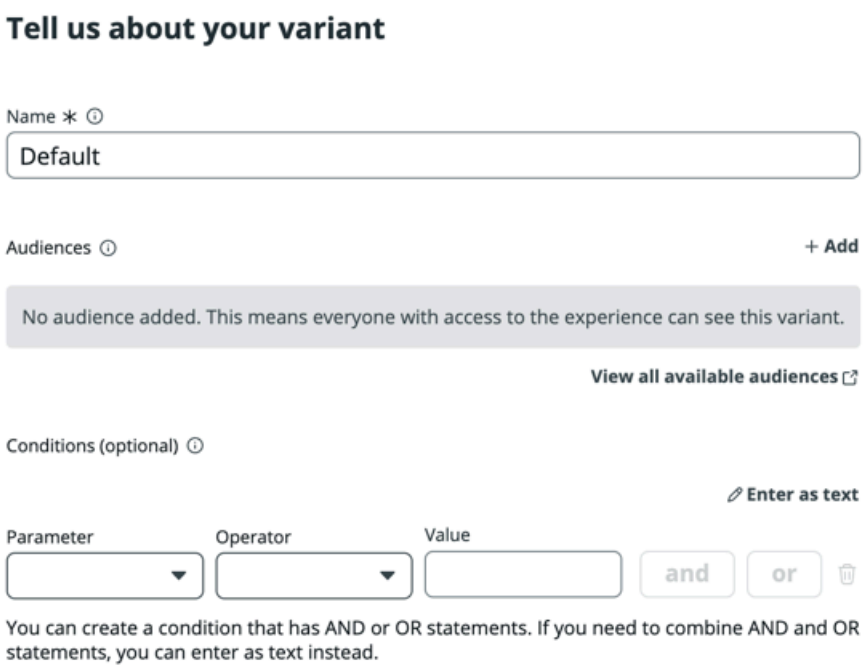
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

し、そのテーブルにデータをバインドできます。テーブルが参照されると、テーブルデータがページ上のコンポーネントに公開されます。必須パラメーターは、ページに追加すると URL に表示されます。次の例では、table という必須パラメーターが追加されています。URL に追加されていることに注意してください。

UI ビルダー ページにオプションのパラメーターを追加します。オプションのパラメーターは、ページの URL に追加できるオプションのデータです。必須パラメーターとは異なり、オプションのパラメーターは常に名前と値のペアで、指定された順序に関係なく機能します。

UI ビルダー ページバリアントの対象者と条件を設定します。ページを作成すると、UI ビルダー によってページのバリアントもデフォルトで作成されます。ページバリアントとは、ユーザー基準を使用してさまざまな対象者のエクスペリエンスをターゲットにできる、同じパスのページのバリエーションのことです。たとえば、マネージャー用のページと、そのマネージャーの直属の部下用のページのバリアントなどです。バリアントの作成の詳細については、「ページバリアントの作成」を参照してください。



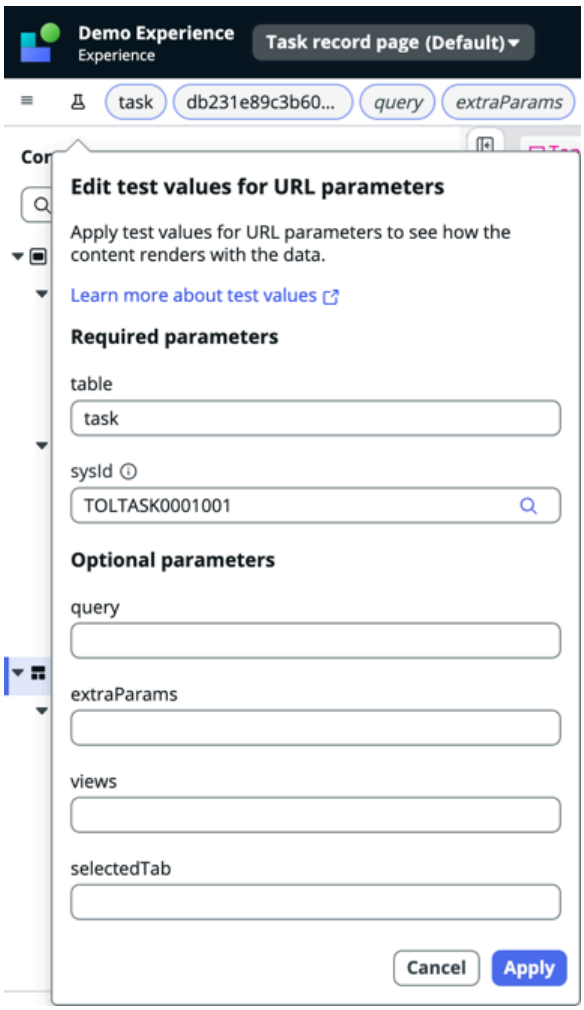
対象者の詳細については、「対象者について学習する」を参照してください。

UI ビルダーのテスト値

テスト目的でテストデータを UI ビルダー ページに取り込む方法として、ページにテスト値を追加します。たとえば、必須パラメーターとしてテーブルを追加する場合は、インシデントのテスト値を追

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

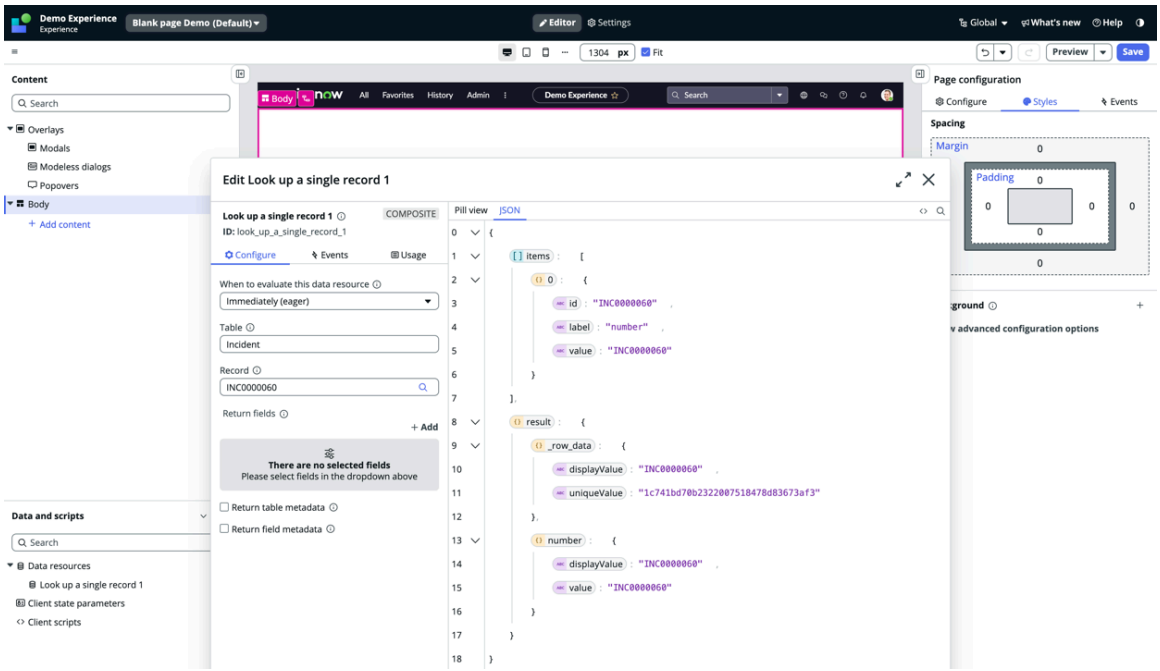
加し、それにデータリソースをバインドして、そのテーブルのインシデントに関するテストデータを取り込むことができます。



テスト値を取得してデータを表示するには、データリソースを追加してから、レコードを URL のテスト値にバインドするようにデータリソースを構成します。たとえば、incident をテスト値として追加できます。次に、**Look up a single record** という名前のデータリソースを追加します。[テーブル] フィールドで、次の画像に示すように、インシデントテスト値を context.props.table テーブルに動的にバインドします。

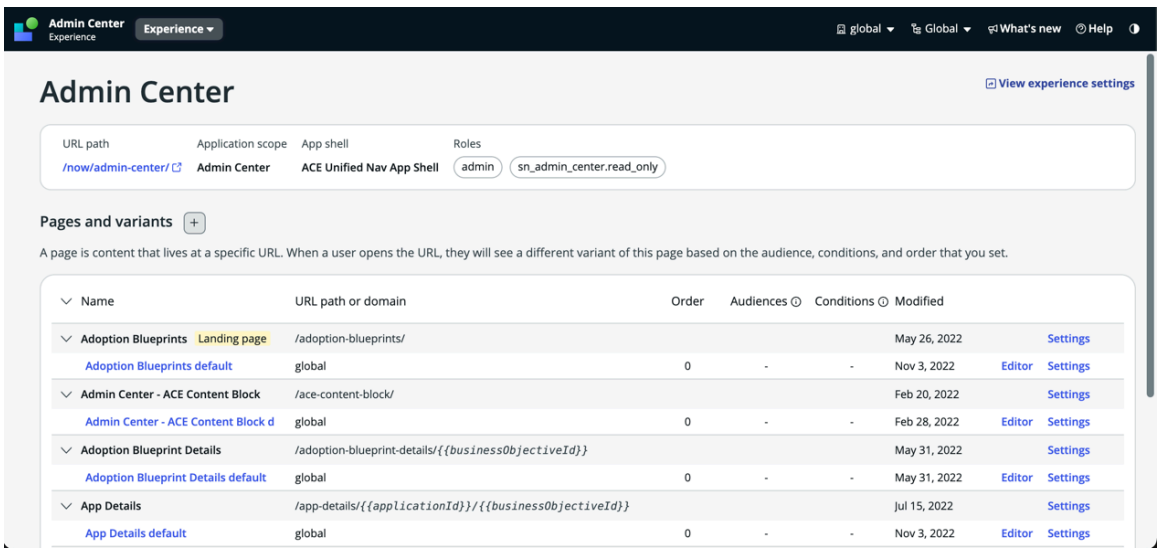
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



既存の UI ビルダーページの表示

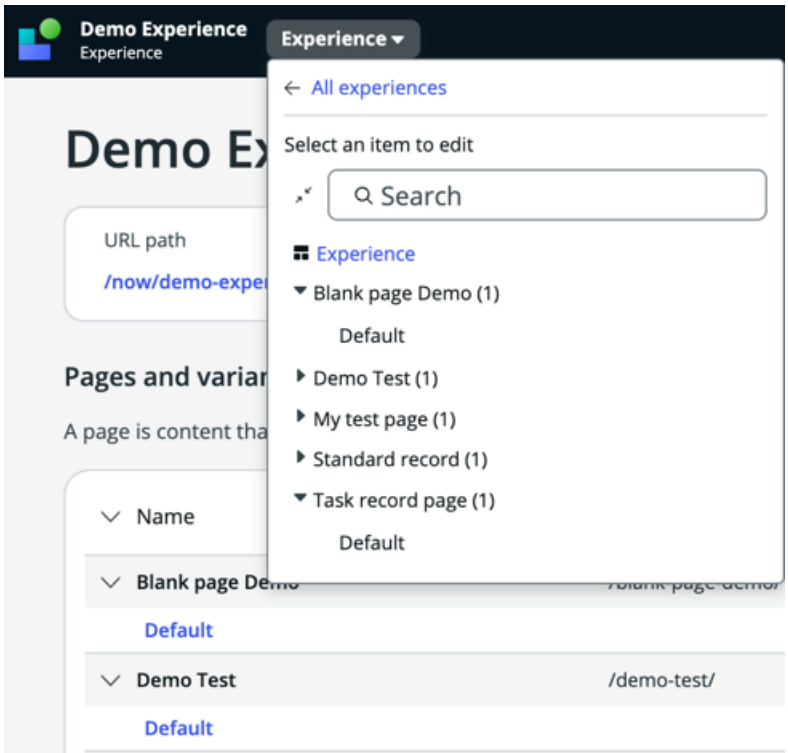
ロール設定に基づいて、エクスペリエンスの任意の UI ビルダー ページで作業できます。エクスペリエンスのエクスペリエンスビューで、作業するページの名前をクリックします。



ページエディターで、ヘッダーのドロップダウンを選択して、異なるページバリアント を開きます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



UI ビルダーページバリアントの作成

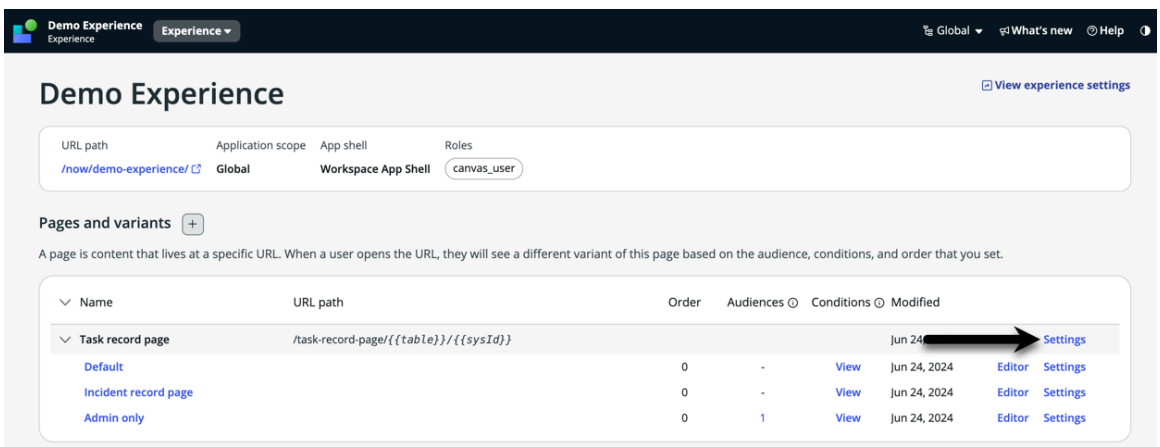
バリアントでは、ユーザー基準を使用して、さまざまな対象者をさまざまなコンテンツのターゲットにすることができます。たとえば、エージェント用のホームページと、同じ URL パスに存在するマネージャー向けのページのバリアントを作成できます。

UI ビルダー ページバリアントごとに対象者を設定します。ページバリアントを使用するユーザーは、対象者で決まります。たとえば、出張要求ページを作成する場合は、マネージャーが従業員の出張要求を管理できる、ページのバリアントを作成します。マネージャーロールを持つすべてのユーザーのために、マネージャーページの対象者を設定します。従業員はそのバリアントを表示できません。対象者の詳細については、「対象者について学習する」を参照してください。

詳細については、「ページバリアントの作成」を参照してください。

UI ビルダーのページ設定を編集

UI ビルダー エクスペリエンスビューで [設定] を選択すると、いつでも UI ビルダー ページの設定を変更できます。ページを作成した後で、ページの名前、パス、およびパラメーターを変更できます。



自動翻訳

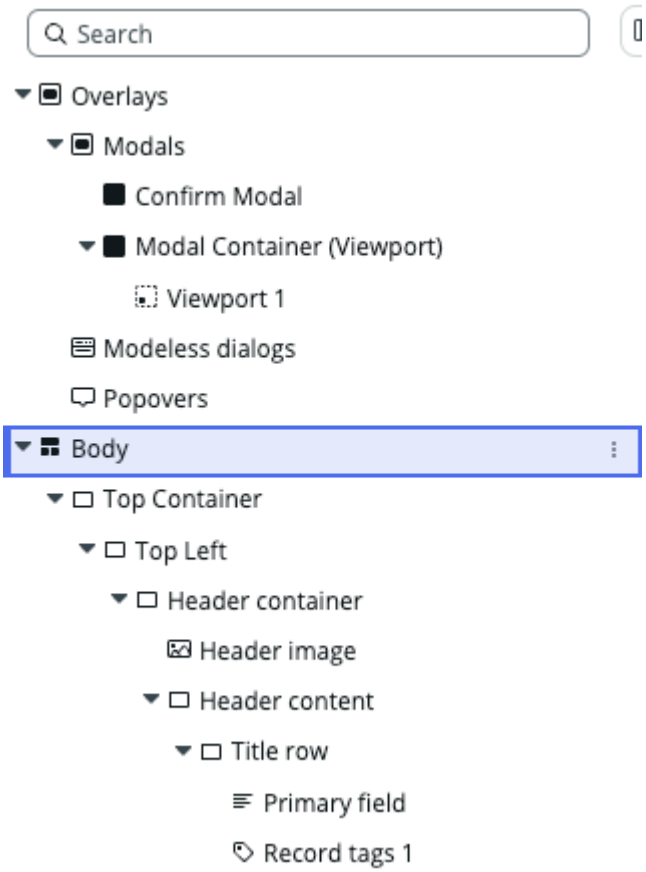
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

詳細については、「ページの編集」を参照してください。

UI ビルダーコンテンツツリー

ページ管理パネルのコンテンツツリーは重要です。これは、UI ビルダー ページ上のすべての列レイアウト、列、コンポーネントを表示するだけでなく、コンポーネントを簡単に見つけて操作できるようになります。コンテンツツリーは、ページ上に複数のコンポーネントがある場合に特に重要です。コンテンツツリーでコンポーネントを選択してページ上のコンポーネントをハイライト表示すると、ページを簡単にビルドできます。

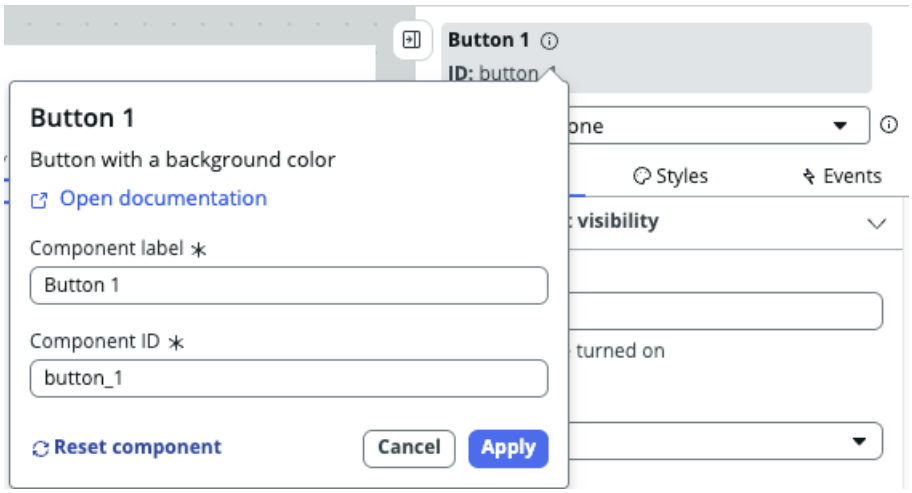
コンポーネントがあるコンテンツツリー



コンテンツツリーでコンポーネントをクリックすると、ステージ上のコンポーネントがハイライト表示され、スタイリング、イベント、データなどを追加できます。 コンテンツツリーにアイテムをドラッグして、ページを再編成できます。

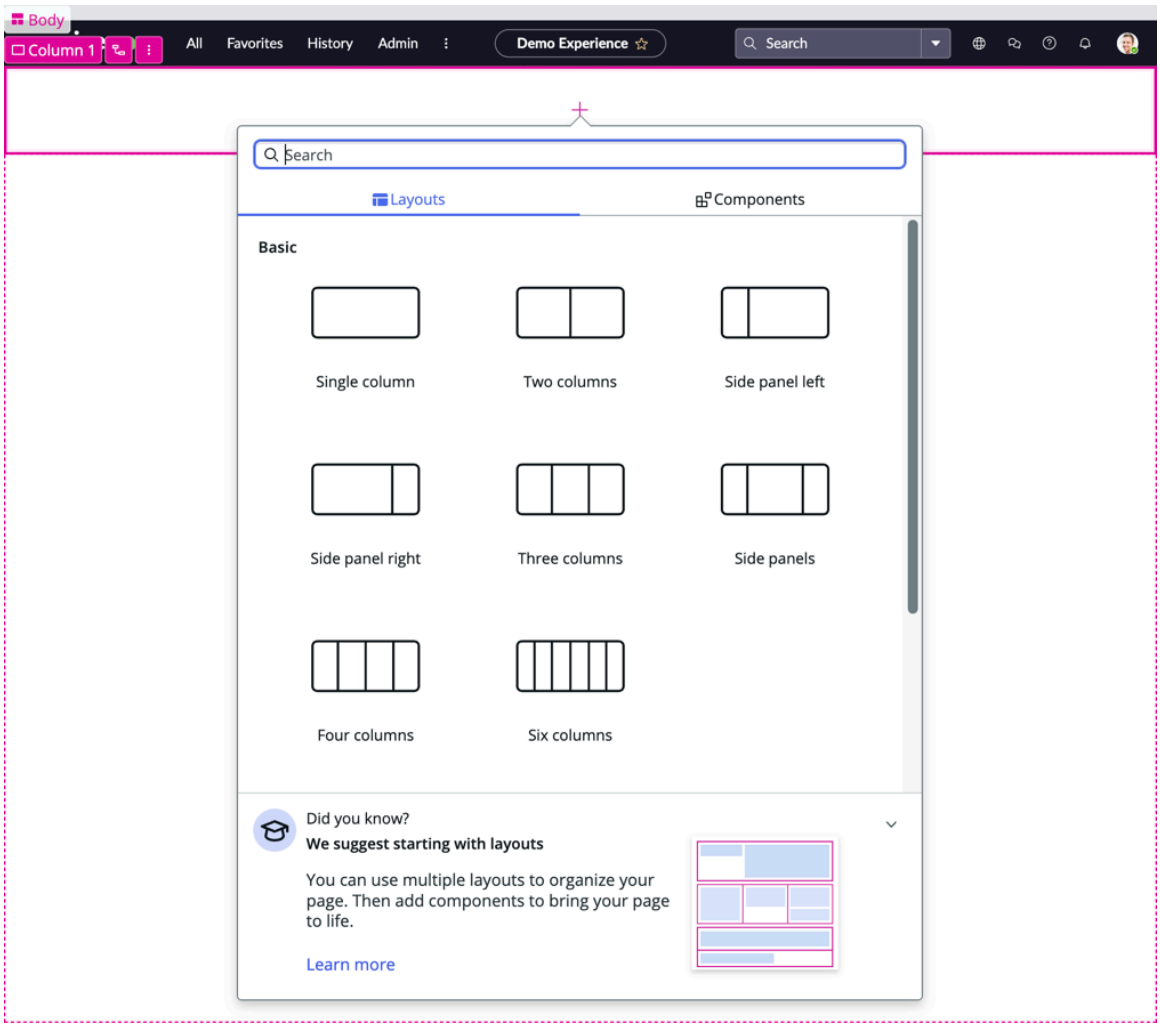
コンポーネントをページに追加するときは、コンポーネントラベルを追加することが重要です。コンポーネントラベルは、コンテンツツリー内の各コンポーネントにラベルと ID を適用するために使用されます。適切にラベルを付けると、コンテンツツリーのコンポーネントの識別がはるかに簡単になります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



UI ビルダーツールボックス

UI ビルダー ツールボックスを使用して、レイアウトとコンポーネントをページに追加します。UI ビルダー ツールボックスにアクセスするには、**[+** コンテンツを追加] またはステージの **[+]** アイコンを選択します。

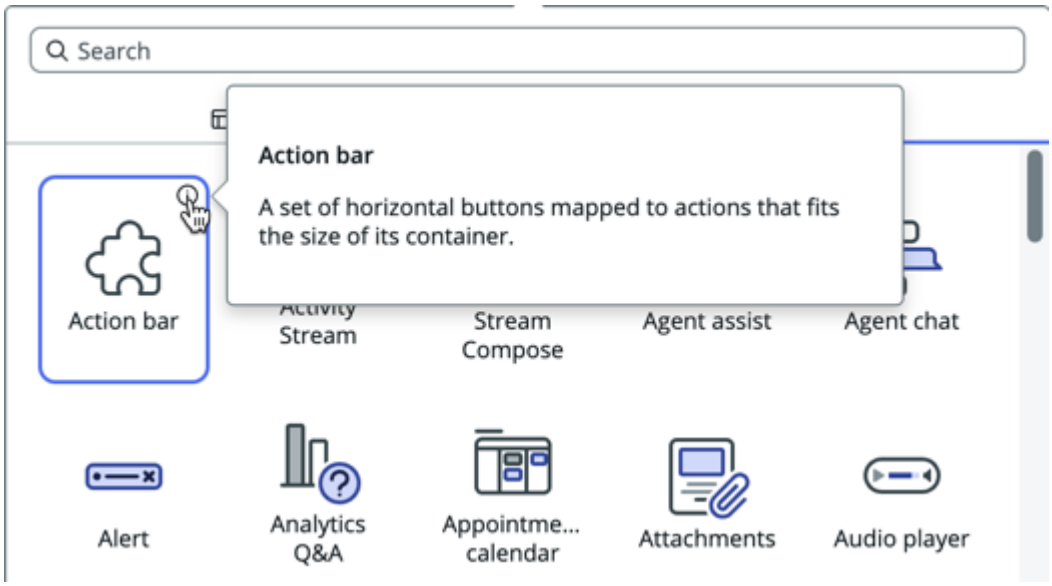


ツールボックスを検索して、UI ビルダー ページに追加するレイアウトとコンポーネントを見つけます。

自動翻訳

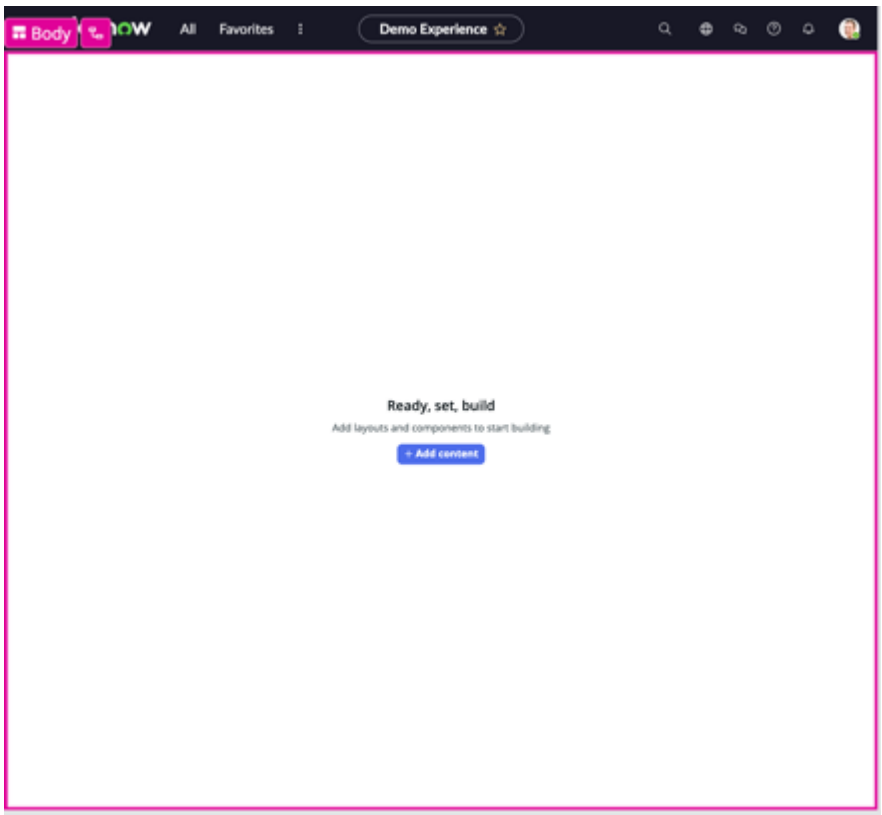
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

情報アイコンⓘを選択してツールヒントを表示し、レイアウトまたはコンポーネントの簡単な説明を表示します。コンポーネントがプリセットを使用できる場合、または複数のコンポーネントにバンドルされている場合は、[コンポーネント] タブに異なる色が表示されます。



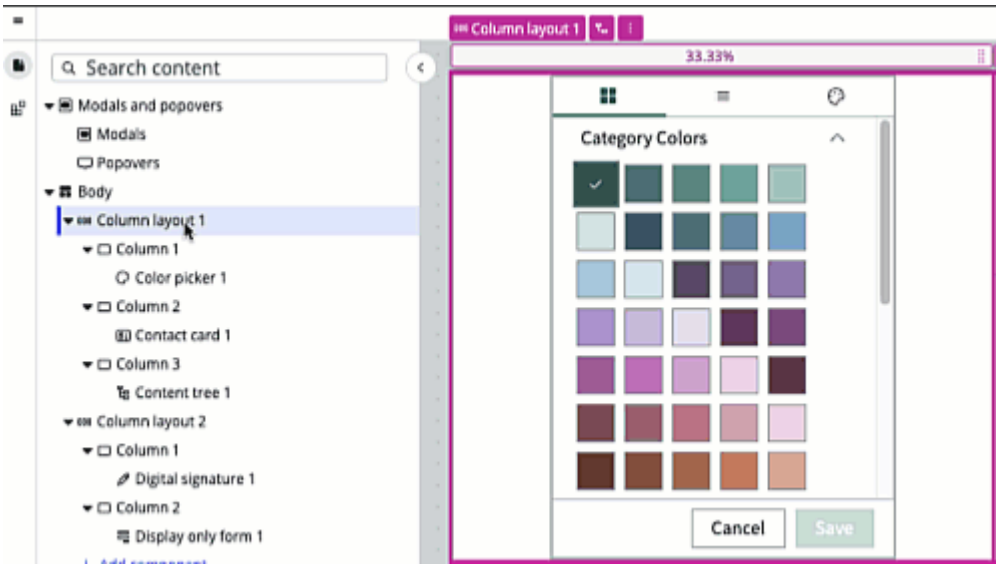
UI ビルダー ステージ

ステージは、UI ビルダー エディターの最大の領域であり、ページのビルドに使用されます。列レイアウトとコンポーネントをここに追加するには、[+] ボタンをクリックするか、[コンポーネント] ペインからページにドラッグします。

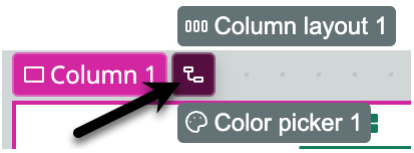


ステージでは、本文、列レイアウト、および列の輪郭がマゼンタで表示されます。コンポーネントは青色で囲まれています。

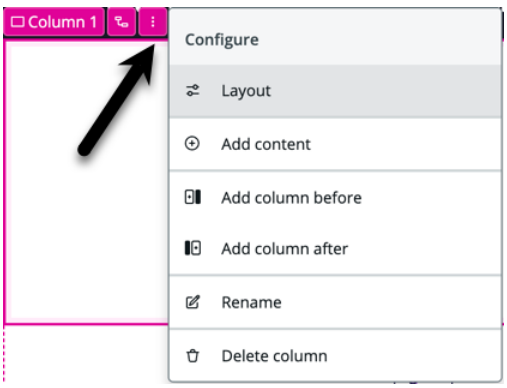
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



ツリーアイテムアイコンを使用して、コンテンツの別のレイヤーに移動します。たとえば、列が選択されている場合は、親の列レイアウトまたは列内のコンポーネントに簡単に移動できます。



列レイアウトまたはコンポーネントの複製、削除などのオプションのメニューアイコンを選択します。



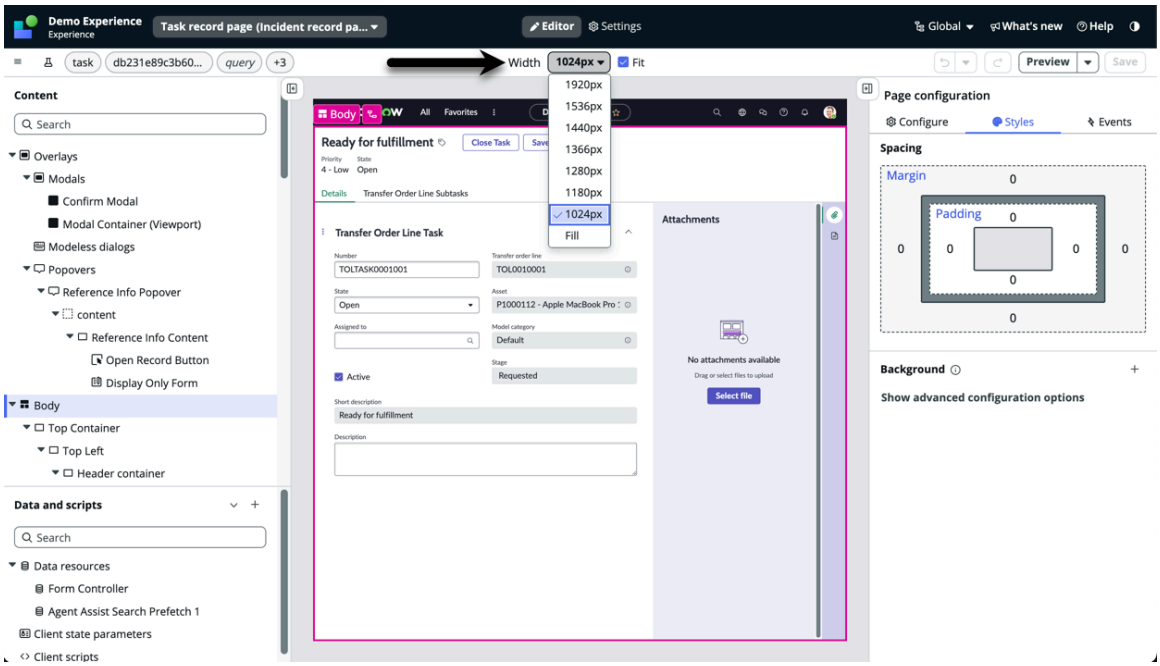
ステージで行われた変更は、右側の [スタイル] パネルに反映されます。[スタイル] パネルで変更を加えると、ステージ上の要素がすぐに更新されます。

UI ビルダーのステージのサイズを変更する

UI ビルダー エディターで [幅] ドロップダウンを選択して、ステージのサイズを調整します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

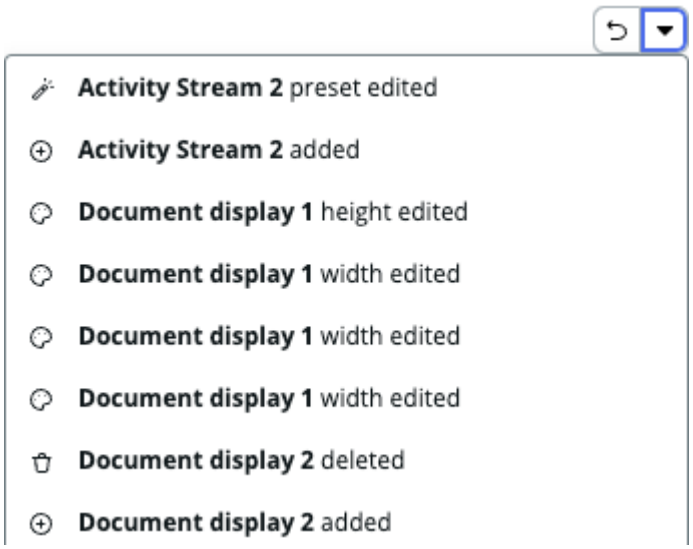


UI ビルダー で元に戻してやり直す

UI ビルダー ページに加えた変更を元に戻し、やり直します。ページレイアウト、コンポーネント、スタイル、またはレイアウトに対して行ったアクションを元に戻します。

元に戻す機能とやり直し機能は、ヘッダーツールバーにあります。[元に戻す] ( ) または [やり直し] ( ) ボタンを選択して、アクションを元に戻すことができます。[元に戻す] ドロップダウンをクリックして、複数のステップを戻すこともできます。データシェルフで行われた変更を元に戻したり、やり直したりすることはできません。

[元に戻す] ドロップダウンを選択すると、前の 20 のアクションを元に戻すことができます。



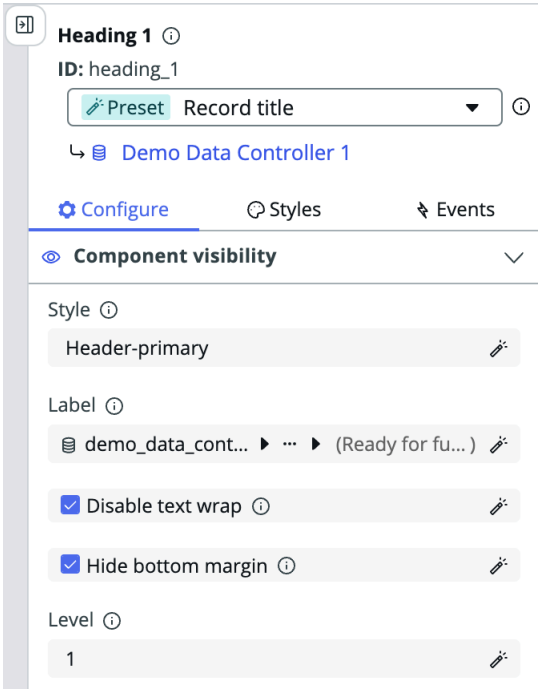
UI ビルダー構成パネル

構成パネルを使用して、配置、スタイリング、イベントハンドラーの設定などの、コンポーネントの操作を行います。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

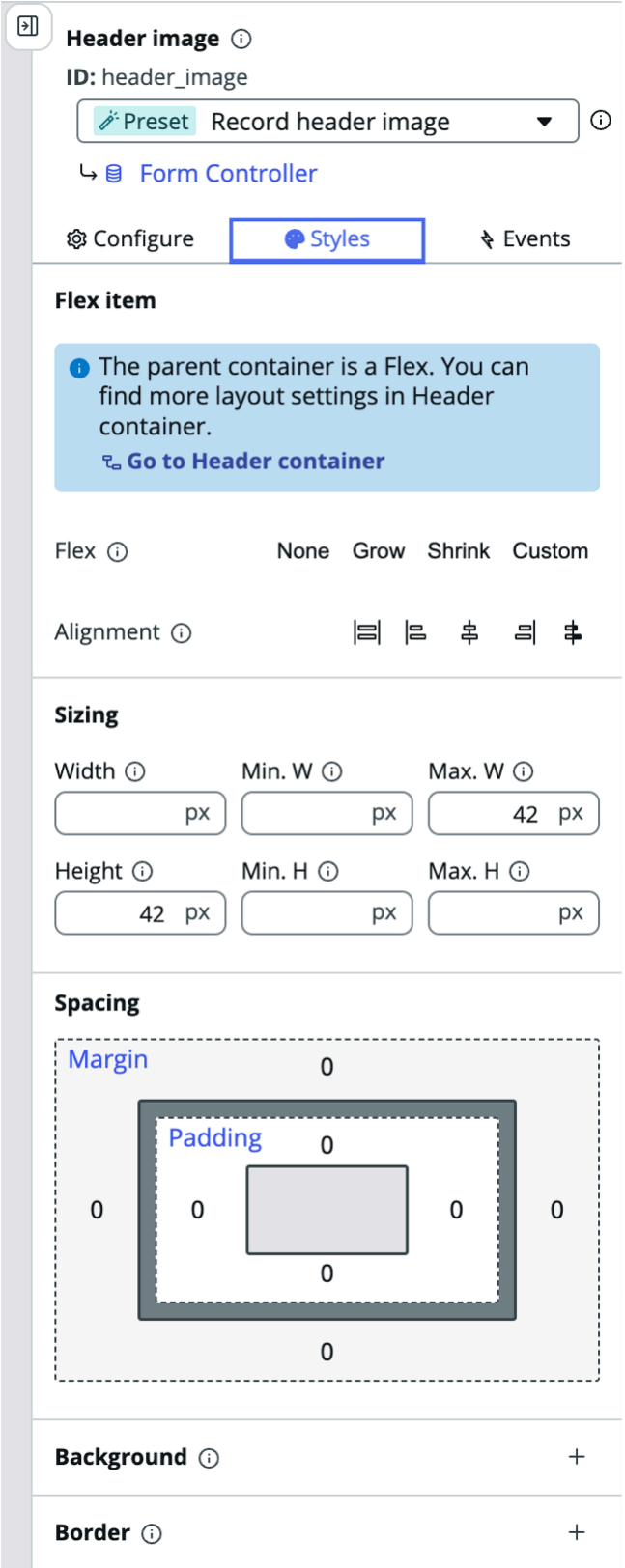
- [構成] タブを選択してコンポーネントを構成します。各コンポーネントには、コンポーネントの必要な部分を制御できるさまざまな構成オプションがあります。たとえば、ボタンコンポーネントはシンプルで、外観、ラベル、および一部のプロパティのみを構成できます。リストコンポーネントはより複雑で、多数の編集可能なリストパラメーターが含まれています。



- 構成パネルの [スタイル] タブを選択して、コンポーネントにスタイリングを追加します。標準ベースのカスケードスタイルシート (CSS) を使用して、コンポーネントの表示スタイルを変更できます。たとえば、背景色、境界線、またはその他の CSS スタイルを追加または変更します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

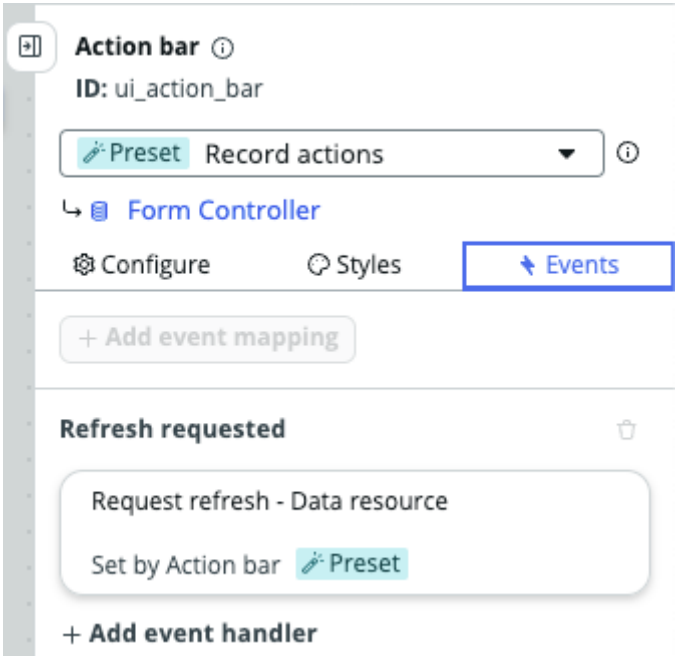


詳細については、「コンポーネントのデフォルトの外観を変更する」を参照してください。

- [イベント] タブを選択して、イベントを構成し、コンポーネント、ページ、データリソース、および宣言アクションにアクションを追加します。コンポーネントを UI ビルダー ページに追加したときには、アクションを実行するようには構成されません。たとえば、ボタンコンポーネントは静的であり、レコードの削除など、イベントアクションをバインドするまでは何も実行されません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

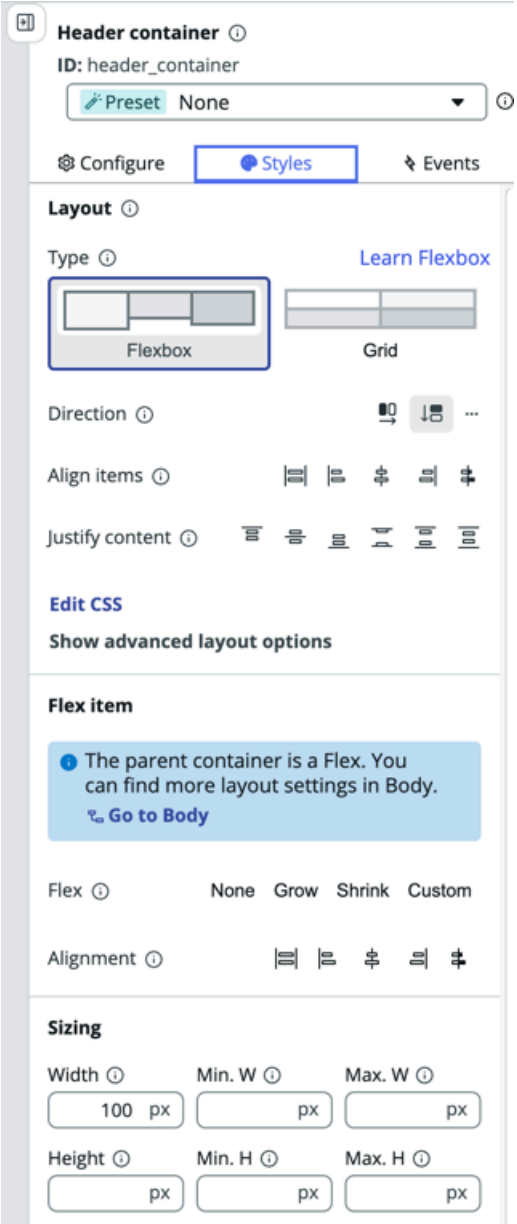


詳細については、「「Manage actions in UI Builder pages (UI ビルダーページでのアクションの管理)」」を参照してください。

- 列レイアウトは、コンポーネントがページ上でどのように配置されるかを制御します。列レイアウトを UI ビルダー ページに追加すると、レイアウトデザインを構成できます。レイアウトの列にコンポーネントを追加すると、より高度な方法で要素を構成できます。たとえば、コンテンツの両端揃え、アイテムの配置、さらに列レイアウト、列、およびコンポーネントの高さ、幅、マージン、背景、境界線、およびパディングの設定を行うことができます。CSS グリッドは最も強力なレイアウトシステムです。CSS グリッドは 2 次元グリッド上にビルドされているので、ページの作成方法を自由に選択できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



詳細については、「UI ビルダーページでコンポーネントを整理する」を参照してください。

UI ビルダー ページを開いてプレビューする

UI ビルダー ページをプレビューして、ページが Web ページとしてどのように表示されるかを確認します。

Preview ボタンを選択し、モーダル、ビューポート、コンポーネント、データリソース、動的データなどの現在作業しているバリアントをテストします。ページバリアントをプレビューすると、エクスペリエンスのビルド中にその外観と機能を確認するのに役立ちます。

ページをプレビューするもう 1 つの方法は、サーバーから URL パスを要求することです。ユーザーがページを開いたときにバリアントが表示される場合は、この方法を使用してテストします。[プレビュー] の横にあるドロップダウン矢印を選択し、**[URL** パスを開く] Preview Open URL path を選択します。または [プレビュー] **> [URL** パスを開く] Open URL path を選択します。

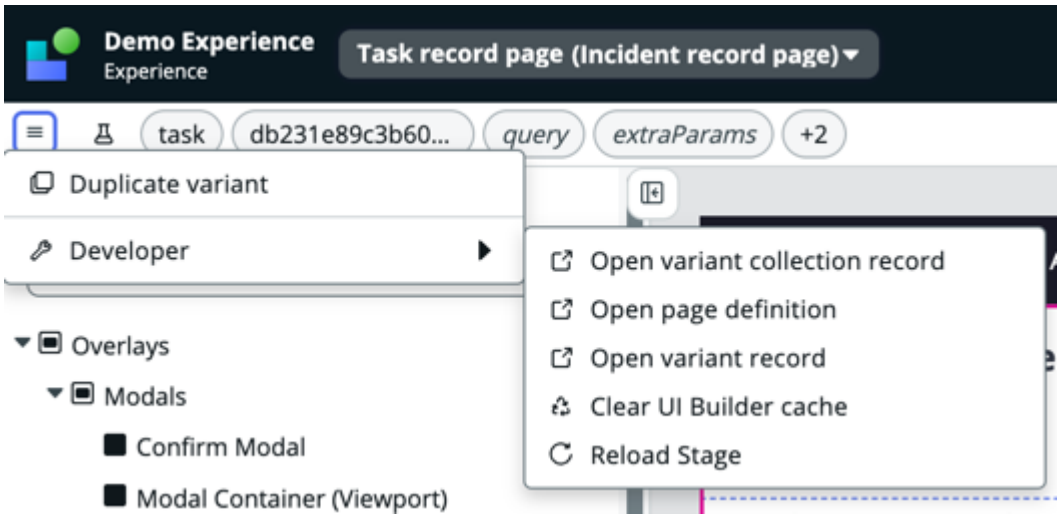
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

詳細については、「UI ビルダー エクスペリエンスを表示およびテストする方法を学ぶ」を参照してください。

UI ビルダーの開発者による編集

メニューから、プラットフォームの開発者として UI ビルダー ページを編集します。このオプションを使用すると、ページのプラットフォームレベルの詳細を変更し、UI ビルダー から出ることができます。開発者としての適切なロールが必要です。



UI ビルダー でのページの作成

ポータル、ワークスペース、またはカスタムアプリケーションのページを UI ビルダー で作成して、ユーザーの Web エクスペリエンスをビルドします。

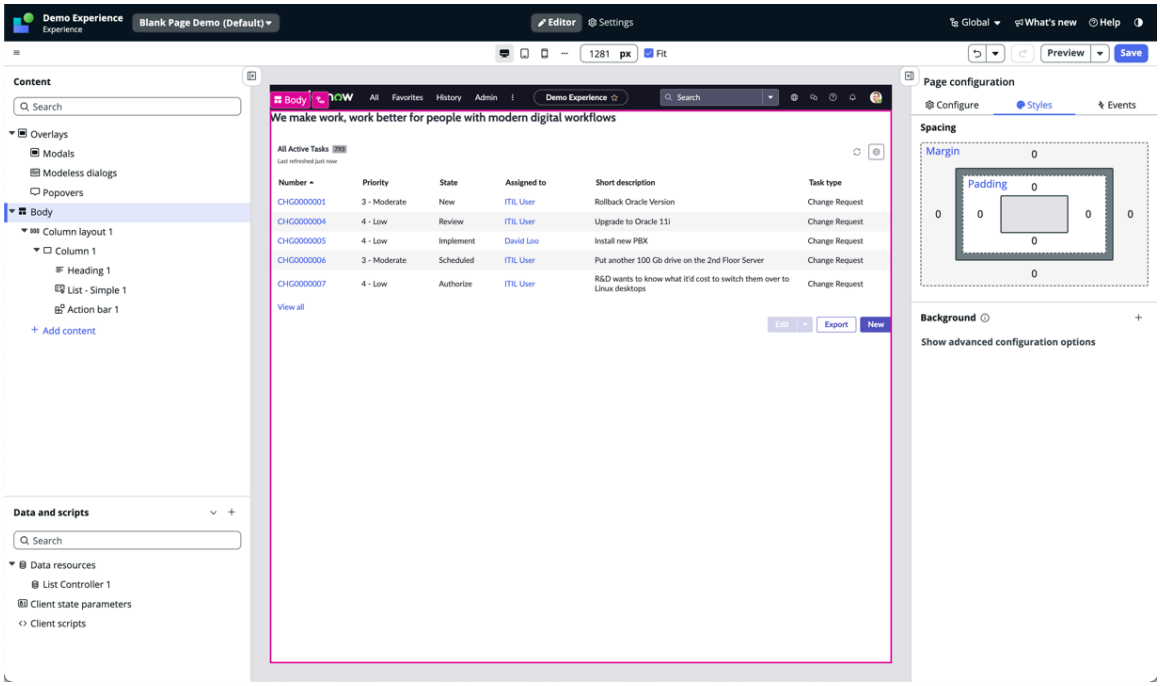
始める前に
必要なロール：ui_builder_admin

このタスクについて
ページには、ワークスペース、ポータル、またはカスタムアプリケーションユーザーインターフェイス (UI) を構成するコンポーネントのコレクションがあります。

自動翻訳

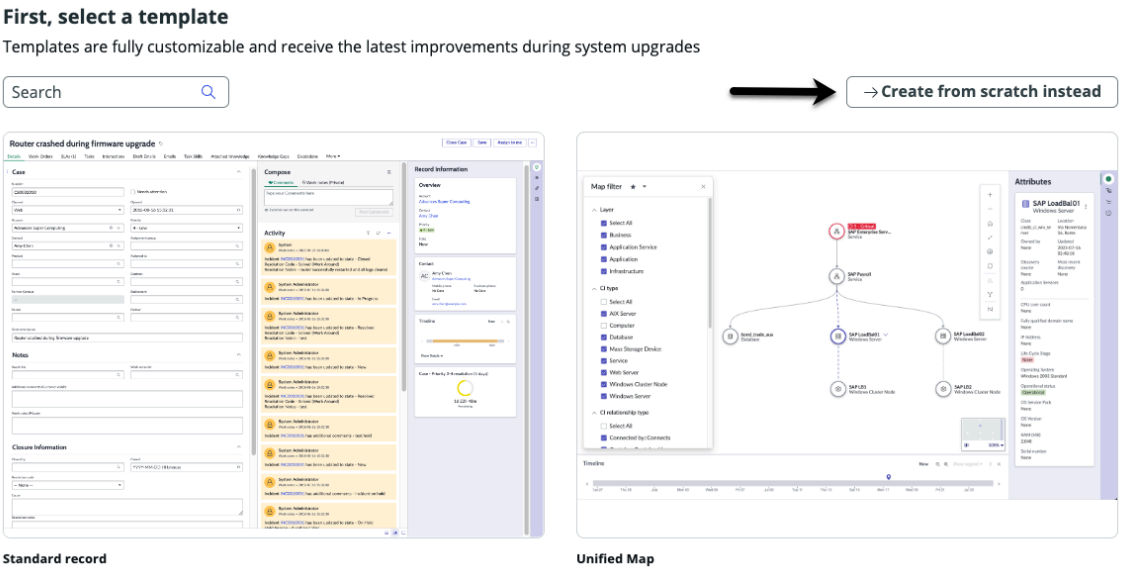
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

UI ビルダー



手順

1. 移動先 すべて > **Now Experience** フレームワーク > **UI** ビルダー.
2. 作業するエクスペリエンスを開くか、選択してエクスペリエンスを作成します 作成 > エクスペリエンス.
   エクスペリエンスの作成の詳細については、「UI ビルダー でユーザーがアプリケーションをどのように操作するかを構成する」を参照してください。
3. 画面中央にある [新規ページの作成] を選択します。
4. [代わりに最初から作成します] を選択します。



ページテンプレートを使用してページを作成することもできます。詳細については、「テンプレートからのページの作成」を参照してください。

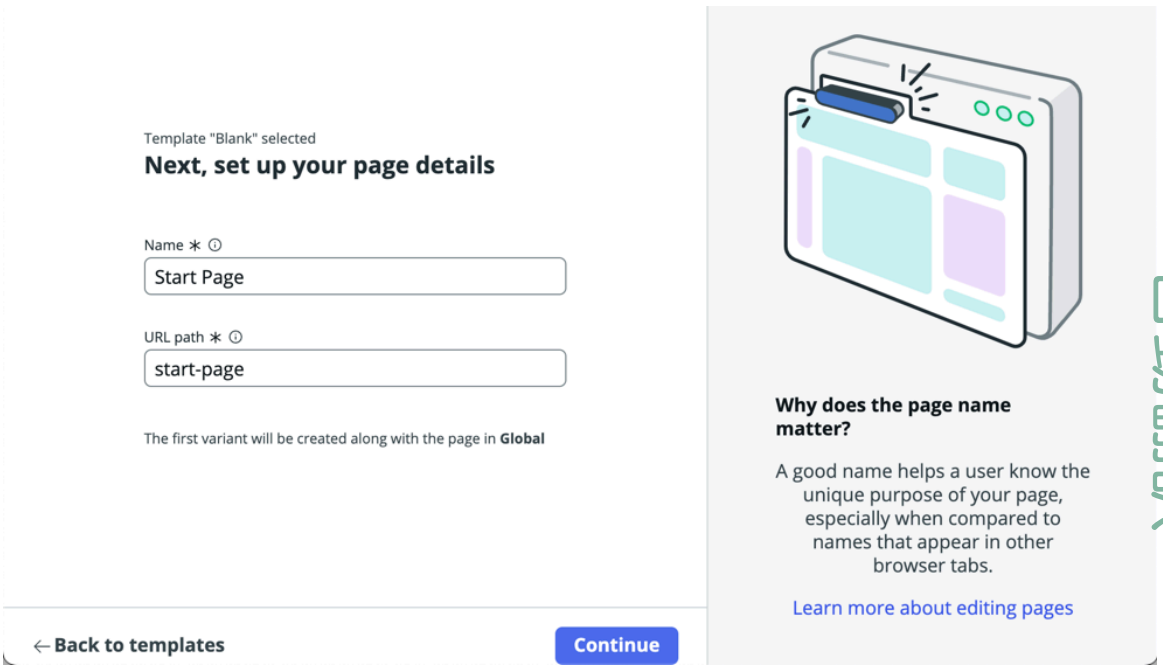
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

> **注:**
> Xanadu Store Release 1 では、新しい UI ビルダー ページを最初から作成するときに、レスポンシブオーサリングを使用できます。レスポンシブオーサリングは、既存のページまたはテンプレートで作成されたページでは使用できませんが、これらのタイプのページでは、既存のデフォルトのリフローモデルが引き続き使用されます。詳しくは、「Responsive authoring (レスポンシブオーサリング)」を参照してください。

5. [名前] フィールドにページの一意の名前を入力します。
6. **[URL** パス] フィールドにページのパスを指定します。UI ビルダー は、前のステップで指定した名前に基づいてデフォルトのパスを生成します。

   デフォルトのパスは、ページ名に基づいて追加されます。独自のパスを作成することもできます。パスは必須で、一意になっている必要があります。パスには数字 (0 ～ 9)、文字 (A ～ Z、a ～ z)、およびいくつかの特殊文字 (「-」、「.」、「_」、「~」) を含めることができ、語の間はスラッシュまたはハイフンで区切られます。**[URL** プレビュー] にはページのパスが表示されます。



> **注:**
> アプリケーションスコープのデフォルトは、ユーザーが ServiceNow AI Platform® 内で現在存在しているスコープです。アプリケーションスコープの詳細については、「セキュリティとロールについて学習する」を参照してください。

7. [続行] を選択します。
8. ページの URL に必須パラメーターを追加します。

   a. **[+** 追加] をクリックします。

   b. ページの必須パラメーターを入力します。
   必須パラメーターは、sys_id、テーブル、クエリなどのページに必要なデータです。必須パラメーターは、必須パラメーターの値にバインドできるため、コンポーネントに役立ちます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

詳細については、「UI ビルダー ページとページのバリアントを管理」を参照してください。

9. オプション: ページの URL にオプションのパラメーターを追加します。

   a. **[+** 追加] をクリックします。

   b. ページのオプションのパラメーターを入力します。
   必須パラメーターとは異なり、オプションのパラメーターは、常に、指定された順序に関係なく機能する名前と値のペアです。

詳細については、「UI ビルダー ページとページのバリアントを管理」を参照してください。

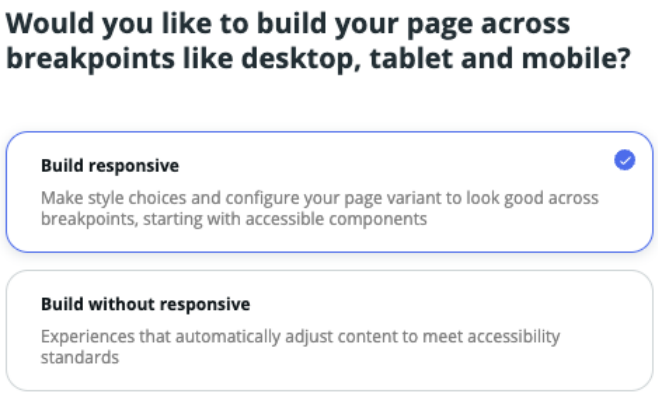
10. [よさそうです]を選択します。
11. ページバリアントの名前を入力します。
フォームには自動的に [デフォルト] が含まれますが、ページバリアント名を編集できます。
12. オプション: このページの対象者を 1 人以上追加します。
必要な対象者がリストにない場合は、[プラットフォームで対象者を開く] リンクを選択して作成できます。
13. オプション: 用意されているドロップダウンメニューを使用するか、エンコードされたクエリ文字列を記述して、ページを表示するタイミングに関する条件を宣言します。

    (Optional) エンコードされたクエリの記述の詳細については、「Encoded query strings」を参照してください。

14. **[Continue** (続行)] を選択します。
15. [レスポンシブをビルド] オプション (デフォルト) を選択して、さまざまな画面フォームファクターでのページの表示方法をより詳細に制御するか、[レスポンシブなしでビルド] を選択して自動調整を行います。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



詳しくは、「Responsive authoring (レスポンシブオーサリング)」を参照してください。

16. [作成] を選択して空白のページを作成します。
ページがエディタービューで開くので、レイアウトやコンポーネントなどのコンテンツの追加を開始できます。詳細については、「コンポーネントを使用した UI ビルダー ページのカスタマイズ」を参照してください。

テンプレートからのページの作成

テンプレートを使用して、事前定義されたページテンプレートに基づいてページを作成します。ページテンプレートは、ページをより迅速に作成し、エクスペリエンス内でページの一貫性を維持するのに役立ちます。ページテンプレートには、コンポーネント、データリソース、およびレイアウトが含まれる場合があります。

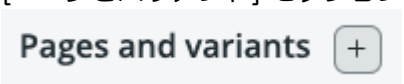
このビデオでは、次の手順を実行する方法を紹介します。 このビデオでは、UI ビルダーエクスペリエンス内でテンプレートからページを作成する方法を説明します。

始める前に
必要なロール：ui_builder_admin

このタスクについて
エクスペリエンスでページを作成するときに、ページテンプレートを選択します。テンプレートからページを作成した後に、必要に応じてページをカスタマイズできます。ページテンプレートには、コンポーネントプリセットで使用できるコントローラーが含まれています。詳細については、「コントローラーを使用した UI ビルダー ページへのデータのバインド (高度な機能)」を参照してください。

手順

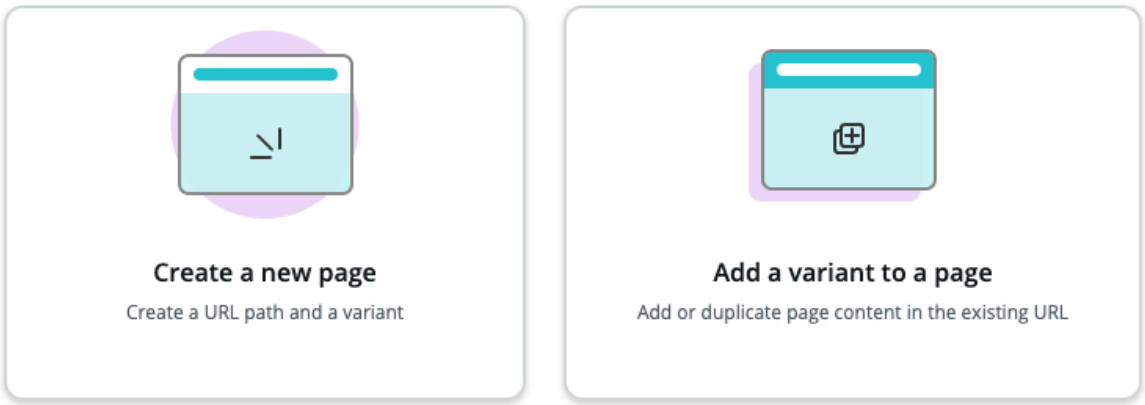
1. 移動先 すべて > **Now Experience** フレームワーク > **UI** ビルダー.
2. 作業するエクスペリエンスを開くか、選択してエクスペリエンスを作成します 作成 > エクスペリエンス.
エクスペリエンスの作成の詳細については、「UI ビルダー でユーザーがアプリケーションをどのように操作するかを構成する」を参照してください。
3. [ページとバリアント] セクションで **[+]** アイコンを選択します。



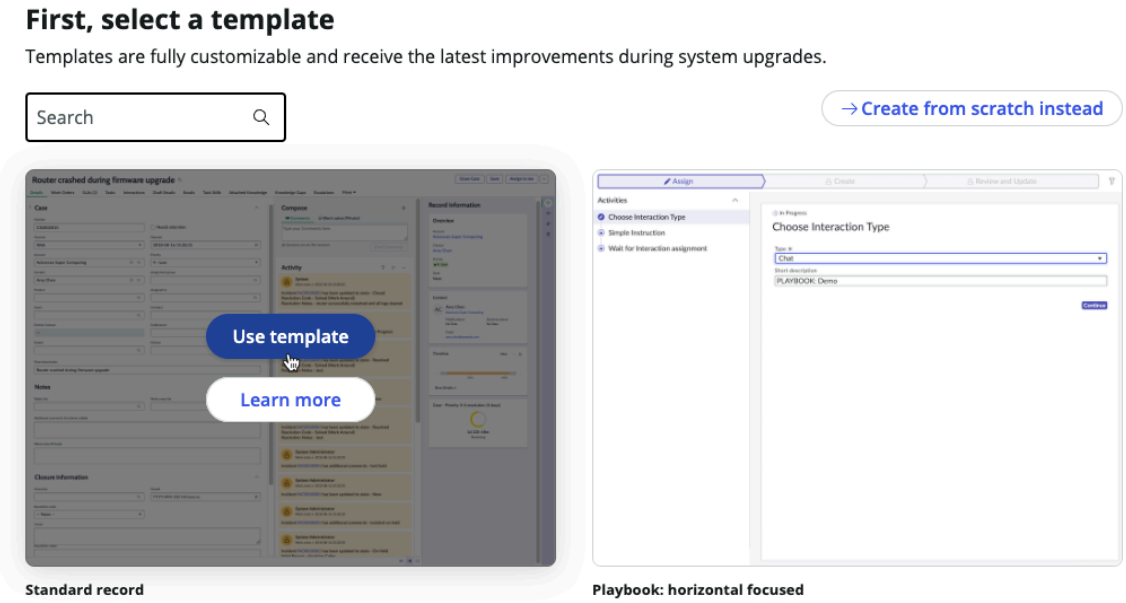
4. [新規ページの作成] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



5. 使用するテンプレートを指定する際は、[テンプレートを使用] を選択します。

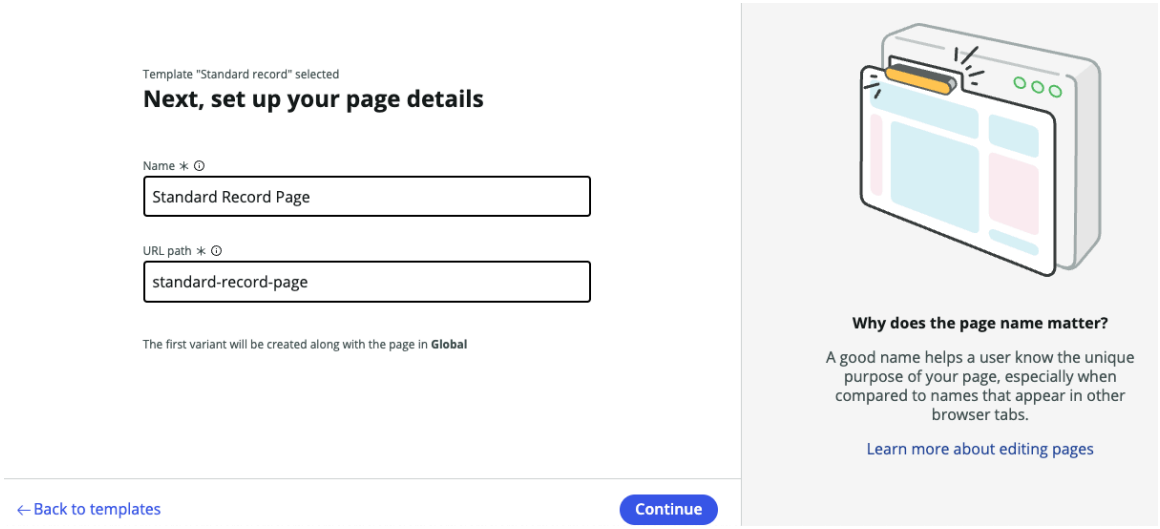


6. [名前] フィールドにページの一意の名前を入力します。
7. [パス] フィールドにページのパスを指定します。UI ビルダー は、前のステップで指定した名前に基づいてデフォルトのパスを生成します。

   デフォルトのパスは、ページ名に基づいて追加されます。独自のパスを作成することもできます。パスは必須で、一意になっている必要があります。パスには数字 (0 ～ 9)、文字 (A ～ Z、a ～ z)、およびいくつかの特殊文字 (「-」、「.」、「_」、「~」) を含めることができ、語の間はスラッシュまたはハイフンで区切られます。**[URL** プレビュー] にはページのパスが表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



注:
アプリケーションスコープのデフォルトは、ユーザーが ServiceNow AI Platform® 内で存在しているスコープです。アプリケーションスコープの詳細については、「セキュリティとロールについて学習する」を参照してください。

8. [続行] を選択します。
9. テンプレートに記載されているページのパラメーターを確認します。
必須およびオプションのページパラメーターの詳細については、ServiceNow 開発者 Web サイトの「ページパラメーターの追加」を参照してください。
10. [よさそうです]を選択します。
11. ページバリアントの名前を入力します。
最初に作成するバリアントには、デフォルトで [デフォルト] という名前が付けられます。
12. このページの対象者を 1 人以上追加します。
必要な対象者がリストにない場合は、[プラットフォームで対象者を開く] リンクを選択して作成できます。
13. オプション: 用意されているドロップダウンメニューを使用するか、エンコードされたクエリ文字列を記述して、ページを表示するタイミング (このバリアント) に関する条件を宣言します。

    (Optional) エンコードされたクエリの記述の詳細については、「Encoded query strings」を参照してください。
14. [作成] を選択して、テンプレートからページを作成します。
作成したページは、エクスペリエンスの [ページとバリアント] セクションに表示されます。[エディター] を選択して、ページへのコンポーネントの追加を開始します。詳細については、「コンポーネントを使用した UI ビルダー ページのカスタマイズ」を参照してください。

従来のテンプレートからのページの作成

従来のページテンプレートを使用して、ワークスペースまたはポータルのページに対して、ページ定義 (レコード、リストページなど) を再利用します。

このビデオでは、次の手順を実行する方法を紹介します。 このビデオでは、UI ビルダーエクスペリエンスで従来のテンプレートからページを作成する方法を説明します。

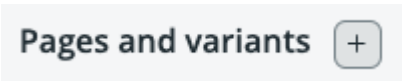
始める前に
必要なロール：admin

自動翻訳

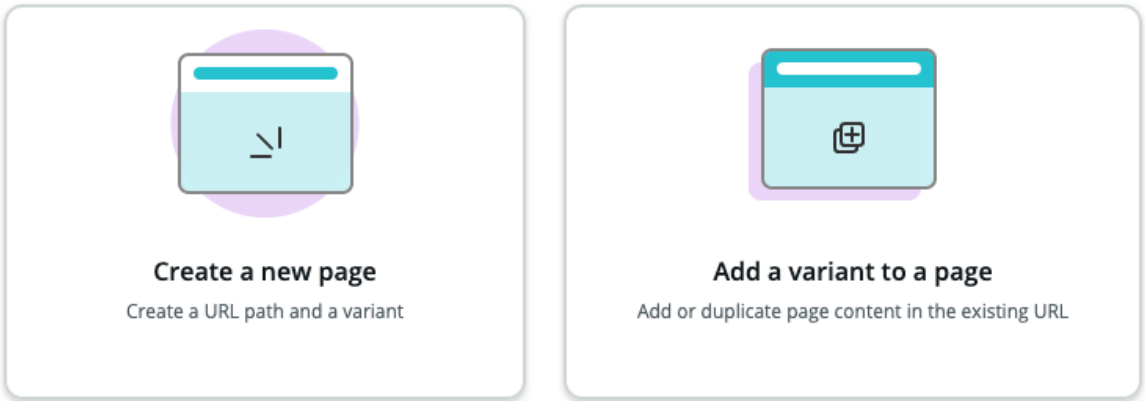
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

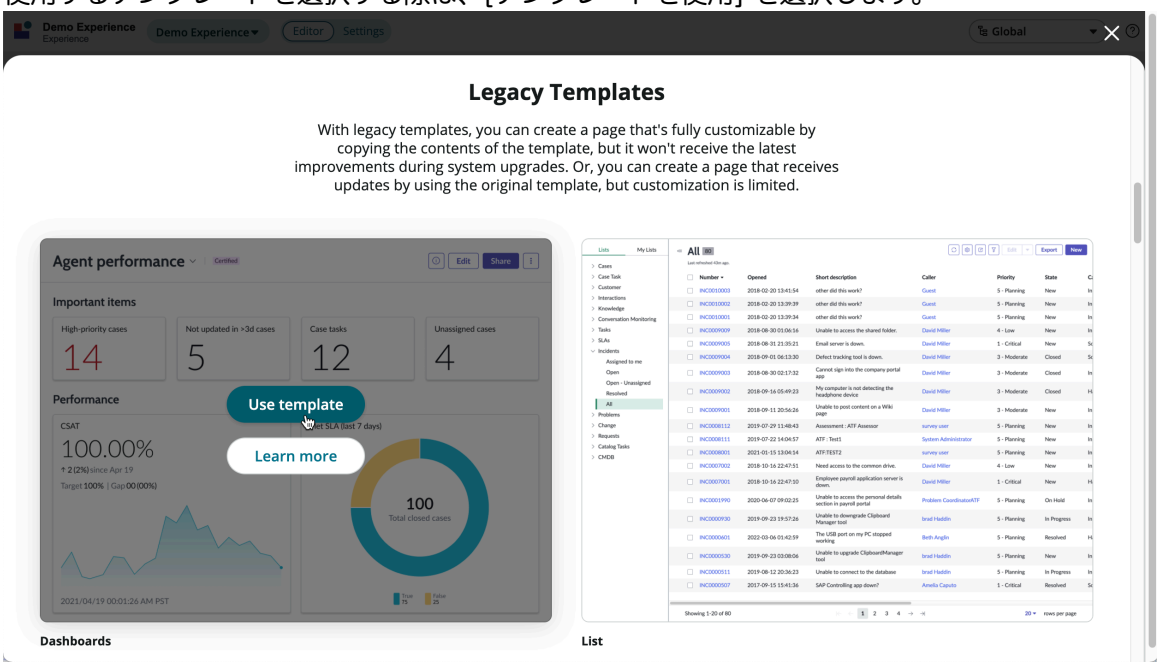
1. 移動先 すべて > **Now Experience** フレームワーク > **UI** ビルダー.
2. 作業するエクスペリエンスを開くか、選択してエクスペリエンスを作成します 作成 > エクスペリエンス.
   エクスペリエンスの作成の詳細については、「UI ビルダー でユーザーがアプリケーションをどのように操作するかを構成する」を参照してください。
3. [ページとバリアント] セクションで **[+]** アイコンを選択します。



4. [新規ページの作成] を選択します。



5. 使用するテンプレートを選択する際は、[テンプレートを使用] を選択します。

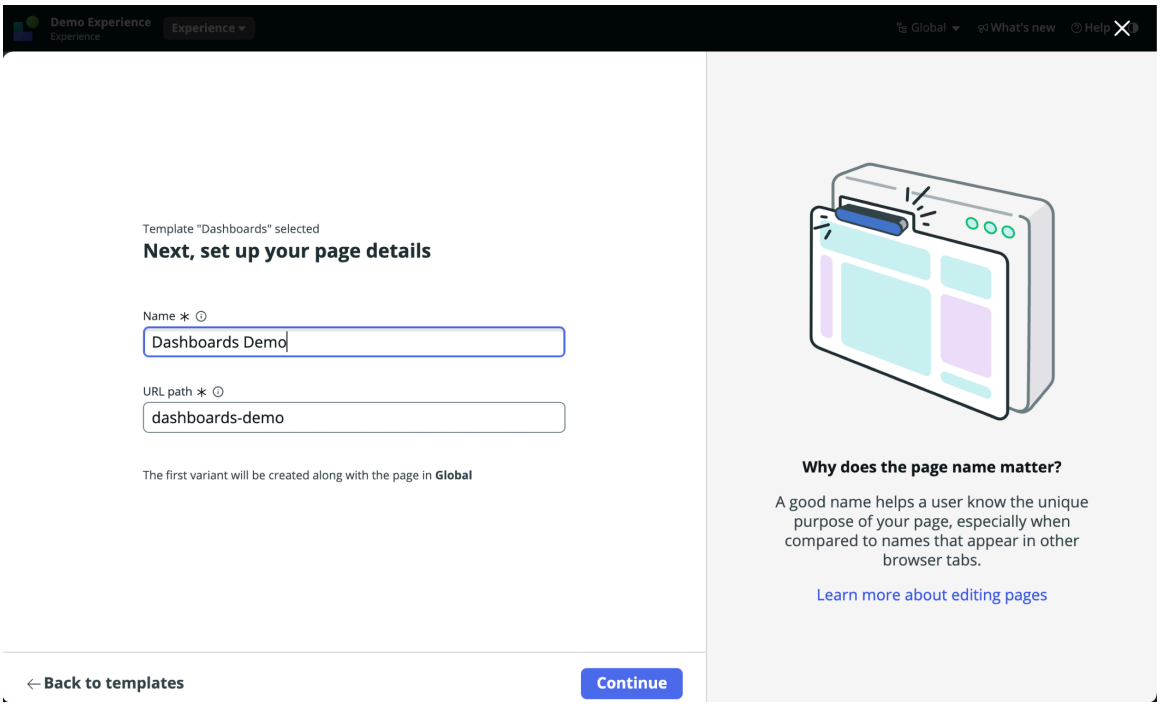


6. [名前] フィールドにページの一意の名前を入力します。
7. [パス] フィールドにページのパスを指定します。UI ビルダー は、前のステップで指定した名前に基づいてデフォルトのパスを生成します。

   デフォルトのパスは、ページ名に基づいて追加されます。独自のパスを作成することもできます。パスは必須で、一意になっている必要があります。パスには数字 (0 ～ 9)、文字 (A ～ Z、a ～ z)、およびいくつかの特殊文字 (「-」、「.」、「_」、「~」) を含めることができ、語の間はスラッシュまたはハイフンで区切られます。**[URL** プレビュー] にはページのパスが表示されます。

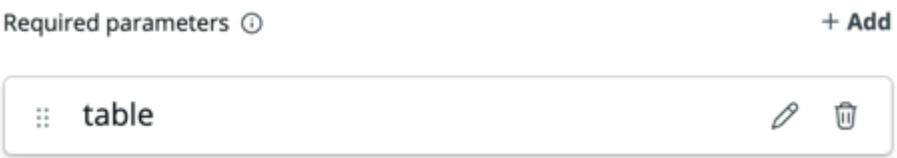
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳



注:
アプリケーションスコープのデフォルトは、ユーザーが ServiceNow AI Platform® 内で存在しているスコープです。アプリケーションスコープの詳細については、「セキュリティとロールについて学習する」を参照してください。

8. 使用する基本のページテンプレートを選択します。
テンプレートとそのデータを参照する場合は、[元のページを使用 (カスタマイズ制限あり)] を選択します。[ページのコンテンツをコピー (完全カスタマイズ済み)] を選択して、ページテンプレートのコンテンツをコピーします。ページテンプレートを参照すると、新しいリリースにアップグレードしたときにページが自動的に更新されます。ページテンプレートをコピーすると、アップグレード後にページが更新されません。
9. [続行] を選択します。
10. オプション: ページの URL に必須パラメーターを追加します。
    a. **[+** 追加] をクリックします。
    b. ページの必須パラメーターを入力します。
    必須パラメーターは、sys_id、テーブル、クエリなどのページに必要なデータです。必須パラメーターは、必須パラメーターの値にバインドできるため、コンポーネントに役立ちます。



必須およびオプションのページパラメーターの詳細については、ServiceNow 開発者 Web サイトの「ページパラメーターの追加」を参照してください。

11. オプション: ページの URL に追加したいオプションのデータを追加します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. **[+** 追加] をクリックします。

b. ページのオプションのパラメーターを入力します。
必須パラメーターとは異なり、オプションのパラメーターは、常に、指定された順序に関係なく機能する名前と値のペアです。

詳細については、「UI ビルダー ページとページのバリアントを管理」を参照してください。

12. [よさそうです]を選択します。
13. ページバリアントの名前を入力します。
フォームのページ名に、[デフォルト] が自動的に追加されます。
14. このページの対象者を 1 人以上追加します。
必要な対象者がリストにない場合は、[プラットフォームで対象者を開く] リンクを選択して作成できます。
15. オプション: 用意されているドロップダウンメニューを使用するか、エンコードされたクエリ文字列を記述して、ページを表示するタイミングに関する条件を宣言します。

(Optional) エンコードされたクエリの記述の詳細については、「Encoded query strings」を参照してください。

16. [作成] を選択して空白のページを作成します。
作成したページは、エクスペリエンスの [ページとバリアント] セクションに表示されます。[エディター] を選択して、ページへのコンポーネントの追加を開始します。詳細については、「コンポーネントを使用した UI ビルダー ページのカスタマイズ」を参照してください。

ページの編集

ページを編集して、ページ名、パス、およびパラメーターを変更します。

始める前に
必要なロール：ui_builder_admin

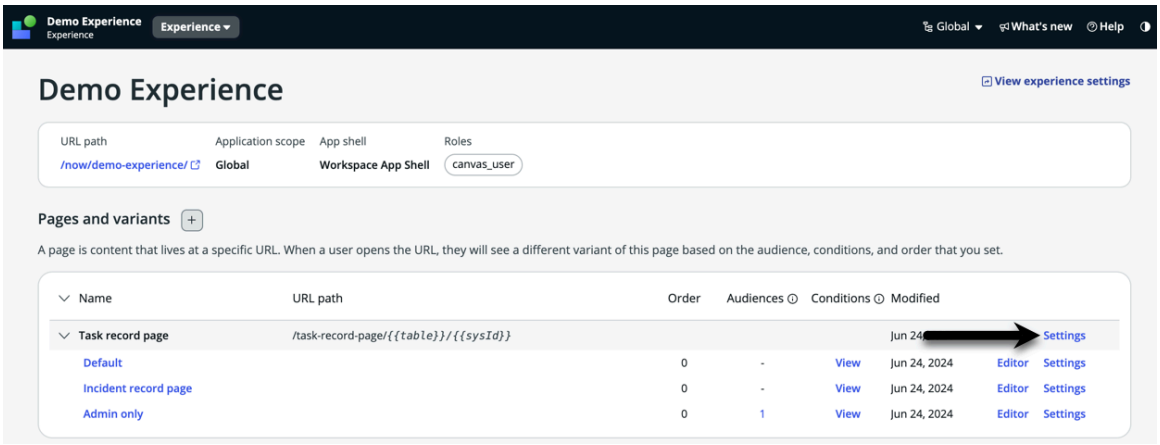
このタスクについて
ページ設定を編集して、ページの名前とパスを変更します。これは、ページの作成後に名前またはパスを変更する必要がある場合に役立ちます。ページが別のアプリケーションスコープにある場合は、元のスコープで編集できます。

手順

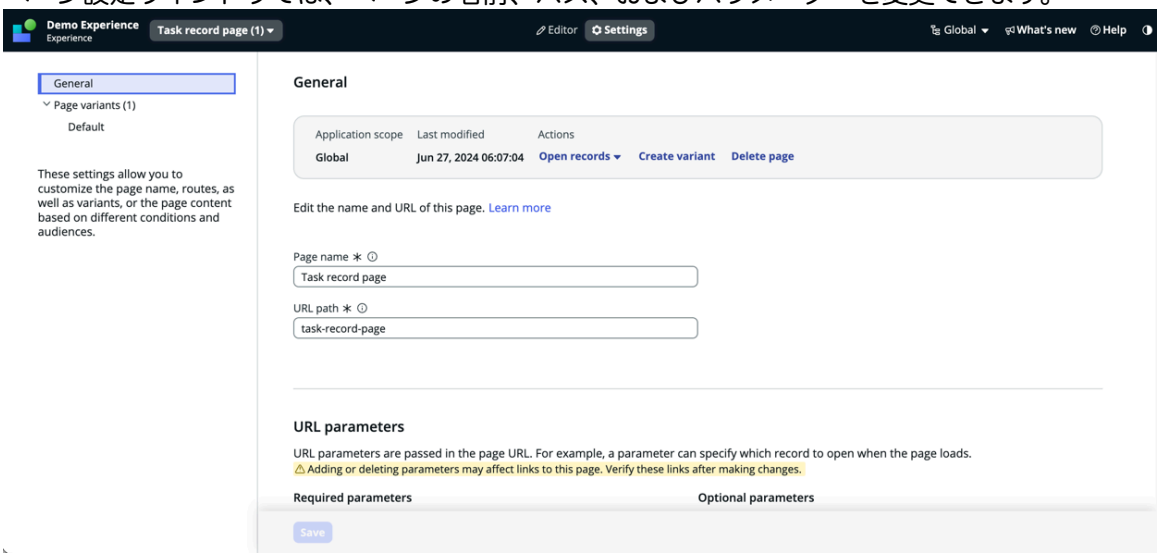
1. 移動先 すべて > **Now Experience** フレームワーク > **UI** ビルダー.
2. 編集するページを含むエクスペリエンスを開きます。
3. 編集するページの横にある [設定] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



4. ページ設定ウィンドウでは、ページの名前、パス、およびパラメーターを変更できます。



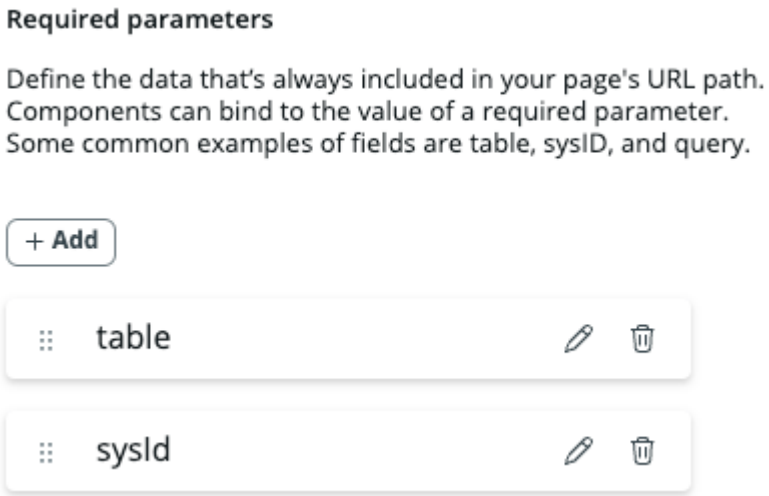
5. オプション: ページの URL に必須パラメーターを追加します。

a. **[+** 追加] をクリックします。

b. ページの必須パラメーターを入力します。
必須パラメーターは、sys_id、テーブル、クエリなどのページに必要なデータです。必須パラメーターは、必須パラメーターの値にバインドできるため、コンポーネントに役立ちます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



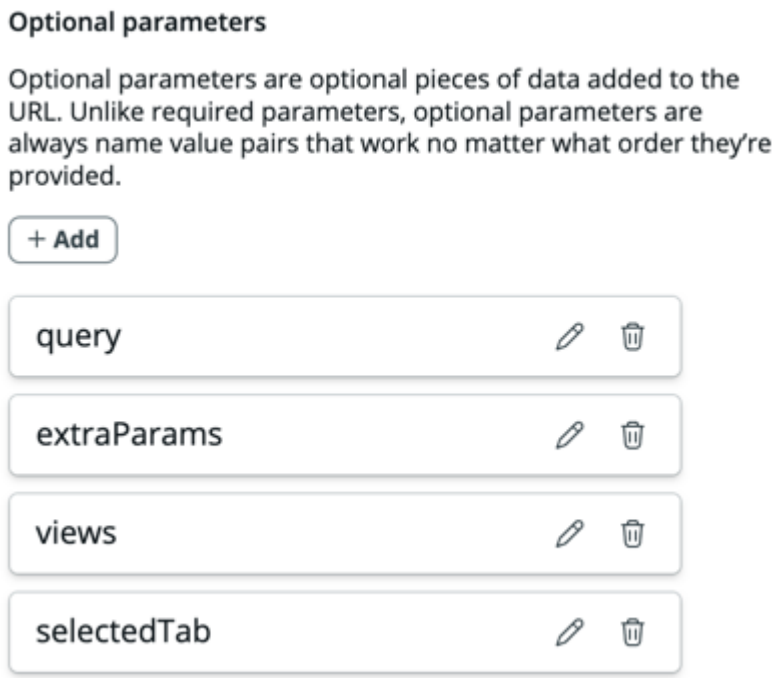
(Optional)

詳細については、「UI ビルダー ページとページのバリアントを管理」を参照してください。

6. オプション: ページの URL に追加したいオプションのデータを追加します。

   a. **[+** 追加] をクリックします。

   b. ページのオプションのパラメーターを入力します。
   必須パラメーターとは異なり、オプションのパラメーターは、常に、指定された順序に関係なく機能する名前と値のペアです。



(Optional)

詳細については、「UI ビルダー ページとページのバリアントを管理」を参照してください。

7. [保存] をクリックします。

UI ビルダー ページの対象者を追加

ページまたはページバリアントに 1 つ以上の対象者を追加します。

自動翻訳

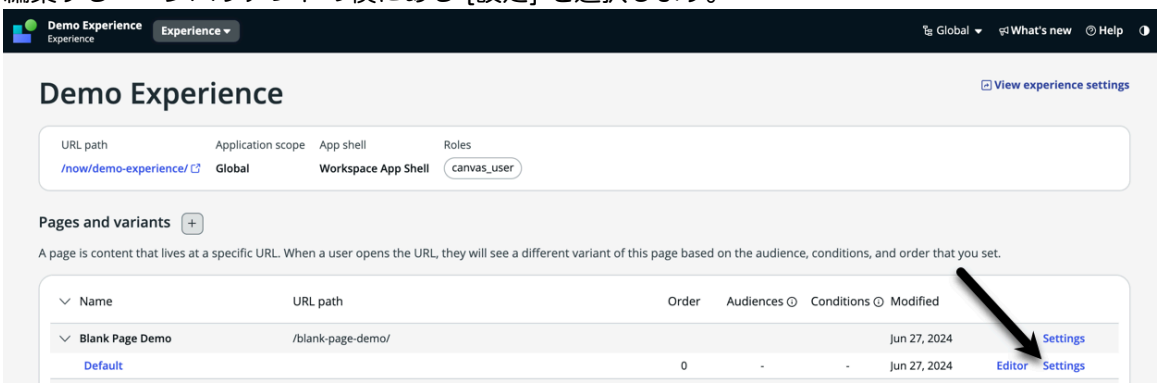
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
必要なロール：admin

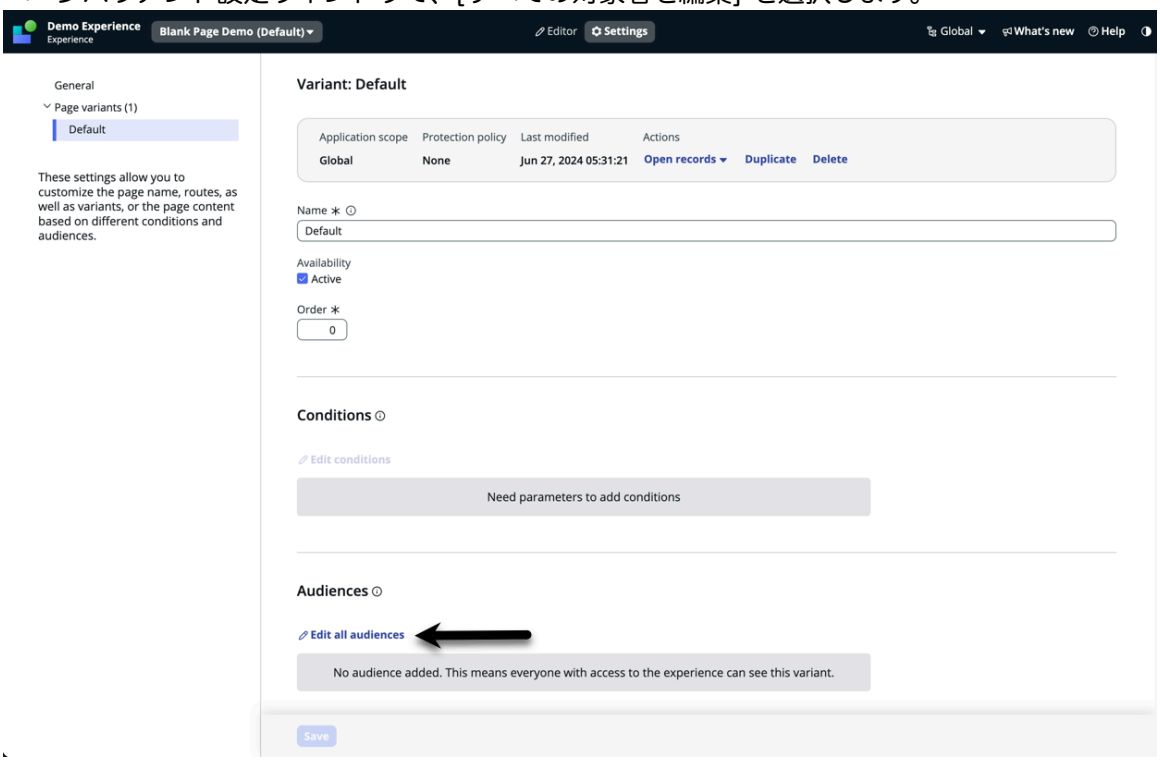
ロール、部門、グループ、場所、または会社に基づいてユーザーのアクセス権を設定するには、*glide.ux.user_criteria_enabled* プロパティを **true** に設定する必要があります。詳細については、「ユーザー基準プロパティの有効化」を参照してください。

手順

1. 移動先 すべて > **Now Experience** フレームワーク > **UI** ビルダー.
2. 編集するページを含むエクスペリエンスを開きます。
3. 編集するページバリアントの横にある [設定] を選択します。

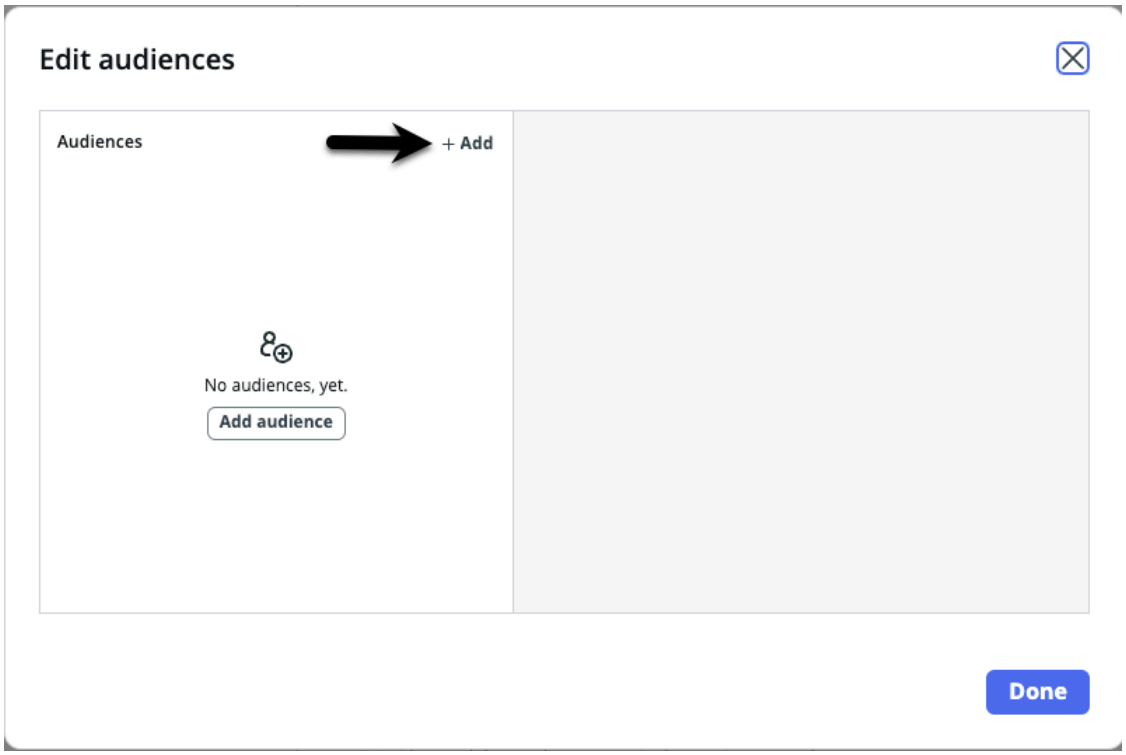


4. ページバリアント設定ウィンドウで、[すべての対象者を編集] を選択します。

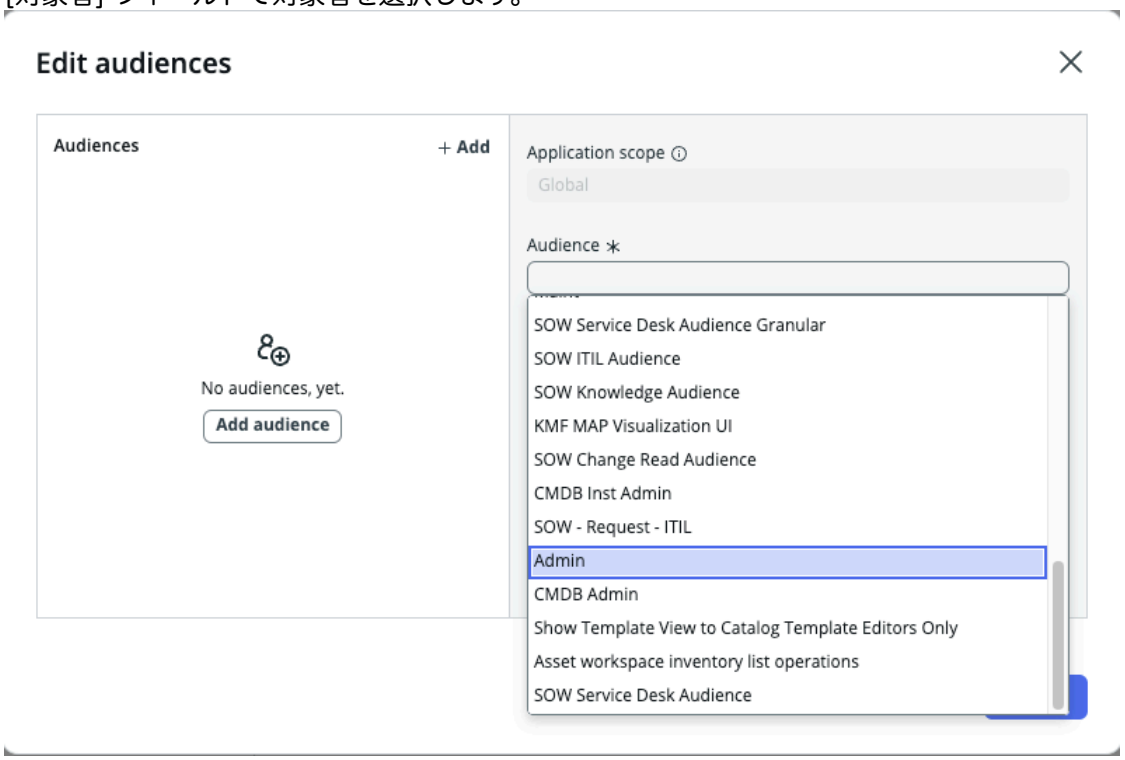


5. **[+** 追加] をクリックします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



6. [対象者] フィールドで対象者を選択します。



注:
必要な対象者がリストにない場合は、[プラットフォームで対象者を開く] リンクを選択して作成できます。

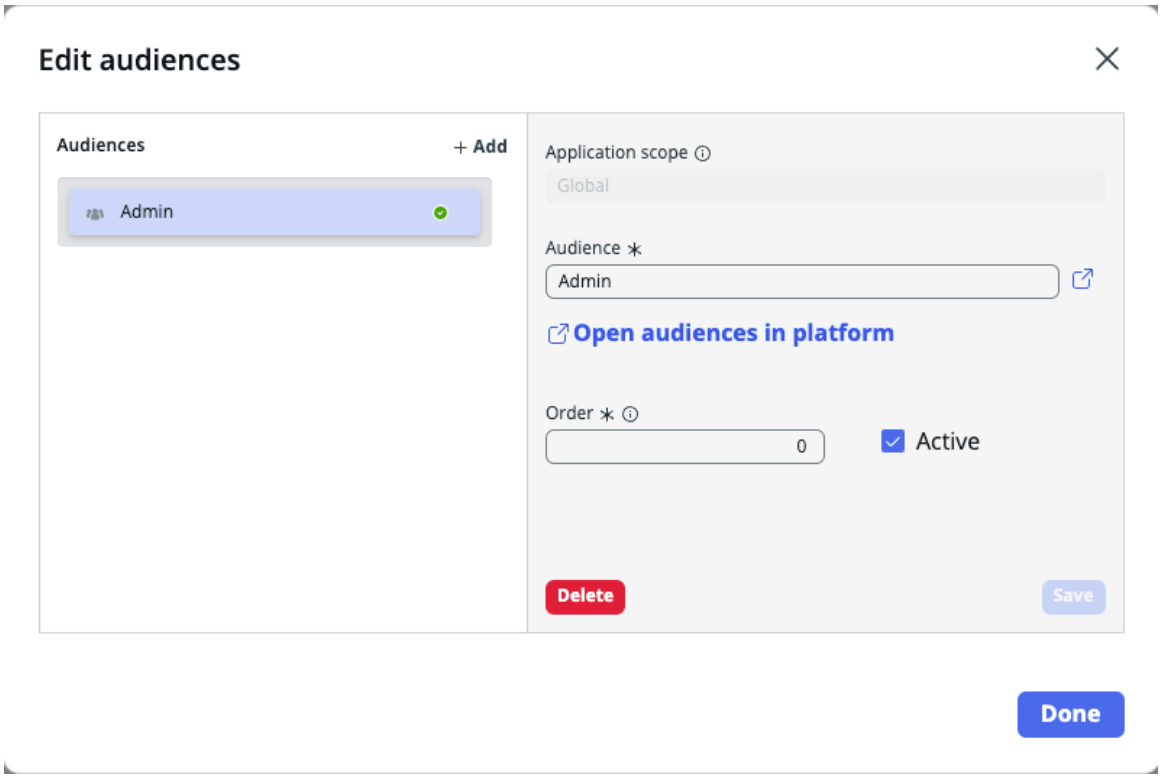
7. 対象者の順番を設定します。

注:
ある対象者の優先度を高くするには、低い数値を入力します。ユーザーが複数の対象者の 1 人である場合、優先度が最も高い対象者が採用されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

8. 対象者がページを表示できるようにする場合は、[有効] をオンにします。
9. [保存] を選択します。
   対象者が [対象者] リストに表示されます。



10. **[Done** (完了)] を選択します。

ユーザー基準プロパティの有効化

UI ビルダー でロール、部門、グループ、場所、または会社に基づいてユーザーのアクセス権を設定するには、ユーザー基準プロパティを有効にします。

始める前に

必要なロール：admin

手順

1. 移動先 すべて > **sys_properties.list**.
2. *glide.ux.user_criteria_enabled* プロパティを選択します。
3. [値] フィールドで **true** を指定します。
4. [更新] をクリックします。

次のタスク

UI ビルダー でページに対象者を追加します。詳細については、「UI ビルダー ページの対象者を追加」を参照してください。

ページ内の値をテスト

テストデータをページに取り込む方法として、テスト値を URL に追加します。

実際のデータでページをテストする方法として、テスト値を使用して必須およびオプションの URL パラメーターの値を指定します。

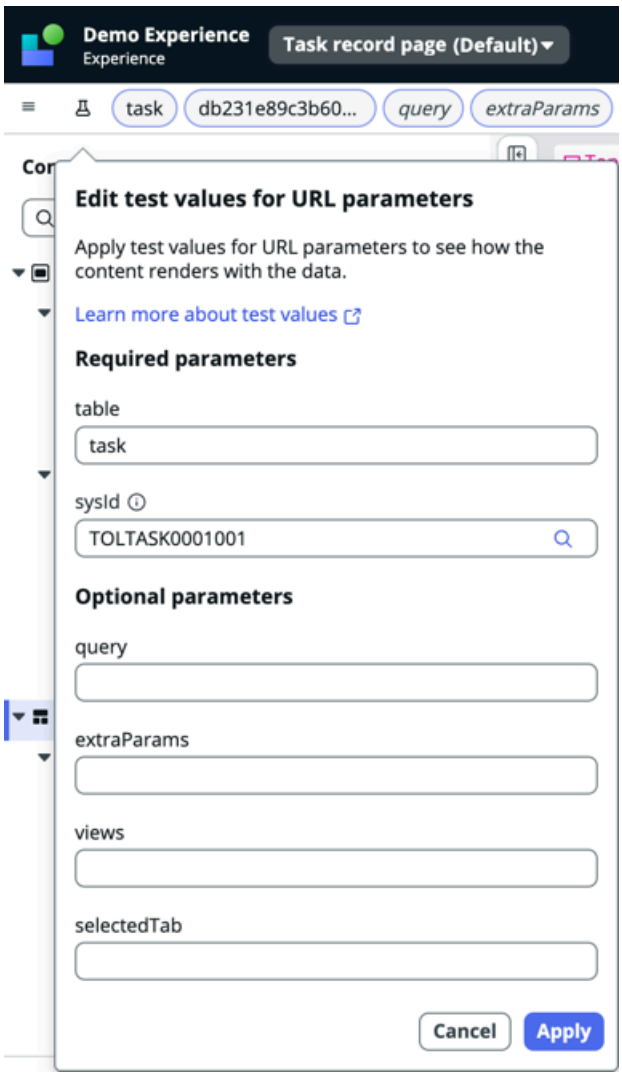
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テスト値は、ページが URL から必須またはオプションのパラメーターを取得するときの動作をシミュレートするために使用できるため、重要です。UI ビルダー URL は、ページをプレビューするときの URL と同じではありません。したがって、UI ビルダー には、プレビュー URL のさまざまな状況で、ページに何が起きるかをシミュレートする方法が必要です。

たとえば、単一レコードのフォームを表示するレコードページをビルドしているとします。レコードページをロードするには、適切なレコードを取得して表示できるように、ページの URL に <table> および <sysId> が必要です。この UI ビルダー では、ページをプレビューしたときにページがどのように表示されるかを確認できるように、table と sys_id のテスト値を指定する必要があります。

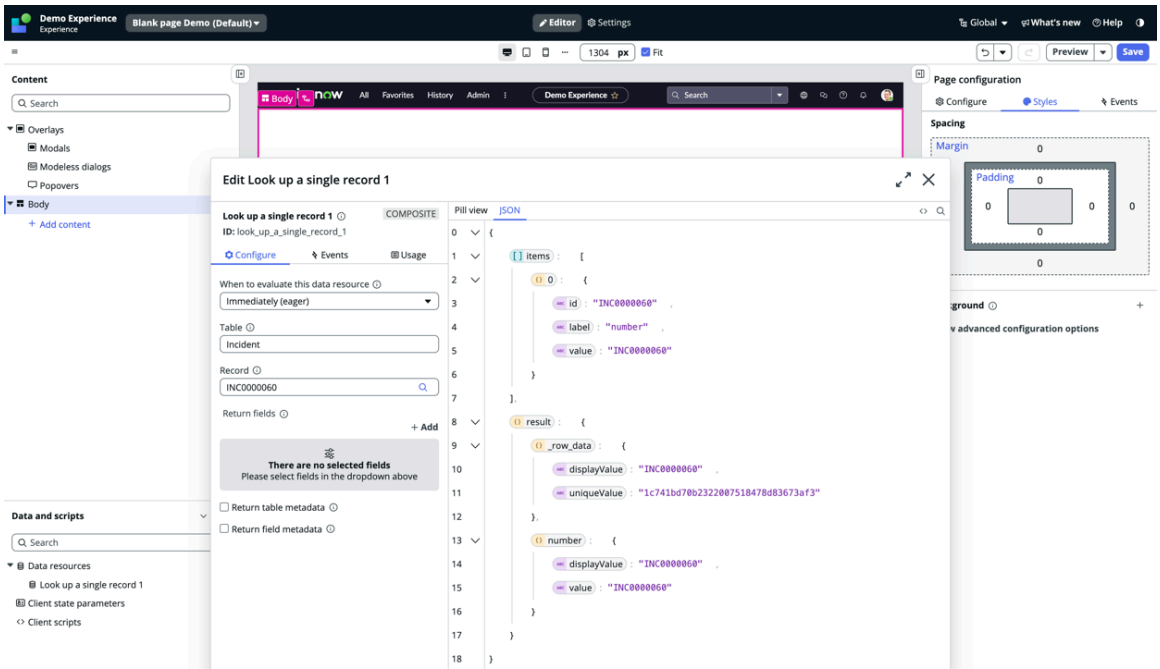
テスト値を取得してデータを表示するには、データリソースを追加してから、レコードを URL のテスト値にバインドするようにデータリソースを構成します。たとえば、incident をテスト値として追加できます。



次に、**Look Up Record** という名前のデータリソースを追加します。[テーブル] フィールドで、次の画像に示すように、インシデントテスト値を `context.props.table` テーブルに動的にバインドします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



ページバリアントの作成

UI ビルダー のページバリアントとは、ユーザー基準を使用してさまざまな対象者をターゲットにできる、同じパスにあるページのバリエーションのことです。

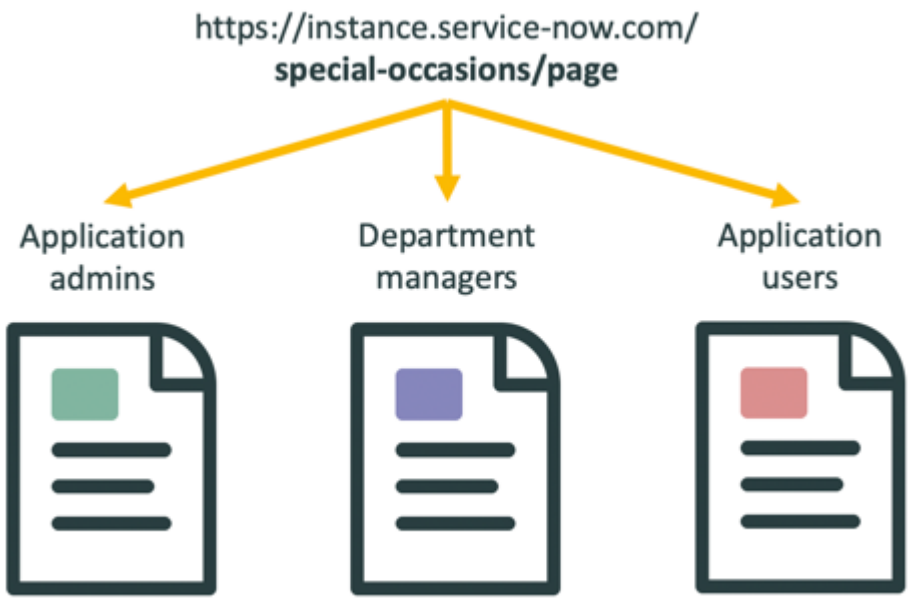
このビデオでは、次の手順を実行する方法を紹介します。 このビデオでは、ページバリアントの作成方法を説明します。

始める前に

必要なロール：ui_builder_admin

このタスクについて

UI ビルダー でページのバリアントを作成する方法を学習します。ページのバリアントは、さまざまな対象者をターゲットとしたコンテンツを含むページに基づいています。たとえば、エージェント用のホームページと、それらのエージェントのマネージャー用のページのバリアントを作成できます。このバリアントは同じ URL に存在します。



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

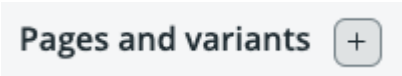
- アプリケーションアドミニストレーターに属するユーザーがページ URL にアクセスすると、アプリケーションメトリクスや使用状況の詳細など、アプリケーションアドミニストレーター固有の詳細を含むバージョンのページが表示されます。Special Occasions アプリケーションの場合、このページには、誕生日や仕事の記念日があるユーザーとそうでないユーザーの人数が表示されます。このページには、特別な機会に報告された問題の数も表示されます。

- 部門マネージャー対象者に属するユーザーがページ URL にアクセスすると、アプリケーションの部門関連情報 (誕生日や仕事の記念日が近づいている部門のユーザーや、それらのユーザーが特別な機会を共有しても問題ないかどうかなど) が表示されます。

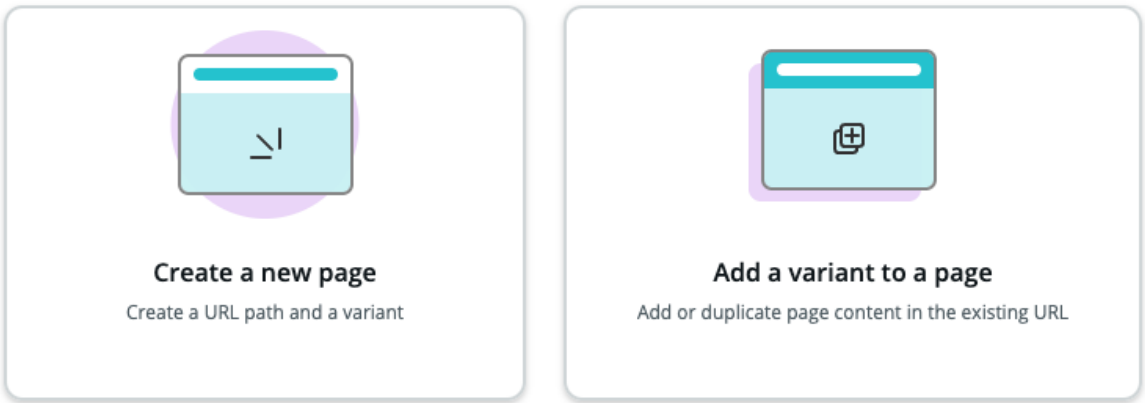
- アプリケーションユーザー対象者に属するユーザーがページ URL にアクセスすると、自分に特別な機会のあるユーザー専用バージョンのページが表示され、自分の特別な機会を他のユーザーに表示するかどうかを構成できます。

手順

1. 移動先 すべて > **Now Experience** フレームワーク > **UI** ビルダー.
2. バリアントを作成するページのエクスペリエンスを開きます。
3. [ページとバリアント] セクションで **[+]** アイコンを選択します。



4. [バリアントをページに追加] を選択します。



5. **[+** バリアントを追加] をクリックします。

6. [代わりにゼロからビルドする] をクリックするか、使用するテンプレートをポイントして [テンプレートを使用] を選択します。
7. バリアントページの名前を入力します。

   名前は、ページ名と同じ名前にも、任意の名前にもすることができます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

> **注:**
> アプリケーションスコープのデフォルトは、ユーザーが ServiceNow AI Platform® 内で存在しているスコープです。アプリケーションスコープの詳細については、「セキュリティとロールについて学習する」を参照してください。

8. [対象者を追加] を選択して、バリアントページの対象者を 1 つ以上指定します。
   対象者は、それによってページバリアントを特定のロールやグループに割り当てることができるため、重要です。必要な対象者がリストにない場合は、 [利用可能なすべての対象者を表示]を選択し、[新規] を選択して対象者を作成します。
9. 用意されているドロップダウンメニューを使用するか、エンコードされたクエリ文字列を記述して、ページを表示するタイミングに関する条件を宣言します。

   条件の宣言の詳細については、「ページバリアントの条件の制御」を参照してください。エンコードされたクエリの記述の詳細については、「Encoded query strings」を参照してください。
10. ページを最初から作成する場合は、[続行] を選択し、[レスポンシブをビルド **(Build responsive)**] オプション (デフォルト) を選択します。
11. [作成] をクリックしてページバリアントを作成します。

ページバリアントの設定を編集

ページバリアント設定を編集して、ページバリアントをユーザーに表示するタイミングを決定する条件を追加します。

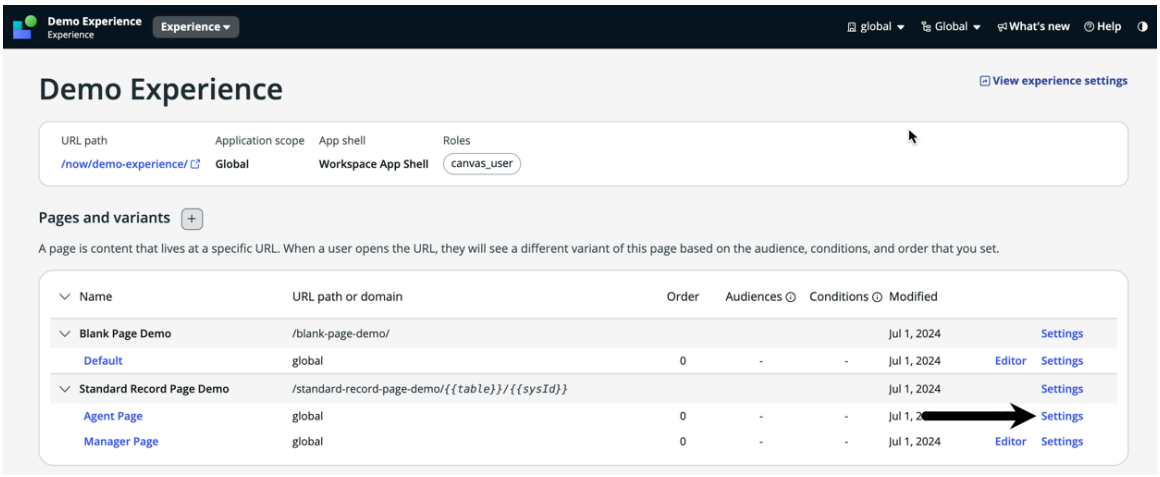
始める前に
必要なロール：admin

このタスクについて
ページバリアント設定をカスタマイズして、ページバリアントを表示するユーザーを設定します。対象者を追加および削除したり、条件を編集してページのバリアントを表示するタイミングを決定したりすることができます。条件が評価できるのは、リストされたパラメーターのみです。条件は、順序の設定、およびページのバリアントを表示するために満たす必要がある基準を設定するクエリ文字列の追加に基づいたものになります。すべてが同じ条件を持つ複数のページバリアントがある場合、バリアントはこの順序設定に従います。次のタスクは、バリアントの条件と順序を設定する方法を示しています。

手順
1. 移動先 すべて > **Now Experience** フレームワーク > **UI** ビルダー.
2. 編集するページバリアントを含むエクスペリエンスを開きます。
3. 編集するページの横にある [設定] を選択します。

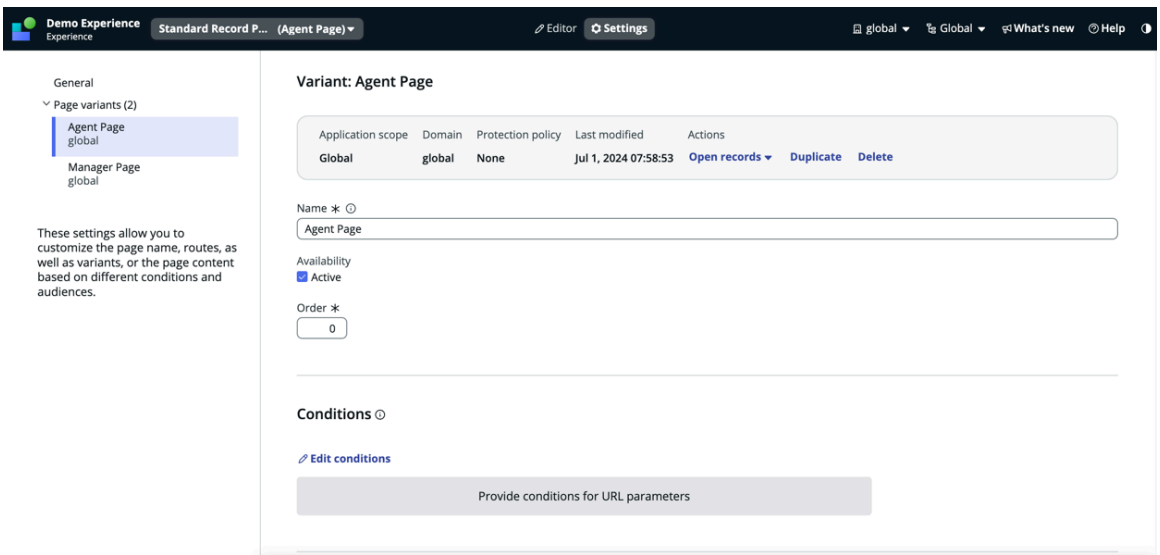
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



4. フォームのフィールドに入力します。

フィールド	説明
名前	ページのバリアントの名前を入力します。
可用性	選択した対象者がページのバリアントを表示できるようにするには、[有効] を選択します。
順番	[順番] フィールドに条件の順番を追加します。特定の条件の優先度を他よりも高くしたい場合があります。数値が小さいほど、優先度は高くなります。
条件	ページを表示するタイミングに関するルールを設定します。詳細については、「ページバリアントの条件の制御」を参照してください。
対象者	ページバリアントの対象者を追加または削除します。詳細については、「対象者について学習する」を参照してください。



5. [保存] をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ページバリアントの条件の制御

ページバリアントが表示されるタイミングを決定する条件を設定し、基準を管理します。UI ビルダー のページバリアントを使用して、さまざまなバージョンのページを作成し、特定の対象者向けにコンテンツをカスタマイズできます。

始める前に

必要なロール：ui_builder_admin

このタスクについて

すべてが同じ条件を持つ複数のページバリアントがある場合、バリアントはこの順序設定に従います。

手順

1. ページバリアントを作成します。
   詳細については、「ページバリアントの作成」を参照してください。
2. 新しいバリアントの条件を設定します。

   この例では、タスクテーブルからレコードを開いたときに表示されるページバリアントを構成します。

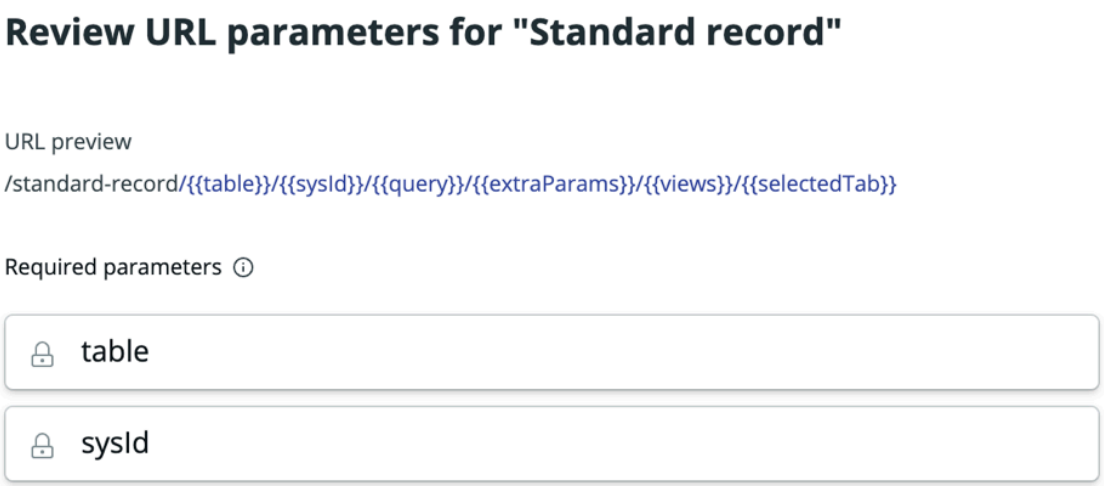
   a. [最初にテンプレートを選択してください] 画面で、[標準レコード] テンプレートを見つけて、[テンプレートを使用] を選択します。

   > **注:**
   > 条件は、追加されたパラメーターのみを評価できます。この例では、[標準レコード] テンプレートに *table* パラメーターと *sys_id* パラメーターが含まれています。

   b. ページの名前を入力し、[続行] を選択します。

   c. URL パラメーターを確認し、[問題なし] を選択します。

   table と *sysId* が必須パラメーターとして追加され、URL プレビューに表示されます。



   d. [バリアントについて教えてください] 画面で、バリアントの名前を入力します。

   e. [フォーム] セクションで、フィールドに入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

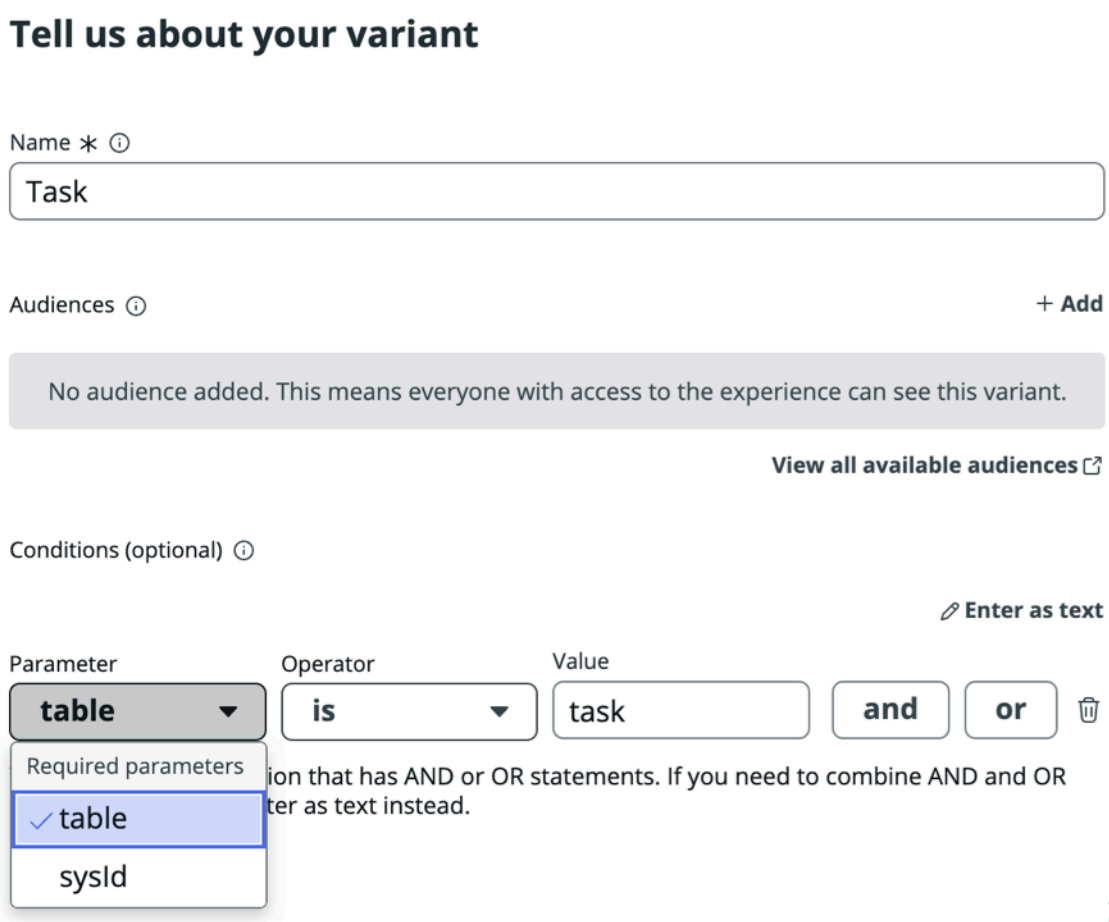
バリアントの条件フォームセクション

フィールド	説明	例
パラメーター	確認するアスペクトまたは属性。	*table*、*sys_id* **注:** 条件は追加されたパラメーターのみを評価できます。ただし、サブページ用に記述された条件は、親ページコントローラーから追加の出力を継承し、より広い範囲のパラメーターオプションを提供します。
演算子	パラメーターと値を比較するルール。比較がどのように行われるかを示します。	**is**、**is not**、**starts with**
値	パラメーターと比較する数値、テキスト、またはオプション入力。	"Incident"、"12345"、"Active"、"Change Request"

注:
table パラメーターと *sysId* パラメーターは、[標準レコード] テンプレートの一部として必須のパラメーターのため、[パラメーター] フィールドで使用できるオプションです。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



f. [作成] を選択します。

3. バリアントに対して作成された条件を確認します。

a. [エクスペリエンス] ビューで、条件を表示するバリアントを見つけます。

b. [表示] ボタンを選択して、そのバリアントに設定された条件を表示します。

4. バリアントの既存の条件を編集します。

a. [エクスペリエンス] ビューから、条件を編集するバリアントを見つけます。

b. [設定] を選択します。

c. [条件] で [条件を編集] を選択します。

以前設定した条件が表示されます。これらのフィールドを更新できます。

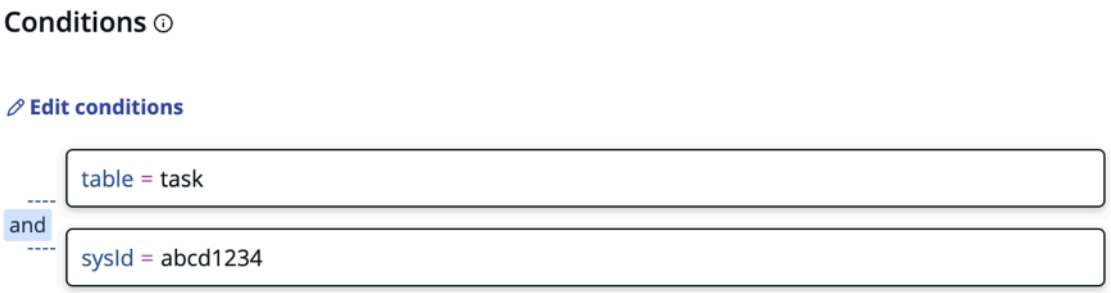
d. 別の条件を追加し、基準を指定するには、[バリアント条件を編集 **(Edit variant conditions)]** 画面で、条件の横にある **[and]** ボタン (and) または **[or]** ボタン (or) を選択します。

たとえば、次の **[AND]** 条件 (**[sysId] [is]** [abcd1234]) を追加することで、sys_id abcd1234 のタスクテーブルからレコードにアクセスしたときに表示されるページバリアントを構成します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

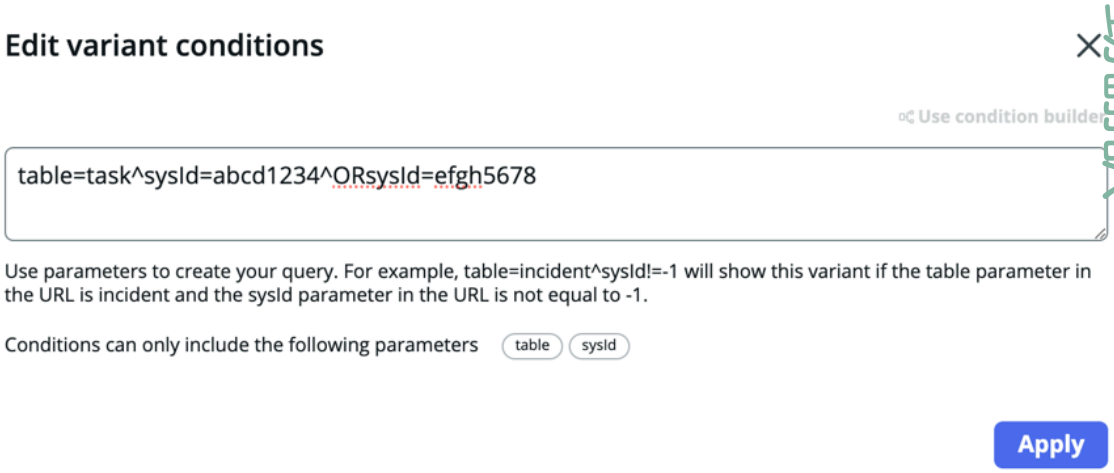
注:
[AND] 条件または **[OR]** 条件を追加できます。両方のタイプを混在させるには、エンコードされたクエリを記述する必要があります。



e. オプション: [テキストとして入力 **(Enter as text)]** を選択して、基準を指定するエンコードされたクエリを記述します。

(Optional) [バリアント条件を編集 **(Edit variant conditions)]** 画面には、エンコードされたクエリフィールドが表示され、以前設定した条件がエンコードされたクエリフォーム (table=task^sysId=abcd1234) で表示されます。

たとえば、次の「OR」条件 (^ORsysId=efgh5678) を追加することで、abcd1234 または efgh5678 のいずれかの sys_id を持つタスクテーブルからレコードにアクセスしたときに表示されるページバリアントを設定します。エンコードされたクエリの記述の詳細については、「Encoded query strings」を参照してください。



自動翻訳

エクスペリエンス全体でページを使用する

一方のエクスペリエンスで作成されたページを、ページを再構築することなく他方のエクスペリエンスで使用できます。

エクスペリエンス間でページを共有するメリット

エクスペリエンス間でページを使用すると、ページ作成者とアドミニストレーターはワークスペース間でページを共有および再利用できるため、ページの複製コピーを作成して管理する必要がなくなります。ユーザーは、エクスペリエンスを切り替えることなく、共有ページに一貫して関与できます。この機能により、運用オーバーヘッドが削減され、柔軟性が向上し、一貫性が向上するため、リソースをより適切に割り当て、チームが効率的にイノベーションを行えるようになります。

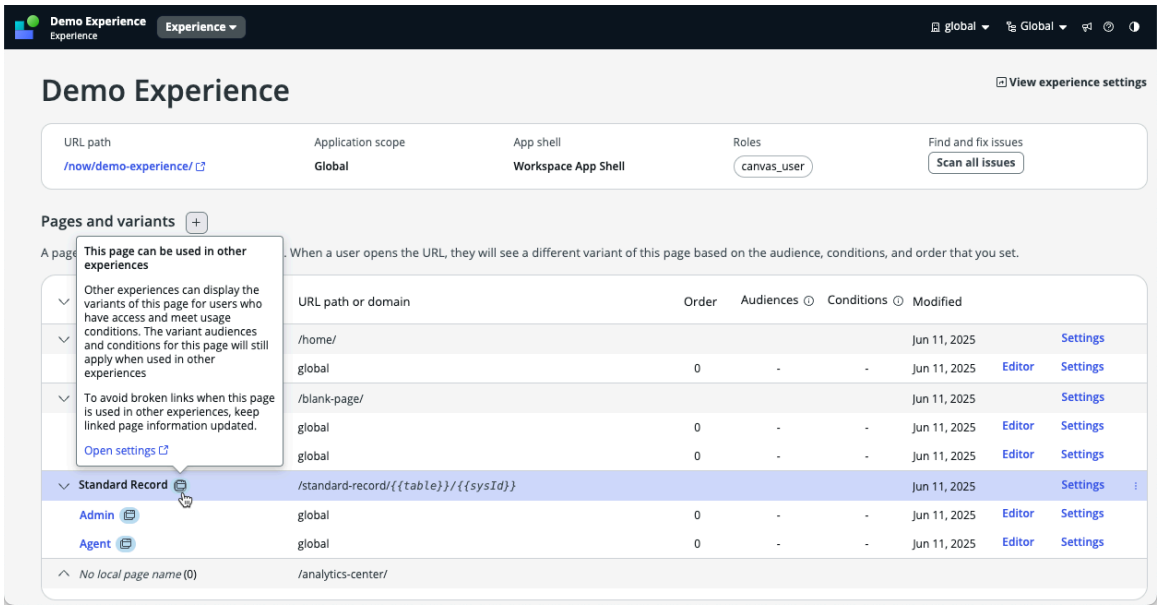
エクスペリエンス間でページを共有すると、複数のワークスペースで作業するユーザーは、コンテンツを複製する代わりに、あるワークスペースから別のワークスペースにページを利用できます。これ

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

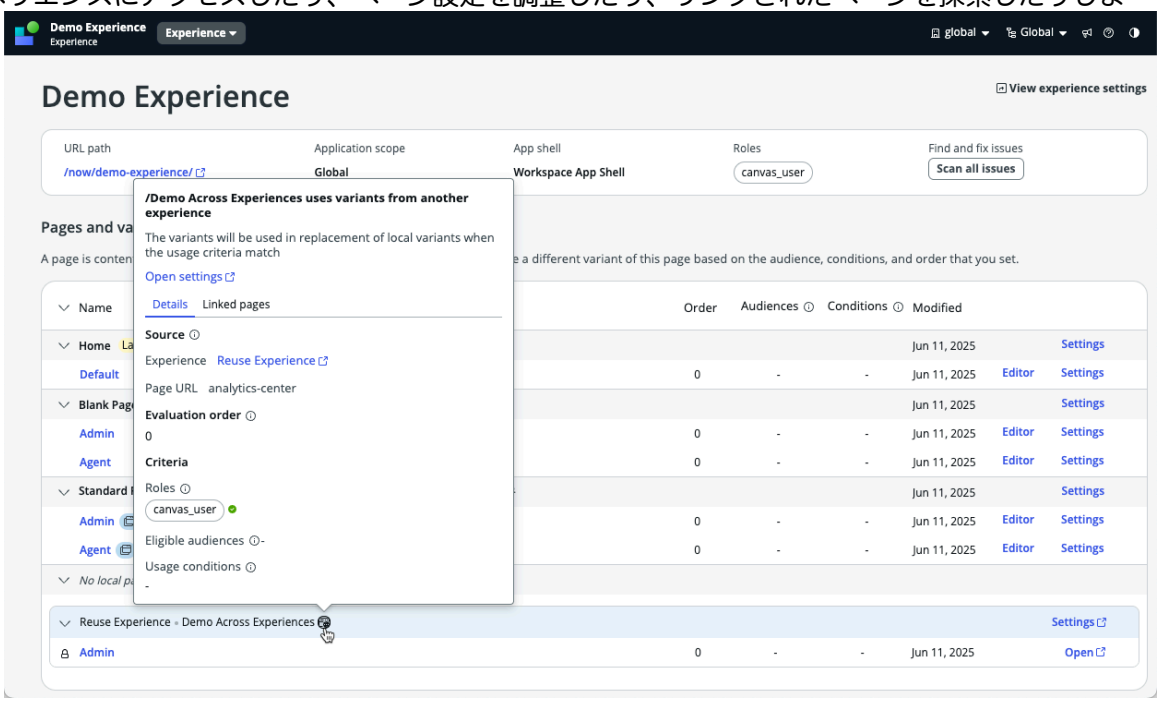
により、使いやすさが向上し、コンテキストの切り替えが減り、ワークスペース間で一貫性が確保されます。また、共有ページの更新が使用されるすべてのエクスペリエンスに反映されるため、メンテナンスが簡素化され、時間が節約され、エラーのリスクが軽減されます。

エクスペリエンスビューでの共有ページの表示

エクスペリエンス全体で使用できるページには、 UI ビルダーエクスペリエンスビューに 2 つのページを含む青いアイコンが表示されます。アイコンを選択すると、プラットフォームの **UX** アプリルート 設定ページに移動し、エクスペリエンス全体でページを使用する機能を有効または無効にできます。



エクスペリエンスに追加された再利用可能なページには、ソースエクスペリエンスの名前が表示されます。ページタイトルの横にあるアイコンをクリックして、ページの詳細を表示したり、元のエクスペリエンスにアクセスしたり、ページ設定を調整したり、リンクされたページを探索したりします。



制限事項

ページを共有する場合は、そのページに関連付けられているすべてのリンクされたページも指定する必要があります。リンクされたページ は、ルートが同じソースエクスペリエンスに関連付けられて

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

いるページです。これは、共有ページを受信するエクスペリエンスが必要なすべての送信ページへの参照を持つために必要です。

注:
共有ページは現在、 ServiceNow® プラットフォームでのみ構成できます。ただし、これらのページは UI ビルダー のエクスペリエンスビューで表示できます。

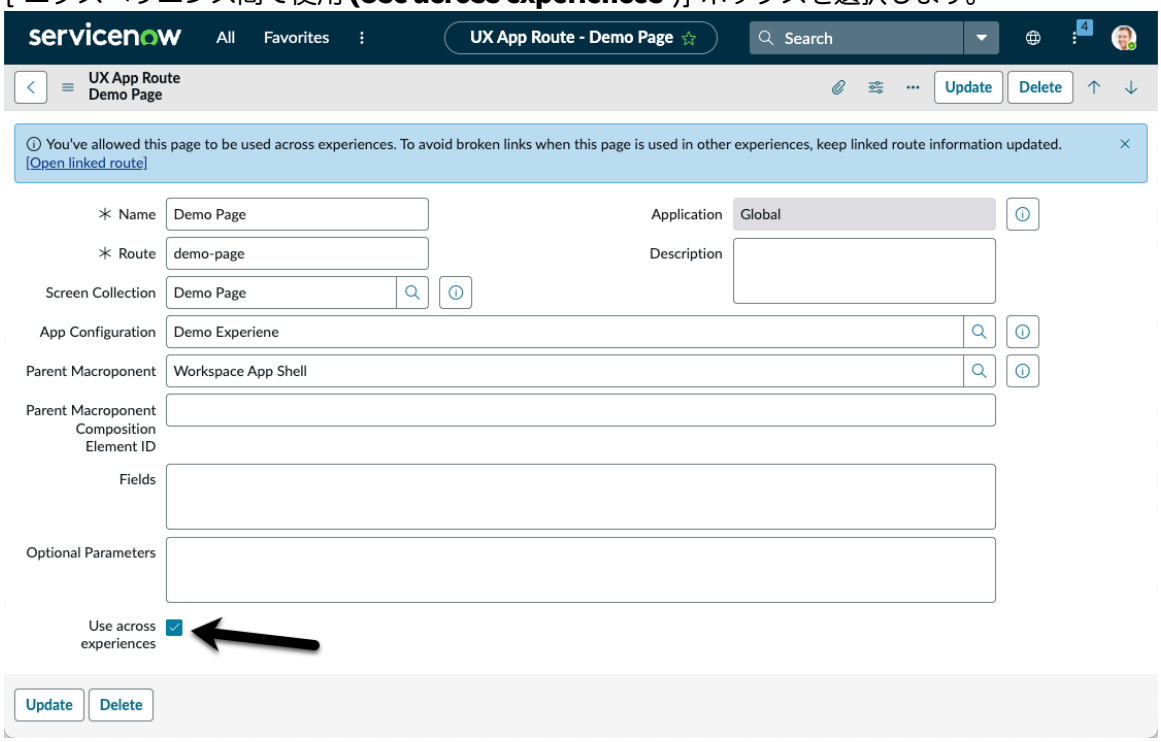
エクスペリエンス全体でページを使用できるようにする

UI ビルダー のエクスペリエンス間で共有するページを選択します。

始める前に
必要なロール：ui_builder_admin

手順

1. 移動先 すべて > **Now Experience** フレームワーク > **UI** ビルダー.
2. 作業するエクスペリエンスを開くか、選択してエクスペリエンスを作成します 作成 > エクスペリエンス.
   エクスペリエンスの作成の詳細については、「UI ビルダー でユーザーがアプリケーションをどのように操作するかを構成する」を参照してください。
3. [エクスペリエンス設定の表示] を選択します。
4. [アプリ構成を開く] を選択します。
   [UX アプリ構成] タブが開きます。
5. エクスペリエンス全体で使用するページを選択します。
6. [エクスペリエンス間で使用 **(Use across experiences**)] ボックスを選択します。



7. **[Update** (更新)] を選択します。

レスポンシブオーサリング

レスポンシブオーサリングを使用して、デスクトップ、タブレット、モバイルなどのさまざまなフォームファクター (サイズ) に合わせてスムーズに調整される UI ビルダー ページを作成します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

UI ビルダー のレスポンシブオーサリング

レスポンシブオーサリングを使用すると、どのフォームファクターでも外観と機能に優れたページを作成でき、ユーザーがコンテンツを簡単に操作できるようになります。たとえば、ラップトップで表示するときには 3 列のページを、小さな画面では 1 列に調整できます。

UI ビルダー は現在、次の 3 つのデフォルトフォームファクターを提供しています。

- デスクトップ (1281 ピクセルから無限大)
- タブレット (1280 ピクセル以下)
- モバイル (500 ピクセルからゼロ)

これらのフォームファクターに加えて、最大 3 つの追加カスタムブレークポイント (幅) を作成できます。詳細については、「レスポンシブオーサリングのブレークポイントの作成」を参照してください。

さまざまなフォームファクターで使用できるように、ページを編集するさまざまなテクニックがあります。次のいずれかのオプションを使用します。

- コンポーネントを表示または非表示にする
- コンポーネント構成を変更する
- スタイルの編集
- レイアウトを再配置する

レスポンシブオーサリングとリフロー

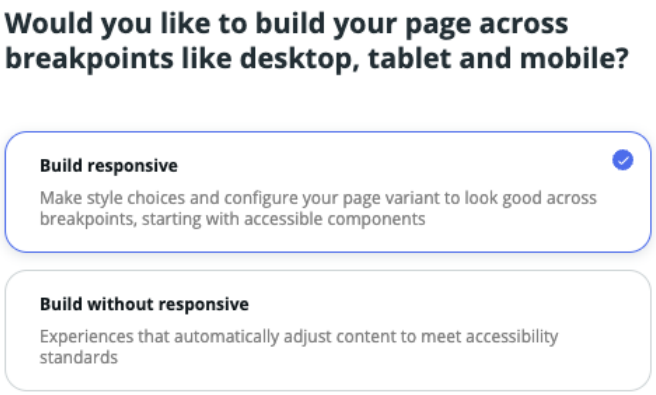
Xanadu Store Release 1 では、UI ビルダー ページを最初から作成する場合にのみレスポンシブオーサリングを使用できます。レスポンシブオーサリングは、既存のページまたはテンプレートを使用して作成されたページでは使用できません。これらのタイプのページでは、既存のデフォルトのリフローモデルが引き続き使用され、さまざまな画面幅に合わせてページが調整されます。

リフローは、ユーザーがブラウザーのズームを 400% に拡大したときに、コンテンツや機能を失うことなく、ページレイアウトを縦長のスタックビューに自動的に変換します。この調整は、弱視のユーザーや、モニターのサイズ、デバイスの種類、照明が十分ではないなどの理由でブラウザ上の Web コンテンツが見づらいユーザーにとって便利です。

テンプレートを使用して作成された、または最初から作成されたすべての既存のページは、自動的にリフローを使用します。これで、UI ビルダー でページを最初から作成すると、追加の手順に、レスポンシブオーサリングがデフォルトで選択されていることが表示されます。「レスポンシブなしでビルド」を選択して、代わりにリフローを使用することもできますが、レスポンシブオーサリングオプションを使用すると、ページの動作方法や様々なフォームファクターの表示をより詳細に制御できます。UI ビルダー におけるページの作成の詳細については、「UI ビルダーでのページの作成」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



リフローの詳細については、「Reflow for Configurable Workspace」を参照してください。

リフローをサポートする UI ビルダー コンポーネントのリストについては、『Next Experience コンポーネントリリースノート』の「リフローのサポート」セクションを参照してください。

変更の適用とカスケード

フォームファクターに加えられたすべての変更は、より小さいすべてのフォームファクターに自動的に適用されます。たとえば、タブレットに加えられた変更は、タブレットとモバイルの両方に適用されます。ただし、その後にモバイルフォームファクターに変更を加えると、タブレットフォームファクターからのカスケード設定が上書きされます。このカスケード機能により、より小さいフォームファクターごとに特定の変更を加えることができるため、ページの外観と機能を適切に保つことができます。

注:
変更は大きなサイズにカスケードされません。たとえば、タブレットに加えられた変更はデスクトップには適用されません。

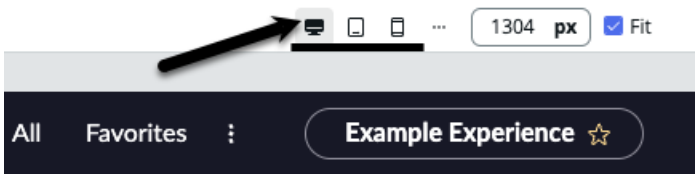
レスポンシブオーサリングとコントローラー

コントローラーをページに追加する場合、コントローラーのプロパティはグローバルであり、フォームファクターごとに設定することはできません。コントローラーの詳細については、「コントローラーを使用した UI ビルダー ページへのデータのバインド (高度な機能)」を参照してください。

ページ作成時のレスポンシブオーサリングの使用

ページをビルドする際、さまざまなフォームファクターのルックアンドフィールを制御するため、カスタマイズされたデザインを作成します。

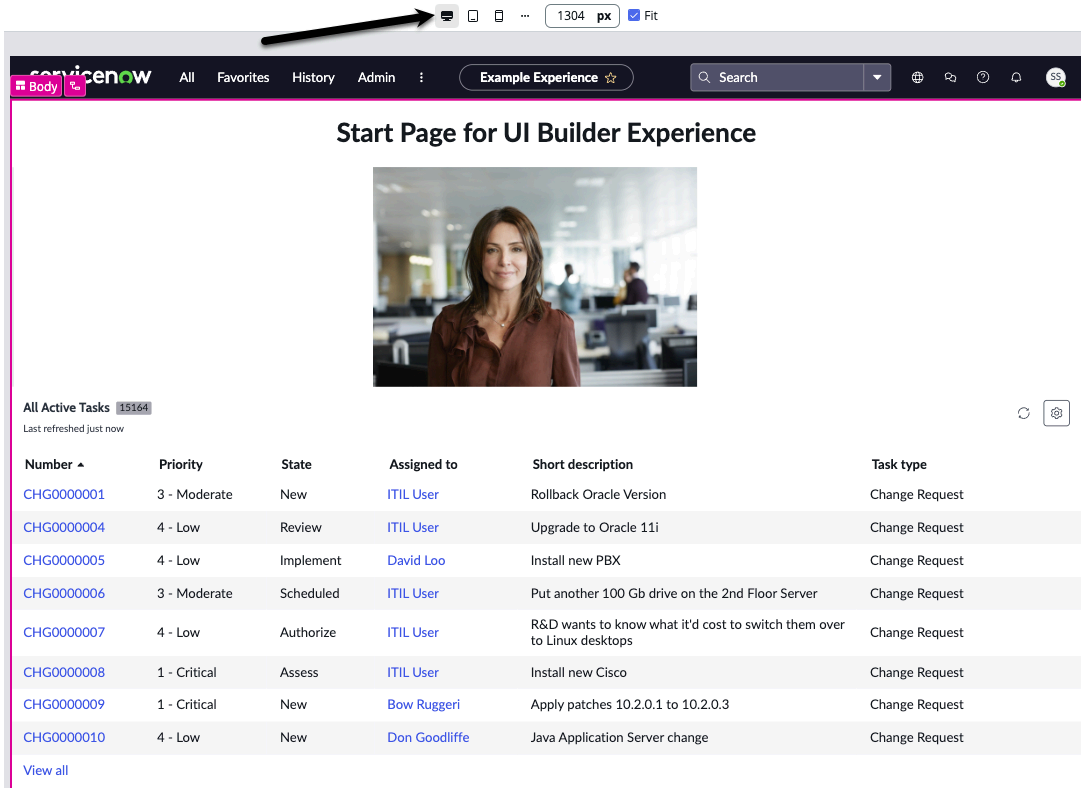
デフォルトでは、ステージで、デスクトップ用のページ (1281 ピクセルから無限大) をビルドします。別のアイコンを選択して、タブレットやモバイルなどの別のフォームファクターで、いつでもステージ上のページを表示できます。必要に応じて、新しいフォームファクターで適切に表示されるようにページを編集します。



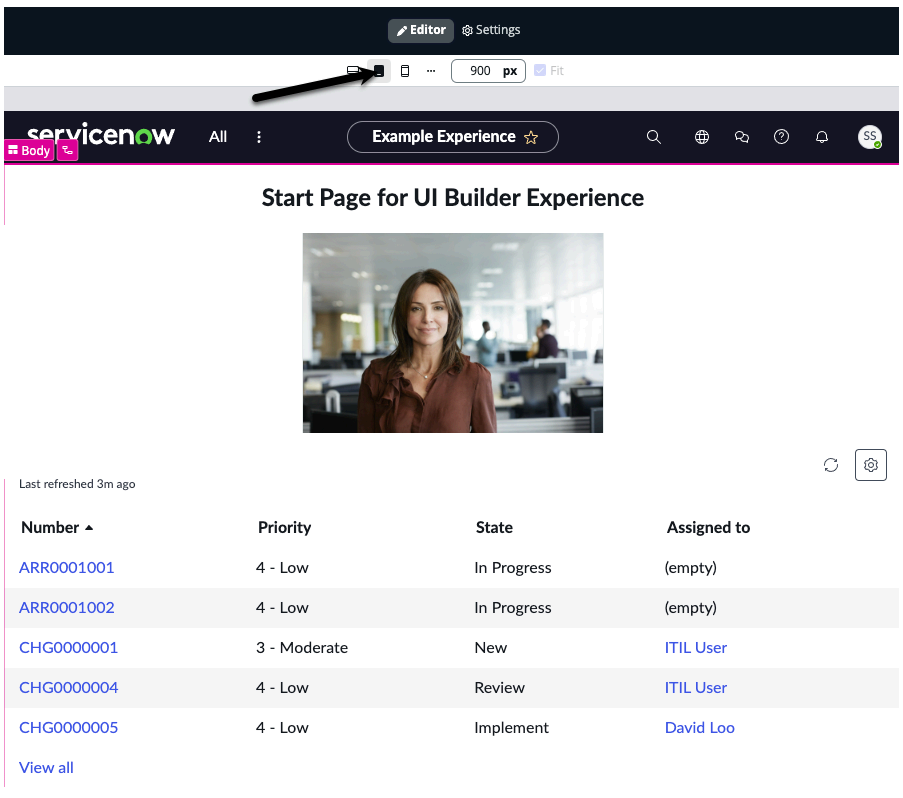
デスクトップフォームファクターでのサンプルページの外観を次に示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

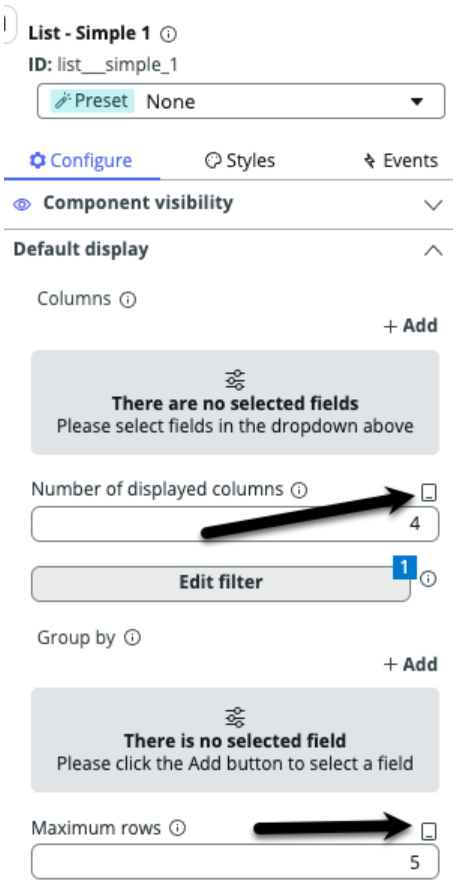


これは、タブレットのフォームファクター用にカスタマイズされた同じページです。

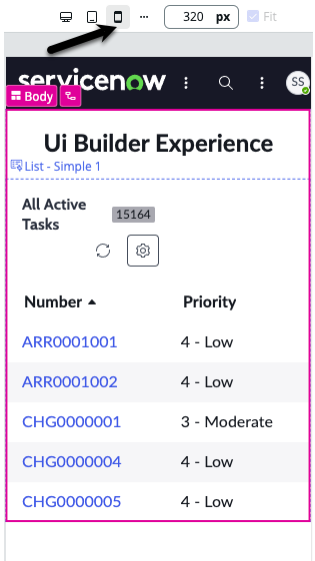


タブレットでは、見出しと画像のコンポーネントサイズが縮小されています。簡易リストコンポーネントの構成は、6 列ではなく 4 列表示に編集され、行の最大数は 5 に設定されています。フォームファクターのコンポーネントを編集すると、変更されたフィールドには、そのフォームファクター (この場合はタブレット) のカスケードアイコンが表示されます。このアイコンにより、特定のページのフォームファクター間の違いを簡単に判断できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



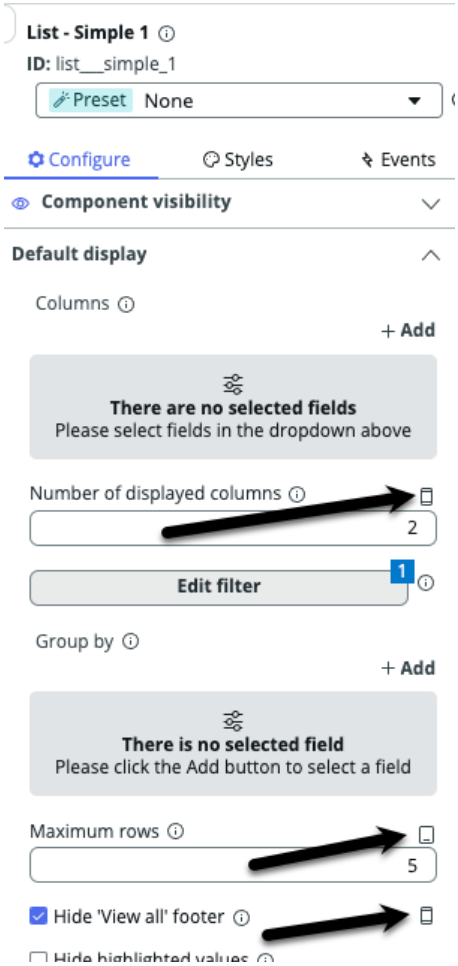
これは、モバイルフォームファクター用にカスタマイズされた同じページです。



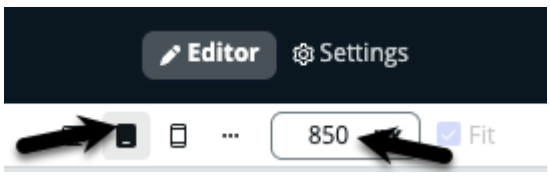
見出しの単語数が減り、画像コンポーネントが非表示になっています。簡易リストコンポーネント構成は、4 列ではなく 2 列表示に編集され、[すべて表示] フッターオプションを非表示にするオプションが選択されています。モバイル専用にカスタマイズされた 2 つのフィールドの横には、[モバイルカスケード (mobile cascading)] アイコンがあります。[最大行数] フィールドはタブレットの設定を継承しており、モバイル用にカスタマイズされていないため、[タブレットカスケード (tablet cascading)] アイコンが保持されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



エディタービューのデフォルトのフォームファクターに加えて、[ピクセル] フィールドにはいつでも手動で数値を入力できます。ステージは、範囲に基づいて最も近いフォームファクターに調整されます。例えば、850 ピクセルと入力すると、タブレットの範囲が 1280 ～ 501 ピクセルとして定義されているため、ステージはタブレットのフォームファクターに合わせて調整されます。



注:
フォームファクターとピクセル幅を入力する機能は、ページのプレビュー時にも使用できます。詳細については、「UI ビルダー エクスペリエンスを表示およびテストする方法を学ぶ」を参照してください。

レスポンシブオーサリングにおけるコンポーネントヴィジビリティの調整

さまざまなフォームファクターのレスポンシブオーサリングを使用してページを作成する際、モバイルサイズで画像を非表示にする手順を実行して、コンポーネントを表示または非表示にする方法を説明します。

始める前に

必要なロール：ui_builder_admin

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて
ページの使いやすさを向上させる方法は、ブレークポイント間でコンポーネントを非表示にしたり、別のコンポーネントを表示したりすることです。コンポーネントヴィジビリティを使用する方法は無数にありますが、いくつか例を挙げます。

- デスクトップとタブレットのサイズでは、ページの上部に水平方向に複数のボタンコンポーネントを使用しますが、モバイルサイズでは、ボタンを非表示にしてドロップダウンコンポーネントを表示します。
- モバイルサイズでは小さいボタンサイズを使用しますが、ユーザーが親指で押すのに十分な大きさのボタンであることを確認します。モバイル用のボタンの配置を変更することも検討します。
- デスクトップとタブレットのページでは画像を使用しますが、モバイルでは画像、特に大きな画像は非表示にします。

この手順では、デスクトップとタブレットのフォームファクターでは上部にボタンを表示しますが、モバイルではボタンを非表示にしてドロップダウンコンポーネントを使用します。

手順

1. 移動先 すべて > **Now Experience** フレームワーク > **UI** ビルダー.
2. 作業するエクスペリエンスを開くか、または [作成] **>** [エクスペリエンス] を選択してエクスペリエンスを作成します。
   エクスペリエンスの作成の詳細については、「UI ビルダー でユーザーがアプリケーションをどのように操作するかを構成する」を参照してください。
3. レスポンシブオーサリングでページを最初から作成します。
   ページを作成する方法の詳細については、「UI ビルダーでのページの作成」を参照してください。
4. 上部にある [デスクトップフォームファクター (desktop form factor)] アイコンが選択されていることを確認します。

5. コンテンツツリーの [本文] の下にある **[+** コンテンツを追加] を選択して、列レイアウトを追加します。
6. [レイアウト] タブで、[単一列] を選択します。
7. 最初のボタンコンポーネントを追加します。

   a. ステージの新しい列の中央にある **[+]** アイコンを選択します。

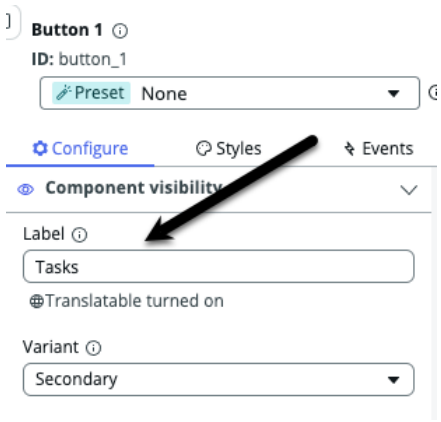
   b. [コンポーネント] タブで、[ボタン] コンポーネントを見つけて選択します。

   c. 構成パネルで、[なし - コンポーネントを手動構成します **(None - Configure the component manually)]** を選択します。

   d. 構成パネルの [構成] タブで、Tasks と入力して、[ラベル] フィールドのデフォルトテキストを置き換えます。

自動翻訳

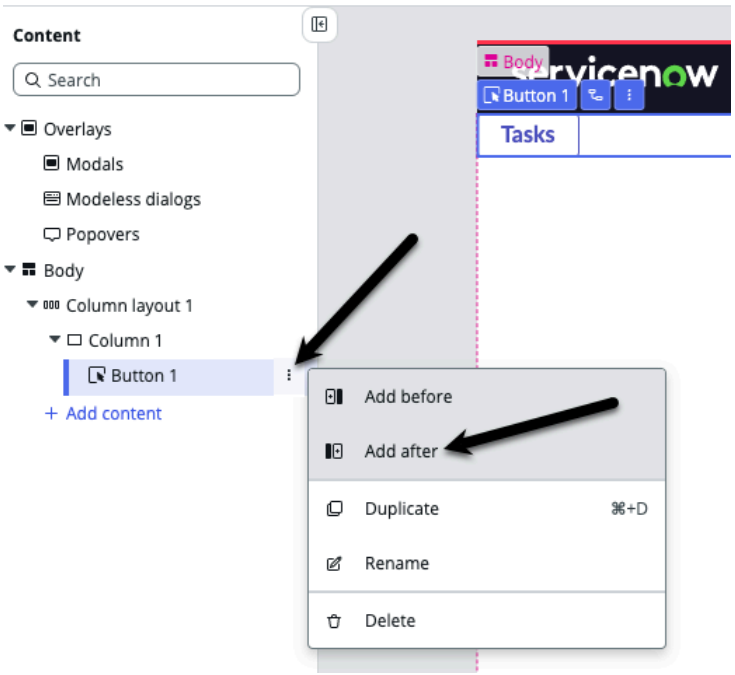
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



e. [保存] を選択します。

8. 手順 7 を 2 回繰り返してさらに 2 つのボタンを追加し、7d で、ボタンに Incidents と Changes という名前を付けます。

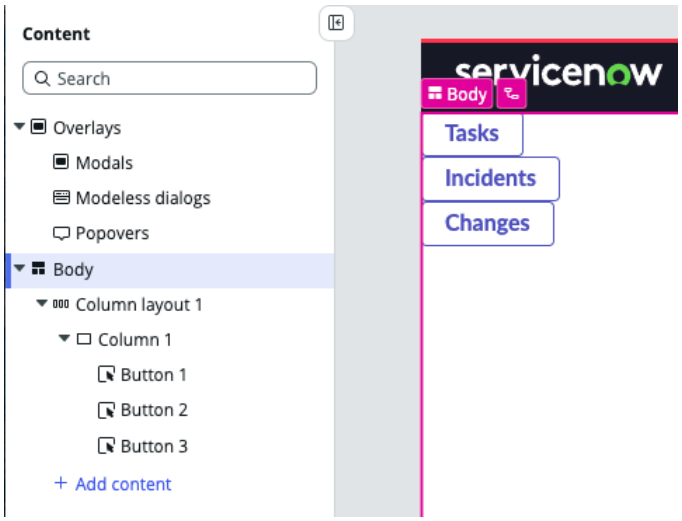
> **注:**
> ボタンを追加するには、コンテンツツリーの [ボタン **1**] をポイントして [メニュー] アイコンを選択し、[後に追加] を選択します。



9. コンテンツツリーとページが正確であることを確認します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



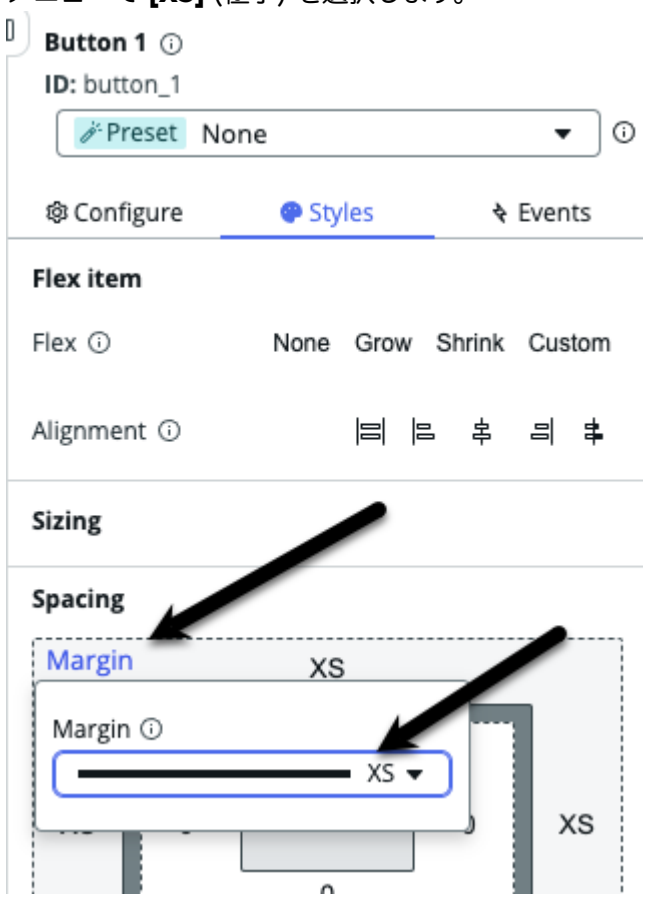
10. 各ボタンの周囲にスペースを追加します。

a. コンテンツツリーで、[ボタン **1]** を選択します。

b. [構成] パネルで、[スタイル] タブを選択します。

c. [間隔] で [余白] を選択します。

d. メニューで **[XS]** (極小) を選択します。



e. [保存] を選択します。

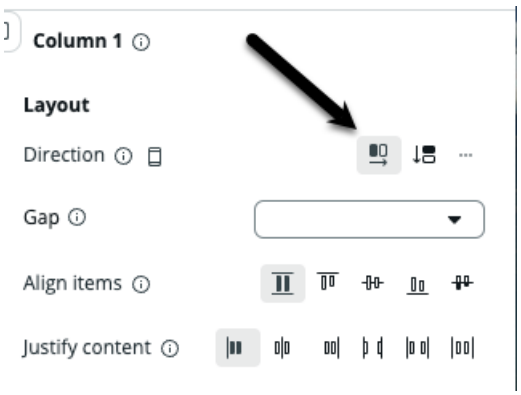
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

11. 手順 10 を繰り返し、他の 2 つのボタンの周囲にスペースを追加します。
12. ボタンを縦方向から横方向に変更します。

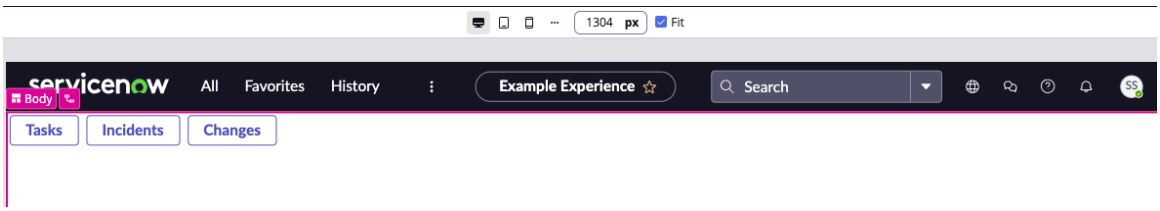
    a. コンテンツツリーで [列 **1**] を選択します。

    b. 構成パネルの [方向] で、[行] アイコンを選択します。



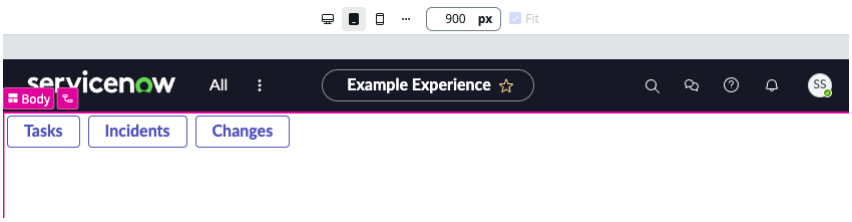
    c. [保存] を選択します。

    ページがデスクトップの幅に合わせて適切に表示されます。



13. [タブレットフォームファクター (tablet form factor)] アイコンを選択します。

    ボタンの間隔や位置も、タブレットの幅に合わせて適切に表示されます。

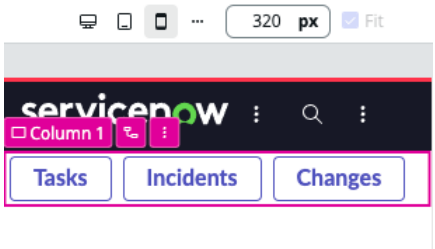


14. [モバイルレスポンシブオーサリング (mobile responsive authoring)] アイコンを選択します。

    ボタンは、小さいサイズで水平方向のスペースのほとんどすべてを使用します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



15. ドロップダウンコンポーネントを追加します。

a. ステージの上部にある [デスクトップフォームファクター (desktop form factor)] を選択します。

b. コンテンツツリーの [ボタン **3]** をポイントして [メニュー] アイコンを選択し、[後に追加] を選択します。

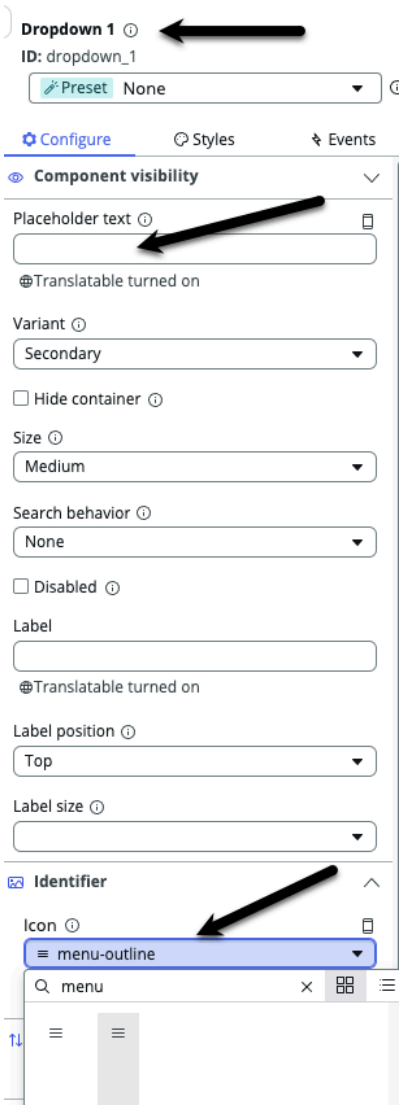
c. [コンポーネント] タブで、[ドロップダウン] コンポーネントを見つけて選択します。

d. 構成パネルで、[なし - コンポーネントを手動構成します **(None - Configure the component manually)]** を選択します。

e. 構成パネルの [構成] タブで、[プレースホルダーテキスト] のデフォルトのテキストを削除し、[アイコン] の [メニューアウトライン **(menu-outline)]** を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



自動翻訳

f. [保存] を選択します。

16. デスクトップとタブレットのフォームファクターで、ドロップダウンコンポーネントを非表示にします。

a. コンテンツツリーで、[ドロップダウン **1]** を選択します。

b. 構成パネルの [構成] タブで、[コンポーネントヴィジビリティ] を選択してオプションを表示します。

c. [コンポーネントを非表示] を選択します。

d. [保存] を選択します。

17. モバイルフォームファクターで、ボタンコンポーネントを非表示にします。

a. ステージの上部にある [モバイルフォームファクター (mobile form factor)] アイコンを選択します。

b. コンテンツツリーで、[ボタン **1]** を選択します。

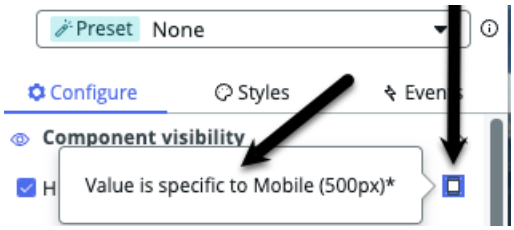
c. 構成パネルの [構成] タブで、[コンポーネントを非表示] を選択します。

d. [ボタン **2]** と[ボタン **3]** について、手順 b ～ c を繰り返します。

e. [保存] を選択します。

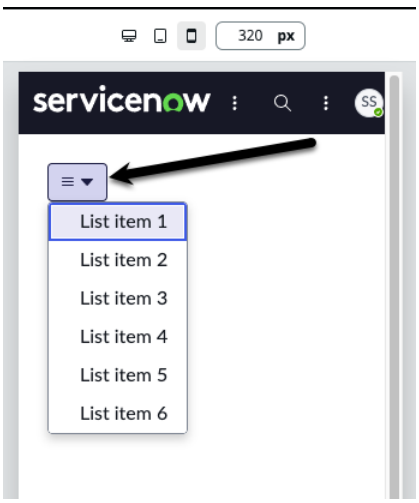
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

2 つの場所は、ボタンコンポーネントがモバイルサイズで非表示になっていることを示しています。まず、構成パネルの [コンポーネントを非表示] オプションの横にある [モバイル] アイコンを選択します。値 (選択されたコンポーネントを非表示) がモバイルサイズ用であることを確認するメッセージが表示されます。



次に、コンテンツツリーで、3 つのボタンコンポーネントが [非表示] アイコンとともに表示されます。

18. モバイルフォームファクターで、ドロップダウンコンポーネントを表示します。
    a. コンテンツツリーで、[ドロップダウン **1]** を選択します。
    b. 構成パネルの [構成] タブで、[コンポーネントを非表示] を選択してフィールドをクリアします。
    c. [保存] を選択します。
19. [プレビュー] を選択します。
    モバイルフォームファクターが [メニュー] アイコンとともに表示されます。矢印を選択すると、デフォルトのオプション (リストアイテム 1、リストアイテム 2 など) が表示されます。タブレットとデスクトップのフォームファクターで使用可能な水平ボタンのように、[タスク]、[インシデント]、および [変更] を表示するよう、ドロップダウンコンポーネントを構成します。



20. 上部にある [デスクトップフォームファクター (desktop form factor)] アイコンと [タブレットフォームファクター (tablet form factor)] アイコンを選択します。
    デスクトップフォームファクターとタブレットフォームファクターには水平ボタンのみが表示され、[メニュー] アイコンは表示されません。
21. **[X]** を選択してプレビューオーバーレイを閉じます。

レスポンシブオーサリングのコンポーネントの構成

さまざまなフォームファクターのレスポンシブオーサリングを使用してページを作成する際、一部のコンポーネント構成オプションを調整して、小さいサイズでページの外観と動作を改善する方法を説明します。

自動翻訳

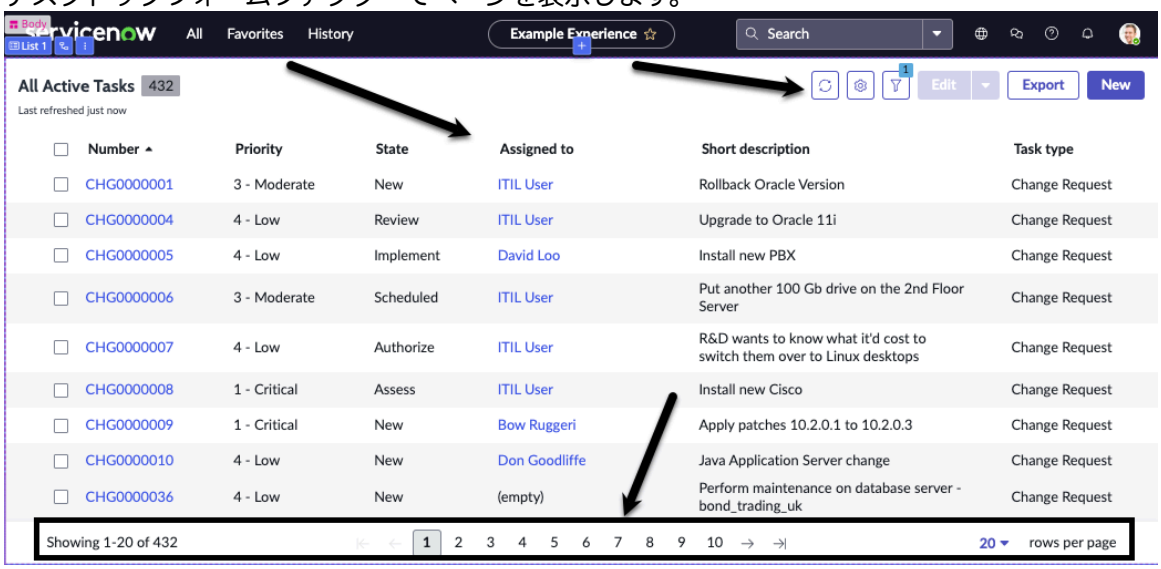
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
必要なロール：ui_builder_admin

このタスクについて
ページの使いやすさを向上させる方法は、ブレークポイント間で異なる構成を使用してコンポーネントの外観をカスタマイズすることです。コンポーネント構成の使用方法は無数にあります。この手順では、より小さなフォームファクターに最適になるよう、リストコンポーネントの構成オプションを編集します。

手順

1. 移動先 すべて > **Now Experience** フレームワーク > **UI** ビルダー.
2. 作業するエクスペリエンスを開くか、または [作成] **>** [エクスペリエンス] を選択してエクスペリエンスを作成します。
   エクスペリエンスの作成の詳細については、「UI ビルダー でユーザーがアプリケーションをどのように操作するかを構成する」を参照してください。
3. レスポンシブオーサリングでページを最初から作成します。
   ページを作成する方法の詳細については、「UI ビルダーでのページの作成」を参照してください。
4. 上部にある [デスクトップフォームファクター (desktop form factor)] アイコンが選択されていることを確認します。
5. ステージで、**[+** コンテンツを追加] を選択します。
6. [レイアウト] タブで、[単一列] を選択します。
7. 新しい列の中央にある **[+]** アイコンを選択して、リストコンポーネントを追加します。
8. [コンポーネント] タブで、[リスト] コンポーネントを見つけて選択します。
9. 構成パネルで、[なし - コンポーネントを手動構成します **(None - Configure the component manually)]** を選択します。
10. デスクトップフォームファクターでページを表示します。



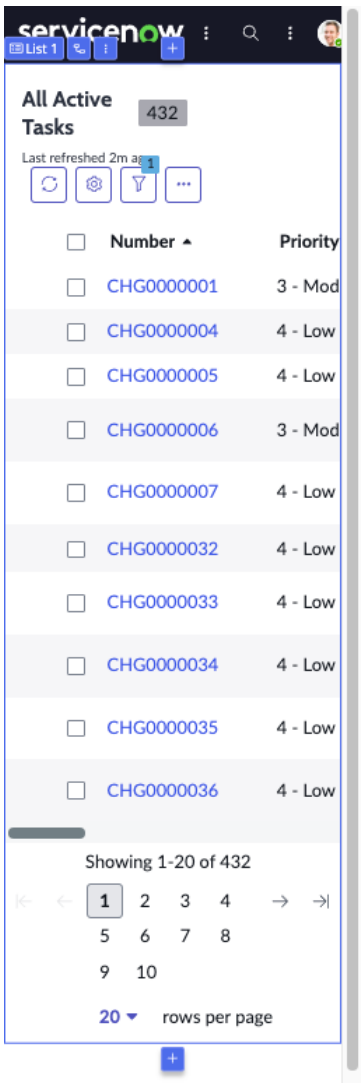
上部のアイコン、列数、下部のページネーション情報など、表示される要素を確認します。

11. [モバイルフォームファクター (mobile form factor)] アイコンを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

モバイルフォームファクターでは、リストコンポーネントが密集していて、垂直スクロールバーと水平スクロールバーの両方が含まれています。



簡単な構成変更を行って、モバイルフォームファクターでの使いやすさと外観を改善します。

12. コンテンツツリーで [リスト **1**] を選択します。
13. 構成パネルの [構成] タブで、[表示される列の数] フィールドを見つけて `1` と入力します。
[数字] 列のみが表示されます。水平スクロールバーが削除されました。
14. 構成パネルの [構成] タブで、下にスクロールして [ヘッダー] セクションに次の変更を加えます。

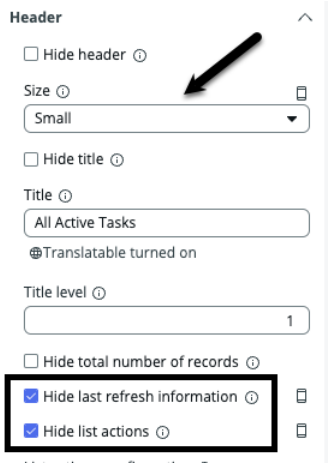
    a. [サイズ] を [小] に変更します。

    b. [前回の更新情報を非表示] オプションを選択します。

    c. [リストアクションを非表示] オプションを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



変更を加えると、ステージが自動的に更新されます。ヘッダーのサイズが小さくなり、更新時間が削除され、[リストアクション] アイコンが削除されました。

d. [保存] を選択します。

15. ステージで、モバイルビューの一番下までスクロールします。

16. 構成パネルの [構成] タブで、下にスクロールして [ページネーション] セクションで次の変更を行います (必要に応じて、[ページネーション] を選択してフィールドを展開します)。

a. [範囲を非表示] オプションを選択します。

b. [行数を非表示] オプションを選択します。

c. [ページセレクターごとの行を非表示] を選択します。

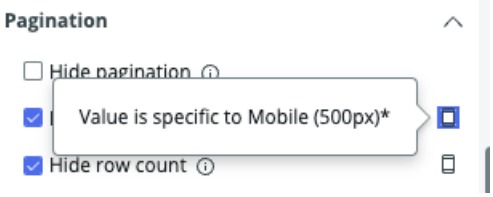
d. [保存] を選択します。
範囲、行数、およびページセレクターごとの行が削除されました。(行数はモバイル画面の上部に引き続き表示されます)。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

構成パネルでは、編集したオプションとフィールドが [モバイルカスケード (mobile cascade)] アイコンとともにマークされます。

17. オプションまたはフィールドの横にある [モバイルカスケード (mobile cascade)] アイコンを選択して、値がモバイルフォームファクター用であることを確認します。



18. 上部にある [タブレットフォームファクター (tablet form factor)] アイコンと [デスクトップフォームファクター (desktop form factor)] アイコンを選択して、大きいフォームファクターに変更が加えられていないことを確認します。

レスポンシブオーサリングのスタイルの調整

さまざまなフォームファクターのレスポンシブオーサリングを使用してページを作成する際、スタイルオプションを変更して、小さいサイズでページの使いやすさを向上させる方法を説明します。

始める前に

必要なロール：ui_builder_admin

このタスクについて

ページの使いやすさを向上させる方法は、ブレークポイント間で異なるスタイルを使用してコンポーネントをカスタマイズすることです。スタイルの編集には多数のオプションがあります。この手順では、定型テキストコンポーネントの周囲の余白を編集し、テキストサイズを小さくして、小さいフォームファクターで使用するスペースを減らします。

手順

1. 移動先 すべて > **Now Experience** フレームワーク > **UI** ビルダー.
2. 作業するエクスペリエンスを開くか、または [作成] **>** [エクスペリエンス] を選択してエクスペリエンスを作成します。
   エクスペリエンスの作成の詳細については、「UI ビルダー でユーザーがアプリケーションをどのように操作するかを構成する」を参照してください。
3. レスポンシブオーサリングでページを最初から作成します。
   ページを作成する方法の詳細については、「UI ビルダーでのページの作成」を参照してください。
4. 上部にある [デスクトップレスポンシブオーサリング (desktop responsive authoring)] アイコンが選択されていることを確認します。

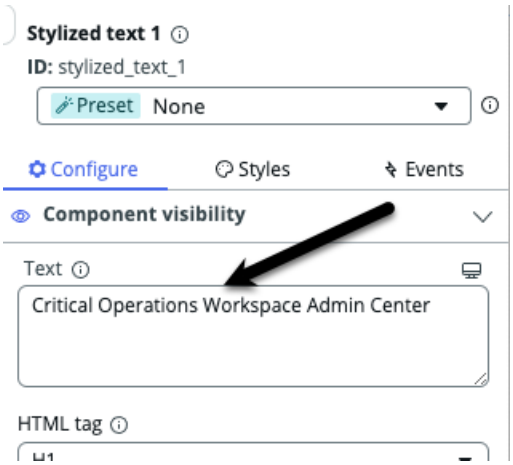
5. ステージで、**[+** コンテンツを追加] を選択します。
6. [レイアウト] タブで、[単一列] を選択します。
7. 定型テキストコンポーネントを追加します。
   a. ステージの列の中央にある **[+]** アイコンを選択します。
   b. [コンポーネント] タブで、[定型テキスト] コンポーネントを見つけて選択します。
   c. 構成パネルで、[なし **-** コンポーネントを手動構成します **(None - Configure the component manually)]** を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

d. 構成パネルの [構成] タブで、[テキスト] フィールドをダブルクリック (またはキーボードのショートカットを使用) して、デフォルトのテキストを選択します。

e. Critical Operations Workspace Admin Center と入力して、デフォルトのテキストを置き換えます。



f. [保存] を選択します。

8. 定型テキストコンポーネントの周囲にスペースを追加し、中央に配置します。

a. コンテンツツリーで、[定型テキスト **1]** を選択します。

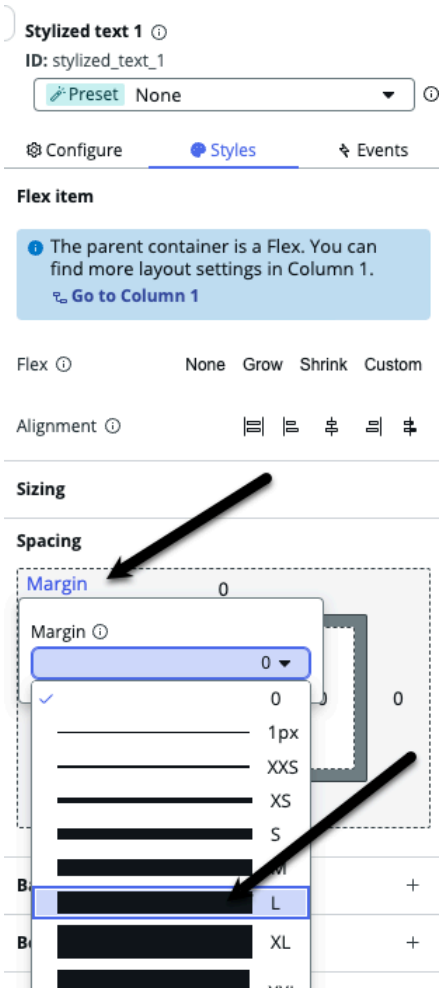
b. [構成] パネルで、[スタイル] タブを選択します。

c. [間隔] で [余白] を選択します。

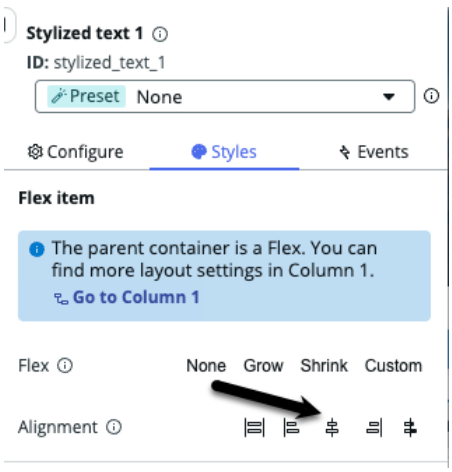
d. リストで [大] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



e. [配置 **(Alignment)]** で [中央 (center)] アイコンを選択します。



f. [保存] を選択します。

ステージが自動的に更新され、定型テキストコンポーネントの周囲に余白が表示され、中央に配置されます。

9. [タブレットフォームファクター (tablet form factor)] アイコンを選択します。

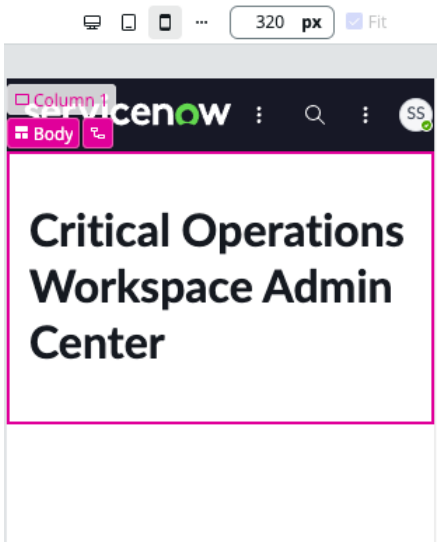
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

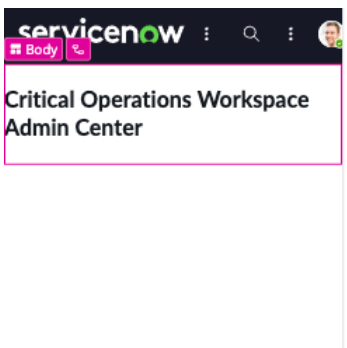
定型テキストコンポーネントの間隔と見出しのサイズは、タブレットサイズに合わせて適切に表示されます。

10. [モバイルフォームファクター (mobile form factor)] アイコンを選択します。

定型テキストコンポーネントは、小さいサイズで垂直方向のスペースを多く使用します。



11. 余分な余白スペースを削除し、モバイルフォームファクター専用のヘッダーを小さくします。
    a. コンテンツツリーで、[定型テキスト **1**] を選択します。
    b. [構成] パネルで、[スタイル] タブを選択します。
    c. [間隔] で [余白] を選択します。
    d. リストで **[0]** を選択します。
    e. [構成] タブを選択します。
    f. **[HTML]** タブで **[H3]** を選択します。
    g. [保存] を選択します。
    ステージが自動的に更新され、定型テキストコンポーネントの使用スペースが小さくなったことが表示されます。



12. 上部にある [タブレットフォームファクター (tablet form factor)] アイコンと [デスクトップフォームファクター (desktop form factor)] アイコンを選択して、大きいフォームファクターに変更が加えられていないことを確認します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

レスポンシブオーサリングのレイアウトの調整

さまざまなフォームファクターのレスポンシブオーサリングを使用してページを作成する際は、レイアウトを調整して、小さいサイズでページのルックアンドフィールを向上させる方法を説明します。

始める前に

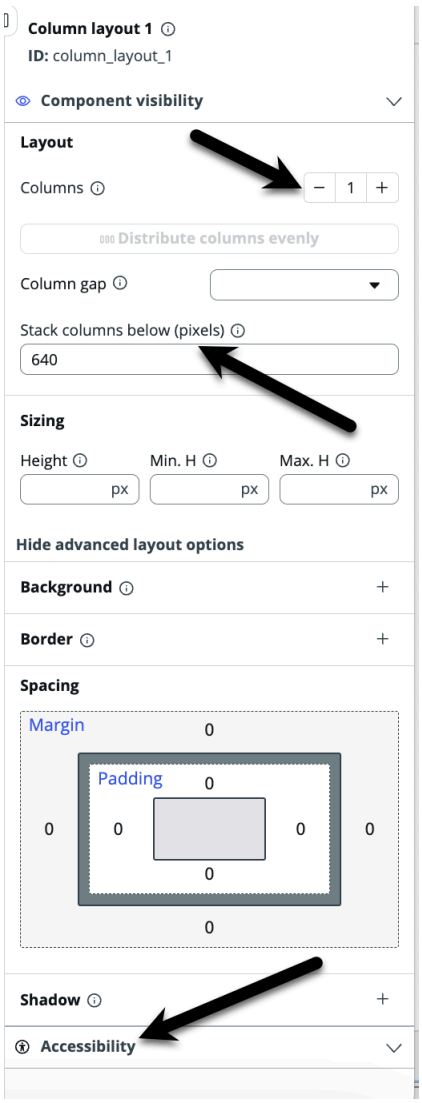
必要なロール：ui_builder_admin

このタスクについて

ページの使いやすさを向上させる方法は、ブレークポイント間でレイアウトを調整してコンポーネントを調整することです。レイアウトを調整するためのオプションは多数あります。この手順では、モバイルフォームファクターのタブコンポーネントのレイアウトを調整します。

プロパティペインのほとんどの列レイアウトオプションは、さまざまなフォームファクターに合わせて編集できます。ただし、次のオプションには、フォームファクター間でグローバルな値があります。

- 列数
- [下に列をスタック (ピクセル)] オプション
- [アクセシビリティ] のすべてのオプション

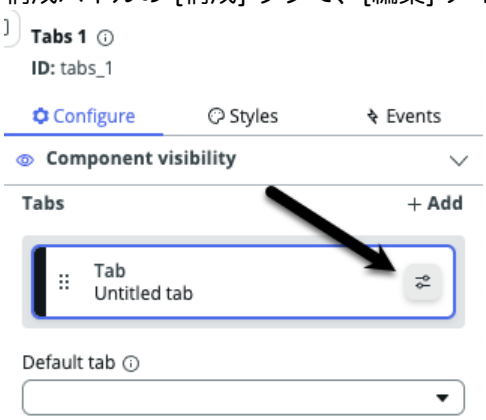


自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

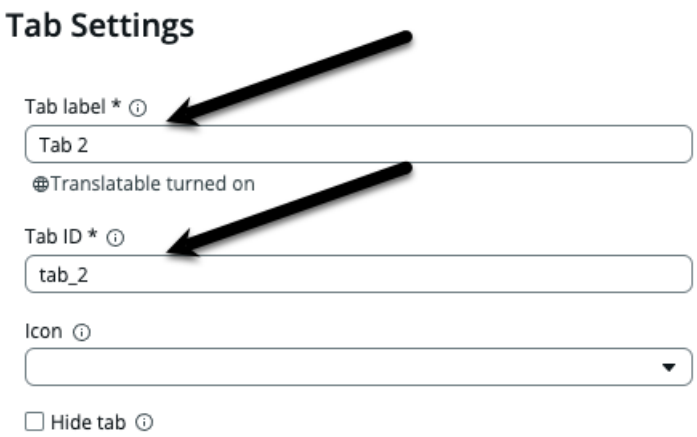
1. 移動先 すべて > **Now Experience** フレームワーク > **UI** ビルダー.
2. 作業するエクスペリエンスを開くか、または [作成] **>** [エクスペリエンス] を選択してエクスペリエンスを作成します。
   エクスペリエンスの作成の詳細については、「UI ビルダー でユーザーがアプリケーションをどのように操作するかを構成する」を参照してください。
3. レスポンシブオーサリングでページを最初から作成します。
   ページを作成する方法の詳細については、「UI ビルダーでのページの作成」を参照してください。
4. 上部にある [デスクトップフォームファクター (desktop form factor)] アイコンが選択されていることを確認します。
5. ステージで、**[+** コンテンツを追加] を選択します。
6. [レイアウト] タブで、[単一列] を選択します。
7. タブコンポーネントを追加します。
   a. ステージの列の中央にある **[+]** アイコンを選択します。
   b. [コンポーネント] タブで、[タブ] コンポーネントを見つけて選択します。
   c. [保存] を選択します。
8. 構成パネルの [構成] タブで、[編集] アイコンを選択して、最初のタブの名前を編集します。



9. [タブラベル] に Tab 1 と入力します。
10. [タブ **ID]** に tab_1 と入力します。
11. [保存] を選択します。
12. 2 つ目のタブを追加します。
    a. [構成] タブで、[タブ] の横にある **[+** 追加] を選択します。
    b. [空のコンテナから開始] を選択して [次へ] をクリックします。
    c. [タブラベル] に Tab 2 と入力します。
    d. [タブ **ID]** に **[tab_2]** が自動的に入力されていることを確認します。

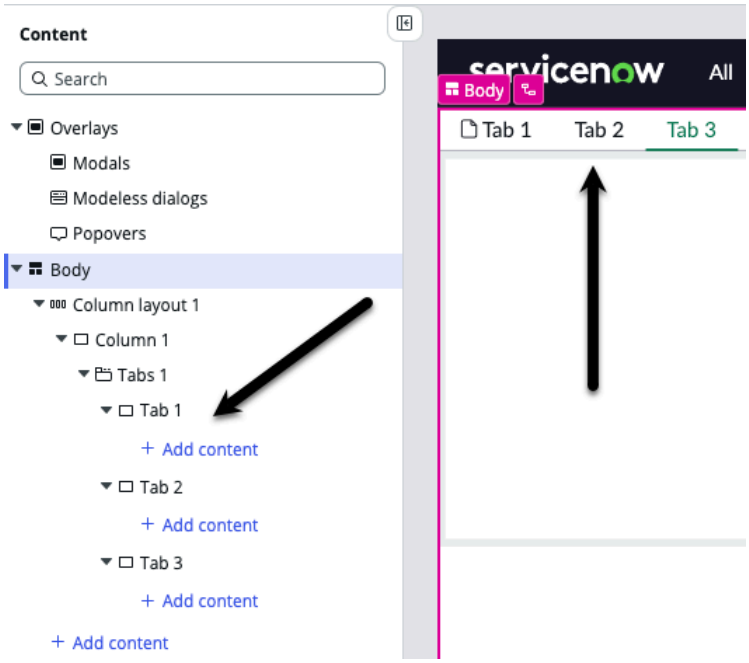
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



e. [作成] を選択します。

13. 手順 12 を繰り返して 3 番目のタブを追加し、12c でタブに Tab 3 という名前を付けます。
14. コンテンツツリーとページが正しいことを確認します。



15. [タブレットフォームファクター (tablet form factor)] アイコンを選択します。

タブの間隔と位置は、タブレットの幅に合わせて適切に表示されます。

16. [モバイルフォームファクター (mobile form factor)] アイコンを選択します。

小さいサイズでは、タブがより多くのスペースを取ります。

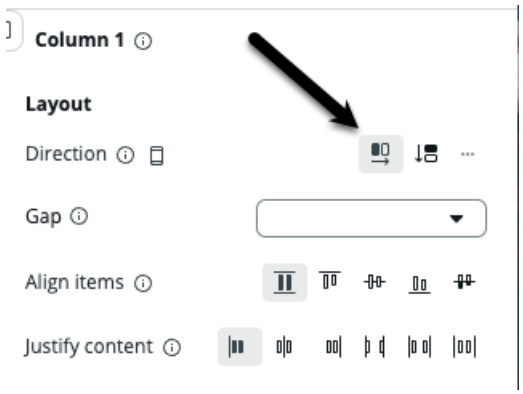
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

17. モバイルサイズに合わせてタブのレイアウトを変更します。

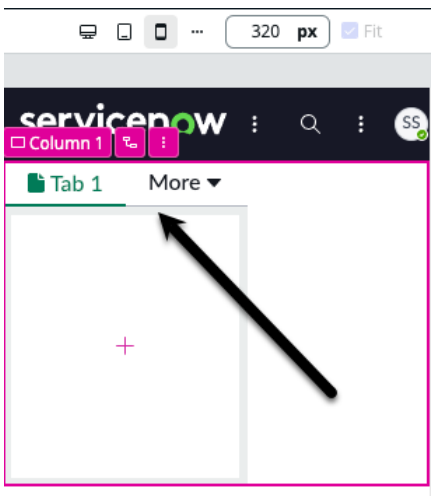
a. コンテンツツリーで [列レイアウト **1]** の下の [列 **1]** を選択します。

b. 構成パネルの [方向] で、[行] アイコンを選択します。



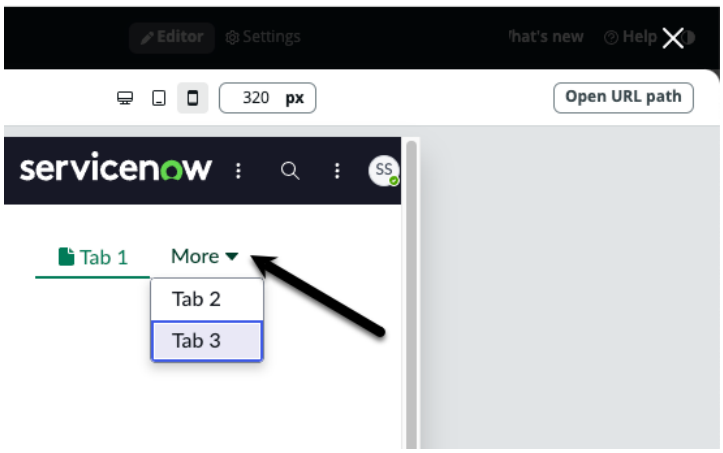
c. [保存] を選択します。

ステージが自動的に更新され、タブ 1 が表示され、新しいドロップダウンメニューが表示されます。



© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

18. [プレビュー] を選択します。
19. [**More**] を選択します。
    他の 2 つのタブを使用できます。



20. [デスクトップフォームファクター (desktop form factor)] アイコンと [タブレットフォームファクター (tablet form factor)] アイコンを選択して、[その他] ドロップダウンが表示されないことを確認します。
21. **[X]** を選択して [プレビュー] オーバーレイを閉じます。

レスポンシブオーサリングのブレークポイントの作成

レスポンシブオーサリングのカスタムブレークポイントを作成して、さまざまなフォームファクターにおけるページのルックアンドフィールを制御する方法について説明します。

始める前に

必要なロール：ui_builder_admin

このタスクについて

UI ビルダー は現在、次の 3 つのデフォルトフォームファクターを提供しています。

- デスクトップ (1281 ピクセル以上)
- タブレット (1280 ピクセル以下)
- モバイル (500 ピクセル以下)

最大 3 つのブレークポイントを追加します。たとえば、モバイルデバイスのデフォルトのフォームファクターは 500 ピクセル以下ですが、360 ピクセルのブレークポイントが必要な場合があります。

> **注:**
> カスタムブレークポイントは範囲を表します。800 ピクセルでブレークポイントを作成すると、すべての変更は、幅が新しいサイズ以下のデバイスに適用されます。たとえば、幅が 750 ピクセルの画面で開いたページは、750 ピクセルの別のカスタムブレークポイントがない限り、800 ピクセルの設定 (プロパティとスタイル) を使用します。

手順

1. 移動先 すべて > **Now Experience** フレームワーク > **UI** ビルダー.
2. 作業するエクスペリエンスを開くか、または [作成] > [エクスペリエンス] を選択してエクスペリエンスを作成します。

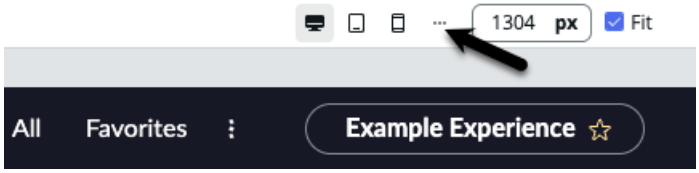
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

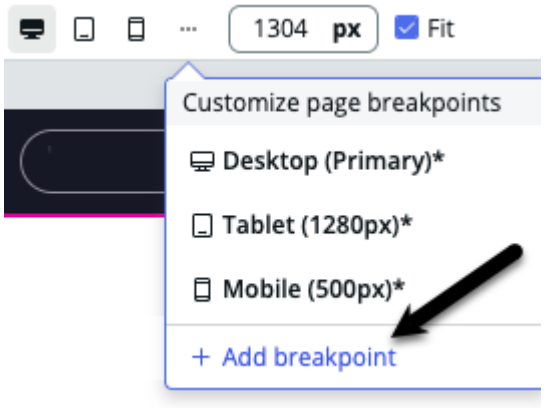
エクスペリエンスの作成の詳細については、「UI ビルダー でユーザーがアプリケーションをどのように操作するかを構成する」を参照してください。

3. レスポンシブオーサリングで最初から作成した既存のページを開くか、レスポンシブオーサリングで最初からページを作成します。
ページを作成する方法の詳細については、「UI ビルダーでのページの作成」を参照してください。

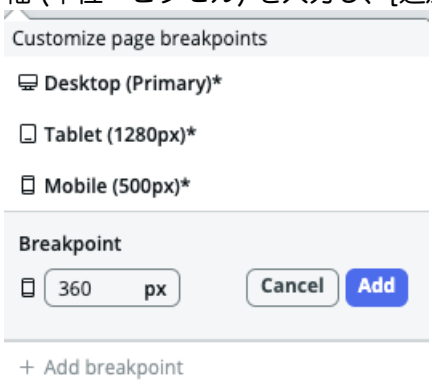
4. 3 つの [フォームファクター] アイコンの横にある [メニュー] アイコンを選択します。



5. **[+** ブレークポイントを追加] を選択します。



6. 幅 (単位：ピクセル) を入力し、[追加] を選択します。



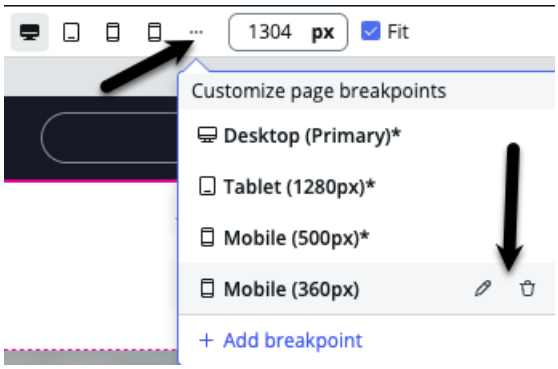
新しいブレークポイントが保存され、[フォームファクター (form factor)] アイコンとして表示されます。

ページをビルドする際、いずれかの [フォームファクター (form factor)] アイコンを選択して、そのサイズでページを表示および編集します。

7. カスタムブレークポイントを編集または削除するには、[メニュー] アイコンを選択し、ブレークポイント名をポイントして、[編集] または [削除] アイコンを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



注:
デフォルトのフォームファクター (デスクトップ、タブレット、モバイル) は編集または削除できません。

UI ビルダー エクスペリエンスを表示およびテストする方法を学ぶ

UI ビルダー でエクスペリエンスをプレビューし、エクスペリエンスのビルド時にどのように表示されるか、どのように機能するかを確認します。プレビューは、エクスペリエンスが期待どおりに機能すること、データリソースが利用可能なこと、レイアウトが正しく設定されていることを確認するのに役立ちます。

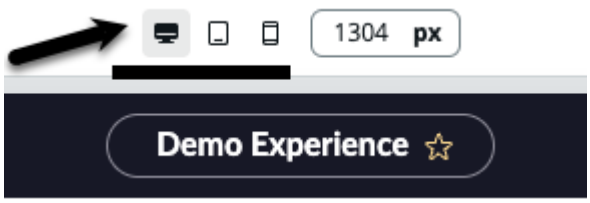
ページをテストする

開発者はページをテストしたり、エンドユーザーに表示される内容を確認したりできます。プレビューでは、最初に保存する必要はありません。

注:
非アクティブなバリアントとページコレクション (サブページ) のプレビューは現在サポートされていません。

ページのさまざまな側面をテストできます。

- [プレビュー] ボタンを選択してオーバーレイを開き、モーダル、ビューポート、動的データなどの現在作業しているバリアントをテストします。
- テスト値を変更し、[適用]を選択して、さまざまなデータでテストします。詳細については、「ページ内の値をテスト」を参照してください。
- [フォームファクター (form factor)] アイコンを選択して、さまざまな画面幅でバリアントがどのように見えるかを確認します。たとえば、バリアントをタブレットサイズまたはモバイルサイズで表示します。さまざまなフォームファクターのページ作成の詳細については、「レスポンシブオーサリング」を参照してください。



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
プレビュー時にテスト値またはフォームファクターを編集すると、エディターでページバリアントを表示するときに、新しいテスト値またはフォームファクターが保持されます。たとえば、プレビュー中にフォームファクターをモバイルに変更した場合、ページバリアントはモバイルフォームファクターのエディターに表示されます。[フォームファクター (form factor)] アイコンを選択して、いつでも別のサイズに変更できます。

テストが完了したら、右上の **[X]** を選択してオーバーレイを閉じます。

エンドユーザーとしてページをテストする

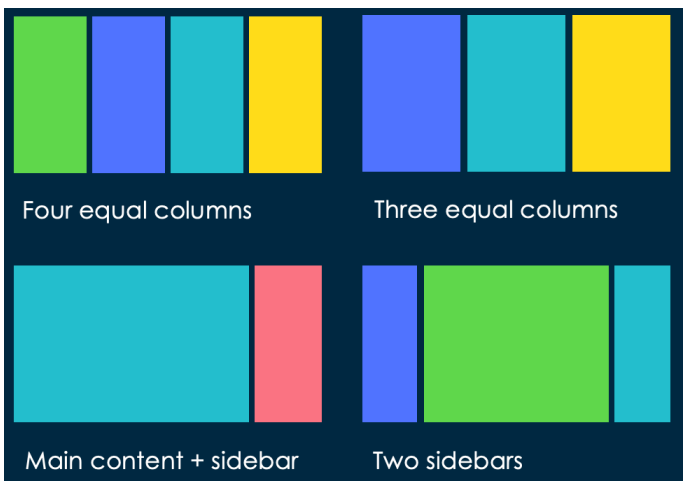
URL パスを開いて、どのバリアントがユーザーに表示されるかをテストします。[プレビュー] ボタンの横にある矢印を選択し、ドロップダウンリストで **[URL** パスを開く] を選択します。UI ビルダーによって対象者、条件、条件順序がチェックされ、新しいブラウザタブで適切なバリアントが開きます。テストが完了したら、タブを閉じます。

UI ビルダーページでコンポーネントを整理する

列レイアウトでは、UI ビルダー ページでコンポーネントを整理します。列レイアウトの使用方法については、「UI ビルダー」を参照してください。

列レイアウトを使用して、エクスペリエンスで役に立つ視覚的に魅力あるページを作成することができます。列レイアウトはコンポーネントを保持できる柔軟性に優れたコンテナの一種です。列レイアウトでは同じ幅または異なる幅の列を使用できます。列レイアウト全体を構成し、レイアウト内の個々の列も構成できます。たとえば、列レイアウトとレイアウト内の個々の列に異なる境界線の幅と色を設定します。列レイアウトでは、空白を作成するために UI ビルダー ページに空の列を含めることができます。1 つのページで複数列のレイアウトを使用します。たとえば、2 列のレイアウトにはヘッダーと画像を含めることができ、その下の 3 列のレイアウトにはリストやフォームなどのコンポーネントを含めることができます。

ビルドを開始する前に、ページのレイアウトについて検討します。何を達成する必要があるのか、ページレイアウトをどの程度複雑にする必要があるのかについて分析してください。これらの質問により、使用する列レイアウトまたはレイアウトのタイプが決まります。



UI ビルダー の列レイアウトでは、Flexbox、CSS グリッド、絶対位置などの標準ベースのカスケードスタイルシート (CSS) ルールと Web レイアウト技術を使用します。CSS でできることはすべて、ここで実行できます。CSS の詳細については、Mozilla のホームページを参照してください。

注:
以前のリリース (Utah または Tokyo) で作成された既存の UI ビルダー ページがある場合は、Vancouver または Washington DC にアップグレードして、ページに列レイアウトを追加できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

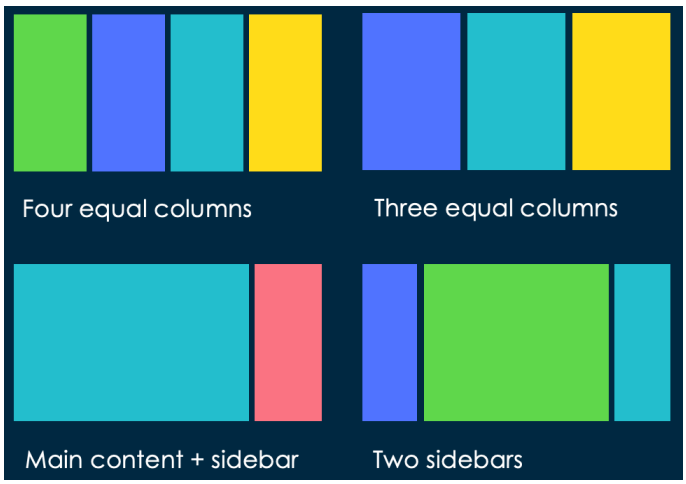
列レイアウト

列レイアウトは、UI ビルダー ページを設計および整理するために使用されます。

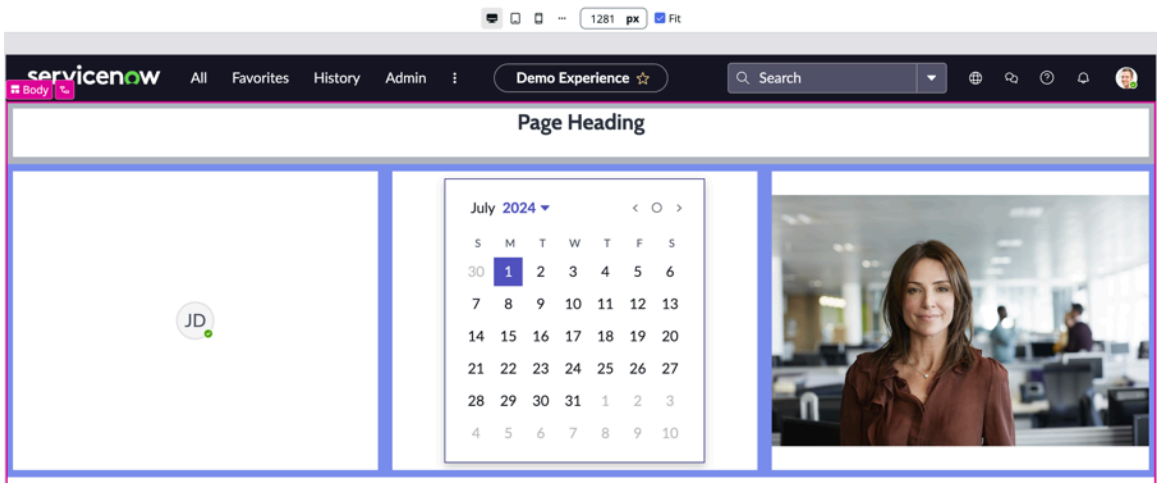
このビデオでは、次の手順を実行する方法を紹介します。 このビデオでは、UI ビルダーページに列レイアウトを追加する方法を示します。

列レイアウトを使用して、エクスペリエンスで役に立つ視覚的に魅力あるページを作成することができます。列レイアウトはコンポーネントを保持できる柔軟性に優れたコンテナの一種です。列レイアウトは事前設定されたシンプルなレイアウトであり、効率的で魅力的なページをすばやく設計できます。コンポーネントを追加する前に、列レイアウトを使用してページの構造を定義して設定すると便利です。

列レイアウトでは同じ幅または異なる幅の列を使用できます。



列レイアウト全体を構成し、レイアウト内の個々の列も構成できます。たとえば、列レイアウトとレイアウト内の個々の列に異なる境界線の幅と色を設定します。



注:
現在、列レイアウトで条件に基づく列の非表示/表示はサポートされていません。

列レイアウトの追加

UI ビルダー で列レイアウトを追加し、エクスペリエンスページで構造をビルドし、コンポーネントを整理します。

始める前に

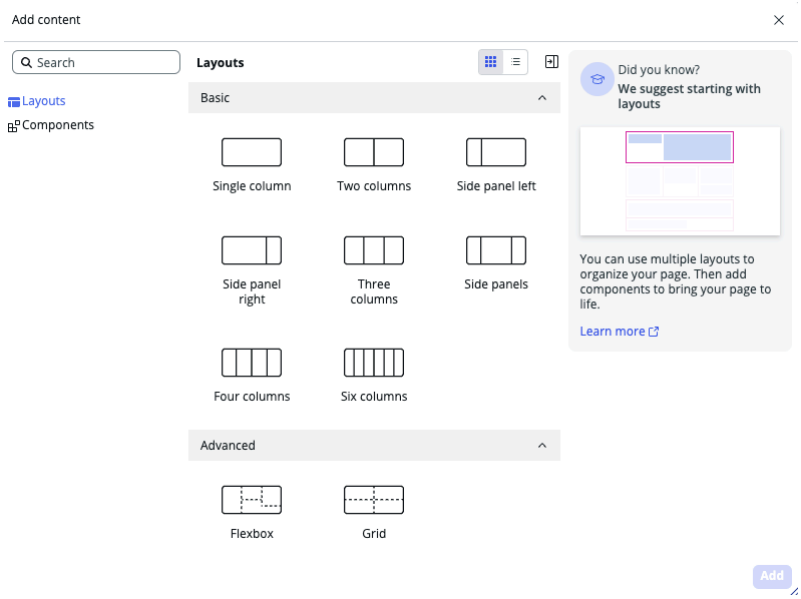
必要なロール：ui_builder_admin

自動翻訳

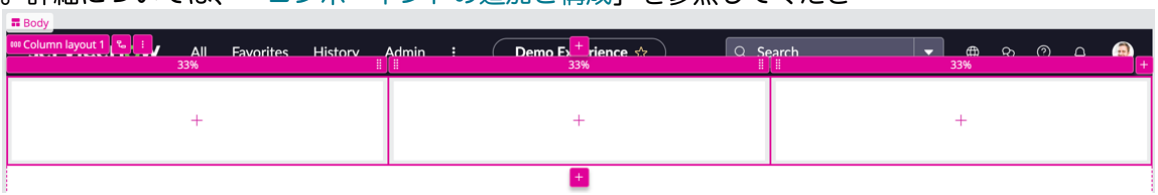
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > **Now Experience** フレームワーク > **UI** ビルダー.
2. 作業するエクスペリエンスを開くか、選択してエクスペリエンスを作成します 作成 > エクスペリエンス.
   エクスペリエンスの作成の詳細については、「UI ビルダー でユーザーがアプリケーションをどのように操作するかを構成する」を参照してください。
3. 「UI ビルダー でのページの作成」の手順を実行するか、またはページを開きます。
4. コンテンツツリーで **[+** コンテンツを追加] を選択します。
5. [レイアウト] タブで [基本] オプションのいずれかを選択します。



列レイアウトはステージに表示されるため、コンポーネントを列に追加できます。詳細については、「コンポーネントの追加と構成」を参照してください。

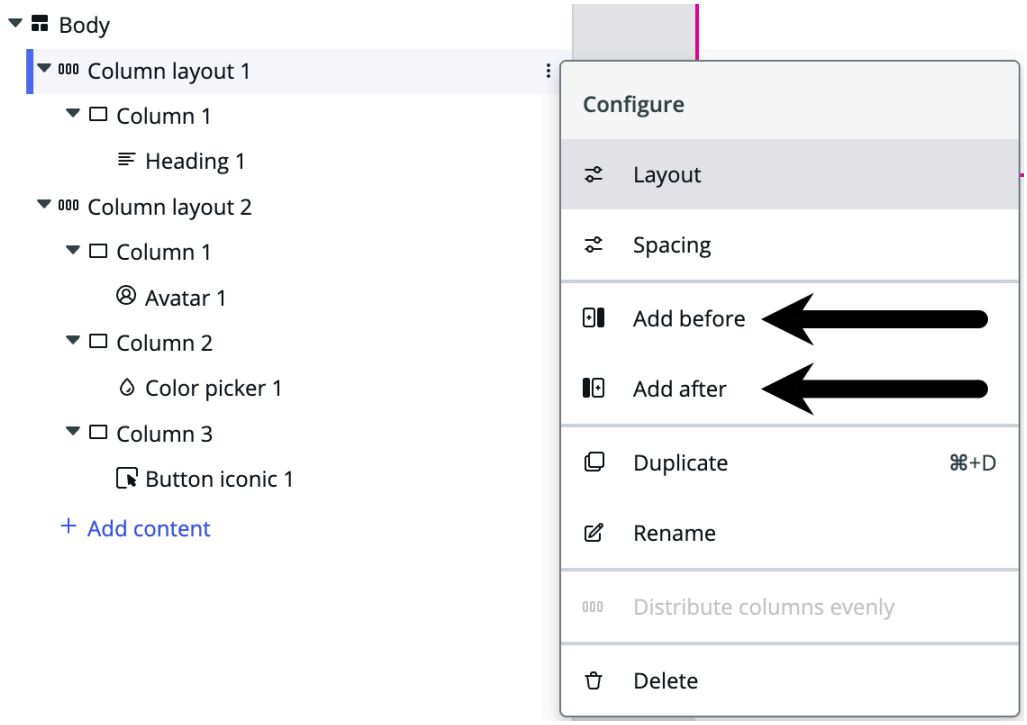


6. 上または下に列レイアウトを追加します。

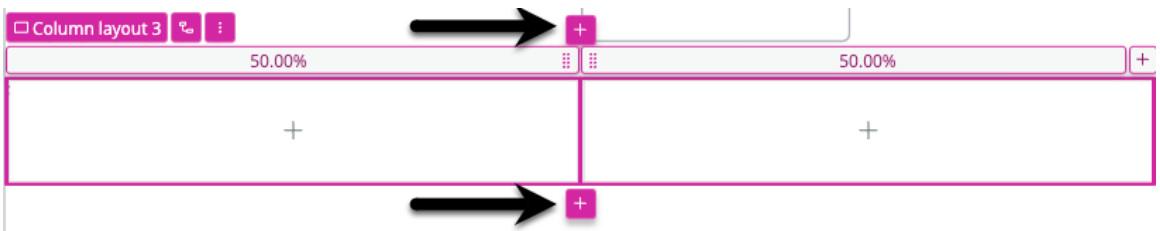
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- コンテンツツリーで、列レイアウト名を選択したままにするか (または右クリック)、列レイアウトのメニューアイコンを選択します。次に、リストから [前に追加] または [後に追加] を選択し、レイアウトを選択します。



- ステージで列レイアウトを選択し、上部または下部のプラス記号を選択します。



自動翻訳

列レイアウトの構成

UI ビルダー で列レイアウトを構成して、エクスペリエンスページに必要な適切な数の列と外観を追加します。

始める前に

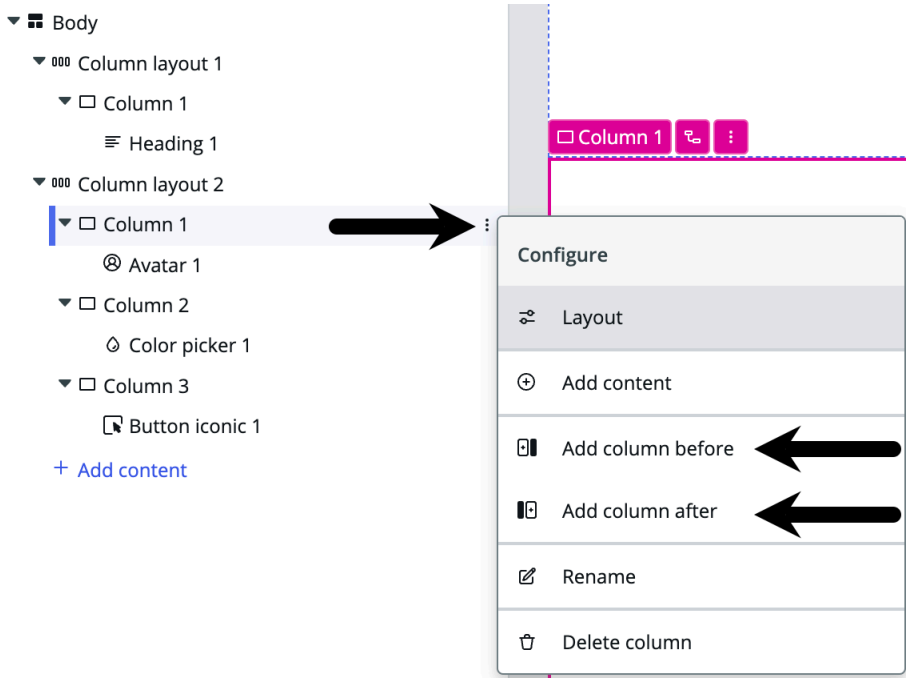
必要なロール：ui_builder_admin

手順

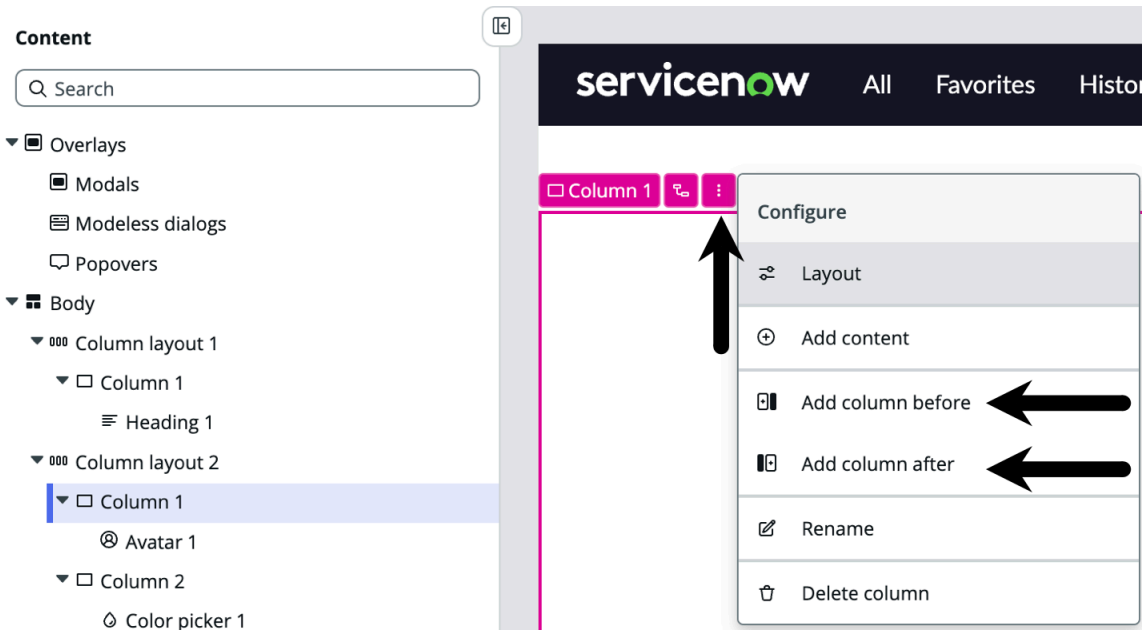
1. 移動先 すべて > **Now Experience** フレームワーク > **UI** ビルダー.
2. 作業するエクスペリエンスを開くか、選択してエクスペリエンスを作成します 作成 > エクスペリエンス.
   エクスペリエンスの作成の詳細については、「UI ビルダー でユーザーがアプリケーションをどのように操作するかを構成する」を参照してください。
3. 「UI ビルダー でのページの作成」の手順を実行するか、またはページを開きます。
4. ページに列レイアウトがまだ含まれていない場合は、列レイアウトの追加。
5. コンテンツツリー、ステージ、または構成パネルを使用して列を追加します (最大 6 つ)。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- コンテンツツリーで、列名を選択したままにするか (または右クリック)、列のメニューアイコンを選択して、リストから [事前に列を追加 **(Add column before)**] または [事後に列を追加 **(Add column after)**] を選択します。



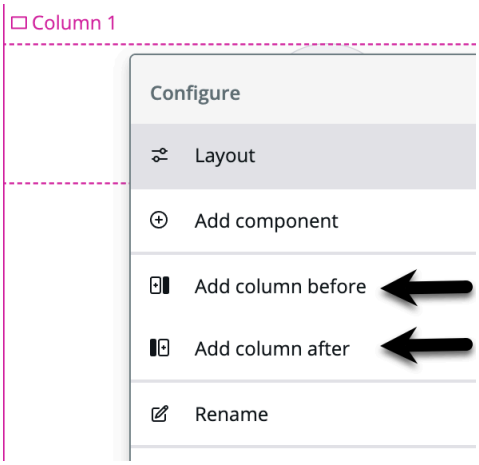
- ステージで、単一列を選択し、列名の横にあるメニューアイコンを選択して、リストから [事前に列を追加 **(Add column before)**] または [事後に列を追加 **(Add column after)**] を選択します。



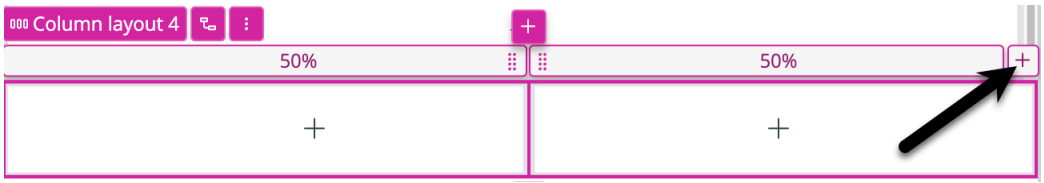
- ステージで、列を選択したままにして (または右クリックして)、リストから [事前に列を追加 **(Add column before)**] または [事後に列を追加 **(Add column after)**] を選択します。

自動翻訳

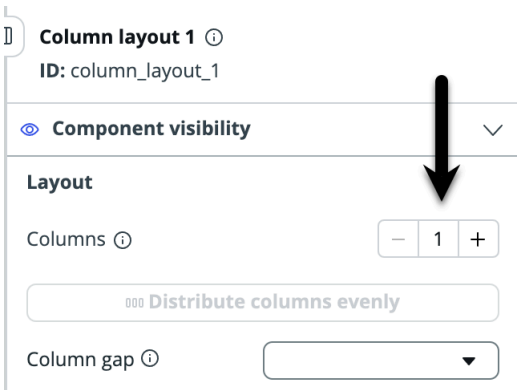
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



- コンテンツツリーで列レイアウトを選択し、ステージで [+] プラスアイコンを選択して、列レイアウトの右側に列を追加します。



- コンテンツツリーで列レイアウトを選択し、構成パネルで [列] の横にある [+] プラスアイコンを使用して、列レイアウトの右側に列を追加します。



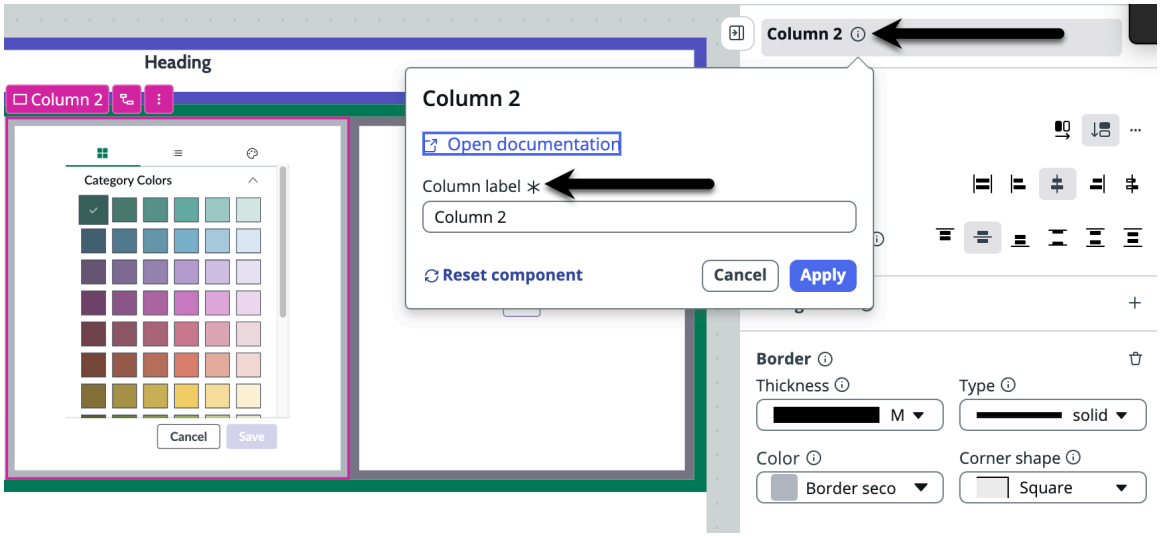
注:
列は相互にネストできますが、多くの場合、ページではこのレベルの複雑さは必要ありません。

6. コンテンツツリー、ステージ、または構成パネルから列ラベルを編集して、列の名前を変更します。
   - コンテンツツリーで、列名を選択したままにするか (または右クリック)、列のメニューアイコンを選択して、[名前の変更] を選択します。
   - ステージで、列名の横にあるメニューアイコンを選択し、[名前の変更] を選択します。

自動翻訳

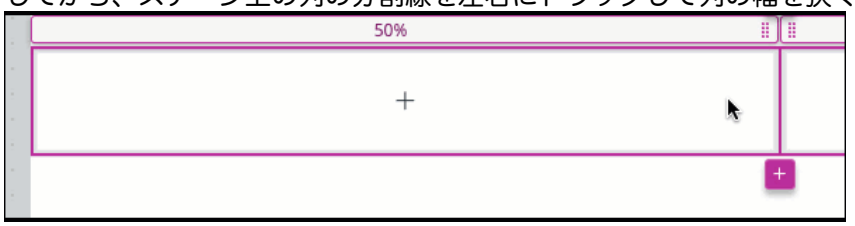
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 構成パネルで、列名の横にある情報アイコンを選択します。



列の名前を変更すると、ステージとコンテンツツリーの異なる列を区別するのに役立ちます。多数の列レイアウトと列を含む複雑なページがある場合は、列の名前を変更すると便利です。

7. レイアウト内の列の幅を変更するには、(コンテンツツリーまたはステージで) 列レイアウトを選択してから、ステージ上の列の分割線を左右にドラッグして列の幅を狭くしたり広くしたりします。



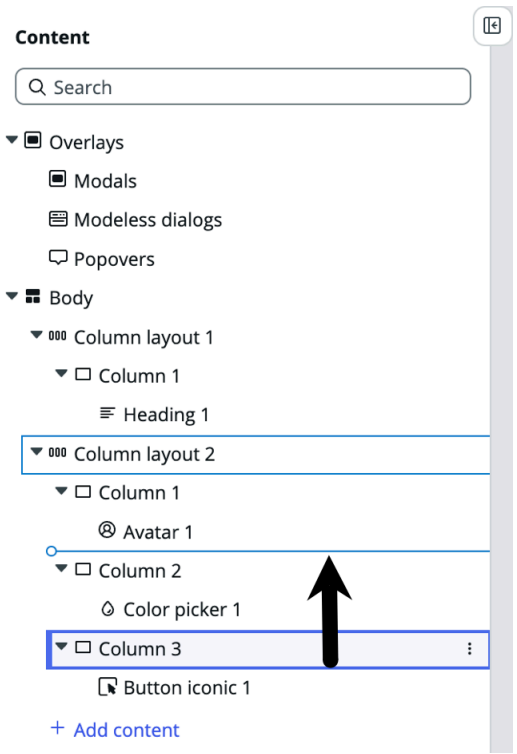
列の分割線をドラッグすると、列の上部の幅のパーセンテージが自動的に変化します。パーセンテージの合計は 100% になります。列のサイズを変更するときは、列内のコンポーネントに必要なスペースに注意してください。たとえば、リストおよびフォームコンポーネントは通常、幅の狭い列では適切に表示されません。

8. コンテンツツリー、ステージ、または構成パネルを使用して、レイアウト内の列を水平方向に均等に配分します。
   - コンテンツツリーで、列レイアウト名を選択したままにするか (または右クリック)、列レイアウトのメニューアイコンを選択して、リストから [列を均等に配分 **(Distribute columns evenly)]** を選択します。
   - ステージで、列レイアウト名の横にあるメニューアイコンを選択して、リストから [列を均等に配分 **(Distribute columns evenly)]** を選択します。
   - (コンテンツツリーまたはステージで) 列レイアウトを選択し、構成パネルで [列を均等に配分 **(Distribute columns evenly)]** を選択します。
9. コンテンツツリーまたはステージを使用して、列レイアウト内の列 (その内容を含む) を並べ替えます。

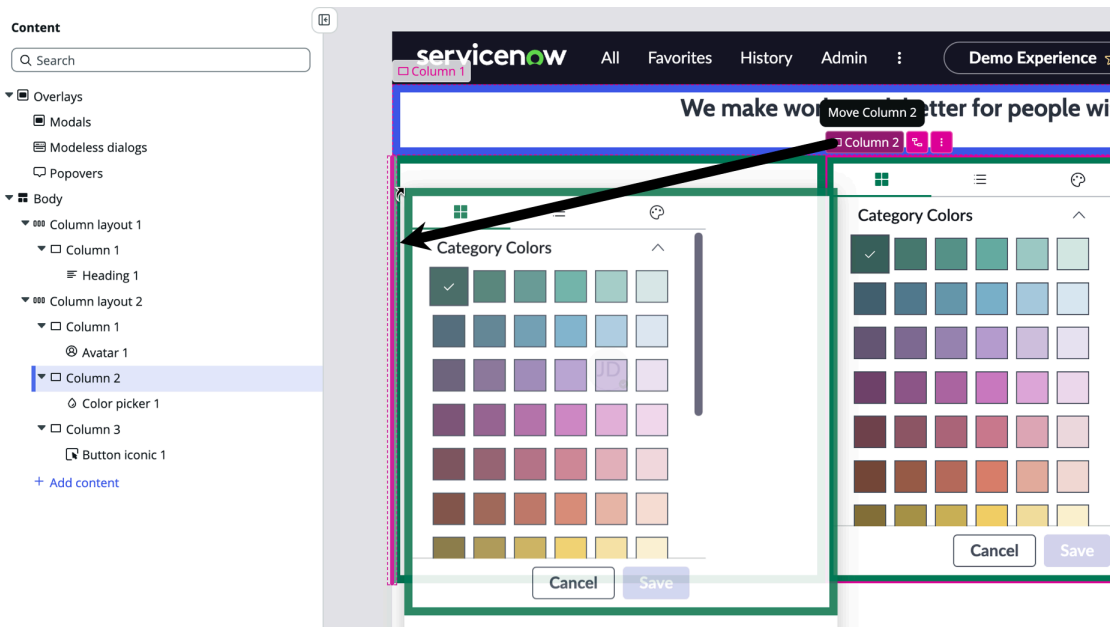
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- コンテンツツリーで、列を選択し、別の位置にドラッグします (青い横線は、列をドロップできる場所を示します)。



- ステージで列ヘッダーを選択し、列を別の位置にドラッグして、マゼンタの縦線で定義されたドロップゾーンに列をドロップします。



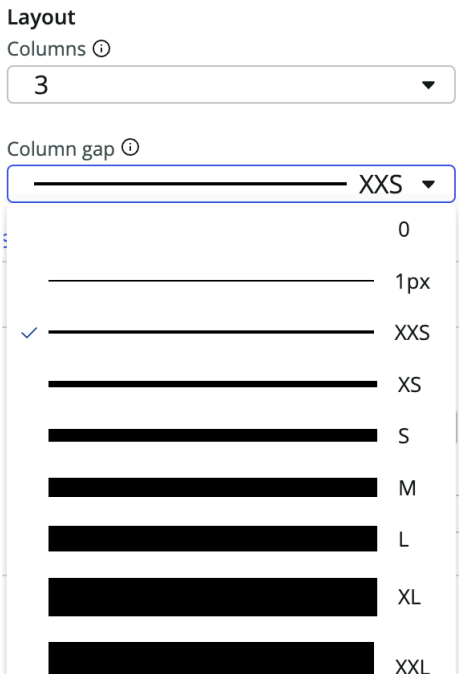
列をコンテンツツリーで並べ替えるとステージが更新され、ステージで並べ替えるとコンテンツツリーが更新されます。

10. コンテンツツリー、ステージ、または構成パネルの列間のスペースを指定します。

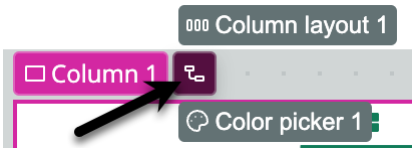
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- コンテンツツリーで、列レイアウト名を選択したままにするか (または右クリック)、列レイアウトのメニューアイコンを選択して、リストから [レイアウト] を選択し、[列ギャップ] でサイズオプションを選択します。
- ステージで、列レイアウト名の横にあるメニューアイコンを選択して、リストから [レイアウト] を選択し、[列ギャップ] でサイズオプションを選択します。
- 列レイアウトを (コンテンツツリーまたはステージで) 選択し、構成パネルの [列ギャップ] でサイズオプションを選択します。



11. ツリーアイコンを選択して、コンテンツの別のレイヤーに移動します。たとえば、列から親の列レイアウトや子コンポーネント移動します。



12. コンテンツツリーまたはステージから列を削除します。
    - コンテンツツリーで、列名を選択したままにするか (または右クリック)、列のメニューアイコンを選択して、リストから [列を削除] を選択します。
    - ステージで、単一列を選択し、列名の横にあるメニューアイコンを選択して、リストから [列を削除] を選択します。
    - コンテンツツリーで列レイアウトを選択し、構成パネルで [列] の横にある [-] マイナスアイコンを使用して、列レイアウトの右側から列を削除します。

列間隔の編集については、「列のコンポーネント間のギャップを設定する」を参照してください。

列のコンポーネント間のギャップを設定する

UI ビルダー で、列に複数のコンポーネントが含まれている場合、コンポーネント間のギャップを設定します。

始める前に

必要なロール：ui_builder_admin

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

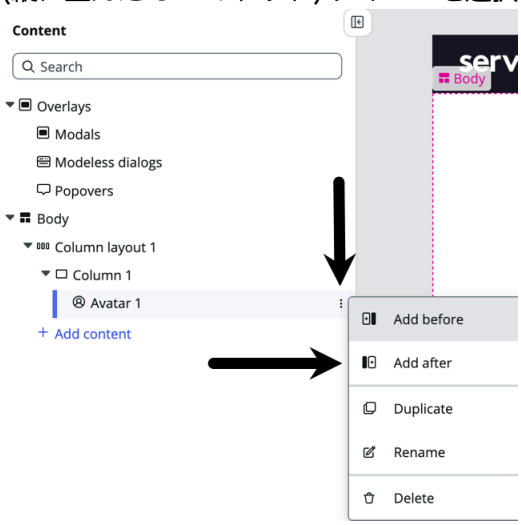
手順

1. 移動先 すべて > **Now Experience** フレームワーク > **UI** ビルダー.
2. 作業するエクスペリエンスを開くか、選択してエクスペリエンスを作成します 作成 > エクスペリエンス.
   エクスペリエンスの作成の詳細については、「UI ビルダー でユーザーがアプリケーションをどのように操作するかを構成する」を参照してください。
3. 「UI ビルダー でのページの作成」の手順を実行するか、またはページを開きます。
4. ページに列レイアウトがまだ含まれていない場合は、列レイアウトの追加。
5. 1 つの列内に 2 つのコンポーネントを追加します

   a. コンテンツツリーで列を特定し、列名の下にある **[+** コンテンツを追加] を選択します。

   b. ツールボックスウィンドウで、コンポーネント (アバター など) を選択します。

   c. コンテンツツリーで、追加したコンポーネントの名前の上にマウスを移動し、[メニューを開く] (縦に並んだ 3 つのドット) アイコンを選択して、[後に追加] を選択します。

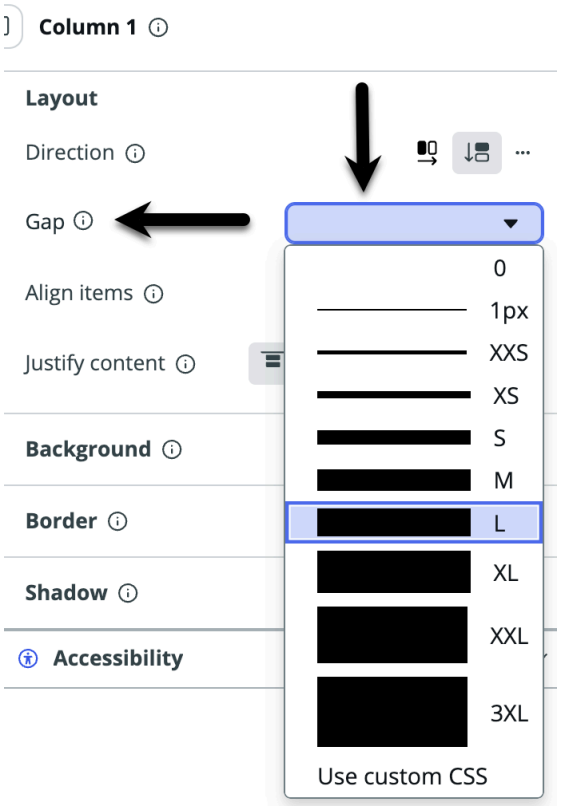


   d. ツールボックスウィンドウで、別のコンポーネント (ボタン など) を選択します。

6. [保存] を選択します。
7. コンテンツツリーで、2 つのコンポーネントを追加した列を選択します。
8. 構成パネルの [ギャップ] で、サイズのオプションを選択します。

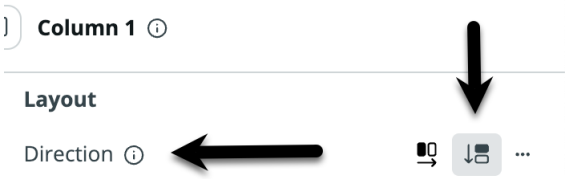
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



9. 正確なギャップサイズをピクセル単位で指定するには、[ギャップ] フィールドの上にマウスを移動し、[カスタム値を使用] (鉛筆) アイコンを選択して、数値 (300px など) を入力します。

10. 列のコンポーネントの配置を積み重ねるか横に並べるかを変更するには、[方向] で [行] または [列] アイコンを選択します。



列のコンポーネントの順序と配置を逆にするには、[方向] の [詳細] (横 3 つのドット) アイコンを選択し、[逆にする **(Reverse)]** オプションを選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

詳細な列レイアウトオプションの設定

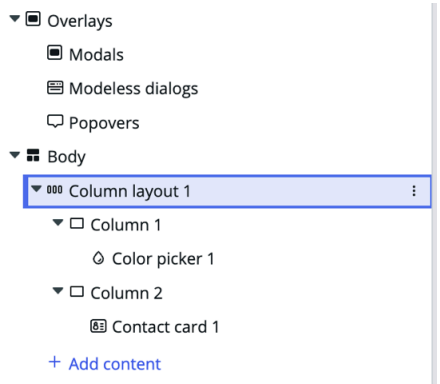
スタック幅と列レイアウト高さを含む、詳細な列レイアウトオプションを UI ビルダーで設定します。

始める前に

必要なロール：ui_builder_admin

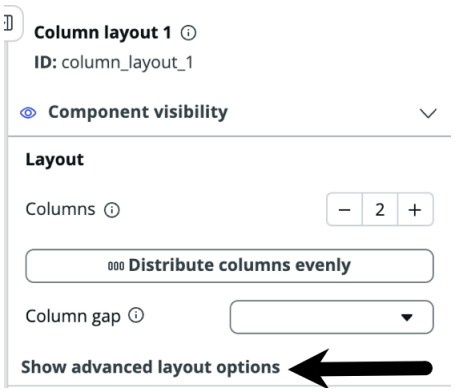
手順

1. 移動先 すべて > **Now Experience** フレームワーク > **UI** ビルダー.
2. 作業するエクスペリエンスを開くか、選択してエクスペリエンスを作成します 作成 > エクスペリエンス.
   エクスペリエンスの作成の詳細については、「UI ビルダー でユーザーがアプリケーションをどのように操作するかを構成する」を参照してください。
3. 「UI ビルダー でのページの作成」の手順を実行するか、またはページを開きます。
4. ページに列レイアウトがまだ含まれていない場合は、列レイアウトの追加。
5. コンテンツツリーで 2 つ以上の列を含む列レイアウトを選択します。



6. スタック幅を設定するには、構成パネル > [レイアウト] に移動し、[詳細レイアウトオプションを表示] を選択します。

   注:
   スタック幅を設定すると、幅の狭いブラウザーウィンドウ、タブレット、またはモバイルデバイスでの列レイアウトを含むページの外観を制御できます。



7. [下に列をスタック] に幅を入力します。
8. [保存] を選択します。
9. 更新されたスタック幅をテストするには、[プレビュー] の横にある矢印を選択し、**[URL** パスを開く] を選択します。

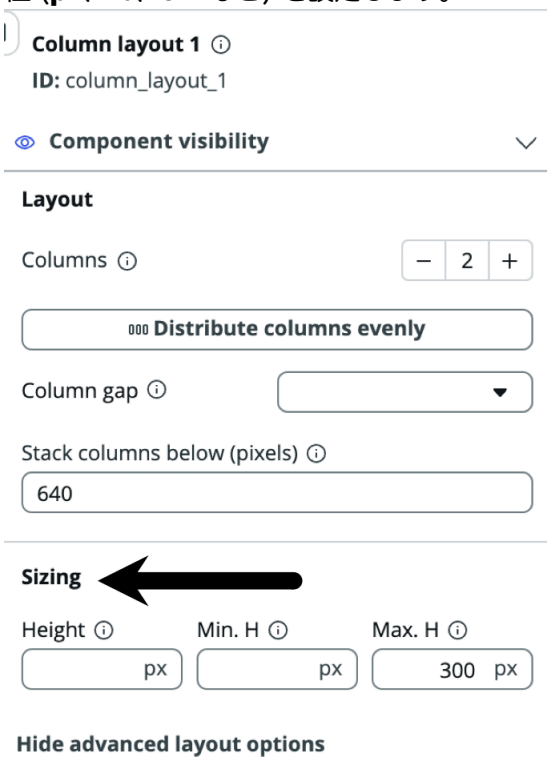
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

10. 指定したスタック幅よりもブラウザウィンドウの幅を小さくして、右側の列が最初の列より下に移動することを確認します。
11. URL パスで開いたブラウザタブを閉じます。
12. 列レイアウトの高さを制御するには、コンテンツツリーで 2 つ以上の列を含む列レイアウトを選択し、[構成パネル] > [レイアウト] に移動して、[詳細レイアウトオプションを表示] を選択します。

    注:
    高さの設定は、リストコンポーネントなどの高さを設定できるコンポーネントが列レイアウトに含まれている場合に便利です。

13. [サイジング] で、1 つ以上のオプション ([高さ]、[最小高]、[最大高]) に数値を入力し、サイズ単位 (**px**、**%**、**em** など) を設定します。



14. [保存] を選択します。
15. 更新されたサイジングをテストするには、[プレビュー] の横にある矢印を選択し、**[URL** パスを開く] を選択します。
16. ブラウザウィンドウの高さを縮小および拡大して、指定した値をテストします。
17. URL パスで開いたブラウザタブを閉じます。

UI ビルダー のレイアウトのアップグレード

Quebec および Rome で作成されたレイアウトを新しいレイアウトシステムにアップグレードします。

UI ビルダー レイアウトシステムは San Diego リリースで拡張および更新されました。この新しいレイアウトシステムは、簡素化されたコンテンツツリー、およびレイアウト構成とコンポーネントのスタイリングのための新しいスタイリングパネルを備えています。新しく作成されるすべてのページバリアントは、新しいレイアウトシステムを使用します。既存のページとカスタムページを新しいレイアウトシステムにアップグレードすることを選択できます。

新しいレイアウトシステムには以下が含まれます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 簡素化されたコンテンツツリー
- レイアウト構成とコンポーネントのスタイリング用の改善されたスタイリングパネル
- CSS Flexbox および グリッド レイアウトを構成するためのローコード UI
- コンポーネントのスタイリング用の拡張 UI
- スロットを必要としない更新されたレイアウト

レイアウトのアップグレード後の確認事項

バリアントとページは個別にアップグレードされます。

ページ/バリアントは、レイアウトと、データリソース、イベントバインディング、および構成があるレイアウト内でコンテナにラップされたコンポーネントおよびサブコンポーネントで構成されます。新しいレイアウトシステムにアップグレードすると、ページのレイアウトのみがアップグレードされるため、データ、コンポーネント、またはコンポーネントのスタイリングに影響はありません。

古いレイアウトシステムのすべてのスロットは、アップグレードプロセス中に新しいレイアウトに移行されます。アップグレードプロセスにより、ページ上でのコンポーネントコンテナの構造が変更されます。

コンポーネントのスタイリングは影響を受けませんが、コンポーネントの配置方法が 1 対 1 のスタイルで移行されない場合があります。複雑なページでは、スタイルがスロットからコンテナにマージされるため、アップグレードプロセスによって視覚的な不整合が発生する可能性があります。一部の問題は手動で解決する必要があります。

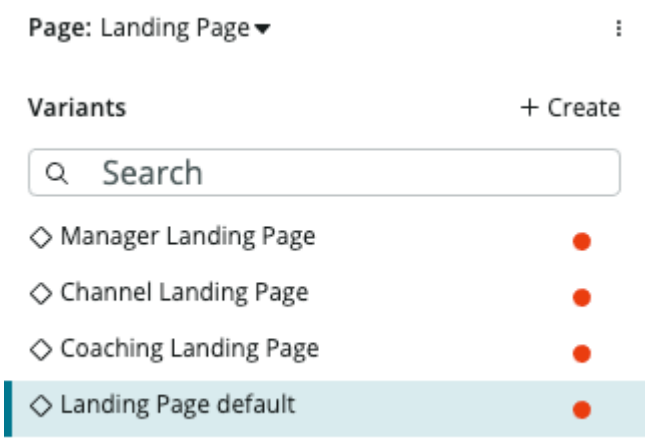
新しいレイアウトシステムへのアップグレード

UI ビルダー ページを新しいレイアウトシステムにアップグレードします。

始める前に
必要なロール：ui_builder_admin

手順

1. 移動先 すべて > **Now Experience** フレームワーク > **UI** ビルダー.
2. アップグレードするページでエクスペリエンスを開きます。
   エクスペリエンスの作成の詳細については、「UI ビルダー でユーザーがアプリケーションをどのように操作するかを構成する」を参照してください。
3. アップグレードするページを選択します。



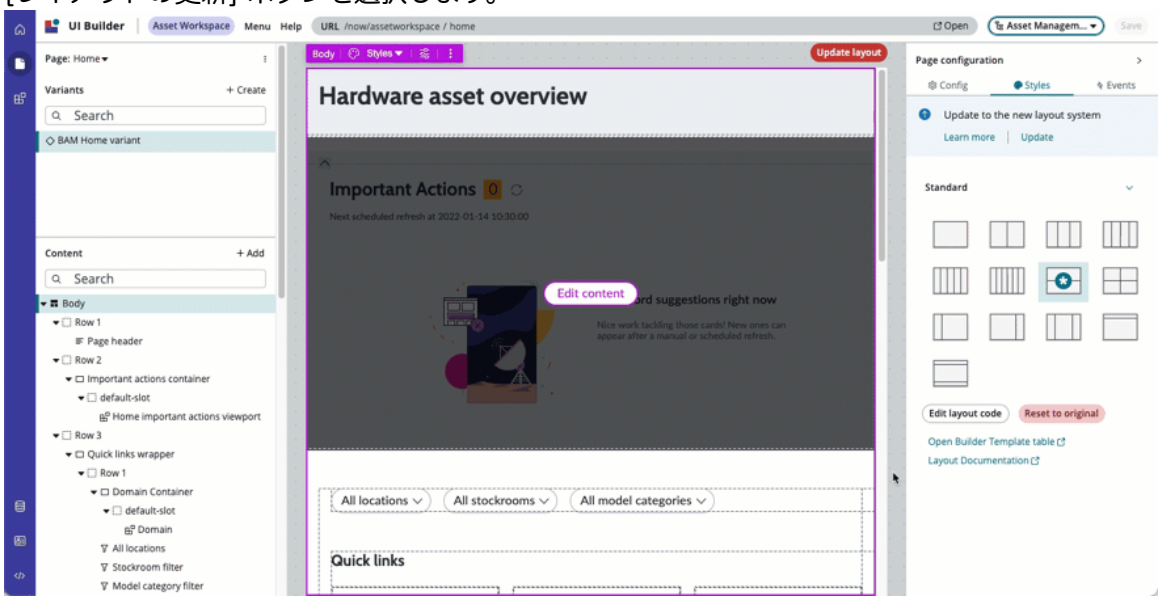
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

新しいレイアウトシステムにアップグレードできるページバリアントは、赤い点でタグ付けされます。

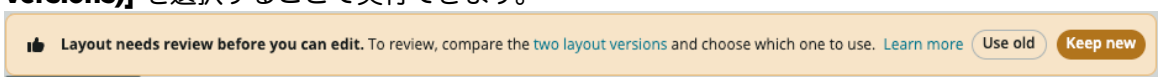
> **注:**
> Quebec より前の行/列レイアウトシステムを使用して作成された従来のページはアップグレードできません。新しいレイアウトシステムで再ビルドする必要があります。

4. [レイアウトの更新] ボタンを選択します。



UI ビルダー がページレイアウトの新しいレイアウトシステムへの更新を開始します。プロセスが完了すると、通知が表示されます。

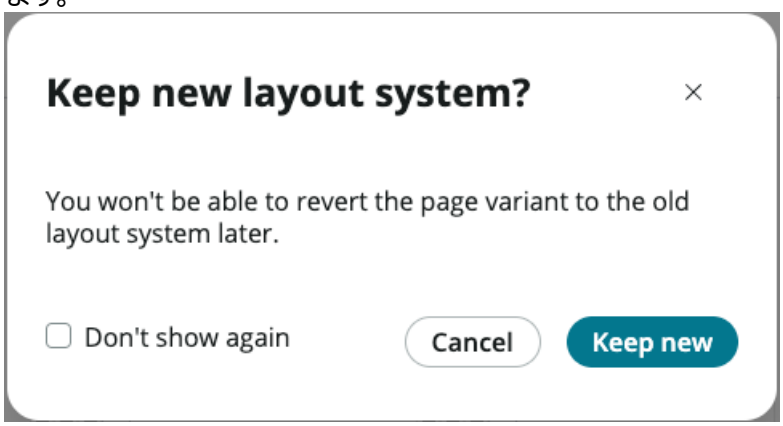
5. 古いレイアウトとアップグレードされたレイアウトの比較は、[レイアウトを編集するには、レビューが必要です] 通知で **[2 つのレイアウトバージョンを比較 (compare the two layout versions)]** を選択することで実行できます。



2 つのブラウザータブが開かれ、1 つには現在のレイアウトが表示され、もう 1 つにはアップグレードされたレイアウトが表示されます。

6. [新規を保持] を選択して新しいレイアウトシステムにページを更新するか、[古いものを使用] を選択してページレイアウトを元の状態のままにします。
選択を確認することを求めるモーダルが表示されます。

7. [新規を保持] を選択して新しいレイアウトシステムへのアップグレードを完了するか、[古いものを使用] を選択してアップグレードプロセスを取り消してページを古いレイアウトシステムに戻します。



© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

8. 変更が適用された状態でページが再ロードされます。

9. [プレビュー] ボタン (Preview) を選択し、ページを表示してテストします。

UI ビルダー での Flexbox レイアウトの使用

UI ビルダー で Flexbox レイアウトを作成し、カスケードスタイルシート (CSS) でカスタマイズすることで、パフォーマンスを向上させることができます。

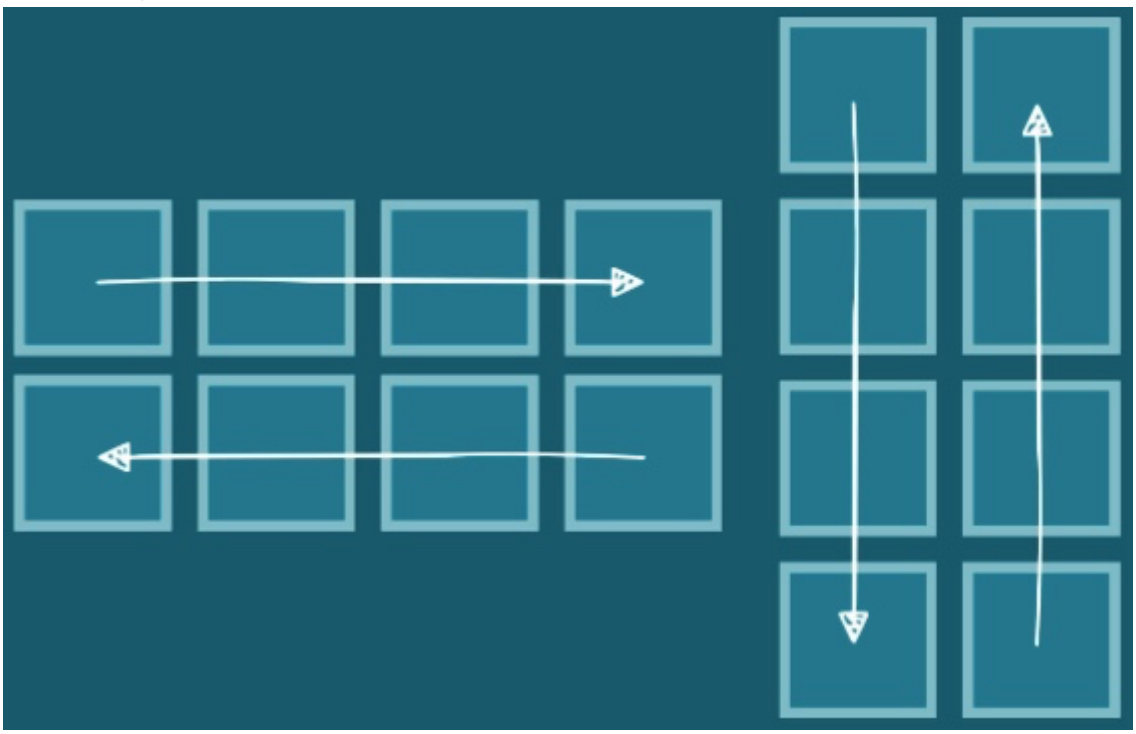
UI ビルダーで Flexbox レイアウトを使用してカスタムページを簡単にビルドできます。ページのレイアウトをカスタマイズすると、Flexbox を最大限に活用してページ全体を設計できます。詳細については、「UI ビルダーページでコンポーネントを整理する」を参照してください。

Flexbox は、CSS の 1 次元レイアウトシステムです。Flexbox は本質的に柔軟であるため、コンテンツのサイズがわからない場合に便利です。複雑なページをビルドする予定の場合は、構成パネルの [スタイル] タブまたは CSS を使用してページのレイアウトをカスタマイズできます。Flexbox の詳細については、Mozilla のホームページを参照してください。

レイアウト内のコンテンツの向きは、次の方法で変更できます。

- 行：行は、ブラウザーのデフォルト言語の向きに応じて、「左から右」または「右から左」に編成されます。英語のブラウザーの場合は「左から右」です。
- 行を逆にする：行は、ブラウザーのデフォルト言語の逆向きに、「右から左」または「左から右」に編成されます。
- 列：「上から下」または「下から上」
- 列を逆にする：「下から上」

Flexbox の行と列の向き



- コンテンツの両端揃え：主軸に沿って配置を定義します。選択肢は次のとおりです。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- フレックス開始：アイテムは、左揃えのコンテンツのように、フレックスの向きで先頭位置に置かれます。これは、デフォルトの設定です。
- フレックス終了：アイテムは、右揃えのコンテンツのように、フレックスの向きで末尾位置に置かれます。
- 間にスペースを配置：アイテムは均等に配置されます。
- 外側にスペースを配置：アイテムは周囲に均等な間隔を置いて均等に配置されます。
- 均等にスペースを配置：アイテム間の間隔は均等になります。

- アイテムの整列：交差軸に沿ってフレックスコンテンツを表示する方法を定義します。選択肢は次のとおりです。
  - ストレッチ (Stretch)：コンテンツを引き延ばしてコンテナ全体に収まるようにします。これは、デフォルトの設定です
  - フレックス開始：交差軸の先頭位置にコンテンツを配置します。
  - フレックス終了：交差軸の末尾位置にコンテンツを配置します。
  - 中央：コンテンツを交差軸の中央に配置します。
  - ベースシステム：コンテンツをベースライン配置と同じように配置します。
- 高さ：高さを自動または手動で設定します。
- 幅：Flexbox のアイテムの高さを自動または手動で設定します。
- マージン：Flexbox のアイテム間の最小距離を設定します。
- パディング (Padding)：Flexbox のアイテムの各側のパディングを設定します。

新しいレイアウトシステムでの **Flexbox** レイアウトの作成

UI ビルダー で Flexbox レイアウトを作成し、ローコード環境で強力なページをビルドします。

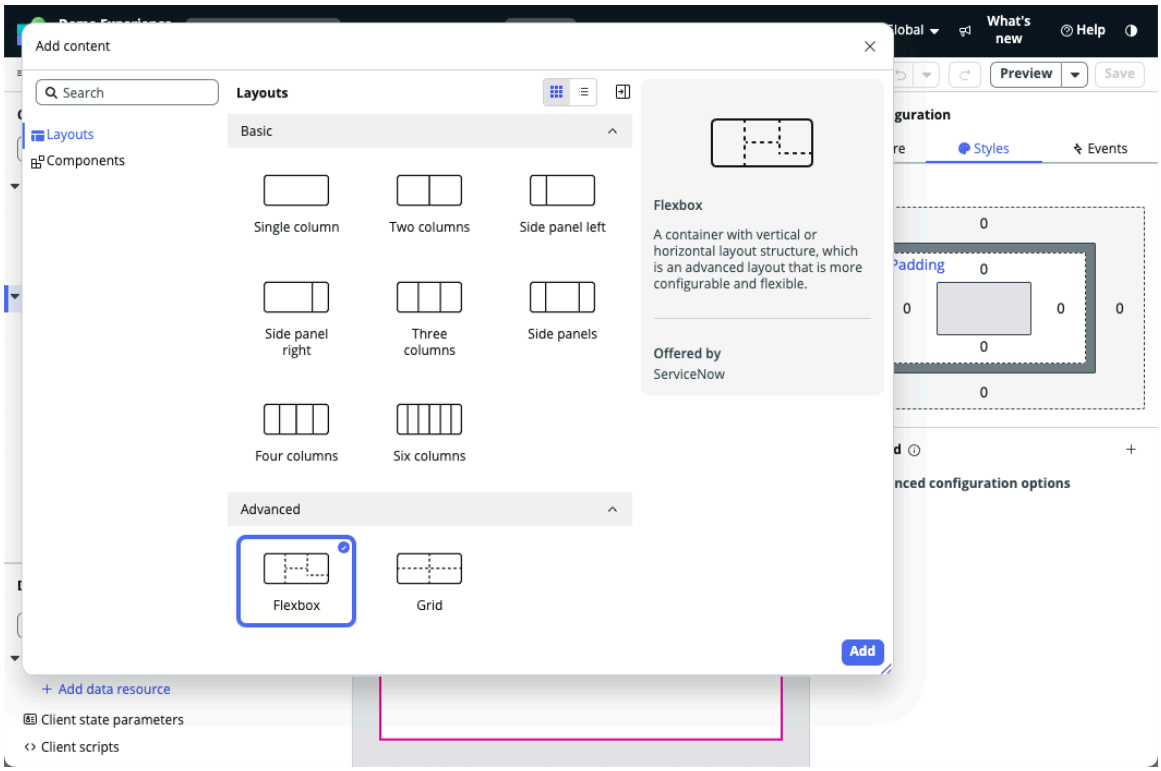
始める前に
必要なロール：admin

手順

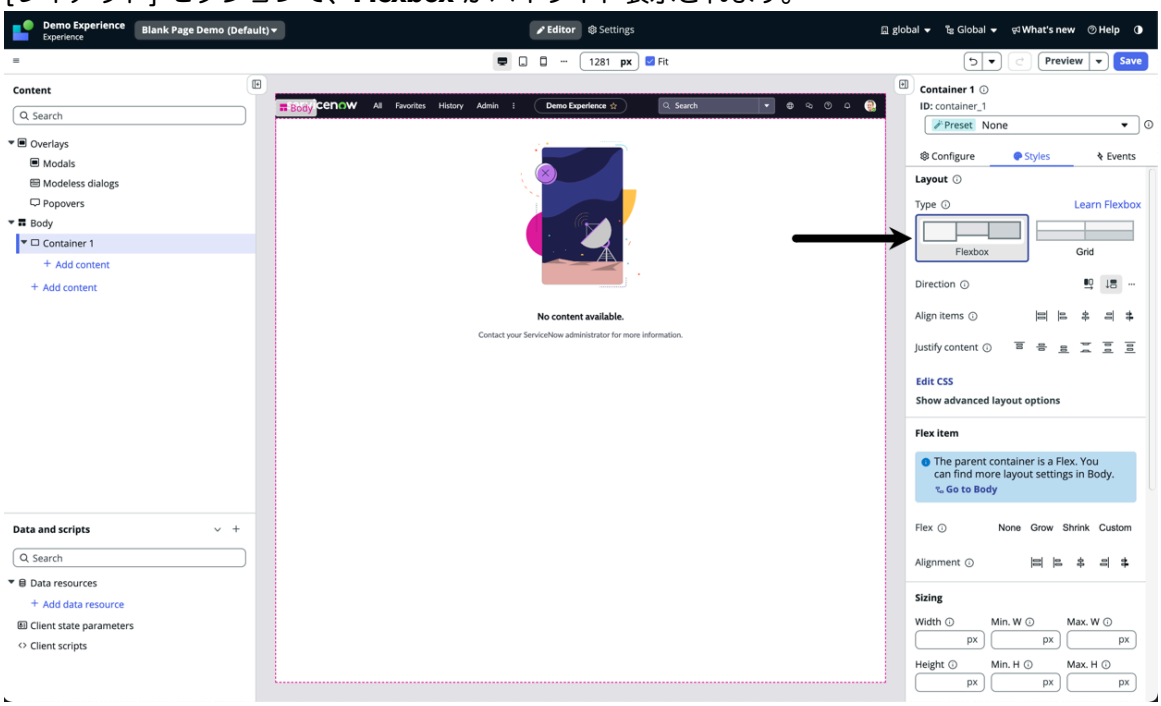
1. 移動先 すべて > **Now Experience** フレームワーク > **UI** ビルダー.
2. 作業するエクスペリエンスを開くか、選択してエクスペリエンスを作成します 作成 > エクスペリエンス.
   エクスペリエンスの作成の詳細については、「UI ビルダー でユーザーがアプリケーションをどのように操作するかを構成する」を参照してください。
3. UI ビルダー でのページの作成。
4. UI ビルダー ステージで **[+** コンテンツを追加] ボタンを選択します。
5. [レイアウト] タブの **[Flexbox]** を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



6. **[Add** (追加)] を選択します。
7. 構成パネルで [スタイル] タブを選択します。
8. [レイアウト] セクションで、**Flexbox** がハイライト表示されます。



9. [スタイル] タブの [レイアウト] セクションで、以下を変更できます。

方向

コンポーネントを水平に重ねるか、垂直に重ねるかを定義します。

アイテムの整列

コンテナ内のコンポーネントをグループとして整列する方法を定義します。

コンテンツの両端揃え

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

コンテナ内のコンポーネントをパックする方法または間隔を空ける方法を定義します。

> **注:**
> [詳細レイアウトオプションを表示 **(Show advanced layout options)**] を選択し、次の 2 つのオプションを表示します。

ギャップ

行と列の間のギャップのサイズを設定します。

子要素を複数の行に折り返す

コンポーネントを強制的に 1 行に表示するか、オーバーフローさせて複数行に表示するかを設定します。

Flexbox のレイアウト構成については、Mozilla のホームページを参照してください。

10. オプション: CSS コードを編集するには、[スタイル] タブの下部にある [詳細設定オプションを表示 **(Show advanced configuration options)**] を選択した後で **[CSS** の表示と編集] オプションを選択します。
11. [保存] を選択します。
    ページが更新され、レイアウトに加えられた変更が表示されます。
12. コンポーネントをページに追加します。
    詳細については、「コンポーネントの追加と構成」を参照してください。
13. Preview を選択し、ページを表示してテストします。

古いレイアウトシステムでの **Flexbox** レイアウトの作成

UI ビルダー で Flexbox レイアウトを作成し、カスケードスタイルシート (CSS) でカスタマイズすることで、パフォーマンスを向上させることができます。

始める前に
必要なロール：admin

このタスクについて
次の手順では、Flexbox を使用して CSS コードを変更し、ページのレイアウトをカスタマイズする方法を学習します。

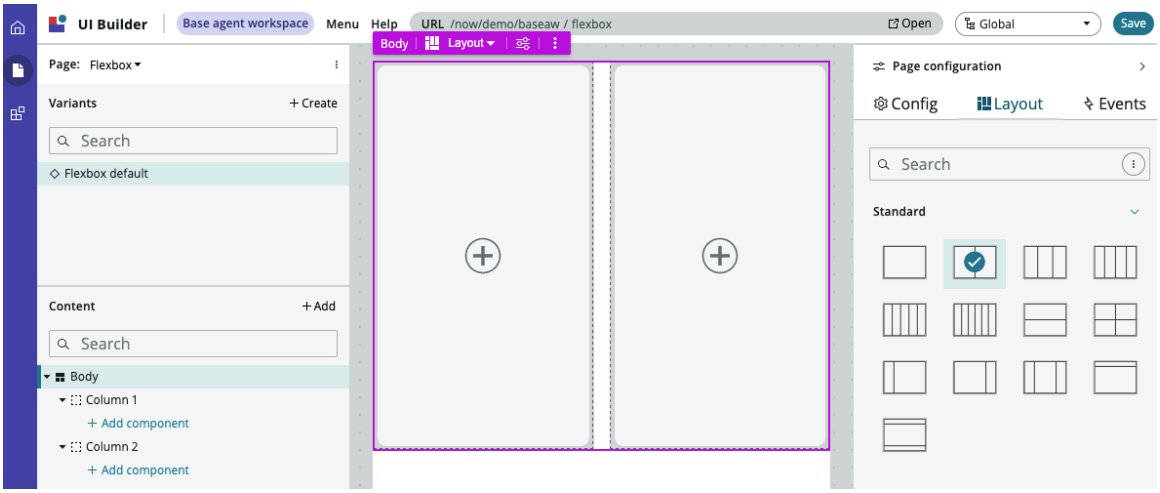
手順

1. 移動先 すべて > **Now Experience** フレームワーク > **UI** ビルダー.
2. 作業するエクスペリエンスを開くか、選択してエクスペリエンスを作成します 作成 > エクスペリエンス.
   エクスペリエンスの作成の詳細については、「UI ビルダー でユーザーがアプリケーションをどのように操作するかを構成する」を参照してください。
3. 「UI ビルダー でのページの作成」の手順を実行するか、またはページを開きます。
4. [レイアウト] タブをクリックし、2 列のレイアウトを選択します。

自動翻訳

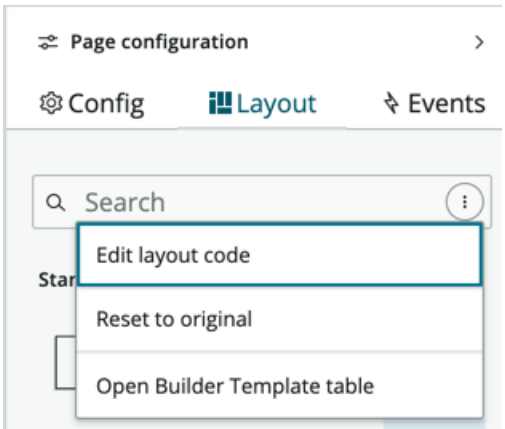
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

標準の **2** 列レイアウト



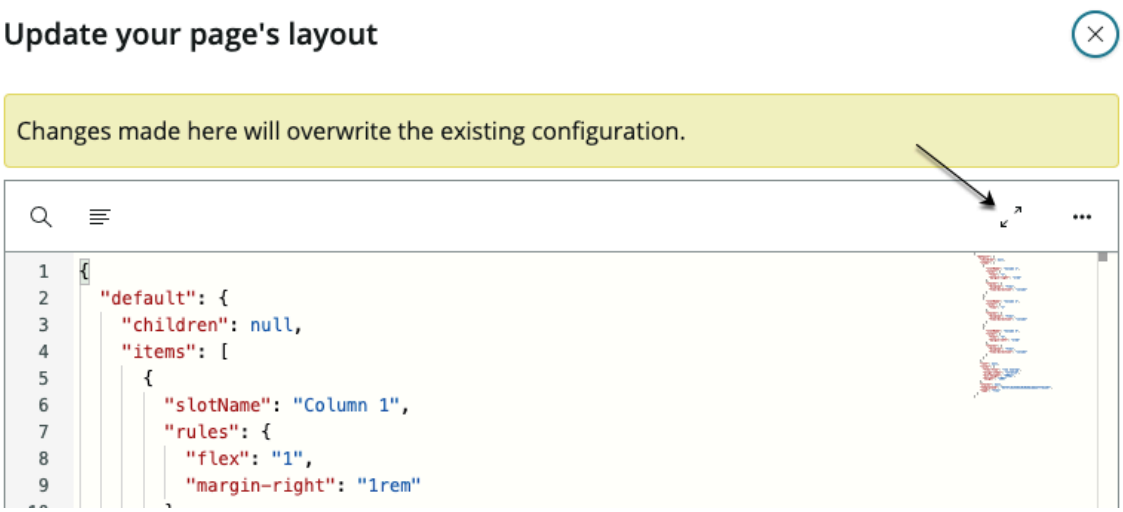
5. [レイアウトコードを編集] をクリックします。

レイアウトコードの編集



6. コードエディターを展開して、CSS コードを簡単に確認できるようにします。

コードエディターの展開



7. 既存のスロットの CSS コードをコピーして、レイアウトに別のスロットを追加します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

コードをコピーする方が、レイアウトに入力するよりも簡単です。

スロットの **CSS** コードをコピーする

```
15        },
16        {
17          "slotName": "Column 2",
18          "rules": {
19            "flex": "1"
20          },
21          "styles": {
22            "display": "flex",
23            "flex-direction": "column"
24          }
25        }
26      ],
27      "root": null,
28      "rules": {
29        "flex-flow": "row nowrap",
30        "align-items": "stretch",
31        "min-height": "400px",
32        "height": "100%"
33      },
34      "styles": null,
35      "templateId": "8374fc8153831010e6bcddeeff7b1267",
36      "type": "flex"
37    }
38  }
```

8. コピーしたコードの下にカンマを配置し、次の CSS コードを貼り付けます。

a. *"slotName"* プロパティを "Column 3",に変更します。

b. *"flex"* プロパティを "2" に変更します。

c. "margin-left": "1rem" を追加します。

CSS コードを貼り付ける

```
19            "flex": "1"
20          },
21          "styles": {
22            "display": "flex",
23            "flex-direction": "column"
24          }
25        },
26        {
27          "slotName": "Column 3",
28          "rules": {
29            "flex": "2",
30            "margin-left": "1rem"
31          },
32          "styles": {
33            "display": "flex",
34            "flex-direction": "column"
35          }
36        }
37      ],
38      "root": null,
39      "rules": {
40        "flex-flow": "row nowrap",
41        "align-items": "stretch",
42        "min-height": "400px",
43        "height": "100%"
```

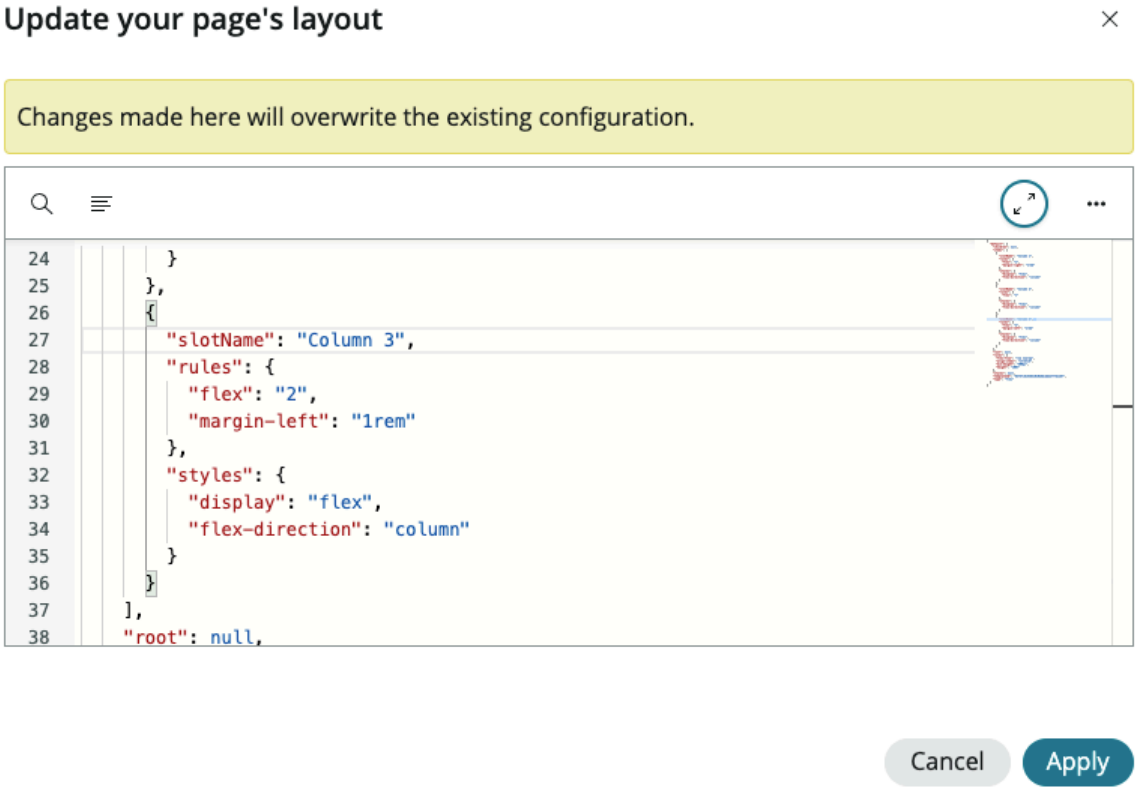
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

"flex" プロパティを変更すると、列のサイズが大きくなります。*"margin-left"* を使用すると、前の列との間にスペースが追加されます。

9. 展開されたビューを折りたたんで、[適用] をクリックします。

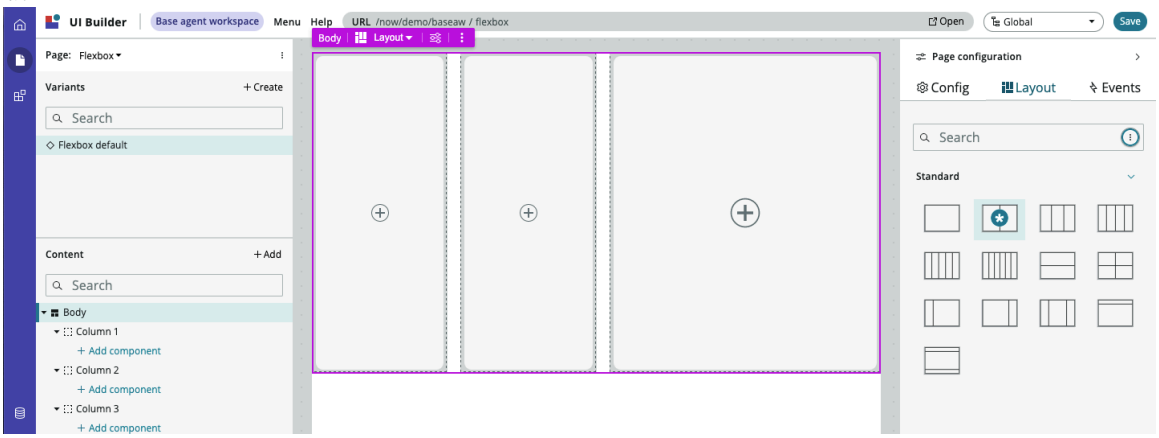
レイアウト変更の適用



タスクの結果

作成した新しい Flexbox レイアウトには、元の 2 列のレイアウトに追加した新しいスロットが表示されます。

新しいカスタムレイアウト

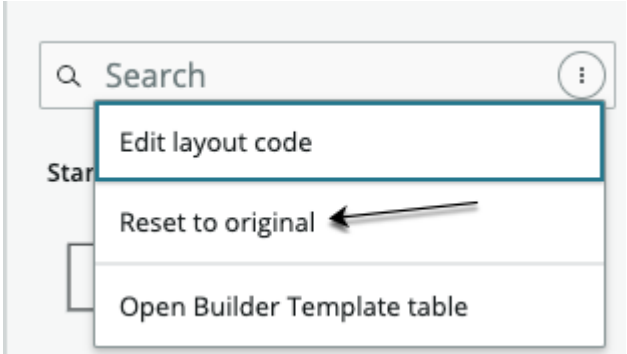


[元の状態にリセット] をクリックすると、レイアウトの変更が元の状態にリセットされます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

レイアウトのリセット



関連情報

古いレイアウトシステムでの CSS グリッドレイアウトの作成

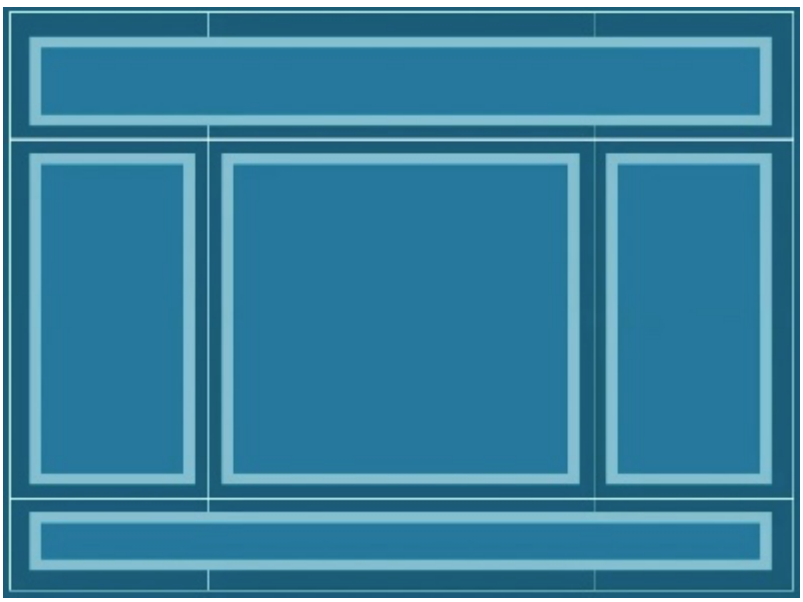
CSS グリッドレイアウトを使用したページのビルド

UI ビルダー で CSS グリッドレイアウトを作成し、カスケードスタイルシート (CSS) でカスタマイズして、パフォーマンスを向上させることができます。

CSS グリッドは CSS の最も強力なレイアウトシステムです。CSS グリッドは、2 次元グリッド上にビルドされます。CSS グリッドを使用して、ページの作成方法を制御できます。UI ビルダー を使用し、ローコードレイアウト構成プロパティを使用して CSS グリッドレイアウトを実装します。高度なレイアウトでは、CSS コードを表示および編集してレイアウトをカスタマイズできます。CSS グリッドの詳細については、Mozilla のホームページを参照してください。

たとえば、3 列 3 行のグリッドで 9 つのセルを作成できます。これらのセル内にコンポーネントを配置することも、コンポーネントを複数のセルにまたがらせることもできます。

CSS グリッドレイアウト



ページのレイアウトをカスタマイズすると、CSS グリッドを最大限に活用してページ全体を設計できます。詳細については、「UI ビルダーページでコンポーネントを整理する」を参照してください。

UI ビルダー インスタンス内の CSS レイアウトの詳細については、[sys_uib_template] テーブルで検索できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

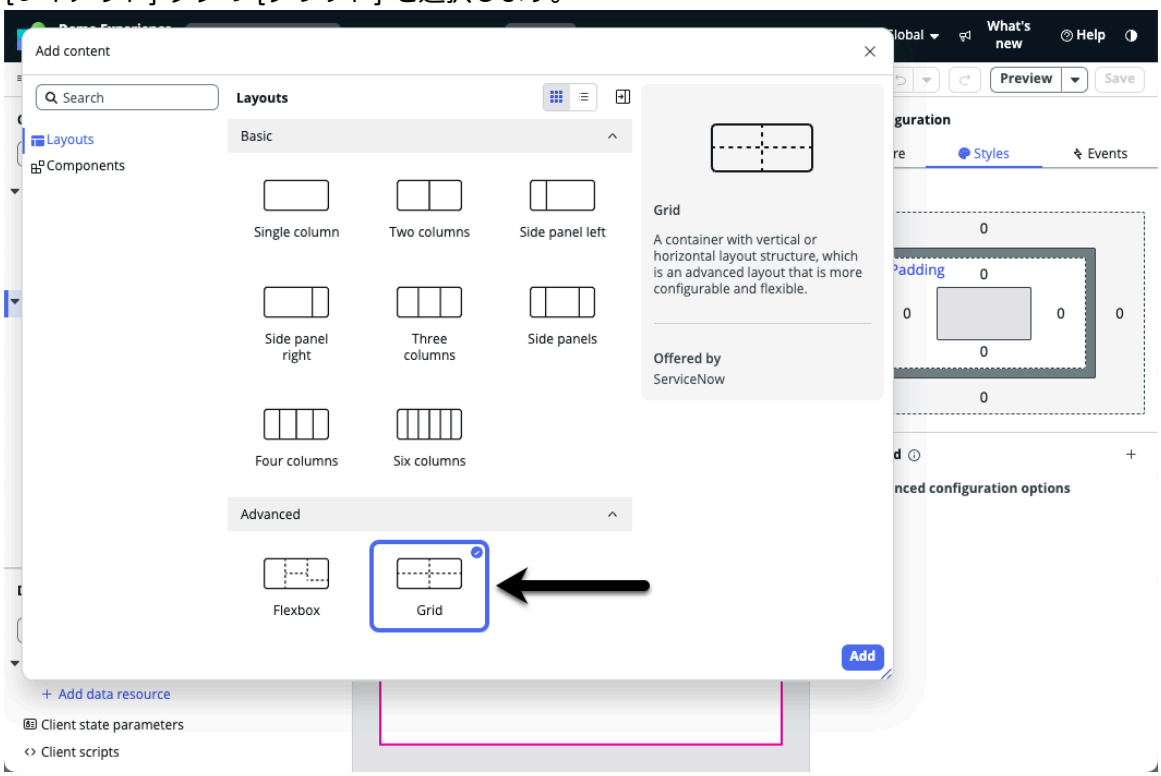
新しいレイアウトシステムでの **CSS** グリッドレイアウトの作成

UI ビルダー で CSS グリッドレイアウトを作成し、ローコード環境で強力なページをビルドします。

始める前に
必要なロール：admin

手順

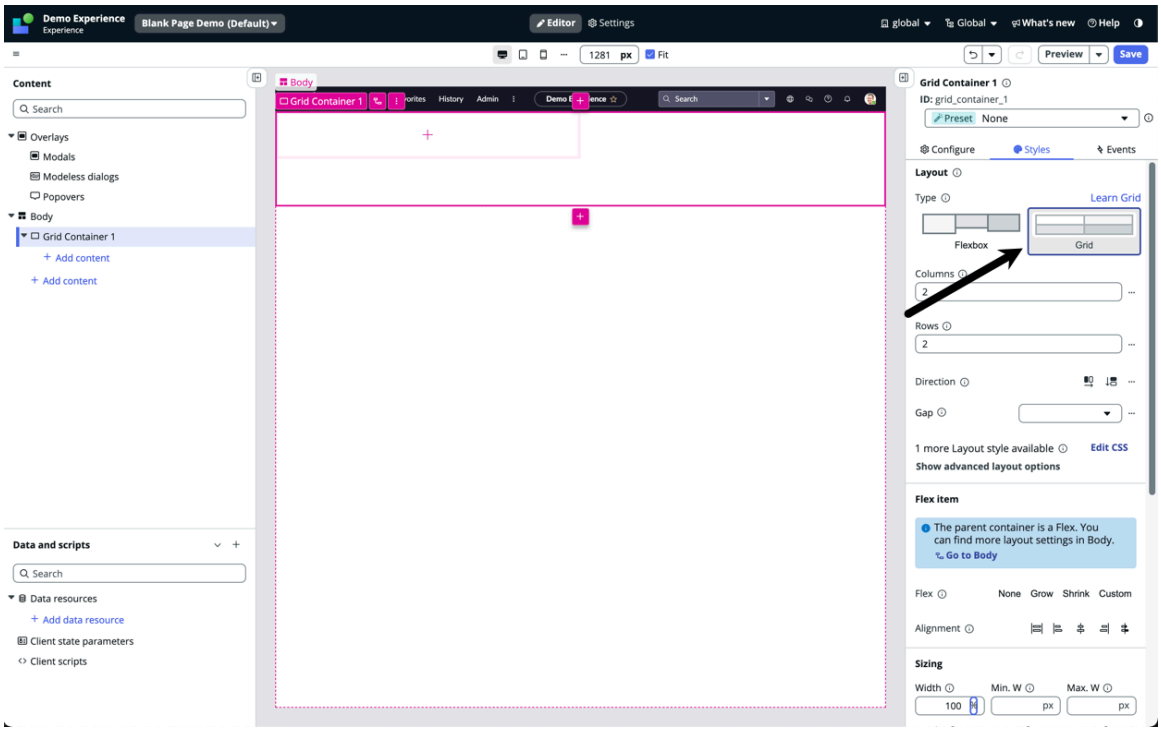
1. 移動先 すべて > **Now Experience** フレームワーク > **UI** ビルダー.
2. 作業するエクスペリエンスを開くか、選択してエクスペリエンスを作成します 作成 > エクスペリエンス.
   エクスペリエンスの作成の詳細については、「UI ビルダー でユーザーがアプリケーションをどのように操作するかを構成する」を参照してください。
3. UI ビルダー でのページの作成。
4. UI ビルダー ステージで **[+** コンテンツを追加] ボタンを選択します。
5. [レイアウト] タブの [グリッド] を選択します。



6. 構成パネルで [スタイル] タブを選択します。
7. [レイアウト] セクションで、[グリッド] がハイライト表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



8. [スタイル] タブの [レイアウト] セクションで、以下を変更できます。

列

グリッド列の数、順序、および幅を定義します。

行

グリッド行の数、順序、および幅を定義します。

方向

新しく追加されたコンポーネントを水平方向と垂直方向のどちらに積み重ねるかを設定します。

ギャップ

行と列の間のギャップのサイズを設定します。

> **注:**
> [詳細レイアウトオプションを表示 **(Show advanced layout options)**] を選択し、次の 4 つのオプションを表示します。

アイテムの整列

コンテナ内のコンポーネントをグループとして整列する方法を定義します。

アイテムの両端揃え

グリッドコンテナのインライン軸に沿って、ブラウザーがコンテンツアイテムの間および周囲にスペースを配置する方法を定義します。

コンテンツの整列

グリッドのブロック軸に沿って、コンテンツアイテムの間および周囲のスペースの配置を設定します。

コンテンツの両端揃え

コンテナ内のコンポーネントをパックする方法または間隔を空ける方法を定義します。

CSS グリッドのレイアウト構成については、Mozilla のホームページを参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

9. オプション: CSS コードを編集するには、[スタイル] タブの下部にある [詳細設定オプションを表示 **(Show advanced configuration options)]** を選択した後で **[CSS** の表示と編集] オプションを選択します。
10. [保存] を選択します。
    ページが更新され、レイアウトに加えられた変更が表示されます。
11. コンポーネントをページに追加します。
    詳細については、「コンポーネントの追加と構成」を参照してください。
12. Preview を選択し、ページを表示してテストします。

古いレイアウトシステムでの **CSS** グリッドレイアウトの作成

UI ビルダー で CSS グリッドレイアウトを作成し、カスケードスタイルシート (CSS) でカスタマイズして、パフォーマンスを向上させることができます。

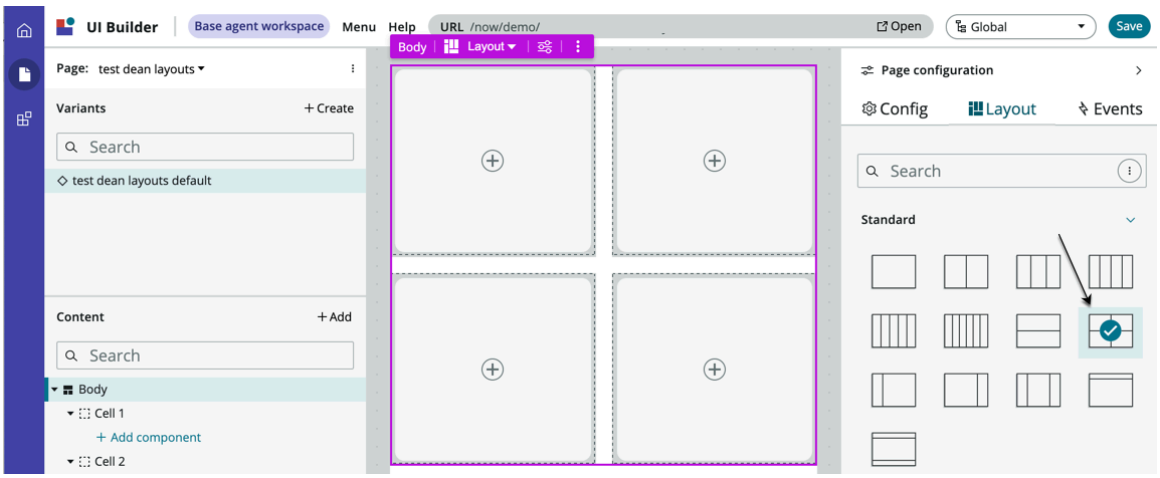
始める前に
必要なロール：admin

このタスクについて
次の手順では、CSS グリッドを使用して CSS を変更し、ページのレイアウトをカスタマイズする方法を学習します。

手順

1. 移動先 すべて > **Now Experience** フレームワーク > **UI** ビルダー.
2. 作業するエクスペリエンスを開くか、選択してエクスペリエンスを作成します 作成 > エクスペリエンス.
   エクスペリエンスの作成の詳細については、「UI ビルダー でユーザーがアプリケーションをどのように操作するかを構成する」を参照してください。
3. 「UI ビルダー でのページの作成」の手順を実行するか、またはページを開きます。
4. [レイアウト] タブをクリックし、2 行 2 列のレイアウトを選択します。

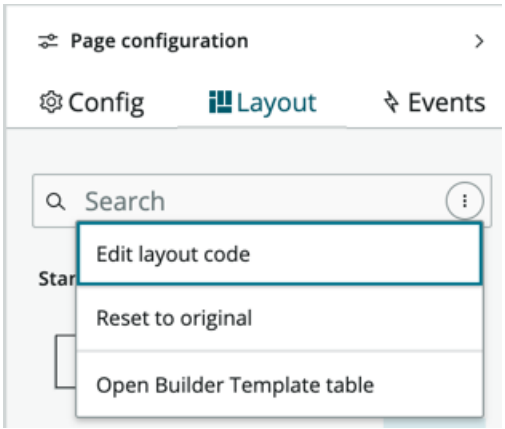
標準の **2** 行 **2** 列のレイアウト



5. [レイアウトコードを編集] をクリックします。

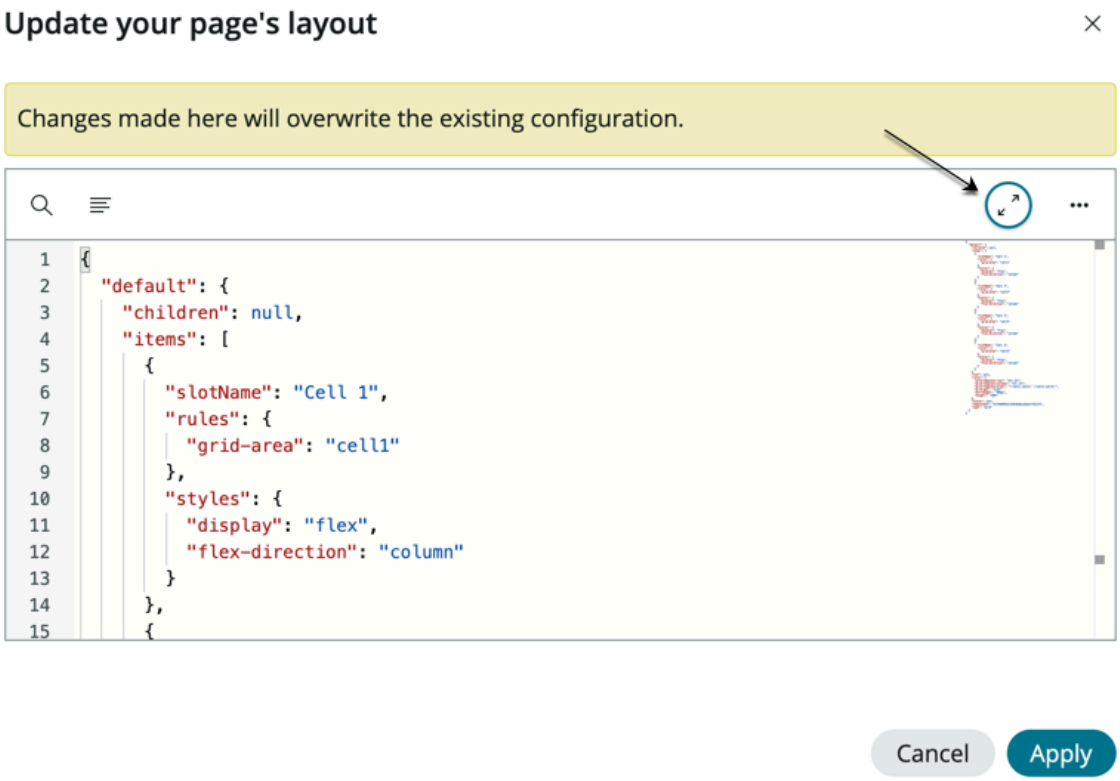
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

レイアウトコードの編集



6. コードエディターを展開して、CSS コードを簡単に確認できるようにします。

コードエディターの展開



7. 既存のスロットの CSS コードをコピーして、レイアウトに別のスロットを追加します。

CSS コードをコピーする方が、レイアウトに入力するよりも簡単です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スロットの **CSS** コードをコピーする

```
      }
    },
    {
      "slotName": "Cell 3",
      "rules": {
        "grid-area": "cell3"
      },
      "styles": {
        "display": "flex",
        "flex-direction": "column"
      }
    },
    {
      "slotName": "Cell 4",
      "rules": {
        "grid-area": "cell4"
      },
      "styles": {
        "display": "flex",
        "flex-direction": "column"
      }
    }
  ],
  "root": null,
  "rules": {
    "grid-template-rows": "1fr 1fr",
    "grid-template-columns": "1fr 1fr",
    "grid-template-areas": "\"cell1 cell2\" \"cell3 cell4\"",
    "grid-gap": "1rem",
    "min-height": "400px",
    "height": "100%"
  },
  "styles": null,
  "templateId": "b719698953c31010e6bcddeeff7b1275",
  "type": "grid"
 }
}
```

8. コピーしたコードの下に CSS コードを貼り付け、*slotName* と *grid-area* を一意の値に変更します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

CSS コードを貼り付ける

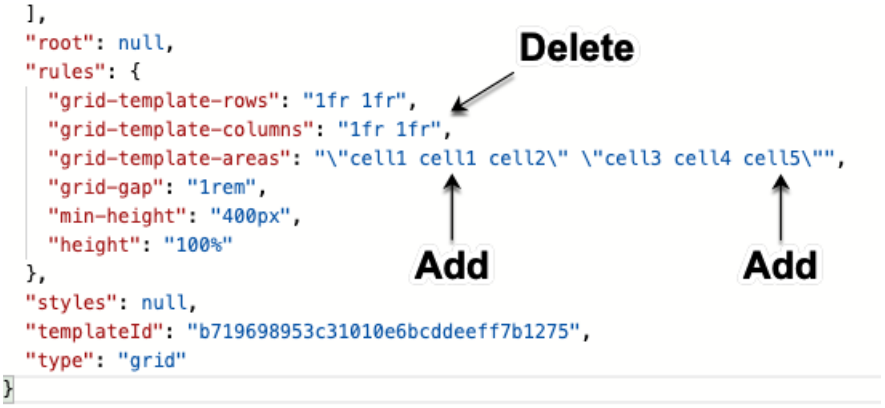
```
{
  "slotName": "Cell 4",
  "rules": {
    "grid-area": "cell4"
  },
  "styles": {
    "display": "flex",
    "flex-direction": "column"
  }
},
{
  "slotName": "Cell 5",
  "rules": {
    "grid-area": "cell5"
  },
  "styles": {
    "display": "flex",
    "flex-direction": "column"
  }
}
```

9. 新しい列とテンプレート領域を含むように、次のようにレイアウトルールを変更します。

a. "Grid-template-columns": "1fr 1fr", 行を削除します。

b. 2 番目の cell1 を cell1 の後に追加し、cell5 を cell4 の後に追加します。

レイアウトルールの変更



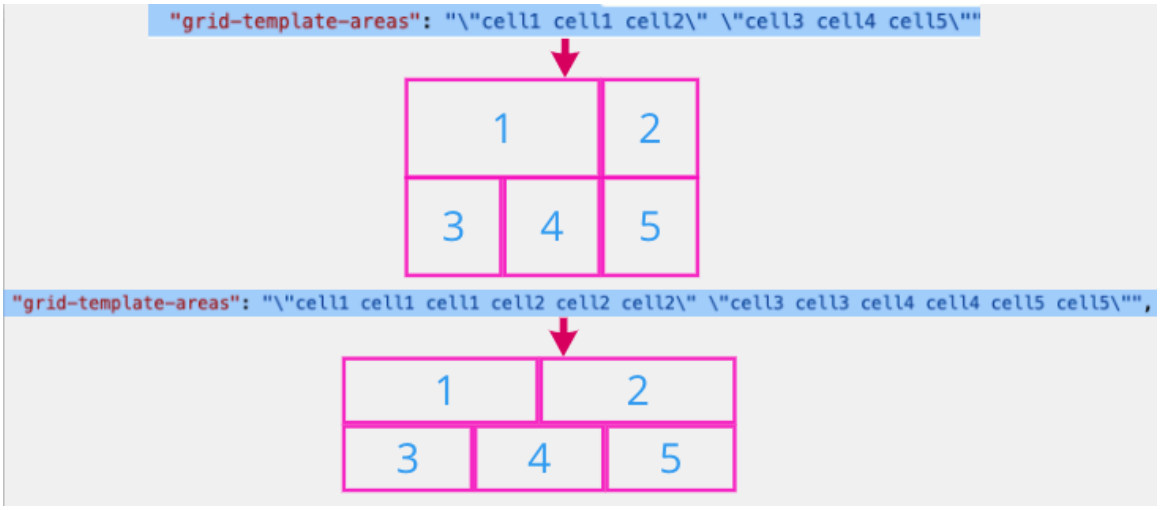

```
  ],
  "root": null,
  "rules": {
    "grid-template-rows": "1fr 1fr",
    "grid-template-columns": "1fr 1fr",
    "grid-template-areas": "\"cell1 cell1 cell2\" \"cell3 cell4 cell5\"",
    "grid-gap": "1rem",
    "min-height": "400px",
    "height": "100%"
  },
  "styles": null,
  "templateId": "b719698953c31010e6bcddeeff7b1275",
  "type": "grid"
}
```

多くのさまざまな構成を設定できます。この例には、2 つの異なるグリッドテンプレート領域から作成された 2 つのグリッドがあります。変更される *"grid-template-areas"* プロパティは、同じ名前の CSS プロパティを設定しています。詳細については、「MDN grid-templates-areas」を参照してください。

自動翻訳

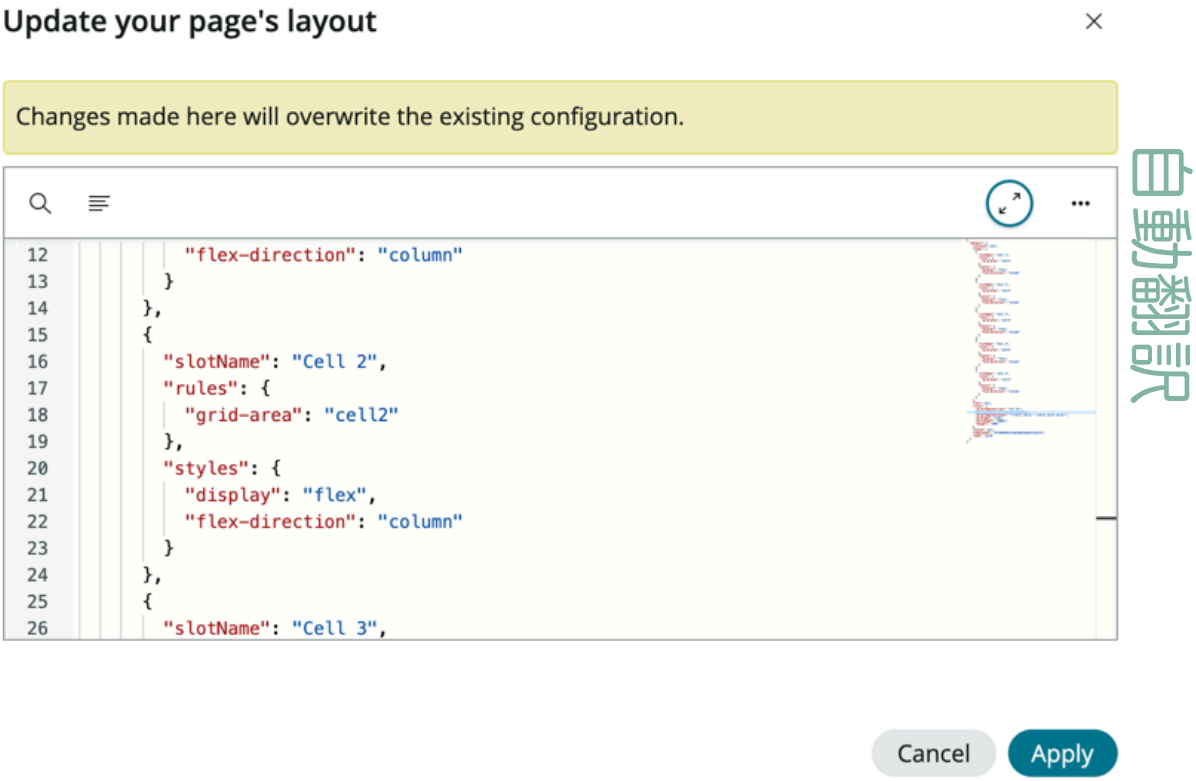
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

グリッドテンプレート領域



10. 展開されたビューを折りたたんで、[適用] をクリックします。

レイアウト変更の適用

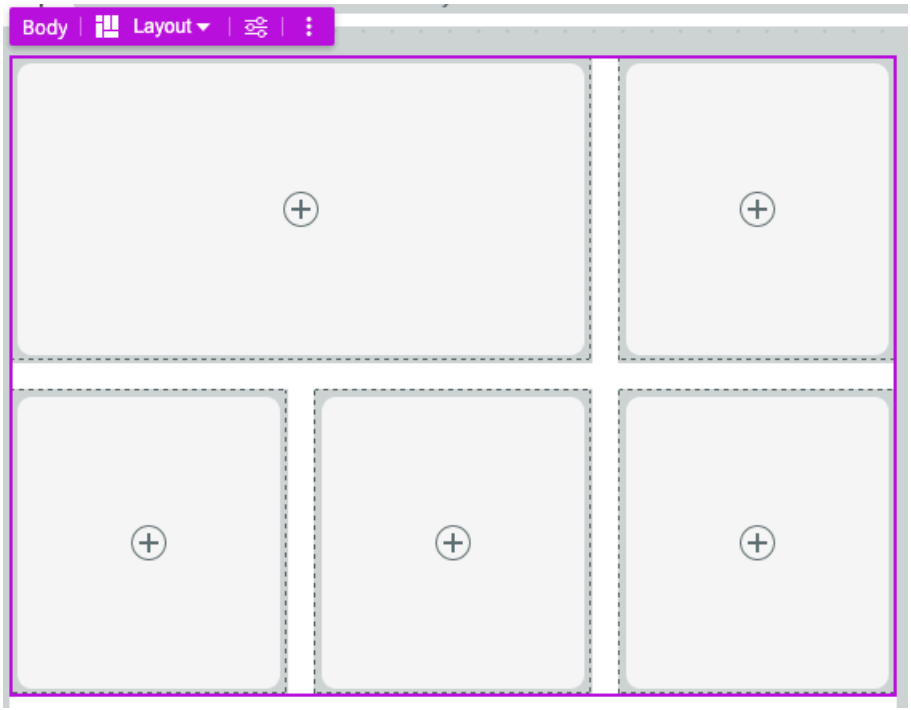


タスクの結果

新しい CSS グリッドレイアウトは、新しいスロットが元の 2 行 2 列レイアウトに追加されたことを示します。

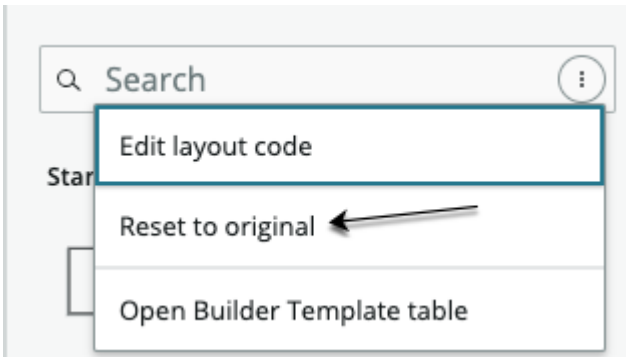
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

新しいカスタムレイアウト



[元の状態にリセット] をクリックすると、いつでもレイアウトの変更を元の状態にリセットできます。

レイアウトのリセット



関連情報

古いレイアウトシステムでの Flexbox レイアウトの作成

Quebec または **Rome**で作成されたページのレイアウトの変更

レイアウトデザインを追加および変更して、ページの外観を変更します。Flexbox や CSS グリッドなどのカスケードスタイルシート (CSS) Web レイアウトテクノロジーを使用して、コンポーネントをページに表示する方法を選択します。

始める前に
必要なロール：ui_builder_admin

このタスクについて
レイアウトは、ページで利用可能なコンテナとコンポーネントとそれらの配置を制御します。レイアウトには CSS ルールが適用されます。レイアウトは次のように変更できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

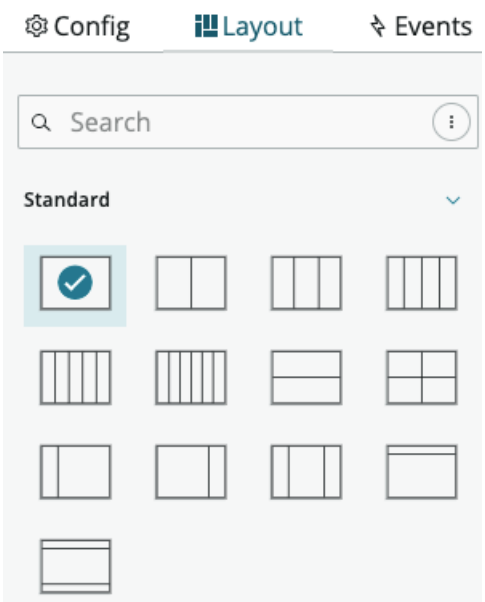
手順

1. 移動先 すべて > **Now Experience** フレームワーク > **UI** ビルダー.
2. 作業するエクスペリエンスを開くか、選択してエクスペリエンスを作成します 作成 > エクスペリエンス.
   エクスペリエンスの作成の詳細については、「UI ビルダー でユーザーがアプリケーションをどのように操作するかを構成する」を参照してください。
3. ページを作成するか、開きます。
4. [レイアウト] タブを選択します。
5. ページのタイプに応じて、次のいずれかを実行し、更新するコンテナを選択します。
   新しいページを開始する場合は、レイアウトをページレベルで選択し、その後にコンテナレベルで選択することができます。既存のページの所有者でない場合は、ページレベルでレイアウトを変更することによる影響に注意してください。
6. コンテナのレイアウトを変更します。

   a. [ページ構成] ペインで、[レイアウト] タブを選択して、使用するレイアウトを選択します。

      既存のページの現在のレイアウトを新しいレイアウトに変更できます。たとえば、3 列のレイアウトで、4 列のレイアウトをクリックしてレイアウトを変更できます。

      コンテナのレイアウトを設定することもできます。次の画像は、UI ビルダーのレイアウトオプションを示しています。



   b. ページを作成する場合は、レイアウトの新しい領域にコンポーネントを追加します。

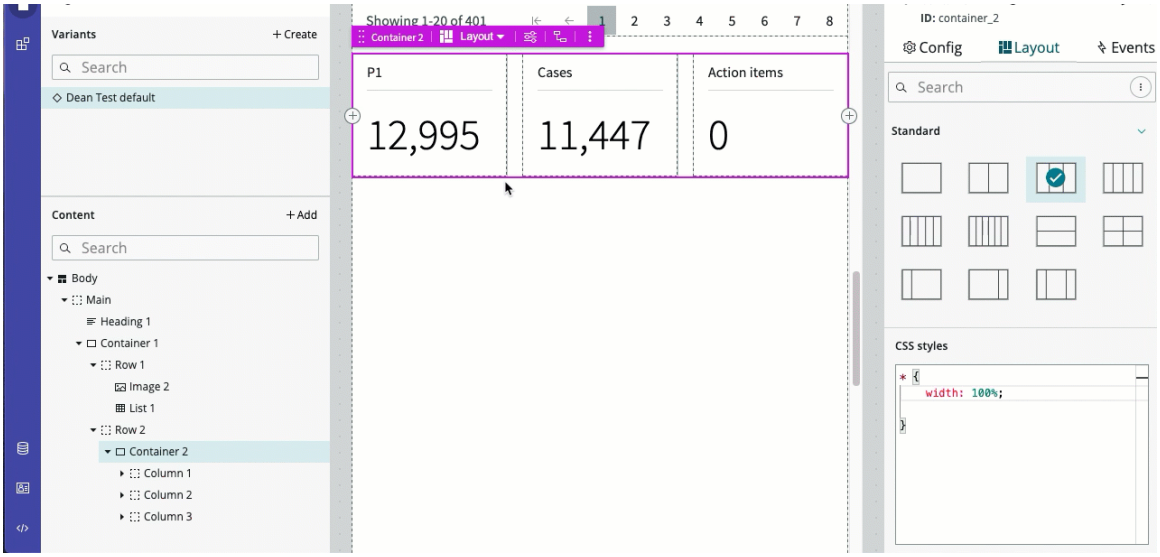
   c. [保存] をクリックします。

   d. [プレビュー] ボタンを選択してページをテストします。

Example
次のビデオでは、既存のページを変更するために、コンテナのレイアウトを 3 列から 4 列に変更し、4 列目に新しいコンポーネントを追加する方法を示します。

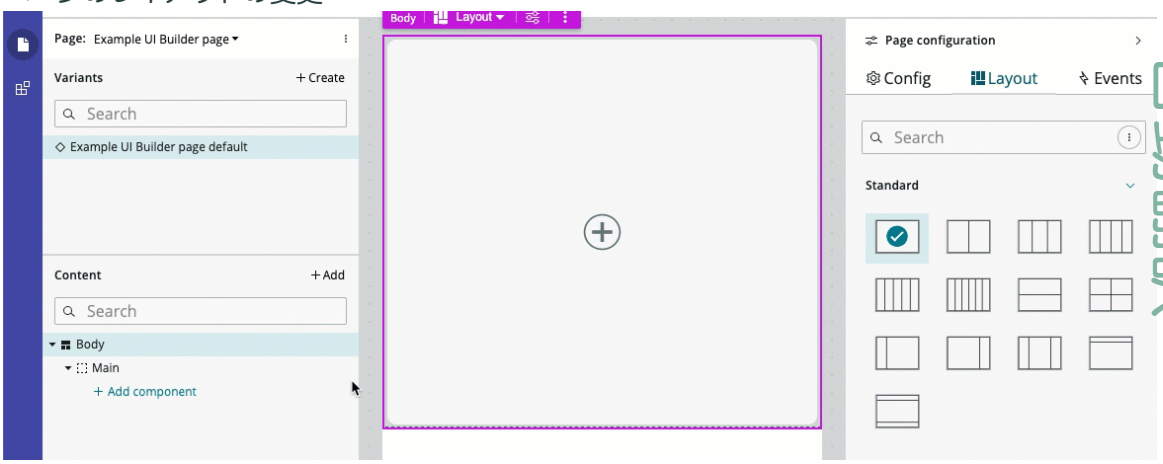
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



次のビデオでは、新しいページのレイアウトを設定するために、ページに必要なレイアウトを設定する方法を示します。たとえば、ページに 2 つのスロットまたは列を設定できます。次に、各スロットにコンテナを追加し、各コンテナのレイアウトを変更できます。ページにコンテナを追加した後、コンテナレベルでレイアウトを設定することもできます。

ページのレイアウトの変更



7. スロットにコンポーネントを追加します。
コンテナコンポーネントを使用してページをビルドします。詳細については、「コンポーネントを使用した UI ビルダー ページのカスタマイズ」を参照してください。

コンポーネントは以下のいずれかの方法でページに追加できます。

8. 次のいずれかの方法でレイアウトのスタイリングオプションを変更します。

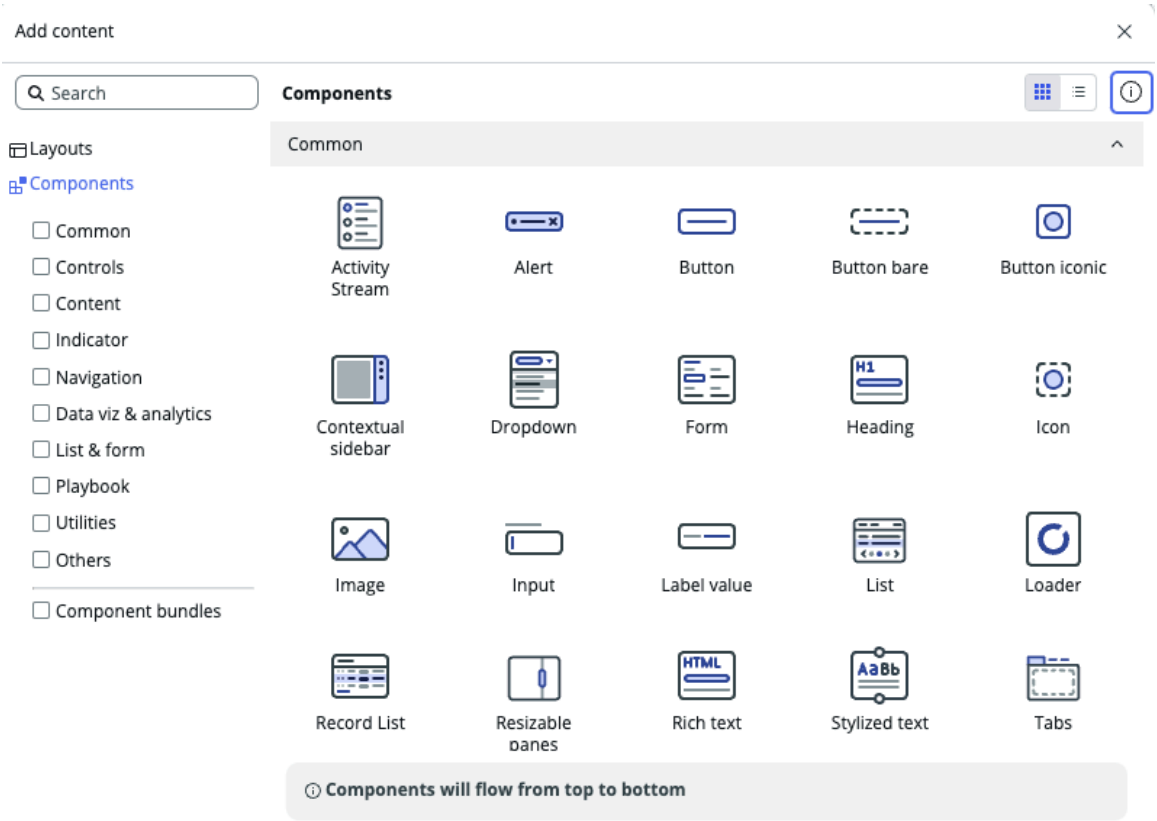
コンポーネントを使用した **UI** ビルダー ページのカスタマイズ

UI ビルダー のコンポーネントについて説明します。また、UI ビルダー 内でコンポーネントがどのように機能するかを確認します。

コンポーネントは、UI ビルダー ページの基本要素です。コンポーネントは、ボタンやラベルなどのコア要素から、リストやフォームなどのより複雑なエクスペリエンスコンポーネントまで多岐にわたります。

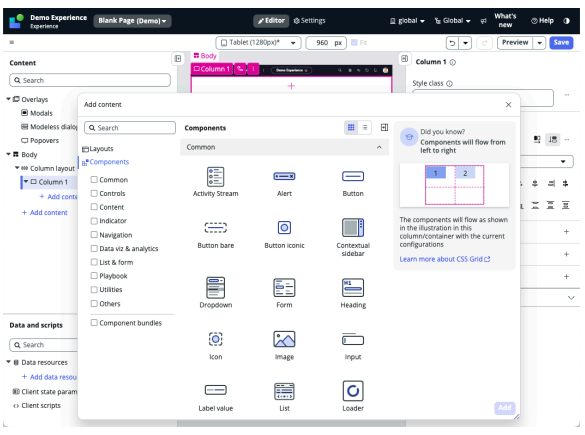
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

これらのコンポーネントを UI ビルダー ページに追加して、ワークスペースまたはポータルエクスペリエンスをビルドまたはカスタマイズできます。たとえば、アクティビティストリームコンポーネントをページに追加して、ユーザーが出張要求アクティビティを表示できるようにします。



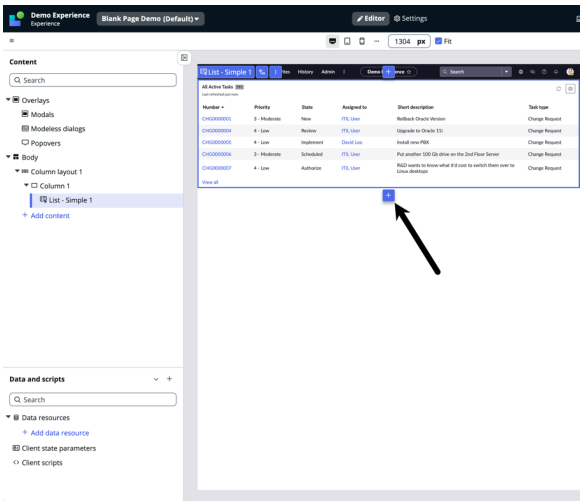
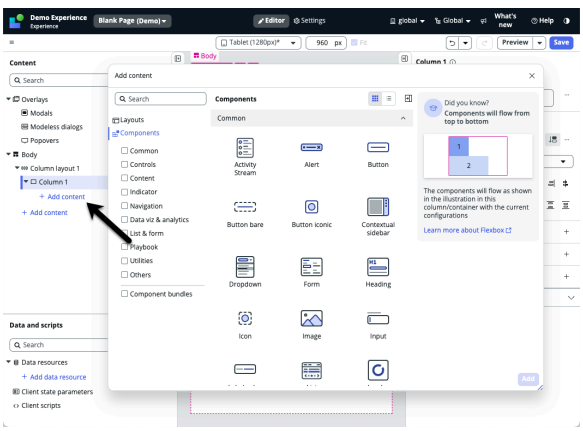
コンポーネントは以下の方法で UI ビルダー ページに追加できます。

コンポーネントをページに追加する方法

ロケーション	例
UI ビルダー のページから直接 (オプション 1)	コンテンツの追加 (プラス) アイコンを選択し、[コンポーネント] タブを選択して、コンポーネントを選択します。 

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

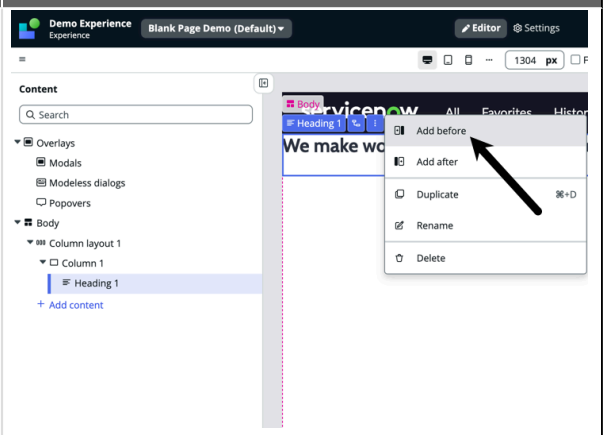
コンポーネントをページに追加する方法 (続く)

ロケーション	例
UI ビルダー のページから直接 (オプション 2)	列レイアウトまたはコンポーネントで、[前に追加] (プラス) または [後に追加] (プラス) アイコンを選択し、コンポーネントを選択します。 
UI ビルダー のコンテンツツリーから	コンテンツツリーで、**[+** コンテンツを追加] を選択して、コンポーネントを選択します。 
UI ビルダー のページの上にあるフローティングメニューから	列レイアウトまたはコンポーネントで、メニューアイコンを選択し、[前に追加] または [後に追加] を選択し、コンポーネントを選択します。

自動翻訳

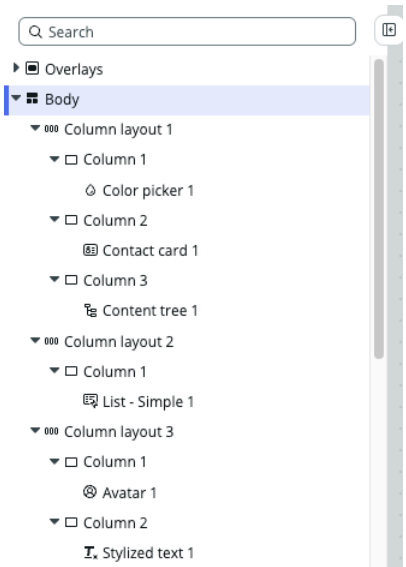
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

コンポーネントをページに追加する方法 (続く)

ロケーション	例
	

UI ビルダーの列レイアウト

最初に、UI ビルダーページに列レイアウトと列を追加します。次に、列レイアウトの列にコンポーネントを追加して、ページをビルドおよびカスタマイズします。列レイアウトは、リストや見出しなどのコンポーネントを追加する画面の定義された部分と考えてください。UI ビルダー ページには、必要な数の列レイアウトを使用できます。任意の列レイアウトで最大 6 つの列を使用できます。1 つの列に複数のコンポーネントを追加できます。コンテンツツリーでページの構造を表示します。

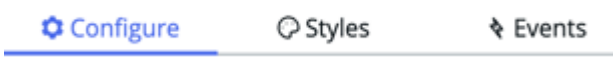


詳細については、「列レイアウト」を参照してください。

UI ビルダーのコンポーネントの構成

構成パネルでコンポーネントを構成する方法は 3 とおりあります。

- コンポーネントのプロパティを構成します。
- CSS スタイルの上書きを追加します。
- コンポーネントのイベントハンドラーを設定します。



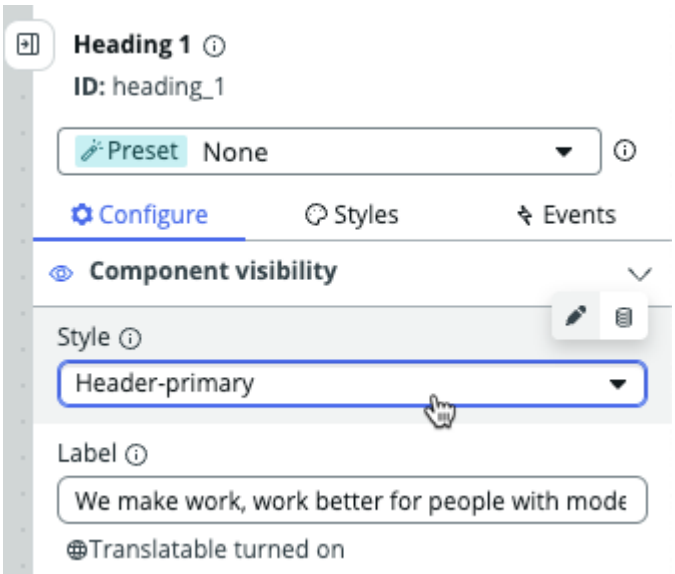
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

[設定] タブ

コンポーネントのプロパティは、各コンポーネントによって異なります。ボタン、見出し、ラベルなどのシンプルな要素の場合と同様に、コンポーネントの構成は簡単です。リストやフォームなどのコンポーネントには、多くの構成が必要です。アイコンコンポーネントおよび画像コンポーネントの場合は、さまざまなオプションから選択するか、カスタムのアイコンまたは画像を使用します。UI ビルダー のローコード JSON エディターを使用して、コンポーネントのプロパティを変更できます。コンポーネントの構成の詳細については、次を参照してください。 ネクストエクスペリエンスのコンポーネント.

コンポーネント構成タブの各プロパティについて、次のオプションから選択できます。



- 静的：リストのデータを使用するか、独自のデータを入力します。データは外部データソースに接続されません。
- 動的データバインディング：コンポーネントプロパティをデータリソース、ページプロパティ、またはクライアントステータスにバインドする方法です。
- スクリプト：プロパティ値を入力する JavaScript コードを入力します。

[スタイル] タブ

個々のコンポーネントのカスケードスタイルシート (CSS) スタイルを変更できます。色の境界線、フォントサイズなどを変更します。

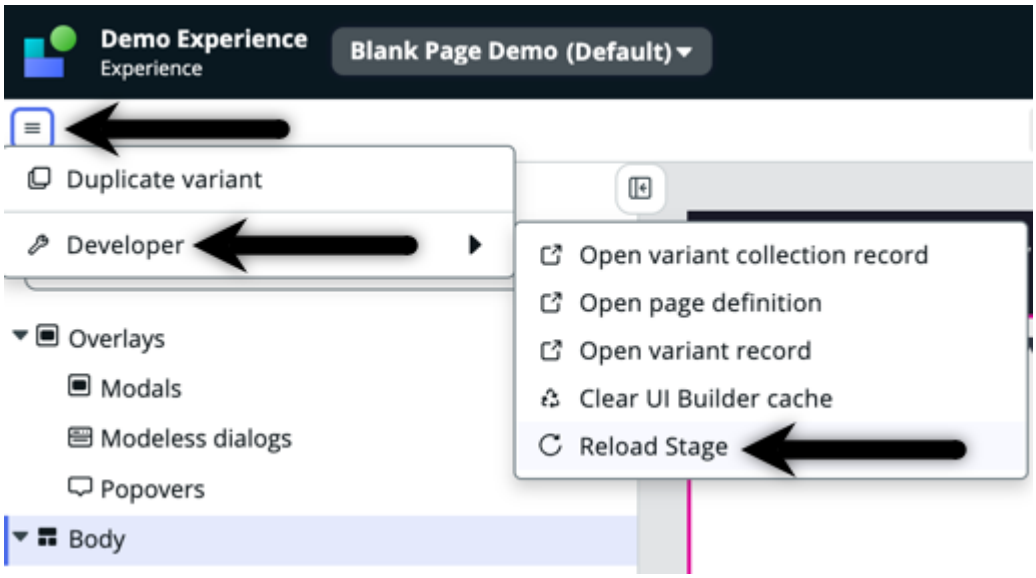
[イベント] タブ

ページレベルおよびバリアントレベルのイベントマッピングを構成します。ディスパッチされたイベントと処理済みイベントもバリアントに追加します。より複雑なエクスペリエンスコンポーネントは、データリソースによって提供される動的データに大きく依存します。動的データからコンポーネントへのバインディングは重要な機能です。ページ上のテーブル、レコード、またはその他の要素からデータを動的に公開します。データを公開することで、コンポーネントの再利用が可能になります。また、構成フィールドをポイントすると、各フィールドのアイコンデータまたはスクリプトオプションが表示されます。

ページにコンポーネントを追加して構成すると、ステージに作業内容が表示されます。変更を加えても更新がステージにロードされない場合は、[メニューを開く] アイコンを選択し、[開発者] > [ステージをリロード **(Reload Stage)]**を選択します。ステージをリロードすると変更内容が表示されますが、保存はされません。作業内容を保存するには、右上の [保存] を選択します。

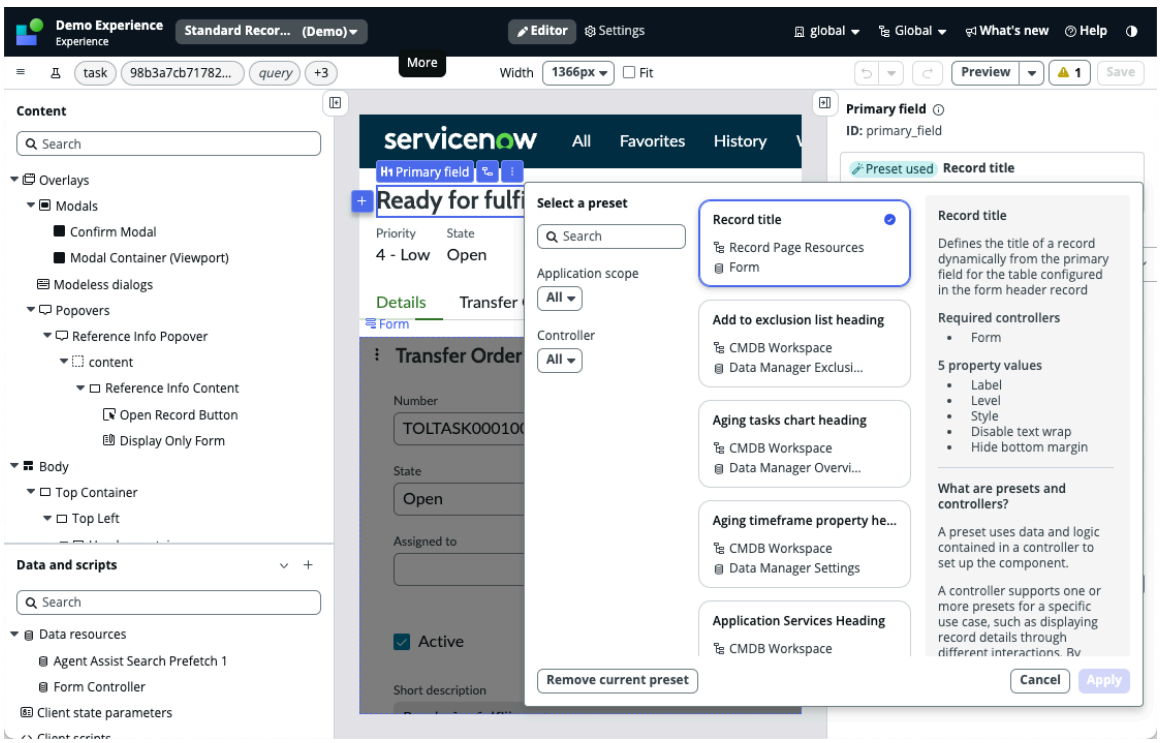
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



UI ビルダーでのコンポーネントプリセット

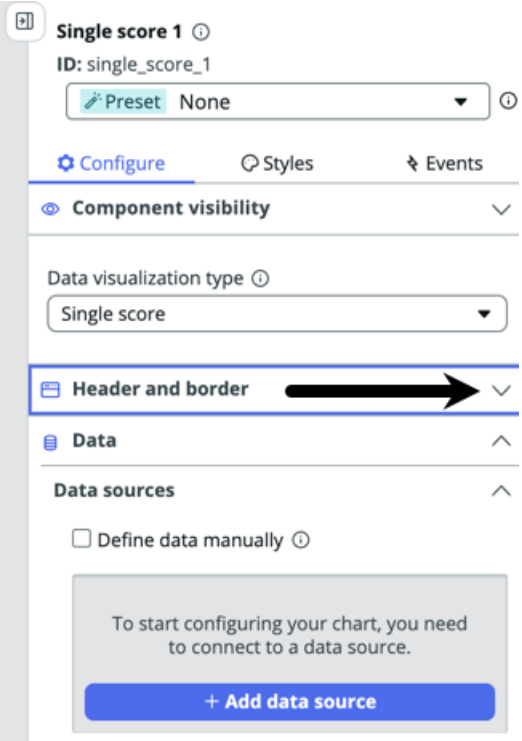
コンポーネントプリセットを使用して、互換性のあるページでコンポーネントを自動的に構成します。UI ビルダー ページテンプレートには、プリセットがコンポーネント構成値を定義する際に使用するコントローラーが含まれています。詳細については、「プリセットを使用してコンポーネントを自動的に構成する」を参照してください。



コンポーネントプロパティのセクション

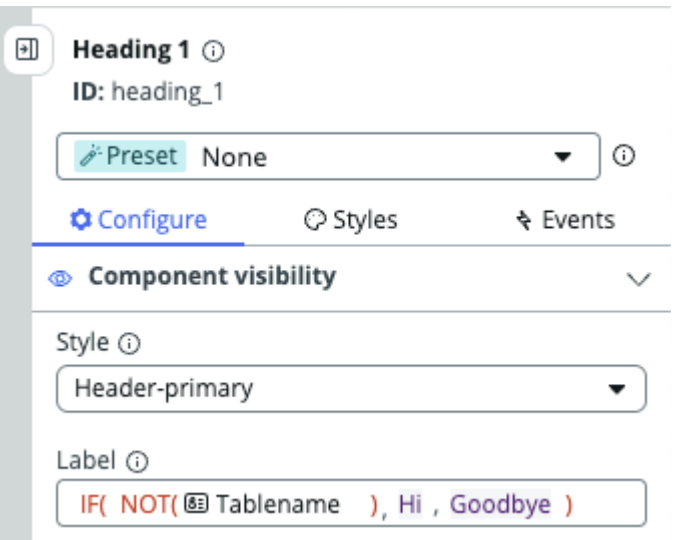
コンポーネントプロパティは、類似したプロパティのセクションにグループ化されています。セクションを開閉するには、プロパティの見出しの右側にある矢印を選択します。UI ビルダーアドミニストレーターは、UI ポリシーに基づいて表示または非表示にするコンポーネント構成プロパティを選択できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



コンポーネント式エディター

構成パネルの UI ビルダー コンポーネント式エディターを使用して、式をバインドまたは変更します。テキスト、データバインディング、または式を入力できます。式は、3 つの入力タイプの任意の組み合わせで構成できます。コンポーネント式エディターは、論理、算術、比較、否定、および関数型の変換タイプをサポートしています。



コンポーネント式エディターに追加される各関数はオートコンプリートされます。コンポーネント式エディターには、関数の各入力にラベルが表示されるため、各関数に必要なパラメーターがわかります。コンポーネント式エディターでサポートされている関数の詳細については、「UI ビルダー コンポーネント式エディターでサポートされている関数」を参照してください。

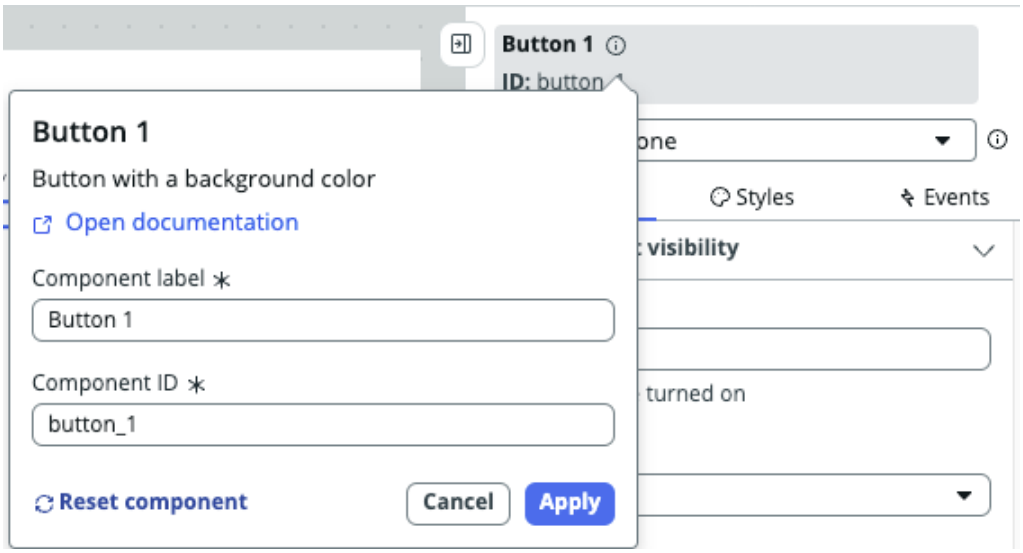
コンポーネント ID

スクリプトを追加するか、コンポーネントを参照する方法としてコンポーネントにデータをバインドする場合は、コンポーネント ID を使用します。コンポーネントをページに追加すると、コンポーネ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ントラベルに基づいたコンポーネント ID が自動的に作成されます。コンポーネント ID は、一意である限り、任意のものに変更できます。構成パネルでコンポーネントの名前を選択して、コンポーネント ID を表示します。

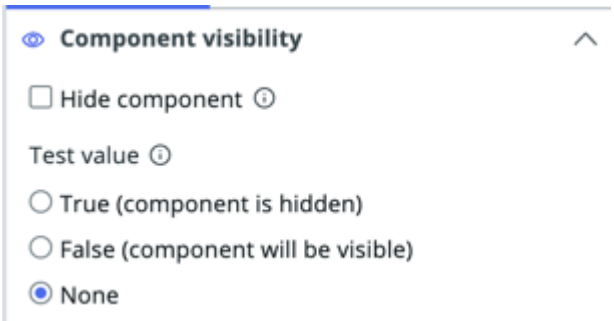


コンポーネント可視化

構成パネルで目のアイコンを選択して、コンポーネントのヴィジビリティを設定します。コンポーネントの可視化は、コンポーネントを表示しているユーザーではなく、コンポーネント自体のプロパティに基づきます。条件に基づいてコンポーネントを表示または非表示にすることができます。たとえば、壊れたリンクがある場合にその画像を非表示にします。

動的なデータバインディングに基づいて、またはスクリプト化されたプロパティ値を編集して、可視化を設定できます。

[テスト値] を設定して、可視化が true、false、または none に設定されるとどうなるかをテストします。

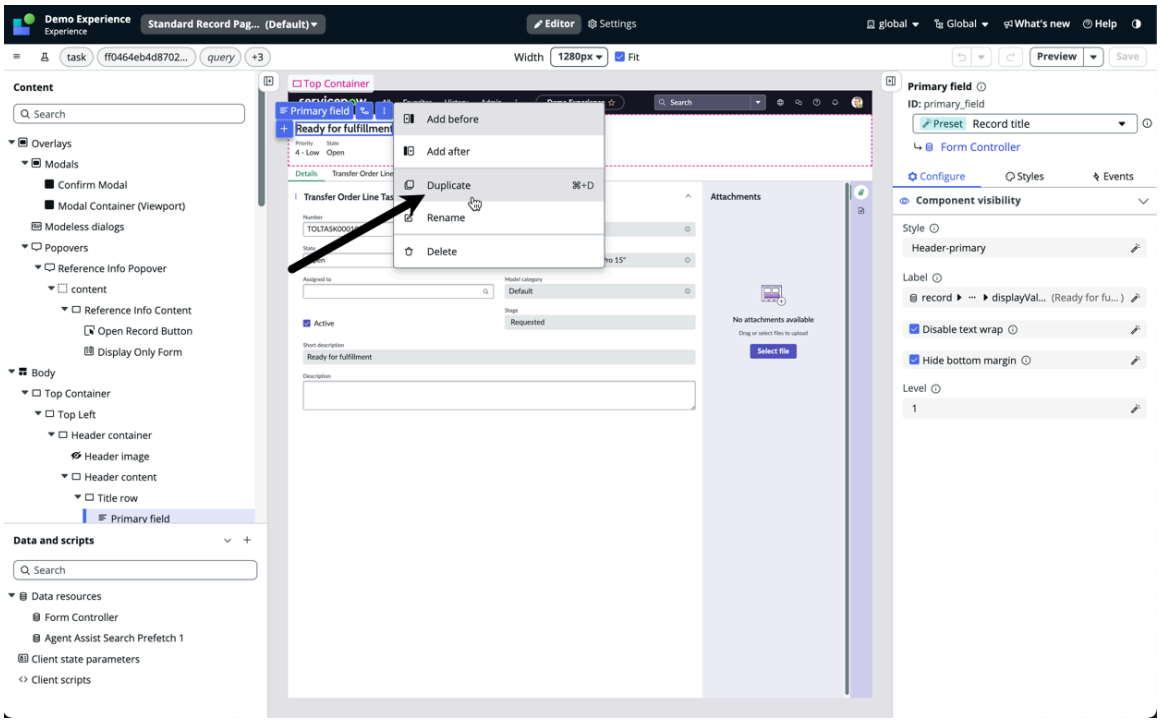


コンポーネントの複製

名前と ID を除いて、UI ビルダー ページに構成されたコンポーネントの正確なコピーを作成します。複製されたコンポーネントは、すべてのプロパティ、バインディング、およびイベントをコピーします。詳細については、「コンポーネントの複製」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



プリセットを使用してコンポーネントを自動的に構成する

コンポーネントプリセットを使用して、互換性のあるページでコンポーネントを自動的に構成します。

コンポーネントプリセットを使用して、事前定義された構成値とイベントマッピングをコンポーネントに適用します。UI ビルダー ページテンプレートには、プリセットがコンポーネント構成値を定義するために使用するコントローラーが含まれています。

プリセットは、事前にビルド済みの構成をコンポーネントプロパティとイベントハンドラーに適用します。これらは、特定のコンポーネントでのみ使用できます。これらは、通常はレコードページに含まれているフィールドを使用してフォームコンポーネントを構成するなど、コンポーネントの一般的なユースケースに基づいています。

プリセットを適用すると、コンポーネントがすぐに動作するように自動的に構成され、ページ作成者のページ作成とメンテナンスが簡素化されます。

プリセットは、ページ作成者に次のようなメリットがあります。

- コンポーネントの複合データとイベントバインディングの処理
- ページの外部で定義されることによる所有コストとメンテナンスの削減

[構成] ペインで、選択したコンポーネントにプリセットを適用するか、代わりに手動で構成するかを選択できます。デフォルトのプリセットは、テンプレートからページが作成された場合、またはプリセットに必要なコントローラーが既にページに追加されている場合に、コンポーネントに自動的に適用されます。プリセットが適用されると、プリセットによって構成されたプロパティまたはイベントが読み取り専用として表示されます。

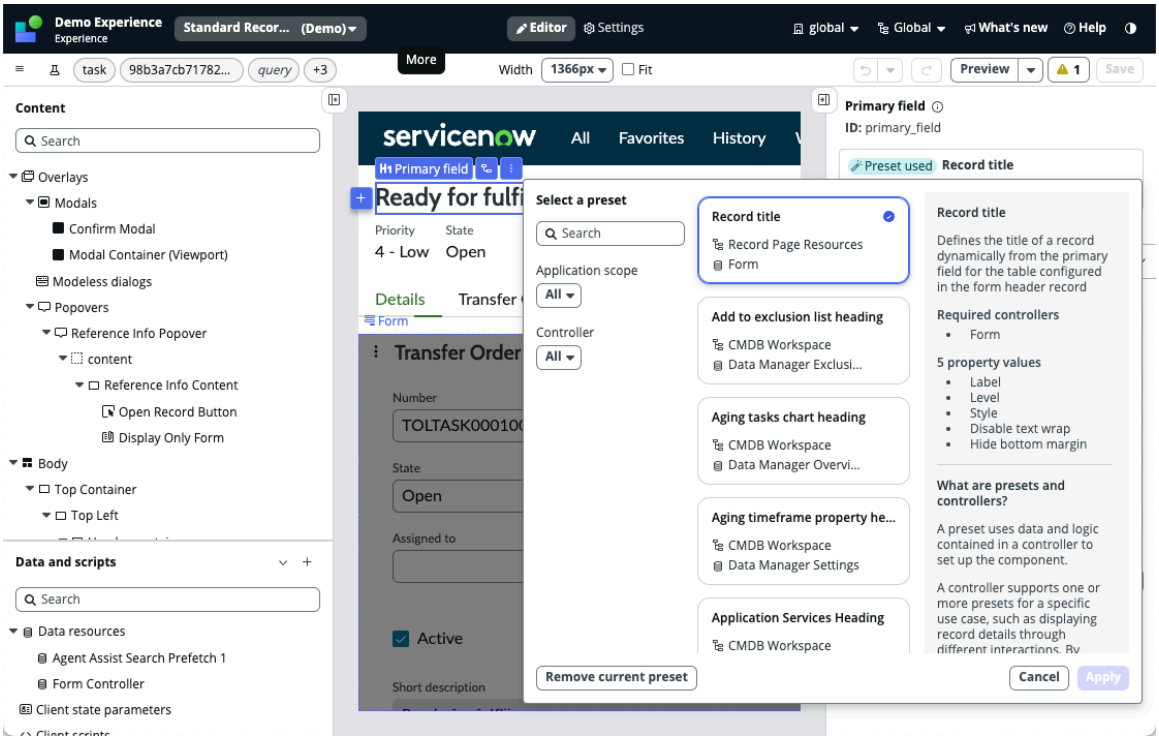
プリセットによって構成された値は上書きできますが、そうするとコンポーネントの構成とメンテナンスの所有権を引き受けることになります。

サブページはコントローラーを継承しないため、Yokohama のプリセットを使用できません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

コンポーネントに適用されるプリセット



データとイベントのバインディング

プリセットには、次へのバインディングを含めることができます。

- コントローラー出力プロパティ (@data)
- イベントペイロード (@payload)
- セッションコンテキスト (@context.session)
- 複雑な式 (クライアント変換)

プリセットには、コントローラーの処理済みイベントへのイベントマッピングを含めることもできます。詳細については、「「Manage actions in UI Builder pages (UI ビルダーページでのアクションの管理)」」を参照してください。

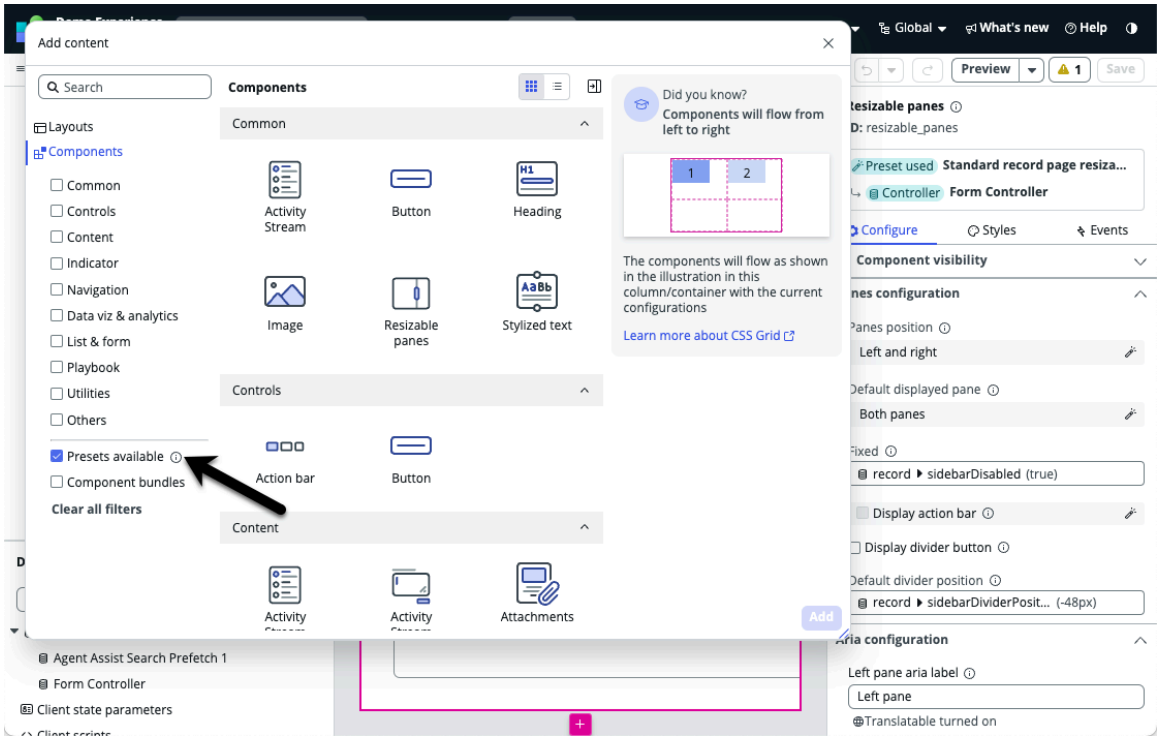
コントローラー

プリセットは、コントローラーを使用してコンポーネントをデータおよびイベントマッピングに接続します。プリセットに必要なコントローラーがまだページにない場合、プリセットは、コントローラーの必要なプロパティを構成してコントローラーを追加することを求めます。コントローラーがページに追加されると、コントローラーに関連付けられたプリセットを持つコンポーネントが、コンポーネントリストでハイライト表示されます。詳細については、「コントローラーを使用した UI ビルダー ページへのデータのバインド (高度な機能)」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プリセットを持つコンポーネント



[利用可能なプリセット] ボックスをオンにして、ツールボックスにプリセットを含むコンポーネントを表示します。

コンポーネントプリセットの選択

コンポーネントをページに追加するときに、コンポーネントプリセットを選択します。

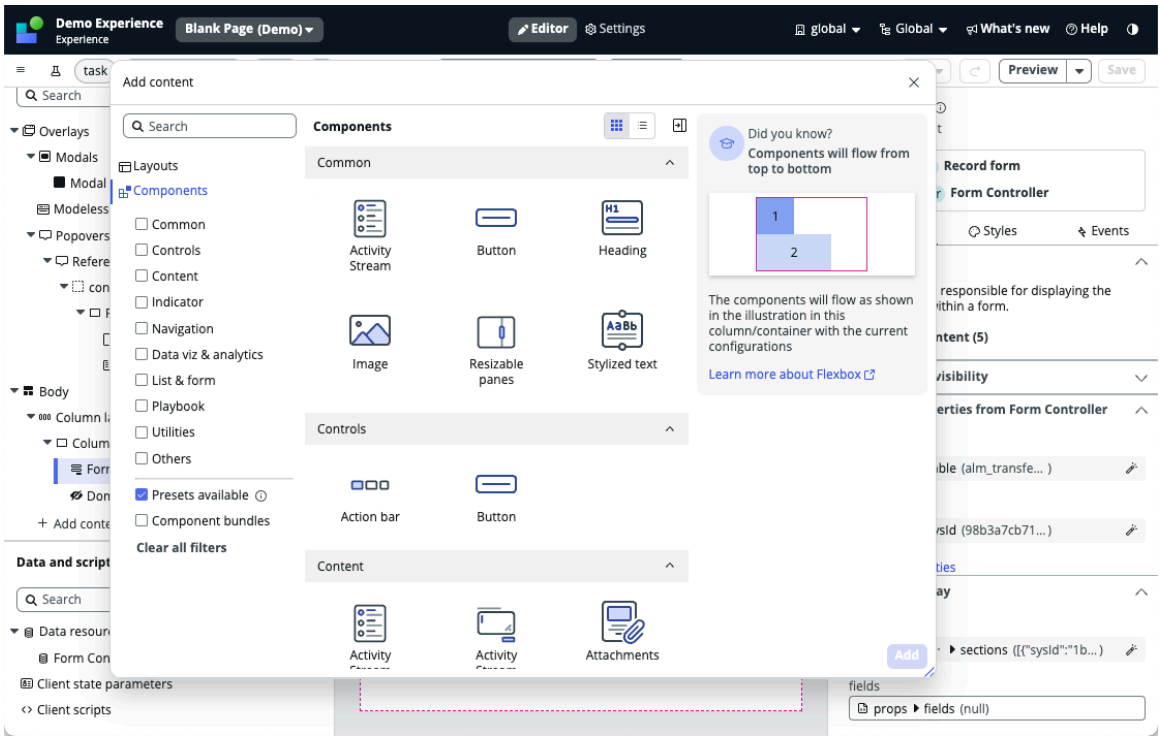
始める前に
必要なロール：admin

手順

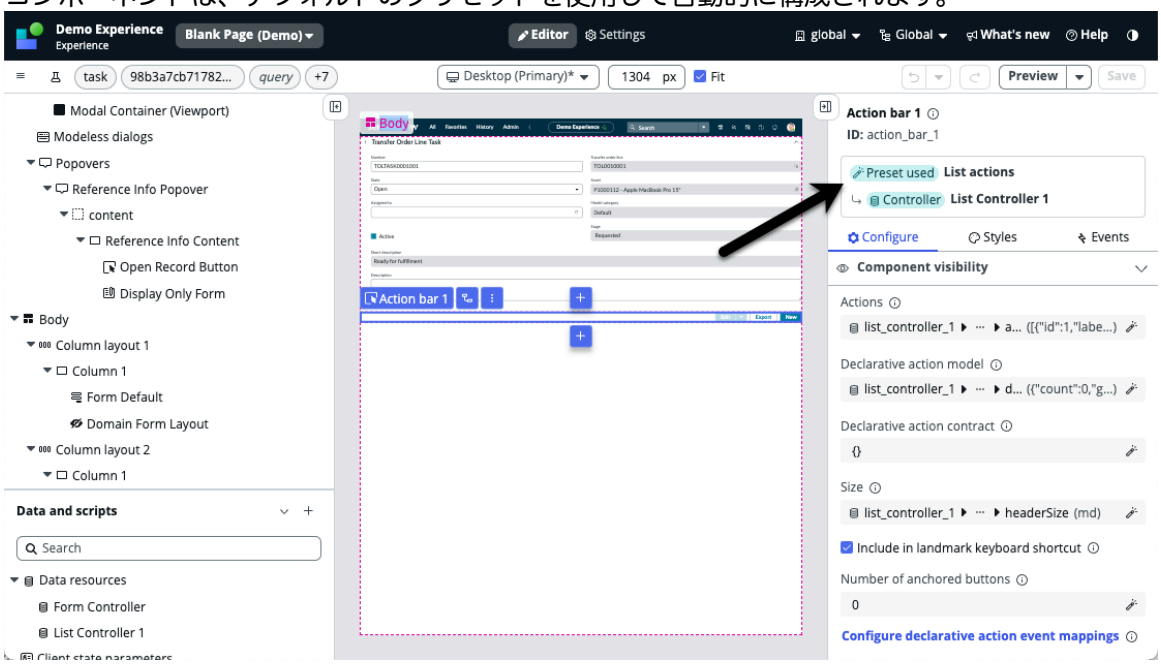
1. 移動先 すべて > **Now Experience** フレームワーク > **UI** ビルダー.
2. 作業するエクスペリエンスを開くか、選択してエクスペリエンスを作成します 作成 > エクスペリエンス.
   エクスペリエンスの作成の詳細については、「UI ビルダー でユーザーがアプリケーションをどのように操作するかを構成する」を参照してください。
3. ページまたはページバリアントを開くかまたは作成します。
   UI ビルダーでページを作成する方法の詳細については、「UI ビルダーでページを作成する」を参照してください。
4. ツールボックスを開きます。
5. [利用可能なプリセット] ボックスを選択します。
6. ページに追加するコンポーネントを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



7. コンポーネントは、デフォルトのプリセットを使用して自動的に構成されます。

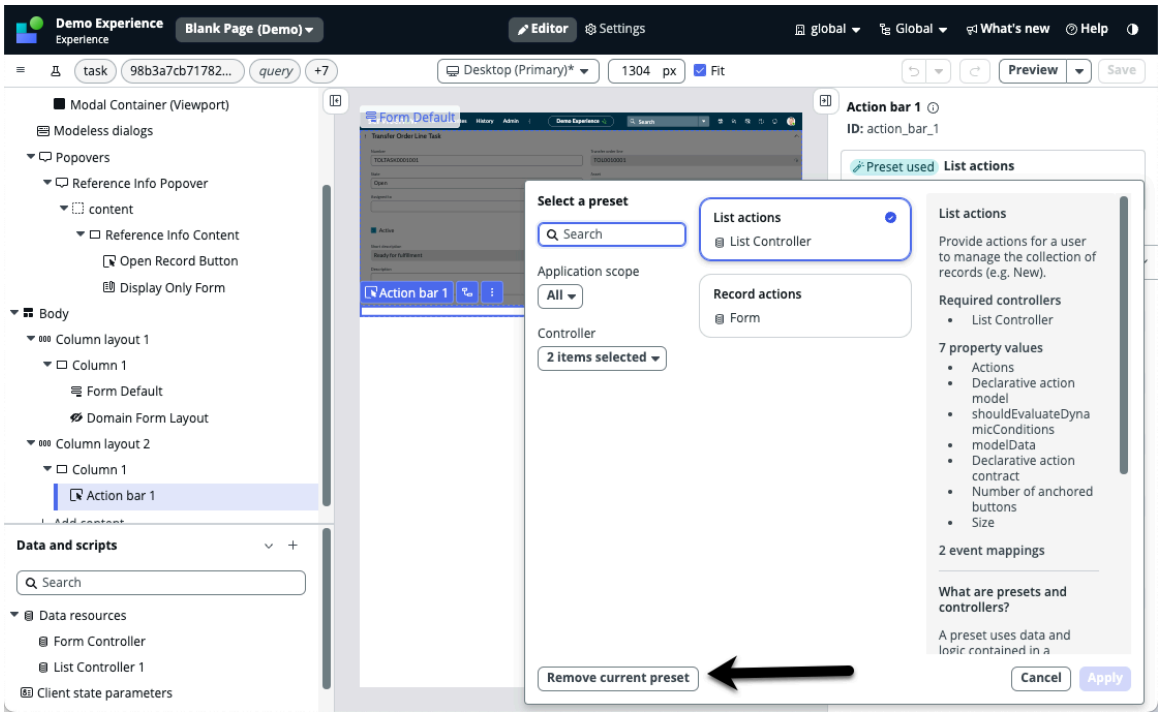


8. オプション: 構成パネルのリストから別のプリセットを選択します。
   プリセットを使用しないようにコンポーネントを設定するには、[現在のプリセットを削除] を選択します。

   a. 構成パネルで新しいコンポーネントプリセットを選択します。

   b. [適用] を選択して、既存のプリセットを置き換えます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



9. [保存] をクリックします。

コンポーネントプリセットの上書き

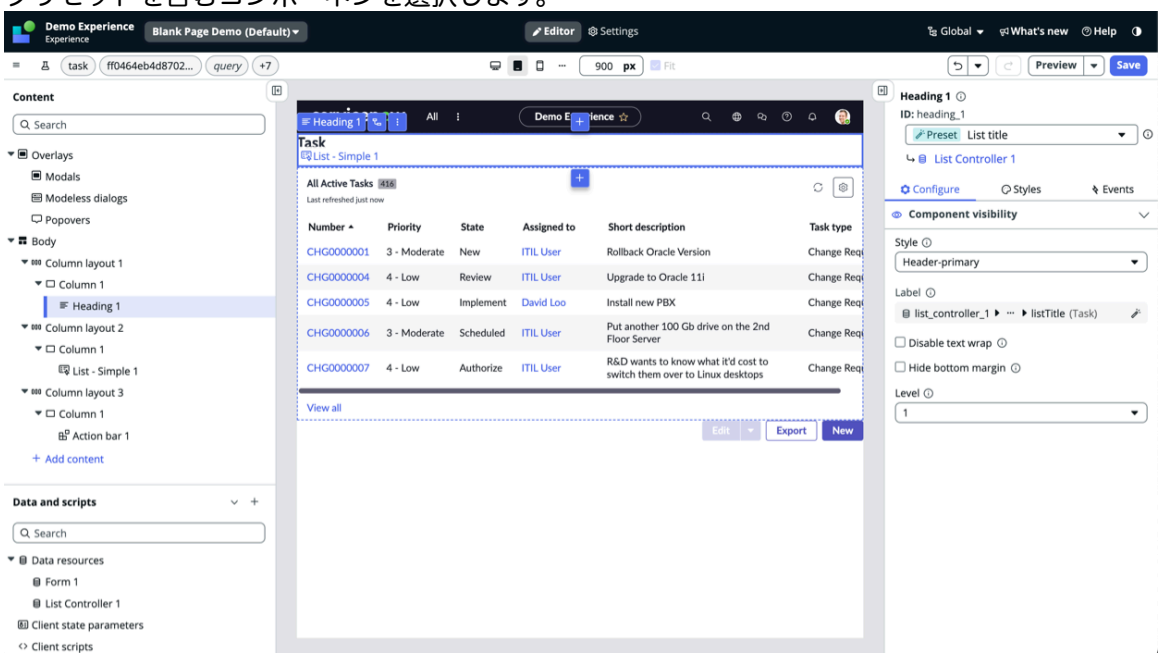
コンポーネントプリセットを上書きして、独自のカスタム値を入力します。

始める前に

必要なロール：admin

手順

1. プリセットを含むコンポーネンを選択します。



2. 構成パネルで上書きするデータ値を見つけます。

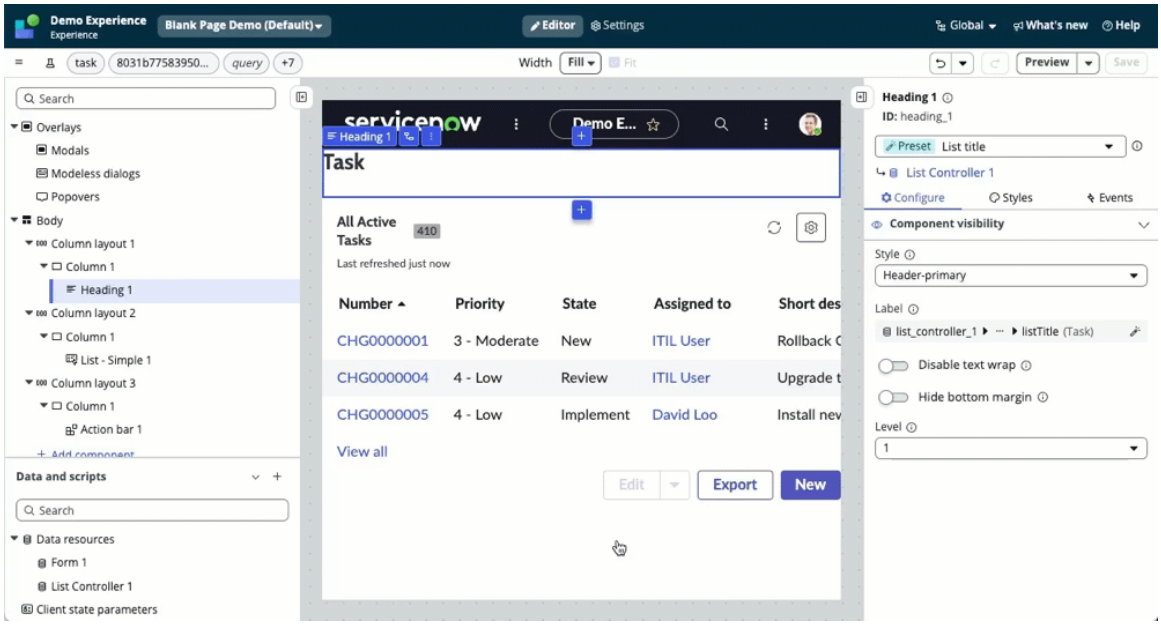
3. データフィールドでロックアイコンをクリックします。

4. プリセット値を上書きするデータ値を入力します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

5. [保存] を選択します。



タスクの結果
構成パネルのフィールドにカスタム値が表示されます。

コンポーネントのリセット

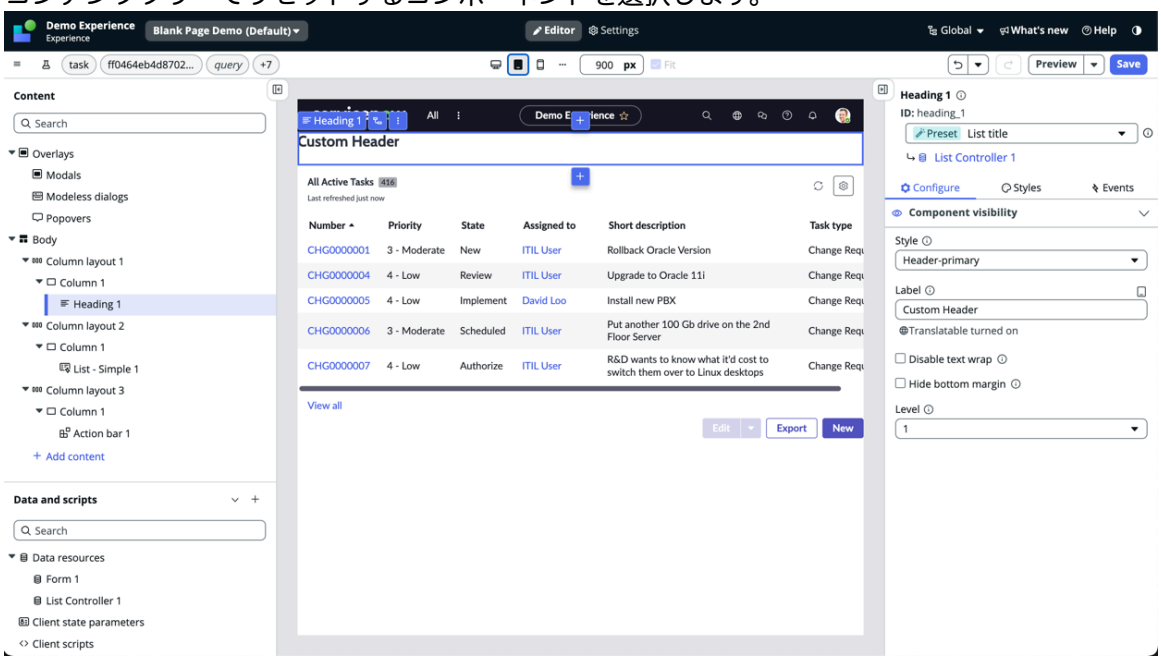
コンポーネントプリセットをデフォルト値にリセットします。

始める前に

必要なロール：admin

手順

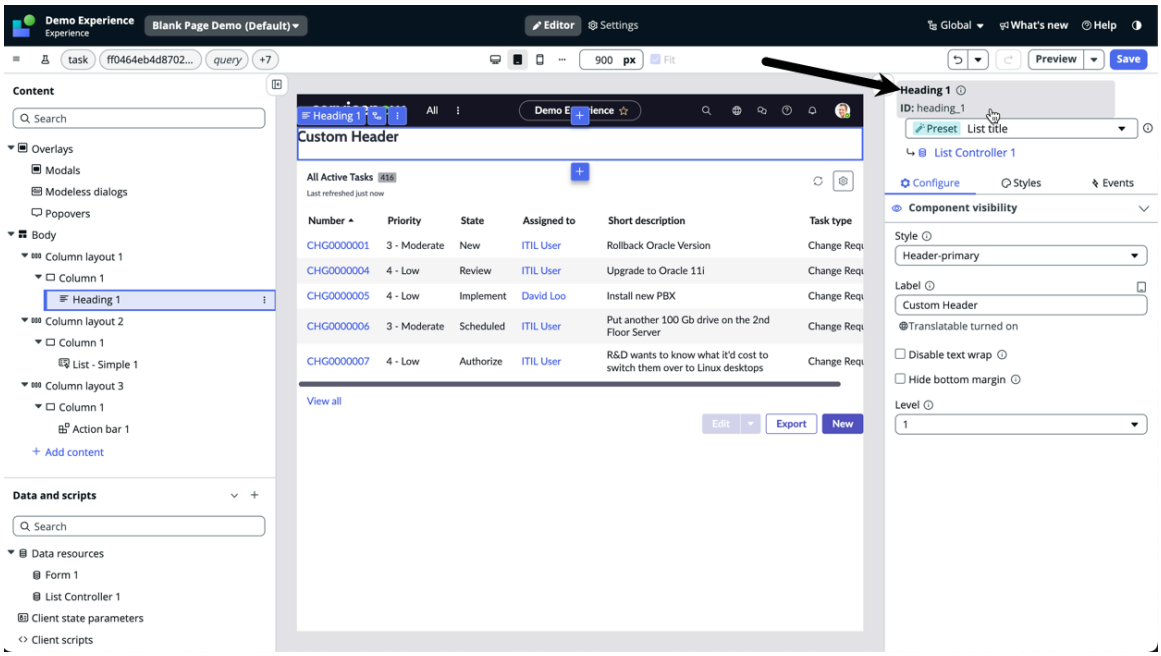
1. コンテンツツリーでリセットするコンポーネントを選択します。



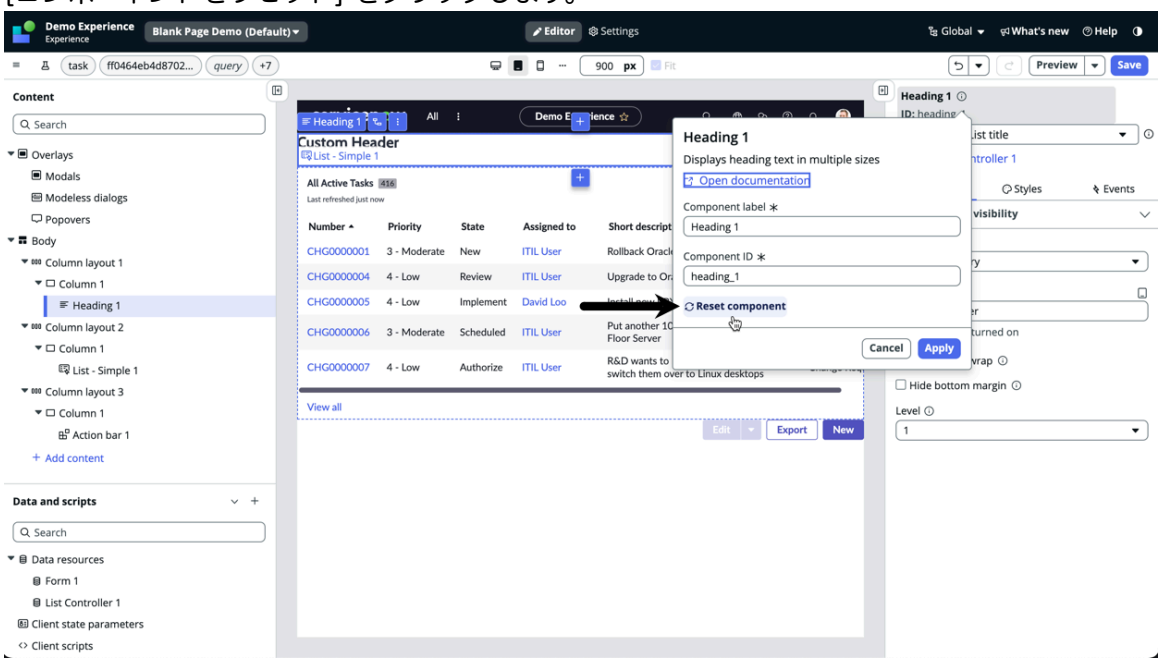
2. 構成パネルでコンポーネント名を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



3. [コンポーネントをリセット] をクリックします。



4. [リセット] をクリックします。

タスクの結果
コンポーネントプリセットをデフォルト値にリセットします。

コンポーネントのカスタムプリセットを作成する

プリセットを作成して時間を節約し、コンポーネント構成をさまざまなエクスペリエンスで再利用できるようにします。

始める前に
必要なロール：ui_builder_admin

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

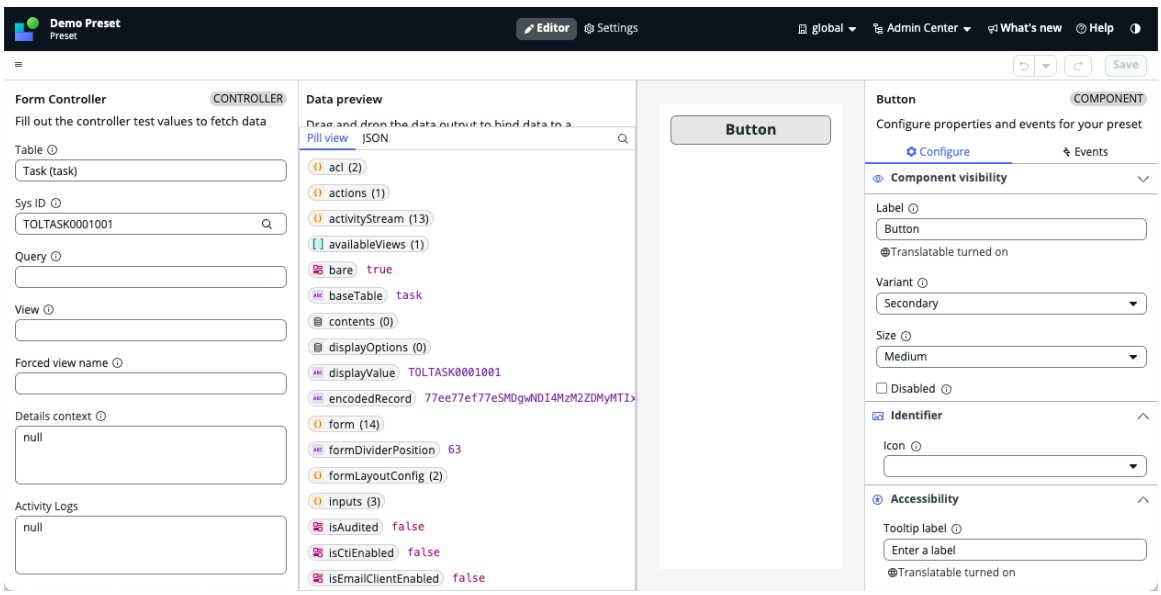
手順

1. 移動先 すべて > **Now Experience** フレームワーク > **UI** ビルダー.
2. **[Create** (作成)] を選択します。
3. [プリセット] を選択します。
4. フォームで、フィールドに入力します。

[ページコレクションを作成] フォーム

フィールド	説明
名前	プリセットを内部で追跡する名前。
コンポーネント	プリセットを作成するコンポーネントを選択します。
コントローラー	プリセットに電力を供給するデータとロジックを備えたコントローラーを選択します。
説明	プリセットを見つけるのに役立つ簡単な説明。ページ作成者がプリセットに含まれるコンテンツを理解するのに役立つ説明を記述します。

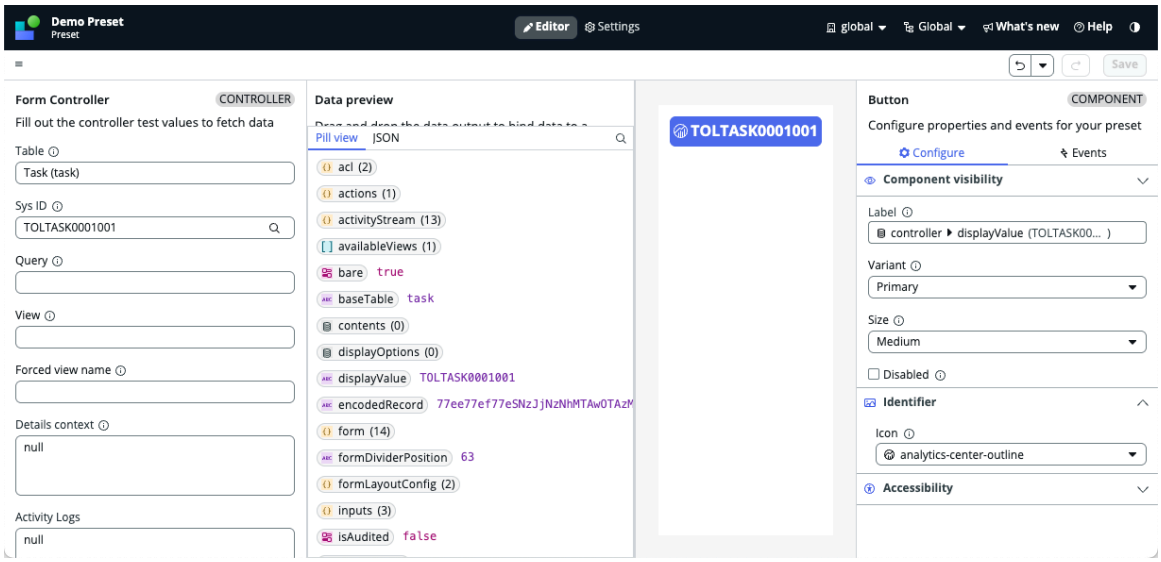
5. **[Create** (作成)] を選択します。
プリセットビルドウィンドウが開きます。



6. コントローラーテスト値を入力して、コンポーネントのプリセットでデータをプレビューします。
7. プリセットで適用するコンポーネントプロパティを構成します。
8. データプレビューセクションから構成パネルのフィールドにアイテムをドラッグして、コントローラーからコンポーネントプリセットにデータをバインドします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



9. オプション: コンポーネントにイベントを追加します。
   詳細については、「イベントハンドラーを手動で構成する」を参照してください。
10. **[Save** (保存)] を選択します。

次のタスク
作成したプリセットを適用 でのプリセットの選択 UI ビルダー.

コンポーネントのデフォルトの外観を変更する

コンポーネントとラッパーのスタイルを設定して、デフォルトの外観を変更します。

このビデオでは、次の手順を実行する方法を紹介します。 このビデオでは、UI ビルダーページ上のコンポーネントのデフォルトの外観を変更する方法を説明します。

始める前に
必要なロール：ui_builder_admin

このタスクについて
このタスクでは、コンポーネントとコンポーネントを含むラッパー (本文、列レイアウト、列など) にスタイルを追加する方法について説明します。コンテンツツリーでコンポーネントを選択してコンポーネントのスタイリングをカスタマイズするか、コンポーネントをラッパー内に配置して複数のコンポーネントにスタイルを適用します。

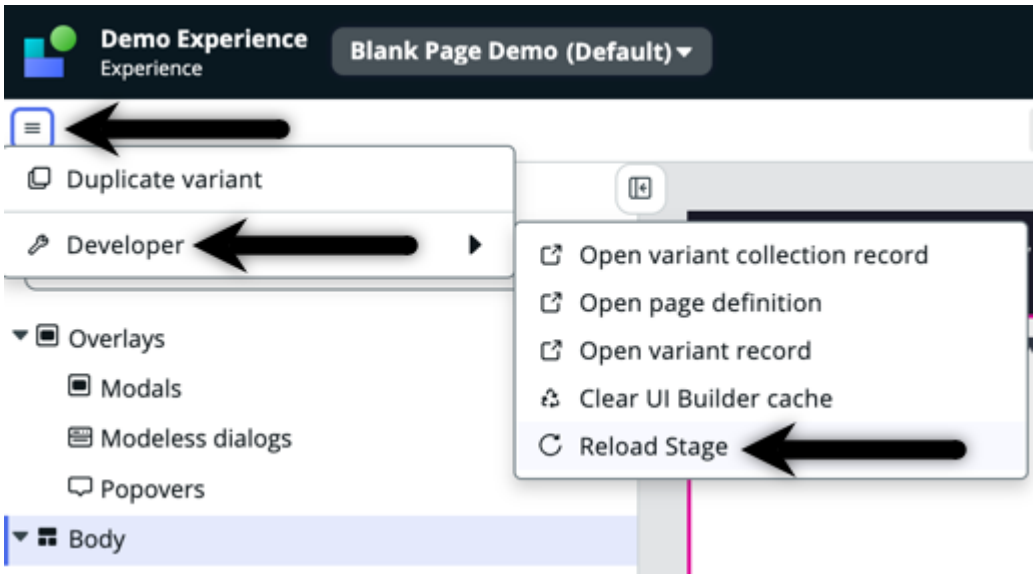
エクスペリエンス全体にスタイリングを追加する方法の詳細については、「UI ビルダーエクスペリエンスの表示スタイルの管理」を参照してください。

このタスクは、Yokohama で導入された新しいレイアウトシステムに適用されます。ページで古いレイアウトシステムを使用している場合は、詳細について「古いレイアウトシステムを使用したコンポーネントへのスタイリングの追加」を参照してください。

注:
ページにコンポーネントを追加して構成すると、ステージに作業内容が表示されます。変更を加えても更新がステージにロードされない場合は、[メニューを開く] アイコンを選択し、[開発者] > [ステージをリロード **(Reload Stage)]**を選択します。ステージをリロードすると変更内容が表示されますが、保存はされません。作業内容を保存するには、右上の [保存] を選択します。

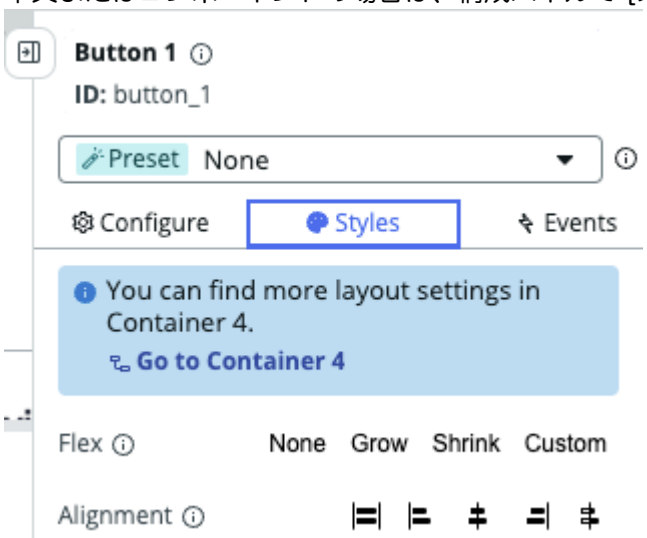
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



手順

1. 移動先 すべて > **Now Experience** フレームワーク > **UI** ビルダー.
2. 作業するエクスペリエンスを開くか、選択してエクスペリエンスを作成します 作成 > エクスペリエンス.
   エクスペリエンスの作成の詳細については、「UI ビルダー でユーザーがアプリケーションをどのように操作するかを構成する」を参照してください。
3. ページまたはページバリアントを開くかまたは作成します。
   UI ビルダーでページを作成する方法の詳細については、「UI ビルダーでページを作成する」を参照してください。
4. コンテンツパネルで、スタイリングを追加するコンポーネントまたはラッパー (本文、列レイアウト、列など) を選択します。
5. 本文またはコンポーネントの場合は、構成パネルで [スタイル] タブを選択します。



6. [スタイル] タブの視覚的表現を使用して、ページの外観に最適なものを決定します。

   アクセシビリティ (列レイアウトと列)

   ARIA リージョン名、ARIA リージョン見出しレベル、ARIA ロール、ARIA 見出しの包含などのアクセシビリティ設定を指定します。詳細については、developer.servicenow.com の ARIA ドキュメントを参照してください。

   配置 (列とコンポーネント)

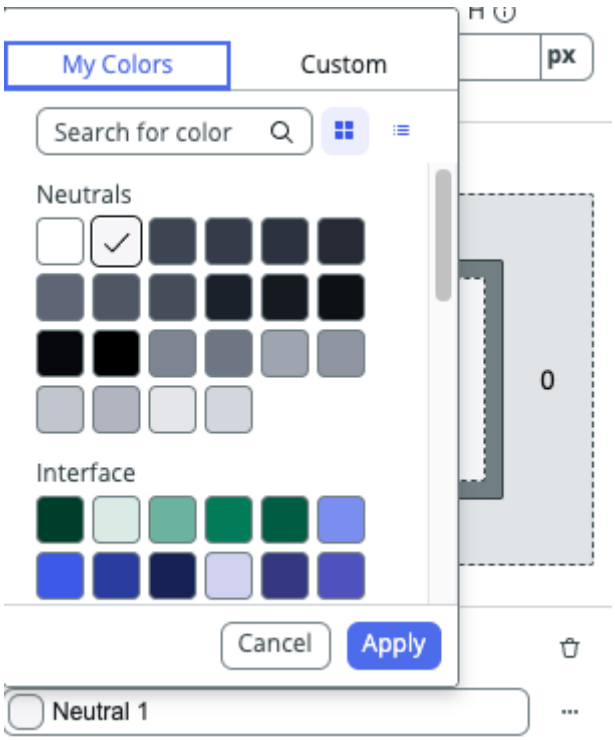
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

列の場合、列内のコンポーネントをグループとして整列する方法を定義します。コンポーネントの場合、列や列レイアウトなど、親レイアウト要素内でのコンポーネントの配置方法を定義します。

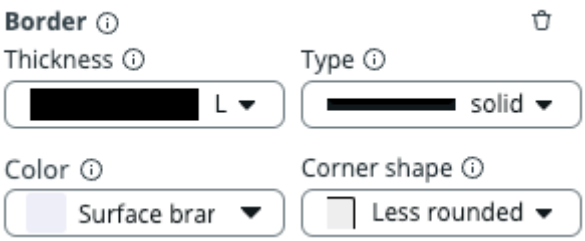
背景 (本文、列レイアウト、列、およびコンポーネント)

レイアウト要素の背景色を設定します。カラーピッカーの [マイカラー] タブから色を選択します。ここには、使用可能な色がグリッドまたはリストで表示されます。または、[カスタム] タブを使用して、HEX、RGB、または HSL で任意の色を指定します。



境界線 (列レイアウト、列、およびコンポーネント)

コンテンツの周囲に境界線を追加します。この境界線は、余白のすぐ内側とパディングのすぐ外側に配置されます。境界線の太さ、タイプ、色、およびコーナー形状を指定します。コンポーネントの場合、境界線にカスタム CSS を使用するオプションがあります。

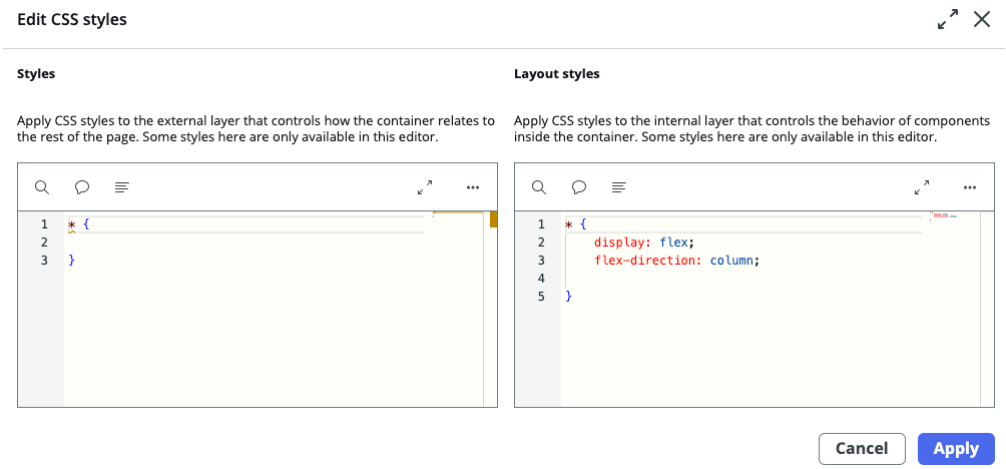


レイアウト (本文、列レイアウト、列、およびコンポーネント)

本文と列の場合は、方向、配置、およびコンテンツの両端揃えを指定します。列レイアウトの場合は、列数と列ギャップ (列間のスペース) を指定します。カードベースコンテナなどの一部のコンポーネントでは、[**CSS** を編集] を選択して、コンテナレイヤーとコンテナ内のコンポーネントを制御する内部レイヤーに特定の CSS スタイルを適用します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



シャドー (列レイアウト、列、およびコンポーネント)

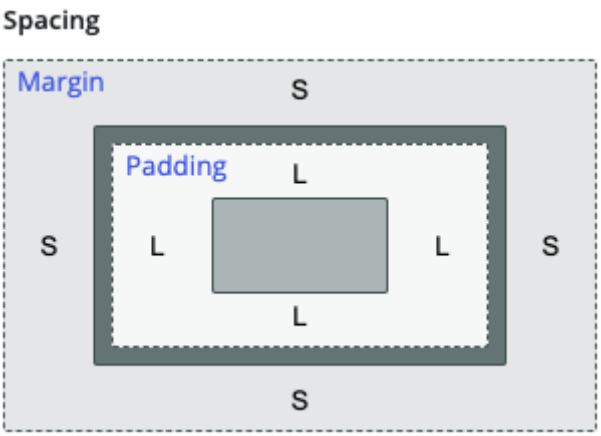
コンテンツの周囲にシャドー効果を追加します。カスタム CSS を使用するオプションがあります。

サイジング (コンポーネント)

該当するコンポーネントについて、コンポーネントのデフォルト、最小、最大の高さと幅を設定します (px、%、em、rem、またはカスタム値)。この値は、ユーザーがブラウザーウィンドウのサイズを変更した際に適用されます。

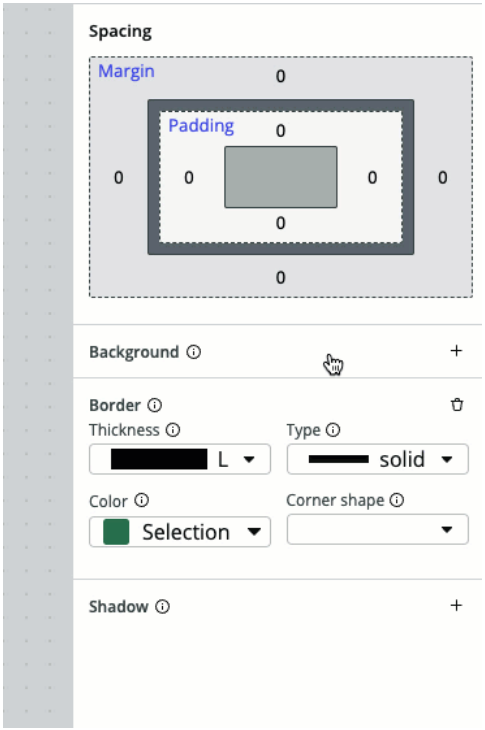
スペース (本文、列レイアウト、およびコンポーネント)

マージンは、本文、列レイアウト、またはコンポーネントのすぐ内側のスペースのサイズを設定します。パディングは、本文、列レイアウト、またはコンポーネントのすぐ外側のスペースのサイズを設定します。4 つのサイドのすべてに同じサイズを設定するには、[マージン] または [パディング] を選択します。



現在の設定を選択してからオプションを選択することで、各マージンまたはパディングのサイドのサイズを設定できます。

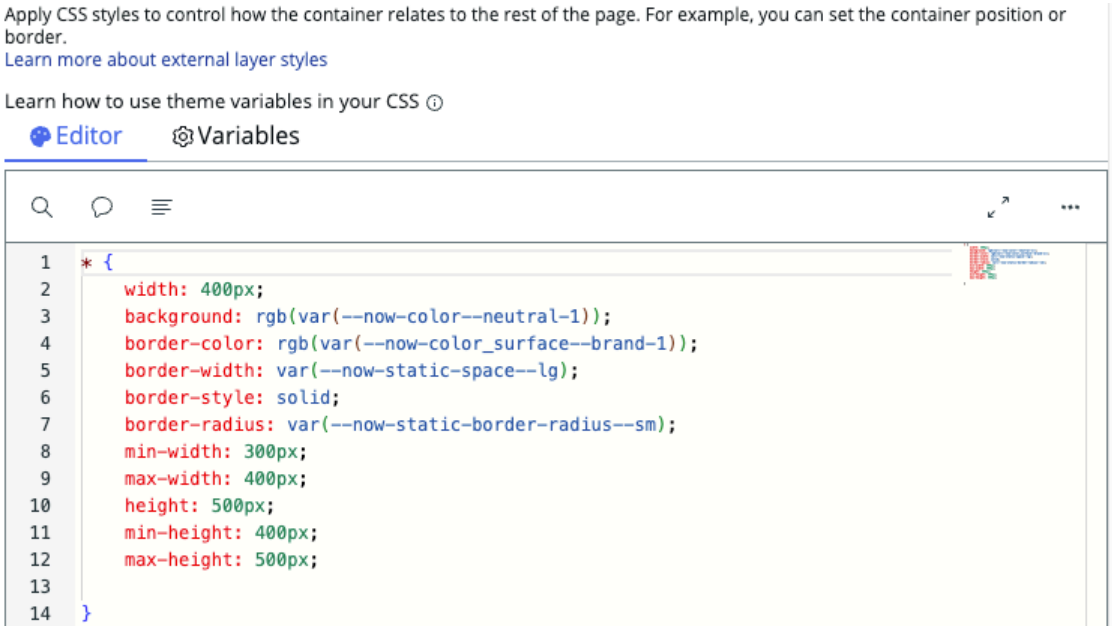
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



7. オプション: 本文およびコンポーネントの場合、CSS コードを編集するには、[スタイル] タブの下部にある **[CSS** の表示と編集] リンクを選択します。
   [スタイル] タブに **CSS** スタイルコードエディターが表示されます。最も一般的に使用される CSS プロパティは次のとおりです。
   - background-color
   - background-image
   - border-style
   - border-width
   - border-color
   - border-radius
   - box-shadow
   - height
   - min-height
   - max-height
   - margin
   - overflow
   - padding
   - width
   - min-width
   - max-width
   - z-index

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



重要:
一部のコンポーネントには、UI ビルダー の CSS で上書きできないビルトインのスタイリング構成が含まれています。これらのスタイル設定をオーバーライドする方法については、「UI ビルダーエクスペリエンスの表示スタイルの管理」を参照してください。

8. メインヘッダーで、[保存] を選択して変更を保存します。

古いレイアウトシステムを使用したコンポーネントへのスタイリングの追加

コンポーネントの CSS スタイルを設定して、デフォルトの外観を変更します。

始める前に
必要なロール：ui_builder_admin

このタスクについて
このタスクでは、コンポーネントを含むラッパーにスタイルを追加する方法について説明します。通常は、コンポーネントにスタイルを直接適用するのではなく、この方法をお勧めします。スタイルを定義するコンポーネントがコンテナコンポーネント内に配置され、コンポーネントがラッパーに配置されていることを確認します。コンポーネントのラッパーはコンテンツ階層内のコンポーネントより 1 レベル高く、デフォルトでは「メイン」というラベルが付けられています。

ページ全体にスタイリングを追加するには、ページのラッパーで標準ベースの CSS を使用できます。エクスペリエンス全体にスタイリングを追加する方法の詳細については、「UI ビルダーエクスペリエンスの表示スタイルの管理」を参照してください。

手順

1. 移動先 すべて > **Now Experience** フレームワーク > **UI** ビルダー.
2. 作業するエクスペリエンスを開くか、選択してエクスペリエンスを作成します 作成 > エクスペリエンス.
   エクスペリエンスの作成の詳細については、「UI ビルダー でユーザーがアプリケーションをどのように操作するかを構成する」を参照してください。
3. ページまたはページバリアントを開くかまたは作成します。
   UI ビルダーでページを作成する方法の詳細については、「UI ビルダーでページを作成する」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
コンポーネントにスタイルを追加する前に、コンポーネントをコンテナに配置する必要があります。

4. スタイルを追加するコンポーネントを保持するコンテナを選択します。
通常、コンテナはコンテンツツリー内のコンポーネントよりも 1 つ上のレベルにあります。
構成パネルに [スタイル] タブが表示されます。
5. [CSS スタイル] ウィンドウで、標準ベースの CSS プロパティと値を入力します。
次の CSS プロパティは、コンテナ内のコンポーネントにスタイルを適用するために最も一般的に使用されます。
   - background-color
   - background-image
   - border-style
   - border-width
   - border-color
   - border-radius
   - box-shadow
   - height
   - min-height
   - max-height
   - margin
   - overflow
   - padding
   - width
   - min-width
   - max-width
   - z-index

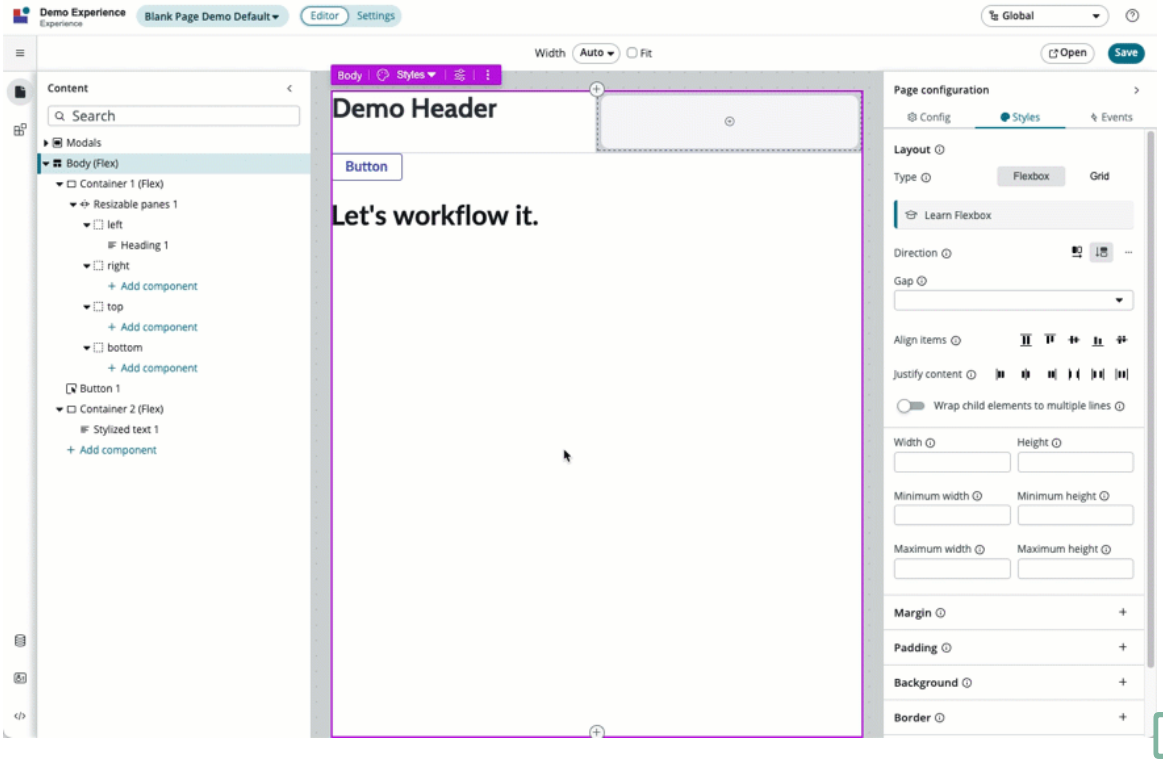
重要:
一部のコンポーネントには、UI ビルダー の CSS で上書きできないビルトインのスタイリング構成が含まれています。これらのスタイル設定をオーバーライドする方法については、「UI ビルダーエクスペリエンスの表示スタイルの管理」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

6. メインヘッダーで、[保存] を選択して変更を保存します。

[スタイル構成] パネルでコンポーネントにスタイルを追加する



フォーカス管理によるアクセシビリティの強化

特定の要素にフォーカスを設定し、ユーザーがスクリーンリーダーを使用して効果的に操作できるようにします。

始める前に

必要なロール：ui_builder_admin

このタスクについて

フォーカス管理は、ユーザーがページ上の特定の要素に注意を向けることで、 UI ビルダー でビルドされたエクスペリエンスをナビゲートするのに役立ちます。たとえば、親ページの情報を更新するモーダルを閉じるときにコンポーネントをポイントできます。

手順

1. 移動先 すべて > **Now Experience** フレームワーク > **UI** ビルダー.
2. 作業するエクスペリエンスを開くか、選択してエクスペリエンスを作成します 作成 > エクスペリエンス.
   エクスペリエンスの作成の詳細については、「UI ビルダー でユーザーがアプリケーションをどのように操作するかを構成する」を参照してください。
3. ページまたはページバリアントを開くかまたは作成します。
   UI ビルダーでページを作成する方法の詳細については、「UI ビルダーでページを作成する」を参照してください。
4. フォーカスをトリガーするコンポーネントをコンテンツツリーから選択します。
5. [イベント] タブを選択します。
6. [イベントマッピングの追加] を選択します。
7. リストからイベントを選択します。

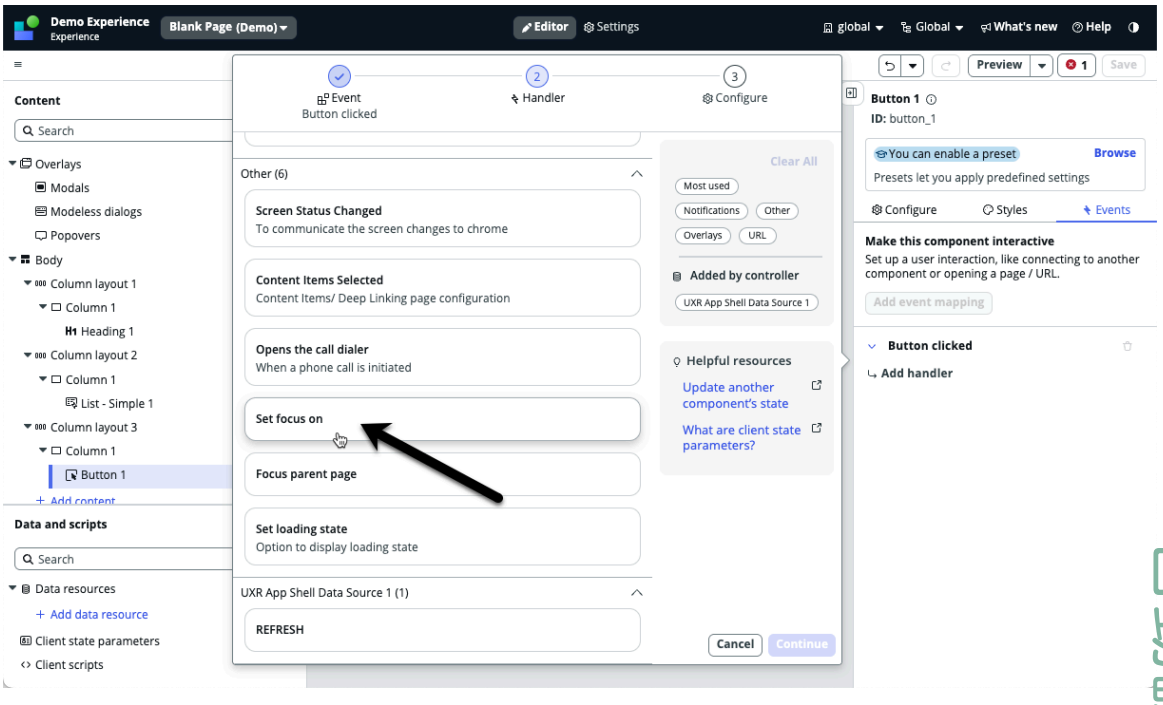
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

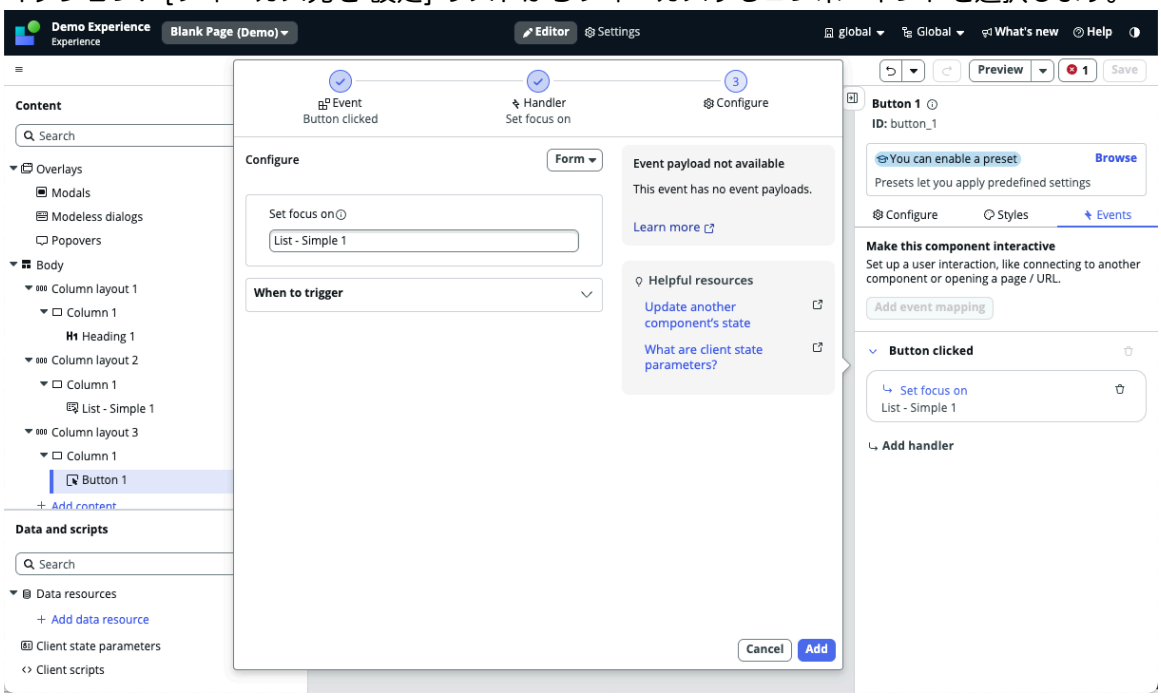
8. **[Continue** (続行)] を選択します。
9. イベントでトリガーするフォーカスのタイプを指定します。

   [フォーカスを設定] を選択して、ユーザーをページ上の特定のコンポーネントに誘導します。

   [親ページにフォーカス **(Focus parent page**)] を選択して、ユーザーをモーダル、ポップアップ、または類似のオーバーレイの親ページに誘導します。



10. **[Continue** (続行)] を選択します。
11. オプション: [フォーカス先を 設定] リストからフォーカスするコンポーネントを選択します。



12. **[Add** (追加)] を選択します。
13. [保存] を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

コンポーネントの複製

ページで再利用する構成済みコンポーネントを複製します。

始める前に

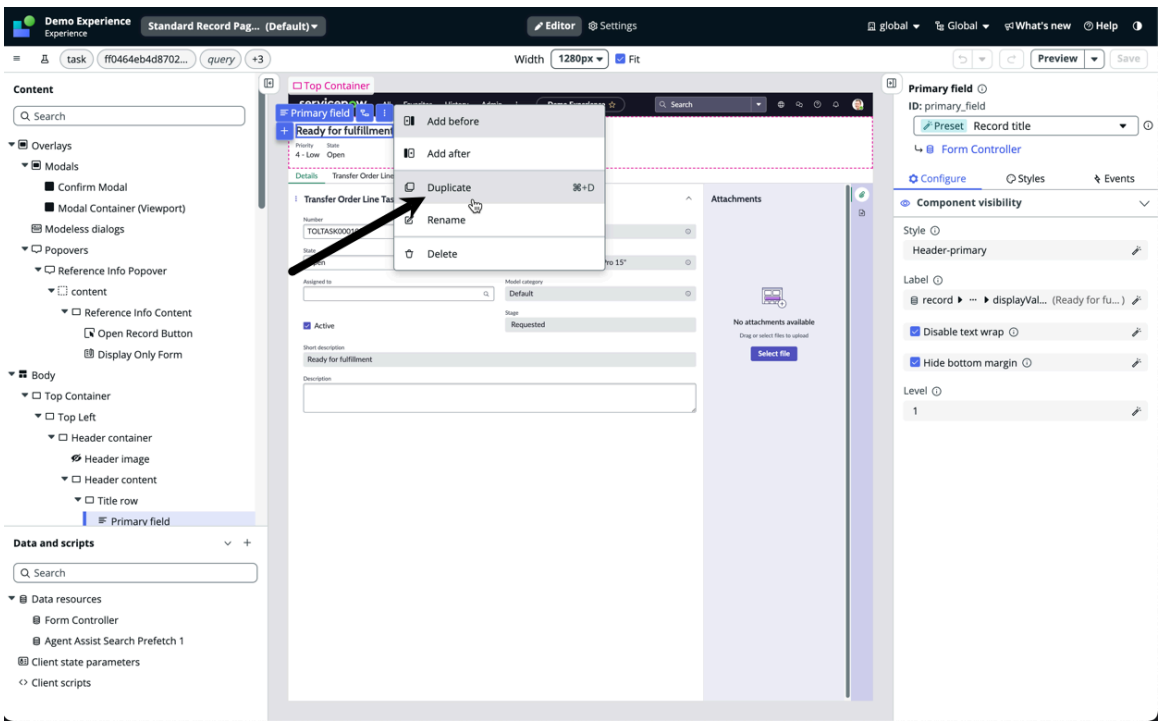
必要なロール：ui_builder_admin または admin

このタスクについて

名前と ID を除いて、ページに構成されたコンポーネントの正確なコピーを作成します。複製されたコンポーネントは、すべてのプロパティ、バインディング、およびイベントをコピーします。複製されたコンポーネントは、コピーされたコンポーネントの直後に表示されます。タブコンポーネントが複製されると、すべてのタブとその子がコピーされ、その名前と ID が一意になります。

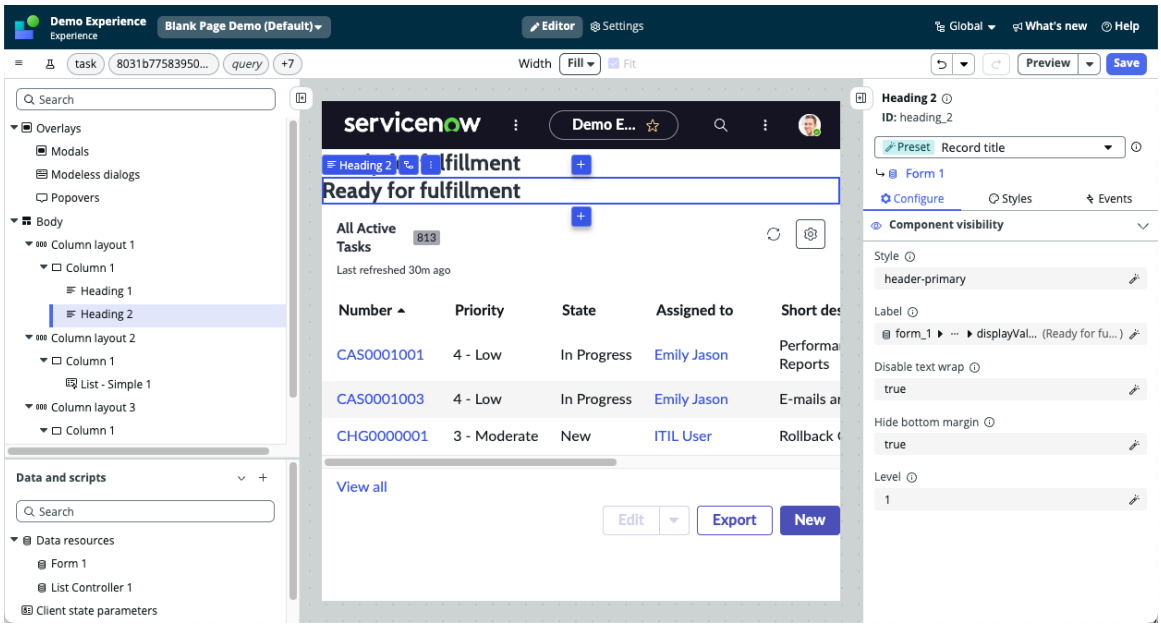
手順

1. 移動先 すべて > **Now Experience** フレームワーク > **UI** ビルダー.
2. 作業するエクスペリエンスを開くか、選択してエクスペリエンスを作成します 作成 > エクスペリエンス.
   エクスペリエンスの作成の詳細については、「UI ビルダー でユーザーがアプリケーションをどのように操作するかを構成する」を参照してください。
3. 複製するコンポーネントを含むページバリアントを開きます。
4. 複製するコンポーネントを選択します。
5. コンポーネントを右クリックします。
6. [複製] を選択します。
   キーボードショートカットの **cmd + D** (Mac) または **ctrl + D** (Windows) を使用することもできます。



複製されたコンポーネントは、コンテンツツリーでコピーされたコンポーネントの下に表示されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



7. [保存] を選択します。

条件付きレンダラーを使用してコンテンツを動的に表示する

条件付きレンダラーコンポーネントを使用して、指定された条件に基づいてコンテンツまたはコンポーネントを表示します。

始める前に

必要なロール：ui_builder_admin

手順

1. 移動先 すべて > **Now Experience** フレームワーク > **UI** ビルダー.
2. 作業するエクスペリエンスを開くか、選択してエクスペリエンスを作成します 作成 > エクスペリエンス.
   エクスペリエンスの作成の詳細については、「UI ビルダー でユーザーがアプリケーションをどのように操作するかを構成する」を参照してください。
3. ページまたはページバリアントを開くかまたは作成します。
   UI ビルダーでページを作成する方法の詳細については、「UI ビルダーでページを作成する」を参照してください。
4. コンテンツツリーで **[+** コンテンツを追加] を選択します。
5. **[Components** (コンポーネント)] を選択します。
6. [条件付きレンダラ] を選択します。
7. **[+** 条件の追加] を選択します。
8. 条件の作成方法を選択します。

条件のタイプ	説明
空のコンテナ	空のコンテナにコンポーネントを配置して条件を作成します。
カード	カードコンポーネントにコンポーネントを配置して条件を作成します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

条件のタイプ	説明
単一コンポーネント	コンテナやカードを使用せずに、コンポーネントに条件を直接追加します。これは、条件が true の場合にのみ単一のコンポーネントを表示する場合に適しています。

9. オプション: 前の手順で [単一のコンポーネント] を選択した場合は、リストからコンポーネントを選択します。
10. フォームで、フィールドに入力します。

フィールド	説明
コンポーネントラベル	条件付きコンテンツを識別するラベル。
コンポーネント ID	データのバインド時に使用される一意の識別子。
説明 (任意)	条件の説明
コンテンツをレンダリング	ページにコンテンツをレンダリングするタイミングを選択します。
条件	データまたは数式を使用して、コンテンツをレンダリングするための条件を設定します。このフィールドには true ブール値が必要です。

11. **[Apply** (適用)] を選択します。
12. オプション: コンテナまたはカードにコンポーネントを追加します。
コンポーネントの追加の詳細については、「 コンポーネントを使用した UI ビルダー ページのカスタマイズ」を参照してください。
13. 条件付きレンダラでコンポーネントを構成します。
14. **[Save** (保存)] を選択します。

ページコレクション

ページコレクションは、複数のエクスペリエンスで使用できるページのグループです。

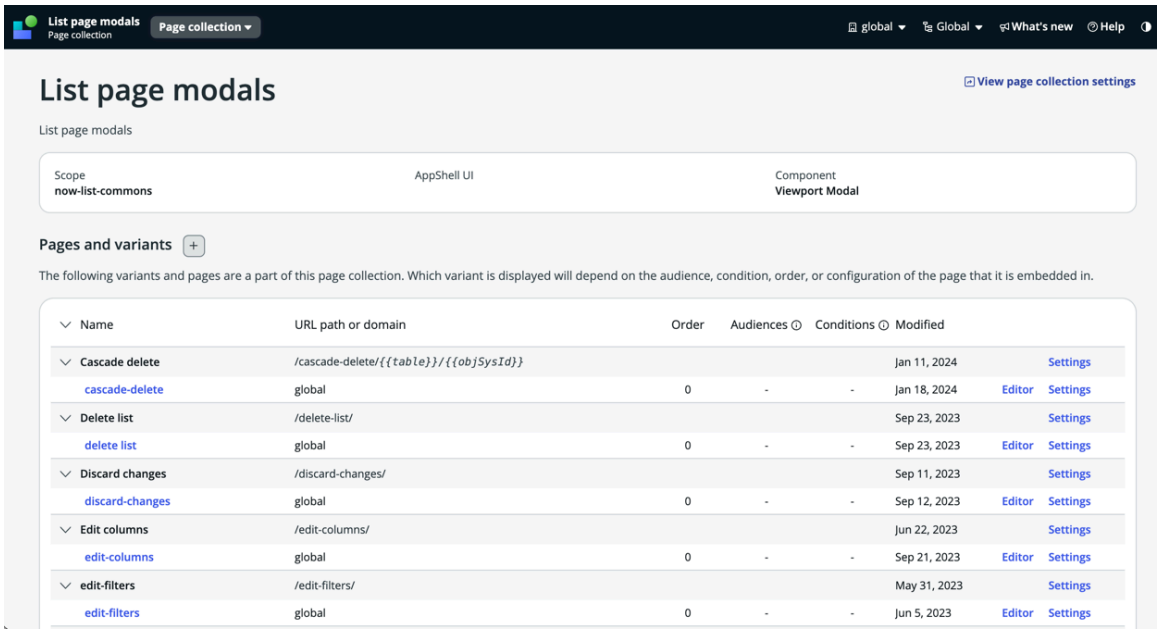
ページコレクションとは

ページコレクション (sys_ux_extension_point) は、複数のエクスペリエンスで再利用されることを意図したページのグループです。これらのページセットは、モーダルビューポートまたはタブコンポーネントで使用できます。これらのページはサンドボックス化されており、それらを呼び出しているページから URL パラメーターやデータリソースなどにアクセスすることはできません。アクセスできるのは、ページコレクションレコードで指定され、実行時に呼び出し元ページによって渡されるコントローラーレコードだけです。

ページコレクションは、それが含まれるページ内にサンドボックス化されるため、親ページを変更するための直接アクセスはありません。ただし、seismic のしくみにより、ページコレクションページは、呼び出し元ページがアクションを実行するためにリッスンできるイベントをディスパッチできます。これは、呼び出し元ページを変更する唯一の方法です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



ページコレクションを使用すべき理由

ページコレクションを使用すると、エクスペリエンス全体でカスタムページを再利用できます。これにより、複数のエクスペリエンスのページを複製し、さまざまなユーザーグループに情報を渡す必要がある場合に時間を節約できます。

ページコレクションを使用して、ビューポートモーダルを使用して既存のトピック内に追加情報を提供することもできます。ビューポートモーダルを使用すると、対象者は親ページを離れることなく、エクスペリエンス外のページを表示して、変更を加えることができます。

エクスペリエンス間で共有できるタブのコレクションを作成します。各タブは、ページコレクション内の個別のページです。

ページコレクションを使用できる場所

UI ビルダー ホーム画面からページコレクションにアクセスできます。ページコレクションのリストには、各ページコレクションのコンポーネントとタイプの詳細が表示されます。

ページコレクションは、UI ビルダー ホーム画面から、またはページコレクションを使用するコンポーネントから作成できます。

ページコレクションは、次のコンポーネントで使用できます。

- ビューポート
- ビューポートモーダル
- タブ

留意点

ページコレクションの作成画面では、コンポーネントとコントローラーを選択する必要があります。

ページコレクションに情報を渡すには、データリソースを選択する必要があります。親ページからデータをバインドする必要があります。

ビューポートに表示するページコレクション内のページにルーティングする必要があります。

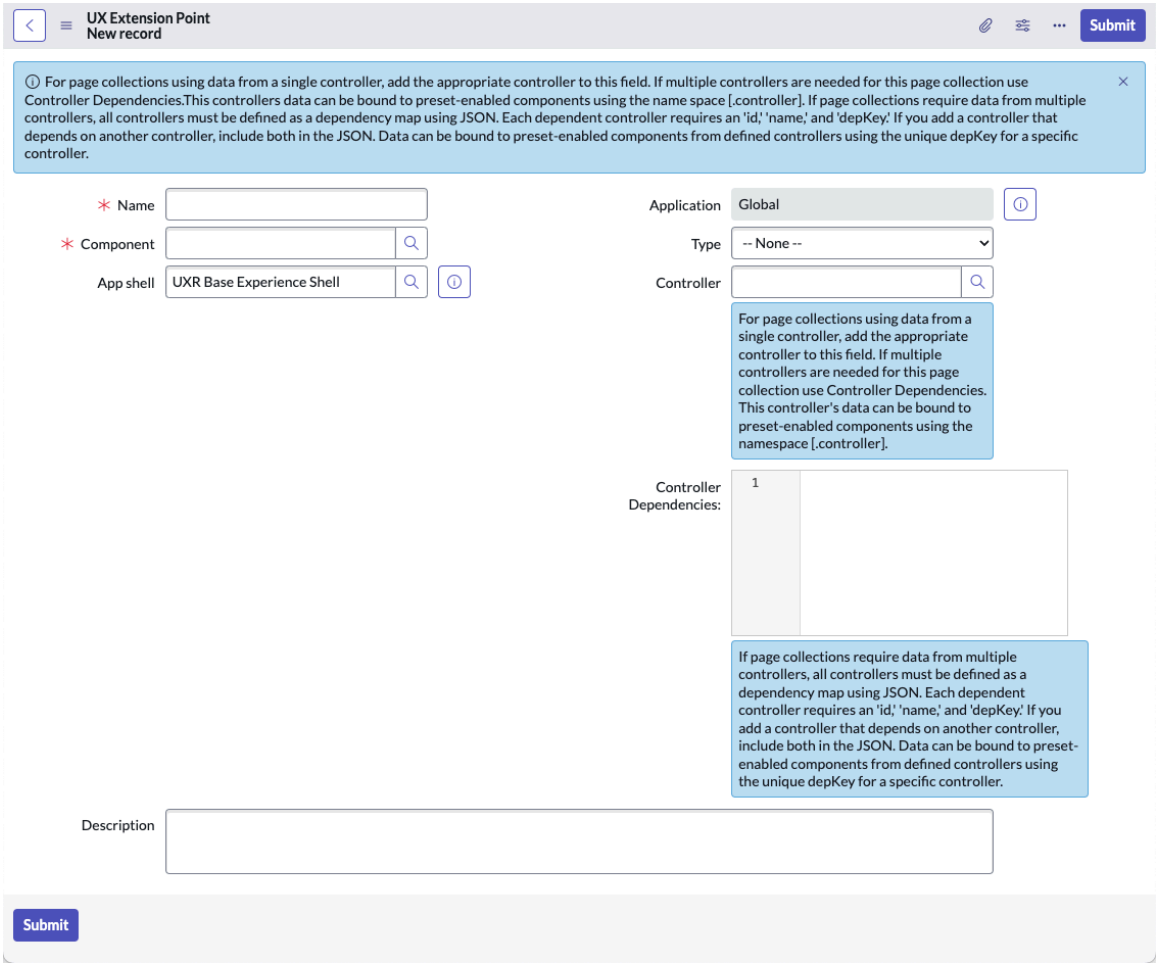
ページコレクションを作成するためのリンクを追加します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プラットフォーム上のページコレクション

ServiceNow プラットフォーム内でページコレクションを作成します。現時点では、ページコレクションの作成時に使用できるのはタブとビューポートコンポーネントのみです。コントローラーを選択するか、JSON を使用してコントローラーの依存関係を渡すことができます。



複数の **UI** ページにわたるページコレクションの作成

エクスペリエンス全体で使用できるタブ付きコンテンツに対応するページコレクションを作成します。

始める前に

必要なロール：ui_builder_admin

このタスクについて

ページコレクションを使用して、 UI ビルダーのタブコンポーネントでエクスペリエンスにタブ付きコンテンツを作成します。

ページコレクション内のページは、親ページの URL パラメーターまたはデータリソースにアクセスできません。ページコレクション内のページに条件を設定して、特定の対象者に表示するページを定義できます。ページコレクション内ではページテンプレートはサポートされません。

手順

1. クリック 作成 > ページコレクション.
2. フォームで、フィールドに入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[ページコレクションを作成] フォーム

フィールド	説明
名前	ページコレクションを内部で追跡するための名前。
アプリシェル UI	ページコレクションで使用するアプリシェル UI のタイプ。アプリシェルはページコンテンツのラッパーであり、Web ページの機能に似ています。アプリシェルでは、会社のロゴ、ユーザー設定、検索アイコンなどを表示できます。詳細については、「アプリシェルを使用した UI エクスペリエンスの定義」を参照してください。
コンポーネント	ページコレクションを使用するコンポーネントを選択します。ページコレクションは、次のコンポーネントで使用できます。 ○ ビューポート ○ ビューポートモーダル ○ タブ
説明	ページコレクションを見つける際に役立つ簡単な説明。ページをビルドしているユーザーが、ページコレクションに含まれるコンテンツを理解する際に役立つ説明を記述します。

3. [次へ] をクリックします。
4. データをページコレクションに接続するコントローラーを選択します。
   選択したコントローラーが別のコントローラーに依存している場合は、両方を追加する必要があります。
5. [ラベル] フィールドにラベルを入力します。
6. **[ID]** フィールドに一意の ID を入力します。
7. [作成] をクリックします。
8. [新規ページの作成] をクリックします
9. [名前] フィールドにページの一意の名前を入力します。
10. [パス] フィールドにページのパスを指定します。UI ビルダー は、前のステップで指定した名前に基づいてデフォルトのパスを生成します。

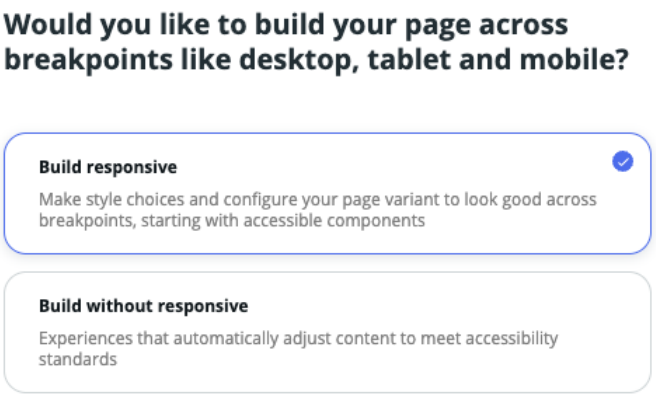
    注:
    アプリケーションスコープのデフォルトは、ユーザーが属するスコープです。アプリケーションスコープの詳細については、「セキュリティとロールについて学習する」を参照してください。

11. [続行] をクリックします。
12. オプション: このページの対象者を 1 人以上追加します。
    必要な対象者がリストにない場合は、[プラットフォームで対象者を開く] リンクを選択して作成できます。
13. オプション: このページに 1 つ以上の条件を追加します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

14. [レスポンシブをビルド] オプション (デフォルト) を選択して、さまざまな画面フォームファクターでのページの表示方法をより詳細に制御するか、[レスポンシブなしでビルド] を選択して自動調整を行います。



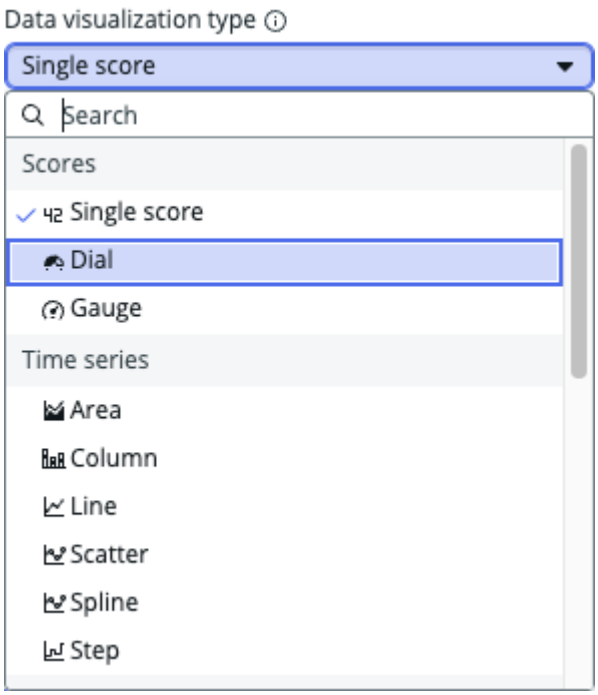
詳しくは、「Responsive authoring (レスポンシブオーサリング)」を参照してください。

15. オプション: ページコレクションにページをさらに追加します。

UI ビルダー でのデータ表示方法の変更

ドロップダウンリストを使用してデータ表示方法をリアルタイムで変更し、エクスペリエンスでデータをプレビューします。

構成パネルのドロップダウンを使用してデータ表示方法タイプを変更し、さまざまなデータ表示方法タイプをプレビューできます。それぞれのデータ表示方法は、エクスペリエンスを使用するユーザーごとに異なるデータを表示するように構成できます。[データ表示方法タイプ] にあるドロップダウンを選択して、さまざまなタイプのデータ表示方法をプレビューします。



選択したデータ表示方法のプレビューがページに表示されます。データビジュアル化コンポーネントをエクスペリエンスに追加する方法については、「コンポーネントの追加と構成」を参照してください。

自動翻訳

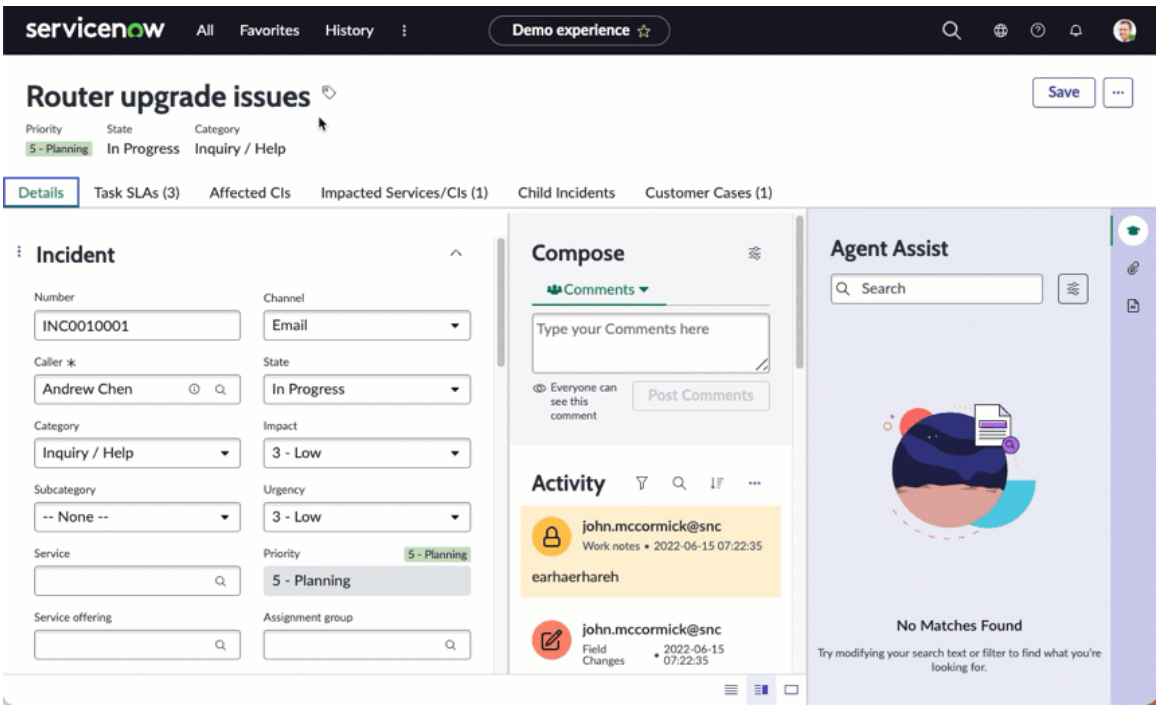
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

UI ビルダーページにタブ付きコンテンツを追加

タブコンポーネントを使用して、UI ビルダー のページにタブ付きコンテンツを追加します。

ページに [タブ] コンポーネントを追加して、UI ビルダー ページに追加のナビゲーションを作成します。タブコンポーネントを使用して、ページ上のタブ内でコンポーネントをネストします。タブは、コンテンツの上部の水平タブとして、またはコンテンツの左側か右側の垂直タブとして構成できます。

タブコンポーネントの例



タブは構成パネルで整理して、UI ビルダー ページでの表示順序を並べ替えることができます。カスタムラベルとアイコンをタブに追加して、タブ間を移動するための一意の視覚的識別子を提供します。これらの変更は、[タブ] コンポーネントの編集時にリアルタイムで表示できます。

次のいずれかのタイプのタブを UI ビルダー ページに追加できます。

- 空のコンテナタブ
- リピーターのタブ
- 関連リストタブ
- ページコレクションタブ

タブコンポーネントは、静的なタブ、リピーターのタブ、関連リストのタブ、およびページコレクションのタブの任意の組み合わせをサポートします。さらに、ビューポートタブモードを使用して一連のビューポートを追加することもできます。

空のコンテナタブの追加

空のコンテナタブを使用して、ページ上に静的なタブのセットを手動で作成します。

始める前に

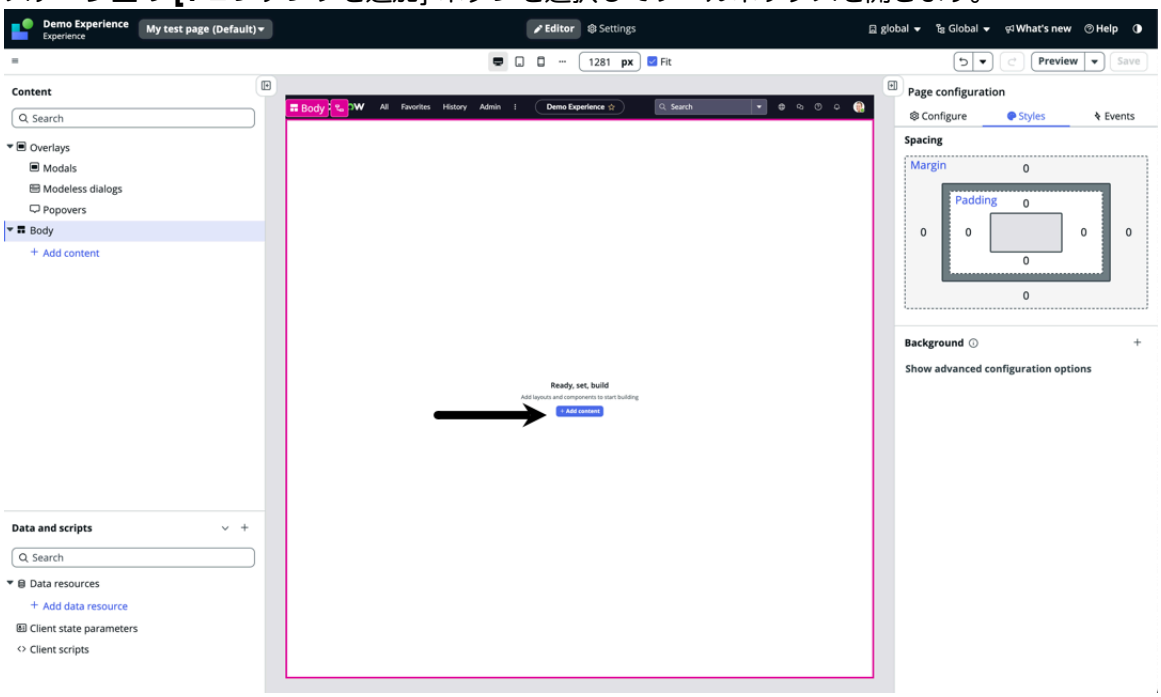
必要なロール：admin

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

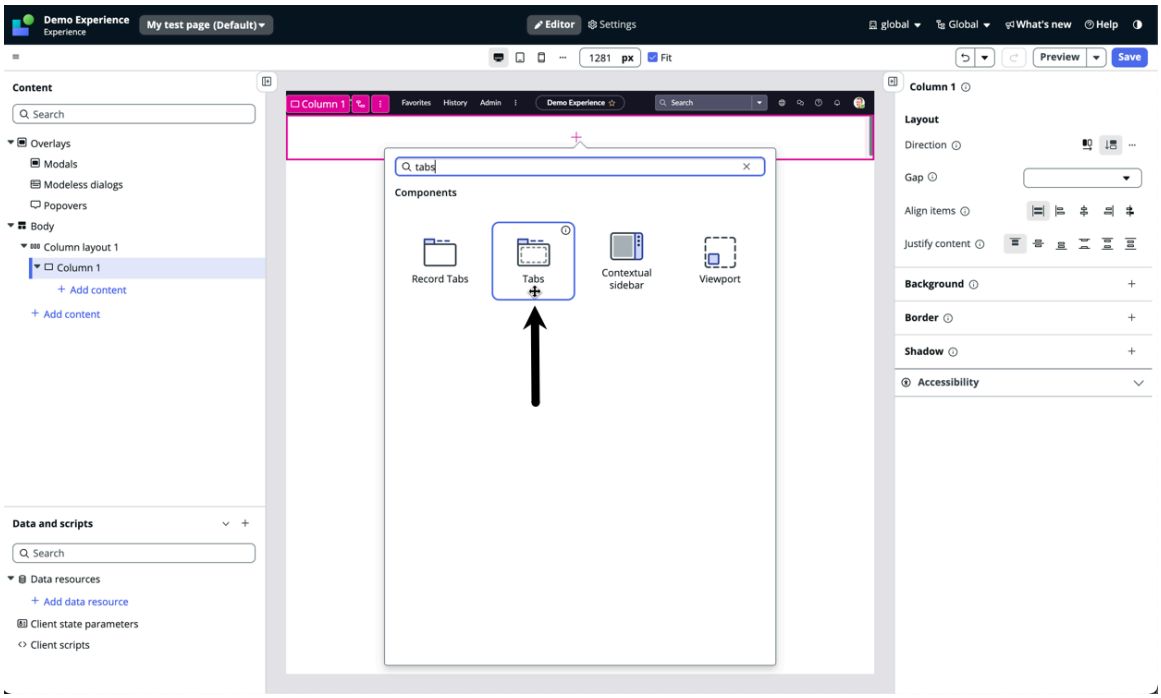
1. 移動先 すべて > **Now Experience** フレームワーク > **UI** ビルダー.
2. 作業するエクスペリエンスを開くか、選択してエクスペリエンスを作成します 作成 > エクスペリエンス.
   エクスペリエンスの作成の詳細については、「UI ビルダー でユーザーがアプリケーションをどのように操作するかを構成する」を参照してください。
3. ページまたはページバリアントを開くかまたは作成します。
   UI ビルダー でページを作成する方法の詳細については、「UI ビルダーでのページの作成」を参照してください。
4. ステージ上の **[+** コンテンツを追加] ボタンを選択してツールボックスを開きます。



5. **1** 列のレイアウトを選択します。
6. 次に、列の **[+]** アイコンを選択してツールボックスを開きます。
7. タブコンポーネントをページに追加します。

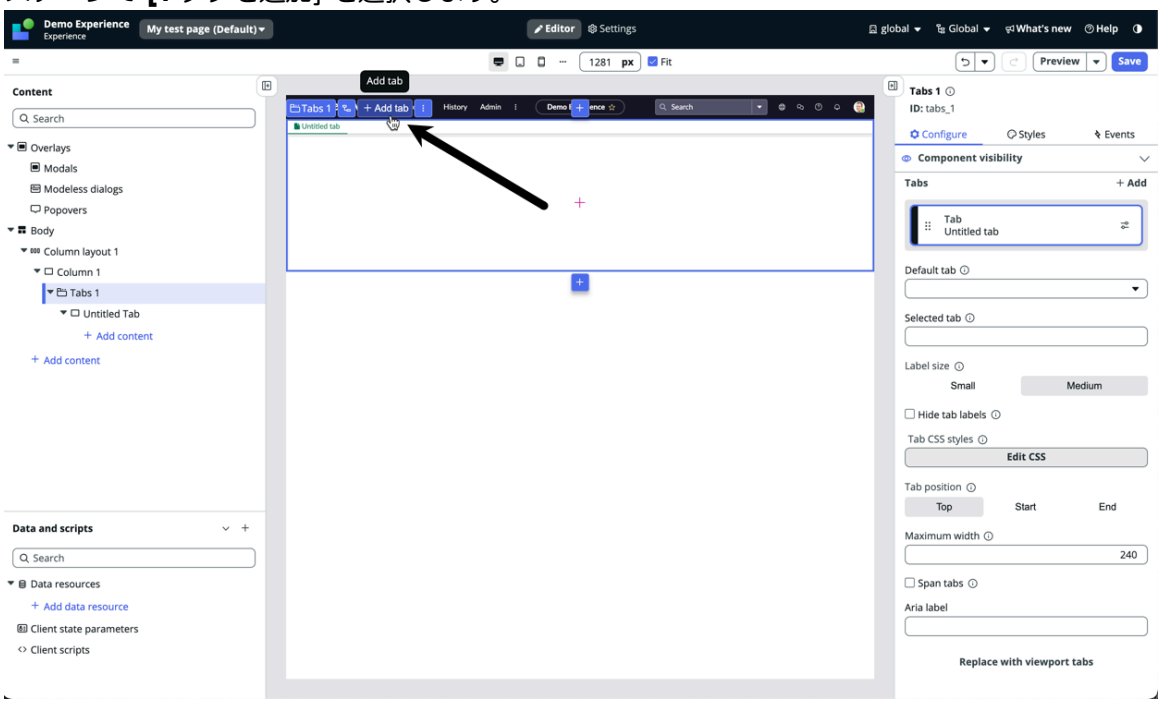
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



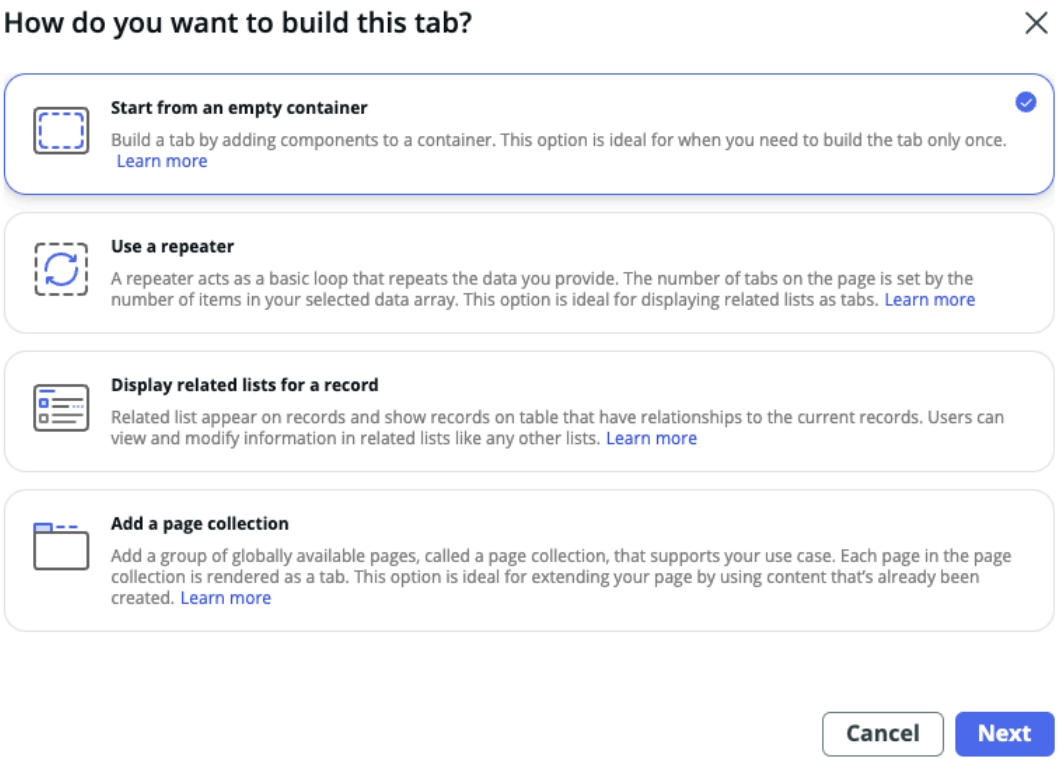
コンポーネントをページに追加する方法の詳細については、「コンポーネントの追加と構成」を参照してください。

8. ステージで **[+** タブを追加] を選択します。



9. [空のコンテナから開始] を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



10. [次へ] を選択します。

11. フォームのフィールドに入力します。

タブの設定フォーム

フィールド	説明
タブラベル	ページに表示するタブのラベル。
アイコン	タブラベルの横に表示されるアイコン。アイコンは必須ではありません。
タブを非表示	タブを表示するか非表示にするか。

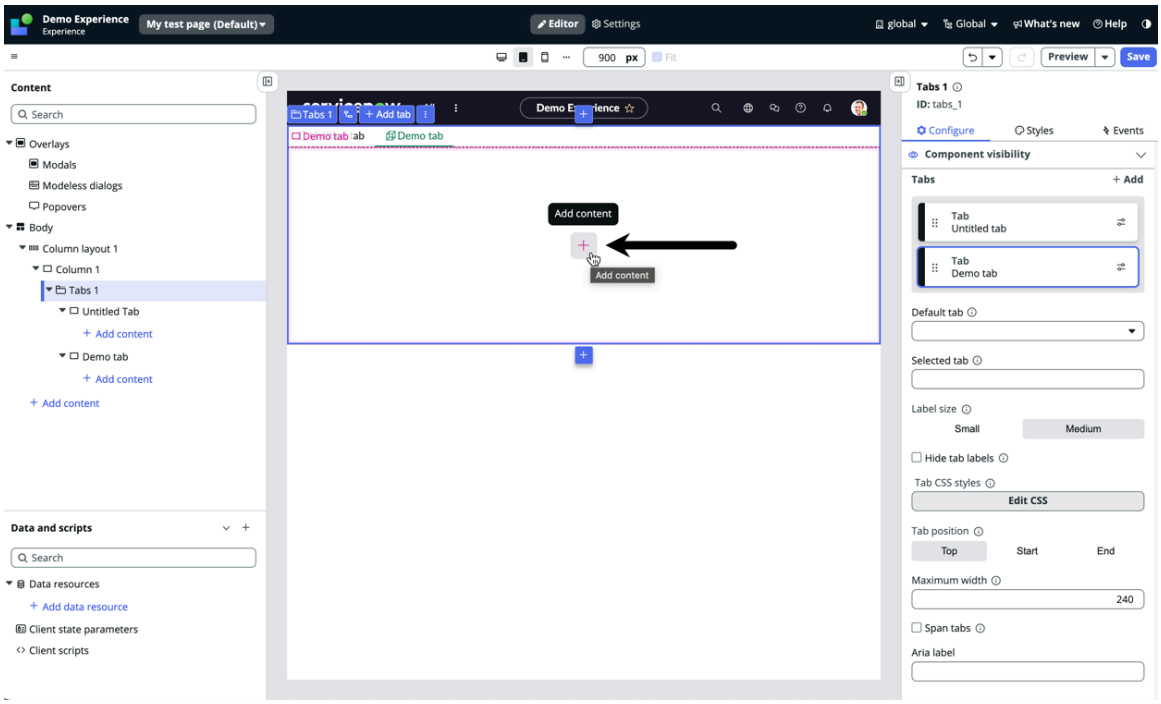
12. [作成] を選択します。
新しいタブがタブコンポーネントに表示されます。

13. 新しいタブを選択します。

14. **[+]** アイコンを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



15. タブに追加するコンポーネントを選択します。
    コンポーネントは、コンテンツツリーでネストされているタブの下に表示されます。詳細については、「コンポーネントの追加と構成」を参照してください。

タスクの結果

ページには、作成した 2 つのタブが表示されます。各タブを選択して、さらに構成したり、スタイリングを追加したり、イベントハンドラーを追加したりします。スタイリングの詳細については、「コンポーネントのデフォルトの外観を変更する」を参照してください。イベントハンドラーの追加の詳細については、「「Manage actions in UI Builder pages (UI ビルダーページでのアクションの管理)」」を参照してください。

リピータータブの追加

タブコンポーネントを使用して、タブをデータアレイにリンクして、一連のリピータータブを作成します。

始める前に

必要なロール：admin

このタスクについて

リピータータブを使用して、指定したデータアレイに基づいて複数のタブを作成できます。オブジェクトのキーとして、アイコン、ラベル、カウント、およびフィールドを渡すことができます。ラベルキーを使用して、タブに名前を追加します。フィールドキーを使用して、情報をリピータータブに渡します。データブローカー、クライアントステータス、またはクライアントスクリプトをデータアレイプロバイダーにバインドして、正しいスキーマを持つオブジェクトのアレイを返すことができます。

手順

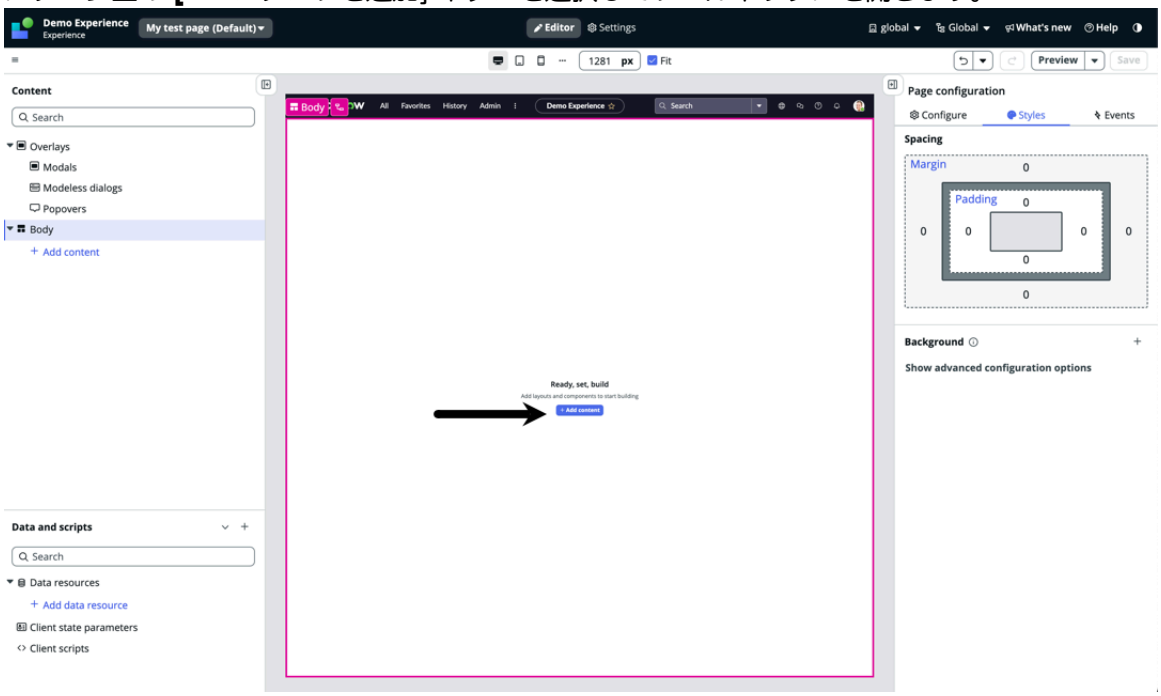
1. 移動先 すべて > **Now Experience** フレームワーク > **UI** ビルダー.
2. 作業するエクスペリエンスを開くか、選択してエクスペリエンスを作成します 作成 > エクスペリエンス.
   エクスペリエンスの作成の詳細については、「UI ビルダー でユーザーがアプリケーションをどのように操作するかを構成する」を参照してください。
3. ページまたはページバリアントを開くかまたは作成します。

自動翻訳

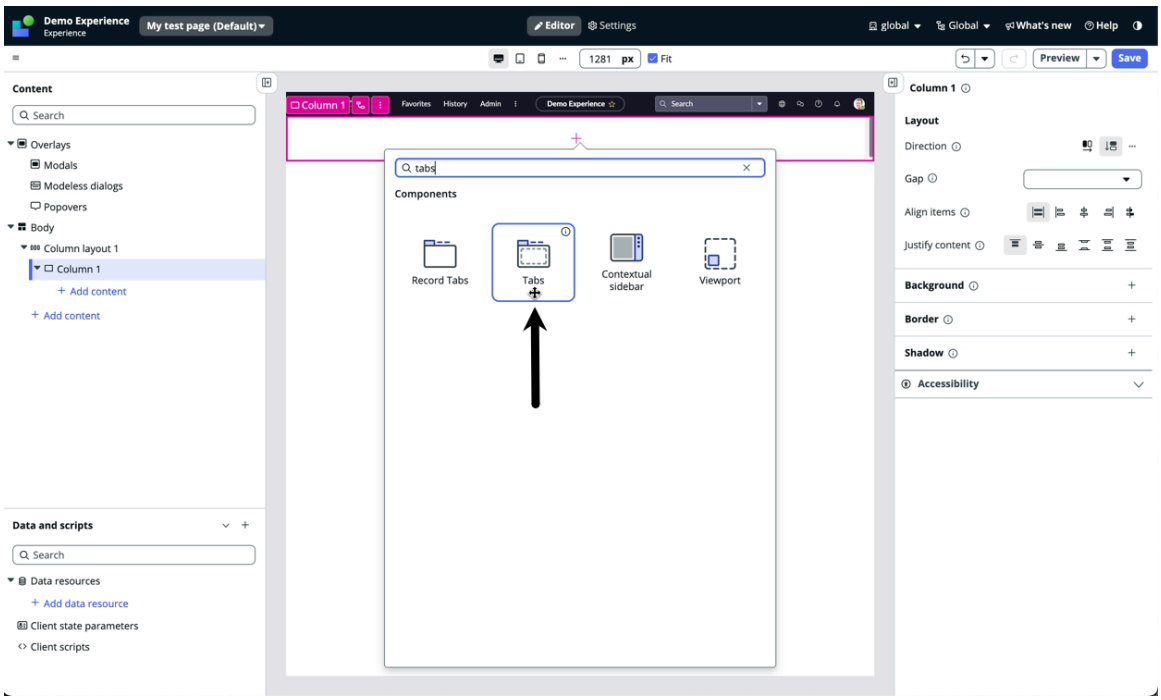
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

UI ビルダー でページを作成する方法の詳細については、「UI ビルダーでのページの作成」を参照してください。

4. ステージ上の **[+** コンテンツを追加] ボタンを選択してツールボックスを開きます。



5. **1** 列のレイアウトを選択します。
6. 次に、列の **[+]** アイコンを選択してツールボックスを開きます。
7. タブコンポーネントをページに追加します。

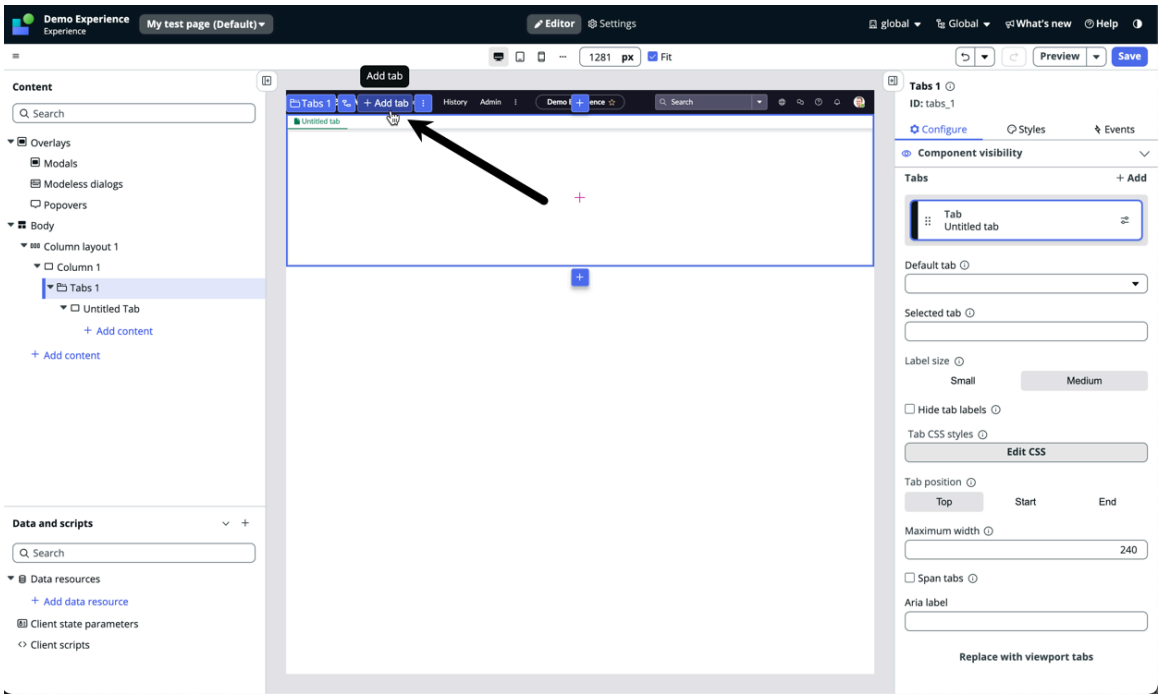


コンポーネントをページに追加する方法の詳細については、「コンポーネントの追加と構成」を参照してください。

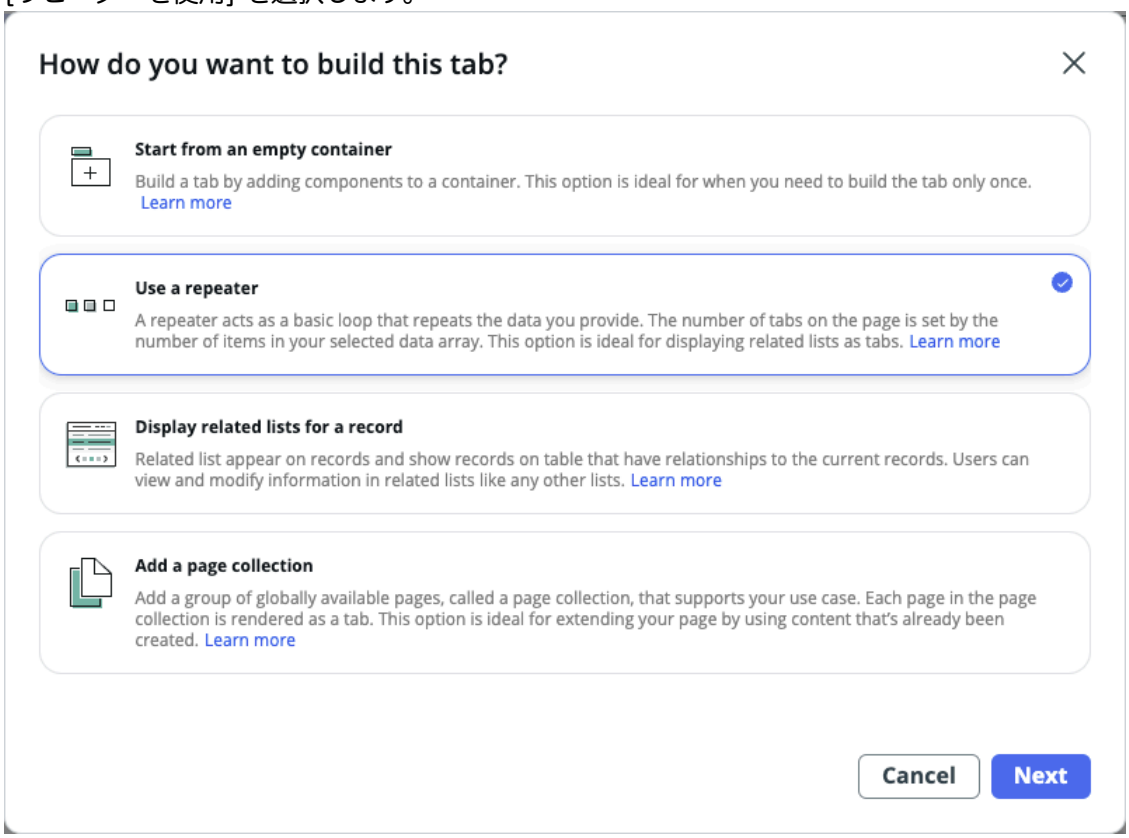
8. ステージで **[+** タブを追加] を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳



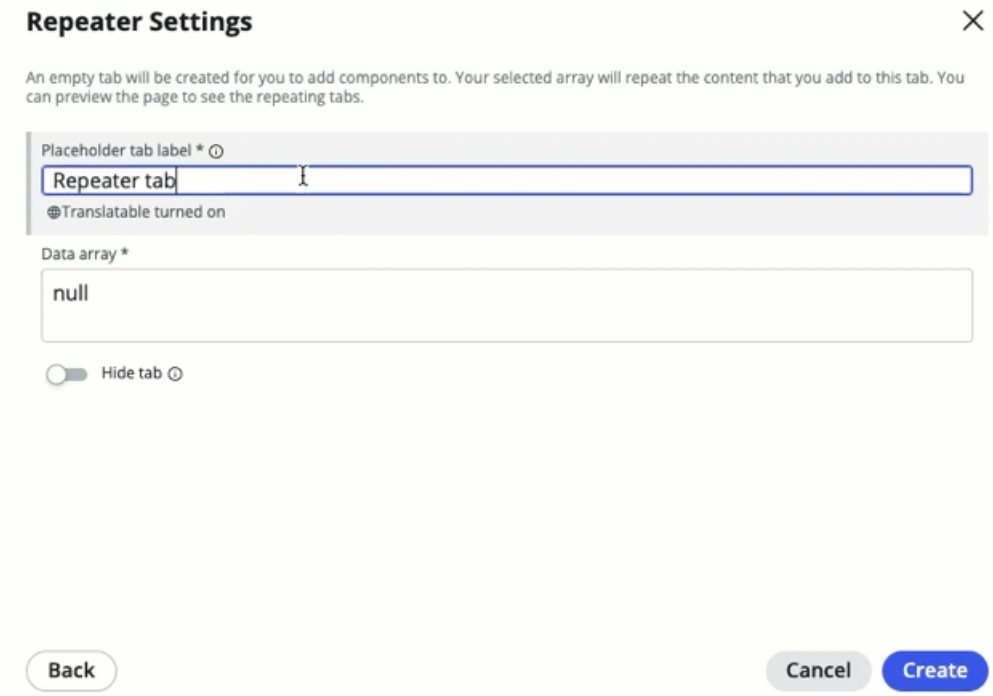
9. [リピーターを使用] を選択します。



10. [次へ] を選択します。
11. [プレースホルダータブラベル] フィールドにリピータータブのラベルを入力します。
このラベルは最初のリピータータブにアサインされ、ページプレビューに表示される唯一のタブです。
12. [データ配列] フィールドで [編集] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



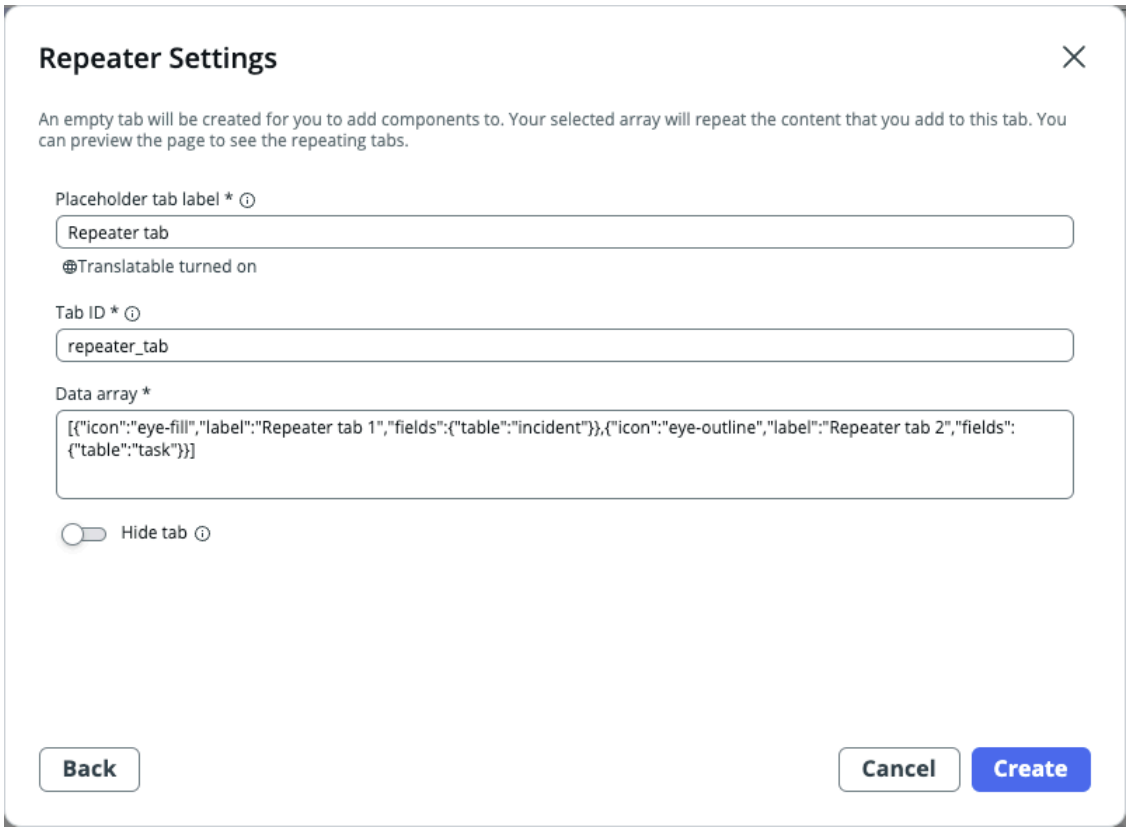
13. JSON エディターでデータアレイを構成します。

キー	データタイプ	説明
アイコン	文字列	UI ビルダー に表示されるアイコンの名前。
ラベル	文字列	必須。UI ビルダー でのタブの表示名。
カウント	番号	タブラベルに指定する値。ラベルに表示されるデータブローカーまたはクライアントスクリプトに動的にバインドします。
フィールド	オブジェクト	情報を格納し、タブ内のコンポーネントに渡すために使用できるオブジェクト。

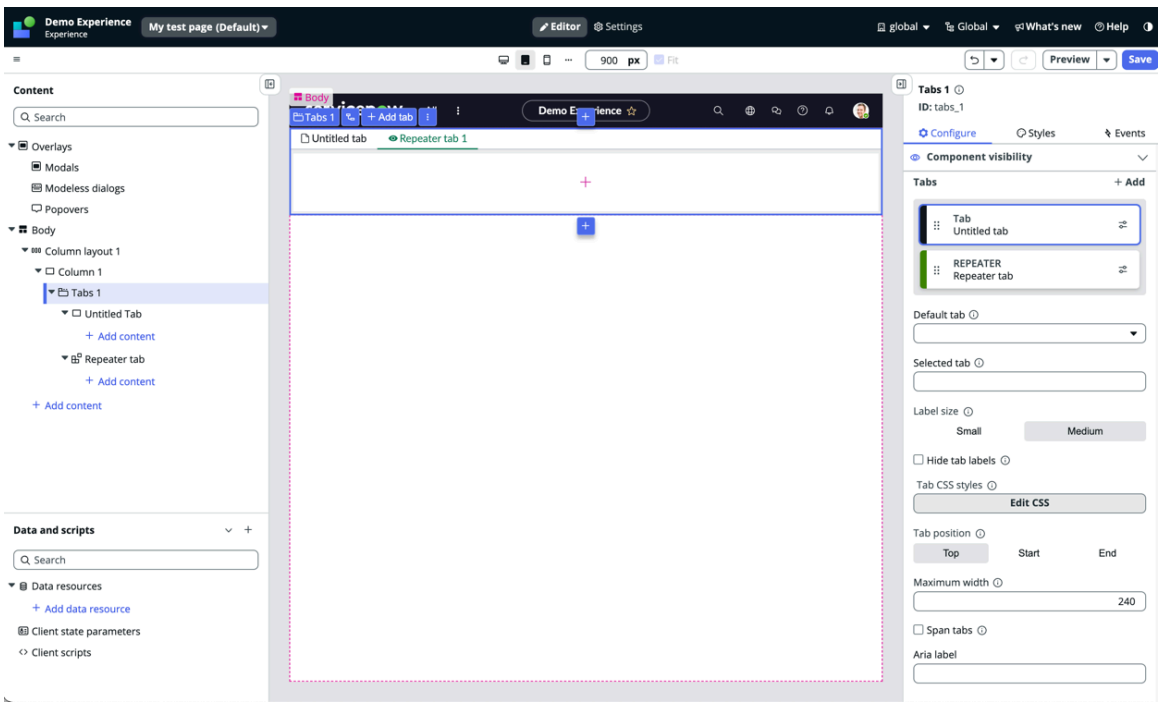
14. [適用] を選択します。
データアレイフィールドには、データアレイの構成が表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



15. [作成] を選択します。
新しいリピータータブが、ページとコンテンツツリーに表示されます。



16. [保存] を選択します。

17. コンポーネントを [リピーター] タブに追加します。

18.

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

関連リストタブの追加

関連リストにリンクすることで、ページ上に一連のタブを作成します。

始める前に

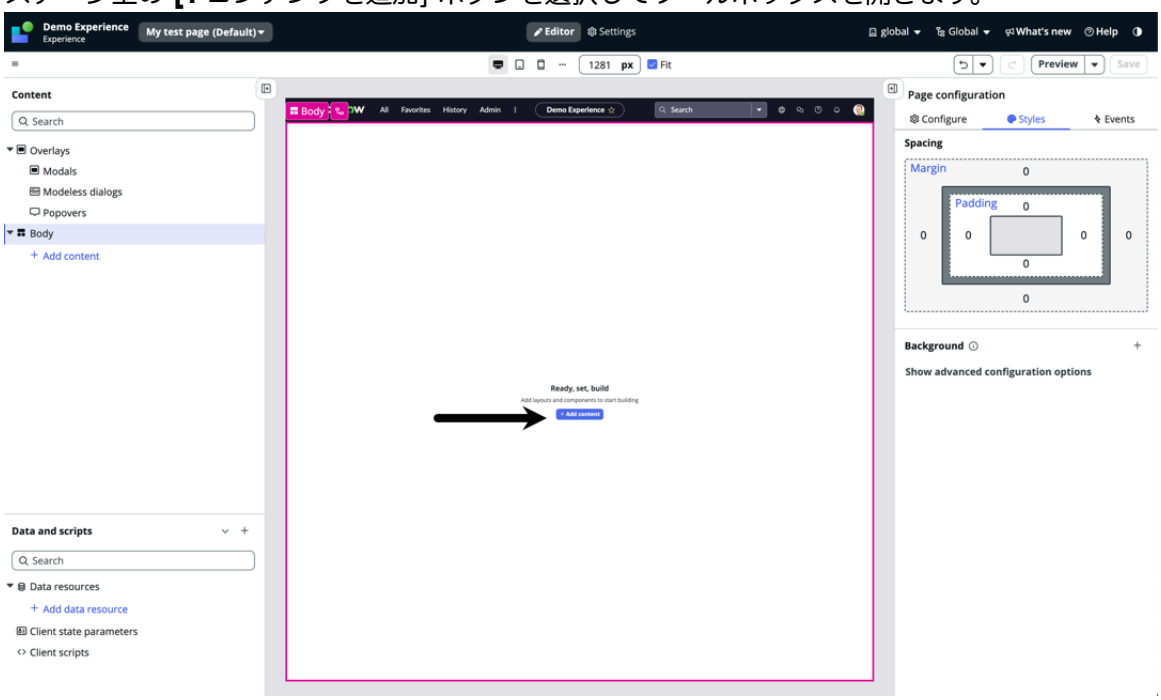
必要なロール：admin

このタスクについて

関連リストタブは、ページに表示されているレコードに基づいて自動的に入力されます。たとえば、デフォルトでは、ユーザーテーブルの関連リストは、[ロール]、[グループ]、[代理人]、および [ヴィジビリティドメイン] です。ページにユーザーレコードが表示されている場合、関連リストタブを作成すると、これらの 4 つの関連リストがすべてページに追加されます。ページをプレビューすると、追加された関連リストを確認できます。関連リストタブを作成するには、レコードコントローラーが必要です。コントローラーをページに追加する方法の詳細については、「コントローラーを使用した UI ビルダー ページへのデータのバインド (高度な機能)」を参照してください。

手順

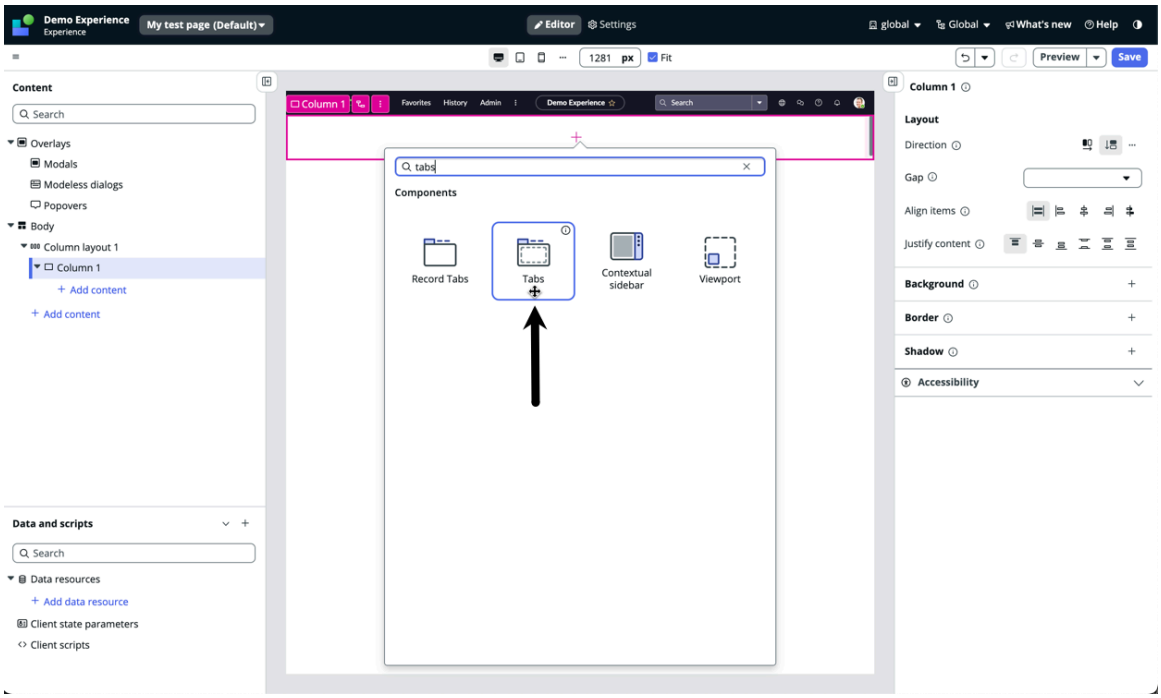
1. 移動先 すべて > **Now Experience** フレームワーク > **UI** ビルダー.
2. 作業するエクスペリエンスを開くか、選択してエクスペリエンスを作成します 作成 > エクスペリエンス.
   エクスペリエンスの作成の詳細については、「UI ビルダー でユーザーがアプリケーションをどのように操作するかを構成する」を参照してください。
3. ページまたはページバリアントを開くかまたは作成します。
   UI ビルダー でページを作成する方法の詳細については、「UI ビルダーでのページの作成」を参照してください。
4. ステージ上の **[+** コンテンツを追加] ボタンを選択してツールボックスを開きます。



5. **[1** 列] のレイアウトを選択します。
6. 次に、列の **[+]** アイコンを選択してツールボックスを開きます。
7. タブコンポーネントをページに追加します。

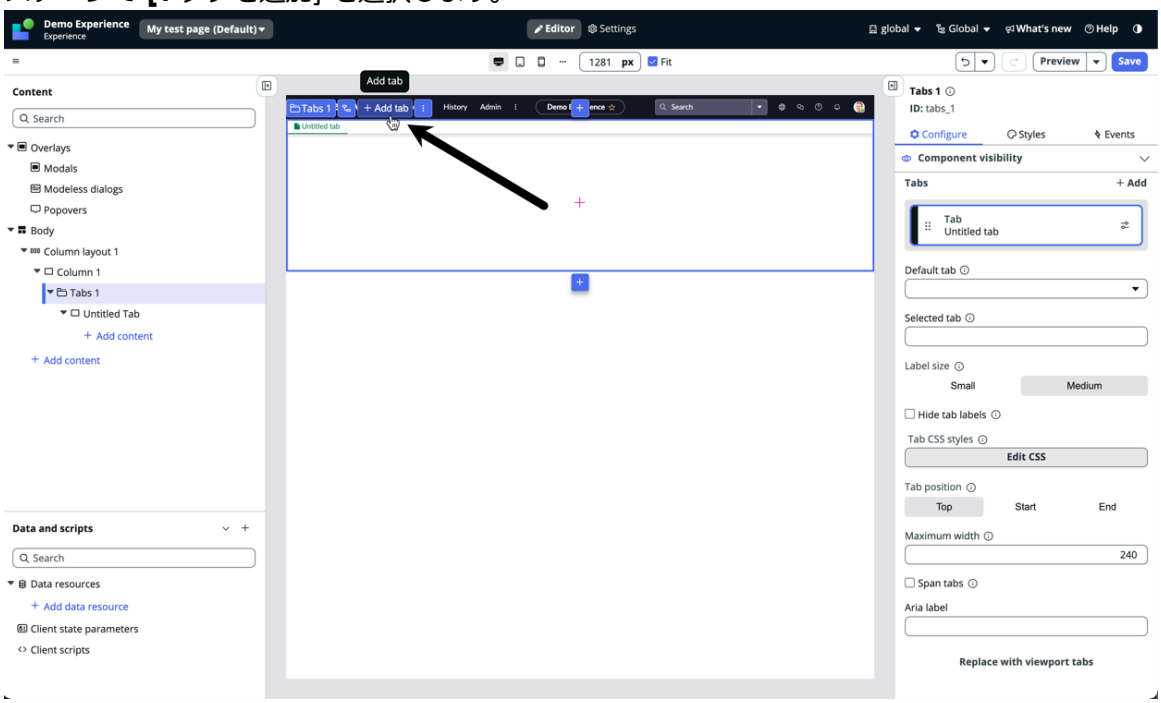
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳



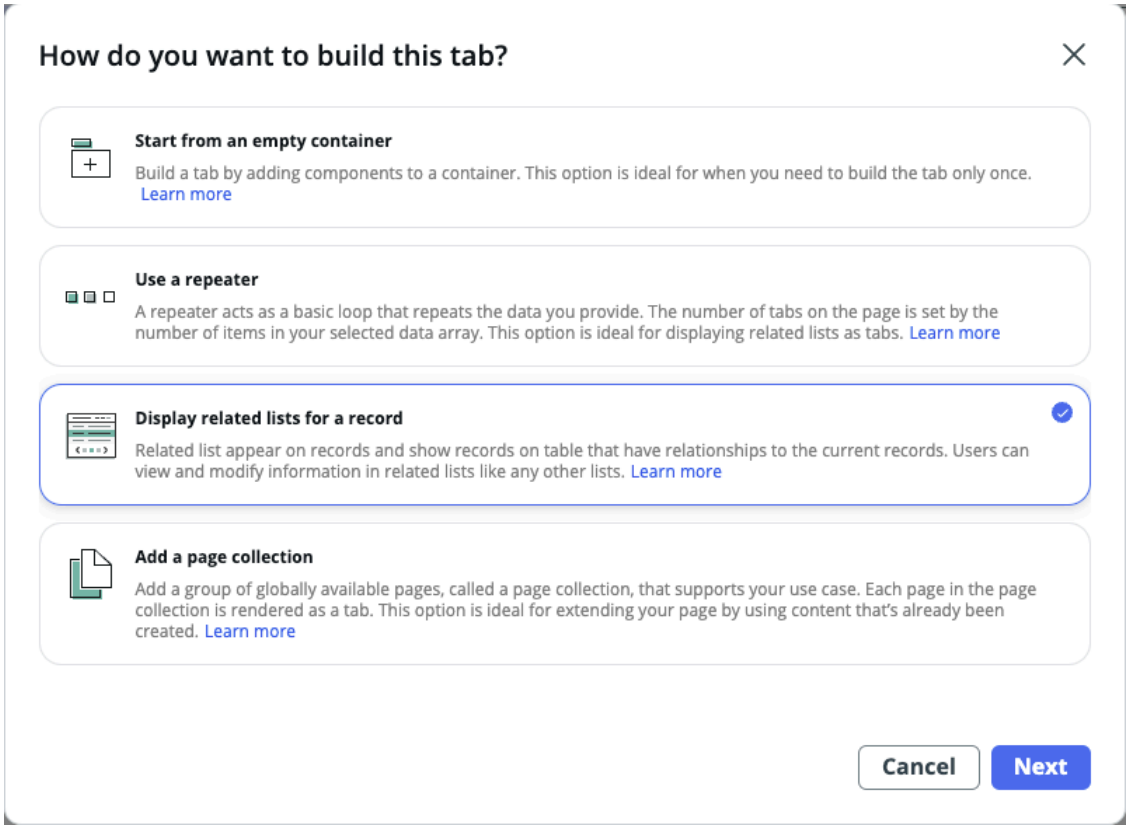
コンポーネントをページに追加する方法の詳細については、「コンポーネントの追加と構成」を参照してください。

8. ステージで **[+** タブを追加] を選択します。



9. [レコードの関連リストを表示] を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



10. [次へ] を選択します。
11. フォームのフィールドに入力します。

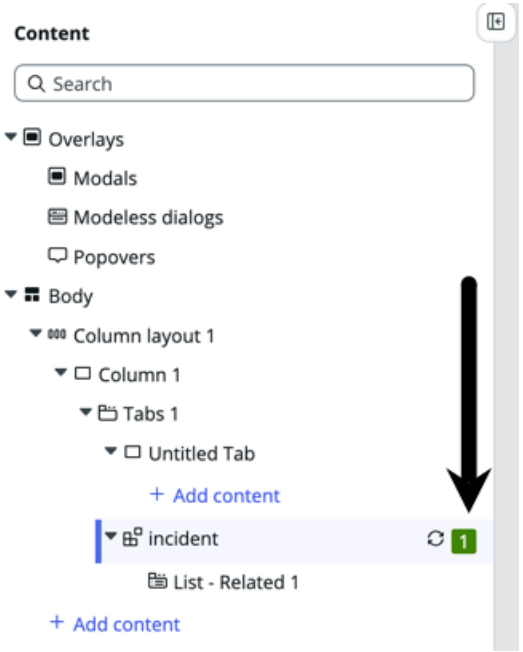
タブの設定フォーム

フィールド	説明
プレースホルダータブラベル	ページのプレビュータブに表示されるプレースホルダーラベル。
タブを非表示	タブを表示するか非表示にするかを指定します。
レコードコントローラー	関連リストがあるレコードコントローラー。

12. [作成] を選択します。
新しい関連リストタブが、構成パネルの [タブ] セクションに表示されます。1 つのプレースホルダータブのみがページプレビューに表示されます。コンテンツツリーの関連リストタブの横にある緑色のアイコンは、ページに表示されるタブの数を示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



13. [保存] を選択します。

14. [プレビュー] ボタンを選択してページをテストします。

ページコレクションタブの追加

[ページコレクション] タブを使用して、UI ビルダー の複数のページで同じタブを再作成します。

始める前に

必要なロール：admin

このタスクについて

ページコレクションは、ビルド済みの、グローバルに利用可能なページのグループです。ページコレクションタブを使用して、ページコレクション内の各ページをタブとして表示します。既存のページコレクションを選択することも、独自のページコレクションを作成することもできます。ページコレクションを追加するには、コントローラーが必要です。ページコレクションの詳細については、「ページコレクション」を参照してください。

手順

1. 移動先 すべて > **Now Experience** フレームワーク > **UI** ビルダー.

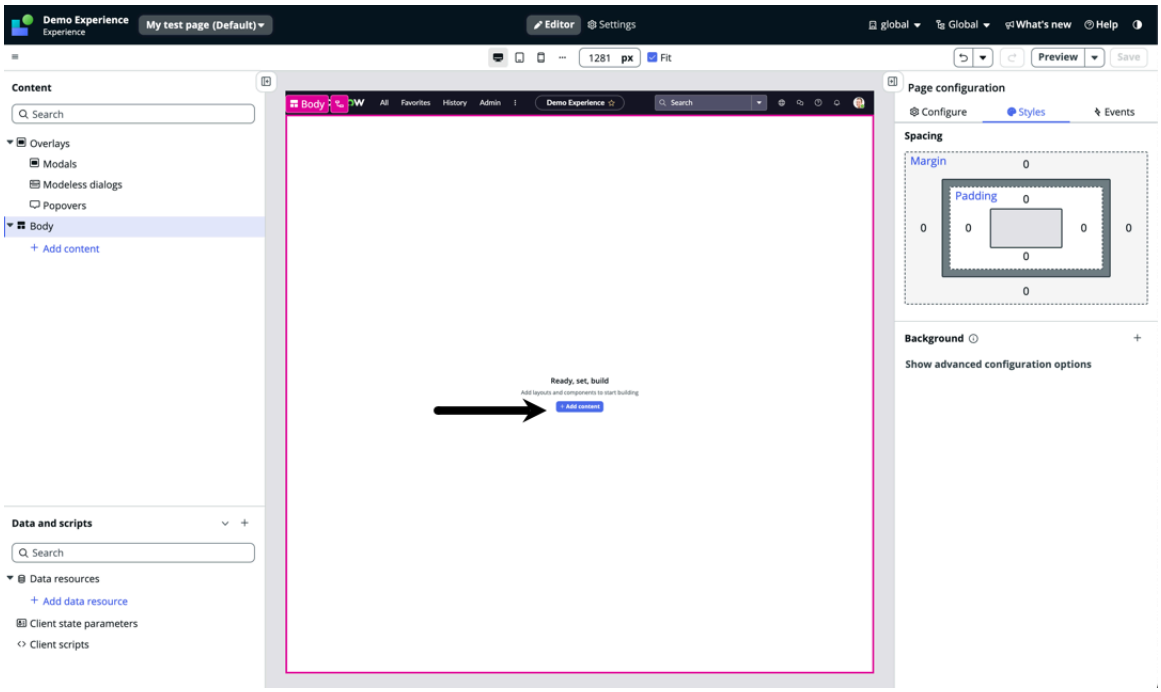
2. 作業するエクスペリエンスを開くか、選択してエクスペリエンスを作成します 作成 > エクスペリエンス.
エクスペリエンスの作成の詳細については、「UI ビルダー でユーザーがアプリケーションをどのように操作するかを構成する」を参照してください。

3. ページまたはページバリアントを開くかまたは作成します。
UI ビルダー でページを作成する方法の詳細については、「UI ビルダーでのページの作成」を参照してください。

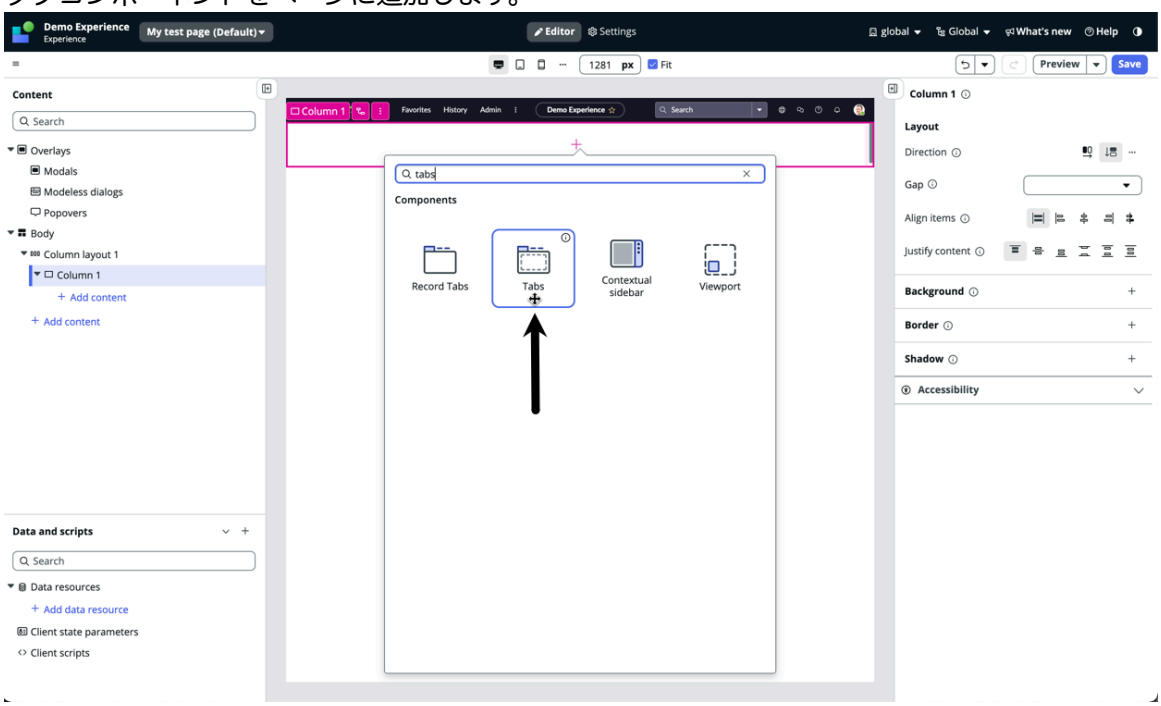
4. ステージ上の **[+** コンテンツを追加] ボタンを選択してツールボックスを開きます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



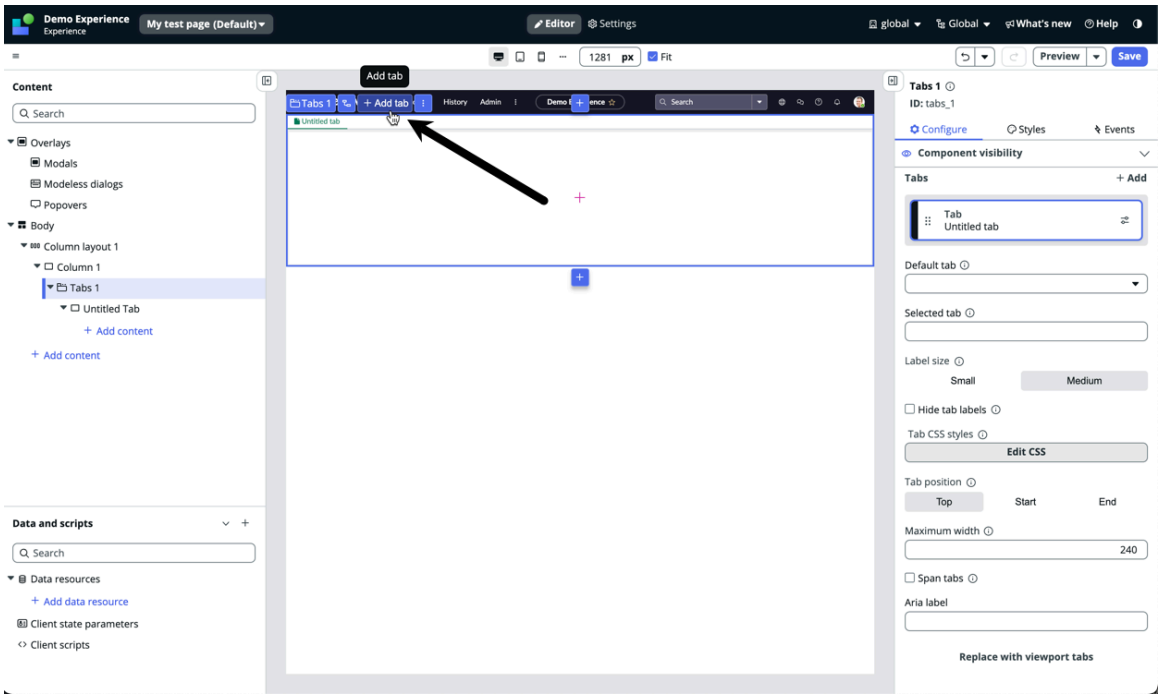
5. 1 列のレイアウトを選択します。
6. 次に、列の **[+]** アイコンを選択してツールボックスを開きます。
7. タブコンポーネントをページに追加します。



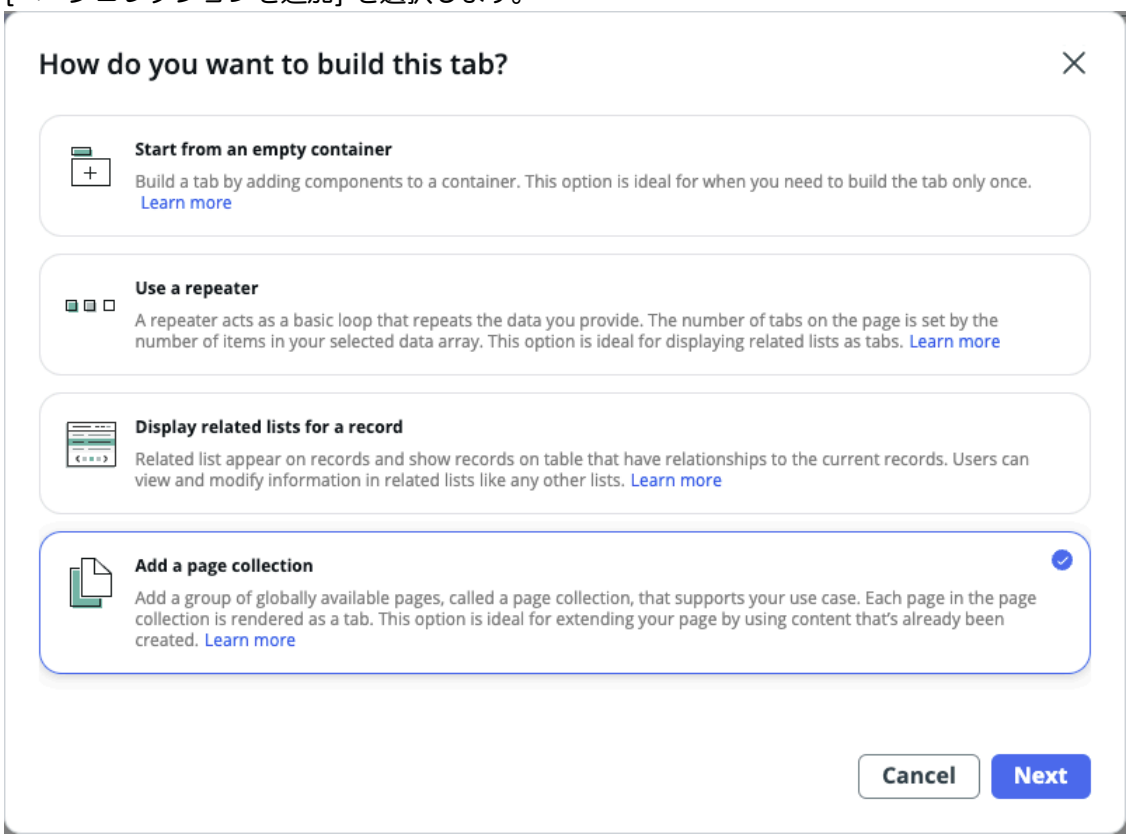
コンポーネントをページに追加する方法の詳細については、「コンポーネントの追加と構成」を参照してください。

8. ステージで **[+** タブを追加] を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



9. [ページコレクションを追加] を選択します。

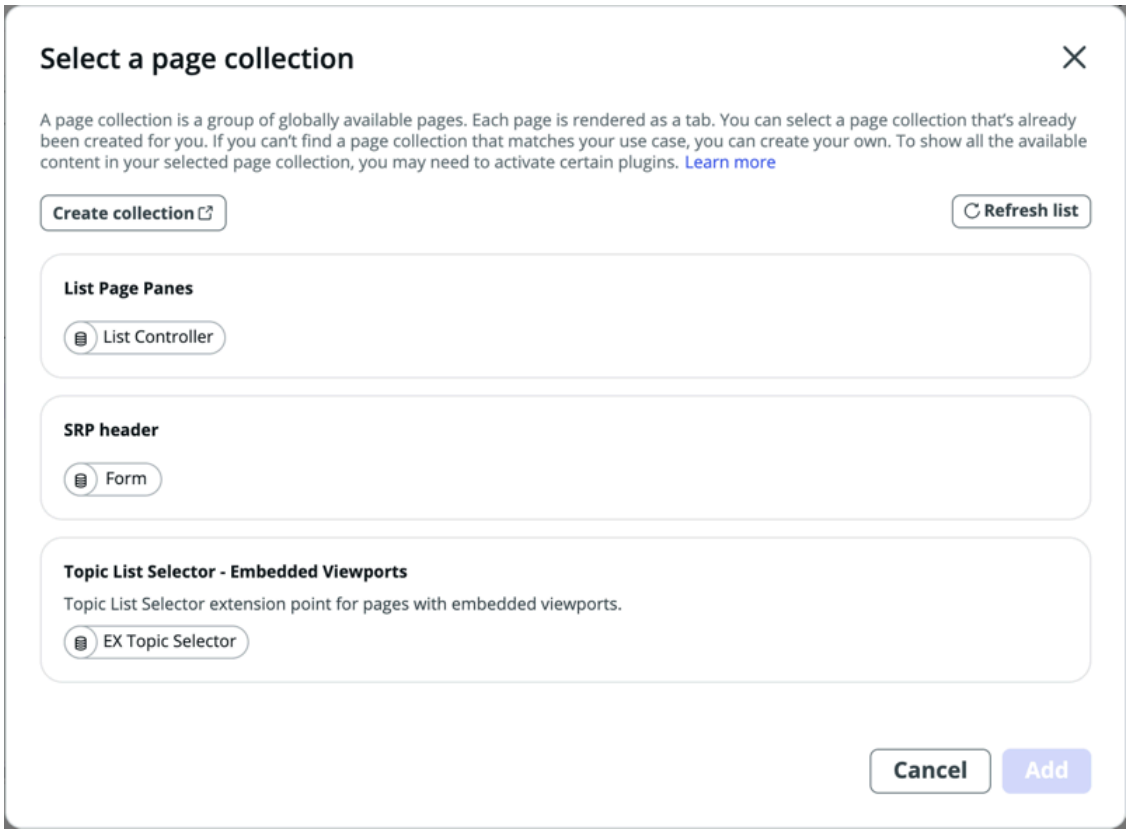


10. [次へ] を選択します。

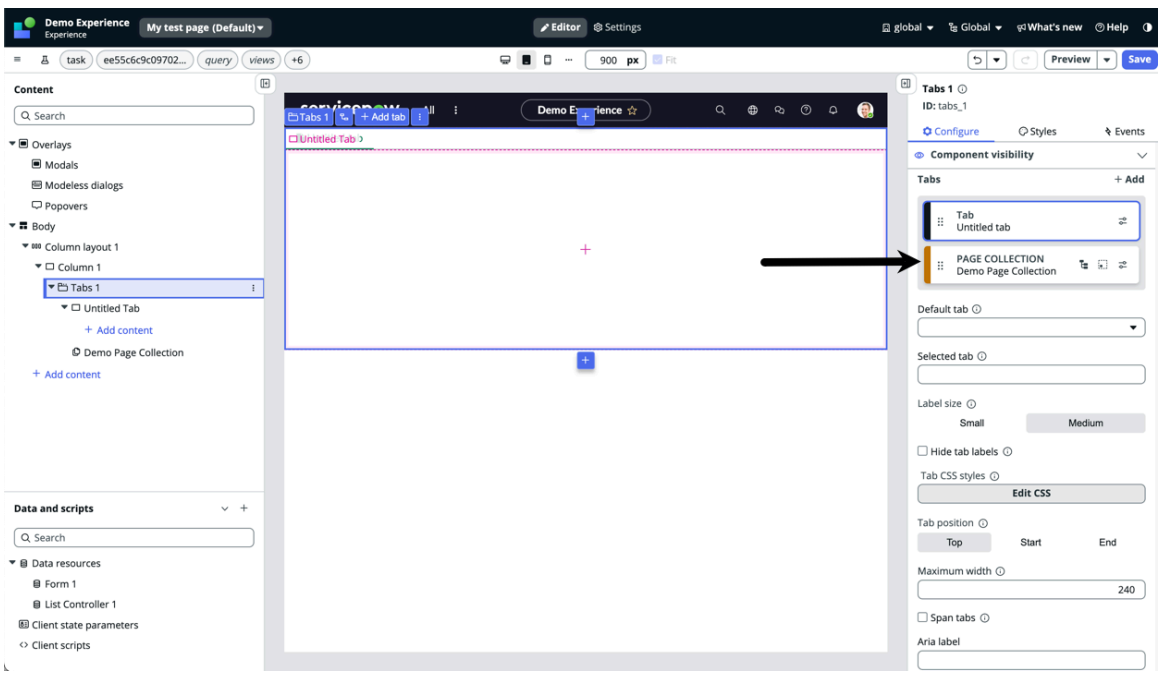
11. リストからページコレクションを選択するか、**[+** コレクションを作成] を選択してコレクションを作成します。
独自のページコレクションを作成するには、「複数の UI ページにわたるページコレクションの作成」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



12. [追加] を選択します。
新しいページコレクションが構成パネルの [タブ] セクションに表示されます。1 つのプレースホルダータブのみがページプレビューに表示されます。



13. [保存] を選択します。

14. Preview を選択し、ページを表示してテストします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

コンテキストサイドバーを追加する

UI ビルダー でページにコンテキストサイドバーを追加して、垂直タブ構造を使用して関連コンテンツを表示します。

始める前に

必要なロール：ui_builder_admin

このタスクについて

コンテキストサイドバーは、タブコンポーネントを構成するのと同じ方法で構成できます。コンテキストサイドバーの各垂直タブには、カスタムコンテンツが表示されます。各タブにコンポーネントを配置して、ページから直接すばやくアクセスできます。

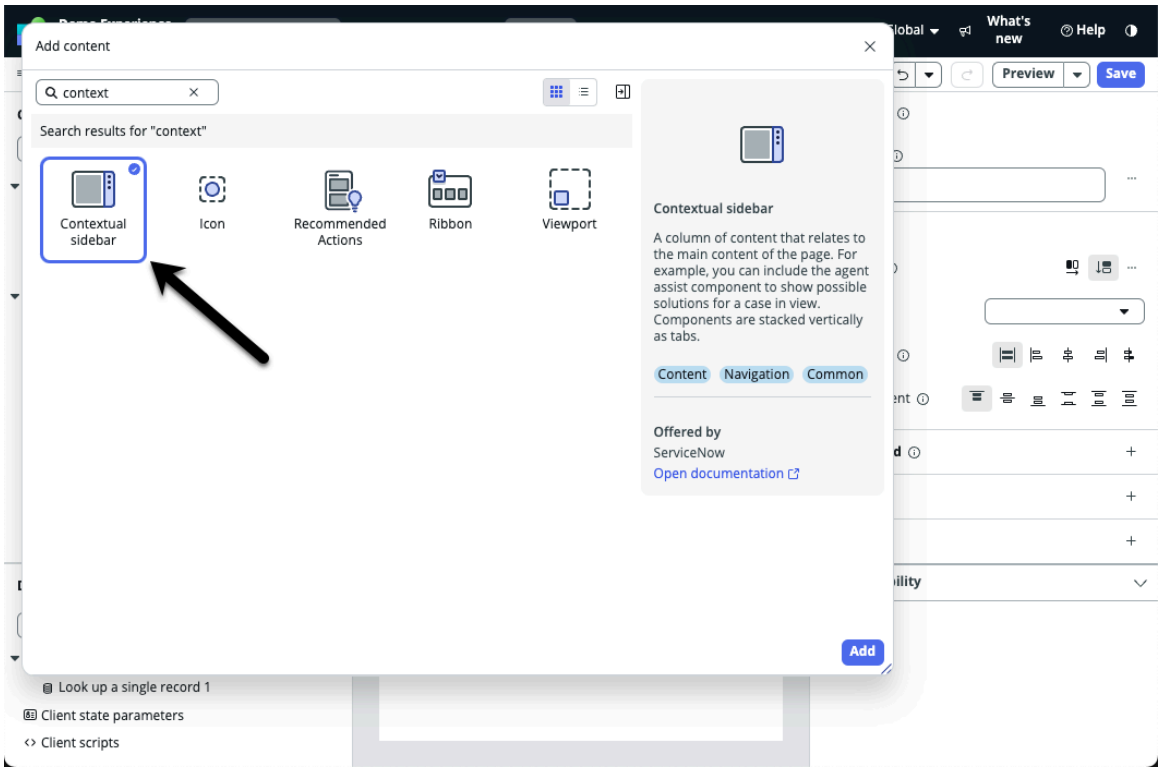
たとえば、ドキュメント作成ページのあるタブに添付ファイルコンポーネントがあり、作業中のドキュメントに関連するファイルを添付できます。別のタブには、ネストされたコメントコンポーネントがあり、ドキュメントに関連するコメントを追加および表示できます。

手順

1. 移動先 すべて > **Now Experience** フレームワーク > **UI** ビルダー.
2. 作業するエクスペリエンスを開くか、選択してエクスペリエンスを作成します 作成 > エクスペリエンス.
   エクスペリエンスの作成の詳細については、「UI ビルダー でユーザーがアプリケーションをどのように操作するかを構成する」を参照してください。
3. ページまたはページバリアントを開くかまたは作成します。
   UI ビルダー でページを作成する方法の詳細については、「UI ビルダーでのページの作成」を参照してください。ページバリアントの作成については、「ページバリアントの作成」を参照してください。
4. ステージで、**[+** コンテンツを追加] ボタンを選択してツールボックスを開きます。
5. **[1** 列] のレイアウトタイルを選択します。
6. 列で、**[+]** アイコンを選択してツールボックスを開きます。
7. [コンテキストサイドバー] コンポーネントを選択してページに追加します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



ステージにコンテキストサイドバーが表示され、構成パネルに [タブ] セクションが表示されます。

8. [タブ] セクションの構成パネルで、[設定] アイコン ( ) を選択してタブを構成します。

   a. フォームのフィールドに入力します。

   タブの設定フォーム

フィールド	説明
タブラベル	ページのタブに表示されるラベル。
アイコン	タブラベルの横に表示されるアイコン。 注: アイコンは必須ではありません。
タブを非表示	タブを非表示または表示するオプション。

   b. [保存] を選択します。

9. コンテキストサイドバーのステージで、**[+]** アイコンを選択してツールボックスを開きます。
10. タブに追加するコンポーネントを選択します。
    コンポーネントはコンテンツツリーのタブの下に表示されます。詳細については、「コンポーネントの追加と構成」を参照してください。
11. オプション: 別のタブを追加するには、 [タブ] セクションで **[+** 追加] を選択します。

次のタスク
コンテキストサイドバーとそのプロパティの構成の詳細については、ServiceNow 開発者サイトの「タブ UIB のセットアップ」を参照してください。

自動翻訳

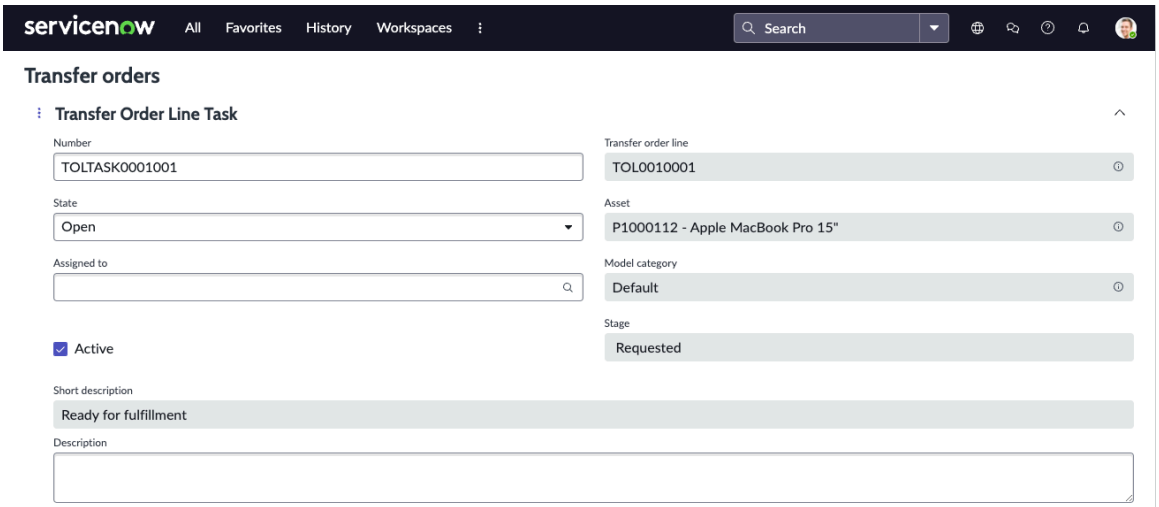
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

UI ビルダーページにフォームを追加する

フォームコンポーネントを使用して、1 つ以上のフォームを UI ビルダー ページに追加します。

フォームを含めて、UI ビルダー ページに機能を追加します。フォームのフィールドとそのプロパティ (必須にするなど) を定義します。次に、フォームの入力および送信時にデータを収集します。

フォームコンポーネントの例

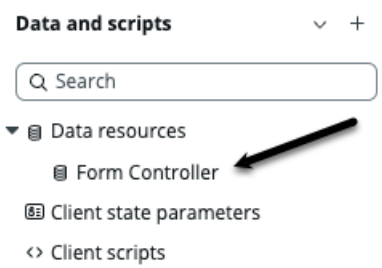


1 つのページに複数のフォームを追加できます。ネストされたフォームを持つコンポーネントが既に含まれているページにフォームを追加することもできます。サンプルユースケースは次のとおりです。

- 独自のフォームコントローラーインスタンスを使用して、フォームを含むインラインタブを追加することで、レコードページを拡張します。
- レコードページにフォームを含むモーダルを追加します。

Xanadu ServiceNow より前のリリースで作成されたフォームを含む既存のページの場合、別のフォームをページに追加する前に、元のフォームにプリセットを適用する必要があります。プリセットの適用は、ページに複数のフォームを追加するための前提条件で、複数のフォームをページ上で期待どおりに機能させることができます。フォームコントローラープリセットは、すべてのフォームコントローラーに適用する必要があります。

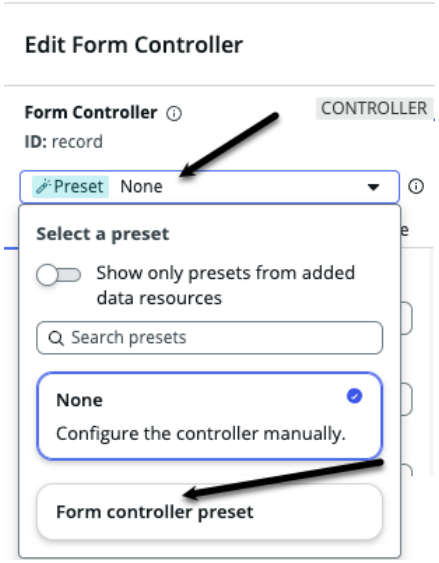
1. 既存のフォームを含むページを開きます。
2. データドロワーで、[データリソース] リストを展開し、元のフォームコントローラーを選択します。



3. [プリセット] フィールドを選択します。
4. [フォームコントローラープリセット] を選択します。

自動翻訳

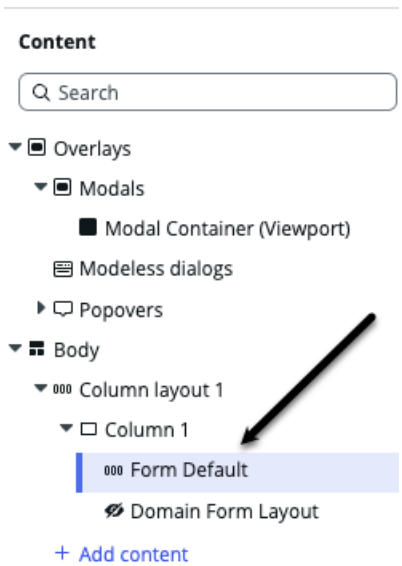
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



5. [適用] を選択します。
6. **[X]** を選択して [フォームコントローラーを編集 **(Edit Form Controller)]** ポップアップを閉じます。

   フォームコントローラーの 1 つだけで、[アプリシェルにマッピングされているか] プロパティが true に設定されている必要があります。このプロパティは、ページ上のプライマリフォームを指定するために使用されます。プライマリフォームは、グローバルイベントの処理を担当します。複数のフォームコントローラーでプロパティを true に設定したり、プロパティが true に設定されたフォームコントローラーを 0 にしたりしないでください。

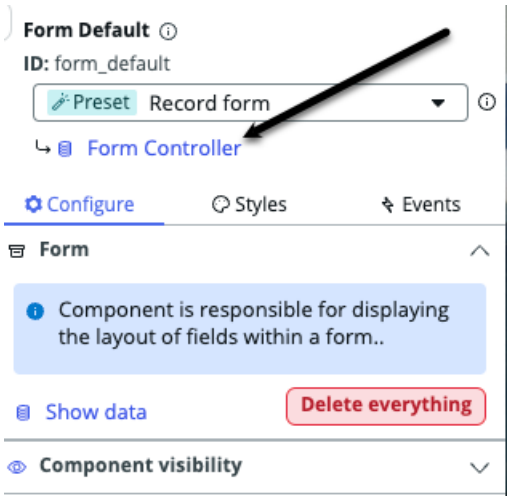
7. 1 つ以上のフォームを含むページを開きます。
8. コンテンツツリーでフォームを選択します。



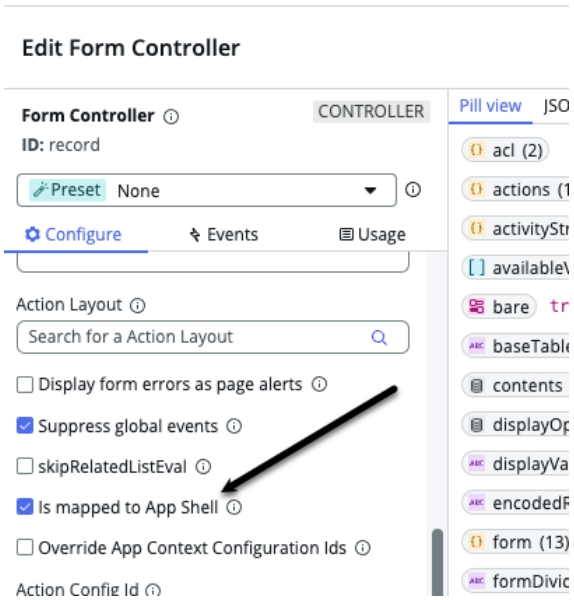
9. 構成パネルの [構成] タブで、[フォームコントローラー] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



10. [フォームコントローラーを編集 **(Edit Form Controller)**] ポップアップで、[フォームコントローラー] リストを下にスクロールして、[アプリシェルにマッピングされているか] オプションを見つけます。



11. ページ上の各フォームコンポーネントのオプションをオンまたはオフにして、フォームコントローラーが 1 つだけアプリシェルにマッピングされていることを確認します。

フォームイベント処理の詳細

競合イベント処理の知識を持つ経験豊富な開発者には、次の詳細が役立つ場合があります。

[アプリシェルにマッピングされているか] が true に設定されている場合、フォームは次のイベントを自動的に処理します。

画面ステータスが変更されました

- 説明：フォームがダーティであることを示すアクション。
- 出力：CTRL_RECORD#SCREEN_STATUS_CHANGED

要求された構成メニューを更新

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 説明：アバターメニューのレコード構成メニューアイテムを設定するアクション。
- 出力：CTRL_RECORD#UPDATE_CONFIGURATION_MENU_REQUEST

電話が要求された

- 説明：CTI プラグインが有効な場合に電話をかけるアクション。
- 出力：CTRL_RECORD#PHONE_REQUESTED

フォームのロードステータスが変更された

- 説明：フォームがデータをロードしているときにロード中の回転を表示するアクション。
- 出力：CTRL_RECORD#FORM_LOADING_STATE_CHANGED

フォームコンポーネントとそのプロパティの詳細については、ServiceNow 開発者サイトの「フォームの概要」を参照してください。

UI ビルダー でのモーダルの作成

UI ビルダー のモーダルをコンポーネントとともに使用して、ユーザーにアラートまたはアクションの呼び出しを提供します。UI ビルダー には時間と労力を節約するモーダルが付属しています。

モーダルとは

モーダルはダイアログとも呼ばれ、別のコンテンツウィンドウをオーバーレイするウィンドウです。モーダルはユーザーエクスペリエンスを制御します。モーダルが閉じられるまで、ユーザーはオーバーレイされたウィンドウを操作できません。モーダルには、次のようなさまざまなタイプのコンテンツを含めることができます。

- 静的テキスト
- 動的テキスト
- Forms
- イメージ
- ボタン

UI ビルダー には、事前構成されたモーダルが用意されています。 コンポーネントにモーダルを追加できます。次に、モーダルのコンテンツと、それを画面に表示する方法を構成します。モーダルにイベントハンドラーを追加して、ユーザーが選択したときにアクションを実行します。このアクションでは、ユーザーにアラートを出したり、アクションの確認を求めたりすることができます。モーダルは、起きている事柄をユーザーに通知する手段です。たとえば、モーダルによって、ユーザーがメインページで実行しているアクションを続行する前に、選択内容を確認するようにユーザーに求めることができます。

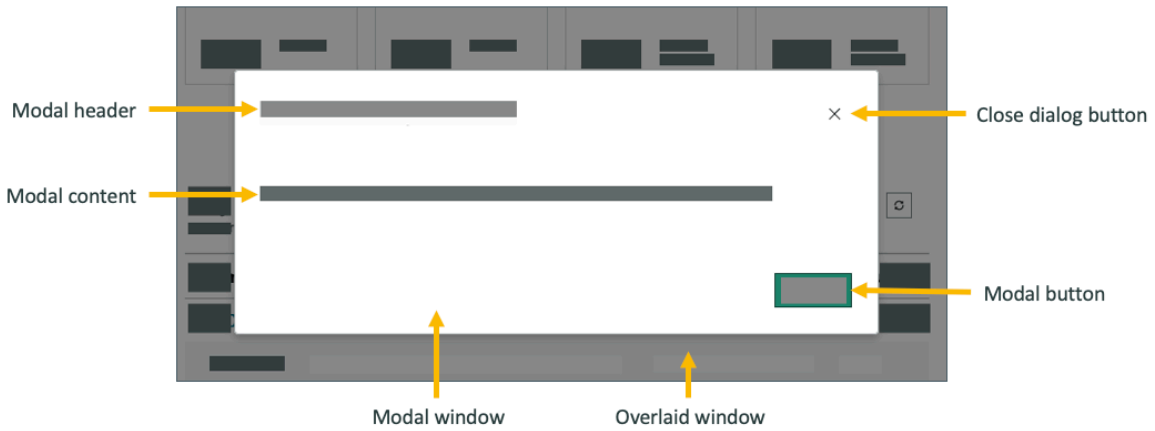
モーダルの構造

UI ビルダー のモーダルには次の要素があります。

- モーダルヘッダー
- モーダルコンテンツ
- [ダイアログを閉じる] ボタン (モーダルで実行されるアクションはなし)
- 少なくとも 1 つのモーダルボタン (アクションはモーダルで実行可能)

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



モーダルのタイプ

次の表に示すように、さまざまなタイプのモーダルを UI ビルダーで使用できます。

モーダルのタイプ	説明
アラート	アラートモーダルは、コンポーネントアクションに関連する情報を提供します。たとえば、ユーザーが削除ボタンを押したときに、削除アクションは元に戻すことができないことを知らせるアラートポップアップが表示されます。
確認	確認モーダルは、ユーザーにコンポーネントアクションを確認することを求めます。たとえば、ユーザーが削除ボタンを押すと、ユーザーはデータの削除を確認することになります。[はい] や [キャンセル] など、プライマリ/セカンダリボタンのラベルフィールドから確認オプションを選択できます。
確認して破棄	[確認して破棄] モーダルはよりディレクティブであり、通常はコンテンツの削除または消去に関連しています。ユーザーにアクションの重大度を知らせ、アクションを続行するかどうかを尋ねます。
カスタム	カスタムモーダルは、標準のモーダルを使用して処理されないシナリオに対処します。カスタムモーダルは、モーダルのコンテナコンポーネントと考えることができます。カスタムレイアウト、コンポーネント、イベント、およびデータリソースを、ページの場合と同じように追加できます。カスタムモーダルでは、レイアウトを使用して、モーダルに必要とされる情報を十分に設計できます。レイアウトでは、モーダル画面内の情報を配置することもできます。カスケードスタイルシート (CSS) スタイリングを使用して、モーダルの外観を変更できます。
iframe	iframe を使用して、URL とデータからの既存の iframe コンテンツをモーダルに取り込みます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

モーダルのタイプ	説明
モーダルビューポート	クライアントスクリプトを使用して、イベントバインディングを介してビューポートモーダルにコンテンツを動的に渡します。

イベントハンドラーとモーダル

イベントをモーダルに公開して、アクションへのコールイベントを処理します。たとえば、プライマリアクション、セカンダリアクションなどです。データを構成するには、イベントハンドラーを追加し、データリソースを呼び出します。これは、モーダルを持つコンポーネントに新しいイベントハンドラーを追加するのと同じくらい簡単です。モーダル自体にイベントハンドラーを追加することもできます。コンポーネントまたはモーダルに関連付けるイベントを選択して追加します。詳細な手順については、「コンポーネントへのモーダルの追加」を参照してください。

コンポーネントへのモーダルの追加

UI ビルダー でモーダルを追加する方法を学習します。モーダルは、コンポーネントをクリックすると表示されるウィンドウです。たとえば、削除ボタンコンポーネントがクリックされるとモーダルが表示され、レコードの削除を確認するように求められます。

始める前に
必要なロール：ui_builder_admin

このタスクについて
モーダルは、ボタンのクリックなどによってイベントハンドラーがトリガーされると表示される画面です。次の手順は、確認モーダルと関連するイベントハンドラーをボタンコンポーネントに追加する方法の例を示しています。

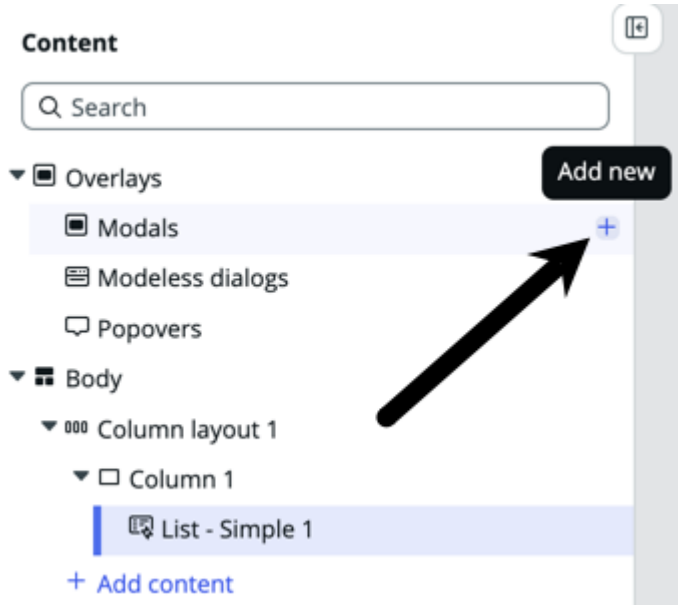
手順

1. 移動先 すべて > **Now Experience** フレームワーク > **UI** ビルダー.
2. 作業するエクスペリエンスを開くか、選択してエクスペリエンスを作成します 作成 > エクスペリエンス.
   エクスペリエンスの作成の詳細については、「UI ビルダー でユーザーがアプリケーションをどのように操作するかを構成する」を参照してください。
3. ページまたはページバリアントを開くか作成します。
   UI ビルダー でページを作成する方法の詳細については、「UI ビルダーでのページの作成」を参照してください。
4. ページにモーダルを追加します。

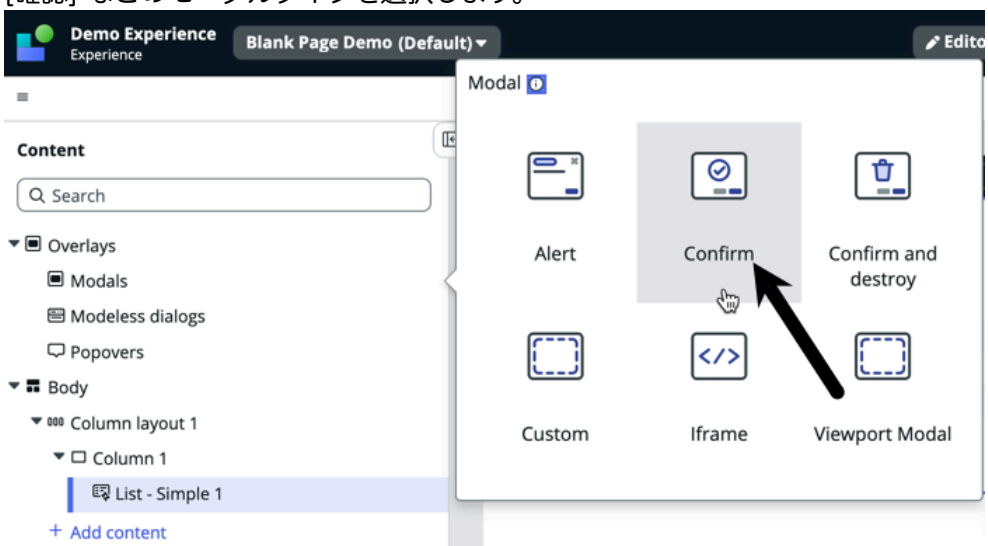
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. コンテンツツリーの [モーダルとポップオーバー] の横にある **[+]** アイコンを選択します。



b. [確認] などのモーダルタイプを選択します。



モーダルのタイプ	説明
アラート	アラートモーダルは、コンポーネントアクションに関連する情報を提供します。たとえば、ユーザーが削除ボタンを押したときに、削除アクションは元に戻すことができないことを知らせるアラートポップアップが表示されます。
確認	確認モーダルは、ユーザーにコンポーネントアクションを確認することを求めます。たとえば、ユーザーが削除ボタンを押すと、ユーザーはデータの削除を確認することになります。[はい] や [キャンセル] など、プライマリ/セカンダリボタンのラベルフィールドから確認オプションを選択できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

モーダルのタイプ	説明
確認して破棄	[確認して破棄] モーダルはよりディレクティブであり、通常はコンテンツの削除または消去に関連しています。ユーザーにアクションの重大度を知らせ、アクションを続行するかどうかを尋ねます。
カスタム	カスタムモーダルでは、レイアウトを使用して、モーダルに必要とされる情報を十分に設計できます。レイアウトでは、モーダル画面内の情報を配置することもできます。カスケードスタイルシート (CSS) スタイリングを使用して、背景色などのモーダルの外観を変更できます。
iframe	iframe を使用して、URL とデータから既存の iframe コンテンツを使用してコンテンツをモーダルに取り込みます。
モーダルビューポート	クライアントスクリプトを使用して、イベントバインディングを介してビューポートモーダルにコンテンツを動的に渡します。コンポーネントへのイベントのバインドの詳細については、「コンポーネントへのイベントのバインド」を参照してください。

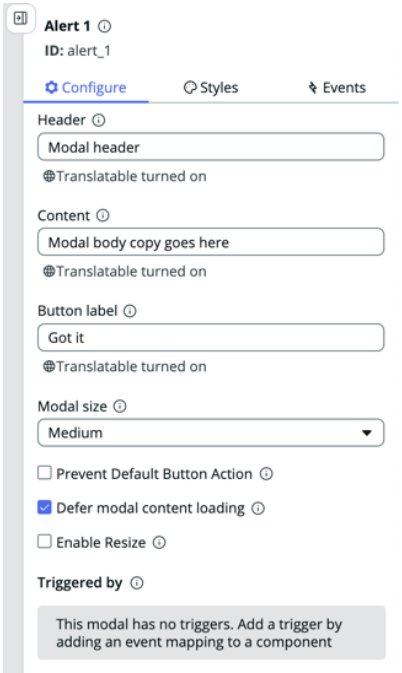
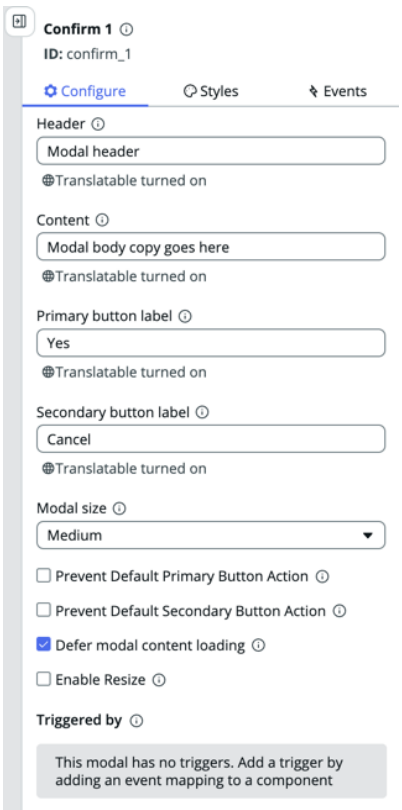
c. 次の表に示すようにモーダルを構成します。

モーダルに必要なものに応じて、各モーダルを異なる方法で構成します。モーダルに入力する情報、モーダルのサイズ、およびその外観を変更します。モーダルのオープンやクローズなど、モーダルのアクションを実行するイベントハンドラーをモーダルに追加できます。

モーダル	設定
アラート	▪ モーダルのタイトルであるヘッダーを追加します。 ▪ モーダルに表示するコンテンツを記述します。このコンテンツは、何のアラートかをユーザーに伝えます。 ▪ ボタンラベルのテキストを追加します。**[OK]**、[はい] など、任意のテキストを指定できます。 ▪ 画面上のモーダルのサイズを選択します。[小] 、[中]、[大]、または [全画面] から選択します。 ▪ デフォルトのアクションに基づいてモーダルを閉じるかどうかに応じて、[デフォルトのボタンアクションを防止] を有効または無効にします。 ▪ [モーダルコンテンツのロードを保留] を有効または無効にします。無効にすると、モーダルはページとともにロードされま

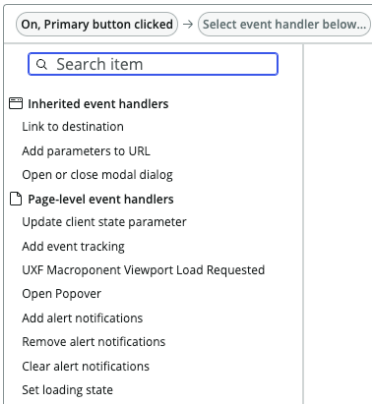
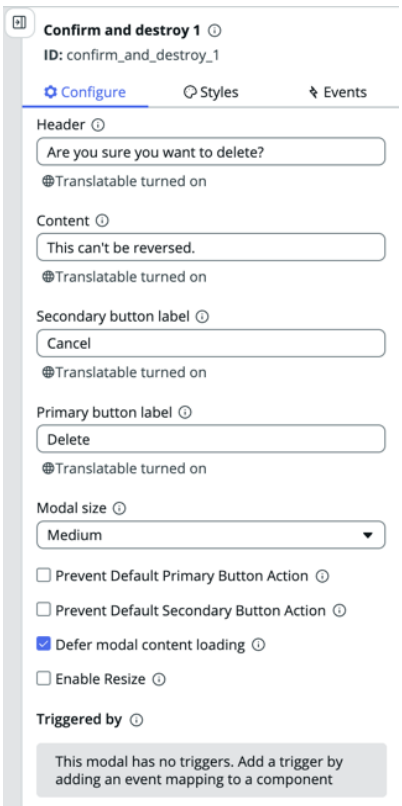
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

モーダル	設定
	す。有効にすると、ページのロード時にモーダルはロードされません。 ▪ 選択 イベント > イベントマッピングを追加 イベントハンドラーをモーダルに追加します。 ▪ モーダルに適用するイベントハンドラーを選択し、[追加] を選択してページに追加します。継承されたイベントハンドラーまたはページレベルのイベントハンドラーから選択します。イベントハンドラーは、モーダルを開く/閉じるなどのアクションを実行します。モーダルのタイプに応じて、App Shell データソースのデータ、GraphQL のユーザーセッション、または変換のユーザーセッションを更新できます。
確認 	▪ モーダルのタイトルであるヘッダーを追加します。 ▪ モーダルに表示するコンテンツを記述します。このコンテンツは、何のアラートかをユーザーに伝えます。 ▪ プライマリボタンのテキストを追加します。プライマリボタンは、[はい]、[追加] などのユーザーのメインアクションボタンです。 ▪ セカンダリボタンのテキストを追加します。通常、[キャンセル] や [いいえ] などのセカンダリボタンは選択できません。 ▪ 画面上のモーダルのサイズを選択します。[小] 、[中]、[大]、または [全画面] から選択します。 ▪ デフォルトのアクションに基づいてモーダルを閉じるかどうかに応じて、[デフォルトのプライマリボタンアクションを防止] を有効または無効にします。 ▪ デフォルトのアクションに基づいてモーダルを閉じるかどうかに応じて、[デフォルトのセカンダリアクションを防止] を有効または無効にします。 ▪ [モーダルコンテンツのロードを保留] を有効または無効にします。無効にすると、モーダルはページとともにロードされます。有効にすると、ページのロード時にモーダルはロードされません。

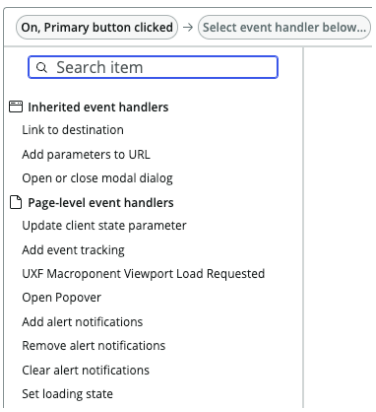
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

モーダル	設定
	▪ 選択 イベント > イベントマッピングを追加 イベントハンドラーをモーダルに追加します。 ▪ モーダルに適用するイベントハンドラーを選択します。継承されたイベントハンドラーまたはページレベルのイベントハンドラーから選択します。イベントハンドラーは、モーダルを開く/閉じるなどのアクションを実行します。モーダルのタイプに応じて、App Shell データソースのデータ、GraphQL のユーザーセッション、または変換のユーザーセッションを更新できます。 
確認または破棄 	▪ モーダルのタイトルであるヘッダーを追加します。 ▪ モーダルに表示するコンテンツを記述します。このコンテンツは、何のアラートかをユーザーに伝えます。 ▪ プライマリボタンのテキストを追加します。プライマリは、[削除] や [消去] などのユーザーのメインアクションボタンです。 ▪ セカンダリボタンのテキストを追加します。通常、[キャンセル] や [いいえ] などのセカンダリボタンは選択できません。 ▪ 画面上のモーダルのサイズを選択します。[小] 、[中]、[大]、または [全画面] から選択します。 ▪ デフォルトのアクションに基づいてモーダルを閉じるかどうかに応じて、[デフォルトのプライマリボタンアクションを防止] を有効または無効にします。 ▪ デフォルトのアクションに基づいてモーダルを閉じるかどうかに応じて、[デフォルトのセカンダリアクションを防止] を有効または無効にします。

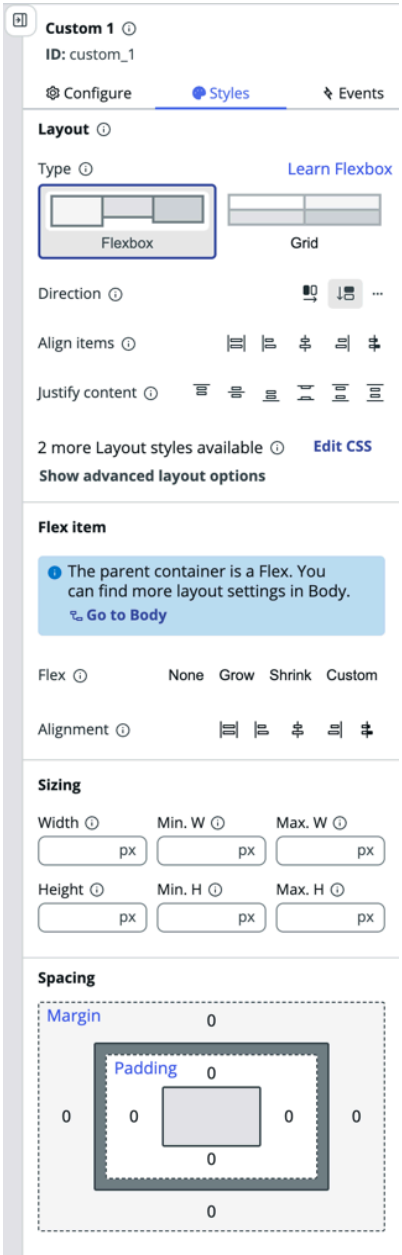
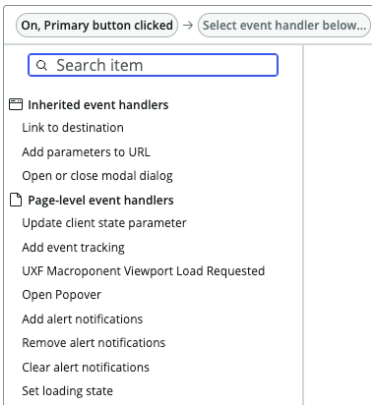
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

モーダル	設定
	▪ [モーダルコンテンツのロードを保留] を有効または無効にします。無効にすると、モーダルはページとともにロードされます。有効にすると、ページのロード時にモーダルはロードされません。 ▪ 選択 イベント > イベントマッピングを追加 イベントハンドラーをモーダルに追加します。 ▪ モーダルに適用するイベントハンドラーを選択します。継承されたイベントハンドラーまたはページレベルのイベントハンドラーから選択します。イベントハンドラーは、モーダルを開く/閉じるなどのアクションを実行します。モーダルのタイプに応じて、App Shell データソースのデータ、GraphQL のユーザーセッション、または変換のユーザーセッションを更新できます。 
カスタム	▪ モーダルのレイアウトを選択します。フレックスボックスまたは CSS グリッドレイアウトを使用できます。これらのレイアウトでは、必要に応じてモーダルにコンテンツを追加できます。 ▪ スタイリングオプションを使用して、モーダルの外観を変更します。背景色やパディングなどの標準的な CSS スタイリングをモーダルに適用できます。スタイリングの詳細については、「コンポーネントのデフォルトの外観を変更する」を参照してください。 ▪ カスタムモーダル内のコンテナにコンポーネントを追加します。 ▪ 選択 イベント > イベントマッピングを追加 イベントハンドラーをモーダルに追加します。 ▪ モーダルに適用するイベントハンドラーを選択します。継承されたイベントハンドラーまたはページレベルのイベントハ

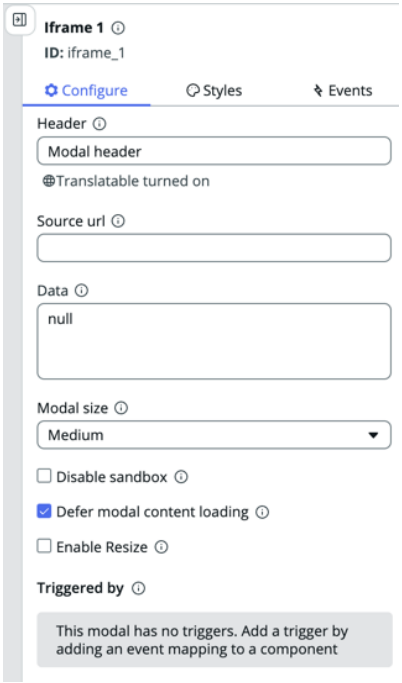
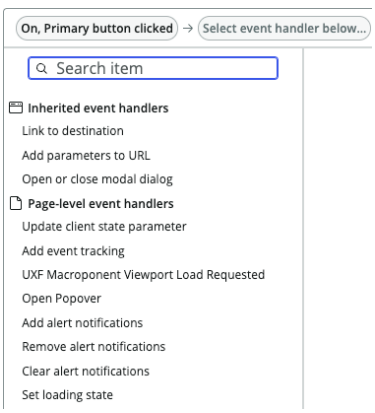
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

モーダル	設定
	ンドラーから選択します。イベントハンドラーは、モーダルを開く/閉じるなどのアクションを実行します。モーダルのタイプに応じて、App Shell データソースのデータ、GraphQL のユーザーセッション、または変換のユーザーセッションを更新できます。 
iframe	▪ モーダルのタイトルであるヘッダーを追加します。 ▪ 既存の iframe コンテンツをポイントするソース URL を追加します。 ▪ iframe のパラメーターと初期データを設定します。 ▪ 画面上のモーダルのサイズを選択します。[小] 、[中]、[大]、または [全画面] から選択します。 ▪ [サンドボックスを無効にします] をオンにすると、allow-forms、allow-modals、allow-popups、allow-presentation、allow-same-origin、allow-

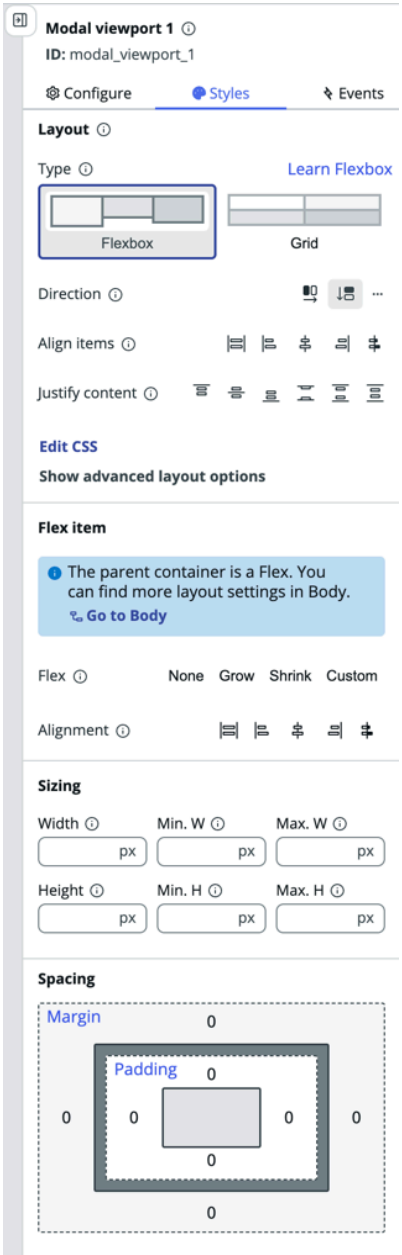
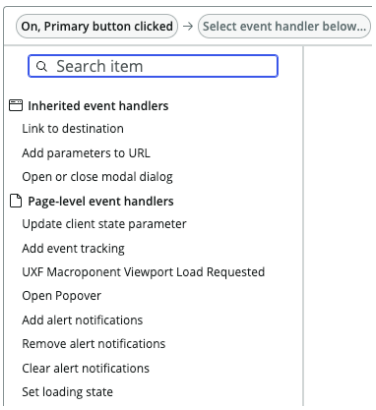
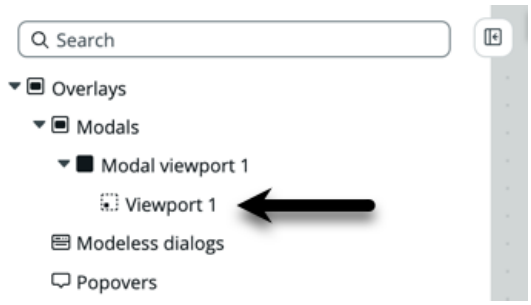
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

モーダル	設定
	scripts、allow-downloads の各オプションの制限が解除されます。[サンドボックスを無効にします] をオフにして、allow-scripts オプションのみを解除します。 ▪ [モーダルコンテンツのロードを保留] を有効または無効にします。無効にすると、モーダルはページとともにロードされます。有効にすると、ページのロード時にモーダルはロードされません。 ▪ 選択 イベント > イベントマッピングを追加 イベントハンドラーをモーダルに追加します。 ▪ モーダルに適用するイベントハンドラーを選択します。継承されたイベントハンドラーまたはページレベルのイベントハンドラーから選択します。イベントハンドラーは、モーダルを開く/閉じるなどのアクションを実行します。モーダルのタイプに応じて、App Shell データソースのデータ、GraphQL のユーザーセッション、または変換のユーザーセッションを更新できます。 
モーダルビューポート	▪ 画面上のモーダルのサイズを選択します。[小] 、[中]、[大]、または [全画面] から選択します。 ▪ [パディングを非表示] を有効または無効にします。 ▪ [閉じるボタンを非表示] を有効または無効にします。有効にすると、[閉じる] ボタンはモーダルに表示されません。 ▪ [モーダルコンテンツのロードを保留] を有効または無効にします。無効にすると、モーダルはページとともにロードされます。有効にすると、ページのロード時にモーダルはロードされません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

モーダル	設定
	▪ 選択 イベント > イベントマッピングを追加 イベントハンドラーをモーダルに追加します。 ▪ モーダルに適用するイベントハンドラーを選択します。継承されたイベントハンドラーまたはページレベルのイベントハンドラーから選択します。イベントハンドラーは、モーダルを開く/閉じるなどのアクションを実行します。モーダルのタイプに応じて、App Shell データソースのデータ、GraphQL のユーザーセッション、または変換のユーザーセッションを更新できます。  ▪ モーダルビューポート内のビューポートコンポーネントを選択します。  ▪ [構成] タブで **[+** 追加] を選択して、ページコレクションをビューポートに追加します。 ▪ リストからページコレクションを選択し、[追加] をクリックします。

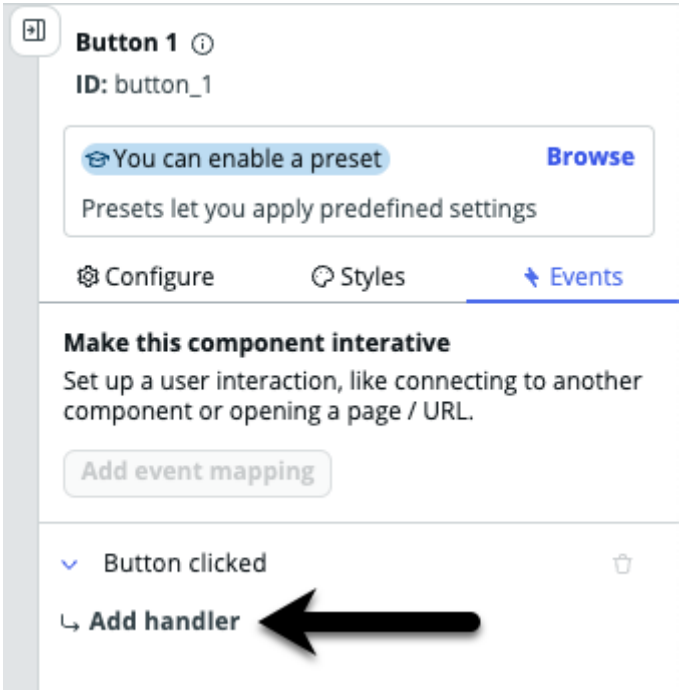
5. コンポーネントをページに追加して、追加したばかりのモーダル (ボタンコンポーネントなど) をトリガーします。
詳細については、「コンポーネントの追加と構成」を参照してください。

6. 構成パネルで [イベント] タブを選択します。

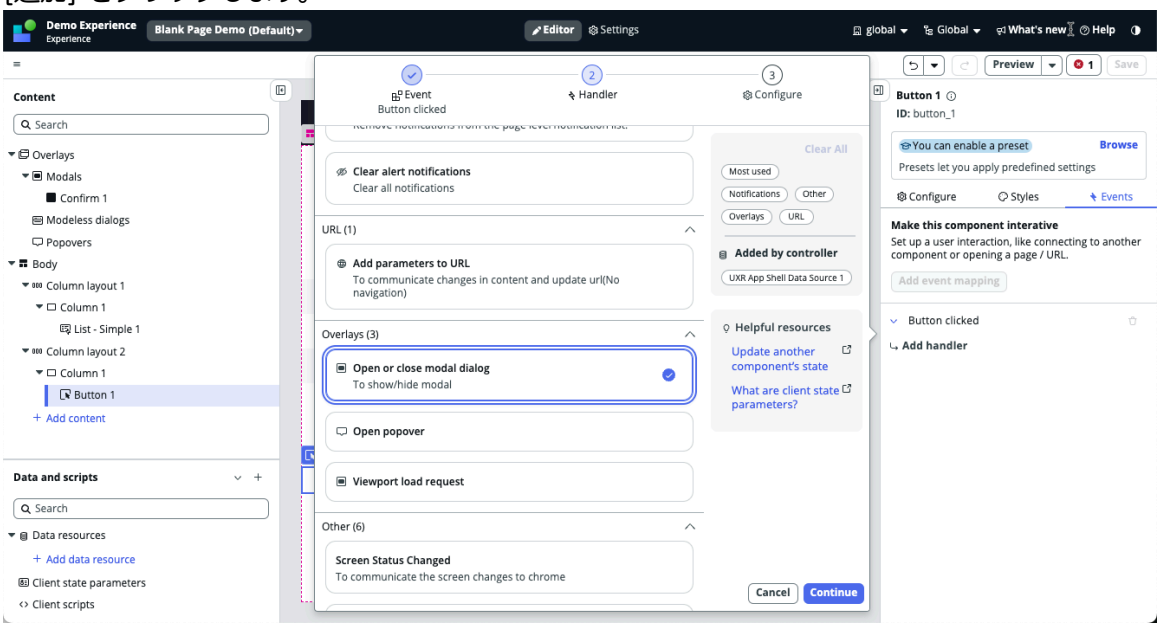
7. **[+** イベントハンドラーを追加] を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳



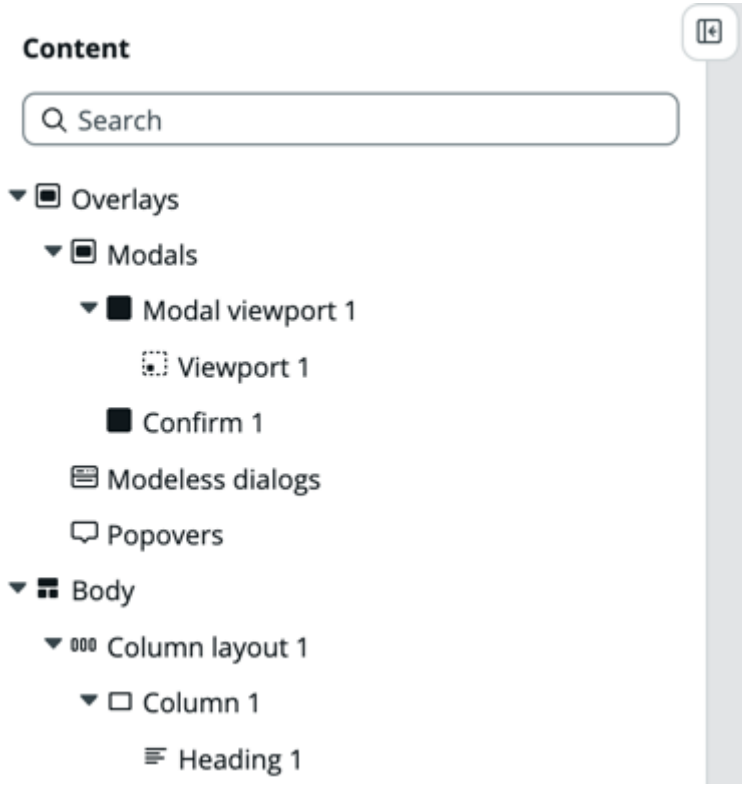
8. [モーダルダイアログを開くまたは閉じる] を選択します。
9. [モーダル] ドロップダウンを使用して、前のステップで作成したモーダルを選択します。
10. [追加] をクリックします。



11. モーダルの構成が完了したら、閉じます。

    コンテンツツリーで、作成したモーダルがページ構造の本文の上にあることに注意してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



12. [保存] をクリックします。

ビューポートコンポーネントによる **UI** エクスペリエンスの拡張

ビューポートは、UI ビルダー の親ページを所有しなくてもエクスペリエンスを拡張できるようにする特殊なコンポーネントです。ビューポートは 3 とおりの方法で操作できます。ビューポートコンポーネントまたはビューポート対応タブをページに追加することも、ビューポートをコンテキストサイドバーコンポーネントに追加することもできます。

ページ自体のコンテンツを所有していない場合でも、ビューポートコンポーネントをページに追加することで、別のコンテンツを作成できます。サブページを作成し、対象者を指定するか、さまざまなデータ、ルート、画面でコンテンツをカスタマイズします。ビューポートコンポーネントの詳細ついては、「ビューポートコンポーネントをページに追加する」を参照してください。

サードパーティのカスタムデータを表示し、対象者をアサインし、バリアントを作成する方法として、タブコンポーネントをビューポート対応のタブに置き換えることができます。ビューポート対応のタブの詳細については、「ビューポート対応のタブでのタブの置き換え」を参照してください。

UI ビルダー の [コンテンツの編集]モードを使用して、ビューポートまたはタブセットをページまたはコンテキストサイドバーコンポーネントに追加します。コンテキストサイドバーコンポーネントのタブの編集は、[構成] パネルを使用するページの場合と同じように行うことができます。主な違いは、タブの [コンテンツの編集] モードでは、ページ管理領域が [タブ管理 **(Tab management)]** に変わることです。

メニューアイコン ⋮ を選択してタブ設定を編集するか、必須またはオプションのパラメーターを変更します。

ビューポートモーダルをエクスペリエンスに追加して、親ページ/エクスペリエンスのモーダル内にサブページまたは他のエクスペリエンスを埋め込みます。ビューポートモーダルをエクスペリエンスに追加する方法の詳細については、「エクスペリエンスにビューポートモーダルを追加する」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ビューポートコンポーネントをページに追加する

ビューポートコンポーネントをページに追加し、ページ上に個別のコンテンツを作成するためのサブページを作成します。

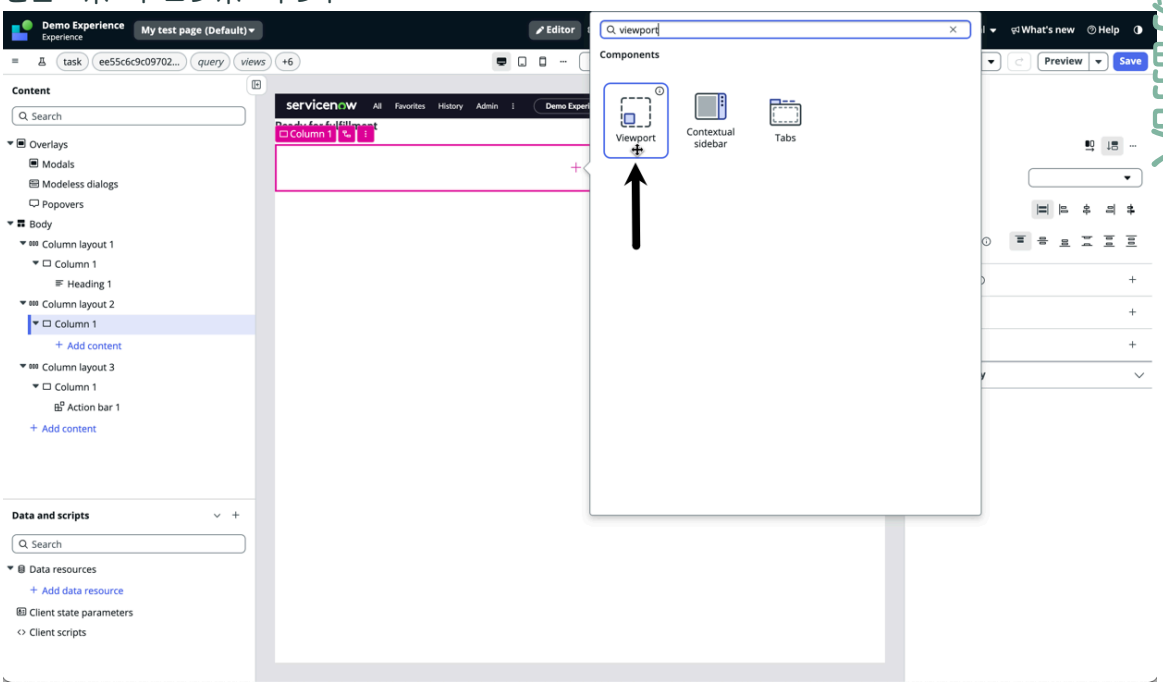
始める前に

必要なロール：ui_builder_admin

手順

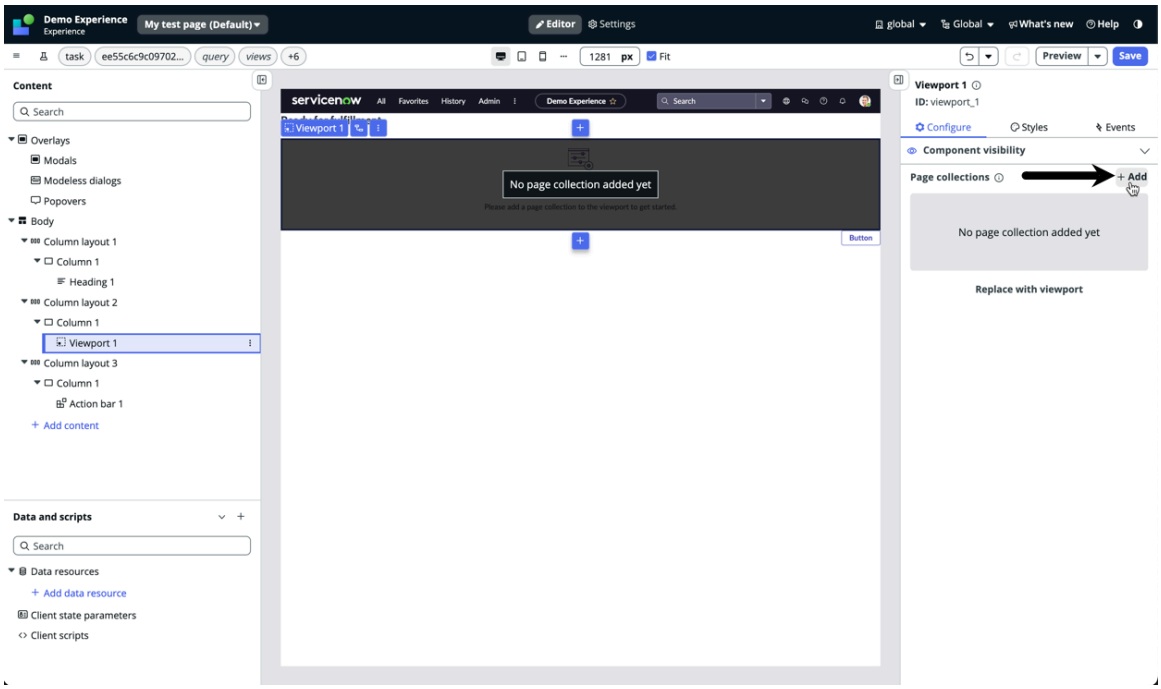
1. 移動先 すべて > **Now Experience** フレームワーク > **UI** ビルダー.
2. 作業するエクスペリエンスを開くか、選択してエクスペリエンスを作成します 作成 > エクスペリエンス.
   エクスペリエンスの作成の詳細については、「UI ビルダー でユーザーがアプリケーションをどのように操作するかを構成する」を参照してください。
3. ビューポートを追加するページバリアントのエディターを開きます。
   エクスペリエンスのページを作成していない場合は、「UI ビルダー でのページの作成」の手順に従ってください。
4. コンテンツツリーで **[+** コンテンツを追加] を選択します。
5. **[1** 列] のレイアウトを選択します。
6. 次に、列の **[+]** アイコンを選択してツールボックスを開きます。
7. 検索ボックスに「ビューポート」と入力します。
8. [ビューポート] を選択します。

ビューポートコンポーネント

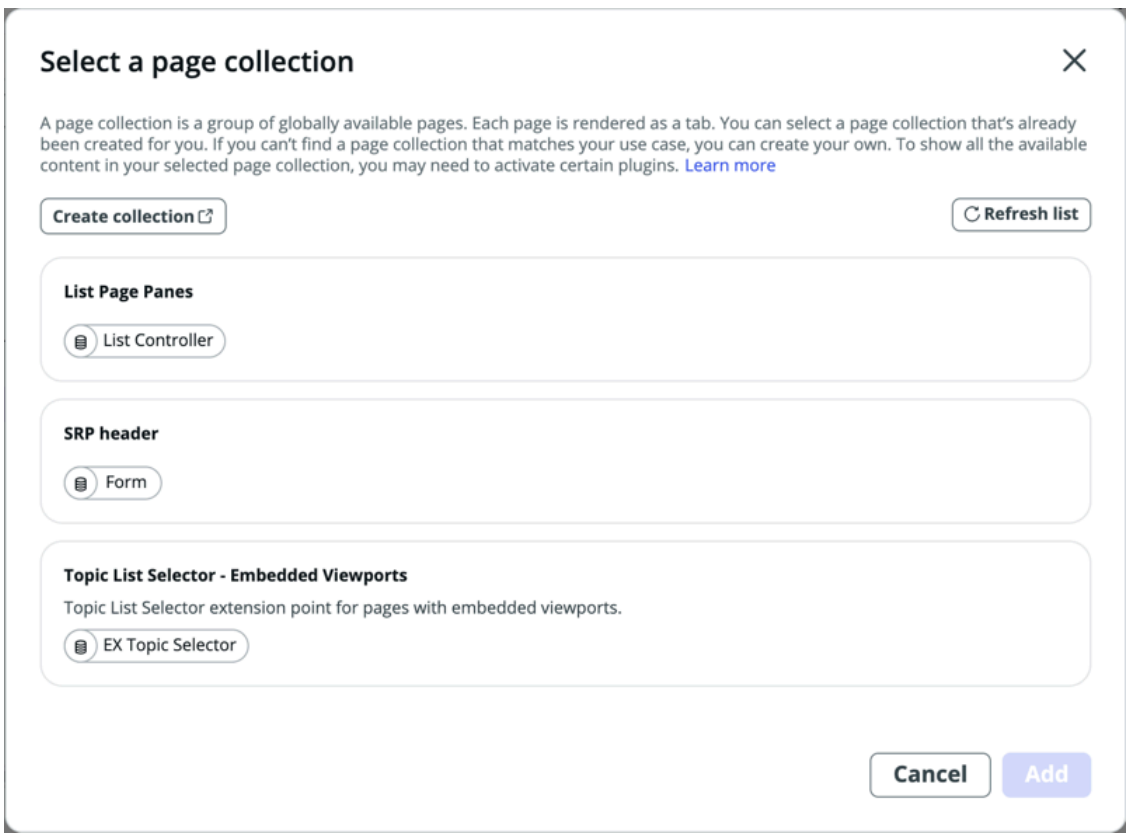


9. コンテンツツリーでビューポートコンポーネントを選択します。
10. 構成パネルで **[+** 追加] を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



11. リストからページコレクションを選択するか、**[+** コレクションを作成] を選択してコレクションを作成します。
独自のページコレクションを作成する方法の詳細については、「複数の UI ページにわたるページコレクションの作成」を参照してください。



12. [追加] を選択します。
ページコレクションは、構成パネルの [ページコレクション] セクションに表示されます。ステージング領域には、ページ コレクションの 1 ページのみが表示されます。

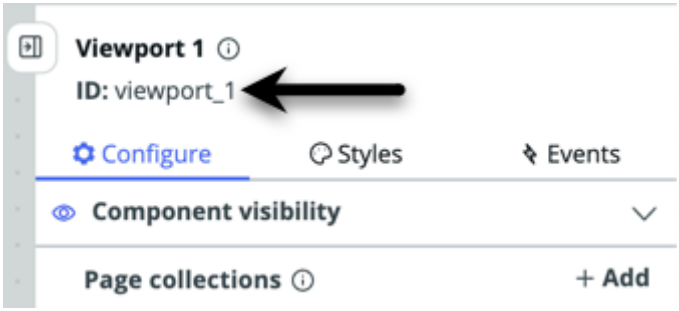
13. [保存] を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

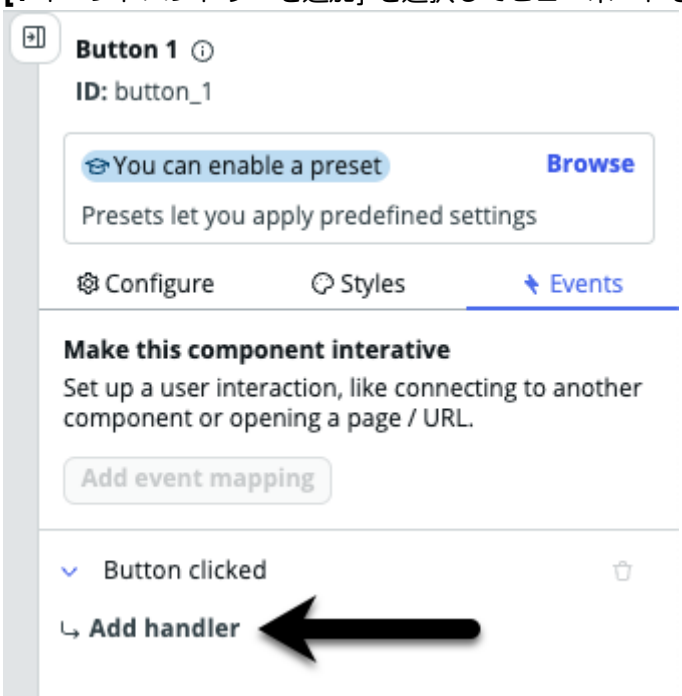
自動翻訳

14. ビューポート ID とルートを特定します。

    次の図に示すように、[構成] パネルに ID とルートが表示されます。



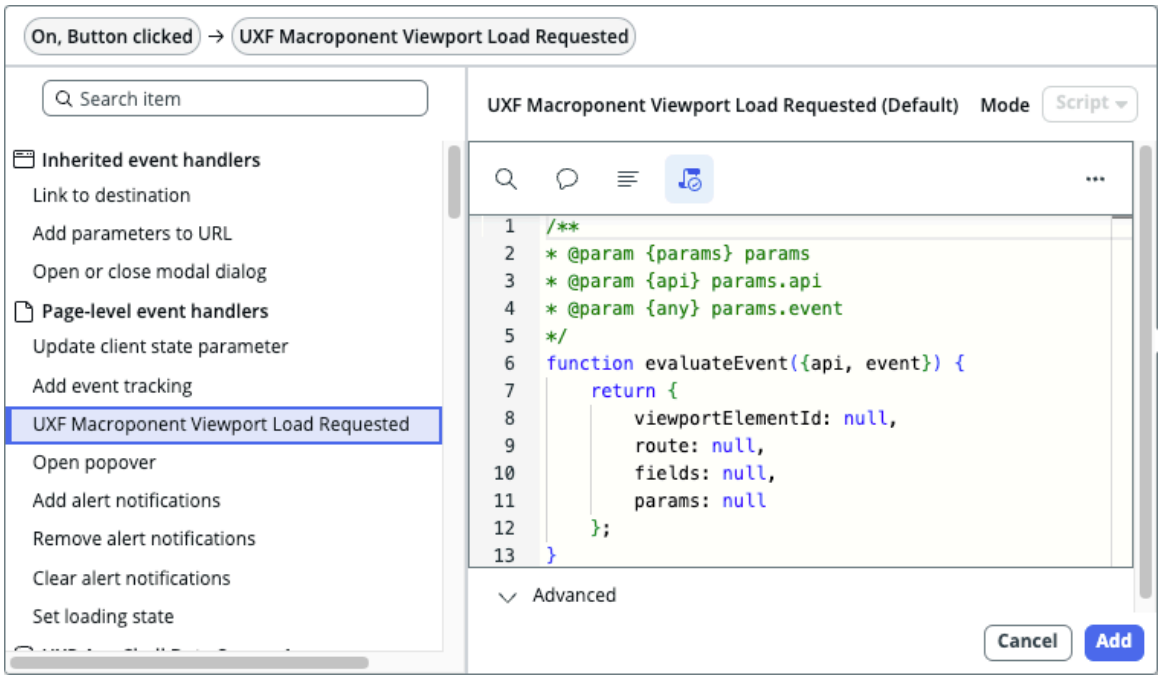
15. コンポーネントをページに追加して、追加したばかりのビューポート (ボタンコンポーネントなど) を開きます。
    詳細については、「コンポーネントの追加と構成」を参照してください。
16. 構成パネルで [イベント] タブを選択します。
17. **[+** イベントハンドラーを追加] を選択してビューポートを表示します。



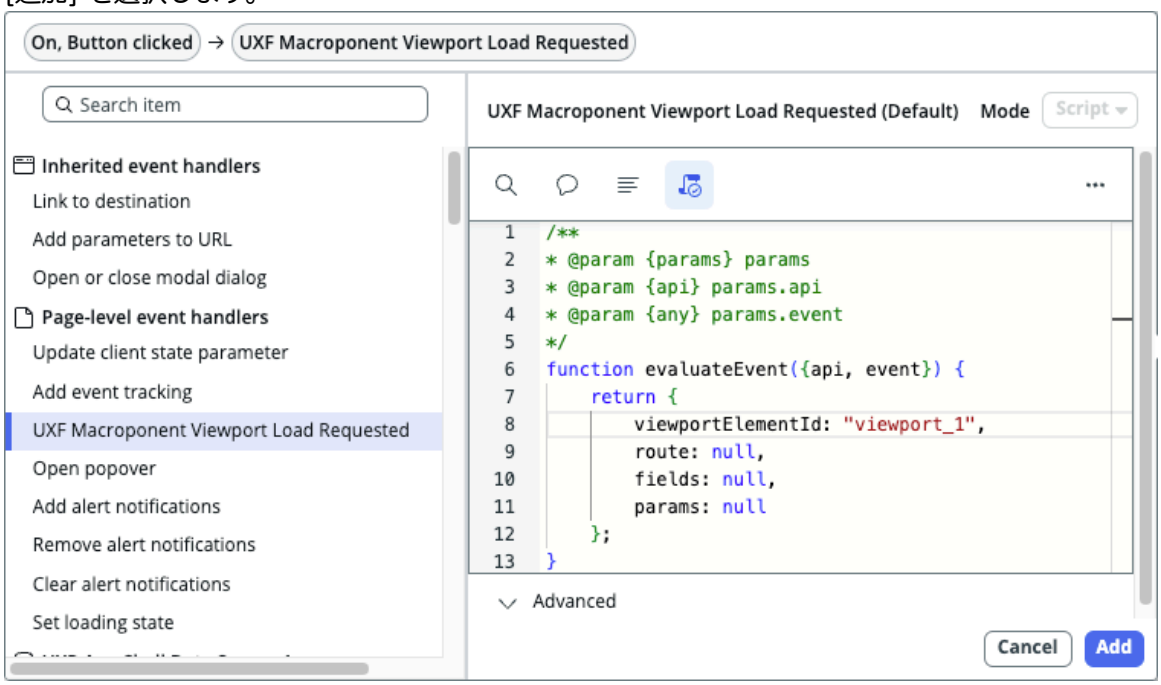
18. [ページレベルのイベントハンドラー] から、**[UXF Macroponent** ビューポートロードが要求されました] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



19. **[viewportElementID]** 要素で、null 値を前の手順で見つけたビューポート ID に置き換えます。この例では、「viewport_1」です。
20. [追加] を選択します。



21. [保存] を選択します。
22. Preview を選択し、ページを表示してテストします。

エクスペリエンスにビューポートモーダルを追加する

エクスペリエンスのモーダル内にビューポートを追加します。

始める前に
必要なロール：ui_builder_admin

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

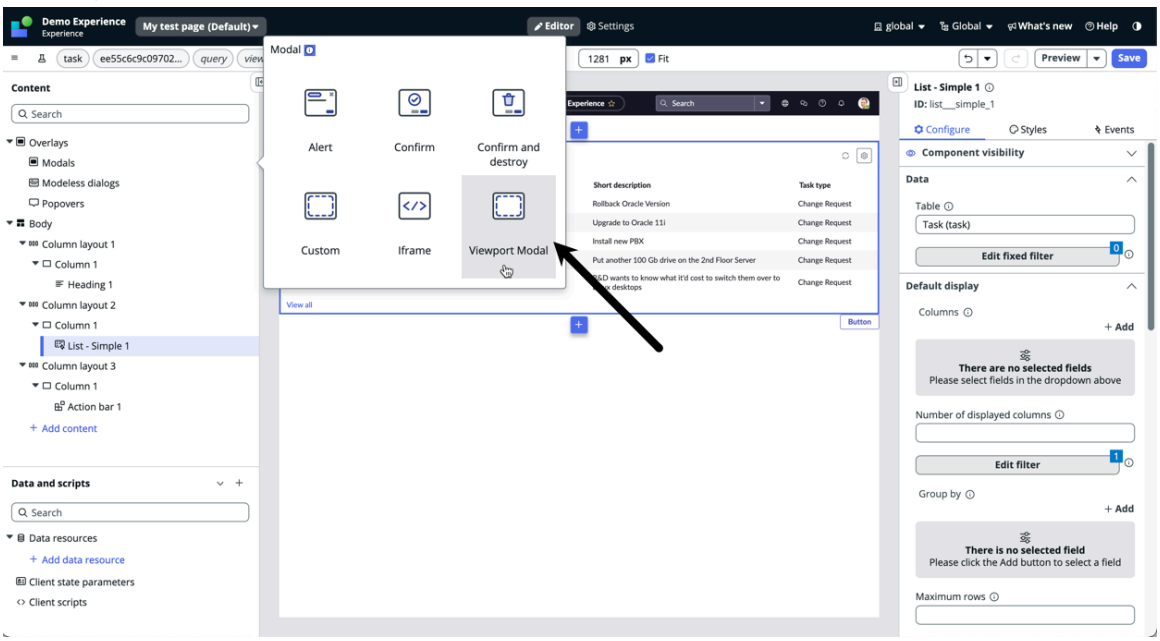
このタスクについて
ビューポートモーダルを使用して、親ページまたはエクスペリエンスのモーダル内にサブページまたは他のエクスペリエンスを埋め込みます。ビューポートモーダルは、イベントまたはスクリプトを介して開くことができます。ビューポートモーダルは、ビューポートモーダルごとに 1 つのサブルートに制限されています。追加のルート用に追加のビューポートモーダルを作成できます。

注:
従来のビューポートモーダルはアップグレードできないため、新しい機能を利用するには再作成する必要があります。

手順

1. 移動先 すべて > **Now Experience** フレームワーク > **UI** ビルダー.
2. 作業するエクスペリエンスを開くか、選択してエクスペリエンスを作成します 作成 > エクスペリエンス.
   詳細については、「UI ビルダー でユーザーがアプリケーションをどのように操作するかを構成する」を参照してください。
3. ページを開くかまたは作成します。
   既存のページを開く場合は、元のページと同じスコープ内にあることを確認してください。そうでない場合は、ページの編集を開始する前にスコープを変更します。アプリケーションスコーピングは、アプリケーションファイルとデータへのアクセスを識別して制限することによってアプリケーションを保護します。アドミニストレーターは、アプリケーションのどの部分を他のアプリケーションからアクセスできるようにするのかを指定するスコープを設定できます。アプリケーションスコープは、データとアプリケーションファイルを保護します。アプリケーションスコープの詳細については、「セキュリティとロールについて学習する」を参照してください。
4. コンテンツツリーで **[+** コンテンツを追加] を選択します。
5. **[1** 列] のレイアウトを選択します。
6. コンテンツツリーの [モーダル] の横にある **[+]** を選択します。
7. リストで [ビューポートモーダル] を選択します。

ビューポートモーダル

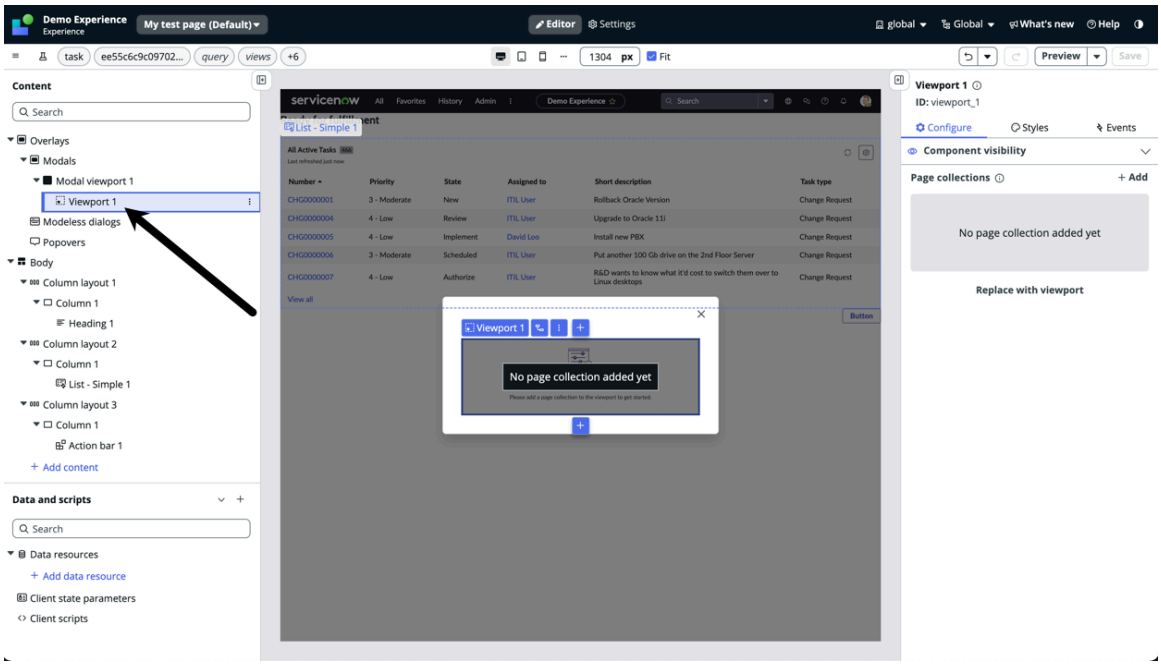


ビューポートモーダルがページの上に表示されます。

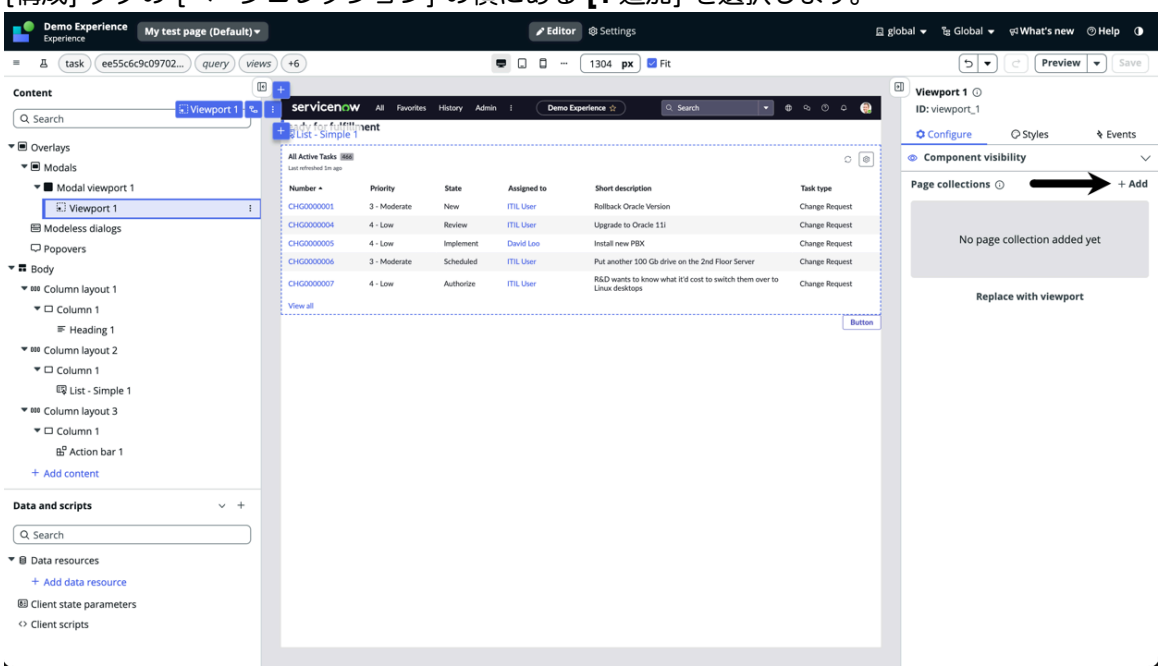
8. [保存] をクリックします。
9. コンテンツツリーでビューポートを選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳



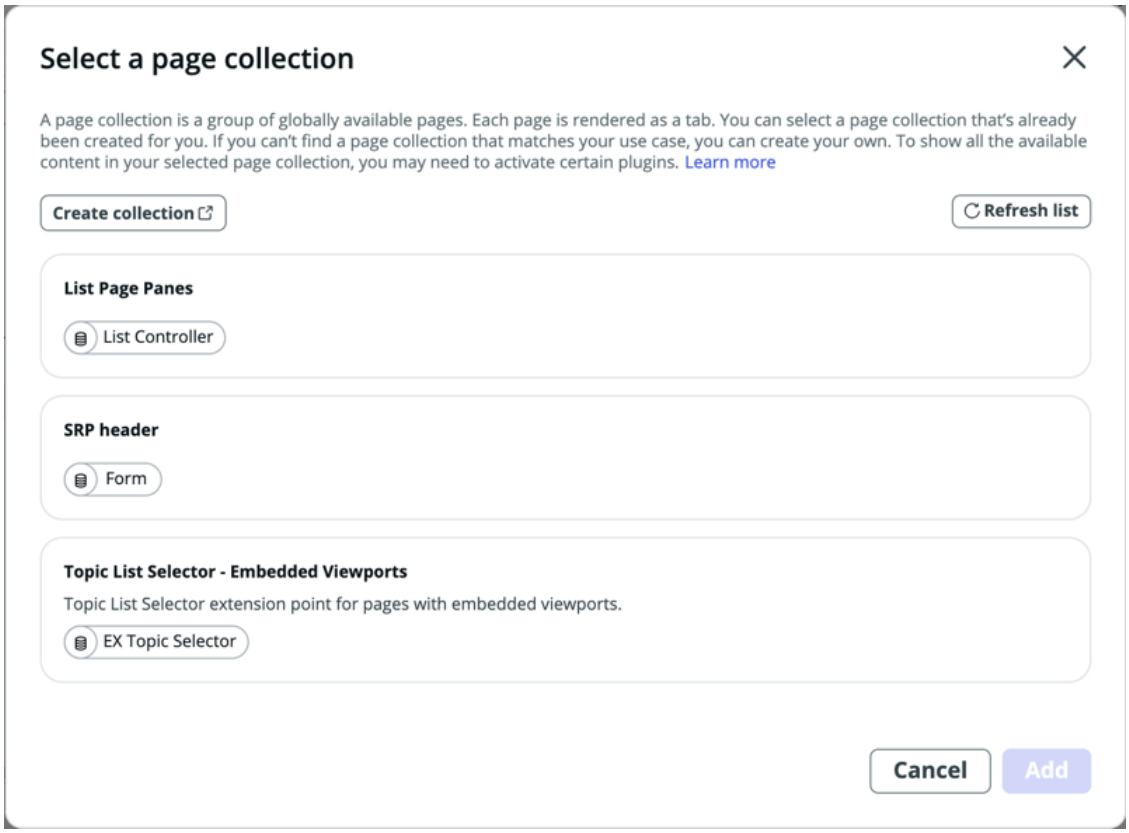
10. [構成] タブの [ページコレクション] の横にある **[+** 追加] を選択します。



11. ページコレクションを選択するか、新しいページコレクションを作成します。
詳細については、「複数の UI ページにわたるページコレクションの作成」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

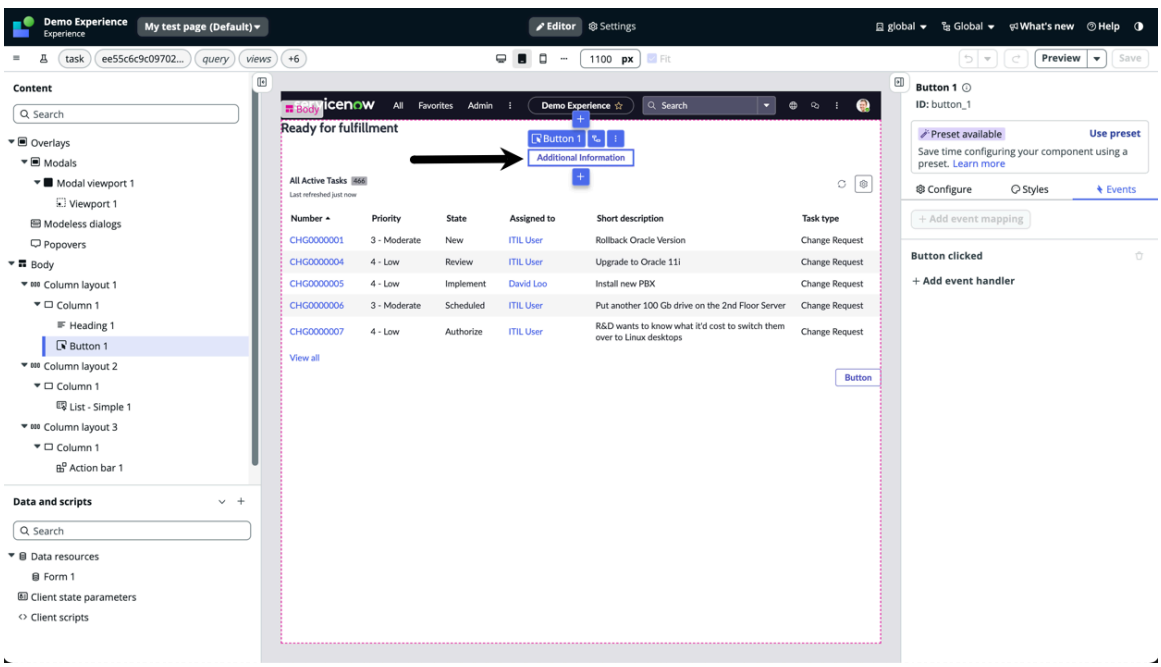


12. [追加] をクリックします。

13. [保存] をクリックします。

14. ビューポートモーダルを開くコンポーネントを追加します。

次の例では、ボタンを使用してビューポートモーダルを開きます。

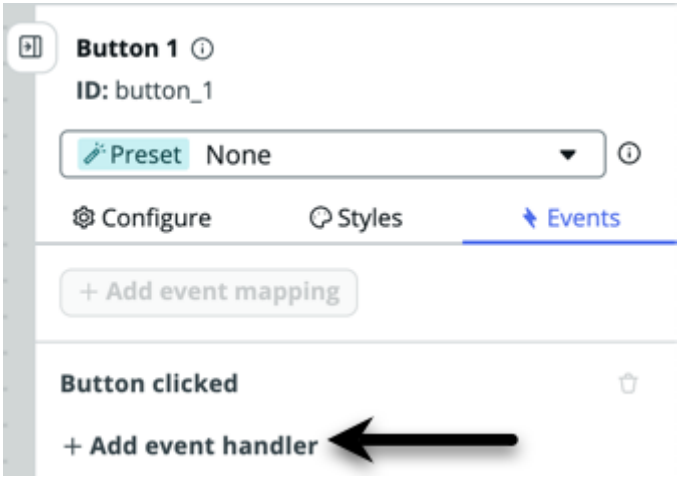


15. [イベント] タブを選択します。

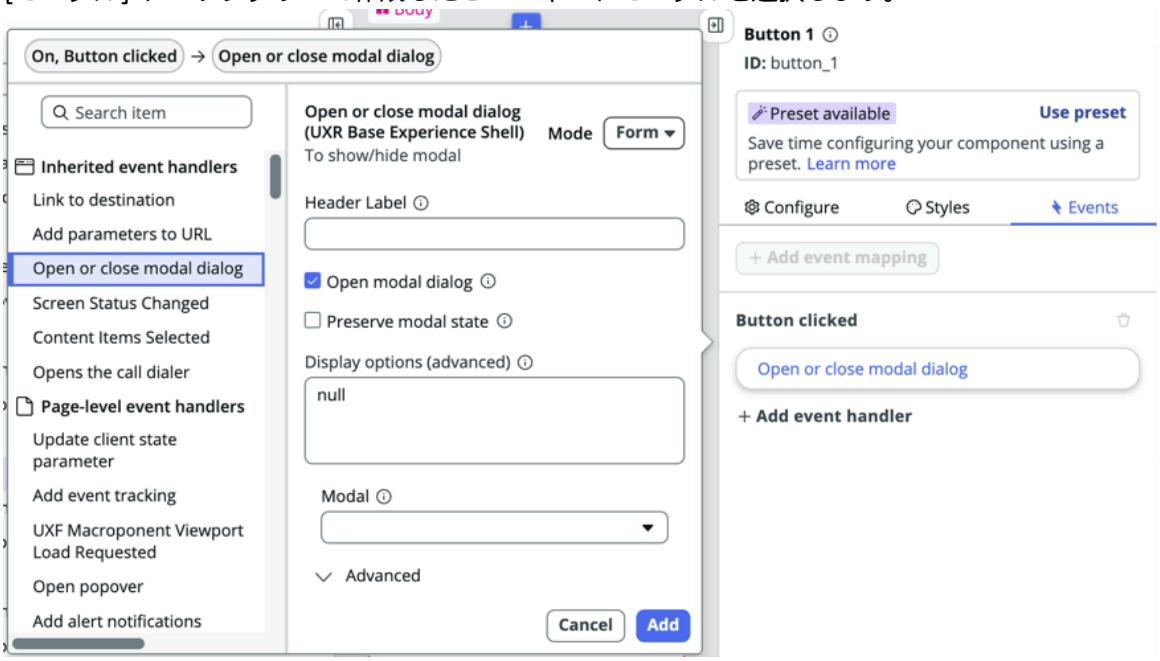
16. **[+** イベントハンドラーを追加] を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳



17. [モーダルダイアログを開くまたは閉じる] を選択します。
18. [モーダルダイアログを開く] を有効にします。
19. [モーダル] ドロップダウンで作成したビューポートモーダルを選択します。



[ビューポート **ID**] は自動入力されます。

20. [追加] を選択します。
21. [保存] を選択します。
22. Preview を選択し、ページを表示してテストします。

ビューポート対応のタブでのタブの置き換え

ページ上のタブをビューポート対応のタブに変換します。ビューポート対応のタブを使用して、サードパーティのカスタムデータを表示し、対象者をアサインして、バリアントを作成できます。

始める前に

必要なロール：admin

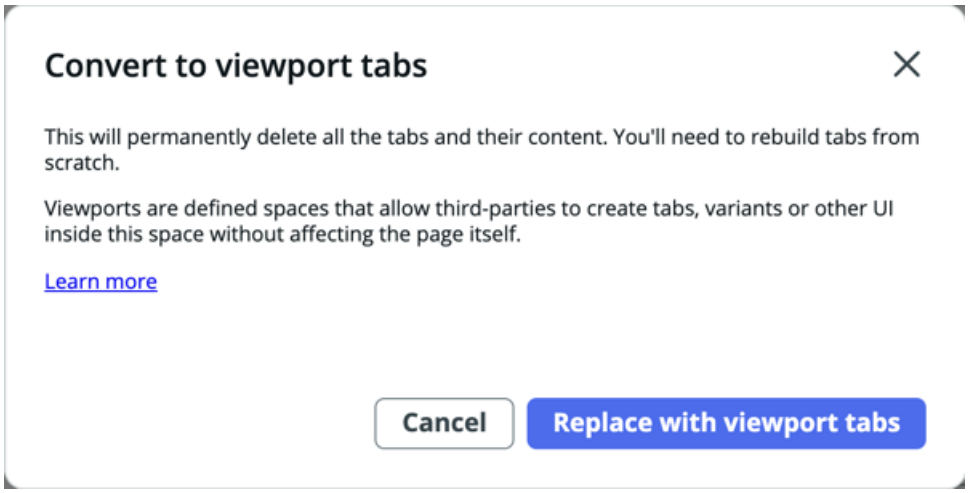
このタスクについて

タブをビューポート対応のタブに置き換えます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

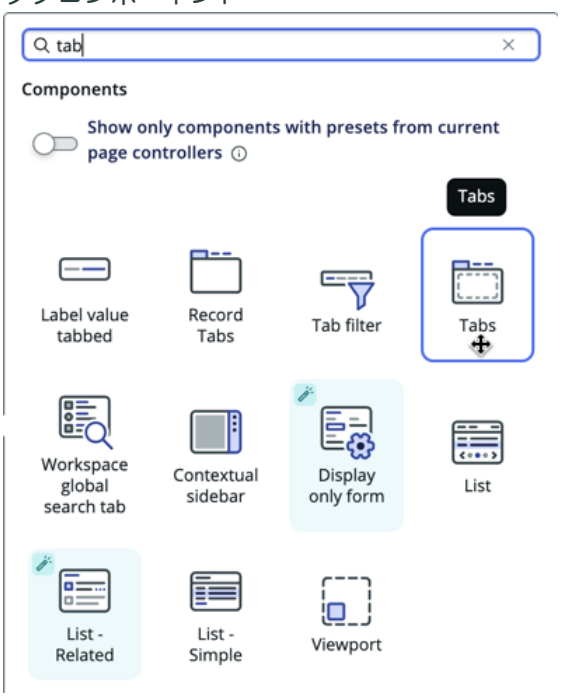
注:
タブをビューポート対応のタブに置き換えるのは、永続的な一方向のプロセスです。既存のタブのコンテンツはすべて失われるため、ビューポートのタブのコンテンツを再作成する必要があります。



手順

1. 移動先 すべて > **Now Experience** フレームワーク > **UI** ビルダー.
2. 作業するエクスペリエンスを開くか、選択してエクスペリエンスを作成します 作成 > エクスペリエンス.
   エクスペリエンスの作成の詳細については、「UI ビルダー でユーザーがアプリケーションをどのように操作するかを構成する」を参照してください。
3. 既存のタブがあるページを開くか、またはページを作成してタブコンポーネントを追加します。

   タブコンポーネント

   タブコンポーネントのページへの追加方法の詳細については、「UI ビルダーページにタブ付きコンテンツを追加」を参照してください。

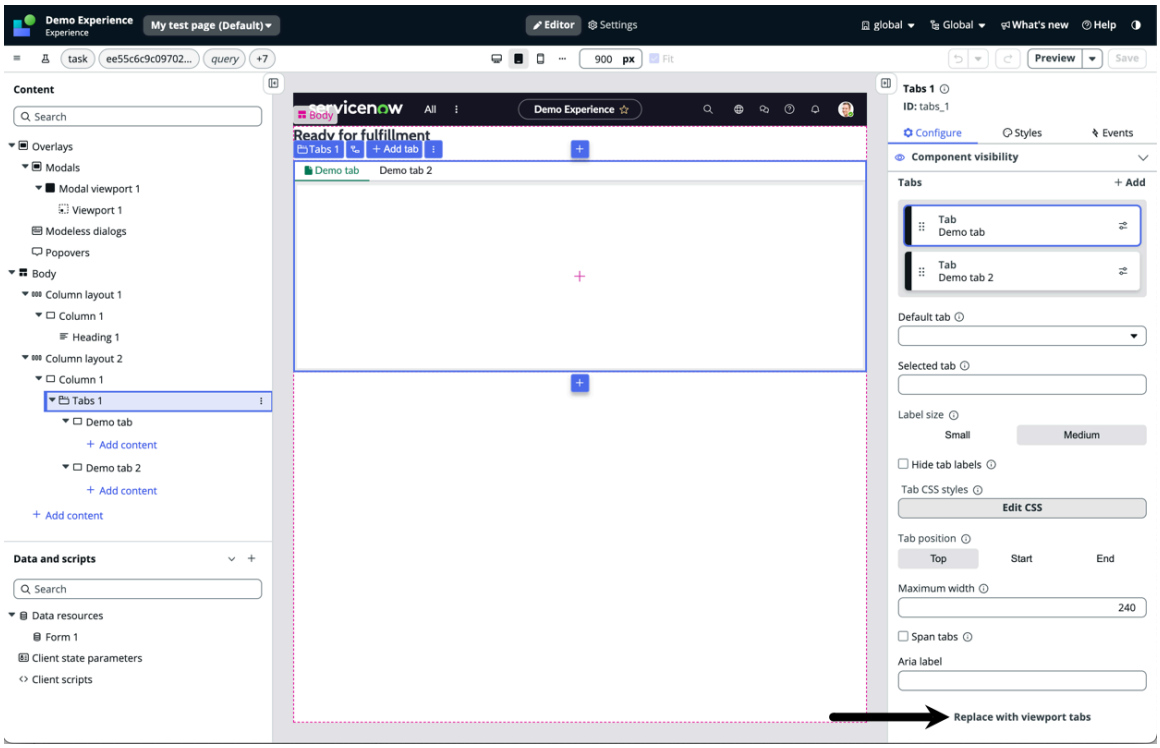
4. コンテンツツリーで、ビューポートのタブに置き換えるタブコンポーネントを選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

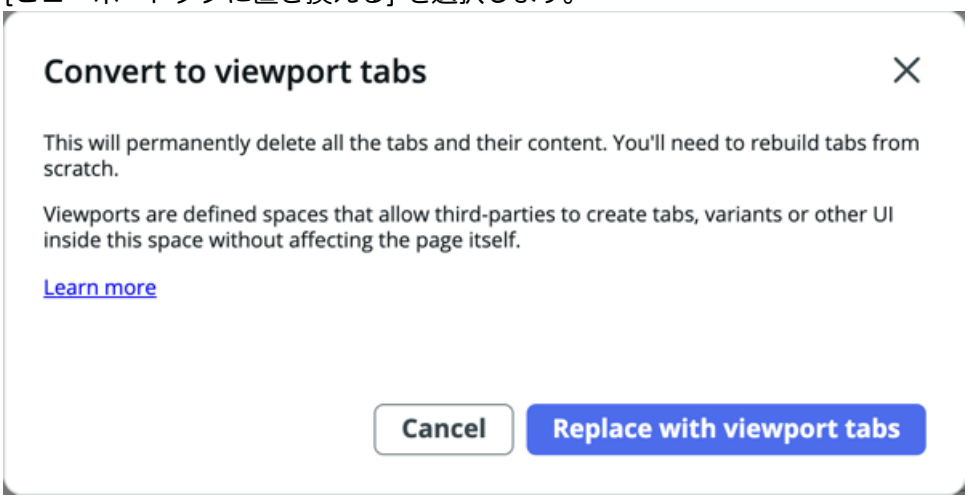
自動翻訳

5. 構成パネルで [ビューポートタブに置き換える] を選択します。

> **注:**
> タブをビューポート対応のタブに置き換えるのは、永続的な一方向のプロセスです。既存のタブのコンテンツはすべて失われるため、ビューポートのタブのコンテンツを再作成する必要があります。



6. [ビューポートタブに置き換える] を選択します。

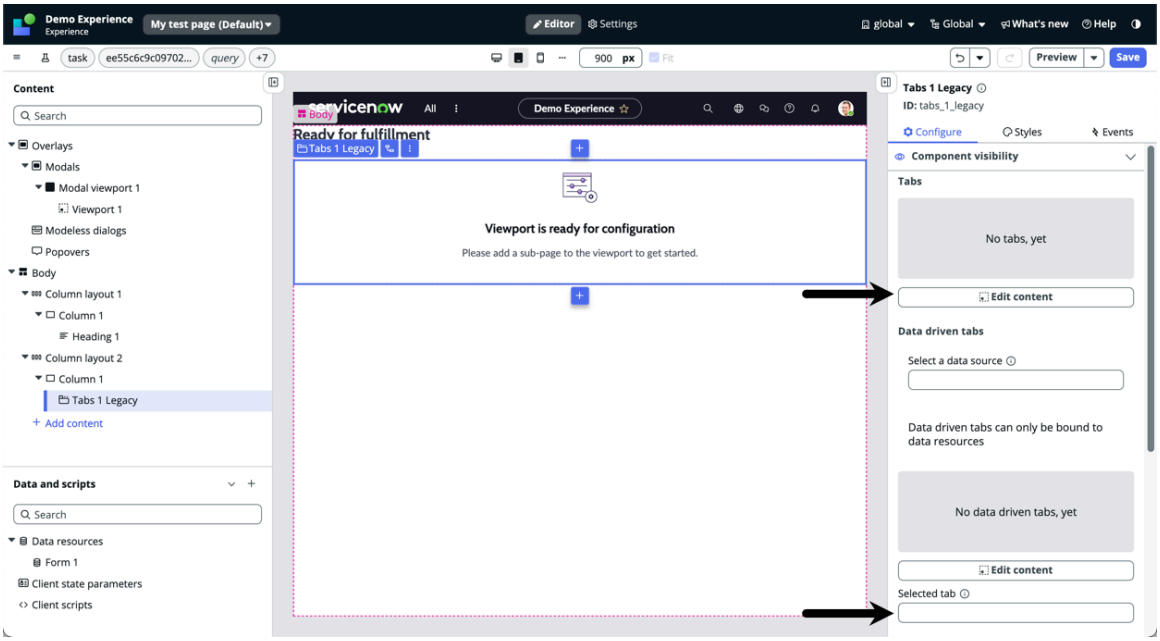


7. [コンテンツを編集] をクリックして、ビューポートが有効なタブを追加します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

コンテンツの編集



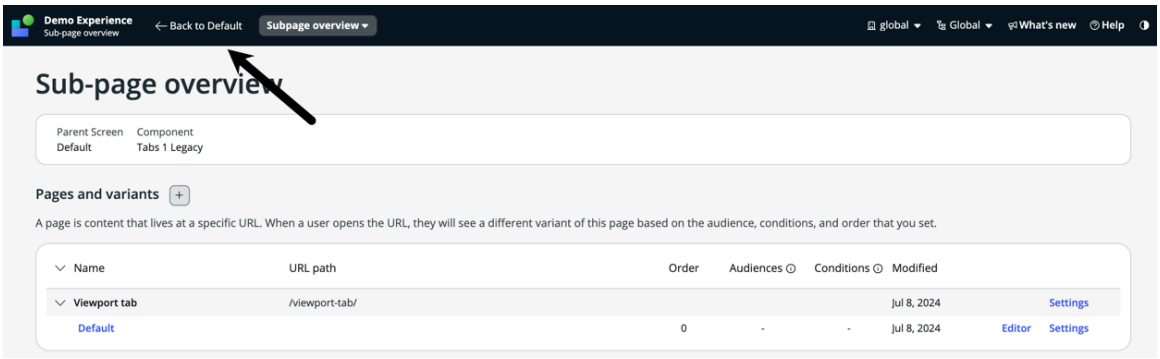
ビューポートコンポーネントの詳細ついては、「ビューポートコンポーネントをページに追加する」を参照してください。

8. [保存して続行] を選択します。
   サブページの概要ページが表示されます。
9. [新規ページの作成] を選択します。
10. [名前] フィールドに、ビューポート対応のタブの名前を入力します。
11. デフォルトのパスをそのまま使用するか、必要に応じて変更します。
12. [続行] を選択します。
13. [名前] フィールドに、ページバリアントの名前を入力するか、デフォルトのままにします。
14. このページの対象者を 1 人以上追加します。
    必要な対象者がリストにない場合は、[利用可能なすべての対象者を表示 **(View all available audiences)]** を選択して作成できます。
15. オプション: 用意されたドロップダウンメニューを使用するか、エンコードされたクエリ文字列を記述して、ページまたはタブを表示するタイミングに関する条件を宣言します。

    (Optional) エンコードされたクエリの記述の詳細については、「Encoded query strings」を参照してください。
16. [エディターで開く] を選択します。
17. ページの場合と同様に、タブにコンポーネントを追加します。
18. 任意のコンポーネントにイベントハンドラーを追加して、ページコンテンツのロードなどのアクションを実行できるようにします。
    イベントハンドラーの詳細については、「「Manage actions in UI Builder pages (UI ビルダーページでのアクションの管理)」」を参照してください。
19. 元のページに戻るには、[←(ページの名前) に戻る] を選択します。

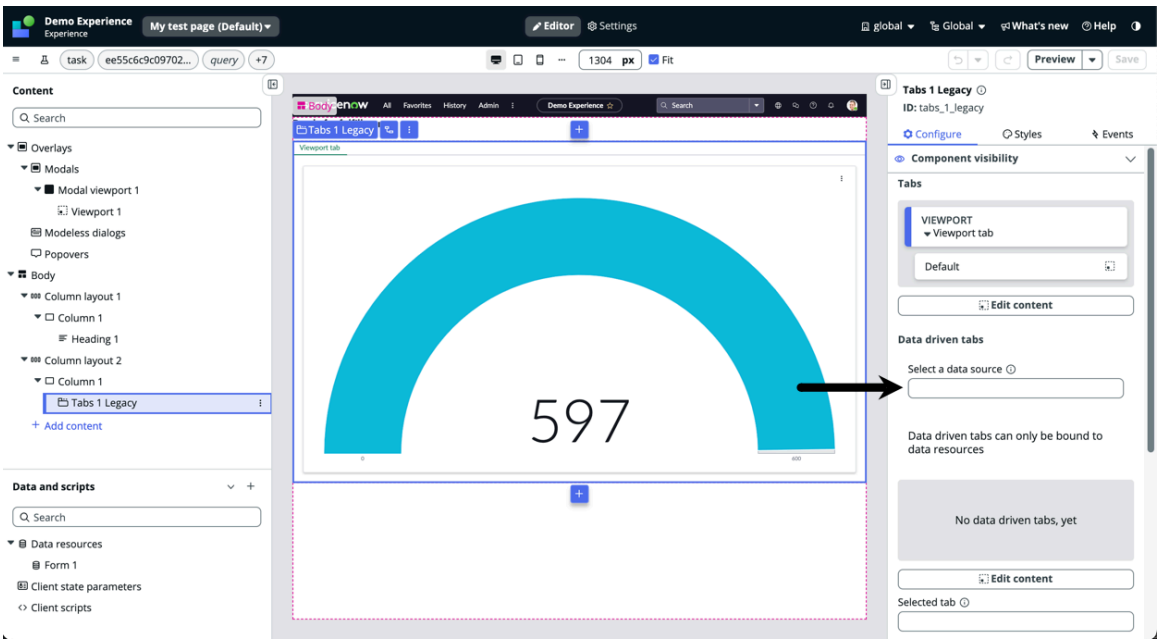
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



20. [データ駆動型タブ] でデータソースを選択し、データリソースを使用してビューポート対応のタブにデータをバインドして、テーブルとレコードからデータを動的に公開します。

次に、これらのデータプロパティをタブのコンポーネントにバインドします。データリソースの使用の詳細については、「UI ビルダーページでデータを動的に公開する (高度な機能)」を参照してください。



21. ビューポートが有効になっているタブのラベルをページ上で表示する場所を選択し、タブのラベルを非表示にしてアイコンのみを表示するかどうかを決定します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

UI ビルダー でのポップオーバーの作成

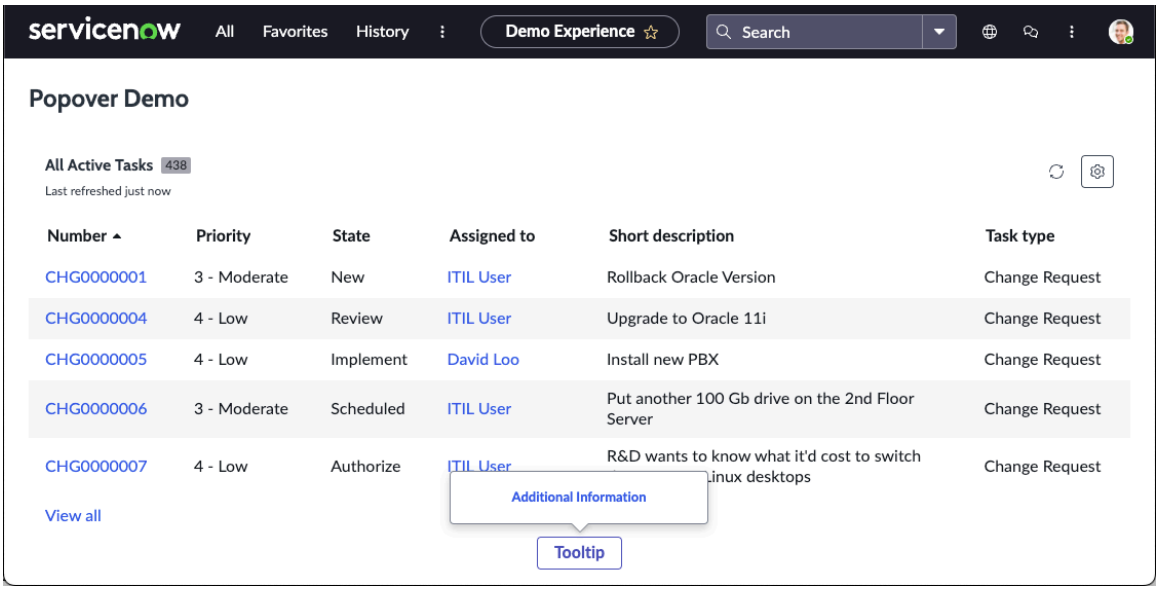
UI ビルダーページでポップオーバーを使用して、コンテキスト情報または機能をオーバーレイして、ユーザーがタスクを完了できるようにします。

ポップオーバーは、UI ビルダー ページの上に表示される小さなウィンドウまたはダイアログボックスであり、処理中のコンテンツまたはタスクに関連する追加情報、オプション、またはアクションが含まれています。ページにモーダルを追加するのと同じ方法で、コンポーネントをポップオーバーに追加します。

追加情報がユーザーに役立つと思われる UI ビルダー ページ上の任意の場所にポップオーバーを配置できます。ポップオーバーは、小さな情報や関連コンテンツへのリンクを提供することを目的としており、ポップオーバーはユーザーが操作しているときにのみ表示されるため、ポップオーバー内の情報や機能の量を制限する必要があります。

ボタンを選択したり、ページの一部をポイントしたりしたときにポップオーバーの表示をトリガーするなど、イベントマッピングを使用してポップオーバーを表示または非表示にすることができます。詳細については、「マップイベントの定義」を参照してください。

情報ポップオーバー



UI ビルダー ページにポップオーバーを追加する

ポップオーバーを追加する方法については、「UI ビルダー」を参照してください。ポップオーバーは、コンポーネントをクリックしたときにページの上に表示されるコンテナです。たとえば、リスト内の人の名前を選択すると、連絡先情報がポップオーバーに表示される場合があります。

始める前に

必要なロール：admin

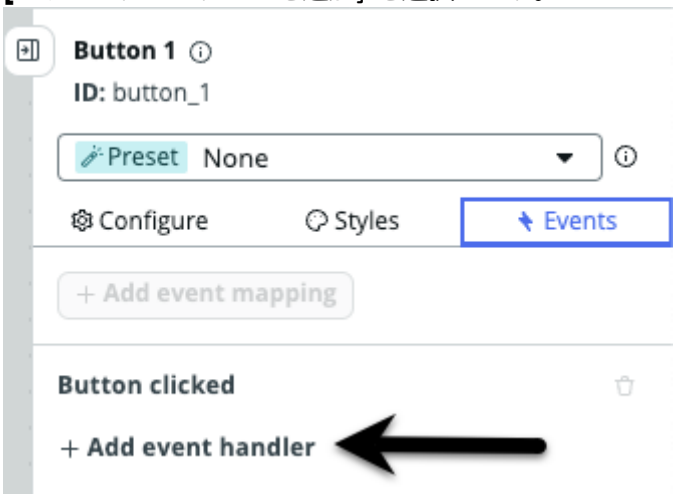
手順

1. 移動先 すべて > **Now Experience** フレームワーク > **UI** ビルダー.
2. 作業するエクスペリエンスを開くか、選択してエクスペリエンスを作成します 作成 > エクスペリエンス.
   エクスペリエンスの作成の詳細については、「UI ビルダー でユーザーがアプリケーションをどのように操作するかを構成する」を参照してください。
3. ページバリアントを開くか作成します。
   UI ビルダー でページを作成する方法の詳細については、「UI ビルダーでのページの作成」を参照してください。

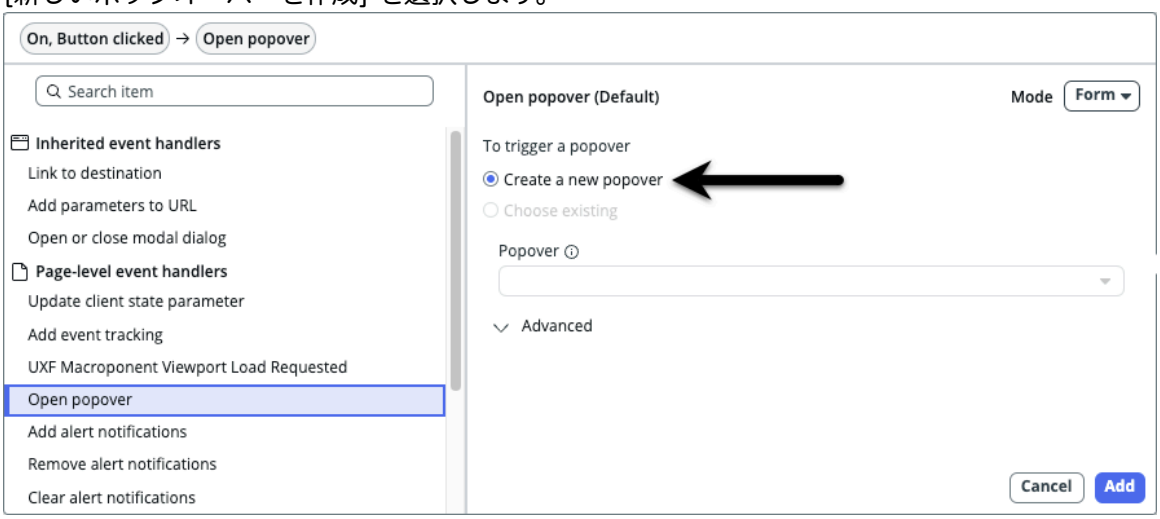
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

4. ポップオーバーをトリガーしたいコンポーネント (ボタンコンポーネントなど) をページに追加します。
   詳細については、「コンポーネントの追加と構成」を参照してください。
5. 構成パネルで [イベント] タブを選択します。
6. **[+** イベントハンドラーを追加] を選択します。



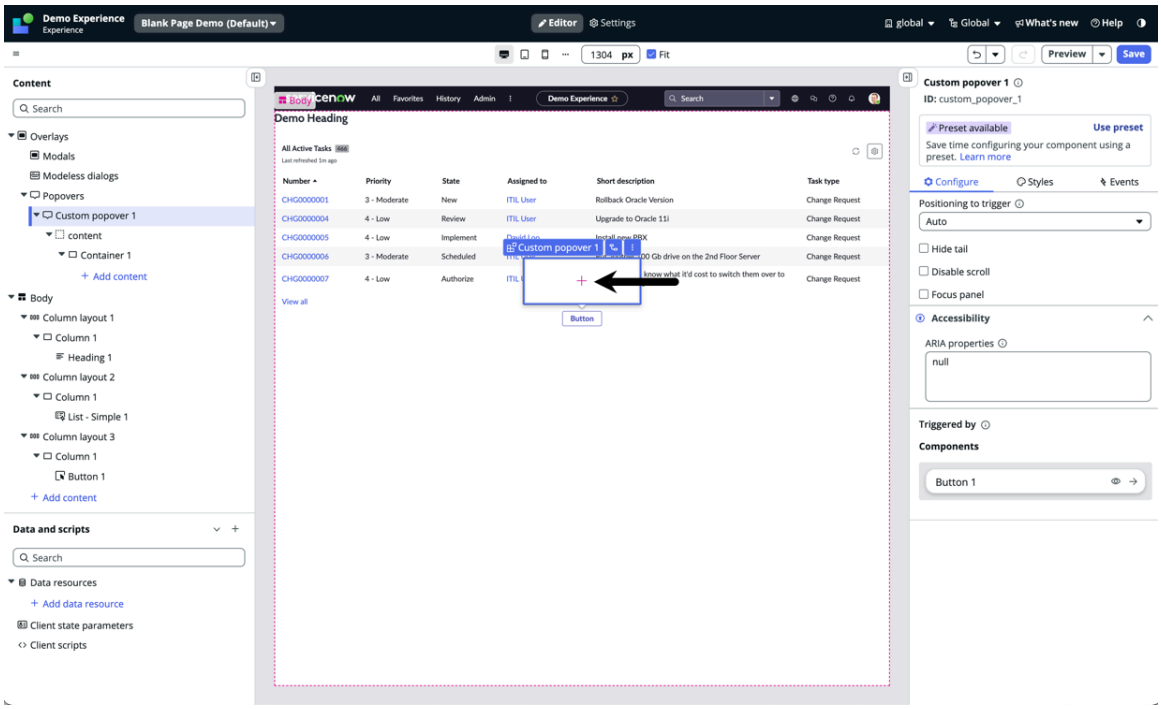
7. [ポップオーバーを開く] を選択します。
8. [新しいポップオーバーを作成] を選択します。



9. [追加] を選択します。
   ポップオーバーがステージの上に表示されます。
10. **[+]** アイコンを選択して、コンポーネントをポップオーバーに追加します。

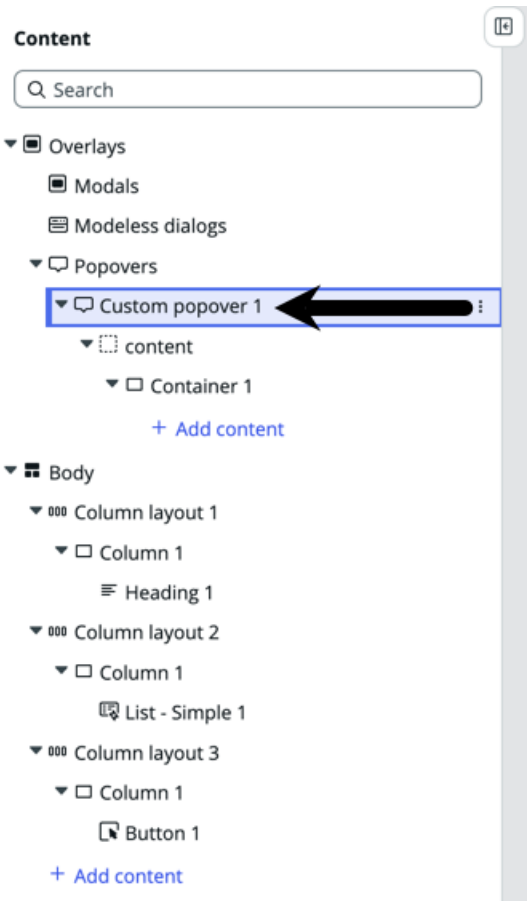
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



11. ポップオーバーの構成が完了したら、閉じます。

コンテンツツリーで、作成したポップオーバーがページ構造の本文の上にあることに注意してください。



12. [保存] をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

13. UI ビルダー のヘッダーで、[プレビュー] を選択します。

14. ボタンをクリックしてポップオーバーをテストします。

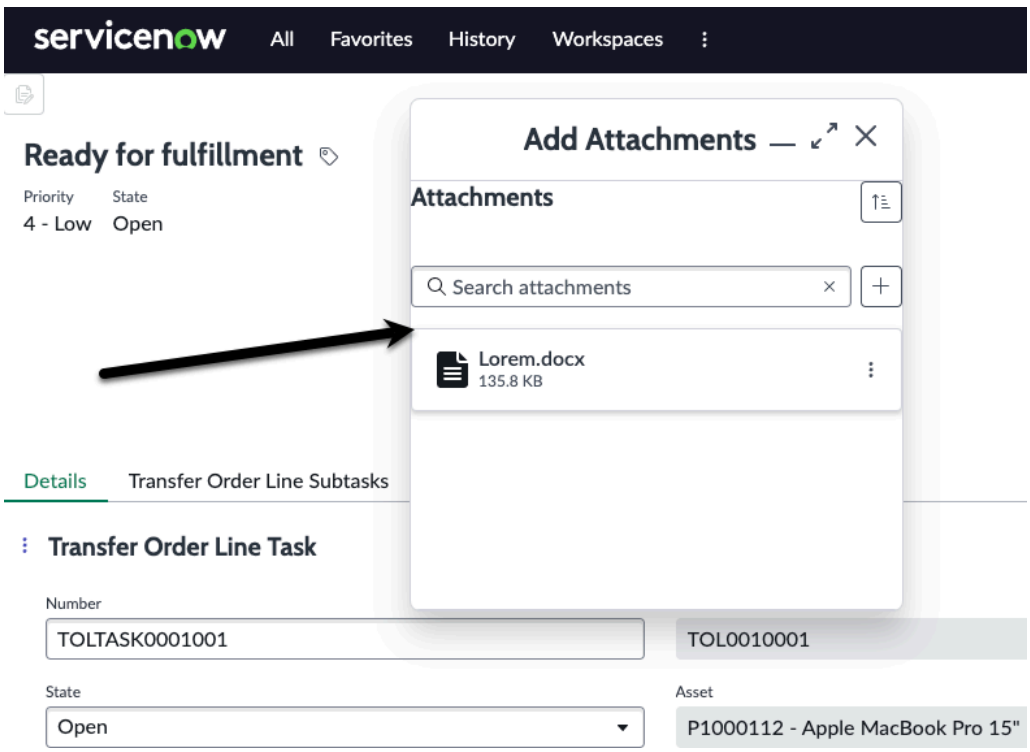
UI ビルダー でのモードレスダイアログの作成

UI ビルダーページでモードレスダイアログを使用して、ウィンドウコンテンツとその下のページコンテンツの両方を操作できるフローティングウィンドウを追加します。

モードレスダイアログコンポーネントは、UI ビルダー ページ上に表示されるコンポーネントとコンテンツを含むフローティングウィンドウです。モードレスダイアログでは、その下のページを表示してやり取りしながらアクションを実行できます。1 つのページに複数のモードレスダイアログウィンドウを追加できます。モードレスダイアログは、サイズを変更したり、ページ上の新しい位置に移動したり、最小化したりできます。

モードレスダイアログはモーダルとは異なります。モーダルはポップアップ表示されますが、モーダルが閉じられるまでページとのインタラクションがブロックされます。モードレスダイアログは、外側をクリックすると閉じるポップオーバーとも異なります。

一般的なモードレスダイアログのユースケースとしては、モードレスダイアログでのレコードの作成、メールの作成、チャットの使用、作業メモやコメントの追加、ヘルプ情報の読み取り、添付ファイルの追加/表示などがあります。



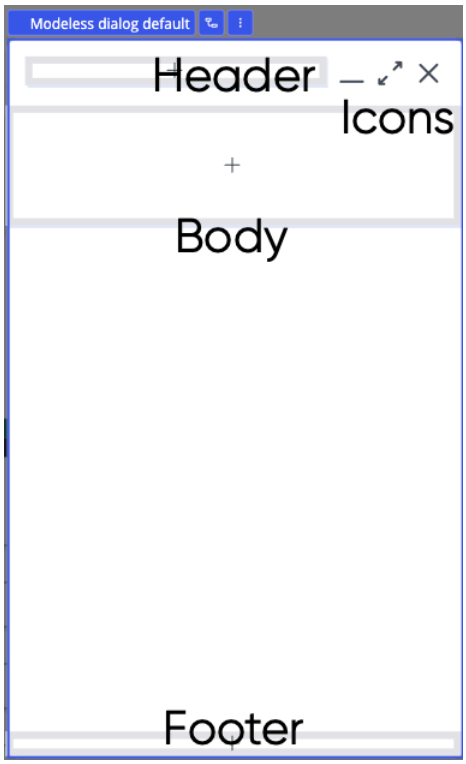
モードレスダイアログの構造

モードレスダイアログは、次の 3 つの部分で構成されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- モードレスダイアログをページに追加すると、ヘッダーには事前設定された最小化アイコン、展開アイコン、「閉じる」アイコンが含まれます。必要に応じて、他のアクションを構成できます。たとえば、新しいタブでモードレスダイアログを開くためのボタンのアクションを構成します。
- メールコンポーザー、添付ファイル、エージェントチャットなど、UI ビルダーツールボックスの任意のコンポーネントを本文に追加します。コンポーネントをページに追加する場合と同様に、レイアウトを適用してコンポーネントを構成できます。
- 必要に応じて、モードレスダイアログの下部にあるフッターに追加のボタンまたはコンテンツを提供します。



モードレスダイアログを **UI** ビルダー ページに追加する

UI ビルダー でモードレスダイアログを追加する方法について説明します。モードレスダイアログは、ページの上のコンテンツを含むフローティングウィンドウです。

始める前に

必要なロール：ui_builder_admin

次の手順では、[添付ファイル] コンポーネントを含むモードレスダイアログを開くボタンを構成するプロセスについて説明します。

> **注:**
> ここで説明する手順は、モードレスダイアログの使用方法の一例にすぎません。無限の可能性があります。ビジネスニーズに合わせてモードレスダイアログを追加および構成してください。

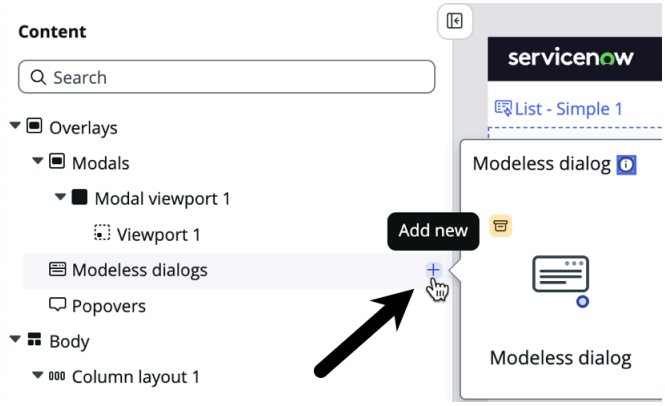
手順

1. 移動先 すべて > **Now Experience** フレームワーク > **UI** ビルダー.
2. 作業するエクスペリエンスを開くか、選択してエクスペリエンスを作成します 作成 > エクスペリエンス.
   エクスペリエンスの作成の詳細については、「UI ビルダー でユーザーがアプリケーションをどのように操作するかを構成する」を参照してください。

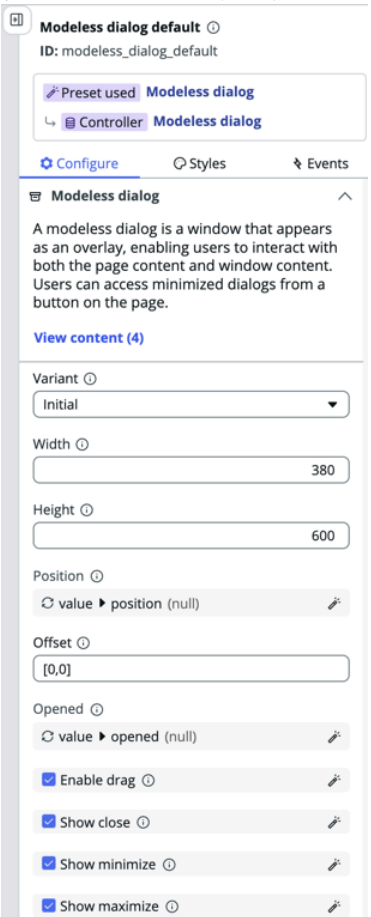
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

3. ページバリアントを開くか作成します。
   UI ビルダー でページを作成する方法の詳細については、「UI ビルダーでのページの作成」を参照してください。
4. コンテンツツリーで、マウスを [モードレスダイアログ **(Modeless dialogs)]** に移動し、[+] アイコンを選択して、[モードレスダイアログ] コンポーネントを選択します。



5. モードレスダイアログがステージに自動的に表示されない場合は、コンテンツツリーで [モードレスダイアログのデフォルト **(Modeless dialog default)]** という名前の新しいモードレスダイアログを選択します。
6. 構成パネルの [構成] タブで、モードレスダイアログで自動的に追加されたプリセット (幅、高さ、位置、ドラッグの有効化設定など) を表示します。



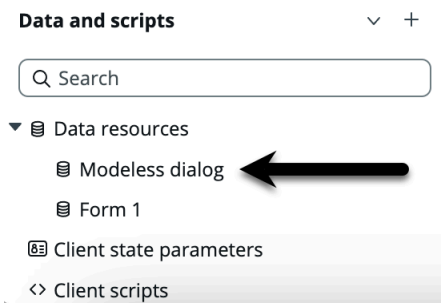
これらのプリセットプロパティはすべて、必要に応じて編集できます。

自動翻訳

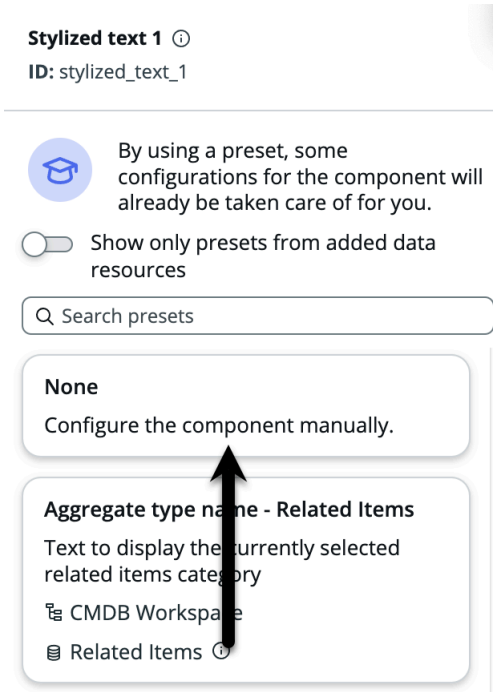
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

> **注:**
> モードレスダイアログの詳細プロパティの詳細については、ServiceNow Developer サイトを参照してください。

7. データリソースドロワーに、[モードレスダイアログ] コントローラーが自動的に追加されました。



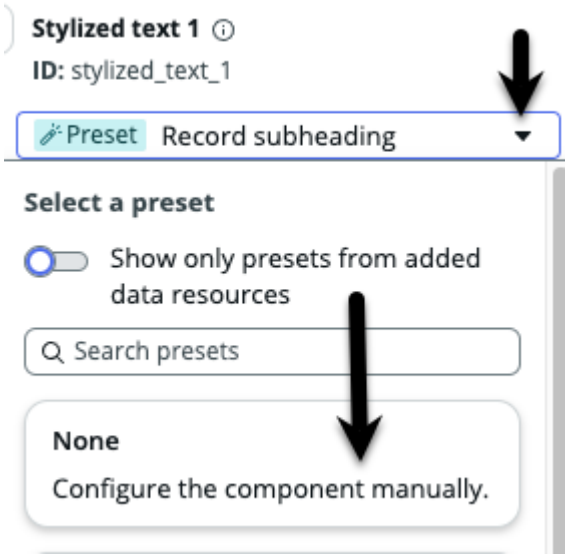
8. コンテンツツリーで、[モードレスダイアログのデフォルト **(Modeless dialog default)] >** [アクション] で **[+** コンテンツを追加] を選択して、モードレスダイアログヘッダーにコンテンツを追加します。
9. [定型テキスト] コンポーネントを検索して選択します。
10. [定型テキスト] 構成パネルで、[なし] を選択してコンポーネントを手動構成します。



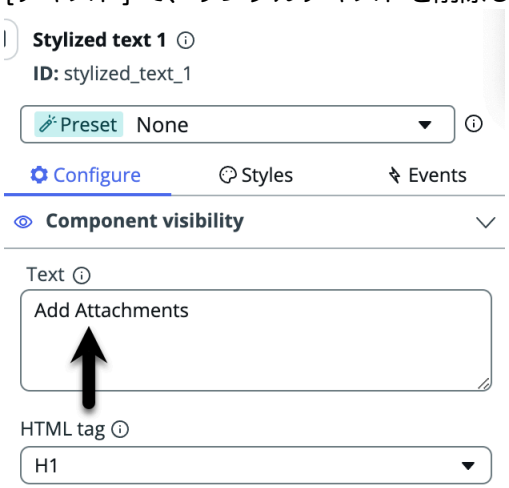
[レコードのサブ見出し] プリセットが自動的に追加された場合は、ドロップダウン矢印を選択し、[なし] を選択し、[構成] タブで [削除] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



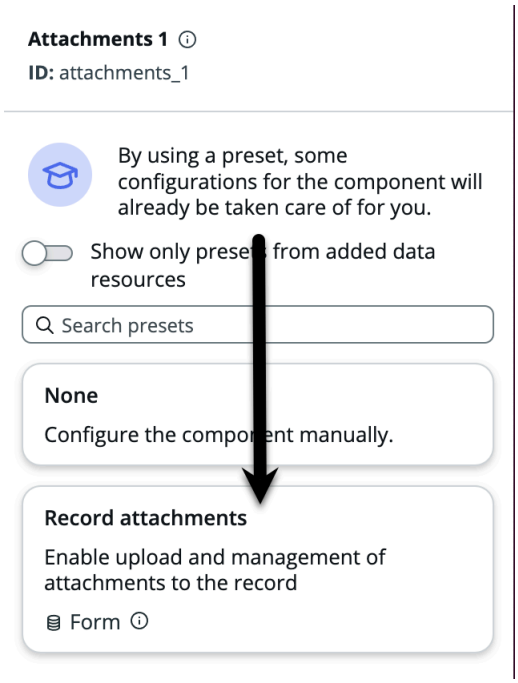
11. [構成] タブがまだ開いていない場合は、[構成] を選択して開きます。
12. [テキスト] で、サンプルテキストを削除し、「Add Attachments」と入力します。



13. UI ビルダーヘッダーで、[保存] を選択します。
14. コンテンツツリーで、[モードレスダイアログのデフォルト **(Modeless dialog default)]** > [コンテンツ] > [コンテナ] で **[+** コンテンツを追加] を選択して、モードレスダイアログ本文にコンテンツを追加します。
15. [添付ファイル] コンポーネントを選択します。
16. [添付ファイル] 構成パネルで、[レコードの添付ファイル] と [適用] がまだ選択されていない場合は選択し、プリセットを使用してコンポーネントを構成します。

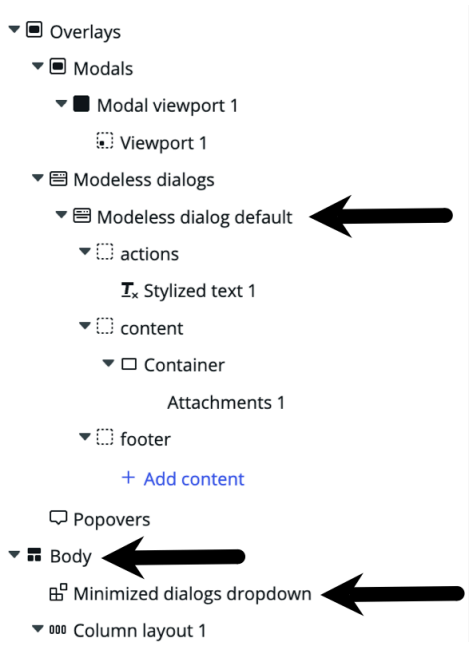
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



[添付ファイル] コンポーネントの構成の詳細については、ServiceNow Developer サイトを参照してください。

17. モードレスダイアログフッターにコンテンツを追加できますが、この例ではフッターを空のままにします。
18. **[Save** (保存)] を選択します。
コンテンツツリーで、モードレスダイアログとそのすべてのコンポーネントが、ページ構造の [本文] の上に表示されていることに注意してください。また、[最小化されたダイアログのドロップダウン **(Minimized dialogs dropdown)]** コンポーネントがページに自動的に追加され (コンテンツツリーの [本文] の下にも一覧表示されます)、モードレスダイアログヘッダーの最小化アイコン機能が提供されます。



19. コンテンツツリーで [本文] を選択します。
20. ボタンコンポーネントを追加し、モードレスダイアログを開くように構成します。

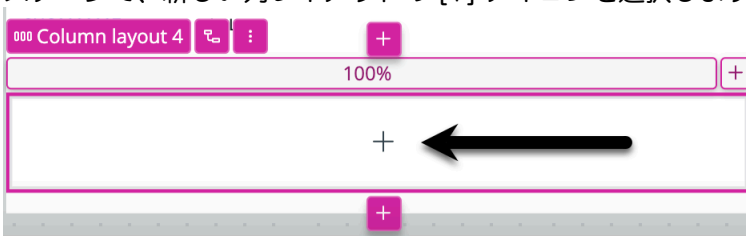
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

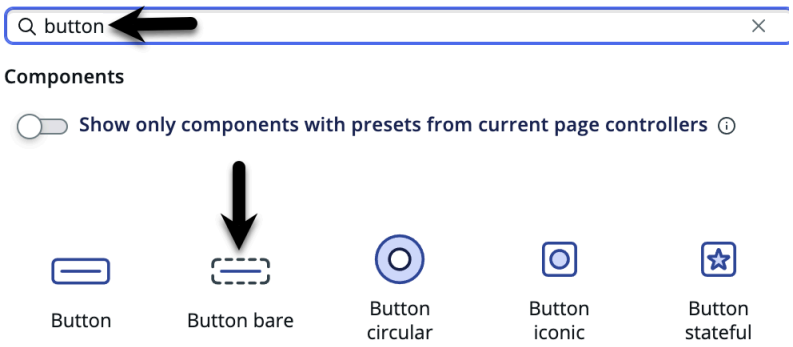
a. コンテンツツリーで、[本文] の横にある [メニュー] アイコンを選択し、[コンテンツを追加] を選択します。

b. [レイアウト] タブで、[単一列] を選択します。
単一列を含む新しい列レイアウトがページの下部に追加されます。

c. ステージで、新しい列レイアウトの [+] アイコンを選択します。



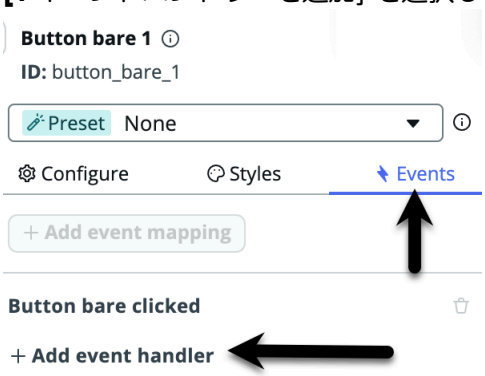
d. [ベアボタン] コンポーネントを検索して選択します。



e. 構成パネルの [構成] タブで、[なし] を選択して、コンポーネントを手動構成します。

f. 構成パネルで [イベント] タブを選択します。

g. **[+** イベントハンドラーを追加] を選択します。



h. 左側のリストで、[モードレスダイアログを開く] を選択します (リスト内を下にスクロールすることが必要な場合があります)。

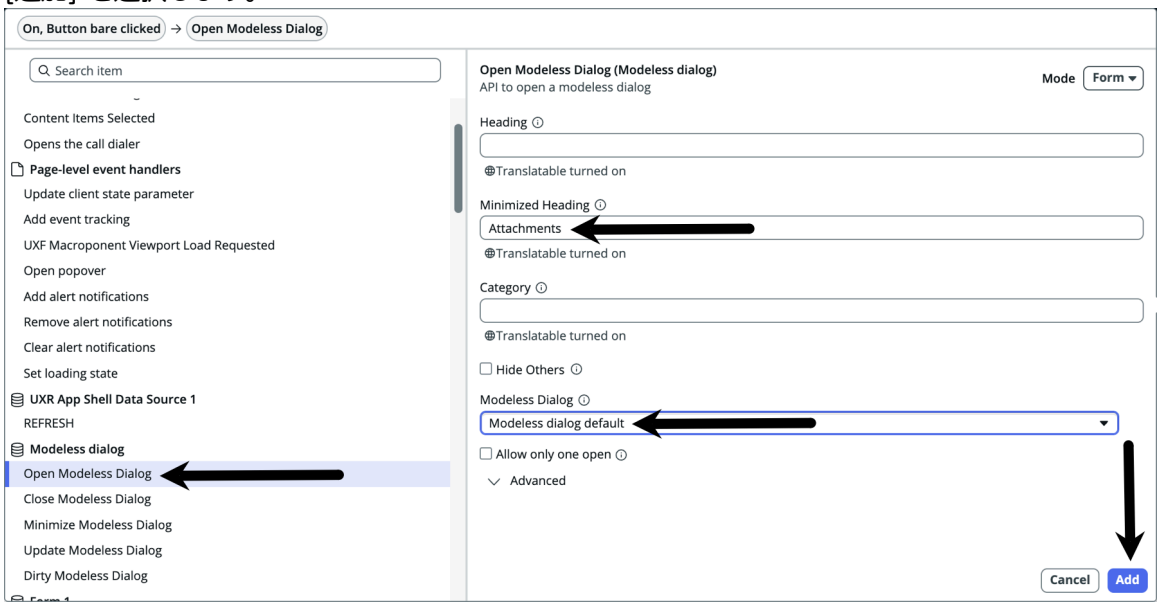
i. [最小化された見出し] に「Attachments」と入力します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

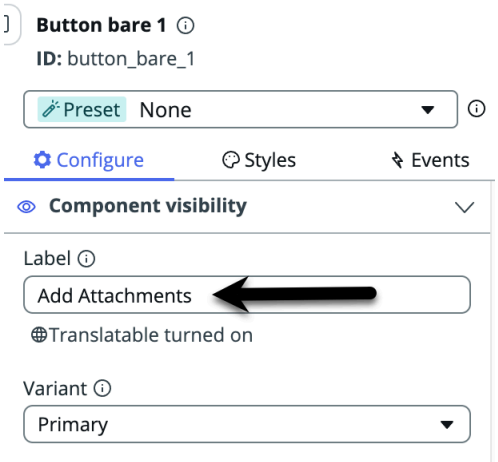
j. [モードレスダイアログ] で [モードレスダイアログのデフォルト **(Modeless dialog default)]** を選択します。
ここには見出しやカテゴリなど、構成できる他のオプションもあります。

k. [追加] を選択します。



l. [構成] タブを選択します。

m. [ラベル] に「Add Attachments」と入力します。



21. **[Save** (保存)] を選択します。

22. UI ビルダー ヘッダーの [プレビュー] の横にあるドロップダウン矢印を選択し、リストで **[URL** パスを開く] を選択します。

23. [添付ファイルの追加] ボタンを選択して、モードレスダイアログをテストします。
モードレスダイアログがメインページの上に開き、上部に見出し、下に [添付ファイル] コンポーネントが表示されます。

24. 最小化機能をテストするには、モードレスダイアログの最小化アイコンを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

モードレスダイアログが最小化され、[最小化されたダイアログのドロップダウン (Minimized dialogs dropdown)] からアクセスできるようになります。

25. 最小化されたダイアログのアイコンを選択し、[添付ファイル] を選択して、モードレスダイアログウィンドウを再度開きます。

モードレスダイアログイベントを **UI** ビルダーページに追加する

開く、閉じる、最小化するなどのモードレスダイアログイベントを UI ビルダーで追加および構成する方法を学びます。モードレスダイアログは、ページの上のコンテンツを含むフローティングウィンドウです。

始める前に

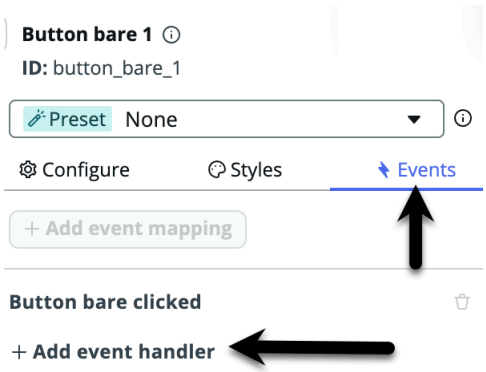
必要なロール：ui_builder_admin

手順

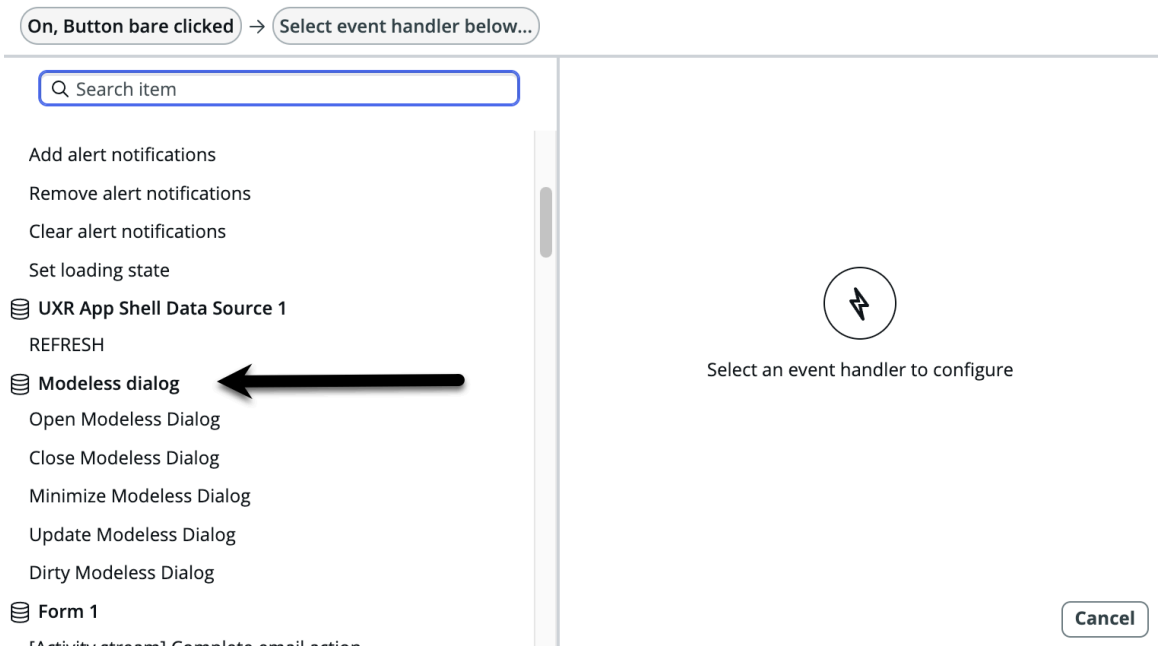
1. 移動先 すべて > **Now Experience** フレームワーク > **UI** ビルダー.
2. 作業するエクスペリエンスを開くか、選択してエクスペリエンスを作成します 作成 > エクスペリエンス.
   エクスペリエンスの作成の詳細については、「UI ビルダー でユーザーがアプリケーションをどのように操作するかを構成する」を参照してください。
3. ページバリアントを開くか作成します。
   UI ビルダー でページを作成する方法の詳細については、「UI ビルダー でのページの作成」を参照してください。
4. モードレスダイアログをページに追加します。
   モードレスダイアログの作成方法の詳細については、「モードレスダイアログを UI ビルダー ページに追加する」を参照してください。
5. モードレスダイアログでアクションを実行するための、ボタンなどのコンポーネントをページに追加します。
   モードレスダイアログとやりとりするボタンの作成方法の詳細については、「モードレスダイアログを UI ビルダー ページに追加する」を参照してください。
6. コンテンツツリーまたはステージでボタンコンポーネントを選択します。
7. 構成パネルで [イベント] タブを選択します。
8. **[+** イベントハンドラーを追加] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



9. [イベントハンドラープレビュー] ウィンドウから、ボタンにアサインするアクションを選択します。
使用可能なモードレスダイアログイベントハンドラーが 5 つあります。



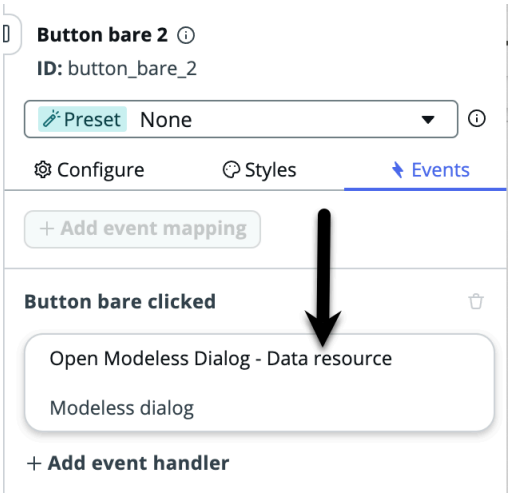
注:
スクリプトエディターで作業する場合は、いずれのイベントハンドラーでも、[モード] ドロップダウンで [スクリプト] を選択します。

10. [追加] を選択します。

タスクの結果
構成されたイベントハンドラーは、コンポーネントの構成パネルの [イベント] タブに表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



自動却下するアラートの設定

指定した時間が経過すると自動的にクリアされるようにアラートを設定します。

始める前に

必要なロール：ui_builder_admin

このタスクについて

アラートを自動却下するように設定するには、次の 2 つの方法があります。

- エクスペリエンスの設定:特定タイプのすべてのアラートに自動却下ルールを適用する
- イベント:特定のアラートのエクスペリエンス設定を上書きするイベントを追加します

> **重要:**
> イベントレベルで自動却下を構成する前に、まずエクスペリエンス設定レベルで自動消去を有効にする必要があります。

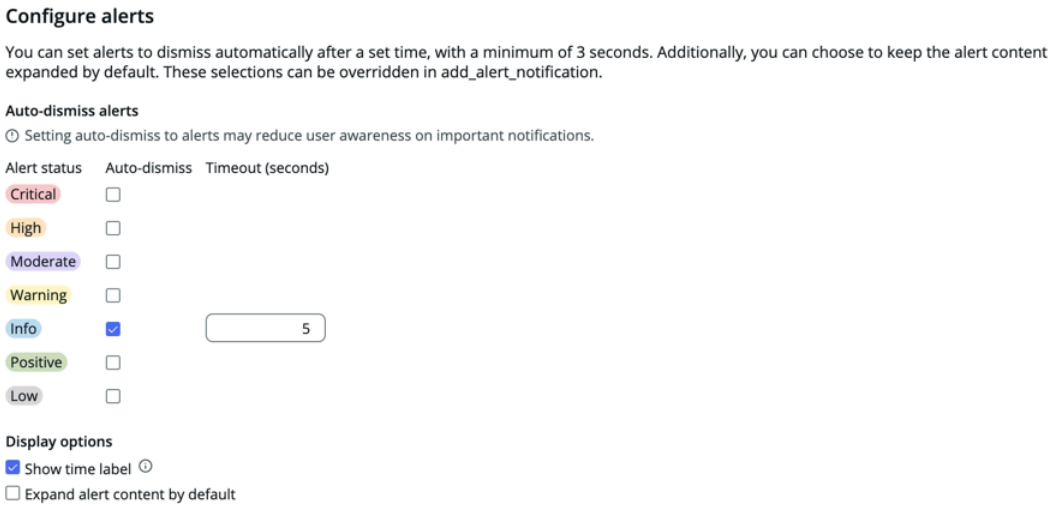
イベントを通じて行われた構成は、エクスペリエンスの設定で行われた構成よりも優先されます。たとえば、エクスペリエンスの設定で、すべての ポジティブ アラートを 5 秒後に自動消去するように設定できます。次に、特定の ポジティブ アラートについて、10 秒後に自動却下するように設定するイベントを追加することで、この初期構成を上書きするか、自動却下を完全に無効にすることができます。

手順

1. 移動先 すべて > **Now Experience** フレームワーク > **UI** ビルダー.
2. 作業するエクスペリエンスを開くか、選択してエクスペリエンスを作成します 作成 > エクスペリエンス.
   エクスペリエンスの作成の詳細については、「UI ビルダー でユーザーがアプリケーションをどのように操作するかを構成する」を参照してください。
3. [エクスペリエンス設定の表示] を選択します。
4. [アラートの構成] で、構成するアラートタイプの横にある [自動却下] オプションを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

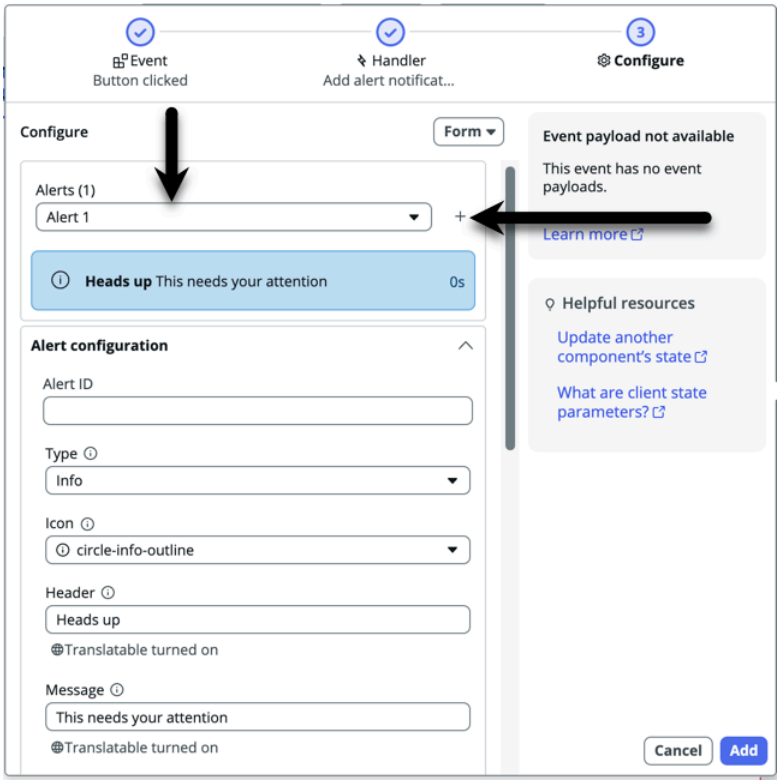


この例では、[情報] アラートタイプの横にある [自動却下] オプションを選択し、[タイムアウト (秒)] フィールドに「5」と入力します。情報 アラートは 5 秒後に消えます。

5. **[Save** (保存)] を選択します。
6. エクスペリエンスビューに戻ります。
7. ページを作成するか、開きます。
8. コンテンツツリーで **[+** コンテンツを追加] を選択します。
9. ボタンコンポーネントを選択し、[追加] を選択します。
10. 構成パネルで [イベント] タブを選択します。
11. [クリックされたボタン] で、[ハンドラーの追加] を選択します。
12. [アラート通知の追加] を選択し、 [続行] を選択します。
    [構成] ダイアログを使用すると、複数のアラートを 1 か所で編集でき、編集中のアラートのプレビューが表示されます。[**+**] を選択してアラートをさらに追加し、ドロップダウンでアラートを選択して構成できます。

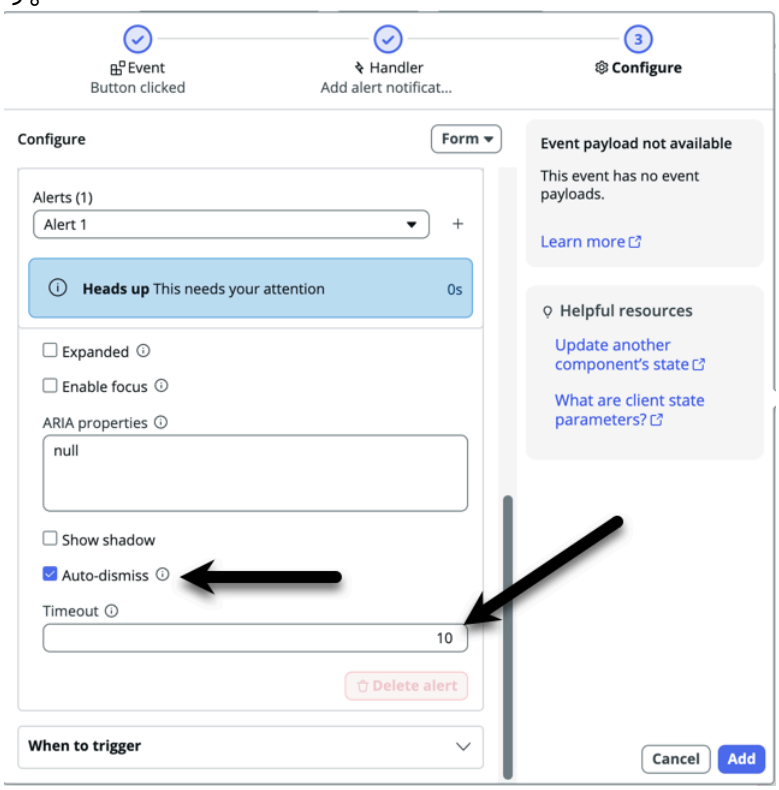
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



この例では、アラート タイプ は [情報] のままにします。

13. [構成] ダイアログの下部にある [自動却下] で、[タイムアウト] フィールドに「10」と入力します。



この 特定の情報 アラートは、10 秒後に消えます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

14. オプション: チェックボックスをオフにして、この個々のアラートの自動却下をオフにすることもできます。

    注:
    同じタイプの他のアラートは、イベントによって上書きされるまで、エクスペリエンス設定の初期構成を保持します。

15. **[Add** (追加)] を選択します。

タスクの結果
選択したタイプのアラートは、指定した時間が経過すると自動的に却下するように設定されるようになりました。

「Manage **actions in UI Builder pages (UI** ビルダーページでのアクションの管理)」

UI ビルダー のコンポーネント、ページ、データリソース、および宣言アクションにアクションを追加できるように、イベントを操作する方法について学習します。

UI ビルダー でのアクション

UI アクションは、イベントがトリガーされたときに実行される処理を UI ビルダー に通知します。イベントは、ユーザーが実行するアクション、またはページで発生する事象です。UI アクションを使用して、ユーザーがタスクを完了するのに役立つ、インタラクティブで分かりやすいインターフェイスを作成します。各コンポーネントには、独自のイベントが関連付けられています。イベントには次のものが含まれます。

- ユーザーがデータ可視化をクリックする
- ページがデータを正常にフェッチする
- ユーザーがラジオボタンを選択する
- ページがロードされる

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

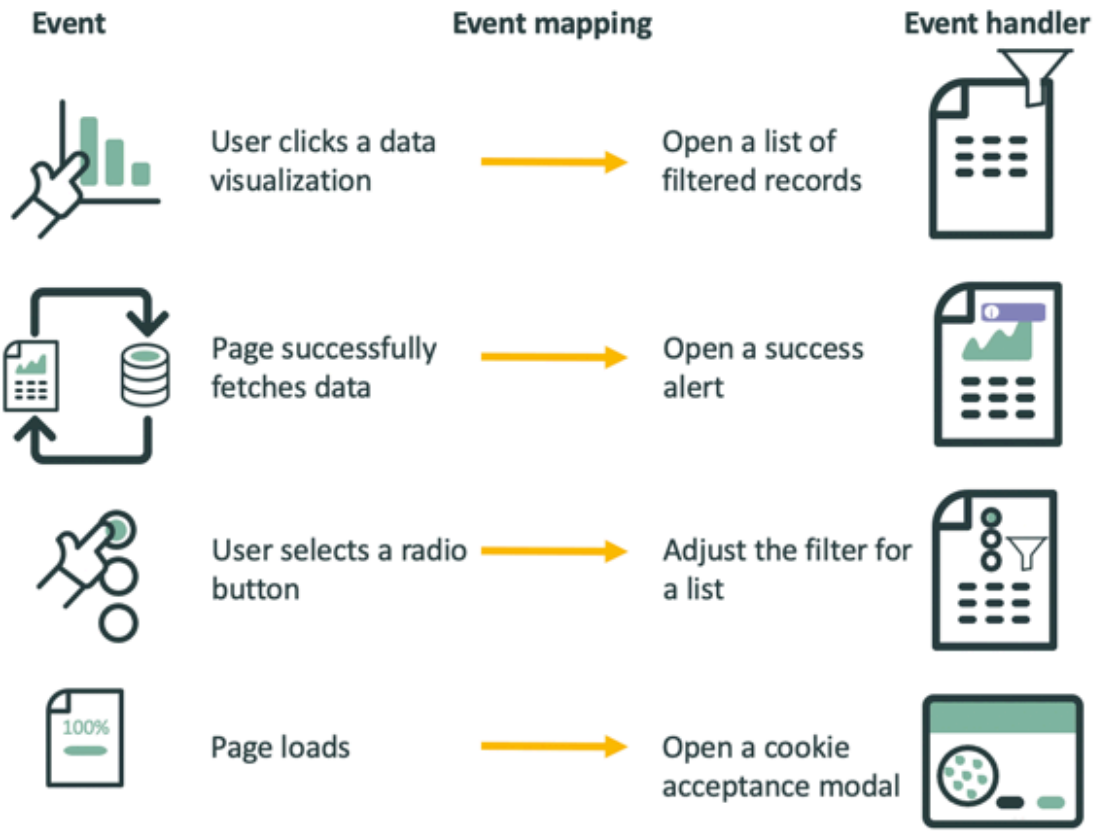
UI ビルダー のイベント

イベントを使用して、コンポーネント、ページ、およびデータリソースにアクションを追加します。

- コンポーネントイベントは、コンポーネントに対してセットアップするアクションです。そのコンポーネントアクションを構成するイベントハンドラーを設定します。たとえば、ボタンコンポーネントを UI ビルダー ページに追加できます。次に、Web ページへの移動など、そのボタンのアクションを適用するイベントハンドラーを追加できます。
- ページイベントは、ページ全体に対してアクションを実行します。次のページイベントを構成できます。
  - ページイベントマッピング。ページのアラート通知を追加、削除、またはクリアします。
  - バリアントイベントマッピング。ページバリアントのアラート通知を追加、削除、またはクリアします。
  - ディスパッチされるイベント。ページにディスパッチされるイベントを作成し、親イベントハンドラーの後にイベントをモデル化するリレーイベントマッピングを作成します。ターゲットの親イベントハンドラーを選択して、その後のペイロードフィールドをモデル化します。
  - 処理済みイベント。処理済みイベントとは、他のユーザーが公開して使用できるイベントのことです。処理済みイベントを作成すると、*Page event mappings* で他のユーザーも使用できるようになります。手動で作成するペイロードフィールドを設定したり、モーダルダイアログのオープンやクローズなどの、処理済みイベントのテンプレートを選択したりすることもできます。
- データリソースイベントは、データリソースをマッピングして、データがフェッチされるタイミングについての情報を通知します。
- ページまたはコンポーネントのイベントは、イベントが 1 つ以上のイベントハンドラーにマッピングされるまで何も実行しません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



UI ビルダーのイベントマッピング

アクションをボタンのクリックやフィールドの入力などのイベントにマッピングします。イベントマッピングとは、イベントのペイロードまたはコンテキスト値を、そのイベントを操作するオブジェクトまたはハンドラーにマッピングするプロセスのことです。

イベントマッピングの詳細については、「マップイベントの定義」を参照してください。

UI ビルダーのイベントハンドラー

イベントハンドラーは、イベントの発生時に実行されるアクションです。イベントハンドラーをイベントにマッピングすることで、イベントの発生時に実行されるアクションを指定します。イベントハンドラーを使用して、UI ビルダー ページまたはページ上のコンポーネントのアクションを構成します。例：

- データの可視化をクリックすると、その可視化で表されるレコードのリストが開きます
- リストのデータを正常にフェッチすると、データフェッチが成功したことを示すアラートが開きます
- ラジオボタンを選択すると、ページ上のリストのフィルターが調整されます
- ページをロードすると、続行する前に Cookie の受け入れを確認するモーダルが開きます

UI ビルダー ページまたはコンポーネントにイベントハンドラーを追加する際に、さまざまなタイプのイベントハンドラーを選択できます。たとえば、ボタンコンポーネントには次のタイプのイベントハンドラーを含めることができます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 継承されたイベントハンドラー。継承されたイベントハンドラーは、作業しているページから公開されます。親 UI ビルダー ページにいる場合は、継承されたイベントハンドラーをアプリシェルから公開することができます。次の表に、使用できるさまざまなタイプの継承されたイベントハンドラーと、それらを使用してできることを一覧表示します。

継承されたイベントハンドラー

イベントハンドラー	説明
ブレッドクラムの URL が変更されました	
宛先にリンク	宛先に移動します。 ○ アプリルート：ホーム画面など、アプリ内の別のページへのリンク。 ○ 外部 URL：Web サイトまたは任意の外部 URL へのリンク。 サンプルスクリプト `return { route: null, /* Page route, e.g. 'record' */ fields: null, /* Required params, e.g. {"table":"incident","sysId":"X"} */ params: null, /* Optional params, e.g. {"selectedIndex" : 1} */ ☒☒redirect: null, /* ??? True/false? */ ☒☒passiveNavigation: null, /* Load in background, e.g. 'false' */ title: null, multiInstField: null, ☒☒targetRoute: null, /* ??? */ ☒☒external: null /* ??? True/false? */ };`
URL にパラメーターを追加	パラメーターを URL にさらに追加します。 サンプルスクリプト `{ “selectedTabIndex” : 0 }`
モーダルダイアログを開くまたは閉じる	モーダルを作成したら、*`Open or close modal dialog`* を使用してモーダルをトリガーします。

- ページレベルのイベントハンドラー。このタイプのイベントハンドラーはすべてのページに共通であり、このハンドラータイプは、ページレベルのアラート通知を追加またはクリアする場合に使用します。次の表に、使用できるさまざまなタイプのページレベルのイベントハンドラーと、それらを使用してできることを一覧表示します。

ページレベルのイベントハンドラー

イベントハンドラー	説明
アラート通知を追加	アラート通知を送信するコードスニペットを追加します。例：

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

イベントハンドラー	説明

	return {
	items: [{"type" : "info", "message" : "Info message", "id" : "optionalID"}] /* Types: info, warning, error */
	};

アラート通知の削除	破棄するアラート通知の ID を呼び出すコードを追加します。たとえば、ボタンをクリックしてページロードアラート通知を削除します。
アラート通知のクリア	破棄するすべてのアラート通知の ID を呼び出すコードを追加します。たとえば、ボタンをクリックしてすべてのアラート通知を削除します。
ロード中ステータスを設定	ロードのオン/オフを切り替えます。たとえば、ロードのオン/オフを切り替えて、ボタンをクリックしたときにページをロードする/しないようにできます。
クライアントステータスパラメーターを更新	クライアントステータスパラメーターを宣言的に設定します。値を指定して設定したクライアントステータスパラメーターがあるとします。*Update client state parameter* イベントハンドラーを構成して、クライアントステータスパラメーターを新しい値で更新できます。たとえば、「**Greeting**」と呼ばれるクライアントステータスパラメーターがあり、初期値として「Hello」が設定されているとします。*Update client state parameter* イベントハンドラーを追加して「**Greeting**」クライアントステータスパラメーターを選択し、「Goodbye」などの新しい値を入力できます。ボタンをクリックすると、ページ上の「**Hello**」が「**Goodbye**」に置き換えられます。
UXF macroponent ビューポートロードを要求	ボタンコンポーネントなどのコンポーネントに追加して、ビューポートを開きます。詳細については、「ビューポートコンポーネントをページに追加する」を参照してください。

- データリソースハンドラー。このタイプのイベントハンドラーは、サーバーへのデータのフェッチまたは書き込みをトリガーします。

  ボタンをクリックして、UI ビルダー ページ上のアプリシェルデータソースデータを更新できます。たとえば、データリソースハンドラーを使用して、次のアクションを実行できます。

  - インシデントレコードの説明にデータをバインドします。
  - インシデントの説明の値を変更します。
  - ボタンコンポーネントをページに追加します。
  - ボタンに「インシデントをリフレッシュ」というラベルを付けます。
  - ボタンの *Look Up Record* イベントハンドラーを追加します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- ページを保存します。
- インシデントレコードの説明が変更された場合は、[リフレッシュ] をクリックしてページの説明を更新します。

- クライアントスクリプト。コンポーネントでイベントがトリガーされたときに実行されるスクリプト。これらのスクリプトは、UI ビルダー の [クライアントスクリプト] セクションで作成します。詳細については、「クライアントスクリプトを定義してコンポーネントにバインドする」を参照してください。

UI ビルダーのコンポーネントへのイベントのバインディング

イベントハンドラーをコンポーネントのイベントにバインドします。コンポーネントを UI ビルダーページに追加したときには、コンポーネントがページでアクションを実行するようには構成されません。たとえば、ボタンコンポーネントは静的であり、レコードの削除など、イベントアクションをバインドするまでは何も実行されません。一部のコンポーネントには、イベントハンドラーをアサインできる複数のイベントがあります。たとえば、リストコンポーネントでは、ナビゲーションハンドラーを `Row clicked` イベントに割り当てることができます。`Data fetch failed` イベントにオープンモーダルをアサインすることもできます。詳細については、「コンポーネントへのイベントのバインド」を参照してください。

UI ビルダーページへのイベントのバインド

ページレベルのイベントをバインドして、ページでイベントハンドラーを実行します。たとえばページレベルのイベントは、ページ通知、ページロード、またはページのプロパティの変更時に使用します。ページレベルのイベントへのイベントハンドラーのアサインは、コンポーネントからのイベントへのハンドラーのアサインに似ています。

イベントマッピングは、次の方法でバインドできます。

- ページイベントマッピング。ページのアラート通知を追加、削除、またはクリアします。
- バリアントイベントマッピング。ページバリアントのアラート通知を追加、削除、またはクリアします。
- ディスパッチされるイベント。ページにディスパッチされるイベントを作成し、親イベントハンドラーの後にイベントをモデル化するリレーイベントマッピングを作成します。ターゲットの親イベントハンドラーを選択して、その後のペイロードフィールドをモデル化します。
- 処理済みイベント。他のユーザーが公開して使用できるイベントである処理済みイベントを追加します。

詳細については、「ページへのイベントのバインド」を参照してください。

UI ビルダーのデータリソースへのイベントのバインディング

UI ビルダー ページ上の個々のデータリソースにイベントハンドラーをバインドします。たとえば、データリソースが新しいデータを正常にフェッチすると、ナビゲーションなどのイベントハンドラーが実行され、ユーザーはフロー内の次のステップに移動します。データリソースがテーブルにレコードを正常に追加すると、モーダル表示イベントハンドラーを使用する成功モーダルが表示されます。詳細については、「データリソースへのイベントのバインド」を参照してください。

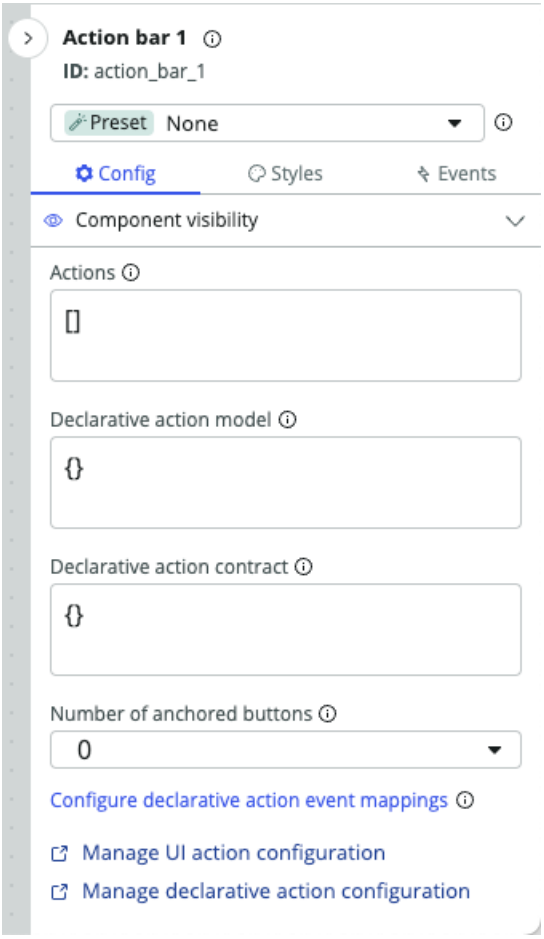
UI ビルダーの宣言アクションへのイベントのバインディング

データ要素をバインドして、イベントアクションを ServiceNow AI Platform® の [アクション & コンポーネント] の宣言アクション定義に追加します。たとえば、データ要素をバインドして、テーブルでの作業を実行するイベントアクションを追加できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

宣言アクションがある UI ビルダー ページにコンポーネントを追加する場合は、それを処理済みイベントにバインドする必要があります。処理済みイベントは、ユーザーがコンポーネントを選択したときに実行されるアクションを作成します。[宣言アクションイベントマッピングの設定] を選択し、新しいイベントハンドラーを追加して、ページでの宣言アクションの動作を定義します。



詳細については、「宣言アクションへのイベントのバインド」を参照してください。

マップイベントの定義

UI ビルダー のイベントマッピングとは、イベントのペイロードまたはコンテキスト値を、そのイベントを操作するオブジェクトまたはハンドラーにマッピングするプロセスのことです。4 つのイベントタイプは、コンポーネント、ページ、データリソース、および宣言アクションです。

イベントマッピングは UI ビルダー の重要なプロセスです。コンポーネントを使用してページをビルドする場合は、ユーザー向けのアクションを実行するためのコンポーネントが必要です。たとえば、ボタンコンポーネントをページに追加する場合は、ボタンクリックイベントをイベントハンドラーにマッピングする必要があります。このイベントハンドラーは、ユーザーが選択したときにボタンクリックアクションを実行します。たとえば、フォームなどのデータリソースを追加した際に、フォームが正常にロードされたときにイベントハンドラーでユーザーに通知するなどです。

イベントタイプ

利用可能なイベントタイプは、コンポーネントに基づいています。たとえば、宣言アクションイベントは、アクションバーやリストコンポーネントなどの特定のコンポーネントで使用できます。

ページで実行するアクションに基づいて、イベントのタイプを選択します。たとえば、Web ページをロードするボタンなど、アクションをコンポーネントにバインドする場合は、コンポーネントイベントを使用します。ページにアラート通知を追加するなど、ページ全体にイベントを適用する場合

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

は、ページイベントを使用します。次の表では、UI ビルダー で利用可能な各イベントタイプについて説明し、イベントの使用方法の例を示します。

イベントタイプと説明

イベントタイプ	説明
コンポーネントイベント	コンポーネントをセットアップするアクション。そのコンポーネントアクションを構成するイベントハンドラーを設定します。たとえば、Web ページへの移動など、ボタンのアクションを適用するためのイベントハンドラーを追加します。コンポーネントへのイベントのバインドの詳細については、「コンポーネントへのイベントのバインド」を参照してください。
ページイベント	ページ全体に対してアクションを実行するページイベント。次のページイベントを構成できます。 • ページイベントマッピング。 ◦ これらのイベントマッピングは、[sys_ux_macroponent] テーブルにあるページ定義レコードに保存されます。 ◦ これらのイベントマッピングのソースイベントは、ページ準備完了とページプロパティです。これらはページに対して定義されます。 ◦ これらのイベントマッピングに使用可能なハンドラーは次のとおりです。 ▪ ユーザーセッションイベント ▪ ページレベルイベント ▪ UXR アプリシェルデータソース ▪ ページで定義されているクライアントスクリプト ▪ ローカルおよび継承されたデータリソースからの操作 • バリアントイベントマッピング。 ◦ これらのイベントマッピングは、[sys_ux_screen] テーブルにあるバリアントレコードに保存されます。 ◦ これらのイベントマッピングのソースイベントは、ページに対して定義されたディスパッチイベントです。 ◦ これらのイベントマッピングに使用できるハンドラーは、キャンバスレベルのイベント、UXR アプリシェルデータソース、および継承されたデータリソースからの操作です。 ◦ バリアントイベントマッピングは、ページ上のコンポーネントからディスパッチされ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

イベントタイプと説明 (続く)

イベントタイプ	説明
	るイベントをユーザーセッションイベントハンドラーにリレーできるように、リレーとして使用されます。 ○ コンポーネントのディスパッチされたイベントをユーザーセッションハンドラーにマッピングすると、ページの保存時にマッピングが自動的に作成されます。たとえば、[クリックしたボタン] イベントをキャンバスレベルの [宛先にリンク] イベントにマッピングすると、そのイベントによって、ページの保存時に、ディスパッチされたリレーイベントとバリアントイベントのマッピングが作成されます。 • ディスパッチされるイベント。 ○ これらのイベントは [sys_ux_event] テーブルに保存されます。ページ定義レコードには、[sys_ux_event] レコードへの参照が含まれています。 ○ これらのイベントは、バリアントイベントマッピングのソースイベントとして機能します。 ○ **[+** 追加] を選択して、ページの新しいディスパッチイベントを作成できます。新しい sys_ux_event のイベント名とペイロードフィールドを自動入力するようにイベントラベルを構成します。 ○ これらのイベントは、リレーイベントマッピングを作成するために使用されます。[ターゲットの親イベントハンドラー] を選択して、選択したイベント後のペイロードフィールドをモデル化します。ディスパッチされたイベントのペイロードフィールドを手動で作成することもできます。 • 処理済みイベント。 ○ これらのイベントは [sys_ux_event] テーブルに保存されます。ページ定義レコードには、[sys_ux_event] レコードへの参照が含まれています。 ○ これらのイベントは、ページイベントマッピングのソースイベントとして機能します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

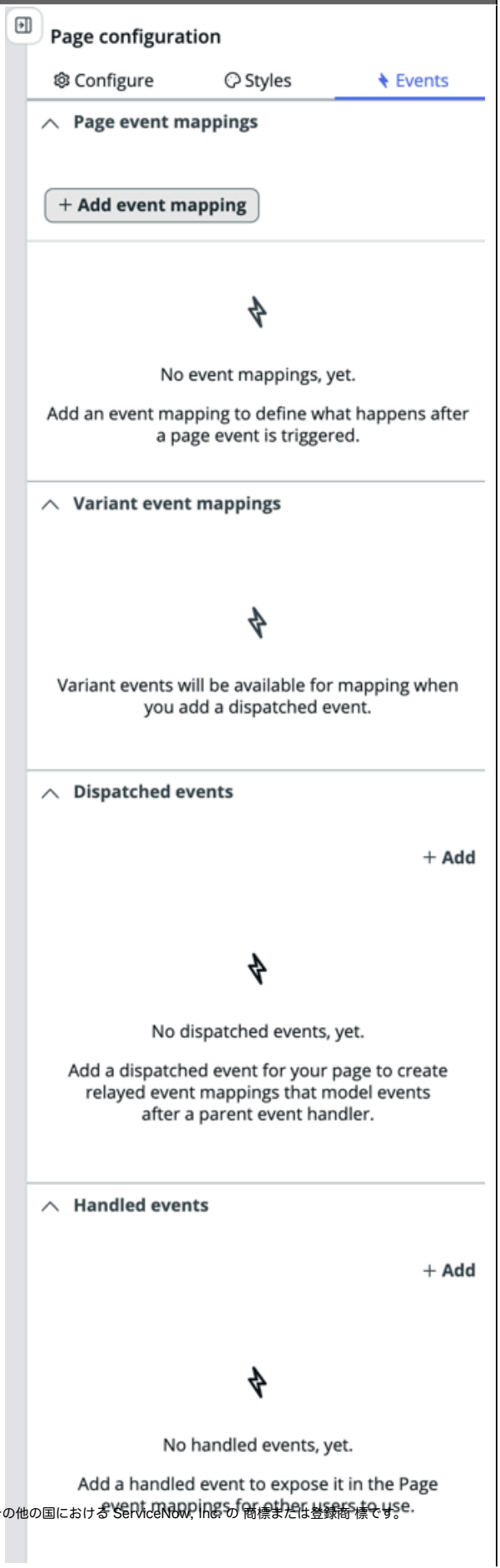
イベントタイプと説明 (続く)

イベントタイプ	説明
	○ **[+** 追加] を選択して、ページの新しいディスパッチイベントを作成できます。処理されるイベントが、親イベントハンドラーを基にモデル化されることはありません。処理済みイベントのペイロードフィールドは手動で作成されます。既存のハンドラーのペイロードフィールドをテンプレートとして使用するには、テンプレートを選択し、必要に応じてフィールドを編集します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

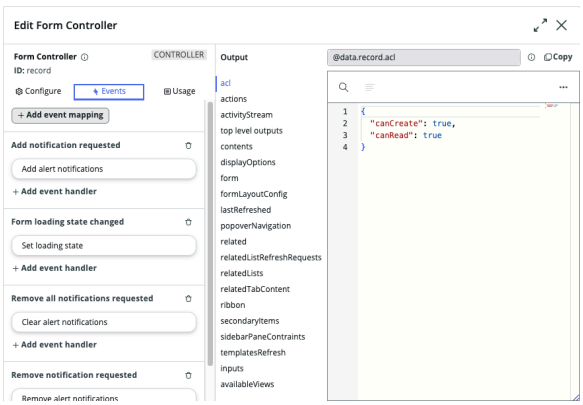
イベントタイプと説明 (続く)

イベントタイプ	説明
	

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

イベントタイプと説明 (続く)

イベントタイプ	説明
	ページへのイベントのバインディングの詳細については、「ページへのイベントのバインド」を参照してください。
データリソースイベント	データがフェッチされたときに通知を出すデータリソースにマッピングされるイベント。 • データフェッチが開始されました。データリソースイベントがトリガーされると、イベントハンドラーがデータフェッチプロセスを実行します。 • データのフェッチに成功しました。データリソースイベントがトリガーされると、イベントハンドラーはデータフェッチが正常に完了した場合のユーザーへの通知プロセスを実行します。 • データのフェッチに失敗しました。データリソースイベントがトリガーされると、イベントハンドラーはデータフェッチが失敗した場合のユーザーへの通知プロセスを実行します。  データリソースへのイベントのバインディングの詳細については、「データリソースへのイベントのバインド」を参照してください。
宣言アクションイベント	データ要素を UI ビルダー 内でバインドして、イベントアクションを宣言アクションに追加します。 ServiceNow AI Platform® 宣言アクションアサインテーブルで、宣言アクションイベントマッピングを構成します。例については、次に移動します: フィルターナビゲーター > **sys_declarative_action_assignment.list** をクリックし、既存の宣言アクションを検索して開きます。 UI ビルダー で、イベントを宣言アクションにバインドします。宣言アクションイベントの使用

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

イベントタイプと説明 (続く)

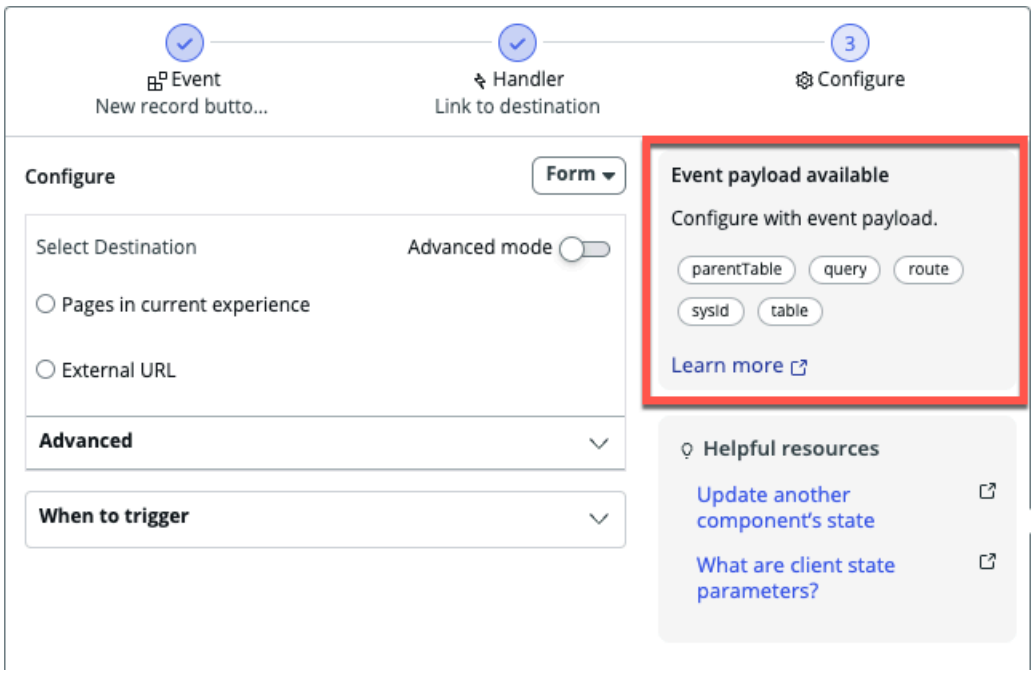
イベントタイプ	説明
	方法の詳細については、「宣言アクションへのイベントのバインド」を参照してください。

のイベントペイロード UI ビルダー

イベントペイロードを使用して、データをアクションにリンクします。

イベントペイロードは、選択したイベントがトリガーされたときにコンポーネントによって送信されるデータです。イベントによって送信されるデータには、イベントのタイプ、タイムスタンプ、ユーザーアクション、または SysID などのリソースデータを含めることができます。UI ビルダー でイベントペイロードを使用して、ページ上のコンポーネント間で情報を共有できます。

このペイロードデータは、結果のインタラクションを出力されたデータにリンクできるように、イベントハンドラーを構成するときに使用できます。たとえば、SysID をページ上の他のコンポーネントに渡して、指定したレコードに関連する情報を表示できます。



各コンポーネントとイベントには、ペイロードオプションの一意のセットがあります。イベントペイロードが各コンポーネントに対して適切に定義されていない可能性があります。その場合は、console.log(event.payload) などのペイロードをコンソールがログに記録するようにクライアントスクリプトを定義します。

ペイロードを使用してイベントを作成し、コンポーネント間で情報を共有する

UI ビルダー でイベントペイロードを使用して、ページ上のコンポーネント間で情報を共有します。

始める前に
必要なロール：ui_builder_admin

手順

1. 移動先 すべて > **Now Experience** フレームワーク > **UI** ビルダー.
2. 作業するエクスペリエンスを開くか、選択してエクスペリエンスを作成します 作成 > エクスペリエンス.

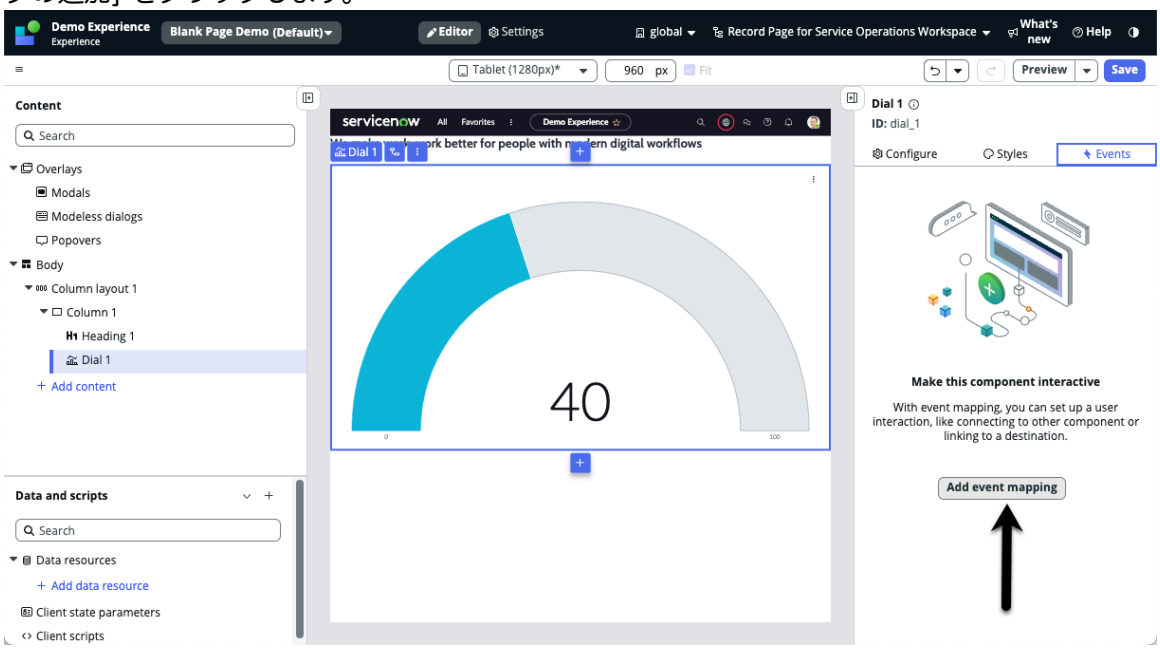
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

詳細については、「UI ビルダー でユーザーがアプリケーションをどのように操作するかを構成する」を参照してください。

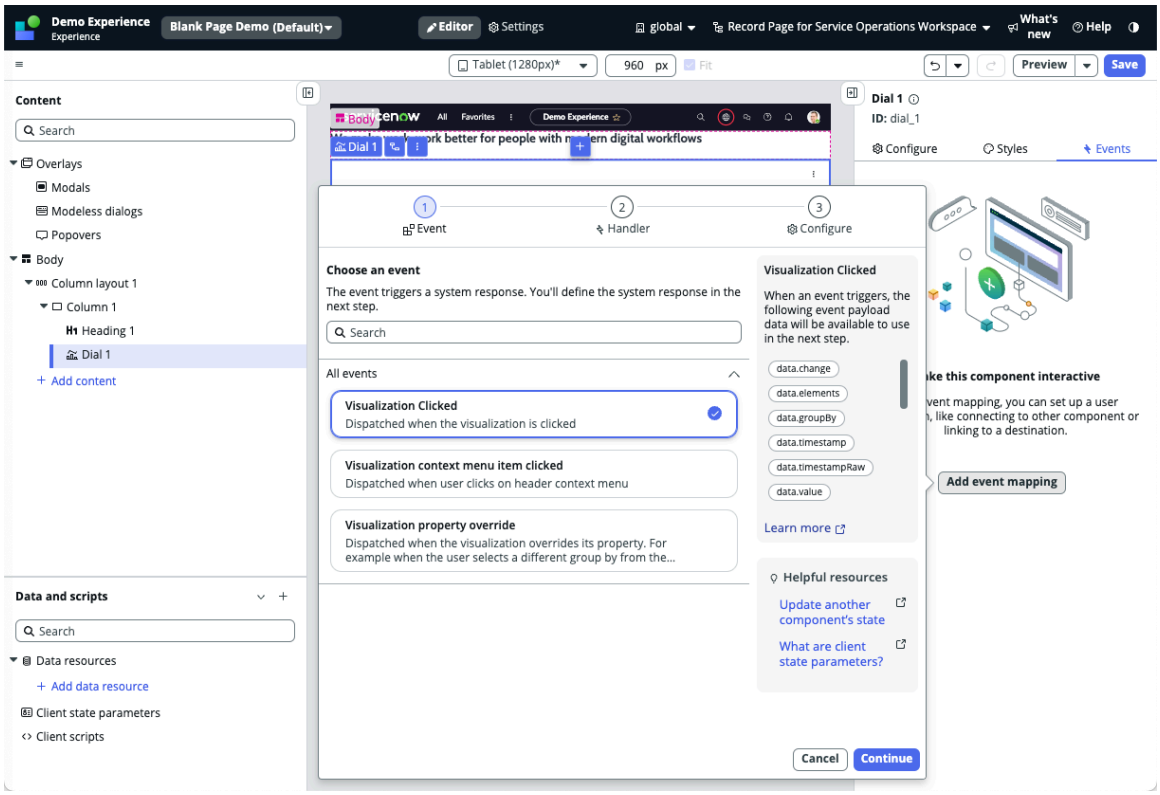
3. ページを作成するか、開きます。
   UI ビルダー でページを作成する方法の詳細については、「UI ビルダーでのページの作成」を参照してください。
4. データビジュアル化コンポーネントなど、イベントを持つコンポーネントを追加します。
   コンポーネントのページへの追加に関する詳細については、「コンポーネントの追加と構成」を参照してください。
5. コンポーネントにイベントハンドラーを追加するには、[イベント] タブを選択します。
   コンポーネントにイベントハンドラーを追加する方法の詳細については、「「Manage actions in UI Builder pages (UI ビルダーページでのアクションの管理)」」を参照してください。

   a. コンポーネントのイベントハンドラーを設定するプロセスを開始するには、[イベントマッピングの追加] をクリックします。



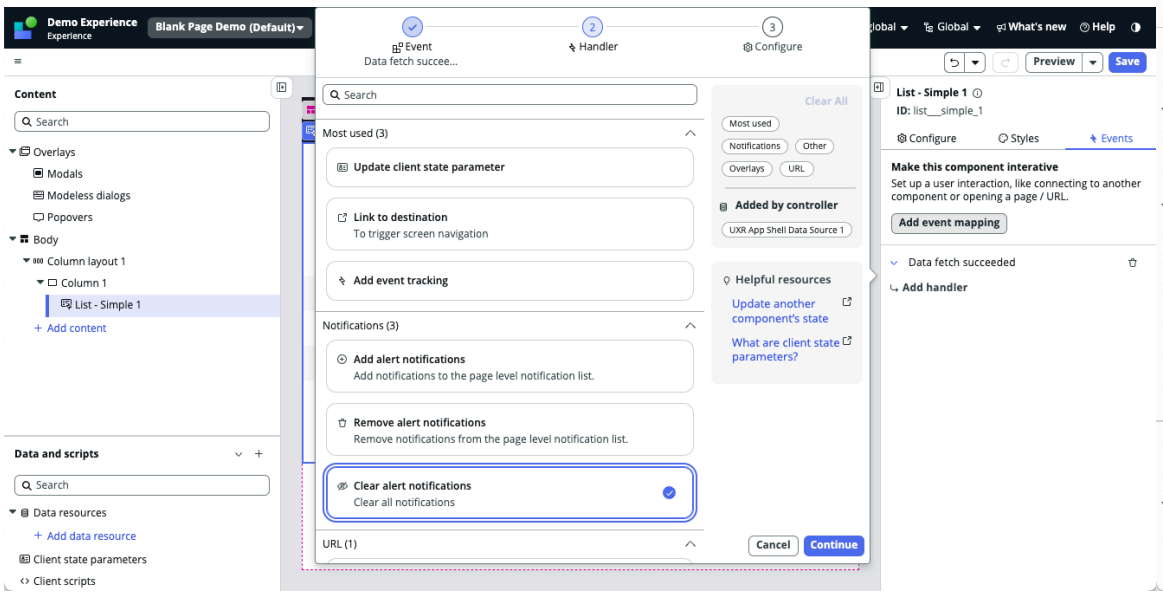
   b. 構成するイベントマッピングをリストから選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



c. **[Continue** (続行)] を選択します。

d. [イベントハンドラープレビュー] セクションで、コンポーネントにバインドするイベントハンドラーを選択します。



e. **[Continue** (続行)] を選択します。

f. [クライアントステータスパラメーター名] ドロップダウンから [新しいクライアントステータスを作成] パラメーターを選択します。

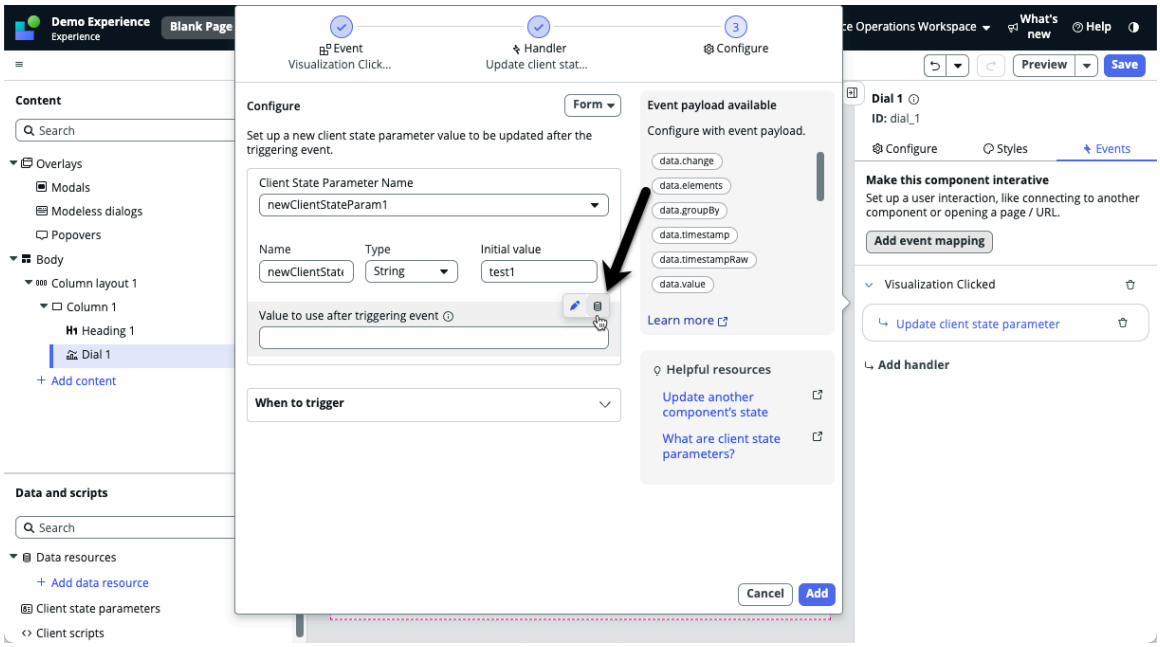
g. [名前] フィールドに名前を入力します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

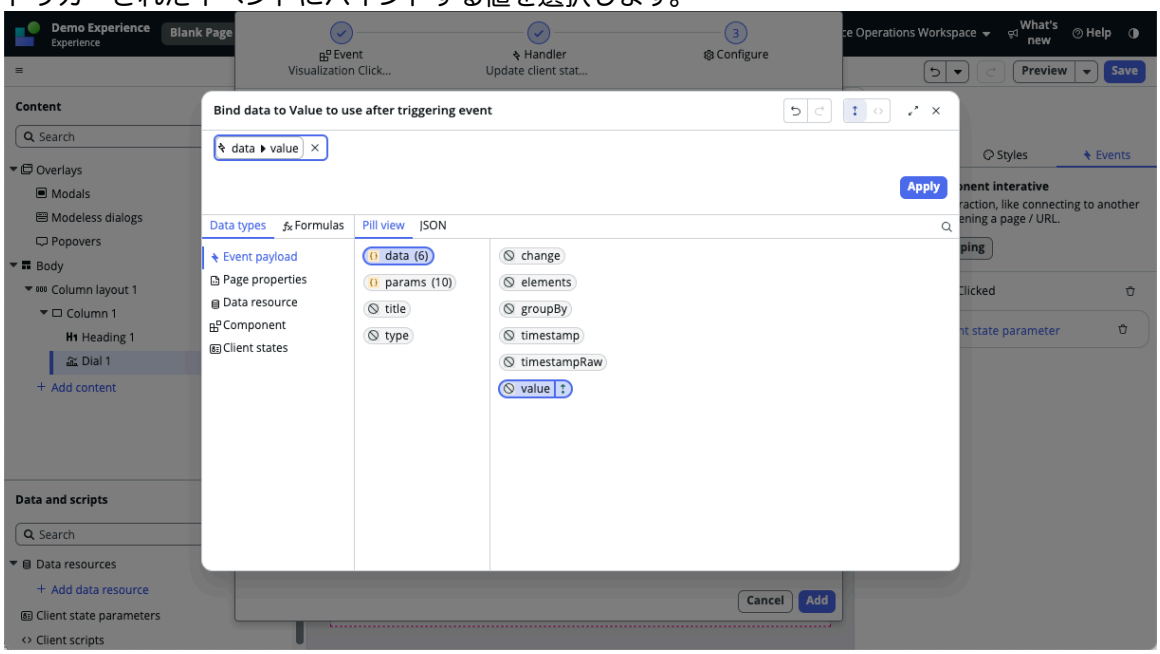
h. [タイプ] ドロップダウンからクライアントステータスパラメーターのタイプを選択します。

i. [初期値] フィールドに値を入力します。

j. [イベントのトリガー後に使用する値 **(Value to use after triggering event**)] フィールドで、データをバインドアイコンを選択します。



k. トリガーされたイベントにバインドする値を選択します。

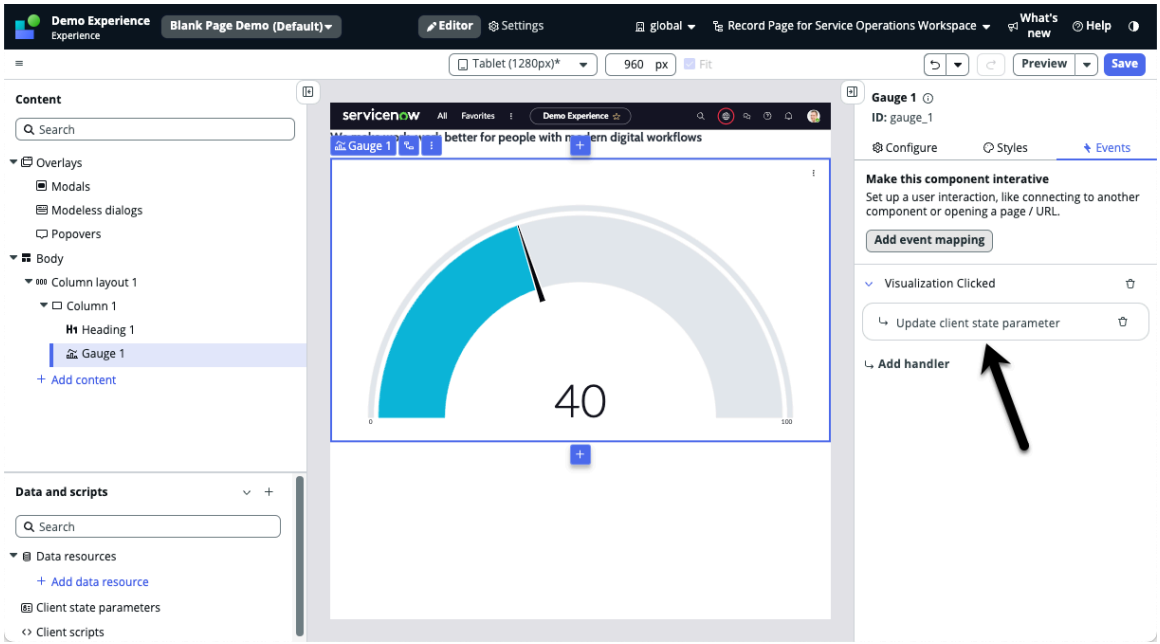


l. [Apply (適用)] を選択します。

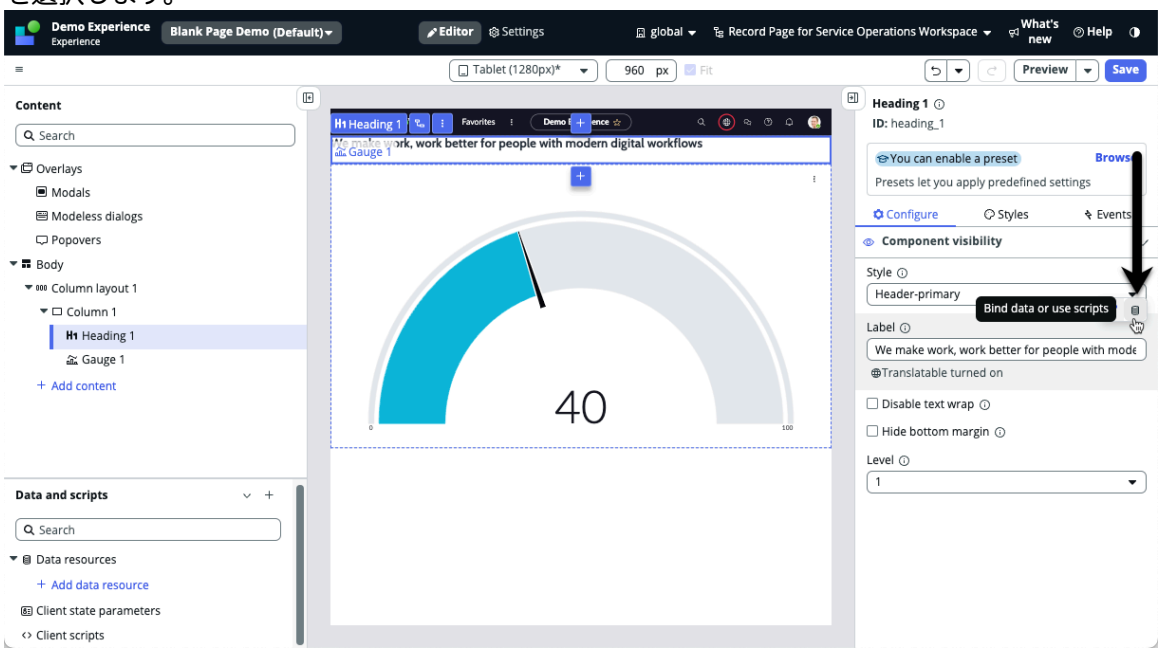
m. [Add (追加)] を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

データハンドラーは、[イベント] タブのイベントマッピングの下に表示されます。

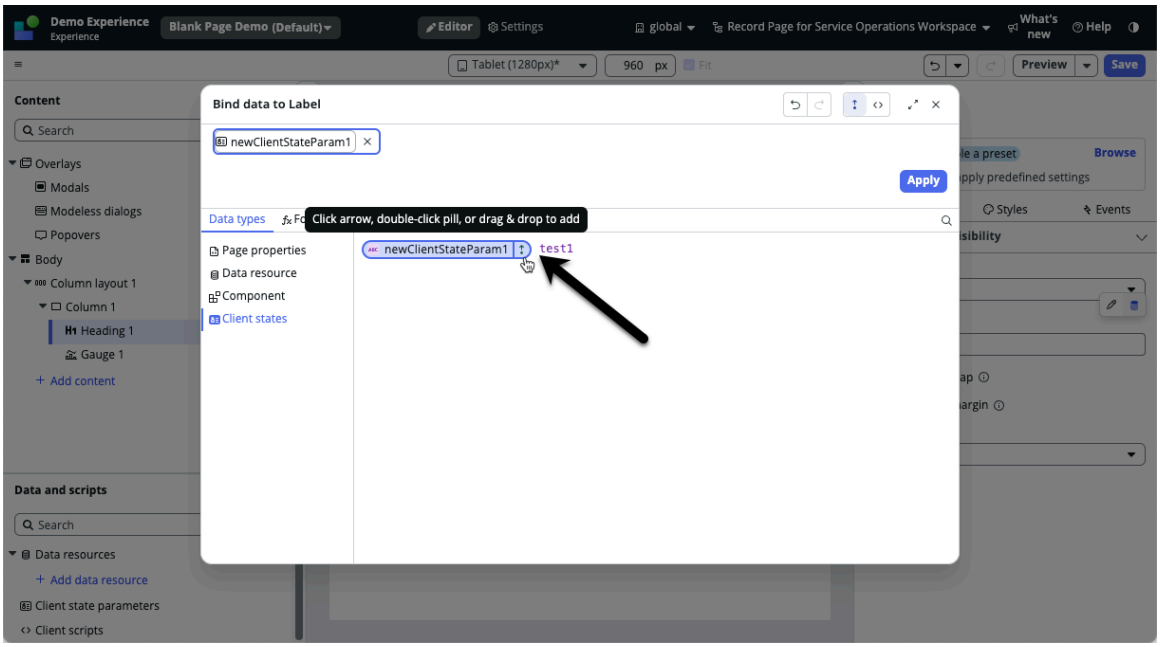


6. クライアントステータスパラメーターをバインドするコンポーネントを選択します。この例では、見出しコンポーネントを使用します。
7. クライアントステータスパラメーターのバインド先のフィールドで、[データをバインド] アイコンを選択します。



8. [クライアントステータス] を選択します。
9. バインドするクライアントステータスパラメーターの横にある矢印を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



10. **[Apply** (適用)] を選択します。
11. **[Save** (保存)] を選択します。
12. [プレビュー] を選択して、構成したイベントであることをテストします。

イベントハンドラーを手動で構成する

UI ビルダー 内のページ、コンポーネント、データリソース、または宣言アクションにイベントハンドラーを追加して、ユーザーがアクションをトリガーできるようにします。

始める前に

必要なロール：ui_builder_admin

このタスクについて

イベントハンドラーを使用すると、ページ上にアクション、コンポーネント、データリソース、または宣言アクションを構成できます。たとえば、イベントをページにマップして、ページが正常にロードされたときにアラート通知を追加したり、ボタンコンポーネントのイベントハンドラーを追加して、ユーザーがクリックしたときにアクションを実行したりできます。イベントハンドラーは、レコードを削除してよいかをユーザーに確認する、ページ上のモーダルにもなります。詳細については、「「Manage actions in UI Builder pages (UI ビルダーページでのアクションの管理)」」を参照してください。

> **注:**
> UI ビルダーで Now Assist を使用して、イベントハンドラーを構成することもできます。詳細については、次を参照してください。 Now Assist でイベントハンドラーを構成する

手順

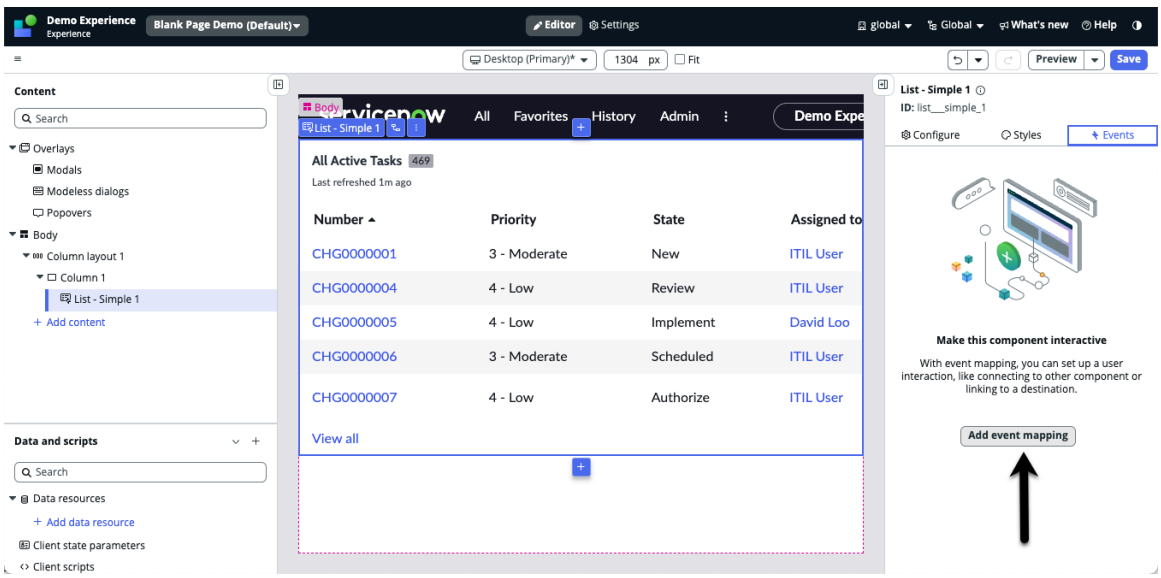
1. 移動先 すべて > **Now Experience** フレームワーク > **UI** ビルダー.
2. 作業するエクスペリエンスを開くか、選択してエクスペリエンスを作成します 作成 > エクスペリエンス.
   詳細については、「UI ビルダー でユーザーがアプリケーションをどのように操作するかを構成する」を参照してください。
3. ページを開くかまたは作成します。
   UI ビルダー でページを作成する方法の詳細については、「UI ビルダーでのページの作成」を参照してください。

自動翻訳

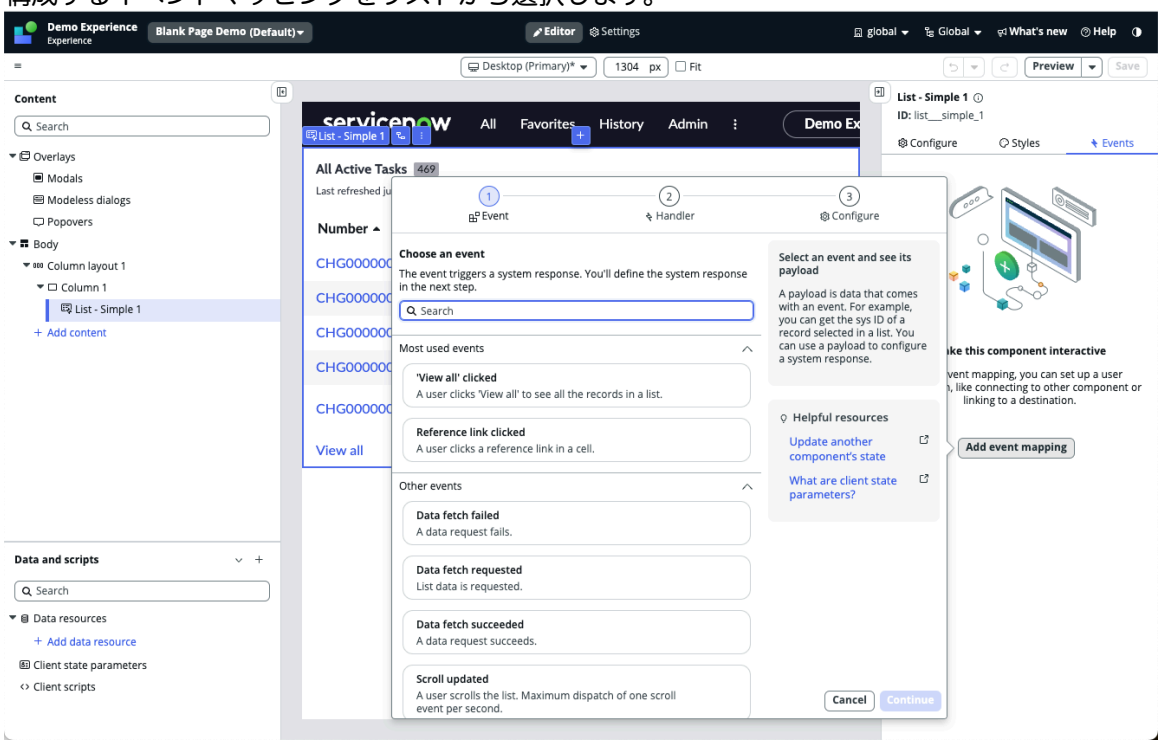
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

4. ボタンなどのコンポーネントをページに追加します。
   コンポーネントのページへの追加に関する詳細については、「コンポーネントの追加と構成」を参照してください。
5. コンポーネントのイベントにイベントハンドラーを追加するには、[構成] パネルに移動して、[イベント] を選択します。
   イベントハンドラーを使用すると、イベントをコンポーネントに割り当てることができます。たとえば、ページにボタンコンポーネントを追加する場合、そのクリック時にアクションが実行されるようにする必要があります。
6. コンポーネントにイベントを割り当てるプロセスを開始するには、[イベントマッピングの追加] を選択します。

   ボタンコンポーネントなどの一部のコンポーネントには、イベントマッピングが 1 つしかありません。他のコンポーネントは多くのイベントを持つことができます。

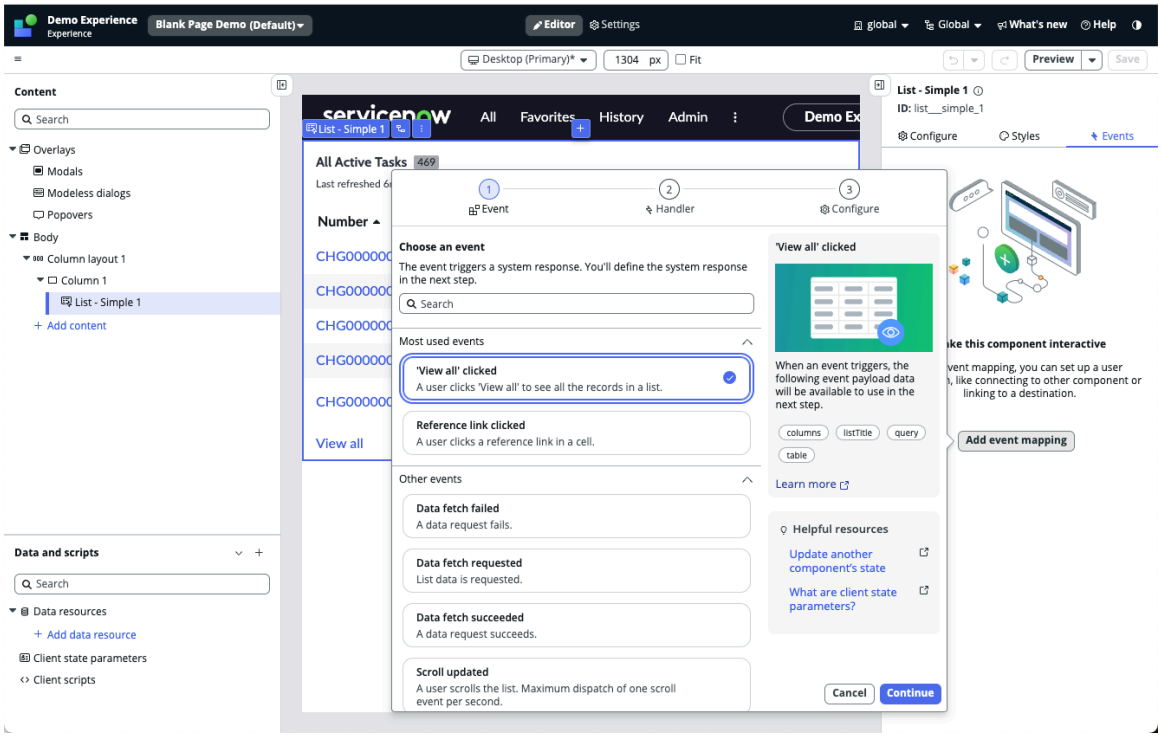


7. 構成するイベントマッピングをリストから選択します。



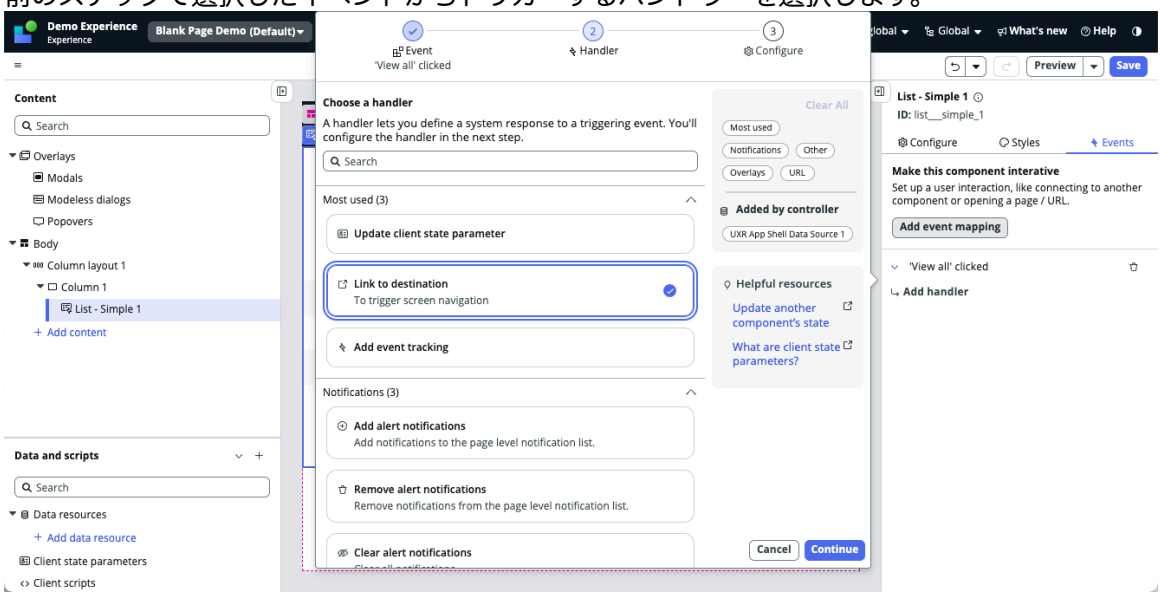
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

8. [イベントハンドラープレビュー] 画面から、コンポーネントにアサインするアクションを選択します。



9. **[Continue** (続行)] を選択します。

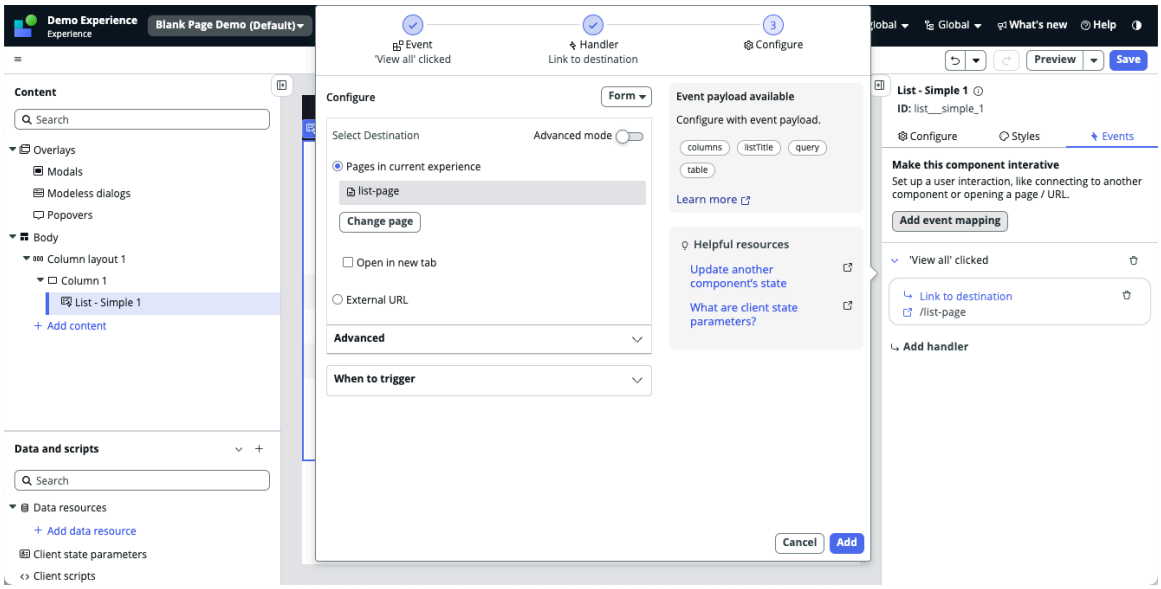
10. 前のステップで選択したイベントからトリガーするハンドラーを選択します。



11. **[Continue** (続行)] を選択します。

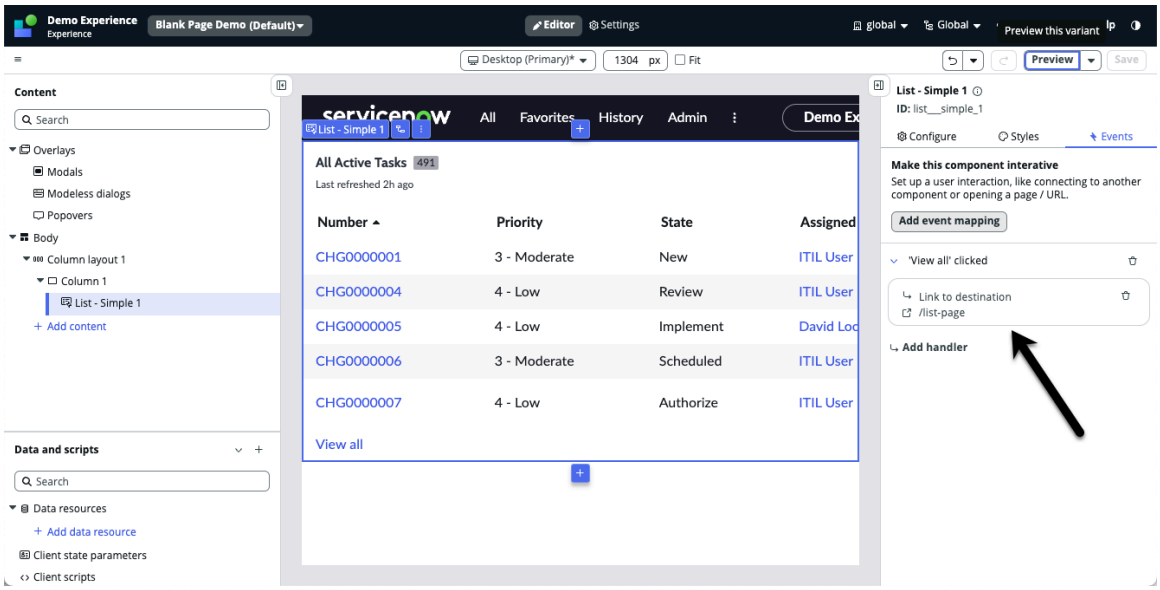
12. イベントのペイロードを構成します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



13. **[Add** (追加)] を選択します。
14. **[Save** (保存)] を選択します。
15. ヘッダーの [プレビュー] を選択してイベントをテストし、アクションをトリガーします。

タスクの結果
構成されたイベントハンドラーは、構成パネルの [イベント] タブに表示されます。



Now Assist でイベントハンドラーを構成する

UI ビルダーで Now Assist を使用して、イベントハンドラーを構成します。現時点では、UI ビルダーの Now Assist を使用して、宛先へのリンクの構成、モーダルのオープンまたはクローズ、要求されたロードイベントハンドラーの表示を行うことができます。

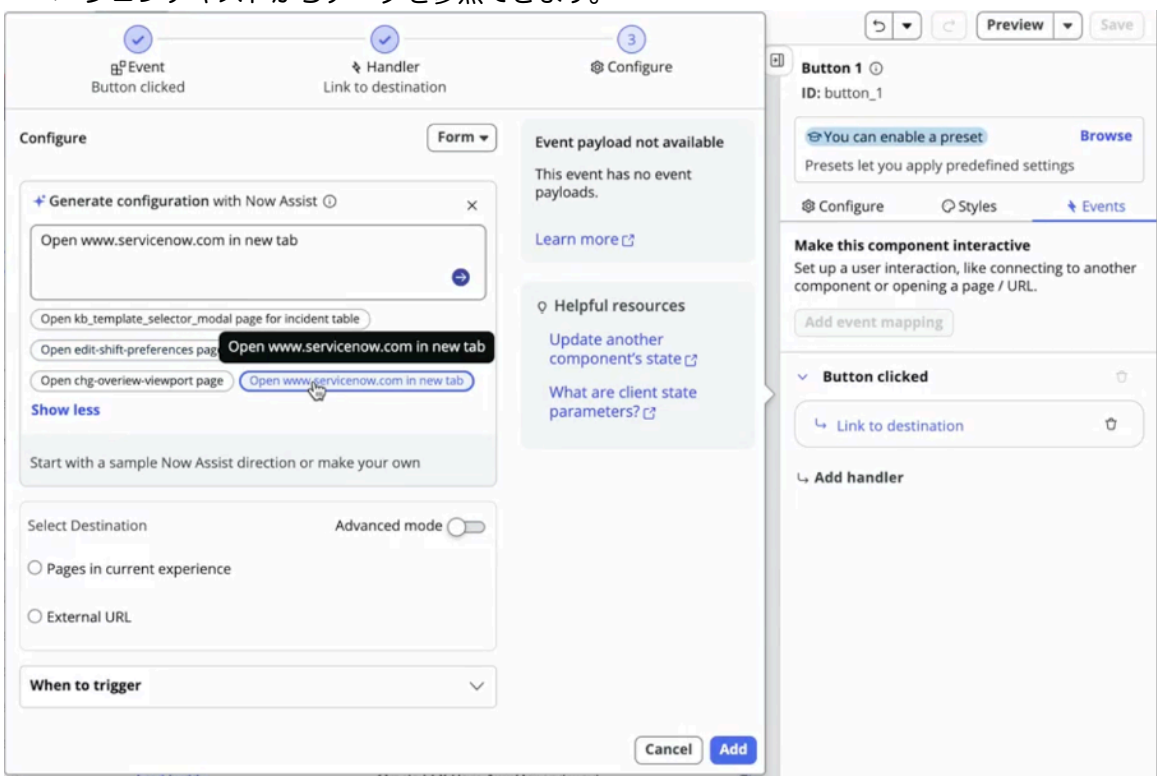
始める前に
必要なロール：ui_builder_admin

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > **Now Experience** フレームワーク > **UI** ビルダー.
2. 作業するエクスペリエンスを開くか、選択してエクスペリエンスを作成します 作成 > エクスペリエンス.
   詳細については、「UI ビルダー でユーザーがアプリケーションをどのように操作するかを構成する」を参照してください。
3. ページを開くかまたは作成します。
   UI ビルダー でページを作成する方法の詳細については、「UI ビルダーでのページの作成」を参照してください。
4. ボタンなどのコンポーネントをページに追加します。
   コンポーネントのページへの追加に関する詳細については、「コンポーネントの追加と構成」を参照してください。
5. コンポーネントのイベントにイベントハンドラーを追加するには、[構成] パネルに移動して、[イベント] を選択します。
   イベントハンドラーを使用すると、イベントをコンポーネントに割り当てることができます。たとえば、ページにボタンコンポーネントを追加する場合、そのクリック時にアクションが実行されるようにする必要があります。
6. イベント ハンドラーで、 [宛先にリンク] を選択し、 [続行] を選択します。
7. [構成] セクションで、[開始] を選択します。
8. [**Now Assist** で構成を生成] フィールドで、次の操作を行います。
   - 実行するアクションを入力するか (たとえば、www.servicenow.com を開く)、動的プロンプトからオプションを選択します。
   - ページコンテキストからデータを参照できます。



9. 右矢印アイコンを選択します。
   構成が設定されます。
10. 設定を却下することも、受け入れて編集することもできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

11. 変更を確認したら、[追加] を選択します。
12. ヘッダーの [プレビュー] を選択してイベントをテストし、アクションをトリガーします。

タスクの結果
イベントハンドラー構成が更新されます。

イベントをバインドしてアクションを追加

イベントを作成したら、コンポーネント、ページ、データリソース、および宣言アクションにイベントをバインドできます。

コンポーネントへのイベントのバインド

UI ビルダー 内のデータ要素をバインドして、イベントアクションをコンポーネントに追加できるようにします。

始める前に
必要なロール：ui_builder_admin

このタスクについて
各コンポーネントには、バインド先となる特定のイベントがあります。たとえば、ボタンコンポーネントにはボタンクリックイベントしかありませんが、複数のイベントを関連付けることができるコンポーネントもあります。

一部のコンポーネントには、適用されるイベントアクションがありません。見出しコンポーネントはその一例です。多くのコンポーネントでは、データをロードするなどのアクションを実行させるために、イベントをコンポーネントにマッピングする必要があります。

ページのコンポーネント、ページ、およびデータリソースにアクションを追加するために、イベントハンドラーを追加できます。ページに追加するボタンコンポーネントは静的です。イベントアクションをボタンにバインドすると、ボタンを Web ページにリンクできます。

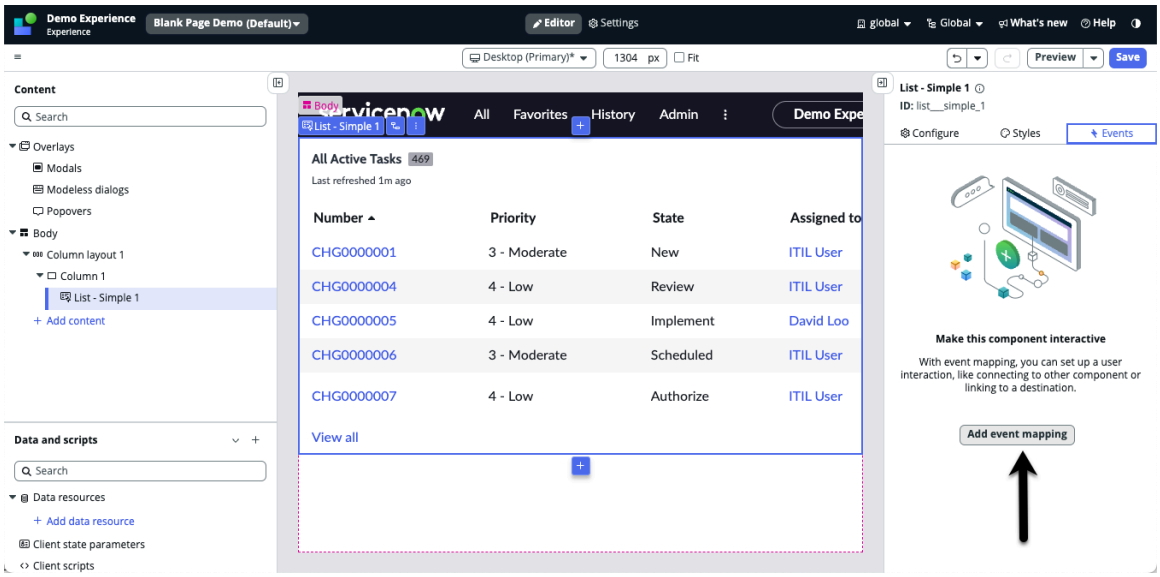
手順

1. 移動先 すべて > **Now Experience** フレームワーク > **UI** ビルダー.
2. 作業するエクスペリエンスを開くか、選択してエクスペリエンスを作成します 作成 > エクスペリエンス.
   詳細については、「UI ビルダー でユーザーがアプリケーションをどのように操作するかを構成する」を参照してください。
3. ページを作成するか、開きます。
   UI ビルダー でページを作成する方法の詳細については、「UI ビルダーでのページの作成」を参照してください。
4. ボタンなど、ページにバインドできるイベントを持つコンポーネントをページに追加します。
   コンポーネントのページへの追加に関する詳細については、「コンポーネントの追加と構成」を参照してください。
5. コンポーネントにイベントハンドラーを追加するには、[イベント] タブを選択します。
   コンポーネントにイベントハンドラーを追加する方法の詳細については、「「Manage actions in UI Builder pages (UI ビルダーページでのアクションの管理)」」を参照してください。

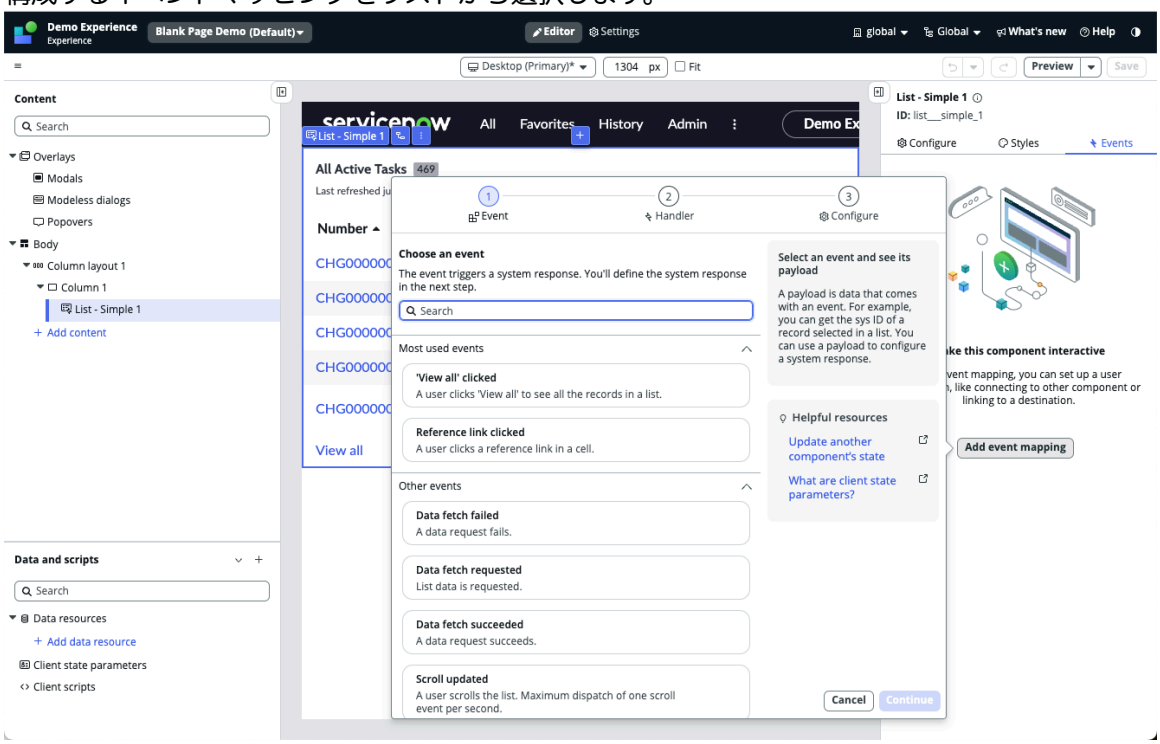
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. コンポーネントのイベントハンドラーを設定するプロセスを開始するには、「 イベント マッピングを追加」をクリックします。



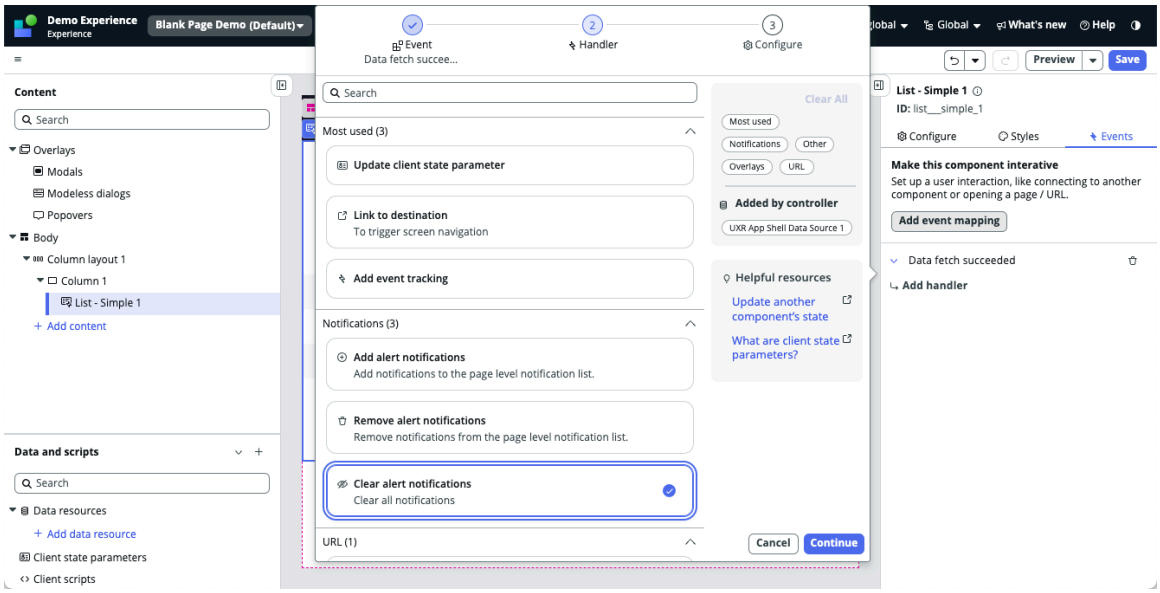
b. 構成するイベントマッピングをリストから選択します。



c. **[Continue** (続行)] を選択します。

d. [イベントハンドラープレビュー] セクションで、コンポーネントにバインドするイベントハンドラーを選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



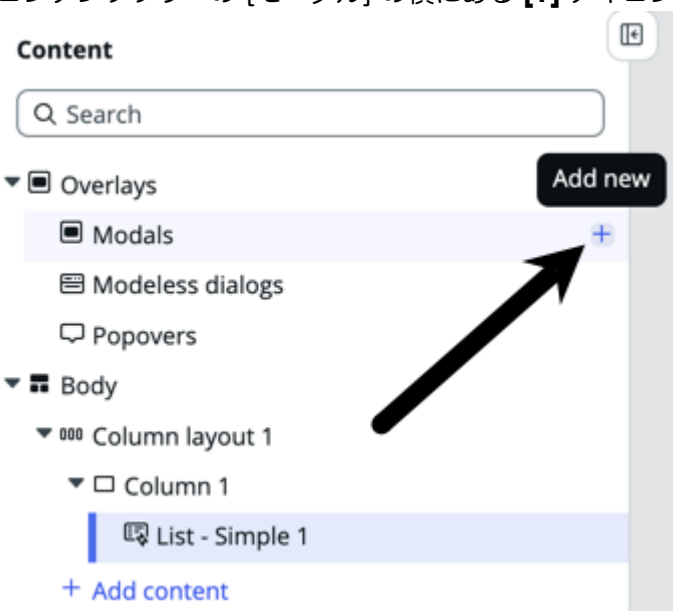
e. **[Continue** (続行)] を選択します。

f. イベントのペイロードを構成します。
各イベントハンドラーは、イベントのアクションに応じて異なる方法で構成します。たとえば、ボタンコンポーネントにイベントハンドラーを追加する場合は、そのボタンアクションが実行する内容を選択できます。

g. **[Add** (追加)] を選択します。

6. オプション: イベントのモーダルをポップアップ表示する場合は、イベントをコンポーネントにバインドする前にモーダルをページに追加します。
モーダルは、コンポーネントをクリックすると表示される確認ポップアップです。たとえば、レコードを削除するボタンコンポーネントを追加する場合は、レコードを削除してよいかユーザーに確認を求めるモーダルを追加します。詳細については、「コンポーネントへのモーダルの追加」を参照してください。

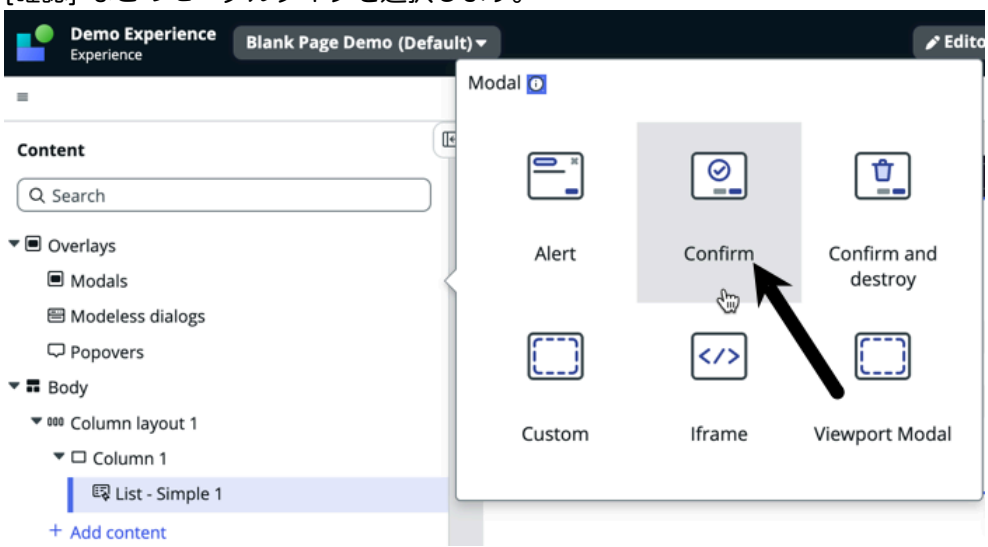
a. コンテンツツリーの [モーダル] の横にある **[+]** アイコンを選択します。



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

b. [確認] などのモーダルタイプを選択します。



c. モーダルを構成します。
モーダルのテキスト、モーダルのボタンの名前、およびモーダル画面のサイズを変更できます。モーダルのアクションも設定できます。モーダルの構成が完了したら、閉じます。コンテンツツリーでは、作成したモーダルがページ構造の本文の上にあることに注意してください。

7. イベントをボタンコンポーネントにバインドします。
イベントをボタンにバインドしてアクションをトリガーします。コンテンツツリーまたはページでハイライト表示するボタンコンポーネントを再度選択します。

a. コンテンツツリーで **[+** コンテンツを追加] を選択します。

b. ツールボックスで [ボタン] コンポーネントを選択します。

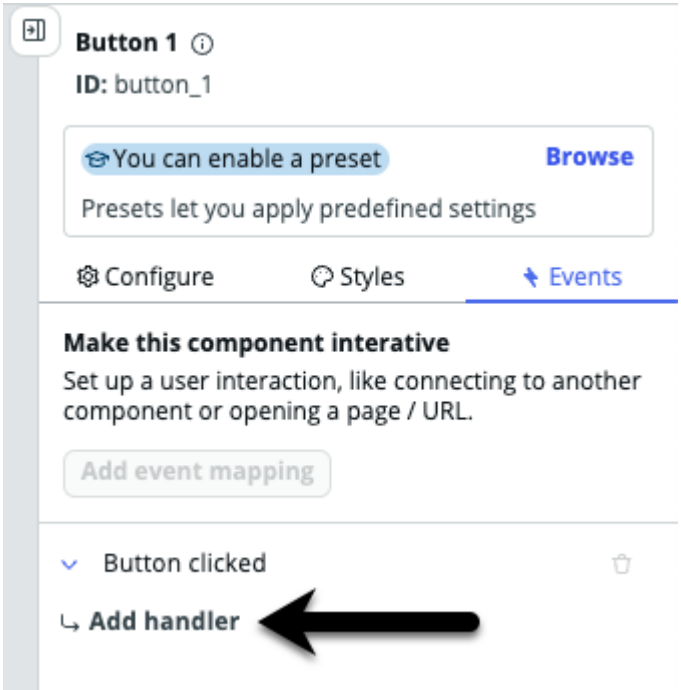
c. プリセットの選択を求められたら、[なし] を選択します。

d. [構成] ペインで、[イベント] をクリックします。

e. [ハンドラーの追加] を選択します。

自動翻訳

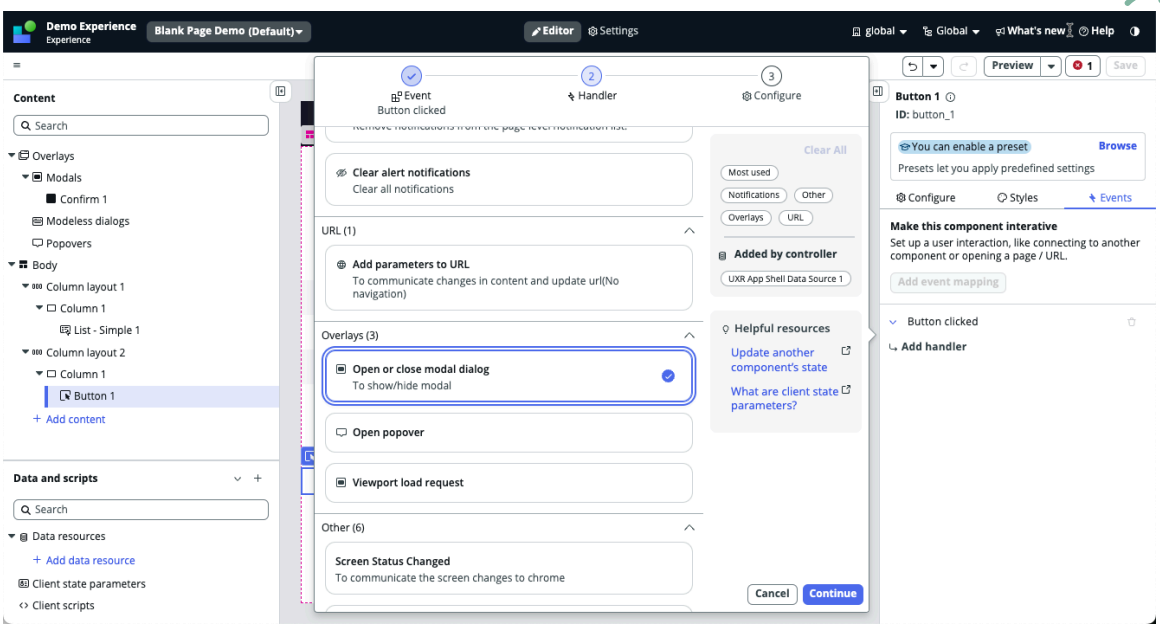
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



ボタンコンポーネントには、ボタンクリックイベントのみが関連付けられています。複数のイベントを持つことができるコンポーネントもあります。

f. ボタンに割り当てるハンドラーを選択します。

たとえば、ボタンコンポーネントのイベントハンドラーを追加するには、別の宛先にリンクしてアラート通知を追加することができます。この例では、[モーダルダイアログを開くまたは閉じる] を選択して、前に作成したモーダルを開くようにボタンを設定できます。このボタンのシナリオでは、前に作成した [確認して破棄] モーダルダイアログイベントハンドラーを選択します。



g. **[Continue** (続行)] を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

h. ドロップダウンからモーダルを選択します。

i. [追加] を選択して、モーダルイベントハンドラーをボタンコンポーネントに追加します。

8. **[Save** (保存)] をクリックします。
9. [プレビュー] を選択してモーダルをテストします。
10. 作成したモーダルをトリガーするには、ページ上のボタンをクリックします。

ページへのイベントのバインド

ページイベントマッピングを使用して UI ビルダー 内でデータ要素をバインドし、イベントアクションをページに追加できるようにします。

始める前に

必要なロール：ui_builder_admin

このタスクについて

次のタイプのイベントを使用して、イベントをページにバインドできます。

- ページイベントマッピング。ページのアラート通知を追加、削除、またはクリアします。
- バリアントイベントマッピング。ページバリアントのアラート通知を追加、削除、またはクリアします。
- ディスパッチされるイベント。ページにディスパッチされるイベントを作成し、親イベントハンドラーの後にイベントをモデル化するリレーイベントマッピングを作成します。ターゲットの親イベントハンドラーを選択して、その後のペイロードフィールドをモデル化します。
- 処理済みイベント。処理済みイベントとは、他のユーザーが公開して使用できるイベントのことです。処理済みイベントを作成すると、*Page event mappings* で他のユーザーも使用できるようになります。手動で作成するペイロードフィールドを設定したり、モーダルダイアログのオープンやクローズなどの、処理済みイベントのテンプレートを選択したりすることもできます。

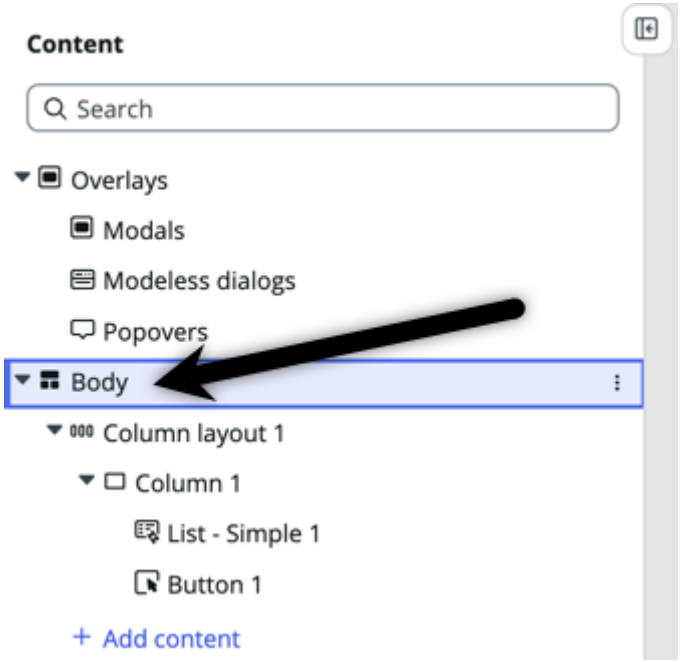
手順

1. 移動先 すべて > **Now Experience** フレームワーク > **UI** ビルダー.
2. 作業するエクスペリエンスを開くか、選択してエクスペリエンスを作成します 作成 > エクスペリエンス.
   詳細については、「UI ビルダー でユーザーがアプリケーションをどのように操作するかを構成する」を参照してください。
3. ページを開くかまたは作成します。
   UI ビルダー でページを作成する方法の詳細については、「UI ビルダーでのページの作成」を参照してください。
4. コンテンツツリーでページ本文をハイライト表示します。

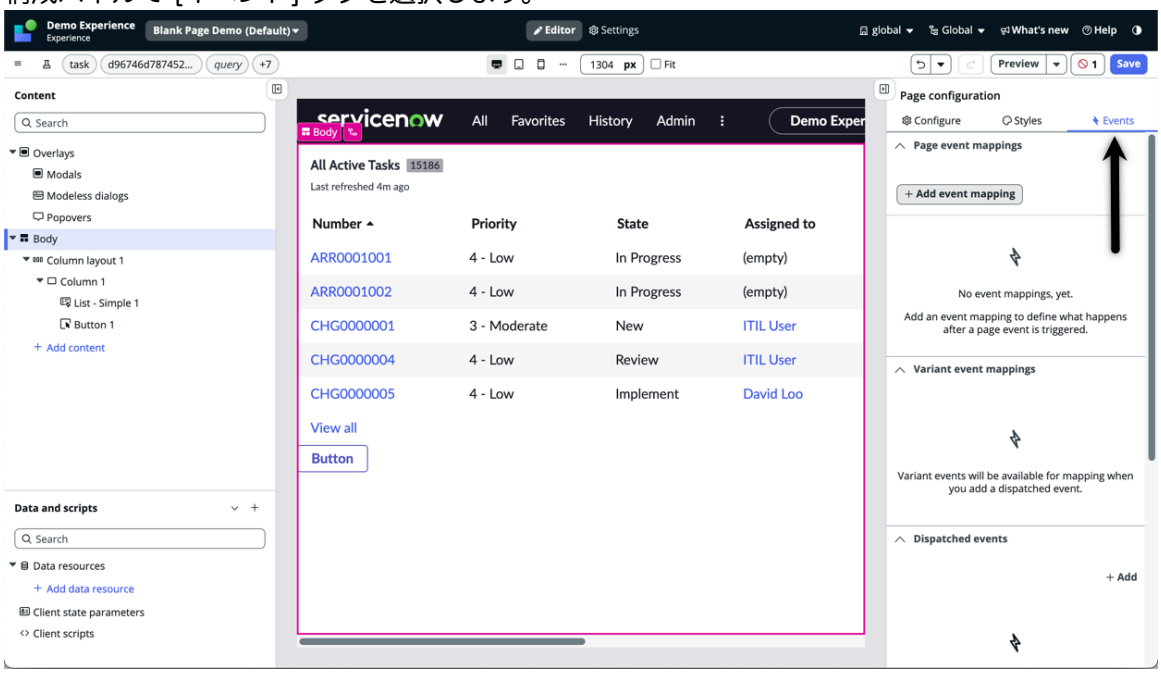
   本文はコンテンツツリーの最上位の行です。ページ全体をハイライト表示すると、ページレベルのイベントを追加できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



5. 構成パネルで [イベント] タブを選択します。



6. 次のいずれかの方法でイベントハンドラーを追加します。

7. **[Save** (保存)] を選択します。

8. ページをプレビューして、設定したデータリソースイベントをテストするには、

を選択します。

データリソースへのイベントのバインド

ページ上の個々のデータリソースに UI ビルダー 内のイベントハンドラーをアサインします。データリソースが新しいデータを正常にフェッチすると、イベントハンドラーが実行され、ユーザーはフロー内の次のステップに移動します。

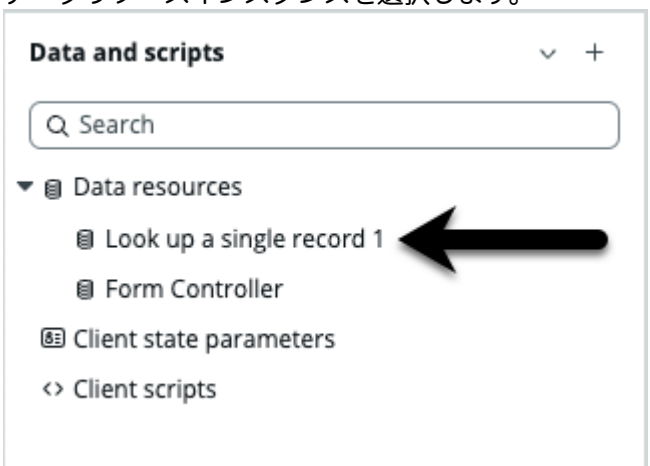
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
必要なロール：ui_builder_admin

このタスクについて
イベントをデータリソースにバインドして、ページでデータ関連アクションを実行します。たとえば、初期時にデータがページにロードされない場合に、再ロードするためのボタンを追加できます。データリソースイベントを設定して、ページのバックグラウンドでデータを再ロードすることもできます。

手順

1. 移動先 すべて > **Now Experience** フレームワーク > **UI** ビルダー.
2. 作業するエクスペリエンスを開くか、選択してエクスペリエンスを作成します 作成 > エクスペリエンス.
   詳細については、「UI ビルダー でユーザーがアプリケーションをどのように操作するかを構成する」を参照してください。
3. ページを作成するか、開きます。
   UI ビルダー でページを作成する方法の詳細については、「UI ビルダーでのページの作成」を参照してください。
4. オプション: ページにコンポーネントがない場合は、ページに追加します。
   詳細については、「コンポーネントの追加と構成」を参照してください。
5. データリソースをページに追加します。
   詳細については、「ページへのデータリソースの追加と構成」を参照してください。
6. データリソースインスタンスを選択します。

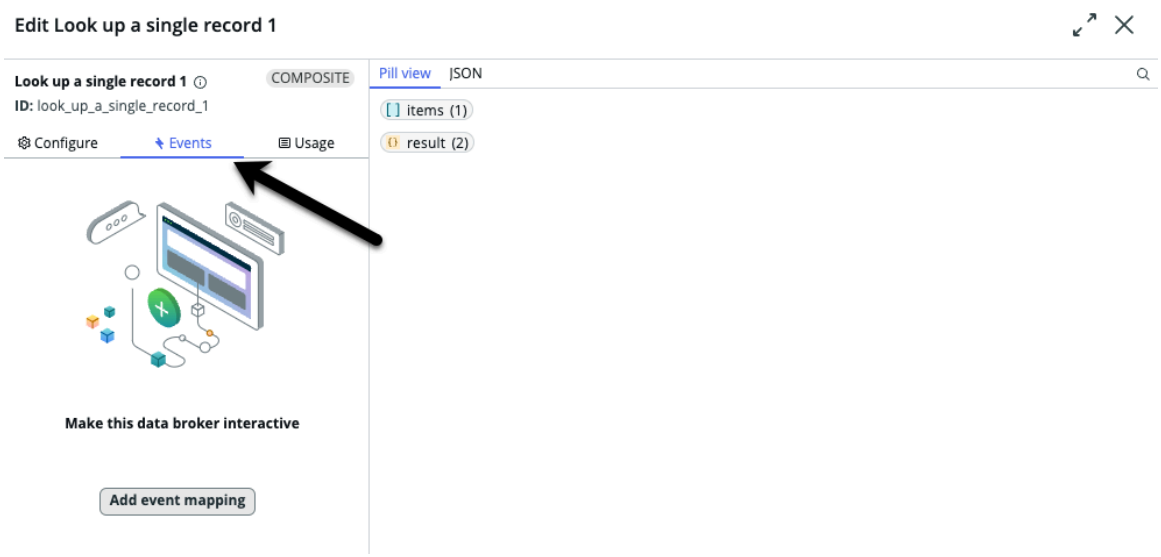


7. データリソースにイベントハンドラーを追加するには、データリソースの構成パネルで [イベント] タブを選択します。

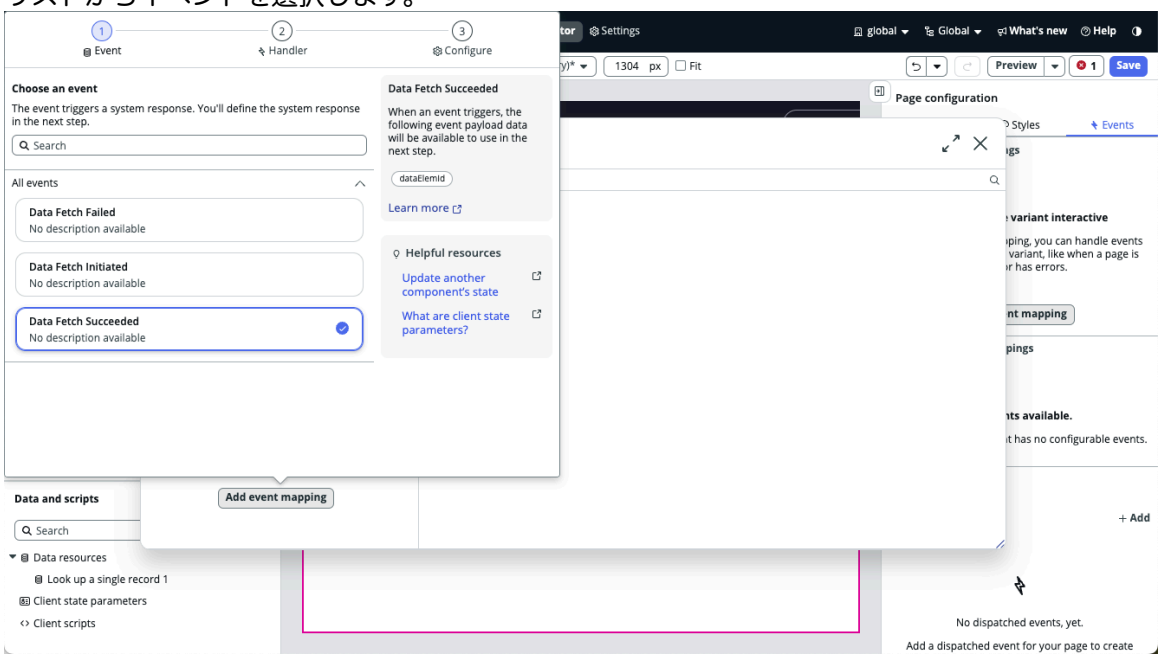
   データリソースにイベントハンドラーを追加して、[操作が開始されました (Operation Initiated)]、[操作が正常に完了しました (Operation Succeeded)]、および [操作に失敗しました] のアクションを処理できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



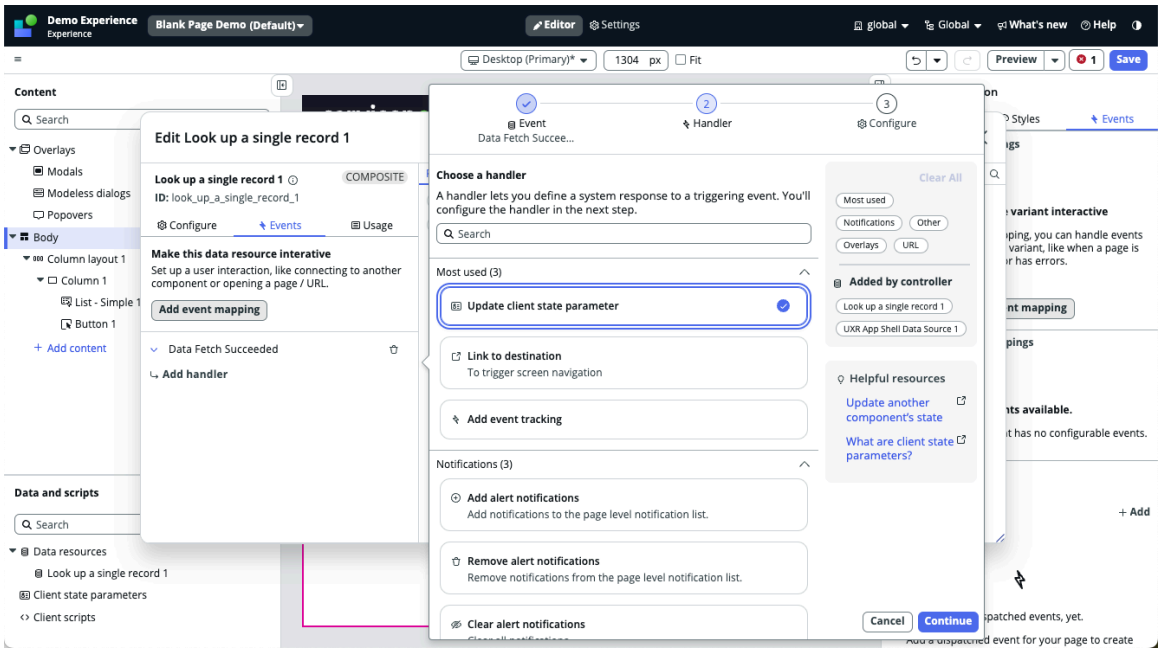
8. [イベントマッピングの追加] を選択します。
9. リストからイベントを選択します。



10. **[Continue** (続行)] を選択します。
11. リストからイベントハンドラーを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



12. **[Continue** (続行)] を選択します。
13. イベントハンドラーに必要な情報を入力します。
    構成は、選択されているイベントハンドラーによって異なります。
14. [追加] を選択します。
15. **[Save** (保存)] を選択します。
16. ページをプレビューして、設定したデータリソースイベントをテストするには、UI ビルダー ヘッダーの Preview を選択します。

イベントの別のページへのリンク

UI ビルダー 内の宛先イベントハンドラーへのリンクを追加して、イベントアクションで別のページを開くことができるようにします。イベントハンドラーを、目的のページへのアプリルートをたどるように構成することもできます。

始める前に

クリックしたときに別のページを開くコンポーネントがあるワークスペースページが必要です。ダッシュボードの概要は、このようなコンポーネントの一例です。[宛先へのリンク] などのコンポーネントは、宛先イベントハンドルへのリンクをサポートしていません。コンポーネントリンクプロパティは、宛先イベントハンドラーへのリンクよりも優先されます。

必要なロール：ui_builder_admin

このタスクについて

別のページを開くイベントアクションを構成するには、開くページ、そのページの必須パラメーターとオプションのパラメーター、および必要なパラメーターを宛先ページに渡すためにイベントハンドラーに設定するペイロード値を把握する必要があります。

> **ヒント:**
> リンク元のコンポーネントとリンク先の宛先ページの両方の例を、Base Agent Workspace エクスペリエンスで見つけることができます。この ネクストエクスペリエンス はベースシステムで提供されます。ページテンプレートからページを作成する場合は、テンプレートのコンテンツのコピーのみを実行してください。それに対する参照は実行しないでください。ページテンプレートのコピーと参照の違いの詳細については、「テンプレートからのページの作成」を参照してください。

自動翻訳

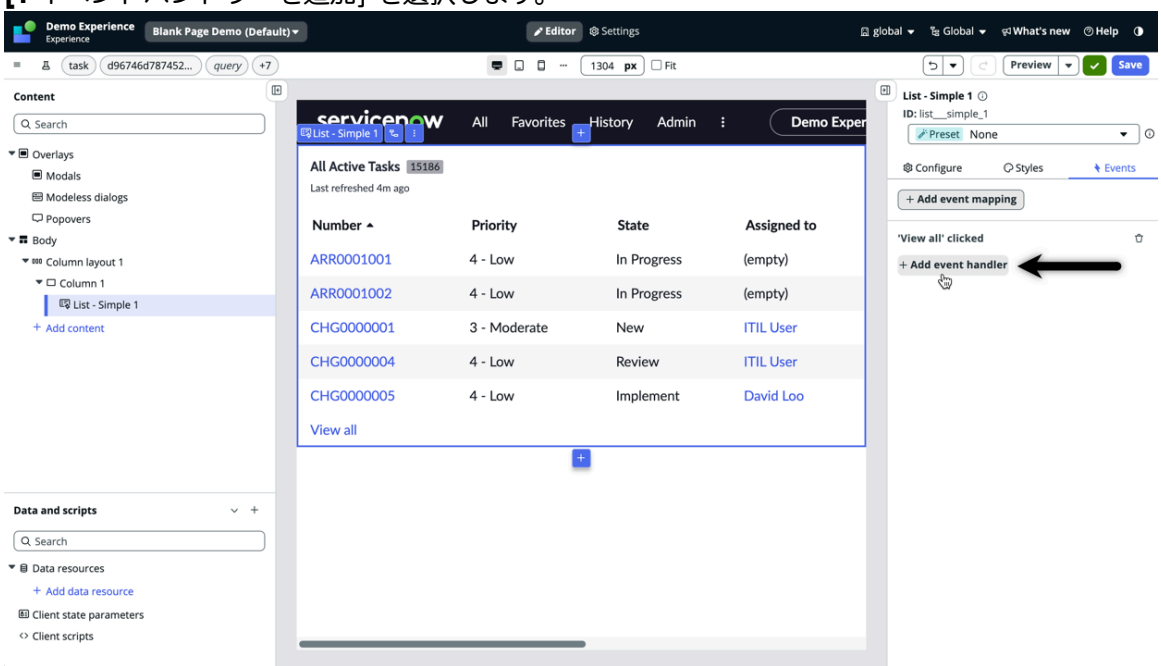
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. UI ビルダー でエクスペリエンスを開きます。
2. オプション: 宛先ページがエクスペリエンスに存在しない場合は、作成します。
   ページの作成については、「UI ビルダー でのページの作成」を参照してください。ページを宛先として使用できるように、必ず必須パラメーターとオプションのパラメーターを設定します。ページ内の特定のコンポーネントが宛先である場合は、そのコンポーネントを含める必要があります。また、@context.props.<parameter-name> 値が指定されたページパラメーターを使用するように、コンポーネントのプロパティを構成する必要があります。

   ページテンプレートからページを作成することも検討できます。Base Agent Workspace エクスペリエンスには、他のコンポーネントの宛先として事前に構成されている複数のページテンプレートがあります。テンプレートから宛先ページを作成する場合、コンポーネントは事前に正しいプロパティで構成されています。必要なステータスパラメーターまたはクライアントスクリプトもコピーされます。ページパラメーターを追加する必要があります。これらのパラメーターは、ページテンプレートを含むエクスペリエンスのエージェントアプリ構成 [sys_ux_app_config] レコードにある、UX アプリルート関連リストからコピーできます。

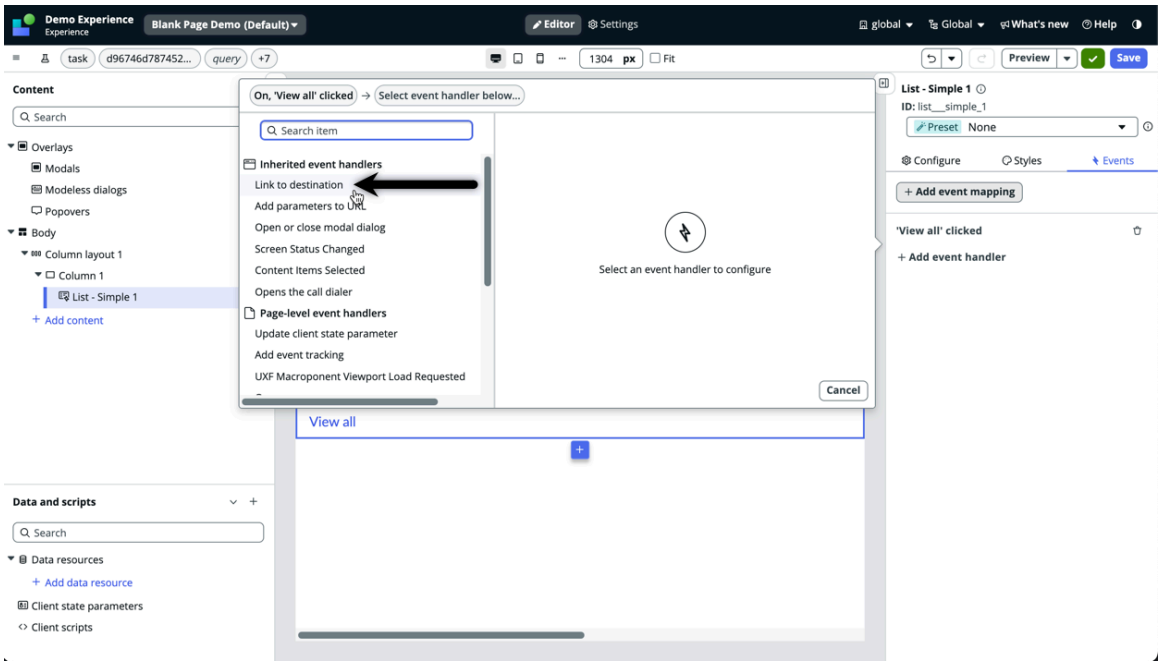
   作成するページをエクスペリエンス内の宛先として確実に機能させるには、エクスペリエンスにページテンプレートを使用したエクスペリエンスと同じアプリシェル UI が必要です。
3. 宛先ページにリンクするページに切り替えます。
4. 関連するコンポーネントに移動して選択します。
5. [イベント] タブを選択します。
6. **[+** イベントマッピングを追加] を選択します。
7. 使用するイベントを選択します。
8. **[+** イベントハンドラーを追加] を選択します。



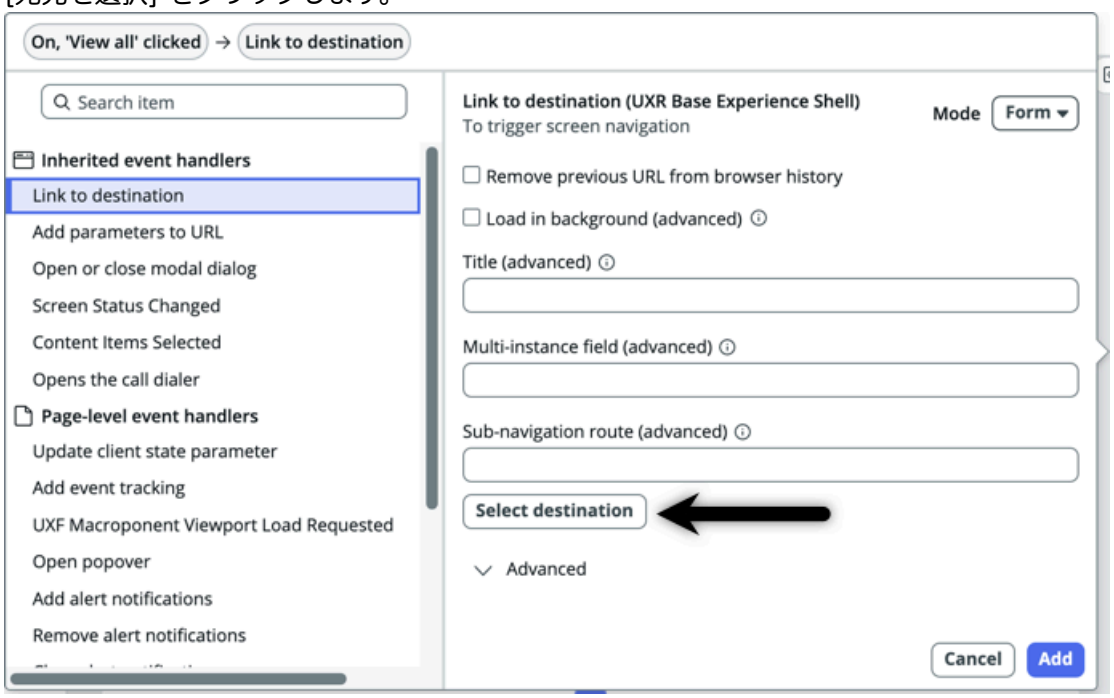
9. [継承されたイベントハンドラー] セクションで、[宛先へのリンク] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



10. [宛先を選択] をクリックします。

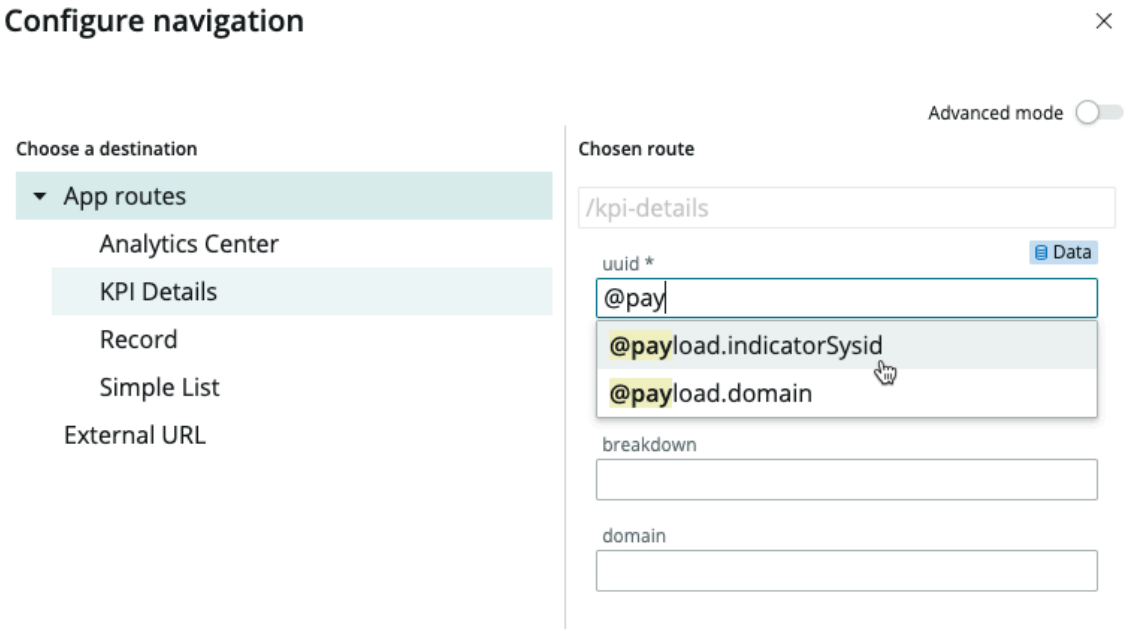


11. [ページ] を展開し、リンクするエクスペリエンスのページを選択します。
ルートの先にある宛先ページの各パラメーターのフィールドが表示されます。必須パラメーターにはアスタリスク (*) が付いています。

12. 必須パラメーターフィールドと該当するパラメーターフィールドのそれぞれに、適切な `@payload.*` 値を入力します。
コンポーネントの開発者がイベントにデフォルトのペイロード値を含めた場合、その値はオートコンプリート機能を介して選択できます。次の例に示すように、ペイロード値がパラメーター名と一致しない場合があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



注:
アプリルートを指定する代わりに、外部 URL にリンクするオプションがあります。

デフォルト値が提供されていない場合、または一部のフィールドで指定すべき正しい値がわからない場合は、*ServiceNow*® 開発者サイト のコンポーネントの構成と API のドキュメントを参照してください。それでも必要な @payload.* 値が見つからない場合は、カスタマーサービス & サポート にお問い合わせください。

ヒント:
Base Agent Workspace ページテンプレートからページを作成してリンクコンポーネントを作成する場合、コンポーネントには [宛先にリンク] リレーイベントハンドラーが含まれます。これらのイベントハンドラーは機能しません。ただし、パラメーターに適用可能な @payload.* 値が含まれています。

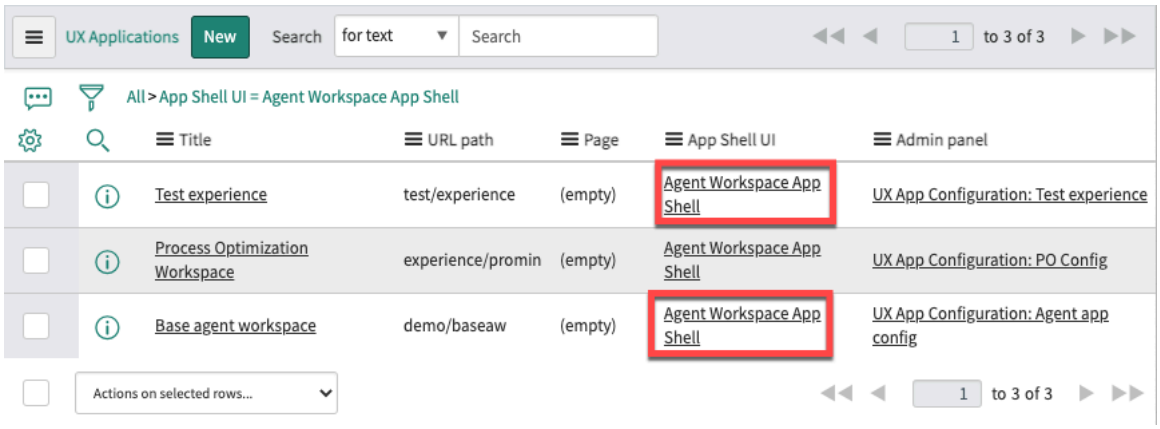
Example: 分析 **Q&A** コンポーネントのイベントハンドラーの構成

新しい ネクストエクスペリエンス を取得し、分析 Q&A コンポーネントがあるページを追加するとします。最初に、Base Agent Workspace エクスペリエンスで提供されるアナリティクスセンターページテンプレートからページを作成します。次に、分析 Q&A の 3 つのイベントの最初のターゲットページを作成し、そのイベントのイベントハンドラーを構成します。

に移動する **Now Experiences** フレームワーク > エクスペリエンスに、テストエクスペリエンス UX アプリケーションが表示されます。Base Agent Workspace と同じ Agent Workspace アプリシェル UI を使用するため、Base Agent Workspace からページテンプレートを使用できます。

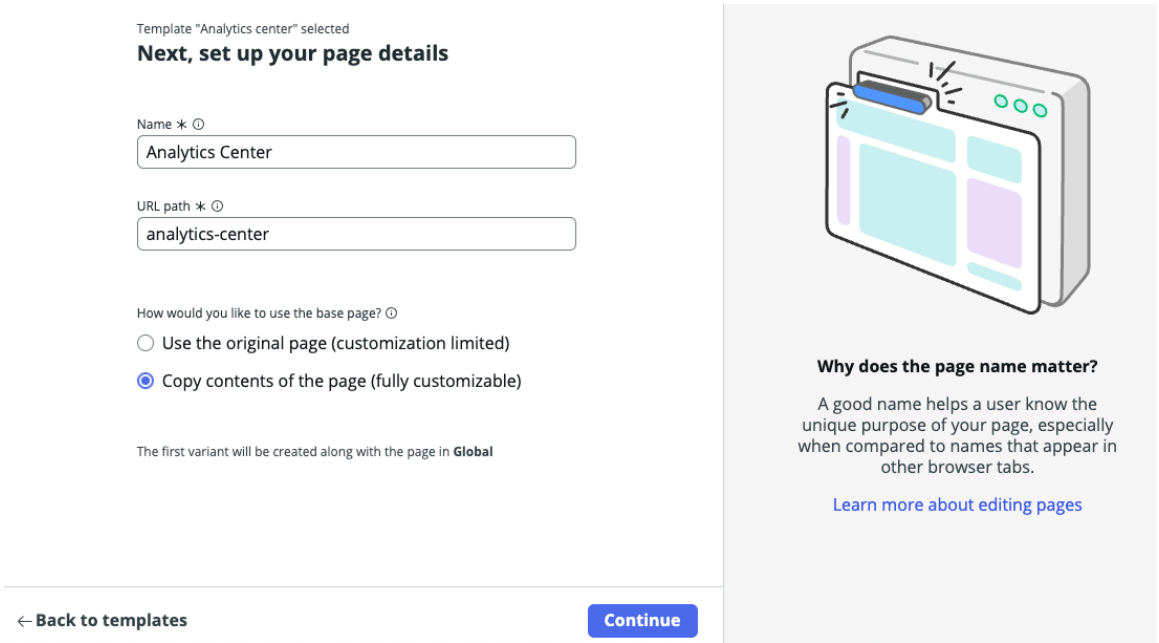
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



次に、[テストワークスペース (Test Workspace)] 管理パネルを選択し、UX アプリルートまたはページがない UX アプリ構成レコードを見つけて、[開く] をクリックします。

例に示すように、UI ビルダー で、Base Agent Workspace の [アナリティクスセンター] ページテンプレートに基づいて、「アナリティクスセンター」という名前のページを作成しました。次に、ページテンプレートのコンテンツのみをコピーするオプションを選択します。



[分析 Q&A 1] コンポーネントを選択し、[イベント] タブを開きます。ここから、[[レポート可視化] がクリックされました] イベントの [[宛先にリンク] のリレー] イベントハンドラーを開くことができます。分析 Q&A の質問がレポートを返す場合、レポート内の値をクリックしてこのイベントをトリガーできます。値をクリックすると、この値に寄与するレコードリストも表示されます。[ルート] フィールドに、宛先が [簡易リスト] ページテンプレートに基づくページになることが表示されます。`@payload.*` 値が対応する、[タイトル] フィールドに `@payload.listTitle` を入力できるページのパラメーターも表示されます。

提案された [簡易リスト] 宛先ページのパラメーターと、対応するペイロード

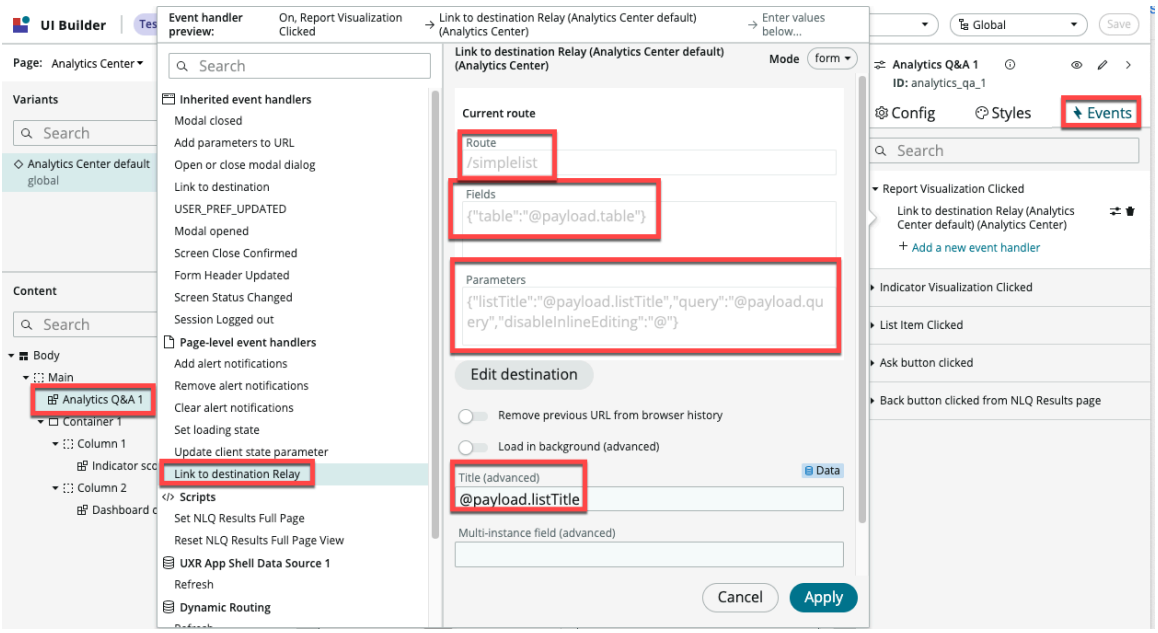
パラメーター	@payload.* 値
table (必須)	@payload.table
listTitle	@payload.listTitle
query	@payload.query

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

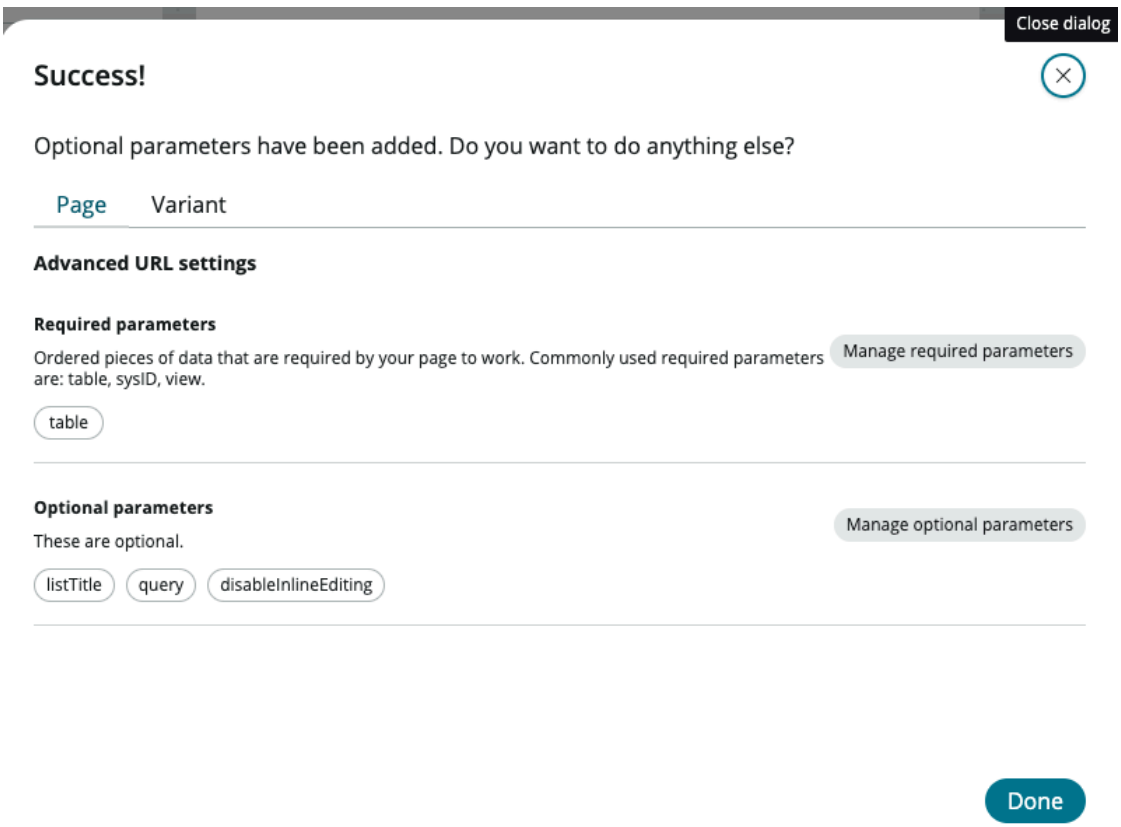
自動翻訳

提案された [簡易リスト] 宛先ページのパラメーターと、対応するペイロード (続く)

パラメーター	@payload.* 値
disableInlineEditing	なし

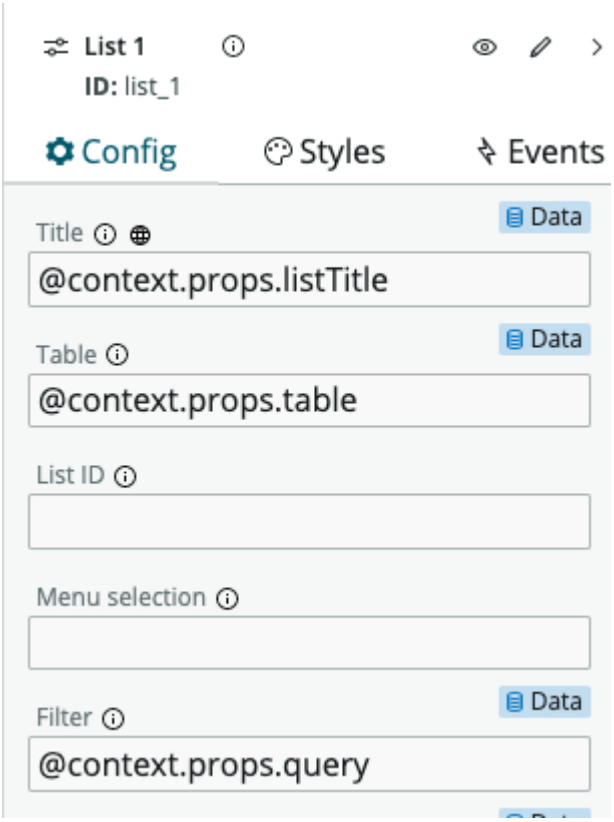


次に、 メニュー > ページの作成 をクリックし、簡易リストテンプレートに基づくページを作成します。たとえば、ページの名前を「レコードリスト」とします。次に、「アナリティクスセンター」ページを作成したときと同様のプロセスに従います。今度は、プロセスの最後のステップで、必須パラメーターとして table を追加し、オプションのパラメーターとして listTitle、query、disableInlineEditing を追加します。



© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

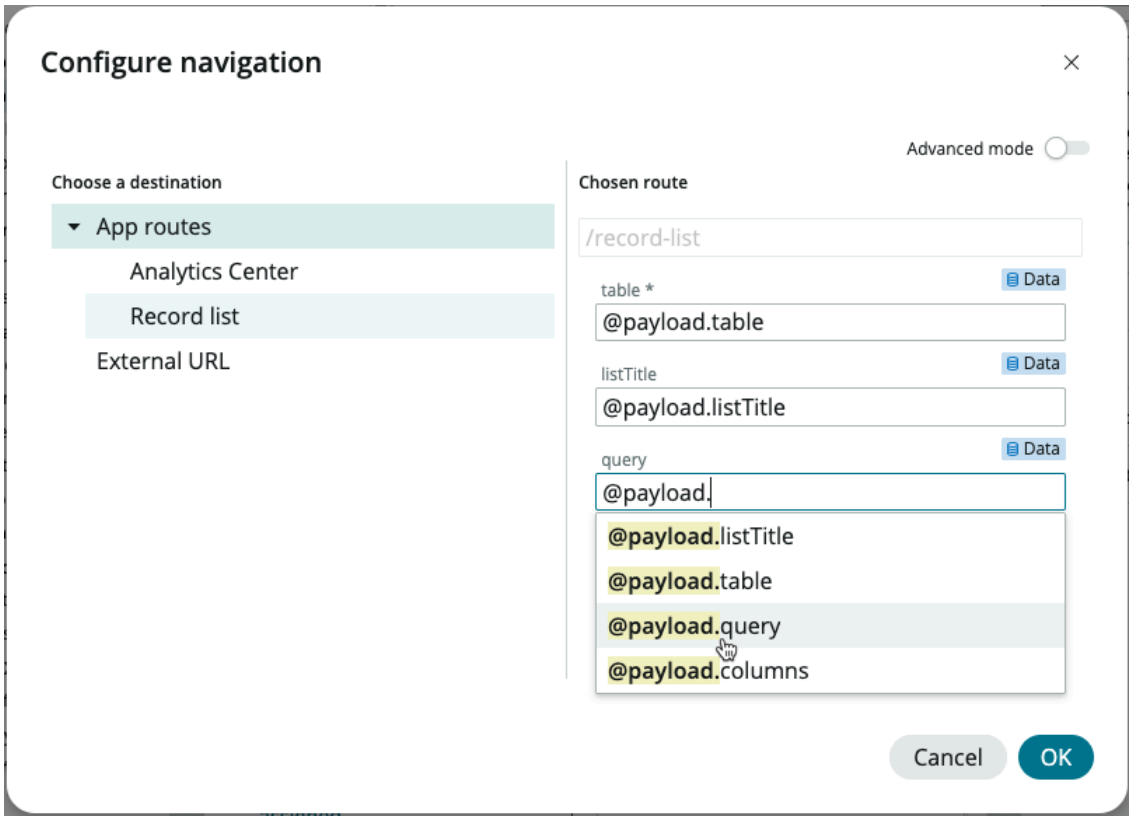
このページには既にリストコンポーネントが含まれているため、このコンポーネントの [構成] タブを開くと、パラメーターが `@context.props.*` 値に既に渡されていることがわかります。



ここで「アナリティクスセンター」ページに戻ります。[[レポート可視化] がクリックされました] イベントで、新しいイベントハンドラーを追加します。次に、作成したレコードリストページを選択し、[[宛先にリンク] のリレー] イベントハンドラーから取得した情報に従って、**table**、**listTitle**、および **query** フィールドに `@payload.*` 値を追加します。これらのフィールドに入力する際に、予測入力が役立ちます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



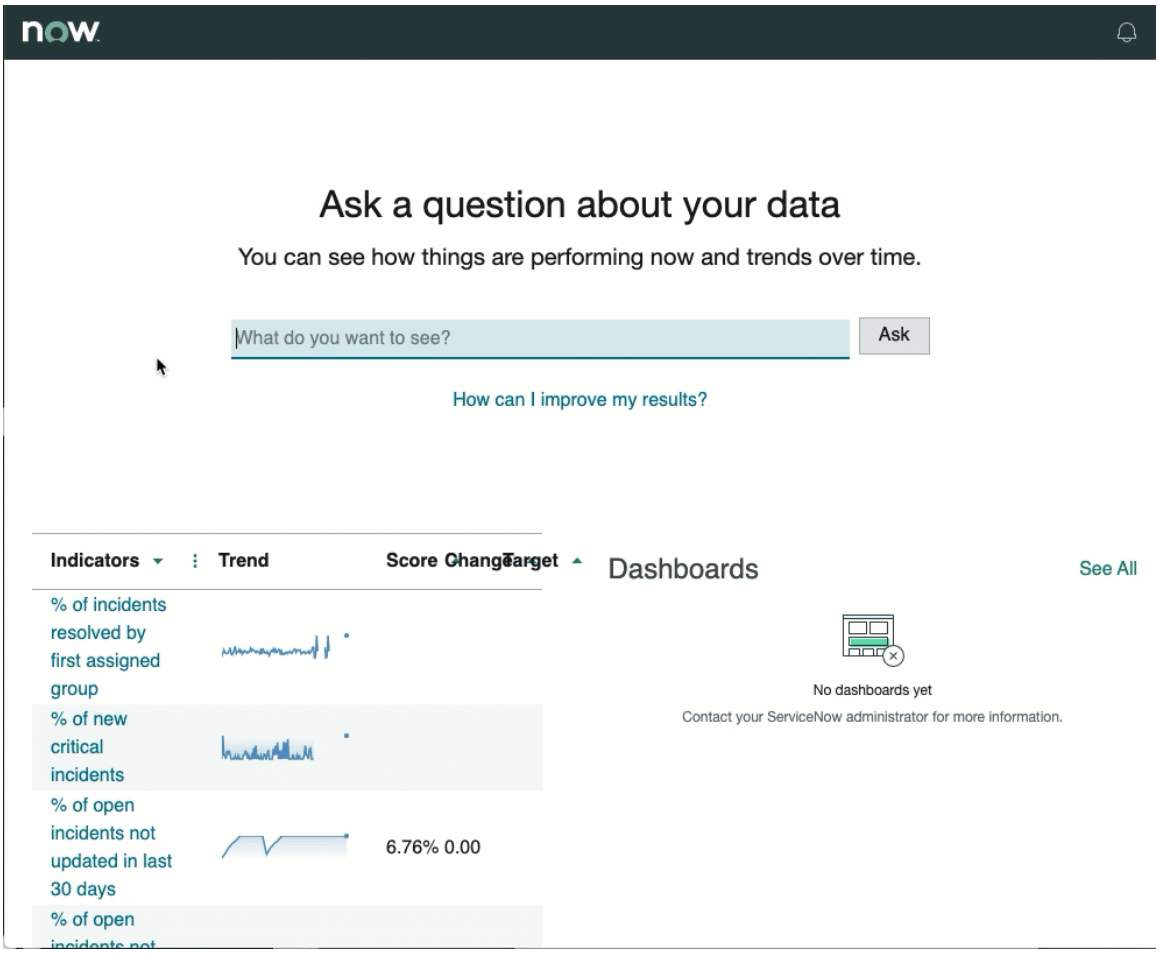
[OK] をクリックし、[タイトル] として `@payload.listTitle` を追加すると、イベントハンドラーが完了します。これで、このイベントの [[宛先にリンク] のリレー] イベントハンドラーを削除できます。

次の例は、「アナリティクスセンター」ページを示しています。このページでは、[優先度別のインシデント] のクエリを入力し、結果のレポートを取得できます。また、列をクリックすると、[[レポート可視化] がクリックされました] イベントがトリガーされます。イベントハンドラーを使用すると、レポート内のインシデントの簡単なリストを表示できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

構成された [レポートの視覚化がクリックされました **(Report Visualization Clicked)**] イベントのトリガー



宣言アクションへのイベントのバインド

データ要素を UI ビルダー 内でバインドして、イベントアクションを宣言アクションに追加することができます。

始める前に
必要なロール：ui_builder_admin

このタスクについて
処理済みイベントをコンポーネントにバインドして、ユーザーがコンポーネントを選択したときにアクションが実行されるようにします。

手順

1. 移動先 すべて > **Now Experience** フレームワーク > **UI** ビルダー.
2. 作業するエクスペリエンスを開くか、選択してエクスペリエンスを作成します 作成 > エクスペリエンス.
   詳細については、「UI ビルダー でユーザーがアプリケーションをどのように操作するかを構成する」を参照してください。
3. ページを開くかまたは作成します。
   UI ビルダー でページを作成する方法の詳細については、「UI ビルダーでのページの作成」を参照してください。
4. コンポーネントを、アクションバーや関連リストなどの宣言アクションを持つことができるページに追加します。
   詳細については、「コンポーネントの追加と構成」を参照してください。

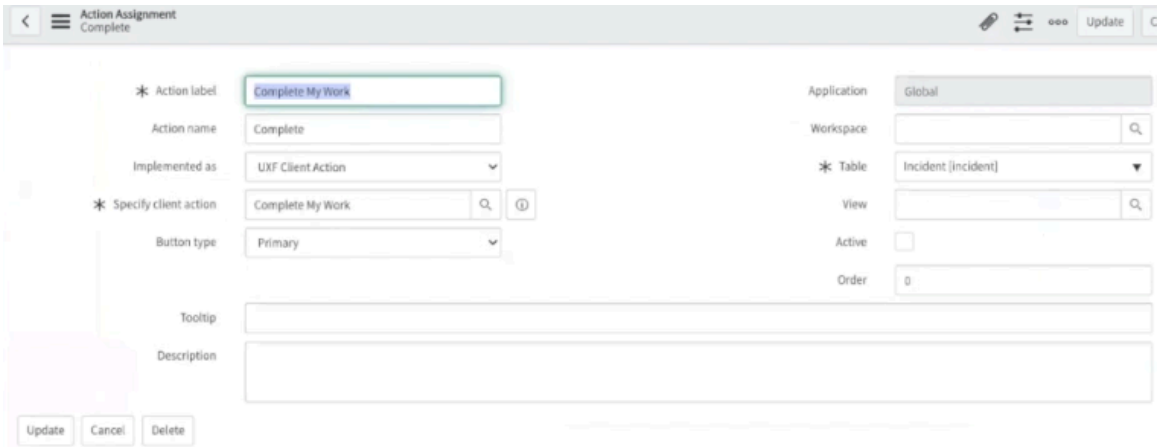
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

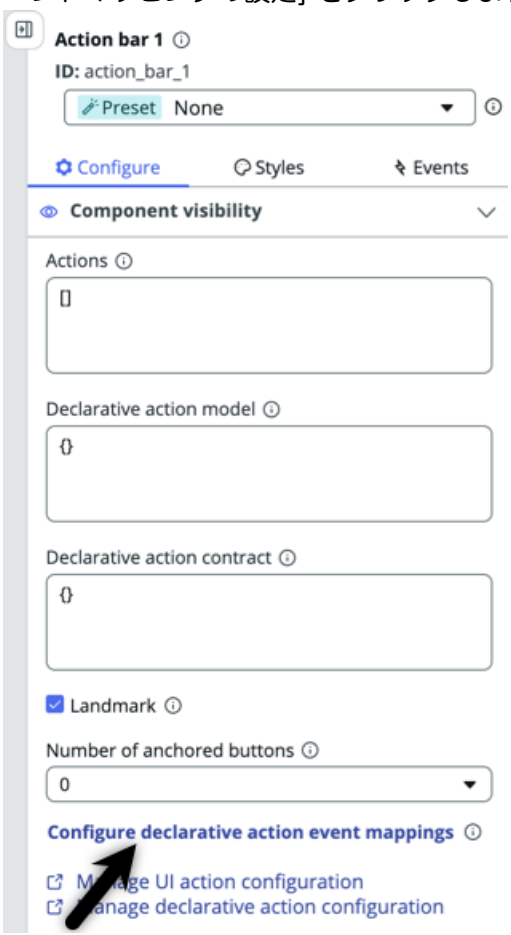
5. ServiceNow AI Platform のテーブルに宣言アクション定義を作成するには、 ワークスペースエクスペリエンス > アクション & コンポーネント > リストアクション.

   宣言アクションを利用可能にするテーブルを選択します。たとえば、インシデントテーブルに [自分の作業を実行 (Complete my work)] アクションを作成したり、既存の宣言アクション定義レコードを使用したりできます。

   プラットフォーム宣言アクション定義レコード



6. [アクティブ] チェックボックスをオンにして、レコードを保存または更新します。
7. UI ビルダー に戻ります。
8. 宣言アクションの処理済みイベントを呼び出すには、[構成] パネルに移動し、[宣言アクションイベントマッピングの設定] をクリックします。



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

9. 以前に作成した宣言アクションを選択します。
   ステップ 5 の例を続行する場合、宣言アクションは [自分の作業を実行 **(Complete my work)]** のようになります。
10. ページでの宣言アクションの実行内容を定義するには、**[+** イベントハンドラーを追加] をクリックします。

    a. イベントハンドラーに名前を付けます。
       名前は、イベントハンドラーで実行するアクションを説明するものとしてください。

    b. オプション: イベントハンドラーの説明を入力します。

    c. 呼び出す処理済みイベントを選択します。

    d. オプション: イベントハンドラーのペイロード値を追加します。

    e. [保存] を選択します。

11. [完了] を選択します。
12. [保存] を選択し、Preview を選択します。
13. [自分の作業を実行 **(Complete my work)]** をクリックして、ページで宣言アクションをテストし、それが機能するかどうかを確認します。

コンポーネントプリセットイベントマッピングの無効化

コンポーネントプリセットによって自動的に作成されるイベントマッピングを無効にすることができます。

始める前に

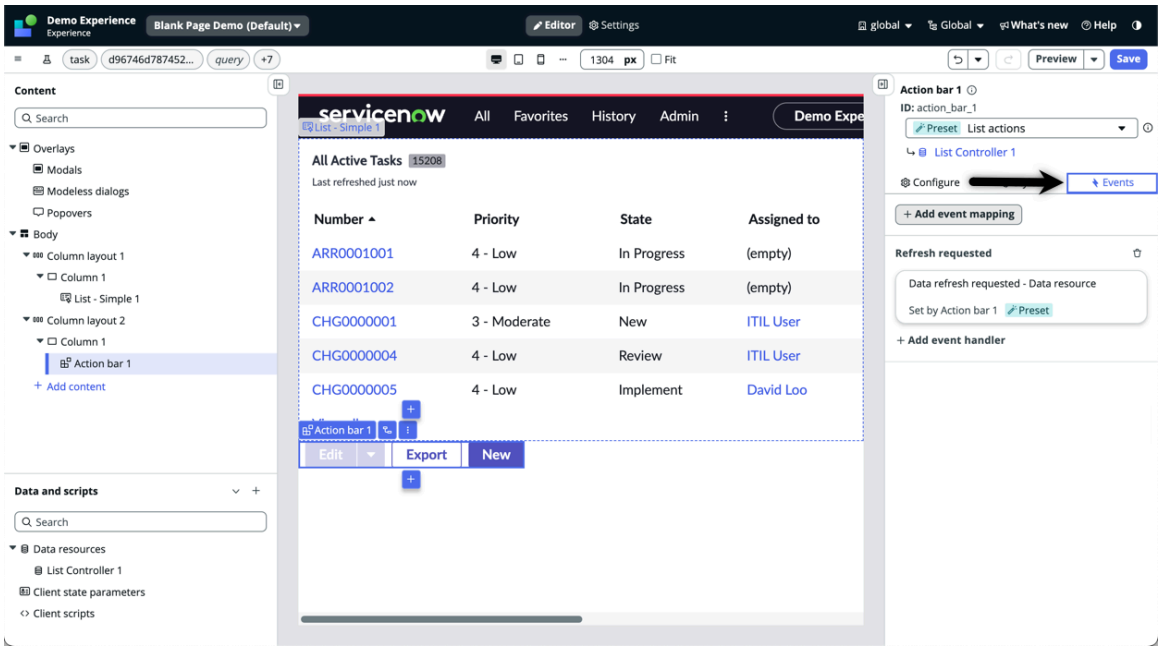
必要なロール：admin

手順

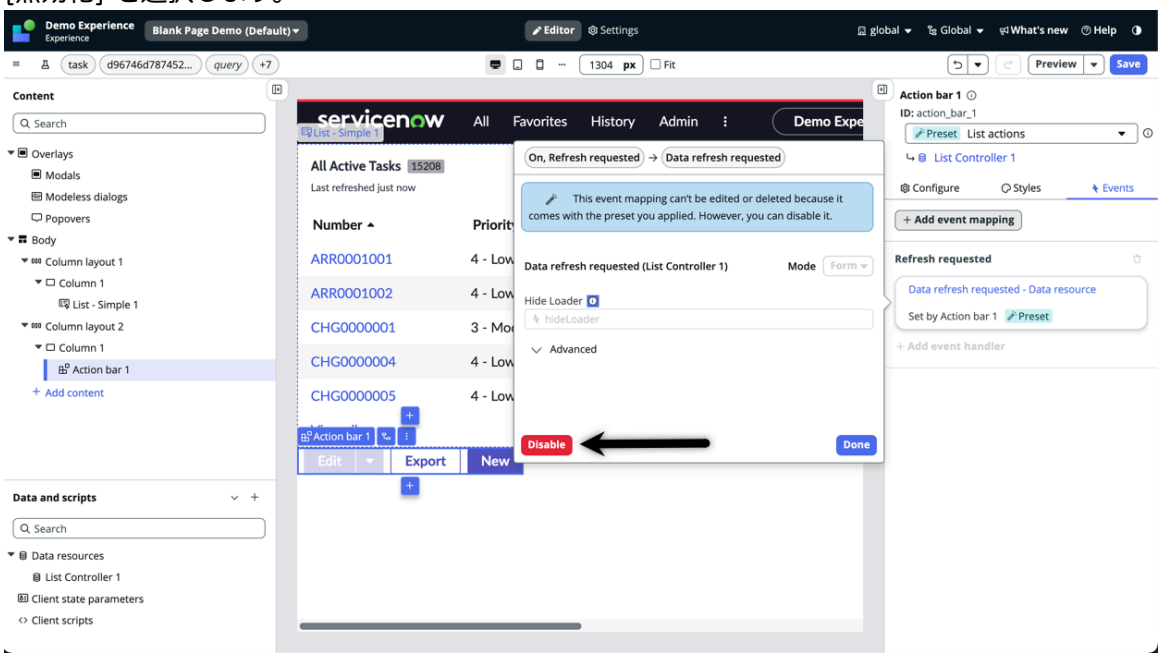
1. 移動先 すべて > **Now Experience** フレームワーク > **UI** ビルダー.
2. 作業するエクスペリエンスを開くか、選択してエクスペリエンスを作成します 作成 > エクスペリエンス.
   詳細については、「UI ビルダー でユーザーがアプリケーションをどのように操作するかを構成する」を参照してください。
3. ページを開くかまたは作成します。
   UI ビルダー でページを作成する方法の詳細については、「UI ビルダーでのページの作成」を参照してください。
4. コンポーネントプリセットが構成されているコンポーネントを選択します。
5. 構成パネルで [イベント] タブを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



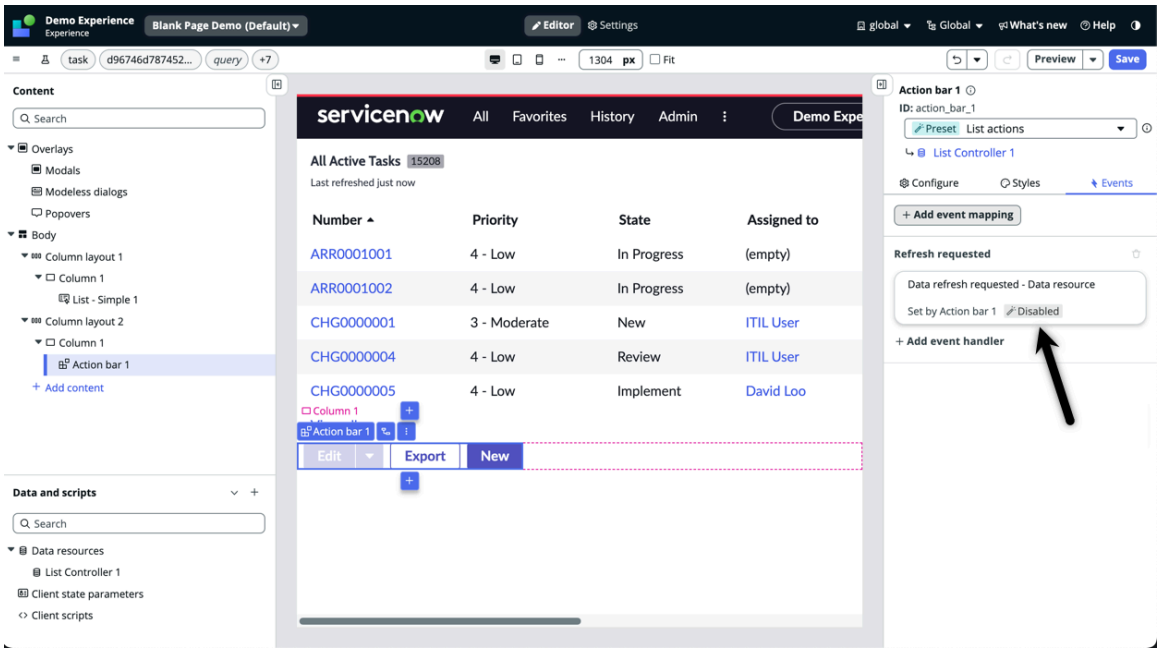
6. 無効にするイベントを選択します。
7. [無効化] を選択します。



8. **[Done** (完了)] を選択します。

タスクの結果
コンポーネントプリセットイベントは、構成パネルの [イベント] タブで [無効] と表示されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



イベントハンドラーの削除

UI ビルダー で不要になったイベントハンドラーを削除します。

始める前に

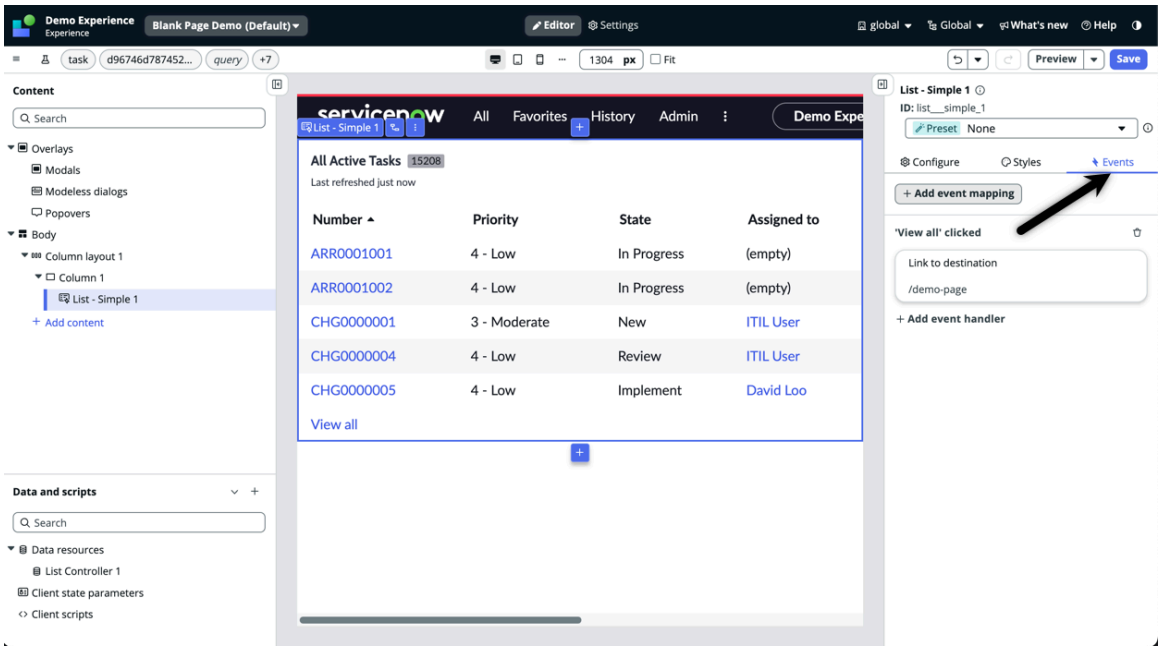
必要なロール：admin

手順

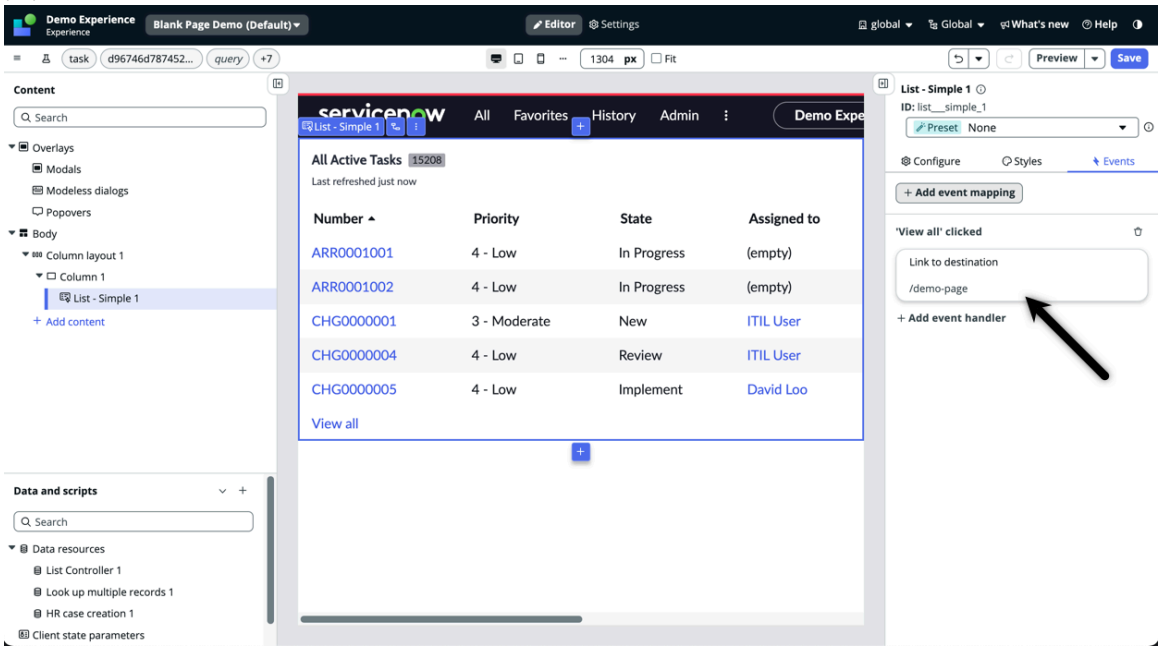
1. 移動先 すべて > **Now Experience** フレームワーク > **UI** ビルダー.
2. 作業するエクスペリエンスを開くか、選択してエクスペリエンスを作成します 作成 > エクスペリエンス.
   詳細については、「UI ビルダー でユーザーがアプリケーションをどのように操作するかを構成する」を参照してください。
3. ページを開くかまたは作成します。
   UI ビルダー でページを作成する方法の詳細については、「UI ビルダーでのページの作成」を参照してください。
4. プリセットが構成されたコンポーネントを選択します。
5. 構成パネルで [イベント] タブを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



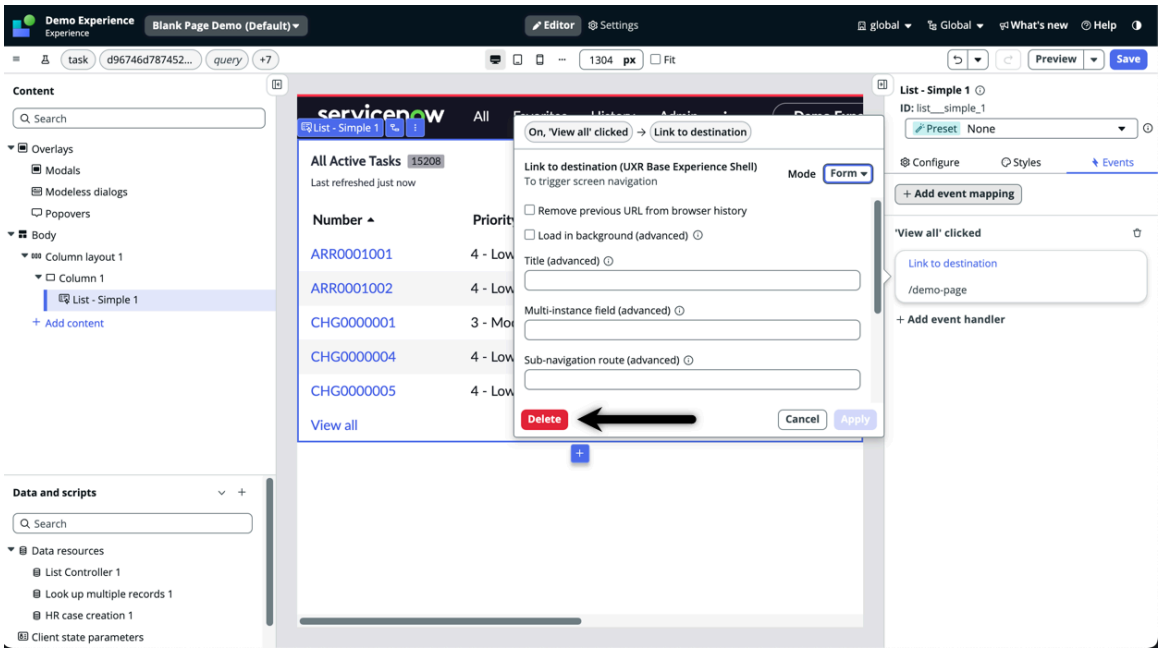
6. 削除するイベントハンドラーを選択します。



7. [削除] を選択します。

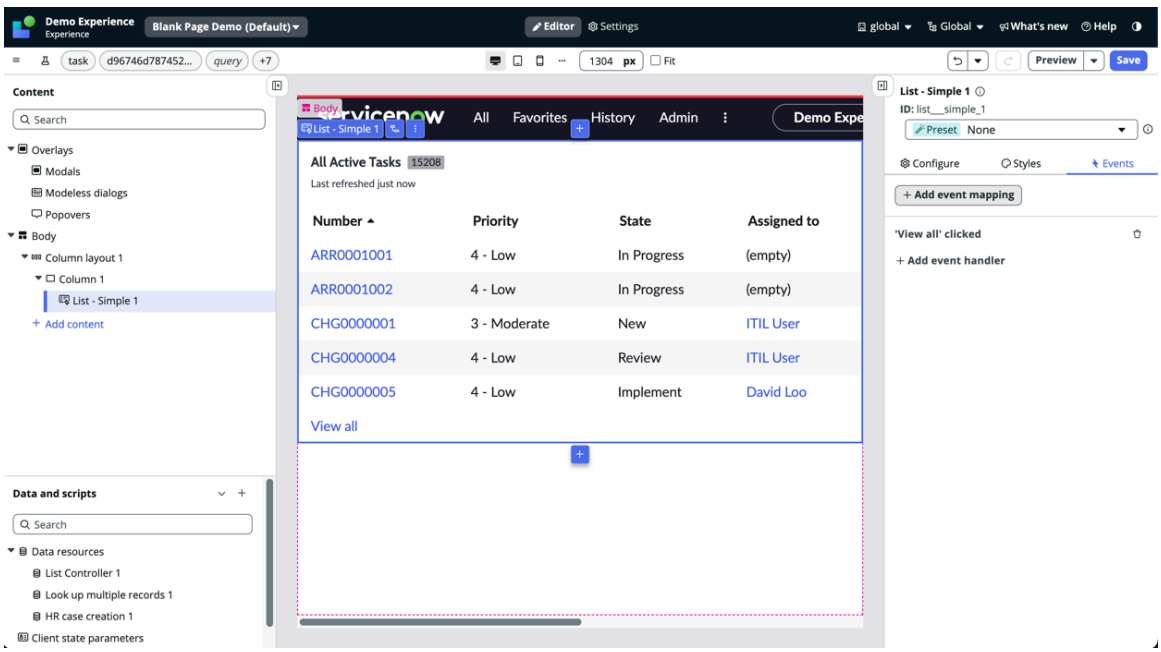
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



8. 確認モーダルで、[削除] を選択します。
9. イベントハンドラーが、関連するイベントマッピングから削除されます。

   イベントマッピングを削除する場合は、「イベントマッピングの削除」を参照してください。



イベントマッピングの削除

UI ビルダー で不要になったイベントマッピングを削除します。

始める前に

必要なロール：admin

手順

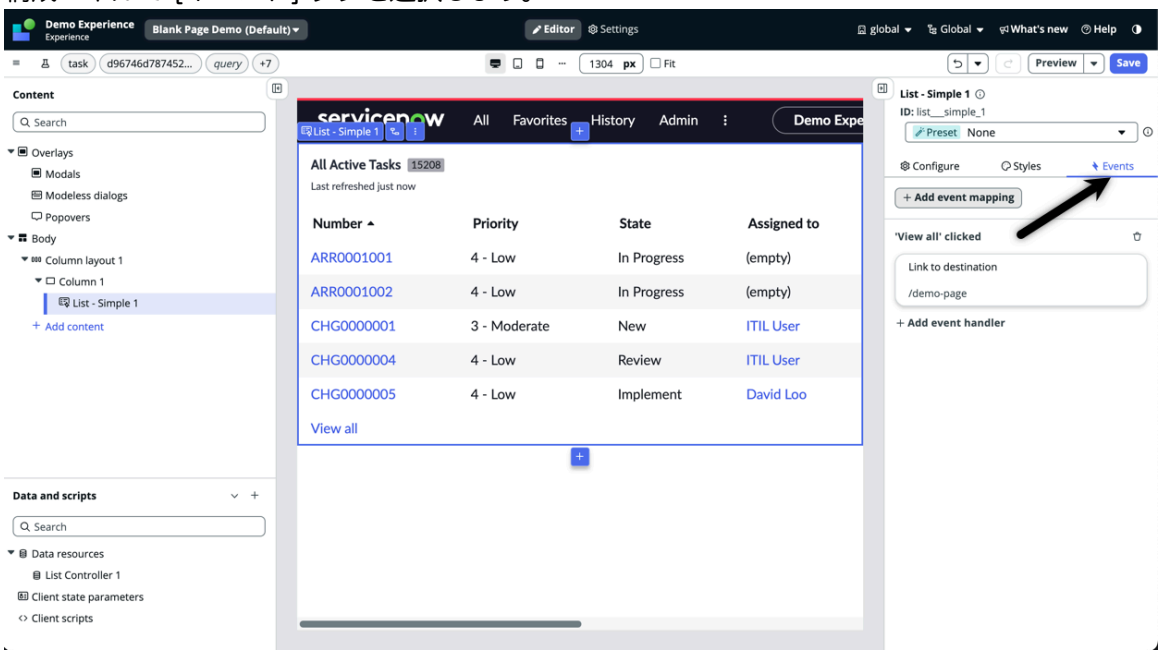
1. 移動先 すべて > **Now Experience** フレームワーク > **UI** ビルダー.
2. 作業するエクスペリエンスを開くか、選択してエクスペリエンスを作成します 作成 > エクスペリエンス.

自動翻訳

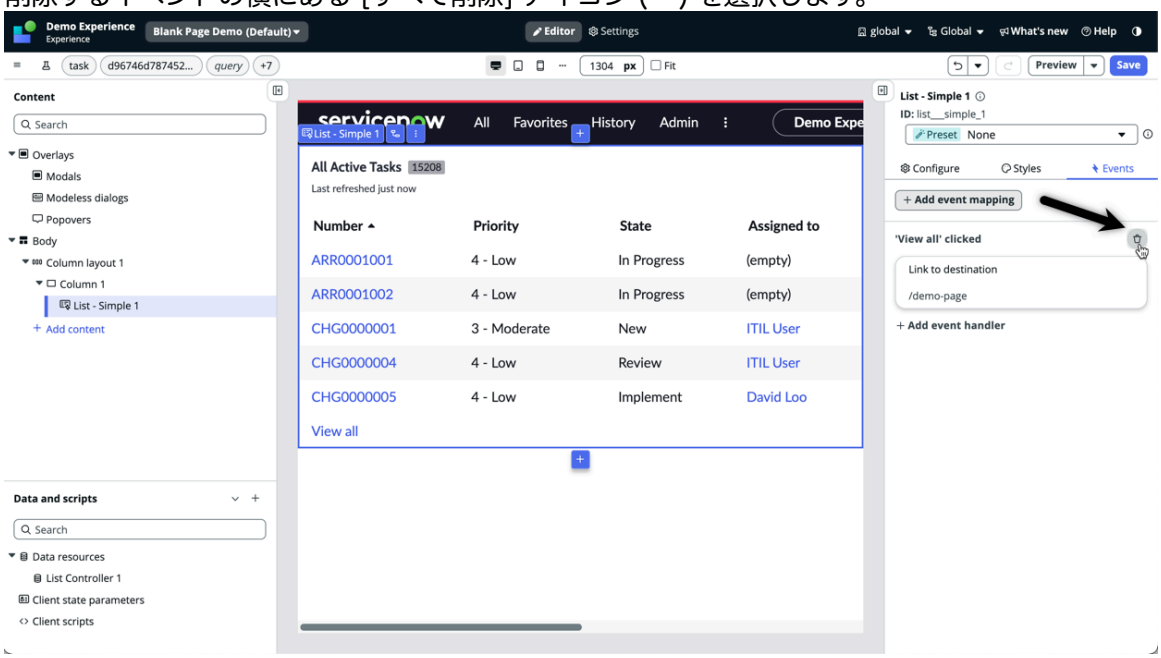
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

詳細については、「UI ビルダー でユーザーがアプリケーションをどのように操作するかを構成する」を参照してください。

3. ページを開くかまたは作成します。
   UI ビルダー でページを作成する方法の詳細については、「UI ビルダーでのページの作成」を参照してください。
4. プリセットが構成されたコンポーネントを選択します。
5. 構成パネルで [イベント] タブを選択します。



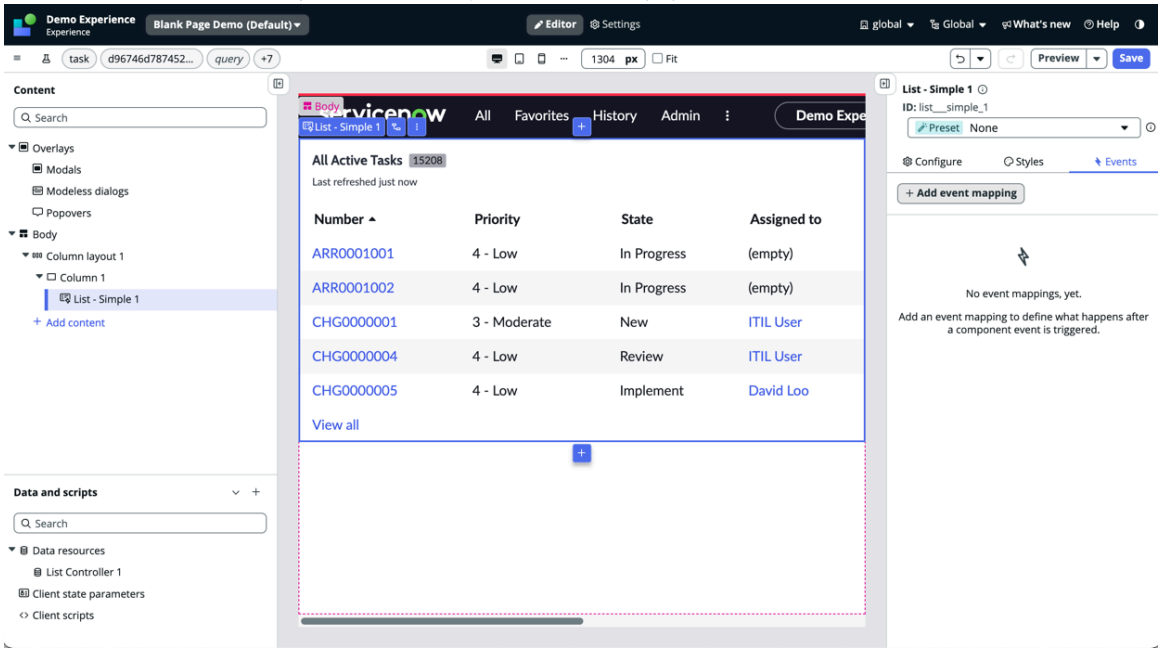
6. 削除するイベントの横にある [すべて削除] アイコン ( ) を選択します。



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

7. イベントマッピングが、関連するコンポーネントから削除されます。



保存されていない変更があるコンポーネントを追跡するイベントの追加

イベント構成を使用してダーティステータスコンポーネントを特定します。

始める前に
必要なロール：ui_builder_admin

このタスクについて
「画面ステータスがダーティに変更されました」イベントを追加して、どのコンポーネントに未保存の変更があるかを確認できます。これにより、個々のコンポーネントのイベントの詳細プロパティを手動で検査する必要がなくなります。追加されると、イベントは構成パネルで引き続き使用でき、直接アクセスできます。

手順

1. 移動先 すべて > **Now Experience** フレームワーク > **UI** ビルダー.
2. 作業するエクスペリエンスを開くか、選択してエクスペリエンスを作成します 作成 > エクスペリエンス.
   エクスペリエンスの作成の詳細については、「UI ビルダー でユーザーがアプリケーションをどのように操作するかを構成する」を参照してください。
3. ページを作成するか、開きます。
4. コンテンツ ツリーで、 + コンテンツの追加 を選択してコンポーネントを追加します。
5. ツールボックスからコンポーネントを選択し、[追加] を選択します。
   たとえば、 ボタンを選択します。
6. コンポーネントにイベントを追加します。

   a. 構成パネルで [イベント] タブを選択します。

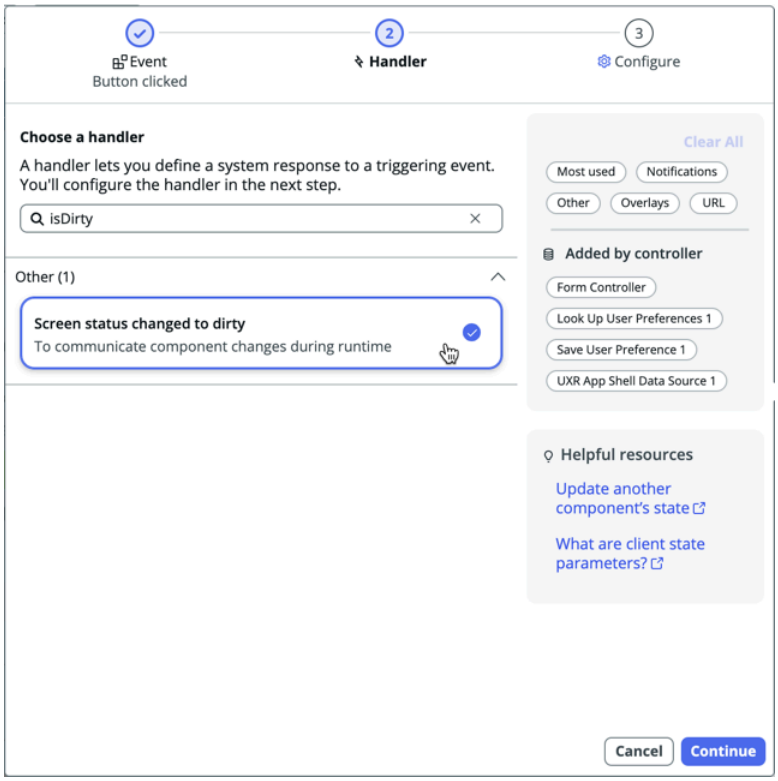
   b. [クリックされたボタン] で、[ハンドラーの追加] を選択します。

   c. [ハンドラーを選択] で、検索バーに「isDirty (またはダーティ)」と入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

d. [画面の状態がダーティに変更されました] イベントを選択し、[続行] を選択します。



e. [画面がダーティです] チェックボックスをオンにして、プロパティを `true` としてマークします。

f. [Add (追加)] を選択します。

ダーティ状態イベントが構成パネルに表示されるようになったため、 `isDirty` プロパティをすばやく確認し、イベントを追加することなくコンポーネントに未保存の変更があるかどうかを判断できます。

UI ビルダーエクスペリエンスの表示スタイルの管理

テーマを使用すると、UI ビルダーエクスペリエンスの視覚的なスタイルを変更し、ブランドのルックアンドフィールを表現できます。

テーマの開始

デフォルトでは、[Polaris] テーマが UI ビルダーエクスペリエンスに適用されます。詳細については、「Working with themes in Next Experience」を参照してください。

テーマビルダーで新しいテーマを作成する

テーマビルダーでは、使いやすいビジュアルインターフェイスを使用して Next Experience テーマを作成、編集、管理、適用できます。詳細については、「Configuring Next Experience with Theme Builder」を参照してください。

カスタムテーマの作成

スタイルレコードと JSON コードの作業に慣れているアドミンユーザーの場合は、カスタムテーマを作成してデフォルトの [Polaris] スタイルをオーバーライドできます。このオプションでは、

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テーマ内の書体、色、画像 (バナーやロゴを含む) を最大限に制御できます。詳細については、「Configuring Next Experience themes and preferences」を参照してください。

ダークテーマの操作

ダークテーマに興味がある場合は、「Working with the dark theme」を参照してください。

カスタムスタイルクラスとルールの作成

UI ビルダーのスタイルクラスルールを使用して、CSS クラスを参照して UI 要素にカスタム表示スタイルを適用します。カスタムスタイルクラスとルールの作成を参照してください。

エクスペリエンステーマを表示する

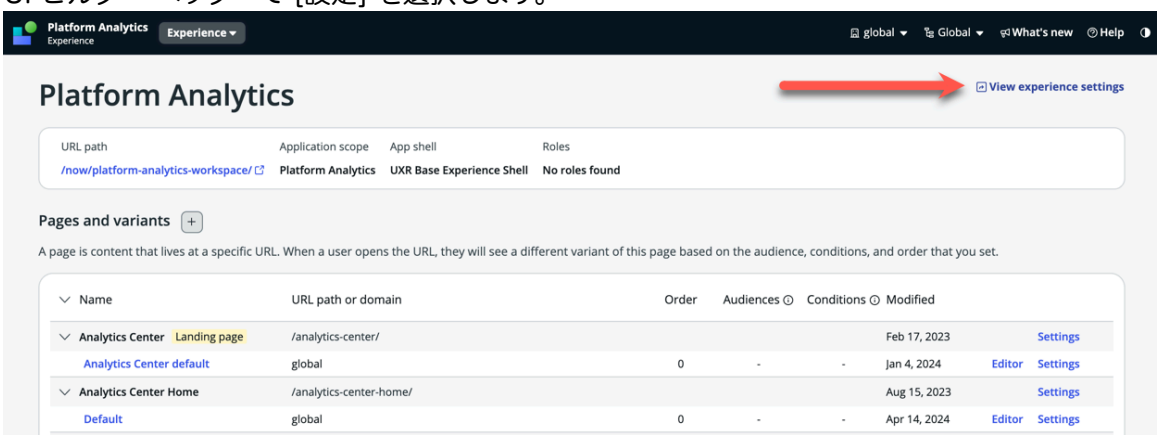
エクスペリエンスに適用されたテーマを表示します。テーマは、エクスペリエンスの表示スタイルを設定するものであり、すべてのページで一貫したルックアンドフィールを提供します。

始める前に

必要なロール：ui_builder_admin

手順

1. 移動先 すべて > **Now Experience** フレームワーク > **UI** ビルダー.
2. 作業するエクスペリエンスを開くか、選択してエクスペリエンスを作成します 作成 > エクスペリエンス.
   エクスペリエンスの作成の詳細については、「UI ビルダー でユーザーがアプリケーションをどのように操作するかを構成する」を参照してください。
3. UI ビルダー ヘッダーで [設定] を選択します。



4. [ブランディングとテーマ] セクションまでスクロールし、[テーマ] にリストされている内容を確認します。
   デフォルトでは、[Polaris] テーマが UI ビルダーエクスペリエンスに適用されます。

次のタスク

テーマをカスタマイズする場合は、次の 2 つのオプションがあります。

- テーマビルダーでは、使いやすいビジュアルインターフェイスを使用して Next Experience テーマを作成、編集、管理、適用できます。詳細については、「Configuring Next Experience with Theme Builder」を参照してください。
- スタイルレコードと JSON コードの作業に慣れているアドミンユーザーの場合は、カスタムテーマを作成してデフォルトの [Polaris] スタイルをオーバーライドできます。このオプションでは、テーマ内の書体、色、画像 (バナーやロゴを含む) を最大限に制御できます。詳細については、「Configuring Next Experience themes and preferences」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

カスタムスタイルクラスとルールの作成

UI ビルダー でスタイルクラスルールを使用し、CSS クラスを参照して UI 要素にカスタムビジュアルスタイリングを適用します。

始める前に

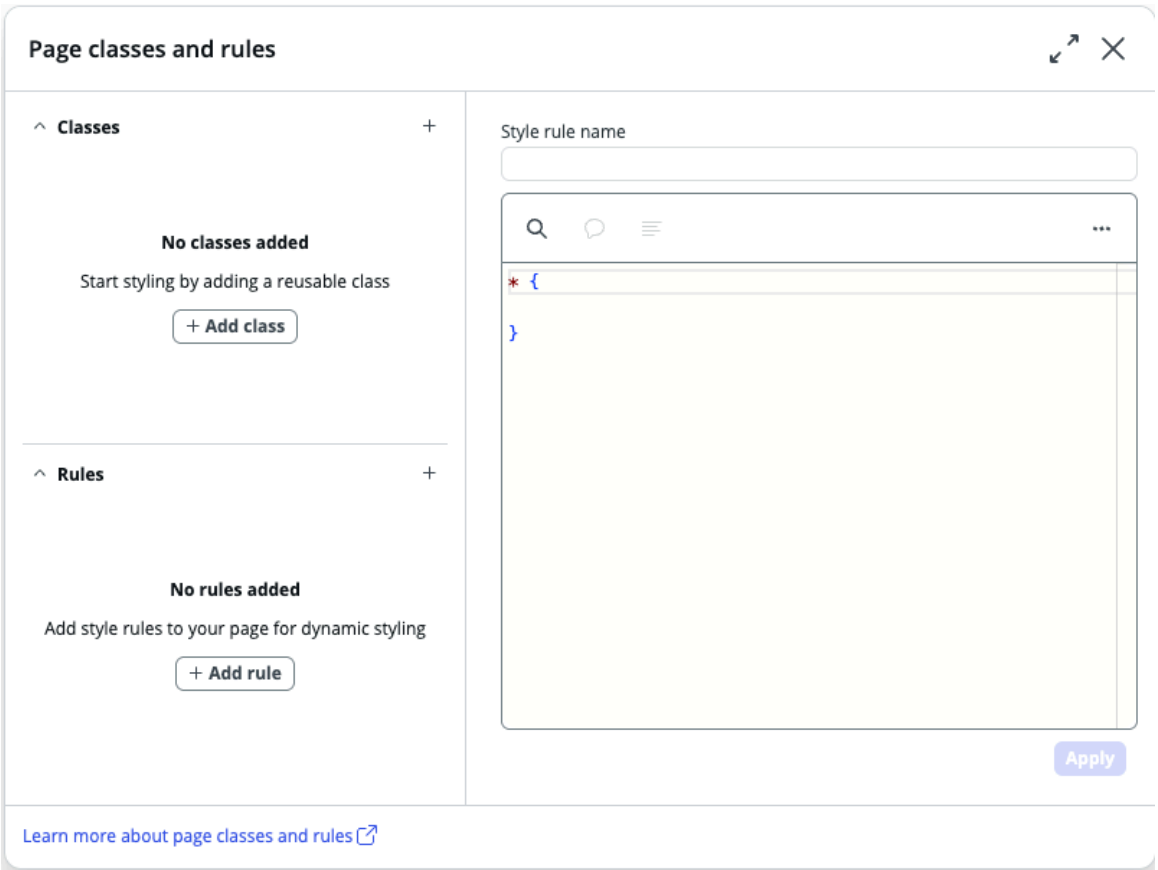
必要なロール：admin

このタスクについて

インラインスタイルを記述せずにフィールド、コンテナ、ボタン、およびその他のインターフェイスコンポーネントの外観を制御することで、UI をよりクリーンで一貫性があり、メンテナンスが容易になります。すべてのスタイルクラスとルールは、ページ上の任意のコンテナまたはコンポーネントに適用できます。CSS スタイルの詳細については、 ServiceNow 開発者サイト および ServiceNow コミュニティサイトを参照してください。

手順

1. 移動先 すべて > **Now Experience** フレームワーク > **UI** ビルダー.
2. 作業するエクスペリエンスを開くか、選択してエクスペリエンスを作成します 作成 > エクスペリエンス.
   エクスペリエンスの作成の詳細については、「UI ビルダー でユーザーがアプリケーションをどのように操作するかを構成する」を参照してください。
3. ページを作成するか、開きます。
4. コンポーネントをページに追加します。
5. 構成パネルで [スタイル] タブを選択します。
6. [スタイルクラス] フィールドの横にある **[...]** アイコンを選択します。
   ページクラスとルールのポップアップが表示されます。



7. オプション: **[+** クラスの追加] を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

a. [スタイルクラス名] フィールドに名前を入力します。

b. コンポーネントに適用する CSS スタイルを指定します。

c. [Apply (適用)] を選択します。

8. オプション: **[+** ルールの追加] を選択します。

a. [スタイルルール名] フィールドに名前を入力します。

b. コンポーネントに適用する CSS ルールを指定します。

c. [Apply (適用)] を選択します。

9. [ページのクラスとルール] ポップアップを閉じます。

10. [スタイルクラス] フィールドを選択します。

11. リストからスタイル クラスまたはスタイル ルールを選択します。

12. [Save (保存)] を選択します。

13. [プレビュー] を選択して、適用されたスタイルクラスまたはスタイルルールをテストします。

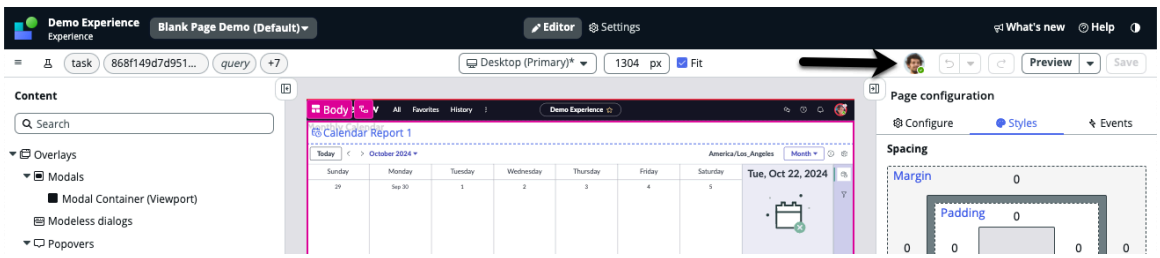
他の **UI** ビルダー 開発者とのコラボレーション

UI ビルダー は、より効率的で直感的な UI 開発のためのリアルタイムのコラボレーションツールとユーザープレゼンスインジケーターを提供します。

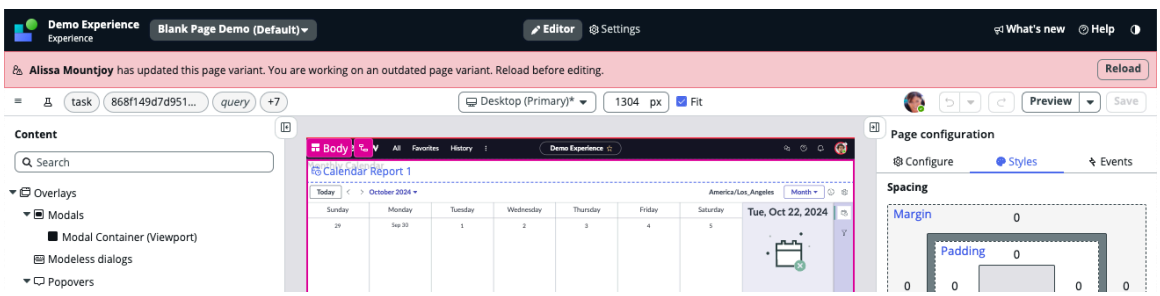
UI ビルダー オンラインでエクスペリエンス内の同じページで作業しているユーザーを確認できます。

他の開発者のアバターは、[元に戻す] ボタンの横にある UI ビルダー ヘッダーに表示されます。ユーザーのアバターのドットは、オンラインステータスを表します。

- ユーザーが現在ページで作業している場合は緑色の点
- ユーザーがログインしていない場合はドットなし

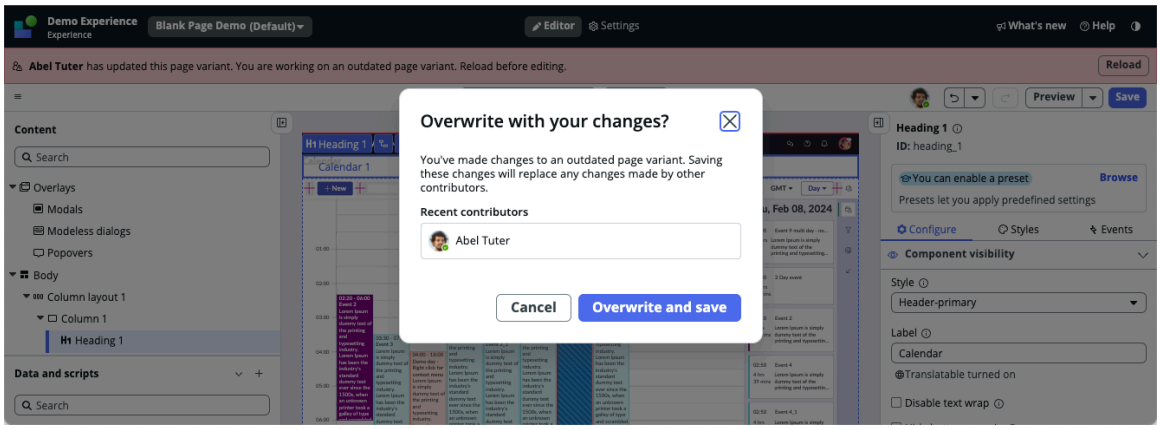


ページの編集中に他のユーザーが変更を行った場合に、ページをリロードして最新バージョンを表示するように求めるバナーが表示されます。



別のユーザーと同時に変更を加えた場合は、変更を 上書きして保存 し、ページのプレビューを続行するように求められます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



ページの変更を検索して比較する

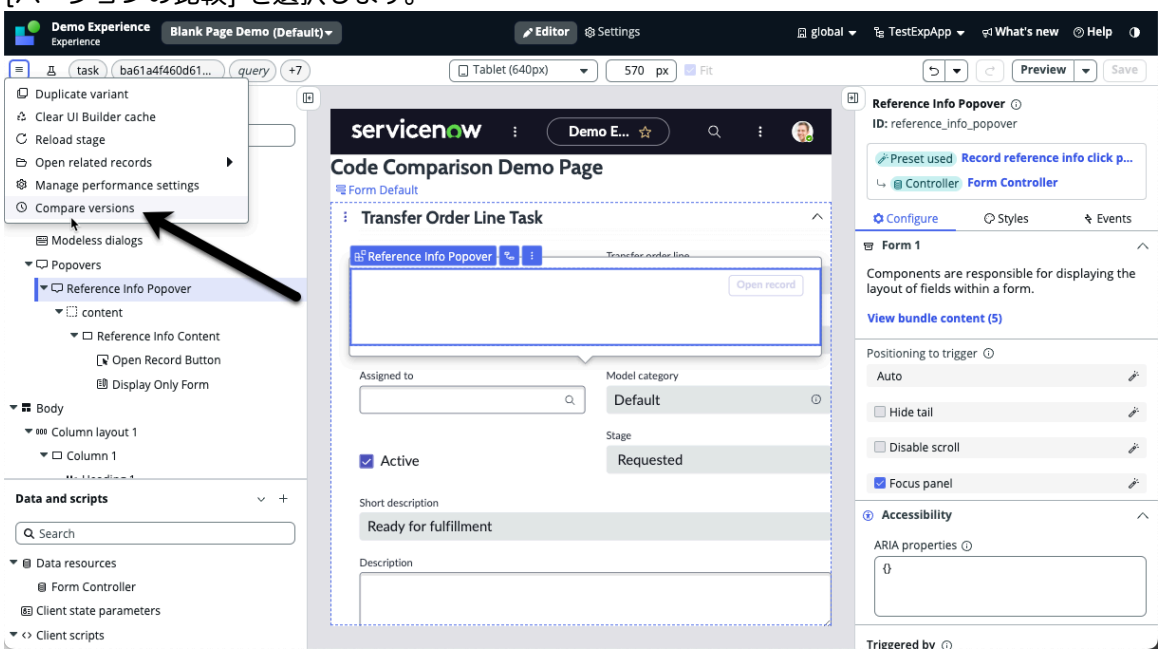
他のページビルダーと共同作業するときに、ページの異なるバージョン間の変更を追跡して比較します。

始める前に

必要なロール：ui_builder_admin

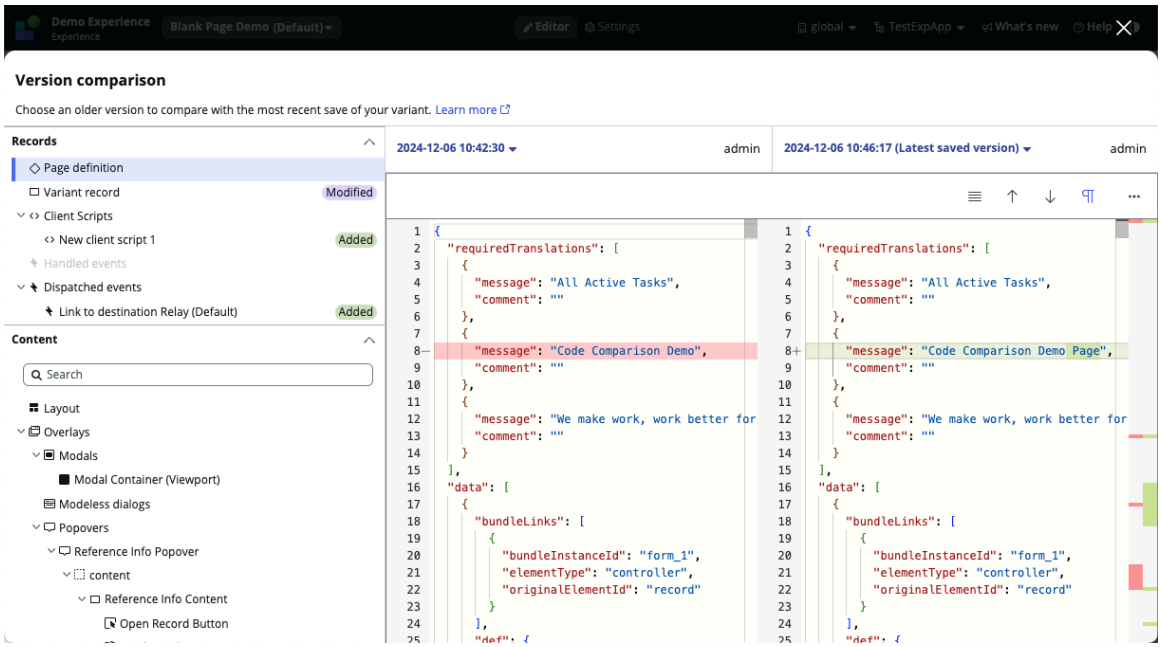
手順

1. 移動先 すべて > **Now Experience** フレームワーク > **UI** ビルダー.
2. 変更を比較するページを含むエクスペリエンスを開きます。
3. 比較する変更を含むページを選択します。
4. メニューアイコンを選択します。
5. [バージョンの比較] を選択します。



バージョン比較ドロワーが開きます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

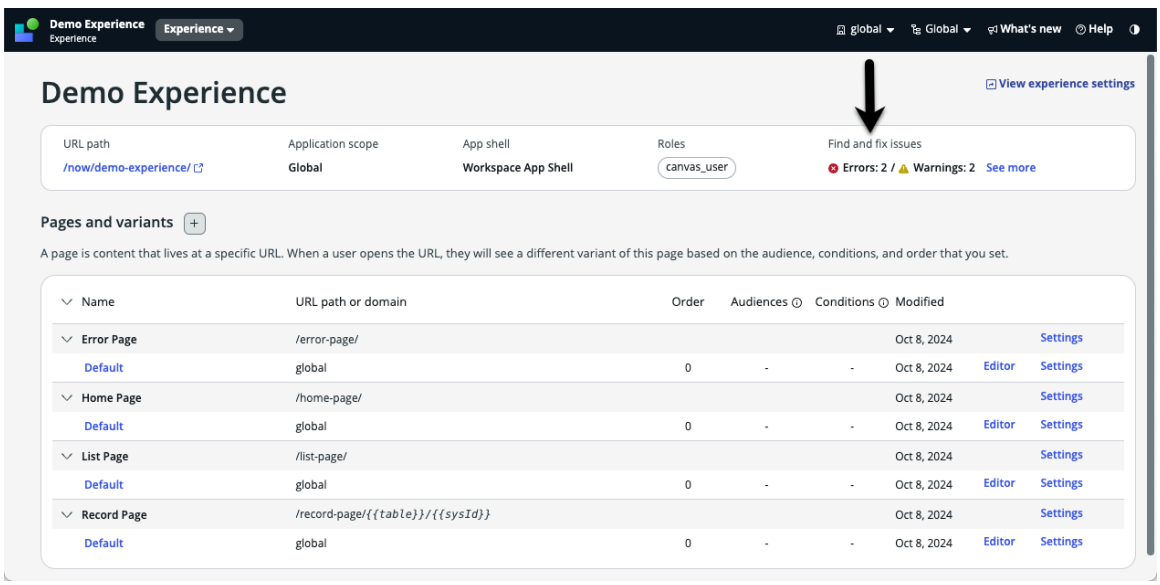


6. 変更を確認するには、次のいずれかを表示するアイテムを選択します。
   - 追加
   - 変更
   - 移動
   - 削除済み

での問題の検索と修正 **UI** ビルダー

UI ビルダー は、一般的な構成の問題とその修正方法に関するガイダンスを特定するのに役立ちます。

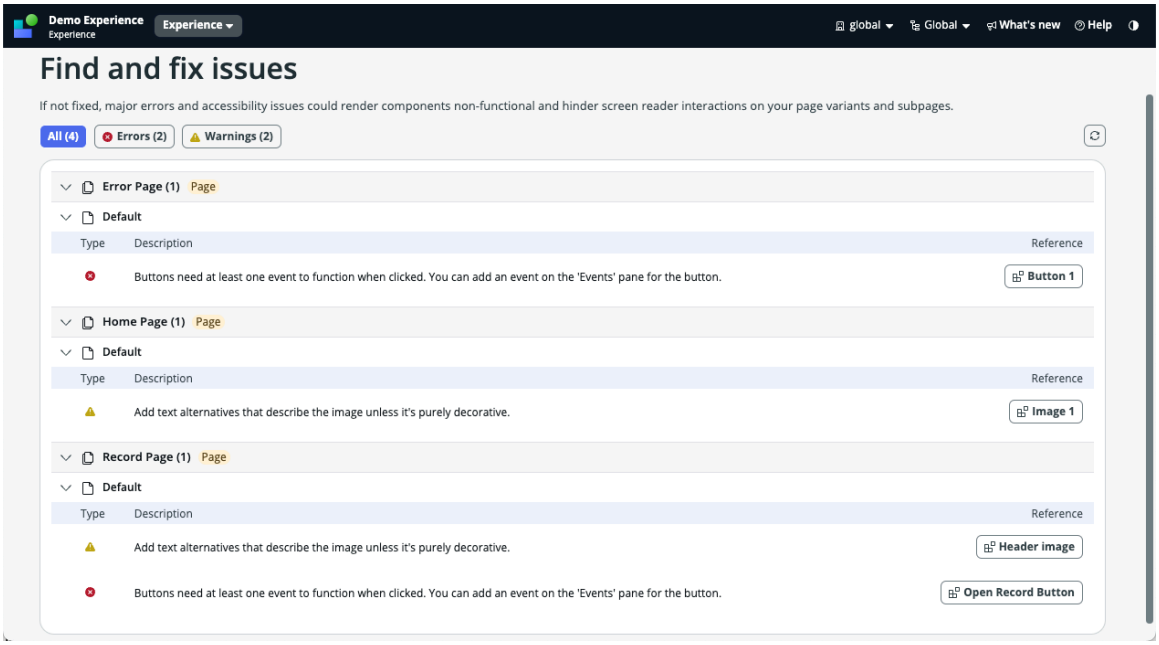
UI ビルダー は、不足している構成、エラー、およびアクセシビリティ標準についてエクスペリエンスを確認することで、問題を見つけて修正するのに役立ちます。問題のリストは、 UI ビルダー のエクスペリエンスビューの [問題を見つけて修正] セクションで確認できます。



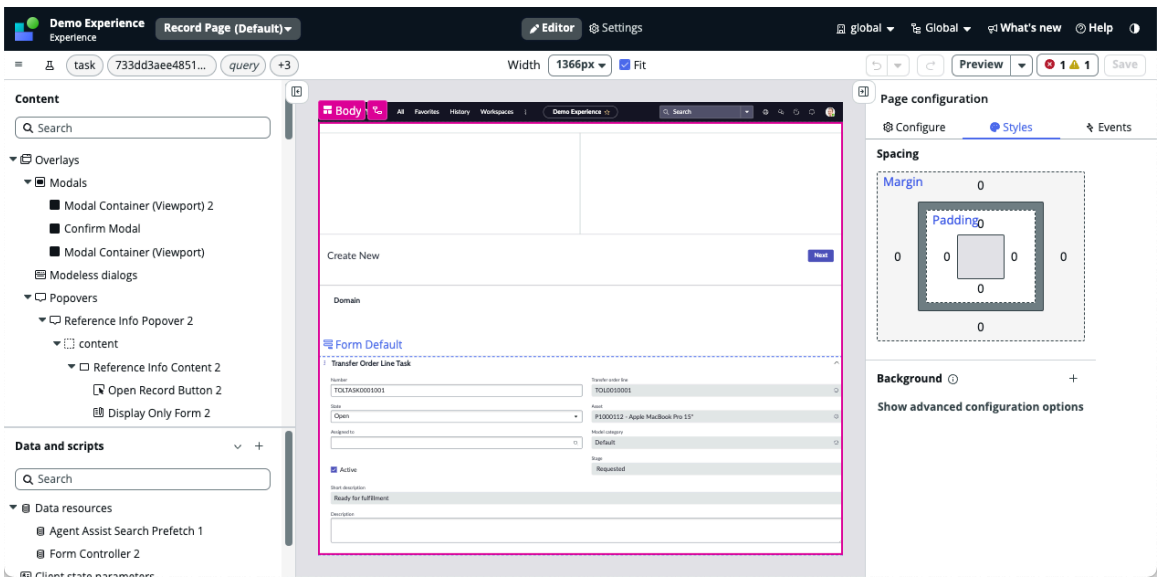
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[問題を見つけて修正] リスト

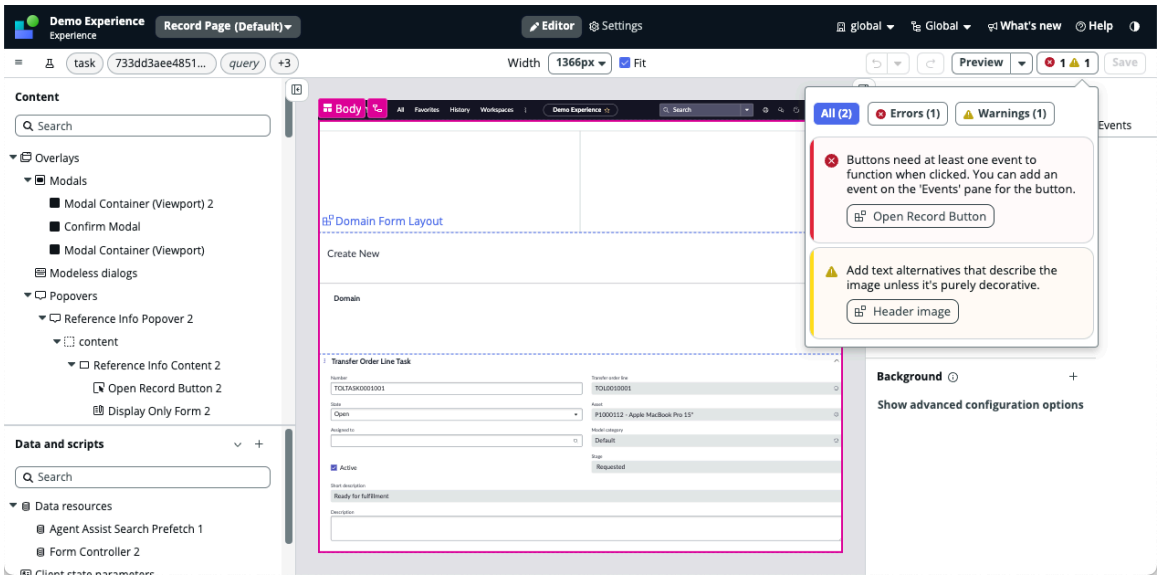


UI ビルダー問題は、ページビルダーのヘッダーの [保存] ボタンの横にも表示されます。ボタンは、ページ上のコンテンツのエラーと推奨事項を検出すると、自動更新されます。



詳細を確認するには、ビルダーアイコンを選択して、 UI ビルダーが作成した推奨事項のリストを表示します。エラーと警告ごとに、問題を含むコンポーネント名が一覧表示されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



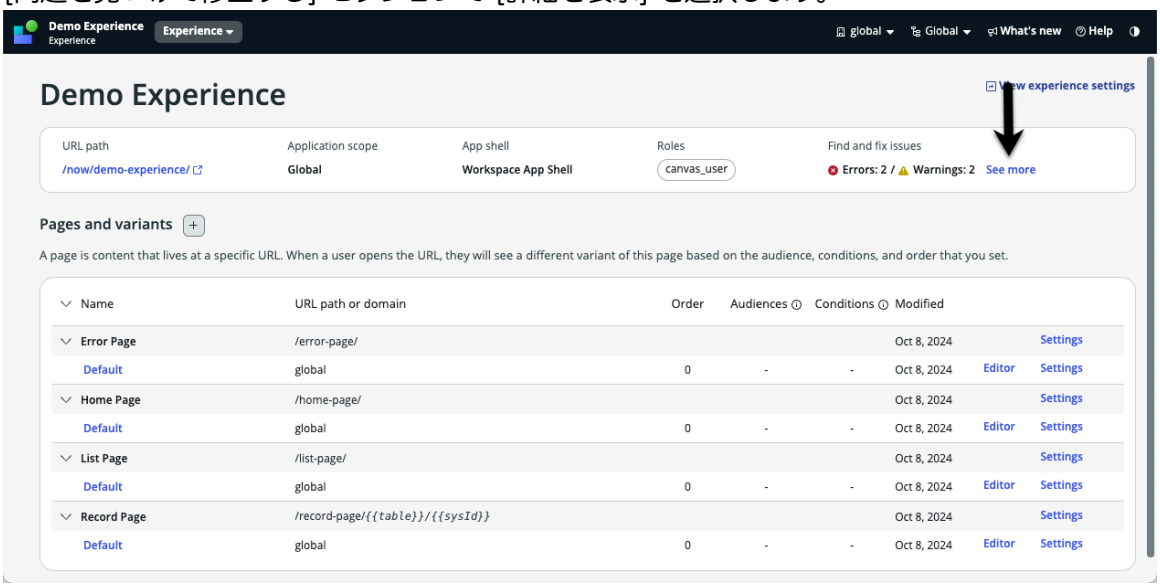
での問題の検索と修正 **UI** ビルダー

UI ビルダーエクスペリエンスで見つかった問題を見つけて修正します。

始める前に
必要なロール：ui_builder_admin

手順

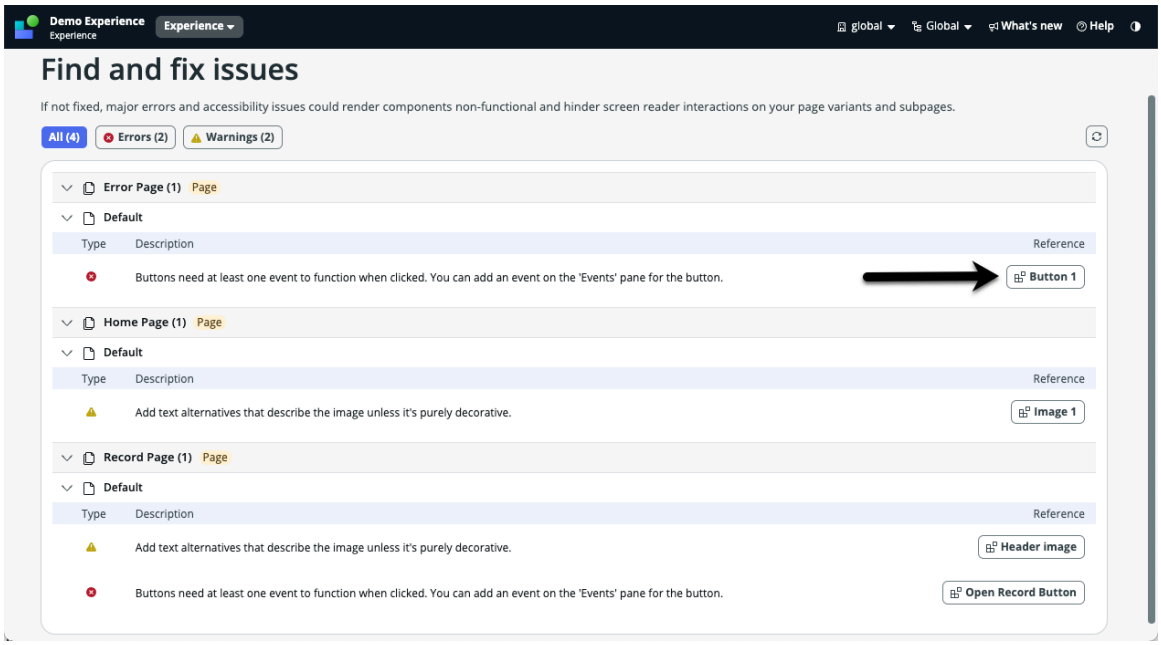
1. 移動先 すべて > **Now Experience** フレームワーク > **UI** ビルダー.
2. [エクスペリエンス] を選択して、問題を確認するエクスペリエンスを開きます。
3. [問題を見つけて修正する] セクションで [詳細を表示] を選択します。



4. [参照] セクションの下にあるボタンを選択して、エクスペリエンスで見つかった問題を修正します。

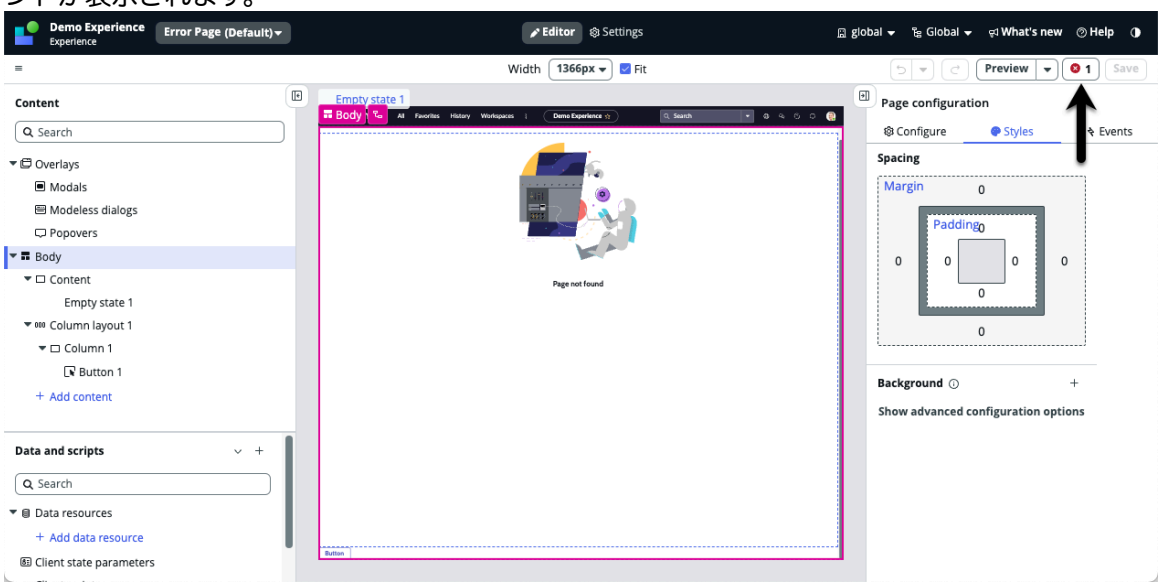
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



新しいタブが開き、問題のあるページが表示されます。

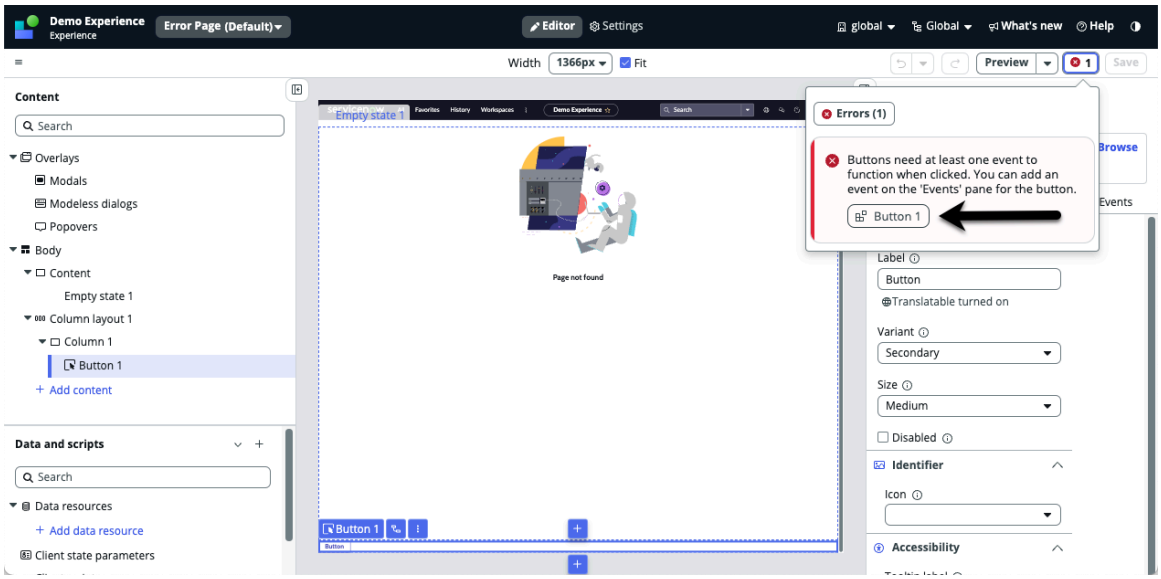
5. ヘッダーの [エラー] ボタンを選択すると、問題の簡単な説明と、問題が含まれているコンポーネントが表示されます。



コンポーネント名がエラーまたは警告に表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



6. 問題のあるコンポーネントを選択し、警告またはエラーテキストに記載されている指示に従います。
7. **[Save** (保存)] を選択します。

の **Now Assist** パネルに関するヘルプの取得 **UI** ビルダー

UI ビルダー での作業中に、Now Assist の AI 主導のガイダンスを利用できます。

Now Assistパネルの会話ヘルプは、UI ビルダー内のどのページからでもアクセスできるように構成できます。対話型ヘルプでは、生成 AI を使用してエクスペリエンスのどこからでも即座にサポートを提供するため、現在のアクティビティを中断することなく質問をしてすばやく回答を得ることができます。

対話型ヘルプは、製品ドキュメントに基づいて質問に回答しますが、インスタンスで構成した内容に固有のガイダンスを提供することはできません。

> **注:**
> Now Assistパネルを使用するには、Now Assist アドミン コンソールに クリエーターの Now Assist プラグインをインストールする必要があります。詳細については、Now Assist アドミンコンソールを参照してください

質問内容

Now Assistパネルで質問して新機能を見つけたり、特定のタスクを完了する方法を確認したりすることができます。たとえば、次のようになります。

- サイドナビゲーションを設定できますか?
- 動的データをリピーターにバインドするにはどうすればよいですか?
- ページで ネクストエクスペリエンスのコンポーネント を使用する際のベストプラクティスとデザインの考慮事項はどこにありますか?
- 再利用可能なページテンプレートを作成するにはどうすればよいですか?

Now Assistパネルの詳細については、「Now Assist パネル」を参照してください。

の **Now Assist** パネルに関するヘルプ **UI** ビルダー

質問をして、 UI ビルダーを離れることなくすばやく回答を得ることができます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に

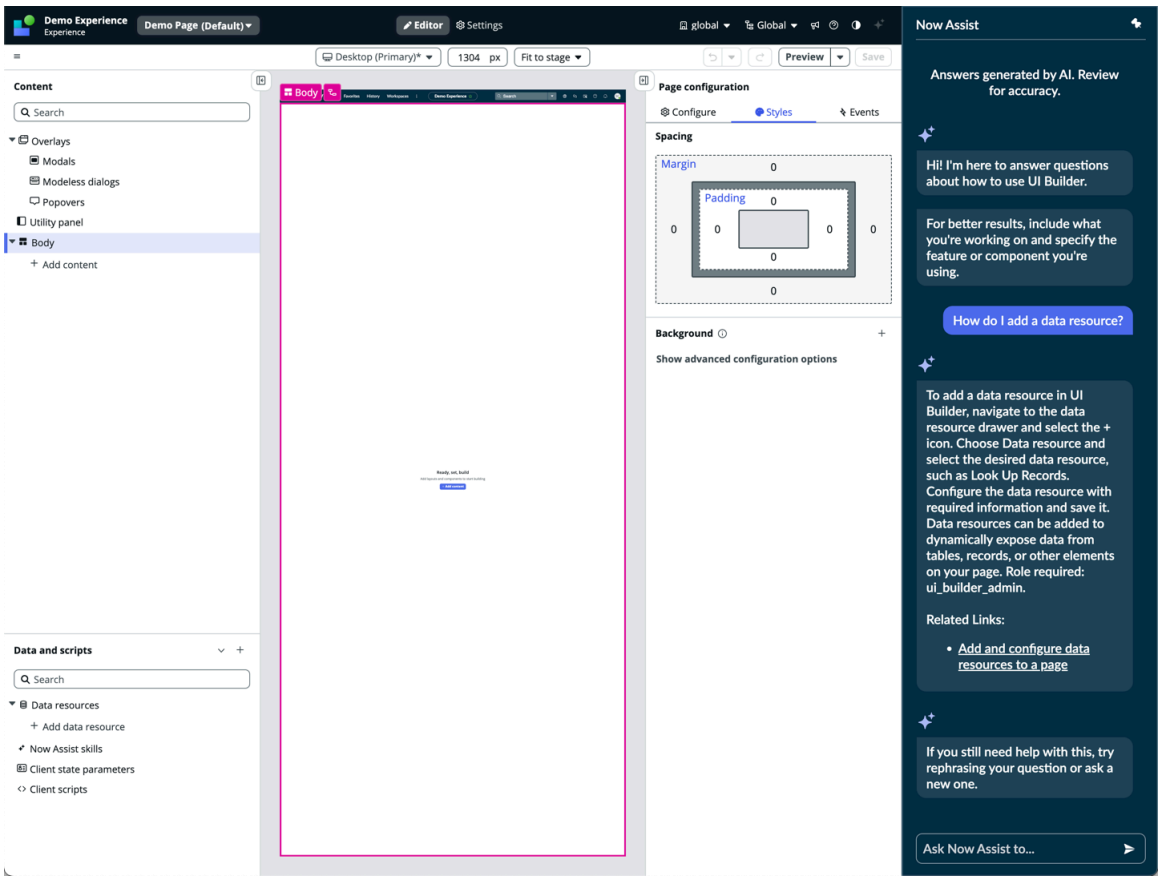
- 必要なロール：ui_builder_admin
- クリエーターの Now Assist プラグインが有効になります

手順

1. 移動先 すべて > **Now Experience** フレームワーク > **UI** ビルダー.
2. 作業するエクスペリエンスを開くか、選択してエクスペリエンスを作成します 作成 > エクスペリエンス.
   エクスペリエンスの作成の詳細については、「UI ビルダー でユーザーがアプリケーションをどのように操作するかを構成する」を参照してください。
3. ページを作成するか、開きます。
4. 右上の Now Assist アイコン を選択して Now Assist パネルを開きます。

   ヒント:
   ピンアイコンを選択すると、作業中にパネルを表示したままにすることができます。

5. テキストフィールドに質問を入力します。
6. Enter キーを押すか、[送信] ボタンを選択します。
   対話型ヘルプでは、生成 AI を使用して質問に即座に回答します。



7. オプション: 必要に応じてフォローアップの質問を行い、会話を続けます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

高度な **UI** ビルダー

UI ビルダー は、さまざまなスキルレベルを持つアプリケーション開発者に使用できます。このセクションの手順は、高度な経験を持つ開発者 (プロコーダーとも呼ばれます) が実行することをお勧めします。

コンポーネントとリピーターの設定 (高度な機能)

UI ビルダー でページをビルドするときに、コンポーネントを追加および設定できます。リピーターを使用すると、データリソースからコンポーネントまたは結果のある複数のコンポーネントを繰り返すこともできます。

コンポーネントの追加と構成

UI ビルダー でページにコンポーネントを追加する方法を学習します。ページはコンポーネントを追加することでビルドされます。

始める前に

必要なロール：ui_builder_admin

このタスクについて

コンポーネントは、UI ビルダー でカスタムページを作成するために使用される構成要素です。 コンポーネントをページに追加する方法を学習します。ページにコンポーネントを追加した後、コンポーネントを構成する必要があります。コンポーネントの構成の詳細については、ServiceNow 開発者サイトで「コンポーネントドキュメント」を参照してください。

手順

1. 移動先 すべて > **Now Experience** フレームワーク > **UI** ビルダー.
2. 作業するエクスペリエンスを開くか、選択してエクスペリエンスを作成します 作成 > エクスペリエンス.
   エクスペリエンスの作成の詳細については、「UI ビルダー でユーザーがアプリケーションをどのように操作するかを構成する」を参照してください。
3. ページを開くかまたは作成します。
   既存のページを開く場合は、元のページと同じスコープ内にあることを確認してください。そうでない場合は、ページの編集を開始する前にスコープを変更します。アプリケーションスコーピングは、アプリケーションファイルとデータへのアクセスを識別して制限することによってアプリケーションを保護します。アドミニストレーターは、アプリケーションのどの部分を他のアプリケーションからアクセスできるようにするのかを指定するスコープを設定できます。アプリケーションスコープは、データとアプリケーションファイルを保護します。アプリケーションスコープの詳細については、「セキュリティとロールについて学習する」を参照してください。
4. 既存のコンテナを選択するか、列レイアウトを作成します。
   詳細については、「UI ビルダーページでコンポーネントを整理する」を参照してください。
5. コンポーネントをページに追加します。
   UI ビルダー には、選択可能なコンポーネントのライブラリが付属しています。コンポーネントはページの構成要素として追加します。たとえば、見出しやデータ表示方法などを追加できます。次の表は、コンポーネントをページに追加するさまざまな方法を示しています。
6. 追加したコンポーネントのプロパティを構成します。
   コンポーネントを構成することは、ニーズに合わせてそれらをカスタマイズすることを意味します。コンポーネントの構成の詳細については、次を参照してください。 ネクストエクスペリエンス コンポーネント.

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. 構成するコンポーネントを選択します。

b. UI ビルダー の構成パネルから [構成] タブを選択します。

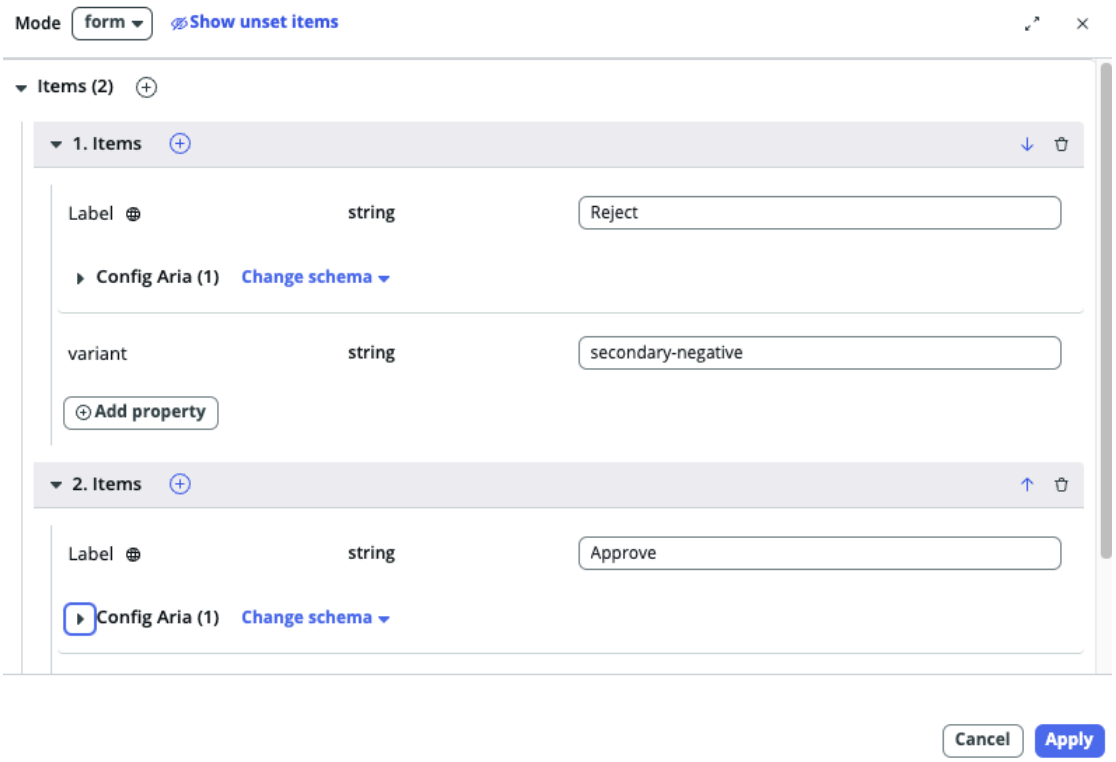
c. コンポーネントのコンポーネントプロパティをカスタマイズします。
たとえば、ボタンコンポーネントの名前を追加できます。データビジュアル化などの一部のコンポーネントでは、プロパティを構成する前にデータソースが必要です。各コンポーネントには、各コンポーネントの要件とオプションに基づくさまざまな構成プロパティがあります。たとえば、ボタンコンポーネントの構成はシンプルですが、リストコンポーネントにはより多くの構成が必要です。

d. 構成可能な JSON プロパティがあるコンポーネントの場合は、UI ビルダー のローコード JSON エディターを使用すれば、JSON コードを編集せずにコンポーネントのプロパティを編集できます。

JSON エディターの UI には、ダミーデータや定義済みの値で定義されていないプロパティも含め、使用可能なすべてのプロパティが表示されます。JSON エディター内でプロパティを更新するか、または独自のカスタムプロパティを追加できます。コンポーネントの構成の詳細については、「Now コードエディターでコードを編集する (高度な機能)」を参照してください。

> **注:**
> ローコード JSON エディターは、スキーマを持ちかつ JSON 入力がそのスキーマと一致するプロパティでのみ使用できます。

ローコード JSON エディターは、単純なオブジェクト、単純なアレイプロパティ、複雑なアレイ、オブジェクトのアレイをサポートし、複雑なオブジェクトも部分的にサポートします。複雑なアレイでは、アレイアイテムの位置を追加、削除、または移動できます。[未設定のアイテムを非表示] を選択して、値が空または null のオブジェクトを非表示にして、編集エクスペリエンスを簡素化することもできます。

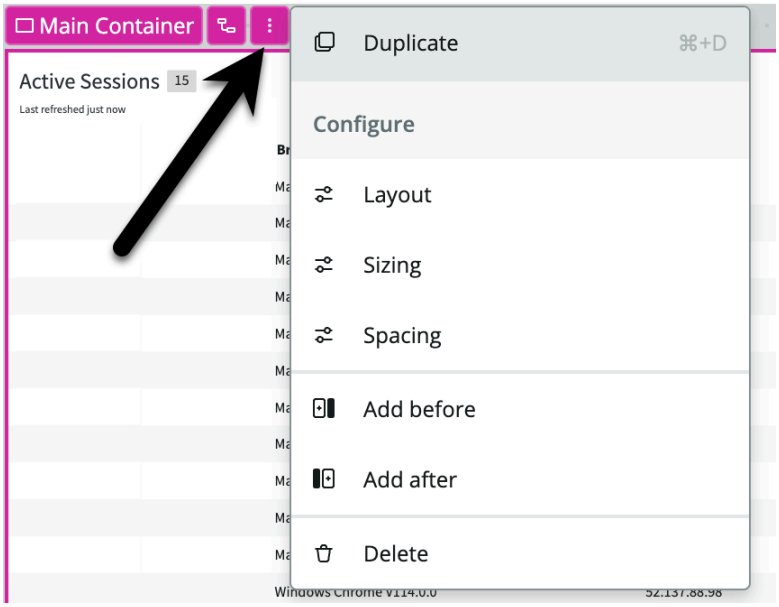


自動翻訳

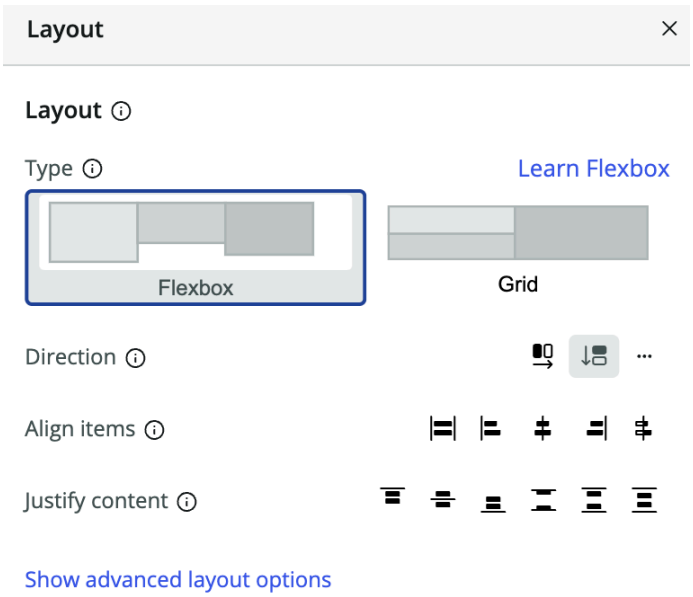
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

e. コンテナコンポーネントを操作するときは、フローティングパネルを使用して一部のスタイルを編集できます。

メニューアイコンを選択してメニューを表示します。



[レイアウト]、[サイジング]、または [スペース] オプションを選択して、最も一般的なオプションが表示されたフローティングパネルを開きます。必要に応じて、フローティングパネルを別の場所にドラッグします。一度に開くことができるフローティングパネルは 1 つだけです。



コンポーネントの構成の詳細については、次を参照してください。 ネクストエクスペリエンス コンポーネント.

7. オプション: [イベント] タブを選択して、コンポーネントにイベントハンドラーを追加します。イベントハンドラーを追加して、ページ上のコンポーネントにアクションを追加します。たとえば、ボタンコンポーネントは静的であり、レコードの保存など、イベントアクションをバインドするまでは何も実行されません。見出しコンポーネントなど、一部のコンポーネントにはイベントアクションが適用されません。ただし、多くのコンポーネントでは、実際にアクションを実行するためにイベントをコンポーネントにマッピングする必要があります。コンポーネントにイベントハン

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ドラーを追加する方法の詳細については、「コンポーネントへのイベントのバインド」を参照してください。

8. オプション: [スタイル] タブで CSS スタイリングを追加することで、コンポーネントのスタイルを上書きできます。
詳細については、「コンポーネントのデフォルトの外観を変更する」を参照してください。

   注:
   スタイルの変更は、一度に 1 つのコンポーネントにのみ影響します。エクスペリエンス内のすべてのコンポーネントの表示スタイルを変更するには、エクスペリエンスにテーマを適用する必要があります。詳細については、「UI ビルダーエクスペリエンスの表示スタイルの管理」を参照してください。

9. オプション: ページにコンテナを追加して、コンポーネントを整理して表示できます。
たとえば、1 つのコンテナに見出しコンポーネントを追加します。その下の別のコンテナには、リストコンポーネント、ボタンコンポーネントなどを含めることができます。
   a. コンテナの上部にある **[+]** を選択して既存のコンポーネントの前にコンテナコンポーネントを追加し、コンポーネントの下部にある **[+]** を選択してコンテナコンポーネントをその後に挿入します。
   b. コンテナコンポーネントを [コンポーネント] リストからページ上の既存のコンテナにドラッグします。コンテナの一番上の行にカーソルを合わせて新しいコンテナを既存のコンテナの前に挿入するか、既存のコンテナの一番下の行にカーソルを合わせて後ろに追加します。
10. オプション: ページのコンポーネントの上部または下部にある **[+]** を選択して、ページにコンポーネントを追加します (**[+]** が **[+** 追加] に変化します)。

   a. コンポーネントの上部にある **[+]** を選択して既存のコンポーネントの前にコンポーネントを追加するか、コンポーネントの下部にある **[+]** を選択してコンポーネントをその後に挿入します。
   b. コンポーネントをコンポーネントリストからドラッグして、既存のコンポーネントの前または後に挿入します。
11. オプション: ボタンなどのコンポーネントを選択したときにモーダルを表示するには、最初にコンポーネントにモーダルを追加する必要があります。
モーダルは、コンポーネントを選択すると表示される確認ポップアップです。たとえば、レコードを削除するボタンコンポーネントを追加する場合に、レコードを削除してよいかユーザーに確認を求めるモーダルを追加します。詳細については、「UI ビルダー でのモーダルの作成」を参照してください。
12. 作業時には頻繁にページの [保存] を選択します。
13. [プレビュー] ボタンを選択し、ページを表示してテストします。

次のタスク

ページにコンポーネントを追加して構成しました。詳細については、「UI ビルダーページでデータを動的に公開する (高度な機能)」を参照してください。UI ビルダー 内のデータリソースは、コンポーネントにコンテンツを表示するためにページがフェッチするデータです。コンポーネントは、さまざまなエクスペリエンス間でデータと構成を再利用し、コンポーネントをページ上で動的なものにする方法としてデータリソースを使用します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

UI ビルダー コンポーネント式エディターでサポートされている関数

UI ビルダー コンポーネント式エディターでサポートされているさまざまな関数について学習します。

次の表は、 UI ビルダー コンポーネント式エディターで使用できる関数を一覧表示しています。コンポーネント式エディターの詳細については、「コンポーネントを使用した UI ビルダー ページのカスタマイズ」を参照してください。

条件ビルダーで利用可能な演算子

演算子ラベル	条件の例	同等のクエリ演算子	サンプルクエリ	出力例
空であるものすべて (All empty)	[Short description] [ALL_EMPTY]	ALL_EMPTY	short_description=ALL_EMPTY	**[Short description]** フィールドに値がないすべてのレコード。
次の値に等しいすべて (All equal)	[Short description] [ALL_EQ] [Network storage unavailable]	ALL_EQ	short_description=Network storage unavailable	**[Short description]** フィールドの値が「Network storage is unavailable」と等しいすべてのレコード。
次の値より大きいすべて (All greater than)	[Impact] [ALL_GT][2 - Medium]	>	impact>2	**[Impact]** フィールドの値が **[3 - Low]** であるすべてのレコード
次の値以上のすべて (All greater than or equal)	[Impact] [ALL_GTE][2 - Medium]	>=	impact>=2	**[Impact]** フィールドの値が **[2 - Medium]** または **[3 - Low]** であるすべてのレコード
次の値未満のすべて (All less than)	[Reassignment count][ALL_LT] [2]	<	reassignment_count<2	**[Reassignment count]** フィールドの値が **2** 未満のすべてのレコード。
次の値以下のすべて (All less than or equal)	[Reassignment count][ALL_LTE] [2]	<=	reassignment_count<=2	**[Reassignment count]** フィールドの値が次のいずれかであるすべてのレコード。 • 2 未満の数 • 2
次の値と等しくないすべて (All not equal to)	[Impact] [ALL_NEQ][1 - High]	!=	impact!=1	**[Impact]** フィールドの値が **[1 -**

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

条件ビルダーで利用可能な演算子 (続く)

演算子ラベル	条件の例	同等のクエリ演算子	サンプルクエリ	出力例
				High] 以外のすべてのレコード。
空でないものすべて (All not empty)	[Impact] [ALL_NOTEMPTY]	ALL_NOTEMPTY	impactALL_NOTEMPTY	**[Impact]** フィールドに何らかの値があるすべてのレコード。
次のいずれでもないすべて (All not one of)	[Impact] [ALL_NOTONEOF] [1 - High, 2 - Medium]	ALL_NOTONEOF	impactALL_NOTONEOF1,2	**[Impact]** フィールドに次の値以外の値が入力されているすべてのレコード。 • **1 - High** • **2 - Medium**
次のいずれかであるすべて (All one of)	[Impact] [ALL_ONEOF] [1 - High, 2 - Medium]	ALL_ONEOF	impactALL_ONEOF1,2	**[Impact]** フィールドに次のいずれかの値が入力されているすべてのレコード。 • **1 - High** • **2 - Medium**
空であるもののいずれか (Any empty)	[Short description] [ANY_EMPTY]	ANY_EMPTY	short_descriptionANYEMPTY	**[Short description]** フィールドに値がないいずれかのレコード。
次の値に等しいいずれか (Any equal)	[Short description] [ANY_EQ] [Network storage unavailable]	ANY_EQ	short_description=Network storage unavailable	**[Short description]** フィールドの値が「Network storage is unavailable」と等しいいずれかのレコード。
次の値より大きいいずれか (Any greater than)	[Impact] [ANY_GT][2 - Medium]	ANY_GT	impactANY_GT2	**[Impact]** フィールドの値が **[3 - Low]** であるいずれかのレコード。
次の値以上のいずれか (Any greater than or equal)	[Impact] [ANY_GTE][2 - Medium]	ANY_GTE	impactANY_GTE2	**[Impact]** フィールドの値が **[2 - Medium]** または **[3 - Low]** であるいずれかのレコード。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

条件ビルダーで利用可能な演算子 (続く)

演算子ラベル	条件の例	同等のクエリ演算子	サンプルクエリ	出力例
次の値未満であるいずれか (Any less than)	[Reassignment count][ANY_LT][2]	ANY_LT	reassignment_count=ANY_LT2	**[Reassignment count]** フィールドの値が **2** 未満のいずれかのレコード。
次の値以下であるいずれか (Any less than or equal)	[Reassignment count][ANY_LTE][2]	ANY_LTE	reassignment_count=ANY_LTE2	**[Reassignment count]** フィールドの値が次のいずれかであるいずれかのレコード。 • 2 未満の数 • 2
次の値に等しくないいずれか (Any not equal)	[Impact][ANY_NEQ][1 - High]	ANY_NEQ	impactANY_NEQ1	**[Impact]** フィールドの値が **[1 - High]** 以外のいずれかのレコード。
空でないもののいずれか (Any not empty)	[Impact][ANY_NOTEMPTY]	ANY_NOTEMPTY	impactANY_NOTEMPTY	**[Impact]** フィールドに何らかの値があるいずれかのレコード。
次のいずれでもないいずれか (Any not one of)	[Impact][ANY_NOTONEOF][1 - High, 2 - Medium]	ANY_NOTONEOF	impactANY_NOTONEOF1,2	**[Impact]** フィールドに次の値以外の値が入力されているいずれかのレコード。 • **1 - High** • **2 - Medium**
次のいずれか (Any one of)	[Impact][ANY_ONEOF][1 - High, 2 - Medium]	ANY_ONEOF	impactANY_ONEOF1,2	**[Impact]** フィールドに次のいずれかの値が入力されているいずれかのレコード。 • **1 - High** • **2 - Medium**
CONCAT	CONCAT(value)	CONCAT	CONCAT("Welcome ",@context.session.user.firstName)	指定されたすべての文字列を Name に結合した新しい文字列を作成します

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

条件ビルダーで利用可能な演算子 (続く)

演算子ラベル	条件の例	同等のクエリ演算子	サンプルクエリ	出力例
EMPTY	EMPTY(value)	EMPTY	EMPTY(@context.session.user.roles)	値がnullまたは未定義の場合は true を返します
IF	IF(if, then, else)	IF	IF(@context.props.bare,"bare page","not bare page")	条件が true の場合、値 then を返します。条件が false の場合、値 else を返します。
LEN	LEN(list)	LEN	LEN([1,2,3])	アレイ内のアイテムの数を返します
Pick	PICK(array, field)	Pick	PICK(@context.session.user.preferences,"name")	アレイ内の各アイテムのフィールドから各アイテムが選択された新しいアレイを作成します。フィールドが存在しない場合、新しいアレイのアイテムは空になります
Range	RANGE(from, to)	範囲	RANGE(1,10)	from から to までの、段階的に増分される数値のアレイを作成します
合計	SUM(array)	合計	SUM([1,2,3])	0 から開始し、アレイ内の各アイテムの数値を加算して、結果の合計を返します
Translate	TRANSLATE(text)	翻訳	TRANSLATE("Welcome back")	2 番目の引数で指定された文字が 3 番目の引数で指定された文字に変換された後、最初の引数の文字列を返します。
空の場合 (Where empty)	[Short description] [WHERE_EMPTY]	WHERE_EMPTY	short_descriptionWHERE_EMPTY	**[Short description]** フィールドに値がないレコードを抽出します。
等しい場合 (Where equal)	[Short description] [WHERE_EQ] [Network storage unavailable]	WHERE_EQ	short_descriptionWHERE_EQ^Network storage unavailable	[簡単な説明] フィールドが「Network storage is unavailable」と等しいすべてのレ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

条件ビルダーで利用可能な演算子 (続く)

演算子ラベル	条件の例	同等のクエリ演算子	サンプルクエリ	出力例
				コードを抽出します。
次の値より大きい (Where greater than)	[Impact] [WHERE_GT][2 - Medium]	WHERE_GT	impactWHERE_GT[2	**[Impact]** フィールドの値が **[3 - Low]** であるレコードを抽出します。
次の値以上である (Where greater than or equal)	[Impact] [WHERE_GTE][2 - Medium]	WHERE_GTE	impactWHERE_GTE[2	**[Impact]** フィールドの値が **[2 - Medium]** または **[2 - Low]** であるレコードを抽出します。
次の値未満である (Where less than)	[Reassignment count] [WHERE_LT][2]	WHERE_LT	reassignment_count^WHERE_LT[2	**[Reassignment count]** フィールドの値が **2** 未満のレコードを抽出します。
次の値以下である (Where less than or equal)	[Reassignment count] [WHERE_LTE] [2]	WHERE_LTE	reassignment_count^WHERE_LTE[2	**[Reassignment count]** フィールドの値が次のいずれかであるレコードを抽出します。 • 2 未満の数 • 2
等しくない (Where not equal)	[Impact] [WHERE_NEQ] [1 - High]	WHERE_NEQ	impactWHERE_NEQ[1	**[Impact]** フィールドの値が **[1 - High]** 以外のレコードを抽出します。
空でない (Where not empty)	[Impact] [WHERE_NOTEMPTY]	WHERE_NOTEMPTY	impactWHERE_NOTEMPTY	**[Impact]** フィールドに何らかの値を持つレコードを抽出します。
次のいずれでもない (Where not one of)	[Impact] [WHERE_NOTONEOF] [1 - High, 2 - Medium]	WHERE_NOTONEOF	impactWHERE_NOTONEOF[1,2	**[Impact]** フィールドに次の値以外の値が入力されているレコードを抽出します。 • **1 - High** • **2 - Medium**

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

条件ビルダーで利用可能な演算子 (続く)

演算子ラベル	条件の例	同等のクエリ演算子	サンプルクエリ	出力例
次のいずれかである (Where one of)	[Impact] [WHERE_ONEOF] [1 - High, 2 - Medium]	WHERE_ONEOF	impactWHERE_ONEOF1,2	**[Impact]** フィールドに次のいずれかの値が入力されているレコードを抽出します。 • **1 - High** • **2 - Medium**

コンポーネントへのリピーターの追加

UI ビルダーでリピーターを使用すると、データリソースからコンポーネントまたは結果のある 1 つ以上のコンポーネントを繰り返すことができます。

始める前に
必要なロール：ui_builder_admin

このタスクについて
リピーターコンポーネントは、UI ビルダー内で複数のコンポーネントに提供するデータを繰り返す基本ループとして機能します。リピーターは、アレイ、またはオブジェクトのアレイを使用します。たとえば、アレイ [{"task": "A"},{"task": "B"}] は、その中のコンテンツを 2 回繰り返します。リピーターを使用すると、データアレイプロパティに値をバインドできます。@item.value.{property_name} は、リピーター内のコンポーネントに値をバインドします。「task」をバインドする場合、@item.value.task としてバインドすることができ、リピーターに正しい値が表示されます。

リピーター内のコンポーネントは、コンポーネント出力が動的かどうかに関係なく、データソース内のアイテム数を繰り返します。たとえば、3 つのデータ要素を持つリピーター内にヘッダーコンポーネントを配置しても、[ラベル] フィールドは変更しないとします。次に、同じ出力ラベルを持つヘッダーの 3 つのインスタンスが表示されます。

手順

1. 移動先 すべて > **Now Experience** フレームワーク > **UI** ビルダー.
2. 作業するエクスペリエンスを開くか、選択してエクスペリエンスを作成します 作成 > エクスペリエンス.
   エクスペリエンスの作成の詳細については、「UI ビルダー でユーザーがアプリケーションをどのように操作するかを構成する」を参照してください。
3. リピーターを追加するページのエディターを開きます。
   エクスペリエンスのページを作成していない場合は、ページの作成方法の詳細について、「UI ビルダー でのページの作成」を参照してください。
4. データリソースをページに接続します。

   たとえば、[複数のレコードを検索] データリソースをページに追加します。データリソースの接続の詳細については、「ページへのデータリソースの追加と構成」を参照してください。

   a. データリソースドロワーで、**[+** データリソースを追加 **(Add data resource)]** を選択します。

   b. モーダルで、[複数のレコードを検索] データリソースを検索し、[追加] を選択します。

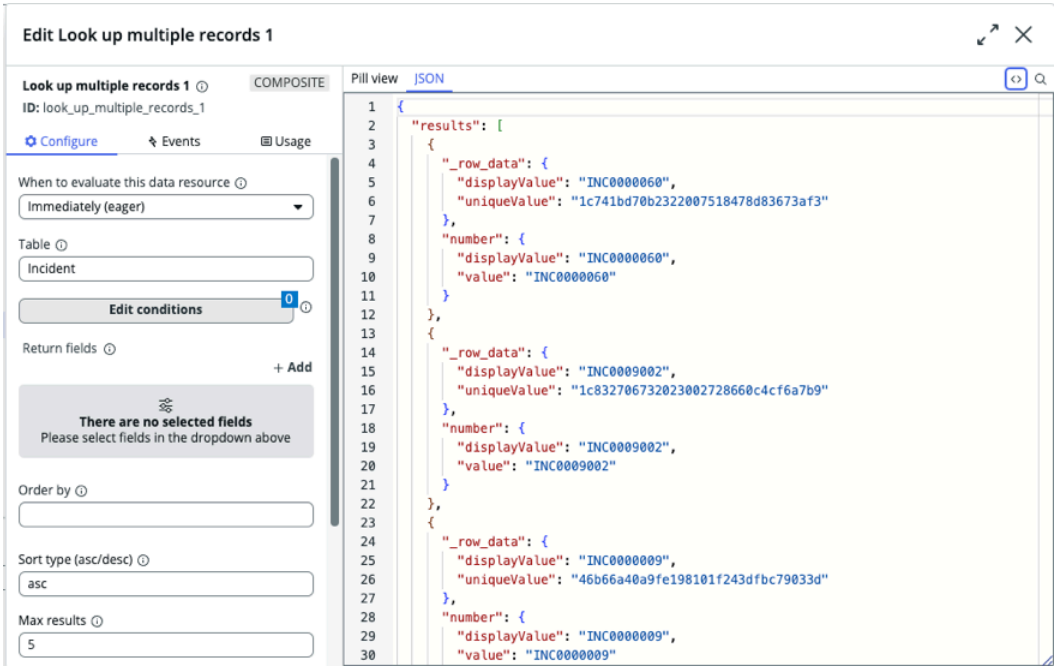
   c. [テーブル] フィールドに、インシデント と入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

d. [結果の最大数] フィールドに「5」と入力します。

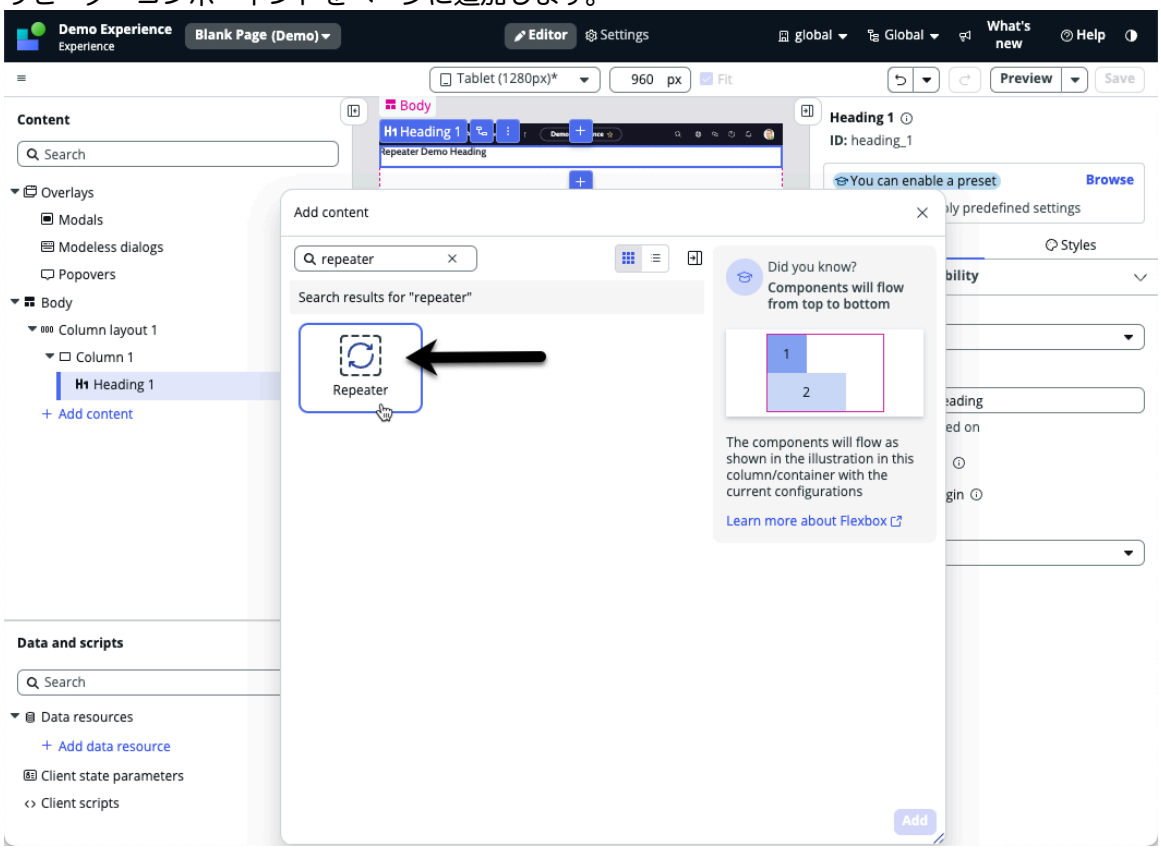
[複数のレコードを検索] データリソースが構成されます。



e. モーダルを閉じます。

5. 既存のコンテナを選択するか、列レイアウトを作成します。
詳細については、「UI ビルダーページでコンポーネントを整理する」を参照してください。

6. リピーターコンポーネントをページに追加します。



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

コンポーネントの追加の詳細については、「コンポーネントの追加と構成」を参照してください。

7. [構成] タブで、[なし - コンポーネントを手動構成します **(None - Configure the component manually)]** を選択します。
8. [構成] タブで、繰り返されるコンポーネントのデータを定義するアレイを追加します。

   a. [データアレイ] をポイントし、[データをバインド] アイコン ( ) を選択します。

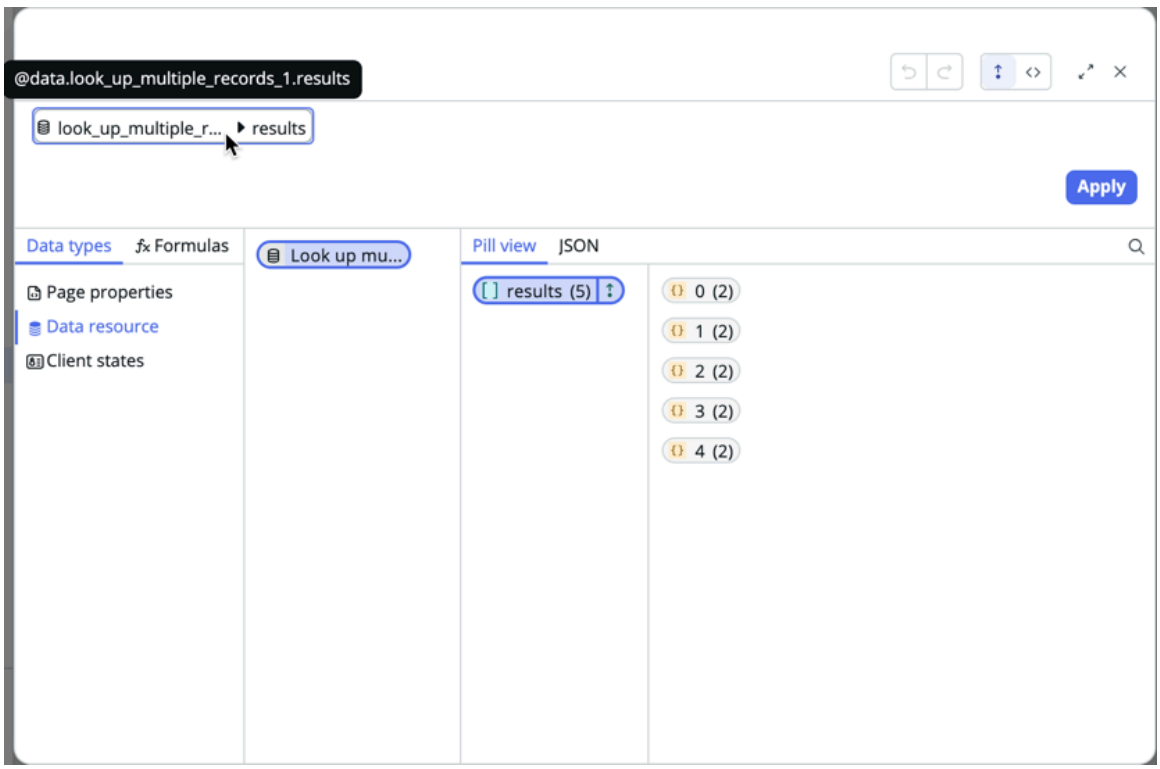
   b. [データタイプ] で、[データリソース] を選択します。

   c. 次の列で、[複数のレコードを検索 **1]** ピルを選択します。

   d. [ピルビュー **(Pill view)]** で、[結果] をダブルクリックまたはドラッグして、**[@data.look_up_multiple_records_1.results]** 出力を追加します。

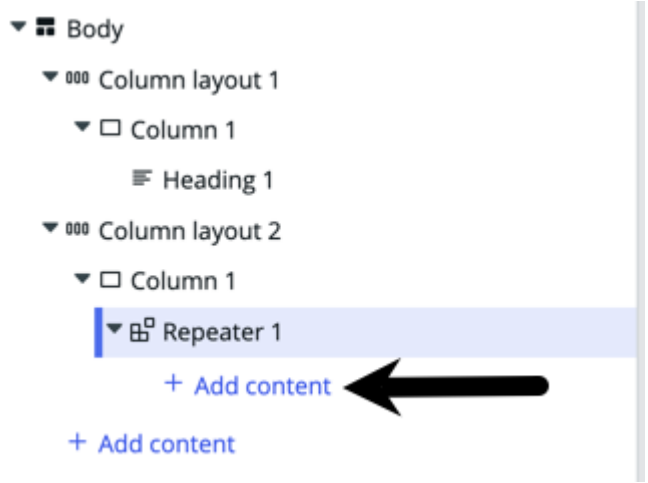
   e. [適用] を選択します。

   データリソースの結果は、リピーターコンポーネントにバインドされます。リピーター内では、1 つのコンポーネントが各結果を表します。



9. 前のステップで追加したリピーターの下で **[+** コンテンツを追加] を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



10. [見出し] コンポーネントを追加します。
11. [構成] タブで、[なし - コンポーネントを手動構成します **(None - Configure the component manually)]** を選択します。
12. リピーターでネストしたコンポーネントを構成します。

    たとえば、**[displayValue]** をコンポーネントにバインドします。詳細については、「コンポーネントへのデータ接続」を参照してください。

    a. カーソルを [ラベル] に移動し、[データをバインド] アイコン ( ) を選択します。

    b. [データタイプ] で [リピーター] を選択します。

    c. [ピルビュー **(Pill view)]** で、[値] ピルを選択します。

    d. 次の列で、[番号] ピルを選択します。

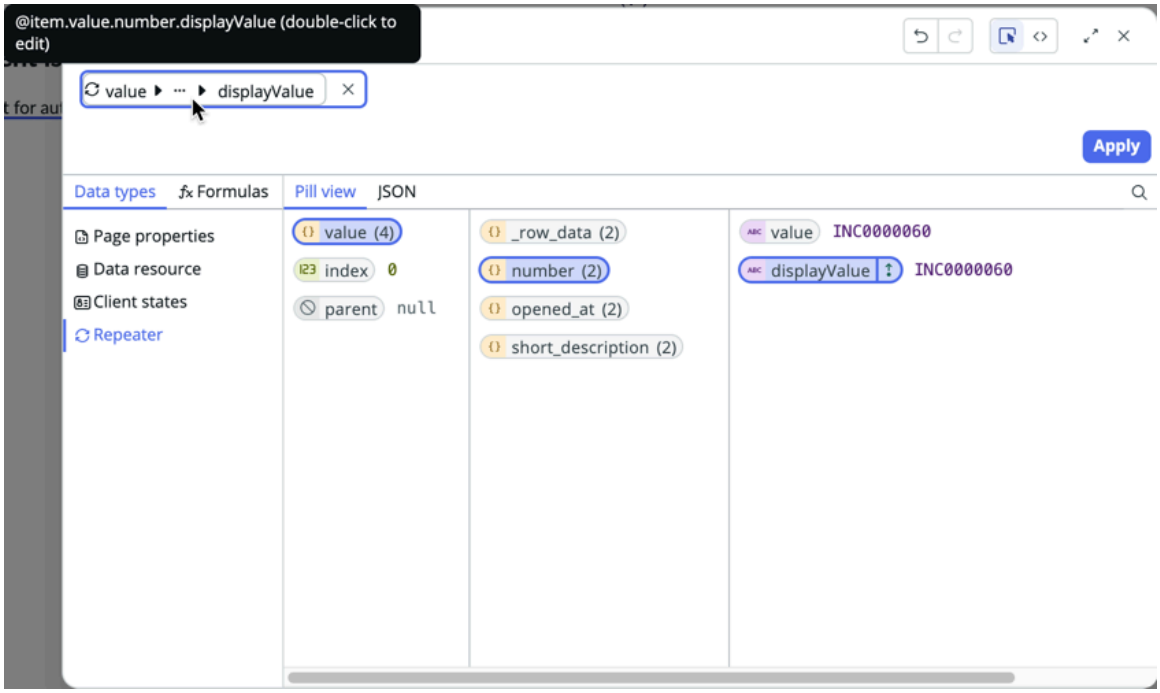
    e. 次の列で、**[displayValue]** をダブルクリックまたはドラッグして、**@item.value.number.displayValue** 出力を追加します。

    f. [適用] を選択します。

自動翻訳

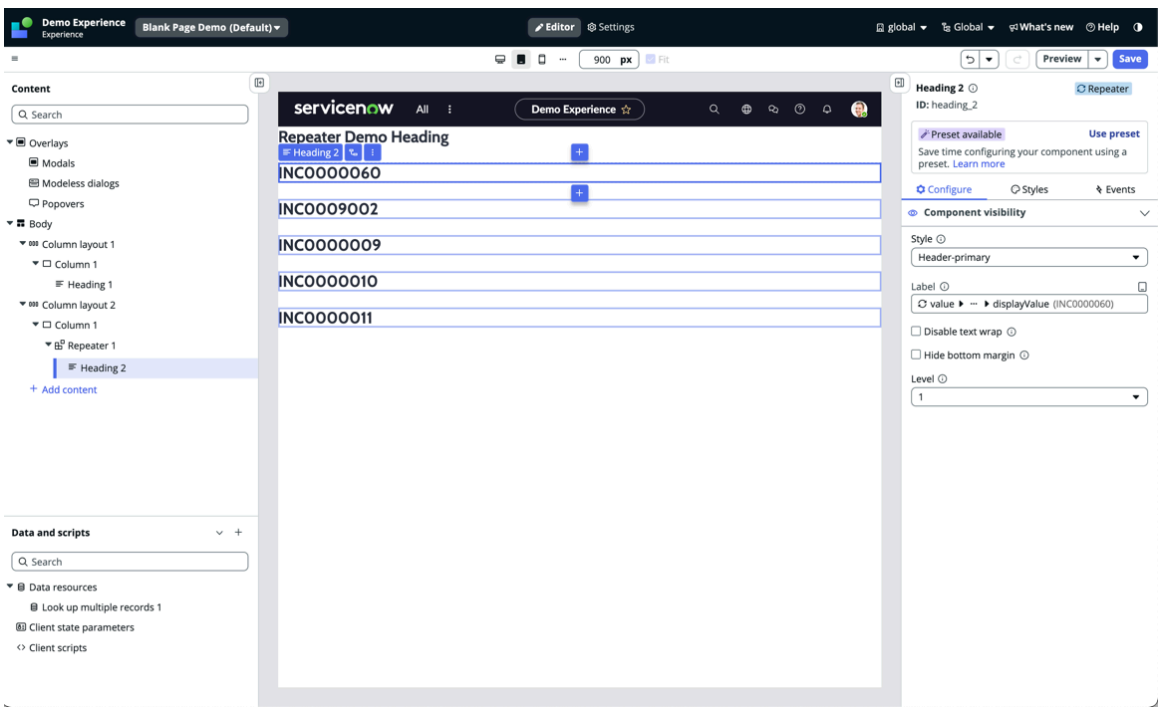
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[displayValue] は見出しコンポーネントにバインドされます。



13. [保存] を選択します。

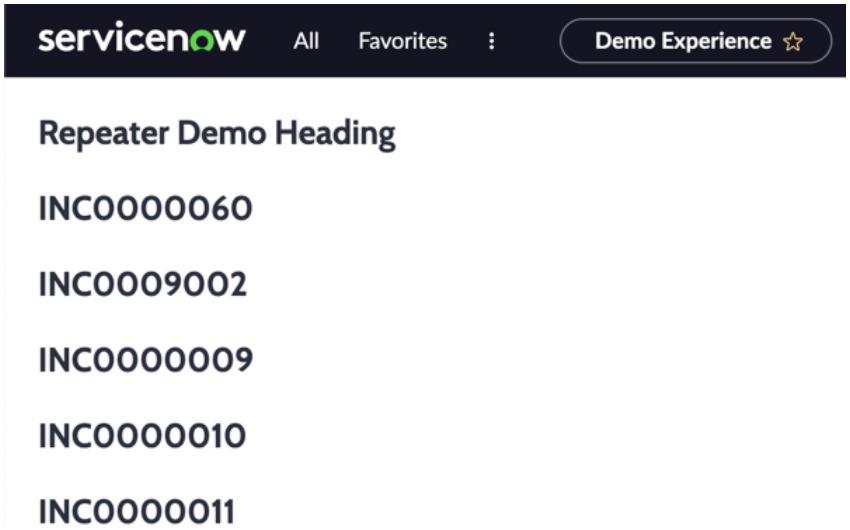
データリソースにバインドしたコンポーネントがステージに表示され、インシデントテーブルから返される結果ごとに 1 回ずつ、合計 5 回繰り返されます。



14. [プレビュー] ボタンを選択し、ページを表示してテストします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タブが開き、繰り返されるデータがあるページプレビューが表示されます。



ページのロードパフォーマンスの最適化 (高度な機能)

パフォーマンス設定は、優先度の高いコンテンツを最初に表示し、主要コンポーネントをより早くインタラクティブにして、より迅速に認識されるパフォーマンスを実現することで、リード速度とユーザーエンゲージメントを向上させます。

始める前に

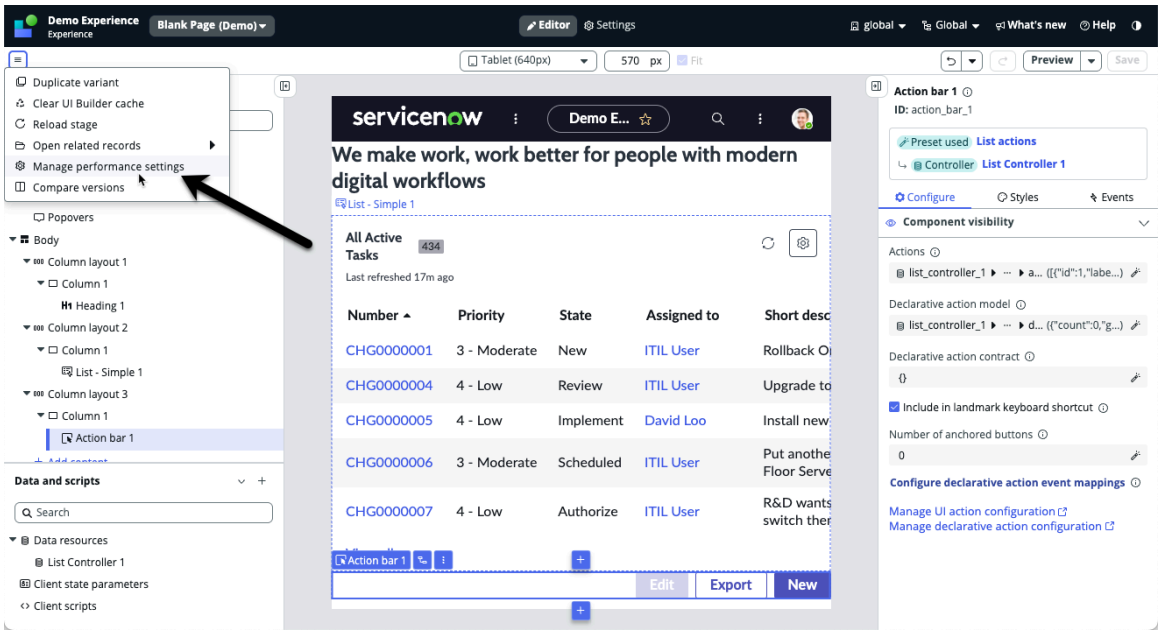
必要なロール：ui_builder_admin

手順

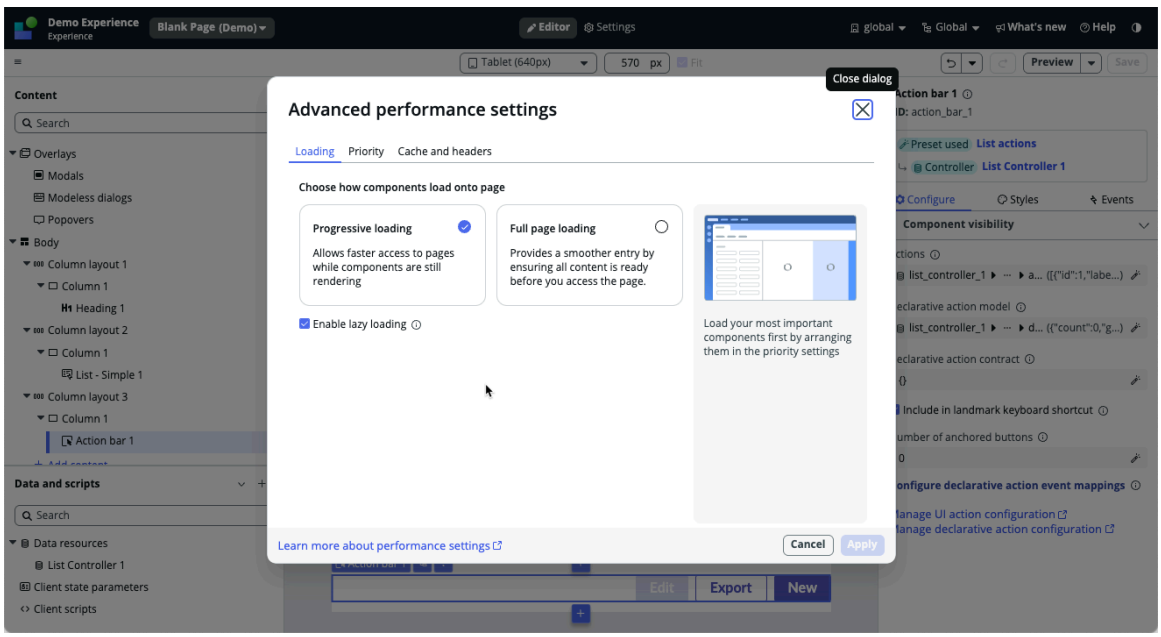
1. 移動先 すべて > **Now Experience** フレームワーク > **UI** ビルダー.
2. 作業するエクスペリエンスを開くか、選択してエクスペリエンスを作成します 作成 > エクスペリエンス.
   エクスペリエンスの作成の詳細については、「UI ビルダー でユーザーがアプリケーションをどのように操作するかを構成する」を参照してください。
3. ページを作成するか、開きます。
4. コンポーネントをページに追加します。
   パフォーマンス設定を調整するには、ページにコンポーネントが必要です。
5. メニューアイコンを選択します。
6. [パフォーマンス設定の管理] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



[パフォーマンスの詳細設定] モーダルが開きます。



7. コンポーネントをページにロードする方法を選択します。

8. コンポーネントがページにロードされる優先度を選択します。
   a. [優先度] タブを選択します。
   b. 優先順位を付けるコンポーネントを選択します。
   c. [高優先度にする] にチェックを入れます。
9. ページのロード時にキャッシュするデータを選択します。
   a. [キャッシュとヘッダー] タブを選択します。
   b. リストからデータリソースを選択します。
   c. [データポリシーのアクティブ化] をオンにします。
10. **[Apply** (適用)] を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

UI ビルダーページでデータを動的に公開する (高度な機能)

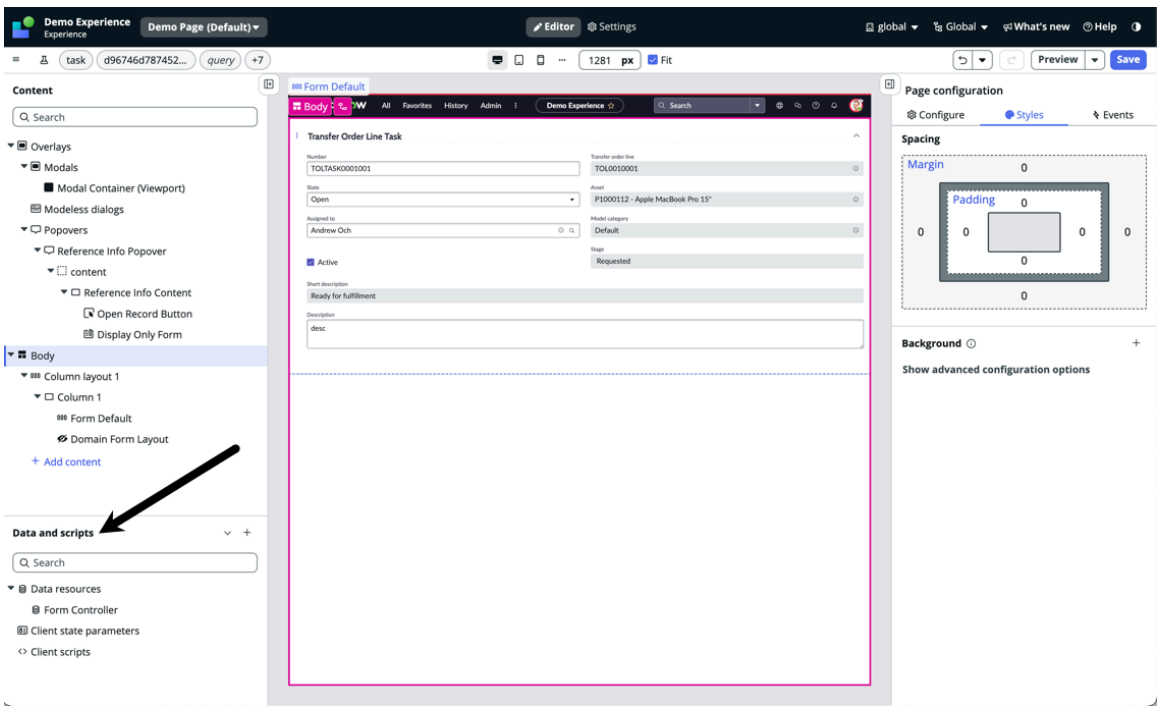
ServiceNow テーブル間でデータを同期し、UI ビルダー を使用してビルドしたページとデータを同期します。ページには同期されたデータがリアルタイムで表示され、ユーザーが情報を入力するとデータ/テーブルが更新されます。

UI ビルダーのデータリソースの説明

UI ビルダーは、データリソースを使用して ServiceNow テーブル/データを同期します。データリソースは、UI ビルダーがコンポーネントに情報を表示するために使用するデータをフェッチします。UI ビルダー コンポーネントはデータリソースを使用して、さまざまなエクスペリエンス間でデータを同期します。データリソースにより、コンポーネントのデータが動的なものになります。つまり、すべてのページのデータを再作成する必要がなくなります。

データリソースはデータリソースドロワーにあります。データリソースドロワーでは、ページのデータリソースを追加および構成できます。データリソースを構成した後、ページ上のコンポーネントと ServiceNow テーブル/データの間でデータを同期できます。

データリソースドロワー



データリソースドロワーには、次の 3 つのセクションがあります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- データリソース：エクスペリエンスの一部であるデータリソース
- 構成/イベント：エクスペリエンス用に構成されたデータリソースとイベント
- プレビュー：データリソースによって返される情報の JSON

コンポーネント、その他のデータリソース、クライアントスクリプト、クライアントステータス、およびイベントの構成プロパティをこれらのデータリソースにバインドできます。

データリソースのフィルターの条件を設定します。詳細については、「 コンポーネントへのデータ接続」を参照してください。

UI ビルダーのデータリソースの仕組み

データリソースは、Glide、GraphQL、および REST API からデータをフェッチし、UI ビルダーページ上のコンポーネントで使用するために変換します。

コンポーネントは、継承されたデータリソースインスタンスとローカルデータリソースインスタンスの両方を使用します。継承されたデータリソースは自動的に UI ビルダー ページにロードされ、ローカルデータリソースインスタンスを追加して構成できます。データリソースは指定された入力値に基づいて評価されます。これで正しいデータが取得されます。継承されたデータリソースとローカルデータリソースの詳細については、「UI ビルダーの継承されたデータリソースとローカルデータリソースの比較」を参照してください。

UI ビルダーのローカルデータリソース

サーバーデータ、操作、変換、または gForm API のようなクライアントデータなどのローカルデータリソースを選択して、データを UI ビルダーページに取り込むことができます。

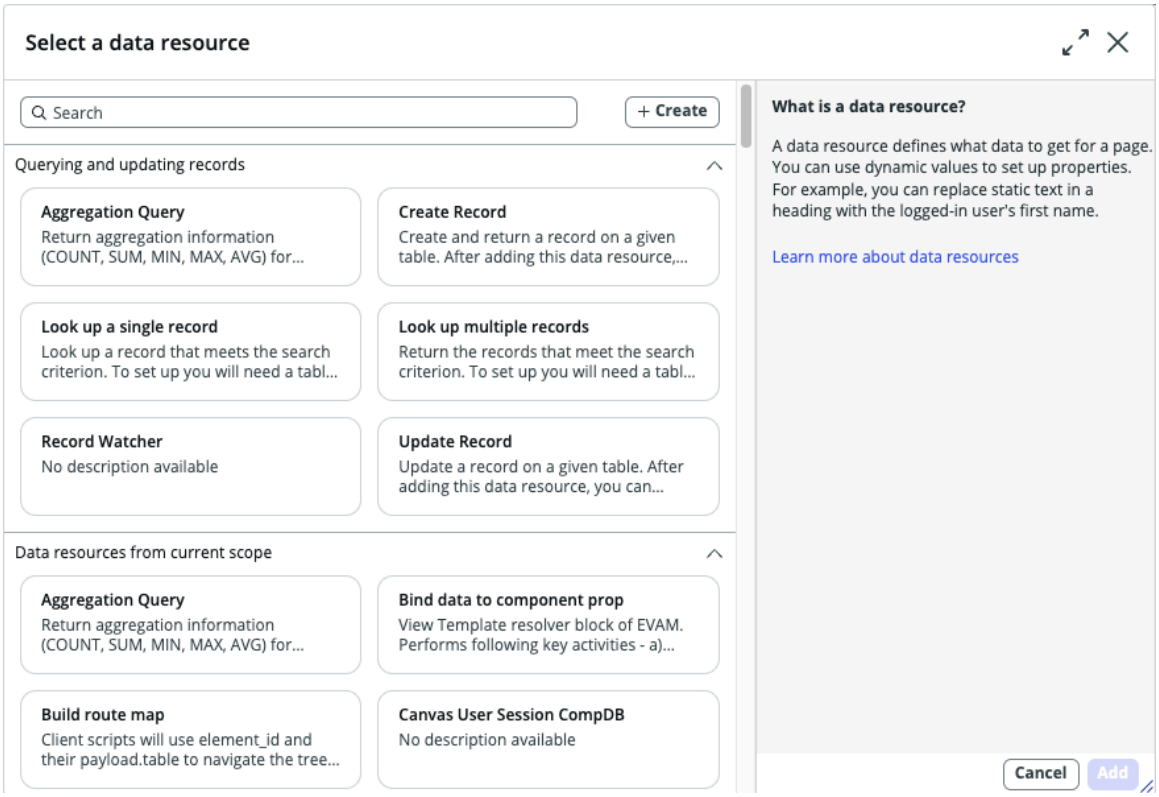
> **注:**
> UI ビルダー のページごとに 1 つの GlideForm のみがサポートされます。GlideForm の詳細については、ServiceNow Developer サイトを参照してください。

データリソースは、アプリケーション別にデータリソースドロワーに整理されます。さらに、サーバーデータや変換などのデータリソースタイプ別に分類されます。たとえば、グローバルアプリケーションにはいくつものデータリソースがありますが、カスタマーサービス管理 (CSM) ワークスペースアプリケーションには少数のデータリソースしかありません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

データリソース



使用しているアプリケーションに応じて、さまざまなデータリソースが表示されます。グローバルアプリケーションを選択した場合、CSM 構成可能ワークスペースアプリケーションを選択した場合とは異なるデータリソースが [サーバーデータ] に表示されます。

UI ビルダーのデータバインディングの使用

データバインディングを使用すると、ページとコンポーネントをデータリソースに同期することで、動的ページを作成できます。データをコンポーネントにバインドしてバックエンドからデータを取得し、フィールドパラメーターを使用して URL からプロパティを取得できます。URL パラメーターを変更すると、パラメーターに応じて異なるデータを表示する動的ページを作成できます。

次の方法でデータをコンポーネントにバインドできます。

コンテキストのバインディング

URL パラメーターを使用して、URL の一部をページのプロパティに接続します。たとえば、`@context.props.table` などの @context 構文を使用して、URL からコンポーネントにテーブル名をリンクできます。

`table` という名前の必須フィールドを持つ UI ビルダー ページがあるとします。ページの URL は、/demo/page/<table-name> のようになります。<table-name> は incident などとなります。データは、親データリソースから取得することも、ページ固有のローカルプロパティにすることもできます。

コンポーネントプロパティ、他のデータリソースプロパティ、またはイベント詳細をページプロパティにリンクするには、`@context.props.table` バインディングを使用します。コンテキストバインディングを使用している場合は、URL にテスト値を指定するか、ページの構成でそのプロパティの固定値を設定します。

データリソースのバインディング

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クライアントステータス、GraphQL、REST API など、インスタンスのバックエンドからデータをフェッチするデータリソースを使用します。これらのデータソースには、UI ビルダー ページ上の要素にリンクできるプロパティがあります。

たとえば、[ルックアップレコード] データリソースを使用している場合は、ボタンコンポーネントで利用できます。@data.lookup_record_1.result.number.displayValue のような「ラベル」プロパティでデータ式を使用できます。

コンポーネントのバインディング

コンポーネントのバインディングを使用して、あるコンポーネントを別のコンポーネントに接続します。UI ビルダー ページにリストメニューコンポーネントがあるとします。リストメニューは、現在選択されているリストを同じページ上の他のコンポーネントに表示します。他のコンポーネントは、@elements.list_menu_1.selectedListId などの式を使用してデータにリンクすることで、データにアクセスできます。

クライアントステータスパラメーターのバインディング

クライアントステータスパラメーターのバインディングを使用して、クライアントサイドアプリケーションと UI ビルダー コンポーネントの間でデータを接続して同期します。パラメーターバインディングを使用すると、クライアントステータスはコンポーネント内のデータを自動的に更新できます (その逆も同様です)。@state 構文を使用して、ステータスプロパティをクライアントステータスパラメーターにバインドします。

UI ビルダー で利用可能なデータソースのタイプ

次の表に示すデータリソースタイプを使用できます。

データリソースタイプ

データリソースタイプ	説明
コントローラー	データとイベントロジックをカプセル化し、コンポーネントのプリセットを有効にします。
GraphQL	実行される GraphQL クエリとミューテーション。
変換	入力データを別の形式に変換するスクリプト。
クライアントステータス	クライアント情報、ドメイン固有のステータスまたはロジック、ユーザー設定などを含むクライアントサイドのデータリソース。
総合	複数のデータリソースを含む単一の再利用可能なデータリソース。
REST	REST API 要求を介して作成されたデータリソース。

UI ビルダーの継承されたデータリソースとローカルデータリソースの比較

継承されたデータリソースは、アプリケーションなどの UI ビルダー ページの周辺部分の情報を共有します。ページが大きなフレーム内にあり、そのフレームまたはその周りの他の部分から何らかの情報を取得することを想像してください。この情報は、パズルのピースをつなぎ合わせるように、ページのプロパティに接続することで使用できます。フレームからこの情報を取得する場合に、自分で再度取得する必要はありません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ローカルデータリソースは、自分で UI ビルダー ページに追加するアイテムです。出張要求のページを作成しているとします。従業員データをリストコンポーネントに同期すると、従業員は自分の情報にリンクされた出張を要求できるようになります。

これらのデータリソースを使用するには、アプリから取り込むか、ServiceNow プラットフォームで作成します。その後、UI ビルダー で、これらのリソースをコンポーネントで使用できるようにします。次に、データをコンポーネントに関連付けて、操作できるようにします。たとえば、一連のレコードを UI ビルダーで公開して、コンポーネントにリンクできます。そこから、新しいレコードの保存などのデータ処理を行うようにコンポーネントを構成します。

ページでデータを同期したら、ページ内でデータを必要とする部分 (コンポーネントなど) に接続します。これは、適切なパズルのピースが適切な場所に収まることを確認するようなものです。これで、ページのその部分に対し、データをどう処理するかを指定できます。たとえば、データを使用して従業員の新しい出張計画を追加できます。

UI ビルダーデータリソースのプロパティ

UI ビルダー にデータリソースを追加するのは、情報の取得先を把握しているツールを追加するようなものです。データリソースプロパティは、データを UI ビルダー ページに取り込む方法をデータリソースに伝える指示です。これらのプロパティは、取得するデータ、その編成方法、従うべき条件をデータリソースに指示します。たとえば、これらのプロパティを使用して、検索するテーブル、データのソート方法などを指定できます。これらのプロパティは、データリソースを正しく動作させ、必要なデータを提供するものです。

データリソースを追加した後、先行的にロードするか、明示的にロードするかを選択できます。以下の説明を使用して、ページに最適なアプローチを決定してください。この決定は、パフォーマンス、ユーザーエクスペリエンス、およびリソース効率に影響を与える可能性があるため、違いを理解することが重要です。

即座 (先行評価)

ページまたはコンポーネントがロードされると、データが自動的にロードされます。

ユーザーがすぐに見ることを期待するコアコンテンツに役立ちます。

未使用のデータをフェッチすることで、ページとコンポーネントのロードが遅くなる可能性があります。

呼び出された場合のみ (明示的な評価)

ユーザーが特定のアクションを実行するまでデータのロードを保留します。たとえば、ボタンをクリックしたり、フィールドにデータを入力したりします。

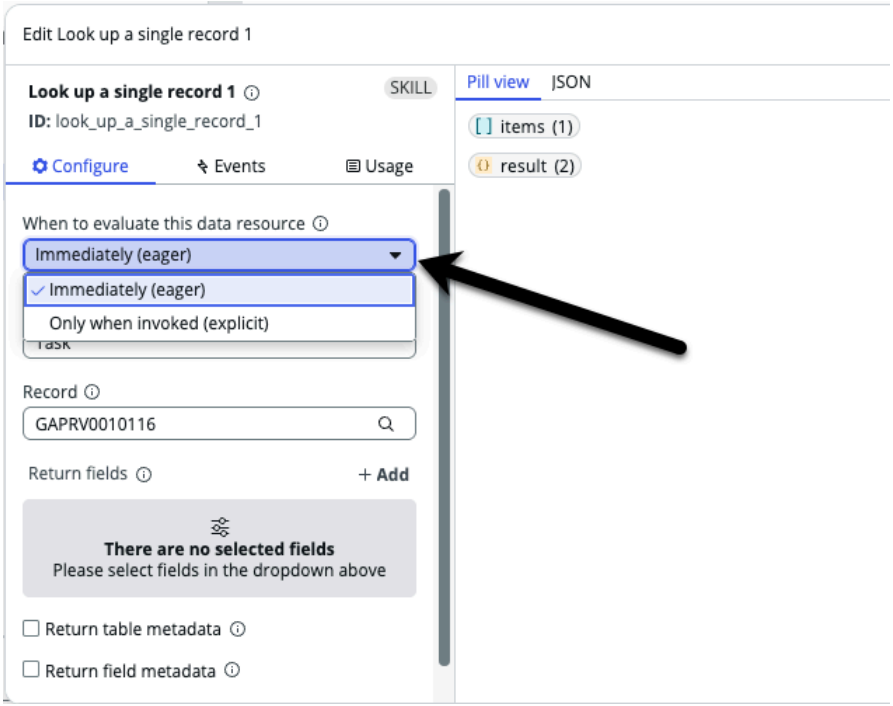
必要な場合にのみデータをフェッチすることで、リソースを節約します。

最初のページのロードを高速化します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

データリソース評価オプション



UI ビルダーデータリソースのスクリプト

データリソーススクリプトは、特定のデータを返すために UI ビルダー に与える特別な指示です。たとえば製品のリストを処理している場合、スクリプトを使用してデータリソースに対し、在庫のある製品のみを表示したり、製品を特定の順序で並べ替えたりすることを指示できます。データリソーススクリプトを使用すると、ルールやアクションの追加など、UI ビルダー で情報をどのように処理するかをカスタマイズできます。

ページへのデータリソースの追加と構成

データリソースを追加して、UI ビルダー のページ上のテーブル、レコード、またはその他の要素からデータを動的に公開します。

始める前に

必要なロール：ui_builder_admin

データリソースを含むアプリケーションを選択します。グローバルアプリケーションには、最も一般的なデータリソースが含まれています。データリソースは、サーバーデータ、操作、および変換に関連しています。ルックアップレコード、テーブルルートマップ、GlideRecord クエリなどのデータリソースを追加できます。

このタスクについて

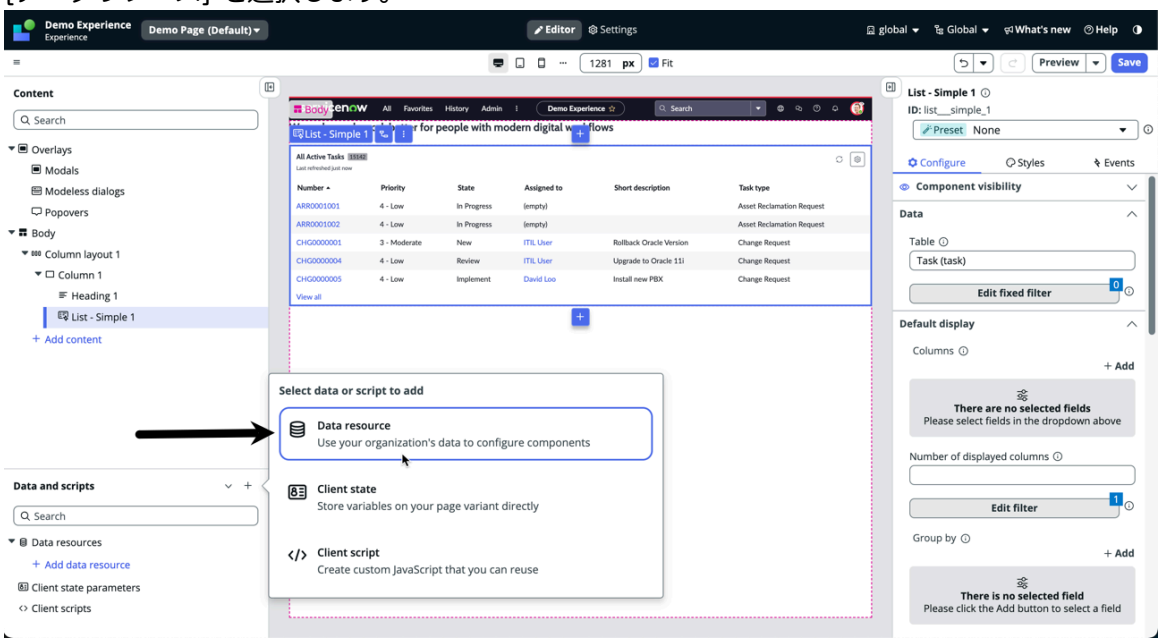
UI ビルダー のデータリソースセクションでは、ページのローカルデータリソースインスタンスを追加および構成できます。ローカルデータリソースインスタンスは、データをコンポーネントに動的に公開します。継承されたデータリソースがある場合、[継承されたデータリソース (inherited data resource)] ペインに一覧表示されますが、読み取り専用です。UI ビルダー では、継承されたデータを構成しません。セキュリティ権限で制限されていない限り、任意のアプリケーションのデータリソースを任意のページに追加できます。ページに同じデータリソースの異なる構成が必要な場合に、同じデータリソースの複数のローカルインスタンスを追加できます。

自動翻訳

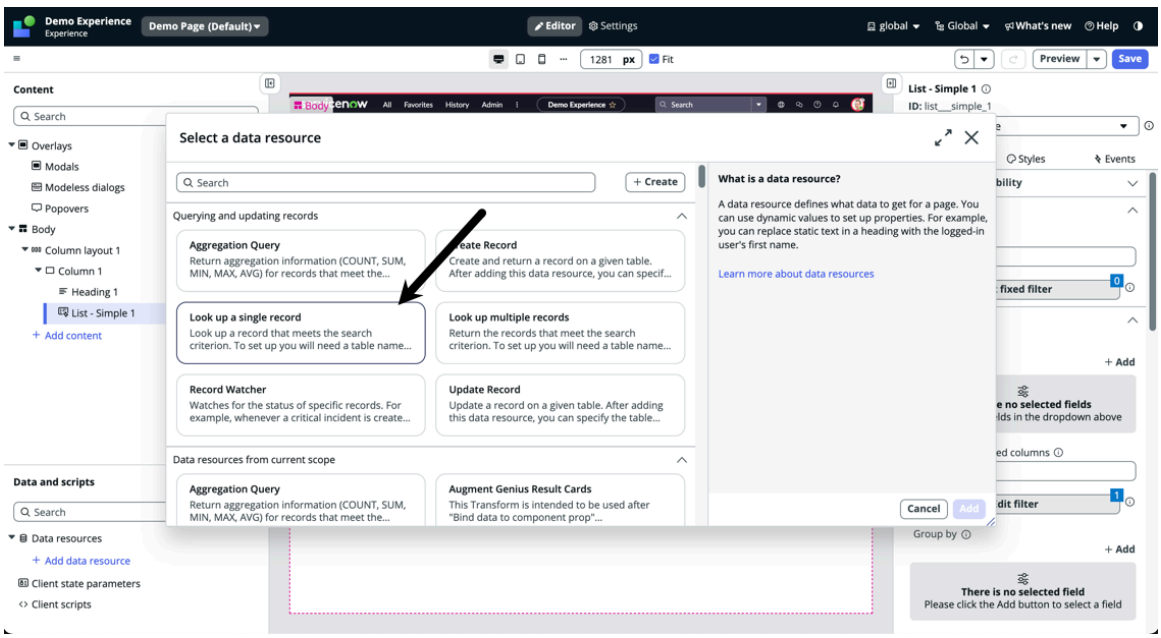
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > **Now Experience** フレームワーク > **UI** ビルダー.
2. 作業するエクスペリエンスを開くか、選択してエクスペリエンスを作成します 作成 > エクスペリエンス.
   エクスペリエンスの作成の詳細については、「UI ビルダー でユーザーがアプリケーションをどのように操作するかを構成する」を参照してください。
3. ページを作成するか、開きます。
4. コンポーネントをページに追加します。
   コンポーネントにデータリソースをバインドするには、ページにコンポーネントが必要です。
5. データリソースドロワーで **[+]** アイコンを選択します。
6. [データリソース] を選択します。



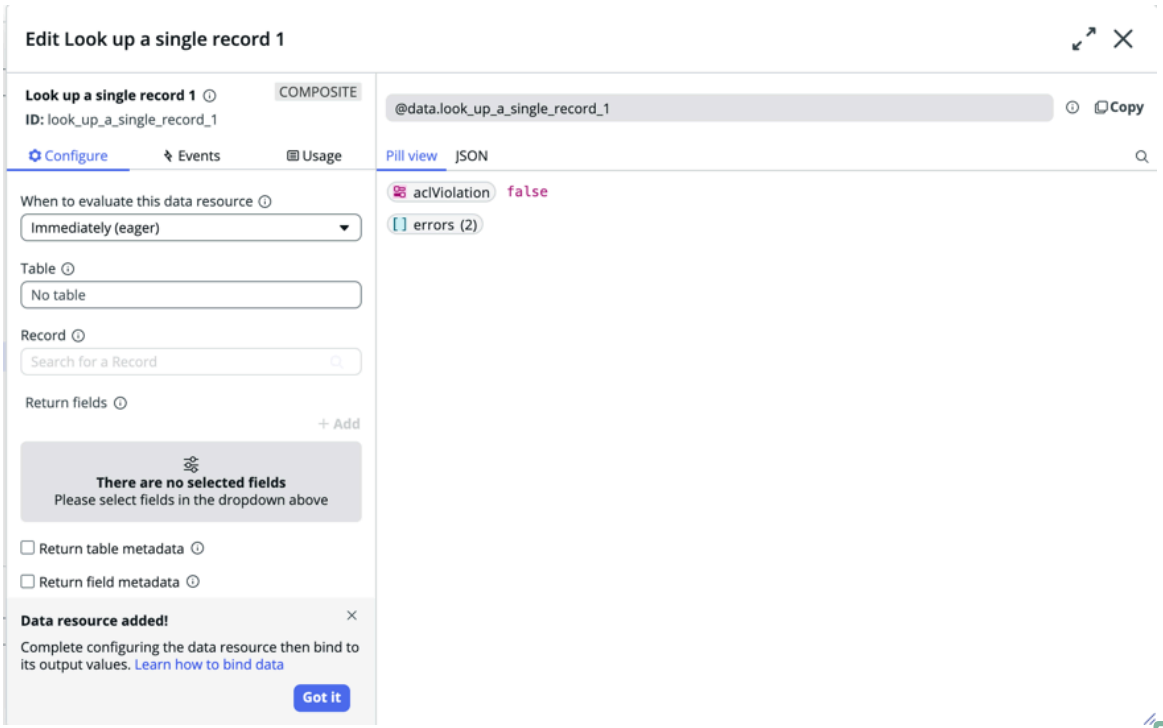
7. ページに追加するデータリソースを選択します。
   たとえば、[単一のレコードを検索] を選択できます。



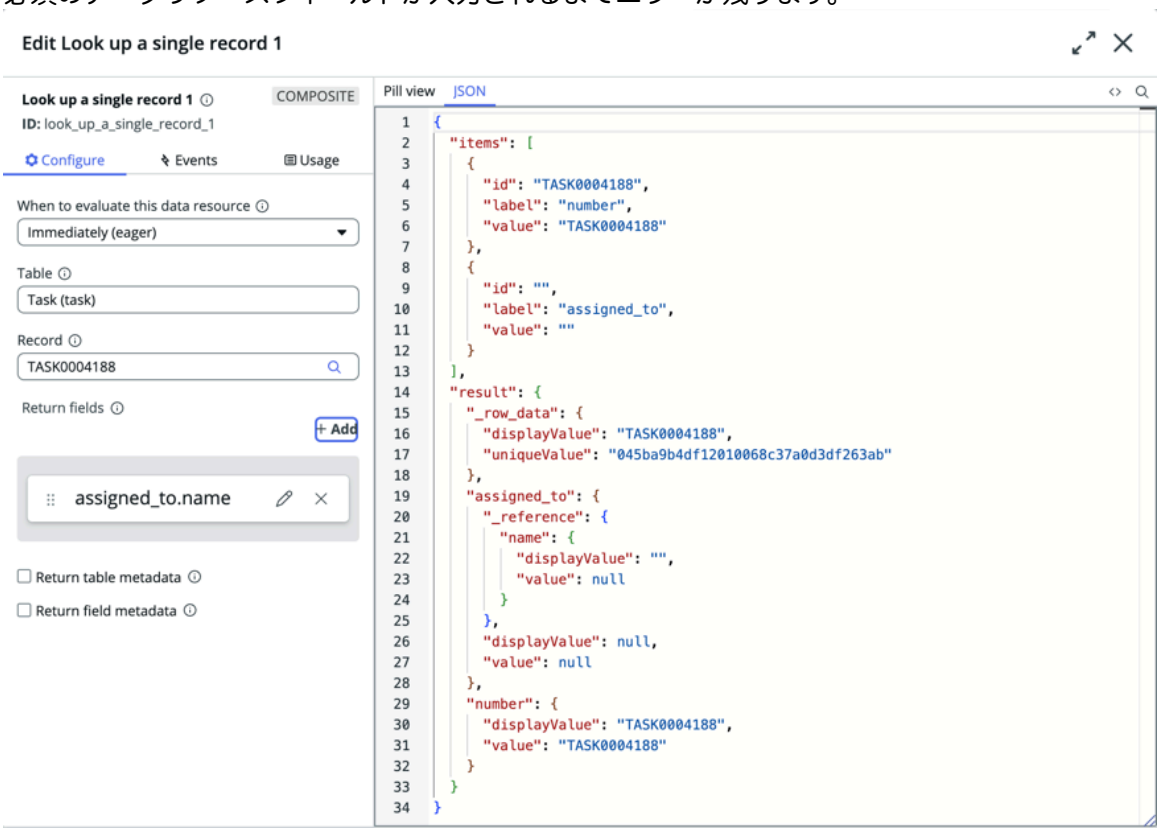
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

8. [追加] を選択して、データリソースをページに追加します。
データリソース構成モーダルが表示されます。



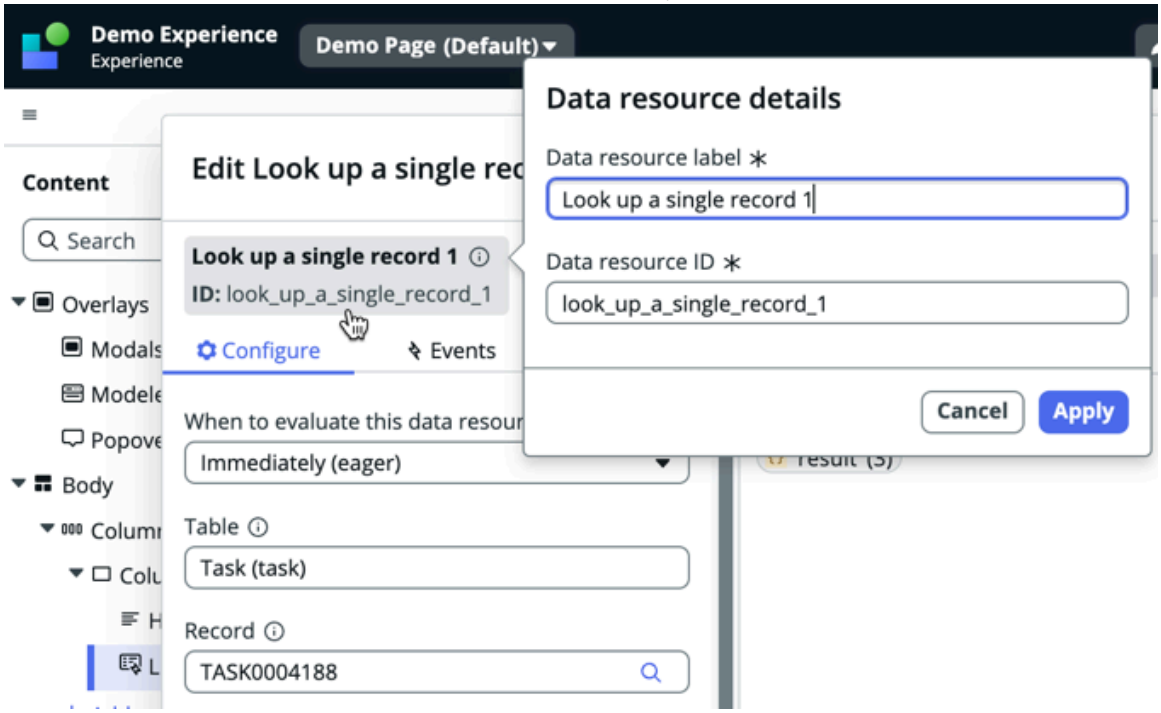
9. [構成] タブでデータリソースの必須情報を入力して、必要なデータを公開します。
構成フィールドは、選択されているデータリソースインスタンスに応じて異なるものになります。
データリソースをページに追加すると、[構成] パネルとプレビューウィンドウにエラーが表示される場合があります。UI ビルダー は、ページに追加されたデータリソースを評価しようとします。
必須のデータリソースフィールドが入力されるまでエラーが残ります。



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

10. デフォルトのラベルを選択して、カスタムラベルと ID 値を入力します。



データリソースがデータおよびスクリプトドロワーに表示されます。

11. UI ビルダー ヘッダーで、 [保存] を選択します。

次のタスク

データリソースがページに接続されたので、データをコンポーネントにバインドしたり、イベントをデータリソースにバインドしたりできます。詳細については、「コンポーネントへのデータ接続」と「データリソースへのイベントのバインド」を参照してください。

Now Assistスキルをページに追加

スキルを追加して、Now Assistの生成 AI 機能でUI ビルダーページを強化します。

始める前に

必要なロール：ui_builder_admin

> **注:**
> スキルをページに追加するには、スキルを有効にしてアクティブ化する必要があります。詳細については、以下を参照してください。
>
> - スキル展開設定の構成:スキルを有効にして選択可能にします
> - スキルのアクティブ化:スキルをアクティブ化して選択できるようにします

このタスクについて

Now Assistスキルをページ、コンポーネント、またはコントローラーに追加できます。スキルをトリガーするには、適切なペイロードを渡しながらスキルを実行するイベントを作成する必要があります。必要な入力を構成すると、スキルを使用できるようになります。

この例では、次のことを行います。

1. ページにスキルを追加
2. ユーザーテキストをキャプチャする入力コンポーネントを追加する
3. 入力したテキストをスキルに渡して実行するために、入力コンポーネントのイベントを構成します
4. スキルの出力を表示するテキストコンポーネントを追加する

自動翻訳

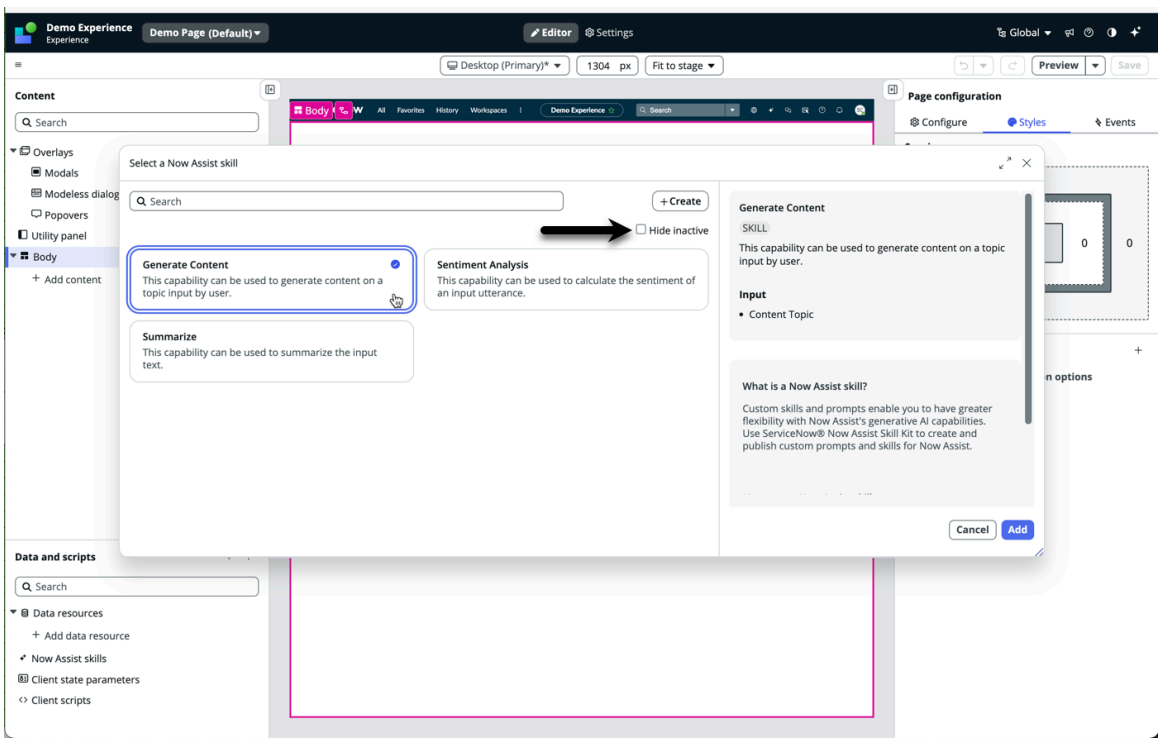
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > **Now Experience** フレームワーク > **UI** ビルダー.
2. 作業するエクスペリエンスを開くか、選択してエクスペリエンスを作成します 作成 > エクスペリエンス.
   エクスペリエンスの作成の詳細については、「UI ビルダー でユーザーがアプリケーションをどのように操作するかを構成する」を参照してください。
3. ページを作成するか、開きます。
4. [データとスクリプト] セクションの **Now Assist** スキルにカーソルを合わせ、右側の **[+]** を選択します。
5. スキルを選択し、[追加] を選択します。
   デフォルトでは、次のスキルが利用可能です。
   - コンテンツの生成
   - 感情分析
   - 要約する

   この例では、[コンテンツの生成] を選択します。

   ヒント:
   非アクティブなスキルをビューから削除するには、[非アクティブを非表示] を選択します。



注:
Now Assist スキルキットでは有効になっているが、Now Assist アドミンではアクティブ化されていないスキルはリストに表示されますが、選択することはできません。詳細については、 Now Assist スキルキット と Now Assist アドミンコンソールを参照してください。

6. 右上の **[X**] を選択して、[コンテンツの生成 を編集] ダイアログを閉じます。
7. コンテンツツリーで **[+** コンテンツを追加] を選択し、ツールボックスからコンポーネントを追加します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

この例では、 **Input** コンポーネントを追加します。

8. 前のステップで追加したコンポーネントに **Execute** イベントハンドラーを追加します。

   a. 構成パネルで [イベント] タブを選択します。

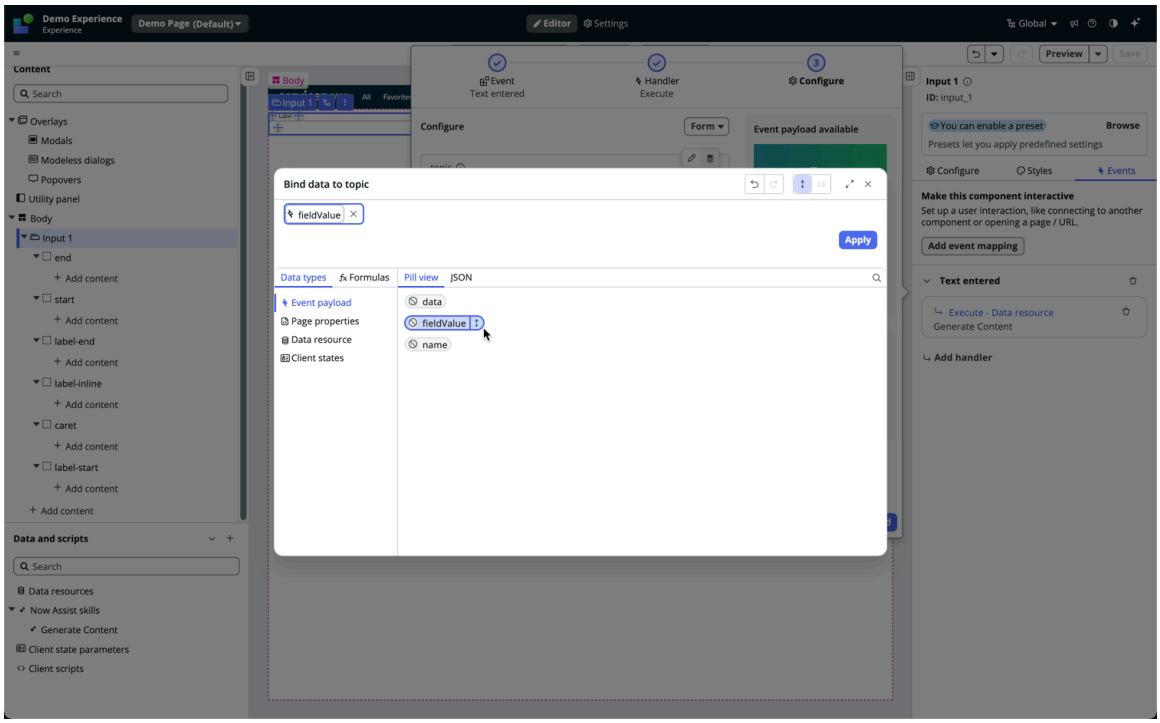
   b. [入力されたテキスト] で [ハンドラーの追加] を選択します。

   c. [コンテンツの生成] **(1)** で [実行] を選択し、[続行] を選択します。

   d. トピックにカーソルを合わせ、 [データをバインド] アイコンを選択してスキルの入力を構成します。

   e. **[fieldValue]** ピルをダブルクリックして入力ソースとして選択し、[適用] を選択します。

      fieldValue プロパティは、ユーザーが入力フィールドに入力した内容をキャプチャします。このプロパティをスキルへの入力として使用することで、ユーザーがテキストを入力するたびにトリガーするようにスキルを設定します。



   f. **[Add** (追加)] を選択します。

9. スキルの出力を表示する 2 つ目のコンポーネントを追加して構成します。

   a. コンテンツ ツリーで、 入力 **1** にカーソルを合わせ、 構成 (縦に並んだ 3 つのドット) アイコンを選択して、 後に追加 を選択します。

   b. 定型テキストコンポーネントを追加します。

   c. [キャンセル] を選択して、プリセット ウィンドウを閉じます。

   d. オプション: **HTML** タグプロパティを **Paragraph** に変更します (この例では読みやすくするため)。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

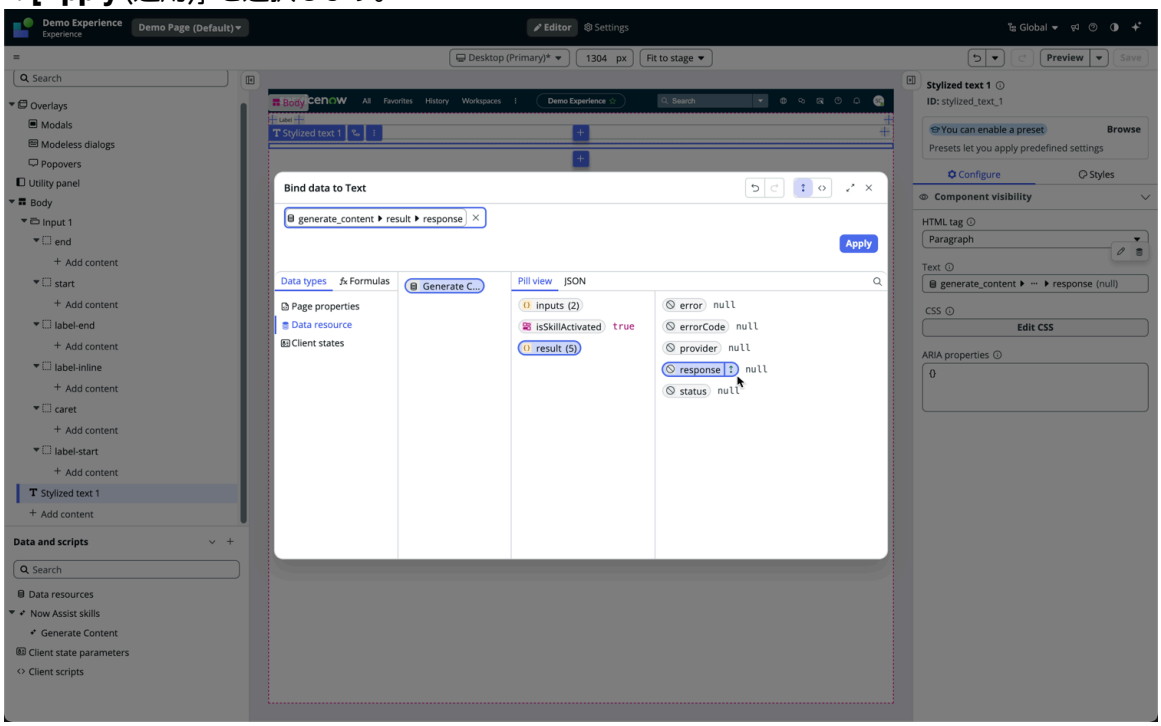
自動翻訳

e. 構成パネルの [テキスト] フィールドにカーソルを合わせ、[データをバインド] アイコン を選択します。

f. 左側の [データリソース] を選択します。

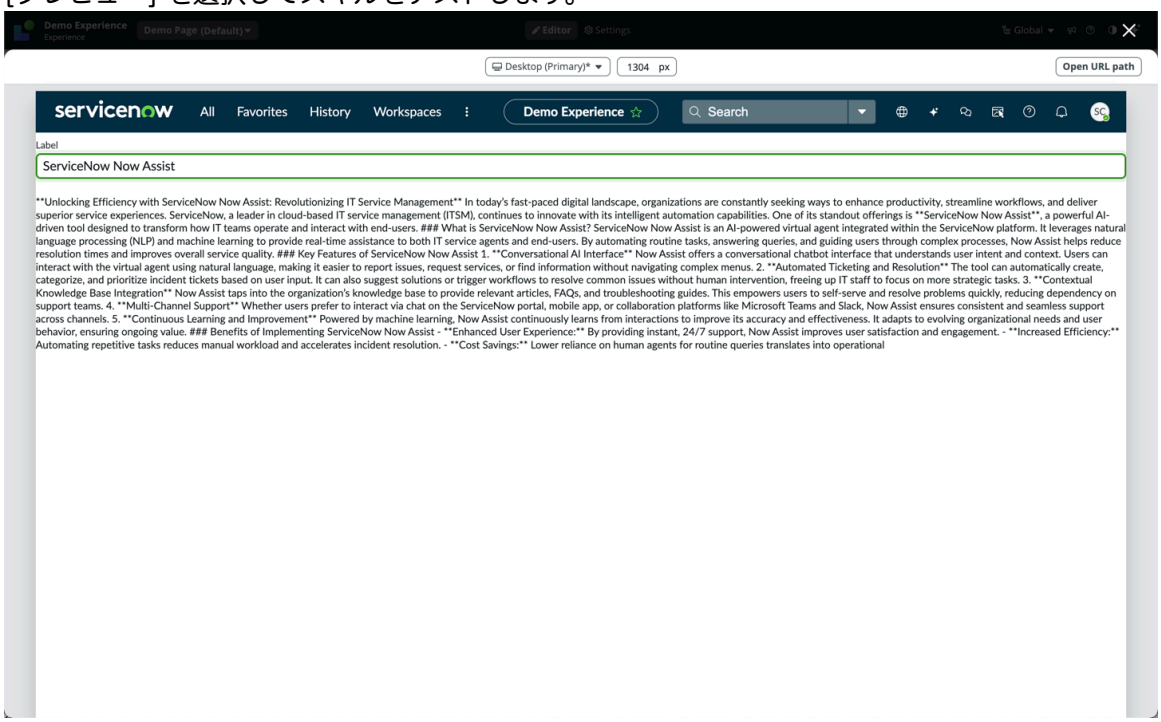
g. [コンテンツの生成]、[結果] の順に選択してピル間を移動し、[応答] をダブルクリックして選択を完了します。

h. **[Apply** (適用)] を選択します。



10. **[Save** (保存)] を選択します。

11. [プレビュー] を選択してスキルをテストします。



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タスクの結果
ページを表示して入力フィールドに入力すると、テキスト入力によって コンテンツ生成 スキルがトリガーされ、入力フィールドのトピックに関するコンテンツが返されます。

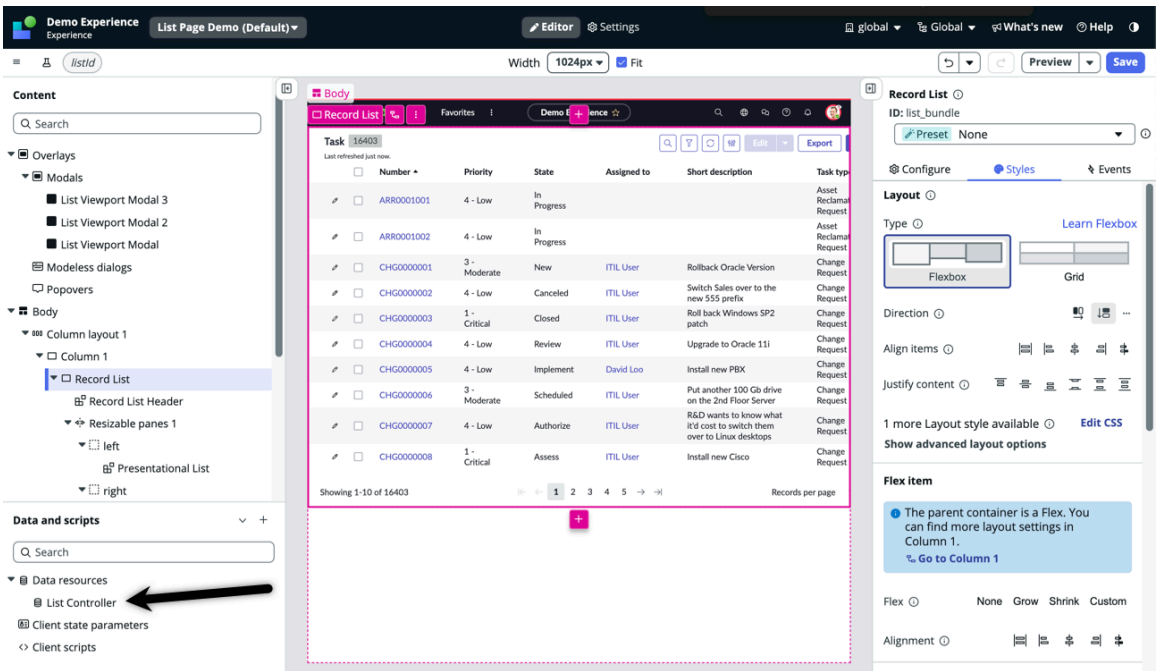
コントローラーを使用した UI ビルダー ページへのデータのバインド (高度な機能)

コントローラーは、データとイベントロジックのリンクを単純化して、UI ビルダーでコンポーネントのプリセットを有効にします。

コントローラーにより、ページ作成者は UI ビルダー の自分のページに、データとスクリプトを簡単に接続できます。コントローラーは、コンポーネントプリセットがデータをコンポーネントにバインドするために使用する一種のデータリソースです。コントローラーは、コンポーネントのプリセットを有効にするデータとイベントロジックが含まれている点で、他のデータリソースとは異なります。コントローラーはサーバーからコンポーネントにデータを取り込み、コンポーネントとのやり取りに基づいて、更新されたデータをサーバーに戻します。コンポーネントのプリセットの詳細については、「プリセットを使用してコンポーネントを自動的に構成する」を参照してください。

コントローラーは、UI ビルダー ページテンプレートを使用するとデフォルトで追加されます。データリソースドロワー内で、コントローラーがない UI ビルダー ページにコントローラーを追加できます。または、コンポーネントをページに追加した後にコンポーネントプリセットを選択するという方法もあります。データリソースドロワーを開くと、ページに構成されているコントローラーを表示できます。

データリソースドロワーのコントローラー



UI ビルダーのデータコントローラーのタイプ

データコントローラー

データコントローラーは、UI ビルダー ページに表示する情報を決定します。データコントローラーは、データリソースを使用してリアルタイムで情報を同期し、ユーザーが情報を入力するとデータ/テーブルを更新します。データコントローラーをページに手動で追加できます。

UI コントローラー

UI コントローラーは、UI ビルダー ページテンプレートを使用するときにページに追加され、手動で追加することはできません。

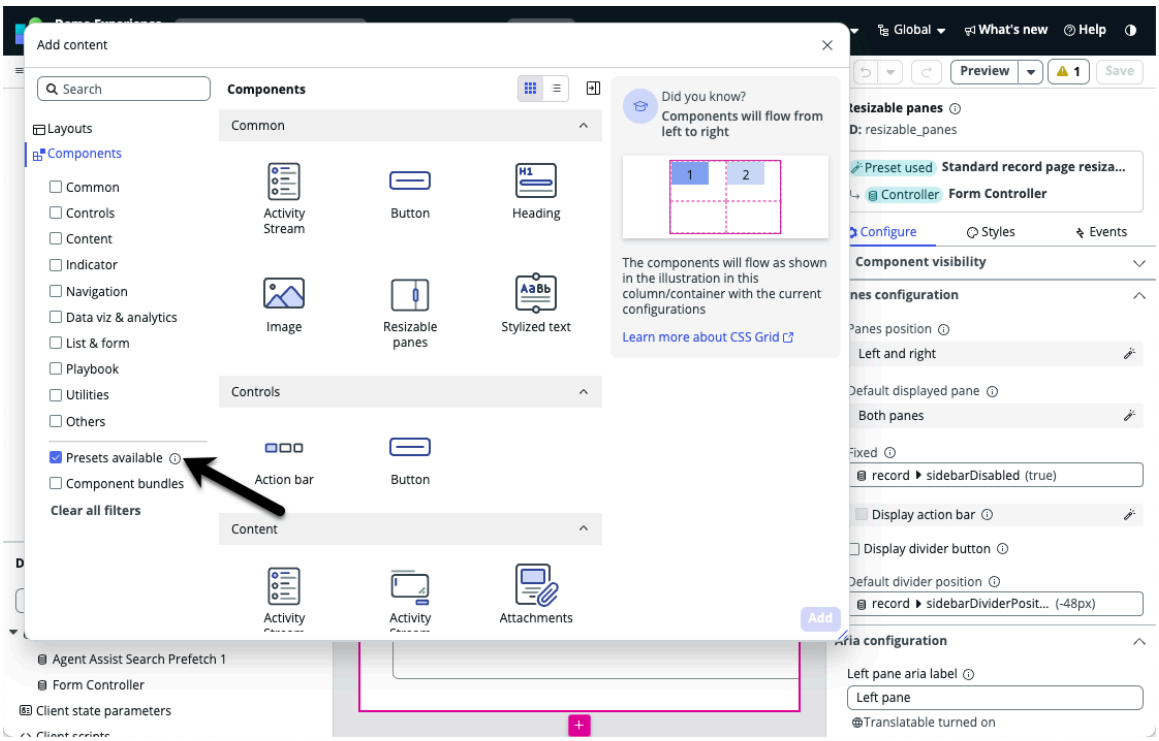
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

UI ビルダーのプリセットのあるコントローラーの使用

1 つの UI ビルダー ページに複数のコントローラーを追加できますが、同じコントローラーを 2 回使用することはできません。コントローラーを必要とするコンポーネントプリセットを使用しようとすると、UI ビルダー にはコントローラーの追加を求めるプロンプトが表示されます。

すべてのコンポーネントがコントローラーで動作するわけではありませんが、コンポーネントライブラリでどのコンポーネントが動作するかを簡単に確認できます。UI ビルダー ページにコントローラーが構成されている場合は、コンポーネントライブラリを開いて、どのコンポーネントにプリセットがあるかを確認できます。プリセットが利用可能なコンポーネントは、コンポーネントライブラリでハイライト表示されます。

プリセットを持つコンポーネント



コントローラーの追加

コンポーネントのプリセットを使用するには、データコントローラーをページに追加します。

始める前に
必要なロール：admin

このタスクについて
レコードコントローラーは、Yokohama のページに追加できる唯一のコントローラーです。

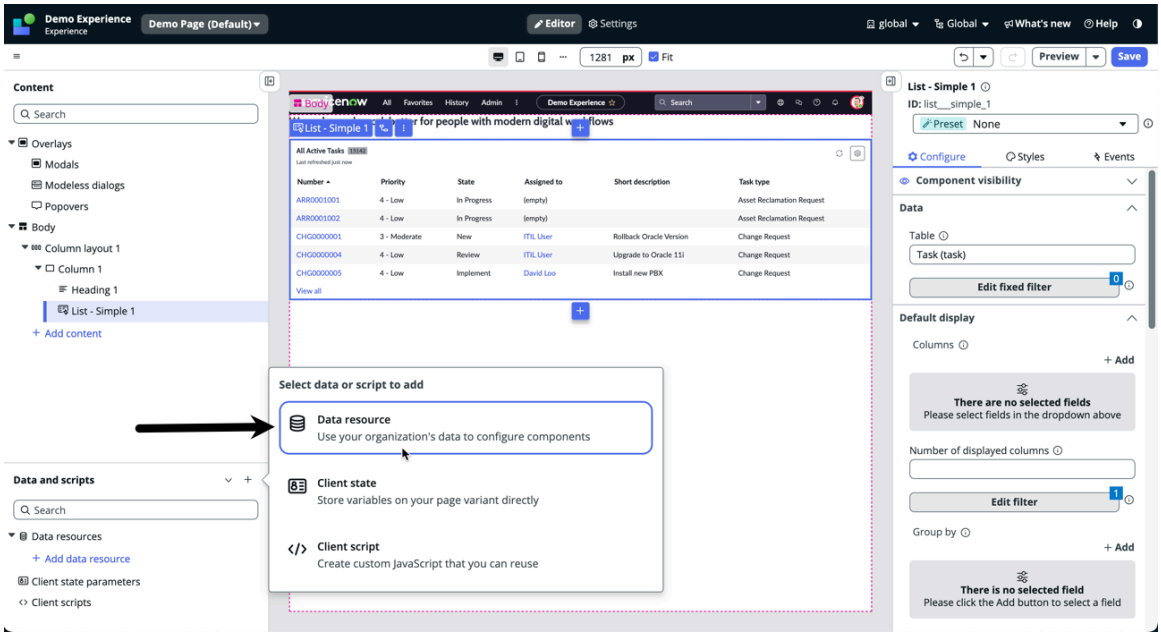
手順

1. 移動先 すべて > **Now Experience** フレームワーク > **UI** ビルダー.
2. 作業するエクスペリエンスを開くか、選択してエクスペリエンスを作成します 作成 > エクスペリエンス.
   詳細については、「UI ビルダー でユーザーがアプリケーションをどのように操作するかを構成する」を参照してください。
3. ページまたはページバリアントを開くかまたは作成します。
   UI ビルダー でページを作成する方法の詳細については、「UI ビルダーでのページの作成」を参照してください。

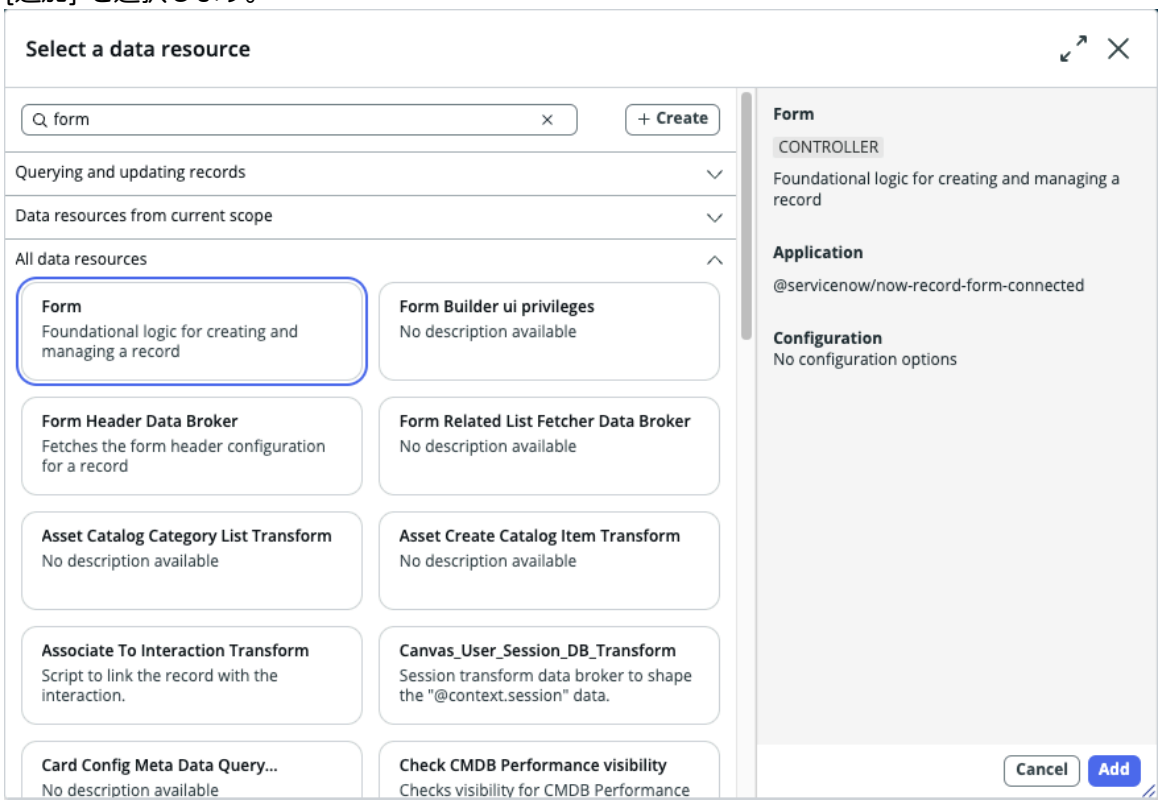
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

4. データリソースドロワーで **[+]** アイコンを選択します。
5. [データリソース] を選択します。



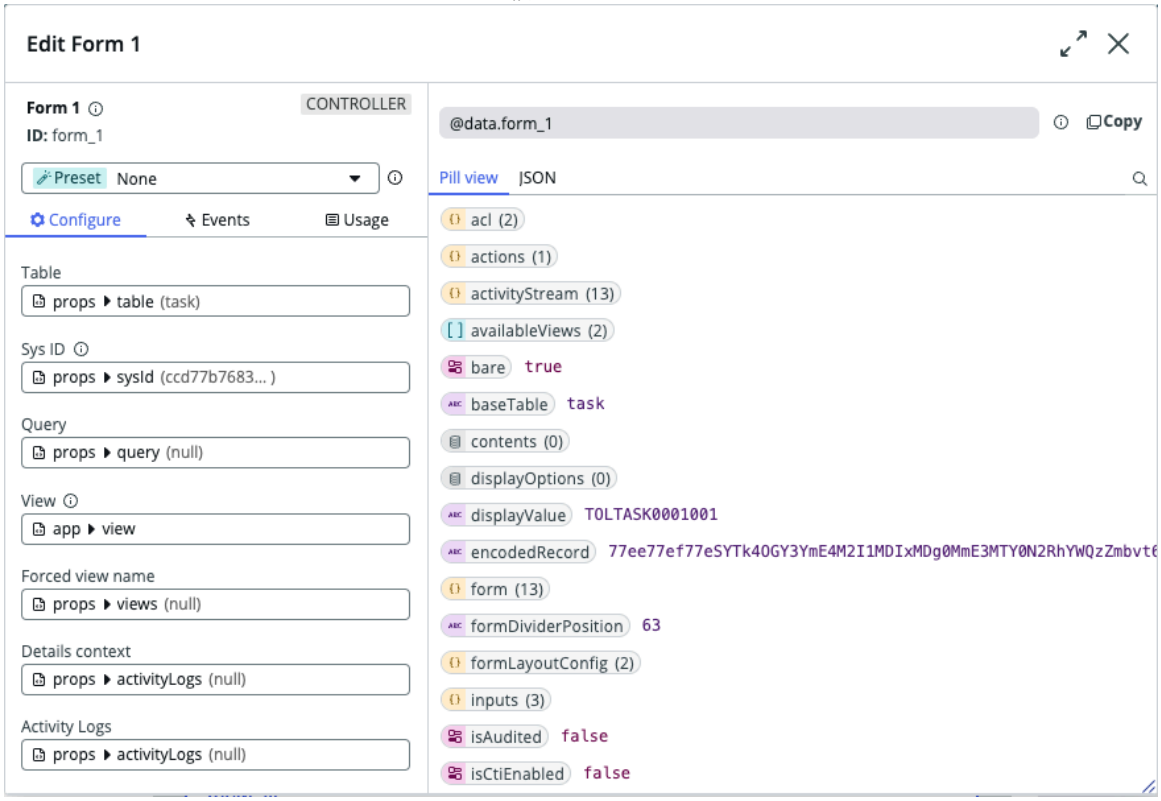
6. 検索フィールドに「form」と入力します。
7. ページに追加するコントローラーを選択します。
8. [追加] を選択します。



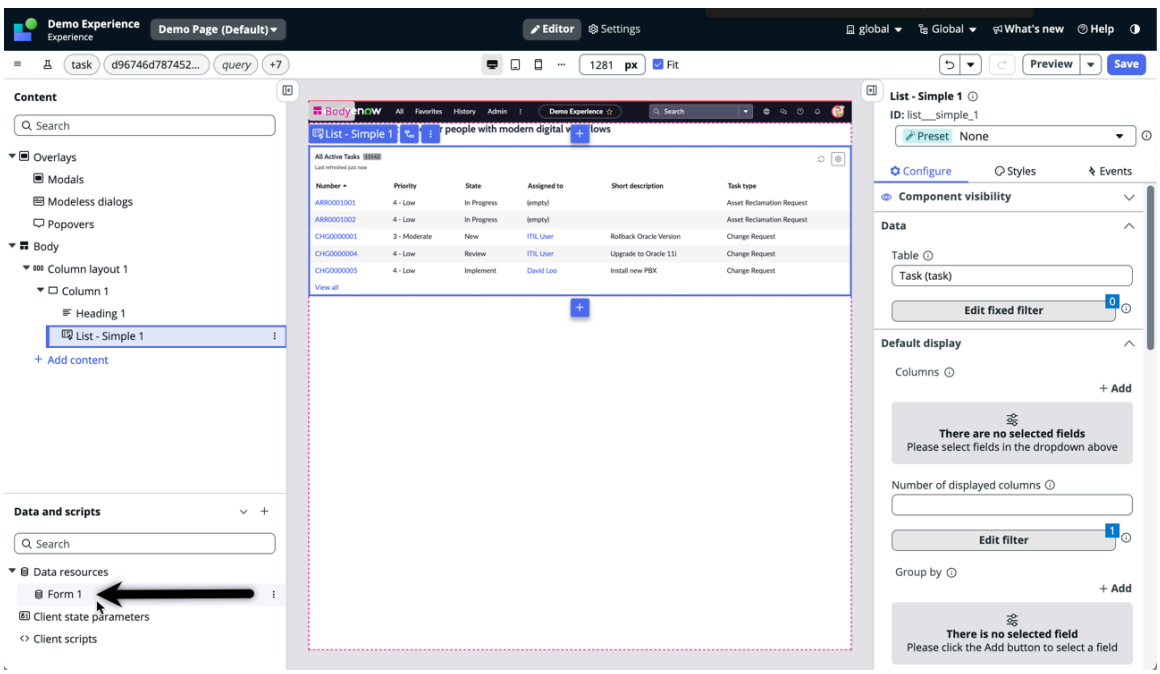
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

9. フィールドに入力して、コントローラーを構成します。



タスクの結果
フォームコントローラーが [データリソース] セクションに表示されます。



コントローラーの編集

テーブルからデータをプルするようにコントローラーを構成します。

始める前に

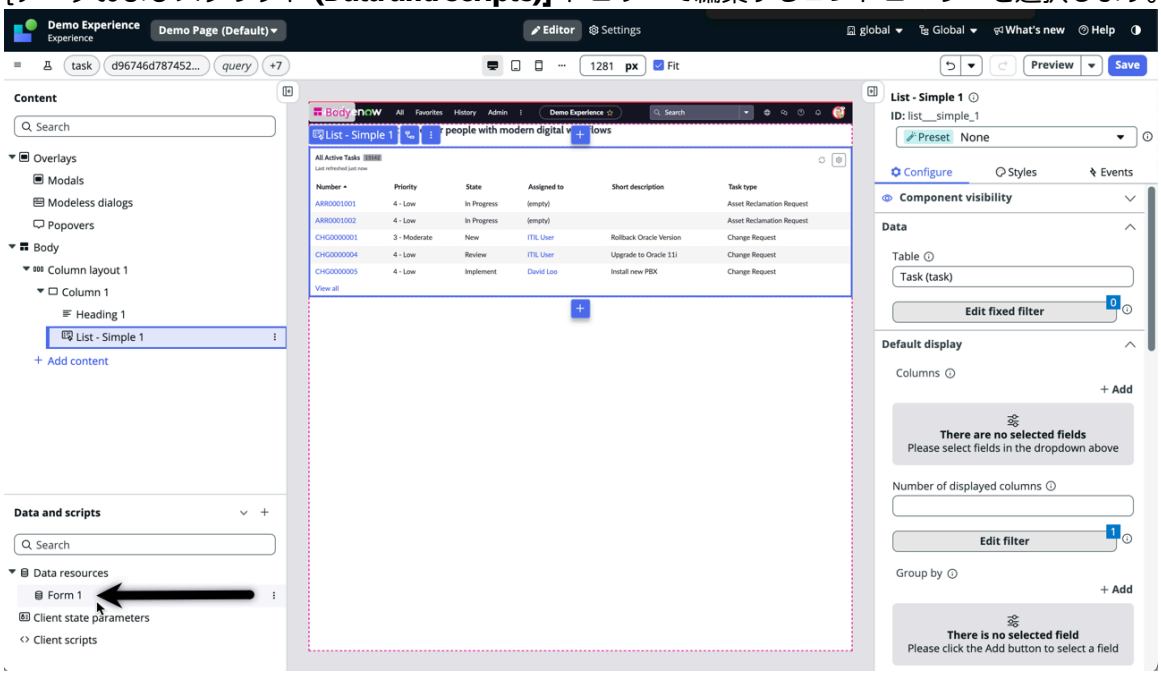
必要なロール：admin

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

手順

1. 移動先 すべて > **Now Experience** フレームワーク > **UI** ビルダー.
2. 作業するエクスペリエンスを開くか、選択してエクスペリエンスを作成します 作成 > エクスペリエンス.
   詳細については、「UI ビルダー でユーザーがアプリケーションをどのように操作するかを構成する」を参照してください。
3. ページを作成するか、開きます。
   UI ビルダー でページを作成する方法の詳細については、「UI ビルダーでのページの作成」を参照してください。
4. [データおよびスクリプト **(Data and scripts)**] ドロワーで編集するコントローラーを選択します。



5. フォームのフィールドに入力します。

フォームコントローラーフォーム

フィールド	説明
タイプ	コントローラーは、すべてのコントローラーのタイプとして事前定義されています。
テーブル	コントローラーがデータをプルするテーブルを追加します。
Sys ID	レコードに対する一意の識別子を入力します。値を指定するか、または -1 を使用して新しい値を生成します。

6. コントローラーの編集モーダルを閉じます。
7. [保存] を選択します。

コントローラーの削除

UI ビルダー で不要になったコントローラーを削除します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

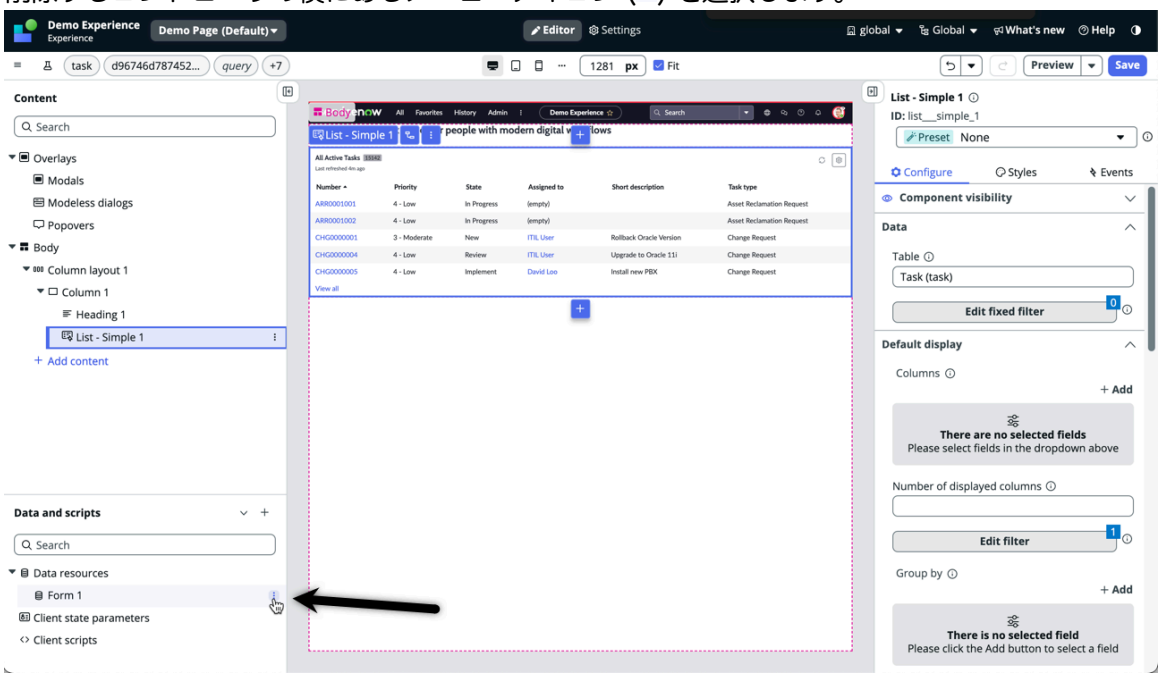
自動翻訳

始める前に
必要なロール：admin

このタスクについて
ページテンプレートで作成されたページからは、コントローラーを削除できません。

手順

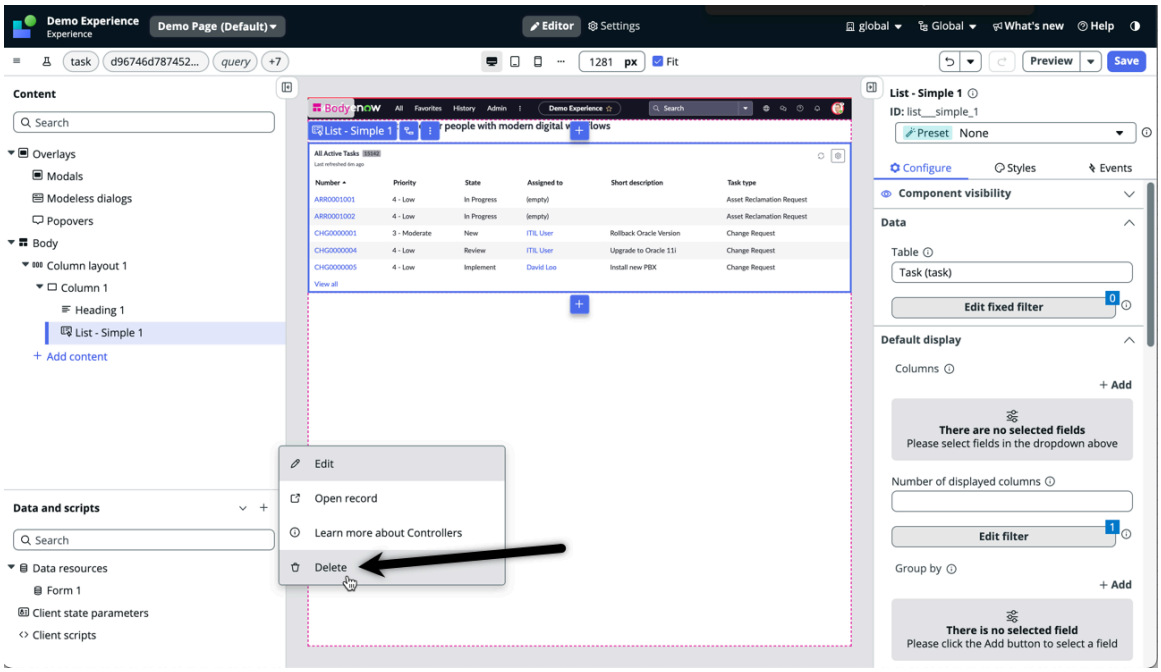
1. 移動先 すべて > **Now Experience** フレームワーク > **UI** ビルダー.
2. 作業するエクスペリエンスを開くか、選択してエクスペリエンスを作成します 作成 > エクスペリエンス.
   詳細については、「UI ビルダー でユーザーがアプリケーションをどのように操作するかを構成する」を参照してください。
3. 削除するコントローラーのページを開きます。
4. 削除するコントローラの横にあるメニューアイコン (⋮) を選択します。



5. [削除] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



コントローラーがローカルデータリソースインスタンスから削除されます。

コントローラー **API** でのプロパティとイベントの表示

コントローラーのパブリック API は、コントローラーがプリセットに提供する出力データを定義します。これには、プリセットが選択されたときにコンポーネントによって使用されるプロパティ値と処理済みイベントが含まれます。プロパティとイベントの情報は UI ビルダーで表示できます。

プリセットのコンポーネントプロパティ値は、静的な値またはコントローラー出力データのパスにすることができます。UI ビルダーのデータリソースインスペクターを使用して、プリセットで使用されるコントローラーデータ構造からの値を表示できます。プリセット内のイベントによって伝達されるペイロードを表示するには、そのイベントのイベントハンドラーピッカーを確認することができます。

コントローラー **API** でのプロパティの表示

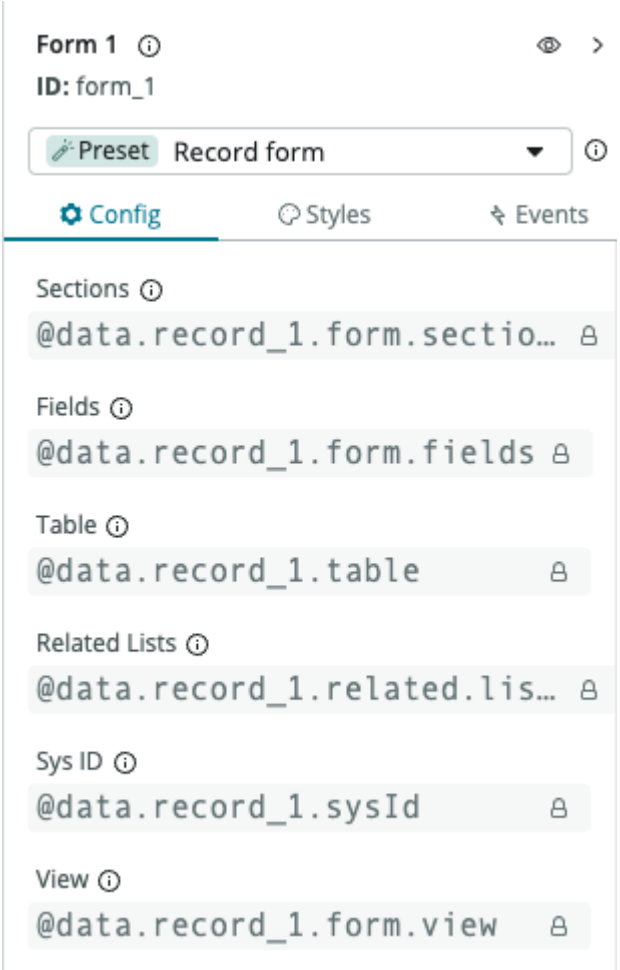
事前設定されたプロパティは UIB データインスペクターで表示できます。使用可能な値を把握しておくと、コンポーネントが設計内でどのように動作するかを理解し、上書きできるプリセットプロパティを特定する際に役立ちます。

この手順は、プリセットがあるコンポーネントをページに配置し、コントローラーが構成済みであることを前提としています。手順については、「コントローラーの追加」を参照してください。

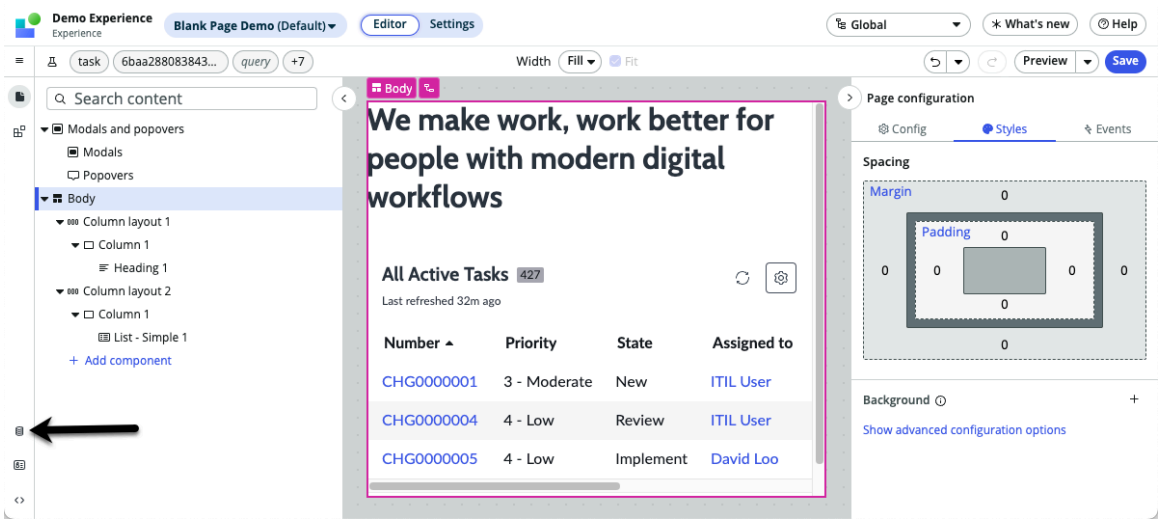
[構成] タブには、事前設定されたプロパティ値がコントローラー出力へのパスとして表示されます。基本のデータパスは @data.<controller_name> と表されます。パスの残りの部分は、コントローラーデータ階層内のカテゴリの内容を使用してビルドされます。このパスを使用して、コントローラーが構成されているレコードの現在の値を表示できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



1. コンポーネントのデータリソースを表示するには、左下のサイドバーでデータアイコンを選択します。



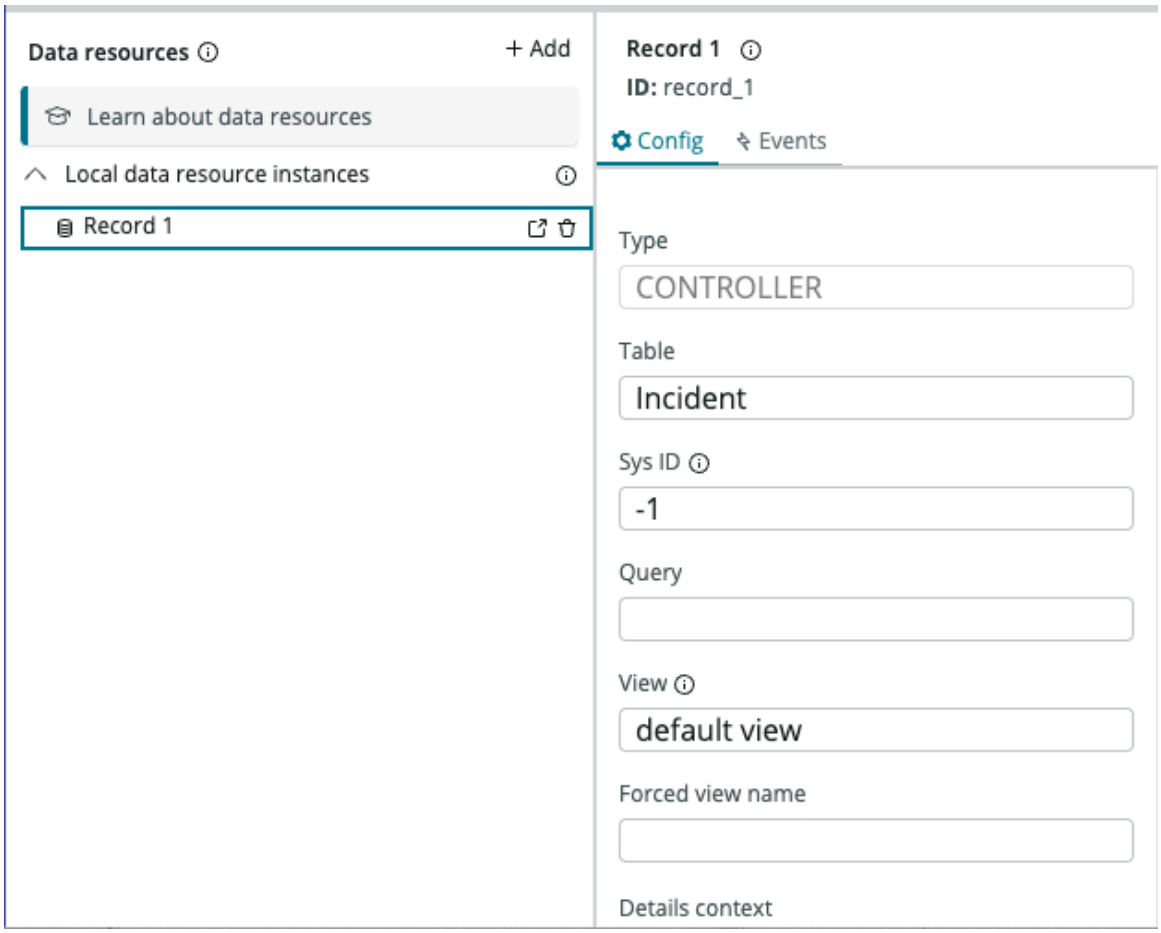
3 列の UIB データインスペクターが表示されます。

2. データリソースがリストされている最初の列で、出力を表示するコントローラーを選択します。

選択したコントローラーの構成データが 2 列目の [構成] タブに表示されます。これらは、ページに配置したプリセットを使用して最初のコンポーネントのコントローラーを構成したときに入力した入力プロパティです。必要に応じて、これらの接続値を編集できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
[Sys ID] フィールドの値として **-1** を設定すると、新しいレコードのコントローラーが構成されます。次にコントローラーは、完全な GUID を生成します。これは、レコードを保存する前に、レコードに対するデータを格納するために使用できます。これにより、添付ファイルの保存など、新しく作成されたレコードでアクションを実行できます。

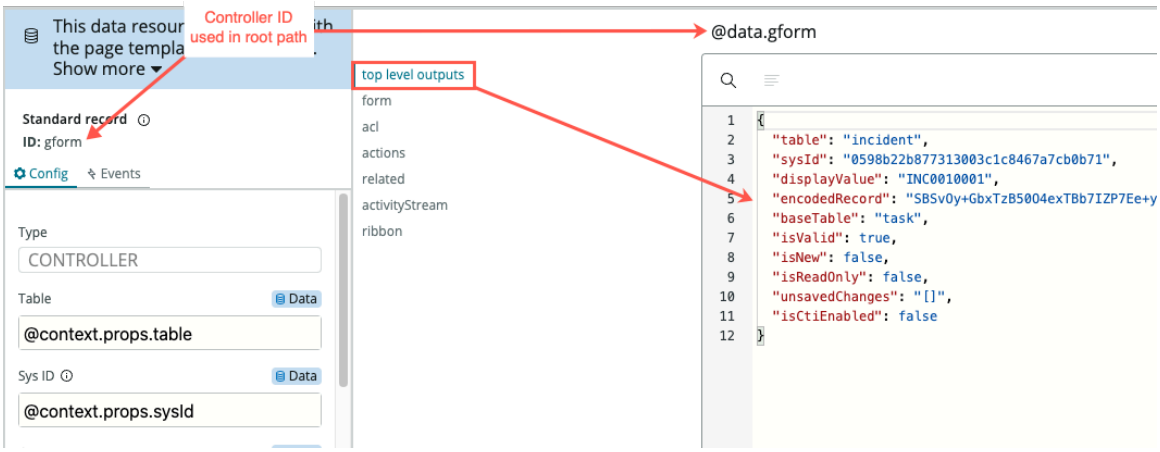


3. 3 列目で [トップレベルの出力 **(top level outputs)]** を選択します。

これは、コントローラーデータ階層の親レベルであり、プリフィックス `@data.`、それに続くコントローラー ID で示されます。この組み合わせにより、データへのルートパスが形成されます。トップレベルの出力に含まれるデータは、隣接するコードフィールドに表示されます。これらは、プリセットとスクリプトで使用できます。そのレベルの他のプロパティは、すべてのレコードに適用される共通プロパティです。

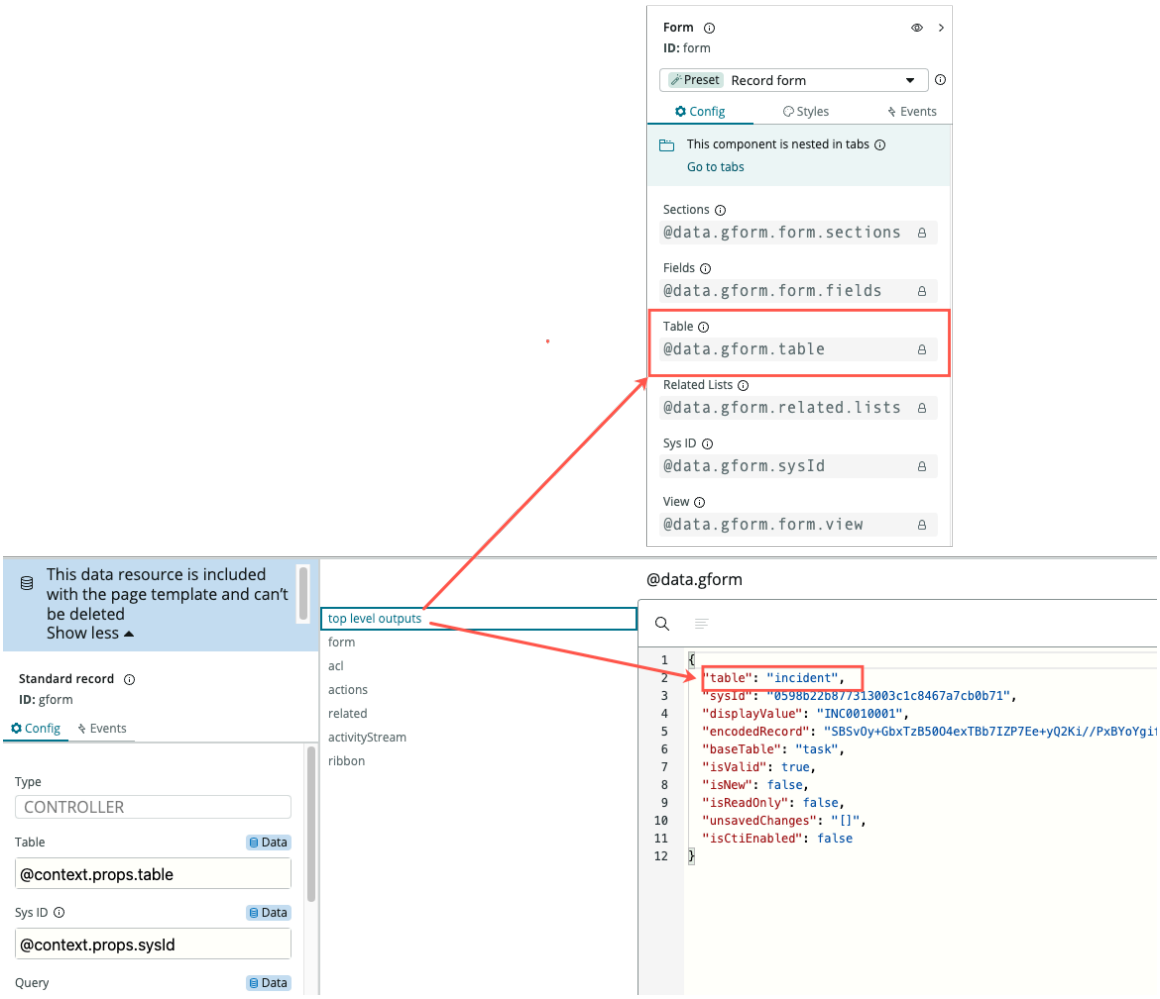
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



プリセットがコンポーネントプロパティをコントローラー出力にマップすると、値の代わりに出力へのパスが表示されます。パスは **@data.<**コントローラー *ID*>.<トップレベルから出力プロパティへのパス> として示されます。これを値として、または式の一部として使用できます。

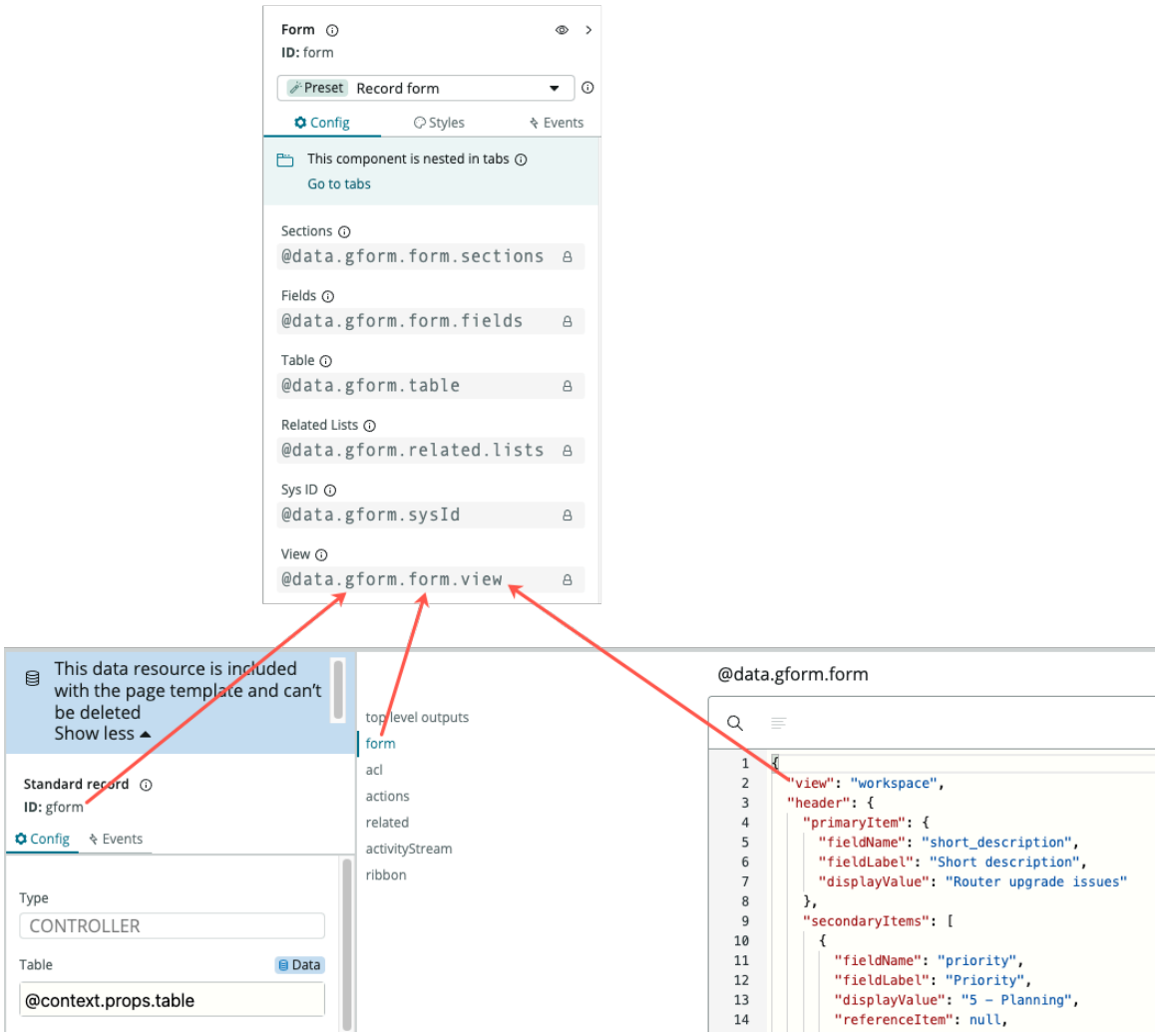
この例では、プリセットのマッピングによって @data.gform.table へのパスが得られます。



4. トップレベルの下のデータを表示するには、プリセットプロパティ値のパスで示される子カテゴリを選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

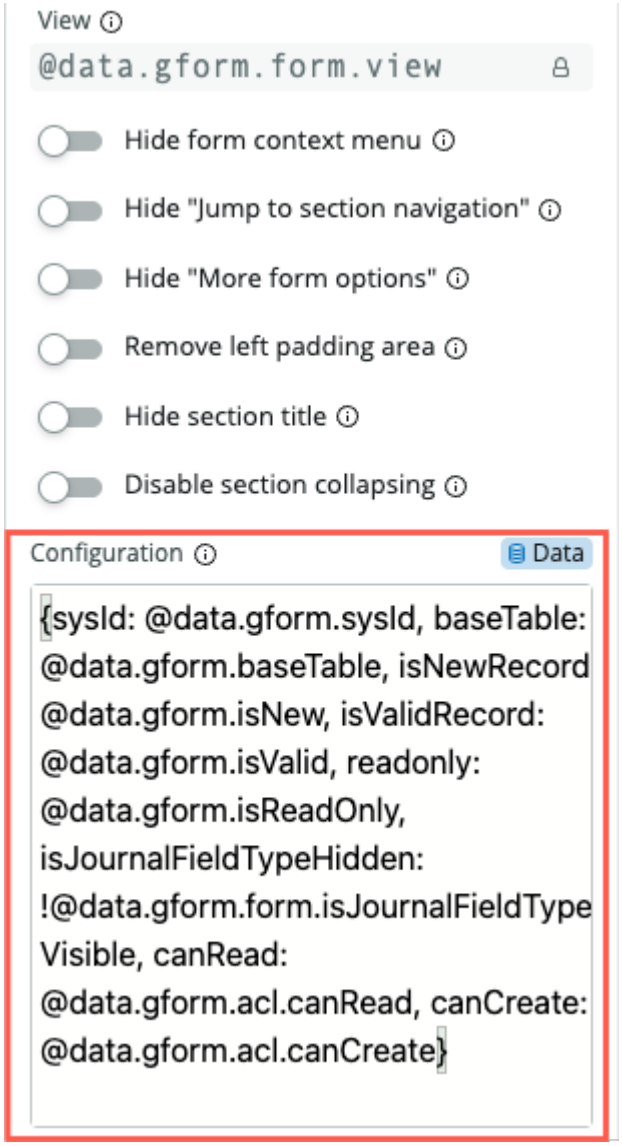
子カテゴリの名前は @data.<controller ID>.<category> としてパスに表示されます。そのカテゴリのデータが当該パスに追加されます。コードフィールドの上にあるルートパスは、使用されている子カテゴリを示します。この例では、form カテゴリの **view** プロパティへのパスは @data.gform.form.view として表されます。そのプリセット値は、**workspace** ビューにフォームを表示します。



この例では、複数のコントローラー出力プロパティを式で使用してオブジェクトをビルドしています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

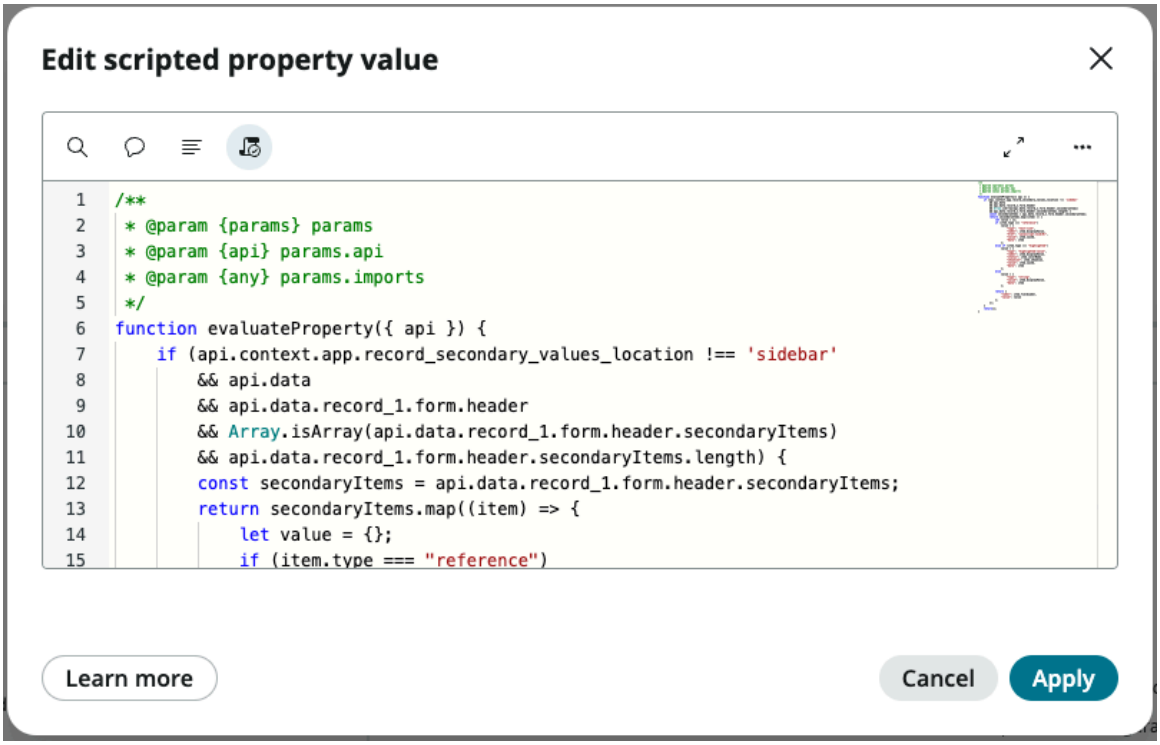


5. スクリプト化されたプロパティ値を表示するには、プロパティの横にあるロックアイコンを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

これにより、プロパティが編集モードになり、スクリプトを編集するためのモーダルが開きます。



コントローラー **API** でのイベントの表示

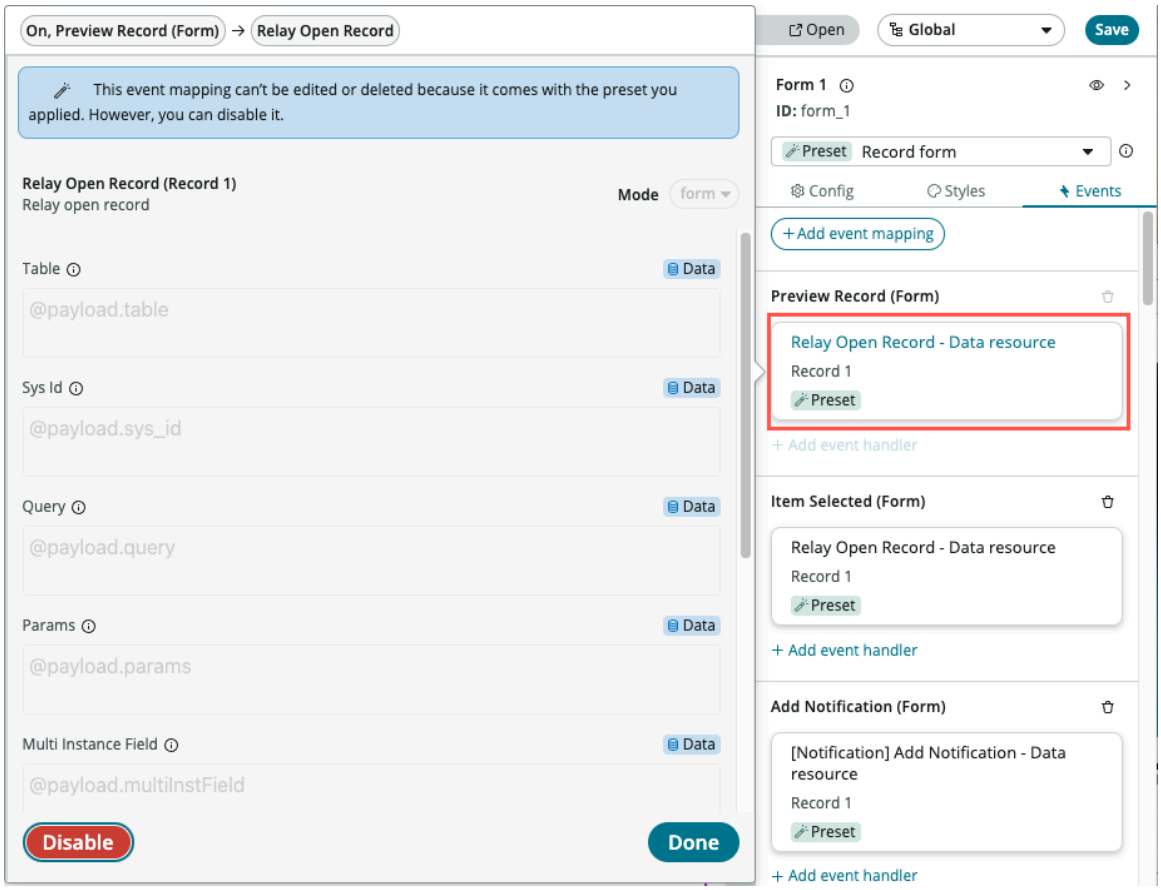
プリセットとそのペイロードによってコンポーネントにマッピングされた処理済みイベントは、UI ビルダー構成パネルの [イベント] タブで表示できます。イベントのデータマッピングがユースケースに適していない場合は、さらにデータハンドラーを追加できます。

注:
プリセットで提供されているデータハンドラーマッピングは編集できません。

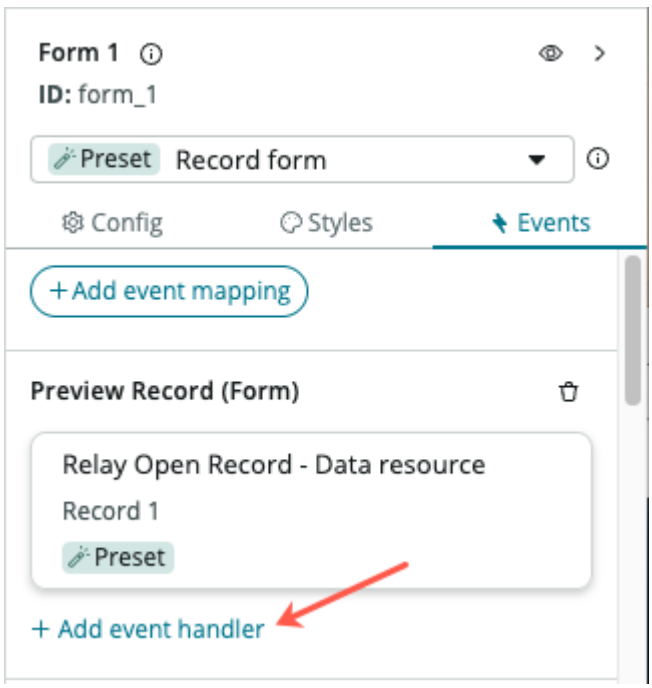
1. UI ビルダーで [イベント] タブを選択します。
2. プリセットイベントのマッピングを表示するには、イベントタイルを選択します。

   プリセットイベントのペイロードプロパティを示すモーダルが表示されます。このモーダルでイベントを無効にすることができます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



3. イベントにイベントハンドラーを追加するには、イベントタイルの下にある **[+** イベントハンドラーを追加] を選択します。



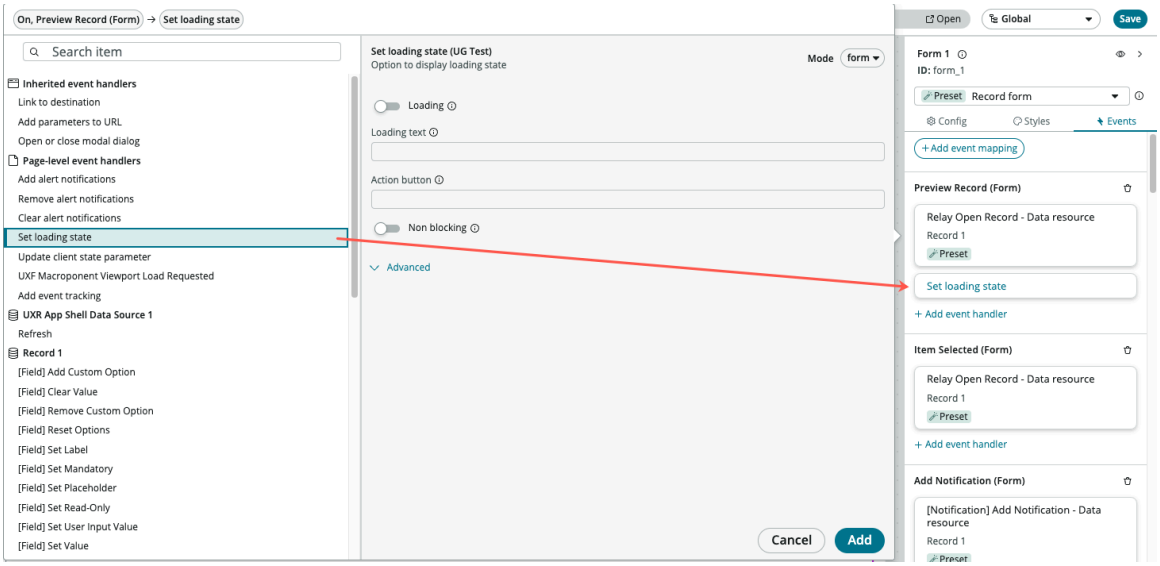
利用可能な処理済みイベントのリストを示すモーダルが表示されます。リストから、リストされているいずれかのコントローラーのイベントハンドラーを含む任意のアクションを選択できます。

4. リストからイベントハンドラーを選択し、[追加] を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

新しいハンドラーがイベントタイルの下に一覧表示されます。



カスタムコントローラーの作成 (高度な機能)

エクスペリエンス全体で使用するカスタムコントローラーをビルドします。再利用可能なデータ、スクリプト、イベントをページに簡単に接続し、入力、出力、イベントを設定します。

始める前に

必要なロール：ui_builder_admin

手順

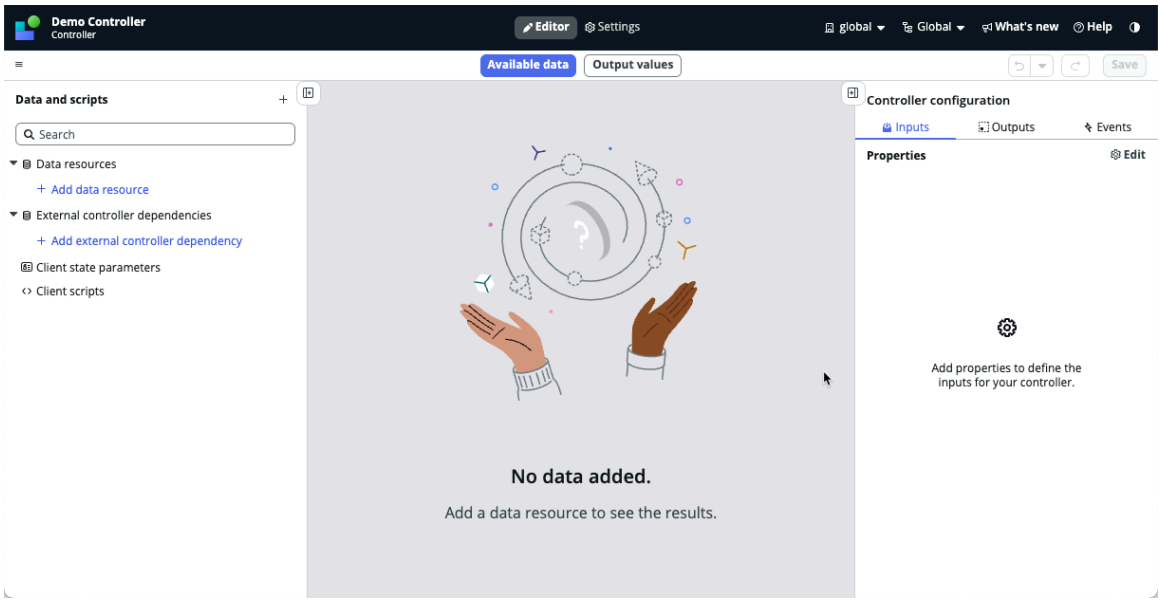
1. 移動先 すべて > **Now Experience** フレームワーク > **UI** ビルダー.
2. **[Create** (作成)] を選択します。
3. [コントローラー] を選択します。
4. フォームで、フィールドに入力します。

[ページコレクションを作成] フォーム

フィールド	説明
名前	コントローラーを内部で追跡するための名前。
説明	コントローラーを見つけるのに役立つ簡単な説明。ページ作成者がコントローラーに含まれるコンテンツを理解するのに役立つ説明を記述します。

5. **[Create** (作成)] を選択します。
   コントローラーの構築ウィンドウが開きます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



6. データリソースを追加します。
   a. **[+** データリソースを追加] を選択します。
   b. リストからデータリソースを選択します。
   c. **[Add** (追加)] を選択します。
   d. データリソースを構成します。
   e. **[Save** (保存)] を選択します。
7. オプション: 外部コントローラーの依存関係を追加します。
   a. **[+** 外部コントローラー依存関係の追加] を選択します。
   b. フォームで、フィールドに入力します。

外部コントローラー依存関係を編集

フィールド	説明
名前	外部コントローラー依存関係を識別する名前。
ラベル	外部コントローラーの依存関係を見つけるのに役立つラベル。
コントローラー	外部コントローラー依存関係のコントローラーを選択します。

   c. **[Save** (保存)] を選択します。
8. オプション: クライアントステータスパラメーターを追加します。
   a. [クライアント状態パラメーター] を選択します。
   b. **[+** 追加] を選択します。
   c. クライアントステータスパラメーターの一意の名前を入力します。
   d. ドロップダウンからタイプを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

e. フィールドに初期値を入力します。

f. [Save (保存)] を選択します。
クライアントステータスパラメーターの詳細については、「 クライアントステータスパラメーター」を参照してください。

9. オプション: クライアントスクリプトを追加します。

a. [クライアントスクリプト] の横にある **[+]** アイコンを選択します。

b. アクションを実行するスクリプトを作成します。

c. オプション: [スクリプトインクルード] または [関連コンポーネント] を追加します。これは、クライアントスクリプト関数の imports パラメーターに表示されます。

d. [Apply (適用)] を選択します。

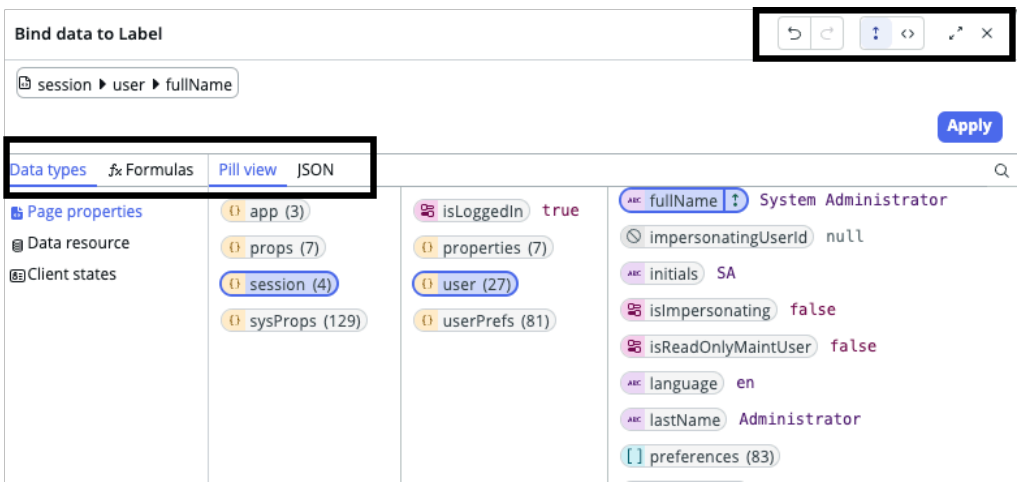
e. [Save (保存)] を選択します。

次のタスク
コントローラーをページに追加して作成したカスタムコントローラーを使用します。

データコンポーネントを接続する

データバインディングモーダルを使用して、ローカルデータリソースによって公開されたデータを UI ビルダー ページ上のコンポーネントに関連付けます。

データバインディングモーダル



データバインディングモーダルオプション

オプション	説明
元に戻す	前の変更を元に戻します。
やり直し	元に戻された変更をやり直します。
ドラッグアンドドロップによるデータのバインド	ピルビューを表示します。
スクリプトを使用	JSON ビューを表示します。
全画面表示の切り替え	データバインディングモーダルを全画面サイズに展開します。もう一度選択すると、データバインディングモーダルが小さいサイズに縮小されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

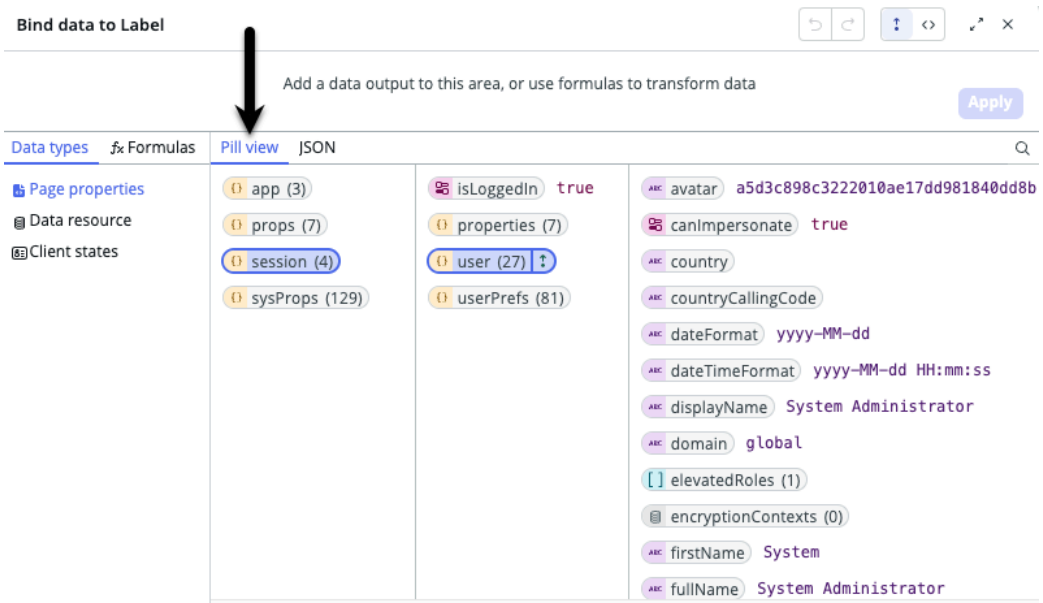
データバインディングモーダルオプション (続く)

オプション	説明
閉じる	データバインディングモーダルを閉じます。保存していない変更がある場合は、保存するオプションが表示されます。
データタイプ	ページプロパティ、データリソース、およびクライアントステータスをリストします。
計算式	使用できる計算式をリストします。検索フィールドを使用できます。
ピルビュー	[データタイプ] を選択すると、ピルビューでプロパティ値または表示値を指定できます。特定の値に到達するには、複数のピルを選択する必要がある場合があります。
JSON	[データタイプ] を選択すると、JSON オプションにより、生の JSON コードを編集できます。

データのバインドには、ドラッグアンドドロップと JSON の編集の 2 つの方法があります。

ドラッグアンドドロップによるデータのバインド

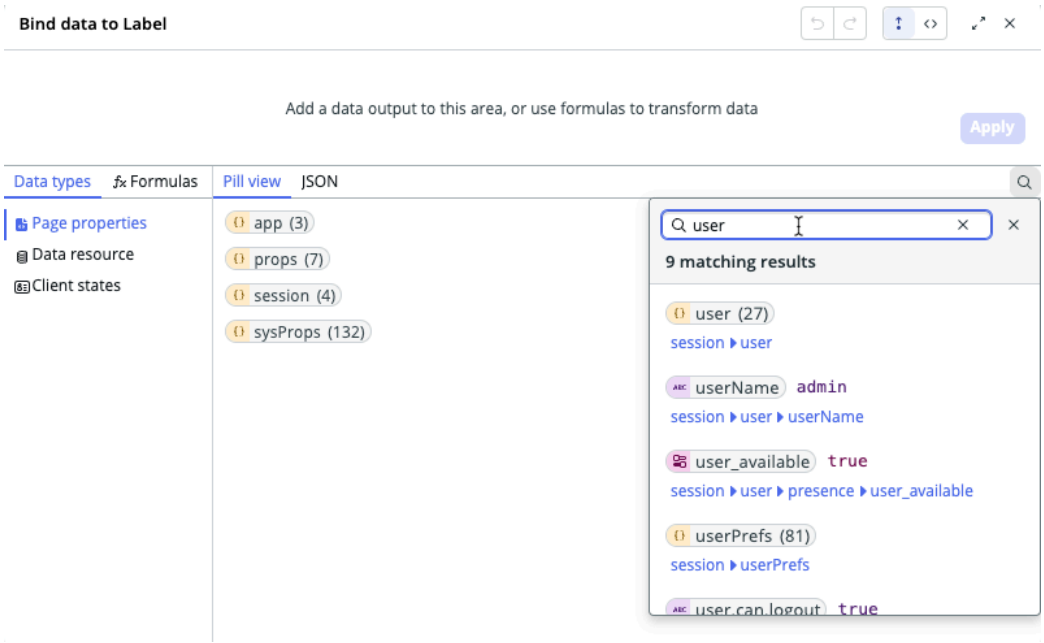
視覚的な処理を使用する場合は、この方法を使用します。



検索バーを使用して、コンポーネントにバインドするデータを見つけます。

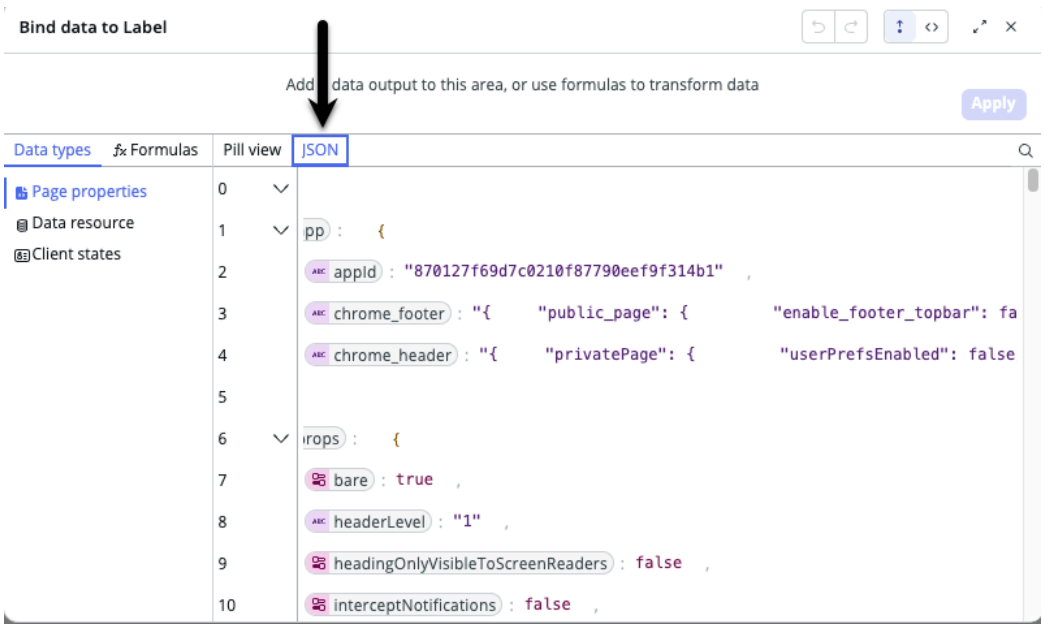
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



JSON の編集によるデータのバインド

JSON コードの操作と編集に慣れている場合は、この方法を使用します。



コンポーネントへのデータ接続

ローカルデータリソースによって公開されたデータを、UI ビルダーページ上のコンポーネントにバインドします。

始める前に
必要なロール：ui_builder_admin

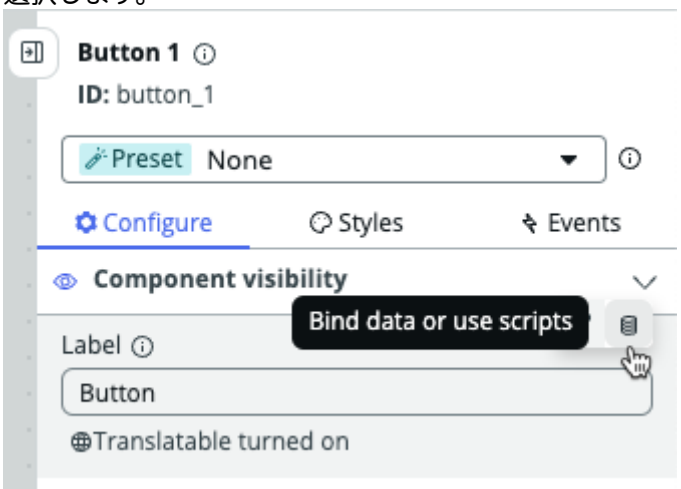
このタスクについて
データバインディングとは、情報を表示する UI 要素にデータを関連付けるプロセスのことです。データをコンポーネントにバインドする前に、データリソースを UI ビルダーページに追加する必要があります。詳細については、「ページへのデータリソースの追加と構成」を参照してください。

自動翻訳

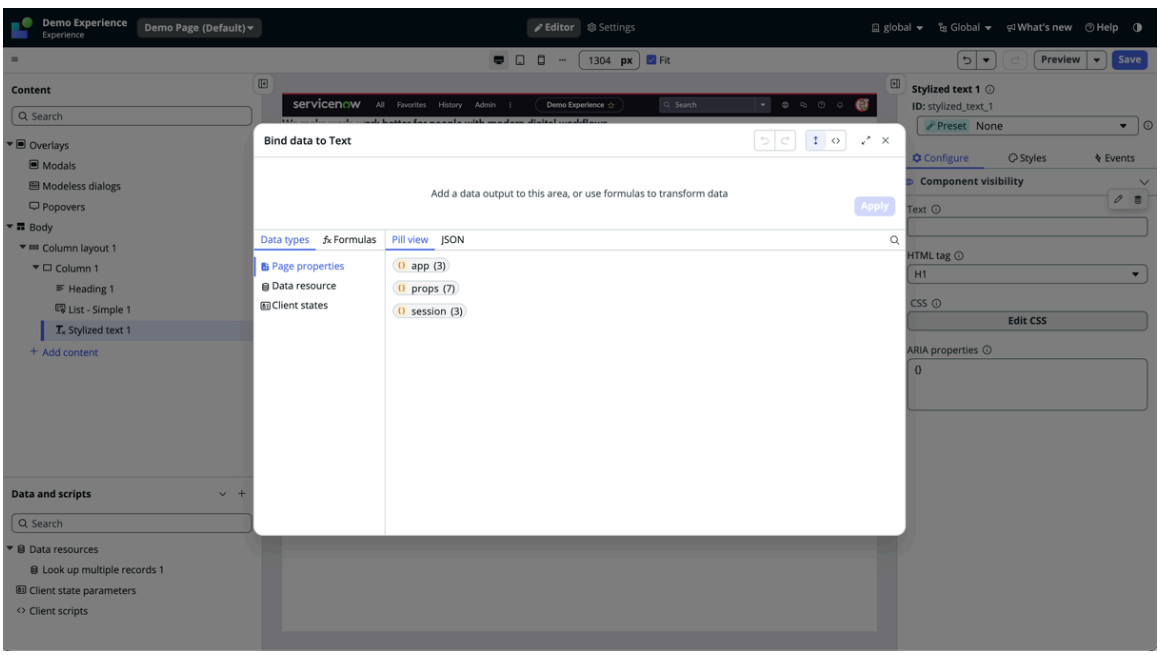
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > **Now Experience** フレームワーク > **UI** ビルダー.
2. 作業するエクスペリエンスを開くか、選択してエクスペリエンスを作成します 作成 > エクスペリエンス.
   エクスペリエンスの作成の詳細については、「UI ビルダー でユーザーがアプリケーションをどのように操作するかを構成する」を参照してください。
3. ページを作成するか、開きます。
4. データリソースをページに追加します。
   詳細については、「ページへのデータリソースの追加と構成」を参照してください。
5. コンポーネントをページに追加します。
   コンポーネントにデータリソースをバインドするには、ページにコンポーネントが必要です。詳細については、「コンポーネントを使用した UI ビルダー ページのカスタマイズ」を参照してください。
6. UI ビルダー の構成パネルから [構成] タブを選択します。
7. データをバインドするフィールドをポイントし、[動的なデータバインディング] アイコン ( ) を選択します。



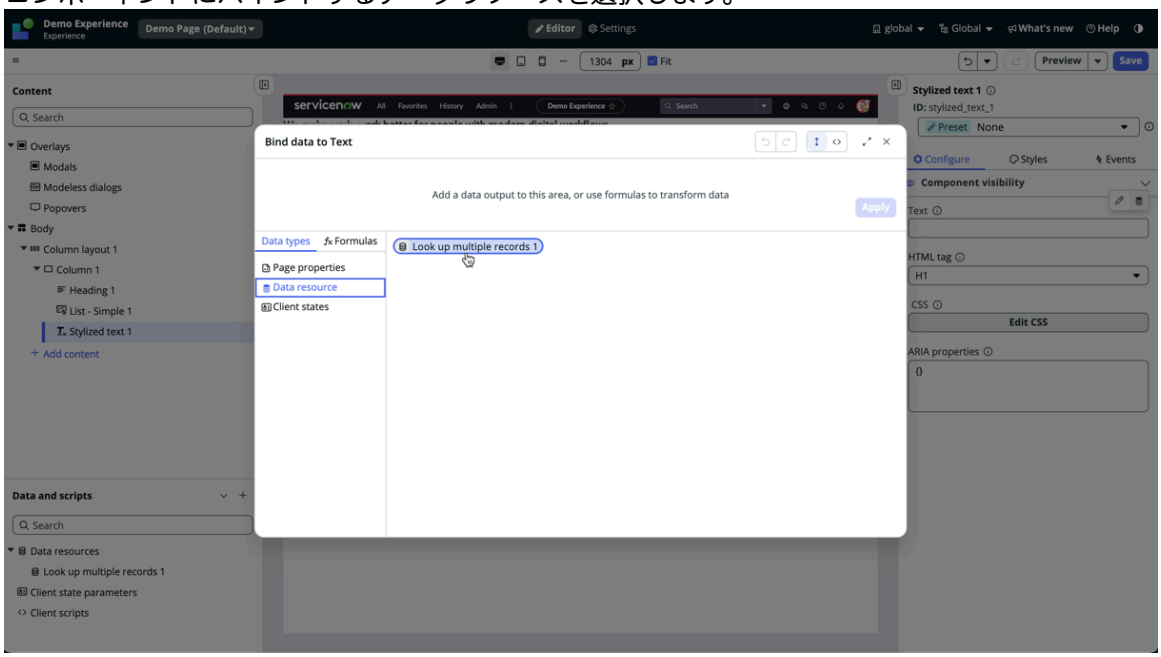
データバインディングモーダルが表示されます。



© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

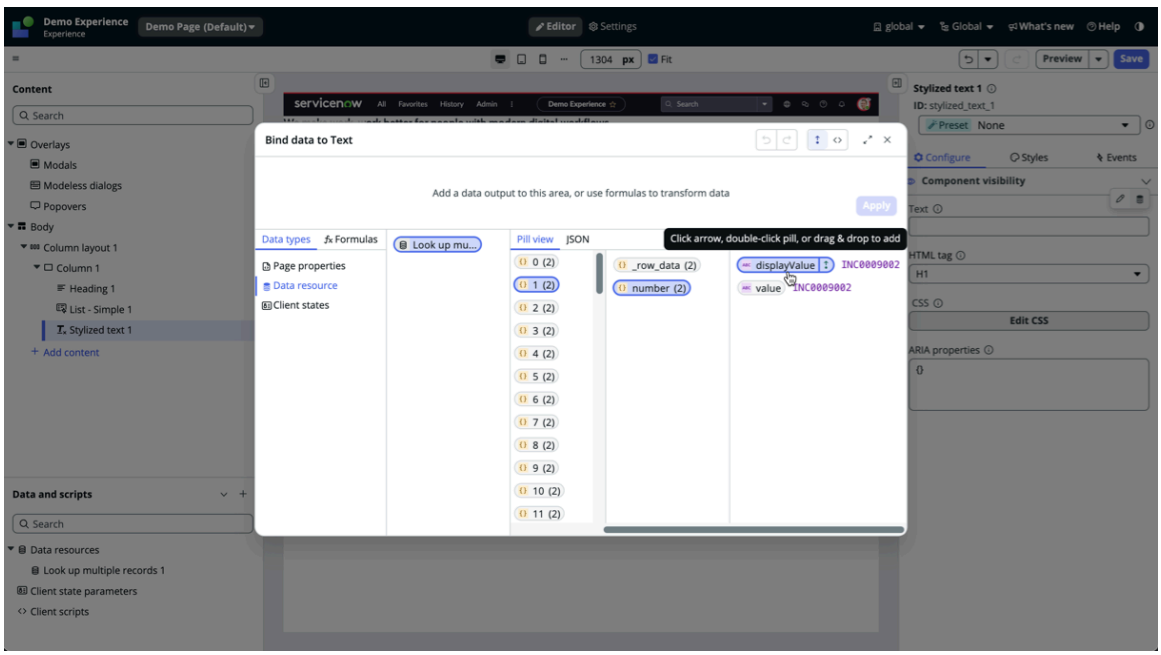
自動翻訳

8. [データタイプ] タブで [データリソース] を選択します。
9. コンポーネントにバインドするデータリソースを選択します。



10. コンポーネントにバインドするデータを選択し、上のフィールドにドラッグします。

    特定のプロパティ値または表示値に到達するために、数個のピルの選択が必要になる場合があります。

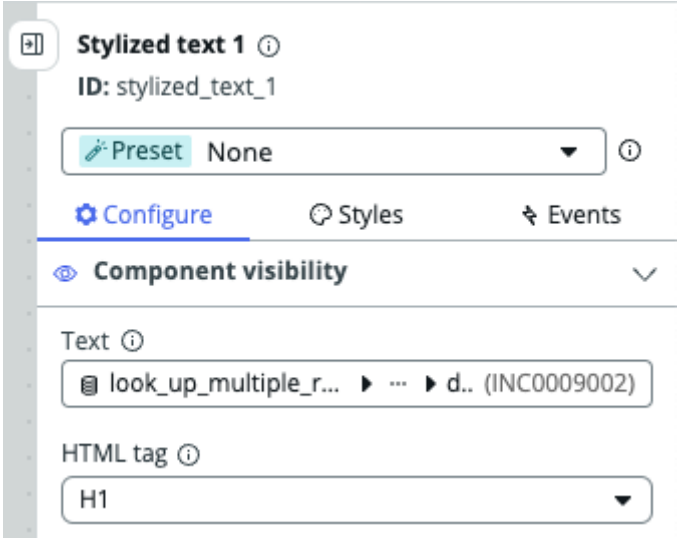


11. [適用] を選択します。

    コンポーネントには、選択したプロパティ値または表示値が表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



12. UI ビルダー ヘッダーで、[保存] を選択します。

数式を使用してデータをコンポーネントに接続する

ローカルデータリソースによって公開されたデータを、UI ビルダー ページ上の数式を使用してコンポーネントにバインドします。

始める前に
必要なロール：ui_builder_admin

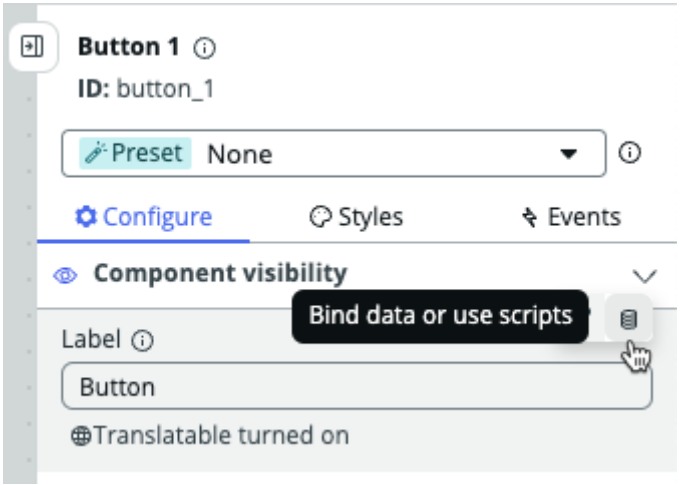
このタスクについて
データバインディングとは、情報を表示する UI 要素にデータを関連付けるプロセスのことです。データをコンポーネントにバインドする前に、データリソースを UI ビルダーページに追加する必要があります。詳細については、「ページへのデータリソースの追加と構成」を参照してください。

手順

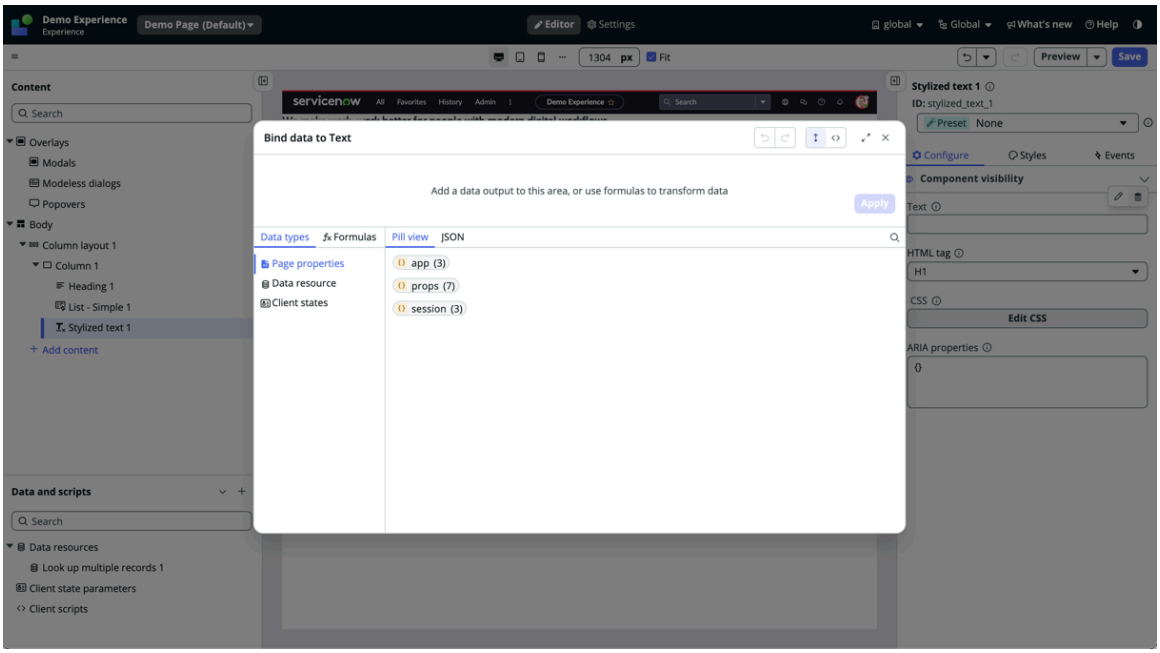
1. 移動先 すべて > **Now Experience** フレームワーク > **UI** ビルダー.
2. 作業するエクスペリエンスを開くか、選択してエクスペリエンスを作成します 作成 > エクスペリエンス.
   エクスペリエンスの作成の詳細については、「UI ビルダー でユーザーがアプリケーションをどのように操作するかを構成する」を参照してください。
3. ページを作成するか、開きます。
4. データリソースをページに追加します。
   詳細については、「ページへのデータリソースの追加と構成」を参照してください。
5. コンポーネントをページに追加します。
   コンポーネントにデータリソースをバインドするには、ページにコンポーネントが必要です。詳細については、「コンポーネントを使用した UI ビルダー ページのカスタマイズ」を参照してください。
6. UI ビルダー の構成パネルから [構成] タブを選択します。
7. データをバインドするフィールドをポイントし、[動的なデータバインディング] アイコン ( ) を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

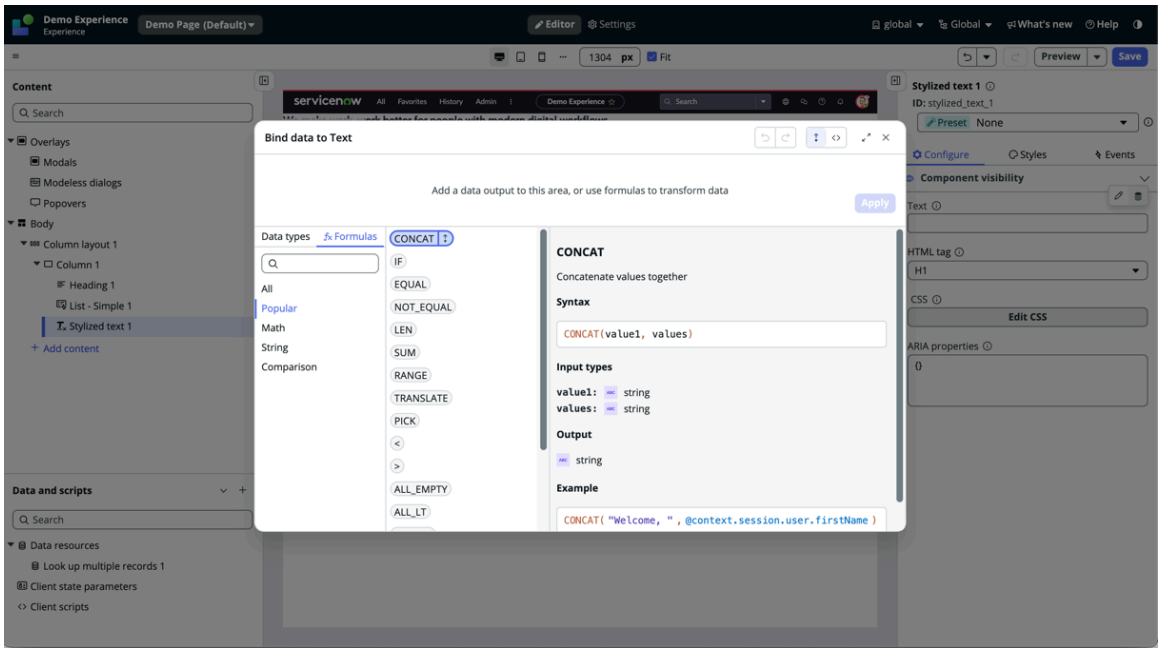


データバインディングモーダルが表示されます。



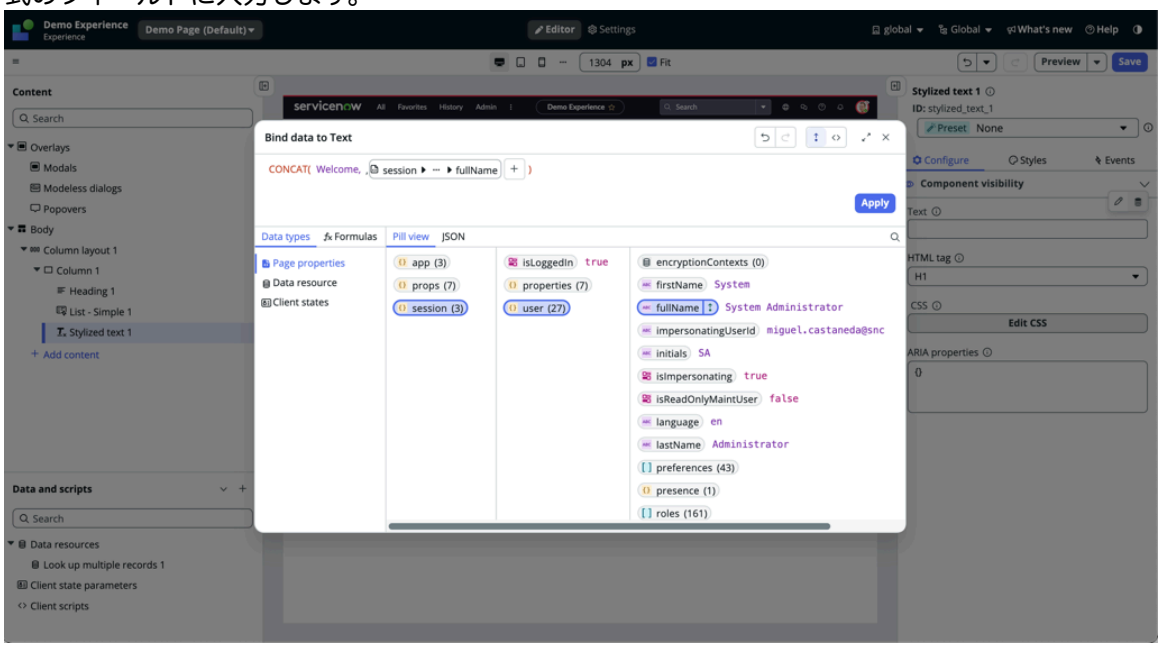
8. [計算式] タブを選択します。
9. コンポーネントにバインドする数式を選択して、上のフィールドにドラッグします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



数式の詳細については、「UI ビルダー コンポーネント式エディターでサポートされている関数」を参照してください。

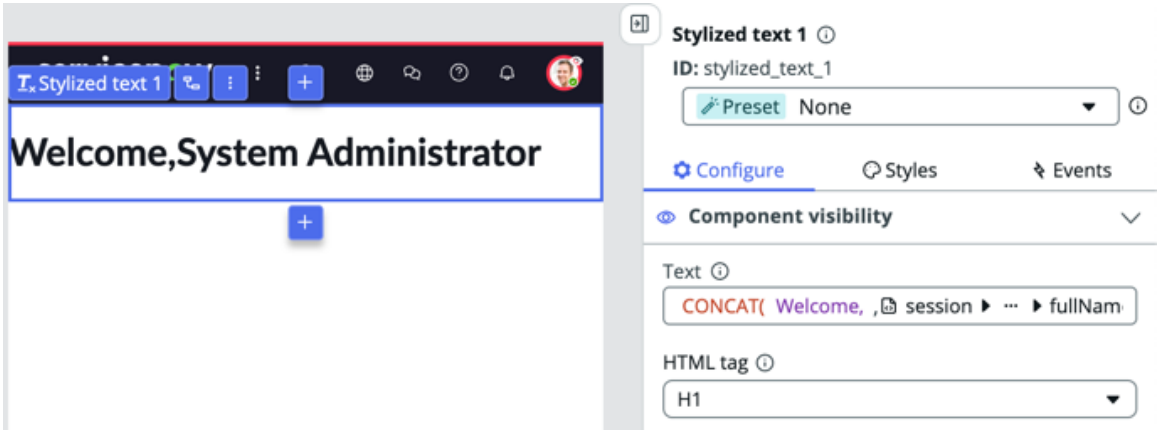
10. 式のフィールドに入力します。



11. [適用] を選択します。

コンポーネントには、選択したプロパティ値または表示値が表示されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



12. UI ビルダー ヘッダーで、[保存] を選択します。

クライアントステータスパラメーター

クライアントステータスパラメーターを使用して、値をコンポーネント構成にバインドします。クライアントステータスパラメーターの値が変更されると、コンポーネントは新しい値を使用するように更新されます。

クライアントサイドインタラクションとは

Web ベースのアプリケーションでは、ブラウザーで発生することはすべてクライアント側です。クライアント側のインタラクションは、ユーザーがクリックしてエクスペリエンスコンポーネントを操作するときに発生します。クライアントサイドインタラクションの例には、次のようなものがあります。

- ボタンをクリックする
- フィルターの適用
- リストのソート
- リストの更新
- インライン検索結果の提供
- 不完全または不正確なデータをユーザーに警告する

ユーザーは、他のページに移動するためにページを操作することがあります。また、ユーザーがページのコンテンツ、外観、またはデータを更新したい場合もあります。クライアント側のインタラクションでは、ページ全体をリフレッシュするのではなく、ページの影響を受ける部分のみを更新します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

たとえば、ユーザーは列ヘッダーをクリックしてリストをソートできます。ソートでは、ページ全体ではなく、リストのみが再描画されます。

UI ビルダーでクライアント側のインタラクションを作成するには、以下が含まれます。

- クライアントステータスパラメーター
- イベント
- クライアントスクリプト

クライアントステータスパラメーターとは

クライアントステータスパラメーターはページ変数です。クライアントステータスパラメーターを定義して構成し、その値を使用してコンポーネントを構成します。クライアントステータスパラメーターは、ページコンポーネントの構成値を一元管理します。 UI ビルダー は、クライアントステータスパラメーターを使用してユーザーエクスペリエンスを向上させ、パーソナライズされたコンテンツとサービスを提供します。

クライアントステータスパラメーターの例

この例では、ページに color というクライアント状態パラメーターがあります。3 つのコンポーネントのうち 2 つは、カラークライアントステータスパラメーターを使用するように構成されています。色がオレンジ色に設定されている場合、コンポーネントはオレンジ色になります。色が紫に設定されている場合、コンポーネントは紫色になります。色が緑に設定されている場合、コンポーネントは緑色になります。クライアントステータスパラメーターは、ページの共通値を管理する単一の場所です。クライアントステータスパラメーターがない場合、値を変更する場合は、値を使用する各コンポーネントを個別に更新する必要があります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

たとえば、Web エクスペリエンスでは、コンポーネントが使用するプライマリ色をカラークライアントステータスパラメーターに格納します。コンポーネントがクライアントステータスパラメーターを使用するように構成されている場合、クライアントステータスパラメーターの値を変更すると、コンポーネントが新しい値に更新されます。

エクスペリエンスにボタンを追加して、ユーザーがページコンポーネントの色を選択できるようにすることができます。ユーザーは、1 回のクリックで、ページ上のすべてのコンポーネントの色を同時に変更できます。ユーザーの色の選択肢をクライアントステータスパラメーターに保存してから、クライアントステータスパラメーターを使用してページのコンポーネントを構成します。ユーザーの操作によってクライアントステータスパラメーターの値が変更されると、ページのコンポーネントがリアルタイムで更新されます。

クライアントステータスパネル

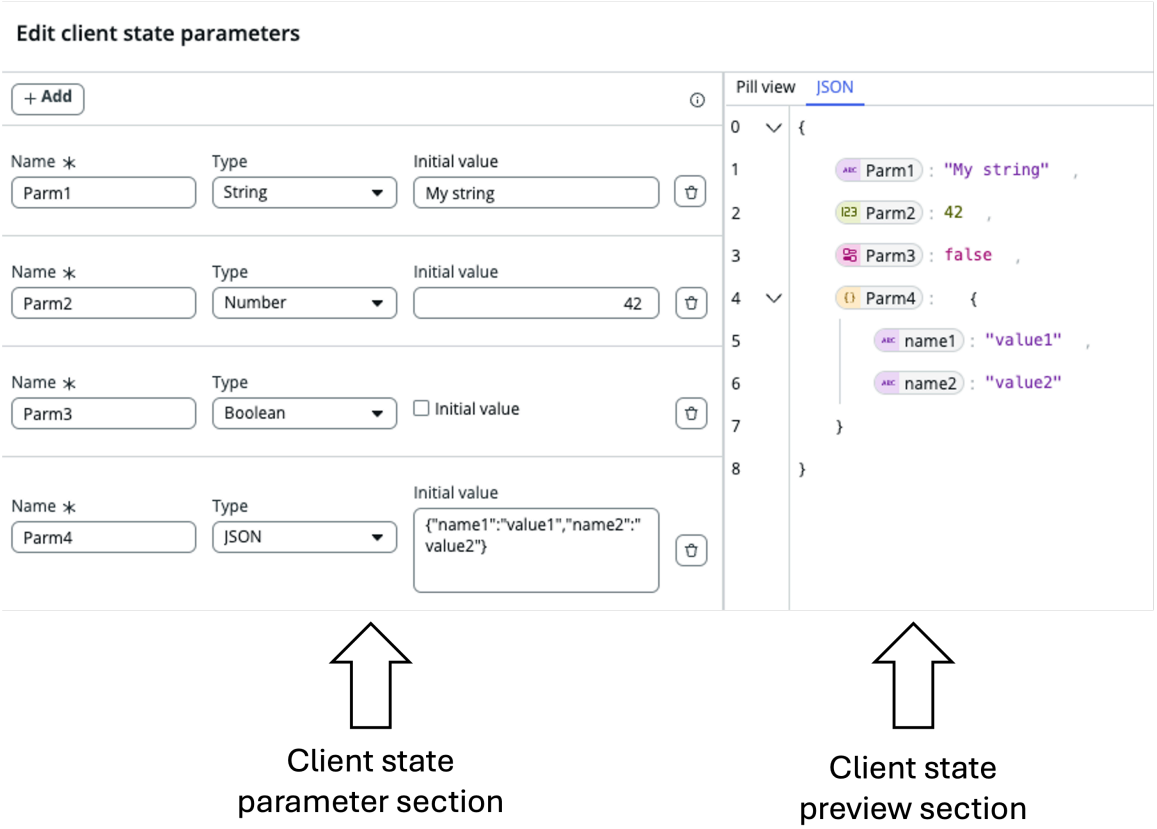
クライアントステータスパネルはデフォルトで折りたたまれています。左側のナビゲーションバーにあるクライアントステータスアイコンをクリックして、クライアントステータスパネルを開きます。

クライアントステータスパネルには、次の 2 つのセクションがあります。

- クライアントステータスパラメーター:ページのクライアントステータスパラメーター
- クライアントステータスのプレビュー:ページのクライアントステータスパラメーターの JSON

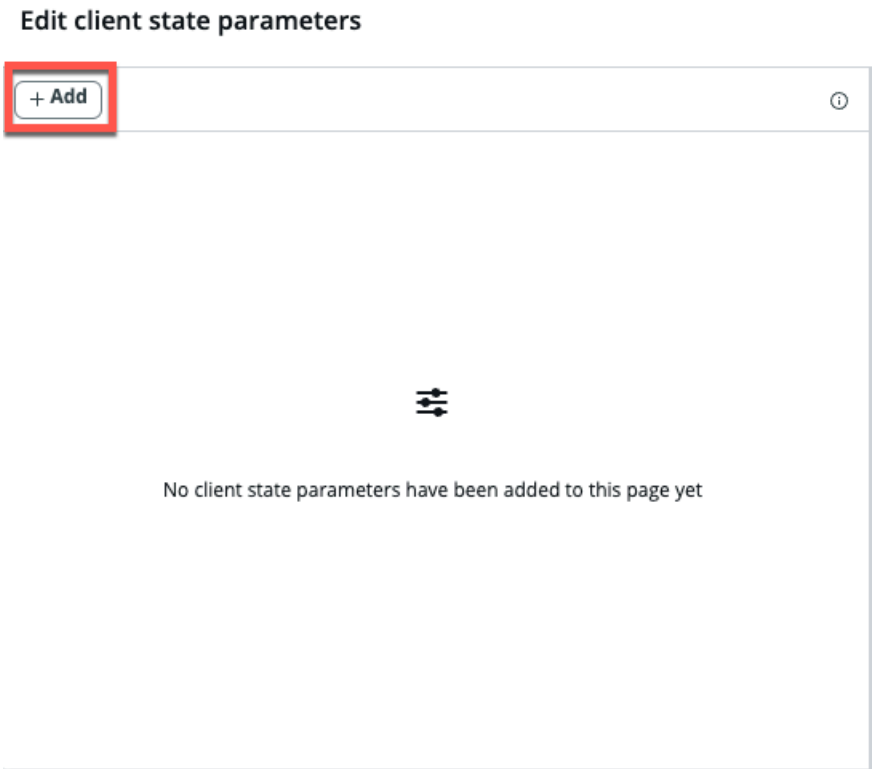
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



クライアントステータスパラメーターの作成

クライアントステータスパラメーターをページに追加するには、[クライアントステータスパラメーター] セクションの [+ 追加] ボタンをクリックします。



クライアントステータスパラメーターには、3 つの構成フィールドがあります。

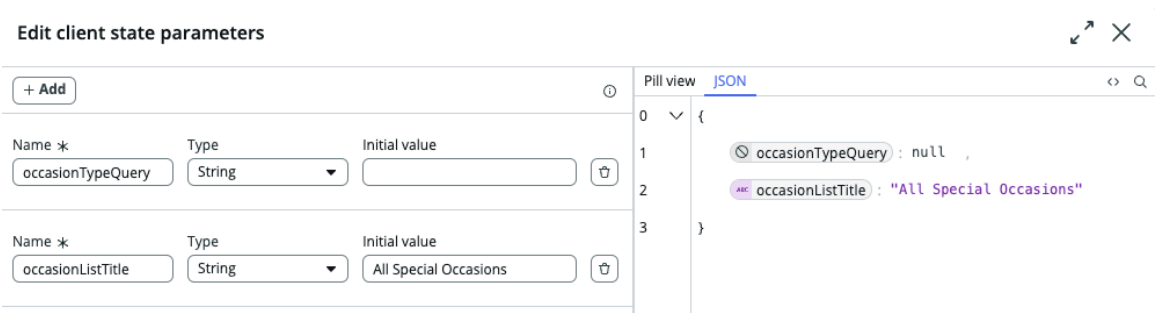
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- 名前:パラメーターの名前。名前にスペースを含めることはできません
- Type: パラメータのタイプ
  - 文字列
  - 番号
  - ブール
  - JSON
- 初期値:パラメーターのデフォルト値

この例では、クライアントステータスパネルに 2 つのクライアントステータスパラメーターがあります。

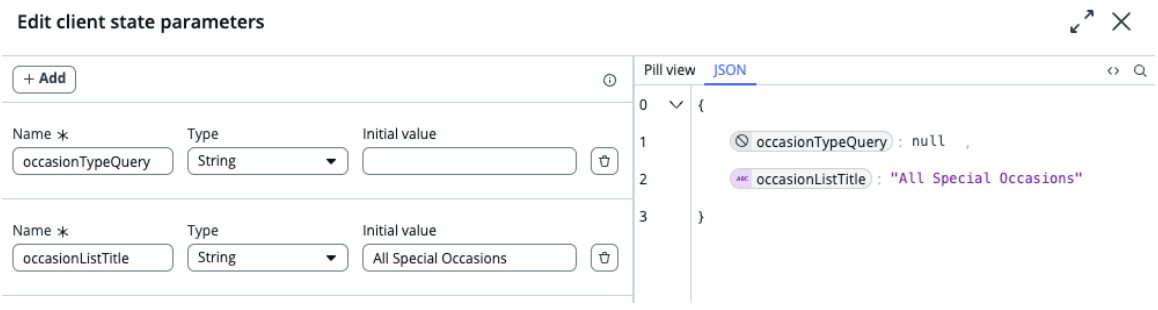
- occasionTypeQuery はデフォルト値のない文字列です
- occasionListTitle は、デフォルト値が「すべての特別な機会」の文字列です



クライアントステータスパラメーターの操作

クライアント状態パラメーターを取得したら、それを使用して何ができますか? クライアントステータスパラメーターを操作するには、まずクライアントステータスパラメーターの値をコンポーネント構成にバインドします。クライアントステータスパラメーターの値が変更されると、コンポーネントは新しい値を使用するように更新されます。クライアント状態パラメーターの値を変更する方法の 1 つは、イベント ハンドラーを使用することです。

クライアントステータスパラメーターの作成ページ例では、2 つのクライアントステータスパラメーター (occasionTypeQuery と occasionListTitle) が特別な機会アプリケーションに追加されています。デフォルトでは、occasionTypeQuery パラメーターには値がなく、occasionListTitle のデフォルト値は All Special Occasions です。これらのクライアントステータスパラメーターは、機会リストコンポーネントに適用され、リストのタイトルとフィルターを設定します。ボタンを使用してこれらのクライアントステータスパラメーターの値を更新し、リストを動的に更新します。



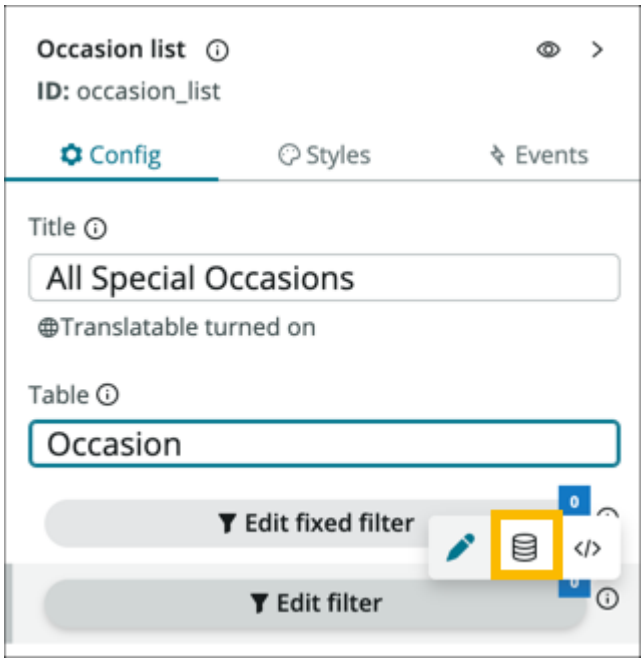
クライアントステータスパラメーターのバインディング

クライアントステータスパラメーター値は、ページコンテキスト、ペイロード、およびデータリソースと同じ方法でコンポーネント構成フィールドにバインドできます。コンポーネントを構成するとき

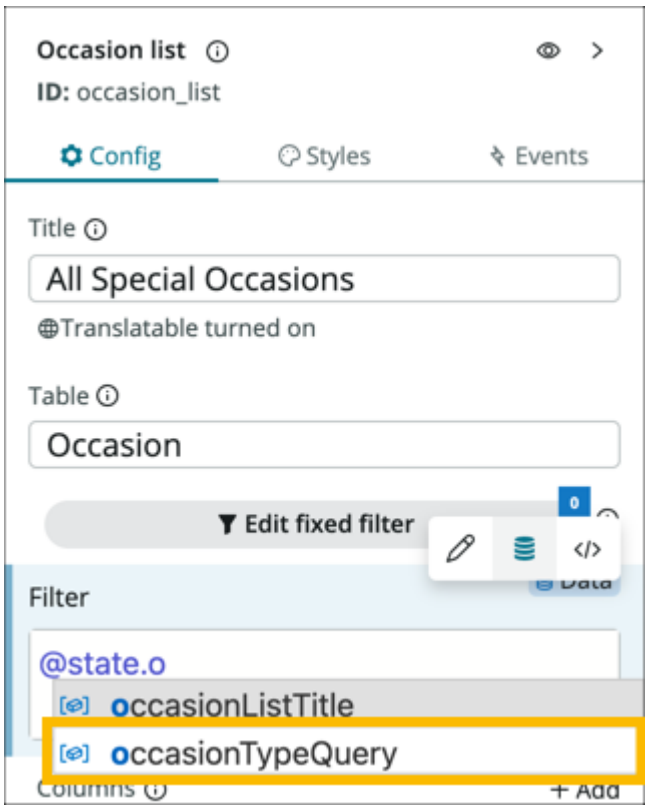
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

は、フィールドにカーソルを合わせ、[動的なデータバインディング] ボタン (を選択して、クライアントステータスパラメーターをフィールド値にバインドします。この例では、機会リストコンポーネントのフィルターフィールドの [動的データバインディング] ボタンがハイライト表示されています。



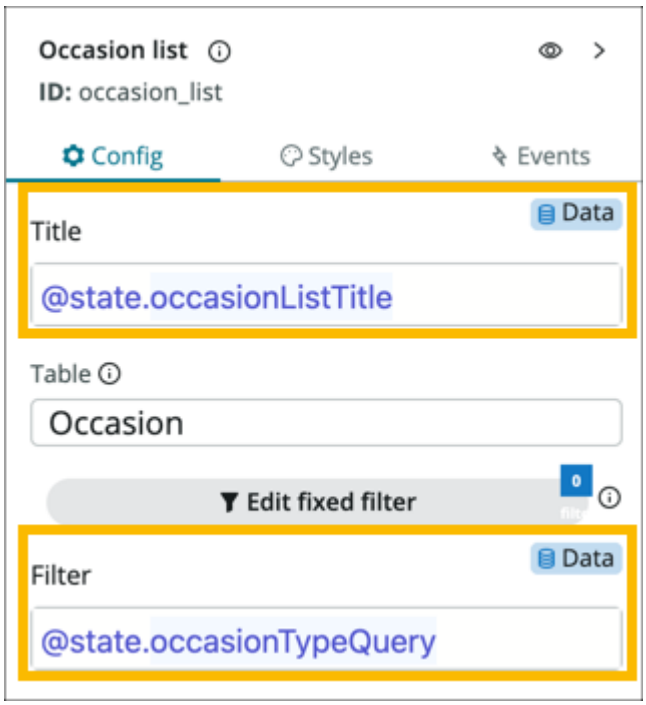
文字 @ はデータバインディングを示し、state オブジェクトにはクライアントステータスパラメーターが含まれます。選択リストからクライアントステータスパラメーターを選択します。この例では、 occasionTypeQuery クライアントステータスパラメーターの選択を示しています。occasionTypeQuery クライアントステータスパラメーターのデフォルト値は空であるため、デフォルトではフィルターは適用されません。



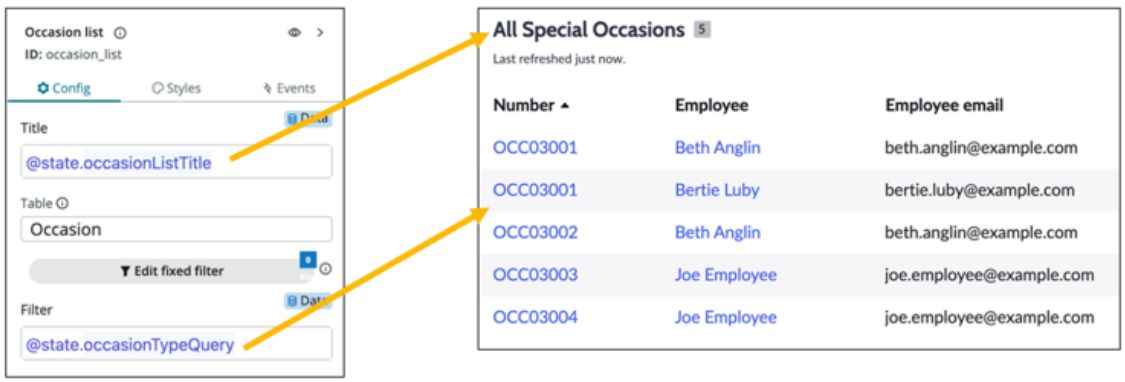
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

コンポーネントの [タイトル] も同様の方法で設定されます。[タイトル] フィールドで [動的データバインディング] ボタンを選択するか、「@」と入力して、選択リストから **state.occasionListTitle** クライアントステータスパラメーターを選択します。occasionListTitle クライアントステータスパラメーターのデフォルト値は、All Special Occansions です。この例では、クライアントステータスパラメーターを使用するように構成された [タイトル] と [フィルター] の両方を示しています。



両方のクライアントステータスパラメーターが適用されている場合、フィルターはリストに適用されず、タイトルは 「すべての特別な機会」になります。



occasionTypeQuery および occasionListTitle クライアントステータスパラメーターの値は、ユーザーがコンポーネントを操作してクライアントステータスパラメーターの値を変更するまで変更されません。

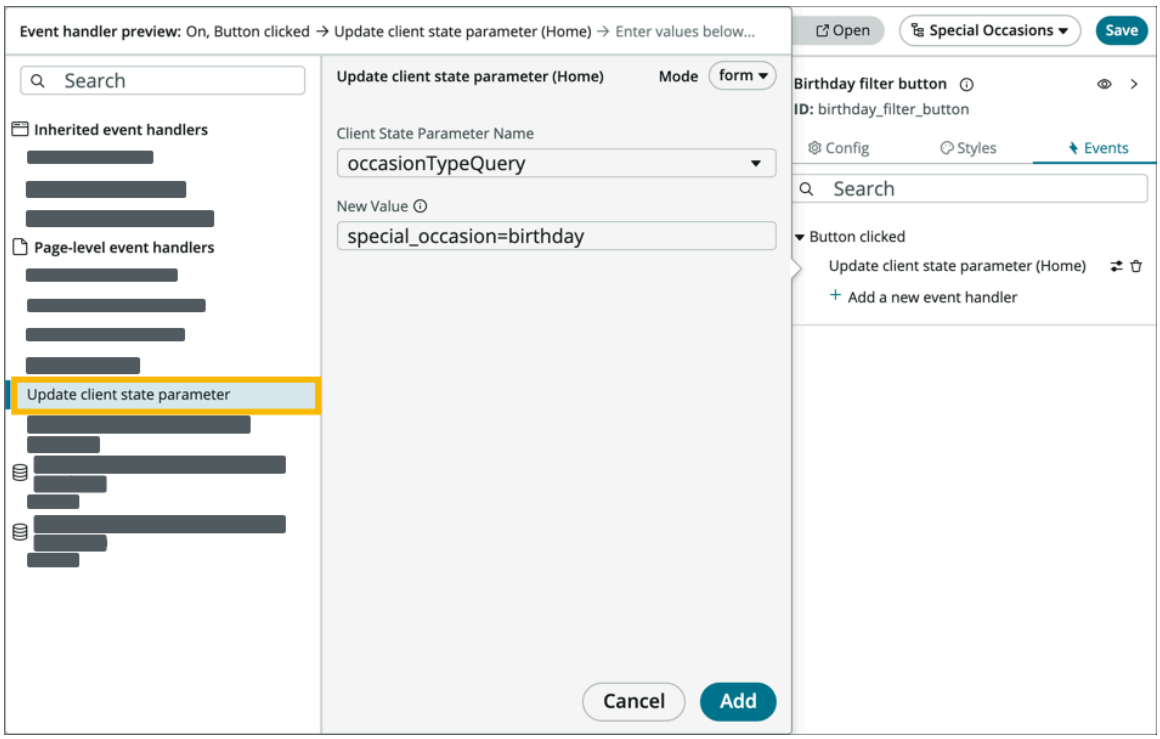
クライアントステータスパラメーター値の変更

[クライアントステータスパラメーターの更新] イベントハンドラーを使用して、実行時にクライアントステータスパラメーターの値を変更します。[クライアント状況パラメーターの更新] イベントハンドラーには、更新するクライアント状況パラメーターと、クライアント状況パラメーターに使用する新しい値の 2 つのプロパティがあります。

たとえば、特別な機会アプリケーションの [機会リスト] コンポーネントの上に [誕生日] ボタンが追加されます。このボタンの目的は、リスト のタイトル を 「すべての誕生日 」 に変更し、誕生日のみを表示するようにリストのフィルターを調整することです。この目標を達成するため

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

に、2 つのイベント ハンドラーがボタンの **Button clicked** イベントにマップされます。1 つは occasionTypeQuery クライアント状態パラメーターを変更し、もう 1 つは occasionListTitle クライアント状態パラメーターを変更します。この画像は、occasionTypeQuery クライアント状況パラメーターを special_occasion=birthday に設定するように構成された [クライアント状態パラメーターの更新] イベント ハンドラーを示しています。これにより、誕生日のみを表示するようにリストがフィルター処理されます。



Button clicked イベントがイベントハンドラーにマッピングされ、occasionTypeQuery と occasionListTitle の両方のクライアントステータスパラメーターが更新されると、ボタンをクリックするとクライアントステータスパラメーターが更新され、Occasion List コンポーネントが新しい値で自動的に更新されます。

でのクライアントステータスパラメーターの使用 **UI** ビルダー

定型テキストコンポーネントと 2 つのボタンをエクスペリエンスページに追加して、シンプルなカウンターを作成します。クライアントステータスパラメーターを使用して機能を実装し、ボタンが選択されたときにカウントが増減するようにします。

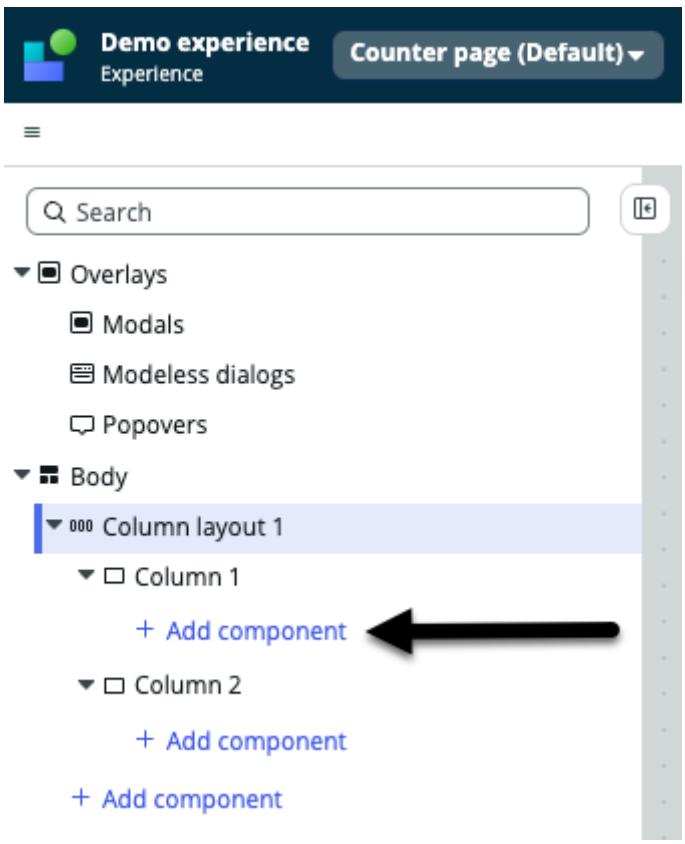
始める前に
必要なロール：ui_builder_admin

定型テキストコンポーネントと 2 つのボタンのアイコンコンポーネントを追加して、シンプルなカウンターアプリケーションを作成する方法を示す 3 分間のビデオ。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > **Now Experience** フレームワーク > **UI** ビルダー.
2. 作業するエクスペリエンスを開くか、または [作成] **>** [エクスペリエンス] を選択してエクスペリエンスを作成します。
   エクスペリエンスの作成の詳細については、「UI ビルダー でユーザーがアプリケーションをどのように操作するかを構成する」を参照してください。
3. 「UI ビルダー でのページの作成」の手順を実行するか、またはページを開きます。
4. [本文] の下のコンテンツツリーで **[+** コンテンツを追加] を選択して、列レイアウトを追加します。
5. [レイアウト] タブで、**[2** 列] を選択します。
6. コンテンツツリーの [列 **1]** の下の **[+** コンテンツを追加] を選択して、最初のコンポーネントを追加します。

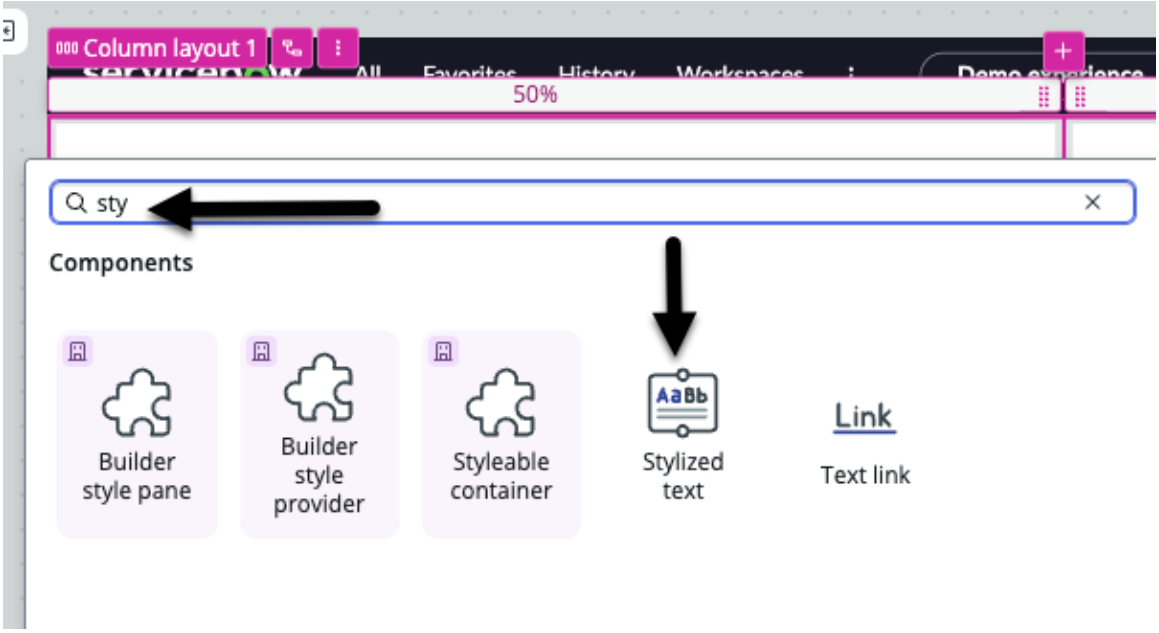


   a. [検索] に sty と入力します。

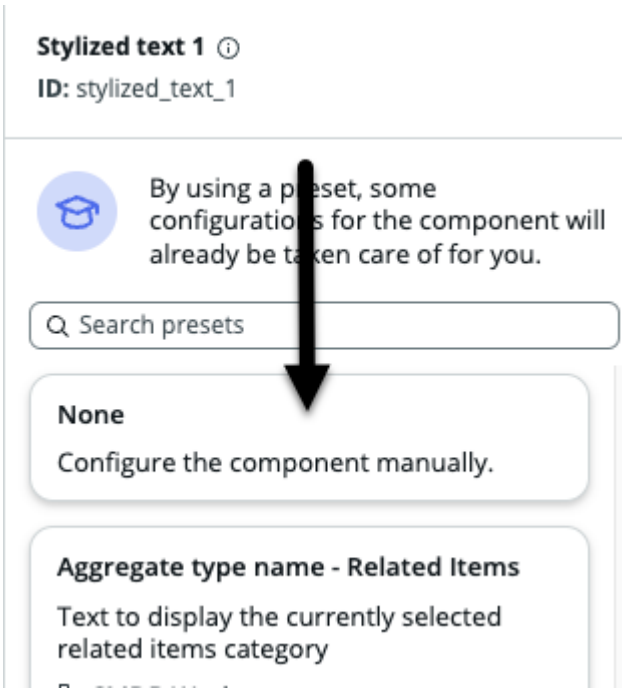
   b. [定型テキスト] コンポーネントを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



c. 構成パネルで、[なし - コンポーネントを手動構成します **(None - Configure the component manually)]** を選択します。



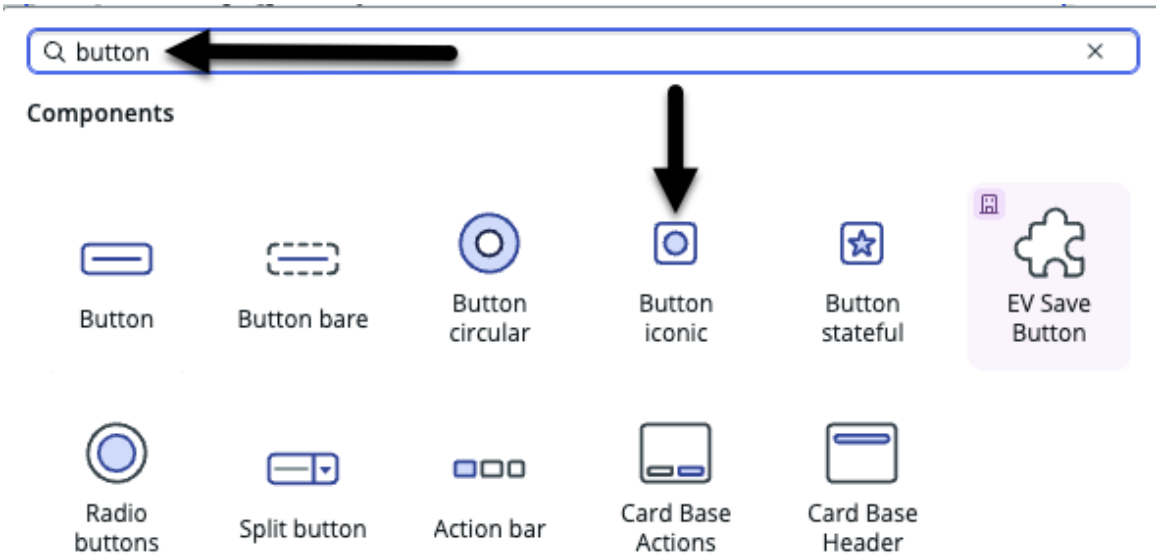
7. [列 **2]** のコンテンツツリーで **[+** コンテンツを追加] を選択して、2 番目のコンポーネントを追加します。

a. [検索] に `button` と入力します。

b. [象徴的なボタン] を選択します。

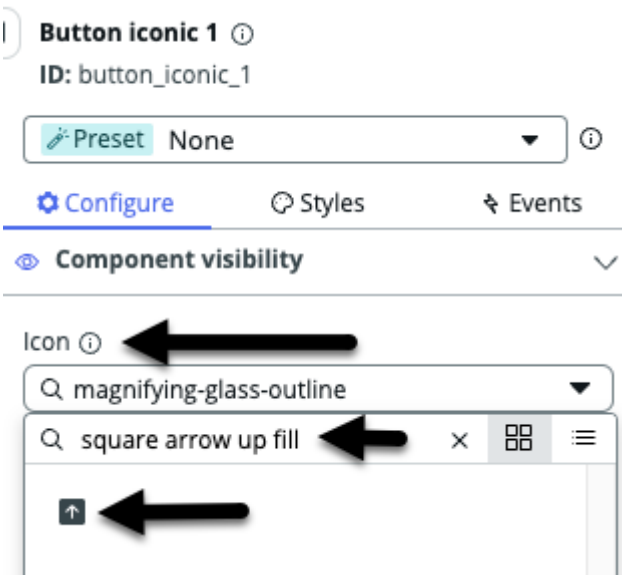
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



c. 構成パネルで、[なし - コンポーネントを手動構成します **(None - Configure the component manually)]** を選択します。

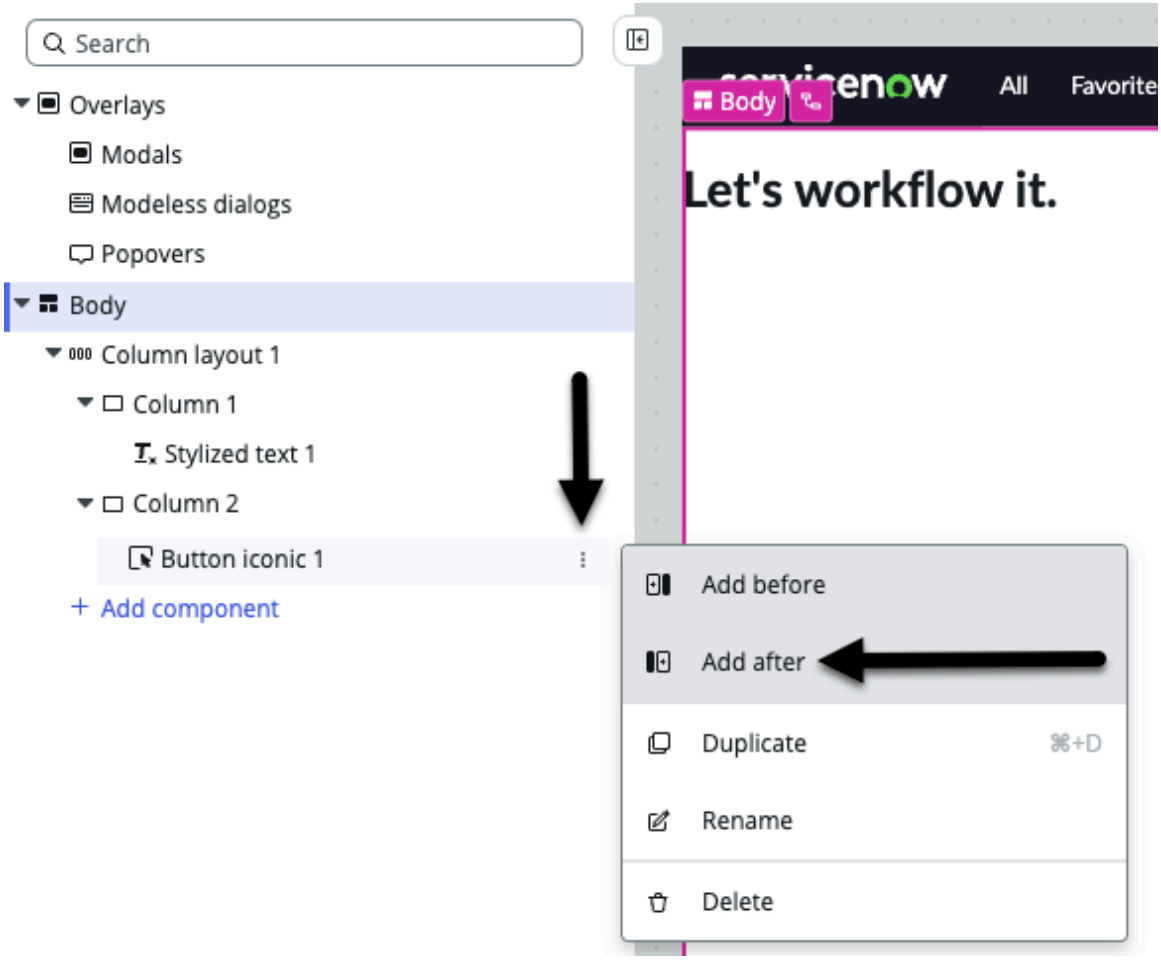
d. [アイコン] で、[四角い塗りつぶしの上向き矢印 **(Square Arrow Up Fill)]** を選択します。



8. コンテンツツリーで [象徴的なボタン **1]** をポイントし、[メニュー] アイコンを選択し、[後に追加] を選択して、3 番目のコンポーネントを追加します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



a. 前の手順で行ったように、[検索] に `button` と入力します。

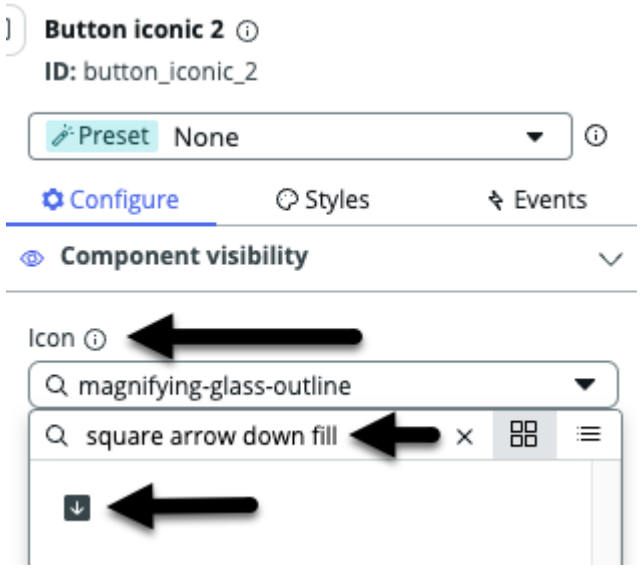
b. 前の手順で行ったように、[象徴的なボタン] を選択します。

c. 前の手順と同じように、構成パネルで、[なし - コンポーネントを手動構成します **(None - Configure the component manually)]** を選択します。

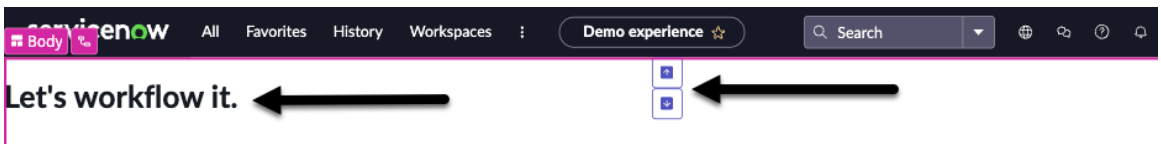
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

d. [アイコン] で、今度は [四角い塗りつぶしの下向き矢印 **(Square Arrow Down Fill)]** という名前の別のアイコンを選択します。



9. [保存] を選選択します。
定型テキストコンポーネントと 2 つの象徴的なボタンコンポーネントが保存され、ステージに表示されます。



10. クライアントステータスパラメーターを追加するには、[データおよびスクリプト **(Data and scripts)]** に移動し、[クライアントステータスパラメーター] をポイントし、[新しく追加 **(+)]** アイコンを選択します。

a. `count` と入力して [名前] を変更します。

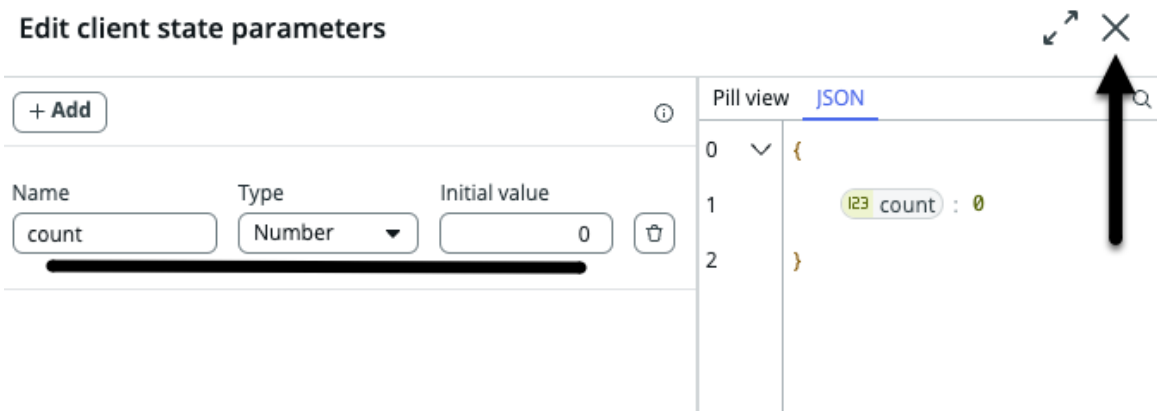
b. [タイプ] を [数値] に変更します。

c. 数値 `0` を入力して [初期値] を設定します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

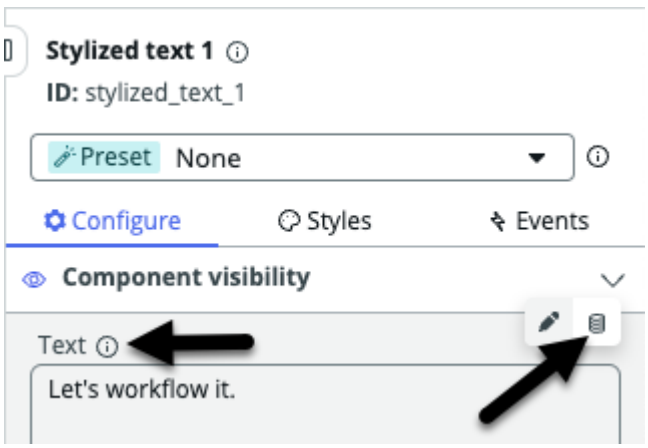
d. [X] アイコンを選択してウィンドウを閉じます。



11. 定型テキストコンポーネントをクライアントステータスパラメーターにバインドします。

a. ステージ上の定型テキストコンポーネントを選択します。

b. 構成パネルで、[テキスト] フィールドをポイントし、[データのバインドまたはスクリプトの使用 **(Bind data or use scripts)]** アイコンを選択します。



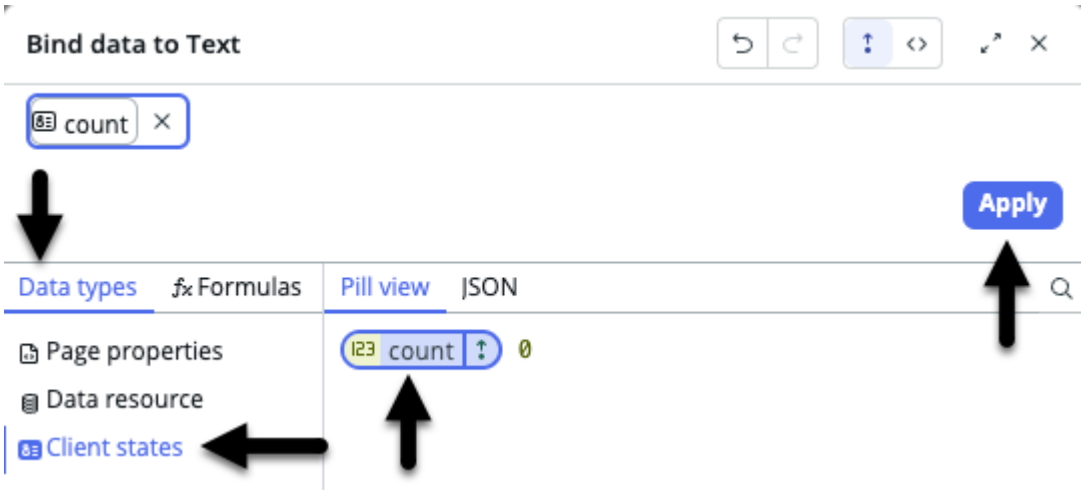
c. [データタイプ] タブで [クライアントステータス] を選択します。

d. [カウント] ピルをダブルクリックします。

e. [適用] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



[テキスト] フィールドが [カウント] に変わります。

12. 次に、ボタンを構成して数を増減させます。

a. ステージの一番上のボタンを選択します。

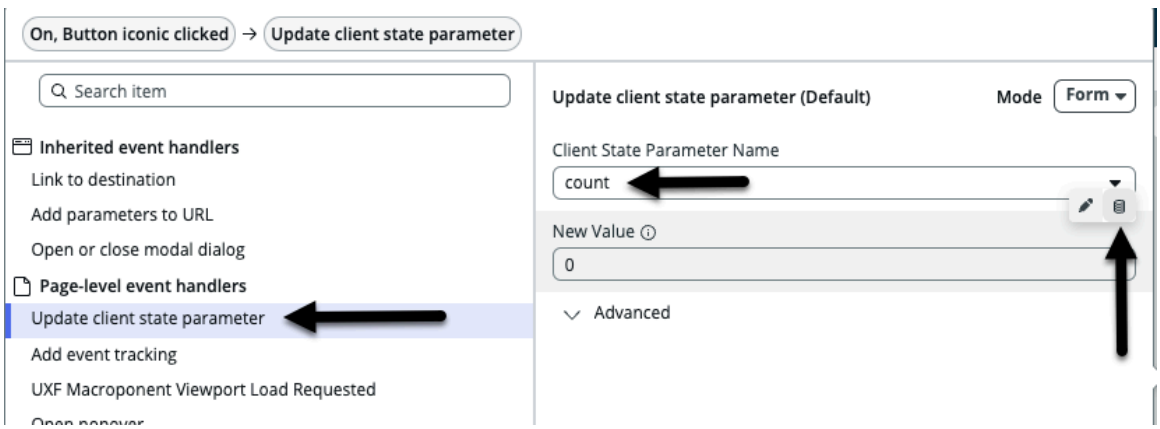
b. 構成パネルで [イベント] タブを選択します。

c. **[+** イベントハンドラーを追加] を選択します。

d. [ページレベルのイベントハンドラー] で、[クライアントステータスパラメーターを更新] を選択します。

e. [クライアントステータスパラメーター名] で [カウント] を選択します。

f. [新しい値] フィールドをポイントし、[データのバインドまたはスクリプトの使用 **(Bind data or use scripts)]** アイコンを選択します。



g. [データタイプ] タブで [クライアントステータス] を選択します。

h. [カウント] ピルをダブルクリックします。

i. [計算式] タブを選択します。

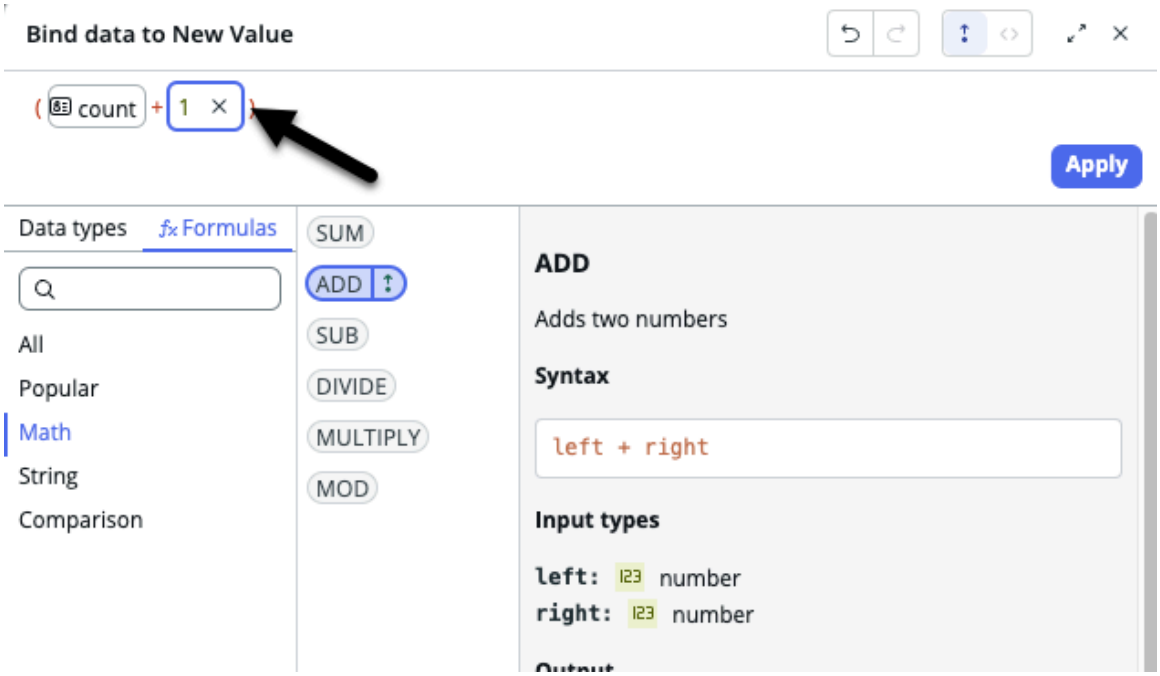
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

j. リストで [計算] を選択します。

k. **[ADD]** ピルをダブルクリックします。

l. 上部の右側のピルで、テキストを削除し、1 と入力します。



m. [適用] を選択します。

n. [追加] を選択します。

13. ここで、最初のボタンで使用したのと同じプロセスに従って 2 番目のボタンを構成しますが、ADD ピルではなく SUB ピルを選択します。

a. ステージの一番下のボタンを選択します。

b. 構成パネルで [イベント] タブを選択します。

c. **[+** イベントハンドラーを追加] を選択します。

d. [ページレベルのイベントハンドラー] で、[クライアントステータスパラメーターを更新] を選択します。

e. [クライアントステータスパラメーター名] で [カウント] を選択します。

f. [新しい値] フィールドをポイントし、[データのバインドまたはスクリプトの使用 **(Bind data or use scripts)]** アイコンを選択します。

g. [データタイプ] タブで [クライアントステータス] を選択します。

h. [カウント] ピルをダブルクリックします。

i. [計算式] タブを選択します。

j. リストで [計算] を選択します。

k. **[SUB]** ピルをダブルクリックします。

l. 上部の右側のピルで、テキストを削除し、1 と入力します。

自動翻訳

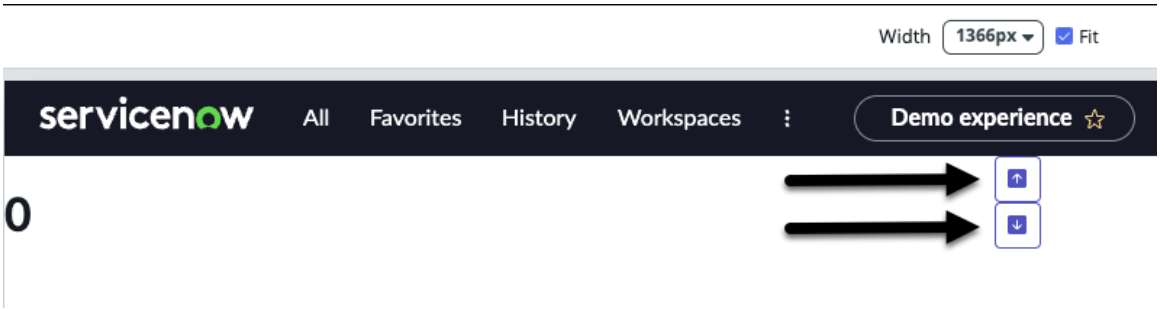
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

m. [適用] を選択します。

n. [追加] を選択します。

14. [プレビュー] を選択してカウンターをテストします。

15. [上向き矢印] ボタンを選択するとカウントが増え、[下向き矢印] ボタンを選択するとカウントが減少します。



タスクの結果

カウントを 1 つ増やすボタンコンポーネントと、カウントを 1 つ減らす別のボタンコンポーネントを追加しました。カウントの増減を表示する、定型テキストコンポーネントを追加しました。

ボタンコンポーネントに関する詳細な技術情報については、「ボタンの概要と API」を参照してください。

定型テキストコンポーネントに関する詳細な技術情報については、「定型テキストの概要」を参照してください。

クライアントステータスパラメーターを使用したコンポーネントのステータスの更新

UI ビルダー でクライアントステータスパラメーター値を作成して、コンポーネントにバインドします。コンポーネントにカスタム値を追加することで、これらのコンポーネントをスクリプトによって自動的に更新できます。

始める前に

必要なロール：ui_builder_admin

このタスクについて

2 つのコンポーネントをページに追加し、クライアントステータスパラメーターとスクリプトを使用して接続することができます。まず、クライアントステータスパラメーターを作成し、次にクライアントステータスパラメーターをラベルなどのコンポーネントの 1 つにバインドします。次に、クライアントスクリプトを作成し、それをイベントハンドラーを使用してボタンなどの 2 番目のコンポーネントにバインドします。イベントハンドラーを作成するときは、それにクライアントステータスパラメーターの値をバインドして、2 つのコンポーネントを接続します。1 つのコンポーネントをクリックすると、他のコンポーネントのステータスが変更されます。クライアントステータスは、スクリプトによって自動的に更新されるカスタム値をコンポーネントに追加できるので便利です。クライアントステータスは、ページに固有の情報を格納するバケットと考えてください。

たとえば、ボタンとラベルコンポーネントをページに追加できます。ボタンは、テキストの色を変更するなど、ラベルの値を変更します。

手順

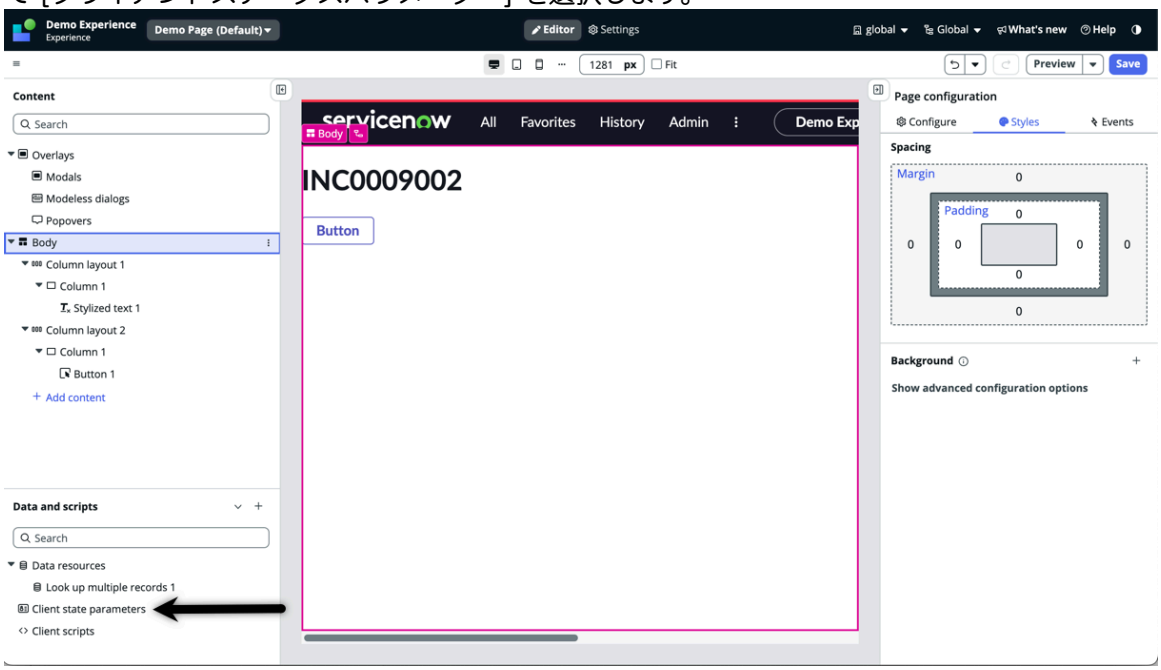
1. 移動先 すべて > **Now Experience** フレームワーク > **UI** ビルダー.
2. 作業するエクスペリエンスを開くか、選択してエクスペリエンスを作成します 作成 > エクスペリエンス.

自動翻訳

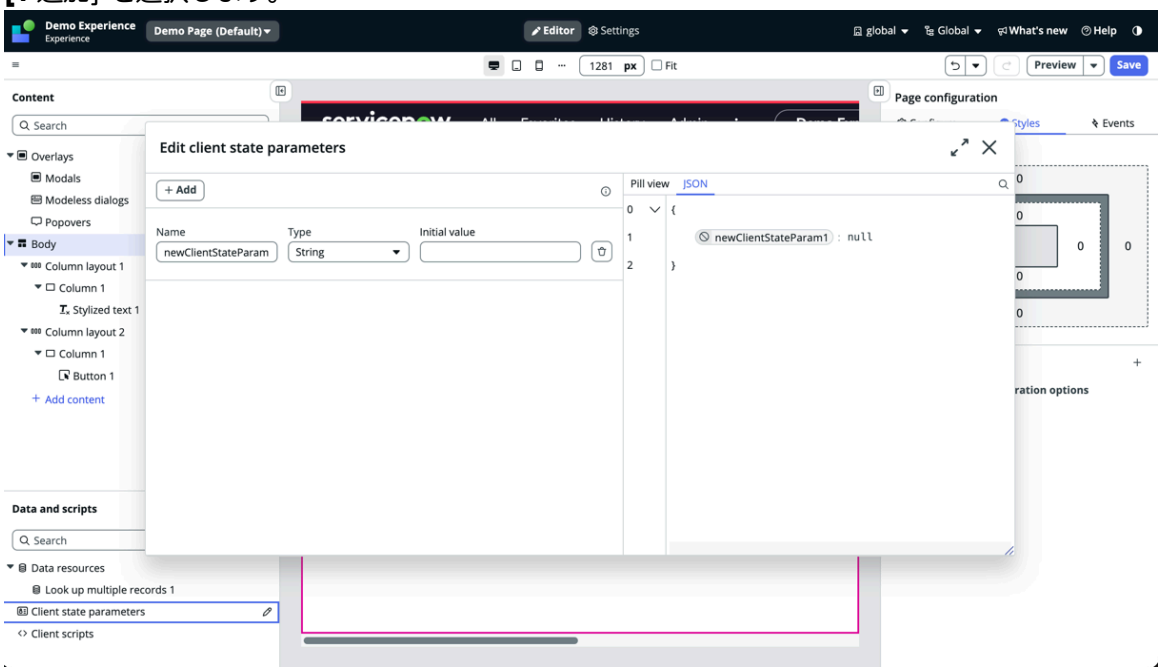
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

エクスペリエンスの作成の詳細については、「UI ビルダー でユーザーがアプリケーションをどのように操作するかを構成する」を参照してください。

3. ページを作成するか、開きます。
   詳細については、「UI ビルダー ページとページのバリアントを管理」を参照してください。
4. 2 つのコンポーネントをページに追加します。
   詳細については、「コンポーネントの追加と構成」を参照してください。
5. 関連付けられている値があるクライアントステータスパラメーターを定義するには、左下のパネルで [クライアントステータスパラメーター] を選択します。



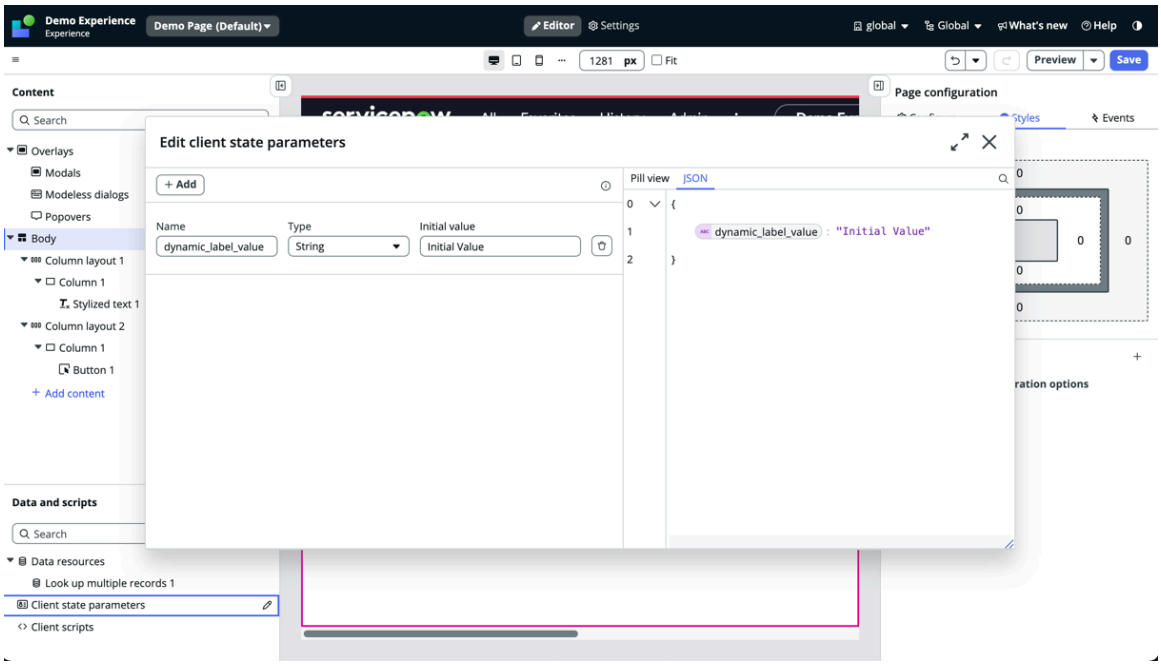
6. [+ 追加] を選択します。



7. クライアントステータスの名前、タイプ、および初期値を入力します。

   クライアントステータスは、文字列、数値、ブール、および JSON をサポートします。たとえば、名前を「dynamic_label_value」、タイプを「String」、初期値を「Initial Value」として入力できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

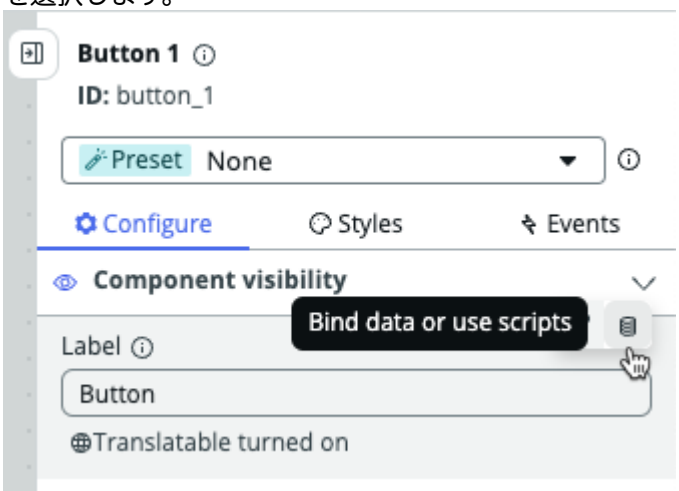


8. クライアントステータスパラメーターの値をコンポーネントにバインドします。

   a. クライアントステータスパラメーターのバインド先にするコンポーネントを選択します。

   b. 構成パネルを開き、[構成] タブを選択します。

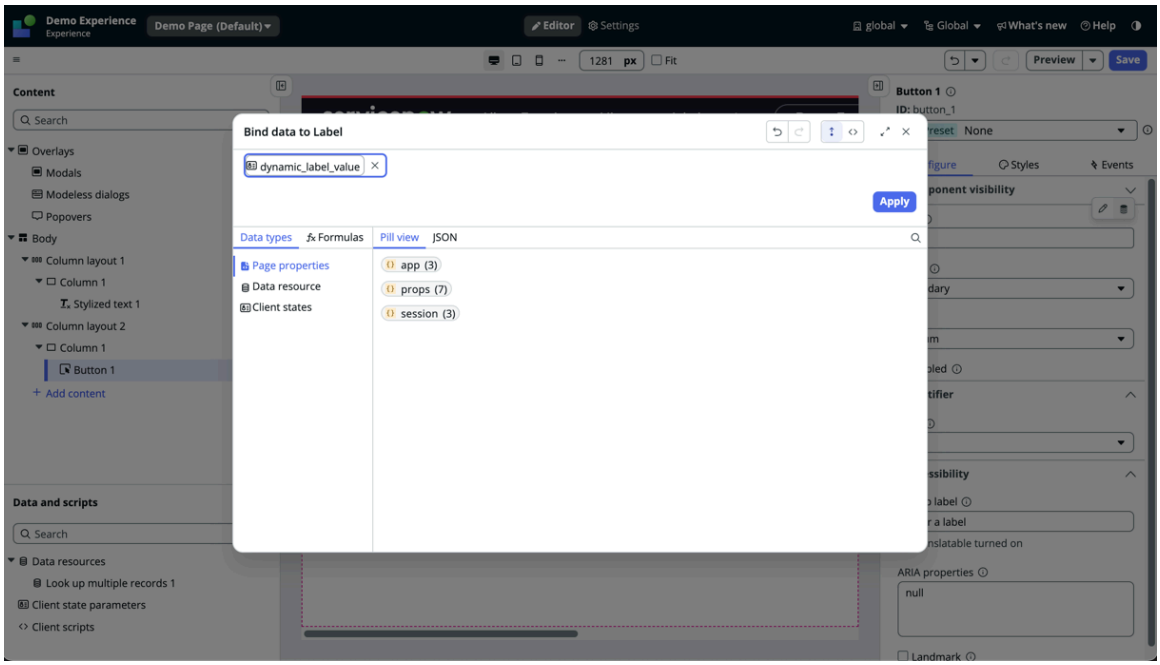
   c. データをバインドするフィールドをポイントし、[動的なデータバインディング] アイコン ( ) を選択します。



   データバインディングモーダルが表示されます。

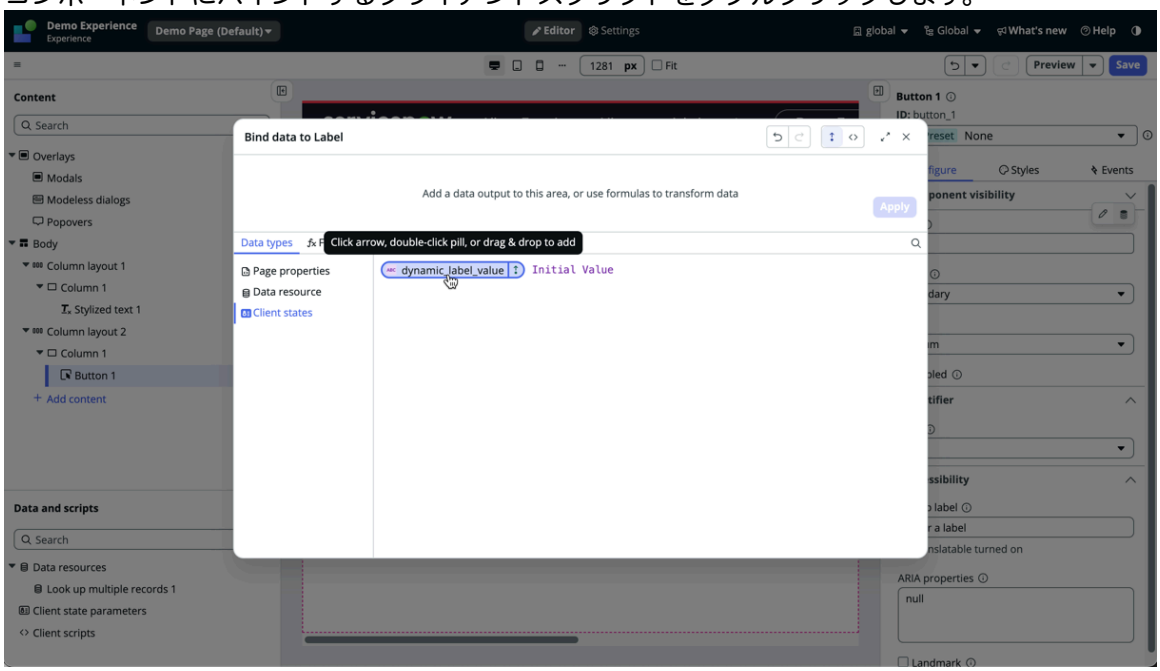
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



d. [データタイプ] タブで [クライアントステータス] を選択します。

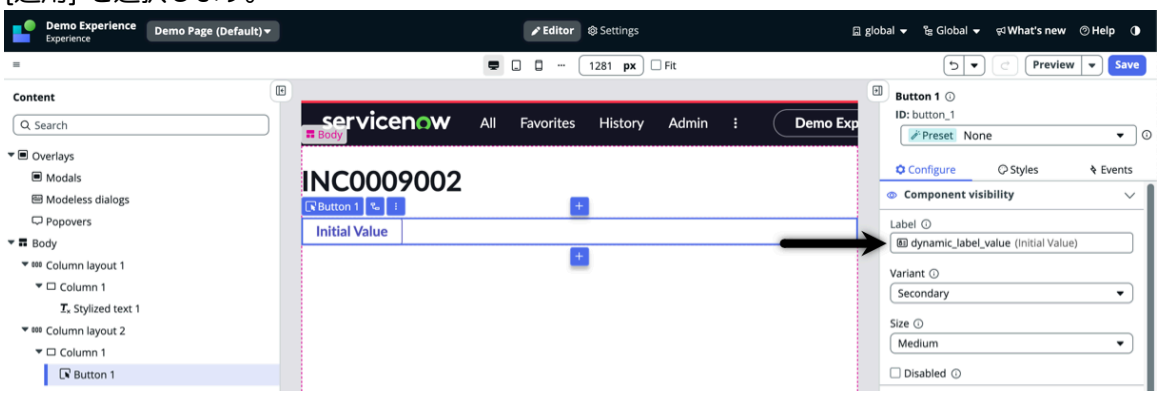
e. コンポーネントにバインドするクライアントスクリプトをダブルクリックします。



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

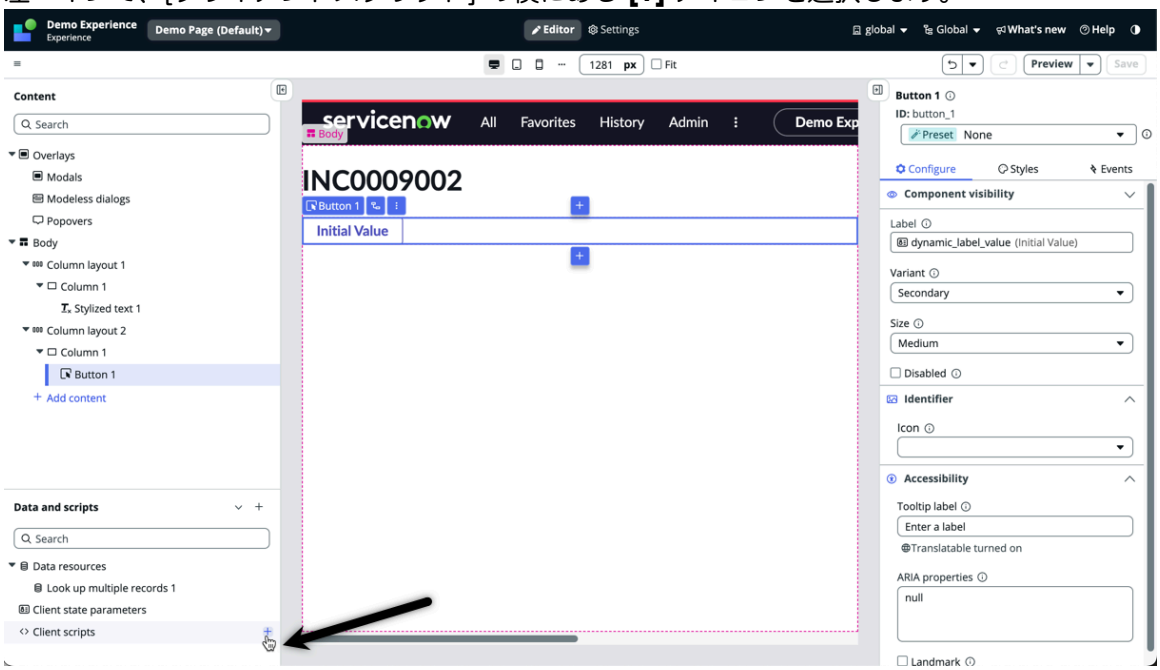
f. [適用] を選択します。



9. [保存] を選択します。

10. クライアント状況値を 1 つのコンポーネントにバインドし、2 番目のコンポーネントを最初のコンポーネントに接続するスクリプトを作成します。

a. 左ペインで、[クライアントスクリプト] の横にある **[+]** アイコンを選択します。



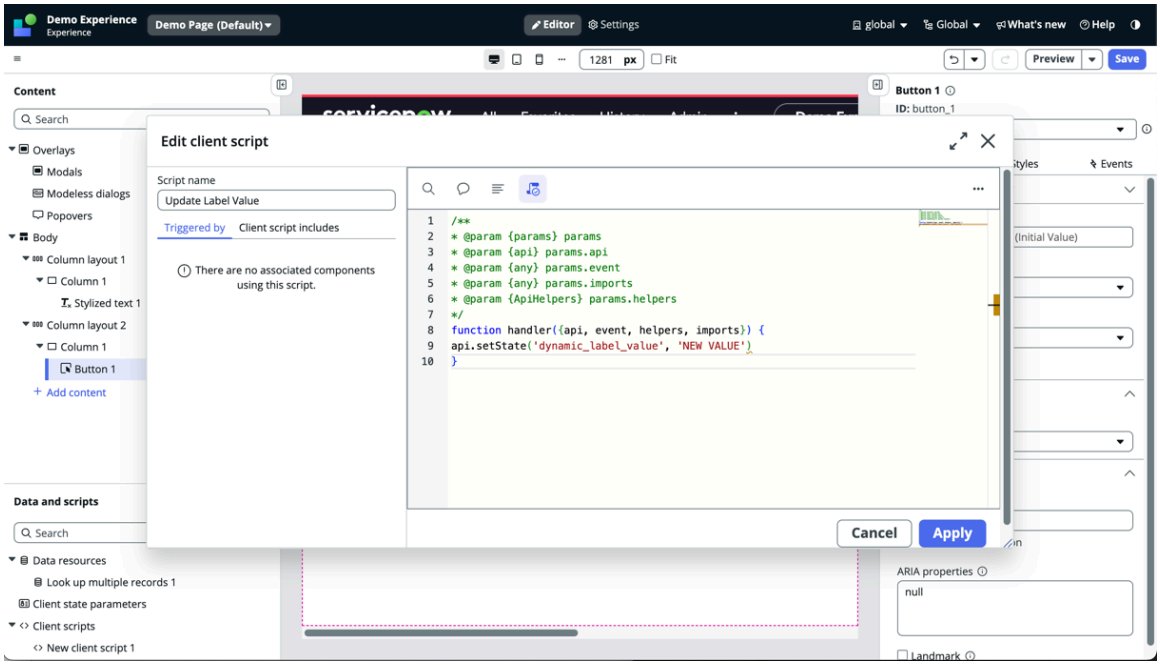
b. タスクを説明するスクリプト名を入力します。
たとえば、スクリプトで実行する内容を示す「Update Label Value」と入力します。

c. Now コードエディターで、スクリプトを追加します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

呼び出す API と、ステータスや値などの API のパラメーターを選択するとします。たとえば、api.setState を呼び出して、最初のパラメーターとして dynamic_label_value を、2 番目のパラメーターとして NEW VALUE を含めることができます。



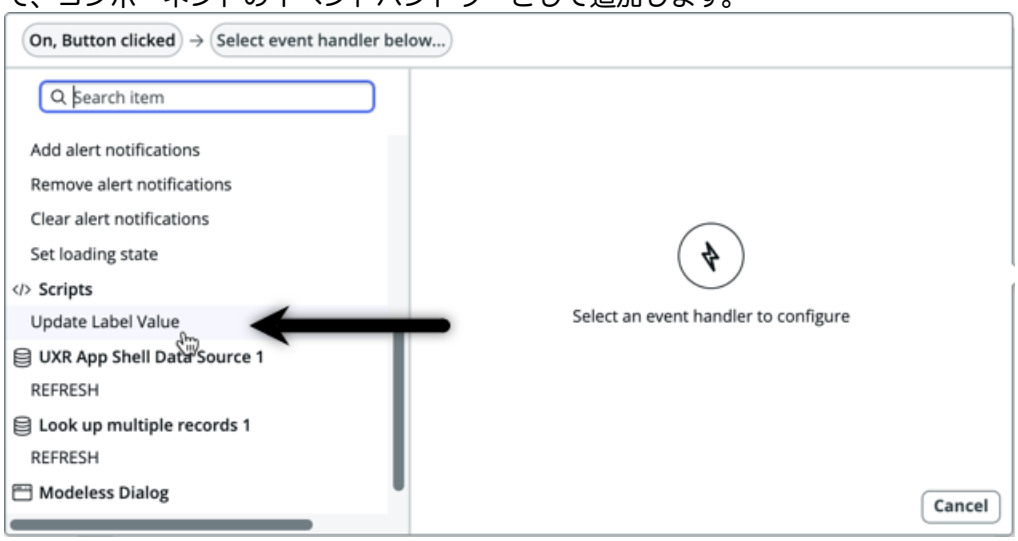
11. 作成した新しいクライアントスクリプトを呼び出すイベントハンドラーを、2 番目のコンポーネントに追加します。

    a. スクリプトのバインド先にする、ページ上のコンポーネントを選択します。

    b. [イベント] タブを選択します。

    c. **[+** 新しいイベントハンドラーを追加] を選択します。

    d. イベントハンドラーの [スクリプト] セクションで、作成したスクリプトを選択し、**[+]** を選択して、コンポーネントのイベントハンドラーとして追加します。



12. [保存] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

13. ページをプレビューし、コンポーネントが接続されていることをテストするには、[プレビュー] を選択します。
    1 つのコンポーネントを選択すると、2 番目のコンポーネントのステータスが変更されるはずです。たとえば、[ボタン] コンポーネントを選択すると、[ラベル値] コンポーネントのテキストが「初期値」から「新規の値」に変化します。

タスクの結果

この手順で実行した事柄：

- ページに 2 つのコンポーネントを追加しました。
- 初期値を持つクライアントステータスパラメーターを定義しました。
- クライアントステータスパラメーターを最初のコンポーネントにバインドしました。
- クライアントステータスパラメーターによって定義された値を更新するクライアントスクリプトを作成しました。
- 2 番目のコンポーネントに、作成した新しいクライアントスクリプトを呼び出すイベントハンドラーを作成しました。
- 2 番目のコンポーネントを選択し、最初のコンポーネントのステータスが変更されるようにしました。

クライアントスクリプトを定義してコンポーネントにバインドする

UI ビルダー のクライアントスクリプトを追加および編集して、イベントを通じてクライアントステータスを更新できるようにします。イベントハンドラーを使用して、これらのスクリプトを任意のコンポーネントにバインドできます。

始める前に

必要なロール：ui_builder_admin

このタスクについて

Now コードエディターを使用して、UI ビルダー で JavaScript クライアントスクリプトを作成できます。次に、クライアントスクリプトをイベントハンドラーとして追加して、クライアントのステータスを更新したり、ページの処理済みイベントを発行したり、データリソース操作を実行したりできます。たとえば、日付またはカウンターをインクリメントするスクリプトを作成し、そのスクリプトをボタンのクリックなどのコンポーネントイベントにバインドできます。Now コードエディターの詳細については、「Now コードエディターでコードを編集する (高度な機能)」を参照してください。

これらのスクリプトを使用して、次のアクションを実行できます。

- 利用可能なデータを取得し、データを操作して、クライアントステータスに格納します。
- データリソースの結果にアクセスします。
- データリソース操作を実行します。
- イベントをディスパッチします。

手順

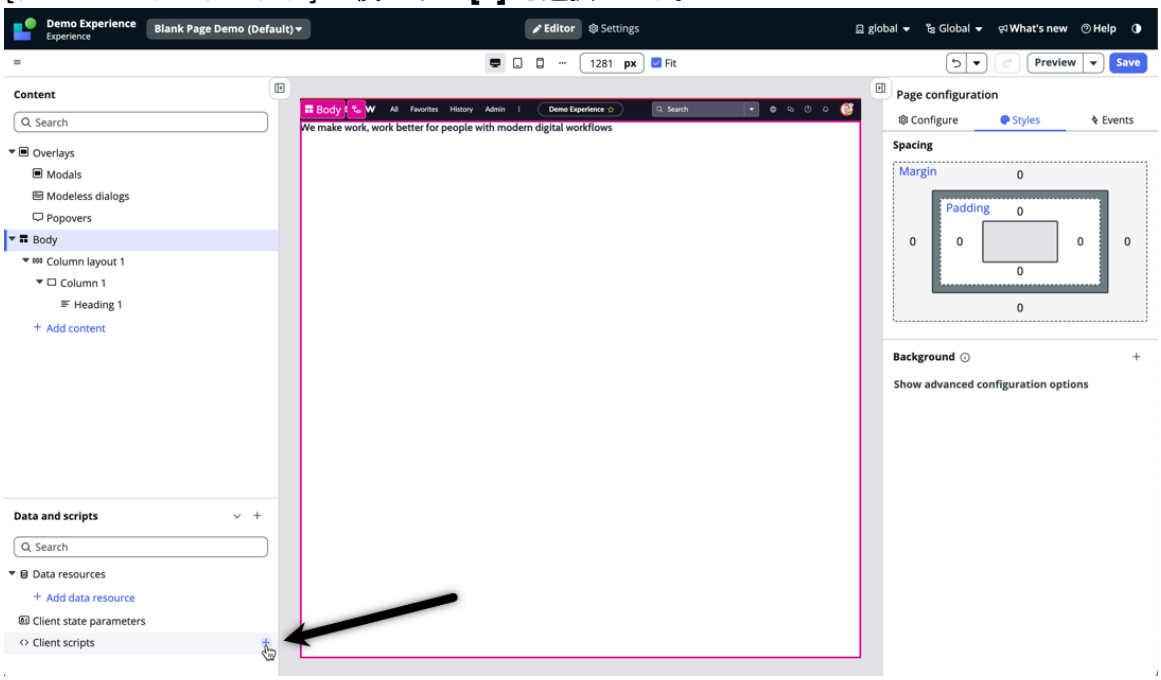
1. 移動先 すべて > **Now Experience** フレームワーク > **UI** ビルダー.
2. 作業するエクスペリエンスを開くか、選択してエクスペリエンスを作成します 作成 > エクスペリエンス.
   詳細については、「UI ビルダー でユーザーがアプリケーションをどのように操作するかを構成する」を参照してください。
3. ページを開くかまたは作成します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

UI ビルダー でページを作成する方法の詳細については、「UI ビルダーでのページの作成」を参照してください。

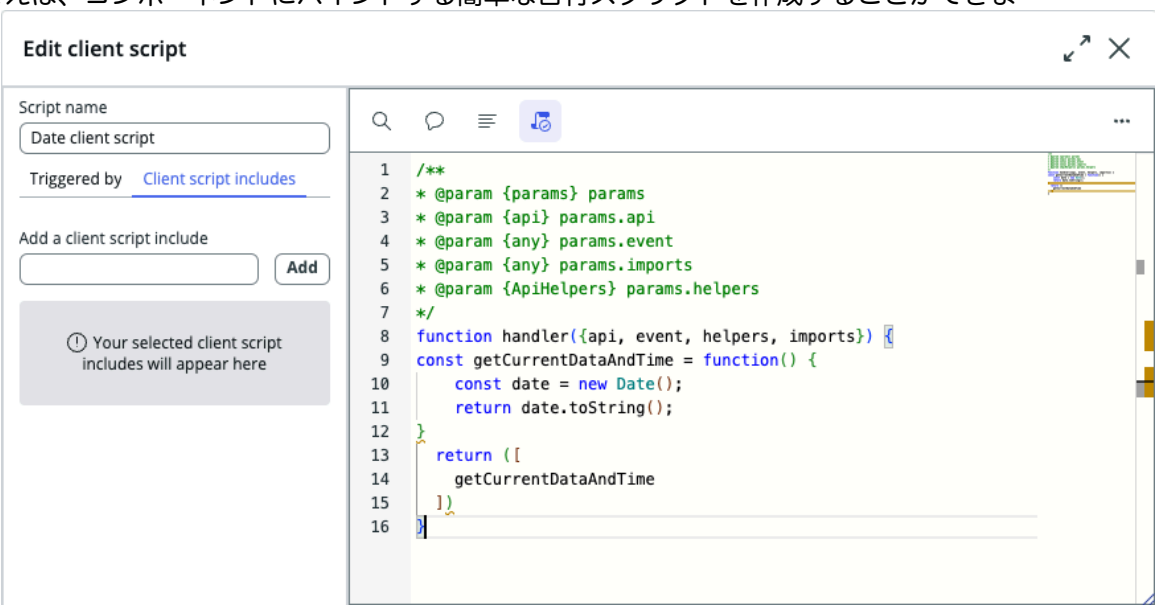
4. オプション: ページにコンポーネントがない場合は、ページにコンポーネントを追加します。たとえば、見出しコンポーネントを追加できます。詳細については、「コンポーネントの追加と構成」を参照してください。
5. [クライアントスクリプト] の横にある **[+]** を選択します。



6. スクリプトに名前を付けます。

   説明的な名前を付けると、スクリプトの実行内容を把握しやすくなります。また、後でイベントハンドラーに追加するときにスクリプトを見つけやすくなります。次の例は、単純な日付クライアントスクリプトを示しています。

7. アクションを実行するスクリプトを作成します。
   たとえば、コンポーネントにバインドする簡単な日付スクリプトを作成することができます。

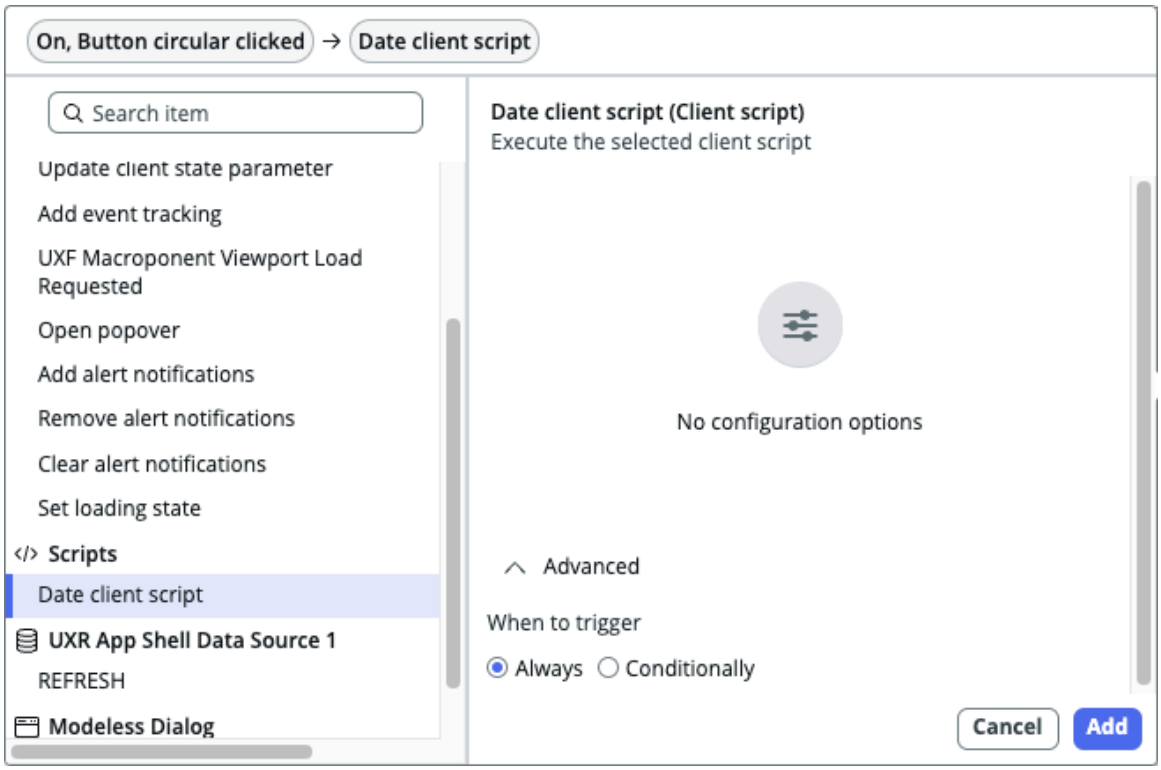


8. オプション: [スクリプトインクルード] または [関連コンポーネント] を追加します。これは、クライアントスクリプト関数の `imports` パラメーターに表示されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

9. スクリプトをバインドするページ上のコンポーネントを選択し、[イベント] を選択します。
10. **[+** 新しいイベントハンドラーを追加] を選択し、[スクリプト] で作成したスクリプトを選択し、[追加] を選択します。

    次の例は、日付クライアントスクリプトを示しています。



11. [保存] を選択します。
12. スクリプト化されたコンポーネントをプレビューするには、Preview を選択します。

マルチテーブルデータ構成

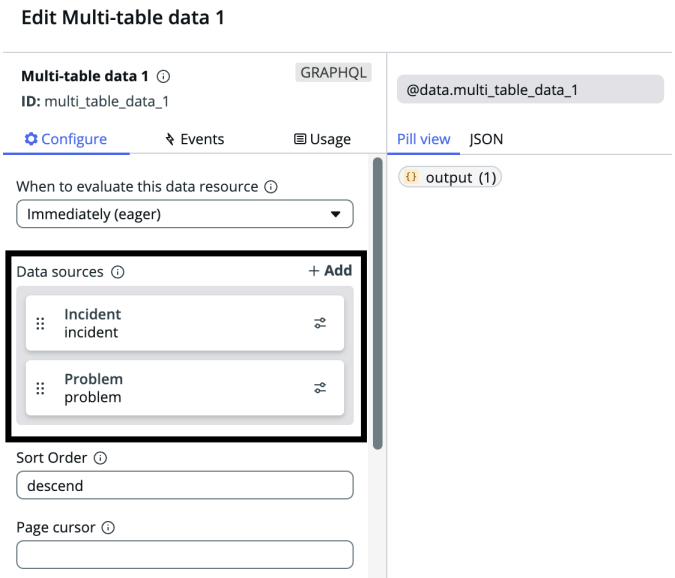
コンポーネントを使用して複数のテーブルのデータを表示し、レイアウトとスタイルを制御します。

データリソースは、UI ビルダーがコンポーネントに情報を表示するために使用するデータをフェッチします。ほとんどの場合、コンポーネントは 1 つのテーブルに含まれるデータにマッピングされます。ただし、1 つのコンポーネントを複数のテーブルの情報にマッピングする必要があるユースケースは多数あります。例を以下に示します。

- カードコンポーネントをリピーターに配置し、マルチテーブルデータ構成を使用して、さまざまなソースからデータをプルしてカードに表示します。
- さまざまな場所からプルされたタスクのリストを表示するポータルページを作成します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



注:
1 つのページに複数のマルチテーブルデータリソースを構成して、さまざまなデータセットを表示できます。

複数テーブルデータ構成と **Entity View Action Mapper**

Entity View Action Mapper (EVAM) を使用して、さまざまなデータソースを使用してカードとリストを構成することもできます。EVAM は、JSON を理解し、操作に慣れているユーザー向けのオプションです。マルチテーブルデータ構成オプションを使用すると、データの表示をより詳細に制御し、データの構成を容易にし、 UI ビルダー に留まることができます。希望するオプションを使用します。EVAM の詳細については、「UI ビルダー の Entity View Action Mapper の操作」を参照してください。

複数のソースからデータをフェッチする

1 つのコンポーネントで使用するさまざまなソースからデータをフェッチする方法について説明します。

始める前に
必要なロール：ui_builder_admin

このタスクについて
カードベースコンテナコンポーネントをリピーターに配置し、複数テーブルデータ構成を使用して、過去 2 年間に作成されたすべてのアクティブなインシデントと問題を表示します。

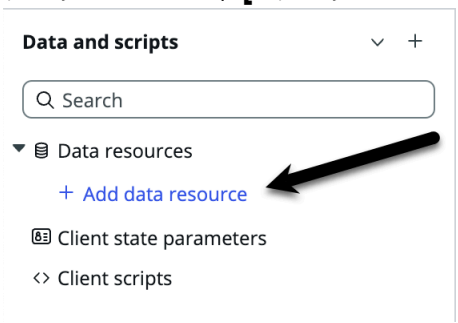
手順

1. 移動先 すべて > **Now Experience** フレームワーク > **UI** ビルダー.
2. 作業するエクスペリエンスを開くか、または [作成] > [エクスペリエンス] を選択してエクスペリエンスを作成します。
   エクスペリエンスの作成の詳細については、「UI ビルダー でユーザーがアプリケーションをどのように操作するかを構成する」を参照してください。
3. ページを最初から作成します。
   ページを作成する方法の詳細については、「UI ビルダーでのページの作成」を参照してください。
4. 複数テーブルのデータリソースを追加します。

自動翻訳

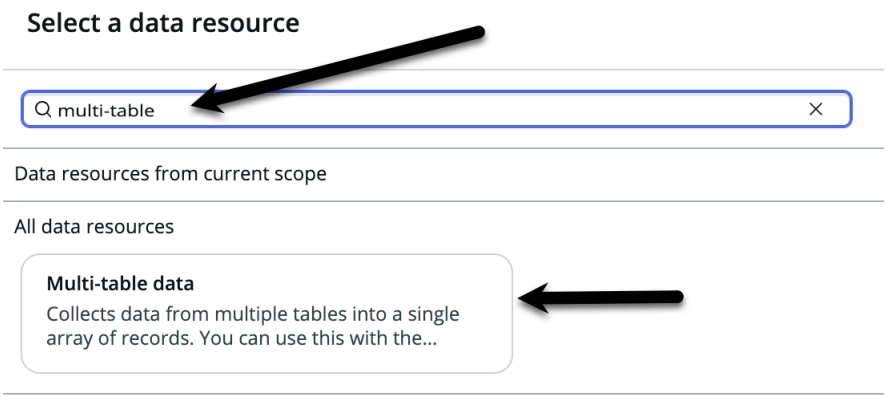
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. データシェルフで、**[+ データリソースを追加 (Add data resource)]** を選択します。



b. [検索] に multi-table と入力します。

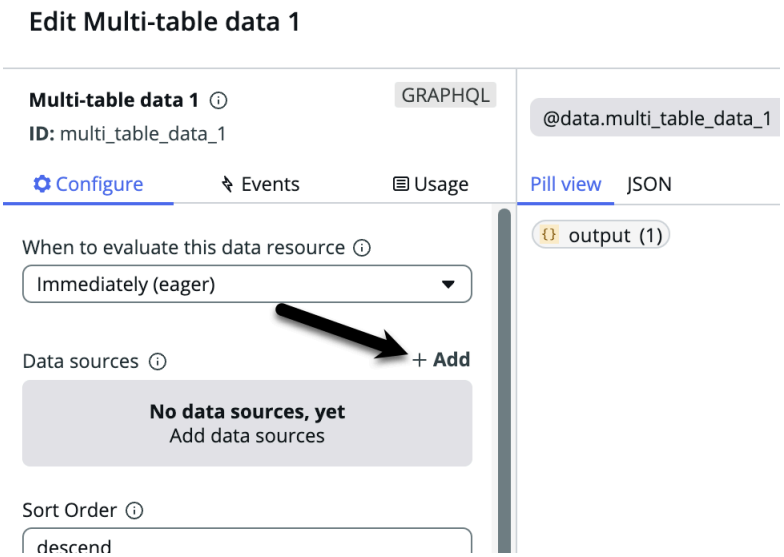
c. [複数テーブルデータ] を選択します。



d. [追加] を選択します。

5. 最初のデータソースを構成します。

a. [データソース] で、**[+ 追加]** を選択します。



b. [テーブル] に incident と入力し、[インシデント] テーブルを選択します。

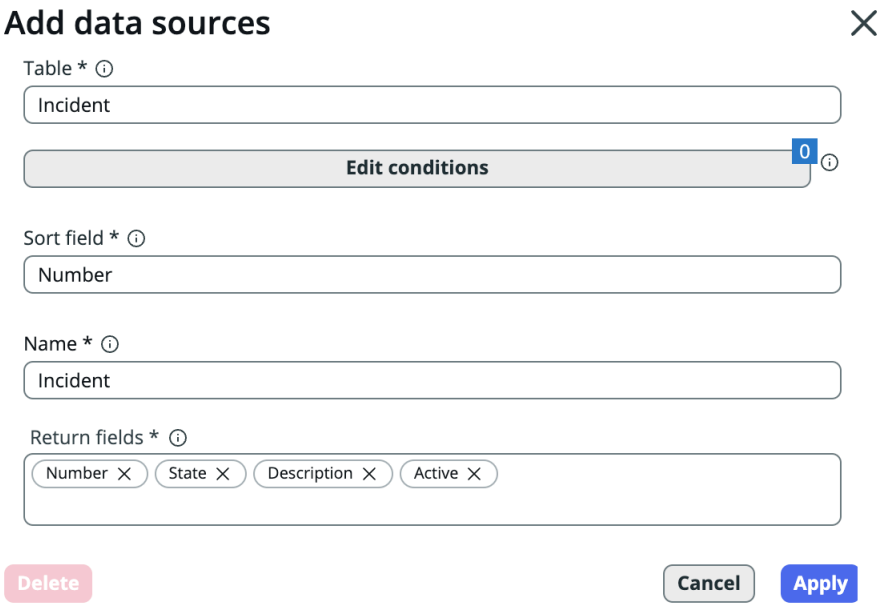
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

c. [ソートフィールド] に number と入力し、[番号] を選択します。

d. [名前] に incident と入力します。

e. [リターンフィールド] で、[番号]、[ステータス]、[説明]、および [アクティブ] を追加します。



f. [条件を編集 **(Edit conditions)]** を選択します。

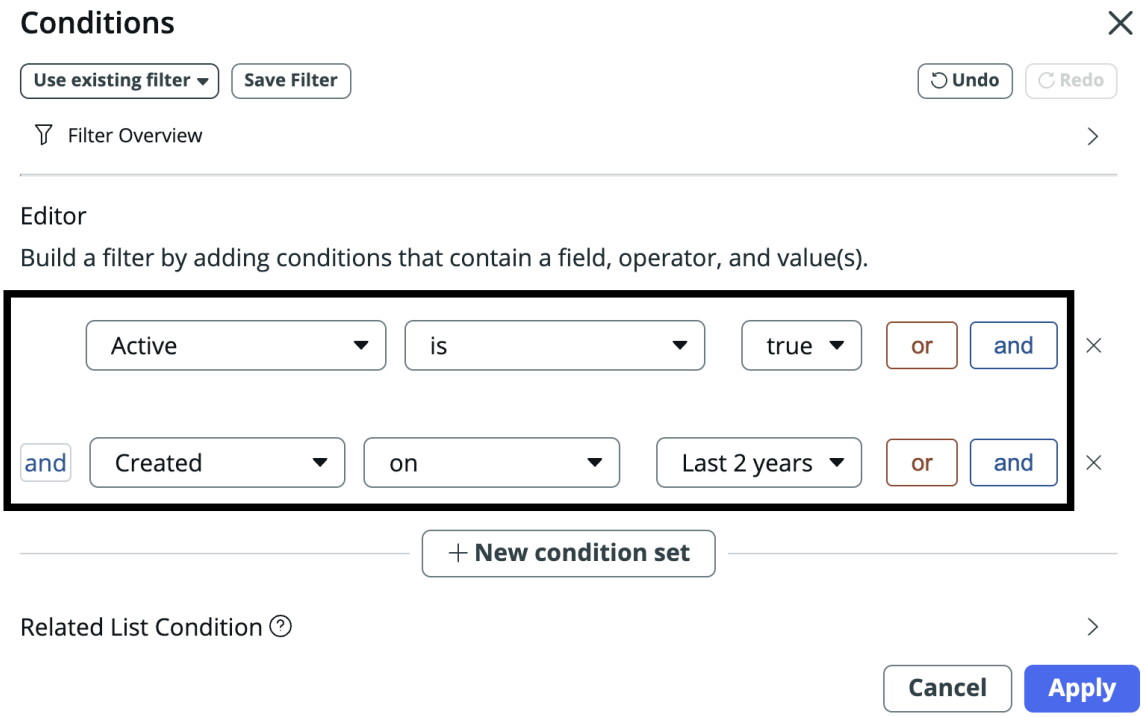
g. 条件 **[Active] [is] [true]** を作成します。

h. [and] を選択します。

i. 条件 **[Created] [on] [Last 2 years]** を作成します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



j. [適用] を選択します。

k. [適用] を選択します。

6. 2 番目のデータソースを構成します。

a. [データソース] で、**[+** 追加] を選択します。

b. [テーブル] に problem と入力し、[問題] テーブルを選択します。

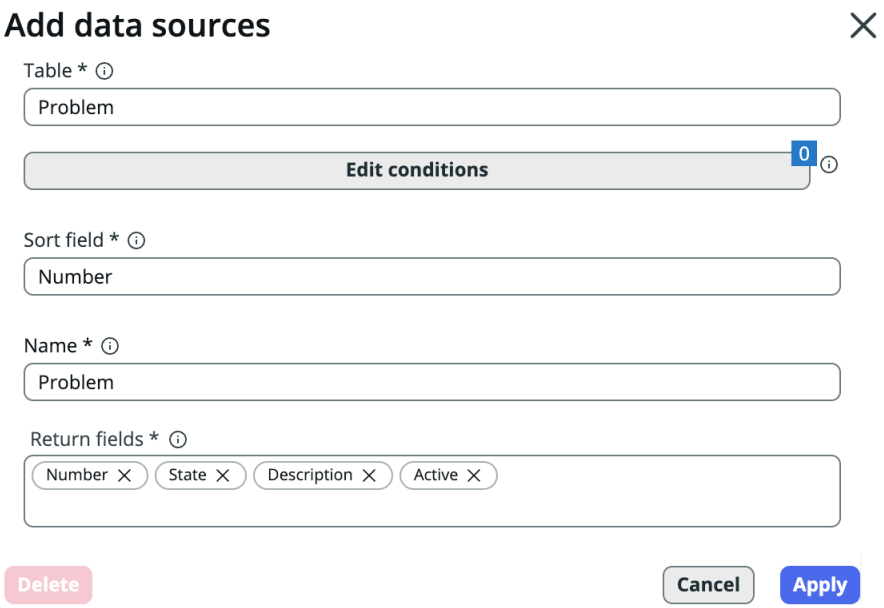
c. [ソートフィールド] に number と入力し、[番号] を選択します。

d. [名前] に Problem と入力します。

e. [リターンフィールド] で、[番号]、[ステータス]、[説明]、および [アクティブ] を追加します。
複数テーブルのデータリソースを作成する場合、各データソースには同じリターンフィールドを同じ順序で指定する必要があります。これにより、ページに表示されるデータの一貫性と正確性を確保できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



f. [条件を編集 **(Edit conditions)]** を選択します。

g. 条件 **[Active] [is] [true]** を作成します。

h. **[and]** を選択します。

i. 条件 **[Created] [on] [Last 2 years]** を作成します。

j. [適用] を選択します。

k. [適用] を選択します。

l. **[X]** を選択して [複数テーブルデータを編集 **(Edit Multi-table data)]** ポップアップを閉じます。

7. [保存] を選択します。

8. 見出しコンポーネントを追加します。

a. コンテンツツリーで [本文] の下にある **[+** コンテンツを追加] を選択します。

b. [検索] に `heading` と入力します。

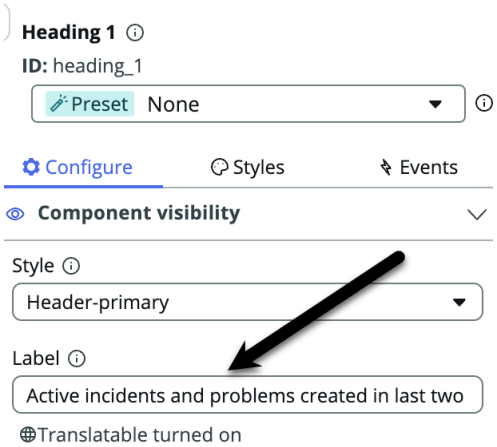
c. [見出し] コンポーネントを選択します。

d. 構成パネルの [構成] タブで、[なし - コンポーネントを手動構成します **(None - Configure the component manually)]** を選択します。

e. [ラベル] で、デフォルトのテキストを削除し、`Active incidents and problems created in last two years` と入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

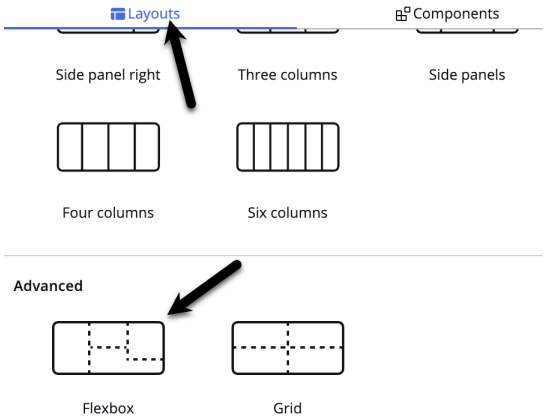


f. [保存] を選択します。

9. コンテナを追加します。

a. コンテンツツリーで [見出し **1]** の下にある **[+** コンテンツを追加] を選択します。

b. [レイアウト] タブの [詳細] セクションで、**[Flexbox]** を選択します。

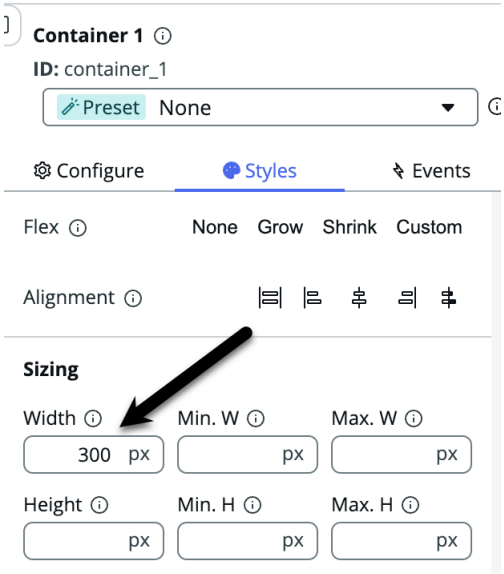


c. 構成パネルの [構成] タブで、[なし **-** コンポーネントを手動構成します **(None - Configure the component manually)]** を選択します。

d. [サイジング] に 300 と入力して [幅] を設定します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



e. [保存] を選択します。

10. リピーターコンポーネントを追加します。

a. コンテンツツリーで、[コンテナ **1**] の下の **[+** コンテンツを追加] を選択します。

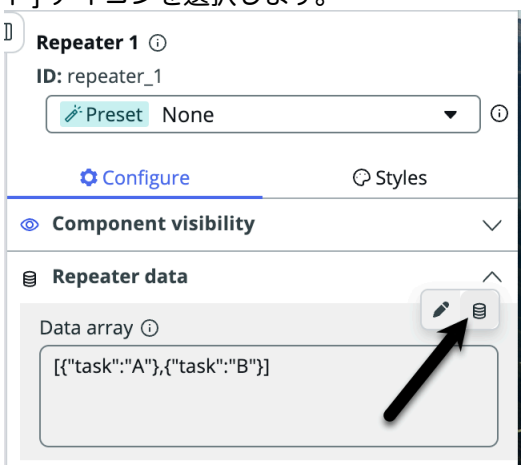
b. [検索] に repeater と入力します。

c. [リピーター] コンポーネントを選択します。

d. 構成パネルの [構成] タブで、[なし **-** コンポーネントを手動構成します **(None - Configure the component manually)]** を選択します。

e. [保存] を選択します。

f. 構成パネルの [構成] タブで、[データアレイ] フィールドにカーソルを合わせ、[データをバインド] アイコンを選択します。



g. [データタイプ] で、[データリソース] を選択します。

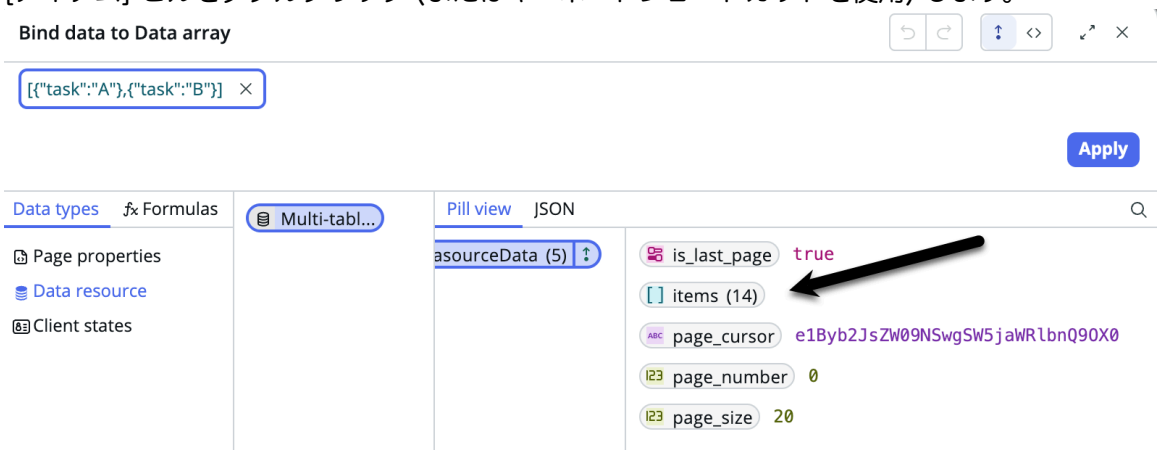
h. [複数テーブルデータ **1]** を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

i. 選択 出力 > データ > **GlideMultiDatasource_Query** > マルチデータソースデータを取得.

j. [アイテム] ピルをダブルクリック (またはキーボードショートカットを使用) します。



上部セクションが正確であることを確認してください。

k. [適用] を選択します。

l. [保存] を選択します。

11. リピーター内にカードベースコンテナコンポーネントを追加します。

a. コンテンツツリーで、[リピーター **1**] の下の **[+** コンテンツを追加] を選択します。

b. [カードベースコンテナ] コンポーネントを見つけて選択します。

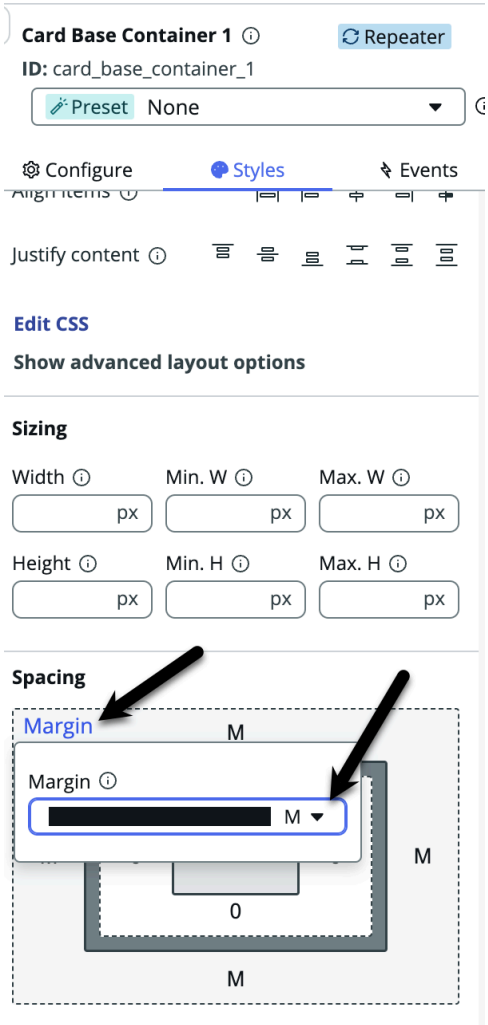
c. 構成パネルの [構成] タブで、[なし - コンポーネントを手動構成します **(None - Configure the component manually)]** を選択します。

d. [スタイル] タブを選択します。

e. カードの周囲に少しスペースを追加するには、[間隔] に移動し、[余白] を選択してから、**[M]** (中) を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



f. [保存] を選択します。

12. カードベースコンテナ内に見出しコンポーネントを追加します。

a. コンテンツツリーで、[カードベースコンテナ **1]** の下の **[+** コンテンツを追加] を選択します。

b. [見出し] コンポーネントを見つけて選択します。

c. 構成パネルの [構成] タブで、[なし **-** コンポーネントを手動構成します **(None - Configure the component manually)]** を選択します。

d. 構成パネルの [構成] タブで、[ラベル] のデフォルトのテキストを削除します。

e. [ラベル] フィールドをポイントし、[データをバインド] アイコンを選択します。

f. [データタイプ] で [リピーター] を選択します。

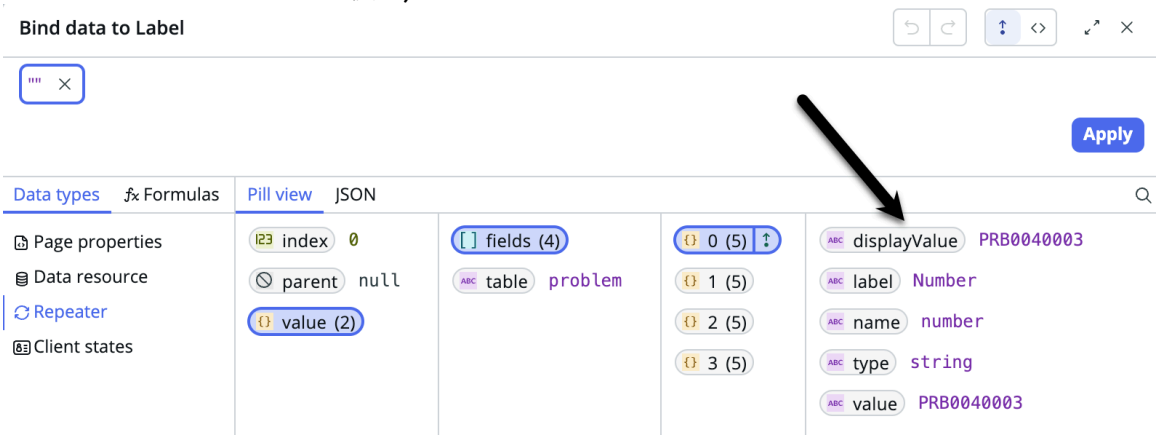
g. 選択 値 > フィールド.

h. 一番上のピルを選択し、最後の列でインシデントまたは問題番号の **[displayValue]** を確認します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

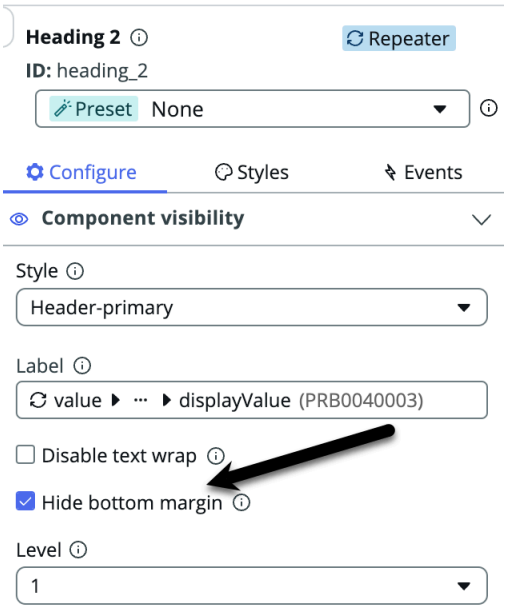
i. インシデントまたは問題番号が表示されている **[displayValue]** ピルをダブルクリック (またはキーボードショートカットを使用) します。



上部セクションが正確であることを確認してください。

j. [適用] を選択します。

k. [構成] タブで、[下のマージンを非表示] オプションを選択します。



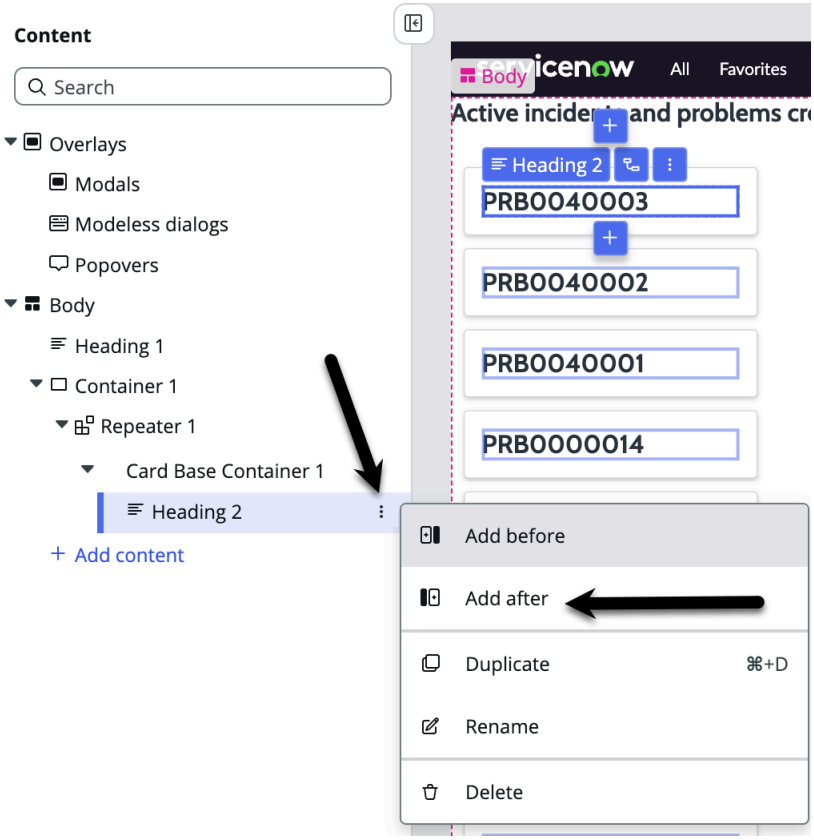
l. [保存] を選択します。

13. インシデントまたは問題の説明を表示する最初の定型テキストコンポーネントを追加します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. コンテンツツリーで、[見出し **2]** をポイントし、メニュー (縦に並んだ 3 つのドット) アイコンを選択して、[後に追加] を選択します。



b. [定型テキスト] コンポーネントを見つけて選択します。

c. 構成パネルの [構成] タブで、[なし - コンポーネントを手動構成します **(None - Configure the component manually)]** を選択します。

d. 構成パネルの [構成] タブで、[テキスト] のデフォルトのテキストを削除します。

e. [テキスト] フィールドをポイントし、[データをバインド] アイコンを選択します。

f. [データタイプ] で [リピーター] を選択します。

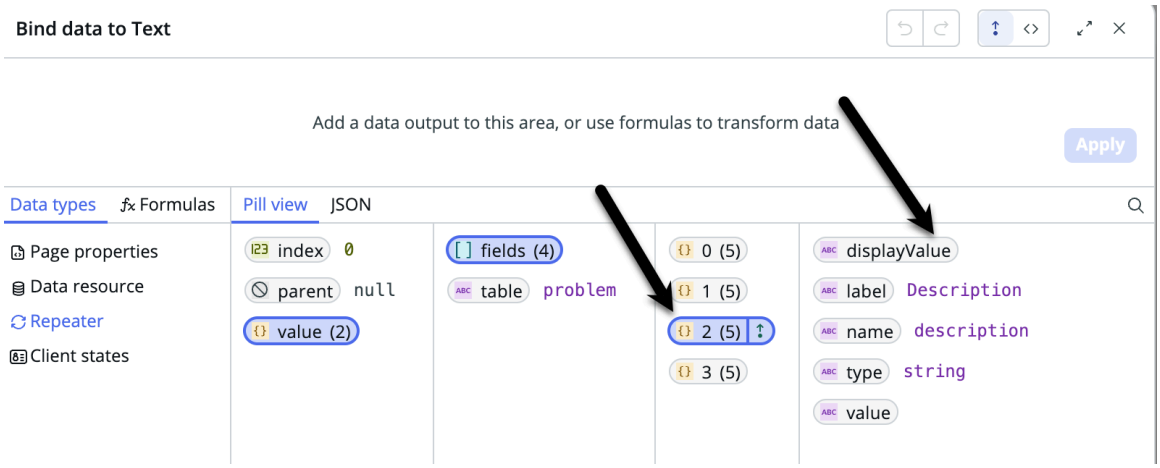
g. 選択 値 > フィールド.

h. リストの 3 番目のピルを選択し、最後の列で **[displayValue]** に情報が含まれていないことを確認します。

i. 値のない **[displayValue]** ピルをダブルクリック (またはキーボードショートカットを使用) します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



上部セクションが正確であることを確認してください。

j. [適用] を選択します。

k. テキストサイズを小さくするには、[構成]タブに移動し、**[HTML** タグ]を [パラグラフ] に変更します。

l. [保存] を選択します。

14. インシデントまたは問題のステータスを表示する 2 番目の定型テキストコンポーネントを追加します。

a. コンテンツツリーで、[定型テキスト **1]** をポイントし、メニュー (縦 3 つのドット) アイコンを選択して、[後に追加] を選択します。

b. [定型テキスト] コンポーネントを見つけて選択します。

c. 構成パネルの [構成] タブで、[なし - コンポーネントを手動構成します **(None - Configure the component manually)]** を選択します。

d. 構成パネルの [構成] タブで、[テキスト] のデフォルトのテキストを削除します。

e. [テキスト] フィールドをポイントし、[データをバインド] アイコンを選択します。

f. [データタイプ] で [リピーター] を選択します。

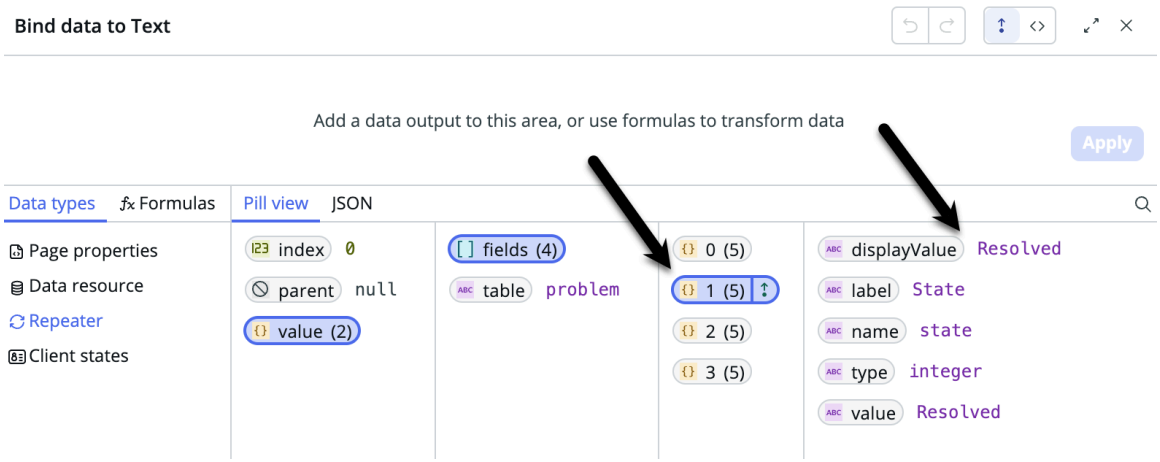
g. 選択 値 > フィールド.

h. リストの 2 番目のピルを選択し、最後の列で、**[displayValue]** に [解決済み] や [対応中] などのステータスが含まれていることを確認します。

i. ステータス値のある **[displayValue]** ピルをダブルクリック (またはキーボードショートカットを使用) します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



上部セクションが正確であることを確認してください。

j. [適用] を選択します。

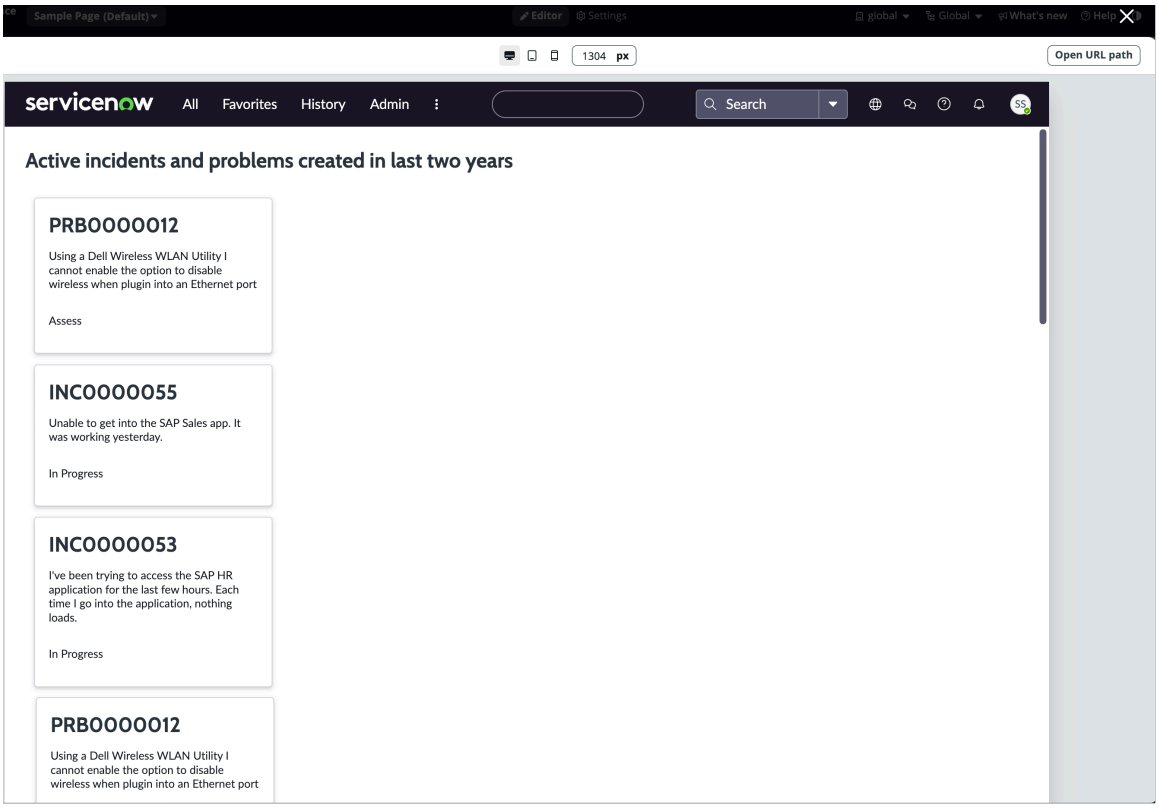
k. テキストサイズを小さくするには、[構成]タブに移動し、**[HTML** タグ]を [パラグラフ] に変更します。

l. [保存] を選択します。

15. [プレビュー] を選択します。
ページ見出しが上部に表示されます。各カードには、インシデントまたは問題番号が記載された見出しが含まれます。カードには、インシデントまたは問題の説明 (ある場合) とステータスも表示されます。インシデントテーブルと問題テーブルの 2 つのソースからデータが正常にプルされています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



16. **[X]** を選択してプレビューオーバーレイを閉じます。

UI ビルダー の **Entity View Action Mapper** の操作

UI ビルダー では、Entity View Action Mapper (EVAM) アプリケーションを使用して、コンポーネント内のデータソースをカードとリストに表示する方法を標準化できます。

EVAM の概要

Entity View Action Mapper (EVAM) は、さまざまなデータソースをカードとリストに表示する方法を標準化するアプリケーションです。UI ビルダー は EVAM データソースを使用して、コンポーネント内の情報をカードグリッドビューまたは情報のリストとして表示します。コンポーネントにトグルを追加して、カードグリッドビューとリストビューを切り替えられるようにできます。

EVAM は、次のコンポーネントで構成されています。

- エンティティ (データソース)。コミュニティの投稿やユーザーなど、表示する関連データ。
- ビュー。カードでのデータおよびアクションの表示方法。
- Actions (アクション)。カードに対して実行するアクション。たとえば、システムに対してユーザーを有効化できます。
- マップ。カードに表示される汎用フィールドにデータソースをマップするプロセス。カードビューからトリガーされるアクションを関連付けることもできます。

EVAM とマルチテーブルデータ構成

EVAM は、JSON を理解し、操作に慣れているユーザー向けのオプションです。マルチテーブルデータ構成オプションは代替方法であり、データの表示をより詳細に制御し、データの構成を容易にし、UI ビルダー に留まることができます。希望するオプションを使用します。詳細については、「マルチテーブルデータ構成」を参照してください。

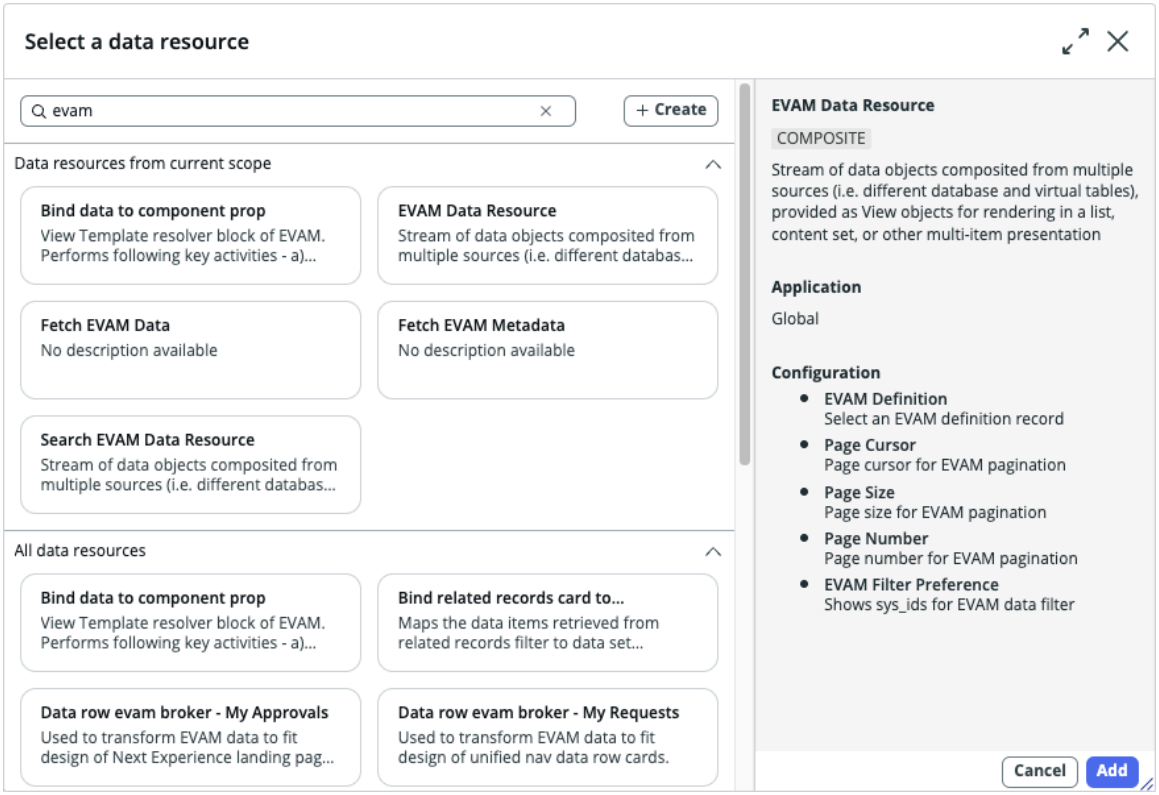
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

EVAM データソース

UI ビルダー に EVAM データソースを追加し、コンポーネントにバインドします。

EVAM データリソース



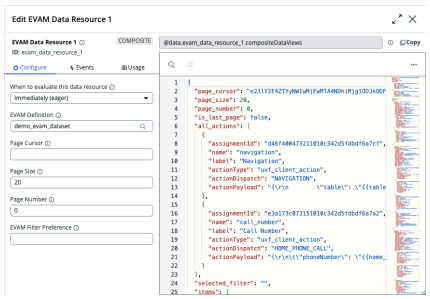
EVAM データソース

EVAM データソース	説明
EVAM データリソース	データソースに関する EVAM 定義とその他の情報を追加します。 • タイプ：複合。 • 評価するタイミング：[このデータリソースを評価するタイミング] で、[即時] を選択してページのロード時に EVAM データリソースインスタンスを評価するか、[呼び出された場合のみ] を選択してイベントハンドラーで EVAM データリソースを評価します。 • EVAM 定義：**[EVAM** 定義] フィールドで、データリソースに関連付けられている EVAM 定義レコードを追加します。 • ページカーソル：[ページカーソル] フィールドで、EVAM 定義のページカーソルを追加します。 • ページサイズ：[ページサイズ] フィールドで、EVAM ページネーションのサイズを追加します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

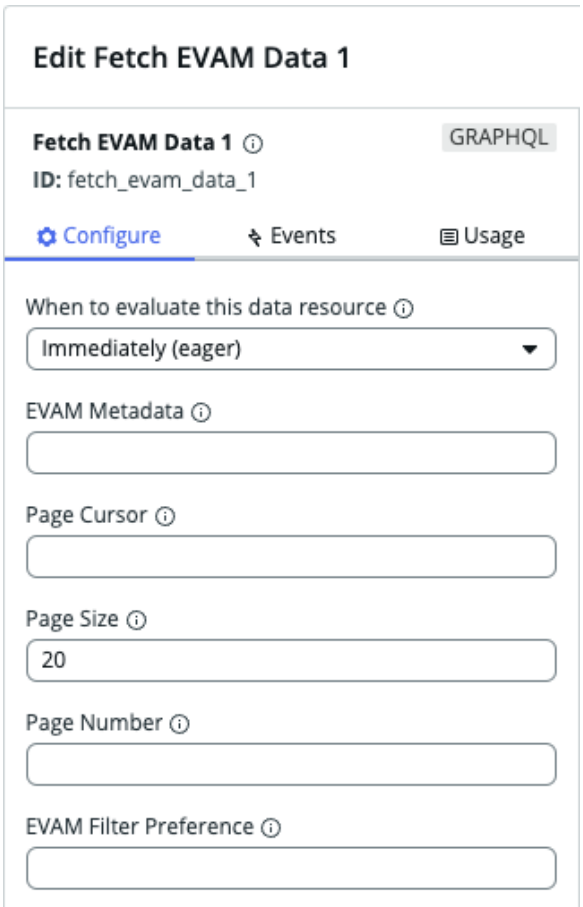
EVAM データソース (続く)

EVAM データソース	説明
	• ページ番号：[ページ番号] フィールドで、EVAM ページネーションのページ番号を追加します。 • EVAM フィルター設定：**[EVAM** フィルター設定] フィールドで、EVAM データフィルターの sys_id を入力します。 データフェッチが開始、成功、または失敗した場合のイベントハンドラーを追加するには、[イベント] を選択します。 [構成] ペインの横にある **[Now** コードエディター] セクションで、EVAM 定義スクリプトをプレビューします。 **EVAM** データリソース構成 
EVAM データをフェッチ	EVAM 定義とデータソースに関するその他の情報を追加するには、[構成] を選択します。 • タイプ：GRAPHQL • 評価するタイミング：ページのロード時に EVAM データリソースインスタンスを評価するには、[即時] を選択します。イベントハンドラーを使用して EVAM データリソースを評価するには、[呼び出された場合のみ] を選択します。 • EVAM 定義：**[EVAM** 定義] フィールドで、データリソースに関連付けられている EVAM 定義レコードを入力します。 • ページカーソル：[ページカーソル] フィールドで、EVAM 定義のページカーソルを入力します。 • ページサイズ：[ページサイズ] フィールドで、EVAM ページネーションのサイズを入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

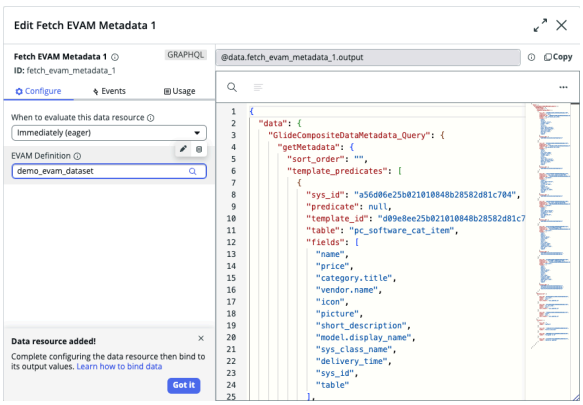
EVAM データソース (続く)

EVAM データソース	説明
	• ページ番号：[ページ番号] フィールドで、EVAM ページネーションのページ番号を入力します。 • EVAM フィルター設定：**[EVAM** フィルター設定] フィールドで、EVAM データフィルターの sys_id を入力します。 データフェッチが開始、成功、または失敗した場合のイベントハンドラーを追加するには、[イベント] を選択します。 [構成] ペインの右にある **[Now** コードエディター] で、EVAM 定義スクリプトをプレビューします。 
EVAM メタデータをフェッチ	EVAM データリソースを評価して EVAM 定義を追加するタイミングを選択するには、[構成] を選択します。 • タイプ：GRAPHQL • 評価するタイミング：ページのロード時に EVAM データリソースインスタンスを評価するには、[即時] を選択します。イベントハン

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

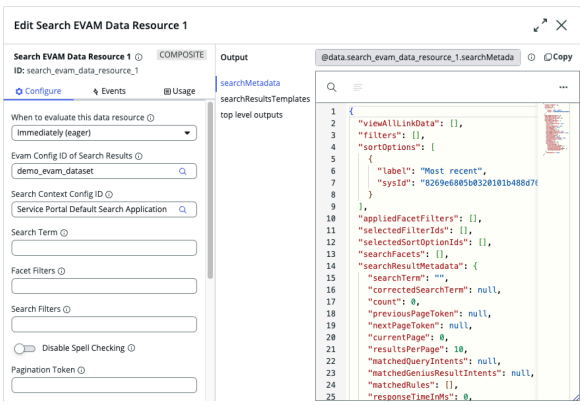
EVAM データソース (続く)

EVAM データソース	説明
	ドラーを使用して EVAM データリソースを評価するには、[呼び出された場合のみ] を選択します。 • EVAM 定義：**[EVAM** 定義] フィールドで、データリソースに関連付けられている EVAM 定義レコードを入力します。 データフェッチが開始、成功、または失敗した場合のイベントハンドラーを追加するには、[イベント] を選択します。 [構成] ペインの右にある **[Now** コードエディター] で、EVAM 定義スクリプトをプレビューします。 
EVAM データリソースを検索	EVAM 定義とデータソースに関するその他の情報を追加するには、[構成] を選択します。 • タイプ：複合。 • 評価するタイミング：ページのロード時に EVAM データリソースインスタンスを評価するには、[即時] を選択します。イベントハンドラーを使用して EVAM データリソースを評価するには、[呼び出された場合のみ] を選択します。 • EVAM 構成 ID：**[EVAM** 構成 **ID (EVAM Config ID)]** フィールドに、データレコードに関連付けられている **EVAM** 構成 **ID** を追加します。 • 検索コンテキスト構成 ID：[検索コンテキスト構成 **ID]** フィールドに、検索する検索コンテキスト構成 **ID** を追加します。 • 検索用語：[検索用語] フィールドに、検索する検索用語を追加します。 • ファセットフィルター：[ファセットフィルター] フィールドに、検索の定義に役立つファセットフィルターを追加します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

EVAM データソース (続く)

EVAM データソース	説明
	• 検索フィルター：[検索フィルター] フィールドに、検索の定義に役立つ検索フィルターを追加します。 • スペルチェックを無効にする：[スペルチェックを無効にする] フィールドで、検索時にスペルチェックをオンにするかオフにするかを選択します。 • ページネーショントークン：[ページネーショントークン] フィールドに、必要に応じてページネーショントークンを入力します。 データフェッチが開始、成功、または失敗した場合のイベントハンドラーを追加するには、[イベント] を選択します。 [構成] ペインの右にある **[Now** コードエディター] で、EVAM 定義スクリプトをプレビューします。 

ページへの **Entity View Action Mapper** のデータリソースの追加

UI ビルダー で Entity View Action Mapper (EVAM) データリソースをページに追加して、コンポーネント内のデータソースをカードとリストに表示する方法を標準化できます。

始める前に

必要なロール：ui_builder_admin

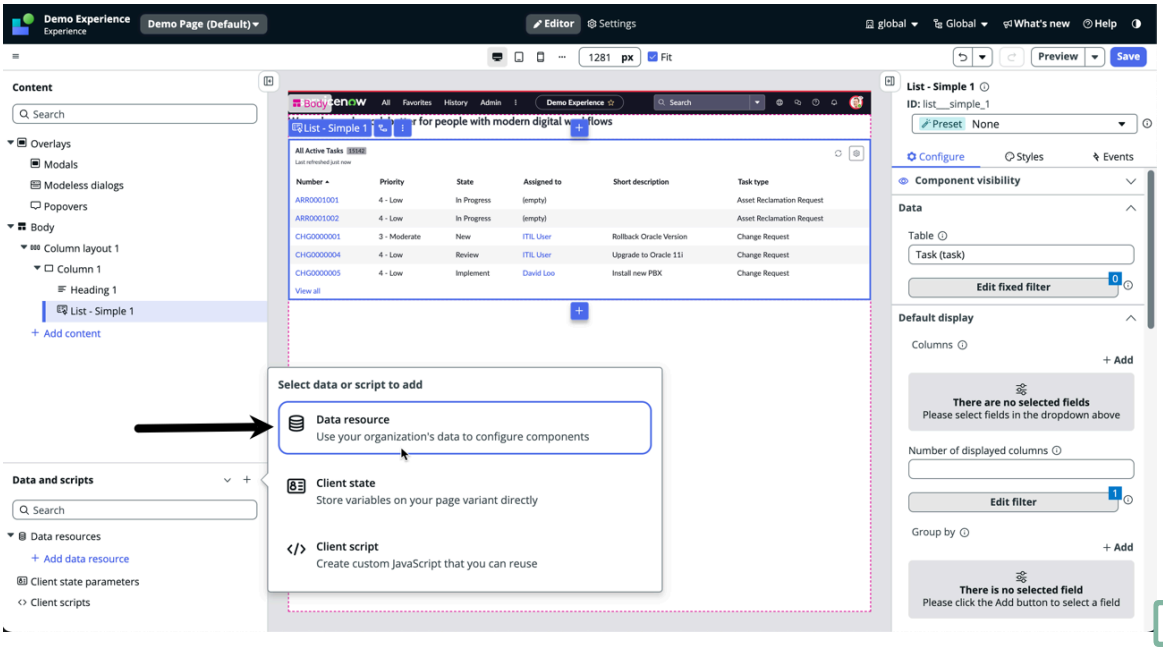
手順

1. 移動先 すべて > **Now Experience** フレームワーク > **UI** ビルダー.
2. 作業するエクスペリエンスを開くか、選択してエクスペリエンスを作成します 作成 > エクスペリエンス.
   エクスペリエンスの作成の詳細については、「UI ビルダー でユーザーがアプリケーションをどのように操作するかを構成する」を参照してください。
3. ページを開くかまたは作成します。
   詳細については、「UI ビルダー ページとページのバリアントを管理」を参照してください。

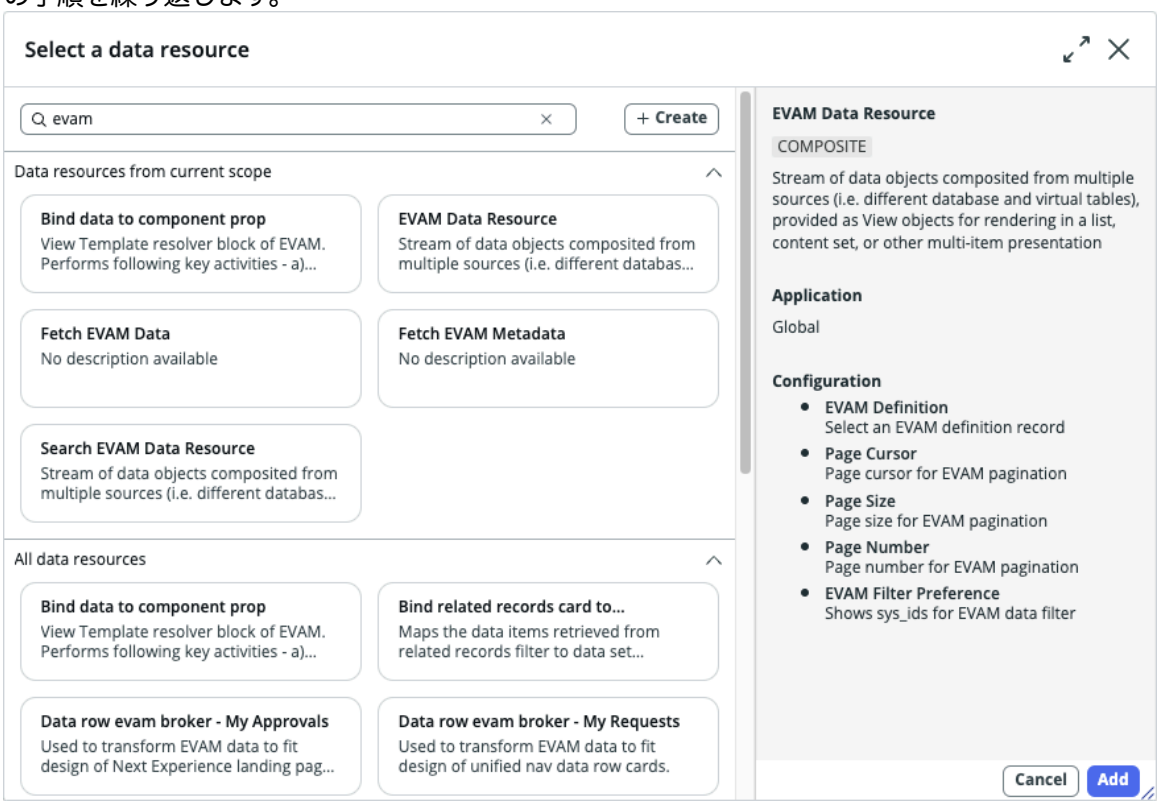
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

4. オプション: ページにコンポーネントがない場合は、ページにデータセットコンポーネントを追加します。
   詳細については、「コンポーネントの追加と構成」を参照してください。
5. [データおよびスクリプト **(Data and scripts)**] パネルで、**[+]** アイコンを選択し、[データリソース] を選択します。



6. 検索フィールドに「evam」と入力します。
7. 追加する EVAM データリソースを選択し、ページのすべての EVAM データリソースに対してこの手順を繰り返します。

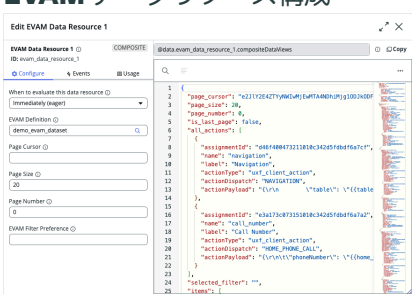


8. 各 EVAM データリソースを構成します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

EVAM データソース

EVAM データソース	説明
EVAM データリソース	データソースに関する EVAM 定義とその他の情報を追加します。 ○ タイプ：複合。 ○ 評価するタイミング：[このデータリソースを評価するタイミング] リストで、[即時] を選択してページのロード時に EVAM データリソースインスタンスを評価するか、[呼び出された場合のみ] を選択してイベントハンドラーで EVAM データリソースを評価します。 ○ EVAM 定義：**[EVAM** 定義] フィールドで、データリソースに関連付けられている EVAM 定義レコードを追加します。 ○ ページカーソル：[ページカーソル] フィールドで、EVAM 定義のページカーソルを追加します。 ○ ページサイズ：[ページサイズ] フィールドで、EVAM ページネーションのサイズを追加します。 ○ ページ番号：[ページ番号] フィールドで、EVAM ページネーションのページ番号を追加します。 ○ EVAM フィルター設定：**[EVAM** フィルター設定] フィールドで、EVAM データフィルターの sys_id を追加します。 データフェッチが開始、成功、または失敗した場合のイベントハンドラーを追加するには、[イベント] を選択します。 [構成] ペインの横にある *[Now* コードエディター] セクションで、EVAM 定義スクリプトをプレビューします。 **EVAM** データリソース構成 
EVAM データをフェッチ	EVAM 定義とデータソースに関するその他の情報を追加するには、[構成] を選択します。

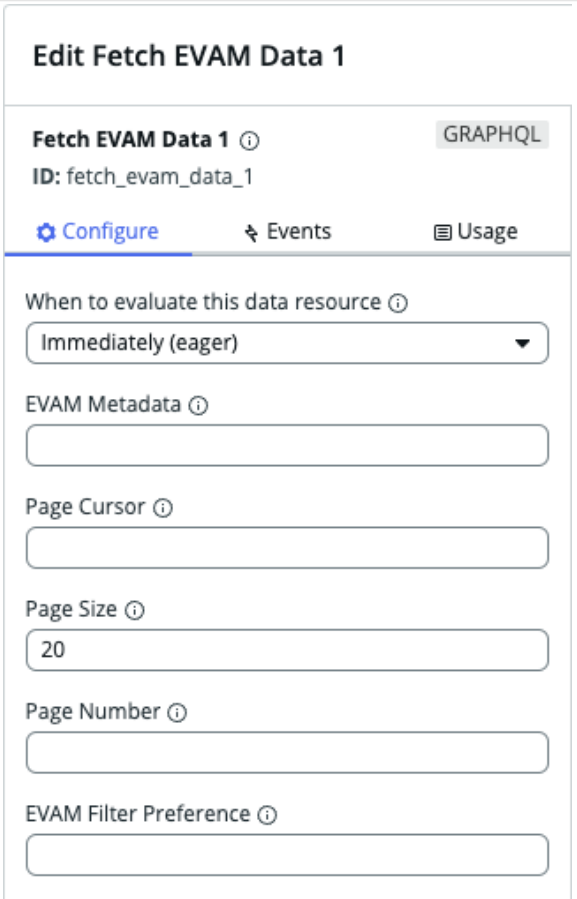
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

EVAM データソース	説明
	○ タイプ：GRAPHQL ○ 評価するタイミング：ページのロード時に EVAM データリソースインスタンスを評価するには、[即時] を選択します。イベントハンドラーを使用して EVAM データリソースを評価するには、[呼び出された場合のみ] を選択します。 ○ EVAM 定義：**[EVAM** 定義] フィールドで、データリソースに関連付けられている EVAM 定義レコードを追加します。 ○ ページカーソル：[ページカーソル] フィールドで、EVAM 定義のページカーソルを追加します。 ○ ページサイズ：[ページサイズ] フィールドで、EVAM ページネーションのサイズを追加します。 ○ ページ番号：[ページ番号] フィールドで、EVAM ページネーションのページ番号を追加します。 ○ EVAM フィルター設定：**[EVAM** フィルター設定] フィールドで、EVAM データフィルターの sys_id を追加します。 データフェッチが開始、成功、または失敗した場合のイベントハンドラーを追加するには、[イベント] を選択します。 [構成] ペインの右にある **[Now** コードエディター] で、EVAM 定義スクリプトをプレビューします。

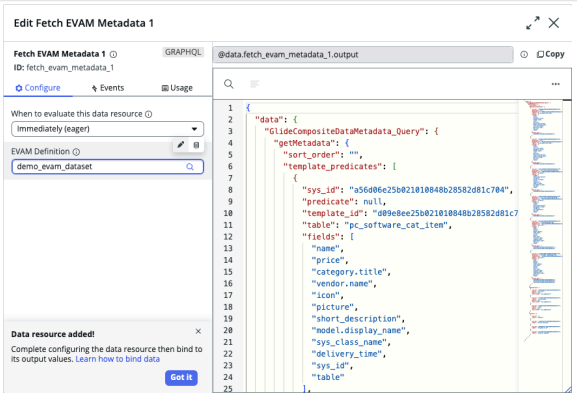
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

EVAM データソース	説明
	
EVAM メタデータをフェッチ	EVAM データリソースを評価して EVAM 定義を追加するタイミングを選択するには、[構成] を選択します。 ○ タイプ：GRAPHQL ○ 評価するタイミング：ページのロード時に EVAM データリソースインスタンスを評価するには、[即時] を選択します。イベントハンドラーを使用して EVAM データリソースを評価するには、[呼び出された場合のみ] を選択します。 ○ EVAM 定義：**[EVAM** 定義] フィールドで、データリソースに関連付けられている EVAM 定義レコードを追加します。 データフェッチが開始、成功、または失敗した場合のイベントハンドラーを追加するには、[イベント] を選択します。 [構成] ペインの右にある **[Now** コードエディター] で、EVAM 定義スクリプトをプレビューします。

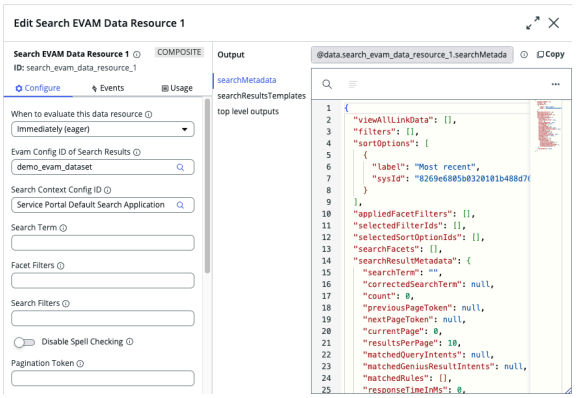
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

EVAM データソース	説明
	
EVAM データリソースを検索	EVAM 定義とデータソースに関するその他の情報を追加するには、[構成] を選択します。 ○ タイプ：複合。 ○ 評価するタイミング：ページのロード時に EVAM データリソースインスタンスを評価するには、[即時] を選択します。イベントハンドラーを使用して EVAM データリソースを評価するには、[呼び出された場合のみ] を選択します。 ○ EVAM 構成 ID：**[EVAM 構成 ID (EVAM Config ID)]** フィールドに、データレコードに関連付けられている **EVAM 構成 ID** を追加します。 ○ 検索コンテキスト構成 ID：[検索コンテキスト構成 **ID]** フィールドに、検索する検索コンテキスト構成 ID を追加します。 ○ 検索用語：[検索用語] フィールドに、検索する検索用語を追加します。 ○ ファセットフィルター：[ファセットフィルター] フィールドに、検索の定義に役立つファセットフィルターを追加します。 ○ 検索フィルター：[検索フィルター] フィールドに、検索の定義に役立つ検索フィルターを追加します。 ○ スペルチェックを無効にする：[スペルチェックを無効にする] フィールドで、検索時にスペルチェックをオンにするかオフにするかを選択します。 ○ ページネーショントークン：[ページネーショントークン] フィールドに、必要に応じてページネーショントークンを追加します。 データフェッチが開始、成功、または失敗した場合のイベントハンドラーを追加するには、[イベント] を選択します。

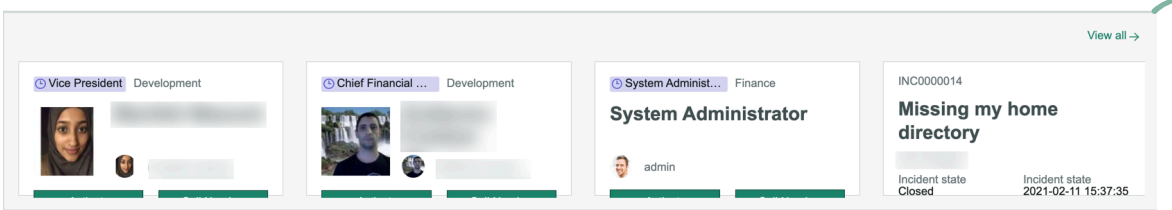
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

EVAM データソース	説明
	[構成] ペインの右にある **[Now** コードエディター] で、EVAM 定義スクリプトをプレビューします。 

9. データセットコンポーネントを次のように構成します。
   - EVAM データリソースをコンポーネントにバインドします。
   - [グリッド/リストトグルを表示] をオンにすると、ページ上の EVAM 情報をグリッドビューで表示するかリストビューで表示するかを選択できます。
   - ページ上のカードのその他の構成設定を行います。
10. **[Save** (保存)] を選択します。
11. [プレビュー] ボタンを選択し、ページを表示してテストします。

EVAM の完了ステータス



Now コードエディターでコードを編集する (高度な機能)

Now コードエディターは、カスケードスタイルシート (CSS)、ハイパーテキストマークアップ言語 (HTML)、JavaScript、拡張マークアップ言語 (XML)、および JavaScript Object Notation (JSON) をサポートするリッチテキストエディターです。Now コードエディターを使用して、ネクストエクスペリエンス UI ビルダーコンポーネントの UI 構成、データリソース構成、スタイル、イベント、クライアントサイドおよびサーバーサイドのスクリプトを変更します。

Now コードエディターは次の機能をサポートしています。

- 基本編集
- デバッグ
- コマンドパレット

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- コードの書式設定
- 構文のチェックとハイライト表示
- 自動提案
- 共通コードのスクリプトマクロ

基本編集

アクション	説明
コードの書式設 定	スクリプトに適切なインデントを適用します。 キーボードショートカット： • Windows：Shift+Alt+F • Mac：Shift+Option+F
構文のハイライト表示	コードの構文をハイライト表示します。
構文のチェック	書式設定エラーをチェックし、構文エラーをハイライト表示します。 • Windows：Shift+Alt+C • Mac：Shit+Option+C
提案を表示	挿入ポイントに次のような有効な要素のリストを表示します。 • クラス名 • 関数名 • オブジェクト名 • 変数名 エントリーを選択してクリックし、スクリプトに追加します。 キーボードショートカット： • Windows：Control+Space • Mac：Control+Space また [設定] メニューから、[構文のハイライト表示] を有効または無効にすることもできます。
コメントの切り替え	2 つの連続するスラッシュ // を使用して、1 行以上のコードをコメント化します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アクション	説明
	キーボードショートカット： • Windows：Control+/ • Mac：Command+/
ミニマップを表示	コードスニペットのミニマップを表示します。 ミニマップオプションは [設定] メニューで表示と非表示を切り替えることができます。
ワードラップを有効にする	エディター領域でワードラップ機能を有効にします。 [ワードラップを有効にする] オプションは [設定] メニューで切り替えることができます。
コマンドパレットを表示	一般的な操作に使用できるコマンドのリストを表示します。同じインタラクティブウィンドウを使用して、エディターコマンドの実行、テキストの検索と置換、コードブロックの折りたたみと展開、コメントの切り替えなど、多くのタスクを実行できます。 キーボードショートカット • Windows：F1 • Mac：F1
エディターを展開 またはエディターを折りたたむ	エディターの展開と折りたたみを切り替えます。 キーボードショートカット • Windows：Control+M • Mac：Control+M

デバッグ

スクリプトデバッガーを起動するには、ツールバーの [スクリプトデバッガー] アイコン をクリックします。

注:
デバッグが有効になっていて、言語が JavaScript である場合にのみ、ブレークポイント、条件付きブレークポイント、またはログポイントを追加できます。

タスク	操作
ブレークポイントを追加	ルーラー領域の行番号の横を右クリックし、[ブレークポイントを追加] を選択します。
条件付きブレークポイントを追加	1. ルーラー領域の行番号の横を右クリックし、[条件付きブレークポイントを追加] を選択します。 2. エディターにブレーク条件を入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タスク	操作
ログポイントを追加	ルーラー領域の行番号の横を右クリックし、[ログポイントを追加] を選択します。
差分モードでテキストを比較	並列表示ビューアイコン とインラインビューアイコン を使用して、ビューを切り替えます。

コードエディターマクロ

for

- 説明：サンプルのアレイを使用して標準の for ループを挿入します。
- 出力：

```
for (var i=0; i< myArray.length; i++) {
 //myArray[i];

}
```

method

- 説明：空の JavaScript 関数テンプレートを挿入します。
- 出力：

```
/*_____________________________________________________________
  * Description:
  * Parameters:
  * Returns:
  _____________________________________________________________*/
  : function() {

  },
```

info

- 説明： *GlideSystem* 情報メッセージを挿入します。
- 出力：

```
gs.addInfoMessage(gs.getMessage(""));
```

doc

- 説明：関数またはパラメーターを説明するためのコメントブロックを挿入します。
- 出力：

```
/**

* Description:

* Parameters:

* Returns:
*/
```

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

vargror

- 説明：OR 条件で 2 つの値の *GlideRecord* クエリを挿入します。
- 出力：

```
var gr = new GlideRecord('');

var qc = gr.addQuery('field', 'value1');

qc.addOrCondition('field', 'value2');
gr.query();

while (gr.next()) {


}
```

vargr

- 説明：単一の値に対する標準の *GlideRecord* クエリを挿入します。
- 出力：

```
var gr = new GlideRecord("");
gr.addQuery("name", "value");
gr.query();
if (gr.next()) {

}
```

コンポーネントビルダー

コンポーネントビルダーを使用して、 UI ビルダー ページの再利用可能なコンポーネントを組み立てる方法について説明します。

コンポーネントビルダーを使用して、ページ間で再利用するカスタムコンポーネントを作成します

UI ビルダー のエクスペリエンスとページ全体でカスタムコンポーネントを再利用します。

UI ビルダーのコンポーネントビルド UI でカスタムコンポーネントを作成します。コンポーネントビルド UI には多くの類似点があり、 UI ビルダー でページを構成するときと同じ方法でコンポーネントを構成できます。

カスタムコンポーネントの力

カスタムコンポーネントをビルドすると、エクスペリエンス全体で効率、一貫性、保守性が向上します。再利用可能な UI 要素を作成することで、構成の重複を回避し、統一されたルックアンドフィールを確保し、更新や設計変更の管理を容易にします。また、カスタムコンポーネントは、複雑なレイアウトを簡素化し、柔軟な構成をサポートし、テストとデバッグを容易にします。また、共有コンポーネントがコラボレーションを合理化し、大規模なユーザーエクスペリエンスの一貫性を維持するのに役立つチーム環境でも役立ちます。

カスタムコンポーネントは、エクスペリエンス内のさまざまなユーザータイプ向けにページを設計する場合に特に役立ちます。たとえば、リストとデータの可視化の両方を含む再利用可能なコンポーネントを作成し、ユーザーグループに基づいてそのコンテンツまたは動作を調整して、一貫したレイアウトを維持しながらロール固有の情報を配信できます。

コンポーネントビルダーで編集されたコンポーネントは、それらが使用されているすべてのページで自動的に更新されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

重要:
インスタンスで作成されたカスタムコンポーネントは、更新セットまたはアプリケーションのインストールを使用して他のインスタンスに移行されるまで、そのインスタンス内でのみ使用可能です。

カスタムコンポーネントまたはページコレクション

効率的でスケーラブルなデジタルエクスペリエンスを構築するには、可能な限り要素を再利用することが重要です。これを行うには、カスタムコンポーネントとページコレクションを使用する2つの方法があります。必要な再利用の範囲に応じて、それぞれが明確な目的を果たします。

カスタムコンポーネント

見出し、リスト、フォーム、ボタンなど、ページの特定の部分を複数のページに複製する場合は、カスタムコンポーネントを使用します。

一貫したテーマまたは構成をコンポーネントまたはコンポーネントのグループに適用する場合。

ページの一部が変更されても、共有コンポーネントの一貫性が保たれるモジュールまたは柔軟性を持つようにページを設計しています。

変更を 1 か所で管理し、コンポーネントが使用されるすべての場所で更新する必要がある。

複数のチームが同じページの異なるセクションで同時に作業しています。

ページコレクション

ページレイアウトと構成全体を複数のページまたはエクスペリエンスで再利用する場合。

さまざまなユーザーまたはワークフローに対して、完全なページのバリエーションをビルドする必要があります。

複数のページまたはエクスペリエンスで一連のタブを使用する場合。

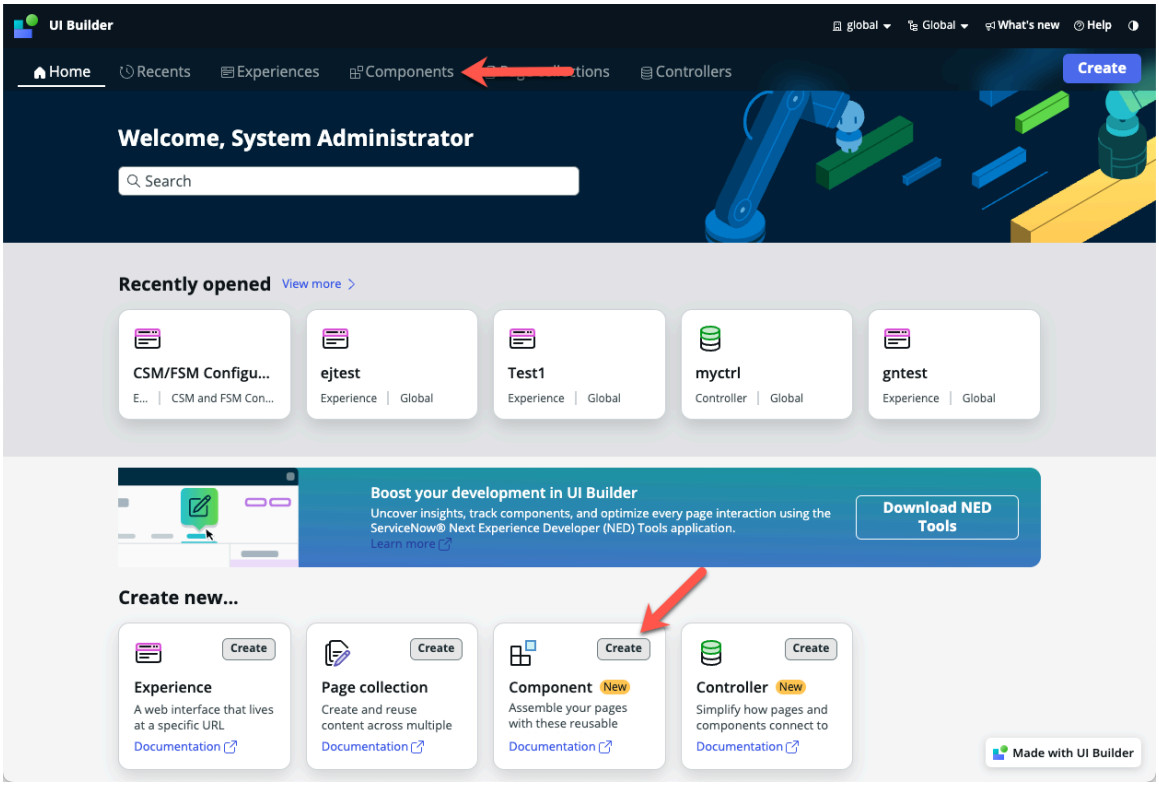
カスタムコンポーネント **UI**

UI ビルダー のコンポーネントビルダーにアクセスするには、ヘッダーまたは UI ビルダー ホームページの [コンポーネント] タイルで [作成] を選択します。

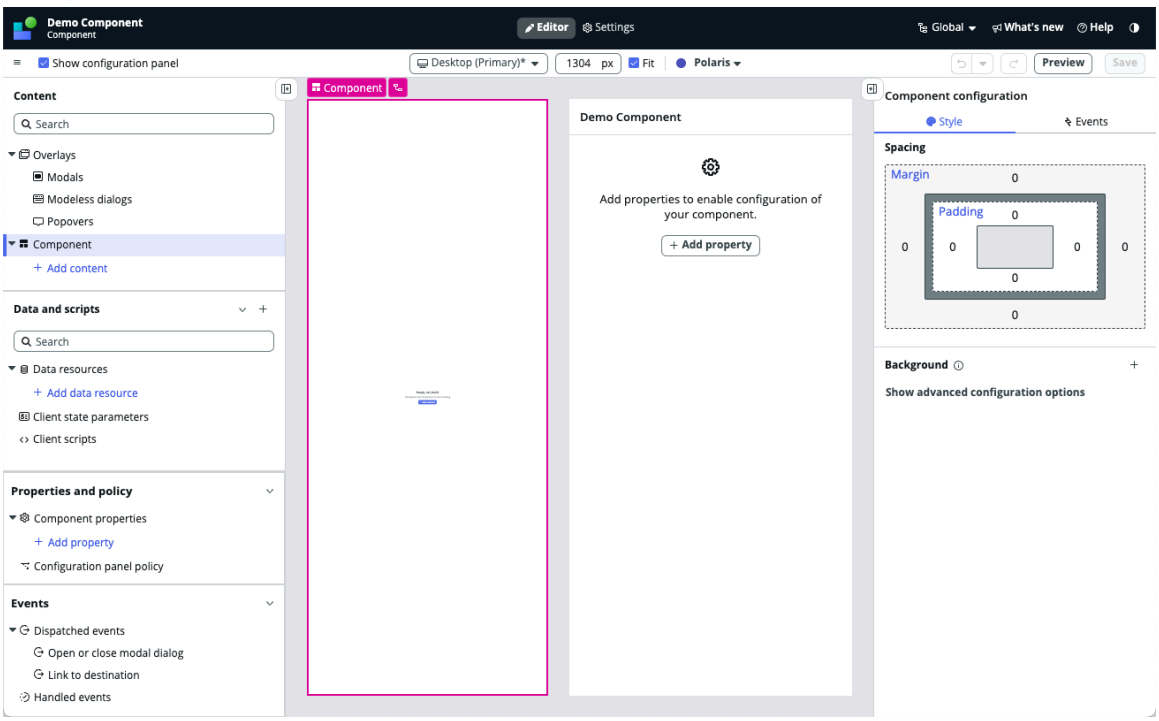
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

UI ビルダーのホームページ



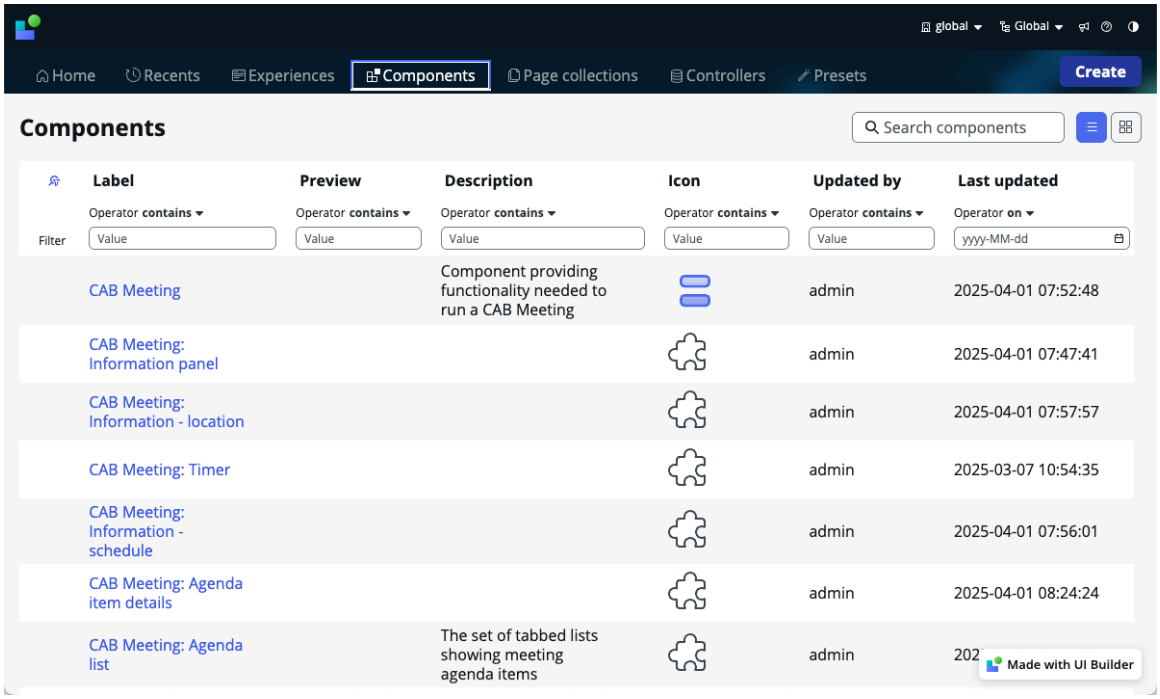
コンポーネントビルダー UI



UI ビルダーでビルドされたコンポーネントは、コンポーネントをページに追加するときのツールボックスと、UI ビルダー のホームページのコンポーネントリストにあります。カスタムコンポーネントを更新または変更するには、 UI ビルダー のホームページのコンポーネントリストでカスタムコンポーネントを探します。

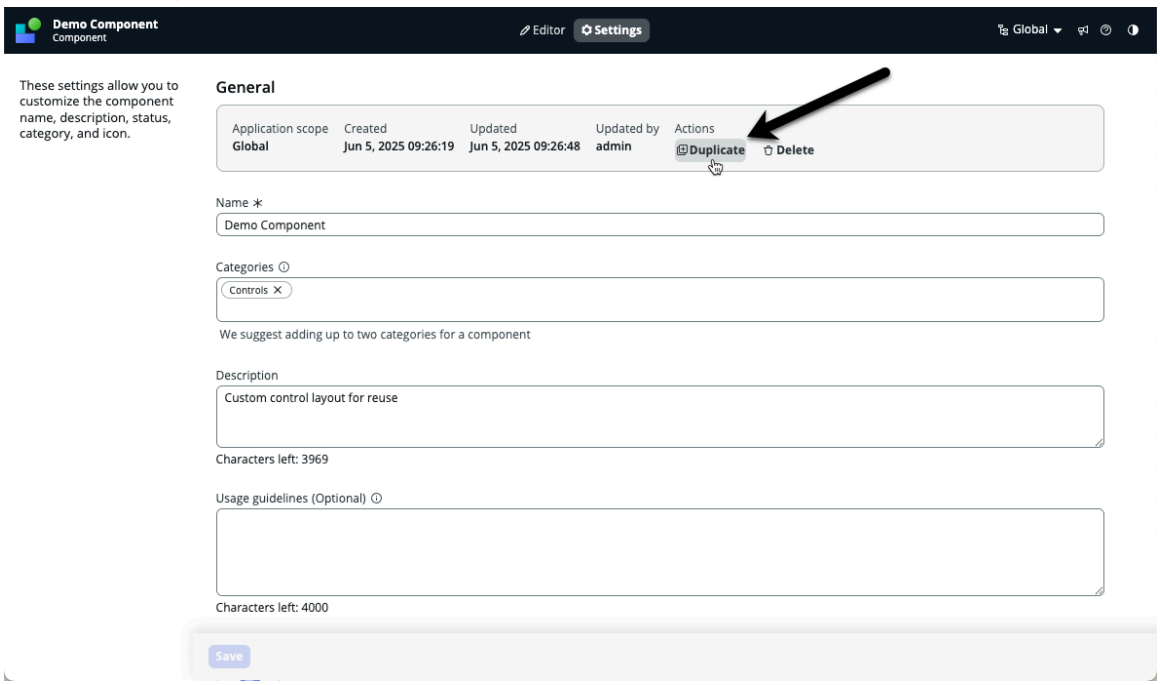
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

コンポーネントリスト



[複製] を選択すると、コンポーネント設定画面からカスタムコンポーネントをすばやく複製できます。これにより、再利用または変更のためにコンポーネントの正確なコピーが作成されます。

カスタムコンポーネント設定



コンポーネントビルダーと **NOW CLI** コンポーネント開発

UI ビルダー用のコンポーネントをビルドするには、2 つの方法があります。1 つ目は、 UI ビルダー内でローコードコンポーネントを使用する方法です。これは、カスタムコンポーネントを作成するためのドラッグアンドドロップインターフェイスを提供します。2 つ目は、 NOW CLI 開発者ツールを使用して コードでコンポーネントを構築する方法です。どちらの方法でも、UIB ツールボックスに追加してエクスペリエンス間で再利用できるコンポーネントが生成されます。含まれるコンポーネントの変更は、両方のタイプに影響を与える可能性があることに注意してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

どちらのツールも UI ビルダー用のコンポーネントを作成しますが、考慮すべき重要な違いがあります。

UI ビルダーのコンポーネントビルダー:

- UI ビルダー内に組み込まれたコンポーネントは、コントローラーとデータリソースを参照できます。
- sys_ux_macroponentテーブルに格納される「Macroponent コンポーネント」を作成します。
- コンポーネントビルダーは、コンポーネントを構築するための視覚的なドラッグアンドドロップインターフェイスを好むユーザーに最適です。
- 単純なコンポーネントから中程度の複雑なコンポーネントをすばやく作成するのに最適です。

NOW CLI コンポーネント:

- カスタム HTML、CSS、および JavaScript を記述する必要がある開発者を対象としています。
- 複雑でカスタマイズ可能なコンポーネントの構築に適しています。
- NOW CLI で作成されたコンポーネントは、sys_uib_toolbox_componentテーブルに保存されます。

ベストプラクティス

UI ビルダー カスタムコンポーネントビルダーにはガバナンス機能がないため、エクスペリエンスの重複や不整合につながる可能性があります。チームが類似のコンポーネントをわずかなバリエーションで作成すると、UI が断片化され、ユーザーエクスペリエンスが混乱する可能性があります。チームは定期的な監査とチーム間のコミュニケーションを完了して、連携を維持し、エクスペリエンスの成長に伴う断片化を回避することをお勧めします。

セキュリティポリシーが *read_only* に設定されている限り、すべてのコンポーネントは安全にアップグレードできるように設計されています。これにより、バンドルやページテンプレートなどの他の展開可能なユニットと比較して、より大きなコンポーネントまたはページ部分のアップグレード保護が強化されます。ただし、これはすぐに利用可能な (OOTB) コンポーネントを編集できない可能性があることも意味します。

ページ間で再利用するコンポーネントの作成

UI ビルダー のエクスペリエンスとページ全体で使用する再利用可能なカスタムコンポーネントをビルドします。

始める前に

必要なロール：ui_builder_admin

このタスクについて

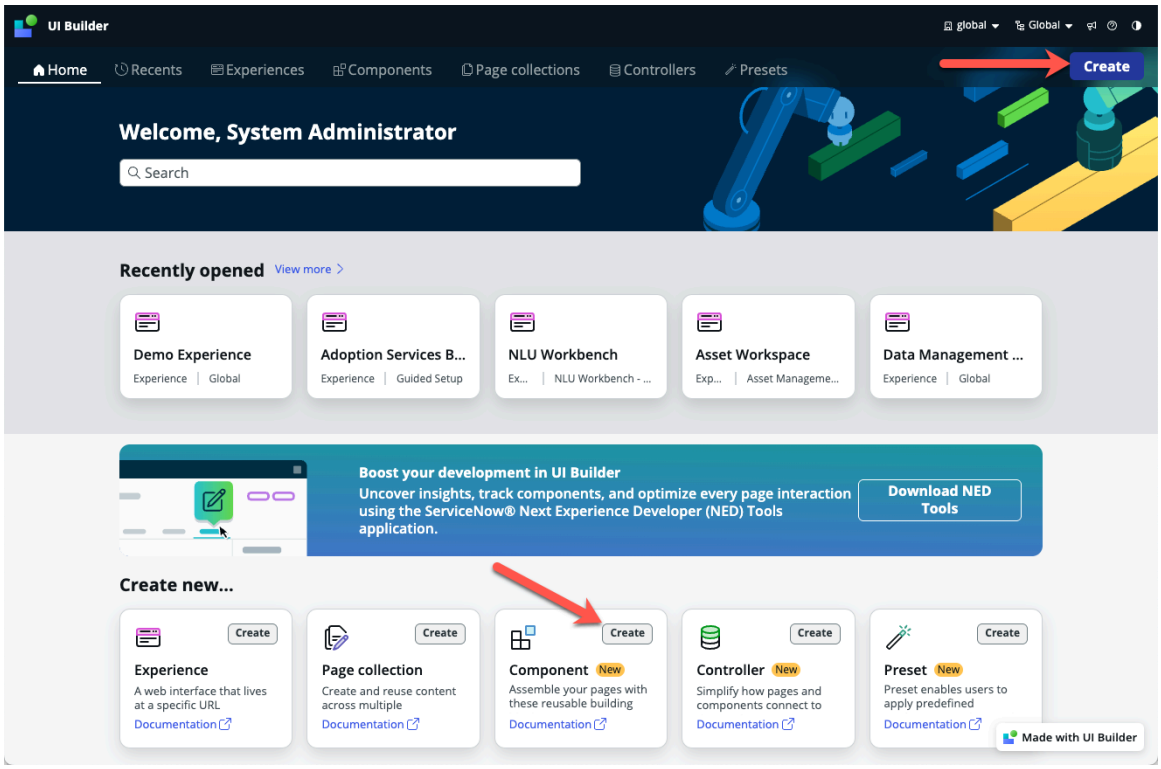
このコンポーネントビルダーの例では、任意のページに追加できる経過時間を追跡するストップウォッチコンポーネントを作成します。コンポーネントには、ページに配置すると変更できるカスタマイズ可能なプロパティが含まれます。

手順

1. 移動先 すべて > **Now Experience** フレームワーク > **UI** ビルダー.
2. UI ビルダー ホームページから [作成] を選択します。

自動翻訳

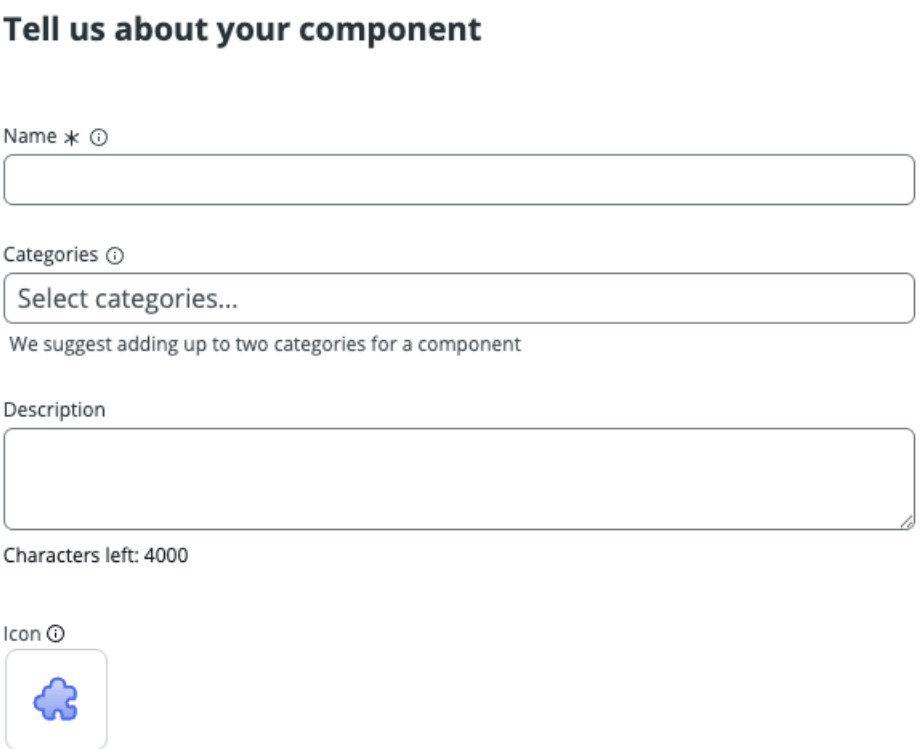
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



3. [コンポーネント] を選択します。

4. フォームのフィールドに入力します。

[コンポーネントを作成] ダイアログボックス



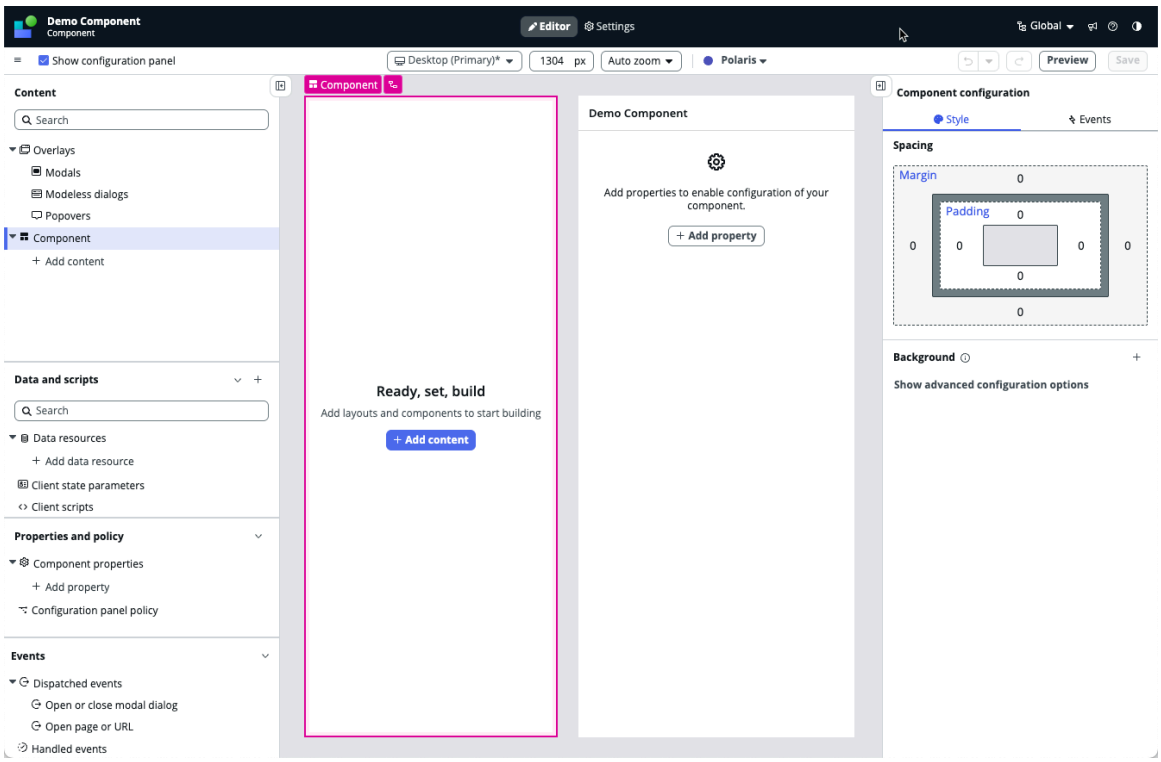
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[コンポーネントを作成] フォーム

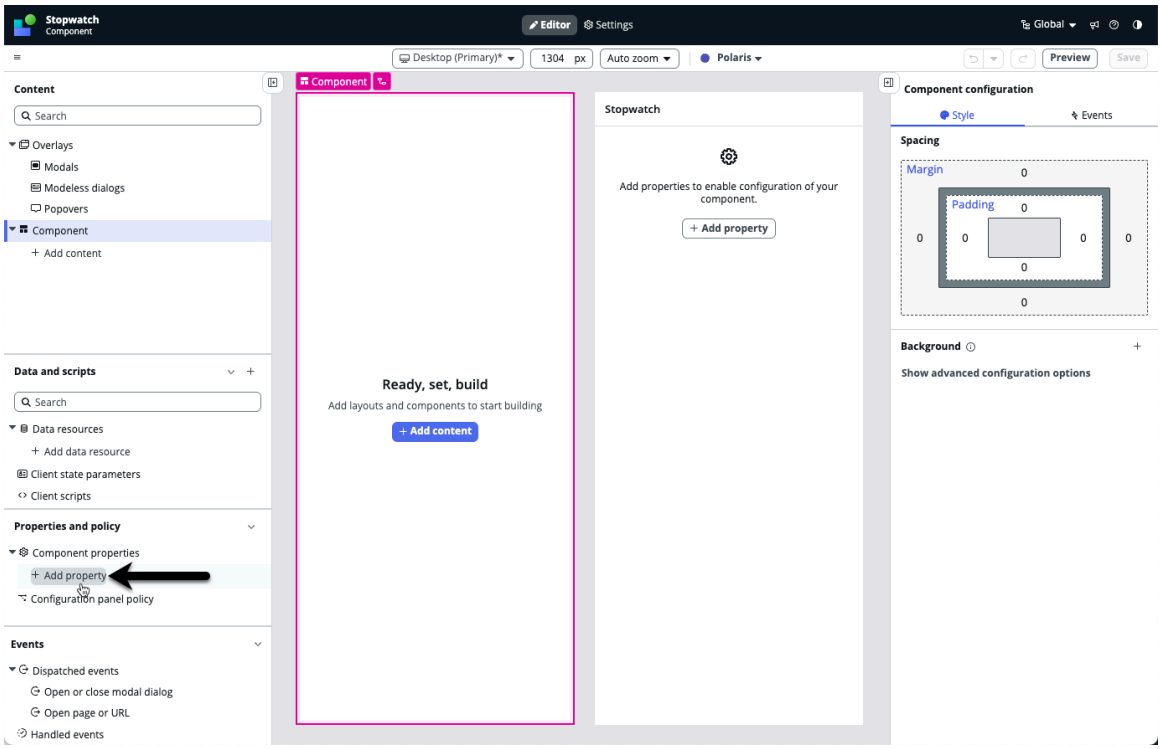
フィールド	説明
名前	コンポーネントを内部で追跡する名前を追加します。コンポーネント名がツールボックスに表示されます。この例では、 `ストップウォッチ` です。
カテゴリ	コンポーネントにカテゴリを追加して、ツールボックスで簡単に見つけられるようにします。カテゴリは、後で [設定] で更新できます。この例では、[コンテンツ] を選択します。
説明	コンポーネントをいつどのように使用するかを説明する説明を追加します。
アイコン	ツールボックスでコンポーネントを表すアイコンを選択します。

5. **[Create** (作成)] を選択します。
ページがコンポーネントビルダービューで開きます。



6. [プロパティとポリシー **(Properties and policy)**] セクションで **[+** プロパティを追加 **(Add property)**] を選択して、カスタムコンポーネントプロパティを追加します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



a. リストから [文字列] を選択します。

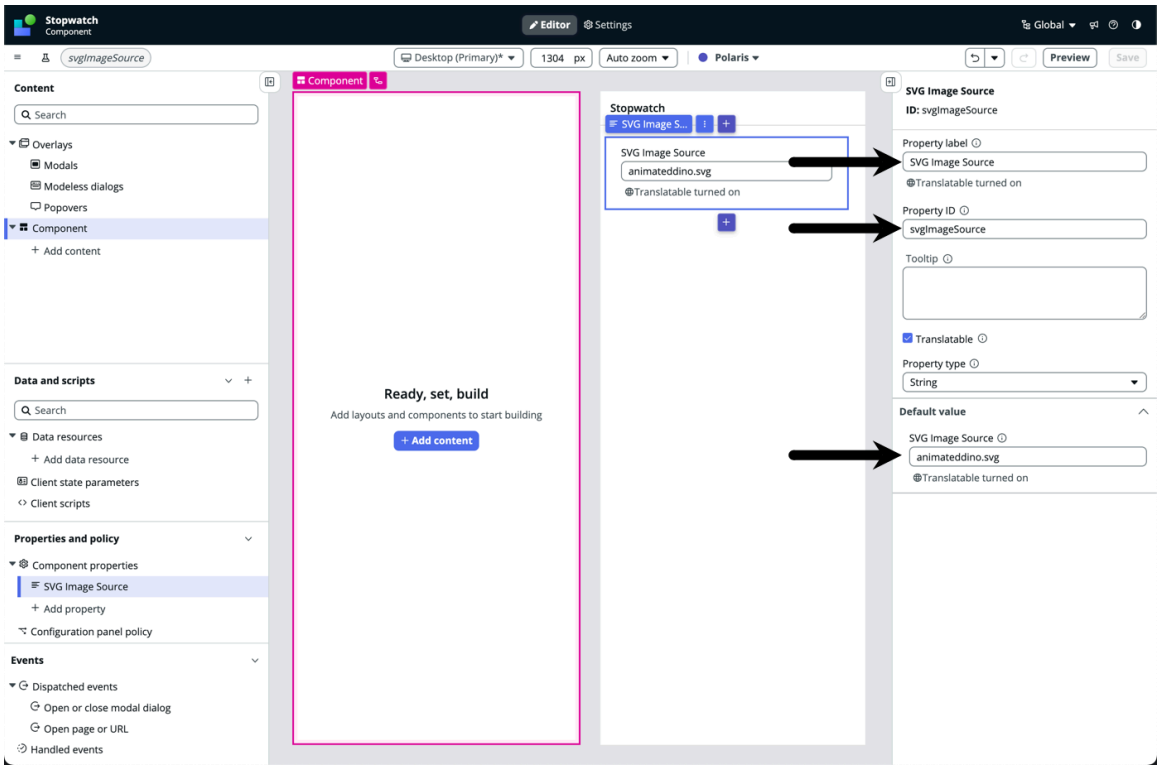
b. 構成パネルに次の値を入力します。

コンポーネントプロパティ

フィールド	値
プロパティラベル	SVG イメージソース
プロパティ ID	svgImageSource
デフォルト値	animateddino.svg

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



c. **[Save** (保存)] を選択します。

7. [**+** コンテンツを追加] ボタンを選択して、カスタムコンポーネントのレイアウトを構成します。

a. [単一列] を選択し、[追加] を選択します。

b. コンテンツ ツリーの 列 **1** で、 **[+** コンテンツの追加] を選択します。

c. [カードベースコンテナ] を選択し、[追加] を選択します。

d. コンテンツ ツリーの [カード ベース コンテナー **1**] で、[**+** コンテンツの追加] を選択します。

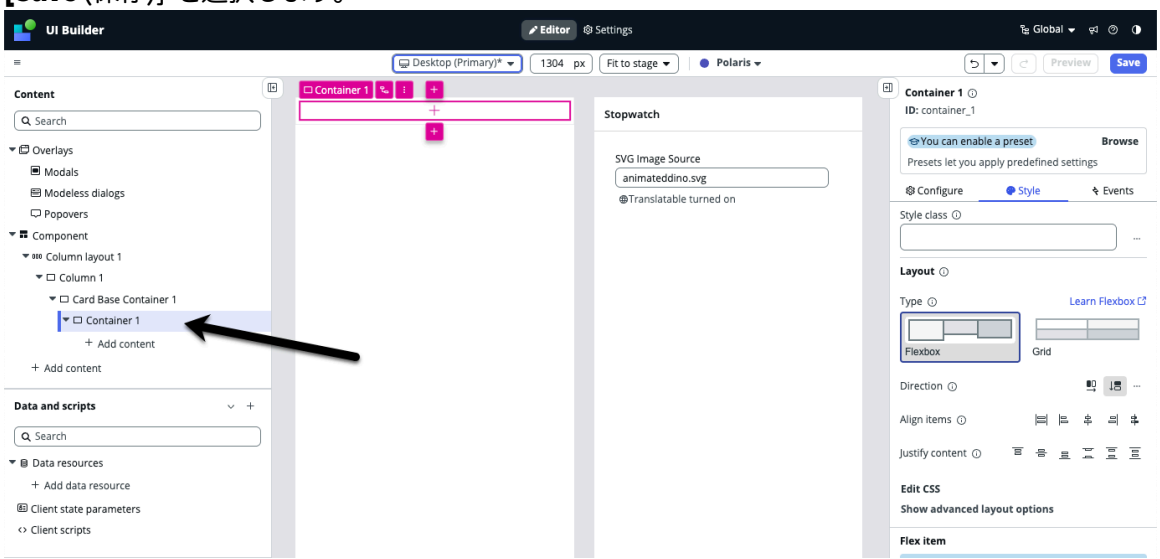
e. [レイアウト] を選択します。

f. **[Flexbox]** を選択し、[追加] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

g. **[Save** (保存)] を選択します。

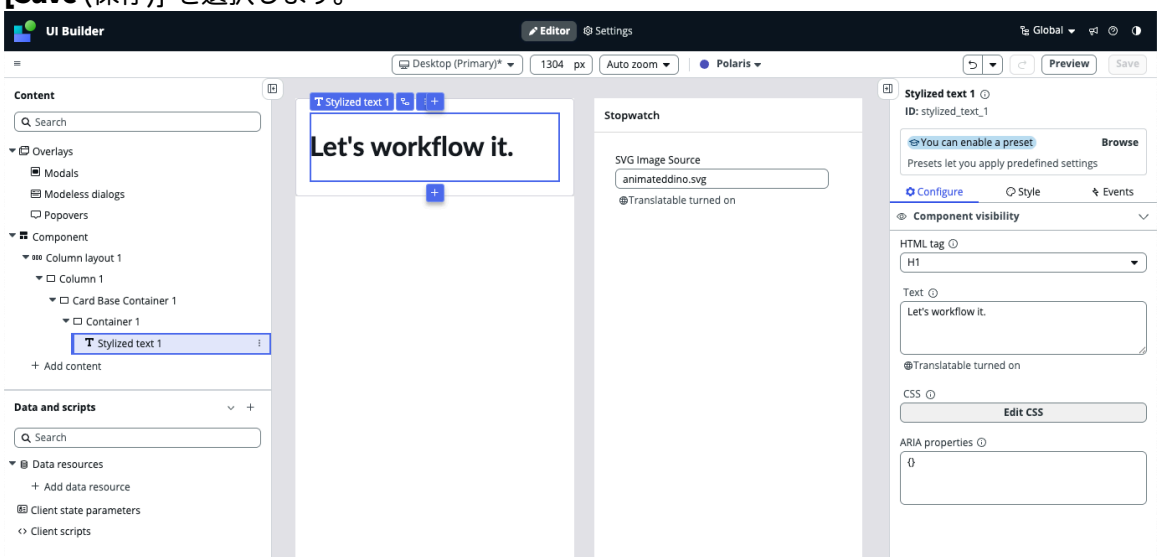


8. Flexbox コンテナに定型テキストコンポーネントを追加するには、[コンテナ **1**] で **[+** コンテンツを追加] を選択します。

a. 定型テキストコンポーネントを選択し、[追加] を選択します。

b. [キャンセル] を選択して、プリセット ウィンドウを閉じます。

c. **[Save** (保存)] を選択します。



9. 定型テキストコンポーネントを構成するには、クライアントステータスパラメーターをいくつか追加します。

a. [データとスクリプト] セクションで [クライアントステータスパラメーター] を選択します。

b. [クライアントステータスパラメーターを編集] ダイアログで、次の値を入力します。

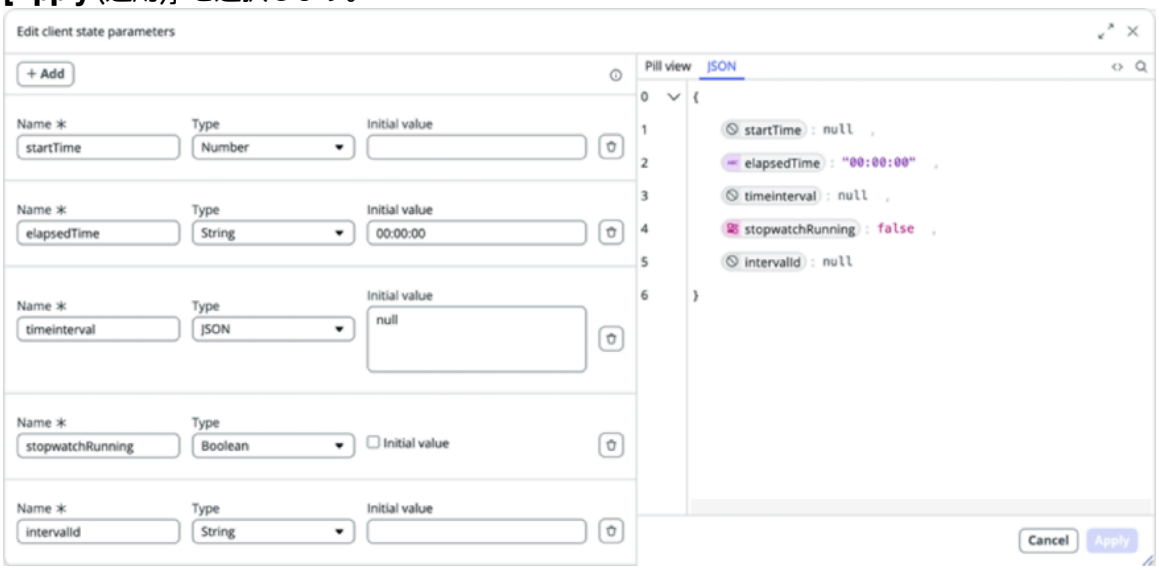
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クライアントステータスパラメーター

名前	タイプ	初期値
startTime	番号	
elapsedTime	文字列	00:00:00
時間間隔	JSON	
ストップウォッチ実行中	ブール	
間隔 ID	文字列	

c. **[Apply** (適用)] を選択します。



d. **[Save** (保存)] を選択します。

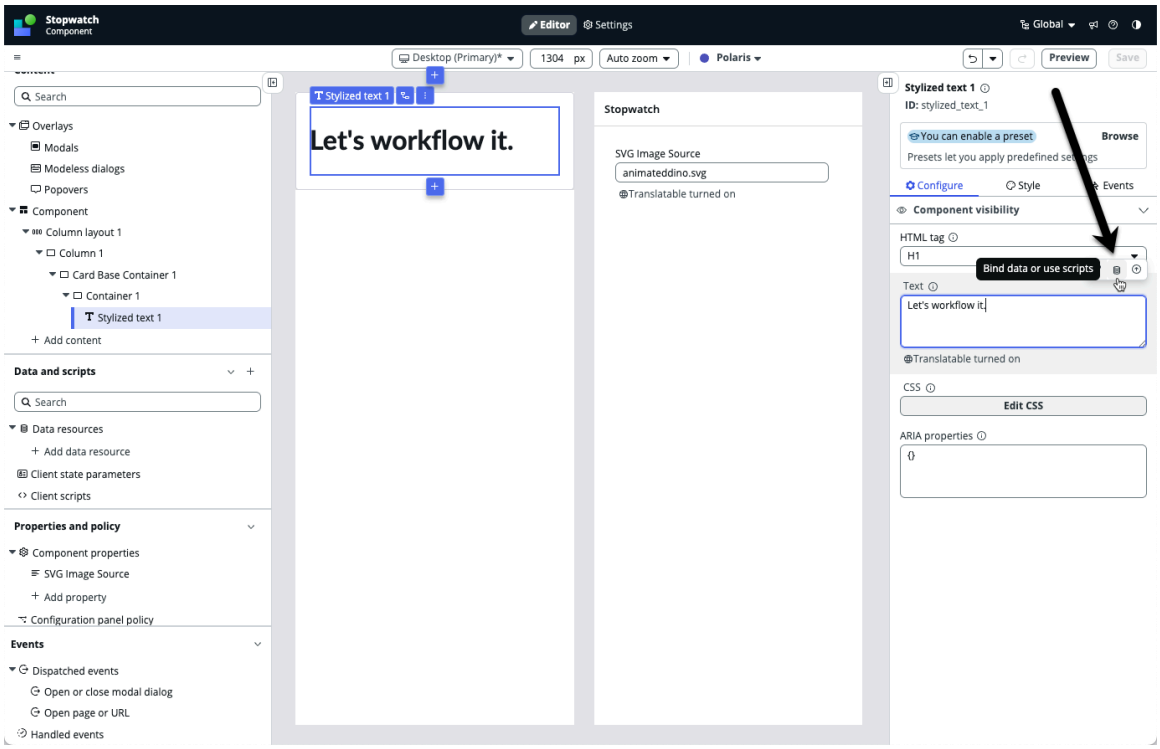
10. 定型テキストコンポーネントを構成するには、 **elapsedTime** クライアントステータスパラメーターをバインドします。

a. コンテンツツリーで 定型テキスト **1** コンポーネントを選択します。

b. 定型テキストコンポーネントの [テキスト] フィールドをポイントするときにバインドアイコンを選択します。

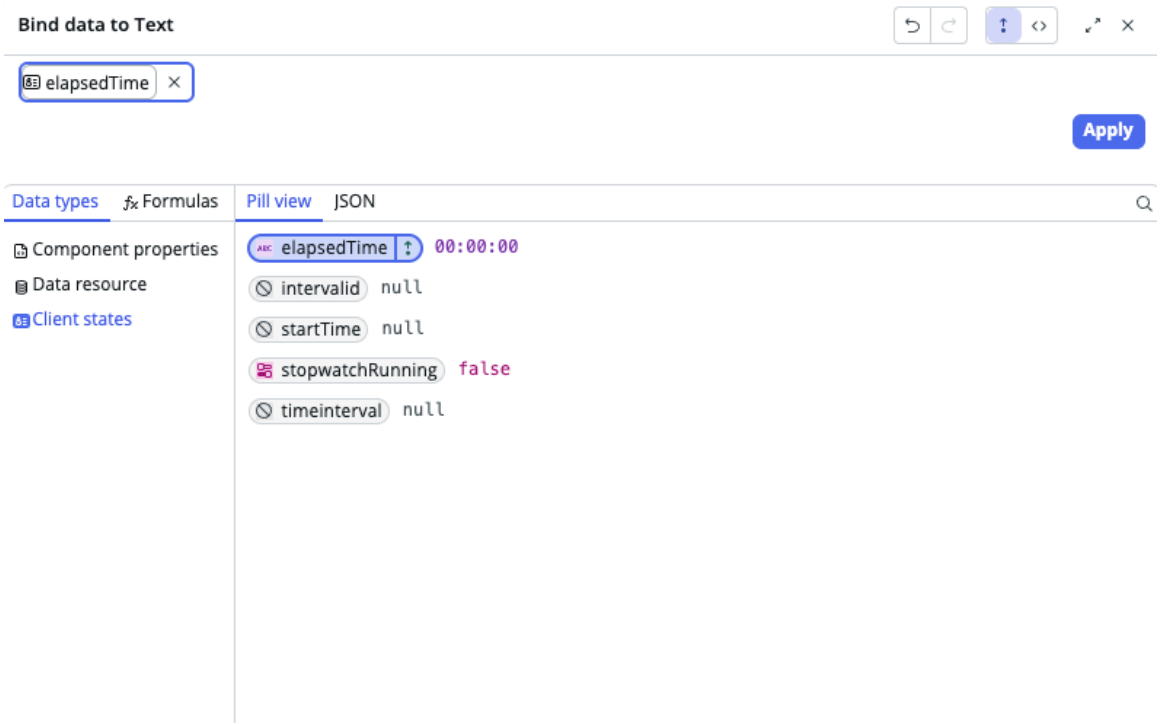
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



c. [クライアントステータス] を選択します。

d. elapsedTime ピルをダブルクリックします。



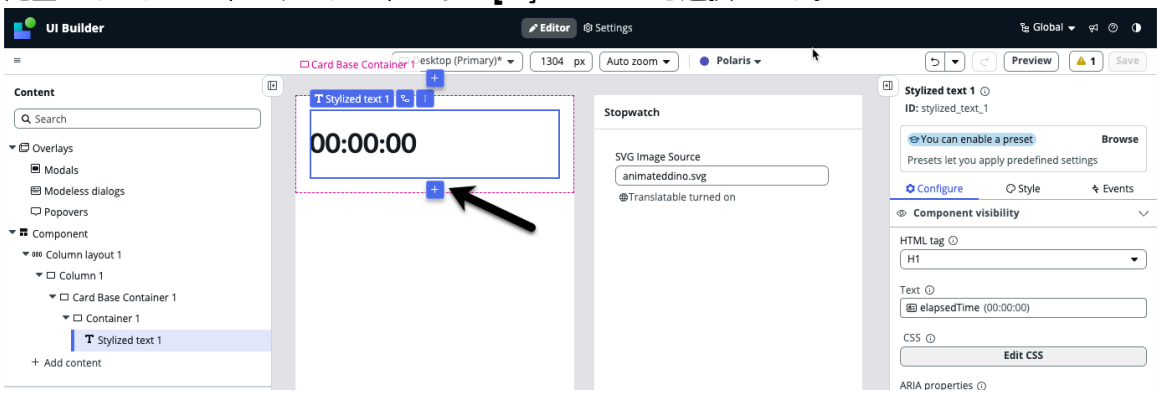
e. [Apply (適用)] を選択します。

f. [Save (保存)] を選択します。

11. ボタンを保持する Flexbox コンテナを追加します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. 定型テキストコンポーネントの下にある **[+**] アイコンを選択します。



b. [レイアウト] を選択します。

c. **[Flexbox]** を選択します。

d. **[Add** (追加)] を選択します。

12. ストップウォッチ実行レンダラーとスタートボタンを追加して構成します。

a. 前の手順で追加したコンテナーで **[+** コンテンツの追加] を選択し、 条件付きレンダラーを追加します。

b. コンテンツツリーで **[+** 条件を追加] を選択します。

c. [単一コンポーネント] を選択し、[次へ] を選択します。

d. [象徴的なボタン] を選択し、[次へ] を選択します。

e. [設定を編集] ダイアログで、次の値を入力します。

- コンポーネントラベル: 開始
- コンポーネント ID: start_button
- コンテンツをレンダリング: 常時

f. **[Apply** (適用)] を選択します。

g. コンテンツツリーで [開始] ボタンを選択します。

h. 構成パネルで次のプロパティを設定します。

コンポーネントプロパティ

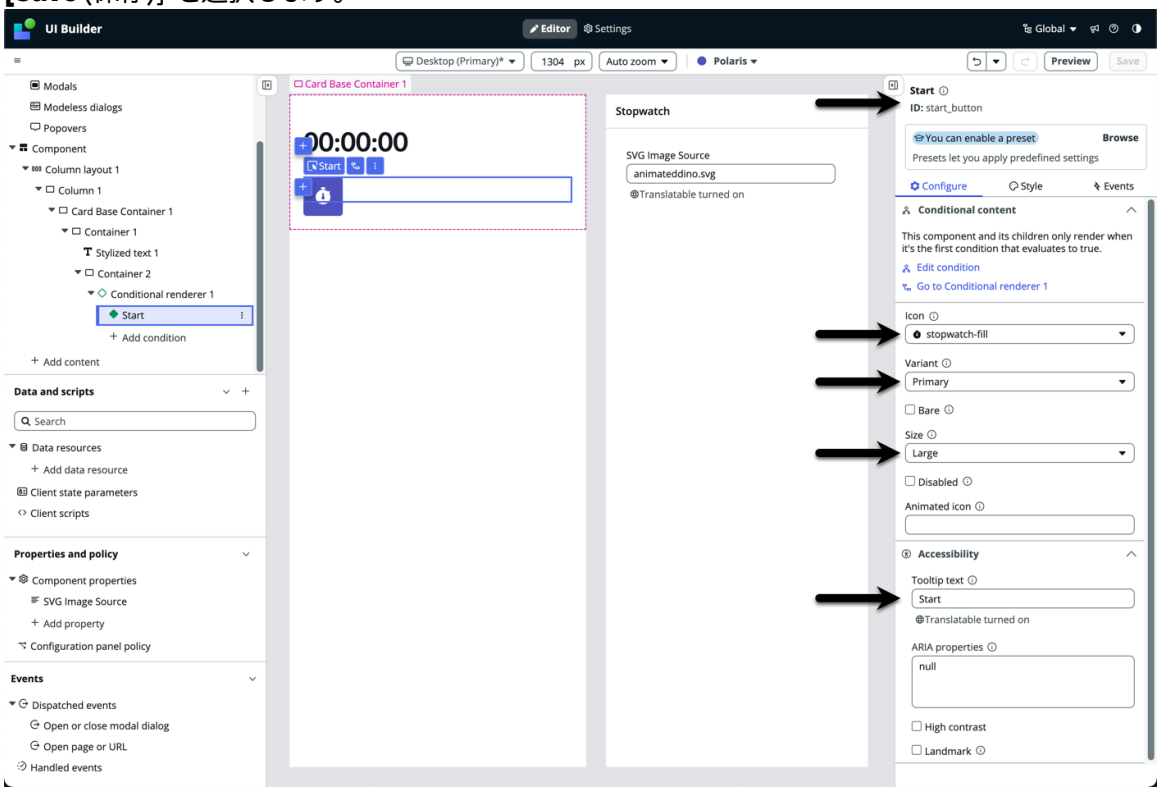
フィールド	値
アイコン	**stopwatch-fill**
バリアント	**Primary** (プライマリ)
サイズ	**Large** (大)

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	値
ツールヒントのテキスト	開始

i. **[Save** (保存)] を選択します。



13. ストップウォッチの実行中に表示する停止ボタンを設定します。

a. コンテンツツリーで **[+** 条件を追加] を選択します。

b. [空のコンテナー] を選択し、 [次へ] を選択します。

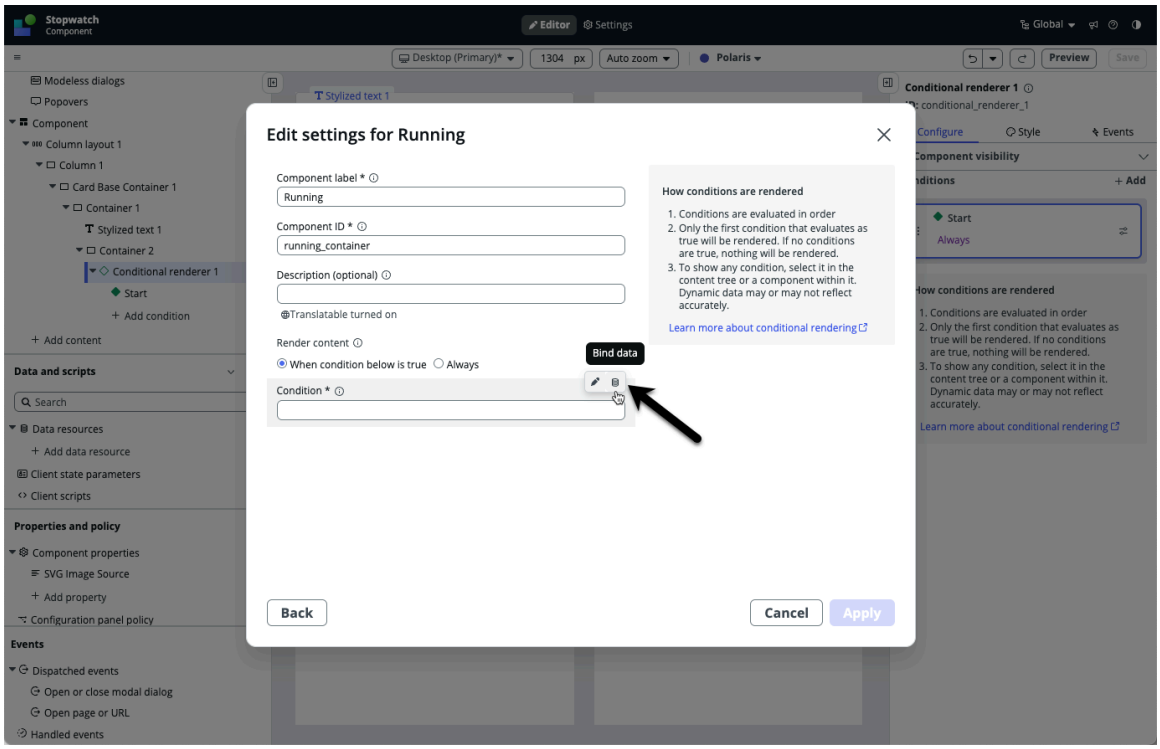
c. [設定を編集] ダイアログで、次の値を入力します。

- コンポーネントラベル: 実行中
- コンポーネント ID: running_container
- コンテンツをレンダリング: 以下の条件が **true** の場合

d. [条件] フィールドをポイントしながらバインドアイコンを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



e. [クライアントの状態] を選択し、**stopwatchRunning** ピルをダブルクリックします。

f. **[Apply** (適用)] を選択します。

g. **[Apply** (適用)] を選択します。

h. [実行中] コンテナーで **[+** コンテンツの追加] を選択し、象徴的なボタンを追加します。

i. 構成パネルで ボタンのアイコン **1** を選択し、次の値を入力します。

- コンポーネントラベル: 停止
- コンポーネント ID: stop_button

j. **[Apply** (適用)] を選択します。

k. 構成パネルで次のプロパティを設定します。

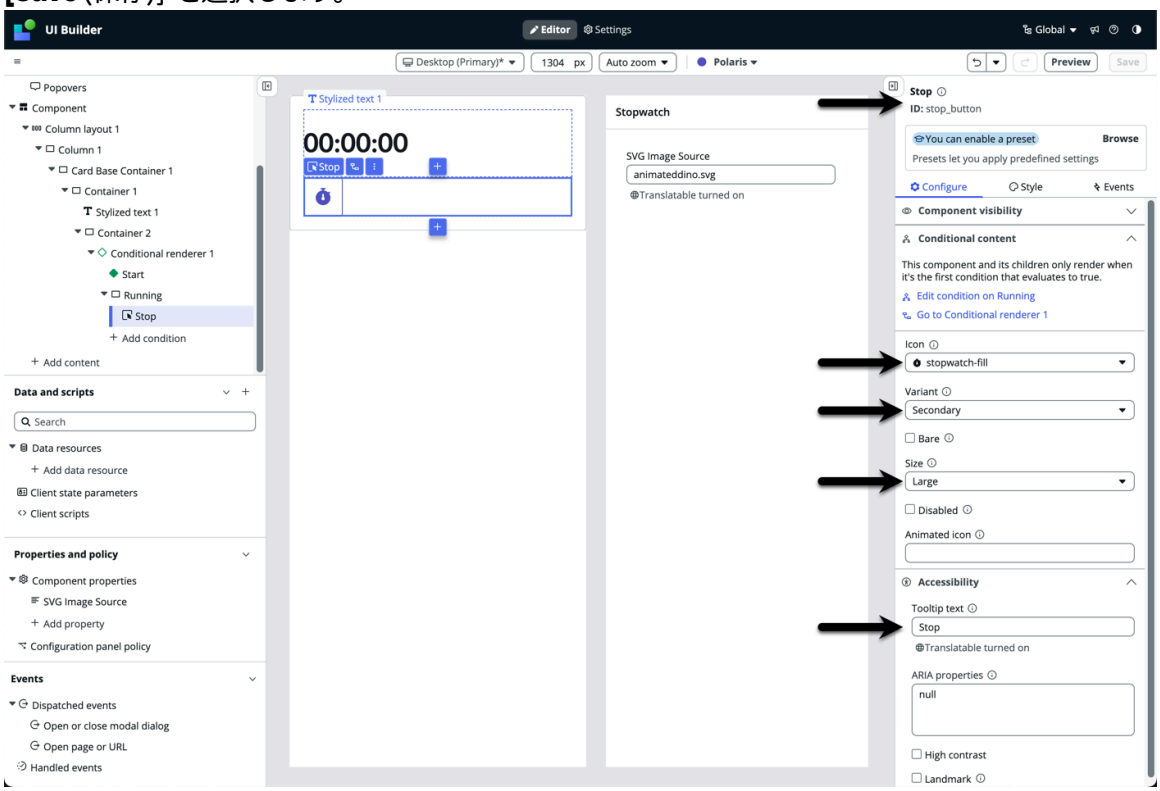
コンポーネントプロパティ

フィールド	値
アイコン	**stopwatch-fill**
バリアント	セカンダリ
サイズ	**Large** (大)
ツールヒントのテキスト	停止

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

l. **[Save** (保存)] を選択します。



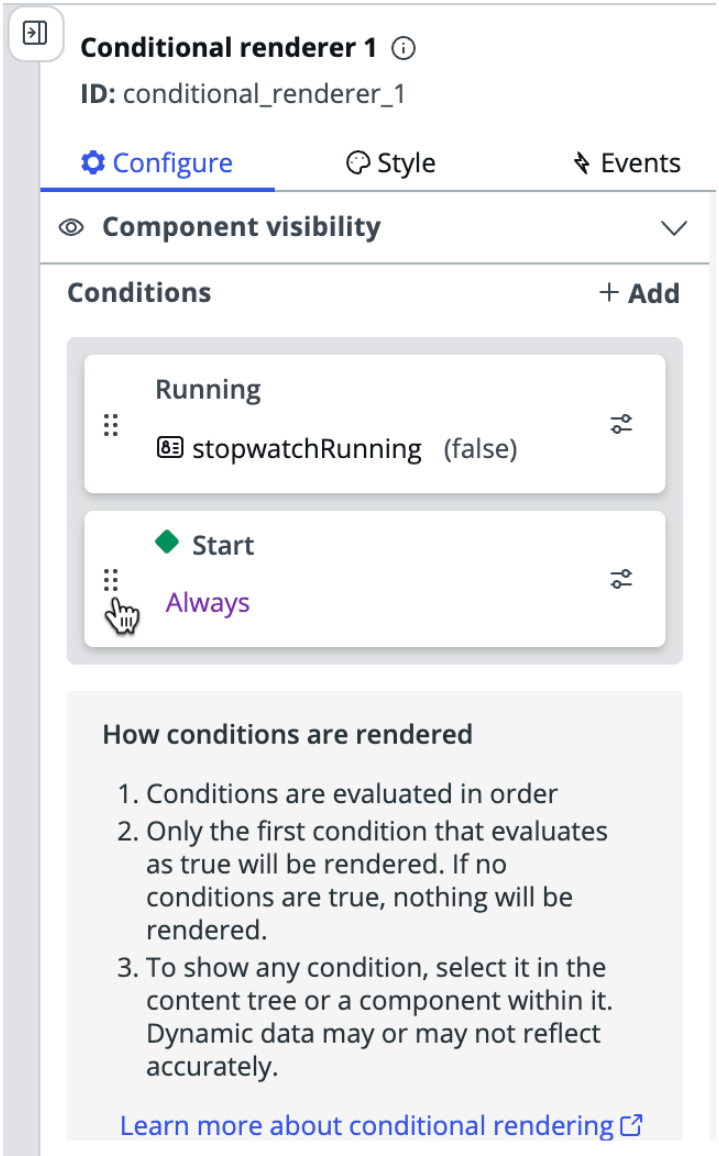
14. 条件を並べ替えて、[実行中] が [開始] の上に表示されるようにします。

a. コンテンツツリーで [条件付きレンダラー **1**] を選択します。

b. 構成パネルで、ドラッグハンドルアイコンを選択してドラッグ ⠿ 、条件を適切な位置に移動します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



条件は上から下に順番に評価されるため、ボタンを正しく表示するには、[実行中] が [スタート] の上に表示されている必要があります。

15. [データとスクリプト] セクションの [クライアントスクリプト] の横にある **[+]** を選択して、コンポーネントのロジックを追加します。

a. [スクリプト名] フィールドに「Start」と入力します。

b. 次のスクリプトをスクリプトフィールドに貼り付けます。

```
function handler({ api, helpers }) {
  console.log('Start script running');

  if (api.state.stopwatchRunning === undefined) {
    api.setState('stopwatchRunning', false);
    api.setState('elapsedTime', '00:00:00');
    api.setState('startTime', null);
    api.setState('intervalId', null);
  }
```

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

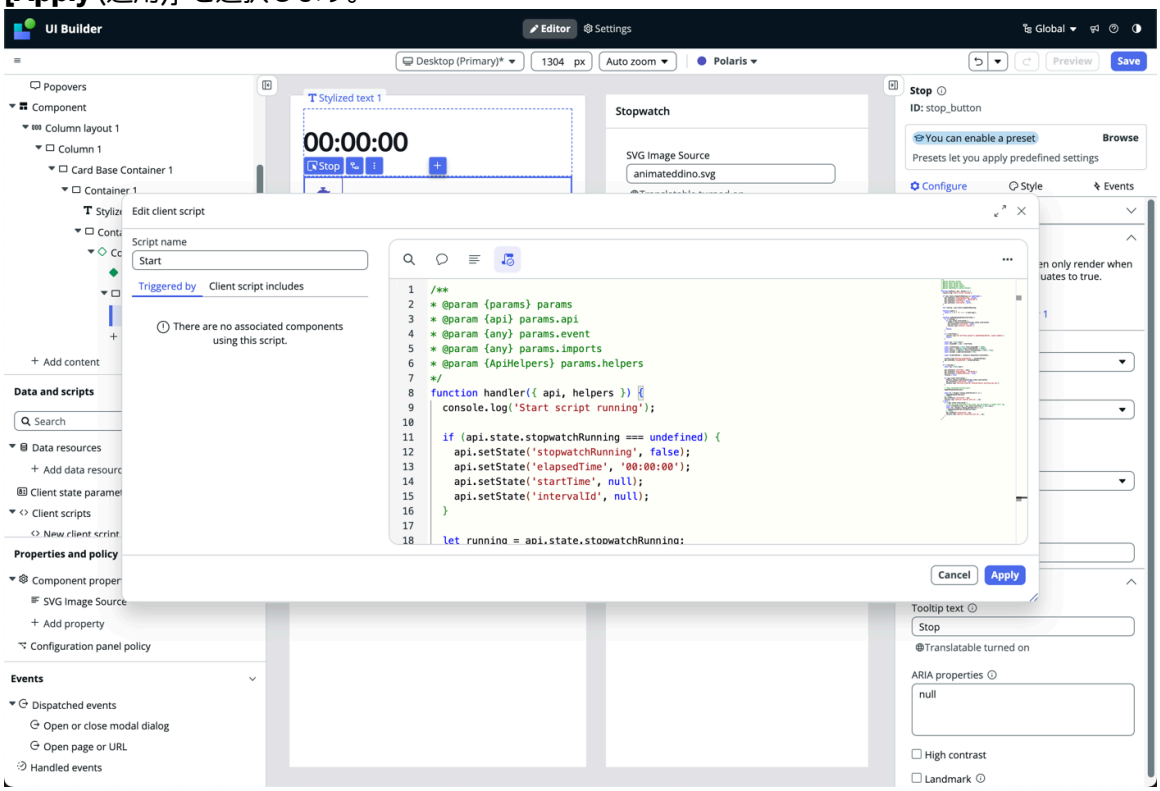
```
let running = api.state.stopwatchRunning;

function pad(n) {
  return n < 10 ? '0' + n : n.toString();
}

function updateElapsedTime(startTime) {
  if (!running) {
    if (api.state.intervalId) {
      helpers.timing.clearInterval(api.state.intervalId);
      api.setState('intervalId', null);
      console.log('Interval cleared');
    }
    return;
  }

  if (!startTime) {
    console.log('No startTime passed to updateElapsedTime, cannot update');
    return;
  }

  const now = Date.now();
  const elapsedMs = now - startTime;

  const totalSeconds = Math.floor(elapsedMs / 1000);
  const hours = pad(Math.floor(totalSeconds / 3600));
  const minutes = pad(Math.floor((totalSeconds % 3600) / 60));
  const seconds = pad(totalSeconds % 60);

  const formattedTime = `${hours}:${minutes}:${seconds}`;

  console.log('Setting elapsedTime:', formattedTime);
  api.setState('elapsedTime', formattedTime);
}

if (!running) {
  const now = Date.now();

  api.setState('startTime', now);
  api.setState('elapsedTime', '00:00:00');
  api.setState('stopwatchRunning', true);
  running = true;

  if (api.state.intervalId) {
    helpers.timing.clearInterval(api.state.intervalId);
    api.setState('intervalId', null);
    console.log('Existing interval cleared before starting new one');
  }

  // Pass startTime directly here
  updateElapsedTime(now);

  const id = helpers.timing.setInterval(() => {
    updateElapsedTime(now);
  }, 1000);
  api.setState('intervalId', id);
  console.log('Interval started with id:', id);
```

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  } else {
    if (!api.state.intervalId) {
      // Use existing startTime from state, but be mindful it might still lag
      const storedStartTime = api.state.startTime || Date.now();
      const id = helpers.timing.setInterval(() => {
        updateElapsedTime(storedStartTime);
      }, 1000);
      api.setState('intervalId', id);
      console.log('Interval restarted with id:', id);
    }
  }
}
```

c. **[Apply** (適用)] を選択します。



d. [クライアントスクリプト] の横にある **[+]** を選択して、2 番目のスクリプトを追加します。

e. [スクリプト名] フィールドに「停止」と入力します。

f. 次のスクリプトをスクリプトフィールドに貼り付けます。

```
function handler({ api, helpers }) {
  console.log('Stop script running');

  if (api.state.stopwatchRunning === undefined) {
    // If state is not initialized yet, initialize it to avoid errors
    api.setState('stopwatchRunning', false);
    api.setState('elapsedTime', '00:00:00');
    api.setState('startTime', 0);
    api.setState('intervalId', null);
  }
```

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  if (api.state.stopwatchRunning) {
    api.setState('stopwatchRunning', false);
    if (api.state.intervalId) {
      helpers.timing.clearInterval(api.state.intervalId);
      api.setState('intervalId', null);
    }
  }
}
```

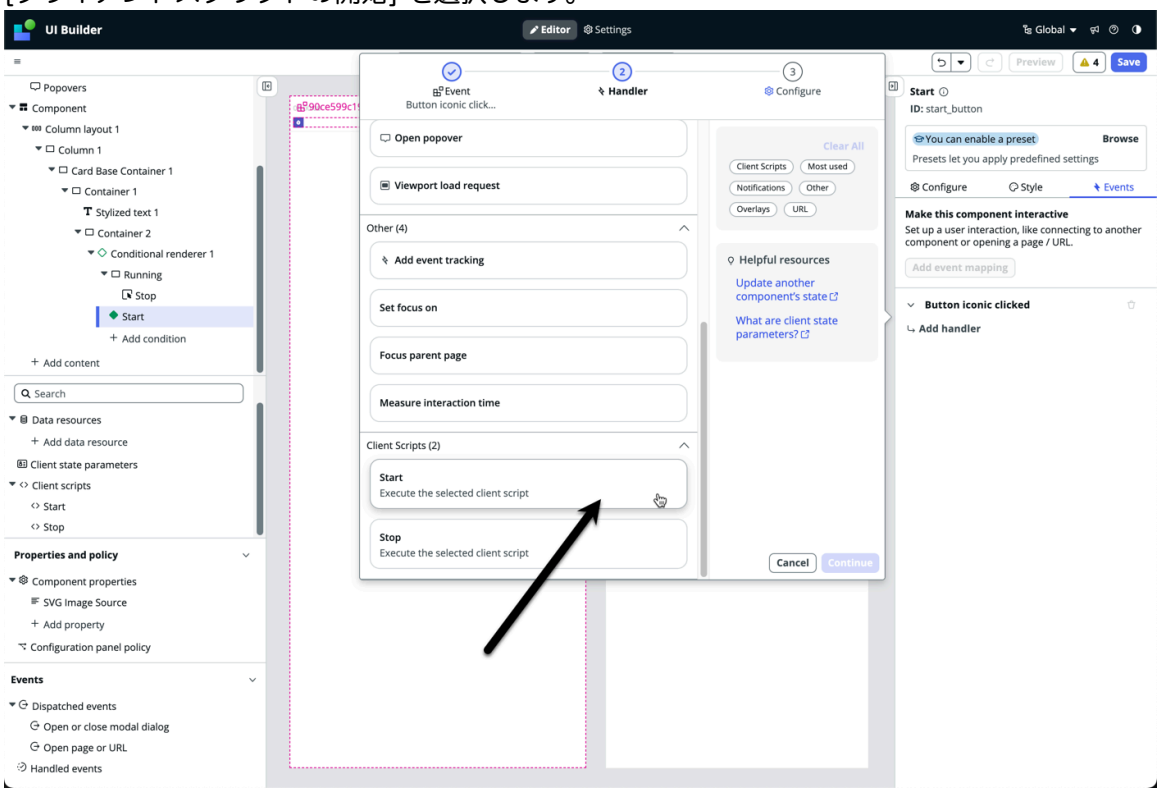
g. **[Apply** (適用)] を選択します。

h. **[Save** (保存)] を選択します。

16. 前の手順で作成したボタンにイベントハンドラーを追加します。

a. コンテンツツリーで [開始] ボタンを選択し、構成パネルで [イベント] タブを開きます。

b. [象徴的なボタンがクリックされました] で [ハンドラーの追加] を選択し、前の手順で作成した [クライアントスクリプトの開始] を選択します。



c. [続行] を選択し、[追加] を選択します。

d. コンテンツツリーで [停止] ボタンを選択し、構成パネルで [イベント] タブを開きます。

e. [ハンドラーの追加] を選択し、前の手順で作成した [クライアントを停止するスクリプト] を選択します。

f. [続行] を選択し、[追加] を選択します。

g. **[Save** (保存)] を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

17. [プレビュー] を選択して、構成されたコンポーネントをテストします。

タスクの結果
これで、カスタムコンポーネントが UI ビルダー ツールボックスで使用できるようになりました。

コンポーネントビルダーで継承されたコントローラーを使用したコンポーネントの構成を有効にする

コンポーネントがページリソースを継承する方法について説明します。

コンポーネントは、コンポーネントビルダーを使用して、コンポーネント内に直接、またはページから継承する方法の 2 つの方法でデータリソースを追加します。

直接構成

データリソースをコンポーネントに直接追加すると、データリソースはそのコンポーネント内に残ります。これらの内部データリソースは、コンポーネントがページに配置されているときは表示されず、アクセスできません。

継承

コンポーネントが配置されているページからデータリソースを継承するようにコンポーネントを構成できます。継承が有効になっている場合、コンポーネントは同じタイプのデータリソースをスキャンし、自動的に接続します。たとえば、フォームコントローラーを継承するように構成されたコンポーネントは、ページ上のフォームコントローラーを検索します。これにより、コンポーネントをさまざまなページコンテキストで使用し、毎回手動で設定することなく既存のデータリソースを活用できます。

継承用に構成されたコンポーネントをページに配置すると、継承動作は次のように機能します。

一致するリソースが見つかりました	動作
一致項目は見つかりませんでした	コンポーネントの初期構成を使用して、同じタイプの新しいリソースを作成します
1 個	そのリソースに接続します
複数	そのリソースの最初のインスタンスに接続します

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

継承されたコントローラーを持つコンポーネントの構成を有効にする

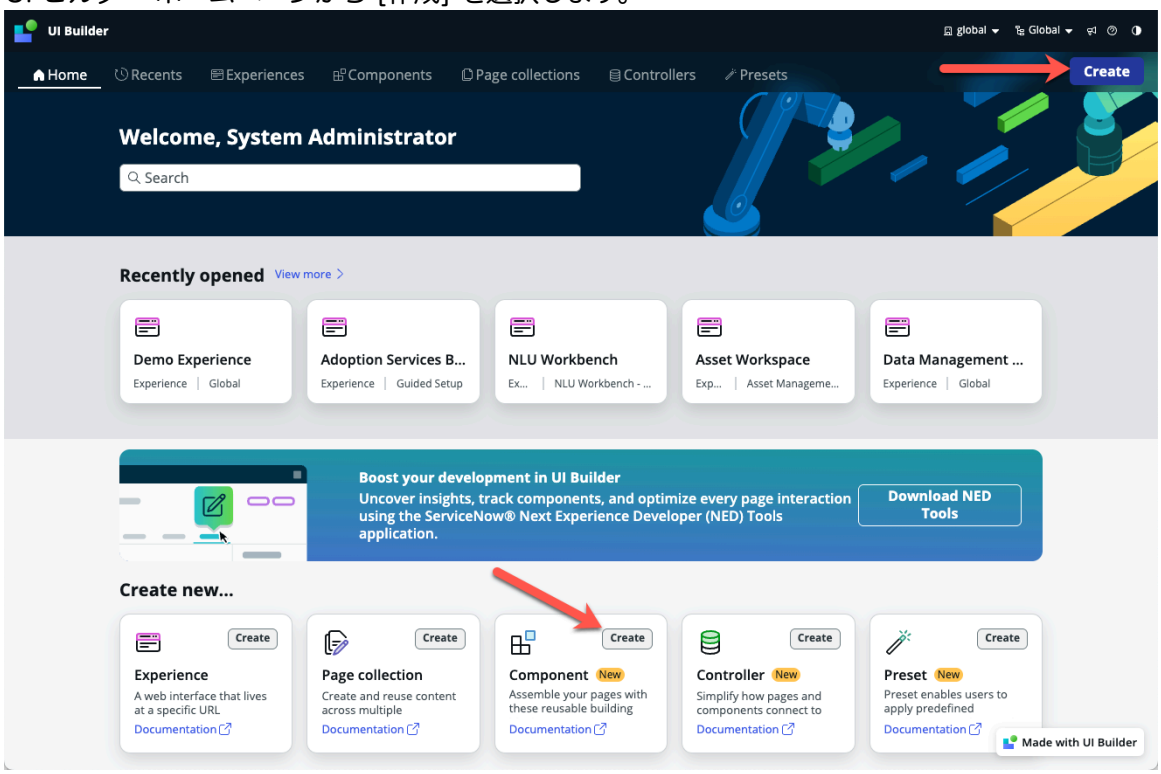
ページに配置されたときにコントローラーとデータリソースを自動的に継承するようにコンポーネントを構成します。

始める前に
必要なロール：ui_builder_admin

このタスクについて
このコンポーネントビルダーの例では、テキストコンポーネントを作成し、リストコントローラーを継承するように構成します。次に、コンポーネントがリストコントローラーに接続して適切なテーブル名を表示するリストページに配置します。

手順

1. 移動先 すべて > **Now Experience** フレームワーク > **UI** ビルダー.
2. UI ビルダー ホームページから [作成] を選択します。



3. [コンポーネント] を選択します。
4. フォームで、次の値を入力します。

コンポーネントプロパティ

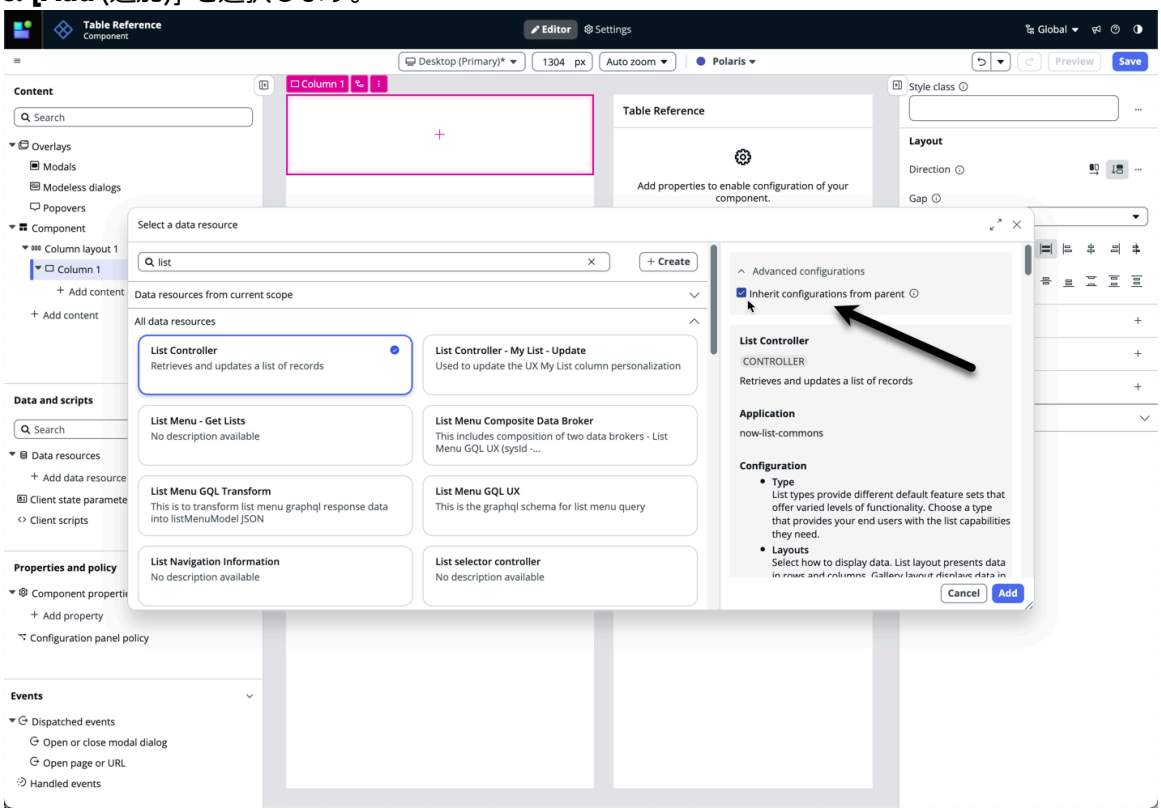
フィールド	値
名前	テーブル参照
カテゴリ	コンテンツ
説明	現在のページのテーブルの名前を表示するテキストコンポーネント
アイコン	(デフォルト)

5. **[Create** (作成)] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

6. コンポーネントにデータリソースを追加します。
   a. データリソースドロワーで、**[+** データリソースを追加 **(Add data resource)]** を選択します。
   b. 左側で、 [コントローラーのリスト] を選択します。
   c. 右側の [詳細構成] を選択してセクションを展開します。
   d. [親から構成を継承] オプションを選択して、プロパティを有効にします。
   e. **[Add** (追加)] を選択します。



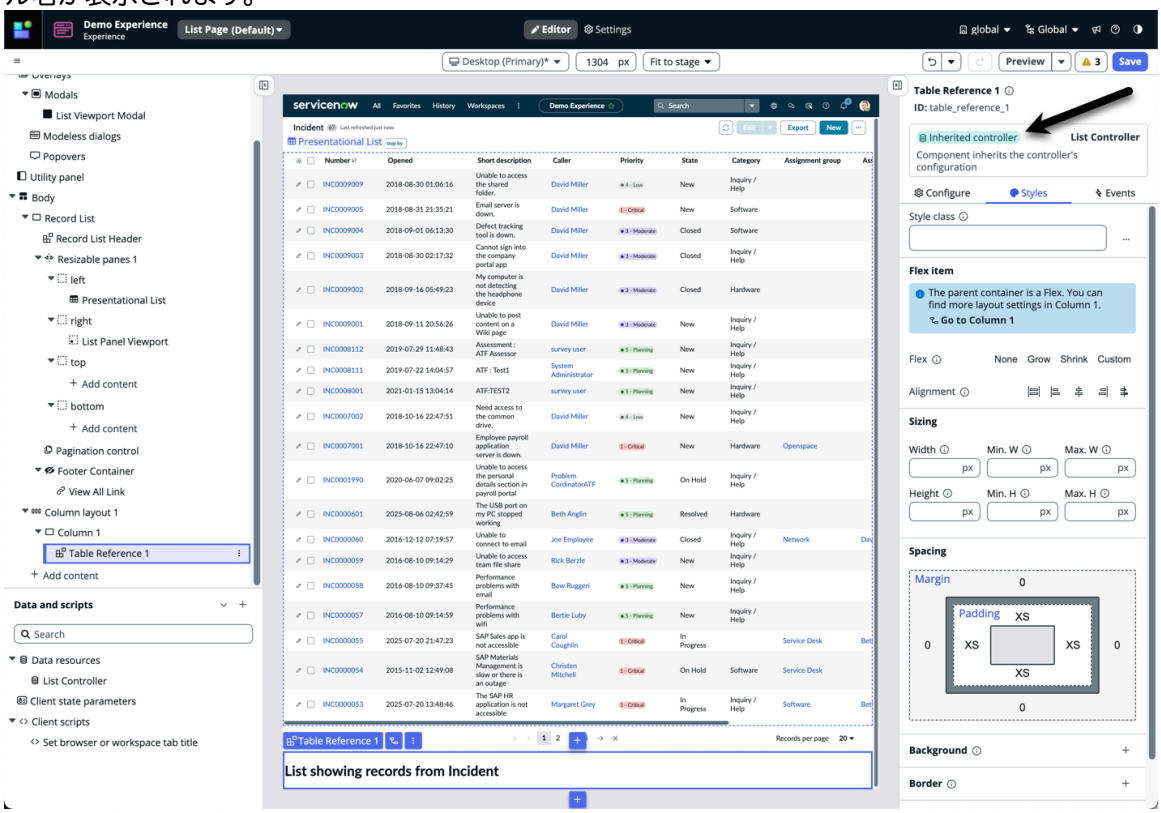
7. コンポーネントを作成します。
   a. コンテンツツリーで **[+** コンテンツを追加] を選択します。
   b. [単一列] を選択し、[追加] を選択します。
   c. コンテンツ ツリーで、列 **1** の下にある **[+** コンテンツの追加] を選択します。
   d. 定型テキストを選択し、[追加] を選択します。
   e. [キャンセル] を選択して、プリセット ウィンドウを閉じます。
8. リストコントローラーを使用するようにコンポーネントを設定します。
   a. 構成パネルで、[テキスト] にカーソルを合わせ、[データをバインド] アイコンを選択します。
   b. 左側で [数式] タブを選択し、[連結] をダブルクリックします。
   c. 上部のセクションで、 **value1** をダブルクリックしてフィールドを編集し、「 List showing records from」と入力します。
   d. 値をダブルクリックしてフィールドを編集し、「@data.list_controller_1.tableLabel」と入力します。
   e. **[Apply** (適用)] を選択します。
9. [保存] を選択して作業を保存します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

これで、カスタムコンポーネントがツールボックスで利用可能になり、ページで使用できるようになりました。

10. コンポーネントをリストページに配置すると、リストコントローラーが自動的に継承され、テーブル名が表示されます。



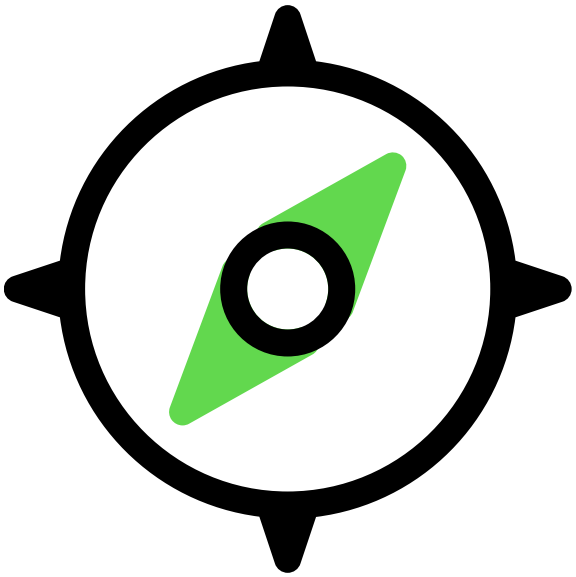
UI 生成

UI 生成に ServiceNow® Now Assist を使用すると、自然言語を使用して必要なものを記述し、エクスペリエンスをすばやく作成できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

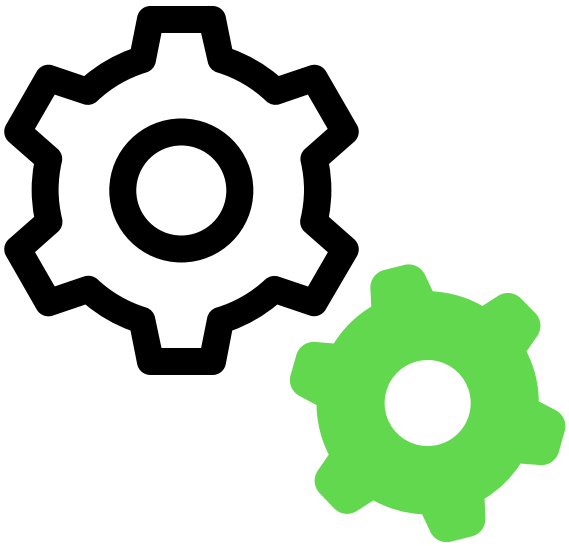
開始

UI 生成の詳細



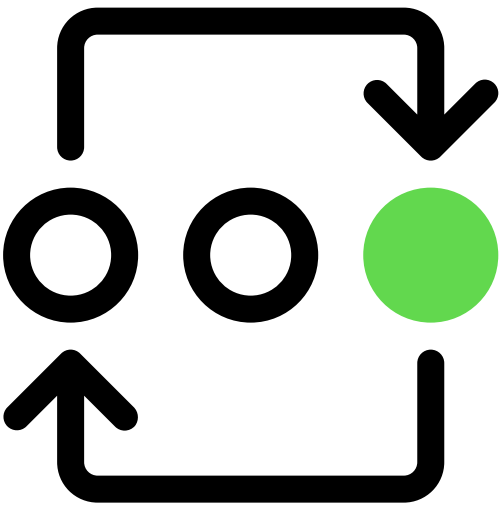
AI の力で UI エクスペリエンスを作成する方法を学びます。

UI 生成の構成



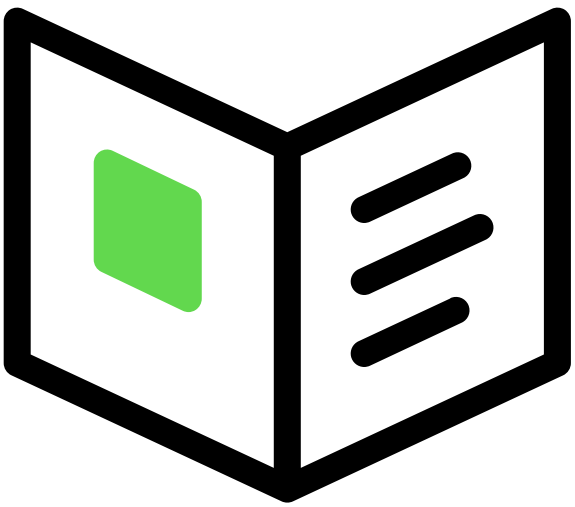
UI 生成を構成します。

UI 生成の使用



自然言語で UI をすばやく生成します。

参照



プロパティ、ロールなどの詳細を取得します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

重要:

- 国内の SKU をお持ちのお客様は、すべてのモデルプロバイダーを利用できるわけではなく、一部の Now Assist 製品/機能は現在、国内のお客様はご利用いただけません。詳細については、Now Support ナレッジベースの KB1584492 記事を参照してください。将来のリリースでモデルプロバイダーの可用性の更新を必ず確認してください。
- 現在、 Now Assist 製品/機能の一部は、FedRAMP、NSC DOD IL5、オーストラリアの IRAP で保護されたデータセンターのお客様、セルフホスト型のお客様、またはその他の制限された環境ではご利用いただけません。詳細については、Now Support ナレッジベース記事「KB0743854」を参照してください。将来のリリースで可用性の更新を必ず確認してください。
- 現在、一部の Now Assist 製品/機能は一部の地域の顧客のみが利用できます。将来のリリースで可用性の更新を必ず確認してください。

トラブルシューティングとサポート

- ServiceNow コミュニティ
- 既知のエラーポータルで既知のエラー記事を検索する
- 連絡先 カスタマーサービス & サポート

AI の制限事項

このアプリケーションは、データ内のパターンに基づいて予測を生成する急速に進化している研究分野である人工知能 (AI) と機械学習を使用しています。その結果、このアプリケーションは必ずしも正確、完全、または適切な情報を生成するとは限りません。さらに、このアプリケーションがユースケースに合わせて完全にトレーニングまたはテストされているという保証はありません。これらの問題を軽減するために、ユースケースに対する正確性、害、および適切性について、このアプリケーションの使用をテストおよび評価し、出力を人間が監視し、意思決定の目的で AI で生成された出力のみに依存しないようにするのは、ユーザーの責任です。これは、医療、ファイナンス、法務、雇用、セキュリティ、インフラストラクチャなど、結果が影響を与える分野にこのアプリケーションを展開することを選択した場合に特に重要です。ServiceNow の AI 利用規定に従うことに同意するものとします。このポリシーは ServiceNow によって更新される場合があります。

データ処理

このアプリケーションでは、ServiceNow 顧客の個々のインスタンスから一元化された ServiceNow 環境にデータを転送する必要があります。この環境は、インスタンスが存在するデータセンターとは異なるデータセンターリージョンに配置されている可能性があり、場合によっては Microsoft Azure などのサードパーティクラウドプロバイダーにも転送されます。このデータは、コアコンプライアンスポータルから利用可能なポリシーを含む、ServiceNow の内部ポリシーと手順に従って処理されます。

データコレクション

ServiceNow は、このアプリケーションの入力、出力を収集して使用し、出力を編集して、ServiceNow モデルや AI 製品などの ServiceNow テクノロジーを開発および改善します。さらに、このアプリケーションは ：コード生成用の Now Assist が呼び出されるスクリプト (および関連するスクリプトレコード) に関する情報。 お客様は、「Now Assistオプトアウトに関するページ」の説明に従って、いつでも将来のデータコレクションをオプトアウトできます。

詳細については、 Now Assist ドキュメント.

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

UI 生成の詳細

AI で生成された UI エクスペリエンスが、 ServiceNow AI Platformに基づいて構築する開発者にどのように役立つかについて説明します。

UI 生成 の概要

クリエーターの Now Assist UI 生成スキルをアクティブ化します。UI 生成では、UI エクスペリエンスを説明するテキストを入力すると、AI を活用した Now Assist で開始できます。さまざまなレベルの経験を持つユーザーが、UI 生成を使用することで、エクスペリエンスのビルドをより効率的に開始できます。

UI 生成 ワークフロー

UI エクスペリエンスを生成するには、ユーザーが操作するテーブル、チャートタイプ、およびナビゲーションを記述します。最良の結果を得るには、できるだけ多くの詳細を含めます。

1. 開発者は、目的のエクスペリエンスを記述し、UI 生成をトリガーします。
2. 開発者は、AI で生成されたエクスペリエンスをレビューし、承認または却下します。
   - 開発者が承認すると、エクスペリエンスが保存され、開発者はエクスペリエンスの操作を開始できます。
   - 開発者が却下した場合、エクスペリエンスは保存されず、開発者はエクスペリエンスの説明を変更して目的の結果を得ることができます。

UI 生成のメリット

利益	機能	ユーザー
UI エクスペリエンスの品質を向上させ、反復的なエクスペリエンス構築タスクを自動化し、エクスペリエンス構造の検索や呼び出しにかかる時間を短縮します。	UI 生成	開発者
AI が生成したエクスペリエンスを特定する		開発者、アドミニストレーター

一般的なガイドライン UI 生成

エクスペリエンスを向上させるには、UI 生成に関するこれらの一般的なガイドラインを使用してください。

プロンプトを記述する

明確で具体的、かつ簡潔なプロンプトを作成する

ユーザーが作業するテーブルとナビゲーションについて説明します。最良の結果を得るには、できるだけ多くの詳細を含めます。

さまざまなプロンプトを試す

改善と試行錯誤を繰り返すにつれて、Now LLM サービス はこのフィードバックを利用して学習と改善を行います。

- 目的のエクスペリエンスに合わせて特定のタイトルを追加してみてください。
- ナビゲーションの詳細を含めてみてください。
- 変更や仕様を満たすプロンプトを生成するための指示を含めて、プロンプトを追跡します。この追跡によって、比較分析のために過去の結果を簡単に再生成できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

UI 生成のプロンプトの例

強力なプロンプト	弱いプロンプト	メモ
優先度別にインシデントを追跡するのに役立つ、「インシデント管理」というタブ付きエクスペリエンスを作成します。	インシデントを追跡します。	エクスペリエンスタイトルの詳細が含まれます。
円グラフを使用して変更要求をステータス別にグループ化する、「変更要求の追跡」と呼ばれるブレッドクラムスタイルのエクスペリエンスを作成します。	変更要求の円グラフ。	ナビゲーションの詳細が含まれます。
タブ付きエクスペリエンスを作成して、ユーザーが要求アイテムの作成日別の傾向を折れ線グラフで確認できるようにします。	要求アイテム。	チャートの詳細が含まれます。
アサイン先別にグループ化された棒グラフでタスクを表示する棒グラフを使用して、ブレッドクラムナビゲーションの「タスクトラッカー」エクスペリエンスを作成します。	タスクトラッカーの棒グラフ。	詳細別にグループ化されます。

生成されたエクスペリエンスのレビュー

レビューエクスペリエンス

厳密で詳細なレビューを実施して、AI で生成されたエクスペリエンスの精度、効率性、基準への準拠度を判断します。

テストエクスペリエンス

制御された環境でテストケースに対して実行してエクスペリエンスを検証し、要件に従って機能することを確認します。

UI 生成の構成

UI 生成を構成してインストールします。

UI 生成のインストール

ServiceNow® Store から ServiceNow® クリエーターの Now Assist アプリケーションをインストールして、UI 生成のNow Assistを取得します。

始める前に

- 次のものをレビュー クリエーターの Now Assist 依存関係、ライセンスやサブスクリプションの要件、およびリリースの互換性については、 ServiceNow Store にアプリケーションリストが表示されます。 クリエーターの Now Assist 、UI 生成アプリケーション用の Now Assist がインストールされます。

必要なロール：admin

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

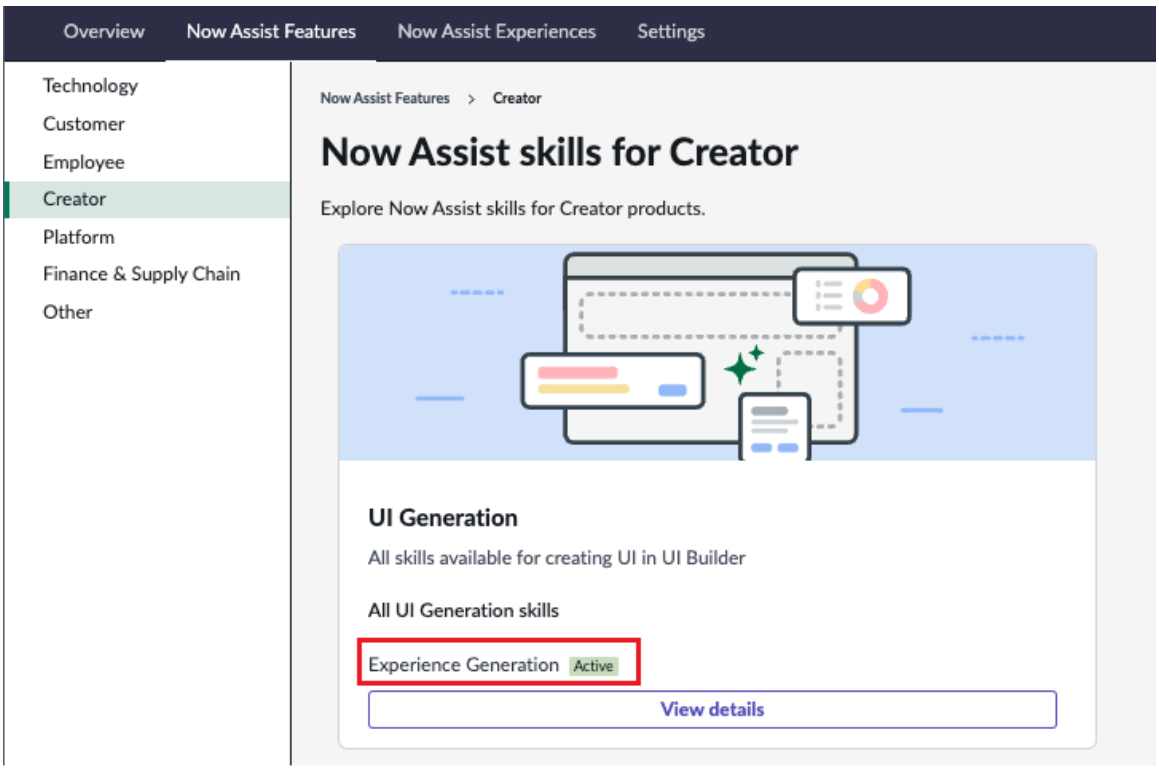
手順

1. ServiceNow Store の クリエーターの Now Assist アプリケーションページで、[アプリを要求] を選択します。
2. 承認が付与されたら、インスタンスで すべて > システムアプリケーション > 利用可能なすべてのアプリケーション > すべて.
3. 検索バーを使用して、クリエーターの Now Assist アプリケーション (sn_now_creator) を検索します。
4. **[Install** (インストール)] を選択します。
5. クリエーターの Now Assist がインストールされていることを確認します。

   a. 移動先 すべて > *Now Assist* アドミン > 機能.

   b. ワークフローリストで、[作成者] を選択します。

   c. UI 生成カードで、エクスペリエンスの生成スキルがアクティブであることを確認します。



Now Assist アドミン の詳細については、「Now Assist」を参照してください。

次のタスク
UI 生成を使用する各ユーザーに now.assist.creator ロールを付与します。

関連情報

Install Now Assist for Creator

UI 生成の使用

Now Assistで自然言語を使用して、複数ページのエクスペリエンスをすばやく生成します。

UI の生成を有効にすると、AI で生成されたエクスペリエンスを作成するオプション (✨ が UI ビルダー ダイアログに表示されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

UI の生成を使用するには、開発者に now.assist.creator ロールがアサインされている必要があります。

エクスペリエンス生成

エクスペリエンスの生成を使用して、 Now Assistで自然言語を使用して複数ページのエクスペリエンスを作成します。

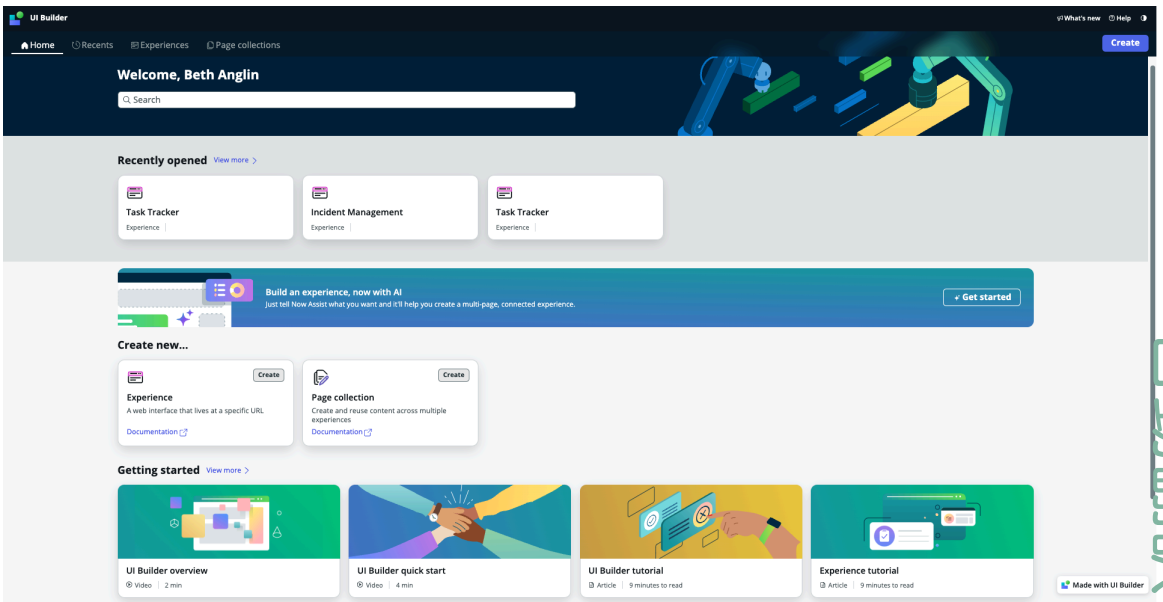
始める前に

必要なロール：now.assist.creator

手順

1. 移動先 すべて > **Now Experience** フレームワーク > **UI** ビルダー.

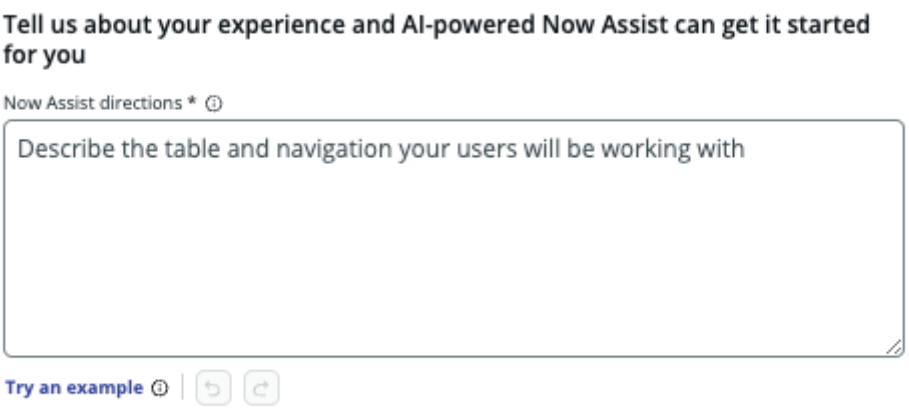
UI ビルダー ホームページ



2. UI ビルダー のホームページから [作成] を選択します。

3. **[AI-Generated experience (AI** 生成エクスペリエンス)] を選択します。

[エクスペリエンスを作成] フォーム



© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

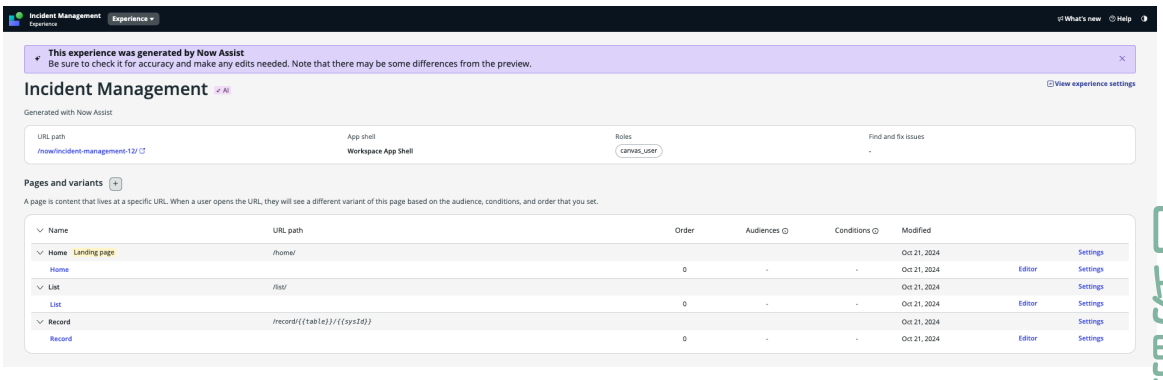
4. [エクスペリエンスを作成] フォームで、生成するエクスペリエンスの説明を入力します。

   ヒント:
   [例を試す] を選択して、さまざまなエクスペリエンスの例を挿入し、どのような適切な Now Assist 指示が含まれているかを確認します。

5. **[Generate preview** (プレビューを生成)]を選択します。
6. エクスペリエンスを確認し、次のいずれかの手順を実行します。
   - エクスペリエンスの作成を続行するには、[エクスペリエンスを保存して編集] を選択します。
   - 新しいエクスペリエンスを作成するには、説明を変更して [プレビューを再生成] を選択します。

   [エクスペリエンスの保存と編集] を選択すると、エクスペリエンス設定ページに UI がNow Assistで生成されたことが示されます。
7. 新しいエクスペリエンスのメインページを確認します。

新しいエクスペリエンスのメインページ



注:
画面には、新しいエクスペリエンスの名前に加えて、URL、アプリシェル、およびエクスペリエンスを表示できるユーザーのロールが含まれています。エクスペリエンス用に作成したページまたはバリアントは、[ページとバリアント] セクションに表示されます。

UI 生成のリファレンス

参照トピックには、構成プロパティ、ロールなどに関するその他の情報が記載されています。

UI 生成ロール

UI 生成で使用するために、次のロールがインストールされます。

ユーザーごとのサブスクリプション管理の詳細については、「Managing per-user subscriptions in Subscription Management」を参照し、アカウント担当者にお問い合わせください。

Now Assist Creator [now.assist.creator]

AI を利用した UI 生成を使用してエクスペリエンスを作成します。

グループ

このロールはデフォルトでどのグループにもアサインされません。

ロールを含む

このロールに含まれるロールはありません。

昇格

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

このロールは昇格したロールではありません。

特別な考慮事項

なし

UI 生成プロパティ

いくつかの詳細プロパティを使用して、インスタンスで UI 生成がどのように機能するかを調整できます。

注:
システムプロパティ [sys_properties] テーブルを開くには、ナビゲーションフィルターに「sys_properties.list」と入力します。

アプリケーションのテストとデバッグ

アプリケーションがビジネス要件を満たしていることを確認します。テストでは、レコード操作 (作成、読み取り、更新、削除など)、ユーザーインターフェイス要素 (ビューや UI ポリシーなど)、ランタイム操作 (ビジネスルールなど)、およびイベントスクリプトアクションを対象とする必要があります。

コア UI のテストとデバッグ

自動テストフレームワーク (ATF) (ATF)

自動テストを作成して実行し、インスタンスが変更後も正常に動作することを確認します。失敗したテストの結果を確認して、失敗の原因となった変更と、レビューする必要がある変更を特定します。

Debugging scripts

セッションログと ServiceNow AI Platform デバッグツール (ウォークスルースクリプトデバッガーや UI に表示されるエラーメッセージなど) を使用して、スクリプトをデバッグします。

Script Debugger and Session Log

スクリプトデバッガ を使用して、script_debugger ロールを持つユーザーはサーバー側の JavaScript をデバッグできます。また、セッションログ を使用して、必要なログを表示およびダウンロードできます。

Script Tracer and debugging scripts

スクリプトトレーサーを使用して、デバッグ検索をフィルタリングし、スクリプトの問題をすばやく絞り込みます。広範囲に検索するのではなく、スクリプトの特定の行を見つけることで、時間を節約し、生産性を向上させることが可能です。

関連 ServiceNow アプリケーションと機能

テスト管理 2.0®

ServiceNow のテスト管理 2.0 アプリケーションは、テストプロセスの管理を簡素化することで、エラーを少なく抑えながら効率よくソフトウェア製品を提供できるようにします。テストの複数のバージョンを作成して、Agile Development 2.0 と統合することができます。

Impersonate a user

アドミニストレーターは、テスト目的で他の認証されたユーザーの代理操作を行い、代理操作ログを表示します。別のユーザーの代理操作を行う場合、アドミニストレーターは、そのユーザーがシステム内でアクセスできるメニューやモジュールなどとまったく同じものにアクセスできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動テストフレームワーク (ATF) (ATF)

自動テストフレームワーク (ATF) (ATF) を使用すると、自動テストを作成して実行し、変更後にインスタンスが機能することを確認できます。たとえば、アップグレード後、アプリケーション開発中、または更新セットを使用してインスタンス構成を展開する場合です。失敗したテストの結果を確認して、失敗の原因となった変更と、レビューする必要がある変更を特定します。

注:
デフォルトでは、自動テストを実行するためのシステムプロパティは無効になっており、本番システムで誤って実行されないようになっています。データ破損や機能停止を回避するために、テストは開発インスタンス、テストインスタンス、その他の非本番インスタンスでのみ実行してください。

開発者トレーニングについては、次を参照してください。 を使用する 自動テストフレームワーク (ATF) ServiceNow 開発者サイト。

注:
ServiceNow Creator Pro Plus の テスト生成 スキルを使用すると、自動テストを簡単に作成できます。詳細については テスト生成 ドキュメントを参照してください。

開始

探索	**ATF** 用ヘッドレスブラウザ	使用方法
自動テストフレームワーク (ATF) の詳細	ATF 用ヘッドレスブラウザ	成功した ATF テストをビルドして実行する

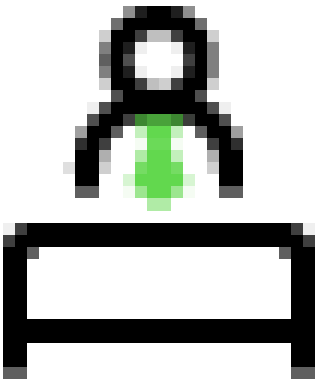
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ATF テストとテスト

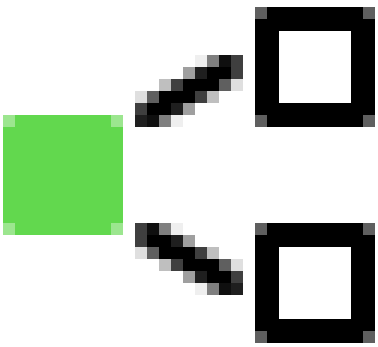
ATF テストのタイプと
テスト方法を確認する

管理



ATF の管理

テストステップのカテゴリ



ATF テストステップ
カテゴリを掘り下げる

参照

ATF に関するそ
の他の情報を学ぶ

トラブルシューティングとサポート

- に関する質問または回答 自動テストフレームワーク (ATF) の ServiceNow コミュニティ
- 既知のエラーポータルで既知のエラー記事を検索する

自動テストフレームワーク **(ATF)** の探索

この 自動テストフレームワーク (ATF) は、変更後に自動テストを作成して実行できるようにすることで、インスタンスの完全性を保証するのに役立ちます。

福利厚生

自動テストフレームワーク (ATF) は、変更マネージャーおよび開発者にこれらのメリットを提供します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 手動テストを自動テストに置き換えることで、アップグレードと開発時間を短縮します。
- テストを一度設計し、さまざまなコンテキストおよびさまざまなテストデータセットでそれらを再利用します。
- テストデータと各テスト実行後に行われた変更をロールバックすることで、テストインスタンスをクリーンに保ちます。
- テストスイートを作成して、テストをひとまとまりの数量に整理し、実行します。
- テストスイートの実行をスケジュールします。
- 技術者以外のテストデザイナーが標準 ServiceNow AI Platform 機能のテストを作成できるようにします。
- クイックスタートテストとテストスイートをコピーして、テスト設計時間を短縮します。
- テスト範囲を拡大するためのカスタムテストステップを作成します。

自動テストフレームワーク (ATF) レコードとコンポーネント

自動テストフレームワーク (ATF) は、これらのレコードとコンポーネントで構成されています。

テスト

テストは、機能の何らかの機能性を検証する自動化された関連テストステップの論理的なグループです。各テストはテスト [sys_atf_test] テーブルのレコードです。テストデザイナーは通常、1 つの機能または関連機能のグループを検証するためのテストを作成します。たとえば、CSM：製品ケースの作成テストは、製品ケースレコードの作成を検証します。各テストには、テストステップとテスト結果の関連リストがあります。

テストスイート

テストスイートは、特定の順序で実行されるテストの集まりです。テストデザイナーは通常、アプリケーションまたは関連機能のグループをテストするためのテストスイートを作成します。たとえば、CSM：ケース管理テストスイートは、カスタマーサービス管理 (CSM) アプリケーションの機能を検証します。テスト設計者は、テストスイートの実行および必要なクライアントテストランナーの起動をスケジュールできます。

クイックスタートテスト

クイックスタートテストとは、アプリケーションのデモデータと共にインストールされるテストやテストスイートのことです。クイックスタートテストをテンプレートとして使用して、独自のテストとテストスイートをビルドします。詳細については、クイックスタートテストの概要に関するこちらの動画を参照してください。

テストステップ

テストステップは、ステップを実行するために必要な実行時テストデータとステップ構成を組み合わせます。テストステップは常に、テストで実行される順序を指定します。テストステップには、ステップ結果の独自の関連リストがあります。各テストステップは、テストアクション、ステップ構成、および実行順序を指定するテストステップ [sys_atf_step] テーブル内のレコードです。テスト設計者は、機能を検証するテストにテストステップを追加します。たとえば、CSM：製品ケースの作成テストの最初のテストステップは、ケース管理の権限が与えられているデモユーザー John Jason に偽装することです。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステップ構成

ステップ構成は、自動テストフレームワーク (ATF) が実行できる特定のテストアクションです。ステップ構成にはランタイムテストデータは含まれず、テスト設計者がそれらをテストステップの一部として追加するときにのみ実行できます。各ステップ構成は、ステップ構成の実行に使用される入力変数と他のステップ構成で使用可能な出力変数を指定するテストステップ設定 [sys_atf_step_config] テーブル内のレコードです。たとえば、偽装ステップ構成では、テストは別のユーザーに偽装できます。

自動テストフレームワーク (ATF) は、ほとんどのユースケースについてのステップ構成のデフォルトリストを提供し、テスト設計者が独自のカスタムステップ構成を作成できるようにします。

ステップ変数

ステップ変数は、ステップ固有の入力と出力の値を保存します。たとえば、新しいフォームを開くステップ構成には、テーブルおよびフォームのビュー名を指定するための変数があります。ステップ変数を使用して、特定のテストステップターゲットを指定したり、他のテストステップに情報を渡したりします。

テスト結果

テスト結果は、テストまたはテストスイートの実行の出力を保存します。各テスト結果は、テスト実行の期間、テストのステータス、および利用可能な場合はスクリーンショットを指定するテスト結果 [sys_atf_test_result] テーブル内のレコードです。テスト結果を使用して不合格のテストまたは実行されていないテストを識別し、テストログを使用してテスト結果に関する詳細を確認します。デフォルトでは、テスト結果を無期限に保持するオプションを有効にしない限り、システムは作成後 30 日でテストおよびテストスイートの結果を削除します。

ステップ結果

ステップ結果は、テストステップの実行の出力を保存します。各ステップ結果は、テストステップのステータス、出力の要約、および、テストステップによって生成された出力の完全なログを指定する、ステップ結果 [sys_atf_test_result_step] テーブル内のレコードです。ステップ結果を使用して、レビューが必要な障害と機能を識別します。

アサーションタイプ

[アサーションタイプ] フィールドは、テストに合格するために満たす必要がある条件を指定します。テスト設計者はアサーションを使用して、操作の結果が期待されるものか期待しないものかを指定できます。たとえば、レコードを更新できないことをテストしたいとします。この場合は、レコード挿入テストステップを追加し、[アサーションタイプ] フィールドを [レコードが挿入されませんでした] に設定します。レコードの挿入が失敗したときにテストに合格します。

[アサーションタイプ] フィールドがあるステップを含むいくつかのテストステップカテゴリには以下が含まれます。

- サーバーカテゴリ：どの CRUD 操作によってテストに合格または不合格になるかをアサートします。
- カスタム UI カテゴリ：どのコンポーネント状態によってテストに合格または不合格になるか、および可視テキストによってテストに合格または不合格になるかどうかをアサートします。
- サービスポータル のフォームカテゴリ：検証エラーのためにブラウザーでフォームがキャンセルされたのか、それともフォームがサーバーに正常に送信されたためテストに合格したのかをアサートします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クライアントテストランナー

クライアントテストランナーは、ServiceNow AI Platform ユーザーインターフェイス内のクライアント側のテストステップを実行するブラウザータブです。クライアントテストランナーが機能するにはブラウザータブが必要です。テストを実行するときにクライアントテストランナーが利用できない場合、システムはユーザーがクライアントテストランナーを 1 つ開くように求めます。テスターは、手動でクライアントテストランナーを起動するか、または既存のクライアントテストランナーを選択することができます。テスト設計者は、テストスイートの実行をスケジュールするときにクライアントテストランナーの開始をスケジュールできます。

ユーザーロール

自動テストフレームワーク (ATF) 権限を定義するロールを割り当てます。

ロールタイトル [名前]	ロールの説明
atf_test_admin	自動テストフレームワーク (ATF) プロパティを作成または編集します。次の権限があります： • テストページの表示 • テストの作成/編集/削除 • テスト ステップの作成/編集/削除 • ステップ設定ページの表示 • テスト ランナーページの表示 • テストスイートの結果、テスト結果、結果アイテムのページの表示 • ユーザーテストの実行 • テストスイートの表示、作成、編集、削除、実行 • ステップ設定レコードの作成/編集 • 自動テストフレームワーク (ATF) プロパティの作成/編集
atf_test_designer	自動テストフレームワーク (ATF) のプロパティを表示するだけです (プロパティの作成および編集はできません)。次の権限があります： • テストページの表示 • テストの作成/編集/削除 • テスト ステップの作成/編集/削除 • ステップ設定ページの表示 • テスト ランナーページの表示 • テストスイートの結果、テスト結果、結果アイテムのページの表示 • ユーザーテストの実行 • テストスイートの表示、作成、編集、削除、実行 • 自動テストフレームワーク (ATF) のプロパティの表示

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ロールタイトル [名前]	ロールの説明
atf_ws_designer	認証を必要とする REST エンドポイントに必要なベーシック認証プロファイルを表示または設定します。詳細については、「REST カテゴリ」を参照してください。

ATF は Next Experience の次の要素をサポートしていませんが、将来のリリースでこれらの機能のサポートが予定されています。

- UI ビルダーでビルドされたページ (リストとフォームコンポーネントを含むページを含む)。
- ランディングページ

注:
ATF は、クラシック環境 (クラシックリストやフォームなど) を含むコア UI を引き続きサポートします。

自動テストフレームワーク **(ATF)** を使い始める

自動テストフレームワーク (ATF) にまだ慣れていない場合は、この概要を読んで、このフレームワークが何を実行できるかを理解してください。次に、チュートリアルにしたがって、最も基本的なATF機能を使用するテストを作成して実行します。基本に慣れたら、ATFが提供するより高度な機能を試してみます。

ATF 機能は、インスタンスのテスト方法に柔軟性をもたらします。

テストステップ構成カテゴリ

カテゴリ	説明
サービスポータルのサービスカタログ	サービスポータル でカタログアイテムのエンドツーエンドテストを実行します。 • レコードプロデューサ、カタログアイテム、または注文ガイドを開きます。 • 変数の値とカタログアイテムの数量を設定します。 • 注文ガイドに含まれている変数値、状態、価格、およびアイテムを検証します。 • 注文ガイドで移動します。 • 注文ガイドでカタログアイテムを開くか、または切り替えます。 • アイテムまたは注文ガイドをカートに追加します。 • カタログアイテムまたは注文ガイドを注文します。 • レコードプロデューサを送信します。
アプリケーションナビゲーター	ナビゲーション機能を確認するためのテストを作成します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

カテゴリ	説明
	• アプリケーションメニューが左側のナビゲーションバーに表示されていることを確認します。 • アプリケーションモジュールが左側のナビゲーションバーに表示されていることを確認します。 • ユーザーが左側のナビゲーションバーでモジュールをクリックしたかのように、モジュールに移動します。
カスタム UI	スクリプティングなしでユーザーアクションを模倣する単純なテストを作成します。 • コンポーネント値を設定します。 • 指定されたテキストがページ上にあるか、またはないかをアサートします。 • コンポーネント値を検証します。 • コンポーネントをクリックします。 • コンポーネントの状態を検証します (読み取り専用または非読み取り専用)。
フォーム	フォームのテストを作成します。 • 新しいフォームまたは既存のレコードを開きます。 • フィールド値を設定します。 • フィールド値またはフィールド状態 (必須、任意、読み取り専用、非読み取り専用、表示、非表示など) を検証します。 • UI アクションが表示されているかどうかを検証します。 • モーダルページのボタンをクリックします。 • UI アクションをクリックします。 • フォームを送信します。
サービスカタログ	カタログアイテムのエンドツーエンドテストを実行します。 • カタログアイテムまたはレコードプロデューサのオープン • カタログアイテムの検索 • 変数の値とカタログアイテムの数量を設定します。 • 変数値、状態、および価格を検証します。 • 買い物かごにアイテムを追加します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

カテゴリ	説明
	• カタログアイテムを注文します。 • レコードプロデューサを送信します。
サービスポータルのフォーム	サービスポータル でフォームのテストを作成します。 • フォームを開きます。 • フィールド値を設定します。 • フィールド値またはフィールド状態 (必須、任意、読み取り専用、非読み取り専用、表示、非表示など) を検証します。 • UI アクションが表示されているかどうかを検証します。 • UI アクションをクリックします。 • フォームを送信します。
REST	インバウンド REST 要求を作成して送信し、対応を検証します。 • インスタンス上の REST エンドポイントのテスト • 以前のテストステップで作成されたレコードまたはインスタンスに既に存在したレコードの検索、更新、または削除だけでなく、REST 要求を使用してレコードを作成します。 • 応答ステータスコード、応答ヘッダー、応答時間、および応答ペイロードの検証
サーバー	以下を含む、より複雑な操作を実行します。 • Jasmine テストフレームワークを使用したテストを含め、JavaScript を使用して単体テストの実行 • ビジネスルール、スクリプトインクルード、その他のスクリプトのテスト • 定義したデータを操作するテストの作成

出力変数

多くのテスト ステップでは出力変数が戻るので、その値を後のステップへの入力として使用できます。たとえば、出力変数を使用すると、次のタスクを実行できます。

- 以前に挿入したレコードに対するサーバー側の確認を実行します。
- あるユーザーとしてレコードを作成した後、別のユーザーとしてのそのフォームを再オープンします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

カスタムテストステップ構成

自動テストフレームワーク (ATF) に組み込まれたステップに加えて、カスタムのテストステップ構成を作成できます。これらのカスタム ステップでは、入力変数を取込み、定義した出力変数を返せます。

> **注:**
> サーバー上で実行されるカスタムテスト ステップのみを定義できます。自動テストフレームワーク (ATF) は、ブラウザーで実行されるカスタムステップ構成の作成をサポートしていません。

データ保存

自動テストフレームワーク (ATF) は、テストの実行によって作成されたすべてのデータを自動的に追跡して削除し、テスト後に自動的に変更をロールバックします。

テストスイート

テストスイートを使用すると、指定した順序で一連のテストを実行できます。さらに、テストスイートは階層化することができ、スイートは他のスイートにネストします。テストスイートを実行するタイミングを決定するスケジュールに、テストスイートを関連付けることができます。

最初の自動テストをビルドして実行する

これらのステップバイステップの手順に従って、最初の自動テストを作成し実行します。このテストでは、新しいユーザーレコードが作成されます。

- 自動テストフレームワーク (ATF) (com.glide.automated_testing_framework) プラグインを有効にする必要があります。zBoot またはアップグレードではデフォルトで有効になっています。
- 必要であれば、テスト実行を有効にします。手順については、「自動テストフレームワーク (ATF) テストの実行を有効または無効にする」を参照してください。

  > **注:**
  > デフォルトでは、自動テストを実行するためのシステムプロパティは、実稼働システムでは実行できないように無効になっています。データの破損や機能停止を避けるため、開発、テスト、および他の非本番インスタンスでのみテストを実行してください。

- 必要なロール：admin

テストの新規作成

新しい自動テストレコードを作成します。

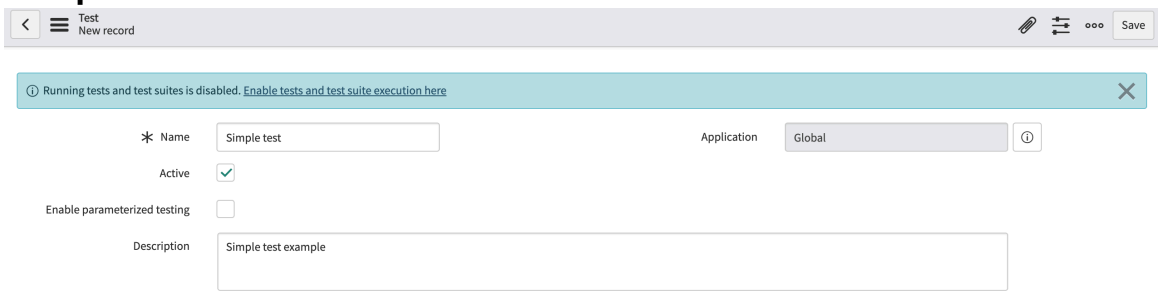
始める前に
必要なロール：atf_test_admin または admin

手順

1. 移動先 すべて > 自動テストフレームワーク **(ATF)** > テスト.
2. [**New**] をクリックします。
3. 新しいレコードテストフォームで、[名] フィールドにテストの名前を入力します。
   システムは、(テストモジュールの下など) テストのリストを表示する場合はいつでも、この名前でこのテストを識別します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Example



4. 説明フィールドの中に、テストの説明を入力します。
5. [保存] をクリックします。

タスクの結果

新しいテスト レコードが作成され、テストのリストに戻ります。新しい自動テストの作成の詳細については、「自動化された新しいテストの作成」を参照してください。

新しいテストに最初のステップを追加

最初の3つのステップを自動テストに追加します。

始める前に

必要なロール：atf_test_admin または admin

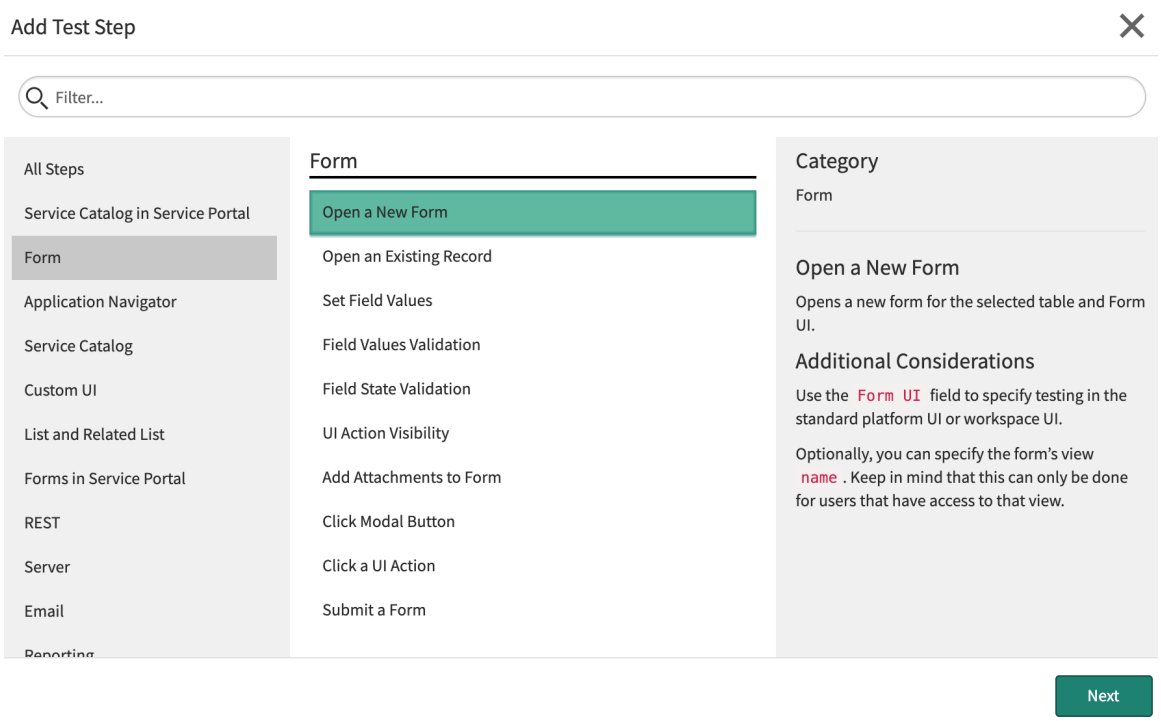
手順

1. 移動先 すべて > 自動テストフレームワーク **(ATF)** > テスト.
2. 新しいテストステップを含むテストをクリックします。
3. テストフォームの下部にある [テストステップ] 関連リストで、[テストステップを追加] をクリックします。
4. 中央の列で、ステップタイプ [新しいフォームを開く] の行をクリックして [次へ] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

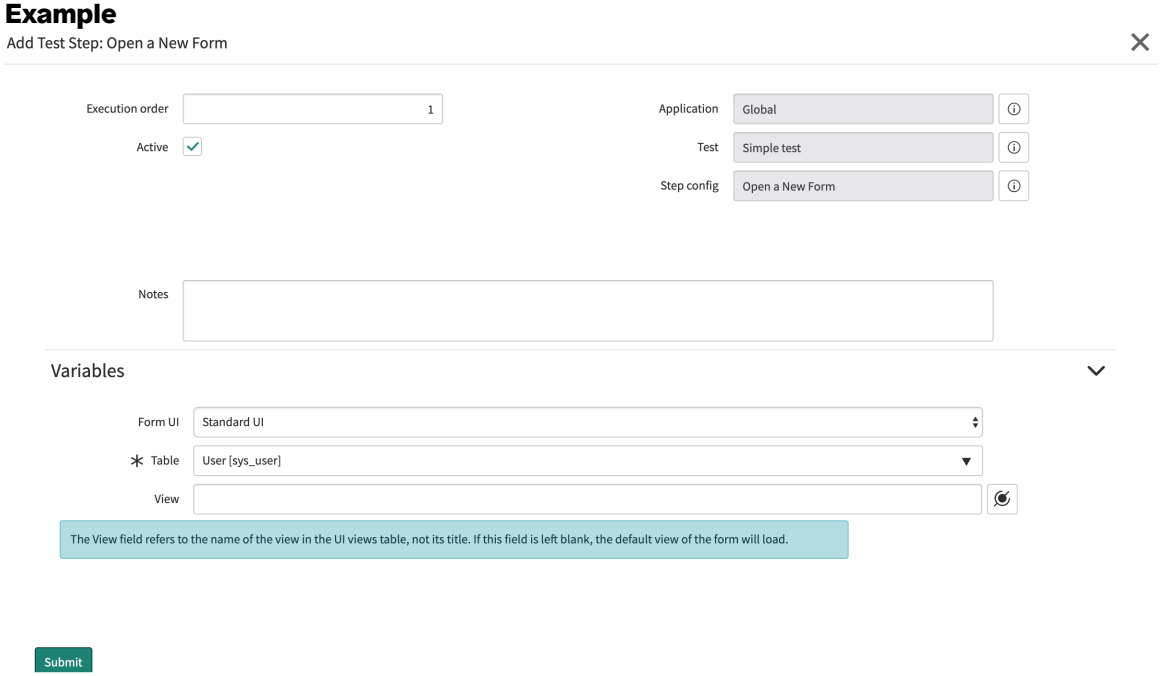
Example



システムは、新しいフォームを開くステップのための テスト ステップを追加するフォームを表示します。

5. [テーブル] フィールドで、[ユーザー **[sys_user]]** テーブルを選択し、[送信] をクリックします。

Example



新しいステップが作成され、テストレコードに戻ります。

6. [更新] をクリックします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タスクの結果
新しいテスト レコードが作成され、テストのリストに戻ります。自動テストに手順を追加する方法の詳細については、「自動テストにステップを追加する」を参照してください。

次のタスク
自動テストフレームワーク (ATF)についてどのように学習を継続するかについてのいくつかのアイデアについては、自動テストフレームワーク (ATF) での次のステップを参照してください。

自動テストに 2 番目のステップを追加する

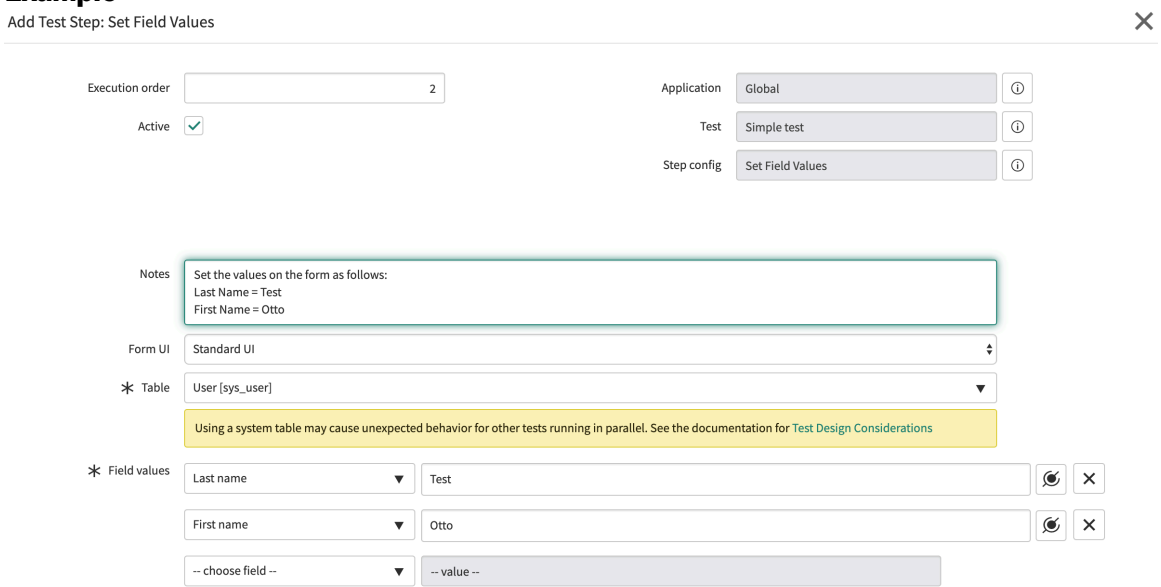
3 つのステップのうちの 2 つ目を自動テストに追加します。

始める前に
必要なロール：atf_test_admin または admin

手順

1. 新しいテストステップを含むテストをクリックします。
2. テストフォームの下部にある [テストステップ] 関連リストで、[テストステップを追加] をクリックします。
3. 中央の列で、フィールド値の設定をクリックし、そして次をクリックします。
   システムは、テスト ステップを追加するフォームで値を設定するステップを表示します。
4. フィールド値セクションで、苗字にテストそしてファーストネームにオットー (または任意の他の名前)を設定します。

Example



5. [送信] をクリックします。

タスクの結果
新しいステップが作成され、テスト レコードに戻ります。自動テストに手順を追加する方法の詳細については、「自動テストにステップを追加する」を参照してください。

テストに 3 番目のステップを追加する

３つの内最後のステップを自動テストに追加します。

始める前に
必要なロール：atf_test_admin または admin

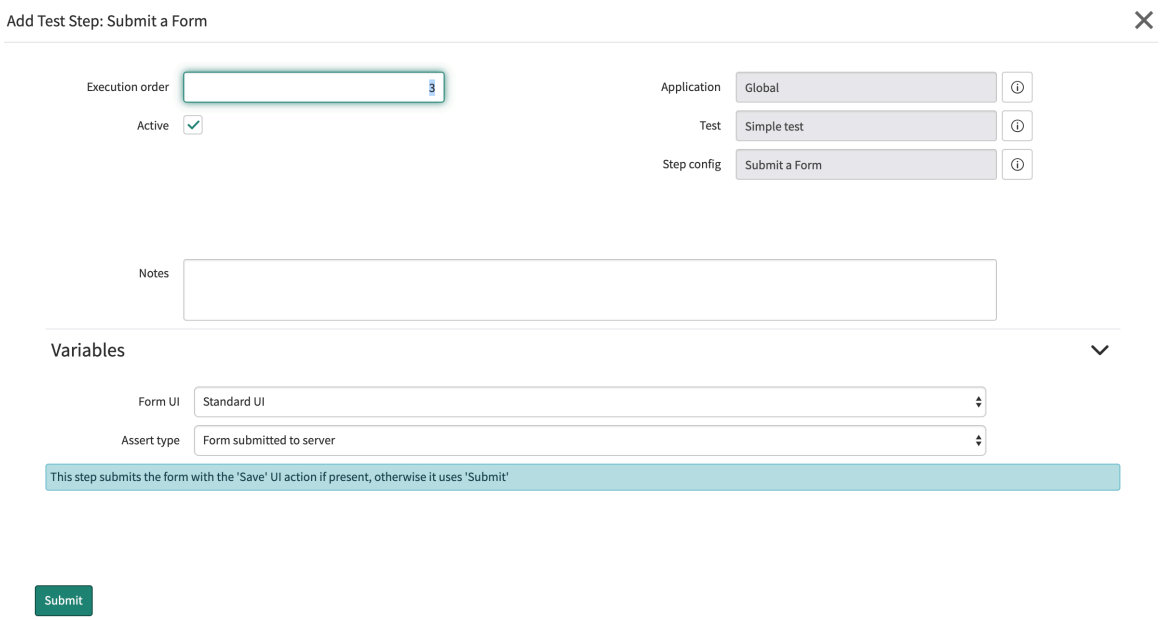
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

手順

1. 新しいテストステップを含むテストをクリックします。
2. テストフォームの下部にある [テストステップ] 関連リストで、[テストステップを追加] をクリックします。
3. 中央の列で、[フォームを送信] をクリックして、[次へ] をクリックします。
   システムは、フォームを提出するステップのためのテスト ステップを追加するフォームを表示します。
4. すべての値をデフォルトで設定されたままにしておき、提出するをクリックします。

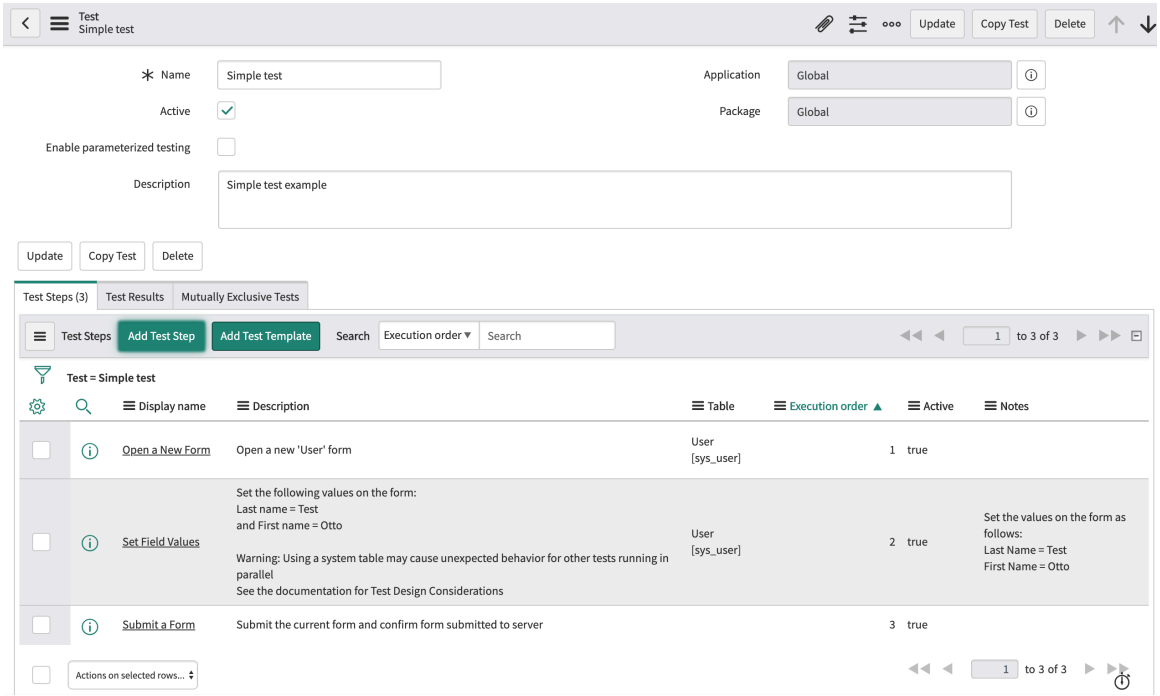
Example



新しいステップが作成され、テスト レコードに戻ります。テスト レコードに、今追加した３つのステップが表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



5. [更新] をクリックします。

タスクの結果

システムはテストのリストに戻ります。自動テストに手順を追加する方法の詳細については、「自動テストにステップを追加する」を参照してください。

テストを実行

テストステップを追加した後、実行し、自動テストの進行状況を監視します。

始める前に

必要なロール：atf_test_admin または admin

手順

1. 必要に応じてテストリストを表示するには、[テスト] をクリックします。

2. 作成したテストが含まれている行をクリックします。
システムは、[テスト] フォームを表示します。

3. [テストを実行] をクリックします。
このテストにはフォームステップ (UI 関連のステップ) が含まれているため、現在実行中のテスト クライアントの中から選択するか、新しいテスト ランナーを開始するかを尋ねるダイアログボックスが表示されます。続行するには、新しいテスト ランナーを開始するを選択し、そしてテストを実行する をクリックします。

タスクの結果

実行テスト進行ダイアログが表示されます。自動テストの実行の詳細については、自動テストを実行するを参照してください。

テストの進捗状況を監視し、テスト結果を見る

自動テストの進行状況を監視し、テスト結果をみます。

始める前に

必要なロール：atf_test_admin または admin

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて
必要に応じて、テストの実行中でも テストをキャンセルできます。詳細については、「自動テストとテストスイートのキャンセル」を参照してください。

手順

1. テスト実行状況ダイアログでテストの進行を監視します。

   注:
   テストがデータを生成すると、システムはテストの全てのステップの後でそのデータを元に戻す。

2. 完了すると、実行テスト進行ダイアログで 結果に進むをクリックし、試験結果リストを表示し結果を表示して分析できます。

自動テストフレームワーク (ATF) での次のステップ

簡単なテストの作成と実行に慣れたら、自動テストフレームワーク (ATF) のより高度な機能を試してみてください。

テストスイートと共にバッチテスト

一般的に一連のテストを一緒に実行する場合は、テストスイートを使用してテストをグループ化できます。テストスイートについては、自動テストスイートのビルドと実行を参照してください。

1つのテスト ステップから別のテスト ステップに入力変数と出力変数を使用してデータを渡す

あるテスト ステップから別のテスト ステップにデータを渡すには、入力変数そして出力変数を用います。詳細については、「1 つの自動テストステップから別の自動テストステップにデータを渡す」を参照してください。

共通のシーケンスのステップをテンプレートで再利用

同じ手順をテストに頻繁に追加する場合は、テンプレートを作成して時間を節約します。テンプレートの詳細については、 自動テストにステップ (テンプレート) の定義済みリストを追加する

ドメインセパレーションと自動テストフレームワーク (ATF)

ドメインセパレーションは 自動テストフレームワーク (ATF) でサポートされています。 ドメインセパレーションでは、データ、プロセス、および管理タスクをドメインと呼ばれる論理的なグループに分けることができます。どのユーザーがデータを表示できるか、データにアクセスできるかなど、このアプリケーションのいくつかの側面を制御できます。

サポートレベル：標準*

サポートレベルは標準ですが、いくつかの例外または特別な条件があります。

- ベーシックレベルのサポートのすべての側面が含まれます。
- ビジネスロジック：サービスプロバイダー (SP) によって顧客ごとにプロセスを作成または変更できます。ユースケースには、単一のインスタンスでの複数のサービスプロバイダー顧客によるアプリケーションの正しい使用が反映されています。
- インスタンスオーナーは、MVP (minimum viable product) ビジネスロジックとデータパラメーターを設定できる必要があります。この構成は、特定のアプリケーションで前提とされているように、テナントごとに行います。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サンプルユースケース：アドミニストレーターは、レコードを他のテナントに対してはクローズしないが、1 つのテナントに対してクローズする場合、コメントを必須にすることができる必要があります。

サポートレベルの詳細については、「アプリケーションでのドメインセパレーションのサポート」を参照してください。

ATF のユースケース

自動テストフレームワーク (ATF) の設計とランタイムアクセスは、インスタンスの所有者がドメイン固有のプロセスを検証するためのものです。顧客のためにテストを設計することで、テナントごとの結果を確認します。

テスト

ATF のテストステップ中にドメインセパレーションをテストする場合は、最初にドメインを設定する必要があります。各 ATF テストステップが設定中のドメインに依存する場合、これはその最初の代理操作ステップの一部になります。ドメインセパレーションの推奨プラクティスの詳細については、「サービスプロバイダー向けのドメインセパレーションの推奨プラクティス」を参照してください。

関連情報

- サービスプロバイダーのドメインセパレーション

自動テストフレームワーク (ATF) のヘッドレスブラウザ

自動テストフレームワーク (ATF) ユーザーインターフェイス (UI) テストを処理するブラウザの作成を自動化することで、UI テストを改善します。この機能はヘッドレスブラウザと呼ばれ、ローカルブラウザで UI テストを処理するクライアントテストランナーのためにブラウザを手動で開かなくても、UI 機能をテストできます。

> **重要:**
> ヘッドレスブラウザは ATF のレガシー機能です。代わりに、ATF テストジェネレーターとクラウドランナーアプリケーションを使用することをお勧めします。クラウドランナーは、簡単なセットアップとシームレスなユーザーエクスペリエンスを提供します。ストアアプリからクラウドランナーをインストールできます。

オンプレミスインスタンスユーザーの場合は、ヘッドレスブラウザオプションを引き続き使用する必要があります。現在、クラウドランナーはオンプレミスインスタンスでは使用できません。

背景

ServiceNow の顧客は、自動テストフレームワーク (ATF) (ATF) を使用してアプリケーションとインスタンスをテストします。ServiceNow プラットフォームで開発する場合、ATF は変更がユーザーの予想どおりに動作し、既存の機能を損なわないようにします。

ServiceNow Orlando リリース以降、顧客はアプリケーションのテストと展開を自動化するために、継続的統合/継続的デリバリ (CI/CD) API を使用できるようになっています。

ヘッドレスブラウザの概要

ServiceNow の ATF 用ヘッドレスブラウザによって提供される自動化では、テスト中にブラウザを手動で開く手順がスキップされます。1 回限りのセットアップでは、いくつかの連続する手順に従う必要があります。Linux と Windows の両方のセットアップ手順を以下に示します。

サポートモデルの詳細については、「ATF 用ヘッドレスブラウザ」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Linux® 用のヘッドレスブラウザーのセットアップ

ServiceNow の 自動テストフレームワーク (ATF) 用ヘッドレスブラウザーによって自動化が提供されて、テスト中にブラウザーを手動で開く手順がスキップされます。ヘッドレス ブラウザーのセットアップは、Linux と Microsoft Windows の両方で使用できます。このトピックでは、Linux のセットアップについて説明します。

> **重要:**
> ヘッドレスブラウザは ATF のレガシー機能です。代わりに、ATF テストジェネレーターとクラウドランナーアプリケーションを使用することをお勧めします。クラウドランナーは、簡単なセットアップとシームレスなユーザーエクスペリエンスを提供します。ストアアプリからクラウドランナーをインストールできます。

オンプレミスインスタンスユーザーの場合は、ヘッドレスブラウザオプションを引き続き使用する必要があります。現在、クラウドランナーはオンプレミスインスタンスでは使用できません。

1 回限りのセットアップでは、いくつかの連続する手順に従う必要があります。

前提条件

> **注:**
> ヘッドレスブラウザオプションを使用するには、インスタンスで MFA を無効にする必要があります。

必要なロール：自分の ServiceNow インスタンスの admin、およびホストマシンのローカルアドミニストレーター。

- Docker アプリケーションをインストールします。
- Java Runtime Environment (JRE) 1.8 をインストールします (keytool ユーティリティに必要)。

  > **注:**
  > バージョンは Java 1.8 である必要があります。そうでない場合、keytool ユーティリティで作成された証明書を検証しようとすると ServiceNow インスタンスでエラーが発生します。詳細については、「Java KeyStore keytool を使用して暗号化キーを作成する」を参照してください。

- OpenSSL をインストールします。
- 双方向通信
  - インスタンス URL とサーバーの間で双方向通信が行われる必要があります。
  - サーバーの IP アドレスを検索し、ホスト名を取得します。そのいずれかまたは両方を使用できますが、少なくとも 1 つは必要です。アドレスまたはホスト名が ServiceNow インスタンスで表示されることを確認します。
  - インスタンスの IP アドレス範囲を確認するには、「自分の IP アドレス」を参照してください。指定したすべての IP アドレス/範囲への受信アクセスを許可するようにサーバーを構成できます。
  - この手順では、ポート 2376 または自分のデフォルトポートを使用します。サーバーのファイアウォールルールで、インスタンスから取得した IP アドレスからのこのポートでの受信要求が許可されていることを確認してください。

    > **注:**
    > ホスト名がなく、IP アドレスを介して接続している場合は、IP アドレスを入力して、Hostname 環境変数に「localhost」と入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Linux 用のヘッドレスブラウザの設定手順

Linux 用のヘッドレスブラウザーを設定するには、次の 6 つの手順 (および検証) に従います。

Linux 用にヘッドレスブラウザをセットアップするための証明書の生成

Docker REST API を保護し、HTTP 要求を認証するための TLS/SSL 証明書を生成します。

始める前に
「Linux 用のヘッドレスブラウザーのセットアップ」トピックに記載されている前提条件を満たしてください。

必要なロール：自分の ServiceNow インスタンスの admin、およびホストマシンのローカルアドミニストレーター。

このタスクについて

⚠ 警告:
信頼できる認証局から認証局キーを取得します。

デフォルトでは、Docker API を公開すると要求が認証されないため、ホストマシンが攻撃に対して脆弱になる可能性があります。ただし、Docker API は、HTTPS 暗号化で提供される公開鍵と秘密鍵に対して要求が検証される TLS 認証をサポートしています。この手順では、サーバーとクライアントに対して鍵を作成します。

ヒント:
これらを覚えやすくするには、Linux ターミナルで次のコマンドを入力します。注意：これらの環境変数をターミナルのプロファイルに追加しないでください。セキュリティ上の理由から、それらは現在のセッション中にのみ存在する必要があります。

- `export PASSWORD="<証明書を生成するためのパスワード>"`
- `export SERVERIP="<このサーバーの IP アドレス>"`
- `export HOSTNAME="<このサーバーのホスト名>"`

詳細については、「TLS (HTTPS) を使用して Docker デーモンソケットを保護する (Use TLS (HTTPS) to protect the Docker daemon socket)」を参照してください。

手順

1. コマンドラインを開きます。
2. 自己署名認証局のキーを生成するか、信頼できる認証局からキーペアを取得します。
   次のコマンドは一例です。構成によって異なる場合があることに注意してください。
   - `openssl genrsa -aes256 -passout pass:$PASSWORD -out ca-key.pem 4096`
   - `openssl req -passin pass:$PASSWORD -new -x509 -days 365 -key ca-key.pem -sha256 -out ca.pem`
   - `chmod 0400 ca-key.pem`
   - `chmod 0444 ca.pem`
3. 認証局キーを使用してサーバーのキーペアを生成します。
   次のコマンドは一例です。構成によって異なる場合があることに注意してください。
   - `openssl genrsa -out server-key.pem 4096`
   - `openssl req -subj "/CN=$HOSTNAME" -new -key server-key.pem -out server.csr`

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- echo "subjectAltName = DNS:$HOSTNAME,IP:$SERVERIP,IP:127.0.0.1" > extfile.cnf
- openssl x509 -passin pass:$PASSWORD -req -days 365 -in server.csr -CA ca.pem -CAkey ca-key.pem -CAcreateserial -out server-cert.pem -extfile extfile.cnf

4. 認証局キーを使用してクライアントのキーペアを作成します。
次のコマンドは一例です。構成によって異なる場合があることに注意してください。
   - openssl genrsa -out client-key.pem 4096
   - openssl req -subj "/CN=$HOSTNAME" -new -key client-key.pem -out client.csr
   - echo "extendedKeyUsage = clientAuth" > extfile.cnf
   - openssl x509 -passin pass:$PASSWORD -req -days 365 -in client.csr -CA ca.pem -CAkey ca-key.pem -CAcreateserial -out client-cert.pem -extfile extfile.cnf

   これで、すべての暗号化キーが作成されました。

5. CA 公開鍵とクライアントのキーペアを Java キーストアにインポートします。
次のコマンドは一例です。構成によって異なる場合があることに注意してください。

   キーストアファイルを作成し、そのパスワードを作成します (後で使用するために保存します)：keytool -genkey -keyalg RSA -alias dse -keystore my.keystore

   キーストアファイルからデフォルトのエントリを削除します：keytool -delete -alias dse -keystore my.keystore

   CA 公開鍵をキーストアにインポートします：keytool -import -keystore my.keystore -trustcacerts -alias ca -file ca.pem

   クライアントのキーペアをインポートします。

   > **注:**
   > 新しい pkcs12 キーストアファイルを作成し、そのファイルにキーペアをインポートします。次に、その内容を元のキーストアファイルにコピーします。

   - openssl pkcs12 -export -name clientkeypair -in client-cert.pem -inkey client-key.pem -out clientkeypair.p12
   - keytool -importkeystore -destkeystore my.keystore -srckeystore clientkeypair.p12 -srcstoretype pkcs12 -alias clientkeypair

   これで、すべての証明書をキーストアファイルに追加したので、後で ServiceNow インスタンスにアップロードするためにファイル **my.keystore** を保存します。また、キーストアファイルの作成を要求されたときに入力したパスワードを覚えておいてください。ServiceNow インスタンスのフォームに、そのパスワードを入力する必要があります。

Linux でヘッドレスブラウザーセットアップ用に **Docker** を構成する

ServiceNow® の ATF 用ヘッドレスブラウザーを Linux 用にセットアップするステップ 2「すべての要求を認証するように Docker サーバーを構成します」を完了します。

始める前に
ステップ 1：Linux 用にヘッドレスブラウザをセットアップするための証明書の生成 を完了します。

このタスクでは、ステップ 1 の指示に従ってクライアントキーとサーバーキーを作成した後、これらのキーを使用してすべての要求を認証し、ポート 2376 で Docker API を公開するように、Docker サーバーを構成します。

必要なロール：自分の ServiceNow インスタンスの admin、およびホストマシンのローカルアドミニストレーター。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

手順

1. ステップ 1 で生成した証明書を使用するように Docker を構成します。
   a. /etc/docker/daemon.json ファイルを検索または作成します。次を実行できます：`touch /etc/docker/daemon.json`
   b. daemon.json ファイルを編集し、次の JSON 値を追加します。自分の証明書への正しいパスに置き換えてください。

```
{
"debug": true,
"tlscacert": "<path to your certificates>/ca.pem",
"tlscert": "<path to your certificates>/server-cert.pem",
"tlskey": "<path to your certificates>/server-key.pem",
"tlsverify": true
}
```

   詳細については、「Docker デーモンの構成 (Configure the Docker daemon)」を参照してください。
2. ポートでリモート API を公開するように Docker を構成します (ポート 2376 を推奨)。
   最新バージョンの RedHat、CentOS、Ubuntu、SLES などの **systemd** を使用する Linux ディストリビューションでは、docker.service systemd ユニットファイルを使用してリモート接続を受け入れるように Docker を構成できます。また、daemon.json ファイルを使用してリモート接続を受け入れるようにも構成できますが、これは systemd を使用しない Linux ディストリビューションで推奨されます。

   systemd (systemctl) を使用する場合：

   a. `sudo systemctl edit docker.service` コマンドを使用して、docker.service の上書きファイルをテキストエディターで開きます。
   b. 次の行を追加または変更します。ポート 2376 を使用していない場合は、自分のポートで置き換えます。

```
[Service]
ExecStart=
ExecStart=/usr/bin/dockerd -H tcp://0.0.0.0:2376
```

   c. ファイルを保存します。
   d. systemctl 構成を再ロードします。

```
sudo systemctl daemon-reload
```

   e. Docker を再起動します。

```
sudo systemctl restart docker.service
```

3. 現在のユーザーがコマンドラインで Docker にアクセスできるようにするには、ユーザーの Docker ホームディレクトリに証明書をコピーします。
   - `mkdir -pv ~/.docker`
   - `cp ca.pem ~/.docker`
   - `cp client-key.pem ~/.docker/key.pem`
   - `cp client-cert.pem ~/.docker/cert.pem`
4. ユーザーの DOCKER_HOST および DOCKER_TLS_VERIFY 環境変数を設定します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- `echo "export DOCKER_HOST=tcp://${SERVERIP}:2376 DOCKER_TLS_VERIFY=1" >> ~/.bash_profile`
- `source ~/.bash_profile`

詳細については、「非ルートユーザーとして Docker を管理 (Manage Docker as a non-root user)」を参照してください。

Linux でのヘッドレスブラウザセットアップ用の **Docker** イメージとコンテナの作成

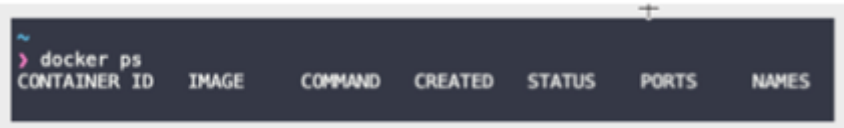
公開レジストリから Docker イメージをプルします。

始める前に
ステップ 2：Linux でヘッドレスブラウザーセットアップ用に Docker を構成する を完了します。

必要なロール：自分の ServiceNow インスタンスの admin、およびホストマシンのローカルアドミニストレーター。

手順

1. コマンドラインで `docker ps` を実行して、Docker が機能していることを確認します。
   結果は次のようになります。



2. GitHub リポジトリの ATF ヘッドレスランナーから、最新の Docker イメージをプルします。
   このコマンドは一例です。これらのイメージは変更される可能性があるためです。
   `docker pull ghcr.io/servicenow/atf-headless-runner:lin-1.0.0`

   注:
   インスタンスとイメージの互換性により、Docker イメージ内の自動化スクリプトはインスタンスコードと互換性があることになります。ユーザーインターフェイスなどの要素は、時間の経過とともに、新しい機能やアップグレードをサポートするために変更される可能性があります。

Linux でヘッドレスブラウザーセットアップ用の **Docker** にシークレットを追加する

テストを実行するためにインスタンスにログインする、ServiceNow ユーザーのパスワードを格納する Docker シークレットを作成します。Docker シークレットは、コンテナで使用されるパスワードを安全に保存するための ServiceNow　機能です。

始める前に
ステップ 3：Linux でのヘッドレスブラウザセットアップ用の Docker イメージとコンテナの作成 を完了します。

このタスクについて
Docker コンテナの内部に自動化スクリプトがあり、それが Web ブラウザを開き、インスタンスにログインし、[クライアントテストランナー] ページを開きます。ServiceNow インスタンスにログインするには、ユーザーパスワードが必要です。この手順では、**Docker** シークレットと呼ばれる Docker 機能を使用して、パスワードを安全に保存できるようにします。コンテナを実行すると、インスタンスにログインするためのパスワードが自動的に使用可能になります。

必要なロール：自分の ServiceNow インスタンスの admin、およびホストマシンのローカルアドミニストレーター。

自動翻訳

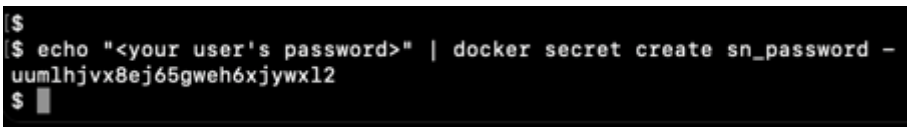
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. コマンドラインに「docker swarm init」と入力します。
2. 「echo "<your user's password>" | docker secret create sn_password - 」と入力します。

   注:
   <your user's password> をそのユーザーの ServiceNow パスワードで置き換えます。

   結果は次のようになります。



タスクの結果
結果はシークレット ID であり、後で使用するために保存する必要があります。シークレット ID は、ServiceNow インスタンスの **sys_property** sn_atf.headless.secret_id に追加されます。

Linux でヘッドレスブラウザーのインスタンスを設定する

ServiceNow® の ATF 用ヘッドレスブラウザーを Linux 用にセットアップするステップ 5： ヘッドレスブラウザーをサポートできるようにインスタンスを設定します。

始める前に
ステップ 5：Linux でヘッドレスブラウザーセットアップ用の Docker にシークレットを追加する を完了します。

必要なロール：自分の ServiceNow インスタンスの admin、およびホストマシンのローカルアドミニストレーター。

このタスクでは、インスタンスを設定し、ホストマシンと正常に通信して認証されるようにします。

手順

1. ユーザーを作成します。
   a. 移動先 ユーザー管理 > ユーザー [新規] を選択します。
   b. ユーザーを作成します。ユーザー ID (任意の ID) とユーザー名、パスワードを指定します。パスワードは、Docker シークレットコンテナ用に作成したものと同じにする必要があります。
   c. このユーザーに **atf_test_designer** ロールを追加します(詳細については、「自動テストフレームワーク (ATF) の探索」トピックの「ユーザーロール」セクションを参照してください)。
2. 証明書を作成します。
   a. 移動先 システム定義 > 証明書 をクリックして **sys_** 証明書 テーブルを開きます。新しい証明書を作成します (任意の名前を指定できます)。
      - [タイプ]：Java キーストア
      - [パスワード]：ステップ 1 (Linux 用にヘッドレスブラウザをセットアップするための証明書の生成) で作成したキーストアのパスワード。
   b. [添付] (ペーパー クリップ) アイコンを選択して、以前に保存したキーストアファイルをこのレコードに添付します。
   c. [送信] を選択します。
   d. [証明書を検証 **(Validate certificate)**] をクリックし、成功メッセージが表示されることを確認します。
3. プロトコルプロファイルを作成します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. 移動先 システムセキュリティ > プロトコルプロファイル をクリックして **sys_protocol_profile** テーブルを開きます。新しいプロトコルプロファイルレコードを作成します。

オプション	説明
プロトコル	1 単語 (小文字)：「docker」
デフォルトポート	2376 (または使用するために選択したポート)
キーストア	Docker ホストのキーストア

b. [送信] を選択します。

4. Docker スポーク接続を作成します。
   a. 移動先 接続 **&** 認証情報 > 接続と認証情報エイリアス をクリックして **sys_alias** テーブルを開きます。
   b. **Docker** という名前のエイリアスを選択します。
   c. [接続] 関連リストで、[新規] を選択します。
   d. フィールドに入力します。
      - [名前]：任意のテキスト
      - [認証情報フィールド]：空白のまま
   e. **[URL** ビルダー **(URL Builder)]** チェックボックスをオンにします。
   f. [相互認証] チェックボックスをオンにします。
   g. [プロトコルプロファイル] フィールドで、以前に作成したプロトコルプロファイルを選択します。
   h. [ホスト] フィールドに、サーバーの IP アドレスまたはホスト名を入力します。
   i. [送信] を選択します。
   接続 URL がシステムによって自動的に作成されます。
5. プロパティを変更します。

> ⚠ 警告:
> デフォルトでは、*com.glide.communications.trustmanager_trust_all* プロパティは **false** に設定されています。ServiceNow AI Platform は、JVM 証明書ストアに対して検証できる証明書のみを信頼します。自己署名証明書およびエンタープライズ署名証明書は信頼されません。

これは、自己署名証明書を使用する場合にのみ必要です。詳細については、「Linux 用にヘッドレスブラウザをセットアップするための証明書の生成」を参照してください。

- com.glide.communications.httpclient.verify_hostname：false
- com.glide.communications.trustmanager_trust_all：true

Linux でヘッドレスブラウザーの ATF を構成する

ServiceNow® の ATF 用ヘッドレスブラウザーを Linux 用にセットアップするステップ 6：プロパティを使用して ATF を構成します。

始める前に
ステップ 5：Linux でヘッドレスブラウザーのインスタンスを設定する を完了します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

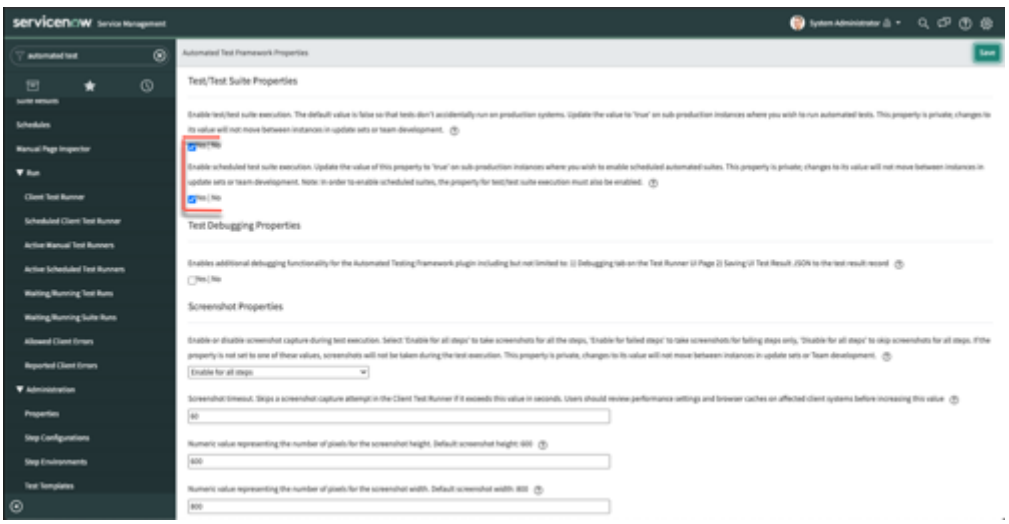
自動翻訳

必要なロール：自分の ServiceNow インスタンスの admin、およびホストマシンのローカルアドミニストレーター。

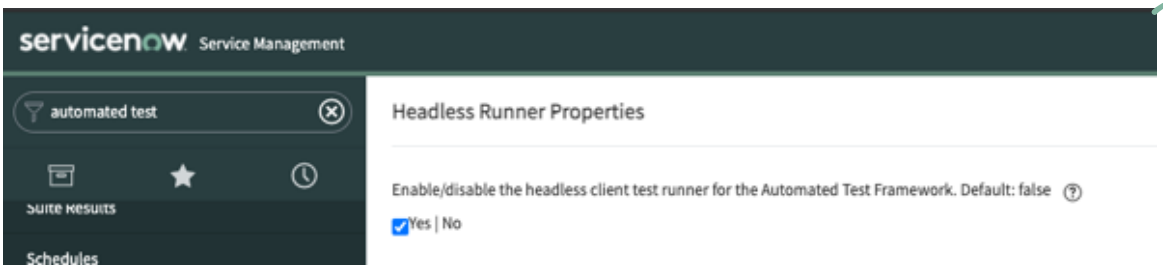
接続と認証を設定したので、このタスクでは、いくつかのプロパティを使用して ATF を構成し、ホストマシンでコンテナを正常に起動できるようにします。

手順

1. インスタンスで、 **ATF** > アドミニストレーション > プロパティ.
2. 上の 2 つのプロパティ、[テストまたはテストスイートの実行を有効にします] と [スケジュール設定されたテストスイートの実行を有効化します] を有効にします。



3. [ヘッドレスランナーのプロパティ] セクションまで下にスクロールします。
4. 上にあるチェックボックスをオンにします。



5. [ヘッドレスランナーのプロパティ] フォームに次の値を入力します。

フォームラベル	プロパティ名	入力する値
ヘッドレスクライアントテストランナーからログインしてテストを開始するために使用されるユーザーアカウント	sn_atf.headless.username	Linux でヘッドレスブラウザーセットアップ用の Docker にシークレットを追加する で作成した統合ユーザーのユーザー名
ユーザーアカウントのパスワードが格納されている Docker シークレット ID	sn_atf.headless.secret_id	以前に取得した Docker の「シークレット ID」と、Linux でヘッドレスブラウザーセットアップ用の Docker にシークレットを追加する の手順のス

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フォームラベル	プロパティ名	入力する値
		テップ 2 で作成した Docker シークレット名。
ヘッドレスクライアントテストランナーに使用される Docker イメージ。	sn_atf.headless.docker_image_name	ダウンロードしたタグ付きのイメージ名：ghcr.io/servicenow/atf-headless-runner:<tagname>

注:
シークレット ID を忘れた場合は、Docker ホストに移動してコマンド `docker secret list` を実行します。

6. 残りのフィールドはそのままにします。
7. [保存] を選択します。

Linux でのヘッドレスブラウザの手順の検証

ServiceNow® の ATF 用ヘッドレスブラウザを Linux 用にセットアップするステップ 7 (最後のステップ)： ヘッドレスブラウザのセットアップ手順が正常に終了したことを確認します。

始める前に
必要なロール：admin

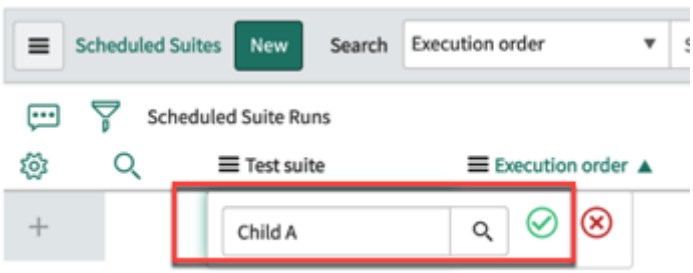
ステップ 6：Linux でヘッドレスブラウザーの ATF を構成する を完了します。

必要なロール：自分の ServiceNow インスタンスの admin、およびホストマシンのローカルアドミニストレーター。

このタスクでは、ヘッドレスブラウザのセットアップ手順のステップ 1 ～ 6 が正常に終了したことを確認します。

手順

1. **[ATF** のスケジュール **(ATF Schedules)]** に移動し、 [スイートスケジュール] リンクの横にある [新規] を選択します。
2. [実行] ボックスで、[オンデマンド]を選択します。
3. [保存] を選択します。
4. [スケジュール済みスイート] 関連リストで、**[+]** 記号をダブルクリックしてテストスイートの新しいレコードを追加し、使用するブラウザ名 (**[Chrome]** または **[Firefox]**) を選択します。
実行する適切な例として、**[Child A]** を使用します。



5. OS 名を Linux に設定します。
6. [今すぐ実行] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

7. テストに合格したことを検証します。
   検証に成功すると、スケジュール済みスイートまたは CICD 経由で UI テストが実行されるスイートでは、[スケジュール設定済みのクライアントテストランナー] ページを手動で開かなくても、自動的にヘッドレステストランナーが作成されるようになりました。

Microsoft Windows 用のヘッドレスブラウザのセットアップ

ServiceNow の 自動テストフレームワーク (ATF) (ATF) 用ヘッドレスブラウザによる自動化によって、テスト中にブラウザを手動で開く必要がなくなります。ヘッドレス ブラウザのセットアップは、Linux と Microsoft Windows の両方で使用できます。このトピックでは、Windows のセットアップについて説明します。

重要:
ヘッドレスブラウザは ATF のレガシー機能です。代わりに、ATF テストジェネレーターとクラウドランナーアプリケーションを使用することをお勧めします。クラウドランナーは、簡単なセットアップとシームレスなユーザーエクスペリエンスを提供します。ストアアプリからクラウドランナーをインストールできます。

オンプレミスインスタンスユーザーの場合は、ヘッドレスブラウザオプションを引き続き使用する必要があります。現在、クラウドランナーはオンプレミスインスタンスでは使用できません。

1 回限りのセットアップでは、いくつかの連続する手順に従う必要があります。Microsoft Windows のセットアップ手順を以下に示します。

前提条件

注:
ヘッドレスブラウザオプションを使用するには、インスタンスで MFA を無効にする必要があります。

必要なロール：自分の ServiceNow インスタンスの admin、およびホストマシンのローカルアドミニストレーター。

警告:
ホストとして Microsoft Windows がサポートするバージョンは、Windows Server 2019 v10.0.17763.737 のみです。他のバージョンはサポートされていません。これらの要件を満たすことができない場合は、Linux ホストをお勧めします。

- Windows サーバーに次のプログラムがインストールされていることを確認します。
  - Docker：Microsoft Windows のヘッドレスブラウザーセットアップ用に Docker をインストールする
  - Java keytool：javaruntime 用の Chocolatey ツール
  - OpenSSL：openssl 用の Chocolatey ツール
- 双方向通信
  - インスタンス URL とサーバーの間で双方向通信が行われる必要があります。
  - サーバーの IP アドレスを検索し、ホスト名を取得します。そのいずれかまたは両方を使用できますが、少なくとも 1 つは必要です。アドレスまたはホスト名が ServiceNow インスタンスで表示されることを確認します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- インスタンスの IP アドレス範囲を確認するには、「自分の IP アドレス」を参照してください。指定したすべての IP アドレス/範囲への受信アクセスを許可するようにサーバーを構成できます。
- この手順では、ポート 2376 または自分のデフォルトポートを使用します。サーバーのファイアウォールルールで、インスタンスから取得した IP アドレスからのこのポートでの受信要求が許可されていることを確認してください。

注:
ホスト名がなく、IP アドレスを介して接続している場合は、IP アドレスを入力して、Hostname 環境変数に「localhost」と入力します。

- 詳細については、「TLS (HTTPS) を使用して Docker デーモンソケットを保護する (Use TLS (HTTPS) to protect the Docker daemon socket)」を参照してください。

Windows 用のヘッドレスブラウザの設定手順

Windows 用のヘッドレスブラウザを設定するには、次の 7 つの手順 (および検証) に従います。

Microsoft Windows のヘッドレスブラウザーセットアップ用に Docker をインストールする

ServiceNow の 自動テストフレームワーク (ATF) 用ヘッドレスブラウザーを Windows 用にセットアップするステップ 1：Docker をインストールします。

始める前に
必要なロール：admin

- 「Microsoft Windows 用のヘッドレスブラウザのセットアップ」トピックの「前提条件」を参照してください。

- **ヒント:**
  これらを覚えやすくするには、次の環境変数を設定します。
  - set PASSWORD=<password>
  - set SERVERIP=<server ip>
  - set HOSTNAME=<hostname>

警告:
ホストとして Microsoft Windows がサポートするバージョンは、Windows Server 2019 v10.0.17763.737 のみです。他のバージョンはサポートされていません。これらの要件を満たすことができない場合は、Linux ホストをお勧めします。

手順

1. 昇格された PowerShell セッションを開き、PowerShell ギャラリーから Docker-Microsoft PackageManagement プロバイダーをインストールします。
   PowerShell

   ```
   Install-Module -Name DockerMsftProvider -Repository PSGallery -Force
   ```

   NuGet プロバイダーのインストールを求められた場合は、「Y」と入力してインストールします。

2. PackageManagement PowerShell モジュールを使用して、最新バージョンの Docker をインストールします。
   PowerShell

   ```
   Install-Package -Name docker -ProviderName DockerMsftProvider
   ```

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

PowerShell でパッケージソース「DockerDefault」を信頼するかどうかを尋ねられたら、「A」と入力してインストールを続行します。

3. インストールが完了したら、コンピューターを再起動します。
PowerShell

```
Restart-Computer -Force
```

Microsoft Windows 用にヘッドレスブラウザをセットアップするための証明書の生成

Docker REST API を保護し、HTTP 要求を認証するための TLS/SSL 証明書を生成します。

始める前に
必要なロール：自分の ServiceNow インスタンスの admin、およびホストマシンのローカルアドミニストレーター。

警告:
ホストとして ServiceNow がサポートする Microsoft Windows のバージョンは、Windows Server 2019 v10.0.17763.737 のみです。他のバージョンはサポートされていません。これらの要件を満たすことができない場合は、Linux ホストをお勧めします。

- 「Microsoft Windows 用のヘッドレスブラウザのセットアップ」トピックに記載されている前提条件を満たしてください。Windows サーバーに次のプログラムがインストールされていることを確認します。
  - Docker：Windows 用 Docker アプリケーション
  - Java keytool：javaruntime 用の Chocolatey ツール
  - OpenSSL：openssl 用の Chocolatey ツール

次の要件に注意してください。

- 双方向通信

警告:
信頼できる認証局から認証局キーを取得します。

  - インスタンス URL とサーバーの間で双方向通信が行われる必要があります。
  - サーバーの IP アドレスを検索し、ホスト名を取得します。そのいずれかまたは両方を使用できますが、少なくとも 1 つは必要です。

注:
ホスト名がなく、IP アドレスを介して接続している場合は、IP アドレスを入力して、Hostname 環境変数に「localhost」と入力します。

ヒント:
これらを覚えやすくするには、次の環境変数を設定します。

  - `export PASSWORD="<証明書を生成するためのパスワード>"`
  - `export SERVERIP="<このサーバーの IP アドレス>"`
  - `export HOSTNAME="<このサーバーのホスト名>"`

- ポート：この手順では、ポート 2376 または自分のデフォルトポートを使用します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
このポートのファイアウォールルールで、受信要求が許可されていることを確認してください。

- 詳細については、「TLS (HTTPS) を使用して Docker デーモンソケットを保護する (Use TLS (HTTPS) to protect the Docker daemon socket)」を参照してください。

このタスクについて

デフォルトでは、Docker API を公開すると要求が認証されないため、ホストマシンが攻撃に対して脆弱になる可能性があります。ただし、Docker API は、HTTPS 暗号化で提供される公開鍵と秘密鍵に対して要求が検証される TLS 認証をサポートしています。この手順では、サーバーとクライアントに対して鍵を作成します。

手順

1. コマンドラインを開きます。
2. 自己署名認証局のキーを生成するか、信頼できる認証局からキーペアを取得します。
   次のコマンドは一例です。構成によって異なる場合があることに注意してください。

```
openssl genrsa -aes256 -passout pass:%PASSWORD% -out ca-key.pem 4096
openssl req -passin pass:%PASSWORD% -new -x509 -days 365 -key ca-key.pem -sha256
 -out ca.pem
```

3. 認証局キーを使用してサーバーのキーペアを生成します。
   次のコマンドは一例です。構成によって異なる場合があることに注意してください。

```
openssl genrsa -out server-key.pem 4096
openssl req -subj /CN=%HOSTNAME% -new -key server-key.pem -out server.csr
echo extendedKeyUsage = clientAuth > extfile.cnf
openssl x509 -passin pass:%PASSWORD% -req -days 365 -in server.csr -CA ca.pem -CAkey
 ca-key.pem -CAcreateserial -out server-cert.pem -extfile extfile.cnf
```

4. 認証局キーを使用してクライアントのキーペアを作成します。
   次のコマンドは一例です。構成によって異なる場合があることに注意してください。

```
openssl genrsa -out client-key.pem 4096
openssl req -subj /CN=%HOSTNAME% -new -key client-key.pem -out client.csr
echo subjectAltName = DNS:%HOSTNAME%,IP:%SERVERIP%,IP:127.0.0.1 > extfile.cnf
openssl x509 -passin pass:%PASSWORD% -req -days 365 -in client.csr -CA ca.pem -CAkey
 ca-key.pem -CAcreateserial -out client-cert.pem -extfile extfile.cnf
```

5. CA 公開鍵とクライアントのキーペアを Java キーストアにインポートします。
   この手順は一例であり、構成によって異なる場合があります。

   キーストアファイルを作成し、そのパスワードを作成します (後で使用するために保存します)：`keytool -genkey -keyalg RSA -alias dse -keystore my.keystore`

   キーストアファイルからデフォルトのエントリを削除します：`keytool -delete -alias dse -keystore my.keystore`

   注:
   このエントリは自動生成されるため、必要ありません。

   CA 公開鍵をキーストアにインポートします：`keytool -import -keystore my.keystore -trustcacerts -alias ca -file ca.pem`

   クライアントのキーペアをインポートします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

> **注:**
> 新しい pkcs12 キーストアファイルを作成し、そのファイルにキーペアをインポートします。次に、その内容を元のキーストアファイルにコピーします。

- `openssl pkcs12 -export -name clientkeypair -in client-cert.pem -inkey client-key.pem -out clientkeypair.p12`
- `keytool -importkeystore -destkeystore my.keystore -srckeystore clientkeypair.p12 -srcstoretype pkcs12 -alias clientkeypair`

これで、すべての証明書をキーストアファイルに追加したので、後で ServiceNow インスタンスにアップロードするためにファイル **my.keystore** を保存します。また、キーストアファイルの作成を要求されたときに入力したパスワードを覚えておいてください。ServiceNow インスタンスのフォームに、そのパスワードを入力する必要があります。

Microsoft Windows でヘッドレスブラウザセットアップ用に **Docker** を構成する

すべての要求を認証するように Docker サーバーを構成します。

始める前に
ステップ 2：Microsoft Windows 用にヘッドレスブラウザをセットアップするための証明書の生成を完了します。

必要なロール：自分の ServiceNow インスタンスの admin、およびホストマシンのローカルアドミニストレーター。

このタスクについて
クライアントキーとサーバーキーを作成した後、これらのキーを使用してすべての要求を認証し、ポート 2376 で Docker API を公開するように、Docker サーバーを構成します。

手順

1. ステップ 2 で生成した証明書を使用するように Docker を構成します。
2. `C:\ProgramData\docker\config\daemon.json` ファイルを検索または作成します。
3. 次のプロパティを daemon.json ファイルに追加します。
   これらのコマンドの項目を、自分の証明書への正しいパスに置き換えます。

   > **注:**
   > 二重スラッシュは正確にコピーすることが重要です。

   ```
   {
   "tlscacert": "C:\\Users\\Administrator\\certs\\ca.pem",
   "tlscert": "C:\\Users\\Administrator\\certs\\server-cert.pem",
   "tlscert": "C:\\Users\\Administrator\\certs\\server-cert.pem",
   "tlskey": "C:\\Users\\Administrator\\certs\\server-key.pem",
   "tlsverify": true,
   "hosts": ["tcp://0.0.0.0:2376", "npipe://"]
   }
   ```

   詳細については、「Docker デーモンの構成 (Configure the Docker daemon)」を参照してください。
4. アドミン PowerShell で、「`restart-service *docker*`」を実行します。

Microsoft Windows でのヘッドレスブラウザセットアップ用の **Docker** イメージとコンテナの作成

公開レジストリから Docker イメージをプルします。

自動翻訳

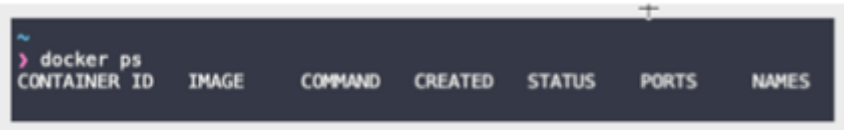
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
ステップ 3：Microsoft Windows でヘッドレスブラウザセットアップ用に Docker を構成する を完了します。

必要なロール：自分の ServiceNow インスタンスの admin、およびホストマシンのローカルアドミニストレーター。

手順

1. アドミニストレーターコマンドラインで `docker ps` を実行して、Docker が機能していることを確認します。
   結果は次のようになります。



2. GitHub リポジトリの ATF ヘッドレスランナーから、最新の Docker イメージをプルします。
   このコマンドは一例です。これらのイメージは変更される可能性があるためです。
   `docker pull ghcr.io/servicenow/atf-headless-runner:win-1.0.0`

> **注:**
> インスタンスとイメージの互換性により、Docker イメージ内の自動化スクリプトはインスタンスコードと互換性があることになります。ユーザーインターフェイスなどの要素は、時間の経過とともに、新しい機能やアップグレードをサポートするために変更される可能性があります。

Microsoft Windows でヘッドレスブラウザセットアップ用の Docker にシークレットを追加する

テストを実行するためにインスタンスにログインする、ServiceNow ユーザーのパスワードを格納する Docker シークレットを作成します。Docker シークレットは、コンテナで使用されるパスワードを安全に保存するための ServiceNow　機能です。

始める前に
ステップ 4：Microsoft Windows でのヘッドレスブラウザセットアップ用の Docker イメージとコンテナの作成 を完了します。

必要なロール：ServiceNow インスタンスに移動して、Docker コンテナがログインに使用する新しいユーザーを作成します。このユーザーに **admin** または **atf_test_admin** のロールを付与します。次の手順のステップ 2 で使用するパスワードを保存します。

このタスクについて
Docker コンテナの内部に自動化スクリプトがあり、それが Web ブラウザを開き、インスタンスにログインし、[クライアントテストランナー] ページを開きます。ServiceNow インスタンスにログインするには、ユーザーパスワードが必要です。このステップでは、[Docker シークレット (Docker Secrets)] と呼ばれる Docker 機能を使用して、パスワードを安全に保存できるようにします。それによって、コンテナを実行すると、パスワードを使用して自動的にインスタンスにログインできるようになります。

手順

1. アドミンコマンドラインに次のように入力します：`docker swarm init`
2. アドミンコマンドラインに次のように入力します：`echo <your user's password> | docker secret create sn_password -`

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
<your user's password> をそのユーザーの ServiceNow パスワードで置き換えます。

結果は次のようになります。

```
$
$ echo "<your user's password>" | docker secret create sn_password -
uuml hjvx8ej65gweh6xjywxl2
$
```

タスクの結果
結果はシークレット ID であり、後で使用するために保存する必要があります。シークレット ID は、ServiceNow インスタンスの sys_property sn_atf.headless.secret_id に追加されます。

Microsoft Windows でヘッドレスブラウザーのインスタンスを設定する

ServiceNow の ATF 用ヘッドレスブラウザーを Microsoft Windows 用にセットアップするステップ 6： ヘッドレスブラウザーをサポートできるようにインスタンスをセットアップします。

始める前に
ステップ 5：Microsoft Windows でヘッドレスブラウザセットアップ用の Docker にシークレットを追加する を完了します。

必要なロール：自分の ServiceNow インスタンスの admin、およびホストマシンのローカルアドミニストレーター。

ホストマシンを構成したので、このタスクではインスタンスを設定して、ホストマシンと正常に通信して認証できるようにします。

手順

1. ユーザーを作成します。
   a. 移動先 すべて > ユーザー管理 > ユーザー [新規] を選択します。
   b. ユーザーを作成します。ユーザー ID (任意の ID) とユーザー名、パスワードを指定します。パスワードは、Docker シークレットコンテナ用に作成したものと同じにする必要があります。
   c. このユーザーに **atf_test_designer** ロールを追加します詳細については、「 自動テストフレームワーク (ATF) の探索 」トピックの「ユーザーロール」セクションを参照してください。
2. 証明書を作成します。
   a. 移動先 システム定義 > 証明書 をクリックして **sys_** 証明書 テーブルを開きます。新しい証明書を作成します (任意の名前を指定できます)。
      - [タイプ]：Java キーストア
      - [パスワード]：ステップ 2 (Microsoft Windows 用にヘッドレスブラウザをセットアップするための証明書の生成) で作成したキーストアのパスワード。
   b. [添付] (ペーパー クリップ) アイコンを選択して、以前に保存したキーストアファイルをこのレコードに添付します。
   c. [送信] を選択します。
   d. [証明書を検証 **(Validate certificate)**] をクリックし、成功メッセージが表示されることを確認します。
3. プロトコルプロファイルを作成します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. 移動先 システムセキュリティ > プロトコルプロファイル をクリックして **sys_protocol_profile** テーブルを開きます。新しいプロトコルプロファイルレコードを作成します。

オプション	説明
プロトコル	1 単語 (小文字)：「docker」
デフォルトポート	2376 (または使用するために選択したポート)
キーストア	Docker ホストのキーストア

b. [送信] を選択します。

4. Docker スポーク接続を作成します。
   a. 移動先 接続 **&** 認証情報 > 接続と認証情報エイリアス をクリックして **sys_alias** テーブルを開きます。
   b. **Docker** という名前のエイリアスを選択します。
   c. [接続] 関連リストで、[新規] を選択します。
   d. フィールドに入力します。
      - [名前]：任意のテキスト
      - [認証情報フィールド]：空白のまま
   e. **[URL** ビルダー **(URL Builder)]** チェックボックスをオンにします。
   f. [相互認証] チェックボックスをオンにします。
   g. [プロトコルプロファイル] フィールドで、以前に作成したプロトコルプロファイルを選択します。
   h. [ホスト] フィールドに、サーバーの IP アドレスまたはホスト名を入力します。
   i. [送信] を選択します。
   接続 URL がシステムによって自動的に作成されます。
5. プロパティを変更します。
   - com.glide.communications.httpclient.verify_hostname：false
   - com.glide.communications.trustmanager_trust_all：true

> ⚠ 警告:
> デフォルトでは、*com.glide.communications.trustmanager_trust_all* プロパティは **false** に設定されています。ServiceNow AI Platform は、JVM 証明書ストアに対して検証できる証明書のみを信頼します。自己署名証明書およびエンタープライズ署名証明書は信頼されません。

これは、自己署名証明書を使用する場合にのみ必要です。詳細については、「Microsoft Windows 用にヘッドレスブラウザをセットアップするための証明書の生成」を参照してください。

Microsoft Windows でヘッドレスブラウザーの 自動テストフレームワーク (ATF) (ATF) を構成する

ServiceNow の ATF 用ヘッドレスブラウザーを Microsoft Windows 用にセットアップするステップ 7：プロパティを使用して ATF を構成します。

始める前に
ステップ 6：Microsoft Windows でヘッドレスブラウザーのインスタンスを設定する を完了します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

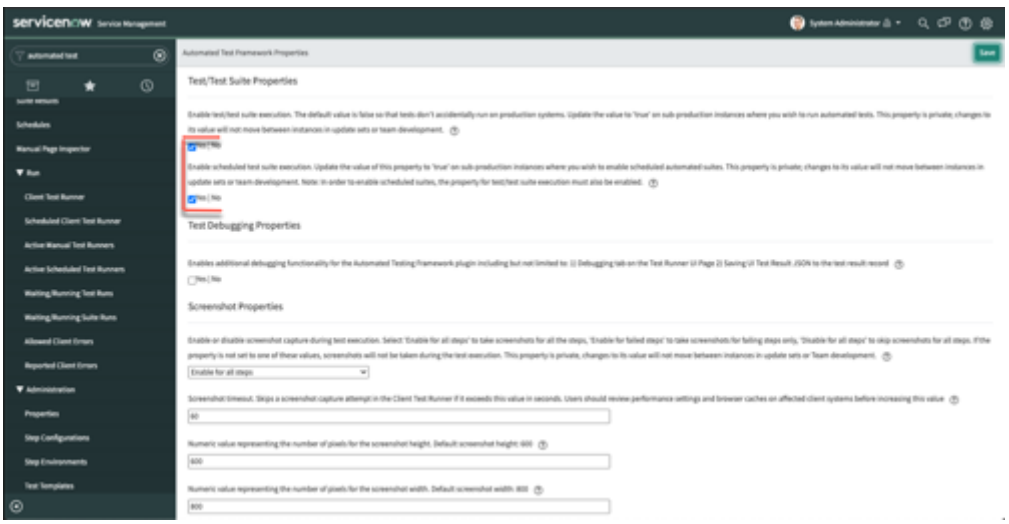
自動翻訳

必要なロール：自分の ServiceNow インスタンスの admin、およびホストマシンのローカルアドミニストレーター。

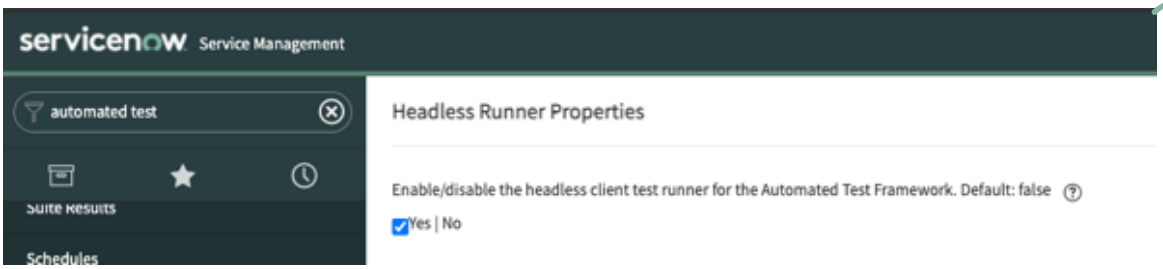
接続と認証が設定されたので、いくつかのプロパティを使用して ATF を構成し、ホストマシンでコンテナを正常に起動できるようにします。

手順

1. インスタンスで、 **ATF** > アドミニストレーション > プロパティ.
2. 上の 2 つのプロパティ、[テストまたはテストスイートの実行を有効にします] と [スケジュール設定されたテストスイートの実行を有効化します] を有効にします。



3. [ヘッドレスランナーのプロパティ] セクションまで下にスクロールします。
4. 上にあるチェックボックスをオンにします。



5. [ヘッドレスランナーのプロパティ] フォームに次の値を入力します。

フォームラベル	プロパティ名	入力する値
ヘッドレスクライアントテストランナーからログインしてテストを開始するために使用されるユーザーアカウント	sn_atf.headless.username	Microsoft Windows でヘッドレスブラウザセットアップ用の Docker にシークレットを追加する で作成した統合ユーザーのユーザー名
ユーザーアカウントのパスワードが格納されている Docker シークレット ID	sn_atf.headless.secret_id	以前に取得した Docker の「シークレット ID」と、Microsoft Windows でヘッドレスブラウザセットアップ用の Docker にシークレッ

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フォームラベル	プロパティ名	入力する値
		トを追加する の手順のステップ 2 で作成した Docker シークレット名。
ヘッドレスクライアントテストランナーに使用される Docker イメージ。	sn_atf.headless.docker_image_name	ダウンロードしたタグ付きのイメージ名：ghcr.io/servicenow/atf-headless-runner:<tagname>

> **注:**
> シークレット ID を忘れた場合は、Windows ホストに移動してコマンド「docker secret list」を実行します。

6. **[Docker** コンテナ上のシークレットファイルの絶対パス] フィールドに、「C:\ProgramData\Docker\secrets\<ユーザーのシークレット名>」と入力します。
7. 残りのフィールドはそのままにします。
8. [保存] を選択します。

Microsoft Windows での **ATF** 用ヘッドレスブラウザの手順の確認

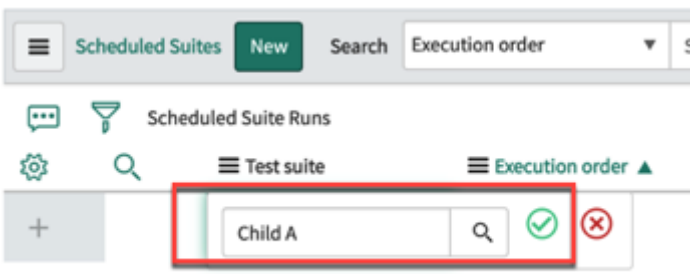
ヘッドレスブラウザのセットアップ手順が正常に終了したことを確認します。

始める前に
ステップ 7：Microsoft Windows でヘッドレスブラウザーの 自動テストフレームワーク (ATF) (ATF) を構成する を完了します。

必要なロール：admin

手順

1. **[ATF** のスケジュール **(ATF Schedules)]** に移動し、 [スイートスケジュール] リンクの横にある [新規] を選択します。
2. [実行] ボックスで、[オンデマンド]を選択します。
3. [保存] を選択します。
4. [スケジュール済みスイート] 関連リストで、**[+]** 記号をダブルクリックしてテストスイートの新しいレコードを追加し、使用するブラウザ名 (**[Chrome]** または **[Firefox]**) を選択します。
実行する適切な例として、**[Child A]** を使用します。



5. OS 名を Windows に設定します。
6. [今すぐ実行] を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

7. テストに合格したことを検証します。
   検証に成功すると、スケジュール済みスイートまたは CICD 経由で UI テストが実行されるスイートでは、[スケジュール設定済みのクライアントテストランナー] ページを手動で開かなくても、自動的にヘッドレステストランナーが作成されるようになりました。

ヘッドレスブラウザーのシステムプロパティ

次の表に、ServiceNow® の 自動テストフレームワーク (ATF) 用ヘッドレスブラウザーを設定するときに必要なプロパティを示します。

システムプロパティ

プロパティ名	タイプ	デフォルト値	目的
sn_atf.headless.browser_options	文字列	"--no-sandbox,--disable-gpu"	CLI オプションは起動時にブラウザーに渡されます
sn_atf.headless.default_browser	文字列	Chrome	ヘッドレス要求を開始するときに使用されるデフォルトのブラウザー
sn_atf.headless.default_os	文字列	Linux	ホストマシンのオペレーティングシステム
sn_atf.headless.docker_image_tag	文字列		名前：ホストマシン上の Docker イメージのタグ
sn_atf.headless.docker_window_seconds	int	60	Docker コンテナがこの時間内に 2 回起動に失敗した場合、サービスは再起動を試行しません
sn_atf.headless.enabled	True/False	false	スケジュール設定された UI テスト実行に対して、インスタンスがヘッドレスクライアントテストランナーの作成を試行するかどうかを決定します
sn_atf.headless.heartbeat_enabled	True/False	true	プロパティが true の場合、Docker コンテナはインスタンスに REST API 要求を毎分送信して sys_atf_agent がまだオンラインであることを確認し、レコードステータスが「オフライン」である場合、またはレコードが存在しなくなった場合は、そのコンテナを停止します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

システムプロパティ (続く)

プロパティ名	タイプ	デフォルト値	目的
sn_atf.headless.heartbeat_url	文字列	/api/now/atf_agent/online	ハートビートエンドポイントの URL で、ブラウザーがまだ応答することをコンテナが確認できるようにします。
sn_atf.headless.images_checked	true/false	false	このプロパティが true の場合、テスト実行の前に、インスタンスは要求された Docker image:tag がホストに存在することを確認します。
sn_atf.headless.login_button_id	文字列	sysverb_login	ログインページの [送信/ログイン] ボタンの HTML ID。
sn_atf.headless.login_page	文字列	login.do	ブラウザーが移動するログインページの URL
sn_atf.headless.password_field_id	文字列	user_password	ログインページのパスワードの入力フィールドの HTML ID
sn_atf.headless.request_timeout_sec	整数	200	Docker ホストに送信される HTTP 要求がタイムアウトするまでの秒数
sn_atf.headless.retry_count	整数	10	テスト実行をキャンセルする前に、エージェントがオンラインになるかどうかをインスタンスがチェックする回数
sn_atf.headless.runner_banner	文字列	test_runner_banner	[クライアントテストランナー] ページが正しくロードされたことを確認する要素の ID
sn_atf.headless.runner_url	文字列	atf_test_runner.do?sysparm_nostack=true&sysparm_scheduled_tests_only=true	[スケジュール設定済みクライアントテストランナー] ページの URL とそのクエリパラメーター
sn_atf.headless.secret_gid	文字列	1000	Docker コンテナのデフォルトユーザーの GID
sn_atf.headless.secret_id	文字列		ホストマシン上の Docker シークレットの ID

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

システムプロパティ (続く)

プロパティ名	タイプ	デフォルト値	目的
sn_atf.headless.secret_name	文字列		ホストマシン上の Docker シークレットの名前
sn_atf.headless.secret_path	文字列	/run/secrets/<secret_name>	Docker シークレットファイルが存在するパス：(詳細：https://docs.docker.com/engine/swarm/secrets/#how-docker-manages-secrets)
sn_atf.headless.secret_uid	文字列	1000	Docker コンテナのデフォルトユーザーの UID
sn_atf.headless.service_cleanup_exclude_list	文字列		インスタンスサービスのクリーンアップジョブ中に削除すべきでないサービス ID の例外。このジョブは毎晩実行され、ホスト上にあって有効期限が過ぎているサービスを削除します。
sn_atf.headless.service_stop_deletes	true/false	false	テスト実行の完了時に、このプロパティが true の場合、インスタンスはサービス削除要求を送信しないため、サービスとコンテナはホスト上に保持されます。デバッグに役立ちます。
sn_atf.headless.timeout_mins	整数	1440	Docker サービスが自動的にシャットダウンするまでの時間 (分)
sn_atf.headless.user_field_id	文字列	user_name	ログインページのユーザー名の入力フィールドの HTML ID
sn_atf.headless.username	文字列		インスタンスにログインするユーザー名
sn_atf.headless.validation_id	文字列	headless_vp_validation	検証ページがロードされたことを確認する要素の ID
sn_atf.headless.validation_page	文字列	atf_headless_validation.do	インスタンスの検証ページの URL

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

システムプロパティ (続く)

プロパティ名	タイプ	デフォルト値	目的
sn_atf.headless.vp_has_role	文字列	headless_vp_has_role	ユーザーが正しいロールを持っていることを検証する要素の ID
sn_atf.headless.vp_success	文字列	headless_vp_success	ページ全体が正常にロードされたことを示す要素の ID

関連情報

自動テストフレームワーク (ATF) のヘッドレスブラウザ

自動テストフレームワーク (ATF) の探索

ヘッドレスブラウザーのトラブルシューティング

これらのヒントは、ServiceNow® の 自動テストフレームワーク (ATF) 用ヘッドレスブラウザーの Linux または Microsoft Windows セットアップのトラブルシューティングに役立ちます。

ヘッドレスブラウザーのセットアップのトラブルシューティングでは、次の 3 つの基本的な項目を確認します。

Docker コンテナ

エラーログ：ヘッドレステストが完了したとき、エラーがある場合は Docker コンテナに生成されます。操作が失敗するか成功するかにかかわらず、コンテナの **stdout/stderr** ログは **sn_atf_docker_service** テーブルに格納されます。

[ヘッドレスクライアントテストランナーが割り当てられた時間に開始されませんでした]：このメッセージは、通常、Docker コンテナの初期化中または起動中にエラーが発生したことを意味します。これは、Docker コンテナのセットアップに何か問題があることを示している可能性があります。**sn_atf_docker_service** テーブルに移動してログを読み取り、エラーメッセージを確認します。

インスタンス

ATF テストの開始時のメッセージ **[Docker** フローの実行中にエラーが発生しました]：URL アドレスをたどって、エラーログを含むフローコンテキストを見つけます。たとえば、上記のエラーメッセージは、インスタンスが Docker ホストにアクセスできない場合に表示されます。

ネットワークエラー

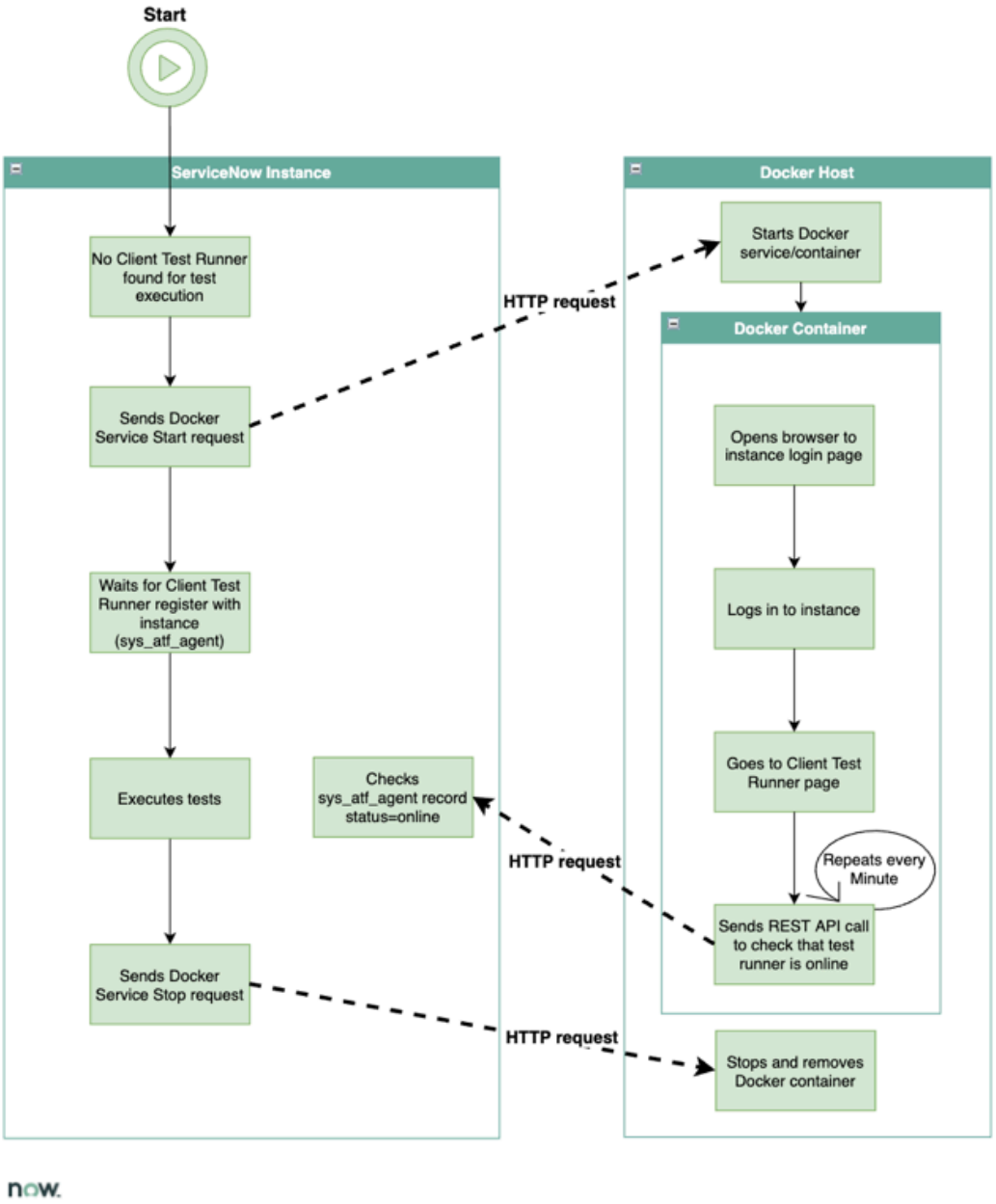
ファイアウォール：ファイアウォールがセットアップされ、インスタンスがホストとポートにアクセスでき、サーバーがインスタンスにアクセスできることを確認します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ヘッドレスブラウザーのアクションフロー図

フロー図の例



自動テストフレームワーク **(ATF)** **(ATF)** テストのビルドと実行

このセクションの情報を使用して、ATF テストとテストスイートをビルドして実行します。

自動テストフレームワーク **(ATF)** による自動テストのビルドと実行

自動テストフレームワーク (ATF) での基本タスク。

テストをビルドして実行するには、常に特定の操作を実行します。

- 自動化された新しいテストの作成
- 自動テストにステップを追加する
- 自動テストを実行する

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 自動テストの進行状況の表示
- テスト結果と自動テスト結果の表示

他の操作は頻繁に行うが、必ずしもすべてのテストに必要ではありません。

- フォームステップを含むテストの場合、自動化されたテストから結果のスクリーンショットを見る必要がある場合があります。
- テストによっては、１つの自動テストステップから別の自動テストステップにデータを渡す について知っておく必要がある場合があります。
- ステップの中には、多くの異なるテストで同じ順序で頻繁に行われるものもあるので、自動テストにステップ (テンプレート) の定義済みリストを追加する できます。

自動化された新しいテストの作成

実行する一連のステップを含む名前付き自動テストを作成します。

始める前に

必要なロール：atf_test_admin または atf_test_designer

手順

1. 移動先 すべて > 自動テストフレームワーク **(ATF)** > テスト.
2. [**New**] をクリックします。
3. 新しいレコードテストフォームで、テストの [名前] を入力します。
   システムは、(テストモジュールの下など) テストのリストを表示する場合はいつでも、この名前でこのテストを識別します。
4. オプション: 実行ごとに異なるテストデータでテストを複数回実行するためのパラメータ化されたテストを有効にします。
   詳細については、「パラメーター化されたテスト」を参照してください。
5. テストの [説明] を入力します。
6. [保存] をクリックします。
   新しいテスト レコードが作成され、テストのリストに戻ります。

次のタスク

自動テストにステップを追加する。

自動テストにステップ (テンプレート) の定義済みリストを追加する

テストテンプレートを使用すると、定義済みのステップリストをテストに追加できます。設定されたパターンに従うステップのリストは、テンプレートの好適な候補になります。

始める前に

ステップを追加したいテストを作成しておく必要があります。
必要なロール：atf_test_admin または atf_test_designer

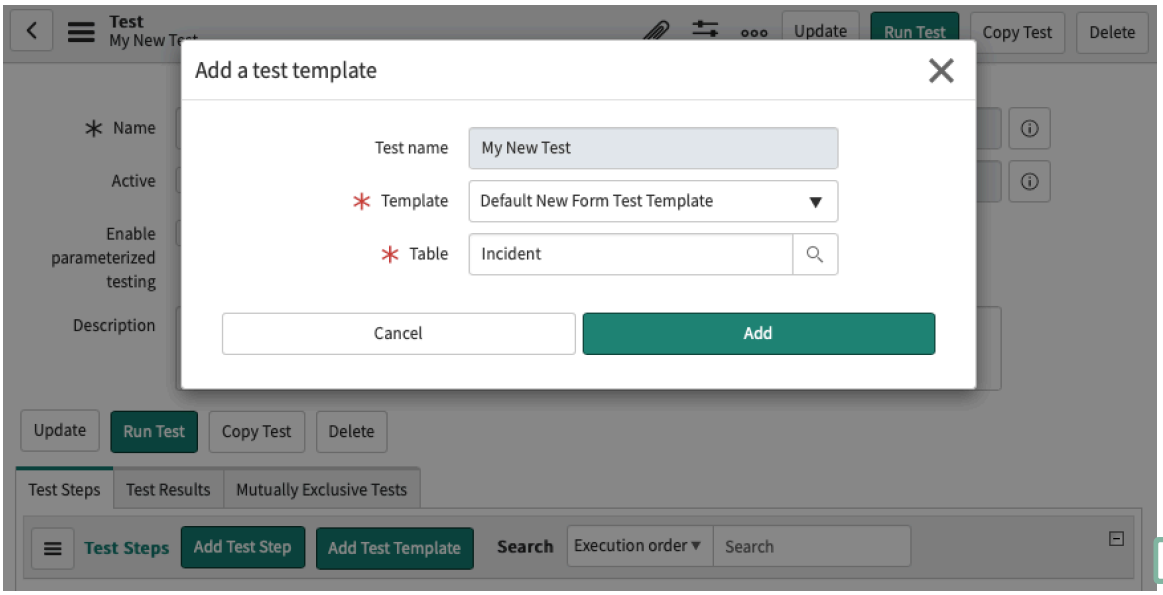
このタスクについて

多くのテストが同様のパターンを踏襲します。よくあるパターンの１つは、例えば、フォームを開き、あるフィールドの値を設定し、あるフィールドの値を検証し、UI アクションをクリックし、そして現状のフォームを提出することです。これらのステップを含むテンプレートが存在する場合、それらを全て一度にテストに追加できます。自動テストフレームワーク (ATF)にはデフォルトのテンプレートが付属しています。カスタムテストテンプレートを作成することもできます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > 自動テストフレームワーク **(ATF)** > テスト.
2. ステップを追加したいテストの行をクリックします。
   システムは、テストフォームを表示します。
3. [テストステップ] 関連リストで、[テンプレートを追加] をクリックします。
   システムは、 テストテンプレートを追加するダイアログを表示します。



4. 表フィールドで、これらの手順でテストしたいテーブルを選択します。
5. テンプレートフィールドで、追加したいステップが含まれているテンプレートを選択します。
6. [追加] をクリックします。
   システムがテンプレートステップをテストに追加します。また、このテンプレートからテストを完了する方法に関する一連の指示をテスト記述に追加します。
7. テスト記述の指示に従って、テンプレートによって追加された各ステップを編集し、必要な情報を追加します。

次のタスク
通常どおりにテストを編集または保存します。

関連情報

自動テストステップテンプレートの作成

自動テストにステップを追加する

自動テストを指定された順序で実行するための一連のステップを作成します。

始める前に
テストにステップを追加する前に、テストを作成する必要があります。
必要なロール：atf_test_admin または atf_test_designer

このタスクについて
この手順では、ステップを 1 ステップずつ追加できます。ステップのバッチを一度に追加することもできます。詳細については、「自動テストにステップ (テンプレート) の定義済みリストを追加する」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > 自動テストフレームワーク **(ATF)** > テスト.
2. 新しいテストステップを含むテストをクリックします。
3. テストフォームの下部にある [テストステップ] 関連リストで、[テストステップを追加] をクリックします。
4. [テストステップを追加] フォームの左側のパネルから、テストステップカテゴリを選択するか、または [すべてのステップ] を選択し、すべてのテストカテゴリで利用可能なすべてのテストステップを表示します。
   たとえば、特定のテストステップカテゴリを選択する場合、 フォーム関連のテストステップについては、フォームを選択し、アプリケーションメニューまたはモジュールの可視化をテストするには アプリケーションナビゲーターを、またサーバー上で実行するテストにはサーバーを選択します。

   注:
   特定のタイプのサーバーテストを選択する際に、正または負のテスト結果がテスト結果を成功させるかどうかを指定できます。詳細については、自動テストフレームワーク (ATF) の探索 で「アサーションタイプ」を参照してください。

5. 選択するテストステップのタイプをクリックします。
   たとえば、フォームカテゴリを選択した場合、[フィールド値の設定] を選択してフィールド値をフォームに設定します。

   フォームを使用して作業する一連の手順のいずれかを新しいフォームを開くまたは既存のフォームを開くステップで開始します。フォームを提出するステップで閉じます。

6. 該当する場合は、[後に挿入] ドロップダウンリストから、このステップに先行させるステップを選択します。
   これがテストの最初のステップである場合、[後に挿入] ドロップダウンリストは表示されません。
7. [次へ **]** をクリックします。
8. [テストステップを追加] フォームの テーブルリストから、この手順でテストする表を選択します。
9. オプション: [実行命令] フィールドで、テストでこのステップを実行する順序を表す整数を入力します。
   実行命令の詳細については、自動テストステップ順序の編集を参照してください。
10. このステップに適用するフィールドに記入します。

    手順については、「自動テストフレームワーク (ATF) (ATF) テストステップカテゴリ」を参照してください。

    いくつかのステップは、後続のステップの入力に渡したい出力値を戻します。詳細については、「1 つの自動テストステップから別の自動テストステップに値を渡す」を参照してください。

11. [送信] をクリックします。
    ステップが作成され、テスト レコードが表示されます。
12. ステップ 3～11 を繰り返して、このテストに追加ステップを追加します。

次のタスク
自動テストを実行する。

関連情報

自動テストフレームワーク (ATF) ユースケースの例

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動テストステップの変更

必要に応じて、作成後にテスト ステップを編集します。

始める前に
必要なロール：atf_test_admin または atf_test_designer

手順

1. 移動先 すべて > 自動テストフレームワーク **(ATF)** > テスト.
2. 編集したいテストが含まれる行をクリックします。
3. [テストステップ] 関連リストで、編集したいステップが含まれる行をクリックします。
   システムは、フィールド値の設定フォームを表示します。
4. 変更したいフィールドを編集します。
5. [更新] をクリックします。

自動テストステップ順序の編集

デフォルトでは、ステップは作成した順に実行します。この順序を変更するには、実行命令フィールドを編集します。

始める前に
必要なロール：atf_test_admin または atf_test_designer

このタスクについて
デフォルトでは、システムによってテスト用に作成された最初のステップに実行順の値 1 が割り当てられます。ステップを追加すると、使用可能な次の整数値が割り当てられます。言い換えると、テストの任意のステップの最も高い実行順が値 7 を持つ場合、システムは 8 を新しいステップに割り当てます。これらの値を編集することで、テストがステップを実行する順序を変更できます。

手順

1. 移動先 すべて > 自動テストフレームワーク **(ATF)** > テスト.
2. 編集したいテストが含まれる行をクリックします。
   [テスト] フォームが表示されます。
3. テスト ステップ関連するリストで、実行順の列の値を編集すしてステップの新しい順序を決定します。
4. [更新] をクリックします。

自動テストをコピーする

既存のテストをコピーし、名前を付け直して変更できます。

始める前に
必要なロール：atf_test_admin または atf_test_designer

手順

1. 移動先 すべて > 自動テストフレームワーク **(ATF)** > テスト.
2. コピーするテストを含む行をクリックして開きます。
3. テスト レコードフォームの右上にあるコピーテストをクリックします。
   システムがテストをコピーしたことを確認する注釈が表示されます。この注釈を確認すると、コピーしたレコードと名だけが異なる新しいテストレコードが表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

4. 名フィールドで、この新しいテストに割り当てる名前を入力します。
5. 必要に応じてテスト ステップを編集し、新しいテストと同じように進めます。
6. 変数の追加が完了したら、[更新]をクリックする。

> **注:**
> ATF テストのスコープ管理は、他のスコープ内のテストのコピーを特定して制限するのに役立ちます。テストをコピーする場合は、テストと同じスコープ内で操作する必要があります。詳細については、「アプリケーションスコープ」を参照してください。

自動テストを実行する

自動化されたテストを作成すると、非本番インスタンスを実行します。

始める前に

実行するテストを作成しておく必要があります。
テスト実行プロパティを有効にする必要があります。これを行うには、admin または atf_test_admin ロールが必要です。

> **注:**
> 本番システムでテストを実行できないようにするために、テスト実行プロパティはデフォルトでは無効になっています。開発、テスト、およびその他の準本番インスタンスでのみテストを実行してください。

必要なロール：atf_test_admin、atf_test_designer、または admin

手順

1. 移動先 すべて > 自動テストフレームワーク **(ATF)** > テスト.
2. 必要に応じてテストリストを表示するには、テストをクリックします。
3. 実行するテストが含まれる行をクリックします。
   システムは、[テスト] フォームを表示します。
4. [テストを実行] をクリックします。

> **注:**
> テスト実行プロパティが有効でない場合、[テストを実行] ボタンが表示されません。このケースでは、フォーム上部の注釈を参照し、リンクをクリックして、テスト実行を有効にします。

テストにフォームステップ (UI を含むステップ) またはその他の種類のUI テストステップ が含まれる場合、テストを実行する前に ブラウザの選択ダイアログが表示されます。現在実行中のテストクライアントの中から選択するのにそれを使うか、あるいは新しいランナーを起動します。詳細についてはすべてのテストおよびスイートのためのブラウザ推奨を参照してください。テストにサーバテスト ステップのみを含んでいる場合、システムは「ブラウザを選択」ダイアログを表示せずにテストを実行します。

次のタスク

テスト実行状況ダイアログでテストの進行を監視します。完了すると、(テスト実行の進行ダイアログにある)結果に進むをクリックしてテスト結果リストを表示し、テスト結果の表示と分析ができます。

> **注:**
> テストがデータを生成すると、システムはテストの全てのステップの後でそのデータを元に戻す。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

関連情報

自動テストとテストスイートのキャンセル

ブレークポイントの実装

ブレークポイントを使用すると、テスト実行の任意のステップでテストを一時停止して、トラブルシューティングとテスト作成を行うことができます。

ブレークポイントは、テストが失敗した場合に役立ちます。テストをデバッグするために、テストステップにブレークポイントを追加できます。テストステップを再度確認して、テスト失敗の理由を見つけることもできます。

注:
ブレークポイントはユーザー固有です。自分で作成したブレークポイントのみを表示できます。

テストデータのロールバック

テストデータのロールバックの直前にテスト実行を一時停止することもできます。[ロールバック前に一時停止] オプションをオンにすると、テストの完了後にテストデータのロールバックが発生する直前に、テストが一時停止します。テスト実行でのロールバックオプションの使用の詳細については、「ブレークポイントを使用した自動テストのデバッグ」を参照してください。

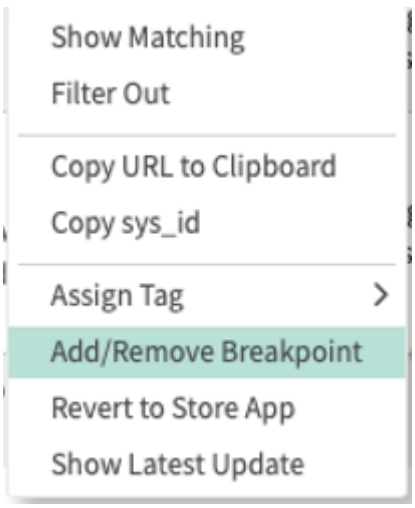
ブレークポイントを使用した自動テストのデバッグ

特定のテストステップにブレークポイントを追加して、失敗または予期しない動作をトラブルシューティングするためにテストを一時停止します。

始める前に
必要なロール：admin

手順

1. 移動先 すべて > 自動テストフレームワーク **(ATF)** > テスト.
2. 実行するテストを選択します。
3. [テストステップ] 関連リストを選択すると、選択したテストのすべてのテストステップが一覧表示されます。
4. ブレークポイントを追加または削除するテストステップを右クリックします。
5. リストから [ブレークポイントを追加/削除] を選択します。



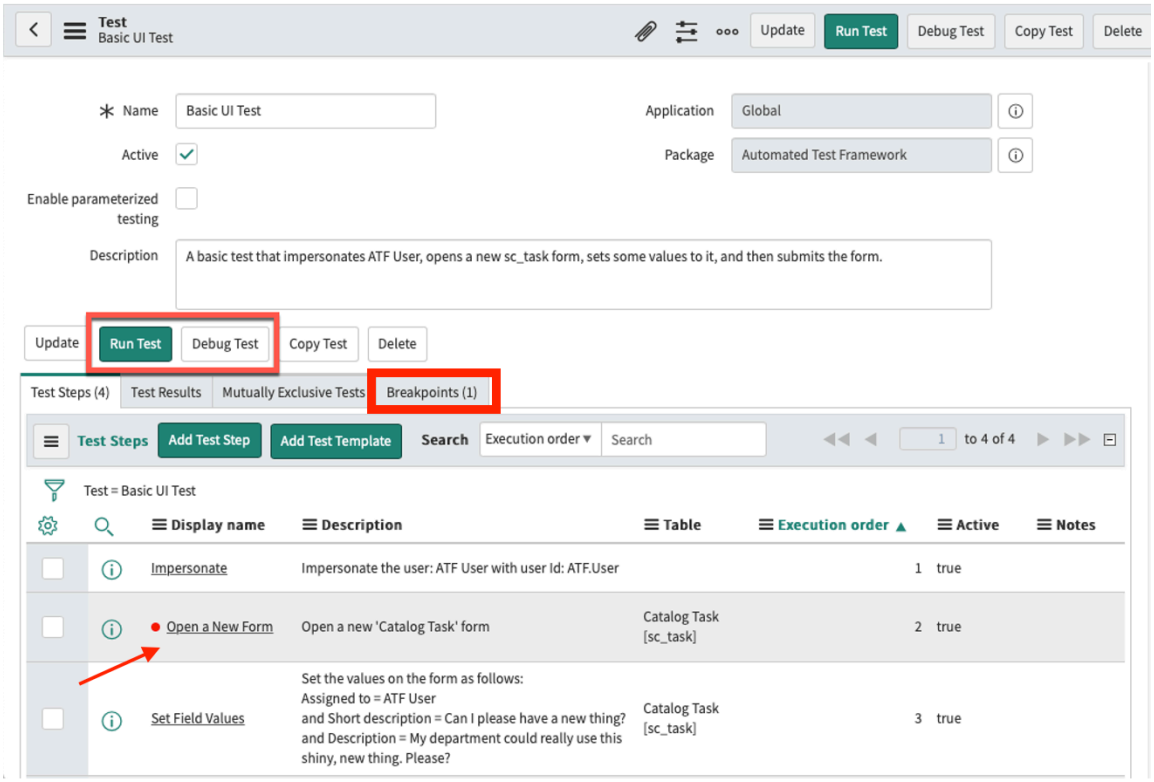
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

変更されたブレークポイントがテストステップにマークされます。

注:
ステップのブレークポイントのマークは、ブレークポイントがアクティブで、[デバッグテスト] を使用してテストが実行されると、そのブレークポイントテストステップの直前でテストが一時停止することを示します。[テストを実行] をクリックしてテストを実行すると、ブレークポイントは考慮されません。

テストに設定するブレークポイントはユーザー固有です。他のユーザーがテストのブレークポイントを表示したり変更したりすることはできません。

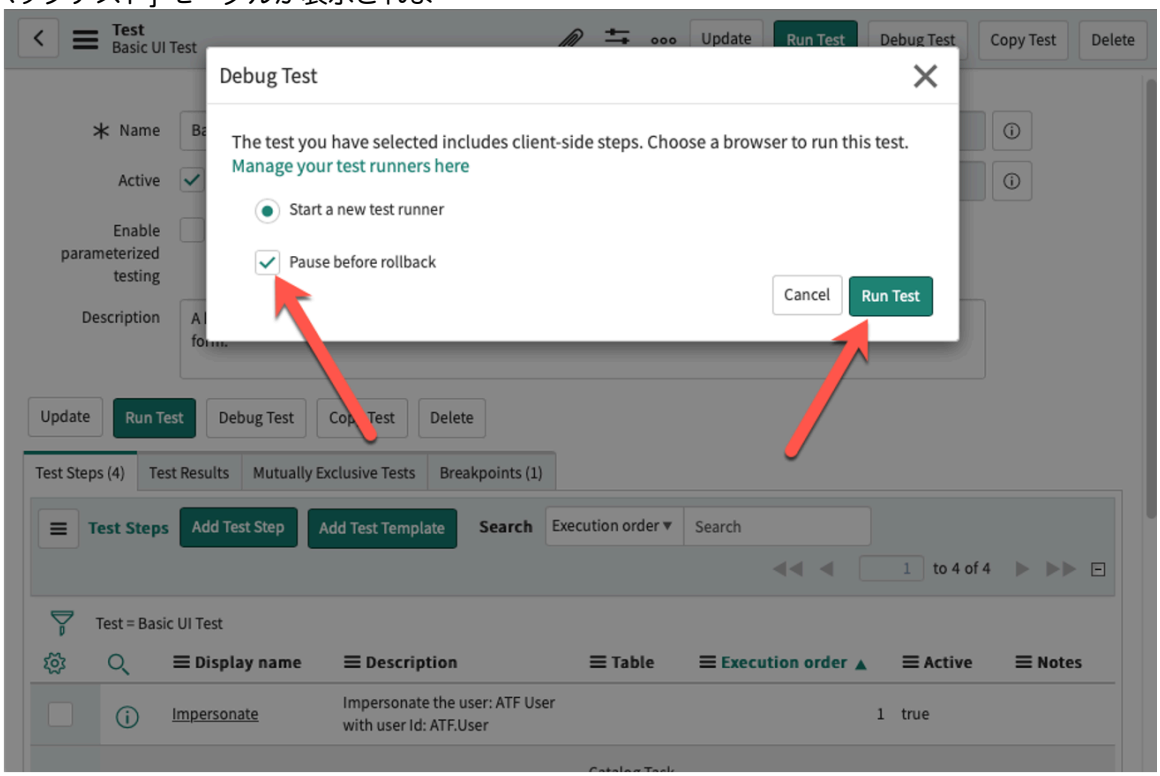


注:
1 つのテストに複数のブレークポイントを設定できますが、テストステップごとに 1 つのブレークポイントしか設定できません。

6. オプション: [ブレークポイント] 関連リストをクリックすると、テスト内のブレークポイントを持つすべてのテストステップが表示されます。
7. [デバッグテスト] をクリックして、ブレークポイントを使用してテストを実行します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[デバッグテスト] モーダルが表示されま



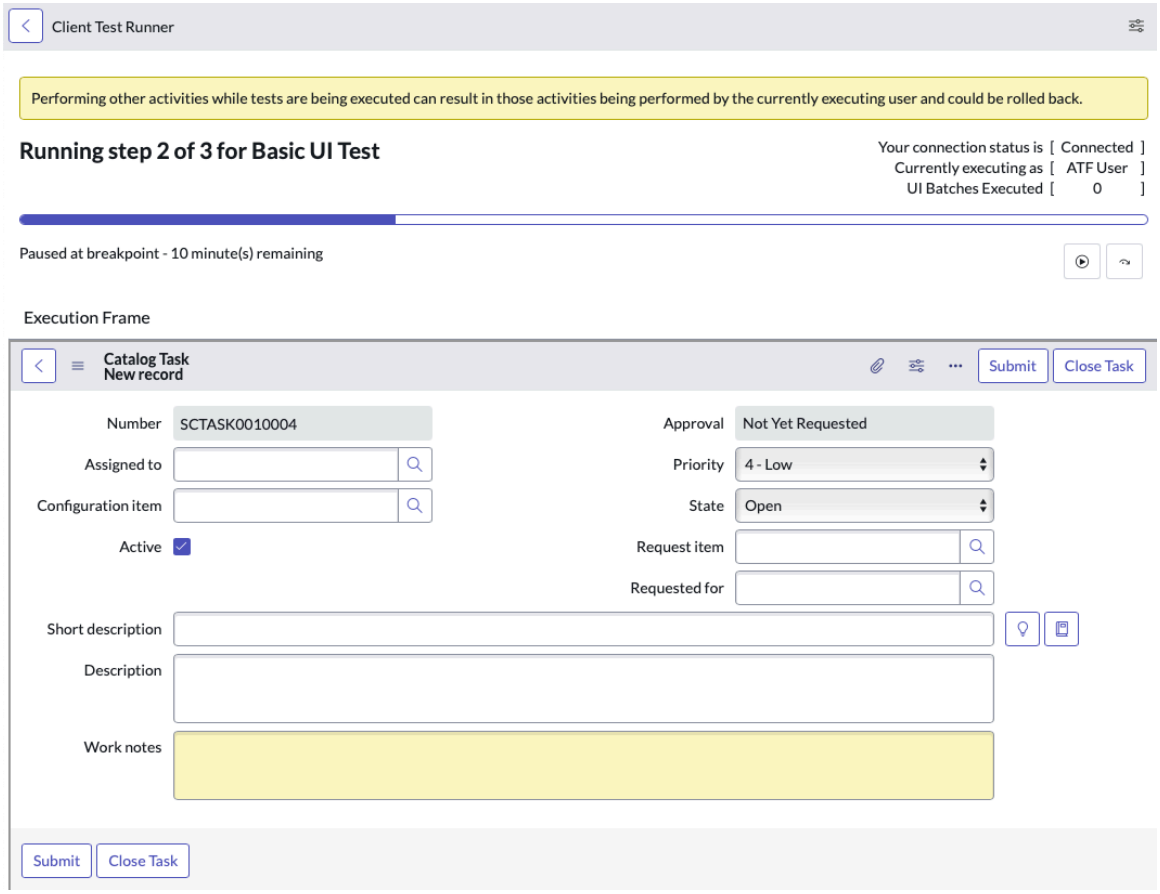
す。

- Safari – 選択したテストのクライアント側ステップの実行に使用されるブラウザー
- [ロールバック前に一時停止] – テストの完了後にロールバックが発生する直前に、テストを一時停止するオプション

8. ブレークポイントが実装されているステップを分析およびデバッグします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



注:
すべてのブレークポイントで、テストの実行が 10 分間一時停止します。割り当てられた 10 分以内にテストステップをデバッグし、テストを再開して次のブレークポイントに達するまで実行できます。

次のオプションは、テストがブレークポイントで一時停止されている場合にのみ表示されます。

- 続行：次のブレークポイントまでテストの実行を続行します。
- ステップオーバー：すべてのステップでテストが一時停止します。現在のステップで一時停止しない場合は、[ステップオーバー] オプションを選択して次のステップにジャンプします。

テスト結果と自動テスト結果の表示

完成したテストおよびテストスイートの実行結果を表示します。自動テスト実行の結果を慎重に検討し、明らかになった問題を解決するために必要な修正措置を実行します。

始める前に
必要なロール：なし

このタスクについて
テストとテストスイートの結果は、システムのテスト実行時間と失敗したステップを示します。フォームステップのスクリーンショットが含まれることもあります。また、同じテストスイートの異なる実行を比較するレポートを表示することもできます。

ユーザーインターフェイスのどこにあるかに応じて、テスト結果に移動するための複数のオプションがあります。たとえば、テスト実行の進捗状況ダイアログが表示された場合は、[結果に移動] を選択できます。この手順では、ユーザーインターフェイスの任意の場所からテスト結果を表示できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 自動テストフレームワーク **(ATF)** > テスト結果.
2. 行をクリックすると、特定のテストの結果にアクセスできます。
   システムは、テスト結果レコード を表示します。
3. 選択したテストのステップ結果を表示します。
   a. [ステップ結果] 関連リストをクリックします。
   b. 下にスクロールして、表示するステップ結果の行をクリックします。
      システムは、ステップ結果レコード を表示します。
4. このテスト結果のテストログを表示します。
   a. [テストログ] 関連リストをクリックします。
   b. スクロールダウンして、表示するテストログの行をクリックします。
      システムは、テストログレコード を表示します。

自動テスト結果の表示

テスト結果、ステップ結果、またはテストログを表示するときに、[許可されたクライアントエラー] テーブルでクライアントエラーを無視または警告エントリとして許可できます。これにより、将来のテストでクライアントのエラーが発生しても、テストの実行が継続します。

自動テストの結果スクリーンショットを表示する

テストに UI コンポーネントがある場合、システムは UI のスクリーンショットを取得します。これらのスクリーンショットを見ると、テスト結果をさらに詳しく知ることができます。

始める前に
結果を表示したいテストが実行されている必要があります。

注:
最適なスクリーンショットの結果を得るには、ブラウザーのズームレベルを 100% のままにします。

必要なロール：atf_test_admin または atf_test_designer

手順

1. 移動先 自動テストフレームワーク **(ATF)** > テスト結果.
2. 結果を表示するテストが含まれる行をクリックします。
   [テスト結果] フォームが表示されます。
3. 添付ファイルリストで必要なスクリーンショットを見つけて、テスト中に取得したスクリーンショットを表示します。
   スクリーンショットにはスクリーンショットの単語が付いておりシステムがショットを記録したときのタイムスタンプ (常に UTC 時間) がそれに続きます。ステップとスクリーンショットのタイムスタンプを比較することで、スクリーンショットをテスト ステップに一致させることができます。

テストスイート結果の自動表示

自動テストスイートの結果を表示します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて

注:
ユーザーインターフェイスのどこにあるかに応じて、テストスイートの結果に移動するための複数のオプションがあります。たとえば、テスト実行進行ダイアログが表示された場合は、代わりに結果に進むをクリックできます。ここで説明する手順を使用すると、ユーザーインターフェイスの任意の場所からテストスイートの結果を表示できます。

手順

1. 移動先 自動テストフレームワーク **(ATF)** > スイート結果.
2. 結果を表示するテストが含まれる行をクリックします。
   システムは、テストスイート結果レコード を表示します。

関連情報

クライアントエラーの特定と解決

テスト結果からクライアントエラーを許可

ステップ結果からクライアントエラーを許可

テストログからクライアントエラーを許可

クライアントエラーの特定と解決

クライアントエラーを特定し、クライアント側スクリプトで解決します。

始める前に
必要なロール：admin

このタスクについて
クライアントエラーが発生すると、自動テストフレームワーク (ATF)はエラーが発生したときに実行中のステップでテストに失敗する。手順の実行中に JavaScript エラーが発生するとクライアント側スクリプトがサイレントで失敗する可能性がありますが、それでもエラーはデータおよび実行中の手順に影響を与える可能性があります。自動テストフレームワーク (ATF) では、これらのエラーを検証エラーとみなします。

手順

1. 移動先 すべて > アプリケーション > 自動テストフレームワーク **(ATF)** > テスト をクリックし、フォームと対話する自動テストフレームワーク (ATF) テストを実行します。
2. このテストのテスト結果では、次の要約でステップの結果を確認します。

   テスト中のページで「詳細なエラーメッセージ」というクライアントエラーが検出されたため、このステップは失敗しました。不合格のテストログを表示します。次回のテスト実行でこれらのエラーを無視するには、[すべてのクライアントエラーを警告/無視リストに追加 (Add all client errors to warning/ignored list)] リンクを使用します。

   このステップの結果は、UI と対話するステップでのみ表示します。

3. これらのスクリプトエラーを特定して解決するには、クライアントテスト ランナーページ上の開発者ツールのブラウザコンソールを開きます。

   注:
   ブラウザコンソールを開く方法については、 http://webmasters.stackexchange.com/questions/8525/how-to-open-the-javascript-console-in-different-browsers を参照

4. エラーが表示される場合は、次のいずれかのベースシステムテーブルにある可能性がある、問題のあるクライアント側スクリプトを特定してトラブルシューティングしてください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- ServiceNow クライアントスクリプト
- UI アクション
- UIマクロ (HTMLスクリプト)
- UIページ (HTMLスクリプト)
- UI ポリシー
- UI スクリプト
- 上記のベースシステムテーブルを拡張するテーブル

5. スクリプトにエラーがないか確認し、修正したらテストを再度実行します。

次のタスク
スクリプトのバージョン履歴を確認して、クライアントエラーの原因を特定します。ベースシステムスクリプトをカスタマイズした場合は、アップグレード中にスキップされた新しいバージョンがスクリプトに含まれている可能性があります。

クライアントエラーの例

一般的なクライアントエラーにはいくつかの種類があります。

クライアントの**JavaScript**エラー

クライアントスクリプトでエラーが発生すると、ブラウザコンソールに次の例のようなエラーが表示します。

```
************************************************
A script has encountered an error in render events
TypeError: Cannot read property 'id' of undefined
Script ends. Continuing happily
************************************************
[00:00:00.002] onLoad Modify Comments Label
```

この例では、クライアントスクリプトコメントラベルの変更が原因でエラーが発生しました。

その他のクライアントスクリプトエラー

その他のタイプのスクリプトエラーは、発生時に任意のフォーマットでブラウザコンソールに直接報告します。

TypeError：コールバック (id) が定義されていません

Sys ID によるスクリプトリソースリンク

場合によっては、コンソールエラーは Sys ID を使用してスクリプトリソースファイルへのリンクを提供します。このリンクの後には、スクリプトがそれを実行したコンテキストを与えることができます。

```
Uncaught ReferenceError: myobj is not defined
    at incident.do?sys_id=12345678901234567890123456789012
(anonymous) @ incident.do?sys_id=12345678901234567890123456789012  <---- LINK
```

スクリプトのアクセス許可

問題のあるスクリプトを特定しながら、スクリプトにデータへのアクセス権があることを確認します。以下をチェックしてください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- テーブルとフィールドのアクセスコントロールルールのアクセスを許可します。
- スクリプトがプライベートスコープ内のアプリケーションにアクセスする場合のアプリケーションアクセスを許可します。
- ドメインセパレーションが設定されている場合は、ドメインセパレーションを許可します。

関連情報

許可されたクライアントエラー

UI テストステップ

ユーザーのアクションを模倣し、ページの表示されるコンポーネントを操作することで、ユーザーインターフェイスをテストします。

クライアントテストランナーの依存関係

UI テストステップでは、アクティブなクライアントテストランナーがページの表示コンポーネントに直接作用する必要があります。テスト担当者は、UI テストのために 1 つ以上のクライアントテストランナーを手動で起動する必要があります。テスト設計者は、テストスイートからオープンクライアントのテストランナーを選択することをスケジュールできます。「クライアントテストランナーでの作業」を参照してください。

インテリジェント待機メカニズム

UI テストステップには、コンポーネントのクリックや値の設定などの UI 変更によってトリガーされるインテリジェントな待機メカニズムがあります。待機メカニズムでは、次の UI テストステップに進む前に UI 変更が完了する必要があります。テスト設計者は、UI テストステップ間に手動で待機メカニズムを追加する必要はありません。

カスタム UI テストステップ

HTML および JavaScript ページコンポーネントを取得し、それらがサポートするテストアクションを特定することによって、UI ページや UI マクロなどのカスタマイズされたユーザーインターフェイスをテストします。

カスタム UI テストステップでは、自動テストフレームワーク (ATF) はターゲット Web ページからテスト可能なコンポーネントを取得して識別する必要があります。

注:
Next UI エクスペリエンスページは、構成可能なワークスペース (フォームステップを除く) や UI ビルダーを含むがこれらに限定されないカスタム UI テストステップではサポートされていません。

テスト可能なコンポーネント

テスト可能なページコンポーネントは、これらの特性を備えた標準の HTML と JavaScript で構成されています。

ユーザーの操作によって設定またはクリックされる

テスト可能なページコンポーネントを使用すると、ユーザーは値を設定したりクリックしたりできます。

DOM (Document Object Model) からアクセス可能

テスト可能なページコンポーネントは DOM からアクセスでき、DOM の JavaScript 操作をサポートします。カスタム UI テストステップは、シャドウ DOM 内のページコンポーネントにアクセスできません。

JavaScript にアクセスできる

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

テスト可能ページコンポーネントは JavaScript でアクセスできます。カスタム UI テストステップは、ファイルフィールドなどのオペレーティングシステムと直接やり取りするページコンポーネントにアクセスしたり、Excel ファイルや PDF ファイルなどの非 HTML コンテンツを表示したりすることはできません。

新しいブラウザータブまたはウィンドウは、カスタム UI テストステップではサポートされていません。

カスタム UI テストから除外されない

テスト可能なページコンポーネントは、カスタム UI テストから除外されません。自動テストフレームワーク (ATF) は、他のテストステップカテゴリで既にテスト可能なページコンポーネントを除外し、ServiceNow AI Platform 機能に関連づけられたページコンポーネントも除外します。

ページインスペクターにアクセス可能

テスト可能なページコンポーネントは、ページインスペクター から表示したときに結果を返さなければなりません。テスト設計者は、ページのテスト可能なコンポーネントを識別するためにページインスペクターを使用できます。

テスト可能なページコンポーネントの例には、これらの UI 要素があります。

- ボタン
- リンク
- ページテキスト
- UI コントロール
- UI マクロ
  - ui_date
  - ui_date_time
  - ui_reference
- UI ページ
- ウィザード

テスト不可能なページコンポーネントの例としては、これらの UI 要素があります。

テスト不可能なページコンポーネントの例

テスト不可能な理由	テスト不可能なページコンポーネント
設定またはクリックできない	非表示のコントロール
	HTML コメント
	div、section、span などの HTML レイアウト要素
	HTML スクリプト要素
DOM からアクセスできない	ダッシュボード
	イメージ
	リスト
	レポート
	シャドウ DOM
JavaScript でアクセスできる	Excel ファイル

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テスト不可能なページコンポーネントの例 (続く)

テスト不可能な理由	テスト不可能なページコンポーネント
	ファイルフィールド
	PDF ファイル
ServiceNow AI Platform の機能である	フローデザイナー
	Studio
	アップグレードモニター
他のテストステップカテゴリでテスト可能	フォームフィールドラベル
	フォームフィールド値
	サービスカタログ
	ワークスペース

設定可能なページコンポーネント

設定可能コンポーネントは、テキスト入力フィールドなどの動的な値を持つ UI 要素です。設定可能コンポーネントは、これらのテストアクションとテストステップをサポートします。

設定可能コンポーネントのテストオプション

ページインスペクターのアクション	カスタム **UI** テストステップ
コンポーネント値を設定	コンポーネント値 (カスタムUI) の設定
コンポーネント値を取得	ページ (カスタムUI) のテキストをアサートする
	コンポーネント値の検証 (カスタム UI)
コンポーネントが無効	コンポーネントステータスの検証 (カスタム UI)

設定可能なコンポーネントには、カスタム UI テストステップで設定できる値を決定する データ型があります。たとえば、特定のレコードへの参照を表示するためのページコンポーネントは、システム ID 値のみを表示するための参照データタイプを持つことができます。

自動テストフレームワーク (ATF) では、UI 開発者は、カスタム UI テスト中に使用するデータタイプを指定できます。UI 開発者は、ページコンポーネントにデータタイプをアサインして、テストステップで有効な値が設定されるように確保できます。次のデータタイプがサポートされています。

- 日付
- 日時
- 参照

詳細については、「コンポーネントデータタイプを上書きする」を参照してください。

クリック可能なページコンポーネント

クリック可能なコンポーネントとは、チェックボックスやラジオの入力など、ユーザーがクリックすることで操作できる UI 要素のことです。クリック可能なコンポーネントはこれらのテストアクションをサポートします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クリック可能なコンポーネントのテストオプション

ページインスペクターのアクション	カスタム UI テストステップ
コンポーネントをクリック	[コンポーネント (カスタム UI)] をクリックします
コンポーネント値を取得	ページ (カスタムUI) のテキストをアサートする
	コンポーネント値の検証 (カスタム UI)
コンポーネントが無効	コンポーネント ステータスの検証 (カスタム UI)

クリック可能なコンポーネントは動的な値を持たないのでデータ型を持ちません。

取得されたページコンポーネント

自動テストフレームワーク (ATF) は、テストするカスタム UI ページごとに取得したページコンポーネントのリストを格納します。カスタム UI テストステップは、[コンポーネント] と [コンポーネント値 **(Component values)**] フィールドから取得したコンポーネントのリストを表示します。

デフォルトでは、ページコンポーネントのリストは静的であり、テスト設計者が手動で [コンポーネントの取得] をクリックしたときにのみ更新されます。アドミニストレーターは、システムプロパティ *sn_atf.page_data_capture.enabled* を有効にして、カスタム UI テストステップが実行されるたびにページコンポーネントのリストを更新できます。テスト設計時にこのプロパティを有効にすると、テスト設計者は常に最新のページコンポーネントリストにアクセスできるようになります。テスト設計が完了した後にこのプロパティを無効にすると、テストステップは以前に取得したページコンポーネントのリストを使用できるため、テストの実行速度が向上します。

ServiceNow AI Platform は、取得したページコンポーネントのリストをデータとして扱い、それらを更新セットまたはアプリケーションファイルに含めません。あるインスタンスから別のインスタンスにテストを転送するとき、テスト設計者は手動でページコンポーネントを再度取得する必要があります。

設計上の考慮事項

カスタム UI ページとページコンポーネントをテストするときは、これらの設計上の考慮事項に従ってください。

ページインスペクターを使用してテスト可能なページコンポーネントを識別する

ページインスペクターは、どのページコンポーネントがカスタム UI テストに使用できるかを決定します。ページインスペクターに利用できないページコンポーネントは、カスタム UI テストには利用できません。

テストするカスタム UI に移動する

ターゲットのカスタム UI に移動するには、既存のテストステップを使用します。たとえば、ナレッジベース記事をテストするには、既存のテストステップを使用してモジュールに移動するか、既存のレコードを開きます。ほとんどのカスタム UI テストでは、テストの一部として既存のテストステップカテゴリを使用する必要があります。

コンポーネント領域を使用してページコンポーネントを識別します

コンポーネント領域は、`<div>` または `<section>` 要素などのコンポーネントを含む HTML レイアウト要素を表します。この領域は、テストデザイナーがページレイアウト内の場所を指定することによってコンポーネントを区別するのに役立ちます。

ServiceNow AI Platform UI ではなくカスタム UI をテストする

自動テストフレームワーク (ATF) は、ServiceNow AI Platform 機能のカスタム UI テストを回避します。たとえば、ダッシュボードやグラフィカルデザイナーをテストすることはできません。代わりに、カスタム UI ページと要素を検証するためのテストをビルドします。これらのユーザーインターフェイスは直接制御できるからです。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

HTML 属性を使用してページコンポーネントのテストプロパティを上書きする

自動テストフレームワーク (ATF)に固有の HTML 属性を使用して、特定のページコンポーネントのテストプロパティを変更します。「コンポーネントテストアクションを上書きする」を参照してください。

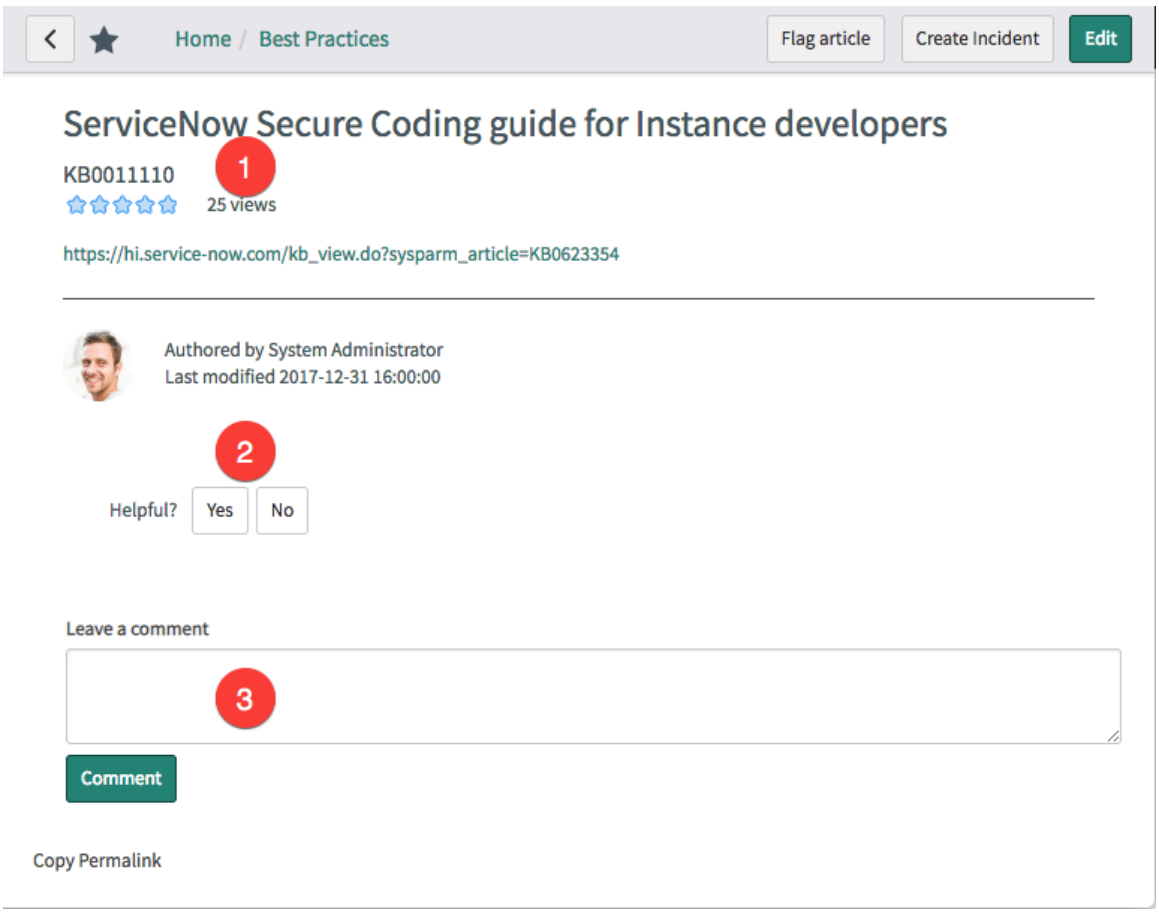
テストを別のインスタンスに移動するときはページコンポーネントを再度取得する

カスタム UI テストステップは、UI コンポーネントをメタデータとして格納しません。テスト担当者がインスタンス間でテストを移動するときは、ページコンポーネントを手動で再度取得する必要があります。

カスタム UI テストの例

取得したコンポーネントのリストを使用して、カスタム UI テストステップを設計できます。たとえば、ナレッジベース記事のレビューとコメントをテストしたいとします。ナレッジベース記事には、カスタム UI 手順がテストする必要があるページコンポーネントがいくつか含まれています。

ナレッジ記事ページの例



たとえば、これらのページコンポーネントはカスタム UI テストステップが必要です。

1. 記事の閲覧数。
2. 記事を役に立ったとしてマークするボタン。
3. コメントを残すテキスト領域。

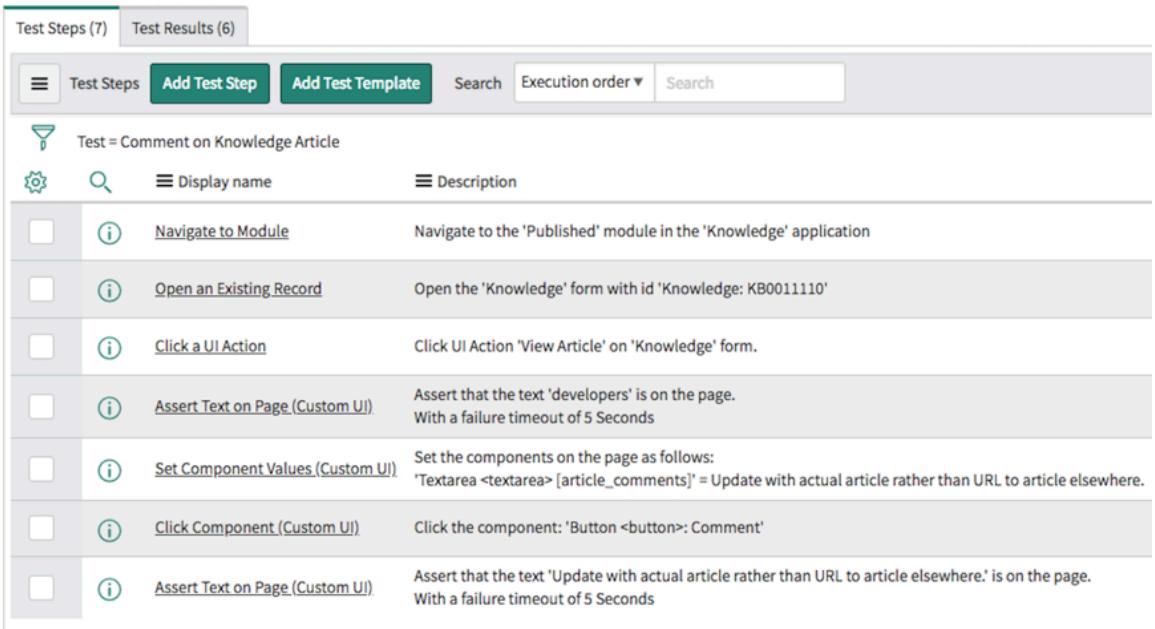
これらのステップは、ナレッジベース記事へのカスタム UI テストを示しています。サンプルテストは、これらの既存の UI テストステップとカスタム UI テストステップで構成されています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

1. モジュールに移動。「ナレッジ」アプリケーションの「発行済み」モジュールに移動します。
2. 既存のレコードを開く。ID が「Knowledge：KB0011110」の「ナレッジ」フォームを開きます。
3. **UI** アクションをクリックします。「ナレッジ」フォームの UI アクション「記事の表示」をクリックします。
4. ページ (カスタム **UI)** のテキストをアサートする。「開発者」というテキストがページにあることをアサートします。
5. コンポーネント値を設定（カスタムUI）。次のようにページ上のコンポーネントを設定します。'Textarea <textarea>[article_comments]‘ = 他の場所の記事への URL ではなく実際の記事で更新する。
6. コンポーネント (カスタム **UI)** をクリック。「ボタン <button>：コメント」コンポーネントをクリックします。
7. ページ (カスタム **UI)** のテキストをアサートする。「他の場所の記事への URL ではなく実際の記事で更新する。」というテキストがページ上にあることをアサートします。

ナレッジベース記事テストのテストステップの例

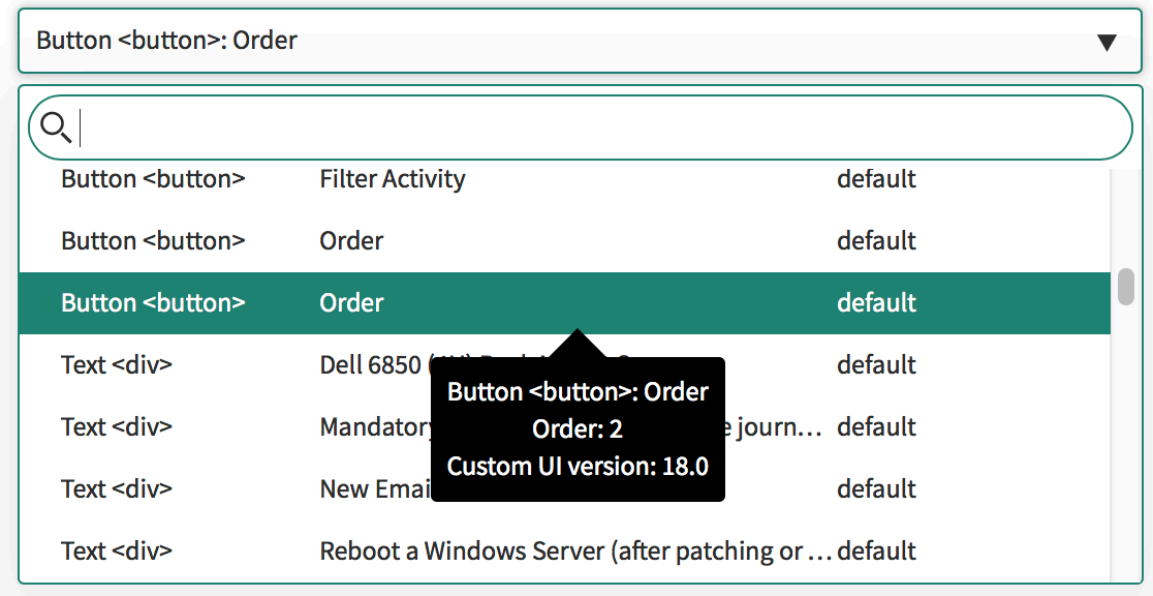


カスタム UI コンポーネントのバージョンと順序

カスタム UI テストステップのいずれかでコンポーネントを選択すると、カスタム UI バージョンが表示される場合があります。複数の重複するコンポーネントがある場合は、コンポーネントの順序が表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



注:

- カスタム UI バージョンは、カスタム UI バージョンが異なるコンポーネントが少なくとも 2 つある場合にのみ表示されます。
- 順序は、コンポーネントのドロップダウンメニューに重複するコンポーネントがある場合にのみ表示されます。表示された順序に従って、それらを明確にすることができます。
- 異なる複数の重複コンポーネントがある場合は、[カスタム UI バージョン] と [順序] の両方が表示されます。

コンポーネントの識別

sn-atf-id 属性を使用して、コンポーネントを識別する代替方法を実装します。これは、コンポーネントの名前または ID 属性が動的で、テストが実行されるたびに変わる場合に便利です。一貫した値を持つ sn-atf-id 属性を追加して、テストの実行時に ATF がコンポーネントを識別できるようにします。また、テストをビルドするときにコンポーネントを識別することもできます。たとえば、ボタンコンポーネントで

```
<button sn-atf-id="consistentValue">Test</button>
```

注:
Rome リリース以降、sn-atf-id 属性を持つコンポーネントがページ上に 1 つだけある場合、ATF はそのコンポーネントの他の属性に関係なくそのコンポーネントを検索します。

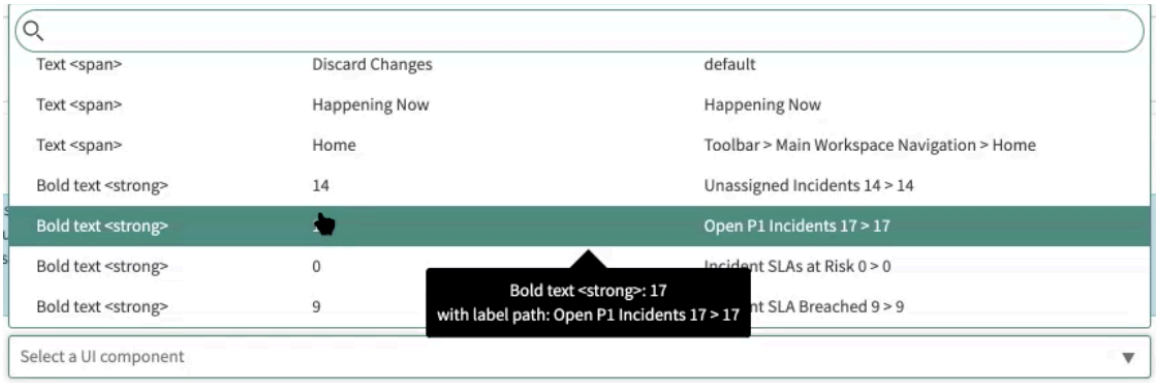
ATF コンポーネントの識別の改善

[ページ領域] 列に含まれるラベルパスを使用して、コンポーネントを識別します。Rome リリース以降、 sn_atf.element.use_label_path プロパティはデフォルトで true に設定されています。

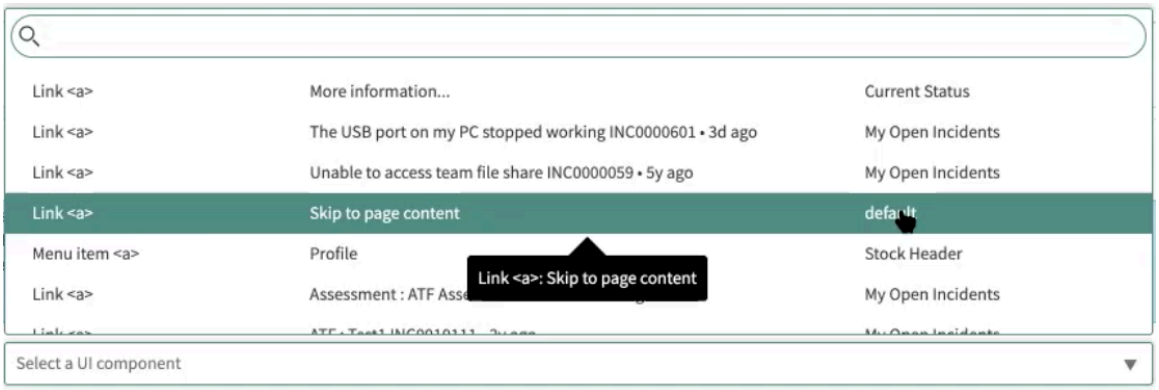
コンポーネントに sn-atf-area 属性がある場合、[ページ領域] 列には sn-atf-area 値が表示されます。 sn-atf-area 属性が存在しない場合、そのコンポーネントのラベルパスが [ページ領域] 列に表示されます。

自動翻訳

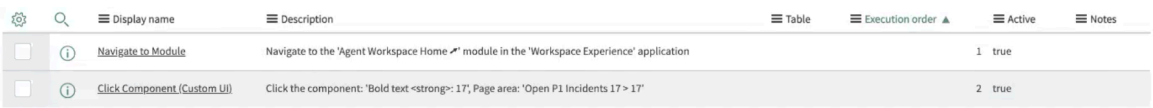
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



注:
同じ名前の [ラベル] 値が複数ある場合、ラベルパスは正しいコンポーネントを識別するのに役立ちます。コンポーネントに sn-atf-area 属性またはラベルパスがない場合は、デフォルトとして表示されます。



リストから必要なコンポーネントを選択して [送信] をクリックすると、テストステップの説明も詳細な情報で更新されます。



ページインスペクター

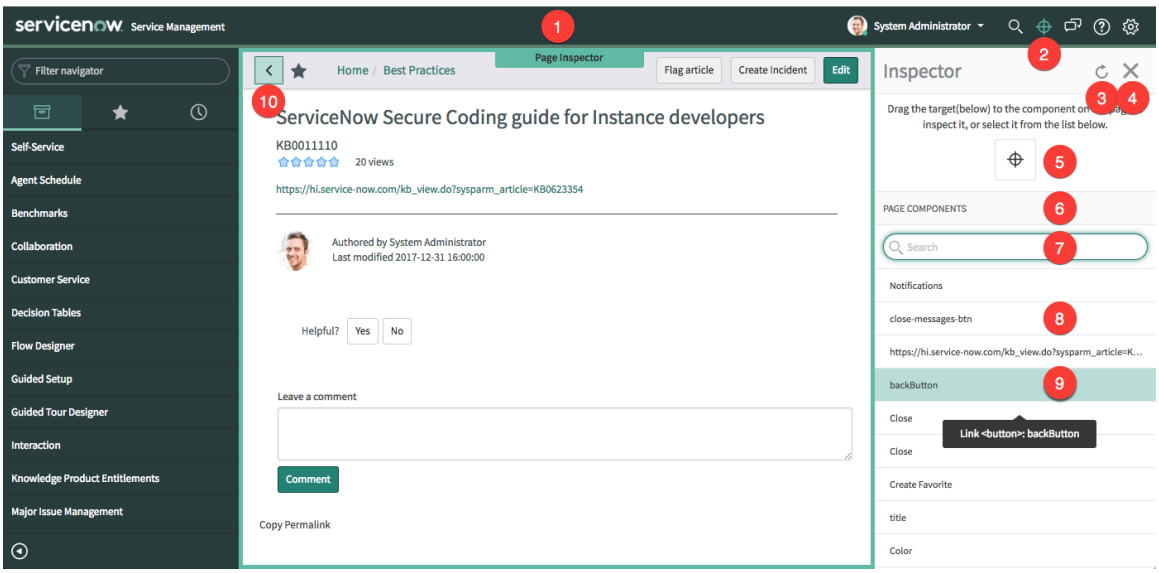
カスタム UI テストに使用できるユーザーインターフェイスの HTML および JavaScript ページコンポーネントを特定します。ユーザーインターフェイスにテスト可能なページコンポーネントのみが含まれていることを確認して、自動テストを有効にします。

ページインスペクターは、現在表示されている ServiceNow AI Platform ページの横に新しいペインを開く開発者設定です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ナレッジベース記事 **KB0011110** のページインスペクタービュー



ページインスペクターはこれらの機能を提供します。

1. 現在検査されているページを識別する強調表示されたフレーム。
2. インスペクターペインを表示または非表示にするバナーアイコン。
3. ページコンポーネントのリストを更新するボタン。
4. インスペクターペインを非表示にするボタン。
5. ページ上の特定のコンポーネントを識別するインスペクターボタン。
6. カスタム UI テストに使用できるページコンポーネントのリスト。
7. ページコンポーネント検索フィルター。
8. ページコンポーネントに関する詳細情報を表示する場合にクリックする行。
9. 現在検査されているコンポーネントに関する情報をプレビューするためのハイライト表示された行とツールヒント。
10. ページ上で現在検査されているコンポーネントを識別するために強調表示されたページコンポーネント。
11. ページコンポーネントのリストに戻るためのコンポーネントラベルと戻るボタン。
12. 現在のページコンポーネントに対して実行するアクションのリスト。
13. 現在のページコンポーネントの属性情報のリスト。
14. ページコンポーネントの属性名と値のペア。

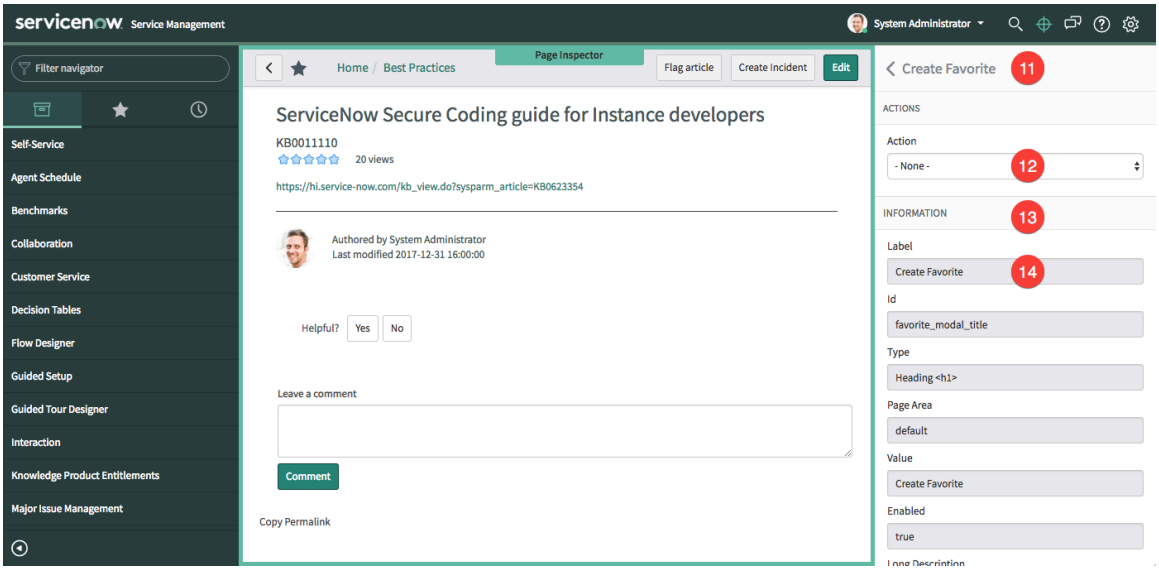
> **注:**
> [ラベルパス] フィールドを使用して、ページ上のコンポーネントを検査するときに、要素の周囲の階層ページコンテキストを表示できます。要素の「先祖」ラベルパスが多い場合、表示できるのは 3 つだけです。各ラベルパス要素は > で区切られます。これは外観が似ている 2 つのコンポーネントを区別するために使用できます。

> **注:**
> アイコン付きの UI ボタンがページインスペクターに表示されるようになりました。

自動翻訳

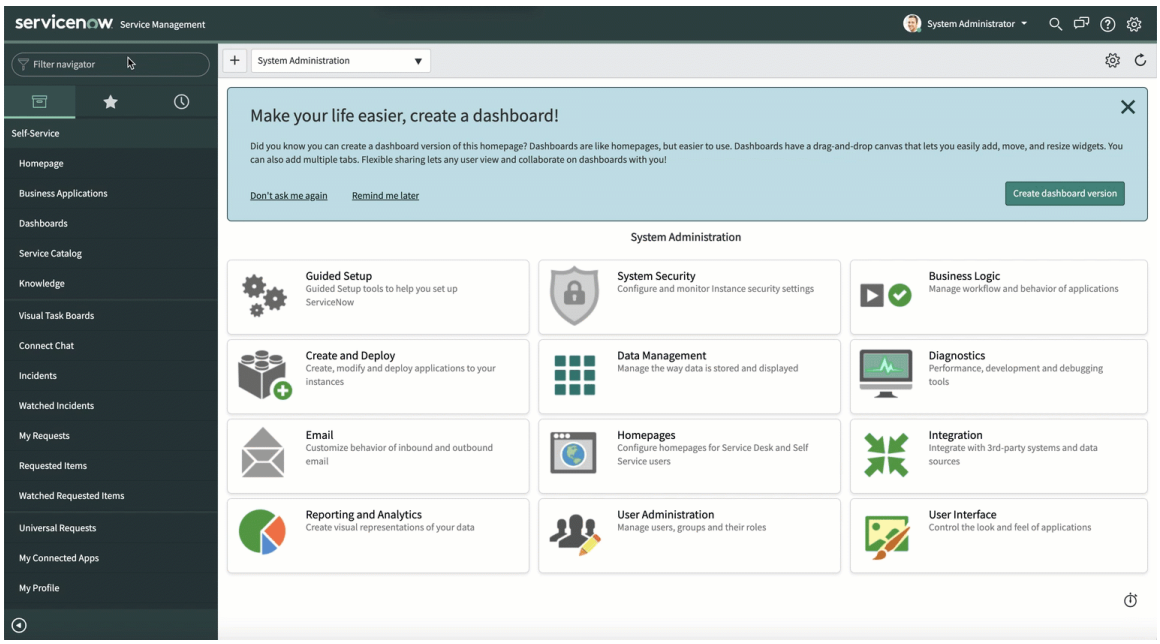
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

コンポーネント詳細のページインスペクタービュー



ページインスペクターランチャー

ページインスペクターランチャーは、ページインスペクター内の特定のページを選択して起動するのに役立ちます。詳細については、「さまざまなページタイプの検査」を参照してください。



テスト可能なページコンポーネント

ページを最初にロードしたときに、ページインスペクターがテスト可能なページコンポーネントのリストを取得します。テスト可能なコンポーネントは、自動テストフレームワーク (ATF) にアクセス可能な標準の HTML と JavaScript で構成されています。テストデザイナーは、これらのコンポーネントをカスタム UI テストの一部として使用できます。

テスト不可能なページコンポーネント

ページインスペクターは、このタイプのテスト不可能なページコンポーネントを識別します。

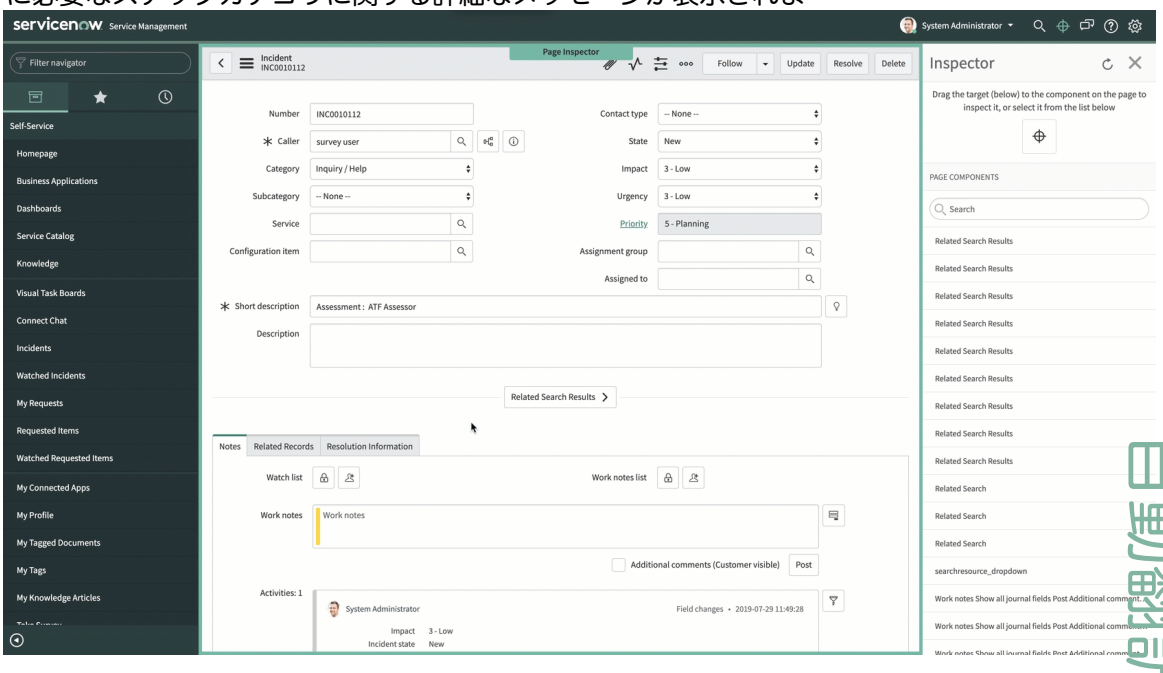
除外リスト

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[除外リスト] ページコンポーネントは、カスタム **UI** テストステップを使用してテストすることはできません。[除外リスト] ページコンポーネントには、通常、特殊な ServiceNow AI Platform ユーザーインターフェイスと、他の方法ですでにテスト可能なコンポーネントが含まれています。テストデザイナーは、[除外リスト] ページコンポーネントのカスタム UI テストを作成できません。これらのコンポーネントをテストするには、フォームや サービスカタログ などのサポートされている別のテストカテゴリを使用する必要があります。

ページインスペクターで、検査アイコンを除外リストインターフェイスの上にドラッグすると、背景が灰色で表示されます。除外リストコンポーネントに検査アイコンをドロップすると、これらのコンポーネントのテストに必要なステップカテゴリに関する詳細なメッセージが表示されます。



- リストをカスタム UI テストステップを使用してテストすることはできません。リストをテストするには、リストと関連リスト テストステップカテゴリを使用します。

  リスト除外リストのサンプルメッセージ

  ⓘ Lists are not supported by Custom UI steps. Use the the List and Related List step category to test lists ✕

- カスタム UI テストステップを使用してフォームをテストすることはできません。フォームをテストするには、フォームカテゴリ テストステップを使用します。

  フォーム除外リストのサンプルメッセージ

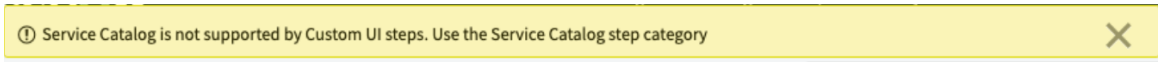
  ⓘ Forms are not supported by Custom UI steps. Use the Form Step category to test forms ✕

  注:
  フォーム内の UI フォーマッターは、カスタム UI テストステップを使用してアクセスしてテストできます。詳細については、「カスタム UI テストの作成」を参照してください。

- サービスカタログアイテムは、カスタム UI テストステップを使用してテストすることはできません。カタログアイテムをテストするには、サービスカタログ カテゴリ テストステップを使用します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

カタログアイテム除外リストのサンプルメッセージ

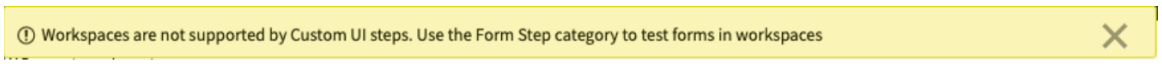


- 特定のコンポーネントはカスタム UI ページから除外され、テストすることはできません。

  コンポーネント除外リストのサンプルメッセージ

- ワークスペースをカスタム UI テストステップを使用してテストすることはできません。利用可能なワークスペースでフォームをテストするには、 フォームカテゴリ テストステップを使用します。

  ワークスペース除外リストのサンプルメッセージ

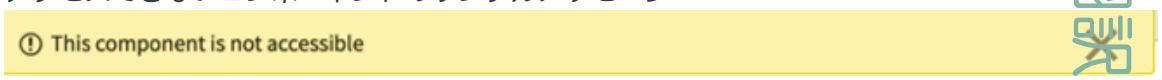
  

アクセス不可能

アクセス不可能ページコンポーネントは、構成上の問題のため、自動テストフレームワーク (ATF) が識別できないか、またはテストする権限を持っていない要素です。アクセス不可能ページコンポーネントには、通常、第三者 JavaScript ライブラリまたは Shadow DOM を含む要素が含まれます。テスト設計者は、アクセス不可能ページコンポーネントに対するカスタム UI テストを作成することはできませんが、自動テストフレームワーク (ATF) にアクセス可能なコンポーネントを使用するようにページを再設計できる場合があります。

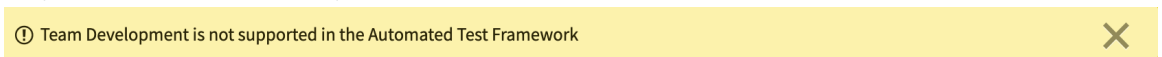
- 特定のコンポーネントは 自動テストフレームワーク (ATF) ではアクセスできません

  アクセスできないコンポーネントのサンプルメッセージ

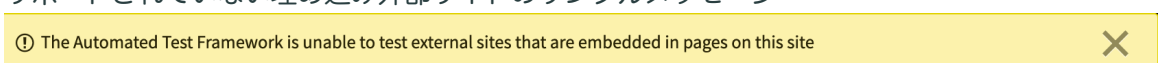
- チーム開発は 自動テストフレームワーク (ATF) ではサポートされていません

  サポートされていないコンポーネントのサンプルメッセージ

- プラットフォームページに埋め込まれた外部サイトのテストは、自動テストフレームワーク (ATF) ではサポートされていません

  サポートされていない埋め込み外部サイトのサンプルメッセージ

さまざまなページタイプの検査

ページインスペクターを使用して、**UI** ページ、サービスポータル、標準 **UI**、カスタム **URL** などのさまざまなページタイプの機能を調べてトラブルシューティングを行います。

始める前に

必要なロール：admin、atf_test_designer、atf_test_admin

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > ページ インスペクター > 手動ページ インスペクター.
2. 検査する [ページタイプ] を選択します。

入力

フィールド	説明
UI ページ	既存の UI ページ。利用可能リストから開始ページを選択します。
標準 UI	標準プラットフォームのフォーム、リスト、一部の UI ページ。[開始ページ] フィールドで、フォーム、リスト、または UI ページを選択します。 **注:** オプションの [レコード] フィールドは、[開始ページ] フィールドでフォームを選択した場合にのみ表示されます。
サービスポータル	インスタンス内の利用可能なポータル。利用可能なポータルと検査する開始ページを選択します。 **注:** [ポータル] フィールドは、[サービスポータル] を [ページタイプ] として選択した場合にのみ表示されます。
カスタム	検査するカスタムプラットフォーム URL。 **注:** 完全な URL を [開始ページの **URL]** フィールドにコピーして貼り付けないでください。たとえば、https://instance.service-now.com/home.do を検査する場合は、入力として /home.do のみを含めます。

3. [検査] をクリックします。

ページインスペクターを有効にして使用する

開発者設定を有効にして、プラットフォーム内で開く UI ページを検査します。手動ページインスペクターを使用して、サービスポータル ページなどの新しいタブで開くページを検査します。

始める前に
必要なロール：admin

このタスクについて
カスタム UI テストに使用できるユーザーインターフェイスの HTML および JavaScript ページコンポーネントを特定します。ユーザーインターフェイスにテスト可能なページコンポーネントのみが含まれていることを確認して、自動テストを有効にします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

手順

1. 検査する必要があるカスタム UI ページの種類に応じて、ページインスペクターを有効にします。一部のカスタム UI ページは、新しいタブで開き、手動でしか検査できないため、注意してください。

2. 検査するコンポーネントを選択します。
   - 検査アイコン ( ) をページインスペクターペインからページ上のコンポーネントまでドラッグします。
   - [ページインスペクター] ペインから使用可能なコンポーネントを選択します。

   ページを最初にロードしたときに、ページインスペクターがテスト可能なページコンポーネントのリストを取得します。テスト可能なコンポーネントは、自動テストフレームワーク (ATF) にアクセス可能な標準の HTML と JavaScript で構成されています。テストデザイナーは、これらのコンポーネントをカスタム UI テストの一部として使用できます。
3. コンポーネント情報を表示して、[アクション] フィールドで使用可能なアクションを実行します。使用可能なアクションを実行すると、コンポーネントに利用可能なテストステップを手動で確認できます。たとえば、[コンポーネントをクリック] を選択すると、ページインスペクターはコンポーネントを選択し、結果のページを表示します。

次のタスク
カスタム UI テストの作成

カスタム **UI** テストの作成

カスタム UI ページでコンポーネントをテストします。

始める前に

- ページインスペクターを使用してテスト可能なカスタム UI コンポーネントを識別します。「ページインスペクターを有効にして使用する」を参照してください。
- 必要なロール：admin

手順

1. 移動先 すべて > 自動テストフレームワーク **(ATF)** > テスト.
2. [**New**] をクリックします。
3. テストの名前と説明を入力します。
4. [保存] をクリックします。
5. [テストステップ] 関連リストで、[テストステップを追加] をクリックします。
6. ターゲットのカスタム UI に移動するには、テストステップを追加します。

   Example
   [モジュールに移動] を使用して、アプリケーションナビゲーターモジュールがあるページを開きます。 [サービスポータルページを開く] ステップを使用して、ポータルページを開きます。
   UI ページを開くには、次のテストステップを実行します。

   a. [既存のレコードを開く] : ページのレコードを開きます。

   b. [UI アクションをクリック] : [試す **(Try It)]** UI アクションをクリックしてページを開きます。
7. カスタム UI コンポーネントの動作を検証するために、カスタム UI カテゴリからテストステップを追加します。

自動翻訳

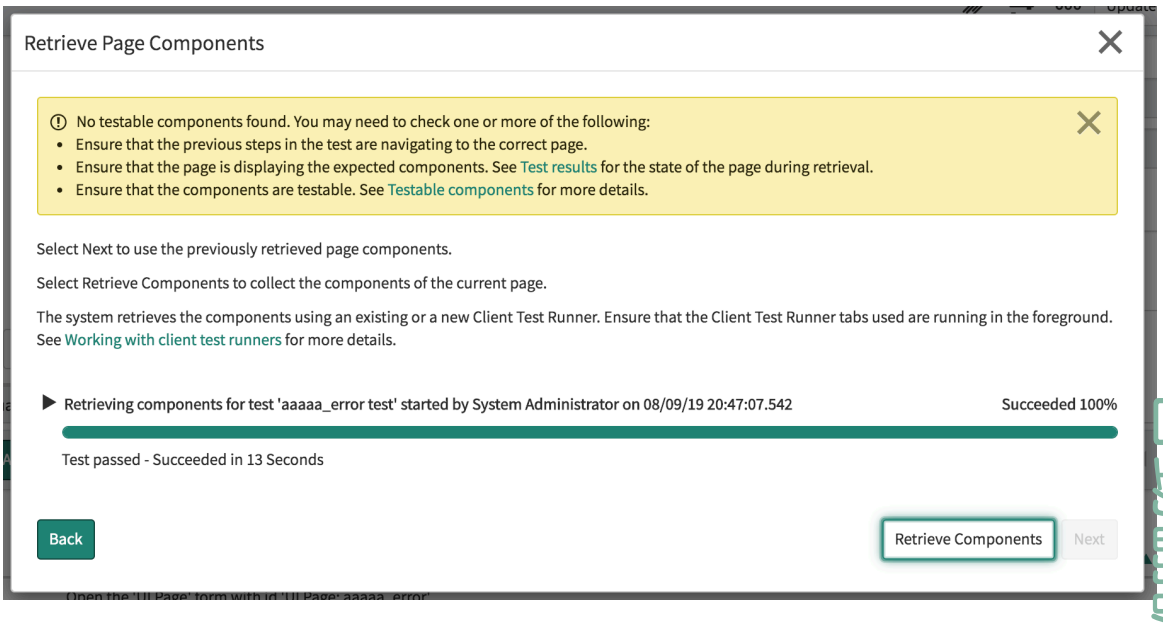
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

利用可能なカスタム UI テストステップのリストについては、「カスタム UI カテゴリ」を参照してください。

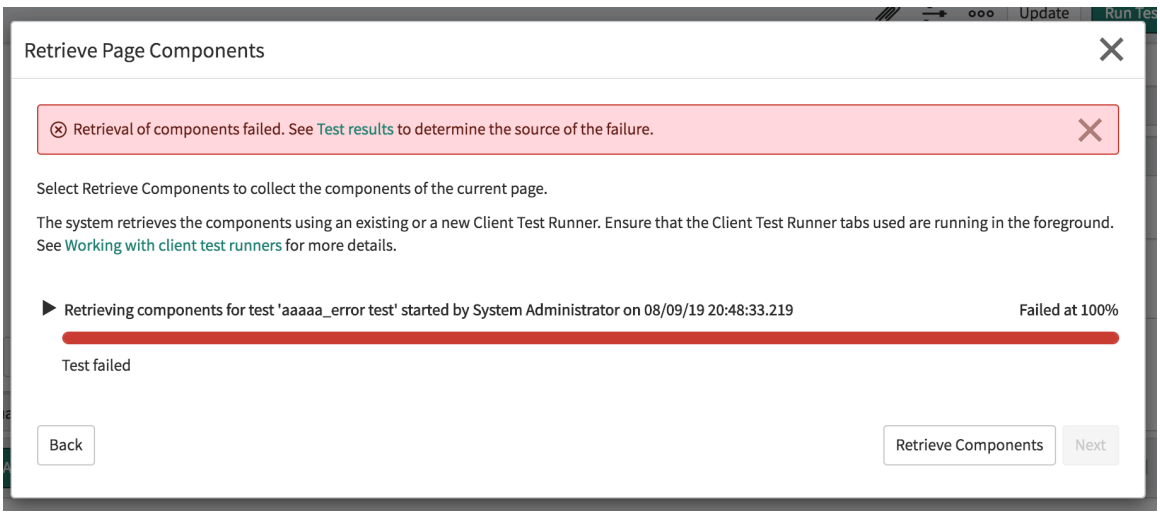
8. テストステップを追加するときに UI コンポーネントを取得します。

テストステップの UI コンポーネントのリストを取得して、カスタム UI ページのテスト可能なページコンポーネントを識別します。[コンポーネントを取得] を選択して、現在のページのコンポーネントを収集します。

既存または新しいクライアントテストランナーを使用して、コンポーネントが取得されます。取得プロセスで使用されるクライアントテストランナータブがフォアグラウンドで実行されていることを確認します。[コンポーネントを取得] を選択してもコンポーネントが生成されないテストの場合は、次の警告メッセージが表示され、[次へ] ボタンが無効になります。



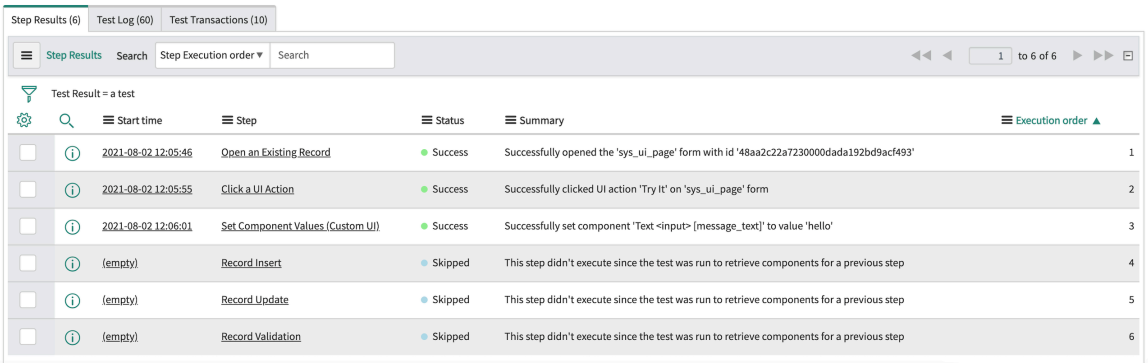
ページコンポーネントのリストを既に取得している場合は、[次へ] をクリックして、以前に取得したリストを使用します。[コンポーネントを取得] をクリックして、現在のステップを再実行し、テスト可能なページコンポーネントのリストをリフレッシュすることもできます。コンポーネントの取得中にテストが失敗した場合は、次の警告通知が表示されます。通知のリンクをクリックすると、テスト結果を確認できます。



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
テストのステップを更新する必要がある場合は、そのステップの [コンポーネントを取得] をクリックすると、その特定のステップまでのみテストが実行されます。選択したステップ以降のステップに対するテストは実行されません。更新されたすべてのステップが失敗なしで合格すると、テストは合格です。



自動テストフレームワーク (ATF) はページコンポーネントのリストを保存し、テストステップフォームの [コンポーネント値] または [コンポーネント] フィールドにリストを表示します。フィールドには、各コンポーネントに関する次の情報が表示されます。

フィールド	説明
タイプ	HTML 要素の説明とタグ。たとえば、Text<input>。
ラベル	HTML コンポーネントラベル。
値	コンポーネントの値。たとえば、コンポーネントが検索入力の場合、値は **Search** のようになります。
ページエリア	や <section> 要素などのコンポーネントを含む HTML レイアウト要素。

カスタム UI テストステップを含むパラメーター化されたテストを作成した場合、システムは最初のデータセットのみを使用してコンポーネントを取得します。

次のタスク
テストスイートにテストを追加することを検討してください。詳細については、「自動テストスイートのビルドと実行」を参照してください。

コンポーネントテストアクションを上書きする

自動テストフレームワーク (ATF) 固有の HTML 属性を使用して、特定のページコンポーネントのテストプロパティを変更します。

始める前に
必要なロール：admin

このタスクについて
自動テストフレームワーク (ATF) がコンポーネントを取得するとき、それが設定可能なコンポーネントかクリック可能なコンポーネントかなど、サポートする対話式操作を決定します。コンポーネントが設定可能な場合、自動テストフレームワーク (ATF) は設定できるフィールドタイプを決定します。自動テストフレームワーク (ATF) がカスタムコンポーネントのアクションまたはフィールドタイプを誤って決定する場合、またはコンポーネントに 1 つのエンティティとして扱う必要がある複数の DOM 要素が含まれている場合は、自動テストフレームワーク (ATF) 固有の HTML 属性を使用してそれらを明示的に設定します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

sn-atf-clickable 属性と sn-atf-settable 属性の使用

sn-atf-clickable 属性と sn-atf-settable 属性を使用して、要素とその子要素をカスタムのクリック可能コンポーネントまたはカスタム設定可能なコンポーネントとして扱う必要があることを指定します。

始める前に
必要なロール：admin

手順

1. テストするカスタム UI ページを開きます。
2. sn-atf-clickable または sn-atf-settable 属性をテスト対象の要素に追加します。

Example

```
<div sn-atf-clickable="true" sn-atf-disabled id="customClickable">
 <button id="customButton">Click me</button>
</div>
```

```
<div sn-atf-settable="true" id="customSettable" sn-atf-component-value="A default value">
 <input id="customInput" value="A default value"></input>
</div>
```

> **注:**
> sn-atf-clickable 属性または sn-atf-settable 属性のいずれかを使用して、要素をカスタムのクリック可能コンポーネントまたはカスタム設定可能なコンポーネントとして扱う必要があるかどうかを指定します。同じ要素で両方の属性を使用することはできません。

3. sn-atf-clickable 属性または sn-atf-settable 属性のいずれかを使用します。

   - sn-atf-clickable： sn-atf-clickable 属性を追加した場合、ATF は sn-atf-clickable 属性を持つ DOM 要素に sn-atf-click イベントを送信することによってコンポーネントをクリックします。この DOM 要素にイベントリスナーを追加し (たとえば、addEventListener を使用)、コンポーネントのカスタムクリックロジックを実装する必要があります。[コンポーネントをクリック] テストステップを使用して、クリック可能なカスタムコンポーネントを操作できます。

     クリック可能なコンポーネント属性

属性の名前	説明
sn-atf-disabled	このオプションの属性が存在すると、(その値に関係なく) このコンポーネントが無効であることを ATF が認識します **注:** この属性が指定されていない場合、ATF はこのコンポーネントがデフォルトで有効になっていると見なします。
sn-atf-component-value	このコンポーネントの現在の値を ATF に通知する文字列または JSON オブジェクト

   - sn-atf-settable： sn-atf-settable 属性を追加した場合、ATF は sn-atf-settable 属性を持つ DOM 要素に sn-atf-setvalue イベントを送信することによってコンポーネント値を設定します。この DOM 要素にイベントリスナーを追加し (たとえば、addEventListener を使用)、コンポーネントのカスタム設定値ロジックを実装する必要があります。設定する必要がある値には、event.detail.newvalue を使用してアクセスできます。イベント引数がイベントハンドラー

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

に渡されます。[コンポーネント値の設定] テストステップを使用して、設定可能なカスタムコンポーネントを操作できます。

設定可能なコンポーネント属性

属性の名前	説明
`sn-atf-disabled`	このオプションの属性の存在は (値に関係なく)、このコンポーネントが無効であることを ATF に通知します。 **注:** この属性が指定されていない場合、ATF はこのコンポーネントがデフォルトで有効になっていると見なします。
`sn-atf-component-value`	このコンポーネントの現在の値を ATF に通知する文字列または JSON オブジェクト。
`sn-atf-data-type`	ステップをビルドするときにユーザーに表示するオプションのフィールドタイプ。デフォルトは文字列です。たとえば、glide_date_time、reference、boolean などです。
`sn-atf-data-type-params`	データタイプの詳細を含む JSON オブジェクト。

Example:

```
//A custom clickable component

<div sn-atf-clickable="true" sn-atf-disabled id="customClickable">
 <button id="customButton">Click me</button>
</div>
<script>
 var customClickableDiv = document.getElementById("customClickable");
 customClickableDiv.addEventListener('sn-atf-click', function() {
  document.getElementById('customButton').click();
 });
</script>
```

```
//A custom settable component

<div sn-atf-settable="true" id="customSettable" sn-atf-component-value="A default value">
 <input id="customInput" value="A default value"></input>
</div>
<script>
 var customSettableDiv = document.getElementById("customSettable");
 customSettableDiv.addEventListener('sn-atf-setvalue', function(event) {
  var newValue = event.detail.newValue;
  document.getElementById("customInput").value = newValue;
 });
</script>
```

sn-atf-class 属性の使用

カスタムのクリック可能または設定可能コンポーネントをテストするときに使用する JavaScript オブジェクトを指定するには、sn-atf-class 属性を使用します。カスタム JavaScript オブジェクトを書いて、カスタムコンポーネントに使用できるテストアクションを指定します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

始める前に
必要なロール：admin

このタスクについて
テスト設計者は、カスタムの JavaScript オブジェクトを書き、コンポーネントに sn-atf-class 属性を割り当てることで、カスタムコンポーネントに使用できるテストアクションを手動で指定できます。属性の値を、コンポーネントテストアクションを含む JavaScript オブジェクトの名前に設定します。テスト可能なカスタムコンポーネントはクリック可能か設定可能のいずれかである必要があります。この分類によって、JavaScript オブジェクトに必要な機能とプロパティが決まります。テスト可能なページコンポーネントの要件については、「カスタム UI テストステップ」を参照してください。

手順

1. テストするカスタム UI ページを開きます。
2. sn-atf-class 属性をテスト対象の要素に追加し、getValue()、setValue()、click()、または isDisabled() の関数を処理するページに埋め込まれた JavaScript オブジェクトの名前に値を設定します。

   Example

   ```
   <div sn-atf-class="MyClickableComponent">
     <label for="a_clickable_checkbox">MyClickableComponent</label>
     <input type="checkbox" id="a_clickable_checkbox" checked="true"/>
   </div>
   ```

3. sn-atf-class 属性に指定された JavaScript オブジェクトを作成し、カスタムページコンポーネントをクリック可能または設定可能ページコンポーネントとして識別するために必要な機能と属性を追加します。

   クリック可能なコンポーネント関数

関数名	説明
initialize()	コンポーネントの初期値を取得します。次のように入力します。 `$super(element, area)`
click()	コンポーネントを選択します。これらのプロパティを持つ JSON オブジェクトを返します。 成功：コンポーネントをクリックできる場合は true です。 **注:** UI テストステップのインテリジェント待機メカニズムをトリガーします。
getValue()	要素の値を取得します。これらのプロパティを持つ JSON オブジェクトを返します。 ○ 成功：値が取得された場合は true です。 ○ 結果：コンポーネントの値。
isDisabled()	コンポーネントが無効かどうか。これらのプロパティを持つ JSON オブジェクトを返します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

関数名	説明
	○ 成功：コンポーネントが無効の場合は true です。 ○ 結果：コンポーネントが無効の場合は true です。

設定可能なコンポーネント関数

関数名	説明
initialize()	コンポーネントの初期値を取得します。次のように入力します。 `$super(element, area)`
setValue(newValue)	コンポーネントの値を設定します。下記の 2 番目の例を参照してください。これらのプロパティを持つ JSON オブジェクトを返します。 成功：値が設定されている場合は true です。 **注:** UI テストステップのインテリジェント待機メカニズムをトリガーします。
getValue()	要素の値を取得します。これらのプロパティを持つ JSON オブジェクトを返します。 ○ 成功：値が取得された場合は true です。 ○ 結果：コンポーネントの値。
isDisabled()	コンポーネントが無効かどうか。これらのプロパティを持つ JSON オブジェクトを返します。 ○ 成功：コンポーネントが無効の場合は true です。 ○ 結果：コンポーネントが無効の場合は true です。

設定可能なコンポーネント属性

属性の名前	説明
isSettable: true	設定可能なページコンポーネントとしてコンポーネントを識別します。

4. Jelly でカスタムコンポーネントを作成するときは、sn-atf-class 属性で指定された JavaScript オブジェクトの周囲に <g2:atf_only> タグを追加します。
これらのタグにより、自動テスト中にのみ JavaScript オブジェクトが実行されます。

Example:

```
//A custom clickable component

<form>
    <div sn-atf-class="MyClickableComponent">
        <label for="a_clickable_checkbox">MyClickableComponent</label>
        <input type="checkbox" id="a_clickable_checkbox" checked="true"/>
    </div>
</form>
```

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
<script>
var MyClickableComponent = {

   // The constructor must have this signature, but you can perform additional setup after the
 $super(element, area) call
   initialize: function($super, element, area) {
      $super(element, area);
   },

   click: function() {
      document.getElementById('a_clickable_checkbox').click();
      return {success: true};
   },

   // The function returns an object with a result attribute of type String
   getValue: function() {
      var isChecked = document.getElementById('a_clickable_checkbox').checked ? "true" :
 "false";
      return {success: true, result: isChecked};
   },

   // The function returns an object with a result attribute of type Boolean
   isDisabled: function() {
      if (document.getElementById('a_clickable_checkbox').disabled)
         return {success: true, result: true};

      return {success: true, result: false};
   },

};
</script>
```

```
//A custom settable component

<form>
   <div sn-atf-class="MySettableComponent">
      <label for="a_settable_checkbox">MySettableComponent</label>
      <input type="checkbox" id="a_settable_checkbox" checked="true"/>
   </div>
</form>
<script>
var MySettableComponent = {

   // This attribute is required for settable components
   isSettable: true,

   // The constructor must have this signature, but you can perform additional setup after the
 $super(element, area) call
   initialize: function($super, element, area) {
      $super(element, area);
   },

   // The value parameter is a string
   setValue: function(value) {
      document.getElementById('a_settable_checkbox').checked = (value == "true");
      return {success: true};
   },
```

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  // The function returns an object with a result attribute of type String
  getValue: function() {
     var isChecked = document.getElementById('a_settable_checkbox').checked ? "true" :
"false";
     return {success: true, result: isChecked};
  },

  // The function returns an object with a result attribute of type Boolean
  isDisabled: function() {
     if (document.getElementById('a_settable_checkbox').disabled)
        return {success: true, result: true};

     return {success: true, result: false};
  },

};
</script>
```

参照とレコードピッカー

カスタム UI ステップを使用して、sn-reference-picker および sn-record-picker 角度ディレクティブの値を操作します。参照ピッカーの値は、選択されたレコードの sys_id を返します。レコードピッカーの値は、そのレコードピッカーに対して選択された値フィールドを返します。値として設定するレコードを選択することで、両方の要素を設定できます。

コンポーネントデータタイプを上書きする

「コンポーネント値を設定」テストステップに表示されるフィールドのタイプを上書きするには、sn-atf-data-type 属性と sn-atf-data-type-params 属性を使用します。

始める前に
必要なロール：admin

このタスクについて
設定可能なコンポーネントには、カスタム UI テストステップで設定できる値を決定するデータタイプがあります。たとえば、特定のレコードへの参照を表示するためのページコンポーネントは、システム ID 値のみを表示するための参照データタイプを持つことができます。

手順

1. テストするカスタム UI ページを開きます。
2. sn-atf-data-type 属性を設定可能コンポーネントに追加し、「コンポーネント値を設定」テストステップに表示するフィールドタイプに値を設定します。

   この属性には、テスト可能なデータタイプの文字列が含まれます。使用可能な値には、次の表に示す値が含まれます。

属性値	説明
glide_date	特定の日を指定する文字列を含みます。
glide_date_time	特定の日時を指定する文字列を含みます。
参照	関連レコードへの Sys ID が含まれています。このデータタイプでは追加情報を sn-atf-data-type-params 属性に指定する必要があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

3. sn-atf-data-type の値が reference のときに追加情報を提供するには、sn-atf-data-type-params 属性を追加します。

   この属性には、JSON 形式のキーと値のペアが含まれます。使用可能なキー値ペアには、次の表に示す値が含まれます。

キー	値
参照	参照フィールドに表示するレコードが含まれているテーブルの名前。たとえば、インシデントテーブルのレコードを表示するには、"reference":"incident" を追加します。
reference_qual	クエリーに適用するフィルター。たとえば、アクティブなインシデントレコードのみを表示するには、"reference_qual":"active=true" を追加します。「参照修飾子」を参照してください。

Example:

```
<input id="someTextField" value="someSysId" sn-atf-data-type="reference"
 sn-atf-data-type-params='{"reference":"incident","reference_qual":"active=true"}'/>
```

ATF の Select2 機能

Select2 コンポーネントを使用すると、ドロップダウンメニューからオプションを簡単に検索して選択できます。

select2 の値をテストで設定できます。次に、Select2 の検索バーで値を検索します。コンポーネントのドロップダウンで最初の有効な結果が選択されます。

ページインスペクターを必要なドロップダウンメニューにドラッグアンドドロップします。選択したコンポーネントの右側のパネルが開きます。ページインスペクター内のコンポーネント値設定ステップで、検索するテキストを指定できます。

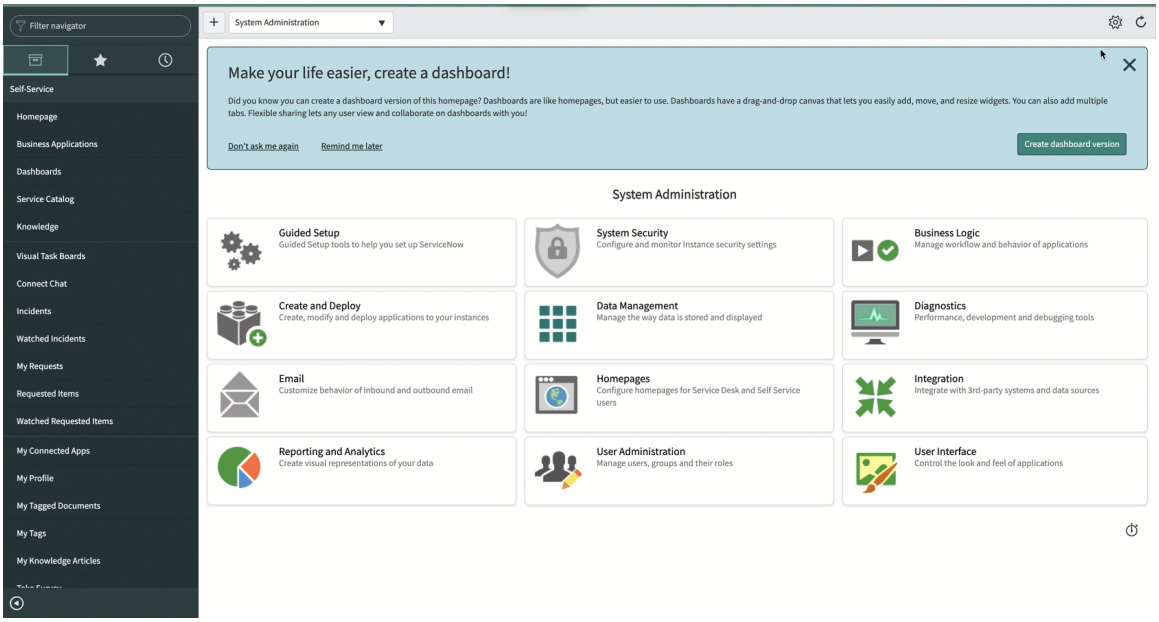
[アクション] の [コンポーネント値を設定] オプションを選択して、コンポーネントを検索します。右側のパネルにテキストを入力し、[送信] をクリックします。これにより、コードで select2 を開いてそのコンポーネントを検索し、表示される最初のオプションを選択できます。

注:
同じような名前のコンポーネントオプションが複数表示された場合は、最初のオプションのみが選択されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Select2 コンポーネント



select2 サポートの制限

- select2 ライブラリの特定のバージョン (3.5.1-3.5.4 および 4.0.0-4.0.13) のみがサポートされています。
- select2 のサポートは、jquery ライブラリに依存します。そのため、 select2 の値を設定しようとして、jquery ライブラリの名前が変更された場合、テストは失敗します。
- 検索バーがない場合、Select2 による検索は機能しません。

設計上の考慮事項

オプションを効率的に検索して選択するには、次の設計上の考慮事項を検討します。

- 一意に検索可能なテストデータを使用する (推奨)
- 現在の要素が設定されるのを待ってから、[コンポーネント値 (カスタム UI) の設定] テストステップで [Select2] の値を設定しながら次の要素の設定に進みます。
- jquery ライブラリ名の変更を回避してテストの失敗を防ぐ
- Select2 のアダプターおよびデコレーター機能はサポートされていません

自動テストフレームワーク (ATF) のブラウザーの推奨事項

自動テストを実行するようにクライアントテストランナーのブラウザーを設定し、パフォーマンスの低下を回避します。

定期的なブラウザーの再起動

これらのブラウザーには、クライアントテストランナーを実行しているときに時折ブラウザーを閉じて再起動することが必要になるメモリ管理制限があります。

- Internet Explorer
- エッジ
- 古いバージョンの Firefox

ブラウザを閉じる頻度は、ブラウザアプリケーションのメモリ割り当てによって決まります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ブラウザーの CPU 調整

一部のブラウザーは、焦点がはずれているウィンドウの CPU 使用率を調整します。CPU 調整の問題を回避するには、次のガイドラインに従ってください。

- 独自のブラウザーウィンドウで各クライアントテストランナーを実行します。
- クライアントテストランナーのブラウザーウィンドウの一部が常に画面に表示されるようにします。
- システム画面がロックやシャットオフされていないことを確認します。

ブラウザーのズームレベル

クライアントテストランナーは、テストの実行時にスクリーンショットを取得します。 最適なスクリーンショットの結果を得るには、ブラウザーのズームレベルを 100% のままにします。

OS X の CPU 調整

Chrome または Safari でクライアントテストランナーを使用する OS X の場合：システムがテストスイートを実行しようとしたときに、画面がロックされるかクライアントテストランナータブが表示されない場合、テストの実行速度が非常に遅くなり、タイムアウトになることがあります。最高のパフォーマンスを得るには、画面がロックされたり無効になったりすることがない仮想マシン (VM) 環境でスケジュール済みスイートに対してクライアントテストランナーを実行します。

ブラウザーセッションでのロールバック

セッション cookie は、テスト中に行われたすべての変更をロールバックします。テストの実行中は、そのセッションで実行されたすべての処理がロールバック用に記録されます。同じブラウザーセッションでテストが実行されている場合は、インスタンスを変更しないでください。たとえば、同じセッションでテストを実行しながらレコードを変更した場合は、テストが完了した後に変更がロールバックされます。 同じセッション内で他のタブに移動すると、作業がロールバックされ、暗黙的なナビゲーションに依存するテストが妨げられる可能性があります。

並列テスト

複数のテストを並列で実行する場合は、問題を避けるために次のガイドラインに従ってください。

シークレットウィンドウまたはプライベートウィンドウで各クライアントテストランナーを実行する

並列テストでは、同じブラウザーセッションに関連付けられたすべての変更がロールバックされるため、別のブラウザータブで行われた正当な変更が、並列テスト中にロールバックされる可能性があります。不要な変更のロールバックを防ぐために、常に別個のブラウザーセッションでクライアントテストランナーを実行してください。シークレットウィンドウまたはプライベートウィンドウでクライアントテストランナーを開くと、常に別個のブラウザーセッションが実行されます。

テストが完了したら、クライアントテストランナーウィンドウを閉じる

不要な変更のロールバックを防ぐために、テストの完了後は必ずクライアントテストランナーを閉じてください。ブラウザーウィンドウを閉じると、別のブラウザータブで行われた正当な変更が、テストロールバックによって元に戻ることはなくなります。

クライアントテストランナーでの作業

自動テストにフォームやその他のユーザーインターフェイス (UI) 要素が絡むステップが含まれている場合は、テスト ランナーまたはクライアントテスト ランナー と呼ぶブラウザ タブまたはウィンドウでこれらのステップを実行します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動テストフレームワーク (ATF) は、手動で開始したテスト用のクライアントテストランナーとスケジュールによって開始されたテスト用のクライアントテストランナーの 2 つのタイプのクライアントテストランナーをサポートします。

テスト実行が有効になっているときに、クライアントテスト ランナーモジュールをクリックすると、現在のブラウザーセッションにあるクライアントテスト ランナーが開きます。テストが実行待ちの場合、クライアントテスト ランナーは待機テストを実行します。テストが実行されていない場合、テストの実行を待機中のメッセージがクライアントテスト ランナーに表示されます。

クライアントテスト ランナーがアイドル状態の間、待機テストの開始を5秒ごとにチェックします。これにより、適切な構成のクライアントが利用できなかったためにシステムが起動できなかった可能性のあるテストを実行するのを確実にします。

注:
クライアントテスト ランナーは、現在のセッションからテストを監視し、それらのテストをログインユーザーとして実行する (偽装ユーザーステップを実行しない限り)。クライアントテスト ランナーを起動した場合、現在のセッションからログアウトしてから再度ログインすると、クライアントテスト ランナーは新しいセッションを使用して実行します。

クライアントランナーがアクティブになると、現在実行中のテストのアクティビティーを実行フレームに表示します。

注:
これで、一度に複数のテストを実行できるようになりました。

テスト実行プロパティ

クライアントテスト ランナーモジュールを使用するには、テスト実行プロパティを有効にする必要があります。

注:
デフォルトでは、自動テストを実行するためのシステムプロパティは、実稼働システムでは実行できないように無効になっています。データの破損や機能停止を避けるため、開発、テスト、および他の非本番インスタンスでのみテストを実行してください。

このモジュールを選択したときにテスト実行プロパティが無効になっていると、メッセージと自動テストフレームワーク (ATF) のプロパティページへのリンクが表示され、そこでプロパティを有効にすることができます。

追加のデバッグ機能

追加のデバッグ機能を有効にしている場合、クライアントテスト ランナーモジュールには実行フレームおよびデバッグ情報の 2 つのタブが表示されます。実行フレームはクライアントテスト ランナーによって通常表示される情報を表示し デバッグ情報は追加のデバッグ情報を表示します。

[実行フレーム] タブのテストからスクリーンショットが取得され、テスト結果レコードに記録されます。

すべてのテストおよびスイートのためのブラウザ推奨

- 一部のブラウザにはメモリ管理上の制限があり、クライアントテスト ランナーを実行するときにブラウザを閉じて再起動する必要があります。これらのブラウザには、Internet Explorer、Edge、および古いバージョンのFirefoxが含まれます。ブラウザを閉じる頻度は、ブラウザアプリケーションのメモリ割り当てによって決まります。
- いくつかのブラウザには、CPU時間を調整する機能があります。問題を回避するには、次のガイドラインに従ってください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 独自のブラウザウィンドウでクライアントテスト ランナーを実行します。
- クライアントテスト ランナーを少なくとも部分的に画面に表示しておきます。
- 画面がロックされたり閉鎖されたりしていないことを確認します。

- クライアントテストランナーは、テストが実行されるときにスクリーンショットを取得します。最適なスクリーンショットの結果を得るには、ブラウザーのズームレベルを 100% のままにします。

スケジュールされたスイートのブラウザ推奨

スケジュールされたスイートのクライアントテスト ランナーには、追加のブラウザー要件があります。

- Chrome または Safari でクライアントテストランナーを使用する OS X の場合：システムがテストスイートを実行しようとしたときに、画面がロックされるかクライアントテストランナータブが表示されない場合、テストの実行速度が非常に遅くなり、タイムアウトになることがあります。最高のパフォーマンスを得るには、画面がロックされたり無効になったりすることがない仮想マシン (VM) 環境でスケジュール済みスイートに対してクライアントテストランナーを実行します。
- ブラウザは、スケジュール済みのスイート実行レコードで指定した条件を満たす必要があります。
- スケジュール済みのスイート実行レコードで指定した基準を満たすクライアントテストランナーはスケジュールされた時間にテストスイートを実行するために利用可能でなければなりません。システムは自動的にクライアントテスト ランナーセッションを開くことができません。

Javascript ウィンドウコマンドインターセプト

クライアントテストランナーは、console.log、console.error、alert、confirm、および prompt を含むウィンドウオブジェクトコマンドをキャプチャし、必要に応じてデフォルトの応答をキャプチャします。

- **window.confirm** を呼び出すスクリプトはいずれも、ブーリアン **true** の応答を受け取ります。
- **window.prompt** を呼び出すスクリプトはいずれも、文字列応答 **test value** を受け取ります。
- アラートへのスクリプト呼び出しは無視されます。

アクティブなテスト ランナー

クライアントテスト ランナーを起動すると、システムはそのランナーをアクティブテスト ランナーテーブルに登録します。あなたはこのテーブルをアクティブな手動テスト ランナーモジュールとアクティブスケジュールテスト ランナーモジュールで見ることができます。これらの2つのモジュールは、手動またはスケジュールされたテスト ランナーのみを表示するようにフィルタリングされた同じテーブルのビューを提供します。

アクティブでスケジュールされたテスト ランナーモジュールは、スケジュールあれたスイートの実行を作成するときに便利です。スケジュールされたスイートの実行では、使用するブラウザを指定できます。使用するブラウザの名前とバージョンを決定するには、スケジュール済みのテスト ランナーをそのブラウザで開始し、次にスケジュール済みのアクティブテスト ランナーモジュール内のそのランナーのレコードを調べます。

このテーブルのデータは一時的です。ランナーは、アクティブである間、指定された間隔でシステムにレポートします。ランナーが予定時刻にレポートしない場合、システムはそのランナーを非アクティブとしてマークします。しばらくすると、ランナーは削除されます。[自動テストフレームワーク (ATF) のプロパティ] ページでこれらの間隔を変更できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

関連情報

クライアントテストランナー

スケジュール済みのクライアントテスト ランナー

許可されたクライアントエラー

ブラウザの選択

実行しているテストまたはテストスイートフォームにフォーム (UI を含むステップ) を使用するステップ、またはその他の UI テストステップ要素 (自動サービスカタログのテストステップなど) が含まれている場合、[ブラウザを選択] ダイアログを操作します。

始める前に
実行するテストを作成しておく必要があります。

テスト実行プロパティを有効にする必要があります。これを行うには、admin または atf_test_admin ロールが必要です。

注:
本番システムでテストを実行できないようにするために、テスト実行プロパティはデフォルトでは無効になっています。開発、テスト、およびその他の準本番インスタンスでのみテストを実行してください。

必要なロール：atf_test_admin、atf_test_designer、または admin

このタスクについて
[テストを実行] または [テストスイートを実行] をクリックすると、[ブラウザを選択] ダイアログが表示されます。ダイアログは現在実行中のテストクライアントの中から選択するか、新しいテストランナーを起動するかを尋ねます。

手順

1. テストまたはテストスイートを実行するブラウザ、またはテストが失敗した場合に再実行するブラウザを選択します。
   現在アクティブな登録済みのクライアントテスト ランナーが、ブラウザの選択ダイアログに表示されます。(現在のセッション) は、ブラウザが現在実行中であることを示します。「クライアントテストランナーでの作業」を参照してください。
2. 必要に応じてテスト ランナーをここで管理するをクリックし現在のユーザーに登録されているすべてのクライアントテスト ランナーを表示します。
   「アクティブ手動テストランナー」を参照してください。
3. このブラウザセッションでクライアントテストランナーを開く場合は、[新しいテストランナーを開始] をクリックします。これは、クライアントテストランナーが現在のユーザーの他のブラウザでのみ使用可能な場合に表示されます。
4. 適切なボタンをクリックしてテストを実行します。
   - 単一のテストを実行している場合は、[テストを実行] をクリックします。
   - テストスイートを実行している場合は、[テストスイートを実行] をクリックします。
   - 不合格になったテストを再実行する場合は、[不合格になったテストを再実行] をクリックします。

タスクの結果
テスト、テストスイート、または失敗したテストは、選択したブラウザまたはクライアントテストランナーで実行します。テスト実行の進行状況を監視するために、進行状況ビューアーが表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クラウドランナーブラウザー

テストまたはテストスイートを実行する場合は、[クラウドランナー] ブラウザーオプションを選択して、クラウドブラウザーでテストを実行します。

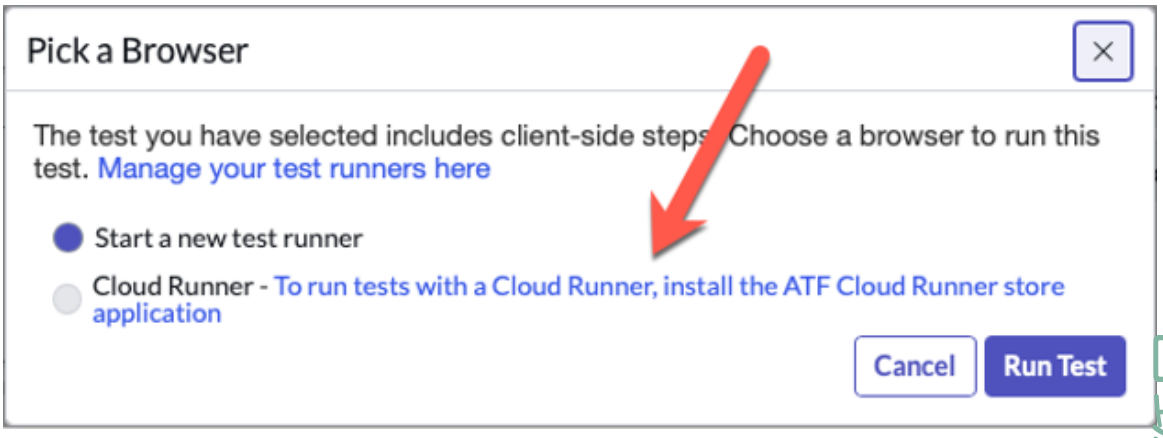
[クラウドランナー] ブラウザーオプションを使用する場合は、以下を完了する必要があります。

- ATF Test Generator and Cloud Runner ストアアプリケーションをインストールします。
- テストを実行して生成するユーザーを構成します。

クラウドランナーブラウザーのユースケース

- ATF Test Generator and Cloud Runner ストアアプリケーションをインストールしていない場合

  ATF Test Generator and Cloud Runner ストアアプリケーションをインストールします



- テストを実行して生成するようにユーザーを構成していない場合
  - アドミンの場合

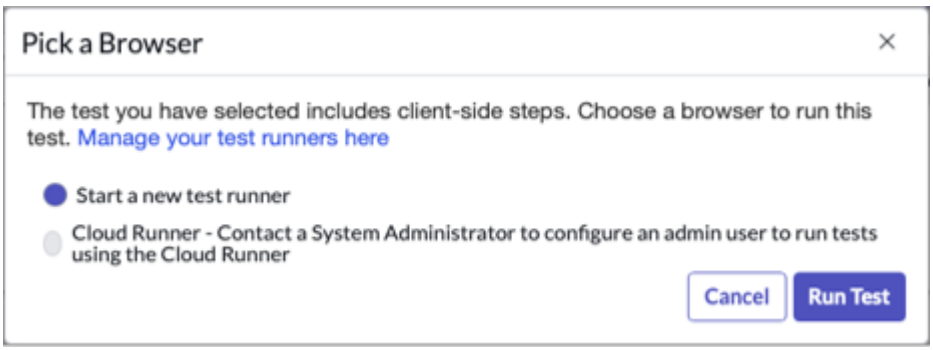
    アドミンの場合は、ユーザーを構成します

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

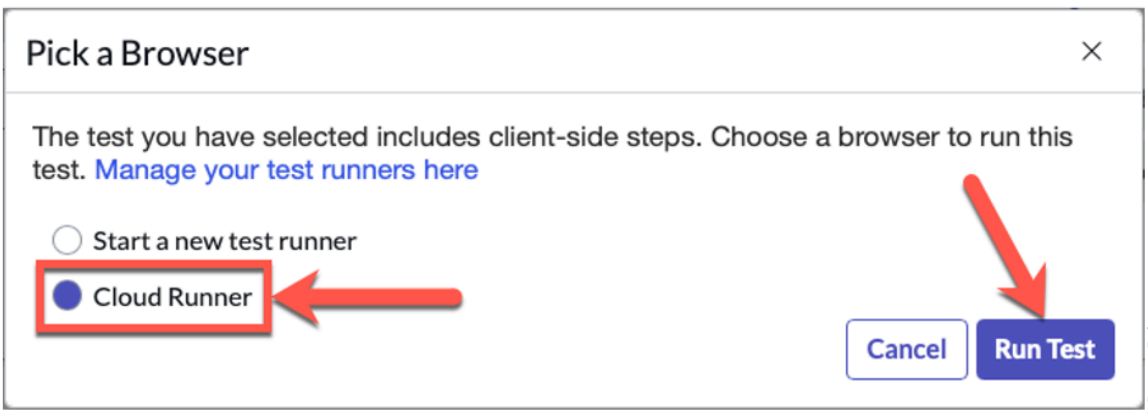
- アドミンでない場合

  アドミンでない場合は、ユーザーを構成します



- アプリケーションがインストールされ、ユーザーが構成されている場合

  クラウドランナーオプションの使用



自動翻訳

注:
詳細については、「ATF Test Generator and Cloud Runner」を参照してください。

サーバーのテストステップ

サーバーで操作を実行して、ビジネスロジックとバックグラウンドプロセスをテストします。

サーバーのテストステップは、ユーザーの偽装、レコードの送信または保存、サーバー側スクリプトの実行、または REST コールの実行など、非インタラクティブアクションを模倣します。サーバーのテストステップはサーバー上で直接実行されるため、クライアントテストランナーは必要ありません。サーバーのテストステップの詳細については、「サーバーカテゴリ」を参照してください。

REST テストステップ

REST 呼び出しを行って、カスタム受信 Web サービスと下位互換性をテストします。

REST 要求は現在のインスタンスのみに送信可能です。別のインスタンスまたはリモートアドレスの第三者に要求を送信することはできません。

REST テスト構成では、XML および JSON 応答形式のみがサポートされています。バイナリ形式はサポートされていません。

各テストステップ設定カテゴリのステップを含むテストを作成できます。REST テスト構成カテゴリには、REST 要求の送信 - 受信、および確認テスト構成が含まれています。アサーションステップは、**[REST** 要求の送信 **-** 受信] ステップの直後に実行される必要があります。**[REST** 要求の送信 **-** 受信] ステップに続いて複数の REST アサーションステップを実行できますが、他のテストカテゴリの

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステップによってアサーションステップを **[REST** 要求の送信 **-** 受信] ステップから分離することはできません。 REST テストステップの詳細については、「REST カテゴリ」を参照してください。

認証

自動テストフレームワーク (ATF) の一部として、REST 要求を送信する状況には 2 つあります。

- REST API エクスプローラーを使用して要求を作成してテストする場合
- **REST** 要求の送信 **-** インバウンドステップが含まれているテストを実行する場合

REST API エクスプローラーを使用して要求を作成およびテストし、その要求に認証が必要な場合、REST API エクスプローラーはユーザーの認証情報を使用します。ATF がテストを実行すると、REST API エクスプローラーはテストをスケジュールしたユーザーの認証情報を使用します。これは、テストを作成したユーザーとテストを実行しているユーザーの権限の違いにより、テストが意図せず失敗する可能性があることを意味します。

ユーザー認証情報の問題に対処するには、テストユーザー用の基本認証プロファイルを作成し、次に **[REST** 要求の送信 **-** 受信] フォームで、テストの実行時にそのプロファイルを使用するように指定します。

添付ファイルのテストステップ

フォームまたはサーバー側 API 呼び出しから添付ファイルをアップロードすることにより、添付ファイルに依存するビジネスルールをテストします。たとえば、スクリーンショットなどの添付ファイルがないとインシデントをクローズできないビジネスルールを使用できます。

フォームからアップロード

UI テストステップとして、添付ファイルのアップロードステップでは、フォームへのナビゲーションが必要です。このフォームは、[新しいフォームを開く] または [既存のレコードを開く] のいずれかを使用して開くことができます。[添付ファイルをアップロード] を使用して、テストステップでフォームに追加する添付ファイルを選択します。フォームに追加する添付ファイルを選択すると、システムは次のテストステップに進む前に添付ファイルのロードを待機します。UI テストの依存関係と待機メカニズムの詳細については、「UI テストステップ」を参照してください。

サーバー API からアップロード

サーバーのテストステップとして、添付ファイルのアップロードステップに UI 依存関係はありません。[添付ファイルをアップロード] を使用して、テストステップでレコードに追加する添付ファイルを選択します。フォームに追加する添付ファイルを選択すると、システムは次のテストステップに進む前に添付ファイルのロードを待機します。詳細については、「サーバーのテストステップ」を参照してください。

設計上の考慮事項

添付ファイルのテストステップでは、次の設計上の考慮事項に従ってください。

- すべての添付ファイルのステップで、1 つ以上の添付ファイルを追加する必要があります。
- テストの完了後、ステップごとに添付ファイルがロールバックされます。
- テストの完了後に、システムが既存の添付ファイルをロールバックすることはできません。
- データの依存関係を排除するため、既存の添付ファイルを使用してレコードをテストすることは避けてください。
- UI テストが関係している場合は、添付ファイルをフォームに追加します。
- UI テストが関係していない場合は、添付ファイルをサーバー API に追加します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

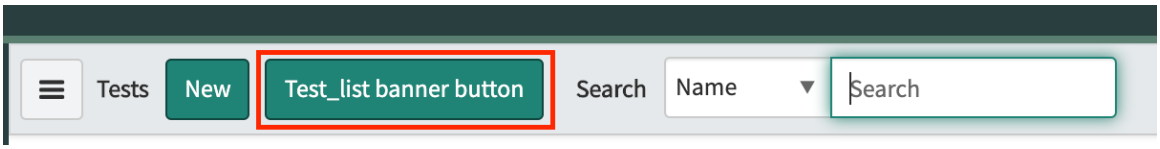
リストの UI アクションのテストステップ

リストから UI アクションを選択して、リストまたは関連リストに対してさまざまなアクションを実行します。

次のタイプの新しい UI アクションを作成できます。詳細については、「UI アクションの作成」を参照してください。

- [リストバナーボタン]：リストのバナーにボタンを作成します。

  バナーリストボタン

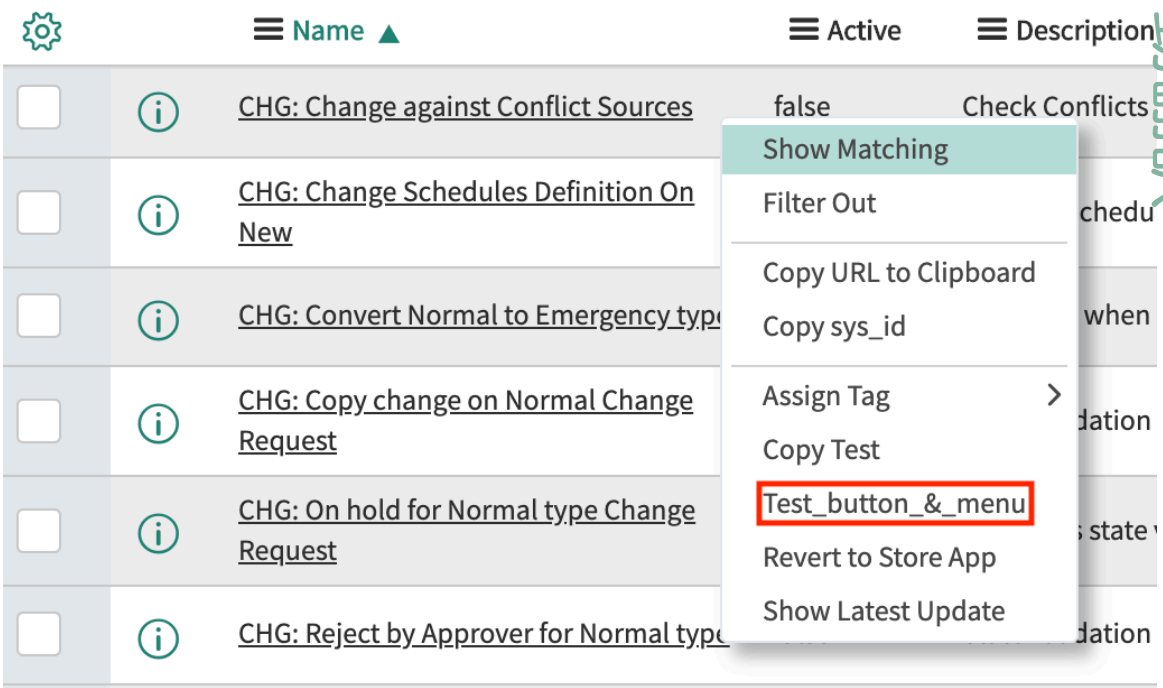


- [リスト下部ボタン]：リストの下部にボタンを作成します。

  リスト下部ボタン

- [リストコンテキストメニュー]：リストのコンテキストメニューにオプションを追加します。

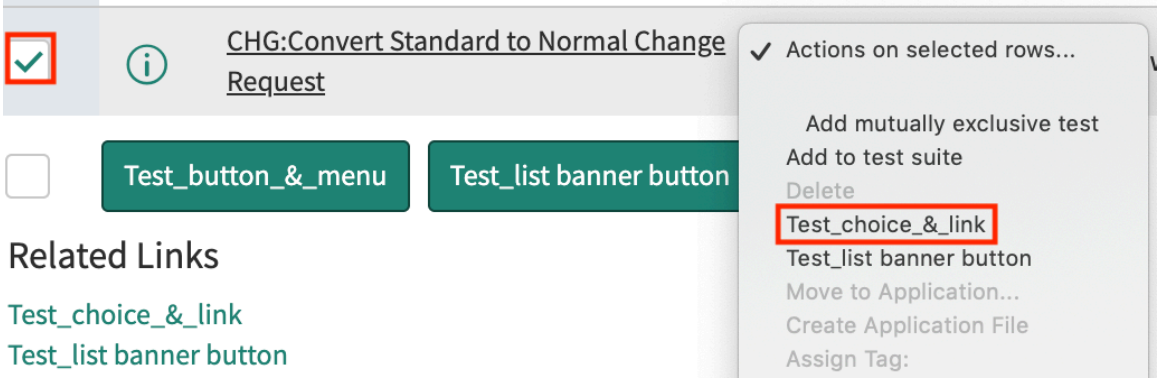
  リストコンテキストメニュー



- [リスト選択肢]：リストの下部にあるリストの選択肢にオプションを追加します。最近追加されたリストの選択肢を有効にするには、1 つ以上のテストを選択する必要があります。

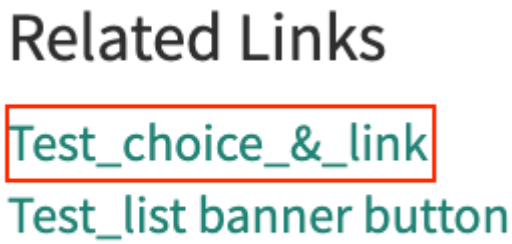
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

リスト選択肢



- [リストリンク]： [関連リンク] リストにリンクを追加します。

リストリンク



自動翻訳

設計上の考慮事項

- [リスト **UI** アクションをクリック] テストステップを使用するには、テストの最初に UI アクションを含むリストまたは関連リストがあるフォームに移動する必要があります。
- [関連リスト] フィールドは、[リストタイプ] として [関連リスト] を選択した場合にのみ表示されます。
- [アクションタイプ] は、選択した [リストアクション] に応じてほぼ自動フィルタリングされます。
- [レコード] フィールドは、適用する UI アクションに [単一レコード] を選択した場合にのみ表示されます。
- [単一レコード] を選択して UI アクションを適用した場合は、特定のレコードを識別します。
- [タイムアウト] フィールドを表示するには、[アサーションタイプ] として [ページのリロードまたはリダイレクト] を選択します。

パラメーター化されたテスト

実行ごとに異なるテストデータを使用して、テストを複数回実行します。各テスト実行のテストデータを保存するパラメーターを作成します。

パラメーター化テストはテスト設計者にこれらの利点を提供します。

- ただテストデータを変更するためだけにテストステップを複製する必要がありません。
- テストアクションをテストデータから分離することでテストの再利用を拡大します。
- データセットごとに個別のテスト結果を生成します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テストが実行されると、自動テストフレームワーク (ATF) はパラメーターをデータセット値で置き換えます。たとえば、サブカテゴリフィールドと優先順位フィールドにパラメーター値を使用するインシデントフォームのテストを作成できます。1 つのデータセットを使用して、ウイルス対策カテゴリが優先順位の高いインシデントを生成することをテストし、別のデータセットを使用して、メールカテゴリが優先順位が低いインシデントを生成することをテストすることができます。

注:
[サーバー側スクリプトを実行] テストステップは、パラメーター化されたテストではサポートされません。

パラメーター化されたテストのコンポーネント

パラメーター化テストは、これらのコンポーネントで構成されています。

パラメーター

パラメーターは、特定のタイプのテストデータを格納する変数です。各パラメーターには、一意のラベルとデータタイプがあります。たとえば、参照フィールドのシステム ID または選択フィールドの整数値を格納するパラメーターを作成できます。 テスト設計中にパラメーターを定義します。

パラメーターは共有または排他にすることができます。共有パラメーターは、すべてのパラメーター化されたテストで使用できます。排他パラメーターは、それらが作成されたテストでのみ使用できます。各共有パラメーターは、データセットのテスト実行 [sys_atf_parameter_set] テーブルの列です。各排他パラメーターは、パラメーター変数 [sys_atf_parameter_variable] テーブルのレコードです。

データ セット

データセットは、テスト実行データセットとも呼ばれ、テストの実行時に使用されるランタイムデータが含まれています。現在のテストで使用可能なすべてのパラメーターの値を設定できます。データセットは、テスト実行中のパラメーター値を指定します。 テスト用のデータセットを手動で作成することも、ファイルからデータをインポートすることもできます。各データセットは、データセットのテスト実行 [sys_atf_parameter_set] テーブルのレコードです。

データセットが定義されていないと、パラメーター化テストは失敗します。

設計上の考慮事項

パラメーター化テストを作成するときは、これらの設計に関する考慮事項に従ってください。

- パラメーター化テストは、レポート、テストスイート、およびデータロールバックなどの標準 自動テストフレームワーク (ATF) 機能をサポートします。パラメーター化テストをコピーすると、すべてのパラメーター、テスト実行データセット、およびテストステップがコピーされます。
- カスタム UI テストステップを含むパラメーター化されたテストを作成した場合、システムは最初のデータセットのみを使用してコンポーネントを取得します。

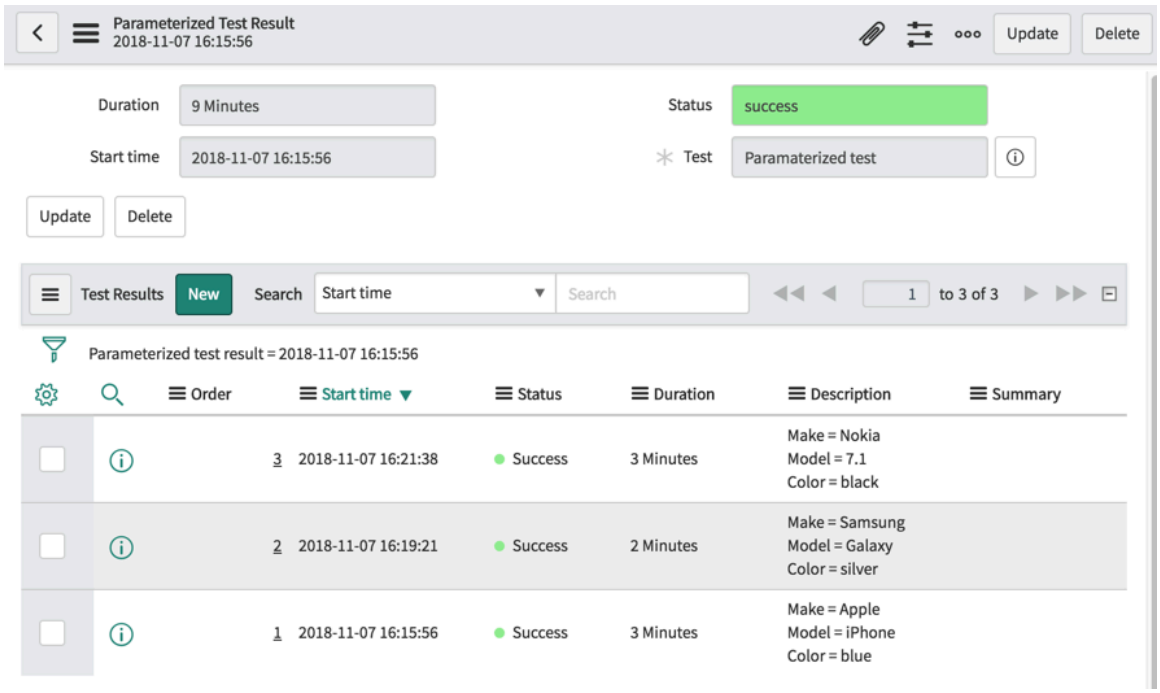
パラメーター化されたテストの実行

自動テストフレームワーク (ATF) は、同じテストステップと実行順序を使用して、パラメーター化された各テストをデータセットごとに 1 回実行します。たとえば、パラメーター化されたテストに 5 つのデータセットがある場合、自動テストフレームワーク (ATF) はデータセットごとに 1 回ずつ、全部で 5 回のテストを実行します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター化されたテスト結果

パラメーター化されたテストでは、データセットの実行順序でテスト結果が表示されます。テストの詳細を表示するには、各テスト結果レコードを開きます。



パラメーター化されたテスト結果レコードの [説明] フィールドには、テスト実行で使用されたパラメーターとデータセットがリストされます。

パラメーター化されたテストの作成

テストデータを格納する変数を使用するテストをビルドします。

始める前に

必要なロール：atf_test_admin、atf_test_designer、または admin

手順

1. 移動先 すべて > 自動テストフレームワーク **(ATF)** > テスト.
2. [**New**] をクリックします。
   空白のテストレコードが開きます。
3. フォームのフィールドに入力します。

フィールド	説明
名前	テストの名前を入力します。
有効	有効化
パラメーター化テストの有効化	有効化
説明	テストの説明を入力します。

4. [保存] をクリックします。
   パラメーター化されたテスト関連リストが表示されます。
5. テスト実行データを保持するパラメーターを作成します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

パラメーターは、特定のタイプのテストデータを格納する変数です。各パラメーターには、一意のラベルとデータタイプがあります。たとえば、参照フィールドのシステム ID または選択フィールドの整数値を格納するパラメーターを作成できます。

a. [パラメーター定義] 関連リストに、パラメーターを追加します。

- [排他的パラメーターを追加 **(Add Exclusive Parameters)**]：このテストでのみ利用可能なパラメーターを追加します。
- [共有パラメーターを追加 **(Add Shared Parameters)**]：任意のパラメーター化されたテストに使用可能なパラメーターを追加します。

b. 変数とデータタイプの名前を定義します。
フォームのパラメーターを作成するときは、パラメーターのデータタイプはフィールドのデータタイプと一致する必要があります。たとえば、フォーム上の参照フィールドをテストするパラメーターを作成している場合は、Reference タイプのパラメーターを作成する必要があります。ServiceNow AI Platform データタイプの詳細については、「フィールドタイプ」を参照してください。

c. [送信] をクリックします。

次のタスク
テストステップへのパラメーターの追加

テストステップへのパラメーターの追加

テスト実行時に特定のタイプのデータを保持するために、テストステップに変数を追加します。

始める前に

- パラメーター化されたテストの作成
- 必要なロール：atf_test_admin、atf_test_designer、または admin

このタスクについて

注:
[サーバー側スクリプトを実行] テストステップは、パラメーター化されたテストではサポートされません。

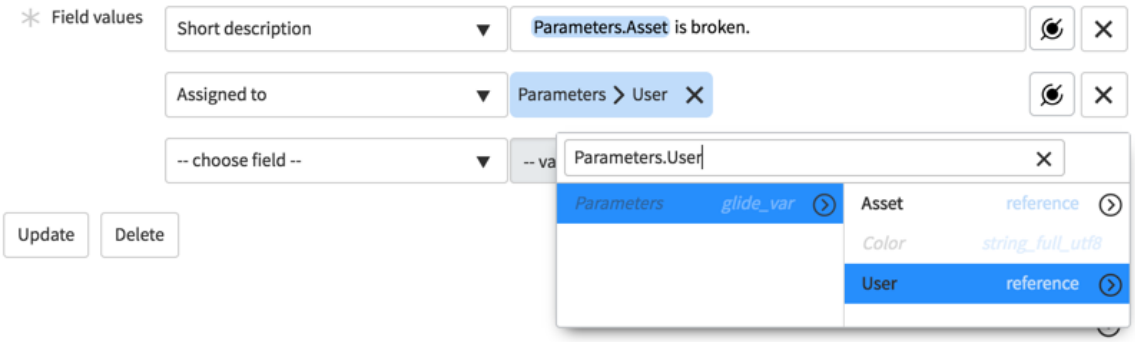
手順

1. 移動先 すべて > 自動テストフレームワーク **(ATF)** > テスト.
2. パラメーター化されたテストを開きます。
3. [ストステップ] 関連リストで、テストステップを作成するか、既存のステップを開きます。
4. をクリックし、パラメーターを選択してフィールドに追加します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーターがフィールドに表示されます。



タスクの結果
テストが実行されるときに、自動テストフレームワーク (ATF) はパラメーターをテスト実行データに置き換えます。

次のタスク
パラメーター化されたデータセットの追加。

パラメーター化されたデータセットの追加

テストデータを追加またはインポートして、パラメーターのランタイム値を指定します。

始める前に
- パラメーター化されたテストの作成
- テストステップへのパラメーターの追加
- 必要なロール：atf_test_admin、atf_test_designer、または admin

このタスクについて
データセットは、テスト実行データセットとも呼ばれ、テストの実行時に使用されるランタイムデータが含まれています。現在のテストで使用可能なすべてのパラメーターの値を設定できます。データセットは、テスト実行中のパラメーター値を指定します。

テスト設計者は、データセットを手動で追加するか、またはファイルからデータをインポートすることができます。

注:
カスタム UI テストステップを含むパラメーター化されたテストを作成した場合、システムは最初のデータセットのみを使用してコンポーネントを取得します。

手順
1. 移動先 すべて > 自動テストフレームワーク **(ATF)** > テスト.
2. パラメーター化されたテストを開きます。
3. [テスト実行データセット] 関連リストで、データセットを追加またはインポートします。

次のタスク
[テストを実行] をクリックします。 自動テストフレームワーク (ATF) は、同じテストステップと実行順序を使用して、パラメーター化された各テストをデータセットごとに 1 回実行します。たとえば、パラメーター化されたテストに 5 つのデータセットがある場合、自動テストフレームワーク (ATF) はデータセットごとに 1 回ずつ、全部で 5 回のテストを実行します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター化されたテストでは、データセットの実行順序でテスト結果が表示されます。テストの詳細を表示するには、各テスト結果レコードを開きます。

許可されたクライアントエラー

既知のクライアントエラーを許可されたクライアントエラーリストに追加して、特定のエラーが発生したときにテストとステップを引き続き実行できるようにします。レポートレベルを設定して、今後のテストでエラーが発生したときの 自動テストフレームワーク (ATF) の動作を指定します。

クライアントエラーを許可するシナリオ

テスト設計者と開発者は、通常、クライアント側の JavaScript エラーを許可して、特定のタイプの既知の障害がテストの設計と結果に影響を与えないようにします。クライアントエラーが許可されるシナリオには、次のようなものがあります。

時間の制約

開発者が問題を調査して解決するまで、クライアントエラーを一時的に許可します。たとえば、長期にわたるバグを含む古いフォームをテストする場合などです。

古いライブラリの影響を最小限に抑える

修正することができない、または将来のテスト実行への影響を排除するために操作に重要でないクライアントエラーを無視します。たとえば、古いライブラリーのバグを見つけたときなどです。

テストデザインの時間

テストを作成してエラーを調査するまで、一時的にクライアントエラーを許可します。たとえば、開発者の 1 人がUIポリシーを変更し、その変更によってエラーが発生します。

プラットフォームのバグの可能性

修正が利用可能になるまで、一時的にクライアントエラーを許可します。プラットフォームのバグをServiceNowテクニカルサポートにレポートする前に、エラーを調査し、カスタマイズエラーではないことを確認し、関連するプラットフォームのバグの種類を特定します。たとえば、UIポリシーはテスト中にエラーを生成します。調査では、問題がカスタマイズエラーではないことが確認され、UIポリシーでプラットフォームの問題が特定されています。

注:
許可されたクライアントエラーリストにクライアントエラーを追加すると、テストフレームワークはテストを続行できますが、テストの合格は保証されません。 テストデザイナーと開発者は、常にクライアントエラーを調査して、ビジネスプロセスに問題があるかどうかを判断する必要があります。詳細については、「クライアントエラーの特定と解決」を参照してください。

許可されたクライアントエラーのレポートレベル

レポートレベルは、テストフレームワークが将来のエラーの発生を警告として報告するのか、それとも無視するのかを示します。許可されたエラーのレポートレベルはいつでも変更できます。たとえば、最初に警告としてエラーを追加した場合、後でレポートレベルを無視して変更するできます。

レポートレベル	説明
Warning	許可されたクライアントエラーを含むテストステップは、ステータスを [成功 (警告あり)] でレポートします。エラーメッセージがテスト結果出力に表示され、ステータスが [警告] でテストログに記録されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

レポートレベル	説明
無視	許可されたクライアントエラーを含むテストステップは、ステータスを [成功] でレポートします。エラーは [無視] ステータスでテストログに記録されます。

合わせ手続き

自動テストフレームワーク (ATF) は、完全な文字列一致ではなく、包含検索を使用して、許可されたクライアントエラーを特定します。許可されたクライアントエラー [sys_atf_whitelist] レコードからのメッセージがクライアントエラーに含まれている場合、一致となります。たとえば、エラーメッセージ「テストメッセージ」に対して [無視] のレポートレベルで [許可されたクライアントエラー] レコードを作成すると、この文字列を含むすべてのクライアントエラーは無視されます。

注:
許可されたクライアントエラーレコードを作成または変更すると、クライアントテストランナーは自動的に更新されます。

クライアントエラーの特定と解決

クライアントエラーが発生すると、自動テストフレームワーク (ATF) はエラーが発生したときに実行されていたステップでテストに失敗します。

テスト結果からクライアントエラーを許可

テスト結果を確認してクライアントエラーを許可します。

始める前に
必要なロール：atf_test_admin、atf_test_designer、または admin

このタスクについて
複数または個々のクライアントエラーを許可できます。クライアントエラーごとに、クライアントエラーの今後のインスタンスをレポートする方法を決定する必要があります。レポートレベルのオプションは次のとおりです。

- 警告：許可されたクライアントエラーを含むテストステップは、ステータスを [成功 (警告あり)] でレポートします。エラーメッセージがテスト結果出力に表示され、ステータスが [警告] でテストログに記録されます。
- 無視：許可されたクライアントエラーを含むテストステップは、ステータスを [成功] でレポートします。エラーは [無視] ステータスでテストログに記録されます。

手順

1. 移動先 すべて > 自動テストフレームワーク **(ATF)** > テスト結果.
2. 特定のテストのテスト結果を選択します。
   テスト結果レコードが表示されます。
3. 関連リンクから、次のいずれかのオプションを選択できます。
   - [すべてのクライアントエラーを警告リストに追加]：このテストのすべてのクライアントエラーを [警告] のレポートレベルで許可します。
   - [すべてのクライアントエラーを無視リストに追加]：このテストのすべてクライアントエラーを [無視] のレポートレベルで許可します。

   自動テストフレームワーク (ATF) は、選択されたクライアントエラーを許可し、フォームの上部にステータスメッセージを表示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

関連情報

許可されたクライアントエラー

ステップ結果からクライアントエラーを許可

ステップ結果を確認してクライアントエラーを許可します。

始める前に

必要なロール：atf_test_admin、atf_test_designer、または admin

このタスクについて

複数または個々のクライアントエラーを許可できます。クライアントエラーごとに、クライアントエラーの今後のインスタンスをレポートする方法を決定する必要があります。レポートレベルのオプションは次のとおりです。

- 警告：許可されたクライアントエラーを含むテストステップは、ステータスを [成功 (警告あり)] でレポートします。エラーメッセージがテスト結果出力に表示され、ステータスが [警告] でテストログに記録されます。
- 無視：許可されたクライアントエラーを含むテストステップは、ステータスを [成功] でレポートします。エラーは [無視] ステータスでテストログに記録されます。

手順

1. 移動先 すべて > 自動テストフレームワーク **(ATF)** > テスト結果.
2. 特定のテストのテスト結果を選択します。
   テスト結果レコードが表示されます。
3. 許可するクライアントエラーを選択します。

オプション	説明
ステップ結果関連リストの具体的なステップ結果	**a.** [ステップ結果] 関連リストで、許可するクライアントエラーを含むステップ結果を右クリックします。 **b.** コンテキストメニューから、次のいずれかのオプションを選択します： ▪ [すべてのクライアントエラーを警告リストに追加]：このステップのすべてのクライアントエラーを [警告] のレポートレベルで許可します。 ▪ [すべてのクライアントエラーを無視リストに追加]：このステップのすべてクライアントエラーを [無視] のレポートレベルで許可します。
ステップ結果関連リストからの複数ステップ結果	**a.** [ステップ結果] 関連リストで、許可するクライアントエラーを含む各ステップ結果の最初の列にあるチェックボックスをオンにします。 **b.** 必要に応じて、リストから次のいずれかのオプションを選択します。 ▪ [すべてのクライアントエラーを警告リストに追加]：このステップのすべてのクライアントエラーを [警告] のレポートレベルで許可します。 ▪ [すべてのクライアントエラーを無視リストに追加]：このステップのすべてクライアントエラーを [無視] のレポートレベルで許可します。
ステップ結果レコードの具体的なステップ結果	**a.** [ステップ結果] 関連リストで、許可するクライアントエラーを含む [ステップ結果] レコードを選択します。 **b.** 関連リンクから、次のいずれかのオプションを選択できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

オプション	説明
	▪ [すべてのクライアントエラーを警告リストに追加]：このステップのすべてのクライアントエラーを [警告] のレポートレベルで許可します。 ▪ [すべてのクライアントエラーを無視リストに追加]：このステップのすべてクライアントエラーを [無視] のレポートレベルで許可します。

自動テストフレームワーク (ATF) は、選択されたクライアントエラーを許可し、フォームの上部にステータスメッセージを表示します。

関連情報

許可されたクライアントエラー

テストログからクライアントエラーを許可

テストログを確認してクライアントエラーを許可します。

始める前に

必要なロール：atf_test_admin、atf_test_designer、または admin

このタスクについて

複数または個々のクライアントエラーを許可できます。クライアントエラーごとに、クライアントエラーの今後のインスタンスをレポートする方法を決定する必要があります。レポートレベルのオプションは次のとおりです。

- 警告：許可されたクライアントエラーを含むテストステップは、ステータスを [成功 (警告あり)] でレポートします。エラーメッセージがテスト結果出力に表示され、ステータスが [警告] でテストログに記録されます。
- 無視：許可されたクライアントエラーを含むテストステップは、ステータスを [成功] でレポートします。エラーは [無視] ステータスでテストログに記録されます。

手順

1. 移動先 すべて > 自動テストフレームワーク **(ATF)** > テスト結果.
2. 特定のテストのテスト結果を選択します。
   テスト結果レコードが表示されます。
3. 許可するクライアントエラーを選択します。

オプション	説明
テストログ関連リストからの特定のテストログ	**a.** [テストログ] 関連リストで、許可するテストログのクライアントエラーを右クリックします。 **b.** コンテキストメニューから、次のいずれかのオプションを選択します： ▪ [クライアントエラーを無視リストに追加]：クライアントエラーを [無視] のレポートレベルで許可します。 ▪ [クライアントエラーを警告リストに追加]：クライアントエラーを [警告] のレポートレベルで許可します。
テストログ関連リストからの複数のテストログ	**a.** [テストログ] 関連リストで、許可する各テストログクライアントエラーの最初の列にあるチェックボックスをオンにします。 **b.** 必要に応じて、 リストから次のいずれかのオプションを選択します：

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

オプション	説明
	▪ [クライアントエラーを無視リストに追加]：クライアントエラーを [無視] のレポートレベルで許可します。 ▪ [クライアントエラーを警告リストに追加]：クライアントエラーを [警告] のレポートレベルで許可します。
テスト結果アイテムレコードからの特定のテストログ	**a.** [テストログ] 関連リストで、許可するクライアントエラーを含むテストログ ([テスト結果] アイテムレコード) を選択します。 **b.** 関連リンクから、次のいずれかのオプションを選択できます。 ▪ [すべてのクライアントエラーを警告リストに追加]：このステップのすべてのクライアントエラーを [警告] のレポートレベルで許可します。 ▪ [すべてのクライアントエラーを無視リストに追加]：このステップのすべてクライアントエラーを [無視] のレポートレベルで許可します。

自動テストフレームワーク (ATF) は、選択されたクライアントエラーを許可し、フォームの上部にステータスメッセージを表示します。

関連情報

許可されたクライアントエラー

クライアントエラーを手動で許可

必要に応じて、[許可されたクライアントエラー] テーブルで、許可されるクライアントエラーエントリを手動で作成します。

始める前に

必要なロール：atf_admin、atf_test_designer、または admin

このタスクについて

通常は、テスト結果、ステップ結果、またはテストログから直接クライアントエラーを許可しますが、手動で許可することもできます。

手順

1. 移動先 すべて > 自動テストフレームワーク **(ATF)** > 実行 > 許可されたクライアントエラー.

2. [**New**] をクリックします。

3. フォームのフィールドに入力します。

[許可されたクライアントエラー] フォーム

フィールド	説明
レポートレベル	クライアントエラーが発生した場合に実行するレポートアクション。次のオプションが含まれます。 ○ 警告 - ステップおよびテストが成功 (警告あり) を報告します。：許可されたクライアントエラーを含むテストステップは、ステータスを [成功 (警告あり)] でレポートします。エラーメッセージがテスト結果出力に表示され、ステータスが [警告] でテストログに記録されます。 ○ 無視 - ステップおよびテストの成功を報告します。：許可されたクライアントエラーを含むテストステップは、ステータスを [成功] でレポートします。エラーは [無視] ステータスでテストログに記録されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
アクティブ	クライアントエラーの許可を有効または無効にするチェックボックス。
エラーメッセージ	許可するクライアントエラーのメッセージ。
説明	許可するエラーの説明。このクライアントエラーがテスト結果、ステップ結果、またはテストログから許可された場合、テストログの説明がこのフィールドにコピーされます。

4. [送信] をクリックします。

関連情報

許可されたクライアントエラー

自動テストの進行状況の表示

自動化されたテストが実行されているときは、テストの進行状況ダイアログで進行状況を確認します。

始める前に

システムはテストを実行している必要があります。
必要なロール：atf_test_admin または atf_test_designer

このタスクについて

テストまたはテストスイートを実行すると、テスト実行の進行状況ダイアログが自動的に表示されます。このダイアログを閉じると、現在実行中のテストまたはテストスイートの結果リストまたは結果ページから再表示できます。

手順

1. 必要に応じて、現在実行中のテストまたはテストスイートのテスト結果リストまたはテスト結果ページに移動します。
   - システムが現在テストスイートを実行している場合は、 自動テストフレームワーク **(ATF)** > スイート結果. 必要に応じて、実行中のテストスイートの行をクリックすると、そのテストスイートのスイート結果ページが表示します。
   - システムが現在テストスイートに含まれていないテストを実行している場合は、 自動テストフレームワーク **(ATF)** > テスト結果. 必要に応じて、実行中のテストの行をクリックすると、そのテストのテスト結果ページが表示されます。
2. テストの実行ダイアログを表示します。
   - 現在、テスト結果ページまたはスイート結果ページが表示されている場合は、関連リンクの下にある 進行状況を表示をクリックします。
   - 現在、[テスト結果] リストまたは [スイート結果] リストを表示している場合は、実行中のテストまたはテストスイートの行を右クリックしてから、[進行状況の表示] をクリックします。

1 つの自動テストステップから別の自動テストステップにデータを渡す

いくつかの自動テスト ステップでは、後続のステップへの入力として使用できるデータを作成します。

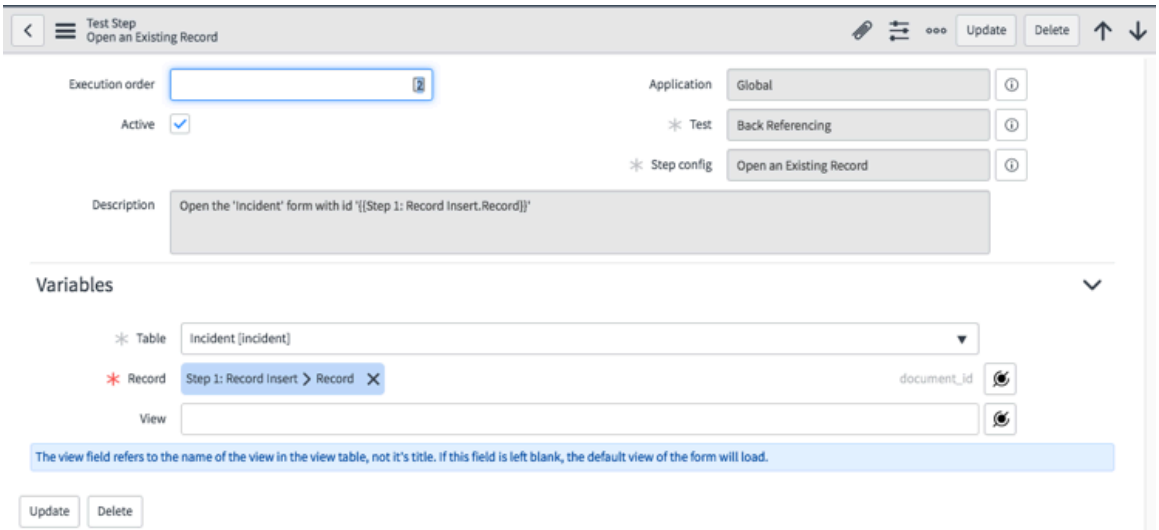
あるテスト ステップから別のテスト ステップにデータを渡すには、入力変数そして出力変数を用います。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

用語入力変数はステップに関連付けられたフィールド値の別の名前です。これらの値は、ステップがそのタスクを完了するために必要な入力を提供するため、入力変数です。たとえば、[フォームを開く (Open Form)] ステップには、[テーブル]、[レコード]、[表示] の入力変数があります。

入力変数を示すテスト ステップの例

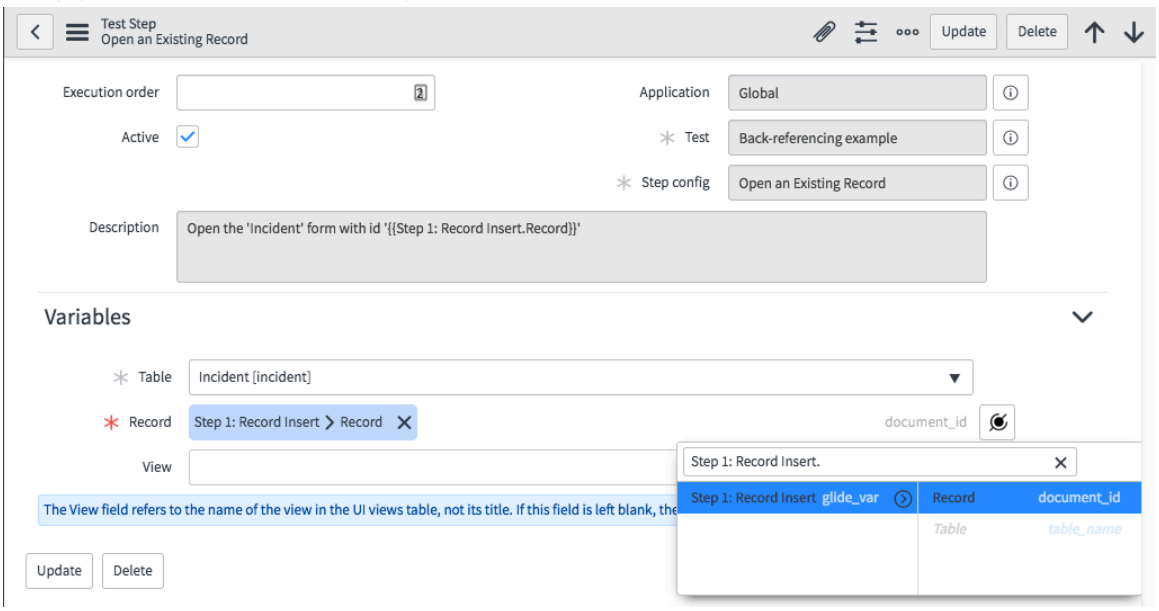


一部のステップタイプには出力変数もあります。これらは、同じテストの後のステップで入力として使用できる値です。たとえば、レコードの挿入ステップには、新しく作成されたレコードの sys_id を含むレコードと呼ばれる出力変数があります。

注:
入力データは、.csv ファイルなどの外部ソースから自動テストケースに渡すこともできます。

テストステップフォームは、テストステップに出力変数があるかどうかを示しません。指定された入力変数に値を提供できる出力変数があるかどうかは、簡単に判断できます。あるステップの出力変数の値を現在のステップの入力変数にマッピングできる場合は、その入力フィールドの右側に、マッピングアイコン ( ) が表示されます。変数マッピングアイコンをクリックすると、前の手順で使用可能な出力変数にアクセスするためのツリーが表示されます。

出力変数を示すテストステップの例



© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

出力変数の値を別のステップの入力変数に割り当てる方法については、1 つの自動テストステップから別の自動テストステップに値を渡すを参照してください。

入力変数と出力変数を使用して変数を渡すテストの例については、「自動テストフレームワーク (ATF) ユースケース：前のステップの値の参照」を参照してください。

1 つの自動テストステップから別の自動テストステップに値を渡す

フォームフィールドに前のステップから戻った 出力変数 の値を割り当てます。

始める前に

適切な 出力変数 を返す前のテスト ステップが必要です。

必要なロール：admin、atf_test_admin、atf_test_designer

手順

1. 値をアサインするフィールドの右側にある 入力値アイコン ( ) をクリックします。
   入力値 マッピングコントロールは、出力変数 を作成する前のステップをリストします。前のステップで 出力変数 が作成されていない場合、コントロールには「 表示する要素がありません 」というメッセージが表示されます。
2. 入力として使いたいと思う 出力変数 を含むステップの行をクリックします。
3. 使いたい 出力変数 をクリックします。
   出力変数 が Glide レコードの ID である場合、コントロールはこのレコードのフィールドへのアクセスを提供するツリーピッカーを表示します。
4. ツリーピッカー階層を移動し、目的の値を見つけて選択します。

関連情報

自動テストフレームワーク (ATF) ユースケース：前のステップの値の参照

自動テストスイートのビルドと実行

特定の順序でテストのグループを実行して、アプリケーションまたは関連する機能のグループをテストします。

テストスイートには個々のテストやその他のテストスイートを含むことができます。別のテストスイートを含むテストスイートは親と呼ばれ、親の中に含まれているテストスイートは子と呼ばれます。テストスイートは個々のテストとテストスイートの両方を子として持つことができますが、テストはその他のテストを子として持つことはできません。テストにはテストステップのみを含めることができます。

利点

テストをテストスイートにグループ化すると、これらの利点が得られます。

- テスト担当者はテストスイート内のすべてのテストを 1 回のアクションで実行できます。
- テスト担当者は親テストスイート内のすべての子テストスイートを実行できます。
- テスト担当者はテストスイート内のすべてのテストのテスト結果を確認できます。
- テスト設計者とテスト担当者はテストスイートを実行するタイミングをスケジュールできます。
- テスト設計者とテスト担当者は、テスト実行をサポートするクライアントテストランナーの開始をスケジュールできます。

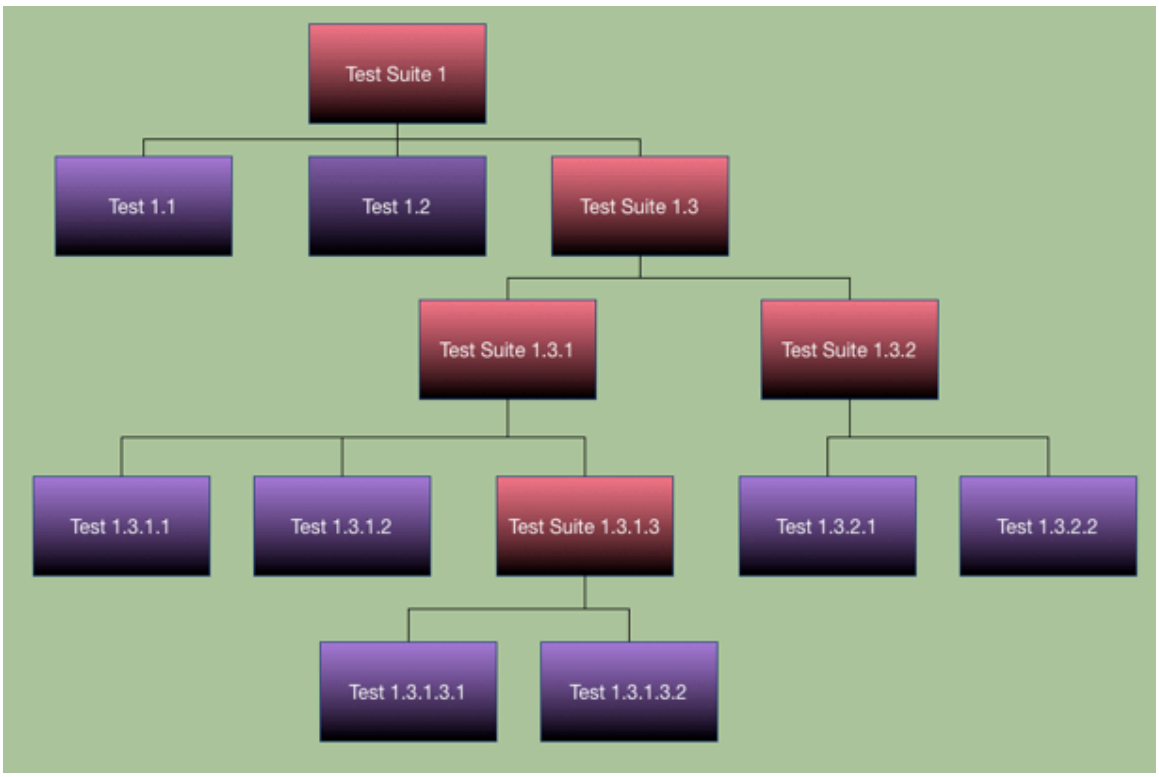
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

階層

自動テストフレームワーク (ATF) は、テストスイートが親と子の両方になることができる複数レベルの階層のビルドをサポートします。たとえば、この図は階層の最上位の親としての Test Suite 1 を示しています。Test Suite 1.3 は Test Suite 1 の子であり、Test Suite 1.3.1 および Test Suite 1.3.2 の親でもあります。

テストスイート階層の例



スケジュール

テストスイートをスケジュールするには、次の3 つのコンポーネントが必要です。

- テストスイートレコード
- システムにテストスイートを実行させる時刻を指定するスケジュールレコード
- テストスイートを、それを実行するスケジュールと関連付けるスケジュールされたスイート実行レコード

このモデルでは、さまざまなテストスイートにスケジュールを関連付けることができます。

注:
スケジュールできるのは、個々のテストではなくテストスイートのみです。スケジュール済みのテストは、スケジュール済みのスイートのブラウザー条件に一致するスケジュール済みのクライアントテストランナーページが開いている場合にのみ実行されます。スケジュール済みのテストは、ロックされている、電源が切れている、またはブラウザが開いていないマシンでは実行できません。

テストスイート実行レコードのウォッチリストでは、システムがテストスイート実行を完了したときに、ユーザーが電子メールを受け取るように指定することもできます。

テストスイートに 1 つ以上のフォームステップ(ユーザーインターフェイスを含むステップ)が含まれている場合は、スケジュールでスイートを実行する時に、スケジュール済みのクライアントテストランナーがブラウザでアクティブに実行されていることを保証する必要があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

> **注:**
> クライアントテスト ランナーを実行するための推奨事項と要件については、ブラウザの推奨事項と要件を参照してください。

テストスイートをスケジュールする方法のステップについては、「自動テストスイートのスケジュール」を参照してください。

フィルター

フィルターを使用して、テストがフィルター条件に一致したときにテストをテストスイートに動的に追加することで、テストスイートの作成を自動化します。テストデザイナーが手動でテストスイートを作成して維持するために費やす時間を短縮します。

関連情報

- スイート
- ステップ結果レコード

自動テストスイートの作成

自動テストをバッチとして実行できるスイートにグループ化します。

始める前に
テストスイートに含めるテストは、存在している必要があります。
必要なロール：atf_test_admin または atf_test_designer

手順

1. 移動先 すべて > 自動テストフレームワーク **(ATF)** > スイート.
2. [**New**] をクリックします。
   システムは、テスト スイートの新しいレコードフォームを表示します。
3. 名フィールドで、このスイートの名前を入力します。
4. このスイートに含めるテストを選択します。

オプション	説明
フィルター	フィルターを使用してテストを動的に追加します。 **a.** [フィルター] フィールドで、条件ビルダーを使用して、テストスイートに含めるためにテストが一致する必要がある条件を作成します。 **b.** [保存] をクリックします。 フィルター条件に一致するすべてのテストが [テストスイートテスト] 関連リストに表示されます。スイートは動的なので、条件に一致する新しいテストがあれば自動的にスイートに追加されます。
テストスイートテスト	手動でテストを追加します。 **a.** [テストスイートテスト] 関連リストで、[新しい行を挿入する...] をクリックします。 **b.** テストフィールドで、このテストスイートに追加するテストの名前を入力します。

5. 説明フィールドで、このテストスイートの説明を入力します。
6. [テストスイートテスト] 関連リストで、テストに対するオプションを指定します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

オプション	説明
実行順序	このテストがテストスイート内で実行される順序を指定する値を入力します。
失敗時に中止	このテストが失敗した場合にテストスイートを停止するか続行するかを示す値を入力します。 ○ デフォルトでは、システムがこのフィールドに**false**値を割り当てます。このテストが失敗しても、システムはテストスイート内でそれ以降のテストを実行します。 ○ このテストが失敗した場合にテストスイートを停止するには、値を **true** に設定します。

7. このテストスイートに含めるすべてのテストについて、手順 4 ～ 6 を繰り返します。
8. [送信] をクリックします。

自動テストスイートのコピー

テストスイート全体をコピーすることで、テストの作成時間を短縮します。コピー後にテストスイートの名前を変更し、さらに変更を加えます。テストスイートフォームの [テストスイートをコピー] ボタンは、テストスイート内のすべてのネストされたテストと子テストスイートをコピーします。

始める前に
必要なロール：atf_test_admin または atf_test_designer

手順

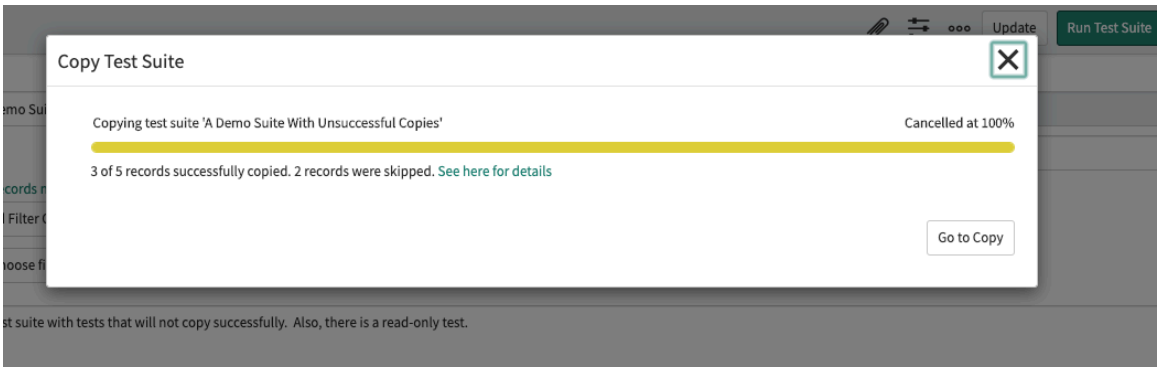
1. 移動先 すべて > 自動テストフレームワーク **(ATF)** > スイート.
2. コピーするテストスイートを含む行を選択します。
3. テストスイートフォームの上隅付近にある [テストスイートをコピー] を選択します。
   ステータスを確認するための進捗状況トラッカーが表示されます。[コピーに移動 **(Go to Copy)**] を選択すると、[名前] 以外はコピーしたレコードと同じ新しいテストスイートレコードが表示されます。

   注:
   フィルター条件を適用すると、条件が満たされた場合に、コピーされたテストがテストスイートに追加されます。

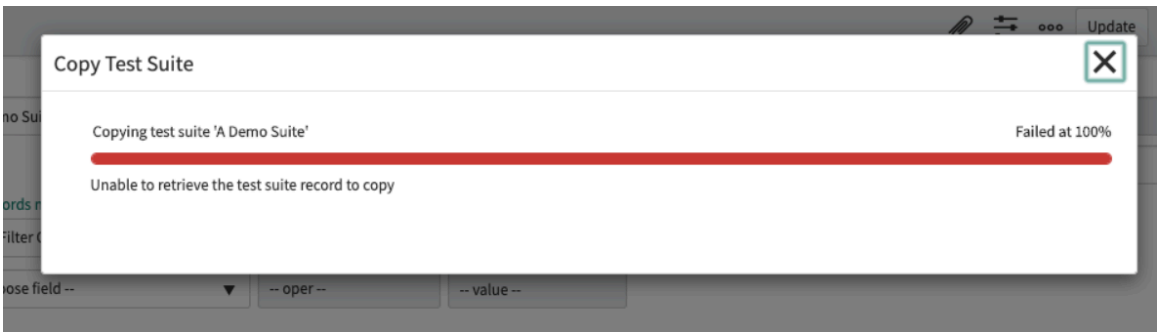
   テストまたは子テストスイートがコピーに失敗すると、それらはスキップされ、残りのテストと子のテストスイートのコピーが続行されます。部分的に成功したことを示す警告メッセージが進捗状況バーの下に表示されます。

   注:
   テストスイートは、現在のスコープと同じスコープ内にある場合にのみコピーできます。[テストスイートをコピー] ボタンは、テストスイートが同じスコープ内にある場合にのみ表示されます。スイート内のテストのスコープは、テストスイートをコピーするときに保持されます。詳細については、「アプリケーションスコープ」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



コピー操作に失敗した場合は、進捗状況バーの下にエラーメッセージが表示されます。



4. [名前] フィールドで、この新しいテストスイートにアサインする名前を入力します。
5. コピーしたテストスイート内のテストとテストスイートを編集します。
6. 変更が完了したら、[更新] をクリックします。

タスクの結果

すべてのネストされたテストおよび子テストスイートとともに、テストスイートのコピーが作成されます。

フィルターを使用したスイートへのテストの追加

フィルターを使用して、テストがフィルター条件に一致したときにテストをテストスイートに動的に追加することで、テストスイートの作成を自動化します。テストデザイナーが手動でテストスイートを作成して維持するために費やす時間を短縮します。

始める前に

テストスイートに含めるテストは、存在している必要があります。
必要なロール：atf_test_admin または atf_test_designer

手順

1. 移動先 すべて > 自動テストフレームワーク **(ATF)** > スイート.
2. [**New**] をクリックします。
   システムは、テスト スイートの新しいレコードフォームを表示します。
3. 名フィールドで、このスイートの名前を入力します。
4. [フィルター] に対して、条件ビルダーを使用して、テストスイートに追加するためにテストが満たす必要がある条件を指定します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

> **注:**
> フィルター条件が設定されていない場合は無視され、スイートを手動でビルドできます。

5. [保存] をクリックします。

タスクの結果

フィルター条件に一致するすべてのテストが [テストスイートテスト] 関連リストに表示されます。
スイートは動的なので、条件に一致する新しいテストがあれば自動的にスイートに追加されます。

既存の自動テストスイートへのテストの追加

すでに存在するテストスイートにテストを追加します。

始める前に

テストスイートに含めるテストとテストスイートは、存在している必要があります。
必要なロール：atf_test_admin または atf_test_designer

手順

1. 移動先 すべて > 自動テストフレームワーク **(ATF)** > スイート.
2. テストスイートが含まれている行をクリックします。
   システムは、テストスイートフォームを表示します。
3. [テストスイートテスト] 関連リストで、[新しい行を挿入する...] をクリックします。
4. テストフィールドで、このテストスイートに追加するテストの名前を入力します。
5. 注文フィールドで、このテストがテストスイート内で実行される順序を決定する値を入力します。
   デフォルトでは、テストを追加する順序に従ってこのフィールドに値が割り当てられます。
6. この行の失敗時の中止フィールドで、この個別テストが失敗した場合にテストスイートを停止するか続行するかを示す値を入力します。
   デフォルトでは、システムがこのフィールドに**false**値を割り当てます。**false**はこのテストが失敗しても、システムはテストスイート内でそれ以降のテストを実行することを意味します。
7. このテストスイートに含めるすべてのテストについて、手順 3 ～ 6 を繰り返します。
8. [送信] をクリックします。

親テストスイートへの子テストスイートの追加

親テストスイート内に子テストスイートを組み込んで、複数レベルのテストスイートを追加します。

始める前に

親のテストスイートは存在していなければなりません。
必要なロール：atf_test_admin または atf_test_designer

手順

1. 移動先 すべて > 自動テストフレームワーク **(ATF)** > スイート.
2. 子テストスイートにアクセスします。
   - 子テストスイートが存在する場合は、編集のために子テストスイートフォームを開きます。
   - 子テストスイートがまだ存在しない場合はそれを作成します。
3. [親スイート] フィールドのテストスイートに、この子の親として機能させるテストスイートの名前を入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

4. 必要に応じて、1つまたは複数のテストを子テストスイートに追加します。
5. [送信] をクリックします。

自動テストスイートの実行

自動化されたテストスイートを作成した後、非本番インスタンスで実行します。

始める前に

実行したいテストスイートを作成しておく必要があります。
テスト実行プロパティを有効にする必要があります。これを行うには、admin または atf_test_admin ロールが必要です。

> **注:**
> 本番システムでテストを実行できないようにするために、テスト実行プロパティはデフォルトでは無効になっています。開発、テスト、およびその他の準本番インスタンスでのみテストを実行してください。

必要なロール：atf_test_admin、atf_test_designer、または admin

このタスクについて

この手順では、テストスイートを手動で開始する方法を概説します。テストスイートを後で実行するようにスケジュールすることもできます。詳細については、「スケジュール済みのテストスイートの操作」を参照してください。

手順

1. 移動先 すべて > 自動テストフレームワーク **(ATF)** > スイート.
2. テストスイートリストを表示する必要がある場合は、テストスイート をクリックします。
3. 実行するテストスイートを含む行をクリックします。
   システムは、テストスイートフォームを表示します。
4. テストスイートの実行をクリックします。

   > **注:**
   > テスト実行プロパティが有効でない場合、[実行スイート] ボタンが表示されません。このケースでは、フォーム上部の注釈を参照し、リンクをクリックして、テスト実行を有効にします。

   テストスイートに関連するテストにフォームステップ (UI を含む任意のステップ) が含まれる場合、または他の種類の UI テストステップ が絡む場合、テストを実行する前にブラウザを選ぶダイアログが表示されます。

5. 現在実行中のテストクライアントの中から選択するか、新しいランナーを開始します。

   詳細についてはすべてのテストおよびスイートのためのブラウザ推奨を参照してください。

   テストスイートがサーバーテストステップのみを含むテストスイートに関連する場合、システムは [ブラウザを選択] ダイアログを表示せずにテストを実行します。

次のタスク

テストの進捗状況を監視します。完了したら、進捗ダイアログウィンドウで [結果に移動 **(Go to results)**] をクリックして [テスト結果] リストを表示し、そこで結果を表示して分析できます。

自動テストスイートのスケジュール

1 つまたは複数のテストスイートを特定の日時に実行するようにスケジュールします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

始める前に
スケジュールを設定するテストスイートを作成しておく必要があります。
必要なロール：atf_test_admin または atf_test_designer

このタスクについて
テストスイートをスケジュールするには、次の3 つのコンポーネントが必要です。

- テストスイートレコード
- システムにテストスイートを実行させる時刻を指定するスケジュールレコード
- テストスイートを、それを実行するスケジュールと関連付けるスケジュールされたスイート実行レコード

スケジュールされたテストスイートの機能と要件の詳細については、スケジュール済みのテストスイートの操作 を参照してください。

手順

1. 移動先 すべて > 自動テストフレームワーク **(ATF)** > スケジュール.
   既存のテストスイートスケジュールのリストが表示されます。
2. 新規のスケジュールを作成するには、新規をクリックします。
   スイートスケジュールレコードフォームが表示されます。
3. スイートスケジュールレコードフォーム上で、スケジュールの名前、関連するスイートを実行する頻度、関連するスイートを実行する時間、およびこのスケジュールのタイムゾーンを入力します。
4. オプション: [条件付き] を選択して関連するテストスイートを実行するために満たす必要のある条件を指定し、[条件] テキストボックスに適切なスクリプトを入力します。
5. [スケジュール済みのスイート] 関連リストに移動し、[新規] をクリックして、実行するテストスイートを追加します。
   システムは [スケジュール済みのスイート実行] レコードフォームを表示します。
6. スケジュールされたスイートランレコードフォームに適切なデータを入力します。

   a. 実行するテストスイートを入力します。

   b. スイートにUI手順が含まれている場合は、適用するクライアント制約(ブラウザの使用など)を入力します。
   クライアントの制約の詳細については、スケジュールされたスイートランを参照してください。

   c. スケジュールされたスイートが終了したときに、システムに (メールで) 通知するユーザーをレコードのウォッチリストに追加します。

   d. **[Submit** (送信)] をクリックします。

7. オプション: 手順 5 と 6 を繰り返して、このスケジュールにテストスイートを追加します。
8. **[Update** (更新)] をクリックします。
9. スイートにフォームまたはクライアント側の他の要素で動作するテストステップが含まれている場合は、スケジュールされたテストのクライアント部分を実行するためのブラウザウィンドウを開きます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. ブラウザーの推奨事項と要件をすべてのテストとスイート、およびスケジュールされたスイートランにのみ適用されるテストに関してレビューします。
b. ナビゲーターで、[スケジュールされたクライアントテストランナー] を右クリックしてから、必要に応じて別のタブまたはウィンドウで開くオプションをクリックします。
c. クライアントテストランナーを実行しているブラウザーウィンドウを開いたままにして、[ナビゲーター] を含むブラウザーウィンドウに戻ります。

スクリプトを使用したスケジュール済みテストスイートの実行

スケジュール済み UI テストスイートを、スケジュールされた時間を待つ必要なく、スクリプトを使用して即座に実行します。この方法は、テストの実行のプロセスを自動化する際に使用できます。

始める前に

実行するテストスイートを作成してスケジュールを設定しました。詳細については、「自動テストスイートの作成」および「自動テストスイートのスケジュール」を参照してください。

必要なロール：atf_test_admin または atf_test_designer

このタスクについて

次のステップは、ソフトウェア構成と一致しない場合があります。

手順

1. 必要なブラウザーを備えたオペレーティングシステム上で仮想マシン (VM) を起動します。
2. インスタンスでブラウザーを開き、スケジュール済みのクライアントテストランナーに移動します。
3. スクリプト可能メソッド `new sn_atf.ScheduledRunsExecutor().setScheduleSysId ("SYS_ATF_SCHEDULE_SYS_ID_HERE").start();` を呼び出して、スケジュール済みスイートをすぐに実行します。
   スクリプトが呼び出されたときにのみテストを実行するには、スケジュールフォームで [実行] フィールドを [オンデマンド] に設定します。

   注:
   start() メソッドは、進捗ワーカーの sys_progress_worker.sys_id を返します。

自動テストスイートでの失敗したテストの再実行

スイート全体を再実行せずに、不合格になったテストをテストスイート内で再実行します。

始める前に

必要なロール：atf_test_admin、atf_test_designer、または admin

このタスクについて

失敗したテストを含むスイートが完了した後に、[スイート結果] フォームとスイート実行進捗状況ビューアーに [不合格になったテストを再実行] ボタンが表示されます。テスト実行が無効になっている場合、スイートが非アクティブ化されている場合、スイートが合格した場合、またはユーザーが必要なロールのいずれかを持っていない場合は表示されません。

[不合格になったテストを再実行] ボタンをクリックすると、ステータスがキャンセル、スキップ、失敗、エラーのテストを含む、すべての不合格になったテストが再実行されます。それには警告のある成功状態を持つ結果が含まれません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. テストに失敗したスイートのスイート結果フォームまたはスイート実行進捗ビューアのいずれかに移動します。
2. 不合格になったテストを再実行をクリックします。
   再実行テストにフォームステップ (UI を含む任意のステップ) または他の種類の UI テストステップ が含まれている場合、テストを実行する前に [ブラウザを選択] ダイアログが表示されます。
3. ダイアログボックスで、現在実行中のテストクライアントの中から選択するか、新しいランナーを開始します。
   再実行テストにサーバーテスト ステップのみが含まれている場合、システムは [ブラウザを選択] ダイアログを表示せずにテストを実行します。詳細については、「すべてのテストおよびスイートのためのブラウザ推奨」および「サーバーのテストステップ」を参照してください。

タスクの結果
システムは、失敗したテストを再実行します。

- システムは、再実行テスト用の新しいスイート結果階層を作成します。進行中の作業者、テスト結果、およびテストスイートの結果フォームは、以前のテストスイートと同じスイート階層を示します。以前実行したテストやスイートは含まれていません。
- 失敗した子スイートまたはテストを削除または無効化してから再実行すると、再実行時にそのスイートまたはテストが実行されません。
- 失敗したテストのスイートに子スイートまたはテストを追加してから再実行すると、システムは追加されたスイートまたはテストを再実行しません。

次のタスク
テストまたはスイートの前回の実行結果を表示するには、テスト結果フォームの [前回のテスト結果] または [テストスイート結果] フォームの [前回のスイート結果] をクリックします。これらのフィールドは、再実行されたテストとスイートについてのみ表示されます。

ATF テストを自動生成

テストを自動生成モジュールまたはテスト/スイートモジュールのいずれかから自動生成オプションを選択して、ATF テストを自動生成します。

始める前に
必要なロール：admin

手順

1. 次のいずれかの方法を使用して、テストの自動生成機能にアクセスします。

2. オプション: ATF Test Generator and Cloud Runner ストアアプリをインストールします。

   注:
   この手順は、ストアアプリがインスタンスにインストールされていない場合にのみ適用されます。ストアアプリをインストールするためにリダイレクトされます。

自動テストとテストスイートのキャンセル

実行中または実行待ちの自動テストおよび自動テストスイートを取り消すことができます。

自動テストまたは自動テストスイートをキャンセルする方法は、テストまたはテストスイートが現在実行されているか、または実行するためにキューに入れられているかに応じて異なります。

キューに入れられた自動テストスイートのキャンセル

キューに入れられているがまだ実行されていない自動テストスイートを取り消すことができます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

始める前に
必要なロール：atf_test_admin または atf_test_designer

手順

1. 移動先 すべて > 自動テストフレームワーク **(ATF)** > 実行 > テスト実行の待機中/実行中.
2. キャンセルするテストスイートのアクションチェックボックスを選択します。
3. アクション選択リストから、[削除] を選択します。

自動テストスイートで実行中および処理待ちのテストのキャンセル

実行中のスイートテストで実行中および処理待ちのテストをキャンセルします。

始める前に
必要なロール：atf_test_admin または atf_test_designer

手順

1. 必要であれば、テストの実行の進行状況ダイアログを表示します。
2. 処理待ちの手順をキャンセルするをクリックします。
   このテストの実行をキャンセルすることを確認するダイアログが表示されます。
3. 確認ダイアログで、はいをクリックします。

タスクの結果
このテストスイート内の実行中および処理待ちのテストはすべてキャンセルされ、テストスイート内のテストが変更した可能性のあるデータはすべてロールバックされます。

自動テストの実行のキャンセル

実行テスト進行状況ダイアログから実行中のテストを取り消すことができます。

始める前に
システムはテストを実行している必要があります。
必要なロール：atf_test_admin または atf_test_designer

手順

1. 必要であれば、テストの実行の進行状況ダイアログを表示します。
2. 処理待ちの手順をキャンセルするをクリックします。
   このテストの実行をキャンセルすることを確認するダイアログが表示されます。
3. 確認ダイアログで、はいをクリックします。

タスクの結果
実行中のテストがキャンセルされ、テストによるデータ変更がロールバックされます。

待機中の自動テストのキャンセル

待機/実行中テスト実行モジュールから待機中の自動テストを取り消すことができます。

始める前に
必要なロール：atf_test_admin または atf_test_designer

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > 自動テストフレームワーク **(ATF)** > 実行 > テスト実行の待機中/実行中.
2. キャンセルするテストのアクションチェックボックスを選択します。
3. アクション選択リストから、[削除] を選択します。

自動テストフレームワーク **(ATF)** **(ATF)** テストの種類と手法

さまざまなタイプの ATF テストとテスト手法を体験してください。

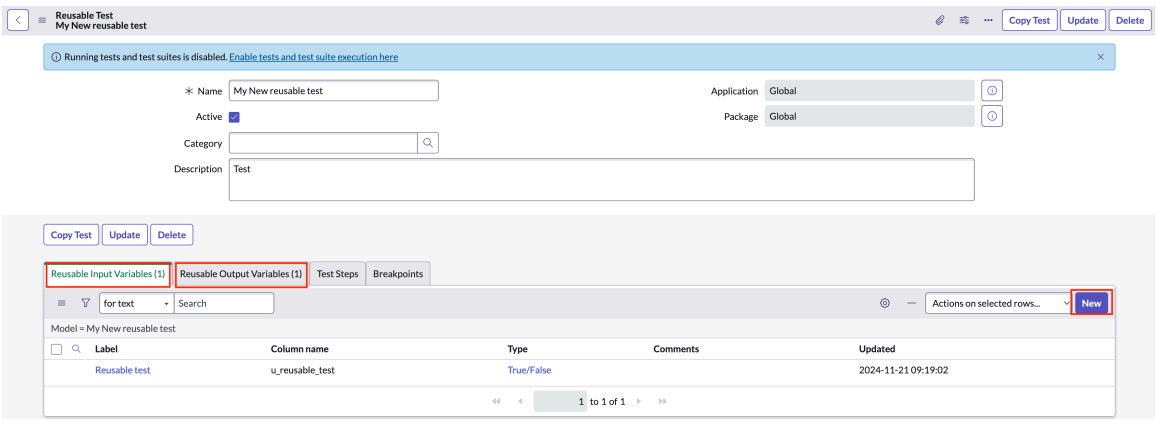
再利用可能なテスト

再利用可能なテストを活用して、テストのメンテナンスを簡素化し、大規模なテストとテストスイートの管理を合理化します。再利用可能なテストにより冗長性が減り、システム全体で一貫した信頼性の高いテスト実行が保証されます。

注:
再利用可能なテストは、別のテスト (通常のテストまたは再利用可能なテスト) からのみ呼び出すことができます。再利用可能なテストをテストスイートに個別に追加することはできません。

次の関連リストを使用して、あるテストから別のテストに変数を渡します。再利用可能な入力または出力を作成するには、[新規] を選択します。

- 再利用可能な入力変数:親テストから渡された再利用可能な入力変数が含まれています。変数は、現在の再利用可能なテストを呼び出すテストから渡されます。
- 再利用可能な出力変数:子テストから渡された再利用可能な出力変数が含まれます。この変数は、現在の再利用可能なテストを呼び出す親テストに渡されることを意図しています。



注:
テスト用に作成した再利用可能な入力変数と出力変数は、[再利用可能な入力変数] 関連リストと [再利用可能な出力変数] 関連リストの下に表示されます。入力変数は、現在の再利用可能なテストを呼び出している親テストから渡され、再利用可能なテストで使用されます。出力変数は親テストに返され、そのテストステップでのみ使用されます。

再利用可能なテストステップカテゴリを使用して、作成された再利用可能なテストレコードにアクセスします。詳細については、「再利用可能テストカテゴリ」を参照してください。

再利用可能なテストを作成

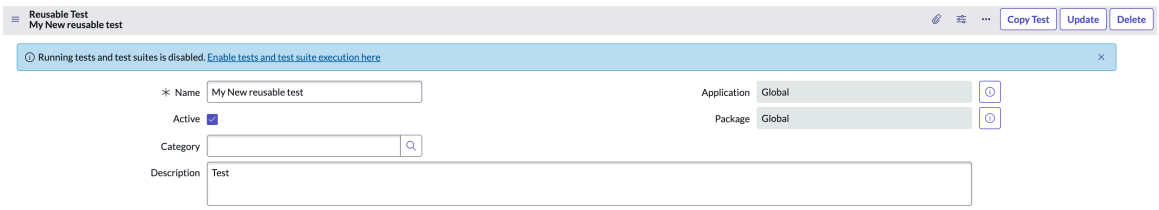
再利用可能なテストを作成して冗長性を回避し、インスタンス全体でテストのメンテナンスを改善し、信頼性の高いテストを実行します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
必要なロール：atf_test_admin または atf_test_designer

手順

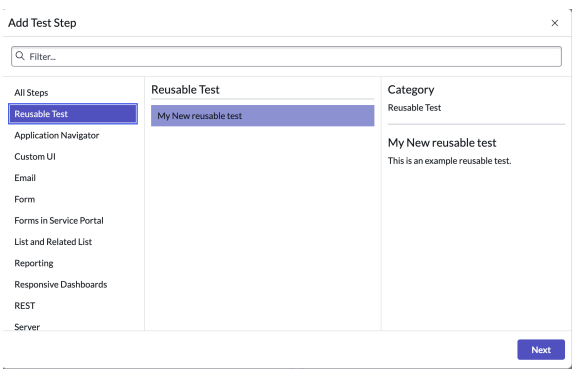
1. 移動先 すべて > 自動テストフレームワーク **(ATF)** > 再利用可能テスト.
   インスタンスで作成された再利用可能なテストのリストが表示されます。
2. [新規] を選択して、新しい再利用可能なテストを作成します。



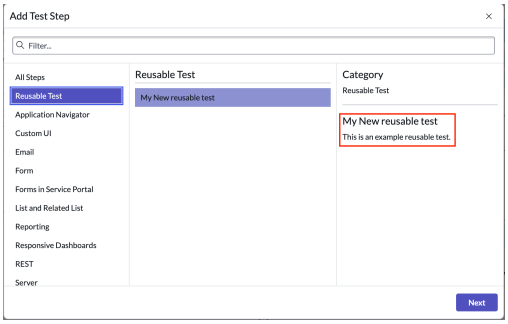
再利用可能なテストフォームが表示されます。

3. フォームで、フィールドに入力します。
   読み取り専用フィールドは自動的に入力されます。

入力

フィールド	説明
名前	再利用可能なテストの名前。
アプリケーション	テストのスコープを持つ読み取り専用フィールド。
アクティブ	テストをアクティブまたは非アクティブとして定義するオプション。
カテゴリ	テストが表示されるテストステップカテゴリ。  **注:** このフィールドを空のままにすると、テストはデフォルトで [再利用可能テスト] テストカテゴリの下に表示されます。
説明	再利用可能なテストの説明。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: 再利用可能なテストの説明がステップ作成者モーダルに表示されます。  詳細については、「再利用可能テストカテゴリ」を参照してください。

4. [保存] を選択して、再利用可能なテストを作成します。
   再利用可能なテストが表示されます。

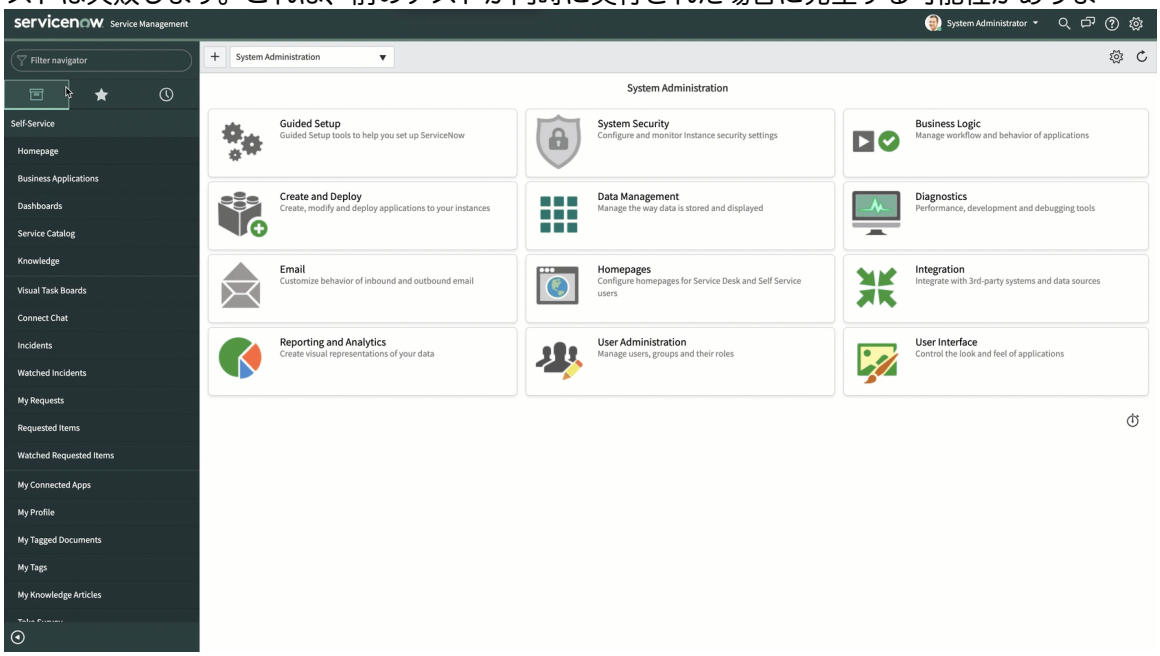
   注:
   再利用可能なテストを個別に実行することはできません。別のテストの一部になる場合にのみ実行できます。また、個別にテストスイートに追加することもできません。これらは、テストスイート内の別のテストで呼び出す必要があります。

相互に排他的なテスト

相互に排他的としてマークすることにより、競合するテストが並列で実行されないようにします。たとえば、同じレコードを変更するテストが識別されると、システムはこれらのテストを相互に排他的になるようにします。テストを相互に排他的として手動でマークすることもできます。

潜在的なリソースの競合がある場合、テストは相互に排他的であるとマークされます。システムがリソースの競合を自動的に検出できない場合は、独自の相互除外ルールを作成して、競合するテストが並列で実行されないようにすることができます。たとえば、テストで sys_properties レコードが変更された場合、そのレコードはそのテストの [変更されたレコード] の下に表示されます。別のテストの検証パスが変更なしで同じ sys_properties レコードに依存している場合、そ

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

のテストは失敗します。これは、前のテストが同時に実行された場合に発生する可能性がありま


す。

テストフォームの [相互に排他的なテスト] 関連リストで、相互に排他的なテストを表示できます。この関連リストには、現在のテストと並列で実行されないすべてのテストとその理由が表示されます。複数の理由がある場合、同じテストがリストに複数回表示されることがあります。

相互に排他的なテストの理由

テストは、次の理由で相互に排他的であるとマークされます。

- 2 つ以上のテストが同じレコードを変更する。
- それ自体と並列で実行するテストがある。
- システムがリソースの競合を自動的に検出できない場合、独自の相互除外ルールを作成できます。

テストを相互に排他的としてマーク

次のいずれかの方法を使用して、テストを相互に排他的としてマークできます。

[相互に排他的なテスト] タブ

[テスト] リストからテストを選択し、次の場所に移動します: 相互に排他的なテスト > 相互排他を追加 を選択して、選択したテストを別のテストと相互に排他的にします。

[テスト] リスト

[テスト] リストから 1 つ以上のテストを選択し、選択した行のコンテキストメニューの [アクション] から [相互に排他的なテストを追加] を選択します。[相互に排他的なテストを追加] ダイアログボックスに 1 つのテストを入力して、選択したテストを現在のテストと相互に排他的にします。

[並列テストの実行] タブ

2 つ以上のテストが並行して実行される場合は、次に移動します: テスト結果 > 並列テスト実行. 1 つ以上のテストを選択し、選択した行のコンテキストメニューの [アクション] から [相互に排他的なテストを追加] を選択し、選択したテストを相互に排他的とマークします。

注:
[並列テストの実行] タブは、テストが 1 つ以上のテストと並列で実行される場合にのみ表示されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クイックスタートテスト

構成変更を行った後に、ServiceNow AI Platform® によって提供されたクイックスタートテストをコピーしてカスタマイズし、インスタンスが機能することを検証します。たとえば、アップグレードを適用するか、アプリケーションを開発する場合です。

テストでは、アプリケーションまたは機能プラグインで提供されているデフォルトのデモデータを使用して実行した場合にのみ、「合格」の結果が生成されます。

注:
QST が失敗する場合は、テストがインスタンスのカスタマイズと一致していない可能性があります。各テストステップの [メモ] フィールドを使用して、テストをデータで更新して「合格」にします。テストに関連付けられたビジネスプロセスをカスタマイズした場合は、カスタマイズに合わせてテストを改訂します。

インスタンス固有のデータにクイックスタートテストを適用するには、クイックスタートテストをコピーしてカスタムデータを追加します。

注:
個々のクイックスタートテストまたはクイックスタートテストスイート全体のいずれかをコピーできます。

詳細については、「Getting started with quick start tests (クイックスタートテストの概要)」を参照してください。

アクティベーション

各アプリケーションまたは機能には、クイックスタートテストを有効にするための独自のプラグインアクティブ化要件があります。アクティブ化情報については、「アプリケーションまたは機能別に利用可能なクイックスタートテスト」を参照してください。

コピーの管理

テストをコピーすると、自動テストフレームワーク (ATF) は [コピー元] フィールドをコピーしたテストの名前で入力します。アップグレードによってクイックスタートテストが変更されると、自動テストフレームワーク (ATF) はテスト設計者にテストフォーム上の通知で変更を通知します。テストデザイナーは、ベースシステムへのコピーを戻す UI アクションで、コピーしたテストをアップグレードされたバージョンに戻すことができます。

ヒント:
QST が更新されると、以前にコピーされたバージョンの QST には最新の変更が反映されません。関連する警告メッセージがあるすべてのテストについて、[レビューするコピー] を使用して古いコピーをレビューします。

アプリケーションまたは機能別に利用可能なクイックスタートテスト

アプリケーションの開発やアップグレードの適用などの構成変更を行った後も、インスタンスが変わらず正常に動作するかを検証します。ServiceNow によって提供されたクイックスタートテストをコピーしてカスタマイズし、インスタンス固有のデータを使用する際に渡します。

危険:
デフォルトでは、自動テストを実行するためのシステムプロパティは、実稼働システムでは実行できないように無効になっています。データの破損や機能停止を避けるため、開発、テスト、および他の非本番インスタンスでのみテストを実行してください。「自動テストフレームワーク (ATF) テストの実行を有効または無効にする」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アジャイル開発 2.0

アジャイル開発 2.0 クイックスタートテストには、アジャイル開発 2.0 プラグイン (com.snc.sdlc.agile.2.0) および Agile Development 2.0 - ATF テストプラグイン (com.snc.sdlc.agile.2.0.atf) を有効にする必要があります。

アジャイル開発 2.0 クイックスタートテストスイート

テスト	説明	リリースバージョン
ストーリーの作成時にグローバルランクが追加されていることの確認	作成後にストーリーのグローバルランクを確認します。	Madrid
アクティブなストーリーでスプリントの終結が防止されていることの確認	アクティブなストーリーを含むスプリントを閉じることができないことを確認します。	Madrid
スプリントが同じグループ内で重ならないことの確認	同じグループ内のスプリントが重ならないことを確認します。	Madrid
スプリントポイントが更新されることの確認	ストーリーへの変更が正確なスプリントポイント合計を生成することを確認します。	Madrid
現在のステータスを保持できるのはグループ内の 1 スプリントのみであることの確認	スプリントのステータスを確認します。	Madrid
スプリント終了日がスプリント開始日より後であることの確認	スプリントの開始日と終了日を確認します。	Madrid
ストーリーの更新がエピックにロールアップしていることの確認	ストーリーの追加、推定、削除、消去、更新、またはキャンセルによって、エピックレベルのロールアップが正しく更新されることを確認します。	Orlando
現在のスプリントのスコープを変更しても、コミットポイント合計の値が変わらないことの確認	スプリントのスコープの状態が [現在] に変更されても、[コミットポイント合計] の値が変わらないことを確認します。	Orlando
Agile ストーリーの状態が [完了]/[キャンセル] に変更されたときに、アクティブフラグが false に設定されることの確認	Agile ストーリーのアクティブフラグが次のように設定されることを確認します。 • ステータスが [完了] または [キャンセル] に変更された場合は false • その他すべての状況の場合は true	Orlando
チーム/グループキャパシティを更新すると、将来のすべてのスプリントのキャパシティが上書きされることを確認する	アサイン先グループの [グループキャパシティ] フィールドが更新されると、このアサイン先グループに関連付けられているさまざまなスプリントの [グループキャパシティ] フィール	Paris

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アジャイル開発 **2.0** クイックスタートテストスイート (続く)

テスト	説明	リリースバージョン

	ドに以下の変更があることを確認してください。
	• ドラフトおよび計画ステータスのスプリントの場合:
	  ○ グループキャパシティが新しい値に更新されます。
	  ○ [グループキャパシティ] フィールドは編集可能です。
	• 現在、完了、またはキャンセル済みの各ステータスのスプリントの場合:
	  ○ グループキャパシティは古い値のままです。
	  ○ [グループキャパシティ] フィールドは読み取り専用です。
	
	[ドラフト] または [計画] ステータスのスプリントについては、後でいつでもスプリントのグループキャパシティを個別に編集できます。これにより、このスプリントに関連付けられているアサイン先グループのグループキャパシティが変更されることはありません。	

スクラムプログラムのバックログのエピックの作成および編集機能を確認する	• Agile ボードの [バックログ] タブでスクラムプログラムのバックログのエピックを作成できることを確認します。 • Agile ボードの [バックログ] タブから、スクラムプログラムの既存のバックログのエピックを更新できることを確認します。 • バックログにリストされているエピックは、選択したバックログのエピックに属している必要があります。	Quebec
デマンドがスクラムストーリーに変換されていることを確認する	PPM Standard プラグイン (com.snc.financial_planning_pmo) が有効である場合は、デマンドフォームの [ストーリーの作成] 関連リンクを使用して、デマンドを Agile 2.0 ストーリーに変	Quebec

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アジャイル開発 **2.0** クイックスタートテストスイート (続く)

テスト	説明	リリースバージョン
	換できることを確認してください。 Agile 2.0 ストーリーをデマンドから作成する方法の詳細については、「デマンドからアーティファクトを作成する」を参照してください。	
デマンドがスクラムエピックに変換されていることを確認する	PPM Standard プラグイン (com.snc.financial_planning_pmo) が有効である場合は、デマンドフォームの [エピックの作成] 関連リンクを使用して、デマンドを Agile 2.0 エピックに変換できることを確認してください。 Agile 2.0 エピックをデマンドから作成する方法の詳細については、「デマンドからアーティファクトを作成する」を参照してください。	Quebec

Agile Development 2.0 の詳細については、「Agile 開発 2.0」を参照してください。

エンタープライズアーキテクチャ (旧 アプリケーションポートフォリオ管理)

エンタープライズアーキテクチャ クイックスタートテストでは、エンタープライズアーキテクチャ - ATF Tests プラグイン (com.snc.apm.atf) を有効にする必要があります。

エンタープライズアーキテクチャ：ビジネスアプリケーションおよび機能テストスイートの作成

テスト	説明	リリースバージョン
エンタープライズアーキテクチャ：ビジネスアプリケーションの作成	アプリケーションカテゴリの作成、apm_user ロールを持つユーザーのビジネスアプリケーションの作成の順に確認します。	Madrid
エンタープライズアーキテクチャ：ビジネス機能を作成	親と子のビジネスケイパビリティの作成、そのフィールド値の順に確認します。	Madrid
エンタープライズアーキテクチャ：ビジネスサービス、ビジネスアプリケーション、ソフトウェアモデルに関連するテスト	既存のソフトウェアモデルを使用したビジネスアプリケーションおよびビジネスサービスの作成と、それらの関係を確認します。	Orlando
エンタープライズアーキテクチャ：インジケータースコアと	インジケーターの作成、採点プロファイル、インジケータース	Paris

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

エンタープライズアーキテクチャ：ビジネスアプリケーションおよび機能テストスイートの作成 (続く)

テスト	説明	リリースバージョン
アプリケーションスコア生成のテスト	コアとアプリケーションスコアの生成を確認します。	
エンタープライズアーキテクチャ：情報オブジェクトおよびデータドメインを使用するビジネスアプリケーション	ビジネスアプリケーションと情報オブジェクトが作成され、関係属性に CRUD 操作が追加されていることを確認します。	Quebec

エンタープライズアーキテクチャ (旧アプリケーションポートフォリオ管理) の詳細については、「アプリケーションポートフォリオ管理」を参照してください。

アセスメントとサーベイ

アセスメントとサーベイ クイックスタートテストでは、自動テストフレームワーク (ATF) 調査プラグイン (com.glide.automated_testing_impl. サーベイ) を有効にする必要があります。

調査用のテストスイート

名前	説明	リリースバージョン
サーベイ：基本的なプラットフォームベースのテスト	プラットフォーム UI アクションを使用して調査を作成します。	Madrid
サーベイ：動的検証のためのプラットフォームテスト	サーベイを動的に検証します。	Madrid
サーベイ：クローンアクション	サーベイのクローンを作成し、元のサーベイとクローンされたサーベイのレコードを検証します。	New York
サーベイ：質問集フロー	サーベイに対する質問集の追加を確認します。	New York
サーベイ：サーベイクリエーター作業フロー	サーベイクリエーターは、サーベイを作成し、実施と送信を行えるユーザーにサーベイを割り当てることができます。	New York
アセスメント：アセスメントの査定人へのアサイン	アセスメントを査定人にアサインし、査定人にインスタンスが作成されたことを確認します。	Orlando
アセスメント：サーベイの作成者としてアセスメントを作成	サーベイの作成者としてアサインを作成します。	Orlando
アセスメント：スケールとテンプレートのサポート	アセスメントを作成、公開、およびアサインします。次に、アセスメントを実施します。	Rome
アセスメント：基本テストフロー	アセスメントの基本フローを確認します。	Orlando

アセスメントとサーベイの詳細については、「サービス管理」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

変更管理

変更管理 クイックスタートテストでは、変更管理 - ATF テストプラグイン (com.snc.change_management.atf) をアクティブ化する必要があります。

CHG：緊急タイプの変更の要求テストスイート

テスト	説明	リリースバージョン
緊急タイプの変更の要求ワークフロー	緊急の変更の要求を新規からクローズ済みに処理します。	Madrid
緊急タイプの変更の要求の保留	保留中の緊急の変更の要求の承認ステータスを検証します。	Madrid
緊急タイプの変更の要求の変更のコピー	コピーした緊急の変更の要求のステータスを検証します。	Madrid
緊急タイプの承認者による拒否	拒否された緊急の変更の要求のステータスを検証します。	Madrid
緊急タイプを新規に戻す	[新規に戻す] UI アクションを使用した後、緊急の変更の要求のステータスを検証します。	Madrid
緊急から通常タイプへの変換	緊急の変更の要求から通常の変更の要求への変換を検証します。	Madrid
緊急タイプの変更の要求のキャンセル	キャンセルされた緊急の変更の要求のステータスを検証します。	Madrid

CHG：通常タイプの変更の要求テストスイート

テスト	説明	リリースバージョン
通常タイプの変更の要求ワークフロー	通常の変更の要求を新規からクローズ済みに変更します。	Madrid
通常から緊急タイプへの変換	通常の変更の要求から緊急の変更の要求への変換を検証します。	Madrid
通常の変更の要求の変更をコピーする	コピーした通常の変更の要求のステータスを検証します。	Madrid
通常タイプの変更の要求の保留	保留中の通常の変更の要求の承認ステータスを検証します。	Madrid
承認者による通常タイプの変更の要求拒否時のステータス検証	拒否された通常の変更の要求のステータスを検証します。	Madrid
通常タイプの変更の要求を新しい機能に戻す	[新規に戻す] UI アクションを使用した後、通常の変更の要求のステータスを検証します。	Madrid
通常タイプの変更の要求のキャンセル	キャンセルされた通常の変更の要求のステータスを検証します。	Madrid

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

CHG：標準的な変更提案テストスイート

テスト	説明	リリースバージョン
標準的な変更提案	ユーザーが標準的な変更提案の作成、承認、テンプレート公開プロセスを正常に実行できるかどうかを検証します。	Madrid

CHG：標準タイプの変更の要求テストスイート

テスト	説明	リリースバージョン
標準的な変更の要求ワークフロー	標準的な変更の要求を新規からクローズ済みに処理します。	Madrid
標準から緊急の変更の要求への変換	標準的な変更の要求から緊急の変更の要求への変換を検証します。	Madrid
標準から通常の変更の要求への変換	標準的な変更の要求から通常の変更の要求への変換を検証します。	Madrid

CHG：許可されてない変更の要求と機能停止テストスイート

テスト	説明	リリースバージョン
許可されていない変更の要求ワークフロー	許可されていない変更の要求を新規からクローズ済みに処理します。	Orlando
変更の要求から予定されている機能停止タイプの機能停止を作成	変更の要求から予定されている機能停止タイプの機能停止が作成されたことを検証します。	Orlando
変更の要求から機能停止タイプの機能停止を作成	変更の要求から機能停止タイプの機能停止が作成されたことを検証します。	Orlando

CHG：ベストプラクティスプラグインのリスク条件テストスイート

テスト	説明	リリースバージョン
中リスクを UI アクションプロパティで	中リスクを UI アクションプロパティで処理します。	Orlando
低リスクを UI アクションプロパティで	低リスクを UI アクションプロパティで処理します。	Orlando
放置リスクを UI アクションプロパティで	放置リスクを UI アクションプロパティで処理します。	Orlando
高リスクを UI アクションプロパティで	高リスクを UI アクションプロパティで処理します。	Orlando
高リスクをビジネスルールプロパティで	高リスクをビジネスルールプロパティで処理します。	Orlando
中リスクをビジネスルールプロパティで	中リスクをビジネスルールプロパティで処理します。	Orlando

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

CHG：競合ソースに対する変更の要求テストスイート

テスト	説明	リリースバージョン
ブラックアウト期間に対する変更	ブラックアウト期間に対する変更の要求を処理します。	Orlando
既にスケジュールされている CI の競合のチェック	既にスケジュールされている CI の競合を検証します。	Orlando
競合ソースに対する変更	競合ソースに対する変更の要求を検証します。	Orlando

CHG：変更スケジュール定義と共有テストスイート

テスト	説明	リリースバージョン
新規の変更スケジュール定義の変更	[変更スケジュール] ランディングページの [新規] ボタンからの変更スケジュール定義の作成を処理します。	Orlando
変更スケジュール定義のパネルを共有	変更スケジュール定義の共有パネルを検証します。	Orlando
変更スケジュール定義の共有	変更スケジュール定義の共有を検証します。	Orlando
サービスポータルを使用して標準的な変更を作成する	サービスポータルから標準的な変更を作成する	Yokohama

変更管理 の詳細については、「変更管理」を参照してください。

クラウドプロビジョニングとガバナンス

クラウドプロビジョニングとガバナンス クイックスタートテストでは、次の クラウドプロビジョニングとガバナンス プラグインをアクティブ化する必要があります。

- クラウドプロビジョニングとガバナンス (com.snc.cloud.mgmt)
- ドメインサポート：ドメイン拡張インストーラープラグイン (com.glide.domain.msp_extensions.installer)
- サービスカタログ：ドメインセパレーションプラグイン (glideapp.servicecatalog.domain_separation)

クラウドプロビジョニングとガバナンス: **Azure** テストスイート

テスト	説明	リリースバージョン
CMP：Azure 認証情報の追加	[認証情報] テーブルにフィールドを挿入して、Azure 認証情報を追加します。	Orlando
CMP：Azure サービスアカウント	サービスアカウントテーブルにフィールドを挿入して、Azure サービスアカウントを追加します。	Orlando

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クラウドプロビジョニングとガバナンス: **Azure** テストスイート (続く)

テスト	説明	リリースバージョン
CMP：データセンタータイプの更新	データセンタータイプでクラウドサービスアカウントを更新します。	Orlando
CMP：リソースグループの作成	ARM テンプレートを使用して、Azure スタックをプロビジョニングするリソースグループを作成します。	Orlando
CMP：Azure 論理データセンターの作成	リソースをプロビジョニングするための Azure 論理データセンターを作成します。	Orlando
CMP：「Contains：Contained by」関係の作成	リソースグループと Azure データセンターの間に「Contains：Contained by」関係を作成します。	Orlando
CMP：「Hosted on」関係の作成	論理データセンターとクラウドサービスアカウントの間に「Hosted on」関係を作成します。	Orlando
CMP：クラウドアカウントの作成	クラウドアカウントテーブルにフィールドを挿入して、クラウドアカウントを作成します。	Orlando
CMP：クラウドアカウントと論理データセンターの関連付け	CMP クラウドアカウントと論理データセンターの間に関連付けを作成します。	Orlando
CMP：カタログアイテムの作成	ARM テンプレートを使用してクラウドカタログアイテムを作成します。	Orlando
CMP：テンプレートバージョンの作成	クラウドカタログアイテムのクラウドテンプレートバージョンを作成します。	Orlando
CMP：ARM テンプレート本文	クラウドテンプレートバージョンを ARM テンプレート本文で更新します。	Orlando
CMP：[ServiceNow クラウドテンプレートバージョン] を開く	[ServiceNow クラウドテンプレートバージョン] GUI ページを開きます。	Orlando
CMP：クラウドテンプレートバージョンのアクティブ化	リソースブロック、詳細計画、およびカタログを作成するために、クラウドテンプレートバージョンを有効にします。	Orlando
CMP：クラウドテンプレートのバージョンの確認	アクティベーション操作後、クラウドテンプレートバージョンでステータスが成功、アクティブになっているかどうかを検証します。	Orlando

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クラウドプロビジョニングとガバナンス: **Azure** テストスイート (続く)

テスト	説明	リリースバージョン
CMP：クラウドカタログアイテムのアクティブ化	クラウドカタログアイテムを有効にし、カタログ注文フォームをクラウドユーザーに表示します。	Orlando
CMP：カタログアイテムへのスタックとリソースグループ名の追加	カタログアイテムのスタック名とリソースグループのデフォルト値を設定します。	Orlando
CMP：スタックが存在するかどうかの確認	「ATFARMStack」という名前でスタックが利用可能かどうかを検証します。	Orlando
CMP：クラウドカタログアイテムページを開く	サービスポータルの [クラウドカタログアイテム] ページを開きます。	Orlando
CMP：カタログフォームの送信	カタログフォームを送信して、ARM スタックのプロビジョニングを開始します。	Orlando
CMP：スタックステータスがアクティブかどうかの確認	スタックのプロビジョニング後にスタックのステータスを検証します。	Orlando
CMP：2 日後のスタックステータスの確認 - 停止操作	停止操作後に、スタックのステータスが「オン」から「オフ」に変更されたことを検証します。	Orlando
CMP：2 日後のスタックステータスの確認 - 開始操作	開始操作後に、スタックのステータスが「オフ」から「オン」に変更されたことを検証します。	Orlando
CMP：2 日後のスタックステータスの確認 - プロビジョニング解除操作	プロビジョニング解除操作後に、スタックのステータスが「オン」から「終了」に変更されたことを検証します。	Orlando

クラウドプロビジョニングとガバナンス: **AWS** テストスイート

テスト	説明	リリースバージョン
CMP：AWS 認証情報の追加	[認証情報] テーブルにフィールドを挿入して、AWS 認証情報を追加します。	Orlando
CMP：AWS サービスアカウント	サービスアカウントテーブルにフィールドを挿入して、AWS サービスアカウントを追加します。	Orlando
CMP：データセンタータイプの更新	データセンタータイプでクラウドサービスアカウントを更新します。	Orlando

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クラウドプロビジョニングとガバナンス: **AWS** テストスイート (続く)

テスト	説明	リリースバージョン
CMP：論理データセンターの作成	リソースをプロビジョニングするための論理データセンターを作成します。	Orlando
CMP：「Hosted on」関係の作成	論理データセンターとクラウドサービスアカウントの間に「Hosted on」関係を作成します。	Orlando
CMP：クラウドアカウントの作成	クラウドアカウントテーブルにフィールドを挿入して、クラウドアカウントを作成します。	Orlando
CMP：クラウドアカウントと論理データセンターの関連付け	CMP クラウドアカウントと論理データセンターの間に関連付けを作成します。	Orlando
CMP：カタログアイテムの作成	CFT テンプレートを使用してクラウドカタログアイテムを作成します。	Orlando
CMP：テンプレートバージョンの作成	クラウドカタログアイテムのクラウドテンプレートバージョンを作成します。	Orlando
CMP：CFT テンプレート本文	クラウドテンプレートバージョンを CFT テンプレート本文で更新します。	Orlando
CMP：[ServiceNow クラウドテンプレートバージョン] を開く	[ServiceNow クラウドテンプレートバージョン] GUI ページを開きます。	Orlando
CMP：クラウドテンプレートバージョンのアクティブ化	リソースブロック、詳細計画、およびカタログを作成するために、クラウドテンプレートバージョンを有効にします。	Orlando
CMP：クラウドテンプレートのバージョンの確認	アクティベーション操作後、ステータスが成功でアクティブになっているかどうか、クラウドテンプレートバージョンを検証します。	Orlando
CMP：クラウドカタログアイテムのアクティブ化	クラウドカタログアイテムを有効にし、カタログ注文フォームをクラウドユーザーに表示します。	Orlando
CMP：カタログアイテムへのスタック名の追加	カタログアイテムのスタック名のデフォルト値を設定します。	Orlando
CMP：スタックが存在するかどうかの確認	「ATFCFTStack」という名前のスタックがあるかどうかを検証します。	Orlando

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クラウドプロビジョニングとガバナンス: **AWS** テストスイート (続く)

テスト	説明	リリースバージョン
CMP：クラウドカタログアイテムページを開く	サービスポータルの [クラウドカタログアイテム] ページを開きます。	Orlando
CMP：カタログフォームの送信	カタログフォームを送信して CFT スタックのプロビジョニングを開始します。	Orlando
CMP：スタックステータスがアクティブかどうかの確認	スタックのプロビジョニング後にスタックのステータスを検証します。	Orlando
CMP：2 日後のスタックステータスの確認 - 停止操作	停止操作後に、スタックのステータスが「オン」から「オフ」に変更されたことを検証します。	Orlando
CMP：2 日後のスタックステータスの確認 - 開始操作	開始操作後に、スタックのステータスが「オフ」から「オン」に変更されたことを検証します。	Orlando
CMP：2 日後のスタックステータスの確認 - プロビジョニング解除操作	プロビジョニング解除操作後に、スタックのステータスが「オン」から「終了」に変更されたことを検証します。	Orlando

Cloud Provisioning and Governance の詳細については、「Cloud Provisioning and Governance」を参照してください。

コーチング

コーチング クイックスタートテストでは、コーチング プラグイン (com sn_coaching) をアクティブ化する必要があります。

コーチングテストスイート

テスト	説明	リリースバージョン
コーチング：コーチとしてログインしているときにアセスメントを手動で作成する	コーチとして、アセスメントを作成し、研修生にアサインできることを確認します。	Orlando
コーチング：機会にスキルを追加し、研修生にスキルが付与されたことを確認する	コーチング機会にスキルを追加し、研修生がアセスメントを完了した後に、これらのスキルが付与されていることを確認します。	Orlando
コーチング：仮想コーチとしてアセスメントを完了する	仮想コーチが機会に関連付けられている場合に、仮想コーチがアセスメントを完了し、研修生にフィードバックを提供することを確認します。	Orlando

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

コーチングテストスイート (続く)

テスト	説明	リリースバージョン
コーチング：アセスメントにスキルを追加し、研修生にスキルが付与されたことを確認する	コーチングアセスメントにスキルを追加し、アセスメントを完了した後に、これらのスキルが研修生に付与されていることを確認します。	Orlando
コーチング：推奨事項にスキルを追加し、研修生にスキルが付与されたことを確認する	コーチング推奨事項にスキルを追加し、研修生がアセスメントを完了した後に、これらのスキルが付与されていることを確認します。	Orlando
コーチング：コーチとしてログインしているときに、アセスメントをあるステータスから別のステータスに変更する	コーチとして、アセスメントをあるステータスから別のステータスに変更できることを確認します。	Orlando
コーチング：推奨される学習をアセスメントに添付する	アセスメントを生成するときに、機会について推奨される学習がアセスメントに追加されることを確認します。	Orlando
コーチング：コーチング機会が非アクティブである場合、アセスメントは生成されない	コーチング機会が非アクティブのステータスになっている場合、アセスメントは生成されないことを確認します。	Orlando
コーチング：コーチユーザーとしてコーチングのサーベイを送信します。	コーチが研修生のサーベイを送信できることを確認します。	Quebec
コーチング：研修生ユーザーとしてコーチングのサーベイを送信します。	研修生がコーチのサーベイを送信できることを確認します。	Quebec

コーチングの詳細については、「コーチング」を参照してください。

コミュニティ

コミュニティ クイックスタートテストでは、カスタマー コミュニティ プラグイン (com.sn_customer_communities) および コミュニティ デモデータプラグイン (com.sn_communities_demo) をアクティブ化する必要があります。

Communities：コミュニティテストスイート

テスト	説明	リリースバージョン
質問の投稿およびフィードの検証	コミュニティに質問が投稿されたことを確認し、その質問がコンテンツフィードに表示されるかどうかを検証します。	Madrid
ビデオの投稿	ビデオがコミュニティに投稿されたことを確認します。	Madrid

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Communities：コミュニティテストスイート (続く)

テスト	説明	リリースバージョン
フォーラムメンバーシップの承認	フォーラムへのメンバーシップ要求が承認されたことを確認します。	Madrid
フォーラムメンバーシップの拒否	フォーラムへのメンバーシップ要求が却下されたことを確認します。	Madrid
モデレートタスクの承認	モデレートタスクが承認されていることを確認します。	Madrid
モデレートタスクの拒否	モデレートタスクが却下されたことを確認します。	Madrid
トピックのサブスクリプションとアクティビティフィードの検証	トピックがに登録されていることと、トピックアクティビティがアクティビティフィードに表示されていることを確認します。	New York
質問に対するコンテンツ承認ワークフロータスクの承認	質問のコンテンツ承認ワークフローを確認します。	New York
質問の自動サブスクリプションとアクティビティフィードの検証	作成者が自動的に質問に登録され、質問のアクティビティがアクティビティフィードに表示されていることを確認します。	New York
ユーザーをフォロー	コミュニティユーザーが別のコミュニティユーザーをフォローできることを確認します。	New York
質問に対するコンテンツ承認ワークフロータスクを却下	コンテンツが却下された場合の質問のコンテンツ承認ワークフローを確認します。	New York
ビデオ投稿のゲーミフィケーション	ビデオの投稿時に得られたゲーミフィケーションポイントを確認します。	New York
フォーラムのサブスクリプションとアクティビティフィードの検証	フォーラムが登録されおり、フォーラムのアクティビティがアクティビティフィードに表示されていることを確認します。	New York
質問のサブスクリプションとアクティビティフィードの検証	質問が登録されおり、質問のアクティビティがアクティビティフィードに表示されていることを確認します。	New York
[コメントの無効化] オプションを使用してビデオを投稿	[コメントを無効化] オプションが選択された状態でビデオが投稿されることを確認します。	Orlando
ビデオを特集として固定	フォーラムおよびコミュニティのホームページで、コミュニティアドミニストレーターがビ	Orlando

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Communities：コミュニティテストスイート (続く)

テスト	説明	リリースバージョン
	デオを特集としてマークしていることを確認します。	

Communities の詳細については、「Communities」を参照してください。

コンフィグレーションコンプライアンス

コンフィグレーションコンプライアンス クイックスタートテストでは、コンフィグレーションコンプライアンス アプリケーション (sn_vulc) をアクティブ化してデモデータをロードする必要があります。

コンフィグレーションコンプライアンス クイックスタートテスト

テスト	説明	リリースバージョン
コンフィギュレーションコンプライアンスアサインルール	アサインルールを作成します。	Yokohama
コンフィグレーションコンプライアンス - グループルールを最適用	テスト結果グループルールを再適用します。	Yokohama
コンフィグレーションコンプライアンス - グループルールを削除	テスト結果グループルールを削除します。	Yokohama

コンフィグレーションコンプライアンスの詳細については、「コンフィグレーションコンプライアンス」を参照してください。

構成管理データベース (CMDB)

構成管理データベース (CMDB) クイックスタートテストでは、構成管理 (CMDB) プラグイン (com.snc.cmdb) と CMDB - ATF テストプラグイン (com.snc.cmdb.atf) をアクティブ化する必要があります。

CMDB BSM：依存関係ビューテストスイート
依存関係ビュー *API* の機能をチェックするテストスイート

テスト	説明	リリースバージョン
CMDB BSM：依存関係ビュー	依存関係ビュー API の機能をテストします。これらの API は、指定された CI sys_id に対して、また itil ユーザーロールを使用して、依存関係ビューおよび関連マップアイテム (コンテキストメニューアイテムなど) を取得します。	New York

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

CMDB ヘルス：**CMDB** ヘルスダッシュボードテストスイート
基本的なレベルで ***CMDB*** ヘルスダッシュボードが機能しているかどうかを確認するテストスイート。

テスト	説明	リリースバージョン
CMDB ヘルス: 健全性ジョブステータス	30 日以上前に開始された CMDB ヘルスダッシュボードジョブが、まだ処理中かどうかを確認します。	New York
CMDB ヘルス：CMDB ヘルスの完全性/推奨	推奨される測定基準 (CMDB ヘルス完全性 KPI など) がフル機能しているか確認します。 このテストの検証対象： • 推奨評価指標の健全性包含ルールの作成。 • 健全性包含ルールを満たす推奨フィールドを作成します。 • 推奨フィールドにデータが欠落しているテストレコードに対して、健全性包含ルールが正しく適用されていることを検証します。	New York

CMDB IRE: 識別調整エンジンテストスイート
識別および調整エンジン ***(IRE)*** 機能を確認するためのテストスイート

テスト	説明	リリースバージョン
CMDB IRE: IRE 検証	CI ID および調整の定義を検証し、CI ID のインデックスをチェックします。	Madrid
CMDB IRE: 調整ルール	調整ルールの操作を、itil と itil_admin の各ロールを使用して CI クラスマネージャーで確認します。操作には、調整ルールの作成、編集、削除が含まれます。 また、アクティブまたは非アクティブな設定と派生したルールを確認します。	Paris
CMDB IRE: 識別ルール	識別ルールの操作を、itil と itil_admin の各ロールを使用して CI クラスマネージャーで確認します。操作には、識別ルールの作成、編集、削除が含まれます。	Paris

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

CMDB IRE: 識別調整エンジンテストスイート
識別および調整エンジン *(IRE)* 機能を確認するためのテストスイート

(続く)

テスト	説明	リリースバージョン
	また、アクティブまたは非アクティブな設定と派生したルールを確認します。	

CMDB QB: クエリビルダーテストスイート
*2*つの関連するユーザーロール *- cmdb_query_builder* と *cmdb_query_builder_read* を使用して、クエリーの作成、クエリーの読み込み、クエリーの実行などの *CMDB* クエリービルダー機能を検証するためのテストスイート。

テスト	説明	リリースバージョン
CMDB QB: クエリビルダー - cmdb_query_builder ロール	cmdb_query_builder ユーザーロールが、CMDB クエリービルダーでクエリーを保存し、保存されたすべてのクエリーにアクセスして実行できることを確認します。	New York
CMDB QB: クエリビルダー - cmdb_query_builder_read ロール	CMDB クエリービルダーで、cmdb_query_builder ユーザーロールが保存されたクエリーにアクセスして実行でき、クエリーの保存はできないことを確認します。	New York

CMDB REL: 関係エディターとフォーマッターのテストスイート
関係エディターと関係フォーマッターの機能を確認するためのテストスイート。

テスト	説明	リリースバージョン
CMDB REL EDITOR: 関係エディター	itil ユーザーロールを使用して、CI への関係の追加と CI からの関係の削除を確認します。	New York
CMDB REL FORMATTER: 関連フォーマッター	itil ユーザーロールを使用して、関係フォーマッターの特定の CI に対して表示される CI 情報、関係性タイプ、関係性、変更チケットなどの関連レコード、および CMDB ビュー (関係フィルター) などの設定が正しいかどうかを確認します。	New York

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

CMDB SDK: SDK REST API テストスイート
CMDB SDK REST API の機能を検証するためのテストスイート。

テスト	説明	リリースバージョン
CMDB SDK: CMDB メタデータのクエリ	CMDB メタデータのクエリをテストします。	New York
CMDB SDK: REST API を使用した CI に対する関係性の作成	CMDB REST API を使用して、CMDB 内の CI に対する関係性の作成をテストします。	New York
CMDB SDK: REST API を使用した CI に対する関係性の削除	CMDB REST API を使用して、CI に対する関係性の削除をテストします。	New York
CMDB SDK: REST API を使用した CI の作成	CMDB REST API を使用して CI の作成をテストします。	New York
CMDB SDK: REST API を使用した CMDB のクエリ	CMDB REST API を使用して CMDB のクエリをテストします。	New York
CMDB SDK: REST API を使用した CI の更新	CMDB REST API を使用して CI の更新をテストします。	New York
CMDB SDK: REST API を使用した CI のクエリ	CMDB REST API を使用して CI のクエリをテストします。	New York

構成管理データベース (CMDB) の詳細については、「構成管理データベース (CMDB)」を参照してください。

継続的改善管理

継続的改善管理 クイックスタートテストでは、継続的改善管理 自動テストプラグイン (com.sn_cim.atf) をアクティブ化する必要があります。

継続的改善管理 テスト

テスト	説明	リリースバージョン
CIM：アセスメントからのインバウンド統合	アセスメントから改善のイニシアティブを作成します。	Paris
CIM：インシデント管理からのインバウンド統合	インシデントから改善のイニシアティブを作成します。	Paris
CIM：問題管理からのインバウンド統合	問題から改善のイニシアティブを作成します。	Paris
CIM：サーベイ管理からのインバウンド統合	サーベイから改善のイニシアティブを作成します。	Paris

継続的改善管理の詳細については、「継続的改善管理」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

カスタマーサービス管理 (CSM)

カスタマーサービス管理 (CSM) のクイックスタートテストでは、常にカスタマーサービス管理 (CSM) デモデータプラグイン (com.snc.customerservice.demo) をアクティブ化する必要があります。一部のクイックスタートテストでは、次のプラグインをアクティブにする必要があります。

- 事業所 (com.snc.business_location)
- Case Playbook for Complaints(sn_complaint)
- Case Playbook for Onboarding (sn_onboarding)
- 消費者サービスポータルプラグイン (com.glide.service-portal.consumer-portal) をアクティブにします。
- CSM 貢献者ユーザー (com.snc_csm_contributor_user)
- プロキシ連絡先の CSM 拡張 (com.snc.csm_proxy_contacts)
- カスタマーサービス世帯 (com.snc.household)
- 注文のカスタマーサービス管理 (CSM) (com.snc.csm.order)
- カスタマーサービスポータル (com.glide.service-portal.customer-portal)
- 要求管理によるカスタマーサービス (com.sn_cs_sm_request)
- サービス管理によるカスタマーサービス (com.sn_cs_sm)
- ガイド付きディシジョンエクスペリエンス - com.snc.guided_decisions_playbook_experience
- ガイド付きデシジョン - ネクストベストアクション (com.snc.next_best_action)
- 重大な問題管理 (com.sn_majorissue_mgt)
- イベント管理によるプロアクティブカスタマーサービスオペレーションプラグイン (com.snc.proactive_cs_ops)
- スキル決定 (com.snc.skill_determination)
- UX ATF アクション (com.glide.ux.atf_action)
- CSM 向け Walk-Up (com.snc.walkup_for_csm)

CSM：ケース管理のテストスイート

テスト	説明	リリースバージョン
CSM: 製品ケースを作成	製品に対してケースを作成します。	Madrid
CSM：エージェントにケースをアサイン	ケースを作成して、カスタマーサービスエージェントに割り当てます。	Madrid
CSM：ケースに資産を割り当てる	ケースに資産を割り当てます。	Madrid
CSM：エンタイトルメント割り当て	ケースにエンタイトルメントを割り当てます。	Madrid
CSM：アカウントをエスカレート	アカウントをエスカレートします。	Madrid
CSM：ケースをエスカレート	ケースをエスカレートします。	Madrid

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

CSM：ケース管理のテストスイート (続く)

テスト	説明	リリースバージョン
CSM：特別処理メモを作成	ケースに特別処理メモを作成します。	Madrid
CSM：ケースをクローズ	ケースをクローズします。	Madrid
CSM：時間記録	ケースに取り組んだ時間を記録します。	Madrid
CSM：ケースから CHG を作成する	ケースから変更レコードを作成します。	Madrid
CSM：ケースからインシデントを作成する	ケースからインシデントレコードを作成します。	Madrid
CSM：注文ケースを作成	注文に対してケースを作成します。 **注:** 注文のカスタマーサービス管理 (CSM) が必要です。	Madrid
CSM：CSM ポータルから顧客として注文ケースを作成	カスタマーサービスポータルから顧客として注文ケースを作成します。 **注:** カスタマーサービスポータルが必要です。また、アドミンとしてテストを実行する必要があります。	Madrid
CSM：ケースから問題を作成する	ケースから問題レコードを作成します。	Madrid
CSM：重大なケースとその子ケースの作成	受信者リスト内の顧客アカウントに対して、重大なケースと関連する子ケースを作成します。 **注:** 重大な問題管理が必要です。	Orlando
CSM：顧客の要求を作成するエージェント	カスタマーサービスエージェントとして、顧客の要求を作成します。 **注:** カスタマーサービス要求のデータ連携が必要です。	Orlando

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

CSM：ケース管理のテストスイート (続く)

テスト	説明	リリースバージョン
CSM： 新しいケースタイプの登録	ケースタイプを登録し、レコードが作成されたことを確認します。	Orlando
CSM:アカウントのプロジェクトを作成	プロジェクトマネージャーがアカウントのプロジェクトを作成します。 注: 顧客プロジェクト管理 (PM) が必要です。	Orlando
CSM:プロジェクト連絡先の特定	プロジェクトマネージャーがプロジェクトの顧客を特定します。 注: 顧客プロジェクト管理 (PM) が必要です。	Orlando
CSM：プロジェクトからケースを作成	プロジェクトからケースを作成します。	Orlando
CSM：高度なタイプのスキル決定ルールテスト	高度なタイプのスキル決定ルールを作成します。 注: スキルを決定する必要があります。	Orlando
CSM：プロジェクトタスクからケースを作成	プロジェクトタスクからケースを作成します。	Orlando
CSM：ケースからタスクを作成	ケースからケースタスクを作成します。	Orlando
CSM：ケースタスクエージェントにケースタスクをアサイン	カスタマーサービスエージェントは、ケースタスクを作成してケースタスクエージェントにアサインします。	Rome
CSM：アサインされたケースタスクをケースタスクエージェントが表示	アサインされたケースタスクをケースタスクエージェントが表示できることを確認します。	Rome
CSM：アサインされたタスクをケースタスクエージェントが完了	アサインされたケースタスクをケースタスクエージェントが完了します。	Rome
CSM：「ケースの作成 (POST)」API を使用してケースを作成	「ケースの作成 (POST)」API を使用してケースを作成します。	Rome

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

CSM：ケース管理のテストスイート (続く)

テスト	説明	リリースバージョン
	注: ATF のステップ 1 で [ベーシック認証] フィールドにアサインされたユーザー認証レコードが必要です。	
CSM：「ケースのクエリ (GET)」API を使用してケースをクエリ	「ケースのクエリ (GET)」API を使用してケースをクエリします。 注: ATF のステップ 1 で [ベーシック認証] フィールドにアサインされたユーザー認証レコードが必要です。	Rome
CSM：アカウント間での住所の共有	アカウントに再利用可能な住所を実装して、複雑なカスタマーオペレーションとビジネスモデルをサポートします。	Washington DC
CSM：消費者プロファイルの場所の管理	消費者の場所を作成して管理し、消費者プロファイルにマッピングします。	Washington DC
CSM：OCS マネージャーが新しい OSP を作成	新しいアウトソーシングサービスプロバイダー (OSP) が OCS 内部マネージャーによって作成されていることを確認します。 注: カスタマーサービスのアウトソーシングが必要です。	Rome
CSM：OCS エージェントによるケースの作成	カスタマーサービスのアウトソーシングエージェントがケースを作成できることを確認します。 注: カスタマーサービスのアウトソーシングが必要です。	Rome
CSM：NOC オペレーターによるプロアクティブケースの作成	プロアクティブケースが作成されているかどうかを確認します。	New York

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

CSM：ケース管理のテストスイート (続く)

テスト	説明	リリースバージョン
	注: イベント管理によるプロアクティブカスタマーサービスオペレーションが必要です。	
CSM：ケース OBO 顧客を作成する社員	プロキシの連絡先ロール (sn_customerservice_proxy_contact) を持つ社員として、顧客の代わりにセルフサービスポータルからケースを作成します。 **注:** プロキシ連絡先の CSM 拡張が必要です。	New York
CSM：ルックアップタイプのスキル決定ルールテスト	ルックアップタイプのスキル決定ルールを作成します。 **注:** スキルを決定する必要があります。	New York
CSM：CSM ポータルから要求 OBO 顧客を作成するマネージャー	ケースマネージャーロールを持つユーザーとして、カスタマーサービスポータルから顧客の代わりにケースを作成します。 **注:** カスタマーサービス要求のデータ連携が必要です。	New York
CSM：単純なタイプのスキル決定ルールテスト	単純なタイプのスキル決定ルールを作成します。 **注:** スキルを決定する必要があります。	New York
CSM：プロジェクトマネージャーがプロジェクトタスクを作成して顧客にアサイン	プロジェクトマネージャーがプロジェクトタスクを作成して、顧客にアサインします。 **注:** 顧客プロジェクト管理 (PM) が必要です。	Orlando

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

CSM：ケース管理のテストスイート (続く)

テスト	説明	リリースバージョン
CSM：エージェントがプロジェクトからケースを作成	カスタマーサービスエージェントとして、プロジェクトからケースを作成します。 注: 顧客プロジェクト管理 (PM) が必要です。	Orlando
CSM：エージェントがプロジェクトタスクからケースを作成	カスタマーサービスエージェントとして、プロジェクトタスクからケースを作成します。 注: 顧客プロジェクト管理 (PM) が必要です。	Orlando
CSM：エージェントがプロジェクトの変更の要求を作成	カスタマーサービスエージェントとして、プロジェクトの変更の要求を作成します。	Orlando
CSM：販売済み製品の対象のサービス契約	販売済み製品とサービス契約を作成し、サービス契約を販売済み製品に関連付けます。アクティブな契約と販売済み製品の間の関連性を確認します。 注: カスタマーサービスインストールベース管理が必要です。	Orlando
AWA：新規サービスチャネルの作成	高度なワークアサインメントアプリケーションで新しいサービスチャネルを作成します。 注: CSM 向け高度なワークアサインメントが必要です。	Orlando
CSM-ITOM：積極的な重大なケースの子ケースを作成	受信者リストを使用して、プロアクティブで重大なケースの子ケースを作成します。 注: イベント管理によるプロアクティブカスタマーサービスオペレーションが必要です。	Orlando

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

CSM：ケース管理のテストスイート (続く)

テスト	説明	リリースバージョン
CSM - 機能停止を ケースから作成	新規作成した機能停止がケースにリンクされているかどうかを検証します。	Paris
CSM：世帯での販売済み製品の作成	世帯とそのメンバーに販売された製品を作成します。 注: [デモデータのロード] が有効になっているカスタマーサービスインストールベース管理とカスタマーサービスの世帯が必要です。	Quebec
CSM：[アカウント] および [ケース] ページからインストールベースアイテムの健全性ステータスを表示する	[アカウント] および [ケースレコード] ページの [インストールベースの健全性をリフレッシュ] ボタンの機能を検証します。	Quebec
CSM：エージェントワークスペース のケースからナレッジギャップを報告	ケースに関連するナレッジギャップがエージェントワークスペースで報告されたことを確認します。	Rome
CSM：「ケースの作成 (POST)」API を使用してケースを作成	「ケースの作成 (POST)」API を使用してケースを作成します。 注: ATF のステップ 1 で [ベーシック認証] フィールドにアサインされたユーザー認証レコードが必要です。	Rome
CSM：「ケースのクエリ (GET)」API を使用してケースをクエリ	「ケースのクエリ (GET)」API を使用してケースをクエリします。 注: ATF のステップ 1 で [ベーシック認証] フィールドにアサインされたユーザー認証レコードが必要です。	Rome
CSM：OCS マネージャーが新しい OSP を作成	新しいアウトソーシングサービスプロバイダー (OSP) が OCS 内部マネージャーによって作成されていることを確認します。	Rome

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

CSM：ケース管理のテストスイート (続く)

テスト	説明	リリースバージョン
	注: カスタマーサービスのアウトソーシングが必要です。	
CSM：OCS エージェントによるケースの作成	カスタマーサービスのアウトソーシングエージェントがケースを作成できることを確認します。 注: カスタマーサービスのアウトソーシングが必要です。	Rome
CSM：消費者プロファイルの場所の管理	消費者の場所を作成して管理し、消費者プロファイルにマッピングします。	Washington DC
CSM：アカウント間での住所の共有	アカウントに再利用可能な住所を実装して、複雑なカスタマーオペレーションとビジネスモデルをサポートします。	Washington DC
CSM:BLSP ポータルから場所の貢献者としてケースを作成	場所の貢献者は、BLSP ポータルからケースを作成します。	Yokohama
CSM:事業所の作成とメンバーのオンボーディング	事業所の作成とメンバーのオンボーディングを検証します。	Yokohama
CSM:アカウントのエスカレーションまたはエスカレーション解除ワークフロー	アカウントのエスカレーションまたはエスカレーション解除ワークフロー	Zurich

CSM 構成可能ワークスペースのテストスイート

テスト	説明	リリースバージョン
CSM ワークスペース：ケース作成のワークフロー	CSM/FSM 構成可能ワークスペースで、カスタマーサービスマネージャーによるケースレコードの作成をテストします。	Xanadu
CSM ワークスペース：ケースフォローアップのワークフロー	CSM/FSM 構成可能ワークスペースで、カスタマーサービスマネージャーによる顧客からの情報要求をテストします。	Xanadu
CSM ワークスペース：ナレッジギャップの報告のワークフロー	CSM/FSM 構成可能ワークスペースで、カスタマーサービスマネージャーによるケースレコードのナレッジフィードバッ	Xanadu

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

CSM 構成可能ワークスペースのテストスイート (続く)

テスト	説明	リリースバージョン
	クタスクの作成をテストします。	
CSM ワークスペース：ケース解決のワークフロー	CSM/FSM 構成可能ワークスペースでカスタマーサービスマネージャーによるケースレコードの解決をテストします。	Xanadu
CSM ワークスペース：ケースからインシデントを作成	CSM/FSM 構成ワークスペースで、カスタマーサービスエージェントによるケースレコードからのインシデントレコードの作成をテストします。	Xanadu
CSM ワークスペース：ケースから問題を作成	CSM/FSM 構成可能ワークスペースで、カスタマーサービスエージェントによるケースレコードからの問題レコードの作成をテストします。	Xanadu
CSM ワークスペース：ケースから通常の変更を作成	CSM/FSM 構成可能ワークスペースで、カスタマーサービスエージェントによるケースレコードからの変更レコードの作成をテストします。	Xanadu
CSM ワークスペース:[すべてのケース] リストからのケースの作成	CSM/FSM 構成可能ワークスペースで、カスタマーサービスマネージャー (sn_customerservice_manager) による [すべてのケース] リストからのケースの作成をテストします。	Yokohama
CSM ワークスペース:ケースを [自分のケース] リストから作成	CSM/FSM 構成可能ワークスペースで、カスタマーサービスマネージャー (sn_customerservice_manager) による [自分のケース] リストからのケースの作成をテストします。	Yokohama
CSM ワークスペース:[自分のオープンケース] リストからのケースの作成	CSM/FSM 構成可能ワークスペースで、カスタマーサービスマネージャー (sn_customerservice_manager) による [自分のオープン] リストからのケースの作成をテストします。	Yokohama
CSM ワークスペース:[マイインタラクション] リストからのインタラクションの作成	CSM/FSM 構成可能ワークスペースで、カスタマーサービスマネージャー (sn_customerservice_manager) による [マイインタラクション] リストからのインタラクション	Yokohama

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

CSM 構成可能ワークスペースのテストスイート (続く)

テスト	説明	リリースバージョン
	レコードの作成をテストします。	

CSM: ケースタイプ - 苦情

テスト	説明	リリースバージョン
苦情ケース を作成	ユーザーがタイプ「苦情」のケースを sn_complaint_case テーブルで作成できるかどうかをテストします。	Paris
苦情ケース をエスカレート	ユーザーがタイプ「苦情」のケースを sn_complaint_case テーブルでエスカレートできるかどうかをテストします。	Paris

CSM: ケースタイプ - オンボーディング

テスト	説明	リリースバージョン
オンボーディングケース を作成	ユーザーがタイプ「オンボーディング」のケースを sn_onboarding_case テーブルで作成できるかどうかをテストします。	Paris
オンボーディングケース をエスカレート	ユーザーがタイプ「オンボーディング」のケースを sn_onboarding_case テーブルで作成できるかどうかをテストします。	Paris

CSM：運用ダッシュボードテストスイート

テスト	説明	リリースバージョン
awa_admin_operations_dashboard	ロール awa_admin を持つユーザーが、運用ダッシュボードの [高度なワークアサインメント] メニュー、未アサインのインタラクションモジュール、および未アサインのタスク作業アイテムモジュールを表示できることを確認します。	Orlando
awa_manager_operations_dashboard	ロール awa_manager を持つユーザーが、運用ダッシュボードの [高度な作業アサイン] メニュー、未アサインのインタラクションモジュールおよび未アサインのタスク作業アイテムモ	Orlando

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

CSM：運用ダッシュボードテストスイート (続く)

テスト	説明	リリースバージョン
	ジュールを表示できることを確認します。	

CSM ポータルテストスイート

テスト	説明	リリースバージョン
CSM：CSM ポータルから顧客として製品ケースを作成	カスタマーサービスポータルから顧客として製品ケースを作成します。 **注:** カスタマーサービスポータルが必要です。また、アドミンとしてテストを実行する必要があります。	Madrid
CSM：CSM ポータルからパートナーとして製品ケースを作成	カスタマーサービスポータルからパートナーとして製品ケースを作成します。 **注:** カスタマーサービスポータルが必要です。また、アドミンとしてテストを実行する必要があります。	Madrid
CSM：ホームページの検索	カスタマーサービスポータルから情報を検索します。検索には、ケース、ナレッジ記事、およびコミュニティスレッドが含まれます。	New York
CSM ：サポートプロファイルの更新	カスタマーサービスポータルから連絡先のプロファイルを更新します。	New York
CSM ：ケースに関して要求された情報を提供	カスタマーサービスポータルから、連絡先はエージェントによって要求されたケースの情報を提供できます。	New York
CSM ：ケースに提案されたソリューションを承認	カスタマーサービスポータルから、ケースに提案されたソリューションを承認します。	New York
CSM：サーベイについてのフィードバックを提供	カスタマーサービスポータルからケースがクローズされた後、サーベイについてのフィードバックを提供します。	New York

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

CSM ポータルテストスイート (続く)

テスト	説明	リリースバージョン
CSM：すべてのデスクトップ通知を表示	すべてのカスタマーサービス管理 (CSM) 固有のデスクトップ通知を表示します。	Orlando
CSM：CSM ポータルの公開物を表示	カスタマーサービス管理 (CSM) ポータルの公開物を表示します。	Orlando
CSM：CSM ポータルで連絡先を作成	カスタマーサービス管理 (CSM) ポータルで連絡先を作成します。	Orlando
CSM：CSM ポータルの機能停止ウィジェットを検証	さまざまなタイプの機能停止と、カスタマーサービスポータルのホームページおよびインストールベースページに表示される対応するウィジェットを検証します。	Quebec
CSM - コンシューマ貢献者としてポータルからケースを作成	コンシューマ貢献者ユーザーロール (sn_customerservice.consumer_contributor) を持つユーザーによってポータルから顧客ケースを作成します。 **注:** 事業所、カスタマーサービス世帯、および CSM 貢献者ユーザーが必要です。	Rome
CSM - アカウント貢献者としてポータルからケースを作成	アカウント貢献者ユーザーロール (sn_customerservice.account_contributor) を持つユーザーによってポータルから顧客ケースを作成します。 **注:** 事業所、カスタマーサービス世帯、および CSM 貢献者ユーザーが必要です。	Rome
CSM：ケースに関係者を追加し、関係者としてケースのアクションを実行	ケースに関係者を追加し、CSM ポータルを介して関係者としてケースに対してアクションを実行できることを確認します。	Rome

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

CSP ポータルテストスイート

テスト	説明	リリースバージョン
CSP：CSP ポータルから消費者として製品ケースを作成	消費者サービスポータルから消費者として製品ケースを作成します。 **注:** 消費者サービスポータルが必要です。また、アドミンとしてテストを実行する必要があります。	Madrid
CSP：ホームページの検索	消費者サービスポータルから情報を検索します。検索には、ケース、ナレッジ記事、およびコミュニティスレッドが含まれます。	New York
CSP：サポートプロファイルの更新	消費者サービスポータルから消費者プロファイルを更新します。	New York
CSP：製品を登録	消費者サービスポータルから製品を登録します。	New York
CSP ：ケースに関して要求された情報を提供	消費者サービスポータルから、消費者はエージェントによって要求されたケースの情報を提供できます。	New York
CSP ：ケースに提案されたソリューションを承認	消費者サービスポータルから、ケースに対して提案されたソリューションを承認します。	New York
CSP：サーベイについてのフィードバックを提供	消費者サービスポータルからケースがクローズされた後、サーベイについてのフィードバックを提供します。	New York
CSP：CSP ポータルの公開物を表示	カスタマーサービスポータルの公開物を表示します。	Orlando
CSP:CSP ポータルから内部の統一コンシューマーとして製品ケースを作成	このテストでは、カスタマーサービス管理 (CSM) デモデータプラグインを使用して、カスタマーサービスポータルおよび消費者サービスポータルプラグインと組み合わせて、CSP ポータルから内部統一コンシューマーとして製品ケースを作成する機能を検証します。	Yokohama
CSP:CSP ポータルから外部の統一コンシューマーとして製品ケースを作成	このテストでは、カスタマーサービス管理 (CSM) デモデータプラグインを使用して、カスタマーサービスポータルおよび消費者サービスポータルプラグインと組み合わせて、CSP	Yokohama

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

CSP ポータルテストスイート (続く)

テスト	説明	リリースバージョン
	ポータルから外部統一コンシューマーとして製品ケースを作成する機能を検証します。	

ガイド付きディシジョン - 次のベストアクション **ATF** テストスイート

テスト	説明	リリースバージョン
ネクストベストアクションリストの検証 - ガイド付きデシジョン	構成されたルールに基づいて推奨されるネクストベストアクションのリストを検証します。	San Diego
次のベストアクションランキングの検証 - ガイド付きデシジョン	構成されたルールに基づいて推奨されるネクストベストアクションのリストを検証します。	San Diego

TC：ターゲットコミュニケーションテストスイート

テスト	説明	リリースバージョン
TC：受信者リストの作成	必要なパラメーターを使用して受信者リストを作成します。[受信者] 関連リスト内の新しい受信者リストを確認します。	Orlando
TC：公開物の作成	公開物を作成します。公開物は公開日に基づいて公開されます。受信者リストのユーザーが公開物を取得したかどうかを確認します。	Orlando

CSM Walkup Experience テスト

テスト	説明	リリースバージョン
CSM Walkup：ウォークアップユーザーとしてチェックインし、キューを確認してサーベイを送信	ウォークアップユーザーとして、チェックインを実行し、キューを確認して、サーベイを通じてフィードバックを送信します。 **注:** このテストは、デモデータで利用可能なシアトルの場所が利用可能な場合に機能します。	Rome

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

CSM:カスタマープロジェクト管理テスト

テスト	説明	リリースバージョン
CSM PPM:プロジェクトワークフローからのケース作成	カスタマーサービスエージェントとして、 CSM 構成可能ワークスペース で CSM プロジェクトレコードからケースを作成します。	Yokohama
CSM PPM:プロジェクトタスクワークフローからのケース作成	カスタマーサービスエージェントとして、 CSM 構成可能ワークスペース で CSM プロジェクトタスクレコードからケースを作成します。	Yokohama

カスタマーサービス管理 (CSM) の詳細については、「カスタマーサービス管理 (CSM)」を参照してください。

ダッシュボード

ダッシュボード クイックスタートテストでは、自動テストフレームワーク - レスポンシブダッシュボードプラグイン (com.glide.automated_testing_impl.dashboards) を有効にする必要があります。このプラグインはインスタンスの zBoot で有効になります。

ダッシュボード クイックスタートテスト

テスト	説明	リリースバージョン
レスポンシブダッシュボードの共有	代理操作をしているユーザーによるダッシュボードの共有を確認します。	Madrid
レスポンシブダッシュボードの可視化	代理操作をしているユーザーによるダッシュボードの可視化を確認します。	Madrid

ダッシュボードの詳細については、「ダッシュボード」を参照してください。

DevOps

DevOps クイックスタートテストは、ServiceNow アプリケーションを DevOps ストアからインストールするときに利用できます。

DevOps テストスイート

テスト	説明	リリースバージョン
DevOps コードツールフロー	DevOps コーディングツールのワークフロースタジオフローを確認します。	Madrid
CR による DevOps オーケストレーションフロー	変更の要求を含む DevOps オーケストレーションツールのワークフロースタジオフローを確認します。	Madrid

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

DevOps テストスイート (続く)

テスト	説明	リリースバージョン
DevOps オーケストレーションツールフロー	DevOps オーケストレーションツールのワークフロースタジオフローを確認します。	Madrid
DevOps 計画立案ツールフロー	DevOps 計画立案ツールのワークフロースタジオフローを確認します。	Madrid

DevOps の詳細については、「DevOps Change Velocity」を参照してください。

従業員センター

従業員センター クイックスタートテスト

テスト	説明	リリースバージョン
承認タスクのアドホック委任を作成する	従業員センター で [自分のタスク (My Tasks)] フォームから承認タスクのアドホック委任を作成できることを確認します。	San Diego
HR タスクのアドホック委任を作成する	従業員センター で [自分のタスク] フォームから HR タスクのアドホック委任を作成できることを確認します。	San Diego
従業員センター - お気に入り	従業員センター のお気に入り機能を検証します。KB 記事またはカタログアイテムがお気に入りウィジェットに追加された場合も確認します。	San Diego
従業員センター - 承認ハブ 承認要求	従業員センター の承認機能を検証します。また、要求が承認されたときに、ユーザーの [完了] 列に表示されることも確認します。	San Diego
従業員センター - 承認ハブ 却下要求	却下機能を確認します。また、要求が却下されたときに、ユーザーの [完了] 列に表示されることも確認します。	San Diego
従業員センター - 従業員プロファイルの生成	従業員プロファイルが従業員の定義に従って生成されていることを確認します。	Xanadu
従業員センター - トピックページ	KB 記事またはカタログアイテムをトピックに関連付け、トピックページに表示されることを確認します。	San Diego
従業員センター： ホームページウィジェットを検証	従業員センター ホームページに次のウィジェットが存在することを検証します。	San Diego

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

従業員センター クイックスタートテスト (続く)

テスト	説明	リリースバージョン
	• 関連分野 • 人気のトピック • 自分のアクティブなアイテム • クイックタスク • ホームページ検索	
ESC：従業員はチケットの更新を表示できる	従業員はチケットの更新を表示できます。	Quebec
ESC：人事に関する一般的な問い合わせの質問を ESC ポータルに投稿	人事の従業員が一般的な問い合わせケースを作成し、人事に関する一般的な問い合わせの質問を ESC に投稿できることを確認します。	Quebec
ESC:ユニバーサル要求と HR ケースを作成するレコードプロデューサーを送信	ユーザーがユニバーサル要求を作成する人事カタログアイテムを送信できることを確認します。また、ユニバーサル要求および人事ケースが作成およびリンクされていることを確認します。	Quebec
ESC：人事ケースに関する ESC の標準チケットページを確認	サービスポータルから一般的な問い合わせケースを作成し、標準チケットページに表示されていることを確認します。	Quebec
ESC：カタログアイテムのウィジェットのコンテンツの確認	カタログページのウィジェットコンテンツを確認します。	Orlando
ESC：ナレッジページのウィジェットコンテンツの確認	ナレッジページのウィジェットコンテンツを確認します。	Orlando
HR：ESC でのカタログアイテムと KB の検索	ESC の検索機能を検証します。	Quebec
分類とトピックの作成	分類とトピックを作成し、トピックにコンテンツを追加します。	San Diego

Essential SAFe

Essential SAFe クイックスタートテストには、Agile - Scaled Agile Framework - Essential SAFe プラグイン (com.snc.sdlc.safe) と Agile - Scaled Agile Framework - Essential SAFe - ATF テストプラグイン (com.snc.sdlc.safe.atf) を有効にする必要があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Essential SAFe テストスイート

テスト	説明	リリースバージョン
Essential SAFe：機能テスト	機能のグローバルランクの更新を確認します。	Madrid
Essential SAFe：機能テスト	SAFe 機能について以下を確認します。 • 実際の開始日は、ステータスが [実装]、[ステージング時の検証]、または [展開] に変更された後に入力されます。 • 実際の終了日は、ステータスが [リリース済み] または [キャンセル] に変更された後に入力されます。 • アクティブフラグが次の適切な値に設定されています。 ○ ステータスが [リリース済み] または [キャンセル] に変更された場合は **false**、 ○ その他すべてのステータスでは **true** です。	Orlando
Essential SAFe：機能テスト	PPM Standard プラグイン (com.snc.financial_planning_pmo) が有効である場合は、デマンドフォームの **[SAFe** 機能の作成] 関連リンクを使用して、デマンドを SAFe 機能に変換できることを確認してください。 SAFe 機能をデマンドから作成する方法の詳細については、「デマンドからアーティファクトを作成する」を参照してください。	Quebec
Essential SAFe：プログラム増分テスト	プログラムの増分の日付が重複していることを確認してください。	Madrid
Essential SAFe：スプリントテスト	ART スプリントとチームスプリントの生成、およびスプリントポイントと日付の更新を確認します。	Madrid
Essential SAFe：スプリントテスト	アサイン先グループの [グループキャパシティ] フィールドが更新されると、このアサイン先グループに関連付けられてい	Paris

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Essential SAFe テストスイート (続く)

テスト	説明	リリースバージョン
	るさまざまなスプリントの [グループキャパシティ] フィールドに以下の変更があることを確認してください。 • [ドラフト] または [計画] の状況のスプリントの場合： ○ グループキャパシティが新しい値に更新されます。 ○ [グループキャパシティ] フィールドは編集可能です。 • [現在]、[完了]、または [キャンセル] の状況のスプリントの場合： ○ グループキャパシティは古い値のままです。 ○ [グループキャパシティ] フィールドは読み取り専用です。 [ドラフト] または [計画] ステータスのスプリントについては、後でいつでもスプリントのグループキャパシティを個別に編集できます。これにより、このスプリントに関連付けられているアサイン先グループのグループキャパシティが変更されることはありません。	
Essential SAFe：ストーリーテスト	ストーリーのグローバルランクの更新を確認します。	Madrid
Essential SAFe：ストーリーテスト	SAFe ストーリーのアクティブフラグが次のように適切な値に設定されることを確認します。 • ステータスが [完了] または [キャンセル] に変更された場合、**False**。 • その他すべてのステータスでは True です。	Orlando
Essential SAFe：ストーリーテスト	SAFe ストーリーの追加、評価、削除、削除、更新、またはキャンセルによって、SAFe 機能レベルとエピックレベルの	Orlando

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Essential SAFe テストスイート (続く)

テスト	説明	リリースバージョン
	ロールアップが正しく更新されることを確認します。	
Essential SAFe：ストーリーテスト	SAFe ストーリーへの機能の追加、更新、または削除によって、[SAFe ストーリー] フォームの [エピック] フィールドが更新されることを確認します。	Orlando
Essential SAFe：ストーリーテスト	PPM Standard プラグイン (com.snc.financial_planning_pmo) が有効である場合は、デマンドフォームの **[SAFe** ストーリーの作成] 関連リンクを使用して、デマンドを SAFe ストーリーに変換できることを確認してください。 SAFe ストーリーをデマンドから作成する方法の詳細については、「デマンドからアーティファクトを作成する」を参照してください。	Quebec
Essential SAFe：チームテスト	ART とチームの関連付けを確認します。	Madrid
Essential SAFe：エピックテスト	SAFe エピックについて以下を確認します。 • 実際の開始日は、ステータスが [実装] に変更された後に入力されます。 • 実際の終了日は、ステータスが [完了] に変更された後に入力されます。 • アクティブフラグが次の適切な値に設定されています。 ○ 状況が [リリース済み] または [キャンセル] に変更された場合は、**false**。 ○ その他すべてのステータスでは **true** です。	Orlando
Essential SAFe：エピックテスト	PPM Standard プラグイン (com.snc.financial_planning_pmo) が有効である場合は、デマンドフォームの **[SAFe** エピックの作成] 関連リンクを使用して、デマンドを SAFe エピックに変	Quebec

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Essential SAFe テストスイート (続く)

テスト	説明	リリースバージョン
	換できることを確認してください。 SAFe エピックをデマンドから作成する方法の詳細については、「デマンドからアーティファクトを作成する」を参照してください。	
Essential SAFe：プログラム PI 目標テスト	PI 目標の作成と更新の機能を確認します。 • プログラムインクリメントレベルの目標を作成できることを確認します。 • 作成された PI 目標を計画されたビジネス価値 (PBV) と実際のビジネス価値 (ABV) で更新できることを確認します。 • PI のプログラムの PBV と比較して、達成されたビジネス価値のパーセンテージが、コミットされた PI 目標のみを対象とした ABV 完了率として計算されていることを確認します。	Rome
Essential SAFe：チーム PI 目標テスト	チーム PI 目標を作成および更新する機能を確認します。 • チームレベル PI 目標を作成できることを確認します。 • 作成された PI 目標を計画されたビジネス価値 (PBV) と実際のビジネス価値 (ABV) で更新できることを確認します。 • PI のチームの PBV と比較して、達成されたビジネス価値のパーセンテージが、コミットされた PI 目標のみを対象とした ABV 完了率として計算されていることを確認します。	Rome

Essential SAFe の詳細については、「Essential SAFe」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

イベント管理

イベント管理 クイックスタートテストでは イベント管理 プラグイン (com.glideapp.itom.snac) をアクティブ化する必要があります。

イベント管理 クイックスタートテスト

テスト	説明	リリースバージョン
EMSelfMonitoring	アップグレード後に、イベント管理 プラグインで問題を追跡します。検出された問題の詳細を理解するには、すべてのアラートのリストを開き、EMSelfMonitoring がソースになっていて、アップグレード後に開かれたか再び開かれた、失敗したアラートを検索します。フィルタリングの正確な時間はエラーメッセージで見つけることができます。	Madrid

イベント管理の詳細については、「イベント管理」を参照してください。

フィールドサービス管理 **(FSM)**

フィールドサービス管理 (FSM) のクイックスタートテストは、フィールドサービス管理 (FSM) プラグイン (com.snc.work_management) を有効にすると実施できます。非本番インスタンスでデモデータプラグイン (com.snc.work_management.demo) を有効にして、アプリケーションで使用できるクイックスタートテストを開始します。フィールドサービスコントラクター管理プラグイン (com.snc.fsm_contractor_management) を有効にして、外部請負会社関連のテストを実行します。また、既存のデータを変更してカスタマイズし、クイックテストを実行することもできます。

FSM：フィールドサービス管理 **(FSM)** テストスイート

テスト	説明	リリースバージョン
FSM：認定ディスパッチの開始および作業指示書タスクの割り当て	• 作業指示書を作成します。 • 作業指示書を開始して認定します。 • 作業指示書をディスパッチします。 • 作業指示書タスクをエージェントに割り当てます。	Madrid
FSM：部品調達	• 作業指示書タスクからエージェントのストックルームに任意の部品を調達します。 • 部品調達の転送注文明細を作成します。	Madrid

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

FSM：フィールドサービス管理 **(FSM)** テストスイート (続く)

テスト	説明	リリースバージョン
	• この部品を任意の作業指示書に使用し、部品使用率アクションを使用して消費します。	
FSM：部品使用率	• 作業指示書タスクからエージェントのストックルームに任意の部品を調達します。 • この部品を任意の作業指示書に使用し、部品使用率アクションを使用して消費します。	Madrid
FSM：アンケート	アンケートを作成し、作業指示書タスクに関連付けます。	Madrid
FSM：フィールドサービス構成	タスクアサイン方法、認定要件、PDF サマリー、エージェントがタスクを承認または却下する機能など、デフォルト設定が保持されていることを確認します。	New York
FSM：計画済みメインテナンス	印刷メインテナンスの週次間隔で計画済みメインテナンス作業指示を作成します。	New York
FSM：予約の設定	予約のデフォルト設定が保持されていることと、POS サービスとカタログアイテムがシステムに存在することを確認します。	New York
FSM：作業またはパーソナルスケジュールを作成	エージェントのパーソナルまたは作業スケジュールを作成します。	Orlando
FSM：フィールドサービスプロパティ設定	フィールドサービスシステムのプロパティに必要な値が保存されていることを確認します。	Orlando
FSM：ワークグループ	フィールドサービスエージェントをワークグループに追加できることを確認します。	Orlando
FSM: 動的スケジューリング - 必須部品の予約を含む優先技術者のアサイン	動的スケジューリングでは以下を行えます。	Paris

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

FSM：フィールドサービス管理 **(FSM)** テストスイート (続く)

テスト	説明	リリースバージョン
	• 優先技術者はタスクのアサインに選択する必要があります。 • 必須部品はエージェントストックルームで予約する必要があります。 **注:** カスタマーサービス管理 (CSM) デモデータプラグインをアクティブ化	
FSM：タイムカードの作成	作業指示タスクでエージェントのタイムカードが作成されていることを確認します。	Quebec
FSM：雑費を作成	作業指示タスクでエージェントの雑費が作成されていることを確認します。	Quebec
FSM：請負会社のオンボーディング	請負会社がアサイン先グループ、外部マネージャー、および外部エージェントにオンボーディングされていることを確認します。 **注:** フィールドサービスコントラクター管理プラグインを有効にします。	Quebec
FSM：外部マネージャーによる請負会社のオンボーディング	外部請負会社マネージャーがフィールドサービス 請負会社管理ポータルから外部エージェントをオンボーディングできることを確認します。	Quebec
FSM：外部請負会社マネージャーが作業指示タスクを履行	請負会社マネージャーまたはエージェントが、アサインされた作業指示タスクを履行できることを確認します。	Quebec
FSM：ベンダーグループに作業指示タスクをアサイン	タスクの場所、設定パラメーターなど、定義された基準に基づいて作業指示タスクが外部アサイン先グループにアサインされていることを確認します。	Quebec
FSM：作業指示タスクの一時停止と再開	エージェントが作業指示タスクの作業を一時停止および再開できることを確認します。	Rome

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

FSM：フィールドサービス管理 **(FSM)** テストスイート (続く)

テスト	説明	リリースバージョン
FSM：動的スケジューリング - 一致するスキルを持つ技術者にアサイン	動的スケジューリングの場合：作業指示タスクが、タスクで言及されているすべての必須スキルを持つ技術者にアサインされていることを確認します。	Rome
FSM：外部マネージャーによる請負会社エージェントのオフボーディング	外部請負会社マネージャーがフィールドサービス 請負会社管理ポータルから外部エージェントをオフボーディングできることを確認します。	Rome
FSM：外部請負会社マネージャーの資産の調達と使用	外部請負会社マネージャーが次のアクションを実行できることを検証します。 • 倉庫に部品を要求します。 • 部品を選択します。 • 転送注文をクローズします。 • 部品を使用して作業を実行します。	San Diego
FSM：外部請負会社エージェントが作業指示タスクを履行	請負会社エージェントが、外部請負会社外マネージャーからアサインされた作業指示タスクを履行できることを確認します。	San Diego
FSM：キャパシティスケジューリング - キャパシティに基づいてフィールドサービスエージェントに作業をアサイン	キャパシティ定義およびキャパシティアサインモジュールに記載されているルールと値が評価され、キャパシティに基づいてエージェントに作業がアサインされていることを確認します。	Tokyo
FSM：外部アサイン先グループの追加マネージャーとしての外部請負会社エージェントのオンボーディング	請負会社の外部エージェントをオンボーディングするときに、追加のマネージャーロールをエージェントにアサインできることを確認します。	Tokyo
FSM：ディスパッチャワークスペース - タスクを実行するエージェントのグループを必要とする作業指示書タスクにクルーをアサイン	• クルーモデレーターロールを持つディスパッチャーがディスパッチャワークスペースでクルーを作成できることを確認します。 • クルーモデレーターロールを持つディスパッチャーがディスパッチャワークスペースで予定されているクルーに作業指示タスクを割り当て可能であることを確認します。	Tokyo

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

FSM：フィールドサービス管理 **(FSM)** テストスイート (続く)

テスト	説明	リリースバージョン
FSM：作業指書示タスクは複数日タスクのスケジューリングをサポート	複数日タスクスケジューリング機能を検証します。 • 作業指示、作業指示タスク、およびエージェントスケジュールレコードを作成します。 • 作業指示タスクで [複数のスケジュールエントリでアサイン] オプションを選択します。 • タスク期間が 1 日を超える作業指示タスクにエージェントをアサインします。 • 作業指示タスクがエージェントに正常にアサインされ、予定終了時間が正しく設定されていることを確認します。	Tokyo
ケースからの作業指示の作成と、CSM/FSM 構成可能ワークスペースからのエージェントへの作業指示タスクのアサインを確認します。	• ケースから作業指示を作成できることを確認します。 • 作業指示を認定し、作業指示タスクが作成されたことを確認します。 • 作業指示タスクをエージェントにアサインし、アサインされているエージェントが正しく更新されていることを確認します。	Xanadu
FSM:プラットフォームでの予約の統合 UI モーダルの検証	• 作業指示と作業指示タスクを作成します。 • プラットフォームで Seismic 予約カレンダーを起動します。 • [今日] および [来週] オプションに正しいカレンダーが表示されていることを確認します。	Yokohama
作業指示を作成して認定し、ディスパッチャワークスペースからディスパッチャーとして作業指示をアサインします	• ディスパッチャーは、CSM/FSM 構成可能ワークスペースから リスト ビューに移動し、新しい作業指示書を作成します。	Yokohama

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

FSM：フィールドサービス管理 **(FSM)** テストスイート (続く)

テスト	説明	リリースバージョン
	• 次に、アドミニストレーターとして作業指示を認定し、作業指示タスクが作成されているかどうかを確認します。 • 次に、ディスパッチャーとして作業指示タスクを フィールドサービス エージェントにアサインし、[アサイン先] フィールドが正しく更新されていることを確認します。	
作業指示タスクのクローン	• CSM/FSM 構成可能ワークスペースから、任意の作業指示タスクレコードページを開きます。 • [作業指示タスクをクローン] を選択し、元の作業指示タスクからすべての詳細が入力された新しい作業指示タスクが作成されていることを確認します。	Yokohama
ディスパッチャーまたは認定者としての作業時間エントリの作成	• CSM/FSM 構成可能ワークスペースから、リストビューに移動し、新しい作業指示書を作成します。 • 作業指示を認定し、作業指示タスクが作成されたことを確認します。 • [時間を記録] を選択し、作業時間エントリを入力して [保存] を選択します。 • 作業時間エントリが正常に作成されたことを確認します。	Yokohama
CSM/FSM 構成可能ワークスペースからの作業指示タスクのフラグ設定	• CSM/FSM 構成可能ワークスペースから、ディスパッチャーロールまたは認定ロールを持つユーザーとして、リストビューに移動し、新しい作業指示書を作成します。 • 作業指示を認定し、作業指示タスクが作成されているかどうかを確認します。 • 作成した作業指示タスクに移動し、[フラグ] を選択しま	Yokohama

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

FSM：フィールドサービス管理 **(FSM)** テストスイート (続く)

テスト	説明	リリースバージョン
	す。作業指示タスクにフラグが付けられ、[フラグ解除] ボタンが表示されていることを確認します。 • [フラグを解除] を選択し、作業指示タスクのフラグが解除され、[フラグ] ボタンが使用可能であることを確認します。	

ファイナンスクローズオートメーション

ファイナンスクローズオートメーション クイックスタートテストは、ServiceNow アプリケーションを ファイナンスクローズオートメーション ストアからインストールすると利用できます。

FCA テストスイート

テスト	説明	リリースバージョン
FCA：該当する月のサブセットテスト	適用される月が、機能しているワークブックのサブセットのみであることを確認します。	New York
FCA：日付の検証	日付に関連する計算が正しいことを確認します。	New York
FCA：タスクリレーションシップ	関係があるタスクについて、日付と状況が正常に更新されていることを確認します。	New York
FCA：親タスクとの関係	親タスクとの関係を持つタスクの日付と状況が正しく更新されていることを確認します。	New York
FCA：タスクのリセット	タスクがリセットされたときに、FCA ワークフローを確認します。	New York
FCA：タスクの却下	タスクが却下されたときに、FCA ワークフローを確認します。	New York
FCA：JE タスクを作成	ジャーナルエントリータスクタイプに対して ERP ソースが利用できることを確認します。	New York
FCA：クローズ日としての負の値	クローズ日に正の値と負の値の両方が許容されることと、予定日が正しく計算されていることを確認します。	New York
FCA：日次決算処理チェックリストのクローズ日チェック	日次決算ワークブックのクローズ日を検証します。	New York

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

FCA テストスイート (続く)

テスト	説明	リリースバージョン
FCA：日次決算の予定終了日チェック	日次決算ワークブックの予定終了日を確認します。	New York
FCA：キックスタートエラー	キックスタート検証がすべて実行されていることを確認します。	New York
FCA：最終タスク 1 件の検証	各職務ワークブックに最終タスクが 1 件だけ存在することを確認します。	New York
FCA：機密タスク	機密タスクの所有者、レビュー担当者、承認者のみがタスクを表示できることを確認します。	New York
FCA：チェックリストの一意検証	特定の日または期間に対して、ワークブックが 1 件だけ作成されていることを確認します。	New York
FCA：マイルストーンと JE の検証	マイルストーンとジャーナルエントリータスクに子タスクが含まれていないことを確認します。	New York

ファイナンシャルマネジメント

ファイナンシャルマネジメント クイックスタートテストでは ファイナンシャルマネジメント Core - ATF テストプラグイン (com.snc.financial_management.atf) をアクティブ化する必要があります。

ITFM：ファイナンシャルモデリングフローテストスイート

テスト	説明	リリースバージョン
FM コスト割り当てフローの確認	ファイナンシャルモデリングにおけるコスト割り当てフローを確認します。	Madrid

ファイナンシャルマネジメントの詳細については、「ファイナンシャルマネジメント」を参照してください。

Granular Delegation

Granular Delegation クイックスタートテストには、Granular Delegation (com.glide.granular_service_delegation) プラグインのアクティブ化が必要です。

テスト	説明	リリースバージョン
[委任] アドミン - 委任者および委任ユーザーの基準を含む委任ルールを追加	代理人または委任者が HR タスクにアサインされたユーザー基準を遵守するようにします。	Yokohama

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

GRC 監査管理

GRC: 監査管理 クイックスタートテストでは 監査管理 プラグイン (com.sn_audit) をアクティブ化して、デモデータをロードする必要があります。

GRC: 監査管理 テストスイート

テスト	説明	リリースバージョン
GRC: 監査エンゲージメントを作成し、監査タスクを生成	監査エンゲージメントの作成を検証し、エンティティを関連付けてコントロールとテスト計画を生成します。テスト計画に関連付けられた監査タスクを生成します。	Paris
GRC：マイルストーンを作成して処理	エンゲージメントにマイルストーンを作成します。なお、期限日を過去の、完了日を未来の日付することはできません。オープン状態のマイルストーンの場合、完了率は 0 で、マイルストーンのステータスの変化に応じて変わります。	Paris
GRC：コストとリソースプランのロールアップ	監査プランを作成し、それにエンゲージメントを関連付けます。このエンゲージメントにコストプランとリソース計画を追加すると、これらのコストがプランにロールアップされる点に注意してください。エンゲージメントにおけるこれらのコストに対するすべての編集は、プランに反映されます。	Paris
GRC：エンゲージメントプロジェクトマニュアルの作成および自動作成	検証ステータスのエンゲージメントについては、[詳細計画を有効にする] UI アクションが実行されている場合、エンゲージメントプロジェクトが作成され、「詳細計画機能」を持つ監査計画に関連付けられたエンゲージメントのステータスが [検証] に変更されると、エンゲージメントプロジェクトが自動的に作成されます。	Paris
GRC：詳細なリスクアセスメントを含む監査可能ユニット	「詳細なリスクアセスメント」としてメソッドを含む監査可能ユニットを作成し、査定人を追加してリスクアセスメントを評価することを要求します。査定人が応答し、コントロールアセ	Paris

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

GRC: 監査管理 テストスイート (続く)

テスト	説明	リリースバージョン
	スメントと残存アセスメントを実行してアセスメントを完了としてマークした後、リスクアセスメントフィールドが自動的に更新される必要があります。	

Audit Management の詳細については、「Audit Management」を参照してください。

GRC 継続的な承認とモニタリング

GRC：継続的な承認とモニタリング クイックスタートテストでは 継続的な承認とモニタリング プラグイン (com.sn_compliance) をアクティブ化して、デモデータをロードする必要があります。

GRC: 継続的な承認とモニタリング クイックスタートテストテストスイート

テスト	説明	リリースバージョン
GRC：システム所有者による AB および AP の責任とロールの作成と検証	システム所有者は、認証境界と認証パッケージの責任とロールを作成および検証します。 情報所有者とシステムユーザーは、認証境界を選択したときにあらかじめ設定されています。	Quebec (Paris および Orlando と互換性がある)
GRC：システム所有者によるアプリモジュールの可視化の検証	システム所有者ペルソナが [継続的な承認と監視] アプリケーションメニューを表示することでき、そのメニューに次のモジュールを表示できることを確認します。 • すべての認証境界 • すべての認証パッケージ • 情報タイプライブラリー • コントロールオーバーレイ • コントロール目標 • コントロール • すべてのエンゲージメント	Quebec (Paris および Orlando と互換性がある)
GRC：システム所有者による要求の最初の認証と自分の認証モジュール	システム所有者が承認を要求します。	Quebec (Paris および Orlando と互換性がある)
SO：AB および AP の責任とロールの作成と検証	システム所有者が認証境界フォームのフィールドに入力して認証境界を作成できるかどうかを検証します。	Quebec (Paris および Orlando と互換性がある)

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

GRC: 継続的な承認とモニタリング クイックスタートテストテストスイート (続く)

テスト	説明	リリースバージョン
	また、同じ SO がフォーム ビューから認証パッケージを作成できるかどうかも検証します。	

継続的な承認とモニタリング の詳細については、「Continuous Authorization and Monitoring」を参照してください。

GRC ポリシーとコンプライアンス管理

GRC：ポリシーとコンプライアンス管理 クイックスタートテストでは ポリシーとコンプライアンス管理 プラグイン (com.sn_compliance) をアクティブ化して、デモデータをロードする必要があります。

GRC: ポリシーとコンプライアンス管理 クイックスタートテストテストスイート

テスト	説明	リリースバージョン
GRC：コントロールの作成	コントロールの作成を検証します。	Madrid
GRC: ポリシー例外とフローを作成	ポリシー例外を作成して、その状況内を移動します。	Paris
GRC: ポリシーライフサイクル	ポリシーを作成して、その状況内を移動します。	Paris

ポリシーとコンプライアンス管理の詳細については、「ポリシーとコンプライアンス管理t」を参照してください。

GRC リスク管理

GRC：リスク管理 クイックスタートテストでは リスク管理 プラグイン (com.sn_risk) をアクティブ化して、デモデータをロードする必要があります。

GRC: リスク管理 クイックスタートテストテストスイート

テスト	説明	リリースバージョン
GRC：プロファイルの作成	プロファイルの作成を検証します。	Madrid
GRC：リスクの作成	リスクの作成を検証します。	Madrid
GRC：コントロールの作成	コントロールの作成を検証します。	New York
GRC：コントロール目標の作成とコントロールの生成	コントロール目標の作成を検証し、プロファイルを関連付けてコントロールを生成します。	New York
GRC：問題の作成	問題の作成を検証	New York

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

GRC: リスク管理 クイックスタートテストテストスイート (続く)

テスト	説明	リリースバージョン
GRC：問題を承認	問題の受け入れによってクローズされるまで、問題のすべての状況を検証します。	New York
GRC：問題を修復	未解決の修復タスクを使用して、検証の問題をクローズすることはできません。	New York
GRC：インジケーター向け ATF フロー (マニュアル)：	Type manual を使用してインジケーターテンプレートを作成し、コントロール目標をそれに関連付けます。インジケーターの 1 つを実行して、形成します。クローズ済みとして作成されたインジケータータスクのステータスをマークし、失敗として結果を示します。関連コントロールは非適合となり、問題が発生します。	New York
GRC：インジケーター向け ATF フロー (ベーシック)	タイプが「基本」で、結果が「失敗」であるインジケーターテンプレートを作成します。コントロール目標をそれに関連付け、サポートデータを提供します。インジケーターの 1 つを実行して、形成します。関連コントロールは非適合となり、問題が発生します。	New York
GRC：インジケーター向け ATF フロー (スクリプト)	タイプスクリプトを使用してインジケーターテンプレートを作成し、スクリプトを入力し、結果の値を設定します。渡します。結果の値。コントロール目標を関連付けます。インジケーターの 1 つを実行します。関連コントロールは非適合となり、問題が生成されます。	New York

リスク管理の詳細については、「リスク管理」を参照してください。

ハードウェア資産管理

ハードウェア資産管理クイックスタートテストは、ハードウェア資産管理 (HAM) アプリケーションを ServiceNow Store からインストールするときに利用できます 。

ハードウェア資産管理 テストスイート

テスト	説明	リリースバージョン
HAM - ハードウェア正規化	正規化されたメーカー、製品、およびモデルに基づいて、さま	Orlando

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ハードウェア資産管理 テストスイート (続く)

テスト	説明	リリースバージョン
	ざまな正規化ステータス値を検証します。	
HAM - ハードウェア資産処分ワークフロー	資産処分ワークフローを検証します。	Paris
HAM - 資産展開の自動化ワークフロー	資産展開ワークフローを検証します。	Paris
HAM - 資産スワップワークフローの自動化	資産の交換/スワップワークフローを検証します。 注: デモデータが必要です。	Paris
HAM - 標準ハードウェア資産要求フロー	ハードウェア資産管理 アプリケーションの一部である標準ハードウェア資産要求フローを検証します。	Paris
HAM - ハードウェア資産のリフレッシュフロー	資産リフレッシュワークフローを検証します。	Quebec
HAM - 貸与資産の割り当てフロー	貸与資産ワークフローを検証します。	Quebec
HAM - リース契約資産有効期限	リース契約資産有効期限のエンドツーエンドワークフローを検証し、リース契約の対象となる資産の返却または延長を実行します。	Quebec
HAM - 資産 RMA フロー	インベントリユーザーで資産返品許可 (RMA) ワークフローを検証します。	Rome
HAM：資産 RMA フロー (SP)	サービスポータルからの資産返品承認 (RMA) ワークフローを検証します。	Rome
HAM - リース資産の返却	インベントリアドミンユーザーで貸与資産割り当てワークフローを検証します。	Rome
HAM - 契約更改フロー	契約マネージャーユーザーとの契約更改フローを検証します。	Tokyo

ハードウェア資産管理の詳細については、「ハードウェア資産管理」を参照してください。

HR サービスデリバリ (HRSD)

HR サービスデリバリ (HRSD)ケーステスト

テスト	説明	リリースバージョン
ケース作成の構成	HR サービスにケース作成構成があり、その HR サービスの	Yokohama

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

HR サービスデリバリ **(HRSD)**ケーステスト (続く)

テスト	説明	リリースバージョン
	HR ケースを作成するときに [人事ケース] フォームに入力されることを検証します。	
ドキュメントテンプレートのブロックおよびブロックコンテンツの作成	ドキュメントテンプレートのブロックとドキュメントテンプレートのコンテンツがブロックコンテンツ用に作成されていることを確認します。	Yokohama
HR 従業員ドキュメントの作成	従業員ドキュメントを作成し、添付ファイル [sys_attachment] テーブルが従業員ドキュメント [sn_hr_ef_employee_document] テーブル内のレコードをポイントしていることを確認します。 従業員ドキュメントが、従業員人事プロファイルを介して 従業員センター または 従業員センタープロ からアクセス可能であることを確認します。	
アクティブ化されているドキュメントタイプで従業員ドキュメントを作成	次のアイテムの作成を検証します。 • 1 つのアクティブなドキュメントタイプ • 1 つの非アクティブなドキュメントタイプ • アクティブなドキュメントタイプを持つ従業員ファイル **注:** ヒューマンリソース (HR) スコープ対象のアプリ：コア (com.sn_hr_core) および従業員ドキュメント管理 (com.sn_employee_document_management) をアクティブ化する必要があります。	Yokohama
[委任] アドミン - 委任者および委任ユーザーの基準を含む委任ルールを追加	委任ルールのユーザー基準が正しく機能していることを確認します。	San Diego
一括ケース作成の E2E テスト	特定のユーザーセグメントの選択したユーザーに対して一括ケースを作成できることを確認します。	San Diego

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

HR サービスデリバリ **(HRSD)**ケーステスト (続く)

テスト	説明	リリースバージョン
ER：ケースの制限	制限付きケースを表示できるのは、sn_hr_er.confidential ロールを持つユーザーのみであることを検証します。	San Diego
人事：従業員に表示されるケースの更新	人事エージェントによって作成され、更新されたケースは、依頼者または対象者に表示されます。	Quebec
人事：ポータルからの 401k 登録ケースの作成	従業員センター または 従業員センタープロ から 401(k) 登録ケースを作成します。 ケースが正常に作成されたことを確認します。	Madrid
人事：ESC ポータルから 労務 (ER) ケースを作成	従業員センター または 従業員センタープロ から懲戒対象問題ケースを作成します。 ケースが正常に作成されたことを確認します。	New York
人事： ESC ポータルから雇用検証レターケースを作成	従業員センター または 従業員センタープロ から雇用確認レターケースを作成します。 ケースが正常に作成されたことを確認します。	Madrid
人事：ESC ポータルから給与ケースを作成	従業員センター または 従業員センタープロ から給与口座セットアップケースを作成します。 ケースが正常に作成されたことを確認します。	New York
人事：ポータルからの授業料払い戻し要求の作成	従業員センター または 従業員センタープロ から、奨学金制度のリクエストケースを作成します。 ケースが正常に作成されたことを確認します。	Madrid
HR：実行手順	オープン対象ユーザーの特定の条件に対して、実行手順が作成されることを確認します。 また、ケースの詳細が変更されたときに、実行手順が変更されることを確認します。	Orlando

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

HR サービスデリバリ **(HRSD)**ケーステスト (続く)

テスト	説明	リリースバージョン
人事：CoE 固有のフィールドの作業手順条件	CoE 固有の作業手順の条件を確認します。 作業手順は、作業手順で定義された条件に基づいて人事ケースで更新します。	Quebec
人事：一般的な利点問い合わせケースの作成	ネイティブ UI を使用して一般的な福利厚生ケースを作成します。 また、ケースの作成後にケースが開き、更新できることも確認します。	Madrid
人事：給与不一致ケースの作成	ネイティブ UI を使用して給与不一致ケースを作成します。 また、ケースの作成後にケースが開き、更新できることも確認します。	Madrid
HR：ケース転送の再分類	再分類手法を使用して (人事ケース番号は不変)、人事ケースがある COE (人事サービス) から別の COE に転送されることをテストします。	Orlando
人事：応答テンプレート構成	給与ケースの応答テンプレートを作成し、作業メモに応答を貼り付けます。	Quebec
HR：ESC でのカタログアイテムと KB の検索	従業員センター または 従業員センタープロ の検索機能を検証します。	Orlando
HR：標準ケースの転送	標準ケース転送を使用して (人事ケース番号を作成し、古い番号を削除)、人事ケースがある COE (人事サービス) から別の COE に転送されることをテストします 。	Orlando
人事：ケースフローの一時停止	人事ケースを一時停止し、後でそのケースを再開する機能をテストします。	Rome
HR：奨学金制度ケースの作成	奨学金制度人事ケースをを作成します。	Orlando
HR：人員管理ケースの作成	人員管理ケースを作成し、雇用証明書に署名し、書類を生成します。	Orlando

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

HR サービスデリバリ **(HRSD)**ケーステスト (続く)

テスト	説明	リリースバージョン
JA：計画詳細の公開および編集	アクションプランの既存のタスクを削除できるかどうかを確認します。	San Diego
ジャーニーデザイナー：ステージの作成とステージの編集	ユーザーが新しいステージの作成、ステージへのタスクテンプレートの追加、ステージ名の編集、ステージの削除を実行できることを確認します。	Vancouver
ジャーニーデザイナー：タスクテンプレートのゼロからの追加と編集	ユーザーが [ゼロから構築します] オプションを使用してタスクテンプレートを追加でき、その後で編集できることを確認します。	Vancouver
ジャーニーデザイナー：既存のタスクテンプレートの追加と削除	[テンプレートを使用] オプションを使用してタスクテンプレートを Journey テンプレートに追加でき、その後で削除できることを確認します。	Vancouver
ラーニングコアタスクのアサイン	学習カタログの学習タスクをユーザーにアサインできることを確認します。	San Diego

注:
以下のプラグインのアクティベーションが必要です。

- ヒューマンリソース (HR) スコープ対象のアプリ：Core プラグイン (com.sn_hr_core)
- 従業員サービスセンター (ESC) [com.sn_hr_service_portal]

ライフサイクルイベント：ライフサイクルイベントの確認テスト

テスト	説明	リリースバージョン
自動ケースクローズ用に人事サービスを設定	ライフサイクルイベントケースが自動的にクローズされることを確認します。	Orlando
従業員リクエストを作成し、LE ケースに関連付ける	従業員リクエストを作成し、ライフサイクルイベントケースのアクションリストに表示されることを検証します。	Rome
古いチケットページの従業員リクエストを作成	従来のチケットページから従業員リクエストを作成できるかどうかを検証します。	Yokohama
[委任] アドミン - 委任者および委任ユーザーの基準を含む委任ルールを追加	委任者および委任ユーザーの委任ルールに対してユーザー基準が機能していることを確認します。	Yokohama

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ライフサイクルイベント：ライフサイクルイベントの確認テスト (続く)

テスト	説明	リリースバージョン
人事ライフサイクル：従業員サービスセンター (ESC) の NewHire オンボーディングケースのチケットページにアクセス	新規雇用の作成と、従業員サービスセンター (ESC) のチケットページにアクセスできることを確認します。	Orlando
HR ライフサイクル：ESC チケットページおよびタスクページにアクセスしてアサインされたタスクを完了	従業員サービスセンター (ESC) から奨学金の要求ケースを作成し、対象者から完全な NDA タスクを作成します。	Orlando
人事 LifeCycle ：新入社員研修依頼ケースの作成	ネイティブ UI を使用して新入社員研修依頼ケースを作成し、作成後にケースを更新します。	Madrid
人事ライフサイクル：取り消しトリガーワークフロー	新規雇用オンボーディングライフサイクルイベントケースの取り消しワークフローをトリガーします。	Quebec
HR ライフサイクル：オープンおよびクローズ済みケースの要求ページを確認	[要求] ページでオープンケースとクローズ済みケースを確認します。	Orlando
HR ライフサイクル：[要求] ページで検索を確認	[要求] ページでオープンケースとクローズ済みケースの検索機能を確認します。	Orlando
[LE]：アドホックタスクを追加	ライフサイクルイベントケースのアドホックタスクを追加できることを確認します。	Yokohama

自動翻訳

注:
以下のプラグインのアクティベーションが必要です。

- ヒューマンリソース (HR) スコープ対象のアプリ：Core プラグイン (com.sn_hr_core)
- ヒューマンリソース (HR) スコープ対象のアプリ：ライフサイクルイベント [com.sn_hr_lifecycle_events]
- ヒューマンリソース (HR) スコープ対象のアプリ：企業向けライフサイクルイベント プラグイン [com.sn_hr_lifecycle_ent]
- 従業員サービスセンター (ESC) [com.sn_hr_service_portal]

KB：ナレッジブロックテスト

テスト	説明	リリースバージョン
ナレッジブロックを作成し、ブロックを記事に添付	ナレッジブロックを作成し、ブロックを公開し、ブロックをナレッジ記事に添付します。	New York
ナレッジ記事とナレッジブロックのプレビュー	ナレッジブロックを含むナレッジ記事のプレビューをテストします。	New York

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
ヒューマンリソース (HR) スコープ対象のアプリのプラグインのアクティブ化が必要です：コアプラグイン (com.sn_hr_core)

HR サービスデリバリ (HRSD) の詳細については、「HR サービスデリバリ (HRSD)」を参照してください。

インシデント管理

インシデント管理 クイックスタートテストでは インシデント管理 - ATF テストプラグイン (com.snc.incident.atf) をアクティブ化する必要があります。

インシデント管理テストスイート

テスト	説明	リリースバージョン
INCIDENT MGMT：インシデント解決 SLA	インシデント解決 SLA ベースライン機能を確認するテスト	Madrid
INCIDENT MGMT：インシデント応答 SLA	インシデント応答 SLA ベースライン機能を確認するテスト	Madrid
INCIDENT MGMT：インシデントをコピー	元のインシデントのフィールドが新しいインシデントに正しくコピーされているかどうかを確認するテスト	Madrid
INCIDENT MGMT：クローズ済みインシデントからインシデントをコピーします。	クローズ済みインシデントに対して [インシデントをコピー] UI アクションが表示されることを確認するテスト	Madrid
INCIDENT MGMT：インシデントからの標準的な変更の作成	インシデントからの標準的な変更の作成を確認するテスト	Madrid
INCIDENT MGMT：インシデントからの緊急の変更の作成	インシデントからの緊急の変更の作成を確認するテスト	Madrid
INCIDENT MGMT：インシデントからの通常の変更の作成	インシデントからの通常の変更の作成を確認するテスト	Madrid
INCIDENT MGMT：インシデントからの問題の作成	インシデントからの問題の作成を確認するテスト	Madrid
INCIDENT MGMT：インシデントからのナレッジの作成	インシデントからのナレッジの作成を確認するテスト	Madrid
INCIDENT MGMT：インシデント状況フロー	インシデントの状況フローを確認するテスト	Madrid
INCIDENT MGMT：インシデントの再開	インシデントの再開機能を確認するテスト	Madrid
INCIDENT MGMT：インシデントアサイン	インシデントアサイン機能を確認するテスト	Madrid
INCIDENT MGMT：UI アクションを使用して子インシデントを作成し、そのフィールドを確認します。	[子インシデントを作成] UI アクションを使用して、インシデントからの子インシデントの作成を確認するテスト。このテストは、子インシデントのフィールドが親インシデントから子イ	Madrid

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インシデント管理テストスイート (続く)

テスト	説明	リリースバージョン
	ンシデントに正しくコピーされたことも確認します。	
INCIDENT MGMT：インシデントの作成 - セルフサービス	[インシデントの作成] カタログアイテムを使用して、インシデントの作成を確認するテスト	Madrid
INCIDENT MGMT：親と子のインシデントのステータスの同期	子インシデントが作成されたときに、子インシデントのステータスが親インシデントと同期されていることを確認するテスト	Madrid
INCIDENT MGMT：インシデントを再開した後に、親と子のインシデントのステータスが同期されます。	親インシデントが再開されたときに、子インシデントのステータスが親インシデントと同期されていることを確認するテスト	Madrid
INCIDENT MGMT：インシデントからのナレッジ記事の作成の確認	インシデントフォームで [ナレッジの作成] UI アクションを使用して、インシデントからナレッジ記事を作成できることを確認するテスト。UI アクションは、インシデント管理プラグイン (com.snc.incident.knowledge) の KCS 統合をアクティブ化すると表示されます。	Orlando

インシデント管理の詳細については、「インシデント管理」を参照してください。

サービスオペレーションワークスペースの インシデント管理

サービスオペレーションワークスペースのインシデント管理クイックスタートテストは、サービスオペレーションワークスペース ITSM アプリケーション (sn-sow-itsm-cont) 6.0 バージョンをインストールするか、更新すると、ベースシステムで使用できます。

サービスオペレーションワークスペースのインシデント管理テストスイート

テスト	説明	リリースバージョン
SOW インシデント：インシデントから問題を作成する	インシデントフォームで、[問題の作成] UI アクションを使用してインシデントから問題レコードを作成できるか検証するテスト。	Xanadu (8 月のストアリリース、6.0 バージョン)
SOW インシデント：[自分にアサイン] ボタン機能の確認	[インシデント] フォームの [レコード情報] サイドパネルにある [自分にアサイン] UI オプションを使用して、ログインしているユーザーにインシデントレコードがアサインされていることを確認するテスト。	Xanadu (8 月のストアリリース、6.0 バージョン)

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サービスオペレーションワークスペースのインシデント管理に関する詳細については、「Incident Management in Service Operations Workspace」を参照してください。

CMDB 共通統合

CMDB INT：CMDB 統合検証テストスイート

複数のテストを使用して統合の整合性を検証するためのテストスイート。

テスト	説明	リリースバージョン
CMDB INT：テストセッションアプリケーションを設定	サーバー側スクリプトを変更して、1 つのデータ連携のみをテストできるようにアプリケーション名を設定します。それ以外の場合は、すべての統合がテストされます。	Paris
CMDB INT：ソース分析に対するテスト	CMDB データ連携ソース分析 (sn_cmdb_int_util_cmdb_integration_source_analysis) テーブルの値とのデータ連携をテストします。	Paris
CMDB INT：アプリケーションフィードを検証	データ連携内のすべてのアプリケーションフィードを検証します。	Paris
CMDB INT：ディスカバリーソースを検証	ディスカバリーソースが存在することを検証します。	Paris
CMDB INT: エンティティマッピングを検証	データ連携のすべてのエンティティマッピングを検証します。	Paris
CMDB INT：フィールドを検証	CMDB 統合のフィールドを検証します。	Paris
CMDB INT：ルックアップを検証	CMDB データ連携ルックアップを検証します。	Paris
CMDB INT：必須操作を検証	マップされたフィールドに必須操作のすべての統合が存在することを検証します。	Paris
CMDB INT：操作を検証	データ連携のすべての操作を検証します。	Paris
CMDB INT：参照を検証します	CMDB データ連携リファレンスを検証します。	Paris
CMDB INT：関連エントリを検証します	関連するエントリーのデータディクショナリに対して、関連するすべてのクラスを検証します。	Paris
CMDB INT：リレーションシップを検証	CMDB 統合リレーションシップを検証します。	Paris

CMDB 共通統合 の詳細については、「CMDB 共通統合」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

投資枠管理

投資枠管理 クイックスタートテストでは 投資枠管理 - ATF Tests プラグイン (com.snc.investment_planning.atf) をアクティブ化する必要があります。

投資枠管理 クイックスタートテスト

テスト	説明	リリースバージョン
トップダウンの資金提供と資金回収の検証	• 資金提供時に、上位投資から子投資に正確な金額が割り当てられていることを確認します。 • 資金回収時に、子投資から上位投資に正確な金額が回収されていることを確認します。	Orlando
ボトムアップ資金調達の検証	• 子投資から親投資に正確な金額が要求されていることを確認します。 • 子投資から親投資に正確な金額が分配されていることを確認します。	Paris

投資枠管理の詳細については、「投資枠管理」を参照してください。

ナレッジ管理

ナレッジ管理クイックスタートテストでは、Knowledge Management Core プラグイン (com.glideapp.knowledge)、Knowledge Management Advanced Installer プラグイン (com.snc.knowledge_advanced.installer)、ナレッジブロックプラグイン (com.snc.knowledge_blocks)、Customer Service Management Demo Data プラグイン (com.snc.customerservice.demo) のアクティブ化が必要です。

KM ：ナレッジ管理テストスイート

テスト	説明	リリースバージョン
KM：承認公開ワークフローを使用して KCS テンプレート記事を作成する	承認公開ワークフローを使用して、KCS テンプレート記事の作成を確認します。 **注:** 高度なナレッジ管理インストーラープラグインが必要です。	Madrid
KM：承認公開ワークフローを使用してマルチバージョンの標準記事を作成する	承認公開ワークフローを使用して、マルチバージョン管理された標準記事の作成を確認します。	Madrid

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

KM ：ナレッジ管理テストスイート (続く)

テスト	説明	リリースバージョン
	注: 高度なナレッジ管理インストーラープラグインが必要です。	
KM：記事レベルのサブスクリプション	ユーザーがナレッジ記事に登録できることを確認します。 **注:** 高度なナレッジ管理インストーラープラグインが必要です。	New York
KM：ナレッジベースの canRead と canContribute および記事レベルでの canRead をカバーするユーザー基準	ナレッジベースに対して canRead および canContribute ユーザー基準が作成され、記事に対して canRead ユーザー基準が作成されていることを確認します。 **注:** ナレッジ管理コアプラグインが必要です。	Madrid
KM：ケースから KCS 記事を作成する	ケースから KCS 記事が作成されたことを確認します。 **注:** 高度なナレッジ管理インストーラーおよびカスタマーサービス管理 (CSM) デモデータプラグインが必要です。	Madrid
KM：ナレッジベースレベルのサブスクリプション	ユーザーが ナレッジベース に登録できることを確認します。 **注:** 高度なナレッジ管理インストーラープラグインが必要です。	New York
KM：AQI	AQI チェックリストの作成、アサイン、レビューを確認します。	New York

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

KM ：ナレッジ管理テストスイート (続く)

テスト	説明	リリースバージョン
	注: 高度なナレッジ管理インストーラープラグインが必要です。	
KM：要求者が検索を実行して、記事を表示し、フィードバックを提供 (フィードバックタスクには役立たない)	検索リクエスト、レビュー、役に立たないというフィードバックのプロビジョン、ナレッジ管理 サービスポータル での記事へのフィードバックタスクの作成を確認します。 注: 高度なナレッジ管理インストーラープラグインが必要です。	New York
KM：フィードバックタスクフォームから記事を作成および編集する	[記事の作成] および [記事の編集] ボタンが [ナレッジフィードバックタスク] フォームで利用できることを確認します。 注: 高度なナレッジ管理インストーラープラグインが必要です。	New York
KM：固定記事を検索し、最高クリックランクを確認	検索要求を検証して、ナレッジ検索 (ts_query_kb) テーブルに固定記事のクリックランク値が追加されていることを確認します。 注: 高度なナレッジ管理インストーラープラグインが必要です。	New York
KM：所有グループを作成し、編集権限およびサブスクリプションを確認	所有権グループに記事をアサインしたことを確認し、その所有権グループのメンバー全員が記事に登録され、編集権限が割り当てられていることを確認します。 注: 高度なナレッジ管理インストーラープラグインが必要です。	New York

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

KM ：ナレッジ管理テストスイート (続く)

テスト	説明	リリースバージョン
KM：ナレッジ記事とナレッジブロックの作成、検索、および表示	ナレッジブロックの作成とナレッジ記事への追加を確認します。また、ナレッジブロックコンテンツが検索可能であることを確認します。 **注:** ナレッジブロックプラグインが必要です。	Orlando
KM：ナレッジ - 廃止承認ワークフローの検証	公開されたナレッジ記事を廃止して、ナレッジ - 承認の廃止ワークフローが成功することを確認します。 **注:** 高度なナレッジ管理インストーラープラグインが必要です。	Orlando
KM：所有グループマネージャーへのフィードバックタスクアサインの検証	ナレッジ記事の所有権グループマネージャーへのフィードバックタスクのアサインを確認します。 **注:** 高度なナレッジ管理インストーラープラグインが必要です。	Orlando
KM：記事テンプレートセレクターにナレッジベースと記事テンプレートが含まれていることの検証	記事テンプレートセレクターに、寄稿アクセス権のあるすべてのナレッジベースと各ナレッジベースに適用可能な記事テンプレートが含まれていることを確認します。 **注:** 高度なナレッジ管理インストーラーが必要です。	Orlando
KM：公開承認ワークフローの検証	承認プロセスを通じて、ナレッジ記事を取り消し、却下してから承認することで、ナレッジ - 承認公開ワークフローが成功することを確認します。	Orlando

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

KM ：ナレッジ管理テストスイート (続く)

テスト	説明	リリースバージョン
	注: 高度なナレッジ管理インストーラープラグインが必要です。	
KM：古いバージョンの記事を最新バージョンにする	古いバージョンのナレッジ記事が最新バージョンになることを確認します。 注: 高度なナレッジ管理インストーラープラグインが必要です。	Orlando
KM：関連記事ウィジェットにマップされた関連記事が表示されることの検証	ナレッジ記事にマップされた関連記事が、 ナレッジ記事ビューページの関連記事ウィジェットに表示されることを確認します。 注: 高度なナレッジ管理インストーラープラグインが必要です。	Orlando
KM：マップされた関連カタログアイテムが関連アイテムウィジェットに表示されることの検証	ナレッジ記事にマップされた関連カタログアイテムが、ナレッジ記事ビューページの関連アイテムウィジェットに表示されることを確認します。 注: 高度なナレッジ管理インストーラープラグインが必要です。	Orlando
KM：バージョニングされた記事が作成、公開、チェックアウト、および廃止されたことを検証	エージェントワークスペース でナレッジ記事を作成、公開、更新、および廃止することで、バージョニングされたナレッジ記事での UI アクションの成功を確認します。 注: 高度なナレッジ管理インストーラープラグインが必要です。	Quebec
KM：ナレッジ記事のスケジュール済みの公開機能を確認	公開承認ワークフローで記事を作成し、その記事を公開するた	Quebec

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

KM ：ナレッジ管理テストスイート (続く)

テスト	説明	リリースバージョン
	めにスケジュールを設定し、ステータスが[公開予定] から [公開済み] に変更することを確認することで、ナレッジ記事のスケジュール済みの公開機能を確認します。 **注:** 高度なナレッジ管理インストーラープラグインが必要です。	
KM：エージェントワークスペースでのナレッジ - 廃止承認ワークフローの検証	エージェントワークスペースでの承認プロセスを通じて、ナレッジ記事を取り消してから承認することで、ナレッジ - 承認公開ワークフローが成功することを確認します。 **注:** 高度なナレッジ管理インストーラープラグインが必要です。	Quebec

ナレッジ管理の詳細については、「ナレッジ管理」を参照してください。

リーダーハブ

リーダーハブ クイックスタートテストでは、 リーダーハブ プラグイン (sn_egd_lh) をアクティブ化して、デモデータをロードする必要があります。

リーダーハブ クイックスタートテスト

テスト	説明	リリースバージョン
[リーダーハブ]:LH フローを検証	• ユーザー Maria Davies の [概要] ページに次のウィジェットが存在することを確認します。 ○ 組織の才能 ○ スキル成長領域 ○ 成長エンゲージメント • にアクセスしたリーダーの従業員カードが [組織人材 (Org talent)] ページの組織図の上部に表示される リーダーハブ を確認します。	Xanadu

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

リーダーハブ クイックスタートテスト (続く)

テスト	説明	リリースバージョン
	• 従業員のカードの [チームの詳細を表示] ボタンを選択すると、リーダーが [チームの詳細] ページに移動することを確認します。 • スキルウィジェットが [組織スキル] ページに存在することを確認します。 注: デモデータが必要です。	

リーダーハブ の詳細については、「Leader Hub」を参照してください。

法務要求管理

法務要求管理 クイックスタートテストでは、次のアプリをインストールする必要があります。

- 法務要求管理 (sn_lg_ops)
- 法務顧問センター (sn_lg_workspace)

法務要求テストスイート

テスト	説明	リリースバージョン
LRM：プライバシー要求テスト	プライバシーに関する法務要求の送信と履行を検証するテスト	Utah

法務要求管理の詳細については、「」を参照してください。 法務要求管理.

重大なインシデント 重大インシデント管理

重大インシデント管理 クイックスタートテストでは、インシデント管理 - 重大インシデント管理プラグイン (com.snc.incident.mim) をアクティブ化する必要があります。

MIM：重大インシデント管理テストスイート

テスト	説明	リリースバージョン
MIM：重大なインシデントの作成	アプリケーションナビゲーションモジュールから重大なインシデントを作成できることを確認するテスト	Orlando
MIM：重大なインシデント候補の作成	ナビゲーションメニューから [重大なインシデント候補の作成] モジュールを確認するテスト	Orlando

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

MIM：重大インシデント管理テストスイート (続く)

テスト	説明	リリースバージョン
MIM：重大なインシデント候補からの重大なインシデントの作成	重大なインシデント候補から重大なインシデントを作成できることを確認するテスト	Orlando
MIM：重大インシデント管理トリガールールに一致したときに重大なインシデント候補を作成	重大なインシデントを作成する条件が重大インシデント管理トリガールールに一致したときに、重大なインシデント候補が作成されることを確認するテスト	Orlando
MIM：重大なインシデントの提案 (アサイン先グループが空のとき)	インシデントが重大なインシデントとして提案されたときに [アサイン先グループ] フィールドと [担当者] フィールドが空の場合に、重大なインシデント候補が自動アサインされることを確認するテスト	Orlando
MIM：重大なインシデントの提案 (アサイン先グループが空でないとき)	インシデントが重大なインシデントとして提案されたときに [アサイン先グループ] フィールドと [担当者] フィールドが空でない場合に、重大なインシデントが自動アサインされることを確認するテスト	Orlando
MIM：候補を重大なインシデントに昇格 (アサイン先グループが空のとき)	候補が重大なインシデントに昇格したときに [アサイン先グループ] が空の場合に、重大なインシデントが自動アサインされることを確認するテスト	Orlando
MIM：候補を重大なインシデントに昇格 (アサイン先グループが空でないとき)	候補が重大なインシデントに昇格したときに [アサイン先グループ] が空でない場合に、重大なインシデントが自動アサインされることを確認するテスト	Orlando
MIM：重大なインシデント候補の却下	重大なインシデント候補の却下を確認するテスト	Orlando
MIM：重大なインシデントの降格	重大なインシデントがインシデントに降格したかどうかを確認するテスト	Orlando
MIM：重大なインシデントのクローズ	重大なインシデントのクローズ機能を検証するテスト	Orlando
MIM：ICP および ICT とのステータス同期	インシデントコミュニケーション計画およびインシデントコミュニケーションタスクとのステータスの同期を確認するテストです。	Orlando

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

MIM：重大インシデント管理テストスイート (続く)

テスト	説明	リリースバージョン
MIM：条件に基づいてインシデントが ICP に添付され、ステータスが ICT と同期される	定義された条件に基づいてインシデントコミュニケーション計画がインシデントに関連付けられることを確認するテストです。	Orlando
MIM：MI と PIR の解決	重大なインシデントの解決とインシデントの事後レポートを確認するテストです。	Orlando
MIM：重大なインシデントワークベンチレイアウト確認	重大なインシデントワークベンチレイアウトを確認するテストです。	Orlando
MIM：MI ワークベンチからのコミュニケーションタスクの確認	MI ワークベンチからのコミュニケーションタスクを確認するテストです。	Orlando

重大インシデント管理の詳細については、「重大インシデント管理」を参照してください。

オンコールスケジューリング

オンコールスケジューリングプラグイン (com.snc.on_call_rotation) をアクティブ化して、オンコールスケジューリング クイックスタートテストを実行します。

オンコール：オンコールスケジューリング **ATF** スイート

テスト	説明	リリースバージョン
オンコール：PTO 承認設定が許可されていない場合の休暇の要求の確認	PTO 承認設定が [許可されていません] に設定されている場合に休暇を要求できるかどうかを確認します。	Orlando
オンコール：テンプレートを選択せずに重複するシフトを作成	テンプレートを選択せずに、重複するシフトを作成できるかどうかを確認します。	Orlando
オンコール：シフトの重複を許可する設定が [いいえ] に設定されている場合の重複するシフトの作成	[重複を許可 **(Allow overlap)**] が [いいえ] に設定されている場合に、重複するシフトを作成できるかどうかを確認します。	Orlando
オンコール：PTO 承認設定が [承認あり] の場合の休暇の要求	PTO 承認設定が [承認あり] に設定されている場合に休暇を要求できるかどうかを確認します。	Orlando
オンコール：オンコールスケジュールを維持するシフトマネージャーのアサイン	シフトマネージャーがオンコールスケジュールを維持できるかどうかを確認します。	Orlando
オンコール：ユーザー名でオンコールスケジュールを検索	ユーザー名でオンコールスケジュールを検索できるかどうかを確認します。	Orlando

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

オンコール：オンコールスケジューリング **ATF** スイート (続く)

テスト	説明	リリースバージョン
オンコール：グループ名またはスケジュール名でオンコールスケジュールを検索	グループ名またはスケジュール名でオンコールスケジュールを検索できるかどうかを確認します。	Orlando
オンコール：エスカレーションルールが「着信シフトにエスカレート」の重複シフトの勤務表詳細	エスカレーションルールが [着信シフトにエスカレート] に設定されている場合の重複するシフトの勤務表の詳細を確認します。	Orlando
オンコール：タイムゾーンオプションを使えるカレンダープレビュー	カレンダープレビューでタイムゾーンオプションを利用できるかどうかを確認します。	Orlando
オンコール：テンプレートを選択して重複するシフトを作成	重複するシフトをテンプレートを選択して作成できるかどうかを確認します。	Orlando
オンコール：アクティブなシフトを表示		Orlando
オンコール：シフトフォームからシフトのドラフトを作成/公開	シフトを公開/公開中止できるかどうか、勤務表のステータスを [ドラフト] と [公開] でフォームから切り替えられるかどうかを確認します。	Orlando
オンコール：エスカレーションルールが「送信シフトにエスカレート」の重複シフトの勤務表詳細	エスカレーションルールが [送信シフトにエスカレート] に設定されている場合の重複するシフトの勤務表の詳細を確認します。	Orlando
オンコール：エスカレーションルールが「すべてのシフトにエスカレート」の重複シフトの勤務表詳細	エスカレーションルールが [すべてのシフトにエスカレート] に設定されている場合の重複するシフトの勤務表の詳細を確認します。	Orlando
オンコール：オンコールワークベンチの確認	オンコールワークベンチのレイアウトを確認するテスト	Orlando
オンコール：シフトを非表示または表示	オンコールカレンダーからシフトを非表示または表示にできるかどうかを確認します。	Orlando

オンコールスケジューリングの詳細については、「オンコールスケジューリング」を参照してください。

メトリックインテリジェンス

メトリックインテリジェンス クイックスタートテストでは メトリックインテリジェンス プラグイン (com.snc.sa.metric) をアクティブ化する必要があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

メトリックインテリジェンス クイックスタートテスト

テスト	説明	リリースバージョン
OI：健全性メトリクスの収集	以下を検証する個別のテストです。 • 実行中の メトリックインテリジェンス メトリクス拡張機能が少なくとも 1 つあること。 • メトリクスから CI テーブルに「健全性評価指標」のエントリーがあること。 • 現在実行中の各 メトリックインテリジェンス メトリクス拡張機能について、メトリックベースにデータが格納されていること。 テストが最初に失敗した場合は、メトリックインテリジェンス メトリクス拡張機能が少なくとも 10 ～ 15 分間実行されるまで待ちます。それからもう一度やり直してください。	Madrid

メトリックインテリジェンスの詳細については、「メトリックインテリジェンス」を参照してください。

予測インテリジェンス

予測インテリジェンスクイックスタートテストでは、予測インテリジェンス [com.glide.platform_ml] プラグインを有効にする必要があります。既存の機械学習ソリューションで重要なアップグレードテストを実行するには、基本認証設定テーブル (sys_auth_profile_basic.list) で *ml_atf* という名前の基本認証プロファイルを作成する必要があります。テストを正常に実行するには、 *ml_atf* 認証プロファイルに添付されたユーザーに ml_admin ロールを割り当てる必要があります。

予測インテリジェンス**:ATF** テストスイート

テスト	説明
PI ： ML モデルのアーティファクトの存在を Glide に保持	ML の予測呼び出しを正常に完了させるため、モデルトレーニング/インスタンスのクローン後に、トレーニング済み ML モデルアーティファクトがすべて Glide (sys_attachments テーブル) に保存されていることを確認します。
PI ： Glide 内の ML ユーザー (sharedservice.worker) のセットアップが有効	モデルトレーニングを成功させるため、Glide 内の ML ユーザー (sharedservice.worker) がアクティブであり、ログアウトしていないことを検証します。
PI ：分類ソリューションのための Glide アップグレードテスト	Glide アップグレード後に、既存のアクティブなモデルでの分類モデル予測が、クラスメンバー

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

予測インテリジェンス:**ATF** テストスイート (続く)

テスト	説明
	シップと信頼値に関して同じ結果を生成していることを検証します。
PI ：類似ソリューションのための Glide アップグレードテスト	Glide アップグレード後に、アクティブなモデルで類似性モデル予測 API が正しく呼び出されることを検証します。

問題管理

問題管理 クイックスタートテストでは、問題管理ベストプラクティス - Madrid プラグイン (com.snc.best_practice.problem.madrid) および 問題管理 - ATF テストプラグイン (com.snc.problem.atf) をアクティブ化する必要があります。すべてのステータスに関連するテストでは、問題管理状況モデル (com.snc.best_practice.problem.madrid.state_model) プラグインがアクティブである必要があります。

PRB MGMT ： 問題管理テストスイート

テスト	説明	リリースバージョン
PRB MGMT：問題のステータスが [評価] の場合に問題をキャンセルする	[評価] 状態の問題がキャンセルされたときに、問題の状態が[クローズ済み] に変更され、[解決コード] が [キャンセル済み] になっていることを確認します。	Madrid
PRB MGMT：問題のステータスが [根本原因分析] の場合に問題をキャンセル	問題が [根本原因分析] 状態でキャンセルされたときに、問題の状態が [クローズ済み] に変更され、[解決コード] が [キャンセル済み] になっていることを確認します。	Madrid
PRB MGMT：問題のステータスが [評価] の場合に問題を重複としてマークする	問題が [評価] 状態で、重複としてマークされたときに、問題の状態が [クローズ済み] に変更され、[解決コード] が [重複] になっていることを確認します。	Madrid
PRB MGMT：問題のステータスが [根本原因分析] の場合に問題を重複としてマークする	問題が [根本原因分析] 状態で、重複としてマークされたときに、問題の状態が [クローズ済み] に変更され、[解決コード] が [重複] になっていることを確認します。	Madrid
PRB MGMT：問題のリスクを受け入れる (problem.acceptrisk.move_to_closed: Problem state is in Progress)	問題の状態が [解決の進行中] で、リスクが受け入れられたときに、問題の状態が [解決済み] に変更され、[解決コード] が [リスク受け入れ済み] になっていることを確認します。	Madrid

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

PRB MGMT ： 問題管理テストスイート (続く)

テスト	説明	リリースバージョン
	注: 問題のプロパティ [リスクを受け入れたときに、問題を解決済み状態ではなくクローズ済み状態に移行] *(problem.acceptrisk.move_to_closed)* が false である場合にテストは有効です。	
PRB MGMT：問題のリスクを受け入れる (problem.acceptrisk.move_to_closed true、状態：解決の進行中)	問題の状態が [解決の進行中]で、リスクが受け入れられたときに、問題の状態が [クローズ済み] に変更され、[解決コード] が [リスク受け入れ済み] になっていることを確認します。 注: 問題のプロパティ [リスクを受け入れたときに、問題を解決済み状態ではなくクローズ済み状態に移行] *(problem.acceptrisk.move_to_closed)* が true である場合にテストは有効です。	Madrid
PRB MGMT：問題のリスクを受け入れる (problem.acceptrisk.move_to_closed false、状態：根本原因分析)	問題の状態が [根本原因分析]で、リスクが受け入れられたときに、問題の状態が [解決済み] に変更され、[解決コード] が [リスク受け入れ済み] になっていることを確認します。 注: 問題のプロパティ [リスクを受け入れたときに、問題を解決済み状態ではなくクローズ済み状態に移行] *(problem.acceptrisk.move_to_closed)* が false である場合にテストは有効です。	Madrid
PRB MGMT：問題のリスクを受け入れる (problem.acceptrisk.move_to_closed true、状態：根本原因分析)	問題の状態が [根本原因分析]で、リスクが受け入れられたときに、問題の状態が [クローズ済み] に変更され、[解決コー	Madrid

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

PRB MGMT ： 問題管理テストスイート (続く)

テスト	説明	リリースバージョン
	ド] が [リスク受け入れ済み] になっていることを確認します。 **注:** 問題のプロパティ [リスクを受け入れたときに、問題を解決済み状態ではなくクローズ済み状態に移行] *(problem.acceptrisk.move_to_closed)* が true である場合にテストは有効です。	
PRB MGMT：ステータスが [根本原因分析] から [クローズ済み] で [リスク受け入れ済み] の問題を再分析する	問題が [クローズ済み] で [解決コード] が [リスク受け入れ済み] になった後に問題が再分析されたときに、問題の状態が [根本原因分析] に変更されたことを確認します。	Madrid
PRB MGMT：問題からの緊急の変更の作成	問題からの緊急の変更の作成を確認します。	Madrid
PRB MGMT：問題からの通常の変更の作成	問題からの通常の変更の作成を確認します。	Madrid
PRB MGMT：問題状況管理	問題状況管理を確認します。	Madrid
PRB MGMT：完了からの問題の再分析	問題が [クローズ済み] で [解決コード] が [修正適用済み] になった後に問題が再分析されたときに、問題の状態が [根本原因分析] に変更されたことを確認します。	Madrid
PRB MGMT：ステータス評価からキャンセルされた問題の再分析	問題が [クローズ済み] で [解決コード] が [キャンセル済み] になった後に問題が再分析されたときに、問題の状態が [根本原因分析] に変更されたことを確認します。	Madrid
PRB MGMT：ステータスの根本原因分析からキャンセルされた問題を再分析する	問題が [クローズ済み] で [解決コード] が [キャンセル済み] になった後に問題が再分析されたときに、問題の状態が [根本原因分析] に変更されたことを確認します。	Madrid
PRB MGMT：解決の進行中ステータスからクローズ済みリスク受け入れ済みになった問題を再分析する	問題が [クローズ済み] で [解決コード] が [リスク受け入れ済み] になった後に問題が再分析されたときに、問題の状態が	Madrid

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

PRB MGMT ： 問題管理テストスイート (続く)

テスト	説明	リリースバージョン
	[根本原因分析] に変更されたことを確認します。	
PRB MGMT：問題からの既知のエラー記事の作成	問題から既知のエラー記事が作成されたことを確認します。	Madrid
PRB MGMT：インシデントのリスク受け入れの理由	リスク受け入れ済みの理由が、問題の解決を待機しているインシデントにコピーされたことを確認します。	Madrid
PRB MGMT：修正の連絡	修正の連絡機能を確認します。	Madrid
PRB MGMT：ワークアラウンドの連絡	ワークアラウンドの連絡機能を確認します。	Madrid
PRB MGMT：インシデントの情報の修正	問題が解決されたときに、問題の解決を待機しているインシデントの状態が [解決済み] に変更されたことを確認します。問題の修正メモがインシデントにコピーされます。	Madrid
PRB MGMT：問題タスク (タイプ：全般) 状況管理	全般タイプの問題の問題タスク状況管理を確認します。	Madrid

問題管理の詳細については、「問題管理」を参照してください。

プロジェクトポートフォリオ管理

プロジェクトポートフォリオ管理 クイックスタートテストでは、PPM 標準 - ATF テストプラグイン (com.snc.financial_planning_pmo.atf) をアクティブ化する必要があります。

PMO：コストロールアップとプロジェクト変換テストスイートに対するデマンドを確認するための財務テスト

テスト	説明	リリースバージョン
PMO：プロジェクト/デマンドおよびプログラムへのコスト計画のロールアップを確認	プロジェクトからの総計画コストのロールアップとプログラムへのデマンドを検証します。	Madrid
PMO：プロジェクト/デマンド、プログラム、ポートフォリオへのコスト計画のロールアップを確認	プロジェクトからの総計画コストのロールアップとポートフォリオへのデマンドを検証します。	Madrid
PMO：デマンドから作成されたプロジェクトの財務を確認 - 単純な財務	デマンドから作成されたプロジェクトの財務タブフィールドを検証します。	Madrid
PMO：デマンドから作成されたプロジェクトの財務を確認 - 予算、コスト計画、利益計画を使用	デマンドから作成されたプロジェクトの予算、コスト計画、利益計画を検証します。	Madrid

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

PMO：コストロールアップとプロジェクト変換テストスイートに対するデマンドを確認するための財務テスト (続く)

テスト	説明	リリースバージョン
PMO：コスト計画ブレークダウンとプロジェクトレベルで ETC/EAC を確認	コスト計画ブレークダウンとプロジェクトレベルで EAC と ETC の値を確認します。	Tokyo

PMO：アイデアのライフサイクルを検証するための **Innovation Management** テスト

テスト	説明	リリースバージョン
アイデアのステータス変更を検証	アイデアが承認、却下、またはその他のタスクがアイデアから作成されたときに、アイデアのステータスが変更されることを検証します。	San Diego

PMO：基本的なライフサイクルとプロジェクトロールアップテストスイートを検証するためのプロジェクト管理テスト

テスト	説明	リリースバージョン
アイデアから、デマンド、プロジェクト終了までの PPM サイクルを検証する	アイデアを作成し、そのアイデアをデマンドに変換してから、そのデマンドをプロジェクトに変換するまでのフローを検証します。 **注:** PPM Standard Multicurrency (com.snc.ppm_multicurrency) プラグインが有効である場合、このテストは失敗します。	Madrid
自動プロジェクトのためのステータスおよび日付のロールアップの検証	自動タイプのプロジェクトのタスクから日付とステータスのロールアップを検証します。	Madrid
手動プロジェクトのためのステータスおよび日付のロールアップの検証	手動タイプのプロジェクトのタスクから日付とステータスのロールアップを検証します。	Madrid
すべてのタスクが未完了でクローズされた場合のプロジェクト完了率の検証	すべてのタスクが「未完了でクローズ」としてクローズされた場合に、プロジェクトの完了率を検証します。	Orlando
少なくとも 1 つのタスクが未完了でクローズされた場合にプロジェクトの完了率が 100% でないことを検証	少なくとも 1 つのタスクが「未完了でクローズ」またはタスク完了率が 100% でない「スキップしてクローズ」としてクローズされた場合に、タスクの完了率が 100% でないことを検証します。	Orlando
ウォーターフォールプロジェクトにアジャイル計画	ウォーターフォールプロジェクトが以下を使用できないことを検証します。	Orlando

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

PMO：基本的なライフサイクルとプロジェクトロールアップテストスイートを検証するためのプロジェクト管理テスト (続く)

テスト	説明	リリースバージョン
ボードが表示されないことを検証	• ストーリーまたはエピックを追加 • アジャイルフェーズの追加 • プロジェクトからアジャイルボードにアクセス	
検証日は既存のプロジェクトからプログラムにロールアップされます。	プロジェクトの開始日と終了日が、プロジェクトが属するプログラムにロールアップされていることを検証します。	Paris
検証日は新しいプロジェクトからプログラムにロールアップされます。	新しいプロジェクトの開始日と終了日が、プロジェクトが属するプログラムにロールアップされていることを検証します。	Paris
リスクまたは問題のあるプロジェクトとデマンドをプログラムに追加	リスクまたは問題レコードが関連付けられているプロジェクトとデマンドがプログラムに追加されていることを検証します。	Paris
給付制度を含むプロジェクトとデマンドのプログラムへの追加	給付制度が関連付けられているプロジェクトとデマンドがプログラムに追加されていることを検証します。	Paris
コスト計画を含むプロジェクトとデマンドのプログラムへの追加	コスト計画が関連付けられているプロジェクトとデマンドがプログラムに追加されていることを検証します。	Paris
既存のデマンドの追加時に、プログラムの日付を検証	既存のデマンドの追加時に、プログラムの開始日と終了日が調整されていることを検証します。	Paris
新しいデマンドの追加時に、プログラムの日付を検証する	新しいデマンドの追加時に、プログラムの開始日と終了日が調整されていることを検証します。	Paris
プログラムのステータスのロールアップを検証	プログラムのステータスが、プログラムにあるすべてのプロジェクトのステータスからロールアップされていることを検証します。	Paris
デマンドタスクの期日列フィールド値が空であることを検証	新しいデマンドタスクの [期日] フィールドが空であることを検証します。	Rome
デマンドがプロジェクトに変換されるときに、プロジェクトとデマンドにベースラインが作成されることを検証	デマンドがプロジェクトに変換されるときに、プロジェクトとデマンドのベースラインが作成されることを検証します。	Rome
タイムカードがデマンドタスクに対して送信されたときに、タイムカード財務情報がオンデマンドで表示されることを検証	デマンドタスクのタイムカードが処理されるときに、デマンドの実際のコストが更新されることを検証します。	Rome

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

PMO：基本的なライフサイクルとプロジェクトロールアップテストスイートを検証するためのプロジェクト管理テスト (続く)

テスト	説明	リリースバージョン
デマンド承認日の検証	デマンドとそのデマンドから作成されたプロジェクトの承認日が同じであることを検証します。	Tokyo
プロジェクト設定「作業ステータスに移行したら、プロジェクトマイルストーンタスクを閉じる」を検証	プロジェクト設定「作業ステータスに移行したら、プロジェクトマイルストーンタスクを閉じる」を設定した後に、ステータスが [対応中] に変更されたときにマイルストーンタスクが閉じることを検証します。	Tokyo
プロジェクト設定「WIP プロジェクトのプロジェクトの移動を有効にする」を検証	プロジェクト設定「WIP プロジェクトのプロジェクトの移動を有効にする」を設定した後に、プロジェクト開始日が変更されたときに、WIP ステータスのプロジェクトのプロジェクト開始日が適切に変更されることを検証します。	Tokyo
プロジェクト設定「タスクに基づくプロジェクト開始日のロールアップ」を検証	プロジェクト設定「タスクからプロジェクト開始日をロールアップ」を選択解除した後、プロジェクト予定日がプロジェクトタスク開始日と異なる場合に、プロジェクトタスクの開始日がプロジェクトにロールアップされないことを検証します。	Tokyo

子テストスイート：プロジェクト移動アクションの検証

テスト	説明	リリースバージョン
プロジェクト移動アクションを使用してプロジェクトの開始予定日をシフトできることを検証	[プロジェクト移動] 関連リンクを使用して、ステータスが [計画] または [オープン] のプロジェクトの開始予定日を現在の開始予定日より前または後の日付に更新できることを検証します。	Orlando
プロジェクトの実行が選択されているときに [プロジェクト移動] が無効であることを検証	プロジェクトが実行フェーズである場合は、[プロジェクト移動] オプションが使用できないことを検証します。	Orlando
アジャイルフェーズ用に入力されたスプリント日付で、プロジェクト移動機能を検証	[プロジェクト移動] 関連リンクを使用してプロジェクトを移動したときに、スプリントの開始日と終了日がクリアされることを検証します。 **注:** このテストは、アジャイル開発 2.0 プラグイン (com.snc.sdlc.agile.2.0) がアクティブな場合にのみ利用できます。	Orlando

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

子テストスイート：プロジェクト移動アクションの検証 (続く)

テスト	説明	リリースバージョン
外部依存関係と関連エンティティを使用してプロジェクト移動機能を検証	[プロジェクト移動] 関連リンクを使用してプロジェクトを移動した場合に、外部依存関係と関連するエンティティもシフトされ、再描画されることを検証します。	Orlando
さまざまなプロジェクト状況を使用して、プロジェクト移動機能を検証	プロジェクトが [対応中] または [完了してクローズ] ステータスのときに、[プロジェクト移動] が動作しないことを検証します。	Orlando

子テストスイート：プロジェクトの **RIDAC** フローを検証

テスト	説明	リリースバージョン
リスクの RIDAC フローの確認	プロジェクトに関連付けられたリスクの RIDAC フローを検証します。	Quebec
問題の RIDAC フローの確認	プロジェクトに関連付けられた問題の RIDAC フローを検証します。	Quebec
決定の RIDAC フローの確認	プロジェクトに関連付けられた決定の RIDAC フローを検証します。	Quebec
アクションの RIDAC フローの確認	プロジェクトに関連付けられたアクションの RIDAC フローを検証します。	Quebec
リスクフォームのフィールドの変更を検証	リスクのランク、リスク値、および可能性などのリスクフォームフィールドが送信時に正常に更新されているかどうかを検証します。	Quebec

子テストスイート：デマンドの **RIDAC** フローを確認する

テスト	説明	リリースバージョン
リスクの RIDAC フローの確認	デマンドに関連付けられたリスクの RIDAC フローを検証します。	Quebec
問題の RIDAC フローの確認	デマンドに関連付けられた問題の RIDAC フローを検証します。	Quebec
決定の RIDAC フローの確認	デマンドに関連付けられた決定の RIDAC フローを検証します。	Quebec

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

子テストスイート：デマンドの **RIDAC** フローを確認する (続く)

テスト	説明	リリースバージョン
アクションの RIDAC フローの確認	デマンドに関連付けられたアクションの RIDAC フローを検証します。	Quebec
リスクフォームのフィールドの変更を検証	リスクのランク、リスク値、および可能性などのリスクフォームフィールドが送信時に正常に更新されているかどうかを検証します。	Quebec

PMO：リソース計画フローテストスイートを確認するための **Resource Management** テスト

テスト	説明	リリースバージョン
計画済みからキャンセル済みステータスへのユーザーのリソース計画のフローを確認する	プロジェクトのリソース計画を計画済みステータスからキャンセル済みステータスに移行できることを確認します。	Madrid
計画済みから完了ステータスへのグループのリソース計画のフローを確認する	プロジェクトのリソース計画を計画済みステータスから完了ステータスに移行できることを確認します。	Madrid
計画済みから割り当て済みステータスへのロールのリソース計画のフローを確認する	プロジェクトのリソース計画を計画済みステータスから割り当て済みステータスに移行できることを確認します。	Madrid
対応するプロジェクトまたはデマンドフィールドにロールアップするすべてのリソース計画の集計コストを確認	プロジェクトまたは需要のすべてのリソース計画の集計コストが、[予定コスト] および [割り当てられたコスト] フィールド、それぞれプロジェクトおよびデマンドの [リソースコスト] セクションにロールアップされることを検証します。	Orlando
[リソースプランをコピー] オプションの確認	[リソース計画をコピー] オプションで、元のリソース計画の正確なコピーが [計画] ステータスで作成できることを検証します	Orlando
プロジェクト/デマンドからプログラムにリソース計画の集計がロールアップすることの確認	プロジェクトまたはデマンドのすべてのリソース計画の集計コストが、関連するプログラムの総計画コストにロールアップされていることを検証します。	Orlando
リソース計画の完了時のレコードを確認	完了時にリソース計画の以下の変更を検証します。 • リソース計画の状況が [完了] に更新されます。 • 完了日がリソースプランの終了日よりも前の日付である場合、リソース計画の終了日が完了日で更新されます。入力された完了日がリソース計画の終了日より後の場合、リソース計画の終了日が保持されます。	Orlando

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

PMO：リソース計画フローテストスイートを確認するための **Resource Management** テスト (続く)

テスト	説明	リリースバージョン
	• 完了日より後の期間のリソース計画の要求されたレコードと割り当てレコードは、すべて削除されます。割り当てに対して実際の時間が記録されている場合、その割り当ては削除されません。これらの割り当てレコードについては、割り当てられた時間はゼロになり、実際の時間は保持されます。 • リソースの利用可能な時間と割り当てられた時間がアグリゲートテーブルで更新されます。	
割り当てタイプが [計画された期間] のリソース計画の完了時にレコードを検証	割り当てタイプが [計画された期間] のリソース計画の完了時に以下を検証します。 • リソース計画の状況が [完了] に更新されます。 • 割り当ては削除されません。 • 割り当ての終了日が完了日に更新されます。	Orlando
RP 再計画機能の確認	キャンセルされたリソース計画が再計画されたときに、リソース計画の状態が [計画] に変更されることを検証します。	Orlando
リソース計画の変更が対応するコスト計画に反映されているかどうかを検証	リソース計画が更新されると、対応するコスト計画がそれに応じて更新されることを検証します。たとえば、予定コストの合計が 500 USD で、予定時間が 10 の場合、予定時間を 20 に変更すると、予定コストの合計が 1000 USD に更新されます。	Paris
リソース - リソース計画の開始日と終了日のデフォルト入力をテスト	デマンドの関連リストからユーザーまたはグループのリソース計画を作成するときに、以下を検証します。 • 開始日と終了日がないデマンドが作成された場合は、ユーザーまたはグループのリソース計画にはタスクがデマンドとしてあり、開始日と終了日はありません。 • 開始日と終了日を含むデマンドが作成された場合は、ユーザーのリソース計画にはタスクがデマンドとしてあり、開始日と終了日がデマンドに追加されます。	Paris
運用リソース計画とタイムカードの実際の時間が等しいことを検証	タイムカードカテゴリが運用作業タイプにマップされている場合、その作業タイプに関連付けられた運用リソースプランのタイムカードを送信するときに、リソース計画の実際の時間とタイムカードが同じであることを検証します。	Quebec
運用リソースプランのリソースプラン自動入力を検証	タイムカードに関連付けられた運用リソース計画が、時間が記録されたときにタイムカードで自動的に取得されることを検証します。	Rome
非運用リソース計画のリソースプラン自動入力を検証	プロジェクト、プロジェクトタスク、またはタイムカードのデマンドに関連付けられたリソース計画が、時間が記録されたときにタイムカードで自動的に取得されることを検証します。	Rome

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロジェクトポートフォリオ管理の詳細については、「プロジェクトポートフォリオ管理」を参照してください。

プロジェクト通貨テストスイート

プロジェクト通貨クイックスタートでは、PPM Standard Multicurrency – ATF Tests プラグイン (com.snc.ppm_multicurrency.atf) をアクティブ化する必要があります。

プロジェクト通貨テストスイートのテスト

テスト	説明	リリースバージョン
コスト計画のプロジェクト通貨でコストを確認	予算参照レートを使用してコスト行ブレークダウンの計算を検証し、コスト計画へのロールアップを確認します。プロジェクト通貨でプロジェクトについても確認します。	Orlando
プロジェクト通貨で利益計画の利益を確認	予算参照レートを使用して利益行ブレークダウンの計算を検証し、利益計画へのロールアップを確認します。プロジェクト通貨でプロジェクトについても確認します。	Orlando

PPM Standard の詳細については、「PPM Standard」を参照してください。

レポート

レポート クイックスタートテスト自動テストフレームワーク (ATF) - レポートプラグイン (com.glide.automated_testing_impl.report) は、デフォルトまたはインスタンスの再起動時にアクティブ化されます。

注:
レポート クイックスタートテストはダッシュボードからのレポートアクセスをテストしません。ダッシュボードをテストするには、「ダッシュボードのクイックスタートテスト」を参照してください。

レポート クイックスタートテスト

テスト	説明	リリースバージョン
レポートの可視化	レポートを共有しているユーザーにレポートが表示されるかどうかを確認します。	Madrid

ソフトウェア資産管理基盤プラグイン ソフトウェア資産管理

ソフトウェア資産管理 クイックスタートテストでは、ソフトウェア資産管理プロ プラグイン (com.snc.samp) をアクティブ化する必要があります。一部のクイックスタートテストでは、以下の追加プラグインをアクティブ化する必要があります。

- ソフトウェア資産管理 - 支出検出 (com sn_sam_spend)
- ソフトウェア資産管理プロ - Microsoft 向け (com.snc.samp.microsoft)
- ソフトウェア資産管理プロ - SAP 向け (com.sn_samp_sap)

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- Oracle 用の ソフトウェア資産管理プロ (com.snc.samp.oracle)
- ソフトウェア資産管理 - SaaS ライセンス管理統合 (sn_sam_saas_int)

ソフトウェア資産管理 テストスイート

テスト	説明	リリースバージョン
SAM - 新しく公開された PPN およびコンテンツへのカスタム PPN/DMAP のマッピング	カスタム公開者の部品番号 (PPN) が新しい ソフトウェア資産管理 コンテンツサービス PPN に置き換えられたことを検証します。	San Diego
SAM：Oracle PaaS BYOL	• PaaS デバイスに関する情報を格納する新しいサーバーレスハードウェア [cmdb_ci_serverless_hardware] テーブルの追加を検証します。 • Amazon Web サービス (AWS) PaaS 環境の Oracle データベースサーバーのライセンスコンプライアンスを検証します。 **注:** ソフトウェア資産管理プロ for Oracle (com.snc.samp.oracle) プラグインと CMDB CI クラスモデルストアアプリケーションが必要です。	Rome
SAM：ソフトウェアモデルのソフトウェア製品ライフサイクルレコード	ソフトウェアモデルフォームの [ソフトウェアライフサイクル] タブにレコードが表示されていることを確認します。 **注:** デモデータと Microsoft 向けソフトウェア資産管理プロ (com.snc.samp.microsoft) プラグインが必要です。	Quebec
SAM：BYOL	• ソフトウェアエンタイトルメントフォームの購入日を検証 • ライセンスメトリクスの結果 [samp_license_metric_result] およびライセンスの位置レポート	Quebec

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ソフトウェア資産管理 テストスイート (続く)

テスト	説明	リリースバージョン
	[samp_license_position_report] テーブルに、新しく追加された列 legacy_license の追加を検証します。 • ソフトウェアインストール [cmdb_sam_sw_install] テーブルに、新しく追加された列、cloud_license_type および cloud_license_type_source を検証します。 **注:** Microsoft 向けソフトウェア資産管理プロ (com.snc.samp.microsoft) プラグインが必要です。	
SAM - CIS スイートを検証	ダウングレード権限で、コアインフラストラクチャサーバー (CIS) スイートの調整を検証します。 **注:** デモデータと Microsoft 向けソフトウェア資産管理プロ (com.snc.samp.microsoft) プラグインが必要です。	Paris
SAM - PerCoreForMSCluster	Microsoft の調整機能をクラスターのコアごとに検証します。 **注:** Microsoft 向けソフトウェア資産管理プロ (com.snc.samp.microsoft) プラグインが必要です。	Paris
SAM - アップグレード/ダウングレードを Microsoft Publisher の調整中に検証	アップグレードとダウングレードの権限を、Microsoft 製品の調整中に検証します。 **注:** デモデータと Microsoft 向けソフトウェア資産管理プロ (com.snc.samp.microsoft) プラグインが必要です。	Paris

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ソフトウェア資産管理 テストスイート (続く)

テスト	説明	リリースバージョン
SAM - SaaS アプリケーションを統合するデマンドを生成	SaaS アプリケーションでデマンドの生成と送信を検証します。 **注:** ソフトウェア資産管理 - Spend Detection (com.sn_sam_spend) プラグインと PPM standard (com.snc.financial_planning_pmo) プラグインが必要です。	Paris
SAM - SAP エンジンのソフトウェアモデルとソフトウェアエンタイトルメント	製品が SAP エンジンである場合、ソフトウェアモデルとソフトウェアエンタイトルメントの各フォームが変更されたことを確認します。 **注:** SAP 向けソフトウェア資産管理プロ (com.sn_samp_sap) プラグインが必要です。	Paris
SAM：ソフトウェアモデルのダウングレード権限	コンテンツサービスからプッシュされたダウングレード権限が、ソフトウェアモデルフォームの [ダウングレード権限] 関連リストで正しく設定されていることを検証します。	Orlando
SAM：ソフトウェアエンタイトルメントに関するマルチコアパック検証	ソフトウェアエンタイトルメントに関するマルチコアパックの新しいフィールドの機能を検証します。 **注:** Microsoft 向けソフトウェア資産管理プロ (com.snc.samp.microsoft) プラグインが必要です。	Orlando
SAM：ソフトウェアエンタイトルメントのダウングレード権限	コンテンツサービスからプッシュされたダウングレード権限が、ソフトウェアエンタイトルメントフォームの [ダウングレード権限] 関連リストで正しく設定されていることを検証します。	Orlando

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ソフトウェア資産管理 テストスイート (続く)

テスト	説明	リリースバージョン
SAM：ソフトウェア支出トランザクション	ソフトウェア消費トランザクションの作成を検証します。 注: ソフトウェア資産管理 - 支出検出 (com.sn_sam_spend) プラグインが必要です。	Orlando
SAM：ソフトウェアモデルとソフトウェアエンタイトルメント	ユーザーがソフトウェアモデルとソフトウェアエンタイトルメントを作成し、それらのレコードを検証できることをテストします。	New York
SAM：ソフトウェアのインストールとディスカバリーモデル	ユーザーがソフトウェアのインストールとディスカバリーのモデルを作成し、それらのレコードを検証できることをテストします。	New York
SAM - カスタム PPN を使用するソフトウェアエンタイトルメントの作成	カスタムソフトウェア製品、カスタム製品のカスタム DMAP、カスタム DMAP のカスタム部品番号、カスタム部品番号を使用するソフトウェアエンタイトルメントを作成して、ソフトウェアモデルが自動で作成されていることを確認します。	New York
SAM - SAP の名前付きユーザーのソフトウェアモデルチェック	公開者が SAP で製品が名前付きユーザーである場合に、ソフトウェアモデルフォームが変更することをテストします。 注: SAP 向けソフトウェア資産管理プロ (com.sn_samp_sap) プラグインが必要です。	New York
SAM：SaaS のソフトウェアモデルチェック	SaaS 製品が選択された際に、ソフトウェアモデルフォームが変更することをテストします。 注: ソフトウェア資産管理 - SaaS ライセンス管理 (sn_sam_saas_int) プラグインが必要です。	New York

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ソフトウェア資産管理 テストスイート (続く)

テスト	説明	リリースバージョン
SAM：SaaS ソフトウェア製品のフィールドを検証	[サブスクリプションソフトウェア] と [インストールを無視] フィールドがソフトウェア製品フォームに存在することをテストします。 注: ソフトウェア資産管理 - SaaS ライセンス管理 (sn_sam_saas_int) プラグインが必要です。	New York

ソフトウェア資産管理の詳細については、「ソフトウェア資産管理」を参照してください。

セキュリティインシデントレスポンス

セキュリティインシデントレスポンス クイックスタートテストではセキュリティインシデントレスポンスプラグイン (com.snc.security_incident) をアクティブ化して、デモデータをロードする必要があります。

セキュリティインシデントレスポンス テスト

テスト	説明	リリースバージョン
SIR：セキュリティインシデントの作成	ユーザーがセキュリティインシデントフォームからセキュリティインシデントを正常に作成できるかどうかを判断します。	Madrid
SIR：セキュリティインシデントカタログからセキュリティインシデントを作成する	ユーザーがカタログからセキュリティインシデントを正常に作成できるかどうかを判断します。	Madrid
SIR：セキュリティインシデントライフサイクル	ポリシー違反ワークフローの対応タスクを検証します。	Madrid
SIR:PIR アセスメント OOTB 構成テスト	このテストを使用して、PIR アセスメントとベースシステム構成を検証します。	Tokyo
SIR:PIR アセスメント条件付き構成テスト	インシデントの事後アセスメントを完了せずに、必須の条件付きルールに一致するセキュリティインシデントがクローズされていないことを確認します。 インシデントの事後アセスメントを完了せずに、オプションの条件付きルールに一致するセキュリティインシデントがクローズされていないことを確認します。	Tokyo

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

セキュリティインシデントレスポンス テスト (続く)

テスト	説明	リリースバージョン
	ルールに一致しないセキュリティインシデントに対してアセスメントが生成されていないことを確認します。	
SIR:PIR ランタイムエクスペリエンス	新しい設計に従って PIR レポートが構成され、セキュリティインシデントに添付されていることを検証します。	Tokyo
SIR:PIR 設計時エクスペリエンス	アドミニストレーターの構成に基づいて、セキュリティインシデントがレポートテンプレートにマップされていることを検証します。	Tokyo
SIR：セキュリティインシデントを既存の重大なセキュリティインシデントにリンク	セキュリティインシデントを既存の重大なセキュリティインシデントにリンクし、重大なセキュリティインシデントにロールアップされたセキュリティインシデントからのデータを検証します。	Tokyo
SIR：セキュリティインシデントを重大なセキュリティインシデントとして昇格	セキュリティインシデントを重大なセキュリティインシデントとして昇格し、重大なセキュリティインシデントにロールアップされたセキュリティインシデントのデータを検証します。	Tokyo
SIR：重大なセキュリティインシデントとしてセキュリティインシデントを提案	セキュリティインシデントを重大なセキュリティインシデントとして提案し、重大なセキュリティインシデントにロールアップされたセキュリティインシデントからのデータを検証します。	Tokyo
SIR：セキュリティインシデントライフサイクル	ポリシー違反応答タスクワークフローを使用してセキュリティインシデントライフサイクルを検証します。	Yokohama
SIR:セキュリティケースを作成	セキュリティインシデントフォームからセキュリティケースを作成します。	Yokohama
[制限の適用] がオンになっていると、許可されたメンバーのみがセキュリティインシデントにアクセスできることを確認します。	[制限の適用] が有効になると、許可されたメンバーのみがセキュリティインシデントにアクセスできることを確認します。	Yokohama
[制限の適用] で有効になっているセキュリティインシデント	[制限の適用] で有効になっているセキュリティインシデント	Yokohama

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

セキュリティインシデントレスポンス テスト (続く)

テスト	説明	リリースバージョン
が、どのユーザーにも表示されないことを確認します	が、どのユーザーにも表示されないことを確認します。	
読み取りアクセスを検証する	表示アクセスを検証します。	Yokohama
書き込みアクセスを検証する	編集アクセスを検証します。	Yokohama
SIR ワークスペース:読み取りアクセス	読み取りアクセスユーザーが、ワークスペースであってもセキュリティロールがなくてもセキュリティインシデントを表示できることを確認します。	Yokohama
SIR ワークスペース:書き込みアクセス	書き込みアクセスユーザーがセキュリティロールを持たなくてもセキュリティインシデントを更新できることを確認します。	Yokohama
SIR ワークスペース:新規セキュリティインシデントの作成	ワークスペースから新しいセキュリティインシデントを作成します。	Yokohama
SIR ワークスペース:対応タスクを作成	既存のセキュリティインシデントから新しい応答タスクを作成します。	Yokohama
セキュリティ向け Now Assist:アクティブなセキュリティインシデントの要約	アクティブなセキュリティインシデントを要約し、表示されたセクションを検証します。	Zurich
セキュリティ向け Now Assist:作業メモへのセキュリティインシデント Summarization_Share	生成されたサマリーを作業メモで共有します。	Zurich
セキュリティ向け Now Assist:クローズ済みセキュリティインシデントの要約	クローズ済みセキュリティインシデントを要約し、表示されたセクションを検証します。	Zurich

セキュリティインシデントレスポンスの詳細については、「セキュリティインシデントレスポンス」を参照してください。

サービスレベル管理

サービスレベル管理 クイックスタートテストでは、サービスレベル管理 - ATF Tests プラグイン (com.snc.service_level_management.atf) をアクティブ化する必要があります。

サービスレベル管理 クイックスタートテスト

テスト	説明	リリースバージョン
SLM：サービスレベル管理タスク SLA の完了ワークフロー	ユーザーがタスク SLA を作成し、ワークフローを完了できることをテストします。	Orlando

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サービスレベル管理 クイックスタートテスト (続く)

テスト	説明	リリースバージョン
SLM：サービスレベル管理タスク SLA のキャンセルワークフロー	ユーザーがタスク SLA を作成し、ワークフローをキャンセルできることをテストします。	Orlando
SLM: サービスレベル管理タスク SLA タイマー REST API	SLA タイマー API 応答が SLA タイマー重大コンポーネントで想定されているデータと一致することをテストします。	Paris

サービスレベル管理の詳細については、「Service Level Management」を参照してください。

サービスマッピング

サービスマッピング クイックスタートテストではサービスマッピング (com.snc.service-mapping) プラグインをアクティブ化して、デモデータをロードする必要があります。

サービスマッピング クイックスタートテスト

テスト	説明	リリースバージョン
SM OOTB：ロールによる SM アプリケーションの可視化をテストする	さまざまなロールの サービスマッピング アプリケーションとモジュールの可視化を検証します。たとえば、このテストでは、service_mapping_user ロールでログインしたユーザーが、サービスマッピング で管理モジュールにアクセスできないことを検証します。	Madrid
SM OOTB：サービスマップの確認	このテストテンプレートを使用して、最も重要なサービスのトポロジが変更されていないことを確認するカスタムテストを作成します。 [データセットのテスト実行] の値を設定し、テストするサービスの名前と、このサービスで見つかると予期されるノードを識別します。 ノード名の値には、マップでそのまま表示されるノード属性を入力します (「Apache サーバー」など)。ノードの属性名が切り詰められている場合、またはノードが CI クラスターであることが示されている場合は、このノード名の値を、マップで表示される方法を反映するように設定します (11 台の Exchange FrontEnd サー	Orlando、更新された Paris

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サービスマッピング クイックスタートテスト (続く)

テスト	説明	リリースバージョン
	バーのグループに対して「11x ExchangeF」など)。 **注:** このテストを使用して、最上位より上の未展開レベルのサービスコンテンツを確認することはできません。	
SM OOTB：アップグレード後に UI アクセシビリティを確認	このテストを実行して、アップグレード後に サービスマッピング の UI が完全に機能することを確認します。	Orlando

サービスマッピングの詳細については、「サービスマッピング」を参照してください。

サービスポートフォリオ管理プレミアム

サービスポートフォリオ管理プレミアムクイックスタートテストでは、サービスポートフォリオ管理プレミアム プラグイン (com.snc.spm) をアクティブ化する必要があります。

サービスポートフォリオ管理プレミアム - **ATF** テストのテストスイート

テスト	説明	リリースバージョン
ポートフォリオエディター：ポートフォリオオーナーではなく、読み取り専用の分類アクセス	関連付けられているが所有していないポートフォリオの分類に対し、ポートフォリオエディターが読み取りしかできないことを確認します。	Orlando
ポートフォリオエディター：新規ポートフォリオの作成不可	ポートフォリオエディターが、ポートフォリオを新しく作成できないことを確認します。	Orlando
ポートフォリオエディター：有効なポートフォリオ所有者の分類アクセス	ポートフォリオ所有者が、所有するポートフォリオ内部の分類にアクセスできることを確認します。	Orlando
サービスエディター：アクセス	サービスエディターが、所有するサービスとオファリングのみを編集できることを確認してください。	Orlando
ポートフォリオエディター：所有するポートフォリオを変更可能	ポートフォリオエディターが、所有するポートフォリオの変更と更新を行えることを確認します。	Orlando
ポートフォリオの作成	ポートフォリオアドミンがポートフォリオを新しく作成できることを確認します。	Orlando

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サービスポートフォリオ管理プレミアム - **ATF** テストのテストスイート (続く)

テスト	説明	リリースバージョン
ポートフォリオエディター：所有していないポートフォリオは変更不可	ポートフォリオエディターが、所有していないポートフォリオを変更できないことを確認します。	Orlando
サービスワークフロー	サービスポートフォリオ、分類ノード、サービスオファリングが添付されていないと、サービスがカタログフェーズに進めないことを確認してください。 サービスをカタログフェーズからパイプラインフェーズに戻せないことを確認します。	Orlando
サービスポートフォリオ (標準)	サービスポートフォリオ、分類レイヤー、および分類ノードを作成します。	Orlando
ポートフォリオ + 3 層の分類レイヤーを作成	3 つの分類レイヤーを含むサービスポートフォリオを作成します。	Orlando
サービスポートフォリオ (例外) - 分類レイヤー定義セット 01	サービスポートフォリオ、分類レイヤー、および分類ノードを作成します。	Orlando
SPM: ポートフォリオを作成	サービスポートフォリオを作成します。	Paris
SPM: ポートフォリオ + 3 層の分類レイヤーを作成	3 つの分類レイヤーを含むサービスポートフォリオを作成します。	Paris
SPM: サービスポートフォリオ (標準)	サービスポートフォリオ、分類レイヤー、および分類ノードを作成します。	Paris
SPM: サービスポートフォリオ (例外) - 分類レイヤー定義セット 01	サービスポートフォリオ、分類レイヤー、および分類ノードを作成します。	Paris
SPM: ポートフォリオエディター: 所有するポートフォリオを変更可能	ポートフォリオエディターが、所有しているポートフォリオを変更できることを確認します。	Paris
SPM: ポートフォリオエディター: 所有していないポートフォリオは変更不可	ポートフォリオエディターが、所有していないポートフォリオを変更できないことを確認します。	Paris
SPM: ポートフォリオエディター: 新規ポートフォリオが作成不可	ポートフォリオエディターが、新規ポートフォリオを作成できないことを確認します。	Paris

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サービスポートフォリオ管理プレミアム - ATF テストのテストスイート (続く)

テスト	説明	リリースバージョン
SPM: ポートフォリオエディター: 有効なポートフォリオ所有者の分類アクセス	ポートフォリオ所有者が、所有する分類にアクセスできることを確認します。	Paris
SPM: ポートフォリオエディター: ポートフォリオ所有者ではなく、読み取り専用の分類アクセス	ポートフォリオエディターが、所有していないポートフォリオの分類の読み取りのみを許可されていることを確認します。	Paris
SPM: サービスエディター: アクセス	サービスエディターが、所有するかまたは委任されているサービスとオファリングのみを編集できることを確認します。	Paris
SPM: サービスビューアー: アクセス	サービスビューアーが、サービスを表示するためのアクセスを持っていることを確認します。	Paris
SPM: サービスワークフロー	サービスポートフォリオ、分類ノード、サービスオファリングが添付されていないと、サービスがカタログフェーズに進めないことを確認してください。 サービスをカタログフェーズからパイプラインフェーズに戻せないことを確認します。	Paris

サービスポートフォリオ管理の詳細については、「サービスポートフォリオ管理」を参照してください。

スキル管理

スキル管理 のクイックスタートテストでは、スキル管理 プラグイン (com.snc.skills_management) をアクティブ化する必要があります。

スキル管理テストスイート

テスト	説明	リリースバージョン
スキル管理：ユーザーが複数のグループに属している場合のユーザースキルレベルの継承	ユーザーが、異なるスキルレベルを持つ同じスキルを割り当てられた複数のグループに属する場合に、ユーザーが最も高いスキルレベルに割り当てられていることを確認します。	New York
スキル管理 ：最も低いレベルのカテゴリーにスキルを追加	スキルを最低レベルのカテゴリに追加できることを確認します。	New York
スキル管理 ：親カテゴリの下に子カテゴリを作成	親カテゴリでフラグ [スキルを追加] がオフになっている場合に、下位レベルのカテゴリが作成できることを確認します。	New York

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スキル管理テストスイート (続く)

テスト	説明	リリースバージョン
スキル管理 ：スキルカテゴリの作成	[スキルカテゴリ] フォームでスキルカテゴリを作成できることを確認します。	New York
スキル管理 ：スキルレベルタイプとスキルレベルの作成	タイプに対してスキルレベルタイプと異なるスキルレベルを定義します。	New York
スキル管理 ：グループからユーザーへのスキルレベルの継承	スキルレベルをグループからグループのユーザーに継承でき、[継承] および [継承されたスキルレベル] フィールドが true に設定されることを確認します。	New York
スキル管理 ：[IT スキルの管理] ユーザーインターフェイスからスキルを作成	IT スキルの管理ユーザーインターフェイスを使用してスキルを作成できることを確認します。	Orlando
スキル管理 ：[IT スキルの管理] ユーザーインターフェイスで、スキルとスキルレベルをユーザーに追加	[IT スキルの管理] ユーザーインターフェイスで、スキルと関連するスキルレベルをユーザーに追加できることを確認します。	Orlando
スキル管理 ：[IT スキルの管理] ユーザーインターフェイスで、スキルを選択し、スキルにユーザーを追加します。	[IT スキルの管理] ユーザーインターフェイスで、スキルと関連するスキルレベルを 1 名以上のユーザーに追加できることを確認します。	Orlando
スキル管理 ：[IT スキルの管理] ユーザーインターフェイスで、スキルレベルのないスキルを選択し、そのスキルにユーザーを追加	[IT スキルの管理] ユーザーインターフェイスで、スキルレベルのないスキルを選択し、そのスキルを 1 名以上のユーザーに追加できることを確認します。	Orlando

スキル管理の詳細については、「Skills Management」を参照してください。

テスト管理 2.0

テスト管理 2.0 クイックスタートテストでは、テスト管理 2.0 プラグイン (com.snc.test_management.2.0) および テスト管理 2.0 - ATF テストプラグイン (com.snc.test_management.2.0.atf) をアクティブ化する必要があります。

テスト管理 2.0 : テストバージョンテストスイート

テスト	説明	リリースバージョン
テストバージョンを作成するとテストが作成される	テストの作成とバージョンを検証します。	Madrid
検証手順が含まれている場合、テストバージョンを準備完了としてマークすることができる	テストに検証手順があるときにテストのステータスを検証します。	Madrid

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テスト管理 2.0：テストバージョンテストスイート (続く)

テスト	説明	リリースバージョン
検証手順が含まれていない場合、テストバージョンを準備完了としてマークすることができない	テストに検証手順がないときにテストのステータスを検証します。	Madrid
テストバージョンを準備完了としてマークしたときに、準備完了ステータスの他のテストバージョンを廃止する	テストを準備完了としてマークしたときにテストのステータスを検証します。	Madrid

テスト管理 2.0：テスト結果ロールアップテストスイート

テスト	説明	リリースバージョン
テスト実行が終了したときに実行スイートの進行状況を更新する	実行状況の進行状況を検証します。	Madrid
準備完了ステータスではないテストを割り当てることができない	テストの割り当てを検証します。	Madrid
テストの進行状況をテスト計画とテストサイクルのためにロールアップする	テスト計画とテストサイクルについてテストの進行状況を検証します。	Madrid

テスト管理 2.0 の詳細については、「テスト管理 2.0」を参照してください。

ユニバーサル要求

ユニバーサル要求 クイックスタートテストでは ユニバーサル要求 (com.snc.universal_request)、ユニバーサル要求：インシデント管理用統合 (com.snc.incident.universal_request)、およびヒューマンリソース (HR) スコープ対象のアプリ：Core (com.sn_hr_core) プラグインをアクティブ化する必要があります。

ユニバーサル要求 クイックスタートテスト

テスト	説明	リリースバージョン
UR：人事ケースのインシデントへの転送	人事ケースがインシデントに転送され、インシデントが作成されたかどうかを検証します。	Quebec
UR：ユニバーサル要求を制限または制限解除	以下を検証します。 • ルーティングエージェントが UR を制限すると、フィールドは制限されて非表示になります。 • *sensitiveinfo_agent* ロールを持つエージェントのみが要求の制限を解除できます。	Yokohama

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ユニバーサル要求 クイックスタートテスト (続く)

テスト	説明	リリースバージョン
	• また、要求の制限が解除されると、すべてのフィールドが表示されます。 • エージェントは sys-audit ログアクセスを利用できます。	
UR：RITM を使用したユニバーサル要求の作成	ユニバーサル要求 Certified が有効になっている場合に、セルフサービスの任意のアイテムのカタログ要求を作成できることを検証します。	San Diego

ベンダー管理ワークスペース

ベンダー管理ワークスペース クイックスタートテストでは。ベンダー管理ワークスペース プラグイン (com.snc.vlm.vmw) をアクティブ化して、デモデータをロードする必要があります。

ベンダー管理ワークスペース - テストのテストスイート

テスト	説明	リリースバージョン
VLM：ベンダーの作成	アップグレード後に、ベンダー管理ワークスペース プラグインで問題を追跡します。新しいベンダーを作成します。	New York

ベンダー管理ワークスペースの詳細については、「Vendor Management Workspace」を参照してください。

ベンダー管理ワークスペース および サードパーティリスク管理

GRC：ベンダー管理ワークスペース および サードパーティリスク管理 クイックスタートテストでは ベンダー管理ワークスペース および サードパーティリスク管理 プラグイン (com.sn_vdr_risk_asmt) をアクティブ化して、デモデータをロードする必要があります。

GRC：ベンダーリスク管理 および サードパーティリスク管理 クイックスタートテスト

テスト	説明
GRC：エンゲージメントリスクアセスメントの作成	エンゲージメントリスクアセスメントを作成し、エンゲージメントに送信します。
GRC：ベンダーリスクスコアリング - エンゲージメントのアセスメントをキャンセル	エンゲージメントの 1 つのアセスメントがキャンセルされた後、リスク評価を再計算する要求がエンゲージメントおよびサードパーティに対して自動的に作成されることを確認します。
GRC：ベンダー発行 ATF	サードパーティのリスク問題フォームとサードパーティのリスクタスクフォームを作成して送信します。
GRC：ベンダーリスクアセスメントの作成	ベンダーリスクアセスメントを作成し、ベンダーに送信します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

GRC：ベンダーリスク管理 および サードパーティリスク管理 クイックスタートテスト (続く)

テスト	説明
GRC：ベンダーポータル - アセスメントの回答および返送	ベンダー連絡先が Service Vendor Portal でアセスメントに回答し、送信します。
GRC：ベンダー階層アセスメント	期間を変更した後、アセスメントを選択して各査定人に送信します。

アップグレードの適用やアプリケーションの開発などの構成変更を行った後も、TPRM が変わらず正常に動作することを検証します。クイックスタートテストをコピーしてカスタマイズし、インスタンス固有のデータを使用する際に渡します。

脆弱性対応

脆弱性対応 クイックスタートテストでは、脆弱性対応 アプリケーション (sn_vul) をアクティブ化してデモデータをロードする必要があります。

脆弱性対応 テスト

テスト	説明	リリースバージョン
VR：修正ターゲットルールの作成	修正ターゲットルールを作成します。	Madrid
VR：脆弱性グループルールの作成	脆弱性グループルールを作成します。	Madrid
VR：フォームを介した脆弱性一致アイテムの作成	ユーザーが脆弱性一致アイテムフォームから脆弱性一致アイテムを正常に作成できるかどうかを判断します。	Madrid
VR：脆弱性グループのライフサイクル	ユーザーが脆弱性グループを正常に解決できるかどうかを判断します。	Madrid
VR：脆弱性一致アイテムのライフサイクル	ユーザーがライフサイクルを通して脆弱なアイテムを正常に移動できるかどうかを判断し、クローズ済みの脆弱性一致アイテムを再度開くことができるかどうかを判断します。	Madrid
VR：ロールアップ計算機	ロールアップリスク計算機が、脆弱性グループのすべての脆弱なアイテムのスコアを使用して、脆弱なアイテムのグループ全体の全体的なリスクスコアを算出できるかどうかを判断します。	New York
VR：脆弱性対応 アサインルール	アサインルールのサンプルセットが脆弱なアイテムをアサイングループに自動アサインして修復できるかどうかを確認します。	New York
VR：脆弱性計算機	脆弱性計算機をテストします。	New York

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

脆弱性対応 テスト (続く)

テスト	説明	リリースバージョン
VR：CI ルックアップ - Qualys	「field_matching」メソッドを使用して、Qualys 用の「ネットワークアダプターによるルックアップ」という名前の新しいルックアップルールを作成します。新しいルックアップルールを使用し、ネットワークアダプターおよび IP アダプターで、[検出されたアイテム] テーブルの構成アイテムに一致させることができるかどうかを確認します。	Orlando
VR：通常および緊急の変更要求の作成	ユーザーが脆弱性グループから通常および緊急の変更要求を作成できるかどうかを確認します。	Orlando
VR：脆弱性グループの分割	ユーザーが脆弱性グループを分割できるかどうかを確認します。	Orlando
VR：CHG がキャンセルされたときに VG ステータスを更新	脆弱性グループに関連付けられている変更要求がキャンセルされたときに、脆弱性グループの [ステータス] フィールドが正常に移行するかどうかを確認します。	Orlando
VR：CHG が [レビュー] に移行したときに VG ステータスを更新	脆弱性グループに関連付けられている変更要求が [レビュー] ステータスに移行したときに、脆弱性グループの [ステータス] フィールドが正常に移行するかどうかを確認します。	Orlando
VR：CI ルックアップ - Rapid7	既存の Rapid7 脆弱性統合 ルックアップルール、 **IP** アドレスを使用して CI ルックアップをテストします。	Orlando
VR：CI ルックアップ - Qualys	Qualys 脆弱性統合 に対する新しいルックアップルールを作成して CI ルックアップをテストします。	Orlando
VR：VI の例外承認ワークフロー	例外要求を作成し、承認プロセスが機能していることを確認します。	Orlando
VR：VI の誤検出承認ワークフロー	誤検出の例外要求を作成し、承認プロセスが機能していることを確認します。	Orlando
VR: アプリケーション脆弱性対応 (AVR)	ルールと計算機が正しく機能しているかどうかを判定します。	Orlando

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

脆弱性対応 テスト (続く)

テスト	説明	リリースバージョン
	更新が機能していることを検証します。	
修復ターゲットルール：VI インポートテスト	インポート中に VR 修復ターゲットルールをテストします。	Paris
VR：分類ルール	脆弱性を自動的に分類するサンプル分類ルール	Tokyo

脆弱性対応 の詳細については、「脆弱性対応」を参照してください。

ウォークアップエクスペリエンス

ウォークアップエクスペリエンス クイックスタートテストでは、ウォークアップエクスペリエンス プラグイン (com.snc.walkup) をアクティブ化して、デモデータをロードする必要があります。

ウォークアップエクスペリエンス - テストのテストスイート

テスト	説明	リリースバージョン
場所の作成	ウォークアップア ドミニストレーター [sn_walkup.walkup_admin] ロールを持つユーザーが既存のすべてのウォークアップキューにアクセスでき、新しいキューの場所を作成し、キューを適切に設定できることを確認します。	Orlando
オンサイトチェックイン (ITIL ユーザー)	ITIL ロールを持つユーザーがオンサイトキューの場所にチェックインできることを確認します。	Orlando
オンサイトチェックイン (ESS ユーザー)	ESS ロールを持つユーザーがオンサイトキューの場所にチェックインできることを確認します。	Orlando
オンサイトチェックイン (ゲスト)	ゲストユーザーがオンサイトキューの場所にチェックインできることを確認します。	Orlando

ウォークアップエクスペリエンスの詳細については、「ウォークアップエクスペリエンス」を参照してください。

並列テスト

複数のテストとテストスイートを並列で実行することで、テストの設計時間を短縮します。リソースの競合とデータの依存関係を回避することで、並列で実行されるテストを設計します。

注:
複数のユーザーが同時にテストを開発している場合、並列テストによりテストの設計時間を短縮できます。テスト設計が完了したら、テストを単一の階層スイート構造に整理し、テストを単一の基本スイートとして実行することをお勧めします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

並列テストの制限

並列テストでは、複数の自動テストを同時に実行できます。このプロセスは、並列実行テストの数が次の式に従うまで続行されます。

```
Number of parallel tests = max(1, number of worker threads - 2)
```

注:
インスタンスのワーカースレッドが 2 つ以下の場合は、構成の改善の見直しをお勧めします。

非本番インスタンスがサポートできる並列テストの実際の数は、インスタンスがプロビジョニングされたときのシステムリソースによって異なります。並列テストの制限により、インスタンスは常に他の非テストタスクが利用できるシステムリソースを確保できます。

テスト待機キュー

システムが並列テストの上限に達すると、テストは後で実行するように再スケジュールされます。これによりテストは、ワーカースレッドがテストを取得できるようになるまで、自動的に sys_trigger に戻されます。待機キュー内の各テストには、次回のテスト実行時のスケジュールが設定されます。

設計上の考慮事項

複数のテストとテストスイートを並列で実行して、テストの設計時間を短縮します。並列実行テストを設計することで、リソースの競合とデータの依存関係を回避します。新しく生成されたデータまたは自己作成したデータのみに依存するテストを設計するか、リソースを共有するテスト間で相互除外ルールを定義することで、リソースの競合とデータの依存関係を回避します。

並列テスト間のリソース競合の防止

独自のデータを作成するテストを実行して、リソースの競合を防止します。既存のデータを使用して実行するテストでは、同じデータを必要とする他のテストは並列で実行できません。

注:
リソースの競合があるテストが複数ある場合は、「テストを相互に排他的としてマーク」を参照して、テストが並列に実行されないようにする相互除外ルールを作成します。

ATF テストの失敗の解決を加速

新しい ATF 失敗インサイト機能によって提供される実用的なサポートを使用して、ATF テストの失敗をより迅速に解決します。これは、[前回成功した実行以降の変更を検索 (Find changes since last successful run)] 関連リンクにアクセスすることで実行できます。

始める前に

必要なロール：admin

手順

1. 移動先 すべて > 自動テストフレームワーク **(ATF)** > テスト.
   ATF テストのリストが表示されます。
2. デバッグするテストを選択します。
   選択したテストフォームが表示されます。
3. [テスト結果] 関連リストを選択します。
   選択したテストの最近のいくつかの実行結果のリストが表示されます。テストが実行されていない場合、テスト結果は表示されません。その後、テストを実行して結果を生成できます。
4. 失敗した結果の 1 つを選択して、テストの前回の正常な実行以降の変更内容を確認します。
   選択した結果の [テスト結果] フォームが表示されます。
5. [前回成功した実行以降の変更を検索] 関連リンクを選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

> **注:**
> この関連リンクは、失敗したテスト結果を開いた場合にのみ表示されます。

[変更内容] 関連リストが表示されます。

> **注:**
> [変更内容] 関連リストは、前回の正常な実行と最近の失敗の間に変更されたメタデータレコードがある場合にのみ表示されます。これにより、エラーの原因となった可能性のある特定のレコードについて、より適切なインサイトを得ることができます。

[変更内容] 関連リストのレコードの更新が遅れる場合があります。それでも目的の結果が表示されない場合は、[前回成功した実行以降の変更を検索 (Find changes since last successful run)] 関連リンクをもう一度選択することをお勧めします。

6. 結果を比較するには、次のいずれかの方法を実施します。
   - [変更内容] 関連リストにリストされている変更されたファイルの 1 つを右クリックします。[比較] を選択して、前回の正常な実行以降の変更を確認します。
   - 変更されたファイル自体を選択して開き、[変更内容] フォームで [比較] を選択します。

     > **注:**
     > 選択したファイルの 2 つのバージョンの比較を示す画面が表示されます。ファイルに加えられた正確な変更が表示されます。左側はレコードの最新バージョンです。

   - 検索項目 すべて > 自動テストフレームワーク **(ATF)** > テスト結果. 任意の 2 つのテストを選択し、アクションを選択して結果を比較します。
7. オプション: 変更されたファイルのタスクを作成する場合は、[テスト結果] フォームで [タスクの作成] を選択します。
   タスクを作成するには、変更されたファイルを少なくとも 1 つ選択する必要があります。変更されたレコードに関する特定の情報が自動入力されます。

   > **注:**
   > デフォルトでは、作成されるタスクはインシデントタスクタイプです。これは、sn_atf.test.triage.task.type プロパティによって決定されます。タスクを割り当てたタスクテーブルに応じて、タスクタイプが作成されます。

   タスクの作成時に変更されたファイルを複数選択した場合でも、複数のファイルに対して 1 つのタスクのみが作成されます。

メタデータ例外リスト

次のテーブルのリストは、ATF テストの失敗解決機能ではサポートされていません。

- sys_ui_hp_cascading_filter
- sys_ui_hp_cascading_filter_target_references
- sys_ui_hp_date
- sys_ui_hp_group
- sys_ui_hp_publisher
- sys_ui_hp_reference
- sys_ui_annotation_type
- sys_ui_application
- sys_ui_extension_instance

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- sys_ui_extension_point
- sys_ui_help
- sys_ui_module
- sys_ui_ng_action
- sys_ui_overview_help
- sys_ui_overview_help_panel
- sys_ui_reference_style
- sys_declarative_action_assignment
- sys_declarative_action_definition
- sys_declarative_action_model_definition
- sys_declarative_action_model_field
- sys_declarative_action_payload_definition
- sys_declarative_action_payload_mapping
- sys_declarative_action_render_mode
- sp_page
- sp_agent_chat_config
- sp_column
- sp_container
- sp_css
- sp_css_include
- sp_dependency
- sp_header_footer
- sp_js_include
- sp_ng_template
- sp_page_title_variable
- sp_portal
- sp_row
- sc_catalog
- sc_catagory
- カタログアイテム
- sc_cat_item_delivery_task
- sc_cat_item_content
- catalog_script_client

パフォーマンスプロファイリング

パフォーマンスプロファイリングを使用すると、インスタンスでパフォーマンステストを実行できます。

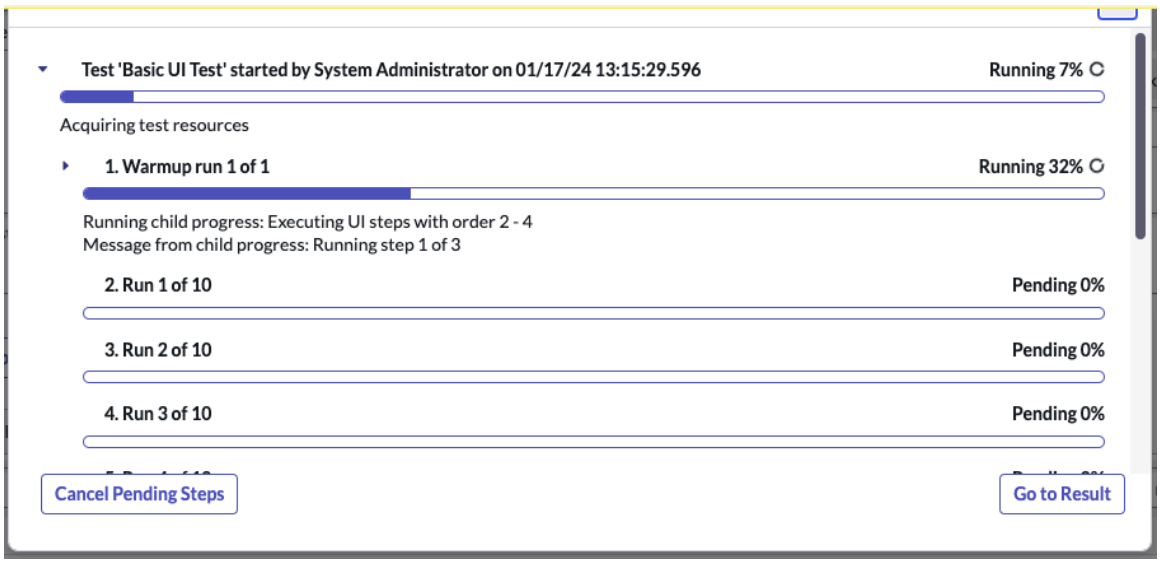
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ATF は、インスタンスに変更が加えられたときに破損がないことを確認する機能テスト用メディアであるだけでなく、アップグレード中のパフォーマンス低下を検出することもできます。原因を把握し、調査し、パフォーマンスの問題を修正できます。

任意の ATF テストまたはスイートでパフォーマンスプロファイリングを実行できます。各テストまたはスイートのデフォルトのテスト実行は 10 です。スイートでは、各テストが 10 回連続で実行されます。最初の実行は、キャッシュ値のウォームアップに役立つウォームアップであり、テストまたはスイートの 10 回のテスト実行にはカウントされません。

注:
パフォーマンスプロファイリングは、複数のテストで同時に実行することはできません。並列パフォーマンスアセスメントはサポートされていません。



注:
パフォーマンステスト実行を実行すると、システムは一時停止し、進行中のジョブが完了するまで待機してから、テスト実行を開始します。これは、インスタンスの速度低下を回避するのに役立ちます。

パフォーマンスプロファイリングの実行

インスタンスでのパフォーマンステストのために、テストまたはスイートに対して、パフォーマンスプロファイリングを実行します。また、インスタンスをアップグレードするときにパフォーマンスの低下を検出した場合に、問題を調査して修正することもできます。

始める前に
必要なロール：admin

手順

1. 移動先 すべて > 自動テストフレームワーク **(ATF)** > テスト.

注:
スイートでパフォーマンスプロファイリングを実行する場合は、スイートモジュールを選択することもできます。

テストまたはスイートのリストが表示されます。

2. パフォーマンスプロファイリングを実行するテストを選択します。

3. [テスト] フォームで [パフォーマンステストを実行] を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

[テストを実行] モーダルが表示されます。モーダルには、選択したテストまたはスイートのウォームアップ実行と、10 回すべてのテスト実行が表示されます。テスト実行が開始されると、すべての実行を追跡できます。

> **注:**
> パフォーマンスプロファイリング用のスイートを選択した場合は、[パフォーマンススイートを実行] を選択できます。

4. 下にスクロールして、[パフォーマンステスト結果] 関連リストを選択します。
5. 必要なパフォーマンス番号を選択して、選択したパフォーマンステスト内のすべてのテスト実行の結果を表示します。
   [パフォーマンス実行] フォームが表示されます。直接移動することもできます すべて > 自動テストフレームワーク **(ATF)** > テスト > パフォーマンスプロファイリング > パフォーマンス実行 をクリックして [パフォーマンス実行] フォームを表示します。スクリーンショットを追加します

   > **注:**
   > テスト名、テスト実行のステータス、テスト実行の時間を表示できます。[ウォームアップである] の値が true の場合、これはキャッシュ値をウォームアップするために実行される最初のテスト実行です。残りのテスト実行では、[ウォームアップである] の値が false に設定されます。ウォームアップテストは、各テストまたは各スイートの 10 回のテスト実行のうちの 1 回としてカウントされません。

6. 移動先 すべて > 自動テストフレームワーク **(ATF)** > テスト > パフォーマンスプロファイリング > パフォーマンスの比較.
   [パフォーマンスの比較] フォームが表示されます。<フォームのスクリーンショットを追加します>
7. 1 回目と 2 回目の実行を選択して、比較結果を表示します。
   完全なスクリーンショットを追加します。パフォーマンス平均値やデルタ平均値などの情報を表示できます。

   > **注:**
   > 一度に比較できるテスト実行は 2 つだけです。次の比較では、前のいずれかのテスト実行を、次のテスト実行と比較するベースラインと見なすことができます。

自動テストフレームワーク (ATF)の管理 (ATF)

自動テストフレームワーク (ATF) を有効または無効にし、リテンションポリシーの変更、インスタンス間のテストの移動、自動テストフレームワーク (ATF) へのユーザーアクセスの制御、およびカスタムテストステップ構成とステップ環境の作成を行います。

自動テストフレームワーク (ATF) の動作を制御する各プロパティの詳細については、「プロパティ」を参照してください。

カスタムテストステップ構成の作成

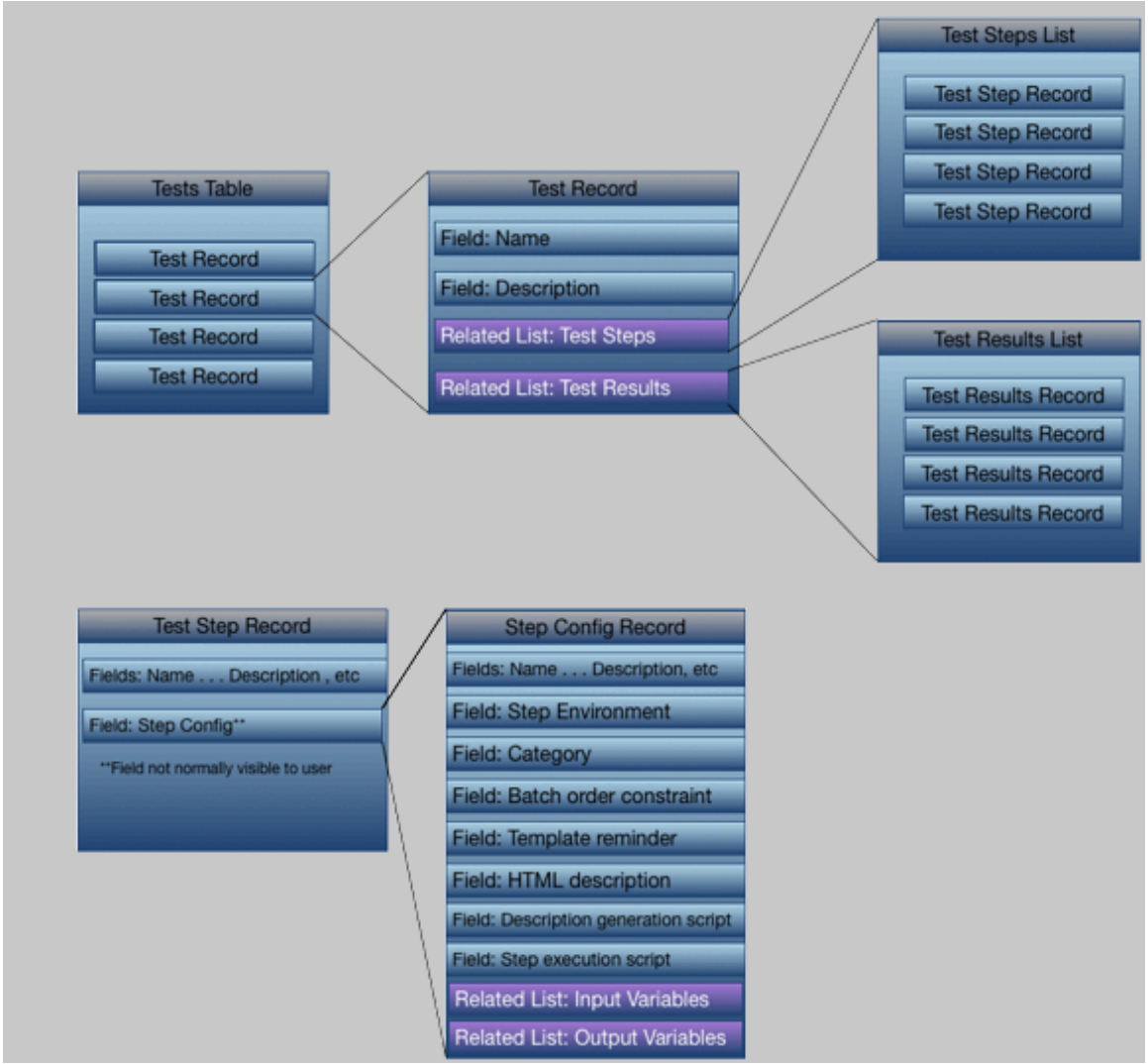
ステップ設定レコード (またはステップ設定) は各ステップ タイプの振る舞いを定義します。サーバー上で実行されるカスタム ステップを定義する新しいステップ構成を作成できます。

自動テストにステップを追加すると、そのステップにはフィールド値の設定、またはレコード挿入のような定義済みのタイプがあります。各ステップ構成には、必要な入力、実行されたアクションなど、そのタイプのステップがどのように振る舞うかに影響する多くの特性があります。

これらの特性は、ステップ設定レコードのステップで定義されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テスト ステップアーキテクチャ



[ステップ実行スクリプト] フィールドは、この設定のステップが実行されたときにシステムが実行するアクションを決定します。

関連情報

- ステップ構成
- ステップ実行スクリプト

カスタムステップ構成の作成

サーバー上で実行される新しいステップの基礎を形成できるカスタム ステップ構成を作成します。

始める前に

必要なロール：atf_test_admin

> **注:**
> 構成の作成はサーバーステップでのみサポートされており、UI ステップ (ブラウザで実行) はサポートされていません。また、スクリプト化されたステップのみがサポートされており、カスタム Java ベースのステップはサポートされていません。

このタスクについて

自動テストフレームワーク (ATF) は フォームを開く、値を設定、値を確認などの特定のタイプのステップが含まれています。ステップ構成モジュールでは、指定したアクションを実行するステップを

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

作成できます。サーバー上で実行されるステップの構成のみ作成できます。ブラウザで実行されるステップの設定は作成できません。

手順

1. 移動先 すべて > 自動テストフレームワーク **(ATF)** > アドミニストレーション > ステップ設定.
2. [**New**] をクリックします。
   システムは、テスト ステップ設定フォームを表示します。
3. 名フィールドで、ステップ タイプの名前を入力します。
4. アクティブチェック済みで残します。
5. ステップ環境設定をサーバーに依存しないで残します。
   サーバー上で実行されるステップ構成のみを定義でき、ブラウザで実行されるステップ構成を定義することはできません。
6. オプション: カテゴリフィールドで、このステップを割り当てるカテゴリを選択します。
   カテゴリは、ダイアログでステップリストをフィルターにかけるために使用します。詳細については、「カテゴリフィールドの例」を参照してください。
7. オプション: バッチ注文制約フィールドで、次のいずれかの値を選択します。
   - [なし]：この構成に基づくステップはテストの任意の場所に現れることがあります。
   - [一括実行を開始]：このテストでこのステップのバッチが含まれている場合、このステップはバッチの最初のものでなければなりません。
   - [実行中に実行する]：テストにこのステップを含むバッチが含まれている場合、このステップはバッチの最初のステップの後と最後のステップの前に現れなければなりません。
   - [実行を停止する]：テストにこのステップを含むバッチが含まれている場合、このステップはバッチの最後のステップでなければなりません。
8. 順序フィールドで、この構成を持つステップがテスト ステップの追加ダイアログのステップリストに表示される場所を指定する整数を入力します。
   詳細は、「順番フィールドの例」で [順序] フィールドの使用例を参照してください。
9. [テンプレートリマインダー]フィールドに、このステップがテンプレートの一部としてテストに含まれている場合に表示する指示を入力します。
   詳細は、テンプレートリマインダーフィールドの使用例を参照してください。
10. **[HTML** の説明] フィールドで、[新規ステップの作成 (Create New Step)] ダイアログでカーソルがこのステップを強調表示したときに表示するテキストを入力します。

    詳細は、「HTML の説明の例」で [HTML の説明] フィールドの使用例を参照してください。

    > **注:**
    > 次の 2 つのステップではスクリプトを記述しますが、入力変数と出力変数を追加するまで完了を待つ必要があります。

11. 記述生成スクリプトフィールドで、このタイプのステップがテストに含まれている場合は、テストステップレコードに割り当てられた説明を生成するために、提供されたテンプレートにコードを追加します。
    このスクリプトの作成の詳細については、ステップ説明生成スクリプト を参照してください。システムがこの説明を表示する場所の例を表示するには、説明生成スクリプトの例 を参照してください。
12. ステップ実行スクリプトフィールドで、このタイプのステップが実行されるときに実行されるスクリプトを定義するために、提供されたテンプレートにコードを追加します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スクリプトテンプレートには、ステップの入力、出力、およびステップの結果を処理するための手順と例が示されています。ステップ実行スクリプトの詳細については、ステップ実行スクリプトを参照してください。

13. [送信] をクリックします。
新しいテスト ステップ構成が作成され、テスト構成のリストに戻ります。
14. オプション: このステップ構成に入力変数を追加します。
    a. ステップ構成レコードにアクセスします。
    b. [入力変数] タブまでスクロールし、[新規] をクリックします。
    c. 新しい変数に必要なフィールドを入力します。
    d. **[Submit** (送信)] をクリックします。
    e. 必要なすべての入力変数を追加するまで、これらの手順を繰り返します。
    f. オプション: 入力変数関連リストの [順番] 列の値を編集して、入力変数が新しいステップフォームに表示される順序をコントロールします。
15. オプション: このステップ構成に出力変数を追加します。
    a. [出力変数] タブまでスクロールし、[新規] をクリックします。
    b. 新しい変数に必要なフィールドを入力します。
    c. [送信] をクリックします。
    d. 必要なすべての出力変数を追加するまで、これらの手順を繰り返します。

関連情報

ステップ実行スクリプト

ステップ構成

自動テストフレームワーク (ATF) ステップ構成レコード

自動テストにステップ (テンプレート) の定義済みリストを追加する

カスタムステップ構成カテゴリの作成

カスタムステップ設定カテゴリを作成します。

始める前に

必要なロール：atf_test_admin

このタスクについて

カテゴリは、ダイアログでステップリストをフィルターにかけるために使用します。詳細については、「カテゴリフィールドの例」を参照してください。

手順

1. 移動先 すべて > 自動テストフレームワーク **(ATF)** > アドミニストレーション > ステップ構成カテゴリ.
2. [**New**] をクリックします。
システムは、テスト ステップ設定カテゴリーフォームを示します。
3. 名フィールドで、ステップカテゴリの名前を入力します。
4. ステップ環境フィールドで、このカテゴリのステップが実行するステップ環境を入力します。

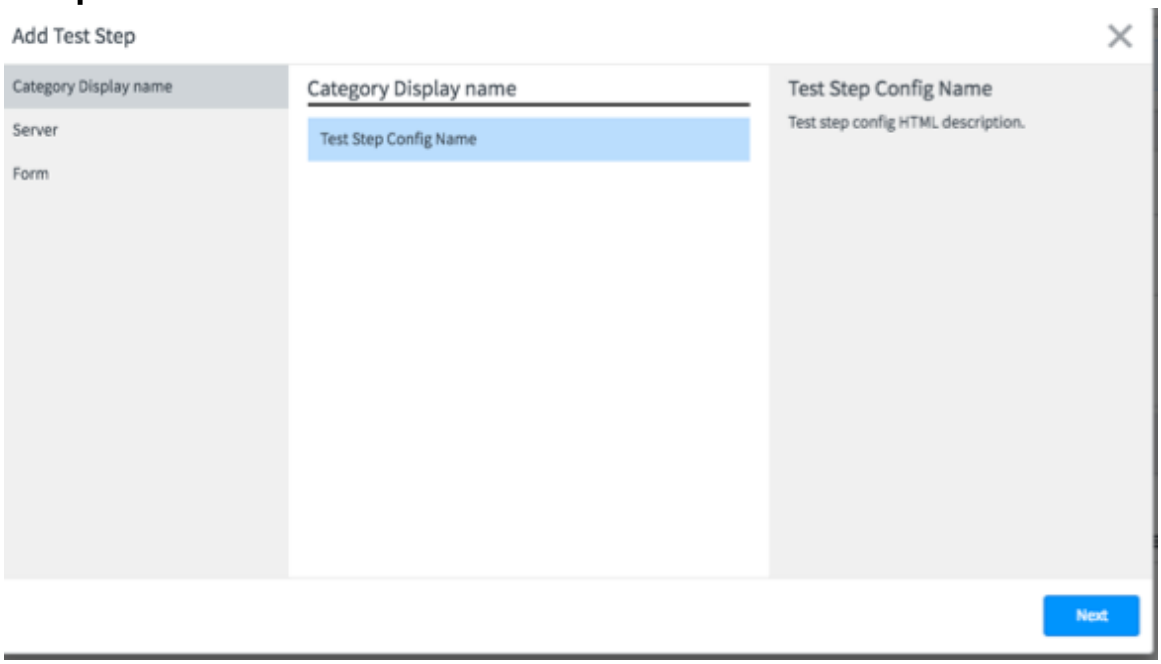
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- サーバー独立型：このカテゴリにサーバー上で実行されるステップが含まれるようにする場合。
- UI：このカテゴリにブラウザで実行されるステップを含める場合。
- サーバー - REST：インスタンスに受信 REST メッセージを提出するステップをこのカテゴリに含める場合。

5. 表示名フィールドで、このカテゴリが選択されている場合は、[テストステップの追加] ダイアログの中央の列に表示するカテゴリ名を入力します。

Example



6. [送信] をクリックします。
システムはテストステップカテゴリを作成し、テストステップ環境のリストに戻ります。

テストステップテンプレートの操作

テスト ステップテンプレートには、一度に自動テストに追加するステップのリストが含まれています。

関連情報

自動テストにステップ (テンプレート) の定義済みリストを追加する

自動テストステップテンプレートの作成

自動テストに一度に追加するステップのリストを含むテンプレートを作成することで、テスト時間を短縮します。

始める前に
必要なロール：atf_test_admin または atf_test_designer

このタスクについて
多くのテストが同様のパターンを踏襲します。よくあるパターンの 1 つは、たとえばフォームを開き、フィールドの値を設定し、フィールドの値を検証し、UI アクションをクリックし、レコードプロデューサーを開き、カタログアイテムを開き、現在のフォームを送信することです。これらのステップを含むテンプレートが存在する場合、それらを全て一度にテストに追加できます。自動テストフレームワーク (ATF) にはベースシステムにデフォルトのテンプレートが付属します。この手順では、独自のテンプレートを作成します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > 自動テストフレームワーク **(ATF)** > アドミニストレーション > テストテンプレート.
   システムはテストテンプレートリストを表示します。
2. [新規] をクリックします。
   テストテンプレートフォームが表示されます。
3. 名フィールドで、テンプレートの名前を入力します。
4. テストテンプレートフィールドで、ロックアイコン( )をクリックします。
   [テストテンプレート] フィールドはロック解除されて拡張され、編集可能となります。
5. テストテンプレートフィールドで、このテンプレートに追加する最初のテスト ステップの名前を入力します。
   テストステップがテストテンプレートリストに追加されます。
6. リストに含めるすべてのステップの追加が完了するまで、表示する順序でテストステップの追加を続行します。

   注:
   テストテンプレートは、テーブル、カタログアイテム、レコードプロデューサーをサポートしています。

7. [説明] フィールドで、このテンプレートの説明を入力します。
8. [送信] をクリックします。

関連情報

自動テストにステップ (テンプレート) の定義済みリストを追加する

自動テストステップテンプレートの編集

既存のテストテンプレートを編集します。

始める前に
必要なロール：atf_test_admin および atf_test_designer

手順

1. 移動先 すべて > 自動テストフレームワーク **(ATF)** > アドミニストレーション > テストテンプレート.
   システムはテストテンプレートリストを表示します。
2. 編集するテストテンプレートの行をクリックします。
   テストテンプレートフォームが表示されます。
3. テストテンプレートフィールドで、ロックアイコン( )をクリックします。
   テストtンプレートフィールドは編集を可能とするためにロックが解除され編集可能となります。
4. 注:
   リスト内の任意の場所でステップを削除できますが、リストの最後にのみステップを追加できます。テンプレートを使用してテストを追加した後にステップを並べ替えることができますが、テンプレート自体のステップを並べ替えることはできません。

   ステップをテンプレートに追加または削除します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- ステップを削除するには、そのステップを選択し、バツ**(X)**アイコンをクリックします。
- ステップを追加するには、テストテンプレートフィールドに、追加するステップの名前を入力します。

5. テスト ステップが必要なステップを含むまで、テスト ステップの追加と削除を続けます。

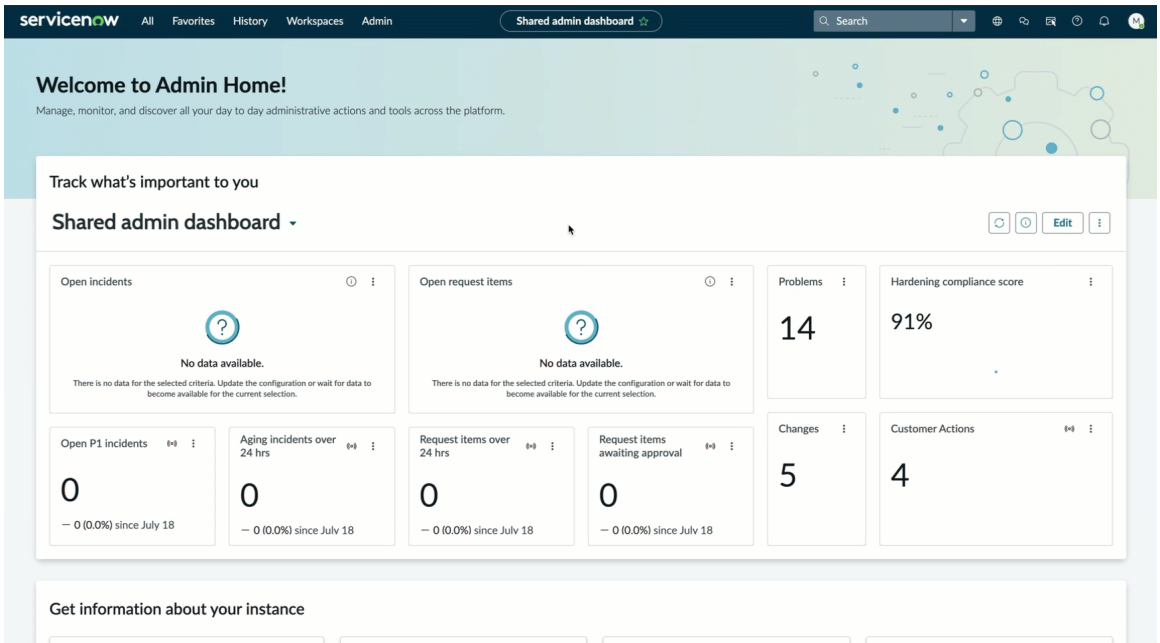
6. [送信] をクリックします。

関連情報

自動テストにステップ (テンプレート) の定義済みリストを追加する

構成可能ワークスペースコンポーネントのテスト

ページインスペクターを使用してほとんどの構成可能ワークスペースページでコンポーネントを直接操作することで、テストの作成を簡素化します。



ページインスペクターを使用した構成可能ワークスペースインタラクションのテストの作成

ページインスペクターを活用して、ほとんどの構成可能ワークスペースページのコンポーネントを直接操作してテストを作成します。

始める前に
必要なロール：admin

手順

1. 移動先 すべて > 自動テストフレームワーク **(ATF)** > テスト.
ATF テストのリストが表示されます。

2. [新規] を選択して、新しいテストを作成します。

3. フィールドに入力して送信します。

4. 作成したテストフォームで [**Add Test Step**] を選択します。

5. [構成可能ワークスペース] テストステップカテゴリを選択します。

6. オプション: [ワークスペースページを開く] テストステップを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

> **注:**
> この手順は、URL を使用してワークスペースページに移動する場合に適用されます。

a. [ワークスペースページを開く] フォームに詳細を入力します。

b. 使用するワークスペース URL を [ワークスペース URL] フィールドに追加します。

c. [送信] を選択してテスト ステップを作成します。

7. オプション: 作成したテストフォームで再度 [テストステップを追加] を選択し、[構成可能ワークスペース] テストステップカテゴリを選択します。

> **注:**
> このステップは、別の構成可能ワークスペーステストステップを作成する場合にのみ適用されます。

8. オプション: テストページテストステップを選択します。

> **注:**
> この手順は、ワークスペースページで Seismic コンポーネントを操作する場合にのみ適用されます。詳細については、「テスト可能 構成可能なワークスペースコンポーネント」を参照してください。

[構成可能ワークスペーステストオーサリング] モーダルが表示されます。

a. 検査するワークスペースページの URL を入力します。

> **注:**
> デフォルトでは、[ワークスペースページを開く] テストステップで選択された URL が表示されます。ワークスペースページを開くテストステップを作成していない場合は、検査するワークスペースの URL を入力する必要があります。

b. [開く] を選択してワークスペース ページを開きます。ワークスペースページが新しいタブで開きます。右側のパネルに、検査するページのコンポーネントが表示されます。

c. [コンポーネントリストの更新 (REFRESH COMPONENT LIST)] を選択して、ページ上のすべてのコンポーネントが表示されるようにします。

d. インスペクターをページ上のコンポーネントにドラッグアンドドロップします。

> **注:**
> 選択したコンポーネントの名前が右側のパネルに表示されます。それに伴い、選択したコンポーネントに関連するアクションも表示されます。コンポーネントに必要なアクションを選択します。これらのアクションは、コンポーネントによって理解されるアクションです。

e. コンポーネントに必要なアクションを選択します。

f. 入力の値を入力し、オプションで、選択したアクションに対してアサートする予期される戻り値を入力します。

g. [送信] を選択してテスト ステップを作成します。

9. 必要なすべてのナビゲーションとコンポーネントのインタラクションが完了するまで、テストページステップの追加を続行します。
テストステップは、テスト名の下のドロップダウンで、またはテストフォームの [テストステップ] 関連リストを再ロードすることで、表示、削除、並べ替えを行うことができます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
テストフォームの [テストステップ] 関連リストの情報は、前のステップで更新されます。

10. オプション: テストフォーム関連リストからテストページテストステップを開き、[ページインタラクションを編集] を選択して、既存のテストページステップを変更するか、テストオーサリングセッションを再開します。
ページインスペクターは、最新の [ワークスペースページを開く] ステップからワークスペースページをロードし、バッチ内のすべてのテストページのステップを再生します。前のステップを削除すると、バッチ内のすべてのテストページのステップがリロードおよび再生され、正常なワークスペースナビゲーションパスが検証されます。

自動テストフレームワーク (ATF) テストの実行を有効または無効にする

このインスタンスでテストおよびテストスイートを実行することを許可または禁止します。

始める前に
必要なロール：atf_test_admin

このタスクについて
デフォルトでは、自動テストを実行するためのシステムプロパティは、実稼働システムでは実行できないように無効になっています。データの破損や機能停止を避けるため、開発、テスト、および他の非本番インスタンスでのみテストを実行してください。

手順

1. 移動先 すべて > 自動テストフレームワーク (ATF) > アドミニストレーション > プロパティ.
2. テスト実行プロパティを設定します。
   - テストおよびテストスイートの実行を有効にするには、 [テストまたはテストスイートの実行を有効にします] を選択します。
   - テストおよびテストスイートの実行を無効にするには、 [テストまたはテストスイートの実行を有効にします] を選択します。
3. [保存] を選択します。

ATF テスト結果のデータ保持ポリシーの変更

自動フラッシュデータ保存ポリシーを変更します。これは、システムがデータを保持する期間と、データを参照することにより、テストおよびテストスイートの結果を指定します。sys_atf_test_result または sys_atf_test_suite_result 基本表のフラッシュ回数を変更できます。この設定では、テスト結果データが利用可能な時間を調整します。

始める前に
必要なロール：atf_test_admin

このタスクについて
システムは、sys_atf_test_result および sys_atf_test_suite_result のベーステーブル (およびオプションでデータ参照) のデータを定期的にフラッシュします。 デフォルトでは、テストおよびテストスイートの結果のデータは作成から 30 日後に削除されます。 このタスクでは、特定のベーステーブル (sys_atf_test_result または sys_atf_test_suite_result) に格納されているデータの自動フラッシュ保持ポリシーを変更できます。

手順

1. 移動先 すべて > 自動テストフレームワーク (ATF) > アドミニストレーション > テーブルのクリーンアップ.
   自動テスト結果表のために保持する保持ポリシー(自動フラッシュ)のリストが表示されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

2. 変更する保持ポリシー (sys_atf_test_result または sys_atf_test_suite_result) を選択します。この保存ポリシーのレコードが表示されます。

   注:
   タブ名フィールドには、選択した自動フラッシュ保持ポリシーが適用されるテーブルの名前が表示されます。このフィールドの別のタブ名を選択すると、自動フラッシュレコードの整合性が損なわれます。既存の ATF ポリシーの tablename を ATF データ保持動作に悪影響を及ぼさないように、基本システム (デフォルト) の値にしておきます。

3. システムがデータを保持してデータを参照する時間を決定する方法を指定します。

   a. **Matchfield** フィールドで、システムが継続時間を監視するために使用するフィールドを入力します。
   たとえば、データを削除するように指定するにはバツシステムがそれを作成した後の時間、**Matchfield** セットを **sys_created_on** のデフォルト値に残します。

   b. 年齢フィールドで、関連するデータを削除してデータを参照するまでにシステムが待機する時間 (秒)を入力します。

4. 指定したデータ (たとえば、sys_atf_test_result) にポリシーを適用し、そのポリシーを参照するデータを選択する場合は、[カスケード削除] (デフォルト値) を選択します。
   影響を受ける参照データは、sys_atf_test_result_item、sys_atf_test_result_step、および sys_attachment (table_name = sys_atf_test_result の場合) のテーブルに格納します。ポリシーで選択したテーブル (sys_atf_test_resultなど) のデータを単純にフラッシュし、参照元データのフラッシュをスキップしてから、カスケード削除を消去します。
5. 条件フィールドで、この自動フラッシュ保持ポリシーのデータ選択(および、オプションでデータの参照)に使用するフィルタ条件を指定します。
   デフォルトは無限に保持するのは偽で、なぜならテスト結果レコードはまた、特定のテスト結果の自動フラッシュを無効にできる 無期限に保持するチェックボックスを含んでいるからです。
6. [更新] をクリックします。

自動テストクライアントランナーのステータスと保持ポリシーの管理

アクティブなクライアントテスト ランナーがシステムに報告する頻度と、システムが非アクティブなクライアントテスト ランナーのレコードを保持する期間を変更します。

始める前に
必要なロール：atf_test_admin

このタスクについて
クライアントテストランナーを開始すると、そのランナーがアクティブとして登録されます。これは、テストを実行しているか、テストを実行するために使用できることを意味します。 ランナーは、アクティブである間、指定された間隔でシステムにレポートします。ランナーが予定時刻にレポートしない場合、システムはそのランナーを非アクティブとしてマークします。しばらくすると、ランナーは削除されます。このタスクにより、これらの間隔を制御する 自動テストフレームワーク (ATF) のプロパティを変更するできるようになります。

手順

1. 移動先 すべて > 自動テストフレームワーク **(ATF)** > アドミニストレーション > プロパティ.
2. テスト ランナーのプロパティセクションに移動します。
3. アクティブなクライアントテストランナーがシステムにレポートする間隔を設定するには、[テストランナーのハートビート間隔] フィールドで、レポート間隔を秒単位で入力します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

4. システムがテストランナーを削除する前にテストランナーが非アクティブのままにできる期間を設定するには、[テストランナーのタイムアウト] フィールドで、時間を秒単位で入力します。
5. [保存] をクリックします。

関連情報

- クライアントテストランナーでの作業
- アクティブ手動テストランナー
- スケジュール済みのアクティブテストランナー

あるインスタンスから別のインスタンスへの自動テストの移動

更新セットの通常のプロセスを使用して、自動テストをあるインスタンスから別のインスタンスに移動します。

必要なロール：atf_test_admin

更新セットを使用して、自動化されたテスト、自動化されたテストスイート、および関連するデータを移動できます。詳細については、「システムアップデートセット」を参照してください。

さまざまな自動テストおよびスイート結果の結果と実行時間の比較

自動化されたテストまたは自動化されたテストスイートの異なる実行の実行時間を比較できます。 1 つの自動化されたテストスイートの結果を時間の経過と共に比較することもできます。

始める前に

必要なロール：atf_test_admin または atf_test_designer

自動テストのさまざまな実行の実行時間を比較する

同じテストの異なる実行でシステムが各テスト ステップを実行するのにかかった時間を比較します。

手順

1. 移動先 自動テストフレームワーク **(ATF)** > テスト.
2. 結果を比較するテストの行を選択します。
   システムは、テストフォームを表示します。
3. テスト結果関連リストに行きます。
4. 比較するテスト結果の行を確認します。
5. 選択した行に対するアクションコントロールから、テスト ステップの結果を比較する をクリックします。
   テスト結果の実行時間の棒グラフの比較が表示されます。

同じ自動テストスイートの異なる実行の実行時間を比較する

同じテストスイートの異なる実行間でシステムが各テストを実行するのにかかった時間を比較します。

手順

1. 移動先 自動テストフレームワーク **(ATF)** > スイート.
2. 結果を比較するテストスイートの行を選択します。
   システムは、テストスイートフォームを表示します。
3. テストスイートの結果関連リストに行きます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

4. 比較したいテストスイートの結果がある行を確認します。
5. 選択した行に対するアクションコントロールから、テスト結果の比較をクリックします。
   テスト結果の実行時間の棒グラフの比較が表示されます。

テストスイートの自動実行の結果を比較する(エージングレポート)

同じテストスイートの異なるランで合格したテスト数と失敗したテスト数を比較します。

手順

1. 移動先 自動テストフレームワーク **(ATF)** > スイート.
2. 結果を比較するテストスイートの行を選択します。
   システムは、テストスイートフォームを表示します。
3. 関連リンクで、 エージングレポートを表示するをクリックします。
   テストスイートエージングレポートが表示されます。

REST テストステップ構成の管理

要求と応答のペイロードサイズ、フィルタ要求と応答ヘッダーを設定し、基本認証プロファイルを作成します。

自動テストフレームワーク **(ATF)** を使用した基本認証プロファイルの作成

ベーシック認証プロファイルを作成して、提出要求 - 受信テストステップのベーシック認証情報を指定します。

始める前に

必要なロール：web_service_admin

このタスクについて

ユーザー名とパスワードは、プロファイルを使用するテストが実行されるインスタンスで有効な認証情報でなければなりません。

手順

1. 移動先 すべて > 自動テストフレームワーク **(ATF)** > テスト.
2. Send Request - Inbound ステップを使用するテストを選択します。
3. 送付要求 - 受信ステップを選択します。
4. ベーシック認証フィールドで、使用可能なプロファイルを調べる砂時計を選択します。
5. 基本認証構成フォームで、新規を 選択します。
6. 名フィールドで、このプロファイルの名前を入力します。
7. ユーザー名フィールドで、ユーザー名を入力します。
8. パスワードフィールドに、パスワードを入力します。
9. [送信] をクリックします。

REST 要求ヘッダーと応答ヘッダーのフィルタリング

ステップ結果レコードに保存されないREST要求ヘッダーと応答ヘッダーのリストを追加できます。認証情報またはその他の機密情報が含まれているヘッダーをフィルタリングできます。代わりに、「セキュリティのために編集されたヘッダー」というフレーズが保存されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィルタリングするヘッダを指定するには、フィルターに掛けるヘッダー名のコンマ区切りのリストとしてシステムプロパティ glide.atf.rest.log.header_blacklist を作成します。プロパティの追加については、「システムプロパティを追加する」を参照してください。

自動テストフレームワーク (ATF) の REST プロパティ

これらのプロパティは、ATF RESTとともにインストールします。

注:
システムのプロパティ [sys_properties] テーブルを開くには、ナビゲーションフィルターに「sys_properties.list」と入力します。

プロパティ	使用法
glide.atf.rest.log.header_blacklist	その内容をログに追加しないか、フォームに表示するヘッダーのリスト。代わりに、「セキュリティのために編集されたヘッダー」というフレーズが保存されます。 • タイプ：文字列 • デフォルト値：空 • その他の可能な値 ：コンマで区切られたヘッダー名のリスト。 • 場所：システムプロパティ [sys_properties] テーブル
glide.atf.rest.request_payload_max_size	要求ペイロードの最大サイズ。 • タイプ：文字列 • デフォルト値：100 • 最大値：1024 Kb • 場所：システムプロパティ [sys_properties] テーブル
glide.atf.rest.response_payload_max_size	応答ペイロードの最大サイズ。 • タイプ：文字列 • デフォルト値：100 • 最大値：5120 Kb • 最大値：システムプロパティ [sys_properties] テーブル

自動テストパフォーマンスの最適化

自動テストでスクリーンショットをキャプチャする頻度を調整することで、システムトランザクションログレコードを調べたり、実行時間を短縮したりすることで、自動テストパフォーマンスのトラブルシューティングを行うことができます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動テストのスクリーンショット設定の管理

多くのスクリーンショットをキャプチャすると、テストのパフォーマンスが低下する可能性があります。この影響を最小限に抑えるために、システムがキャプチャするスクリーンショットの種類をコントロールできます。

デフォルトでは、フォームテスト ステップを実行するたびにスクリーンショットがキャプチャします。この情報は、テスト結果の理解に役立ちますが、システムがテストを実行する速度を遅くする可能性があります。

自動テストフレームワーク (ATF) の設定を変更して、システムがすべてのスクリーンショットをキャプチャするようにしたり (デフォルト)、スクリーンショットをキャプチャしないようにしたり、または失敗したテストステップのスクリーンショットのみをキャプチャするようにしたりすることができます。

これらの設定を変更して、このインスタンスで実行されるすべてのテストに影響を与えたり、現在のクライアントテスト ランナーセッションだけに影響を与えることができます。このインスタンスで実行されるすべてのテストに反映するには、自動テストフレームワーク (ATF) のプロパティを 自動テストフレームワーク (ATF) のプロパティページから設定します。現在のクライアントテストランナーセッションだけに影響を与えるには、クライアントテストランナーブラウザーウィンドウからスクリーンショットモードを設定します。

システムプロパティを設定して、自動テストフレームワーク **(ATF)** がスクリーンショットをキャプチャするタイミングを制御する

このインスタンスがフォームテストステップのスクリーンショットをキャプチャする頻度をコントロールするには、自動テストフレームワークのプロパティページでスクリーンショットキャプチャモードを設定します。

始める前に

必要なロール：atf_test_admin または admin

このタスクについて

自動テストフレームワーク (ATF) プロパティページからのスクリーンショットモードの設定は、このインスタンスで開始された新しいクライアントテストランナーに反映されます。この設定は、現在実行中のテスト ランナーには影響しません。

手順

1. 移動先 すべて > 自動テストフレームワーク **(ATF)** > アドミニストレーション > プロパティ.
2. スクリーンショットのキャプチャを有効または無効にするプロパティをドロップダウンメニューからセットします。
   - すべてのステップのスクリーンショットを作成するには、すべてのステップで有効を選択します。
   - 失敗したステップだけのスクリーンショットをキャプチャするには、すべての失敗したステップで有効にするを選択します。
   - スクリーンショットを取り入れない場合は、すべてのステップで無効を選択します。
3. スクリーンショットのタイムアウト時間間隔を秒でセットします。
   試行の長さがこの値を超える場合、クライアントテスト実行ではスクリーンショットキャプチャが実行されません。この値を増やす前に、影響を受けるクライアントシステムのパフォーマンス設定とブラウザのキャッシュを確認してください
4. [保存] をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クライアントテストランナープロパティを設定して、自動テストフレームワーク (ATF) がスクリーンショットをキャプチャするタイミングを制御する

現在のクライアントテストランナーがフォームテストステップのスクリーンショットをキャプチャする頻度をコントロールするには、クライアントテストランナーブラウザウィンドウでスクリーンショットキャプチャモードを設定します。

始める前に
必要なロール：atf_test_admin または admin

このタスクについて
クライアントテスト ランナーのブラウザウィンドウからのスクリーンショットモードの設定は、このクライアントテスト ランナーのみに影響し、このテスト ランナーセッションが終了するまで続きます。この設定は、実行中の他のテスト ランナーや今後のテスト ランナーには影響しません。

手順

1. クライアントのテスト ランナーのブラウザウィンドウで、フォーム設定アイコン( )をクリックします。
2. スクリーンショットモードオプションをクリックします。
   - すべてのステップのスクリーンショットを作成するには、すべてのステップで有効を選択します。
   - 失敗したステップだけのスクリーンショットをキャプチャするには、すべての失敗したステップで有効にするを選択します。
   - スクリーンショットを取り入れない場合は、すべてのステップで無効を選択します。
3. [保存] をクリックします。

自動テスト結果のトランザクションデータの表示

自動テストでパフォーマンスの問題をトラブルシューティングするために、トランザクションログエントリ [syslog_transaction] テーブルから関連レコードを検査できます。

始める前に
必要なロール：test_admin または admin

このタスクについて
注:
システムでは、短時間の一部のトランザクションをログに記録できない場合があります。

手順

システムトランザクションログの関連するトランザクションレコードに移動します。

- ステップ結果レコードから、ステップトランザクション関連リスト内のトランザクションを表示します。
- テスト結果レコードから、[テストトランザクション] 関連リスト内のトランザクションを表示します。

スケジュール済みのテストスイートの操作

指定した日時にテストスイートを実行するようにスケジュールすることができます。

テストスイートをスケジュールするには、次の3 つのコンポーネントが必要です。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- テストスイートレコード
- システムにテストスイートを実行させる時刻を指定するスケジュールレコード
- テストスイートを、それを実行するスケジュールと関連付けるスケジュールされたスイート実行レコード

このモデルでは、さまざまなテストスイートにスケジュールを関連付けることができます。

注:
スケジュールできるのは、個々のテストではなくテストスイートのみです。スケジュール済みのテストは、スケジュール済みのスイートのブラウザ条件に一致するスケジュール済みのクライアントテスト ランナーページが開いている場合にのみ実行されます。スケジュール済みのテストは、ロックされている、電源が切れている、またはブラウザが開いていないマシンでは実行できません。

テストスイート実行レコードのウォッチリストでは、システムがテストスイート実行を完了したときに、ユーザーが電子メールを受け取るように指定することもできます。

テストスイートに 1 つ以上のフォームステップ(ユーザーインターフェイスを含むステップ)が含まれている場合は、スケジュールでスイートを実行する時に、スケジュール済みのクライアントテストランナーがブラウザでアクティブに実行されていることを保証する必要があります。

注:
クライアントテスト ランナーを実行するための推奨事項と要件については、ブラウザの推奨事項と要件を参照してください。

テストスイートをスケジュールするための段階的な手順については、「自動テストスイートのスケジュール」を参照してください。

スケジュール済みのテストスイートの実行完了時にメールを受け取るユーザーの指定

スケジュール済みのテストスイートの実行が終了したときに、通知を受けるユーザーを指定できます。

始める前に
必要なロール：atf_test_admin

手順

1. スケジュール済みのテストスイートの実行レコードに移動します。
2. このスケジュール済みのテストスイートの実行完了時に通知するすべてのユーザーを、レコードのウォッチリストに追加します。

自動テストフレームワーク **(ATF)** のスケジュール済みテストスイートの完了通知メール

システムがスケジュール済みのテストスイートの実行を完了すると、スケジュール済みのテストスイート実行レコードウォッチリストのユーザーに電子メールが送信されます。この電子メールには、スケジュール済みのスイート実行およびその結果に関する詳細情報へのリンクと情報が含まれています。

注:
メールを送信するには、メール機能を有効にする必要があります。

スイート統計情報

電子メールの「スイート統計」セクションには、スイート数および結果のステータス (失敗 (F)、エラー (E)、スキップ (S)、キャンセル (C)、合格 (P)) 別の詳細が示されています。各ステータスの意味については、「テストスイート結果レコード」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

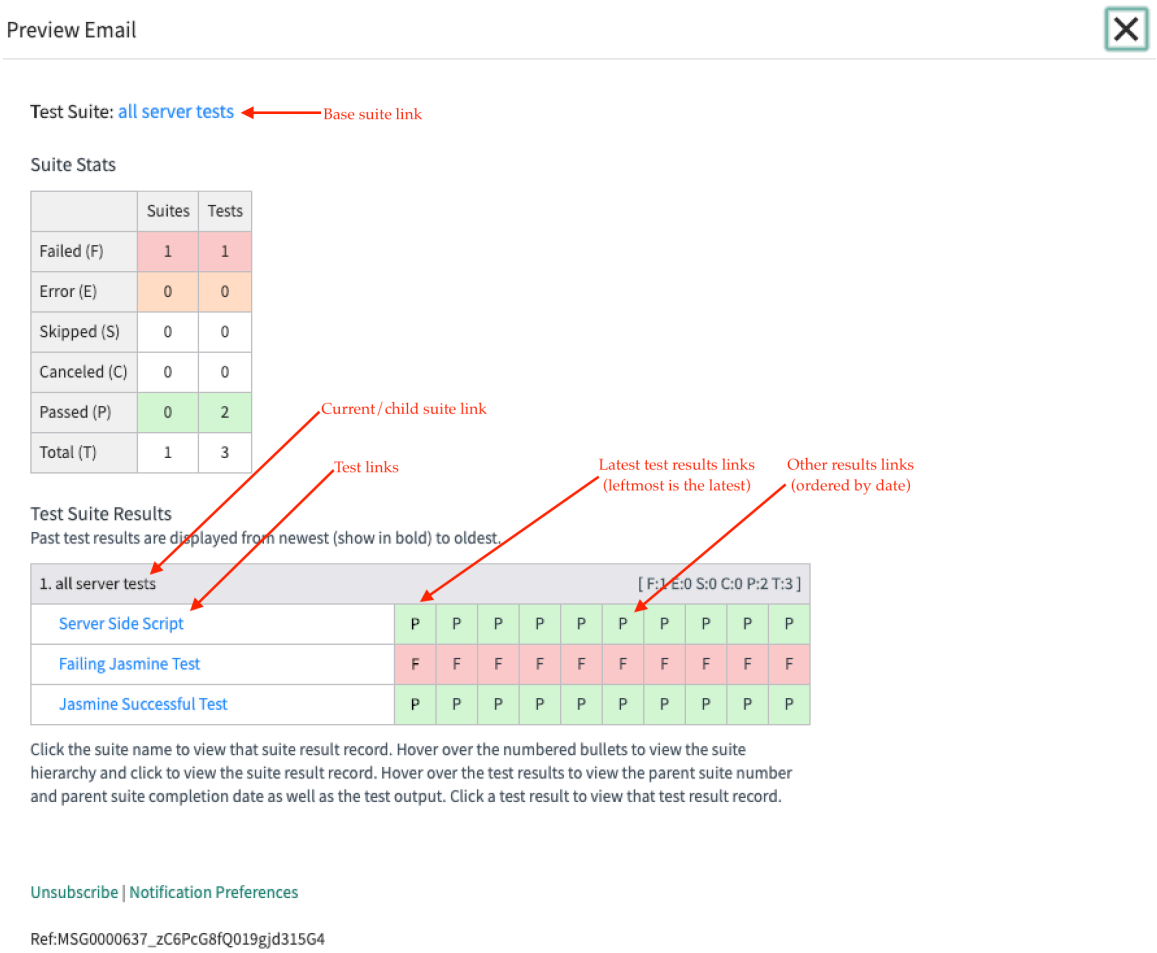
自動翻訳

テストスイート結果

電子メールの「テストスイートの結果」セクションでは、時間の経過とともにテストスイートの結果がレポートされます。

注:
デフォルトでは、このレポートには失敗したテストのあるスイートのみが含まれていますが、この設定はプロパティページのメールプロパティフィールドで変更できます。デフォルトに設定すると、テストスイート内の失敗したテストのみが報告されます。

メールレポートのプレビュー



注:
ATF は、最近のテスト結果のみをメールレポートで報告します。設定された保持時間制限内であれば、以前のテスト結果はすべて存在しています。ATF テスト結果の保持ポリシーの詳細については、「テーブルクリーンアップ」を参照してください。

テスト結果キー

文字	色	説明
F	赤	不合格のテスト
P	緑	合格したテスト
S	白	スキップされたテスト
C	白	キャンセルされたテスト

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テスト結果キー (続く)

文字	色	説明
E	オレンジ	テストにエラーがあります

各エントリは、その実行の結果レコードへのリンクとして機能します。これらの項目のいずれかにマウスを合わせると、親スイート番号、親スイート終了時刻、およびテスト結果出力が表示されます。

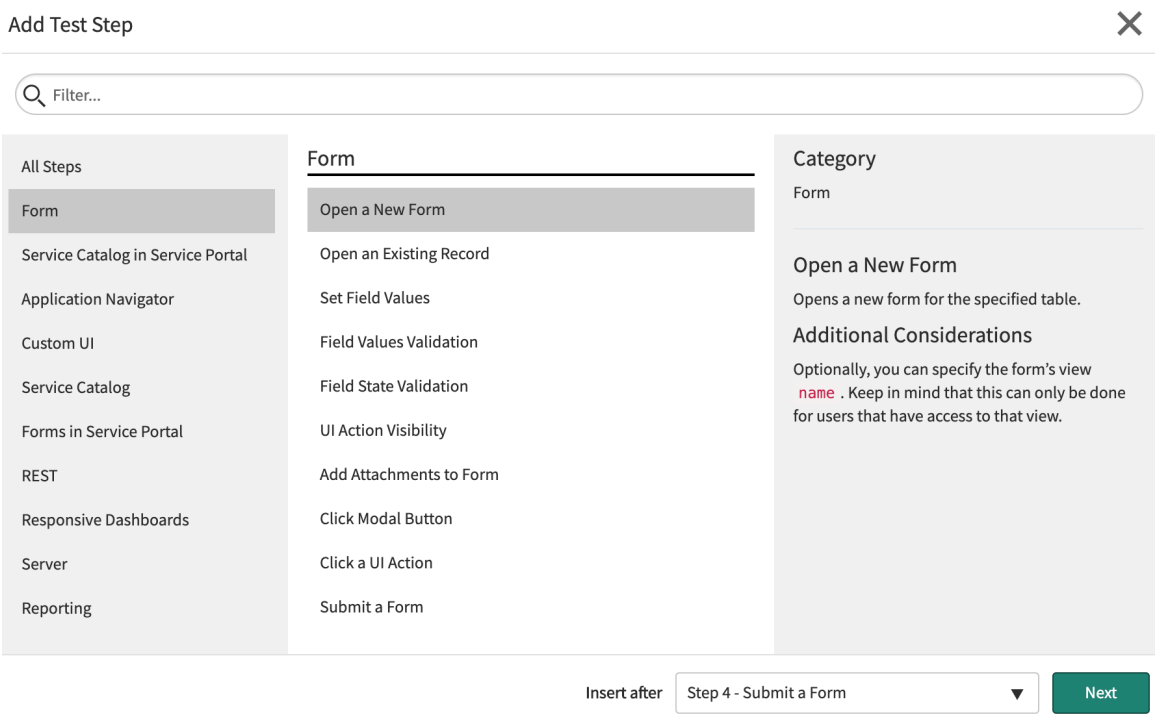
電子メールの内容に影響するプロパティ

[自動テストフレームワーク (ATF) のプロパティ]フォームでは、メールの形式と内容に影響するオプションを設定できます。

自動テストフレームワーク (ATF) (ATF) テストステップカテゴリ

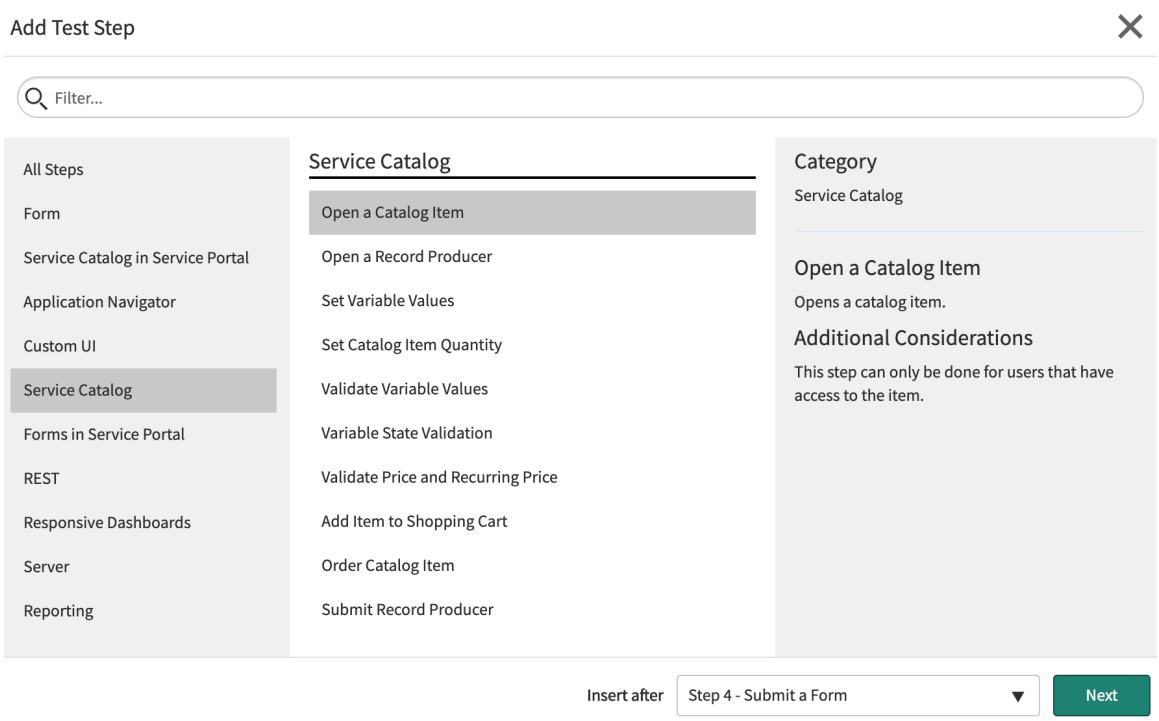
特定のユーザーインターフェイスまたは ServiceNow AI Platform 機能のテストステップを見つけます。

[テストステップを追加] パネルの左ペインにテストカテゴリがリストされます。パネルの上部にある検索フィールドで、特定のテストステップをその名前で直接検索できます。左ペインで [すべての手順] を選択して、使用可能なすべてのテストステップを中央ペインにリストすることもできます。選択したステップの説明が右ペインに表示されます。



特定のテストカテゴリを選択して、そのテストカテゴリで利用可能なテストステップのみを中央パネルに一覧表示できます。選択したステップの説明が右側のパネルに表示されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



再利用可能テストカテゴリ

他のさまざまなテスト (定期テストまたは再利用可能なテスト) に組み込むことができる再利用可能なテストコンポーネントを作成し、冗長なテストコードを最小限に抑え、テストの保守性を向上させます。

再利用可能テストのテストステップカテゴリには、デフォルトでインスタンスで作成されたすべての再利用可能なテストが含まれています。テスト ステップを追加する場合は、[テスト ステップの追加] を選択します。これで、再利用可能テストテストステップカテゴリから作成した再利用可能なテストを呼び出すことができます。

注:
デフォルトでは、再利用可能なテストはこのカテゴリに表示されます。別のカテゴリの再利用可能なテストをカスタマイズした場合は、選択したテストステップカテゴリの下に表示されます。

入力

フィールド	説明
実行順序	テストのこのステップの実行順序を指定する整数。 ステップを作成すると、各ステップに増分値が自動的に割り当てられます。この値により、テストでは、ステップが作成された順に実行されます。このデフォルトを変更するには、[実行命令] 値を編集します。
有効	このテストステップの使用をアクティブ化するオプション。
アプリケーション	システムがこのステップを実行する読み取り専用のアプリケーションスコープ。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

入力 (続く)

フィールド	説明
テスト	ステップを追加するテストの読み取り専用の名前。このテストは、定期的なテストでも再利用可能なテストでもかまいません。
タイムアウト	ステップがパスするのを待機する時間。
再利用可能テスト	追加する再利用可能なテストの読み取り専用の名前。
メモ	テストステップの説明。

詳細については、「再利用可能なテスト」を参照してください。

サービスポータルのサービスカタログカテゴリ

サービスポータル からのカタログアイテムトランザクションと要求者フローを検証します。

サービスポータルのサービスカタログの自動テストフレームワーク (ATF) のアクティブ化

ATF テストステップでは、自動テストフレームワーク (ATF) サービスカタログサービスポータル (com.glide.automated_testing_impl.service_catalog_portal) プラグインのアクティブ化が必要です。これは新しいインスタンスでデフォルトでアクティブになっています。アドミニストレーターは、以前のバージョンからアップグレードしたインスタンスでプラグインをアクティブにする必要がある場合があります。

パラメーター化されたテストのサポート

サービスポータルのサービスカタログステップ構成は、パラメーター化されたテストをサポートしています。パラメーター化されたテストの詳細については、「パラメーター化されたテスト」を参照してください。

レコードプロデューサーを開く (SP)

サービスポータルでレコードプロデューサを開きます。

入力

フィールド	説明
実行順序	テストのこのステップの実行順序を指定する整数。 ステップを作成すると、各ステップに増分値が自動的に割り当てられます。この値により、テストでは、ステップが作成された順に実行されます。このデフォルトを変更するには、[実行命令] 値を編集します。
有効	このテストステップの使用をアクティブ化するオプション。
アプリケーション	システムがこのステップを実行するアプリケーションスコープ。
テスト	ステップを追加するテストの読み取り専用の名前。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

入力 (続く)

フィールド	説明
ステップ構成	ステップの読み取り専用の名前。
説明	テストステップの説明。このフィールド値はテストステップのフィールド値に基づいて自動的に設定されます。このフィールドは、テストステップが送信された後に表示されます。
メモ	テストステップに関するメモ。
ポータル	このステップをテストするポータル。
ページ	テストステップに関連付けられたサービスカタログページ。
レコードプロデューサー	開くレコードプロデューサー。 注: レコードプロデューサーへのアクセス権を持っている必要があります。
クエリパラメーター	ページの URL クエリパラメーター (*sys_id* など)。

カタログアイテムを開く **(SP)**

サービスポータルでカタログアイテムを開きます。

入力

フィールド	説明
実行順序	テストのこのステップの実行順序を指定する整数。 ステップを作成すると、各ステップに増分値が自動的に割り当てられます。この値により、テストでは、ステップが作成された順に実行されます。このデフォルトを変更するには、[実行命令] 値を編集します。
有効	このテストステップの使用をアクティブ化するオプション。
アプリケーション	システムがこのステップを実行するアプリケーションスコープ。
テスト	ステップを追加するテストの読み取り専用の名前。
ステップ構成	ステップの読み取り専用の名前。
説明	テストステップの説明。このフィールド値はテストステップのフィールド値に基づいて自動的に設定されます。このフィールドは、テストステップが送信された後に表示されます。
ポータル	このステップをテストするポータル。
ページ	テストステップに関連付けられたサービスカタログページ。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

入力 (続く)

フィールド	説明
カタログアイテム	開くカタログアイテム。 注: このカタログアイテムへのアクセス権を持っている必要があります。
クエリパラメーター	ページの URL クエリパラメーター (*sys_id* など)。

注文ガイド **(SP)** を開く

サービスポータルで注文ガイドを開きます。

入力

フィールド	説明
実行順序	テストのこのステップの実行順序を指定する整数。 ステップを作成すると、各ステップに増分値が自動的に割り当てられます。この値により、テストでは、ステップが作成された順に実行されます。このデフォルトを変更するには、[実行命令] 値を編集します。
有効	このテストステップの使用をアクティブ化するオプション。
アプリケーション	システムがこのステップを実行するアプリケーションスコープ。
テスト	ステップを追加するテストの読み取り専用の名前。
ステップ構成	ステップの読み取り専用の名前。
説明	テストステップの説明。このフィールド値はテストステップのフィールド値に基づいて自動的に設定されます。このフィールドは、テストステップが送信された後に表示されます。
メモ	テストステップに関するメモ。
ポータル	このステップをテストするポータル。
ページ	テストステップに関連付けられたサービスカタログページ。
注文ガイド	開く注文ガイド。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

入力 (続く)

フィールド	説明
	注: この注文ガイドへのアクセス権を持っている必要があります。
クエリパラメーター	ページの URL クエリパラメーター (*sys_id* など)。

複数行の変数セット **(SP)** に行を追加

サービスポータルの現在のカタログアイテムに含まれる複数行の変数セットに行を追加します。このステップ構成は、現在のカタログアイテムに複数行の変数セットが含まれている場合にのみ使用できます。

このステップは、カタログアイテムを開く (SP) ステップ、レコードプロデューサを開く (SP) ステップ、または注文ガイドを開く (SP) ステップの後に使用します。カタログアイテムを開く (SP) ステップ、レコードプロデューサを開く (SP) ステップ、または注文ガイドを開く (SP) ステップにコンテキスト値が使用されている場合、このステップでカタログアイテムを設定します。

入力

フィールド	説明
実行順序	テストのこのステップの実行順序を指定する整数。 ステップを作成すると、各ステップに増分値が自動的に割り当てられます。この値により、テストでは、ステップが作成された順に実行されます。このデフォルトを変更するには、[実行命令] 値を編集します。
有効	このテストステップの使用をアクティブ化するオプション。
タイムアウト	ステップが失敗するまでの秒数。検証に失敗すると、タイムアウトの時間になるまでステップが繰り返されます。タイムアウト経過後に検証が失敗すると、ステップは失敗します。
アプリケーション	システムがこのステップを実行するアプリケーションスコープ。
テスト	ステップを追加するテストの読み取り専用の名前。
ステップ構成	ステップの読み取り専用の名前。
メモ	テストステップに関するメモ。
カタログアイテム	複数行の変数セットに行を追加する必要があるカタログアイテム。アイテムがまだ選択されていない場合は、そのアイテムを検索するか、使用可能なパラメーターのリストからそのアイテムのコンテキスト値への参照を挿入できます。
複数行の変数セット	行を追加する複数行の変数セット。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

複数行変数セット (SP) の現在の行を保存する

サービスポータルの現在のカタログアイテムに含まれる複数行の変数セットの現在の行を保存します。このステップ構成は、現在のカタログアイテムに複数行の変数セットが含まれている場合にのみ使用できます。複数行の変数セット (SP) に行を追加ステップの後にこのステップを使用します。

入力

フィールド	説明
実行順序	テストのこのステップの実行順序を指定する整数。 ステップを作成すると、各ステップに増分値が自動的に割り当てられます。この値により、テストでは、ステップが作成された順に実行されます。このデフォルトを変更するには、[実行命令] 値を編集します。
有効	このテストステップの使用をアクティブ化するオプション。
タイムアウト	ステップが失敗するまでの秒数。検証に失敗すると、タイムアウトの時間になるまでステップが繰り返されます。タイムアウト経過後に検証が失敗すると、ステップは失敗します。
アプリケーション	システムがこのステップを実行するアプリケーションスコープ。
テスト	ステップを追加するテストの読み取り専用の名前。
ステップ構成	ステップの読み取り専用の名前。
メモ	テストステップに関するメモ。
アサーションタイプ	テストに合格するための基準。 複数行の変数セットに行を正常に保存しました 複数行の変数の現在の行が保存された場合のみテストに合格します。 複数の行の変数セットに行を保存できません 複数行の変数の現在の行が保存されなかった場合のみテストに合格します。

変数値の設定 (SP)

サービスポータルのカタログアイテムまたはレコードプロデューサの変数値を設定します。カタログアイテムの場合、カタログアイテムを開く (SP) ステップを使用した後、およびカタログアイテムの注文 (SP) ステップを使用する前に、このステップを使用します。

レコード プロデューサの場合は、レコード プロデューサを開く (SP) のステップを使用した後、レコード プロデューサの送信 (SP) ステップを使用する前に、このステップを使用します。

入力

フィールド	説明
実行順序	テストのこのステップの実行順序を指定する整数。 ステップを作成すると、各ステップに増分値が自動的に割り当てられます。この値により、テストでは、ステップが作成された順に実行されます。このデフォルトを変更するには、[実行命令] 値を編集します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

入力 (続く)

フィールド	説明
有効	このテストステップの使用をアクティブ化するオプション。
アプリケーション	システムがこのステップを実行するアプリケーションスコープ。
テスト	ステップを追加するテストの読み取り専用の名前。
ステップ構成	ステップの読み取り専用の名前。
説明	テストステップの説明。このフィールド値はテストステップのフィールド値に基づいて自動的に設定されます。このフィールドは、テストステップが送信された後に表示されます。
メモ	テストステップに関するメモ。 **注:** 条件ビルダーを使用してフィールド値を設定します。条件ビルダーには、フィールドのデータタイプに適したコントロールが表示されます。たとえば、参照フィールドにはルックアップレコードコントロールが表示されます。
アイテム	変数値を設定するカタログアイテムまたはレコードプロデューサー。
複数行の変数セット	変数値を設定する複数行の変数セット。 **注:** 現在のステップ構成の前に複数行の変数セット (SP) に行を追加ステップ構成を使用します。
変数値	変数とそれらに設定する値のリスト。 **注:** 複数の変数の値を設定できます。

注:
[変数値の設定] ステップ構成では、カスタム変数とラベル付きカスタム変数はサポートされていません。

変数値の検証 (SP)

サービスポータルのカタログアイテムまたはレコードプロデューサの変数値を検証します。カタログアイテムの場合、カタログアイテムを開く (SP) ステップを使用した後、およびカタログアイテムの注文 (SP) ステップを使用する前に、このステップを使用します。

レコード プロデューサの場合は、レコード プロデューサを開く (SP) のステップを使用した後、レコード プロデューサの送信 (SP) ステップを使用する前に、このステップを使用します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

入力

フィールド	説明
実行順序	テストのこのステップの実行順序を指定する整数。 ステップを作成すると、各ステップに増分値が自動的に割り当てられます。この値により、テストでは、ステップが作成された順に実行されます。このデフォルトを変更するには、[実行命令] 値を編集します。
有効	このテストステップの使用をアクティブ化するオプション。
タイムアウト	ステップが失敗するまでの秒数。検証に失敗すると、タイムアウトの時間になるまでステップが繰り返されます。タイムアウト経過後に検証が失敗すると、ステップは失敗します。
アプリケーション	システムがこのステップを実行するアプリケーションスコープ。
テスト	ステップを追加するテストの読み取り専用の名前。
ステップ構成	ステップの読み取り専用の名前。
説明	テストステップの説明。このフィールド値はテストステップのフィールド値に基づいて自動的に設定されます。このフィールドは、テストステップが送信された後に表示されます。
メモ	テストステップに関するメモ。 **注:** 条件ビルダーを使用してフィールド値を設定します。条件ビルダーには、フィールドのデータタイプに適したコントロールが表示されます。たとえば、参照フィールドにはルックアップレコードコントロールが表示されます。
アイテム	変数を検証する必要があるカタログアイテムまたはレコードプロデューサー。
複数行の変数セット	変数値を検証する複数行の変数セット **注:** 現在のステップ構成の前に複数行の変数セット (SP) に行を追加ステップ構成を使用します。
カタログ状態	変数の検証の条件。条件を満たしている場合、テストは合格です。 **注:** 変数セットに関連付けられた変数のラベルは、変数セット名が反映されます。形式は *`variable_set_name » variable_name`* です。

注:
[変数値の検証] ステップ構成では、カスタム変数とラベル付きカスタム変数はサポートされていません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

変数ステータスの検証 (SP)

サービスポータルの変数の状態を検証します。変数の状態は、必須、任意、読み込み専用、非読み込み専用、表示、非表示です。

入力

フィールド	説明
実行順序	テストのこのステップの実行順序を指定する整数。 ステップを作成すると、各ステップに増分値が自動的に割り当てられます。この値により、テストでは、ステップが作成された順に実行されます。このデフォルトを変更するには、[実行命令] 値を編集します。
有効	このテストステップの使用をアクティブ化するオプション。
タイムアウト	ステップが失敗するまでの秒数。検証に失敗すると、タイムアウトの時間になるまでステップが繰り返されます。タイムアウト経過後に検証が失敗すると、ステップは失敗します。
アプリケーション	システムがこのステップを実行するアプリケーションスコープ。
テスト	ステップを追加するテストの読み取り専用の名前。
ステップ構成	ステップの読み取り専用の名前。
説明	テストステップの説明。このフィールド値はテストステップのフィールド値に基づいて自動的に設定されます。このフィールドは、テストステップが送信された後に表示されます。
メモ	テストステップに関するメモ。
アイテム	変数を検証する必要があるカタログアイテムまたはレコードプロデューサー。
複数行の変数セット	変数の状態を検証する複数行の変数セット。 **注:** 現在のステップ構成の前に複数行の変数セット (SP) に行を追加ステップ構成を使用します。
表示	ステップが合格するために表示する必要があるカタログアイテム変数のリスト。
非表示	ステップが合格するために非表示にする必要があるカタログアイテム変数のリスト。
読み取り専用	ステップが合格するために読み取り専用にする必要があるカタログアイテム変数のリスト。
非読み取り専用	ステップが合格するために読み取り専用にしてはならないカタログアイテム変数のリスト。
必須	ステップが合格するために必須にする必要があるカタログアイテム変数のリスト。
任意	ステップが合格するために必須にしてはならないカタログアイテム変数のリスト。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
[変数値ステータスの検証] ステップ構成では、カスタム変数とラベル付きカスタム変数はサポートされていません。

価格および繰り返し発生料金の検証 (SP)

サービスポータルでカタログアイテムの価格および繰り返し発生料金を検証します。カタログアイテムを開く (SP) ステップを使用した後で、カタログアイテムの注文 (SP) ステップを使用する前に、このステップを使用します。このステップはレコード プロジューサには適用されません。

入力

フィールド	説明
実行順序	テストのこのステップの実行順序を指定する整数。 ステップを作成すると、各ステップに増分値が自動的に割り当てられます。この値により、テストでは、ステップが作成された順に実行されます。このデフォルトを変更するには、[実行命令] 値を編集します。
有効	このテストステップの使用をアクティブ化するオプション。
アプリケーション	システムがこのステップを実行するアプリケーションスコープ。
テスト	ステップを追加するテストの読み取り専用の名前。
ステップ構成	ステップの読み取り専用の名前。
説明	テストステップの説明。このフィールド値はテストステップのフィールド値に基づいて自動的に設定されます。このフィールドは、テストステップが送信された後に表示されます。
メモ	テストステップに関するメモ。
価格	ステップが合格するためのカタログアイテムの価格。
繰り返し発生料金	ステップが合格するためのカタログアイテムの繰り返し発生料金。
繰り返し発生料金の頻度	ステップが合格するためのカタログアイテムの繰り返し発生料金の頻度。

注文ガイド (SP) 内を移動する

注文ガイド内を移動します。

入力

フィールド	説明
実行順序	テストのこのステップの実行順序を指定する整数。 ステップを作成すると、各ステップに増分値が自動的に割り当てられます。この値により、テストでは、ステップが作成された順に実行され

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

入力 (続く)

フィールド	説明
	ます。このデフォルトを変更するには、[実行命令] 値を編集します。
有効	このテストステップの使用をアクティブ化するオプション。
アプリケーション	システムがこのステップを実行するアプリケーションスコープ。
テスト	ステップを追加するテストの読み取り専用の名前。
ステップ構成	ステップの読み取り専用の名前。
説明	テストステップの説明。このフィールド値はテストステップのフィールド値に基づいて自動的に設定されます。このフィールドは、テストステップが送信された後に表示されます。
メモ	テストステップに関するメモ。
ガイドステップ	ナビゲートする注文ガイドステップ： • ニーズを説明 • オプションを選択 • サマリー
アサーションタイプ	テストに合格するための基準。 ナビゲーションに成功しました ナビゲーションが成功した場合にのみ、テストに合格します。 ナビゲーションに失敗しました ナビゲーションが失敗した場合にのみ、テストに合格します。

自動翻訳

カタログアイテム数量の設定 (SP)

サービスポータルのカタログアイテムの数量を設定します。このステップはレコード プロジューサには適用されません。カタログアイテムを開く (SP) ステップを使用した後で、カタログアイテムの注文 (SP) ステップを使用する前に、このステップを使用します。

入力

フィールド	説明
実行順序	テストのこのステップの実行順序を指定する整数。 ステップを作成すると、各ステップに増分値が自動的に割り当てられます。この値により、テストでは、ステップが作成された順に実行されます。このデフォルトを変更するには、[実行命令] 値を編集します。
有効	このテストステップの使用をアクティブ化するオプション。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

入力 (続く)

フィールド	説明
アプリケーション	システムがこのステップを実行するアプリケーションスコープ。
テスト	ステップを追加するテストの読み取り専用の名前。
ステップ構成	ステップの読み取り専用の名前。
説明	テストステップの説明。このフィールド値はテストステップのフィールド値に基づいて自動的に設定されます。このフィールドは、テストステップが送信された後に表示されます。
メモ	テストステップに関するメモ。
数量	注文するカタログアイテムの数量。

注文ガイドアイテム **(SP)** の検証

注文ガイドに含まれているアイテムを確認します。

入力

フィールド	説明
実行順序	テストのこのステップの実行順序を指定する整数。 ステップを作成すると、各ステップに増分値が自動的に割り当てられます。この値により、テストでは、ステップが作成された順に実行されます。このデフォルトを変更するには、[実行命令] 値を編集します。
有効	このテストステップの使用をアクティブ化するオプション。
アプリケーション	システムがこのステップを実行するアプリケーションスコープ。
テスト	ステップを追加するテストの読み取り専用の名前。
ステップ構成	ステップの読み取り専用の名前。
説明	テストステップの説明。このフィールド値はテストステップのフィールド値に基づいて自動的に設定されます。このフィールドは、テストステップが送信された後に表示されます。
メモ	テストステップに関するメモ。
カタログアイテム	検証するカタログアイテム。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

入力 (続く)

フィールド	説明
	注: これらのカタログアイテムへのアクセス権を持っている必要があります。

注文ガイドの概要のレビュー (SP)

サービスポータルで注文ガイドの概要をレビューします。

入力

フィールド	説明
実行順序	テストのこのステップの実行順序を指定する整数。 ステップを作成すると、各ステップに増分値が自動的に割り当てられます。この値により、テストでは、ステップが作成された順に実行されます。このデフォルトを変更するには、[実行命令] 値を編集します。
有効	このテストステップの使用をアクティブ化するオプション。
アプリケーション	システムがこのステップを実行するアプリケーションスコープ。
テスト	ステップを追加するテストの読み取り専用の名前。
ステップ構成	ステップの読み取り専用の名前。
説明	テストステップの説明。このフィールド値はテストステップのフィールド値に基づいて自動的に設定されます。このフィールドは、テストステップが送信された後に表示されます。
メモ	テストステップに関するメモ。
カタログアイテム	レビューするカタログアイテム。 注: これらのカタログアイテムへのアクセス権を持っている必要があります。
価格	ステップが合格するためのカタログアイテムの価格。

注文ガイド (SP) のアイテムをレビューする

注文ガイドで個々のアイテムをレビューし、そのアイテムを含めるかどうかを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

入力

フィールド	説明
実行順序	テストのこのステップの実行順序を指定する整数。 ステップを作成すると、各ステップに増分値が自動的に割り当てられます。この値により、テストでは、ステップが作成された順に実行されます。このデフォルトを変更するには、[実行命令] 値を編集します。
有効	このテストステップの使用をアクティブ化するオプション。
タイムアウト	ステップが失敗するまでの秒数。検証に失敗すると、タイムアウトの時間になるまでステップが繰り返されます。タイムアウト経過後に検証が失敗すると、ステップは失敗します。
アプリケーション	システムがこのステップを実行するアプリケーションスコープ。
テスト	ステップを追加するテストの読み取り専用の名前。
ステップ構成	ステップの読み取り専用の名前。
説明	テストステップの説明。このフィールド値はテストステップのフィールド値に基づいて自動的に設定されます。このフィールドは、テストステップが送信された後に表示されます。
メモ	テストステップに関するメモ。
カタログアイテム	レビューするカタログアイテム。 **注:** このカタログアイテムへのアクセス権を持っている必要があります。
包含済み	カタログアイテムを注文ガイドに含める必要がある場合に選択し、それ以外の場合は選択しません。

買い物かごへのアイテムの追加 **(SP)**

サービスポータルの買い物かごに現在のカタログアイテムを追加します。カタログアイテムを開く (SP) ステップを使用した後、このステップを使用します。

入力

フィールド	説明
実行順序	テストのこのステップの実行順序を指定する整数。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

入力 (続く)

フィールド	説明
	ステップを作成すると、各ステップに増分値が自動的に割り当てられます。この値により、テストでは、ステップが作成された順に実行されます。このデフォルトを変更するには、[実行命令] 値を編集します。
有効	このテストステップの使用をアクティブ化するオプション。
タイムアウト	ステップが失敗するまでの秒数。検証に失敗すると、タイムアウトの時間になるまでステップが繰り返されます。タイムアウト経過後に検証が失敗すると、ステップは失敗します。
アプリケーション	システムがこのステップを実行するアプリケーションスコープ。
テスト	ステップを追加するテストの読み取り専用の名前。
ステップ構成	ステップの読み取り専用の名前。
説明	テストステップの説明。このフィールド値はテストステップのフィールド値に基づいて自動的に設定されます。このフィールドは、テストステップが送信された後に表示されます。
メモ	テストステップに関するメモ。
アサーションタイプ	テストに合格するための基準。 買い物かごにアイテムを正常に追加しました カタログアイテムが買い物かごに正常に追加された場合にのみ、テストに合格します。 買い物かごにアイテムを追加できません カタログアイテムをカートに追加できない場合にのみ、テストに合格します。

出力

フィールド	説明
cart_item_id	追加されたカタログアイテムの sys_id。

買い物かご **(SP)** に注文ガイドを追加する

買い物かごに注文ガイドを追加します。

入力

フィールド	説明
実行順序	テストのこのステップの実行順序を指定する整数。 ステップを作成すると、各ステップに増分値が自動的に割り当てられます。この値により、テストでは、ステップが作成された順に実行され

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

入力 (続く)

フィールド	説明
	ます。このデフォルトを変更するには、[実行命令] 値を編集します。
有効	このテストステップの使用をアクティブ化するオプション。
タイムアウト	ステップが失敗するまでの秒数。検証に失敗すると、タイムアウトの時間になるまでステップが繰り返されます。タイムアウト経過後に検証が失敗すると、ステップは失敗します。
アプリケーション	システムがこのステップを実行するアプリケーションスコープ。
テスト	ステップを追加するテストの読み取り専用の名前。
ステップ構成	ステップの読み取り専用の名前。
説明	テストステップの説明。このフィールド値はテストステップのフィールド値に基づいて自動的に設定されます。このフィールドは、テストステップが送信された後に表示されます。
メモ	テストステップに関するメモ。
アサーションタイプ	テストに合格するための基準。 買い物かごに注文ガイドを追加できません 注文ガイドをカートに追加できない場合にのみ、テストに合格します。 買い物かごに注文ガイドを正常に追加しました 注文ガイドが買い物かごに正常に追加された場合にのみ、テストに合格します。

カタログアイテムの注文 (SP)

サービスポータルで現在のカタログアイテムに対して [今すぐ注文] をクリックします。カタログアイテムを開く (SP) ステップを使用した後、このステップを使用します。

このステップを実行すると、カタログアイテムに対して他のステップを使用することはできません。2 ステップチェックアウトが false の場合、カタログアイテムの要求が生成されます。2 ステップチェックアウトが true の場合、買い物かごプレビューページにリダイレクトされます。

入力

フィールド	説明
実行順序	テストのこのステップの実行順序を指定する整数。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

入力 (続く)

フィールド	説明
	ステップを作成すると、各ステップに増分値が自動的に割り当てられます。この値により、テストでは、ステップが作成された順に実行されます。このデフォルトを変更するには、[実行命令] 値を編集します。
有効	このテストステップの使用をアクティブ化するオプション。
タイムアウト	ステップが失敗するまでの秒数。検証に失敗すると、タイムアウトの時間になるまでステップが繰り返されます。タイムアウト経過後に検証が失敗すると、ステップは失敗します。
アプリケーション	システムがこのステップを実行するアプリケーションスコープ。
テスト	ステップを追加するテストの読み取り専用の名前。
ステップ構成	ステップの読み取り専用の名前。
説明	テストステップの説明。このフィールド値はテストステップのフィールド値に基づいて自動的に設定されます。このフィールドは、テストステップが送信された後に表示されます。
メモ	テストステップに関するメモ。
アサーションタイプ	テストに合格するための基準。 カタログアイテムを正常に注文しました カタログアイテムが正常に注文された場合にのみ、テストに合格します。 カタログアイテムを注文できません カタログアイテムを注文できない場合にのみ、テストに合格します。

出力

フィールド	説明
テーブル	送信された要求が属するテーブル。
record_id	送信された要求の sys_id。

注文ガイド (SP) を送信する

[今すぐ注文] をクリックして注文ガイドを注文します。注文ガイドに複数のレコードプロデューサーを追加しないでください。

入力

フィールド	説明
実行順序	テストのこのステップの実行順序を指定する整数。 ステップを作成すると、各ステップに増分値が自動的に割り当てられます。この値により、テ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

入力 (続く)

フィールド	説明
	ストでは、ステップが作成された順に実行されます。このデフォルトを変更するには、[実行命令] 値を編集します。
有効	このテストステップの使用をアクティブ化するオプション。
タイムアウト	ステップが失敗するまでの秒数。検証に失敗すると、タイムアウトの時間になるまでステップが繰り返されます。タイムアウト経過後に検証が失敗すると、ステップは失敗します。
アプリケーション	システムがこのステップを実行するアプリケーションスコープ。
テスト	ステップを追加するテストの読み取り専用の名前。
ステップ構成	ステップの読み取り専用の名前。
説明	テストステップの説明。このフィールド値はテストステップのフィールド値に基づいて自動的に設定されます。このフィールドは、テストステップが送信された後に表示されます。
メモ	テストステップに関するメモ。
アサーションタイプ	テストに合格するための基準。 注文ガイドを注文できません。 注文ガイドを注文できない場合にのみ、テストに合格します。 正常に注文ガイドを注文しました 注文ガイドが正常に注文された場合にのみ、テストに合格します。

出力

フィールド	説明
テーブル	送信された注文ガイドを含むテーブル。
record_id	送信された注文ガイドの sys_id。

レコードプロデューサーの送信 **(SP)**

サービスポータルで現在のレコードプロデューサを送信します。レコード プロデューサを開く (SP) のステップを使用した後、このステップを使用します。このステップの後、レコード プロデューサで他のステップを使用することはできません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

入力

フィールド	説明
実行順序	テストのこのステップの実行順序を指定する整数。 ステップを作成すると、各ステップに増分値が自動的に割り当てられます。この値により、テストでは、ステップが作成された順に実行されます。このデフォルトを変更するには、[実行命令] 値を編集します。
有効	このテストステップの使用をアクティブ化するオプション。
タイムアウト	ステップが失敗するまでの秒数。検証に失敗すると、タイムアウトの時間になるまでステップが繰り返されます。タイムアウト経過後に検証が失敗すると、ステップは失敗します。
アプリケーション	システムがこのステップを実行するアプリケーションスコープ。
テスト	ステップを追加するテストの読み取り専用の名前。
ステップ構成	ステップの読み取り専用の名前。
説明	テストステップの説明。このフィールド値はテストステップのフィールド値に基づいて自動的に設定されます。このフィールドは、テストステップが送信された後に表示されます。
メモ	テストステップに関するメモ。
アサーションタイプ	テストに合格するための基準。 レコードプロデューサーを正常に送信 レコードプロデューサーが正常に送信された場合にのみ、テストに合格します。 レコードプロデューサーを送信できません レコードプロデューサーを送信できない場合にのみ、テストに合格します。

出力

フィールド	説明
テーブル	レコードプロデューサーのターゲットレコードを含むテーブル。

アプリケーションナビゲーターカテゴリ

アプリケーションナビゲーターのメニューとモジュールの機能を確認します。

アプリケーションメニューの表示

アプリケーションナビゲーター(左側のナビゲーションバー)で選択されたアプリケーションメニューの可視化または可視化の欠如を検証します。たとえば、まずユーザーの代理操作を実行してから、指定したアプリケーションメニュー(セルフサービスやレポートなど)がそのユーザーに表示されているかまたは表示されていないかを確認するテストを作成します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

入力

フィールド	説明
実行順序	テストのこのステップの実行順序を指定する整数。 ステップを作成すると、各ステップに増分値が自動的に割り当てられます。この値により、テストでは、ステップが作成された順に実行されます。このデフォルトを変更するには、[実行命令] 値を編集します。
有効	このテストステップの使用をアクティブ化するオプション。
アプリケーション	システムがこのテストまたはテストスイートを実行するアプリケーションスコープ。
テスト	ステップを追加するテストの読み取り専用の名前。
ステップ構成	ステップの読み取り専用の名前。
説明	テストステップの説明。このフィールド値はテストステップのフィールド値に基づいて自動的に設定されます。このフィールドは、テストステップが送信された後に表示されます。
メモ	テストステップに関するメモ。
ナビゲーター	アサートするナビゲーターバージョン • コア UI (UI16)：新しいステップを作成する場合は、デフォルトで コア UI があります。 • ネクストエクスペリエンス： ネクストエクスペリエンス が有効になっている場合、ネクストエクスペリエンス がデフォルトのナビゲーターです。無効になっている場合、コア UI がデフォルトのナビゲーターです。
表示されるアサーションタイプ	[表示されるアプリケーションメニュー] フィールドで選択されたアプリケーションメニューの可視化をアプリケーションナビゲーターでテストする方法を指定します。 • 少なくともこれらのアプリケーションメニューは表示されます：最小限でも、選択したすべてのアプリケーションメニューがアプリケーションナビゲーターに表示されます。 • これらのアプリケーションメニューのみが表示されます：選択したアプリケーションメニューのみがアプリケーションナビゲーターに表示されます。
表示されるアプリケーションメニュー	アプリケーションナビゲーターでの可視化が検証されているアプリケーションメニュー。
表示されないアサーションタイプ	[表示されないアプリケーションメニュー] フィールドで選択されたアプリケーションメニューの可視化の欠如をアプリケーションナビゲーターでテストする方法を指定します。 • 少なくともこれらのアプリケーションメニューは表示されません：最小限でも、選択したすべてのアプリケーションメニューがアプリケーションナビゲーターに表示されません。 • これらのアプリケーションメニューのみが表示されません：選択したアプリケーションメニューのみがアプリケーションナビゲーターに表示されません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

入力 (続く)

フィールド	説明
表示されないアプリケーションメニュー	アプリケーションナビゲーターでの可視化の欠如が検証されているアプリケーションメニュー。

関連情報

アプリケーションメニューの作成

アプリケーションメニューの作成

アプリケーションメニューは、ユーザーがアプリケーションナビゲーターでアクセスできるメインコンテンツを定義します。アプリケーションナビゲーターに表示するアプリケーションを構成できます。

始める前に
必要なロール：admin

このタスクについて
アプリケーションメニューを作成するときは、モジュールなどを統合アプリケーションメニューにグループ化することを検討してください。既存のメニューを編集するときは、アプリケーションメニューに有用なモジュールをさらに追加し、不要なモジュールを削除します。

手順

1. 移動先 すべて > システム定義 > アプリケーションメニュー.
2. [**New**] をクリックします。
3. フォームに入力します。

フィールド	説明
タイトル	アプリケーションメニューの表示名を定義します。
ロール	指定されたロールにアクセスを制限します。アプリケーションメニューがアクティブな場合は、すべてのユーザーがそれを表示できます。
カテゴリ	ナビゲーションメニューのスタイルを定義するメニューカテゴリを指定します (デフォルト値は [カスタムアプリケーション] です)。
ヒント	ユーザーがこのアプリケーションメニューにカーソルを合わせたときにツールヒントに表示されるテキストを定義します。
有効	アプリケーションメニューをアクティブ化するには、チェックボックスをオンにします。アクティブなアプリケーションメニューのみが、アプリケーションナビゲーターに表示されます。
説明	このアプリケーションの機能について、より詳細な説明を提供します。
その他のフィールド	
順番	アプリケーションナビゲーター内のアプリケーションメニューの相対位置を定義します。順序を指定しない場合は、メニューカテゴリのデフォルトの順序が使用されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
デフォルトのデバイスタイプ	このフィールドは使用されません。モバイルデバイス用のアプリケーションメニューは別のテーブルで定義できます。

注:
すべてのフィールドが表示されるようにフォームを設定する必要がある場合があります。

4. [送信] をクリックします。
5. アプリケーションメニューに表示されるモジュールを作成します。
   モジュールを含むアプリケーションメニューのみがアプリケーションナビゲーターに表示されます。

モジュールの作成

モジュールは子、つまりアプリケーションナビゲーター内のアプリケーションの第 2 階層のナビゲーションオプションです。多くの場合、モジュールはプラットフォーム内の他のページやレコードにリンクされています。アプリケーションナビゲーターにどのモジュールを表示するかを、アプリケーションメニューモジュールを使用して構成できます。

アプリケーションナビゲーターにアプリケーションメニューとモジュールを追加する方法については、この 5 分間のビデオをご覧ください。 アプリケーションナビゲーターにアプリケーションメニューとモジュールを追加する方法を示します

始める前に
必要なロール：admin

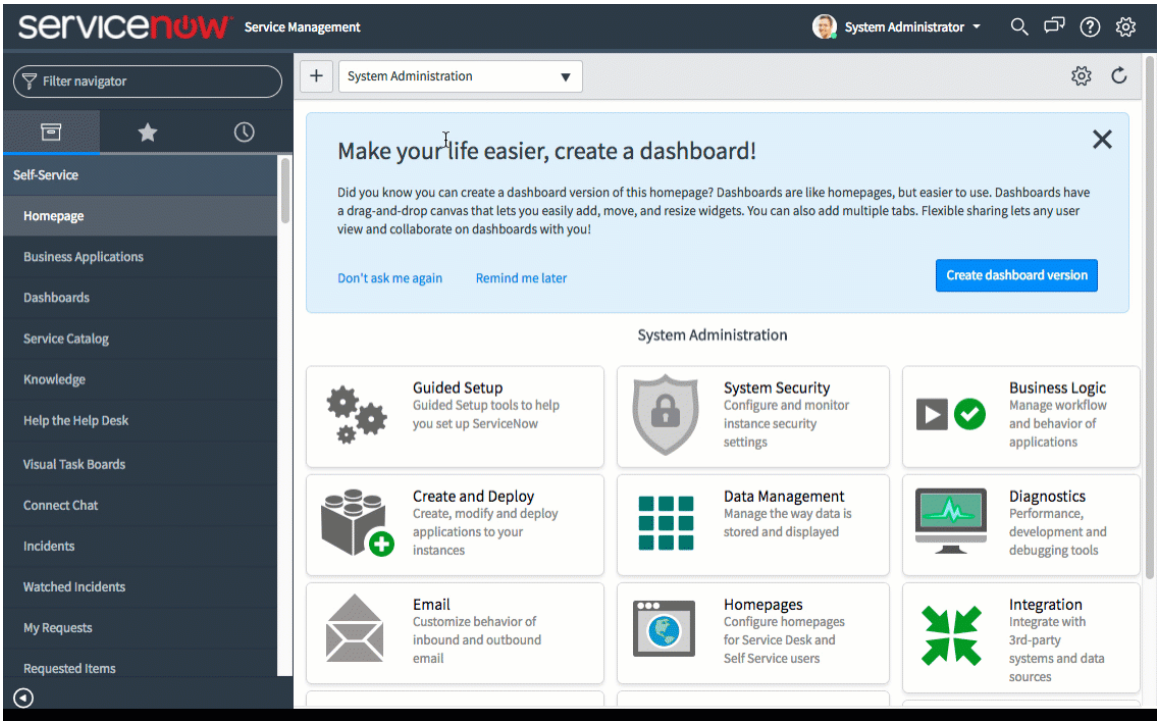
手順

1. 次のいずれかの方法を使用して、アプリケーションメニューレコードを開きます。
   - 移動先 システム定義 > アプリケーションメニュー をクリックし、リストからアプリケーションメニューを選択します。
   - アプリケーションメニューをポイントし、[アプリケーションの編集] (鉛筆) アイコンをクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

モジュールを作成する **2** つの方法



2. [モジュール] 関連リストまで下にスクロールし、[新規] をクリックします。

3. [モジュール] フォームのフィールドに入力して、モジュールを定義します。

モジュールフォーム

フィールド	説明
タイトル	モジュール名を定義します。モジュールを明確に識別するタイトルを選択します。
アプリケーションメニュー	モジュールが表示されるアプリケーションメニューの名前を指定します。
ヒント	ユーザーがモジュール名をポイントするときに表示されるツールヒントを定義します。 **注:** モジュールヒントは コア UI で廃止されました
順番	他のモジュールに関連してモジュールが表示される順序。

4. [可視化] タブで、フィールドに入力します。

[可視化] タブ

フィールド	説明
ロール	モジュールのアクセスを指定されたロールに制限します。このフィールドを空白のままにすると、モジュールはアプリケーションメニューにアクセスできるすべてのユーザーに表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
有効	モジュールがアプリケーションナビゲーターに表示されるようにするかどうかを定義します。
アプリケーションメニューロールを上書き	含まれているアプリケーションメニューを表示する権限がない場合でも、ユーザーにこのモジュールへのアクセスを許可します。ユーザーはこのモジュールのロール要件を満たしている必要があります。

5. [リストタイプ] タブで、フィールドに入力します。

表示されるフィールドは、選択した [リンクタイプ] によって異なります。すべてのモジュール URI をエンコードする必要があります。モジュール URI に引数を指定する場合は、ユーザー自身または ServiceNow のいずれかが指定します。モジュール URI をエンコードする方法の詳細については、「モジュール URI のエンコーディング」を参照してください。

[リストタイプ] タブ

フィールド	説明
リンクタイプ	このモジュールで開かれる関連付けのタイプを指定します。リンクタイプに基づいて追加情報を指定する必要があります。「モジュールのリンクタイプ」を参照してください。
テーブル	モジュールが使用するテーブルを指定します。 **注:** このリストには、モジュールと同じスコープ内にあるテーブルビューとデータベースビューのみが表示されます。
フィルター	モジュールに表示されるアイテムの条件。たとえば、「アクティブ = **true**」などです。
Argument	モジュール URI を作成するために URI に追加される文字列。sysparm_query を指定できます。これらの値は、 ユーザー自身または ServiceNow がエンコードする必要があります。モジュール URI をエンコードする方法の詳細については、「モジュール URI のエンコーディング」を参照してください。
順番	アプリケーションでモジュールが表示される順序を指定します。

モジュールのリンクタイプ

[モジュール] フォームの [リンクタイプ] フィールドは、モジュールが開くリンクのタイプを指定します。

モジュールのリンクタイプ

リンクタイプ	説明
アセスメント	[アセスメント] 参照フィールドで選択したアセスメントベースのサーベイへのリンク。「サーベイモジュールの作成」を参照してください。
コンテンツページ	[コンテンツページ] 参照フィールドで選択したコンテンツページを表示します。「コンテンツページの作成」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

モジュールのリンクタイプ (続く)

リンクタイプ	説明
ドキュメントリンク	ドキュメントページにリンクし、新しいタブまたはウィンドウで開きます。このリンクタイプは、ドキュメントトピックの埋め込みメタデータとともに使用されます。モジュールから内部ドキュメントを開くには、**[URL ([引数] から)]** モジュールリンクタイプを使用します。
ホームページ	[ホームページ] 参照フィールドで選択したホームページが表示されます。
HTML (引数から)	アプリケーションナビゲーターに HTML を配置します。このリンクタイプは、フラット URL では十分にカスタマイズできない複雑なリンクに使用します。 注: • **[HTML ([引数] から)]** リンクタイプは、従来の UI15 および UI11 インターフェイスでのみサポートされています。コア UI では、代わりに **[URL ([引数] から)]** リンクタイプを使用します。 • [引数] フィールドに値を入力します。
リストフィルター	[テーブル] フィールドで選択したテーブルの未設定のリストビューを表示します。最初にリストをロードせずにユーザーがフィルターを指定できるようにします。[フィルター] フィールドを使用して、リストのデフォルトのフィルターを定義します。[ビュー名] フィールドを使用して、[ビュー管理] を指定します。
レコードリスト	[テーブル] フィールドで選択したテーブルのリストビューを表示します。[フィルター] フィールドを使用して、リストのデフォルトのフィルターを定義します。[ビュー名] フィールドを使用してビューを指定します。
マップページ	[マップページ] 参照フィールドで選択したマップページが表示されます。
新規レコード	[テーブル] フィールドで選択したテーブルにレコードを作成するためのフォームを表示します。 • [ビュー名] フィールドを使用してビューを指定します。 • [引数] フィールドを使用してテンプレートを適用します。「テンプレートのモジュールを作成する」を参照してください。
レポートを実行	[レポート] フィールドで選択した保存済みレポートを実行します。
スクリプト (引数から)	[引数] フィールドで定義されているスクリプトを実行します。 注: [引数] フィールドに値を入力します。
検索画面	テーブル内のレコードを検索するための空白のフォームを表示するリンク。[ビュー名] フィールドを使用してビューを指定します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

モジュールのリンクタイプ (続く)

リンクタイプ	説明
	注: パラメーター *&sysparm_result_view=view_name* を使用して、結果がレンダリングされるビューを定義します。 すべての検索では、[は次の値で始まる] クエリを使用して、一致するテキストを検索します。他のクエリタイプは検索画面ではサポートされていません。
セパレーター	モジュール間の分割を作成します。[タイトル] フィールドに名前を入力して、ユーザーが折りたたみまたは展開できるセクション名を追加します。
単一レコード	テーブル上の単一のレコードのフォームを表示します。[ビュー名] フィールドを使用してビューを指定します。
サーベイ	[サーベイ] 参照フィールドで選択した旧サーベイへのリンク。[サーベイの上書き] チェックボックスを使用して、サーベイを複数回実施できるかどうかを決定します。 **注:** [サーベイ] リンクタイプは旧サーベイでのみ使用され、アセスメントベースのサーベイに置き換えられます。モジュールをアセスメントベースのサーベイにリンクするには、[アセスメント] リンクタイプを選択します。
タイムラインページ	[タイムラインページ] 参照フィールドで選択したタイムラインページが表示されます。「タイムラインページ」を参照してください。
URL (引数から)	[引数] フィールドで定義されている URL を開きます。 オプション：[ウィンドウ名] フィールドを使用して、新しいウィンドウで開くリンクを定義します。 **注:** • 内部リンクの場合は、./catalog_home.do?sysparm_view=catalog_default または catalog_home.do?sysparm_view=catalog_default などの相対リンクを常に使用します。ServiceNow インスタンスへの絶対リンクは使用しないでください。URL は引き続き開発インスタンスを参照しているため、更新セットを開発インスタンスから本番インスタンスに移動すると問題が発生します。 • [引数] フィールドに値を入力します。

モジュール **URI** のエンコーディング

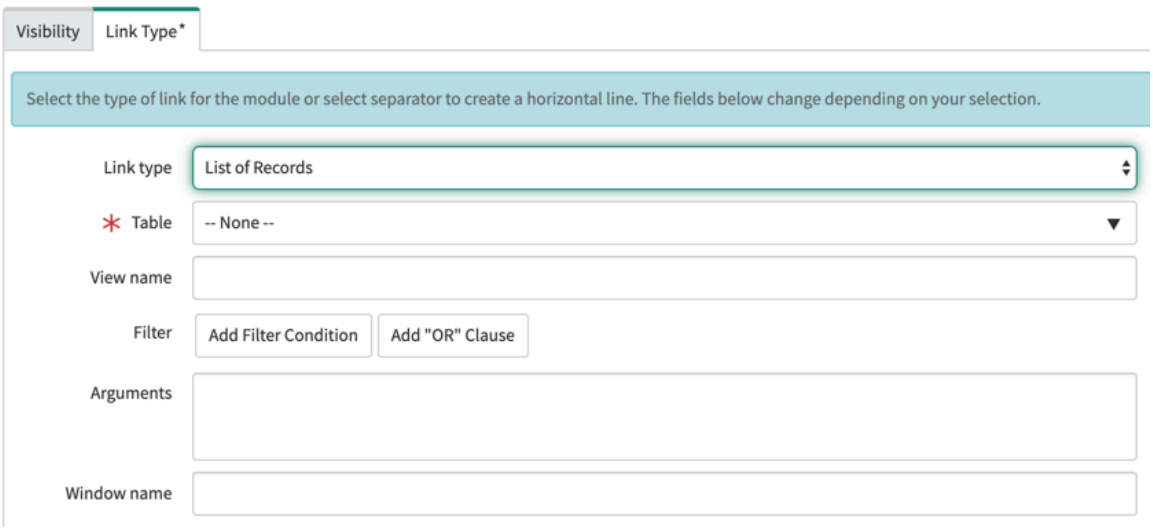
ナビゲーションペインでモジュール名をクリックすると、コンテンツペインでモジュールのページを開く URI が実行されます。モジュール URI のすべての文字を URL エンコードする必要があります。そうしないと、リンクは破損します。

注:
New York より前のリリースから New York リリース以降にアップグレードする場合に、このトピックに記載されている規則に従わないと、モジュール UI が破損する可能性があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

モジュールを作成するときは、コンテンツペインに表示される結果の数をソートしたり減らしたりする引数条件とフィルター条件を追加できます。でモジュール名をクリックしたとき システム定義 > アプリケーション定義の場合、これらの条件と引数は [リンクタイプ] タブで確認できます。



[引数] の引数の定義と、[フィルター] で定義されたフィルター条件は、モジュールの URI の一部になり、URL エンコードする必要があります。ServiceNow はフィルター条件を自動的に URL エンコードし、sysparm_query を使用してモジュール URI に追加します。たとえば、フィルター条件「アクティブ **= true**」を追加すると、sysparm_query=active%3Dtrue がモジュールの URI に追加されます。%3D は、等号 (=) の URL エンコーディングです。

次の表は、[引数] フィールドの引数を URL エンコードする必要がある場合と、ServiceNow で引数を URL エンコードする場合を示しています。

引数のエンコーディングのルール

フィルター条件はありますか？	次で始まる引数の定義	誰が引数をエンコードしますか？	引数の処理方法
なし	^	ServiceNow	引数からキャレット (^) を削除してエンコードし、sysparm_query を使用してモジュール URI に追加します。
なし	&	あなた	引数からアンパサンド (&) を削除し、モジュール URI に追加します。
なし	その他	ServiceNow	引数をエンコードし、sysparm_query を使用してモジュール URI に追加します。
あり	^	ServiceNow	フィルター定義と引数を URL エンコードし、sysparm_query を使用して、この組み合わせをモジュール URI に追加します。
あり	その他	あなた	フィルター定義を URL エンコードし、sysparm_query を使用して、それと (未変更の) 引数をモジュール URI に追加します。

glide.ui.encode_module_uri プロパティを使用して、モジュール UI の URL エンコーディング要件をオン (デフォルト) またはオフにすることができます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

例

次の例は、[引数] の引数定義を URL エンコードする必要がある状況を示しています。

- フィルター条件がなく、[引数] の引数定義がアンパサンドで始まる (&sysparm_fixed_query=assigned_to=javascript:gs.user_id() など)。

  等号とコロンが URL エンコードされておらず、アンパサンドによって ServiceNow が引数を URL エンコードできないため、この引数によりモジュール URI が破損します。引数を URL エンコードします： &sysparm_fixed_query=assigned_to%3Djavascript%3Ags.user_id()

- フィルター条件があり、[引数] の引数定義がキャレット (^) で始まっていない (sysparm_name=Barnes & Noble's など)。

  アンパサンドとスペースが URL エンコードされていないため、この引数によりモジュール URI が破損します。引数を URL エンコードします： sysparm_name=Barnes%20%26%20Nobel

モジュールの可視化

アプリケーションナビゲーター (左側のナビゲーションバー) で選択されたモジュールの可視化または可視化の欠如を確認します。たとえば、まずユーザーの代理操作を実行してから、次に指定したモジュール (ホームページや自分の要求など) がそのユーザーに表示されているかまたは表示されていないかを確認するテストを作成します。

入力

フィールド	説明
実行順序	テストのこのステップの実行順序を指定する整数。 ステップを作成すると、各ステップに増分値が自動的に割り当てられます。この値により、テストでは、ステップが作成された順に実行されます。このデフォルトを変更するには、[実行命令] 値を編集します。
有効	このテストステップの使用をアクティブ化するオプション。
アプリケーション	システムがこのテストまたはテストスイートを実行するアプリケーションスコープ。
テスト	ステップを追加するテストの読み取り専用の名前。
ステップ構成	ステップの読み取り専用の名前。
説明	テストステップの説明。このフィールド値はテストステップのフィールド値に基づいて自動的に設定されます。このフィールドは、テストステップが送信された後に表示されます。
メモ	テストステップに関するメモ。
ナビゲーター	アサートするナビゲーターバージョン • コア UI (UI16)：新しいステップを作成する場合は、デフォルトで コア UI があります。 • ネクストエクスペリエンス： ネクストエクスペリエンス が有効になっている場合、ネクストエクスペリエンス がデフォルトのナビゲーターです。無効になっている場合、コア UI がデフォルトのナビゲーターです。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

入力 (続く)

フィールド	説明
表示されるアサーションタイプ	[表示されるモジュール] フィールドで選択されたモジュールの可視化をアプリケーションナビゲーターでテストする方法を指定します。 • 少なくともこれらのモジュールが表示されます：最小限でも、[表示されるモジュール] フィールドで選択されたモジュールがアプリケーションナビゲーターに表示されます。 • これらのモジュールのみが表示されます：[表示されるモジュール] フィールドで選択された特定のモジュールのみがアプリケーションナビゲーターに表示されます。
表示されるモジュール	アプリケーションナビゲーターでの可視化が検証されているモジュール。
表示されないアサーションタイプ	[表示されないモジュール] フィールドで選択されたモジュールの可視化の欠如をアプリケーションナビゲーターでテストする方法を指定します。 • 少なくともこれらのモジュールは表示されません：最小限でも、[表示されないモジュール] フィールドで選択されたモジュールはアプリケーションナビゲーターに表示されません。 • これらのモジュールのみが表示されません：[表示されないモジュール] フィールドで選択された特定のモジュールのみがアプリケーションナビゲーターに表示されません。
表示されないモジュール	アプリケーションナビゲーターでの可視化の欠如が検証されているモジュール。

関連情報

モジュールを作成

モジュールに移動

ユーザーがクリックしたかのように、アプリケーションナビゲーターからモジュールを開きます。モジュールに移動するには、現在実行中のユーザーにモジュールが表示されている必要があります。

注:
現在、テスト可能でないページがあります。モジュールからの移動先にかかわらず、自己責任で移動してください。

入力

フィールド	説明
実行順序	テストのこのステップの実行順序を指定する整数。 ステップを作成すると、各ステップに増分値が自動的に割り当てられます。この値により、テストでは、ステップが作成された順に実行されます。このデフォルトを変更するには、[実行命令] 値を編集します。
有効	このテストステップの使用をアクティブ化するオプション。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

入力 (続く)

フィールド	説明
タイムアウト	ステップが失敗するまでの秒数。検証に失敗すると、タイムアウトの時間になるまでステップが繰り返されます。タイムアウト経過後に検証が失敗すると、ステップは失敗します。
アプリケーション	システムがこのステップを実行するアプリケーションスコープ。
テスト	ステップを追加するテストの読み取り専用の名前。
ステップ構成	ステップの読み取り専用の名前。
説明	テストステップの説明。このフィールド値はテストステップのフィールド値に基づいて自動的に設定されます。このフィールドは、テストステップが送信された後に表示されます。
メモ	テストステップに関するメモ。
モジュール	開く必要があるモジュール。選択したモジュールに移動するには、アプリケーションナビゲーターで現在実行中のユーザーにモジュールが表示されている必要があります。 次のモジュールは、サポートされていないため、テストできません。 • セパレーターであるモジュール • 特定のページにリンクしない代わりにクライアント側の JavaScript を実行するモジュール (スタジオやスクリプトデバッガーなど) • ServiceNow ドキュメントサイト (servicenow.com/docs) などの外部 Web サイトにリンクするモジュール • ページ全体をリロードまたはリダイレクトするモジュール

関連情報

モジュールを作成

構成可能ワークスペースカテゴリ

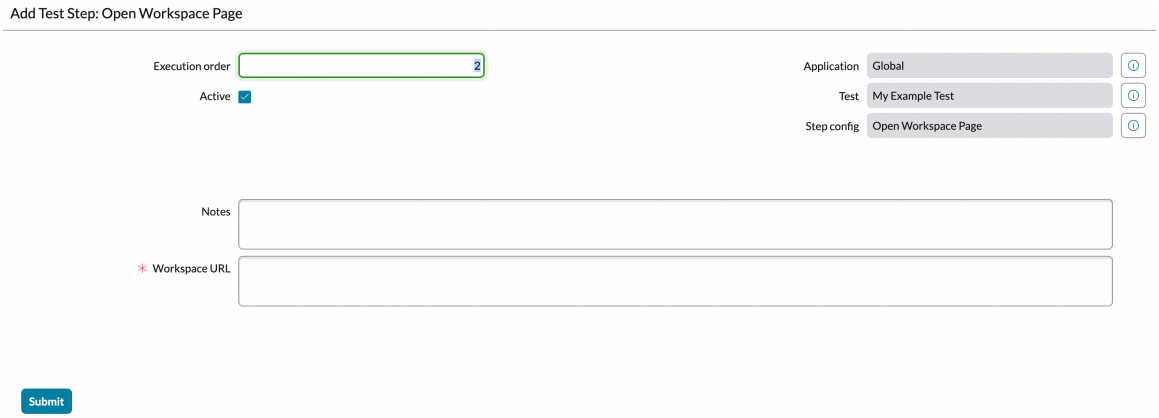
構成可能なワークスペースコンポーネントと直接やり取りして、テストを簡単に作成できます。

ワークスペースページを開く

URL を使用してワークスペースページに移動します。この機能では、前のドメイン名の有無にかかわらず URL を入力できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



入力

フィールド	説明
実行順序	テストのこのステップの実行順序を指定する整数。 ステップを作成すると、各ステップに増分値が自動的に割り当てられます。この値により、テストでは、ステップが作成された順に実行されます。このデフォルトを変更するには、[実行命令] 値を編集します。
有効	このテストステップの使用をアクティブ化するオプション。
アプリケーション	システムがこのステップを実行するアプリケーションスコープ。
テスト	ステップを追加するテストの読み取り専用の名前。
ステップ構成	ステップの読み取り専用の名前。
メモ	テストステップに関するメモ。
ワークスペース URL	使用するワークスペースページの URL。 **注:** URL はドメインの有無にかかわらず入力できますが、テストインスタンス間の互換性のため、保存時に削除されます。

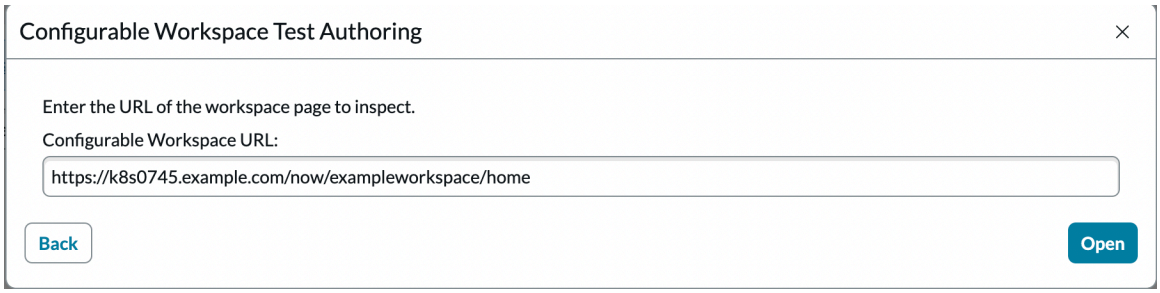
テストページ

テストページのテストステップを使用して、ワークスペースページの Seismic コンポーネントを操作します。

構成可能ワークスペーステストオーサリングモーダルの [構成可能ワークスペース URL] フィールドで検査するワークスペースページの URL を入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



注:
デフォルトでは、前の [ワークスペースページを開く] テストステップの URL が表示されます。このステップの直前に「ワークスペースページを開く」ステップがない場合は、検査のためにターゲットワークスペースページの URL を手動で入力する必要があります。

カスタム **UI** カテゴリ

カスタムユーザーインターフェイスでのページコンポーネントの動作を検証します。

コンポーネント値 (カスタム **UI)** の設定

カスタム UI ページにコンポーネント値を設定します。

入力

フィールド	説明
実行順序	テストのこのステップの実行順序を指定する整数。 ステップを作成すると、各ステップに増分値が自動的に割り当てられます。この値により、テストでは、ステップが作成された順に実行されます。このデフォルトを変更するには、[実行命令] 値を編集します。
有効	このテストステップの使用をアクティブ化するオプション。
アプリケーション	システムがこのステップを実行するアプリケーションスコープ。
テスト	ステップを追加するテストの読み取り専用の名前。
ステップ構成	ステップの読み取り専用の名前。
説明	テストステップの説明。このフィールド値はテストステップのフィールド値に基づいて自動的に設定されます。このフィールドは、テストステップが送信された後に表示されます。
メモ	テストステップに関するメモ。
コンポーネント値	テストするページコンポーネントと、ステップを成功させるために各ページコンポーネントに必要な値。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

入力 (続く)

フィールド	説明
	注: [値] フィールドのデフォルトは、選択したコンポーネントの最後に取得した値です。

ページ (カスタム **UI**) のテキストをアサートする

指定されたテキストがカスタム UI ページ上にあるか、またはないかをアサートします。

入力

フィールド	説明
実行順序	テストのこのステップの実行順序を指定する整数。 ステップを作成すると、各ステップに増分値が自動的に割り当てられます。この値により、テストでは、ステップが作成された順に実行されます。このデフォルトを変更するには、[実行命令] 値を編集します。
有効	このテストステップの使用をアクティブ化するオプション。
タイムアウト	ステップが失敗するまでの秒数。検証に失敗すると、タイムアウトの時間になるまでステップが繰り返されます。タイムアウト経過後に検証が失敗すると、ステップは失敗します。
アプリケーション	システムがこのステップを実行するアプリケーションスコープ。
テスト	ステップを追加するテストの読み取り専用の名前。
ステップ構成	ステップの読み取り専用の名前。
説明	テストステップの説明。このフィールド値はテストステップのフィールド値に基づいて自動的に設定されます。このフィールドは、テストステップが送信された後に表示されます。
メモ	テストステップに関するメモ。
テキスト	ページ上のテキストと比較されるテキスト。

注:

- 検索対象テキストでは、大文字と小文字が区別されます。
- Rome リリース以降、このテストステップは新しいテストのワークスペースでも機能します。
- [ページのテキストをアサートする] テストステップでは、空白を含むテキストも受け入れられます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

コンポーネント値の検証 (カスタム **UI)**

カスタム UI ページのコンポーネント値を検証します。

入力

フィールド	説明
実行順序	テストのこのステップの実行順序を指定する整数。 ステップを作成すると、各ステップに増分値が自動的に割り当てられます。この値により、テストでは、ステップが作成された順に実行されます。このデフォルトを変更するには、[実行命令] 値を編集します。
有効	このテストステップの使用をアクティブ化するオプション。
アプリケーション	システムがこのステップを実行するアプリケーションスコープ。
テスト	ステップを追加するテストの読み取り専用の名前。
ステップ構成	ステップの読み取り専用の名前。
説明	テストステップの説明。このフィールド値はテストステップのフィールド値に基づいて自動的に設定されます。このフィールドは、テストステップが送信された後に表示されます。
メモ	テストステップに関するメモ。
コンポーネント値	テストするページコンポーネントと、ステップを成功させるために各ページコンポーネントに必要な値。 **注:** [値] フィールドのデフォルトは、選択したコンポーネントの最後に取得した値です。

[コンポーネント (カスタム **UI)]** をクリックします

カスタム UI ページ上のコンポーネントをクリックします。

入力

フィールド	説明
実行順序	テストのこのステップの実行順序を指定する整数。 ステップを作成すると、各ステップに増分値が自動的に割り当てられます。この値により、テストでは、ステップが作成された順に実行されます。このデフォルトを変更するには、[実行命令] 値を編集します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

入力 (続く)

フィールド	説明
有効	このテストステップの使用をアクティブ化するオプション。
アプリケーション	システムがこのステップを実行するアプリケーションスコープ。
テスト	ステップを追加するテストの読み取り専用の名前。
ステップ構成	ステップの読み取り専用の名前。
説明	テストステップの説明。このフィールド値はテストステップのフィールド値に基づいて自動的に設定されます。このフィールドは、テストステップが送信された後に表示されます。
メモ	テストステップに関するメモ。
コンポーネント	このステップでテストするコンポーネント。

コンポーネントステータスの検証 (カスタム **UI)**

カスタム UI ページ上の指定されたコンポーネントの状態を検証します。

入力

フィールド	説明
実行順序	テストのこのステップの実行順序を指定する整数。 ステップを作成すると、各ステップに増分値が自動的に割り当てられます。この値により、テストでは、ステップが作成された順に実行されます。このデフォルトを変更するには、[実行命令] 値を編集します。
有効	このテストステップの使用をアクティブ化するオプション。
アプリケーション	システムがこのステップを実行するアプリケーションスコープ。
テスト	ステップを追加するテストの読み取り専用の名前。
ステップ構成	ステップの読み取り専用の名前。
説明	テストステップの説明。このフィールド値はテストステップのフィールド値に基づいて自動的に設定されます。このフィールドは、テストステップが送信された後に表示されます。
メモ	テストステップに関するメモ。
コンポーネント	このステップでテストするコンポーネント。
アサーションタイプ	アサーションのタイプ：

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

入力 (続く)

フィールド	説明
	• 無効 • 有効

サービスポータルページを開く

ポータルページを開きます。テストデザイナーは、ページで UI コンポーネントをテストする前に、ポータルでページを開く必要があります。

入力

フィールド	説明
実行順序	テストのこのステップの実行順序を指定する整数。 ステップを作成すると、各ステップに増分値が自動的に割り当てられます。この値により、テストでは、ステップが作成された順に実行されます。このデフォルトを変更するには、[実行命令] 値を編集します。
有効	このテストステップの使用をアクティブ化するオプション。
アプリケーション	システムがこのステップを実行するアプリケーションスコープ。
テスト	ステップを追加するテストの読み取り専用の名前。
ステップ構成	ステップの読み取り専用の名前。
説明	テストステップの説明。このフィールド値はテストステップのフィールド値に基づいて自動的に設定されます。このフィールドは、テストステップが送信された後に表示されます。
メモ	テストステップに関するメモ。
ポータル	ポータルを選択します。
ページ	開くページを選択します。
クエリパラメーター	ページに必要なクエリパラメーターを追加します。たとえば、フォームページでレコードを開くには、テーブルと sys_id パラメーターを入力します。サービスポータル クエリパラメーターの詳細については、「URL によるページナビゲーション」を参照してください。

フォームカテゴリ

フォームのフィールドと UI アクションの機能を検証します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

> **注:**
> [フォームの **UI]** フィールドを含むテストステップでは、利用可能な UI を選択できます。利用可能なワークスペースでは、タブ間のナビゲーションはサポートされていません。「新しいフォームを開く」または「既存のレコードを開く」のステップを使用して、フォームを再度開きます。

なお、 エージェントワークスペース はプラットフォームから削除されました。エージェントワークスペース テストまたはテストスイートがある場合、それらは機能しなくなります。

新しいフォームを開く

指定されたテーブルと [フォームの **UI]** の新しいレコードにフォームを開きます。

入力

フィールド	説明
実行順序	テストのこのステップの実行順序を指定する整数。 ステップを作成すると、各ステップに増分値が自動的に割り当てられます。この値により、テストでは、ステップが作成された順に実行されます。このデフォルトを変更するには、[実行命令] 値を編集します。
有効	このテストステップの使用をアクティブ化するオプション。
アプリケーション	システムがこのステップを実行するアプリケーションスコープ。
テスト	ステップを追加するテストの読み取り専用の名前。
ステップ構成	ステップの読み取り専用の名前。
説明	テストステップの説明。このフィールド値はテストステップのフィールド値に基づいて自動的に設定されます。このフィールドは、テストステップが送信された後に表示されます。
メモ	テストステップに関するメモ
フォームの UI	利用可能な UI を選択するオプション。標準 UI とは別に、他のワークスペースを選択できます。選択したワークスペースによって、UI が異なる場合があります。 **注:** ワークスペースは Internet Explorer (IE) ではサポートされていません。詳細については、KB0683275 を参照してください。
テーブル	新しいフォームのテーブルの名前。
表示	このフォームを開くビューの名前。テストユーザーは、そのビューへのアクセス権を持っている必要があります。名前が有効なフォーム

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

入力 (続く)

フィールド	説明
	ビューでない場合、フォームはデフォルトのビューで開かれます。 **注:** このフィールドは、フォーム **UI** から標準 **UI** が選択されたときに表示されます。

既存のレコードを開く

指定されたテーブルと [フォームの **UI**] の既存のレコードにフォームを開きます。

注:
既存のレコードを使用すると、このテストで予期しない動作が発生する可能性があります。詳細については、「自動テストフレームワーク (ATF) の設計上の考慮事項」を参照してください。

入力

フィールド	説明
実行順序	テストのこのステップの実行順序を指定する整数。 ステップを作成すると、各ステップに増分値が自動的に割り当てられます。この値により、テストでは、ステップが作成された順に実行されます。このデフォルトを変更するには、[実行命令] 値を編集します。
有効	このテストステップの使用をアクティブ化するオプション。
アプリケーション	システムがこのステップを実行するアプリケーションスコープ。
テスト	ステップを追加するテストの読み取り専用の名前。
ステップ構成	ステップの読み取り専用の名前。
説明	テストステップの説明。このフィールド値はテストステップのフィールド値に基づいて自動的に設定されます。このフィールドは、テストステップが送信された後に表示されます。
メモ	テストステップに関するメモ
フォームの UI	利用可能な UI を選択するオプション。標準 UI とは別に、他のワークスペースを選択できます。選択したワークスペースによって、UI が異なる場合があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

入力 (続く)

フィールド	説明
	注: ワークスペースは Internet Explorer (IE) ではサポートされていません。詳細については、KB0683275 を参照してください。
テーブル	新しいフォームのテーブルの名前。
レコード	開くレコードのレコード ID と開くドキュメントの名前。
ビュー	このフォームを開くビューの名前。テストユーザーは、そのビューへのアクセス権を持っている必要があります。名前が有効なフォームビューでない場合、フォームはデフォルトのビューで開かれます。 **注:** このフィールドは、フォーム **UI** から標準 **UI** が選択されたときに表示されます。

フィールド値の設定

現在のフォームのフィールドを指定された値に設定します。

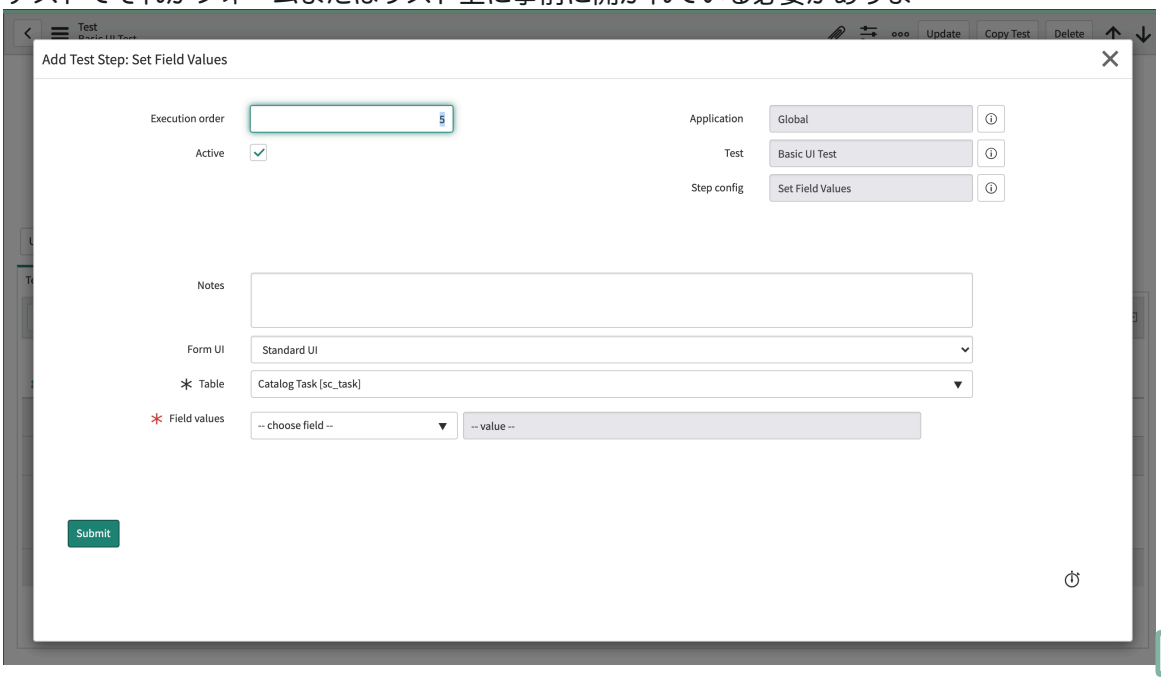
このステップを実行するには、[新しいフォームを開く] または [既存のレコードを開く] のいずれかのステップを使用して、テストでフォームが事前に開かれている必要があります。[フォームを送信] または **[UI** アクションをクリック] ステップの直後にこのステップを実行しないことをお勧めします。これは、インスタンスのナビゲーションスタック構成またはクリックされた UI アクションで定義されたスクリプトに基づいて、テストが別のページにリダイレクトされる可能性があるためです。UI アクションによって特定のページに移動することが確実である場合を除き、[フォームを送信] または **[UI** アクションをクリック] の後に [新しいフォームを開く] ステップを明示的に使用して、テストが想定どおりのフォーム上に確実に表示されるようにする必要があります。テストがスイートに追加されたときに一貫して進行していることを確認します。

[フィールド値の検証]、[フィールド値の設定]、[フィールドステータスの検証]、**[UI** アクション可視化] の各ステップは、任意の順序で表示できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
このステップでは、フィールド値を設定する前にフォームが読み込まれるのを待ちます。このステップは、テスト設計時でもテスト実行時でも、参照修飾子をサポートしていません。モーダルフォームは、別のフォームまたはリストの上に表示されます。フィールド値を設定した後にモーダルフォームを送信するには、テストでそれがフォームまたはリスト上に事前に開かれている必要がありま



す。

入力

フィールド	説明
実行順序	テストのこのステップの実行順序を指定する整数。 ステップを作成すると、各ステップに増分値が自動的に割り当てられます。この値により、テストでは、ステップが作成された順に実行されます。このデフォルトを変更するには、[実行命令] 値を編集します。
有効	このテストステップの使用をアクティブ化するオプション。
アプリケーション	システムがこのステップを実行するアプリケーションスコープ。
テスト	ステップを追加するテストの読み取り専用の名前。
ステップ構成	ステップの読み取り専用の名前。
説明	テストステップの説明。このフィールド値はテストステップのフィールド値に基づいて自動的に設定されます。このフィールドは、テストステップが送信された後に表示されます。
メモ	テストステップに関するメモ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

入力 (続く)

フィールド	説明
フォームの UI	利用可能な UI を選択するオプション。標準 UI とは別に、他のワークスペースを選択できます。選択したワークスペースによって、UI が異なる場合があります。 **注:** ワークスペースは Internet Explorer (IE) ではサポートされていません。詳細については、KB0683275 を参照してください。
テーブル	新しいフォームのテーブルの名前。
フィールド値の設定	開いているフォームのフィールドに値を割り当てます。

フィールド値の検証

現在のフォームのフィールド値を検証します。

このステップを実行するには、[新しいフォームを開く] または [既存のレコードを開く] のいずれかのステップを使用して、テストでフォームが事前に開かれている必要があります。[フォームを送信] または **[UI** アクションをクリック] ステップの直後にこのステップを実行しないことをお勧めします。これは、インスタンスのナビゲーションスタック構成またはクリックされた UI アクションで定義されたスクリプトに基づいて、テストが別のページにリダイレクトされる可能性があるためです。UI アクションによって特定のページに移動することが確実である場合を除き、[フォームを送信] または **[UI** アクションをクリック] の後に [新しいフォームを開く] ステップを明示的に使用して、テストが想定どおりのフォーム上に確実に表示されるようにする必要があります。テストがスイートに追加されたときに一貫して進行していることを確認します。

[フィールド値の検証]、[フィールド値の設定]、[フィールドステータスの検証]、**[UI** アクション可視化] の各ステップは、任意の順序で表示できます。

[フィールド値の検証] ステップでは、標準条件ビルダーを使用してテストする値を指定します。同じフィールドに対して複数の条件をテストできます。全体的な条件が満たされている場合、このステップは合格し、条件が満たされていない場合は失敗します。[条件] フィールドでは大文字と小文字が区別されます。フォームと同じ値を指定する必要があります。互いに独立して個々のフィールドの値をテストするには、テストする各値に対して個別の [フィールド値の検証] ステップを含めます。

注:
[フィールド値の検証] ステップは、開いているフォームのレコードに属するフィールドでのみ機能します。たとえば、インシデントテーブルでは、[追加コメント]、[承認履歴]、[コメント]、または [作業メモ] フィールドは、このステップでは検証できません。これらの UI コントロールがインシデントレコードの実際のフィールドではないためです。これらの UI コントロールを使用すると、関連するテーブルを簡単に操作できます。これらのケースを検証するには、代わりにサーバーテストステップの [レコードの検証] を使用します。

入力

フィールド	説明
実行順序	テストのこのステップの実行順序を指定する整数。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

入力 (続く)

フィールド	説明
	ステップを作成すると、各ステップに増分値が自動的に割り当てられます。この値により、テストでは、ステップが作成された順に実行されます。このデフォルトを変更するには、[実行命令] 値を編集します。
有効	このテストステップの使用をアクティブ化するオプション。
タイムアウト	ステップが失敗するまでの秒数。検証に失敗すると、タイムアウトの時間になるまでステップが繰り返されます。タイムアウト経過後に検証が失敗すると、ステップは失敗します。
アプリケーション	システムがこのステップを実行するアプリケーションスコープ。
テスト	ステップを追加するテストの読み取り専用の名前。
ステップ構成	ステップの読み取り専用の名前。
説明	テストステップの説明。このフィールド値はテストステップのフィールド値に基づいて自動的に設定されます。このフィールドは、テストステップが送信された後に表示されます。
メモ	テストステップに関するメモ **注:** 条件ビルダーを使用してフィールド値を設定します。条件ビルダーには、フィールドのデータタイプに適したコントロールが表示されます。たとえば、参照フィールドにはルックアップレコードコントロールが表示されます。
フォームの UI	利用可能な UI を選択するオプション。標準 UI とは別に、他のワークスペースを選択できます。選択したワークスペースによって、UI が異なる場合があります。 **注:** ワークスペースは Internet Explorer (IE) ではサポートされていません。詳細については、KB0683275 を参照してください。
テーブル	新しいフォームのテーブルの名前。
条件	検証するフィールドと値。開いているフォームに表示されるフィールドのみが含まれます。このフィールドでは大文字と小文字が区別されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールドステータスの検証

指定されたフィールドの状態を検証します。検証される状態には、必須、任意、読み込み専用、非読み込み専用、可視および非可視が含まれます。

フィールドの状態がこのステップの条件と一致するのを待つ最大時間を指定できます。

入力

フィールド	説明
実行順序	テストのこのステップの実行順序を指定する整数。 ステップを作成すると、各ステップに増分値が自動的に割り当てられます。この値により、テストでは、ステップが作成された順に実行されます。このデフォルトを変更するには、[実行命令] 値を編集します。
有効	このテストステップの使用をアクティブ化するオプション。
タイムアウト	ステップが失敗するまでの秒数。検証に失敗すると、タイムアウトの時間になるまでステップが繰り返されます。タイムアウト経過後に検証が失敗すると、ステップは失敗します。
アプリケーション	システムがこのステップを実行するアプリケーションスコープ。
テスト	ステップを追加するテストの読み取り専用の名前。
ステップ構成	ステップの読み取り専用の名前。
説明	テストステップの説明。このフィールド値はテストステップのフィールド値に基づいて自動的に設定されます。このフィールドは、テストステップが送信された後に表示されます。
メモ	テストステップに関するメモ
フォームの UI	利用可能な UI を選択するオプション。標準 UI とは別に、他のワークスペースを選択できます。選択したワークスペースによって、UI が異なる場合があります。 **注:** ワークスペースは Internet Explorer (IE) ではサポートされていません。詳細については、KB0683275 を参照してください。
テーブル	新しいフォームのテーブルの名前。
表示	このフォームのフィールドが表示されるかどうかを検証します。フィールドが表示されない場合、テストは失敗します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

入力 (続く)

フィールド	説明
非表示	このフォームのフィールドが表示されるかどうかを検証します。フィールドが表示される場合、テストは失敗します。
読み取り専用	このフォームのフィールドが読み取り専用かどうかを検証します。フィールドが読み取り専用ではない場合、テストは失敗します。
非読み取り専用	このフォームのフィールドが読み取り専用かどうかを検証します。フィールドが読み取り専用である場合、テストは失敗します。
必須	このフォームのフィールドが必須かどうかを検証します。フィールドが必須ではない場合、テストは失敗します。
任意	このフォームのフィールドが必須かどうかを検証します。フィールドが必須である場合、テストは失敗します。

UI アクション可視化

現在のフォームに UI アクションが表示されるかどうかを検証します。このステップを実行するには、[新しいフォームを開く] または [既存のレコードを開く] のいずれかのステップを使用して、テストでフォームが事前に開かれている必要があります。

デフォルトで表示される UI アクションは、現在代理操作しているユーザーによって異なります。

入力

フィールド	説明
実行順序	テストのこのステップの実行順序を指定する整数。 ステップを作成すると、各ステップに増分値が自動的に割り当てられます。この値により、テストでは、ステップが作成された順に実行されます。このデフォルトを変更するには、[実行命令] 値を編集します。
有効	このテストステップの使用をアクティブ化するオプション。
タイムアウト	ステップが失敗するまでの秒数。検証に失敗すると、タイムアウトの時間になるまでステップが繰り返されます。タイムアウト経過後に検証が失敗すると、ステップは失敗します。
アプリケーション	システムがこのステップを実行するアプリケーションスコープ。
テスト	ステップを追加するテストの読み取り専用の名前。
ステップ構成	ステップの読み取り専用の名前。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

入力 (続く)

フィールド	説明
説明	テストステップの説明。このフィールド値はテストステップのフィールド値に基づいて自動的に設定されます。このフィールドは、テストステップが送信された後に表示されます。
メモ	テストステップに関するメモ
フォームの UI	利用可能な UI を選択するオプション。標準 UI とは別に、他のワークスペースを選択できます。選択したワークスペースによって、UI が異なる場合があります。 **注:** ワークスペースは Internet Explorer (IE) ではサポートされていません。詳細については、KB0683275 を参照してください。
テーブル	新しいフォームのテーブルの名前。
表示	このフォームの UI アクションが表示されるかどうかを検証します。UI アクションが表示されない場合、テストは失敗します。
非表示	このフォームの UI アクションが表示されるかどうかを検証します。UI アクションが表示される場合、テストは失敗します。

宣言アクションの可視化

現在のフォームに宣言アクションが表示されるかどうかを検証します。

デフォルトで表示される宣言アクションは、現在代理操作しているユーザーによって異なります。

入力

フィールド	説明
実行順序	テストのこのステップの実行順序を指定する整数。 ステップを作成すると、各ステップに増分値が自動的に割り当てられます。この値により、テストでは、ステップが作成された順に実行されます。このデフォルトを変更するには、[実行命令] 値を編集します。
有効	このテストステップの使用をアクティブ化するオプション。
アプリケーション	システムがこのステップを実行するアプリケーションスコープ。
テスト	ステップを追加するテストの読み取り専用の名前。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

入力 (続く)

フィールド	説明
ステップ構成	ステップの読み取り専用の名前。
メモ	テストステップに関するメモ
フォームの UI	利用可能な UI を選択するオプション。標準 UI とは別に、他のワークスペースを選択できます。選択したワークスペースによって、UI が異なる場合があります。 **注:** ワークスペースは Internet Explorer (IE) ではサポートされていません。詳細については、KB0683275 を参照してください。
テーブル	新しいフォームのテーブルの名前。
表示	このフォームの宣言アクションが表示されるかどうかを検証します。宣言アクションが表示されない場合、テストは失敗です。
非表示	このフォームの宣言アクションが表示されるかどうかを検証します。宣言アクションが表示される場合、テストは失敗です。

添付ファイルをフォームに追加

現在のフォームに 1 つ以上の必須の添付ファイルを追加します。テストステップでフォームに追加する添付ファイルを、[添付ファイルのアップロード] リストから選択します。

入力

フィールド	説明
実行順序	テストのこのステップの実行順序を指定する整数。 ステップを作成すると、各ステップに増分値が自動的に割り当てられます。この値により、テストでは、ステップが作成された順に実行されます。このデフォルトを変更するには、[実行命令] 値を編集します。
アプリケーション	システムがこのステップを実行するアプリケーションスコープ。
有効	このテストステップの使用をアクティブ化するオプション。
テスト	ステップを追加するテストの読み取り専用の名前。
ステップ構成	ステップの読み取り専用の名前。
メモ	テストステップに関するメモ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

入力 (続く)

フィールド	説明
添付ファイルをアップロード	フォームに 1 つ以上の必須の添付ファイルを追加するためのボタン。

注:
[添付ファイルをフォームに追加] テストステップでは、新しく追加された UI ワークスペース オプションにアクセスできません。

モーダルボタンをクリック

指定された [フォームの **UI]** のモーダル内のボタンをクリックします。

[フォームの **UI]** フィールドから標準プラットフォーム UI またはワークスペース UI のいずれかを選択して、テストを指定します。標準プラットフォーム UI を選択すると、このテストステップは指定されたモーダルの ID でボタンを選択し、次の条件を検証します。

- UI ページがモーダルで開かれている。
- ボタンが表示され、有効になっている。

利用可能なワークスペース UI を選択すると、このテストステップで [確認] または [キャンセル] アクションが選択され、オプションでモーダル内のフィールド値が設定されます。このステップは、フォームでモーダルダイアログが開いていて、指定されたボタンがそのモーダルダイアログに存在する場合にのみ成功します。

次の g_modal 関数で開かれたモーダルのみがサポートされます。

- アラート
- confirm
- confirmDestroy
- showFields

注:
[モーダルボタンをクリック] で、グローバルおよびスコープ対象のアプリケーションモーダルがサポートされるようになりました。

入力

フィールド	説明
実行順序	テストのこのステップの実行順序を指定する整数。 ステップを作成すると、各ステップに増分値が自動的に割り当てられます。この値により、テストでは、ステップが作成された順に実行されます。このデフォルトを変更するには、[実行命令] 値を編集します。
有効	このテストステップの使用をアクティブ化するオプション。
タイムアウト	モーダルとボタンが表示される秒数。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

入力 (続く)

フィールド	説明
アプリケーション	システムがこのステップを実行するアプリケーションスコープ。
テスト	ステップを追加するテストの読み取り専用の名前。
ステップ構成	ステップの読み取り専用の名前。
説明	テストステップの説明。このフィールド値はテストステップのフィールド値に基づいて自動的に設定されます。このフィールドは、テストステップが送信された後に表示されます。
メモ	テストステップに関するメモ
フォームの UI	利用可能な UI を選択するオプション。 **注:** ワークスペースは Internet Explorer (IE) ではサポートされていません。詳細については、KB0683275 を参照してください。
UI ページ	テストする UI のモーダルダイアログ。 **注:** このフィールドは、フォーム **UI** から標準 **UI** が選択された場合にのみ表示されます。
ボタン	ボタン要素の ID 属性。たとえば、**[OK]** ボタンの UI モーダルダイアログでの ID は OK_button です。 **注:** このフィールドは、フォーム **UI** から標準 **UI** が選択された場合にのみ表示されます。
モーダルの値	モーダルに設定するフィールド値。 **注:** このフィールドは、フォーム **UI** としてワークスペースが選択された場合にのみ表示されます。
モーダルのアクション	モーダルで選択されるアクション。 **注:** このフィールドは、フォーム **UI** としてワークスペースが選択された場合にのみ表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

入力 (続く)

フィールド	説明
アサーションタイプ	モーダルボタンをクリックしたときのテストへの影響。 • モーダルがクローズされ、ページがリロードまたはリダイレクトされました：モーダルがクローズされ、ページがリロードまたは別のページにリダイレクトされた場合にのみ、テストに合格します。 • モーダルがクローズし、ページはリロードまたはリダイレクトされませんでした：モーダルがクローズされ、ページがリロードまたは別のページにリダイレクトされなかった場合にのみ、テストに合格します。 • モーダルはクローズされませんでした：モーダルがまだ存在し、クローズされなかった場合にのみ、テストに合格します。
アサーションタイムアウト	アサーションが失敗するまでの秒数。アサーションに失敗すると、タイムアウトの時間になるまでアサーションが繰り返されます。タイムアウト経過後に検証が失敗すると、ステップは失敗します。

注:
[モーダルボタンをクリック] テストステップでは、新しく追加された UI ワークスペースオプションにアクセスできません。

UI アクションをクリック

現在のフォームの UI アクションをクリックします。

このステップが実行されると、システムはそのコントロールによって通常アクティブ化されるアクションを実行します。このテストステップでは、現在のフォームにコントロールが含まれていること、およびコントロールが表示されて有効になっていることも検証します。 このステップを実行するには、[新しいフォームを開く] または [既存のレコードを開く] のいずれかのステップを使用して、テストでフォームが事前に開かれている必要があります。[フォームを送信] または **[UI** アクションをクリック] ステップの直後にこのステップを実行しないことをお勧めします。これは、インスタンスのナビゲーションスタック構成またはクリックされた UI アクションで定義されたスクリプトに基づいて、テストが別のページにリダイレクトされる可能性があるためです。UI アクションによって特定のページに移動することが確実である場合を除き、[フォームを送信] または **[UI** アクションをクリック] の後に [新しいフォームを開く] ステップを明示的に使用して、テストが想定どおりのフォーム上に確実に表示されるようにする必要があります。テストがスイートに追加されたときに一貫して進行していることを確認します。

Yokohama リリースでは、このステップはフォームコンテキストメニュータイプの UI アクションをサポートします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
[フォームを送信] または **[UI** アクションをクリック] ステップを実行した後の特定のページの表示をシステムに依存するテストを記述しないでください。これらのテストステップの後、システムはフォームを開く前に開いていたページに戻ります。テストではそのページが何であったかを特定できないため、特定のページを想定したテストを記述すると、予測できない結果が生じる可能性があります。

入力

フィールド	説明
実行順序	テストのこのステップの実行順序を指定する整数。 ステップを作成すると、各ステップに増分値が自動的に割り当てられます。この値により、テストでは、ステップが作成された順に実行されます。このデフォルトを変更するには、[実行命令] 値を編集します。
有効	このテストステップの使用をアクティブ化するオプション。
アプリケーション	システムがこのステップを実行するアプリケーションスコープ。
テスト	ステップを追加するテストの読み取り専用の名前。
ステップ構成	ステップの読み取り専用の名前。
説明	テストステップの説明。このフィールド値はテストステップのフィールド値に基づいて自動的に設定されます。このフィールドは、テストステップが送信された後に表示されます。
メモ	テストステップに関するメモ
フォームの UI	利用可能な UI を選択するオプション。標準 UI とは別に、他のワークスペースを選択できます。選択したワークスペースによって、UI が異なる場合があります。 **注:** ワークスペースは Internet Explorer (IE) ではサポートされていません。詳細については、KB0683275 を参照してください。
テーブル	新しいフォームのテーブルの名前。
UI アクション	クリックする UI アクション。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

入力 (続く)

フィールド	説明
	注: 宣言アクションボタンと UI アクションボタンの外観はまったく同じです。選択したテストステップ ([UI アクションをクリック] または [宣言アクションをクリック]) に応じて、ボタンのタイプを識別できます。
アサーションタイプ	UI アクションのクリックによるテストへの影響。 • ブラウザーでフォームの送信をキャンセル：フォームの送信がキャンセルされた場合にのみ、ステップが合格します。 • サーバーにフォームを送信：フォームが送信された場合にのみ、ステップが合格します。

出力

フィールド	説明
テーブル	この UI アクションを含むフォームのテーブル
record	アクションがクリックされたレコードの sys_id。

宣言アクションをクリック

現在のフォームの宣言アクションをクリックします。

入力

フィールド	説明
実行順序	テストのこのステップの実行順序を指定する整数。 ステップを作成すると、各ステップに増分値が自動的に割り当てられます。この値により、テストでは、ステップが作成された順に実行されます。このデフォルトを変更するには、[実行命令] 値を編集します。
有効	このテストステップの使用をアクティブ化するオプション。
アプリケーション	システムがこのステップを実行するアプリケーションスコープ。
テスト	ステップを追加するテストの読み取り専用の名前。
ステップ構成	ステップの読み取り専用の名前。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

入力 (続く)

フィールド	説明
メモ	テストステップに関するメモ
フォームの UI	利用可能な UI を選択するオプション。標準 UI とは別に、他のワークスペースを選択できます。選択したワークスペースによって、UI が異なる場合があります。 **注:** ワークスペースは Internet Explorer (IE) ではサポートされていません。詳細については、KB0683275 を参照してください。
テーブル	新しいフォームのテーブルの名前。
宣言アクション	リストから宣言アクションを選択するオプション。 **注:** 宣言アクションボタンと UI アクションボタンの外観はまったく同じです。選択したテストステップ ([UI アクションをクリック] または [宣言アクションをクリック]) に応じて、ボタンのタイプを識別できます。
アサーションタイプ	UI アクションのクリックによるテストへの影響。 • ブラウザーでフォームの送信をキャンセル：フォームの送信がキャンセルされた場合にのみ、ステップが合格します。 • サーバーにフォームを送信：フォームが送信された場合にのみ、ステップが合格します。

フォームを送信

現在のフォームを送信します。

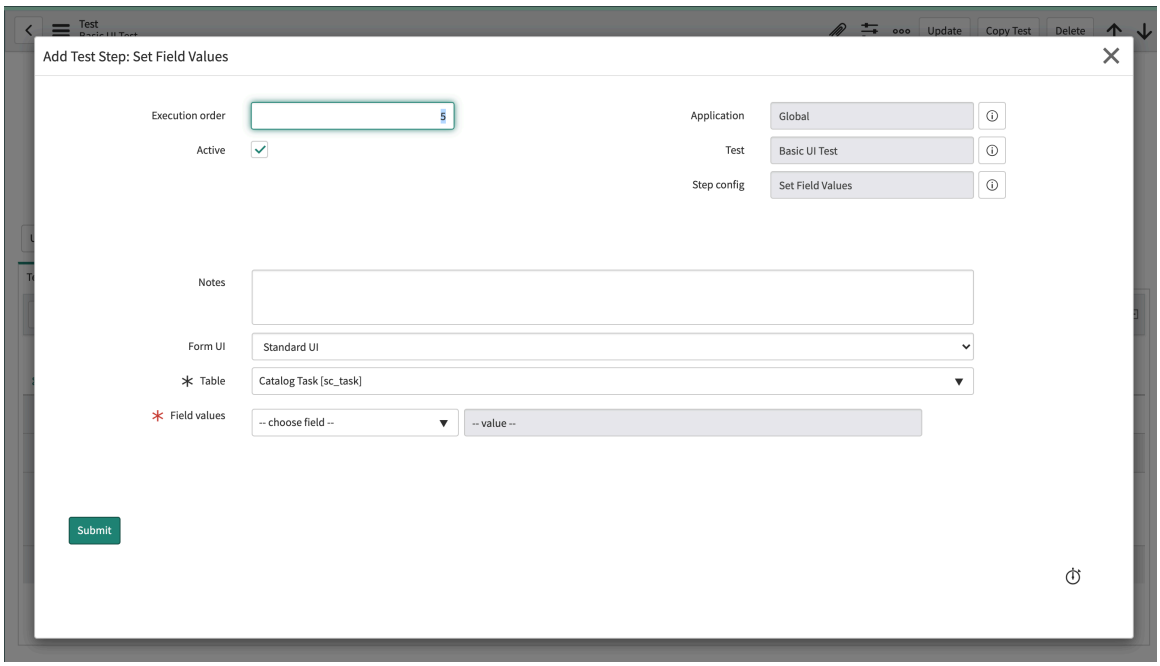
このステップを実行するには、[新しいフォームを開く] または [既存のレコードを開く] のいずれかのステップを使用して、テストでフォームが事前に開かれている必要があります。[フォームを送信] または **[UI** アクションをクリック] ステップの直後にこのステップを実行しないことをお勧めします。これは、インスタンスのナビゲーションスタック構成またはクリックされた UI アクションで定義されたスクリプトに基づいて、テストが別のページにリダイレクトされる可能性があるためです。UI アクションによって特定のページに移動することが確実である場合を除き、[フォームを送信] または **[UI** アクションをクリック] の後に [新しいフォームを開く] ステップを明示的に使用して、テストが想定どおりのフォーム上に確実に表示されるようにする必要があります。テストがスイートに追加されたときに一貫して進行していることを確認します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
[フォームを送信] または **[UI** アクションをクリック] ステップを実行した後の特定のページの表示をシステムに依存するテストを記述しないでください。これらのテストステップの後、システムはフォームを開く前に開いていたページに戻ります。テストではそのページが何であったかを特定できないため、特定のページを想定したテストを記述すると、予測できない結果が生じる可能性があります。

モーダルフォームは、別のフォームまたはリストの上に表示されます。モーダルフォームを送信するには、テストでそれがフォームまたはリスト上に事前に開かれている必要があります。



入力

フィールド	説明
実行順序	テストのこのステップの実行順序を指定する整数。 ステップを作成すると、各ステップに増分値が自動的に割り当てられます。この値により、テストでは、ステップが作成された順に実行されます。このデフォルトを変更するには、[実行命令] 値を編集します。
有効	このテストステップの使用をアクティブ化するオプション。
アプリケーション	システムがこのステップを実行するアプリケーションスコープ。
テスト	ステップを追加するテストの読み取り専用の名前。
タイムアウト	ステップが失敗するまでの秒数。検証に失敗すると、タイムアウトの時間になるまでステップが繰り返されます。タイムアウト経過後に検証が失敗すると、ステップは失敗します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

入力 (続く)

フィールド	説明
	注: このフィールドは、フォーム **UI** から利用可能なワークスペースが選択されたときに表示されます。
ステップ構成	ステップの読み取り専用の名前。
説明	テストステップの説明。このフィールド値はテストステップのフィールド値に基づいて自動的に設定されます。このフィールドは、テストステップが送信された後に表示されます。
メモ	テストステップに関するメモ
フォームの UI	利用可能な UI を選択するオプション。標準 UI とは別に、他のワークスペースを選択できます。選択したワークスペースによって、UI が異なる場合があります。 **注:** ワークスペースは Internet Explorer (IE) ではサポートされていません。詳細については、KB0683275 を参照してください。
アサーションタイプ	フォームの送信時のテストへの影響。 • サーバーにフォームを送信：フォームが送信された場合にのみ、ステップが合格します。 • ブラウザーでフォームの送信をキャンセル：フォームの送信がキャンセルされた場合にのみ、ステップが合格します。 • なし：フォームの送信時にアサーションを行いません。このアサーションタイプを使用する場合、フォームの送信の結果に関係なく、ステップは常に成功します。

出力

フィールド	説明
テーブル	提出されたレコードのテーブル。
record	送信されたレコードの sys_id。

サービスカタログ カテゴリ

サービスカタログ での単一カタログアイテムトランザクションと要求者および履行者のフローを検証します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サービスカタログの自動テストフレームワーク (ATF) のアクティブ化

これらのテストステップでは、自動テストフレームワーク (ATF) サービスカタログ (com.glide.automated_testing_impl.service_catalog) プラグインのアクティブ化が必要です。これは新しいインスタンスでデフォルトでアクティブになっています。アドミニストレーターは、以前のバージョンからアップグレードしたインスタンスでプラグインをアクティブにする必要がある場合があります。

パラメーター化されたテストのサポート

サービスカタログステップ構成は、パラメーター化されたテストをサポートしています。パラメーター化されたテストの詳細については、「パラメーター化されたテスト」を参照してください。

変数エディターのサポート

変数エディターをサポートするレコード (要求されたアイテム、カタログタスク、またはインシデント) を開いた後、ステップ構成を追加して、変数値を設定したり、変数の状態や値を検証したりできます。変数エディターをサポートするには、次の順序でステップ構成を使用します。

1. サービスカタログカテゴリでのカタログアイテムまたはレコードプロデューサを注文するステップ構成。
2. フォームカテゴリでの既存のレコードを開くステップ構成。
3. サービスカタログカテゴリでの変数値を設定する、変数値を検証する、または変数状態検証ステップ構成。

> **注:**
> [変数値の設定]、[変数値の検証]、[変数ステータスの検証] ステップの構成では、カスタム変数とラベル付きカスタム変数はサポートされていません。

カタログアイテムを開く

カタログアイテムを開きます。

入力

フィールド	説明
実行順序	テストのこのステップの実行順序を指定する整数。 ステップを作成すると、各ステップに増分値が自動的に割り当てられます。この値により、テストでは、ステップが作成された順に実行されます。このデフォルトを変更するには、[実行命令] 値を編集します。
有効	このテストステップの使用をアクティブ化するオプション。
アプリケーション	システムがこのステップを実行するアプリケーションスコープ。
テスト	ステップを追加するテストの読み取り専用の名前。
ステップ構成	ステップの読み取り専用の名前。
説明	テストステップの説明。このフィールド値はテストステップのフィールド値に基づいて自動的に設定されます。このフィールドは、テストステップが送信された後に表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

入力 (続く)

フィールド	説明
メモ	テストステップに関するメモ。
カタログアイテム	開くカタログアイテム。 注: このカタログアイテムへのアクセス権を持っている必要があります。

レコードプロデューサーを開く

レコードプロデューサを開きます。

入力

フィールド	説明
実行順序	テストのこのステップの実行順序を指定する整数。 ステップを作成すると、各ステップに増分値が自動的に割り当てられます。この値により、テストでは、ステップが作成された順に実行されます。このデフォルトを変更するには、[実行命令] 値を編集します。
有効	このテストステップの使用をアクティブ化するオプション。
アプリケーション	システムがこのステップを実行するアプリケーションスコープ。
テスト	ステップを追加するテストの読み取り専用の名前。
ステップ構成	ステップの読み取り専用の名前。
説明	テストステップの説明。このフィールド値はテストステップのフィールド値に基づいて自動的に設定されます。このフィールドは、テストステップが送信された後に表示されます。
メモ	テストステップに関するメモ。
レコードプロデューサー	開くレコードプロデューサー。 注: レコードプロデューサーへのアクセス権を持っている必要があります。

変数値の設定

現在のカタログアイテムまたはレコードプロデューサページに変数の値を設定します

カタログアイテムの場合は、カタログアイテムを開くステップを使用してカタログアイテムページを開いた後、カタログアイテムの注文ステップを使用する前にこのステップを使用します。レコードプロデューサの場合は、レコードプロデューサを開くステップを使用してレコードプロデューサページを開いた後、レコードプロデューサの送信ステップを使用する前に、このステップを使用します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

入力

フィールド	説明
実行順序	テストのこのステップの実行順序を指定する整数。 ステップを作成すると、各ステップに増分値が自動的に割り当てられます。この値により、テストでは、ステップが作成された順に実行されます。このデフォルトを変更するには、[実行命令] 値を編集します。
有効	このテストステップの使用をアクティブ化するオプション。
アプリケーション	システムがこのステップを実行するアプリケーションスコープ。
テスト	ステップを追加するテストの読み取り専用の名前。
ステップ構成	ステップの読み取り専用の名前。
説明	テストステップの説明。このフィールド値はテストステップのフィールド値に基づいて自動的に設定されます。このフィールドは、テストステップが送信された後に表示されます。
メモ	テストステップに関するメモ。 **注:** 条件ビルダーを使用してフィールド値を設定します。条件ビルダーには、フィールドのデータタイプに適したコントロールが表示されます。たとえば、参照フィールドにはルックアップレコードコントロールが表示されます。
アイテム	変数値を設定するカタログアイテムまたはレコードプロデューサー。
変数値	変数とそれらに設定する値のリスト。 **注:** 複数の変数の値を設定できます。

カタログアイテム数量の設定

現在のカタログアイテムの数量を設定します。

入力

フィールド	説明
実行順序	テストのこのステップの実行順序を指定する整数。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

入力 (続く)

フィールド	説明
	ステップを作成すると、各ステップに増分値が自動的に割り当てられます。この値により、テストでは、ステップが作成された順に実行されます。このデフォルトを変更するには、[実行命令] 値を編集します。
有効	このテストステップの使用をアクティブ化するオプション。
アプリケーション	システムがこのステップを実行するアプリケーションスコープ。
テスト	ステップを追加するテストの読み取り専用の名前。
ステップ構成	ステップの読み取り専用の名前。
説明	テストステップの説明。このフィールド値はテストステップのフィールド値に基づいて自動的に設定されます。このフィールドは、テストステップが送信された後に表示されます。
メモ	テストステップに関するメモ。
アイテム	数量を設定するカタログアイテム。
数量	カタログアイテムに設定する数量。

変数値の検証

現在のカタログアイテムまたはレコードプロデューサ変数の値を検証します

カタログアイテムの場合は、カタログアイテムを開くステップを使用してカタログアイテムページを開いた後、カタログアイテムの注文ステップを使用する前にこのステップを使用します。レコードプロデューサの場合は、レコードプロデューサを開くステップを使用してレコードプロデューサページを開いた後、レコードプロデューサの送信ステップを使用する前に、このステップを使用します。

入力

フィールド	説明
実行順序	テストのこのステップの実行順序を指定する整数。 ステップを作成すると、各ステップに増分値が自動的に割り当てられます。この値により、テストでは、ステップが作成された順に実行されます。このデフォルトを変更するには、[実行命令] 値を編集します。
有効	このテストステップの使用をアクティブ化するオプション。
タイムアウト	ステップが失敗するまでの秒数。検証に失敗すると、タイムアウトの時間になるまでステップが繰り返されます。タイムアウト経過後に検証が失敗すると、ステップは失敗します。
アプリケー	システムがこのステップを実行するアプリケーションスコープ。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

入力 (続く)

フィールド	説明
ション	
テスト	ステップを追加するテストの読み取り専用の名前。
ステップ構成	ステップの読み取り専用の名前。
説明	テストステップの説明。このフィールド値はテストステップのフィールド値に基づいて自動的に設定されます。このフィールドは、テストステップが送信された後に表示されます。
メモ	テストステップに関するメモ。 **注:** 条件ビルダーを使用してフィールド値を設定します。条件ビルダーには、フィールドのデータタイプに適したコントロールが表示されます。たとえば、参照フィールドにはルックアップレコードコントロールが表示されます。
アイテム	変数を検証する必要があるカタログアイテムまたはレコードプロデューサー。
カタログ状態	変数の検証の条件。条件を満たしている場合、テストは合格です。 **注:** 変数セットに関連付けられた変数のラベルは、変数セット名が反映されます。形式は *variable_set_name » variable_name* です。

変数ステータスの検証

変数の状態を検証します。変数の状態は、必須、任意、読み込み専用、非読み込み専用、表示、非表示です。

入力

フィールド	説明
実行順序	テストのこのステップの実行順序を指定する整数。 ステップを作成すると、各ステップに増分値が自動的に割り当てられます。この値により、テストでは、ステップが作成された順に実行されます。このデフォルトを変更するには、[実行命令] 値を編集します。
有効	このテストステップの使用をアクティブ化するオプション。
タイムアウト	ステップが失敗するまでの秒数。検証に失敗すると、タイムアウトの時間になるまでステップ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

入力 (続く)

フィールド	説明
	が繰り返されます。タイムアウト経過後に検証が失敗すると、ステップは失敗します。
アプリケーション	システムがこのステップを実行するアプリケーションスコープ。
テスト	ステップを追加するテストの読み取り専用の名前。
ステップ構成	ステップの読み取り専用の名前。
説明	テストステップの説明。このフィールド値はテストステップのフィールド値に基づいて自動的に設定されます。このフィールドは、テストステップが送信された後に表示されます。
メモ	テストステップに関するメモ。
カタログアイテム	ステータスを検証するカタログアイテム。 注: このカタログアイテムへのアクセス権を持っている必要があります。
表示	ステップが合格するために表示する必要があるカタログアイテム変数のリスト。
非表示	ステップが合格するために非表示にする必要があるカタログアイテム変数のリスト。
読み取り専用	ステップが合格するために読み取り専用にする必要があるカタログアイテム変数のリスト。
非読み取り専用	ステップが合格するために読み取り専用にしてはならないカタログアイテム変数のリスト。
必須	ステップが合格するために必須にする必要があるカタログアイテム変数のリスト。
任意	ステップが合格するために必須にしてはならないカタログアイテム変数のリスト。

価格および反復課金の検証

カタログアイテムの価格および繰り返し発生料金を検証します。カタログアイテムを開くステップを使用してカタログアイテムページを開いた後、カタログアイテムの注文ステップを使用する前にこのステップを使用します。

入力

フィールド	説明
実行順序	テストのこのステップの実行順序を指定する整数。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

入力 (続く)

フィールド	説明
	ステップを作成すると、各ステップに増分値が自動的に割り当てられます。この値により、テストでは、ステップが作成された順に実行されます。このデフォルトを変更するには、[実行命令] 値を編集します。
有効	このテストステップの使用をアクティブ化するオプション。
アプリケーション	システムがこのステップを実行するアプリケーションスコープ。
テスト	ステップを追加するテストの読み取り専用の名前。
ステップ構成	ステップの読み取り専用の名前。
説明	テストステップの説明。このフィールド値はテストステップのフィールド値に基づいて自動的に設定されます。このフィールドは、テストステップが送信された後に表示されます。
メモ	テストステップに関するメモ。
価格	ステップが合格するためのカタログアイテムの価格。
繰り返し発生料金	ステップが合格するためのカタログアイテムの繰り返し発生料金。
繰り返し発生料金の頻度	ステップが合格するためのカタログアイテムの繰り返し発生料金の頻度。

自動翻訳

買い物かごへのアイテムの追加

買い物かごにカタログアイテムを追加します。カタログアイテムを開くステップを使用してカタログアイテムページを開いたら、このステップを使用します。このステップを実行すると、カタログアイテムに対して他のステップを使用することはできません。

入力

フィールド	説明
実行順序	テストのこのステップの実行順序を指定する整数。 ステップを作成すると、各ステップに増分値が自動的に割り当てられます。この値により、テストでは、ステップが作成された順に実行されます。このデフォルトを変更するには、[実行命令] 値を編集します。
有効	このテストステップの使用をアクティブ化するオプション。
タイムアウト	ステップが失敗するまでの秒数。検証に失敗すると、タイムアウトの時間になるまでステップが繰り返されます。タイムアウト経過後に検証が失敗すると、ステップは失敗します。
アプリケーション	システムがこのステップを実行するアプリケーションスコープ。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

入力 (続く)

フィールド	説明
テスト	ステップを追加するテストの読み取り専用の名前。
ステップ構成	ステップの読み取り専用の名前。
説明	テストステップの説明。このフィールド値はテストステップのフィールド値に基づいて自動的に設定されます。このフィールドは、テストステップが送信された後に表示されます。
メモ	テストステップに関するメモ。
アサーションタイプ	テストに合格するための基準。 買い物かごにアイテムを正常に追加しました カタログアイテムが買い物かごに正常に追加された場合にのみ、テストに合格します。 買い物かごにアイテムを追加できません カタログアイテムをカートに追加できない場合にのみ、テストに合格します。

出力

フィールド	説明
cart_item_id	追加されたカタログアイテムの sys_id。

カタログアイテムの注文

カタログアイテムの[今すぐ注文]をクリックします。カタログアイテムを開くステップを使用してカタログアイテムページを開いたら、このステップを使用します。

このステップを実行すると、カタログアイテムに対して他のステップを使用することはできません。2 ステップチェックアウトが false の場合、カタログアイテムの要求が生成されます。2 ステップチェックアウトが true の場合、買い物かごプレビューページにリダイレクトされます。

入力

フィールド	説明
実行順序	テストのこのステップの実行順序を指定する整数。 ステップを作成すると、各ステップに増分値が自動的に割り当てられます。この値により、テストでは、ステップが作成された順に実行されます。このデフォルトを変更するには、[実行命令] 値を編集します。
有効	このテストステップの使用をアクティブ化するオプション。
タイムアウト	ステップが失敗するまでの秒数。検証に失敗すると、タイムアウトの時間になるまでステップが繰り返されます。タイムアウト経過後に検証が失敗すると、ステップは失敗します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

入力 (続く)

フィールド	説明
アプリケーション	システムがこのステップを実行するアプリケーションスコープ。
テスト	ステップを追加するテストの読み取り専用の名前。
ステップ構成	ステップの読み取り専用の名前。
説明	テストステップの説明。このフィールド値はテストステップのフィールド値に基づいて自動的に設定されます。このフィールドは、テストステップが送信された後に表示されます。
メモ	テストステップに関するメモ。
アサーションタイプ	テストに合格するための基準。 カタログアイテムを正常に注文しました カタログアイテムが正常に注文された場合にのみ、テストに合格します。 カタログアイテムを注文できません カタログアイテムを注文できない場合にのみ、テストに合格します。

出力

フィールド	説明
request_id	作成されたカタログ要求の sys_id。
買い物かご	カタログアイテムが入っている買い物かごの sys_id。

レコードプロデューサーの送信

現在のレコード プロデューサを送信します。レコードを開くプロデューサのステップを使用してレコード プロデューサを開いた後、このステップを使用します。このステップを実行すると、カタログアイテムに対して他のステップを使用することはできません。

入力

フィールド	説明
実行順序	テストのこのステップの実行順序を指定する整数。 ステップを作成すると、各ステップに増分値が自動的に割り当てられます。この値により、テストでは、ステップが作成された順に実行されます。このデフォルトを変更するには、[実行命令] 値を編集します。
有効	このテストステップの使用をアクティブ化するオプション。
タイムアウト	ステップが失敗するまでの秒数。検証に失敗すると、タイムアウトの時間になるまでステップが繰り返されます。タイムアウト経過後に検証が失敗すると、ステップは失敗します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

入力 (続く)

フィールド	説明
アプリケーション	システムがこのステップを実行するアプリケーションスコープ。
テスト	ステップを追加するテストの読み取り専用の名前。
ステップ構成	ステップの読み取り専用の名前。
説明	テストステップの説明。このフィールド値はテストステップのフィールド値に基づいて自動的に設定されます。このフィールドは、テストステップが送信された後に表示されます。
メモ	テストステップに関するメモ。
アサーションタイプ	テストに合格するための基準。 レコードプロデューサーを正常に送信 レコードプロデューサーが正常に送信された場合にのみ、テストに合格します。 レコードプロデューサーを送信できません レコードプロデューサーを送信できない場合にのみ、テストに合格します。

出力

フィールド	説明
record_id	レコードプロデューサーのターゲットレコードの sys_id。

サービスポータル のフォームカテゴリ

サービスポータル フォームウィジェットのフィールドと UI アクションの機能を検証します。

サービスポータル 依存関係

自動 サービスポータルステップの作成には、ServiceNow データモデルおよび サービスポータル フォームとデータの構造の知識が必要です。

フォームを開く **(SP)**

ポータルでフォームを開きます。

このステップは、ベースシステムのフォームページに使用します。カスタムフォームページの場合は、[カスタム UI] カテゴリの サービスポータルページを開く ステップを使用します。

フィールド	説明
実行順序	テストのこのステップの実行順序を指定する整数。 ステップを作成すると、各ステップに増分値が自動的に割り当てられます。この値により、テストでは、ステップが作成された順に実行されます。このデフォルトを変更するには、[実行命令] 値を編集します。
有効	このテストステップの使用をアクティブ化するオプション。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明
タイムアウト	ステップが失敗するまでの秒数。検証に失敗すると、タイムアウトの時間になるまでステップが繰り返されます。タイムアウト経過後に検証が失敗すると、ステップは失敗します。
アプリケーション	システムがこのステップを実行するアプリケーションスコープ。
テスト	ステップを追加するテストの読み取り専用の名前。
ステップ構成	ステップの読み取り専用の名前。
説明	テストステップの説明。このフィールド値はテストステップのフィールド値に基づいて自動的に設定されます。このフィールドは、テストステップが送信された後に表示されます。
メモ	テストステップに関するメモ。
ポータル	定義されたフォームが開くポータル。サービスポータル がデフォルトです。
ページ	定義されたポータルで開くページ。フォームページがデフォルトです。
テーブル	開くフォームを含むテーブル。
sys_id	開くレコードの sys_id。デフォルトは `-1` で、新しいレコードが開きます。
表示	開くフォームビュー。空白の場合は、デフォルトのビューが使用されます。
クエリパラメーター	フォームの追加の URL クエリパラメーターと値。

フィールド値の設定 **(SP)**

フォームのフィールドの値を設定します。この手順を使用するには、フォームを開く **(SP)** テスト ステップを使用してフォームを既に開いている必要があります。

フィールド	説明
実行順序	テストのこのステップの実行順序を指定する整数。 ステップを作成すると、各ステップに増分値が自動的に割り当てられます。この値により、テストでは、ステップが作成された順に実行されます。このデフォルトを変更するには、[実行命令] 値を編集します。
有効	このテストステップの使用をアクティブ化するオプション。
アプリケーション	システムがこのステップを実行するアプリケーションスコープ。
テスト	ステップを追加するテストの読み取り専用の名前。
ステップ構成	ステップの読み取り専用の名前。
説明	テストステップの説明。このフィールド値はテストステップのフィールド値に基づいて自動的に設定されます。このフィールドは、テストステップが送信された後に表示されます。
メモ	テストステップに関するメモ。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: 条件ビルダーを使用してフィールド値を設定します。条件ビルダーには、フィールドのデータタイプに適したコントロールが表示されます。たとえば、参照フィールドにはルックアップレコードコントロールが表示されます。
テーブル	フィールド値を設定するフォームのテーブル。値は、[フォームを開く **(SP)**] ステップのテーブルである必要があります。
フィールド値	値を設定するフィールドと、それらのフィールドに設定する値。

フィールド値の検証 **(SP)**

定義された条件に基づいて、現在のフォームのフィールド値を検証します。この手順を使用するには、フォームを開く **(SP)** テスト ステップを使用してフォームを既に開いている必要があります。

フィールド	説明
実行順序	テストのこのステップの実行順序を指定する整数。 ステップを作成すると、各ステップに増分値が自動的に割り当てられます。この値により、テストでは、ステップが作成された順に実行されます。このデフォルトを変更するには、[実行命令] 値を編集します。
有効	このテストステップの使用をアクティブ化するオプション。
アプリケーション	システムがこのステップを実行するアプリケーションスコープ。
テスト	ステップを追加するテストの読み取り専用の名前。
ステップ構成	ステップの読み取り専用の名前。
説明	テストステップの説明。このフィールド値はテストステップのフィールド値に基づいて自動的に設定されます。このフィールドは、テストステップが送信された後に表示されます。
メモ	テストステップに関するメモ。 **注:** 条件ビルダーを使用してフィールド値を設定します。条件ビルダーには、フィールドのデータタイプに適したコントロールが表示されます。たとえば、参照フィールドにはルックアップレコードコントロールが表示されます。
テーブル	フィールドを検証するフォームを含むテーブル。値は、[フォームを開く **(SP)**] ステップのテーブルである必要があります。
条件	フォーム上の 1 つ以上のフィールドを検証するために使用する条件。条件が true と評価された場合、ステップは合格します。

フィールドステータスの検証 **(SP)**

サービスポータルのフォームのフィールド状態を検証します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明
実行順序	テストのこのステップの実行順序を指定する整数。 ステップを作成すると、各ステップに増分値が自動的に割り当てられます。この値により、テストでは、ステップが作成された順に実行されます。このデフォルトを変更するには、[実行命令] 値を編集します。
有効	このテストステップの使用をアクティブ化するオプション。
アプリケーション	システムがこのステップを実行するアプリケーションスコープ。
テスト	ステップを追加するテストの読み取り専用の名前。
ステップ構成	ステップの読み取り専用の名前。
説明	テストステップの説明。このフィールド値はテストステップのフィールド値に基づいて自動的に設定されます。このフィールドは、テストステップが送信された後に表示されます。
メモ	テストステップに関するメモ。
テーブル	フィールドの状況を検証するフォームのテーブル。値は、[フォームを開く **(SP)]** ステップのテーブルである必要があります。
表示	このフォームのフィールドが表示されるかどうかを検証します。フィールドが表示されない場合、テストは失敗します。
非表示	このフォームのフィールドが表示されるかどうかを検証します。フィールドが表示される場合、テストは失敗します。
読み取り専用	このフォームのフィールドが読み取り専用かどうかを検証します。フィールドが読み取り専用ではない場合、テストは失敗します。
非読み取り専用	このフォームのフィールドが読み取り専用かどうかを検証します。フィールドが読み取り専用である場合、テストは失敗します。
必須	このフォームのフィールドが必須かどうかを検証します。フィールドが必須ではない場合、テストは失敗します。
任意	このフォームのフィールドが必須かどうかを検証します。フィールドが必須である場合、テストは失敗します。

添付ファイルをフォームに追加 **(SP)**

サービスポータル フォームウィジェットにファイルを添付する機能をテストします。

この手順を使用するには、[フォームを開く **(SP)]** テストステップまたは [サービスポータルページを開く] ステップを使用してフォームが事前に開かれている必要があります。このステップは、[フォームを送信] ステップまたは **[UI** アクションをクリック] ステップが使用された後には使用できません。

入力

フィールド	説明
実行順序	テストのこのステップの実行順序を指定する整数。 ステップを作成すると、各ステップに増分値が自動的に割り当てられます。この値により、テストでは、ステップが作成された順に実行されます。このデフォルトを変更するには、[実行命令] 値を編集します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

入力 (続く)

フィールド	説明
有効	このテストステップの使用をアクティブ化するオプション。
アプリケーション	システムがこのステップを実行するアプリケーションスコープ。
テスト	ステップを追加するテストの読み取り専用の名前。
ステップ構成	ステップの読み取り専用の名前。
メモ	テストステップに関するメモ。
添付ファイルをアップロード	フォームに 1 つ以上のファイルを添付するためのボタン。

UI アクション可視化の検証 (SP)

現在のサービスポータルフォーム上に、UI アクションが表示されているかどうかを判定します。この手順を使用するには、フォームを開く **(SP)** テスト ステップを使用してフォームを既に開いている必要があります。

サービスポータル サーバー UI アクションのみがサポートされています。setRedirectURL() メソッドおよびクライアント UI アクションはサポートされていません。UI アクション可視化は、現在ログイン中のユーザーまたは代理操作の対象であるユーザーによって異なる場合があります。

フィールド	説明
実行順序	テストのこのステップの実行順序を指定する整数。 ステップを作成すると、各ステップに増分値が自動的に割り当てられます。この値により、テストでは、ステップが作成された順に実行されます。このデフォルトを変更するには、[実行命令] 値を編集します。
有効	このテストステップの使用をアクティブ化するオプション。
アプリケーション	システムがこのステップを実行するアプリケーションスコープ。
テスト	ステップを追加するテストの読み取り専用の名前。
ステップ構成	ステップの読み取り専用の名前。
説明	テストステップの説明。このフィールド値はテストステップのフィールド値に基づいて自動的に設定されます。このフィールドは、テストステップが送信された後に表示されます。
メモ	テストステップに関するメモ。
テーブル	UI アクション可視化を確認するフォームのテーブル。値は、[フォームを開く **(SP)]** ステップのテーブルである必要があります。
表示	可視化を確認する UI アクションテーブルのフィールド。フォームベースの UI アクションのみが含まれます。現在ログインしているユーザーのフォームに UI アクションが表示されていない場合、テストは不合格になります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: リストに同じ名前の UI アクションが含まれている場合は、フォームを確認して要素の sys_id を判別します。次に、UI アクションテーブルで sys_id でフィルタリングして、ステップで正しい要素を選択します。
非表示	可視化を確認する UI アクションテーブルのフィールド。フォームベースの UI アクションのみが含まれます。現在ログインしているユーザーのフォームに UI アクションが表示されている場合、テストは不合格になります。 注: リストに同じ名前の UI アクションが含まれている場合は、フォームを確認して要素の sys_id を判別します。次に、UI アクションテーブルで sys_id でフィルタリングして、ステップで正しい要素を選択します。

UI アクションのクリック (SP)

現在の サービスポータル フォームで UI アクションを選択し、アクションが選択されたレコードのテーブルと sys_id を出力します。

この手順を使用するには、フォームを開く **(SP)** テスト ステップを使用してフォームを既に開いている必要があります。このステップを使用した後、他のフォームステップは使用できません。

フィールド	説明
実行順序	テストのこのステップの実行順序を指定する整数。 ステップを作成すると、各ステップに増分値が自動的に割り当てられます。この値により、テストでは、ステップが作成された順に実行されます。このデフォルトを変更するには、[実行命令] 値を編集します。
有効	このテストステップの使用をアクティブ化するオプション。
タイムアウト	ステップが失敗するまでの秒数。検証に失敗すると、タイムアウトの時間になるまでステップが繰り返されます。タイムアウト経過後に検証が失敗すると、ステップは失敗します。
アプリケーション	システムがこのステップを実行するアプリケーションスコープ。
テスト	ステップを追加するテストの読み取り専用の名前。
ステップ構成	ステップの読み取り専用の名前。
説明	テストステップの説明。このフィールド値はテストステップのフィールド値に基づいて自動的に設定されます。このフィールドは、テストステップが送信された後に表示されます。
メモ	テストステップに関するメモ。
テーブル	UI アクションをクリックするフォームのテーブル。値は、[フォームを開く **(SP)]** ステップのテーブルである必要があります。
UI アクション	クリックする UI アクション。UI アクションテーブルから選択します。フォームベースの UI アクションのみが含まれます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
アサーションタイプ	UI アクションをクリックした後にフォームの送信を確認する場所を指定します。 • **[--**なし--]：必須フィールドまたはその他のフィールドを検証せずに UI アクションを選択します。 • ブラウザーでフォームの送信をキャンセル：検証またはその他の問題のために、ブラウザーでフォームがキャンセルされて、サーバーに到達しなかったかどうかを確認します。 • サーバーにフォームを送信：フォームがサーバーに送信されたかどうかを確認します。

出力

フィールド	説明
record_id	アクションがクリックされたレコードの sys_id。
テーブル	クリックされた UI アクションを含むテーブル。

フォームの送信 **(SP)**

サービスポータルページに現在のフォームを送信し、テーブルと送信されたレコードの sys_id を出力します。

この手順を使用するには、フォームを開く **(SP)** テスト ステップを使用してフォームを既に開いている必要があります。このステップを実行すると、ページが閉じます。現在のページで他のステップを使用することはできません。

フィールド	説明
実行順序	テストのこのステップの実行順序を指定する整数。 ステップを作成すると、各ステップに増分値が自動的に割り当てられます。この値により、テストでは、ステップが作成された順に実行されます。このデフォルトを変更するには、[実行命令] 値を編集します。
有効	このテストステップの使用をアクティブ化するオプション。
タイムアウト	ステップが失敗するまでの秒数。検証に失敗すると、タイムアウトの時間になるまでステップが繰り返されます。タイムアウト経過後に検証が失敗すると、ステップは失敗します。
アプリケーション	システムがこのステップを実行するアプリケーションスコープ。
テスト	ステップを追加するテストの読み取り専用の名前。
ステップ構成	ステップの読み取り専用の名前。
説明	テストステップの説明。このフィールド値はテストステップのフィールド値に基づいて自動的に設定されます。このフィールドは、テストステップが送信された後に表示されます。
メモ	テストステップに関するメモ。
アサーションタイプ	フォームの送信を確認する場所を指定します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	• **[--**なし--]：必須フィールドまたはその他のフィールドを検証せずにフォームを送信します。 • サーバーにフォームを送信：フォームがサーバーに送信されたかどうかを確認します。 • ブラウザーでフォームの送信をキャンセル：検証またはその他の問題のために、ブラウザーでフォームがキャンセルされて、サーバーに到達しなかったかどうかを確認します。

出力

フィールド	説明
record_id	送信されたレコードの sys_id。
テーブル	送信されたレコードのテーブル。

リストと関連リスト

リストおよび関連リスト内のレコードと UI アクションの機能と可視化を検証します。

関連リストの可視化を検証

フォーム上の選択された関連リストの可視化を検証します。

入力

フィールド	説明
実行順序	テストのこのステップの実行順序を指定する整数。 ステップを作成すると、各ステップに増分値が自動的に割り当てられます。この値により、テストでは、ステップが作成された順に実行されます。このデフォルトを変更するには、[実行命令] 値を編集します。
アプリケーション	システムがこのステップを実行するアプリケーションスコープ。
有効	このテストステップの使用をアクティブ化するオプション。
テスト	ステップを追加するテストの名前。
ステップ構成	ステップの名前。
メモ	テストステップに関するメモ。
テーブル	関連リストの可視化が検証される親フォームのテーブルの名前。
表示	表示としてアサートする関連リストのリスト。
非表示	非表示としてアサートする関連リストのリスト。

フィルターをリストに適用

リストにフィルターを適用して、必要なレコードを見つけます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

入力

フィールド	説明
実行順序	テストのこのステップの実行順序を指定する整数。 ステップを作成すると、各ステップに増分値が自動的に割り当てられます。この値により、テストでは、ステップが作成された順に実行されます。このデフォルトを変更するには、[実行命令] 値を編集します。
有効	このテストステップの使用をアクティブ化するオプション。
アプリケーション	システムがこのステップを実行するアプリケーションスコープ。
テスト	ステップを追加するテストの名前。
ステップ構成	ステップの名前。
メモ	テストステップに関するメモ。
リストタイプ	リストのタイプを選択するオプション。 • リスト • 関連リスト
アサーションタイプ	テストステップ実行時のアサーションを指定します。 • 一致するレコードが少なくとも**1**件見つかりました：一致するレコードが少なくとも 1 件ある場合、ステップは成功します。 • 一致するレコードが見つかりません：一致するレコードがない場合、ステップは失敗します。 • 一致するレコードが**1**件見つかりました：一致するレコードが 1 件だけある場合、ステップは成功します。
テーブル	[リストタイプ] が [リスト] の場合、このフィールドは開いているリストのテーブルです。 [リストタイプ] が [関連リスト] の場合、このフィールドはリストが属する親フォームのテーブルの名前を示します。
関連リスト	フィルターの適用先の関連リスト。 **注:** このフィールドは、[リストタイプ] から [関連リスト] が選択されている場合に使用できます。
リストフィルター	リストに適用するフィルター条件。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

出力

フィールド	説明
first_record	指定されたフィルターを適用した後にリストで見つかった最初のレコード。

リストに存在するレコードを検証

リスト内のレコードのプレゼンスを検証します。続行するには、有効なフォームを開き、レコードを含むリストを表示する必要があります。

入力

フィールド	説明
実行順序	テストのこのステップの実行順序を指定する整数。 ステップを作成すると、各ステップに増分値が自動的に割り当てられます。この値により、テストでは、ステップが作成された順に実行されます。このデフォルトを変更するには、[実行命令] 値を編集します。
アプリケーション	システムがこのステップを実行するアプリケーションスコープ。
有効	このテストステップの使用をアクティブ化するオプション。
テスト	ステップを追加するテストの名前。
タイムアウト	ステップが失敗するまでの秒数。検証に失敗すると、タイムアウトの時間になるまでステップが繰り返されます。タイムアウト経過後に検証が失敗すると、ステップは失敗します。
ステップ構成	ステップの名前。
メモ	テストステップに関するメモ。
リストタイプ	リストのタイプを選択するオプション。 • リスト • 関連リスト
アサーションタイプ	テストステップ実行時のアサーションを指定します。 • レコードがリストに存在します • レコードがリストに存在しません
テーブル	リストが属する親テーブルの名前。
関連リスト	検証するレコードを含む関連リスト。 **注:** このフィールドは、[リストタイプ] から [関連リスト] が選択されている場合に使用できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

入力 (続く)

フィールド	説明
レコード	プレゼンスが検証されたレコード。

リスト内のレコードを開く

リスト内の特定のレコードを開きます。

入力

フィールド	説明
実行順序	テストのこのステップの実行順序を指定する整数。 ステップを作成すると、各ステップに増分値が自動的に割り当てられます。この値により、テストでは、ステップが作成された順に実行されます。このデフォルトを変更するには、[実行命令] 値を編集します。
アプリケーション	システムがこのステップを実行するアプリケーションスコープ。
有効	このテストステップの使用をアクティブ化するオプション。
テスト	ステップを追加するテストの名前。
ステップ構成	ステップの名前。
メモ	テストステップに関するメモ。
リストタイプ	リストのタイプを選択するオプション。 • リスト • 関連リスト
テーブル	リストが属する親テーブルの名前。
関連リスト	開くレコードを含む関連リスト。 **注:** このフィールドは、[リストタイプ] から [関連リスト] が選択されている場合に使用できます。
レコード	開くレコード。

リスト **UI** アクションの可視化を検証

UI アクションがリストに表示されていることを検証します。ユーザーを代理操作している場合、UI アクションの可視化は、代理操作されているユーザーによって異なります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

入力

フィールド	説明
実行順序	テストのこのステップの実行順序を指定する整数。 ステップを作成すると、各ステップに増分値が自動的に割り当てられます。この値により、テストでは、ステップが作成された順に実行されます。このデフォルトを変更するには、[実行命令] 値を編集します。
アプリケーション	システムがこのステップを実行するアプリケーションスコープ。
有効	このテストステップの使用をアクティブ化するオプション。
テスト	ステップを追加するテストの名前。
ステップ構成	ステップの名前。
メモ	テストステップに関するメモ。
リストタイプ	リストのタイプを選択するオプション。 • リスト • 関連リスト
テーブル	親フォームのテーブルの名前。
関連リスト	UI アクションを含む関連リスト。 **注:** このフィールドは、[リストタイプ] から [関連リスト] が選択されている場合に使用できます。
表示	表示としてアサートする UI アクションのリスト。
非表示	非表示としてアサートする UI アクションのリスト。

リスト **UI** アクションをクリック

フォームのリストでリスト UI アクションを選択します。

入力

フィールド	説明
実行順序	テストのこのステップの実行順序を指定する整数。 ステップを作成すると、各ステップに増分値が自動的に割り当てられます。この値により、テストでは、ステップが作成された順に実行されます。このデフォルトを変更するには、[実行命令] 値を編集します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

入力 (続く)

フィールド	説明
アプリケーション	システムがこのステップを実行するアプリケーションスコープ。
有効	このテストステップの使用をアクティブ化するオプション。
テスト	ステップを追加するテストの名前。
ステップ構成	ステップの名前。
メモ	テストステップに関するメモ。
リストタイプ	リストのタイプを選択するオプション。 • リスト • 関連リスト
テーブル	UI アクションが属するテーブルの名前。
関連リスト	UI アクションを含む関連リスト。 **注:** このフィールドは、[リストタイプ] から [関連リスト] が選択されている場合に使用できます。
リストアクション	クリックされるリスト UI アクション。
アクションタイプ	クリックされる UI アクションのタイプ。
適用先	UI アクションが適用されるレコード。
アサーションタイプ	ステップの実行時に作成されたアサーション。 • なし：UI アクションをクリックし、アサーションを行わずに続行します。 • ページのリロードまたはリダイレクト：UI アクションをクリックし、ページがリロードまたはリダイレクトされたことをアサートします。このアサーションタイプはフォーム送信をアサートしません。
レコード	UI アクションが適用されるレコード。 **注:** このフィールドは、[適用先] フィールドで [単一レコード] を選択すると表示されます。

REST カテゴリ

REST 呼び出しの機能を確認します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

REST 要求の送信 - 受信 - REST API エクスプローラー

このテスト ステップは、REST API エクスプローラーから始まります。REST API エクスプローラーを使用して、現在のインスタンスへの REST 要求の HTTP メソッド、パス、クエリー パラメーター、要求ヘッダー、本文を作成して指定します。

要求をテストすると、[自動テストステップの作成] ボタンが表示されます。[自動テストステップの作成] をクリックしてテストステップを作成します。このボタンは、要求が送信されるまで表示されません。要求ペイロードが最大要求ペイロードサイズプロパティより大きい場合は、テスト ステップを作成できません。

このテストステップは、**REST** 要求送信 **-** インバウンドテストステップと同じテストレコードを作成します。テストステップを作成した後は、戻って REST API エクスプローラーを使用してテストを更新することはできません。すべての変更は、**REST** 要求の送信 **-** インバウンドテストステップ フォームで行う必要があります。

このステップの一部として HTTP 応答の検証が実行されることはありません。応答ペイロードのサイズが大きすぎる場合、要求パラメーターが無効な場合、または要求を送信できなかった場合、ステップは失敗します。アサーションステップを使用して応答を検証します。

このステップを使用して、別のインスタンスまたは第三者/リモートアドレスに要求を送信することはできません。

これらの入力は、REST API エクスプローラー用です。表示されるフィールドは、選択した API によって異なります。インスタンスで REST API を使用する方法の詳細については、「REST API」を参照してください。

入力

フィールド	説明
名前空間	要求の名前空間。リストから選択します。
API 名	使用する API。リストから選択します。
API バージョン	使用する API バージョン。インスタンスで利用可能なバージョンをリストから選択します。
パスパラメーター	API 名の後のパスの部分。パスパラメーターは通常、許容値がリスト内にある名前と値のペアです。
クエリパラメーター	パスの後の URI に追加されるクエリパラメーターの名前と値のペア。 REST API エクスプローラーは URI をエンコードするため、クエリのパラメーターと値をエンコードする必要はありません。
要求ヘッダー	要求ヘッダーに含まれる名前と値のペア。現在のユーザーの認証情報を使用するには、認証ヘッダーを [自分で送信 **(Send as me)**] に設定します。本番環境でテストステップを使用するには、**[REST** を送信 **-** 受信 **(Send REST - Inbound)]** テストステップの [認証タイプ **(Authentication Type)]** フィールドを変更する必要が生じる場合があります。 名前または値をエンコードしないでください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

入力 (続く)

フィールド	説明
要求本文	要求コンテンツ。一部の要求には本文がありません。

REST 要求の送信 - 受信

現在のインスタンスに REST 要求を送信するテスト ステップを作成します。REST 要求の HTTP メソッド、パス、クエリー パラメーター、要求ヘッダー、および本文を指定します。

このステップの一部として HTTP 応答の検証が実行されることはありません。応答ペイロードのサイズが大きすぎる場合、要求パラメーターが無効な場合、または要求を送信できなかった場合、ステップは失敗します。アサーションステップを使用して応答を検証します。

この手順を使用して、別のインスタンスまたはサードパーティ/リモートアドレスに要求を送信することはできません。

REST API を使用する方法の詳細については、REST API を参照してください。

入力

フィールド	説明
実行順序	テストのこのステップの実行順序を指定する整数。 ステップを作成すると、各ステップに増分値が自動的に割り当てられます。この値により、テストでは、ステップが作成された順に実行されます。このデフォルトを変更するには、[実行命令] 値を編集します。
有効	このテストステップの使用をアクティブ化するオプション。
アプリケーション	システムがこのステップを実行するアプリケーションスコープ。
テスト	ステップを追加するテストの読み取り専用の名前。
ステップ構成	ステップの読み取り専用の名前。
説明	テストステップの説明。このフィールド値はテストステップのフィールド値に基づいて自動的に設定されます。このフィールドは、テストステップが送信された後に表示されます。
メモ	テストステップに関するメモ。
認証タイプ	使用する認証のタイプ。パブリック API の場合は、[なし **(None)]** を選択します。 基本認証または相互認証を構成するには、ユーザーに atf_ws_designer ロールが必要です。詳細については、「自動テストフレームワーク (ATF) ロール」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

入力 (続く)

フィールド	説明
ベーシック認証	テストを行うときに使用するベーシック認証プロファイル。テスト実行時の認証の問題を回避するために、テストステップに割り当てるベーシック認証プロファイルを作成または選択する必要があります。詳細については、「自動テストフレームワーク (ATF) を使用した基本認証プロファイルの作成」を参照してください。
相互認証	相互認証用の X.509 証明書。テスト実行時の認証の問題を回避するために、テストステップにアサインするクライアント証明書を作成または選択する必要があります。詳細については、「Set up Certificate-based authentication」を参照してください。
メソッド	使用する HTTP メソッド： • **GET** • **POST** • **PUT** • **DELETE** • **PATCH**
パス	使用するパス。このフィールドは、URI のインスタンス名の後の部分のみを受け入れます。https://<インスタンス名> を使用した場合、エラーが発生します。
クエリパラメーター	クエリパラメーターの名前と値。パラメーター名または値をエンコードしないでください。
ヘッダー	ヘッダーの名前と値。ヘッダー名または値をエンコードしないでください。
本文	要求の本文。

ステータスコードのアサート

HTTP 応答ステータスコードが、指定された値と指定された関係にあることを確認します。ステータスコードと関係には数値を指定します。

アサーションステップは、**[REST** 要求の送信 **-** 受信] ステップの直後に実行される必要があります。**[REST** 要求の送信 **-** 受信] ステップに続いて複数の REST アサーションステップを実行できますが、他のテストカテゴリのステップによってアサーションステップを **[REST** 要求の送信 **-** 受信] ステップから分離することはできません。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

入力

フィールド	説明
実行順序	テストのこのステップの実行順序を指定する整数。 ステップを作成すると、各ステップに増分値が自動的に割り当てられます。この値により、テストでは、ステップが作成された順に実行されます。このデフォルトを変更するには、[実行命令] 値を編集します。
有効	このテストステップの使用をアクティブ化するオプション。
アプリケーション	システムがこのステップを実行するアプリケーションスコープ。
テスト	ステップを追加するテストの読み取り専用の名前。
ステップ構成	ステップの読み取り専用の名前。
説明	テストステップの説明。このフィールド値はテストステップのフィールド値に基づいて自動的に設定されます。このフィールドは、テストステップが送信された後に表示されます。
メモ	テストステップに関するメモ。
運用	値間で実行する比較： • 次の値に等しい • ではない • 次の値未満 **(<)** • **>** • 次の値以下 • 以上
ステータスコード	応答コードに対してテストするステータスコード。

ステータスコード名のアサート

HTTP 応答ステータスコード名が、指定された値と指定された関係にあることを確認します。ステータスコード名と関係の値を指定します。

アサーションステップは、**[REST** 要求の送信 **-** 受信] ステップの直後に実行される必要があります。**[REST** 要求の送信 **-** 受信] ステップに続いて複数の REST アサーションステップを実行できますが、他のテストカテゴリのステップによってアサーションステップを **[REST** 要求の送信 **-** 受信] ステップから分離することはできません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

入力

フィールド	説明
実行順序	テストのこのステップの実行順序を指定する整数。 ステップを作成すると、各ステップに増分値が自動的に割り当てられます。この値により、テストでは、ステップが作成された順に実行されます。このデフォルトを変更するには、[実行命令] 値を編集します。
有効	このテストステップの使用をアクティブ化するオプション。
アプリケーション	システムがこのステップを実行するアプリケーションスコープ。
テスト	ステップを追加するテストの読み取り専用の名前。
ステップ構成	ステップの読み取り専用の名前。
説明	テストステップの説明。このフィールド値はテストステップのフィールド値に基づいて自動的に設定されます。このフィールドは、テストステップが送信された後に表示されます。
メモ	テストステップに関するメモ。
運用	値間で実行する比較： • 次の値を含む • 次の値を含まない • 次の値に等しい • ではない
ステータスコード名	テストするステータスコード名。

応答時間のアサート

HTTP 応答応答時間が、指定された値と指定された関係にあることを確認します。応答時間と関係の値を指定します。

アサーションステップは、**[REST** 要求の送信 **-** 受信] ステップの直後に実行される必要があります。**[REST** 要求の送信 **-** 受信] ステップに続いて複数の REST アサーションステップを実行できますが、他のテストカテゴリのステップによってアサーションステップを **[REST** 要求の送信 **-** 受信] ステップから分離することはできません。

入力

フィールド	説明
実行順序	テストのこのステップの実行順序を指定する整数。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

入力 (続く)

フィールド	説明
	ステップを作成すると、各ステップに増分値が自動的に割り当てられます。この値により、テストでは、ステップが作成された順に実行されます。このデフォルトを変更するには、[実行命令] 値を編集します。
有効	このテストステップの使用をアクティブ化するオプション。
アプリケーション	システムがこのステップを実行するアプリケーションスコープ。
テスト	ステップを追加するテストの読み取り専用の名前。
ステップ構成	ステップの読み取り専用の名前。
説明	テストステップの説明。このフィールド値はテストステップのフィールド値に基づいて自動的に設定されます。このフィールドは、テストステップが送信された後に表示されます。
メモ	テストステップに関するメモ。
運用	入力された応答時間と実際の応答時間の間で実行される比較： • 次の値未満 **(<)** • **>**
応答時間 (ミリ秒)	実際の応答時間と比較する時間 (ミリ秒)。

自動翻訳

応答ヘッダーのアサート

HTTP 応答ヘッダーが存在するか、ヘッダーが指定された値と指定された関係にあることを確認します。

アサーションステップは、**[REST** 要求の送信 **-** 受信] ステップの直後に実行される必要があります。**[REST** 要求の送信 **-** 受信] ステップに続いて複数の REST アサーションステップを実行できますが、他のテストカテゴリのステップによってアサーションステップを **[REST** 要求の送信 **-** 受信] ステップから分離することはできません。

入力

フィールド	説明
実行順序	テストのこのステップの実行順序を指定する整数。 ステップを作成すると、各ステップに増分値が自動的に割り当てられます。この値により、テストでは、ステップが作成された順に実行されます。このデフォルトを変更するには、[実行命令] 値を編集します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

入力 (続く)

フィールド	説明
有効	このテストステップの使用をアクティブ化するオプション。
アプリケーション	システムがこのステップを実行するアプリケーションスコープ。
テスト	ステップを追加するテストの読み取り専用の名前。
ステップ構成	ステップの読み取り専用の名前。
説明	テストステップの説明。このフィールド値はテストステップのフィールド値に基づいて自動的に設定されます。このフィールドは、テストステップが送信された後に表示されます。
メモ	テストステップに関するメモ。
ヘッダー	ヘッダー名。
運用	値間で実行する比較： • 次の値を含む • 次の値を含まない • 次の値に等しい • ではない • は空でない
値	テストで使用する要素値。[運用] が空でない場合は表示されません。

応答 **JSON** ペイロードのアサートが有効

応答ペイロードが有効な JSON 形式であることを確認します。

アサーションステップは、**[REST** 要求の送信 **-** 受信] ステップの直後に実行される必要があります。**[REST** 要求の送信 **-** 受信] ステップに続いて複数の REST アサーションステップを実行できますが、他のテストカテゴリのステップによってアサーションステップを **[REST** 要求の送信 **-** 受信] ステップから分離することはできません。

入力

フィールド	説明
実行順序	テストのこのステップの実行順序を指定する整数。 ステップを作成すると、各ステップに増分値が自動的に割り当てられます。この値により、テストでは、ステップが作成された順に実行されます。このデフォルトを変更するには、[実行命令] 値を編集します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

入力 (続く)

フィールド	説明
有効	このテストステップの使用をアクティブ化するオプション。
アプリケーション	システムがこのステップを実行するアプリケーションスコープ。
テスト	ステップを追加するテストの読み取り専用の名前。
ステップ構成	ステップの読み取り専用の名前。
説明	テストステップの説明。このフィールド値はテストステップのフィールド値に基づいて自動的に設定されます。このフィールドは、テストステップが送信された後に表示されます。
メモ	テストステップに関するメモ。

応答 **XML** ペイロードのアサート形式が適切

応答のペイロードの形式が適切な XML であることを確認します

アサーションステップは、**[REST** 要求の送信 **-** 受信] ステップの直後に実行される必要があります。**[REST** 要求の送信 **-** 受信] ステップに続いて複数の REST アサーションステップを実行できますが、他のテストカテゴリのステップによってアサーションステップを **[REST** 要求の送信 **-** 受信] ステップから分離することはできません。

入力

フィールド	説明
実行順序	テストのこのステップの実行順序を指定する整数。 ステップを作成すると、各ステップに増分値が自動的に割り当てられます。この値により、テストでは、ステップが作成された順に実行されます。このデフォルトを変更するには、[実行命令] 値を編集します。
有効	このテストステップの使用をアクティブ化するオプション。
アプリケーション	システムがこのステップを実行するアプリケーションスコープ。
テスト	ステップを追加するテストの読み取り専用の名前。
ステップ構成	ステップの読み取り専用の名前。
説明	テストステップの説明。このフィールド値はテストステップのフィールド値に基づいて自動的に設定されます。このフィールドは、テストステップが送信された後に表示されます。
メモ	テストステップに関するメモ。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

XML ペイロード要素のアサート

XML 応答のペイロード要素が存在するか、または指定された値と指定された関係にあることを確認します。

アサーションステップは、**[REST** 要求の送信 **-** 受信] ステップの直後に実行される必要があります。**[REST** 要求の送信 **-** 受信] ステップに続いて複数の REST アサーションステップを実行できますが、他のテストカテゴリのステップによってアサーションステップを **[REST** 要求の送信 **-** 受信] ステップから分離することはできません。

入力

フィールド	説明
実行順序	テストのこのステップの実行順序を指定する整数。 ステップを作成すると、各ステップに増分値が自動的に割り当てられます。この値により、テストでは、ステップが作成された順に実行されます。このデフォルトを変更するには、[実行命令] 値を編集します。
有効	このテストステップの使用をアクティブ化するオプション。
アプリケーション	システムがこのステップを実行するアプリケーションスコープ。
テスト	ステップを追加するテストの読み取り専用の名前。
ステップ構成	ステップの読み取り専用の名前。
説明	テストステップの説明。このフィールド値はテストステップのフィールド値に基づいて自動的に設定されます。このフィールドは、テストステップが送信された後に表示されます。
メモ	テストステップに関するメモ。

要素パス	評価する要素への XML パス。例：/result/short_description
	
	`{`
	`  "result": {`
	`  "number": "INC0020001",`
	`  "short_description": "test"`
	`  }`
	`}`

運用	値間で実行する比較： • 次の値を含む • 次の値を含まない • 次の値に等しい

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

入力 (続く)

フィールド	説明
	• ではない • は空でない
値	テストで使用する要素値。[運用] が空でない場合は表示されません。

JSON 応答ペイロード要素のアサート

JSON 応答のペイロード要素が存在するか、または指定された値と指定された関係にあることを確認します。

アサーションステップは、**[REST** 要求の送信 **-** 受信] ステップの直後に実行される必要があります。**[REST** 要求の送信 **-** 受信] ステップに続いて複数の REST アサーションステップを実行できますが、他のテストカテゴリのステップによってアサーションステップを **[REST** 要求の送信 **-** 受信] ステップから分離することはできません。

入力

フィールド	説明
実行順序	テストのこのステップの実行順序を指定する整数。 ステップを作成すると、各ステップに増分値が自動的に割り当てられます。この値により、テストでは、ステップが作成された順に実行されます。このデフォルトを変更するには、[実行命令] 値を編集します。
有効	このテストステップの使用をアクティブ化するオプション。
アプリケーション	システムがこのステップを実行するアプリケーションスコープ。
テスト	ステップを追加するテストの読み取り専用の名前。
ステップ構成	ステップの読み取り専用の名前。
説明	テストステップの説明。このフィールド値はテストステップのフィールド値に基づいて自動的に設定されます。このフィールドは、テストステップが送信された後に表示されます。
メモ	テストステップに関するメモ。

要素パス	評価する要素への SNC パス。例：/result/short_description
	
	{
	"result": {
	"number": "INC0020001",
	"short_description": "test"

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

入力 (続く)

フィールド	説明
	} } 詳細については、「JSON ファイルをインポートする」を参照してください。
運用	値間で実行する比較： • 次の値を含む • 次の値を含まない • 次の値に等しい • ではない • は空でない
値	テストで使用する要素値。[運用] が空でない場合は表示されません。

応答ペイロードのアサート

HTTP 応答応答ペイロードが、指定された値と指定された関係にあることを確認します。値と関係を指定します。

アサーションステップは、**[REST** 要求の送信 **-** 受信] ステップの直後に実行される必要があります。**[REST** 要求の送信 **-** 受信] ステップに続いて複数の REST アサーションステップを実行できますが、他のテストカテゴリのステップによってアサーションステップを **[REST** 要求の送信 **-** 受信] ステップから分離することはできません。

注:
一致を探すためにペイロード全体が使用されます。ペイロードが大きいとパフォーマンスに影響する可能性があります。

入力

フィールド	説明
実行順序	テストのこのステップの実行順序を指定する整数。 ステップを作成すると、各ステップに増分値が自動的に割り当てられます。この値により、テストでは、ステップが作成された順に実行されます。このデフォルトを変更するには、[実行命令] 値を編集します。
有効	このテストステップの使用をアクティブ化するオプション。
アプリケーション	システムがこのステップを実行するアプリケーションスコープ。
テスト	ステップを追加するテストの読み取り専用の名前。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

入力 (続く)

フィールド	説明
ステップ構成	ステップの読み取り専用の名前。
説明	テストステップの説明。このフィールド値はテストステップのフィールド値に基づいて自動的に設定されます。このフィールドは、テストステップが送信された後に表示されます。
メモ	テストステップに関するメモ。
運用	値間で実行する比較： • 次の値を含む • 次の値を含まない • 次の値に等しい • ではない • は空でない
応答本文	テストで使用する応答本文の値。 応答ペイロードに表示されるときに比較される名前と値を含める必要があります。中括弧を含めることはできません。 [運用] が空でない場合は表示されません。

応答ペイロードの簡単な説明を確認するには

```
{"result":{"number":"INC0010040","short_description":"Test ATF Incident"}}
```

応答本文に以下のものが含まれなければなりません。

```
"short_description":"Test ATF Incident"
```

これらの形式は正しくないため、ステップは失敗します。

- `{"short_description":"ATF インシデントのテスト"}`
- `"{"short_description":"ATF インシデントのテスト"}"`
- `short_description: ATF インシデントのテスト`
- `short_description:"ATF インシデントのテスト"`

メールのカテゴリ

自動テストフレームワーク (ATF) (ATF) を使用して、メール通知、送信メールフロー、および受信メール応答をテストします。

送信メールの検証

メール [sys_email] テーブルで特定の送信メールを検索して、そのメールが存在することを確認します。

このステップを使用して、フローによって生成された送信メールを検証 または 通知によって生成された送信メールを検証 のテストステップでキャプチャされないメール生成スクリプトをテストします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

入力

フィールド	説明
実行順序	テストのこのステップの実行順序を指定する整数。 ステップを作成すると、各ステップに増分値が自動的に割り当てられます。この値により、テストでは、ステップが作成された順に実行されます。このデフォルトを変更するには、[実行命令] 値を編集します。
アプリケーション	システムがこのステップを実行するアプリケーションスコープ。
有効	このテストステップの使用をアクティブ化するオプション。
テスト	ステップを追加するテストの名前。
ステップ構成	ステップの名前。
メモ	テストステップに関するメモ。
条件	送信メールのフィルタリングに使用される条件。たとえば、user@example.com に送信されたメールを検索するには、条件を [受信者] [次の値に等しい] **[user@example.com]** に設定します。
テーブル	クエリされるテーブル。デフォルトでは、このステップは、メール [sys_email] テーブルのみのクエリを実行します。

注:
テスト中は、このステップの実行に予想以上の時間がかかる場合があります。デフォルトでは、ステップは 2 分後にタイムアウトになります。

フローによって生成された送信メールを検証

メール [sys_email] テーブルで特定の送信メールを検索して、そのメールが存在することを確認します。 このステップを使用して、フローが想定どおりにトリガーされることをテストします。

注:
このステップでは、フローの [メール送信] アクションによって作成されたメールのみが検索されます。フローで通知がトリガーされた後に送信されたメールを検索するには、代わりに 通知によって生成された送信メールを検証 ステップを使用します。カスタムスクリプトアクションなど、他のフローアクションで作成されたメールを検索するには、代わりに 送信メールの検証 ステップを使用します。

入力

フィールド	説明
実行順序	テストのこのステップの実行順序を指定する整数。 ステップを作成すると、各ステップに増分値が自動的に割り当てられます。この値により、テストでは、ステップが作成された順に実行されます。このデフォルトを変更するには、[実行命令] 値を編集します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

入力 (続く)

フィールド	説明
アプリケーション	システムがこのステップを実行するアプリケーションスコープ。
有効	このテストステップの使用をアクティブ化するオプション。
テスト	ステップを追加するテストの名前。
ステップ構成	ステップの名前。
メモ	テストステップに関するメモ。
ソースのフロー	送信メールが作成されたフロー。
条件	送信メールのフィルタリングに使用される条件。たとえば、user@example.com に送信されたメールを検索するには、条件を [受信者] [次の値に等しい] **[user@example.com]** に設定します。
テーブル	クエリされるテーブル。デフォルトでは、このステップは、メール [sys_email] テーブルのみのクエリを実行します。

注:
テスト中は、このステップの実行に予想以上の時間がかかる場合があります。デフォルトでは、ステップは 2 分後にタイムアウトになります。

通知によって生成された送信メールを検証

メール [sys_email] テーブルで特定の送信メールを検索して、そのメールが存在することを確認します。 このステップを使用して、メール通知が想定どおりにトリガーされることをテストします。

入力

フィールド	説明
実行順序	テストのこのステップの実行順序を指定する整数。 ステップを作成すると、各ステップに増分値が自動的に割り当てられます。この値により、テストでは、ステップが作成された順に実行されます。このデフォルトを変更するには、[実行命令] 値を編集します。
アプリケーション	システムがこのステップを実行するアプリケーションスコープ。
有効	このテストステップの使用をアクティブ化するオプション。
テスト	ステップを追加するテストの名前。
ステップ構成	ステップの名前。
メモ	テストステップに関するメモ。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

入力 (続く)

フィールド	説明
ソースの通知	送信メールの作成元の通知。このフィールドは、通知 [sysevent_email_action] テーブルを参照します。
条件	送信メールのフィルタリングに使用される条件。たとえば、user@example.com に送信されたメールを検索するには、条件を [受信者] [次の値に等しい] **[user@example.com]** に設定します。
テーブル	クエリされるテーブル。デフォルトでは、このステップは、メール [sys_email] テーブルのみのクエリを実行します。

注:
テスト中は、このステップの実行に予想以上の時間がかかる場合があります。デフォルトでは、ステップは 2 分後にタイムアウトになります。

受信メールを生成

受信メールレコードを作成して、受信メールフローまたは受信メールアクションをテストします。

入力

フィールド	説明
実行順序	テストのこのステップの実行順序を指定する整数。 ステップを作成すると、各ステップに増分値が自動的に割り当てられます。この値により、テストでは、ステップが作成された順に実行されます。このデフォルトを変更するには、[実行命令] 値を編集します。
アプリケーション	システムがこのステップを実行するアプリケーションスコープ。
有効	このテストステップの使用をアクティブ化するオプション。
テスト	ステップを追加するテストの名前。
ステップ構成	ステップの名前。
メモ	テストステップに関するメモ。
送信元	送信者のメールアドレス。メールアドレスを手動で入力するか、ユーザーレコードからメールアドレスを参照することができます。メールアドレスを手動で入力した場合、テスト中にアドレスが既存のユーザーレコードと照合されます。
宛先	受信者のメールアドレス。メールアドレスを手動で入力するか、ユーザーレコードからメールアドレスを参照することができます。メールアドレスを手動で入力した場合、テスト中にアドレスが既存のユーザーレコードと照合されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

入力 (続く)

フィールド	説明
件名	メールの件名。テキストを入力するか、前のテストステップからの文字列出力を参照できます。
本文	メッセージ本文の内容。テキストを入力するか、前のテストステップからの文字列出力を参照できます。

出力

フィールド	説明
output_email_record	メール [sys_email] テーブルのレコードです。 [受信タイプ] は [新規] で、[タイプ] は [送信 - 準備完了]です。これらのフィールドの意味の詳細については、「システムメールログおよびメールボックス」を参照してください。

受信返信メールを生成

返信メールレコードを作成して、メール通知に対するユーザーの応答がどのように処理されるかをテストします。

入力

フィールド	説明
実行順序	テストのこのステップの実行順序を指定する整数。 ステップを作成すると、各ステップに増分値が自動的に割り当てられます。この値により、テストでは、ステップが作成された順に実行されます。このデフォルトを変更するには、[実行命令] 値を編集します。
アプリケーション	システムがこのステップを実行するアプリケーションスコープ。
有効	このテストステップの使用をアクティブ化するオプション。
テスト	ステップを追加するテストの名前。
ステップ構成	ステップの名前。
メモ	テストステップに関するメモ。
ターゲットテーブル	ターゲットレコードのテーブル。
ターゲットレコード	返信メールが更新されたことを記録します。ターゲットレコードを選択すると、返信メールにもウォーターマークが適用されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

入力 (続く)

フィールド	説明
送信元	送信者のメールアドレス。メールアドレスを手動で入力するか、ユーザーレコードからメールアドレスを参照することができます。メールアドレスを手動で入力した場合、テスト中にアドレスが既存のユーザーレコードと照合されます。
宛先	受信者のメールアドレス。メールアドレスを手動で入力するか、ユーザーレコードからメールアドレスを参照することができます。メールアドレスを手動で入力した場合、テスト中にアドレスが既存のユーザーレコードと照合されます。
件名	メールの件名。テキストを入力するか、前のテストステップからの文字列出力を参照できます。
本文	メッセージ本文の内容。テキストを入力するか、前のテストステップからの文字列出力を参照できます。

出力

フィールド	説明
output_reply_email_record	メール [sys_email] テーブルのレコードです。 [受信タイプ] は [返信] で、[タイプ] は [送信 - 準備完了]です。これらのフィールドの意味の詳細については、「システムメールログおよびメールボックス」を参照してください。

ランダム文字列を生成

別のステップのテストデータとして使用できるランダムな英数字の文字列を生成します。

入力

フィールド	説明
実行順序	テストのこのステップの実行順序を指定する整数。 ステップを作成すると、各ステップに増分値が自動的に割り当てられます。この値により、テストでは、ステップが作成された順に実行されます。このデフォルトを変更するには、[実行命令] 値を編集します。
アプリケーション	システムがこのステップを実行するアプリケーションスコープ。
有効	このテストステップの使用をアクティブ化するオプション。
テスト	ステップを追加するテストの名前。
ステップ構成	ステップの名前。
メモ	テストステップに関するメモ。
長さ	生成される文字列の文字数。最大長は 10,000 文字です。このフィールドを空白のままにすると、文字列の長さはデフォルトで 10 文字になります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

出力

フィールド	説明
random_string	ランダムな英数字の文字列。

サーバーカテゴリ

サーバー側の操作を実行します。たとえば、レコードのクエリと更新、ユーザーの代理操作、サーバー側スクリプトの実行などです。

ユーザーを作成

テスト用に指定されたロールとグループを持つユーザーを作成します。ユーザーレコードはテスト完了後にロールバックされます。

入力

フィールド	説明
実行順序	テストのこのステップの実行順序を指定する整数。 ステップを作成すると、各ステップに増分値が自動的に割り当てられます。この値により、テストでは、ステップが作成された順に実行されます。このデフォルトを変更するには、[実行命令] 値を編集します。
アプリケーション	システムがこのステップを実行するアプリケーションスコープ。
有効	このテストステップの使用をアクティブ化するオプション。
テスト	ステップを追加するテストの名前。
ステップ構成	ステップの名前。
メモ	テストステップに関するメモ。
名	ユーザーの名前 (名)。
姓	ユーザーの名前 (姓)。
ロール	ユーザーにアサインされたロール。
グループ	ユーザーにアサインされたグループ。
このユーザーを代理操作	新しいユーザーを代理操作するためのオプション。

出力

フィールド	説明
ユーザー	代理操作されるユーザーのユーザー ID。

代理操作

テスト用に、指定されたユーザーの代理操作をします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

代理操作では、このテストで後続のステップを実行するユーザーを指定します。サーバー側とブラウザ側の両方のステップで動作し、別の代理操作ステップで変更されるか、またはテストが終了するまで有効です。テストが終了すると、代理操作は自動的に終了します。

注:

- テスト作成者ロールを持つユーザーの代理操作は実行しないでください。実行すると、テストの実行を妨げる競合が発生する可能性があります。
- 存在しなくなった代理操作ユーザーが関与するテストは失敗します。

  ヒント:
  データの依存関係を避けるために、新しいユーザーを作成することをお勧めします。詳細については、「ユーザーを作成」を参照してください。

- 異なるインスタンス間でユーザー ID が一貫していることを前提としないでください。システムはユーザー ID を動的に割り当てるため、特定のユーザーの ID がインスタンスごとに異なることがよくあります。
- 自動テストをエクスポートしてインポートする場合、ユーザーフィールドは更新セットによって更新されないことに注意してください。
- テストは、snc_external ロールを持つユーザーに偽装できます。これにより、ログインアクセスを持たないユーザーをテストできます。snc_external ロールの要件については、「明示的なロール」を参照してください。

入力

フィールド	説明
実行順序	テストのこのステップの実行順序を指定する整数。 ステップを作成すると、各ステップに増分値が自動的に割り当てられます。この値により、テストでは、ステップが作成された順に実行されます。このデフォルトを変更するには、[実行命令] 値を編集します。
有効	このテストステップの使用をアクティブ化するオプション。
アプリケーション	システムがこのステップを実行するアプリケーションスコープ。
テスト	ステップを追加するテストの読み取り専用の名前。
ユーザー	代理操作するテストのユーザー ID。

出力

フィールド	説明
ユーザー	代理操作されるユーザーのユーザー ID。

カタログアイテムの検索

指定したカタログとカテゴリで、カタログアイテムまたはレコードプロデューサの検索を実行します。このステップは、プラットフォームとサービスポータルの両方で実行できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

入力

フィールド	説明
実行順序	テストのこのステップの実行順序を指定する整数。 ステップを作成すると、各ステップに増分値が自動的に割り当てられます。この値により、テストでは、ステップが作成された順に実行されます。このデフォルトを変更するには、[実行命令] 値を編集します。
有効	このテストステップの使用をアクティブ化するオプション。
アプリケーション	システムがこのステップを実行するアプリケーションスコープ。
テスト	ステップを追加するテストの読み取り専用の名前。
ステップ構成	ステップの読み取り専用の名前。
説明	テストステップの説明。このフィールド値はテストステップのフィールド値に基づいて自動的に設定されます。このフィールドは、テストステップが送信された後に表示されます。
メモ	テストステップに関するメモ。
ポータル内のみを検索	検索がサービスポータルのみに制限されている場合に選択します。それ以外の場合は選択しません。
検索用語	カタログアイテムを検索するために使用される用語。
カタログ	カタログアイテムを検索するカタログ。
カテゴリ	カタログアイテムを検索するカテゴリ。
アサーションアイテム	検索結果で利用可能なカタログアイテム。
アサーションタイプ	カタログアイテムの検索がテストにどのように影響するかを指定します。 • 検索結果にアサーションアイテムが存在する：アサーションアイテムが検索結果に存在する場合にのみ、テストは合格します。 • 検索結果にアサーションアイテムが存在しない：アサーションアイテムが検索結果に存在しない場合にのみ、テストは合格します。

出力

フィールド	説明
catalog_item_id	ユーザーが表示できる最初のカタログアイテムの sys_id。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

レコードのクエリー

データベースに対してクエリーを実行し、このステップで設定した条件に一致するレコードが存在することを確認します。

入力

フィールド	説明
実行順序	テストのこのステップの実行順序を指定する整数。 ステップを作成すると、各ステップに増分値が自動的に割り当てられます。この値により、テストでは、ステップが作成された順に実行されます。このデフォルトを変更するには、[実行命令] 値を編集します。
有効	このテストステップの使用をアクティブ化するオプション。
タイムアウト	ステップが失敗するまでの秒数。検証に失敗すると、タイムアウトの時間になるまでステップが繰り返されます。タイムアウト経過後に検証が失敗すると、ステップは失敗します。
アプリケーション	システムがこのステップを実行するアプリケーションスコープ。
テスト	ステップを追加するテストの読み取り専用の名前。
ステップ構成	ステップの読み取り専用の名前。
説明	テストステップの説明。このフィールド値はテストステップのフィールド値に基づいて自動的に設定されます。このフィールドは、テストステップが送信された後に表示されます。
セキュリティを強制	ACL を強制する場合に選択します。それ以外の場合は選択しません。
メモ	テストステップに関するメモ。 **注:** 条件ビルダーを使用してフィールド値を設定します。条件ビルダーには、フィールドのデータタイプに適したコントロールが表示されます。たとえば、参照フィールドにはルックアップレコードコントロールが表示されます。
アサーションタイプ	レコードのクエリがテストにどのように影響するかを指定します。 • 少なくとも **1** つのレコードがクエリに一致します：クエリに一致するレコードがない場合、テストは不合格になります。 • クエリに一致するレコードはありません：クエリに一致するレコードがある場合、テストは不合格になります。
テーブル	クエリされるテーブル。
条件	クエリの実行に使用される条件。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

出力

フィールド	説明
テーブル	クエリーされたテーブル。
first_record	クエリー結果の最初のレコード。

注:
レコードクエリテストステップを更新しない場合、元のレコードクエリテストステップは、(使用廃止) と示されているかどうかに関係なく、以前と同じように機能します。

レコードの挿入

指定したフィールド値を持つレコードをテーブルに挿入します。

入力

フィールド	説明
実行順序	テストのこのステップの実行順序を指定する整数。 ステップを作成すると、各ステップに増分値が自動的に割り当てられます。この値により、テストでは、ステップが作成された順に実行されます。このデフォルトを変更するには、[実行命令] 値を編集します。
有効	このテストステップの使用をアクティブ化するオプション。
アプリケーション	システムがこのステップを実行するアプリケーションスコープ。
テスト	ステップを追加するテストの読み取り専用の名前。
ステップ構成	ステップの読み取り専用の名前。
説明	テストステップの説明。このフィールド値はテストステップのフィールド値に基づいて自動的に設定されます。このフィールドは、テストステップが送信された後に表示されます。
メモ	テストステップに関するメモ。 **注:** 条件ビルダーを使用してフィールド値を設定します。条件ビルダーには、フィールドのデータタイプに適したコントロールが表示されます。たとえば、参照フィールドにはルックアップレコードコントロールが表示されます。
アサーションタイプ	レコードの挿入がテストにどのように影響するかを指定します。 • レコードが正常に挿入されました：レコードが正常に挿入されなかった場合、テストは不合格になります。 • レコードが挿入されませんでした：レコードが正常に挿入された場合、テストは不合格になります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

入力 (続く)

フィールド	説明
セキュリティを強制	ACL と読み取り専用ロールを強制する場合に選択します。それ以外の場合は選択しません。
テーブル	レコードを挿入するテーブル。
条件	テストでこのステップが実行されたときに設定する特定のフィールド値。

出力

フィールド	説明
テーブル	新規レコードが属するテーブル。
record_id	新規レコードの sys_id。

レコードの更新

サーバー上でレコードのフィールド値を変更します。

注:
変更が適用されたことを確認するため、このステップの後にレコードの検証のステップを実施してください。

入力

フィールド	説明
実行順序	テストのこのステップの実行順序を指定する整数。 ステップを作成すると、各ステップに増分値が自動的に割り当てられます。この値により、テストでは、ステップが作成された順に実行されます。このデフォルトを変更するには、[実行命令] 値を編集します。
有効	このテストステップの使用をアクティブ化するオプション。
アプリケーション	システムがこのステップを実行するアプリケーションスコープ。
テスト	ステップを追加するテストの読み取り専用の名前。
ステップ構成	ステップの読み取り専用の名前。
説明	テストステップの説明。このフィールド値はテストステップのフィールド値に基づいて自動的に設定されます。このフィールドは、テストステップが送信された後に表示されます。
メモ	テストステップに関するメモ。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

入力 (続く)

フィールド	説明
	注: 条件ビルダーを使用してフィールド値を設定します。条件ビルダーには、フィールドのデータタイプに適したコントロールが表示されます。たとえば、参照フィールドにはルックアップレコードコントロールが表示されます。
アサーションタイプ	レコードの更新がテストにどのように影響するかを指定します。 • レコードが正常に更新されました：レコードが正常に更新されなかった場合、テストは不合格になります。 • レコードが更新されませんでした ：レコードが正常に更新された場合、テストは不合格になります。
セキュリティを強制	ACL と読み取り専用ロールを強制する場合に選択します。それ以外の場合は選択しません。
テーブル	更新するレコードを含むテーブル。
レコード	更新されるレコードの ID。
フィールド値	値を設定するフィールドと、それらのフィールドに設定する値。 **注:** 条件ビルダーを使用してフィールド値を設定します。条件ビルダーには、フィールドのデータタイプに適したコントロールが表示されます。たとえば、参照フィールドにはルックアップレコードコントロールが表示されます。

注:
レコードのフィールドが ACL によってブロックされている場合でも、[レコードの更新] ステップは成功します。[レコードの更新] 後に [レコードの検証] ステップを使用して、特定のフィールドが変更されたかどうかを確認するか、または [フォームのステップ] を使用して、レコードの個々のフィールドの ACL 条件を評価します。

レコードの削除

テーブル内の指定されたレコードを削除します。

入力

フィールド	説明
実行順序	テストのこのステップの実行順序を指定する整数。 ステップを作成すると、各ステップに増分値が自動的に割り当てられます。この値により、テストでは、ステップが作成された順に実行されます。このデフォルトを変更するには、[実行命令] 値を編集します。
有効	このテストステップの使用をアクティブ化するオプション。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

入力 (続く)

フィールド	説明
アプリケーション	システムがこのステップを実行するアプリケーションスコープ。
テスト	ステップを追加するテストの読み取り専用の名前。
ステップ構成	ステップの読み取り専用の名前。
説明	テストステップの説明。このフィールド値はテストステップのフィールド値に基づいて自動的に設定されます。このフィールドは、テストステップが送信された後に表示されます。
メモ	テストステップに関するメモ。
アサーションタイプ	レコードの更新がテストにどのように影響するかを指定します。 • レコードが正常に削除されました：レコードが正常に削除されなかった場合、テストは不合格になります。 • レコードが削除されませんでした：レコードが正常に削除された場合、テストは不合格になります。
セキュリティを強制	ACL と読み取り専用ロールを強制する場合に選択します。それ以外の場合は選択しません。
テーブル	削除するレコードを含むテーブル。
レコード	削除されるレコードの ID。

自動翻訳

レコードの検証

レコードが、サーバー側の指定された条件を満たすことを検証します。

レコードの妥当性確認ステップでは、標準条件ビルダーを使用してテストする値を指定します。同じフィールドに複数の条件を適用できます。

全体的な条件が満たされている場合、このステップは合格し、そうでない場合は失敗します。お互いに独立して個々のフィールドの値をテストする必要がある場合は、テストする各値に対して個別のレコードの妥当性確認ステップを追加します。

入力

フィールド	説明
実行順序	テストのこのステップの実行順序を指定する整数。 ステップを作成すると、各ステップに増分値が自動的に割り当てられます。この値により、テストでは、ステップが作成された順に実行されます。このデフォルトを変更するには、[実行命令] 値を編集します。
有効	このテストステップの使用をアクティブ化するオプション。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

入力 (続く)

フィールド	説明
タイムアウト	ステップが失敗するまでの秒数。検証に失敗すると、タイムアウトの時間になるまでステップが繰り返されます。タイムアウト経過後に検証が失敗すると、ステップは失敗します。
アプリケーション	システムがこのステップを実行するアプリケーションスコープ。
テスト	ステップを追加するテストの読み取り専用の名前。
ステップ構成	ステップの読み取り専用の名前。
説明	テストステップの説明。このフィールド値はテストステップのフィールド値に基づいて自動的に設定されます。このフィールドは、テストステップが送信された後に表示されます。
メモ	テストステップに関するメモ。 **注:** 条件ビルダーを使用してフィールド値を設定します。条件ビルダーには、フィールドのデータタイプに適したコントロールが表示されます。たとえば、参照フィールドにはルックアップレコードコントロールが表示されます。
アサーションタイプ	レコードの検証がテストにどのように影響するかを指定します。 • レコードが正常に検証されました：レコードが条件と一致しない場合、テストは不合格になります。 • レコードが見つかりません：レコードが見つかった場合、テストは不合格になります。
テーブル	検証するフィールドを含むテーブル。
レコード	検証するフィールドを含むレコード。
フィールド値	テストでこのステップが実行されたときに検証される特定のフィールド。

サーバー側スクリプトの実行

サーバーでスクリプトを実行します。

入力

フィールド	説明
実行順序	テストのこのステップの実行順序を指定する整数。 ステップを作成すると、各ステップに増分値が自動的に割り当てられます。この値により、テストでは、ステップが作成された順に実行されます。このデフォルトを変更するには、[実行命令] 値を編集します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

入力 (続く)

フィールド	説明
有効	このテストステップの使用をアクティブ化するオプション。
アプリケーション	システムがこのステップを実行するアプリケーションスコープ。
テスト	ステップを追加するテストの読み取り専用の名前。
ステップ構成	ステップの読み取り専用の名前。
説明	テストステップの説明。このフィールド値はテストステップのフィールド値に基づいて自動的に設定されます。このフィールドは、テストステップが送信された後に表示されます。
メモ	テストステップに関するメモ。
Jasmine バージョン	サーバー側スクリプトの実行に使用する Jasmine テストフレームワークのバージョン。作成する新しいスクリプトはすべて Jasmine バージョン 3.1 を使用します。既存のスクリプトで Jasmine バージョン 1.3 を引き続き使用することも、Jasmine バージョン 3.1 にアップグレードすることもできます。
テストスクリプト	実行するサーバーの javascript。Jasmine テストフレームワークをサポートします。 **注:** ステップ (SYS_ID) は、テストで以前に実行されたステップから出力変数データを取得する機能として定義できます。 [サーバー側スクリプトを実行] テストステップは、ステップ入力としてパラメーターをサポートするようになりました。

出力

フィールド	説明
record_id	サーバー側スクリプトによる sys_id 出力。
テーブル	サーバー側スクリプトによるテーブル出力。

注:
スクリプトでデータが作成された場合、テストのすべてのステップが終了した後、システムはそのデータをロールバックします。[サーバー側実行スクリプトを実行] のテストステップの出力に、失敗の原因の行と行番号が表示されるようになりました。

- テストスクリプト

```
// Test step 1 - add data
var now_GR = new GlideRecord('sc_task');
// this sample step's Step config has Output variables named table and record_id
outputs.table = 'sc_task';
outputs.record_id = gr.insert();
// Test step 2 - access added data and validate
// check that the record exists (or that business logic changed it)
var now_GR = new GlideRecord("sc_task");
```

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
gr.get(steps(PREVIOUS_STEP_SYS_ID).record_id);
assertEqual({name: "task gr exists", shouldbe: true, value: gr.isValidRecord()});
stepResult.setOutputMessage: Log a message to step results after step executes.
                    Can only be called once or will overwrite previous message
```

- テストスクリプトのスイートを作成します

```
var now_GR = new GlideRecord('sc_task');
gr.setValue('short_description', 'verify task can be inserted');
var grSysId = gr.insert();
var justCreatedGR = new GlideRecord('sc_task');
if (justCreatedGR.get(grSysId)) {
stepResult.setOutputMessage("Successfully inserted task record");
return true; // pass the step
} else {
stepResult.setOutputMessage("Failed to insert task record");
return false; // fail the step
}
```

- Jasmine テスト

```
describe('my suite of script tests', function() {
it('should meet expectations', function() {
expect(true).not.toBe(false);
});
});
//  make sure to uncomment jasmine.getEnv().execute(); outside the function body
assertEqual: A function used to compare that assertion.shouldbe == assertion.value;
in case of failure it throws an Error and logs that the assertion by name has failed
```

注:
describe はグローバルスコープでのみサポートされています。describe を使用してテストスクリプトのスイートを作成し、it を使用してテストの期待値を定義します。

- メッセージをテストステップ出力に記録します

```
var testAssertion = {
name: "my test assertion",
shouldbe: "expected value"
value: "actual value",
};
assertEqual(testAssertion); // throws Error, logs message to test step output
```

- サーバー側実行スクリプトの例については、「ステップ実行スクリプト」を参照してください。

要求アイテムを再現

既存の要求アイテムからアイテムと依頼者を取得し、そのアイテムを新しいカートに追加して、そのアイテムを注文します。

入力

フィールド	説明
実行順序	テストのこのステップの実行順序を指定する整数。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

入力 (続く)

フィールド	説明
	ステップを作成すると、各ステップに増分値が自動的に割り当てられます。この値により、テストでは、ステップが作成された順に実行されます。このデフォルトを変更するには、[実行命令] 値を編集します。
有効	このテストステップの使用をアクティブ化するオプション。
アプリケーション	システムがこのステップを実行するアプリケーションスコープ。
テスト	ステップを追加するテストの読み取り専用の名前。
ステップ構成	ステップの読み取り専用の名前。
説明	テストステップの説明。このフィールド値はテストステップのフィールド値に基づいて自動的に設定されます。このフィールドは、テストステップが送信された後に表示されます。
メモ	テストステップに関するメモ。
元の要求アイテム	再現される要求アイテム。

出力

フィールド	説明
テーブル	再実行された要求アイテムが属するテーブル。
要求	再現された要求アイテム。

関連情報

自動テストフレームワーク (ATF)ユースケース：サービスカタログ要求のテスト

ログ

メッセージをログに記録し、ステップの結果として保存します。

ログメッセージには、テストに関連する変数やその他の情報を含めることができます。メッセージはステップの結果として保存されます。

入力

フィールド	説明
実行順序	テストのこのステップの実行順序を指定する整数。 ステップを作成すると、各ステップに増分値が自動的に割り当てられます。この値により、テストでは、ステップが作成された順に実行されます。このデフォルトを変更するには、[実行命令] 値を編集します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

入力 (続く)

フィールド	説明
有効	このテストステップの使用をアクティブ化するオプション。
アプリケーション	システムがこのステップを実行するアプリケーションスコープ。
テスト	ステップを追加するテストの読み取り専用の名前。
ステップ構成	ステップの読み取り専用の名前。
説明	テストステップの説明。このフィールド値はテストステップのフィールド値に基づいて自動的に設定されます。このフィールドは、テストステップが送信された後に表示されます。
メモ	テストステップに関するメモ。
ログ	記録されるメッセージ。以前のステップの出力変数の値を含めるには、入力値アイコン( ) をクリックし、「1 つの自動テストステップから別の自動テストステップに値を渡す」の手順に従います。

既存のレコードに添付ファイルを追加

指定されたレコードに 1 つ以上の必須の添付ファイルを追加します。[添付ファイルをアップロード] を使用して、テストステップでレコードに追加する添付ファイルを選択します。

入力

フィールド	説明
実行順序	テストのこのステップの実行順序を指定する整数。 ステップを作成すると、各ステップに増分値が自動的に割り当てられます。この値により、テストでは、ステップが作成された順に実行されます。このデフォルトを変更するには、[実行命令] 値を編集します。
アプリケーション	システムがこのステップを実行するアプリケーションスコープ。
有効	このテストステップの使用をアクティブ化するオプション。
テスト	ステップを追加するテストの名前。
ステップ構成	ステップの名前。
メモ	テストステップに関するメモ。
テーブル	リストからの有効なテーブルの選択。
レコード	テスト前の既存のレコード、またはテストの一部として挿入されたレコード。
添付ファイルをアップロード	レコードに 1 つ以上の必須の添付ファイルを追加するためのボタン。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

買い物かごのチェックアウト

買い物かごを送信して要求を生成します。このステップは、ServiceNow AI Platformおよびサービスポータルで実行できます。

入力

フィールド	説明
実行順序	テストのこのステップの実行順序を指定する整数。 ステップを作成すると、各ステップに増分値が自動的に割り当てられます。この値により、テストでは、ステップが作成された順に実行されます。このデフォルトを変更するには、[実行命令] 値を編集します。
有効	このテストステップの使用をアクティブ化するオプション。
タイムアウト	ステップが失敗するまでの秒数。検証に失敗すると、タイムアウトの時間になるまでステップが繰り返されます。タイムアウト経過後に検証が失敗すると、ステップは失敗します。
アプリケーション	システムがこのステップを実行するアプリケーションスコープ。
テスト	ステップを追加するテストの読み取り専用の名前。
ステップ構成	ステップの読み取り専用の名前。
説明	テストステップの説明。このフィールド値はテストステップのフィールド値に基づいて自動的に設定されます。このフィールドは、テストステップが送信された後に表示されます。
メモ	テストステップに関するメモ。
アサーションタイプ	テストに合格するための基準。 空の買い物かご 買い物かごが空でない場合、テストは不合格になります。 買い物かごを正常にチェックアウトしました 買い物かごが正常にチェックアウトされない場合、テストは不合格になります。
要求元	要求が生成されたユーザー。
配送先	要求の配送先住所。
特別な指示	要求に関する特別な指示。

出力

フィールド	説明
request_id	送信された要求の sys_id。

カスタムスクリプト **StepConfig**

カスタム ステップ設定用のスクリプトの例を示します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

この例では、指定されたユーザー名が文字 *A* で始まるかどうかを確認します。このステップは、主に [atf_test_admin] ロールを持つユーザーに役立ちます。[atf_test_admin] ロールを持つユーザーは、このステップのレコードをステップ構成で開くことによって、スクリプトの例を表示できます。

入力

フィールド	説明
実行順序	テストのこのステップの実行順序を指定する整数。 ステップを作成すると、各ステップに増分値が自動的に割り当てられます。この値により、テストでは、ステップが作成された順に実行されます。このデフォルトを変更するには、[実行命令] 値を編集します。
有効	このテストステップの使用をアクティブ化するオプション。
アプリケーション	システムがこのステップを実行するアプリケーションスコープ。
テスト	ステップを追加するテストの読み取り専用の名前。
ステップ構成	ステップの読み取り専用の名前。
説明	テストステップの説明。このフィールド値はテストステップのフィールド値に基づいて自動的に設定されます。このフィールドは、テストステップが送信された後に表示されます。
メモ	テストステップに関するメモ。
ユーザー	名前が **A** という文字で始まるかどうかがチェックされるユーザー。以前のステップの出力変数の値を含めるには、入力値アイコン( ) をクリックし、「1 つの自動テストステップから別の自動テストステップに値を渡す」の手順に従います。

出力

フィールド	説明
value	ユーザーの名前。

関連情報

- カスタムステップ構成の作成
- ステップ実行スクリプト
- ステップ説明生成スクリプト

自動テストフレームワーク (ATF) (ATF) 参照

自動テストフレームワーク (ATF)のリファレンス情報。

ATF 機能を使用するためのヒントについては、「https://players.brightcove.net/6274575390001/nUx4EKfUz_default/index.html?videoId=6286204365001」をご覧ください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

自動テストの実行後にロールバックから除外されるテーブル

自動テストフレームワーク (ATF) は、テストの実行によって作成されたデータを追跡し、テスト後に変更をロールバックします。システムは、テスト中に特定のテーブルが追跡されないようにします。

システムは、特定のテーブルを追跡またはロールバックから除外します。

- 履歴 [sys_history_line] テーブル
- ECC キューテーブル [ecc_queue]。
- メール [sys_email] メールログ [sys_email_log] テーブル
- レポート実行 [report_executions] テーブルと ReportStats [report_stats] テーブル。
- 実行トラッカー [sys_execution_tracker] テーブル
- 進捗ワーカー [sys_progress_worker] テーブル
- スキーマの変更 [sys_schema_change]
- アップグレード履歴 [sys_upgrade_history] テーブルとアップグレード履歴ログ [sys_upgrade_history_log] テーブル
- ミューテックス [sys_mutex] テーブル
- プラグインログ [sys_plugin_log] テーブル
- ステータス [sys_status] テーブル
- 数カウンタ [sys_number_counter] テーブル
- AMB チャネルプレゼンス [sys_amb_channel_presence] テーブル
- 除外テーブルを拡張するテーブル。
- 次のプリフィックスで始まるテーブルも除外されます。
  - syslog
  - sys_amb_message
  - sys_cluster
  - cmdb_metric
  - ts_
  - v_
  - sys_delete_recovery

除外されたテーブルのレコードがテスト実行によって変更 (挿入/更新/削除) された場合、システムはテスト後に変更をロールバックしません。

テスト

テストモジュールは、テスト テーブルを開きます。ここから、テストを追加、編集、実行することができます。個々のテスト レコードを開くと、そのテストを構成するステップを表示および編集できます。

関連情報

自動テストスイートのビルドと実行

レコードのテストフォーム

テスト レコードフォームでは、テスト レコードのフィールドの値を表示および編集します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド

フィールド/ **UI** 要素	説明
名前	テスト名。
説明	テストの説明。
アクティブ	このテストがアクティブな場合、**true** です。そうでない場合は **false**。
アプリケーション	システムがこのテストまたはテストスイートを実行するアプリケーションスコープ。
関連テスト ステップリスト	このテストが実行するステップ。
関連テスト結果リスト	このテストの個々の実行結果。
サーバーエラーで失敗	サーバーでの UI ステップの実行中に検出され、テストに失敗したエラー。

UI アクション

名前	説明
更新	クリックしてテスト レコードを更新します。
テストを実行	クリックしてテストを実行します。
テストをコピー	クリックしてテストをコピーします。
削除	クリックしてこのテストを削除します。

スイート

スイートモジュールは、テストスイートテーブルを開きます。このテーブルからテストスイートを作成、編集、実行することができます。

関連情報

自動テストスイートのビルドと実行

テストスイートフォーム

テストスイートフォームには、1 つのテストスイートに関する情報が含まれています。

フィールド

フィールド/要素	説明
名前	テストスイートの名前
有効	このテストスイートをアクティブにするには、このフィールドをオンにします。
説明	(オプション) このテストスイートの目的を識別する説明を入力します。
アプリケーション	システムがこのテストまたはテストスイートを実行するアプリケーションスコープ。
親スイート	このテストスイートを別のテストスイートの子にするには、ここに親テストスイートの名前を入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド (続く)

フィールド/要素	説明
テストスイートテスト (関連リスト)	このテストスイートに含まれるテスト
子テストスイート (関連リスト)	このテストスイートの子であるすべてのテストスイート
テストスイートの結果 (関連リスト)	このテストスイートを実行した結果
テストスイートのスケジュール (関連リスト)	このテストスイートを含むすべてのテストスイートスケジュール。

自動テストフレームワーク (ATF) の設計上の考慮事項

次の設計上の考慮事項に従って、信頼性が高くスケーラブルで効率的なテストを作成します。

一般的なテスト

システムの動作を変更する可能性のある ServiceNow システムテーブル、またはアプリケーションファイル [sys_metadata] を拡張するテーブルの変更は避けてください。テスト間の予期しない結果を防ぐために、既存のレコードを使用したり変更したりしないでください。予期しない結果を引き起こす可能性のあるシステムデータ変更の、いくつかの一般的な例を次に示します。

- 既存のアカウントを代理操作する
- 既存のレコードを削除する
- ビジネスルールまたはシステムのプロパティを無効にするテストを実行する
- 既存のレコードを使用して検証する

並列テスト

複数のテストとテストスイートを並列で実行することで、テストの設計時間を短縮します。リソースの競合とデータの依存関係を回避することで、並列で実行されるテストを設計します。

並列テスト間のリソース競合の防止

独自のデータを作成するテストを実行して、リソースの競合を防止します。既存のデータを使用して実行するテストでは、同じデータを必要とする他のテストは並列で実行できません。

> **注:**
> リソースの競合があるテストが複数ある場合は、「テストを相互に排他的としてマーク」を参照して、それらのテストが並列に実行されないようにする相互除外ルールを作成します。

パラメーター化されたテスト

実行ごとに異なるテストデータを使用して、テストを複数回実行します。各テスト実行のテストデータを保存するパラメーターを作成します。詳細については、「パラメーター化されたテストのコンポーネント」を参照してください。

- 各テスト実行のテストデータを保存するパラメーターを作成します。
- パラメーター化されたテストが、レポート、テストスイート、およびデータロールバックなどの標準自動テストフレームワーク (ATF) 機能をサポートしていることを確認します。パラメーター化

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テストをコピーすると、すべてのパラメーター、テスト実行データセット、およびテストステップがコピーされます。

> **注:**
> カスタム UI テストステップを含むパラメーター化されたテストを作成した場合、システムは最初のデータセットのみを使用してコンポーネントを取得します。

カスタム UI テスト

HTML および JavaScript ページコンポーネントを取得し、それらがサポートするテストアクションを特定することによって、UI ページや UI マクロなどのカスタマイズされたユーザーインターフェイスをテストします。

ページインスペクターを使用してテスト可能なページコンポーネントを識別する

ページインスペクターは、どのページコンポーネントがカスタム UI テストに使用できるかを決定します。ページインスペクターに利用できないページコンポーネントは、カスタム UI テストには利用できません。

テストするカスタム UI に移動する

ターゲットのカスタム UI に移動するには、既存のテストステップを使用します。たとえば、ナレッジベース記事をテストするには、既存のテストステップを使用してモジュールに移動するか、既存のレコードを開きます。ほとんどのカスタム UI テストでは、テストの一部として既存のテストステップカテゴリを使用する必要があります。

コンポーネント領域を使用してページコンポーネントを識別します

コンポーネント領域は、`<div>` または `<section>` 要素などのコンポーネントを含む HTML レイアウト要素を表します。この領域は、テストデザイナーがページレイアウト内の場所を指定することによってコンポーネントを区別するのに役立ちます。

ServiceNow AI Platform UI ではなくカスタム UI をテストする

自動テストフレームワーク (ATF) は、ServiceNow AI Platform 機能のカスタム UI テストを回避します。たとえば、ダッシュボードやグラフィカルデザイナーをテストすることはできません。代わりに、カスタム UI ページと要素を検証するためのテストをビルドします。これらのユーザーインターフェイスは直接制御できるからです。

HTML 属性を使用してページコンポーネントのテストプロパティを上書きする

自動テストフレームワーク (ATF) 固有の HTML 属性を使用して、特定のページコンポーネントのテストプロパティを変更します。「コンポーネントテストアクションを上書きする」を参照してください。

テストを別のインスタンスに移動するときはページコンポーネントを再度取得する

カスタム UI テストステップは、UI コンポーネントをメタデータとして格納しません。テスト担当者がインスタンス間でテストを移動するときは、ページコンポーネントを手動で再度取得する必要があります。

本番システムからテストをクローン

テストを本番システムに移動して、テスト用に最新のインスタンスをクローン作成します。本番システムから準本番インスタンスにテストを直接コピーまたはクローン作成することで、テスト時間を短縮します。

> **注:**
> デフォルトでは、自動テストを実行するためのシステムプロパティは、実稼働システムでは実行できないように無効になっています。データの破損や機能停止を避けるため、開発、テスト、および他の非本番インスタンスでのみテストを実行してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

すべてのテストの警告メッセージ

警告メッセージ	設計上の考慮事項
既存のユーザーを代理操作すると、このテストで予期しない動作が発生する可能性があります。代わりに「ユーザーを作成」ステップを追加することで、潜在的な問題を回避します。テスト設計の考慮事項についてのドキュメントを参照してください。	新しいユーザーを作成して適切なロールとグループを確保し、既存のレコードを使用しないようにします。詳細については、「一般的なテスト」を参照してください。
アプリケーションファイル [sys_metadata] を拡張するテーブルを使用すると、並列で実行されている他のテストで予期しない動作が発生する可能性があります。テスト設計の考慮事項についてのドキュメントを参照してください。	他のテストに影響を与える可能性があるため、アプリケーションファイルを拡張するテーブルを使用してテストを実行しないでください。詳細については、「並列テスト」を参照してください。
システムテーブルを使用すると、並列で実行されている他のテストで予期しない動作が発生する可能性があります。テスト設計の考慮事項についてのドキュメントを参照してください。	並列で実行されている他のテストに影響を与える可能性があるため、システムテーブルの使用は避けてください。詳細については、「並列テスト」を参照してください。
既存のレコードを使用すると、このテストで予期しない動作が発生する可能性があります。テスト設計の考慮事項についてのドキュメントを参照してください。	既存のレコードは使用しないでください。これらのレコードには、テストで想定されるステータスと値が含まれていない可能性があります。テスト中に作成されたレコードを使用して、適切な状況と値を確認します。詳細については、「一般的なテスト」を参照してください。
既存のレコードを変更すると、並列で実行されている他のテストで予期しない動作が発生する可能性があります。テスト設計の考慮事項についてのドキュメントを参照してください。	他のテストに影響を与える可能性があるため、既存のレコードは使用しないでください。テスト中に作成されたレコードを使用します。詳細については、「一般的なテスト」を参照してください。
アサーションタイプ「--なし--」を使用すると、サーバー UI アクションで予期しない動作が発生する可能性があります。アサーションタイプを設定し、タイムアウトを使用することで、潜在的な問題を回避します。テスト設計の考慮事項についてのドキュメントを参照してください。	サーバー UI アクションにより、現在のフォームが送信され、ページが再ロードされます。サーバー UI アクションの予期しない動作を回避するには、[なし] 以外のアサーションタイプを選択します。タイムアウトを設定して、次のステップに進む前に、テストがフォームの送信または未送信を必ず待機するようにします。サーバー UI アクションをテストする場合、アサーションタイプ [なし] は自動的に [サーバーにフォームを送信] に設定されます。

ドメインセパレーションテスト

ドメインセパレーションをテストする場合は、最初にドメインを設定する必要があります。各 ATF テストステップが設定中のドメインに依存する場合、これはその最初の代理操作ステップの一部になります。ドメインセパレーションの推奨プラクティスの詳細については、「サービスプロバイダー向けのドメインセパレーションの推奨プラクティス」を参照してください。

テスト結果

テストを実行するたびに、自動テストフレームワーク (ATF) によりテスト結果の記録が作成されます。テスト結果モジュールを使用して、個々のテストの結果とテスト内の個々のステップの詳細を表

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

示します。テストでスクリーンショットが生成された場合は、テスト結果レコードに添付ファイルとして表示されます。

各テスト結果レコードには、1 回のテスト実行に関する詳細な結果情報が表示され、詳細なステップ結果とテストログへのリンクが含まれています。ステップ結果レコードにはテスト結果の 1ステップに関する情報が表示され、テストログ (テスト結果アイテム) レコードには詳細なコンソールログとテスト実行情報が含まれています。

デフォルトでは、テストおよびテストスイートの結果のデータは作成から 30 日後に削除されます。このデフォルト保持ポリシーは、必要に応じてテーブルクリーンアップモジュールで変更できます。

関連情報

- ATFテスト結果のデータ保持ポリシーの変更
- テーブルクリーンアップモジュール

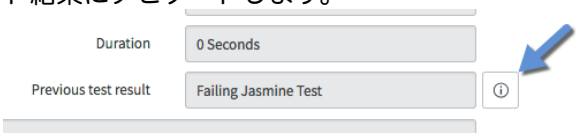
テスト結果レコード

テスト結果レコードには、1 回のテスト実行に関する詳細な結果情報が含まれています。クライアントエラーの詳細と障害の詳細のセクションは、エラー状態によってテストが失敗した場合に表示され、トラブルシューティングの目的で使用できる詳細なエラー情報が含まれています。

フィールド	説明
テスト	テストの名前
ステータス	テスト実行の結果： 成功 テストは合格 失敗 テストは不合格 成功 (警告あり) テスト実行は合格しましたが、[許可されたクライアントエラー] テーブルで警告として許可されたクライアントエラーが発生しました。 待機中 テストの開始を待っています。 実行中 テストが実行中です。 スキップ スイート内の以前のテストが失敗し、失敗時に中止が**true**に設定されている場合に発生します。 エラー テストフレームワークでエラーが発生しました。たとえば、テストランナーが停止したか、サーバーが意図しないシナリオに遭遇しました。エラー メッセージは、エラーをスローしたステップに対するステップ結果レコードの [サマリー] フィールドに表示されます。 キャンセル ユーザーがテストをキャンセルしました。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
無期限保存	指定されたデータ保持期間が経過した後もこのレコードを保持するためのチェックボックス。詳細については、「テーブルのクリーンアップ」を参照してください。
開始時間	このテストの実行が開始された日時
終了時間	このテストの実行が終了した日時
期間	このテストを実行するのにかかった時間
前回のテスト結果	テストが成功したか失敗したかを含む、以前のテスト実行の結果。このテスト結果が、失敗したテストの再実行用で、admin、atf_test_admin、または atf_test_designer ロールでログオンしている場合にのみ表示されます。情報アイコン (ⓘ) をクリックして、元のテスト結果にナビゲートします。 

注:
このテストでスクリーンショットが作成された場合、添付ファイルを管理に添付ファイルとして表示されます。

クライアントエラーの詳細

このセクションは、クライアントエラーのためにテストが失敗した場合にのみ表示されます。

フィールド	説明
失敗したステップ	このテスト中に失敗した最初のテスト ステップの結果への参照してください。情報アイコン (ⓘ) をクリックして、ステップ結果フォームに詳細なステップ結果とエラー情報を表示します。
サマリー	次のテキストでは、クライアント エラーがこのステップで発生したことを詳細なエラーメッセージとともに表示します。 テスト中のページで「詳細なエラーメッセージ」というクライアントエラーが検出されたため、このステップは失敗しました。不合格のテストログを表示します。次回のテスト実行でこれらのエラーを無視するには、[すべてのクライアントエラーを警告/無視リストに追加 (Add all client errors to warning/ignored list)] リンクを使用します。 テストデザイナーと開発者は、常にクライアントエラーを調査して、ビジネスプロセスに問題があるかどうかを判断する必要があります。詳細については、「クライアントエラーの特定と解決」を参照してください。
最初の失敗時のクライアントエラー	テスト中に失敗した最初のクライアントエラーへの参照してください。情報アイコン (ⓘ) をクリックして、テストログフォームに詳細なテスト結果とエラー情報を表示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: クライアントエラーを無視または警告エントリとして許可する方法の詳細については、「許可されたクライアントエラー」を参照してください。
失敗したステップのスクリーンショット	失敗したステップのスクリーンショット。をクリックして、スクリーンショットをダウンロードします。

障害の詳細

このセクションは、クライアントエラー以外の原因でテストが失敗した場合にのみ表示されます。

フィールド	説明
失敗したステップ	このテスト中に失敗した最初のステップの結果を参照への参照してください。をクリックして、スクリーンショットをダウンロードします。
サマリー	失敗したステップの出力。
失敗のスクリーンショット	失敗したステップのスクリーンショット。

追加情報

このセクションは、すべてのテスト結果で表示されます。

フィールド	説明
出力	テスト ステップ用に生成された出力。 • テスト結果 (多くの場合、合格または失敗)。 • 失敗したテストの場合、失敗した最初のテスト ステップの フィールドに表示されるエラーメッセージの詳細が表示されます。上記のクライアントエラーの詳細を参照してください。
関連するブラウザ	テストを実行したブラウザから返されたユーザーエージェント文字列。

関連リスト

関連リスト	説明
ステップ結果	各ステップ結果のレコードと、このテストのログエントリ。
テストログ	このテスト結果レコードに関連する各テストログのレコード。
テストトランザクション	各トランザクションのレコード (このレコードに関連するシステムトランザクションログ [syslog_transaction] から)。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

関連リスト (続く)

関連リスト	説明
	トランザクションに関連するステップ結果を表示するには、ステップ結果列の適切なリンクをクリックします。 トランザクションに関連するトランザクションログを表示するには、トランザクション列の適切なリンクをクリックします。 **注:** システムでは、短時間の一部のトランザクションをログに記録できない場合があります。
警告	警告ステータスのクライアントエラーを含むテストログのリスト。[警告] 関連リストは、警告のあるテスト結果についてのみ表示されます。

関連情報

- テスト結果と自動テスト結果の表示
- テストログレコード
- ステップ結果レコード
- 許可されたクライアントエラー
- ステップ結果からクライアントエラーを許可
- テストログからクライアントエラーを許可

ステップ結果レコード

ステップ結果レコードには、テスト結果の 1ステップに関する情報が含まれています。特定のステップ結果には、テスト結果レコードのステップ結果関連リストからアクセスします。

フィールド	説明
ステータス	ステップの結果： 成功 テスト ステップは合格しました。 失敗 テスト ステップは不合格となりました。 成功 (警告あり) テストステップは合格しましたが、[許可されたクライアントエラー] テーブルで警告として許可されたクライアントエラーが発生しました。 スキップ スイート内の以前のテストが失敗し、失敗時に中止が**true**に設定されている場合に発生します。 エラー テストフレームワークでエラーが発生しました。たとえば、テストランナーが停止したか、サーバーが意図しないシナリオに遭遇しました。 キャンセル

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	ユーザーがテストまたはスイートをキャンセルしました。
タイプ	テスト結果アイテムのタイプ：ステップ結果
サマリー	出力フィールドのサマリーバージョン。 テスト ステップでエラーが発生した場合、次のテキストは、このステップでクライアントエラーが発生したことを示し、詳細な例外/エラーメッセージが含まれています。 テスト中のページで「詳細なエラーメッセージ」というクライアントエラーが検出されたため、このステップは失敗しました。不合格のテストログを表示します。次回のテスト実行でこれらのエラーを無視するには、[すべてのクライアントエラーを警告/無視リストに追加 (Add all client errors to warning/ignored list)] リンクを使用します。 テストデザイナーと開発者は、常にクライアントエラーを調査して、ビジネスプロセスに問題があるかどうかを判断する必要があります。詳細については、「クライアントエラーの特定と解決」を参照してください。 [REST 要求の送信 - 受信] ステップの場合は、要求のエンドポイントの URL と応答コードです。例： HTTP 要求がエンドポイント「https://demonightlyus.service-now.com/api/now/table/kb_knowledge」に送信されました
出力	テストステップ用に生成された出力 • ステップ結果の場合は、ステップが失敗またはスキップされた理由の説明を含んだステップからの出力です。 • [REST 要求の送信 - 受信] ステップの場合は、REST 要求と応答本文を含んだ応答です。出力フィールドは 4096 文字で切り捨てられます。 ◦ 機密情報がログに追加されないように、REST 要求と応答ヘッダーはフィルターリングされます。フィルターリングされたヘッダー テキストは、「セキュリティのためヘッダーが編集されました」というテキストに置き換えられます。 ◦ フィルターリングする REST 要求と応答ヘッダーのリストを追加する方法については、『REST 要求と応答ヘッダーをフィルターリングする』を参照してください。 テスト ステップのコンソール ログとテスト実行に関する追加情報は、 レコードを参照してください。
ステップ	実行されたステップの名前。
テスト結果	このステップの結果に関連付けられたテスト結果への参照してください。情報アイコン ( ) をクリックして、詳細なテスト結果情報を表示します。
説明	このテスト ステップの実行される特定のアクションの説明 (たとえば、インシデントの作成レポートプロデューサを開く、フォームが次の条件に一致することを検証する、など) クライアントログの場合は、ブランク。
開始時間	このステップまたはログエントリが開始された日時。
終了時間	このステップまたはログエントリが終了された日時。
期間	このテストを実行するのにかかった時間
ステップトランザクション	各トランザクションのレコード (このステップの結果に関連するシステムトランザクションログ [syslog_transaction] から)。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
(関連リスト)	

関連情報

- テスト結果レコード
- テストログレコード
- 許可されたクライアントエラー
- ステップ結果からクライアントエラーを許可

テストログレコード

テスト結果アイテム (テストログ) レコードには、コンソールログとテスト実行情報が含まれています。

テストの実行中、環境に報告されたすべての情報は、テストログ (sys_atf_test_result_item) テーブルに記録されます。この情報には、ステップ環境で記録されたブラウザーコンソールのログ、結果、およびエラーメッセージが含まれています。特定のテストログには、テスト結果フォームのテストログ関連リストからアクセスします。

フィールド	説明
ステータス	テストログの結果： 成功 テスト ステップ実行は合格しました。 失敗 テスト ステップ実行に失敗しました。 成功 (警告あり) テストステップは合格しましたが、[許可されたクライアントエラー] テーブルで警告として許可されたクライアントエラーが発生しました。 無視 [無視] のレポートレベルで許可されたクライアントエラー。 Warning [警告] のレポートレベルで許可されたクライアントエラー。 待機中 テストまたはスイートは開始を待機しています。 実行中 テストまたはスイートが実行されています。 スキップ スイート内の以前のテストが失敗し、失敗時に中止が**true**に設定されている場合に発生します。 エラー テストフレームワークでエラーが発生しました。たとえば、テストランナーが停止したか、サーバーが意図しないシナリオに遭遇しました。エ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	ラーをスローしたステップのステップ結果レコードの フィールドに、エラーメッセージが表示されます。 キャンセル ユーザーがテストまたはスイートをキャンセルしました。
タイプ	テストログの種類： • ステップ結果 • クライアントログ • クライアントエラー **注:** クライアントエラーの場合、オプションでそれを [許可されたクライアントエラー] で無視または警告エントリとして追加できます。こうすることで、許可されたクライアントエラーが今後のテスト実行で再発した際に、ATF テストの実行に影響を与えなくなります。詳細については、「許可されたクライアントエラー」を参照してください。
出力	テストログ用に生成された出力。 • ステップ結果については、ステップが失敗した理由またはスキップされた理由の説明を含む、コーンソールログとテスト実行の出力。 • クライアントログの場合は、ログエントリテキスト。 • クライアントエラーの場合、実際のクライアントエラーが表示されます。
ステップ	実行されたステップの名前。このフィールドは、クライアントログの場合は空白になることがあります。
テスト結果	このステップの結果に関連付けられたテスト結果への参照してください。をクリックして、詳細なテスト結果情報を表示します。
説明	ステップ結果の場合は、このテスト ステップで実行されたアクション。 クライアントログの場合は、ブランク。 クライアントの場合、このメッセージは次のように表示されます。 このクライアントエラーは、ブラウザタイプブラウザバージョンのページで発生しました (Chrome 62.0.3202.62など)。
開始時間	このテスト ステップの実行が開始された時刻。
終了時間	このテスト ステップの実行が終了された時刻。
期間	このテスト ステップの実行に要した時間。
記録時間	このステップまたはログエントリが記録された時刻。
リストされたクライアントエラーを許可	許可されたクライアントエラーレコードへの参照 (存在する場合)。 をクリックして、このクライアントエラーの [許可されたクライアントエラー] レコードを表示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

関連情報

- テスト結果レコード
- ステップ結果レコード
- テストログからクライアントエラーを許可
- 許可されたクライアントエラー

スイート結果

スイート結果モジュールは、スイート結果テーブルを開きます。

テスト結果レコードにドリルダウンして、個々のテストスイートの結果、それらのテストスイート内の個々のテスト、子テストスイート (ある場合) などの詳細を表示できます。

関連情報

- 自動テストスイートのビルドと実行

テストスイート結果レコード

テストスイート結果レコードは、1 つのテストスイートの 1 回の実行結果に関する情報を表示します。

フィールド

フィールド/要素	説明
開始時間	(レコードリストには表示されますが、デフォルトレコードフォームには表示されません)。このテストスイートが開始された時刻。
テストスイート	実行されたテストスイート
番号	このテストスイート結果レコードの一意の ID
ベーステストスイートの結果	このテストスイートがテストスイートの階層内の子である場合、ベーステストスイート結果は、階層の最上位レベルのスイートの結果レコードの一意の ID です。詳細については、「例：ベーステストスイートの結果」を参照してください。
親	このテストスイートに親がある場合、これは親スイートのテスト結果レコードです。詳細については、「例：親テストスイートの結果」を参照してください。
ステータス	テストまたはテストスイートの実行の結果： • キャンセル済み：ユーザーがテストまたはテストスイートの実行をキャンセルしました。 • エラー ： テストフレームワークでエラーが発生しました。たとえば、テストランナーが停止したか、サーバーが意図しないシナリオに遭遇しました。エラーメッセージは、エラーを含むテストステップに対するステップ結果フォームの [サマリー] フィールドに表示されます。 • 失敗：エラーのためにテスト、テストスイート、またはテストステップが失敗しました。 • 無視：テストステップは成功しましたが、[無視] のレポートレベルで [許可されたブラウザーエラー (Allowed Browser Error)] テーブルに入力されたクライアント側の JavaScript エラーが含まれています。 • 実行中：テストまたはテストスイートが実行中です。 • スキップ済み：スイート内の以前のテストが失敗し、[失敗時に中止] が **[true]** に設定されている場合に発生します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

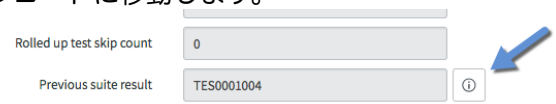
フィールド (続く)

フィールド/要素	説明
	• 成功：テスト、テストスイート、またはテストステップの実行が成功しました。 • 成功 (警告あり)：テストまたはテストスイートの実行は成功しましたが、[警告] のレポートレベルで [許可されたブラウザーエラー (Allowed Browser Error)] テーブルに入力されたクライアント側の JavaScript エラーがあるテストステップが含まれています。 • 待機中：テストまたはスイートの実行の開始が待機されています。 • 警告：テストまたはスイートに、[警告] のレポートレベルで [許可されたブラウザーエラー (Allowed Browser Error)] テーブルに入力されたクライアント側の JavaScript エラーが含まれています。
実行時間	このテストスイートを実行するのに要した時間
無期限保存	指定されたデータ保持期間が経過した後もこのレコードを保持するためのチェックボックス。詳細については、「テーブルのクリーンアップ」を参照してください。
テスト成功合計数	成功したテストの数。ロールアップの一部としてカウントされるテストは、このスイートに含まれるすべてのテストと、このスイートの子孫であるスイートに含まれる他のすべてのテストです。詳細については、「テストスイートの結果のロールアップ数」を参照してください。
テスト失敗合計数	失敗したテストの数。ロールアップの一部としてカウントされるテストは、このスイートに含まれるすべてのテストと、このスイートの子孫であるスイートに含まれる他のすべてのテストです。詳細については、「テストスイートの結果のロールアップ数」を参照してください。
テストエラー合計数	エラーとなったテストの数。ロールアップの一部としてカウントされるテストは、このスイートに含まれるすべてのテストと、このスイートの子孫であるスイートに含まれる他のすべてのテストです。詳細については、「テストスイートの結果のロールアップ数」を参照してください。
テストスキップ合計数	スキップされたテストの数。ロールアップの一部としてカウントされるテストは、このスイートに含まれるすべてのテストと、このスイートの子孫であるスイートに含まれる他のすべてのテストです。詳細については、「テストスイートの結果のロールアップ数」を参照してください。
テスト結果 (関連リスト)	このテストスイートに含まれる個々のテストの結果
子テストスイート結果 (関連リスト)	このテストスイートの子であるテストスイートの結果
すべてのテストスイートの結果 (関連リスト)	このテストスイートとすべての子孫テストスイートの結果
スイート内の失敗した	このテストスイートに含まれる、失敗したテストの結果

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド (続く)

フィールド/要素	説明
テスト (関連リスト)	
前回のスイートの結果	このスイート結果が、失敗したテストの再実行用で、atf_test_admin、atf_test_designer、または admin ロールでログオンしている場合にのみ表示されます。情報アイコンをクリックすると、「元」のスイート結果レコードに移動します。 

関連情報

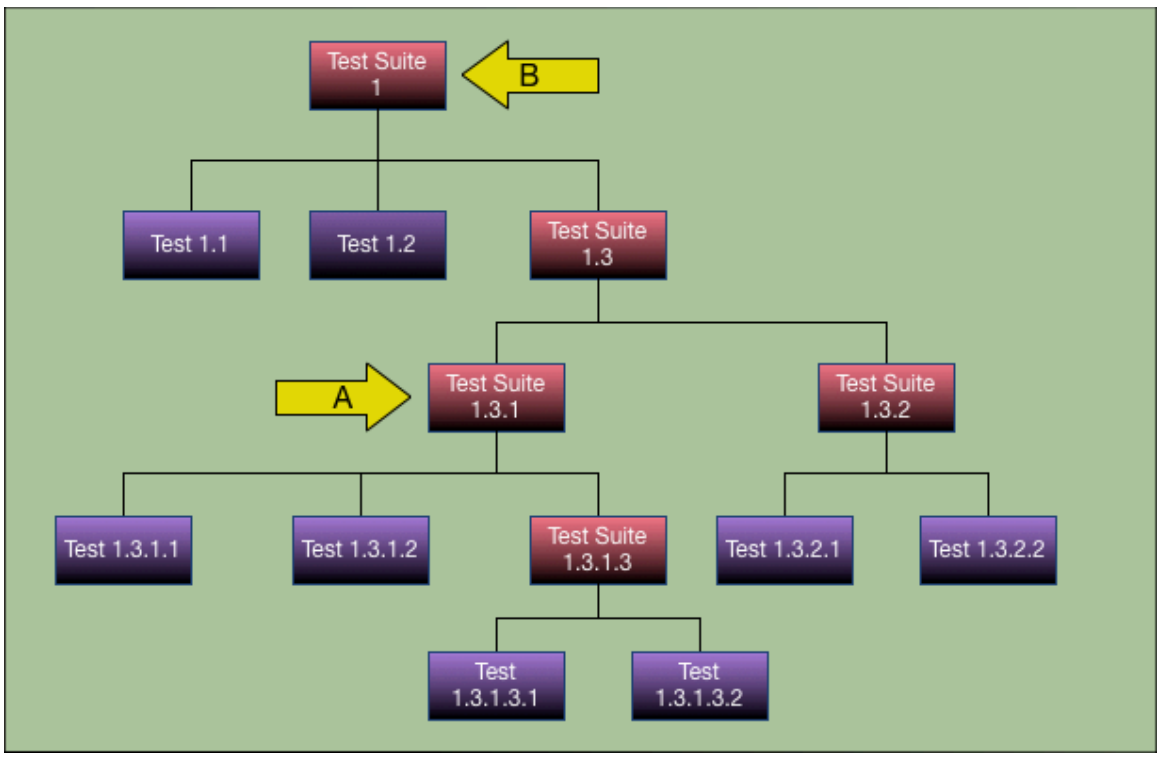
テスト結果

テストスイート結果の例

関係用語の例と、集計結果がテストスイート用にロールアップする仕組みです。

例：ベーステストスイートの結果

ベーステストスイートとは、階層内のトップレベルのテストスイートです。たとえば、(A) Test Suite 1.3.1のテストスイート結果レコードを表示している場合、ベーステストスイート結果フィールドは (B) Test Suite 1のテストスイート結果レコードにリンクします。

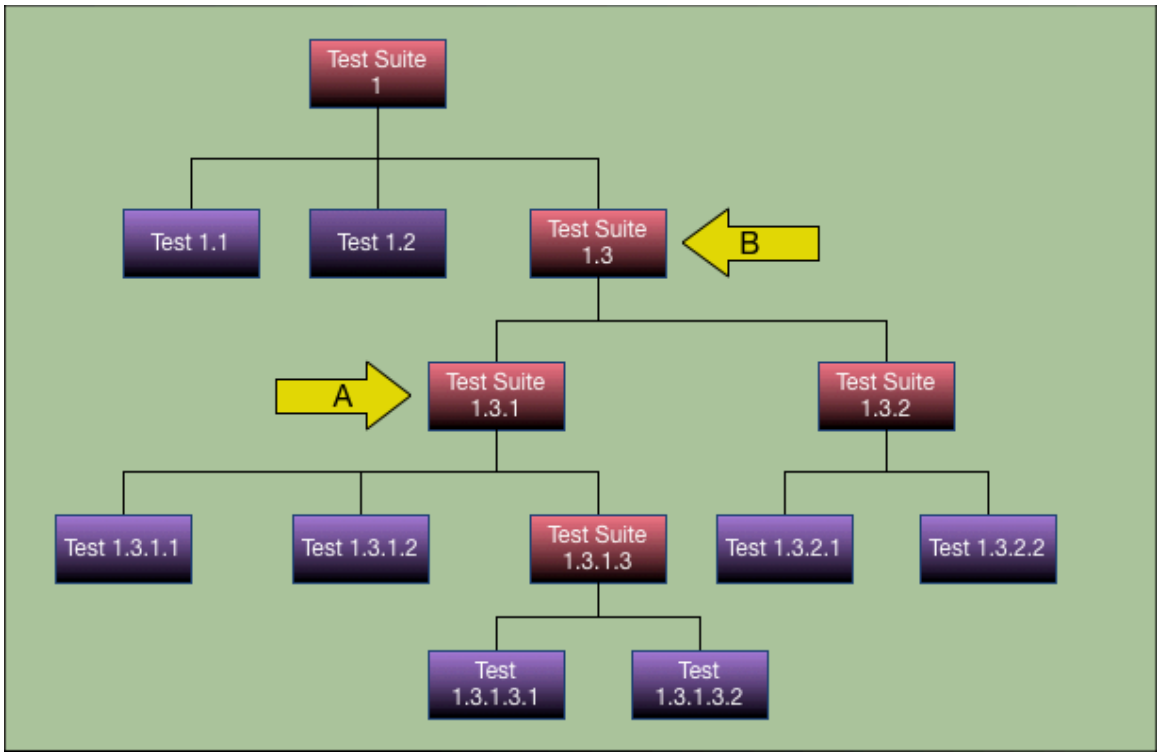


自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

例：親テストスイートの結果

親テストスイートとは、現在表示しているテストスイートのすぐ上のテストスイートです。たとえば、(A) Test Suite 1.3.1のテストスイート結果レコードを表示している場合、親フィールドは (B) Test Suite 1.3のテストスイート結果レコードにリンクします。



テストスイートの結果のロールアップ数

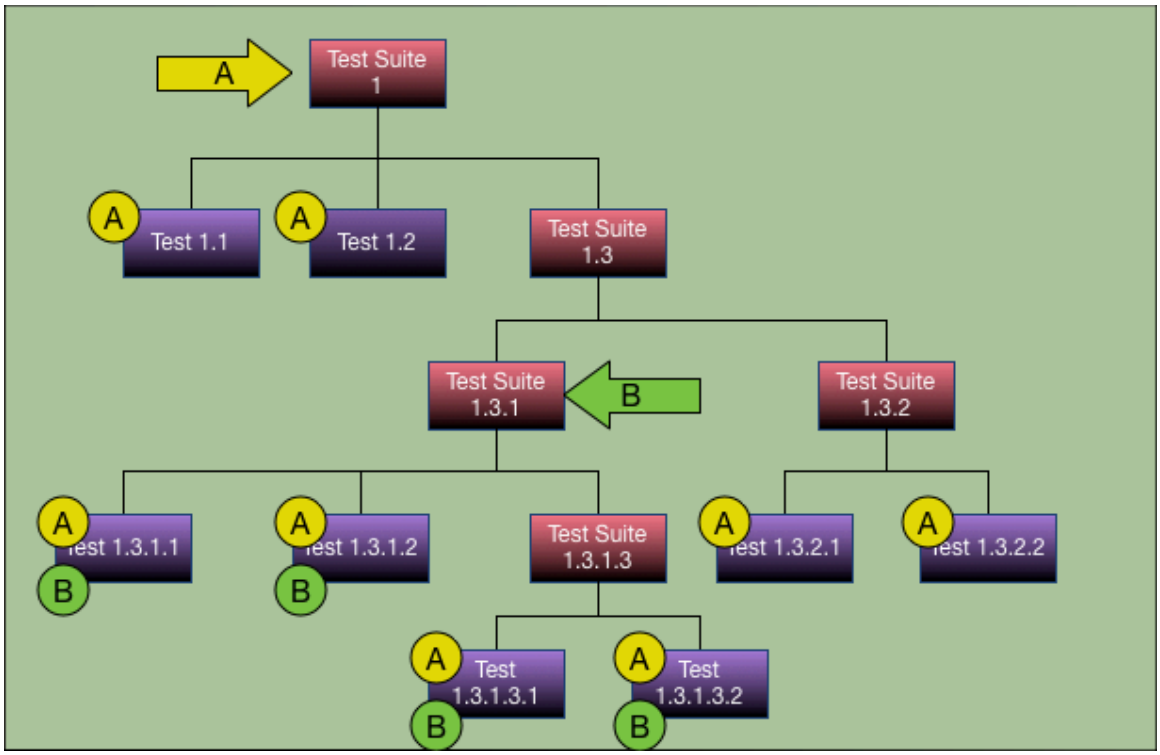
テスト成功、失敗、エラー、およびスキップの 4 つのメトリクスについて、テストスイートのロールアップ数を表示できます。これらのそれぞれは、テストスイート内のすべてのテストのデータと、テストスイートの子孫のすべてのテストの合計データです。

たとえば、(A)Test Suite 1.3.1 のテストスイート結果レコードを表示している場合は、テスト成功合計数フィールドは、 *A* のラベルの付いたボックスで表されるすべてのテストの結果を数える成功回数の合計を示します。

(B) Test Suite 1.3.1 のテストスイート結果レコードを表示している場合は、テスト成功合計数フィールドは、 *B* のラベルの付いたボックスで表されるすべてのテストの結果を数える成功回数の合計を示します。

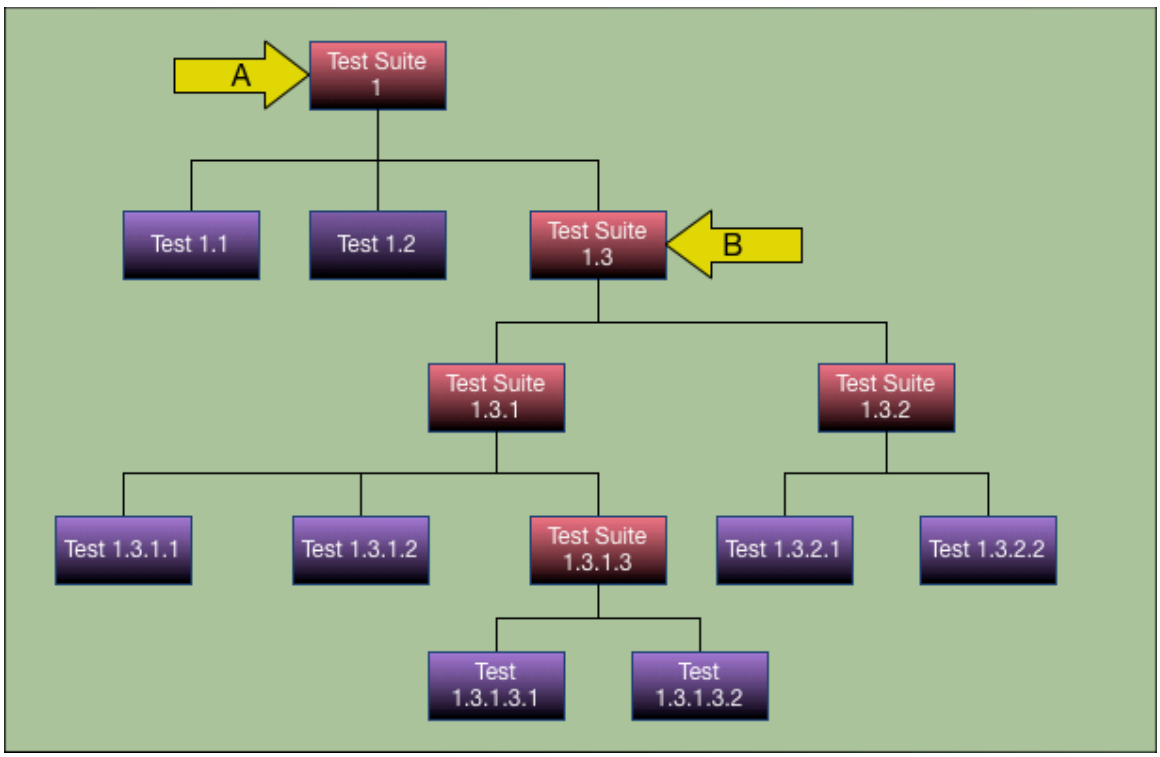
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



子テストスイート結果

(A) Test Suite 1のテストスイート結果レコードを表示している場合は、子テストスイート結果関連するリストには、Test Suite 1.3 (B) の結果レコードが表示されます。



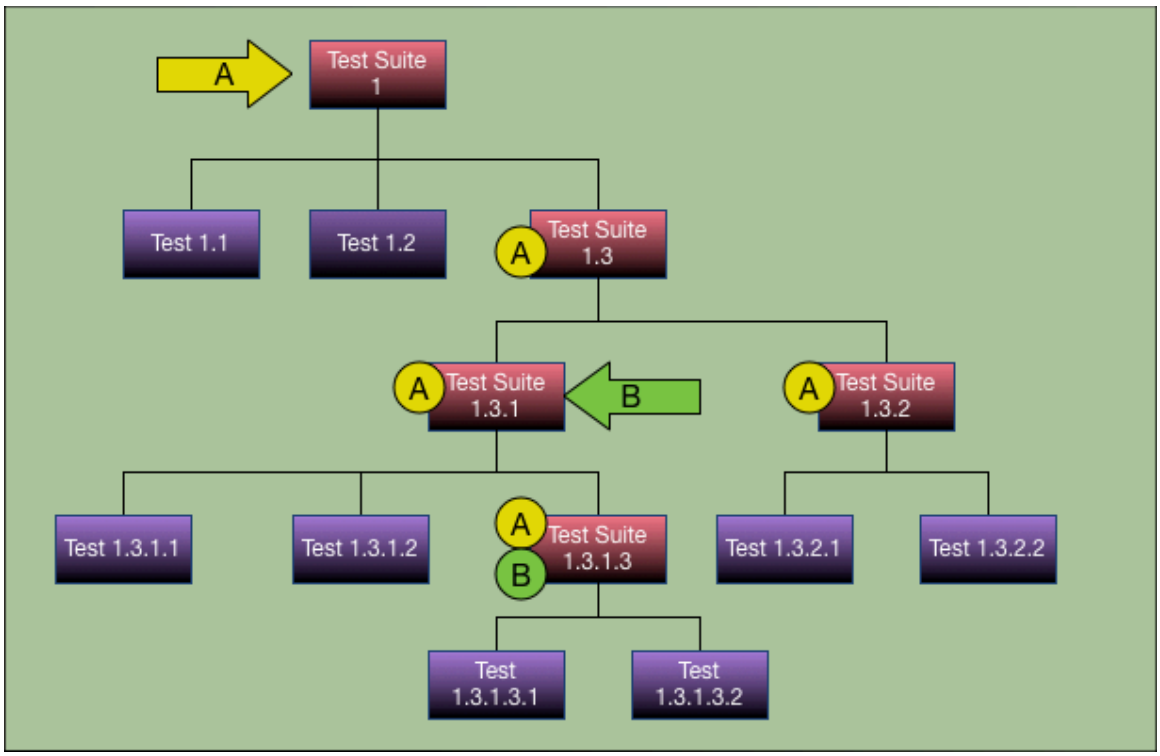
すべてのテストスイート結果

(A) Test Suite 1 のテストスイート結果レコードを表示している場合は、すべてのテストスイート結果関連するリストには、*A* というラベルのボックで示されるすべてのテストスイートの結果レコードが表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

(B) Test Suite 1.3 のテストスイート結果レコードを表示している場合は、すべてのテストスイート結果関連するリストには、(*B* というスラベルのボックで示される) Test Suite 1.3.1 のみの結果レコードが表示されます。



スイートスケジュール

スイートスケジュールテーブルを開きます。ドリルダウンして個々のスケジュールの結果に関する詳細を表示したり、新しいスケジュールを作成したりできます。

関連情報

自動テストスイートのビルドと実行

スイートスケジュールレコード

スイート結果レコードには、1 つのテストスイートスケジュールに関する情報が表示されます。

フィールド

フィールド/要素	説明
名前	このテストスイートスケジュールの名前
説明	このテストスイートスケジュールの説明
アクティブ	このスケジュールがアクティブな場合、**true**です。そうでない場合は**false**。
アプリケーション	このテストスイートスケジュールのアプリケーションスコープ。
実行	システムがこのスケジュールに属するテストスイートを実行する頻度
実行時のタイムゾーン	時間フィールドに使用されるタイムゾーン
時刻	システムがこのスケジュールに属するテストスイートを実行する時刻
日	実行が に設定されている場合、システムがこのスケジュールに属するテスト スイートを実行する曜日。 が に設定されている場合は、日付。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド (続く)

フィールド/要素	説明
繰り返し間隔	[実行] が [定期的] に設定されている場合、このスケジュールで実行するスイートの繰り返し間隔を構成する日数と時間数。
条件付き	スクリプトがこのスケジュールでテストスイートを実行する条件を定義するには、このチェックボックスをオンにします。
条件	条件節がチェックされている場合、このスケジュールでシステムがテストスイートを実行する条件を決定するために実行されるスクリプト
スケジュール済みのスイートの実行 (関連リスト)	このスケジュールでシステムが実行するテストスイート。

関連情報

自動テストスイートのスケジュール

スケジュール済みのスイート実行レコード

スケジュール済みのスイート実行レコードは、スイートスケジュールレコードをテストスイートに関連付けます。

フィールド

フィールド/要素	説明
スケジュール	使用するスケジュール
テストスイート	実行するテストスイート
アプリケーション	このスケジュール済みのスイート実行のアプリケーションスコープ
ウォッチリスト	このスケジュール済みのスイートの実行が完了したときにシステムが通知するユーザー
ブラウザ名	テストスイートに UI コンポーネントが含まれている場合、使用する必要のあるブラウザ。このブラウザでクライアントテスト ランナーが利用できない場合、システムはスイートを実行しません。
次で始まるブラウザバージョン	テストスイートに UI コンポーネントが含まれている場合、クライアントテストランナーのブラウザのバージョンは、この文字列で始まる必要があります。このブラウザのバージョンでクライアントテスト ランナーが利用できない場合、システムはスイートを実行しません。
OS 名	テストスイートに UI コンポーネントが含まれている場合、クライアントテストランナーはこの OS で実行する必要があります。この OS でクライアントテストランナーが利用できない場合、システムはスイートを実行しません。
次で始まる OS バージョン	テストスイートに UI コンポーネントが含まれている場合、クライアントテスト ランナーの OS のバージョンは、この文字列で始まる必要があります。この OS バージョンでクライアントテスト ランナーが利用できない場合、システムはスイートを実行しません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド (続く)

フィールド/要素	説明
テストスイートの結果 (関連リスト)	このスケジュール済みの実行からのすべてのテストスイート結果

使用するブラウザーのブラウザー名とバージョンを特定するには、スケジュール済みのテストランナーをそのブラウザーで起動し、アクティブなスケジュール済みのテストランナーモジュール内のランナーのレコードを調べます。

関連情報

自動テストスイートのスケジュール

実行

クライアントテスト ランナーを開始し、テスト ランナーとテスト実行に関する情報を表示します。

テストランナーの操作方法については、「クライアントテストランナーでの作業」を参照してください。

クライアントテストランナー

クライアントテスト ランナーは、手動で開始されたクライアント自動テストを実行するためのブラウザーウィンドウまたはタブを開きます。

クライアントテスト ランナーを手動テスト ランナーまたはスケジュール済みのクライアントテストランナーのいずれかに切り替えることができます。テストスイートのスケジュールの詳細については、「自動テストスイートのスケジュール」を参照してください。

クライアントランナーテストウィンドウのフィールド

フィールド/ **UI** 要素	説明
フォーム設定アイコン( )	クリックすると、フォーム設定パネルが表示されます。
フォーム設定パネル：スクリーンショットモード	次から選択： • すべてのステップで有効にする • 失敗したステップで有効にする • すべてのステップで無効にする 詳細については次を参照してください。 システムプロパティを設定して、自動テストフレームワーク (ATF) がスクリーンショットをキャプチャするタイミングを制御する
フォーム設定パネル：スケジュール済みのテストのみを実行する	クリックすると次のように切り替わります： • オン (緑色)：このクライアントテストランナーを使用して、スケジュール済みのテストおよびスイートのみを実行します。 • オフ (グレー)：このクライアントテストランナーを使用して、手動で開始したテストおよびスイートのみを実行します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スケジュール済みのクライアントテスト ランナー

スケジュール済みのクライアントテスト実行は、スケジュール済みのクライアント自動テストを実行するためのブラウザウィンドウを開きます。

自動テストのスケジュール設定の詳細については、「自動テストスイートのスケジュール」および「スケジュール済みのテストスイートの操作」を参照してください。クライアントテスト ランナーを手動テスト ランナーまたはスケジュール済みのクライアントテスト ランナーのいずれかに切り替えることができます。

クライアントランナーテストウィンドウのフィールド

フィールド/ **UI** 要素	説明
フォーム設定アイコン( )	クリックすると、フォーム設定パネルが表示されます。
フォーム設定パネル：スクリーンショットモード	次から選択： • すべてのステップで有効にする • 失敗したステップで有効にする • すべてのステップで無効にする 詳細については次を参照してください。 システムプロパティを設定して、自動テストフレームワーク (ATF) がスクリーンショットをキャプチャするタイミングを制御する
フォーム設定パネル：スケジュール済みのテストのみを実行する	クリックすると次のように切り替わります： • オン (緑色)：このクライアントテストランナーを使用して、スケジュール済みのテストおよびスイートのみを実行します。 • オフ (グレー)：このクライアントテストランナーを使用して、手動で開始したテストおよびスイートのみを実行します。

アクティブ手動テストランナー

手動で開始したテストを実行できるランナーのみを表示するようにフィルターされたクライアントテスト ランナーテーブルを表示します。

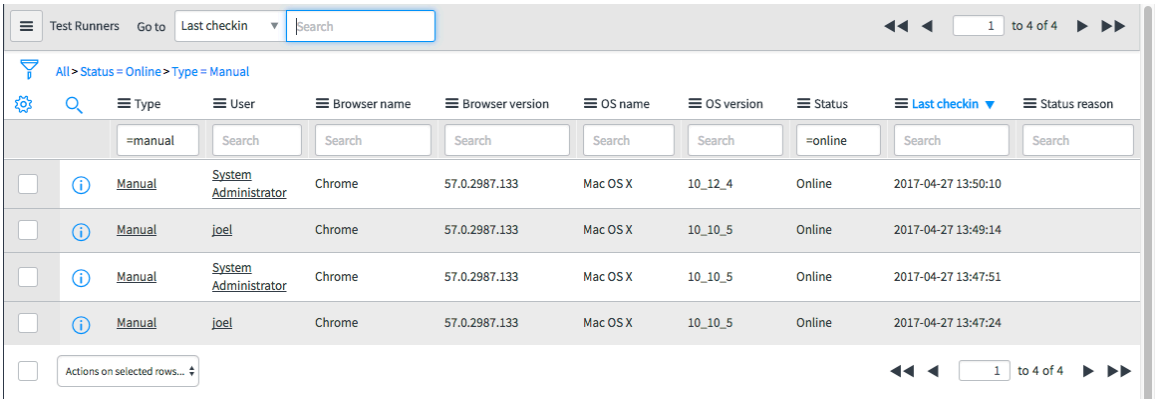
手動クライアントテスト ランナーを起動すると、そのランナーはテスト ランナーテーブルに *active* として登録されます。

このテーブルのデータは一時的です。ランナーは、アクティブである間、指定された間隔でシステムにレポートします。ランナーが予定時刻にレポートしない場合、システムはそのランナーを非アクティブとしてマークします。しばらくすると、ランナーは削除されます。[自動テストフレームワーク (ATF) のプロパティ] ページでこれらの間隔を変更できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アクティブ手動クライアントランナーテスト テーブルの例



クライアントランナーテスト テーブルのフィールド

フィールド/ UI 要素	説明
タイプ	このテスト ランナーが手動テスト用かスケジュール済みのテスト用かを示します。アクティブ手動テスト ランナーモジュールでは、タイプは常にマニュアルです。
ユーザー	ブラウザセッションにログインしたユーザー。
ブラウザ名	ブラウザ名。
ブラウザバージョン	ブラウザバージョン。
OS 名	ブラウザを実行しているオペレーティングシステムの名前。
OS バージョン	ブラウザーを実行しているオペレーティングシステムのバージョン。
ステータス	このランナーが現在オンラインかオフラインか。アクティブ手動テストランナーモジュールでは、ステータスは常にオンラインです。
前回のチェックイン	このランナーがシステムに最後に報告した日時。
ステータスの理由	ステータスがオフラインの場合は、その理由を示します。アクティブ手動テストランナーモジュールでは、[ステータスの理由] は常に空です。

スケジュール済みのアクティブテストランナー

スケジュールにより開始されるテストを実行できるランナーのみを表示するようにフィルターされたクライアントテスト ランナーテーブルを表示します。

スケジュール済みのクライアントテスト ランナーを起動すると、そのランナーがアクティブテスト ランナーテーブルに登録されます。

アクティブでスケジュールされたテスト ランナーモジュールは、スケジュールあれたスイートの実行を作成するときに便利です。スケジュールされたスイートの実行では、使用するブラウザを指定できます。使用するブラウザの名前とバージョンを決定するには、スケジュール済みのテスト ランナーをそのブラウザで開始し、次にスケジュール済みのアクティブテスト ランナーモジュール内のそのランナーのレコードを調べます。

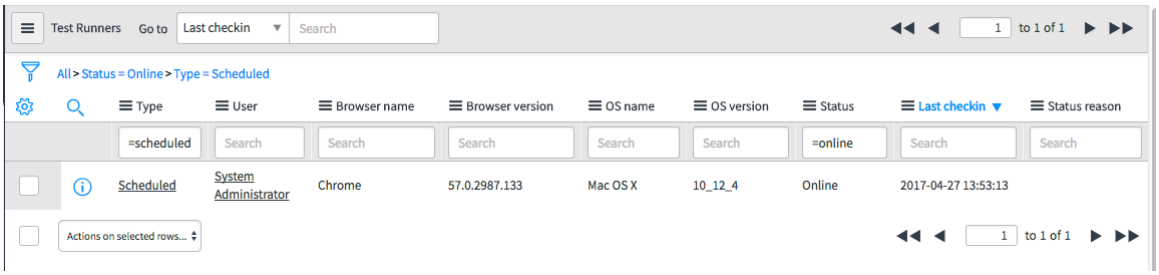
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このテーブルのデータは一時的です。 ランナーは、アクティブである間、指定された間隔でシステムにレポートします。ランナーが予定時刻にレポートしない場合、システムはそのランナーを非アクティブとしてマークします。しばらくすると、ランナーは削除されます。

自動テストフレームワーク (ATF) のプロパティページで、これらの間隔を変更できます。

スケジュール済みのクライアントランナーテスト テーブルの例



クライアントランナーテスト テーブルのフィールド

フィールド/ UI 要素	説明
タイプ	このテスト ランナーが手動テスト用かスケジュール済みのテスト用かを示します。スケジュール済みのアクティブテスト ランナーモジュールでは、タイプは常にスケジュール済みです。
ユーザー	ブラウザセッションにログインしたユーザー。
ブラウザ名	ブラウザ名。
ブラウザバージョン	ブラウザバージョン。
OS 名	ブラウザを実行しているオペレーティングシステムの名前。
OS バージョン	ブラウザーを実行しているオペレーティングシステムのバージョン。
ステータス	このランナーが現在オンラインかオフラインか。アクティブ手動テスト ランナーモジュールでは、ステータスは常にオンラインです。
前回のチェックイン	このランナーがシステムに最後に報告した日時。
ステータスの理由	ステータスがオフラインの場合は、その理由を示します。スケジュール済みのアクティブテストランナーモジュールでは、[ステータスの理由] は常に空です。

待機中/実行中のテスト実行

待機中/実行中のテスト実行モジュールは、実行待ちのテストを示すレコードリストを開きます。

注:
競合を防ぐために、システムでは一度に 1 つのテストのみを実行できます。これは、複数のクライアントテストランナーウィンドウが開かれている場合でも同様です。別のテストが既に実行されているときに実行するテストを送信すると、システムは後で実行するために新しいテストをキューに保持します。テストが 10 分以上キューに残っている場合、システムはテストをキャンセルします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

待機中の自動テストの実行をキャンセルできます。

待機中/実行中のスイート実行

待機中/実行中のスイート実行モジュールは、実行を待機しているテストスイートを示すレコードリストを開きます。

許可されたクライアントエラーレコード

既存の許可されたクライアントエラー [sys_atf_whitelist] レコードリストを確認して、どのクライアントエラーが警告を生成し、どのクライアントエラーが無視されているかを確認します。必要に応じて既存の許可されたクライアントエラーレコードを変更するか、新しいレコードを作成します。

[許可されたクライアントエラー] フォーム

フィールド	説明
レポートレベル	クライアントエラーが発生した場合に実行するレポートアクション。次のオプションが含まれます。 • 警告 - ステップおよびテストが成功 (警告あり) を報告します。：許可されたクライアントエラーを含むテストステップは、ステータスを [成功 (警告あり)] でレポートします。エラーメッセージがテスト結果出力に表示され、ステータスが [警告] でテストログに記録されます。 • 無視 - ステップおよびテストの成功を報告します。：許可されたクライアントエラーを含むテストステップは、ステータスを [成功] でレポートします。エラーは [無視] ステータスでテストログに記録されます。
アクティブ	クライアントエラーの許可を有効または無効にするチェックボックス。
エラーメッセージ	許可するクライアントエラーのメッセージ。
説明	許可するエラーの説明。このクライアントエラーがテスト結果、ステップ結果、またはテストログから許可された場合、テストログの説明がこのフィールドにコピーされます。

関連情報

許可されたクライアントエラー

報告されたクライアントエラー

報告されたクライアントエラーモジュールには、クライアントエラーであり失敗したすべてのテストのテストログが一覧表示されます。個々のテストログレコードを確認し、必要に応じて、許可されたクライアントエラーが今後のテスト実行に悪影響を与えないようにすることができます。

フィールド	説明
開始時間	このテスト ステップの実行が開始された時刻。
ステップ	実行されたステップの名前。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
ステータス	テストログの結果： 失敗：テストステップ実行に失敗しました。
出力	テストログ用に生成された出力。クライアントエラーの場合、実際のクライアントエラーが表示されます。
期間	このテスト ステップの実行に要した時間。
タイプ	テストログのタイプ： クライアントエラー **注:** オプションでクライアントエラーを [許可されたクライアントエラー] で無視または警告エントリとして追加できます。こうすることで、許可されたクライアントエラーが今後のテスト実行で再発した際に、ATF テストの実行に影響を与えなくなります。詳細については、許可されたクライアントエラーを参照してください。
記録時間	このステップまたはログエントリが記録された時刻。

関連情報

- 許可されたクライアントエラー
- クライアントエラーを手動で許可
- クライアントエラーの特定と解決

自動テストフレームワーク **(ATF)** ユースケースの例

ユースケースは、一般的なシナリオのテストをビルドするのに役立ちます。

自動テストフレームワーク **(ATF)** ユースケース：基本的なフォーム操作のテスト

このユースケースは次のことを説明します は基本的なフォーム操作 自動テストフレームワーク (ATF) を使用して をテストします。

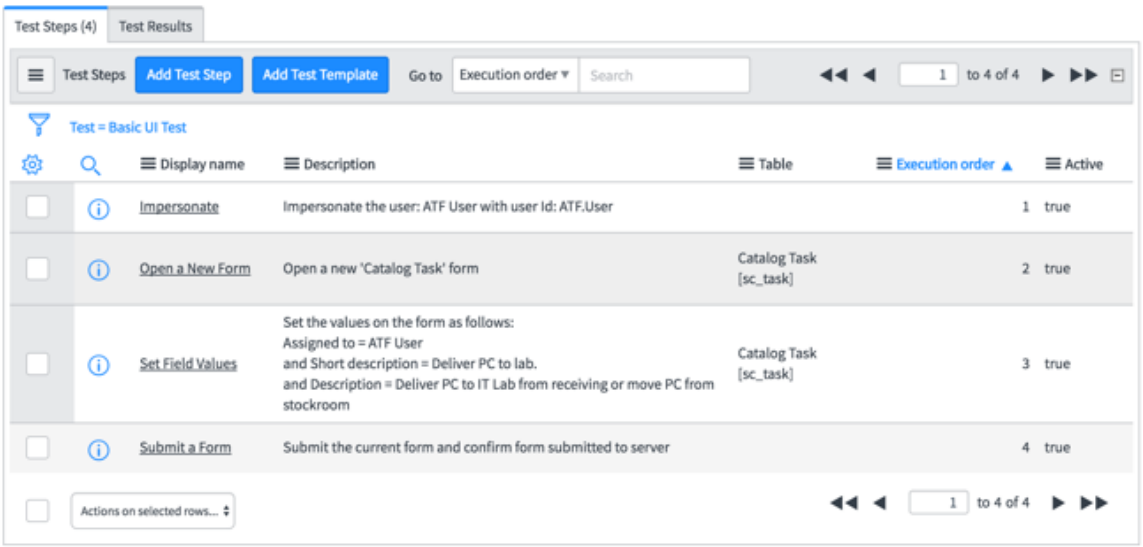
始める前に

必要なロール：atf_test_admin

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて

テストのステップ

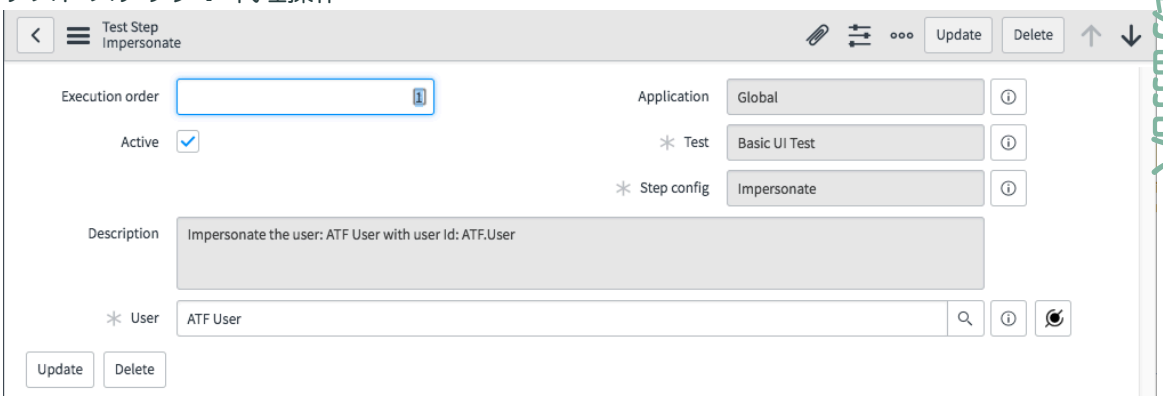


手順

1. これらのステップを実行するために必要なアクセス許可(この例では ATF.User)で代理操作します。

Example

テスト ステップ **1** - 代理操作

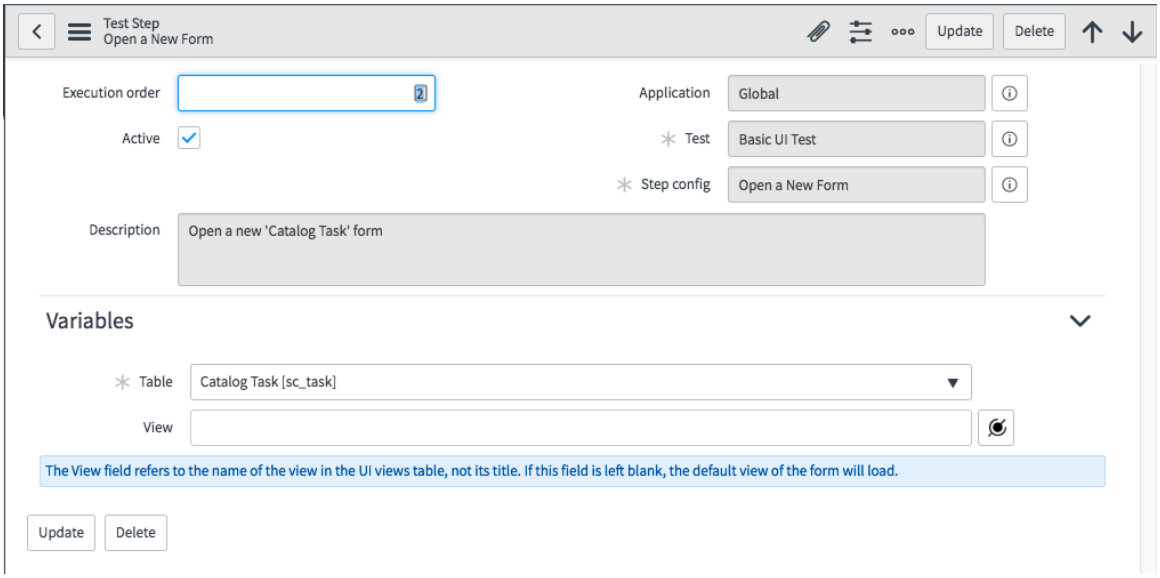


2. フォーム(この例ではカタログタスクフォーム)を開きます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Example

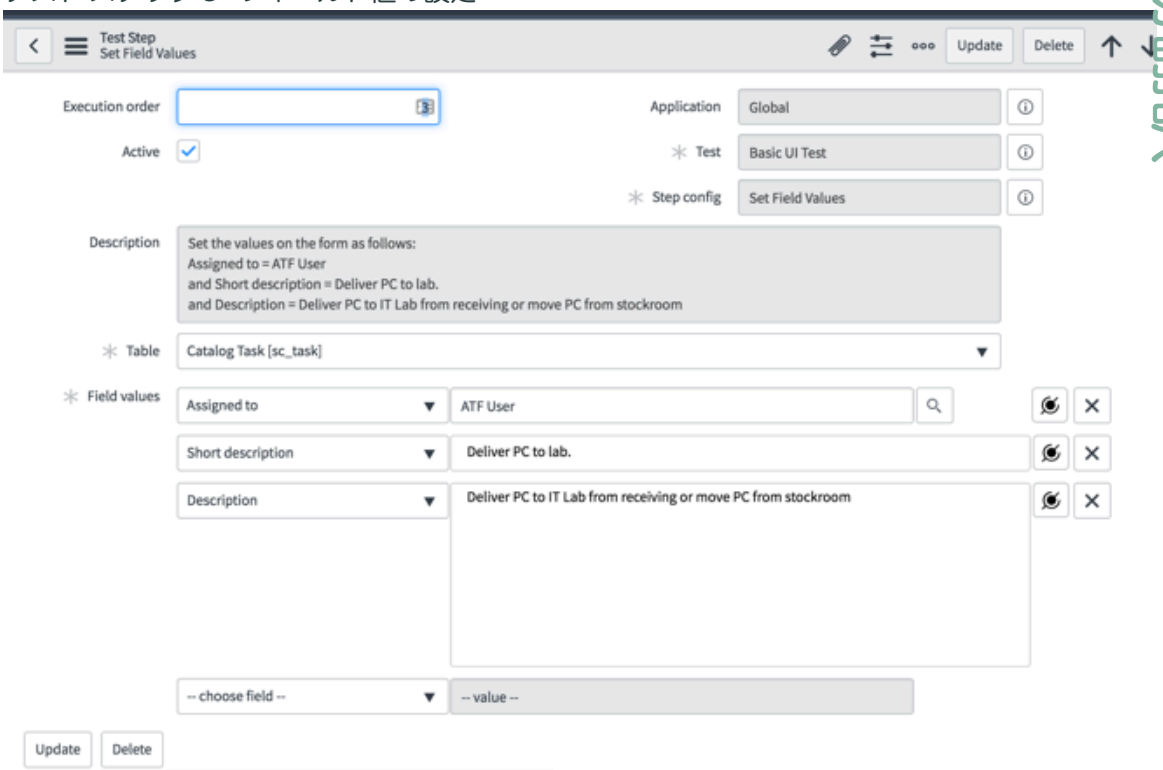
テスト ステップ **2 -** 新しいフォームを開く



3. 開いているフォームで、任意の必須フィールドを含むフィールド値を設定します。
この例では、担当者、簡単な説明、および説明のフィールド値を設定します。

Example

テスト ステップ **3 -** フィールド値の設定

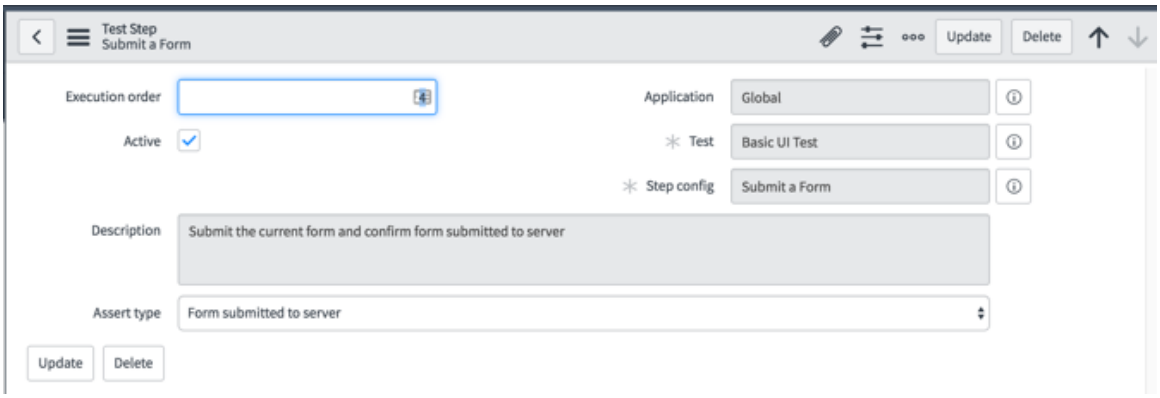


© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

4. 開いているフォームを送信します。

Example

テスト ステップ **4 -** フォームを送信

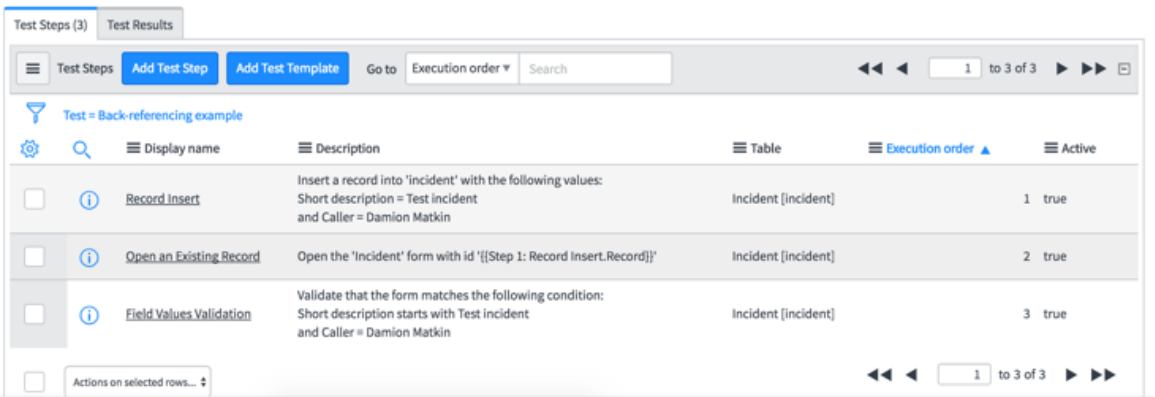


自動テストフレームワーク **(ATF)** ユースケース：前のステップの値の参照

このユースケースは次のことを説明します前のステップからの出力変数の値をフォームフィールドに割り当てます。

始める前に
必要なロール：atf_test_admin

このタスクについて
自動テストフレームワーク (ATF)：この例では、2 番目のステップが最初のステップの出力値を参照しています。あるステップからの値を別の例に渡します。



手順

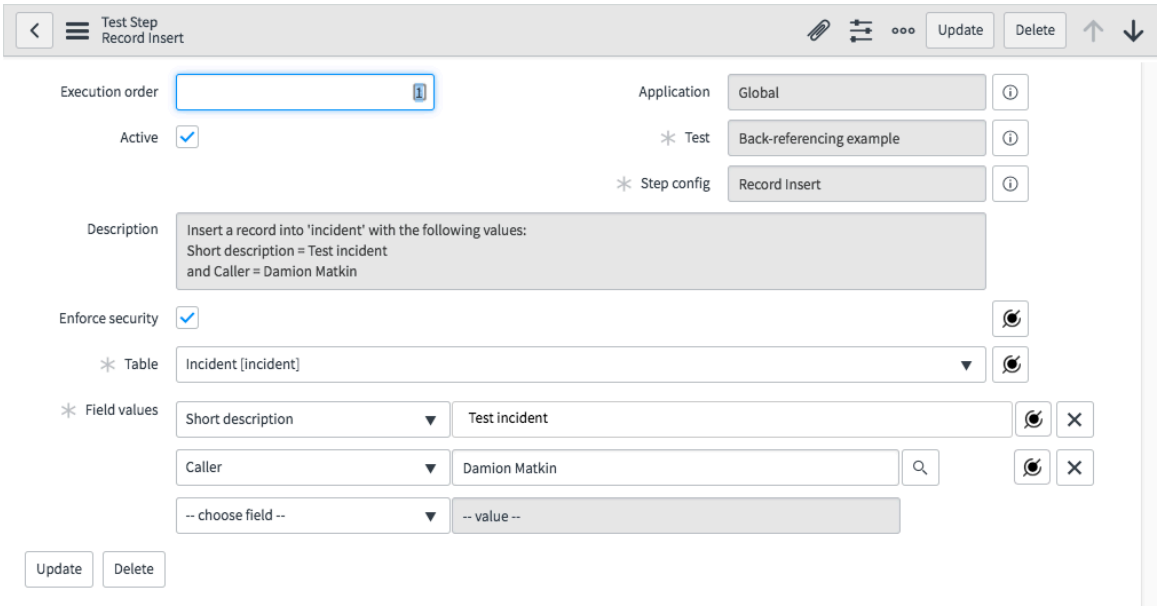
1. レコードをインシデントテーブルに挿入します。
   この例では、インシデントテーブルにレコードを挿入します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Example

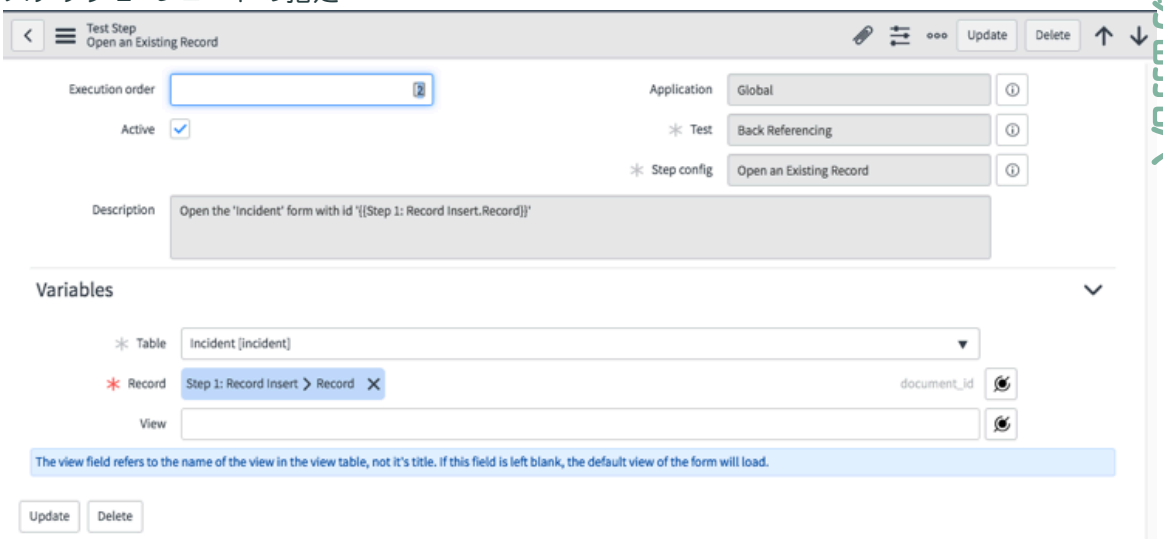
ステップ **1** - レコードの挿入



2. [*Record*] フィールドにステップ 1 の出力変数をアサインして、挿入したレコードを開きます。

Example

ステップ **2** - レコードの指定



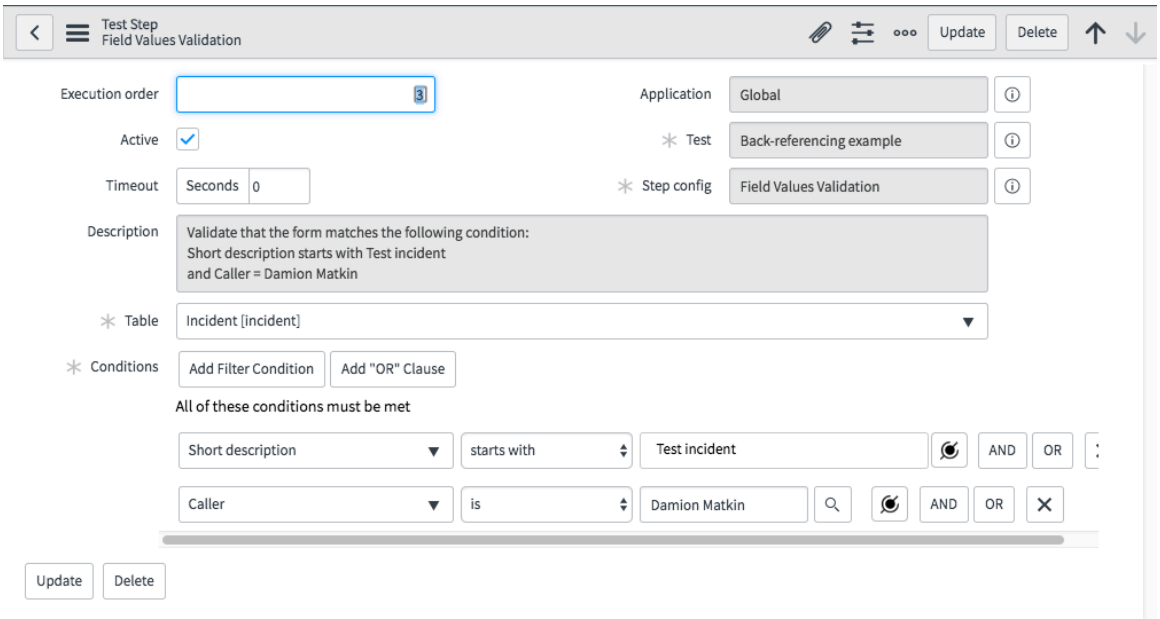
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

3. 開いているレコードのフィールドに、想定される値があることを検証します。

Example

ステップ **3** - フィールド値の検証



関連情報

1 つの自動テストステップから別の自動テストステップに値を渡す

自動テストフレームワーク **(ATF)** ユースケース：ビジネスルールのテスト

このユースケースは次のことを説明します ビジネスルール 自動テストフレームワーク (ATF) を使用して のテスト

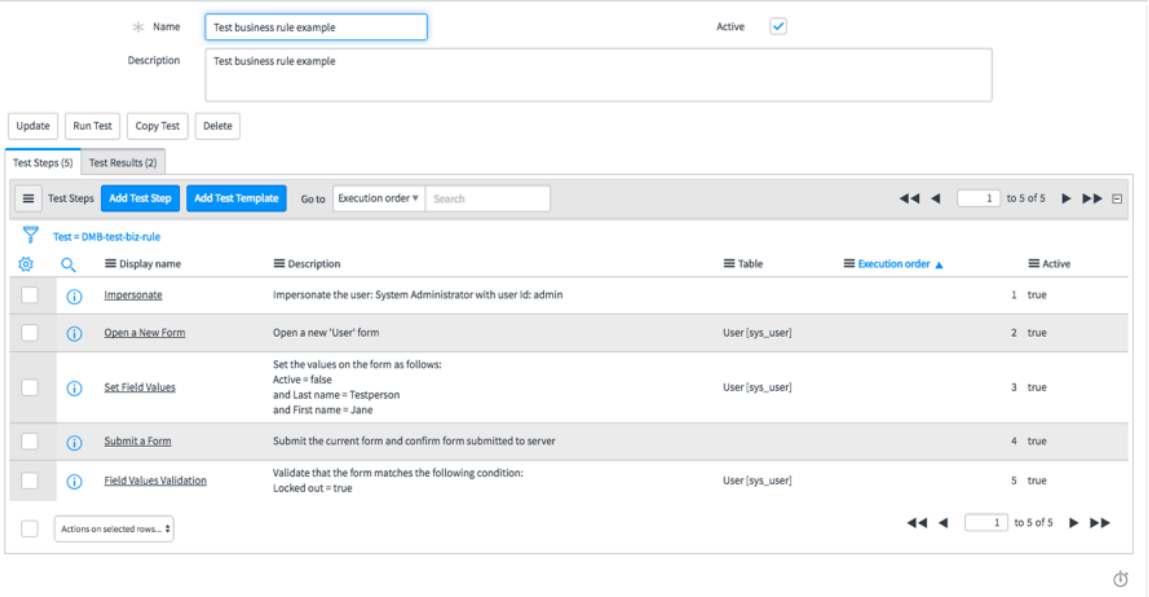
始める前に
必要なロール：atf_test_admin

このタスクについて
この例では、**active** が **false** に設定されている場合に、**Locked out** の値を **true** に設定するビジネスルールをテストします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動テストフレームワーク **(ATF):** ビジネスルールの例

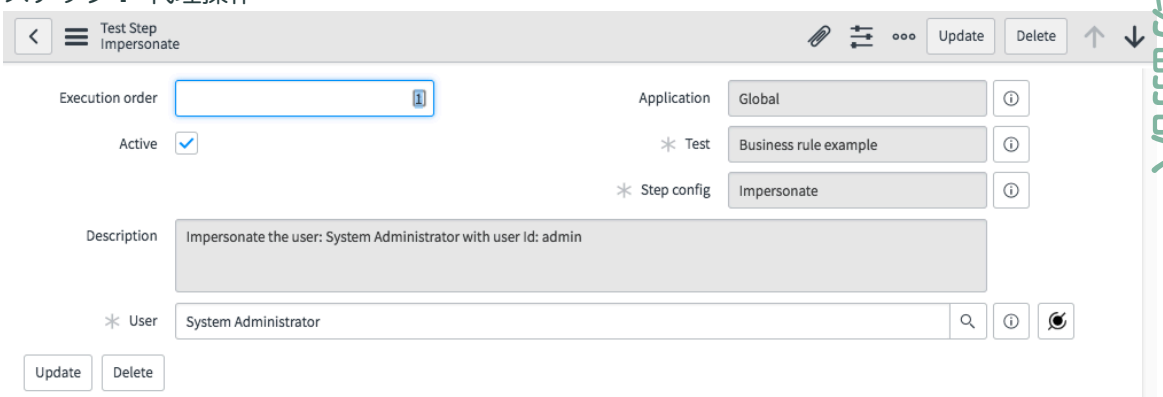


手順

1. 必要な権限を持つユーザーの代理操作を実行します。
   この例では、ステップは管理ユーザーの代理操作を実行します。

   Example

   ステップ **1 -** 代理操作

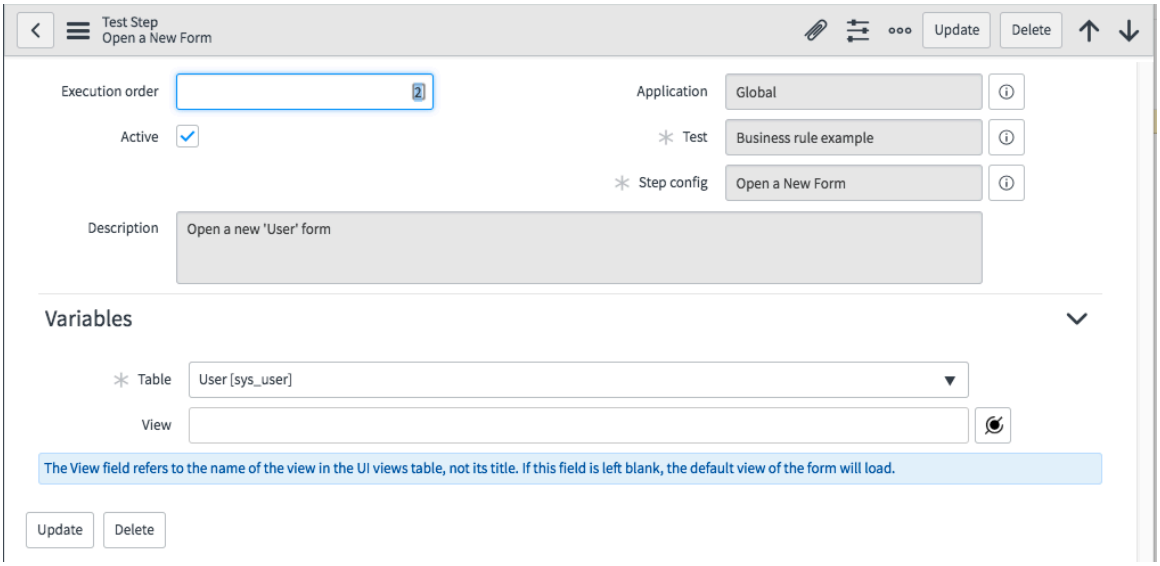
   

2. このビジネスルールが適用されるテーブルのフォームを開きます。
   この例では、新しいユーザーフォームを開きます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Example

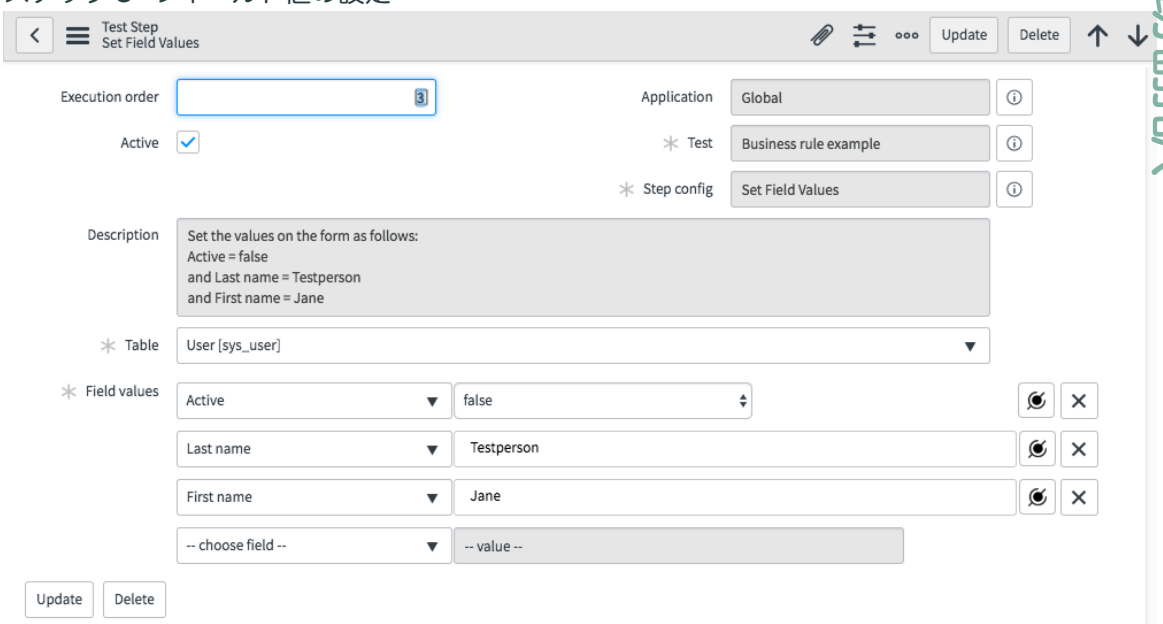
ステップ 2 - 新しいフォームを開く



3. フォーム送信およびビジネスルールのトリガーの要件を満たす値をフォームに設定します。
この例では、[アクティブ]、[姓]、[名] フィールドの値を設定します。

Example

ステップ **3** - フィールド値の設定

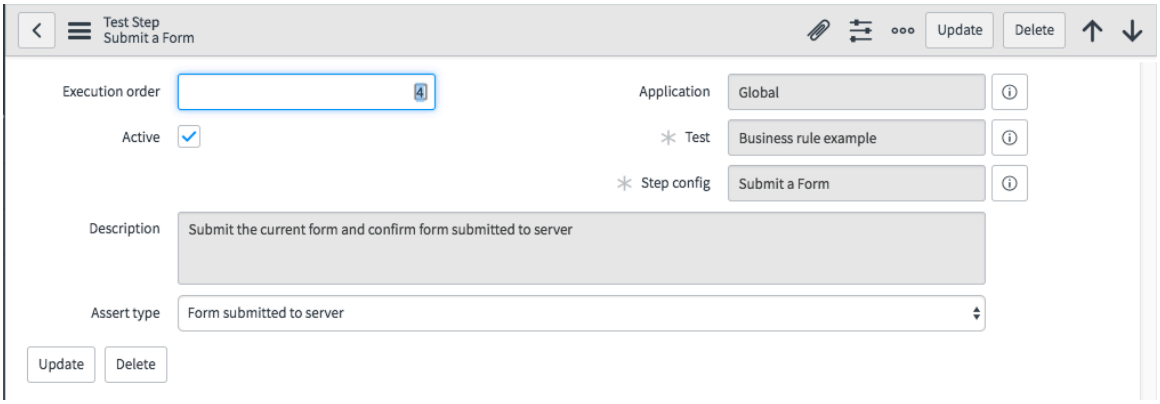


4. フォームを送信します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Example

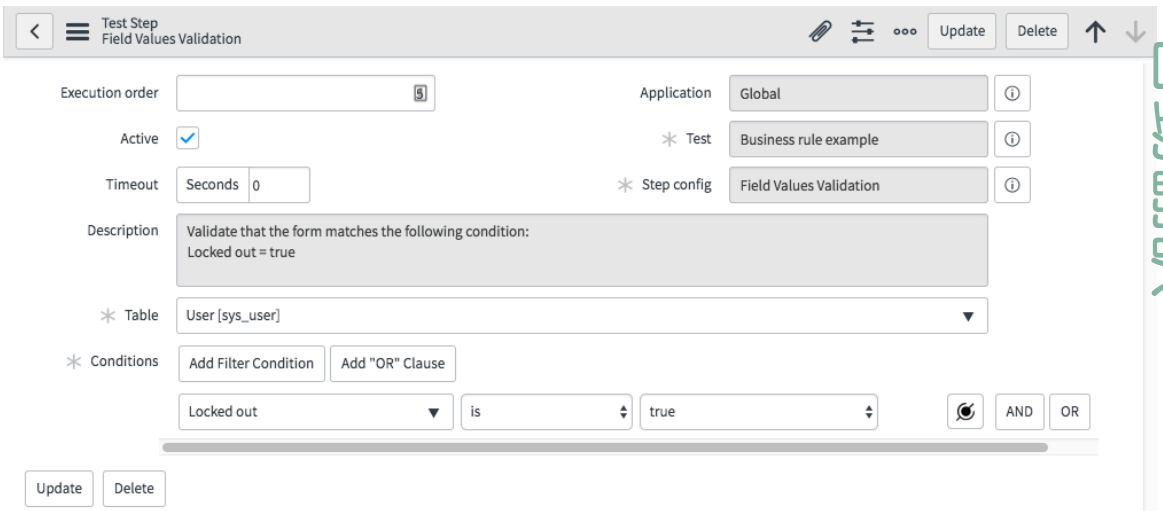
ステップ **4 -** フォームを送信する



5. ビジネスルールが実行されたことを検証します。
この例では、テストされるビジネスルールは、アクティブが**false**に設定されるとロックアウトに**true**をセットします。

Example

ステップ **5 -** フィールド値の検証



自動翻訳

自動テストフレームワーク **(ATF)** ユースケース：データポリシーのテスト

このユースケースは次のことを説明します はデータポリシー 自動テストフレームワーク (ATF) を使用して をテストします。

始める前に

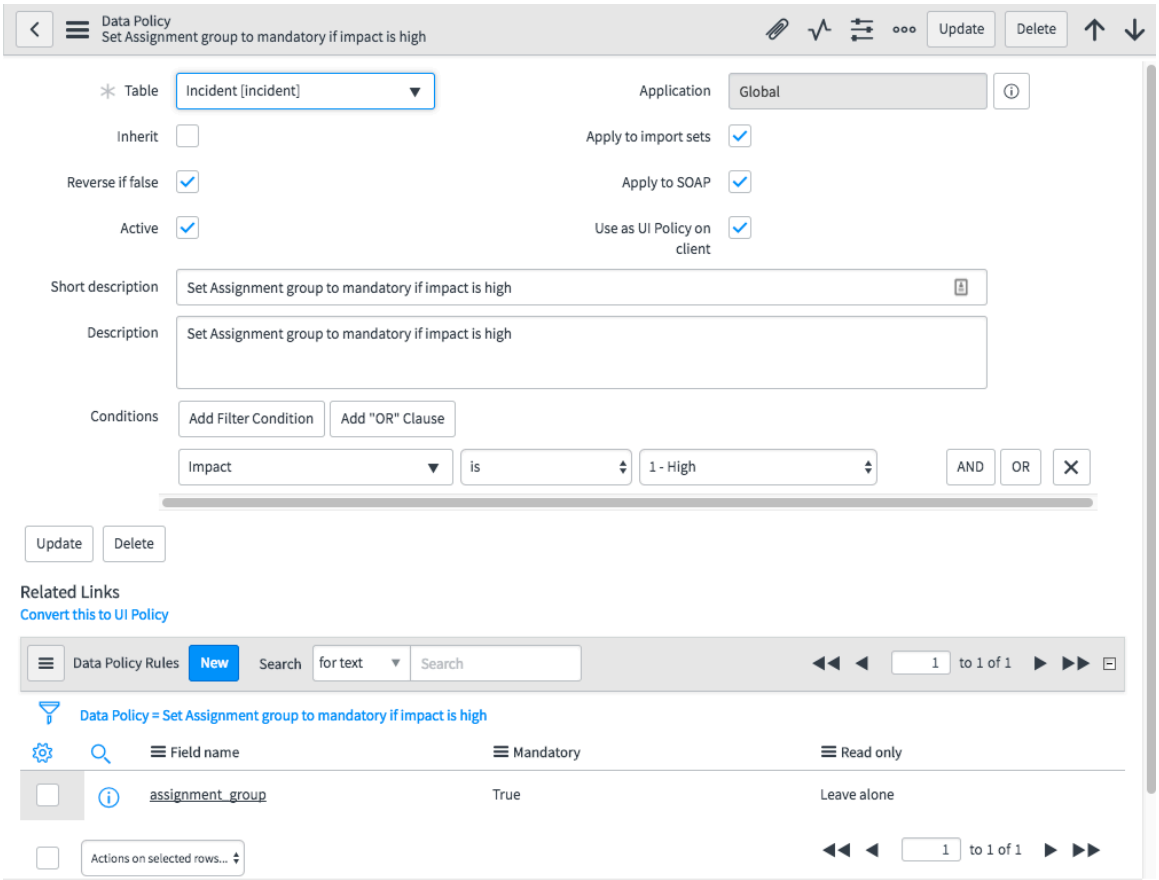
必要なロール：atf_test_admin

このタスクについて

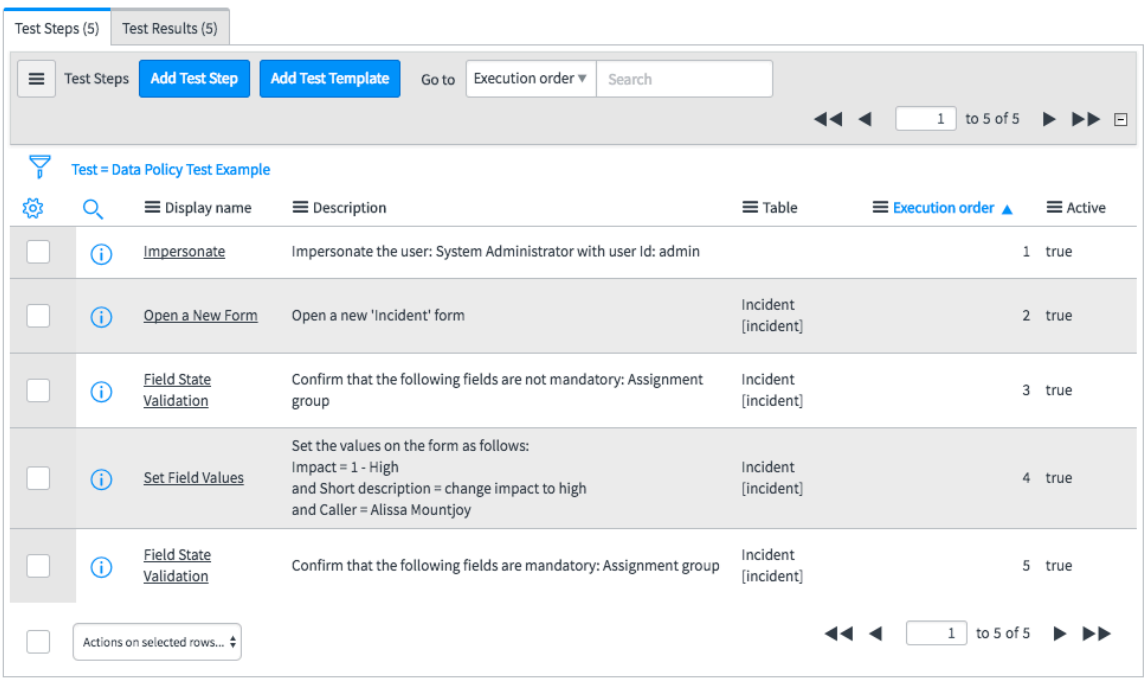
この例では、影響が高い場合に [アサイン先グループ] フィールドを [必須] に設定するデータポリシーをテストします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動テストフレームワーク (ATF)：テスト対象のデータポリシー



自動テストフレームワーク **(ATF)**：データポリシーの例



手順

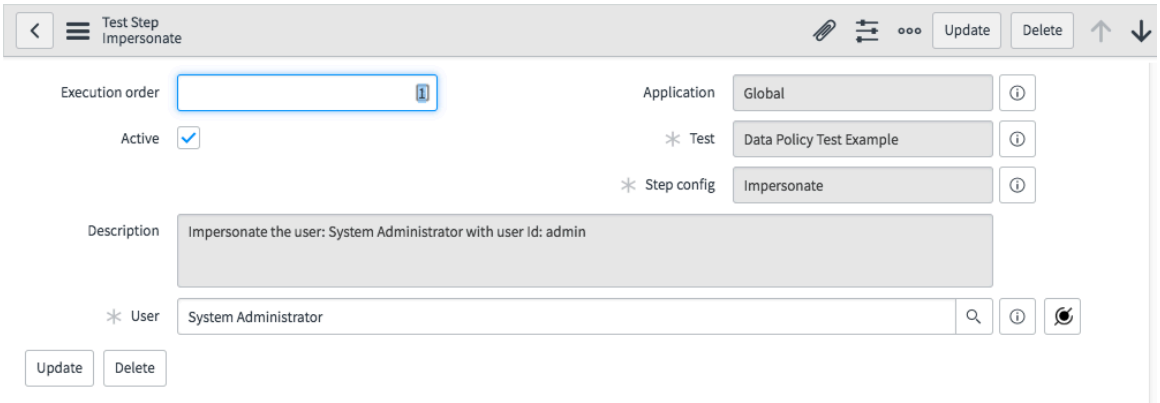
1. 必要な権限を持つユーザーの代理操作を実行します。
   この例では、ステップは管理ユーザーの代理操作を実行します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

Example

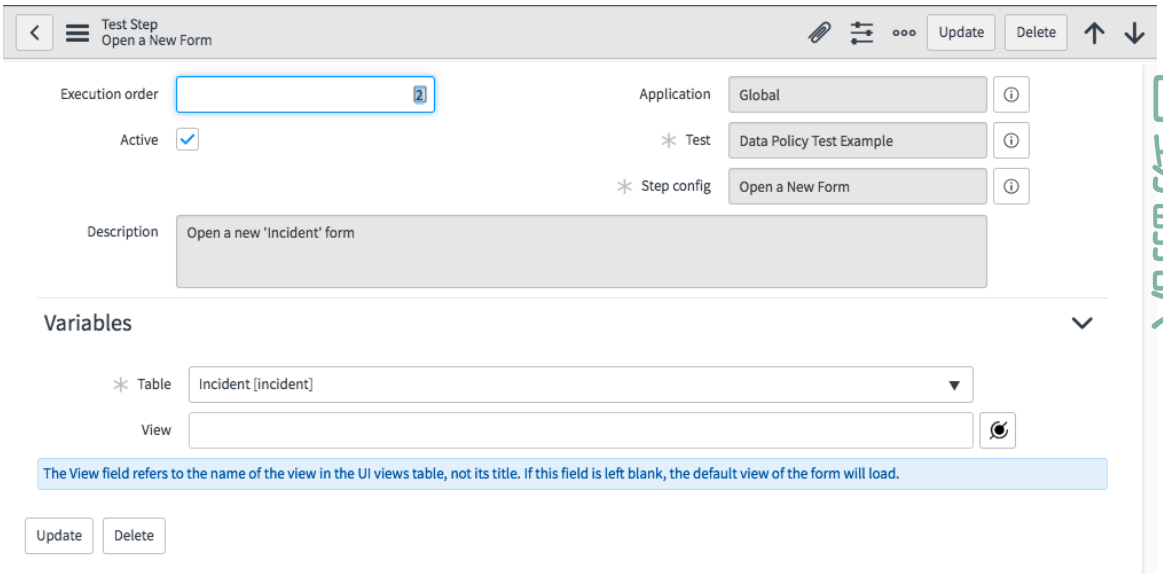
ステップ **1** - 代理操作



2. このデータポリシーが適用されるテーブルのフォームを開きます。
この例では、新しいインシデントフォームを開きます。

Example

ステップ 2 - 新しいフォームを開く



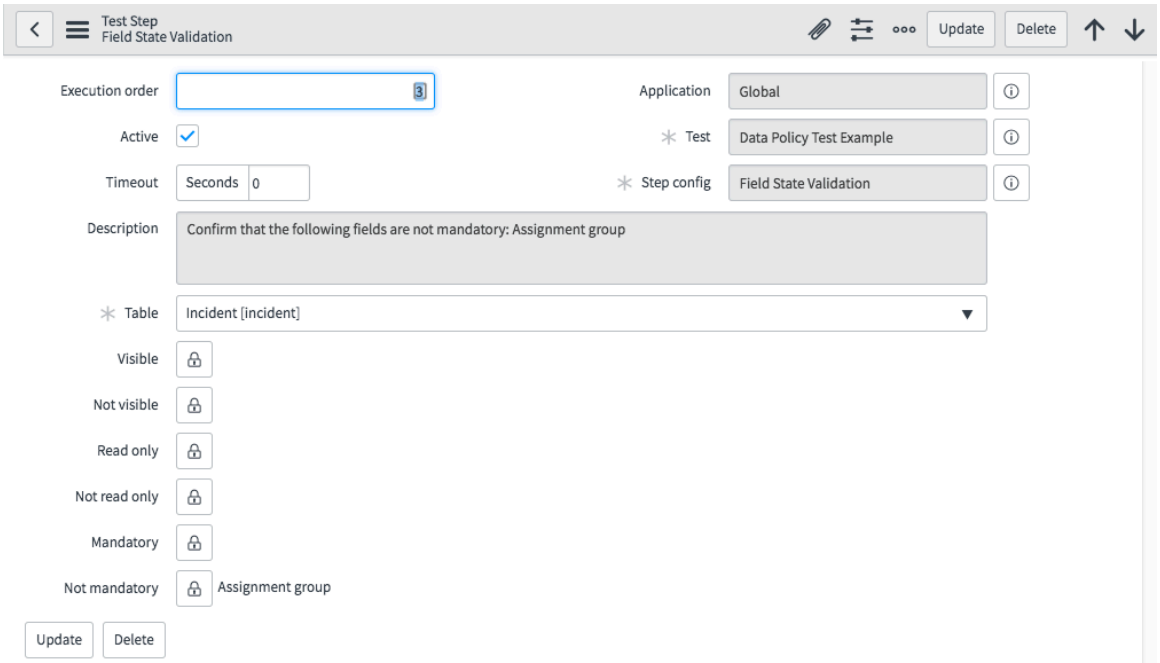
3. データポリシーがまだトリガーされていないことを確認してください。
この例では、ステップは、アサイン先グループが必須でないことを確認します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Example

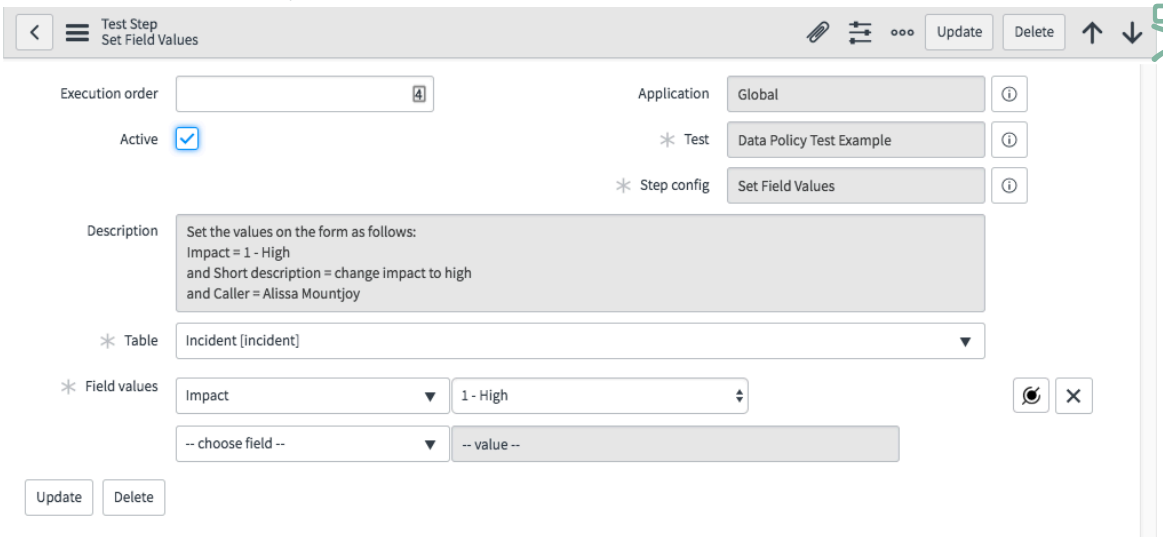
ステップ **3 -** フィールド状態の検証



4. 該当する場合は、データポリシーをトリガーする条件を設定します。
この例では、影響度を高に設定します。

Example

ステップ **4 -** フィールド値の設定



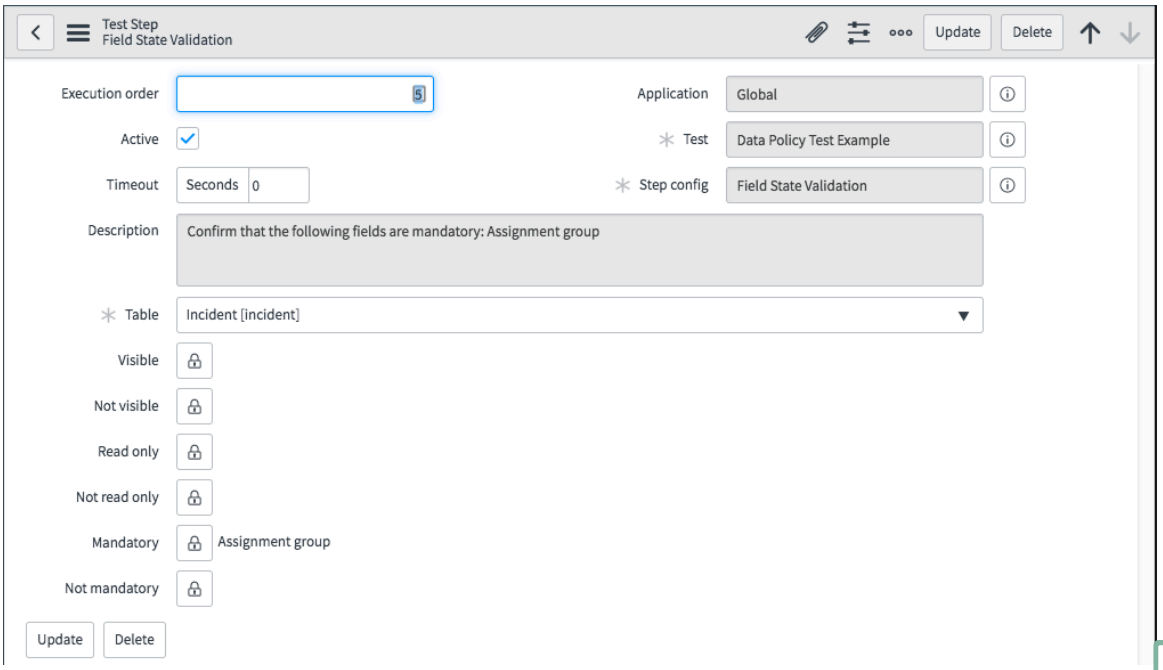
5. データポリシーが適用されていることを検証します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

この例では、データポリシーが、前のステップで影響度を高に設定した後、アサイン先グループに高をセットすることをテストで確認します。

Example

ステップ **5 -** フィールド状態の検証



自動テストフレームワーク **(ATF)** ユースケース：スクリプトインクルードのテスト

このユースケースは次のことを説明します はスクリプトインクルードを 自動テストフレームワーク (ATF) でテストします。

自動テストフレームワーク (ATF) を使用してスクリプトインクルードをテストするには、 次のステップを実行するテストを作成します。

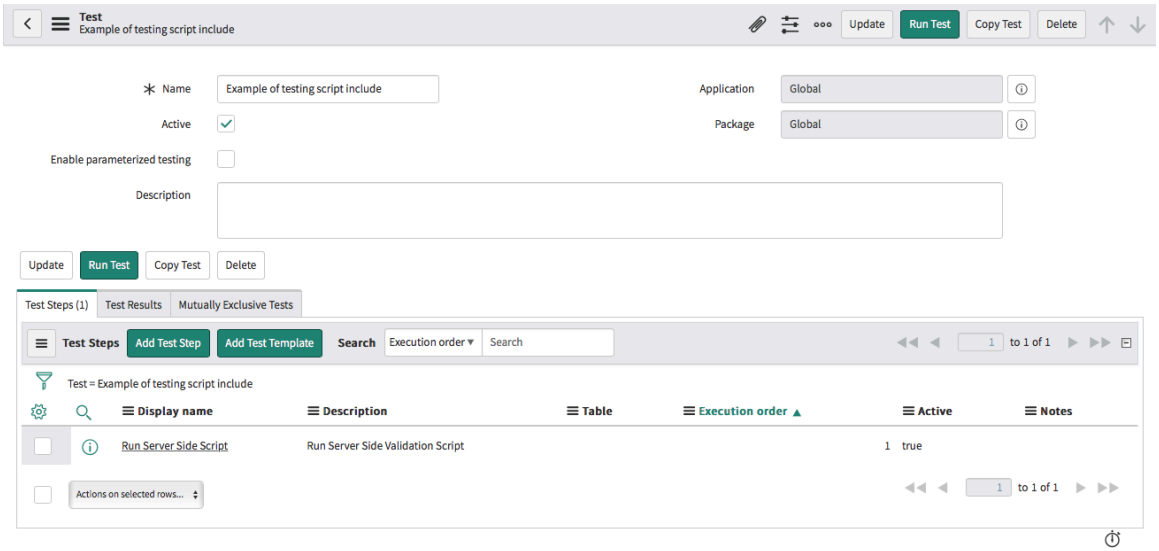
- スクリプトインクルードをシステムに実行させるステップ。例：
  - スクリプトインクルードを呼び出す [サーバー側スクリプトを実行] テストステップ。
  - スクリプトインクルードを起動する、フォームを開く、フォームを送信する、またはフィールド値を設定するなどのフォームアクションステップスクリプト。
- スクリプトインクルードが想定されるアクションを取ったことを検証するステップ。この検証の具体的なテスト ステップは、スクリプトインクルードが何を実行するように設計されているかによって異なります。例：
  - スクリプトがフィールド値を設定する場合、フィールド値の検証
  - スクリプトがフィールドの状態を変更する場合、フィールド状態の検証
  - スクリプトが新しいレコードを生成する場合、レコードのクエリー

この例では、1 つのテストステップ、サーバー側スクリプトの実行を使用したテストを示しています。このテスト ステップに関連付けられたスクリプトは、引数の値に 3 を加えたスクリプトインクルードを呼び出します。スクリプトインクルードから返された値が *8* の場合、スクリプトインクルードは意図したとおりに動作し、テストは合格です。

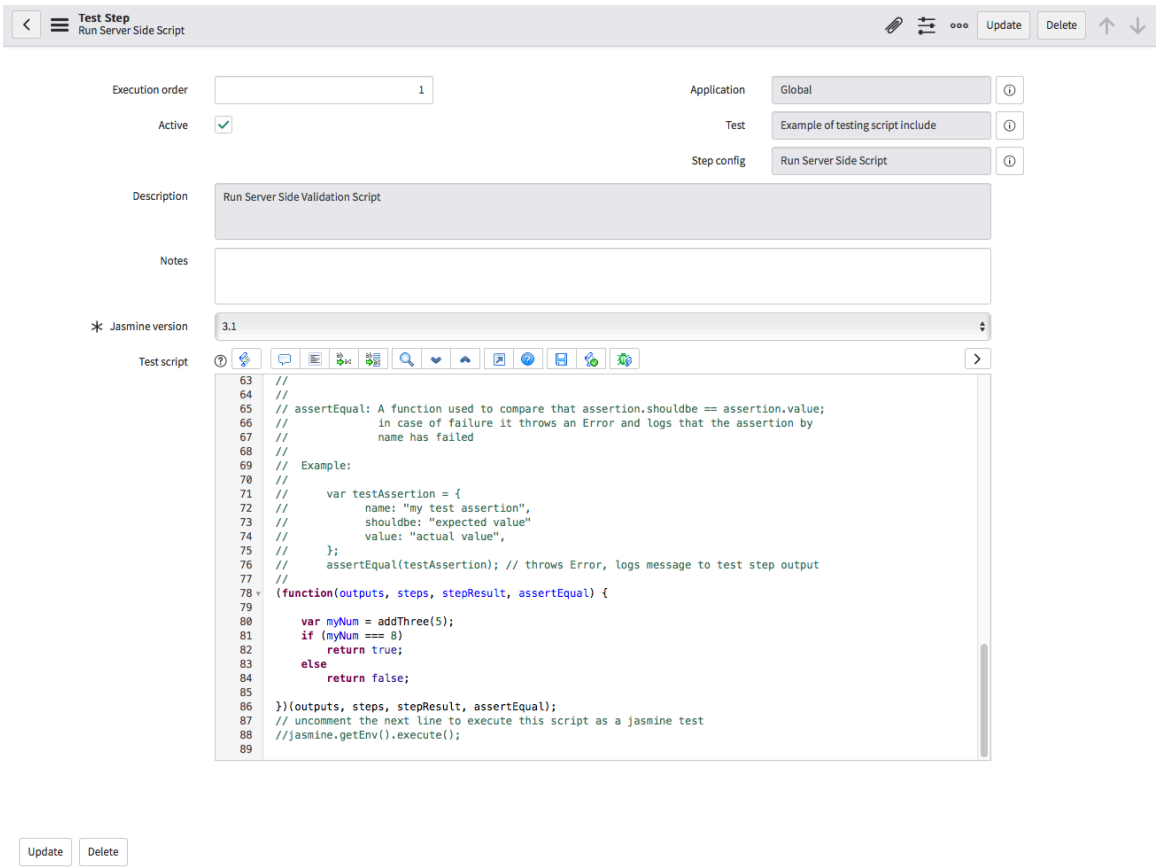
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スクリプトインクルードをテストする自動テスト



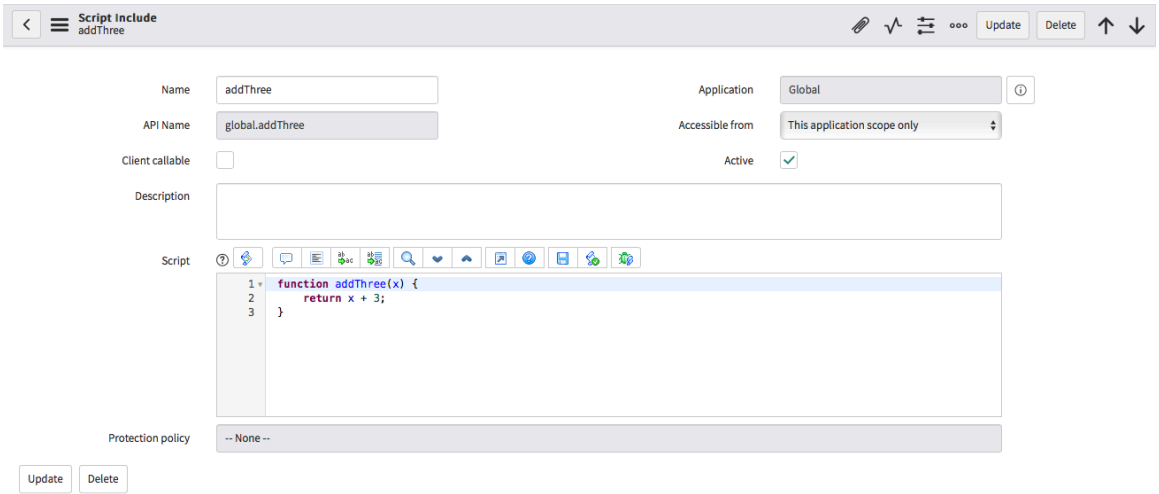
スクリプトインクルードをテストするための自動テスト ステップ



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テストするスクリプトインクルード 自動テストフレームワーク **(ATF)**



自動テストフレームワーク **(ATF)**ユースケース：サービスカタログ要求のテスト

このユースケースは次のことを説明します はサービスカタログ要求 自動テストフレームワーク (ATF) を使用して をテストします。

始める前に

必要なロール：atf_test_admin

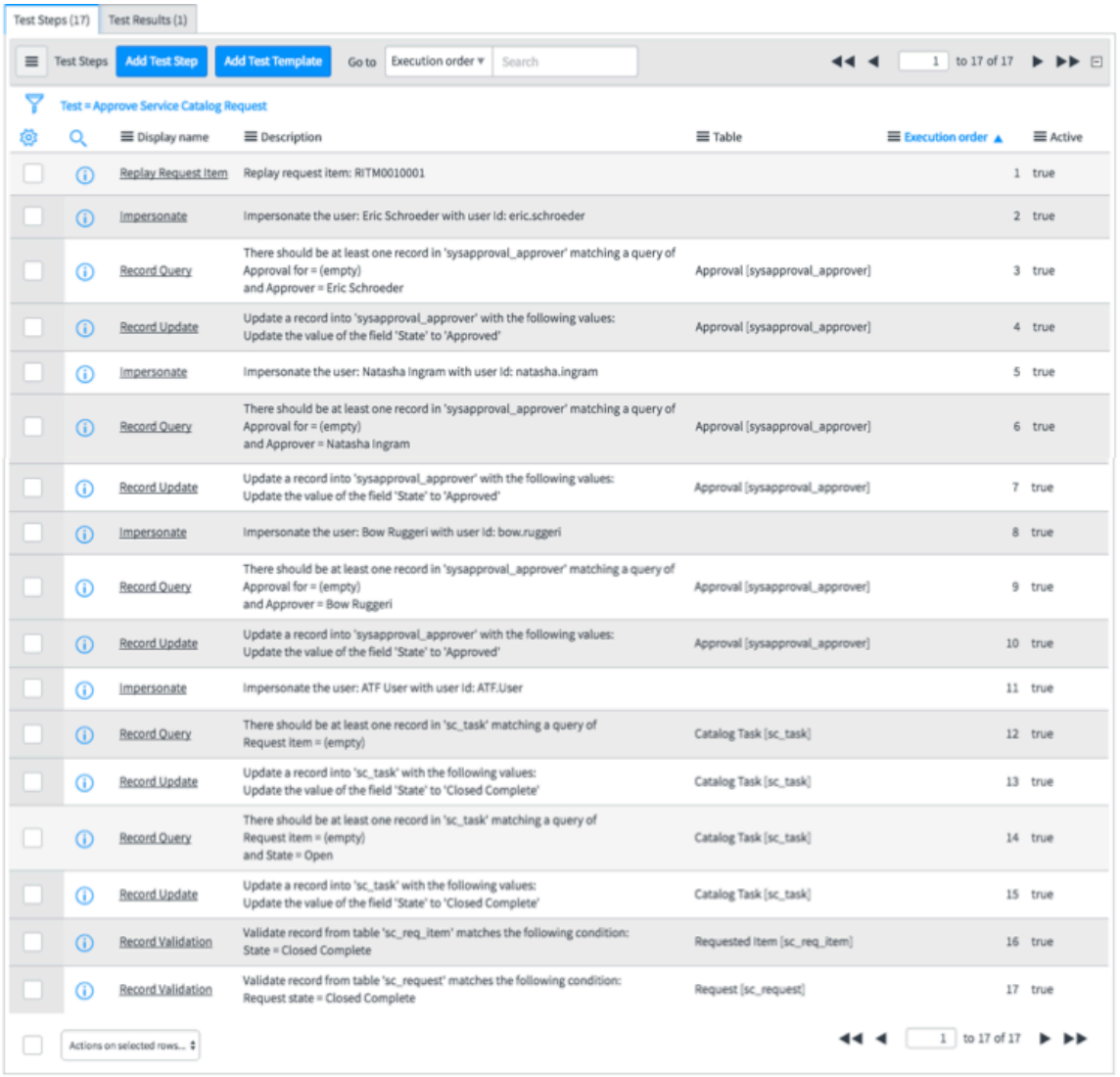
このタスクについて

要求アイテムを再現テストステップでは、要求が存在し、要求アイテムテーブルにレコードがある場合に、サービスカタログの注文プロセスをテストできます。Yokohamaリリースでは、ユーザーが新しい要求を作成するプロセスの自動テストを作成することはできません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動テストフレームワーク **(ATF)**：サービスカタログの例



自動翻訳

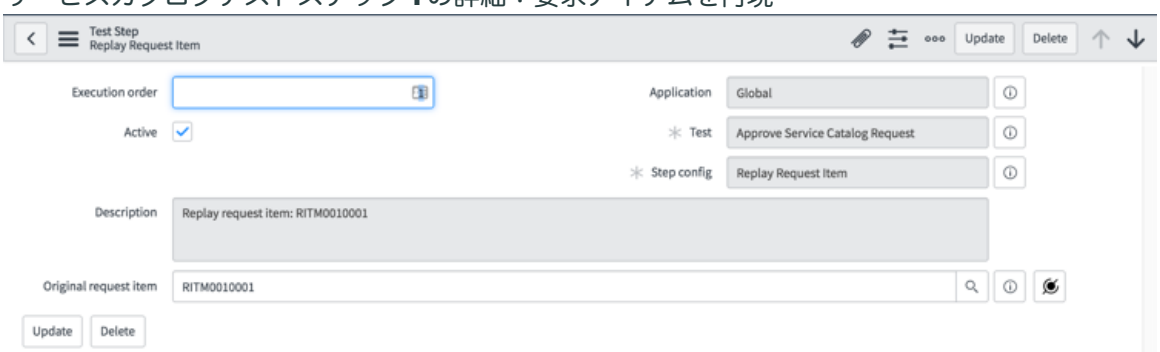
手順

1. 既存のサービスカタログ要求アイテムの再現。

このテスト ステップは、カタログ要求アイテム RITM0010001 に対して [sc_request] テーブルに新しいレコードを挿入します。

Example

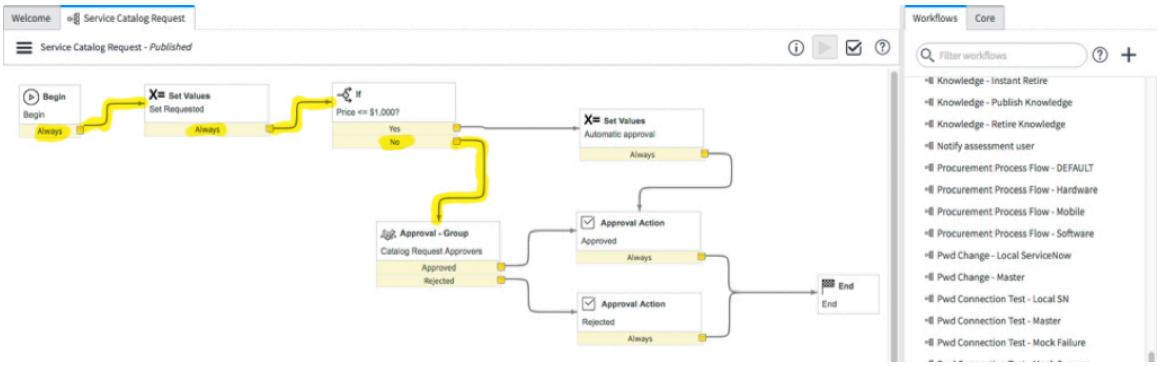
サービスカタログテストステップ **1** の詳細：要求アイテムを再現



© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

この挿入によりサービスカタログ要求ワークフローがトリガーされ、アイテムの価格をチェックして $1000.00 を超えていると判断されるため、カタログ要求承認グループに属するユーザーの承認レコードが生成されます。この例では、1 人のユーザー(Eric Schroeder)のみがこのグループに属しています。

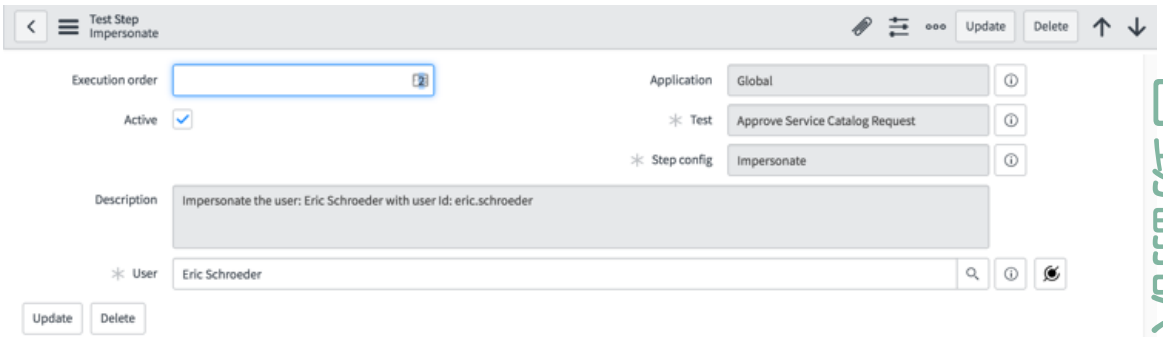
トリガーされたサービスカタログ要求ワークフローのスクリーンショット



2. このサービスカタログ要求を承認する必要があるユーザー Eric Schroeder の代理操作をします。

Example

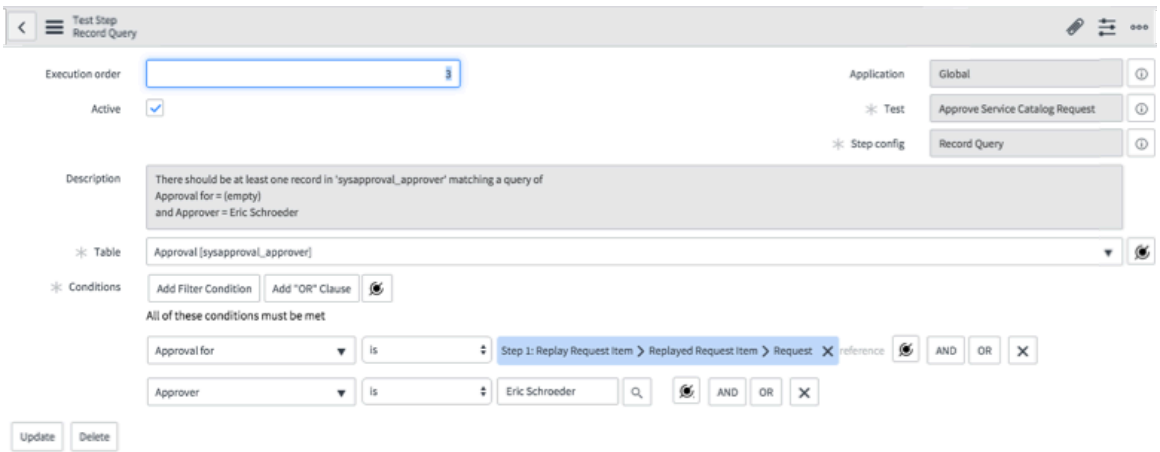
テスト ステップ - **Eric Schroder** の代理操作



3. システムが Eric Schroede rの承認レコードとこの要求を作成したことを確認します。
[承認対象] フィールドには、ステップ 1 からの出力値を割り当てます。

Example

ステップ **3**の詳細：承認レコードのレコードのクエリー

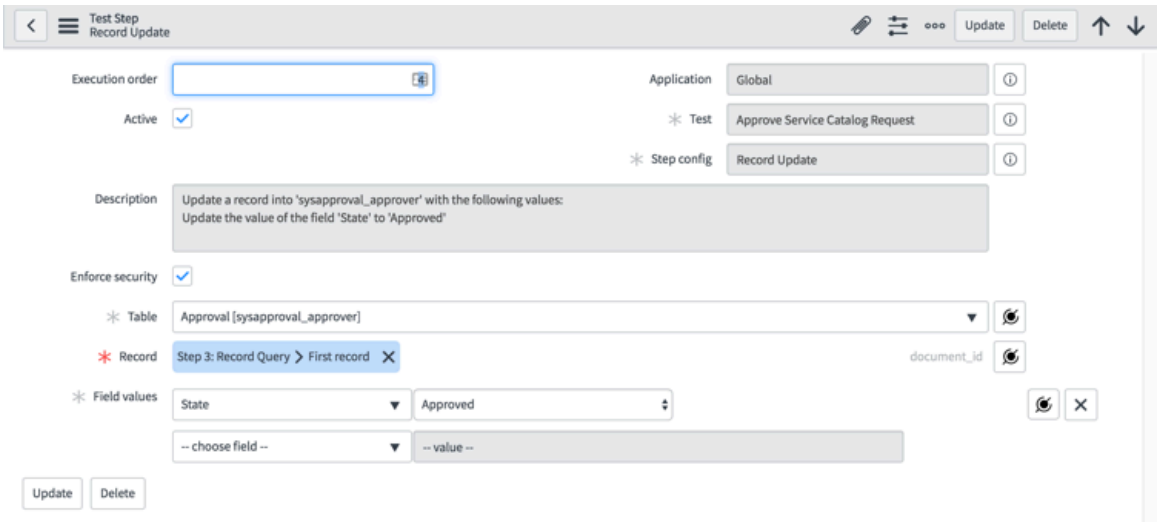


© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

4. この承認レコードのステータスを [承認済み] に設定します。

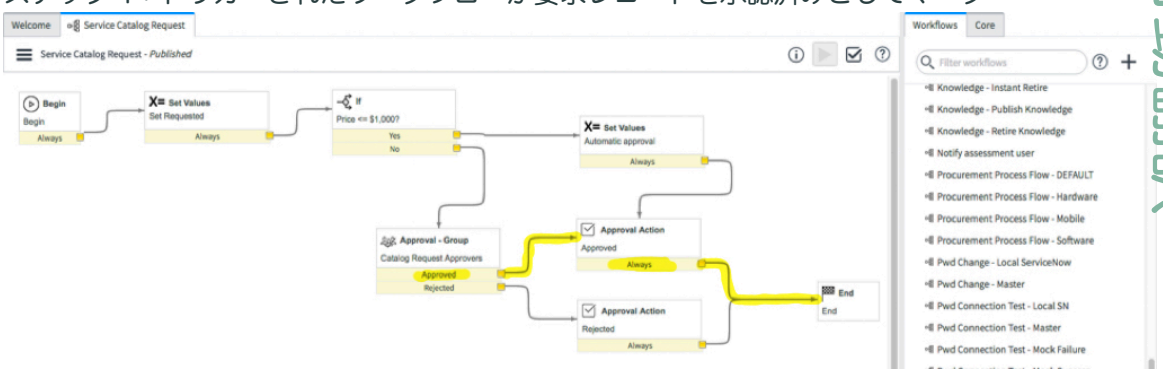
Example

ステップ **4**の詳細：承認レコードを承認済みに設定する



サービスカタログ要求ワークフローでは、すべての必要な承認レコードのステータスは [承認済み] と表示され、要求レコード [sc_request] を [承認済み] としてマークする承認アクションに移行します。

ステップ 4：トリガーされたワークフローが要求レコードを承認済みとしてマーク

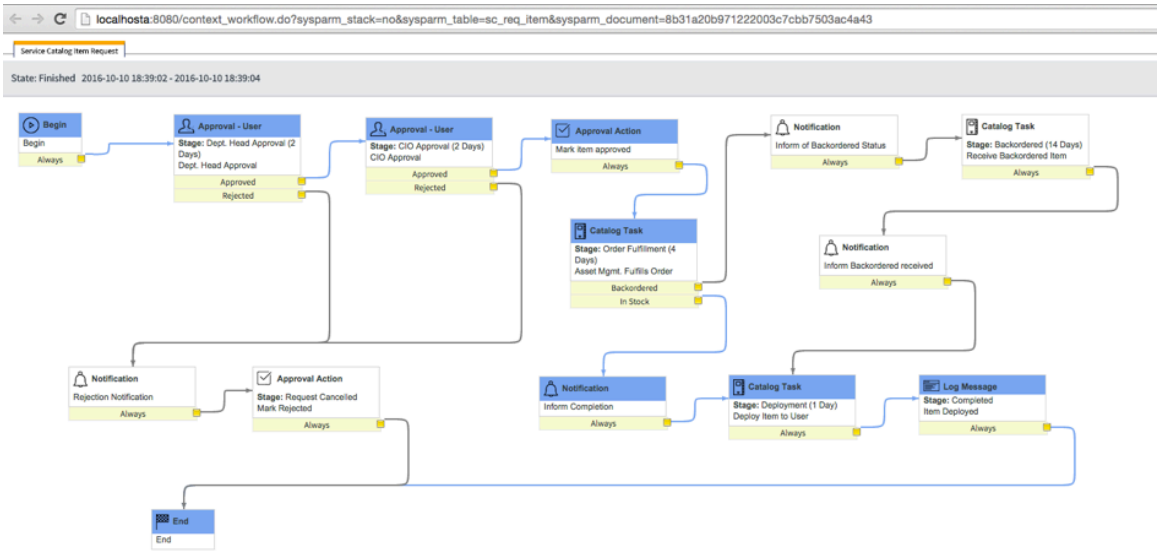


[sc_request] 内のレコードが承認済み状態に変わると、関連付けられたビジネス ルールは要求内の各アイテムに対して要求アイテム [sc_request_item] を生成します。この例では、要求には 1 つの項目しか含まれていないため、ビジネス ルールは [sc_request_item] テーブルにレコードを 1 つ挿入します。この挿入により、サービスカタログアイテム要求ワークフローがトリガーされます。

自動翻訳

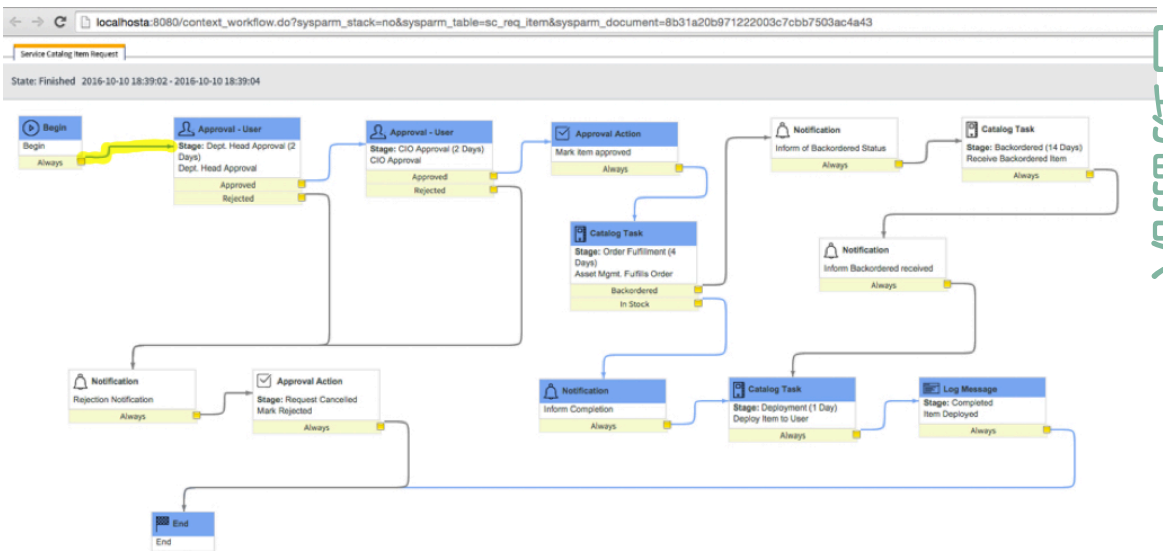
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サービスカタログアイテムワークフロー



サービスカタログアイテム要求ワークフローの最初のアクティビティでは、要求元のユーザーが所属する部門の責任者の承認レコードが生成されます。この例では、部長は Natasha Ingram です。

サービスカタログアイテムワークフロー：ステップ **4**

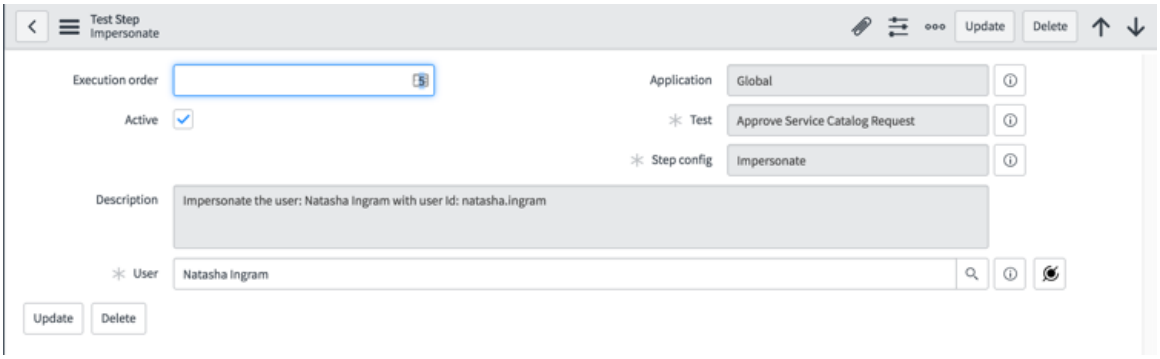


5. 部門長が承認するまでワークフローは続行されないので、次のテスト ステップは Natasha Ingram の代理操作をします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Example

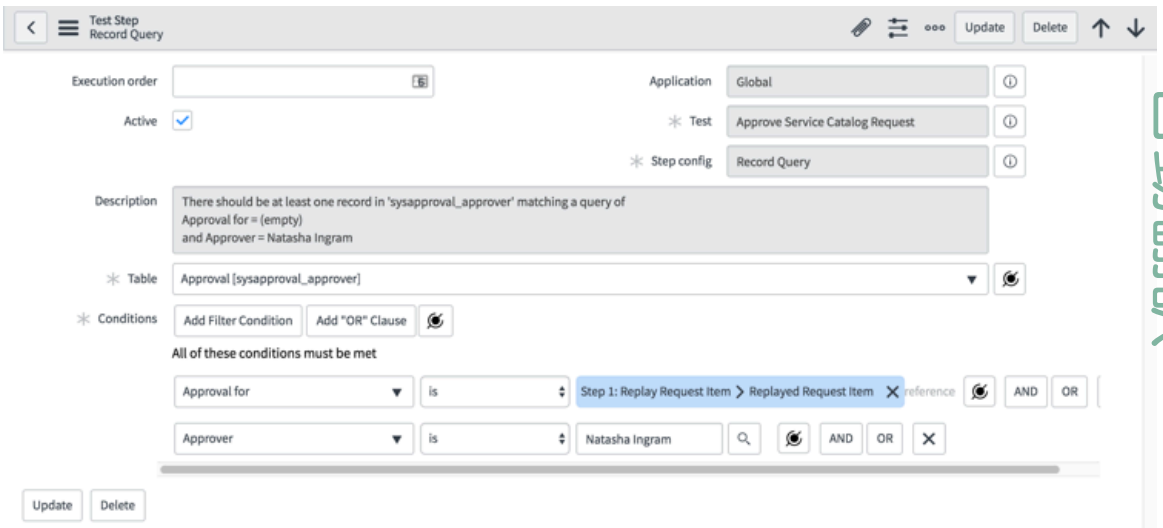
ステップ **5** - 代理操作ユーザー



6. レコードのクエリーステップを使用して、新しい承認レコードの sys_id を取得します。
レコードのクエリーは、クエリーから返された最初のレコードの sys_id を持つ出力変数を作成します。

Example

ステップ **6** - レコードのクエリーテスト ステップ



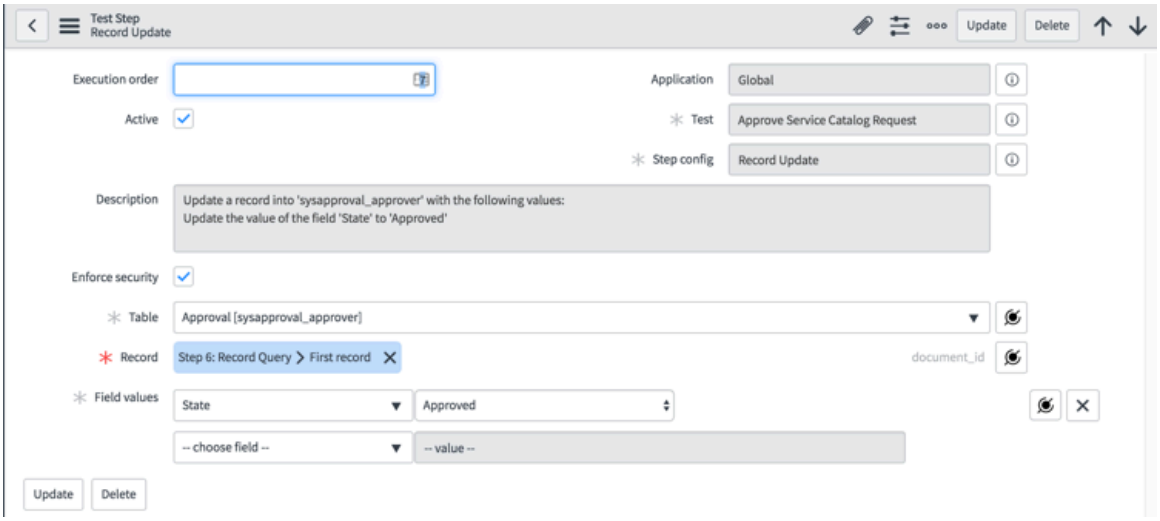
7. この承認レコードを [承認済み] に設定します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

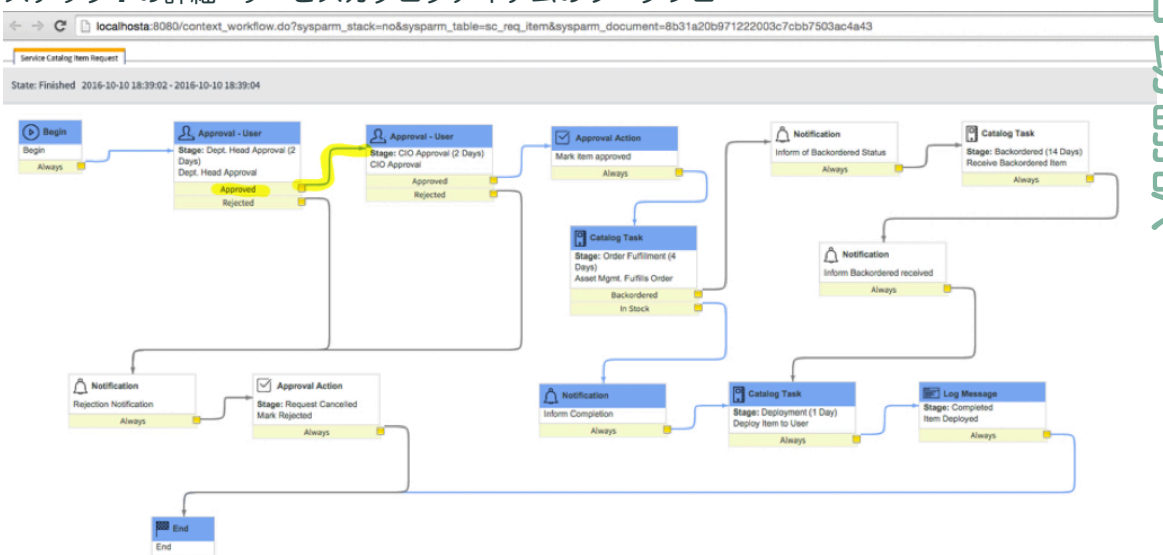
Example

ステップ **7** - 承認ユーザーテスト ステップ



ステップ 7 での、ステップ 6 の *First record* 出力変数を参照して、承認するレコードを指定する方法に注意してください。レコードが承認されると、ワークフローは次の承認 - ユーザーアクティビティに移行し、CIO の承認レコードが生成されます。この例では、CIO は Bow Ruggeri です。

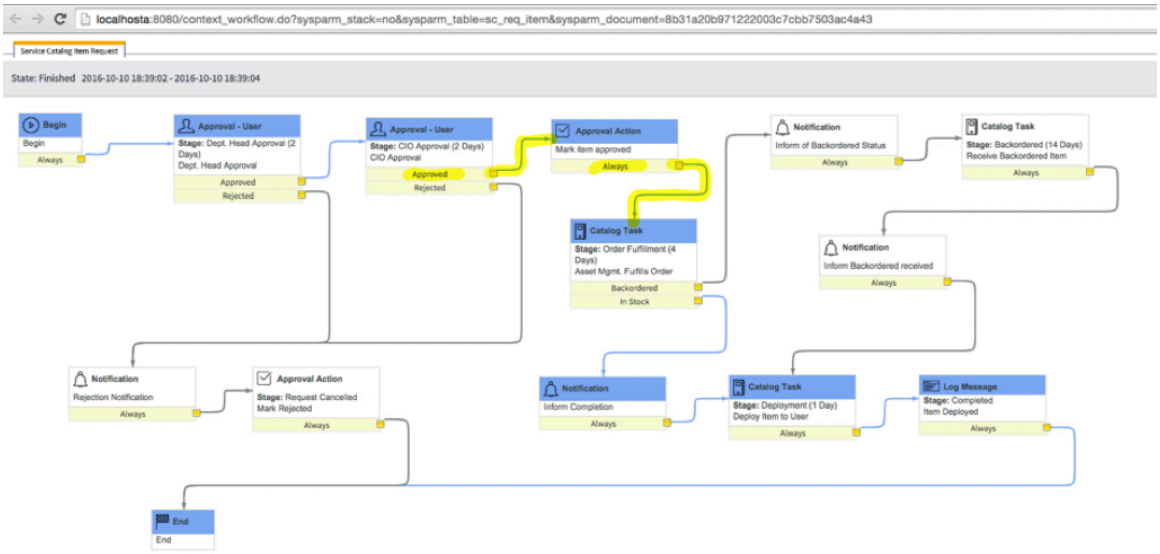
ステップ **7** の詳細 - サービスカタログアイテムのワークフロー



8. Bow Ruggeri の代理操作をします。
9. Bow Ruggeri の承認レコードの sys_id を取得します。
10. この承認レコードを [承認済み] に設定します。
    レコードが承認されると、ワークフローは [sc_request_item] テーブル内のこのアイテムのレコードを *Approved* に設定する [承認アクション] アクティビティに移行します。ワークフローは、資産管理注文処理というラベルのカタログタスクアクティビティに遷移します。このカタログタスクアクティビティでは、実行グループのユーザーにアイテムの注文を指示する新しいレコードが、[sc_task] テーブルに生成されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

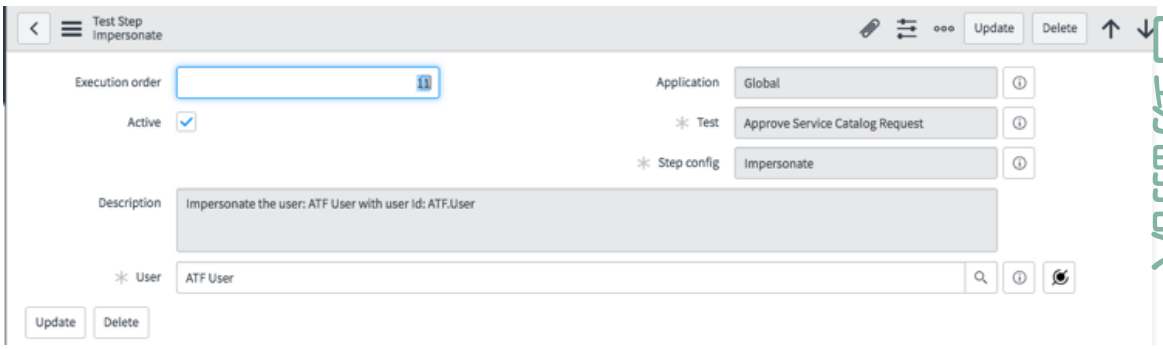
ステップ **10 -** サービスカタログアイテムワークフロー



11. 実行グループのユーザー(この例では ATF.User)の代理操作をします。

Example

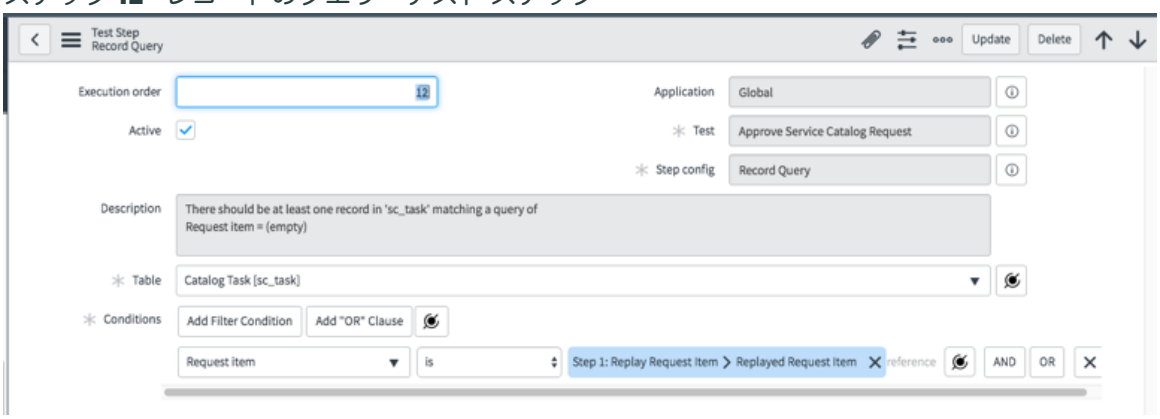
ステップ **11 -** 代理操作ユーザーテストステップ



12. レコードのクエリーステップを使用して、新しいカタログタスクの sys_id を取得します。
レコードのクエリーは、クエリーから返された最初のレコードの sys_id を持つ出力変数を作成します。

Example

ステップ **12 -** レコードのクエリーテスト ステップ



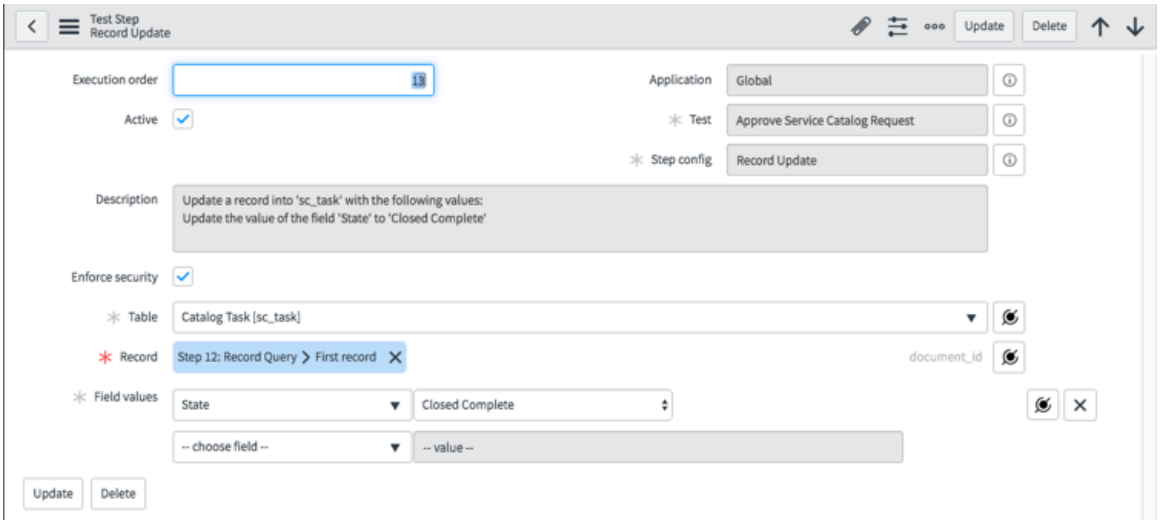
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

13. [sc_task] レコードを *Closed Complete* とマークします。

Example

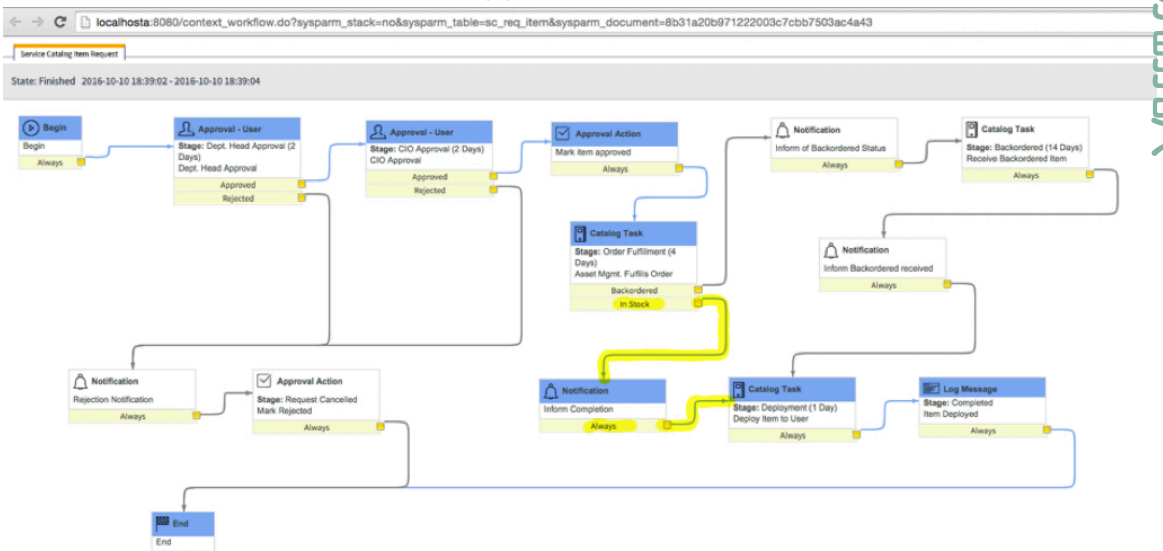
ステップ **13 -** レコード更新テスト ステップ



ステップ 13 で、ステップ 12 の *First record* 出力変数をどのように使用して、どのレコードを *Closed Complete* とマークするかに注意してください。

レコードが *Closed Complete* とマークされると、ワークフローは [在庫あり] 終了パスに沿ってカタログタスクアクティビティを終了します。

ステップ **13 -** サービスカタログアイテム要求ワークフロー



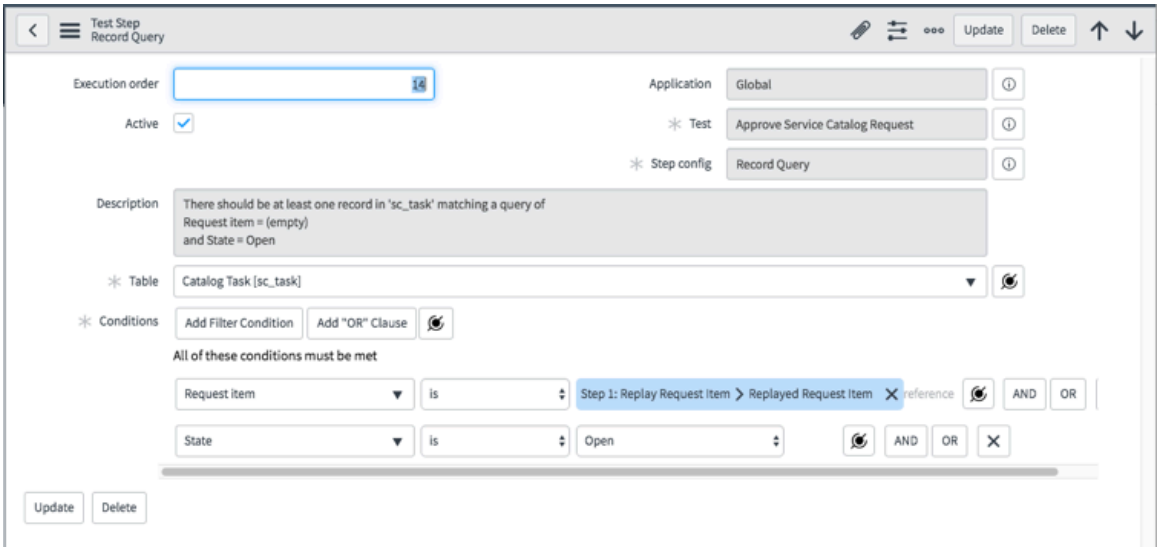
ワークフローは通知アクティビティに移行し、その後ユーザーにアイテムを展開カタログタスクアクティビティに移行します。ユーザーにアイテムを展開タスクアクティビティでは、展開グループ内のユーザーにアイテムの配信を指示する新しいレコードが、[sc_task] テーブルに挿入されます。

14. レコードのクエリーステップを使用して、新しいカタログタスクの sys_id を取得します。
レコードのクエリーは、クエリーから返された最初のレコードの sys_id を持つ出力変数を返します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Example

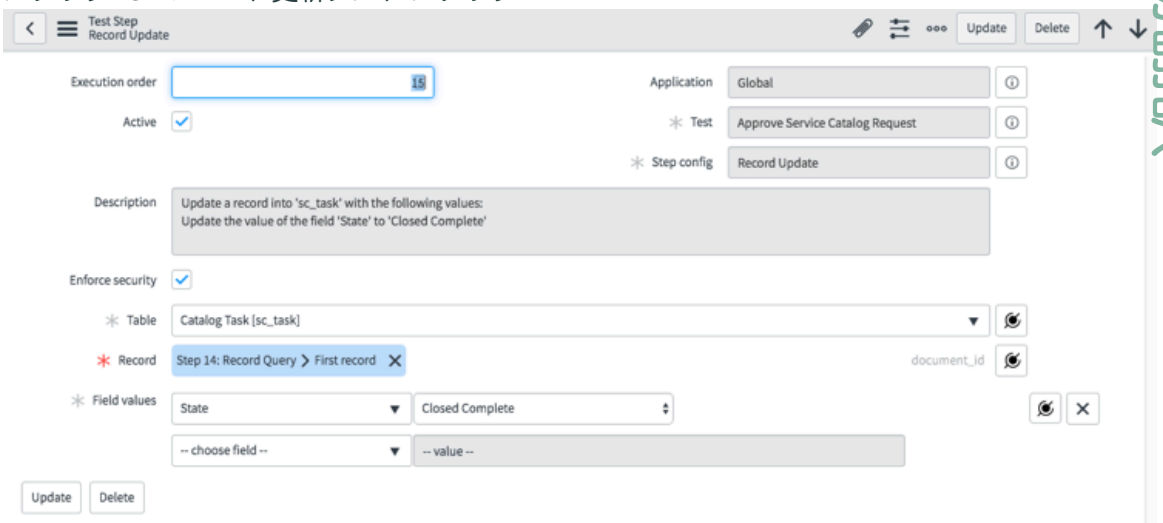
ステップ **14 -** レコードのクエリーテスト ステップ



15. [sc_task] レコードを完了してクローズとマークします。
ステップ 15 で、ステップ 14 の `First record` 出力変数をどのように使用して、どのレコードを [完了してクローズ] とマークするかに注意してください。

Example

ステップ **15 -** レコード更新テスト ステップ

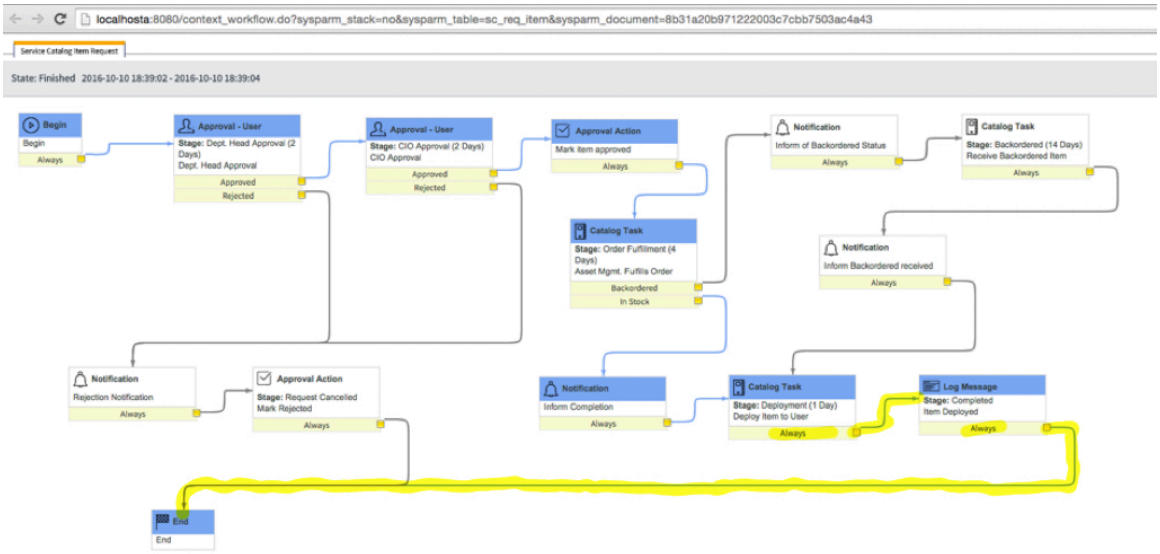


レコードが「完了してクローズ」とマークされると、ワークフローはカタログタスクアクティビティを終了し、メッセージを記録して終了します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

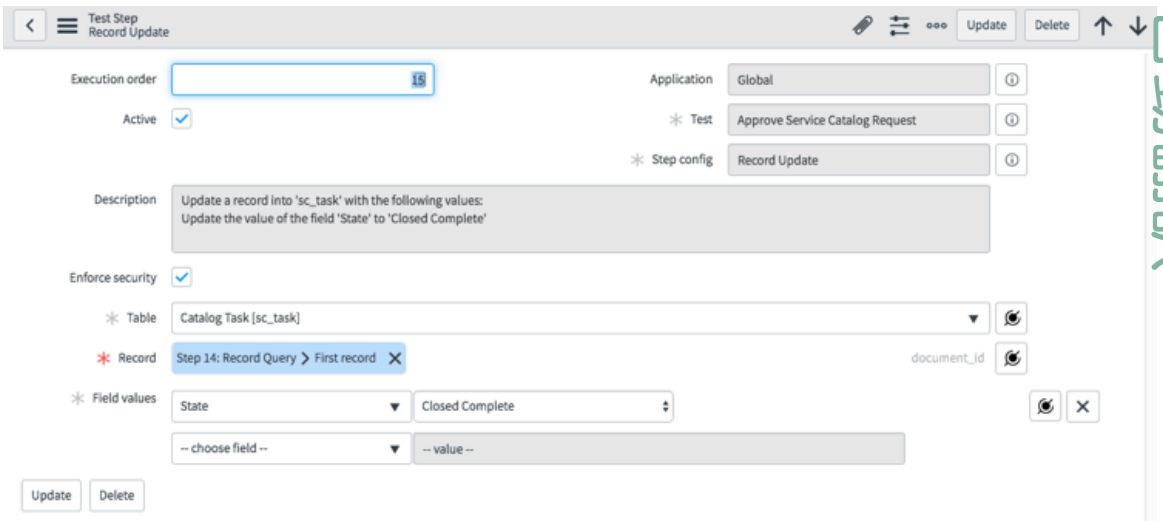
ステップ **15** - サービスカタログアイテム要求ワークフロー



16. [sc_request_item] 内の要求アイテムの状態が完了してクローズであることを確認します。

Example

ステップ **15** の詳細 - レコードの妥当性確認



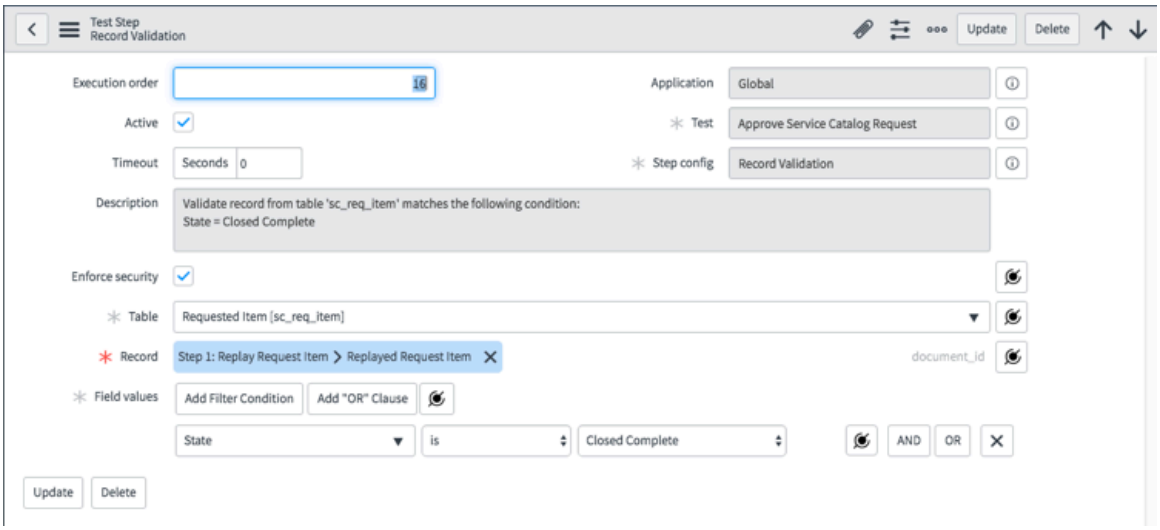
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

17. 要求 [sc_request_item] の状態が完了してクローズであることを確認します。

Example

ステップ **16 -** レコードの妥当性確認テスト ステップ



関連情報

要求アイテムを再現

自動テストフレームワーク **(ATF)** ユースケース：**REST** 受信を使用したインシデントの取得

REST API テストを使用して新しく作成されたリソースを取得テストには自動テストフレームワーク (ATF)があり、REST 受信と確認のステップを使用します。

始める前に
このテストを作成する前に、「REST API」と「REST 要求の送信 - 受信 - REST API エクスプローラー」の構成ステップ情報を確認してください。

必要なロール：atf_ws_designer

このタスクについて
このテストではインシデント レコードを作成し、REST 受信ステップを使用してレコードを取得し、次に確認ステップを使用して要求が成功したかどうかを判別します。
REST 要求送信 - 受信 REST API エクスプローラーステップを使用して、要求をビルドしてテストするか、または REST 要求送信 - 受信ステップを使用して手動で要求を作成することができます。いずれのケースでも、REST 要求-受信ステップフォームでベーシック認証情報を指定する必要があります。

テストを作成するときは、まず REST API を起動し、検証する動作を判断します。次に、作成するテストデータを決定します。他のテストステップ設定カテゴリを使用してレコードを作成、更新、または削除した後、REST 受信送信ステップを使用してテストデータを取得、更新、または削除することができます。逆に、REST受信ステップを使用してレコードを作成し、他のテストステップ設定カテゴリを使用して、レコードが正しく作成されたことを検証できます。

このタスクでは、**REST API** テストを使用して新しく作成されたリソースを取得テストの作成を順を追って説明します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. テストを作成します。

   a. 移動先 自動テストフレームワーク **(ATF)** > テストをクリックし、[新規] をクリックします。
   新規レコードのテストフォームが表示されます。

   b. テスト名と説明を入力し、送信をクリックします。

   c. 前のステップで作成したテストをクリックします。
   テストフォームが表示されます。

2. テストデータを作成します。

   a. テスト ステップを追加ボタンをクリックします。
   テスト ステップの追加フォームが表示されます。

   b. テスト構成カテゴリをクリックし、テスト構成をクリックします。
   [REST API テストを介して新しく作成されたリソースを取得] テストを複製するには、次をクリックします サーバー > レコードの挿入をクリックし、[次へ] をクリックします。
   選択したテスト構成フォームが表示されます。

   c. 選択したテスト構成に必要な情報を入力します。
   REST API テストを使用して新しく作成されたリソースを取得するテストを複製するには、レコードの挿入フォームでインシデントテーブルを指定し、簡単な説明 フィールドに値を追加してから送信をクリックします。

3. REST 要求を作成します。

   a. テスト ステップを追加ボタンをクリックします。
   テスト ステップの追加フォームが表示されます。

   b. テスト構成カテゴリをクリックし、テスト構成をクリックします。
   [REST API テストを介して新しく作成されたリソースを取得] テストを複製するには、次をクリックします **REST** > **REST** 要求の送信:受信 **REST API** エクスプローラーをクリックし、[次へ] をクリックします。
   REST API エクスプローラー が表示されます。

   c. REST 要求に必要な情報を入力し、送信をクリックします。
   REST API テストを使用して新しく作成されたリソースを取得するテストを複製するには、フィールドに記入します。

名前	値
名前空間	今
API 名	テーブル API
API バージョン	最新
tableName	incident

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ベーシック認証を指定しなかった場合、REST API エクスプローラーはユーザーの認証情報を使用します。

送信をクリックすると、自動テスト ステップの作成が表示されます。

d. 準備ができたら、自動テスト ステップを作成をクリックします。
REST 要求送信 - 受信テスト ステップが作成されます。

e. [REST 要求送信 - 受信] ステップをクリックします。 ベーシック認証フィールドにベーシック認証設定を指定します。
構成が利用できない場合は、基本認証構成フォームの新規をクリックして基本認証設定を作成できます。

f. 「REST **API** テストを使用して新しく作成されたリソースを取得」テストを複製するには、[パス] フィールドでコンテキスト検索ボタンをクリックし、次をクリックします。 レコードの挿入 > レコード.

g. **[Update** (更新)] をクリックします。

4. 確認ステップを作成して、REST 応答を検証します。

a. テスト ステップを追加ボタンをクリックします。
テスト ステップの追加フォームが表示されます。

b. テスト構成カテゴリをクリックし、テスト構成をクリックします。
[REST API テストを介して新しく作成されたリソースを取得] テストを複製するには、次をクリックします **REST** > ステータスコードのアサートをクリックし、[次へ] をクリックします。
確認状態コードフォームが表示されます。

c. フォームに必要な情報を入力し、送信をクリックします。
REST API テストを使用して新しく作成されたリソースを取得するテストを複製するには、[運用] フィールドで [は] を選択し、[状態コード] フィールドに **200** を入力します。

「**REST API** テストを使用して新しく作成されたリソースを取得する」テストを複製するには、このステップを繰り返して、「**JSON** 応答ペイロードが有効であることを確認」および「**JSON** 応答ペイロード要素を確認」テストステップを作成します。

テスト可能 構成可能なワークスペースコンポーネント

構成可能なワークスペースのコンポーネントとそれに関連するアクションについて説明します。

詳細については、「 テスト可能な構成可能なワークスペースコンポーネント」を参照してください。

メニューアイテム

アクション	データ値と説明	データタイプ
メニューが折りたたまれているかどうかを確認	メニューが現在折りたたまれているかどうかを指定します	ブール
メニューコンテンツの切り替え	メニューアイテムのコンテンツを切り替えます	

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

アクション	データ値と説明	データタイプ
ヘッダーテキストを取得	予想される戻り値:メニューのアイテムトリガーのヘッダーテキスト値を返します	文字列
キャプションテキストを取得	予想される戻り値:メニューのアイテムトリガーのキャプションテキスト値を返します	文字列

アクションバー

アクション	データ値と説明	データタイプ
アクションをクリック	アクションをクリックする	該当なし
アクションがあるか	アクションが存在するかどうかを確認します	ブール

アクティビティストリーム

アクション	データ値と説明	データタイプ
フィルターセットモーダルフィールドでオプションを選択	フィルターセットモーダルの指定されたフィールドで、指定されたオプションを選択します	該当なし
フィルターセットに名前を適用	指定された名前のフィルターセットを適用します	該当なし
ジャーナルタイルコンテンツを取得	指定されたインデックスのジャーナルタイルのコンテンツを返します **注:** HTML またはテキストを含めることができます。	文字列
フィルターセット編集モーダルを開く	指定された名前で編集フィルターセットモーダルを開きます	該当なし
フィルターセットモーダルを開く	フィルターセットモーダルを開く	該当なし
フィルターセット名の設定	指定された値を新しいフィルターセットの名前として入力します	該当なし
既存の選択から新しいフィルターセットを作成	現在のフィルター選択から新しいフィルターセットを作成します	該当なし
フィルターセットモーダルフィールドですべてのオプションを選択	フィルターセットモーダルの指定されたフィールドで、すべてのオプションを選択します	該当なし
フィルターセットモーダルフィールドでオプションをクリア	フィルターセットモーダルの指定されたフィールドで、指定さ	文字列

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アクション	データ値と説明	データタイプ
	れたインデックスのアイテムをクリアします	
ジャーナルタイルフィールド名を取得	指定されたインデックスのジャーナルタイルのタイプ (work_notesまたはコメント) を返します	文字列
アクティビティタイルタイプを取得	アクティビティストリームに表示されているアクティビティタイルのタイプを返します	該当なし
[フィルターセットの保存] ボタンをクリック	フィルターセットモーダルの [保存] ボタンをクリックします	該当なし
フィルターセット名を取得	指定された値を新しいフィルターセットの名前として入力します	文字列
フィルターを開く	フィルターセクションを開きます	該当なし
名前でフィルターセットを検索できるか	期待リターン • True:指定された名前のフィルターセットが存在する場合は True を返します • False:指定された名前のフィルターセットが存在しない場合は False を返します	ブール
フィルターセットモーダルフィールドですべてのオプションをクリア	フィルターセットモーダルの指定されたフィールドで、すべてのオプションをクリアします	該当なし

アクティビティストリームの作成

アクション	データ値と説明	データタイプ
フィールドを選択	作成ジャーナルフィールドのタブまたはドロップダウンメニューを選択します	ブール
ジャーナルがポップアウトされているか	指定されたフィールド名のジャーナルフィールド構成が、作成の外部で編集中として表示されているかどうかをテストします	該当なし
スタックビューが有効か	スタックビューが有効かどうかをテストします	ブール
スタックビューが使用できるかどうか	スタックビューが使用できるかどうかをテストします	ブール
メールがポップアウトされているか	メール構成が作成の外部で編集されているかのように表示されるかどうかをテストします	該当なし

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アクション	データ値と説明	データタイプ
タブが選択されているかどうかを確認	作成タブが選択されているかどうかをテストします	ブール
ジャーナルテキストを設定	指定されたフィールドのエディターにテキストを入力します	該当なし
ジャーナルエディターのポップインボタンをクリック	ジャーナルエディターのポップインボタンをクリックします	該当なし
タブを選択	作成ジャーナルフィールドのタブを選択します	ブール
ジャーナルエディターのポップアウトボタンをクリック	ジャーナルエディターのポップアウトボタンをクリックします	該当なし
投稿ボタンをクリック	エディター投稿ボタンをクリックします	該当なし
メールエディターのポップインボタンをクリック	メールエディターのポップインボタンをクリックします	該当なし
ジャーナルテキストを取得	指定されたフィールドのエディターのテキストを読みます	文字列
タブを使用中か	コンポーネントが now-tabs を使用してフィールドを表示しているかどうかをテストします	該当なし
スタックビューの切り替え	[スタックビュー] トグルをクリックします	該当なし
フィールドが選択されているか	作成フィールドが選択されているかどうかをテストします	該当なし
メールエディターのポップアウトボタンをクリック	メールエディターのポップアウトボタンをクリックします	該当なし

自動翻訳

アラート

アクション	データ値と説明	データタイプ
アラートが折りたたまれているかどうかを確認	アラートが現在折りたたまれているかどうかを確認します	ブール
アラートの折りたたみ状況の切り替え	アラートが折りたたみ可能な場合、その折りたたみ状況を切り替えます	該当なし
アラートにアクションが含まれているかどうかを確認	アラートにアクションボタンがあるかどうかを決定します	ブール
アラートが折りたたみ可能かどうかを確認	アラートを折りたたむことができるかどうかを確認します	ブール
アラートボタンをクリック	アラートのアクションボタンをクリックします	該当なし
アラートタイトルを取得	アラートのタイトルを取得します	文字列

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アクション	データ値と説明	データタイプ
アラートテキストがフォーカス可能かどうかを確認	アラートテキストにフォーカスできるかどうかを確認します	ブール

アバター

アクション	データ値と説明	データタイプ
アバターをクリック	アバターをクリックします。 **注:** アバターは、インタラクションモードがボタンまたはリンクに設定されている場合にのみクリックされます。	該当なし
アバターのイニシャルを取得	イニシャルがある場合は、アバターのテキスト値を返します。	該当なし
アバターに画像があるかどうかを確認	アバターに画像が表示される場合は true を返します。	ブール
アバターにイニシャルがあるかどうかを確認	アバターがユーザーのイニシャルを返す場合は true を返します。	ブール
アバターが匿名かどうかを確認	アバターに画像またはユーザーのイニシャルがないかどうかを確認します。	ブール

バッジ

アクション	データ値と説明	データタイプ
バッジテキストを取得	バッジのテキストコンテンツを返します	文字列

ブレッドクラムリスト

アクション	データ値と説明	データタイプ
アイテムをクリック	一致するブレッドクラムアイテムをクリックします	該当なし

ボタン

アクション	データ値と説明	データタイプ
クリック	ボタンをクリックします	該当なし
テキストを取得	予期される戻り値:ボタンのテキストを取得します	文字列

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ベアボタン

アクション	データ値と説明	データタイプ
クリック	ボタンをクリックします	該当なし
テキストを取得	予期される戻り値:ボタンのテキストを取得します	文字列

円形ボタン

アクション	データ値と説明	データタイプ
クリック	ボタンをクリックします	該当なし
テキストを取得	予期される戻り値:ボタンのテキストを取得します	文字列

アイコン型ボタン

アクション	データ値と説明	データタイプ
クリック	ボタンをクリックします	該当なし
テキストを取得	予期される戻り値:ボタンのテキストを取得します	文字列

ステートフルボタン

アクション	データ値と説明	データタイプ
クリック	ボタンをクリックします	該当なし
テキストを取得	予期される戻り値:ボタンのテキストを取得します	文字列

カードベースコンテナ

アクション	データ値と説明	データタイプ
クリック	カードをクリック **注:** これはインタラクティブカードにのみ適用されます。	該当なし
が選択されました	期待リターン	ブール

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アクション	データ値と説明	データタイプ
	• True:カードが現在選択済みとしてマークされている場合は True を返します • False:カードが現在選択済みとしてマークされていない場合は False を返します	

カードベースヘッダー

アクション	データ値と説明	データタイプ
キャプションテキストを取得	予想される戻り値:カードキャプションのテキストを取得します	文字列
見出しレベルを取得	予想される戻り値:見出しレベルを取得します	文字列
見出しテキストを取得	予想される戻り値:カードヘッダーのテキストを取得します	文字列
キャッチコピーテキストを取得	想定される戻り値:カードキャッチコピーのテキストを取得します	文字列

チェックボックス

アクション	データ値と説明	データタイプ
チェックボックスをクリック	チェックボックスをクリックします	該当なし

折りたたみ

アクション	データ値と説明	データタイプ
折りたたみが折りたたまれているかどうかを確認	期待リターン • True:折りたたみが現在展開されていない場合は True を返します。 • False:折りたたみが現在展開されている場合は False を返します	該当なし

カラーセレクター

アクション	データ値と説明	データタイプ
トリガーラベルを取得	トリガーラベルを取得します	文字列

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アクション	データ値と説明	データタイプ
カラーセレクターパネルを開く	カラーセレクターパネルのポップオーバーを開きます	該当なし
カラーセレクターパネルが表示されているかどうかを確認	期待リターン • True:カラーセレクターパネルが表示されている場合は True を返します • False:カラーセレクターパネルが表示されない場合は False を返します	ブール

カスタムポップオーバー

アクション	データ値と説明	データタイプ
ポップオーバートリガーをクリック	ポップオーバーのスロット付きトリガー要素のクリックをシミュレートします	該当なし
ポップオーバーパネルのヴィジビリティ	ポップオーバーが開いていて、パネルが表示されているかどうかを確認します	ブール

日付/時刻

アクション	データ値と説明	データタイプ
アイテムが無効かどうかを確認	期待リターン • True:カレンダー内の一致するアイテムが無効な場合は True を返します • False:カレンダー内の一致するアイテムが有効な場合は False を返します	ブール
入力値を設定	ネイティブ入力に値を設定します。イベントのディスパッチが含まれます	該当なし
アクションをクリック	最初に一致したフッターアクションをクリックします	該当なし
カレンダーアイテムがフォーカスされているかどうかを確認	期待リターン • True:カレンダー内の一致するアイテムにフォーカスがある場合に True を返します • False:カレンダー内の一致するアイテムにフォーカスがない場合に False を返します	ブール

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アクション	データ値と説明	データタイプ
カレンダーパネルが表示されているかどうかを確認	期待リターン • True:カレンダーパネルが表示されている場合は True を返します • False:カレンダーパネルが表示されない場合は False を返します	ブール
日付アイテムを選択	カレンダー内の一致する日付アイテムを選択します	該当なし
入力をクリック	now-date-time の入力をクリックし、カレンダーを開きます	該当なし
アイテムが選択されているかどうかを確認	期待リターン • True:カレンダー内の一致するアイテムが選択されている場合は True を返します • False:カレンダー内の一致するアイテムが選択されていない場合は False を返します	ブール

日時間隔

アクション	データ値と説明	データタイプ
終了入力値を設定	期待リターン • True:カレンダー内の一致するアイテムが無効な場合は True を返します • False:カレンダー内の一致するアイテムが有効な場合は False を返します	該当なし
カレンダーパネルが表示されているかどうかを確認	ネイティブ入力に値を設定します。イベントのディスパッチが含まれます	ブール
アイテムが選択されているかどうかを確認	最初に一致したフッターアクションをクリックします	ブール
入力開始をクリック	期待リターン	該当なし

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アクション	データ値と説明	データタイプ
	• True:カレンダー内の一致するアイテムにフォーカスがある場合に True を返します • False:カレンダー内の一致するアイテムにフォーカスがない場合に False を返します	
カレンダーアイテムがフォーカスされているかどうかを確認	期待リターン • True:カレンダーパネルが表示されている場合は True を返します • False:カレンダーパネルが表示されない場合は False を返します	ブール
プリセットが選択されているかどうかを確認	カレンダー内の一致する日付アイテムを選択します	ブール
アイテムが無効かどうかを確認	now-date-time の入力をクリックし、カレンダーを開きます	ブール
アクションをクリック	期待リターン • True:カレンダー内の一致するアイテムが選択されている場合は True を返します • False:カレンダー内の一致するアイテムが選択されていない場合は False を返します	該当なし
入力終了をクリック	now-date-time の開始入力をクリックし、カレンダーを開きます	該当なし
プリセットを選択	プリセットリストから一致するプリセットアイテムを選択します	該当なし
日付アイテムを選択	カレンダー内の一致する日付アイテムを選択します	該当なし
開始入力値を設定	ネイティブ入力の開始値を設定します。イベントのディスパッチを含める	該当なし

ドロップダウン

アクション	データ値と説明	データタイプ
トリガーをクリック	ドロップダウンをクリックします	該当なし

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アクション	データ値と説明	データタイプ
選択したアイテムの数	ドロップダウンメニューで選択したアイテムの数を返します	数値
テキストを取得	ドロップダウンメニューのテキストコンテンツを取得します	文字列
選択を確認	選択されているメニューの一致項目の true を返します **注:** 一致するアイテムの期間も選択する必要があります	ブール
パネル表示を確認	メニューが選択されているのを true で返します	ブール
最初に一致したアイテムを選択	メニュー内で最初に一致したアイテムを選択します **注:** 一致するアイテムの期間も選択する必要があります	該当なし

フライアウトメニュー

アクション	データ値と説明	データタイプ
フライアウトメニューパネルが表示されているかどうかを確認	フライアウトメニューが開いていて、リストパネルが表示されている場合は true を返します	ブール
選択を確認	パネルの一致するアイテムが選択されている場合は true を返します	ブール
フライアウトメニュートリガーをクリック	フライアウトメニューのスロット付きトリガー要素をクリックします	該当なし
最初に一致したアイテムを選択	パネルで最初に一致したアイテムを選択します	該当なし
選択したアイテムの数	フライアウトメニューパネルで選択されたアイテムの数を返します	数値

見出し

アクション	データ値と説明	データタイプ
テキストを取得	予期される戻り値:見出しのテキストを取得します	文字列

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ハイライト表示される値

アクション	データ値と説明	データタイプ
ハイライト表示された値のテキストを取得	予期される戻り値:ハイライト表示された値のテキストを取得します	文字列

入力

アクション	データ値と説明	データタイプ
値の設定	ネイティブ入力に値を設定します。イベントのディスパッチが含まれます	文字列

パスワードを入力

アクション	データ値と説明	データタイプ
値の設定	ネイティブ入力に値を設定します。イベントのディスパッチが含まれます	文字列

電話入力

アクション	データ値と説明	データタイプ
値の設定	ネイティブ入力に値を設定します。イベントのディスパッチが含まれます	文字列

入力 **URL**

アクション	データ値と説明	データタイプ
値の設定	ネイティブ入力に値を設定します。イベントのディスパッチが含まれます	文字列

リスト

アクション	データ値と説明	データタイプ
フィルターをリストに適用	エンコードクエリを使用してリストにフィルターを適用します	ブール
リスト内のレコードを開く	レコード行の最初のセルリンクをクリックして、リスト内のレコードを開きます	ブール

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アクション	データ値と説明	データタイプ
リスト内のレコードのヴィジビリティを検証	指定された SysID のレコードがリストに存在するかどうかを検証します	ブール
リスト UI アクションボタンをクリック	指定された sysid の UI アクションボタンをクリックします	ブール
リストの宣言アクションのヴィジビリティを検証	宣言アクションボタンのヴィジビリティを検証します たとえば、[新規] ボタンなどです。sysid に基づいて検証されます。	ブール

ローダー

アクション	データ値と説明	データタイプ
ローダーアクションをクリック	ローダーに関連付けられたアクションをクリックします	該当なし
ローダーテキストを取得	ローダーのテキストを返します	文字列
ローダーにアクションがあるかどうかを確認	期待リターン • True:ローダーにアクションが定義されている場合は True を返します • False:ローダーにアクションが定義されていない場合は False を返します	ブール

ローダーカスタム

アクション	データ値と説明	データタイプ
ローダーカスタムテキストを取得	ローダーカスタムのテキストを返します	文字列

モードレスダイアログ

アクション	データ値と説明	データタイプ
ウィンドウアクションをクリック	一致するウィンドウアクションをクリックします。 **注:** マッチャーは、buttons コレクション内のボタンのインデックスに対応している可能性があります。	該当なし

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アクション	データ値と説明	データタイプ
ダイアログが閉じているかどうかを確認	期待リターン • True:ダイアログが開いている場合は True を返します • False:ダイアログが開かない場合は False を返します	ブール
now-modeless-dialog テキストを取得	現在のモードレスダイアログのテキストを返します	文字列

now-alert-list

アクション	データ値と説明	データタイプ
アラートリストの折りたたみ状況の切り替え	アラートが現在折りたたまれているかどうかを確認します	該当なし
アラートリストが折りたためるかどうかを確認	アラートが折りたたみ可能な場合、その折りたたみ状況を切り替えます	ブール
アラートを解除	アラートにアクションボタンがあるかどうかを決定します	該当なし
アラートリストが折りたたまれているかどうかを確認	アラートを折りたたむことができるかどうかを確認します	ブール

now-card-footer

アクション	データ値と説明	データタイプ
フッター終了テキストを取得	カードフッターの右側のテキストを返します **注:** フッターテキストの終わり部分です	文字列
フッターテキストを取得	カードフッターのテキストを返します	文字列
フッター開始テキストを取得	カードフッターの左側のテキストを返します **注:** これはフッターテキストの開始部分です	文字列

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

now-collapse-trigger

アクション	データ値と説明	データタイプ
折りたたみ移行を終了	現在折りたたみが遷移を完了するのを許可します	該当なし

now-color-selector-panel

アクション	データ値と説明	データタイプ
色名を取得	色の名前を返します	文字列
ID で色見本を選択	カラーグループからカラー ID 別に色見本を選択します	該当なし
16 進値を設定	16 進数値を設定します。 **注:** 有効な値は、# を含まない 3 文字または 6 文字の 16 進数文字です。	該当なし
色名を設定	色名編集入力フィールドに色の名前を設定します	該当なし
スライダー値を設定	色相スライダーの値を設定します	該当なし
アクションをクリック	最初に一致したフッターアクションをクリックします	該当なし
RGB 値を設定	RGB 値を設定します	該当なし
HSL 値を設定	HSL 値を設定します	該当なし

now-date-time-calendar

アクション	データ値と説明	データタイプ
アイテムが無効かどうかを確認	期待リターン • True:カレンダー内の一致するアイテムが無効な場合は True を返します • False:カレンダー内の一致するアイテムが有効な場合は False を返します	ブール
アイテムがフォーカスされているかどうかを確認	期待リターン	ブール

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アクション	データ値と説明	データタイプ
	• True:カレンダー内の一致するアイテムにフォーカスがある場合に True を返します • False:カレンダー内の一致するアイテムにフォーカスがない場合に False を返します	
アクティブな月を取得	現在選択されている月の数値を返します	数値
アイテムが選択されているかどうかを確認	期待リターン • True:カレンダー内の一致するアイテムが選択されている場合は True を返します • False:カレンダー内の一致するアイテムが選択されていない場合は False を返します	ブール
アクティブな年を取得	現在選択されている年の数値を返します	数値
日付アイテムを選択	カレンダー内の一致する日付アイテムを選択します	該当なし

now-dropdown-custom-target

アクション	データ値と説明	データタイプ
パネル表示を確認	期待リターン • True:パネルが表示されている場合は True を返します • False:パネルが表示されない場合は False を返します	ブール
最初に一致したアイテムを選択	パネルで最初に一致したアイテムを選択します	該当なし
選択を確認	期待リターン • True:パネル内の一致するアイテムが選択されている場合は True を返します • False:パネル内の一致するアイテムが選択されていない場合は False を返します	ブール
選択したアイテムの数	ドロップダウンパネルで選択されたアイテムの数を返します	数値

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

now-dropdown-list

アクション	データ値と説明	データタイプ
アイテムが選択されているかどうかを確認	パネルでアイテムが選択されているかどうかを確認します	ブール
選択したアイテム数を取得	ドロップダウンパネル内で現在選択されているアイテムの数を取得します	数値
パネル表示を確認	期待リターン • True:パネルが表示されている場合は True を返します • False:パネルが表示されない場合は False を返します	ブール
パネルアイテム数を取得	ドロップダウンパネルのアイテムの数を返します	数値
最初に一致したアイテムを選択	パネルで最初に一致したアイテムを選択します	該当なし

now-flyout-menu-list

アクション	データ値と説明	データタイプ
選択したアイテムの数を取得	フライアウトメニューパネルで選択されたアイテムの数を返します	数値
アイテムの数を取得	フライアウトメニューパネルのアイテムの数を返します	数値
フライアウトメニューパネルが表示されているかどうかを確認	期待リターン • True:パネルが表示されている場合は True を返します • False:パネルが表示されない場合は False を返します	ブール
アイテムの選択	パネルで最初に一致したアイテムを選択します	該当なし
アイテムが選択されているかどうかを確認	期待リターン • True:パネル内の一致するアイテムが選択されている場合は True を返します • False:パネル内の一致するアイテムが選択されていない場合は False を返します	ブール

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

now-input-date-time

アクション	データ値と説明	データタイプ
入力値を設定	ネイティブ入力に値を設定します。イベントのディスパッチが含まれます	該当なし

now-modal

アクション	データ値と説明	データタイプ
表示されているか	期待リターン • True:モーダルが現在表示されている場合は True を返します • False:モーダルが現在表示されていない場合は False を返します	ブール
コンテンツを取得	モーダルのテキストを返します	該当なし
フッターがあるか	期待リターン • True:モーダルにフッターが含まれている場合に True を返します • False:モーダルにフッターが含まれていない場合は False を返します	ブール
閉じる	モーダルの却下アクションをクリックします	該当なし
ヘッダーを取得	モーダルの見出し値を返します	文字列
アクションをクリック	最初に一致したフッターアクションをクリックします	該当なし

now-record-list-connected

アクション	データ値と説明	データタイプ
フィルターをリストに適用	encodedQuery の形式でフィルターを適用します	該当なし
リスト UI アクションボタンをクリック	リスト内の UI アクションボタンを選択します	該当なし
リスト内のレコードのヴィジビリティを検証	選択したレコードがリストに表示されているかどうかを検証します	ブール

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アクション	データ値と説明	データタイプ
リストの宣言アクションのヴィジビリティを検証	リストの宣言アクションが表示されるかどうかを検証します	ブール
リスト内のレコードを開く	リストから選択したレコードを開きます	該当なし

now-tabs

アクション	データ値と説明	データタイプ
照合でタブを選択	指定された基準に基づいてタブを選択します 注: また、サブ文字列の照合も可能です	該当なし
一致するタブが選択されているかどうかを確認	指定された基準に一致するタブが現在選択されているかどうかを確認します	ブール

now-tabs-vertical

アクション	データ値と説明	データタイプ
一致するタブが選択されているかどうかを確認	指定された基準に一致するタブが現在選択されているかどうかを確認します	該当なし
照合でタブを選択	指定された基準に基づいてタブを選択します 注: また、サブ文字列の照合も可能です	ブール

now-uxf-tab-set

アクション	データ値と説明	データタイプ
ラベルで選択されたタブをアサート	指定されたラベルのタブが存在する場合は true を返します。タブが見つからない場合はエラーが表示されます。 注: ラベルが存在するかどうかを確認するには、ラベルに正確な名前を入力する必要があります。	ブール

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アクション	データ値と説明	データタイプ
順序によりタブを選択	タブセット内の順序でタブを選択します。順序は 1 から始まります。 **注:** 選択するタブの必要な順序を入力する必要があります。	該当なし
ラベルによりタブを選択	タブをラベルで選択します。 **注:** 選択するタブの必要なラベルを入力する必要があります。	該当なし

pagination-control

アクション	データ値と説明	データタイプ
ページラベルを取得	ページラベルを返します	文字列
ページが選択されているかどうかを確認	指定された基準に一致するページが現在選択されているかどうかを確認します	ブール
ページサイズを選択	ドロップダウンコントロールからページサイズを選択します	該当なし
[次のページに移動] ボタンをクリック	[次のページに移動] ボタンのクリックをシミュレートします	該当なし
入力値を設定	入力フィールドに値を設定し、関連するイベントをディスパッチします	該当なし
[最後のページに移動] ボタンをクリック	[最後のページに移動] ボタンのクリックをシミュレートします	該当なし
[前のページに移動] ボタンをクリック	[前のページに移動] ボタンのクリックをシミュレートします	該当なし
[最初のページに移動] ボタンをクリック	[最初のページに移動] ボタンのクリックをシミュレートします	該当なし

ピル

アクション	データ値と説明	データタイプ
ピルテキストを取得	ピルのテキストコンテンツを返します	文字列
ピルを解除	ピルの却下ボタンをクリックします	該当なし
ピルが解除可能かどうかを確認	期待リターン	ブール

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アクション	データ値と説明	データタイプ
	• True:ピルが却下可能な場合は True を返します • False:ピルが却下可能でない場合は False を返します	
ピルをクリック	ピルをクリックします	該当なし

ラジオボタン

アクション	データ値と説明	データタイプ
ラジオボタンを選択	一致するラジオボタンをクリックして、選択したステータスを切り替えます	該当なし

選択

アクション	データ値と説明	データタイプ
トリガー要素をクリック	トリガー要素のクリックをシミュレートします	該当なし
ドロップダウンが表示されているかどうかを確認	ドロップダウンリストが現在画面に表示されているかどうかを決定します	ブール
一致したアイテムを選択	ドロップダウンリストで一致するアイテムを選択します	該当なし

sn-canvas-tabs

アクション	データ値と説明	データタイプ
ラベル付きのタブが存在することをアサート	必要なラベルを持つタブが存在する場合は true を返します	ブール
ラベル付きタブが選択されていることをアサート	必要なラベルの付いたタブが選択されている場合は true を返します	ブール
順序によりタブを閉じる	タブセット内の順序でタブを閉じます。順序は 1 から始まります。 **注:** 閉じるタブの必要な順序を入力する必要があります。	該当なし
ラベル付きのタブを閉じる	タブセット内のラベルでタブを閉じます。	該当なし

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アクション	データ値と説明	データタイプ
	注: 閉じるタブの必要なラベルを入力する必要があります。	
順序によりタブを選択	タブセット内の順序でタブを選択します。順序は 1 から始まります。 注: 選択するタブの必要な順序を入力する必要があります。	該当なし
ラベル付きのタブを選択	タブをラベルで選択します。 注: 選択するタブの必要なラベルを入力する必要があります。	該当なし

sn-canvas-toolbar

アクション	データ値と説明	データタイプ
グループおよびツールヒントごとにアサートボタンが存在する	指定されたツールヒントのボタンがグループ内に存在することを確認します。 • グループ:上または下 • ツールヒント: • 期待リターン ○ True:指定されたツールヒントを持つボタンがグループ内に存在する場合に True を返します ○ False:指定されたツールヒントを持つボタンがグループ内に存在しない場合は False を返します	ブール
グループとツールヒントで選択された [アサート] ボタン	グループ内の指定されたツールヒントのボタンを選択します。	ブール
グループと順序によりボタンを選択	ツールバーグループ内のボタンを順序順に選択します。順序は 1 から始まります。グループは上または下のいずれかです。	該当なし
グループとツールヒントでボタンを選択	ツールヒントの値でツールバーグループ内のボタンを選択しま	該当なし

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アクション	データ値と説明	データタイプ
	す。順序は 1 から始まります。ツールヒントの値	

分割ボタン

アクション	データ値と説明	データタイプ
パネルが表示されているか	期待リターン • True:パネルが表示されている場合は True を返します • False:パネルが表示されない場合は False を返します	ブール
アイテムが選択されているか	パネルの一致するアイテムが選択されている場合は true を返します予期される戻り値 • True:パネル内の一致するアイテムが選択されている場合は True を返します • False:パネル内の一致するアイテムが選択されていない場合は False を返します	ブール
クリック	分割ボタンのプライマリアクションをクリックします	該当なし
ボタンテキストを取得	分割ボタンのテキストコンテンツを返します	文字列
トリガーをクリック	分割ボタンのドロップダウントリガーをクリックします	該当なし
アイテムの選択	パネルで最初に一致したアイテムを選択します	該当なし
選択したアイテムをカウント	分割ボタンのドロップダウンパネルで選択されたアイテムの数を返します	数値

ステッパー

アクション	データ値と説明	データタイプ
ステップが選択されているか	期待リターン • True:ステップが現在選択されている場合は True を返します。 • False:ステップが現在選択されていない場合は False を返します	ブール

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アクション	データ値と説明	データタイプ
[次のページ] ボタンをクリック	[次のページ] ボタンをクリックします	該当なし
[前のページ] ボタンをクリック	[前のページ] ボタンをクリックします	該当なし
ステップを選択	ステップを選択します	該当なし

タブ

アクション	データ値と説明	データタイプ
順序によりタブを選択	タブセット内の順序でタブを選択します 注: 順序は 1 から始まります。	ブール
ラベルによりタブを選択	ラベルでタブを選択します 注: タブが見つからない場合はエラーが表示されます。	該当なし
ラベルで選択されたタブをアサート	指定されたラベルのタブが選択されていることをアサートします。 注: タブが見つからない場合はエラーが表示されます。	該当なし

テストリンク

アクション	データ値と説明	データタイプ
テキストを取得	テキストリンクのテキストを返します	文字列
クリック	リンクをクリック	該当なし

テキストエリア

アクション	データ値と説明	データタイプ
テキストエリア値を設定	ネイティブテキストエリアに値を設定し、イベントのディスパッチを含める	該当なし

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

トグル

アクション	データ値と説明	データタイプ
トリガー要素をクリック	トリガー要素のクリックをシミュレートします	該当なし

先行入力

アクション	データ値と説明	データタイプ
入力値を設定	先行入力に値を設定し、関連イベントをディスパッチします	該当なし
アイテムの選択	先行入力のアイテムを 1 つ選択します	該当なし
入力をクリック	先行入力をクリック	該当なし
パネルが表示されているかどうかを確認	期待リターン • True:パネルが開いていて表示されている場合は True を返します。 • False:パネルが開かず、表示されていない場合は False を返します	ブール

先行入力マルチ

アクション	データ値と説明	データタイプ
アイテムの選択	先行入力のアイテムを 1 つ選択します	該当なし
入力をクリック	先行入力をクリック	該当なし
パネルが表示されているかどうかを確認	期待リターン • True:パネルが開いていて表示されている場合は True を返します。 • False:パネルが開かず、表示されていない場合は False を返します	ブール
入力値を設定	先行入力に値を設定し、関連イベントをディスパッチします	該当なし

構成可能ワークスペースコンポーネントの例

構成可能なワークスペースコンポーネントの操作方法を理解するには、次の例を確認してください。

注:
コンポーネントでアクションを送信すると、テストステップが作成されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

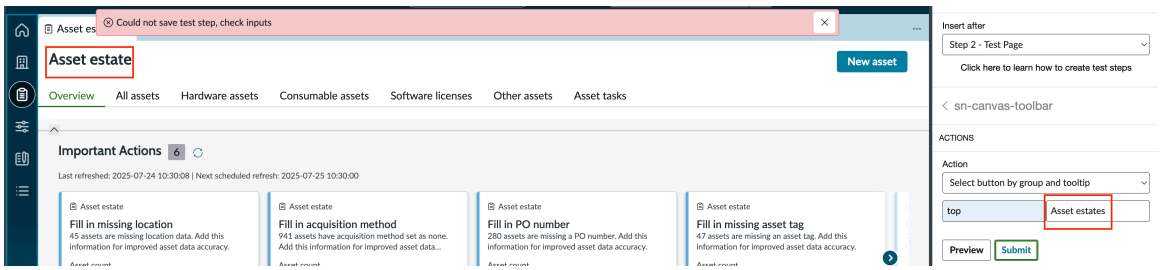
Example: sn-canvas-toolbar

sn-canvas-toolbar コンポーネントには、次の 4 つのアクションがあります。

- グループおよびツールヒントごとにアサートボタンが存在する
- グループとツールヒントで選択された [アサート] ボタン
- グループと順序によりボタンを選択
- グループとツールヒントでボタンを選択

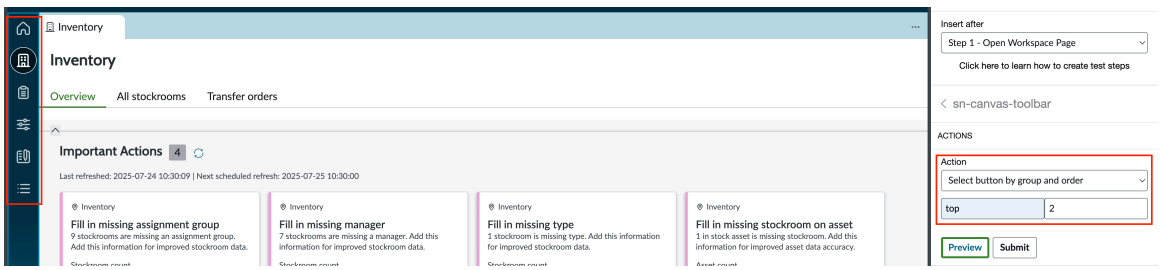
アクションに必要な値は次のとおりです。

- group:ツールバーのどのタブを操作するかに応じて、「top」または「bottom」のいずれかを入力します。
- ツールヒント: ツールバーで開くタブの名前。



注:
ツールヒント名が開くタブ名と正確に一致しない場合は、エラーが表示されます。

- order:グループエントリに応じて、順序番号が決定されます。順序は 1 から始まります。たとえば、6 つの項目を含むツールバーのグループに [上] を選択し、上から 2 番目のタブにアクセスしたい場合は、順序番号として [2] を入力します。同様に、グループに「bottom」を選択した場合は、順序番号として「5」と入力します。



注:
アクションを送信して (グループと順序に基づいて) 特定のタブを選択すると、そのタブがフォーカスまたはハイライト表示されます。ツールヒントにタブの正確な名前を入力すると、そのタブが開きます。

Example: now-uxf-tab-set

now-uxf-tab-set コンポーネントには、次の 3 つのアクションがあります。

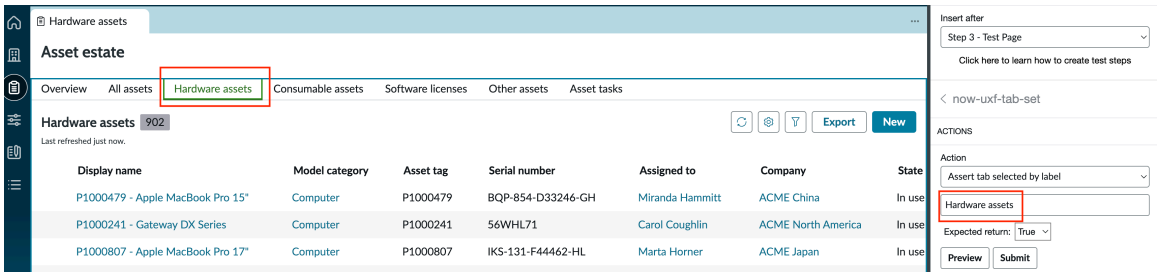
- ラベルで選択されたタブをアサート
- 順序によりタブを選択
- ラベルによりタブを選択

アクションに必要な値は次のとおりです。

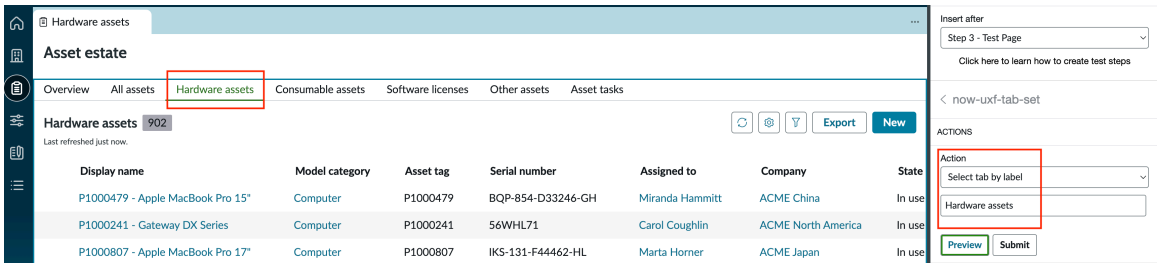
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

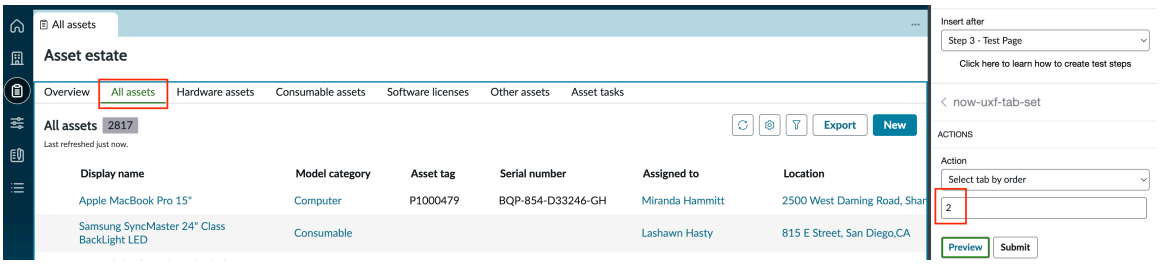
- label:アサートするタブが存在する場合は、そのタブの正確な名前を入力します。たとえば、[ラベルで選択されたタブをアサート] アクションを選択した後、「ハードウェア資産」と入力して、[ハードウェア資産] タブが存在するかどうかを確認します。予期される戻り値は、存在する場合は True です。[ラベルでタブを選択] アクションを選択した場合は、開くツールバーにタブの名前を入力します。
  - ラベルで選択されたタブをアサート



  - ラベルによりタブを選択



- 順序: 入力した順序番号によって、選択したツールバーで開くタブが決まります。



Example: now-record-list-connected

now-record-list-connected コンポーネントには、次の 5 つのアクションがあります。

- フィルターをリストに適用
- リスト UI アクションボタンをクリック
- リスト内のレコードのヴィジビリティを検証
- リストの宣言アクションのヴィジビリティを検証
- リスト内のレコードを開く

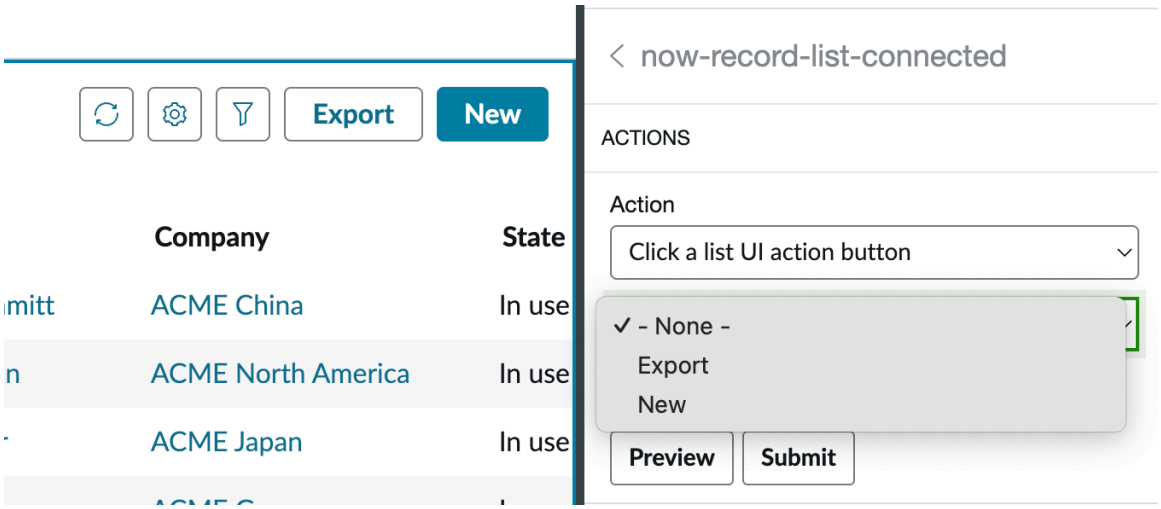
アクションに必要な値は次のとおりです。

- 必要な UI アクションを選択します。

> **注:**
> リストで利用可能な UI アクションのみが表示されます。

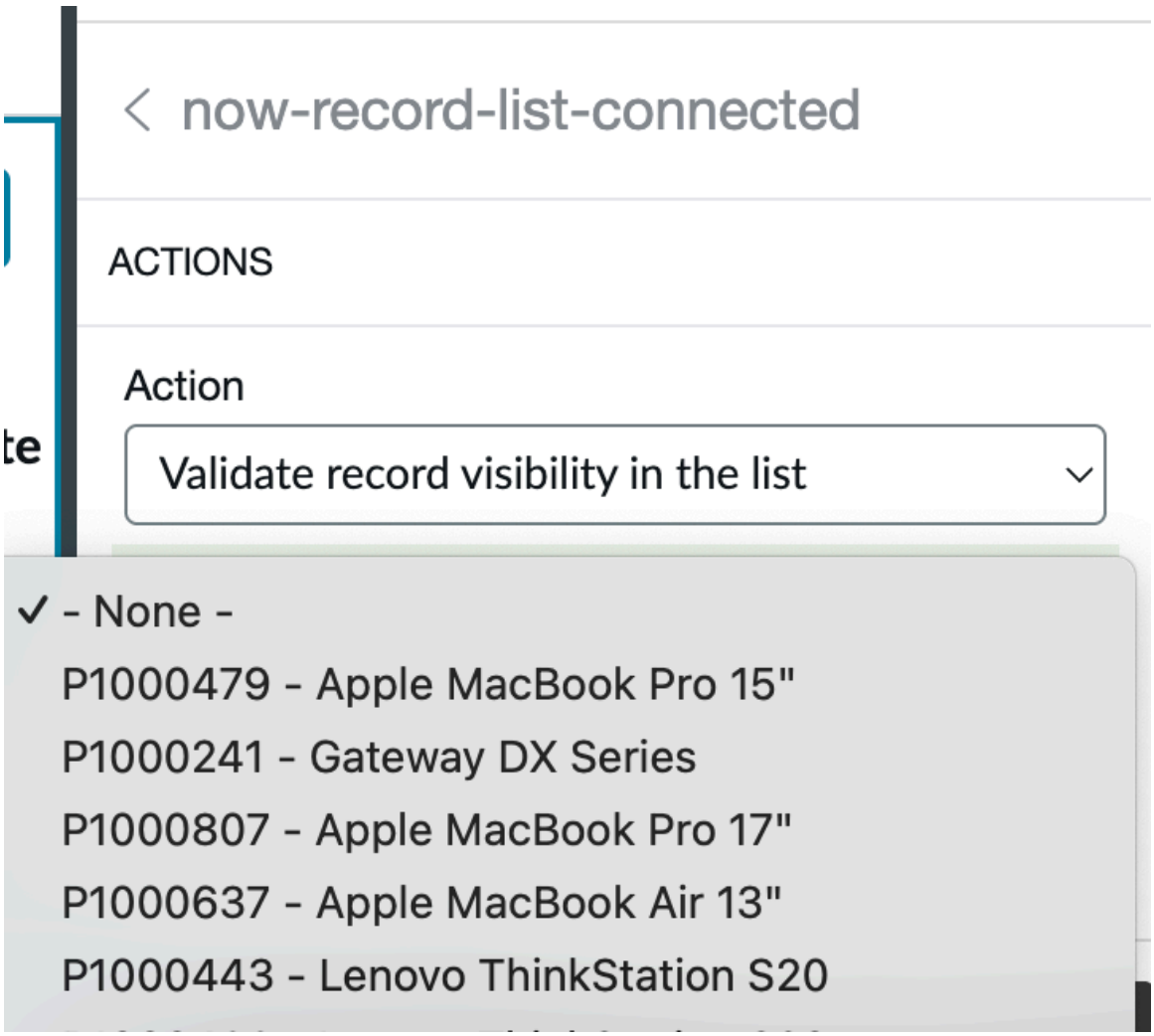
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳



- リストから検証するレコードを選択します。

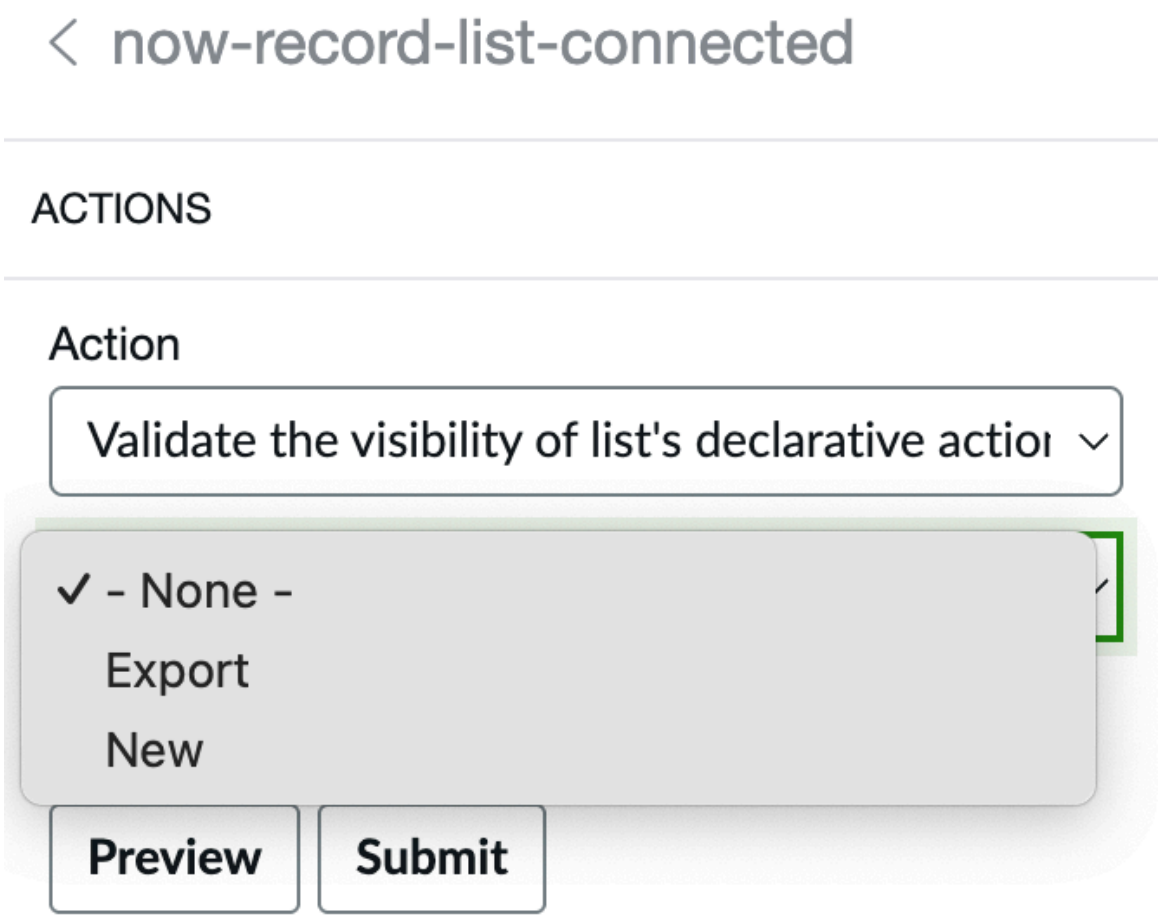
  注:
  [リスト内のレコードの可視化を検証] アクションを選択すると、リスト内のすべてのレコードが表示されます。



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 必要な UI アクションを選択して、リスト内の可視化を検証します。

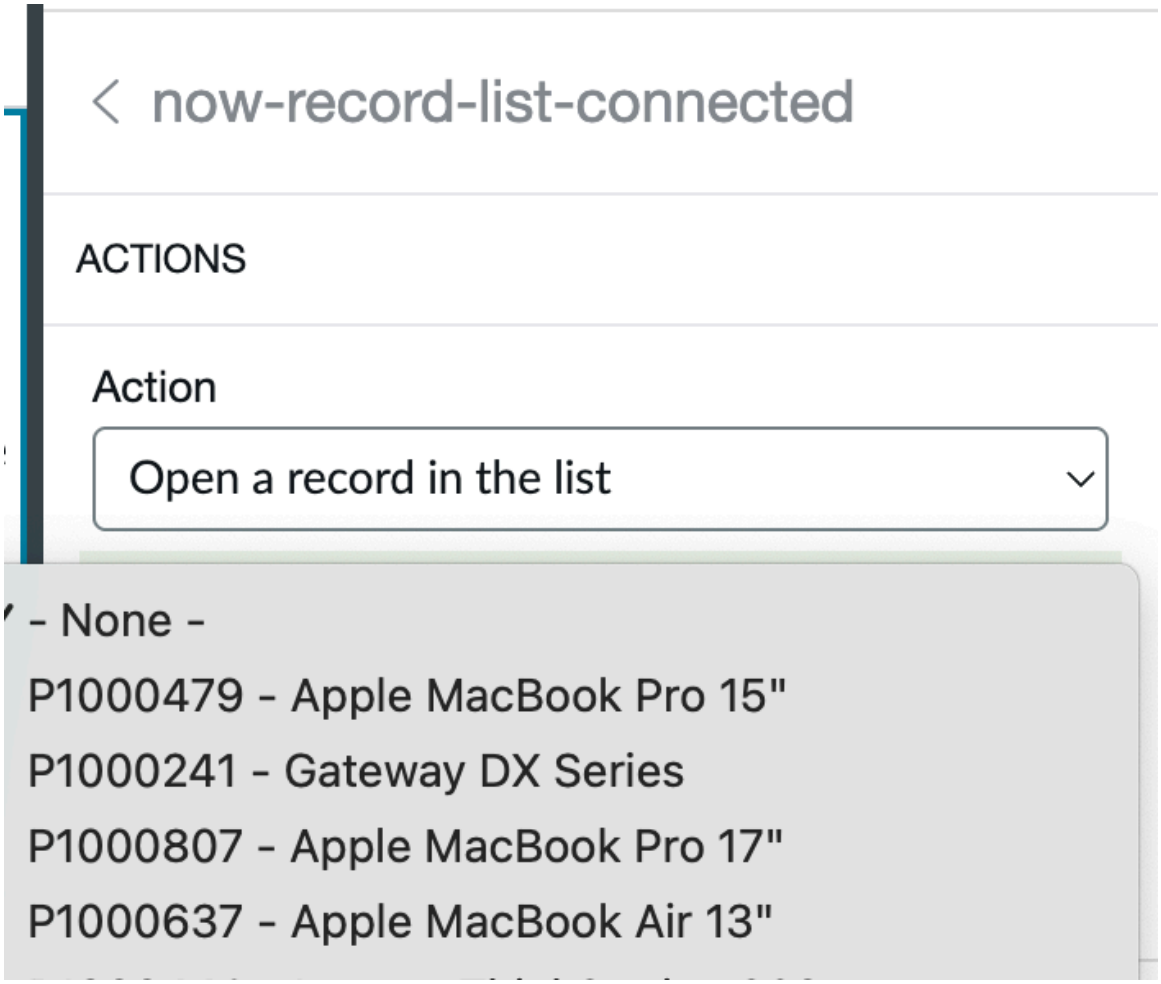


- リストから開く必要なレコードを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
[リストでレコードを開く] アクションを選択すると、リスト内のすべてのレコードが表示されます。



自動翻訳

自動テストフレームワーク **(ATF)** ロール

自動テストフレームワーク (ATF) はこれらのロールに併せてインストールされます。

ATF テストアドミニストレーター **[atf_test_admin]**

ユーザーごとのサブスクリプション管理の詳細については、「Managing per-user subscriptions in Subscription Management」を参照し、アカウント担当者にお問い合わせください。

自動テストフレームワーク (ATF) プロパティを作成または編集します。次の権限があります：

- テストページの表示
- テストの作成/編集/削除
- テスト ステップの作成/編集/削除
- ステップ設定ページの表示
- テスト ランナーページの表示
- テストスイートの結果、テスト結果、結果アイテムのページの表示
- ユーザーテストの実行
- テストスイートの表示、作成、編集、削除、実行

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- ステップ設定レコードの作成/編集
- 自動テストフレームワーク (ATF) プロパティの作成/編集

含まれるロール
: ロール内に含まれるロールのリスト。

  - impersonator
  - personalize_dictionary

グループ
: このロールがデフォルトでアサインされているグループのリスト。

  なし

昇格
: ロールが昇格されたロールかどうか。昇格されたロールはユーザーまたはグループにアサインされず、昇格で使用する必要があります。詳細については、「Elevate to a privileged role」を参照してください。

  いいえ。

特別な考慮事項
: なし。

ATF テストデザイナー [atf_test_designer]

ユーザーごとのサブスクリプション管理の詳細については、「Managing per-user subscriptions in Subscription Management」を参照し、アカウント担当者にお問い合わせください。

自動テストフレームワークのプロパティを表示するだけです (プロパティの作成および編集はできません)。次の権限があります：

- テストページの表示
- テストの作成/編集/削除
- テスト ステップの作成/編集/削除
- ステップ設定ページの表示
- テスト ランナーページの表示
- テストスイートの結果、テスト結果、結果アイテムのページの表示
- ユーザーテストの実行
- テストスイートの表示、作成、編集、削除、実行
- 自動テストフレームワーク (ATF) プロパティの表示

含まれるロール
: ロール内に含まれるロールのリスト。

  impersonator

グループ
: このロールがデフォルトでアサインされているグループのリスト。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

なし

サブスクリプション

このロールが、このロールを持つユーザーをサブスクリプションに割り当てる必要がある課金可能ユーザーロールかどうか。

昇格

ロールが昇格されたロールかどうか。昇格されたロールはユーザーまたはグループにアサインされず、昇格で使用する必要があります。詳細については、「Elevate to a privileged role」を参照してください。

いいえ。

特別な考慮事項

なし。

ATF ワークスペースデザイナー [atf_ws_designer]

ユーザーごとのサブスクリプション管理の詳細については、「Managing per-user subscriptions in Subscription Management」を参照し、アカウント担当者にお問い合わせください。

認証を必要とする REST エンドポイントに必要なベーシック認証または相互認証を表示または設定します。

含まれるロール

ロール内に含まれるロールのリスト。

- atf_test_designer
- web_service_admin

グループ

このロールがデフォルトでアサインされているグループのリスト。

なし

サブスクリプション

このロールが、このロールを持つユーザーをサブスクリプションに割り当てる必要がある課金可能ユーザーロールかどうか。

いいえ。

昇格

ロールが昇格されたロールかどうか。昇格されたロールはユーザーまたはグループにアサインされず、昇格で使用する必要があります。詳細については、「Elevate to a privileged role」を参照してください。

いいえ。

特別な考慮事項

なし。

管理

管理モジュールには、自動テストフレームワーク (ATF) を設定および管理するためのフォームが含まれています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ

[プロパティ] フォームでは、自動テストおよびテストスイートの実行方法をコントロールするパラメーターを設定できます。

テストおよびテストスイートプロパティ

フィールド/要素	説明
テスト/テストスイートの実行を有効にする *sn_atf.runner.enabled*	オンにすると、このインスタンスでテストおよびテストスイートを実行できます。この設定は、ユーザーが本番インスタンスで意図せずにテストを実行しないように、デフォルトではオフになっています。
スケジュール済みのテストスイートの実行を有効にする。 sn_atf.schedule.enabled	オンにすると、このインスタンスのテストスイートをスケジュールできます。

テストデバッグプロパティ

フィールド/要素	説明
追加のデバック機能を有効にする *sn_atf.debug*	クライアントテスト ランナー UI ページへのデバッグタブの追加、UI テスト結果 JSON のテスト結果レコードへの保存をはじめとする、追加のデバッグ機能を有効にします。

スクリーンショットプロパティ

フィールド/要素	説明
テストの実行中にスクリーンショットキャプチャを有効または無効にします。 *sn_atf.screenshots.mode* **注:** 詳細については次を参照してください。 システムプロパティを設定して、自動テストフレームワーク (ATF) がスクリーンショットをキャプチャするタイミングを制御する	• すべてのステップのスクリーンショットを作成するには、すべてのステップで有効を選択します。 • 失敗したステップだけのスクリーンショットをキャプチャするには、すべての失敗したステップで有効にするを選択します。 • スクリーンショットを取り入れない場合は、すべてのステップで無効を選択します。
GlideScreenshot 機能を有効にする *sn_atf.screenshots.use_glide_screenshot*	ワークスペースやその他のインターフェイスのスクリーンショットの精度を向上させます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スクリーンショットプロパティ (続く)

フィールド/要素	説明
	注: IE と Safari はこのプロパティをサポートしていません。 このプロパティが無効になっている場合、または現在のブラウザーでサポートされていない場合は、html2canvas を使用してスクリーンショットを取得します。 新しいリリースバージョンにアップグレードする場合、このプロパティはデフォルトで false に設定されます。
スクリーンショットを撮るときにページ全体のキャプチャを有効にする *sn_atf.screenshots.capture_full_page*	スクリーンショットを撮るときに、テストフレームの動的なサイズ変更とページ全体のキャプチャを有効にします。 **注:** デフォルトでは、このプロパティは false に設定されています。テストの実行時間が大幅に延びる可能性があるためです。 このプロパティを無効にすると、テストフレームに表示されているページの部分のみがキャプチャされます。
スクリーンショットのタイムアウト *sn_atf.atf_test_runner.screenshot_timeout*	この値 (秒) を超えると、クライアントテスト ランナーでのスクリーンショットのキャプチャがスキップされます。この値を増やす前に、影響を受けるクライアントシステムのパフォーマンス設定とブラウザのキャッシュを確認してください
スクリーンショット高さのピクセル数 *sn_atf.atf_test_runner.testframe.min_height*	スクリーンショットの高さを表す数値 (ピクセル数)。 デフォルト値：600
スクリーンショット幅のピクセル数 *sn_atf.atf_test_runner.testframe.min_width*	スクリーンショットの幅を表す数値 (ピクセル数)。 デフォルト値：800

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

カスタム UI ページのデータキャプチャプロパティ

フィールド/要素	説明
カスタム UI の手順でテストできるようにし、実行ごとにページデータをキャプチャします。 *sn_atf.page_data_capture.enabled*	true の場合、カスタム UI テストの手順は、テストが実行されるたびにページデータを取得します。常に最新のページバージョンでテストを実行するようにカスタム UI ページを開発しているときは、このプロパティを true に設定します。 false の場合、テスト設計者がテスト設計中に [コンポーネントの取得] を手動で選択しない限り、カスタム UI テストの手順はページデータを取得しません。より迅速なテスト実行を可能にする UI 開発が完了したら、このプロパティを false に設定してください。

テスト ランナープロパティ

フィールド/要素	説明
テストランナータイムアウト *sn_atf.runner.heartbeat.timeout*	この期間 (秒単位) 内にテストランナーからのハートビートがない場合、ステータスはオンラインからオフラインに変更されます。このプロパティの値は 120 ～ 1800 でなければなりません。 デフォルト値：120
テスト ランナーのハートビート間隔 *sn_atf.runner.heartbeat.interval*	テストランナーからサーバーにハートビートを送信する時間間隔 (秒)
オフラインテスト ランナー保持期間 *sn_atf.runner.offline_retention.timeout*	オフラインテスト ランナーがこの日数の間システムと通信しなかった場合、そのテストランナーは削除されます。

テストスイートレポートプロパティ

フィールド/要素	説明
テストスイートレポートプロパティ *sn_atf.schedule.reports.suite.aging_threshold*	テストスイートエイジングレポートで表示するテストスイートの結果の数

メールプロパティ

フィールド/要素	説明
スケジュール済みのスイート結果の電子メールに表示される結果のブール値 *sn_atf.schedule.suite_result_email.only_show_failed_results*	true の場合、スケジュール済みのスイートテスト結果の電子メール

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

メールプロパティ (続く)

フィールド/要素	説明
	は、失敗した結果のみを表示します。false の場合、すべての結果が表示されます。
スケジュールされたスイートの結果メールに表示される、テスト結果の最大数です。 *sn_atf.schedule.suite_result_email.max_test_history*	スケジュールされたスイートの結果メールに表示される、テスト結果の最大数です。
スイートの結果メールで結果を印刷する最大深度 *sn_atf.schedule.suite_result_email.max_depth*	スイートの結果メールで結果を印刷する最大深度
スケジュール済みスイートの結果メールで不合格だった ATF テストを示す色 *sn_atf.schedule.suite_result_email.fail_color*	スケジュール済みスイートの結果メールで不合格だった ATF テストを示す 16 進コード
スケジュール済みスイートの結果メールでエラーだった ATF テストを示す色 *sn_atf.schedule.suite_result_email.error_color*	スケジュール済みスイートの結果メールでエラーだった ATF テストを示す 16 進コード
スケジュール済みスイートの結果メールで合格した ATF テストを示す色 *sn_atf.schedule.suite_result_email.pass_color*	スケジュール済みスイートの結果メールで合格した ATF テストを示す 16 進コード
スケジュール済みスイートの結果メールでスキップされた ATF テストを示す色 *sn_atf.schedule.suite_result_email.skip_color*	スケジュール済みスイートの結果メールでスキップされた ATF テストを示す 16 進コード
スケジュール済みスイートの結果メールでキャンセルされた ATF テストを示す色 *sn_atf.schedule.suite_result_email.cancel_color*	スケジュール済みスイートの結果メールで、ATF テストがキャンセルされたことを示す色の 16 進コード

ステップ構成

ステップ設定レコードは、各タイプのステップのふるまいを定義します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動テストフレームワーク **(ATF)** ステップ構成レコード

ステップ設定レコードは、このタイプのテストステップがどのようにふるまうかをコントロールします。

フィールド

フィールド/要素	説明
名前	このテストステップ設定の名前。
アクティブ	このステップ設定がアクティブな場合 **True**です。そうでない場合は **false**。
ステップ環境	この設定でステップを実行できるステップ環境
カテゴリ	この設定でステップに割り当てられたカテゴリ
アプリケーション	この設定でシステムがステップを実行するアプリケーションスコープ
バッチ順序の制約	この設定のステップがテストに現れることができる場所に関する制約 • [なし]：この構成に基づくステップはテストの任意の場所に現れることがあります。 • [一括実行を開始]：テストにこの設定に基づくステップが含まれている場合は、テストの最初のステップでなければなりません。 • [実行中に実行する]：テストにこの設定に基づくステップが含まれている場合は、最初または最後のステップにすることはできません。 • [実行を停止する]：テストにこの設定に基づくステップが含まれている場合は、テストの最後のステップでなければなりません。
クラスタータイプ	カスタム ステップ設定では、このフィールドは常にスクリプトです。
順番	この設定のステップが [テスト ステップを追加] ダイアログのステップリストに表示される場所を指定する整数。詳細は、「順序フィールドの使用例」を参照してください。
テンプレートリマインダー	この設定のステップがテンプレートの一部としてテストに含まれる場合に表示される指示。詳細は、「テンプレートリマインダーフィールドの使用例」を参照してください。
HTML の説明	ダイアログで、この設定のステップをカーソルが強調表示したときに表示されるテキスト。詳細は、「HTML の説明フィールドの使用例」を参照してください。
説明生成スクリプト	テストに含まれるステップを記述するテキストを生成します。詳細については、「説明生成スクリプトの使用例」を参照してください。
ステップ実行スクリプト	この設定でステップが実行されたときに実行されるスクリプト (javascript)。
入力変数関連リスト	この設定のステップで、入力として機能する変数。
出力変数関連リスト	この構成のステップで、出力として機能する変数。

自動翻訳

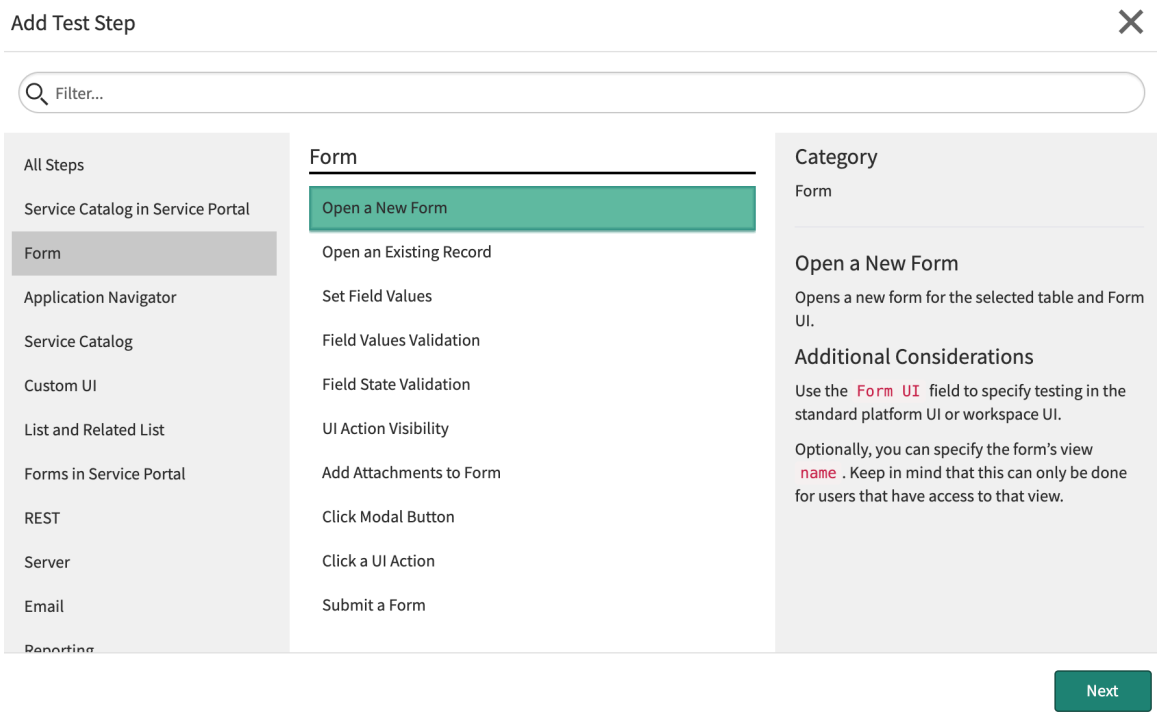
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステップ構成フィールド値の例

ステップ設定フィールドの一部に割り当てられた値が表示される例です。

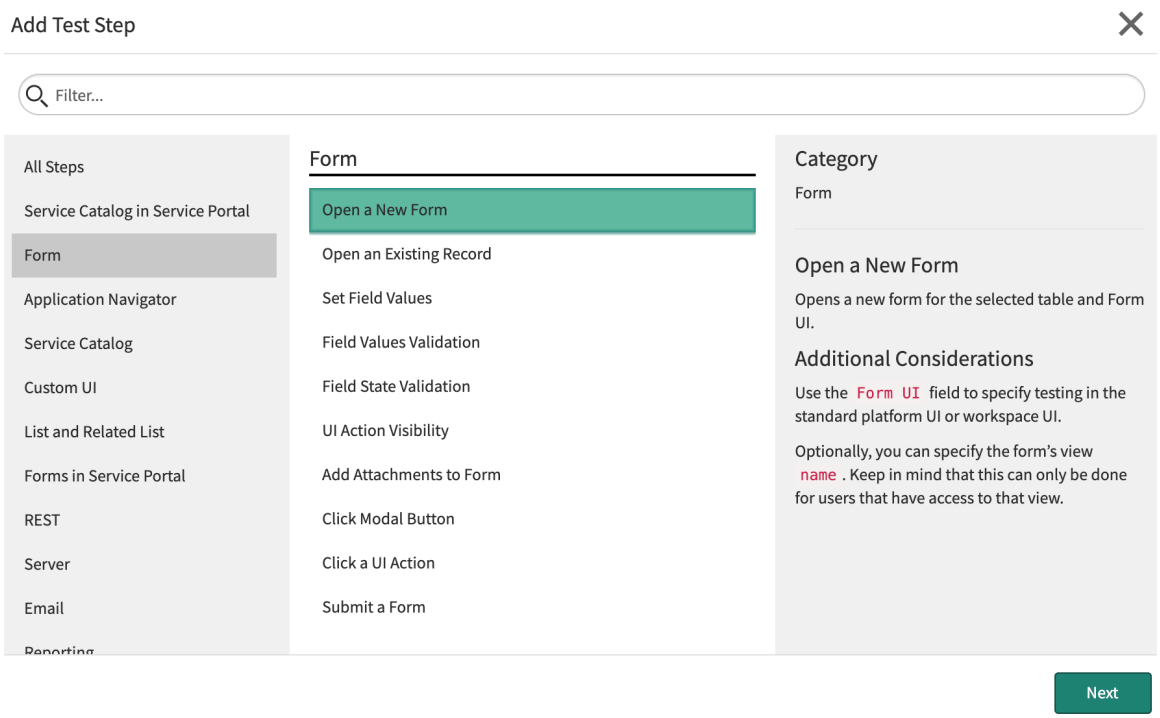
順番フィールドの例

中央の列のステップは、順番フィールドの値に従ってソートされます。



カテゴリフィールドの例

左側の列のラベルには、使用可能なステップのカテゴリが表示されています。左側の列でカテゴリを選択すると、中央の列のリストをフィルタリングできます。

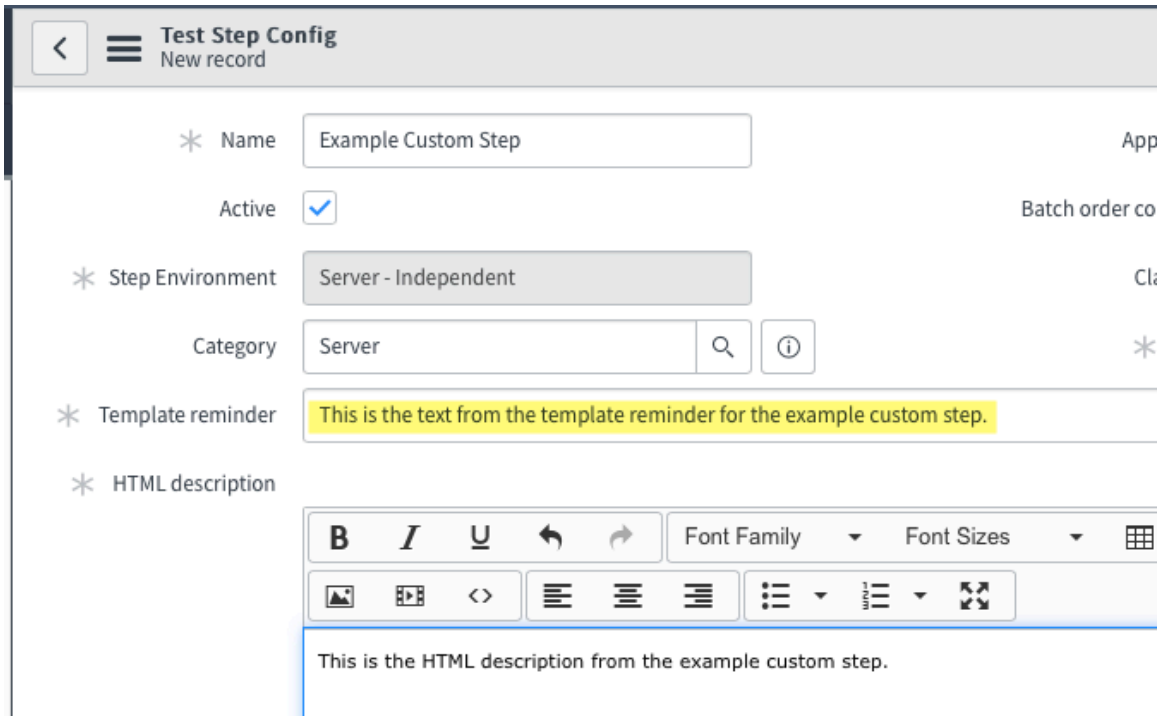


自動翻訳

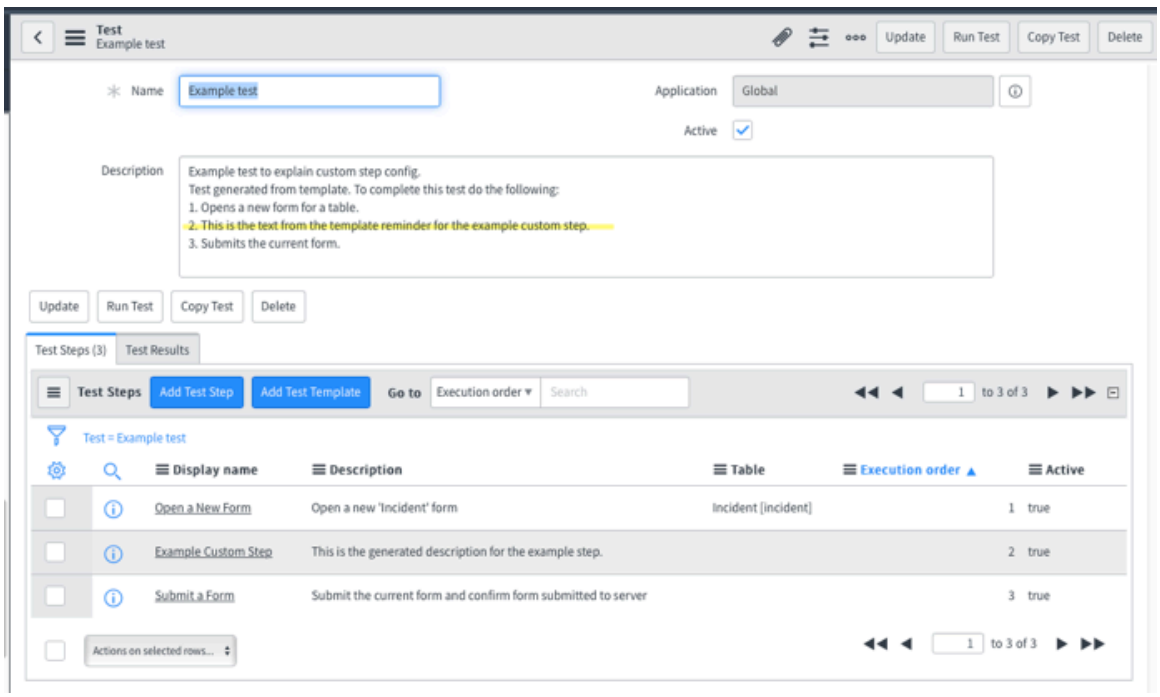
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テンプレートリマインダーの例

ここには、カスタム ステップの例のテスト ステップ設定の新しいレコードフォームの一部があります。



テストにテンプレートを追加すると、テンプレートステップを完了するための一連の指示が生成され、テストの説明フィールドに保存されます。ステップ設定のテンプレートリマインダーフィールドのテキストは、対応するステップの指示として表示されます。

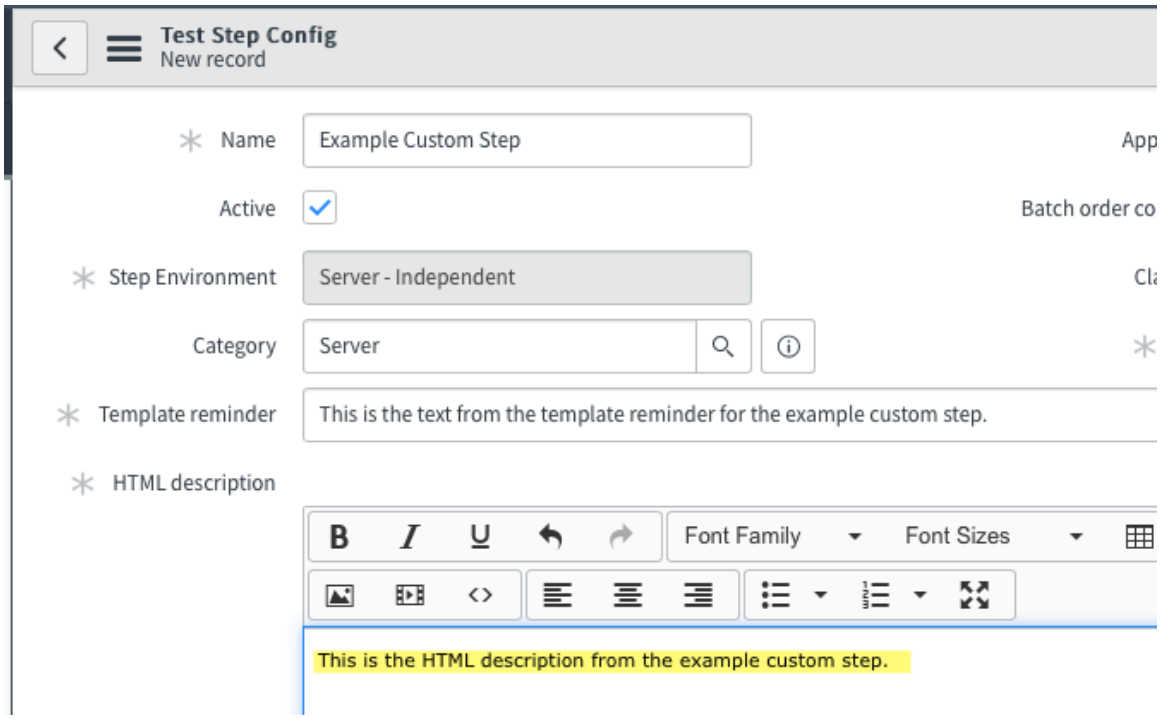


HTML の説明の例

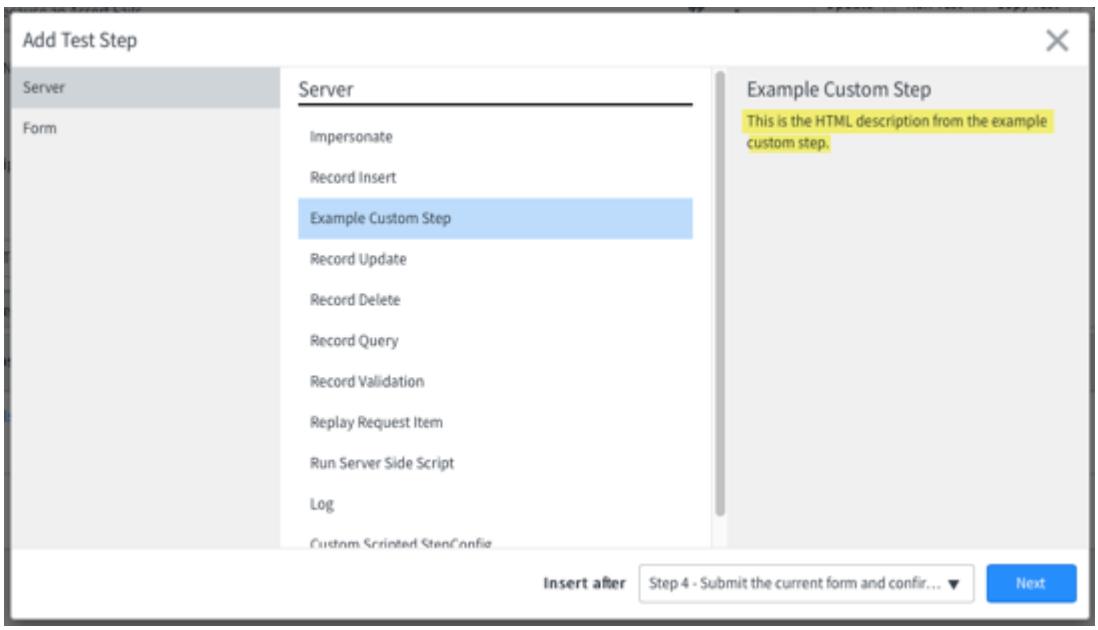
ここには、カスタム ステップの例という名前のカスタム ステップの新しいレコードフォームの一部があります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳



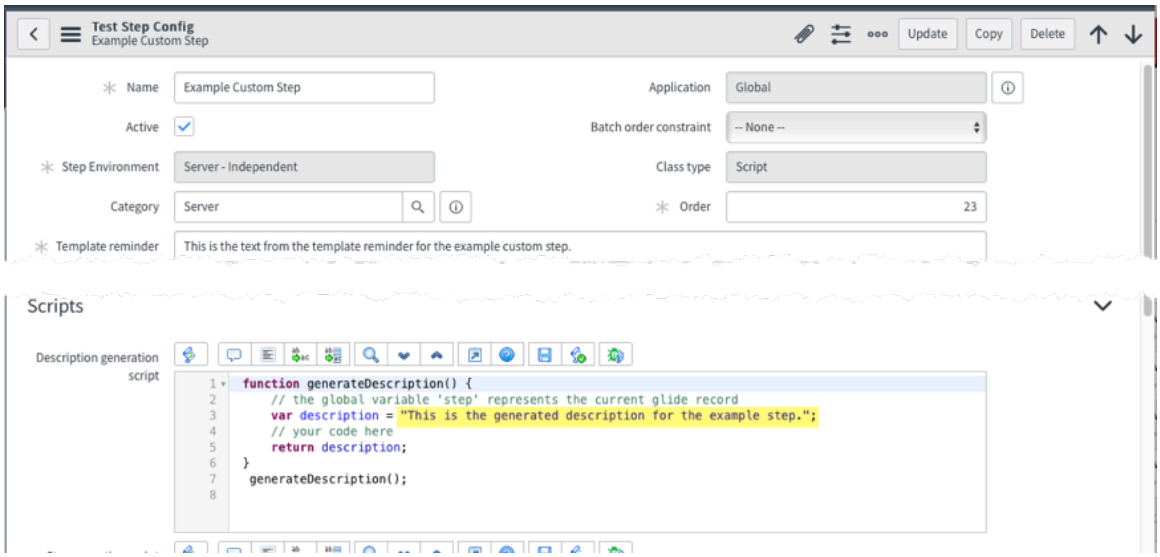
[テスト ステップの追加] ダイアログにステップが表示される方法は次のとおりです。



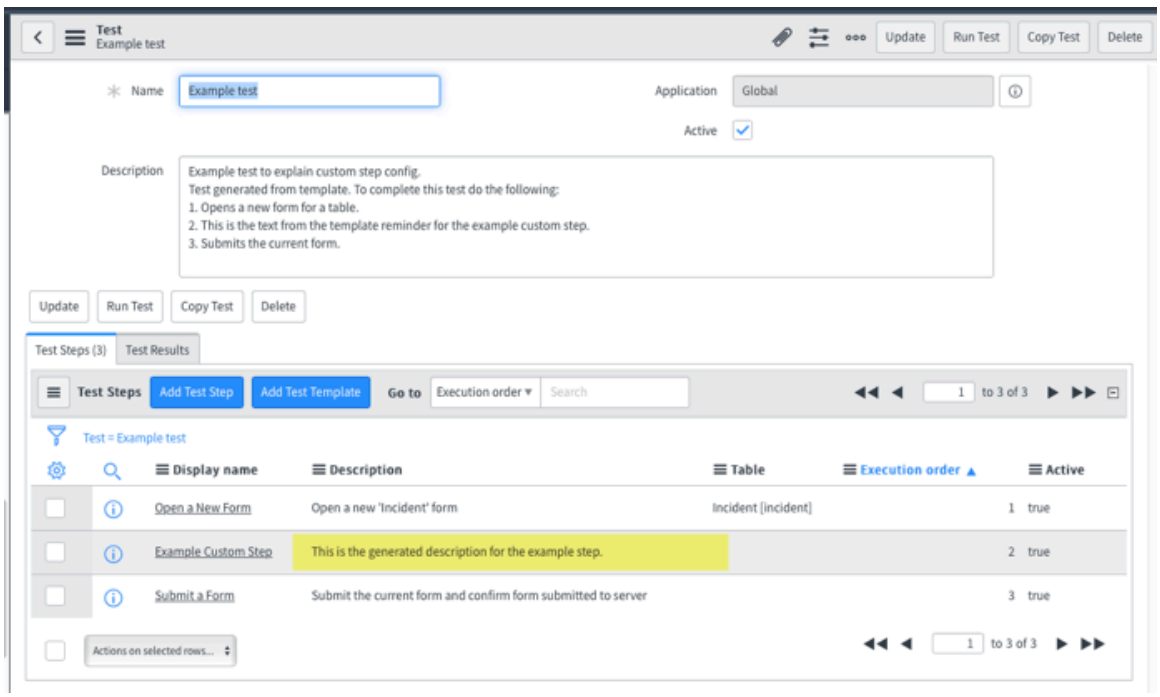
説明生成スクリプトの例

ここには、カスタム ステップの例という名前のカスタム ステップの新しいレコードフォームの一部があります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



このタイプのステップがテストに含まれている場合、生成される説明がテスト ステップ関連リストに表示されます。



ステップ実行スクリプト

ステップ設定レコードでは、ステップ実行スクリプトフィールドによって、この設定のステップが行う実行内容が決定します。

ステップ入力

ステップへの入力変数は、ステップ設定レコード内の入力関連リストによって決定されます。executeScript() の *inputs* パラメーターにより、スクリプトはこれらの変数にアクセスできます。たとえば、入力関連リストに 2 つのレコード *var1* と *var2* が含まれる場合、スクリプトは inputs.var1 という表現で *var1* を、inputs.var2 で *var2* を参照できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステップ出力

ステップへの出力変数は、ステップ設定レコード内の出力関連リストによって決定されます。executeScript() の *outputs* パラメーターにより、スクリプトはこれらの変数にアクセスできます。たとえば、出力関連リストに 2 つのレコード *out1* と *out2* が含まれる場合、スクリプトは outputs.out1 という表現で *out1* を、outputs.out2 で *out2* を参照できます。

ステップ結果

stepResult パラメーターは、ステップの成功/失敗を制御する API へのアクセスを提供します。また、ステップがログに書き込むメッセージも決定されます。

メソッド stepResult.setSuccess() はステップを成功させます。メソッド stepResult.setFailed() はステップを失敗させます。

メソッド stepResult.setOutputMessage() は、ステップが成功または失敗したときにログに書き込まれるメッセージを設定します。1 つのパラメーター、ログに書き込む文字列が必要です。スクリプトが stepResult.setOutputMessage() を複数回呼び出すと、最新の値セットで以前の値が上書きされます。

Example: レコードのクエリーステップ実行スクリプト

```
(function executeStep(inputs, outputs, stepResult) {
    if (gs.nil(inputs.table)) {
      stepResult.setOutputMessage(gs.getMessage("The '{0}' input variable was not
specified",
          'table'));
    stepResult.setFailed();
     return;
}
var query = new GlideRecord(inputs.table);
query.addEncodedQuery(inputs.field_values);
query.query();
if (!query.next()) {
    stepResult.setOutputMessage(gs.getMessage("No records matching query:\n{0}",
       inputs.field_values));
     stepResult.setFailed();
} else {
    stepResult.setSuccess();
    outputs.table = inputs.table;
    outputs.first_record = query.getUniqueValue();
    stepResult.setOutputMessage(gs.getMessage("Found {0} {1} records matching
query:\n{2}",
                                      [query.getRowCount(),
                                       inputs.table,
                                       inputs.field_values]));
}
}(inputs, outputs, stepResult));
```

Example: カスタムスクリプト化されたステップの構成

```
((function executeStep(inputs, outputs, stepResult, timeout) {
// Waits up to the timeout for some asynchronous logic to finish
```

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
// This script checks for completion once a second for up to 60 seconds
var counter = 1;
// Try for up to 60 seconds
while (counter <= timeout) {
 // If the asynchronous logic is finished, return "true" to pass the step
 // isMyAsyncLogicFinished() can be replaced with any asynchronous event that needs to be
tested
 if (isMyAsyncLogicFinished()) {
  stepResult.setOutputMessage("Success!");
  stepResult.setSuccess();
  return;
 }
 // Wait one second, and log the total number of seconds waited
 gs.info("Waited " + counter + " seconds for asynchronous logic to finish");
 sn_atf.AutomatedTestingFramework.waitOneSecond();
 counter++;
}
// If this point is reached, the retry loop ran out of tries; return false to fail the step
stepResult.setOutputMessage("FAILURE: Timed out after waiting for " + timeout + "
seconds");
stepResult.setFailed();
}(inputs, outputs, stepResult, timeout));
```

注:
上記の例は、サーバー側実行スクリプトで stepResult.setSuccess()" と stepResult.setFailed() を return true と return falseに置き換えて使用することもできます。

自動翻訳

ステップ説明生成スクリプト

ステップ設定レコードでは、ステップの説明生成スクリプトフィールドによって、このタイプのステップがテストに追加されたときにシステムが生成するステップの説明が決定されます。

このスクリプトによって生成された説明がどこに表示されるかを示す例については、「説明生成スクリプトの例」を参照してください。

ステップ

generateDescription() の *step* パラメーターは、スクリプトにステップオブジェクトへのアクセスを提供し、ステップ構成レコードで定義されている入力変数へのアクセスを提供します。(入力変数は関連リストに定義されています。)

たとえば、ステップ設定レコードで、入力関連リストに2つのレコード *var1* と *var2* が含まれる場合、スクリプトは step.inputs.var1 という表現で *var1* を、 step.inputs.var2 で *var2* を参照できます。

Example: レコードクエリ説明生成スクリプト

```
(function generateDescription(step) {
var td = GlideTableDescriptor.get(step.inputs.table);
if (!td) {
    gs.log("Invalid table name in test step: " + step.inputs.table);
    return gs.getMessage("Set field values");
}
var descriptionGenerator = new ATFStepDescriptionGenerator();
var description = gs.getMessage("There should be at least one record in '{0}' matching " +
```

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
                "a query of\n{1}",
                [step.inputs.table.getDisplayValue(),
                descriptionGenerator.getConditionDescription(step.inputs.table,
step.inputs.field_values)]);

  return description;
  })(step);
```

スクリプト化されたステップへの出力変数の追加

次の手順を実行して、[サーバー側実行スクリプト] および [カスタムスクリプト StepConfig] テストステップに出力を追加します。

[サーバー側実行スクリプト] テストステップへの出力の追加

[サーバー側実行スクリプト] テストステップのテストスクリプトを変更して、任意の追加出力を作成します。

始める前に
必要なロール：admin または atf_test_admin

手順

1. 移動先 すべて > 自動テストフレームワーク **(ATF)** > アドミニストレーション > ステップ設定.
2. [サーバー側実行スクリプト] を検索して選択します。
   読み取り専用の [テストステップ構成] フォームが表示されます。

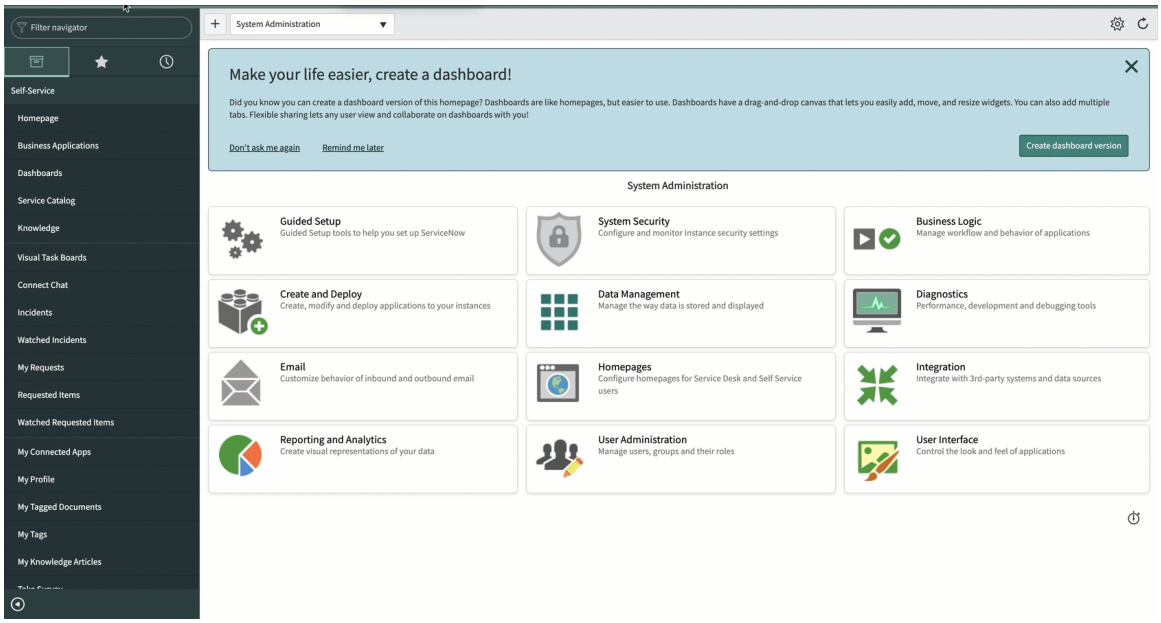
   注:
   フォームは読み取り専用ですが、新しい出力変数を作成できます。

3. [出力変数] 関連リストまで下にスクロールします。
   デフォルトの出力変数のリストが表示されます。
4. [新規] をクリックして新しい出力変数を作成します。

フィールド	入力値
タイプ	出力変数のタイプ
アプリケーション	ユーザーのスコープ
ラベル	ユーザーに表示される出力変数の名前
列名	スクリプトで使用される変数名
最大長	データタイプの長さ。 **注:** このフィールドは、すべてのデータタイプに表示されるわけではありません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



新しい出力変数が [出力変数] 関連リストに追加されます。

5. 移動先 自動テストフレームワーク **(ATF)** > テスト.
6. 新しい出力変数を実装するテストを選択します。
7. [テストステップを追加] をクリックします。
8. [サーバー側実行スクリプト] テストステップを検索して選択します。
9. 指示に従って、[テストスクリプト] に記載される出力を変更します。

```
outputs.<column_name> = "<desired value>";
```

10. [送信] をクリックします。
    これで、新しく作成された出力変数をテストの後続のステップで使用する準備ができました。

[カスタムスクリプト **StepConfig**] テストステップでの出力の追加

[カスタムスクリプト StepConfig] テストステップをコピーし、コピーしたバージョンに出力を追加してカスタマイズします。

始める前に

必要なロール：admin または atf_test_admin

手順

1. 移動先 すべて > 自動テストフレームワーク **(ATF)** > アドミニストレーション > ステップ設定.
2. [カスタムスクリプト StepConfig] を検索して選択します。
   読み取り専用の [テストステップ構成] フォームが表示されます。

   注:
   フォームは読み取り専用であるため、テストステップをコピーし、それに出力変数を追加してカスタマイズする必要があります。

3. [コピー] を選択して、テストステップのコピーを作成します。

   注:
   コピーされたバージョンは読み取り専用ではなくなります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

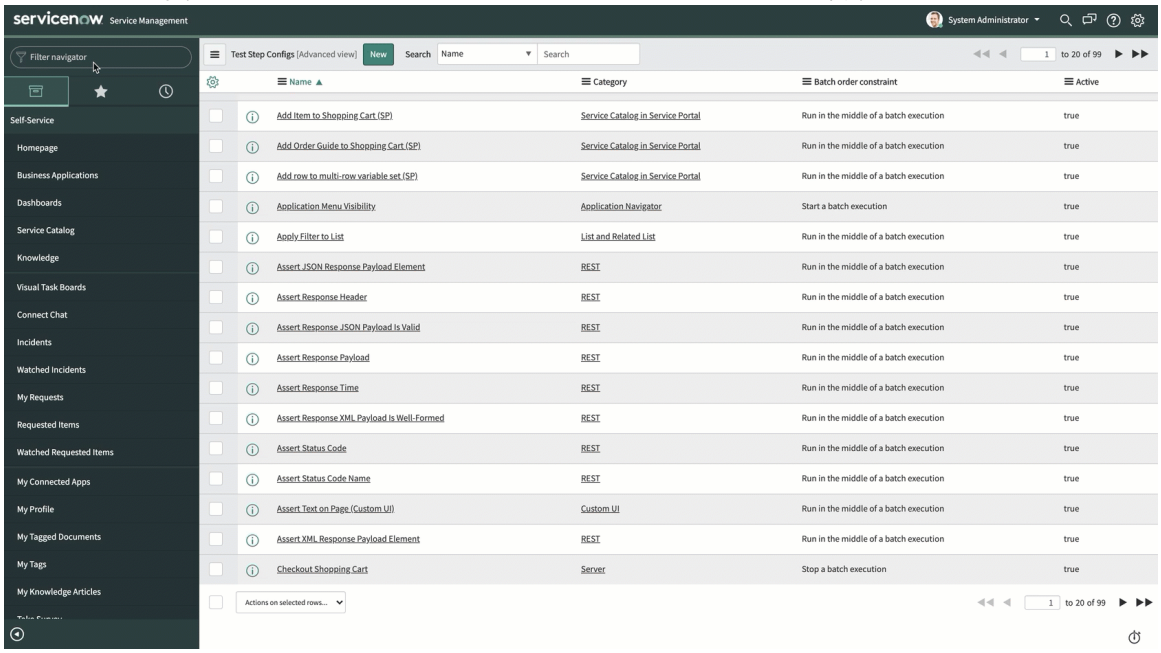
4. 次の手順を実行して、コピーしたバージョンに出力変数を追加します。

   a. [出力変数] 関連リストで [新規] を選択します。

   b. 出力変数を追加して [ステップ実行スクリプト] を変更します。
   出力変数を追加するには、「[サーバー側実行スクリプト] テストステップへの出力の追加」を参照してください。

   > **注:**
   > コピーされたバージョンでのみ、これらの手順を使用してテストステップをカスタマイズできます。

5. テストでは必要に応じて、コピーしたバージョンのテストステップを再利用します。



テストテンプレート

テストテンプレートモジュールは使用可能なテンプレートのリストを開きます。このモジュールから、テストテンプレートを作成、表示、および編集します。

テストテンプレートを表示または編集するには、目的のテンプレートの行をクリックします。詳細については、「自動テストステップテンプレートの編集」を参照してください。

新しいテンプレートを追加する方法については、「自動テストステップテンプレートの作成」を参照してください。テストの作成時にテンプレートを使用する方法については、「自動テストにステップ (テンプレート) の定義済みリストを追加する」を参照してください。

自動テストテンプレートレコード

テストテンプレートレコードには、1 つのテストテンプレートに関する情報が含まれています。

フィールド

フィールド/要素	説明
名前	このテストテンプレートの名前。
アプリケーション	システムがこのテストまたはテストスイートを実行するアプリケーションスコープ。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド (続く)

フィールド/要素	説明
テストテンプレート	このテンプレートに含めるテスト。
説明	(オプション) このテストテンプレートの目的を識別するための説明を入力します。

ステップ構成カテゴリ

ステップ設定カテゴリモジュールは、[ステップの追加] ダイアログでステップカテゴリを指定するレコードリストを開きます。このモジュールから、これらのカテゴリを追加、削除、および編集できます。

カテゴリは、ダイアログでステップリストをフィルターにかけるために使用します。詳細については、「カテゴリフィールドの例」を参照してください。

テストステップ設定カテゴリフォーム

テストステップ設定カテゴリフォームでは、特定のテスト結果テーブルのレコードセットに対する保持ポリシーを指定します。

フィールド

フィールド/要素	説明
名前	このステップ設定カテゴリの名前。
ステップ環境	このステップの設定カテゴリのステップ環境。
表示名	このカテゴリが選択されたときに、[テストステップの追加] ダイアログの中央の列に表示されるカテゴリ名。「ステップ設定カテゴリ表示名」の例を参照してください。
アプリケーションスコープ	このポリシーが適用されるアプリケーションスコープ。

テーブルクリーンアップ

テーブルのクリーンアップモジュールは、テスト結果テーブルおよびテストスイートの結果テーブル、およびその中のレコードの、保持ポリシーを指定するレコードリストをオープンします。このモジュールから、これらのポリシーを表示および変更できます。

デフォルトでは、テスト結果およびテストスイートの結果に関連するレコードは作成から 30 日後に削除されます。 テーブルとそのレコードの保持ポリシーを変更するには、ポリシーを変更するテーブルをクリックします。詳細についてはATF テスト結果のデータ保持ポリシーの変更 を参照してください。

注:
テーブルクリーンアップポリシーはプラットフォーム固有のポリシーです。詳細については、「テーブルクリーナー」を参照してください。

自動フラッシュフォーム

自動フラッシュフォームでは、特定のテスト結果表のレコードセットに対する保存ポリシーを指定します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド

フィールド/要素	説明
テーブル名	ポリシーが適用されるレコードを含むテーブル。
一致フィールド	システムが期間を監視するフィールド。
経過時間(秒)	レコードを削除するまでにシステムが待機する時間(秒)。
アクティブ	このポリシーがアクティブな場合は **True**です。そうでない場合は **false**。
アプリケーションスコープ	このポリシーが適用されるアプリケーションスコープ。
カスケード削除	オンにすると、一致するすべてのレコードとそれを参照するレコードがすべて削除されます。チェックを外すと、一致するレコードは削除されますが、それを参照するレコードは参照されません。
条件	ポリシーが適用されるこのテーブルのレコードを定義するフィルター条件。

注:
テーブルクリーンアップポリシーはプラットフォーム固有のポリシーです。詳細については、「テーブルクリーナー」を参照してください。

ステップ環境

テストステップ環境は、ステップが実行される場所を指定します (サーバーかブラウザーか、など)。このリリースでは、カスタムステップ設定はサーバー独立環境のみを使用できます。

このリリースでは、カスタムテストステップ環境を追加することはできません。

テスト生成

Creator Pro Plus 製品の一部として利用可能な ServiceNow の テスト生成 スキルを活用して、自動テストオーサリングを簡素化します。テスト要件を記述するだけで、 テスト生成 テストが生成されます。その後、生成されたテストを承認する前にレビューしたり、更新されたプロンプトで編集したりできます。

注:
テスト生成 では、自動テストフレームワーク (ATF) が提供する基盤を活用します。詳細については 自動テストフレームワーク (ATF) (ATF) ドキュメントを参照してください。

テスト生成スキルは、ネクストエクスペリエンス UI ユーザーのみが使用できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

開始

探索

アップグレード管理コンソールの詳細

使用方法

アップグレードにはツール、関連情報、ガイド付きセットアップを使用してください

参照

アップグレード管理コンソールに関するその他の情報

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

トラブルシューティングとサポート

- に関する質問または回答 テスト生成 の ServiceNow コミュニティ
- 既知のエラーポータルで既知のエラー記事を検索する

詳細については、 Now Assist ドキュメントを参照してください。

AI の制限事項

このアプリケーションは、データ内のパターンに基づいて予測を生成する急速に進化している研究分野である人工知能 (AI) と機械学習を使用しています。その結果、このアプリケーションは必ずしも正確、完全、または適切な情報を生成するとは限りません。さらに、このアプリケーションがユースケースに合わせて完全にトレーニングまたはテストされているという保証はありません。これらの問題を軽減するために、ユースケースに対する正確性、害、および適切性について、このアプリケーションの使用をテストおよび評価し、出力を人間が監視し、意思決定の目的で AI で生成された出力のみに依存しないようにするのは、ユーザーの責任です。これは、医療、ファイナンス、法務、雇用、セキュリティ、インフラストラクチャなど、結果が影響を与える分野にこのアプリケーションを展開することを選択した場合に特に重要です。ServiceNow の AI 利用規定に従うことに同意するものとします。このポリシーは ServiceNow によって更新される場合があります。

データ処理

このアプリケーションでは、ServiceNow 顧客の個々のインスタンスから一元化された ServiceNow 環境にデータを転送する必要があります。この環境は、インスタンスが存在するデータセンターとは異なるデータセンターリージョンに配置されている可能性があり、場合によっては Microsoft Azure などのサードパーティクラウドプロバイダーにも転送されます。このデータは、コアコンプライアンスポータルから利用可能なポリシーを含む、ServiceNow の内部ポリシーと手順に従って処理されます。

データコレクション

ServiceNow は、このアプリケーションの入力、出力を収集して使用し、出力を編集して、ServiceNow モデルや AI 製品などの ServiceNow テクノロジーを開発および改善します。お客様は、「」で説明されているように、いつでも将来のデータコレクションをオプトアウトできます。 Now Assist オプトアウトページ.

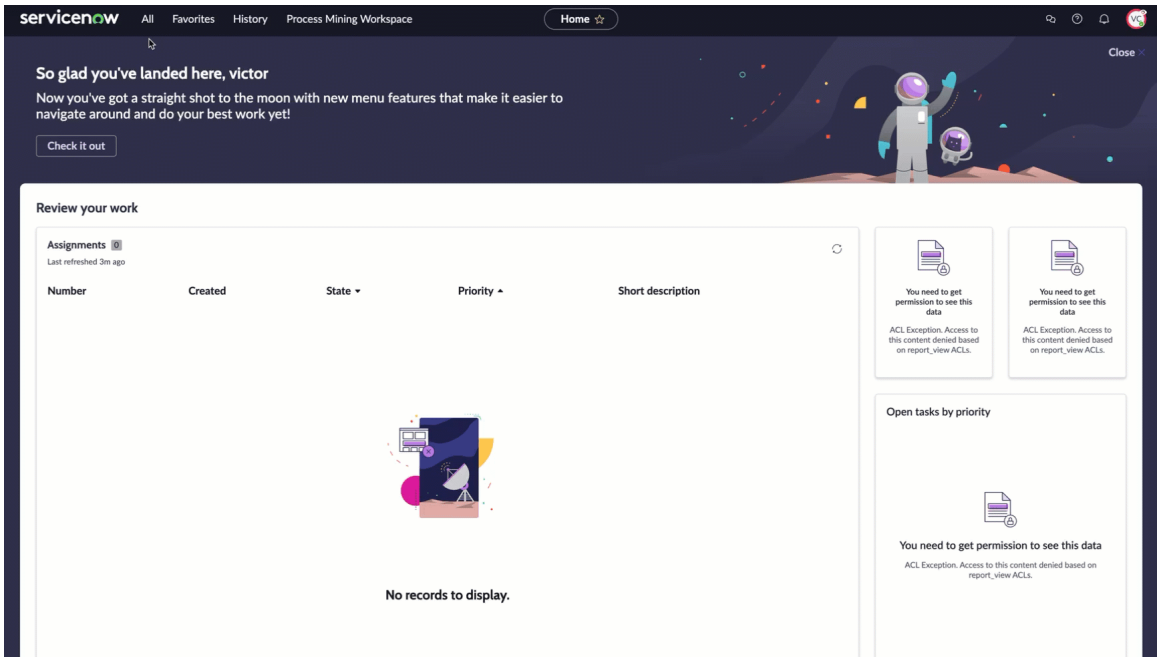
テスト生成 の探索

テスト生成アプリケーションを初めて使用する場合は、この概要を読んで、アプリで何ができるかを確認してください。

gif に従って、AI の力を活用して自然言語からテストを作成します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



テスト生成の概要

テスト生成アプリケーションでテストの自動化に革命を起こします。テスト要件の概要を説明するだけで、包括的なテストスクリプトが生成されます テスト生成 。その後、生成されたテストを正確な仕様に合わせて調整できます。これは、次のことを実現するのに役立ちます。

- テスト生成 ストアアプリケーションは、テストケースの作成プロセスを簡素化し、手作業と時間を大幅に削減します。
- 高レベルのテスト要件のみを提供できるため、プロセスはよりアクセスしやすく、技術的ではありません。
- テスト生成 アプリケーションは包括的なテストケースを生成し、徹底したテストカバレッジを保証します。
- 最終的な目標が達成されるまで、生成されたテストを保存せずにプロンプトを変更し続けることができます。

すべての Now Assist スキルと AI エージェントの AI モデルプロバイダーとして、Now LLM サービス、Azure OpenAI、Google Gemini、または Anthropic Claude on AWS を使用できます。での構成コントロールの使用 AI コントロールタワー 利用可能なオプションを定義するには、次でスキルレベルの設定を行います Now Assist アドミン 慰める. 詳細については、「Large language models on the ServiceNow AI Platform」を参照してください。

テスト生成 ユーザー

テスト生成 には次のユーザーがいます。

ユーザー	説明
system_admin + now.assist.creator	このロールは、 テスト生成 ストアアプリケーションのセットアップと テスト生成 テストの作成に必要です。
atf_test_admin + now.assist.creator	このロールは、ATF テストのセットアップと書き込み、 テスト生成 アプリケーションへのアクセス、 テスト生成 テストの作成に必要です。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ユーザー	説明
atf_test_designer + now.assist.creator	このロールは、ATF テストの作成とデバッグ、テスト生成 アプリケーションへのアクセス、 テスト生成 テストの作成を行うことができます。
atf_ws_designer + now.assist.creator	このロールは、テスト開発用の Web サービス モジュールへのアクセス、Web サービステストのビルド、ATF テストの作成、 テスト生成 アプリケーションへのアクセス、および テスト生成 テストの書き込みを行うことができます。

テスト生成 のメリット

メリット	機能	ユーザー
テスト生成の自動化	を使用したテストの生成 テスト生成	システムアドミニストレーターおよび Creator Pro
生成されたテストをプレビュー後に編集する	を使用した生成されたテストの編集 テスト生成	システムアドミニストレーターおよび Creator Pro

次に探索する内容

テスト生成の使用の詳細については、以下を参照してください。

- テスト生成 の使用
- テスト生成の参照情報

テスト生成 の使用

Now Assist テクノロジーの機能を活用して、 テスト生成 アプリケーションでのテストの作成を簡素化します。

包括的なテストを自動的に生成するには、 テスト生成 アプリケーション内に以下を実装します。

を使用したテストの生成 テスト生成

テスト生成を使用して、テストプロセスを簡素化および自動化します。目的のテストを記述すると、Now Assist で強化された テスト生成 アプリケーションによって必要なテストが自動的に生成されます。

始める前に

必要なロール:admin または now.assist.creator

手順

1. 移動先 すべて > 自動テストフレームワーク **(ATF)** > テスト.
   テストのリストが表示されます。
2. [**Now Assist** で作成] をクリックし、Now Assist を使用してテストを作成します。
   標準の ATF インターフェイスでステップを選択して、通常の ATF テストを作成することもできます。通常の ATF テストを作成するには、[**Now Assist** で作成] ボタンの横にある [自分で作成] ボタンを選択します。
   新しい [テスト] フォームが表示されます。
3. 地球アイコンから アプリケーション スコープを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

4. **[Now Assist** の指示] フィールドにテキストプロンプトを入力します。

   注:
   目的の出力を得るために予想されるテストを包括的に説明することをお勧めします。

5. [テストプレビューを生成] をクリックして、プレビューテストを生成します。
   [テストプレビュー] ページが表示されます。

   注:
   テストプレビューページは読み取り専用コンテンツであり、直接編集することはできません。生成されたプレビューテストを変更する場合は、[テストプレビュー] ページの **[Now Assist** の指示] フィールドでプロンプトを編集できます。詳細については、「テスト生成」を参照してください。

6. オプション: プロンプトを変更した場合は、[テストプレビューの再生成] をクリックします。

   注:
   この手順は、[テストプレビュー] ページでプロンプトを変更した場合にのみ適用されます。[テストプレビューを再生成] ボタンは、プロンプトを更新した場合にのみ有効になります。

7. テストの生成が完了したら、[保存] をクリックしてテストを開きます 。

   注:
   生成されたテストを保存しない場合は、[テストを破棄] をクリックすることもできます。

   作成したテストが表示されます。

   注:
   生成されたテストは、テストを受け入れた場合にのみアクティブなテストとして指定されます。承認または却下のいずれかを選択しない場合、テストは保存されますが、アクティブフラグは false に設定されます。

   保存した後にテストを編集する場合は、[テストステップ] 関連リストの任意のアクションを使用して変更できます。詳細については、「を使用した生成されたテストの編集 テスト生成」を参照してください。

を使用した生成されたテストの編集 テスト生成

テスト生成プロセスでプレビューが生成された後、 テスト生成 生成されたテストを編集できます。

次のいずれかの方法を使用して、プロセスの現在のステージに応じたテストを編集できます。

テストが保存される前

1. [テストプレビュー] ページの **[Now Assist** の指示] フィールドでプロンプトを編集します。
2. [テスト プレビューの再生成] をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テストの保存後

1. 生成されたテストの [テストステップ] 関連リストまで下にスクロールします。
2. テストステップをさらに追加する場合は、[テストステップを追加] をクリックします。

> **注:**
> 既存のテスト行を選択し、選択した行に実装するアクションを選択することもできます。テスト作成プロセスの任意の時点でテストステップを編集することもできます。

テスト生成の参照情報

参照トピックには、 テスト生成 アプリケーションに関する追加情報が記載されています。

テスト生成 デザインの検討

これらの設計上の考慮事項に従うことで、 テスト生成 の可能性を最大限に活用してください。

テスト生成 レコードとコンポーネント

テスト生成 アプリケーションには、次のレコードとコンポーネントがあります。

テスト
: テストは、機能の何らかの機能性を検証する自動化された関連テストステップの論理的なグループです。各テストはテスト [sys_atf_test] テーブルのレコードです。テストデザイナーは通常、1 つの機能または関連機能のグループを検証するためのテストを作成します。

テストステップ
: テストステップは、ステップを実行するために必要な実行時テストデータとステップ構成を組み合わせます。テストステップは常に、テストで実行される順序を指定します。テストステップには、ステップ結果の独自の関連リストがあります。各テストステップは、テストアクション、ステップ構成、および実行順序を指定するテストステップ [sys_atf_step] テーブル内のレコードです。テスト設計者は、機能を検証するテストにテストステップを追加します。

例外

- テスト生成 は、次のテストステップカテゴリをサポートしていません。
  - カスタム UI
  - リスト
  - サービスポータルのサービスカタログ
  - サービスポータルのフォーム
- テスト生成 ServiceNow Store が提供するスコープ対象アプリ用。テストは、グローバルスコープまたはカスタムスコープのいずれかで作成できます (ServiceNow デフォルトスコープのアプリを除く)。
- テスト生成 は、スクリプトとカスタムスクリプトをサポートしていません。

最小要件

テスト生成 アプリケーションの使用を開始するための要件は次のとおりです。

- Yokohama へのアップグレード
- Creator Pro Plus SKU を購入する

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- ServiceNow Store から テスト生成 アプリケーションをダウンロードしてインストールします
- アクセスするには、now.assist.creator ロールが必要です テスト生成

プロンプトのデザインに関する考慮事項

効果的なプロンプトのガイド付き原則に従って、目的のテストを生成します。

- テストステップを説明する明確で簡潔な ATF プロンプト
- スコープと機能を検討する テスト生成
  - テスト生成 は ATF テストを作成するための Now Assist 支援スキルです
  - テストは、現在使用しているアプリケーションスコープで作成されます
  - その他のタイプの機能テストまたは連携テストは テスト生成 範囲外です
  - テスト生成 既存の ATF テストを更新または削除することはできません
- テスト生成 は以下をサポートしています
  - フォーム:フォームを開く/送信、フィールドの検証/可視化、UI/宣言アクション、およびモーダルボタン。各フォーム API は、service_operations_workspace、asset_workspace、cmdb_workspaceなどのワークスペースを formUI タイプとしてサポートしています。
  - サーバー操作:代理操作/ユーザーの作成、ログメッセージ、レコード CRUD、要求の再現、カタログアイテムの検索、買い物かごのチェックアウト。
  - メール:送受信メールの生成、返信、送信、検証
  - アプリケーションナビゲーター:モジュールに移動、メニュー/モジュールの表示
  - レポート:レポートの可視化、ダッシュボードの可視化と共有
  - サービスカタログ:カタログアイテムを開く/注文する、カートにアイテムを追加する、アイテム数量を設定/検証する、注文を送信する、数量、価格、および変数ステータスを検証する

良い **vs.** プロンプトの比較が正しくありません

適切で効果的なプロンプト	不適切で無関係なプロンプト	比較の説明
Bill McDermott という名前の新しいユーザーを作成し、「itil」ロールを割り当てるテストを作成します。新しいインシデントレコードを作成し、[簡単な説明] を「自分の新しいテストレコード」に更新してから、レコードの説明を検証します。問い合わせユーザーを Bill McDermott に、影響度と緊急度のカテゴリを [2- Medium] に更新して、レコードを送信します。レコードを削除し、削除のログを作成します。	新しいレコードを開くには、新しいユーザー Bill McDermott が必要です。[My new test record] という名前であることを確認します発信者をユーザーに、影響度と緊急度のカテゴリを中型に更新します。レコードを削除し、削除のログを作成します。	不適切なプロンプトは、次の理由で無関係で不完全です。 • ユーザーロールが定義されていません • 新規ユーザーの定義が不十分です。新しいユーザーを作成するのか、代理操作を行うのかが不明です • 名前のレコード処理に関する定義が不十分です • 申請者フィールドの更新に関する特定の情報はありません • 使用するカテゴリ値について特定されていない
「incident record test」という名前の ATF テストを作成	アドミンがインシデントレコードを作成するための ATF テス	この悪いプロンプトには、次の機能が欠けています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

良い **vs.** プロンプトの比較が正しくありません (続く)

適切で効果的なプロンプト	不適切で無関係なプロンプト	比較の説明
し、アドミンの代理操作を行い、新しいインシデントレコードを作成してから、レコードの簡単な説明を「例からフィールドをテスト更新」に更新し、レコードを削除してから、「レコードが削除されました」というメッセージをログに記録します	トを作成します。例から説明テスト更新フィールドを作成します。次に、レコードを削除します	• モデルが理解できるように「新規ユーザーの作成」または「代理操作」を指定しません • 説明名の設定に関する想定が不明確 • 説明の名前の正確な位置が不明
Apple iPhone 13 カタログアイテムを開くテストを作成し、色を「ピンク」に設定し、月間データ許容量を 500 MB に設定し、価格が 800.00 ドルであることを検証し、価格を記録します	iPhoneを開くテストを書き、色はピンク、データは500である必要があります。価格は 800 にする必要があります。価格をログに記録	不適切なプロンプトは、次の理由で不完全です。 • カタログアイテムエンティティが呼び出されていません • フィールド値設定の設定や更新などのキーワードがありません • 月次データ許容量に対して指定された不完全なフィールド ID • 価格検証の不明確な期待 • 価格に $ サインがありません

パフォーマンスアナライザー

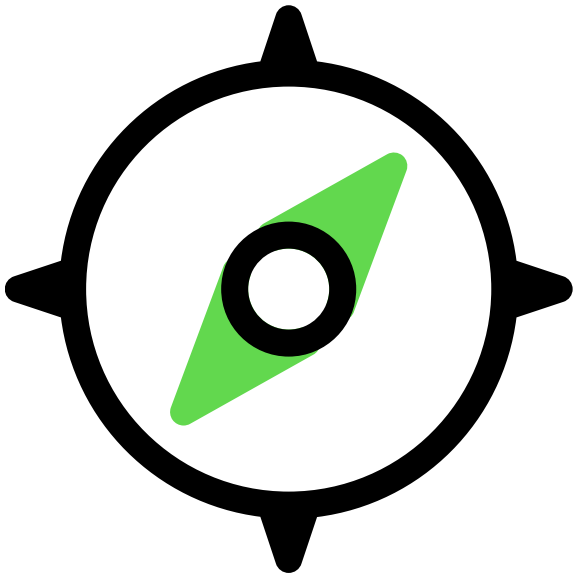
ServiceNow® パフォーマンスアナライザーアプリケーションを使用すると、ページロード時のデータ、傾向、およびウォーターフォールの可視化にインスタンスから直接アクセスできます。また、UX フレームワークページのページパフォーマンスの問題とボトルネックを個別に特定するのにも役立ちます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

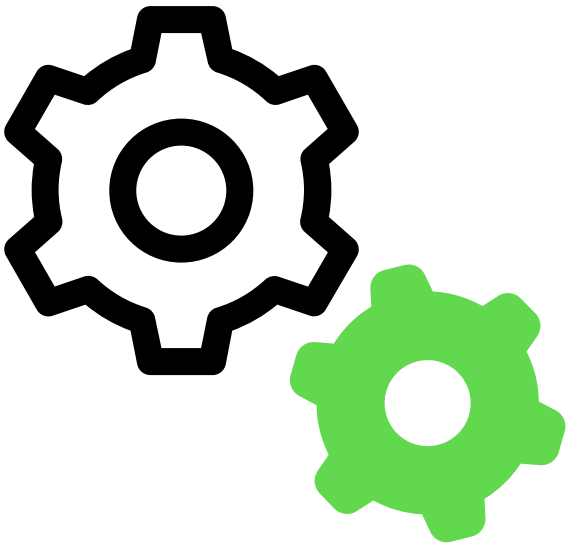
開始するには

探索



パフォーマンスアナライザーの概念と機能について説明します。

構成

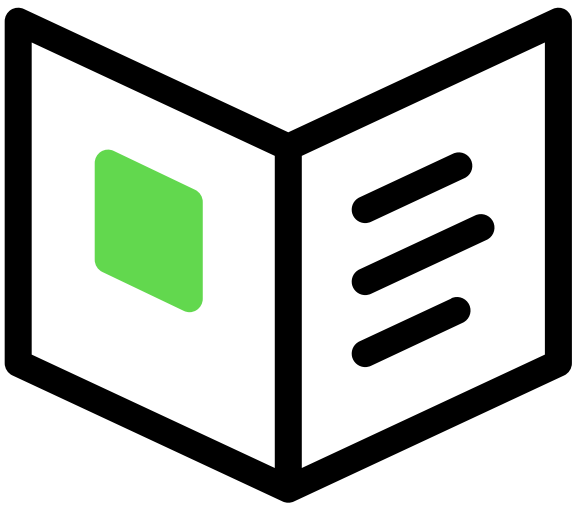


Performance Analyzer 環境を構成してアクセスします。

テスト

パフォーマンスアナライザーを使用してアプリケーションのパフォーマンスをテストします。

参照



パフォーマンスアナライザーの追加情報を取得します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Performance Analyzer の詳細

パフォーマンスアナライザーの概念と機能について説明します。

パフォーマンスアナライザー の概要

パフォーマンスアナライザーアプリケーションを使用すると、ページロード時のデータ、傾向、およびウォーターフォールの可視化にインスタンスから直接アクセスできます。また、UX フレームワークページのページパフォーマンスの問題とボトルネックを個別に特定するのにも役立ちます。

- 構造化されたツリー状のタイムラインで実行シーケンスとして表示されるウォーターフォールまたは要求フローを表示します。
- インスタンスでページロード時間データを直接受信します。
- アプリケーションおよびルートごとに集計されたメトリクスにアクセスします。

パフォーマンスアナライザー の機能

期間でフィルター

過去 15 分間から過去 7 日間までの期間を選択すると、各アプリケーションのその期間の集計データが表示されます。集計データには、合計 UI 時間、ダウンロード時間、傾向、およびその期間の以前のパフォーマンスとの比較が含まれます。

アプリケーションメトリクス

アプリケーションを選択して、合計 UI 時間とダウンロード時間でメトリクスをフィルタリングし、ページルートのパフォーマンスを表示します。

ページルートメトリクス

アプリケーション内のページルートを選択して、タイムスタンプ、インタラクションタイプ、合計 UI 時間、ダウンロード時間、レコードなどのインタラクションメトリクスを表示します。

インタラクションメトリクス

ページルート内のインタラクションを選択すると、そのインタラクション中のページ上の各リソースの詳細を含むウォーターフォールが表示されます。

Performance Analyzer の構成

Performance Analyzer 環境を構成してアクセスします。

Zurich リリース以降、パフォーマンスアナライザーはインスタンスで自動的に使用できるようになります。

以前のインスタンスでパフォーマンスアナライザーにアクセスするには、ServiceNow® Store からパフォーマンスアナライザーをインストールします。アクセスしてください ServiceNow Store アプリケーションを表示し、ストアに要求を送信する方法に関する情報を提供する Web サイト。

パフォーマンスアナライザーを使用したアプリケーションのテスト

パフォーマンスアナライザーを使用してアプリケーションをテストする方法に関する情報を取得します。

期間別にメトリクスを取得

過去 15 分間から過去 7 日間の期間で パフォーマンスアナライザー のメトリクスをフィルタリングします。

アプリケーションメトリクスを取得

パフォーマンスアナライザーでアプリケーション別にメトリクスをフィルタリングします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ページルートメトリクスを取得

パフォーマンスアナライザーで、ページのルート別にアプリケーションのメトリクスをフィルタリングします。

インタラクションメトリクスを取得

パフォーマンスアナライザーでのインタラクションによるアプリケーションのページルートのフィルターメトリクス。

期間別にメトリクスを取得

過去 15 分間から過去 7 日間の期間で パフォーマンスアナライザー のメトリクスをフィルタリングします。

始める前に
必要なロール：admin

手順

1. 移動先 すべて > ネクストエクスペリエンス開発者ツール > パフォーマンスアナライザー.
2. [期間] フィールドで、リストから期間を選択します。

タスクの結果
パフォーマンスアナライザーには、選択した期間のアグリゲートメトリクスが表示されます。

アプリケーションメトリクスを取得

パフォーマンスアナライザーでアプリケーション別にメトリクスをフィルタリングします。

始める前に
必要なロール：admin

手順

1. 移動先 すべて > ネクストエクスペリエンス開発者ツール > パフォーマンスアナライザー.
2. [アプリケーション] フィールドからアプリケーションを選択します。

タスクの結果
パフォーマンスアナライザーは、合計 UI 時間、ダウンロード時間、傾向など、選択したアプリケーションのページルートメトリクスを表示します。

ページルートメトリクスを取得

パフォーマンスアナライザーで、ページのルート別にアプリケーションのメトリクスをフィルタリングします。

始める前に
必要なロール：admin

手順

1. 移動先 すべて > ネクストエクスペリエンス開発者ツール > パフォーマンスアナライザー.
2. [アプリケーション] フィールドからアプリケーションを選択します。
3. [ページルート] フィールドからページルートを選択します。

タスクの結果
パフォーマンスアナライザーは、合計 UI 時間やダウンロード時間など、選択したページルートのインタラクションメトリクスを表示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インタラクションメトリクスを取得

パフォーマンスアナライザーでのインタラクションによるアプリケーションのページルートのフィルターメトリクス。

始める前に
必要なロール：admin

手順

1. 移動先 すべて > ネクストエクスペリエンス開発者ツール > パフォーマンスアナライザー.
2. [アプリケーション] フィールドからアプリケーションを選択します。
3. [ページルート] フィールドからページルートを選択します。
4. [タイムスタンプ] フィールドからタイムスタンプを選択します。

タスクの結果
パフォーマンスアナライザーは、インタラクション中にページ上の各リソースの詳細を含むウォーターフォールを表示します。

パフォーマンスアナライザー の参照

パフォーマンスアナライザーの追加情報を取得します。

のヘルプ パフォーマンスアナライザー

パフォーマンスアナライザー、ServiceNowインスタンス、プラグイン、権限などのサポートを受けるには、短いビデオを視聴して、会社で働くServiceNowアドミンにお問い合わせください。

パフォーマンスアナライザーのヘルプ

パフォーマンスアナライザー、ServiceNowインスタンス、プラグイン、権限などのサポートを受けるには、短いビデオを視聴して、会社で働くServiceNowアドミンにお問い合わせください。

Now Supportアドミニストレーターから今すぐサポートを受ける

社内の ServiceNow アドミンは、プラグインのアクティブ化、アップグレードの開始、アカウントのロック解除、ユーザー権限の更新などをサポートします。

https://player.vimeo.com/video/1056112088?h=1a5cd3b245&badge=0&autopause=0&player_id=0&app_id=58479

アプリケーションの展開

アプリケーションを本番環境に公開して、ユーザーに提供します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

でパイプラインを使用して展開を管理する AEMC

App Engine 管理センター (AEMC) を使用して、App Engine Studio、クリエータースタジオ、および ServiceNow スタジオ でビルドされたアプリケーションを管理、レビュー、および公開します。

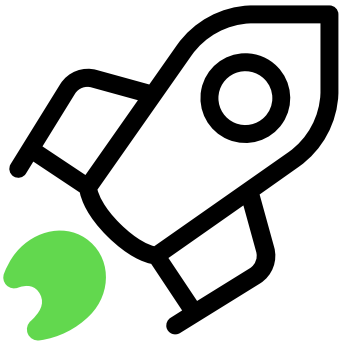
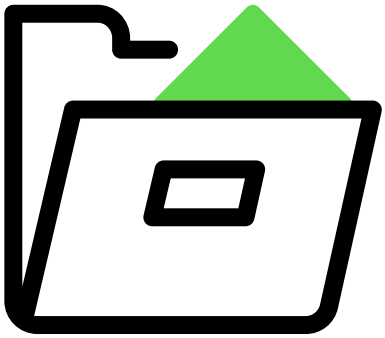
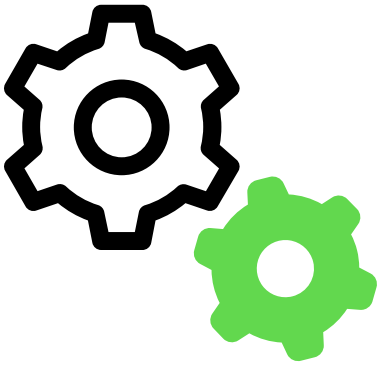
自動翻訳

でパイプラインを使用して展開を管理する AEMC

App Engine 管理センター (AEMC) は、App Engine Studio、クリエータースタジオ、およびServiceNow スタジオで構築されたカスタムアプリケーションを展開するための統一されたエクスペリエンスを提供します。AEMC は、リリースの準備が整い、パイプラインと展開を使用してインスタンス間でアプリケーションを移動します。AEMC では、パイプラインのカスタマイズ、展開要求のレビュー、承認、却下、および展開のスケジュール設定をすべて 1 か所で行うことができます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

コア UI でのアプリケーションの展開

リリース運用	ServiceNow アプリケーションリポジトリ	システムアップデートセット
		
リリース運用 では、カスタムパイプラインを作成し、更新セットを使用してパイプラインインスタンス全体の変更を自動化できます。 リリース運用 は、変更を展開する際の予測可能性と信頼性を向上させ、不要な変更が本番インスタンスにリリースされるリスクを軽減するのに役立ちます。	ServiceNow アプリケーションリポジトリは、ServiceNow のすべての顧客によって公開されている、すべてのスコープ対象のアプリケーションの中心的な場所です。カスタムアプリケーションを開発してテストした後、アプリケーションをこのリポジトリに公開することで、会社のインスタンスでアプリケーションを使用できるようにすることができます。	更新セットはあるインスタンスから別のインスタンスに移動できる構成変更のグループであります。この機能により、アドミニストレーターは一連の変更を名前付きセットにグループ化し、テストまたは展開のために別のシステムにユニットとして移動できます。

自動翻訳

リリース運用

リリース運用 更新セットとカスタマイズ可能なパイプラインを使用して展開プロセスを自動化します。 リリース運用 は、リリースマネージャーとチームに透明性を提供しながら、インスタンス間での変更の移動、スキャンとテストの実行、変更のリリースなど、展開のプロセス全体を調整します。

ServiceNow アプリケーションリポジトリ

ServiceNow アプリケーションリポジトリは、ServiceNow のすべての顧客によって公開されている、すべてのスコープ対象のアプリケーションの中心的な場所です。カスタムアプリケーションを開発してテストした後、アプリケーションをこのリポジトリに公開することで、会社のインスタンスでアプリケーションを使用できるようにすることができます。

システムアップデートセット

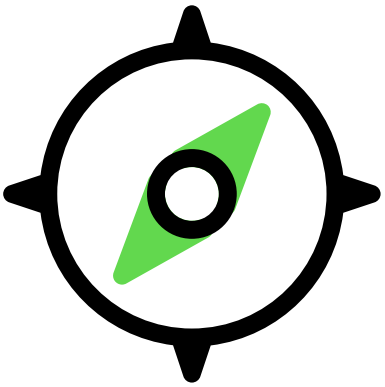
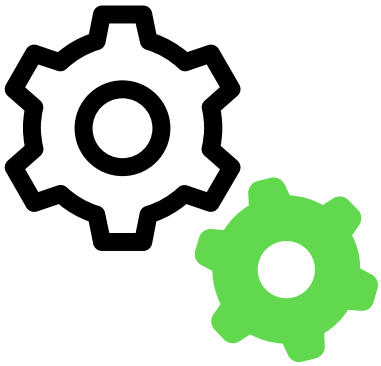
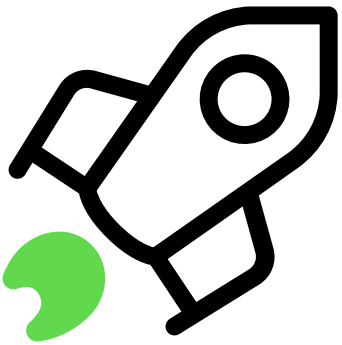
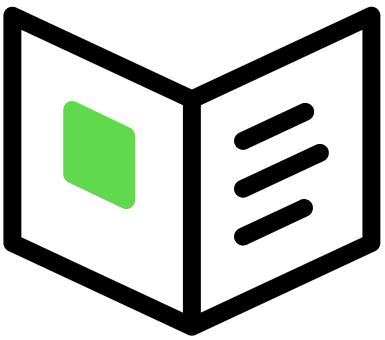
更新セットはあるインスタンスから別のインスタンスに移動できる構成変更のグループであります。この機能により、アドミニストレーターは一連の変更を名前付きセットにグループ化し、テストまたは展開のために別のシステムにユニットとして移動できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

リリース運用

リリース運用 は、パイプライン全体での変更の展開を自動化し、展開の予測可能性と信頼性を高め、変更を本番環境にリリースするリスクを軽減します。

開始

探索	構成	使用方法
		
リリース運用メリットと特長について説明します。	リリース運用の設定を構成します。	リリース運用で展開を管理します。
参照		
		
リリース運用展開とリリースのステータスに関する詳細を取得します。		

役に立つリソース

役立つ情報を提供できる ServiceNow リソースは次のとおりです。

ServiceNow コミュニティ

ServiceNow コミュニティ

Customer Success Center

Customer Success Center

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ディベロッパー

developer.servicenow.com

Impact

http://impact.servicenow.com

ServiceNow University

ServiceNow University

Now Create

Now Create

パートナー

https://www.servicenow.com/partners.html

ServiceNow

http://servicenow.com

ServiceNow Store

http://servicenow.com

支える

- https://support.servicenow.com/now
- 既知のエラーポータル

リリース運用 の探索

ServiceNow® リリース運用 は、変更、カスタマイズ、およびカスタムアプリを ServiceNow AI Platformに展開する際の問題の解決策です。展開プロセスを自動化することで、 リリース運用 展開の予測可能性と信頼性を高めると同時に、不要な変更を本番環境にリリースするリスクを軽減します。

リリース運用の概要

リリース運用ServiceNow AI Platformに変更、カスタマイズ、およびカスタムアプリケーションを展開するプロセスを自動化および拡張します。リリース運用 は、インスタンス間の信頼と認証情報の共有を内部的に管理することで、既存のパイプライン展開プロセスを改善し、カスタムパイプラインのセットアップと構成を簡素化します。リリース運用により、更新セットを使用して変更を展開し、ServiceNow スタジオ開発環境内から直接展開をトリガーできます。さらに、 リリース運用 は ServiceNow プレイブック の自動化機能を活用するため、エラーが発生しにくく、手動の展開が可能になります。

リリース運用リリースまでの展開を処理します。リリースでは、どの変更、カスタマイズ、またはカスタムアプリを本番 (またはターゲット) インスタンスに移動するか、および変更をいつ展開するかを定義します。リリース内の変更は 、展開要求に含まれています。各展開要求には、1 つ以上の更新セットまたはアプリケーションのインストールが含まれます。リリースと展開要求の詳細については、「 のリリース リリース運用 」および「 での展開要求 リリース運用」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

リリース運用 ユーザー

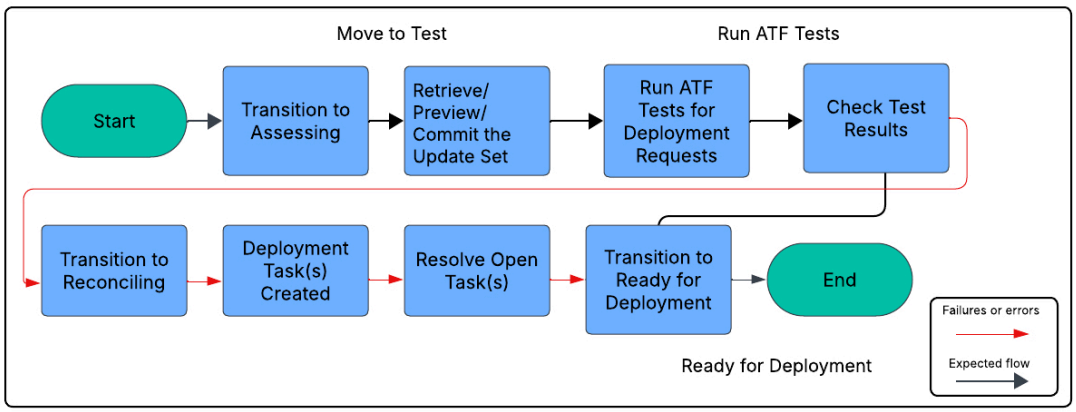
ユーザー

ロール	説明
パイプラインマネージャー	パイプラインマネージャーは、プレイブックのカスタマイズを含む、パイプラインの作成と管理を担当します。パイプラインは、展開のフローを定義します。
リリースマネージャー	リリースマネージャーは、リリースの作成とスケジューリング、およびリリースの内容が適切で正しいことを確認する責任があります。リリースマネージャーは、リリースの基準を満たさない展開要求アイテムを削除できます。
開発者	開発者は、パイプラインを介して完了したアプリケーションのインストールまたは作業の更新セットをプッシュするための展開要求を作成する責任があります。
テスター	テスターは、デプロイを続行できるようにするために発生した ATF テストの失敗を承認する責任があります。テスターはそれを開発に送り返すこともできます。

リリース運用 のワークフロー

これは、 リリース運用 とともにインストールされるサンプルパイプラインワークフローです。パイプラインマネージャーは、必要に応じてカスタマイズできます。

リリース運用 サンプルパイプラインワークフロー



従来の開発からテストから本番へのワークフローでは、次のようになります。

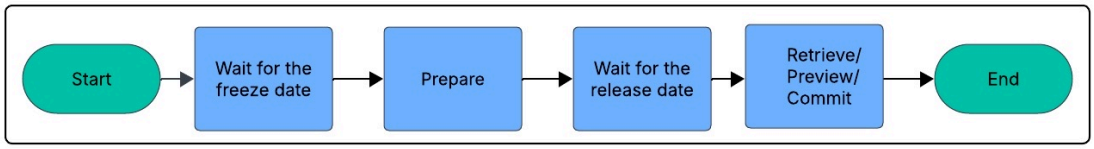
1. リリースマネージャーは、パイプラインに関連付けられたリリースを作成します。
2. 開発者は、更新セットを作成して昇格させ、既存の展開要求に追加するか、またはリリースをターゲットとする新しい展開要求を作成します。
3. リリースはパイプラインを進みます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- アセスメントステージは、展開要求から非本番インスタンスを介して変更を移行し、展開分析を行い、スキャンとテストを実行するように設計されています。
- アセスメントに失敗した場合は、テスターがサインオフするか、対処するために開発者にリダイレクトできる展開タスクが作成されます。
- リリースステージでは、スケジュール日までにアセスメントに合格した展開要求のすべての変更が本番環境に移動されます。以下のサンプルリリースワークフローを参照してください。

ReleaseOps サンプルリリースワークフロー



従来のリリースワークフローでは、次のようになります。

1. リリースマネージャーはリリースを作成し、そのステータスを [アクティブ] に設定します。
2. 予定された凍結日に、リリースは展開の準備を開始します。
3. 準備プロセス中、準備ができていない展開要求は保留に設定され、将来のリリースに添付できます。
4. 準備プロセスが完了すると、リリースステータスは [展開の準備完了] に設定されます。
5. リリース日になると、展開要求の更新セットは、最後のインスタンスで展開された順序でテストから本番環境に移行します。
6. リリース要求と展開要求が [完了] に設定されます。

リリース運用 のメリット

リリース運用のメリット

メリット	機能	ロール
ターゲットインスタンスにインストールするアプリケーションまたは更新の要件を定義します。	のパイプライン リリース運用	パイプラインマネージャー
本番環境または別のターゲット環境に変更を展開します。	のリリース リリース運用	リリース管理
展開要求を含むパイプラインを通じて完了した作業のアプリケーションインストールまたは更新セットをプッシュします。	での展開要求 リリース運用	開発者
Deployment Analyzer を使用して、本番インスタンスまたはターゲットインスタンスの現在のステータスに対する変更について、展開要求をスキャンします。これらの結果を使用して、パイプラインでのアクションを決定します。	の展開アナライザー リリース運用	開発者

次に探索する内容

リリース運用を構成して使用する方法の詳細については、以下を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- リリース運用の構成
- リリース運用を使用した展開の管理
- 展開用に更新セットを昇格させる
- スケジュール済みリリースの展開要求を作成する
- オンデマンドリリースの展開要求を作成する
- 既存の展開要求に更新セットを添付する
- リリースの作成

のパイプライン リリース運用

パイプラインは、 リリース運用における展開のフローです。パイプラインのフローはプレイブック内で定義され、必要に応じてカスタマイズできます。

パイプラインは 2 つのステージで構成され、それぞれが独自のプレイブック (アセスメントステージとリリースステージ) で表されます。

- アセスメントステージは、個々の展開要求の変更を非本番インスタンスを介して移動し、展開分析を行い、スキャンとテストを実行するように設計されています。
- リリースステージは、スケジュールされた日付までにアセスメントに合格したメンバー展開要求全体でリリース内のすべての変更を本番環境に移動します。

リリース運用 には、基本的なパイプラインのデモを行うサンプルプレイブックが含まれており、会社のプロセスに合わせてカスタマイズすることを意図しています。これらのプレイブックは、リリース展開プレイブック、展開要求アセスメントプレイブック、およびオンデマンド展開要求アセスメントプレイブックです。

サンプル に含まれるプレイブック リリース運用

プレイブック	ステージ	説明
展開要求アセスメントプレイブック	標準/スケジュール済みリリースのアセスメントステージ	展開要求の更新セットをテストインスタンスに移動し、(展開要求とパイプラインで指定されている) 定義済み 自動テストフレームワーク (ATF) (ATF) テストを実行します。
オンデマンド展開要求アセスメントプレイブック	オンデマンドリリースのアセスメントステージ	展開アナライザーを実行し、サンプルルールでインスタンススキャンして、オンデマンド展開を有効または無効にします。ATF テストは実行しません。
リリース展開プレイブック	リリースステージ	リリースを準備します。これには、準備ができていない展開要求をリリースから移動し、更新セットの順序を計算することが含まれます。オンデマンドリリースとスケジュール設定済みリリースの両方に使用されます。

パイプラインは中間インスタンスをプレイブックにマッピングします。たとえば、サンプルプレイブックはテストインスタンスを参照しており、物理展開インスタンスにマッピングする必要があり

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ます。実際のパイプラインは、展開要求で指定されたソースインスタンスから、リリースで指定された宛先インスタンスまで実行されます。中間インスタンス (Test など) はパイプラインで定義されます。ATF テストスイートをパイプラインレベルで指定して、特定のパイプラインが使用されたときに実行されるテストのリストを強制することもできます。

パイプラインでは、カスタムプレイブック、 リリース運用 に含まれるデフォルトのプレイブック、またはその両方の組み合わせを使用できます。異なるインスタンス定義をマッピングし、プレイブックで参照することで、複数のパイプラインで同じプレイブックを活用できます。

のリリース リリース運用

スケジュール済みリリースおよびオンデマンドリリースでは、 リリース運用を使用してターゲットインスタンスに変更を展開できます。リリースには、1 つ以上の展開要求を含めることができます。

リリースの作成

通常、リリースマネージャーは、リリースを作成し、チームまたは組織のリリースワークフローをリリース周期にマッピングする責任があります。

任意の時点で利用可能な単一のリリースストリームまたは複数のリリースストリームが存在する可能性があります。ただし、ターゲットインスタンスに展開できるリリースは 1 つのみです。

たとえば、組織で定義する次の 2 つのリリーストラックがあるとします。

- 毎週金曜日の 10:00 にリリースが毎週実施されます。
- 優先度の高いリリースは毎日 12:00 に毎日行われます。

毎週のリリーストラックと毎日のリリーストラックは問題なく共存できます。

リリースの作成の詳細については、「 リリースの作成」を参照してください。

リリースタイプ

事前に計画およびスケジュールされているリリースは、 スケジュール済みリリースと見なされます。これらのリリースは、1 つ以上の展開要求で構成できます。リリースの各展開要求には、1 つ以上の更新セットを含めることができます。

オンデマンドリリース は、アプリケーションの欠陥にパッチを適用するための変更の展開など、必要に応じて動的に作成されます。開発者が展開要求を作成し、オンデマンドリリースのオプションを選択すると、 リリース運用 リリースを動的に作成して、この要求をターゲットインスタンスに送信します。その結果、オンデマンドリリースに添付できる展開要求は 1 つだけです。

重要:
オンデマンドリリースの変更は、できるだけ早くターゲットに展開することを意図しています。ただし、オンデマンドリリースは、組織のパイプラインのチェックに合格する必要があります。これにより、変更が組織のコンプライアンスおよびガバナンスポリシーの要件、および品質保証チェックの要件を満たしていることを確認できます。オンデマンド要求がこれらのチェックに合格すると、デプロイはすぐに続行されます。

リリース運用 には、展開をイントロスペクションするために提供されるツールである Deployment Analyzer が含まれています。Deployment Analyzer を使用すると、リリースアドミニストレーターは、特定のタイプのコード変更のみを行うなど、オンデマンドリリースが特定の基準を満たしていることを確認できます。詳細については、「の展開アナライザー リリース運用」を参照してください。

での展開要求 リリース運用

展開要求には、1 つ以上の更新セットが含まれ、リリースに含まれています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

デプロイ要求は、コードを本番環境に移動するための構成要素です。更新セットを含め、開発者が移動させたいコンテンツをキャプチャします。展開要求には、開発者がそのコードをいつどのように本番環境に導入するかが記述されています。

の展開アナライザー リリース運用

Deployment Analyzer は、リリースの更新セットをルールに照らしてレビューし、カスタマイズ可能なルールに準拠していることを確認します。

Deployment Analyzer は、指定された展開要求 (およびそれに含まれる更新セット) をスキャンします。Deployment Analyzer は、本番インスタンス (またはターゲットリリース環境) の現在のステータスと比較して、変更をチェックします。展開アナライザーはプレイブックアクティビティとして動作し、その結果を利用して展開プロセスのさまざまなアクションを決定できます。

デフォルトでは、展開アナライザーには 5 つのルールがあります。詳細については、「Deployment Analyzer のルール」を参照してください。

必要に応じて、ルールタイプ、定義、およびルールを作成できます。新しいルールがプレイブックの条件付きセットアップに自動的に表示されます。

リリース運用の構成

開発からテスト、本番に変更を移行するように リリース運用 を構成します。

構成の概要

1. リリース運用 をインストール

   リリース運用 エコシステムに参加している各インスタンスにリリース運用をインストールします。

2. 新しい リリース運用 エコシステムの構成

   サンプルパイプラインとプレイブックを使用して環境を構成します。

3. を使用したインスタンスのマルチインスタンス管理の構成 リリース運用

   開発インスタンスとテストインスタンスが本番インスタンスによって管理されていることを確認します。

4. カスタムパイプラインを作成

   サンプルプレイブックを複製し、会社のニーズを満たすパイプラインを作成します。

リリース運用 をインストール

ServiceNow Store からリリース運用を初めてインストールします。

始める前に
必要なロール：admin

リリース運用にはマルチインスタンスエコシステムが関係するため、リリース運用エコシステム内の各インスタンス (開発、テスト、本番など) でこの手順を完了する必要があります。

手順

1. ServiceNow Store の Web サイトを開きます。
2. 検索バーに「ReleaseOps」と入力し、キーボードの Enter キーまたは Return キーを押します。
3. リリース運用 タイルを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

4. [取得] を選択します。
5. ServiceNow ユーザー ID でサインインします。
6. インスタンスでインストールを実行し、すべてのプラグインを承認します。
   インスタンスへの ServiceNow　Store アプリケーションのインストールの詳細については、「Install an application or plugin」を参照してください。

タスクの結果
リリース運用 が使用しているインスタンスにインストールされます。

新しい リリース運用 エコシステムの構成

サンプルパイプラインとプレイブックを使用して新しい リリース運用 エコシステムを構成し、開発からテスト、本番インスタンスへの変更の展開を開始します。

このタスクについて
このタスクでは、サンプルパイプラインとプレイブックを使用して リリース運用 エコシステムを構成できます。リリース運用 のカスタム パイプラインの詳細については、「カスタムパイプラインを作成」を参照してください。

始める前に
必要なロール：admin

すべてのインスタンス (本番、開発、およびテスト) に リリース運用 がインストールされていることを確認します。テストインスタンスにも ATF テストジェネレーターとクラウドランナー がインストールされている必要があります。詳細については、「リリース運用 をインストール」を参照してください。

すべての非本番インスタンス (開発およびテスト) を本番インスタンスで管理できるように、マルチインスタンス管理が構成されていることを確認します。詳細については、「を使用したインスタンスのマルチインスタンス管理の構成 リリース運用」を参照してください。

手順
1. 本番インスタンスで、 リリース運用 エコシステムに参加する各インスタンスの展開インスタンスレコードを作成します。

   注:
   リリース運用サンプルリリースパイプラインの場合、次の 3 つのインスタンスがあります。
   - 開発
   - テスト
   - 本番

   a. 移動先 すべて > リリース運用 > 展開インスタンス.
   b. [新規] を選択して、リリース運用 エコシステムに参加している各インスタンスに新しいレコードを追加します。
   c. [インスタンス] フィールドを選択し、リリース運用 エコシステムに追加するインスタンスを選択します。
   d. [インスタンスタイプ] フィールドを選択し、リストから正しいインスタンスタイプを選択します。
   e. **[Submit** (送信)] を選択します。
   f. リリース運用 エコシステムに参加する各インスタンスについて、手順 b ～e を繰り返します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

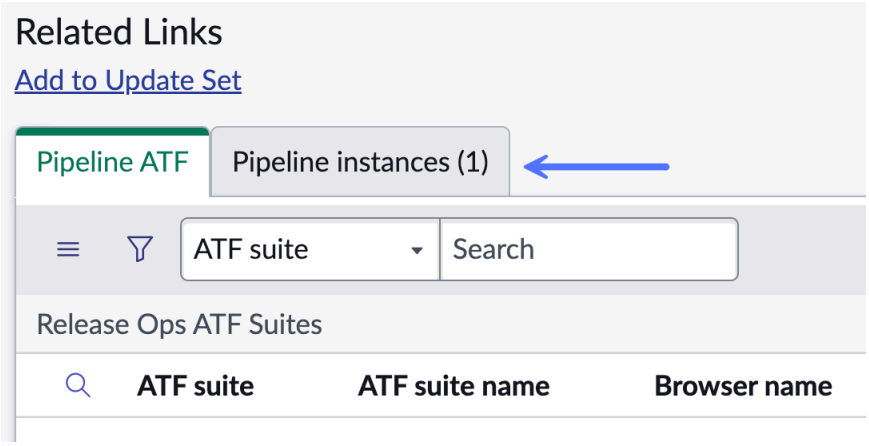
2. 本番インスタンスで、各サンプル リリース運用 パイプラインのテストインスタンスを構成します。
サンプル リリース運用 パイプラインの場合は、テストインスタンスの新しいパイプラインインスタンスのみを構成する必要があります。これらの環境は展開要求とリリース内で定義されているため、開発インスタンスと本番インスタンスのパイプラインインスタンスを構成する必要はありません。

   カスタム リリース運用 パイプラインの場合、開発インスタンスを除く、 リリース運用 エコシステムに参加する非本番インスタンスに対して追加のパイプラインインスタンスを構成できます。カスタム パイプラインの詳細については、「 カスタムパイプラインを作成」を参照してください。

   a. 移動先 すべて > リリース運用 > パイプライン.

   b. リストからいずれかのサンプルパイプラインレコードを選択します。

   c. パイプラインレコードで、[関連リンク] セクションの [パイプラインインスタンス] タブを選択します。



   d. [パイプライン インスタンス] タブで、 [新規] を選択します。

   e. 新しいパイプラインインスタンスフォームで、[展開インスタンス] フィールドの [リストから参照] アイコン ( ) を選択し、リストからテストインスタンスを選択します。

   f. [ラベル] フィールドで、[テスト] を選択します。

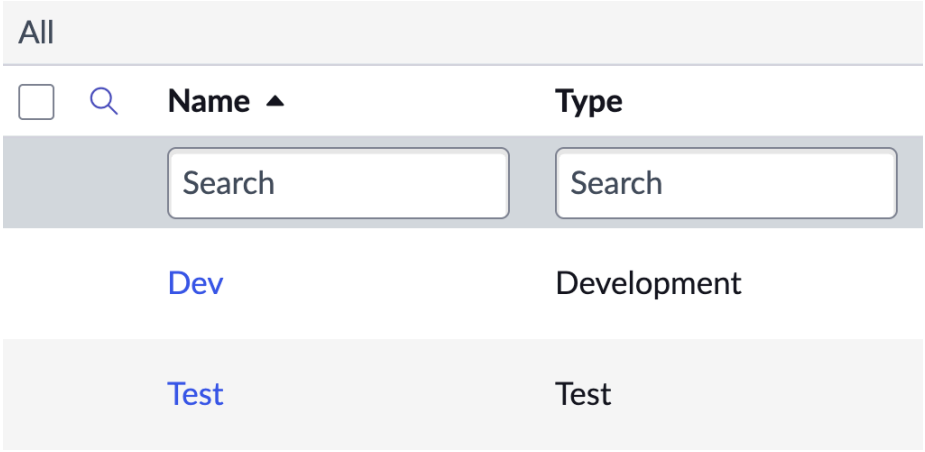
   g. **[Submit** (送信)] を選択します。

   h. ステップ b-g のプロセスを繰り返して、各サンプル パイプラインのテスト インスタンスを構成します。

3. 本番インスタンスで、 すべて > システムアップデートセット > 更新ソース また、開発インスタンスとテストインスタンスの両方に有効な更新ソースが定義されていることを確認します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

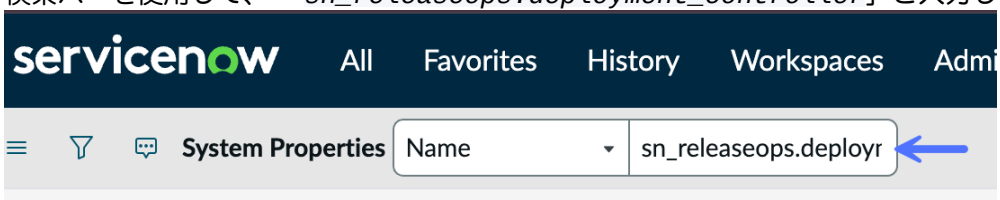


注:
開発インスタンスとテストインスタンスの両方に有効な更新ソースが定義されていない場合は、次の場所に移動して定義できます すべて > システムアップデートセット > 更新ソース
開発インスタンスとテストインスタンスで、新しい更新ソースレコードを作成します。

4. テストインスタンスで、 すべて > システムアップデートセット > 更新ソース を行い、開発インスタンスに対して有効な更新ソースが定義されていることを確認します。
5. 開発インスタンスで、プロパティ *sn_releaseops.deployment_controller* を本番 (または展開コントローラー) URL に設定します。

   a. 移動先 すべて > システムプロパティ > すべて.

   b. 検索バーを使用して、「*sn_releaseops.deployment_controller*」と入力します。



   c. *sn_releaseops.deployment_controller*するレコードを選択します。

   d. [値] フィールドに、本番 (または展開コントローラー) インスタンスの URL を入力します。

   e. **[Update** (更新)] を選択します。

タスクの結果
リリース運用 は、開発からテスト、本番インスタンスに変更を展開する準備ができています。

を使用したインスタンスのマルチインスタンス管理の構成 リリース運用

マルチインスタンス構成を管理して、 リリース運用 エコシステム内の複数のインスタンスにアクセスできるようにします。

始める前に
必要なロール:admin または sn_mif.mif_admin

マルチインスタンス管理を構成する前に、 リリース運用 をインストールしておく必要があります。詳細については、「リリース運用 をインストール」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

すべての非本番 (開発およびテスト) インスタンスは、 リリース運用 エコシステムに参加するために、本番インスタンスによって管理されるインスタンスとして設定する必要があります。詳細については、「Cross-instance application trust configuration」を参照してください。

手順

1. 本番インスタンス内で、次に移動します: すべて > マルチインスタンス管理 > 管理対象インスタンス.
2. [マネージド インスタンスの追加] を選択します。
3. [マネージド インスタンスの追加] ダイアログで、 リリース運用 エコシステムに追加する各インスタンスのチェック ボックスをオンにします。

   注:
   Shift キーを押したままにすると、一度に複数のインスタンスを選択できます。

4. [要求の送信] を選択して、選択したインスタンスに要求を送信します。
5. 開発インスタンスとテストインスタンス内で、 すべて > マルチインスタンス管理 > マネージャーインスタンス.
6. 本番インスタンスから作成されたレコードを開きます。
7. [マネージャーインスタンスを承認] を選択します。

Trouble?
信頼プロファイルエラーが発生した場合は、管理対象インスタンスとマネージャーインスタンスの両方が正しく設定され、承認されていることを確認してください。詳細については、「Cross-instance application trust configuration」を参照してください。

カスタムパイプラインを作成

リリース運用プレイブックの 1 つを複製して、変更を本番環境からテストに移行するカスタムパイプラインを作成します。

始める前に
必要なロール:releaseops.pipeline_admin および playbook.admin または pd_author

プレイブックの詳細については、「 Exploring playbooks」を参照してください。

手順

1. リリース運用プレイブックのいずれかを複製します。
   a. 移動先 すべて > ワークフロースタジオ をクリックし、目的のプレイブックを選択します。
   b. 新しいプレイブックの名前を入力し、その他の必要な詳細を更新します。
   詳細については、「Duplicate Playbooks」を参照してください。
2. 必要に応じて、プレイブックでステージを追加または更新します。

   注:
   特定のステージは、フローの特定の部分で意味があります。たとえば、展開アナライザーは、展開ステータスが [テストに移動] の前に実行されます。他のステージは、[テストに移動] の後または [ATF テストの実行] の後に実行する必要があります。通常、[展開準備完了] の後には何も追加しないでください。

   詳細については、「Add and configure a stage in a playbook」を参照してください。
3. 必要に応じて、プレイブックで意思決定を追加または更新します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

詳細については、「Decision activities」を参照してください。

4. [アクティブ化] を選択して更新を完了し、新しいプレイブックを使用できるようにします。
5. 新しいプレイブックを活用するパイプラインを作成します。

   a. 移動先 すべて > リリース運用 > パイプライン [新規] を選択します。

   b. パイプラインに名前を付け、[アセスメントプレイブック] フィールドと [リリースプレイブック] フィールドでプレイブックを選択します。
   両方に独自のカスタムプレイブックを使用することも、カスタムプレイブックとサンプルプレイブックを組み合わせて使用することもできます。

   c. [パイプライン] フォームのヘッダーを右クリックし、[保存] を選択します。

6. 新しく作成したパイプラインで、[パイプラインインスタンス] 関連リストを見つけて、[新規] を選択します。
   a. [テスト] ラベルを選択します 。
   b. 展開インスタンスを選択します。
   c. **[Submit** (送信)] を選択します。

例:アセスメントプレイブックを作成する

展開要求アセスメントプレイブックを複製して、カスタムパイプラインを作成し、非本番環境を介して変更を行います。展開アナライザーを追加して、展開にコード変更があるかどうかを検出し、アセスメント中に自動テストフレームワーク (ATF) テストをスキップします。

始める前に
必要なロール:releaseops.pipeline_admin および playbook.admin または pd_author

手順

1. 展開要求アセスメントプレイブックを複製します。
   a. 移動先 すべて > ワークフロースタジオ をクリックし、 展開要求アセスメント プレイブックを選択します。
   b. [その他のアクション] メニューから [複製] を選択します。
   c. 新しいプレイブックの名前を入力し、その他の必要な詳細を更新します。
2. [開始] の後の [+] アイコンを選択してプレイブックに新しいステージを追加し、ラベル (「展開の分析」 など) を入力します。

   注:
   特定のステージは、フローの特定の部分で意味があります。たとえば、展開アナライザーは、展開ステータス ([テストに移動]) の前に実行されます。他のステージは、[テストに移動] の後または [ATF テストの実行] の後に実行する必要があります。通常、[展開準備完了] の後には何も追加しないでください。

3. [**Deployment Analyzer** を実行] アクティビティを追加します。
4. 新しく追加した [Deployment Analyzer の実行] アクティビティを選択して構成します。
   a. 追加オプションモーダルで [自動化] タブを選択します。
   b. モーダルの [入力] セクションで、アイコンを選択し、[親レコード - 展開要求] を選択します。
   c. **[Save and close** (保存して閉じる)] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

5. プレイブックの [ATF テストの実行] セクションを見つけ、[+] アイコンを選択して [評価への移行] アクティビティの後に新しい決定を追加し、[意思決定の追加 **(if/then)]** を選択します。
詳細については、「Decision activities」を参照してください。
6. 新しく追加された意思決定を選択して構成します。
   a. [分岐] タブを選択し、ラベル (「テストをスキップ」など) を入力します。
   b. [条件を追加] を選択します。
   c. [フィールド] ドロップダウンメニューから、 **1.1 Deployment Analyzer** > 出力 > コード変更あり.
   d. [演算子] ドロップダウンメニューから選択します。
   e. [True/False] ドロップダウンメニューから **[false**] を選択します。
   f. [保存して閉じる] を選択します。
7. [Skip Tests] 分岐にカーソルを合わせて **[Drag new connector**] アイコンを選択し、[Create Test Failure Task] の後の接合部にコネクタをドラッグします。
既定のブランチが [デプロイの ATF テストの実行] に接続されていることを確認します。
8. [アクティブ化] を選択して更新を完了し、新しいプレイブックを使用できるようにします。
9. アセスメントプレイブックを活用するパイプラインを作成します。
   a. 移動先 すべて > リリース運用 > パイプライン [新規] を選択します。
   b. パイプラインに名前を付け、[アセスメントプレイブック] フィールドで新しく作成したプレイブックを選択します。
   c. [パイプライン] フォームのヘッダーを選択して長押し (または右クリック) し、[保存] を選択します。
10. 新しく作成したパイプラインで、[パイプラインインスタンス] 関連リストを見つけて、[新規] を選択します。
    a. [テスト] ラベルを選択します 。
    b. 展開インスタンスを選択します。
    c. **[Submit** (送信)] を選択します。

タスクの結果

これで、デフォルトの展開要求アセスメントプレイブックから作成したカスタムプレイブックをアセスメントステージに活用するカスタムパイプラインを使用する準備が整いました。

注:

- パイプラインインスタンスラベル (上記の例では、ステップ 10a で入力した テスト ラベル) は、プレイブックで参照されているインスタンスにインスタンス定義をマッピングするために使用されます。インスタンス定義をインスタンスラベルにマッピングすると、トポロジが異なる (ただしプロセスは同じ) 複数のパイプライン定義でプレイブックを使用できます。たとえば、別のパイプラインレコードを作成して同じプレイブックに関連付けることができますが、別のテストインスタンスマッピングを定義します。
- プレイブックのソースインスタンスは展開要求で定義されるため、1 つのリリースで複数のソース環境または開発環境を使用できます。
- 宛先インスタンスはリリースで定義されているため、同じパイプラインを再利用して複数の宛先または本番環境にリリースできます。
- 中間インスタンスのみをマッピングする必要があります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

リリース運用を使用した展開の管理

リリース運用を使用して、リリースを管理し、変更をターゲットインスタンスに展開するプロセスを自動化します。

リリース運用ServiceNow AI Platformの自動化機能を活用してパイプラインを介した展開を簡素化し、チームが自信を持ってリリースを管理し、変更を展開できるようにします。リリース運用により、展開のための変更を簡単に昇格させることができます。変更が展開用に昇格されたら、リリースのニーズに合わせて調整された展開要求 (スケジュール済みまたはオンデマンド) を作成できます。リリース運用 は、展開要求の検証とテストのプロセスを自動化し、ターゲットインスタンスへの展開に対して変更が安定していることを確実にします。変更が検証されてテストされると、変更は自動的にターゲットインスタンス (多くの場合は本番インスタンス) にリリースされます。

リリース運用リリースのさまざまなコンポーネントとリリース運用展開プロセスの詳細については、「リリース運用 の探索」を参照してください。

次のリストは、 リリース運用 が達成するのに役立つタスクの概要を示しています。

- リリースマネージャーはリリースを作成して、リリース日をスケジュールし、リリースを適用する開発者とアプリケーションを選択できます。
- 開発者は、展開のために変更を昇格させることができます。
- 開発者は、スケジュールされたリリースとオンデマンドリリースの展開要求を作成し、更新セットを添付できます。
- 開発者は展開タスクを調整して、展開要求をパイプライン経由で進めることができます。

展開用に更新セットを昇格させる

変更を展開する準備ができたら、更新セットを昇格させて展開プロセスを開始します。

始める前に

必要なロール:developer または release_admin

> **注:**
> 開発インスタンスまたは展開用に変更を昇格させるインスタンスで、sn_releaseops.deployment_controller プロパティを設定する必要があります。

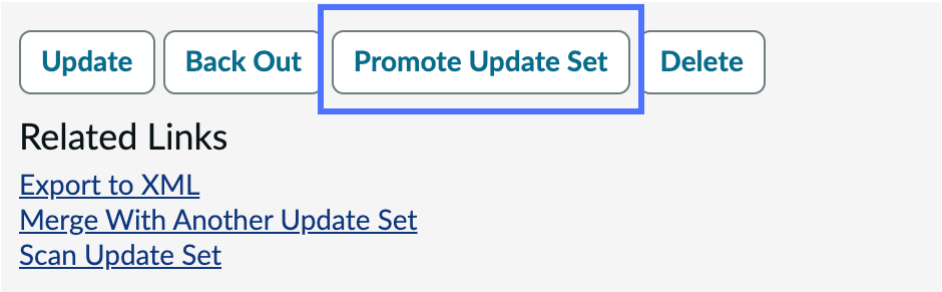
この手順では、更新セットが既に作成された後に、展開用に更新セットを昇格させるプロセスについて説明します。更新セットを作成するプロセスの詳細については、「 システムアップデートセットの使用」を参照してください。

手順

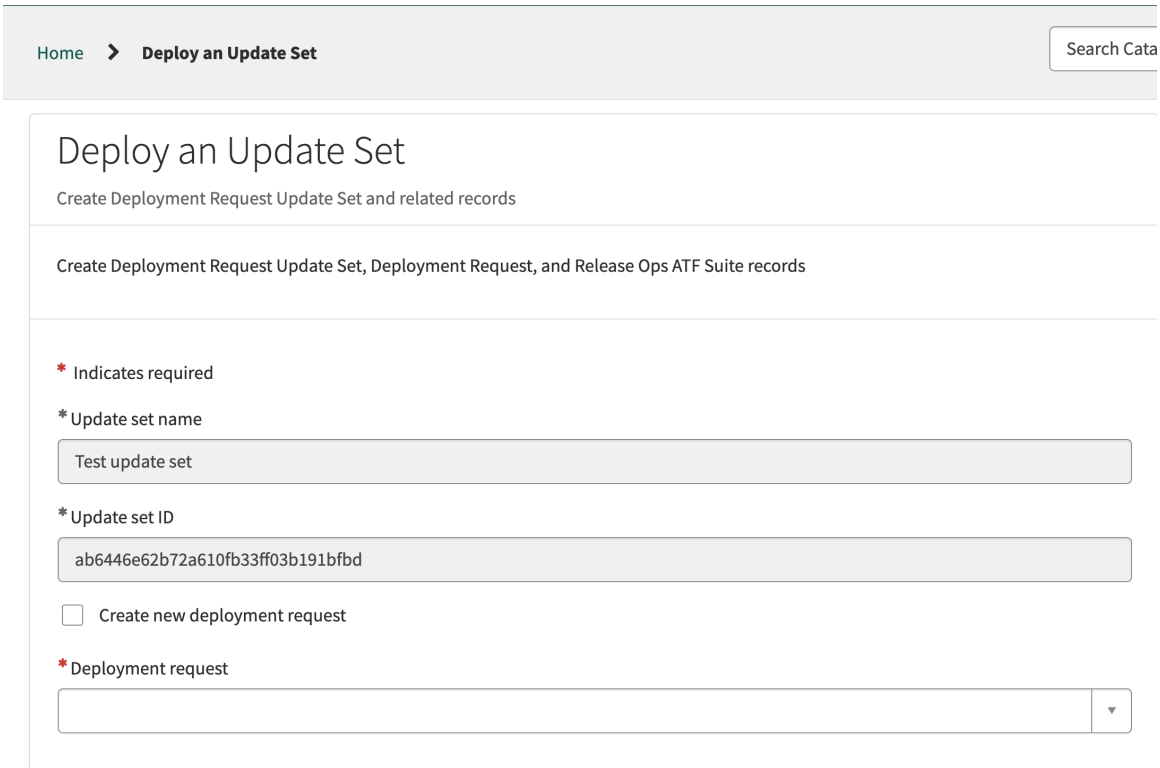
1. 展開用に促進する変更を含む更新セットレコードを開きます。
   a. 移動先 すべて > システムアップデートセット > ローカル更新セット.
   b. 展開のために促進する変更を含む更新セットレコードを選択します。
2. オプション: 更新セット の [状態] フィールドがまだ [完了] に設定されていない場合は、状態を [完了] に設定します。
   展開のために更新セットの変更を昇格させることができる 更新セットの昇格 ボタンは、更新セット の状態 フィールドが完了に設定された場合にのみ表示されます。
   a. [ステータス] フィールドを選択し、リストから [完了] を選択します。
   b. 更新セットレコードヘッダーを選択して長押し (または右クリック) し、[保存] を選択します。
3. [更新セットを昇格] ボタンを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



[更新セットを昇格] を選択すると、本番インスタンスの展開要求フォームに自動的にリダイレクトされ、更新セットの変更を添付する展開要求を選択できます。



自動翻訳

次のタスク

次のいずれかのオプションを選択して、更新セットを展開要求に添付し、パイプラインを介して展開のために変更を送信します。

- 更新セットを既存の展開要求に添付するには、「 既存の展開要求に更新セットを添付する」を参照してください。
- スケジュール済みリリースの新しい展開要求に更新セットを添付するには、「 スケジュール済みリリースの展開要求を作成する」を参照してください。
- オンデマンドリリースの新しい展開要求に更新セットを添付するには、「 オンデマンドリリースの展開要求を作成する」を参照してください。

スケジュール済みリリースの展開要求を作成する

更新セットを含めるスケジュール済みリリースの展開要求を作成し、変更が展開のためにパイプラインを通過できるようにします。

始める前に

必要なロール:developer または release_admin

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

この手順は、スケジュール済みリリースの展開要求に適用されます。オンデマンドリリースの展開要求を作成するには、 オンデマンドリリースの展開要求を作成するの手順を参照してください。

手順

1. [更新セットの展開] フォームで、[新しい展開要求の作成] チェックボックスをオンにします。
   [更新セットを展開] フォームに追加のフィールドが表示され、新しい展開要求のプロパティを定義できます。
2. [簡単な説明] フィールドに展開要求の簡単な説明を入力します。
3. アサイン先グループまたはユーザーのいずれかに展開要求をアサインします。
   展開要求の問題を通知する必要がある組織内のユーザーに応じて、アサイン先グループとユーザーの両方に展開要求をアサインできます。展開要求フォームに入力するには、アサインオプションを少なくとも 1 つ選択する必要があります。
   - 展開要求をアサイン先グループにアサインするには、[アサイン先グループ] フィールドを選択し、展開要求をアサインするグループをリストから選択します。
   - 展開要求をユーザーにアサインするには、[アサイン先] フィールドを選択し、展開要求をアサインするユーザーをリストから選択します。
4. [ソース環境] フィールドを選択し、リストから開発環境を選択します。
5. [リリース] フィールドを選択し、展開要求を適用するリリースをリストから選択します。

   注:
   リリースを展開要求フォームで選択するには、アクティブ化する必要があります。

   展開要求がまだ作成されていないリリースに適用される場合は、リリースアドミンにリリースの作成を依頼してください。リリースを作成する手順については、「 リリースの作成」で概説されています。選択できるのは、アクティブ化されているリリースのみです。

   展開要求がオンデマンドリリースに適用される場合は、 オンデマンドリリースの展開要求を作成するの手順を参照してください。

6. オプション: **[ATF** スイート] フィールドを選択し、展開要求に対して実行するテストを選択します。
   ATF スイートのリストは、本番インスタンスで利用可能なテストによって生成されます。展開要求フォーム内で選択した ATF スイートだけが、展開要求に対して実行できるテストではありません。組織が構成したパイプラインに応じて、追加のテストがパイプライン レベルで定義されている場合があります。
7. [送信] を選択して、展開要求を作成します。
   展開要求が作成されます。要求に更新セットを追加するなど、必要に応じて展開要求に変更を加えることができます。
8. パイプラインを介してデプロイ要求を送信する準備ができたら、[評価の準備完了] ボタンを選択します。

   警告:
   [評価の準備完了] を選択すると、展開要求の評価がすぐに開始され、展開要求に追加の変更を加えることはお勧めしません。パイプラインに変更をデプロイする準備ができている場合にのみ、[評価の準備完了] を選択します。

   [評価の準備完了] を選択すると、リリース運用 は自動的に展開要求の評価を開始します。アセスメントの実行状況と、アセスメントで発生した問題は、展開要求フォームの [アクティビティ] セクションで確認できます。展開要求がアセスメントチェックに合格すると、展開要求は組織が構成したパイプラインに移動されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

オンデマンドリリースの展開要求を作成する

オンデマンドリリースで展開される変更の展開要求を作成します。

始める前に

必要なロール:developer または release_admin

手順

1. [更新セットの展開] フォームで、[新しい展開要求の作成] チェックボックスをオンにします。
   [更新セットを展開] フォームに追加のフィールドが表示され、新しい展開要求のプロパティを定義できます。
2. [簡単な説明] フィールドに展開要求の簡単な説明を入力します。
3. アサイン先グループまたはユーザーのいずれかに展開要求をアサインします。
   展開要求の問題を通知する必要がある組織内のユーザーに応じて、アサイン先グループとユーザーの両方に展開要求をアサインできます。展開要求フォームに入力するには、アサインオプションを少なくとも 1 つ選択する必要があります。
   - 展開要求をアサイン先グループにアサインするには、[アサイン先グループ] フィールドを選択し、展開要求をアサインするグループをリストから選択します。
   - 展開要求をユーザーにアサインするには、[アサイン先] フィールドを選択し、展開要求をアサインするユーザーをリストから選択します。
4. [ソース環境] フィールドを選択し、リストから開発環境を選択します。
5. [オンデマンド] のチェックボックスをオンにします。
6. オプション: 展開要求のカスタムパイプラインを選択するには、[パイプライン] フィールドを選択し、リストからパイプラインを選択します。
   デフォルトでは、展開要求はベースシステム リリース運用 パイプラインを介して展開されます。
7. [送信] を選択して、展開要求を作成します。
   展開要求が作成されます。要求に更新セットを追加するなど、必要に応じて展開要求に変更を加えることができます。
8. パイプラインを介してデプロイ要求を送信する準備ができたら、[評価の準備完了] ボタンを選択します。

   ⚠ 警告:
   [評価の準備完了] を選択すると、展開要求の評価がすぐに開始され、展開要求に追加の変更を加えることはお勧めしません。パイプラインに変更をデプロイする準備ができている場合にのみ、[評価の準備完了] を選択します。

   [評価の準備完了] を選択すると、リリース運用 は自動的に展開要求の評価を開始します。アセスメントの実行状況と、アセスメントで発生した問題は、展開要求フォームの [アクティビティ] セクションで確認できます。展開要求がアセスメントチェックに合格すると、展開要求は組織が構成したパイプラインに移動されます。

既存の展開要求に更新セットを添付する

展開要求に複数の更新セットを添付する場合は、[更新セットの展開] フォームで既存の展開要求に更新セットを添付できます。

始める前に

必要なロール:developer または release_admin

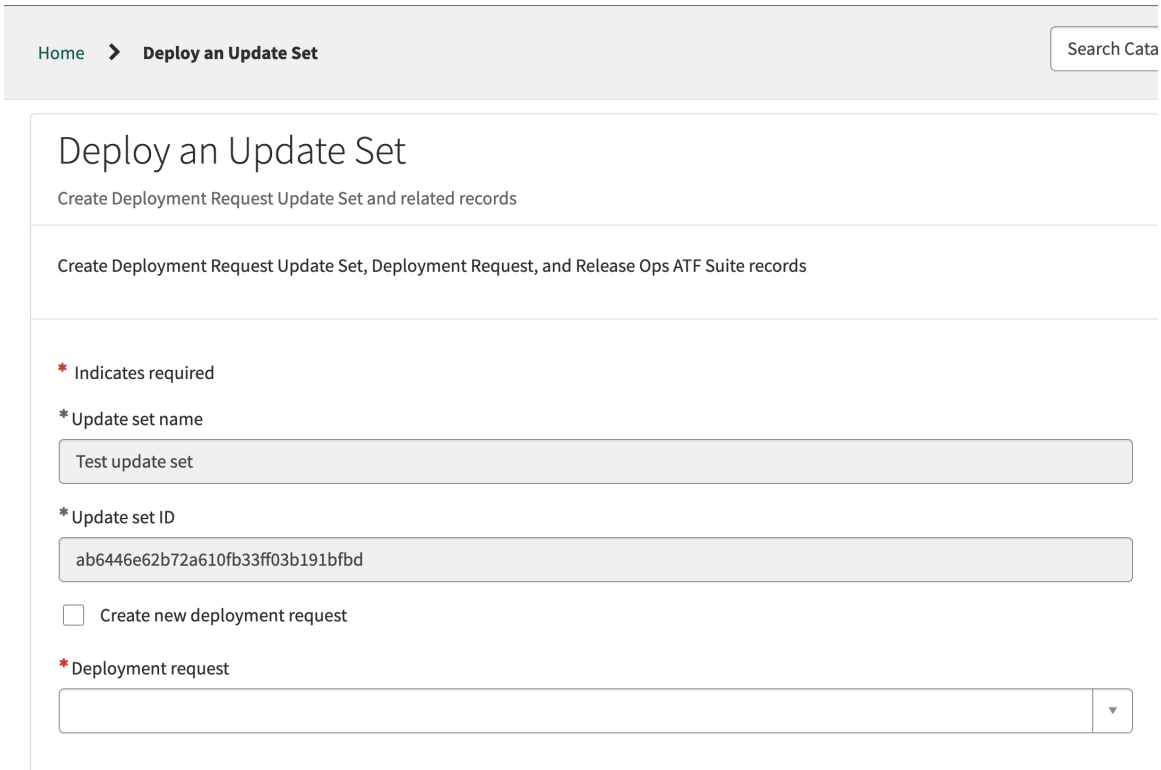
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. [更新セットの展開] フォームで、[展開要求] フィールドを選択し、変更を添付する展開要求をリストから選択します。

   注:
   選択できるのは、ドラフト状況の展開要求のみです。



2. [送信] を選択して、展開要求を作成します。
   更新セットが既存の展開要求に添付されます。要求に更新セットを追加するなど、必要に応じて展開要求に変更を加えることができます。
3. パイプラインを介してデプロイ要求を送信する準備ができたら、[評価の準備完了] ボタンを選択します。

   警告:
   [評価の準備完了] を選択すると、展開要求の評価がすぐに開始され、展開要求に追加の変更を加えることはお勧めしません。パイプラインに変更をデプロイする準備ができている場合にのみ、[評価の準備完了] を選択します。

   [評価の準備完了] を選択すると、リリース運用 は自動的に展開要求の評価を開始します。アセスメントの実行状況と、アセスメントで発生した問題は、展開要求フォームの [アクティビティ] セクションで確認できます。展開要求がアセスメントチェックに合格すると、展開要求は組織が構成したパイプラインに移動されます。

リリースの作成

変更が展開されるターゲットインスタンスやリリースを実施するタイミングなど、リリースの詳細を指定します。

始める前に
必要なロール:release_admin

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

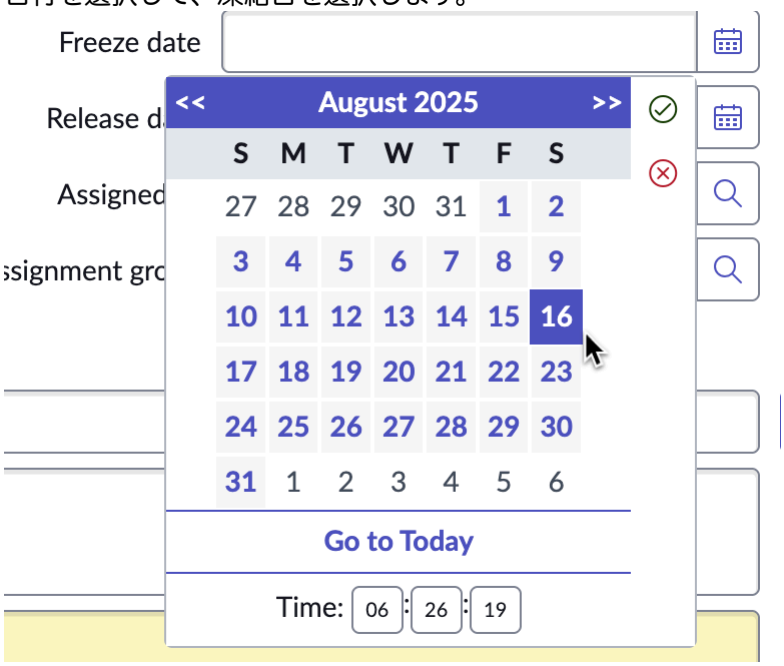
手順

1. 本番インスタンスで、 すべて > リリース運用 > リリース.
2. **[New** (新規)] を選択します。
3. 新しいリリースフォームで、[移行先環境] フィールドを選択し、リストからターゲットの移行先インスタンスを選択します。
   通常、ターゲットの宛先インスタンスは本番インスタンスです。ただし、組織によっては、パイプラインに応じて異なるターゲット宛先インスタンスを使用する場合があります。パイプライン環境の詳細については、「 のパイプライン リリース運用」を参照してください。
4. [パイプライン] フィールドを選択し、リリースで使用するパイプラインを選択します。
5. オプション: [簡単な説明] フィールドにリリースの簡単な説明を入力します。
6. オプション: [説明] フィールドにリリースの説明を入力します。
7. オプション: リリースの凍結日を設定します。
   固定日は、リリースのすべての変更を展開要求から送信し、展開の準備を整える必要がある日付です。展開の準備ができていない変更は、凍結日の時点で保留されます。

   a. [固定日時の選択] アイコン ( ) を選択します。

   b. [前月] アイコン (<<) または[来月] アイコン (>>) を選択して、凍結する日付の月と年を見つけます。

   c. 日付を選択して、凍結日を選択します。



   d. [時間] フィールドに時間を入力して、凍結日の時間を設定します。

   e. Enter アイコン ( ) を選択します。

8. オプション: リリースのリリース日を設定します。
   リリース日は、リリースに適用される変更がターゲットの宛先インスタンス (通常は本番インスタンス) に展開される日付です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
リリースが変更要求に関連付けられている場合、[リリース日] フィールドには変更要求の予定日が自動的に入力されます。

a. [リリース日時を選択] アイコン ( ) を選択します。

b. [前月] アイコン ( ) または[来月] アイコン ( ) を選択して、リリース予定日の月と年を見つけます。

c. リリース日の日付を選択して、日付を選択します。

d. [時間] フィールドに時間を入力して、リリース日の時間を設定します。

e. Enter アイコン ( ) を選択します。

9. [リリースのアクティブ化] を選択して、リリースをアクティブ化します。
リリースがアクティブ化されると、スケジュール済みリリースの展開要求を作成するときに、使用可能なオプションとしてリリースを選択できます。

展開タスクの調整

展開タスクを調整して、展開要求が展開の次のステージに移動できるようにします。

始める前に
必要なロール:developer または release_admin

手順

1. 移動先 すべて > リリース運用 > 展開タスク.
2. 調整する展開タスクをリストから選択します。
3. 展開タスクレコードで、レコードを確認して、展開要求で発生した問題のタイプを確認します。
4. 問題のタイプに応じて、展開タスクを調整します。

問題	説明
コードの変更が必要	追加のコーディング作業が必要です。展開要求は、やり直すために [ドラフト] ステータスに戻ります。
テストを再実行	コードカバレッジが不十分であるか、単体テストが不完全なため、ATF の再アセスメントが必要です。展開要求は [評価中] ステータスに戻り、すぐに開始されます。
サインオフ	リリースマネージャーまたは適切な権限を持つユーザーは、展開要求の例外を承認して、[展開準備完了] としてマークする必要があります。

5. 展開タスクの問題に対処したら、[解決] を選択して展開要求を再評価できるようにします。

リリース運用の参照

展開とリリースのステータスに関する情報を確認します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

リリース運用 の用語

リリース運用を開始する前に、アプリケーションで使用されるいくつかの重要な概念を理解することが重要です。

展開アナライザー

更新セットに表示される変更をターゲット環境と比較する リリース運用 内のサービス。その後、Deployment Analyzer は、「タイプ X のメタデータを含む」や「スクリプト変更を含む」などの定義されたルールに基づいて結果を生成します。これらの結果を使用して、展開プロセスのさまざまなアクションを決定できます。

展開要求

展開の一部を表すレコードタイプ。通常、開発された作業単位を含み、他の展開要求から独立して展開できます。その作業単位は、1つ以上の更新セットにカプセル化されます。

展開要求更新セット

特定の展開要求に対する更新セットのマッピング (追加データを含む)。検証目的でユーザーに表示されますが、これらのレコードを編集する必要はありません。

展開タスク

イベント (自動テストフレームワーク (ATF) の結果やインスタンススキャンの検出結果など) が発生すると、システムは展開タスクを生成できます。これらの展開タスクは該当するユーザー (開発者、リリースアドミンなど) にアサインされ、展開またはリリースを続行するには解決する必要があります。各タスクには、利用可能な解決オプションが表示されます。

パイプライン

開発者のキーボードからターゲットインスタンスへの リリース運用 内の展開のフロー。パイプラインはプレイブックの上に構築され、そのターゲットインスタンスにインストールされるアプリケーションまたは更新のアクティビティとフローを表します。これらのアクティビティとフローには、必要なスキャンとテスト、場合によっては他の ServiceNow およびサードパーティのプロセスが含まれます。

リリース

変更の完全なセットを表すリリースレコードタイプとオブジェクトは、本番環境または別のターゲット環境に展開される運命にあります。一連の変更には、展開を行うタイミングのスケジュールを指示する情報が含まれています。これには、相互に関連する可能性がある 1 つ以上のアプリケーションに対する 1 人以上の開発者による 1 つ以上の変更を含めることができます。リリースは 変更管理 と統合できます。

更新セット

開発インスタンスで行われた構成変更 (フォームのカスタマイズ、ワークフロー、スクリプト、UI 要素など) をキャプチャしてグループ化する、低レベルの基本概念。更新セットを使用すると、これらの変更を追跡してバンドルし、新しいインスタンスに移行できます。更新セットには、アプリケーションインストールの指示を含めることができます。

展開要求状況

展開要求は、リリースプロセス中にいくつかの異なる状況のいずれかになる場合があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステータス	説明
ドラフト	展開要求がまだリリースに関連付けられていません。[ドラフト] は、更新セットを展開要求に追加できる唯一の状態です。 開発者は、関連する作業が完了したことを確認するまで、展開要求を [ドラフト] ステータスのままにします。開発者がそのまま展開することに慣れるまで、[アセスメントの準備完了] ステータスに移行しないでください。
アセスメントの準備完了	展開要求を作成する開発者は、それが機能的で完全なユニットであり、展開する準備ができていると判断しました。 このステータスは、アセスメントプレイブックのトリガー条件です。開発者が [評価の準備完了] を選択するとすぐに評価が開始され、リリース パイプラインで定義されたプロセス、テスト、チェックが実行されます。
評価中	自動テストフレームワーク (ATF) (ATF) テストが実行され、インスタンススキャンが実行され、展開するこの展開要求の適合性を判断するプレイブック (PAD) プロセスが実行されます。展開要求内に含まれる更新セットは、開発インスタンスからテストインスタンスに移動されます。 アセスメントフェーズでは、次の 2 つの結論のいずれかが得られます。 • 展開要求の準備ができており、(展開タスクによる) アクションを必要とする検出結果はありません。 • アセスメントにより、展開要求を準備するために調整する必要がある 1 つ以上の結果が明らかになりました。展開タスクが生成され、要求で指定されたユーザー/グループにアサインされます。これらのタスクの結果が要求に対して記録され、要求が再評価されます。このループは、要求の準備が整うかキャンセルされるまで続きます。
調整中	アクション用のオープン展開タスクが生成されました。これらのタスクには、アセスメントを完了し、展開要求を次のステージに進めるための結果が必要です。 リリース運用に含まれるサンプル パイプラインは、プレビューの競合と ATF テストの失敗のデプロイ タスクを作成します。一部の結果には、

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステータス	説明
	コードの変更または追加、テストスイートまたは構成の更新、または承認またはサインオフが含まれる場合があります。すべてのオープン展開タスクの結果が得られた後、要求が再評価されます。
展開準備完了	すべてのアセスメントが実行され、すべての調整が完了しています。この状態では新しい更新セットを追加できず、展開要求は事実上ロックされます。この時点で変更が必要な場合は、展開要求をキャンセルする必要があります。 この時点で、展開要求がオンデマンド展開の場合は、すぐに展開に進みます。それ以外の場合は、続行する前にリリースの予定時刻まで待機します。
展開中	リリースは、この展開要求に関連付けられた更新セットを展開しています。
完了	展開要求がリリースの一部として正常に展開されました。
失敗	展開要求に問題があり、リリースのために手動での介入または解決策を再送信する必要があります。
キャンセル	展開要求が手動でキャンセルされました。

リリースステータス

リリースは、リリースプロセス中にいくつかの異なるステータスのいずれかになる場合があります。

ステータス	説明
ドラフト	リリースの初期ステータス。 リリース運用 は、設定されたリリーススケジュールに関係なく、このステータスのリリースに対しては動作しません。ドラフトリリースは、展開要求にターゲットとして表示されません。これにより、将来のスケジュールを作成できますが、展開要求を追加して展開する前に、スケジュールを手動で [アクティブ] ステータスに移行する必要があります。
アクティブ	リリースはこの状態でオープンしており、フリーズ時間が来るのを待っています。このステータスの間、添付された展開要求はアクティブに [評価中] または [調整中] ステータスになります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステータス	説明
	この時点では、展開要求を追加することも、(開発者またはリリースアドミンが) 削除することもできます。
準備中	展開がフリーズされます。リリースに添付されたすべての展開要求は、展開準備完了として検証されます。そうでない場合は保留されます。リリース注文が生成されました。リリースアドミニストレーターは、展開要求を削除できます。 この状態の変化は、フリーズ時間に基づいてスケジューラーから導出されます。 **注:** リリースが変更管理レコードに関連付けられている場合、リリース時間はその変更管理レコードによって決定されます。
リリース準備完了	すべての展開要求が確定します。リリースに展開要求を追加することも、リリースから削除することもできません。リリースはすべてのチェックに合格し、展開の対象となります。パイプラインプレイブック内の手動ステップはすべて完了しています。
展開中	すべてのビルドアーティファクトの宛先インスタンスへの移動を確定するアクション。このステータス変更は、リリース時間に基づいてスケジューラーから導出されます。 **注:** リリースが変更管理レコードに関連付けられている場合、リリース時間はその変更管理レコードによって決定されます。
調整中	リリース内の少なくとも 1 つの展開要求に問題があり、手動での介入が必要でした。プレイブックから、プレビューの競合に対する展開タスクが作成されます。
完了	リリースは問題なく完了しました。
キャンセル	リリースの展開は、開始前に手動でキャンセルされました。
失敗	展開を完了できなかったか、問題ありで完了しました。 展開が失敗する一般的な理由は次のとおりです。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステータス	説明
	• 更新セットを取得できません。 • 取得する予定の更新セットが既に取得され、コミットされています。更新セット展開の定義された順序が壊れているため、コミットメントは失敗と見なされます (この更新セットが順序の先頭である場合を除く)。 • 取得後に更新セットが予期せずコミットされました。

リリースフォーム

ターゲットインスタンスに展開する展開要求のリリースを作成します。

フィールド	説明
リリースタイプ	リリースがオンデマンドかスケジュール済みかを示します。
変更要求	変更要求がリリースに関連付けられている場合、変更要求の日付によってリリースのリリース日が決まります。
状況	リリースのステータスは、リリースアドミンが [リリースのアクティブ化] を選択し、リリースプロセスが開始されると自動的に移行されます。「リリースステータス」を参照してください。
リリース時間帯	システムによって自動的に設定され、変更しないでください。
宛先環境	リリースの展開先の展開インスタンスを示します。
アサイン先	展開要求に関連するタスク通知を受け取る必要があるユーザーを示します。[アサイン先] または [アサイン先グループ] のいずれかが必要です。
アサイン先グループ	展開要求に関連するタスク通知を受信するグループを示します。[アサイン先グループ] または [アサイン先] のいずれかが必要です。
構成アイテム	構成アイテムとの関連付けをオプションで選択できます。この関連付けは、 リリース運用の動作には影響しません。
パイプライン	このリリースが実行されるパイプラインを示します。
凍結日	このリリースに関連付けられたすべての展開要求が [展開準備完了] ステータスである必要がある日付。すべての展開要求は、この日付までにリリースして展開する準備ができている必要があります。そうしないと、保留されます (リリースから削除されます)。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	フリーズ期間中、システムは更新セットを最後のインスタンスで展開された順序で展開するように指示します。
リリース日	リリースが宛先環境にプッシュされる日付。

[展開要求] フォーム

ターゲットインスタンスに展開する更新セットの展開要求を作成します。

フィールド	説明
リリース	展開要求が関連付けられているリリース。展開要求は、1 つのリリースにのみ添付できます。 **注:** 展開要求は、凍結日に [展開準備完了] ステータスでない場合、保留されます。展開要求が保留された場合、ステータスを [ドラフト] にリセットして正常に展開するには、新しいリリースを展開要求に関連付ける必要があります。
状況	リリースプロセス全体で変更される展開要求のステータス。「展開要求状況」を参照してください。
ソース環境	展開要求とそれに関連付けられた更新セットを含むインスタンス。
アサイン先	展開要求に関連するタスク通知を受け取る必要があるユーザーを示します。[アサイン先] または [アサイン先グループ] のいずれかが必要です。
アサイン先グループ	展開要求に関連するタスク通知を受信するグループを示します。[アサイン先グループ] または [アサイン先] のいずれかが必要です。
オンデマンド	展開要求をスケジュール済みではなくオンデマンドでリリースするかどうかを示します。 [オンデマンド] を選択すると、 リリース運用は、この 1 つの展開要求のみを添付できる専用リリースを作成します。展開要求のステータスが [展開の準備完了] になるとすぐに、展開されます。オンデマンドリリースでは、凍結日やリリース日はフォローされません。
構成アイテム	構成アイテムとの関連付けをオプションで選択できます。この関連付けは、 リリース運用の動作には影響しません。
保留	関連するリリースの固定日までに [展開準備完了] ステータスになかったために展開要求が保留されたかどうかを確認しました。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Deployment Analyzer のルール

展開アナライザーには、デフォルトで リリース運用 に含まれる 5 つのルールが含まれています。

ルール名	ルールセット	一致タイプ	説明
コード変更あり	デフォルト	任意	更新セットのスクリプト変更を検出します。
セキュリティ ACL ロールあり	セキュリティ	任意	更新セット内のロールの変更または新しいロールを検出します。
セキュリティ ACL あり	セキュリティ	任意	更新セット内の ACL または新しい ACL に対する変更を検出します。
カタログアイテムの変更のみ	デフォルト	すべて	更新セットに特定のカタログテーブルのデータのみが含まれていることを確認します。
スキーマの変更	デフォルト	任意	新しいスキーマ列が追加されているかどうかを検出します。テーブルの行数が 10,000 を超える場合にのみトリガーするように構成されています。

注:
[任意] は、ルールが他のルールとの *OR* 検索として機能することを意味します。[すべて] は、他の一致するルールがない場合にのみルールが一致することを意味します。

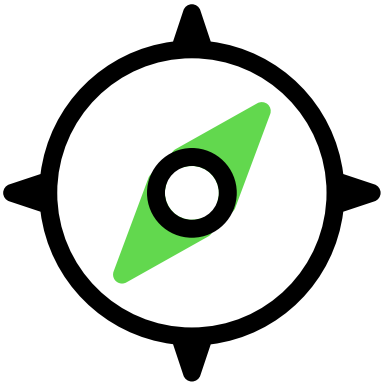
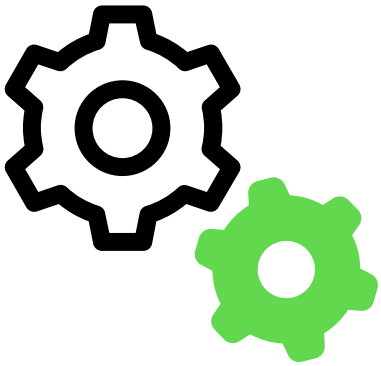
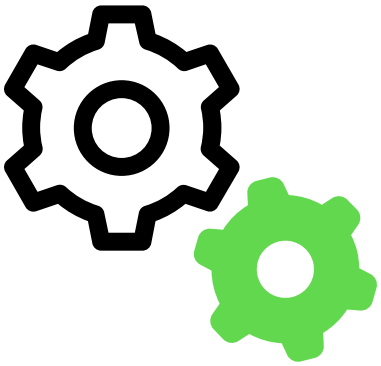
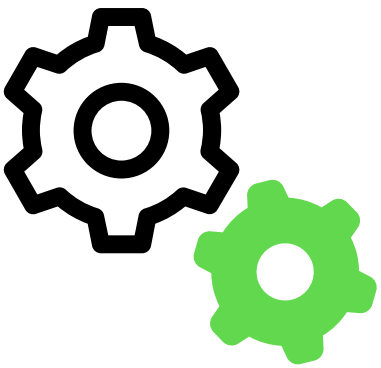
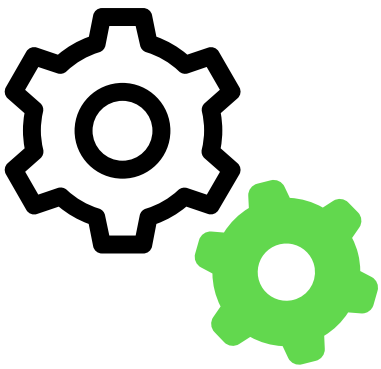
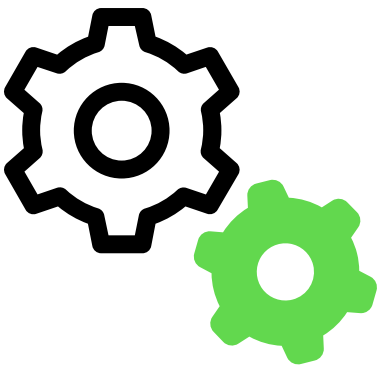
システムアップデートセット

更新セットはあるインスタンスから別のインスタンスに移動できる構成変更のグループであります。この機能により、アドミニストレーターは一連の変更を名前付きセットにグループ化し、テストまたはデプロイメントのために別のシステムにユニットとして移動できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

開始

探索	構成	使用方法
		
システムアップデートセットの機能と概念について学習する	インスタンスでシステムアップデートセットを構成する	インスタンスでシステムアップデートセットを使用する
管理	**バッチ処理**	**転送**
		
インスタンスでのシステムアップデートセットの管理	インスタンス内のシステムアップデートセットのバッチ	インスタンスのシステムアップデートセットを転送する

自動翻訳

役に立つリソース

役立つ情報を提供できる ServiceNow リソースは次のとおりです。

ServiceNow コミュニティ

ServiceNow コミュニティ

Customer Success Center

Customer Success Center

ディベロッパー

developer.servicenow.com

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Impact

http://impact.servicenow.com

ServiceNow University

ServiceNow University

Now Create

Now Create

パートナー

https://www.servicenow.com/partners.html

ServiceNow

http://servicenow.com

ServiceNow Store

http://servicenow.com

支える

- https://support.servicenow.com/now
- 既知のエラーポータル

"?>

システムアップデートセットの詳細

更新セットはあるインスタンスから別のインスタンスに移動できる構成変更のグループであります。この機能により、アドミニストレーターは一連の変更を名前付きセットにグループ化し、テストまたはデプロイメントのために別のシステムにユニットとして移動できます。

注:
更新セットが切り戻された場合、顧客更新の削除時に sys_upgrade_state レコードを削除する OOB ビジネスルールがあります。これは想定される動作です。

更新セットは、次を含む XML ファイルです:

- 更新セットを一意に識別するレコード詳細のセット。
- 構成変更のリスト。
- 別のインスタンスが構成変更を取得して適用できるかどうかを決定する状態。

更新セットは、アプリケーションおよびシステムプラットフォーム機能の変更を追跡します。これにより、開発者は非本番インスタンスで新しい機能を作成し、その変更を別のインスタンスに昇格させることができます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

警告:
更新セットを使用すると、異なるバージョンのファミリーリリースや異なる機能を実行しているインスタンス間で変更を移行できます。以前のファミリーリリースで作成された更新セットを新しいファミリーリリースを実行しているインスタンスにロードすることはいつでも可能です。新しいファミリーリリースで作成された更新セットを以前のファミリーリリースを実行しているインスタンスにロードする場合は、互換性を確認するために追加のテストが必要になります。新しいファミリーリリースで行われた更新を以前のファミリーリリースに移行しても、同じ機能が生成されない場合があります。極端なケースでは、新しいファミリーリリースの更新が原因で、以前のファミリーリリースのインスタンスで機能停止やデータ損失が発生することがあります。可能であれば、新しいファミリーリリースから以前のファミリーリリースに更新を移行することは避けてください。異なるバージョンの ServiceNow Store アプリを実行しているインスタンス間で更新を移行する場合でも、同様の制約があります。

システムプロパティ

アドミニストレーターは、システムプロパティを非公開にすることで更新セットから除外できます。システムプロパティを private にすると、あるインスタンスの設定が別のインスタンスの値を上書きすることをなくします。たとえば、本番インスタンスのシステムプロパティに開発インスタンスの特定の値を使用させたくない場合があります。「システムプロパティを追加する」を参照してください。

アプリケーション

アプリケーション開発者には、次のような更新セットの追加オプションがあります。

- アプリケーションの特定のバージョンの更新セットを作成する。
- 更新セットで追跡するアプリケーションテーブルを指定する。

更新セットテーブル

各更新セットは、更新セット [sys_update_set] テーブル、および更新セットに関連付けられたカスタマイゼーション(Customer Updateのエントリ) [sys_update_xml] 更新セットレコードの関連リストとして表示されます。

追跡対象オブジェクトをカスタマイズすると、対応するレコードが顧客更新 [sys_update_xml] で追加または更新されユーザーの現在の更新セットに関連付けられます。関連するアプリケーションファイルのプロパティはカスタマイズされたオブジェクトとともに 1 つの更新レコードで追跡および転送します。対応するレコードもバージョン [sys_update_version] 表に追加されます。

カスタマーアップデートテーブルには、更新セットごとにカスタマイズされたオブジェクトごとに1つのレコードが含まれています。バージョンテーブルには、カスタマイズされたオブジェクトに対する変更ごとに 1 つのレコードが含まれています。

- アドミニストレーターは 2 つのバージョンを比較し、特定のバージョンのオブジェクトに戻せる。
- アドミニストレーターは特定のテーブルのバージョンを非表示にできる。
- アドミニストレーターは、レコードの残りの部分をスキップすることなく変更できる追跡対象テーブルのフィールドを指定できる(フィールドを更新から除外する。)。

注:
顧客の更新 [sys_update_xml] レコードを直接変更してはならない。

システムアップデートセットの概要

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

システムアップデートセットユーザー

ユーザー

ユーザー	説明

システムアップデートセットワークフロー

システムアップデートセットワークフロー

1.
2.

システムアップデートセットのメリット

のメリット

メリット	機能	ユーザー

次に探索する内容

システムアップデートセットの構成と使用の詳細については、以下を参照してください。

-
-
-

更新セットでスタートする

更新セットはインスタンスを変更するため、この情報をレビューして、エラーやパフォーマンスの問題を回避します。更新プロセスを計画し、よくある間違いを避ける方法を学びます。

更新セットを使用するタイミング

展開オプション	適する場面	今後の検討事項
更新セット	ベースシステムまたはインストールされたアプリケーションに変更を保存する。 特定のバージョンのアプリケーションを保存して適用する。 エクスポート用のファイルを作成する。	特定のアプリケーションバージョンを格納する更新セットを手動で作成できます。 更新セットを使用して、インストールされているアプリケーションへのパッチまたは変更を展開します。 **注:** アプリケーションをインストールするために更新セットを使用しないでください。代わりに、アプリケーションリポジトリまたはServiceNow Storeを使ってアプリケーションをインストールします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

展開オプション	適する場面	今後の検討事項
アプリケーションリポジトリ	すべての会社インスタンスでのアプリケーションのインストールと更新。 アプリケーション更新セットを自動的に管理する。 同じ会社にアプリケーションへのアクセスを制限する。 完成したアプリケーションをエンドユーザーに展開します。	アプリケーションを他のユーザーと共有するようServiceNow Storeにアップロードすることを検討します。 最新のアプリケーションバージョンのみのインストールと更新を許可します。 更新セットを使用して、以前のアプリケーションのバージョンを保存します。 **注:** チーム開発と使用する場合は、親インスタンスからアプリケーションのみを発行します。

更新プロセスの計画

更新セットで作業する前に、このチェック リストを使用して、インスタンス間でカスタマイズを移動するための標準プロセスを作成します：

1. 両方のインスタンスが同じバージョンであることを確認します。バージョン間で変更されたコードに依存する場合、カスタマイズは機能しない可能性があります。
2. １つの更新セットで行う変更を決定します。小規模から中規模の作業を完了すると、更新セットを完成します。更新セットが大きくなるにつれて、それらをレビューすることが難しくなり、変更を識別するのに時間がかかり、他の更新セットとの競合のリスクが高まり、プレビューや収容に時間がかかます。これは、更新セットにスキーマの変更や大きなワークフローのリビジョンが含まれている場合や、セットを取り消す必要がある場合に特に当てはまります。
3. すべての基本システムレコードがに合致する sys_id フィールドを持つことを確認します。一部の基本システムレコードは、プロビジョニング後のインスタンスで作成され、異なるインスタンス間で一致しないため、更新セットに問題が発生します。この問題を回避する最善の方法は次のとおりです：
   - 本番インスタンスと非本番インスタンスを使えるようにします。
   - 本番インスタンスを非本番インスタンスにクローンします。
4. 更新セットがインスタンスからインスタンスに移動し、そのモデルを維持するように共通パスを特定します。複数のソースから同じ更新セットを移行しません。更新セットをdevからtestに移動し、次にテストから運用に移動します。
5. 運用に更新セットを収容する時期を計画します。営業時間中に本番インスタンスに更新セットを収容することは避けます。更新セットが適用されると、インスタンスの効率が一時的に低下することがあります。この効率低下は一時的なものですので、安心してください。
6. 更新セット名が明確であることを確認します。複数の開発者の変更を調整し、変更を別のインスタンスに収容するときに参照するための命名規則を作成します。
   - 更新セットが問題の修正として生成されている場合は、問題チケットを名前に含めることを検討します(たとえば、 **PR10005 -** 重複する電子メールの問題の修正)。
   - 問題に対処するために複数の更新セットが必要な場合は、命名規則にシーケンス番号を含めます。こうすることで、更新セットが作成された順序で適用されるようになります (たとえば「**PR10005 -** 重複する電子メールの問題の修正」と「**PR10005.2 -** 重複する電子メールの問題の修正」など)。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

7. 更新セットについて次のことを理解します。
   - どのレコードが生成されるか。
   - どのカスタマイズが追跡されるか。
   - どのディクショナリの変更が有効なのか。
   - どのカスタマイズを適用後に取り消せる (元に戻せる) のか。
8. カスタマイズを行う前に、正しい更新セットが選択されていることを再度確認します。

更新セットで作業

エラーとパフォーマンスの問題を回避するには、この情報をレビューします。

- 更新セットを削除しないでください。更新セットが削除された場合、更新されたレコードは次の更新で上書きされる可能性があります。
- **system_id** フィールドを更新セットの ldap_server_config レコードからインクルードしないでください。作業中の構成から作成した更新セットがターゲットインスタンスの間違った system_id ノードを指し、機能しなくなります。
- デフォルトの更新セットを取り消さないでください。この操作によりシステムが損傷します。
- 顧客更新レコード(sys_update_xml)中の更新セット フィールド値(update_set)を決して変更しません。誤った更新セットでカスタマイズを行った場合は、次のアクションを行います：
  1. 目的の更新セットに切り替えます。
  2. 最初に変更されたオブジェクト(レコード)を変更します。フィールドを追加するなど、簡単な変更を行えます。
  3. レコードを保存します。
  4. 実行したばかりの変更を取り消し、レコードを再度保存します。

     このアクションにより、オブジェクトの最新バージョンが目的の更新セットに含まれ、単一の更新セット内の同じオブジェクトの重複した更新が防止されます。
- 移行する準備が整うまで更新セットを完了とマークしません。更新セットを完了した後、それを元の進行中に戻さないでください。代わりに、残りの変更について別の更新セットを作成し、作成された順序で一緒に収容します。このケースでは、命名規則が役立ちます(たとえば、パフォーマンスの向上とパフォーマンスの向上2)。
- 手動で更新を更新セットに結合しないでください。[更新セットを結合] モジュールを使用します。このツールは、更新セット間の重複ファイルを比較し、最新のバージョンを選択します。
- 収容された更新セットがテストインスタンスに問題がある場合は、開発インスタンスの別の更新セットに修正プログラムを作成します。このセットをテストインスタンスに収容してから、両方のセットが本番インスタンスにマイグレーションされ、作成された順序で収容されていることを確認します。
- 収容する前に常に更新セットをプレビューします。
- 本番インスタンスの完了した更新セットを無視する にセットします。この状態により、インスタンスのクローン作成時に更新セットが確実に再適用されなくなります。
- 更新セットが適用された後に完了する必要がある手動変更とデータロードのリストを作成します。
- 一度に多くの変更を加えすぎないようにしてください。正しい変更が段階的に行われたことを確認する。
- 単一の更新を複数のドメイン (グローバルドメインと TOP ドメイン) にまたがる更新に変更することはできません。この機能は ServiceNow AI Platform ではサポートされていません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

更新セットを作成するには、「 更新セットを現在のセットとして作成し選択する」を参照してください。

更新セットによって追跡されるカスタマイズ

更新セットは、アプリケーションテーブル、フィールド、およびレコードに対するカスタマイズを追跡できます。

更新セットでは、次の条件でカスタマイズを追跡します:

- テーブルが *update_synch* ディクショナリー属性を持つところ。
- 複数のテーブルに対する変更を追跡する特別なハンドラーがあるところ。
- アドミニストレーターが更新からフィールドを除外しなかったところ。

一般に、更新セットは構成情報を取得しますが、タスクまたはプロセスデータは取得しません。たとえば、更新セットは、サービスカタログアイテムの定義と、変数や変数の選択などの関連する構成データを追跡します。ただし、注文を出してサービスカタログをテストすると、更新セットは注文要求、アイテム、およびカタログタスクを追跡しません。

更新セットには、アプリケーションファイルとしてデータを転送するキャパシティが限られています。大規模なデータ転送の場合は、インポートセットまたは Web サービスでデータをエクスポートしまたはインポートします。

スコープ対象アプリの開発では、更新セットとアプリケーションリポジトリの両方の使用を併用しないでください。これにより、変更のスキップやコミットエラーなど、多くの問題が発生します。アプリケーションリポジトリからアプリケーションをインストールしたら、今後のすべての開発のために開発とアプリケーションリポジトリへの公開を継続する必要があります。更新セットを使用してアプリケーションを開発する場合は、引き続きその方法を排他的に使用する必要があります。

update_synch 属性

カスタマイズが追跡されるテーブルのリストを表示するには、次に移動します: システム定義 > ディクショナリ および 属性のフィルター *CONTAINS update_synch*。

> **⚠ 警告:**
> update_synch プロパティをディクショナリレコードに追加しません。不適切に使用された場合、この属性はパフォーマンス上の大きな問題を引き起こすか、インスタンスを使用不可能にする可能性があります。このため、顧客は update_synch 属性にアクセスできません。

デフォルトのルールでは、次の問題を避けるために、事前定義されていない表 update_synch プロパティの使用を閉鎖します。

- 一部のコアテーブルは、複数のテーブルの情報を表すため、特別な更新処理が必要。update_synch プロパティがこれらのテーブルに追加されると、重複した更新レコードが作成され、トラブルシューティングや修復が困難な重大な競合が発生する。
- update_synch プロパティを使用してインスタンス間でデータレコードを移行すると、パフォーマンス上の問題が発生する可能性がある。なぜならこれはこの目的を意図したものではない。データを移行するには、インスタンスからインスタンスへのインポートを使用する。

  「インポートセット」を参照してください。

特別ハンドラー

いくつかの変更は、複数のテーブルに関する情報を表すため、特別なハンドラを必要とします。これらの変更は、カスタマイズが収容されたときにすべてのレコードが適切に更新されるように、１つの更新セットエントリにパッケージ化します。特別なハンドラでは、以下の変更が追跡されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- ワークフロー
- フォームセクション
- リスト
- 関連リスト
- 選択リスト
- システムディクショナリーの入力
- フィールドラベル

警告:
フォームセクション、リスト、関連リスト、選択リスト、およびフィールドラベルの特別なハンドラーは、レコードを削除して再挿入します。これにより、テーブルを参照するフィールドがある場合は、予期しない結果が発生してデータが失われる可能性があります。

選択リスト

更新セットは、新規および更新された選択肢の両方のオプションを、更新バージョン [sys_update_version] および顧客の更新 [sys_update_xml] テーブルの分離されたレコードとして保存します。たとえば、タスクテーブルを拡張する新しいアクティビティ [u_activity] テーブルを作成します。次に、新しい選択肢オプションをタスク状態フィールドに追加します。これは、拡張テーブル(たとえば、私の状態)に対してのみ表示されます。

これらの変更を更新セットとして発行すると、更新プログラムには、u_activity テーブルに追加した選択肢の更新レコードとバージョンレコードのみが含まれます。タスクテーブルの選択肢オプションは影響を受けません。

警告:
更新セットでは大きな選択リストを使用しないでください。使用すると、更新セットのコミットに非常に時間がかかるようになります。

ディクショナリーの変更

通常、更新セットを使用すると、データが失われるディクショナリーの変更の適用を防止します。ブロックされたディクショナリーの変更には次を含みます：

- テーブルの削除
- 列データ型の変更

更新セットは、システムディクショナリーからのテーブルの削除を追跡しません。代わりに、顧客は手動でターゲットインスタンスからテーブルを削除する必要があります。更新セットはデータ型の変更を追跡しますが、ターゲットインスタンスはデータ損失の原因となる変更をスキップし、代わりにアクションに関するログメッセージを追加します。顧客は、ログを使用して、ターゲットインスタンス上で手動でデータタイプを変更できます。

注:
更新セットのプレビューでは、ターゲットインスタンスが変更をスキップしてデータが失われるため、タイプの不一致の問題はチェックされません。また、更新セットを使用してテーブルから列を削除すると、特定の状況でデータが失われる可能性があります。ターゲットインスタンスの列にデータがある場合、そのデータは、更新セットが収容されたときに、列自身と共に削除します。列を削除する更新セットを収容しようとすると、警告メッセージが表示されます。このメッセージには、データの削除を引き起こす 1 つ以上の削除更新が存在し、削除の更新内容が特定されています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ホームページとコンテンツページ

ホームページとコンテンツページは、デフォルトで更新セットに追加されません。現在の更新セットをアンロードしてページを追加します。

重要:

インスタンスからの情報を整理してデータに関するストーリーを伝える、ホームページの機能は、新しいインスタンスのダッシュボードにあります。ネクストエクスペリエンス を有効にしてアップグレードされたインスタンスでは、ユーザーは直接 URL を持っている場合は既存のホームページを表示できますが、作成や編集はできません。レスポンシブダッシュボードと アナリティクスセンター ダッシュボードがホームページの機能を引き継ぎます。

ホームページ廃止ヘルプツールを使用して、インスタンスのホームページをレスポンシブダッシュボードに変換します。

詳細については、以下を参照してください。

- アナリティクスセンターでのダッシュボード
- レスポンシブダッシュボードの操作。

アプリケーションの変更

システムは、アプリケーションに関連付けられた変更のみを含むアプリケーションごとに個別の更新セットを作成します。これにより、各アプリケーションのアクセス設定が適切に評価され、更新セットの変更を収容するときに確実に適用される。

デフォルトの更新セット

アプリケーションスコープのデフォルトセットは、1つの更新セットだけです。

更新セットをデフォルトセットに設定するには、デフォルトセットフィールドを true に設定します。デフォルトセット= *true* と設定すると、次の操作が行われます。

- 更新セットは、そのスコープのデフォルトの更新セットになる。
- システムは同じスコープを持つ他のすべての更新セットに対してデフォルトセット= *false* と設定する。これにより、各スコープにデフォルトの更新セットが1つしかないことが保証される。

グローバルデフォルトセット

グローバルなデフォルトの更新セットを使用して、ユーザーが作成した更新セットに変更を加えずにインスタンスを変更します。グローバルなデフォルトの更新セットは、デフォルトセット= *true* でありアプリケーションスコープがグローバル であるところのセットであります。グローバルなデフォルトセット(そのセットの 名に関わらず)はシステムの機能を与え、システム間で変更、削除、移動することはできません。この更新セットを使用して、どのユーザーが作成した更新セットにも変更を加えずにインスタンスを変更します。

自動生成されたデフォルトセット

インスタンスの更新が失われないように、システムは常に、ユーザーの現在のスコープのデフォルト設定があることを確認します。現スコープにデフォルトの更新セットが存在しないことが検知された場合(または無視されたまたは完了したとマークされている場合)、システムは更新セットを自動生成し、デフォルトセット= **true** と設定します。

これらは、システムがデフォルトの更新セットを自動生成するいくつかの一般的なケースであります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- アドミニストレーターが初めてログインすると、システムはシステムのグローバルなデフォルトの更新セットをアドミンの更新セットとして設定します。さらに、アプリケーションピッカーはアドミンのアプリケーションスコープをグローバルと設定します。

  グローバルなデフォルトの更新セットが存在しない場合(または無視されたまたは完了したとマークされている場合)、システムはグローバルアプリケーションスコープの新しい更新セットを作成し、次のアクションを実行します。

  - システムは新しいセットのためにデフォルトセット= *true* と設定します。
  - システムは、新しい既定のセットの名前を元のデフォルトセットの名前で設定し、次の数字を追加します(SetName、SetName 1、SetName 2、...、SetName nの順序で)。
  - システムは、新しく作成されたセットをアドミンの更新セットとして設定します。
- ユーザーがスコープのデフォルトセットを無視されたまたは完了した とマークした場合(推奨される方法ではない)、システムは直ちにスコープの新しいデフォルトセットを自動生成します。
- 次のすべての条件が発生した場合、スコープの新しいデフォルトの更新セットが自動的に生成されます。
  - アプリケーションスコープを変更した。
  - あなたの優先更新セットが完了したまたは無視された場合。
  - 新しいスコープに対して進行中のデフォルトの更新セットはありません。

システムアップデートセットの構成

追跡対象アプリのインストールを使用してインスタンスを構成するか、更新セットを単一の更新セットに結合します。

構成の概要

- 更新セットによるアプリケーションのインストールトラッキングの有効化

  特定のアプリケーションまたはバージョンをアプリのインストールとして追加し、それらを更新セットで追跡するように構成できます。

- 更新セットを結合

  複数の更新セットの更新を単一のセットに結合します。この機能は、以前のリリースの ServiceNow プラットフォームとの下位互換性のためにサポートされています。新しいバッチ更新セット機能はより予測可能で堅牢なソリューションで同じ結果を達成します。

更新セットによるアプリケーションのインストールトラッキングの有効化

特定のアプリケーションまたはバージョンをアプリのインストールとして追加し、それらを更新セットで追跡するように構成できます。

始める前に
必要なロール：admin

これは グローバル 更新セットにのみ適用されます。

自動追跡はデフォルトでオンになっています。自動追跡をオフにするには、glide.update_set.track_installs_enabled システムプロパティを見つけて false に設定します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. アプリのインストールを手動で構成し、更新セットを通じて追跡するには、次の手順を実行します。
2. 移動先 すべて > sys_store。リスト.
3. ストアアプリリストで構成する更新セットを選択します。
4. [関連リンク] セクションで [現在の更新セットにアプリのインストールを追加] を選択します。
   更新セット内のアプリのインストールを追跡することを確認するメッセージが表示されます。
5. に移動して、アプリのインストールを設定することもできます すべて > v_plugin。リスト
6. システムプラグインリストから構成するプラグインを選択します。
7. [関連リンク] セクションで [現在の更新セットにアプリのインストールを追加] を選択します。
8. **[Update** (更新)] を選択します。
   更新セットのアプリのインストールを確認することを通知するメッセージが表示されます。

更新セットを結合

複数の更新セットの更新を単一のセットに結合します。この機能は、以前のServiceNow® プラットフォームのリリースとの逆方向互換性をサポートします。新しいバッチ更新セット機能はより予測可能で堅牢なソリューションで同じ結果を達成します。

始める前に

注:
更新セットが結合されると、更新セットを「結合を戻す」ことはできません。詳細については、「更新セットのバッチ処理 (Update Set Batching)」を参照してください。

必要なロール：admin。

手順

1. 移動先 すべて > システムアップデートセット > 更新セットを結合.
   デフォルトでは、リストはフィルタリングされて、進行中である更新セットのみを表示します。

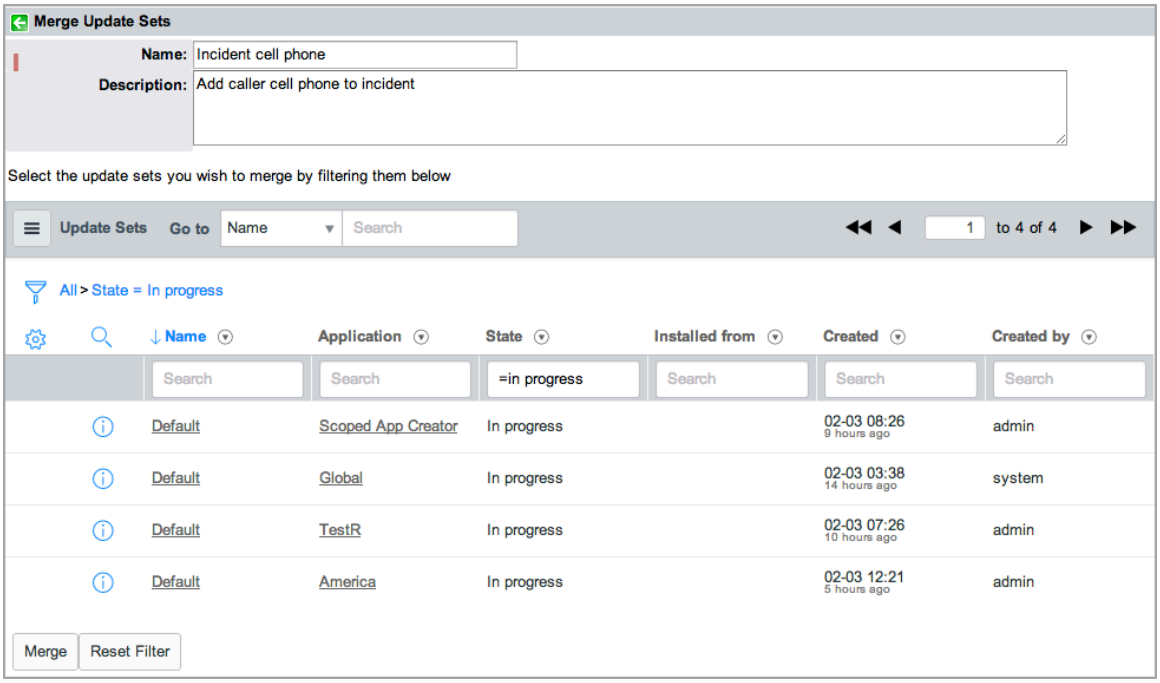
   または、 システムアップデートセット > 完了セットを結合. デフォルトでは、そのリストはフィルタリングされて、完了状況にある更新セットのみを表示します。たとえば、変更をプッシュしたり開発セットからテストインスタンスに更新セットを転送したりした後に、このフィルタを使用したくなるかもしれません。

2. 結合したい更新セットのみを表示するようにリストをフィルタリングします。
   同じアプリケーションに属する更新セットのみを結合できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

更新セットを結合



3. 更新セットの名前を入力します。
   結合処理中にこの新しい更新セットに更新が移動します。
4. オプション: 更新セットの説明を入力します。
5. 結合をクリックします。
6. 確認ダイアログボックスで **OK**をクリックします。
   - 新しい更新セットが作成されます。
   - 各オブジェクトの最新の変更は、元のセットから新しいセットに移動します。新しいセットに結合されない変更のみが元のセットに残ります。移動した更新の数とスキップした更新の数を示すメッセージが表示します。たとえば、両方の更新セットがインシデントフォームを変更した場合は、最新の変更のみが新しい更新セットに移動します。他の変更は、移動されなかった変更のレコードを提供するように元の更新セットにとどまります。

     注:
     システムは、 **sys_updated_on** の値ではなく、 更新済みフィールドと比較してどのレコードが最新であるかを決めます。

7. [結合された更新セット *(Merged Update Sets)*] 関連リストまでスクロールダウンし、古い更新セットレコードを開いて、正しい変更が新しいセットに移動したことを確認します。
8. 誤って古い変更をコミットしないように、元の更新セットを削除または空にします。
   新しいセットに結合されなかった更新は削除しません。古いセットの「残された」更新を新しいセットに移動しないでください。

システムアップデートセットの使用

これらの手順は、カスタマイズを管理し、潜在的な競合を別のインスタンスに移動する前に解決するのに役立ちます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

システムアップデートセットの概要

更新セットを使用する前に、更新セットでスタートするをレビューし、更新セットを使用する時期と使用しない時期、そして更新プロセスを計画してよくある間違いを回避する方法について学びます。次に、更新セットを作成し、それを使用して開発インスタンスを変更します。更新を報告し、更新セットを結合し、更新セットを比較して、希望の変更が移動する準備が整ったことを確認することができます。

更新セットが完了すると、テストプロセスに従って別のインスタンスに更新セットを転送できます。詳細については、「更新セットを転送」を参照してください。

システムアップデートセットの使用

- 更新セットを現在のセットとして作成し選択する

  カスタマイズの変更を保存する更新セットを作成し、現在のセットとして選択します。

- 統一ナビゲーション で現在の更新セットを選択する

  現在の更新セットは、統一ナビゲーションの更新セット ピッカーを使用していつでも変更できます。

- カスタマイズを表示し現バージョンと比較する

  更新セットを構成するカスタマイズを表示し、更新を現バージョンと比較します。

- レコード間のナビゲーション

  カスタマーアップデートレコードとカスタマイズされたオブジェクトまたはそのオブジェクトのアプリケーションファイルの中でナビゲートできます。

- カスタマイズと設定の変更に関するレポートを表示する

  ベースシステムは、インシデントテーブルへの変更および現在のユーザーによる変更に関するレポートを提供します。

- 更新セットを結合

  複数の更新セットの更新を単一のセットに結合します。この機能は、以前のリリースの ServiceNow AI Platform　との下位互換性のためにサポートされています。新しいバッチ更新セット機能はより予測可能で堅牢なソリューションで同じ結果を達成します。

- ローカルな更新セットの比較

  アドミニストレーターは、ローカルおよびリモートの(取得した)更新セットをプレビューし、それらのセットを互いに比較して、競合する変更を解決するできます。

- 更新セットを完了としてマーク

  カスタマイズを完了し、ローカル更新セットを比較して競合を解決すると、更新セットを完了とマークします。

- 更新セットをローカルの XML ファイルとして保存する

  アドミニストレーターは、更新セットを XML ファイルとしてエクスポートして、特定のバージョンのアプリケーションまたは一連の変更を保存できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

更新セットを現在のセットとして作成し選択する

カスタマイズの変更を保存する更新セットを作成し、現在のセットとして選択します。

始める前に

必要なロール：admin。

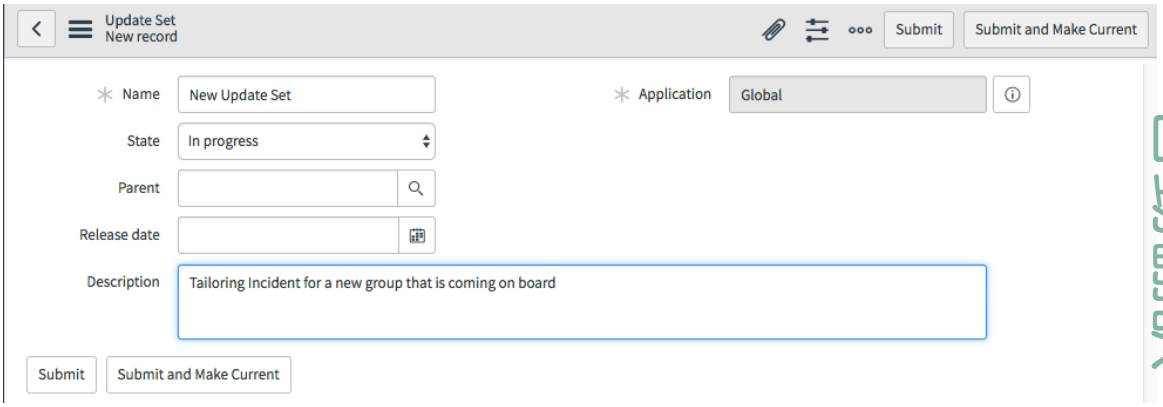
このタスクについて

更新セットは、作成したときに現在のセットとして選択することも、後で [設定] パネルから選択することもできます。

手順

1. 移動先 すべて > システムアップデートセット > ローカル更新セット をクリックし、[新規] をクリックします。
2. テーブルのフィールドのフォームに入力します。
3. 提出をクリックし、更新セットを作成します。
4. ピッカーが有効で更新セットが [処理中 *(in progress)]* ステータスの場合は、[送信して最新にする] をクリックして新しい更新セットを構成変更のターゲットとして選択します。

新しい更新セット



自動翻訳

更新セットフィールド

フィールド	説明
名前	更新セットに対してユニークな名前を入力します。命名規則を使用して更新セットを整理できます。たとえば、修正する更新の名前に問題番号を追加してアプリケーションスコープを識別するか、シーケンス番号を使用して収容する必要がある更新セットの順序を追跡します。
状況	新しい更新セットに対して進行中を選択します。進行中 更新セットを選択して更新セット内のカスタマイズを追跡します。更新セットピッカーは進行中更新セットを表示するのみであります。 更新セットが完了したことが確実な場合にのみ完了を選択します。完了したとマークされた後では、それを元の進行中に戻せません。代わりに、さらにカスタマイズされた新しい更新セットを作成し、確実に完了とマークされた順序で更新セットを収容します。完了更新セットを用いて、変更をあるインスタンスから別のインスタンスに移します。 ある更新セットをもはや使用していないがそれが別のインスタンスに転送されるのを望まない場合には、無視するを選択します。本番インスタンスのセットを無視するする際には常に完了としなければなりません。この状態は、インスタンスのクローン作成時に確実にその更新セットが再度収容されないようにします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	更新セットピッカーは進行中更新セットのみを表示します。「統一ナビゲーション で現在の更新セットを選択する」を参照してください。 更新セットが完了したことが確実な場合にのみ完了を選択します。完了したとマークされた後では、それを元の進行中に戻せません。代わりに、さらにカスタマイズされた新しい更新セットを作成し、確実に完了とマークされた順序で更新セットを収容します。完了更新セットを用いて、変更をあるインスタンスから別のインスタンスに移します。 ある更新セットをもはや使用していないがそれが別のインスタンスに転送されるのを望まない場合には、無視するを選択します。本番インスタンスのセットを無視するする際には常に完了としなければなりません。この状態は、インスタンスのクローン作成時に確実にその更新セットが再度収容されないようにします。
リリース日	更新セットをリリースする予定の日付を入力します。
アプリケーション	アプリケーションピッカーで現在選択されているアプリケーションスコープを埋めます。更新セット内のすべての変更は、現在のスコープにのみ適用します。
説明	更新セットの説明を入力する。

統一ナビゲーション で現在の更新セットを選択する

現在の更新セットは、統一ナビゲーション の更新セットピッカーを使用していつでも変更できます。

始める前に
必要なロール：admin。

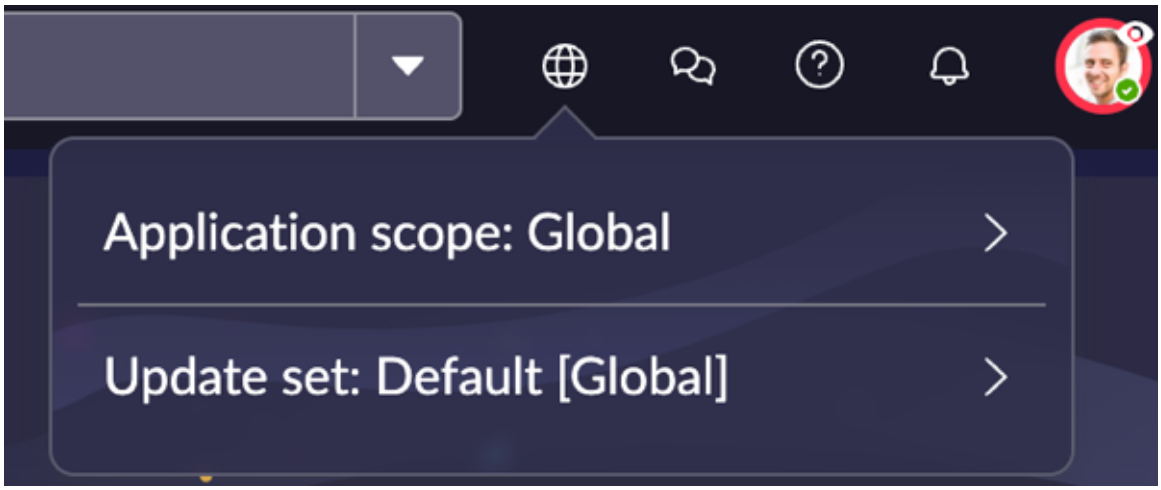
このタスクについて
アプリケーションスコープを変更すると、現在の更新セットがアプリケーションのデフォルトの更新セットになるように自動的に切り替わります。ただし、別の更新セットを選択することもできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 統一ナビゲーション でアプリケーションスコープアイコン ( ) を選択します。



2. 必要に応じて [フィルター] を使用して、[更新セット] フィールドで使用可能なリストから現在の更新セットを選択します。

選択した更新セットは、チェックマークアイコンで確定されます。

3. オプション: 必要な更新セットがリストにない場合は、プラスアイコン ( ) を選択して更新セットを作成できます。

次のタスク

更新セットピッカーは、ネクストエクスペリエンス ピッカーの一部です。詳細については、「Exploring Next Experience pickers」を参照してください。

アプリケーションスコープの詳細については、「アプリケーションスコープ」を参照してください。

カスタマイズを表示し現バージョンと比較する

更新セットを構成するカスタマイズを表示し、更新を現バージョンと比較します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
必要なロール：admin

このタスクについて
顧客アップデート *[sys_update_xml]* テーブルには、カスタマイズされたオブジェクトごとに 1 つのレコードが含まれています。

カスタマーアップデートレコードは次を指定します：

- カスタマイズされたオブジェクトを含む更新セット。
- カスタマイズされたオブジェクトに適用されるアクションのタイプ。
  - 挿入
  - INSERT_OR_UPDATE
  - 更新
  - 消去
- カスタマイズされたオブジェクトのタイプ。
- 更新の対象オブジェクト。
- カスタマイズされたオブジェクトのsys_id(特定のレコードへの変更の場合)。
- オブジェクトをカスタマイズしたユーザー。
- オブジェクトがカスタマイズされた日時。

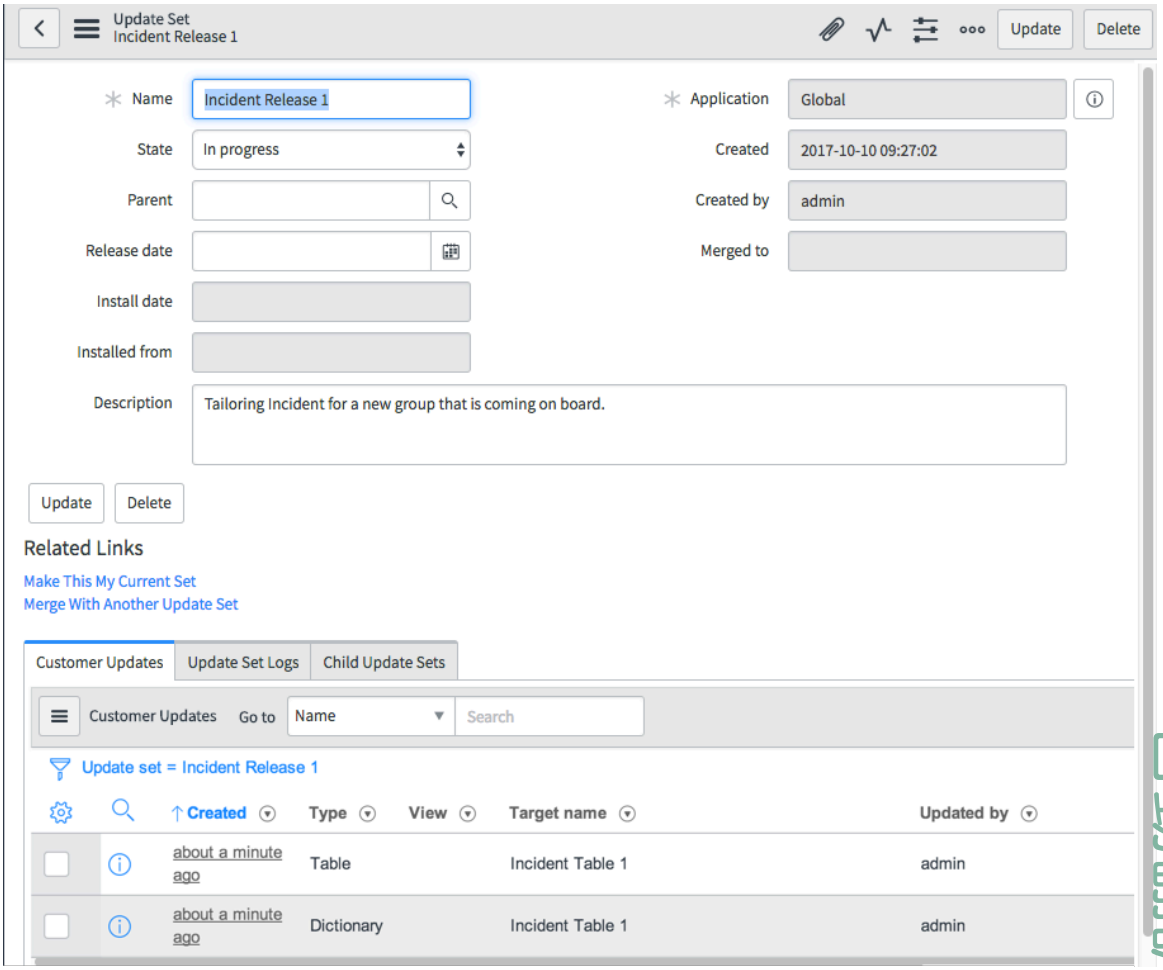
手順

1. 移動先 すべて > システムアップデートセット > ローカル更新セット.
2. 更新セット名をクリックします。
3. カスタマーアップデート関連リストを見ます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

現在のバージョンに対する更新があれば比較できます。更新レコードを右クリックし、現在と比較を選択します。



関連情報

記事の 2 つのバージョンの比較

個々のレコードの競合の解決

レコード間のナビゲーション

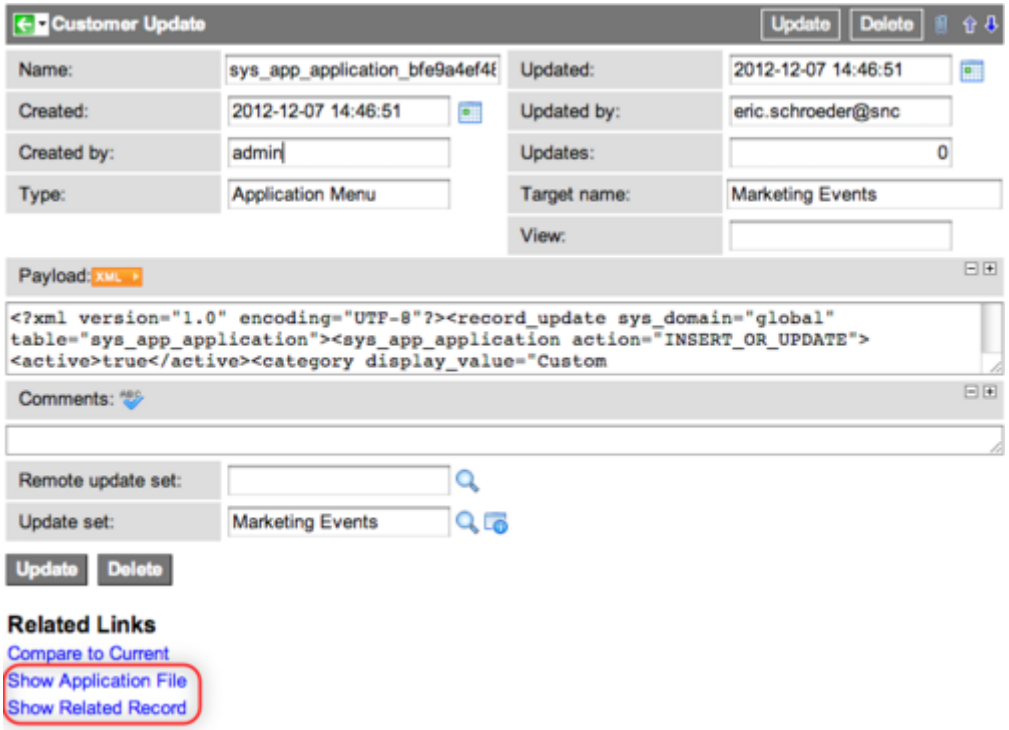
カスタマーアップデートレコードとカスタマイズされたオブジェクトまたはそのオブジェクトのアプリケーションファイルの中でナビゲートできます。

更新レコードから次の場所に移動します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

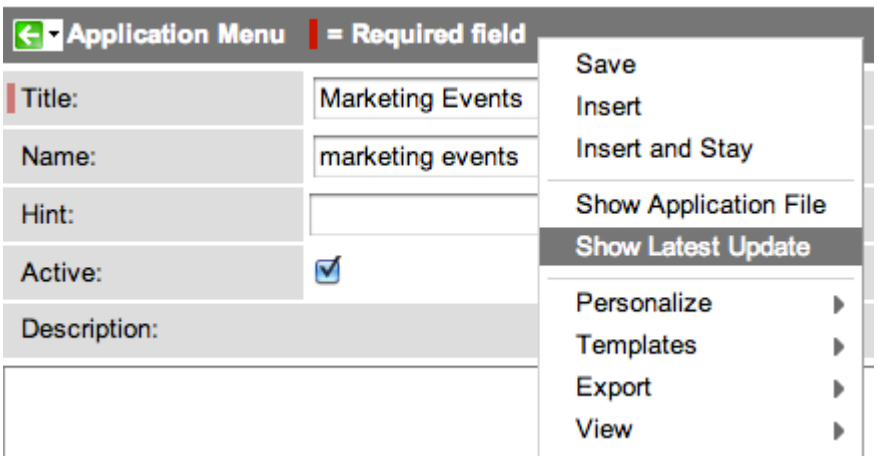
- アプリケーションメニューレコードなどのカスタマイズされたオブジェクトをカストマイズするには： 関連レコードを表示関連リンクをクリックします。
- オブジェクトのアプリケーションファイルレコード： アプリケーションファイルを表示する関連リンクをクリックする。

アプリケーションファイルへ行く



カスタマイズされたオブジェクトまたはアプリケーションファイルから現在のカスタマーアップデートレコードに行くには：フォームヘッダーをクリックし、最新の更新を表示を選択します。

カスタマーアップデート r レコードへ行く



カスタマイズと設定の変更に関するレポートを表示する

ベースシステムは、インシデントテーブルへの変更および現在のユーザーによる変更に関するレポートを提供します。

始める前に

必要なロール：admin。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > レポート > 表示/実行 をクリックし、[*Customer Update*] セクションを見つけます。
2. 使用可能なレポートを実行するかまたは新しいレポートを作成します。

   次のレポートを利用できます。

   - アプリケーションの変更(インシデント) ：インシデントテーブルに加えられたすべての変更を表示します。別のテーブルを選択し、レポートを再度実行して、別のアプリケーションのすべての変更を表示します。
   - 私の変更 ：現ユーザーが作成または更新したすべての変更をテーブル名でグループ化して表示する。

ローカルな更新セットの比較

アドミニストレーターは、ローカルおよびリモートの(取得した)更新セットをプレビューし、それらのセットを互いに比較して、競合する変更を解決するできます。

始める前に
必要なロール：admin。

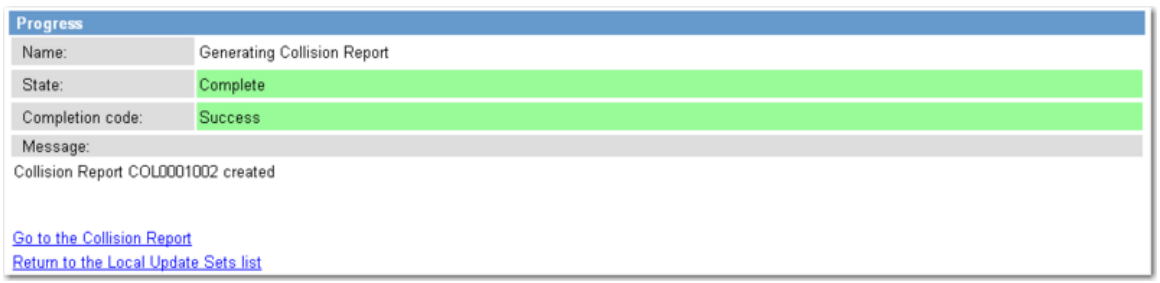
このタスクについて
ローカルの更新セットを比較して、競合を特定し、適切な変更が収容されていることを確認します。インスタンス間で更新セットを移動する前に、すべての競合を解決します。

手順

1. 移動先 すべて > システムアップデートセット > ローカル更新セット.
2. 比較する更新セットの横にあるチェックボックスをオンにします。
3. アクション選択リストで 更新セットを比較を選択します。

   ServiceNowが競合レポートを生成すると進捗画面が現れます。

   競合レポート

4. レポートが完了したとき競合レポートに行くをクリックします。

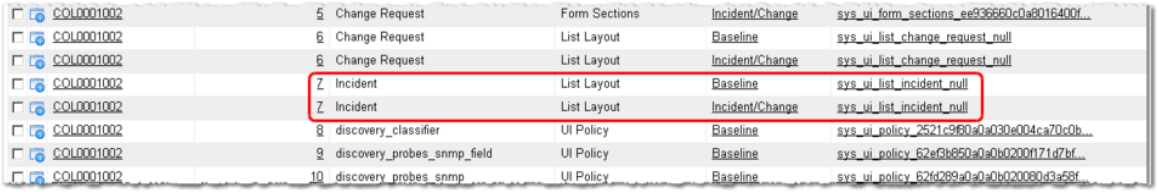
   更新セット競合リストが表示され、選択したセットのすべての変更が表示されます。

5. リストを調べ、別々の更新セットで同じ変更を示している重複した競合番号を探すこと競合を見つけます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

更新セット競合

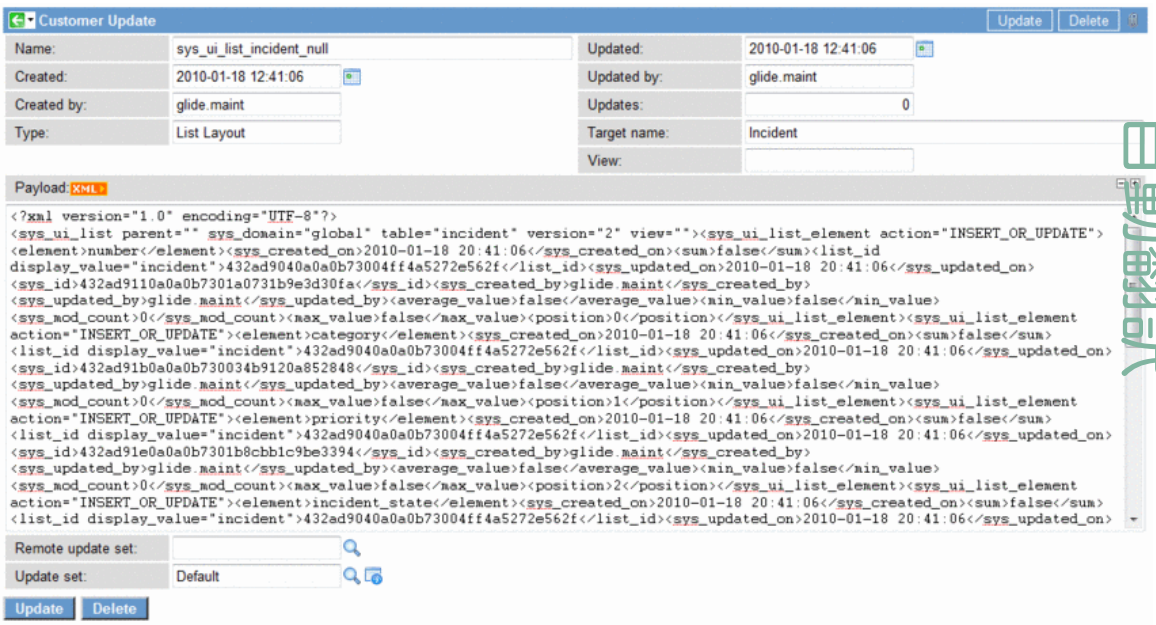


COL0001002	5	Change Request	Form Sections	Incident/Change	sys_ui_form_sections_ee936660c0a8016400f...
COL0001002	6	Change Request	List Layout	Baseline	sys_ui_list_change_request_null
COL0001002	6	Change Request	List Layout	Incident/Change	sys_ui_list_change_request_null
COL0001002	7	Incident	List Layout	Baseline	sys_ui_list_incident_null
COL0001002	7	Incident	List Layout	Incident/Change	sys_ui_list_incident_null
COL0001002	8	discovery_classifier	UI Policy	Baseline	sys_ui_policy_2521c9f80a0a030e004ca70c0b...
COL0001002	9	discovery_probes_snmp_field	UI Policy	Baseline	sys_ui_policy_62ef3b850a0a0b0200f171d7bf...
COL0001002	10	discovery_probes_snmp	UI Policy	Baseline	sys_ui_policy_62fd289a0a0a0b020080d3a58f...

6. いずれかの更新セットから不要な更新レコードを削除して競合を解決します。
   a. 不要な更新に対する システム更新列にあるリンクをクリックします(この例では sys_ui_list_incident_null)。
   b. [削除] をクリックします。

> **注:**
> レコードを削除するには、更新レコードを開く必要があります。更新セット競合リストの項目のチェックボックスをオンにして削除アクションを用いることで更新を削除することはできません。更新レコードを削除すると、カスタマイズはインスタンスから取り消しされません。カスタマイズのレコードのみが削除されます。

カスタマーアップデート



Customer Update

Update Delete

Name:	sys_ui_list_incident_null	Updated:	2010-01-18 12:41:06
Created:	2010-01-18 12:41:06	Updated by:	glide.maint
Created by:	glide.maint	Updates:	0
Type:	List Layout	Target name:	Incident
		View:	

Payload: XML

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<sys_ui_list parent="" sys_domain="global" table="incident" version="2" view=""><sys_ui_list_element action="INSERT_OR_UPDATE">
<element>number</element><sys_created_on>2010-01-18 20:41:06</sys_created_on><sum>false</sum><list_id
display_value="incident">432ad9040a0a0b73004ff4a5272e562f</list_id><sys_updated_on>2010-01-18 20:41:06</sys_updated_on>
<sys_id>432ad9110a0a0b7301a0731b9e3d30fa</sys_id><sys_created_by>glide.maint</sys_created_by>
<sys_updated_by>glide.maint</sys_updated_by><average_value>false</average_value><min_value>false</min_value>
<sys_mod_count>0</sys_mod_count><max_value>false</max_value><position>0</position></sys_ui_list_element><sys_ui_list_element
action="INSERT_OR_UPDATE"><element>category</element><sys_created_on>2010-01-18 20:41:06</sys_created_on><sum>false</sum>
<list_id display_value="incident">432ad9040a0a0b73004ff4a5272e562f</list_id><sys_updated_on>2010-01-18 20:41:06</sys_updated_on>
<sys_id>432ad91b0a0a0b730034b9120a852848</sys_id><sys_created_by>glide.maint</sys_created_by>
<sys_updated_by>glide.maint</sys_updated_by><average_value>false</average_value><min_value>false</min_value>
<sys_mod_count>0</sys_mod_count><max_value>false</max_value><position>1</position></sys_ui_list_element><sys_ui_list_element
action="INSERT_OR_UPDATE"><element>priority</element><sys_created_on>2010-01-18 20:41:06</sys_created_on><sum>false</sum>
<list_id display_value="incident">432ad9040a0a0b73004ff4a5272e562f</list_id><sys_updated_on>2010-01-18 20:41:06</sys_updated_on>
<sys_id>432ad91e0a0a0b7301b8cbb1c9be3394</sys_id><sys_created_by>glide.maint</sys_created_by>
<sys_updated_by>glide.maint</sys_updated_by><average_value>false</average_value><min_value>false</min_value>
<sys_mod_count>0</sys_mod_count><max_value>false</max_value><position>2</position></sys_ui_list_element><sys_ui_list_element
action="INSERT_OR_UPDATE"><element>incident_state</element><sys_created_on>2010-01-18 20:41:06</sys_created_on><sum>false</sum>
<list_id display_value="incident">432ad9040a0a0b73004ff4a5272e562f</list_id><sys_updated_on>2010-01-18 20:41:06</sys_updated_on>
```

Remote update set:	
Update set:	Default

Update Delete

7. 比較をもう一度実行して、すべての競合が解決されていることを確認する。

更新セット競合の解決

競合は新しいローカル更新を持つ更新です。

プラットフォームは各更新セットからのカスタマーアップデートレコードの名と更新済みフィールドの値を比較することで競合を検知します。名前が一致しても更新日の値が異なる場合は、競合が存在します。

カスタマーアップデートがあるインスタンスから別のインスタンスに移動されると、そのインスタンスはターゲットインスタンスと一致するように書き直される可能性があります。書き換えには、顧客の更新の名前の更新とその更新中の1つまたは複数の sys_id 変更が絡むことがあります。レコードまたは参照フィールドが合体戦略を使用するテーブルに対するものの場合再書き込みが行われます。これによりカスタマーアップデートが正しいレコードに確実に適用されます。たとえば、

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

sys_dictionary ～のためのレコード tablename.fieldname がインスタンスAで sys_id 123456789 を持ちインスタンスBで sys_id 987654321 持つと、そのレコードを参照する顧客の更新がインスタンスAから取得され、インスタンスBのsys_update_xmlテーブルに記録されると、 123456789 への参照は 987654321 に更新されます。

合体戦略

更新セットは、別々のインスタンスで独立に作成する同一のレコード間の競合を検知できます。このような競合を検知するには、レコードは合体する列に基づく合体戦略が必要です。競合の検出は表の一意性に依存するため、テーブルの合体する列を結合するときそのテーブルは一意でなければなりません。同じレコードが異なるインスタンスで別々に作成されている場合、ここにリストされていないレコードは競合しません。

タイプ	列の合体
sys_db_object	name
sys_dictionary	名前、要素
sys_choice_set	名前、要素、言語
sys_documentation	名前、要素、言語
sys_properties	name
sys_report_chart_color	名前、要素、値
sys_ui_form	名前、表示、sys_domain
sys_ui_message	documentkey, language
sys_ui_list	名前、ビュー、sys_domain、要素、関係、親
sys_ui_section	名前、表示、キャプション、sys_domain
sys_ui_related_list	名前、表示、関連リスト、sys_domain
sys_ui_view	name
sys_user_role	name
sys_user_group	name
sys_wizard	name

カスタマーアップデートレコード名が競合にどのように影響するか

合体を理解するには、合併しないレコードがどのように機能するかを理解することが役立ちます。ほとんどのレコードタイプでは、カスタマーアップデートを新しいインスタンスに移動すると、システムは次の理由で競合を検知しません：

- レコードを作成すると、一意のsys_idを受け取ります。ほとんどのレコードタイプでは、sys_idは顧客更新レコード名の一部になります。例えば：sysevent_email_template_9e1998c078b71100a92ecacd80df1d39 。
- 別のインスタンスの同じテーブルに同じレコードを作成すると、異なるsys_idを持つ顧客更新レコード名が生成されます。例えば：sysevent_email_template_10b958c8653311005840134572f8e020

その結果、たとえレコードがそうでなければ同一かもしれませんが、レコードは異なる名前になり、システムは競合を検知しません。

対照的に、レコードの合体は、レコードの命名と競合の判定に次の方法を使用します：次の顧客更新レコードタイプは、名前にsys_idの代わりに合体列の一部またはすべてを使用します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- sys_dictionary
- sys_documentation
- sys_choice_set
- sys_ui_list
- sys_ui_related_list

各インスタンスで結果として同一のレコード名を使用すると、レコードに異なる sys_id があってもシステムが衝突を識別するのに役立ちます。

カスタマーアップデートがあるインスタンスから別のインスタンスに移動されると、そのインスタンスはターゲットインスタンスと一致するように書き直される可能性があります。書き換えには、顧客更新の名前の更新とその更新中の1つまたは複数の sys_id 変更が絡むことがあります。レコードまたは参照フィールドが合体戦略を使用するテーブルに対するものの場合再書き込みが行われます。これによりカスタマーアップデートが正しいレコードに確実に適用されます。たとえば、tablename.fieldname の sys_dictionary レコードのインスタンス A に sys_id「123456789」、インスタンス B に sys_id「987654321」がある場合、そのレコードを参照する顧客の更新がインスタンス A から取得され、インスタンス B の sys_update_xml テーブルに記録されると、「123456789」への参照が更新されて「987654321」を読み取ります。

重複レコードの防止

- 別々のインスタンスで再作成するのではなく、更新セット を使ってデータを転送することで、レコードが同じ sys_id を持つようにします。
- レコードを XML ファイルとしてエクスポートおよびインポートし、レコードが同じ sys_id を持つようにします。「XML ファイルのエクスポートとインポート」を参照してください。
- システムディクショナリーからテーブルへのユニークなインデックスを有効にします。「テーブルアドミニストレーション」を参照してください。

> **注:**
> ベースラインシステムに含まれるデフォルトレコードは、インスタンスのプロビジョニングの際にインスタンスが XML ファイルとしてレコードをインポートするため、常に同じ Sys ID を持ちます。

更新セットを完了としてマーク

カスタマイズを完了し、ローカル更新セットを比較して競合を解決すると、更新セットを完了とマークします。

始める前に
必要なロール：admin。

このタスクについて
移行の準備が整っている場合に限り更新セットを 完了とマークします。更新セットが完了すると、それを元の進行中に戻さません。代わりに、残りの変更のために別の更新セットを作成し、それらが作成された順に一緒に収容します。このケースでは、命名規則が役立ちます(たとえば、パフォーマンスの向上とパフォーマンスの向上2)。

手順

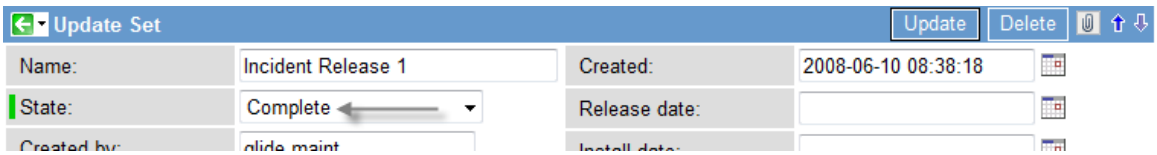
1. 更新セットレコードを開きます。
2. 更新セットの状態を進行中から完了に変更します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 更新セットは他のインスタンスを取り出すために使用できます。
- 更新セットでは追加のカスタマイズは追跡されません。

更新セットのレコード



更新セットをローカルの **XML** ファイルとして保存する

アドミニストレーターは、更新セットを XML ファイルとしてエクスポートして、特定のバージョンのアプリケーションまたは一連の変更を保存できます。

始める前に

必要なロール：admin

このタスクについて

通常、次のいずれかの条件が当てはまる場合、更新セットの XML ファイルを作成します。

- ２つのインスタンスにはネットワーク接続がないため、リモートインスタンスから更新セットを取得することも、ソースインスタンスから直接データをプルまたはインポートするためデータソースを作成することもできません。
- ソースインスタンスにアドミンの認証情報を提供したくない場合 (たとえば、アドミンパスワードを会社外のユーザーと共有したくない場合など)、更新セットを取得したり、データソースを作成したりすることができません。
- 重要なカスタマイズをローカルにバックアップする必要があります。

カスタマイズを XML ファイルとしてエクスポートおよびインポートする機能は、次の UI アクションによって提供されます。

- 更新セット [sys_update_set]テーブルを **XML**へのエクスポート
- 取得された更新セット[sys_remote_update_set]テーブルを **XML**へのエクスポート
- 取得された更新セット[sys_remote_update_set]テーブルに **XML**から更新セットをインポート

更新セット[sys_update_set]テーブルの **XML** へのエクスポートUIアクションは、`UnloadRetrievedUpdateSet` と呼ばれるプロセッサを呼び出し、それはローカル更新セットを取り出した更新セットに変換し、取り出した更新セットを関連リストとともにエクスポートし、必要に応じて一時更新セットを削除します。

どちらの **XML** へのエクスポート UI アクションも、`ExportWithRelatedLists`を含むスクリプトに依存し、それはレコードと手動で定義された関連リストを1つの XML ファイルにエクスポートします。

手順

1. システムアップデートセットに行き、ローカル更新セットまたは取得された更新セット のいずれかをクリックします。

   注:
   エクスポートするには、[取得済み更新セット] がロード済み状態である必要があります。

2. 完了状態にある更新セットを選択します。
3. 更新セットフォームで、 **XML** へのエクスポート関連リンクをクリックします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

4. XML ファイルを保存します。
   XML ファイルが作成されます。ファイルが別のインスタンスにアップロードされると、ファイルが作成されたインスタンスでローカルであるか検索されたかにかかわらず、取得された更新セットとして表示される。

単一の XML ファイルからカスタマイズをロードする

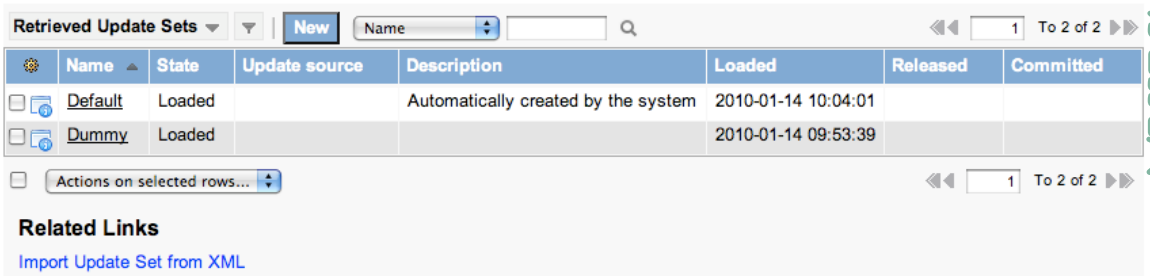
アドミニストレーターは、更新セットの XML ファイルをロードして、特定のバージョンのアプリケーションまたは変更セットを適用できます。

始める前に
必要なロール：admin

手順

1. 特権を security_admin ロールに昇格させます。
2. 移動先 システムアップデートセット > 取得済み更新セット.
3. リンク [XML から更新セットをインポート] をクリックします。
4. [ファイルを選択] をクリックし、XML ファイルを選択します。
5. [アップロード] をクリックします。
   このカスタマイズは、[ロード完了] 状態の取得済み更新セットとして利用できるようになりました。
6. 標準的な手順に従って、更新セットを収容します。

取得した更新セット



システムアップデートセットの管理

インスタンスでシステムアップデートセットの管理業務を実行します。

セット管理を更新

更新セットでインスタンス間の構成変更を保存、取得、プレビュー、適用する方法を管理します。

アドミニストレーターは、更新セットで次のオプションを使用できます。

- ローカル変更を格納する更新セットを作成します。
- ローカル変更を保存する現在の更新セットを選択します。
- 配布用に準備するため更新セットを収容します。
- 更新セットの内容に関するレポートです。
- 更新セットを比較して、それらが持つ違いを判断します。
- 複数の更新セットの更新を単一のセットに結合します。
- 更新セットから外部ファイルを作成します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- リモートインスタンスから更新セットを取得します。
- 取得した更新セットを適用します。
- 更新セットから適用された変更を取り消します。
- 更新セットに関連するシステムプロパティを設定します。

更新セット ピッカーへのアクセスを許可する

更新セット ピッカーを使用すると、ユーザーはカスタマイズを作成および追跡するための更新セットを選択できます。既定では、アドミンのみが更新セットの選択ツールを使用できます。あなたは追加ユーザーへのアクセスを許可することができます。

取得した更新セットを自動的にプレビューする

既定では、システムは更新セットを取得するとすぐに更新セットを自動的にプレビューします。この動作をオフにするには、システムプロパティ **glide.update_set.auto_**プレビュー に偽 を設定し：ナビゲータフィルタで次のように入力し **sys_properties.list** 、その後 **glide.update_set.auto_**プレビュー プロパティに行き値フィールドを編集します。

アプリケーションテーブルを追跡する

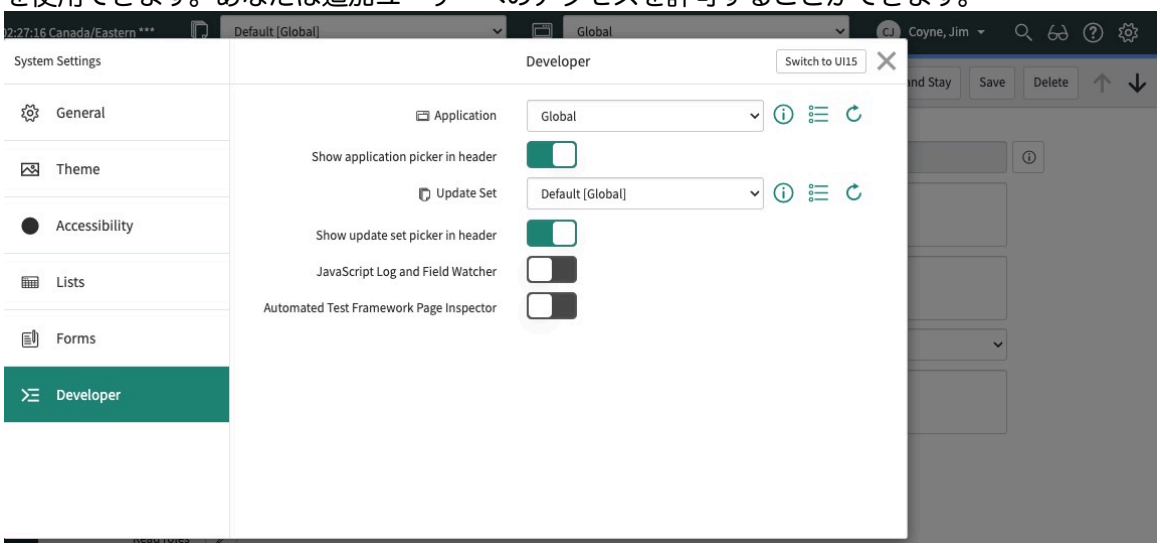
アプリケーション開発者は、特定のバージョンのアプリケーションを保存または配布するための更新セット内のアプリケーションの変更を追跡できます。テーブルの作成中に、 テーブルを拡張をアプリケーション ファイル[sys_metadata]にセットします。

更新セット ピッカーへのアクセスを許可する

アドミン以外のユーザーが更新セット ピッカーを使用できるようにします。

始める前に
必要なロール：admin

このタスクについて
更新セットピッカーがパネルに現れます。ピッカーを使用すると、ユーザーはカスタマイズを作成および追跡するための更新セットを選択できます。既定では、アドミンのみが更新セットの選択ツールを使用できます。あなたは追加ユーザーへのアクセスを許可することができます。



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 更新セットテーブル [sys_update_set] への読み取りアクセス権をユーザーロールに付与します。
2. ユーザーが設定パネルで更新セットピッカーを表示できるようにします。
   a. [システムのプロパティ] テーブルにシステムのプロパティを追加 `glide.ui.update_set_picker.role`します。
   b. `glide.ui.update_set_picker.role` の値をアクセス権を付与したいロールに割り当てる。

アップグレード中にカスタマイズを上書きする

次のアップグレード時に交換するカスタマイズ済みオブジェクトを指定します。デフォルトでは、アップグレードプロセスはカスタマイズ済みオブジェクトへの変更をスキップします。

始める前に
必要なロール：admin。

このタスクについて
システムは、テーブルやフィールドに対する辞書レコードの変更など、ユーザーが行った構成の変更を追跡します。構成の変更ごとに、対応するレコードが顧客アップデート [sys_update_xml] テーブルにあり、そこでは [アップグレード時に交換] フィールドが [false] に設定されています。カスタマイズを次のソフトウェアバージョンで上書きできます。たとえば、スクリプトを変更して、次のバージョンで修正される問題の一時的なワークアラウンドを実装できます。スクリプトの将来の拡張機能を確実に受け取るために、次のバージョンにアップグレードする際にワークアラウンドを上書きする必要があります。

手順

1. カスタマイズされたオブジェクトを開きます(たとえば、 `ArrayUtil` スクリプトインクルード)。
2. ヘッダーを右クリックし、最近の更新を表示 を選択します。
3. 必要であれば、フォームをアップグレード時に交換フィールドを追加するよう設定します。
4. アップグレード時に交換チェックボックスをオンにして更新をクリック します。
   カスタマイズされたオブジェクトは、次回のアップグレード時に置き換えられます。

カスタマイズの作成、テスト、および移動

これらの手順を使用して、開発システムから実動システムへのカスタマイズを作成、テスト、および移動します。

3 段階インポートプロセス

更新セットを使用してカスタマイズを開発する一般的なプロセスでは、変更を開発からテスト、本番インスタンスに移動します。

1. 開発インスタンスに更新セットを作成します。
2. 開発インスタンスのカスタマイズと変更を行います。
3. 更新セットを完了とマークします。
4. テストインスタンスにログインし、開発インスタンスから完成した更新セットを取得します。
5. テストインスタンスで更新セットを収容し、カスタマイズを完全にテストします。
6. 更新セットにテストインスタンスに問題がある場合は、ステップ1～5を繰り返して、別の更新セットを使用して開発インスタンス上で修正を開発します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

7. 更新セットがインスタンスからインスタンスに移動し、そのモデルを維持するように共通パスを特定します。複数のソースから同じ更新セットを移行しません。更新セットをdevからtestに移動し、次にテストから運用に移動します。
8. 本番環境で更新セットを収容します。更新セットで修正が必要な場合は、両方の更新セットを作成順に収容します。

2段階インポートプロセス

開発環境が2つのインスタンスのみで構成されている場合は、開発インスタンスとテストインスタンスを1つのステージングインスタンスに結合できます。

1. ステージングインスタンスに更新セットを作成します。
2. ステージングインスタンスのカスタマイズと変更を行います。
3. 更新セットを完了とマークします。
4. ステージングインスタンスでカスタマイズを完全にテストします。
5. 更新セットに問題がある場合は、手順1～4を繰り返して、別の更新セットを使用してステージングインスタンスの修正を開発します。
6. 本番インスタンスにログインし、完成した更新セットをステージング インスタンスから取得します。更新セットで修正が必要な場合は、両方の更新セットを取得します。
7. 本番環境で更新セットを収容します。更新セットで修正が必要な場合は、両方の更新セットを作成順に収容します。

更新セットの一括

バッチ 更新セットを使用すると、更新セットをグループ化できるので、一括でプレビューおよび収容ができます。

複数の更新セットを処理すると問題が発生する場合があります。たとえば、更新セットを正しくない順序でコミットしたり、1 つまたは複数の更新セットを誤って除外してしまったりする可能性があります。完了した更新セットをバッチにすることで、これらの問題を回避できます。

> **注:**
> クローン作成中に更新セットのバッチ階層を保持するには、親の更新セットのみを「無視」ステータスに設定し、他のすべての更新セットを「完了」のままにします。これにより、バッチセットのクローン作成が防止され、バッチ更新セット階層が保持されます。

更新セットのバッチを階層に編成します。1 つの更新セットは、複数の子更新セットに対する親として行動できます。与えられたセットは子と親の両方になれるので、複数レベルの階層を可能にします。階層の最上位にある1つの更新セットは、更新セットのベースとして働きます。

基本更新セットをプレビューまたは収容すると、バッチ全体をプレビューまたは収容することになります。システムは処理の順序を決定し、変更が記録された日付とその逐次祖先に基づいて競合をチェックします。彼らの祖先は、更新セットの変更が行われた特定のインスタンスです。

> **注:**
> 詳細については、「ローカルな更新セットの比較」と「カスタマイズを表示し現バージョンと比較する」を参照してください。

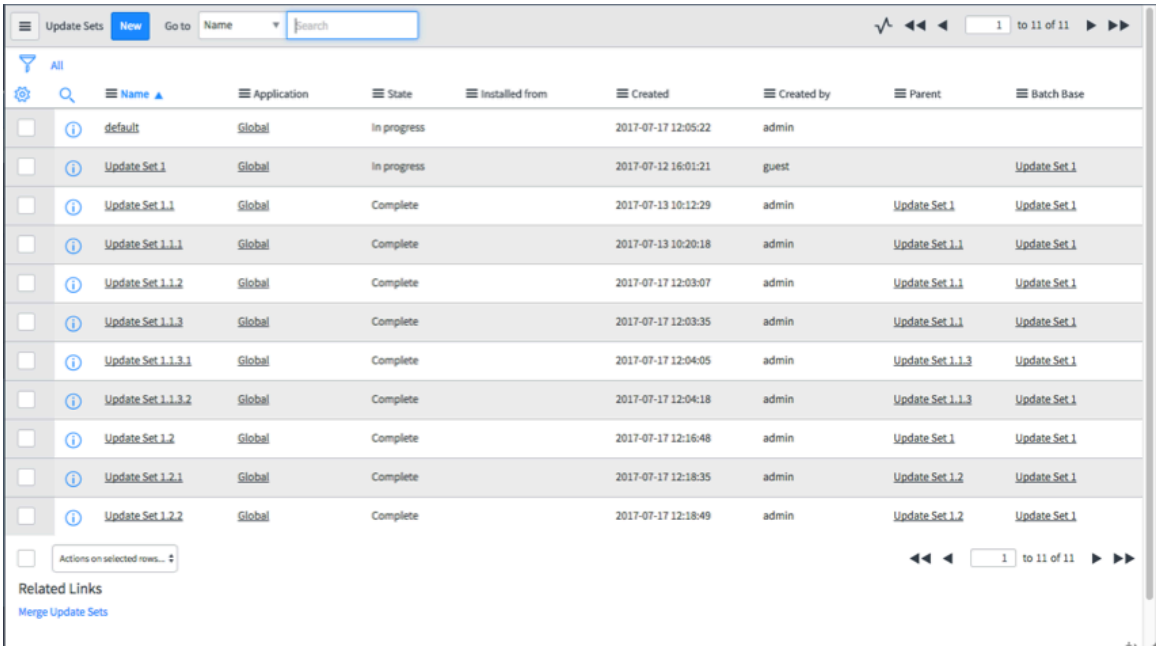
バッチ更新セットの例

更新セットレコードリストは、[親] および [バッチベース] 列のバッチ階層を反映しています。

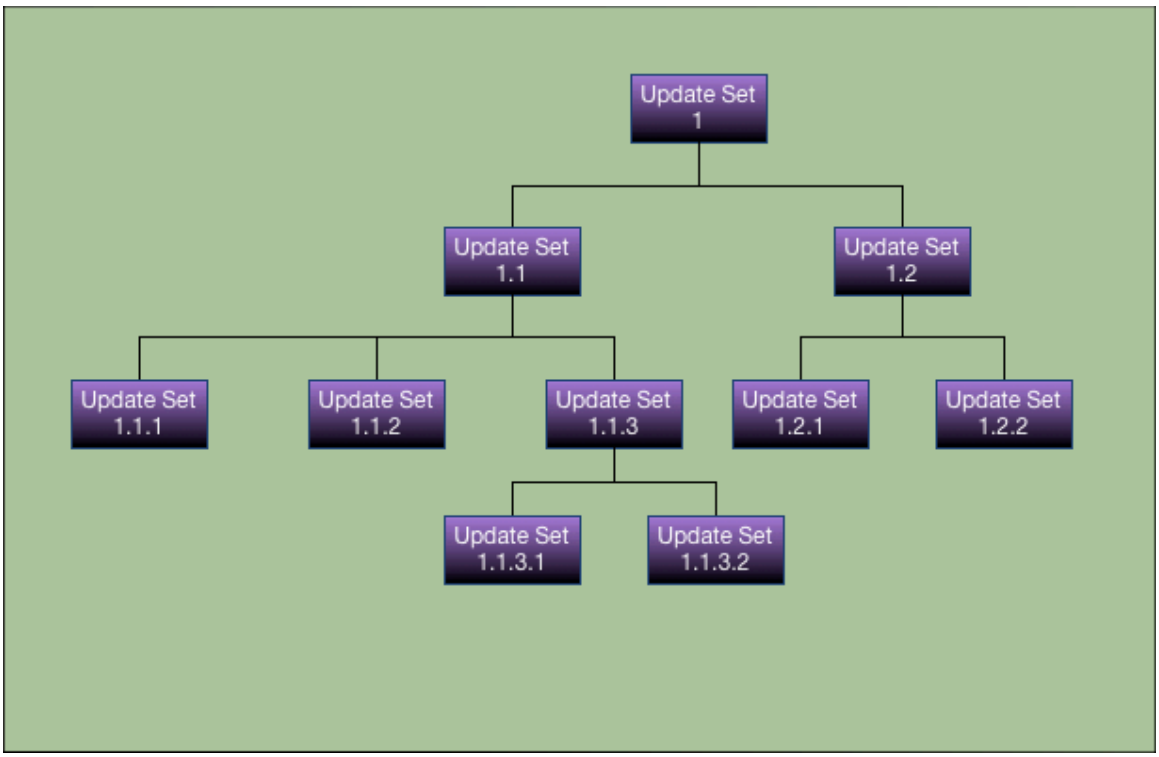
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

バッチ更新セットのリスト



バッチ更新セット階層の図



自動翻訳

バッチ更新セットの作成

その親として別の更新セットを指定することにより、更新セットをバッチに含めます。

始める前に

必要なロール：admin

完了したバッチに WIP 更新セットを追加してバッチベースを WIP にリセットします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > システムアップデートセット > ローカル更新セット.
2. バッチの子として含めたい更新セットに対するレコードを選択します。
3. 更新セットレコードで、親フィールドに行きそして親として機能するように更新セットを選択します。
4. [更新] をクリックします。
   システムは更新セットのリストに戻ります。親列が表示されている場合は、それは新しく作成された子の親を表示している。

バッチ済み更新セットを取得する

個々の更新セットと同じプロセスを使用して更新セットのバッチを取得します。

始める前に
必要なロール：admin

手順

検索するには個々の更新セットのバッチは、個別の更新セットに対するのと同じように、バッチベースに対しても同じプロセスを実行します。
システムはバッチ全体を一度に処理します。詳細については、「更新セットを取得」を参照してください。

更新セットのバッチをプレビューする

一度にバッチに属するすべての更新セットをプレビューできます。

始める前に
必要なロール：admin
ソースインスタンスから更新セットを取得しておく必要があります。

手順

1. 移動先 すべて > システムアップデートセット > 取得済み更新セット
2. 取得した更新セットのリストから、プレビューしたいそのバッチに対するバッチベースを選択します。
   バッチでの子の更新セットを個別にプレビューすることはできません。バッチベースをプレビューすることで、バッチ全体をプレビューする必要があります。必要に応じて、レコードの親フィールドを編集してバッチから子の更新セットを削除することができます。
3. プレビュー 更新セット **Batch**をクリックします。
4. システムが問題を検出した場合は、問題をプレビューします。
   a. [バッチの問題をプレビュー **(Preview Problems for Batch)**]をクリックし、通常の更新セットと同様に問題を解決します。
   b. すべての問題を解決すると、バッチのプレビューを再度実行するをクリックする。

更新セットのバッチを収容

バッチに属するすべての更新セットを一度に収容できます。

始める前に
必要なロール：admin
収容する前に、ソースインスタンスから更新セットをプレビューし、競合を解決しておく必要があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > システムアップデートセット > 取得済み更新セット
2. 取得した更新セットのリストから、プレビューするバッチのバッチベースを選択します。
   バッチの子の更新セットを個別にコミットすることはできません。バッチベースを収容することによってバッチ全体を収容する必要があります。必要に応じて、そのレコードの親フィールドを編集して、バッチから子の更新セットを削除することができます。
3. 全ての更新セットを収容するをクリックする。

更新セットのバッチを再編成する

個々の更新セットをバッチから削除するか、その親を変更できます。

始める前に
必要なロール：admin

手順

1. 移動先 すべて > システムアップデートセット > ローカル更新セット.
2. バッチ内で子として移動または削除したい更新セットのレコードを選択します。
3. 更新セットレコードで、親フィールドに行き、親として機能する新しい更新セットを選択します。
4. バッチから更新セットを削除するには、親フィールドからいずれのテキストも消去しそれを空白のままにします。
5. [更新] をクリックします。
   システムは更新セットのリストに戻ります。もしバッチベース列が表示されている場合は、新しく作成された子の親を示します。

次のタスク
システムプロパティ **glide.update_set.auto_preview**が**true**に設定されていると、レコードが新しい親で更新された後、システムは自動的にプレビュー処理を開始します。このプロパティが**false**であると、プレビュー処理は手動で開始する必要があります。プレビュー手続きの詳細は更新セットのバッチをプレビューするを参照してください。

バッチ更新セットの取り消し

バッチのベース更新セットの切り戻し手順に従って、バッチ処理された更新セットを切り戻します。任意の子更新セットを個別に取り消すこともできます。

バッチに属する更新セットを取り消しするときは、次の規則が適用されます。

- 更新セットに親の値がある場合、システムは親の値をクリアし、更新セットを独立した更新セット、または子があれば新しいバッチベースとして扱います。
- システムは、選択した更新セットと、加えて削除された更新セットの子があれば取り消します。

詳細については、「更新セットの切り戻し (Back out an update set)」と「更新セットのバッチ処理 (Update Set Batching)」を参照してください。

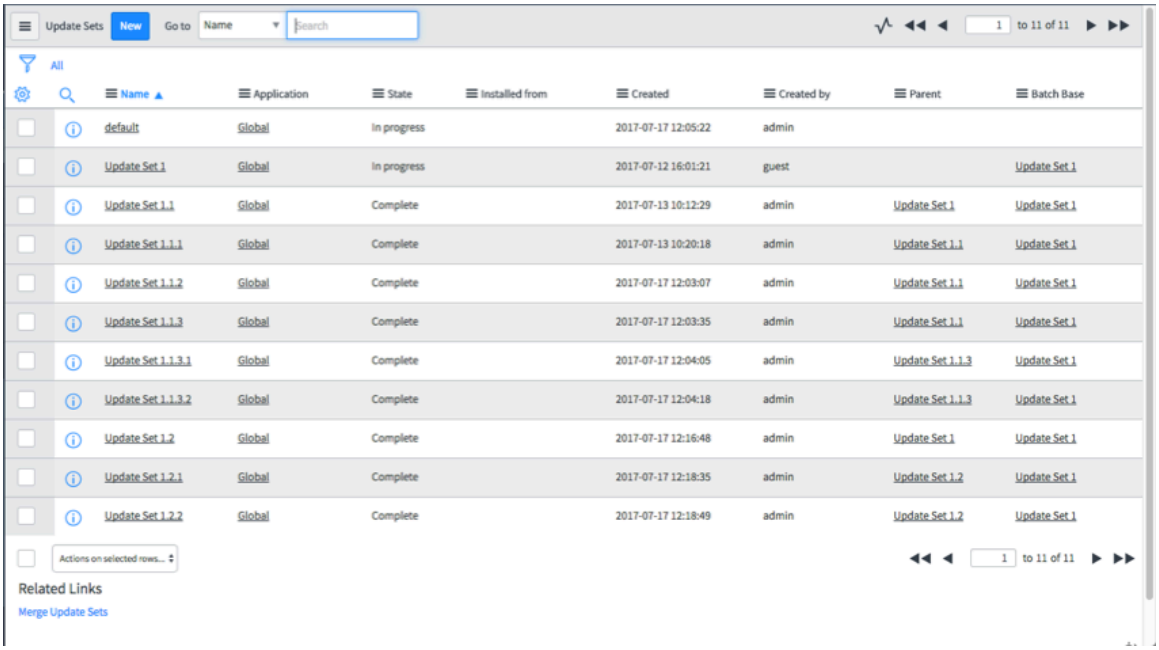
バッチ更新セットを取り消しする例

更新セットを取り消しする前のバッチ更新セットのリストに示される更新セット 1.1 を次のバッチから削除した場合、結果は更新セット 1.1 を取り消しした後のバッチ更新セットのリストに示されるバッチになります。

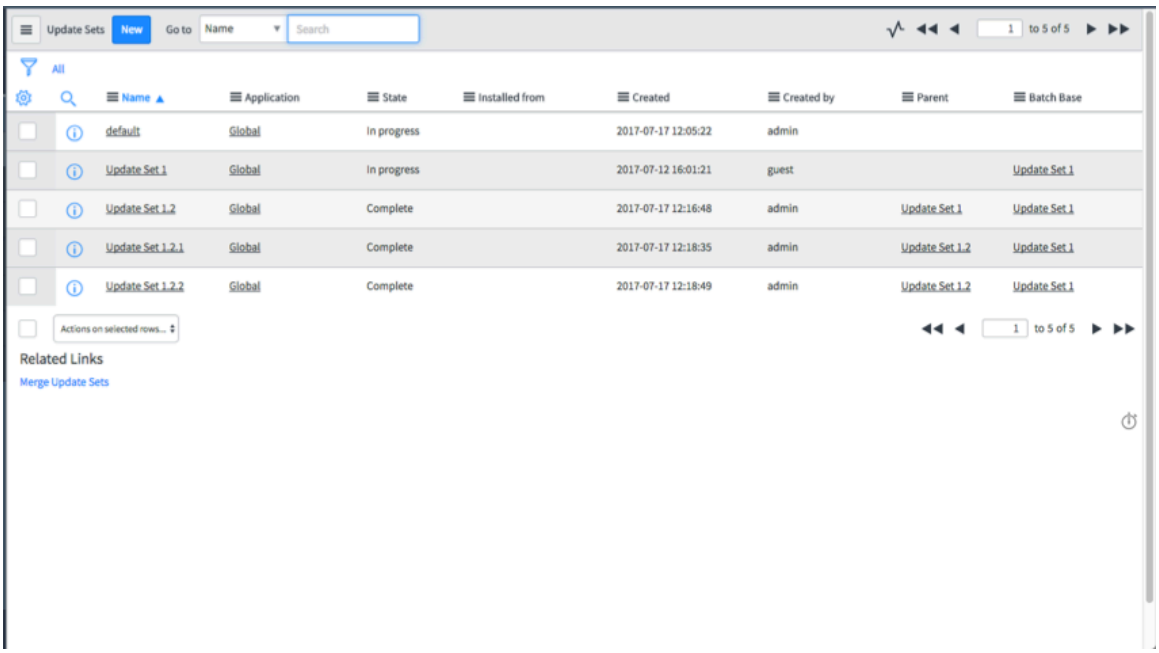
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

更新セットを取り消しする前のバッチ更新セットのリスト



更新セット **1.1** を取り消しした後のバッチ更新セットのリスト

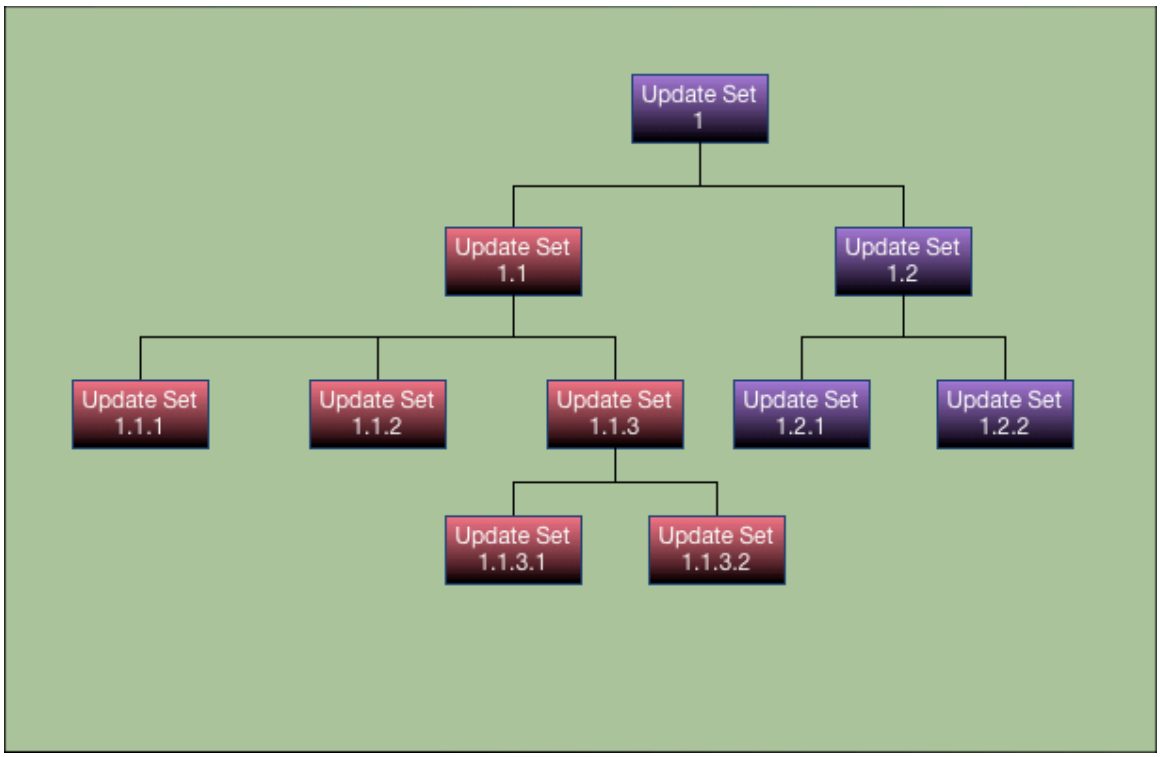


更新セットバッチの階層図 取り消しの前と後の両方の階層を示します。赤いボックスは更新セット 1.1 を取り消した場合にシステムが取り消す更新セットを示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

更新セットバッチの階層図



更新セットを転送

更新セットが完了すると、インスタンス間で転送して、カスタマイズを開発から、テストを通って、本番に移動できます。

IP アクセスコントロールによる転送

ソースインスタンスで IP アドレスアクセスコントロールが有効になっている場合、またはソースインスタンスがターゲットインスタンスとは異なるデータセンターにある場合は、更新セットを転送する前に次の作業を完了します。

1. カスタマーサービス & サポート に連絡して、インスタンスをサポートするすべてのアプリケーションノードの IP アドレスを確認してください。
2. ソースインスタンスで、システムセキュリティのIPアドレスのアクセス制御に移動します。ステップ 1 のIPアドレスを例外として追加します。

ベーシック認証による転送

ソースインスタンスで SOAP 要求に対してベーシック認証が有効になっている場合は、有効な認証情報を使用して更新セットを取得する必要があります。

XML ファイルを使用した転送

更新セットを XML ファイルとしてアンロードし、別のインスタンスに転送できます。詳細については、「更新セットをローカルの XML ファイルとして保存する」を参照してください。

更新セットを取得

完了した更新セットを別のインスタンスから取得します。

始める前に
必要なロール：admin。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて

⚠ 警告:
更新セットを使用すると、異なるバージョンのファミリーリリースや異なる機能を実行しているインスタンス間で変更を移行できます。以前のファミリーリリースで作成された更新セットを新しいファミリーリリースを実行しているインスタンスにロードすることはいつでも可能です。新しいファミリーリリースで作成された更新セットを以前のファミリーリリースを実行しているインスタンスにロードする場合は、互換性を確認するために追加のテストが必要になります。新しいファミリーリリースで行われた更新を以前のファミリーリリースに移行しても、同じ機能が生成されない場合があります。極端なケースでは、新しいファミリーリリースの更新が原因で、以前のファミリーリリースのインスタンスで機能停止やデータ損失が発生することがあります。可能であれば、新しいファミリーリリースから以前のファミリーリリースに更新を移行することは避けてください。異なるバージョンの ServiceNow Store アプリを実行しているインスタンス間で更新を移行する場合でも、同様の制約があります。

手順

1. ソースインスタンスで IP アドレスアクセスコントロールが有効になっている場合は、ターゲットインスタンスを例外として設定します。
2. ターゲットインスタンスで、 システムアップデートセット > 更新ソース をクリックし、[新規] をクリックします。
3. テーブルの説明に従って接続設定を指定します。

フィールド	説明
名前	そのインスタンスにユニークな名前を入力します。
タイプ	リモートインスタンスが開発、テスト、またはUATインスタンスのいずれであるかを指定します。
有効	ローカルインスタンスが更新セットをリモートインスタンスに転送できるかどうかを指定します。更新セットはアクティブなリモートインスタンスにのみ転送できます。
URL	適切な転送プロトコルを使用してリモートインスタンスのURLを指定します。各リモートインスタンスレコードにはユニークなURLが必要です。同じURLを持つ重複レコードを作成すると、エラーが発生する可能性があります。リモートインスタンスは、ローカルインスタンスと同じリリースファミリにあるものとします。 **注:** システムが接続を確認した後で、URLを変更することはできません。アクティブフィールドを使用して、不要なリモートインスタンスを非アクティブにします。
ユーザー名	このインスタンスに更新セットを転送する権限を持つユーザーをリモートインスタンスに入力します。このユーザーアカウントには、リモートインスタンスに対して admin ユーザーロールが必要です。
パスワード	承認ユーザーのパスワードを入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
簡単な説明	[オプション]リモートインスタンスに関するその他の関連情報を入力します。

4. [テスト接続] をクリックします。
   - 接続に成功すると、確認メッセージが表示されます。
   - 接続が失敗した場合、警告メッセージによって障害の原因が特定されます。
5. 接続が失敗した場合は、設定を変更して接続を確立します。
   - 接続設定を保存する前に接続を確立する必要があります。
   - ソースインスタンスを変更することができます(たとえば、パスワードを変更する)。
6. フォームヘッダーを右クリックし、[保存] を選択します。
7. 関連リンク の下で、完了した更新セットを取得するをクリックします。
   - 完了とマークされた更新セットはソースインスタンスからターゲットインスタンスに転送されます。ターゲットインスタンス上にすでに存在する更新セットはスキップされます。
   - 確認ページには、転送された更新セットの数とスキップされた更新セットの数に関する詳細なメッセージが表示されます。
   - 取得した更新セットを表示するには、 システムアップデートセット > 取得済み更新セット.

次のタスク

システムプロパティ **glide.update_set.auto_preview** が**true**に設定されていると、更新セットが取得された後、システムは自動的にプレビュー処理を開始します。このプロパティが**false**であると、プレビュー処理は手動で開始する必要があります。プレビュー処理の詳細については、リモート更新セットのプレビューを参照してください。

更新セットのソースインスタンスを設定する

更新セットのソースインスタンスを設定します。

始める前に

必要なロール：admin

手順

1. ソースインスタンスで IP アドレスアクセスコントロールが有効になっている場合は、ターゲットインスタンスを例外として設定します。
2. ターゲットインスタンスで、 システムアップデートセット > 更新ソース [新規] を選択します。
3. テーブルの説明に従って接続設定を指定します。

フィールド	説明
名前	そのインスタンスにユニークな名前を入力します。
タイプ	リモートインスタンスが開発、テスト、またはUATインスタンスのいずれであるかを指定します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
有効	ローカルインスタンスが更新セットをリモートインスタンスに転送できるかどうかを指定します。更新セットはアクティブなリモートインスタンスにのみ転送できます。
URL	適切な転送プロトコルを使用してリモートインスタンスのURLを指定します。各リモートインスタンスレコードにはユニークなURLが必要です。同じURLを持つ重複レコードを作成すると、エラーが発生する可能性があります。リモートインスタンスは、ローカルインスタンスと同じリリースファミリにあるものとします。 **注:** システムが接続を確認した後で、URL を変更することはできません。アクティブフィールドを使用して、不要なリモートインスタンスを非アクティブにします。
ユーザー名	インスタンスへの更新セットの転送を許可するユーザーをリモートインスタンスに入力します。このユーザーアカウントには、リモートインスタンスに対して admin ユーザーロールが必要です。
パスワード	承認ユーザーのパスワードを入力します。
簡単な説明	[オプション]リモートインスタンスに関するその他の関連情報を入力します。

4. [テスト接続] を選択します。
   - 接続に成功すると、確認メッセージが表示されます。
   - 接続が失敗した場合、警告メッセージによって障害の原因が特定されます。
5. 接続が失敗した場合は、設定を変更して接続を確立します。
   - 接続設定を保存する前に接続を確立する必要があります。
   - ソースインスタンスを変更する必要があります (たとえば、パスワードを変更する)。
6. フォームヘッダーを選択して長押し (または右クリック) し、[保存] を選択します。

リモート更新セットのプレビュー

プレビューによって、リモートインスタンスから取得した更新セットとローカルインスタンス上の更新が比較され、潜在的な問題が検出されます。更新セットをプレビューし、すべての問題を解決してから、更新セットを収容する必要があります。

手順

1. システムプロパティ **glide.update_set.auto_preview** が**true**に設定されていると、更新セットが取得された後、システムは自動的にプレビュー処理を開始します。
   このプロパティが**false**であると、プレビュー処理は手動で開始する必要があります。
   a. 移動先 システムアップデートセット > 取得済み更新セット.
   b. [**Preview Update Set** (更新セットのプレビュー)] をクリックします。

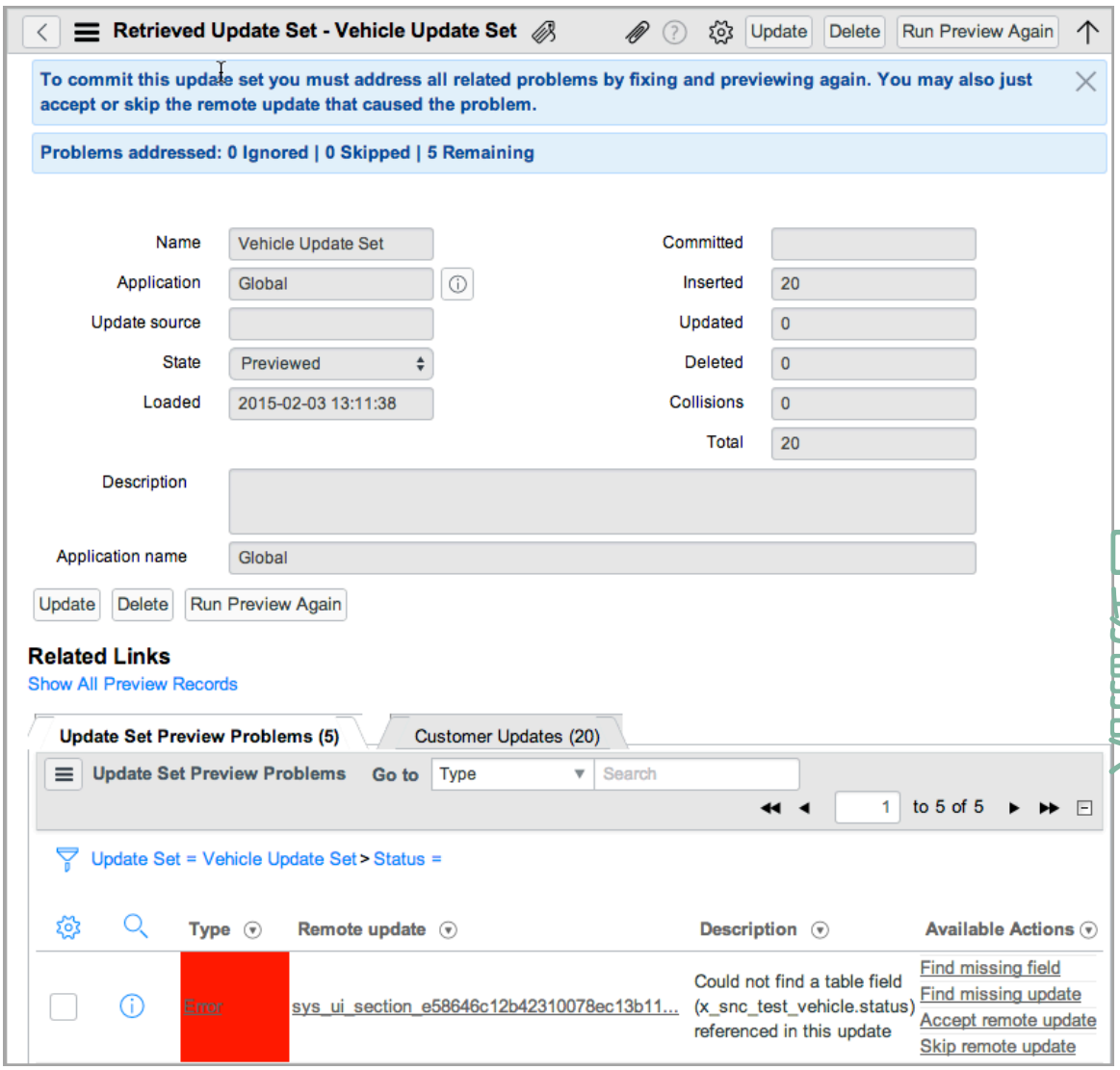
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

大規模な更新セットの場合、プレビュー処理にかなりの時間がかかることがあります。必要に応じて、進捗状況ダイアログボックスのキャンセルボタンをクリックしてプレビュープロセスをキャンセルできます。
更新セットプレビューページに結果が表示され、問題がリスト表示されます。情報を読んで閉じるをクリックします。

2. [取得済み更新セット] フォームで、選択します。

取得された更新セットフォーム



3. オプション: レコードをプレビューします。
   a. 更新セットレコードを開き、すべてのプレビューレコードを表示するをクリックして、正しい更新が収容されていることを確認します。
   b. 更新セットレコードを開き、プレビューをもう一度実行するをクリックして比較を再度実行します。
   c. そのプレビューの問題関連リストをレビューし正しい更新が収容されていることを確認する。

更新セットのプレビューレコードをレビューする

更新セットをプレビューするプロセスでは、更新ごとにプレビューレコードを作成します。プレビューレコードを確認して、正しい更新が収容されていることを確認できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

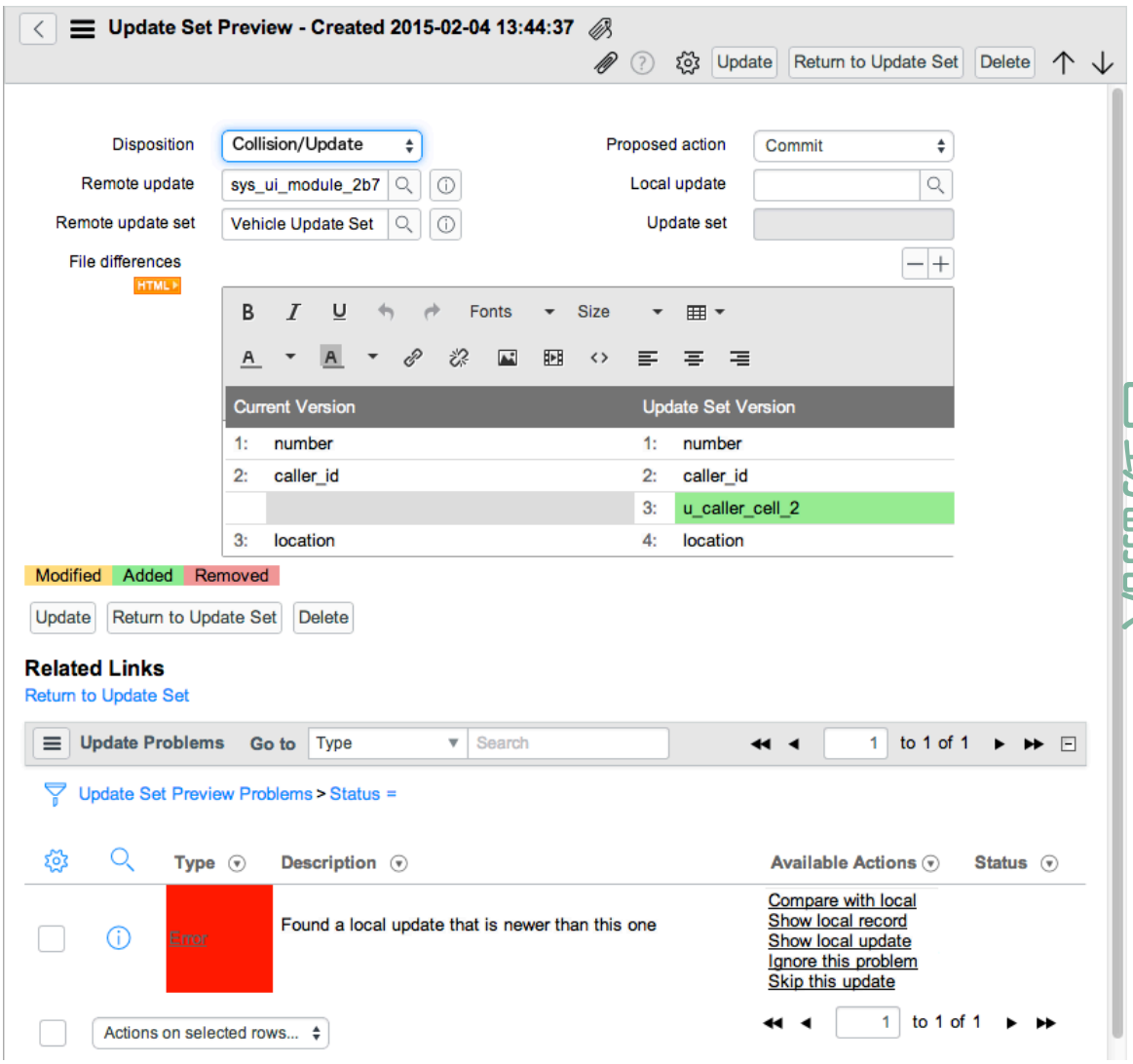
自動翻訳

始める前に
必要なロール：admin。

手順

1. 更新セットレコードを開き、更新セットをプレビューします。
2. すべてのプレビューレコードを表示する関連リンクをクリックします。
3. Disposition(整理)をクリックしてプレビューレコードを開き、情報を確認します(テーブルを参照)。
4. 必要に応じて、フォームのフィールドに入力します。

更新セット プレビュー



フィールド	説明
処分	競合が検知されたときを示します： ○ 競合/更新、 競合/挿入、または競合/削除：その変更はローカルインスタンス上の同じオブジェクトへの変更より古いです。 ○ 変更を更新、インサート、または削除することはローカルインスタンスの変更と競合しません。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
ファイルの差異	ローカルインスタンス上のオブジェクトの最新バージョンと更新セット内のバージョンを比較します。違いにはカラーキーが付いています。削除は赤で、追加は緑で、そして変更は黄色で強調表示されます。
提案されたアクション	更新セットが収容されたときの変更の処理方法を示します。 ○ 収容：はリモート更新の変更を受け入れます。新しい更新がインスタンスに存在する場合でも、どのプレビューレコードに対してもデフォルトで提案されたアクションが収容です。 ○ スキップ：変更を拒否します。

5. 必要に応じて、更新の問題関連リストにリストされたいずれかの問題を解決します。
6. フィールドで、更新セットを収容するときに実行するアクションを選択します。
7. 更新をクリックしてアクションを保存します。
8. すべてのプレビューレコードに対してこのプロセスを繰り返する。

更新セットでプレビューの問題を解決する

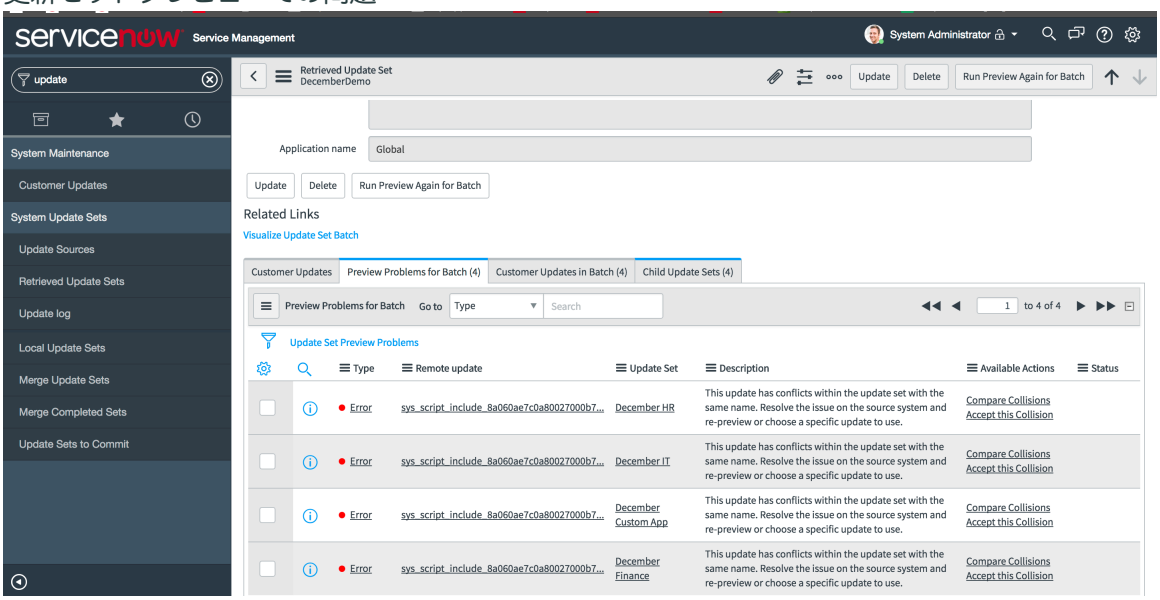
更新セットをプレビューし、ローカルインスタンスで更新を収容する場合に発生する可能性のある問題を検知して解決します。

始める前に
必要なロール：admin。

手順

1. 移動先 すべて > システムアップデートセット > 取得済み更新セット.
2. 更新セットレコードを開き、更新セットプレビューでの問題を修正する関連リストをスクロールして見ます。

更新セットプレビューでの問題



3. 各問題の説明をレビューして原因を判断し、問題を解決します。
更新セットプレビューの問題

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

オブジェクトが見つからない

問題記述文の例：この更新で参照されている sys_ui_policy にレコードが見つかりません。

説明：オブジェクトまたは参照されたオブジェクトがターゲットインスタンスに存在しません。例：

- 更新はローカルインスタンスで作成されていないテーブルのフォームレイアウトを変更します。
- UIポリシーアクションは更新セットに含まれているが、親 UI ポリシーは含まれていません。
- 解決策：欠落しているオブジェクトをローカルインスタンスに転送するために、ソースインスタンスに別の更新セットを作成するか、ローカルインスタンスにオブジェクトを作成します。利用可能なアクションを用いて問題の解決を支援します：
  - 不足しているフィールドを検索 **(Find missing field)** または 不足しているレコードを検索 **(Find missing record)**：新しいウィンドウを開き、不足しているフィールド (辞書エントリ) またはレコードのソースインスタンスを検索します。
  - 不足している更新を検索 **(Find missing update)**：新しいウィンドウを開き、不足しているフィールドまたはレコードに対応する更新レコードのソースインスタンスを検索します。

衝突

問題記述文の例： この更新より新しいローカル更新が見つかりました

説明：更新セットの変更は、ローカルインスタンス上の同じオブジェクトへの変更より古いです。

解決策：2つの更新を比較し、どちらのバージョンを使用するかを決定します。ローカルインスタンスのバージョンを使用するには、リモート更新をスキップする を選択します。更新セット内のバージョンを使用するには、リモート更新を受け入れるを選択します。利用可能なアクションを用いて問題の解決を支援します：

- ローカルと比較：プレビューレコードが開いて、ローカルバージョンと更新セット内のバージョンの違いが比較されます。
- ローカルフィールドを表示するまたはローカルレコードを表示します
- ローカルの更新を表示

収容されていない更新

問題記述文の例： この更新で参照されているテーブルフィールド (u_case.u_reference)が見つかりませんが、収容されていない別の更新セットが見つかりました。

説明：オブジェクトは収容されていない別のリモート更新セットに存在します。

解決策：最初に他のリモート更新セットを収容するか、この更新を別の更新セットに移動します。利用可能なアクションを用いて問題の解決を支援します：

- 収容されていない更新を表示する ：他のリモート更新セットに更新レコードを開きます。
- 収容されていない更新セットを表示する ：他のリモート更新セットレコードを開きます。

削除するテーブルにデータがある

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

問題記述文の例：その表の中に削除されるべき行が見つかりました

説明：テーブルの削除とその他のメタデータの削除の違いの 1 つは、テーブルが削除されるとテーブルのデータが失われることです。(テーブルが空の場合(行がない場合)、問題は発生しません。)

解決策：更新セットを収容する前に、この問題を無視(削除が行われる)またはスキップ(削除が行われない)する必要があります。テーブルを回復することはできますが、その回復によってデータは復元できません。

システムテーブル (ServiceNow テーブル) またはアプリケーションスコープ外のテーブルは削除できません。

アプリケーションスコープ検証の問題

説明：プレビューアは、次の状態の組み合わせを問題として識別します。

- 更新セットのスコープはグローバルではありません。
- アプリケーションがターゲットインスタンス上に見つかりません。
- アプリケーションは更新セットに含まれていません。
- アプリケーションがServiceNow Storeに見つかりません。

解決策：更新プログラムセットだけをアプリケーションスコープを含むインスタンスに転送するか、更新セットがアプリケーションを含むことを確認します。

1 つのバッチ内の競合

問題記述文の例： この更新では、同じ名前の更新セット内で競合が発生しています。その問題をソースシステム上で解決し、再度プレビューするか使用すべき特定の更新を選んでください。

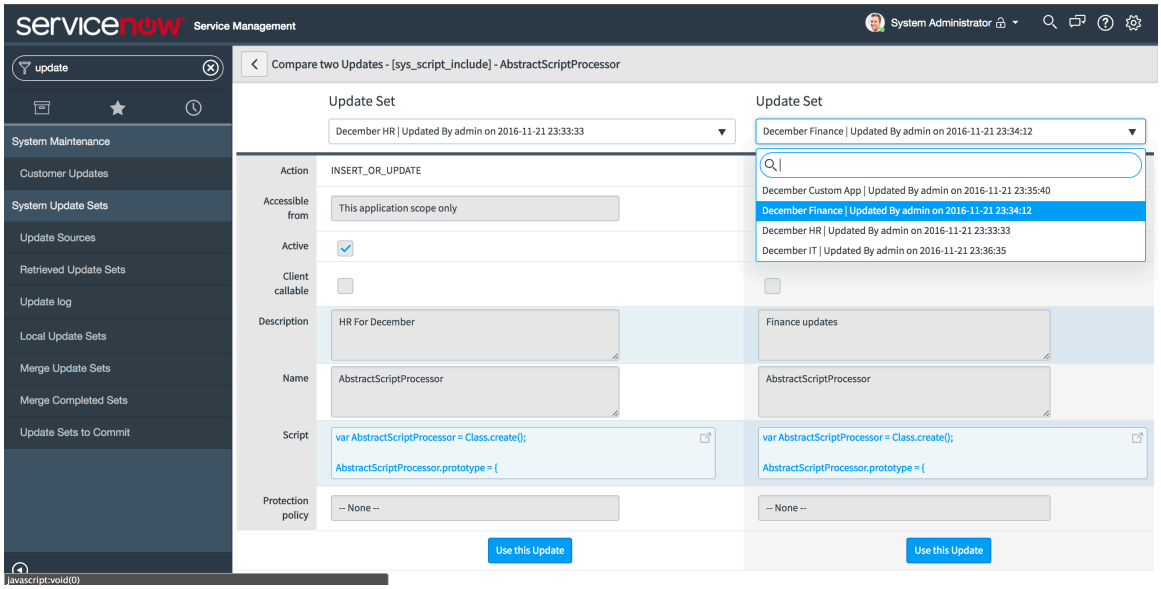
説明：同じバッチ内の 2 つ以上の更新セットに競合する変更があります。[更新セットプレビューの問題] リストには、競合する変更を含む各更新セットのレコードが含まれています。

解決策：競合する更新セットを比較し、使用するバージョンを決定します。どの更新セットを使用するのが正しいかどうかわかっている場合は、そのセットの行を選択して この競合を受け入れるをクリックします。それ以外の場合は、競合を比較するをクリックして競合する更新セットを比較します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

２つの更新を比較します。



この画面では、競合する更新セットのいずれか２つを比較し、収容する更新セットを選択できる。

更新セットを収容

更新セットをプレビューして問題を解決すると、更新セットを収容します。更新セットをコミットすると、すべての変更がインスタンスに適用され、各変更の更新レコードを含んだ更新セットのローカルコピーが作成されます。

始める前に

必要なロール：admin。

手順

1. 移動先 すべて > システムアップデートセット > 取得済み更新セット をクリックし、更新セットを開きます。
2. 問題の解決
   すべての問題が解決されるまで、更新セットを収容することはできません。
3. 更新セットの収容をクリックします。
   - キャンセルをクリックし、プレビューに戻って変更を再評価します。どの更新も収容されません。
   - **OK** をクリックし、変更をスキップし、収容とマークされた変更を収容します。
   スキーマの更新セットに1つ以上の消去が含まれていると、警告が表示されます。警告には、問題を含む可能性のある5つまでの更新がリスト表示されます。5つ以上の更新に潜在的な問題がある場合、システムはリンクを提供します。

   システムが更新セットを正常に収容すると、完了ページが表示されます。
4. 確認ページで [ログのコミット] をクリックするか、 システムアップデートセット > 更新ログ 更新セット名をフィルタリングします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 安全でない編集のテキストを含む警告を探します。データが含まれているフィールドのタイプを変更するような、データが失われることになる変更は自動的にスキップします。必要に応じて、これらの変更を手動で行う必要があります。運用データに影響を与える変更を行う場合は注意が必要です。
- 収容に失敗したレコードとその理由を示すエラーを探す。必要に応じて、これらの障害に対処するための新しい更新セットを作成します。

5. 更新セットでの作業を終了したものの、別のインスタンスに転送しない場合は、次の場所に移動します。 システムアップデートセット > ローカル更新セット をクリックし、ローカルの更新セットレコードを開きます。
状態を無視するに変更します。

次のタスク
本番インスタンスで完了した更新セットに対しては、常に状態を無視に変更する必要があります。この状態は、確実にインスタンスのクローン作成時に更新セットが再度収容されないようにする。

更新セットを切り戻し

収容された更新セットの既存レコードの変更を取り消せます。

始める前に
必要なロール：admin

このタスクについて
更新セットを取り消すと、現在の更新セット内に削除更新が作成されます。リモート更新セットを収容、切り戻し、再適用すると、削除された更新がより最近の変更で競合が発生するとみなされるため、プレビューアにエラーが表示されます。

> ⚠ **警告:**
> デフォルトの更新セットを取り消してはなりません。このアクションは、そのインスタンスの構成を損なう可能性があります。

切り戻しプロセスは、レコードレベルの更新とディクショナリーへの変更の両方を元に戻します。切り戻しによって引き起こされるいくつかの変更は、データ損失を招く可能性があります。切り戻しプロセスで予想される結果は次のとおりです。

顧客アップデート	切り戻しアクションの結果
新しいテーブル	そのテーブルはデータベースから削除され、そこからデータが削除されます。
新しいフィールド	そのフィールドはデータベースから削除され、そこからのいずれのデータも削除されます。
削除されたフィールド	フィールドはデータベースに回復されますが、元のデータは失われます。
サイズ変更されたフィールド	フィールドのサイズ変更は戻されます。フィールドが増加した場合は、エラーを避けるためにデータが最初に切り捨てられます。
設定されたフォーム	フォームは前の状態に戻ります。
レコードが挿入されました。	レコードは削除されました。(以下の注意を参照)
レコードは削除されました。	レコードは元のデータで回復しました。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

⚠ 警告:
更新セットバッチに属する更新セットを取り消すと、バッチ内の他の更新セットに影響することがあります。詳細については、「バッチ更新セットの取り消し」を参照してください。

- sys_package がグローバルの場合は削除されます。
- sys_package がグローバルではなく、値が設定されている場合は、削除がないことを示す警告が表示されます。代わりに、sys_update_xml がデフォルトの更新セットに入れられ、レコードはそのまま残されます。

手順

1. 移動先 すべて > システムアップデートセット > ローカル更新セット.
2. 更新セットレコードを開きます。
   それが完了していて [リリース日] フィールドに日付が設定されていることを確認します。

   注:
   現在選択されているアプリケーションは、更新セットで使用できるオプションに影響します。更新セットの内容に一致する(グローバルのような)アプリケーションを選択していることを確認します。

3. 更新セットの内容を慎重に確認し、取り消された場合に問題が発生するかどうかを検討します。
   更新セットを取り消すだけで十分でない場合、または問題を引き起こす場合は、カスタマイズを元に戻すように新しい更新セットを作成して収容します。
4. 取り消しをクリックします。
   進捗状況ページには、アクション、進捗状況、および問題が表示されます。問題は、取り消されている更新セットに影響するより新しい更新セットの変更です。取り消しプレビュープロセスは、問題ごとに警告を生成します。
5. 取り消しを続行する前に、各問題を解決します。
   - 最新バージョンを使用するには、現在の状態を維持すると決定する をクリックします。
   - 以前のバージョンに戻すには、前の使用を決めるをクリックします。

   すべての変更はテーブルに記載されているように逆になります。現在の更新セットは、発生したすべての新しい変更を追跡します。

   更新セットと関連するすべての更新レコードが削除されます。必要に応じて、取得した更新セットにナビゲートしてプレビューし、再度収容できます。

   注:
   リモート更新セットを収容し、取り消しそれから再適用すると、更新セットの取り消しは現在の更新セット内に削除更新を作成するため、更新エラーがプレビューアに表示されます。削除はより最近の変更とみなされ、衝突を引き起こします。

更新セットの削除に関する注意事項

更新セットを削除するのは悪い習慣です。カスタマイズを元に戻すには、削除するのではなく、更新セットを取り消してください。

アドミニストレーターは、それが現在の更新セットでなく、空の場合(それに関連付けられた sys_update_xml エントリがない)にのみ更新セットを削除できます。たとえば、更新セットを結合した後、元のセットを削除できます。この機能は、更新セット [sys_update_set]テーブルのアクセス制御ルール(ACL)によって制限されます。

sys_update_xml 項目を削除しないでください。なぜならこのアクションは：

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- 更新を元に戻せません。
- カスタマイズを適用したレコードを削除します。
- 更新セットに関連付けられた sys_update_xml 項目を除去する、するとインスタンスのアップグレード時にカスタマイズが上書きされます。

更新エントリを削除しようとすると、警告メッセージが表示されます。**[OK]** をクリックして削除を確認します。

アプリケーションの管理

アプリケーションを管理する方法は複数用意されています。これらの手順を実行するには、admin ロールが必要です。

従来のアプリケーションマネージャー

従来のアプリケーションマネージャーは、インスタンスでのアプリケーション管理方法に関する情報を提供します。アプリケーションのインストール、更新、または削除の詳細については、「Available actions」を参照してください。

アプリケーションマネージャー

新しい アプリケーションマネージャー エクスペリエンスが利用可能になりました。新しいエクスペリエンスでは、ライセンス済みアプリケーションを 1 つの便利な場所に統合し、すべてのライセンス済みアプリケーション、プラグイン、インストール済みアプリケーション、利用可能な更新を表示することで、管理プロセスを簡素化します。詳細については、「Application Manager」を参照してください。

アプリケーションの共有

アドミニストレーターは、アプリケーションリポジトリへの公開、ServiceNow Store への公開、更新セットへの公開、またはチーム開発インスタンスへのプッシュによって、完了して他のインスタンスで使用できる状態にあるアプリケーションを共有できます。詳細については、「アプリケーションの共有」を参照してください。

アプリケーションの共有

アドミニストレーターは、完了して他のインスタンスで使用できるようになっているアプリケーションを共有できます。

アプリケーション開発者は、次のいずれか 1 つの方法でアプリケーションを共有できます。

アプリケーションの共有方法

共有方法	に利用可能にする	典型的なユースケース
アプリケーションリポジトリに公開する	同じ会社に割り当てられているすべてのインスタンス	アプリケーションをテスト環境または本番環境に転送します。
ServiceNow Store に公開する	全てのServiceNow顧客	アプリケーションを他の企業に共有または販売します。
更新セットに公開する	更新セットファイルにアクセスする任意のインスタンス	コンプライアンスまたはバックアップの理由で、アプリケーションのバージョンを保存します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アプリケーションの共有方法 (続く)

共有方法	に利用可能にする	典型的なユースケース
チーム開発インスタンスにプッシュする	チーム開発環境内の他のインスタンス	開発者の変更を親インスタンスにプッシュする。

注:

「スキーマのトラッキング」：スコープ対象のアプリケーションのテーブルや列の削除は、新たに zBoot されたインスタンスではデフォルトで有効になっています。これを行うには、システムプロパティ com.glide.apps.include_my_schema を「true」に設定します。

アップグレードされたインスタンスの場合、カスタムアプリケーションがインストールされていないか開発中である場合、「スキーマの削除のトラッキング」がデフォルトで有効になります。それ以外の場合、このプロパティは「false」に設定されているため、お客様は、Paris 以前のリリースと同じエクスペリエンスで、アプリケーション内でスキーマを削除できます。詳細については、ServiceNow コミュニティサイトの「New York and Scoped Applications New Features (New York およびスコープ対象のアプリケーションの新機能)」の記事を参照してください。

ISV アプリケーションのカスタムライセンス

共有しているアプリケーションの場合、アプリケーションの使用状況メトリクスを追跡するための定義を作成できます。詳細については、「ISV アプリケーションのカスタムライセンス」を参照してください。

ServiceNow アプリケーションリポジトリ

カスタムアプリケーションを開発してテストした後、アプリケーションを ServiceNow アプリケーションリポジトリに公開することで、会社のインスタンスで使用できるようにすることができます。

ServiceNow アプリケーションリポジトリは、すべての ServiceNow の顧客によって公開されている、すべてのスコープ対象アプリケーションの中央リポジトリです。

注:
ServiceNow アプリケーションリポジトリは、自己ホスト (オンプレミス) のお客様は利用できません。

アプリケーションリポジトリを使用すると、ServiceNow の顧客はインスタンス間でアプリケーションをアップロードして配布できます。アプリケーションリポジトリにアクセスした場合、自分の組織が公開しているアプリケーションのみを表示および管理できます。他の組織が公開しているアプリケーションを表示または管理することはできません。

カスタムアプリケーションを設計、開発し、テストが成功したら、そのアプリケーションを ServiceNow アプリケーションリポジトリに公開して、社内の他のインスタンスで共有できます。

エンタイトルメント

エンタイトルメントは、アプリケーションリポジトリからスコープ対象アプリケーションをインストールするために、インスタンスに付与される権限です。インスタンスにアプリケーションをインストールするには、そのインスタンスにアプリケーションのエンタイトルメントが付与されている必要があります。

デフォルトでは、アプリケーションをアプリケーションリポジトリに公開すると、会社のすべてのインスタンスにアプリケーションに対するエンタイトルメントが自動的に付与されます。アプリケーションに対するエンタイトルメントを持つ会社のインスタンスを制限するには、https://

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

apprepo.service-now.com にアクセスしてアプリケーションのエンタイトルメントタイプを変更します。 アプリケーションエンタイトルメントが既に削除されている場合は、インスタンスに再度エンタイトルメントを付与することもできます。詳細については、「アプリケーションリポジトリからのアプリケーションエンタイトルメントの管理」を参照してください。

アプリケーションリポジトリの使用

アプリケーションリポジトリにアクセスするには、https://apprepo.service-now.com に移動します。

> **注:**
> Federal Store を使用している顧客は、HIWave にログインし、ページの下部にある [Federal Store] オプションを選択する必要があります。次に、会社名の下にある [自分のリポジトリ (My Repository)] を選択して続行します。

アプリケーションをアプリケーションリポジトリに発行すると、次の操作ができるようになります。

- アプリケーションリポジトリからのアプリケーションのインストール
- アプリケーションリポジトリからのアプリケーションエンタイトルメントの管理
- アプリケーションリポジトリからのアプリケーションの削除
- アプリケーションリポジトリからのスコープの解放

アプリケーションを管理する

ServiceNow アプリケーションリポジトリに公開するアプリケーションの管理方法を説明します。

カスタムアプリケーションを設計、開発し、テストが成功したら、そのアプリケーションを ServiceNow アプリケーションリポジトリに公開して、社内の他のインスタンスで共有できます。自身の組織によって公開されたアプリケーション、または ServiceNow アプリケーションリポジトリを使用してプラグインを介してインストールされたスコープ対象のアプリケーションのみを表示、管理、カスタマイズできます。他の組織が公開しているアプリケーションを表示、管理、カスタマイズすることはできません。

> **注:**
> スコープ対象アプリの開発では、更新セットとアプリケーションリポジトリの両方の使用を併用しないでください。これにより、変更のスキップやコミットエラーなど、多くの問題が発生します。アプリケーションリポジトリからアプリケーションをインストールしたら、今後のすべての開発のために開発とアプリケーションリポジトリへの公開を継続する必要があります。更新セットを使用してアプリケーションを開発する場合は、引き続きその方法を排他的に使用する必要があります。

アプリケーション管理の概要

アプリケーションリポジトリは ServiceNow Store の一部です。ServiceNow の顧客インスタンスは、特定のストアインスタンス (商用または規制市場など) に接続されます。アプリケーションリポジトリに公開された顧客アプリケーションは、マルチテナントのアーティファクトストレージに保存されますが、顧客が他の顧客の公開アプリケーションを表示したりアクセスしたりすることはできません。

アプリケーションリポジトリでは、特定のアプリケーションのバージョン数は最大 20 に制限されています。チームが同時に 20 を超える数のアプリケーションのビルドまたはバージョンを生成している場合は、最も古いものが削除されます。

アプリケーションリポジトリでは、アプリケーションのファイルサイズは 1 GB に制限されています。このファイルサイズを超えるアプリケーションは、公開プロセス時に受け入れられません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アプリケーションリポジトリからのアプリケーションエンタイトルメントの管理

アプリケーションのエンタイトルメントを追加または削除して、アプリケーションをインストールできるインスタンスを制限します。

始める前に

管理できるのは、アプリケーションリポジトリに公開したアプリケーションのみです。詳細については、「アプリケーションリポジトリへのアプリケーションの公開」を参照してください。

必要なロール：なし

このタスクについて

デフォルトでは、アプリケーションをアプリケーションリポジトリに公開すると、会社のすべてのインスタンスにアプリケーションに対するエンタイトルメントが自動的に付与されます。アプリケーションに対するエンタイトルメントを持つ会社のインスタンスを制限するには、https://apprepo.service-now.com にアクセスしてアプリケーションのエンタイトルメントタイプを変更します。 アプリケーションエンタイトルメントが既に削除されている場合は、インスタンスに再度エンタイトルメントを付与することもできます。

手順

1. https://apprepo.service-now.com に移動します。
2. HI 認証情報を使用してログインします。

> **注:**
> Federal Store を使用している顧客は、HIWave にログインし、ページの下部にある [Federal Store] オプションを選択する必要があります。次に、会社名の下にある [自分のリポジトリ (My Repository)] を選択して続行します。

3. アプリケーションリストの横にある [アクションを選択] をクリックし、[エンタイトルメントを管理 **(Manage Entitlements)]** をクリックします。
4. アプリケーションのエンタイトルメントタイプを選択します。
5. **[OK]** をクリックします。

アプリケーションリポジトリからのスコープの解放

スコープを使用して新しいスコープ対象アプリケーションを作成できるように、アプリケーションリポジトリからスコープを解放します。

始める前に

アプリケーションスコープを解放できるのは、スコープがアプリケーションによって使用されていない場合のみです。スコープがアプリケーションによって使用されている場合は、スコープを解放する前に「アプリケーションリポジトリからのアプリケーションの削除」の手順に従ってください。

必要なロール：アカウントのプライマリカスタマーアドミン

このタスクについて

アプリケーションリポジトリには、すべてのカスタムアプリケーションのスコープが格納されます。アプリケーションリポジトリに格納されているスコープを使用して新しいアプリケーションを作成することはできません。スコープを解放するということは、アプリケーションリポジトリからスコープを解除し、そのスコープを使用する新しいアプリケーションを作成できるようになることを意味します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. https://apprepo.service-now.com に移動します。
2. HI 認証情報を使用してログインします。

> **注:**
> Federal Store を使用している顧客は、HIWave にログインし、ページの下部にある [Federal Store] オプションを選択する必要があります。次に、会社名の下にある [自分のリポジトリ (My Repository)] を選択して続行します。

3. [スコープ] タブを開きます。
4. スコープリストの横にあるごみ箱アイコン ( ) をクリックします。

アプリケーションリポジトリへのアプリケーションの公開

カスタムアプリケーションをアプリケーションリポジトリに公開して、組織内の他のインスタンスにインストールできるようにします。

始める前に

開発者がアプリケーションをアプリケーションリポジトリに公開できるようにするには、[アプリリポジトリに公開 (Publish to App Repo)] 権限を開発者に委任します。詳細については、「開発権限の担当者への委任」を参照してください。

必要なロール：admin、または [アプリリポジトリに公開 (Publish to App Repo)] 権限を有効にした delegated_developer

手順

1. 移動先 すべて > システムアプリケーション > 会社のアプリケーション.
2. [開発中] タブをクリックします。
3. アプリケーションリポジトリに公開するアプリケーションレコードを開きます。
4. [自分のアプリケーションリポジトリに公開] 関連リンクを選択します。
5. [送信] を選択します。

次のタスク

会社のインスタンスにアプリケーションをインストールして、会社がその使用を開始できるようにします。詳細については、「アプリケーションリポジトリからのアプリケーションのインストール」を参照してください。

デフォルトでは、アプリケーションをアプリケーションリポジトリに公開すると、会社のすべてのインスタンスにアプリケーションに対するエンタイトルメントが自動的に付与されます。アプリケーションに対するエンタイトルメントを持つ会社のインスタンスを制限するには、https://apprepo.service-now.com にアクセスしてアプリケーションのエンタイトルメントタイプを変更します。

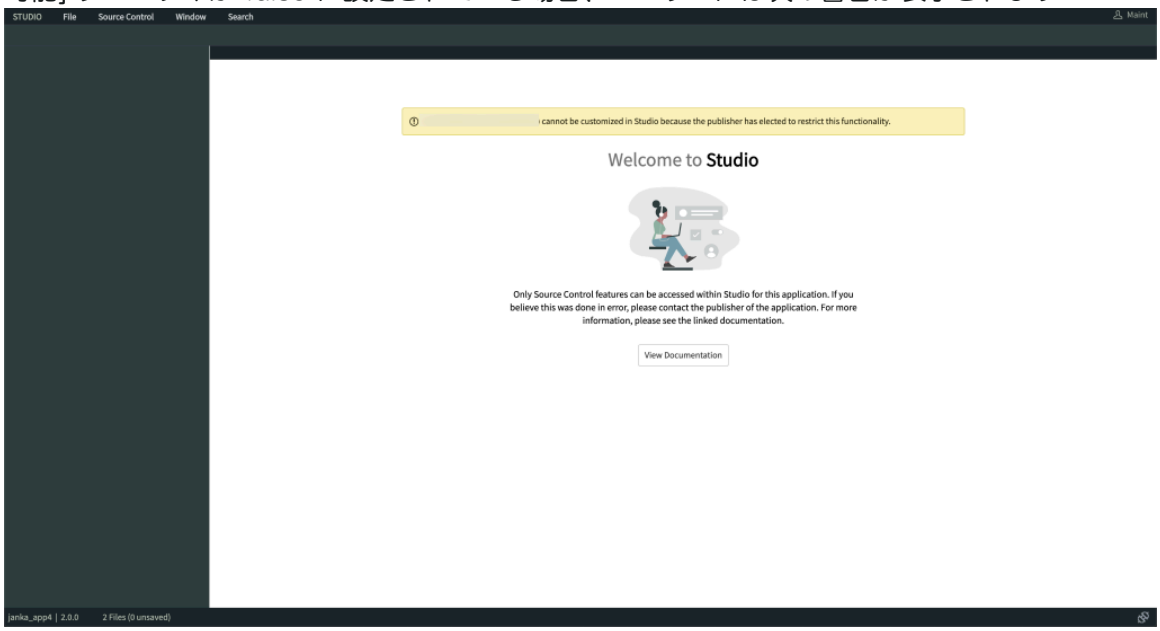
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:

[Studio でアプリケーションの編集が可能] プロパティは、新しいアプリケーションの場合はデフォルトで true に設定されていますが、公開前に false に設定できます。

スタジオで、アプリケーションのカスタマイズの [スタジオでアプリケーションの編集が可能] プロパティが false に設定されている場合、ユーザーには次の警告が表示されます：



詳細については、「アプリケーションリポジトリからのアプリケーションエンタイトルメントの管理」と「従来 - ServiceNow スタジオへのアクセス」を参照してください。

アプリケーションリポジトリからのアプリケーションのインストール

インスタンスにアプリケーションをインストールし、開発したアプリケーションの使用を従業員が開始できるようにします。

始める前に

- アプリケーションリポジトリへのアプリケーションの公開。
- アプリケーションのエンタイトルメントタイプを確認して、インスタンスにアプリケーションに対するエンタイトルメントが付与されていることを確認します。詳細については、「アプリケーションリポジトリからのアプリケーションエンタイトルメントの管理」を参照してください。

必要なロール：admin

手順

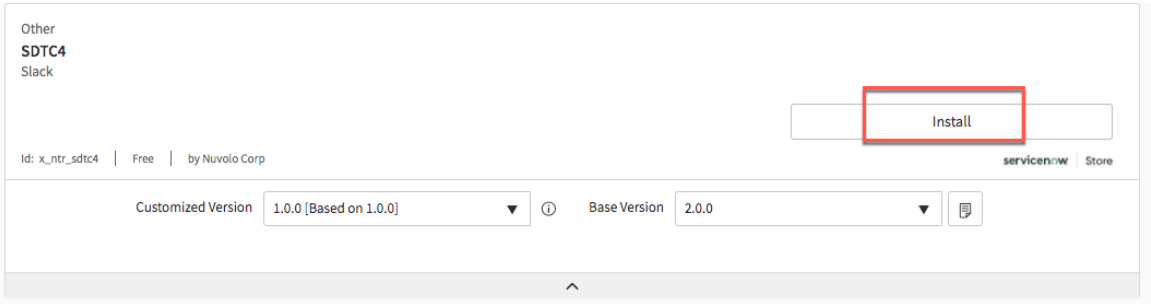
1. 移動先 すべて > システムアプリケーション > 会社のアプリケーション.
2. アプリケーションを見つけます。
3. アプリケーションリストの横で、インストールするバージョンを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

4. [インストール] をクリックします。

アプリケーションのインストール



アプリケーションリポジトリからのアプリケーションの削除

アプリケーションリポジトリからアプリケーションを削除して、会社のインスタンスで使用できないようにします。

始める前に

- アプリケーションリポジトリへのアプリケーションの公開
- アプリケーションを削除できるのは、アプリケーションが会社のどのインスタンスにもインストールされていない場合のみです。アプリケーションをアプリケーションリポジトリから削除する前に、そのアプリケーションをすべてのインスタンス上でアンインストールしてください。

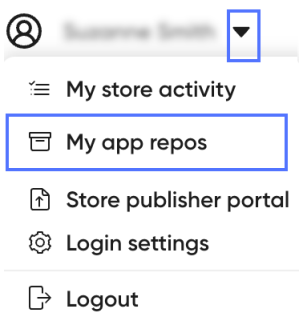
必要なロール：アカウントのプライマリカスタマーアドミン

手順

1. https://apprepo.service-now.com に移動します。
2. HI 認証情報を使用してログインします。

> **注:**
> Federal Store を使用している顧客は、HIWave にログインし、ページの下部にある [Federal Store] オプションを選択する必要があります。次に、会社名の下にある [自分のリポジトリ (My Repository)] を選択して続行します。

3. 自分の名前の横にある展開矢印を選択し、 [自分のアプリ リポジトリ] を選択します。



4. アプリケーションリストの横にある [アクションを選択] をクリックし、[削除フラグを設定 **(Flag for Deletion)]** をクリックします。
5. [確認] ウィンドウで、[はい] をクリックします。
アプリケーションに削除用のフラグを付けると、そのアプリケーションは 90 日後に自動的に削除されます。
6. アプリケーションをすぐに削除するには、次のようにします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. [フラグ付きアプリ (Flagged Apps)] タブを開きます。

b. アプリケーションリストの横にある [アクションを選択] をクリックし、[今すぐ削除 **(Delete Immediately)]** をクリックします。

アプリケーションのカスタマイズの管理

他の組織に属するアプリケーションまたはスコープ対象 ServiceNow プラグイン向けの、会社用のカスタマイズを管理できます。

始める前に

必要なロール：admin

会社のアプリケーションのカスタマイズのエンタイトルメントは、個々のストアまたはベンダーリリースのアプリケーションのエンタイトルメントによってのみ制御されます。アプリケーションのカスタマイズには個別のエンタイトルメントがないため、ベースストアアプリケーションに対するエンタイトルメントがないインスタンスはカスタマイズできません。

アプリケーションのカスタマイズの作成に使用する開発インスタンスには、個々のストア、またはエンタイトルメントが付与されてインストールされているプラグインアプリケーションが必要です。

注:
独自のアプリケーションをカスタマイズする ISV パートナーは、アプリケーションリポジトリを介してアプリケーションのカスタマイズを使用する前に、まずアプリケーションを ServiceNow Store に公開し、インスタンスにインストールする必要があります。これは、すべてのレコードが同じスコープ内にある場合でも同様です。インスタンスにインストールすると、ISV パートナーは、 ServiceNow Store アプリケーションに対して、独自の用途で社内使用する拡張機能とは異なる機能セットを公開できます。

このタスクについて

他の組織に属する実際のアプリケーション (ストアから購入) または ServiceNow ベースシステムで提供されるグローバルプラグインは変更できません。ただし、ストアアプリケーション、または ServiceNow アプリケーションリポジトリを使用し、プラグインを介してインストールされたスコープ対象のアプリケーションに対しては、会社のカスタマイズを作成および管理できます。

アプリケーションのカスタマイズを作成する方法は 2 とおりあります。

- ServiceNow スタジオ からの作成
- ナビゲーションペインからの作成

重要:
アプリのカスタマイズパッケージは、信頼性を確保し、その上にビルドしているアプリケーションの必要な変更またはカスタマイズを完全に示すことを目的としています。このため、(通常は sys_update_xml に関連付けられている) ローカルのカスタマイズ は優先されません。特定のフィールド (MID サーバーなど) を永続化する必要がある場合は、ローダー免除属性の使用を検討してください。「Altering tables and fields using dictionary attributes」を参照してください。特定のプロパティを設定する必要がある場合は、「プライベート」にすることを検討してください。「Available system properties」を参照してください。

手順

1. ServiceNow スタジオ からアプリケーションのカスタマイズを作成するには、次のステップに従います。

   a. ストアアプリケーションまたは ServiceNow スタジオ からプラグインを介してインストールされたアプリケーションを開きます
   詳細については、従来 - ServiceNow スタジオへのアクセス を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

アプリケーションが スタジオで開きます。

b. スタジオ からアプリケーションを変更します。

2. ナビゲーションペインからアプリケーションのカスタマイズを作成するには、次のステップに従います。

a. システムアプリケーションに移動 **>**すべて.

b. カスタマイズするインストール済みアプリケーションを検索します。

> **注:**
> アプリケーションは、Studio で開くか、ストアアプリケーションレコードから現在の作業アプリケーションとして選択できます。

c. スタジオ でこのアプリケーションを開くには、スタックメニューを選択し、**[Studio** で編集] を選択します。

アプリケーションが スタジオで開きます。アプリケーションは スタジオ で変更できます。

d. ストアアプリケーションレコードを編集するには、アプリケーションの名前を選択します。

e. ストアアプリケーションレコードの [関連リンク] セクションで、[このアプリケーションに切り替え] を選択します。
アプリケーションピッカーで、アプリケーションが現在の作業中アプリケーションになります。ストアアプリケーションレコードからアプリケーションを変更できます。

関連情報

アプリケーションリポジトリからのアプリケーションエンタイトルメントの管理

アプリケーションリポジトリへのカスタマイズの公開

ストアアプリケーションまたはスコープ対象プラグインのカスタマイズを設計、開発し、テストが成功したら、それを ServiceNow アプリケーションリポジトリに公開して、社内の他のインスタンスで共有できます。

始める前に

必要なロール：admin、または [アプリリポジトリに公開 (Publish to App Repo)] 権限を有効にした delegated_developer

ストアおよびアプリリポジトリに登録されているベンダーまたは顧客コードごとに 1 つのカスタマイズのみを作成できます。

開発者がアプリケーションをアプリケーションリポジトリに公開できるようにするには、[アプリリポジトリに公開 (Publish to App Repo)] 権限を開発者に委任します。詳細については、「開発権限の担当者への委任」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 システムアプリケーション > 利用可能なすべてのアプリケーション > すべて.
2. フィルターナビゲーションボックスに名前を入力して、アプリケーションを検索します。

3. カスタマイズをアプリケーションリポジトリに公開するアプリケーションレコードを開きます。
4. [カスタマイズを自分のアプリリポジトリに公開] 関連リンクをクリックするか、ServiceNow スタジオで [ファイル] [公開] メニューアイテム。
5. [**Submit** (送信)] を選択します。

アプリケーションリポジトリでカスタムアプリケーションを変換してアップグレードする

アプリケーションがカスタムアプリケーションテーブル [sys_app] に配置されている場合、アプリケーションリポジトリを介して直接アップグレードすることはできません。この手順は、アプリケーションリポジトリを使用してアプリケーションの展開を移行する場合に、1 回限りの変換を行うのに役立ちます。

始める前に
必要なロール：admin

更新セットで開始すると、すべてのインスタンスのすべてのアプリケーションがカスタムアプリケーションテーブル [sys_app] に配置されます。ただし、CI/CD パイプラインでアプリケーションリポジトリを使用するのに、推奨されるServiceNow 継続的統合/継続的デリバリ API/スポーク ガイダンスを使用しようとしても、アプリケーションがすでに [カスタムアプリケーション] テーブルに存在するため、アップグレードは許可されません。それらは ServiceNow ストアテーブル [sys_store_app] に移動して、アプリケーションリポジトリからインストールできるようになりますが、これが理由でそのインスタンス上では開発できなくなります。

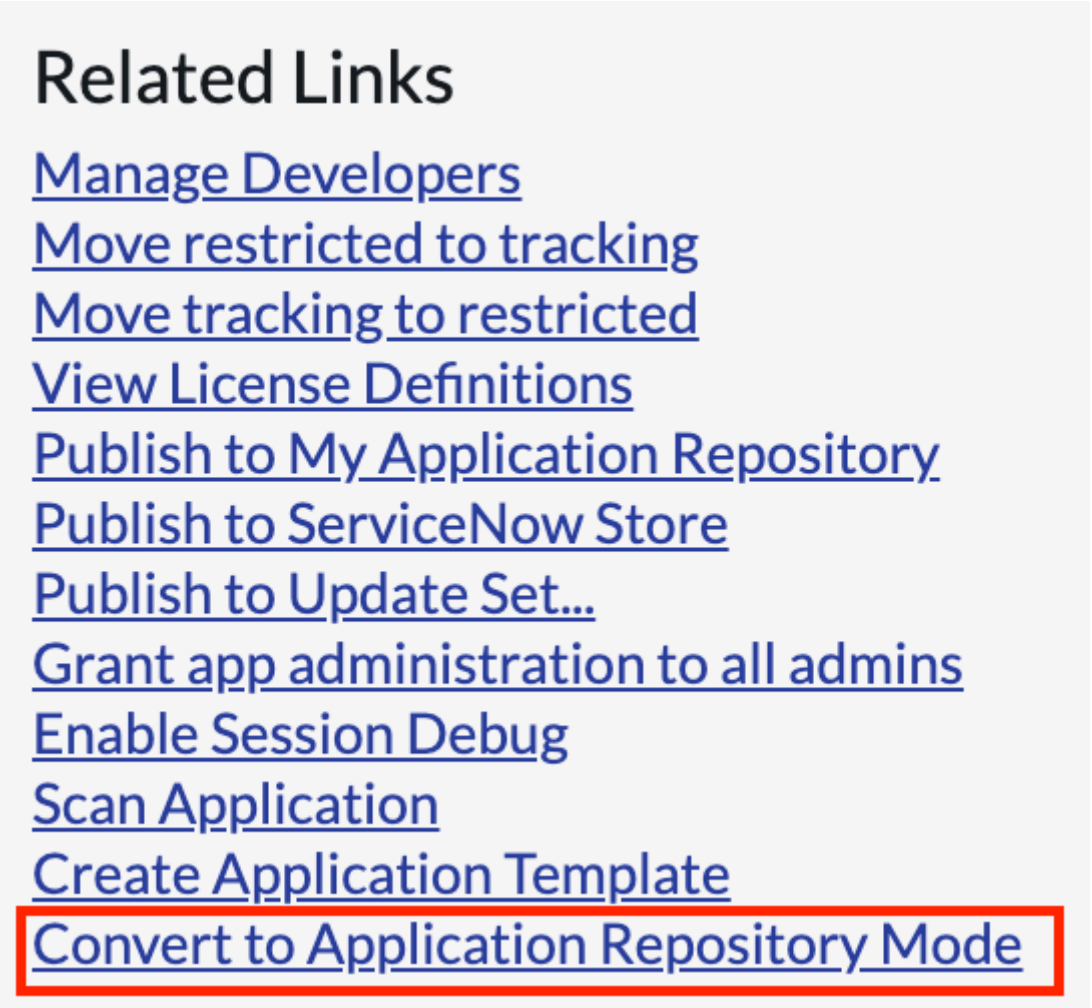
アプリケーションを変換すると、変換が実行されるインスタンス上では開発はできなくなります。スコープ対象のカスタムアプリケーションの場合、顧客アップデートテーブル内にある、このアプリケーションのすべての関連レコードが削除されます。

手順

1. 移動先 すべて > システムアプリケーション > 会社のアプリケーション.
2. **[In Development** (開発中)] タブをクリックします。
3. 変換するアプリケーションレコードの名前をクリックします。
4. [アプリケーションリポジトリモードに変換] 関連リンクを選択します。

自動翻訳

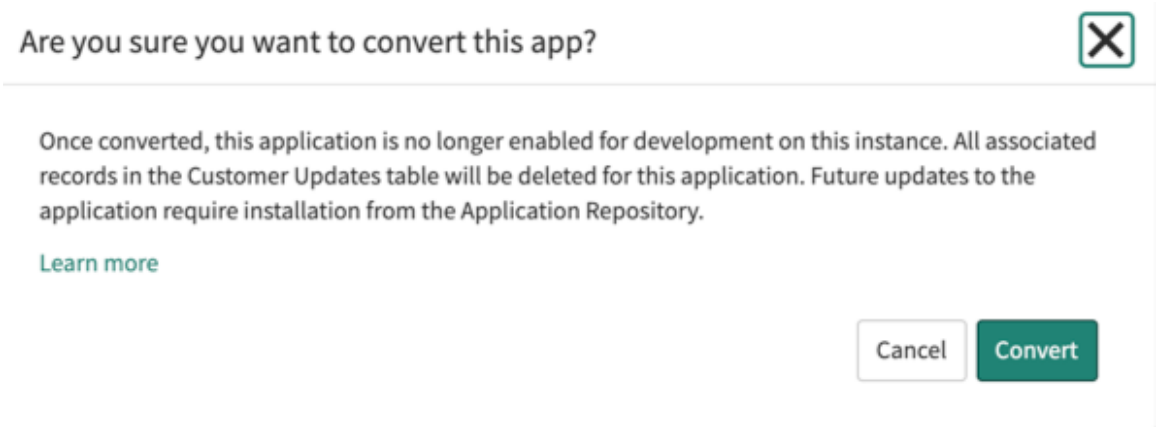
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



自動翻訳

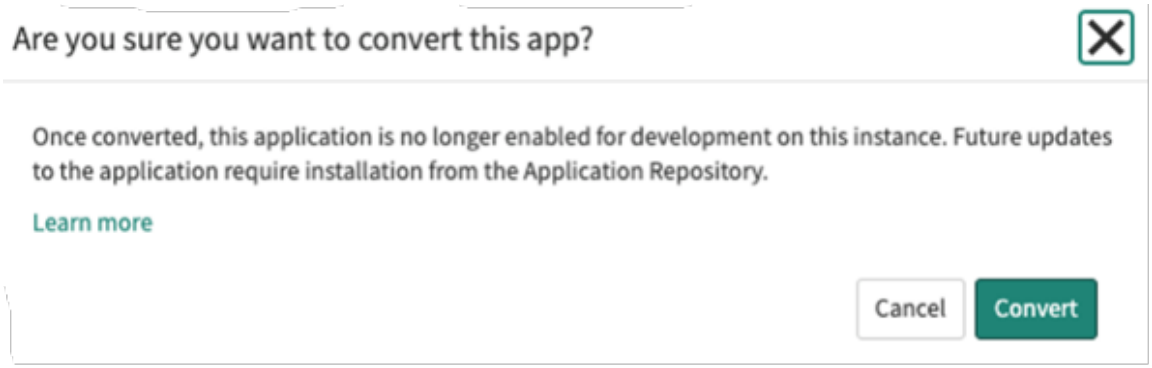
5. [変換] を選択します。

- スコープ対象カスタムアプリケーションで、次のメッセージが表示されます。

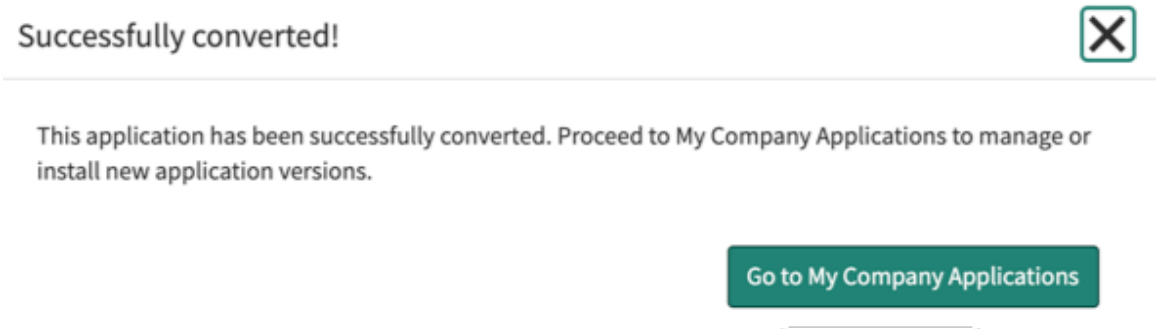


- グローバルカスタムアプリケーションで、次のメッセージが表示されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



- 変換に成功すると、次のメッセージが表示されます。



次のタスク
[システムアプリケーション] -> [会社のアプリケーション] に移動し、アプリケーションリポジトリからソフトウェアを使用してアプリケーションを更新します。詳細については、「アプリケーションリポジトリからのアプリケーションのインストール」を参照してください。

インストールされたアプリケーションの開発モードへの変換

アプリケーションを開発用に非本番インスタンスにインストールした後、または本番インスタンスを開発用に非本番インスタンスにクローンした後、会社で所有しているインストール済みのアプリケーションを開発モードに変換します。この変換により、新しいバージョンのアプリケーションを作成、コミット、公開できるようになります。

始める前に
インスタンススコープを目的のアプリケーションスコープに設定する必要があります。たとえば、Agent Workspace を変換する場合、アプリケーションスコープは Agent Workspace に設定されます。

必要なロール：admin

このタスクについて
システムプロパティ機能 [sn_appclient.store_app_convert_enabled] は、このアクションを制御します。この機能はデフォルトで有効になっています。sn_appclient.store_app_convert_enabled を false に設定することで、この機能を無効にできます。

変換できるのは、会社が所有しているアプリケーションのみです。アプリケーションスコープは、sn_appauthor.all_company_keys で設定されているキーと一致する必要があります。

注:
インストールされているグローバルアプリケーションは変換の対象となります。

自動翻訳

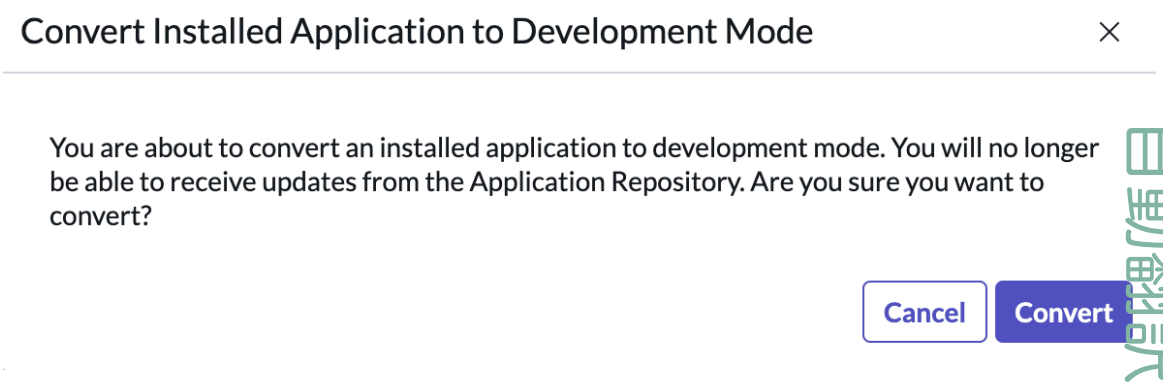
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アプリケーションを変換すると、このインスタンスでアプリケーションリポジトリから更新を受け取ることができなくなります。インスタンスにインストールされているアプリケーションのバージョンが、新しいバージョンとして開発するバージョンであることを確認します。

> **注:**
> デモデータとともにインストールされたアプリケーションは、インストール時にそのデータを参照できなくなります。アプリケーションが変換された場合は、アプリケーションをソースコントロールにリンクするか新しいバージョンを公開する前に、デモデータに対する sys_metadata_link レコードを再作成する必要があります。

手順

1. 移動先 すべて > システムアプリケーション > 会社のアプリケーション.
2. [インストール済み] タブで、変換するアプリケーションレコードの名前をクリックします。
3. [開発モードに変換] 関連リンクを選択します。
4. [変換] を選択します。
   - インストールされているアプリケーションのバージョンが、アプリケーションリポジトリに公開されている最新バージョンである場合、次のダイアログが表示されます。

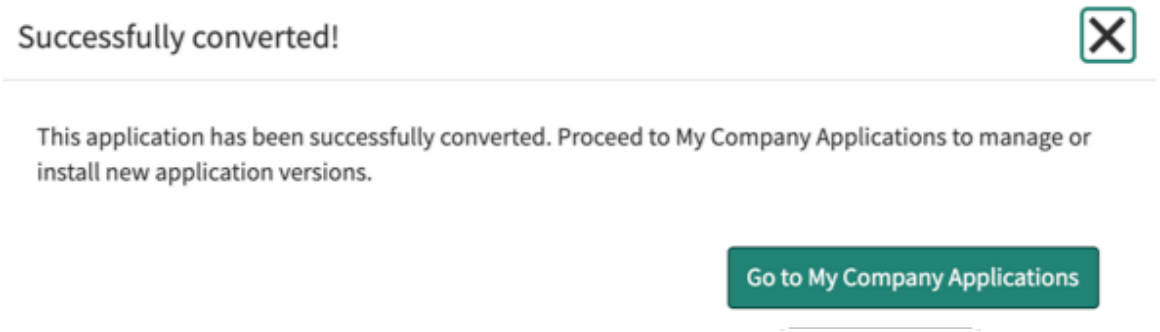


   - インストールされているアプリケーションのバージョンが、アプリケーションリポジトリに公開されている最新バージョンより前のバージョンである場合、次の警告が表示されます。

     The latest version of this application is not installed. Please ensure your application is updated to the intended version to use for development prior to conversion

     - インスタンスが自己ホストアプリケーションリポジトリに接続されている場合、リポジトリ内のより新しいバージョンの使用可否に関係なく、この警告が表示されることがあります。この場合、リポジトリをチェックして、必要な開発バージョンがインストールされていることを確認してください。
   - 変換に成功すると、次のメッセージが表示されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



- ウィンドウを閉じると、開発アプリケーションフォームにリダイレクトされます。

アプリケーションリポジトリへのカスタマイズのインストール

インスタンスのストアアプリケーションにカスタマイズをインストールします。

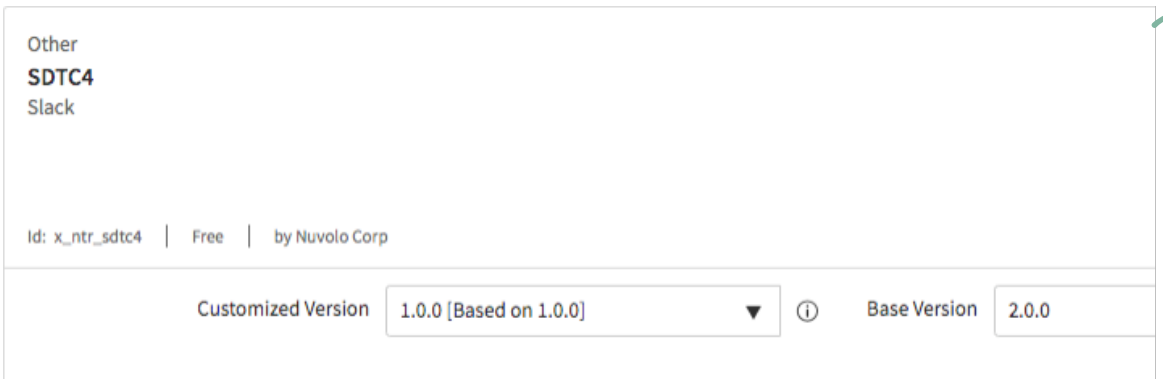
始める前に

必要なロール：admin

アプリケーションリポジトリにストアアプリケーションのカスタマイズを公開します。アプリケーションのエンタイトルメントタイプを確認して、インスタンスにアプリケーションに対するエンタイトルメントが付与されていることを確認します。

手順

1. 移動先 システムアプリケーション > 利用可能なすべてのアプリケーション > すべて.
2. アプリケーションを見つけます。
3. インストールするカスタマイズバージョンを選択します。



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
プラグインを介してインストールされたスコープ対象アプリケーションの場合、ベースシステムバージョンは、現在使用している ServiceNow リリースバージョン (Paris、Quebec、Rome など) です。

4. [インストール]をクリックします。

システムクローン中の開発におけるアプリケーションとカスタマイズの保持

アプリケーションバージョンをターゲット (開発) インスタンスにクローンする前に、現在開発中の各アプリケーションとカスタマイズ内容のコピーを手動で保持します。

始める前に
アプリケーションレコードに対する書き込みアクセス権があることを確認します。

ソースコントロールリポジトリへのアクセス権があることを確認します。

必要なロール：admin

このタスクについて
クローンプロセスでは、開発中のアプリケーションとアプリのカスタマイズのバージョンの差異は保存されません。代わりに、システムでは、ソースインスタンスにインストールされているアプリケーションとアプリのカスタマイズのバージョンのコピーのみを、ターゲットインスタンスにクローンします。ターゲットインスタンスに同じアプリケーションの開発バージョンがある場合、そのアプリケーションはクローン作成後に編集可能になりますが、そのバージョンはソースインスタンスにインストールされているものと同じになります。アプリケーションがソースインスタンスから失われていた場合は、クローン作成プロセスによりターゲットインスタンスからアプリケーションが削除されます。

手順
1. 次のいずれかのアクションを行い、クローンターゲットインスタンスでアプリケーションを保持します。

インスタンス間のバージョンの差異

アプリケーションバージョンの状態	実行するアクション
クローンターゲットインスタンスのアプリケーションバージョンが、ソースインスタンスバージョンと異なります。	クローンターゲットインスタンスから各アプリケーションをエクスポートします。次の選択肢があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アプリケーションバージョンの状態	実行するアクション
アプリケーションは、クローンターゲットインスタンスでのみ利用できます。	○ 各アプリケーションをソースコントロールリポジトリにリンクします。 注: アプリケーションが既にソースコントロールリポジトリにリンクされている場合は、最新のバージョンをコミットします。 ○ 各アプリケーションを更新セットに公開します。
クローンターゲットインスタンスのアプリケーションバージョンは、ソースインスタンスと同じです。	なし。システムクローン作成プロセスにより、クローン作成中にこのアプリケーションバージョンがターゲットインスタンスにコピーされます。

2. ターゲットインスタンスに対するソースインスタンスのシステムクローンを要求します。

   Example
   たとえば、開発インスタンスに対して本番インスタンスのクローンを作成します。
3. クローン作成プロセスが終了したら、クローンターゲットインスタンスにログインします。
4. 注:
   ソースコントロールがリンクされている場合、クローン後に、プラットフォームはアプリケーションとカスタマイズされたアプリケーションを自動的に取得します。これが glide.source_control.post_clone_import_enabled で無効になっている場合は、次の手順を使用して手動で取得する必要があります。

   各アプリケーションをソースコントロールリポジトリに保存した場合は、次のいずれかのアクションを使用してソースコントロールリポジトリからアプリケーションを取得します。

   注:
   アプリケーションのカスタマイズのクローンの後に起こることについては、「アプリケーションのカスタマイズのクローン後の結果」を参照してください。

   ソースコントロールリポジトリからのアプリケーションの取得

アプリケーションのインストール状態	クローンターゲットで実行するアクション
アプリケーションとカスタマイズ内容は以前にソースインスタンスにインストールされていました。	ソースコントロールリポジトリからリモート変更を適用します。
アプリケーションはソースインスタンスにインストールされていませんでした。	リポジトリ構成 (sys_repo_config) を削除し、ソースコントロールリポジトリからカスタマイズをインポートします。

   クローン後のリモート変更

フィールド	説明
glide.source_control.post_clone_import_enabled	リモート変更の適用の自動化を無効にするには、**False** に設定します。デフォルト値は **True** です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
glide.source_control.post_clone_import_delay_time_sec	ポストクローンインポート処理を遅延させる遅延時間を指定するには、値を指定します。デフォルト値は 0 です。
glide.source_control.post_clone_import_pause_refresh_time_sec	リポジトリのリフレッシュジョブを実行しない間隔を指定するには、値を指定します。デフォルトは 3 時間 (10800) です。

5. 各アプリケーションを更新セットに保存した場合は、次のいずれかのアクションを行って更新セットからアプリケーションを取得します。

更新セットからのアプリケーションの取得

アプリケーションのインストール状態	クローンターゲットで実行するアクション
アプリケーションは以前にソースインスタンスにインストールされていました。	**a.** ソースインスタンスからクローンされたアプリケーションバージョンを削除します。 **b.** 現在のアプリケーションバージョンを含む更新セットをロードします。
アプリケーションはソースインスタンスにインストールされていませんでした。	現在のアプリケーションバージョンを含む更新セットをロードします。

タスクの結果
以前に開発していたアプリケーションを利用して、クローンターゲットインスタンスでさらに開発を進めることができます。

Example: Marketing Events アプリケーションの保存

あなたの会社が、以前に Marketing Events という名前のカスタムアプリケーションのバージョン 1.0 を作成していたとします。Marketing Events アプリケーションのバージョン 1.0 をアプリケーションリポジトリに既に公開していて、本番インスタンスにインストールしています。

時間の経過とともに、ユーザーからアプリケーションの拡張の要求が提出され、この要求に対処するために、非本番インスタンスで Marketing Events アプリケーションのバージョン 2.0 を開発することに決めました。開発が完了に近づくと、包括的なテストのために、非本番インスタンスを最新の本番環境のコピーに更新する必要が生じました。

以前にソースコントロール統合を使用して Marketing Events アプリケーションのバージョン 1.0 を開発していたため、既に Marketing Events アプリケーションをソースコントロールリポジトリにリンクしています。Marketing Events アプリケーションのバージョン 2.0 をソースコントロールリポジトリにコミットします。

開発インスタンスに対する本番インスタンスのクローン作成をスケジュール設定します。完了したら、開発インスタンスにログインし、Marketing Events アプリケーションのバージョン 1.0 があることを確認します。このバージョンが、ソースインスタンスにインストールされたバージョンのためです。

アプリケーションが既にソースインスタンスにインストールされているため、ソースコントロールリポジトリからリモート変更を適用して、最新のアプリケーションバージョンを受信します。開発インスタンスに、今後の開発とテストに利用できる Marketing Events アプリケーションのバージョン 2.0 が追加されました。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アプリケーションのカスタマイズのクローン後の結果

アプリケーションのカスタマイズのクローン後に予想される結果には、アプリケーションの状態に基づいて予想される動作と、アプリケーションのカスタマイズを復旧するアクションが表示されます。

アプリケーションのカスタマイズの状態に基づく予想と、カスタマイズを復旧するアクションは次のとおりです。

クローン後のアプリケーションのカスタマイズの予想

ソースインスタンスのアプリのカスタマイズのステータス	クローン前のターゲット (開発) インスタンスのアプリのカスタマイズのステータス	クローン後のターゲット (開発) インスタンスのアプリのカスタマイズのステータス	クローン後のターゲット (開発) インスタンスのアプリのカスタマイズを復旧するためのアクション
ベースアプリケーションはインストールされていません	ベースアプリケーションバージョン 1.0 とアプリのカスタマイズバージョン 1.0	ベースアプリケーションはインストールされていません	ベースアプリケーションとアプリのカスタマイズの再インストール
ベースアプリケーションはインストールされていません	ソースコントロール内のベースアプリケーションバージョン 1.0 とアプリのカスタマイズ	ベースアプリケーションがインストールされておらず、sys_repo_config のアプリフィールドが空です。	(アプリフィールドが空になっている) リポジトリ構成 (sys_repo_config) レコードを削除し、ソースコントロールから再度インポートして、ベースアプリケーションをインストールします。
ベースアプリケーションバージョン 1.0	ベースアプリケーションバージョン 1.0 アプリのカスタマイズバージョン 1.0	ベースアプリケーションバージョン 1.0	アプリのカスタマイズの再インストール
ベースアプリケーションバージョン 1.0	ソースコントロール内のベースアプリケーションバージョン 1.0 とアプリのカスタマイズ	ベースアプリケーションバージョン 1.0 の場合、repo_config は保持され、アプリのカスタマイズバージョンはすべてのアプリページで [なし] として表示されます。	Git リポジトリからのリモート変更を適用します。
ベースアプリケーションバージョン 1.0 とアプリのカスタマイズバージョン 1.0	ベースアプリケーションバージョン 2.0 とアプリのカスタマイズバージョン 2.0	ベースアプリケーションバージョン 1.0 とアプリのカスタマイズバージョン 1.0	アプリのカスタマイズバージョン 2.0 とベースアプリケーションバージョン 2.0 の再インストール
ベースアプリケーションバージョン 1.0 とアプリのカスタマイズバージョン 1.0	ソースコントロール内のベースアプリケーションバージョン 2.0 とアプリのカスタマイズバージョン 2.0	ベース アプリケーションバージョン 1.0 とアプリのカスタマイズバージョン 1.0、sys_reconfig は保持されます	Git リポジトリからのリモート変更を適用します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クローン後のアプリケーションのカスタマイズの予想 (続く)

ソースインスタンスのアプリのカスタマイズのステータス	クローン前のターゲット (開発) インスタンスのアプリのカスタマイズのステータス	クローン後のターゲット (開発) インスタンスのアプリのカスタマイズのステータス	クローン後のターゲット (開発) インスタンスのアプリのカスタマイズを復旧するためのアクション
ベースアプリケーションバージョン 2.0 とアプリのカスタマイズバージョン 2.0	ベースアプリケーションバージョン 1.0 とアプリのカスタマイズバージョン 1.0	ベースアプリケーションバージョン 2.0 とアプリのカスタマイズバージョン 2.0 がインストールされています。	ベースとアプリのカスタマイズの両方が最新バージョンです。
ベースアプリケーションバージョン 2.0 とアプリのカスタマイズバージョン 2.0	ソースコントロール内のベースアプリケーションバージョン 1.0 とアプリのカスタマイズバージョン 1.0	ベースアプリケーションバージョン 2.0 とアプリのカスタマイズバージョン 2.0 は repo_config を保持した状態でインストールされるため、分岐バージョンは 1.0 上になります	ベースとアプリのカスタマイズの両方が最新バージョンです。

自己ホスト型でエアギャップの顧客向けのアプリケーションリポジトリ

このアプリケーション機能により、自己ホスト型の顧客は、クラウドの顧客と同じように独自の内部アプリケーションリポジトリを使用できます。これらの顧客は、ServiceNow Store を介してアプリケーションリポジトリをインストールせず、別の方法を使用します。

自己ホスト型アプリケーションリポジトリの概要

ServiceNow® クラウドでインスタンスがホストされている顧客は、デフォルトでパブリック ServiceNow Store を介してアプリケーションリポジトリにアクセスできます。ただし、自己ホスト型でエアギャップの顧客はこのようなアクセス権を持たないため、高度なアプリケーション開発機能を利用できません。

⚠ 警告:
ほとんどの顧客は、ServiceNow® Store からネットワーク経由でアプリケーションをインストールします。このトピックでは、ネットワークソースを使用していない顧客について説明します。

「エアギャップ」という用語は、コンピューターまたはネットワークに、有線/無線のどちらでも、外部ネットワークに接続されたネットワークインターフェイスがない状態を指します。あるソースから別のソースにデータを移動する場合は、別の方法を使用する必要があります。ネットワーク上にないソース間でデータを移動するには、このトピックで説明されているような代替手段を使用する必要があります。

ServiceNow® アプリケーションリポジトリは、顧客のインスタンスにインストールできるスコープ対象のアプリケーションです。外部ネットワークと通信せずに、独自のプライベートネットワーク内で最新のアプリケーション開発機能を使用できます。

推奨インストール

その目的でのみ使用される専用インスタンスにアプリケーションリポジトリをインストールすることをお勧めします。この方法でインストールすると、他のトランザクションからの他のインスタンスの負荷が軽減され、他のストアアプリケーションのインストールエクスペリエンスが向上します。アプリケーションが正常にインストールされると、他のネットワーク接続されたクライアントインスタン

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スは、このインスタンスとの間でアプリケーションアーティファクトを公開したりインストールしたりできます。

アプリケーションの取得

アプリケーションをインストールする前に、ServiceNow の自己ホスト型で「エアギャップ」の顧客は、それぞれのアカウント担当者に連絡を取る必要があります。サポート担当者およびチームと協力して、インストールプロセスを設定します。詳細については、ナレッジベースの記事「 オンプレミスの顧客がストアアプリを要求する方法」を参照してください。

セットアッププロセスの仕組み

インスタンスは、サーバー側でインスタンス認証情報を格納する「ペアリング」プロセスを介してリポジトリで認証されます。このプロセスはインスタンスごとに 1 回だけ実行する必要があります。インスタンスをリポジトリと「ペアリング」すると、インスタンスはさまざまなアプリケーション開発機能を介してリポジトリとのやり取りを開始できます。

エアギャップインスタンスへのアプリケーションリポジトリストアアプリのインストール

自己ホスト型でエアギャップの顧客は、インスタンスが外部ネットワークと通信することを許可していないため、ServiceNow® Store から直接アプリケーションリポジトリをインストールすることはありません。これらの顧客は、代わりに次の手順を実行する必要があります。

始める前に

注:
アプリケーションリポジトリのカスタマイズは、サポートされていないか、推奨されていません。

必要なロール： インストールと構成には maint ロールが必要です。構成が完了すると、必要とされるのは admin ロールのみとなります。

警告:
インスタンスがすでにパブリック ServiceNow® Store に接続されている場合は、アプリケーションリポジトリをインストールしないでください。これを行うと、それらのインスタンスはアクセスできなくなります。この製品は、パブリックストアに接続できない顧客を対象としています。

注:
他のインスタンスとは別の専用 ServiceNow® インスタンスにインストールします。

手順

1. ナレッジベース記事「 オンプレミスの顧客がストアアプリを要求する方法」の指示に従って、アプリケーションリポジトリをインストールします。
2. インストール後、「エアギャップインスタンス上でのアプリケーションリポジトリの構成」の手順を実行します。

エアギャップインスタンス上でのアプリケーションリポジトリの構成

アプリケーションリポジトリをインストールしたら、次の手順を使用して構成する必要があります。

始める前に

必要なロール：インストールと構成には maint ロールが必要です。構成が完了すると、必要とされるのは admin ロールのみとなります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. インスタンスをアプリケーションリポジトリとペアリングします。

   a. アプリケーションリポジトリに接続するインスタンスにログインします。

   b. システムプロパティ *sn_appclient.repository_base_url* をアプリケーションリポジトリインスタンスの URL に設定します。
   たとえば、http://localhost:8080/ などです。

   c. *sn_appclient.upload_base_url* および *sn_appauthor.upload_base_url* プロパティの値をクリアします。

   d. グローバルスコープの *sn_apprepo.credential* プロパティの値を「secret」などの null 以外の値に設定します。

      i. インスタンスに SSH で接続します。

      ii. cd /root/instance/instance_<portno>/conf/overrides.d を使用して、ディレクトリーを /root/instance/instance_<portno>/conf/overrides.d に変更します。

      iii. glide.properties ファイルを開くか作成します。

      iv. 認証情報プロパティを最後に追加し、ファイル [sn_apprepo.credential=<value>] を保存します。

      v. (Shutdown.sh/Startup.sh) Glide を再起動するか、バックグラウンドスクリプトで Packages.com.glide.util.GlideProperties.loadPropertyFile(new Packages.java.io.File(gs.getProperty("glide.home.dist")+"/conf/overrides.d/glide.properties")); を実行して、インスタンスを再起動することなく、実行時にプロパティファイルを動的にロードします。

      vi. バックグラウンドスクリプト gs.info(gs.getProperty("sn_apprepo.credential")); でプロパティを出力して検証します。

   e. 値として **sn_repo.AppRepo** を含む *sn_appclient.repo_auth_name* を追加します。

   f. アプリケーションリポジトリインスタンスとクライアントインスタンスの両方で *glide.test_instance* プロパティを **false** に設定します。

   g. *sn_appclient.client_calls_allowed* プロパティを **True** に設定します。

      注:
      接続されていない場合、スケジュール済みジョブによって **False** に設定される場合があります。

   h. クライアントインスタンスで *sn_appclient.app.install.offline* プロパティを **false** に設定します。

   i. [送信] を選択します。

2. アプリケーションリポジトリがインストールされているインスタンスにログインし、次の手順を実行します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. **core_company.list** テーブルに移動し、[プライマリ] フィールドが **True** に設定されているレコードがあることを確認するか、任意のユーザー定義名でレコードを作成します。

> **注:**
> このレコードの詳細情報は重要ではありません。

b. **sn_repo_instance.do** 画面にアクセスし、接続するクライアントインスタンスの新しいインスタンスレコードを作成します。

i. [ステータス] が [ペアリング (Pairing)] に設定されていることを確認します。

ii. [名前] フィールドに、(接続するインスタンスの **stats.do** 画面上にある) インスタンス名を入力します。

iii. その他のフィールドはすべて空のままにします。これらは自動的に入力されます。

c. 接続する追加のインスタンスに対して、前のステップを繰り返します。

3. ステップ 1 で使用したインスタンス (アプリケーションリポジトリとペアリングするインスタンス) に再度ログインし、[スクリプト - バックグラウンド] モジュールに移動します。

a. ドロップダウンリストから **[sn_appauthor scope]** を選択します。

b. 次のスクリプトを実行します：`new ConfigChecker().checkForChanges()`。

4. オプション: インスタンスを削除するには、インスタンスレコード (sn_repo_instance テーブル) に移動して、[ステータス] を [ブロック済み] に変更します。これにより、インスタンスへのアクセスが一時的に制限されるか、インスタンスが削除されます。
インスタンスが再度必要な場合は、[ステータス] を [ペアリング済み] に再び変更できます。

> **警告:**
> ペアリングされたインスタンスのインスタンス名、インスタンス ID、または認証情報が変更された場合は、再度ペアリングする必要があります。インスタンスレコードのこれらの値を手動で更新することはお勧めしません。

次のタスク

インスタンスをペアリングすると、アプリケーションリポジトリの使用のために完全に設定されます。「アプリケーションリポジトリへのアプリケーションの公開」の説明に従ってスコープ対象のアプリケーションを公開することで、構成をテストできます。公開後、アプリを見つけてアプリが正常に公開されたことを確認できます すべて > アプリケーションリポジトリ > アーティファクト > 内部アプリ.

ServiceNow Store にアプリケーションを公開する

アプリケーションをServiceNow Store誰もが利用できるように発行します。

始める前に

アプリケーションをServiceNow Storeに発行するには：

- プライベート アプリケーションスコープ内でアプリケーションを作成する。
- テクノロジーパートナープログラムに参加する。
- アプリケーションの認定を受ける。

> **注:**
> グローバルスコープ内のアプリケーションは、ServiceNow Store へ公開できません。

必要なロール：admin、またはPublish To App Store許可を有効にしたdelegated_developer

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

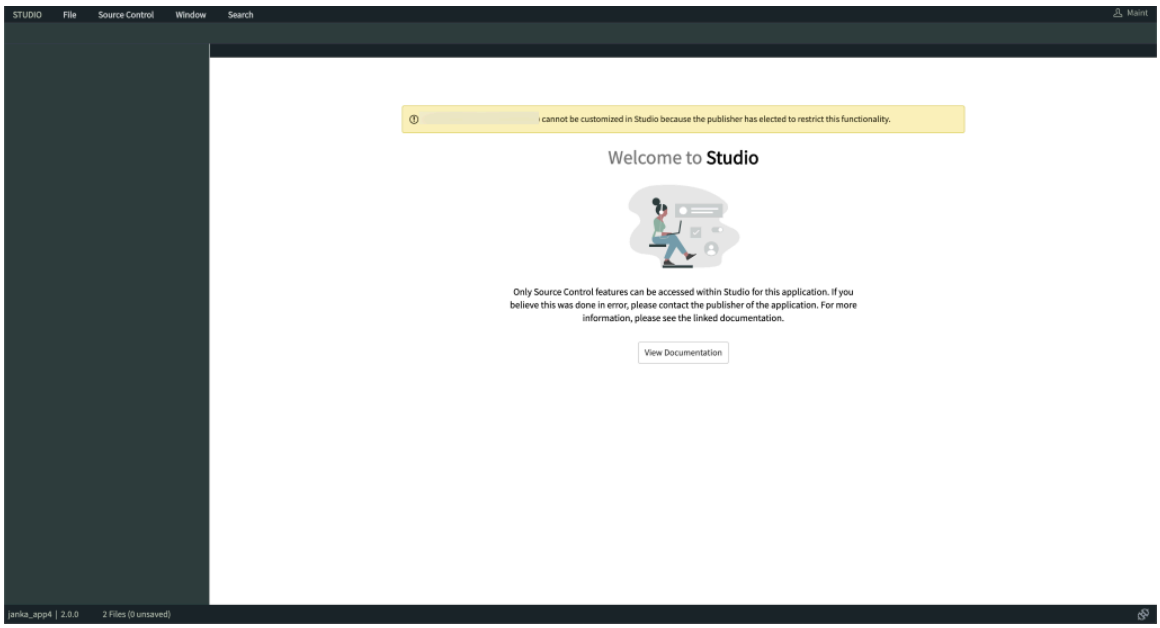
自動翻訳

このタスクについて
前提条件を満たした後、アプリケーションを ServiceNow Store に公開できます

注:

[Studio でアプリケーションの編集が可能] プロパティは、新しいアプリケーションの場合はデフォルトで true に設定されていますが、公開前に false に設定できます。

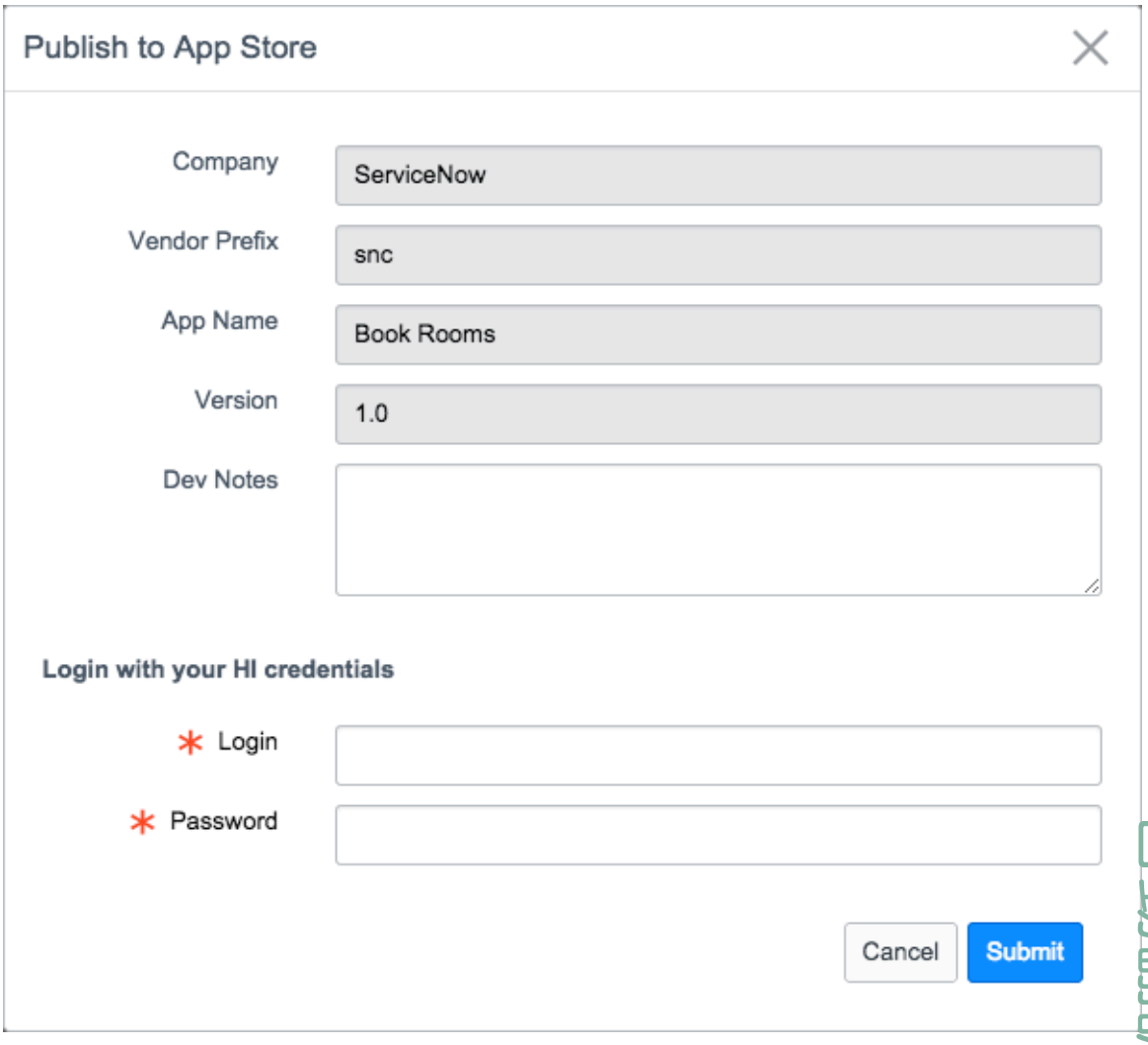
Studio のアプリケーションのカスタマイズで **[Studio** でアプリケーションの編集が可能] プロパティが false に設定されている場合、次の警告が表示されます。



手順

1. 移動先 すべて > システムアプリケーション > アプリケーション.
2. [開発中 **(In Development)]** タブをクリックします。
3. ServiceNow Storeに発行したいアプリケーションレコードを開きます。
4. ストアに発行に関連するリンクをクリックします。
5. オプション: 適切にそのフィールドに値を入力します (テーブルを参照ください)。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



自動翻訳

6. あなたの HI 認証情報を入力します。
7. [送信] をクリックします。
   システムは最新バージョンのアプリケーションを ServiceNow Store にアップロードして、他のユーザーがダウンロードできるようにします。

関連情報

開発権限の担当者への委任

サンプルデータを含めるアプリケーションファイルを作成する

カスタムアプリケーションを共有するときにアプリケーションデータテーブルのサンプルレコードをインクルードします。

始める前に

必要なロール:admin または delegated_developer

このタスクについて

システムは、選択したレコードを、共有するときにアプリケーション更新セットの一部として含まれたアプリケーションファイルとしてエクスポートできます。更新セットにアプリケーションファイルを含めることは、インスタンス間で多数のレコードをエクスポートおよびインポートするためのものではありません。インスタンス間でデータを移動しようとしている場合は、「Import from another instance (別のインスタンスからインポート)」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アプリケーションデータには、レコードの共有時に存在していたレコードのバージョンのみをインクルードします。レコードが変更されると、システムはこのアプリケーションデータのスナップショットを更新しません。アプリケーション設計者は、テーブル単位でデータをインクルードできます。

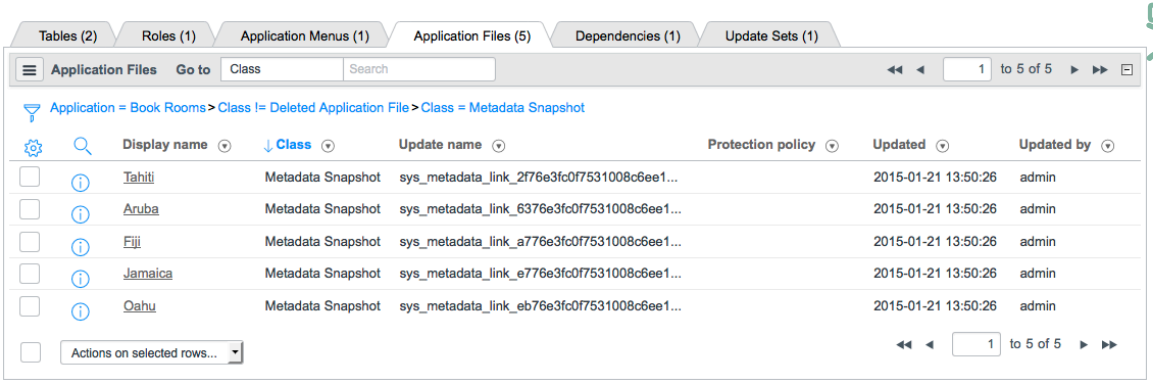
手順

1. アプリケーションデータテーブルのリストに移動します。
2. そのリストをフィルタリングして、インクルードしたいレコードを表示します。
3. リストのバージョンに合わせて適切なアクションを実行します。

4. いつロードに対して、アプリケーションレコードがアプリケーションデータをインクルードするときを選択します。

オプション	説明
新しいインストールとアップグレード	アプリケーションがインストールまたはアップグレードされるたびにアプリケーションデータをインクルードします。
新規インストール	アプリケーションがインストールされている場合にのみアプリケーションデータをインクルードします。
デモデータと共に新規インストール	アプリケーションデータがデモデータと共にインストールされている場合にのみ、アプリケーションデータをインクルードします。

5. **[OK]** をクリックします。
システムは、レコードをアプリケーションファイル関連リストに追加します。



6. 含めるアプリケーションデータテーブルごとに手順 1 ～ 5 を繰り返します。

更新セットにアプリケーションを公開する

アプリケーションを発行すると、すべてのアプリケーション構成レコードの現行バージョンを含む更新セットが作成されます。

始める前に

必要なロール:admin、または更新セットに公開する権限が有効になっているdelegated_developer

このタスクについて

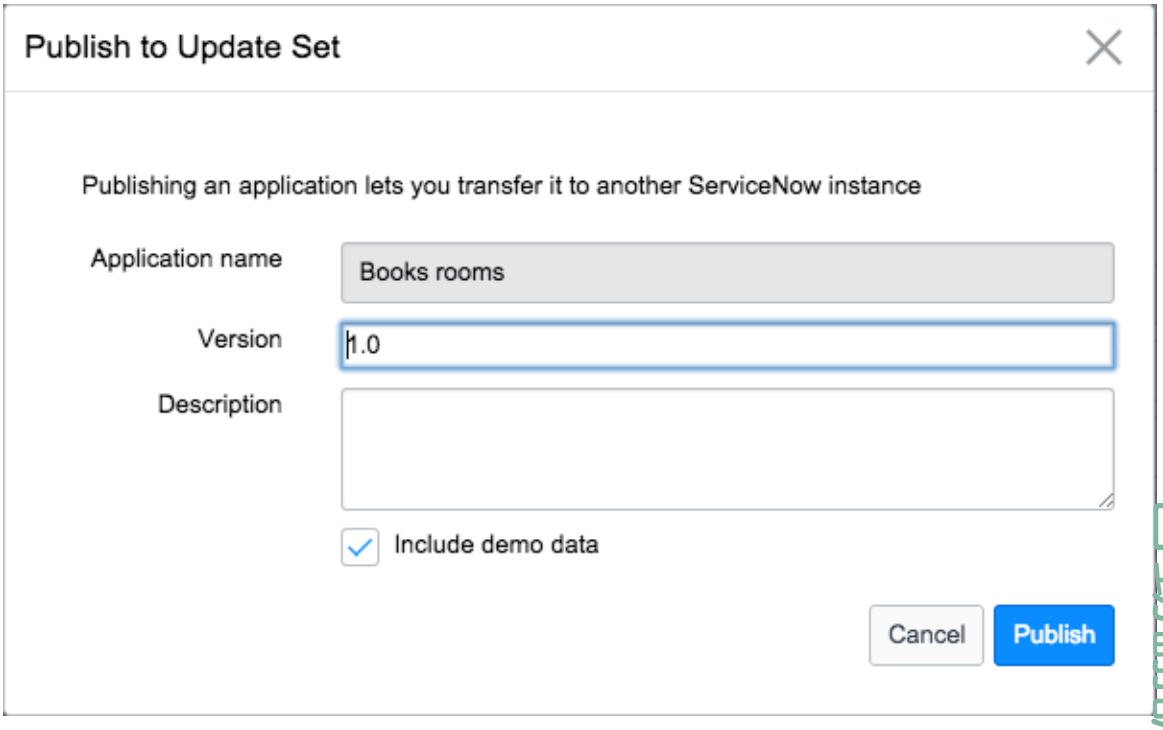
この更新セットは、監査目的またはアプリケーションを別のインスタンスに転送するためのバックアップファイルとして使用できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > システムアプリケーション > 自分の会社のアプリケーション.
2. [開発中 **(In Development)]** タブをクリックします。
3. 更新セットを作成するアプリケーションレコードを開きます。
4. 更新セットに発行する関連リンクをクリックします。
5. オプション: 必要に応じて、フィールドに値を入力します (表を参照)。



更新セットに発行

フィールド	説明
アプリケーション名	[読み取り専用]発行するアプリケーションの名前を表示します。
バージョン	(Optional) 更新セット名に 1.2.3 のようにドット表記でバージョン情報を添付します。プラットフォームはここに入力した情報をアプリケーションバージョンフィールドに保存します。 更新セットの名前は<アプリケーション名> - <バージョン>です。このフィールドを空白のままにすると、最初の更新セットの名前は<アプリケーション名>になり、後続の更新セットの名前は<アプリケーション名> - <順次番号>になります。
説明	更新セットの説明を入力します。デフォルトでは、このフィールドはアプリケーションの簡単な説明を含みます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
データを含む	(Optional) このチェックボックスをオンにすると、アプリケーションの各テーブルのデータレコード数を制限します。この機能を使用して、サンプルデータをアプリケーションにパッケージします。 **⚠ 警告:** (Optional) この機能を使用してインスタンス間で大量のデータレコードを移行すると、この目的には考慮していないため、パフォーマンスの問題が発生する可能性があります。データを移行するには、インスタンスからインスタンスへのインポートを使用する。アドミニストレーターは、アプリケーションでインクルードするデータレコードの最大数を調整できます。 「インポートセット」を参照してください。 ○ サンプルデータにレコード番号の付いたテーブルが含まれている場合は、現在のカウンタの値も転送します。更新セットを別のインスタンスに適用すると、カウンタはサンプルデータまたはターゲットインスタンスカウンタのうち大きい方に設定されます。 ○ 翻訳されたフィールドの場合、英語のレコードのみが転送される。

6. [公開] をクリックします。
   新しい更新セットが作成され、アプリケーション内の各アプリケーションファイルの最新の更新がアプリケーションにコピーされます。更新セットは完了とマークされます。
7. テスト手順に応じて更新セットを別のインスタンスに転送します。
   - ソースインスタンスから更新セットを取得します。
   - 更新セットを XML ファイルとして保存します。
8. アプリケーションに含まれる修正スクリプトを実行します。

関連情報

- 更新セットを取得
- 更新セットをローカルの XML ファイルとして保存する
- 修正スクリプトの実行
- 開発権限の担当者への委任

キューに格納されたアプリケーション操作

要求された操作を実行するために更新 [インスタンス全体のロック/ミューテックス] を取得する必要がある CICD API は、更新 [インスタンス全体のロック/ミューテックス] が他の操作によって占有されている場合、却下されずにキューに格納されます。

Tokyo 以降、要求された操作を実行するために更新 [インスタンス全体のロック/ミューテックス] を取得する必要がある CICD API は、更新 [インスタンス全体のロック/ミューテックス] が他の操作によって占有されている場合、却下されずにキューに格納されます。CICD 要求を受信すると、対応する CICD サービスはアプリケーション操作 NowMQ (Now Message Queue) メッセージを作成し、NowMQ API を使用してキューにメッセージを挿入します。キューに格納されたメッセージは、スケジュール設定されたジョブによってポーリングされ、1 つずつ処理されるか、または並列に処理されます (並列処理が有効で操作が必要な基準を満たしている場合)。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

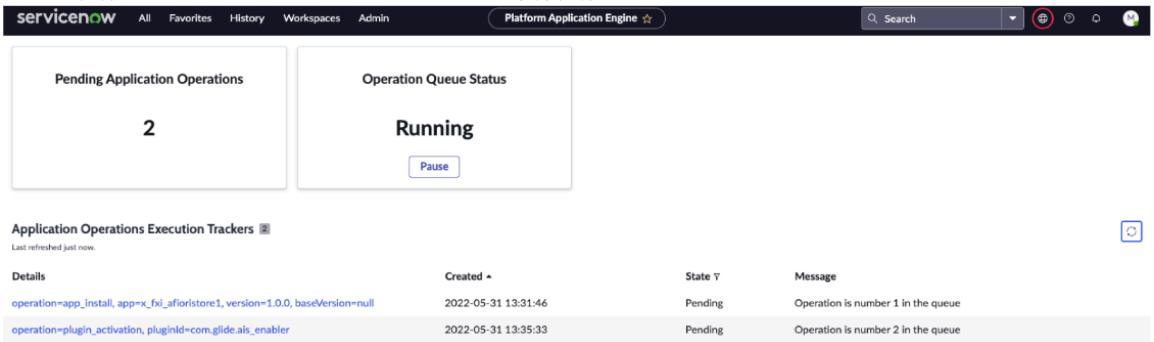
アプリケーション操作の **NowMQ** メッセージ

アプリケーション操作の NowMQ メッセージの共通の件名は「sys.applifecycle.operation」です。アプリケーション操作 NowMQ メッセージのメッセージ本文には、実行トラッカーの sys_id (CICD API 応答で返される進捗 ID とも呼ばれる) を含む JSON オブジェクトが含まれています。操作タイプは、app_install、plugin_activation、batch_install、rollback、import_app、apply_changes のいずれかになります。また、プラグインをアクティブ化するためのプラグイン ID、アプリケーションをインストールするためのアプリ ID またはスコープなどの情報も含まれます。

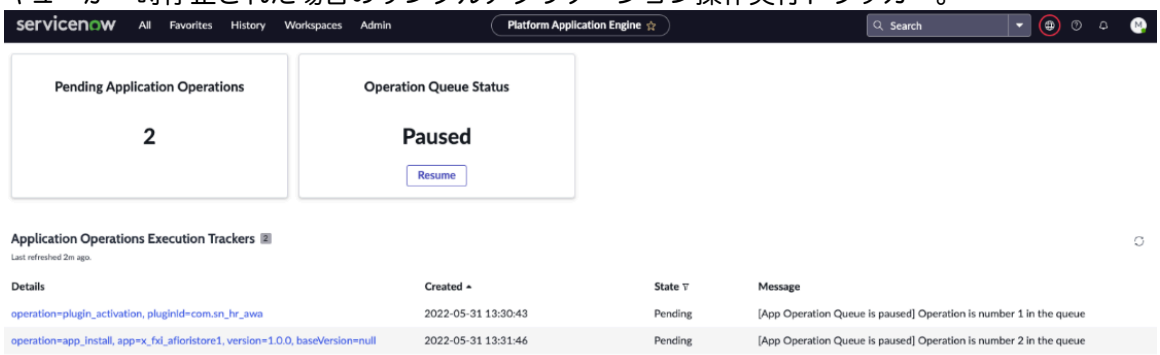
アプリケーション操作の実行トラッカー

アプリケーション操作 NowMQ メッセージが作成されて挿入されると、対応する CICD 要求の実行トラッカーレコードが作成され、その sys_id が NowMQ メッセージの本文に追加されます。実行トラッカーは最初は [処理待ち] ステータスです。実行トラッカーの [詳細] 列には、操作のタイプに関する情報と CICD 要求の重要な入力パラメーターが含まれています。その [メッセージ] 列には、キューの位置に関する情報が含まれています。キューが一時停止されると、メッセージには「[アプリ操作キューが一時停止されました]」というプリフィックスが付加されます。

キュー実行時のサンプルアプリケーション操作実行トラッカー。



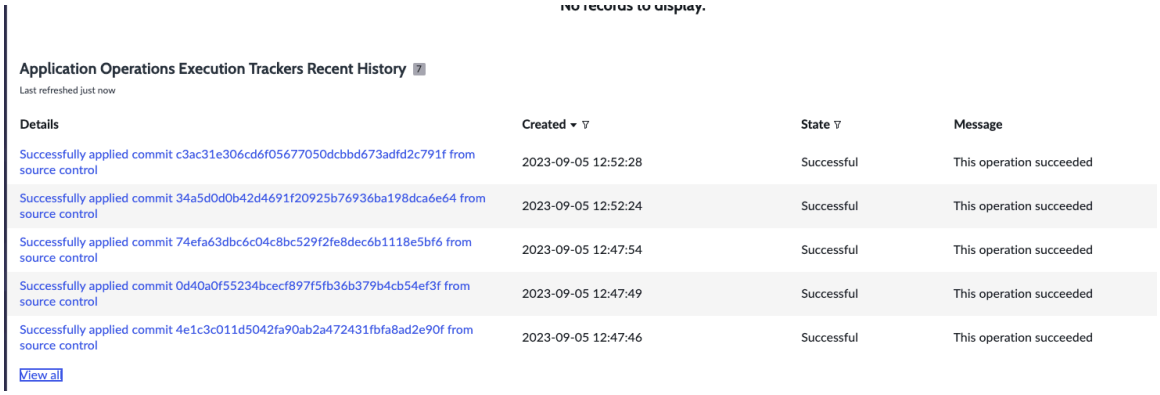
キューが一時停止された場合のサンプルアプリケーション操作実行トラッカー。



注:
処理待ちステータスの操作は、最近の履歴には表示されません。

アプリケーション操作実行トラッカーの最近の履歴のサンプル。最近の履歴には、過去 24 時間にキューに入れられて処理された操作の履歴が表示されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



アプリケーション操作キューの管理

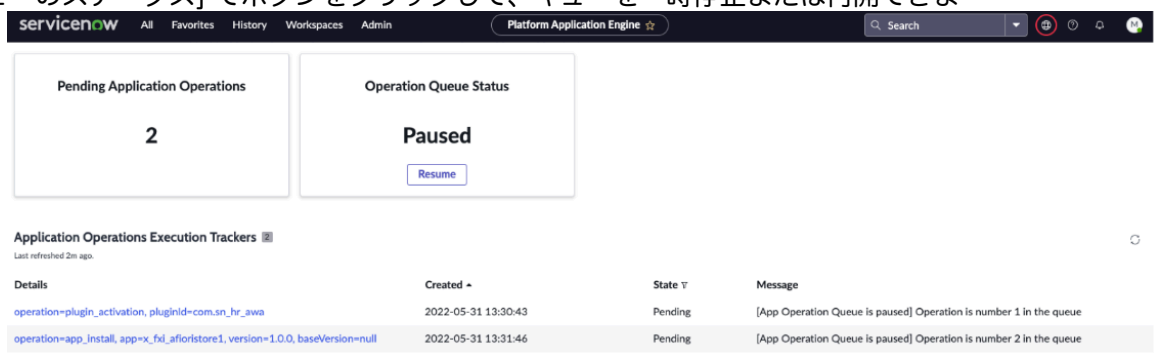
[すべてのアプリケーション] からの製品の手動インストールはキューに格納されますが、 [すべてのアプリケーション] または [アプリケーションマネージャー] などの UI からのアプリケーションの手動インストールはキューに格納されません。

インスタンスが大量の CICD 要求を受信、キューに格納、および処理していると、更新 [インスタンス全体のロック/ミューテックス] が不足し、UI からの手動インストールが必要になる場合があります。これが発生した場合、アドミニストレーターはアプリケーション操作キューを一時的に停止できます。

アドミニストレーターは、[システム診断] -> [アプリケーション操作キュー] UI ページでアプリケーション操作キューを管理できます。[操作キューのステータス] パネルで、アドミニストレーターはキューを一時停止または再開できます。アドミニストレーターは処理待ちの実行トラッカーをキャンセルすることもできます。これにより、アプリ操作キュー健全性監視ジョブによって、対応するキューに格納されたメッセージが NowMQ から最終的に削除されます。

[アプリケーション操作キュー] **UI** ページ

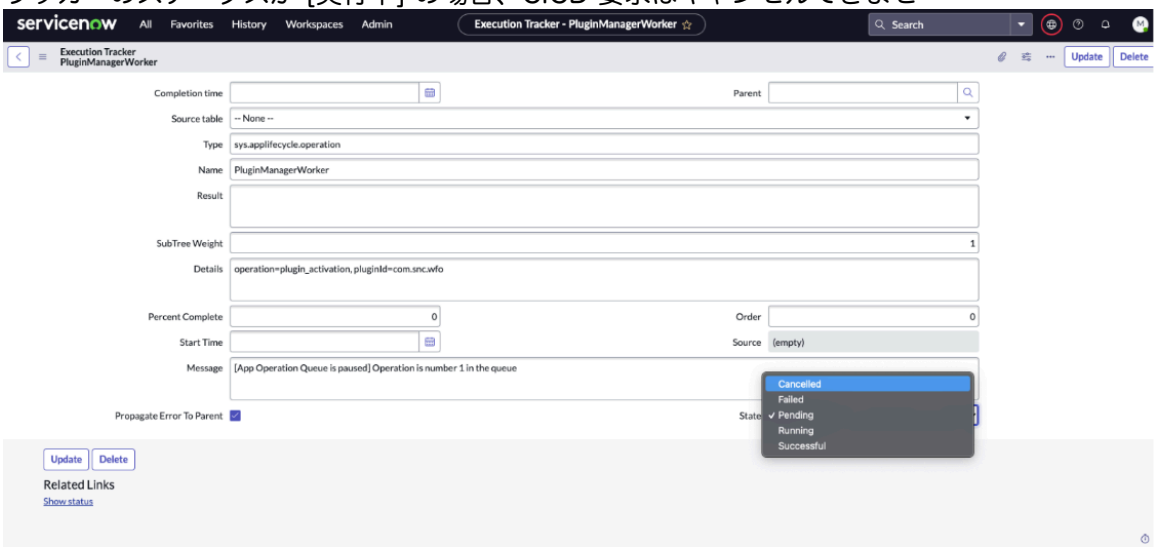
サンプル [アプリケーション操作キュー] UI ページ。アドミニストレーターは、[操作キューのステータス] でボタンをクリックして、キューを一時停止または再開できます。



[アプリケーション操作実行トラッカー] リストアイテムをクリックすると、実行トラッカーフォームが開きます。キューに格納されたメッセージがキュー内で処理待ちの場合、実行トラッカーのステータスを [キャンセル] に更新して変更を保存すると、対応するキューに格納された CICD 要求がキャンセルされます。注意：実

自動翻訳

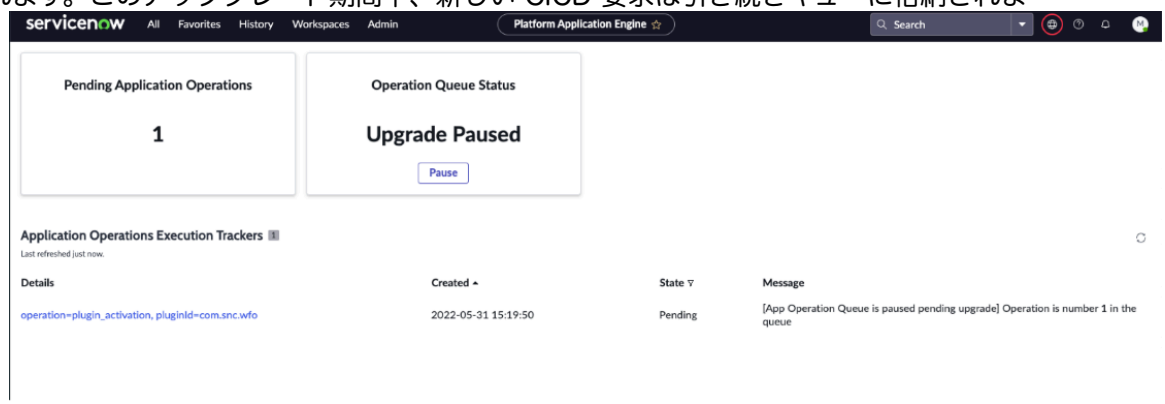
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

行トラッカーのステータスが [実行中] の場合、CICD 要求はキャンセルできませ


ん。

アプリケーション操作キューとアップグレード期間

デフォルトでは、スケジュールされたアップグレードの 2 時間前に (sys プロパティ「com.glide.update_operation.queue_upgrade_window」でカスタマイズ可能)、アプリケーション操作キューはキューに格納されたメッセージの処理を停止します。

アプリケーション操作キューのステータスが [アップグレードが一時停止しました] に変更されます。このアップグレード期間中、新しい CICD 要求は引き続きキューに格納されま


す。

アップグレードが完了すると、アプリケーション操作キューはキューに格納されたメッセージの処理を自動的に再開します。

CICD パイプラインへの影響

CICD API の既存の要求/応答契約は変更されません。Tokyo より前のリリースで見られた、更新 [インスタンス全体のロック/ミューテックス] の競合に起因する操作の失敗は、発生しなくなります。要求は、ジョブタイプに応じて 1 つずつ、または並行してキューに格納されて処理されます。

キューへの格納をサポートする CICD API

次の CICD API が処理のためにキューに格納されます。

- api/sn_cicd/app_repo/install
- api/sn_cicd/v1/app_repo/install
- api/sn_cicd/v2/app_repo/install
- api/sn_cicd/app_repo/rollback

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- api/sn_cicd/v1/app_repo/install
- api/sn_cicd/v2/app_repo/rollback
- api/sn_cicd/sc/apply_changes
- api/sn_cicd/v1/sc/apply_changes
- api/sn_cicd/v2/sc/apply_changes
- api/sn_cicd/app/batch/install
- api/sn_cicd/sc/import
- api/sn_cicd/plugin/{plugin_id}/activate
- api/sn_cicd/plugin/{plugin_id}/rollback

アプリケーションのインストールとプラグインのアクティブ化を並列化

Tokyo 以降、次の操作を他の操作と並行して実行できます。

- api/sn_cicd/app_repo/install
- api/sn_cicd/v1/app_repo/install
- api/sn_cicd/v2/app_repo/install
- api/sn_cicd/plugin/{plugin_id}/activate

すべてのキュー処理は、[インスタンス全体のロック/ミューテックス] を取得し、キューに格納された操作が完了するまでこのミューテックスを保持します。このロックは [更新ミューテックス] と呼ばれ、そのステータスは **[sys_mutex]** テーブルで表示できます。この間、この同じロックを取得する操作 (アプリのインストール、プラグインのアクティブ化、ソースコントロール操作) は UI を介して実行できません。現在実行中のジョブが完了した後でも、[アプリケーション操作キュー] ページでキューを一時停止してロックを解除できます。

並列化はデフォルトで有効になっています。これはプロパティ com.glide.update_operation.parallel_operation_enabled を使用してオフにすることができます。この場合、すべての操作は以前のリリースと同様にキューから順番に実行されます。

並列化の制限

キュープロセッサーは、キューに格納されたジョブを実行できるかどうかを判断します。ジョブが実行可能な場合、最初に使用可能になった時点でインスタンスノードによって取得されるようにスケジュールされます。可能でない場合は、キューに戻され、プロセッサーは処理のためにキュー内の次のジョブを評価します。

並列実行できるジョブの最大数には制限があり、デフォルトは 2 です。このプロパティは glide.update.app_operation_queue.parallel.max で切り替えることができますが、利用可能なスレッド数に上限があることに注意してください。インストールを実行して並列化を増やすと、アクティブなユーザーのインスタンスが遅くなる可能性があります。

リソースロックの取得

次のプラグインとアプリケーションは並行してインストールできません。

- カスタマイズを含む同じスコープを共有する 2 つの操作。
- スキーマを変更する 2 つの操作。
- 修正スクリプトを含む任意の 2 つの操作。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

キューの処理は、キューに格納された操作がこれらの基準を満たしているかどうかを判断し、必要に応じて処理不可能なジョブを保留します。操作が適切なリソースロックの取得を待機しているかどうかを反映して、ジョブの進捗状況 ID が更新されます。実行中の操作は、sys_padlock テーブル内のリソース (スコープ、スキーマ、存在する修正スクリプト) のリストを維持します。これらのロックの挿入と解除は、進行 ID によって確認できます。リソースに対して必要なロックを取得できないためにキューに格納されたジョブが保留されると、他のメッセージを処理できるようになります。クールダウン期間は、プロパティ com.glide.update_operation.job_cancel_timeout_minutes で変更できます。ジョブはまだキューにあり、[アプリケーション操作キュー] ページに表示されます。

キューがアプリケーションパッケージをダウンロードできない場合、または取得する必要があるリソースを確認するプラグインが見つからない場合は、そのキューに格納された操作に対してエラーをログに記録します。指定された回数リソースのプレビューに失敗すると、トラッカーは失敗し、ジョブはキューから削除されます。最大回数はデフォルトで 3 に設定され、com.glide.update_operation.max_failure_count プロパティで変更できます。

注:
必要なロックの取得に失敗しても、失敗とは見なされません。AppRepo からアプリケーションパッケージをダウンロードできないなど、発生したエラーのみがカウントされます。

ISV アプリケーションのカスタムライセンス

サブスクリプション管理 を使用して ISV アプリケーションの使用状況を監視します。収集するメタデータを含むストアアプリケーションの定義を作成します。アプリケーションを定義と共にストアに公開すると、使用状況アナリティクスが実行され、定義したメトリクスが集計されます。

カスタムライセンスの概要

作成したアプリケーションは、ServiceNow Store に公開できます。カスタムライセンスを持つアプリケーションの使用状況を監視します。

次の基準を満たしている場合は、ServiceNow Store に公開する ISV アプリケーションでカスタムライセンスを使用できます。

- アプリケーションがライセンス可能である。
- アプリケーションが ServiceNow または Global でスコープ対象でない。
- アプリケーションにキャパシティサブスクリプションモデルがある。

カスタムライセンスは、使用状況アナリティクス (com.glide.usageanalytics) およびスコープ対象のアプリ作成者 (com.sn_appauthorr) プラグインを介して機能します。これらのプラグインは、App Engine ではデフォルトでアクティブです。さらに、インスタンスはアプリケーションリポジトリまたはアプリケーションストアインスタンスに接続されている必要があります。

カスタムライセンスの定義

カスタムライセンスは、定義を作成することで達成されます。定義は、アプリケーションについて収集する使用状況情報に基づいて定義する一連のライセンスメトリクスです。ストアアプリケーションの定義の作成 を参照してください。

ストアアプリケーションの定義の作成

ストアアプリの定義を作成して、収集するライセンスメトリクスを定義します。

始める前に
必要なロール：admin または developer

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて
開発中のアプリケーションまたは公開済みのアプリケーションの定義を作成します。ただし、公開されたアプリケーションに定義をアサインする場合は、新しい定義で再公開する必要があります。また、アプリケーションにアサインできる定義は 1 つだけです。

> **注:**
> キャパシティサブスクリプションの定義のみを作成できます。「Types of subscriptions in Subscription Management」を参照してください。

手順

1. 移動先 すべて > システムアプリケーション > 会社のアプリケーション.
2. アプリケーションを選択します。
3. [サブスクリプション管理] セクションで、[サブスクリプションモデル] を [キャパシティ] に設定します。
4. [ライセンス定義] の横にある検索アイコンを選択します。
   [アプリケーションライセンス定義] ポップアップがロードされます。
5. [新規] を選択します。
6. [アプリケーションライセンス定義] レコードを入力します。

フィールド	説明
名前	定義の名前。
説明	定義の簡単なサマリー。
メトリクスタイプ	収集されるメトリクスのタイプ。
周期	メトリクスの収集頻度。
パフォーマンス検証済み	定義のパフォーマンスをテスト済みの場合は、ボックスをオンにします。
テーブル	使用状況の判別に使用されるテーブル。 **注:** 現在のアプリケーションに関連付けられているテーブルのみがリスト表示されます。
クエリ	テーブルで使用する基準。
アグリゲーション	アグリゲーションのタイプ ○ すべてのレコードをカウントするには、[カウント] に設定します。 ○ 一意のレコードのみをカウントするには、[個別のカウント] に設定します。
アグリゲーション列	アグリゲーションに使用されるテーブル列。 **注:** 集計するには列のインデックスを作成する必要があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
グループ	データをグループ化する基準となるテーブルの列。最大 3。 **警告:** 大文字と小文字を区別します。

7. [送信] を選択します。
   新しい定義が [アプリケーションライセンス定義] ポップアップに表示されます。
8. 定義を選択してアプリケーションに適用します。

次のタスク

アプリケーションの新しいバージョンを作成し、ServiceNow Store に公開します。アプリケーションのレビュー中に定義を変更すると、アプリケーションの後続のバージョンが却下される場合があります。アプリケーションが承認されて ServiceNow Store に公開されると、定義は読み取り専用になります。

既に ServiceNow Store にあるアプリケーションの定義を変更するには、新しい定義を作成し、新しいバージョンのアプリケーションを送信して、レビュープロセスを行う必要があります。

ドメインセパレーションと Creator Workflow アプリ

ドメインセパレーションでは、データ、プロセス、および管理タスクをドメインと呼ばれる論理的なグループに分けることができます。どのユーザーがデータを表示できるか、データにアクセスできるかなど、このアプリケーションのいくつかの側面を制御できます。

ドメインセパレーションは、アプリ開発およびローコード製品ではサポートされていません。

サポートレベル: サポートなし

- ドメインフィールドがデータテーブル に存在している可能性がありますが、データを管理するロジックがありません。
- このレベルでは、ドメイン分割は考慮されません。

サポートレベルの詳細については、「アプリケーションでのドメインセパレーションのサポート)」を参照してください。

アプリケーションのメンテナンス

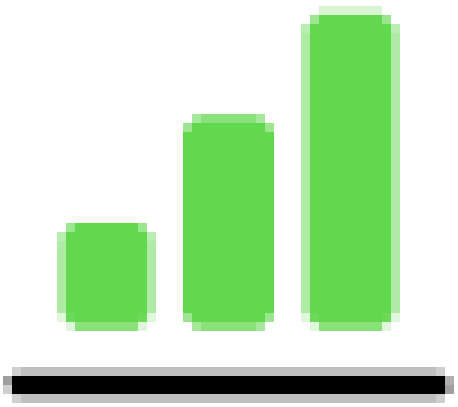
アプリビルダーツールを使用して、アプリケーションを更新および変更します。テストツールを使用して、アプリケーションが引き続き正常に機能することを検証します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

分析とダッシュボード

パフォーマンスアナリティクスレポート



データの可視化と分析機能をワークスペースエクスペリエンスに統合します。

アナリティクスハブ

より詳細な分析を行うには、このインジケーターの探索的ビューを使用します。特定のインジケーターの傾向、予測、ブレークダウン、および関連レコードを表示できます。

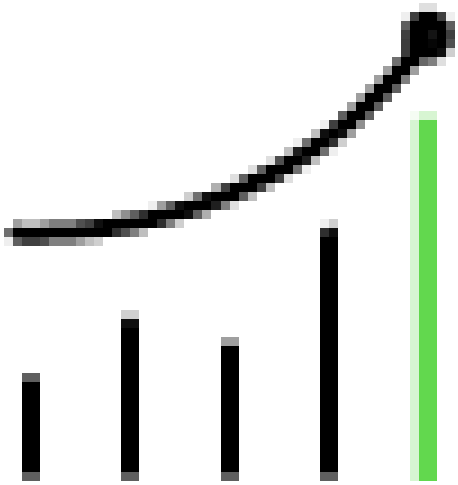
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アナリティクスセンター

インスタンスのすべてのダッシュボード、可視化、アナリティクス回答、およびインサイトを 1 つのページで表示するプラットフォームアナリティクスワークスペースを使用します。

パフォーマンスアナリティクスダッシュボード



個々のステークホルダーが情報に基づいた意思決定を行えるように、ロールベースのダッシュボードで履歴およびリアルタイムのプロセス健全性統計を継続的に可視化します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

セキュリティ

ソフトウェア資産管理

ソフトウェアライセンス、コンプライアンス、最適化を体系的に追跡、評価、管理します。

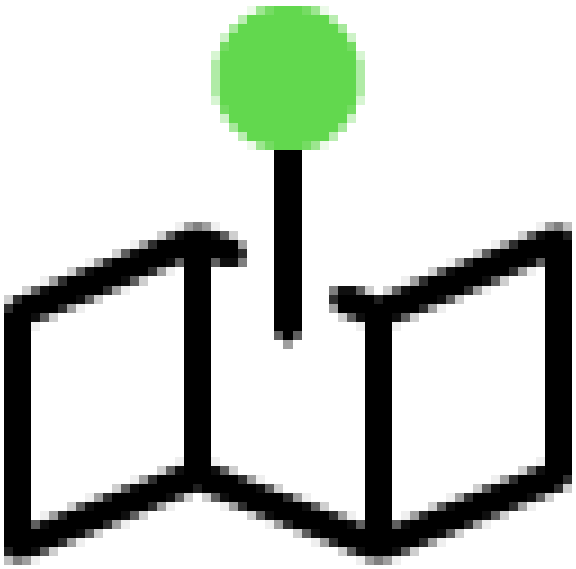
セキュリティオペレーション

インシデントデータをセキュリティツールから構造化された応答エンジンに取り込みます。このエンジンは、インテリジェントなワークフロー、自動化、IT との緊密な連携を使用して、脅威が組織に与える影響に基づいて、脅威の優先順位付けと解決を行います。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サービスマッピング



組織内のすべてのアプリケーションサービスを検出し、それらのアプリケーションサービスで使用するすべてのデバイス、アプリケーション、および構成プロファイルの包括的なマップをビルドします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

モニタリング

アプリケーション健全性の監視

アプリケーションサービスダッシュボードを使用して、アプリケーションサービスの健全性ステータスを監視します。次に、不完全なアプリケーションサービスを設定し、不足している詳細を追加することで、不完全なアプリケーションサービスの数を減らすことができます。

その他の情報について

App Engine Studio のアナリティクスセンターページで新しいワークスペースを作成するか、アナリティクスセンターページテンプレートからページを作成できます。いずれの方法でも、プラットフォームアナリティクスワークスペースのアナリティクスセンターと同じ機能を使用できます。

アナリティクスハブ

アナリティクスハブで、データの集計、スコアの比較、経時変化の表示によってインジケータースコアを分析し、ブレークダウンでスコアをフィルタリングします。ターゲット、しきい値、トレンドライン、重要な変更に関する有用なコメントを追加して、アナリティクスハブを拡張します。

アプリケーション健全性の監視

アプリケーションサービスダッシュボードを使用して、アプリケーションサービスの健全性ステータスを表すカウントを監視します。次に、不完全なアプリケーションサービスを設定し、不足している詳細を追加することで、不完全なアプリケーションサービスの数を減らします。アプリケーションサービスを効果的に使用するために、アプリケーションサービスが完全に構成され、設定されていることを確認します。

パフォーマンスアナリティクスダッシュボード

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

従業員は、データベースやスプレッドシートからデータをエクスポートする代わりに、ボタンをクリックするだけで、関連するパーソナライズされたインサイトを得ることができます。すぐに古くなってしまうレポートを手動で作成する必要はありません。

パフォーマンスアナリティクスレポート

KPI を確認し、分析に関する回答とインサイトを得ます。プラットフォームアナリティクスワークスペース内では、自然言語で質問し、関連する分析をその場でビジュアル化して表示したり、所有または共有している Next Experience ダッシュボードを表示したり、ワークスペースランタイムからダッシュボードやデータのビジュアル化を作成したりできます。

Security Operations

ServiceNow® セキュリティインシデントレスポンスアプリケーションは、検出と初期分析から、封じ込め、根絶、および最終的なインシデントの事後レビュー、ナレッジベース記事の作成、およびクローズに至るまで、セキュリティインシデントの進捗状況を追跡します。

サービスマッピング

サービスマッピングでは、 PaaS (Platform as a Service) を提供する企業、組織、クラウド企業の IT 部門が、インフラストラクチャのサービス認識型ビューを作成できるようにします。

ソフトウェア資産管理

ServiceNow® ソフトウェア資産管理 (SAM) アプリケーションは、ソフトウェアライセンス、コンプライアンス、および最適化を体系的に追跡、評価、および管理します。未使用のソフトウェア権限を再利用したり、新しいソフトウェア権限を購入したり、エンタイトルメントの割り当てを管理したりできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。